cm
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

朝鮮法令輯覽

類別一覽表

上卷

第一輯　憲法　皇室　憲法　詔書　法例　共通法　公式令　皇室　王公家　國葬

第二輯　神社　官國幣社　祭式　官國幣社以外ノ神社及神祠

第三輯　官規　官制　官等俸給　諸給　任用　採用　待遇　分限　服務　禮式　忌服

第四輯　服制　徽章　服制　徽章　旌章

第五輯　勳記　褒賞　勳記　褒賞　恩給　恩給、退隱料及扶助料

第六輯　文書　圖書　統計　資源調査　文書　官報　統計　報告　國勢調査　資源調査

第七輯　外事　條約　開港　渡航　在留

第八輯　宗教　宗教

第九輯　地方行政　社會　地方行政　社會

第十輯　衛生　警察　衛生　警察　出版　著作權　新聞紙

第十一輯　土地　水地　林野　土木　土地　林野　治水　土木

第十二輯　財務　租稅　專賣　會計　幣制　國債及證券　保管　預金　資本移動附資金調整

第十三輯　軍事　要塞地帶　軍港　要港　軍區　國家總動員　防空　戒嚴　徵發　召集　演習　補充　兵役　輸送

下卷

第十四輯　法務　司法　裁判　訴願　供託

第十五輯　民事　刑事　監獄　民事　刑事　監獄　軍律

第十六輯　學事　學校　養成所　講習所　私立學校　書堂　學校ノ認定、指定及檢定　學事　文教　學令　講習令　在外研究員、留學生及委託生　教科用圖書　時　標本　博物館　寶物古蹟名勝天然記念物　展覽會　氣象　民曆

第十七輯　產業　農業　商業　工業　度量衡　鑛業　漁業　狩獵　組合　移住　拓殖　勸業　特許　意匠　商標

第十八輯　交通　電氣　附瓦斯　通信　運輸　電氣瓦斯

年別索引

アジア経済研究所
Japan External Trade Organization
http://www.ide.go.jp

320
122

朝鮮總督府編纂

朝鮮法令輯覽

卷下

外交史料館
昭和
九〇八九七号
三

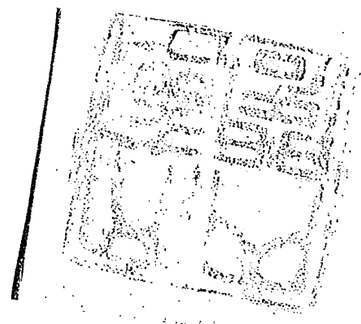
第十三輯

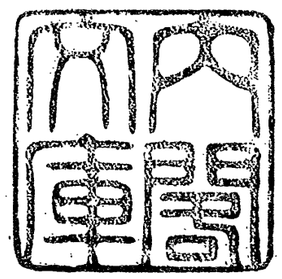
法務

第十三輯

法務

内閣文庫
和書
九〇八九七号
三





第十三輯　法務

第一章　司法裁判

第一款　裁判所

○朝鮮總督府裁判所令（第二輯ニ收ム）……一
○裁判所構成法（明治二三、二、法律六）……一
○司法事務共助法（明治四四、三、法律五二）……七
○司法事務共助法施行期日（明治四四、一〇、勅令二六七）……七
○司法事務ノ共助ニ關スル費用竝受刑者及刑事被告人ノ護送ニ關スル件（明治四四、一、勅令二六八）……七
○朝鮮、內地間ニ於テ明治四十四年勅令第二百六十八號ニ依リ受刑者及刑事被告人ヲ護送スルニ當リ相互ニ送致スヘキ地點（明治四五、六、總倒七二）……七
○外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法（明治三八、三、法律六三）……八
○間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル件（明治四四、三、法律五一）……八
○間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律ニ依リ管轄權ヲ有スヘキ朝鮮總督府裁判所（明治四四、四、總令四七）……八
○混合仲裁裁判所ノ囑託ニ因リ司法裁判所ノ爲ス法律上ノ補助ニ關スル件（大正九、四、勅令一〇七）……八

第二款　執達吏

○執達吏手數料規則（明治二三、七、法律五二）……八
○執達吏規則（明治二三、七、法律五一）……九
○執達吏手數料規則ニ依ル手數料及立替金增額ニ關スル件（大正八、五、制令一四）……一〇
○大正八年制令第十四號施行期日（大正八、五、總令九七）……一二
○大正八年制令第十四號ニ依ル執達吏ノ職務ヲ行フ者ノ手數料及立替金增額ニ關スル件（大正八、五、總令九八）……一二

第三款　辯護士

○朝鮮辯護士令（昭和一一、四、制令四）……一二
○法律事務取扱ノ取締ニ關スル法律（昭和八、四、制令五）……一三
○法律事務取扱ノ取締ニ關スル件（昭和一一、四、法律五四）……一三
○朝鮮辯護士名簿登錄規則（昭和一一、五、總令三九）……一三
○外國人辯護士認可規則（昭和一一、五、總令四〇）……一四
○朝鮮辯護士試驗規則（大正一〇、一二、總令一五三）……一四
○朝鮮辯護士試補考試規則（昭和一一、五、總令三八）……一五
○朝鮮辯護士試補實務修習規則（昭和一一、五、總令三七）……一五
○朝鮮辯護士試驗規則ニ依ル學校認定（大正一一、六、總告一五二）……一五

第四款　公證人

○朝鮮公證令（大正二、三、制令三）……一五
○公證人法（明治四一、四、法律五三）……一六
○公證人法施行期日（明治四二、七、勅令一八九）……一九
○朝鮮公證令施行規則（大正二、三、制令三）……一九
○朝鮮公證手數料規則（大正二、三、總令二〇）……二二
○公證手數料增額ニ關スル件（大正八、五、總令九九）……二二
○公證人登錄令施行規則（大正二、三、制令三）……二三
○公證人、辯護士、司法代書人、辨理士及計理士ノ懲戒免除ニ關スル件（昭和九、二、勅令二四）……二三

第五款　司法書士

○朝鮮司法書士令（大正一三、一二、制令五）……二四
○司法書士法（大正八、四、法律四八）……二四
○朝鮮司法書士令施行規則（大正一四、三、總令一三）……二四

第二章　訴願

○【朝鮮關稅令】及明治四十四年制令第二號ニ基ク訴願ニ關スル件（明治四五、三、制令二一）……二六
○訴願法（明治二三、法律一〇五）……二六

第三章　供託

○供託ニ關スル件（大正元、八、制令一）……二七
○供託法（明治三二、二、法律一五）……二七
○供託法中改正法律施行ニ關スル件（大正一一、六、勅令二八）……二七
○朝鮮總督府供託局供託物取扱規則（大正一三、總令三四）……二七
○朝鮮總督府供託局事務取扱手續（大正一一、四、總訓一）……三三
○朝鮮總督府供託局ノ預金取扱店（大正一一、四、總告九一）……三六
○指定供託所供託物取扱規則（大正元、一二、總令三八）……三六
○供託物ノ還付又ハ取戻ヲ請求スル場合ニ關スル件（大正一一、三、勅令七五）……四二
○供託金ノ利息（大正一一、三、總令三六）……四二
○大正十一年制令第二號ノ施行前ニ爲シタル供託ニ關スル件（大正一一、三、總令三七）……四二
○供託事務取扱店（大正一一、三、總令三八）……四二
○大正元年制令第一號ニ依ル指定供託所（大正元、一二、總告一一三）……四二
○供託官吏ノ提出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合及供託金ガ政府ノ所有ニ歸シタル場合ノ取扱方ニ關スル件（昭和一〇、四、大令八）……四三

第十三輯　法務

第一章　司法裁判

第一款　裁判所

●朝鮮總督府裁判所令（第二輯ニ收ム）

●裁判所構成法

明治二十三年二月十日
法律第六號

改正　明治三八年三月第六七號、三九年五第五〇號、四一年三第一〇號、四三年四第六二號、大正二年四第六號、三年四第三九號、一〇年五第一〇一號、一一年四第五三號、一四年三第五號、昭和九年三第二一〇年四第一九號

裁判所構成法ヲ裁可シ之ヲ公布セシム此ノ法律ハ明治二十三年十一月一日ヨリ施行スヘキコトヲ命ス

裁判所構成法目次

第一編　裁判所及檢事局
第一章　總則
第二章　區裁判所
第三章　地方裁判所
第四章　控訴院
第五章　大審院

第二編　裁判所及檢事局ノ官吏
第一章　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニ必要ナル準備及資格
第二章　判事
第三章　檢事
第四章　裁判所書記
第五章　執達吏
第六章　廷丁

第三編　司法事務ノ取扱
第一章　開廷
第二章　裁判所ノ用語
第三章　裁判ノ評議及言渡
第四章　裁判所及檢事局ノ事務章程
第五章　司法年度【及休暇】
第六章　法律上ノ共助

第四編　司法行政ノ職務及監督權

第一編　裁判所及檢事局

第一章　總則

第一條　左ノ裁判所ヲ通常裁判所トス
第一　區裁判所
第二　地方裁判所
第三　控訴院
第四　大審院

第二條　通常裁判所ニ於テハ民事刑事ヲ裁判スルモノトス但シ法律ヲ以テ特別裁判所ノ管轄ニ屬セシメタルモノハ此ノ限ニ在ラス

地方裁判所ハ必要ニ應シ之ヲ民事ノミヲ管轄スルモノ（民事地方裁判所）又ハ刑事ノミヲ管轄スルモノ（刑事地方裁判所）ト爲スコトヲ得

第三條　地方裁判所控訴院及大審院ヲ合議裁判所トシ數人ノ判事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ總テノ事件ヲ審問裁判ス但シ訴訟法又ハ特別法ニ別段規定シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四條　裁判所ノ設立廢止及管轄區域竝ニ其ノ變更ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第五條　各裁判所ニ相應ナル員數ノ判事ヲ置ク

第六條　檢事局ヲ附置スル裁判所ニ檢事正ヲ置ク檢事局ヲ附置スル地方裁判所ニ檢事正ノ外檢事ヲ置ク

第七條　檢事局ニ相應ナル員數ノ檢事ヲ置ク

第八條　各裁判所及各檢事局ニ書記課ヲ設ク書記課ハ往復會計記錄其ノ他此ノ法律又ハ他ノ法律ニ特定シタル事務ヲ取扱フ

外國語ノ通譯ヲ要スル裁判所及檢事局ニ通譯官ヲ置クコトヲ得

第九條　區裁判所ニ執達吏ヲ置ク執達吏ハ裁判所ヨリ發スル文書ヲ送達シ及裁判所ノ裁判ヲ執行ス

前項ノ外執達吏ハ此ノ法律又ハ他ノ法律ニ定メタル特別ノ職務ヲ行フ

第十條　法律ヲ以テ特定シタルモノヲ除ク外左ノ場合ニ於テ適當ノ申請アルトキハ關係アル各裁判所ヲ併セテ之ヲ管轄スル直近上級ノ裁判所ハ何レノ裁判所ニ於テ本件ヲ裁判スルノ權アルヤヲ裁判ス

第一　權限アル裁判所ニ於テ法律上ノ理由若ハ特別ノ事情ニ因リ裁判權ヲ行フコトヲ得ス且此ノ法律第十三條ニ依リ之ニ代ルヘキコトヲ定メラレタル裁判所モ亦之ヲ行フコトヲ得サルトキ

第二　裁判所管轄區域ノ境界明確ナラサルカ爲其ノ權限ニ付疑ヲ生シタルトキ

第三　法律ニ從ヒ又ハ二以上ノ確定判決ニ因リ二以上ノ裁判所裁判權ヲ互有スルトキ

第四　二以上ノ裁判所權限ヲ有セストノ確定判決ヲ爲シ又ハ權限ヲ有セストノ確定判決ヲ受ケタルモ其ノ裁判所ノ一ニ於テ裁判權ヲ行フヘキトキ

第二章　區裁判所

第十一條　區裁判所ノ裁判權ハ單獨判事之ヲ行フ

第十二條　事務分配ハ一タヒ定マリタルトキハ司法年度中之ヲ變更セス但シ一人ノ判事ノ分擔多キニ過キ又ハ判事轉退シ又ハ疾病其ノ他ノ事故ニ因リ久ク闕勤スル者アル等引續キ差支生シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　區裁判所ノ判事差支アルトキハ每年地方裁判所長ノ前以テ定メタル順序ニ從ヒ互ニ相代理ス但シ監督判事ノ職務ハ其ノ裁判所ノ判事官等ノ順序ニ從ヒ之ヲ代理ス

一ノ區裁判所ニ於テ法律上ノ理由若ハ特別ノ事情ニ因リ事務ヲ取扱フコトヲ得サルトキ之ニ代ルヘキ他ノ區裁判所ハ前項ニ同ク每年前以テ之ヲ定ム

第十三條ノ二　區裁判所ノ判事差支ノ爲或ル事件ヲ取扱フコトヲ得ス且同裁判所ノ判事中其ノ代理ヲ爲シ得ヘキ者ナキ場合ニ於テ其ノ事件緊急ナリト認ムルトキハ地方裁判所長ハ地方裁判所ノ判事二人以上ヲ置キタル區裁判所ニ於テハ司法大臣ノ定メタル通則ニ從ヒ其ノ裁判事務ヲ各判事ニ分配ス

此ノ事務分配ハ每年地方裁判所長前以テ之ヲ定ム

區裁判所判事ノ取扱ヒタル事ハ裁判事務分配上其ノ事他ノ判事ニ屬シタリト雖モ其ノ效力ヲ失フコトナシ

判事二人以上ヲ置キタル區裁判所ニ於テハ司法大臣ハ其ノ一人ヲ監督判事トシ之ニ其ノ行政事務ヲ委任ス

第十四條　區裁判所ハ民事訴訟ニ於テ左ノ事項ニ付裁判權ヲ有ス但シ反訴ニ關リテハ民事訴訟法ノ定ムル所ニ依ル

第一　千圓ヲ超過セサル金額又ハ價額千圓ヲ超過セサル物ニ關スル請求

第二　價額ニ拘ラス左ノ訴訟

（イ）住家其ノ他ノ建物又ハ其ノ或ル部分ノ受取明渡使用占據若ハ修繕ニ關リ又ハ貨借人ノ家具若ハ所持品ヲ貨貸人ノ差押ヘタルコトニ關リ貨貸人ト貨借人トノ間ニ起リタル訴訟

（ロ）不動産ノミニ關ル訴訟

（ハ）占有ノミニ關ル訴訟

（ニ）雇主ト雇人トノ間ニ雇期限一年以下ノ契約ニ因リ起リタル訴訟

（ホ）左ニ揭ケタル事項ニ付旅人ト旅店若ハ飲食店ノ主人トノ間ニ又ハ旅人ト水陸運送人トノ間ニ起リタル訴訟

（一）賄料又ハ宿料又ハ旅人ノ運送料又ハ之ニ伴フ手荷物ノ運送料

（二）旅店若ハ飲食店ノ主人又ハ運送人ニ旅人ヨリ保護ノ爲預ケタル手荷物金錢又ハ有價物

第十四條ノ二　區裁判所ハ破產事件ニ付裁判權ヲ有ス

第十五條　區裁判所ハ此ノ法律又ハ他ノ法律ニ特別ノ規定アルモノヲ除ク外非訟事件ニ關ル事務ヲ取扱フノ權ヲ有ス

非訟事件中登記事務ハ裁判所書記ヲシテ之ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第十六條　區裁判所ハ刑事ニ於テ左ノ事項ニ付裁判權ヲ有ス但シ豫審ヲ經サルモノニ限ル

第一　拘留又ハ科料ニ該ル罪

第二　短期一年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ヲ除ク外有期ノ懲役若ハ禁錮又ハ罰金ニ該ル罪

第十六條ノ二　司法大臣ハ地方裁判所ノ管轄區域內ノ一ノ區裁判所ノ管轄ニ屬スル刑事ノ事務ノ全部又ハ一部分ヲ其ノ地方裁判所ノ管轄區域內ノ他ノ區裁判所ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

第十七條　前數條ニ揭ケタルモノヲ除ク外區裁判所ノ權限ハ此ノ章ニ揭ケタル事件ニ關リ訴訟法又ハ特別法ノ定ムル所ニ依ル

第十七條ノ二　司法大臣ハ區裁判所ニ屬スル事務ノ一部分ヲ取扱フ爲區裁判所出張所ノ設置ヲ命スルコトヲ得

第十八條　各區裁判所ノ檢事局ニ檢事ヲ置ラサルモノモ亦前項ニ同ジ

第二十四條　第二十二條ニ從ヒ事務ノ分配及判事ノ配置一タヒ定マリタルトキハ一部ノ事務多キニ過キ又ハ判事轉退シ又ハ疾病其ノ他ノ事故ニ因リ久ク闕勤スル者アル等引續キ差支アルニ非サレハ司法年度中之ヲ變更セス

裁判所ノ事務其ノ現在ノ部ニ過多ナル場合ニ於テ司法大臣適宜ト認ムルトキハ新ニ一部又ハ數部ヲ設クルコトヲ得

第二十五條　地方裁判所ノ判事差支ノ爲或ル事件ヲ取扱フコトヲ得ス且同裁判所ノ爲或ル事件ヲ取扱フコトヲ得ス且同裁判所ノ判事中其ノ代理ヲ爲シ得ヘキ者ナキ場合ニ於テ其ノ事件緊急ナリト認ムルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ外控訴院長ニ於テ其ノ管轄區域內ノ他ノ地方裁判所ノ豫審判事ニ其ノ代理ヲ命スルコトヲ得

第二十五條ノ二　民事地方裁判所及刑事地方裁判所ノ檢事ニ差支アルトキハ控訴院長ハ民事地方裁判所及刑事地方裁判所ノ檢事ニ差支アルトキハ其ノ檢事ニ代理ヲ命スルコトヲ得

第二十五條ノ三　民事地方裁判所及刑事地方裁判所ノ豫審判事ニ差支アリ又ハ差支アルノ虞アル場合ニ於テ裁判事務上必要アリト認ムルトキハ控訴院長ハ民事地方裁判所又ハ刑事地方裁判所ノ判事ニ其ノ管轄區域內ノ他ノ地方裁判所又ハ區裁判所ノ判事ヲシテ代理ヲ命スルコトヲ得

第二十六條　地方裁判所ハ民事訴訟ニ於テ左ノ事項ニ付裁判權ヲ有ス但シ豫審ヲ經サルモノニ限ル

第一　第一審トシテ區裁判所ノ權限又ハ第三十八條ニ定メタル控訴院ノ權限ニ屬スルモノヲ除キ其ノ他ノ請求

第二　第二審トシテ區裁判所ノ判決ニ對スル控訴

（イ）區裁判所ノ決定及命令ニ對スル抗告

（ロ）區裁判所ノ決定及命令ニ對スル控訴ニ定メタル抗告

第二十七條　地方裁判所ハ刑事訴訟ニ於テ左ノ事項ニ付裁判權ヲ有ス

第一　第一審トシテ區裁判所ノ權限ニ屬セサル刑事訴訟

第二　第二審トシテ

（イ）區裁判所ノ判決ニ對スル控訴

（ロ）大審院ノ權限ニ屬スルモノヲ除ク外區裁判所ノ判決及命令ニ對スル法律ニ定メタル抗告

第二十八條　削除

第二十九條　地方裁判所ハ非訟事件ニ關ル區裁判所ノ決定及命令ニ對スル法律ニ定メタル抗告ニ付裁判權ヲ有ス

第三十條　地方裁判所ノ權限竝ニ其ノ裁判權ヲ行フノ範圍及方法ニシテ此ノ法律ニ定メサルモノハ訴訟法又ハ特別法ノ定ムル所ニ依ル

第三十一條　司法大臣ハ地方裁判所ノ一般ノ事務ヲ指揮シ其ノ行政事務ヲ監督ス

地方裁判所ノ各部ニ部長ヲ置ク

第三十二條　各地方裁判所ノ事務ハ司法大臣之ヲ分配ス

地方裁判所ノ各部ニ部長ヲ置ク部長ハ部ノ事務ヲ監督シ其ノ分配ヲ定ム

第三十三條　各地方裁判所及刑事地方裁判所ニ一若ハ二以上ノ部ヲ設ク

民事地方裁判所及刑事地方裁判所ニ檢事局ヲ置ク檢事正ハ檢事局ノ事務ヲ指揮シ其ノ行政事務ヲ監督ス

檢事局ニ檢事長ヲ置ク檢事長ハ檢事正ヲ代理シ又ハ檢事局ノ事務ヲ分配ス

第三十四條　各地方裁判所ニ檢事正檢事長又ハ檢事ノ缺員アルトキハ司法大臣ハ其ノ地方裁判所ノ檢事ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三十五條　各地方裁判所ノ檢事局ニ檢事正檢事長又ハ檢事ノ缺員アルトキハ司法大臣ハ其ノ地方裁判所ノ檢事ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三十六條　各地方裁判所ノ檢事局ニ檢事正檢事長又ハ檢事ノ缺員アルトキハ控訴院長ハ其ノ地方裁判所ノ檢事ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三十七條　各地方裁判所ノ檢事局ニ檢事正檢事長又ハ檢事ノ缺員アルトキハ其ノ地方裁判所ノ豫審判事ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三十八條　區裁判所ノ權限ハ左ノ事項ニ付裁判權ヲ有ス

第一　民事ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ訴訟ノ目的ノ價額一圓以上百圓以下ノ範圍內ニ在ルモノ

第二　刑事ニ關スル訴訟ニ付テハ左ノ事項ニ該ルモノ

（イ）拘留又ハ科料ニ該ル罪

（ロ）賭博ニ關スル罪

（ハ）遺失物、漂流物又ハ埋藏物ニ關スル罪

（ニ）暴行又ハ脅迫ニ關スル罪

（ホ）侮辱ニ關スル罪

（ヘ）過失傷害ニ關スル罪

（ト）竊盜、詐欺、橫領又ハ贓物ニ關スル罪

（チ）建造物、艦船、橋梁又ハ堤防ヲ毀損スル罪

（リ）失火ニ關スル罪

（ヌ）水利ヲ妨害スル罪

（ル）阿片煙ニ關スル罪

（ヲ）飮料水ニ關スル罪

（ワ）賍物ニ關スル罪

（カ）文書ニ關スル罪

（ヨ）印章又ハ符號ニ關スル罪

（タ）私ノ通信ニ關スル罪

（レ）秘密ヲ漏泄スル罪

（ソ）名譽ニ關スル罪

（ツ）信用及ヒ業務ニ關スル罪

（ネ）脅迫ニ關スル罪

（ナ）強要ニ關スル罪

（ラ）竊盜、詐欺、橫領又ハ贓物ニ關スル罪ヲ犯ス目的ヲ以テ爲シタル豫備ニ關スル罪

（ム）前項ニ揭ケタル罪ノ未遂ニ關スル罪

（ウ）第百三十條ノ罪

（ヰ）第百三十一條ノ罪

（ノ）第百三十二條ノ罪

（オ）第百三十三條ノ罪

（ク）第百三十四條ノ罪

（ヤ）第百三十五條ノ罪

（マ）第百三十六條ノ罪

（ケ）第百三十七條ノ罪

（フ）第百三十八條ノ罪

（コ）第百三十九條ノ罪

（エ）第百四十條ノ罪

（テ）第百四十一條ノ罪

（ア）第百四十二條ノ罪

（サ）第百四十三條ノ罪

（キ）第百四十四條ノ罪

（ユ）第百四十五條ノ罪

（メ）第百四十六條ノ罪

（ミ）第百四十七條ノ罪

（シ）第百四十八條ノ罪

（ヱ）第百四十九條ノ罪

（ヒ）第百五十條ノ罪

（モ）第百五十一條ノ罪

（セ）第百五十二條ノ罪

（ス）第百五十三條ノ罪

（ン）第百五十四條ノ罪

第三　民事ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ訴訟ノ目的ノ價額百圓ヲ超ユル場合ニ於テ其ノ訴訟ノ目的ノ價額一圓以上百圓以下ノ範圍內ニ在ルモノ

第四　刑事ニ關スル訴訟ニ付テハ左ノ事項ニ該ルモノ

（イ）第百三十九條ノ罪

（ロ）第百四十條ノ罪

（ハ）第百四十一條ノ罪

（ニ）第百四十二條ノ罪

（ホ）第百四十三條ノ罪

（ヘ）第百四十四條ノ罪

（ト）第百四十五條ノ罪

（チ）第百四十六條ノ罪

（リ）第百四十七條ノ罪

（ヌ）第百四十八條ノ罪

（ル）第百四十九條ノ罪

（ヲ）第百五十條ノ罪

（ワ）第百五十一條ノ罪

（カ）第百五十二條ノ罪

（ヨ）第百五十三條ノ罪

（タ）第百五十四條ノ罪

第三十九條　區裁判所ハ其ノ管轄區域內ニ於テ裁判事務ヲ取扱フ

第四十條　區裁判所ニ裁判官數人アルトキハ其ノ事務ヲ分掌スル爲部ヲ設ク

第四十一條　區裁判所ニ於テハ其ノ裁判權ヲ行フノ範圍及方法ニシテ此ノ法律ニ定メサルモノハ訴訟法又ハ特別法ノ定ムル所ニ依ル

第四十二條　區裁判所ニ於テ訴訟法ニ依リ法廷ニ於テ審問裁判スヘキ事件ハ三人ノ判事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ之ヲ審問裁判ス其ノ三人ノ判事中一人ヲ裁判長トス其ノ他ノ事件ハ訴訟法ノ定ムル所ニ從ヒ判事之ヲ取扱フ

第四十三條　區裁判所ニ於テ訴訟法ニ依リ法廷ニ於テ審問裁判スヘキ事件ハ三人ノ判事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ之ヲ審問裁判ス其ノ三人ノ判事中一人ヲ裁判長トス其ノ他ノ事件ハ訴訟法ノ定ムル所ニ從ヒ判事之ヲ取扱フ

第四十四條　區裁判所ニ於テハ訴訟法ニ依リ法廷ニ於テ審問裁判スヘキ事件ハ三人ノ判事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ之ヲ審問裁判ス其ノ三人ノ判事中一人ヲ裁判長トス其ノ他ノ事件ハ訴訟法ノ定ムル所ニ從ヒ判事之ヲ取扱フ

第四十五條　區裁判所ニ於テハ訴訟法ニ依リ法廷ニ於テ審問裁判スヘキ事件ハ三人ノ判事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ之ヲ審問裁判ス其ノ三人ノ判事中一人ヲ裁判長トス其ノ他ノ事件ハ訴訟法ノ定ムル所ニ從ヒ判事之ヲ取扱フ

第四十六條　區裁判所ニ於テハ訴訟法ニ依リ法廷ニ於テ審問裁判スヘキ事件ハ三人ノ判事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ之ヲ審問裁判ス其ノ三人ノ判事中一人ヲ裁判長トス其ノ他ノ事件ハ訴訟法ノ定ムル所ニ從ヒ判事之ヲ取扱フ

第四十七條　區裁判所ニ於テハ訴訟法ニ依リ法廷ニ於テ審問裁判スヘキ事件ハ三人ノ判事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ之ヲ審問裁判ス其ノ三人ノ判事中一人ヲ裁判長トス其ノ他ノ事件ハ訴訟法ノ定ムル所ニ從ヒ判事之ヲ取扱フ

第四十八條　區裁判所ニ於テハ訴訟法ニ依リ法廷ニ於テ審問裁判スヘキ事件ハ三人ノ判事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ之ヲ審問裁判ス其ノ三人ノ判事中一人ヲ裁判長トス其ノ他ノ事件ハ訴訟法ノ定ムル所ニ從ヒ判事之ヲ取扱フ

第四十九條　區裁判所ニ於テハ訴訟法ニ依リ法廷ニ於テ審問裁判スヘキ事件ハ三人ノ判事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ之ヲ審問裁判ス其ノ三人ノ判事中一人ヲ裁判長トス其ノ他ノ事件ハ訴訟法ノ定ムル所ニ從ヒ判事之ヲ取扱フ

第五十條　區裁判所ニ於テハ訴訟法ニ依リ法廷ニ於テ審問裁判スヘキ事件ハ三人ノ判事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ之ヲ審問裁判ス其ノ三人ノ判事中一人ヲ裁判長トス其ノ他ノ事件ハ訴訟法ノ定ムル所ニ從ヒ判事之ヲ取扱フ

第五十一條　前條第二項ニ揭ケタル事件ニ付大審院ハ必要アリト認ムルトキハ事件ノ審問裁判ヲ爲ス爲控訴院若ハ地方裁判所ニ於テ法廷ヲ開クコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ控訴院判事ヲ以テ部員ニ加フルコトヲ得但シ其ノ半數ニ滿ツルコトヲ得ス

第五十二條　大審院ノ權限竝ニ其ノ裁判權ヲ行フノ範圍及方法ニシテ此ノ法律ニ定メサルモノハ訴訟法又ハ特別法ノ定ムル所ニ依ル

第五十三條　大審院ニ於テ訴訟法ニ依リ法廷ニ於テ審問裁判スヘキ事件ハ五人ノ判事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ之ヲ審問裁判ス其ノ五人ノ判事中一人ヲ裁判長トス其ノ他ノ事件ハ訴訟法ノ定ムル所ニ從ヒ判事之ヲ取扱フ

第五十四條　第四十九條ニ定メタル場合ニ於テハ聯合部ノ判事少クトモ三分ノ二列席スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ民事ノ總部若ハ刑事ノ總部聯合スルトキ又ハ民事及刑事ノ總部聯合スルトキハ總部ノ判事中官等最モ高キ者ヲ部長トス大審院長ハ至當ナリト認ムルトキハ自ラ總部ニ長タルノ權ヲ有ス

第五十五條　大審院長ハ第五十條ニ依リ大審院ニ於テ第一審トシテ終審ニ於テ裁判スヘキ各別ノ場合ニ付大審院ノ判事ヲシテ豫審ヲ爲サシメ便宜ニ依リ各裁判所ノ判事ヲシテ豫審ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十六條　大審院ノ檢事局ニ檢事總長ヲ置ク

檢事總長ハ其ノ他ノ檢事ノ職權ニ付テハ第二編裁判所及檢事局ノ官吏第一章判事又ハ檢事ニ任セラルヽニ必要ナル準備及資格

第五十七條　判事又ハ檢事ニ任セラルニハ第六十五條ニ定メタル者ヲ除ク外試補トシテ一年六月以上裁判所及檢事局ニ於テ實務ノ修習ヲ爲シ且考試ヲ經ルコトヲ要ス

第五十八條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第五十九條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第六十條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第六十一條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第六十二條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第六十三條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第六十四條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第六十五條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第六十六條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第六十七條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第六十八條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第六十九條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第七十條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第七十一條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第七十二條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第七十三條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第七十四條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第七十五條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第七十六條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第七十七條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第七十八條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ在ラサルコト

第七十九條　判事又ハ檢事ニ任セラルヽニハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一　日本臣民タルコト

第二　年齡二十五年以上ナルコト

第三　民事又ハ刑事ノ裁判ノ言渡ヲ受ケ其ノ確定シタル後ニ在ラサルコト

第四　破產ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ニ在ラサルコト

第五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在ラサルコト但シ過失ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六　懲戒ノ處分ニ因リ辨護士ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第七　懲戒ノ處分ニ因リ公證人ノ職ヲ除カレタル者ニ在ラサルコト

第八　懲戒ノ處分ニ因リ官吏ノ職ヲ免セラレタル者ニ

實務ノ修習及考試ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第五十八條　試補ハ成規ノ試驗ニ合格シタル者ノ中ヨリ司法大臣之ヲ命ス

前項ノ試驗ニ關スル規則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十九條　削除

第六十條　一年以上修習ヲ經シタル試補ハ其ノ修習ヲ現ニ監督スル判事ノ命アルトキハ區裁判所ニ於テ或ル司法事務ヲ取扱フコトヲ得

豫審判事及地方裁判所ノ受命判事モ亦其ノ附屬ノ試補ナシテ自己ニ代リ或ル事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第六十一條　試補ハ如何ナル場合ニ於テモ左ノ事務ヲ取扱フノ權ヲ有セス

第一　訴訟事件ト非訟事件トニ拘ラス裁判ヲ爲ス事

第二　證據ヲ調フル事但シ前條第二項ノ場合ヲ除ク

第三　登記ヲ爲ス事

第六十二條　司法大臣ハ試補ノ行狀其ノ地位ニ適セス又ハ修習ノ成績考試ニ合格スヘキ見込ナシト認ムルトキハ之ヲ罷免スルコトヲ得

第六十三條　新任ノ判事又ハ檢事ハ闕位アルトキ之ヲ區裁判所若ハ地方裁判所ノ判事又ハ區裁判所若ハ地方裁判所ノ檢事局ノ檢事ニ補ス

司法大臣ハ闕位アルマテ新任ノ判事又ハ檢事ニ豫備判事又ハ豫備檢事トシテ勤務スルコトヲ命シ之ヲ司法省又ハ區裁判所又ハ地方裁判所又ハ其ノ裁判所ノ檢事局ニ用ウ

第六十四條　區裁判所又ハ地方裁判所又ハ其ノ檢事局ニ用キラレタル豫備判事又ハ豫備檢事ハ判事又ハ檢事差支アリテ職務ニ從事スルコトヲ得且通常代理ノ規定ニ依リ難キコトアルトキハ第三十二條ノ制限ニ從ヒ司法大臣ハ之ニ其ノ判事又ハ檢事ヲ代理セシムルコトヲ得

司法大臣ハ區裁判所又ハ地方裁判所ノ判事又ハ其ノ檢事局ノ檢事ニ非サレハ控訴院判事ニ補セラルルコトヲ得

第七十條　十年以上判事タル者又ハ十年以上檢事帝國大學法科教授若ハ辯護士ニシテ判事ニ任セラレシ者ニ非サレハ大審院判事ニ補セラルルコトヲ得

第七十一條　第六十九條及第七十條ニ揭ケタル年限ヲ算フルニハ補職ノ時ヨリ各其ノ條ニ列記シタル職務ノ一ノミニ引續キ從事シタルコトヲ必要トセス

第七十二條　前三條ノ二　前三條ノ規定ニ適用ニ付テハ判事又ハ檢事ノ資格ヲ有スル司法省各局長司法書記官朝鮮總督府判事朝鮮總督府檢事臺灣總督府法院判官臺灣總督府法院檢察官關東法院判官又ハ關東法院檢察官ノ在職ハ之ヲ判事ノ在職ト看做ス

第七十三條　第七十四條乃至第七十五條ノ場合ヲ除ク外判事ハ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルニ非サレハ其ノ意ニ反シテ轉官轉所停職免職又ハ減俸セラルルコトナシ但シ豫備判事タルトキ及補闕ノ必要ナル場合ニ於テ轉所ヲ命セラルルハ此ノ限ニ在ラス

前項ハ懲戒取調又ハ刑事訴追ノ始若ハ其ノ間ニ於テ法律ノ許ス停職ニ關係アルコトナシ

第七十四條　判事身體若ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキハ司法大臣ハ控訴院又ハ大審院ノ總會ノ決議ニ依リ之ニ退職ヲ命スルコトヲ得

第七十四條ノ二　大審院長年齢六十五年其ノ他ノ判事ノ職ニ在ル者年齢六十三年ニ達シタルトキハ退職ス但シ控訴院又ハ大審院ノ總會ニ於テ三年以內ノ期間ヲ定メ仍在職セシムヘキモノト決議シタルトキハ其ノ期間滿了ノ時ニ於テ退職ス

第七十四條ノ三　司法大臣ハ裁判事務上必要アルトキハ控訴院又ハ大審院ノ總會ノ決議ニ依リ判事ニ轉所ヲ命スルコトヲ得

第七十五條　法律又ハ裁判所ノ組織ヲ變更シ又ハ之ヲ廢シタル場合ニ於テ其ノ判事ヲ補スヘキ闕位ナキトキハ司法大臣ハ之ニ俸給ノ半額ヲ給シテ闕位ヲ待タシムルノ權ヲ有ス

第七十六條　判事ノ官等俸給及過級ニ關ル規程ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第七十七條　削除

第七十八條　判事ノ俸給ハ判事ニ對シ懲戒取調又ハ刑事訴追ヲ始メタルカ故ニ停職シタルニ拘ラス引續キ之ヲ給ス

第三章　檢事

第七十九條　檢事ハ親任勅任又ハ奏任トス

第七十六條ノ二　檢事ハ檢事ニ非サレハ檢事ニ任セラレサル者ニ非サレハ檢事ニ任セラルルコトヲ得

第八十條　檢事ハ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルニ非サレハ其ノ意ニ反シテ之ヲ免職スルコトナシ

第八十條ノ二　檢事總長年齢六十五年其ノ他ノ檢事ノ職ニ在ル者年齢六十三年ニ達シタルトキハ退職ス但シ司法大臣ハ三年以內ノ期間ヲ定メ仍在職セシムルコトヲ得

第八十一條　檢事ハ如何ナル方法ヲ以テスルモ判事ノ裁判事務ニ干渉シ又ハ裁判事務ヲ取扱フコトヲ得ス

第八十二條　檢事ハ其ノ上官ノ命令ニ從フ

第八十三條　檢事總長檢事長及檢事正ハ其ノ各管轄區域內ノ裁判所ノ檢事ノ職務ノ範圍內ニ在ル事務ヲ自ラ取扱フノ權ヲ有ス

檢事總長檢事長及檢事正ハ其ノ管轄區域內ニ於テ或ル檢事ノ取扱フヘキ事務ヲ他ノ檢事ニ移スノ權ヲ有ス

第八十四條　司法警察官ハ檢事ノ職務上其ノ檢事局管轄區域內ニ於テ發シタル命令及其ノ檢事ノ上官ノ發シタル命令ニ從フ

司法省又ハ檢事局及內務省又ハ地方官廳ハ協議シテ警察官中各裁判所ノ管轄區域內ニ於テ司法警察官トシテ勤務スヘキ前項ノ命令ヲ受ケ及之ヲ執行スルヿヲ定ム

第四章　裁判

第八十五條　裁判所ニ第八條ニ揭ケタル相應ノ員數ノ書記ヲ置ク

區裁判所ノ各判事及合議裁判所ノ各部ノ爲ニ少クトモ一人ノ書記ヲ置ク

第八十六條　大審院大審院檢事局及控訴院ノ書記課ニ書記長ヲ置ク控訴院檢事局地方裁判所及地方裁判所檢事局ノ書記課ニ監督書

記ヲ置ク

區裁判所及區裁判所檢事局ノ書記課ニ二人以上ノ書記ヲ置キタルトキハ其ノ一人ヲ監督書記長トス

書記長及監督書記ハ各各其ノ上官ノ命令ニ服從シテ書記課ノ事務ヲ指揮監督ス

第八十七條　書記其ノ職務ノ範圍內ニ於テ取扱ヒタルヿヲ判事ノ名ニ於テ爲ス事ノ外他ノ書記ニ屬シタルトキハ其ノ一人ノ判事又ハ檢事ニ代リテ之ヲ取扱フヿヲ得

第八十八條　書記ハ司法大臣之ヲ任シ及之ヲ補ス司法大臣ハ大審院長控訴院長檢事長ニ各各其ノ裁判所及其ノ管轄區域內ノ區裁判所又ハ檢事局ノ書記ヲ地方裁判所長檢事正ニ各各其ノ裁判所及其ノ管轄區域內ノ區裁判所又ハ檢事局及其ノ局ノ附屬セラレタル地方裁判所管轄區域內ノ檢事局ノ書記ヲ任シ及補スルノ權ヲ委任スルコトヲ得

書記長及通譯官ハ奏任トス

書記長及通譯官ノ職ハ司法大臣之ヲ補ス

第八十九條　書記ニ任セラルルニハ勅令ノ定ムル所ニ依リ試驗ヲ經ルコトヲ要ス

志願者前項ノ試驗ヲ受ケ得ルニ必要ナル實格並ニ此ノ試驗及試驗ヲ經タル後爲スヘキ修習ニ關ル細則ハ裁判所書記登用試驗規則中ニ司法大臣之ヲ定ム

第九十條　書記ニ任セラレタル者閼位ナキ間ハ豫備書記ニ補ス

豫備書記ハ書記トシテ臨時勤務ヲ命セラルルコトヲ得

第九十一條　書記ハ其ノ上官ノ命ニ從フ

裁判所ノ開廷ニ於テハ裁判長ノ命ニ從ヒ又判事一人ナルトキハ其ノ判事ノ命ニ從フ

書記ハ檢事局ニ勤務スルトキ又ハ特別ノ事務ニ付判事若ハ檢事ニ附屬シタルトキモ亦其ノ檢事局又ハ判事若ハ檢事ノ命令ニ從フ

前二項ノ命令ニシテ口述ノ書取ニ關ルカ又ハ書類記錄ノ調製若ハ變更ヲ正當ナラスト認ムルトキ書記ハ自己ノ意見ヲ記シテ之ニ添フルコトヲ得

前四項ニ揭ケタルモノヲ除ク外書記ノ職務及其ノ事務取扱方法ハ書記ニ關ル規則中ニ司法大臣之ヲ定ム

第九十二條　各議裁判所長又ハ區裁判所ノ判事若ハ豫ノ裁判所ノ判事ニ於テ修習中ノ試補ニ書記ノ事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ職務上署名ヲ要スルトキハ特別ノ許可ヲ得テ署名スル旨ヲ記ス

第九十三條　豫備書記ハ書記ノ職務ニ於テハ書記ニ同シ但シ書記規則中ニ制限ヲ設ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五章　執達吏

第九十四條　各區裁判所ニ第九條ニ從ヒ相應ナル員數ノ執達吏ヲ置ク

第九十五條　執達吏ハ司法大臣之ヲ任シ及之ヲ補ス司法大臣ハ地方裁判所長ニ其ノ管轄區域內ノ裁判所ノ執達吏ヲ任シ及補スルノ權ヲ委任スルコトヲ得

地方裁判所長ハ前項ノ委任ハ民事地方裁判所アル場合ニ於テハ前項ノ委任ハ民事地方裁判所長ニ對シ之ヲ爲ス

執達吏ニ任セラルヘキ必要格並ニ試驗ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

第九十六條　執達吏ハ手數料ヲ受ク其ノ手數料一定ノ額ニ達セサルトキ補助金ヲ受ク

第九十七條　執達吏ハ其ノ所屬區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所管轄區域內ノ何レノ場所ニ於テモ其ノ職務ヲ行フ

第九十八條　裁判所ニ於テ對審ノ公開ヲ停ムルノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ハ其ノ理由ト共ニ公衆ヲ退カシムル前之ヲ言渡スヘキハ再ヒ公衆ヲ入ルヽニ於テ裁判所ノ判決ヲ言渡ストキハ此ノ場合ニ於テモ亦同ヲ爲サス

第九十九條　裁判長ハ公開ヲ停メタルトキモ人ノ特許ヲ與フルヿヲ除ク外執達吏ノ權限ハ訴訟法又ハ特別法ノ定ムル所ニ依ル

第百條　執達吏ハ刑事ニ付警察官ヲ以テ執行ヲ爲サヽル場合ニ限リ裁判所ノ裁判ヲ執行ス

前二項ノ命令ニシテ口述ノ書取ニ關ルカ又ハ書類記錄ノ調製若ハ變更ヲ正當ナラスト認ムルトキ執達吏ハ自己ノ意見ヲ記シテ之ニ添フルヿヲ得

第百一條　執達吏ハ裁判所ノ許可ヲ得テ署名スル旨ヲ記ス

第百二條　執達吏ノ職務細則並ニ保證金ニ關ル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

第六章　辯護士

第百三條　辯護士ハ辯護ノ職務ヲ行フ

第百四條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ監督ニ服ス

第百五條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ事務所ヲ裁判所ノ構外ニ移ス

第百六條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ呼出ニ應シ出頭スヘシ

第百七條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ命ニ從ヒ辯護ヲ爲スヘシ

第百八條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百九條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百十條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百十一條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百十二條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百十三條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百十四條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百十五條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百十六條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百十七條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百十八條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百十九條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百二十條　辯護士ハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職務ヲ代理セシムルヿヲ得

第百十二條ヲ以テ與ヘタル權ヲ行ヒタルトキハ訴訟ノ記錄ニ之ヲ記入シ及其ノ理由ヲ記ス

前項ノ場合ニ於テ其ノ所爲ノ重罪若ハ輕罪ニ該ルヘキモノナルカ又ハ懲戒上關スヘキモノナルトキハ詳細ニ之ヲ記入シ裁判長ハ其ノ事件ヲ更ニ處分スルノ權アル官廳ニ報告ス

第百十四條　判事檢事及裁判所書記ハ公開シタル法廷ニ於テハ一定ノ制服ヲ著ス

前項ノ開廷ニ於テ審問ニ參與スル辯護士モ亦一定ノ職服ヲ著スルコトヲ要ス

第二章　裁判所ニ於テハ日本語ヲ用ヰ當事者證人又ハ鑑定人ノ申立ハ日本語ニ通セサルトキハ陪席法又ハ特別法ニ通事ヲ用ユルコトヲ要スル場合ニ於テ之ヲ用ユ

第百十六條　通事ノ任命及使用竝ニ陪席手續上其ノ行フヘキ職務ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

第百十七條　通事ノ得棄キ場合ニ於テ書記其ノ言語ニ通スルトキハ裁判長ノ承諾ヲ得テ通事ニ用キラルルコトヲ得

第百十八條　外國人ノ當事者タル陪席ニ關係ヲ有スル者及其ノ陪席ノ審問ニ參與スル官吏ノ或ル外國語ニ通スル場合ニ於テ裁判長便利ト認ムルトキハ其ノ外國語ヲ以テ口頭審問ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ審問ノ公正記錄ハ日本語ヲ以テ之ヲ作ル

第三章　裁判ノ評議及言渡

第百十九條　合議裁判所ノ裁判ハ此ノ法律ニ從ヒ定數ノ判事之ヲ評議シ及之ヲ言渡ス

第百二十條　四日以上引續クヘキ見込アル刑事ノ審問ニ於テ裁判所長ハ補充判事一人ヲ命シ之ニ立會ハシムルコトヲ得此ノ補充判事ハ其ノ審問中或ル判事ノ疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ參與スルコトヲ得サル場合ニ於テ之ニ代リ審問及裁判ヲ完結スルノ權ヲ有ス

第百二十一條　判事ノ評議ハ之ヲ公行セス但シ後傳判事及試補ノ傍聽ヲ許スコトヲ得

前項ノ評議ハ其ノ裁判長之ヲ開キ且之ヲ整理ス其ノ評議ノ順序ハ官等ノ最モ低キ者ヲ始トシ裁判長ヲ終トス官等同キトキハ年少ノ者ヲ始トシ受命ノ事件ニ付テハ受命判事ヲ始トス

第百二十二條　判事ハ裁判ス職ニ關スル問題ニ付自己ノ意見ヲ表スルコトヲ拒ムコトヲ得ス

第四章　裁判所及檢事局ノ事務章程

第百二十五條　裁判所及檢事局ノ標準ト爲スヘキ規則ハ司法大臣之ヲ定ム

接訴院竝及檢事局ハ前項ノ規則ニ依リ各自管轄區域內ノ裁判所及檢事局ニ對シテ事務ノ一般ノ取扱ニ關リ成ルヘク統一ヲ旨トシ且ツ裁判所及檢事局ノ開廷時間及開廷ノ時日ニ付開令ヲ發ス

大審院ハ自ラ其ノ事務章程ヲ定ム但シ之ヲ實施スル前司法大臣ノ認可ヲ受ク

第百二十六條　司法年度ハ一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ハル

第百二十七條乃至第百三十條　削除

第六章　法律上ノ共助

第百三十一條　裁判所ハ陪席法又ハ特別法ノ定ムル所ニ依リ互ニ法律上ノ補助ヲ爲ス

法律上ノ補助ハ別ニ法律ニ定メタル場合ノ外ハ所要ノ事務ヲ取扱フヘキ地ノ區裁判所ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十二條　檢事局モ亦各自ノ管轄區域內ニ於テ取扱フヘキ事務ニ付互ニ法律上ノ補助ヲ爲ス

第百三十三條　裁判所及檢事局ノ普記課モ亦其ノ權內ノ事件又ハ其ノ配下ノ執達吏ノ權位ニ不相應ナル行狀ニ付之ヲ途ニ其事

但シ此ノ途ニ當ラス前其ノ官吏ヨシテ辯明ヲ爲スコトヲ得セシムヘシ

第百三十六條ノ二　合議裁判所長檢事總長檢事事務ハ監督ニ關スル判事若ハ檢事ノ事務ニ關シ其ノ監督ニ屬スル檢事正ハ司法大臣ノ指揮ヲ受ケ命ノ事件ニ付テハ受命判事ヲ始トシ

第百三十七條　第十八條及第八十四條ニ揭ケタル官吏ハ第百三十五條ニ依リ行フヘキ監督ヲ受クルノ官吏中ニ之ヲ包含ス

第百三十八條　裁判所若ハ檢事局ノ官吏ニシテ適當ニ其ノ職務ヲ行ハサル者又ハ其ノ行狀其ノ地位ニ不相應ナル者ニ付第百三十六條ヲ適用スルコト能ハサルトキハ懲戒法ニ從ヒ之ヲ訴追ス

第百三十九條　前數條ニ揭ケタル司法行政ノ職務及監督權ハ判事若ハ檢事其ノ官吏タル資格又ハ其ノ他ノ資格ヲ以テ爲シタル事ニ對シテ起リタル請求ニ付其ノ請求ヲ滿足セシムル爲之ヲ執行スルコトヲ得ス

第百四十條　司法事務取扱ノ方法ニ對スル抗告殊ニ或ル事務ノ取扱方ニ對スル取扱ノ延滯若ハ拒絕ニ對スル抗告ハ此ノ編ニ揭ケタル司法行政ノ職務及監督權ニ依リ之ヲ處分ス

第百四十一條　裁判所及檢事局ハ司法大臣又ハ監督權アル判事若ハ檢事ノ要求アルトキハ法律上ノ事項又ハ司法行政ニ關スル事項ニ付意見ヲ述フ

第百四十二條　司法官廳ニ對シテ起リタル民事ノ訴訟ニ於テハ其ノ訴訟ヲ受ケタル裁判所ノ檢事局ハ司法官廳ヲ代表ス

前項ニ定メタル權限ハ民事地方裁判所ニ關シテハ其ノ管轄區域ヲ同シクスル刑事地方裁判所ノ檢事局之ヲ行フ

第百四十三條　此ノ編ニ揭ケタル前各條ノ規程ハ裁判上ノ執務スル判事ノ裁判權ニ影響ヲ及ホシ又ハ之ヲ制限スルコトナシ

附　則

第百四十四條　此ノ法律ノ施行ニ關ル規程竝

ニ從來ノ法律ニシテ此ノ法律ニ牴觸スト雖モ當分ノ內仍ホ效力ヲ有セシムルモノハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

附　則（明治四十一年三月法律第三十號）

本法ハ刑法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前ニ提起シタル訴訟ハ本法ニ依リ他ノ裁判所ノ權限ニ屬スヘキモノト雖モ受訴裁判所之ヲ裁判スヘシ

本法施行後重禁錮又ハ輕禁錮ニ處スヘキ罪ノ裁判權ニ付テハ重禁錮ヲ懲役ト看做シ輕禁錮ヲ禁錮ト看做ス

附　則（大正三年四月法律第三十九號）

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際現ニ判事又ハ檢事ノ職ニ在ル者ニシテ本法施行ノ日ニ於テ第七十四條ノ二又ハ第八十條ノ二ニ規定スル年齡ヲ超ユルモノ及本法施行ノ日ヨリ二十日內ニ於テ其ノ年齡ニ達スルモノハ本法施行ノ日ヨリ二十日ヲ經テ退職スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ判事ニ付テハ第七十四條ノ二但書ノ規定ヲ、檢事ニ付テハ第八十條ノ二但書ノ規定ヲ準用ス但シ第七十四條ノ二又ハ第八十條ノ二ニ規定スル年齡ニ三年ヲ加ヘタルモノヲ超エテ在職セシムルコトヲ得ス

附　則（大正六年法律第五十三號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條ノ二及第二十八條ノ改正規定施行前從前ノ管轄裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ完結ス

附　則（大正十四年三月法律第五號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十四年七月六日勅令第二百五十一號ヲ以テ大正十四年七月十日ヨリ施行）

本法施行前裁判所ノ受理シタル訴訟ニ付テハ管轄ニ關スル從前ノ規定ヲ適用ス但シ本法ニ依リ其ノ裁判所ノ管轄ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

判事又ハ檢事タル資格ヲ有スル司法省參事官ノ本法施行前ニ於ケル在職ハ裁判所構成法第六十九條乃至第七十一條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ判事ノ在職ト看做ス

附　則（昭和九年三月法律第二號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和九年三月勅令第四十六號ヲ以テ昭和九年四月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十年四月法律第二十九號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十年四月勅令第八十八號ヲ以テ昭和十年五月一日ヨリ施行）

附　則（大正十一年三月法律第二十三號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十二年三月勅令第七十九號ヲ以テ大正十一年四月一日ヨリ施行）

●司法事務共助法

明治四十四年三月
法律第五十二號

改正　大正二年法律第二號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル司法事務共助法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

司法事務共助法

第一條　內地及樺太、朝鮮、臺灣、關東州、南洋群島又ハ帝國ノ領事裁判權ヲ行フ地域ニ於テ司法事務ヲ取扱フ官廳ノ裁判所ニ於テ之ヲ完結ス

附　則（大正十一年三月勅令第八十號）

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮、內地間ニ於テ明治四十四年勅令第二百六十八號ニ依リ受刑者及刑事被告人ヲ護送スルニ當リ相互ニ送致スヘキ地點

明治四十五年六月
總督府令第七十二號

改正　大正二年總督府令第四號

朝鮮總督府裁判所
朝鮮總督府檢事局

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

朝鮮總督府警察官署
朝鮮憲兵隊

朝鮮、內地間ニ於テ明治四十四年勅令第二百六十八號ニ依リ受刑者及刑事被告人ヲ護送スルトキハ內地ヨリ送致スヘキ地點ハ釜山、朝鮮ヨリ送致スヘキ地點ハ下ノ關ト定ム

●外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法

明治三十八年三月
法律第六十三號

改正　明治四五年一二號七ノ七

第一條　裁判所ハ外國裁判所ノ囑託ニ因リ民事及刑事ノ訴訟事件ニ關スル書類ノ送達及證據調ニ付法律上ノ補助ヲ爲ス

法律上ノ補助ヲ取ソヘキ地ナ管轄スル區裁判所ニ於テ之ヲ爲ス

第二條　法律上ノ補助ハ左ノ條件ヲ具備スル場合ニ於テ之ヲ爲ス

一　囑託カ外交機關ヲ經由シタルモノナルコト

二　書類送達ノ囑託ハ送達ヲ受クヘキ者竝其ノ國籍及住所又ハ居所ヲ記載シタル書面ヲ以テ爲シタルモノナルコト

三　證據調ノ囑託ハ訴訟事件ノ當事者、證據方法ノ種類、取調ヲ受クヘキ者ノ氏名國籍及住所又ハ居所竝取調ヲ要スル事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ爲シ仍刑事ニ付テハ其ノ事件ノ要旨ヲ記載シタル書面ヲ添附シタルモノナルコト

四　日本語ヲ以テ作成セサル囑託書及其ノ關係書類ニハ日本語ノ翻譯文ヲ添附スルコト

五　囑託裁判所所屬國カ受託事項施行ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ保證シタルコト

六　囑託裁判所所屬國カ同一又ハ類似ノ事項ニ付日本ノ裁判所ノ囑託ニ因リ法律上ノ補助ヲ爲シ得ヘキ旨ノ保證ヲ爲シタルコト

第二條　受託事項カ他ノ裁判所ノ管轄ニ屬スルトキハ受託裁判所ハ他ノ囑託ヲ管轄裁判所ニ移送スヘシ

第三條　受託事項ハ日本ノ法律ニ依リ之ヲ施行スヘシ

●間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル件

明治四十四年三月
法律第五十一號

改正　大正四年一二號二九號、一四年三號七號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經メル間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　間島ニ駐在スル帝國領事官ノ豫審ヲ爲シタル罪ノ公判ハ朝鮮總督府地方法院之ヲ管轄ス

第二條　間島ニ駐在スル帝國領事官ノ管轄ニ屬スル刑事ニ關シ外務大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ事件ヲ管轄スヘカラサルコトヲ當該領事官ニ命シ且被告人ヲ朝鮮ニ於ケル監獄ニ移送セシムルコトヲ得

第三條　前條ノ規定ニ依リ被告人ヲ朝鮮ニ於ケル監獄ニ移送スル場合ニ於テ朝鮮總督ハ被告人ノ移送セラルル監獄所在地ヲ管轄スル朝鮮總督府覆審法院ノ檢事シテ裁判管轄指定ノ申請ヲ其ノ覆審法院ニ爲サシムヘシ

前項ノ申請及裁判ニ關シテハ刑事訴訟法第十八條第一項及第二十三條ノ規定ヲ準用ス

第四條　間島ニ駐在スル帝國領事官ノ爲シタル裁判ニ對スル控訴又ハ抗告（朝鮮總督府高等法院ノ權限ニ屬スルモノヲ除ク）ハ朝鮮總督府覆審法院間島ニ駐在スル帝國領事官ノ爲シタル裁判ニ對スル上告又ハ上告薬却ノ決定ニ對スル抗告ハ朝鮮總督府高等法院之ヲ管轄ス

第五條　第一條及第四條ノ場合ニ於テ管轄權ヲ有スヘキ朝鮮總督府裁判所ハ朝鮮總督之ヲ定ム

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前受理シタル訴訟事件及非訟事件ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

附　則（大正十四年三月法律第七號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（大正十四年九月勅令第二百八十六號ヲ以テ同年十一月一日ヨリ施行）

●間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律ニ依リ管轄權ヲ有スヘキ朝鮮總督府裁判所

明治四十四年四月
總令第四十七號

改正　大正九年一號二條、八年一〇號一六五、一二年五號九二號

明治四十四年法律第五十一號ニ依リ管轄權ヲ有スヘキ朝鮮總督府裁判所ヲ左ノ通定ム

一　京城覆審法院

附　則（大正十二年六月總令第九十二號）

本令ハ大正十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●混合仲裁裁判所ノ囑託ニ因リ司法裁判所ノ爲ス法律上ノ補助ニ關スル件

大正九年四月
勅令第百七號

改正　大正九年一〇號四八六號、一〇年八號五七七號、一二年一號三三號

朕混合仲裁裁判所ノ囑託ニ因リ內地及樺太、朝鮮、臺灣、關東州竝ニ南洋群島ノ司法裁判所ノ爲ス法律上ノ補助ニ付テハ外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法第一條ノ二第一號、第五號及第六號ノ規定ヲ除クノ外同法ニ依ル但シ同法ノ定ムル區裁判所ノ職務ハ內地及樺太以外ノ地ニ在リテハ之ニ該當スル裁判官廳之ヲ行フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二款　執達吏

●執達吏手數料規則

明治二十三年七月
法律第五十二號

改正　明治四二年三號三ノ六、四四年三號五四、四五年三號三ノ二、大正三年三號三ノ二、昭和一〇年四號

朕執達吏手數料規則ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

此法律ハ明治二十三年十一月一日ヨリ施行スヘキコトヲ命ス

執達吏手數料規則

第一條　執達吏ハ此規則ニ從ヒ手數料ヲ受ク

第二條　書類送達ノ手數料ハ一通ニ付七錢トス

第三條　有體動產及未タ土地ヨリ離レサル果實竝爲替證券其他裏書ヲ以テ移轉スルコトヲ得ル證券ノ差押、假差押ニ付テノ手數料ハ左ノ區別ニ從フ

執行スヘキ債權額

貳拾圓マテ　四拾錢
五拾圓マテ　六拾錢
百圓マテ　九拾錢
貳百五拾圓マテ　壹圓貳拾錢
五百圓マテ　壹圓五拾錢
千圓マテ　壹圓八拾錢
千圓ヲ超ユルトキハ貳圓四拾錢トス

假差押ヲ爲シタル物ニ對スル差押ニ付テノ手數料ハ前項ノ手數料ノ半額トス

若シ執務三時間以上ニ渉ルトキハ一時間毎ニ本條ニ定メタル手數料ノ十分ノ三ヲ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做シテ算定ス

第四條　執達吏差押、假差押ヲ爲スヘキ場所ニ臨ムト雖差押ヲヘキ物ヲ換價スル爲強制執行ノ費用ヲ償フヘキ物ヲ差押又ハ差押ノ見込ナキトキハ前條ニ定メタル手數料ノ半額ヲ受ク

但シ同法ノ定ムル區裁判所ノ職務ハ內地及樺太以外ノ地ニ在リテハ之ニ該當スル裁判官廳之ヲ行フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二款　執達吏

●執達吏手數料規則

明治二十三年七月
法律第五十二號

改正　明治四二年三號三ノ六、四四年三號五四、四五年三號三ノ二、大正三年三號三ノ二、昭和一〇年四號

朕執達吏手數料規則ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

此法律ハ明治二十三年十一月一日ヨリ施行スヘキコトヲ命ス

執達吏手數料規則

第一條　執達吏ハ此規則ニ從ヒ手數料ヲ受ク

第二條　書類送達ノ手數料ハ一通ニ付七錢トス

第三條　有體動產及未タ土地ヨリ離レサル果實竝爲替證券其他裏書ヲ以テ移轉スルコトヲ得ル證券ノ差押、假差押ニ付テノ手數料ハ左ノ區別ニ從フ

執行スヘキ債權額

貳拾圓マテ　四拾錢
五拾圓マテ　六拾錢
百圓マテ　九拾錢
貳百五拾圓マテ　壹圓貳拾錢
五百圓マテ　壹圓五拾錢
千圓マテ　壹圓八拾錢
千圓ヲ超ユルトキハ貳圓四拾錢トス

假差押ヲ爲シタル物ニ對スル差押ニ付テノ手數料ハ前項ノ手數料ノ半額トス

若シ執務三時間以上ニ渉ルトキハ一時間毎ニ本條ニ定メタル手數料ノ十分ノ三ヲ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做シテ算定ス

第四條　執達吏差押、假差押ヲ爲スヘキ場所ニ臨ムト雖差押ヲヘキ物ヲ換價スル爲強制執行ノ費用ヲ償フヘキ物ヲ差押又ハ差押ノ見込ナキトキハ前條ニ定メタル手數料ノ半額ヲ受ク

第五條　民事訴訟法第五百五十六條第二號、第五百八十六條第二項、第六百十六條ノ場合及假ニ差押、假差押ニ準シタル執達吏ノ死亡若クハ其他ノ理由ニ依リ委任ノ消滅シタルトキ物ヲ換假スル爲其委任ヲ引受ケタル場合ニ於テハ執達吏ハ第三條ニ定メタル手數料ノ半額ヲ受ク

第六條　特定ノ動產又ハ代替物ノ一定ノ數量ヲ債務者ヨリ取上ケ之ヲ債權者ニ引渡ス場合ニ於テハ其手數料ヲ壹圓トス若シ執務二時間以上ニ渉ルトキハ一時間毎ニ貳拾錢ヲ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做シテ算定ス

削項ノ場合ニ於テ執達吏其場所ニ臨ムト雖引渡スヘキ物ナキトキハ前項ニ定メタル手數料ノ半額ヲ受ク

第七條　民事訴訟法第七百三十一條第一項ノ場合又ハ民事訴訟法第七百三十三條第一項ノ決定ニ基キ執行ヲ爲ス場合ニ於テハ執務三時間以內ハ手數料ヲ壹圓トシ若シ其執務三時間以內ニ渉ルトキハ一時間毎ニ貳拾錢ヲ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做シテ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做シテ算定ス

削項ノ場合ニ於テ執達吏其場所ニ臨ムト雖船舶アラサルトキハ前項ニ定メタル手數料ノ半額ヲ受ク

第八條　民事訴訟法第六百四十三條第三項ニ依リ不動產ノ取調ヲ爲ス場合ニ於テハ第三條ニ定メタル區別ニ從ヒ其手數料ヲ受ク

第九條　動產、不動產及船舶ノ競賣ニ付テノ手數料ハ左ノ區別ニ從フ

競賣金額　手數料

貳拾圓マテ　七拾錢
五拾圓マテ　壹圓貳拾錢
百圓マテ　壹圓八拾錢
貳百五拾圓マテ　貳圓四拾錢
五百圓マテ　臺圓
千圓マテ　四圓五拾錢
千圓ヲ超ユル分ノ執行ノ手數料ニ付テハ第八條ノ規定ニ準用ス

第十條　旅費宿泊料

第十四條　前條ノ書記料ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ受ク

第一　法律ニ依リ又ハ利害關係人ノ求ニ依リ證書及記錄中ニ存スル書類ノ謄本ヲ作リタルトキ但法律ニ依リ交付スヘキ送達證書ノ謄本ハ此限ニ在ラス

第二　供託ヲ爲スニ際シ執行裁判所ニ差出スヘキ屆書ヲ作リタルトキ

第三　差押命令ノ送達後第三債務者ノ爲ス陳述ヲ筆記シタルトキ

書記料ハ半枚十二行二十字詰ニ付參錢トス但十二行ニ滿タサルモ半枚ト看做シテ算定ス

第十五條　強制執行ニ關セサル告知及催告ヲ爲ストキハ其手數料拾五錢ヲ受ク

第十六條　拒絕證書ヲ作成スル場合ニ於テハ其手數料ヲ五拾錢トス若シ執務一時間以上ニ渉ルトキハ一時間毎ニ貳拾錢ヲ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做シテ算定ス

第十六條ノ二　執行記錄其他ノ書類ノ閱覽ニ付テノ手數料ハ既濟ノ書類ニ限リ一回ニ付拾錢トス

第十六條ノ三　手數料ノ定ナキ事項ニ付テハ最類似スル事項ト同一ノ手數料ヲ受ク

第十七條　證人ニ支給スヘキ日當ハ貳拾錢以下ノ定額ニ從ヒ之ヲ支給ス若シ一里以上ノ地ヨリ呼出シタルトキハ第十八條ノ規定ニ從ヒ旅費ヲ支給ス

第十八條　執達吏自己ノ役場又ハ出張所ヨリ一里以上ノ地ニ至リ職務ヲ行フトキハ一里毎ニ拾五錢以下ノ旅費ヲ受ク但一里ニ滿タサルモ一里ト看做シテ算定ス

執達吏ハ其職務ヲ執行スルノ爲宿泊ヲ要シタルトキハ一泊ニ付壹圓貳拾錢以下ノ宿泊料ヲ受ク

有旅費及宿泊料ノ額ハ控訴院長ノ認可ヲ經テ地方裁判所長之ヲ定ム但管轄區域ヲ同シクスル民事地方裁判所及刑事地方裁判所ノ

任意競賣ニ付テモ亦前項ニ同シ

第十條　執達吏ハ競賣ニ付テモ亦前項ニ同シ

第十一條　執達吏執行行爲ヲ爲スヘキ場所ニ臨ミサル以前ニ民事訴訟法第五百五十條ニ依リ又ハ委任ノ消滅ニ依リ強制執行ヲ止メタルトキ又ハ支拂若クハ引渡ニ依リ強制執行ノ委任終了シタルトキハ各本條ニ定メタル手數料ノ半額ヲ受ク但第九條ノ場合ニハ於テハ其手數料ヲ四拾錢トス

第十二條　第三條乃至第十一條ノ手數料ヲ受クヘキ行爲ニハ強制執行ノ場合ニ於ケル左ノ行爲ヲ包含ス

第一　弁辯上ノ援助ヲ求メ又ハ證人鑑定人ノ立會ヲ爲サシムルコト

第二　執行行爲ニ屬スル催告其他ノ通知ヲ爲シ又ハ書類ノ送達ヲ爲スコト

第三　記名證券ヲ買主ノ氏名ニ書換ヘ及必要アル陣述ヲ催務者ニ代リ爲スコト

第四　支拂其他ノ給付、差押金錢及賣却金ヲ受取リ、交付シ若クハ供託シ又ハ受取證書ヲ交付シ又ハ差押物ヲ還付スルコト

第五　競賣ノ公告ヲ爲スコト

第十三條　執達吏ハ其職務ヲ執行スルノ爲宿泊ヲ要シタルトキハ一泊ニ付壹圓貳拾錢以下ノ宿泊料ヲ受ク

附　則（昭和十年四月勅令第八十八號ノ一）

（昭和十年四月一日ヨリ施行）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

●執達吏規則

明治二十三年七月
法律第五十一號

改正　明治四一年三號、大正三年第二〇號、八年四第四〇號、一〇年三第二六號、昭和二年四第二〇號

廢執達吏規則ヲ裁可シ之ヲ公布セシム此法律ハ明治二十三年十一月一日ヨリ施行スヘキコトヲ命ス

執達吏規則

第一條　執達吏ハ區裁判所ニ屬シ法律ニ從ヒ訴訟ニ關スル書類ヲ送達シ及裁判ヲ執行スルモノトス

第二條　執達吏ハ當事者ノ委任ニ依リ左ノ事務ヲ取扱フコトヲ得

第一　告知及催告ヲ爲スコト

第二　動產不動產ノ任意競賣ヲ爲スコト

第三　拒絕證書ヲ作ルコト

第三條　執達吏ハ法律規則ニ定メタル職務ノ外裁判所及檢事局ノ命令ニ依リ其職務ニ應スル事務竝ニ左ノ事務ヲ取扱フノ義務アリ

第一　書類物品ノ送付ヲ爲スコト

第二　物件料過料ヲ徵收シ及沒收物品ヲ取上ケ若クハ賣却スルコト

第三　命狀ノ執行ヲ爲スコト

第四條　執達吏ハ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ノ監督ヲ受ケ他ノ判事又ハ檢事ニシテ職務上事務ヲ命シタルトキハ其事務ニ限リ執達吏ニ對シ監督權ヲ有ス

第五條　執達吏ハ所屬區裁判所ノ管轄區域內ニ於ケル地方裁判所長ノ指定シタル地ニ役場ヲ設クヘシ

第五條ノ二　區裁判所又ハ其出張所ノ所在地ニ執達吏ナキ場合ニ於テハ地方裁判所長ハ其管轄內ノ執達吏ニ役場ノ出張所ノ設置ヲ命シ又ハ裁判所書記ヲシテ執達吏ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

執達吏ハ定規ノ手數料ヲ增減シ又ハ手數料及立替金ノ外報酬ヲ受クルコトヲ得ス

第十六條　執達吏第三條ニ揭ケル職務ヲ行フニ付テハ區裁判所ノ交付シタル證票ヲ携帶スヘシ

第十五條　執達吏ハ裁判所書記ヲ經タル上否定規ノ手數料ヲ受ケ及立替金ノ辨濟ヲ受ク

執達吏ハ定規ノ手數料ヲ增減シ又ハ手數料及立替金ノ外報酬ヲ受クルコトヲ得ス

第十六條　執達吏第三條ニ揭ケル職務ヲ行フニ付テハ區裁判所ノ交付シタル證票ヲ携帶スヘシ

第十五條　執達吏ハ裁判所書記ヲ經タル上否定規ノ手數料ヲ受ケ及立替金ノ辨濟ヲ受ク

第十四條　執達吏又ハ臨時職務執行ノ委任ヲ受ケタル者其職務ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テハ區裁判所ノ交付シタル證票ヲ携帶スヘシ

第十五條　執達吏ハ裁判所書記ヲ經タル上否定規ノ手數料ヲ受ケ及立替金ノ辨濟ヲ受ク

第十四條　執達吏又ハ臨時職務執行ノ委任ヲ受ケタル者ハ職務ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テハ區裁判所ノ交付シタル證票ヲ携帶スヘシ

第十三條　前條ノ場合其他執達吏差支アルキハ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ第十一條ニ揭クル者ニ執達吏ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十二條　執達吏ハ臨時職務執行ノ委任ヲ受ケタル者其職務ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テハ區裁判所ノ交付シタル證票ヲ携帶スヘシ

第十三條　前條ノ場合其他執達吏差支アルキハ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ第十一條ニ揭クル者ニ執達吏ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十二條　執達吏ハ臨時職務執行ノ委任ヲ受ケタル者ハ勿論ノ事ニ付テハ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ノ監督ヲ受ケ

第十一條　執達吏ハ區裁判所ニ屬シ法律ニ從ヒ訴訟ニ關スル書類ヲ送達シ及裁判ヲ執行スルモノトス

第二條　執達吏ハ當事者ノ委任ニ依リ左ノ事務ヲ取扱フコトヲ得

第一　告知及催告ヲ爲スコト

第二　動產不動產ノ任意競賣ヲ爲スコト

第三　拒絕證書ヲ作ルコト

第三條　執達吏ハ法律規則ニ定メタル職務ノ外裁判所及檢事局ノ命令ニ依リ其職務ニ應スル事務竝ニ左ノ事務ヲ取扱フノ義務アリ

第一　書類物品ノ送付ヲ爲スコト

第二　物件料過料ヲ徵收シ及沒收物品ヲ取上ケ若クハ賣却スルコト

第三　命狀ノ執行ヲ爲スコト

第四條　執達吏ハ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ノ監督ヲ受ケ他ノ判事又ハ檢事ニシテ職務上事務ヲ命シタルトキハ其事務ニ限リ執達吏ニ對シ監督權ヲ有ス

第五條　執達吏ハ所屬區裁判所ノ管轄區域內ニ於ケル地方裁判所長ノ指定シタル地ニ役場ヲ設クヘシ

第五條ノ二　區裁判所又ハ其出張所ノ所在地ニ執達吏ナキ場合ニ於テハ地方裁判所長ハ其管轄內ノ執達吏ニ役場ノ出張所ノ設置ヲ命シ又ハ裁判所書記ヲシテ執達吏ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

執達吏ハ定規ノ手數料ヲ增減シ又ハ手數料及立替金ノ外報酬ヲ受クルコトヲ得ス

第十六條　執達吏第三條ニ揭ケル職務ヲ行フニ付テハ區裁判所ノ交付シタル證票ヲ携帶スヘシ

第十五條　執達吏ハ裁判所書記ヲ經タル上否定規ノ手數料ヲ受ケ及立替金ノ辨濟ヲ受ク

第十四條　執達吏又ハ臨時職務執行ノ委任ヲ受ケタル者ハ

辯護士會ハ辯護士ノ品位ノ保持及辯護士事務ノ改善進歩ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二十七條　辯護士會ハ地方法院ノ管轄區域毎ニ之ヲ設立スベシ

第二十八條　辯護士會ヲ設立セントスルトキハ會員ト爲ルベキ辯護士ハ會則ヲ定メ檢事正ヲ經由シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

辯護士會ノ設立アリタルトキハ前項ノ辯護士ハ當然其所屬辯護士會ヲ退會シ其ノ會員ト爲ルモノトス

辯護士會會則ヲ變更セントスルトキハ檢事正ヲ經由シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第二十九條　朝鮮總督辯護士會ノ設立ヲ認可シタルトキハ辯護士會ノ名稱事務所ノ所在地及設立ノ年月日ヲ告示スベシ

朝鮮總督辯護士會ノ名稱又ハ事務所ノ所在地ノ變更ヲ認可シタルトキハ亦同ジ

第三十條　辯護士會ノ代表者ハ一人トス但シ代表者差支アル場合ニ於ヲハ之ニ代リテ辯護士會ヲ代表スベキ者ヲ豫クコトヲ妨ゲズ

第三十一條　辯護士會ハ檢事正ノ監督ヲ受ク

第三十二條　第二十八條ニ規定スル場合ヲ除クノ外辯護士名簿ニ登錄又ハ登錄ノ變更ヲ受ケタル者ハ當然辯護士會ノ會員トナリ登錄換ヲ爲ス場合ニハ若所屬辯護士會ヲ退會スルモノトス

辯護士辯護士會ヲ退會セントスルトキハ檢事正ニ登錄取消ノ請求ヲ爲スベシ

辯護士前項ノ規定ニ依リ請求ヲ爲シタルトキハ當然辯護士會ヲ退會シタルモノトス

第三十三條　辯護士會ハ朝鮮辯護士試補ノ實務修習ヲ擔當ス但シ朝鮮總督別段ノ規定ヲ設ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十四條　辯護士會ハ官廳ヨリ諮問ヲ受ケタル事項ニ付答申ヲ爲スベシ

辯護士會ハ司法事務ニ關シ官廳ニ建議ヲ爲スコトヲ得辯護士ノ利害ニ關スル事項ニ付亦同ジ

第三十五條　辯護士會ノ會則ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　名稱及事務所ノ所在地

二　會ノ代表者其ノ他ノ機關ノ組織及職務權限ニ關スル規定

三　會議ニ關スル規定

四　朝鮮辯護士試補ノ實務修習ニ關スル規定

五　辯護士ノ報酬ニ關シ標準ヲ示ス規定

會員ノ風紀保持ニ關スル法律相談及訴訟扶助ニ關スル規定

六　無資力者ノ爲ニスル法律相談及訴訟扶助ニ關スル規定

七　朝鮮辯護士會ノ認可ヲ受クベシ

八　會則ヲ變更セントスルトキハ檢事正ヲ經由シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第二十九條　朝鮮總督辯護士會ノ設立ヲ認可シタルトキハ解散ノ告示ヲ爲スベシ

第三十四條　辯護士會又ハ辯護士會ノ會則ニ違反シタルトキハ高等法院檢事長ハ朝鮮總督ノ命ニ依リ又ハ其ノ認可ヲ受ケテ懲戒開始ノ申立ヲ爲スベシ

辯護士會ハ會則ヲ定ムル所ニ依リ懲戒ヲ求ムル爲朝鮮總督又ハ高等法院檢事長ニ申告ヲ爲スコトヲ得

第四十五條　辯護士ノ懲戒ハ朝鮮總督府判事懲戒委員會之ヲ行フ

第四十六條　懲戒ハ左ノ四種トス

一　譴責

二　千圓以下ノ過料

三　一年以下ノ停職

四　除名

前項ノ過料ニ付テハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第四十七條　懲戒ノ事由アリタル時ヨリ三年ヲ經過シタルトキハ懲戒開始ノ申立ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十八條　本令ニ規定スルモノノ外辯護士ノ懲戒ニ付テハ朝鮮總督府判事懲戒會ヲ準用ス

附　則

第四十九條　本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五十條　本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依リテ辯護士タル者ハ本令施行ノ後ト雖モ仍其ノ資格ヲ有ス

第五十一條　從前ノ規定ニ依ル朝鮮辯護士試驗ハ昭和十五年十二月三十一日迄之ヲ存續ス

前項ノ試驗ニ合格シタル者ハ第三條ノ規定ニ拘ラズ朝鮮辯護士試補タル資格ヲ有ス

第五十二條　舊刑法ノ重罪ノ刑又ハ禁錮ニ處セラレタル者ハ第四條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

第五十三條　從前ノ規定ニ依ル辯護士名簿ノ登錄ハ之ヲ本令ニ依ル辯護士名簿ノ登錄ト看做ス

第五十四條　本令施行從前ノ規定ニ依リテ辯護士タルノ認可又ハ辯護士名簿ノ登錄換ノ認可ヲ受ケタル者ニシテ本令施行前辯護士名簿ノ登錄若ハ登錄換ノ申請ヲ爲サズ又辯護士會ニ加入セザルモノニ付テハ本令施行ノ日ヨリ三月內ニ本令ニ依リテ登錄若ハ登錄換ノ請求ヲ爲シ又ハ從前ノ例ニ依リテ辯護士會ニ加入スルニ非ザレバ其ノ認可ハ效力ヲ失フ

第五十五條　辯護士會ニ關シテハ本令ニ依ル辯護士會成立スルニ至ル迄ハ仍從前ノ例ニ依ル

第五十六條　本令施行ノ際現ニ存スル辯護士會ハ本令施行ノ日ヨリ六月內ニ本令ニ依ル辯護士會ヲ設立スル爲會則ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ朝鮮總督ハ認可ヲ爲シタル辯護士會ノ名稱、事務所ノ所在地及設立ノ年月日ヲ告示スベシ

第五十七條　本令施行ノ際現ニ同一地方法院ノ管轄區域內ニ二個以上ノ辯護士會存スル場合ニ於テハ第二十七條ノ規定ニ拘ラズ各別ニ前條ノ規定ニ依リ辯護士會ヲ設立スルコトヲ得

第五十八條　前二條ノ規定ニ依リテ辯護士會成立シタルトキハ舊辯護士會ノ會員ハ當然新辯護士會ノ會員ト爲リ舊辯護士會ニ屬シタル權利義務ハ新辯護士會之ヲ承繼ス

●法律事務取扱ノ取締ニ關スル件

昭和十一年四月制令第五號

法律事務取扱ノ取締ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

法律事務取扱ノ取締ニ關シテハ昭和八年法律第五十四號ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●法律事務取扱ノ取締ニ關スル法律

昭和八年四月法律第五十四號

朝鮮辯護士名簿登錄規則左ノ通定ム

第一條　辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ請求スル者ハ別記樣式ノ請求書ヲ管轄地方法院檢事正ニ提出スベシ

第二條　前條ノ請求ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムベシ

一　登錄　金二十圓

二　登錄換　金十圓

三　登錄ノ取消　金一圓

手數料ノ納付ハ請求書ニ收入印紙ヲ貼用シテ之ヲ爲スベシ

第三條　辯護士會ハ其ノ所屬辯護士ニ付朝鮮辯護士令第十二條第一號、第二號又ハ第四號ニ該當スル事由生ジタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事正ニ報告スベシ

第四條　辯護士朝鮮辯護士令第四條第一號、第三號又ハ第四號ニ該當スルニ至リタルトキハ裁判チ爲シタル裁判所ハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事正ニ報告スベシ朝鮮總督附判事懲戒委員會辯護士チ懲戒シタルトキ亦同ジ

第五條　辯護士會ハ其ノ所屬辯護士ニ付朝鮮辯護士令第十二條第一號、第二號又ハ第四號ニ該當スル事由生ジタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事正ニ報告スベシ

第六條　辯護士其ノ氏名又ハ本籍又ハ變更シタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事正、局ニ届出ヅベシ他ノ地方法院檢事局ノ辯護士名簿ニ登錄換ヲ受ケタルトキ亦同ジ

第七條　地方法院檢事正辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日、登錄番號其ノ他必要ナル事項ヲ本人、關係アル辯護士會及其ノ辯護士會ノ所在地ヲ管轄スル地方法院長ニ通知スベシ

第八條　地方法院檢事正辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督府官報ヲ以テ之ヲ公告ス

附　則

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式）

辯護士名簿登錄請求書

辯護士名簿登錄請求書（用紙美濃紙）

收入印紙
二十圓

本籍
住所
（傍訓ヲ附スルコト）
氏名　生年月日

右辯護士志願ニ付辯護士名簿ニ登錄相成度辯護士認可書寫添附此段及請求候也

年　月　日

請求者　氏名　㊞

地方法院檢事正宛

辯護士名簿登錄換請求書

辯護士名簿登錄換請求書（用紙美濃紙）

收入印紙
十圓

本籍
事務所
現所屬辯護士會
名簿登錄番號

辯護士
氏名　生年月日
（傍訓ヲ附スルコト）

右何々地方法院檢事局ノ辯護士名簿ニ登錄換相成度登錄換認可書寫添附此段及請求候也

年　月　日

請求者　氏名　㊞

地方法院檢事正宛

辯護士名簿登錄取消請求書

辯護士名簿登錄取消請求書（用紙美濃紙）

收入印紙
一圓

本籍
事務所
辯護士
氏名　生年月日
（傍訓ヲ附スルコト）

右何々事由ニ因リ辯護士名簿登錄取消相成度此段及請求候也

年　月　日

請求者　氏名　㊞

地方法院檢事正宛

●朝鮮辯護士名簿登錄規則

●外國人辯護士認可規則

昭和十一年五月
總令第四十號

外國人辯護士認可規則左ノ通定ム

外國人辯護士認可規則

第一條　外國ノ辯護士タル者其ノ資格ヲ有スル外國人ニシテ朝鮮辯護士令第五條ノ認可ヲ受ケントスルモノハ別記樣式ノ認可願ニ履歷書、辯護士タル資格ニ關スル證明書、同令第四條各號ノ一ニ該當セザルコトノ證明書及同令第五條ノ相互ノ保證ニ關スル文書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二條　朝鮮總督朝鮮辯護士令第五條ノ認可ヲ爲シタルトキハ認可年月日、認可名簿登載番號其ノ他必要ナル事項ヲ本人效ニ其ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方法院及同檢事局ノ長ニ通知ス認可ヲ取消シタルトキ亦同ジ

第三條　認可名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス

一　氏名、國籍及生年月日
二　事務所
三　認可年月日
四　登錄番號
五　認可取消ノ年月日及年月日

第四條　朝鮮總督朝鮮辯護士令第五條ノ認可ヲ爲シタル場合ニ於テ認可ヲ取消シタルトキハ朝鮮總督府官報ヲ以テ之ヲ公告ス

第五條　認可ヲ受ケタル外國人ハ其ノ事務所ヲ移轉シタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ新旣事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方法院及同檢事局ノ長ニ屆出ヅベシ

第六條　認可ヲ受ケタル外國人ハ朝鮮辯護士令第四條第一號、第三號又ハ第四號ニ該當スルニ至リタルトキハ裁判ヲ爲シタル裁判所ハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第七條　第一條及第五條ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ本務所ノ所在地ヲ管轄スル地方法院檢事局ノ長ヲ經由スベシ

附　則

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式）

認可願（用紙美濃紙）

國籍
住所
事務所

氏名
生年月日

右朝鮮辯護士令第五條ノ御認可相成度書類ヲ具シ此段相願候也

年　月　日

署名

朝鮮總督寬

●朝鮮辯護士試驗規則

大正十年十二月
總令第百五十三號
改正　昭和九年一月第四一號、十一年第四一號

朝鮮辯護士試驗規則左ノ通定ム

朝鮮辯護士試驗規則

第一條　朝鮮辯護士試驗委員ハ委員長一人委員數人ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條　委員長ハ朝鮮總督府法務局長ヲ以テ之ニ充テ其ノ他ノ委員ハ朝鮮總督府法務局勤務ノ高等官及朝鮮總督府判事、檢事ノ中ヨリ試驗施行毎ニ朝鮮總督之ヲ命ス但シ必要アルトキハ他ノ高等官ニ委員ヲ命ジ又ハ朝鮮總督府事務官ニ委員ヲ兼ネシムルコトアルヘシ

委員ニ附屬ノ書記ハ朝鮮總督府法務局勤務ノ屬又ハ朝鮮總督府裁判所書記ノ中ヨリ試驗施行毎ニ之ヲ命ス

第三條　委員長ハ委員ヲ監督シ試驗ニ關スル一切ノ事務ヲ管掌ス

委員長事故アルトキハ上席ノ委員其ノ事務ヲ代理ス

第四條　試驗ハ每年一回朝鮮總督府ニ於テ之ヲ行フ

試驗ノ期日ハ委員長之ヲ定メ三月前官報及朝鮮總督府官報ヲ以テ之ヲ公告ス

第五條　朝鮮辯護士令第四條各號ノ一ニ該當スル者ハ試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第六條　試驗ヲ受ケムトスル者ハ受驗願書（第一號書式）ニ履歷書（第二號書式）ヲ添附シ之ヲ委員長ニ提出スヘシ

第七條　試驗ヲ受ケムトスル者ハ手數料トシテ金十圓ヲ納ムヘシ

手數料ハ收入印紙ヲ用ヰ願書ニ貼附スヘシ

手數料ハ試驗ヲ受ケサルコトアルモ之ヲ還付セス

第八條　受驗願書及添附書類ハ之ヲ還付セス

第九條　受驗者試驗當日開始ノ時間迄ニ出席セサルトキハ又ハ試驗半途ニシテ休止シタルトキハ其ノ試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第十條　試驗ハ國語ヲ以テ之ヲ行フ

試驗ヲ分チ豫備試驗及本試驗トシ尙身體檢查ヲ行フ

豫備試驗ニ合格シタル者ニ非サレハ本試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第十一條　豫備試驗ハ受驗者本試驗ヲ受クルニ相當ナル普通ノ學識ヲ有スルヤ否ヲ考試スルヲ以テ目的トス

第十二條　豫備試驗ハ論文ニ就キ之ヲ行フ

第十三條　高等學校又ハ專門學校ニ於テ法律ヲ修ムル者ハ豫備試驗ヲ免ス

第十四條　本試驗ハ受驗者學理上ノ原則及現行法令ニ通曉シ且之ヲ實務ニ應用スルノ能力アルヤ否ヲ考試スルヲ以テ目的トス

第十五條　本試驗ハ筆記及口述トス

筆記試驗ニ合格シタル者ニ非サレハ口述試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第十六條　筆記試驗ハ憲法、民法、商法、手形法、小切手法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法、國際私法及經濟學ノ各科目ニ就キ之ヲ行フ

口述試驗ハ民法、商法、手形法、小切手法、刑法、民事訴訟法及刑事訴訟法中三科目以上ニ就キ之ヲ行フ

第十七條　試驗ノ合格者ヲ定ムル方法ハ委員ノ議決スル所ニ依ル

第十八條　試驗合格者ニハ合格證書ヲ授與ス

第十九條　試驗合格者ニ氏名ハ官報及朝鮮總督府官報ヲ以テ之ヲ公告ス

第二十條　委員長ハ合格者ノ氏名及其ノ成績ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

附　則

本令ハ大正十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮人辯護士試驗規則ハ之ヲ廢止ス

附　則（昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス號）

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記）

第一號書式（用紙美濃紙）

受驗願書

本籍
氏名
年月日生

私儀辯護士志願ニ付試驗相受度別紙履歷書相添此段奉願候也

現住所
年月日
氏名㊞

朝鮮辯護士試驗委員長氏名殿

第二號書式（用紙美濃紙）

履歷書

本籍
氏名
年月日生

一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ何學校ニ入リ何年何月迄何學ヲ修メ又ハ何學校ヲ卒業スノ類

一何年何月ヨリ何官公私立學校ニ入リ何學科ヲ修業シ何年何月卒業ス其ノ證書寫別紙ノ如シノ類

一何年何月何學校若ハ其ノ他ニ於テ何ノ試驗ヲ受ケ及第ス其ノ證書寫別紙ノ如シノ類

一何年何月何日ヨリ何年何月迄何會社ノ役員トナリ又ハ何學校教員若ハ何官廳何官トナリタルノ類

賞罰

一何年何月何地ニ於テ何ノ事由ノ爲何廳ヨリ賞ヲ受ケ何年何月何ノ事由ノ爲何地ニ於テ罰又ハ刑ヲ受ケ其ノ辭令書又ハ宣告書寫別紙ノ如シノ類

右ノ各項中記載スヘキ廉ナキ者ハ其ノ旨ヲ記載スヘシ

年　月　日　現住所　氏　名㊞

●朝鮮辯護士試補考試規則

昭和十一年五月
總令第三十八號

朝鮮辯護士試補考試規則左ノ通定ム

朝鮮辯護士試補考試規則

第一條　辯護士試補ノ考試ハ京城ニ於テ之ヲ行フ

第二條　考試ハ辯護士試補ノ實務習熟ノ程度其ノ他必要ナル事項ニ付筆記及口述ノ試驗ヲ行ヒ且ツ修習ノ實績其ノ他ノ資料ニ基キ辯護士試補ノ成績ヲ考査スルモノトス

第三條　考試ノ爲朝鮮總督府ニ朝鮮辯護士試補考試委員ヲ設ク

第四條　考試委員ハ委員長、常任委員及臨時委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條　委員長ハ朝鮮總督府法務局長ヲ以テ之ニ充ツ

第六條　常任委員ハ三人トシ辯護士中ヨリ朝鮮總督之ヲ囑託ス

第七條　臨時委員ハ二人トシ朝鮮總督府法務局勤務ノ高等官、朝鮮總督府判事又ハ朝鮮總督府檢事ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ズ

第八條　委員長ハ委員ヲ監督シ考試ニ關スル一切ノ事務ヲ掌理ス委員長事故アルトキハ其ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第九條　常任委員ハ辯護士試補ノ考補ニ關スル事務ヲ掌リ臨時委員ハ辯護士試補ノ考試ヲ擔當ス

第十條　考試委員ノ事務ニ關シ書記ヲ置キ朝鮮總督府法務局勤務ノ屬又ハ朝鮮總督府裁判所書記ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ズ

第十一條　考試ノ合格者ヲ定ムル方法ハ考試委員ノ議決スル所ニ依ル

第十二條　辯護士試補所定ノ修習ヲ了ヘ考試ヲ受ケントスルトキハ修習ヲ擔當シタル辯護士令ヲ經由シテ願書ヲ朝鮮辯護士試補考試委員長ニ差出スベシ

附　則

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮辯護士試補實務修習規則

昭和十一年五月
總令第三十七號

朝鮮辯護士試補實務修習規則左ノ通定ム

朝鮮辯護士試補實務修習規則

第一條　辯護士試補ノ修習ハ辯護士タルニ必要ナル品性ノ涵養及實務ノ修得ヲ以テ目的トス

第二條　辯護士試補ノ修習ハ京城地方法院管內ノ辯護士會之ヲ擔當ス

第三條　辯護士試補タラントスル者ハ前條ノ辯護士會ニ修習ノ申込ヲ爲スベシ

第四條　辯護士會ハ其ノ所屬辯護士中ヨリ辯護士試補ノ修習ヲ指導スベキ辯護士ヲ指定スベシ

辯護士令ハ別ニ其ノ所屬辯護士中ヨリ辯護士試補ノ修習ヲ指導スベキ委員ヲ指定スルコトヲ得

第五條　辯護士試補ハ修習日錄ヲ作リ之ヲ辯護士會ニ提出スベシ

第六條　辯護士會ハ指導委員ノ意見ヲ聽キ辯護士試補ノ行狀、成績其ノ他參考ト爲ルベキ事項ヲ考査表ニ記載シ之ヲ辯護士會ニ提出スベシ

前項ノ考査表ニハ試補ノ修習ニ關シ立案シタル書類其ノ他參考ト爲ルベキ書類ヲ添附スベシ

第七條　辯護士會ハ辯護士試補ノ修習ヲ了ヘタルトキハ遲滯ナク前條ノ考査表ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第八條　辯護士試補疾病其ノ他正當ノ事由ニ因リ修得ヲ缺キタル日數ハ六十日迄ハ之ヲ修習日數ニ算入ス

第九條　辯護士試補修習ヲ中止シタル場合ニ於テ二年以內ニ再ビ修習ヲ開始シタルトキハ修習期間ハ之ヲ通算ス

第十條　辯護士試補其ノ修習ヲ辭シタルトキハ辯護士會ハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十一條　辯護士會ハ辯護士試補ノ行狀其ノ地位ニ適セズ又ハ修習ノ成績考試ニ合格スベキ見込アラシト認ムルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ其ノ修習ノ擔當ヲ辭スルコトヲ得

前項ノ辯護士試補タリシ者ハ二年ヲ經過スルニ非ザレハ再ビ修習ノ申込ヲ爲スコトヲ得ズ

附　則

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮辯護士試驗規則ニ依ル學校認定

大正十一年六月
總告第百五十二號

左ノ學校ハ朝鮮辯護士試驗規則第十三條ニ依リ高等學校大學豫科ト同等以上ト認ム

高等試驗令第八條ニ依リ文部大臣ニ於テ高等學校大學豫科ト同等以上ト認メタル諸學校

第四款　公證人

●朝鮮公證令

大正二年三月
制令第三號
改正　大正三年九第二五號

朝鮮公證令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮公證令

第一條　公正證書ノ作成及私署證書ノ認證ニ關シテハ公證人法ニ依ル但シ同法中判事懲戒法トアルハ朝鮮總督府判事懲戒令、辯護士法トアルハ辯護士ニ關スル規定、勅令トアルハ朝鮮總督府令、司法大臣トアルハ朝鮮總督、控訴院トアルハ覆審法院、控訴院長トアルハ覆審法院長、地方裁判所又ハ區裁判所トアルハ地方法院、

地方裁判所長トアルハ地方法院長、區裁判所ノ一人ノ判事又ハ嘱託判事トアルハ地方法院支廳ノ一人ノ判事又ハ上席判事、市區町村長トアルハ市區町村長又ハ市區町村長ノ職務ヲ行フコト能ハサル場合ニ於テハ司法大臣ハ其ノ區裁判所ヲシテ管轄區域内ニ於テ公證人ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ判事奏任アルトキハ裁判所書記ヲシテ公證人ノ事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第九條　本法及他ノ法令中公證人ノ職務ニ關スル規定ハ公證人ノ事務ヲ取扱フ判事又ハ裁判所書記ニ之ヲ準用ス但シ第七條ニ依ル手數料、日當及旅費ハ國庫ノ收入トス

第二章　任免及所屬

第十條　公證人ハ地方裁判所ノ所屬トス但シ管轄區域ヲ同シクスル民事地方裁判所及刑事地方裁判所アル場合ニ於テハ民事地方裁判所ノ所屬トス

各地方裁判所所屬公證人ノ員數ハ區裁判所ノ管轄區域毎ニ司法大臣之ヲ定ム

第十一條　公證人ハ司法大臣之ヲ任シ及其ノ屬スヘキ地方裁判所ヲ指定ス

第十二條　左ノ條件ヲ具備スル者ニ非サレハ公證人ニ任セラルルコトヲ得ス

一　帝國臣民ニシテ成年以上ノ男子タルコト

二　一定ノ試驗ニ合格シタル後六月以上公證人見習トシテ實地修習ヲ爲シタルコト

試驗及實地修習ニ關スル規定ハ司法大臣之ヲ定ム

第十三條　判事、檢事又ハ辯護士タルノ資格ヲ有スル者ハ試驗及實地修習ヲ經スシテ公證人ニ任セラルルコトヲ得

第十四條　左ニ揭クル者ハ公證人ニ任セラルルコトヲ得ス

一　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但二年以下ノ禁錮ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

二　破產又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者

三　禁治產者及準禁治產者

四　懲戒ノ處分ニ因リ免官若ハ免職セラレタル者又ハ辯護士法ニ依リ除名セラレタル者ニシテ免官、免職又ハ除名後二年ヲ經過セサル者

第十五條　司法大臣ハ左ノ場合ニ於テ公證人ヲ免スルコトヲ得

一　公證人免職ヲ願出テタルトキ

二　公證人期間内ニ身元保證金又ハ其ノ補充額ヲ納メサルトキ

三　公證人身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキ

前項第三號ノ場合ニ於テハ所屬地方裁判所ヲ管轄スル控訴院ニ於ケル懲戒委員會ノ議決ヲ經ヘシ

第十六條　公證人第十四條第一號乃至第三號ニ該當スルニ至リタルトキハ當然其ノ職ヲ失フ

第三章　職務執行ニ關スル通則

第十七條　公證人ノ職務執行ノ區域ハ其ノ所屬地方裁判所ノ管轄區域ニ依ル

第十八條　公證人ハ司法大臣ノ指定シタル地ニ其ノ役場ヲ設クヘシ

公證人ハ其ノ役場ニ於テ其ノ職務ヲ行フコトヲ要ス但シ事件ノ性質カ之ヲ許ササル場合又ハ法令ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

公證人ハ其ノ役場内ニ住居スヘシ但シ司法大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條　公證人ハ任命ノ辭令書ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ所屬地方裁判所ニ身元保證金ヲ納ムヘシ

身元保證金ノ額ハ土地ノ情況ニ從ヒ三百圓以上千圓以下ノ範圍内ニ於テ司法大臣之ヲ定ム

身元保證金ノ額ニ不足ヲ生シ補充ノ命令ヲ受ケタルトキハ其ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ不足額ヲ補充スヘシ

公證人身元保證金ヲ納メサル間ハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第二十條　身元保證金ヲ還付スヘキ場合ニ於テハ其ノ身元保證金ノ上ニ權利ヲ有スル者ニ對シ六月ヲ下ラサル期間内ニ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ

身元保證金ハ前項ノ期間ヲ經過スルニ非サレハ之ヲ還付セス

第二十一條　公證人ハ其ノ職印ノ印鑑ニ氏名ヲ自署シ之ヲ所屬地方裁判所ニ差出ササル間ハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第二十二條　公證人ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

一　嘱託人、其ノ代理人又ハ嘱託セラレタル事項ニ付利害ノ關係ヲ有スル者ノ配偶者、四親等内ノ親族又ハ同居ノ戸主若ハ家族タルトキ親族關係カ止ミタル後亦同シ

二　嘱託人又ハ其ノ代理人ノ法定代理人又ハ保佐人タルトキ

三　嘱託セラレタル事項ニ付利害ノ關係ヲ有スルトキ

四　嘱託セラレタル事項ニ付代理人若ハ補佐人タルトキ又ハ代理人若ハ補佐人タリシトキ

第二十三條　公證人職務上署名スルトキハ其ノ職名、所屬及從場所在地ヲ記載スルヲ要ス

第二十四條　公證人ハ所屬地方裁判所長ノ認可ヲ受ケテ雇生ヲ置キ執務ノ補助ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ認可ハ必要ナル場合ニ於テハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得

第二十五條　公證人ノ作成シタル證書ノ原本

其ノ附屬書類及法令ニ依リ公證人ノ調製シタル帳簿ハ事變ヲ避クル爲ニスル場合ヲ除クノ外之ヲ役場外ニ持出スコトヲ得ス但シ裁判所又ハ豫審判事ノ命令又ハ嘱託アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ書類ハ保存及廢毀ニ關スル規程ハ司法大臣之ヲ定ム

第四章　證書ノ作成

第二十六條　公證人ハ法令ニ違反シタル事項無效ノ法律行爲及無能力ニ因リテ取消スコトヲ得ヘキ法律行爲ニ付證書ヲ作成スルコトヲ得ス

第二十七條　公證人ハ日本語ヲ用フル證書ニ非サレハ之ヲ作成スルコトヲ得ス

第二十八條　公證人證書ヲ作成スルニハ嘱託人ノ氏名ヲ知リ且之ト面識アルコトヲ要ス

公證人嘱託人ノ氏名ヲ知ラス又ハ之ト面識ナキトキハ其ノ本籍地若ハ寄留地ノ市區町村長又ハ氏名ヲ知リ且面識アル印鑑證明書ヲ提出セシメ又ハ氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所ノ他人ノ證明ニ依リ其ノ人違ヒナキコトヲ證明セシムルコトヲ要ス但シ嘱託人外國人ナルトキハ駐箚官吏又ハ帝國ニ駐在スル本國領事ノ證明書ヲ以テ印鑑證明書ニ代フルコトヲ得

急迫ナル場合ニ於テ公證人法律行爲ニ非サル事實ニ付證書ヲ作成シタル後三日内ニ證書ノ作成ニ關スル規定ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ證書ハ急迫ナル場合ニ非サルカ爲其ノ效力ヲ妨ケラルルコトナシ

第三十四條第三項ノ規定ハ第二項ノ證人ニ之ヲ準用ス

第二十九條　嘱託人ハ日本語ヲ解セサル場合又ハ聾者若ハ啞者其ノ他盲語ヲ發スルニ能ハサル者ニシテ文字ヲ解セサル場合ニ於テ公證人證書ヲ作成スルニハ通事ヲ立會ハシムルコトヲ要ス

第三十條　嘱託人盲者ナル場合又ハ文字ヲ解セサル場合ニ於テ公證人證書ヲ作成スルニハ立會人ヲ立會ハシムルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ嘱託人立會人ヲ立會ハシムルコトナク請求シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條　代理人ニ依リ嘱託セラレタル場合ニ於テハ前三條ノ規定ハ其ノ代理人ニ之ヲ適用ス

第三十二條　代理人ニ依リ嘱託セラレタル場合ニ於テ公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ代理人ノ權限ヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ證書ノ寫ヲ作成シ且其ノ代理人ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所ノ他人ノ證明ニ依リ嘱託セラレタルトキハ其ノ代理人ニ依リ嘱託人又ハ其ノ代理人ノ權限ヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ證書ノ寫ヲ作成スルコトヲ要ス

前項ノ證書カ認證ヲ受ケサル私署證書ナルトキハ其ノ證書ノ外其ノ署名者ノ本籍地又ハ寄留地ノ市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書ヲ提出セシメ其ノ權限ヲ證明セシムルコトヲ要ス

第三十三條　第三者ノ許可又ハ同意ヲ要スヘキ法律行爲ニ付公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ許可又ハ同意アリタルコトヲ要ス

公證人又ハ嘱託人若ハ其ノ代理人ノ配偶者、四親等内ノ親族同居ノ戸主若ハ家族、法定代理人、保佐人又ハ同

二　嘱託人ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

三　代理人ニ依リ嘱託セラレタルトキハ其ノ代理人ノ住所、職業、氏名及年齡

四　嘱託人又ハ代理人ノ氏名ヲ知リ且之ト面識アルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ第三者ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

五　第三者ノ許可又ハ同意アリタルコトヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ許可又ハ同意ヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ第三者ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

六　市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書又ハ幹察官吏若ハ領事ノ證明書ヲ提出セシメ人違ヒナキコト又ハ證書ノ眞正ナルコトヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ證人ノ住所、職業、氏名及年齡

七　氏名ヲ知リ且面識アル證人ニ依リ人違ヒナキコトヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ證人ノ住所、職業、氏名及年齡

八　急迫ナル場合ニ於テ人違ヒナキコトヲ證明セシメサリシトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ通事又ハ立會人ノ住所、職業、氏名及年齡

九　通事又ハ立會人ヲ立會ハシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ通事又ハ立會人ノ住所、職業、氏名及年齡

十　作成ノ年月日及場所

十一　公證人證書ヲ作成スルニハ普通平易ノ語ヲ用ヰ字畫ヲ明瞭ナラシムル接續ヲ以テ之ヲ接續セシムヘシ

數箇ノ字ヲ用ウヘシ

第三十七條　公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ證書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

第三十八條　證書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

證書ニ文字ヲ挿入スルトキハ其ノ文字及其ノ箇所ヲ欄外又ハ末尾ノ餘白ニ記載シ公證人、嘱託人又ハ其ノ代理人及立會人之ニ捺印スルコトヲ要ス

第三十六條　公證人ノ作成スル證書ニハ其ノ末尾ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　證書ノ文字ヲ削除スルトキハ其ノ文字ハ削除シタル字數及箇所ヲ欄外又ハ末尾ノ餘白ニ記載シ公證人、嘱託人又ハ其ノ代理人及立會人之ニ捺印スルコトヲ要ス

二　嘱託人ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

三　代理人ニ依リ嘱託セラレタルトキハ其ノ代理人ノ住所、職業、氏名及年齡

四　嘱託人又ハ代理人ノ氏名ヲ知リ且之ト面識アルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ第三者ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

五　第三者ノ許可又ハ同意アリタルコトヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ許可又ハ同意ヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ第三者ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

六　市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書又ハ幹察官吏若ハ領事ノ證明書ヲ提出セシメ人違ヒナキコト又ハ證書ノ眞正ナルコトヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ證人ノ住所、職業、氏名及年齡

七　急迫ナル場合ニ於テ人違ヒナキコトヲ證明セシメサリシトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ通事又ハ立會人ノ住所、職業、氏名及年齡

八　通事又ハ立會人ヲ立會ハシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ通事又ハ立會人ノ住所、職業、氏名及年齡

九　嘱託人又ハ其ノ代理人ノ氏名ヲ知リ且之ト面識アルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ第三者ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

十　作成ノ年月日及場所

十一　公證人證書ヲ作成スルニハ普通平易ノ語ヲ用ヰ字畫ヲ明瞭ナラシムル接續ヲ以テ之ヲ接續セシムヘシ

數箇ノ字ヲ用ウヘシ

第三十七條　公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ證書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

第三十八條　證書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

證書ニ文字ヲ挿入スルトキハ其ノ文字及其ノ箇所ヲ欄外又ハ末尾ノ餘白ニ記載シ公證人、嘱託人又ハ其ノ代理人及立會人之ニ捺印スルコトヲ要ス

第三十六條　公證人ノ作成スル證書ニハ其ノ末尾ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　證書ノ文字ヲ削除スルトキハ其ノ文字ハ削除シタル字數及箇所ヲ欄外又ハ末尾ノ餘白ニ記載シ公證人、嘱託人又ハ其ノ代理人及立會人之ニ捺印スルコトヲ要ス

二　嘱託人ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

三　代理人ニ依リ嘱託セラレタルトキハ其ノ代理人ノ住所、職業、氏名及年齡

四　嘱託人又ハ代理人ノ氏名ヲ知リ且之ト面識アルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ第三者ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

五　第三者ノ許可又ハ同意アリタルコトヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ許可又ハ同意ヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ第三者ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

六　市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書又ハ幹察官吏若ハ領事ノ證明書ヲ提出セシメ人違ヒナキコト又ハ證書ノ眞正ナルコトヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ證人ノ住所、職業、氏名及年齡

七　急迫ナル場合ニ於テ人違ヒナキコトヲ證明セシメサリシトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ通事又ハ立會人ノ住所、職業、氏名及年齡

八　通事又ハ立會人ヲ立會ハシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ通事又ハ立會人ノ住所、職業、氏名及年齡

九　嘱託人又ハ其ノ代理人ノ氏名ヲ知リ且之ト面識アルトキハ其ノ旨及其ノ事由竝其ノ第三者ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

十　作成ノ年月日及場所

十一　公證人證書ヲ作成スルニハ普通平易ノ語ヲ用ヰ字畫ヲ明瞭ナラシムル接續ヲ以テ之ヲ接續セシムヘシ

數箇ノ字ヲ用ウヘシ

第三十七條　公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ證書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

第三十八條　證書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

第四十一條　代理人ノ權限ヲ證スヘキ證書、市區町村長、警察官吏又ハ領事ノ證明書第三者ノ許可又ハ同意ヲ證スヘキ證書其ノ他ノ附屬書類ハ公證人ノ作成シタル證書ニ之ヲ連綴スヘシ

公證人、嘱託人又ハ其ノ代理人及立會人ハ證書ト其ノ附屬書類トノ綴目及附屬書類相互ノ間ニ公證人ノ印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

前三條ノ規定ハ前項ノ添附書面ニ之ヲ準用ス

前二項ニ依ル添附書面ハ公證人ノ作成シタル證書ノ一部ト看做ス

第四十二條　代理人ノ權限ヲ證スヘキ證書、市區町村長、警察官吏又ハ領事ノ證明書第三者ノ許可又ハ同意ヲ證スヘキ證書其ノ他ノ附屬書類ハ公證人ノ作成シタル證書ニ之ヲ連綴スヘシ

公證人、嘱託人又ハ其ノ代理人及立會人ハ證書ト其ノ附屬書類トノ綴目及附屬書類相互ノ間ニ公證人ノ印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

前三條ノ規定ハ前項ノ添附書面ニ之ヲ準用ス

簿ニ四シ法令ニ別段ノ定アル場合ニ之ヲ適用セス

第四十七條　嘱託人又ハ其ノ承繼人ノ證書ノ正本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第二十八條第一項、第二項及第五項、第三十一條、第三十二條第一項及第二項竝第四十四條第三項及第四項ノ規定ハ前項ニ依リ公證人證書ノ正本ヲ作成スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十八條　證書ノ正本ニハ左ノ事項ヲ記載シ公證人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一　證書ノ全文

二　正本タルコト

三　交付ヲ請求シタル者ノ氏名

四　作成ノ年月日及場所

前項ノ規定ニ違反スルモノハ證書ノ正本タルノ效力ヲ有セス

第四十九條　數事件ヲ列記スル證書又ハ數人各自ニ關係ヲ異ニスル證書ニ付テハ有用ノ部分及證書ノ方式ニ關スル記載ヲ抄錄シテ其ノ正本ヲ作成スルコトヲ得

前項ノ正本ニハ抄錄正本タルコトヲ記載シ前條第一項第二號ノ記載ニ代フルコトヲ要ス

第五十條　公證人證書ノ正本ヲ交付シタルトキハ其ノ證書ノ末尾ニ嘱託人又ハ其ノ承繼人何某ノ爲ニ正本ヲ交付シタル旨及其ノ交付ノ年月日ヲ記載シ之ニ署名捺印スヘシ

第五十一條　嘱託人、其ノ承繼人又ハ證書ノ趣旨ニ付法律上ノ利害ノ關係ヲ有スルコトヲ證明シ付法律上ノ利害ノ關係ヲ有スル者ノ請求アルトキハ其ノ證書又ハ其ノ附屬書類ノ謄本ノ交附ヲ請求スルコトヲ得

第二十八條第一項、第二項及第三十一條竝第三十二條第一項及第二項ノ規定ハ前項ノ謄本ノ作成ニ之ヲ準用ス

第五十二條　公證人證書ノ正本ヲ交付シタルトキハ其ノ證書ノ末尾ニ嘱託人又ハ其ノ承繼人何某ノ爲ニ正本ヲ交付シタル旨及其ノ交付ノ年月日ヲ記載シ之ニ署名捺印スヘシ

第五十一條　嘱託人、其ノ承繼人又ハ證書ノ趣旨ニ付法律上ノ利害ノ關係ヲ有スルコトヲ證明シ付法律上ノ利害ノ關係ヲ有スル者ノ請求アルトキハ其ノ證書又ハ其ノ附屬書類ノ謄本ノ交附ヲ請求スルコトヲ得

第二十八條第一項、第二項及第五項竝第三十一條第一項及第二項竝第四十四條第三項及第四項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ公證人證書ノ謄本ヲ作成スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第五十三條　證書ノ謄本ハ其ノ一部ニ付之ヲ作成スルコトヲ得

前項ノ謄本ニハ抄錄謄本タルコトヲ記載スヘシ

第五十四條　前二條ノ規定ハ證書ノ附屬書類ノ謄本ノ作成ニ之ヲ準用ス

第五十五條　證書又ハ其ノ附屬書類ノ謄本ヲ請求スル者ハ之ニ記載スヘキ事項ヲ自ラ記載シ公證人ノ署名捺印ノミヲ請求スルコトヲ得

公證人前項ノ謄本ニ署名捺印シタルトキハ其ノ謄本ハ公證人自ラ之ヲ作成シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第五十六條　證書ノ正本若ハ謄本又ハ其ノ附屬書類ノ謄本數葉ニ渉ルトキハ公證人ハ每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第三十七條及第三十八條ノ規定ハ證書ノ正本及謄本竝其ノ附屬書類ノ謄本ノ作成ニ之ヲ準用ス

第五十七條　第十八條第二項ノ規定ハ公證人證言書ヲ作成スル場合ニ於テハ承繼人ノ爲ニ之ヲ準用ス

第三十二條ノ規定ハ公證人ニ對シ證言書ノ正本ノ交付ヲ請求スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十八條　公證人私署證書ニ認證ヲ與フルニハ當事者其ノ面前ニ於テ證書ニ署名若ハ捺印ヲ自認シタルトキ又ハ證書ノ署名若ハ捺印ヲ自認シタルトキハ其ノ旨ヲ記載シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

私署證書ノ文字ノ挿入、削除、改竄、欄外ノ記載其ノ他ノ訂正アルトキ又ハ破損若ハ外見上著シク疑フヘキ點アルトキハ其ノ狀況ヲ認證文ニ記載スルコトヲ要ス

第五十九條　認證ヲ與フヘキ證書ニハ登簿番號認證ノ年月日及其ノ場所ヲ記入スヘシ

第六十條　證書ノ謄本ニハ左ノ事項ヲ記載シ公證人之ニ署名捺印スヘシ

一　證書ノ全文

二　謄本タルコト

三　作成ノ年月日及場所

第十三節　法務　第一章　司法裁判　第四款　公證人

五ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第四十二條　證書ノ原本滅失シタルトキハ公證人ハ既ニ交付シタル證書ノ正本又ハ謄本ヲ徵シ所屬地方裁判所長ノ認可ヲ受ケ滅失シタル證書ニ代ヘテ之ヲ保存スルコトヲ要ス

前項ノ證書ニハ所屬地方裁判所長ノ認可ヲ受ケ滅失シタル證書ニ代ヘテ之ヲ保存スル旨及其ノ認可ノ年月日ヲ記載シ公證人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第四十三條　公證人ハ嘱託人ヲシテ印紙稅法ニ依リ證書ノ原本ニ印紙ヲ貼用セシムヘシ

第四十四條　嘱託人、其ノ承繼人又ハ證書ノ趣旨ニ付法律上利害ノ關係ヲ有スルコトヲ證明シタル者ハ證書ノ原本ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得

第二十八條第一項、第二項及第五項第三十一條竝第三十二條第一項及第二項ノ規定ハ前項ニ依リ公證人證書ノ原本ヲ閱覽セシムヘキ場合ニ之ヲ準用ス

公證人、嘱託人ノ承繼人ニ證書ノ原本ヲ閱覽セシムヘキ場合ニ於テハ承繼人タルコトヲ證明セシムヘシ

第五十條　公證人ハ證書原簿ヲ副製シ前其ノ所爲地方裁判所長ノ契印ヲ請フヘシ

所爲地方裁判所長ハ其ノ枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ每葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スヘシ

第四十六條　證書原簿ニハ證書ノ作成每ニ逐行ノ順序ヲ逐ヒ左ノ事項ヲ記入スヘシ

一　證書ノ番號及種類

二　嘱託人ノ住所及氏名若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

三　作成ノ年月日

第三十七條及第三十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

公證人ノ停職ニ關スル規定ハ其ノ職務停止ニ付テハ判事懲戒法ノ規定ヲ準用ス

第六十一條　公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ定員ノ改正ニ因リ後任者ヲ要セサルトキハ司法大臣ハ同一區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ書類ノ引繼ヲ命スヘシ

第六十八條及前條第二項ノ規定ハ前項ニ依リ書類ノ引繼ヲ命スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第七十一條　第六十六條、第六十七條、第六十八條第三項及第七十條第一項ノ規定ハ公證人ノ停職ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十二條　公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ定員ノ改正ニ因リ後任者ヲ要セサルトキハ司法大臣ハ同一區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ書類ノ引繼ヲ命スヘシ

第六十八條及前條第二項ノ規定ハ前項ニ依リ書類ノ引繼ヲ命スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第七十三條　公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ定員ノ改正ニ因リ後任者ヲ要セサルトキハ司法大臣ハ同一區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ書類ノ引繼ヲ命スヘシ

第六十八條及前條第二項ノ規定ハ前項ニ依リ書類ノ引繼ヲ命スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第七十四條　公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ所屬地方裁判所長必要ト認ムルトキハ其ノ指定シタル官吏ヲシテ逓滯ナク役場ノ書類ニ封印ヲ爲サシムヘシ

第六十七條　公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ直ニ後任者ノ任命セラレサルトキハ所屬地方裁判所長ハ同一區裁判所管轄區域又ハ之ニ隣接スル區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ對シ書類ヲ受取ルヘシ

第六十九條　前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十八條　公證人ノ免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テハ後任者又ハ後任者ト立會ヒ逓滯ナク書類ノ授與ヲ爲スヘシ

死亡其ノ他ノ事由ニ因リ書類ノ授受ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ後任者又ハ後任者ハ所屬地方裁判所長ノ指定シタル官吏ノ立會ヲ以テ書類ヲ受取ルヘシ

第六十六條　前條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　公證人ハ其ノ役場ヲ移轉スル場合ニハ之ヲ所屬地方裁判所長ニ報告スヘシ

第六十四條　公證人ハ其ノ役場ヲ移轉スル場合ニハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受ケ移轉ノ日ヨリ十日以内ニ新役場ニ於テ其ノ業務ヲ開始スヘシ

第六十三條　公證人ハ其ノ役場ヲ公證人ノ職務ヲ行フ場合ノ外假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第六十二條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第六十一條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第六十條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十九條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十八條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十七條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十六條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十五條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十四條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十三條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十二條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十一條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十九條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十八條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十七條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十六條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十五條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十四條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十三條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十二條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十一條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十九條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十八條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十七條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十六條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十五條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十四條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十三條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十二條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十一條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十九條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十八條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十七條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十六條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十五條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十四條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十三條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十一條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第十九條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第十八條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第十七條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第十五條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第十四條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第十三條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第十條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第九條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第八條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第七條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第六條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第五條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第四條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第三條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第一條　公證人ハ其ノ役場ヲ假ニ休業シ又ハ廢業セントスルトキハ所屬地方裁判所長ノ許可ヲ受クヘシ

第十三節　法務　第一章　司法裁判　第四款　公證人

第一號樣式

何地方法院（何支廳）又ハ（何公證人役場）

謄本

原本

右謄本ニ相違ナキコトヲ認證ス

何地方法院長

何地方法院（何支廳）又ハ（何公證人役場）

抹殺又ハ朱ヲ除キ

枚數

右謄本ニ相違ナキコトヲ認證ス

何地方法院長

第二號樣式

認證簿

何地方法院（何支廳）又ハ（何公證人役場）

第一號	證書ノ番號	證書ノ種類	嘱託人ノ住所及氏名	作成ノ年月日	備考

第三號樣式

受附簿

何地方法院（何支廳）又ハ（何公證人役場）

第一號	證書ノ番號	證書ノ種類	嘱託人ノ住所及氏名	作成ノ年月日	備考

第一號樣式

何地方法院（何支廳）又ハ（何公證人役場）

謄本

原本

右謄本ニ相違ナキコトヲ認證ス

何地方法院長

何地方法院（何支廳）又ハ（何公證人役場）

抹殺又ハ朱ヲ除キ

枚數

右謄本ニ相違ナキコトヲ認證ス

何地方法院長

第二號樣式

認證簿

何地方法院（何支廳）又ハ（何公證人役場）

第一號	證書ノ番號	證書ノ種類	嘱託人ノ住所及氏名	作成ノ年月日	備考

第三號樣式

受附簿

何地方法院（何支廳）又ハ（何公證人役場）

第一號	證書ノ番號	證書ノ種類	嘱託人ノ住所及氏名	作成ノ年月日	備考

受附番號	附件名	證書番號又ハ登簿番號	囑託人ノ住所及氏名	手數料目當及旅費	備考
月　日					
第　號					
月　日					
第　號					
月　日					
第　號					
月　日					
第　號					
月　日					
第　號					
月　日					
第　號					

受附簿

●朝鮮公證手數料規則

大正二年三月
總令第二十一號

改正　大正四年三第二二號

朝鮮公證手數料規則左ノ通定ム

朝鮮公證手數料規則

第一條　法律行爲ニ付テノ證書作成ノ手數料ハ本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ從フ

法律行爲ノ目的ノ價額　百　圓迄　一圓
二百五十圓迄　二圓
一圓二十五錢
五百　圓迄　同
同　同
同　同
同千圓ヲ超過スルトキハ五萬圓迄ハ五千圓毎ニ五十錢ヲ加フ但シ五千圓ニ滿タサルモノヲ五千圓トス　一圓五十錢
同五萬圓ヲ超過スルトキハ一萬圓毎ニ五十錢ヲ加フ但シ一萬圓ニ滿タサルモノヲ一萬圓トス　七百五十圓迄
一圓七十五錢
千　圓迄
二圓
二千五百圓迄
二圓五十錢
五　千　圓迄
三圓

第二條　法律行爲ノ目的ノ價額ハ證書ノ作成ニ著手シタル時ノ價額ニ依ル

第三條　當事者雙方ノ囑託ニ因リ證書ヲ作成スル場合ニ於テハ法律行爲ノ目的ノ價額ハ各自ノ給付ノ價額ヲ合算シタル額ニ依ル但シ當事者ノ一方ノ給付ノミカ金錢ヲ目的トスルモノナルトキハ其ノ金額ニ依ル

第四條　當事者ノ一方ノ囑託ニ因リ證書ヲ作成スル場合ニ於テハ囑託人ノ給付ノ價額ヲ以テ法律行爲ノ目的ノ價額トス但シ相手方ノ給付カ金錢ヲ目的トスルモノナルトキハ其ノ額ニ依ル

第五條　主タル法律行爲ト共ニ附隨ノ法律行爲ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於テハ主タル法律行爲ニ依リ手數料ヲ算定ス

第六條　債權ノ擔保ノ價額ハ其ノ目的ノ價額ト債權ノ額トヲ比較シ其ノ少キ額ニ依ル

擔保ノ移轉ヲ目的トスル法律行爲ニ付テハ擔保ノ價額ト移轉ニ因リテ擔保ヲ付セラルヘキ債權ノ額トヲ比較シ其ノ少キ額ニ依ル

擔保ノ順位ノ移轉ヲ目的トスル法律行爲ニ付テハ其ノ移轉ニ因リテ優先ノ順位ヲ取得スヘキ擔保ノ價額トノ差ヲ爽フヘキ擔保ノ價額トヲ比較シ其ノ少キ額ニ依ル

第七條　地役ノ價額ハ地役ニ因リテ生スル要役地ノ增價額ト承役地ノ減價額トヲ比較シ其ノ多キ額ニ依ル

第八條　定時ノ給付ノ價額ハ全期間ノ給付ノ總價額ニ依リ其ノ價額ハ動産ノ賃貸借ノ總價額ニ付テハ一年、不動産ノ賃貸及商工業ノ見習ヲ目的トセサル雇傭契約ニ付テハ五年其ノ他ノ場合ニ於テハ十年分ノ給付ノ價額ヲ超ユルコトヲ得ス

期間ノ定アサル定時ノ給付ノ價額ハ前項但書ニ定ムル期間內ノ給付ノ總額ニ依ル

前二項ノ場合ニ於ケル相手方ノ給付ノ目的カ金錢ニ非サルトキハ其ノ價格ハ定時ノ給付ノ價額ト同一ト看做ス

第九條　當事者一方ノ給付ノミノ價額ヲ算定スルコトヲ得ル場合ニ於テハ相手方ノ給付ト同一ノ價額ヲ有スルモノト看做ス

第十條　果實、損害賠償及費用カ法律行爲ノ附帶ノ目的ナルトキハ其ノ價額ハ之ヲ法律行爲ノ目的ノ價額ニ算入セス

第十一條　法律行爲ノ目的ノ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキハ其ノ目的ノ五百圓ノ價額ヲ有スルモノト看做シ其ノ最低價額ノ五百圓ヲ超エ又ハ其ノ最高價額ノ二滿タサルコト明カナルトキハ其ノ最低價額又ハ最高價額ヲ以テ法律行爲ノ目的ノ價額トス

第十二條　左ニ掲ケル事項ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於ケル手數料ハ第一條ノ區別ニ從ヒ其ノ分ノ五トス

一　承認、許可及同意
二　當事者雙方ノ履行セサル契約ノ解除
三　遺言ノ全部又ハ一部ノ取消
四　朝鮮公證令ニ依リ證書ニ作成セラレタル法律行爲ノ補充又ハ更正

第十三條　法律行爲ニ付テノ證書作成ノ手數料ハ證書ノ紙數四枚ヲ超過スルトキハ超過シタル部分ニ付一枚毎ニ二十錢ヲ加フ

前項ノ紙數ハ一行二十字詰二十四行ヲ以テ一枚トス但シ一枚ニ滿タサルトキト雖之ヲ一枚トス

第十四條　法律行爲ニ非サル事實ニ付テノ證書作成ノ手數料ハ本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外其ノ事實ノ作成ニ要シタル時間ニ付一圓五十錢ノ實驗及證者ノ作成ニ要シタル時間ニ付一圓五十錢ヲ加フ但シ一時間ヲ超過スルトキハ一時間毎ニ五十錢ヲ加フ但シ一時間ニ滿タサルトキト雖之ヲ一時間トス

第十五條　株主總會其ノ他ノ集會ノ決議ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於ケル手數料ハ前條ノ例ニ依ル

第十六條　法律行爲ト共ニ之ト密連スル事實ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於ケル手數料ハ第十四條ノ例ニ依ル但シ其ノ額カ法律行爲ノミニ付テノ證書作成ノ手數料ノ額ヨリ少キトキハ其ノ多キ額ニ依ル

第十七條　數個ノ密連セサル事實ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於テハ手數料ノ額ハ各事實ニ付之ヲ算定ス

第十八條　秘密證書ニ依ル遺言書ノ方式ニ關スル記載ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ手數料ハ附帶ノ目的ナルトキハ其ノ價額ハ之ヲ法律行爲ノ目的ノ價額ニ算入セス

第十九條　委任狀、受取書又ハ拒絕證書ヲ作成スル場合ニ於テハ其ノ手數料ハ五十錢トス

前項ノ場合ニ於テ作成ニ要シタル時間一時間ヲ超過スルトキハ一時間毎ニ二十錢ヲ加フ但シ一時間ニ滿タサルトキト雖之ヲ一時間トス

第二十條　認證ノ手數料ハ證書作成ノ手數料ノ十分ノ五トス

第二十一條　私署證書ニ確定日附ヲ附スル場合ニ於テハ其ノ手數料ハ三十錢トス

第二十二條　證書ノ正本ニ執行文ヲ付與スル場合ニ於テハ其ノ手數料ハ五十錢トス

第二十三條　證書ノ正本若ハ謄本又ハ其ノ附屬書類ノ謄本ノ交付ニ付テノ手數料ハ一枚ニ付十五錢トス但シ公證人法第五十五條第一項ノ場合ニ於テハ一枚ニ付十錢トス

證書ノ朝鮮譯文付與ニ付テノ手數料ハ一枚ニ付五十錢トス

第二十三條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條　證書ノ原本及其ノ附屬書類ノ閱覽ニ付テノ手數料ハ一回ニ付十錢トス

第二十五條　手數料ノ定アル事項ニ付テノ手數料ハ最類スル事項ノ手數料ト同一トス

第二十五條ノ二　公證人夜間ニ於テ又ハ病床ニ就キ職務ヲ執行シタルトキハ其ノ手數料ハ各本條ニ定ムル額ニ其ノ十分ノ三ヲ加フ

第二十五條ノ三　公證人職務ノ執行ニ當手シタル後囑託人ノ請求ニ因リ之ヲ止メタルトキ又ハ囑託人若ハ列席者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ之ヲ完結スルコト能ハサルトキハ第十四條ノ例ニ依リ手數料ヲ受ク但シ其ノ手數料ハ完結シタル場合ニ於テ受クヘキ手數料ノ額ニ超過スルコトヲ得ス

第二十六條　一里以外ノ地ニ出張シテ公證人ノ職務ヲ取扱フ場合ニ於テハ囑託人ハ手數料ノ外左ノ費用ヲ負擔スヘシ

日當　二圓
汽車賃　一哩迄毎ニ　十錢
船賃　一海里迄毎ニ　十五錢
車馬賃　一里迄毎ニ　七十錢
宿泊料　一泊ニ付　三圓五十錢

第二十六條ノ二　公證人ハ手數料、日當及旅費ノ額ヲ減スルコトヲ得ス

第二十七條　數人ノ囑託人アル場合ニ於テハ手數料、日當及旅費ハ各囑託人連帶シテ之ヲ支拂フヘキ責ニ任ス

第二十七條ノ二　公證人ハ公正ノ效力ヲ有セサル文書ノ作成ニ付手數料、日當及旅費ヲ受クルコトヲ得ス但シ其ノ文書ノ作成ニ付公證人ニ過失アリシトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條ノ三　公證人ハ囑託セラレタル事項ニ付其ノ職務ヲ完結シタル後ニ非サレハ手數料、日當及旅費ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十七條ノ四　囑託人府尹又ハ面長ノ證明書ヲ以テ支拂ノ資力ナキコトヲ證明シタルトキハ公證人ハ手數料、日當及旅費ノ支拂ヲ假ニ免除スルコトヲ得

第二十八條　手數料、日當及旅費ハ囑託人ヲシテ其ノ概算額ヲ豫納セシムルコトヲ得

囑託人ハ豫納ニ代ヘテ前項ノ概算額ヲ供託スルコトヲ得

第二十九條　手數料、日當及旅費ヲ納付セシムルトキハ計算書ヲ交付スヘシ

囑託人概算額ノ豫納又ハ供託ヲ怠サルトキハ其ノ囑託ヲ拒ムコトヲ得

第三十條　朝鮮總督ハ公證人ニシテ懲戒ニ當ルヘキ所爲アリト思料スルトキハ證憑ヲ具ヘ書面ヲ以テ委員會ノ審查ヲ要求スヘシ

第三十一條　前條ノ要求アリタルトキハ委員長ハ期日ヲ定メテ委員會ヲ招集スヘシ

委員會ハ必要ト認ムル場合ニ於テハ本人ノ出頭ヲ命シ又ハ辯明書ヲ差出サシムルコトヲ得

第三十二條　委員會ニ於テ議決ヲ爲シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ朝鮮總督ニ覆申スヘシ

第三十三條　朝鮮總督ハ公證人ニシテ公證人法第十五條第一項第三號ニ該當スルモノト思料スルトキハ證憑ヲ具ヘ書面ヲ以テ委員會ノ審查ヲ要求スヘシ

前二條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條　委員會ノ審查手續ハ朝鮮總督之ヲ定ム

附則

本令ハ朝鮮公證令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●公證手數料增額ニ關スル件

大正八年五月
總令第九十九號

公證手數料增額ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　朝鮮公證手數料規則ニ依ル手數料ハ當分ノ內本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ增額ス

第二條　朝鮮公證手數料規則第一條及第十四條ノ手數料ハ百分ノ三十、第十八條、第十九條、第二十二條及第二十四條ノ手數料ハ百分ノ五十ヲ增加ス

第三條　朝鮮公證手數料規則第十三條ノ規定ニ依リテ加フヘキ手數料及第二十三條ノ手數料ハ五錢ヲ增加ス

第四條　朝鮮公證手數料規則第十二條、第十五條、第十六條、第二十五條ノ二及第二十五條ノ三ノ規定ノ適用ニ付テハ本令ニ依リテ增額シタル手數料ヲ以テ其ノ基準トス

第五條　手數料ニ一錢未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

附則

本令ハ大正八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●公證人懲戒委員會規則

大正四年四月
總令第三十八號
改正　大正二年九第五五號

公證人懲戒委員會規則左ノ通定ム

公證人懲戒委員會規則

第一條　懲戒委員會ハ委員長一人委員四人ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條　委員長ハ懲戒委員會ヲ段取スル覆審法院ノ長ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ常該覆審法院ノ所在地ニ在勤スル朝鮮總督府判事又ハ檢事ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ス

第三條　委員會ニ幾個ノ委員ニ人ヲ置キ前項ノ例ニ依リ之ヲ命ス

委員會ニ幾個ノ委員長及委員ノ會員出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第四條　委員長事故アルトキハ上席ノ委員之ヲ代理ス

前項ノ場合又ハ委員申事故アルトキ若ハ闕員アルトキハ委員長幾個ノ委員ノ中ヨリ代理ヲ命ス

第五條　委員長及委員ハ自己又ハ其ノ親族ニ關スル事件ノ會議ニ參與スルコトヲ得ス

第六條　委員會ノ議事ハ多數ニ依リ之ヲ決ス

第七條　委員會ニ書記一人ヲ置ク

第八條　總督府裁判所書記ニ在職スル朝鮮人ニシテ其ノ適任ト認ムルモノヲ以テ委員長之ヲ命ス

第九條　書記ハ委員長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第十條　朝鮮總督ハ公證人ニシテ懲戒ニ當ルヘキ所爲アリト思料スルトキハ證憑ヲ具ヘ書面ヲ以テ委員會ノ審查ヲ要求スヘシ

第十一條　前條ノ要求アリタルトキハ委員長ハ期日ヲ定メテ委員會ヲ招集スヘシ

委員會ハ必要ト認ムル場合ニ於テハ本人ノ出頭ヲ命シ又ハ辯明書ヲ差出サシムルコトヲ得

第十二條　委員會ニ於テ議決ヲ爲シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ朝鮮總督ニ覆申スヘシ

第十三條　朝鮮總督ハ公證人ニシテ公證人法第十五條第一項第三號ニ該當スルモノト思料スルトキハ證憑ヲ具ヘ書面ヲ以テ委員會ノ審查ヲ要求スヘシ

前二條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十四條　委員會ノ審查手續ハ朝鮮總督之ヲ定ム

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則（大正十三年九月總令第五十五號）

本令ハ大正十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●公證人、辯理士、司法代書人、辨理士及計理士ノ懲戒免除ニ關スル件

昭和九年二月
勅令第二十四號

朕公證人、辯護士、司法代書人、辨理士及計理士ノ懲戒免除ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第五款　司法庁主

●朝鮮司法庁主令施行規則

（大正八年十一月一日朝鮮総督府令第百二十三号）

朝鮮

第一條　朝鮮ニ本令ヲ施行スル場合ニ於テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ規定ニ依ル

第二條　本令ニ於テ判事ト稱スルハ高等法院長、覆審法院長、地方法院長、覆審法院判事、地方法院判事、覆審法院豫備判事、地方法院豫備判事、覆審法院書記長、地方法院書記長、覆審法院通譯官、地方法院通譯官、覆審法院書記、地方法院書記、覆審法院通譯生、地方法院通譯生、覆審法院雇員、地方法院雇員、覆審法院給仕、地方法院給仕、覆審法院廳丁、地方法院廳丁、覆審法院看守長、地方法院看守長、覆審法院看守、地方法院看守、覆審法院看守補、地方法院看守補、覆審法院小使、地方法院小使、覆審法院給仕兼廳丁、地方法院給仕兼廳丁、覆審法院看守兼廳丁、地方法院看守兼廳丁、覆審法院看守補兼廳丁、地方法院看守補兼廳丁、覆審法院小使兼廳丁、地方法院小使兼廳丁ヲ謂フ

第三條　本令ニ於テ檢事ト稱スルハ檢事總長、檢事長、檢事、檢事職務代理、檢事兼通譯、檢事職務代理兼通譯、檢事正、檢事正職務代理、檢事正兼通譯、檢事正職務代理兼通譯、檢事局長、檢事局長職務代理、檢事局長兼通譯、檢事局長職務代理兼通譯、檢事局通譯生、檢事局通譯生兼通譯、檢事局書記、檢事局書記兼通譯、檢事局雇員、檢事局雇員兼通譯、檢事局給仕、檢事局給仕兼通譯、檢事局廳丁、檢事局廳丁兼通譯、檢事局看守長、檢事局看守長兼通譯、檢事局看守、檢事局看守兼通譯、檢事局看守補、檢事局看守補兼通譯、檢事局小使、檢事局小使兼通譯、檢事局給仕兼廳丁、檢事局給仕兼廳丁兼通譯、檢事局看守兼廳丁、檢事局看守兼廳丁兼通譯、檢事局看守補兼廳丁、檢事局看守補兼廳丁兼通譯、檢事局小使兼廳丁、檢事局小使兼廳丁兼通譯ヲ謂フ

第四條　本令ニ於テ書記ト稱スルハ書記、書記兼通譯、雇員、雇員兼通譯、給仕、給仕兼通譯、廳丁、廳丁兼通譯、看守長、看守長兼通譯、看守、看守兼通譯、看守補、看守補兼通譯、小使、小使兼通譯、給仕兼廳丁、給仕兼廳丁兼通譯、看守兼廳丁、看守兼廳丁兼通譯、看守補兼廳丁、看守補兼廳丁兼通譯、小使兼廳丁、小使兼廳丁兼通譯ヲ謂フ

第五條　本令ニ於テ通譯生ト稱スルハ通譯生、通譯生兼通譯ヲ謂フ

第六條　本令ニ於テ廳丁ト稱スルハ廳丁、廳丁兼通譯ヲ謂フ

第七條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ定員ハ別ニ之ヲ定ム

第八條　判事ハ高等法院長ノ指揮ヲ受ケ裁判事務ヲ掌ル

第九條　檢事ハ檢事總長ノ指揮ヲ受ケ檢事局ノ事務ヲ掌ル

第十條　書記ハ上官ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事シ又ハ裁判ノ調書ヲ作ル

第十一條　通譯生ハ上官ノ指揮ヲ受ケ通譯ニ從事シ又ハ裁判ノ調書ヲ作ル

第十二條　雇員ハ上官ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事シ又ハ裁判ノ調書ヲ作ル

第十三條　給仕ハ上官ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第十四條　廳丁ハ上官ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第十五條　看守長ハ上官ノ指揮ヲ受ケ看守ヲ監督ス

第十六條　看守ハ上官ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事シ又ハ被告人ヲ看守ス

第十七條　看守補ハ上官ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事シ又ハ被告人ヲ看守ス

第十八條　小使ハ上官ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第十九條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ高等法院長ノ定ムル所ニ依ル

第二十條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第二十一條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第二十二條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第二十三條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第二十四條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第二十五條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第二十六條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第二十七條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第二十八條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第二十九條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第三十條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第三十一條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第三十二條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第三十三條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第三十四條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第三十五條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第三十六條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第三十七條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第三十八條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第三十九條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第四十條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第四十一條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第四十二條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第四十三條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第四十四條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第四十五條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第四十六條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第四十七條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第四十八條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第四十九條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第五十條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第五十一條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第五十二條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第五十三條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第五十四條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第五十五條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第五十六條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第五十七條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第五十八條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第五十九條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第六十條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第六十一條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第六十二條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第六十三條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第六十四條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第六十五條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第六十六條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第六十七條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第六十八條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第六十九條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第七十條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第七十一條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第七十二條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第七十三條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第七十四條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第七十五條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第七十六條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第七十七條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第七十八條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第七十九條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第八十條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第八十一條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第八十二條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第八十三條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第八十四條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第八十五條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第八十六條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第八十七條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第八十八條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第八十九條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第九十條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第九十一條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第九十二條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第九十三條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第九十四條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第九十五條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第九十六條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第九十七條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第九十八條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第九十九條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百一條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百二條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百三條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百四條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百五條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百六條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百七條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百八條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百九條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百十條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百十一條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百十二條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百十三條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百十四條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百十五條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百十六條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百十七條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百十八條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百十九條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ覆審法院長ノ定ムル所ニ依ル

第百二十條　判事、檢事、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ豫備判事、豫備判事補、書記、通譯生、雇員、給仕、廳丁ノ職務ニ關スル細則ハ地方法院長ノ定ムル所ニ依ル

第二章　訴願

●【朝鮮關稅令】及明治四十四年制令第二號ニ基ク訴願ニ關スル件

明治四十五年三月
制令第二十一號

（朝鮮關稅令）及明治四十四年制令第二號ニ基ク訴願ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第二十一條　行政廳ニ屬シ關稅法、大正九年制令第十九號及明治四十四年制令第二號ニ基ク訴願ニ關シテハ訴願法ニ依ル

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正九年八月制令第二十二號）

本令ハ大正九年八月二十九日ヨリ之ヲ施行ス

●訴願法

明治二十三年
法律第百五號

第一條　訴願ハ法律勅令ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク外左ニ揭ク事件ニ付之ヲ提起スルコトヲ得

一　租稅及手數料ノ賦課ニ關スル事件
二　租稅滯納處分ニ關スル事件
三　營業免許ノ拒否又ハ取消ニ關スル事件
四　水利及土木ニ關スル事件
五　土地ノ官民有區分ニ關スル事件
六　地方警察ニ關スル事件
其他法律勅令ニ於テ特ニ訴願ヲ許シタル事件

第二條　訴願セントスル者ハ處分ヲ爲シタル行政廳ヲ經由シ直接上級行政廳ニ之ヲ提起スヘシ

訴願ノ裁決ヲ受ケタル後更ニ上級行政廳ニ訴願スルトキハ其裁決ヲ經由スヘシ

第三條　訴願ハ處分ノ執行ヲ停止セス但行政廳ハ其職權ニ依リ又ハ訴願人ノ願ニ依リ必要ナリト認ムルトキハ其執行ヲ停止スルコトヲ得

第四條　訴願ハ法律勅令ニ別段ノ規程アルモノヲ除ク外行政處分ノ執行ヲ停止セス但行政廳ハ其職權ニ依リ又ハ訴願人ノ願ニ依リ必要ナリト認ムルトキハ其執行ヲ停止スルコトヲ得

第五條　訴願ハ口頭陳問ヲ爲サス其文書ニ就キ之ヲ裁決ス但行政廳ニ於テ必要ナリト認ムルトキハ口頭陳問ヲ爲スコトヲ得

第六條　訴願ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其理由ヲ付スヘシ訴願ヲ却下スルトキ亦同シ

第七條　訴願ノ裁決書ハ其處分ヲ爲シタル行政廳ヲ經由シテ之ヲ訴願人ニ交付スヘシ

第八條　訴願書ヲ却下又ハ棄溜ニ關シ他ノ法律勅令ニ別段ノ規程アルモノハ各其規程ニ依ル

附　則

第十八條　明治十五年十二月第五十八號布告請願規則ハ此法律施行ノ日ヨリ廢止ス

第十九條　此法律施行ノ前請願規則ニ依リ受理シタル請願ハ仍其規則ニ依リ之ヲ處分スル

請願規則ニ依リ下級行政廳ノ指令ヲ受ケタル者訴願スルヲ得ヘキ場合ニ於テ更ニ訴願セムトスルトキハ此法律ニ從ヒ其上級行政廳ニ之ヲ提起スヘシ

第二十條　第八條ノ訴願期限ハ此法律施行ノ前行政處分ヲ受ケ又ハ訴願規則ニ依リ指令ヲ得テ郵便遞送ノ日數ハ第八條ノ訴願期限内ニ之ヲ算入セス

第十一條　第二條第一項ノ場合ニ於テ訴願書ノ經由ニ當レル行政廳ハ訴願書ヲ受取リタル日ヨリ十日以内ニ辯明書及必要文書ヲ添ヘ上級行政廳ニ之ヲ發送スヘシ

第二條第二項ノ場合ニ於テ訴願書ノ經由ニ當レル行政廳ハ訴願書ヲ受取リタル日ヨリ三日以内ニ上級行政廳ニ之ヲ發送スヘシ

第二條第三項ノ場合ニ於テ訴願書ヲ發送スルトキ亦前二項ノ例ニ依ルヘシ

第十二條　訴願ハ法律勅令ニ別段ノ規程アルモノヲ除ク外行政處分ノ執行ヲ停止セス但行政廳ハ其職權ニ依リ又ハ訴願人ノ願ニ依リ必要ナリト認ムルトキハ其執行ヲ停止スルコトヲ得

第十三條　訴願ハ口頭陳問ヲ爲サス其文書ニ就キ之ヲ裁決ス但行政廳ニ於テ必要ナリト認ムルトキハ口頭陳問ヲ爲スコトヲ得

第十四條　訴願ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其理由ヲ付スヘシ訴願ヲ却下スルトキ亦同シ

第十五條　訴願ハ處分ヲ爲シタル行政廳ヲ經由シテ之ヲ訴願人ニ交付スヘシ

第十六條　上級行政廳ハ訴願ヲ却下又ハ棄溜シ他ノ法律勅令ニ別段ノ規程アルモノハ各其規程ニ依ル

第十七條　訴願ノ手續

前事ノ金額（有價證券）何ノ何ノ事由ニ因リ還付相成度別紙供託書及證明書類相添及請求候也

住所
受取人　何　某　㊞

供託局宛

右認可書式

還付ヲ認可ス

年　月　日　供託局

第五號樣式

何　供託局長　何　某　㊞

一又ハ何ノ金額（有價證券）何ノ事由ニ因リ下戻相成度別紙供託書及證明書類相添及請求候也

住所
供託者　何　某　㊞

供託局宛

右認可書式

下戻ヲ認可ス

年　月　日　供託局

何　供託局長　何　某　㊞

第六號書式

供託金支拂通知書

住所
受取人　何　某　㊞

供託局宛

右一金何圓也

年ニ對シ前記ノ金額拂渡相成度候也

月　日　供託

何　供託局長　何　某　㊞

日本銀行（支拂店）宛

前事ノ金額何圓也

年　月　日　供託

住所
受取人　何　某　㊞

供託局宛

第四號樣式

何　供託局長　何　某　㊞

一又一又ハ何ノ金額何圓也

年　月　日　供託

住所
供託者　何　某　㊞

供託局宛

右認可書式

年　月　日　供託局

何　供託局長　何　某　㊞

第三號樣式

一又一又ハ何ノ金額何圓也

年　月　日　供託

住所
供託者　何　某　㊞

供託局宛

右認可書式

年　月　日　供託局

何　供託局長　何　某　㊞

第二號樣式

一又一又ハ何ノ金額何圓也

年　月　日　供託

住所
供託者　何　某　㊞

供託局宛

右受取書式

年　月　日

第一號樣式

一又一又ハ何ノ金額何圓也

年　月　日　供託

住所
供託者　何　某　㊞

供託局宛

右受取書式

年　月　日

様式第二號　供託有價證券原書用紙模造紙　縦三寸五分赤色刷　横八寸

供託番號	年證第號	指定受取人及受取條件		種類	枚數	券面額	利札附屬	大正　年　月　日 受入濟
供託者		官廳名		公債證書		圓		
		供託原因		株券				
受理年月日	年　月　日	法令條項		其ノ他ノ證券				
				合計				

年月日	摘要	拂戻高 枚數	拂戻高 券面額	拂戻濟年月日	殘高 枚數	殘高 券面額	備考
			圓			圓	

様式第三號

供託金受拂日計簿

年月日	受入高 供託番號	受入高 金額	拂戻高 供託番號	拂戻高 金額	殘高 件數	殘高 金額	利子交付高 供託番號	利子交付高 金額	備考
		圓		圓		圓		圓	

様式第四號

供託有價證券受拂日計簿

年月日	受入高 供託番號	受入高 枚數	受入高 券面額	拂戻高 供託番號	拂戻高 枚數	拂戻高 券面額	殘高 件數	殘高 枚數	殘高 券面額	利札拂渡 供託番號	備考
			圓			圓			圓		

様式第五號　縦六寸七分　横八寸三分　紙幅

通行番號	月	日	提出者	附日番號	件名	處理	備考

様式第六號　縦六寸七分　横八寸三分　紙幅

通行番號	月	日	宛名又ハ交付者	供託番號	件名	備考

様式第七號　抗告事件簿

番號	受	原事件番號	局	終	年抗告月日	裁判所	分處原	返記	局終所列裁書抗	抗告人	番號	受	原事件番號	局	終	年抗告月日	裁判所	分處原	返記	局終所列裁書抗	抗告人
第	大正 年 月 日	號	旨要	大正 年 月 日	大正 年 月 日	地方法院 支廳	旨要 大正 年 月 日	還給 大正 年 月 日	旨要 大正 年 月 日	氏名 住所	第	大正 年 月 日	號	旨要	大正 年 月 日	大正 年 月 日	地方法院 支廳	旨要 大正 年 月 日	還給 大正 年 月 日	旨要 大正 年 月 日	氏名 住所
第	大正 年 月 日	號	旨要	大正 年 月 日	大正 年 月 日	地方法院 支廳	旨要 大正 年 月 日	還給 大正 年 月 日	旨要 大正 年 月 日	氏名 住所	第	大正 年 月 日	號	旨要	大正 年 月 日	大正 年 月 日	地方法院 支廳	旨要 大正 年 月 日	還給 大正 年 月 日	旨要 大正 年 月 日	氏名 住所

備考　朝鮮總督府供託局

様式第八號　小切手板受拂簿

月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
受											
拂											
殘											
備考 朝鮮總督府供託局											

様式第九號　甲

大正　年　月中預金部預金月拂突合於表

證明　大正　年　月　日

受ノ部

供託番號	金額

拂ノ部

供託番號	金額

朝鮮總督府供託局

利息ノ部

供託番號	金額

様式第九號　乙

大正　年　月小供託有價證券月拂突合於表

證明　大正　年　月　日

受ノ部

券面額	公債證書	株券	其他證券	供託番號
	枚 金	枚 金	枚 金	

拂ノ部

券面額	公債證書	株券	其他證券	供託番號
	枚 金	枚 金	枚 金	

朝鮮總督府供託局

（内渡ノ書式）

一金壱金額ノ内
右一金何圓也
右金額何年何月何日ニ渡済
（受領証ノ余白ニ記入シ雛形ヲ左ニ掲ク）

供託　所　名　印

第三號書式

一利札券面額　何枚
一利札何年何回分券面也　領収證
右領収候也
何年何月何日
供託所（何）官
何公債證書額面何圓ニ対ス
何年何回分利札券面額ノ分
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄
何年何月何日
供託者　住所　氏名　印
年　月　日　宛

第四號書式

一金何圓也
（一部ヲ供託物ノ内ニ加ヘ全部ヲ還付請求ノ時ハ供託ヲ証スル書類ヲ添ヘ還付請求書ト為スヘシ）
供託物還付請求書
供託者　住所　氏名　印
年　月　日
供託所　官
何年何月何日供託ノ金何圓也
右還付請求候也
年　月　日
還付請求者　住所　氏名　印
供託所　官

第五號書式

一何公債證書額面何圓也
（券面ニ何番ヲ何ノ字ヲ附シ何枚番ヨリ何番マテト記入スヘシ）
一何銀行又ハ何會社株券額面何圓也
（券面ニ何番ヲ何ノ字ヲ附シ何枚番ヨリ何番マテト記入スヘシ）
一何　同
（前ニ同シ）
一何　同
（記號番號枚數記載方前ニ同シ）
一何　同
（前ニ同シ）
一何
（金額品名種類員数有価證券ノ名称ヲ記載スヘシ）
（三種以上ニ渉ル時ハ別紙ニ記載シ此ノ場ニ其ノ旨ヲ記入スヘシ）
右物品ノ価額（有価證券ニ在テハ額面金額）ヲ何某ニ還付相受度別紙證明書ヲ添ヘ此段供託候也
年　月　日
供託者　住所　氏名　印
官
何裁判所
何年何月何日
何某殿

第六號書式

一金何圓也
一何公債證書額面何圓也　券何番ヨリ何番マテ
一何銀行又ハ何會社株券額面何圓也　同記號番號枚數記載方前ニ同シ
一何　同
（前ニ同シ）
一何
（金額品名種類員数有価證券ノ名称ヲ記載スヘシ）
（三種以上ニ渉ル時ハ別紙ニ記載シ此ノ場ニ其ノ旨ヲ記入スヘシ）
右物品ノ価額（有価證券ニ在テハ額面金額）ヲ何某ニ還付相受度別紙證明書ヲ添ヘ此段供託候也
年　月　日
供託者　住所　氏名　印
官
何裁判所
何年何月何日
何某殿

第七號書式

一金何圓也
（一部ヲ還付請求ノ時ハ供託ヲ証スル書類ヲ添ヘ還付請求書ト為スヘシ）
還付請求書
供託者　住所　氏名　印
年　月　日
供託所　官
何年何月何日供託ノ金何圓也
右還付請求候也
年　月　日
還付請求者　住所　氏名　印
供託所　官

第八號書式

一金何圓也
（一部ヲ還付請求ノ時ハ供託ヲ証スル書類ヲ添ヘ還付請求書ト為スヘシ）
還付請求書
供託者　住所　氏名　印
年　月　日
供託所　官
何年何月何日供託ノ金何圓也
右還付請求候也
年　月　日
還付請求者　住所　氏名　印
供託所　官

第九號書式

一金何圓也
（一部ヲ還付請求ノ時ハ供託ヲ証スル書類ヲ添ヘ還付請求書ト為スヘシ）
還付請求書
供託者　住所　氏名　印
年　月　日
供託所　官
何年何月何日供託ノ金何圓也
右還付請求候也
年　月　日
還付請求者　住所　氏名　印
供託所　官

（利息記入證明式）

一金何圓也
内
金何圓也
右之通何圓也年ニ候也
年　月　日
供託者　住所　氏名　印
供託所　官

（現金領収ノ式）

前書ノ金額正ニ領収候也
年　月　日
受取人　何某　印
供託所　官

（利息記入證明式）

一金何圓也
内
金何圓也
右之通何圓也年ニ候也
年　月　日
供託者　住所　氏名　印
供託所　官

（現金領収ノ式）

前書ノ金額正ニ領収候也
年　月　日
受取人　何某　印
供託所　官

第十號書式

一金何圓也
一何公債證書額面何圓也　券何番ヨリ何番マテ
一何銀行又ハ何會社株券額面何圓也　同記號番號枚數記載方前ニ同シ
一何　同
（前ニ同シ）
一何
（金額品名種類員数有価證券ノ名称ヲ記載スヘシ）
（三種以上ニ渉ル時ハ別紙ニ記載シ此ノ場ニ其ノ旨ヲ記入スヘシ）
右物品ノ価額（有価證券ニ在テハ額面金額）ヲ何某ニ還付相受度別紙證明書ヲ添ヘ此段供託候也
年　月　日
供託者　住所　氏名　印
官
何裁判所
何年何月何日
何某殿

第十一號書式

一金何圓也
（一部ヲ還付請求ノ時ハ供託ヲ証スル書類ヲ添ヘ還付請求書ト為スヘシ）
還付請求書
供託者　住所　氏名　印
年　月　日
供託所　官
何年何月何日供託ノ金何圓也
右還付請求候也
年　月　日
還付請求者　住所　氏名　印
供託所　官

第十二號書式

一金何圓也
（一部ヲ還付請求ノ時ハ供託ヲ証スル書類ヲ添ヘ還付請求書ト為スヘシ）
還付請求書
供託者　住所　氏名　印
年　月　日
供託所　官
何年何月何日供託ノ金何圓也
右還付請求候也
年　月　日
還付請求者　住所　氏名　印
供託所　官

（利息記入證明式）

一金何圓也
内
金何圓也
右之通何圓也年ニ候也
年　月　日
供託者　住所　氏名　印
供託所　官

（現金領収ノ式）

前書ノ金額正ニ領収候也
年　月　日
受取人　何某　印
供託所　官

第十三號書式

一金何圓也
（一部ヲ還付請求ノ時ハ供託ヲ証スル書類ヲ添ヘ還付請求書ト為スヘシ）
還付請求書
供託者　住所　氏名　印
年　月　日
供託所　官
何年何月何日供託ノ金何圓也
右還付請求候也
年　月　日
還付請求者　住所　氏名　印
供託所　官

（利息記入證明式）

一金何圓也
内
金何圓也
右之通何圓也年ニ候也
年　月　日
供託者　住所　氏名　印
供託所　官

（現金領収ノ式）

前書ノ金額正ニ領収候也
年　月　日
受取人　何某　印
供託所　官

Digitized by 国立国会図書館デジタルコレクション

第十四輯

民事　刑事　監獄

年ヲ經過シタル場合及供託金ガ政府ノ所有ニ歸シタル場合ノ取扱方ニ關スル件

昭和十年四月
大藏省令第八號

供託官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合及供託金ガ政府ノ所得ニ歸シタル場合ノ取扱方ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　出納官吏事務規程第三十五條乃至第三十八條及第七十二條ノ規定ハ供託官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二條　保管金取扱規程第十六條乃至第十八條ノ規定ハ供託金ガ時效其ノ他ノ事由ニ因リ政府ノ所得ニ歸シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三條　前二條ノ規定ニ依リ出納官吏事務規程及保管金取扱規程ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ所管大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、關東州ニ在リテハ滿洲國駐劄特命全權大使、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條ノ規定ハ本令施行前供託官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタルモノニ付之ヲ適用ス

第十四輯　民事　刑事　監獄

第一章　民事

第一款　民事令　民法　商法　民事訴訟法　人事訴訟手續法　非訟事件手續法

○**朝鮮民事令**（明治四五、三、制令七）……一
○**民法**第一編第二編第三編（明治二九、四、法律八九）……四
○民法第四編第五編（明治三一、六、法律九）……六
○民法施行法（明治三一、六、法律一一）……一二
○民法等施行期日（明治三一、六、勅令一二三）……一四
○失火ノ責任ニ關シ民法適用（明治三二、三、法律四〇）……一四
○記名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル件（明治三七、四、法律一七）……一四
○年齡計算ニ關スル件（明治三五、一二、法律五〇）……一四
○軍人軍屬ノ遺言確認請求ニ關スル件（明治三二、二、法律一三）……一四
○救育所ニ在ル孤兒ノ後見職務執行ニ關スル件（明治三三、三、法律五一）……一四
○信託法（大正一一、四、法律六二）……一四
○有價證券ノ信託財產表示及信託財產ニ屬スル金錢ノ管理ニ關スル件（昭和六、九、總令一一六）……一四
○信託表示簿及目錄ニ附ス印章調製ニ關スル件（昭和六、九、總令一一七）……一四
○身元保證ニ關スル法律（昭和八、四、法律四二）……一五
○**商法**（明治三二、三、法律四八）……一五
○商法施行法（明治三二、三、法律四九）……一八
○商法中署名スヘキ場合ニ關スル件（明治三三、二、法律一七）……一八

○**手形法**（昭和七、七、法律二〇）……一八
○**小切手法**（昭和八、七、法律五七）……一八
○振替證書規則（昭和八、一二、總令一四六）……一八
○小切手ノ呈示期間ノ特例ニ關スル件（昭和八、一二、總令一四七）……一九
○小切手法ノ適用ニ付銀行ト同視スヘキ人又ハ施設ニ關スル件（昭和九、一、總令二）……一九
○朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル手形及小切手法ノ規定ニ依ル手形交換所（昭和八、一二、總令一四八）……一九
○商事非訟事件印紙法（明治二三、八、法律六六）……一九
○**民事訴訟法**（明治二三、四、法律二九）……二三
○民事訴訟法中改正法律施行法（大正一五、四、法律六二）……二三
○民事訴訟費用法（明治二三、八、法律六四）……二三
○和議法（大正一一、四、法律七一）……二三
○**人事訴訟手續法**（明治三一、六、法律一三）……二三
○人事訴訟手續法第一條第三項及非訟事件手續法第二條第三項ニ依リ京城府指定（大正一一、一、總令一一〇）……二三
○**競賣法**（明治三一、六、法律一五）……二四
○**非訟事件手續法**（明治三一、六、法律一四）……二四
○外國人ノ署名捺印及訴訟上無資力證明方（明治三二、三、法律五〇）……二四
○小商人、公告、確定日附簿及日附アル印章ニ關スル件（明治四五、三、總令三一）……二四
○法人ノ設立及監督ニ關スル規程（明治四五、三、總令三二）……二四
○永代借地權ニ關スル件（大正三、五、制令一三）……二五
○相續人曠缺ノ場合ニ於テ國庫ニ歸屬シタル財產ノ引渡ニ關スル件（明治三三、一二、勅令四〇九）……二五
○朝鮮總督府及所屬官署ノ民事訴訟ニ關シ國ヲ代表スルノ件（明治三九、七、勅令一八四）……二五
○本府所屬官署ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件（明治四三、一〇、總令四二）……二五

○**朝鮮不動產登記令**（明治四五、三、制令九）……二六
○不動產登記法（明治三二、二、法律二四）……二七
○朝鮮不動產登記令施行規則（明治四五、三、總令三六）……二八
○朝鮮不動產登記令施行期日及地域（大正三、五、總令五一）……二九
○永代借地登記規則（大正三、五、總令五四）……二九
○法人及夫婦財產契約登記取扱規則（明治四五、三、總令二九）……三〇
○商業登記取扱規則（明治四五、三、經令三〇）……三〇
○商業登記事務ノ委託ニ關スル件（昭和一一、三、總令二四）……三五
○不動產其ノ他ノ登記簿ノ謄本、抄本ノ請求等ニ關スル手數料及私署證書確定日附ノ手數料ニ關スル件（明治四五、三、總令三八）……三五
○朝鮮船舶登記規則（大正三、五、總令八七）……三五
○鎭山地方法院ヲ朝鮮船舶登記規則第五十四條第二項ノ規定ニ依ル登記所ニ指定（大正三、六、總告二一一）……三三

○政府第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續（明治二七、二、大令二）……三六
○民事訴訟用印紙法（明治二三、八、法律六五）……三九
○民事爭訟調停ニ關スル件（明治四三、一二、制令一）……四〇
○民事爭訟調停事務取扱規則（明治四三、一二、總令六七）……四〇
○民事爭訟調停事務取扱手續（明治四三、一二、總訓七一）……四二
○朝鮮財團抵當令（大正八、四、制令八）……四三
○**工場抵當法**（明治三八、三、法律五四）……四三
○**鑛業抵當法**（明治三八、三、法律五五）……四三
○軌道ノ抵當ニ關スル件（明治四二、四、法律二八）……四六
○鐵道抵當法（明治三八、三、法律五三）……四六
○朝鮮私設鐵道及軌道抵當取扱規則（大正八、五、總令八四）……四九

第二款　登記

○船舶ノ登記其ノ他ノ手續ニ關スル件（大正三、八、總訓四四）……三三
○朝鮮產業組合登記取扱規則（大正一五、二、總令一六）……三三
○金融組合登記取扱規則（大正三、八、總令一一七）……三四
○朝鮮金融組合聯合會登記取扱規則（昭和八、總令八九）……三七
○土地調查令ニ依リ查定又ハ裁決ヲ經タル土地ノ登記又ハ證明ニ關スル件（大正三、五、制令一六）……三九
○財團抵當登記取扱規則（大正八、五、總令一〇〇）……三九
○鑛業登記取扱規則（昭和一〇、二、總令一四九）……三一
○朝鮮漁業組合登記規則（昭和五、三、總令一八）……三四
○朝鮮自動車交通事業財團抵當登記取扱規則（昭和九、一二、總令一三二）……三六
○土地改良登記規則（昭和三、五、總令三一）……三八
○官廳ノ所管ニ係ル不動產登記ノ囑託ニ關スル件（大正一〇、八、總令一三五）……四二

第三款　戶籍

○朝鮮戶籍令（大正一一、二、總令一五四）……四一
○戶籍法（大正三、三、法律二六）……四六
○朝鮮戶籍令施行手續（大正一二、三、總訓一五）……四三
○朝鮮戶籍令ニ依ル審察官ノ職務ニ關スル件（大正一三、九、總令五三）……四三
○朝鮮戶籍手數料規則（大正一一、二、總令一五六）……四四
○府尹又ハ面長ノ管掌スル戶籍事務ノ費用負擔ニ關スル件（大正一二、三、總令四三）……四四
○朝鮮人ノ姓名改稱ニ關スル件（明治四四、一、總令一二四）……四六
○工場法ノ適用ヲ受クル工場ノ職工徒弟等民籍無償證明ノ件（大正七、八、總令八〇）……四六
○土地調查令ニ依ル地番號ノ設定ナキ地ノ統戶番號ノ新設、變更ニ關スル件（大正四、七、總訓四一）……四七
○外國在留鮮人ノ身分取扱ニ關スル件（大正二、六、總訓三二）……四七

第四款　華族　貴族

○華族令（明治四〇、五、皇室令二）……四七
○朝鮮貴族令（明治四四、八、皇室令一四）……四七
○朝鮮ニ在住スル貴族ニ關スル件（明治四三、八、皇室令一五）……四八
○朝鮮貴族世襲財產令（昭和二、二、制令三）……四八
○華族世襲財產法（大正五、九、法律四五）……四八
○朝鮮貴族世襲財產令施行規則（昭和二、七、總令七四）……四九
○朝鮮貴族ニ關スル審查委員會規程（明治四五、三、總令一七）……四九

第五款　財產管理及處理

○獨逸國等ニ屬スル財產管理ノ件（大正九、三、勅令四八）……四九
○大正九年勅令第四十八號ニ依ル管理財產ノ處分ニ關スル取扱手續（大正九、三、大令一一）……四九
○同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ基ク損害ニ關スル件（大正九、五、總令六八）……五二
○同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ依ル財產處理ニ關スル件（大正九、五、勅令一七一）……五七
○同盟及聯合國ト墺地利國トノ平和條約ニ依ル財產處理ニ關スル件（大正九、一一、勅令五三）……五七
○朝鮮總督府警視、警部ノ地方法院支廳檢事ノ職務取扱ニ關スル件（明治四五、三、總訓一三）……五八
○司法警察事務竝令狀執行ニ關スル件（明治四五、三、總訓一六）……五八
○刑ノ執行指揮ニ關スル取扱規程（大正四、二、總訓四）……五八
○刑ノ執行猶豫ニ關スル取扱規程（明治四五、三、總訓一五）……五九
○刑ノ執行停止者取締ニ關スル件（大正二、

○刑法施行法（明治四一、三、法律二九）……六九
○決鬪罪ニ關スル件（明治二二、一二、法律三四）……七〇
○盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律（昭和五、五、法律九）……七〇
○大正十五年法律第六十號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件（大正一五、九、勅令二九九）……七一
○暴力行爲等處罰ニ關スル法律（大正一五、四、法律六〇）……七一
○爆發物取締罰則（明治一七、一二、太政官布告三二）……七一
○印紙犯罪處罰法（明治四二、四、法律三九）……七一
○通貨及證券模造取締法（明治二八、四、法律二八）……七二
○外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル件（明治三八、三、法律六六）……七二
○海底電信線保護萬國聯合條約細則（大正五、三、法律二〇）……七二
○刑事訴訟法（大正一一、五、法律七五）……七二
○刑事訴訟費用法（大正一〇、四、法律六八）……七三
○敍位條例施行細則又ハ勳章褫奪令施行細則ニ依ル申牒及勳章年金支給細則第十三條ニ依ル通知ニ關スル件（大正一〇、二、總訓七）……七四
○逃亡犯罪人引渡條例（明治二〇、八、勅令四二）……七四
○外國裁結乘組員ノ逮捕留置ニ關スル援助法（明治三二、三、法律六八）……七六
○犯罪即決例（明治四三、一二、制令一〇）……七六
○犯罪即決例施行手續（明治四三、一二、總訓七二）……七七
○朝鮮總督府警視、警部ノ地方法院支廳檢事ノ職務取扱ニ關スル件（明治四五、三、總訓一三）……七八
○司法警察事務竝令狀執行ニ關スル件（明治四五、七、制令二六）……七八
○刑ノ執行指揮ニ關スル取扱規程（大正四、二、總訓四）……七八
○刑ノ執行猶豫ニ關スル取扱規程（明治四五、三、總訓一五）……七九
○刑ノ執行停止者取締ニ關スル件（大正二、

○刑法施行法（明治四一、三、法律二九）……六九
○決鬪罪ニ關スル件（明治二二、一二、法律三四）……七〇
○盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律（昭和五、五、法律九）……七〇
○大正十五年法律第六十號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件（大正一五、九、勅令二九九）……七一
○暴力行爲等處罰ニ關スル法律（大正一五、四、法律六〇）……七一
○爆發物取締罰則（明治一七、一二、太政官布告三二）……七一
○印紙犯罪處罰法（明治四二、四、法律三九）……七一
○通貨及證券模造取締法（明治二八、四、法律二八）……七二
○外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル件（明治三八、三、法律六六）……七二
○海底電信線保護萬國聯合條約細則（大正五、三、法律二〇）……七二
○刑事訴訟法（大正一一、五、法律七五）……七二
○刑事訴訟費用法（大正一〇、四、法律六八）……七三
○敍位條例施行細則又ハ勳章褫奪令施行細則ニ依ル申牒及勳章年金支給細則第十三條ニ依ル通知ニ關スル件（大正一〇、二、總訓七）……七四
○逃亡犯罪人引渡條例（明治二〇、八、勅令四二）……七四
○外國裁結乘組員ノ逮捕留置ニ關スル援助法（明治三二、三、法律六八）……七六
○犯罪即決例（明治四三、一二、制令一〇）……七六
○犯罪即決例施行手續（明治四三、一二、總訓七二）……七七
○朝鮮總督府警視、警部ノ地方法院支廳檢事ノ職務取扱ニ關スル件（明治四五、三、總訓一三）……七八
○司法警察事務竝令狀執行ニ關スル件（明治四五、七、制令二六）……七八
○刑ノ執行指揮ニ關スル取扱規程（大正四、二、總訓四）……七八
○刑ノ執行猶豫ニ關スル取扱規程（明治四五、三、總訓一五）……七九

第二章　刑事

○朝鮮刑事令（明治四五、三、制令一）……七九
○刑法（明治四〇、四、法律四五）……七九

三、總訓七）……七五
○司法警察官吏執務規程（大正一二、一二、總訓五二）……七五
○朝鮮總督府裁判所及檢事局令狀取扱規程（大正一二、一二、總訓五五）……七五
○司法警察官吏ノ職務ヲ行フヘキ者及其ノ職務ノ範圍（大正一三、五、總令三三）……七四
○刑事補償法（昭和六、四、法律六〇）……七四
○刑事補償取扱規程（昭和八、一、總訓三）……七五
○恩赦令（大正元、九、勅令二三）……七五
○恩赦令施行規則（大正元、一〇、總令二〇）……七五
○刑事判決ノ正本、謄本及抄本ノ手數料ニ關スル件（大正元、八、總令三）……七五
○刑法施行前ニ公布シタル命令ニ關スル件（明治四一、九、勅令二一七）……七五
○刑法施行後施行ノ命令ニ揭ケタル刑法ノ刑名ニ關スル件（明治四二、五、勅令一二〇）……七五
○舊刑法（明治一三、七、太政官布告三六）……七七
○朝鮮舊刑所犯ノ罪囚ニ對シ大赦ヲ行フノ件（明治四三、八、勅令三二五）……七七
○朝鮮舊刑所犯ノ罪囚ニ對シ大赦ヲ行フノ件施行手續（明治四三、八、訓令一七）……七七
○減刑令（昭和九、二、勅令一九）……七八
○復權令（昭和九、二、勅令二〇）……七八
○昭和九年勅令第二十號復權令ニ依リ復權シタル者ノ證明申出方ノ件（昭和九、二、總訓五二）……七九
○大正四年法律第十八號ヲ朝鮮等ニ施行ノ件（大正四、一二、勅令二三〇）……七九
○法人ノ役員處罰ニ關スル件（大正四、六、法律一八）……七九
○明治三十八年法律第六十六號第十條又ハ印紙犯罪處罰法第五條ノ規定ニ依ル官廳ニ關スル件（大正五、四、總令三四）……七九
○政治ニ關スル犯罪處罰ノ件（大正八、四、制令七）……七九

第三章　監獄

第一款　監獄令

○朝鮮ニ施行スル法律ニ關スル件（大正二、九、勅令二八三）……三二
○陸軍刑法（明治四一、四、法律四六）……三二
○陸軍刑法施行法（明治四一、四、法律四七）……三二
○海軍刑法（明治四一、四、法律四八）……三二
○海軍刑法施行法（明治四一、四、法律四九）……三二
○陸軍軍法會議法（大正一〇、四、法律八五）……三二
○朝鮮軍法會議ニ關スル件（大正一〇、四、法律八六）……三二
○海軍軍法會議法（大正一〇、四、法律九一）……三二
○刑事交涉法（大正一〇、四、法律九二）……三二
○陸軍軍人軍屬遺棄罪處分例（明治一九、五、勅令四四）……三二
○海軍軍人軍屬遺棄罪處分例（明治二二、一、勅令四五）……三二
○法律二五）……三二
○軍機保護法（明治三二、七、法律一〇四）……三二
○陸軍軍法會議法、海軍軍法會議法、刑事交涉法等ノ施行期日ニ關スル件（大正一一、三、勅令七八）……三二
○陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法施行前ヨリ施行セラルル勅令中理事、主理等ノ名稱ニ關スル件（大正一一、三、勅令八六）……三二
○海軍軍法會議法第一條第二項ノ規定ニ依リ除外スヘキ者ニ關スル件（大正一一、三、勅令一〇二）……三二
○陸軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ニ關スル件（大正一一、三、勅令一〇三）……三二
○海軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ニ關スル件（大正一一、三、勅令一〇四）……三二
○陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中時效ニ關スル規定等施行期日（大正一二、六、勅令三〇〇）……三二

第二款　囚人、刑事被告人及被疑者押送

○囚人、被告人及被疑者護送規則（明治四二、一〇、統令五一）……三二

第四章　軍事　軍律

第十四輯　民事　刑事　監獄

第一章　民事

第一款　民事令　民法　商法　民事訴訟法　人事訴訟手續法　非訟事件手續法

●朝鮮民事令

明治四十五年三月制令第七號

朝鮮民事令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮民事令

第一條　民事ニ關スル事項ハ本令其ノ他ノ法令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ法律ニ依ル

一　民法

二　明治三十五年法律第五十號

三　明治三十七年法律第十七號

三ノ二　昭和八年法律第四十二號

四　明治三十二年法律第四十號

五　明治三十三年法律第五十一號

六　明治三十三年法律第十三號

七　民法施行法

七ノ二　信託法

八　商法

八ノ二　手形法

八ノ三　小切手法

九　明治三十三年法律第十七號

十　商法施行法

十一　破産法

十二　和議法

十三　民事訴訟法

十三ノ二　民事訴訟法中改正法律施行法

十四　外國裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法

十五　明治三十二年法律第五十號

削除

十六

十七　人事訴訟手續法

十八　非訟事件手續法

十九　民事訴訟費用法

十九ノ二　民事訴訟用印紙法

二十　商事非訟事件印紙法

二十一　執達吏手數料規則

二十二　競賣法

第二條　前條ノ法律中勅令ニ委任シタル事項ハ朝鮮總督府令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　第一條ノ法律中主務官廳ニ屬スル職務ハ朝鮮總督、控訴院長ニ屬スル職務ハ覆審法院長、地方裁判所長ニ屬スル職務ハ地方法院長之ヲ行フ

第四條　第一條ノ法律中公證人及執達吏ニ屬スル職務ハ裁判所書記之ヲ行フ

地方法院長ハ警察官吏其ノ他適當ト認ムル者ヲシテ執達吏ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第五條　執達吏ノ職務ヲ行フ者ハ執達吏規則

第六條　執達吏ノ職務ニ付テハ之ヲ執達吏ト看做ス但シ國庫ヨリ俸給又ハ給料ヲ受クル者カ執達吏ノ職務ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ受クヘキ手數料及旅費ハ國庫ノ收入トス

第七條　執達吏ノ職務ヲ行フ裁判所書記、警察官吏又ハ警察事務ヲ取扱フ官吏ハ書類ノ送達ニ限リ所屬廳ノ吏員ヲシテ臨時其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

官吏ニ非ス執達吏ノ職務ヲ行フコトヲ命セラレタル者ハ地方法院長ノ認可ヲ得テ代理者ヲ置クコトヲ得

第八條　第一條ノ法律ノ適用ニ付テハ府縣ハ道ニ、郡ハ郡ニ、市ハ府ニ、町村ハ邑面ニ該當ス

第九條　第一條ノ法律中官報ニ揭載シテ爲スヘキ公告ハ公示催告手續及失踪ニ關スル事項ニ付テハ官報及朝鮮總督府官報ニ、其ノ他ノ事項ニ付テハ朝鮮總督府官報ニ揭載シテ之ヲ爲ス

第十條　朝鮮人相互間ノ法律行爲ニ付テハ法令中公ノ秩序ニ關セサル規定ニ異リタル慣習アル場合ニ於テハ其ノ慣習ニ依ル

第十一條　朝鮮人ノ親族及相續ニ關シテハ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外第一條ノ法律ニ依ラス慣習ニ依ル但シ婚姻年齡、裁判上ノ離婚、認知、親權、後見、保佐人、親族會、相續ノ承認及財産ノ分離ニ關スル規定ハ此ノ限ニ在ラス

分家、絕家再興、婚姻、協議上ノ離婚、緣組及協議上ノ離緣ハ之ヲ府尹又ハ邑面長ニ届出ツルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス但シ遺言ニ依ル緣組ニ付テハ其ノ届出ハ養親ノ死亡ノ時ニ遡リテ其ノ效力ヲ生ス

第十一條ノ二　朝鮮人ノ戸籍ニ關シテハ後七條ノ規定ニ依ル

第十一條ノ三　戸籍事務ノ管掌ニ付テハ戸籍法第一條、第二條、第四條及第七條ノ規定ニ、戸籍ノ訂正ニ付テハ戸籍法第百六十四條及第百六十五條ノ規定ニ、戸籍事件ノ抗告ニ付テハ戸籍法第百六十九條乃至第百七十五條ノ規定ニ、過料ノ裁判ニ付テハ戸籍法第百七十九條ノ規定ニ依但シ戸籍法中市町村長トアルハ府尹又ハ邑面長ニ、市役所又ハ町村役場トアルハ府廳又ハ邑面事務所ニ、區裁判所トアルハ地方法院ニ該當ス

第十一條ノ四　戸籍事務ハ府廳又ハ邑面事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方法院ノ院長之ヲ監督ス

戸籍事務ノ監督ニ付テハ司法行政ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第十一條ノ五　正當ノ理由ナクシテ期間内ニ爲スヘキ届出又ハ申請ヲ爲ササル者ハ十圓以下ノ過料ニ處ス

第十一條ノ六　朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ府尹又ハ邑面長カ戸籍事務ニ關シ期限ヲ定メテ届出又ハ申請ノ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ其ノ期間内ニ届出又ハ申請ヲ爲ササル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處ス

第十一條ノ七　府尹又ハ邑面長ハ左ノ場合ニ於テハ三十圓以下ノ過料ニ處ス

一　正當ノ理由ナクシテ届出又ハ申請ヲ受理セサルトキ

二　戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

三　正當ノ理由ナクシテ戸籍簿、除籍簿又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ閲覽ヲ許シタル書類ノ閲覽ヲ拒ミタルトキ

四　正當ノ理由ナクシテ戸籍若ハ除カレタル戸籍ノ謄本、抄本又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ交付スヘキ證明書ノ交付ヲ爲ササルトキ

五　其ノ他戸籍事件ニ付職務ヲ怠リタルトキ

第十一條ノ八　戸籍ノ記載ヲ要セサル事項ニ付虚僞ノ届出ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條ノ九　第十一條ノ三及第十一條ノ四ニ規定スルモノノ外戸籍簿、戸籍ノ記載手續、届出其ノ他戸籍ニ關シ必要ナル事項ニ付テハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

第十二條　不動産ニ關スル物權ノ種類及效力ニ付テハ第一條ノ法律ニ定メタル物權ヲ除クノ外慣習ニ依ル

第十三條　不動産ニ關スル物權ノ得喪及變更ニ付朝鮮不動産登記令ニ於テ登記ノ規定ヲ設ケタルモノハ其ノ登記ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十四條　朝鮮不動産證明令ニ依リ證明ヲ受ケタル典當權ハ第一條ノ法律ノ適用ニ付テハ其ノ性質ニ從ヒ之ヲ不動産質權又ハ抵當權ト看做ス朝鮮不動産登記令ニ依リ不動産質權又ハ抵當權トシテ登記ヲ受ケタルモノト亦同シ

第十五條　民法第四十九條ノ規定ハ朝鮮外ニ住所ヲ有スル法人カ朝鮮ニ事務所ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條ノ二　内地、臺灣、樺太、關東州、南洋群島又ハ朝鮮總督ノ指定スル亞細亞洲ノ地域ニ於テ振出シ朝鮮ニ於テ支拂フヘキ小切手ノ呈示期間ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ伸張スルコトヲ得

第十六條　地方法院ニ於テ合議シテ裁判ヲ爲

第二十七條　削除
第二十八條　削除　當事者雙方カ口頭辯論ノ期日ニ出頭セス又ハ出頭スルモ辯論ヲ爲ササルトキハ裁判長ノ更ニ期日ヲ定メ當事者雙方ヲ呼出スヘシ
第二十九條　當事者及法定代理人ノ一　當事者ノ雙方カ口頭辯論ノ期日ニ出頭セス又ハ出頭スルモ辯論ヲ爲ササルトキハ裁判長ノ更ニ期日ヲ定メ當事者雙方ヲ呼出スヘシ
第三十條　削除
第三十一條　削除
第三十二條　裁判所ノ開廷ニ關シテハ裁判所構成法第百四條乃至第百十三條ノ規定ニ依ル
第三十三條　裁判所ノ通譯官、通譯生又ハ書記ヲ通事ト爲ス場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ要ス
第三十四條　地方法院ニ於テ例事單獨ニテ裁判ヲ爲ス事件ニ付原告又ハ被告カ最初ニ爲スヘキ口頭辯論ノ期日ニ出頭セス又ハ出頭スルモ辯論ヲ爲ササルトキハ其ノ出頭シタル當事者ノ陳述ヲ聽キ關席判決ヲ以テ相手方ノ敗訴ヲ言渡スコトヲ得
第三十五條　關席判決ノ言渡ハ口頭辯論終結後直ニ之ヲ爲ス場合ニ限リ其ノ主文ヲ作ラサル前ト雖之ヲ爲スコトヲ得
第三十六條　關席判決ニ對シテハ關席者ヨリ故障ノ申立ヲ爲スコトヲ得
故障ノ申立ハ判決ノ送達アリタル日ヨリ一週間内ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ期間前申立テタル故障ノ效力ヲ妨ケス
前項ノ期間ハ之ヲ不變期間トス
第三十七條　故障ノ申立ハ故障ヲ申立テタル判決ノ執行ヲ停止セス但シ裁判所ハ申立ニ因リ假ニ執行ヲ停止スルコトヲ命スルコトヲ得
第三十八條　故障ノ申立アリタルトキハ訴訟ハ口頭辯論ノ初ニ遡リテ之ヲ審理ス
故障ノ申立ニ因リ訴訟ノ目的ノ價額カ五十圓ヲ超過スル事件ニ付裁判所カ訴訟ノ一部ニ付キ判決ヲ爲シタルトキハ其ノ部分ニ付テハ故障ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス
第一項ノ價額ハ控訴提起ノ時ヲ標準トシテ之ヲ定ム
控訴審ニ於テ擴張シタル請求ノ價額ハ第一項ノ價額ヲ算定スルコトヲ得ス
第一項ノ價額ハ五十圓ヲ超過スルモノト看做ス
民事訴訟法第二十三條第一項ノ規定ハ第一項ノ價額ノ算定ニ之ヲ準用ス
果實、損害賠償、違約金又ハ費用ノ請求カ訴訟ノ附帶ノ目的ノトキハ控訴提起ノ時迄ニ生シタルモノニ限リ其ノ價額ヲ算入ス
第二項ノ價額ハ算入ス
第四十五條　被控訴人ハ附帶控訴ニ因リテ受クヘキ利益ノ價額カ五十圓ヲ超過セサル場合ニ於テモ附帶控訴ヲ爲スコトヲ得
第四十六條　控訴ノ提起ハ控訴狀ヲ原裁判所ニ差出シテ之ヲ爲ス
第四十七條　控訴狀ハ民事訴訟法第三百六十七條第二項ノ規定ニ適合スル場合及法令ノ規定ニ從ヒ控訴狀ニ印紙ヲ貼用セサル場合ニ於テハ原裁判所ハ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ欠缺ヲ補正スヘキコトヲ命スルコトヲ得
控訴人カ欠缺ノ補正ヲ爲ササルトキハ原裁判所ハ決定ヲ以テ控訴狀ヲ却下スヘシ
不適法ナル控訴ニシテ其ノ欠缺カ補正スルコト能ハサルモノナルトキハ原裁判所ハ口頭辯論ヲ經スシテ控訴狀ヲ却下スヘシ
第四十八條　削除
第四十九條　削除
第五十條　削除
第五十一條　削除
第五十二條　削除
第五十三條　削除
第五十四條　削除
第五十五條　削除
第五十六條　削除
第五十七條　削除
第五十八條　削除
第五十九條　削除
第六十條　削除
第六十一條　削除
第六十二條　削除
第六十三條　削除
第六十四條　削除
第六十五條　削除
第六十六條　削除
第六十七條　削除
第六十八條　削除
第六十九條　削除
第七十條　削除
第七十一條　削除
第七十二條　削除
第七十三條　削除
第七十四條　削除
第七十五條　削除
第七十六條　削除
第七十七條　本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第七十八條　左ノ法令ノ之ヲ廢止ス
一　明治四十二年勅令第二百三十八號
二　手形條例
三　民事訴訟規則
四　民事訴訟費用規則
五　民事訴訟費用規則
六　民事訴訟費用規則
七　陳情三年法律第十五號
八　非訟事件手續規則
第七十九條　本令施行前法令ニ依リ爲シタル裁判、命令、處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス
第八十條　本令施行前既ニ著手シタル強制執行ハ舊法ニ從ヒ之ヲ完結ス
第八十一條　本令施行前ニ生シタル事項ニ付テハ朝鮮人ノ外關係者ナキ場合ニ限リ民法施行法及商法施行法中民法及商法ノ施行前ニ生シタル事項ニ關スル規定ヲ準用シ其ノ規定ニ依リ舊法ヲ適用スヘキ場合ニ於テハ朝鮮ニ於ケル從來ノ例ニ依ル
第八十二條　削除
附則（大正十年十一月十日勅令第二百四號）
本令ハ大正十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前生シタル事項ニ付テハ民法施行法及商法施行法中無能力者、親權、後見及保佐人ニ關スル規定ヲ準用シ其ノ規定ニ依リ舊法ヲ適用スヘキ場合ニ於テハ朝鮮ニ於ケル從來ノ例ニ依ル
附則（大正十年十一月制令第十四號）
本令ハ大正十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前生シタル事項ニ付テハ民法施行法及商法施行法中無能力者、親權、後見及保佐人ニ關スル規定ヲ準用シ其ノ規定ニ依リ舊法ヲ適用スヘキ場合ニ於テハ朝鮮ニ於ケル從來ノ例ニ依ル
附則（大正十一年三月制令第一號）
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
朝鮮民事訴訟印紙令ハ之ヲ廢止ス
附則（大正十一年十二月制令第十三號）
本令施行前生シタル事項ニ付朝鮮總督之ヲ定ム
本令施行ノ期日ハ各條ニ付朝鮮總督之ヲ定ム

コト能ハサルモノナル場合ニ於テハ原裁判所ハ決定ヲ以テ之ヲ却下スルコトヲ得
前二項ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得
控訴狀却下ノ決定ニ對スル抗告狀ニハ其ノ控訴狀ヲ添附スヘシ
第四十八條　削除
第四十九條　削除
第五十條　民事訴訟法第四百十二條第三項ノ適用ニ付テハ大審院ハ高等法院ニ該當ス
第五十一條　第四十四條乃至第四十七條ノ規定ハ上告ニ之ヲ準用ス
第五十二條　削除
第五十三條　削除
第五十四條　削除
第五十五條　民事訴訟法第六百四十三條第一項第二號ノ證書ハ左ノ書面ノ一ヲ以テ之ニ充ツ
一　不動産證明簿ニ債務者ノ所有トシテ記載シアル不動産ニ付テハ證明官吏ノ認證シタル證明簿ノ抄本
二　不動産證明簿ニ記載シアラサル土地ニ付テハ稅務署長、建物ニ付テハ府尹又ハ郡守ニ於テ債務者ノ所有タルコトヲ證明シタル書面
同條第一項第三號及第四號ノ證書ハ左ノ書面ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
一　土地ニ付テハ稅務署長ニ於テ其ノ所在地名、地番號(字號、四標等)、種目、面積(反別、坪數又ハ斗落、卜數等)、價額及其ノ土地ニ付納ムヘキ一年ノ公課ヲ證明シタル書面
二　建物ニ付テハ府尹又ハ郡守ニ於テ其ノ所在地名、敷地番號、(字號、四標等)、戶番號、種類、構造、建坪、價額及其ノ建物ニ付納ムヘキ一年ノ公課ヲ證明シタル書面
前項ノ書面ニハ其ノ土地又ハ建物ノ圖面ヲ添附スヘシ
第五十六條　不動産ニ對スル强制執行ニ付テハ不動産證明簿ニ記載シアル典當權者ハ之ヲ登記簿ニ記入アル不動産上權利者ト看做ス
第五十七條　民事訴訟法第六百四十四條第一項ノ規定ニ依リ强制執行ヲ爲スニハ執行文ヲ要セス
第五十八條　執行文ハ債權者ノ申立ニ因リ裁判所書記之ヲ付與ス
第五十九條　執行文ハ債務名義ノ末尾ニ之ヲ附記スルモノトス
第六十條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ正本ヲ以テ之ヲ爲ス
第六十一條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第六十二條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第六十三條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第六十四條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第六十五條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第六十六條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第六十七條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第六十八條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第六十九條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第七十條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第七十一條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第七十二條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第七十三條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第七十四條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第七十五條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第七十六條　執行文ノ付與ハ債務名義ノ成立ノ後ニ生シタル事實ニ關スル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
第七十七條　本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第七十八條　左ノ法令ノ之ヲ廢止ス
一　明治四十二年勅令第二百三十八號
二　手形條例
三　民事訴訟規則
四　民事訴訟費用規則
五　民事訴訟費用規則
六　民事訴訟費用規則
七　陳情三年法律第十五號
八　非訟事件手續規則
第七十九條　本令施行前法令ニ依リ爲シタル裁判、命令、處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス
第八十條　本令施行前既ニ著手シタル强制執行ハ舊法ニ從ヒ之ヲ完結ス
第八十一條　本令施行前ニ生シタル事項ニ付テハ朝鮮人ノ外關係者ナキ場合ニ限リ民法施行法及商法施行法中民法及商法ノ施行前ニ生シタル事項ニ關スル規定ヲ準用シ其ノ規定ニ依リ舊法ヲ適用スヘキ場合ニ於テハ朝鮮ニ於ケル從來ノ例ニ依ル
第八十二條　削除
附則（大正十年十一月制令第十四號）
本令ハ大正十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前生シタル事項ニ付テハ民法施行法及商法施行法中無能力者、親權、後見及保佐人ニ關スル規定ヲ準用シ其ノ規定ニ依リ舊法ヲ適用スヘキ場合ニ於テハ朝鮮ニ於ケル從來ノ例ニ依ル
附則（大正十一年三月制令第一號）
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
朝鮮民事訴訟印紙令ハ之ヲ廢止ス
附則（大正十一年十二月制令第十三號）
本令施行前生シタル事項ニ付朝鮮總督之ヲ定ム
本令施行ノ期日ハ各條ニ付朝鮮總督之ヲ定ム

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

治三十一年六月勅令第百二十三號ヲ以テ明治三十一年七月十六日ヨリ施行）

明治二十三年法律第二十八號民法財産編財産取得編債權擔保編證據編ハ此法律發布ノ日ヨリ廢止ス

（別冊）

民法

第一編　總則

第一章　人

第一節　私權ノ享有

第二節　能力

第三節　住所

第四節　失踪

第二章　法人

第一節　法人ノ設立

第二節　法人ノ管理

第三節　法人ノ解散

第四節　罰則

第三章　物

第四章　法律行爲

第一節　總則

第二節　意思表示

第三節　代理

第四節　無效及ヒ取消

第五節　條件及ヒ期限

第六章　期間

第七章　時效

第一節　總則

第二節　取得時效

第三節　消滅時效

第二編　物權

第一章　總則

第二章　占有權

第一節　占有權ノ取得

第二節　占有權ノ效力

第三節　占有權ノ消滅

第四節　準占有

第三章　所有權

第一節　所有權ノ限界

第二節　所有權ノ取得

第三節　共有

第四章　地上權

第五章　永小作權

第六章　地役權

第七章　留置權

第八章　先取特權

第一節　總則

第二節　先取特權ノ種類

第一款　一般ノ先取特權

第二款　動產ノ先取特權

第三款　不動產ノ先取特權

第四節　先取特權ノ順位

第九章　質權

第一節　總則

第二節　動產質

第三節　不動產質

第四節　權利質

第十章　抵當權

第一節　總則

第二節　抵當權ノ效力

第三節　抵當權ノ消滅

第三編　債權

第一章　總則

第一節　債權ノ目的

第二節　債權ノ效力

第三節　多數當事者ノ債權

第一款　總則

第二款　不可分債務

第三款　連帶債務

第四款　保證債務

第四節　債權ノ讓渡

第五節　債權ノ消滅

第一款　辨濟

第二款　相殺

第三款　更改

第四款　免除

第五款　混同

第二章　契約

第一節　總則

第一款　契約ノ成立

第二款　契約ノ效力

第三款　契約ノ解除

第二節　贈與

第三節　賣買

第一款　總則

第二款　賣買ノ效力

第三款　買戻

第四節　交換

第五節　消費貸借

第六節　使用貸借

第七節　賃貸借

第一款　總則

第二款　賃貸借ノ效力

第三款　賃貸借ノ終了

第八節　雇傭

第九節　請負

第十節　委任

第十一節　寄託

第十二節　組合

第十三節　終身定期金

第十四節　和解

第三章　事務管理

第四章　不當利得

第五章　不法行爲

民法

第一編　總則

第一章　人

第一節　私權ノ享有

第一條　私權ノ享有ハ出生ニ始マル

第二條　外國人ハ法令又ハ條約ニ禁止アル場合ヲ除ク外私權ヲ享有ス

第二節　能力

第三條　滿二十年ヲ以テ成年トス

第四條　未成年者カ法律行爲ヲ爲スニハ其法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但單ニ權利ヲ得又ハ義務ヲ免ルヘキ行爲ニ在ラス

前項ノ規定ニ反スル行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得

第五條　法定代理人カ目的ヲ定メテ處分ヲ許シタル財産ハ其目的ノ範圍内ニ於テ未成年者隨意ニ之ヲ處分スルコトヲ得目的ヲ定メスシテ處分ヲ許シタル財産ヲ處分スル亦同シ

第六條　一種又ハ數種ノ營業ヲ許サレタル未成年者ハ其營業ニ關シテハ成年者ト同一ノ能力ヲ有ス

前項ノ場合ニ於テ未成年者カ未タ其營業ニ堪ヘサル事跡アルトキハ其法定代理人ハ親族會ノ規定ニ從ヒ其許可ヲ取消シ又ハ之ヲ制限スルコトヲ得

第七條　心神喪失ノ常況ニ在ル者ニ付テハ裁判所ハ本人、配偶者、四親等内ノ親族、戸主、後見人、保佐人又ハ檢事ノ請求ニ因リ禁治產ノ宣告ヲ爲スコトヲ得

第八條　禁治產者ハ之ヲ後見ニ付ス

第九條　禁治產者ノ行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得

第十條　禁治產ノ原因止ミタルトキハ裁判所ハ第七條ニ揭ケタル者ノ請求ニ因リ其宣告ヲ取消スコトヲ要ス

第十一條　心神耗弱者、聾者、唖者、盲者及ヒ浪費者ハ準禁治產者トツテ之ニ保佐人ヲ附スルコトヲ得

第十二條　準禁治產者カ左ニ揭ケタル行爲ヲ爲スニハ其保佐人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

一　元本ヲ領收シ又ハ之ヲ利用スルコト

二　借財又ハ保證ヲ爲スコト

三　不動產又ハ重要ナル動產ニ關スル權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲スコト

四　訴訟行爲ヲ爲スコト

五　贈與、和解又ハ仲裁契約ヲ爲スコト

六　相續ノ承認又ハ之ヲ拋棄スルコト

七　贈與若ハ遺贈ヲ拒絕シ又ハ負擔附ノ贈與若ハ遺贈ヲ受諾スルコト

八　新築、改築、增築又ハ大修繕ヲ爲スコト

九　第六百二條ニ定メタル期間ヲ超ユル賃借ヲ爲スコト

裁判所ハ場合ニ依リ準禁治產者カ前項ニ揭ケサル行爲ヲ爲スニモ亦其保佐人ノ同意アルコトヲ要スル旨ヲ宣告スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ反スル行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得

第十三條　第七條及ヒ第十條ノ規定ハ準禁治產ニ之ヲ準用ス

第十四條　妻カ左ニ揭ケタル行爲ヲ爲スニハ夫ノ許可ヲ要ス

成年者ハ其營業ニ關シテハ成年者ト同一ノ能力ヲ有ス

前項ノ場合ニ於テ未成年者カ未タ其營業ニ堪ヘサル事跡アルトキハ其法定代理人ハ親族會ノ規定ニ從ヒ其許可ヲ取消シ又ハ之ヲ制限スルコトヲ得

第七條　心神喪失ノ常況ニ在ル者ニ付テハ裁判所ハ本人、配偶者、四親等内ノ親族、戸主、後見人、保佐人又ハ檢事ノ請求ニ因リ禁治產ノ宣告ヲ爲スコトヲ得

第八條　禁治產者ハ之ヲ後見ニ付ス

第九條　禁治產者ノ行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得

第十條　禁治產ノ原因止ミタルトキハ裁判所ハ第七條ニ揭ケタル者ノ請求ニ因リ其宣告ヲ取消スコトヲ要ス

第十一條　心神耗弱者、聾者、唖者、盲者及ヒ浪費者ハ準禁治產者トツテ之ニ保佐人ヲ附スルコトヲ得

第十二條　準禁治產者カ左ニ揭ケタル行爲ヲ爲スニハ其保佐人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

一　元本ヲ領收シ又ハ之ヲ利用スルコト

二　借財又ハ保證ヲ爲スコト

三　不動產又ハ重要ナル動產ニ關スル權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲スコト

四　訴訟行爲ヲ爲スコト

五　贈與、和解又ハ仲裁契約ヲ爲スコト

六　相續ノ承認又ハ之ヲ拋棄スルコト

七　贈與若ハ遺贈ヲ拒絕シ又ハ負擔附ノ贈與若ハ遺贈ヲ受諾スルコト

八　新築、改築、增築又ハ大修繕ヲ爲スコト

九　第六百二條ニ定メタル期間ヲ超ユル賃借ヲ爲スコト

裁判所ハ場合ニ依リ準禁治產者カ前項ニ揭ケサル行爲ヲ爲スニモ亦其保佐人ノ同意アルコトヲ要スル旨ヲ宣告スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ反スル行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得

第十三條　第七條及ヒ第十條ノ規定ハ準禁治產ニ之ヲ準用ス

第十四條　妻カ左ニ揭ケタル行爲ヲ爲スニハ夫ノ許可ヲ要ス

一　第十二條第一項第一號乃至第六號ニ揭ケタル行爲ヲ爲スコト

二　贈與若クハ遺贈ヲ受諾シ又ハ之ヲ拒絕スルコト

三　身體ニ羈絆ヲ受クヘキ契約ヲ爲スコト

前項ノ規定ニ反スル行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得

第十五條　一種又ハ數種ノ營業ヲ許サレタル妻ハ其營業ニ關シテハ獨立人同一ノ能力ヲ有ス

第十六條　夫ハ其與ヘタル許可ヲ取消シ又ハ之ヲ制限スルコトヲ得但其取消又ハ制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十七條　左ノ場合ニ於テハ妻ハ夫ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス

一　夫ノ生死分明ナラサルトキ

二　夫カ妻ヲ遺棄シタルトキ

三　夫カ禁治產者又ハ準禁治產者ナルトキ

四　夫カ嬰癡ノ爲メ病院又ハ私宅ニ監置セラルルトキ

五　夫カ禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ其刑ノ執行中ニ在ルトキ

六　夫婦ノ利益相反スルトキ

第十八條　夫カ未成年者ナルトキハ第四條ノ規定ニ依ルニ非サレハ妻ノ行爲ヲ許可スルコトヲ得ス

無能力者ノ相手方ハ其無能力者カ能力者ト爲リタル後之ニ對シテ一个月以上ノ期間内ニ其取消シ得ヘキ行爲ヲ追認スルヤ否ヤヲ確答スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得若シ無能力者カ其期間内ニ確答ヲ發セサルトキハ其行爲ヲ追認シタルモノト看做ス

無能力者カ未タ能力者トナラサル時ニ於テ夫又ハ法定代理人ニ對シ前項ノ催告ヲ爲スモ其期間内ニ確答ヲ發セサルトキ亦同シ但法定代理人ニ對シテハ其權限内ノ行爲ニ付テノミ此催告ヲ要スルコトヲ得

特別ノ方式ヲ要スル行爲ニ付テハ右ノ期間内ニ其方式ヲ具フルモノト看做ス

第十九條　無能力者ノ相手方ハ其無能力者カ能力者トナリタル後ハ本人ニ對シテモ催告ヲ爲スコトヲ得

第二十條　無能力者ノ相手方カ詐術ヲ用ヰタルトキハ其行爲ヲ取消スコトヲ得ス

第二十一條　各人ノ生活ノ本據ヲ以テ其住所トス

第二十二條　住所ノ知レサル場合ニ於テハ居所ヲ以テ住所ト看做ス

第二十三條　日本ニ住所ヲ有セサル者ハ其日本人タルト外國人タルトヲ問ハス日本ニ於ケル居所ヲ以テ其住所ト看做ス但法例ノ定ムル所ニ從ヒ其住所ノ法律ニ依ルヘキ場合ハ此限ニ在ラス

第二十四條　或行爲ニ付キ假住所ヲ選定シタルトキハ其行爲ニ關シテハ之ヲ住所ト看做ス

第四節　失踪

第二十五條　從來ノ住所又ハ居所ヲ去リタル者カ其財產ノ管理人ヲ置カサリシトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ其財產ノ管理ニ付キ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得本人ノ不在中管理人ノ權限カ消滅シタルトキ亦同シ

本人カ後日ニ至リ管理人ヲ置キタルトキハ裁判所ハ其管理人、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ其命令ヲ取消スコトヲ要ス

第二十六條　不在者カ管理人ヲ置キタル場合ニ於テ其不在者カ生死分明ナラサルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ財產ノ管理ニ付キ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得本人ノ不在中管理人ノ權限カ消滅シタルトキ亦同シ

本人カ後日ニ至リ管理人ヲ置キタルトキハ裁判所ハ其管理人、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ其命令ヲ取消スコトヲ要ス

第二十七條　前二條ノ規定ニ依リ裁判所ニ於テ選任シタル管理人ハ其管理スヘキ財產ノ目錄ヲ調製スルコトヲ要ス但其費用ハ不在者ノ財產ヲ以テ之ヲ支辨ス

不在者ノ生死分明ナラサル場合ニ於テ利害關係人又ハ檢事ノ請求アルトキハ裁判所ハ不在者カ置キタル管理人ニモ前項ノ手續ヲ命スルコトヲ得

第二十八條　管理人カ第百三條ニ定メタル權限ヲ超ユル行爲ヲ必要トスルトキハ裁判所ノ許可ヲ得テ之ヲ爲スコトヲ得不在者ノ生死分明ナラサル場合ニ於テ其管理人カ不在者ノ定メ置キタル權限ヲ超ユル行爲ヲ必要トスルトキ亦同シ

第二十九條　裁判所ハ管理人ヲシテ財產ノ管理及ヒ返還ニ付キ相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得

裁判所ハ管理人ト不在者トノ關係其他ノ事情ニ依リ不在者ノ財產中ヨリ相當ノ報酬ヲ管理人ニ與フルコトヲ得

第三十條　不在者ノ生死カ七年間分明ナラルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ失踪ノ宣告ヲ爲スコトヲ得

戰地ニ臨ミタル者、沈沒シタル船舶中ニ在リタル者其他死亡ノ原因タルヘキ危難ニ遭遇シタル者ノ生死カ戰爭止ミタル後、船舶ノ沈沒シタル後又ハ其他ノ危難ノ去リタル後三年間分明ナラサルトキ亦同シ

第三十一條　失踪者ノ生存シタルコト又ハ死亡シタルコトノ證明アルトキハ裁判所ハ本人又ハ利害關係人ノ請求ニ因リ失踪ノ宣告ヲ取消スコトヲ要ス但失踪ノ宣告後其取消前ニ善意ヲ以テ爲シタル行爲ハ其效力ヲ變セス

失踪ノ宣告ニ因リテ財產ヲ得タル者ハ其取消ニ因リテ權利ヲ失フモ現ニ利益ヲ受クル限度ニ於テノミ其財產ヲ返還スル義務ヲ負フ

第二章　法人

第一節　法人ノ設立

第三十三條　法人ハ本法其他ノ法律ノ規定ニ依ルニ非サレハ成立スルコトヲ得ス

第三十四條　祭祀、宗教、慈善、學術、技藝其他公益ニ關スル社團又ハ財團ニシテ營利ヲ目

第四十二條　生前處分ヲ以テ寄附行爲ヲ爲シタルトキハ寄附財産ハ法人設立ノ許可アリタルトキヨリ法人ノ財産ト組成ス

遺言ヲ以テ寄附行爲ヲ爲シタルトキハ寄附財産ハ遺言カ效力ヲ生シタル時ヨリ法人ニ歸屬シタルモノト看做ス

第四十三條　法人ハ法令ノ規定ニ從ヒ定款又ハ寄附行爲ニ因リテ定マリタル目的ノ範圍內ニ於テ權利ヲ有シ義務ヲ負フ

第四十四條　法人ハ理事其他ノ代理人カ其職務ヲ行フニ付キ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

法人ノ目的ノ範圍內ニ在ラサル行爲ニ因リテ他人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其事項ノ議決ヲ贊成シタル社員、理事及ヒ之ヲ履行シタル理事其他ノ代理人連帶シテ其賠償ノ責ニ任ス

第四十五條　法人ハ其設立ノ日ヨリ二週間內ニ各事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スコトヲ要ス

法人ノ設立ハ其主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十六條　登記スヘキ事項左ノ如シ

一　名稱

二　事務所

三　設立許可ノ年月日

四　存立時期ヲ定メタルトキハ其時期

五　資產ノ總額

六　出資ノ方法ヲ定メタルトキハ其方法

七　理事ノ氏名、住所

前項ニ揭ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ一週間內ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス登記前ニ在リテハ其變更ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十七條　第四十五條第一項及ヒ前條ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニシテ官廳ノ許可ヲ要スルモノハ其許可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第四十八條　法人カ其事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ一週間內ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ同期間內ニ第四十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

同一ノ登記所ノ管轄區域內ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其移轉ノミノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十九條　第四十五條第三項、第四十六條及ヒ前條ノ規定ハ外國法人カ日本ニ事務所ヲ設ケル場合ニモ亦之ヲ適用ス但外國ニ於テ生シタル事項ニ付テハ其通知ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

外國法人カ始メテ日本ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スマテハ他人ハ其法人ノ成立ヲ否認スルコトヲ得

第五十條　法人ノ住所ハ其主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第五十一條　法人ハ設立ノ時及ヒ每年初ノ三个月內ニ財產目錄ヲ作リ常ニ之ヲ事務所ニ備ヘ置クコトヲ要ス但特ニ事業年度ヲ設ケルモノハ設立ノ時及ヒ其年度ノ終ニ於テ之ヲ作ルコトヲ要ス

社團法人ハ社員名簿ヲ備ヘ置キ社員ノ變更每ニ之ヲ訂正スルコトヲ要ス

第五十二條　法人ニハ一人又ハ數人ノ理事ヲ置クコトヲ要ス

理事數人アル場合ニ於テ定款又ハ寄附行爲ニ別段ノ定ナキトキハ法人ノ事務ノ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五十三條　理事ハ總テ法人ノ事務ニ付キ法人ヲ代表ス但定款ノ規定又ハ寄附行爲ノ趣旨ニ違反スルコトヲ得ス又社團法人ニ在リテハ總會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

第五十四條　理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十五條　理事ノ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレサルトキニ限リ特定ノ行爲ノ代理ヲ他人ニ委任スルコトヲ得

第五十六條　理事ノ缺ケタル場合ニ於テ遲滯ノ爲メ損害ヲ生スルノ虞アルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ假理事ヲ選任ス

第五十七條　法人ト理事トノ利益相反スル事項ニ付テハ理事ハ代理權ヲ有セス此場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依リテ特別代理人ヲ選任スルコトヲ要ス

第五十八條　法人ニハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ヲ以テ一人又ハ數人ノ監事ヲ置クコトヲ得

第五十九條　監事ノ職務左ノ如シ

一　法人ノ財產ノ狀況ヲ監査スルコト

二　理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト

三　財產ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付キ不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ主務官廳ニ報告スルコト

四　前號ノ報告ヲ爲スカ爲メ必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト

第六十條　社團法人ノ理事ハ少クトモ每年一回社員ノ通常總會ヲ開クコトヲ要ス

第六十一條　社團法人ノ理事ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

總社員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ請求ヲ爲シタルトキハ理事ハ臨時總會ヲ招集スルコトヲ要ス但此定數ハ定款ヲ以テ之ヲ增減スルコトヲ得

第六十二條　總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ其會議ノ目的タル事項ヲ示シ定款ニ定メタル方法ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十三條　社團法人ノ理事ハ定款ヲ以テ理事其他ノ役員ニ委任シタルモノヲ除ク外總會ノ決議ニ依リテ之ヲ行フ

第六十四條　總會ニ於テハ第六十二條ノ規定ニ依リテ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スコトヲ得但定款ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第六十五條　各社員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

總會ニ出席セサル社員ハ書面ヲ以テ表決ヲ

爲シ又ハ代理人ヲ出ダスコトヲ得

前二項ノ規定ハ定款ニ別段ノ定アル場合ニハ之ヲ適用セス

第六十六條　社團法人ト或社員トノ關係ニ付キ議決ヲ爲ス場合ニ於テハ其社員ハ表決權ヲ有セス

第六十七條　社團法人ハ總社員ノ四分ノ三以上ノ承諾アルニ非サレハ解散ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス但定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條　法人ノ業務ハ主務官廳ノ監督ニ屬ス

主務官廳ハ何時ニテモ職權ヲ以テ法人ノ業務及ヒ財產ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

第三節　法人ノ解散

第六十八條　法人ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一　定款又ハ寄附行爲ヲ以テ定メタル解散事由ノ發生

二　法人ノ目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能

三　設立許可ノ取消

四　社團法人ハ前項ニ揭ケタル場合ノ外左ノ事由ニ因リテ解散ス

一　總會ノ決議

二　社員ノ缺亡

第六十九條　社團法人ハ總社員ノ四分ノ三以上ノ承諾アルニ非サレハ解散ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス但定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十條　法人カ其債務ヲ完濟スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ理事若クハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破產ノ宣告ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ理事ハ直チニ破產宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第七十一條　法人カ其目的以外ノ事業ヲ爲シ又ハ設立ノ許可ヲ得ル條件ニ違反シ其他公益ヲ害スヘキ行爲ヲ爲シタルトキハ主務官廳ハ其許可ヲ取消スコトヲ得

第七十二條　解散シタル法人ノ財產ハ定款又ハ寄附行爲ヲ以テ指定シタル人ニ歸屬ス

定款又ハ寄附行爲ヲ以テ歸屬權利者ヲ指定セス又ハ之ヲ指定スル方法ヲ定メサリシトキハ理事ハ主務官廳ノ許可ヲ得テ其法人ノ目的ニ類似セル目的ノ爲メニ其財產ヲ處分スルコトヲ得但社團法人ニ在リテハ總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

前項ノ歸屬權利者ノ指定ニ關シ異議アルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ之ヲ選任ス

第七十三條　解散シタル法人ハ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テノミ其清算ノ結了ニ至ルマテ尙ホ存續スルモノト看做ス

第七十四條　法人カ解散シタルトキハ破產ノ場合ヲ除ク外理事其清算人ヲ爲ス但定款若クハ寄附行爲ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第七十五條　前條ノ規定ニ依リテ清算人タルヘキ者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタル場合ニ於テ必要アルトキハ裁判所ハ利害關係人若クハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十六條　重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人若クハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十七條　清算人ハ破產ノ場合ヲ除ク外解散後一週間內ニ其氏名、住所及ヒ解散ノ原因、年月日ノ登記ヲ爲シ又何レノ場合ニ於テモ之ヲ主務官廳ニ屆出ツルコトヲ要ス

清算中ニ就職シタル清算人ハ就職後一週間內ニ其氏名、住所ノ登記ヲ爲シ且ツ之ヲ主務官廳ニ屆出ツルコトヲ要ス

第七十八條　清算人ノ職務左ノ如シ

一　現務ノ結了

二　債權ノ取立及ヒ債務ノ辨濟

三　殘餘財產ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第七十九條　清算人ハ其就職ノ日ヨリ二个月內ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間內ニ其申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二个月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間內ニ申出ヲ爲ササルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥スヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ要ス

第八十條　前條ノ期間後ニ申出タル債權者ハ法人ノ債務完濟ノ後未タ歸屬權利者ニ引渡ササル財產ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十一條　清算中ニ法人ノ財產カ其債務ヲ完濟スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ハ直チニ破產宣告ノ請求ヲ爲シテ其旨ヲ公告スルコトヲ要ス

清算人ハ破產管財人ニ其事務ヲ引渡シタルトキハ其任ヲ終ハリタルモノトス

本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破產管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第八十二條　法人ノ解散及ヒ清算ハ裁判所ノ監督ニ屬ス

裁判所ハ何時ニテモ職權ヲ以テ前項ノ監督ニ必要ナル檢査ヲ爲スコトヲ得

第八十三條　清算カ結了シタルトキハ清算人ハ之ヲ主務官廳ニ屆出ツルコトヲ要ス

第四節　罰則

第八十四條　法人ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上二百圓以下ノ過料ニ處セラル

一　本章ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

二　第五十一條ノ規定ニ違反シ又ハ財產目錄若クハ社員名簿ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

三　殘餘財產ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第七十九條　清算人ハ其就職ノ日ヨリ二个月內ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間內ニ其申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二个月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間內ニ申出ヲ爲ササルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥スヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ要ス

四　官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ實ヲ隱蔽シタルトキ

五　第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ反シ破產宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

六　第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

第三章　物

第八十五條　本法ニ於テ物トハ有體物ヲ謂フ

第八十六條　土地及ヒ其定著物ハ之ヲ不動產

トス

此他ノ物ハ總テ之ヲ動產トス

無記名債權ハ之ヲ動產ト看做ス

第八十七條　物ノ所有者カ其物ノ常用ニ供スル爲メ自己ノ所有ニ屬スル他ノ物ヲ以テ之ニ附屬セシメタルトキハ其附屬セシメタル物ヲ從物トス

從物ハ主物ノ處分ニ隨フ

第八十八條　天然果實ハ其元物ヨリ分離スル時ニ之ヲ收取スル權利ヲ有スル者ニ屬ス

法定果實ハ之ヲ收取スル權利ノ存續期間日割ヲ以テ之ヲ取得ス

第四章　法律行爲

第一節　總則

第八十九條　公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル事項ヲ目的トスル法律行爲ハ無效トス

第九十條　法律行爲ノ當事者カ法令中ノ公ノ秩序ニ關セサル規定ニ異ナリタル意思ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フ

第九十一條　法令中ノ公ノ秩序ニ關セサル規定ニ異ナリタル慣習ノ場合ニ於テ法律行爲ノ當事者カ之ニ依ル意思ヲ有セルモノト認ムヘキトキハ其慣習ニ從フ

第二節　意思表示

第九十二條　意思表示ニ表意者カ其眞意ニ非サルコトヲ知リテ之ヲ爲シタル場合ニ於テ其效力ニ關シ法令ニ特別ノ規定アルトキハ其規定ニ從フ外表意者ノ眞意ヲ知リ又ハ之ヲ知リ得ヘカリシトキハ其意思表示ハ無效トス

第九十三條　意思表示ハ表意者カ其眞意ニ非サルコトヲ知リテ之ヲ爲シタル場合ニ於テ相手方カ通シテ爲シタル虛僞ノ意思表示ハ無效トス

前項ノ意思表示ノ無效ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九十四條　意思表示ハ法律行爲ノ要素ニ錯誤アリタルトキハ無效トス但表意者ニ重大ナル過失アリタルトキハ表意者自ラ其無效ヲ主張スルコトヲ得ス

第九十五條　詐欺又ハ强迫ニ因ル意思表示ハ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第百三條　權限ノ定ナキ代理人ハ左ノ行爲ノミヲ爲ス權限ヲ有ス

一　保存行爲

二　代理ノ目的タル物又ハ權利ノ性質ヲ變セサル範圍内ニ於テ其利用又ハ改良ヲ目的トスル行爲

第百四條　委任ニ因ル代理人ハ本人ノ許諾ヲ得タルトキ又ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキニ非サレハ復代理人ヲ選任スルコトヲ得ス

第百五條　代理人カ前條ノ場合ニ於テ復代理人ヲ選任シタルトキハ選任及ヒ監督ニ付キ本人ニ對シテ其責ニ任ス

代理人カ本人ノ指名ニ從ヒテ復代理人ヲ選任シタルトキハ其不適任又ハ不誠實ナルコトヲ知リテ之ヲ本人ニ通知又ハ之ヲ解任スルコトヲ怠リタルニ非サレハ其責ニ任セス

第百六條　法定代理人ハ其責任ヲ以テ復代理人ヲ選任スルコトヲ得但已ムコトヲ得サル事由アリタルトキハ前條第一項ニ定メタル責任ノミヲ負フ

第百七條　復代理人ハ其權限内ノ行爲ニ付キ本人ヲ代表ス

復代理人ハ本人及ヒ第三者ニ對シテ代理人ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第百八條　何人ト雖モ同一ノ法律行爲ニ付キ共相手方ノ代理人ト爲ルコトヲ得ス但依務ノ履行ニ付テハ此限ニ在ラス

第百九條　第三者ニ對シテ他人ニ代理權ヲ與ヘタル旨ヲ表示シタル者ハ其代理權ノ範圍内ニ於テ其他人ト雖モ第三者ト間ニ爲シタル行爲ニ付キ其責ニ任ス

第百十條　代理人カ其權限外ノ行爲ヲ爲シタル場合ニ於テ第三者カ其權限ヲアリト信スヘキ正當ノ理由ヲ有セシトキハ前條ノ規定ヲ準用ス

第百十一條　代理權ハ左ノ事由ニ因リテ消滅ス

一　本人ノ死亡

二　代理人ノ死亡、禁治産又ハ破産

第百十二條　代理權ノ消滅ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス但第三者カ過失ニ因リテ其事實ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラス

第百十三條　代理權ヲ有セサル者カ他人ノ代理人トシテ爲シタル契約ハ本人カ其追認ヲ爲スニ非サレハ之ニ對シテ其效力ヲ生セス

追認又ハ其拒絶ハ相手方ニ對シテ之ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ其相手方ニ對抗スルコトヲ得ス但相手方カ其事實ヲ知リタルトキハ此限ニ在ラス

第百十四條　前條ノ場合ニ於テ相手方ハ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ追認ヲ爲スヤ否ヤヲ確答スヘキ旨ヲ本人ニ催告スルコトヲ得若シ本人カ其期間内ニ確答ヲ爲ササルトキハ追認ヲ拒絶シタルモノト看做ス

第百十五條　代理權ヲ有セサル者ノ爲シタル契約ハ本人ノ追認アルニ非サレハ相手方ニ於テ之ヲ取消スコトヲ得但契約ノ當時相手方カ代理權アルコトヲ知リタルトキハ此限ニ在ラス

第百十六條　追認ハ別段ノ意思表示アルトキハ契約ノ時ニ遡リテ其效力ヲ生ス但第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス

第百十七條　他人ノ代理人トシテ契約ヲ爲シタル者カ代理權ヲ證明スルコト能ハス且本人ノ追認ヲ得サリシトキハ相手方ノ擇ミニ從ヒ之ニ對シテ履行又ハ損害賠償ノ責ニ任ス

前項ノ規定ハ相手方カ代理權アルコトヲ知リタルトキ若クハ過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキハ相手方ノ擇ミニ從ヒ之ニ對シテ契約ヲ爲シタル者カ其能力ヲ有セサリシトキハ之ヲ適用セス

第百十八條　單獨行爲ニ付テハ其行爲ノ當時相手方カ代理人ト稱スル者ノ代理權ナクシテ之ヲ爲スコトニ同意シ又ハ其代理權ヲ爭ハサリシトキニ限リ前五條ノ規定ヲ準用ス代理權ヲ有セサル者ニ對シ其同意ヲ得テ單獨行爲ヲ爲シタルトキ亦同シ

第四節　無效及ヒ取消

第百十九條　無效ノ行爲ハ追認ニ因リテ其效力ヲ生セス但當事者カ其無效ナルコトヲ知リテ追認ヲ爲シタルトキハ新タナル行爲ヲ爲シタルモノト看做ス

第百二十條　取消シ得ヘキ行爲ハ無能力者若クハ瑕疵アル意思表示ヲ爲シタル者、其代理人又ハ承繼人ニ限リ之ヲ取消スコトヲ得

妻カ夫ノ同意ヲ得スシテ爲シタル行爲ハ夫モ亦之ヲ取消スコトヲ得

第百二十一條　取消シタル行爲ハ初ヨリ無效ナリシモノト看做ス但無能力者ハ其行爲ニ因リテ現ニ利益ヲ受ケル限度ニ於テ償還ノ義務ヲ負フ

第百二十二條　取消シ得ヘキ行爲ハ第百二十條ニ揭ケタル者カ之ヲ追認シタルトキハ初ヨリ有效ナリシモノト看做ス但第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス

第百二十三條　取消シ得ヘキ行爲ハ相手方カ確定セル場合ニ於テ其取消又ハ追認ハ相手方ニ對スル意思表示ニ依リテ之ヲ爲ス

第百二十四條　追認ハ取消ノ原因タル情況ノ止ミタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

禁治産者カ能力ヲ回復シタル後其行爲ヲ了知シタルトキハ其ノ追認ヲ爲スコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ夫又ハ法定代理人カ追認ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス

第百二十五條　前條ノ規定ハ第百二十條ニ揭ケタル者カ之ヲ追認シタルトキハ初ヨリ有效ナリシモノト看做ス但異議ヲ留メタルトキハ此限ニ在ラス

一　全部又ハ一部ノ履行

二　履行ノ請求

三　更改

四　擔保ノ供與

五　取消シ得ヘキ行爲ニ因リテ取消シタル權利ノ全部又ハ一部ノ讓渡

六　强制執行

第百二十六條　取消權ハ追認ヲ爲スコトヲ得ル時ヨリ五年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅ス行爲ノ時ヨリ二十年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第五節　條件及ヒ期限

第百二十七條　停止條件附法律行爲ハ條件成就ノ時ヨリ其效力ヲ生ス

解除條件附法律行爲ハ條件成就ノ時ヨリ其效力ヲ失フ

當事者カ條件成就ノ效果ヲ其成就以前ニ遡ラシムル意思ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フ

第百二十八條　條件附法律行爲ノ各當事者ハ條件ノ成否未定ノ間ニ於テ條件ノ成就ニ因リ共行爲ヨリ生スヘキ相手方ノ利益ヲ害スルコトヲ得ス

第百二十九條　條件ノ成否未定ノ間ニ於ケル當事者ノ權利義務ハ一般ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分、相續、保存又ハ擔保スルコトヲ得

第百三十條　條件ノ成就ニ因リテ不利益ヲ受クヘキ當事者カ故意ニ其條件ノ成就ヲ妨ケタルトキハ相手方ハ其條件ヲ成就シタルモノト看做スコトヲ得

第百三十一條　條件カ法律行爲ノ當時既ニ成就セル場合ニ於テ其條件カ停止條件ナルトキハ其法律行爲ハ無條件トシ解除條件ナルトキハ無效トス

條件ノ不成就カ法律行爲ノ當時既ニ確定セル場合ニ於テ其條件カ停止條件ナルトキハ其法律行爲ハ無效トシ解除條件ナルトキハ無條件トス

第百三十二條　條件カ法律行爲ノ當時既ニ成就シ又ハ不成就ナリシ場合ニ於テ當事者カ條件ノ成就又ハ不成就ヲ知ラサル間ハ第百二十八條及ヒ第百三十九條ノ規定ヲ準用ス

第百三十三條　條件ノ成否未定ノ間ニ於ケル各當事者ノ權利ハ相續人ノ間ニ於テモ亦同シ

第百三十四條　差押、假差押及ヒ假處分ハ權利者ノ請求ニ因リ又ハ法律ノ規定ニ從ハサレハ其效力ヲ生セス

第百三十五條　差押、假差押及ヒ假處分ハ時效ノ利益ヲ受クル者ニ對シテ之ヲ爲ササルトキハ時效中斷ノ效力ヲ生セス

第百三十六條　時效中斷ノ效力ヲ生スヘキ承認ヲ爲スニハ相手方ノ權利ニ付キ處分ノ能力又ハ權限アルコトヲ要セス

第百三十七條　時效中斷ノ效力ハ其中斷ノ事由ノ終了シタル時ヨリ更ニ其進行ヲ始ム

裁判上ノ請求ニ因リテ中斷シタル時效ハ裁判ノ確定シタル時ヨリ更ニ其進行ヲ始ム

第百三十八條　時效ノ期間滿了前六箇月内ニ於テ未成年者又ハ禁治産者カ法定代理人ヲ有セサリシトキハ其者カ能力者ト爲リ又ハ法定代理人カ就職シタル時ヨリ六箇月内ハ時效ノ之ニ對シテ時效完成セス

第百五十九條　無能力者カ其財產ヲ管理スル父、母又ハ後見人ニ對シテ有スル權利ニ付テハ其者カ能力者ト爲リ又ハ後任ノ法定代理人カ就職シタル時ヨリ六箇月内ハ時效完成セス

第百六十條　相續財產ニ關シテハ相續人ノ確定シ、管理人ノ選任セラレ又ハ破產ノ宣告アリタル時ヨリ六箇月内ハ時效完成セス

第百六十一條　時效ノ期間滿了ノ時ニ當タリ天災其他避クヘカラサル事變ノ爲メ時效ヲ中斷スルコト能ハサルトキハ其妨碍ノ止ミタル時ヨリ二週間内ハ時效完成セス

第二節　取得時效

第百六十二條　二十年間所有ノ意思ヲ以テ平穩且公然ニ他人ノ物ヲ占有シタル者ハ其所有權ヲ取得ス

十年間所有ノ意思ヲ以テ平穩且公然ニ他人ノ不動產ヲ占有シタル者カ其占有ノ始善意ニシテ且過失ナカリシトキハ其不動產ノ所有權ヲ取得ス

第百六十三條　所有權以外ノ財產權ヲ自己ノ爲メニスル意思ヲ以テ平穩且公然ニ行使スルニ因リテ取消サレタルトキハ時效中斷ノ效力ヲ生セス

第百六十四條　第百六十二條ノ時效ハ占有者カ任意ニ其占有ヲ中止シ又ハ他人ノ爲メニ後其權利ヲ取得ス

第百六十五條　前條ノ規定ハ第百六十三條ノ時效ニ之ヲ準用ス

第三節　消滅時效

第百六十六條　債權ハ權利ヲ行使スルコトヲ得ル時ヨリ二十年間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス

債權又ハ所有權ニ非サル財產權ヲ目的トスル權利ハ二十年間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス

第百六十七條　人ノ終身ノ間其存否ノ知レサル者ニ對スル權利ハ其人ノ死亡シタル時ヨリ三年間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス

第百六十八條　定期金ノ債權ハ最後ノ辨濟期ヨリ二十年間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス

第百六十九條　定期金ノ債權ハ最後ノ辨濟期ヨリ十年間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス

第百七十條　左ニ掲ケタル債權ハ三年間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス

一　債務者カ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキ

二　債務者カ擔保ヲ毀滅シ又ハ之ヲ減少シタルトキ

三　債務者カ擔保ヲ供スル義務ヲ負フ場合ニ於テ之ヲ供セサルトキ

第五章　期間

第百七十一條　期間ノ計算法ハ法令、裁判上ノ命令又ハ法律行爲ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外本章ノ規定ニ從フ

第百七十二條　期間ヲ定ムルニ時ヲ以テシタルトキハ即時ヨリ之ヲ起算ス

第百七十三條　期間ヲ定ムルニ日、週、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ期間ノ初日ハ之ヲ算入セス但其期間カ午前零時ヨリ始マルトキハ此限ニ在ラス

第百七十四條　前條ノ場合ニ於テハ期間ノ末日ノ移了ヲ以テ期間ノ滿了トス

第百七十五條　期間ノ末日カ大祭日、日曜日其他ノ休日ニ當タルトキハ其日ニ取引ヲ爲ササル慣習アル場合ニ限リ期間ハ其翌日ヲ以テ滿了ス

第百七十六條　期間ヲ定ムルニ週、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ曆ニ從ヒテ之ヲ算ス

週、月又ハ年ノ始ヨリ期間ヲ起算セサルトキハ其期間ハ最後ノ週、月又ハ年ニ於テ其起算日ニ應當スル日ノ前日ヲ以テ滿了ス但月又ハ年ヲ以テ期間ヲ定メタル場合ニ於テ最後ノ月ニ應當日ナキトキハ其月ノ末日ヲ以テ滿期日トス

第六章　時效

第百六十六條　消滅時效ハ權利ヲ行使スルコトヲ得ル時ヨリ進行ス

前項ノ規定ハ始期附又ハ停止條件附權利ノ目的物ヲ占有スル第三者ノ爲メニ其占有ノ時ヨリ取得時效ノ進行スルコトヲ妨ケス但權利者ハ其時效ヲ中斷スル爲メ何時ニテモ其占有者ノ承認ヲ求ムルコトヲ得

第百六十七條　債權ハ十年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

債權又ハ所有權ニ非サル財產權ハ二十年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第百六十八條　定期金ノ債權ハ第一回ノ辨濟期ヨリ二十年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス最後ノ辨濟期ヨリ十年間之ヲ行ハサルトキ亦同シ

定期金ノ債權者ハ時效中斷ノ證ヲ得ル爲メ何時ニテモ其債務者ノ承認書ヲ求ムルコトヲ得

第百六十九條　年又ハ之ヨリ短キ時期ヲ以テ定メタル金錢其他ノ物ノ給付ヲ目的トスル債權ハ五年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第百七十條　左ニ揭ケタル債權ハ三年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

一　醫師、產婆及ヒ藥劑師ノ治術、勤勞及ヒ調劑ニ關スル債權

二　技師、棟梁及ヒ請負人ノ工事ニ關スル債權但此時效ハ其負擔シタル工事終了ノ時ヨリ之ヲ起算ス

第百七十一條　辯護士ハ事件終了ノ時ヨリ公證人及ヒ執達吏ハ其職務執行ノ時ヨリ三年ヲ經過シタルトキハ其費ヲ免ル

第百七十二條　辯護士、公證人及ヒ執達吏ノ職務ニ關スル債權ハ其原因タル事件終了ノ時ヨリ二年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス但其事件中ノ各事項終了ノ時ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ右ノ期間內ト雖モ其事項ニ關スル債權ハ消滅ス

第百七十三條　左ニ揭ケタル債權ハ二年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

一　生產者、卸賣商人及ヒ小賣商人カ賣却シタル產物及ヒ商品ノ代價

二　屠獸人及ヒ製造人ノ仕事ニ關スル債權

三　生徒及ヒ習業者ノ教育、衣食及ヒ止宿ノ代料ニ關スル校主、塾主、教師及ヒ師匠ノ債權

第百七十四條　左ニ揭ケタル債權ハ一年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

一　月又ハ之ヨリ短キ時期ヲ以テ定メタル雇人ノ給料

二　勞力者及ヒ技人ノ賃金竝ニ其供給シタル物ノ代價

三　運送賃

四　旅店、料理店、貸席及ヒ娛遊場ノ宿泊料、飮食料、席料、木戶錢、消費物代價竝ニ立替金

五　動產ノ損料

第二編　物權

第一章　總則

第百七十五條　物權ハ本法其他ノ法律ニ定ムルモノノ外之ヲ創設スルコトヲ得ス

第百七十六條　物權ノ設定及ヒ移轉ハ當事者ノ意思表示ノミニ因リテ其效力ヲ生ス

第百七十七條　不動產ニ關スル物權ノ得喪及ヒ變更ハ登記法ノ定ムル所ニ從ヒ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百七十八條　動產ニ關スル物權ノ讓渡ハ其動產ノ引渡アルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百七十九條　同一物ニ付キ所有權及ヒ他ノ物權カ同一人ニ歸シタルトキハ其物權ハ消滅ス但其物又ハ其物權カ第三者ノ權利ノ目的タルトキハ此限ニ在ラス

所有權以外ノ物權及ヒ之ヲ目的トスル他ノ權利カ同一人ニ歸シタルトキハ其權利ハ消滅ス此場合ニ於テハ前項但書ノ規定ヲ準用ス

前二項ノ規定ハ占有權ニハ之ヲ適用セス

第二章　占有權

第一節　占有權ノ取得

第百八十條　占有權ハ自己ノ爲メニスル意思ヲ以テ物ヲ所持スルニ因リテ之ヲ取得ス

第百八十一條　占有權ハ代理人ニ依リテモ之ヲ取得スル場合ニ之ヲ準用ス

第百八十二條　占有權ノ讓渡ハ占有物ノ引渡ニ依リテ之ヲ爲ス

讓受人又ハ其代理人カ現ニ占有物ヲ所持スル場合ニ於テハ占有權ノ讓渡ハ當事者ノ意思表示ノミニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得

第百八十三條　代理人カ自己ノ占有物ヲ爾後本人ノ爲メニ占有スヘキ意思ヲ表示シタルトキハ本人ノ爲メニ占有權ヲ取得ス

第百八十四條　代理人カ現ニ占有ヲ爲ス場合ニ於テ本人カ其代理人ニ對シ爾後第三者ノ爲メニ其物ヲ占有スヘキ旨ヲ命シ第三者之ヲ承諾シタルトキハ其第三者ハ占有權ヲ取得ス

第百八十五條　權原ノ性質上占有者ニ所有ノ意思アリトモノトスル場合ニ於テハ其占有者カ自己ニ占有ヲ爲サシメタル者ニ對シ所有更ニ所有ノ意思アルコトヲ表示シ又ハ新權原ニ因リレハ占有ハ其性質ヲ變セス

第百八十六條　占有者ハ所有ノ意思ヲ以テ善意、平穩且公然ニ占有ヲ爲スモノト推定ス

前後兩時ニ於テ占有ヲ爲シタル證據アルトキハ占有ハ其間繼續シタルモノト推定ス

第百八十七條　占有者ノ承繼人ハ其選擇ニ從ヒ自己ノ占有ノミヲ主張シ又ハ自己ノ占有ニ前主ノ占有ヲ併セテ之ヲ主張スルコトヲ得

前主ノ占有ヲ併セテ主張スル場合ニ於テハ其瑕疵モ亦之ヲ承繼ス

第二節　占有權ノ效力

第百八十八條　占有者カ占有物ノ上ニ行使スル權利ハ之ヲ適法ニ有スルモノト推定ス

第百八十九條　善意ノ占有者ハ占有物ヨリ生スル果實ヲ取得ス

善意ノ占有者カ本權ノ訴ニ於テ敗訴シタルトキハ其起訴ノ時ヨリ惡意ノ占有者ト看做ス

第百九十條　惡意ノ占有者ハ果實ヲ返還シ且其既ニ消費シ、過失ニ因リテ毀損シ又ハ收取ヲ怠リタル果實ノ代價ヲ償還スル義務ヲ負フ

前項ノ規定ハ强暴又ハ隱秘ニ因ル占有者ニ之ヲ準用ス

第百九十一條　占有物カ占有者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ惡意ノ占有者ハ其因果ニ對シ其損害ノ全部ヲ賠償スル義務ヲ負ヒ善意ノ占有者ハ其滅失又ハ毀損ニ因リテ現ニ利益ヲ受クル限度ニ於テ賠償ヲ爲ス義務ヲ負フ但所有ノ意思ナキ占有ノ場合ニ於テハ善意ノ占有者ト雖モ全部ノ賠償ヲ爲スコトヲ要ス

第百九十二條　平穩且公然ニ動產ノ占有ヲ始メタル者カ善意ニシテ且過失ナキトキハ即時ニ其動產ノ上ニ行使スル權利ヲ取得ス

第百九十三條　前條ノ場合ニ於テ占有物カ盜品又ハ遺失物ナルトキハ被害者又ハ遺失主ハ盜難又ハ遺失ノ時ヨリ二年間占有者ニ對シテ其物ノ回復ヲ請求スルコトヲ得

第百九十四條　占有者カ盜品又ハ遺失物ヲ競賣若クハ公ノ市場ニ於テ又ハ其物ト同種ノ物ヲ販賣スル商人ヨリ善意ニテ買受ケタルトキハ被害者又ハ遺失主ハ占有者カ拂ヒタル代價ヲ辨償スルニ非サレハ其物ヲ回復スルコトヲ得ス

第百九十五條　他人カ飼養セシ家畜外ノ動物ヲ占有スル者ハ其占有ノ始善意ニシテ且過失ノ時ヨリ一个月內ニ飼養主ヨリ回復ノ請求ヲ受ケサルトキハ其動物ノ上ニ行使スル權利ヲ取得ス

第百九十六條　占有者カ占有物ヲ返還スル場合ニ於テハ其物ノ保存ノ爲メニ費シタル金額其他ノ必要費ヲ則復者ヨリ償還セシムルコトヲ得但占有者カ果ヲ取得シタル場合ニ於テハ通常ノ必要費ハ其負擔ニ歸シ占有者カ占有物ノ改良ノ爲メニ費シタル金額其他ノ有益費ニ付テハ其價格ノ增加カ現存スル場合ニ限リ回復者ノ選擇ニ從ヒ其費シタル金額又ハ增價額ヲ償還セシムルコトヲ得但惡意ノ占有者ニ對シテハ裁判所ハ回復者ノ請求ニ因リ之ニ相當ノ期限ヲ許與スルコトヲ得

第百九十七條　占有者ハ後五條ノ規定ニヒ從

占有ノ訴ヲ提起スルコトヲ得他人ノ爲メニ占有ヲ爲ス者亦同シ

第百九十八條　占有者カ其占有ヲ妨害セラレタルトキハ占有保持ノ訴ニ依リ其妨害ノ停止及ヒ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第百九十九條　占有者カ其占有ヲ妨害セラルル虞アルトキハ占有保全ノ訴ニ依リ其妨害ノ豫防又ハ損害賠償ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得

第二百條　占有者カ其占有ヲ奪ハレタルトキハ占有回收ノ訴ニ依リ其物ノ返還及ヒ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

占有回收ノ訴ハ侵奪者ノ特定承繼人ニ對シテハ之ヲ提起スルコトヲ得ス但其承繼人カ侵奪ノ事實ヲ知リタルトキハ此限ニ在ラス

第二百一條　占有保持ノ訴ハ妨害ノ存スル間又ハ其止ミタル後一年內ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス但工事ニ因リ占有物ニ損害ヲ生シタル場合ニ於テ其工事著手ノ時ヨリ一年ヲ經過シ之ハ其工事ノ竣成シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

占有保全ノ訴ハ妨害ノ危險ヲ存スル間ハ之ヲ提起スルコトヲ得但工事ニ因リ占有物ニ損害ノ豫防又ハ損害賠償ノ擔保ヲ請求スル場合ニ於テハ工事ノ竣成シタルトキハ之ヲ準用ス

第二百二條　占有ノ訴ハ本權ノ訴ト互ニ相妨クルコトナシ

占有ノ訴ハ本權ニ關スル理由ニ基キテ之ヲ裁判スルコトヲ得ス

第三節　占有權ノ消滅

第二百三條　占有權ハ占有者カ占有ノ意思ヲ拋棄シ又ハ占有物ノ所持ヲ失ソニ因リテ消滅ス但占有者カ占有回收ノ訴ヲ提起シタルトキハ此限ニ在ラス

第二百四條　占有權ハ占有者カ占有ノ意思ヲ兩岸ノ土地カ水流地ノ所有者ニ屬スルトキハ其所有者ハ水路及ヒ幅員ヲ變スルコトヲ得但下目ニ於テ自然ノ水路ニ復スルコトヲ要ス

前二項ノ規定ニ異ナリタル慣習アルトキハ其慣習ニ從フ

第二百十條　高地ノ所有者ハ浸水地ヲ乾カス爲メ又ハ家用若クハ農工業用ノ餘水ヲ排泄スル爲メ公路、公流又ハ下水道ニ至ル水路ヲ通過セシムルコトヲ得但低地ノ爲メニ損害最モ少キ場所及ヒ方法ヲ選フコトヲ要ス

通行權ヲ有スル者ハ必要アルトキハ通路ヲ開設スルコトヲ得

第二百十一條　土地ノ所有者ハ其所有地ノ水ヲ通過セシムル爲メ高地又ハ低地ノ所有者カ設ケタル工作物ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ使用者ハ其利益ノ割合ニ應シテ工作物ノ設置及ヒ保存ノ費用ヲ分擔スルコトヲ要ス

第二百十二條　水流地ノ所有者ハ堰ヲ設クル爲メ需要アルトキハ其堰ヲ對岸ニ附著セシムルコトヲ得但之ニ因リテ生シタル損害ニ對シテ償金ヲ拂フコトヲ要ス

對岸ノ所有者ハ水流地ノ一部カ其所有ニ屬スルトキハ右ノ堰ヲ使用スルコトヲ得但前條ノ規定ニ從ヒ費用ヲ分擔スルコトヲ要ス

第二百二十三條　土地ノ所有者ハ隣地ノ所有者ト共同ノ費用ヲ以テ疆界ヲ標示スヘキ物ヲ設クルコトヲ得

第二百二十四條　界標ノ設置及ヒ保存ノ費用ハ相隣者平分シテ之ヲ負擔ス但測量ノ費用ハ其土地ノ廣狹ニ應シテ之ヲ負擔ス

第二百二十五條　二棟ノ建物カ其所有者ヲ異ニシ且其間ニ空地アルトキハ各所有者ハ他ノ所有者ト共同ノ費用ヲ以テ其疆界ニ圍障ヲ設クルコトヲ得

當事者ノ協議調ハサルトキハ前項ノ圍障ハ板塀又ハ竹垣ニシテ高サ六尺ダルコトヲ要ス

第二百二十六條　圍障ノ設置及ヒ保存ノ費用ハ相隣者平分シテ之ヲ負擔ス

第二百二十七條　相隣者ノ一人ハ第二百二十五條第二項ニ定メタル材料ヲ以テ圍障ヲ設クルコトヲ得但之ニ因リテ生スル費用ノ增額ヲ負擔スルコトヲ要ス

第二百二十八條　前三條ノ規定ニ異ナリタル慣習アルトキハ其慣習ニ從フ

第二百二十九條　疆界線上ニ設ケタル界標、圍障、牆壁及ヒ溝渠ハ相隣者ノ共有ニ屬スルモノト推定ス

第二百三十條　一棟ノ建物ノ部分ヲ成ス疆界線上ノ牆壁ニハ前條ノ規定ヲ適用セス

高サノ不同ナル二棟ノ建物ヲ隔ツル牆壁ノ

汚液ノ滲潤ヲ防クニ必要ナル注意ヲ爲スコトヲ要ス

第二節　所有權ノ取得

第二百三十九條　無主ノ動産ハ所有ノ意思ヲ以テ之ヲ占有スルニ因リテ其所有權ヲ取得ス

無主ノ不動産ハ國庫ノ所有ニ屬ス

第二百四十條　遺失物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後一年内ニ其所有者ノ知レサルトキハ拾得者其所有權ヲ取得ス

第二百四十一條　埋藏物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後六个月内ニ其所有者ノ知レサルトキハ發見者其所有權ヲ取得ス但他人ノ物ノ中ニ於テ發見シタル埋藏物ハ發見者及ヒ其物ノ所有者折半シテ其所有權ヲ取得ス

第二百四十二條　不動産ノ所有者ハ其不動産ノ從トシテ之ニ附合シタル物ノ所有權ヲ取得ス但權原ニ因リテ其物ヲ附屬セシメタル他人ノ權利ヲ妨ケス

第二百四十三條　各別ノ所有者ニ屬スル數個ノ動産カ附合ニ因リ毀損スルニ非サレハ之ヲ分離スルコト能ハサルトキ又ハ其分離ニ過分ノ費用ヲ要スルトキハ其合成物ノ所有權ハ主タル動産ノ所有者ニ屬ス分離ノ爲メ過分ノ費用ヲ要スルトキ亦同シ

第二百四十四條　附合シタル動産ニ付キ主從ノ區別ヲ爲スコト能ハサルトキハ各動産ノ所有者ハ其附合ノ當時ニ於ケル價格ノ割合ニ應シテ合成物ヲ共有ス

第二百四十五條　前二條ノ規定ハ各別ノ所有者ニ屬スル物カ混和シテ識別スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十六條　他人ノ動産ニ工作ヲ加ヘタル者アルトキハ其加工物ノ所有權ハ材料ノ所有者ニ屬スル但工作ニ因リテ生シタル價格カ著シク材料ノ價格ニ超ユルトキハ加工者其物ノ所有權ヲ取得ス

加工者カ材料ノ一部ヲ供シタルトキハ其價格ニ工作ニ因リテ生シタル價格ヲ加ヘタルモノカ他人ノ材料ノ價格ニ超ユルトキニ限リ加工者其者ノ所有權ヲ取得ス

第二百四十七條　前六條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

有ノ物ノ所有者カ合成物、混和物又ハ加工物ノ單獨所有者タリタルトキハ前項ノ權利ハ關係各成物、混和物又ハ加工物ノ上ニ存シ其共有物ト爲リタルトキハ其持分ノ上ニ存ス

第二百四十八條　前六條ノ規定ノ適用ニ因リテ損失ヲ受ケタル者ハ第七百三條及ヒ第七百四條ノ規定ニ從ヒ償金ヲ請求スルコトヲ得

第三節　共有

第二百四十九條　各共有者ハ共有物ノ全部ニ付キ其持分ニ應シタル使用ヲ爲スコトヲ得

第二百五十條　各共有者ノ持分ハ相均シキモノト推定ス

第二百五十一條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコトヲ得ス

第二百五十二條　共有物ノ管理ニ關スル事項ハ前條ノ場合ヲ除ク外各共有者ノ持分ノ價格ニ從ヒ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス但保存行爲ハ各共有者之ヲ爲スコトヲ得

第二百五十三條　各共有者ハ其持分ニ應シ管理ノ費用ヲ拂ヒ其他共有物ノ負擔ニ任ス

共有者カ一年内ニ前項ノ義務ヲ履行セサルトキハ他ノ共有者ハ相當ノ償金ヲ拂ヒテ其者ノ持分ヲ取得スルコトヲ得

第二百五十四條　共有者ノ一人カ共有物ニ付キ他ノ共有者ニ對シテ有スル債權ハ其特定承繼人ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得

第二百五十五條　共有者ノ一人カ其持分ヲ拋棄シタルトキハ其持分ハ他ノ共有者ニ歸屬ス

第二百五十六條　各共有者ハ何時ニテモ其分割ヲ請求スルコトヲ得但五年ヲ超エサル期間内分割ヲ爲ササル契約ヲ爲スコトヲ妨ケス

此契約ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百五十七條　第二百五十五條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

第二百五十八條　遺失物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後一年内ニ其所有者ノ知レサルトキハ拾得者其所有權ヲ取得ス

第二百五十九條　埋藏物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後六个月内ニ其所有者ノ知レサルトキハ發見者其所有權ヲ取得ス但他人ノ物ノ中ニ於テ發見シタル埋藏物ハ發見者及ヒ其物ノ所有者折半シテ其所有權ヲ取得ス

第二百六十條　不動産ノ所有者ハ其不動産ノ從トシテ之ニ附合シタル物ノ所有權ヲ取得ス但權原ニ因リテ其物ヲ附屬セシメタル他人ノ權利ヲ妨ケス

第二百六十一條　各別ノ所有者ニ屬スル數個ノ動産カ附合ニ因リ毀損スルニ非サレハ之ヲ分離スルコト能ハサルトキ又ハ其分離ニ過分ノ費用ヲ要スルトキハ其合成物ノ所有權ハ主タル動産ノ所有者ニ屬ス分離ノ爲メ過分ノ費用ヲ要スルトキ亦同シ

第二百六十二條　附合シタル動産ニ付キ主從ノ區別ヲ爲スコト能ハサルトキハ各動産ノ所有者ハ其附合ノ當時ニ於ケル價格ノ割合ニ應シテ合成物ヲ共有ス

第二百六十三條　前二條ノ規定ハ各別ノ所有者ニ屬スル物カ混和シテ識別スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十四條　前二條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

第二百六十五條　他人ノ動産ニ工作ヲ加ヘタル者アルトキハ其加工物ノ所有權ハ材料ノ所有者ニ屬スル但工作ニ因リテ生シタル價格カ著シク材料ノ價格ニ超ユルトキハ加工者其物ノ所有權ヲ取得ス

加工者カ材料ノ一部ヲ供シタルトキハ其價格ニ工作ニ因リテ生シタル價格ヲ加ヘタルモノカ他人ノ材料ノ價格ニ超ユルトキニ限リ加工者其者ノ所有權ヲ取得ス

第二百六十六條　前五條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

有ノ物ノ所有者カ合成物、混和物又ハ加工物ノ單獨所有者タリタルトキハ前項ノ權利ハ關係各成物、混和物又ハ加工物ノ上ニ存シ其共有物ト爲リタルトキハ其持分ノ上ニ存ス

第二百六十七條　前六條ノ規定ノ適用ニ因リテ損失ヲ受ケタル者ハ第七百三條及ヒ第七百四條ノ規定ニ從ヒ償金ヲ請求スルコトヲ得

第三節　共有

第二百六十八條　各共有者ハ共有物ノ全部ニ付キ其持分ニ應シタル使用ヲ爲スコトヲ得

第二百六十九條　各共有者ノ持分ハ相均シキモノト推定ス

第二百七十條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコトヲ得ス

第二百七十一條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違ヒテ建築ヲ爲サントスル者アルトキハ隣地ノ所有者ハ其建築ヲ廢止シ又ハ之ヲ變更セシムルコトヲ得但建築著手ノ時ヨリ一年ヲ經過シ又ハ其建築ノ竣成シタル後ハ損害賠償ノ請求ノミヲ爲スコトヲ得

第二百七十二條　共有物ノ管理ニ關スル事項ハ前條ノ場合ヲ除ク外各共有者ノ持分ノ價格ニ從ヒ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス但保存行爲ハ各共有者之ヲ爲スコトヲ得

第二百七十三條　各共有者ハ其持分ニ應シ管理ノ費用ヲ拂ヒ其他共有物ノ負擔ニ任ス

共有者カ一年内ニ前項ノ義務ヲ履行セサルトキハ他ノ共有者ハ相當ノ償金ヲ拂ヒテ其者ノ持分ヲ取得スルコトヲ得

第二百七十四條　共有者ノ一人カ共有物ニ付キ他ノ共有者ニ對シテ有スル債權ハ其特定承繼人ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得

第二百七十五條　各共有者ノ一人カ其持分ヲ拋棄シタルトキハ其持分ハ他ノ共有者ニ歸屬ス

第二百七十六條　各共有者ハ何時ニテモ其分割ヲ請求スルコトヲ得但五年ヲ超エサル期間内分割ヲ爲ササル契約ヲ爲スコトヲ妨ケス

此契約ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百七十七條　第二百七十五條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

有ノ物ノ所有者カ合成物、混和物又ハ加工物ノ單獨所有者タリタルトキハ前項ノ權利ハ關係各成物、混和物又ハ加工物ノ上ニ存シ其共有物ト爲リタルトキハ其持分ノ上ニ存ス

第二百七十八條　前六條ノ規定ノ適用ニ因リテ損失ヲ受ケタル者ハ第七百三條及ヒ第七百四條ノ規定ニ從ヒ償金ヲ請求スルコトヲ得

第三節　共有

第二百七十九條　各共有者ハ共有物ノ全部ニ付キ其持分ニ應シタル使用ヲ爲スコトヲ得

第二百八十條　各共有者ノ持分ハ相均シキモノト推定ス

第二百八十一條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコトヲ得ス

第二百八十二條　共有物ノ管理ニ關スル事項ハ前條ノ場合ヲ除ク外各共有者ノ持分ノ價格ニ從ヒ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス但保存行爲ハ各共有者之ヲ爲スコトヲ得

第二百八十三條　各共有者ハ其持分ニ應シ管理ノ費用ヲ拂ヒ其他共有物ノ負擔ニ任ス

共有者カ一年内ニ前項ノ義務ヲ履行セサルトキハ他ノ共有者ハ相當ノ償金ヲ拂ヒテ其者ノ持分ヲ取得スルコトヲ得

第二百八十四條　共有者ノ一人カ共有物ニ付キ他ノ共有者ニ對シテ有スル債權ハ其特定承繼人ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得

第二百八十五條　各共有者ノ持分ニ應シタル負擔ヲ怠リタルトキハ其者ノ持分ヲ拋棄シタルトキニ準シテ他ノ共有者ニ歸屬ス

第二百八十六條　各共有者ノ一人カ其持分ヲ拋棄シタルトキハ其持分ハ他ノ共有者ニ歸屬ス

第二百八十七條　各共有者ハ何時ニテモ其分割ヲ請求スルコトヲ得但五年ヲ超エサル期間内分割ヲ爲ササル契約ヲ爲スコトヲ妨ケス

此契約ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百八十八條　第二百八十六條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

第二節　所有權ノ取得

第二百八十九條　無主ノ動産ハ所有ノ意思ヲ以テ之ヲ占有スルニ因リテ其所有權ヲ取得ス

無主ノ不動産ハ國庫ノ所有ニ屬ス

第二百九十條　遺失物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後一年内ニ其所有者ノ知レサルトキハ拾得者其所有權ヲ取得ス

第二百九十一條　埋藏物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後六个月内ニ其所有者ノ知レサルトキハ發見者其所有權ヲ取得ス但他人ノ物ノ中ニ於テ發見シタル埋藏物ハ發見者及ヒ其物ノ所有者折半シテ其所有權ヲ取得ス

第二百九十二條　不動産ノ所有者ハ其不動産ノ從トシテ之ニ附合シタル物ノ所有權ヲ取得ス但權原ニ因リテ其物ヲ附屬セシメタル他人ノ權利ヲ妨ケス

第二百九十三條　各別ノ所有者ニ屬スル數個ノ動産カ附合ニ因リ毀損スルニ非サレハ之ヲ分離スルコト能ハサルトキ又ハ其分離ニ過分ノ費用ヲ要スルトキハ其合成物ノ所有權ハ主タル動産ノ所有者ニ屬ス分離ノ爲メ過分ノ費用ヲ要スルトキ亦同シ

第二百九十四條　附合シタル動産ニ付キ主從ノ區別ヲ爲スコト能ハサルトキハ各動産ノ所有者ハ其附合ノ當時ニ於ケル價格ノ割合ニ應シテ合成物ヲ共有ス

第二百九十五條　前二條ノ規定ハ各別ノ所有者ニ屬スル物カ混和シテ識別スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十六條　他人ノ動産ニ工作ヲ加ヘタル者アルトキハ其加工物ノ所有權ハ材料ノ所有者ニ屬スル但工作ニ因リテ生シタル價格カ著シク材料ノ價格ニ超ユルトキハ加工者其物ノ所有權ヲ取得ス

加工者カ材料ノ一部ヲ供シタルトキハ其價格ニ工作ニ因リテ生シタル價格ヲ加ヘタルモノカ他人ノ材料ノ價格ニ超ユルトキニ限リ加工者其者ノ所有權ヲ取得ス

第二百九十七條　前六條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

有ノ物ノ所有者カ合成物、混和物又ハ加工物ノ單獨所有者タリタルトキハ前項ノ權利ハ關係各成物、混和物又ハ加工物ノ上ニ存シ其共有物ト爲リタルトキハ其持分ノ上ニ存ス

第二百九十八條　前六條ノ規定ノ適用ニ因リテ損失ヲ受ケタル者ハ第七百三條及ヒ第七百四條ノ規定ニ從ヒ償金ヲ請求スルコトヲ得

第三節　共有

第二百九十九條　各共有者ハ共有物ノ全部ニ付キ其持分ニ應シタル使用ヲ爲スコトヲ得

第三百條　各共有者ノ持分ハ相均シキモノト推定ス

第三百一條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコトヲ得ス

第三百二條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違ヒテ建築ヲ爲サントスル者アルトキハ隣地ノ所有者ハ其建築ヲ廢止シ又ハ之ヲ變更セシムルコトヲ得但建築著手ノ時ヨリ一年ヲ經過シ又ハ其建築ノ竣成シタル後ハ損害賠償ノ請求ノミヲ爲スコトヲ得

第三百三條　共有物ノ管理ニ關スル事項ハ前條ノ場合ヲ除ク外各共有者ノ持分ノ價格ニ從ヒ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス但保存行爲ハ各共有者之ヲ爲スコトヲ得

第三百四條　各共有者ハ其持分ニ應シ管理ノ費用ヲ拂ヒ其他共有物ノ負擔ニ任ス

共有者カ一年内ニ前項ノ義務ヲ履行セサルトキハ他ノ共有者ハ相當ノ償金ヲ拂ヒテ其者ノ持分ヲ取得スルコトヲ得

第三百五條　共有者ノ一人カ共有物ニ付キ他ノ共有者ニ對シテ有スル債權ハ其特定承繼人ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得

第三百六條　各共有者ノ持分ニ應シタル負擔ヲ怠リタルトキハ其者ノ持分ヲ拋棄シタルトキニ準シテ他ノ共有者ニ歸屬ス

第三百七條　各共有者ノ一人カ其持分ヲ拋棄シタルトキハ其持分ハ他ノ共有者ニ歸屬ス

第三百八條　各共有者ハ何時ニテモ其分割ヲ請求スルコトヲ得但五年ヲ超エサル期間内分割ヲ爲ササル契約ヲ爲スコトヲ妨ケス

此契約ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第三百九條　第二百八十六條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

第二節　所有權ノ取得

第三百十條　無主ノ動産ハ所有ノ意思ヲ以テ之ヲ占有スルニ因リテ其所有權ヲ取得ス

無主ノ不動産ハ國庫ノ所有ニ屬ス

第三百十一條　遺失物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後一年内ニ其所有者ノ知レサルトキハ拾得者其所有權ヲ取得ス

第三百十二條　埋藏物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後六个月内ニ其所有者ノ知レサルトキハ發見者其所有權ヲ取得ス但他人ノ物ノ中ニ於テ發見シタル埋藏物ハ發見者及ヒ其物ノ所有者折半シテ其所有權ヲ取得ス

第三百十三條　不動産ノ所有者ハ其不動産ノ從トシテ之ニ附合シタル物ノ所有權ヲ取得ス但權原ニ因リテ其物ヲ附屬セシメタル他人ノ權利ヲ妨ケス

第三百十四條　各別ノ所有者ニ屬スル數個ノ動産カ附合ニ因リ毀損スルニ非サレハ之ヲ分離スルコト能ハサルトキ又ハ其分離ニ過分ノ費用ヲ要スルトキハ其合成物ノ所有權ハ主タル動産ノ所有者ニ屬ス分離ノ爲メ過分ノ費用ヲ要スルトキ亦同シ

第三百十五條　附合シタル動産ニ付キ主從ノ區別ヲ爲スコト能ハサルトキハ各動産ノ所有者ハ其附合ノ當時ニ於ケル價格ノ割合ニ應シテ合成物ヲ共有ス

第三百十六條　前二條ノ規定ハ各別ノ所有者ニ屬スル物カ混和シテ識別スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百十七條　他人ノ動産ニ工作ヲ加ヘタル者アルトキハ其加工物ノ所有權ハ材料ノ所有者ニ屬スル但工作ニ因リテ生シタル價格カ著シク材料ノ價格ニ超ユルトキハ加工者其物ノ所有權ヲ取得ス

加工者カ材料ノ一部ヲ供シタルトキハ其價格ニ工作ニ因リテ生シタル價格ヲ加ヘタルモノカ他人ノ材料ノ價格ニ超ユルトキニ限リ加工者其者ノ所有權ヲ取得ス

第三百十八條　前六條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

有ノ物ノ所有者カ合成物、混和物又ハ加工物ノ單獨所有者タリタルトキハ前項ノ權利ハ關係各成物、混和物又ハ加工物ノ上ニ存シ其共有物ト爲リタルトキハ其持分ノ上ニ存ス

第三百十九條　前六條ノ規定ノ適用ニ因リテ損失ヲ受ケタル者ハ第七百三條及ヒ第七百四條ノ規定ニ從ヒ償金ヲ請求スルコトヲ得

第三節　共有

第三百二十條　各共有者ハ共有物ノ全部ニ付キ其持分ニ應シタル使用ヲ爲スコトヲ得

第三百二十一條　各共有者ノ持分ハ相均シキモノト推定ス

第三百二十二條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコトヲ得ス

第三百二十三條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違ヒテ建築ヲ爲サントスル者アルトキハ隣地ノ所有者ハ其建築ヲ廢止シ又ハ之ヲ變更セシムルコトヲ得但建築著手ノ時ヨリ一年ヲ經過シ又ハ其建築ノ竣成シタル後ハ損害賠償ノ請求ノミヲ爲スコトヲ得

第三百二十四條　共有物ノ管理ニ關スル事項ハ前條ノ場合ヲ除ク外各共有者ノ持分ノ價格ニ從ヒ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス但保存行爲ハ各共有者之ヲ爲スコトヲ得

第三百二十五條　各共有者ハ其持分ニ應シ管理ノ費用ヲ拂ヒ其他共有物ノ負擔ニ任ス

共有者カ一年内ニ前項ノ義務ヲ履行セサルトキハ他ノ共有者ハ相當ノ償金ヲ拂ヒテ其者ノ持分ヲ取得スルコトヲ得

第三百二十六條　各共有者ノ一人カ共有物ニ付キ他ノ共有者ニ對シテ有スル債權ハ其特定承繼人ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得

第三百二十七條　各共有者ノ持分ニ應シタル負擔ヲ怠リタルトキハ其者ノ持分ヲ拋棄シタルトキニ準シテ他ノ共有者ニ歸屬ス

第三百二十八條　各共有者ノ一人カ其持分ヲ拋棄シタルトキハ其持分ハ他ノ共有者ニ歸屬ス

第三百二十九條　各共有者ハ何時ニテモ其分割ヲ請求スルコトヲ得但五年ヲ超エサル期間内分割ヲ爲ササル契約ヲ爲スコトヲ妨ケス

此契約ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第三百三十條　第二百八十六條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

第二節　所有權ノ取得

第三百三十一條　無主ノ動産ハ所有ノ意思ヲ以テ之ヲ占有スルニ因リテ其所有權ヲ取得ス

無主ノ不動産ハ國庫ノ所有ニ屬ス

第三百三十二條　遺失物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後一年内ニ其所有者ノ知レサルトキハ拾得者其所有權ヲ取得ス

第三百三十三條　埋藏物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後六个月内ニ其所有者ノ知レサルトキハ發見者其所有權ヲ取得ス但他人ノ物ノ中ニ於テ發見シタル埋藏物ハ發見者及ヒ其物ノ所有者折半シテ其所有權ヲ取得ス

第三百三十四條　不動産ノ所有者ハ其不動産ノ從トシテ之ニ附合シタル物ノ所有權ヲ取得ス但權原ニ因リテ其物ヲ附屬セシメタル他人ノ權利ヲ妨ケス

第三百三十五條　各別ノ所有者ニ屬スル數個ノ動産カ附合ニ因リ毀損スルニ非サレハ之ヲ分離スルコト能ハサルトキ又ハ其分離ニ過分ノ費用ヲ要スルトキハ其合成物ノ所有權ハ主タル動産ノ所有者ニ屬ス分離ノ爲メ過分ノ費用ヲ要スルトキ亦同シ

第三百三十六條　附合シタル動産ニ付キ主從ノ區別ヲ爲スコト能ハサルトキハ各動産ノ所有者ハ其附合ノ當時ニ於ケル價格ノ割合ニ應シテ合成物ヲ共有ス

第三百三十七條　前二條ノ規定ハ各別ノ所有者ニ屬スル物カ混和シテ識別スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十八條　他人ノ動産ニ工作ヲ加ヘタル者アルトキハ其加工物ノ所有權ハ材料ノ所有者ニ屬スル但工作ニ因リテ生シタル價格カ著シク材料ノ價格ニ超ユルトキハ加工者其物ノ所有權ヲ取得ス

加工者カ材料ノ一部ヲ供シタルトキハ其價格ニ工作ニ因リテ生シタル價格ヲ加ヘタルモノカ他人ノ材料ノ價格ニ超ユルトキニ限リ加工者其者ノ所有權ヲ取得ス

第三百三十九條　前六條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

有ノ物ノ所有者カ合成物、混和物又ハ加工物ノ單獨所有者タリタルトキハ前項ノ權利ハ關係各成物、混和物又ハ加工物ノ上ニ存シ其共有物ト爲リタルトキハ其持分ノ上ニ存ス

第三百四十條　前六條ノ規定ノ適用ニ因リテ損失ヲ受ケタル者ハ第七百三條及ヒ第七百四條ノ規定ニ從ヒ償金ヲ請求スルコトヲ得

第三節　共有

第三百四十一條　各共有者ハ共有物ノ全部ニ付キ其持分ニ應シタル使用ヲ爲スコトヲ得

第三百四十二條　各共有者ノ持分ハ相均シキモノト推定ス

第三百四十三條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコトヲ得ス

第三百四十四條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違ヒテ建築ヲ爲サントスル者アルトキハ隣地ノ所有者ハ其建築ヲ廢止シ又ハ之ヲ變更セシムルコトヲ得但建築著手ノ時ヨリ一年ヲ經過シ又ハ其建築ノ竣成シタル後ハ損害賠償ノ請求ノミヲ爲スコトヲ得

第三百四十五條　共有物ノ管理ニ關スル事項ハ前條ノ場合ヲ除ク外各共有者ノ持分ノ價格ニ從ヒ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス但保存行爲ハ各共有者之ヲ爲スコトヲ得

第三百四十六條　各共有者ハ其持分ニ應シ管理ノ費用ヲ拂ヒ其他共有物ノ負擔ニ任ス

共有者カ一年内ニ前項ノ義務ヲ履行セサルトキハ他ノ共有者ハ相當ノ償金ヲ拂ヒテ其者ノ持分ヲ取得スルコトヲ得

第三百四十七條　各共有者ノ一人カ共有物ニ付キ他ノ共有者ニ對シテ有スル債權ハ其特定承繼人ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得

第三百四十八條　各共有者ノ持分ニ應シタル負擔ヲ怠リタルトキハ其者ノ持分ヲ拋棄シタルトキニ準シテ他ノ共有者ニ歸屬ス

第三百四十九條　各共有者ノ一人カ其持分ヲ拋棄シタルトキハ其持分ハ他ノ共有者ニ歸屬ス

第三百五十條　各共有者ハ何時ニテモ其分割ヲ請求スルコトヲ得但五年ヲ超エサル期間内分割ヲ爲ササル契約ヲ爲スコトヲ妨ケス

此契約ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第三百五十一條　第二百八十六條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

第二節　所有權ノ取得

第三百五十二條　無主ノ動産ハ所有ノ意思ヲ以テ之ヲ占有スルニ因リテ其所有權ヲ取得ス

無主ノ不動産ハ國庫ノ所有ニ屬ス

第三百五十三條　遺失物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後一年内ニ其所有者ノ知レサルトキハ拾得者其所有權ヲ取得ス

第三百五十四條　埋藏物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後六个月内ニ其所有者ノ知レサルトキハ發見者其所有權ヲ取得ス但他人ノ物ノ中ニ於テ發見シタル埋藏物ハ發見者及ヒ其物ノ所有者折半シテ其所有權ヲ取得ス

第三百五十五條　不動産ノ所有者ハ其不動産ノ從トシテ之ニ附合シタル物ノ所有權ヲ取得ス但權原ニ因リテ其物ヲ附屬セシメタル他人ノ權利ヲ妨ケス

第三百五十六條　各別ノ所有者ニ屬スル數個ノ動産カ附合ニ因リ毀損スルニ非サレハ之ヲ分離スルコト能ハサルトキ又ハ其分離ニ過分ノ費用ヲ要スルトキハ其合成物ノ所有權ハ主タル動産ノ所有者ニ屬ス分離ノ爲メ過分ノ費用ヲ要スルトキ亦同シ

第三百五十七條　附合シタル動産ニ付キ主從ノ區別ヲ爲スコト能ハサルトキハ各動産ノ所有者ハ其附合ノ當時ニ於ケル價格ノ割合ニ應シテ合成物ヲ共有ス

第三百五十八條　前二條ノ規定ハ各別ノ所有者ニ屬スル物カ混和シテ識別スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十九條　他人ノ動産ニ工作ヲ加ヘタル者アルトキハ其加工物ノ所有權ハ材料ノ所有者ニ屬スル但工作ニ因リテ生シタル價格カ著シク材料ノ價格ニ超ユルトキハ加工者其物ノ所有權ヲ取得ス

加工者カ材料ノ一部ヲ供シタルトキハ其價格ニ工作ニ因リテ生シタル價格ヲ加ヘタルモノカ他人ノ材料ノ價格ニ超ユルトキニ限リ加工者其者ノ所有權ヲ取得ス

第三百六十條　前六條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

有ノ物ノ所有者カ合成物、混和物又ハ加工物ノ單獨所有者タリタルトキハ前項ノ權利ハ關係各成物、混和物又ハ加工物ノ上ニ存シ其共有物ト爲リタルトキハ其持分ノ上ニ存ス

第三百六十一條　前六條ノ規定ノ適用ニ因リテ損失ヲ受ケタル者ハ第七百三條及ヒ第七百四條ノ規定ニ從ヒ償金ヲ請求スルコトヲ得

第三節　共有

第三百六十二條　各共有者ハ共有物ノ全部ニ付キ其持分ニ應シタル使用ヲ爲スコトヲ得

第三百六十三條　各共有者ノ持分ハ相均シキモノト推定ス

第三百六十四條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコトヲ得ス

第三百六十五條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違ヒテ建築ヲ爲サントスル者アルトキハ隣地ノ所有者ハ其建築ヲ廢止シ又ハ之ヲ變更セシムルコトヲ得但建築著手ノ時ヨリ一年ヲ經過シ又ハ其建築ノ竣成シタル後ハ損害賠償ノ請求ノミヲ爲スコトヲ得

第三百六十六條　共有物ノ管理ニ關スル事項ハ前條ノ場合ヲ除ク外各共有者ノ持分ノ價格ニ從ヒ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス但保存行爲ハ各共有者之ヲ爲スコトヲ得

第三百六十七條　各共有者ハ其持分ニ應シ管理ノ費用ヲ拂ヒ其他共有物ノ負擔ニ任ス

共有者カ一年内ニ前項ノ義務ヲ履行セサルトキハ他ノ共有者ハ相當ノ償金ヲ拂ヒテ其者ノ持分ヲ取得スルコトヲ得

第三百六十八條　各共有者ノ一人カ共有物ニ付キ他ノ共有者ニ對シテ有スル債權ハ其特定承繼人ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得

第三百六十九條　各共有者ノ持分ニ應シタル負擔ヲ怠リタルトキハ其者ノ持分ヲ拋棄シタルトキニ準シテ他ノ共有者ニ歸屬ス

第三百七十條　各共有者ノ一人カ其持分ヲ拋棄シタルトキハ其持分ハ他ノ共有者ニ歸屬ス

第三百七十一條　各共有者ハ何時ニテモ其分割ヲ請求スルコトヲ得但五年ヲ超エサル期間内分割ヲ爲ササル契約ヲ爲スコトヲ妨ケス

此契約ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第三百七十二條　第二百八十六條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

第二節　所有權ノ取得

第三百七十三條　無主ノ動産ハ所有ノ意思ヲ以テ之ヲ占有スルニ因リテ其所有權ヲ取得ス

無主ノ不動産ハ國庫ノ所有ニ屬ス

第三百七十四條　遺失物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後一年内ニ其所有者ノ知レサルトキハ拾得者其所有權ヲ取得ス

第三百七十五條　埋藏物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後六个月内ニ其所有者ノ知レサルトキハ發見者其所有權ヲ取得ス但他人ノ物ノ中ニ於テ發見シタル埋藏物ハ發見者及ヒ其物ノ所有者折半シテ其所有權ヲ取得ス

第三百七十六條　不動産ノ所有者ハ其不動産ノ從トシテ之ニ附合シタル物ノ所有權ヲ取得ス但權原ニ因リテ其物ヲ附屬セシメタル他人ノ權利ヲ妨ケス

第三百七十七條　各別ノ所有者ニ屬スル數個ノ動産カ附合ニ因リ毀損スルニ非サレハ之ヲ分離スルコト能ハサルトキ又ハ其分離ニ過分ノ費用ヲ要スルトキハ其合成物ノ所有權ハ主タル動産ノ所有者ニ屬ス分離ノ爲メ過分ノ費用ヲ要スルトキ亦同シ

第三百七十八條　附合シタル動産ニ付キ主從ノ區別ヲ爲スコト能ハサルトキハ各動産ノ所有者ハ其附合ノ當時ニ於ケル價格ノ割合ニ應シテ合成物ヲ共有ス

第三百七十九條　前二條ノ規定ハ各別ノ所有者ニ屬スル物カ混和シテ識別スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十條　他人ノ動産ニ工作ヲ加ヘタル者アルトキハ其加工物ノ所有權ハ材料ノ所有者ニ屬スル但工作ニ因リテ生シタル價格カ著シク材料ノ價格ニ超ユルトキハ加工者其物ノ所有權ヲ取得ス

加工者カ材料ノ一部ヲ供シタルトキハ其價格ニ工作ニ因リテ生シタル價格ヲ加ヘタルモノカ他人ノ材料ノ價格ニ超ユルトキニ限リ加工者其者ノ所有權ヲ取得ス

第三百八十一條　前六條ノ規定ニ依リテ物ノ所有權カ消滅シタルトキハ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦消滅ス

有ノ物ノ所有者カ合成物、混和物又ハ加工物ノ單獨所有者タリタルトキハ前項ノ權利ハ關係各成物、混和物又ハ加工物ノ上ニ存シ其共有物ト爲リタルトキハ其持分ノ上ニ存ス

第三百八十二條　前六條ノ規定ノ適用ニ因リテ損失ヲ受ケタル者ハ第七百三條及ヒ第七百四條ノ規定ニ從ヒ償金ヲ請求スルコトヲ得

第三節　共有

第三百八十三條　各共有者ハ共有物ノ全部ニ付キ其持分ニ應シタル使用ヲ爲スコトヲ得

第三百八十四條　各共有者ノ持分ハ相均シキモノト推定ス

第三百八十五條　各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ共有物ニ變更ヲ加フルコ

第三百六條　第一款　一般ノ先取特權

債權ヲ有スル者ハ債務者ノ總財產ノ上ニ先取特權ヲ有ス

一　共益ノ費用

二　雇人ノ給料

三　雇人ノ給料

四　日用品ノ供給

第三百七條　共益費用ノ先取特權ハ各債權者ノ共同利益ノ爲メニ爲シタル債務者ノ財產ニ付キ存在ス

前項ノ費用中總債權者ニ有益ナラサリシモノニ付テハ先取特權ハ其費用ノ爲メ利益ヲ受ケタル債權者ニ對シテノミ存在ス

第三百八條　雇人給料ノ先取特權ハ債務者ノ身分ニ應シテ爲シタル雜式ノ費用ニ付テモ亦存在ス

前項ノ先取特權ハ債務者カ其扶養スヘキ親族又ハ家族ノ身分ニ應シテ爲シタル雜式ノ費用ニ付テモ亦存在ス

第三百九條　雇人給料ノ先取特權ハ債務者ノ雇入カ受クヘキ最後ノ六ヶ月間ノ給料ニ付キ存在ス但其金額ハ五十圓ヲ限トス

第三百十條　日用品供給ノ先取特權ハ債務者又ハ其扶養スヘキ同居ノ親族竝ニ家族及ヒ其僕婢ノ生活ニ必要ナル最後ノ六ヶ月間ノ飲食品及ヒ薪炭油ノ供給ニ付キ存在ス

第三百十一條　左ニ揭ケタル原因ヨリ生シタル債權ヲ有スル者ハ債務者ノ特定動產ノ上ニ先取特權ヲ有ス

一　不動產ノ賃貸借

二　旅店ノ宿泊

三　旅客又ハ荷物ノ運輸

四　公吏ノ職務上ノ過失

五　動產ノ保存

六　動產ノ賣買

七　種苗又ハ肥料ノ供給

八　農工業ノ勞役

第三百十二條　不動產賃貸ノ先取特權ハ其不動產ノ債貸其他賃貸借關係ヨリ生シタル賃借人ノ債務ニ付キ賃借人ノ動產ノ上ニ存在ス

第三百十三條　土地ノ賃貸人ノ先取特權ハ賃借地又ハ其利用ノ爲メニスル建物ニ備附ケタル動產、其土地ノ利用ニ供シタル動產及ヒ賃借人ノ占有ニ在ル其土地ノ果實ノ上ニ存在ス

建物ノ賃貸人ノ先取特權ハ賃借人カ其建物ニ備附ケタル動產ノ上ニ存在ス

第三百十四條　賃借權ノ讓渡又ハ轉貸ノ場合ニ於テハ賃貸人ノ先取特權ハ讓受人又ハ轉借人ノ動產ニ及フ讓渡人又ハ轉貸人カ受ケヘキ金額ニ付キ亦同シ

第三百十五條　賃借人ノ財產ノ競賣ノ場合ニ於テハ賃貸人ノ先取特權ハ前期、當期及ヒ次期ノ借賃其他ノ債務ヲ辨濟セサル間ハ競賣ノ目的タル動產ニ付テノミ存在ス

第三百十六條　賃貸人カ敷金ヲ受取リタル場合ニ於テハ其敷金ヲ以テ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テノミ先取特權ヲ有ス

第三百十七條　旅店宿泊ノ先取特權ハ旅客、其從者及ヒ牛馬ノ宿泊料竝ニ飲食料ニ付キ其旅店ニ存スル手荷物ノ上ニ存在ス

第三百十八條　運輸ノ先取特權ハ旅客又ハ荷物ノ運送賃及ヒ附隨ノ費用ニ付キ運送人ノ手ニ存スル荷物ノ上ニ存在ス

第三百十九條　第百九十二條乃至第百九十五條ノ規定ハ前七條ノ先取特權ニ之ヲ準用ス

第三百二十條　公吏保證金ノ先取特權ハ保證金ヲ供シタル公吏ノ職務上ノ過失ニ因リテ生シタル債權ニ付キ其保證金ノ上ニ存在ス

第三百二十一條　動產保存ノ先取特權ハ動產保存ノ費ニ付キ其動產ノ上ニ存在ス

第三百二十二條　動產賣買ノ先取特權ハ動產ノ代價及ヒ其利息ニ付キ其動產ノ上ニ存在ス

第三百二十三條　種苗肥料供給ノ先取特權ハ種苗又ハ肥料ノ代價及ヒ其利息ニ付キ其種苗又ハ肥料ヲ用キタル後一年内ニ之ヲ用キタル土地ヨリ生シタル果實ノ上ニ存在ス

前項ノ先取特權ハ蠶種又ハ蠶ノ飼養ニ供シタル桑葉ノ供給ニ付キ其蠶種又ハ桑葉ヨリ生シタル物ノ上ニモ亦存在ス

第三百二十四條　農工業勞役ノ先取特權ハ農業ノ勞役者ニ付テハ最後ノ一年間工業ノ勞役者ニ付テハ最後ノ三ヶ月間ノ賃金ニ付キ其勞役ニ因リテ生シタル果實又ハ製作物ノ上ニ存在ス

第三款　不動產ノ先取特權

第三百二十五條　左ニ揭ケタル原因ヨリ生シタル不動產ノ工事ノ費用ハ工事ヲ爲シタル者ノ利益ノ爲メ其不動產ノ上ニ存在ス

前項ノ費用ハ工事ニ因リテ不動產ノ價格カ現ニ增加シタル限度ニ於テノミ先取特權ヲ有ス

一　不動產ノ保存

二　不動產ノ工事

三　不動產ノ賣買

第三百二十六條　不動產保存ノ先取特權ハ不動產ノ保存ノ費ニ付キ其不動產ノ上ニ存在ス

第三百二十七條　不動產工事ノ先取特權ハ工匠、技師及ヒ請負人カ債務者ノ特定不動產ノ上ニ存在ス

前項ノ先取特權ハ其費用ノ爲メ利益ヲ受ケタル者ニ付テノミ存在ス

第三百二十八條　不動產賣買ノ先取特權ハ不動產ノ代價及ヒ其利息ニ付キ其不動產ノ上ニ存在ス

第三節　先取特權ノ順位

第三百二十九條　一般ノ先取特權カ互ニ競合スル場合ニ於テハ其先後ノ順位ハ第三百六條ニ揭ケタル順序ニ從フ

一般ノ先取特權ト特別ノ先取特權ト競合スル場合ニ於テハ特別ノ先取特權ハ一般ノ先取特權ニ先ツ但共益費用ノ先取特權ハ其利益ヲ受ケタル總債權者ニ對シテ優先ノ效力アリ

第三百三十條　同一ノ動產ニ付キ特別ノ先取特權カ競合スル場合ニ於テハ其順位ハ第三百七條ニ揭ケタル順序ニ從フ

第三百三十一條　不動產賃貸ノ先取特權ハ賃貸人カ賃借人ノ動產ノ上ニ存在ス

第三百三十二條　不動產賃貸ノ先取特權ハ賃借人ノ動產ノ上ニ存在ス

第三百三十三條　不動產保存ノ先取特權ハ保存行爲完了ノ後直チニ登記ヲ爲スニ因リテ其效力ヲ保存ス

第三百三十四條　不動產工事ノ先取特權ハ工事ヲ始ムル前ニ其費用ノ豫算額ヲ登記スルニ因リテ其效力ヲ保存ス但工事ノ費用カ豫算額ヲ超ユルトキハ先取特權ハ其超過額ニ付テハ存在セス

工事ニ因リテ生シタル不動產ノ增價額ハ配當加入ノ時裁判所ニ於テ選任シタル鑑定人ヲシテ之ヲ評價セシムルコトヲ要ス

第三百三十五條　不動產賣買ノ先取特權ハ賣買契約ト同時ニ未タ代價又ハ其利息ノ辨濟アラサル旨ヲ登記スルニ因リテ其效力ヲ保存ス

第三百四十一條　先取特權ノ效力ニ付テハ本節ニ定メタルモノノ外抵當權ニ關スル規定ヲ準用ス

第九章　質權

第一節　總則

第三百四十二條　質權者ハ其債權ノ擔保トシテ債務者又ハ第三者ヨリ受取リタル物ヲ占有シ且其物ニ付キ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

第三百四十三條　動產質權者カ質物ノ占有ヲ奪ハレタルトキハ占有回收ノ訴ニ依リテノミ其質物ヲ回復スルコトヲ得

第三百五十四條　動產質權者カ其債權ノ辨濟ヲ受ケサルトキハ正當ノ理由アル場合ニ限リ繼定人ノ評價ニ從ヒ質物ヲ以テ直チニ辨濟ニ充ツルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ質權者ハ債務者ニ其請求ヲ通知スルコトヲ要ス

第三百五十五條　數個ノ債權ヲ擔保スル爲メ同一ノ動產ニ付キ質權ヲ設定シタルトキハ其質權ノ順位ハ設定ノ前後ニ依ル

第三節　不動產質

第三百五十六條　不動產質權者ハ質權ノ目的タル不動產ノ用方ニ從ヒ其使用及ヒ收益ヲ爲スコトヲ得

第三百五十七條　不動產質權者ハ管理ノ費用ヲ拂ヒ其他不動產ノ負擔ニ任ス

第三百五十八條　不動產質權者ハ其債權ノ利息ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百五十九條　前三條ノ規定ハ設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ之ヲ適用セス

第三百六十條　不動產質權ノ存續期間ハ十年ヲ超ユルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ不動產質ヲ設定シタルトキハ其期間ハ之ヲ十年ニ短縮ス

不動產質ノ設定ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ十年ヲ超ユルコトヲ得ス

第三百六十一條　不動產質權ハ外次章ノ規定ヲ準用ス

第四節　權利質

第三百六十二條　質權ハ財產權ヲ以テ其目的トス

前項ノ質權ニハ本節ノ規定ノ外前三節ノ規定ヲ準用ス

第三百六十三條　債權ヲ以テ質權ノ目的トス場合ニ於テハ其設定ハ證書アルトキハ質權設定ノ證書ノ交付ヲ爲スニ因リテ其效力ヲ生ス

第三百六十四條　指名債權ヲ以テ質權ノ目的トス場合ニ於テハ第四百六十七條ノ規定ニ從ヒ第三債務者ニ質權ノ設定ヲ通知シ又ハ第三債務者カ之ヲ承諾スルニ非サレハ之ヲ以テ第三債務者其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ記名ノ株式ニハ之ヲ適用セス

第三百六十五條　記名ノ社債ヲ以テ質權ノ目

ノ注意ヲ以テ留置物ヲ占有スルコトヲ要ス

留置權者ハ債務者ノ承諾ナクシテ留置物ノ使用若クハ賃貸ヲ爲シ又ハ之ヲ擔保ニ供スルコトヲ得ス但其物ノ保存ニ必要ナル使用ヲ爲スハ此限ニ在ラス

留置權者カ前二項ノ規定ニ違反シタルトキハ債務者ハ留置權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得

第二百九十九條　留置權者カ留置物ニ付キ必要費ヲ出タシタルトキハ所有者ヲシテ其償還ヲ爲サシムルコトヲ得

留置權者カ留置物ニ付キ有益費ヲ出タシタルトキハ其價格ノ增加カ現存スル場合ニ限リ所有者ノ選擇ニ從ヒ其費シタル金額又ハ增價額ヲ償還セシムルコトヲ得但裁判所ハ所有者ノ請求ニ因リ之ニ相當ノ期限ヲ許與スルコトヲ得

第三百條　留置權ノ行使ハ債權ノ消滅時效ノ進行ヲ妨ケス

第三百一條　債務者ハ相當ノ擔保ヲ供シテ留置權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得

第三百二條　留置權ハ占有ノ喪失ニ因リテ消滅ス但第二百九十八條第二項ノ規定ニ依リ賃貸又ハ質入ヲ爲シタル場合ハ此限ニ在ラス

第八章　先取特權

第一節　總則

第三百三條　先取特權者ハ本法其他ノ法律ノ規定ニ從ヒ其債務者ノ財產ニ付キ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

第三百四條　先取特權ハ其目的物ノ賣却、賃貸、滅失又ハ毀損ニ因リテ債務者カ受クヘキ金錢其他ノ物ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但先取特權者ハ其拂渡前ニ差押ヲ爲スコトヲ要ス

債務者カ先取特權ノ目的物ノ上ニ設定シタル物權ノ對價ニ付キ亦同シ

第三百五條　第二百九十六條ノ規定ハ先取特權ニ之ヲ準用ス

第二節　先取特權ノ種類

第三百六條　一般ノ先取特權ハ左ノ債權ニ付キ總財產ノ上ニ存在ス

一　共益ノ費用

二　雇人ノ給料

三　雇人ノ給料

四　日用品ノ供給

第三百七條　共益費用ノ先取特權ハ各債權者ノ共同利益ノ爲メニ爲シタル債務者ノ總財產ノ保存、清算又ハ配當ニ關スル費用ニ付キ存在ス

前項ノ費用中總債權者ニ有益ナラサリシモノニ付テハ先取特權ハ其費用ノ爲メ利益ヲ受ケタル債權者ニ對シテノミ存在ス

第三百八條　雇人給料ノ先取特權ハ債務者ノ身分ニ應シテ爲シタル雜式ノ費用ニ付テモ亦存在ス

前項ノ先取特權ハ債務者カ其扶養スヘキ親族又ハ家族ノ身分ニ應シテ爲シタル雜式ノ費用ニ付テモ亦存在ス

第三百九條　雇人給料ノ先取特權ハ債務者ノ雇入カ受クヘキ最後ノ六ヶ月間ノ給料ニ付キ存在ス但其金額ハ五十圓ヲ限トス

第三百十條　日用品供給ノ先取特權ハ債務者又ハ其扶養スヘキ同居ノ親族竝ニ家族及ヒ其僕婢ノ生活ニ必要ナル最後ノ六ヶ月間ノ飲食品及ヒ薪炭油ノ供給ニ付キ存在ス

第三百十一條　左ニ揭ケタル原因ヨリ生シタル債權ヲ有スル者ハ債務者ノ特定動產ノ上ニ先取特權ヲ有ス

一　不動產ノ賃貸借

二　旅店ノ宿泊

三　旅客又ハ荷物ノ運輸

四　公吏ノ職務上ノ過失

五　動產ノ保存

六　動產ノ賣買

七　種苗又ハ肥料ノ供給

八　農工業ノ勞役

第三百十二條　不動產賃貸ノ先取特權ハ其不動產ノ債貸其他賃貸借關係ヨリ生シタル賃借人ノ債務ニ付キ賃借人ノ動產ノ上ニ存在ス

第三百十三條　土地ノ賃貸人ノ先取特權ハ賃借地又ハ其利用ノ爲メニスル建物ニ備附ケタル動產、其土地ノ利用ニ供シタル動產及ヒ賃借人ノ占有ニ在ル其土地ノ果實ノ上ニ存在ス

建物ノ賃貸人ノ先取特權ハ賃借人カ其建物ニ備附ケタル動產ノ上ニ存在ス

第三百十四條　賃借權ノ讓渡又ハ轉貸ノ場合ニ於テハ賃貸人ノ先取特權ハ讓受人又ハ轉借人ノ動產ニ及フ讓渡人又ハ轉貸人カ受ケヘキ金額ニ付キ亦同シ

第三百十五條　賃借人ノ財產ノ競賣ノ場合ニ於テハ賃貸人ノ先取特權ハ前期、當期及ヒ次期ノ借賃其他ノ債務ヲ辨濟セサル間ハ競賣ノ目的タル動產ニ付テノミ存在ス

第三百十六條　賃貸人カ敷金ヲ受取リタル場合ニ於テハ其敷金ヲ以テ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テノミ先取特權ヲ有ス

第三百十七條　旅店宿泊ノ先取特權ハ旅客、其從者及ヒ牛馬ノ宿泊料竝ニ飲食料ニ付キ其旅店ニ存スル手荷物ノ上ニ存在ス

第三百十八條　運輸ノ先取特權ハ旅客又ハ荷物ノ運送賃及ヒ附隨ノ費用ニ付キ運送人ノ手ニ存スル荷物ノ上ニ存在ス

第三百十九條　第百九十二條乃至第百九十五條ノ規定ハ前七條ノ先取特權ニ之ヲ準用ス

第三百二十條　公吏保證金ノ先取特權ハ保證金ヲ供シタル公吏ノ職務上ノ過失ニ因リテ生シタル債權ニ付キ其保證金ノ上ニ存在ス

第三百二十一條　動產保存ノ先取特權ハ動產保存ノ費ニ付キ其動產ノ上ニ存在ス

第三百二十二條　動產賣買ノ先取特權ハ動產ノ代價及ヒ其利息ニ付キ其動產ノ上ニ存在ス

第三百二十三條　種苗肥料供給ノ先取特權ハ種苗又ハ肥料ノ代價及ヒ其利息ニ付キ其種苗又ハ肥料ヲ用キタル後一年内ニ之ヲ用キタル土地ヨリ生シタル果實ノ上ニ存在ス

前項ノ先取特權ハ蠶種又ハ蠶ノ飼養ニ供シタル桑葉ノ供給ニ付キ其蠶種又ハ桑葉ヨリ生シタル物ノ上ニモ亦存在ス

第三百二十四條　農工業勞役ノ先取特權ハ農業ノ勞役者ニ付テハ最後ノ一年間工業ノ勞役者ニ付テハ最後ノ三ヶ月間ノ賃金ニ付キ其勞役ニ因リテ生シタル果實又ハ製作物ノ上ニ存在ス

第三款　不動產ノ先取特權

第三百二十五條　左ニ揭ケタル原因ヨリ生シタル不動產ノ工事ノ費用ハ工事ヲ爲シタル者ノ利益ノ爲メ其不動產ノ上ニ存在ス

前項ノ費用ハ工事ニ因リテ不動產ノ價格カ現ニ增加シタル限度ニ於テノミ先取特權ヲ有ス

一　不動產ノ保存

二　不動產ノ工事

三　不動產ノ賣買

第三百二十六條　不動產保存ノ先取特權ハ不動產ノ保存ノ費ニ付キ其不動產ノ上ニ存在ス

第三百二十七條　不動產工事ノ先取特權ハ工匠、技師及ヒ請負人カ債務者ノ特定不動產ノ上ニ存在ス

前項ノ先取特權ハ其費用ノ爲メ利益ヲ受ケタル者ニ付テノミ存在ス

第三百二十八條　不動產賣買ノ先取特權ハ不動產ノ代價及ヒ其利息ニ付キ其不動產ノ上ニ存在ス

第三節　先取特權ノ順位

第三百二十九條　一般ノ先取特權カ互ニ競合スル場合ニ於テハ其先後ノ順位ハ第三百六條ニ揭ケタル順序ニ從フ

一般ノ先取特權ト特別ノ先取特權ト競合スル場合ニ於テハ特別ノ先取特權ハ一般ノ先取特權ニ先ツ但共益費用ノ先取特權ハ其利益ヲ受ケタル總債權者ニ對シテ優先ノ效力アリ

第三百三十條　同一ノ動產ニ付キ特別ノ先取特權カ競合スル場合ニ於テハ其順位ハ第三百七條ニ揭ケタル順序ニ從フ

第三百三十一條　不動產賃貸ノ先取特權ハ賃貸人カ賃借人ノ動產ノ上ニ存在ス

第三百三十二條　不動產賃貸ノ先取特權ハ賃借人ノ動產ノ上ニ存在ス

第三百三十三條　不動產保存ノ先取特權ハ保存行爲完了ノ後直チニ登記ヲ爲スニ因リテ其效力ヲ保存ス

第三百三十四條　不動產工事ノ先取特權ハ工事ヲ始ムル前ニ其費用ノ豫算額ヲ登記スルニ因リテ其效力ヲ保存ス但工事ノ費用カ豫算額ヲ超ユルトキハ先取特權ハ其超過額ニ付テハ存在セス

工事ニ因リテ生シタル不動產ノ增價額ハ配當加入ノ時裁判所ニ於テ選任シタル鑑定人ヲシテ之ヲ評價セシムルコトヲ要ス

第三百三十五條　不動產賣買ノ先取特權ハ賣買契約ト同時ニ未タ代價又ハ其利息ノ辨濟アラサル旨ヲ登記スルニ因リテ其效力ヲ保存ス

第三百四十一條　先取特權ノ效力ニ付テハ本節ニ定メタルモノノ外抵當權ニ關スル規定ヲ準用ス

第九章　質權

第一節　總則

第三百四十二條　質權者ハ其債權ノ擔保トシテ債務者又ハ第三者ヨリ受取リタル物ヲ占有シ且其物ニ付キ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

第三百四十三條　動產質權者カ質物ノ占有ヲ奪ハレタルトキハ占有回收ノ訴ニ依リテノミ其質物ヲ回復スルコトヲ得

第三百五十四條　動產質權者カ其債權ノ辨濟ヲ受ケサルトキハ正當ノ理由アル場合ニ限リ繼定人ノ評價ニ從ヒ質物ヲ以テ直チニ辨濟ニ充ツルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ質權者ハ債務者ニ其請求ヲ通知スルコトヲ要ス

第三百五十五條　數個ノ債權ヲ擔保スル爲メ同一ノ動產ニ付キ質權ヲ設定シタルトキハ其質權ノ順位ハ設定ノ前後ニ依ル

第三節　不動產質

第三百五十六條　不動產質權者ハ質權ノ目的タル不動產ノ用方ニ從ヒ其使用及ヒ收益ヲ爲スコトヲ得

第三百五十七條　不動產質權者ハ管理ノ費用ヲ拂ヒ其他不動產ノ負擔ニ任ス

第三百五十八條　不動產質權者ハ其債權ノ利息ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百五十九條　前三條ノ規定ハ設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ之ヲ適用セス

第三百六十條　不動產質權ノ存續期間ハ十年ヲ超ユルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ不動產質ヲ設定シタルトキハ其期間ハ之ヲ十年ニ短縮ス

不動產質ノ設定ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ十年ヲ超ユルコトヲ得ス

第三百六十一條　不動產質權ハ外次章ノ規定ヲ準用ス

第四節　權利質

第三百六十二條　質權ハ財產權ヲ以テ其目的トス

前項ノ質權ニハ本節ノ規定ノ外前三節ノ規定ヲ準用ス

第三百六十三條　債權ヲ以テ質權ノ目的トス場合ニ於テハ其設定ハ證書アルトキハ質權設定ノ證書ノ交付ヲ爲スニ因リテ其效力ヲ生ス

第三百六十四條　指名債權ヲ以テ質權ノ目的トス場合ニ於テハ第四百六十七條ノ規定ニ從ヒ第三債務者ニ質權ノ設定ヲ通知シ又ハ第三債務者カ之ヲ承諾スルニ非サレハ之ヲ以テ第三債務者其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ記名ノ株式ニハ之ヲ適用セス

第三百六十五條　記名ノ社債ヲ以テ質權ノ目

第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ受ケタルトキハ其後一年内ニ抵當不動産ノ差押アリタル場合ニ限リ前項但書ノ規定ヲ適用ス

第三百七十二條　第二百九十六條、第三百四條及ヒ第三百五十一條ノ規定ハ抵當權ニ之ヲ準用ス

第二節　抵當權ノ效力

第三百七十三條　數個ノ債權ヲ擔保スル爲メ同一ノ不動産ニ付キ抵當權ヲ設定シタルトキハ其抵當權ノ順位ハ登記ノ前後ニ依ル

第三百七十四條　抵當權者カ利息其他ノ定期金ヲ請求スル最後ノ二年分ニ付テノミ其抵當權ヲ行フコトヲ得但其以前ノ定期金ニ付テモ滿期後特別ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ妨ケス

第三百七十五條　抵當權者カ債務ノ不履行ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スル權利ヲ有スル場合ニ於テ其最後ノ二年分ニ付テモ亦之ヲ適用ス但利息其他ノ定期金ト通シテ二年分ヲ超ユルコトヲ得ス

第三百七十六條　抵當權者ハ其抵當權ヲ以テ他ノ債權ノ擔保ト爲シ又同一ノ債務者ニ對スル他ノ債權ノ擔保ト爲シ又之ヲ抛棄スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ抵當權者カ數人ノ爲メニ其抵當權ノ處分ヲ爲シタルトキハ其處分ノ利益ヲ受ケル者ノ權利ノ順位ハ抵當權ノ登記ニ附記ヲ爲シタル前後ニ依ル

第三百七十六條　前條ノ場合ニ於テハ第四百六十七條ノ規定ニ從ヒ主タル債務者ニ抵當權ノ處分ヲ通知シ又ハ其債務者カ之ヲ承諾スルニ非サレハ之ヲ以テ其債務者ニ保證人ニ對抗スルコトヲ得ス

主タル債務者カ前項ノ通知ヲ受ケ又ハ承諾ヲ爲シタルトキハ抵當權ノ處分ノ利益ヲ受ケル者ノ承諾ナクシテ爲シタル辨濟ハ之ヲ以テ其受益者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百七十七條　抵當權者ハ其抵當權ヲ以テ他ノ債權ノ擔保ト爲シ又同一ノ債務者ニ對スル他ノ債權ノ利益ノ爲メニ其抵當權若クハ其順位ヲ讓渡シ又ハ之ヲ抛棄スルコトヲ得

第三百七十八條　抵當權者カ數個ノ債權ヲ以テ同一ノ不動産ニ付キ抵當權ヲ設定シタルトキハ其抵當權ノ順位ハ登記ノ前後ニ依ル

第三百七十九條　抵當權者カ利息其他ノ定期金ヲ請求スル最後ノ二年分ニ付テノミ其抵當權ヲ行フコトヲ得但其以前ノ定期金ニ付テモ滿期後特別ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ妨ケス

前項ノ規定ハ抵當權者カ債務ノ不履行ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スル權利ヲ有スル場合ニ於テ其最後ノ二年分ニ付テモ亦之ヲ適用ス但利息其他ノ定期金ト通シテ二年分ヲ超ユルコトヲ得ス

第三百八十條　抵當權者ハ其抵當權ヲ設定シタルトキハ其抵當權ノ順位ヲ譲渡シ又ハ之ヲ抛棄スルコトヲ得

第三百八十一條　抵當權者カ利息其他ノ定期金ヲ請求スル最後ノ二年分ニ付テノミ其抵當權ヲ行フコトヲ得但其以前ノ定期金ニ付テモ滿期後特別ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ妨ケス

第三百八十二條　第三百七十六條ノ規定ニ從ヒ抵當權者ニ提供シテ其承諾ヲ得タル金額ヲ拂渡シ又ハ之ヲ供託シテ抵當權ヲ滌除スルコトヲ得

第三百八十三條　主タル債務者、保證人及ヒ其承繼人ハ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十四條　停止條件附第三取得者ハ條件ノ成否未定ノ間ハ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十一條　抵當權者カ其抵當權ヲ實行セント欲スルトキハ豫メ第三百七十八條ニ揭ケタル期間内ニ第三取得者ニ對シ各債權者ニ左ノ書類ヲ送達スルコトヲ要ス

一　取得ノ原因、年月日、讓渡人及ヒ取得者ノ氏名、住所、抵當不動産ノ性質、所在、代價其他取得者ノ負擔ヲ記載シタル書面

二　抵當不動産ニ關スル登記簿ノ謄本但既ニ消滅シタル權利ニ關スル登記ハ之ヲ揭ケルコトヲ要セス

三　債權者カ一ケ月内ニ次條ノ規定ニ從ヒ增價競賣ヲ請求セサルトキハ第三取得者ハ第一號ニ揭ケタル代價又ハ特ニ指定シタル金額ヲ債權ノ順位ニ從ヒテ辨濟又ハ供託スヘキ旨ヲ記載シタル書面

第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ受ケタルトキハ其後一年内ニ抵當不動産ノ差押アリタル場合ニ限リ前項但書ノ規定ヲ適用ス

第三百七十二條　第二百九十六條、第三百四條及ヒ第三百五十一條ノ規定ハ抵當權ニ之ヲ準用ス

第二節　抵當權ノ效力

第三百七十三條　數個ノ債權ヲ擔保スル爲メ同一ノ不動産ニ付キ抵當權ヲ設定シタルトキハ其抵當權ノ順位ハ登記ノ前後ニ依ル

第三百七十四條　抵當權者カ利息其他ノ定期金ヲ請求スル最後ノ二年分ニ付テノミ其抵當權ヲ行フコトヲ得但其以前ノ定期金ニ付テモ滿期後特別ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ妨ケス

第三百七十五條　抵當權者カ債務ノ不履行ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スル權利ヲ有スル場合ニ於テ其最後ノ二年分ニ付テモ亦之ヲ適用ス但利息其他ノ定期金ト通シテ二年分ヲ超ユルコトヲ得ス

第三百七十六條　抵當權者ハ其抵當權ヲ以テ他ノ債權ノ擔保ト爲シ又同一ノ債務者ニ對スル他ノ債權ノ利益ノ爲メニ其抵當權若クハ其順位ヲ讓渡シ又ハ之ヲ抛棄スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ抵當權者カ數人ノ爲メニ其抵當權ノ處分ヲ爲シタルトキハ其處分ノ利益ヲ受ケル者ノ權利ノ順位ハ抵當權ノ登記ニ附記ヲ爲シタル前後ニ依ル

第三百七十六條　前條ノ場合ニ於テハ第四百六十七條ノ規定ニ從ヒ主タル債務者ニ抵當權ノ處分ヲ通知シ又ハ其債務者カ之ヲ承諾スルニ非サレハ之ヲ以テ其債務者ニ保證人ニ對抗スルコトヲ得ス

主タル債務者カ前項ノ通知ヲ受ケ又ハ承諾ヲ爲シタルトキハ抵當權ノ處分ノ利益ヲ受ケル者ノ承諾ナクシテ爲シタル辨濟ハ之ヲ以テ其受益者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百七十七條　抵當權者ハ其抵當權ヲ以テ他ノ債權ノ擔保ト爲シ又同一ノ債務者ニ對スル他ノ債權ノ利益ノ爲メニ其抵當權若クハ其順位ヲ讓渡シ又ハ之ヲ抛棄スルコトヲ得

第三百七十八條　抵當權者カ數個ノ債權ヲ以テ同一ノ不動産ニ付キ抵當權ヲ設定シタルトキハ其抵當權ノ順位ハ登記ノ前後ニ依ル

第三百七十九條　抵當權者カ利息其他ノ定期金ヲ請求スル最後ノ二年分ニ付テノミ其抵當權ヲ行フコトヲ得但其以前ノ定期金ニ付テモ滿期後特別ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ妨ケス

第三百八十條　抵當權者ハ其抵當權ヲ設定シタルトキハ其抵當權ノ順位ヲ讓渡シ又ハ抛棄スルコトヲ得

第三百八十一條　抵當權者カ利息其他ノ定期金ヲ請求スル最後ノ二年分ニ付テノミ其抵當權ヲ行フコトヲ得但其以前ノ定期金ニ付テモ滿期後特別ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ妨ケス

第三百八十二條　第三百七十六條ノ規定ニ從ヒ抵當權者ニ提供シテ其承諾ヲ得タル金額ヲ拂渡シ又ハ之ヲ供託シテ抵當權ヲ滌除スルコトヲ得

第三百八十三條　主タル債務者、保證人及ヒ其承繼人ハ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十四條　停止條件附第三取得者ハ條件ノ成否未定ノ間ハ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十五條　第三百七十六條ノ規定ニ從ヒ抵當權者ニ提供シテ其承諾ヲ得タル金額ヲ拂渡シ又ハ之ヲ供託シテ抵當權ヲ滌除スルコトヲ得ス

第三百八十六條　抵當權者カ第三取得者ニ對シテ各債權者ノ左ノ書類ヲ送達スルコトヲ要ス

一　取得ノ原因、年月日、讓渡人及ヒ取得者ノ氏名、住所、抵當不動産ノ性質、所在、代價其他取得者ノ負擔ヲ記載シタル書面

二　抵當不動産ニ關スル登記簿ノ謄本但既ニ消滅シタル權利ニ關スル登記ハ之ヲ揭ケルコトヲ要ス

第三百八十七條　抵當權者カ第三百八十二條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ヨリ債務ノ辨濟又ハ滌除ノ通知ヲ受ケサルトキハ抵當不動産ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百八十八條　抵當權者カ增價競賣ヲ請求スルニハ其他ノ定期金ヲ請求スル權利ヲ有スルトキハ其滿期後ノ二年分ニ付テノミ其抵當權ヲ行フコトヲ得但其以前ノ定期金ニ付テモ滿期後特別ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ妨ケス

第三百八十九條　抵當權者カ第三百八十二條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ヨリ債務ノ辨濟又ハ滌除ノ通知ヲ受ケサルトキハ抵當不動産ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十八條　抵當權者カ增價競賣ヲ請求スルニハ其他ノ定期金ヲ請求スル權利ヲ有スルトキハ其滿期後ノ二年分ニ付テノミ其抵當權ヲ行フコトヲ得但其以前ノ定期金ニ付テモ滿期後特別ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ妨ケス

第三百八十七條　抵當權者カ第三百八十二條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ヨリ債務ノ辨濟又ハ滌除ノ通知ヲ受ケサルトキハ抵當不動産ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百八十八條　抵當權者カ增價競賣ヲ請求スルニハ其他ノ定期金ヲ請求スル權利ヲ有スルトキハ其滿期後ノ二年分ニ付テノミ其抵當權ヲ行フコトヲ得但其以前ノ定期金ニ付テモ滿期後特別ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ妨ケス

第三百八十九條　抵當權者カ第三百八十二條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ヨリ債務ノ辨濟又ハ滌除ノ通知ヲ受ケサルトキハ抵當不動産ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百八十四條　債權者カ前條ノ送達ヲ受クタル後一个月内ニ增價競賣ヲ請求セサルトキハ第三取得者ノ提供ヲ承諾シタルモノト看做ス

增價競賣ハ若シ競賣ニ於テ第三取得者カ提供シタル金額ヨリ十分ノ一以上高價ニ抵當不動産ヲ賣却スルコト能ハサルトキハ十分ノ一ノ增價ヲ以テ自ラ其不動産ヲ受クヘキ旨ヲ附言シ第三取得者ニ對シテ之ヲ請求スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ債權者ハ代價及ヒ費用ニ付キ擔保ヲ供スルコトヲ要ス

第三百八十五條　債權者カ增價競賣ヲ請求スルトキハ前條ノ期間内ニ債務者及ヒ抵當不動産ノ讓渡人ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第三百八十六條　增價競賣ヲ請求シタル債權者ハ登記ノ前後ニ依リ裁判所ノ定ムル順序ニ從ヒ競賣ノ開始ヲ聲請スルコトヲ得

第三百八十七條　抵當權者カ第三百八十二條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ヨリ債務ノ辨濟又ハ滌除ノ通知ヲ受ケサルトキハ抵當不動産ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百八十八條　抵當權者カ增價競賣ヲ請求スルニハ其他ノ定期金ヲ請求スル權利ヲ有スルトキハ其滿期後ノ二年分ニ付テノミ其抵當權ヲ行フコトヲ得但其以前ノ定期金ニ付テモ滿期後特別ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ妨ケス

第三百八十九條　抵當權者カ第三百八十二條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ヨリ債務ノ辨濟又ハ滌除ノ通知ヲ受ケサルトキハ抵當不動産ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百九十條　抵當權者カ增價競賣ヲ請求シタルトキハ第三取得者ハ競賣人トシテ競賣ニ參加スルコトヲ得

第三百九十一條　第三取得者カ抵當不動産ニ付キ必要費ヲ出タシタルトキハ第三百九十六條ノ區別ニ從ヒ不動産ノ代價ヲ以テ最モ先ニ其費還ヲ受クルコトヲ得

第三百九十二條　債權者カ同一ノ債權ノ擔保ト爲シテ數個ノ不動産ニ付キ所有權又ハ地上權又ハ永小作權ヲ取得シタル第三者ハ第三百八十二條乃至第三百八十四條ノ規定ニ從ヒ抵當權者ニ提供シテ其承諾ヲ得タル金額ヲ拂渡シ又ハ之ヲ供託シテ抵當權ヲ滌除スルコトヲ得

第三百九十三條　主タル債務者、保證人及ヒ其承繼人ハ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九十四條　停止條件附第三取得者ハ條件ノ成否未定ノ間ハ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九十五條　第三百八十六條ノ規定ニ從ヒ抵當權者ニ提供シテ其承諾ヲ得タル金額ヲ拂渡シ又ハ之ヲ供託シテ抵當權ヲ滌除スルコトヲ得ス

第三百九十六條　抵當權者カ第三取得者ニ對シテ各債權者ノ左ノ書類ヲ送達スルコトヲ要ス

一　取得ノ原因、年月日、讓渡人及ヒ取得者ノ氏名、住所、抵當不動産ノ性質、所在、代價其他取得者ノ負擔ヲ記載シタル書面

二　抵當不動産ニ關スル登記簿ノ謄本但既ニ消滅シタル權利ニ關スル登記ハ之ヲ揭ケルコトヲ要ス

第三百九十七條　抵當權者カ第三百九十二條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ヨリ債務ノ辨濟又ハ滌除ノ通知ヲ受ケサルトキハ抵當不動産ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百九十八條　抵當權者カ增價競賣ヲ請求スルニハ其他ノ定期金ヲ請求スル權利ヲ有スルトキハ其滿期後ノ二年分ニ付テノミ其抵當權ヲ行フコトヲ得但其以前ノ定期金ニ付テモ滿期後特別ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ妨ケス

第三百九十九條　抵當權者カ增價競賣ヲ請求シタルトキハ第三取得者ハ競賣人トシテ競賣ニ參加スルコトヲ得

第四百條　債權ノ目的カ特定物ノ引渡ナルトキハ債務者ハ其引渡ヲ爲スマテ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ其物ヲ保存スルコトヲ要ス

第四百一條　債權ノ目的物ヲ指示スルニ種類ノミヲ以テシタル場合ニ於テ法律行爲ノ性質又ハ當事者ノ意思ニ依リテ其品質ヲ定ムルコト能ハサルトキハ債務者ハ中等ノ品質ヲ有スル物ヲ給付スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ債務者カ物ノ給付ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ完了シ又ハ債權者ノ同意ヲ得テ其給付スヘキ物ヲ指定シタルトキハ爾後其物ヲ以テ債權ノ目的物トス

第四百二條　債權ノ目的カ金錢ナルトキハ債務者ハ其選擇ニ從ヒ各種ノ通貨ヲ以テ辨濟ヲ爲スコトヲ得但特種ノ通貨ノ給付ヲ以テ債權ノ目的ト爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第四百三條　外國ノ通貨ヲ以テ債權額ヲ指定シタルトキハ債務者ハ履行地ニ於ケル爲替相場ニ依リ日本ノ通貨ヲ以テ辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四百四條　利息ヲ生スヘキ債權ニ付キ別段ノ意思表示ナキトキハ其利率ハ年五分トス

第四百五條　利息カ一年分以上延滯シタル場合ニ於テ債權者ヨリ催告ヲ爲スモ債務者カ其利息ヲ辨ヘサルトキハ債權者ハ之ヲ元本ニ組入ルコトヲ得

第四百六條　債權ノ目的カ數個ノ給付中選擇者ニ屬ス

第四百七條　前條ノ選擇權ハ相手方ニ對スル意思表示ニ依リテ之ヲ行フ

前項ノ意思表示ハ相手方ノ承諾アルニ非サレハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第四百八條　債權カ辨濟期ニ在ル場合ニ於テ相手方ヨリ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲スモ選擇權ヲ有スル當事者カ其期間内ニ選擇ヲ爲ササルトキハ其選擇權ハ相手方ニ屬ス

第四百九條　第三者カ選擇ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ其選擇權ハ債權者又ハ債務者ニ對スル意思表示ニ依リテ之ヲ決ス

第三者カ選擇ヲ爲スコト能ハス又ハ之ヲ欲セサルトキハ選擇權ハ債務者ニ屬ス

第四百十條　債權ノ目的タル給付中始ヨリ不能ナルモノ又ハ後ニ至リテ不能ト爲リタルモノアルトキハ債權ハ其殘存スルモノニ付キ存在ス

選擇權ヲ有セサル當事者ノ過失ニ因リテ給付カ不能ト爲リタルトキハ前項ノ規定ヲ適用セス

第四百十一條　選擇ハ債權發生ノ時ニ遡リテ其效力ヲ生ス但第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス

第二節　債權ノ效力

第四百十二條　債權ノ履行ニ付キ確定期限アルトキハ債務者ハ其期限ノ到來シタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

債務ノ履行ニ付キ不確定期限アルトキハ債務者ハ其期限ノ到來シタルコトヲ知リタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

債務ノ履行ニ付キ期間ヲ定メサリシトキハ債務者ハ履行ノ請求ヲ受ケタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

第四百十三條　債權者カ債務ノ履行ヲ受クルニ非サレハ時效ニ因リテ消滅セス

第四百十四條　債務者又ハ抵當權設定者ニ對シテハ共擔保ス但利息其他一年又ハ一年ニ至ラサル定期ノ金錢ノ債權ニ付テハ此限ニ在ラス

第四百十五條　債務者又ハ抵當權設定者ニ對シテハ共擔保ス但利息其他一年又ハ一年ニ至ラサル定期ノ金錢ノ債權ニ付テハ此限ニ在ラス

第四百十六條　債務者カ其債務ノ履行ヲ怠リタルトキハ債權者ハ其費用ヲ以テ履行ヲ爲サシムルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但債務ノ性質カ之ヲ許ササルトキハ此限ニ在ラス

債務ノ性質カ强制履行ヲ許ササル場合ニ於テ其債務カ作爲ヲ目的トスルトキハ債權者ハ債務者ノ費用ヲ以テ第三者ニ之ヲ爲サシムルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但法律行爲ヲ目的トスル債務ニ付テハ裁判ヲ以テ意思表示ニ代フルコトヲ得

不作爲ヲ目的トスル債務ニ付テハ債務者ノ費用ヲ以テ其爲シタルモノヲ除却シ且將來ノ爲メ適當ノ處分ヲ爲スコトヲ請求スルコトヲ得

第四百十五條　損害賠償ノ請求ヲ妨ケス

前三項ノ規定ハ損害賠償ノ請求ニ付キ何等ノ影響ヲモ及ホサス

第四百十六條　損害賠償ノ請求ハ債務ノ本旨ニ從ヒタル履行ヲ爲ササルトキハ債權者ハ其損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得債務者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ履行ヲ爲スコト能ハサルトキ亦同シ

第四百十六條　損害賠償ノ請求、債務ノ不履行ニ因リテ通常生スヘキ損害ノ賠償ヲ爲サシムルヲ以テ其目的トス

特別ノ事情ニ因リテ生シタル損害ト雖モ當事者カ其事情ヲ豫見シ又ハ豫見スルコトヲ得ヘカリシトキハ債權者ハ其賠償ヲ請求スルコトヲ得

第四百十七條　損害賠償ハ別段ノ意思表示ナキトキハ金錢ヲ以テ其額ヲ定ム

第四百十八條　債務ノ不履行ニ關シ債權者ニ過失アリタルトキハ裁判所ハ損害賠償ノ責任及ヒ其金額ヲ定ムルニ付キ之ヲ斟酌ス

第四百十九條　金錢ヲ目的トスル債務ノ不履行ニ付テハ其損害賠償ノ額ハ法定利率ニ依リテ之ヲ定ム但約定利率ハ法定利率ニ超ユルトキハ約定利率ニ依ル

前項ノ損害賠償ニ付テハ債權者ハ損害ノ證明ヲ爲スコトヲ要セス又債務者ハ不可抗力ヲ以テ抗辯ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二十條　當事者ハ債務ノ不履行ニ付キ損害賠償ノ額ヲ豫定スルコトヲ得此場合ニ於テハ裁判所ハ其額ヲ增減スルコトヲ得ス

賠償額ノ豫定ハ履行ヲ請求シ及ヒ違約金ノ請求ニ妨ケヲ爲サス

第四百二十一條　前條ノ豫定ハ不動産ノ所有權ヲ移轉スル爲メ又ハ他人ノ不動産ヲ賣買スル爲メ手附ヲ交付シタル場合ニ於テハ之ヲ適用セス

第四百二十二條　債務ノ履行ニ付キ確定期限アルトキハ債務者ハ其期限ノ到來シタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

債務ノ履行ニ付キ不確定期限アルトキハ債務者ハ其期限ノ到來シタルコトヲ知リタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

債務ノ履行ニ付キ期限ヲ定メサリシトキハ債務者ハ履行ノ請求ヲ受ケタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

第四百二十三條　債權者カ債務ノ履行ヲ受クルニ非サレハ時效ニ因リテ消滅セス

第四百二十四條　債務者又ハ抵當權設定者ニ對シテハ共擔保ス但利息其他一年又ハ一年ニ至ラサル定期ノ金錢ノ債權ニ付テハ此限ニ在ラス

第四百二十五條　債務者又ハ抵當權設定者ニ對シテハ共擔保ス但利息其他一年又ハ一年ニ至ラサル定期ノ金錢ノ債權ニ付テハ此限ニ在ラス

第四百二十六條　債務者カ其債務ノ履行ヲ怠リタルトキハ債權者ハ其費用ヲ以テ履行ヲ爲サシムルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但債務ノ性質カ之ヲ許ササルトキハ此限ニ在ラス

債務ノ性質カ强制履行ヲ許ササル場合ニ於テ其債務カ作爲ヲ目的トスルトキハ債權者ハ債務者ノ費用ヲ以テ第三者ニ之ヲ爲サシムルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但法律行爲ヲ目的トスル債務ニ付テハ裁判ヲ以テ意思表示ニ代フルコトヲ得

不作爲ヲ目的トスル債務ニ付テハ債務者ノ費用ヲ以テ其爲シタルモノヲ除却シ且將來ノ爲メ適當ノ處分ヲ爲スコトヲ請求スルコトヲ得

第四百二十七條　損害賠償ハ別段ノ意思表示ナキトキハ金錢ヲ以テ其額ヲ定ム

第四百二十八條　債務ノ不履行ニ關シ債權者ニ過失アリタルトキハ裁判所ハ損害賠償ノ責任及ヒ其金額ヲ定ムルニ付キ之ヲ斟酌ス

第四百二十九條　金錢ヲ目的トスル債務ノ不履行ニ付テハ其損害賠償ノ額ハ法定利率ニ依リテ之ヲ定ム但約定利率ハ法定利率ニ超ユルトキハ約定利率ニ依ル

前項ノ損害賠償ニ付テハ債權者ハ損害ノ證明ヲ爲スコトヲ要セス又債務者ハ不可抗力ヲ以テ抗辯ヲ爲スコトヲ得ス

第四百三十條　當事者ハ債務ノ不履行ニ付キ損害賠償ノ額ヲ豫定スルコトヲ得此場合ニ於テハ裁判所ハ其額ヲ增減スルコトヲ得ス

賠償額ノ豫定ハ履行ヲ請求シ及ヒ違約金ノ請求ニ妨ケヲ爲サス

第四百三十一條　前條ノ豫定ハ不動産ノ所有權ヲ移轉スル爲メ又ハ他人ノ不動産ヲ賣買スル爲メ手附ヲ交付シタル場合ニ於テハ之ヲ適用セス

第四百三十二條　債務ノ履行ニ付キ確定期限アルトキハ債務者ハ其期限ノ到來シタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

債務ノ履行ニ付キ不確定期限アルトキハ債務者ハ其期限ノ到來シタルコトヲ知リタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

債務ノ履行ニ付キ期限ヲ定メサリシトキハ債務者ハ履行ノ請求ヲ受ケタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

第四百三十三條　債權者カ債務ノ履行ヲ受クルニ非サレハ時效ニ因リテ消滅セス

第四百三十四條　債務者又ハ抵當權設定者ニ對シテハ共擔保ス但利息其他一年又ハ一年ニ至ラサル定期ノ金錢ノ債權ニ付テハ此限ニ在ラス

第四百三十五條　債務者又ハ抵當權設定者ニ對シテハ共擔保ス但利息其他一年又ハ一年ニ至ラサル定期ノ金錢ノ債權ニ付テハ此限ニ在ラス

第四百三十六條　債務者カ其債務ノ履行ヲ怠リタルトキハ債權者ハ其費用ヲ以テ履行ヲ爲サシムルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但債務ノ性質カ之ヲ許ササルトキハ此限ニ在ラス

債務ノ性質カ强制履行ヲ許ササル場合ニ於テ其債務カ作爲ヲ目的トスルトキハ債權者ハ債務者ノ費用ヲ以テ第三者ニ之ヲ爲サシムルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但法律行爲ヲ目的トスル債務ニ付テハ裁判ヲ以テ意思表示ニ代フルコトヲ得

不作爲ヲ目的トスル債務ニ付テハ債務者ノ費用ヲ以テ其爲シタルモノヲ除却シ且將來ノ爲メ適當ノ處分ヲ爲スコトヲ請求スルコトヲ得

第四百三十七條　損害賠償ハ別段ノ意思表示ナキトキハ金錢ヲ以テ其額ヲ定ム

第四百三十八條　債務ノ不履行ニ關シ債權者ニ過失アリタルトキハ裁判所ハ損害賠償ノ責任及ヒ其金額ヲ定ムルニ付キ之ヲ斟酌ス

第四百三十九條　金錢ヲ目的トスル債務ノ不履行ニ付テハ其損害賠償ノ額ハ法定利率ニ依リテ之ヲ定ム但約定利率ハ法定利率ニ超ユルトキハ約定利率ニ依ル

前項ノ損害賠償ニ付テハ債權者ハ損害ノ證明ヲ爲スコトヲ要セス又債務者ハ不可抗力ヲ以テ抗辯ヲ爲スコトヲ得ス

第四百四十條　當事者ハ債務ノ不履行ニ付キ損害賠償ノ額ヲ豫定スルコトヲ得此場合ニ於テハ裁判所ハ其額ヲ增減スルコトヲ得ス

賠償額ノ豫定ハ履行ヲ請求シ及ヒ違約金ノ請求ニ妨ケヲ爲サス

第四百四十一條　前條ノ豫定ハ不動産ノ所有權ヲ移轉スル爲メ又ハ他人ノ不動産ヲ賣買スル爲メ手附ヲ交付シタル場合ニ於テハ之ヲ適用セス

第四百四十二條　債務ノ履行ニ付キ確定期限アルトキハ債務者ハ其期限ノ到來シタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

債務ノ履行ニ付キ不確定期限アルトキハ債務者ハ其期限ノ到來シタルコトヲ知リタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

債務ノ履行ニ付キ期限ヲ定メサリシトキハ債務者ハ履行ノ請求ヲ受ケタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

第四百四十三條　債權者カ債務ノ履行ヲ受クルニ非サレハ時效ニ因リテ消滅セス

第四百四十四條　債務者又ハ抵當權設定者ニ對シテハ共擔保ス但利息其他一年又ハ一年ニ至ラサル定期ノ金錢ノ債權ニ付テハ此限ニ在ラス

第四百四十五條　債務者又ハ抵當權設定者ニ對シテハ共擔保ス但利息其他一年又ハ一年ニ至ラサル定期ノ金錢ノ債權ニ付テハ此限ニ在ラス

第四百四十六條　債務者カ其債務ノ履行ヲ怠リタルトキハ債權者ハ其費用ヲ以テ履行ヲ爲サシムルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但債務ノ性質カ之ヲ許ササルトキハ此限ニ在ラス

債務ノ性質カ强制履行ヲ許ササル場合ニ於テ其債務カ作爲ヲ目的トスルトキハ債權者ハ債務者ノ費用ヲ以テ第三者ニ之ヲ爲サシムルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但法律行爲ヲ目的トスル債務ニ付テハ裁判ヲ以テ意思表示ニ代フルコトヲ得

不作爲ヲ目的トスル債務ニ付テハ債務者ノ費用ヲ以テ其爲シタルモノヲ除却シ且將來ノ爲メ適當ノ處分ヲ爲スコトヲ請求スルコトヲ得

第四百四十七條　損害賠償ハ別段ノ意思表示ナキトキハ金錢ヲ以テ其額ヲ定ム

第四百四十八條　債務ノ不履行ニ關シ債權者ニ過失アリタルトキハ裁判所ハ損害賠償ノ責任及ヒ其金額ヲ定ムルニ付キ之ヲ斟酌ス

第四百四十九條　金錢ヲ目的トスル債務ノ不履行ニ付テハ其損害賠償ノ額ハ法定利率ニ依リテ之ヲ定ム但約定利率ハ法定利率ニ超ユルトキハ約定利率ニ依ル

前項ノ損害賠償ニ付テハ債權者ハ損害ノ證明ヲ爲スコトヲ要セス又債務者ハ不可抗力ヲ以テ抗辯ヲ爲スコトヲ得ス

第四百五十條　當事者ハ債務ノ不履行ニ付キ損害賠償ノ額ヲ豫定スルコトヲ得此場合ニ於テハ裁判所ハ其額ヲ增減スルコトヲ得ス

賠償額ノ豫定ハ履行ヲ請求シ及ヒ違約金ノ請求ニ妨ケヲ爲サス

第四百五十一條　前條ノ豫定ハ不動産ノ所有權ヲ移轉スル爲メ又ハ他人ノ不動産ヲ賣買スル爲メ手附ヲ交付シタル場合ニ於テハ之ヲ適用セス

第四百五十二條　債務ノ履行ニ付キ確定期限アルトキハ債務者ハ其期限ノ到來シタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

債務ノ履行ニ付キ不確定期限アルトキハ債務者ハ其期限ノ到來シタルコトヲ知リタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

債務ノ履行ニ付キ期限ヲ定メサリシトキハ債務者ハ履行ノ請求ヲ受ケタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

第四百五十三條　債權者カ債務ノ履行ヲ受クルニ非サレハ時效ニ因リテ消滅セス

第四百五十四條　債務者又ハ抵當權設定者ニ對シテハ共擔保ス但利息其他一年又ハ一年ニ至ラサル定期ノ金錢ノ債權ニ付テハ此限ニ在ラス

第四百五十五條　債務者又ハ抵當權設定者ニ對シテハ共擔保ス但利息其他一年又ハ一年ニ至ラサル定期ノ金錢ノ債權ニ付テハ此限ニ在ラス

第四百五十六條　債務者カ其債務ノ履行ヲ怠リタルトキハ債權者ハ其費用ヲ以テ履行ヲ爲サシムルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但債務ノ性質カ之ヲ許ササルトキハ此限ニ在ラス

債務ノ性質カ强制履行ヲ許ササル場合ニ於テ其債務カ作爲ヲ目的トスルトキハ債權者ハ債務者ノ費用ヲ以テ第三者ニ之ヲ爲サシムルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但法律行爲ヲ目的トスル債務ニ付テハ裁判ヲ以テ意思表示ニ代フルコトヲ得

不作爲ヲ目的トスル債務ニ付テハ債務者ノ費用ヲ以テ其爲シタルモノヲ除却シ且將來ノ爲メ適當ノ處分ヲ爲スコトヲ請求スルコトヲ得

第四百五十七條　損害賠償ハ別段ノ意思表示ナキトキハ金錢ヲ以テ其額ヲ定ム

第四百五十八條　債務ノ不履行ニ關シ債權者ニ過失アリタルトキハ裁判所ハ損害賠償ノ責任及ヒ其金額ヲ定ムルニ付キ之ヲ斟酌ス

第四百五十九條　金錢ヲ目的トスル債務ノ不履行ニ付テハ其損害賠償ノ額ハ法定利率ニ依リテ之ヲ定ム但約定利率ハ法定利率ニ超ユルトキハ約定利率ニ依ル

前項ノ損害賠償ニ付テハ債權者ハ損害ノ證明ヲ爲スコトヲ要セス又債務者ハ不可抗力ヲ以テ抗辯ヲ爲スコトヲ得ス

第四百六十條　當事者ハ債務ノ不履行ニ付キ損害賠償ノ額ヲ豫定スルコトヲ得此場合ニ於テハ裁判所ハ其額ヲ增減スルコトヲ得ス

賠償額ノ豫定ハ履行ヲ請求シ及ヒ違約金ノ請求ニ妨ケヲ爲サス

第四百六十一條　前條ノ豫定ハ不動産ノ所有權ヲ移轉スル爲メ又ハ他人ノ不動産ヲ賣買スル爲メ手附ヲ交付シタル場合ニ於テハ之ヲ適用セス

第四百六十二條　債務ノ履行ニ付キ確定期限アルトキハ債務者ハ其期限ノ到來シタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

債務ノ履行ニ付キ不確定期限アルトキハ債務者ハ其期限ノ到來シタルコトヲ知リタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

債務ノ履行ニ付キ期限ヲ定メサリシトキハ債務者ハ履行ノ請求ヲ受ケタル時ヨリ遲滯ノ責ニ

ヲ失ハサレハ之ニ分與スヘキ利益ヲ債務者ニ償還スルコトヲ要ス

第四百十條　前二條ノ場合ニ於テハ他ノ債務者ハ自己ノ債權ヲ保全スル爲メ其債務者ニ屬スル權利ヲ行フコトヲ得但債務者ノ一身ニ專屬スル權利ハ此限ニ在ラス

債權者ハ其債權ノ期限カ到來セサル間ハ裁判上ノ代位ニ非サレハ前項ノ權利ヲ行フコトヲ得ス但保存行爲ハ此限ニ在ラス

第四百十一條　債權者ハ債務者カ其債權者ヲ害スルヿヲ知リテ爲シタル法律行爲ヲ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但其行爲ニ因リテ利益ヲ受ケタル者又ハ轉得者カ其行爲又ハ轉得ノ當時債權者ヲ害スヘキ事實ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ財産權ヲ目的トセサル法律行爲ニハ之ヲ適用セス

第四百十二條　前條ノ規定ニ依リテ爲シタル取消ハ總債權者ノ利益ノ爲メニ其效力ヲ生ス

第四百十三條　第四百二十四條ノ取消權ハ債權者カ取消ノ原因ヲ覺知シタル時ヨリ二年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅ス行爲ノ時ヨリ二十年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第三節　多數當事者ノ債權

第一款　總則

第四百十七條　數人ノ債權者又ハ債務者アル場合ニ於テ別段ノ意思表示ナキトキハ各債權者又ハ各債務者ハ平等ノ割合ヲ以テ權利ヲ有シ又ハ義務ヲ負フ

第二款　不可分債務

第四百二十八條　債權ノ目的カ其性質上又ハ當事者ノ意思表示ニ因リテ不可分ナル場合ニ於テ數人ノ債權者アルトキハ各債務者ハ總債權者ノ爲メニ履行ヲ請求シ又債務者ハ總債權者ノ爲メ各債權者ニ對シテ履行ヲ爲スコトヲ要ス

第四百二十九條　保證人カ主タル務債者ト連帶シテ債務ヲ負擔シタルトキハ前二條ニ定メタル權利ヲ有セス

第四百五十條　第四百五十二條及ヒ第四百五十三條ノ規定ニ依リ保證人ノ請求ヲ爲シ又ハ債務者カ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ其義務ヲ免レ

第四百五十六條　數人ノ保證人アル場合ニ於テハ其保證人カ各別ノ行爲ヲ以テ債務ヲ負擔シタルトキト雖モ第四百二十七條ノ規定ヲ適用ス

第四百五十七條　主タル債務者ニ對スル履行ノ請求其他時效ノ中斷ハ保證人ニ對シテモ其效力ヲ生ス

保證人カ主タル債務者ノ債權ニ依リ相殺ヲ以テ債權者ニ對抗スルコトヲ得

第四百五十八條　主タル債務者カ保證人ト連帶シテ債務ヲ負擔スル場合ニ於テ一人ニ對スル履行ノ請求ハ他ノ保證人ニモ效力ヲ生ス

第四百五十九條　保證人カ主タル務債者ト連帶シテ債務ヲ負擔シタルトキハ前二條ニ定メタル權利ヲ有セス

第四百六十條　保證人カ主タル務債者ノ委託ヲ受ケテ保證ヲ爲シタル場合ニ於テ善意ニテ辨濟其他免責ノ行爲ヲ有效ナリシモノト看做スコトヲ得

第四百六十一條　連帶債務者中ニ債還ヲ爲スヘキ者アルトキハ其債還スルコト能ハサル部分ハ求償者及ヒ他ノ委カアル者ノ間ニ其各自ノ負擔部分ニ應シテ之ヲ分割ス但求償者ニ過失アルトキハ他ノ債務者ニ對シテ分擔ヲ請求スルコトヲ得ス

第四百六十二條　連帶債務者ノ一人カ辨濟其他自己ノ出捐ヲ以テ共同ノ免責ヲ得タル場合ニ於テ他ノ債務者中ニ辨濟ノ資力ナキ者アルトキハ其無資力者カ辨濟スルコト能ハサル部分ニ付キ連帶ノ免除ヲ得タル者カ辨濟スルコト能ハサル部分ニ付キ連帶ノ免除ヲ得タル者カ辨濟スルコト能ハサル部分ニ付キ求償ヲ爲スヿヲ得

第四百六十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對シ其負擔部分ニ付テノミ履行ヲ請求スルコトヲ得又各債務者ハ其負擔部分ニ付テノミ履行ノ責ニ任ス

第三款　連帶債務

第四百六十四條　數人カ連帶債務ヲ負擔スルトキハ債權者ハ其債務者ノ一人ニ對シ又ハ同時若クハ順次ニ總債務者ニ對シ全部又ハ一部ノ履行ヲ請求スルコトヲ得

第四百六十五條　連帶債務者ノ一人ニ付キ法律行爲ノ無效又ハ取消ノ原因ノ存スル爲メ他ノ債務者ノ債務ノ效力ヲ妨クルコトナシ

第四百六十六條　連帶債務者ノ一人ニ對スル履行ノ請求ハ他ノ債務者ニ對シテモ其效力ヲ生ス

第四百六十七條　連帶債務者ノ一人ト債權者トノ間ニ更改アリタルトキハ債權ハ總債務者ノ利益ノ爲メニ消滅ス

第四百六十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對シテ債權ヲ有スル場合ニ於テ其債務者カ相殺ヲ援用シタルトキハ債權ハ總債務者ノ利益ノ爲メニ消滅ス

右ノ債權ヲ有スル債務者カ相殺ヲ援用セサル間ハ其債務者ノ負擔部分ニ付テノミ他ノ債務者ニ於テ相殺ヲ援用スルコトヲ得

第四百六十九條　連帶債務者ノ一人ニ對シテ爲シタル債務ノ免除ハ其債務者ノ負擔部分ニ付テノミ他ノ債務者ノ利益ノ爲メニ效力ヲ生ス

第四百七十條　連帶債務者ノ一人ト債權者トノ間ニ混同アリタルトキハ其債務者ハ辨濟ヲ爲シタルモノト看做ス

第四百七十一條　連帶債務者ノ一人ニ對シテ債權ヲ有スル場合ニ於テ其債務者カ債權ヲ讓渡シ又ハ之ニ對シテ自己ニ免責ヲ得セシメタルトキハ其債務者ハ他ノ債務者ニ對シ讓渡人ニ辨濟シタル旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ讓渡人ニ對抗スルコトヲ得

第四百七十二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル抗辯ハ之ヲ以テ讓受人ニ對抗スルコトヲ得

第四百七十三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百七十四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百七十五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百七十六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百七十七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百七十八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百七十九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百八十條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百八十一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百八十二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百八十三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百八十四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百八十五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百八十六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百八十七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百八十八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百八十九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百九十條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百九十一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百九十二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百九十三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百九十四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百九十五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百九十六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百九十七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百九十八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第四百九十九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百十條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百十一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百十二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百十三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百十四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百十五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百十六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百十七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百十八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百十九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百二十條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百二十一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百二十二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百二十三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百二十四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百二十五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百二十六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百二十七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百二十八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百二十九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百三十條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百三十一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百三十二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百三十三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百三十四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百三十五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百三十六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百三十七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百三十八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百三十九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百四十條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百四十一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百四十二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百四十三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百四十四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百四十五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百四十六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百四十七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百四十八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百四十九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百五十條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百五十一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百五十二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百五十三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百五十四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百五十五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百五十六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百五十七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百五十八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百五十九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百六十條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百六十一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百六十二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百六十三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百六十四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百六十五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百六十六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百六十七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百六十八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百六十九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百七十條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百七十一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百七十二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百七十三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百七十四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百七十五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百七十六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百七十七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百七十八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百七十九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百八十條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百八十一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百八十二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百八十三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百八十四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百八十五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百八十六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百八十七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百八十八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百八十九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百九十條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百九十一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百九十二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百九十三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百九十四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百九十五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百九十六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百九十七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百九十八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第五百九十九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第六百條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第六百一條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第六百二條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第六百三條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第六百四條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第六百五條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第六百六條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第六百七條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第六百八條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第六百九條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

第六百十條　債務者カ債權ノ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人カ債務者ニ對シテ有シタル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スヿヲ得

ハ其行方カ知レサルトキハ此限ニ在ラス

第四百五十三條　債務者カ前條ノ規定ニ從ヒ主タル債務者ニ催告ヲ爲シタル後十箇月ヲ經過スルモ保證人カ主タル債務者ニ辨濟ノ委カアリテ且執行ノ容易ナルコトヲ證明シタルトキハ債權者ハ先ツ主タル債務者ノ財産ニ付キ執行ヲ爲スコトヲ要ス

第四百五十四條　保證人カ主タル務債者ト連帶シテ債務ヲ負擔シタルトキハ前二條ニ定メタル權利ヲ有セス

第四百五十五條　第四百五十二條及ヒ第四百五十三條ノ規定ニ依リ保證人ノ請求ヲ爲シ又ハ債務者カ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ別段ノ意思表示ナキトキハ各債權者又ハ各債務者ハ平等ノ割合ヲ以テ權利ヲ有シ又ハ義務ヲ負フ

第二款　不可分債務

第四百二十八條　債權ノ目的カ其性質上又ハ當事者ノ意思表示ニ因リテ不可分ナル場合ニ於テ數人ノ債權者アルトキハ各債務者ハ總債權者ノ爲メニ履行ヲ請求シ又債務者ハ總債權者ノ爲メ各債權者ニ對シテ履行ヲ爲スコトヲ要ス

第四百二十九條　保證人カ主タル務債者ト連帶シテ債務ヲ負擔シタルトキハ前二條ニ定メタル權利ヲ有セス

第四百五十條　第四百五十二條及ヒ第四百五十三條ノ規定ニ依リ保證人ノ請求ヲ爲シ又ハ債務者カ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ別段ノ意思表示ナキトキハ各債權者又ハ各債務者ハ平等ノ割合ヲ以テ權利ヲ有シ又ハ義務ヲ負フ

第四百五十六條　數人ノ保證人アル場合ニ於テハ其保證人カ各別ノ行爲ヲ以テ債務ヲ負擔シタルトキト雖モ第四百二十七條ノ規定ヲ適用ス

第四百五十七條　主タル債務者ニ對スル履行ノ請求其他時效ノ中斷ハ保證人ニ對シテモ其效力ヲ生ス

保證人カ主タル債務者ノ債權ニ依リ相殺ヲ以テ債權者ニ對抗スルコトヲ得

第四百五十八條　主タル債務者カ保證人ト連帶シテ債務ヲ負擔スル場合ニ於テ一人ニ對スル履行ノ請求ハ他ノ保證人ニモ效力ヲ生ス

第四百五十九條　保證人カ主タル務債者ト連帶シテ債務ヲ負擔シタルトキハ前二條ニ定メタル權利ヲ有セス

第四百六十條　保證人カ主タル債務者ノ委託ヲ受ケテ保證ヲ爲シタル場合ニ於テ善意ニテ辨濟其他免責ノ行爲ヲ有效ナリシモノト看做スコトヲ得

第四百六十一條　連帶債務者中ニ債還ヲ爲スヘキ者アルトキハ其債還スルコト能ハサル部分ハ求償者及ヒ他ノ委カアル者ノ間ニ其各自ノ負擔部分ニ應シテ之ヲ分割ス但求償者ニ過失アルトキハ他ノ債務者ニ對シテ分擔ヲ請求スルコトヲ得ス

第四百六十二條　連帶債務者ノ一人カ辨濟其他自己ノ出捐ヲ以テ共同ノ免責ヲ得タル場合ニ於テ他ノ債務者中ニ辨濟ノ資力ナキ者アルトキハ其無資力者カ辨濟スルコト能ハサル部分ニ付キ連帶ノ免除ヲ得タル者カ辨濟スルコト能ハサル部分ニ付キ

テ共債務ヲ免ルルコトヲ得辨濟者ノ過失ナクシテ債權者ヲ確知スルコト能ハサルトキ
亦同シ
第四百九十五條　供託ハ債務履行地ノ供託所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス
供託所ニ付キ法令ニ別段ノ定ナキ場合ニ於テハ裁判所ハ辨濟者ノ請求ニ因リ供託所ノ指定及ヒ供託物保管者ノ選任ヲ爲スコトヲ要ス
供託者ハ遲滯ナク債權者ニ供託ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス
第四百九十六條　債權者カ供託ヲ受諾セス又ハ供託ヲ有效ト宣告シタル判決カ確定セサル間ハ辨濟者ハ供託物ヲ取戻スコトヲ得此場合ニ於テハ供託ヲ爲ササリシモノト看做ス
前項ノ規定ハ供託ニ因リテ質權又ハ抵當權カ消滅シタル場合ニハ之ヲ適用セス
第四百九十七條　辨濟ノ目的ノ物カ供託ニ適セス又ハ其物ニ付キ滅失若クハ毀損ノ虞アルトキハ辨濟者ハ裁判所ノ許可ヲ以テ之ヲ競賣シ其代價ヲ供託スルコトヲ得其物ノ保存ニ付キ過分ノ費用ヲ要スルトキ亦同シ
第四百九十八條　債務者カ債權者ノ給付ニ對シテ辨濟ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ債權者ハ其給付ヲ爲スニ非サレハ供託物ヲ受取ルコトヲ得ス
第四百九十九條　債務者ノ爲メニ辨濟ヲ爲シタル者ハ其辨濟ト同時ニ債權者ノ承諾ヲ得テ之ニ代位スルコトヲ得
第四百六十七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第五百條　辨濟ヲ爲スニ付キ正當ノ利益ヲ有スル者ハ辨濟ニ因リテ當然債權者ニ代位スル百一條　前二條ノ規定ニ依リテ債權者ニ代位シタル者ハ自己ノ權利ニ基キ求償ヲ爲スコトヲ得ヘキ範圍內ニ於テ債權ノ效力及ヒ擔保トシテ其債權者カ有セシ一切ノ權利ヲ行フコトヲ得但左ノ規定ニ從フコトヲ要ス
一　保證人ハ豫メ先取特權、不動產質權又ハ抵當權ノ登記ニ付代位ヲ附記シタル場合ニ非サレハ其先取特權、不動產質權又ハ抵當權ノ目的タル不動產ノ第三取得者ニ對シテ債權者ニ代位セス
二　第三取得者ハ保證人ニ對シテ債權者ニ代位セス
三　第三取得者ノ一人ハ各不動產ノ價格ニ應スル辨濟ヲ爲シタルトキハ他ノ第三取得者ニ對シテ債權者ニ代位セス
四　前號ノ規定ハ自己ノ財產ヲ以テ他人ノ債務ノ擔保ニ供シタル者ノ財產ヲ以テ他人ノ債務ヲ辨濟シタル者ノ間ニ之ヲ準用ス
五　保證人ト自己ノ財產ヲ以テ他人ノ債務ノ擔保ニ供シタル者トノ間ニ於テハ其頭數ニ應スル辨濟ヲ爲シタルトキハ他人ノ債務ニ付キ其負擔部分ヲ除キ其殘額ニ付キ各財產ノ價格ニ應スル辨濟ヲ爲シタルトキハ之ニ對シテ代位ヲ爲スコトヲ得ス
右ノ場合ニ於テ其財產カ不動產ナルトキハ第一號ノ規定ヲ準用ス
第五百二條　債權ノ一部ニ付キ代位辨濟アリタルトキハ代位者ハ其辨濟シタル價額ニ應シテ債權者ト共ニ其擔利ヲ行フ
前項ノ場合ニ於テ債務ノ不履行ニ因ル契約ノ解除ハ債權者ノミノ之ヲ請求スルコトヲ得但代位者ニ其辨濟シタル價額及ヒ其利息ヲ償還スルコトヲ要ス
第五百三條　代位辨濟ニ因リテ全部ノ辨濟ヲ受ケタル債權者ハ債權ニ關スル證書及ヒ其占有ニ在ル擔保物ヲ代位者ニ交付スルコトヲ要ス
債權ノ一部ニ付キ代位辨濟アリタル場合ニ於テハ債權者ハ債權證書ニ其代位ヲ記入シ且代位者ニヲシテ其占有ニ在ル擔保物ノ保存ヲ監督セシムルコトヲ要ス
第五百四條　第五百條ノ規定ニ依リテ代位ヲ爲スヘキ者ノ爲メニ擔保ヲ設ケタル債權者カ故意又ハ懈怠ニ因リテ其擔保ヲ喪失又ハ減少シタルトキハ代位ヲ爲スヘキ者ハ其喪失又ハ減少ニ因リ償還ヲ受クルコト能ハサル限度ニ於テ其責ヲ免ル

テノミ共救力ヲ有ス
第四百八十條　受取證書ノ持參人ハ辨濟受領ノ權限アルモノト看做ス但辨濟者カ其權限ナキコトヲ知リタルトキ又ハ過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラス
第四百八十一條　支拂ノ差止ヲ受ケタル第三債務者カ自己ノ債權者ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ差押債權者ハ其受ケタル損害ノ限度ニ於テ更ニ辨濟ヲ爲スヘキ旨ヲ第三債務者ニ請求スルコトヲ得
前項ノ規定ハ第三債務者ヨリ其債權者ニ對スル求償權ノ行使ヲ妨ケス
第四百八十二條　債務者カ債權者ノ承諾ヲ以テ其負擔タル給付ニ代ヘテ他ノ給付ヲ爲シタルトキハ其給付ハ辨濟ト同一ノ效力ヲ有ス
第四百八十三條　債權ノ目的カ特定物ノ引渡ナルトキハ辨濟者ハ其引渡ヲ爲スヘキ時ノ現狀ニテ其物ヲ引渡スコトヲ要ス
第四百八十四條　辨濟ヲ爲スヘキ場所ニ付キ別段ノ意思表示ナキトキハ特定物ノ引渡ハ債權發生ノ當時其物ノ存在セシ場所ニ於テ之ヲ爲シ其他ノ辨濟ハ債權者ノ現時ノ住所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス
第四百八十五條　辨濟ノ費用ハ債務者之ヲ負擔ス但債權者カ住所ノ移轉其他ノ行爲ニ因リテ辨濟ノ費用ヲ增加シタルトキハ其增加額ハ債權者之ヲ負擔ス
第四百八十六條　辨濟者ハ辨濟受領者ニ對シテ受取證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
第四百八十七條　債權ノ證書アル場合ニ於テ辨濟者カ全部ノ辨濟ヲ爲シタルトキハ其證書ノ返還ヲ請求スルコトヲ得
第四百八十八條　債務者カ同一ノ債權者ニ對シテ同種ノ目的ヲ有スル數個ノ債務ヲ負擔スル場合ニ於テ辨濟トシテ提供シタル給付カ總債務ヲ消滅セシムルニ足ラサルトキハ辨濟者ハ給付ノ時ニ於テ其辨濟ヲ充當スヘキ債務ヲ指定スルコトヲ得
辨濟者カ前項ノ指定ヲ爲ササルトキハ辨濟受領者ハ其受領ノ時ニ於テ其辨濟ノ充當ヲ指定スルコトヲ得但辨濟者カ其充當ニ對シテ直チニ異議ヲ述ヘタルトキハ此限ニ在ラス
前二項ノ場合ニ於テ辨濟者カ其充當ニ對シテ直チニ異議ヲ述ヘタルトキハ此限ニ在ラス
第四百八十九條　辨濟者カ元本ノ外利息及ヒ費用ヲ拂フヘキ場合ニ於テ辨濟者カ其債務ノ全部ヲ消滅セシムルニ足ラサル給付ヲ爲シタルトキハ之ヲ以テ順次ニ費用利息及ヒ元本ニ充當スルコトヲ要ス
第四百八十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第四百九十二條　辨濟ノ提供ハ其提供ノ時ヨリ不履行ニ因リテ生スヘキ一切ノ責任ヲ免レシム
第四百九十三條　辨濟ノ提供ハ債務ノ本旨ニ從ヒテ現實ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但債權者カ豫メ其受領ヲ拒ミ又ハ債務ノ履行ニ付キ債權者ノ行爲ヲ要スルトキハ辨濟ノ準備ヲ爲シタルコトヲ通知シテ其受領ヲ催告スルヲ以テ足ル
第四百九十四條　債權者カ辨濟ノ受領ヲ拒ミ又ハ之ヲ受領スルコト能ハサルトキハ辨濟者ハ債權者ノ爲メニ辨濟ノ目的物ヲ供託シ

第五百五條　第二款　相殺
第四百八十條　二人互ニ同種ノ目的ヲ有スル債務ヲ負擔スル場合ニ於テ雙方ノ債務カ辨濟期ニ在ルトキハ各債務者ハ其對當額ニ付キ相殺ニ因リテ其債務ヲ免ルルコトヲ得但債務ノ性質カ之ヲ許ササルトキハ此限ニ在ラス
前項ノ規定ハ當事者ノ一方ヨリ其相手方ニ對スル意思表示ニ依リテ之ヲ爲ス但其意思表示ニハ條件又ハ期限ヲ附スルコトヲ得ス
前項ノ意思表示ハ雙方ノ債務カ互ニ相殺ヲ爲スニ適シタル始ニ遡リテ其效力ヲ生ス
第五百七條　相殺ハ雙方ノ債務ノ履行地カ異ナルトキト雖モ之ヲ爲スコトヲ得但相殺ヲ爲ス當事者ハ其相手方ニ對シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スルコトヲ要ス
第五百八條　時效ニ因リテ消滅シタル債權カ其消滅以前ニ相殺ニ適シタル場合ニ於テハ其債權者ハ相殺ヲ爲スコトヲ得
第五百九條　債務カ不法行爲ニ因リテ生シタルトキハ其債務者ハ相殺ヲ以テ債權者ニ對抗スルコトヲ得ス
第五百十條　債權カ差押ヲ禁シタルモノナルトキハ其債務者ハ相殺ヲ以テ債權者ニ對抗スルコトヲ得ス
第五百十一條　支拂ノ差止ヲ受ケタル第三債務者ハ其後ニ取得シタル債權ニ依リ相殺ヲ以テ差押債權者ニ對抗スルコトヲ得ス
第五百十二條　第四百八十八條乃至第四百九十一條ノ規定ハ相殺ニ之ヲ準用ス

第三款　更改
第五百十三條　當事者カ債務ノ要素ヲ變更スル契約ヲ爲シタルトキハ其債務ハ更改ニ因リテ消滅ス
條件附債務ヲ無條件債務トシ、無條件債務ニ條件ヲ附シ又ハ條件ヲ變更スルハ債務ノ要素ヲ變更スル旨ノ意思表示アリタルトキニ限リ更改ノ效力ヲ有ス
第五百十四條　更改ノ當事者ハ舊債務ノ目的ノ限度ニ於テ其債務ノ擔保ニ供シタル質權又ハ抵當權ヲ新債務ニ移スコトヲ得但第三者カ之ヲ供シタル場合ニ於テハ其承諾ヲ得ルコトヲ要ス

第四款　免除
第五百十五條　債權者カ債務者ニ對シテ債務ヲ免除スル意思ヲ表示シタルトキハ其債權消滅ス

第五款　混同
第五百十六條　債權及ヒ債務カ同一人ニ歸シタルトキハ其債權ハ消滅ス但其債權カ第三者ノ權利ノ目的タルトキハ此限リニ在ラス

第二章　契約
第一節　總則
第一款　契約ノ成立
第五百十七條　承諾ノ期間ヲ定メテ爲シタル契約ノ申込ハ之ヲ取消スコトヲ得ス
申込者カ前項ノ期間內ニ承諾ノ通知ヲ受ケサルトキハ申込ハ其效力ヲ失フ
第五百十八條　前條ノ場合ニ於テ承諾ノ通知カ前條ノ期間內ニ到達スヘカリシ時ニ發送シタル承諾ノ通知カ其期間後ニ到達シタルモ通常ノ場合ニ於テハ其期間內ニ到達スヘカリシ時ニ發送シタルモノナルコトヲ知リ得ヘキトキハ承諾者ハ遲滯ナク申込者ニ對シテ其延著ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス但其到著前ニ遲延ノ通知ヲ發シタルトキハ此限ニ在ラス
第五百十九條　承諾者カ其通知ニ條件ヲ附シ又ハ變更ヲ加ヘテ之ヲ承諾シタル場合ニハ其承諾ハ申込ノ拒絕ト共ニ新ナル申込ヲ爲シタルモノト看做ス
第二節　契約ノ效力
第五百二十條　或行爲ヲ爲シタル者ニ一定ノ報酬ヲ與フヘキ旨ヲ廣告ヲ爲シタル者ハ其行爲ヲ爲シタル者ニ對シテ其報酬ヲ與フル義務ヲ負フ
第五百二十一條　前條ノ場合ニ於テ廣告者ハ其指定シタル行爲ヲ完了スル者ナキ間ハ前ノ廣告ト同一ノ方法ニ依リテ其廣告ヲ取消スコトヲ得但其廣告中ニ取消ヲ爲ササル旨ヲ表示シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
前項ニ定メタル方法ニ依リテ取消ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ他ノ方法ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得但其取消ハ之ヲ知リタル者ニ對シテノミ其效力ヲ有ス
第五百二十二條　廣告者カ其指定シタル行爲ヲ爲スヘキ期間チ定メタルトキハ其取消權ヲ拋棄シタル旨ノ推定
第五百二十三條　廣告ニ定メタル行爲ヲ爲シタル者數人アルトキハ最初ニ其行爲ヲ爲シタル者ノミ報酬ヲ受クル權利ヲ有ス
數人カ同時ニ右ノ行爲ヲ爲シタル場合ニ於テハ各平等ノ割合ヲ以テ報酬ヲ受クル權利ヲ有ス但報酬カ其性質上分割ニ不便ナルトキ又ハ廣告ニ於テ一人ノミニ之ヲ受クヘキモノトシタルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ受クヘキ者ヲ定ム
前二項ノ規定ハ廣告中ニ之ニ異ナリタル意思ヲ表示シタルトキハ之ヲ適用セス
第五百二十四條　廣告中ニ定メタル行爲ヲ爲シタル者數人アル場合ニ於テ其優等者ノミニ報酬ヲ與フヘキトキハ其廣告ハ應募ノ期間ヲ定メタルトキニ限リ其效力ヲ有ス
前項ノ場合ニ於テ應募者中同人ノ行爲カ優等ナルカ又ハ劣等ナルカ廣告中ニ定メタル者之ヲ判定スヘシ廣告中ニ判定者ヲ定メサリシトキハ廣告者之ヲ判定ス
應募者ノ前項ノ判定ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス
第五百二十五條　懸賞契約當事者ノ一方ハ相手方カ其債務ノ履行ヲ拒ムコトヲ得但相手方ノ債務カ辨濟期ニ在ラサルトキハ此限ニ在ラス
第五百二十六條　特定物ニ關スル物權ノ設定又ハ移轉ヲ以テ懸賞契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ其物カ債務者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ滅失シタルトキハ其滅失ノ時ヨリ前項ノ債務ハ消滅ス
第五百二十七條　前條ノ規定ハ懸賞ノ廣告ニ別段ノ意思ヲ表示シタル場合又ハ其性質カ之ヲ適用セス

第三款　罰則

第一章　民事

第一款　民事令

民法

商法

民事訴訟法

人事訴訟手續法

非訟事件手續法

第 ノ 定 ニ 依 リ 裁 判 所 ノ 許 可 ヲ 得 テ 之 ヲ 為 ス コ ト ヲ 得 但 未 成 年 者 ノ 法 定 代 理 人 カ 営 業 ノ 許 可 ヲ 為 シ タ ル 場 合 ニ 於 テ ハ 此 限 ニ 在 ラ ス 第 五 十 四 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 許 可 ヲ 得 タ ル ト キ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 其 営 業 ニ 関 ス ル 一 切 ノ 裁 判 上 ノ 行 為 ヲ 為 ス コ ト ヲ 得 但 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 許 可 ヲ 得 タ ル ト キ ハ 裁 判 所 ハ 法 定 代 理 人 ノ 請 求 ニ 因 リ 其 許 可 ヲ 取 消 シ 又 ハ 之 ヲ 制 限 ス ル コ ト ヲ 得 第 五 十 五 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 許 可 ヲ 得 タ ル ト キ ハ 其 営 業 ニ 関 シ 成 年 者 ト 同 一 ノ 能 力 ヲ 有 ス 但 営 業 ノ 性 質 ニ 依 リ 未 成 年 者 ノ 為 メ ニ 不 適 当 ナ ル ト キ ハ 裁 判 所 ハ 其 許 可 ヲ 取 消 シ 又 ハ 之 ヲ 制 限 ス ル コ ト ヲ 得 第 五 十 六 条 第 五 十 四 条 ノ 規 定 ハ 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 設 ケ タ ル 代 理 人 ニ 之 ヲ 準 用 ス 第 五 十 七 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 負 担 シ タ ル 債 務 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 モ 亦 連 帯 シ テ 責 ニ 任 ス ル モ ノ ト ス 第 五 十 八 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 モ 亦 之 ヲ 行 フ コ ト ヲ 得 第 五 十 九 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 六 十 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 負 担 シ タ ル 義 務 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 モ 亦 連 帯 シ テ 責 ニ 任 ス ル モ ノ ト ス 第 六 十 一 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 其 義 務 ヲ 履 行 ス ル モ ノ ト ス 第 六 十 二 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 六 十 三 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 其 義 務 ヲ 履 行 ス ル モ ノ ト ス 第 六 十 四 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 其 義 務 ヲ 履 行 ス ル モ ノ ト ス 第 六 十 五 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 六 十 六 条 第 五 十 四 条 ノ 規 定 ハ 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 設 ケ タ ル 代 理 人 ニ 之 ヲ 準 用 ス 第 六 十 七 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 負 担 シ タ ル 債 務 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 モ 亦 連 帯 シ テ 責 ニ 任 ス ル モ ノ ト ス 第 六 十 八 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 六 十 九 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 其 義 務 ヲ 履 行 ス ル モ ノ ト ス 第 七 十 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 七 十 一 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 七 十 二 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 七 十 三 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 七 十 四 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 七 十 五 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 七 十 六 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 七 十 七 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 七 十 八 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 七 十 九 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 八 十 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 八 十 一 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 八 十 二 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 八 十 三 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 八 十 四 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 八 十 五 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 八 十 六 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 八 十 七 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 八 十 八 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 八 十 九 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 九 十 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 九 十 一 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 九 十 二 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 九 十 三 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 九 十 四 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 九 十 五 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 九 十 六 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 九 十 七 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 九 十 八 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 九 十 九 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得 第 百 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 一 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 二 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 三 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 四 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 五 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 六 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 七 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 八 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 九 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 十 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 十 一 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 十 二 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 十 三 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 十 四 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 十 五 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 十 六 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 十 七 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 十 八 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 十 九 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 二 十 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 二 十 一 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 二 十 二 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 二 十 三 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 二 十 四 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 二 十 五 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 二 十 六 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 二 十 七 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 二 十 八 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 二 十 九 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 三 十 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 三 十 一 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 三 十 二 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 三 十 三 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 三 十 四 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 三 十 五 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 三 十 六 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 三 十 七 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 三 十 八 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 三 十 九 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 四 十 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 四 十 一 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 四 十 二 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 四 十 三 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 四 十 四 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 四 十 五 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 四 十 六 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 四 十 七 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 四 十 八 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 四 十 九 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 五 十 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 五 十 一 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 五 十 二 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 五 十 三 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 五 十 四 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 五 十 五 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 五 十 六 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 五 十 七 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 五 十 八 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 五 十 九 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 六 十 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 六 十 一 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 六 十 二 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 六 十 三 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 六 十 四 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 六 十 五 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 六 十 六 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 六 十 七 条 未 成 年 者 カ 営 業 ノ 為 メ ニ 得 タ ル 権 利 ニ 付 テ ハ 其 法 定 代 理 人 ハ 未 成 年 者 ニ 代 リ テ 訴 ヲ 起 シ 又 ハ 訴 ニ 応 ス ル コ ト ヲ 得

第 百 六 十 八

受取ルニ因リテ其效力ヲ生ス

第六百五十八條　受寄者ハ寄託者ノ承諾アルニ非サレハ受寄物ヲ使用シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ保管セシムルコトヲ得ス

受寄物カ第三者ヲシテ受寄物ヲ保管セシムルコトヲ得ル場合ニ於テハ第百五條及ヒ第百七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第六百五十九條　無報酬ニテ寄託ヲ受ケタル者ハ受寄者ノ保管ニ付キ自己ノ財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲ爲ス責ニ任ス

第六百六十條　寄託物ニ付キ權利ヲ主張スル者ヲ寄託者ニ對シテ訴ヲ提起シ又ハ差押ヲ爲シタルトキハ受寄者ハ遲滯ナク其事實ヲ寄託者ニ通知スルコトヲ要ス

第六百六十一條　寄託者ハ寄託物ノ性質又ハ瑕疵ヨリ生シタル損害ヲ受託者ニ賠償スルコトヲ要ス但受寄者カ其瑕疵ヲ知ラサリシトキ又ハ受寄者カ之ヲ知リタルトキハ此限ニ在ラス

第六百六十二條　當事者カ寄託物返還ノ時期ヲ定メサリシトキハ受寄者ハ何時ニテモ其返還ヲ請求スルコトヲ得

第六百六十三條　當事者カ寄託物ノ返還ノ時期ヲ定メサリシトキハ受寄者ハ何時ニテモ其返還ヲ得但受寄者カ其時期ノ定メアル爲メニ利益ヲ受ケタルトキハ此限ニ在ラス

第六百六十四條　寄託物ノ返還ハ其保管ヲ爲シタル場所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス但受寄者カ正當ノ事由ニ因リテ其物ヲ轉置シタルトキハ其現在ノ場所ニ於テ之ヲ返還スルコトヲ得

第六百六十五條　第百四十六條乃至第百四十九條及ヒ第六百五十條第一項、第二項ノ規定ハ寄託ニ之ヲ準用ス

第六百六十六條　受寄者カ契約ニ依リ受寄物ヲ消費スルコトヲ得ル場合ニ於ケル消費貸借ニ關スル規定ヲ準用ス但契約ニ返還ノ時期ヲ定メサリシトキハ寄託者ハ何時ニテモ返還ヲ請求スルコトヲ得

第十二節　組合

第六百六十七條　組合契約ハ各當事者カ互ニ協歩ヲ爲シテ共同ノ事業ヲ營ムコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

出資ハ勞務ヲ以テ共目的ト爲スコトヲ得

第六百六十八條　各組合員ノ共有ニ屬ス

財産ハ總組合員ノ共有ニ屬ス

第六百六十九條　金錢ヲ以テ出資ヲ目的ト爲シタル場合ニ於テ組合員カ其出資ヲ爲スコトヲ怠リタルトキハ其利息ヲ拂フ外仍ホ損害ノ賠償ヲ爲スコトヲ要ス

第六百七十條　組合ノ業務執行ハ組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

組合契約ヲ以テ業務ノ執行ヲ委任シタル者數人アルトキハ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス

組合ノ常務ハ前二項ノ規定ニ拘ハラス各組合員又ハ各業務執行者之ヲ專行スルコトヲ得但其結了前ニ他ノ組合員又ハ業務執行者カ異議ヲ述ヘタルトキハ此限ニ在ラス

第六百七十一條　組合ノ業務ヲ執行スル組合員ニハ第六百四十四條乃至第六百五十條ノ規定ヲ準用ス

第六百七十二條　組合契約ヲ以テ一人又ハ數人ノ組合員ニ業務ノ執行ヲ委任シタルトキハ其組合員カ正當ノ事由アルニ非サレハ辭任又ハ解任セラルルコトヲ得ス

第六百七十三條　各組合員ハ組合ノ業務ヲ執行スル權利ヲ有セサルトキ雖モ其業務及ヒ組合財産ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

第六百七十四條　當事者カ損益分配ノ割合ヲ定メサリシトキハ其割合ハ各組合員ノ出資ノ價額ニ應シテ之ヲ定ム

利益又ハ損失ニ付テノミ分配ノ割合ヲ定メタルトキハ其割合ハ利益及ヒ損失ニ共通ナルモノト推定ス

第六百七十五條　組合ノ債權者ハ其債權發生ノ當時組合員ノ損失分擔ノ割合ヲ知ラサリシトキハ各組合員ニ對シ均一部分ニ付キ其權利ヲ行フコトヲ得

第六百七十六條　組合員カ組合財産ニ付キ其持分ヲ處分シタルトキハ其處分ハ之ヲ以テ組合及ヒ組合ト取引ヲ爲シタル第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

組合員ハ清算前ニ組合財産ノ分割ヲ求ムルコトヲ得ス

第六百七十七條　組合ノ債務者ハ其債務ト組合員ニ對スル債權トヲ相殺スルコトヲ得ス

第六百七十八條　各組合員ハ其出資ノ種類ヲ問ハス組合ノ爲メニ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ其職務ヲ執行スル義務ヲ負フ

第六百七十九條　組合ノ債務ハ組合財産ヲ以テ之ヲ辨濟スル外各組合員カ連帶シテ其責ニ任ス

第六百八十條　組合員ノ一人カ其債務ニ付キ辨濟ヲ爲シタルトキハ其組合員ハ組合ニ對シ求償權ヲ有ス

第六百八十一條　脫退シタル組合員ト他ノ組合員トノ間ノ計算ハ脫退ノ當時ニ於ケル組合財産ノ狀況ニ從ヒ之ヲ爲スコトヲ要ス

脫退シタル組合員ノ持分ハ其出資ノ種類何ヲ問ハス金錢ヲ以テ之ヲ拂戻スコトヲ得

脫退ノ當時ニ於テ未タ結了セサル事項ニ付テハ其結了後ニ計算ヲ爲スコトヲ得

第六百八十二條　組合ハ其目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能ニ因リテ解散ス

第六百八十三條　已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各組合員ハ組合ノ解散ヲ請求スルコトヲ得

第六百八十四條　第六百二十條ノ規定ハ組合契約ニ之ヲ準用ス

第六百八十五條　組合カ解散シタルトキハ清算ハ總組合員共同ニテ又ハ其選任シタル者ニ於テ之ヲ爲ス

清算人ノ選任ハ總組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第六百八十六條　清算人數人アルトキハ第六百七十八條ノ規定ヲ準用ス

第六百八十七條　組合契約ヲ以テ組合員中ヨリ清算人ヲ選任シタルトキハ第六百七十二條ノ規定ヲ準用ス

第六百八十八條　清算人ノ職務及權限ニ付テハ第七十八條ノ規定ヲ準用ス

殘餘財産ハ各組合員ノ出資ノ價額ニ應シテ之ヲ分割ス

第十三節　終身定期金

第六百八十九條　終身定期金契約ハ當事者ノ一方カ自己、相手方又ハ第三者ノ死亡ニ至ルマテ定期ニ金錢其他ノ物ヲ相手方又ハ第三者ニ給付スルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第六百九十條　終身定期金ハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス

第六百九十一條　定期金債務者カ定期金ノ元本ヲ受ケタル場合ニ於テ其定期金ノ給付ヲ怠リ又ハ其他ノ義務ヲ履行セサルトキハ相手方ハ元本ノ返還ヲ請求スルコトヲ得但既ニ受取リタル定期金ノ中ヨリ其元本ノ利息ヲ控除シタル殘額ヲ債務者ニ返還スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ損害賠償ノ請求ヲ妨ケス

第六百九十二條　第五百三十三條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九十三條　死亡カ定期金債務者ノ責ニ歸ス可キ事由ニ因リテ生シタルトキハ裁判所ハ債權者又ハ其相續人ノ請求ニ因リ相當ノ期間債權者又ハ其相續人ノ存續スルコトヲ宣告スルコトヲ得

前項ノ規定ハ損害賠償ノ請求ヲ妨ケス

第六百九十四條　終身定期金契約ハ當事者ノ一方カ自己、相手方又ハ第三者ノ死亡ニ至ルマテ定期ニ金錢其他ノ物ヲ相手方又ハ第三者ニ給付スルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第六百九十五條　和解ハ當事者カ互ニ譲歩ヲ爲シテ其間ニ存スル爭ヲ止ムルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第六百九十六條　當事者ノ一方カ和解ニ依リテ爭ノ目的タル權利ヲ有スルモノト認メラレ又ハ相手方カ之ヲ有セサルモノト認メラレタル場合ニ於テ其者カ從來此權利ヲ有セサリシ疑證又ハ相手方カ之ヲ有セシ疑證出移轉シ又ハ消滅シタルモノトス

第三章　事務管理

第六百九十七條　義務ナクシテ他人ノ爲メニ事務ノ管理ヲ始メタル者ハ其事務ノ性質ニ從ヒ最モ本人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ其管理ヲ爲スコトヲ要ス

管理者カ本人ノ意思ヲ知リタルトキ又ハ之ニ反シテ管理ヲ繼續スルコトヲ得ヘキトキハ其意思ニ從ヒテ管理ヲ爲スコトヲ要ス

第六百九十八條　管理者カ本人ノ身體、名譽又ハ財産ニ對スル急迫ノ危害ヲ免レシムル爲メニ其事務ノ管理ヲ爲シタルトキハ惡意又ハ重大ナル過失アルニ非サレハ之ニ因リテ生シタル損害ニ付キ賠償ノ責ニ任セス

第六百九十九條　管理者ハ其管理ヲ始メタルコトヲ遲滯ナク本人ニ通知スルコトヲ要ス但本人カ已ニ之ヲ知レルトキハ此限ニ在ラス

第七百條　管理者ハ本人、其相續人又ハ法定代理人カ管理ヲ爲スコトヲ得ルニ至ルマテ其管理ヲ繼續スルコトヲ得但其管理ノ繼續カ本人ノ意思ニ反シ又ハ本人ノ爲メニ不利ナルコト明カナルトキハ此限ニ在ラス

第七百一條　第六百四十五條乃至第六百四十八條ノ規定ハ事務管理ニ之ヲ準用ス

第七百二條　管理者カ本人ノ爲メニ有益ナル費用ヲ出タシタルトキハ本人ニ對シテ其償還ヲ請求スルコトヲ得

管理者カ本人ノ爲メニ有益ナル債務ヲ負擔シタルトキハ本人ニ對シテ其債務ノ辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第七百三條　法律上ノ原因ナクシテ他人ノ財産又ハ勞務ニ因リ利益ヲ受ケ之カ爲メニ他人ニ損失ヲ及ホシタル者ハ其利益ノ存スル限度ニ於テ之ヲ返還スル義務ヲ負フ

第七百四條　惡意ノ受益者ハ其受ケタル利益ニ利息ヲ附シテ之ヲ返還スルコトヲ要ス尚ホ損害アリタルトキハ其賠償ノ責ニ任ス

第七百五條　債務ノ辨濟トシテ給付ヲ爲シタルトキハ其給付シタルモノノ返還ヲ請求スルコトヲ得但其債務者カ錯誤ニ因リ其給付ヲ爲シタルトキハ債權者カ之ニ因リテ得タル利益ヲ返還スルコトヲ要ス

第七百六條　債務者カ辨濟期ニ在ラサル債務ノ辨濟トシテ給付ヲ爲シタルトキハ其給付シタルモノノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス但債務者カ錯誤ニ因リテ辨濟ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第七百七條　債務者カ辨濟ヲ爲スニ付キ債權者ニ對シ求償權ヲ有スル場合ニ於テ債權者カ辨濟ヲ拒ミタルトキハ其辨濟ノ時以後ノ法定利息、避クヘカリシ費用其他ノ損害ニ付キ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第七百八條　不法行爲

第五章　不法行爲

第七百九條　故意又ハ過失ニ因リテ他人ノ權利ヲ侵害シタル者ハ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第七百十條　他人ノ身體、自由又ハ名譽ヲ害シタル場合ト財産權ヲ害シタル場合トヲ問ハス前條ノ規定ニ依リテ損害賠償ノ責ニ任スル者ハ財産以外ノ損害ニ對シテモ其賠償ヲ爲スコトヲ要ス

第七百十一條　他人ノ生命ヲ害シタル者ハ被害者ノ父母、配偶者及ヒ子ニ對シテハ其財産權ヲ害セラレサリシ場合ニ於テモ損害ノ賠償ヲ爲スコトヲ要ス

第七百十二條　未成年者カ他人ニ損害ヲ加ヘタル場合ニ於テ其行爲ノ責任ヲ辨識スルニ足ルヘキ知能ヲ具ヘサリシトキハ其行爲ニ付キ賠償ノ責ニ任セス

第七百十三條　心神喪失ノ間ニ他人ニ損害ヲ加ヘタル者ハ賠償ノ責ニ任セス但故意又ハ過失ニ因リテ一時ノ心神喪失ヲ招キタルトキハ此限ニ在ラス

第七百十四條　前二項ノ規定ニ依リ無能力者ニ責任ナキ場合ニ於テ之ヲ監督スヘキ法定ノ義務アル者ハ其無能力者カ第三者ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但監督義務者カ其義務ヲ怠ラサリシトキハ此限ニ在ラス

監督義務者ニ代ハリシ無能力者モ亦前項ノ責ニ任ス

第七百十五條　或事業ノ爲メニ他人ヲ使用スル者ハ被用者カ其事業ノ執行ニ付キ第三者ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但使用者カ被用者ノ選任及ヒ其事業ノ監督ニ付キ相當ノ注意ヲ爲シタルトキ又ハ相當ノ注意ヲ爲スモ損害カ生スヘカリシトキハ此限ニ在ラス

使用者ニ代ハリテ事業ヲ監督スル者モ亦前項ノ責ニ任ス

第七百十六條　注文者ハ請負人カ其仕事ニ付キ第三者ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任セス但注文又ハ指圖ニ付キ注文者ニ過失アリタルトキハ此限ニ在ラス

第七百十七條　土地ノ工作物ノ設置又ハ保存ニ瑕疵アルニ因リ他人ニ損害ヲ生シタルトキハ其工作物ノ占有者ハ被害者ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任ス但占有者カ損害ノ發生ヲ防止スルニ必要ナル注意ヲ爲シタルトキハ其損害ハ所有者之ヲ賠償スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ竹木ノ栽植又ハ支持ニ瑕疵アルニ因リ他人ニ損害ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス

前二項ノ場合ニ於テ他ニ損害ノ原因ニ付キ責ニ任スヘキ者アルトキハ其者ニ對シテモ賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

明治三十一年六月
法律第九號

改正　明治三五年四月第三七號、大正一四年四月第二四號

民法施行法

第一章　總則

第二章　戸主及ヒ家族

第一節　總則

第二節　戸主及ヒ家族ノ權利義務

第三節　戸主權ノ喪失

第三章　婚姻

第一節　婚姻ノ成立

第一款　婚姻ノ要件

第二款　婚姻ノ無效及ヒ取消

第三節　婚姻ノ效力

第四節　離婚

第一款　協議上ノ離婚

第二款　裁判上ノ離婚

第四章　親子

第一節　實子

第一款　嫡出子

第二款　庶子及ヒ私生子

第二節　養子

第一款　緣組ノ要件

第二款　緣組ノ無效及ヒ取消

第三款　緣組ノ效力

第五章　親權

第一節　總則

第二節　親權ノ效力

第三節　親權ノ喪失

第六章　後見

第一節　後見ノ開始

第二節　後見ノ機關

第一款　後見人

第二款　後見監督人

第三節　後見ノ事務

第四節　後見ノ終了

第七章　親族會

第八章　扶養ノ義務

第五編　相續

第一章　家督相續

第一節　總則

第二節　家督相續人

第三節　家督相續ノ效力

第二章　遺産相續

第一節　總則

第二節　遺産相續人

第三節　遺産相續ノ效力

第一款　總則

第二款　相續分

第三款　遺産ノ分割

第三章　相續ノ承認及ヒ拋棄

第一節　總則

第二節　承認

第一款　單純承認

第二款　限定承認

第三節　拋棄

第四章　財産ノ分離

第五章　相續人ノ曠缺

第六章　遺言

第一節　總則

第二節　遺言ノ方式

第一款　普通方式

第二款　特別方式

第三節　遺言ノ效力

第四節　遺言ノ執行

第五節　遺言ノ取消

第四款　離緣

第五章　親權

第一節　總則

第二節　親權ノ效力

第三節　親權ノ喪失

第六章　後見

第一節　後見ノ開始

第二節　後見ノ機關

第一款　後見人

第二款　後見監督人

第三節　後見ノ事務

第四節　後見ノ終了

第七章　扶養ノ義務

第八章　相續

第一章　家督相續

第一節　總則

第二節　家督相續人

第三節　家督相續ノ效力

第二章　遺産相續

第一節　總則

第二節　遺産相續人

第三節　遺産相續ノ效力

第一款　總則

第二款　相續分

第三款　遺産ノ分割

第三章　相續ノ承認及ヒ拋棄

第一節　總則

第二節　承認

第一款　單純承認

第二款　限定承認

第三節　拋棄

第四章　財産ノ分離

第五章　相續人ノ曠缺

第六章　遺言

第一節　總則

第二節　遺言ノ方式

第一款　普通方式

第二款　特別方式

第三節　遺言ノ效力

第四節　遺言ノ執行

第五節　遺言ノ取消

第七章　遺留分

民法

第四編　親族

第一章　總則

第一節　親族ノ效力

第二節　親族ノ喪失

第二章　戸主及ヒ家族

第一節　總則

第二節　戸主及ヒ家族ノ權利義務

第三節　戸主權ノ喪失

第三章　婚姻

第一節　婚姻ノ成立

第一款　婚姻ノ要件

第二款　婚姻ノ無效及ヒ取消

第二節　婚姻ノ效力

第三節　夫婦財産制

第一款　總則

第二款　法定財産制

第四節　離婚

第一款　協議上ノ離婚

第二款　裁判上ノ離婚

第四章　親子

第一節　實子

第一款　嫡出子

第二款　庶子及ヒ私生子

第二節　養子

第一款　緣組ノ要件

第二款　緣組ノ無效及ヒ取消

第三款　緣組ノ效力

●民法第四編第五編

於帝國議會ノ協賛ヲ經タル民法中修正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

民法第四編第五編別冊ノ通之ヲ定ム

此法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治三十一年六月勅令第百二十三號ヲ以テ明治三十一年七月十六日ヨリ施行）

明治三十三年法律第九十八號民法財産取得編人事編ハ此法律發布ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

（別冊）

民法

第四編　親族

第一章　總則

第二章　戸主及ヒ家族

第一節　總則

第二節　戸主及ヒ家族ノ權利義務

第三節　戸主權ノ喪失

第三章　婚姻

第一節　婚姻ノ成立

第一款　婚姻ノ要件

第二款　婚姻ノ無效及ヒ取消

第二節　婚姻ノ效力

第三節　夫婦財産制

第一款　總則

第二款　法定財産制

第四節　離婚

第一款　協議上ノ離婚

第二款　裁判上ノ離婚

第四章　親子

第一節　實子

第一款　嫡出子

第二款　庶子及ヒ私生子

第二節　養子

第一款　緣組ノ要件

第二款　緣組ノ無效及ヒ取消

第三款　緣組ノ效力

第四節　離緣

第五章　親權

第一節　總則

第二節　親權ノ效力

第三節　親權ノ喪失

第六章　後見

第一節　後見ノ開始

第二節　後見ノ機關

第一款　後見人

第二款　後見監督人

第三節　後見ノ事務

第四節　後見ノ終了

第七章　親族會

第八章　扶養ノ義務

第五編　相續

第一章　家督相續

第一節　總則

第二節　家督相續人

第三節　家督相續ノ效力

第二章　遺産相續

第一節　總則

第二節　遺産相續人

第三節　遺産相續ノ效力

第一款　總則

第二款　相續分

第三款　遺産ノ分割

第三章　相續ノ承認及ヒ拋棄

第一節　總則

第二節　承認

第一款　單純承認

第二款　限定承認

第三節　拋棄

第四章　財産ノ分離

第五章　相續人ノ曠缺

第六章　遺言

第一節　總則

第二節　遺言ノ方式

第一款　普通方式

第二款　特別方式

第三節　遺言ノ效力

第四節　遺言ノ執行

第五節　遺言ノ取消

第七章　遺留分

民法

第四編　親族

第一章　總則

第一節　親族ノ效力

第二節　親族ノ喪失

第一款　親等

第二款　親系及ヒ親族

第三款　親族ノ數

第二節　戸主及ヒ家族ノ權利義務

第一款　戸主權ノ喪失

第二款　戸主ノ家族ニ對スル懲戒

第三節　家族ノ權利義務

第一款　家族ノ身分ニ關スル權利義務

第二款　家族ノ財産ニ關スル權利義務

第三款　家族ノ居所指定權

第四款　離緣

第五章　親權

第一節　親權ノ效力

第二節　親權ノ喪失

第六章　後見

第一節　後見ノ開始

第二節　後見ノ機關

第一款　後見人

第二款　後見監督人

第三節　後見ノ事務

第四節　後見ノ終了

第七章　扶養ノ義務

第八章　相續

第一章　家督相續

第一節　總則

第二節　家督相續人

第三節　家督相續ノ效力

第二章　遺産相續

第一節　總則

第二節　遺産相續人

第三節　遺産相續ノ效力

第一款　總則

第二款　相續分

第三款　遺産ノ分割

第三章　相續ノ承認及ヒ拋棄

第一節　總則

第二節　承認

第一款　單純承認

第二款　限定承認

第三節　拋棄

第四章　財産ノ分離

第五章　相續人ノ曠缺

第六章　遺言

第一節　總則

第二節　遺言ノ方式

第一款　普通方式

第二款　特別方式

第三節　遺言ノ效力

第四節　遺言ノ執行

第五節　遺言ノ取消

第七章　遺留分

民法

第四編　親族

第一章　總則

第一節　親族ノ效力

第二節　親族ノ喪失

第一款　親等

第二款　親系及ヒ親族

第三款　親族ノ數

第二節　戸主及ヒ家族ノ權利義務

第一款　戸主權ノ喪失

第二款　戸主ノ家族ニ對スル懲戒

第三節　家族ノ權利義務

第一款　家族ノ身分ニ關スル權利義務

第二款　家族ノ財産ニ關スル權利義務

第三款　家族ノ居所指定權

第四款　離緣

第五章　親權

第一節　親權ノ效力

第二節　親權ノ喪失

第六章　後見

第一節　後見ノ開始

第二節　後見ノ機關

第一款　後見人

第二款　後見監督人

第三節　後見ノ事務

第四節　後見ノ終了

第七章　扶養ノ義務

第八章　相續

第一章　家督相續

第一節　總則

第二節　家督相續人

第三節　家督相續ノ效力

第二章　遺産相續

第一節　總則

第二節　遺産相續人

第三節　遺産相續ノ效力

第一款　總則

第二款　相續分

第三款　遺産ノ分割

第三章　相續ノ承認及ヒ拋棄

第一節　總則

第二節　承認

第一款　單純承認

第二款　限定承認

第三節　拋棄

第四章　財産ノ分離

第五章　相續人ノ曠缺

第六章　遺言

第一節　總則

第二節　遺言ノ方式

第一款　普通方式

第二款　特別方式

第三節　遺言ノ效力

第四節　遺言ノ執行

第五節　遺言ノ取消

第七章　遺留分

民法

第四編　親族

第一章　總則

第一節　親族ノ效力

第二節　親族ノ喪失

第一款　親等

第二款　親系及ヒ親族

第三款　親族ノ數

第二節　戸主及ヒ家族ノ權利義務

第一款　戸主權ノ喪失

第二款　戸主ノ家族ニ對スル懲戒

第三節　家族ノ權利義務

第一款　家族ノ身分ニ關スル權利義務

第二款　家族ノ財産ニ關スル權利義務

第三款　家族ノ居所指定權

第四款　離緣

第五章　親權

第一節　親權ノ效力

第二節　親權ノ喪失

第六章　後見

第一節　後見ノ開始

第二節　後見ノ機關

第一款　後見人

第二款　後見監督人

第三節　後見ノ事務

第四節　後見ノ終了

第七章　扶養ノ義務

第八章　相續

第一章　家督相續

第一節　總則

第二節　家督相續人

第三節　家督相續ノ效力

第二章　遺産相續

第一節　總則

第二節　遺産相續人

第三節　遺産相續ノ效力

第一款　總則

第二款　相續分

第三款　遺産ノ分割

第三章　相續ノ承認及ヒ拋棄

第一節　總則

第二節　承認

第一款　單純承認

第二款　限定承認

第三節　拋棄

第四章　財産ノ分離

第五章　相續人ノ曠缺

第六章　遺言

第一節　總則

第二節　遺言ノ方式

第一款　普通方式

第二款　特別方式

第三節　遺言ノ效力

第四節　遺言ノ執行

第五節　遺言ノ取消

第七章　遺留分

民法

第四編　親族

第一章　總則

第一節　親族ノ效力

第二節　親族ノ喪失

第一款　親等

第二款　親系及ヒ親族

第三款　親族ノ數

第二節　戸主及ヒ家族ノ權利義務

第一款　戸主權ノ喪失

第二款　戸主ノ家族ニ對スル懲戒

第三節　家族ノ權利義務

第一款　家族ノ身分ニ關スル權利義務

第二款　家族ノ財産ニ關スル權利義務

第三款　家族ノ居所指定權

第四款　離緣

第五章　親權

第一節　親權ノ效力

第二節　親權ノ喪失

第六章　後見

第一節　後見ノ開始

第二節　後見ノ機關

第一款　後見人

第二款　後見監督人

第三節　後見ノ事務

第四節　後見ノ終了

第七章　扶養ノ義務

第八章　相續

第一章　家督相續

第一節　總則

第二節　家督相續人

第三節　家督相續ノ效力

第二章　遺産相續

第一節　總則

第二節　遺産相續人

第三節　遺産相續ノ效力

第一款　總則

第二款　相續分

第三款　遺産ノ分割

第三章　相續ノ承認及ヒ拋棄

第一節　總則

第二節　承認

第一款　單純承認

第二款　限定承認

第三節　拋棄

第四章　財産ノ分離

第五章　相續人ノ曠缺

第六章　遺言

第一節　總則

第二節　遺言ノ方式

第一款　普通方式

第二款　特別方式

第三節　遺言ノ效力

第四節　遺言ノ執行

第五節　遺言ノ取消

第七章　遺留分

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第七百七十二條　子カ婚姻ヲ爲スニハ其家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但男カ滿三十年女カ滿二十五年ニ達シタル後ハ此限ニ在ラス

父母ノ一方カ知レサルトキ、死亡シタルトキ、家ヲ去リタルトキ又ハ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ他ノ一方ノ同意ノミヲ以テ足ル

父母共ニ知レサルトキ、死亡シタルトキ、家チ去リタルトキ又ハ其意志チ表示スルコト能ハサルトキハ未成年者ハ其後見人及ヒ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第七百七十三條　繼父母又ハ嫡母カ子ノ婚姻ニ同意セサルトキハ子ハ親族會ノ同意ヲ得テ婚姻ヲ爲スコトヲ得

第七百七十四條　禁治産者カ婚姻ヲ爲スニハ其後見人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第七百七十五條　婚姻ハ之カ戸籍吏ニ届出ツルニ因リテ其效力ヲ生ス

前項ノ届出ハ當事者雙方及ヒ成年ノ證人二人以上ヨリ口頭ニテ又ハ署名シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第七百七十六條　戸籍吏ハ婚姻カ第七百四十一條第一項、第七百四十四條第一項、第七百五十條第一項、第七百五十四條第一項、第七百五十五條乃至第七百七十三條及ヒ前條第二項ノ規定其他ノ法規ニ違反セサルコトヲ認メタル後ニ非サレハ其届出ヲ受理スルコトヲ得但婚姻カ第七百四十一條第一項又ハ第七百五十條第一項ノ規定ニ違反スル場合ニ於テ戸籍吏カ注意チ爲シタルニ拘ハラス當事者カ其届出ヲ爲サントキハ此限ニ在ラス

第七百七十七條　外國ニ在ル日本人間ニ於テ婚姻ヲ爲サントキハ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ其届出ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第二款　婚姻ノ無效及ヒ取消

第七百七十八條　婚姻ハ左ノ場合ニ限リ無效トス

一　人違其他ノ事由ニ因リ當事者間ニ婚姻ヲ爲ス意思ナキトキ

二　當事者カ婚姻ノ届出ヲ爲ササルトキ但其届出カ第七百七十五條第二項ニ揭ケル條件チ缺クニ止マルトキハ婚姻ハ之カ爲メニ其效力チ妨ケラルルコトナシ

第七百七十九條　婚姻ハ第七條ノ規定ニ依ルニ非サレハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第七百八十條　第七百六十五條乃至第七百七十一條ノ規定ハ各當事者其戸主、親族又ハ檢事ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但檢事ハ當事者ノ一方カ死亡シタル後ハ之チ請求スルコトチ得ス

第七百八十一條　第七百六十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ前婚ノ解消若クハ取消ノ日ヨリ六个月チ經過シタル後ハ此限ニ在ラス

第七百八十二條　第七百六十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者ノ配偶者又ハ前配偶者モ亦取消チ請求スルコトヲ得

第七百八十三條　繼父母ト嫡出ニ非サル子トノ間ニハ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得ス

第七百八十四條　第七百六十九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ不適齡者カ適齡ニ達シタル後尚ホ三个月間其婚姻ノ取消チ請求スルコトチ得但適齡ニ達シタル後追認チ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第七百八十五條　詐欺又ハ强迫ニ因リテ婚姻チ爲シタル者ハ其婚姻ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但詐欺又ハ强迫カ止ミタル後又ハ追認チ爲シタル後ハ此限ニ在ラス

第七百八十六條　第七百六十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者ノ配偶者又ハ前配偶者ニ限リ取消ヲ請求スルコトヲ得

第七百八十七條　第七百六十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者ノ直系尊屬又ハ檢事ヨリ取消ヲ請求スルコトヲ得

第七百八十八條　第七百七十二條第二項ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ父母ノ一方カ同意セサルトキ又ハ其同意チ表示スルコト能ハサルトキハ其一方ヨリ取消ヲ請求スルコトヲ得

第七百八十九條　第七百七十三條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ繼父母又ハ嫡母カ其同意チ爲シタル後ハ取消ヲ請求スルコトヲ得ス

第七百九十條　第七百七十四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ禁治産者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第七百九十一條　第七百七十五條乃至第七百七十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其婚姻ヲ追認シタルトキ又ハ其取消ノ請求ヲ棄テタルトキハ將來ニ向テノミ其效力ヲ失フ

第七百九十二條　第七百七十八條第一號ノ場合ニ於テ詐欺又ハ强迫カ止ミタル後又ハ第七百七十八條第二號ノ場合ニ於テ當事者カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後ニ於テ其婚姻ヲ追認シタルトキハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス

第七百九十三條　第七百七十九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ不適齡者カ適齡ニ達シタルトキハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス

第七百九十四條　第七百八十條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者ノ一方カ死亡シタル後ハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第七百九十五條　第七百八十一條乃至第七百八十四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者又ハ各其利害關係人ヨリ之カ取消ヲ請求スルコトヲ得

第七百九十六條　第七百八十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第七百九十七條　第七百八十六條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者ノ配偶者又ハ前配偶者ヨリ取消ヲ請求スルコトヲ得

第七百九十八條　第七百八十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者ノ直系尊屬ヨリ取消ヲ請求スルコトヲ得

第七百九十九條　第七百八十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人及ヒ親族會ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百條　第七百八十九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百一條　第七百九十條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百二條　第七百九十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百三條　第七百九十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百四條　第七百九十三條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百五條　第七百九十四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百六條　第七百九十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百七條　第七百九十六條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百八條　第七百九十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百九條　第七百九十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百十條　第七百九十九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百十一條　第八百條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百十二條　第八百一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百十三條　第八百二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百十四條　第八百三條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百十五條　第八百四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百十六條　第八百五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百十七條　第八百六條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百十八條　第八百七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百十九條　第八百八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百二十條　第八百九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百二十一條　第八百十條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百二十二條　第八百十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百二十三條　第八百十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百二十四條　第八百十三條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百二十五條　第八百十四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百二十六條　第八百十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百二十七條　第八百十六條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百二十八條　第八百十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百二十九條　第八百十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百三十條　第八百十九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百三十一條　第八百二十條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百三十二條　第八百二十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百三十三條　第八百二十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百三十四條　第八百二十三條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百三十五條　第八百二十四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百三十六條　第八百二十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百三十七條　第八百二十六條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百三十八條　第八百二十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百三十九條　第八百二十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百四十條　第八百二十九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百四十一條　第八百三十條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百四十二條　第八百三十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百四十三條　第八百三十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百四十四條　第八百三十三條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百四十五條　第八百三十四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百四十六條　第八百三十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百四十七條　第八百三十六條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百四十八條　第八百三十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百四十九條　第八百三十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百五十條　第八百三十九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百五十一條　第八百四十條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百五十二條　第八百四十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百五十三條　第八百四十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百五十四條　第八百四十三條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百五十五條　第八百四十四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百五十六條　第八百四十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百五十七條　第八百四十六條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百五十八條　第八百四十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百五十九條　第八百四十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百六十條　第八百四十九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百六十一條　第八百五十條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百六十二條　第八百五十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百六十三條　第八百五十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百六十四條　第八百五十三條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百六十五條　第八百五十四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百六十六條　第八百五十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百六十七條　第八百五十六條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百六十八條　第八百五十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百六十九條　第八百五十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百七十條　第八百五十九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百七十一條　第八百六十條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百七十二條　第八百六十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百七十三條　第八百六十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百七十四條　第八百六十三條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百七十五條　第八百六十四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百七十六條　第八百六十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百七十七條　第八百六十六條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百七十八條　第八百六十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百七十九條　第八百六十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百八十條　第八百六十九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百八十一條　第八百七十條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百八十二條　第八百七十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百八十三條　第八百七十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百八十四條　第八百七十三條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百八十五條　第八百七十四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百八十六條　第八百七十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百八十七條　第八百七十六條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百八十八條　第八百七十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百八十九條　第八百七十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百九十條　第八百七十九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百九十一條　第八百八十條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百九十二條　第八百八十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百九十三條　第八百八十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百九十四條　第八百八十三條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百九十五條　第八百八十四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百九十六條　第八百八十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百九十七條　第八百八十六條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百九十八條　第八百八十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第八百九十九條　第八百八十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第九百條　第八百八十九條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第九百一條　第八百九十條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第九百二條　第八百九十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第九百三條　第八百九十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第九百四條　第八百九十三條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ消滅ス

第九百五條　第八百九十四條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ當事者カ其後見人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル場合ニ於テハ其後見人又ハ禁治産者カ能力ヲ回復シタル後六个月ヲ經過スルニ因リテ

ニ對シテ反對ノ事實主張ヲスルコトヲ得

第八百三十二條　前條ノ否認權ハ子又ハ其法定代理人ニ對スル訴ニ依リテ之ヲ行フ但夫カ子ノ法定代理人ナルトキハ裁判所ハ特別代理人ヲ選任スルコトヲ要ス

第八百三十三條　夫カ子ノ出生後ニ於テ其嫡出ナルコトヲ承認シタルトキハ其否認權ヲ失フ

第八百三十四條　夫カ未成年者ナルトキハ前條ノ期間ハ其法定代理人カ成年ニ達シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第八百三十五條　夫カ未成年者ナルトキハ前條ノ期間ハ其成年ニ達シタル時ヨリ之ヲ起算ス但夫カ成年ニ達シタル後ニ子ノ出生ヲ知リタルトキハ此限ニ在ラス

第八百三十六條　嫡出ノ推定ヲ受ケ又ハ認知ニ因リテ父ノ氏ヲ称スル子ハ父ノ家ニ入ル

第二節　養子

第一款　縁組ノ要件

第八百三十七條　成年ニ達シタル者ハ養子ヲ爲スコトヲ得

第八百三十八條　尊屬又ハ年長者ハ之ヲ養子ト爲スコトヲ得ス

第八百三十九條　法定ノ推定家督相續人タル男子アル者ハ男子ヲ養子ト爲スコトヲ得ス但女壻ト爲ス爲メニスル場合ハ此限ニ在ラス

第八百四十條　後見人ハ被後見人ヲ養子ト爲スコトヲ得ス其任務カ終了シタル後未タ管理ノ計算ヲ終ハラサル間亦同シ

前項ノ規定ハ第八百四十八條ノ場合ニハ之ヲ適用セス

第八百四十一條　配偶者アル者ハ其配偶者ト共ニスルニ非サレハ縁組ヲ爲スコトヲ得ス

夫婦ノ一方カ他ノ一方ノ子ヲ養子ト爲スニハ他ノ一方ノ同意ヲ得ルヲ以テ足ル

第八百四十二條　前條第一項ノ場合ニ於テ夫婦ノ一方カ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ他ノ一方ハ雙方ノ名義ヲ以テ縁組ヲ爲スコトヲ得

第八百四十三條　養子ト爲ルヘキ者カ十五年未滿ナルトキハ其家ニ在ル父母之ニ代ハリテ縁組ノ承諾ヲ爲スコトヲ得

繼父母又ハ嫡母カ前項ノ承諾ヲ爲スニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八百四十四條　成年ノ子カ養子ト爲ルニハ其配偶者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八百四十五條　尊屬又ハ年長者ヲ養子ト爲スコトヲ得ス

第八百四十六條　縁組ハ同順位ニ在ル者ノ間ニ於テハ協議ヲ以テ之ヲ定ム

協議カ調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコトヲ得サルトキハ當事者ノ請求ニ因リ裁判所之ヲ定ム

第八百四十七條　縁組ハ戸籍吏ニ届出ツルニ因リテ其效力ヲ生ス

前項ノ届出ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第八百四十八條　縁組ハ戸籍吏ニ届出ツルニ因リテ他家ニ入リタル者カ更ニ養子トシテ他家ニ入ラント欲スルトキハ實家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但妻カ夫ニ隨ヒテ他家ニ入ルハ此限ニ在ラス

第八百四十九條　縁組ハ戸籍吏ニ届出ツルニ因リテ其效力ヲ生ス

第二款　縁組ノ效力

第八百五十條　養子ハ縁組ニ因リテ養親ノ嫡出子タル身分ヲ取得ス

第八百五十一條　養子ハ縁組ニ因リテ養親及其血族トノ間ニ親族關係ヲ生ス

第八百五十二條　養子ト其實方ノ血族トノ間ノ親族關係ハ縁組ニ因リテ消滅ス

第八百五十三條　養子ハ縁組ニ因リテ養親ノ氏ヲ称ス

第八百五十四條　養子ハ縁組ニ因リテ養親ノ家ニ入ル

第三款　縁組ノ取消

第八百五十五條　縁組ハ左ノ場合ニ限リ裁判所ニ其取消ヲ請求スルコトヲ得

一　尊屬又ハ年長者ヲ養子ト爲シタルトキ

二　養子カ養親ノ直系尊屬又ハ其配偶者ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキ

三　養親ノ直系尊屬ヲ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキ

四　他ノ一方カ重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

五　養子ニ家名ヲ濳ス又ハ家產ヲ傾クヘキ重大ナル過失アリタルトキ

六　養子カ逃亡シテ三年以上復歸セサルトキ

七　養子ノ生死カ三年以上分明ナラサルトキ

八　他ノ一方カ自己ノ直系尊屬ニ對シテ虐待ヲ爲シ又ハ之ニ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキ

九　壻養子縁組ノ場合ニ於テ離婚ノ際又ハ縁組ノ取消ノ後ニ於テ壻家ニ在リテ生活スルニ適セサルトキ又ハ養子カ家女ト婚姻ヲ爲シタル場合ニ於テ離緣若クハ婚姻ノ取消アリタルトキ

第八百五十六條　養子カ滿十五年ニ達セサル間ハ其縁組ニ付キ承諾權ヲ有スル者ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

第八百四十三條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百五十七條　第八百五十六條第一號乃至第六號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方又ハ其直系尊屬ノ行爲ニ付キ其子ノ代表ヲ拒絶シタルトキハ裁判所ハ養親ノ請求ニ因リ何時ニテモ之ヲ離緣スルコトヲ得

第八百五十八條　第八百五十六條第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ同一ノ事由アルコトヲ理由トシテ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百五十九條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百六十條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百六十一條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百六十二條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百六十三條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百六十四條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百六十五條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百六十六條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百六十七條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百六十八條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百六十九條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百七十條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百七十一條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ又ハ其直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキニ限リ其一方又ハ其直系尊屬ヨリ離緣ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

トヌハ共取消アリタルコトヲ知リタル後六个月ヲ經過シヌハ共取消權ヲ抛棄シタルトキハ消滅ス

第八百五十九條　第七百八十五條及ヒ第七百八十七條ノ規定ハ縁組ニ之ヲ準用ス但第七百八十五條第二項ノ期間ハ之ヲ六个月トス

第三款　縁組ノ效力

第八百六十條　養子ハ縁組ノ日ヨリ養親ノ嫡出子タル身分ヲ取得ス

第八百六十一條　養子ハ縁組ニ因リテ養親ノ家ニ入ル

第四款　離縁

第八百六十二條　縁組ノ當事者ハ其協議ヲ以テ離縁ヲ爲スコトヲ得

養子カ十五年未滿ナルトキハ此離縁ハ養親ト養子ニ代ハリテ縁組ノ承諾ヲ爲ス權利ヲ有スル者トノ協議ヲ以テ之ヲ爲ス

養親カ死亡シタル後養子カ離縁ヲ爲サント欲スルトキハ戸主ノ同意ヲ得テ之ヲ爲スコトヲ得

第八百六十三條　滿二十五年ニ達セサル者カ協議上ノ離縁ヲ爲スニハ第八百四十四條ノ規定ニ依リ其縁組ニ付キ同意ヲ爲シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八百七十二條、第八百七十三條及ヒ第七百七十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百六十四條　養子カ養親ノ直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキ又ハ縁組ヲ繼續シ難キ重大ノ事由アルトキハ養親ハ離縁ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

第八百六十五條　養子カ戸主ニ爲シタル後ハ離縁ヲ爲スコトヲ得ス

第八百六十六條　養子カ未タ滿二十五年ニ達セサル間ニ養親カ死亡シタルトキハ養家ニ在リテ縁組ニ付キ承諾ヲ爲シタル者又ハ其家ニ在ル養親ノ配偶者ト協議上ノ離縁ヲ爲スコトヲ得ス

第八百六十七條　養子カ戸主ニ爲シタル後ハ離縁ヲ爲スコトヲ得ス

第八百六十八條　縁組ノ當事者ハ其協議ヲ以テ離縁ヲ爲スコトヲ得

養子カ十五年未滿ナルトキハ此離縁ハ養親ト養子ニ代ハリテ縁組ノ承諾ヲ爲ス權利ヲ有スル者トノ協議ヲ以テ之ヲ爲ス

養親カ死亡シタル後養子カ離縁ヲ爲サント欲スルトキハ戸主ノ同意ヲ得テ之ヲ爲スコトヲ得

第八百六十九條　滿二十五年ニ達セサル者カ協議上ノ離縁ヲ爲スニハ第八百四十四條ノ規定ニ依リ其縁組ニ付キ同意ヲ爲シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八百七十條　養子ト離縁ニ因リ其實家ニ復スヘキ場合ニ於テ養親カ他ノ養子ト離縁ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第八百七十一條　養子カ離縁ニ因リ其實家ニ於テ有セシ身分ヲ回復ス但第三者カ既ニ取得シタル權利ヲ害スルコトヲ得ス

第八百七十二條　夫婦カ養子ト離縁ヲ爲ス場合ニ於テ離緣又ハ婚姻ノ取消アリタルトキハ之ニ附帶シテ離緣ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八百六十六條第九號ノ事由ニ因ル離緣ノ訴ハ當事者カ離緣又ハ離緣ノ請求アリタルコトヲ知リタル後六个月ヲ經過シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百七十四條　養子カ戸主ニ爲リタル後ハ離緣ヲ爲スコトヲ得ス但隱居ヲ爲シタル後ハ此限ニ在ラス

第八百七十五條　養子ハ離緣ニ因リ其實家ニ於テ有セシ身分ヲ回復ス但第三者カ既ニ取得シタル權利ヲ害スルコトヲ得ス

第八百七十六條　夫婦カ養子ト爲リタル場合ニ於テ離緣又ハ婚姻ノ取消アリタルトキハ夫婦ノ一方カ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ他ノ一方ハ雙方ノ名義ヲ以テ縁組ヲ爲スコトヲ得

第八百七十七條　養子ト爲ルヘキ者カ十五年未滿ナルトキハ其家ニ在ル父母之ニ代ハリテ縁組ノ承諾ヲ爲スコトヲ得

繼父母又ハ嫡母カ前項ノ承諾ヲ爲スニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八百七十八條　壻養子縁組ノ場合ニ於テハ第八百四十四條乃至第八百四十六條ノ規定ヲ準用ス

第八百七十九條　壻養子縁組ノ場合ニ於テハ各當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得但婚姻ノ無效又ハ取消ノ請求ニ附帶シテ縁組ノ取消ヲ請求スルコトヲ妨ケス

第八百八十條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百八十一條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百八十二條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百八十三條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百八十四條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百八十五條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百八十六條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百八十七條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百八十八條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百八十九條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百九十條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百九十一條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百九十二條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百九十三條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百九十四條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百九十五條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百九十六條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百九十七條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百九十八條　第八百五十六條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事由アリタルトキハ縁組ノ當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ無效又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第八百九

子又ハ共法定代理人ニ於テ之ヲ取消スコトヲ得此場合ニ於テハ第十九條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ハ第百二十一條乃至第百二十六條ノ適用ヲ妨ケス

第八百八十八條　親權ヲ行フ父又ハ母ト共ニ未成年ノ子ト利益相反スル行爲ニ付テハ父又ハ母ハ其子ノ爲メニ特別代理人ヲ選任スルコトヲ要ス

父又ハ母カ數人ノ子ニ對シテ親權ヲ行フ場合ニ於テ其一人ト他ノ子トノ利益相反スル行爲ニ付テハ其一方ノ爲メ前項ノ規定ヲ準用ス

第八百八十九條　親權ヲ行フ父又ハ母ハ自己ノ爲メニスルト同一ノ注意ヲ以テ其管理權ヲ行フコトヲ要ス

母ハ親族會ノ同意ヲ得テ爲シタル行爲ニ付テモ其責ヲ免ルコトヲ得ス但母ニ過失ナカリシトキハ此限ニ在ラス

第八百九十條　子カ成年ニ達シタルトキハ親權ヲ行ヒタル父又ハ母ハ遲滯ナク其管理ノ計算ヲ爲スコトヲ要ス但其子ノ養育及ヒ財產ノ管理ノ費用ハ其子ノ財產ノ收益ト之ヲ相殺シタルモノト看做ス

第八百九十一條　前條但書ノ規定ハ無償ニテ子ニ財產ヲ與フル第三者カ反對ノ意思ヲ表示シタルトキハ其財產ニ付テハ之ヲ適用セス

第八百九十二條　無償ニテ子ニ財產ヲ與フル第三者カ親權ヲ行フ父又ハ母ヲシテ之ヲ管理セシメサル意思ヲ表示シタルトキハ其財產ハ父又ハ母ノ管理ニ屬セサルモノトス

前項ノ場合ニ於テ第三者カ管理者ヲ指定セサリシトキハ裁判所ハ子、其親族又ハ檢事ノ請求ニ因リ其管理者ヲ選任ス

第三者カ管理者ヲ指定セシトキ又ハ之ヲ改任スル必要アル場合ニ於テ第三者カ更ニ管理者ヲ指定セサルトキハ亦同シ

第二十七條乃至第二十九條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百九十三條　第六百四十四條、第九百七條及ヒ第百八條ノ規定ハ後見監督人ニ之ヲ準用ス

第三節　後見ノ事務

第八百九十四條　後見人ハ遲滯ナク被後見人ノ財產ノ調查ニ着手シ一个月内ニ其調查ヲ終リ且其目錄ヲ調製スルコトヲ要ス但此期間ハ親族會ニ於テ之ヲ伸長スルコトヲ得

財產ノ調查及ヒ其目錄ノ調製ハ後見監督人ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スニ非サレハ其效力ナシ

後見人カ前二項ノ規定ニ從ヒ財產ノ目錄ヲ調製セサルトキハ親族會ハ之ヲ免黜スルコトヲ得

第八百九十五條　後見人ハ目錄ノ調製ヲ終ハルマテハ急迫ノ必要アル行爲ノミヲ爲ス權限ヲ有スル但之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八百九十六條　後見人カ被後見人ニ對シ債權ヲ有スルトキ又ハ被後見人カ後見人ニ對シ債權ヲ有スルトキハ其債權ヲ失フ

後見人カ被後見人ニ對シ債務ヲ負フコトヲ知リテ之ヲ申出テサルトキハ其債權ヲ失フ

後見人カ被後見人ニ對シ債務ヲ負フコトヲ知リテ之ヲ申出テサルトキハ親族會ハ其後見人ヲ免黜スルコトヲ得

第八百九十七條　前三條ノ規定ハ後見人就職ノ後被後見人ヲ包括財產ヲ取得シタル場合ニ之ヲ準用ス

第八百九十八條　未成年者ノ後見人ハ第八百七十九條乃至第八百八十五條ニ定メタル事項ニ付キ親權ヲ行フ父又ハ母ト同一ノ權利義務ヲ有ス但親權ヲ行フ父又ハ母カ定メタル教育ノ方法及ヒ居所ヲ變更シ、未成年者ヲ懲戒場ニ入レ、營業ヲ許可シ、共許可ヲ取消シ又ハ之ヲ制限スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八百九十九條　後見人ハ被後見人ノ財產ヲ管理シ又其財產ニ關スル法律行爲ニ付キ被後見人ヲ代表ス

第八百九十條　後見人ハ被後見人ノ財產ヲ管理スルニ當リ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

後見人カ被後見人ニ代リテ營業若クハ第十二條第一項ニ揭ケタル行爲ヲ爲シ又ハ未成年者ノ之ヲ爲スコトニ同意スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但元本ノ領收ニ付テハ此限ニ在ラス

第八百九十一條　後見人カ被後見人ノ財產又ハ被後見人ニ對スル第三者ノ權利ヲ讓受ケタルトキハ被後見人ハ之ヲ取消スコトヲ得此場合ニ於テハ第十九條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ハ第百二十一條乃至第百二十六條ノ適用ヲ妨ケス

第八百九十二條　後見人カ其任務ヲ懈クスルトキハ親族會ハ臨時管理人ヲ選任シ後見人ノ資任ヲ以テ被後見人ノ財產ヲ管理セシムルコトヲ得

第八百九十三條　親族會ハ後見人ヲシテ被後見人ノ財產ノ管理及ヒ返還ニ付キ相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得

第八百九十四條　被後見人カ戶主ナルトキハ後見人ハ之ニ代リテ其權利ヲ行フ但家族ヲ離籍シ、其復籍ヲ拒ミ又ハ家族カ分家ヲ爲ス若クハ廢絕家ヲ再興スルコトニ同意スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

後見人ハ未成年者ニ代リテ親權ヲ行フ但家族ヲ離籍シ、其復籍ヲ拒ミ又ハ家族カ分家ヲ爲ス若クハ廢絕家ヲ再興スルコトニ同意スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但此期間ハ親族會ニ於テ之ヲ伸長スルコトヲ得

第八百九十五條　後見人ハ被後見人ノ財產ヲ管理スルニ當リ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

後見人カ被後見人ノ財產ヲ自己ノ爲メニスルト同一ノ注意ヲ以テ之ヲ管理シタルトキハ被後見人ニ對シ損害賠償ノ責ニ任ス

第八百九十六條　後見人ハ被後見人ノ財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟シ又ハ第三者ノ債務ヲ以テ被後見人ニ對スル債權ヲ以テ相殺スルコトヲ得ス

後見人カ被後見人ニ對シ債權ヲ有スルトキ又ハ被後見人カ後見人ニ對シ債務ヲ負フトキハ其債權又ハ債務ハ後見人カ管理ヲ始メタル時ニ於テ消滅シタルモノト看做ス

第八百九十七條　後見人ハ被後見人ノ財產ヲ譲受ケ又ハ被後見人ニ對スル債權ヲ他人ニ讓渡スニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八百九十八條　後見人ハ被後見人ノ財產ヲ以テ利益ノ爲メニスル行爲ヲ爲スニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八百九十九條　後見人ハ被後見人ニ代リテ金錢ヲ借入レ又ハ被後見人ノ爲メニ保證ヲ爲スニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百三十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百三十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百三十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百三十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百三十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百三十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百三十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百三十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百三十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百三十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百四十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百四十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百四十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百四十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百四十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百四十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百四十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百四十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百四十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百四十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百五十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百五十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百五十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百五十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百五十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百五十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百五十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百五十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百五十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百五十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百六十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百六十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百六十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百六十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百六十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百六十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百六十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百六十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百六十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百六十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百七十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百七十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百七十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百七十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百七十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百七十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百七十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百七十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百七十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百七十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百八十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百八十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百八十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百八十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百八十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百八十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百八十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百八十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百八十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百八十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百九十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百九十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百九十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百九十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百九十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百九十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百九十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百九十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百九十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九百九十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千二十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千二十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千二十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千二十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千二十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千二十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千二十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千二十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千二十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千二十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千三十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千三十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千三十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千三十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千三十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千三十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千三十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千三十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千三十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千三十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千四十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千四十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千四十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千四十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千四十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千四十五條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千四十六條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千四十七條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千四十八條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千四十九條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千五十條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千五十一條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千五十二條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千五十三條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第千五十四條　後見人カ被後見人ニ代リテ其財產ヲ以テ第三者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニハ親族會

ヲ親族會員ヲ選定スルコトヲ得

第九百四十六條　遠隔ノ地ニ居住スル者其他正當ノ事由アル者ハ親族會員タルコトヲ辭スルコトヲ得

後見人、後見監督人及ヒ保佐人ハ親族會員タルコトヲ得

第九百八條ノ規定ハ親族會員ニ之ヲ準用ス

第九百四十七條　親族會ノ議事ハ會員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

會員ハ自己ノ利害ニ關スル議事ニ付キ表決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第九百四十八條　本人、戸主、家ニ在ル父母、配偶者、未家並ニ分家ノ戸主、後見人、後見監督人及ヒ保佐人ハ親族會ニ於テ其意見ヲ述フルコトヲ得

親族會ノ招集ハ前項ニ揭ケタル者ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第九百四十九條　無能力者ノ爲メニ設ケタル親族會ハ其者ノ無能力ノ止ムマテ繼續ス此親族會ハ最初ノ招集ノ場合ヲ除ク外本人、其法定代理人、後見監督人、保佐人又ハ會員之ヲ招集ス

第九百五十條　親族會ニ缺員ヲ生シタルトキハ會員ノ補缺員ノ選定ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ要ス

第九百五十一條　親族會ノ決議ニ對シテハ一箇月內ニ會員又ハ第九百四十四條ニ揭ケタル者ヨリ其不服ヲ裁判所ニ訴フルコトヲ得

第九百五十二條　親族會カ決議ヲ爲スコト能ハサルトキハ會員ハ其決議ニ代ハルヘキ裁判ヲ爲スコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第九百五十三條　第六百四十四條ノ規定ハ親族會員ニ之ヲ準用ス

第八章　扶養ノ義務

第九百五十四條　直系血族及ヒ兄弟姉妹ハ互ニ扶養ヲ爲ス義務ヲ負フ

夫婦ノ一方ト他ノ一方ノ直系尊屬ニシテ其家ニ在ル者トノ間亦同シ

第九百五十五條　扶養ノ義務ハ扶養ヲ受クル權利ヲ有スル者ノ貧困ニ因リテ自己ノ資產ヲ以テ其生活ヲ維持スルコトヲ得ルニ非サレハ之ヲ減殺スルコトヲ得ス

第三節　家督相續人

第九百六十八條　胎兒ハ家督相續ニ付テハ既ニ生マレタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ胎兒カ死體ニテ生マレタルトキハ之ヲ適用セス

第九百六十九條　家督相續ノ順位ハ左ノ通ニ因リテ定マリタル場合ニ於テハ前順位ノ者ヨリ後順位ノ者ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

一　戸主ノ死亡、隱居又ハ國籍喪失

二　戸主カ婚姻又ハ養子縁組ノ取消ニ因リテ開始ス

三　女戸主ノ入夫婚姻又ハ入夫ノ離婚ニ於テ開始ス

第九百六十六條　家督相續回復ノ請求權ハ家督相續人又ハ其法定代理人カ相續權侵害ノ事實ヲ知リタル時ヨリ五年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅ス相續開始ノ時ヨリ二十年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第九百六十七條　相續財產ニ關スル費用ハ其財產中ヨリ之ヲ支辨ス但家督相續人ノ過失ニ因ルモノハ此限ニ在ラス

前項ニ揭ケタル費用ノ遺留分權利者カ贈與ノ減殺ニ因リテ得タル財產ヲ以テ之ヲ支辨スルコトヲ要ス

第三節　家督相續人

第九百六十八條　胎兒ハ家督相續ニ付テハ既ニ生マレタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ胎兒カ死體ニテ生マレタルトキハ之ヲ適用セス

第九百六十九條　家督相續ノ順位ハ左ノ通ニ因リテ定マリタル場合ニ於テハ前順位ノ者ヨリ後順位ノ者ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

一　戸主ノ死亡、隱居又ハ國籍喪失

二　戸主カ婚姻又ハ養子縁組ノ取消ニ因リテ開始ス

三　女戸主ノ入夫婚姻又ハ入夫ノ離婚ニ於テ開始ス

第九百六十六條　家督相續回復ノ請求權ハ家督相續人又ハ其法定代理人カ相續權侵害ノ事實ヲ知リタル時ヨリ五年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅ス相續開始ノ時ヨリ二十年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第九百六十七條　相續財產ニ關スル費用ハ其財產中ヨリ之ヲ支辨ス但家督相續人ノ過失ニ因ルモノハ此限ニ在ラス

前項ニ揭ケタル費用ノ遺留分權利者カ贈與ノ減殺ニ因リテ得タル財產ヲ以テ之ヲ支辨スルコトヲ要ス

第三節　家督相續人

第九百六十八條　胎兒ハ家督相續ニ付テハ既ニ生マレタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ胎兒カ死體ニテ生マレタルトキハ之ヲ適用セス

第九百六十九條　家督相續ノ順位ハ左ノ通ニ因リテ定マリタル場合ニ於テハ前順位ノ者ヨリ後順位ノ者ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

一　戸主ノ死亡、隱居又ハ國籍喪失

二　戸主カ婚姻又ハ養子縁組ノ取消ニ因リテ開始ス

三　女戸主ノ入夫婚姻又ハ入夫ノ離婚ニ於テ開始ス

第九百七十條　家督相續回復ノ請求權ハ家督相續人又ハ其法定代理人カ相續權侵害ノ事實ヲ知リタル時ヨリ五年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅ス相續開始ノ時ヨリ二十年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第九百七十一條　相續財產ニ關スル費用ハ其財產中ヨリ之ヲ支辨ス但家督相續人ノ過失ニ因ルモノハ此限ニ在ラス

前項ニ揭ケタル費用ノ遺留分權利者カ贈與ノ減殺ニ因リテ得タル財產ヲ以テ之ヲ支辨スルコトヲ要ス

第四節　家督相續

第一款　總則

第九百七十二條　家督相續ハ左ノ事由ニ因リテ開始ス

一　戸主ノ死亡、隱居又ハ國籍喪失

二　戸主カ婚姻又ハ養子縁組ノ取消ニ因リテ其家ヲ去リタルトキ

三　女戸主ノ入夫婚姻又ハ入夫ノ離婚ニ於テ開始ス

第九百七十三條　家督相續人ハ被相續人ノ住所ニ於テ開始ス

第九百七十四條　家督相續人ハ左ノ順序ニ從ヒ之ヲ定ム

一　直系卑屬

二　直系尊屬

三　兄弟姉妹

四　戸主

第九百七十五條　家督相續人ハ左ノ順序ニ從ヒ之ヲ定ム

一　直系卑屬

二　直系尊屬

三　兄弟姉妹

四　戸主

第九百七十六條　同順位ノ家督相續人アルトキハ各其家ニ在リタル者ノ中ヨリ之ヲ定ム

第九百七十七條　同順位ノ家督相續人アルトキハ各其家ニ在ル者先ツ家督相續ノ開始ヲ知リタル者ノ中ヨリ之ヲ定ム

第九百七十八條　同順位ノ家督相續人アルトキハ各其家ニ在ル者ノ中ヨリ之ヲ定ム

第九百七十九條　家督相續人ハ被相續人ノ指定ニ從ヒ左ノ順序ニ從ヒ之ヲ定ム

一　遺言ヲ以テ指定シタル者

二　親權ヲ行フ父又ハ母

三　後見人

第九百八十條　家督相續人ハ被相續人ノ指定ニ從ヒ左ノ順序ニ從ヒ之ヲ定ム

一　遺言ヲ以テ指定シタル者

二　親權ヲ行フ父又ハ母

三　後見人

第九百八十一條　家督相續人ハ被相續人ノ指定ニ從ヒ左ノ順序ニ從ヒ之ヲ定ム

一　遺言ヲ以テ指定シタル者

二　親權ヲ行フ父又ハ母

三　後見人

第九百八十二條　家督相續人ハ被相續人ノ指定ニ從ヒ左ノ順序ニ從ヒ之ヲ定ム

一　遺言ヲ以テ指定シタル者

二　親權ヲ行フ父又ハ母

三　後見人

第九百八十三條　家督相續人ハ被相續人ノ指定ニ從ヒ左ノ順序ニ從ヒ之ヲ定ム

一　遺言ヲ以テ指定シタル者

二　親權ヲ行フ父又ハ母

三　後見人

第九百八十四條　家督相續人ハ被相續人ノ指定ニ從ヒ左ノ順序ニ從ヒ之ヲ定ム

一　遺言ヲ以テ指定シタル者

二　親權ヲ行フ父又ハ母

三　後見人

第九百八十五條　前條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續人ノ效力

第九百八十六條　家督相續開始ノ時ヨリ前戸主ノ一身ニ專屬セルモノハ此限ニ在ラス

第九百八十七條　系譜、祭具及ヒ墳墓ノ所有權ハ家督相續人ノ特權ニ屬ス

第九百八十八條　隱居者及ヒ入夫婚姻ヲ爲ス女戸主ハ確定日附アル證書ニ依リテ其財產ヲ留保スルコトヲ得但家督相續人ノ遺留分ニ關スル規定ニ違反スルコトヲ得ス

第九百八十九條　隱居又ハ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ其前戸主ニ對シテ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

入夫婚姻ノ取消又ハ入夫ノ離婚ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ入夫カ戸主タリシ間ニ負擔シタル債務ノ辨濟ハ其入夫ニ對シテ之ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ家督相續人ニ對スル請求ヲ妨ケス

第九百九十條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ關スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財產ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第九百九十一條　國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ直ニ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九百九十二條　家督相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

廢除ノ取消ニ之ヲ準用ス

第九百九十三條　廢除ノ取消ハ之ヲ遡及シテ其效力ヲ生ス

第九百九十四條　推定家督相續人ノ廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第九百九十五條　第一項第一號ノ場合ニ於テハ被相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

此他正當ノ事由アルトキハ被相續人ハ親族會ノ同意ヲ得テ其廢除ヲ請求スルコトヲ得

第九百九十六條　被相續人カ遺言ヲ以テ推定家督相續人ヲ廢除シ又ハ其廢除ヲ取消シタル場合ニ於テハ遺言執行者ハ遅滯ナク其事由ヲ證スル書面ヲ添ヘテ之ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第九百九十七條　推定家督相續人ノ廢除ノ請求ハ被相續人カ生存中ト雖モ其死亡ノ時ヨリ一年內ニ之ヲ爲スコトヲ得

第九百九十八條　廢除ノ請求アリタル後其裁判確定前ニ相續カ開始シタルトキハ裁判所ハ親族、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ戸主權ノ行使ヲ停止セラレルコトナシ

第九百九十九條　第六百四十四條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續人ノ效力

第千條　家督相續開始ノ時ヨリ前戸主ノ一身ニ專屬セルモノハ此限ニ在ラス

第千一條　系譜、祭具及ヒ墳墓ノ所有權ハ家督相續人ノ特權ニ屬ス

第千二條　隱居者及ヒ入夫婚姻ヲ爲ス女戸主ハ確定日附アル證書ニ依リテ其財產ヲ留保スルコトヲ得但家督相續人ノ遺留分ニ關スル規定ニ違反スルコトヲ得ス

第千三條　隱居又ハ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ其前戸主ニ對シテ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

入夫婚姻ノ取消又ハ入夫ノ離婚ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ入夫カ戸主タリシ間ニ負擔シタル債務ノ辨濟ハ其入夫ニ對シテ之ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ家督相續人ニ對スル請求ヲ妨ケス

第千四條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ關スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財產ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第千一條　國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ直ニ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第千二條　家督相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

廢除ノ取消ニ之ヲ準用ス

第千三條　廢除ノ取消ハ之ヲ遡及シテ其效力ヲ生ス

第千四條　推定家督相續人ノ廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第千五條　第一項第一號ノ場合ニ於テハ被相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

第千六條　廢除ノ取消ハ之ヲ遡及シテ其效力ヲ生ス

第千七條　推定家督相續人ノ廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第千八條　廢除ノ請求アリタル後其裁判確定前ニ相續カ開始シタルトキハ裁判所ハ親族、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ戸主權ノ行使ヲ停止セラレルコトナシ

第千九條　第六百四十四條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續人ノ效力

第千十條　家督相續開始ノ時ヨリ前戸主ノ一身ニ專屬セルモノハ此限ニ在ラス

第千十一條　系譜、祭具及ヒ墳墓ノ所有權ハ家督相續人ノ特權ニ屬ス

第千十二條　隱居者及ヒ入夫婚姻ヲ爲ス女戸主ハ確定日附アル證書ニ依リテ其財產ヲ留保スルコトヲ得但家督相續人ノ遺留分ニ關スル規定ニ違反スルコトヲ得ス

第千十三條　隱居又ハ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ其前戸主ニ對シテ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

入夫婚姻ノ取消又ハ入夫ノ離婚ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ入夫カ戸主タリシ間ニ負擔シタル債務ノ辨濟ハ其入夫ニ對シテ之ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ家督相續人ニ對スル請求ヲ妨ケス

第千十四條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ關スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財產ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第千十五條　國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ直ニ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第千十六條　家督相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

廢除ノ取消ニ之ヲ準用ス

第千十七條　廢除ノ取消ハ之ヲ遡及シテ其效力ヲ生ス

第千十八條　推定家督相續人ノ廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第千十九條　廢除ノ請求アリタル後其裁判確定前ニ相續カ開始シタルトキハ裁判所ハ親族、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ戸主權ノ行使ヲ停止セラレルコトナシ

第千二十條　第六百四十四條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續人ノ效力

第千二十一條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ關スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財產ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第千二十二條　國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ直ニ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第千二十三條　家督相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

廢除ノ取消ニ之ヲ準用ス

第千二十四條　廢除ノ取消ハ之ヲ遡及シテ其效力ヲ生ス

第千二十五條　推定家督相續人ノ廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第千二十六條　廢除ノ請求アリタル後其裁判確定前ニ相續カ開始シタルトキハ裁判所ハ親族、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ戸主權ノ行使ヲ停止セラレルコトナシ

第千二十七條　第六百四十四條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續人ノ效力

第千二十八條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ關スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財產ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第千二十九條　國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ直ニ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第千三十條　家督相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

廢除ノ取消ニ之ヲ準用ス

第千三十一條　廢除ノ取消ハ之ヲ遡及シテ其效力ヲ生ス

第千三十二條　推定家督相續人ノ廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第千三十三條　廢除ノ請求アリタル後其裁判確定前ニ相續カ開始シタルトキハ裁判所ハ親族、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ戸主權ノ行使ヲ停止セラレルコトナシ

第千三十四條　第六百四十四條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續人ノ效力

第千三十五條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ關スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財產ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第千三十六條　國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ直ニ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第千三十七條　家督相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

廢除ノ取消ニ之ヲ準用ス

第千三十八條　廢除ノ取消ハ之ヲ遡及シテ其效力ヲ生ス

第千三十九條　推定家督相續人ノ廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第千四十條　廢除ノ請求アリタル後其裁判確定前ニ相續カ開始シタルトキハ裁判所ハ親族、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ戸主權ノ行使ヲ停止セラレルコトナシ

第千四十一條　第六百四十四條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續人ノ效力

第千四十二條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ關スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財產ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第千四十三條　國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ直ニ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第千四十四條　家督相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

廢除ノ取消ニ之ヲ準用ス

第千四十五條　廢除ノ取消ハ之ヲ遡及シテ其效力ヲ生ス

第千四十六條　推定家督相續人ノ廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第千四十七條　廢除ノ請求アリタル後其裁判確定前ニ相續カ開始シタルトキハ裁判所ハ親族、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ戸主權ノ行使ヲ停止セラレルコトナシ

第千四十八條　第六百四十四條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續人ノ效力

第千四十九條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ關スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財產ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第千五十條　國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ直ニ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第千五十一條　家督相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

廢除ノ取消ニ之ヲ準用ス

第千五十二條　廢除ノ取消ハ之ヲ遡及シテ其效力ヲ生ス

第千五十三條　推定家督相續人ノ廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第千五十四條　廢除ノ請求アリタル後其裁判確定前ニ相續カ開始シタルトキハ裁判所ハ親族、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ戸主權ノ行使ヲ停止セラレルコトナシ

第千五十五條　第六百四十四條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續人ノ效力

第千五十六條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ關スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財產ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第千五十七條　國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ直ニ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第千五十八條　家督相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

廢除ノ取消ニ之ヲ準用ス

第千五十九條　廢除ノ取消ハ之ヲ遡及シテ其效力ヲ生ス

第千六十條　推定家督相續人ノ廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第千六十一條　廢除ノ請求アリタル後其裁判確定前ニ相續カ開始シタルトキハ裁判所ハ親族、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ戸主權ノ行使ヲ停止セラレルコトナシ

第千六十二條　第六百四十四條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續人ノ效力

第千六十三條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ關スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財產ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第千六十四條　國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ直ニ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第千六十五條　家督相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

廢除ノ取消ニ之ヲ準用ス

第千六十六條　推定家督相續人ノ廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第千六十七條　廢除ノ請求アリタル後其裁判確定前ニ相續カ開始シタルトキハ裁判所ハ親族、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ戸主權ノ行使ヲ停止セラレルコトナシ

第千六十八條　第六百四十四條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續人ノ效力

第千六十九條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ關スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財產ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第千七十條　國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ直ニ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第千七十一條　家督相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ相續開始ノ後ハ之ヲ適用セス

廢除ノ取消ニ之ヲ準用ス

第千七十二條　廢除ノ取消ハ之ヲ遡及シテ其效力ヲ生ス

第千七十三條　推定家督相續人ノ廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第千七十四條　廢除ノ請求アリタル後其裁判確定前ニ相續カ開始シタルトキハ裁判所ハ親族、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ戸主權ノ行使ヲ停止セラレルコトナシ

第千七十五條　第六百四十四條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續人ノ效力

第千七十六條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ關スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財產ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第千七十七條　國籍喪失ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ直ニ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第千七十八條　家督相續人ハ何時ニテモ廢除ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ

其者ノ相續分トス

遺贈又ハ贈與ノ價額カ相續分ノ價額ニ等シ
クヌ又ハ之ヲ超ユルトキハ受遺者又ハ受贈者
ハ其相續分ヲ受クルコトヲ得ス
被相續人カ前二項ノ規定ニ異ナリタル意思
ヲ表示シタルトキハ其意思表示ハ遺留分ニ
關スル規定ニ反セサル範圍内ニ於テ其效力
ヲ有ス

第千八條　前條ニ揭ケタル贈與ノ價額ハ受贈
者ノ行爲ニ因リ其目的タル財産カ減失又
ハ其價格ノ增減アリタルトキト雖モ相續開
始ノ當時仍ホ原狀ニテ存スルモノト看做シ
テ之ヲ定ム

第千九條　共同相續人ノ一人カ分割前ニ共相
續分ヲ第三者ニ讓渡シタルトキハ他ノ共同
相續人ハ共價額及ヒ費用ヲ償還シテ其相續
前項ニ定メタル相續利ハ一个月内ニ之ヲ行使
スルコトヲ要ス

第三款　遺産ノ分割

第千十條　被相續人ハ遺言ヲ以テ分割ノ方法
ヲ定メ又ハ之ヲ定ムルコトヲ第三者ニ委託
スルコトヲ得

第千十一條　被相續人ハ遺言ヲ以テ相續開始
ノ時ヨリ五年ヲ超エサル期間内分割ヲ禁ス
ルコトヲ得

第千十二條　遺産ノ分割ハ相續開始ノ時ニ遡
リテ其效力ヲ生ス

第千十三條　各共同相續人ハ相續開始前ヨリ
存スル事由ニ付キ他ノ共同相續人ニ對シ賣
主ト同シク其相續分ニ應シテ擔保ノ責ニ任
ス

第千十四條　各共同相續人ノ其相續分ニ應シ
他ノ共同相續人カ分割ニ因リテ受ケタル債
權ニ付キ分割ノ當時ニ於ケル債務者ノ資力
ヲ擔保ス
辨濟期ニ在ラサル債權及ヒ停止條件附債權
ニ付テハ各共同相續人ハ辨濟ヲ爲スヘキ時
ニ於ケル債務者ノ資力ヲ擔保ス

第千十五條　擔保ノ責ニ任スル共同相續人中
償還ヲ爲ス資力ナキ者アルトキハ其償還ス
ルコト能ハサル部分ハ求償者及ヒ他ノ資力
アル者各其相續分ニ應シテ之ヲ分擔ス但求
償者ニ過失アルトキハ他ノ共同相續人ニ對
シテ分擔ヲ請求スルコトヲ得ス

第千十六條　前三條ノ規定ハ被相續人カ遺言
ヲ以テ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ之ヲ
適用セス

第三章　相續ノ承認及ヒ拋棄

第一節　總則

第千十七條　相續人ハ自己ノ爲メニ相續ノ開
始アリタルコトヲ知リタル時ヨリ三个月内
ニ單純若クハ限定ノ承認又ハ拋棄ヲ爲スコ
トヲ要ス但此期間ハ利害關係人又ハ檢事ノ
請求ニ因リ裁判所ニ於テ之ヲ伸長スルコト
ヲ得

相續人ハ承認又ハ拋棄ヲ爲ス前ニ相續財産
ノ調査ヲ爲スコトヲ得

第千十八條　相續人カ承認又ハ拋棄ヲ爲サス
シテ死亡シタルトキハ前條第一項ノ期間ハ
其者ノ相續人カ自己ノ爲メニ相續ノ開始ア
リタルコトヲ知リタル時ヨリ之ヲ起算ス

第千十九條　相續人カ無能力者ナルトキハ第
千十七條第一項ノ期間ハ其法定代理人カ無
能力者ノ爲メニ相續ノ開始アリタルコトヲ
知リタル時ヨリ之ヲ起算ス

第千二十條　法定家督相續人ハ拋棄ヲ爲スコ
トヲ得ス但第九百八十四條ニ揭ケタル者ハ
此限ニ在ラス

第千二十一條　相續人ハ共同有財産ニ於ケル
同一ノ注意ヲ以テ相續財産ヲ管理スルコ
トヲ要ス但相續人又ハ拋棄ヲ爲シタルトキハ
此限ニ在ラス

裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ
何時ニテモ相續財産ノ保存ニ必要ナル處分
ヲ命スルコトヲ得

裁判所カ管理人ヲ選任シタル場合ニ於テハ
第二十七條乃至第二十九條ノ規定ヲ準用ス

第千二十二條　承認及ヒ拋棄ハ第千十七條第
一項ノ期間内ト雖モ之ヲ取消スコトヲ得ス

前項ノ規定ハ第一編及ヒ前編ノ規定ニ依リ
テ承認又ハ拋棄ノ取消ヲ爲スコトヲ妨ケス
但其取消權ハ追認ヲ爲スコトヲ得ル時ヨリ
六个月間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ
消滅ス承認又ハ拋棄ノ時ヨリ十年ヲ經過シ
タルトキ亦同シ

第二節　承認

第一款　單純承認

第千二十三條　相續人カ單純承認ヲ爲シタル
トキハ無限ニ被相續人ノ權利義務ヲ承繼ス

第千二十四條　左ニ揭ケル場合ニ於テハ相
續人ハ單純承認ヲ爲シタルモノト看做ス

一　相續人カ相續財産ノ全部又ハ一部ヲ處
分シタルトキ但保存行爲及ヒ第六百二條
ニ定メタル期間ヲ超エサル賃貸ヲ爲スハ
此限ニ在ラス

二　相續人カ第千十七條第一項ノ期間内ニ
限定承認又ハ拋棄ヲ爲ササリシトキ

三　相續人カ限定承認又ハ拋棄ヲ爲シタル
後ト雖モ相續財産ノ全部若クハ一部ヲ隱
匿シ、私ニ之ヲ消費シ又ハ惡意ヲ以テ之
ヲ財産目錄中ニ記載セサリシトキ但其相
續人カ拋棄ヲ爲シタル爲メニ因リテ相續人
ト爲リタル者カ承認ヲ爲シタル後ハ此限ニ
在ラス

第二款　限定承認

第千二十五條　相續人ハ相續ニ因リテ得タル
財産ノ限度ニ於テノミ被相續人ノ債務及ヒ
遺贈ヲ辨濟スヘキコトヲ留保シテ承認ヲ爲
スコトヲ得

第千二十六條　相續人カ限定承認ヲ爲サント
欲スルトキハ第千十七條第一項ノ期間内ニ
財産目錄ヲ調製シテ裁判所ニ提出シ限
定承認ヲ爲ス旨ヲ申述スルコトヲ要ス

第千二十七條　相續人カ限定承認ヲ爲シタル
トキハ其被相續人ニ對シテ有セシ權利義務
ハ消滅セサリシモノト看做ス

第千二十八條　限定承認者ハ共同有財産ニ於
ケル同一ノ注意ヲ以テ相續財産ノ管理ヲ
繼續スルコトヲ要ス

第六百四十五條、第六百四十六條、第六百五
十條第一項、第二項及ヒ第千二十一條第二
項、第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用
ス

第千二十九條　限定承認者ハ共固有財産ヲ以テ
相續債權者及ヒ受遺者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ之
ニ相當ノ擔保ヲ供シテ財産分離ノ請求ヲ防
止シ又ハ其效力ヲ消滅セシムルコトヲ得但
相續人ノ債權者カ之ニ因リテ損害ヲ受ケ
キコトヲ證明シテ異議ヲ述ヘタルトキハ此
限ニ在ラス

第千三十條　相續人カ限定承認ヲ爲スコトヲ
得ル間又ハ相續財産カ相續人ノ固有財産ト
混合セサル間ハ共債權者ハ財産分離ノ請求
ヲ爲スコトヲ得

第三百四條、第千二十七條、第千二十九條乃
至第千三十六條、第千四十三條乃至第千四
十五條及ヒ第千四十八條ノ規定ハ前項ノ場
合ニ之ヲ準用ス但第千二十九條ニ定メタル
公告及ヒ催告ハ財産分離ノ請求ヲ爲シタル
債權者之ヲ爲スコトヲ要ス

第五章　相續人ノ廢缺

第千五十一條　相續人アルコト分明ナラサル
トキハ相續財産ハ之ヲ法人トス

第千五十二條　前條ノ場合ニ於テハ裁判所ハ
利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ相續財産
ノ管理人ヲ選任スルコトヲ要ス

裁判所ハ遲滯ナク管理人ノ選任ヲ公告スル
コトヲ要ス

第千五十三條　第二十七條乃至第二十九條ノ
規定ハ相續財産ノ管理人ニ之ヲ準用ス

第千五十四條　管理人ハ相續債權者又ハ受遺
者ノ請求アルトキハ何時ニテモ其請求ヲ爲
スヘシ但管理人ノ選任ヲ公告スルニ必要ナ
ル期間内ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第千五十五條　管理人ハ相續財産ノ中ヨリ相
續債權者及ヒ受遺者ニ對シ辨濟ヲ爲スヘシ
但相續人ノ承認ヲ爲スニ必要ナル期間内ハ
之ヲ爲サヽルコトヲ得

第千五十六條　管理人ハ相續財産ノ中ヨリ其
相當ト認ムル報酬ヲ受クルコトヲ得

第千五十七條　管理人ハ其任務ニ關シ相續人
ニ對シテ責ニ任ス

第千五十八條　管理人ハ其權限内ニ於テ相續
人ノ爲メニ訴ヘ又ハ訴ヘラレ又ハ和解若ク
ハ仲裁契約ヲ爲スコトヲ得

第千五十九條　相續人ノ債權者又ハ受遺者ニ
對シ限定承認ヲ爲シタルコト及ヒ一定ノ期
間内ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告
スルコトヲ得ス

第七十九條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項
ノ場合ニ之ヲ準用ス

第千三十條　限定承認者ハ前條第一項ノ期間
滿了前ニハ相續債權者及ヒ受遺者ニ對シテ
辨濟ヲ拒ムコトヲ得

第千三十一條　第千二十九條第一項ノ期間滿
了ノ後ハ限定承認者ハ相續財産ヲ以テ其期
間内ニ申出テタル債權者其他知レタル債權
者ニ各其債權額ノ割合ニ應シテ辨濟ヲ爲ス
コトヲ要ス但優先權ヲ有スル債權者ノ權利
ヲ害スルコトヲ得ス

第千三十二條　限定承認者ハ辨濟期ニ至ラサ
ルモ債權ニ付テモ前條ノ規定ニ依リテ之ヲ辨濟
スルコトヲ要ス

條件附債權又ハ存續期間ノ不確定ナル債權
ハ裁判所ニ於テ選任シタル鑑定人ノ評價ニ
從ヒテ之ヲ辨濟スルコトヲ要ス

第千三十三條　限定承認者ハ前二條ノ規定ニ
依リテ各債權者ニ辨濟ヲ爲シタル後ニ非サ
レハ受遺者ニ辨濟ヲ爲スコトヲ得ス

第千三十四條　前三條ノ規定ニ從ヒテ辨濟ヲ
爲スニ付キ相續財産ノ實況ヲ必要トスルト
キハ限定承認者ハ之ヲ競賣ニ付スルコトヲ
要ス但裁判所ニ於テ選任シタル鑑定人ノ評
價ニ從ヒ相續財産ノ全部又ハ一部ノ價額ヲ
辨濟シテ共競賣ヲ止ムルコトヲ得

第千三十五條　相續債權者及ヒ受遺者ハ自己
ノ費用ヲ以テ相續財産ノ競賣又ハ鑑定ニ參
加スルコトヲ得此場合ニ於テハ第二百六十
條第二項ノ規定ヲ準用ス

第千三十六條　限定承認者カ第千二十九條ニ
定メタル公告若クハ催告ヲ爲スコトヲ怠リ
又ハ同條第一項ノ期間内ニ或債權者若クハ
受遺者ニ辨濟ヲ爲シタルニ因リ他ノ債權者
若クハ受遺者ニ辨濟ヲ爲スコトヲ能ハサル
至リタルトキハ之ニ因リテ生シタル損害ヲ
賠償スル責ニ任ス第千三十條乃至第千三十
五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第千三十七條　相續人カ數人アルトキハ相續
財産ハ其共有ニ屬ス

第千三十八條　各共同相續人ハ其相續分ニ應シテ
被相續人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二款　同順位ノ相續人數人アルトキハ其
各自ノ相續分ハ相均シキモノトス但直系卑
屬數人アルトキハ庶子及ヒ私生子ノ相續分
ハ嫡出子ノ相續分ノ二分ノ一トス

第千三十九條　第九百九十五條ノ規定ニ依リテ
相續人タル直系卑屬ノ相續分ハ其直系卑屬カ
受ケヘカリシモノニ同シ但直系卑屬數人アル
トキハ其各自ノ直系卑屬カ受クヘカリシ部分
ニ付キ前條ノ規定ニ從ヒテ其相續分ヲ定ム

第千四十條　被相續人ハ前二條ノ規定ニ拘ハラ
ス遺言ヲ以テ相續人ノ相續分ヲ定メ又
ハ之ヲ定ムルコトヲ第三者ニ委託スルコト
ヲ得但被相續人又ハ第三者ハ遺留分ニ關ス
ル規定ニ違反スルコトヲ得ス

被相續人カ共同相續人中ノ一人若クハ數人
ノ相續分ノミヲ定メ又ハ之ヲ定メサルトキ
ハ他ノ共同相續人ノ相續分ハ前二條ノ
規定ニ依リテ之ヲ定ム

第千四十一條　共同相續人中被相續人ヨリ遺贈ヲ
受ケ又ハ婚姻、養子縁組、分家、廢絕家再興
ノ爲メ若クハ生計ノ資本トシテ贈與ヲ受ケ
タル者アルトキハ被相續人カ相續開始ノ時
ニ於テ有セシ財産ノ價額ニ其贈與ノ價額ヲ
加ヘタルモノヲ相續財産トシ前三條ノ
規定ニ依リテ算定シタル相續分ノ中ヨリ其
遺贈又ハ贈與ノ價額ヲ控除シ其殘額ヲ以テ
得ス

第千四十二條　財産分離ノ請求ヲ爲シタルト
キ及ヒ前條第二項ノ規定ニ依リテ配當加入ノ
申出ヲ爲シタル相續財産ニ付キ相續人ノ
債權者ニ先チテ辨濟ヲ受ク

第千四十三條　財産分離ノ請求アリタルトキ
ハ裁判所カ相續財産ノ管理ニ付キ必要ナル
處分ヲ命スルコトヲ得

第千四十四條　相續人ハ第千四十一條第一項
及ヒ第二項ノ期間滿了前ニハ相續債權者及
ヒ受遺者ニ對シテ辨濟ヲ拒ムコトヲ得

第千四十五條　財産分離ノ請求ハ相續財産カ
相續人ノ固有財産ト混合セサル間ハ之ヲ爲
スコトヲ得ス

第千四十六條　相續人ハ第千四十一條第一項
及ヒ第二項ノ期間滿了前ニハ相續債權者及
ヒ受遺者ニ對シテ辨濟ヲ拒ムコトヲ得

第六百四十五條乃至第六百四十七條及ヒ第
千四十一條第二項ノ期間滿了前ニハ相續債權者
若クハ受遺者ニ辨濟ヲ爲シタルトキト雖モ
相續財産ノ管理ニ付キ必要ナル處分ヲ命
スルコトヲ得ス

第千四十七條　財産分離ノ請求ヲ爲シタル者
及ヒ前條第二項ノ規定ニ依リテ配當加入ノ
申出ヲ爲シタル者ハ相續財産ニ付キ相續人
ノ債權者ニ先チテ辨濟ヲ受ク

第千四十八條　相續人カ限定承認ヲ爲シ又ハ
相續財産カ相續人ノ固有財産ト混合セサル
間ハ相續人ノ債權者ハ其債權ノ辨濟ヲ受ケ
サルトキト雖モ第千四十二條ノ規定ニ依リ
テ財産分離ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第千四十九條　相續人ハ共固有財産ヲ以テ相
續債權者若クハ受遺者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ之
ニ相當ノ擔保ヲ供シテ財産分離ノ請求ヲ防
止シ又ハ其效力ヲ消滅セシムルコトヲ得但
相續人ノ債權者カ之ニ因リテ損害ヲ受ケ
キコトヲ證明シテ異議ヲ述ヘタルトキハ此
限ニ在ラス

第千五十條　相續人カ限定承認ヲ爲スコトヲ
得ル間又ハ相續財産カ相續人ノ固有財産ト
混合セサル間ハ共債權者ハ財産分離ノ請求
ヲ爲スコトヲ得

第三百四條、第千二十七條、第千二十九條乃
至第千三十六條、第千四十三條乃至第千四
十五條及ヒ第千四十八條ノ規定ハ前項ノ場
合ニ之ヲ準用ス但第千二十九條ニ定メタル
公告及ヒ催告ハ財産分離ノ請求ヲ爲シタル
債權者之ヲ爲スコトヲ要ス

第五章　相續人ノ廢缺

第千五十一條　相續人アルコト分明ナラサル
トキハ相續財産ハ之ヲ法人トス

第千五十二條　前條ノ場合ニ於テハ裁判所ハ
利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ相續財産
ノ管理人ヲ選任スルコトヲ要ス

裁判所ハ遲滯ナク管理人ノ選任ヲ公告スル
コトヲ要ス

第千五十三條　第二十七條乃至第二十九條ノ
規定ハ相續財産ノ管理人ニ之ヲ準用ス

第千五十四條　管理人ハ相續債權者又ハ受遺
者ノ請求アルトキハ何時ニテモ其請求ヲ爲
スヘシ但管理人ノ選任ヲ公告スルニ必要ナル
期間内ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第千五十五條　管理人ハ相續財産ノ中ヨリ相
續債權者及ヒ受遺者ニ對シ辨濟ヲ爲スヘシ
但相續人ノ承認ヲ爲スニ必要ナル期間内ハ
之ヲ爲サヽルコトヲ得

第千五十六條　管理人ハ相續財産ノ中ヨリ其
相當ト認ムル報酬ヲ受クルコトヲ得

第千五十七條　管理人ハ其任務ニ關シ相續人
ニ對シテ責ニ任ス

第千五十八條　管理人ハ其權限内ニ於テ相續
人ノ爲メニ訴ヘ又ハ訴ヘラレ又ハ和解若ク
ハ仲裁契約ヲ爲スコトヲ得

第千五十九條　相續人ノ債權者又ハ受遺者ニ
對シ限定承認ヲ爲シタルコト及ヒ一定ノ期
間内ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告
スルコトヲ得ス

第七十九條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項
ノ場合ニ之ヲ準用ス

第千六十條　限定承認者ハ前條第一項ノ期間
滿了前ニハ相續債權者及ヒ受遺者ニ對シテ
辨濟ヲ拒ムコトヲ得

第千六十一條　第千二十九條第一項ノ期間滿
了ノ後ハ限定承認者ハ相續財産ヲ以テ其期
間内ニ申出テタル債權者其他知レタル債權
者ニ各其債權額ノ割合ニ應シテ辨濟ヲ爲ス
コトヲ要ス但優先權ヲ有スル債權者ノ權利
ヲ害スルコトヲ得ス

第千六十二條　限定承認者ハ辨濟期ニ至ラサ
ルモ債權ニ付テモ前條ノ規定ニ依リテ之ヲ辨濟
スルコトヲ要ス

條件附債權又ハ存續期間ノ不確定ナル債權
ハ裁判所ニ於テ選任シタル鑑定人ノ評價ニ
從ヒテ之ヲ辨濟スルコトヲ要ス

第千六十三條　限定承認者ハ前二條ノ規定ニ
依リテ各債權者ニ辨濟ヲ爲シタル後ニ非サ
レハ受遺者ニ辨濟ヲ爲スコトヲ得ス

第千六十四條　前三條ノ規定ニ從ヒテ辨濟ヲ
爲スニ付キ相續財産ノ實況ヲ必要トスルト
キハ限定承認者ハ之ヲ競賣ニ付スルコトヲ
要ス但裁判所ニ於テ選任シタル鑑定人ノ評
價ニ從ヒ相續財産ノ全部又ハ一部ノ價額ヲ
辨濟シテ其競賣ヲ止ムルコトヲ得

第千六十五條　相續債權者及ヒ受遺者ハ自己
ノ費用ヲ以テ相續財産ノ競賣又ハ鑑定ニ參
加スルコトヲ得此場合ニ於テハ第二百六十
條第二項ノ規定ヲ準用ス

第千六十六條　限定承認者カ第千二十九條ニ
定メタル公告若クハ催告ヲ爲スコトヲ怠リ
又ハ同條第一項ノ期間内ニ或債權者若クハ
受遺者ニ辨濟ヲ爲シタルニ因リ他ノ債權者
若クハ受遺者ニ辨濟ヲ爲スコトヲ能ハサル
至リタルトキハ之ニ因リテ生シタル損害ヲ
賠償スル責ニ任ス第千六十條乃至第千六十
五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

ナク一切ノ相續債權者及ヒ受遺者ニ對シ一定ノ期間内ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス但其期間ハ二个月ヲ下ルコトヲ得ス

第七十九條第二項、第三項及ヒ第千三十條乃至第千三十七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但第千三十四條但書ノ規定ハ此限ニ在ラス

第千五十八條　前條第一項ノ期間滿了ノ後仍ホ相續人アルコト分明ナラサルトキハ裁判所ハ管理人又ハ檢事ノ請求ニ因リ相續人アラハ一定ノ期間内ニ其權利ヲ主張スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス但其期間ハ一年ヲ下ルコトヲ得ス

第千五十九條　前條ノ期間内ニ相續人タル權利ヲ主張スル者ナキトキハ相續財產ハ國庫ニ歸屬ス此場合ニ於テハ第千五十六條第二項ノ規定ヲ準用ス

相續債權者及ヒ受遺者ハ國庫ニ對シテ其權利ヲ行フコトヲ得ス

第六章　遺言

第一節　總則

第千六十條　遺言ハ本法ニ定メタル方式ニ從フニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第千六十一條　滿十五年ニ達シタル者ハ遺言ヲ爲スコトヲ得

第千六十二條　第四條、第九條、第十二條及ヒ第十四條ノ規定ハ遺言ニハ之ヲ適用セス

第千六十三條　遺言者ハ遺言ヲ爲ス時ニ於テ其能力ヲ有スルコトヲ要ス

第千六十四條　遺言者ハ包括又ハ特定ノ名義ヲ以テ其財產ノ全部又ハ一部ヲ處分スルコトヲ得但遺留分ニ關スル規定ニ違反スルコトヲ得ス

第千六十五條　第九百六十八條及ヒ第九百六十九條ノ規定ハ受遺者ニ之ヲ準用ス

第千六十六條　被後見人カ後見ノ計算終了前ニ後見人又ハ其配偶者若クハ直系卑屬ノ利益ト爲ルヘキ遺言ヲ爲シタルトキハ其遺言ハ無效トス

前項ノ規定ハ直系血族、配偶者又ハ兄弟姉妹ヲ後見人タル場合ニハ之ヲ適用セス

第二節　遺言ノ方式

第一款　普通方式

第千六十七條　遺言ハ自筆證書、公正證書又ハ秘密證書ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス但特別方式ニ依ルコトヲ許ス場合ハ此限ニ在ラス

第千六十八條　自筆證書ニ依リテ遺言ヲ爲スニハ遺言者其全文、日附及ヒ氏名ヲ自書シ之ニ捺印スルコトヲ要ス

自筆證書中ノ挿入、削除其他ノ變更ハ遺言者其場所ヲ指示シ之ヲ變更シタル旨ヲ附記シテ特ニ之ニ署名シ且其變更ノ場所ニ捺印スルニ非サレハ其效力ナシ

第千六十九條　公正證書ニ依リテ遺言ヲ爲スニハ左ノ方式ニ從フコトヲ要ス

一　證人二人以上ノ立會アルコト

二　遺言者カ遺言ノ趣旨ヲ公證人ニ口授スルコト

三　公證人カ遺言者ノ口述ヲ筆記シ之ヲ遺言者及ヒ證人ニ讀聞カスコト

四　遺言者及ヒ證人カ筆記ノ正確ナルコトヲ承認シタル後各自之ニ署名、捺印スルコト但遺言者カ署名スルコト能ハサル場合ニ於テハ公證人其事由ヲ附記シテ署名ニ代フルコトヲ得

五　公證人カ其證書ハ第四號ニ掲ケタル方式ニ從ヒテ作リタルモノナル旨ヲ附記シテ之ニ署名、捺印スルコト

第千七十條　秘密證書ニ依リテ遺言ヲ爲スニハ左ノ方式ニ從フコトヲ要ス

一　遺言者カ其證書ヲ封シ證書ニ用キタル印章ヲ以テ之ニ封印スルコト

二　遺言者カ公證人一人及ヒ證人二人以上ノ前ニ封書ヲ提出シ自己ノ遺言書ナル旨及ヒ其筆者ノ氏名、住所ヲ申述スルコト

三　遺言者カ公證人一人及ヒ證人二人以上ノ面前ニ於テ其封書ノ提出ヲ爲シタル日附及ヒ遺言者ノ申述ヲ封紙ニ記載シタル後遺言者及ヒ公證人、證人カ封紙ニ署名、捺印スルコト

四　公證人カ其證書ヲ提出シタル日附及ヒ遺言者ノ申述ヲ封紙ニ記載シタル後遺言者及ヒ公證人、證人カ封紙ニ署名、捺印スルコト

第千七十一條　秘密證書ニ依ル遺言ハ前條ニ定メタル方式ニ缺クルモノアルモ第千六十八條ノ方式ヲ具備スルトキハ自筆證書ニ依ル遺言トシテ其效力ヲ有ス

第千七十二條　前條ニ掲ケタル者カ秘密證書ニ依リテ遺言ヲ爲ス場合ニ於テハ遺言者ハ公證人及ヒ證人ノ前ニ於テ其封書ニ自己ノ遺言書ナル旨竝ニ其筆者ノ氏名、住所ヲ封紙ニ自書シテ第千七十條第一項第三號ノ申述ニ代フルコトヲ要ス

公證人ハ遺言者カ前項ニ定メタル方式ヲ踐ミタル旨ヲ封紙ニ記載シテ申述ノ記載ニ代フルコトヲ要ス

第千七十三條　禁治產者カ本心ニ復シタル時ニ於テ遺言ヲ爲ス場合ニ於テハ遺言者ハ公證人及ヒ證人ノ前ニ於テ其封書ニ自己ノ遺言書ナル旨竝ニ其筆者ノ氏名、住所ヲ申述スルコトヲ要ス但其封紙ニ右ノ記載及ヒ署名、捺印ヲ爲スコトヲ要ス

第千七十四條　左ニ掲ケタル者ハ遺言ノ證人又ハ立會人タルコトヲ得ス

一　未成年者

二　禁治產者及ヒ準禁治產者

三　剝奪公權者及ヒ停止公權者

四　遺言者ノ配偶者

五　推定相續人、受遺者及ヒ其配偶者竝ニ直系血族

六　公證人ト家ヲ同シクスル者及ヒ公證人ノ直系血族竝ニ筆生、雇人

第千七十五條　遺言ハ二人以上同一ノ證書ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三款　特別方式

第千七十六條　疾病其他ノ事由ニ因リテ死亡ノ危急ニ迫リタル者カ遺言ヲ爲サントスルトキハ其全部ノ所有權又ハ共有權ヲ以テ遺贈ノ目的トシタルモノト推定ス

第千百二條　遺贈ノ目的タル物又ハ權利カ遺言者ノ死亡ノ時ニ於テ第三者ノ權利ニ屬シタルトキハ受遺者ハ遺贈義務者ニ對シ其權利ヲ消滅セシムヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得ス但遺言者カ其遺言ニ反對ノ意思ヲ表示シタルトキハ此限ニ在ラス

第千百三條　債權ヲ以テ遺贈ノ目的トシタル場合ニ於テ遺言者カ弁濟ヲ受ケ且其受取リタル物カ尙ホ相續財產中ニ存スルトキハ其物ヲ以テ遺贈ノ目的トシタルモノト推定ス

第千百四條　負擔附遺贈ヲ受ケタル者ハ遺贈ノ目的ノ價額ヲ超エサル限度ニ於テノミ其負擔シタル義務ヲ履行スル責ニ任ス

受遺者カ遺贈ノ拋棄ヲ爲シタルトキハ負擔ノ利益ヲ受ケサル旨ヲ遺言者ニ移轉スル義務ヲ負フ若シ之ヲ怠リタルトキハ相續人ハ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ履行ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得若シ其期間内ニ履行ヲ爲ササルトキハ遺言ノ取消ヲ家事審判所ニ請求スルコトヲ得

第千百五條　遺贈ハ遺言者ノ死亡ノ時ヨリ其效力ヲ生ス

第千百六條　遺贈義務者其他ノ利害關係人又ハ相當ノ期間内ニ遺贈ノ承認又ハ拋棄ヲ爲ササルトキハ遺贈義務者ニ對シテ其承認又ハ拋棄ヲ爲スヘキ旨ヲ受遺者ニ催告スルコトヲ得若シ受遺者カ其期間内ニ遺贈義務者ニ對シテ表示ヲ爲ササルトキハ遺贈ヲ承認シタルモノト看做ス

第千百七條　受遺者カ遺贈ノ承認ヲ爲シタル場合ニ於テ其遺言者ノ死亡ノ時ニ遡リテ其效力ヲ生ス

第千八十九條　遺贈義務者其他ノ利害關係人ハ相當ノ期間内ニ遺贈ノ承認又ハ拋棄ヲ爲ササルトキハ遺贈義務者ニ對シテ其承認又ハ拋棄ヲ爲スヘキ旨ヲ受遺者ニ催告スルコトヲ得若シ受遺者カ其期間内ニ遺贈義務者ニ對シテ表示ヲ爲ササルトキハ遺贈ヲ承認シタルモノト看做ス

第千九十條　受遺者カ遺贈ノ承認又ハ拋棄ヲ爲サスシテ死亡シタルトキハ其相續人ハ自己ノ相續權ノ範圍内ニ於テ承認又ハ拋棄ヲ爲スコトヲ得但遺言者カ其遺言ニ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ此限ニ在ラス

第千九十一條　遺贈ノ承認及ヒ拋棄ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第千二十二條第二項ノ規定ハ遺贈ノ承認及ヒ拋棄ニ之ヲ準用ス

第千九十二條　包括受遺者ハ遺產相續人ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第千九十三條　受遺者ハ遺贈カ弁濟期ニ至ラサル間ハ遺贈義務者ニ對シテ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得停止條件附遺贈ニ付キ其條件ノ成否未定ノ間亦同シ

第千九十四條　受遺者ハ遺贈ノ履行ヲ請求スルコトヲ得但時ヨリ果實ヲ取得ス但遺言者カ其遺言ニ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フ

第千九十五條　遺贈義務者カ遺言者ノ死亡後遺贈ノ目的物ニ付キ費用ヲ出シタルトキハ第二百九十九條ノ規定ヲ準用ス

果實ヲ取戻スル爲メ出シタル通常ノ必要費ハ果實ノ價格ヲ超エサル限度ニ於テ其償還ヲ請求スルコトヲ得

第千九十六條　遺贈ハ遺言者ノ死亡前ニ受遺者カ死亡シタルトキハ其效力ヲ生セス

停止條件附遺贈ニ付テハ受遺者カ其條件ノ成就前ニ死亡シタルトキ亦同シ但遺言者カ其遺言ニ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フ

第四節　遺言ノ執行

第千百六條　遺言ノ執行ニ付キ遺言者カ指定ノ委託ヲ受ケタル者カ其委託ヲ辭セントスルトキハ遅滯ナク其旨ヲ相續人ニ通知スルコトヲ要ス

第千百九條　遺言執行者カ就職ヲ承諾シタルトキハ直チニ其任務ヲ行フコトヲ要ス

第千百十條　相續人其他ノ利害關係人ハ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ就職ヲ承諾スルヤ否ヤヲ確答スヘキ旨ヲ遺言執行者ニ催告スルコトヲ得若シ遺言執行者カ其期間内ニ相續人ニ對シテ確答ヲ爲ササルトキハ就職ヲ承諾シタルモノト看做ス

第千百十一條　無能力者及ヒ破產者ハ遺言執

ル船舶中ニ在ル者カ遺言ヲ爲シタル場合ニ於テハ其確認ハ之ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ要ス

第千八十二條　第千七十七條、第千七十八條及ヒ第千八十條ノ場合ニ於テハ遺言者、筆者、立會人及ヒ證人ハ各自遺言書ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

第千八十三條　第千七十七條乃至第千八十一條ノ場合ニ於テ署名又ハ捺印スルコト能ハサル者アルトキハ立會人又ハ證人ハ其事由ヲ附記スルコトヲ要ス

第千八十四條　第千六十八條第二項及ヒ第千七十三條乃至第千七十五條ノ規定ハ前八條ノ規定ニ依ル遺言ニ之ヲ準用ス

第千八十五條　前九條ノ規定ニ依リテ爲シタル遺言ハ普通方式ニ依リテ遺言ヲ爲スコトヲ得ル至リタル時ヨリ六个月間生存スルトキハ其效力ナシ

第千八十六條　日本ノ領事ノ駐在スル地ニ在ル日本人カ公正證書又ハ秘密證書ニ依リテ遺言ヲ爲サントスルトキハ公證人ノ職務ハ領事之ヲ行フ

第三節　遺言ノ效力

第千八十七條　遺言ハ遺言者ノ死亡ノ時ヨリ其效力ヲ生ス

遺言ニ停止條件ヲ附シタル場合ニ於テ其條件カ遺言者ノ死亡後ニ成就シタルトキハ遺言ハ條件成就ノ時ヨリ其效力ヲ生ス

第千八十八條　受遺者ハ遺言者ノ死亡後何時ニテモ遺贈ノ拋棄ヲ爲スコトヲ得

遺贈ノ拋棄ハ遺言者ノ死亡ノ時ニ遡リテ其效力ヲ生ス

第千八十九條　遺贈義務者其他ノ利害關係人ハ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ遺贈ノ承認又ハ拋棄ヲ爲ササルトキハ遺贈義務者ニ對シテ其承認又ハ拋棄ヲ爲スヘキ旨ヲ受遺者ニ催告スルコトヲ得若シ受遺者カ其期間内ニ遺贈義務者ニ對シテ表示ヲ爲ササルトキハ遺贈ヲ承認シタルモノト看做ス

第千九十條　受遺者カ遺贈ノ承認又ハ拋棄ヲ爲サスシテ死亡シタルトキハ其相續人ハ自己ノ相續權ノ範圍内ニ於テ承認又ハ拋棄ヲ爲スコトヲ得但遺言者カ其遺言ニ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ此限ニ在ラス

第千九十一條　遺贈ノ承認及ヒ拋棄ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第千二十二條第二項ノ規定ハ遺贈ノ承認及ヒ拋棄ニ之ヲ準用ス

第千九十二條　包括受遺者ハ遺產相續人ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第千九十三條　受遺者ハ遺贈カ弁濟期ニ至ラサル間ハ遺贈義務者ニ對シテ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得停止條件附遺贈ニ付キ其條件ノ成否未定ノ間亦同シ

第千九十四條　受遺者ハ遺贈ノ履行ヲ請求スルコトヲ得但時ヨリ果實ヲ取得ス但遺言者カ其遺言ニ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フ

第千九十五條　遺贈義務者カ遺言者ノ死亡後遺贈ノ目的物ニ付キ費用ヲ出シタルトキハ第二百九十九條ノ規定ヲ準用ス

果實ヲ取戻スル爲メ出シタル通常ノ必要費ハ果實ノ價格ヲ超エサル限度ニ於テ其償還ヲ請求スルコトヲ得

第千九十六條　遺贈ハ遺言者ノ死亡前ニ受遺者カ死亡シタルトキハ其效力ヲ生セス

停止條件附遺贈ニ付テハ受遺者カ其條件ノ成就前ニ死亡シタルトキ亦同シ但遺言者カ其遺言ニ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フ

第四節　遺言ノ執行

第千百六條　遺言者ハ遺言ヲ以テ遺言執行者ヲ指定シ又ハ其指定ヲ第三者ニ委託スルコトヲ得

遺言執行者カ指定ノ委託ヲ受ケタル場合ニ於テ其委託ヲ辭セントスルトキハ遅滯ナク其旨ヲ相續人ニ通知スルコトヲ要ス

第千百九條　遺言執行者カ就職ヲ承諾シタルトキハ直チニ其任務ヲ行フコトヲ要ス

第千百十條　相續人其他ノ利害關係人ハ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ就職ヲ承諾スルヤ否ヤヲ確答スヘキ旨ヲ遺言執行者ニ催告スルコトヲ得若シ遺言執行者カ其期間内ニ相續人ニ對シテ確答ヲ爲ササルトキハ就職ヲ承諾シタルモノト看做ス

第千百十一條　無能力者及ヒ破產者ハ遺言執

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

行者タルコトヲ得ス

第千百十二條　遺言執行者ナキトキ又ハ之ナキニ至リタルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ選任シタル遺言執行者ハ正當ノ理由アルニ非サレハ就職ヲ拒ムコトヲ得ス

第千百十三條　遺言執行者ハ遺贈ナリヤ相續財産ノ目錄ヲ調製シテ之ヲ相續人ニ交付スルコトヲ要ス

遺言執行者ハ相續人ノ請求アルトキハ其立會ヲ以テ財産目錄ヲ調製セシムルコトヲ要ス

第千百十四條　遺言執行者ハ相續財産ノ管理其他遺言ノ執行ニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權利義務ヲ有ス

第六百四十四條乃至第六百四十七條及ヒ第六百五十條ノ規定ハ遺言執行者ニ之ヲ準用ス

第千百十五條　遺言執行者アル場合ニ於テハ相續人ハ相續財産ヲ處分シ其他遺言ノ執行ヲ妨クヘキ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第千百十六條　前三條ノ規定ハ遺言カ特定財産ニ關シテハ其價額ヲ算入セス

第千百十七條　遺言執行者ハ已ムコトヲ得サル事由アルニ非サレハ第三者ヲシテ其任務ヲ行ハシムルコトヲ得ス但遺言者カ其遺言ニ反對ノ意思ヲ表示シタルトキハ此限ニ在ラス

遺言執行者カ前項但書ノ規定ニ依リ第三者ヲシテ其任務ヲ行ハシム場合ニ於テハ相續人ニ對シ第百五條ニ定メタル責任ヲ負フ

第千百十九條　數人ノ遺言執行者アル場合ニ於テハ其任務ノ執行ハ過半數ヲ以テ之ヲ決ス但遺言者カ其遺言ニ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フ

各遺言執行者ハ前項ノ規定ニ拘ハラス保存行爲ヲ爲スコトヲ得

第千百二十條　遺言執行者ハ遺言ニ報酬ヲ定メタルトキハ限リ之ヲ受クルコトヲ得

裁判所ニ於テ遺言執行者ヲ選任シタルトキハ裁判所ノ事情ニ依リ其報酬ヲ定ムルコトヲ得

遺言執行者カ報酬ヲ受クヘキ場合ニ於テハ第六百四十八條第二項及ヒ第三項ノ規定ヲ準用ス

第千百二十一條　遺言執行者カ其任務ヲ怠リタルトキ其他正當ノ事由アルトキハ利害關係人ハ共解任ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

遺言執行者ハ正當ノ事由アルトキハ就職ノ後ト雖モ其任務ヲ辭スルコトヲ得

第千百二十二條　第六百五十四條及ヒ第六百五十五條ノ規定ハ遺言執行者ノ任務カ終了シタル場合ニ之ヲ準用ス

第千百二十三條　遺言ノ執行ニ關スル費用ハ相續財産ノ負擔トス但之ニ因リテ遺留分ヲ減スルコトヲ得ス

第五節　遺言ノ取消

第千百二十四條　遺言者ハ何時ニテモ遺言ノ方式ニ從ヒテ其遺言ノ全部又ハ一部ヲ取消スコトヲ得

第千百二十五條　前ノ遺言ト後ノ遺言ト牴觸スルトキハ其牴觸スル部分ニ付テハ後ノ遺言ヲ以テ前ノ遺言ヲ取消シタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ遺言ト遺言後ノ生前處分其他ノ法律行爲ト牴觸スル場合ニ之ヲ準用ス

第千百二十六條　遺言者カ故意ニ遺言書ヲ毀滅シタルトキハ其毀滅シタル部分ニ付テハ遺言ヲ取消シタルモノト看做ス

第千百二十七條　前三條ノ規定ニ依リテ取消サレタル遺言ハ其取消ノ行爲カ取消サレ又ハ效力ヲ生セサルニ至リタルトキト雖モ其效力ヲ回復セス但其行爲カ詐欺又ハ强迫ニ因ル場合ハ此限ニ在ラス

第千百二十八條　遺言者ハ其遺言ノ取消權ヲ拋棄スルコトヲ得ス

第千百二十九條　負擔附遺贈ヲ受ケタル者カ其負擔シタル義務ヲ履行セサルトキハ相續人ハ相當ノ期間ヲ定メテ其履行ヲ催告シ若シ其期間內ニ履行ナキトキハ遺言ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第七章　遺留分

第千百三十條　法定家督相續人タル直系卑屬ハ遺留分トシテ被相續人ノ財産ノ半額ヲ受ク

此他ノ家督相續人ハ遺留分トシテ被相續人ノ財産ノ三分ノ一ヲ受ク

第千百三十一條　遺産相續人タル配偶者又ハ直系尊屬ハ遺留分トシテ被相續人ノ財産ノ半額ヲ受ク

遺産相續人タル直系卑屬ハ遺留分トシテ被相續人ノ財産ノ三分ノ一ヲ受ク

第千百三十二條　遺留分ハ被相續人カ相續開始ノ時ニ於テ有セシ財産ノ價額ニ其贈與シタル財産ノ價額ヲ加ヘ其中ヨリ債務ノ全額ヲ控除シテ之ヲ算定ス

條件附權利又ハ存續期間ノ不確定ナル權利ハ裁判所ニ於テ選定シタル鑑定人ノ評價ニ從ヒ其價格ヲ定ム

第千百三十三條　贈與ハ相續開始前一年間ニ爲シタルモノニ限リ前條ノ規定ニ依リテ其價額ヲ算入ス一年前ニ爲シタルモノト雖モ當事者雙方カ遺留分權利者ニ損害ヲ加フルコトヲ知リテ之ヲ爲シタルトキ亦同シ

第千百三十四條　遺留分權利者及ヒ其承繼人ハ遺留分ヲ保全スルニ必要ナル限度ニ於テ遺贈及ヒ前條ニ掲ケタル贈與ノ減殺ヲ請求スルコトヲ得

第千百三十五條　條件附權利又ハ存續期間ノ不確定ナル權利ヲ以テ贈與又ハ遺贈ノ目的トシタル場合ニ於テ其贈與又ハ遺贈ノ一部ヲ減殺スヘキトキハ遺留分權利者ハ第千百三十二條第二項ノ規定ニ依リテ定メタル價格ニ從ヒ直チニ其殘部ノ價格ヲ受贈者又ハ受遺者ニ給付スルコトヲ要ス

第千百三十六條　贈與ハ遺贈ヲ減殺シタル後ニ非サレハ之ヲ減殺スルコトヲ得

第千百三十七條　遺言執行者ハ遺言ニ報酬ヲ定メタルトキハ其報酬ヲ受ケサル間ハ遺留分權利者ニ對シ其價額ノ辨償ヲ爲スコトヲ要ス

第千百三十八條　第千百三十二條乃至第千百三十四條ノ規定ハ前條ノ辨償ニ之ヲ準用ス

第千百三十九條　遺留分ノ減殺ニ因リ贈與又ハ遺贈ノ目的ノ一部ヲ取得シタル者ハ其價額ヲ以テ辨償ヲ爲スコトヲ得

第千百四十條　第千百三十九條ノ規定ハ減殺ノ請求ニ因リ贈與又ハ遺贈ノ目的ノ一部ヲ取得シタル者ノ無資力ニ因リテ生シタル損失ニ之ヲ準用ス

第千百四十一條　負擔附贈與ハ其目的ノ價額中ヨリ負擔ノ價額ヲ控除シタルモノニ付キ其減殺ヲ請求スルコトヲ得

第千百四十二條　不相當ノ對價ヲ以テ爲シタル有償行爲ハ當事者雙方カ遺留分權利者ニ損害ヲ加フルコトヲ知リテ爲シタルモノニ限リ之ヲ贈與ニ準用ス

第千百四十三條　減殺ヲ受クヘキ受贈者カ贈與ノ目的ヲ他人ニ讓渡シタルトキハ遺留分權利者ニ其價額ヲ辨償スルコトヲ要ス但讓受人カ讓渡ノ當時遺留分權利者ニ損害ヲ加フルコトヲ知リタルトキハ遺留分權利者ハ之ニ對シテモ減殺ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ハ受贈者カ贈與ノ目的ノ上ニ權利ヲ設定シタル場合ニ之ヲ準用ス

第千百四十四條　受贈者及ヒ受遺者ハ減殺ヲ受クヘキ限度ニ於テ贈與又ハ遺贈ノ目的ノ價額ヲ遺留分權利者ニ辨償シテ返還ノ義務ヲ免ルルコトヲ得

前項ノ規定ハ前條第一項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス

第千百四十五條　減殺ノ請求權ハ遺留分權利者カ相續ノ開始及ヒ減殺スヘキ贈與又ハ遺贈アリタルコトヲ知リタル時ヨリ一年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リ消滅シ相續開始ノ時ヨリ十年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第千百四十六條　第九百九十五條、第千四條、第千百三十九條及ヒ第千八條ノ規定ハ遺留分ニ之ヲ準用ス

附　則（明治三十五年法律第三十七號）

メタルトキニ限リ之ヲ受クルコトヲ得

裁判所ニ於テ遺言執行者ヲ選任シタルトキハ裁判所ノ事情ニ依リ其報酬ヲ定ムルコトヲ得

遺言執行者カ報酬ヲ受クヘキ場合ニ於テハ第六百四十八條第二項及ヒ第三項ノ規定ヲ準用ス

第千百二十一條　遺言執行者カ其任務ヲ怠リタルトキ其他正當ノ事由アルトキハ利害關係人ハ共解任ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

遺言執行者ハ正當ノ事由アルトキハ就職ノ後ト雖モ其任務ヲ辭スルコトヲ得

第千百二十二條　第六百五十四條及ヒ第六百五十五條ノ規定ハ遺言執行者ノ任務カ終了シタル場合ニ之ヲ準用ス

第千百二十三條　遺言ノ執行ニ關スル費用ハ相續財産ノ負擔トス但之ニ因リテ遺留分ヲ減スルコトヲ得ス

第五節　遺言ノ取消

第千百二十四條　遺言者ハ何時ニテモ遺言ノ方式ニ從ヒテ其遺言ノ全部又ハ一部ヲ取消スコトヲ得

第千百二十五條　前ノ遺言ト後ノ遺言ト牴觸スルトキハ其牴觸スル部分ニ付テハ後ノ遺言ヲ以テ前ノ遺言ヲ取消シタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ遺言ト遺言後ノ生前處分其他ノ法律行爲ト牴觸スル場合ニ之ヲ準用ス

第千百二十六條　遺言者カ故意ニ遺言書ヲ毀滅シタルトキハ其毀滅シタル部分ニ付テハ遺言ヲ取消シタルモノト看做ス

第千百二十七條　前三條ノ規定ニ依リテ取消サレタル遺言ハ其取消ノ行爲カ取消サレ又ハ效力ヲ生セサルニ至リタルトキト雖モ其效力ヲ回復セス但其行爲カ詐欺又ハ强迫ニ因ル場合ハ此限ニ在ラス

第千百二十八條　遺言者ハ其遺言ノ取消權ヲ拋棄スルコトヲ得ス

第千百二十九條　負擔附遺贈ヲ受ケタル者カ其負擔シタル義務ヲ履行セサルトキハ相續人ハ相當ノ期間ヲ定メテ其履行ヲ催告シ若シ其期間內ニ履行ナキトキハ遺言ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第七章　遺留分

第千百三十條　法定家督相續人タル直系卑屬ハ遺留分トシテ被相續人ノ財産ノ半額ヲ受ク

第千百三十一條　遺産相續人タル直系卑屬ハ遺留分トシテ被相續人ノ財産ノ三分ノ一ヲ受ク

第千百三十二條　遺留分ハ被相續人カ相續開始ノ時ニ於テ有セシ財産ノ價額ニ其贈與シタル財産ノ價額ヲ加ヘ其中ヨリ債務ノ全額ヲ控除シテ之ヲ算定ス

條件附權利又ハ存續期間ノ不確定ナル權利ハ裁判所ニ於テ選定シタル鑑定人ノ評價ニ從ヒ其價格ヲ定ム

第千百三十三條　贈與ハ相續開始前一年間ニ爲シタルモノニ限リ前條ノ規定ニ依リテ其價額ヲ算入ス一年前ニ爲シタルモノト雖モ當事者雙方カ遺留分權利者ニ損害ヲ加フルコトヲ知リテ之ヲ爲シタルトキ亦同シ

第千百三十四條　遺留分權利者及ヒ其承繼人ハ遺留分ヲ保全スルニ必要ナル限度ニ於テ遺贈及ヒ前條ニ掲ケタル贈與ノ減殺ヲ請求スルコトヲ得

第千百三十五條　條件附權利又ハ存續期間ノ不確定ナル權利ヲ以テ贈與又ハ遺贈ノ目的トシタル場合ニ於テ其贈與又ハ遺贈ノ一部ヲ減殺スヘキトキハ遺留分權利者ハ第千百三十二條第二項ノ規定ニ依リテ定メタル價格ニ從ヒ直チニ其殘部ノ價格ヲ受贈者又ハ受遺者ニ給付スルコトヲ要ス

第千百三十六條　贈與ハ遺贈ヲ減殺シタル後ニ非サレハ之ヲ減殺スルコトヲ得ス

第千百三十七條　遺言執行者ハ遺言ニ報酬ヲ定メタルトキハ其報酬ヲ受ケサル間ハ遺留分權利者ニ對シ其價額ノ辨償ヲ爲スコトヲ要ス

第千百三十八條　第千百三十二條乃至第千百三十四條ノ規定ハ前條ノ辨償ニ之ヲ準用ス

第千百三十九條　遺留分ノ減殺ニ因リ贈與又ハ遺贈ノ目的ノ一部ヲ取得シタル者ハ其價額ヲ以テ辨償ヲ爲スコトヲ得

第千百四十條　第千百三十九條ノ規定ハ減殺ノ請求ニ因リ贈與又ハ遺贈ノ目的ノ一部ヲ取得シタル者ノ無資力ニ因リテ生シタル損失ニ之ヲ準用ス

第千百四十一條　負擔附贈與ハ其目的ノ價額中ヨリ負擔ノ價額ヲ控除シタルモノニ付キ其減殺ヲ請求スルコトヲ得

第千百四十二條　不相當ノ對價ヲ以テ爲シタル有償行爲ハ當事者雙方カ遺留分權利者ニ損害ヲ加フルコトヲ知リテ爲シタルモノニ限リ之ヲ贈與ニ準用ス

第千百四十三條　減殺ヲ受クヘキ受贈者カ贈與ノ目的ヲ他人ニ讓渡シタルトキハ遺留分權利者ニ其價額ヲ辨償スルコトヲ要ス但讓受人カ讓渡ノ當時遺留分權利者ニ損害ヲ加フルコトヲ知リタルトキハ遺留分權利者ハ之ニ對シテモ減殺ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ハ受贈者カ贈與ノ目的ノ上ニ權利ヲ設定シタル場合ニ之ヲ準用ス

第千百四十四條　受贈者及ヒ受遺者ハ減殺ヲ受クヘキ限度ニ於テ贈與又ハ遺贈ノ目的ノ價額ヲ遺留分權利者ニ辨償シテ返還ノ義務ヲ免ルルコトヲ得

前項ノ規定ハ前條第一項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス

第千百四十五條　減殺ノ請求權ハ遺留分權利者カ相續ノ開始及ヒ減殺スヘキ贈與又ハ遺贈アリタルコトヲ知リタル時ヨリ一年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リ消滅シ相續開始ノ時ヨリ十年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第千百四十六條　第九百九十五條、第千四條、第千百三十九條及ヒ第千八條ノ規定ハ遺留分ニ之ヲ準用ス

附　則（明治三十五年法律第三十七號）

本法施行前ニ分家ヲ爲シタル者ノ本家ニ在ル直系卑屬カ意思能力ヲ有セサルトキハ法定代理人之ニ代ハリ民法第七百三十七條第一項ノ規定ニ依リテ分家ノ家族トナル手續ヲ爲スコトヲ得

本法施行前ニ分家ヲ爲シタル者ノ直系卑屬ニシテ民法第七百三十七條ノ規定ニ依リ分家ノ家族トナリタル者ニ付テハ同法第九百七十二條ノ規定ヲ適用セス但第三者カ既ニ取得シタル權利ヲ害スルコトヲ得ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年五月勅令第百五號ヲ以テ昭和四年十月一日ヨリ施行）

●民法施行法

明治三十一年六月
法律第十一號

（改正　明治三三年三月第七一號、三四年九月第三九號、三九年三月第二三號、大正一一年四月第七一號）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル民法施行法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

民法施行法

通則
第一章　總則編ニ關スル規定
第二章　物權編ニ關スル規定
第三章　債權編ニ關スル規定
第四章　親族編ニ關スル規定
第五章　相續編ニ關スル規定

民法施行法

第一章　通則

第一條　民法施行前ニ生シタル事項ニ付テハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外民法ノ規定ヲ適用セス

第二條　削除

第三條　削除

第四條　證書ハ確定日附アルニ非サレハ第三者ニ對シ其作成ノ日ニ付キ完全ナル證據力ヲ有セス

第五條　證書ハ左ノ場合ニ限リ確定日附アルモノトス

一　公正證書ナルトキハ其日附ヲ以テ確定日附トス

二　登記所又ハ公證人役場ニ於テ私署證書ニ日附アル印章ヲ押捺シタルトキハ其印章ノ日附ヲ以テ確定日附トス

三　私署證書ノ署名者中ニ死亡シタル者アルトキハ其死亡ノ日ヨリ確定日附アルモノトス

四　確定日附アル證書中ニ私署證書ヲ引用シタルトキハ其證書ノ日附ヲ以テ引用シタル私署證書ノ確定日附トス

五　官廳又ハ公署ニ於テ私署證書ニ或事項ヲ記入シ之ニ日附ヲ記載シタルトキハ其日附ヲ以テ其證書ノ確定日附トス

第六條　私署證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ登記所又ハ公證人役場ニ請求スル者アルトキハ登記官吏又ハ公證人ハ確定日附簿ニ署名者ノ氏名又ハ其一人ノ氏名ヲ他何名ト附記シタルモノト及ヒ件名ヲ記載シ其證書ニ登簿番號ヲ記入シ帳簿及ヒ證書ニ日附アル印章ヲ押捺シ且其印章ヲ以テ帳簿ト證書トニ割印ヲ爲スコトヲ要ス

證書カ數紙ヨリ成レル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル印章ヲ以テ每紙ノ綴目又ハ繼目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

確定日附簿ニハ地方裁判所長其紙數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ判氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ且職印ヲ以テ每紙ノ綴目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第八條　私署證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ登記所又ハ公證人役場ニ申求スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ手數料ヲ納ムルコトヲ要ス

第九條　左ノ法令ハ民法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

一　明治五年第二百九十五號布告
一　明治六年第二十一號布告
三　同年第二十八號布告

第十條　民法施行前ニ民法第七條又ハ第十一條ニ掲ケタル原因ノ爲メニ後見人ヲ附シタル者ハ其施行ノ日ヨリ禁治産者又ハ準禁治産者ト看做ス

後見人ハ民法施行ノ日ヨリ一箇月內ニ禁治産又ハ準禁治産ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第十三條　後見人ハ其他民法第七條ニ掲ケタル者カ民法施行ノ日ヨリ一个月內ニ禁治産又ハ準禁治産ノ請求ヲ爲ササリシトキハ其期間經過ノ後ハ前條第一項ノ規定ヲ適用セス

第十四條　民事　刑事　監獄　第一章　民事　第一款　民事令　民法　商法　民事訴訟法　人事訴訟手續法　非訟事件手續法

附則）

本法施行前ニ分家ヲ爲シタル者ノ本家ニ在ル直系卑屬カ意思能力ヲ有セサルトキハ法定代理人之ニ代ハリ民法第七百三十七條第一項ノ規定ニ依リテ分家ノ家族トナル手續ヲ爲スコトヲ得

本法施行前ニ分家ヲ爲シタル者ノ直系卑屬ニシテ民法第七百三十七條ノ規定ニ依リ分家ノ家族トナリタル者ニ付テハ同法第九百七十二條ノ規定ヲ適用セス但第三者カ既ニ取得シタル權利ヲ害スルコトヲ得ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年五月勅令第百五號ヲ以テ昭和四年十月一日ヨリ施行）

●民法施行法

明治三十一年六月
法律第十一號

（改正　明治三三年三月第七一號、三四年九月第三九號、三九年三月第二三號、大正一一年四月第七一號）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル民法施行法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

民法施行法

通則
第一章　總則編ニ關スル規定
第二章　物權編ニ關スル規定
第三章　債權編ニ關スル規定
第四章　親族編ニ關スル規定
第五章　相續編ニ關スル規定

民法施行法

第一章　通則

第一條　民法施行前ニ生シタル事項ニ付テハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外民法ノ規定ヲ適用セス

第二條　削除

第三條　削除

第四條　證書ハ確定日附アルニ非サレハ第三者ニ對シ其作成ノ日ニ付キ完全ナル證據力ヲ有セス

第五條　證書ハ左ノ場合ニ限リ確定日附アルモノトス

一　公正證書ナルトキハ其日附ヲ以テ確定日附トス

二　登記所又ハ公證人役場ニ於テ私署證書ニ日附アル印章ヲ押捺シタルトキハ其印章ノ日附ヲ以テ確定日附トス

三　私署證書ノ署名者中ニ死亡シタル者アルトキハ其死亡ノ日ヨリ確定日附アルモノトス

四　確定日附アル證書中ニ私署證書ヲ引用シタルトキハ其證書ノ日附ヲ以テ引用シタル私署證書ノ確定日附トス

五　官廳又ハ公署ニ於テ私署證書ニ或事項ヲ記入シ之ニ日附ヲ記載シタルトキハ其日附ヲ以テ其證書ノ確定日附トス

第六條　私署證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ登記所又ハ公證人役場ニ請求スル者アルトキハ登記官吏又ハ公證人ハ確定日附簿ニ署名者ノ氏名又ハ其一人ノ氏名ヲ他何名ト附記シタルモノト及ヒ件名ヲ記載シ其證書ニ登簿番號ヲ記入シ帳簿及ヒ證書ニ日附アル印章ヲ押捺シ且其印章ヲ以テ帳簿ト證書トニ割印ヲ爲スコトヲ要ス

證書カ數紙ヨリ成レル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル印章ヲ以テ每紙ノ綴目又ハ繼目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

確定日附簿ニハ地方裁判所長其紙數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ判氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ且職印ヲ以テ每紙ノ綴目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第八條　私署證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ登記所又ハ公證人役場ニ申求スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ手數料ヲ納ムルコトヲ要ス

第九條　左ノ法令ハ民法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

一　明治五年第二百九十五號布告
一　明治六年第二十一號布告
三　同年第二十八號布告

第十條　民法施行前ニ民法第七條又ハ第十一條ニ掲ケタル原因ノ爲メニ後見人ヲ附シタル者ハ其施行ノ日ヨリ禁治産者又ハ準禁治産者ト看做ス

後見人ハ民法施行ノ日ヨリ一箇月內ニ禁治産又ハ準禁治産ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第十三條　後見人ハ其他民法第七條ニ掲ケタル者カ民法施行ノ日ヨリ一个月內ニ禁治産又ハ準禁治産ノ請求ヲ爲ササリシトキハ其期間經過ノ後ハ前條第一項ノ規定ヲ適用セス

第十四條　民事　刑事　監獄　第一章　民事　第一款　民事令　民法　商法　民事訴訟法　人事訴訟手續法　非訟事件手續法

民法第三百六十四條第一項ノ規定ハ記名ノ國債ニハ之ヲ適用セス

●年齢計算ニ關スル件

明治三十五年十二月　法律第五十號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル年齢計算ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第四條　受託者ハ信託行爲ノ定ムル所ニ從ヒ信託財產ノ管理又ハ處分ヲ爲スコトヲ要ス

第五條　未成年者、禁治產者、準禁治產者及破產者ハ受託者トナル能ハス

妻カ信託ノ引受ヲ爲スニハ夫ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

民法第十四條第二項及第十五條乃至第二十條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條　信託ノ引受ハ書榮トシテ之ヲ爲スコトヲ得ス

第七條　信託行爲ニ依リ受益者トシテ指定セラレタル者カ當然ノ信託利益ヲ享受ス但シ信託行爲ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條　不特定ノ受益者又ハ未タ存在セサル受益者アル場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ信託行爲ヲ以テ信託管理人ヲ選任スルコトヲ得但シ信託行爲ヲ以テ信託管理人ヲ指定シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

信託管理人ハ前項ノ受益者ノ爲自己ノ名ヲ以テ信託ニ關スル裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

裁判所ハ事情ニ依リ信託財產中ヨリ相當ノ報酬ヲ信託管理人ニ與フルコトヲ得

第九條　受託者ハ何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス信託ノ利益ヲ享受スルコトヲ得ス

第十條　法令ニ依リ或財產權ヲ享有スルコトヲ得サル者ハ受益者トシテ其ノ權利ヲ有スルト同一ノ利益ヲ享受スルコトヲ得ス

第十一條　信託ハ訴訟行爲ヲ爲サシムルコトヲ主タル目的トシテ之ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條　債務者カ其ノ債權者ヲ害スルコトヲ知リテ信託ヲ爲シタル場合ニ於テハ債權者ハ受託者カ善意ナルトキト雖民法第四百二十四條第一項ニ規定スル取消權ヲ行フコトヲ得

第十三條　第三十一條ニ規定スル取消權ハ受益者又ハ信託管理人カ取消ノ原因アルコトヲ知リタル時ヨリ一月內ニ之ヲ行ハサルトキハ消滅ス但シ其ノ時ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　受託者タル法人カ其ノ任務ニ背キタルトキハ之ニ千圓以下ノ過料ニ處ス

第十五條　受託者カ信託事務ヲ處理スルニ付キ過失アリタルトキハ之ニ對シ損害賠償ノ責ニ任ス

第十六條　受託者ハ信託財產ニ關シテ負擔シタル租稅、公課其ノ他ノ費用又ハ信託事務ヲ處理スルニ因リ自己ニ過失ナクシテ受ケタル損害ノ補償ニ付テハ信託財產ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十七條　受託者ハ信託財產ニ關シテ負擔シタル債務ニ付テハ自己ノ財產ヲ以テ辨濟ヲ爲ス責ニ任ス

第十八條　受託者カ信託事務ヲ處理スルニ付キ過失ニ因リ他人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ受益者ニ對シ損害賠償ノ責ニ任ス

第十九條　受託者カ信託事務ヲ處理スルニ付キ受益者ノ爲ニ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬ス

第二十條　受託者カ信託事務ヲ處理スルニ付キ受ケタル利益ニシテ信託財產ニ屬セサルモノハ之ヲ受託者ニ引渡スコトヲ要ス

第二十一條　信託財產ニ屬スル金錢ノ管理方法ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　受託者カ何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス信託財產ヲ固有財產ト爲シ又ハ之ニ付權利ヲ取得スルコトヲ得ス但シ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テ裁判所ノ許可ヲ受ケ信託財產ヲ固有財產ト爲スハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ受託者カ相續其ノ他包括名義ニ因リ信託財產ニ付權利ヲ承繼スルコトヲ妨ケス此ノ場合ニ於テハ第十八條ノ規定ヲ準用ス

第二十三條　信託行爲ノ當時豫見スルコトヲ得サリシ特別ノ事情ニ因リ信託財產ノ管理方法ヲ受益者ノ利益ニ適セサルニ至リタルトキハ受託者、其ノ相續人、受益者又ハ受託者ノ其ノ變更ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ハ裁判所ノ定メタル管理方法ニ付之ヲ準用ス

第二十四條　受託者數人アルトキハ信託財產ハ其ノ合有トス

前項ノ場合ニ於テ信託行爲ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外信託事務ノ處理ハ受託者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ其ノ一人ニ對シテモ其ノ效力ヲ生ス

第二十五條　受託者數人アルトキハ信託行爲ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外信託事務ノ處理ハ受託者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ其ノ一人ニ對シテモ其ノ效力ヲ生ス

第二十六條　受託者カ信託ノ本旨ニ反シテ信託財產ヲ處分シタルトキハ受益者ハ相手方又ハ轉得者ニ對シ其ノ處分ヲ取消スコトヲ得但シ信託ノ登記若ハ登錄アリタルトキ又ハ登記若ハ登錄スヘカリサル信託財產ニ付テハ相手方及轉得者ニ於テ其ノ處分カ信託ノ本旨ニ反スルコトヲ知リタルトキ若ハ重大ナル過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキニ限ル

第二十七條　受益者數人アル場合ニ於テ其ノ一人カ前條ノ規定ニ依リテ爲シタル取消ハ他ノ受益者ノ爲ニモ其效力ヲ生ス

第三十八條　第三十一條ニ規定スル取消權ハ受益者ノ現在ノ承繼人ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得

第二十八條　受託者カ信託事務ヲ處理スルニ付キ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬スルモノト推定ス

第二十九條　受託者カ信託事務ヲ處理スルニ付キ第三者ニ對シテ負擔シタル債務ハ信託財產ヲ以テ之ヲ辨濟ス

第三十條　信託財產ニ付テハ強制執行又ハ競賣ニ對シテハ委託者其ノ相續人、受益者又ハ受託者ノ債權者ハ之ヲ爭フコトヲ得ス

第三十一條　信託財產ニ付テハ滯納處分ヲ爲スコトヲ得ス

第三十二條　信託財產ニ付テハ民事訴訟法第五百四十九條ノ規定ヲ準用ス

第三十三條　信託財產ニ屬スル債權ハ混同ニ因リテ消滅セス

第三十四條　信託財產ニ屬スル債務ハ信託財產ヲ以テ辨濟ヲ爲スコトヲ得ス

第三十五條　信託財產ニ屬スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スコトヲ得ス

第三十六條　信託財產ニ屬スル債務ニ付テハ債權者ハ信託財產ノミニ付強制執行ヲ爲スコトヲ得

第三十七條　信託財產ニ屬スル債務ニ付テハ債權者ハ信託財產ノミニ付強制執行ヲ爲スコトヲ得

第三十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第三十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百二十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百二十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百二十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百二十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百二十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百二十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百二十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百二十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百二十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百二十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百三十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百三十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百三十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百三十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百三十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百三十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百三十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百三十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百三十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百三十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百四十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

トヲ得

前項ノ規定ニ依リテ爲シタル取消ハ受益者ノ爲ニモ其效力ヲ生ス

第三十二條　受益者カ信託ノ本旨ニ反シテ信託財產ヲ處分シタルトキハ受益者ハ相手方又ハ轉得者ニ對シ其ノ處分ヲ取消スコトヲ得但シ信託ノ登記若ハ登錄アリタルトキ又ハ登記若ハ登錄スヘカリサル信託財產ニ付テハ相手方及轉得者ニ於テ其ノ處分カ信託ノ本旨ニ反スルコトヲ知リタルトキ若ハ重大ナル過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキニ限ル

第三十三條　受益者數人アル場合ニ於テ其ノ一人カ前條ノ規定ニ依リテ爲シタル取消ハ他ノ受益者ノ爲ニモ其效力ヲ生ス

第三十四條　第三十一條ニ規定スル取消權ハ受益者ノ現在ノ承繼人ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得

第二十條　受託者ハ信託ノ本旨ニ從ヒ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ信託事務ヲ處理スルコトヲ要ス

第二十一條　信託財產ニ屬スル金錢ノ管理方法ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　受託者カ何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス信託財產ヲ固有財產ト爲シ又ハ之ニ付權利ヲ取得スルコトヲ得ス但シ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テ裁判所ノ許可ヲ受ケ信託財產ヲ固有財產ト爲スハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ受託者カ相續其ノ他包括名義ニ因リ信託財產ニ付權利ヲ承繼スルコトヲ妨ケス此ノ場合ニ於テハ第十八條ノ規定ヲ準用ス

第二十三條　信託行爲ノ當時豫見スルコトヲ得サリシ特別ノ事情ニ因リ信託財產ノ管理方法ヲ受益者ノ利益ニ適セサルニ至リタルトキハ受託者、其ノ相續人、受益者又ハ受託者ノ其ノ變更ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ハ裁判所ノ定メタル管理方法ニ付之ヲ準用ス

第二十四條　受託者數人アルトキハ信託財產ハ其ノ合有トス

前項ノ場合ニ於テハ受託者ハ選任及監督ニ付テノミ共ノ責ニ任ス信託行爲ニ依リ他人ヲシテ信託事務ヲ處理セシメタルトキ亦同シ

第二十五條　受託者ハ信託財產ノ管理、處分、滅失、毀損其ノ他ノ事由ニ因リ受託者ノ得タル財產ハ信託財產ニ屬ス

第二十六條　信託財產ノ管理、處分、滅失、毀損ニ因リ受託者カ第三者ニ對シテ有スル權利ハ信託財產ニ屬ス

第二十七條　受託者カ信託事務ヲ處理スルニ付キ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬スルモノト推定ス

第二十八條　信託財產ニ屬スル債權ハ混同ニ因リテ消滅セス

第二十九條　信託財產ニ屬スル債務ハ信託財產ヲ以テ辨濟ヲ爲スコトヲ得ス

第三十條　信託財產ニ付テハ滯納處分ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條　信託財產ニ付テハ強制執行又ハ競賣ニ對シテハ委託者其ノ相續人、受益者又ハ受託者ノ債權者ハ之ヲ爭フコトヲ得ス

第三十二條　信託財產ニ付テハ民事訴訟法第五百四十九條ノ規定ヲ準用ス

第三十三條　信託財產ニ屬スル債權ハ混同ニ因リテ消滅セス

第三十四條　信託財產ニ屬スル債務ニ付テハ債權者ハ信託財產ノミニ付強制執行ヲ爲スコトヲ得

第三十五條　信託財產ニ屬スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲スコトヲ得ス

第三十六條　信託財產ニ屬スル債務ニ付テハ債權者ハ信託財產ノミニ付強制執行ヲ爲スコトヲ得

第三十七條　信託財產ニ屬スル債務ニ付テハ債權者ハ信託財產ノミニ付強制執行ヲ爲スコトヲ得

第三十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第三十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第四十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第五十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第六十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第七十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第八十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第九十九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百四條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百五條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百六條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百七條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百八條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百九條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十一條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十二條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債務者ハ信託財產ノミニ付辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百十三條　信託財產ニ屬スル債權ニ付テハ債

類ノ閲覧ヲ請求スルコトヲ得

委託者、其ノ相續人及受益者ハ信託事務ノ處理ニ關スル書類ノ閲覧ヲ請求シ且信託事務ノ處理ニ付説明ヲ求ムルコトヲ得

第四十一條　信託事務ハ營業トシテ信託ノ引受ヲ爲ス場合ヲ除クノ外裁判所ノ監督ニ屬ス

裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ信託事務ノ處理ニ付檢査ヲ爲シ且檢査役ヲ選任シ其ノ他必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第四十二條　受託者カ死亡シタルトキ又ハ破産、禁治産若ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ其ノ任務ヲ終了ス受託者タル法人カ解散シタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ受託者ノ相續人、其ノ法定代理人、破産管財人、後見人、保佐人又ハ清算人ハ新受託者カ信託事務ヲ處理スルコトヲ得ルニ至迄信託財産ヲ保管シ且信託事務ノ引繼ニ必要ナル行爲ヲ爲スコトヲ要ス法人合併ノ場合ニ於テ合併ニ因リテ設立シタル法人又ハ合併後存續スル法人亦同シ

第四十三條　受託者ハ信託行爲ニ別段ノ定アルニ非サレハ共ノ任務ヲ辭スルコトヲ得ス

第四十四條　信託行爲ニ依リ特定ノ資格ニ基キ受託者ト爲リタル者其ノ資格ヲ喪失シタルトキハ其ノ任務ハ之ニ因リテ終了ス

第四十五條　第四十三條又ハ前條ノ規定ニ依リ任務終了シタル者ハ新受託者カ信託事務ヲ處理スルコトヲ得ルニ至迄仍受託者ノ權利義務ヲ有ス

第四十六條　已ムコトヲ得サル事由アルトキハ受託者ハ裁判所ノ許可ヲ受ケ其ノ任務ヲ辭スルコトヲ得

第四十七條　受託者カ其ノ任務ニ背キタルトキ其ノ他重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ委託者、其ノ相續人又ハ受益者ノ請求ニ因リ受託者ヲ解任スルコトヲ得

第四十八條　第四十六條又ハ前條ノ規定ニ依リ受託者其ノ任務ヲ辭シ又ハ解任セラレタルトキハ裁判所ハ信託財産ノ管理人ヲ選任シ其ノ他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四十九條　受託者ノ任務終了ノ場合ニ於テ信託事務ノ計算ヲ爲シ受益者又ハ信託管理人ノ立會ヲ以テ事務ノ引繼ヲ爲スコトヲ要ス

受益者又ハ信託管理人カ前項ノ計算ヲ承認シタルトキハ前受託者ノ其ノ受益者ニ對スル引繼ニ關スル責任ハ之ニ因リテ解除セラレタルモノト看做ス但シ不正ノ行爲アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十條　信託行爲ヲ以テ定メタル事由發生シタルトキ又ハ信託ノ目的ヲ達シ若ハ達スルコト能ハサルトキハ裁判所ハ受益者又ハ利害關係人ノ請求ニ因リ信託ノ解除ヲ命スルコトヲ得

第五十一條　第二十七條又ハ第二十九條ニ規定スル權利ハ新受託者亦之ヲ行フコトヲ得

第五十二條　受託者ノ更迭アリタルトキハ新受託者ハ前受託者カ信託行爲ニ因リ受益者ニ對シテ負擔シタル債務ヲ承繼ス

前項ノ規定ハ第五十條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

信託事務ノ處理ニ付生シタル債權ハ信託財産ノ限度ニ於テ新受託者ニ對シテモ亦之ヲ行フコトヲ得

第五十三條　信託財産ニ對スル强制執行又ハ競賣手續ハ新受託者ニ對シテ之ヲ續行スルコトヲ得

第五十四條　前受託者ハ第三十六條第一項ニ規定スル費用若ハ損害ノ補償ヲ受ケル權利又ハ第三十七條ニ規定スル報酬ヲ受ケル權利ニ基キ新受託者ニ對シ信託財産ニ付强制執行ヲ爲シ又ハ之ヲ競賣スルコトヲ得

第五十五條　前受託者ハ前項ノ權利ヲ行フ爲信託財産ヲ留置スルコトヲ得

第五十六條　受託者更迭ノ場合ニ於テハ信託事務ノ計算ヲ爲シ受益者又ハ信託管理人ノ立會ヲ以テ事務ノ引繼ヲ爲スコトヲ要ス

受益者又ハ信託管理人カ前項ノ計算ヲ承認シタルトキハ前受託者ノ其ノ受益者ニ對スル引繼ニ關スル責任ハ之ニ因リテ解除セラレタルモノト看做ス但シ不正ノ行爲アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十七條　委託者カ信託利益ノ全部ヲ享受スル場合ニ於テハ委託者又ハ其ノ相續人ハ何時ニテモ信託ヲ解除スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ民法第六百五十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

第五十八條　前條ノ場合ヲ除クノ外受益者カ信託利益ノ全部ヲ享受スル場合ニ於テ信託財産ヲ以テスルニ非サレハ其ノ債務ヲ完濟スルコト能ハサルトキハ裁判所ハ受益者又ハ利害關係人ノ請求ニ因リ信託ノ解除ヲ命スルコトヲ得

第五十九條　第五十七條及前條ノ規定ニ拘ラス信託ノ解除ニ關シ信託行爲ニ別段ノ定アルトキハ其ノ定ニ從フ

第六十條　信託ノ解除ハ將來ニ向テノミ其ノ效力ヲ生ス

第六十一條　第五十七條又ハ第五十八條ノ規定ニ依リ信託カ解除セラレタルトキハ信託財産ハ受益者ニ歸屬ス

第六十二條　信託終了ノ場合ニ於テ信託行爲ニ定メタル信託財産ノ歸屬權利者ナキトキハ其ノ信託財産ハ委託者又ハ其ノ相續人ニ歸屬ス

第六十三條　信託終了ノ場合ニ於テ信託財産カ其ノ歸屬權利者ニ移轉スル迄ハ仍信託ハ存續スルモノト看做ス此ノ場合ニ於テハ歸屬權利者ヲ受益者ト看做ス

第六十四條　第五十三條及第五十四條ノ規定ハ信託ノ終了ニ因リ信託財産カ受益者其ノ他ノ者ニ歸屬シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　信託終了ノ場合ニ於テハ受託者ハ信託事務ノ最終ノ計算ヲ爲シ受益者ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ第五十五條第二項ノ規定ヲ準用ス

第六十六條　祭祀、宗教、慈善、學術、技藝其ノ他公益ヲ目的トスル信託ハ之ヲ公益信託トシ其ノ監督ニ付テハ後六條ノ規定ヲ適用ス

第六十七條　公益信託ハ主務官廳ノ監督ニ屬ス

第六十八條　公益信託ノ引受ニ付テハ受託者ハ主務官廳ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第六十九條　主務官廳ハ何時ニテモ公益信託事務ノ處理ニ付檢査ヲ爲シ且財産ノ供託其ノ他必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

受託者ハ毎年一回一定ノ時期ニ於テ信託事務及財産ノ狀況ヲ公告スルコトヲ要ス

第七十條　公益信託ニ付信託行爲ノ當時豫見スルコトヲ得サリシ特別ノ事情ヲ生シタルトキハ主務官廳ハ信託ノ本旨ニ反セサル限リ信託ノ條項ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第七十一條　公益信託ノ受託者ハ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限リ主務官廳ノ許可ヲ受ケ其ノ任務ヲ辭スルコトヲ得

第七十二條　公益信託ニ付テハ第八條第一項第三項、第二十二條第一項但書及第四十七條乃至第四十九條ニ規定スル裁判所ノ權限ハ主務官廳ニ屬ス但シ第四十七條及第四十九條ニ規定スル權限ニ付テハ職權ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得

第七十三條　公益信託終了ノ場合ニ於テ信託財産ノ歸屬權利者ナキトキハ主務官廳ハ其ノ信託ノ本旨ニ從ヒ類似ノ目的ノ爲ニ信託ヲ繼續セシムルコトヲ得

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

●有價證券ノ信託財産表示及信託財産ニ屬スル金錢ノ管理ニ關スル件

昭和六年九月
總令第百十六號

有價證券ノ信託財産表示及信託財産ニ屬スル金錢ノ管理ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第三條第二項ノ規定ニ依ル信託財産ナルコトノ表示ハ委託者又ハ受託者ノ請求ニ依リ國債、地方債、社債又ハ株式ニ付テハ發行者、公證人又ハ公證人ノ職務ヲ行フ官吏、其ノ他ノ有價證券ニ付テハ公證人又ハ公證人ノ職務ヲ行フ官吏之ヲ爲ス

第二條　公證人又ハ公證人ノ職務ヲ行フ官吏前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ信託表示簿ニ證券ノ種類及番號竝ニ依託者及受託者ノ氏名ヲ記載シ證券ニハ信託財産ナルコト及登簿番號ヲ記載シテ日附アル印章ヲ押捺シ尚其ノ印章ヲ以テ信託表示簿ト證券トニ割印ヲ爲スベシ

信託表示簿ニハ準メ登簿番號ヲ印刷シ請求順ヲ以テ前項ノ規定ニ從ヒ記入ヲ爲スコトヲ要ス

信託表示簿ニハ地方法院長其ノ紙數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ捺シ且職印ヲ以テ各紙ノ綴目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第三條　發行者第一條ノ請求ヲ受ケタルトキハ證券ニ信託財産ナルコトヲ記載シ其ノ年月日ヲ附記シ記名捺印スベシ

第四條　第一條、第二條第一項及前條ノ規定ハ受託者ニ信託財産ナルコトノ表示ノ抹消ヲ請求スル場合ニ之ヲ準用ス

前項ニ規定スル表示ノ抹消ノ受益者モ亦之ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スルコトヲ要ス

第五條　信託財産ニ屬スル金錢ノ運用ハ信託行爲ヲ以テ別段ノ定ヲ爲シタル場合ヲ除クノ外左ノ方法ニ依ルコトヲ要ス但シ受託者ガ信託會社ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　國債、地方債及特別ノ法令ニ依リテ設立シタル會社ノ社債ノ應募、引受又ハ買入

二　國債其ノ他前號ニ揭グル有價證券ヲ擔保トスル貸付

三　郵便貯金

四　銀行又ハ金融組合ヘノ預金

附　則

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●信託表示簿及日附アル印章調製ニ關スル件

昭和六年九月
總令第百十七號

信託表示簿及日附アル印章調製ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　公證人役場又ハ地方法院（支廳ニ出張スル場合ヲ含ム）ニ備フベキ信託表示簿及日附アル印章ハ附屬雛形ニ依リ之ヲ調製スベシ

第二條　公證人ニ於テ信託表示簿ヲ調製シタルトキハ之ヲ記入前條轄地方法院長ニ差出スベシ

公證人ノ職務ヲ行フ官吏ニ於テ使用スベキ信託表示簿ハ地方法院ニ於テ調製シ其ノ請求ニ依リ之ヲ交付スベシ

附　則

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

（信託表示簿雛形）

信託表示簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

又ハ

（何地方法院所屬公證人何某役場）

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長　印

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第號										抹消										第號										抹消									
有價證券種類	有價證券番號	委託者ノ氏名	受託者ノ氏名	日附	アルファベット	印章及割印				請求人ノ氏名	日附	アルファベット	印章及割印							有價證券種類	有價證券番號	委託者ノ氏名	受託者ノ氏名	日附	アルファベット	印章及割印				請求人ノ氏名	日附	アルファベット	印章及割印						

第號										抹消										第號										抹消									
有價證券種類	有價證券番號	委託者ノ氏名	受託者ノ氏名	日附	アルファベット	印章及割印				請求人ノ氏名	日附	アルファベット	印章及割印							有價證券種類	有價證券番號	委託者ノ氏名	受託者ノ氏名	日附	アルファベット	印章及割印				請求人ノ氏名	日附	アルファベット	印章及割印						

日附アルファベット印章雛形

外圓徑	三センチメートル																																							
內圓徑	一・五センチメートル																																							

同上																																								
同上																																							

●身元保證ニ關スル法律

昭和八年四月
法律第四十二號

陛帝國議會ノ協賛ヲ經タル身元保證ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　引受、保證其ノ他名稱ノ如何ヲ問ハズ期間ヲ定メズシテ被用者ノ行爲ニ因リ使用者ノ受ケタル損害ヲ賠償スルコトヲ約スル身元保證契約ハ其ノ成立ノ日ヨリ三年間其ノ效力ヲ有シ商工業見習者ノ身元保證契約ニ付テハ之ヲ五年トス

第二條　身元保證契約ノ期間ハ五年ヲ超ユルコトヲ得ズ若シ之ヨリ長キ期間ヲ定メタルトキハ其ノ期間ハ之ヲ五年ニ短縮ス

身元保證契約ハ之ヲ更新スルコトヲ得但シ其ノ期間ハ更新ノ時ヨリ五年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條　使用者ハ左ノ場合ニ於テハ遲滯ナク身元保證人ニ通知スベシ

一　被用者ニ業務上不適任又ハ不誠實ナル事跡アリテ之ガ爲身元保證人ノ責任ヲ惹起スル虞アルコトヲ知リタルトキ

二　被用者ノ任務又ハ任地ヲ變更シ之ガ爲身元保證人ノ責任ヲ加重シ又ハ其ノ監督ヲ困難ナラシムルトキ

第四條　身元保證人前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ將來ニ向テ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

身元保證人自ラ前條第一號及第二號ノ事實アリタルコトヲ知リタルトキ亦同ジ

第五條　裁判所ハ身元保證人ノ損害賠償ノ責任及其ノ金額ヲ定ムルニ付被用者ノ監督ニ關スル使用者ノ過失ノ有無、身元保證人ガ身元保證ヲ爲スニ當リ用キタル注意ノ程度、被用ノ任務又ハ身上ノ變化其ノ他一切ノ事情ヲ斟酌ス

第六條　本法ノ規定ニ反スル特約ニシテ身元保證人ニ不利益ナルモノハ總テ之ヲ無效トス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ本法施行前ニ成立シタル身元保證契約ニモ之ヲ適用ス但シ存續期間ノ定ナキ契約ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算シ第一條ノ規定ニ依ル期間其ノ效力ヲ有スル存續期間ノ定アル契約ニ付テハ本法施行當時ニ於ケル殘存期間ヲ約定期間トス若シ此ノ期間ガ五年ヲ超ユルトキハ之ヲ五年ニ短縮ス

●商法

明治三十二年三月
法律第四十八號

改正　初治四四年五第七三號、大正一一年四第七一號

陛帝國議會ノ協賛ヲ經タル商法修正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

商法別冊ノ通之ヲ定ム

此法非施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治二十三年法律第三十二號商法ハ第三編ヲ除ノ外此法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

（別冊）

商法

第一編　總則
第一章　法例
第二章　商人
第三章　商業登記
第四章　商號
第五章　商業帳簿
第六章　商業使用人
第七章　代理商
第二編　會社
第一章　總則
第二章　合名會社
第一節　設立
第二節　會社ノ內部ノ關係
第三節　會社ノ外部ノ關係
第四節　社員ノ退社
第五節　解散
第六節　清算
第三章　合資會社
第四章　株式會社
第一節　設立
第二節　株式
第三節　會社ノ機關
第一款　株主總會
第二款　取締役
第三款　監査役
第四節　會社ノ計算
第五節　社債
第六節　定款ノ變更
第七節　解散
第八節　清算
第五章　株式合資會社
第六章　外國會社
第七章　罰則
第三編　商行爲
第一章　總則
第二章　賣買
第三章　交互計算
第四章　匿名組合
第五章　仲立營業
第六章　問屋營業
第七章　運送取扱營業
第八章　運送營業
第一節　物品運送
第二節　旅客運送
第九章　寄託
第一節　總則
第二節　倉庫營業
第十章　保險
第一節　損害保險
第一款　總則
第二款　火災保險
第三款　運送保險
第二節　生命保險
第四編　手形
第一章　總則
第二章　爲替手形
第一節　振出
第二節　裏書
第三節　引受
第四節　擔保ノ請求
第五節　支拂
第六節　償還ノ請求
第七節　保證
第八節　參加
第一款　參加引受
第二款　參加支拂
第九節　拒絕證書
第十節　爲替手形ノ複本及ヒ謄本
第三章　約束手形
第四章　小切手
第五編　海商
第一章　船舶及ヒ船舶所有者
第二章　船員
第一節　船長
第二節　海員
第三章　運送
第一節　物品運送
第一款　總則
第二款　船荷證券
第二節　旅客運送
第四章　海損
第五章　海難救助
第六章　保險
第七章　船舶債權者

商法

第一編　總則
第一章　法例

第一條　商事ニ關シ本法ニ規定ナキモノニ付テハ商慣習法ヲ適用シ商慣習法ナキトキハ民法ヲ適用ス

第二條　公法人ノ商行爲ニ付テハ法令ニ別段ノ定ナキトキニ限リ本法ノ規定ヲ適用ス

第三條　當事者ノ一方ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ付テハ本法ノ規定ヲ雙方ニ適用ス

第二章　商人

第四條　本法ニ於テ商人トハ自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ業トスル者ヲ謂フ

第五條　未成年者又ハ妻カ商業ヲ營ムトキハ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六條　會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ許サレタル未成年者又ハ妻ハ其會社ノ業務ニ關シテハ之ヲ能力者ト看做ス

第七條　法定代理人カ親族會ノ同意ヲ得テ無能力者ノ爲メニ商業ヲ營ムトキハ登記ヲ爲スコトヲ要ス

法定代理人ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八條　戶主ニ就キ又ハ道路ニ於テ物ヲ賣買スル者其他小商人ニハ商業登記、商號及ヒ商業帳簿ニ關スル規定ヲ適用セス

第三章　商業登記

第九條　本法ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ハ當事者ノ請求ニ因リ其營業所ノ裁判所ニ偏ヘタル商業登記簿ニ之ヲ登記ス

第十條　本店ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ハ本法ニ別段ノ定ナキトキハ支店ノ所在地ニ於テモ亦之ヲ登記スルコトヲ要ス

第十一條　登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滯ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第十二條　登記スヘキ事項ハ登記及ヒ公告ノ後ニ非サレハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス登記及ヒ公告ノ後ト雖モ第三者カ正當ノ事由ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキ亦同シ

第十三條　支店ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ヲ登記セサリシトキハ前條ノ規定ハ其支店ニ於テ爲シタル取引ニ付テノミ之ヲ適用ス

第十四條　登記ハ其公告ト抵觸スルトキト雖モ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十五條　登記シタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ其事項カ消滅シタルトキハ當事者ハ遲滯ナク變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四章　商號

第十六條　商人ハ其氏、氏名其他ノ名稱ヲ以テ商號ト爲スコトヲ得

第十七條　會社ノ商號中ニハ其種類ニ從ヒ合名會社、合資會社、株式會社又ハ株式合資會社ナル文字ヲ用ユルコトヲ要ス

第十八條　會社ニ非スシテ商號中ニ會社タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ユルコトヲ得ス會社ノ營業ヲ讓受ケタルトキ雖モ亦同シ前項ノ規定ニ違反シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ科料ニ處セラル

第十九條　他人カ登記シタル商號ハ同市町村内ニ於テ同一ノ營業ノ爲メニ之ヲ登記スルコトヲ得ス

第二十條　商號ノ登記ヲ爲シタル者ハ不正ノ競爭ノ目的ヲ以テ同一又ハ類似ノ商號ヲ使用スル者ニ對シテ其使用ヲ止ムヘキコトヲ請求スルコトヲ得但損害賠償ノ請求ヲ妨クス

同市町村内ニ於テ同一ノ營業ノ爲メニ他人ノ登記シタル商號ヲ使用スル者ハ不正ノ競爭ノ目的ヲ以テ之ヲ使用スルモノト推定ス

第二十一條　商號ノ讓渡ハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十二條　商業ト共ニ營業ヲ讓渡シタル場合ニ於テ當事者カ別段ノ意思ヲ表示セサリシトキハ讓受人ハ同市町村内ニ於テ二十年間同一ノ營業ヲ爲ス權限ヲ有ス

讓渡人カ同一ノ營業ヲ爲ササル特約ヲ爲シタルトキハ其特約ハ同府縣内且三十年ヲ超エサル範圍内ニ於テノミ其效力ヲ有ス

讓渡人ハ前二項ノ規定ニ拘ハラス不正ノ競爭ノ目的ヲ以テ同一ノ營業ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條　前條ノ規定ハ營業ノミヲ讓渡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條　商號ノ登記ヲ爲シタル者カ其商號ヲ廢止シ又ハ之ヲ變更シタル場合ニ於テ其廢止又ハ變更ノ登記ヲ爲ササルトキハ利害關係人ハ其登記ノ抹消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ異議アラハ其期間内ニ之ヲ申立ツヘキ旨ヲ催告シ若シ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ直チニ其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第五章　商業帳簿

第二十五條　商人ハ帳簿ヲ備ヘ之ニ日日ノ取引其他財産ニ影響ヲ及ホスヘキ一切ノ事項ヲ整然且明瞭ニ記載スルコトヲ要ス但家事ノ爲ニ用ユル小資ノ取引ハ現金買ト掛買トヲ分チ日日ノ資上總額ノミヲ記載スルコトヲ得

第二十六條　動產、不動產、債權、債務其他ノ財產ノ總目錄及ヒ貸方借方ノ對照表ハ商人ノ開業ノ時又ハ會社ノ設立登記ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作リ特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス

財產目錄ニハ動產、不動產、債權其他ノ財產ニ價額ヲ附シテ之ヲ記載スルコトヲ要ス其價額ハ財產目錄調製ノ時ニ於ケル價額ニ超エルコトヲ得ス

第二十七條　年二回以上利益ノ配當ヲ爲ス會社ニ在リテハ每配當期ニ前條ノ規定ニ從ヒ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

第二十七條ノ二　裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ニ當事者ニ共商業帳簿ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第二十八條　商人ハ十年間其商業帳簿及ヒ其營業ニ關スル信書ヲ保存スルコトヲ要ス

前項ノ期間ハ商業帳簿ニ付テハ其帳簿閉鎖ノ時ヨリ之ヲ起算ス

第六章　商業使用人

第二十九條　商人ハ支配人ヲ選任シ其本店又ハ支店ニ於テ其商業ヲ管理セシムルコトヲ得

第三十條　支配人ハ主人ニ代ハリテ其營業ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

支配人ハ番頭、手代其他ノ使用人ヲ選任又ハ解任スルコトヲ得

支配人ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十條ノ二　商人ハ數人ノ支配人カ共同シテ代理權ヲ行フヘキ旨ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ支配人ノ一人ニ對シテ爲シタル意思表示ハ主人ニ對シテ其效力ヲ生ス

第三十一條　支配人ノ選任及ヒ其代理權ノ消滅ハ之ヲ登記スルニ非サレハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ異議アラハ其期間内ニ之ヲ申立ツヘキ旨ヲ催告シ若シ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ直チニ其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第五章　商業帳簿

第二十五條　商人ハ帳簿ヲ備ヘ之ニ日日ノ取引其他財產ニ影響ヲ及ホスヘキ一切ノ事項ヲ整然且明瞭ニ記載スルコトヲ要ス但家事ノ爲ニ用ユル小資ノ取引ハ現金買ト掛買トヲ分チ日日ノ資上總額ノミヲ記載スルコトヲ得

第二十六條　動產、不動產、債權、債務其他ノ財產ノ總目錄及ヒ貸方借方ノ對照表ハ商人ノ開業ノ時又ハ會社ノ設立登記ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作リ特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス

財產目錄ニハ動產、不動產、債權、債務其他ノ財產ニ價額ヲ附シテ之ヲ記載スルコトヲ要ス其價額ハ財產目錄調製ノ時ニ於ケル價額ニ超エルコトヲ得ス

第二十七條　年二回以上利益ノ配當ヲ爲ス會社ニ在リテハ每配當期ニ前條ノ規定ニ從ヒ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

第二十七條ノ二　裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ニ當事者ニ共商業帳簿ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第二十八條　商人ハ十年間其商業帳簿及ヒ其營業ニ關スル信書ヲ保存スルコトヲ要ス

前項ノ期間ハ商業帳簿ニ付テハ其帳簿閉鎖ノ時ヨリ之ヲ起算ス

第六章　商業使用人

第二十九條　商人ハ支配人ヲ選任シ其本店又ハ支店ニ於テ其商業ヲ管理セシムルコトヲ得

第三十條　支配人ハ主人ニ代ハリテ其營業ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

支配人ハ番頭、手代其他ノ使用人ヲ選任又ハ解任スルコトヲ得

支配人ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十條ノ二　商人ハ數人ノ支配人カ共同シテ代理權ヲ行フヘキ旨ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ支配人ノ一人ニ對シテ爲シタル意思表示ハ主人ニ對シテ其效力ヲ生ス

第三十一條　支配人ノ選任及ヒ其代理權ノ消滅ハ之ヲ登記スルニ非サレハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ異議アラハ其期間内ニ之ヲ申立ツヘキ旨ヲ催告シ若シ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ直チニ其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第七章　代理商

第三十二條　商人ノ爲メニ平常其營業ノ部類ニ屬スル商行爲ノ代理又ハ媒介ヲ爲ス者ヲ謂フ

第三十七條　代理商カ商行爲ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク本人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第三十八條　代理商ハ本人ノ許諾アルニ非サレハ自己又ハ第三者ノ爲メニ本人ノ營業ノ部類ニ屬スル商行爲ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ス

第三十二條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ代理商カ前項ノ規定ニ違反シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條　物品販賣ノ委託ヲ受ケタル代理商ハ賣買ノ目的物ノ瑕疵又ハ其數量ノ不足其他賣買ノ履行ニ關スル通知ヲ受ケル權限アリ

第四十條　當事者カ契約ノ期間ヲ定メサリシトキハ各當事者ハ二个月前ニ豫告ヲ爲シテ其契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

當事者カ契約ノ期間ヲ定メタルト否トヲ問ハス已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各當事者ハ何時ニテモ其契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第四十一條　代理商ハ商行爲ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク相手方ノ氏名又ハ商號ヲ本人ニ通知スルコトヲ要ス

第四十二條　本法ニ於テ會社ト商行爲ヲ爲スヲ業トスル目的ヲ以テ設立シタル社團ヲ謂フ

第四十三條　代理商ト商行爲ヲ爲シタル者ハ本人ニ對シテ其商行爲ニ關スル債權ニ付キ本人ノ爲メニ占有スル物又ハ有價證券ヲ留置スルコトヲ得但別段ノ意思表示アリタルトキハ此限ニ在ラス

第二編　會社

第一章　總則

第四十四條　本法ニ於テ會社ト稱スルハ合名會社、合資會社及ヒ株式會社ヲ謂フ

第四十五條　會社ハ商行爲ヲ爲スヲ業トスル目的ヲ以テ設立シタル社團ニ付テモ亦同シ

第四十六條　會社ハ其名ヲ以テ權利ヲ有シ義務ヲ負フ

第四十七條　會社ハ定款ヲ以テ其種類ヲ定メタルトキニ限リ手形其他ノ商業證券ニ依リテ生スル債務ニ付キ手形行爲ヲ爲スコトヲ得

第四十八條　會社ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十九條　會社カ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲シタル後六个月内ニ開業ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其解散ヲ命スルコトヲ得但正當ノ事由アルトキハ其會社ノ請求ニ因リ此期間ヲ伸長スルコトヲ得

第五十條　會社カ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其解散ヲ命スルコトヲ得

第五十一條　會社ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載シ各社員之ニ署名スルコトヲ要ス

一　目的
二　商號
三　社員ノ氏名、住所
四　本店及ヒ支店ノ所在地
五　社員ノ出資ノ種類及ヒ價格又ハ評價ノ標準

第五十一條　會社ハ定款ヲ作リタル日ヨリ二週間内ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一　前條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項
二　本店及ヒ支店
三　設立ノ年月日
四　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其時期又ハ事由
五　社員ノ出資ノ種類及ヒ財產ヲ目的トスル出資ノ價格
六　會社ヲ代表スヘキ社員ヲ定メタルトキハ其氏名
七　數人ノ社員カ共同シテ會社ヲ代表スヘキコトヲ定メタルトキハ其代表ニ關スル規定

會社設立ノ後支店ヲ設ケタルトキハ其支店ノ所在地ニ於テハ二週間内ニ前項ニ定メル登記ヲ爲シ本店及ヒ他ノ支店ノ所在地ニ於テハ同期間内ニ其支店ヲ設ケタルコトヲ要ス

本店又ハ支店ノ所在地ヲ管轄スル登記所ノ管轄區域内ニ於テ新ニ支店ヲ設ケタルトキハ其支店ヲ設ケタルコトヲ登記スルヲ以テ足ル

第五十二條　會社カ其本店又ハ支店ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ二週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ同期間内ニ前條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ本店又ハ支店ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ二週間内ニ移轉ヲ登記スルヲ以テ足ル

第五十三條　第五十一條第一項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十四條　會社ハ之ヲ法人トス

會社ノ住所ハ其本店ノ所在地ニ在ルモノトス

第五十四條ノ二　會社ハ他ノ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ス

第五十四條ノ三　會社ハ合併ヲ爲スコトヲ得合併ニ因リテ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ定款ノ作成其他設立ニ關スル行爲ハ各會社ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十七條、第二百九條及ヒ第二百四十四條ノ規定ハ前項ノ選任ニ之ヲ準用ス

第四十五條　會社ハ之ヲ設立スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十六條　會社ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ開業ノ準備ニ著手スルコトヲ得ス

第四十七條　會社カ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲シタル後六个月内ニ開業ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其解散ヲ命スルコトヲ得但正當ノ事由アルトキハ其會社ノ請求ニ因リ此期間ヲ伸長スルコトヲ得

第四十八條　會社カ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其解散ヲ命スルコトヲ得

第四十八條ノ二　本組ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニシテ官廳ノ許可ヲ要スルモノハ其許可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第二章　合名會社

第一節　設立

第四十九條　合名會社ヲ設立スルニハ定款ヲ作ルコトヲ要ス

第五十條　合名會社ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載シ各社員之ニ署名スルコトヲ要ス

一　目的
二　商號

第五十一條ノ二　會社ハ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六十一條ノ二　會社ハ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ特ニ會社ニ代表スヘキ社員ヲ定メサルトキハ各社員會社ヲ代表ス

第二節　會社ノ內部ノ關係

第五十四條　會社ノ內部ノ關係ニ付テハ定款又ハ本法ニ別段ノ定アルトキノ外組合ニ關スル民法ノ規定ヲ準用ス

第五十五條　社員カ債權ヲ以テ出資ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ債務者カ辨濟期ニ辨濟ヲ爲ササリシトキハ社員ハ其辨濟ノ實ニ任ス此場合ニ於テハ其利息ヲ拂フ外尚ホ損害ノ賠償ヲ爲スコトヲ要ス

第五十六條　各社員ハ定款ニ別段ノ定アルトキノ外會社ノ業務ヲ執行スル權利ヲ有シ義務ヲ負フ

第五十七條　支配人ノ選任及ヒ解任ハ特ニ業務執行社員ヲ定メタルトキト雖モ社員ノ過半數ノ決議ニ依リ之ヲ以テ會社ヲ爲メニ爲シタルモノト看做スコトヲ得ス

第五十八條　定款ノ變更其他會社ノ目的ノ範圍内ニ在ラサル行爲ヲ爲スニハ總社員ノ同意アルコトヲ要ス

第五十九條　社員カ他ノ社員ノ承諾ヲ得スシテ其持分ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡シタルトキハ其讓渡ハ之ヲ以テ會社ニ對抗スルコトヲ得ス

第六十條　社員ハ他ノ社員ノ承諾アルニ非サレハ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社ノ營業ノ部類ニ屬スル商行爲ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ス

社員カ前項ノ規定ニ反シテ自己ノ爲メニ商行爲ヲ爲シタルトキハ他ノ社員ハ過半數ノ決議ニ依リ之ヲ以テ會社ノ爲メニ爲シタルモノト看做スコトヲ得ス

前項ニ定メタル權利ハ他ノ社員ノ一人カ共行爲ヲ知リタル時ヨリ二週間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス行爲ノ時ヨリ一年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第六十一條　會社ノ外部ノ關係

第三節　會社ノ內部ノ關係

第六十一條　定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ特ニ會社ニ代表スヘキ社員ヲ定メサルトキハ各社員會社ヲ代表ス

第六十二條　社員ノ出資ノ減少ハ之ヲ以テ會社ノ債權者ニ對抗スルコトヲ得ス但本店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲シタル後二年間債權者カ之ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條　會社ハ損失ヲ塡補シタル後ニ非サレハ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違反シテ配當ヲ爲シタルトキハ會社ノ債權者ハ之ヲ返還セシムルコトヲ得

第六十四條　設立ノ後會社ニ加入シタル社員ハ其加入前ニ生シタル會社ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負フ

第六十五條　社員ニ非サル者ニ自己ヲ社員ナリト信セシメヲ行爲アリタルトキハ其者ハ善意ノ第三者ニ對シテ社員ト同一ノ責任ヲ負フ

第六十六條　社員ノ出資ノ減少ノ之ヲ以テ會社ノ債權者ニ對抗スルコトヲ得ス但本店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲シタル後二年間債權者カ之ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十七條　會社ハ損失ヲ塡補シタル後ニ非サレハ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違反シテ配當ヲ爲シタルトキハ會社ノ債權者ハ之ヲ返還セシムルコトヲ得

第四節　社員ノ退社

第六十八條　定款ヲ以テ會社ノ存立時期ヲ定メサリシトキ又ハ或社員ノ終身間會社ノ存續スヘキコトヲ定メタルトキハ各社員ハ營業年度ノ終ニ於テ退社ヲ爲スコトヲ得但六个月前ニ其豫告ヲ爲スコトヲ要ス

會社ノ存立時期ヲ定メタルトキト雖モ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各社員ハ何時ニテモ退社ヲ爲スコトヲ得

第六十九條　前條ニ掲ケタル場合ノ外社員ハ

一　存立時期ノ滿了其他定款ニ定メタル事由ノ發生
二　會社ノ目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能
三　總社員ノ同意
四　會社ノ合併
五　社員カ一人ト爲リタルコト
六　會社ノ破產
七　裁判所ノ命令

第七十五條　前條第一號ノ場合ニ於テハ社員ノ全部又ハ一部ノ同意ヲ以テ會社ヲ繼續スルコトヲ得但同意ヲ爲ササリシ社員ハ退社ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十六條　會社カ解散シタルトキハ合併ヒ破產ノ場合ヲ除ク外二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第七十七條　會社ノ合併ハ總社員ノ同意ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七十八條　會社カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ其決議ノ日ヨリ二週間内ニ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

會社ハ前項ノ期間内ニ其債權者ニ對シ異議アヲハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ公告シ且知レタル債權者ニハ各別ニ之ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二个月ヲ下ルコトヲ得ス

第七十九條　債權者カ前條第二項ノ期間内ニ會社ノ合併ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ會社ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ニ反シテ合併ヲ爲シタルトキハ之ヲ以テ異議ヲ述ヘタル債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八十條　會社カ第七十八條第二項ニ定メタル公告ヲ爲サスシテ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八十一條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ權利義務ヲ承繼ス

第八十二條　合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ權利義務ヲ承繼ス

第八十三條ノ二　合名會社ノ社員カ會社ノ總社員ノ同意ヲ以テ其社員タル地位ヲ他人ニ讓渡シタルトキハ其讓受人ハ會社ニ對シテ自己ノ出資ニ付キ責任ヲ負フ此場合ニ於テハ前條ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第八十三條ノ三　前條ノ場合ニ於テ會社ハ組織變更ニ付キ債權者ノ承認ヲ得又ハ第七十九條第二項ニ定メタル義務ヲ履行シタル後二週間内ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ合名會社ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ合資會社ニ付テハ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第八十三條ノ四　合名會社ハ總社員ノ同意ヲ以テ有限責任社員ヲ加入セシメ之ヲ合資會社ト爲スコトヲ得此場合ニ於テハ合資會社ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ合資會社ニ付テハ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第八十三條ノ五　合名會社ハ總社員ノ同意ヲ以テ合資會社ト爲スコトヲ得此場合ニ於テハ合資會社ニ付テハ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲シ合資會社ニ付テハ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第八十四條　清算人ハ會社ノ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ尚ホ存續スルモノト看做ス

第八十五條　解散ノ場合ニ於ケル會社財產ノ處分方法ハ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得此場合ニ於テハ解散ノ日ヨリ二週間内ニ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

第八十一條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八十二條　會社カ合併ヲ爲スコトヲ得但其合併カ會社ノ一方又ハ雙方ノ解散ニ因リテ爲サルトキハ此限ニ在ラス

第八十三條　合併ハ總社員ノ同意ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十四條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八十五條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八十六條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八十七條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八十八條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八十九條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九十條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九十一條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九十二條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九十三條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九十四條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九十五條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九十六條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九十七條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九十八條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九十九條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百一條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百二條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百三條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百四條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百五條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百六條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百七條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百八條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百九條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百十條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百十一條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百十二條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百十三條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百十四條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百十五條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百十六條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百十七條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百十八條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百十九條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百二十條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百二十一條　前條第五號乃至第七號ニ揭ケタル事項ノ變更ハ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百二十二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ其ノ引受ケタル株式ニ付キ出資ノ全部ノ拂込ヲ爲シ且現物出資ヲ爲ス者アルトキハ其ノ給付ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ株式ノ引受後遲滯ナク創立總會ヲ招集スルコトヲ要ス

第百二十四條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百二十五條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百二十六條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百二十七條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百二十八條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百二十九條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十一條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十四條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十五條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十六條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十七條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十八條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十九條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百四十條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百四十一條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百四十二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百四十三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百四十四條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百四十五條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百四十六條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百四十七條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百四十八條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百四十九條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百五十條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百五十一條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百五十二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百五十三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百五十四條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百五十五條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百五十六條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百五十七條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百五十八條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百五十九條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百六十條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百六十一條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百六十二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百六十三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百六十四條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百六十五條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百六十六條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百六十七條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百六十八條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百六十九條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百七十條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百七十一條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百七十二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百七十三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百七十四條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百七十五條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百七十六條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百七十七條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百七十八條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百七十九條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百八十條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百八十一條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百八十二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百八十三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百八十四條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百八十五條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百八十六條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百八十七條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百八十八條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百八十九條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百九十條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百九十一條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百九十二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百九十三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百九十四條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百九十五條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百九十六條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百九十七條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百九十八條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第百九十九條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百一條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百四條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百五條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百六條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百七條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百八條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百九條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百十條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百十一條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百十二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百十三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百十四條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百十五條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百十六條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百十七條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百十八條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百十九條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二十條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二十一條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二十二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二十三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二十四條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二十五條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二十六條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二十七條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二十八條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二十九條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百三十條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百三十一條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百三十二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百三十三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百三十四條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百三十五條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百三十六條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百三十七條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百三十八條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百三十九條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

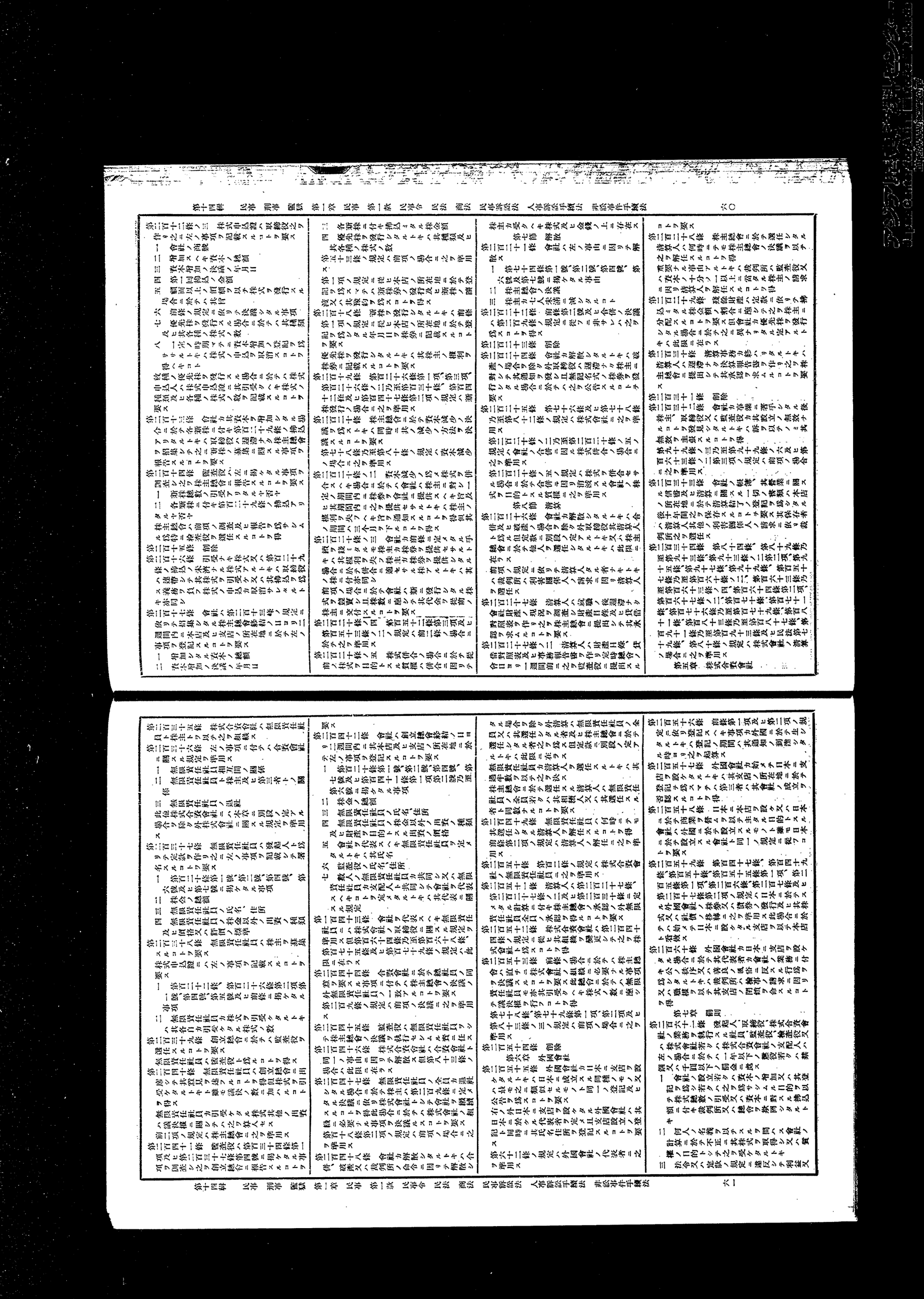
第二百四十條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百四十一條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百四十二條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百四十三條　第百十九條ノ規定ニ依リ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ發起人ハ創立總會ニ於テ會社ノ設立ニ關シ重要ナル事項ヲ報告スルコト

ヲ得
前項ノ株主總會ノ決議ハ第二百九條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス
第百二十二條　左ニ揭ケタル事項ヲ定メタルトキハ之ヲ定款ニ記載スルニ非サレハ其效ナシ
一　存立時期又ハ解散ノ事由
二　株式ノ額面以上ノ發行
三　發起人カ受ケヘキ特別ノ利益及ヒ之ヲ受クヘキ者ノ氏名
四　金錢以外ノ財産ヲ以テ出資ノ目的ト爲ス者ノ氏名、其財産ノ種類、價格及ヒ之ニ對シテ與フル株式ノ數
五　會社カ受クヘキ報酬ノ額
第百二十三條　發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケタルトキハ會社ハ之ニ因リテ成立ス此場合ニ於テハ發起人ハ遲滯ナク株金ノ四分ノ一ヲ下ラサル第一回ノ拂込ヲ爲シ且取締役及ヒ監査役ヲ選任スルコトヲ要ス此選任ハ發起人ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス
第百二十四條　取締役ハ其選任後遲滯ナク第百二十二條第三號乃至第五號ニ揭ケタル事項及ヒ第一回ノ拂込ヲ爲シタルヤ否ヤヲ調査セシムル爲メ檢査役ノ選任ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ要ス
其判所ハ檢査役ノ報告ヲ聽キ第百三十五條ノ規定ニ準據シテ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得
第百二十五條　發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケサルトキハ株主ヲ募集スルコトヲ要ス
第百二十六條　株式ノ申込ヲ爲サントスル者ハ株式申込證二通ニ其引受ケヘキ株式ノ數及ヒ住所ヲ記載シ之ニ署名スルコトヲ要ス
株式申込證ハ發起人之ヲ作リ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス
一　定款作成ノ年月日
二　第百二十條及ヒ第百二十二條ニ揭ケタル事項
三　各發起人カ引受ケタル株式ノ數
四　第一回拂込ノ金額
五　一定ノ時期マテニ會社カ成立セサルトキハ株式ノ申込ヲ取消スコトヲ得ヘキコト
第百二十七條　株式發行ノ價額ハ券面額以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ株式申込人ハ株式申込證ニ引受價額ヲ記載スルコトヲ要ス
第百二十六條ノ二　第百七十二條ノ二ノ規定及ヒ儘書ニ之ヲ準用ス
第百二十七條　株式ノ申込ヲ爲シタル者ハ其引受ケヘキ株式ノ數ニ應シテ拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ
第百二十八條　株式發行ノ價額ハ券面額ヲ下ルコトヲ得ス
第一回拂込ノ金額ハ株式ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス
第百二十九條　株式總數ノ引受アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク各株ニ付キ第一回ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス
第五十三條ノ規定ハ會社カ前條ノ拂込ヲ爲サシメサルトキニ之ヲ準用ス
第百三十條　株式引受人カ前條ノ拂込ヲ爲ササルトキハ其權利ヲ失フヘキ旨及ヒ其期間內ニ之ヲ爲ササルトキハ其權利ヲ失フヘキ旨ヲ其株式引受人ニ通知スルコトヲ得
第百二十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第百三十一條　各株ニ付キ第百二十九條ノ拂込ヲ爲シタル後ニ非サレハ其拂込ヲ取消スコトヲ得ス
第百三十二條　發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケサルトキハ株主ヲ募集スルコトヲ要ス
第百二十六條　株式發行ノ價額ハ券面額ヲ下ルコトヲ得ス
第一回拂込ノ金額ハ株式ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス
第百二十七條　株式總數ノ引受アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク各株ニ付キ第一回ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス
第百二十八條　株式發行ノ價額ハ券面額ヲ下ルコトヲ得ス
第一回拂込ノ金額ハ株式ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス
第百二十九條　株式總數ノ引受アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク各株ニ付キ第一回ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス
第百三十條　株式引受人カ前條ノ拂込ヲ爲ササルトキハ其權利ヲ失フヘキ旨及ヒ其期間內ニ之ヲ爲ササルトキハ其權利ヲ失フヘキ旨ヲ其株式引受人ニ通知スルコトヲ得
第百二十六條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第百三十一條　各株ニ付キ第百二十九條ノ拂込ヲ爲シタル後ニ非サレハ其拂込ヲ取消スコトヲ得ス
第百三十二條　發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケサルトキハ株主ヲ募集スルコトヲ要ス
第百二十六條　株式發行ノ價額ハ券面額ヲ下ルコトヲ得ス
第一回拂込ノ金額ハ株式ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス
第百二十七



以上五百圓以下ノ過料ニ處ス但其行爲ニ付キ刑ヲ科スヘキトキハ此限ニ在ラス

一　本編ニ定メタル登記ヲ怠スコトヲ怠リタルトキ

二　本編ニ定メタル公告若クハ通知ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告若クハ通知ヲ爲シタルトキ

三　本編ノ規定ニ依リ閲覽ヲ許スヘキ書類ヲ正當ノ理由ナクシテ閲覽セシメサリシトキ

四　本編ノ規定ニ依リ檢査又ハ謄寫ヲ妨ケタルトキ

五　第四十六條ノ規定ニ違反シテ開業ノ準備ニ著手シタルトキ

六　第百二十六條第二項、第二百三條第二項、第二百十六條第二項、第二百十二條ノ三第一項及ヒ第二百三十八條第二項ノ規定ニ違反シ株式申込證又ハ社債申込證ヲ作ラス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載スタルトキ

七　第三項ノ規定ニ違反シテ株券ヲ發行シタルトキ

八　株券又ハ債券ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

九　定款、株主名簿、社債原簿、總會ノ決議錄、財産目錄、貸借對照表、營業報告書、事務報告書、損益計算書及ヒ準備金竝ニ利益又ハ利息ノ配當ニ關スル義案ヲ本店若クハ支店ニ備ヘ置カス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ之ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

十　第百七十四條第一項又ハ第百九十八條第二項ノ規定ニ違反シ株主總會ヲ招集セサルトキ

第二百六十二條ノ三　第四十四條ノ三第二項ノ規定ニ依リテ選任セラレタル者ハ本章ノ適用ニ付テハ之ヲ發起人ト看做ス

第三編　商行爲

第一章　總則

第二百六十三條　左ニ揭ケタル行爲ハ之ヲ商行爲トス

一　利益ヲ得テ讓渡ス意思ヲ以テスル動産、不動産若クハ有價證券ノ有償取得又ハ其取得シタルモノノ讓渡ヲ目的トスル行爲

二　他人ヨリ取得スヘキ動産又ハ有價證券ノ供給契約及ヒ其履行ノ爲メニスル有償取得ヲ目的トスル行爲

三　取引所ニ於テスル取引

四　手形其ノ他商業證券ニ關スル行爲

第二百六十四條　左ニ揭ケタル行爲ハ營業トシテ之ヲ爲ストキハ之ヲ商行爲トス但專ラ賃金ヲ得ル目的ヲ以テ物ヲ製造シ又ハ勞務ニ服スル者ノ行爲ハ此限ニ在ラス

一　貸貸スル意思ヲ以テスル動産若クハ不動産ノ有償取得若クハ賃借又ハ其取得若クハ賃借シタルモノノ貸貸ヲ目的トスル行爲

二　他人ノ爲メニスル製造又ハ加工ニ關スル行爲

三　電氣又ハ瓦斯ノ供給ニ關スル行爲

四　運送ニ關スル行爲

五　作業又ハ勞務ノ請負

六　出版、印刷又ハ撮影ニ關スル行爲

七　客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ取引

八　兩替其他ノ銀行取引

九　保險

寄託ノ引受

十一　仲立又ハ取次ニ關スル行爲

十二　商行爲ノ代理ノ引受

第二百六十五條　商人カ其營業ノ爲メニスルモノト推定ス

第二百六十六條　商行爲ノ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ示ササルトキト雖モ其行爲ハ本人ノ爲メニスルコトヲ知ラサリシトキハ代理人ニ對シテ履行ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第二百六十七條　商行爲ノ受任者ハ委任ノ本旨ニ反セサル範圍内ニ於テ委任ヲ受ケサル行爲ヲ爲スコトヲ得

第二百六十八條　第百九十八條第二項ノ規定ハ商人ノ行爲ニ之ヲ準用ス

第二百六十九條　商行爲ニ因リテ生シタル債務ハ其履行ノ請求ヲ受ケタル時ニ於テ遲滯ニ陷ル但シ別段ノ意思表示アリタルトキ又ハ慣習ニ依リテ別段ノ時期ヲ定ムヘキトキハ此限ニ在ラス

第二百七十條　商行爲ニ因リテ生シタル債務ニ付テハ保證人ハ催告ノ抗辯權ヲ有セス

第二百七十一條　數人カ其一人又ハ全員ノ爲メニ商行爲ノ爲ニ又ハ商行爲ニ因リテ債務ヲ負擔シタルトキハ其債務ハ各自連帶シテ之ヲ負擔ス

保證人アル場合ニ於テ債務カ主タル債務者ノ商行爲ニ因リテ生シタルトキ又ハ保證カ商行爲ナルトキハ主タル債務者及ヒ保證人カ各別ノ行爲ヲ以テ債務ニ負擔シタルトキト雖モ其債務ハ各自連帶シテ之ヲ負擔ス

第二百七十四條　商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ或行爲ヲ爲スヘキ請求ヲ受ケタルトキハ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第二百七十五條　商人カ其營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク諾否ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス若シ之ヲ發スルコトヲ怠リタルトキハ申込ヲ承諾シタルモノト看做ス

第二百七十六條　商人カ其營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込ヲ受ケタル場合ニ於テ申込ト共ニ受取リタル物品アルトキハ其申込ヲ拒絕シタルトキト雖モ申込者ノ費用ヲ以テ其物品ヲ保管スルコトヲ要ス但其物品ノ價額カ其費用ヲ償フニ足ラサルトキ又ハ商人カ其保管ニ因リテ損害ヲ受クヘキトキハ此限ニ在ラス

第二百七十七條　數人カ其一人又ハ全員ノ爲メニ商行爲ノ爲ニ又ハ商行爲ニ因リテ債務ヲ負擔シタルトキハ其債務ハ各自連帶シテ之ヲ負擔ス

第二百六十八條　商人間ノ賣買ニ於テ買主カ賣主ヨリ送付シタル物品ヲ受取リタルトキハ遲滯ナク之ヲ檢査シ若シ瑕疵又ハ數量ノ不足ヲ發見シタルトキハ直チニ賣主ニ對シ其通知ヲ發スルニ非サレハ其瑕疵又ハ不足ニ因リテ契約ノ解除又ハ代金減額若クハ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス賣買ノ目的物ニ直チニ發見スルコト能ハサル瑕疵アリタル場合ニ於テモ主カ六箇月内ニ之ヲ發見シタルトキ亦同シ

第二百七十六條　商行爲ニ因リテ生シタル債務ニ關シテハ法定定率ハ年六分トス

第二百七十七條　民法第三百四十九條ノ規定ハ商行爲ニ因リテ生シタル債權ヲ擔保スル爲メニ設定シタル質權ニハ之ヲ適用セス

第二百七十八條　商行爲ニ因リテ生シタル債務ノ履行ヲ爲スヘキ場所カ共行爲ノ性質又ハ當事者ノ意思表示ニ因リテ定マラサルトキハ特定物ノ引渡ハ行爲ノ當時其物ノ存在セシ場所ニ於テ之ヲ爲シ其他ノ履行ハ債權者ノ現時ノ營業所、若シ營業所ナキトキハ其住所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

指圖債權及ヒ無記名債權ノ辨濟ハ債務者ノ現時ノ營業所、若シ營業所ナキトキハ其住所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

支店ニ於テ爲シタル取引ニ付テハ其支店ヲ以テ營業所ト看做ス

第二百七十九條　指圖債權又ハ無記名債權ノ債務者ハ其履行ニ付キ期限ノ定アルトキト雖モ其期限カ到來シタル後所持人カ其證券ヲ呈示シテ履行ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二百八十條　削除

第二百八十一條　金錢其他ノ物又ハ有價證券ノ給付ヲ目的トスル有價證券ノ所持人カ其證券ヲ呈示シタル場合ニ於テ公示催告ノ申立ヲ爲シタルトキハ債務者ヲシテ其債務ノ目的物ヲ供託セシメ又ハ相當ノ擔保ヲ供シテ其證券ノ趣旨ニ從ヒ履行ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十二條　第四百四十一條、第四百四十九條、第四百五十七條、第四百六十一條及ヒ第四百六十四條ノ規定ハ金錢其他ノ物又ハ有價證券ノ給付ヲ目的トスル有價證券ニ之ヲ準用ス

第二百八十三條　法令又ハ慣習ニ依リ取引時間ノ定アルトキハ其取引時間内ニ限リ債務ノ履行ヲ爲シ又ハ其履行ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二百八十四條　商人間ニ於テ其雙方ノ爲メニ商行爲ニ因リテ生シタル債權カ辨濟ニ在ルトキハ債權者ハ辨濟ヲ受クルマテ其債務者ト自己ト占有ニ歸シタル債務者所有ノ物又ハ有價證券ヲ留置スルコトヲ得但別段ノ意思表示アリタルトキハ此限ニ在ラス

第二百八十五條　商行爲ニ因リテ生シタル債權ノ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外五年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅スト雖モ其規定ニ依リテ選任セラレタル者ハ本章ノ適用ニ付テハ之ヲ發起人ト看做ス

第三編　商行爲

第一章　總則

第二百六十三條　左ニ揭ケタル行爲ハ之ヲ商行爲トス

一　利益ヲ得テ讓渡ス意思ヲ以テスル動産、不動産若クハ有價證券ノ有償取得又ハ其取得シタルモノノ讓渡ヲ目的トスル行爲

二　他人ヨリ取得スヘキ動産又ハ有價證券ノ供給契約及ヒ其履行ノ爲メニスル有償取得ヲ目的トスル行爲

三　取引所ニ於テスル取引

四　手形其ノ他商業證券ニ關スル行爲

第二百六十四條　左ニ揭ケタル行爲ハ營業トシテ之ヲ爲ストキハ之ヲ商行爲トス但專ラ賃金ヲ得ル目的ヲ以テ物ヲ製造シ又ハ勞務ニ服スル者ノ行爲ハ此限ニ在ラス

一　貸貸スル意思ヲ以テスル動産若クハ不動産ノ有償取得若クハ賃借又ハ其取得若クハ賃借シタルモノノ貸貸ヲ目的トスル行爲

二　他人ノ爲メニスル製造又ハ加工ニ關スル行爲

三　電氣又ハ瓦斯ノ供給ニ關スル行爲

四　運送ニ關スル行爲

五　作業又ハ勞務ノ請負

六　出版、印刷又ハ撮影ニ關スル行爲

七　客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ取引

八　兩替其他ノ銀行取引

九　保險

寄託ノ引受

十一　仲立又ハ取次ニ關スル行爲

十二　商行爲ノ代理ノ引受

第二百六十五條　商人カ其營業ノ爲メニスルモノト推定ス

第二百六十六條　商行爲ノ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ示ササルトキト雖モ其行爲ハ本人ノ爲メニスルコトヲ知ラサリシトキハ代理人ニ對シテ履行ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第二百六十七條　商行爲ノ受任者ハ委任ノ本旨ニ反セサル範圍内ニ於テ委任ヲ受ケサル行爲ヲ爲スコトヲ得

第二百六十八條　第百九十八條第二項ノ規定ハ商人ノ行爲ニ之ヲ準用ス

第二百六十九條　商行爲ニ因リテ生シタル債務ニ關シテハ法定定率ハ年六分トス

第二百七十條　民法第三百四十九條ノ規定ハ商行爲ニ因リテ生シタル債權ヲ擔保スル爲メニ設定シタル質權ニハ之ヲ適用セス

第二百七十一條　前條ノ場合ニ於テ買主ハ契約ノ解除ヲ爲シタルトキト雖モ賣主ノ費用ヲ以テ賣買ノ目的物ヲ保管又ハ供託スルコトヲ要ス但其物ニ付キ減失又ハ毀損ノ虞アリタルトキハ裁判所ノ許可ヲ得テ之ヲ競賣シ其代價ヲ保管又ハ供託スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ買主カ競賣ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク賣主ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ賣主及ヒ買主ノ營業所、若シ營業所ナキトキハ其住所カ同市町村内ニ在ル場合ニハ之ヲ適用セス

第二百七十二條　前條ノ規定ハ賣主ヨリ買主ニ引渡シタル物品カ注文シタル物品ト異ナリタル場合ニ之ヲ準用ス其物品カ注文シタル數量ヲ超過シタル場合ニ於テ其超過額ニ付キ亦同シ

第三章　交互計算

第二百七十三條　交互計算ハ商人間又ハ商人ト商人ニ非サル者トノ間ニ平常取引ヨリ生スル場合ニ於テ一定ノ期間内ノ取引ヨリ生スル債權債務ノ總額ニ付キ相殺ヲ爲シ其殘額ノ支拂ヲ爲スヘキコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第二百七十四條　手形其他ノ商業證券ヨリ生シタル債權債務ヲ交互計算ニ組入レタル場合ニ於テ證券ノ債務者カ辨濟ヲ爲ササリシトキハ當事者ハ其債務ニ關スル項目ヲ交互計算ヨリ除去スルコトヲ得

第二百七十五條　當事者カ相殺ヲ爲スヘキ期間ヲ定メサリシトキハ其期間ハ之ヲ六箇月トス

第二百七十六條　當事者カ債權債務ノ各項目ヲ記載シタル計算書ノ承認ヲ爲シタルトキハ其各項目ニ付キ異議ヲ述フルコトヲ得ス但錯誤又ハ脫漏アリタルトキハ此限ニ在ラス

第二百七十七條　相殺ニ因リテ生シタル殘額ニ付テハ債權者ハ利息ノ配當ヲ爲シタルトキ

四　會社ノ營業ノ爲圍外ニ於テ投機取引ノ爲メニ會社財産ヲ處分シタルトキ

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セス

第二百六十二條　發起人、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス但其行爲ニ付キ刑ヲ科スヘキトキハ此限ニ在ラス

一　官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

二　第七十八條乃至第八十條ノ規定ニ違反シテ會社財産ノ處分、資本ノ減少又ハ組織ノ變更ヲ爲シタルトキ

三　檢査役ノ調査ヲ妨ケタルトキ

四　第百五十一條第二項ノ規定ニ違反シテ株式ヲ消却シタルトキ

五　第百五十五條第一項ノ規定ニ違反シテ株券ヲ無記名式ト爲シタルトキ

六　第百七十四條第二項又ハ民法第八十一條ノ規定ニ違反シ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

七　第百九十四條ノ規定ニ違反シ準備金ヲ積立テサルトキ

八　第二百條ノ規定ニ違反シテ社債ヲ募集シ又ハ第二百五條第一項ノ規定ニ違反シテ債券ヲ發行シタルトキ

九　第二百六十條ノ規定ニ依リ裁判所ノ命令ニ違反シタルトキ

十　會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタル場合ニ於テ清算人ニ事務ノ引渡ヲ爲ササルトキ

十一　清算ノ結了ヲ遲延セシムル目的ヲ以テ民法第七十九條ノ期間ヲ不當ニ定メタルトキ

十二　民法第七十九條ノ期間内ニ或債權者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ第九十五條ノ規定ニ違反シテ會社財産ヲ分配シタルトキ

第二百六十二條ノ二　發起人、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓

第三百六十一條　預證券及ヒ質入證券ノ所持人ハ倉庫營業者ニ對シ寄託物ヲ分割シ且其各部分ニ對スル預證券及ヒ質入證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ所持人ハ前ノ預證券及ヒ質入證券ヲ倉庫營業者ニ返還スルコトヲ要ス

前項ニ定メタル寄託物ノ分割及ヒ證券ノ交付ニ關スル費用ハ所持人之ヲ負擔ス

第三百六十二條　預證券及ヒ質入證券ヲ作リタルトキハ寄託ニ關スル事項ハ倉庫營業者ト所持人トノ間ニ於テハ其證券ノ定ムル所ニ依ル

第三百六十三條　削除

第三百六十四條　預證券及ヒ質入證券ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡シ又ハ之ヲ質入スルコトヲ得但證券ニ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス

預證券ノ所持人カ未タ質入ヲ爲ササル間ハ預證券及ヒ質入證券ハ各別ニ之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第三百六十五條　第三百三十四條ノ二及ヒ第三百三十五條ノ規定ハ預證券及ヒ質入證券ニ之ヲ準用ス

第三百六十六條　預證券又ハ質入證券カ滅失シタルトキハ其所持人ハ相當ノ擔保ヲ供シテ更ニ其證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ倉庫營業者ハ其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百六十七條　質入證券ニ第一ノ質入裏書ヲ爲スニハ債權額、其利息及ヒ辨濟期ヲ記載スルコトヲ要ス

第一ノ質權者カ前項ニ揭ケタル事項ヲ預證券ニ記載シテ之ニ署名スルニ非サレハ質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百六十七條ノ二　預證券ノ所持人ハ寄託物ヲ以テ預證券ニ記載シタル債權額及ヒ利息ヲ辨濟スル義務ヲ負フ

第三百六十七條ノ三　質入證券所持人ノ債權ノ辨濟ハ倉庫營業者ノ督業所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三百六十八條　預證券又ハ質入證券ヲ喪失シタル者ハ其證券ニ關スル公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第三百六十九條　質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百七十條　倉庫營業者ハ競賣代金ヲ以テ質入證券ニ記載シタル債權ノ金額及ヒ利息、拒絕證書作成ノ費用ヲ控除シタル後殘餘アルトキハ倉庫營業者ハ之ヲ預證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

競賣代金ノ中ヨリ前項ニ揭ケタル費用、租稅、保管料、立替金及ヒ質入證券所持人ノ債權額、利息、拒絕證書作成ノ費用ヲ控除シタル後殘餘アルトキハ倉庫營業者ハ之ヲ預證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百七十一條　質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサルトキハ手形ニ關スル規定ニ從ヒテ拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第三百六十九條　質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百七十條　倉庫營業者ハ競賣代金ノ中ヨリ稅、保管料、其他保管ニ關スル費用及ヒ立替金ヲ控除シタル後其殘額ヲ質入證券所持人ニ支拂フコトヲ要ス

競賣代金ノ中ヨリ前項ニ揭ケタル費用、租稅、保管料、立替金及ヒ質入證券所持人ノ債權、利息、拒絕證書作成ノ費用ヲ控除シタル後殘餘アルトキハ倉庫營業者ハ之ヲ預證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百七十一條　質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百七十條　倉庫營業者ハ競賣代金ノ中ヨリ稅、保管料、其他保管ニ關スル費用及ヒ立替金ヲ控除シタル後其殘額ヲ質入證券所持人ニ支拂フコトヲ要ス

競賣代金ノ中ヨリ前項ニ揭ケタル費用、租稅、保管料、立替金及ヒ質入證券所持人ノ債權、利息、拒絕證書作成ノ費用ヲ控除シタル後殘餘アルトキハ倉庫營業者ハ之ヲ預證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百七十一條　質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百六十九條　質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百六十八條　預證券又ハ質入證券ヲ喪失シタル者ハ其證券ニ關スル公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第三百六十七條ノ二乃至第四百八十八條ノ四、第四百九十一條、第四百九十二條及ヒ第四百九十五條ノ規定ハ前項ニ定メタル不足額ノ請求ニ之ヲ準用ス

第三百六十七條ノ二　質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサリシ場合ニ於テ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキ又ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セサリシトキハ裏書人ニ對スル請求權ヲ失フ

第三百七十四條　質入證券所持人ノ質入證券所持人ニ對スル辨濟請求權ハ辨濟期ヨリ一年質入證券裏書人ニ對スル請求權ハ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケタル日ヨリ六个月質入證券裏書人ノ其前者ニ對スル請求權ハ償還ヲ爲シタル日ヨリ六个月ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第三百七十五條　寄託者又ハ預證券ノ所持人ハ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十七條ノ二乃至第四百八十八條ノ四、第四百九十一條、第四百九十二條及ヒ第四百九十五條ノ規定ハ前項ニ定メタル不足額ノ請求ニ之ヲ準用ス

第三百七十三條　質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサルトキハ其裏書人ニ對シテモ不足額ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十七條ノ二乃至第四百八十八條ノ四、第四百九十一條、第四百九十二條及ヒ第四百九十五條ノ規定ハ前項ニ定メタル不足額ノ請求ニ之ヲ準用ス

第三百七十二條　質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサルトキハ手形ニ關スル規定ニ從ヒテ拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第三百六十九條　質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百七十條　倉庫營業者ハ競賣代金ノ中ヨリ稅、保管料、其他保管ニ關スル費用及ヒ立替金ヲ控除シタル後其殘額ヲ質入證券所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百七十一條　質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百七十條　倉庫營業者ハ競賣代金ノ中ヨリ稅、保管料、其他保管ニ關スル費用及ヒ立替金ヲ控除シタル後其殘額ヲ質入證券所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百六十九條　質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百六十八條　預證券又ハ質入證券ヲ喪失シタル者ハ其證券ニ關スル公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第三百六十七條ノ二乃至第四百八十八條ノ四、第四百九十一條、第四百九十二條及ヒ第四百九十五條ノ規定ハ前項ニ定メタル不足額ノ請求ニ之ヲ準用ス

第三百六十七條ノ二　質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサルトキハ其裏書人ニ對シテモ不足額ヲ請求スルコトヲ得

第三百六十六條　預證券又ハ質入證券カ滅失シタルトキハ其所持人ハ相當ノ擔保ヲ供シテ更ニ其證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ倉庫營業者ハ其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百六十七條　質入證券ニ第一ノ質入裏書ヲ爲スニハ債權額、其利息及ヒ辨濟期ヲ記載スルコトヲ要ス

第一ノ質權者カ前項ニ揭ケタル事項ヲ預證券ニ記載シテ之ニ署名スルニ非サレハ質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百六十七條ノ二　預證券ノ所持人ハ寄託物ヲ以テ預證券ニ記載シタル債權額及ヒ利息ヲ辨濟スル義務ヲ負フ

第三百六十七條ノ三　質入證券所持人ノ債權ノ辨濟ハ倉庫營業者ノ營業所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三百六十八條　預證券又ハ質入證券ヲ喪失シタル者ハ其證券ニ關スル公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第三百六十九條　質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百七十條　倉庫營業者ハ競賣代金ノ中ヨリ稅、保管料、其他保管ニ關スル費用及ヒ立替金ヲ控除シタル後其殘額ヲ質入證券所持人ニ支拂フコトヲ要ス

競賣代金ノ中ヨリ前項ニ揭ケタル費用、租稅、保管料、立替金及ヒ質入證券所持人ノ債權、利息、拒絕證書作成ノ費用ヲ控除シタル後殘餘アルトキハ倉庫營業者ハ之ヲ預證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百七十一條　質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百七十條　倉庫營業者ハ競賣代金ノ中ヨリ稅、保管料、其他保管ニ關スル費用及ヒ立替金ヲ控除シタル後其殘額ヲ質入證券所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百六十九條　質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百六十八條　預證券又ハ質入證券ヲ喪失シタル者ハ其證券ニ關スル公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第三百六十七條ノ二乃至第四百八十八條ノ四、第四百九十一條、第四百九十二條及ヒ第四百九十五條ノ規定ハ前項ニ定メタル不足額ノ請求ニ之ヲ準用ス

第三百七十三條　質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサルトキハ其裏書人ニ對シテモ不足額ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十一條　質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得

トヲ知リタルトキハ遲滯ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百十三條　保險ノ目的ニ付保險者ノ負擔スヘキ損害カ生シタルトキハ其後ニ至リ其目的カ保險者ノ負擔セサル危險ノ發生ニ因リテ滅失シタルトキト雖モ保險者ハ其損害ヲ補塡スル責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第四百十四條　被保險者ハ損害ノ防止力ムルコトヲ要ス但之カ爲メニ必要又ハ有益ナリシ費用及ヒ塡補額カ保險金額ニ超過スルトキト雖モ保險者之ヲ負擔ス

第三百九十一條ノ規定ハ前項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十五條　保險ノ目的ノ全部カ滅失シタル場合ニ於テ保險者カ保險金額ノ全部ヲ支拂ヒタルトキハ被保險者カ共目的ニ付キ有セル權利ヲ取得ス但保險價額ノ一部ヲ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第四百十六條　損害カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險者カ被保險者ニ對シ其負擔額ヲ支拂ヒタルトキハ其支拂ヒタル金額ノ限度ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ第三者ニ對シテ有セル權利ヲ取得ス

保險者カ被保險者ニ對シ其負擔額ノ一部ヲ支拂ヒタルトキハ保險契約者又ハ被保險者ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テノミ前項ニ從メタル權利ヲ行フコトヲ得

第四百十七條　被保險金額支拂ノ義務及ヒ保險料返還ノ義務ハ二年保險料支拂ノ義務ハ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第四百十八條　本節ノ規定ハ前項ノ規定及ヒ變更ニ之ヲ準用ス

第四百十九條　保險契約ノ當時保險契約者又ハ被保險者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但保險者カ其事實ヲ知リ又ハ過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラス

第四百二十條　消防又ハ避難ニ必要ナル處分ニ因リ保險ノ目的ニ付キ生シタル損害ハ保險者之ヲ塡補スル責ニ任ス

第四百二十一條　貨借人其他他人ノ物ヲ保管スル者カ支拂フコトアルヘキ損害賠償ノ爲メ其物ヲ保險ニ付シタルトキハ其後ニ付保險者ハ保險者ニ對シテ直接ニ其損害ノ塡補ヲ請求スルコトヲ得

第四百二十二條　火災保險證券ニハ第四百三條第二項ニ揭ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　保險ノ目的

二　被保險者ノ氏名

三　保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定メタルトキハ其者ノ氏名

第四百二十三條　左ノ場合ニ於テハ保險者ハ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セス

一　被保險者カ自殺、決鬪其他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタルトキ

二　保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ但其者カ保險金額ノ一部ヲ受取ヘキ場合ニ於テハ保險者ハ其殘額ヲ支拂フ責ヲ免ルルコトヲ得ス

三　保險契約者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ

前項第一號及ヒ第二號ノ場合ニ於テハ保險者ハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ保險契約者ニ拂戻スコトヲ要ス

第四百三十二條　保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百三十三條　第三百九十五條、第三百九十七條、第三百九十九條、第四百條、第四百一條、第四百三條第一項、第四百五條乃至第四百七條、第四百十一條、第四百十七條及ヒ第四百十八條ノ規定ハ生命保險ニ之ヲ準用ス

第三百九十五條、第四百十一條ノ場合ニ於テ保險者カ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セサルトキハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ保險契約者ニ拂戻スコトヲ要ス

第四百三十四條　生命保險證券ニハ第四百三條第二項ニ揭ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　保險契約ノ種類

二　被保險者ノ氏名

三　保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定メタルトキハ其者ノ氏名

第四百三十一條　左ノ場合ニ於テハ保險者ハ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セス

一　被保險者カ自殺、決鬪其他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタルトキ

二　保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ但其者カ保險金額ノ一部ヲ受取ヘキ場合ニ於テハ保險者ハ其殘額ヲ支拂フ責ヲ免ルルコトヲ得ス

三　保險契約者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ

前項第一號及ヒ第二號ノ場合ニ於テハ保險者ハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ保險契約者ニ拂戻スコトヲ要ス

第四百三十二條ノ二　被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ拂戻ス義務ハ二年ヲ經過シタル時ニ因リテ消滅ス

第四百三十三條　第三百九十五條、第三百九十七條、第三百九十九條、第四百條、第四百一條、第四百三條第一項、第四百五條乃至第四百七條、第四百十一條、第四百十七條及ヒ第四百十八條ノ規定ハ生命保險ニ之ヲ準用ス

第三百九十五條、第四百十一條ノ場合ニ於テ保險者カ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セサルトキハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ保險契約者ニ拂戻スコトヲ要ス

第四編　手形

第一章　總則

第四百三十四條　本法ニ於テ手形トハ爲替手形、約束手形及ヒ小切手ヲ謂フ

第四百三十五條　手形ニ署名シタル者ハ其手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第四百三十六條　代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ記載セスシテ手形ニ署名シタルトキハ本人ハ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ

第四百三十七條　僞造又ハ變造シタル手形ニ署名シタル者ハ其僞造又ハ變造シタル手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

變造シタル手形ニ署名シタル者ハ變造前ニ署名シタルモノト推定ス

僞造者、變造者及ヒ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ僞造又ハ變造シタル手形ヲ取得シタル者ハ手形上ノ權利ヲ有セス

第四百三十八條　無能力者カ手形ヨリ生シタル債務ヲ取消シタルトキト雖モ他ノ手形上ノ權利義務ニ影響ヲ及ホサス

第四百三十九條　本編ニ規定ナキ事項ハ之ヲ手形ニ記載スルモ手形上ノ效力ヲ生セス

第四百四十條　手形ノ債務者ハ本編ニ規定ナキ理由ヲ以テ手形上ノ請求ヲ爲ス者ニ對抗スルコトヲ得ス但直接ニ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ事由ハ此限ニ在ラス

第四百四十一條　何人ト雖モ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ヲ取得シタル者ニ對シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第四百四十二條　手形ノ引受又ハ支拂ヲ求ムル爲メニスル呈示、拒絕證書ノ作成其他手形上ノ權利ノ行使又ハ保全ニ付キ利害關係人ニ對シテ爲スヘキ行爲ハ其營業所、若シ營業所ナキトキハ其住所又ハ居所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス但其者ノ承諾アルトキハ他ノ場所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ妨ケス

利害關係人ノ營業所、住所又ハ居所カ知レサルトキハ拒絕證書ヲ作ルヘキ公證人又ハ執達吏ハ其地ノ官署又ハ公署ニ問合ヲ爲スコトヲ要ス若シ問合ヲ爲スモ營業所、住所又ハ居所カ知レサルトキハ其役場又ハ官署若クハ公署ニ於テ拒絕證書ヲ作ルコトヲ得

第四百四十三條　引受人又ハ約束手形ノ振出人ニ對スル債權ハ滿期日ヨリ三年所持人ノ其前者ニ對スル債權ハ滿期日ヨリ一年裏書人ノ其前者ニ對スル債權ハ滿期日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第四百四十四條　手形ヨリ生シタル債權カ時效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ所持人ハ振出人又ハ引受人ニ對シ其受ケタル利益ノ限度ニ於テ僞還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二章　爲替手形

第一節　振出

第四百四十五條　爲替手形ニハ左ノ事項ヲ記載シ振出人之ニ署名スルコトヲ要ス

一　其爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字

二　一定ノ金額

三　支拂人ノ氏名又ハ商號

四　受取人ノ氏名又ハ商號

五　單純ナル支拂ノ委託

六　振出ノ年月日

七　一定ノ滿期日

八　支拂地

第四百四十六條　爲替手形ノ主タル部分ニ記載シタル金額カ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額ヲ以テ手形金額トス

第四百四十七條　振出人ハ自己ヲ受取人又ハ其指圖人ニ對スル債權ニ付テモ爲替手形ヲ振出スコトヲ得

第四百四十八條　振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於タル隣傍支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十九條　爲替手形ハ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第四百五十條　一覽後定期拂ノ爲替手形ノ所持人カ拒絕證書ニ依リ前項ニ定メタル呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セサルトキハ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第四百五十一條　所持人カ一覽後定期拂ノ爲替手形ヲ呈示シタル場合ニ於テ支拂人カ其引受ヲ爲サス又ハ引受ノ日附ヲ爲替手形ニ記載セサリシトキハ所持人ハ呈示期間内ニ拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス此場合ニ於テハ其拒絕證書作成ノ日ヲ以テ呈示ノ日

形金額及ヒ費用ニ付キ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得

第四百七十七條　前三條ノ規定ニ依リテ擔保ノ請求ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク引受拒絕證書ヲ以テ擔保ニ供シタル擔保ヲ引換ニ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス但擔保ニ代ヘテ相當ノ金額ヲ供託スルコトヲ得

第四百七十八條　前項ノ擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ證明シタルトキハ其後者全員ノ爲メ且其後者全員ニ對シテ之ヲ返還スルコトヲ得

第四百七十九條　左ノ場合ニ於テハ第四百七十七條ノ規定ニ依リテ供シタル擔保ハ其效力ヲ失ヒ又供託シタル金額ハ之ヲ取戻スコトヲ得

一　後日ニ至リ爲替手形ノ單純ナル引受アリタルトキ

二　手形金額及ヒ費用ノ支拂アリタルトキ

三　擔保ヲ供シ若クハ供託ヲ爲シタル者又ハ其前者カ償還ヲ爲シタルトキ

四　手形上ノ權利カ時效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキ

五　擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタル者カ滿期日又ハ其後一年內ニ償還ノ請求ヲ受ケサリシトキ

第四百八十條　引受人カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相當ノ擔保ヲ供セサルトキハ所持人ハ豫備支拂人ノ引受ヲ求ムルコトヲ得但拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

豫備支拂人ナキトキ又ハ豫備支拂人カ單純ナル引受ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ其前者ニ對シテ償還ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十一條　豫備支拂人ハ其引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者ト同一ノ責任ヲ負フ

豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタルトキ

第四百八十二條　豫備支拂人カ引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十三條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十四條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十五條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十六條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十七條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十八條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十九條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百九十條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百九十一條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百九十二條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百九十三條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百九十四條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百九十五條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百九十六條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百九十七條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百九十八條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四百九十九條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百一條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百二條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百三條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百四條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百五條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百六條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百七條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百八條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百九條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百十條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百十一條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百十二條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百十三條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百十四條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百十五條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百十六條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百十七條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百十八條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百十九條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十一條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十二條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十三條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十四條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十五條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十六條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十七條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十八條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十九條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百三十條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百三十一條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百三十二條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百三十三條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百三十四條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百三十五條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百三十六條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百三十七條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百三十八條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百三十九條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百四十條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百四十一條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百四十二條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百四十三條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百四十四條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百四十五條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百四十六條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百四十七條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百四十八條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百四十九條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十一條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十二條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十三條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十四條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十五條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十六條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十七條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十八條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十九條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十一條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十二條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十三條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十四條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十五條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十六條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十七條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十八條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十九條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十一條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十二條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十三條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十四條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十五條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十六條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十七條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十八條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十九條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十一條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十二條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十三條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十四條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十五條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十六條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

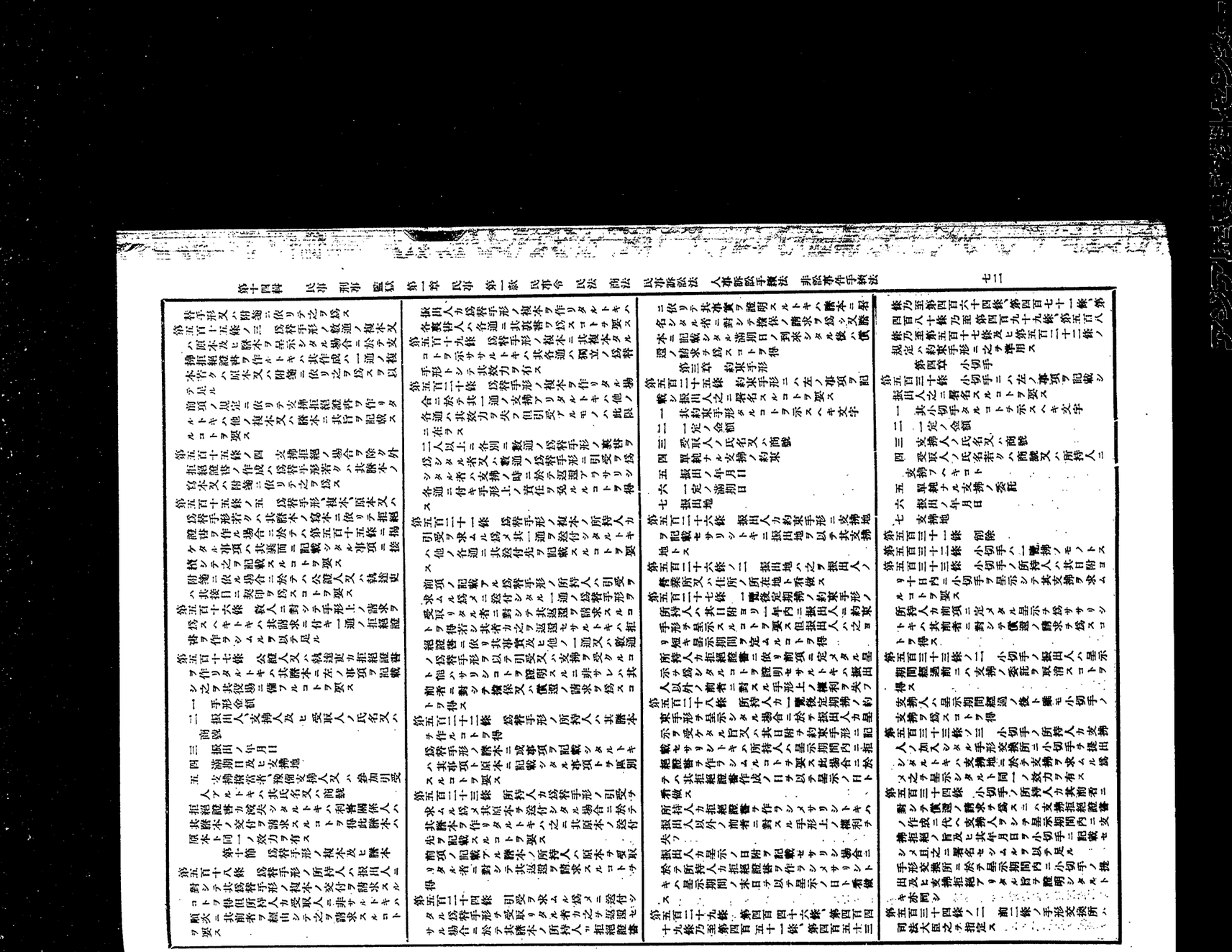
第五百八十七條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十八條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十九條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百九十條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替手形ニ付キ主タル債務者カ滿期日ニ於テ其引受ヲ拒絕セラレタルトキハ豫備支拂人ニ對シ直ニ其金額及ヒ費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第五百九十一條　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタル爲替



三　屬具目錄
四　航海日誌
五　旅客名簿
六　運送契約及ヒ積荷ニ關スル書類
七　前號ヨリ交付シタル書類
前項第三號乃至第五號ニ揭ケタル書類ハ外國ニ航行セサル船舶ニ限リ命ヲ以テ之ヲ備フルコトヲ要セサルモノト定ムルコトヲ得

第五百六十三條　船長ハ已ムコトヲ得サル場合ヲ除ク外自己ニ代ハリテ船舶ヲ指揮スヘキ者ニ其職務ヲ委任シタル後ニ非サレハ荷物ノ船積及ヒ旅客ノ乘込ノ時ヨリ荷物ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸ノ時マテ其指揮スル船舶ヲ去ルコトヲ得ス

第五百六十四條　船長ハ航海ノ準備カ終ハリタルトキハ遲滯ナク發航ヲ爲シ且必要アル場合ヲ除ク外豫定ノ航路ヲ變更セスシテ到達港マテ航行スルコトヲ要ス

第五百六十五條　船長ハ航海中最モ利害關係人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ積荷ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス

利害關係人ハ船長ノ行爲ニ因リ其積荷ニ付テ生シタル債權ノ爲メ之ヲ債權者ニ委付シテ其責ヲ免ルルコトヲ得但利害關係人ニ過失アリタルトキハ此限ニ在ラス

第五百六十六條　船舶運港外ニ於テハ船長ハ航海ノ爲メ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

船舶運港ニ於テハ船長ハ航場合ヲ除ク外海員ノ雇入及ヒ雇止ヲ爲ス權限ノミヲ有ス

第五百六十七條　船長ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五百六十八條　船長ハ船舶ノ修繕費、救助料其他航海ノ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メ非サレハ左ニ揭ケタル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一　船舶ヲ抵當ト爲スコト
二　船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルコト
三　船舶カ捕獲セラレタルコト

前項ノ場合ニ於テハ海員ハ契約終了ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十九條　海員カ雇入港マテノ送還ヲ請求スル權利ヲ有スル場合ニ於テハ送還ニ代ヘテ其費用ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十十條　海員カ雇入港マテノ送還ヲ爲ス義務ヲ負フヘキ場合ニ於テハ船長ハ其送還ニ代ヘテ其費用ヲ支拂フコトヲ得

第五百七十一條　左ノ場合ニ於テハ船長ハ海員ヲ雇止ムルコトヲ得

一　發航前海員カ其職務ニ不適任ナルコト認メタルトキ
二　海員カ著シク其職務ヲ怠リ又ハ其職務ニ關シ之ニ重大ナル過失アリタルトキ
三　海員カ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
四　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ
五　不可抗力ニ因リ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキ

前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テハ海員ハ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十二條　海員ハ其雇入ノ手續カ終ハリタルトキハ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乘込ムコトヲ要ス

海員ハ船長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其乘込ミタル船舶ヲ去ルコトヲ得ス

第五百七十三條　海員ノ服役中ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔トス

第五百七十四條　海員ハ服役中不行跡其他重大ナル過失ニ依ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ三个月ヲ超エサル期間內ノ治療及ヒ看護ノ費用ヲ負擔ス

前項ノ場合ニ於テ海員ハ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得但其職務ヲ行フニ因リテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタルトキハ其給料ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十五條　一航海ニ付キ給料ヲ定メタル場合ニ於テ航海ノ日數ヲ延長シ又ハ不可抗力ニ因ラスシテ其里程ヲ延長シタルトキハ海員ハ其割合ニ應シテ給料ノ增加ヲ請求スルコトヲ得但航海ノ日數又ハ里程ヲ短縮シタルトキ雖モ給料ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十條　海員カ就役ノ後死亡シタルトキハ船舶所有者ハ死亡ノ日マテノ給料ヲ支拂フコトヲ要ス

海員カ其職務ヲ行フニ因リテ死亡シタルトキハ其雛式ノ費用ハ船舶所有者ノ負擔トス

第五百八十一條　左ノ場合ニ於テハ船長ハ海員ヲ雇入レタルトキハ其期間ハ之ヲ一年ト看做ス

第六百二條　船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ヲ爲シタル場合ニ於テ船舶カ航海ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ運送賃ハ其割合ニ應シテ之ヲ減額ス

第六百三條　第六百一條ノ規定ハ荷送人カ契約ノ解除ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六百四條　船舶者又ハ荷送人ハ船積期間內ニ運送ニ必要ナル書類ヲ船長ニ交付スルコトヲ要ス

第六百五條　船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ヲ爲シタル場合ニ於テ運送品ヲ陸揚スルニ必要ナル準備カ整頓シタルトキハ船舶所有者ハ運滯ナク荷受人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ期間中ニハ不可抗力ニ因リテ船積ヲ爲スコト能ハサル日ヲ算入セス

第六百六條　船長カ第三者ヨリ運送品ヲ受取ルヘキ場合ニ於テ其者ヲ確知スルコト能ハサルトキ又ハ其者カ運送品ヲ船積セサルトキハ船長ハ直ニ傭船者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ船積期間內ニ限リ傭船者ニ於テ運送品ヲ船積スルコトヲ得

第六百七條　船積期間經過ノ後ハ傭船者カ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ヲ爲シタル場合ニ於テ船長ハ荷送人ニ對シ其運送賃ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

第六百八條　荷受人カ運送品ヲ受取ルコトヲ怠リタルトキハ船長ハ荷送人ニ對シ運送賃ノ半額ヲ支拂ヒテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ荷受人ハ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百九條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス但船舶所有者又ハ傭船者カ其全額ヲ支拂ヒ尚船舶所有者ノ請求アルトキハ船長ハ運送品ヲ陸揚スルニ必要ナル準備カ整頓シタルトキハ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十條　運送品ノ重量又ハ容積ヲ以テ運送賃ヲ定メタルトキハ其額ハ運送品引渡ノ當時ニ於ケル重量又ハ容積ニ依リテ之ヲ定ムルコト但第五百六十五條第一項ノ場合ハ此限ニ在ラス

船長カ船舶共有者ノ一ナル場合ニ於テ其意ニ反シテ解任セラレタルトキハ他ノ共有者ニ對シ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ハ船舶カ運送賃ヲ以テ之ヲ定ムル場合ニ於テ其運賃カ運送ノ爲メ特ニ支出シタル費用ヲ控除スルコトヲ要セサルトキ

第六百十一條　左ノ場合ニ於テハ船長ハ修繕スルコト能ハサルニ至リタルモノト看做ス

一　船舶カ其現在地ニ於テ修繕ヲ受クルコト能ハス且其修繕ヲ爲スヘキ地ニ到ルコト能ハサルトキ
二　修繕費カ船舶ノ價額ノ四分ノ三ニ超ユルトキ

前項第二號ノ價額ハ船舶カ航海中毀損シタル場合ニ於テハ其發航ノ時ニ於ケル價額トシ其他ノ場合ニ於テハ其毀損前ニ有セシ價額トス

第六百十二條　船長ハ航海ヲ繼續スル爲メ必要アルトキハ積荷ヲ航海ノ用ニ供スルコトヲ得此場合ニ於テハ第六百六十八條第二項ノ規定ヲ準用ス

第六百十三條　船長カ遲滯ナク航海ニ關スル計算ヲ爲シテ船舶所有者ノ承認ヲ求メ又船舶所有者ノ請求アルトキハ何時ニテモ計算ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

第六百十四條　船舶所有者ハ何時ニテモ船長ヲ解任スルコトヲ得但正當ノ理由ナクシテ之ヲ解任シタルトキハ船長ハ船舶所有者ニ對シ解任ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

船長カ船舶共有者ノ一ナル場合ニ於テ其意ニ反シテ解任セラレタルトキハ他ノ共有者ニ對シ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得

前項第三號乃至第五號ニ揭ケタル書類ハ外國ニ航行セサル船舶ニ限リ命ヲ以テ之ヲ備フルコトヲ要セサルモノト定ムルコトヲ得

第六百十五條　船長ハ已ムコトヲ得サル場合ヲ除ク外自己ニ代ハリテ船舶ヲ指揮スヘキ者ニ其職務ヲ委任シタル後ニ非サレハ荷物ノ船積及ヒ旅客ノ乘込ノ時ヨリ荷物ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸ノ時マテ其指揮スル船舶ヲ去ルコトヲ得ス

第六百十六條　船長ハ航海ノ準備カ終ハリタルトキハ遲滯ナク發航ヲ爲シ且必要アル場合ヲ除ク外豫定ノ航路ヲ變更セスシテ到達港マテ航行スルコトヲ要ス

第六百十七條　船長ハ航海中最モ利害關係人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ積荷ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス

利害關係人ハ船長ノ行爲ニ因リ其積荷ニ付テ生シタル債權ノ爲メ之ヲ債權者ニ委付シテ其責ヲ免ルルコトヲ得但利害關係人ニ過失アリタルトキハ此限ニ在ラス

第六百十八條　船長ハ航海ノ爲メ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

船舶運港ニ於テハ船長ハ航場合ニ於テハ船長ハ海員ヲ雇入及ヒ雇止ヲ爲ス權限ノミヲ有ス

第六百十九條　船舶運港外ニ於テハ船長ハ航海ノ爲メ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

船舶運港ニ於テハ船長ハ航場合ニ於テハ船長ハ海員ヲ雇入及ヒ雇止ヲ爲ス權限ノミヲ有ス

第六百二十條　船長ハ船舶ノ修繕費、救助料其他航海ノ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メ非サレハ左ニ揭ケタル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一　船舶ヲ抵當ト爲スコト
二　船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルコト
三　船舶カ捕獲セラレタルコト

前項ノ場合ニ於テハ海員ハ契約終了ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百二十一條　海員カ雇入港マテノ送還ヲ請求スル權利ヲ有スル場合ニ於テハ送還ニ代ヘテ其費用ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百二十二條　海員カ雇入港マテノ送還ヲ爲ス義務ヲ負フヘキ場合ニ於テハ船長ハ其送還ニ代ヘテ其費用ヲ支拂フコトヲ得ス

第六百二十三條　船舶運港外ニ於テハ船長ハ海員ヲ雇止ムルコトヲ得

一　發航前海員カ其職務ニ不適任ナルコト認メタルトキ
二　海員カ著シク其職務ヲ怠リ又ハ其職務ニ關シ之ニ重大ナル過失アリタルトキ
三　海員カ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
四　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ
五　不可抗力ニ因リ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキ

前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テハ海員ハ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得

第六百二十四條　海員ハ其雇入ノ手續カ終ハリタルトキハ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乘込ムコトヲ要ス

海員ハ船長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其乘込ミタル船舶ヲ去ルコトヲ得ス

第六百二十五條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ上陸セシメ且其治療及ヒ看護ヲ爲スコトヲ要ス

第六百二十六條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百二十七條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百二十八條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百二十九條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百三十條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百三十一條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百三十二條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百三十三條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百三十四條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百三十五條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百三十六條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百三十七條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百三十八條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百三十九條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百四十條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百四十一條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百四十二條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百四十三條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百四十四條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百四十五條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百四十六條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百四十七條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百四十八條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百四十九條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百五十條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百五十一條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百五十二條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百五十三條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百五十四條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百五十五條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百五十六條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百五十七條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百五十八條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百五十九條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百六十條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百六十一條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百六十二條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百六十三條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百六十四條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百六十五條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百六十六條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百六十七條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百六十八條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百六十九條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百七十條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百七十一條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百七十二條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百七十三條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百七十四條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百七十五條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百七十六條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百七十七條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百七十八條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百七十九條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百八十條　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ其費用ヲ以テ海員ヲ其國ノ港マテ送還スルコトヲ要ス但其費用ハ海員カ雇入ノ際之ヲ知リ又ハ知ルヘカリシ事實ヲ告ケサリシトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百二十條　船長ハ傭船者又ハ荷送人ノ請求ニ因リ運送品ノ船積後遅滯ナク一通又ハ數通ノ船荷證券ヲ交付スルコト能ハサルニ至リタルトキハ各當事者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百二十一條　船舶所有者ハ船長以外ノ者ニ船長ニ代リテ船荷證券ヲ交付スルコトヲ委任スルコトヲ得

第六百二十二條　船荷證券ニハ左ノ事項ヲ記載シ船長又ハ之ニ代ハル者署名スルコトヲ要ス

一　船舶ノ名稱及ヒ國籍

二　船長カ船荷證券ヲ作ラサルトキハ船長ノ氏名

三　運送品ノ種類、個數竝ニ記號

四　傭船者又ハ荷送人ノ氏名又ハ商號

五　荷受人ノ氏名若クハ商號

六　船積港

七　陸揚港但發航後傭船者又ハ荷送人カ陸揚港ヲ指定スヘキトキハ其ノ指定スヘキ港

八　運送賃

九　數通ノ船荷證券ヲ作リタルトキハ其ノ數

十　船荷證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第六百二十三條　傭船者又ハ荷送人ハ船長又ハ之ニ代ハル者ノ請求ニ因リ船荷證券ノ謄本ニ署名シテ之ヲ交付スルコトヲ要ス

第六百二十四條　陸揚港ニ於テハ船長ハ數通ノ船荷證券中ノ一通ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキト雖モ其引渡ヲ拒ムコトヲ得ス

第六百二十五條　陸揚港外ニ於テハ船長ハ船荷證券ノ各通ノ返還ヲ受クルニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ得ス

第六百二十六條　二人以上ノ船荷證券所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキハ船長ハ運滯ナク運送品ヲ供託シ且請求ヲ爲シタル各所持人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス船長カ第六百二十四條ノ規定ニ依リテ運送品ノ一部ヲ引渡シタル後他ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタル場合ニ於テハ其殘部ニ至リタルトキ其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタル日附ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキハ各當事者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ニ揭ケタル事由カ發航後ニ生シタル場合ニ於テ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ傭船者ハ運送ノ剩合ニ應シテ運送賃ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十五條　第六百十三條第一項第二號及ヒ前條第一項ニ揭ケタル事由カ運送品ノ一部ニ付テ生シタルトキハ傭船者ハ船舶所有者ノ負擔ヲ重カラシメサル範圍内ニ於テ他ノ運送品ヲ船積スルコトヲ得

第六百十六條　第六百十三條及ヒ第六百十四條ノ規定ハ船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六百十七條　船舶所有者ハ左ノ場合ニ於テハ運送賃ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

一　船長カ第五百六十八條第一項ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ賣却又ハ質入シタルトキ

二　船長カ第五百七十二條ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ航海ノ用ニ供シタルトキ

三　船長カ第六百四十一條ノ規定ニ從ヒテ船荷證券ノ謄本ニ署名シテ之ヲ交付シタルトキ

第六百十八條　船舶ニ傭附ケタル武器、船具ノ給料、船員及ヒ旅客ノ食料竝ニ衣類ハ共同海損ノ分擔ニ付キ其價額ヲ算入セス但此等ノ物ニ加ヘタル損害ハ他ノ利害關係人之ヲ分擔ス

第六百十九條　船荷證券其他積荷ノ價格ヲ評定スルニ足ルヘキ書類ナクシテ船積シタル荷物又ハ屬具目錄ニ記載セサル屬具ニ加ヘタル損害ハ利害關係人ニ於テ之ヲ分擔スルコトヲ要セス

第六百二十條　船荷證券其他積荷ノ價格ヲ評定スルニ足ルヘキ書類ナクシテ船積シタル荷物又ハ屬具目錄ニ記載セサル屬具ニ加ヘタル損害ハ利害關係人ニ於テ之ヲ分擔スヘキ者ハ船舶ノ到達又ハ積荷ノ引渡ノ時ニ於テ現存スル價額ノ限度ニ於テノミ其責ニ任ス

第六百四十五條　船舶ニ傭附ケタル武器、船具ノ給料、船員及ヒ旅客ノ食料竝ニ衣類ハ共同海損ノ分擔ニ付キ其價額ヲ算入セス但此等ノ物ニ加ヘタル損害ハ他ノ利害關係人之ヲ分擔ス

第六百四十六條　船舶ニ積込ミタル荷物ニ加ヘタル損害亦同シ但浩岸ノ小航海ニ在リテハ此限ニ在ラス

前二項ニ揭ケタル積荷ノ利害關係人ト雖モ共同海損ヲ分擔スル責ヲ免ルルコトヲ得ス

第六百四十七條　共同海損ハ船舶ニ傭附ケタル武器、船具ノ給料、船員及ヒ旅客ノ食料竝ニ衣類ノ爲ニ費シタル費用及ヒ船舶ニ傭附ケタル武器、船具ノ給料、船員及ヒ旅客ノ食料竝ニ衣類ノ爲ニ費シタル費用及ヒ船舶ニ積込ミタル荷物ノ犧牲ニ因リテ生シタル損害トス

第六百四十八條　共同海損ハ船長カ船舶及ヒ積荷ヲ共同ノ危險ヲ免レシムル爲メ船舶又ハ積荷ニ付キ爲シタル處分ニ因リテ生シタル損害及ヒ費用ヲ以テ之ニ充ツ

前項ノ規定ハ危險カ過失ニ因リテ生シタル場合ニ於テ利害關係人ノ過失者ニ對スル求償ヲ妨ケス

第六百四十九條　共同海損ハ之ニ因リテ保存シタルコトヲ得タル船舶又ハ積荷ノ價格ト運送賃ノ半額ト共同海損タル損害ノ額トノ割合ニ應シテ各利害關係人之ヲ分擔ス

第六百五十條　共同海損ノ分擔額ニ付テハ船舶ノ價格ハ到達ノ地及ヒ時ニ於ケル價格トシ積荷ノ價格ハ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル價格トス但積荷ニ付テハ其價格中ヨリ減失ノ場合ニ於テ支拂フコトヲ要セサル運送賃其ノ他ノ費用ヲ控除スルコトヲ要ス

第六百五十一條　前二條ノ規定ニ依リ共同海損ノ分擔額ヲ定ムルニ付テハ船舶ハ之ヲ一人ト看做シ船長ハ其ノ利害關係人ノ爲ニ之ヲ代理ス

第六百五十二條　共同海損ノ分擔額ニ付テハ利害關係人ノ間ニ協議調ハサルトキハ裁判所之ヲ定ム

第六百五十三條　共同海損ノ分擔額ニ付テハ利害關係人ハ船舶ノ到達ノ地及ヒ時ニ於ケル價格ヲ以テ積荷ノ價格ヲ定ムルニ付テハ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル價格ヲ以テ之ヲ定ム但積荷ニ付テハ其減失又ハ毀損ノ爲メ支拂フコトヲ要セサリシ一切ノ費用ヲ控除スルコトヲ要ス

第六百五十四條　船舶ニ傭附ケタル武器、船具ノ給料、船員及ヒ旅客ノ食料竝ニ衣類ハ共同海損ノ分擔ニ付キ其價額ヲ算入セス但此等ノ物ニ加ヘタル損害ハ他ノ利害關係人之ヲ分擔スヘキ者ハ船舶ノ到達又ハ積荷ノ引渡ノ時ニ於テ現存スル價額ノ限度ニ於テノミ其責ニ任ス

第六百五十五條　船舶カ雙方ノ船員ノ過失ニ因リテ衝突シタル場合ニ於テ雙方ノ過失ノ輕重ヲ判定スルコト能ハサルトキハ其衝突ニ因リテ生シタル損害ハ各船舶ノ所有者平分シテ之ヲ負擔ス

第六百五十六條　共同海損又ハ船舶ノ衝突ニ因リテ生シタル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ共同海損ニ付テハ其計算終了ノ時ヨリ之ヲ起算ス

第六百五十七條　本章ノ規定ハ船舶カ不可抗力ニ因リ發航港又ハ航海ノ途中ニ於テ碇泊ヲ爲シ又ハ之ニ準スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第五章　海難救助

第六百五十八條　船長カ船舶及ヒ積荷ヲ以テ救助料ヲ定メタル場合ニ於テ其額カ著シク不相當ニ多額ナルトキハ當事者ハ共增加又ハ減少ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第六百五十九條　救助料ノ額ハ特約ナキトキハ救助セラレタル物ノ價額ニ超ユルコトヲ得ス

先順位ノ先取特權アルトキハ救助料ノ額ハ先取特權者ノ債權額ヲ控除シタル殘額ニ超ユルコトヲ得ス

第六百六十條　數人カ共同シテ救助ヲ爲シタル場合ニ於テ救助料分配ノ割合ニ付テハ第六百五十二條ノ三ノ規定ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ從テ救助料ノ分配ヲ受クルコトヲ得ル者カ救助ニ從事シタル者ニ對シ報酬ヲ與フルトキハ其價額ヲ救助料ノ額ニ加フ

第六百六十一條　救助ニ從事シタル船舶カ汽船ナルトキハ救助料ノ三分ノ二、帆船ニ在リテハ二分ノ一ヲ船舶所有者ニ支拂ヒ其殘額ヲ折半シテ之ヲ船長及ヒ海員ニ支拂フコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リテ海員ニ支拂フヘキ金額ノ分配ハ船長之ヲ行フ此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ反スル契約ハ無效トス

第六百六十二條　船長カ前條第二項ノ規定ニ依リ救助料ノ分配ヲ爲スニハ航海ヲ終ハルマテニ分配案ヲ作リ之ヲ海員ニ告示スルコトヲ要ス

第六百六十三條　海員カ前條ノ分配案ニ對シテ異議ノ申立ヲ爲サントスルトキハ其告示アリタル後異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ル最初ノ港ノ管海官廳ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

管海官廳ハ異議ヲ理由アリトスルトキハ分配案ヲ更正スルコトヲ得

船長ハ異議ノ落著前ニハ救助料ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

第六百六十四條　船長カ分配案ノ作成ヲ怠リタルトキハ管海官廳ハ海員ノ請求ニ因リ船長ニ對シ分配案ノ作成ヲ命スルコトヲ得

船長カ前項ノ命令ニ從ハサルトキハ管海官廳ハ分配案ヲ作ルコトヲ得

第六百六十五條　船舶所有者ニ支拂ヒ其殘額ノ折半シテ之ヲ船長及ヒ海員ニ支拂フコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リテ海員ニ支拂フヘキ金額ノ分配ハ船長之ヲ行フ此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ反スル契約ハ無效トス

第六百六十六條　船長カ前條第二項ノ規定ニ依リ救助料ノ分配ヲ爲スニハ航海ヲ終ハルマテニ分配案ヲ作リ之ヲ海員ニ告示スルコトヲ要ス

第六百六十七條　海員カ前條ノ分配案ニ對シテ異議ノ申立ヲ爲サントスルトキハ其告示アリタル後異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ル最初ノ港ノ管海官廳ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

管海官廳ハ異議ヲ理由アリトスルトキハ分配案ヲ更正スルコトヲ得

船長ハ異議ノ落著前ニハ救助料ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

第六百六十八條　船長カ分配案ノ作成ヲ怠リタルトキハ管海官廳ハ海員ノ請求ニ因リ船長ニ對シ分配案ノ作成ヲ命スルコトヲ得

船長カ前項ノ命令ニ從ハサルトキハ管海官廳ハ分配案ヲ作ルコトヲ得

第六百六十九條　船長カ前條第二項ノ規定ニ依リ救助料ノ分配ヲ爲スニハ航海ヲ終ハルマテニ分配案ヲ作リ之ヲ海員ニ告示スルコトヲ要ス

第六百七十條　海員カ前條ノ分配案ニ對シテ異議ノ申立ヲ爲サントスルトキハ其告示アリタル後異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ル最初ノ港ノ管海官廳ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

管海官廳ハ異議ヲ理由アリトスルトキハ分配案ヲ更正スルコトヲ得

船長ハ異議ノ落著前ニハ救助料ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

第六百七十一條　救助者ハ其債權ニ付キ先取特權ヲ有ス

前項ノ先取特權ニハ船舶債權者ノ先取特權ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十二條　船長ハ救助料ノ債務者ニ代リテ其支拂ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

救助料ニ關スル訴ニ於テハ船長ハ自ヲ原告

但荷送人ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ他ノ船舶ヲ以テ上陸港ニテ旅客ヲ運送スルコトヲ提供シタルトキハ此限ニ在ラス

第六百三十七條　旅客運送契約ハ第五百八十七條第一項ニ揭ケタル事由ニ因リテ終了ス若シ其事由カ航海中ニ生シタルトキハ旅客ハ運送ノ割合ニ應シテ運送賃ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百三十八條　旅客カ死亡シタルトキハ船長ハ最モ其相續人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ其船中ニ在ル手荷物ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス

第六百三十九條　第三百五十條、第三百五十一條第一項、第三百五十二條、第五百九十一條第五百九十二條、第六百十四條及ヒ第六百十八條ノ規定ハ海上ノ旅客運送ニ之ヲ準用ス

第五百九十三條及ヒ第六百十七條ノ規定ハ旅客ノ手荷物ニ之ヲ準用ス

第六百四十條　旅客運送ヲ爲ス爲メ船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テハ船舶所有者ト傭船者トノ關係ニ付テハ前節第一款ノ規定ヲ準用ス

第四章　海損

第六百四十一條　船長カ船舶及ヒ積荷ヲシテ共同ノ危險ヲ免レシムル爲メ船舶又ハ積荷ニ付キ爲シタル處分ニ因リテ生シタル損害及ヒ費用ヲ以テ共同海損トス

前項ノ規定ハ危險カ過失ニ因リテ生シタル場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第六百四十二條　共同海損ハ之ニ因リテ保存シタルコトヲ得タル船舶又ハ積荷ノ價格ト運送賃ノ半額ト共同海損タル損害ノ額トノ割合ニ應シテ各利害關係人之ヲ分擔ス

第六百四十三條　共同海損ノ分擔額ニ付テハ船舶ノ價格ハ到達ノ地及ヒ時ニ於ケル價格トシ積荷ノ價格ハ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル價格トス但積荷ニ付テハ其價格中ヨリ減失ノ場合ニ於テ支拂フコトヲ要セサル運送賃其ノ他ノ費用ヲ控除スルコトヲ要ス

第六百四十四條　前二條ノ規定ニ依リ共同海

ル荷物又ハ底荷ノ船積ヲ爲シタル後船舶ヲ保險ニ付シタルトキハ保險者ノ責任ハ契約成立ノ時ヲ以テ始マル

前二項ノ場合ニ於テ保險者ノ責任ハ到達港ニ於テ荷物又ハ底荷ノ陸揚カ終了シタル時ヲ以テ終ハル

第六百六十條　積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタルトキハ保險者ノ責任ハ其積荷カ陸地ヲ離レタル時ヲ以テ始マリ陸揚港ニ於テ其陸揚カ終了シタル時ヲ以テ終ハル

前條第三項但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六十一條　海上保險證券ニハ第四百三條第二項ニ揭ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　船舶ノ名稱、國籍竝ニ種類、船長ノ氏名及ヒ發航港、到達港又ハ寄航港ノ定メアルトキハ其港名

二　積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ船舶ノ名稱、國籍竝ニ種類、船積港及陸揚港

第六百六十二條　保險者ノ責任カ始マル前ニ於テ航海ヲ變更シタルトキハ保險契約ハ其效力ヲ失フ

保險者ノ責任カ始マリタル後航海ヲ變更シタルトキハ保險者ハ其變更後ノ事故ニ付キ責任ヲ負フコトナシ但其變更カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リタルトキハ此限ニ在ラス

第六百六十三條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百六十四條　保險者ハ被保險者カ支拂フヘキ共同海損ノ分擔額ヲ塡補スル責ニ任ス但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第六百六十五條　船舶ノ保險ニ付テハ保險者ノ責任カ始マル時ニ於ケル其價額ヲ以テ保險價額トス

第六百六十六條　積荷ノ保險ニ付テハ其船積ノ地及ヒ時ニ於ケル其價額及ヒ船積竝ニ保險ニ關スル費用ヲ以テ保險價額トス

第六百六十八條　積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益又ハ報酬ノ保險ニ付テハ契約ヲ以テ保險價額ヲ定メサリシトキハ保險金額ヲ以テ保險價額トシタルモノト推定ス

第六百六十九條　一航海ニ付キ船舶ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ責任ハ荷物又ハ底荷ノ船積ニ著手シタル時ヲ以テ始マリ其荷物又ハ底荷ノ陸揚ヲ爲シタル後船舶ノ保險ニ付キ定メタル期間ノ滿了ニ因リテ終ハル

第六百七十條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百七十一條　保險者ハ被保險者カ支拂フヘキ共同海損ノ分擔額ヲ塡補スル責ニ任ス但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第六百七十二條　船舶ノ保險ニ付テハ保險者ハ其船舶ニ關シテ生シタル損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百七十三條　積荷ノ保險ニ付テハ保險者ハ其積荷ノ運送ニ關シテ生シタル損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百七十四條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百七十五條　保險者ハ被保險者カ支拂フヘキ共同海損ノ分擔額ヲ塡補スル責ニ任ス但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第六百七十六條　船舶ノ保險ニ付テハ保險者ハ被保險者カ共同海損ノ爲ニ支出シタル金額及ヒ犧牲ニ付キ救助ヲ受ケタル船舶ノ價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第六百七十七條　積荷ノ保險ニ付テハ保險者ハ其積荷ノ爲ニ支出シタル金額及ヒ犧牲ニ付キ救助ヲ受ケタル積荷ノ價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第六百七十八條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百七十九條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百八十條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百八十一條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百八十二條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百八十三條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百八十四條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百八十五條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百八十六條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百八十七條　保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第六百八十八條　共同海損ニ非サル損害又ハ費用カ其計算ニ關スル費用ヲ算入セステ保險價額ノ百分ノ二ヲ超エサルトキハ保險者ハ之ヲ補塡スル責ニ任セス

右ノ損害又ハ費用カ保險價額ノ百分ノ二ヲ超エタルトキハ保險者ハ其全額ヲ支拂フコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ當事者カ契約ヲ以テ保險者ノ負擔セサル損害又ハ費用ノ割合ヲ定メタル場合ニ之ヲ準用ス

前三項ニ定メタル割合ハ各航海ニ付キ之ヲ計算ス

第六百六十九條　保險ノ目的タル積荷カ毀損シテ陸揚港ニ到達シタルトキハ保險者ハ其積荷カ毀損シタル狀況ニ於ケル價額ノ毀損セサル狀況ニ於ケル價額ニ對スル割合ヲ以テ保險價額ノ一部ヲ塡補スル責任ス

第六百七十條　航海ノ途中ニ於テ不可抗力ニ因リ保險ノ目的タル積荷ヲ賣却シタルトキハ其賣却ニ依リテ得タル代價ノ中ヨリ運送賃其他ノ費用ヲ控除シタルモノト保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ第三百九十一條ノ適用ヲ妨ケス

前項ノ場合ニ於テ買主カ代價ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ其支拂ヲ爲スコトヲ要ス但其支拂ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ買主ニ對シテ有セル權利ヲ取得ス

第六百七十一條　左ノ場合ニ於テハ被保險者ハ保險ノ目的ノ保險者ニ委付シテ保險金額ノ全部ヲ請求スルコトヲ得

一　船舶カ沈沒シタルトキ

二　船舶ノ行方カ知レサルトキ

三　船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ

四　船舶又ハ積荷カ捕獲セラレタルトキ

五　船舶又ハ積荷カ官ノ處分ニ依リテ押收セラレ六个月間解放セラレサルトキ

第六百七十二條　船舶ノ存否カ六个月間分明ナラサルトキハ船舶ハ行方ノ知レサルモノトス

保險期間ノ定アル場合ニ於テ其期間カ前項ノ期間内ニ經過シタルトキ雖モ被保險者ハ委付ヲ爲スコトヲ得但船舶カ保險期間内ニ滅失セサリシコトノ證明アリタルトキハ其委付ハ無效トス

第六百七十三條　第六百七十一條第三號ノ場合ニ於テ船長カ遲滯ナク他ノ船舶ヲ以テ積荷ノ運送ヲ繼續シタルトキハ被保險者ハ其積荷ヲ委付スルコトヲ得ス

第六百七十四條　被保險者カ委付ヲ爲サントス欲スルトキハ三个月内ニ保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ期間ハ第六百七十一條第一號、第三號及ヒ第四號ノ場合ニ於テハ被保險者カ其事由ヲ知リタル時ヨリ之ヲ起算ス

再保險ノ場合ニ於テハ第一項ノ期間ハ其被保險者カ自己ノ被保險者ヨリ委付ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ之ヲ起算ス

第六百七十五條　委付ハ單純ナルコトヲ要ス

委付ハ保險ノ目的ノ全部ニ付テ之ヲ爲スコトヲ要ス但委付ノ原因カ其一部ニ付テ生シタルトキハ其部分ニ付テノミ之ヲ爲スコトヲ得

保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ委付ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ應シテ之ヲ爲スコトヲ得

第六百七十六條　保險者カ委付ヲ承認シタルトキハ後日其委付ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第六百七十七條　保險者ハ委付ニ因リ被保險者カ保險ノ目的ニ付キ有セル一切ノ權利ヲ取得ス

被保險者カ委付ヲ爲シタルトキハ保險ノ目的ニ關スル證書ヲ保險者ニ交付スルコトヲ要ス

第六百七十八條　被保險者ハ委付ヲ爲スニ當リ保險契約竝ニ其負擔ニ屬スル債務ノ有無及ヒ共種類ヲ通知スルコトヲ要ス

保險者ハ前項ノ通知ヲ受クルマテハ保險金額ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セス

保險金額ノ支拂ニ付キ期間ノ定アルトキハ其期間カ數回ノ航海ニ付テ生シタル場合ニ於テハ前二項ノ規定ニ拘ハラス後ノ航海ニ付テ生シタルモノ前ノ航海ニ付テ生シタルモノニ先ツ

第六百七十九條　船舶價權者ノ先取特權ハ他ノ先取特權者ノ先取特權ハ他ノ先取特權ニ先ツ

第六百八十條　船舶所有者カ其船舶ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ讓受人ハ其讓渡ヲ登記スルニ非サレハ其船舶價權者ニ對シ一定ノ期間内ニ共價權ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス但其期間ハ二个月ヲ下ルコトヲ得ス

先取特權者カ前項ノ期間内ニ共價權ノ申出ヲ爲ササリシトキハ其先取特權ハ消滅ス

第六百八十五條　船舶價權者ノ先取特權ハ共發生後一年ヲ經過シタルトキハ消滅ス

第六百八十條第八號ノ先取特權ハ船舶ノ發航ニ因リテ消滅ス

第六百八十六條　登記シタル船舶ハ之ヲ以テ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

船舶ノ抵當權ハ其屬具ニ及フ

船舶ノ抵當權ニハ不動產ノ抵當權ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百八十七條　船舶ノ先取特權ハ抵當權ニ先チテ之ヲ行フコトヲ得

第六百八十八條　登記シタル船舶ハ之ヲ以テ賃權ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第六百八十九條　本章ノ規定ハ製造中ノ船舶ニ之ヲ準用ス

（明治三十二年四月十日勅令第百三十三號ヲ以テ同年六月十六日ヨリ施行）

附　則（明治四十四年五月法律第七十三號）

第一條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條　本法ノ規定ハ本法施行ノ日ヨリ其施行前ニ生シタル事項ニモ亦之ヲ適用ス但從前ノ規定ニ依リテ生シタル效力ヲ妨ケス

第三條　本法施行前ニ會社カ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テハ第四十四條ノ三第二及ヒ第三項ノ規定ニ依ルコトヲ要セス

第四條　第九十一條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ株式會社カ社債募集ニ關スル決議ヲ爲シタル場合ニ於テハ從前ノ規定ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

第五條　第九十九條ノ三第二項及ヒ第九十九條ノ四乃至第九十九條ノ六ノ規定ハ本法施行前ニ提起シタル設立無效ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス但其訴ニ付キ裁判アリタル場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六條　第百十三條及ヒ第百六十三條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル事由ニ基キ其施行後ニ決議無效ノ訴ヲ提起スル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第七條　本法施行前ニ株式會社ノ發起人カ定款ヲ作リタル場合ニ於テハ其設立ニハ從前ノ規定ヲ適用ス

第八條　第百五十二條第三項及ヒ第百五十三條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ第百五十二條第一項ノ催告ヲ爲シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第九條　第百六十三條及ヒ第百六十三條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ提起シタル決議無效ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス但其訴ニ付キ裁判アリタル場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第十條　第百六十三條ノ三第二項、第九十九條ノ四及ヒ第百六十三條ノ四ノ規定ハ本法施行前ニ提起シタル決議無效ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス但其訴ニ付キ裁判アリタル場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第十一條　第百六十三條ノ三第二項ノ規定ハ本法施行前ニ提起シタル決議無效ノ訴ニモ亦之ヲ準用ス

第百六十三條ノ三ノ規定ハ本法施行前ニ提起シタル創立總會ノ決議無效ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス

第十二條　第百六十七條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ選任シタル取締役又ハ監査役ノ任務ノ終了シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第十三條　第百七十七條及ヒ第百八十六條ノ規定ハ本法施行前ニ選任シタル取締役又ハ監査役ノ任務カ本法施行後ニ在リタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第十四條　本法施行前ニ株式會社カ社債募集ニ關スル決議ヲ爲シタル場合ニ於テハ從前ノ規定

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第二十六條　貸入證券所持人ノ裏書人ニ對スル請求權ハ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケタル日カ本法施行前ニ在リタル場合ニ於テハ其施行ノ日ヨリ六个月本法施行後ニ在ル場合ニ於テ辨濟ヲ受ケタル日ヨリ六个月經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第二十七條　第三百六十七條ノ三、第三百八十條ノ二及ヒ第三百八十七條ノ三ノ規定ハ本法施行前ニ作リタル預證券又ハ質入證券ニモ亦之ヲ適用ス但其證券ニ別段ノ意思表示アルトキハ此限ニ在ラス

第二十八條　第四百十七條ノ三、第三百八十七條ノ三ノ規定ハ本法施行前ニ作リタル預證券又ハ質入證券ニモ亦之ヲ適用ス但其證券ニ別段ノ意思表示アルトキハ此限ニ在ラス

第二十九條　第四百二十八條乃至第四百二十八條ノ四ノ規定ハ本法施行前ニ爲シタル保險契約ニハ之ヲ適用セス

第三十條　本法施行前ニ振出シタル爲替手形ニ付キ其施行後ニ引受拒絕證書ヲ作ラシメタル場合ニ於テハ擔保請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要セス本法施行後ニ擔保ヲ供セサル場合亦同シ

第三十一條　第四百八十六條乃至第四百八十八條ノ二、第四百八十八條ノ四及ヒ第四百八十九條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ振出シタル爲替手形ニ付キ所持人カ本法施行ノ日ヨリ其會社ノ業務ニ關シ之ヲ能ク知リタル爲替手形ニ付キ所持人カ本法施行前ニ拒絕證書ヲ作リタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第三十二條　第五百十五條乃至第五百十五條ノ五及ヒ第五百十七條第一項ノ規定ハ本法施行前ニ振出シタル爲替手形ニ付キ其施行後ニ拒絕證書ヲ作ラサル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第三十三條　前三條ノ規定ハ約束手形ニ之ヲ準用ス

第三十四條　第五百三十三條ノ三及ヒ第五百三十四條第二項ノ規定ハ本法施行前ニ振出シタル小切手ニ付キ所持人カ本法施行後ニ支拂ヲ求ムル爲メ之ヲ呈示スル場合ニモ亦之ヲ適用ス

附則第三十一條及第三十二條ノ規定ハ小切手ニ之ヲ準用ス

第三十五條　第五百四十四條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル原因ニ基キ其施行後ニ委付ヲ爲ス場合ニモ亦之ヲ適用ス

（明治四十四年八月一日勅令第二百十九號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行）

●商法施行法

（明治三十二年三月法律第四十九號　改正　明治三三年三月六九號、大正一一年四第七一號）

第一條　商法施行前ニ生シタル事項ニ付テハ本法ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外舊法ノ規定ヲ適用ス

第二條　商事ニ關スル特別ノ法令ハ商法施行ノ後ト雖モ仍ホ其ノ效力ヲ存ス

第三條　特別ノ法令中舊商法ノ規定ニ依ルヘキモノト定メタル場合ニ付テハ舊商法ハ商法施行ノ後ト雖モ仍ホ其效力ヲ存ス

第四條　商法施行前ヨリ商業ヲ營ム未成年者、妻及ヒ後見人ハ商法ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五條　商法施行前ニ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ許サレタル未成年者又ハ妻ハ商法施行ノ日ヨリ其會社ノ業務ニ關シ之ヲ能ク辨識スルニ至リタル時ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六條　商法第七條第二項ノ規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ定メタル制限ニモ亦之ヲ適用ス

第七條　商法第八條ニ定メタル小商人ノ範圍ハ勤令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條　商法施行前ニ舊法ノ規定ニ依リテ爲シタル登記ハ商法ノ規定ニ從ヒテ爲シタルモノト同一ノ效力ヲ有ス

第九條　商法施行前ニ登記ヲ爲シタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ其事項カ消滅シタル場合ニ於テ商法施行前ニ登記ヲ爲ササリシトキハ當事者ハ其施行ノ後遲滯ナク登記ヲ爲スコトヲ要ス

第十條　商法施行前ニ設立ノ登記ヲ爲シタル會社ノ社名ハ商法ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ爲シタルモノト看做ス

第十一條　商法施行前ニ設立シタル合名會社ニシテ其社名中ニ合名會社ナル文字ヲ用キサルモノハ其施行ノ日ヨリ三个月內ニ商法第十七條ノ規定ニ從ヒテ其社名ヲ改メ且其登記ヲ爲スコトヲ要ス

會社ノ業務ヲ執行スル社員カ前項ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處セラル

第十二條　商法第十八條ノ規定ハ商法施行前ヨリ同一又ハ類似ノ商號ヲ使用スル者ニ對シテハ商法第二十條ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得ス

第十四條　商法第十九條、第二十條第二項、第二十二條乃至第二十四條第一項及ヒ第二百八十九條第三項ノ規定ハ本法施行前ニ設立シタル會社ニ之ヲ準用ス

第十五條　商法施行前ニ設立シタル合名會社ニシテ其社員カ無限責任社員ノミニ在リテハ其各區ト爲ルコトヲ得

第十六條　商法施行前ニ設立シタル株式會社ニシテ其發起人カ商法施行前ニ株金ノ四分ノ一ノ拂込アリタル後二週間內ニ商法第百四十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第十七條　商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ株式會社ニシテ其定款ヲ變更スルコトヲ得但商法ノ規定ニ從ヒテ定款ヲ作ルコトヲ要ス

第十八條　商法施行前ニ發起人ノ認可ヲ得タル株式會社ニシテ其發起人カ七人以上ナルコトヲ要ス

第十九條　商法施行前ニ發起ノ認可ヲ得タル株式會社ニシテ其發起人カ未タ株主ノ募集ニ着手セサルトキハ之ニ商法ノ規定ヲ適用ス

第二十條　株式會社ノ目的タル事業ノ成功カ商法施行前ニ不能トナリタルトキハ裁判所カ解散ヲ命シタル場合ヲ除ク外其會社ハ商法ノ規定ニ從ヒテ定款ヲ作ルコトヲ要ス

第二十一條　合名會社カ商法施行前ニ解散シタル場合ニ於テ未タ清算人ヲ選任セサルトキハ總社員ノ同意ヲ以テ其登記ヲ爲シタル代表社員又ハ清算人ニ於テ其施行ノ日ヨリ六个月內ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十二條　前項ノ規定ハ合資會社ニ之ヲ準用ス

第二十三條　前十六條ノ規定ハ株式合資會社ニ之ヲ準用ス

第二十四條　本法施行前ニ會社ニ關スル從前ノ關則ヲ適用スヘキ行爲アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ其關則ヲ適用ス

第二十五條　第四百八十七條乃至第四百八十八條ノ二及ヒ第四百八十八條ノ四ノ規定ハ本法施行前ニ作リタル商業帳簿ニモ亦之ヲ適用ス

第二十六條　代務人ニハ商法施行ノ日ヨリ支配人ニ關スル規定ヲ適用ス

第二十七條　商法施行前ヨリ支配人又ハ支配役ト稱スル者カ商法第三十條ニ定メタル權限ヲ有セサルトキハ主人ハ商法施行ノ日ヨリ三个月以內ニ其名稱ヲ改ムルコトヲ要ス主人カ前項ノ期間內ニ支配人又ハ支配役ノ名稱ヲ改メサリシトキハ其者ハ商法第三十條ニ定メタル權限ヲ有スルモノト看做ス

第二十八條　商法第三十二條第三項ノ規定ハ舊商法第五十條ノ規定ニ反シテ爲シタル行爲ニモ之ヲ準用ス但一年ノ期間ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第二十九條　商法施行前ニ商號ヲ譲渡シタル場合ニ於テハ北海道ハ之ヲ一府縣ト看做ス

第三十條　商法第二十八條ノ規定ハ商法施行前ニ作リタル商業帳簿ニモ亦之ヲ適用ス

第三十一條　代務人ニハ商法施行ノ日ヨリ支配人ニ關スル規定ヲ適用ス

第三十二條　商法施行前ヨリ支配人又ハ支配役ト稱スル者カ商法第三十條ニ定メタル權限ヲ有セサルトキハ主人カ前項ノ期間內ニ支配人又ハ支配役ノ名稱ヲ改メサリシトキハ其者ハ商法第三十條ニ定メタル權限ヲ有スルモノト看做ス

第三十三條　商法第四十七條ニ定メタル期間ハ商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル會社ニ付テハ其施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第三十四條　商法施行前ニ設立シタル合名會社ニシテ未タ設立ノ登記ヲ爲ササルモノハ商法施行ノ日ヨリ一个月內ニ商法ノ規定ニ從ヒテ定款ヲ作リ且商法第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第三十五條　商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル會社ニ付テハ其施行ノ日ヨリ六个月內ニ商法ノ規定ニ從ヒテ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第三十六條　商法施行前ニ發起人ノ認可ヲ得タル株式會社ニシテ其發起人カ七人以上ナルコトヲ要ス

第三十七條　商法施行前ニ發起ノ認可ヲ得タル株式會社ニシテ其發起人カ未タ株主ノ募集ニ着手セサルトキハ之ニ商法ノ規定ヲ適用ス

第三十八條　第四百十七條ノ三ノ規定ハ本法施行前ニ作リタル預證券ニモ亦之ヲ適用ス

第三十九條　第四百二十八條ノ四ノ規定ハ本法施行前ニ爲シタル保險契約ニモ亦之ヲ適用ス

第四十條　第四百八十六條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ振出シタル爲替手形ニ付キ其施行後ニ引受拒絕證書ヲ作ラシメタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第四十一條　第五百十五條ノ五及ヒ第五百十七條第一項ノ規定ハ本法施行前ニ振出シタル爲替手形ニ付キ其施行後ニ拒絕證書ヲ作ラサル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第四十二條　第五百四十四條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル原因ニ基キ其施行後ニ委付ヲ爲ス場合ニモ亦之ヲ適用ス

第四十三條　商法施行前ニ發起人ノ認可ヲ得タル株式會社ニシテ其發起人カ本法施行ノ日ヨリ其會社ノ業務ニ關シ之ヲ能ク辨識スルニ至リタル時ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十四條　商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル株式會社ニシテ其定款ニ定メタル制限ニモ亦之ヲ適用ス

第四十五條　株式會社ノ發起人カ商法施行前ニ株主ノ募集ニ着手シタルトキハ裁判所カ解散ヲ命シタル場合ヲ除ク外其會社ハ商法ノ規定ニ從ヒテ定款ヲ作ルコトヲ要ス

第四十六條　商法第百六十三條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ舊商法ノ規定ニ依リテ招集シタル創業總會ノ決議ニ之ヲ準用ス但同條第二項ノ期間ハ商法施行前ニ決議ヲ爲シタル場合ニ於テハ其施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第四十七條　商法第百六十三條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ舊商法ノ規定ニ依リテ招集シタル創業總會ノ決議ニ之ヲ準用ス但同條第二項ノ期間ハ商法施行前ニ決議ヲ爲シタル場合ニ於テハ其施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第四十八條　商法第百六十三條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ舊商法第百四條ノ規定ニ反シテ爲シタル行爲ニモ之ヲ準用ス

第四十九條　第四十五條及ヒ第四十六條ノ場合ニ於テ商法施行前ニ株式總數ノ引受アリタルトキハ其日ヨリ六个月內ニ發起人カ創業總會ヲ招集セサルトキハ株式申込人ハ其申込ヲ取消スコトヲ得

第五十條　第四十五條及ヒ第四十六條ノ場合ニ於テハ株式會社ノ各株ニ付キ株金ノ四分ノ一ノ拂込アリタル後二週間內ニ商法第百四十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十一條　商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル株式會社ニシテ其定款ニ定メサルモノハ商法施行ノ日ヨリ三个月內ニ其定款ヲ變更スルコトヲ要ス

第五十二條　商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル株式會社ハ商法施行ノ日ヨリ三个月內ニ本店ノ所在地ニ於テハ支店、支店ノ所在地ニ於テハ本店竝ニ他ノ支店ノ所在地ニ於テハ其支店ニ付キ商法第百四十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十三條　商法施行前ニ設立シタル合名會社ハ商法ノ規定ニ從ヒテ設立ノ登記ヲ爲ササルモノハ商法施行ノ日ヨリ一个月內ニ商法ノ規定ニ從ヒテ定款ヲ作リ且商法第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十四條　合名會社カ商法施行前ニ解散シタル場合ニ於テ未タ清算人ヲ選任セサルトキハ總社員ノ同意ヲ以テ其登記ヲ爲シタル代表社員又ハ清算人ニ於テ其施行ノ日ヨリ六个月內ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十五條　商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル會社ニシテ其登記ヲ爲ササリシ者ハ其登記ヲ爲ササリシ登記所ノ管轄區域內ニ於テハ商法第二十條ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得

第五十六條　商法第二十二條第二項ノ適用ニ付テハ北海道ハ之ヲ一府縣ト看做ス

第五十七條　商法第二十三條第二項ノ規定ハ商法施行前ニ會社ニ爲シタル登記ニ之ヲ準用ス

第五十八條　商法第二十四條第一項ノ規定ハ商法施行前ニ作リタル商業帳簿ニモ亦之ヲ適用ス

第五十九條　代務人ニハ商法施行ノ日ヨリ支配人ニ關スル規定ヲ適用ス

第六十條　商法施行前ニ支配人又ハ支配役ト稱スル者カ商法第三十條ニ定メタル權限ヲ有セサルトキハ主人カ前項ノ期間內ニ支配人又ハ支配役ノ名稱ヲ改メサリシトキハ其者ハ商法第三十條ニ定メタル權限ヲ有スルモノト看做ス

第六十一條　商法第二十四條第二項ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル會社ニモ亦之ヲ適用ス

第六十二條　商法第二十五條乃至第三十二條及ヒ前三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニハ舊商法ノ規定ニ從ヒテ其效力ヲ有スル者ノ外商法施行ノ日ヨリ二週間內ニ商法第九十七條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六十三條　商法第百三條ノ規定ハ商法施行前ニ解散シタル合名會社ニモ亦之ヲ適用ス

第六十四條　商法第百五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニハ舊商法ノ規定ヲ適用ス

第六十五條　商法第百六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニハ其取引ニ關スル一切ノ書類ニ商法施行前ニ設立シタル會社ニモ之ヲ準用ス但一年ノ期間ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第六十六條　商法第百十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第六十七條　商法第百十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第六十八條　商法第百十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第六十九條　商法第百十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第七十條　商法第百十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第七十一條　商法第百十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第七十二條　商法第百十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第七十三條　商法第百十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第七十四條　商法第百十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第七十五條　商法第百十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第七十六條　商法第百二十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第七十七條　商法第百二十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第七十八條　商法第百二十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第七十九條　商法第百二十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第八十條　商法第百二十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第八十一條　商法第百二十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第八十二條　商法第百二十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第八十三條　商法第百二十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第八十四條　商法第百二十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第八十五條　商法第百二十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第八十六條　商法第百三十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第八十七條　商法第百三十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第八十八條　商法第百三十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第八十九條　商法第百三十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第九十條　商法第百三十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第九十一條　商法第百三十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第九十二條　商法第百三十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第九十三條　商法第百三十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第九十四條　商法第百三十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第九十五條　商法第百三十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第九十六條　商法第百四十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第九十七條　商法第百四十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第九十八條　商法第百四十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第九十九條　商法第百四十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百條　商法第百四十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百一條　商法第百四十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百二條　商法第百四十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百三條　商法第百四十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百四條　商法第百四十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百五條　商法第百四十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百六條　商法第百五十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百七條　商法第百五十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百八條　商法第百五十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百九條　商法第百五十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百十條　商法第百五十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百十一條　商法第百五十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百十二條　商法第百五十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百十三條　商法第百五十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百十四條　商法第百五十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百十五條　商法第百五十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百十六條　商法第百六十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百十七條　商法第百六十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百十八條　商法第百六十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百十九條　商法第百六十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百二十條　商法第百六十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百二十一條　商法第百六十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百二十二條　商法第百六十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百二十三條　商法第百六十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百二十四條　商法第百六十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百二十五條　商法第百六十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百二十六條　商法第百七十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百二十七條　商法第百七十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百二十八條　商法第百七十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百二十九條　商法第百七十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十條　商法第百七十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十一條　商法第百七十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十二條　商法第百七十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十三條　商法第百七十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十四條　商法第百七十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十五條　商法第百七十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十六條　商法第百八十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十七條　商法第百八十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十八條　商法第百八十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十九條　商法第百八十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百四十條　商法第百八十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百四十一條　商法第百八十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百四十二條　商法第百八十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百四十三條　商法第百八十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百四十四條　商法第百八十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百四十五條　商法第百八十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百四十六條　商法第百九十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百四十七條　商法第百九十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百四十八條　商法第百九十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百四十九條　商法第百九十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百五十條　商法第百九十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百五十一條　商法第百九十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百五十二條　商法第百九十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百五十三條　商法第百九十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百五十四條　商法第百九十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百五十五條　商法第百九十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百五十六條　商法第二百條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百五十七條　商法第二百一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百五十八條　商法第二百二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百五十九條　商法第二百三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百六十條　商法第二百四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百六十一條　商法第二百五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百六十二條　商法第二百六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百六十三條　商法第二百七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百六十四條　商法第二百八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百六十五條　商法第二百九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百六十六條　商法第二百十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百六十七條　商法第二百十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百六十八條　商法第二百十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百六十九條　商法第二百十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百七十條　商法第二百十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百七十一條　商法第二百十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百七十二條　商法第二百十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百七十三條　商法第二百十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百七十四條　商法第二百十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百七十五條　商法第二百十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百七十六條　商法第二百二十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百七十七條　商法第二百二十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百七十八條　商法第二百二十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百七十九條　商法第二百二十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百八十條　商法第二百二十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百八十一條　商法第二百二十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百八十二條　商法第二百二十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百八十三條　商法第二百二十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百八十四條　商法第二百二十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百八十五條　商法第二百二十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百八十六條　商法第二百三十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百八十七條　商法第二百三十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百八十八條　商法第二百三十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百八十九條　商法第二百三十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百九十條　商法第二百三十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百九十一條　商法第二百三十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百九十二條　商法第二百三十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百九十三條　商法第二百三十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百九十四條　商法第二百三十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百九十五條　商法第二百三十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百九十六條　商法第二百四十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百九十七條　商法第二百四十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百九十八條　商法第二百四十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第百九十九條　商法第二百四十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百條　商法第二百四十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百一條　商法第二百四十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百二條　商法第二百四十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百三條　商法第二百四十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百四條　商法第二百四十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百五條　商法第二百四十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百六條　商法第二百五十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百七條　商法第二百五十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百八條　商法第二百五十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百九條　商法第二百五十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百十條　商法第二百五十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百十一條　商法第二百五十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百十二條　商法第二百五十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百十三條　商法第二百五十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百十四條　商法第二百五十八條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百十五條　商法第二百五十九條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百十六條　商法第二百六十條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百十七條　商法第二百六十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百十八條　商法第二百六十二條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百十九條　商法第二百六十三條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百二十條　商法第二百六十四條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百二十一條　商法第二百六十五條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百二十二條　商法第二百六十六條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百二十三條　商法第二百六十七條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合資會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二百二十四條　商法第二百六十八條

第六十條　法令ノ規定ニ依リ日本人ノミヲ以テ組織スヘキ株式會社及ヒ日本人ノミヲ以テ組織スルコトヲ條件トシテ特別ノ權利ヲ有スル株式會社ハ無記名式ノ株券ヲ發行スルコトヲ得ス若シ之ニ違反シタル株式會社ハ第一回ノ拂込アリタル後二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ拂込ミタル金額及ヒ商法第百七十三條第三號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第六十一條　商法第百六十三條ノ規定ハ株主總會カ商法施行前ニ決議ヲ爲シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス但同條第二項ノ規定ハ商法施行後ニ初メテ招集スル總會ニ付キ決議ヲ爲ス場合ニ之ヲ適用セス

第六十二條　商法第百六十三條ノ規定ハ株主總會カ商法施行前ニ決議ヲ爲シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス但同條第二項ノ期間ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第六十三條　商法第百六十七條但書ノ規定ハ商法施行前ニ選任シタル取締役及ヒ監査役ニハ之ヲ適用セス

第六十四條　商法施行前ニ選任シタル取締役又ハ監査役カ其禁治産ニ因リテ退任ス

第六十五條　商法施行前ニ選任シタル取締役ハ其施行ノ後遲滯ナク定款ニ定メタル員數ノ株券ヲ監査役ニ供託スルコトヲ要ス

第六十六條　商法施行前ニ設立シタル株式會社ニ於テ其施行後ニ株金ノ拂込アリタルトキハ取締役カ株金ノ拂込ヲ爲サシメサルトキハ第一回ノ拂込アリタル後二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ拂込ミタル金額及ヒ商法第百七十三條第三號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第六十七條　商法施行前ニ設立シタル株式會社ノ取締役ハ其施行ノ後遲滯ナク社債ノ總額及ヒ其償還ノ方法ヲ社債原簿ニ記載スルコトヲ要ス

第六十八條　株式會社カ商法施行前ニ其資本ノ半額ヲ失ヒタル場合ニ於テハ取締役ハ商法施行ノ後遲滯ナク株主總會ヲ招集シテ之ニ報告スルコトヲ要ス

株式會社カ商法施行前ニ債券發行ノ認許ヲ得タル場合ニハ之ヲ適用セス

第七十九條　株式會社カ商法施行前ニ債券發行ノ認許ヲ得ス又ハ其認許ヲ得ルノ權利ヲ有スル株式會社ハ無記名式ノ株券ヲ發行スルコトヲ得ス若シ之ニ違反シタルトキハ其株券ハ無效トシ最後ノ記名株主ヲ以テ株主トス

第七十條　商法第百七十五條ノ規定ハ商法施行前ニ選任シタル取締役ニハ之ヲ適用セス

第七十一條　舊商法第百八十九條ノ規定ハ商法施行前ニ選任シタル取締役ニハ之ヲ適用ス

第七十二條　商法施行前ニ舊商法第二百二十八條又ハ第二百二十九條ノ規定ニ依リテ提起シタル訴ニハ商法ノ規定ヲ適用セス

第七十三條　商法施行前ニ選任シタル監査役カ其任期カ一年ヨリ長キトキト雖モ其任期間在任ス

第七十四條　商法第百九十條ニ掲ケタル書類ハ商法施行前ニ總會招集ノ通知ヲ發シタル場合ニ限リ會日マテニ之ヲ提出スルヲ以テ足ル

第七十五條　商法第百九十六條ノ規定ハ商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル株券及ヒ假株券ハ商法第百四十八條又ハ第二百十八條ノ規定ニ違フモ之ヲ改ムルコトヲ要セス但商法施行後ニ株金ノ拂込ヲ爲シタル場合ニ於テハ前ニ拂込ミタル金額ヲ假株券ニ記載スルコトヲ要ス

第七十六條　商法第百九十六條ノ規定ハ株式會社ニ於テ其施行ノ後遲滯ナク定款ニ定メタル員數ノ株券ヲ監査役ニ供託スルコトヲ要ス

第七十七條　商法施行前ニ發行シタル株券及ヒ假株券ハ商法第百四十八條又ハ第二百十八條ノ規定ニ違フモ之ヲ改ムルコトヲ要セス但商法施行後ニ株金ノ拂込ヲ爲シタル場合ニ於テハ前ニ拂込ミタル金額ヲ假株券ニ記載スルコトヲ要ス

第七十八條　舊商法第二百十二條乃至第二百十五條ノ規定ハ商法施行前ニ株金拂込ノ催告アリタル場合ニ限リ之ヲ適用ス

第七十九條　商法施行前ニ舊商法第二百十條乃至第二百十二條ノ規定ハ商法施行前ニ株式ヲ讓渡シタル者ニシテ舊商法第百八十二條ノ規定ニ依リ擔保義務ヲ負ヒタル場合ニ於テ未タ解散ノ決議ヲ爲ササルトキハ取締役ハ商法施行ノ後遲滯ナク株主ニ對シテ解散ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第八十七條　取締役カ前二條ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處セラル

第八十八條　株式會社ノ清算人ハ株主總會又ハ裁判所カ商法施行前ニ呉ヘタル訓示ヲ遵守スルコトヲ要ス

第八十九條　商法施行前ニ舊商法第二百四十二條ノ規定ニ依リテ選任シタル代人ハ商法施行ノ後ト雖モ其權限ヲ保有ス

第九十條　第三十三條ノ規定ハ商法施行前ニ解散シタル株式會社ニ之ヲ準用ス

第九十一條　第三十條、第三十條乃至第三十二條、第三十五條及ヒ第三十六條ノ規定ハ株式會社ニ之ヲ準用ス

第九十二條　商法施行前ニ日本ニ支店ヲ設ケタル外國會社ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ程ヲ設クルコトヲ得商法施行前ニ外國人カ日本ニ於テ設立シタル會社及ヒ組合ニ付キ亦同シ

第九十三條　商法施行前ニ舊法中會社ニ關スル制則ヲ適用スヘキ行爲アリタルトキハ商法施行ノ後ト雖モ其制則ヲ適用ス

第九十四條　【私設鐵道株式會社ニハ明治二十年勅令第十二號私設鐵道條例ノ改正ニ至ルマテ舊商法及ヒ其附屬法令中株式會社ニ關スル規定ヲ適用ス】

第九十五條乃至第百十六條　削除

第百十七條　明治十年第六十六號布告利息制限法第五條ノ規定ハ商事ニハ之ヲ適用セス

第百十八條　商法施行前ニ設立シタル質權ノ實行ニ付テハ別段ノ意思表示アリタル場合ヲ除ク外競賣法ノ規定ヲ適用スル但取引所ノ相場アル有價證券其他ノ商品ニ在リテハ執達吏ノ競賣ニ於テ之ヲ賣却スルコトヲ得前項ノ規定ハ留置權者カ其留置物ヲ賣却スル場合ニモ之ヲ準用ス

第百十九條　商法施行前ニ發行シタル指圖證券及ヒ無記名證券ニハ本法ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外舊商法ノ規定ヲ適用ス

第百二十條　【明治十九年法律第二號公證人規則】第二十八條ノ規定ハ公證人カ拒絕證書ヲ作ル場合ニハ之ヲ適用セス

第百二十一條　湖川、港灣及ヒ沿岸小航海ノ範圍ハ遞信大臣之ヲ定ム

第百二十二條　【明治十九年法律第二號】第二十三條　手形ノ所持人ノ利益ニ對スル償還請求權ハ支拂拒絕證書ノ作成カ商法施行前ニ在リテハ支拂拒絕證書ノ作成カ商法施行後ニ在リテハ支拂ノ日ヨリ六箇月ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第百二十三條　前條ノ規定ハ商法施行前ニ生シタル原因ニ基キ爲替手形ノ引受人又ハ約束者ニ對スル償還請求權ニモ之ヲ適用ス

第百二十四條　【明治十九年法律第二號】公證人規則】第二十八條ノ規定ハ公證人カ拒絕證書ヲ作ル場合ニハ之ヲ適用セス

第百二十五條　削除

第百二十六條　外國ニ於テ爲シタル手形行爲ノ要件ハ行爲地ノ法律ニ依ル

前項ノ規定ニ違ハラス外國ニ於テ爲シタル手形行爲カ日本ノ法律ニ定メタル要件ヲ具備セサルトキト雖モ爾後日本ニ於テ爲シタル手形行爲ハ有效トス日本人カ外國ニ於テ爲シタル手形行爲カ日本人ニ對シテ爲シタル手形行爲カ日本ノ法律ニ定メタル要件ヲ具備シタルトキハ外國ニ於テ手形上ノ權利ヲ行使又ハ保全スル爲メニ爲ス行爲ノ方式ハ行爲地ノ法律ニ依ル

第百二十七條　商法第五百五十二條第三項ノ規定ハ商法施行前ニ會社財產ヲ以テ會社ノ債務ヲ完濟スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テハ取締役ハ商法施行ノ後遲滯ナク破產宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第六十九條　取締役カ前三條ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處セラル

第七十條　商法施行前ニ設立シタル株式會社ニ於テ株式ノ金額カ商法第百四十五條第二項ノ規定ニ反スルモ舊商法及ヒ舊商法施行條例ノ規定ニ反セサル場合ニ於テハ定款ノ定ムル所ニ依ルコトヲ得商法施行後ニ新株ヲ發行スルトキ亦同シ

前項ノ規定ハ商法施行後ニ株式ノ金額ヲ變更スル場合ニハ之ヲ適用セス

第七十一條　商法中株券ニ關スル規定ハ商法施行前ニ發行シタル假株券ニモ亦之ヲ適用ス

第七十二條　商法施行前ニ發行シタル株券及ヒ假株券ハ商法第百四十八條又ハ第二百十八條ノ規定ニ違フモ之ヲ改ムルコトヲ要セス但商法施行後ニ株金ノ拂込ヲ爲シタル場合ニ於テハ前ニ拂込ミタル金額ヲ假株券ニ記載スルコトヲ要ス

第七十三條　舊商法第二百十二條乃至第二百十五條ノ規定ハ商法施行前ニ株金拂込ノ催告アリタル場合ニ限リ之ヲ適用ス

第七十四條　舊商法第二百十三條第二項乃至第四項ノ規定ハ商法施行前ニ株式ヲ讓渡シタル者ニシテ舊商法第百八十二條ノ規定ニ依リ擔保義務ヲ負ヒタル場合ニ於テ未タ解散ノ決議ヲ爲ササルトキハ取締役ハ商法施行ノ後遲滯ナク株主ニ對シテ解散ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第七十五條　商法施行前ニ會社財產ヲ以テ會社ノ債務ヲ完濟スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テハ取締役ハ商法施行ノ後遲滯ナク破產宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第七十六條　取締役カ前三條ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處セラル

第七十七條　商法施行前ニ設立シタル株式會社ニ於テ株式ノ金額カ商法第百四十五條第二項ノ規定ニ反スルモ舊商法及ヒ舊商法施行條例ノ規定ニ反セサル場合ニ於テハ定款ノ定ムル所ニ依ルコトヲ得商法施行後ニ新株ヲ發行スルトキ亦同シ

前項ノ規定ハ商法施行後ニ株式ノ金額ヲ變更スル場合ニハ之ヲ適用セス

第七十八條　商法中株券ニ關スル規定ハ商法施行前ニ發行シタル假株券ニモ亦之ヲ適用ス

第七十九條　商法施行前ニ發行シタル株券及ヒ假株券ハ商法第百四十八條又ハ第二百十八條ノ規定ニ違フモ之ヲ改ムルコトヲ要セス但商法施行後ニ株金ノ拂込ヲ爲シタル場合ニ於テハ前ニ拂込ミタル金額ヲ假株券ニ記載スルコトヲ要ス

第八十條　舊商法第二百十三條乃至第二百十五條ノ規定ハ商法施行前ニ株金拂込ノ催告アリタル場合ニ限リ之ヲ適用ス

第八十一條　舊商法第二百十條乃至第二百十二條ノ規定ハ商法施行前ニ株式ヲ讓渡シタル者ニシテ舊商法第百八十二條ノ規定ニ依リ擔保義務ヲ負ヒタル場合ニ於テ未タ解散ノ決議ヲ爲ササルトキハ取締役ハ商法施行ノ後遲滯ナク株主ニ對シテ解散ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第八十二條　取締役カ前二條ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處セラル

第八十三條　商法施行前ニ舊商法第二百二十八條又ハ第二百二十九條ノ規定ニ依リテ提起シタル訴ニハ商法ノ規定ヲ適用セス

第八十四條　商法第百九十條ニ掲ケタル書類ハ商法施行前ニ總會招集ノ通知ヲ發シタル場合ニ限リ會日マテニ之ヲ提出スルヲ以テ足ル

第八十五條　商法第百九十六條ノ規定ハ商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル株券及ヒ假株券ニモ亦之ヲ適用ス但商法施行後ニ株金ノ拂込ヲ爲シタル場合ニ於テハ前ニ拂込ミタル金額ヲ假株券ニ記載スルコトヲ要ス

第八十六條　商法第百九十六條ノ規定ハ株式會社ニ於テ其施行ノ後遲滯ナク定款ニ定メタル員數ノ株券ヲ監査役ニ供託スルコトヲ要ス

第八十七條　商法施行前ニ發行シタル株券及ヒ假株券ハ商法第百四十八條又ハ第二百十八條ノ規定ニ違フモ之ヲ改ムルコトヲ要セス但商法施行後ニ株金ノ拂込ヲ爲シタル場合ニ於テハ前ニ拂込ミタル金額ヲ假株券ニ記載スルコトヲ要ス

第八十八條　舊商法第二百十二條乃至第二百十五條ノ規定ハ商法施行前ニ株金拂込ノ催告アリタル場合ニ限リ之ヲ適用ス

第八十九條　商法施行前ニ舊商法第二百十條乃至第二百十二條ノ規定ハ商法施行前ニ株式ヲ讓渡シタル者ニシテ舊商法第百八十二條ノ規定ニ依リ擔保義務ヲ負ヒタル場合ニ於テ未タ解散ノ決議ヲ爲ササルトキハ取締役ハ商法施行ノ後遲滯ナク株主ニ對シテ解散ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第九十條　商法施行前ニ選任シタル船舶管理人ニモ亦之ヲ適用ス

第九十一條　商法第百五十三條ノ規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ選任シタル船舶管理人ニモ亦之ヲ適用ス

第九十二條　商法第百五十六條ノ規定ハ商法施行前ニ爲シタル船舶ノ賃貸借ニモ亦之ヲ適用ス

第九十三條　商法第五百五十八條乃至第五百六十八條及ヒ第五百七十條乃至第五百七十四條ノ規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ選任シタル船長ニモ亦之ヲ適用ス

第九十四條　商法第五百六十二條第一項第二號乃至第四號ノ規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ舊商法第百八十四條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル保險契約ニ付テモ被保險者ハ商法ノ規定ニ從ヒテ委付ヲ爲スコトヲ得

第九十五條　船舶ノ存否カ商法施行ノ日ヨリ六箇月間分明ナラサルトキハ未タ舊商法第九百六十六條第一項ノ期間ヲ經過セサルトキト雖モ其船舶ハ行方ノ知レサルモノト看做ス

第九十六條　商法施行ノ際舊商法第九百六十九條第一項ニ定メタル三日ノ期間カ未タ滿了ニ至ラサルトキハ商法施行ノ日ヨリ三个月内ニ商法第六百七十四條ニ定メタル通知ヲ發シ委付ヲ爲スコトヲ得

第九十七條　船舶ノ先取特權ニ關スル商法ノ規定ハ其施行前ニ發生シタル債權ニ付テモ亦之ヲ適用ス

第九十八條　第三十三條ノ規定ハ商法第六百八十四條第一項ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告ニ之ヲ準用ス

第九十九條　船舶ノ抵當權ニ關スル商法ノ規定ハ商法施行前ニ設定シタル抵當權ニモ亦之ヲ適用ス

第百條　民法施行法第二條、第三條、第百三十七條、第三十一條、第三十三條、第三十四條、第五十三條及ヒ第五十六條ノ規定ハ商事ニモ之ヲ準用ス

第百一條　商法施行前ニ發行シタル指圖證券及ヒ無記名證券ニハ本法ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外舊商法ノ規定ヲ適用ス

第百二條　商法施行前ニ會社財產ヲ以テ會社ノ債務ヲ完濟スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テハ取締役ハ商法施行ノ後遲滯ナク破產宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第百三條　商法第五百十三條ノ規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ選任シタル船舶管理人ニモ亦之ヲ適用ス

第百四條　商法第五百五十六條ノ規定ハ商法施行前ニ爲シタル船舶ノ賃貸借ニモ亦之ヲ適用ス

第百五條　商法第五百五十八條乃至第五百六十條及ヒ第五百七十四條ノ規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ選任シタル船長ニモ亦之ヲ適用ス

第百六條　商法第五百六十二條第一項第二號乃至第四號ノ規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ舊商法第百八十四條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル保險契約ニ付テモ被保險者ハ商法ノ規定ニ從ヒテ委付ヲ爲スコトヲ得

第百七條　船舶ノ存否カ商法施行ノ日ヨリ六箇月間分明ナラサルトキハ未タ舊商法第九百六十六條第一項ノ期間ヲ經過セサルトキト雖モ其船舶ハ行方ノ知レサルモノト看做ス

第百八條　商法施行ノ際舊商法第九百六十九條第一項ニ定メタル三日ノ期間カ未タ滿了ニ至ラサルトキハ商法施行ノ日ヨリ三个月内ニ商法第六百七十四條ニ定メタル通知ヲ發シ委付ヲ爲スコトヲ得

第百九條　船舶ノ先取特權ニ關スル商法ノ規定ハ其施行前ニ發生シタル債權ニ付テモ亦之ヲ適用ス

第百十條　第三十三條ノ規定ハ商法第六百八十四條第一項ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告ニ之ヲ準用ス

第百十一條　船舶ノ抵當權ニ關スル商法ノ規定ハ商法施行前ニ設定シタル抵當權ニモ亦之ヲ適用ス

第百十二條　民法施行法第二條、第三條、第百三十七條、第三十一條、第三十三條、第五十三條及ヒ第五十六條ノ規定ハ商事ニモ之ヲ準用ス

第百十三條　商法施行前ニ發行シタル指圖證券及ヒ無記名證券ニハ本法ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外舊商法ノ規定ヲ適用ス

第百十四條　商法施行前ニ會社財產ヲ以テ會社ノ債務ヲ完濟スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テハ取締役ハ商法施行ノ後遲滯ナク破產宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第百十五條　商法第五百五十二條第三項ノ規定ハ商法施行前ニ會社財產ヲ以テ會社ノ債務ヲ完濟スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テハ取締役ハ商法施行ノ後遲滯ナク破產宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第百十六條　商法第五百六十二條第一項第二號乃至第四號ノ規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ舊商法第百八十四條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル保險契約ニ付テモ被保險者ハ商法ノ規定ニ從ヒテ委付ヲ爲スコトヲ得

第百十七條　船舶ノ存否カ商法施行ノ日ヨリ六箇月間分明ナラサルトキハ未タ舊商法第九百六十六條第一項ノ期間ヲ經過セサルトキト雖モ其船舶ハ行方ノ知レサルモノト看做ス

第百十八條　商法施行ノ際舊商法第九百六十九條第一項ニ定メタル三日ノ期間カ未タ滿了ニ至ラサルトキハ商法施行ノ日ヨリ三个月内ニ商法第六百七十四條ニ定メタル通知ヲ發シ委付ヲ爲スコトヲ得

第百十九條　船舶ノ先取特權ニ關スル商法ノ規定ハ其施行前ニ發生シタル債權ニ付テモ亦之ヲ適用ス

第百二十條　第三十三條ノ規定ハ商法第六百八十四條第一項ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告ニ之ヲ準用ス

第百二十一條　船舶ノ抵當權ニ關スル商法ノ規定ハ商法施行前ニ設定シタル抵當權ニモ亦之ヲ適用ス

第百二十二條　民法施行法第二條、第三條、第百三十七條、第三十一條、第三十三條、第五十三條及ヒ第五十六條ノ規定ハ商事ニモ之ヲ準用ス

第百二十三條　商法施行前ニ發行シタル指圖證券及ヒ無記名證券ニハ本法ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外舊商法ノ規定ヲ適用ス

第百二十四條　【明治十九年法律第二號公證人規則】第二十八條ノ規定ハ公證人カ拒絕證書ヲ作ル場合ニハ之ヲ適用セス

第百二十五條　削除

第百二十六條　外國ニ於テ爲シタル手形行爲ノ要件ハ行爲地ノ法律ニ依ル

前項ノ規定ニ違ハラス外國ニ於テ爲シタル手形行爲カ日本ノ法律ニ定メタル要件ヲ具備セサルトキト雖モ爾後日本ニ於テ爲シタル手形行爲ハ有效トス日本人カ外國ニ於テ爲シタル手形行爲カ日本人ニ對シテ爲シタル手形行爲カ日本ノ法律ニ定メタル要件ヲ具備シタルトキハ外國ニ於テ手形上ノ權利ヲ行使又ハ保全スル爲メニ爲ス行爲ノ方式ハ行爲地ノ法律ニ依ル

第百二十七條　商法第五百五十二條第三項ノ規定ハ商法施行前ニ會社財產ヲ以テ會社ノ債務ヲ完濟スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テハ取締役ハ商法施行ノ後遲滯ナク破產宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十八條　商法第五百六十二條第一項第二號乃至第四號ノ規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ舊商法第百八十四條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル保險契約ニ付テモ被保險者ハ商法ノ規定ニ從ヒテ委付ヲ爲スコトヲ得

第百二十九條　船舶ノ存否カ商法施行ノ日ヨリ六箇月間分明ナラサルトキハ未タ舊商法第九百六十六條第一項ノ期間ヲ經過セサルトキト雖モ其船舶ハ行方ノ知レサルモノト看做ス

第百三十條　商法第五百六十六條ノ規定ハ商法施行前ニ爲シタル船舶ノ賃貸借ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十一條　商法第五百五十三條ノ規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ選任シタル船舶管理人ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十二條　商法第五百五十四條ノ規定ハ商法施行前ニ爲シタル船舶ノ賃貸借ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十三條　商法施行ノ際舊商法第九百六十九條第一項ニ定メタル三日ノ期間カ未タ滿了ニ至ラサルトキハ商法施行ノ日ヨリ三个月内ニ商法第六百七十四條ニ定メタル通知ヲ發シ委付ヲ爲スコトヲ得

第百三十四條　船舶ノ先取特權ニ關スル商法ノ規定ハ其施行前ニ發生シタル債權ニ付テモ亦之ヲ適用ス

第百三十五條　第三十三條ノ規定ハ商法第六百八十四條第一項ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告ニ之ヲ準用ス

第百三十六條　船舶ノ抵當權ニ關スル商法ノ規定ハ商法施行前ニ設定シタル抵當權ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十七條　民法施行法第二條、第三條、第百三十七條、第三十一條、第三十三條、第五十三條及ヒ第五十六條ノ規定ハ商事ニモ之ヲ準用ス

附則

第百三十八條　本法ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（明治三十二年六月十六日ヨリ施行）

第百三十九條　商法施行條例ハ之ヲ廢止ス但同條例第二十一條乃至第二十三條及第五十一條ノ規定ハ舊商法ノ規定ニ依ルヘキ場合ニ於テハ仍其ノ效力ヲ有ス

●商法中署名スヘキ場合ニ關スル件

明治三十三年二月
法律第十七號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル商法中署名スヘキ場合ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

商法中署名スヘキ場合ニ於テハ記名捺印ヲ以テ署名ニ代フルコトヲ得

●手形法

昭和七年七月
法律第二十號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル手形法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

手形法

第一編　爲替手形

第一章　爲替手形ノ振出及方式

第一條　爲替手形ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　證券ノ文言中ニ其ノ證券ノ作成ニ用ヰラルル語ヲ以テ記載スル爲替手形ナルコトヲ示ス文字

二　一定ノ金額ヲ支拂フヘキ旨ノ單純ナル委託

三　支拂ヲ爲スヘキ者（支拂人）ノ名稱

四　滿期ノ表示

五　支拂ヲ爲スヘキ地ノ表示

六　支拂ヲ受ケ又ハ之ヲ受ケル者ヲ指圖スル者ノ名稱

七　手形ヲ振出ス日及地ノ表示

八　手形ヲ振出ス者（振出人）ノ署名

第二條　前條ニ掲ケル事項ノ何レカヲ缺ク證券ハ爲替手形タル效力ヲ有セズ但次ノ數項ニ規定スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

滿期ノ記載ナキ爲替手形ハ之ヲ一覽拂ノモ

トキハ本人ト同一ノ權利ヲ有ス權限ヲ超エタル代理人ニ付亦同ジ

第九條　振出人ハ引受及支拂ヲ擔保ス

振出人ハ引受ヲ擔保セザル旨ヲ記載スルコトヲ得支拂ヲ擔保セザル旨ノ一切ノ文言ハ之ヲ記載セザルモノト看做ス

第十條　未完成ニテ振出シタル爲替手形ニ強メ爲シタル合意ト異補充ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ違反ハ之ヲ以テ所持人ニ對抗スルコトヲ得ズ但シ所持人ガ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ爲替手形ヲ取得シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二章　裏書

第十一條　爲替手形ハ指圖式ニテ振出サザルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

振出人ガ爲替手形ニ「指圖禁止」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ヲ記載シタルトキハ其ノ證券ハ指名債權ノ讓渡ニ關スル方式ニ從ヒ且其ノ效力ヲ以テノミ之ヲ讓渡スコトヲ得

裏書ハ引受ヲ爲シタル又ハ爲サザル支拂人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得但シ裏書ハ單純ナルコトヲ要ス裏書ニ附シタル條件ハ之ヲ記載セザルモノト看做ス

一部ノ裏書ハ之ヲ無效トス

持參人拂ノ裏書ハ白地式裏書ト同一ノ效力ヲ有ス

第十二條　裏書ハ單純ナルコトヲ要ス裏書ニ附シタル條件ハ之ヲ記載セザルモノト看做ス

第十三條　裏書ハ爲替手形又ハ之ト結合シタル紙片（補箋）ニ之ヲ記載シ裏書人署名スルコトヲ要ス

裏書ハ被裏書人ヲ指定セズシテ之ヲ爲シ又ハ單ニ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得（白地式裏書）此ノ後ノ場合ニ於テハ裏書ハ爲替手形ノ裏面又ハ補箋ニ之ヲ爲ス

第十四條　裏書ハ爲替手形ヨリ生ズル一切ノ權利ヲ移轉ス

裏書ガ白地式ナルトキハ所持人ハ

第十九條　裏書ニ「擔保ノ爲」、「質入ノ爲」其ノ他實權ノ設定ヲ示ス文言アルトキハ所持人ハ爲替手形ヨリ生ズル一切ノ權利ヲ行使スルコトヲ得但シ所持人ノ爲シタル裏書ハ代理ノ爲ノ裏書トシテノ效力ノミヲ有ス

債務者ハ裏書人ニ對スル人的關係ニ基ク抗辯ヲ以テ所持人ニ對抗スルコトヲ得ズ但シ所持人ガ其ノ債務者ヲ害スルコトヲ知リテ手形ヲ取得シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條　滿期後ノ裏書ハ滿期前ノ裏書ト同一ノ效力ヲ有ス但シ支拂拒絕證書作成後ノ裏書又ハ支拂拒絕證書作成期間經過後ノ裏書ハ指名債權ノ讓渡ノ效力ノミヲ有ス

日附ノ記載ナキ裏書ハ支拂拒絕證書作成期間經過前ニ之ヲ爲シタルモノト推定ス

第三章　爲替手形ノ所持人

第二十一條　爲替手形ノ所持人又ハ單ナル占有者ハ滿期ニ至ル迄引受ノ爲支拂人ニ其ノ住所ニ於テ之ヲ呈示スルコトヲ得

第二十二條　振出人ハ爲替手形ニ期間ヲ定メ又ハ定メズシテ引受ノ爲之ヲ呈示スベキ旨ヲ記載スルコトヲ得

振出人ガ爲替手形ニ「指圖禁止」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ヲ記載シタルトキハ其ノ證券ハ指名債權ノ讓渡ニ關スル方式ニ從ヒ且其ノ效力ヲ以テノミ之ヲ讓渡スコトヲ得

振出人ハ引受ノ爲シタル又ハ爲サザル支拂人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得但シ裏書ハ單純ナルコトヲ要ス裏書ニ附シタル條件ハ之ヲ記載セザルモノト看做ス

一部ノ裏書ハ之ヲ無效トス

持參人拂ノ裏書ハ白地式裏書ト同一ノ效力ヲ有ス

第十三條　裏書ハ爲替手形又ハ之ト結合シタル紙片（補箋）ニ之ヲ記載シ裏書人署名スルコトヲ要ス

裏書ハ被裏書人ヲ指定セズシテ之ヲ爲シ又ハ單ニ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得（白地式裏書）此ノ後ノ場合ニ於テハ裏書ハ爲替手形ノ裏面又ハ補箋ニ之ヲ爲ス

第十四條　裏書ハ爲替手形ヨリ生ズル一切ノ權利ヲ移轉ス

裏書ガ白地式ナルトキハ所持人ハ

第十九條　裏書ニ「擔保ノ爲」、「質入ノ爲」其ノ他實權ノ設定ヲ示ス文言アルトキハ所持人ハ爲替手形ヨリ生ズル一切ノ權利ヲ行使スルコトヲ得但シ所持人ノ爲シタル裏書ハ代理ノ爲ノ裏書トシテノ效力ノミヲ有ス

債務者ハ裏書人ニ對スル人的關係ニ基ク抗辯ヲ以テ所持人ニ對抗スルコトヲ得ズ但シ所持人ガ其ノ債務者ヲ害スルコトヲ知リテ手形ヲ取得シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條　滿期後ノ裏書ハ滿期前ノ裏書ト同一ノ效力ヲ有ス但シ支拂拒絕證書作成後ノ裏書又ハ支拂拒絕證書作成期間經過後ノ裏書ハ指名債權ノ讓渡ノ效力ノミヲ有ス

日附ノ記載ナキ裏書ハ支拂拒絕證書作成期間經過前ニ之ヲ爲シタルモノト推定ス

第三章　爲替手形ノ所持人

第二十一條　爲替手形ノ所持人又ハ單ナル占有者ハ滿期ニ至ル迄引受ノ爲支拂人ニ其ノ住所ニ於テ之ヲ呈示スルコトヲ得

第二十二條　振出人ハ爲替手形ニ期間ヲ定メ又ハ定メズシテ引受ノ爲之ヲ呈示スベキ旨ヲ記載スルコトヲ得

振出人ガ爲替手形ニ「指圖禁止」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ヲ記載シタルトキハ其ノ證券ハ指名債權ノ讓渡ニ關スル方式ニ從ヒ且其ノ效力ヲ以テノミ之ヲ讓渡スコトヲ得

裏書ハ引受ヲ爲シタル又ハ爲サザル支拂人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得但シ裏書ハ單純ナルコトヲ要ス裏書ニ附シタル條件ハ之ヲ記載セザルモノト看做ス

一部ノ裏書ハ之ヲ無效トス

持參人拂ノ裏書ハ白地式裏書ト同一ノ效力ヲ有ス

第十三條　裏書ハ爲替手形又ハ之ト結合シタル紙片（補箋）ニ之ヲ記載シ裏書人署名スルコトヲ要ス

裏書ハ被裏書人ヲ指定セズシテ之ヲ爲シ又ハ單ニ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得（白地式裏書）此ノ後ノ場合ニ於テハ裏書ハ爲替手形ノ裏面又ハ補箋ニ之ヲ爲ス

第十四條　裏書ハ爲替手形ヨリ生ズル一切ノ權利ヲ移轉ス

裏書ガ白地式ナルトキハ所持人ハ

第十九條　裏書ニ「擔保ノ爲」、「質入ノ爲」其ノ他實權ノ設定ヲ示ス文言アルトキハ所持人ハ爲替手形ヨリ生ズル一切ノ權利ヲ行使スルコトヲ得但シ所持人ノ爲シタル裏書ハ代理ノ爲ノ裏書トシテノ效力ノミヲ有ス

債務者ハ裏書人ニ對スル人的關係ニ基ク抗辯ヲ以テ所持人ニ對抗スルコトヲ得ズ但シ所持人ガ其ノ債務者ヲ害スルコトヲ知リテ手形ヲ取得シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條　滿期後ノ裏書ハ滿期前ノ裏書ト同一ノ效力ヲ有ス但シ支拂拒絕證書作成後ノ裏書又ハ支拂拒絕證書作成期間經過後ノ裏書ハ指名債權ノ讓渡ノ效力ノミヲ有ス

日附ノ記載ナキ裏書ハ支拂拒絕證書作成期間經過前ニ之ヲ爲シタルモノト推定ス

第三章　爲替手形ノ所持人

第二十一條　爲替手形ノ所持人又ハ單ナル占有者ハ滿期ニ至ル迄引受ノ爲支拂人ニ其ノ住所ニ於テ之ヲ呈示スルコトヲ得

第二十二條　振出人ハ爲替手形ニ期間ヲ定メ又ハ定メズシテ引受ノ爲之ヲ呈示スベキ旨ヲ記載スルコトヲ得

振出人ガ爲替手形ニ「指圖禁止」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ヲ記載シタルトキハ其ノ證券ハ指名債權ノ讓渡ニ關スル方式ニ從ヒ且其ノ效力ヲ以テノミ之ヲ讓渡スコトヲ得

裏書ハ引受ヲ爲シタル又ハ爲サザル支拂人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得但シ裏書ハ單純ナルコトヲ要ス裏書ニ附シタル條件ハ之ヲ記載セザルモノト看做ス

一部ノ裏書ハ之ヲ無效トス

持參人拂ノ裏書ハ白地式裏書ト同一ノ效力ヲ有ス

第十三條　裏書ハ爲替手形又ハ之ト結合シタル紙片（補箋）ニ之ヲ記載シ裏書人署名スルコトヲ要ス

裏書ハ被裏書人ヲ指定セズシテ之ヲ爲シ又ハ單ニ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得（白地式裏書）此ノ後ノ場合ニ於テハ裏書ハ爲替手形ノ裏面又ハ補箋ニ之ヲ爲ス

第十四條　裏書ハ爲替手形ヨリ生ズル一切ノ權利ヲ移轉ス

裏書ガ白地式ナルトキハ所持人ハ

セラレタルトキニ限リ之ニ應ズル呈示ナカリシコトヲ主張スルコトヲ得

所持人ハ引受ノ爲ニ呈示シタル手形ヲ支拂人ニ交付スルコトヲ要セズ

第二十五條　引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載スベシ引受ハ「引受」其ノ他之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ以テ表示シ支拂人署名スベシ手形ノ表面ニ爲シタル支拂人ノ單ナル署名ハ之ヲ引受ト看做ス

一覽後定期拂ノ手形又ハ一覽後定期拂ノ爲替手形ハ引受ノ爲ニ呈示スルコトヲ要ス

第二十六條　引受ハ單純ナルベシ但シ支拂人ハ之ヲ手形金額ノ一部ニ制限スルコトヲ得

引受ニ依リ爲替手形ノ記載事項ニ加ヘタル他ノ變更ハ引受ノ拒絕タル效力ヲ有ス但シ引受人ハ其ノ引受ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第二十七條　振出人ガ支拂人ノ住所地ト異ル支拂地ヲ爲替手形ニ記載シタル場合ニ於テハ第三者ヲ定メテ支拂ヲ爲スベキ旨ヲ定メザリシトキハ引受人ハ支拂地ニ於テ自ラ支拂ヲ爲ス義務ヲ負ヒタルモノト看做ス

手形ガ支拂人ノ住所ニ於テ支拂フベキモノナルトキハ支拂人ハ引受ニ於テ支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ定ムルコトヲ得

第二十八條　支拂人ハ引受ニ因リ滿期ニ於テ爲替手形ノ支拂ヲ爲ス義務ヲ負フ

支拂ナキ場合ニ於テハ所持人ハ第四十八條及第四十九條ノ規定ニ依リテ請求スルコトヲ得ベキ一切ノ金額ニ付引受人ニ對シ爲替手形ヨリ生ズル直接ノ請求權ヲ有ス所持人

ガ振出人ナルトキニ限リ之ニ應ズル呈示ナカリシコトヲ主張スルコトヲ得

第二十九條　爲替手形ニ引受ヲ記載シタル支拂人ガ其ノ手形ノ返還前ニ之ヲ抹消シタルトキハ引受ヲ拒ミタルモノト看做ス抹消ハ證券ノ返還前ニ之ヲ爲シタルモノト推定ス

前項ノ規定ニ拘ラズ支拂人ガ書面ヲ以テ所持人又ハ手形ニ署名シタル者ニ引受ノ通知ヲ爲シタルトキハ此等ノ者ニ對シ引受ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第四章　保證

第三十條　爲替手形ノ支拂ハ其ノ金額ノ全部又ハ一部ニ付保證ニ依リ之ヲ擔保スルコトヲ得

第三者ハ前項ノ保證ヲ爲スコトヲ得手形ニ署名シタル者ト雖モ亦同ジ

第三十一條　保證ハ爲替手形又ハ補箋ニ之ヲ爲スベシ

保證ハ「保證」其ノ他之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ以テ表示シ保證人署名スベシ

爲替手形ノ表面ニ爲シタル單ナル署名ハ之ヲ保證ト看做ス但シ支拂人又ハ振出人ノ署名ハ此ノ限ニ在ラズ

保證ニハ何人ノ爲ニ之ヲ爲スカヲ表示スルコトヲ要ス其ノ表示ナキトキハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十二條　保證人ハ保證セラレタル者ト同一ノ責任ヲ負フ

保證ハ其ノ擔保シタル債務ガ方式ノ瑕疵ヲ除キ他ノ如何ナル事由ニ因リテ無效ナルトキト雖モ之ヲ有效トス

保證人ガ爲替手形ニ付テハ滿期ノ日ハ支拂地ノ曆ニ依リテ之ヲ定メタルモノト看做ス

曆ヲ異ニスル二地ノ間ニ振出シタル爲替手形ガ日附後定期拂ナルトキハ振出ノ日ヲ支拂地ノ曆ノ應當日ニ換ヘ之ニ依リテ滿期ヲ定ム

爲替手形ノ呈示期間ハ前項ノ規定ニ從ヒテ之ヲ計算ス

前三項ノ規定ハ爲替手形ノ文言又ハ證券ノ

前項ト異ル滿期又ハ分割拂ノ爲替手形ハ之ヲ無效トス

第三十四條　一覽拂ノ爲替手形ハ呈示アリタルトキ之ヲ支拂フベキモノトス此ノ手形ハ其ノ日附ヨリ一年內ニ支拂ノ爲之ヲ呈示スルコトヲ要ス振出人ハ此ノ期間ヲ短縮シ又ハ伸長スルコトヲ得裏書人ハ此等ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

振出人ハ一定ノ期日ニ一覽拂ノ爲替手形ヲ支拂ノ爲呈示スルコトヲ得ザル旨ヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ呈示ノ期間ハ其ノ期日ヨリ始マル

第三十五條　一覽後定期拂ノ爲替手形ノ滿期ハ引受ノ日附又ハ拒絕證書ノ日附ニ依リテ之ヲ定ム

拒絕證書アラザル場合ニ於テハ日附ナキ引受ハ引受人ニ對スル遡求權ヲ保全スル爲ニハ適法ノ時期ニ作ラシメタル拒絕證書ニ依リ其ノ記載ナカリシコトヲ證スルコトヲ要ス

第三十六條　引受ヲ單純ナルベシ但シ支拂人ハ之ヲ手形金額ノ一部ニ制限スルコトヲ得

引受ニ依リ爲替手形ノ記載事項ニ加ヘタル他ノ變更ハ引受ノ拒絕タル效力ヲ有ス但シ引受人ハ其ノ引受ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第二十七條　振出人ガ支拂人ノ住所地ト異ル支拂地ヲ爲替手形ニ記載シタル場合ニ於テハ第三者ヲ定メテ支拂ヲ爲スベキ旨ヲ定メザリシトキハ引受人ハ支拂地ニ於テ自ラ支拂ヲ爲ス義務ヲ負ヒタルモノト看做ス

手形ガ支拂人ノ住所ニ於テ支拂フベキモノナルトキハ支拂人ハ引受ニ於テ支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ定ムルコトヲ得

第二十八條　支拂人ハ引受ニ因リ滿期ニ於テ爲替手形ノ支拂ヲ爲ス義務ヲ負フ

支拂ナキ場合ニ於テハ所持人ハ第四十八條及第四十九條ノ規定ニ依リテ請求スルコトヲ得ベキ一切ノ金額ニ付引受人ニ對シ爲替手形ヨリ生ズル直接ノ請求權ヲ有ス所持人

ガ振出人ナルトキト雖モ亦同ジ

第二十九條　爲替手形ニ引受ヲ記載シタル支拂人ガ其ノ手形ノ返還前ニ之ヲ抹消シタルトキハ引受ヲ拒ミタルモノト看做ス抹消ハ證券ノ返還前ニ之ヲ爲シタルモノト推定ス

前項ノ規定ニ拘ラズ支拂人ガ書面ヲ以テ所持人又ハ手形ニ署名シタル者ニ引受ノ通知ヲ爲シタルトキハ此等ノ者ニ對シ引受ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第四章　保證

第三十條　爲替手形ノ支拂ハ其ノ金額ノ全部又ハ一部ニ付保證ニ依リ之ヲ擔保スルコトヲ得

第三者ハ前項ノ保證ヲ爲スコトヲ得手形ニ署名シタル者ト雖モ亦同ジ

第三十一條　保證ハ爲替手形又ハ補箋ニ之ヲ爲スベシ

保證ハ「保證」其ノ他之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ以テ表示シ保證人署名スベシ

爲替手形ノ表面ニ爲シタル單ナル署名ハ之ヲ保證ト看做ス但シ支拂人又ハ振出人ノ署名ハ此ノ限ニ在ラズ

保證ニハ何人ノ爲ニ之ヲ爲スカヲ表示スルコトヲ要ス其ノ表示ナキトキハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十二條　保證人ハ保證セラレタル者ト同一ノ責任ヲ負フ

保證ハ其ノ擔保シタル債務ガ方式ノ瑕疵ヲ除キ他ノ如何ナル事由ニ因リテ無效ナルトキト雖モ之ヲ有效トス

保證人ガ爲替手形ニ付テハ滿期ノ日ハ支拂地ノ曆ニ依リテ之ヲ定メタルモノト看做ス

曆ヲ異ニスル二地ノ間ニ振出シタル爲替手形ガ日附後定期拂ナルトキハ振出ノ日ヲ支拂地ノ曆ノ應當日ニ換ヘ之ニ依リテ滿期ヲ定ム

爲替手形ノ呈示期間ハ前項ノ規定ニ從ヒテ之ヲ計算ス

前三項ノ規定ハ爲替手形ノ文言又ハ證券ノ

單ナル記載ニ依リ別段ノ意思ヲ知リ得ベキトキハ之ヲ適用セズ

第六章　支拂

第三十八條　確定日拂、日附後定期拂又ハ一覽後定期拂ノ爲替手形ノ所持人ハ支拂ヲ爲スベキ日又ハ之ニ次グ二取引日內ニ支拂ノ爲手形ヲ呈示スルコトヲ要ス

手形交換所ニ於ケル爲替手形ノ呈示ハ支拂ノ爲ノ呈示ト同一ノ效力ヲ有ス

第三十九條　爲替手形ノ支拂人ハ支拂ヲ爲スニ當リ所持人ニ對シ手形ニ受取ヲ證スル記載ヲ爲シテ之ヲ交付スベキコトヲ請求スルコトヲ得

第四十條　爲替手形ノ所持人ハ滿期前ニハ其ノ支拂ヲ受クルコトヲ要セズ

滿期前ニ支拂ヲ爲ス支拂人ハ自己ノ危險ニ於テ之ヲ爲スモノトス

滿期ニ於テ支拂ヲ爲ス者ハ惡意又ハ重大ナル過失ナキ限リ其ノ資ヲ免ル此ノ者ハ裏書ノ連續ノ整否ヲ調査スル義務アルモ裏書人ノ署名ヲ調査スル義務アラズ

第四十一條　支拂地ノ通貨ニ非ザル通貨ヲ以テ支拂フベキ旨ヲ記載シタル爲替手形ニ付テハ滿期ノ日ニ於ケル其ノ國ノ通貨ヲ以テ支拂ヲ爲スコトヲ得債務者ガ支拂ヲ遲滯シタルトキハ所持人ハ其ノ選擇ニ依リ滿期ノ日又ハ支拂ノ日ノ相場ニ從ヒ其ノ國ノ通貨ヲ以テ爲替手形ノ金額ヲ支拂フベキコトヲ請求スルコトヲ得

外國通貨ノ價格ハ支拂地ノ慣習ニ依リ之ヲ定ム但シ振出人ハ手形ニ定メタル換算率ニ依リ支拂金額ヲ計算スベキ旨ヲ記載スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ振出人ガ特種ノ通貨ヲ以テ支拂フベキ旨（外國通貨現實支拂文句）ヲ記載シタル場合ニハ之ヲ適用セズ

振出國ト支拂國トニ於テ同名異價ヲ有スル通貨ニ依リ爲替手形ノ金額ヲ定メタルトキ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ルコトナシ期間ノ不遵守ハ所持人ニ對シ之ヲ拂用スル者ニ於テ其ノ證明ヲ爲スコトヲ要ス

振出人ガ第一項ノ交言ヲ記載シタルトキハ一切ノ署名者ニ對シ其ノ效力ヲ生ズ裏書人又ハ保證人ガ之ヲ記載シタルトキハ其ノ裏書人又ハ保證人ニ對シテノミ其ノ效力ヲ生ズ振出人ガ此ノ文言ヲ記載シタルニ拘ラズ所持人ガ拒絕證書ヲ作ラシメタルトキハ拒絕證書ノ費用ニ付テノミ其ノ效力ヲ生ズ

振出人ガ第一項ノ文言ヲ記載シタルトキハ所持人ハ裏書人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對シ共ノ遡求權ヲ行フコトヲ得左ノ場合ニ於テハ滿期前ト雖モ亦同シ

一　引受ノ全部又ハ一部ノ拒絕アリタルトキ

二　引受ヲ爲シタル若ハ爲サザル支拂人ノ破產ノ場合、其ノ支拂停止ノ場合又ハ其ノ財產ニ對スル强制執行ガ效ヲ奏セザル場合

三　引受ノ爲ノ呈示ヲ禁ジタル手形ノ振出人ノ破產ノ場合

第四十四條　引受又ハ支拂ノ拒絕ハ公正證書（引受拒絕證書又ハ支拂拒絕證書）ニ依リ之ヲ證明スルコトヲ要ス

引受拒絕證書ハ引受ノ爲ノ呈示期間內ニ之ヲ作ラシムルコトヲ要ス第二十四條第一項ニ規定スル場合ニ於テ期間ノ末日ニ第一ノ呈示アリタルトキハ拒絕證書ハ其ノ翌日之ヲ作ラシムルコトヲ得

確定日拂、日附後定期拂又ハ一覽後定期拂ノ爲替手形ノ支拂拒絕證書ハ爲替手形ノ支拂ヲ爲スベキ日又ハ之ニ次グ二取引日內ニ之ヲ作ラシムルコトヲ要ス一覽拂ノ手形ノ支拂拒絕證書ハ引受拒絕證書ノ作成ニ關シテ前項ニ規定スル條件ニ從ヒ之ヲ作ラシムルコトヲ要ス

引受拒絕證書アルトキハ支拂ノ爲ノ呈示及支拂拒絕證書ヲ要セズ

引受ヲ爲シタル若ハ爲サザル支拂人ガ支拂ヲ停止シタル場合又ハ其ノ財產ニ對スル强制執行ガ效ヲ奏セザル場合ニ於テハ所持人ハ支拂人ニ對シ手形ノ支拂ノ爲ノ呈示ヲ爲シ且拒絕證書ヲ作ラシメタル後ニ非ザレバ其ノ參加ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ其ノ期間ニ通知ヲ發スベキ者ハ前項ノ期間內ニ通知ヲ爲サザル者ノ權利ヲ失フ但シ過失ニ因リテ生ジタル損害アルトキハ參加人ニ對シテ其ノ賠償ノ責ニ任ズ

第四十五條　振出人、裏書人又ハ保證人ハ豫メ引受ヲ爲スベキ者ヲ指定シテ手形ノ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十六條　所持人ハ拒絕證書ノ作成ヲ爲サザル者ハ其ノ前者ニ對シ滿期ノ日ニ於ケル支拂ヲ爲スベキ者ニ對シ又ハ其ノ前者ニ對シ滿期ノ日ニ於ケル支拂ヲ爲スベキ者ニ對シ遡求權ヲ行フコトヲ得

第四十七條　所持人ハ拒絕證書ノ作成ヲ爲サザル者ハ其ノ前者ニ對シ又ハ滿期ノ日ニ於ケル支拂ヲ爲スベキ者ニ對シ遡求權ヲ行フコトヲ得

第四十八條　所持人ハ遡求ヲ受クル者ニ對シ左ノ金額ヲ請求スルコトヲ得

一　引受又ハ支拂アラザリシ爲替手形ノ金額及利息ノ記載アルトキハ其ノ利息

二　年六分ノ率ニ依ル滿期以後ノ利息

三　拒絕證書ノ費用、通知ノ費用及其ノ他ノ費用

滿期前ニ遡求權ヲ行フトキハ割引ニ依リ手形金額ヲ減ズ其ノ割引ハ所持人ノ住所地ニ於ケル滿求ノ日ノ公定割引率（銀行率）ニ依リ之ヲ計算ス

第四十九條　爲替手形ヲ受戻シタル者ハ其ノ前者ニ對シ左ノ金額ヲ請求スルコトヲ得

一　其ノ支拂ヒタル總金額

二　前號ノ金額ニ對シ年六分ノ率ニ依リ計算シタル支拂ノ日以後ノ利息

三　其ノ支出シタル費用

第五十條　遡求ヲ受ケタル又ハ受クベキ債務者ハ支拂ト引換ニ拒絕證書、受取ヲ證スル記載ヲ爲シタル計算書及爲替手形ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

爲替手形ヲ受戻シタル裏書人ハ自己及後者ノ裏書ヲ抹消スルコトヲ得

第五十一條　一部引受ノ後ニ遡求權ヲ行フ場合ニ於テ引受アラザリシ手形金額ノ支拂ヲ爲ス者ハ其ノ支拂ノ旨ヲ手形ニ記載スルコト及受取證書ヲ交付スルコトヲ請求スルコトヲ得又所持人ハ爾後ノ遡求ヲ爲スコトヲ得ジムル爲手形ノ證明謄本及拒絕證書ヲ交付スルコトヲ要ス

第五十二條　遡求權ヲ有スル者ハ反對ノ記載ヲ爲シタル裏書人ハ自己及後者ノ裏書ヲ抹消スルコトヲ得

第五十三條　左ノ期間ガ經過シタルトキハ所持人ハ裏書人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對シ其ノ權利ヲ失フ但シ引受人ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

一　一覽拂又ハ一覽後定期拂ノ爲替手形ノ呈示期間

二　引受拒絕證書又ハ支拂拒絕證書ノ作成期間

三　無費用償還文句アル場合ニ於ケル支拂

爲替手形ノ爲ノ呈示期間

振出人ノ記載シタル期間內ニ引受ノ爲ノ呈示ヲ爲サザルトキハ所持人ハ支拂拒絕及引受拒絕ニ因ル遡求權ヲ失フ但シ其ノ記載ノ文言ニ依リ振出人ガ引受ノ擔保義務ノミヲ免レントスル意思アリシコトヲ知リ得ベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

其ノ參加ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス此ノ期間ノ不遵守ハ參加人ニ對シ損害アルトキハ參加人ガ滿期前ニ遡求權ヲ行フコトヲ得ズ

第五十四條　參加引受ハ引受ノ呈示ヲ禁ゼザル爲替手形ノ所持人ガ滿期前ニ遡求權ヲ有スル一切ノ場合ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

參加引受ハ引受ノ呈示ヲ禁ゼザル爲替手形ノ所持人ニ對シ其ノ者ニ爲シタル引受ニ因リテ生ジタル債務ヲ被參加人及其ノ後者ニ對シ滿期前ニ遡求權ヲ行フコトヲ得

參加引受ハ被參加人及其ノ後者ニ對シ滿期前ニ遡求權ヲ有スル者ガ豫備支拂人ヲ指定シテ爲シタル引受ニ因リテ生ジタル債務ヲ豫備支拂人及其ノ後者ニ對シ滿期前ニ遡求權ヲ行フコトヲ得ズ

參加引受ハ被參加人及其ノ後者ニ對シ滿期前ニ遡求權ヲ有スル者ガ豫備支拂人ヲ指定セザリシ爲替手形ノ豫備支拂人ヲ指定シテ爲シタル引受ニ因リテ生ジタル債務ヲ豫備支拂人及其ノ後者ニ對シ滿期前ニ遡求權ヲ行フコトヲ得ズ

第五十五條　參加引受ハ引受ノ呈示ヲ禁ゼザル爲替手形ノ所持人ガ滿期前ニ遡求權ヲ有スル一切ノ場合ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

爲替手形ニ支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載シタルトキハ手形ノ所持人ハ其ノ者ニ爲替手形ヲ呈示シ且拒絕證書ニ依リ其ノ者ガ引受ヲ拒ミタルコトヲ證スルニ非ザレバ其ノ記載ヲ爲シタル者及其ノ後者ニ對シ滿期前ニ遡求權ヲ行フコトヲ得ズ

參加ノ他ノ場合ニ於テハ所持人ハ參加引受ヲ拒ムコトヲ得若所持人ガ之ヲ受諾スルトキハ被參加人及其ノ後者ニ對シ滿期前ニ有スル遡求權ヲ失フ

第五十七條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十八條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十九條　參加引受人ハ所持人及被參加人ニ對シ手形上ノ權利ヲ取得ス但シ更ニ爲替手形ヲ裏書スルコトヲ得ズ

所持人ハ被參加人及其ノ前者ニ對シ遡求權ヲ行フコトヲ得

參加引受人ハ被參加人及其ノ後者ニ對シ遡求權ヲ有スル一切ノ場合ニ於テ之ヲ拂フ義務ヲ負フ

第六十條　參加引受ハ所持人ガ滿期又ハ滿期前ニ遡求權ヲ有スル一切ノ場合ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

支拂ハ被參加人ノ爲ニ爲シタル引受人ニ對シ其ノ者ニ爲シタル引受ニ因リテ生ジタル債務ヲ被參加人及其ノ後者ニ對シ滿期前ニ遡求權ヲ行フコトヲ得ズ

第六十一條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十二條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十三條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十四條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十五條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十六條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十七條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十八條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十九條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十一條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十二條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十三條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十四條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十五條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十六條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十七條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十八條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十九條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十一條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十二條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十三條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十四條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十五條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十六條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十七條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十八條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十九條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第九十條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第九十一條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第九十二條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第九十三條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第九十四條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第九十五條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第九十六條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第九十七條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第九十八條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第九十九條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百一條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百二條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百三條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百四條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百五條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百六條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百七條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百八條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百九條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十一條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十二條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十三條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十四條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十五條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十六條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十七條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十八條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十九條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百二十條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百二十一條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百二十二條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百二十三條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百二十四條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百二十五條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百二十六條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百二十七條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百二十八條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百二十九條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百三十條　參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載シ且引受人ノ名ヲ署名スベシ參加引受ニ被參加人ヲ表示スベシ其ノ表示ナキトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

ザリシコトヲ證スルニ非ザレバ謄本ニ裏書又ハ保證ヲ爲シタル者ニ對シ遡求權ヲ行フコトヲ得ズ

謄本作成前ニ爲シタル最後ノ裏書ノ後ニ「前後裏書ハ謄本ニ等シタルモノノミ效力ヲ有ス」ノ文句其ノ他之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ガ原本ニ存スルトキハ原本ニ爲シタル其ノ後ノ裏書ハ之ヲ無效トス

第十章　變造

第六十九條　爲替手形ノ文言ノ變造ノ場合ニ於テハ其ノ變造後ノ署名者ハ變造シタル文言ニ從ヒテ責任ヲ負ヒ變造前ノ署名者ハ原文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第十一章　時效

第七十條　引受人ニ對スル爲替手形上ノ請求權ハ滿期ノ日ヨリ三年ヲ以テ時效ニ罹ル所持人ノ裏書人及振出人ニ對スル請求權ハ適法ノ時期ニ作ラシメタル拒絕證書ノ日附ヨリ、無費用償還文句アル場合ニ於テハ滿期ノ日ヨリ一年ヲ以テ時效ニ罹ル裏書人ノ他ノ裏書人及振出人ニ對スル請求權ハ其ノ裏書人ガ手形ノ受戻ヲ爲シタル日又ハ其ノ者ガ訴ヲ受ケタル日ヨリ六月ヲ以テ時效ニ罹ル

第七十一條　時效ノ中斷ハ其ノ中斷ノ事由ガ生ジタル者ニ對シテノミ其ノ效力ヲ生ズ

第十二章　通則

第七十二條　滿期ガ法定ノ休日ニ當ル爲替手形ハ之ニ次グ第一ノ取引日ニ至ル迄其ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ズ又爲替手形ニ關スル他ノ行爲ノ殊ニ引受ノ爲ノ呈示及拒絕證書ノ作成ハ取引日ニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ得

末日ヲ法定ノ休日トスル一定ノ期間內ニ前項ノ行爲ヲ爲スベキ場合ニ於テハ期間ハ其ノ滿了ニ次グ第一ノ取引日迄之ヲ伸長ス期間中ノ休日ハ之ヲ期間ニ算入ス

第七十三條　法定又ハ約定ノ期間ニハ其ノ初日ヲ算入セズ

第七十四條　恩惠日ハ法律上ノモノタルト裁判上ノモノタルトヲ問ハズ之ヲ認メズ

第二編　約束手形

第七十五條　約束手形ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　證券ノ文言中ニ其ノ證券ノ作成ニ用フル語ヲ以テ記載スル約束手形ナルコトヲ示ス文字

二　一定ノ金額ヲ支拂フベキ旨ノ單純ナル約束

三　滿期ノ表示

四　支拂ヲ爲スベキ地ノ表示

五　支拂ヲ受ケ又ハ之ヲ受クル者ヲ指圖スル者ノ名稱

六　手形ヲ振出ス日及地ノ表示

七　手形ヲ振出ス者（振出人）ノ署名

第七十六條　前條ニ揭グル事項ノ何レカヲ缺ク證券ハ約束手形タル效力ヲ有セズ但シ次ノ數項ニ規定スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

滿期ノ記載ナキ約束手形ハ之ヲ一覽拂ノモノト看做ス

振出地ノ特別ノ表示ナキ限リ之ヲ支拂地ニシテ且振出人ノ住所地タルモノト看做ス

振出地ノ記載ナキ約束手形ハ振出人ノ名稱ニ附記シタル地ニ於テ之ヲ振出シタルモノト看做ス

第七十七條　左ノ事項ニ關スル爲替手形ニ付テノ規定ハ約束手形ノ性質ニ反セザル限リ之ヲ約束手形ニ準用ス

一　裏書（第十一條乃至第二十條）

二　滿期（第三十三條乃至第三十七條）

三　支拂（第三十八條乃至第四十二條）

四　支拂拒絕ニ因ル遡求（第四十三條乃至第五十五條）

第五十六條、第五十二條乃至第五十四條）

五　參加支拂（第五十五條、第五十九條乃至第六十三條）

六　謄本（第六十七條及第六十八條）

七　變造（第六十九條）

八　時效（第七十條及第七十一條）

九　休日、期間ノ計算及恩惠日ノ禁止（第七十二條乃至第七十四條）

第三者方ニテ又ハ支拂人ノ住所地ニ非ザル地ニ於テ支拂ヲ爲スベキ爲替手形（第四條及第二十七條）、利息ノ約定（第五條）、支拂金額ニ關スル記載ノ差異（第六條）、第七條ニ規定スル條件ノ下ニ爲サレタル署名ノ效果、權限ナクシテ又ハ之ヲ超エテ爲シタル者ノ署名ノ效果（第八條）及白地爲替手形（第十條）ニ關スル規定モ亦之ヲ約束手形ニ準用ス

保證ニ關スル規定（第三十條乃至第三十二條）モ亦之ヲ約束手形ニ準用ス第三十一條末項ノ場合ニ於テ何人ノ爲ニ保證ヲ爲シタルカヲ表示セザルトキハ約束手形ノ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十八條　約束手形ノ振出人ハ爲替手形ノ引受人ト同一ノ義務ヲ負フ

一覽後定期拂ノ約束手形ハ第二十三條ニ規定スル期間內ニ振出人ノ一覽ノ爲之ヲ呈示スルコトヲ要ス一覽後ノ期間ハ振出人ガ手形ニ一覽ノ旨ヲ記載シテ署名シタル日ヨリ逋行ス振出人ガ日附アル一覽ノ旨ノ記載ヲ拒ミタルトキハ拒絕證書ニ依リテ何ヲ證スルコトヲ要ス（第二十五條）其ノ日附ハ一覽後ノ期間ノ初日ヨリ算入ス

附　則

第七十九條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和八年十二月勅令第三百十五號ヲ以テ昭和九年一月一日ヨリ施行）

第八十條　商法第四編第一章乃至第三章及商法施行法第百二十四條乃至第百二十六條ハ之ヲ削除ス但シ商法其ノ他ノ法令ノ規定ノ適用上之ニ依ルベキ場合ニ於テハ仍其ノ效力ヲ有ス

第八十一條　本法施行前ニ振出シタル爲替手形及約束手形ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第八十二條　本法ニ於テ署名トアルハ記名捺印ヲ含ム

第八十三條　第三十八條第二項（第七十七條第一項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ手形交換所ハ司法大臣之ヲ指定ス

第八十四條　拒絕證書ノ作成ニ關スル裁判所ノ管轄ニ付テハ民事訴訟法ノ例ニ依ル

第八十五條　爲替手形又ハ約束手形ヨリ生ジタル權利ノ消滅ハ時效ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ所持人ハ振出人、引受人又ハ裏書人ニ對シ其ノ受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十六條　裏書人ノ他ノ裏書人及振出人ニ對スル爲替手形上及約束手形上ノ請求權ノ消滅時效ハ其ノ者カ訴ヲ受ケタル場合ニ在リテハ前者ニ對シ訴訟告知ヲ爲スニ因リテ中斷ス

前項ノ規定ニ因リテ中斷シタル時效ハ裁判ノ確定シタル時ヨリ更ニ其ノ進行ヲ始ム

第八十七條　本法ニ於テ休日トハ祭日、祝日、日曜日其ノ他ノ一般ノ休日ヲ謂フ

第八十八條　爲替手形及約束手形ニ依リ義務ヲ負フ者ノ能力ハ其ノ本國法ニ依リ之ヲ定ム其ノ國ノ法律ガ他國ノ法律ニ依ルコトヲ定ムルトキハ其ノ他國ノ法律ヲ適用ス

前項ノ揭グル法律ニ依リ能力ヲ有セザル者ト雖モ他ノ國ノ領域ニ於テ署名ノ效力ヲ生ジ其ノ國ノ法律ニ依レバ能力ヲ有スベキトキハ實任ヲ負フ

第八十九條　爲替手形上及約束手形上ノ行爲ノ方式ハ署名ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

爲替手形上及約束手形上ノ行爲ガ前項ノ規定ニ依リ有效ナラザル場合ト雖モ後ノ行爲ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依レバ適式ナルトキハ後ノ行爲ハ前ノ行爲ガ不適式ナルコトニ因リ其ノ效力ヲ妨ゲラルルコトナシ

日本人ガ外國ニ於テ爲シタル爲替手形上及約束手形上ノ行爲ハ其ノ行爲ガ日本ノ法律ニ規定スル方式ニ適合スル限リ他ノ日本人ニ對シ其ノ效力ヲ有ス

第九十條　爲替手形ノ引受人及約束手形ノ振出人ノ義務ノ效力ハ其ノ證券ノ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

前項ニ揭グル者ヲ除キ爲替手形又ハ約束手形ニ依リ債務ヲ負フ者ノ署名ヨリ生ズル效力ハ其ノ署名ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム但シ遡求權ヲ行使スル期間ハ一切ノ署名者ニ付證券ノ振出地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十一條　爲替手形ノ所持人ガ證券ノ振出ノ原因タル債權ヲ取得スルヤ否ヤハ證券ノ振出地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十二條　爲替手形ノ引受ヲ手形金額ノ一部ニ制限シ得ルヤ否ヤ及所持人ニ一部支拂ヲ受諾スル義務アリヤ否ヤハ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十三條　拒絕證書ノ方式及作成期間其ノ他爲替手形上及約束手形上ノ權利ノ行使又ハ保存ニ必要ナル行爲ノ方式ハ拒絕證書ヲ作ルベキ地又ハ其ノ行爲ヲ爲スベキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十四條　爲替手形又ハ約束手形ノ喪失又ハ盜難ノ場合ニ爲スベキ手續ハ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

●小切手法

昭和八年七月
法律第五十七號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル小切手法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

小切手法

第一章　小切手ノ振出及方式

第一條　小切手ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　證券ノ文言中ニ其ノ證券ノ作成ニ用フル語ヲ以テ記載スル小切手ナルコトヲ示ス文字

二　一定ノ金額ヲ支拂フベキ旨ノ單純ナル委託

三　支拂ヲ爲スベキ者（支拂人）ノ名稱

四　支拂ヲ爲スベキ地ノ表示

五　小切手ヲ振出ス日及地ノ表示

六　小切手ヲ振出ス者（振出人）ノ署名

第二條　前條ニ揭グル事項ノ何レカヲ缺ク證券ハ小切手タル效力ヲ有セズ但シ次ノ數項ニ規定スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

支拂人ノ名稱ニ附記シタル地ハ特別ノ表示ナキ限リ之ヲ支拂地ト看做ス支拂人ノ名稱ニ數箇ノ地ノ附記アルトキハ小切手ハ初頃ニ記載シアル地ニ於テ之ヲ支拂フベキモノトス

前項ノ記載其ノ他何等ノ表示ナキ小切手ハ振出地ニ於テ之ヲ支拂フベキモノトス

振出地ノ記載ナキ小切手ハ振出人ノ名稱ニ附記シタル地ニ於テ之ヲ振出シタルモノト看做ス

第三條　小切手ハ其ノ呈示ノ時ニ於テ振出人ノ處分シ得ル資金アル銀行ニ宛テ且振出人ヲシテ資金ヲ小切手ニ依リ處分スルコトヲ得シムル明示又ハ默示ノ契約ニ從ヒ之ヲ振出スベキモノトス但シ此ノ規定ニ從ハザルトキト雖モ證券ノ小切手タル效力ヲ妨ゲズ

第四條　小切手ハ引受ヲ爲スコトヲ得ズ小切手ニ爲シタル引受ノ記載ハ之ヲ爲サザルモノト看做ス

第五條　小切手ハ左ノ何レカトシテ之ヲ振出スコトヲ得

一　記名式又ハ指圖式

二　記名式ニシテ「指圖禁止」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ヲ記載スルモノ

三　持參人拂式

記名ノ小切手ニシテ「又ハ持參人ニ」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ヲ記載シタルモノハ之ヲ持參人拂式小切手ト看做ス

第六條　小切手ハ振出人ノ自己指圖ニテ之ヲ振出スコトヲ得

小切手ハ第三者ノ計算ニ於テ之ヲ振出スコトヲ得

小切手ハ振出人ノ自己宛ニテ之ヲ振出スコトヲ得

第七條　小切手ニ記載シタル利息ノ約定ハ之ヲ爲サザルモノト看做ス

小切手ハ支拂人ノ住所地ニ在ルトキ又ハ其ノ他ノ地ニ在ルトキ間ハズ第三者ノ住所ニ於テ支拂フベキモノト爲スコトヲ得但シ其ノ第三者ハ銀行タルコトヲ要ス

第九條　小切手ノ金額ヲ文字及數字ヲ以テ記載シタル場合ニ於テ其ノ金額ニ差異アルトキハ文字ヲ以テ記載シタル金額ヲ小切手金額トス

第八十一條　本法施行前ニ振出シタル爲替手形及約束手形ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第八十二條　本法ニ於テ署名トアルハ記名捺印ヲ含ム

第八十三條　第三十八條第二項（第七十七條第一項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ手形交換所ハ司法大臣之ヲ指定ス

第八十四條　拒絕證書ノ作成ニ關スル裁判ノ管轄ニ付テハ民事訴訟法ノ例ニ依ル

第八十五條　爲替手形又ハ約束手形ヨリ生ジタル權利ノ消滅ハ時效ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ所持人ハ振出人、引受人又ハ裏書人ニ對シ其ノ受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十六條　裏書人ノ他ノ裏書人及振出人ニ對スル爲替手形上及約束手形上ノ請求權ノ消滅時效ハ其ノ者カ訴ヲ受ケタル場合ニ在リテハ前者ニ對シ訴訟告知ヲ爲スニ因リテ中斷ス

前項ノ規定ニ因リテ中斷シタル時效ハ裁判ノ確定シタル時ヨリ更ニ其ノ進行ヲ始ム

第八十七條　本法ニ於テ休日トハ祭日、祝日、日曜日其ノ他ノ一般ノ休日ヲ謂フ

第八十八條　爲替手形及約束手形ニ依リ義務ヲ負フ者ノ能力ハ其ノ本國法ニ依リ之ヲ定ム其ノ國ノ法律ガ他國ノ法律ニ依ルコトヲ定ムルトキハ其ノ他國ノ法律ヲ適用ス

前項ノ揭グル法律ニ依リ能力ヲ有セザル者ト雖モ他ノ國ノ領域ニ於テ署名ノ效力ヲ生ジ其ノ國ノ法律ニ依レバ能力ヲ有スベキトキハ實任ヲ負フ

第八十九條　爲替手形上及約束手形上ノ行爲ノ方式ハ署名ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

爲替手形上及約束手形上ノ行爲ガ前項ノ規定ニ依リ有效ナラザル場合ト雖モ後ノ行爲ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依レバ適式ナルトキハ後ノ行爲ハ前ノ行爲ガ不適式ナルコトニ因リ其ノ效力ヲ妨ゲラルルコトナシ

日本人ガ外國ニ於テ爲シタル爲替手形上及約束手形上ノ行爲ハ其ノ行爲ガ日本ノ法律ニ規定スル方式ニ適合スル限リ他ノ日本人ニ對シ其ノ效力ヲ有ス

第九十條　爲替手形ノ引受人及約束手形ノ振出人ノ義務ノ效力ハ其ノ證券ノ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

前項ニ揭グル者ヲ除キ爲替手形又ハ約束手形ニ依リ債務ヲ負フ者ノ署名ヨリ生ズル效力ハ其ノ署名ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム但シ遡求權ヲ行使スル期間ハ一切ノ署名者ニ付證券ノ振出地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十一條　爲替手形ノ所持人ガ證券ノ振出ノ原因タル債權ヲ取得スルヤ否ヤハ證券ノ振出地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十二條　爲替手形ノ引受ヲ手形金額ノ一部ニ制限シ得ルヤ否ヤ及所持人ニ一部支拂ヲ受諾スル義務アリヤ否ヤハ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十三條　拒絕證書ノ方式及作成期間其ノ他爲替手形上及約束手形上ノ權利ノ行使又ハ保存ニ必要ナル行爲ノ方式ハ拒絕證書ヲ作ルベキ地又ハ其ノ行爲ヲ爲スベキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十四條　爲替手形又ハ約束手形ノ喪失又ハ盜難ノ場合ニ爲スベキ手續ハ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

●小切手法

昭和八年七月
法律第五十七號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル小切手法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

小切手法

第一章　小切手ノ振出及方式

第一條　小切手ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　證券ノ文言中ニ其ノ證券ノ作成ニ用フル語ヲ以テ所持人ニ對抗スルコトヲ得ズ但シ所持人ガ惡意ヲ以テ記載スル小切手ナルコトヲ示ス文字

二　一定ノ金額ヲ支拂フベキ旨ノ單純ナル委託

三　支拂ヲ爲スベキ者（支拂人）ノ名稱

四　支拂ヲ爲スベキ地ノ表示

五　小切手ヲ振出ス日及地ノ表示

六　小切手ヲ振出ス者（振出人）ノ署名

第二條　前條ニ揭グル事項ノ何レカヲ缺ク證券ハ小切手タル效力ヲ有セズ但シ次ノ數項ニ規定スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

支拂人ノ名稱ニ附記シタル地ハ特別ノ表示ナキ限リ之ヲ支拂地ト看做ス支拂人ノ名稱ニ數箇ノ地ノ附記アルトキハ小切手ハ初頃ニ記載シアル地ニ於テ之ヲ支拂フベキモノトス

前項ノ記載其ノ他何等ノ表示ナキ小切手ハ振出地ニ於テ之ヲ支拂フベキモノトス

振出地ノ記載ナキ小切手ハ振出人ノ名稱ニ附記シタル地ニ於テ之ヲ振出シタルモノト看做ス

第三條　小切手ハ其ノ呈示ノ時ニ於テ振出人ノ處分シ得ル資金アル銀行ニ宛テ且振出人ヲシテ資金ヲ小切手ニ依リ處分スルコトヲ得シムル明示又ハ默示ノ契約ニ從ヒ之ヲ振出スベキモノトス但シ此ノ規定ニ從ハザルトキト雖モ證券ノ小切手タル效力ヲ妨ゲズ

第四條　小切手ハ引受ヲ爲スコトヲ得ズ小切手ニ爲シタル引受ノ記載ハ之ヲ爲サザルモノト看做ス

第五條　小切手ハ左ノ何レカトシテ之ヲ振出スコトヲ得

一　記名式又ハ指圖式

二　記名式ニシテ「指圖禁止」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ヲ記載スルモノ

三　持參人拂式

記名ノ小切手ニシテ「又ハ持參人ニ」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ヲ記載シタルモノハ之ヲ持參人拂式小切手ト看做ス

第六條　小切手ハ振出人ノ自己指圖ニテ之ヲ振出スコトヲ得

小切手ハ第三者ノ計算ニ於テ之ヲ振出スコトヲ得

小切手ハ振出人ノ自己宛ニテ之ヲ振出スコトヲ得

第七條　小切手ニ記載シタル利息ノ約定ハ之ヲ爲サザルモノト看做ス

小切手ハ支拂人ノ住所地ニ在ルトキ又ハ其ノ他ノ地ニ在ルトキ間ハズ第三者ノ住所ニ於テ支拂フベキモノトス

第八條　小切手ハ第三者ノ爲ニ振出シタルモノト雖モ之ヲ有效トス

小切手ハ振出人ノ爲ニモ支拂人ノ爲ニモ之ヲ振出スコトヲ得

第九條　小切手ノ金額ヲ文字及數字ヲ以テ記載シタル場合ニ於テ其ノ金額ニ差異アルトキハ文字ヲ以テ記載シタル金額ヲ小切手金額トス

第十條　小切手ニ小切手債務ヲ負擔スル能力ナキ者ノ署名、僞造ノ署名、假設人ノ署名又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ小切手ノ署名者若シ其ノ本人ニ義務ヲ負ハシムルコト能ハザル署名アル場合ト雖モ其ノ署名者ノ債務ハ之ガ爲其ノ效力ヲ妨ゲラルルコトナシ

第十一條　代理權ヲ有セザル者ガ代理人トシテ小切手ニ署名シタルトキハ自ラ其ノ小切手ニ因リ義務ヲ負フ其ノ者ガ支拂ヲ爲シタルトキハ本人ト同一ノ權利ヲ有ス權限ヲ超エタル代理人ニ付亦同ジ

第十二條　振出人ハ支拂ヲ擔保ス振出人ガ之ヲ擔保セザル旨ノ一切ノ文言ハ之ヲ記載セザルモノト看做ス

第十三條　未完成ニテ振出シタル小切手ニ後メ爲シタル合意ト異ル補充ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ違反ノ事ヲ以テ所持人ニ對抗スルコトヲ得ズ但シ所持人ガ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ小切手ヲ取得シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條　第二章　讓渡

第十四條　記名式又ハ指圖式ノ小切手ハ裏書ニ依リテノミ之ヲ讓渡スコトヲ得

記名式小切手ニシテ「指圖禁止」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ヲ記載シタルモノハ指名債權ノ讓渡ノ方式ニ從ヒテノミ之ヲ讓渡スコトヲ得但シ此等ノ者ハ更ニ小切手ヲ裏書スルコトヲ得

第十五條　裏書ハ單純ナルコトヲ要ス裏書ニ附シタル條件ハ之ヲ記載セザルモノト看做ス

一部ノ裏書ハ之ヲ無效トス

支拂人ノ裏書モ亦之ヲ無效トス

持參人拂ノ裏書ハ白地式裏書ト同一ノ效力ヲ有ス

支拂人ニ對シテ爲シタル裏書ハ受取證書タル效力ノミヲ有ス但シ支拂人ガ數箇ノ營業所ヲ有スル場合ニ於テ小切手ノ振窟テラレタル營業所以外ノ營業所ニ對シテ爲シタル裏書ハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條　裏書ハ小切手又ハ之ト結合シタル紙片（補箋）ニ之ヲ記載シ裏書人署名スルコトヲ要ス

裏書ハ被裏書人ヲ指定セズシテ之ヲ爲シ又ハ單ニ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得（白地式裏書）此ノ後ノ場合ニ於テ裏書ハ小切手ノ裏面又ハ補箋ニ之ヲ爲スニ非ザレバ其ノ效力ヲ有セズ

第十七條　裏書ハ小切手ヨリ生ズル一切ノ權利ヲ移轉ス

裏書ガ白地式ナルトキハ所持人ハ

一　自己ノ名稱又ハ他人ノ名稱ヲ以テ白地ヲ補充スルコトヲ得

二　白地式ニ依リ又ハ他人ヲ表示シテ更ニ小切手ヲ裏書スルコトヲ得

三　白地ヲ補充セズ且裏書ヲ爲サズシテ小

トヲ得ベカリシモノニ限ル

代理ノ爲ノ裏書ニ依ル委任ハ委任者ノ死亡又ハ其ノ者ガ無能力ト爲リタルコトニ因リ終了セズ

第二十四條　拒絕證書若ハ之ト同一ノ效力ヲ有スル宣言ノ作成後ノ裏書又ハ呈示期間經過ノ裏書ハ指名債權ノ讓渡ノ效力ノミヲ有ス

日附ノ記載ナキ裏書ハ拒絕證書若ハ之ト同一ノ效力ヲ有スル宣言ノ作成前又ハ呈示期間經過前ニ之ヲ爲シタルモノト推定ス

第三章　保證

第二十五條　小切手ノ支拂ハ其ノ全額ノ全部又ハ一部ニ付保證ニ依リ之ヲ擔保スルコトヲ得

支拂人ヲ除クノ外第三者ハ前項ノ保證ヲ爲スコトヲ得小切手ニ署名シタル者ト雖モ亦同ジ

第二十六條　保證ハ小切手又ハ補箋ニ之ヲ爲スベシ

保證ハ「保證」其ノ他之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ以テ表示シ保證人ト記名スベシ

小切手ノ表面ニ爲シタル單ナル署名ハ之ヲ保證ト看做シ但シ振出人ノ署名ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條　保證人ハ保證セラレタル者ト同一ノ責任ヲ負フ

保證ハ其ノ擔保シタル債務ガ方式ノ瑕疵ヲ除キ他ノ如何ナル事由ニ因リテ無效トナルトキト雖モ之ヲ有效トス

保證人ガ小切手ノ支拂ヲ爲シタルトキハ保證セラレタル者及其ノ他ノ小切手上ノ債務者ニ對シ小切手ヨリ生ズル權利ヲ取得ス

第四章　呈示及支拂

第二十八條　小切手ハ一覽拂ノモノトス之ニ反スル一切ノ記載ハ之ヲ爲サザルモノト看做ス

振出ノ日附ト雖モ記載シタル日ヨリ前ニ支拂ノ爲呈示シタル小切手ハ呈示ノ日ニ於テ之ヲ支拂フベキモノトス

第二十九條　國內ニ於テ振出シ且支拂フベキ小切手ノ裏書人ハ小切手ノ瑕疵ニ付シ擔保ノ責ヲ負フコトナシ

第三十條　小切手ガ屢ヽ異ナル二地ノ間ニ振出シタルモノナルトキハ振出ノ日ヲ支拂地ノ曆ニ從テ定ム

第三十一條　手形交換所ニ於ケル小切手ノ呈示ハ支拂ノ爲ノ呈示タル效力ヲ有ス

第三十二條　小切手ノ支拂委託ノ取消ハ呈示期間經過後ニ於テノミ其ノ效力ヲ生ズ

支拂委託ノ取消ナキトキハ支拂人ハ期間經過後ト雖モ支拂ヲ爲スコトヲ得

第三十三條　振出ノ後振出人ガ死亡シ又ハ能力ヲ失フモ小切手ノ效力ニ影響ヲ及ボスコトナシ

第三十四條　小切手ノ支拂人ハ支拂ヲ爲スニ當リ所持人ニ對シ小切手ニ受取ヲ證スル記載ヲ爲シテ之ヲ交付スベキコトヲ請求スルコトヲ得

所持人ハ一部支拂ヲ拒ムコトヲ得ズ

一部支拂ノ場合ニ於テハ支拂人ハ其ノ支拂アリタル旨ノ小切手上ノ記載及受取證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得ベカリシモノニ限ル

第三十五條　裏書ヲ以テスル小切手ノ支拂ヲ爲ス支拂人ハ裏書ノ連續ノ整否ヲ調査スル義務アルモ裏書人ノ署名ヲ調査スル義務ナシ

第三十六條　支拂地ノ通貨ニ非ザル通貨ヲ以テ支拂フベキ旨ヲ記載シタル小切手ニ付テハ其ノ呈示期間內ニ支拂ノ日ニ於ケル價格ニ依リ其ノ國ノ通貨ヲ以テ支拂ヲ爲スコトヲ得呈示ヲ爲スモ支拂ナカリシトキハ所持人ハ其ノ選擇ニ依リ呈示ノ日又ハ支拂ノ日ノ相場ニ從ヒ其ノ國ノ通貨ヲ以テ小切手ノ金額ヲ支拂フベキコトヲ請求スルコトヲ得

外國通貨ノ價格ハ支拂地ノ慣習ニ依リ之ヲ定ム但シ振出人ハ小切手ニ定メタル換算率ニ依リ其ノ國ノ通貨ヲ以テ支拂ヲ爲スコトヲ得呈示ヲ爲スモ支拂ナカリシトキハ所持人ハ其ノ選擇ニ依リ呈示ノ日又ハ支拂ノ日ノ相場ニ從ヒ其ノ國ノ通貨ヲ以テ小切手ノ金額ヲ支拂フベキコトヲ請求スルコトヲ得

第三十七條　小切手ノ振出人又ハ所持人ハ小切手ニ線引ヲ爲スコトヲ得線引ハ次條ニ定メタル效力ヲ有ス

二條ノ線內ニ何等ノ指定ヲ爲サザルカ又ハ「銀行」若ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ記載シタルトキハ線引ハ之ヲ一般ト二條ノ線內ニ銀行ノ名稱ヲ記載シタルトキハ線引ハ之ヲ特定トス

一般線引ハ之ヲ特定線引ニ變更スルコトヲ得ルモ特定線引ハ之ヲ一般線引ニ變更スルコトヲ得ズ

線引又ハ被指定銀行ノ名稱ノ抹消ハ之ヲ爲サザルモノト看做ス

第三十八條　一般線引小切手ハ支拂人ノ銀行ニ對シ又ハ支拂人ノ取引先ニ對シテノミ之ヲ支拂フコトヲ得

特定線引小切手ハ支拂人ニ於テ被指定銀行ニ對シテノミ又被指定銀行ガ支拂人ナルトキハ自己ノ取引先ニ對シテノミ之ヲ支拂フコトヲ得但シ被指定銀行ハ他ノ銀行ヲシテ小切手ノ取立ヲ爲サシムルコトヲ得

銀行ハ自己ノ取引先又ハ他ノ銀行ヨリノミ線引小切手ヲ取得スルコトヲ得銀行ハ此等ノ者以外ノ者ノ爲ニ線引小切手ノ取立ヲ爲スコトヲ得ズ

數個ノ特定線引アル小切手ハ支拂人ニ於テ之ヲ支拂フコトヲ得ズ但シ二個ノ線引アル場合ニ於テ其ノ一ガ手形交換所ニ於ケル取立ノ爲ニ爲サレタルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前四項ノ規定ヲ遵守セザル支拂人又ハ銀行ハ之ガ爲ニ生ジタル損害ニ付小切手ノ金額ニ達スル迄賠償ノ責ニ任ズ

第六章　支拂拒絕ニ因ル遡求

第三十九條　適法ノ時期ニ呈示シタル小切手ノ支拂ナキ場合ニ於テ左ノ何レカニ依リ支拂拒絕ヲ證明スルトキハ所持人ハ裏書人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對シ其ノ遡求權ヲ行フコトヲ得

一　公正證書（拒絕證書）

二　小切手ニ呈示ノ日ヲ表示シテ記載シ且日附ヲ附シタル支拂人ノ宣言

三　適法ノ時期ニ小切手ヲ呈示シタルモ其ノ支拂ナカリシ旨ヲ證明シ且日附ヲ附シタル手形交換所ノ宣言

第四十條　拒絕證書又ハ之ト同一ノ效力ヲ有スル宣言ハ呈示期間經過前ニ之ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第四十一條　拒絕證書ハ呈示ノ日又ハ其ノ後二箇日內ニ之ヲ作成スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ從ヒ小切手ノ署名者ニ通知ヲ爲スベキ者ハ如何ナル方法ニ依リテモ之ヲ爲スコトヲ得單ニ小切手ヲ返付スルニ依リテモ亦之ヲ爲スコトヲ得

通知ヲ爲スベキ者ハ如何ナル方法ニ依リテモ之ヲ爲スコトヲ得單ニ小切手ヲ返付スルニ依リテモ亦之ヲ爲スコトヲ得

通知ヲ爲スベキ者ハ適法ノ期間內ニ通知ヲ爲シタルトキハ其ノ期間內ニ通知ヲ發シタル場合ニ於テハ其ノ期間ヲ遵守シタルモノト看做ス

前項ノ期間內ニ通知ヲ爲サザル者ハ其ノ權利ヲ失フコトナシ但シ過失ニ因リテ生ジタル損害アルトキハ小切手ノ金額ニ超エザル範圍內ニ於テ其ノ賠償ノ責ニ任ズ

第四十二條　振出人、裏書人又ハ保證人ハ證券ニ記載シ且署名シタル「無費用償還」、「拒絕證書不要」ノ文句其ノ他之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ニ依リ所持人ニ對シ其ノ遡求權ヲ行フコトヲ得ズ

前項ノ文言ハ所持人ヨリ對シ法定期間內ニ於ケル小切手ノ呈示及通知ノ義務ヲ免除スルコトナシ期間ノ不遵守ハ所持人ニ對シ之ヲ援用スル者ニ於テ其ノ證明ヲ爲スコトヲ要ス

振出人ガ第一項ノ文言ヲ記載シタルトキハ一切ノ署名者ニ對シ其ノ效力ヲ生ズ裏書人又ハ保證人ガ之ヲ記載シタルトキハ其ノ裏書人又ハ保證人ニ對シテノミ其ノ效力ヲ生ズ振出人ガ此ノ文言ヲ記載シタルトキハ其ノ費用ヲ所持人之ヲ負擔ス裏書人又ハ保證人ガ此ノ文言ヲ記載シタル場合ニ於テ拒絕證書又ハ之ト同一ノ效力ヲ有スル宣言ノ作成アリタルトキハ一切ノ署名者ヲシテ其ノ費用ヲ償還セシムルコトヲ得

第四十三條　小切手上ノ各債務者ハ所持人ニ對シ合同シテ其ノ責ニ任ズ

所持人ハ前項ノ債務者ニ對シ其ノ債務ヲ負ヒタル順序ニ拘ラズ各別又ハ共同ニ請求ヲ爲スコトヲ得

小切手ノ署名者ニシテ之ヲ受戻シタルモノモ同一ノ權利ヲ有ス

債務者ノ一人ニ對スル請求ハ他ノ債務者ニ對スル請求ヲ妨ゲズ既ニ請求ヲ受ケタル者ノ後者ニ對シテモ亦同ジ

第四十四條　所持人ハ遡求ヲ受ケル者ニ對シ左ノ金額ヲ請求スルコトヲ得

一　支拂アラザリシ小切手ノ金額

二　年六分ノ率ニ依ル呈示ノ日以後ノ利息

三　拒絕證書又ハ之ト同一ノ效力ヲ有スル宣言ノ費用、通知ノ費用及其ノ他ノ費用

第四十五條　小切手ヲ受戻シタル者ハ其ノ前者ニ對シ左ノ金額ヲ請求スルコトヲ得

一　其ノ支拂ヒタル總金額

二　前號ノ金額ニ對シ年六分ノ率ニ依リ計算シタル支拂ノ日以後ノ利息

三　其ノ支出シタル費用

第四十六條　遡求ヲ受ケタル又ハ受ケベキ債務者ハ支拂ノモノニ限ル

第三十五條　裏書ニ依リ表示セラレタル支拂人ノ爲ス呈示ハ小切手ノ支拂ヲ爲スニ當リ小切手ノ裏書ノ連續ノ整否ヲ調査スル義務アルモ裏書人ノ署名ヲ調査スル義務ナシ

第三十六條　支拂地ノ通貨ニ非ザル通貨ヲ以テ支拂フベキ旨ヲ記載シタル小切手ニ付テハ其ノ呈示期間內ニ支拂ノ日ニ於ケル價格ニ依リ其ノ國ノ通貨ヲ以テ支拂ヲ爲スコトヲ得呈示ヲ爲スモ支拂ナカリシトキハ所持人ハ其ノ選擇ニ依リ呈示ノ日又ハ支拂ノ日ノ相場ニ從ヒ其ノ國ノ通貨ヲ以テ小切手ノ金額ヲ支拂フベキコトヲ請求スルコトヲ得

外國通貨ノ價格ハ支拂地ノ慣習ニ依リ之ヲ定ム但シ振出人ハ小切手ニ定メタル換算率ニ依リ其ノ國ノ通貨ヲ以テ支拂ヲ爲スコトヲ得呈示ヲ爲スモ支拂ナカリシトキハ所持人ハ其ノ選擇ニ依リ呈示ノ日又ハ支拂ノ日ノ相場ニ從ヒ其ノ國ノ通貨ヲ以テ小切手ノ金額ヲ支拂フベキコトヲ請求スルコトヲ得

第三十七條　小切手ノ振出人又ハ所持人ハ小切手ニ線引ヲ爲スコトヲ得線引ハ次條ニ定メタル效力ヲ有ス

二條ノ線內ニ何等ノ指定ヲ爲サザルカ又ハ「銀行」若ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ記載シタルトキハ線引ハ之ヲ一般ト二條ノ線內ニ銀行ノ名稱ヲ記載シタルトキハ線引ハ之ヲ特定トス

一般線引ハ之ヲ特定線引ニ變更スルコトヲ得ルモ特定線引ハ之ヲ一般線引ニ變更スルコトヲ得ズ

線引又ハ被指定銀行ノ名稱ノ抹消ハ之ヲ爲サザルモノト看做ス

第三十八條　一般線引小切手ハ支拂人ノ銀行ニ對シ又ハ支拂人ノ取引先ニ對シテノミ之ヲ支拂フコトヲ得

特定線引小切手ハ支拂人ニ於テ被指定銀行ニ對シテノミ又被指定銀行ガ支拂人ナルトキハ自己ノ取引先ニ對シテノミ之ヲ支拂フコトヲ得但シ被指定銀行ハ他ノ銀行ヲシテ小切手ノ取立ヲ爲サシムルコトヲ得

銀行ハ自己ノ取引先又ハ他ノ銀行ヨリノミ線引小切手ヲ取得スルコトヲ得銀行ハ此等ノ者以外ノ者ノ爲ニ線引小切手ノ取立ヲ爲スコトヲ得ズ

數個ノ特定線引アル小切手ハ支拂人ニ於テ之ヲ支拂フコトヲ得ズ但シ二個ノ線引アル場合ニ於テ其ノ一ガ手形交換所ニ於ケル取立ノ爲ニ爲サレタルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前四項ノ規定ヲ遵守セザル支拂人又ハ銀行ハ之ガ爲ニ生ジタル損害ニ付小切手ノ金額ニ達スル迄賠償ノ責ニ任ズ

第六章　支拂拒絕ニ因ル遡求

第三十九條　適法ノ時期ニ呈示シタル小切手ノ支拂ナキ場合ニ於テ左ノ何レカニ依リ支拂拒絕ヲ證明スルトキハ所持人ハ裏書人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對シ其ノ遡求權ヲ行フコトヲ得

一　公正證書（拒絕證書）

二　小切手ニ呈示ノ日ヲ表示シテ記載シ且日附ヲ附シタル支拂人ノ宣言

三　適法ノ時期ニ小切手ヲ呈示シタルモ其ノ支拂ナカリシ旨ヲ證明シ且日附ヲ附シタル手形交換所ノ宣言

第四十條　拒絕證書又ハ之ト同一ノ效力ヲ有スル宣言ハ呈示期間經過前ニ之ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第四十一條　拒絕證書ハ呈示ノ日又ハ其ノ後二箇日內ニ之ヲ作成スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ從ヒ小切手ノ署名者ニ通知ヲ爲スベキ者ハ如何ナル方法ニ依リテモ之ヲ爲スコトヲ得單ニ小切手ヲ返付スルニ依リテモ亦之ヲ爲スコトヲ得

通知ヲ爲スベキ者ハ如何ナル方法ニ依リテモ之ヲ爲スコトヲ得單ニ小切手ヲ返付スルニ依リテモ亦之ヲ爲スコトヲ得

通知ヲ爲スベキ者ハ適法ノ期間內ニ通知ヲ爲シタルトキハ其ノ期間內ニ通知ヲ發シタル場合ニ於テハ其ノ期間ヲ遵守シタルモノト看做ス

前項ノ期間內ニ通知ヲ爲サザル者ハ其ノ權利ヲ失フコトナシ但シ過失ニ因リテ生ジタル損害アルトキハ小切手ノ金額ニ超エザル範圍內ニ於テ其ノ賠償ノ責ニ任ズ

第四十二條　振出人、裏書人又ハ保證人ハ證券ニ記載シ且署名シタル「無費用償還」、「拒絕證書不要」ノ文句其ノ他之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ニ依リ所持人ニ對シ其ノ遡求權ヲ行フコトヲ得ズ

前項ノ文言ハ所持人ヨリ對シ法定期間內ニ於ケル小切手ノ呈示及通知ノ義務ヲ免除スルコトナシ期間ノ不遵守ハ所持人ニ對シ之ヲ援用スル者ニ於テ其ノ證明ヲ爲スコトヲ要ス

振出人ガ第一項ノ文言ヲ記載シタルトキハ一切ノ署名者ニ對シ其ノ效力ヲ生ズ裏書人又ハ保證人ガ之ヲ記載シタルトキハ其ノ裏書人又ハ保證人ニ對シテノミ其ノ效力ヲ生ズ振出人ガ此ノ文言ヲ記載シタルトキハ其ノ費用ヲ所持人之ヲ負擔ス裏書人又ハ保證人ガ此ノ文言ヲ記載シタル場合ニ於テ拒絕證書又ハ之ト同一ノ效力ヲ有スル宣言ノ作成アリタルトキハ一切ノ署名者ヲシテ其ノ費用ヲ償還セシムルコトヲ得

第四十三條　小切手上ノ各債務者ハ所持人ニ對シ合同シテ其ノ責ニ任ズ

所持人ハ前項ノ債務者ニ對シ其ノ債務ヲ負ヒタル順序ニ拘ラズ各別又ハ共同ニ請求ヲ爲スコトヲ得

小切手ノ署名者ニシテ之ヲ受戻シタルモノモ同一ノ權利ヲ有ス

債務者ノ一人ニ對スル請求ハ他ノ債務者ニ對スル請求ヲ妨ゲズ既ニ請求ヲ受ケタル者ノ後者ニ對シテモ亦同ジ

第四十四條　所持人ハ遡求ヲ受ケル者ニ對シ左ノ金額ヲ請求スルコトヲ得

一　支拂アラザリシ小切手ノ金額

二　年六分ノ率ニ依ル呈示ノ日以後ノ利息

三　拒絕證書又ハ之ト同一ノ效力ヲ有スル宣言ノ費用、通知ノ費用及其ノ他ノ費用

第四十五條　小切手ヲ受戻シタル者ハ其ノ前者ニ對シ左ノ金額ヲ請求スルコトヲ得

一　其ノ支拂ヒタル總金額

二　前號ノ金額ニ對シ年六分ノ率ニ依リ計算シタル支拂ノ日以後ノ利息

三　其ノ支出シタル費用

第四十六條　遡求ヲ受ケタル又ハ受ケベキ債務者ハ支拂ノモノニ限ル

テ之ヲ提出スコトヲ得數通ヲ以テ小切手ヲ振出シタルトキハ其ノ證券ノ交言中ニ番號ヲ附スルコトヲ要ス之ヲ缺クトキハ各通ハ之ヲ各別ノ小切手ト看做ス

第四十九條　複本ノ一通ノ支拂ハ其ノ支拂ガ他ノ複本ヲ無效ナラシムル旨ノ記載ナキト雖モ義務ヲ免レシム

數人ニ各別ニ複本ヲ讓渡シタル裏書人及其ノ後ノ裏書人ハ其ノ署名アル各通ニシテ返還ヲ受ケサルモノニ付責任ヲ負フ

第八章　變造

第五十條　小切手ノ文言ノ變造ノ場合ニ於テハ其ノ變造後ノ署名者ハ變造シタル文言ニ從ヒテ責任ヲ負ヒ變造前ノ署名者ハ原文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第九章　時效

第五十一條　所持人ノ裏書人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對スル遡求權ハ呈示期間經過後六月ヲ以テ時效ニ罹ル

小切手ノ支拂ヲ爲スベキ債務者ノ他ノ債務者ニ對スル遡求權ハ其ノ債務者ガ小切手ノ受戻ヲ爲シタル日又ハ其ノ者ガ訴ヲ受ケタル日ヨリ六月ヲ以テ時效ニ罹ル

第五十二條　時效ノ中斷ハ其ノ中斷ノ事由ガ生ジタル者ニ對シテノミ其ノ效力ヲ生ズ

第十章　支拂保證

第五十三條　支拂人ハ小切手ニ支拂保證ヲ爲スコトヲ得

支拂保證ハ小切手ノ表面ニ「支拂保證」其ノ他支拂ヲ爲ス旨ノ文字ヲ以テ表示シ且附ヲ附シテ支拂人署名スベシ

第五十四條　支拂保證ハ單純ナルコトヲ要ス

支拂保證ニ依リ小切手ノ記載事項ニ加ヘタル變更ノ之ヲ記載セザルモノト看做ス

第五十五條　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間ノ經過前ニ小切手ノ呈示アリタル場合ニ於テノミ其ノ支拂ヲ爲ス義務ヲ負フ

支拂保證ハ小切手ノ呈示アリタル場合ニ於テ前項ノ義務ノ行使又ハ保存ニ必要ナル行爲ノ方式ハ拒絕證書ヲ作ルベキ地又ハ其ノ行爲ヲ爲スベキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

七　振出人ハ小切手ノ支拂ノ委託ヲ取消シ又ハ支拂差止ノ手續ヲ爲シ得ルヤ否ヤ

八　小切手ノ喪失又ハ盜難ノ場合ニ爲スベキ手續

九　裏書人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對スル遡求權保全ノ爲拒絕證書又ハ之ト同一ノ效力ヲ有スル宣言ヲ必要トスルヤ否ヤ

第八十一條　拒絕證書ノ方式及作成期間其ノ他小切手上ノ權利ノ行使又ハ保存ニ必要ナル行爲ノ方式ハ拒絕證書ヲ作ルベキ地又ハ其ノ行爲ヲ爲スベキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

トハ第三十九條ノ規定ニ依リ之ヲ證明スルコトヲ要ス

第四十四條及第四十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十六條　支拂保證ニ因リ振出人其ノ他ノ小切手上ノ債務者ハ其ノ責ヲ免ルルコトナシ

第五十七條　第四十七條ノ規定ハ支拂保證ヲ爲シタル支拂人ニ對スル權利ノ行使ニ付之ヲ準用ス

第五十八條　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ニ對スル小切手上ノ請求權ハ呈示期間經過後一年ヲ以テ時效ニ罹ル

第十一章　通則

第五十九條　本法ニ於テ「銀行」トハ左ノ者ヲ謂フ

一　銀行ニ關スル件ニ依リ銀行ノ營業ヲ爲ス許可ヲ受ケタル者

二　貯蓄銀行ニ關スル法律ニ依リ貯蓄銀行ノ營業ヲ爲ス許可ヲ受ケタル者

三　朝鮮ニ於テハ朝鮮銀行

四　株式會社ニシテ其ノ營業ノ種類ニ付キ主務官廳ノ認可ヲ受ケタルモノ

第六十條　小切手ノ呈示及拒絕證書ノ作成ハ取引日ニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ得

小切手ニ關スル行爲ヲ爲スコトヲ得ル拒絕證書若ハ之ト同一ノ效力ヲ有スル宣言ノ作成ノ爲法令ニ規定シタル期間ノ末日ガ法定ノ休日ニ當ル場合ニ於テハ期間ハ其ノ滿了ニ次ク第一ノ取引日迄之ヲ伸長ス期間中ノ休日ノ之ヲ期間ニ算入ス

第六十一條　本法ニ規定スル期間ニハ其ノ初日ヲ算入セズ

第六十二條　恩惠日ハ法律上ノモノタルト裁判上ノモノタルトヲ問ハズ之ヲ認メズ

附　則

第六十三條　本法他行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和八年十二月勅令第三百十五號ヲ以テ昭和九年一月一日ヨリ施行）

第六十四條　商法第四編第四章ハ之ヲ削除ス

第六十五條　本法施行前ニ振出シタル小切手ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第六十六條　本法施行後六月內ニ日本ニ於テ振出ス小切手ハ振出地ノ記載ヲ缺クトキト雖モ小切手タルノ效力ヲ有ス

第七十條　本法ハ朝鮮、樺太、關東州、南洋群島又ハ勅令ヲ以テ指定スル臣細亞洲ノ地域ニ於テ振出シ日本內地ニ於テ支拂フベキ小切手ノ呈示期間ハ勅令ヲ以テ之ヲ伸長スルコトヲ得

第七十一條　第三十一條ノ手形交換所ハ司法大臣之ヲ指定ス

第七十二條　拒絕證書ノ作成ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十三條　小切手ノ振出人ガ第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ五千圓以下ノ過料ニ處ス

第七十四條　小切手ヨリ生ジタル權利ガ手續ノ欠缺又ハ時效ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ所持人ハ振出人、裏書人又ハ支拂保證ヲ爲シタル支拂人ニ對シ其ノ受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十五條　裏書人ノ他ノ裏書人及振出人ニ對スル小切手上ノ請求權ノ消滅時效ハ其ノ者ガ訴ヲ受ケタル場合ニ在リテハ前者ニ對シ訴訟告知ヲ爲シ因リテ中斷ス

前項ノ規定ニ因リテ中斷シタル時效ハ裁判ノ確定シタル時ヨリ更ニ其ノ進行ヲ始ム

第七十四條　振出人又ハ所持人ガ證券ノ表面ニ「計算ノ爲」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ヲ記載シテ現金ヲ支拂ヲ禁ジタル小切手ニシテ外國ニ於テ振出シ日本ニ於テ支拂フベキモノハ一般銀引小切手タル效力ヲ有ス

第七十五條　本法ニ於テ休日トハ祭日、祝日、日曜日其ノ他ノ一般ノ休日ヲ謂フ

第七十六條　小切手ニ依リ義務ヲ負フ者ノ能力ハ其ノ本國法ニ依リ之ヲ定ム其ノ國ノ法律ガ他國ノ法律ニ依ルコトヲ定ムルトキハ其ノ他國ノ法律ヲ適用ス

前條ニ掲グル法律ニ依リ能力ヲ有セザル者ト雖モ他ノ國ノ領域ニ於テ署名ヲ爲シ其ノ國ノ法律ニ依レバ能力ヲ有スベキトキト雖モ能力ヲ缺クモノトス

第七十七條　小切手ノ支拂人タルコトヲ得ル者ハ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ムル者ヲ支拂人トシタル爲小切手ガ無效ナルトキト雖モ之ト同一ノ規定ナキ他ノ國ニ於テ其ノ小切手ヲ爲シタル署名ヨリ生ズル債務ハ之ガ爲其ノ效力ヲ妨ゲラルルコトナシ

第七十八條　小切手上ノ行爲ノ方式ハ署名ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム但シ支拂地ノ屬スル國ノ法律ハ規定スル方式ニ依ルヲ以テ足ル

小切手上ノ行爲ガ前項ノ規定ニ依リ有效ナラザル場合ト雖モ後ノ行爲ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依レバ適式ナルトキハ後ノ行爲ハ前ノ行爲ガ不適式ナルコトニ因リ其ノ效力ヲ妨ゲラルルコトナシ

第七十九條　小切手ヨリ生ズル義務ノ效力ハ署名ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム但シ遡求權ヲ行使スル期間ハ一切ノ署名者ニ付遞券ノ振出地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第八十條　左ノ事項ハ小切手ノ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

一　小切手ハ一覽拂タルコトヲ要スルヤ否ヤ及先日附小切手ノ效力

二　呈示期間

三　小切手ニ引受、支拂保證、確認又ハ參證ヲ爲シ得ルヤ否ヤ及此等ノ記載ノ效力

四　所持人ハ一部支拂ヲ請求シ得ルヤ否ヤ及一部支拂ヲ受諾スル義務アリヤ否ヤ

五　小切手ニ線引ヲ爲シ得ルヤ否ヤ、小切手ニ「計算ノ爲」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル交言ヲ記載シ得ルヤ否ヤ及線引又ハ「計算ノ爲」ノ文字若ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル交言ノ記載ノ效力

六　所持人ハ裏金ニ對シ特別ノ權利ヲ有スルヤ否ヤ及此ノ權利ノ性質

七　振出人、支拂人及支拂ヲ受ケ又ハ之ヲ受クル者ヲ指圖ス旨ノ記載ノ效力

八　小切手ノ呈示期間

九　裏書人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對スル遡求權ハ呈示期間經過後何日ニ於テ時效ニ罹ルヤ

十　小切手ノ支拂ヲ爲スベキ債務者ノ他ノ債務者ニ對スル遡求權ハ呈示期間經過後何日ニ於テ時效ニ罹ルヤ

十一　小切手ノ支拂ヲ爲スベキ債務者ノ他ノ債務者ニ對スル遡求權ハ其ノ者ガ小切手ノ受戻ヲ爲シタル日又ハ其ノ者ガ訴ヲ受ケタル日ヨリ何日ニ於テ時效ニ罹ルヤ

十二　時效ノ中斷ノ事由ガ生ジタル者ニ對シテノミ其ノ效力ヲ生ズルヤ

十三　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ義務ヲ負フヤ

十四　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

十五　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

十六　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

十七　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

十八　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

十九　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

二十　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

二十一　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

二十二　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

二十三　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

二十四　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

二十五　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

二十六　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

二十七　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

二十八　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

二十九　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

三十　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

三十一　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

三十二　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

三十三　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

三十四　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

三十五　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

三十六　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

三十七　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

三十八　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

三十九　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

四十　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

四十一　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

四十二　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

四十三　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

四十四　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

四十五　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

四十六　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

四十七　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

四十八　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

四十九　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

五十　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

五十一　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

五十二　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

五十三　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

五十四　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

五十五　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

五十六　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

五十七　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

五十八　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

五十九　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

六十　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

六十一　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

六十二　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

六十三　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

六十四　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

六十五　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

六十六　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

六十七　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

六十八　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

六十九　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

七十　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

七十一　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

七十二　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

七十三　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

七十四　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

七十五　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

七十六　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

七十七　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

七十八　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

七十九　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

八十　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

八十一　支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間經過後何日ニ於テ小切手上ノ請求權ニ對シ時效ニ因リテ消滅スルヤ

●拒絕證書規則

昭和八年十二月
總令第百四十六號

拒絕證書規則左ノ通定ム

拒絕證書規則

第一條　手形（爲替手形、約束手形）及小切手ノ拒絕證書ハ公證人又ハ執達吏ノ職務ヲ行フ者之ヲ作ル

第二條　拒絕證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ公證人又ハ執達吏ノ職務ヲ行フ者之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一　拒絕者及被拒絕者ノ名稱

二　拒絕者ニ對スル請求ノ趣旨及拒絕者ガ其ノ請求ニ應ゼザリシコト、拒絕者ニ面會スルコト能ハザリシコト又ハ請求ヲ爲スベキ場所ガ知レザリシコト

三　請求ヲ爲シ又ハ之ヲ爲スコト能ハザリシ地及年月日

四　拒絕證書作成ノ場所及年月日

五　法定ノ場所外ニ於テ拒絕證書ヲ作ルトキハ拒絕者ガ之ヲ承諾シタルコト

支拂人ガ朝鮮ニ在ラザル場合ニ於テ依ルコトヲ定メタル手形法第二十四條第一項ノ規定ニ依リ第二ノ呈示ヲ爲スベキコトヲ請求シタルトキハ拒絕證書ニ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三條　拒絕證書ノ作成ハ手形若ハ小切手又ハ附箋ニ依リテ之ヲ爲ス

拒絕證書ハ手形又ハ小切手ノ裏面ニ記載シ

タル事項ニ接續シテ之ヲ作リ附箋ニ依ル場合ニ於テハ公證人又ハ執達吏ノ職務ヲ行フ者其ノ接目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第四條　手形又ハ小切手ノ數通ノ複本又ハ原本及謄本ヲ呈示シタル場合ニ於テ拒絕證書ヲ作ルトキハ其ノ作成ハ一通ノ複本若ハ原本又ハ附箋ニ依リ之ヲ爲スヲ以テ足ル

前項ノ規定ニ依リテ拒絕證書ヲ作リタルトキハ他ノ複本又ハ謄本ニ其ノ旨ヲ記載シ公證人又ハ執達吏ノ職務ヲ行フ者之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル手形法第六十八條第二項（同法第七十七條第一項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル拒絕證書ノ作成ハ手形ノ謄本又ハ附箋ニ依リテ之ヲ爲ス

引受ノ一部ノ拒絕ニ因ル拒絕證書ノ作成ハ公證人又ハ執達吏ノ職務ヲ行フ者ニ於テ手形ノ謄本ヲ作リ其ノ謄本又ハ附箋ニ依リテ之ヲ爲ス

第三條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條　數人ニ對スル請求又ハ同一人ニ對スル數回ノ請求ニ付テハ一通ノ拒絕證書ヲ作ラシムルヲ以テ足ル

第七條　拒絕證書ハ請求ヲ爲シタル場所ニ於テ之ヲ作ルコトヲ要ス但シ拒絕者ノ承諾アルトキハ他ノ場所ニ於テ之ヲ作ルコトヲ妨ゲズ

請求ヲ爲スベキ場所ガ知レザルトキハ拒絕證書ヲ作ルベキ公證人又ハ執達吏ノ職務ヲ行フ者ハ其ノ他ノ官署又ハ公署ニ問合ヲ爲スコトヲ要ス若シ問合ヲ爲スモ知レザルトキハ其ノ官署若ハ公署又ハ自己ノ役場ニ於テ拒絕證書ヲ作ルコトヲ得

第八條　公證人又ハ執達吏ノ職務ヲ行フ者ガ證書ヲ作リタルトキハ其ノ謄本ニ左ノ事項ヲ記載シ之ヲ其ノ役場ニ備フルコトヲ要ス

一　爲替手形、約束手形又ハ小切手ノ別及番號アルトキハ其ノ番號

二　金額

三　振出人、支拂人及支拂ヲ受ケ又ハ之ヲ受クル者ヲ指圖スル者ノ名稱

四　振出ノ年月日及振出地

五　滿期及支拂地

六　支拂人ノ爲指定セラレタル第三者、豫備支拂人又ハ參加引受人アルトキハ其ノ名稱

拒絕證書ガ滅失シタル場合ニ於テ利害關係人ノ請求アリタルトキハ前項ノ記載ヲ爲シタル際本ニ依リテ謄本ヲ作リ之ヲ利害關係人ニ交付スルコトヲ要ス此ノ謄本ハ原本ト同一ノ效力ヲ有ス

附　則

本令ハ昭和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●小切手法ノ適用ニ付銀行ト同視スベキ人又ハ施設ニ關スル件

昭和九年一月
總令第二號

小切手法ノ適用ニ付銀行ト同視スベキ人又ハ施設ニ關スル件ノ通定ム

第一條　內地、臺灣、樺太又ハ關東州ニ於テ振出シ朝鮮ニ於テ支拂フベキ小切手ノ呈示期間ハ之ヲ二十日トス

南洋群島ニ於テ振出シ朝鮮ニ於テ支拂フベキ小切手ノ呈示期間ハ之ヲ六十日トス

第二條　日本及滿洲國以外ノ亞細亞洲ノ地域ニ於テ振出シ朝鮮ニ於テ支拂フベキ小切手ノ呈示期間ハ之ヲ六十日トス

附　則

本令ハ昭和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●小切手法ノ適用ニ付銀行ト同視スベキ人又ハ施設ニ關スル件

昭和九年一月
總令第二號

小切手法ノ適用ニ付銀行ト同視スベキ人又ハ施設ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　內地、臺灣、樺太、關東州、南洋群島又ハ勅令ヲ以テ指定スル亞細亞洲ノ地域ニ於テ振出シ日本內地ニ於テ支拂フベキ小切手ノ呈示期間ハ勅令ヲ以テ之ヲ伸長スルコトヲ得

第六十九條　第三十一條ノ手形交換所ハ司法大臣之ヲ指定ス

第七十條　拒絕證書ノ作成ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十一條　小切手ノ振出人ガ第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ五千圓以下ノ過料ニ處ス

第七十二條　小切手ヨリ生ジタル權利ガ手續ノ欠缺又ハ時效ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ所持人ハ振出人、裏書人又ハ支拂保證ヲ爲シタル支拂人ニ對シ其ノ受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十三條　裏書人ノ他ノ裏書人及振出人ニ對スル小切手上ノ請求權ノ消滅時效ハ其ノ者ガ訴ヲ受ケタル場合ニ在リテハ前者ニ對シ訴訟告知ヲ爲シ因リテ中斷ス

前項ノ規定ニ因リテ中斷シタル時效ハ裁判ノ確定シタル時ヨリ更ニ其ノ進行ヲ始ム

第七十四條　振出人又ハ所持人ガ證券ノ表面ニ「計算ノ爲」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ヲ記載シテ現金ヲ支拂ヲ禁ジタル小切手ニシテ外國ニ於テ振出シ日本ニ於テ支拂フベキモノハ一般銀引小切手タル效力ヲ有ス

第七十五條　本法ニ於テ休日トハ祭日、祝日、日曜日其ノ他ノ一般ノ休日ヲ謂フ

第七十六條　小切手ニ依リ義務ヲ負フ者ノ能力ハ其ノ本國法ニ依リ之ヲ定ム其ノ國ノ法律ガ他國ノ法律ニ依ルコトヲ定ムルトキハ其ノ他國ノ法律ヲ適用ス

前條ニ掲グル法律ニ依リ能力ヲ有セザル者ト雖モ他ノ國ノ領域ニ於テ署名ヲ爲シ其ノ國ノ法律ニ依レバ能力ヲ有スベキトキト雖モ能力ヲ缺クモノトス

第七十七條　小切手ノ支拂人タルコトヲ得ル者ハ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ムル者ヲ支拂人トシタル爲小切手ガ無效ナルトキト雖モ之ト同一ノ規定ナキ他ノ國ニ於テ其ノ小切手ヲ爲シタル署名ヨリ生ズル債務ハ之ガ爲其ノ效力ヲ妨ゲラルルコトナシ

第七十八條　小切手上ノ行爲ノ方式ハ署名ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム但シ支拂地ノ屬スル國ノ法律ハ規定スル方式ニ依ルヲ以テ足ル

小切手上ノ行爲ガ前項ノ規定ニ依リ有效ナラザル場合ト雖モ後ノ行爲ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依レバ適式ナルトキハ後ノ行爲ハ前ノ行爲ガ不適式ナルコトニ因リ其ノ效力ヲ妨ゲラルルコトナシ

第七十九條　小切手ヨリ生ズル義務ノ效力ハ署名ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム但シ遡求權ヲ行使スル期間ハ一切ノ署名者ニ付遞券ノ振出地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第八十條　左ノ事項ハ小切手ノ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

一　小切手ハ一覽拂タルコトヲ要スルヤ否ヤ及一覽後定期拂トシテ振出シ得ルヤ否ヤ及先日附小切手ノ效力

二　呈示期間

三　小切手ニ引受、支拂保證、確認又ハ參證ヲ爲シ得ルヤ否ヤ及此等ノ記載ノ效力

四　所持人ハ一部支拂ヲ請求シ得ルヤ否ヤ及一部支拂ヲ受諾スル義務アリヤ否ヤ

五　小切手ニ線引ヲ爲シ得ルヤ否ヤ、小切手ニ「計算ノ爲」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル交言ヲ記載シ得ルヤ否ヤ及線引又ハ「計算ノ爲」ノ文字若ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル交言ノ記載ノ效力

六　所持人ハ裏金ニ對シ特別ノ權利ヲ有スルヤ否ヤ及此ノ權利ノ性質

●朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル手形法及小切手法ノ規定ニ依ル手形交換所

昭和八年十二月
總令第百四十八號

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル手形法第八十三條及小切手法第六十九條ノ規定ニ依リ手形交換所別表ノ通指定ス

附　則

本令ハ昭和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正六年朝鮮總督府令第十七號ハ之ヲ廢止ス

（別表）

名稱	所在地
京城手形交換所	京畿道京城府
仁川手形交換所	京畿道仁川府
群山手形交換所	全羅北道群山府
木浦手形交換所	全羅南道木浦府
大邱手形交換所	慶尙北道大邱府
釜山手形交換所	慶尙南道釜山府
平壤手形交換所	平安南道平壤府
鎭南浦手形交換所	平安南道鎭南浦府
元山手形交換所	咸鏡南道元山府

●商事非訟事件印紙法

明治二十三年八月
法律第六十六號

改正　明治四三年三第一六號、一五年四第六五號、昭和二年三第三二號

朕商事非訟事件印紙法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム此法律ハ明治二十四年一月一日ヨリ施行スヘキコトヲ命ス（明治二三年一二月法律第百九號ヲ以テ明治二四年一月一日ヨリ施行）

商事非訟事件印紙法

第一條　商法中登記ニ關スル場合ヲ除ク外非訟事件ニ付裁判所ノ命令其ノ他處分ヲ求ムル者ハ以下數條ノ手續ニ從ヒ其差出ス書類

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一　明治二十三年八月法律第六十六號商事非訟事件手續法（同年十月法律第一號）

一　明治二十三年八月法律第七十二號銀行條例（同年十月法律第一號）

●民事訴訟法

明治二十三年四月
法律第二十九號

改正　明治三一年第一二號、四四年同第七四號、大二號、昭和六年同第一七號、一〇年三號

廢民事訴訟法ヲ裁可シ之ヲ公布セシム此法律ハ明治二十四年一月一日ヨリ施行スヘキコトヲ命ス

民事訴訟法目錄

第一編　緒則

第一章　裁判所

第一節　管轄

裁判所職員ノ除斥、忌避及回避

第二節　當事者

第一節　當事者能力及訴訟能力

第二節　共同訴訟

第三節　訴訟參加

第四節　訴訟代理人及輔佐人

第三章　訴訟費用

第一節　訴訟費用ノ負擔

第二節　訴訟費用ノ擔保

第三節　訴訟上ノ救助

第四章　訴訟手續

第一節　口頭辯論

第二節　期日及期間

第三節　送達

第四節　裁判

第五節　訴訟手續ノ中斷及中止

第二編　第一審ノ訴訟手續

第一章　地方裁判所ノ訴訟手續

第一節　訴　訟

第二節　辯論ノ準備

第三節　證據

第一節　訴ハ被告ノ普通裁判籍所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第二節　人ノ普通裁判籍ハ住所ニ依リテ定ル

日本ニ住所ナキトキ又ハ住所ノ知レサルトキハ普通裁判籍ハ居所ニ依リ、居所ナキトキ又ハ居所ノ知レサルトキハ最後ノ住所ニ依リテ定ル

第三節　大使、公使其ノ他外國ニ在リテ治外法權ヲ享クル日本人カ前條ノ規定ニ依リ普通裁判籍ヲ有セサルトキハ其ノ者ノ普通裁判籍ハ東京市ニ在ルモノトス

第四節　法人其ノ他ノ社團又ハ財團ノ普通裁判籍ハ其ノ主タル事務所又ハ營業所ニ依リ、事務所又ハ營業所ナキトキハ主タル業務擔當者ノ住所ニ依リテ定ル

國ノ普通裁判籍ハ訴訟ニ付國ヲ代表スル官廳ノ所在地ニ依リテ定ル

第一項ノ規定ハ外國ノ社團又ハ財團ノ普通裁判籍ニ付テハ日本ニ於ケル事務所、營業所又ハ業務擔當者ニ之ヲ適用ス

第五條　財產權上ノ訴ハ義務履行地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第六條　寄留者ニ對スル財產權上ノ訴ハ寄留地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第七條　軍人、軍屬又ハ船員ニ對スル財產權上ノ訴ハ軍事用ノ廳舍ノ所在地又ハ艦船ノ本籍若ハ船籍ノ所在地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第八條　日本ニ住所ナキ者又ハ住所ノ知レサル者ニ對スル財產權上ノ訴ハ請求若ハ其ノ擔保ノ目的又ハ差押フルコトヲ得ヘキ被告ノ財產ノ所在地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第九條　事務所又ハ營業所ヲ有スル者ニ對スル訴ハ其ノ事務所又ハ營業所ニ於ケル業務ニ關スルモノニ限リ其ノ所在地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第十條　船舶又ハ航海ニ關シ船舶所有者其ノ

他船舶ノ利用ヲ爲ス者ニ對スル訴ハ船籍ノ所在地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第十一條　船舶債權其ノ他船舶ヲ以テ擔保スル債權ニ基ク訴ハ船舶ノ所在地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第十二條　會社其ノ他ノ社團ヨリ社員ニ對スル訴又ハ社員ニ對スル訴ニシテ其ノ資格ニ基クモノニ限リ會社其ノ他ノ社團ノ普通裁判籍所在地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ規定ハ社團又ハ財團ヨリ役員ニ對スル訴及會社ヨリ設起人又ハ檢查役ニ對スル訴ニモ之ヲ準用ス

第十三條　會社其ノ他ノ社團ノ債權者ヨリ社員ニ對シテ提起スル訴ハ社員タル資格ニ基クモノニ限リ前條ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第十四條　第十二條及前條ノ規定ハ社團、財團、社員又ハ社團ノ債權者ヨリ社員、役員、發起人又ハ檢查役タリシ者ニ對スル訴及社員タリシ者ヨリ社員ニ對スル訴ニモ之ヲ準用ス

第十五條　不法行爲ニ關スル訴ハ其ノ行爲アリタル地又ハ結果發生シタル地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

船舶ノ衝突其ノ他海上ノ事故ニ基ク損害賠償ノ訴ハ損害ヲ受ケタル船舶カ最初ニ到達シタル地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第十六條　海難救助ニ關スル訴ハ救助アリタル地又ハ救助ニ因リテ船舶カ最初ニ到達シタル地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第十七條　不動產ニ關スル訴ハ不動產所在地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第十八條　登記又ハ登錄ニ關スル訴ハ登記又ハ登錄ヲ爲スヘキ地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第十九條　相續權ニ關スル訴又ハ遺留分若ハ遺贈其ノ他死亡ニ因リテ效力ヲ生スヘキ行爲ニ關スル訴ハ相續開始ノ時ニ於ケル住所ニ相續人ノ普通裁判籍所在地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第二十條　相續債權其ノ他相續財產ノ負擔ニ關スル訴ニシテ前條ノ規定ニ該當セサルモノハ相續財產ノ全部又ハ一部カ前條ノ裁判所ノ管轄區域内ニ在ルトキニ限リ其ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第二十一條　一ノ訴ヲ以テ數個ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ第一條乃至前條ノ規定ニ依リ一ノ請求ニ付管轄權ヲ有スル裁判所ニモ其ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

第二十二條　裁判所構成法ニ依リ管轄カ訴訟ノ目的ノ價額ニ依リテ定マルトキハ其ノ價額ノ訴ヲ以テ主張スル利益ニ依リテ之ヲ算定ス

前項ノ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ハ千圓ヲ超過スルモノト看做ス

第二十三條　一ノ訴ヲ以テ數個ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ價額ヲ合算ス

果實、損害賠償、違約金又ハ費用ノ請求カ訴訟ノ附帶ノ目的ノトキハ其ノ價額ハ之ヲ訴訟ノ目的ノ價額ニ算入セス

第二十四條　左ノ場合ニ於テハ關係アル裁判所ニ共通スル直近上級裁判所ハ申立ニ因リ決定ヲ以テ管轄裁判所ヲ定ム

一　管轄裁判所及裁判所構成法第十三條第二項ノ規定ニ依リテ之ニ代ルヘキ裁判所カ法律上又ハ事實上裁判權ヲ行フコト能ハサルトキ

一　裁判所ノ管轄區域明確ナラサル爲管轄前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二十五條　當事者ハ第一審ニ限リ合意ニ依リ管轄裁判所ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ合意ハ一定ノ法律關係ニ基ク訴ニ關シ且書面ヲ以テ之ヲ爲スニ非サレハ其ノ效ナシ

第二十六條　被告カ第一審裁判所ニ於テ管轄違ノ抗辯ヲ提出セシテ本案ニ付辯論ヲ爲シ又ハ準備手續ニ於テ申述ヲ爲シタルトキハ其ノ裁判所ハ管轄權ヲ有ス

第二十七條　裁判所ハ管轄權ヲ有スト雖モ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ其ノ專屬管轄ニ屬スルモノヲ除クノ外申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二十八條　移送ノ裁判ハ訴訟ノ程度ニ從ヒ移送ヲ受ケタル裁判所ニ於テ之ヲ爲ス

移送ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

移送ノ申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二十九條　移送ノ裁判確定シタルトキハ訴訟ハ初ヨリ移送ヲ受ケタル裁判所ニ繫屬シタルモノト看做ス

第三十條　裁判所ハ其ノ管轄ニ屬スル訴訟ニ付著キ損害又ハ遲滯ヲ避クル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ專屬管轄ニ屬スルモノヲ除クノ外申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三十一條　移送ノ裁判ハ移送ヲ受ケタル裁判所ヲ拘束ス

第三十二條　移送ノ裁判ニ付テハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三十三條　移送ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

移送ノ申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三十四條　移送ノ裁判確定シタルトキハ訴訟ハ初ヨリ移送ヲ受ケタル裁判所ニ繫屬シタルモノト看做ス

前項ノ場合ニ於テハ移送ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ書記ハ其ノ裁判ノ正本ヲ訴訟記錄ニ添附シ移送ヲ受ケタル裁判所ノ書記ニ之ヲ送付スルコトヲ要ス

第二節　裁判所職員ノ除斥、忌避及回避

第三十五條　裁判ノ人左ノ場合ニ於テハ法律上其ノ職務ノ執行ヨリ除斥セラル

一　裁判又ハ其ノ妻若ハ妻タリシ者カ事件ノ當事者ナルトキ又ハ事件ニ付當事者ト共同權利者、共同義務者若ハ償還義務者タル關係ヲ有スルトキ

二　裁判ノ當事者ノ四親等内ノ血族若ハ三親等内ノ姻族ナルトキ又ハナリシトキ

三　裁判ノ當事者ノ後見人、後見監督人、保佐人又ハ主若ハ家族ナルトキ

四　裁判ノ事件ニ付證人又ハ鑑定人トナリ又ハナリシトキ

五　裁判ノ事件ニ付當事者ノ代理人又ハ輔佐人ナルトキ又ハナリシトキ

六　裁判ノ事件ニ付仲裁判斷ニ關與シ又ハ不服ヲ申立テラレタル前審ノ裁判ニ關與シタルトキ但シ他ノ裁判所ノ囑託ニ因リ受託判事トシテ其ノ職務ヲ行フコトヲ妨ケス

第三十六條　除斥ノ原因アルトキハ裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ除斥ノ裁判ヲ爲ス

第三十七條　裁判ノ當否ニ付裁判ノ公正ヲ妨クヘキ事情アルトキハ當事者ハ之ヲ忌避スルコトヲ得

當事者カ裁判ノ面前ニ於テ辯論ヲ爲シ又ハ準備手續ニ於テ申述ヲ爲シタルトキハ其ノ裁判事ヲ忌避スルコトヲ得ス但シ忌避ノ原因カ其ノ後ニ生シ又ハ當事者カ其原因アルコトヲ知ラサリシトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條　第三十六條又ハ前條ニ規定スル申立ハ其ノ原因ヲ開示シテ裁判事所屬ノ裁判所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

除斥又ハ忌避ノ原因ハ申立ヲ爲シタル日ヨリ三日内ニ之ヲ疎明スルコトヲ要ス前條第二項但書ノ事實亦同シ

第三十九條　合議裁判所ノ判事ノ除斥又ハ忌避ニ付テハ其ノ裁判所、區裁判所ノ判事ノ除斥又ハ忌避ニ付テハ其ノ裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所決定ヲ以テ裁判ヲ爲ス

第四十條　判事ハ其ノ除斥又ハ忌避ニ付裁判ニ關與スルコトヲ爲ス但シ意見ヲ述フルコトヲ得

第四十一條　除斥又ハ忌避ヲ理由アリトスル決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

前項ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四十二條　除斥又ハ忌避ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ付テノ裁判ノ確定ニ至ル迄訴訟手續ヲ停止スルコトヲ要ス但シ急速ヲ要スル行爲ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　第三十五條及第三十七條第一項ノ場合ニ於テハ判事ハ監督權アル判事ノ許可ヲ得テ職務ヲ辭スルコトヲ得

第四十四條　本節ノ規定ハ裁判所書記ニ之ヲ

準用ス此ノ場合ニ於テハ裁判ハ書記所ニ於ケル裁判所之ヲ爲ス

第二章　當事者

第一節　當事者能力及訴訟能力

第四十五條　第一節　當事者能力及訴訟能力

當事者能力、訴訟能力及訴訟無能力者ノ法定代理人ニ關スル規定ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外民法其ノ他ノ法令ニ從フ

第四十六條　訴訟ニ非サル社團又ハ財團ニシテ代表者又ハ管理人ノ定アルモノハ其ノ名ニ於テ訴ヘ又ハ訴ヘラルルコトヲ得

第四十七條　共同ノ利益ヲ有スル多數者ニシテ前條ノ規定ニ該當セサルモノハ其ノ中ヨリ總員ノ爲ニ原告若ハ被告ト爲ルヘキ一人若ハ數人ヲ選定シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ得

訴訟ノ繫屬ノ後前項ノ規定ニ依リテ原告又ハ被告ト爲ルヘキ者ヲ定メタルトキハ他ノ當事者ハ當然訴訟ヨリ脫退ス

第四十八條　前條ノ規定ニ依リテ選定セラレタル當事者中死亡其ノ他ノ事由ニ因リ其ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ他ノ當事者ニ於テ總員ノ爲ニ訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得

第四十九條　未成年者及禁治産者ハ法定代理人ニ依リテノミ訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得但シ未成年者カ獨立シテ法律行爲ヲ爲スコトヲ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十條　準禁治産者、妻又ハ法定代理人カ相手方ノ提起シタル訴又ハ上訴ニ付訴訟行爲ヲ爲スニハ保佐人ノ同意、夫ノ許可又ハ親族會ノ同意、其ノ他ノ授權ヲ要セス

準禁治産者、妻又ハ法定代理人カ訴、控訴若ハ上告ノ取下、和解、請求ノ拋棄若ハ認諾又ハ第七十二條ノ規定ニ依ル脫退ヲ爲スニハ常ニ特別ノ授權アルコトヲ要ス

第五十一條　外國人ハ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第五十二條　法定代理權又ハ訴訟行爲ヲ爲スニ必要ナル授權ノ證明ニ付テハ書面ヲ以テ之ヲ證スルコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第五十三條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ其ノ書面ノ之ヲ當事者雙方ニ送達スルコトヲ要ス

第六十條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ參加ノ許否ニ付決定ヲ以テ裁判ヲ爲ス

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條　當事者又ハ訴訟代理人カ裁判所ノ面前ニ於テ爲シタル訴訟行爲ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ其ノ權利ヲ喪失ス但シ其ノ異議カ訴訟行爲ノ當時ニ於テ之ヲ述フルコトヲ得サリシ事由ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘサリシ場合ニ於テハ參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第六十四條　訴訟ノ結果ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ其ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第六十五條　參加ノ申出ハ參加ノ趣旨及理由ヲ具シ參加ニ依リテ訴訟行爲ヲ爲スヘキ裁判所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキハ裁判所ハ參加人ニ訴訟能力ヲ有スルニ至ルマテ訴訟手續ノ中斷又ハ中止ヲ命スルコトヲ得

第六十六條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ其ノ參加ニ付裁判所ノ意見ヲ以テ之ヲ定ム但シ事情ニ從ヒ裁判所ノ面前ニ於テ口頭ヲ以テ之ヲ述フルコトヲ得

第六十七條　參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加人ト相手方トノ間ニ於ケル訴訟ニ付生シタル費用ノ負擔ニ關シテハ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ之ヲ定ム

第六十八條　參加ニ付異議アル場合ニ於テモ參加ノ許サルヘキ裁判所ハ期日ヲ定メ其ノ補正ヲ命シ若遲滯ノ爲損害ヲ生スル虞アルトキハ一時訴訟行爲ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十九條　訴訟能力、法定代理權又ハ訴訟行爲ヲ爲スニ必要ナル授權ノ欠缺アルトキハ裁判所ハ期間ヲ定メ其ノ補正ヲ命シ若遲滯ノ爲損害ヲ生スル虞アルトキハ一時訴訟行爲ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十條　法定代理權又ハ訴訟行爲ヲ爲スニ必要ナル授權ノ欠缺アル者カ爲シタル訴訟行爲ハ其ノ欠缺ナキニ至リタル時ニ遡リテ其ノ效力ヲ生ス

第七十一條　第五十三條及前條ノ規定ハ第四十七條ノ規定ニ依ル當事者カ訴訟行爲ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十二條　法定代理人カ代理權ヲ行フコト能ハサル場合又ハ法定代理人カ未成年者又ハ禁治産者ニ對シ訴訟行爲ヲ爲サムトスル者ハ遲滯ノ爲損害ヲ受クル虞アルコトヲ疏明シテ受訴裁判所ノ裁判長ニ特別代理人ノ選任ヲ申請スルコトヲ得

裁判所ハ何時ニテモ特別代理人ヲ改任スルコトヲ得

特別代理人カ訴訟行爲ヲ爲スニハ後見人ト同一ノ授權アルコトヲ要ス

第七十三條　特別代理人ノ選任及改任ノ命令ハ特別代理人ニモ之ヲ送達スルコトヲ要ス

第七十四條　法定代理權ノ消滅ハ本人又ハ代理人ヨリ之ヲ相手方ニ通知スルニ非サレハ其ノ效力ナシ

前項ノ規定ハ第四十七條ノ規定ニ依ル當事者ノ變更ニ之ヲ準用ス

第七十五條　本法中法定代理及法定代理人ニ關スル規定ハ法人ノ代表者及法人ニ非シテ其ノ名ニ於テ訴ヘ又ハ訴ヘラルルコトヲ得ル社團又ハ財團ノ代表者又ハ管理人ニ之ヲ準用ス

第二節　共同訴訟

第七十六條　訴訟ノ目的タル權利又ハ義務カ數人ニ付共通ナルトキ又ハ同一ノ事實上及法律上ノ原因ニ基クトキハ其ノ數人共同シテ又ハ其ノ數人ニ對シテ訴ヘ又ハ訴ヘラルルコトヲ得

訴訟ノ目的タル權利又ハ義務カ同種ニシテ事實上及法律上同種ノ原因ニ基クトキ亦同シ

第七十七條　他人間ノ訴訟ノ目的ノ全部又ハ一部ヲ自己ノ爲ニ請求スル者ハ其ノ訴訟ノ繫屬中當事者雙方ヲ共同被告トシ第一審ノ受訴裁判所ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

第七十八條　共同訴訟人ノ一人ニ付訴訟手續ノ中斷又ハ中止ノ原因アルトキハ其ノ中斷又ハ中止ハ全員ニ付其ノ效力ヲ生ス

第七十九條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第三節　訴訟參加

第八十條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ利益ニ於テノミ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第八十一條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第八十二條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ爲ニ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第八十三條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第八十四條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ共ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第八十五條　參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第八十六條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第八十七條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第八十八條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第八十九條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第九十條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第九十一條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第九十二條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第九十三條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第九十四條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第九十五條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第九十六條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第九十七條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第九十八條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第九十九條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

第百條　當事者ノ一方ノ爲ニスル訴訟行爲ハ參加人ノ利益ニ反スル場合ト雖モ其ノ效力ヲ妨ケス

初ニ遡リテ時效ノ中斷又ハ法律上ノ期間遵守ノ效力ヲ生ス

第七十四條　訴訟ノ繫屬中第三者カ其ノ訴訟ノ目的タル債務ヲ承繼シタルトキハ裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ其ノ第三者ヲシテ訴訟ヲ引受ケシムルコトヲ得

裁判所ハ前項ノ規定ニ依リテ決定ヲ爲ス前當事者及第三者ヲ審訊スルコトヲ要ス

第七十二條ノ規定中脫退及判決ノ效力ニ關スルモノハ第一項ノ規定ニ依リテ訴訟ノ引受アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　訴訟ノ目的カ當事者ノ一方及第三者ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ第三者ハ共同訴訟人トシテ訴訟ニ參加スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第六十五條ノ規定ヲ準用ス

訴訟告知ヲ受ケタル者ハ更ニ訴訟告知ヲ爲スコトヲ得

第七十六條　當事者ハ訴訟ノ繫屬中參加ヲ爲スコトヲ得ル第三者ニ其ノ訴訟ノ告知ヲ爲スコトヲ得

第七十七條　訴訟告知ハ理由及訴訟ノ程度ヲ記載シタル書面ヲ裁判所ニ提出シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ書面ハ相手方ニモ之ヲ送達スルコトヲ要ス

第七十八條　訴訟告知ヲ受ケタル者カ參加セサリシ場合ニ於テモ第七十條ノ規定ノ適用ニ付テハ參加シタルモノト看做ス

第四節　訴訟代理人及輔佐人

第七十九條　法令ニ依リテ裁判上ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ル代理人ノ外辯護士ニ非サレハ訴訟代理人タルコトヲ得ス但シ區裁判所ニ於テハ許可ヲ得テ辯護士ニ非サル者ヲ訴訟代理人ト爲スコトヲ得

前項ノ許可ハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得

第八十條　訴訟代理人ノ權限ハ書面ヲ以テ之ヲ證スルコトヲ要ス

前項ノ書面カ私文書ナルトキハ裁判所ハ當該吏員ノ認證ヲ受クヘキ旨ヲ訴訟代理人ニ命スルコトヲ得

第八十一條　訴訟代理人ハ委任ニ因ル權限ノ外特ニ訴訟ノ取下、和解、請求ノ拋棄若ハ認諾又ハ第七十二條ノ規定ニ依ル脫退ヲ爲スニハ特別ノ委任ヲ受クルコトヲ要ス

一　反訴ノ提起

二　訴ノ取下、和解、請求ノ拋棄若ハ認諾又ハ第七十二條ノ規定ニ依ル脫退

三　控訴上告又ハ其ノ取下

四　代理人ノ選任

訴訟代理權ハ之ヲ制限スルコトヲ得ス但シ辯護士ニ非サル訴訟代理人ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十二條　前條ノ規定ハ法令ニ依リテ裁判上ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ル代理人ノ權限ヲ妨ケス

第八十三條　數人ノ訴訟代理人アルトキハ各自當事者ヲ代理ス

當事者カ前項ノ規定ニ異ニ定ヲ爲スモ其ノ效力ヲ生セス

第八十四條　訴訟代理人ノ事實上ノ陳述ハ當事者カ直ニ之ヲ取消シ又ハ更正シタルトキハ其ノ效力ヲ生ス

第八十五條　訴訟代理權ハ當事者ノ死亡若ハ訴訟能力ノ喪失、當事者タル法人ノ合併ニ因ル消滅、當事者タル受託者ノ信託ノ任務終了又ハ法定代理人ノ死亡、訴訟能力ノ喪失若ハ代理權ノ消滅、變更ニ因リテ消滅セス

第八十六條　一定ノ資格ヲ有スル者ニシテ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲ス訴訟ノ當事者タルモノノ訴訟代理人ノ代理權ハ當事者ノ資格ノ喪失ニ因リテ消滅セス

裁判所ハ前項ノ規定ニ拘ラス權利ノ伸張又ハ防禦ニ必要ナラサル行爲ヲ爲シタル當事者ヲシテ其ノ行爲ニ因リテ生シタル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得

第八十七條　第八十九條乃至前條ノ規定ハ當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第八十八條　當事者又ハ訴訟代理人カ裁判所ノ面前ニ於テ爲シタル訴訟行爲ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ其ノ權利ヲ喪失ス但シ其ノ異議カ訴訟行爲ノ當時ニ於テ之ヲ述フルコトヲ得サリシ事由ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十九條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ利益ニ於テノミ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第九十條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第三節　訴訟參加

第九十一條　訴訟ノ結果ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ其ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第九十二條　參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第九十三條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ參加ノ許否ニ付決定ヲ以テ裁判ヲ爲ス

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第九十四條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ爲ニ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第九十五條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第九十六條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ共ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第九十七條　參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第九十八條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第九十九條　當事者又ハ訴訟代理人カ裁判所ノ面前ニ於テ爲シタル訴訟行爲ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ其ノ權利ヲ喪失ス但シ其ノ異議カ訴訟行爲ノ當時ニ於テ之ヲ述フルコトヲ得サリシ事由ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第百條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ爲ニ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第百一條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第百二條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ共ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第百三條　參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第百四條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百五條　當事者又ハ訴訟代理人カ裁判所ノ面前ニ於テ爲シタル訴訟行爲ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ其ノ權利ヲ喪失ス但シ其ノ異議カ訴訟行爲ノ當時ニ於テ之ヲ述フルコトヲ得サリシ事由ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第百六條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ爲ニ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第百七條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第百八條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ共ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第百九條　參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第百十條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百十一條　當事者又ハ訴訟代理人カ裁判所ノ面前ニ於テ爲シタル訴訟行爲ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ其ノ權利ヲ喪失ス但シ其ノ異議カ訴訟行爲ノ當時ニ於テ之ヲ述フルコトヲ得サリシ事由ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第百十二條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ爲ニ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第百十三條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第百十四條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ共ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第百十五條　參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第百十六條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百十七條　當事者又ハ訴訟代理人カ裁判所ノ面前ニ於テ爲シタル訴訟行爲ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ其ノ權利ヲ喪失ス但シ其ノ異議カ訴訟行爲ノ當時ニ於テ之ヲ述フルコトヲ得サリシ事由ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第百十八條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ爲ニ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第百十九條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第百二十條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ共ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第百二十一條　參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第百二十二條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十三條　當事者又ハ訴訟代理人カ裁判所ノ面前ニ於テ爲シタル訴訟行爲ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ其ノ權利ヲ喪失ス但シ其ノ異議カ訴訟行爲ノ當時ニ於テ之ヲ述フルコトヲ得サリシ事由ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第百二十四條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ爲ニ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第百二十五條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第百二十六條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ共ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第百二十七條　參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第百二十八條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十九條　當事者又ハ訴訟代理人カ裁判所ノ面前ニ於テ爲シタル訴訟行爲ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ其ノ權利ヲ喪失ス但シ其ノ異議カ訴訟行爲ノ當時ニ於テ之ヲ述フルコトヲ得サリシ事由ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第百三十條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ爲ニ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第百三十一條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第百三十二條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ共ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第百三十三條　參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第百三十四條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百三十五條　當事者又ハ訴訟代理人カ裁判所ノ面前ニ於テ爲シタル訴訟行爲ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ其ノ權利ヲ喪失ス但シ其ノ異議カ訴訟行爲ノ當時ニ於テ之ヲ述フルコトヲ得サリシ事由ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第百三十六條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ爲ニ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第百三十七條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第百三十八條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ共ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第百三十九條　參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第百四十條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十一條　當事者又ハ訴訟代理人カ裁判所ノ面前ニ於テ爲シタル訴訟行爲ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ其ノ權利ヲ喪失ス但シ其ノ異議カ訴訟行爲ノ當時ニ於テ之ヲ述フルコトヲ得サリシ事由ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第百四十二條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ爲ニ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第百四十三條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第百四十四條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ共ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第百四十五條　參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第百四十六條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十七條　當事者又ハ訴訟代理人カ裁判所ノ面前ニ於テ爲シタル訴訟行爲ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ其ノ權利ヲ喪失ス但シ其ノ異議カ訴訟行爲ノ當時ニ於テ之ヲ述フルコトヲ得サリシ事由ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第百四十八條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ爲ニ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

第百四十九條　第五十條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第百五十條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ共ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第百五十一條　參加ノ申出ハ參加人ヨリ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力者ト看做ス

第百五十二條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタル場合ニ於テハ參加ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加トシテ爲シ得ル訴訟行爲ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百五十三條　當事者又ハ訴訟代理人カ裁判所ノ面前ニ於テ爲シタル訴訟行爲ニ付異議ヲ述ヘサリシトキハ其ノ權利ヲ喪失ス但シ其ノ異議カ訴訟行爲ノ當時ニ於テ之ヲ述フルコトヲ得サリシ事由ニ基クトキハ此ノ限ニ在ラス

第百五十四條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ爲ニ其ノ效力ヲ生

ニ付擔保權利者ノ同意アリタルモノト看做ス

第一項及第二項ノ規定ニ依リ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第百一條　裁判所ハ訴訟費用額ヲ定ムル決定ヲ爲ス前相手方ニ費用計算書ノ謄本ヲ交付シ陳述ヲ爲スヘキ旨竝一定ノ期間内ニ費用計算書及費用額ノ疏明ニ必要ナル書面ヲ提出スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス

相手方ノ期間内ニ前項ノ書面ヲ提出セサルトキハ裁判所ハ申立人ノ費用ノミニ付裁判ヲ爲スコトヲ得但シ相手方ノ費用額ノ確定ヲ求ムル申立ヲ妨ケス

第百二條　裁判所カ訴訟費用額ヲ定ムル裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ前條第二項ノ場合ヲ除クノ外各當事者ノ負擔スヘキ費用ハ其ノ對當額ニ付相殺アリタルモノト看做ス

第百三條　第九十七條ノ場合ニ於テ當事者カ訴訟費用ノ負擔ヲ定メサルトキ又裁判所ノ申立ニ因リ決定ヲ以テ其ノ額ヲ定ムルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ第百二條第二項、第三項、第百一條及前條ノ規定ヲ準用ス

第百四條　前條ノ場合ヲ除クノ外訴訟カ裁判ニ因ラスシテ完結シタルトキハ裁判所ハ申立ニ因リ決定ヲ以テ訴訟費用ノ額ヲ定メ且其ノ負擔ヲ命スルコトヲ要ス參加又ハ之ニ付テノ異議ノ取下アリタルトキ亦同シ

第八十九條乃至第九十四條、第百條第二項第三項、第百一條及第百二條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五條　裁判所ハ裁判所書記ヲシテ訴訟費用額ノ計算ヲ爲サシムルコトヲ得

第百六條　費用ヲ要スル行爲ニ付テハ裁判所カ當事者ヲシテ其ノ費用ヲ豫納セシムルコトヲ得

豫納者カ裁判所ノ命ニ從ヒ費用ヲ豫納セサルトキハ裁判所ハ前項ノ行爲ヲ爲ササルコトヲ得

第二節　訴訟費用ノ擔保

第百七條　原告カ日本ニ住所、事務所及營業所ヲ有セサルトキハ裁判所ハ被告ノ申立ニ因リ訴訟費用ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ原告ニ命スルコトヲ要ス擔保ニ不足ヲ生シタルトキ亦同シ

前項ノ規定ハ請求ノ一部ニ付非ラサル場合ニ於テ其ノ額カ擔保ニ十分ナルトキハ之ヲ適用セス

第百八條　擔保ヲ供スヘキ事由アルコトヲ知リタル後被告カ本案ニ付辯論ヲ爲シ又ハ準備手續ニ於テ申述ヲ爲シタルトキハ擔保ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第百九條　擔保ノ申立ヲ爲シタル裁判所ガ擔保ヲ供スル遲延ヲ拒ムコトヲ得

第百十條　裁判所ハ擔保ヲ供スヘキコトヲ命スル決定ニ於テ擔保ヲ供スヘキ期間ヲ定ムルコトヲ要ス

擔保額ハ被告カ各審ニ於テ支出スヘキ費用ノ總額ヲ標準トシテ之ヲ定ム

第百十一條　擔保ノ申立ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第百十二條　擔保ヲ供スルニハ金錢又ハ裁判所カ相當ト認ムル有價證券ヲ供託スルコトヲ要ス但シ當事者カ別段ノ契約ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百十三條　被告ハ訴訟費用ニ付前條ノ規定ニ依リテ供託シタル金錢又ハ有價證券ノ上ニ質權者ト同一ノ權利ヲ有ス

第百十四條　原告カ擔保ヲ供スヘキ期間内ニ之ヲ供セサルトキハ裁判所ハ口頭辯論ヲ經スシテ判決ヲ以テ訴ヲ却下スルコトヲ得但シ判決前擔保ヲ供シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百十五條　擔保ヲ供シタル者カ擔保ノ事由止ミタルコトヲ證明シタルトキハ裁判所ハ申立ニ因リ擔保取消ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

擔保ヲ供シタル者カ擔保取消ニ付擔保權利者ノ同意ヲ得タルコトヲ證明シタルトキ亦前項ノ例ニ同シ

訴訟ノ完結後裁判所カ擔保ヲ供シタル者ノ申立ニ因リ擔保權利者ニ對シ一定ノ期間内ニ其ノ權利ヲ行使スヘキ旨ヲ催告シ擔保權利者カ其ノ行使ヲ爲ササルトキハ擔保取消ニ付テハ裁判所ハ申立ニ因リ決定ヲ以テ擔保ヲ供シタル者ノ申立ニ對シ

コトヲ得

裁判長、受命判事又ハ受託判事ハ其ノ定メタル期間ヲ伸長シ又ハ之ヲ短縮スルコトヲ得

第百五十九條　當事者カ其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ不變期間ヲ遵守スルコト能ハサリシ場合ニ於テハ其ノ事由ノ止ミタル後一週間内ニ限リ懈怠シタル訴訟行爲ノ追完ヲ爲スコトヲ得此ノ期間ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用セス

第三節　送達

第百六十條　送達ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外職權ヲ以テ之ヲ爲ス

第百六十一條　送達ニ關スル事務ハ裁判所書記之ヲ取扱フ

前項ノ事務ノ取扱ハ送達地ノ區裁判所ノ書記ニ之ヲ囑託スルコトヲ得

第百六十二條　送達ハ執達吏又ハ郵便ニ依リ之ヲ爲ス

郵便ニ依ル送達ニ在リテハ郵便集配人ヲ以テ送達ヲ爲ス吏員トス

第百六十三條　當該事件ニ付出頭シタル者ニ對シテハ裁判所書記自ラ送達ヲ爲スコトヲ得

第百六十四條　送達ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外送達ヲ受クヘキ者ニ送達スヘキ書類ノ謄本ヲ交付シテ之ヲ爲ス

送達スヘキ書類ノ提出ニ代ヘ調書ヲ作リタルトキハ其ノ調書ノ謄本又ハ抄本ヲ交付シテ送達ヲ爲ス

第百六十五條　訴訟無能力者ニ對スル送達ハ其ノ法定代理人ニ之ヲ爲ス

第百六十六條　數人カ共同シテ代理權ヲ行フヘキ場合ニ於テハ送達ハ其ノ一人ニ之ヲ爲スヲ以テ足ル

第百六十七條　軍事用ノ艦舍又ハ艦船ニ關スル者ニ對スル送達ハ其ノ艦舍又ハ艦船ノ長ニ之ヲ爲ス

第百六十八條　在監者ニ對スル送達ハ監獄ノ長ニ之ヲ爲ス

第百六十九條　送達ハ之ヲ受クヘキ者ノ住所、居所、營業所又ハ事務所ノ外ニテモ之ヲ爲スコトヲ得

但シ法定代理人ニ對スル送達ハ本人ノ營業所又ハ事務所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ送達ハ本人ニ付キ知レタル居所ニテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百七十條　送達ヲ爲スヘキ場所ニ於テ送達ヲ受クヘキ者カ正當ノ事由ナクシテ之ヲ受クルコトヲ拒ミタルトキハ送達ヲ爲スヘキ場所ニ書類ヲ差置クコトヲ得

第百七十一條　送達ヲ爲スヘキ場所ニ於テ送達ヲ受クヘキ者ニ出會ハサルトキハ事務員、雇人又ハ同居者ニシテ事理ヲ辨識スルニ足ルヘキ知能ヲ具フル者ニ書類ヲ交付スルコトヲ得

前項ニ掲クル者其ノ他書類ノ交付ヲ受ケヘキ者ニ付テハ裁判所書記書類ノ交付ヲ爲スコトヲ得

第百七十二條　前條ノ規定ニ依リテ送達ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判所書記書類ノ送達ヲ爲スヘキ場所ニ書類ヲ差置クコトヲ得

第百七十三條　第百七十條第二項又ハ前條ノ規定ニ依リテ書類ヲ郵便ニ付シテ發送スルコトヲ得

第百七十四條　日曜日其ノ他ノ一般ノ休日又ハ日出前日沒後ニ於テ執達吏ニ依ル送達ヲ爲スニハ裁判長ノ許可アルトキノ裁判所書記ハ送達ヲ受クヘキ者カ日本ニ住所、居所、營業所又ハ事務所ヲ有スルコト明ナラサルトキハ送達ハ其ノ者ニ出會ヒタル場所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得住所、居所、營業所又ハ事務所ヲ有スル者カ送達ヲ受クルコトヲ拒マサルトキ亦同シ

第百七十五條　當事者、法定代理人又ハ訴訟代理人ハ受訴裁判所ノ所在地ニ住所、居所、營業所又ハ事務所ヲ有セサルトキハ其ノ裁判所ノ所在地ニ於テ送達ヲ受クヘキ場所及送達受取人ヲ定メ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

送達ヲ受クヘキ者カ前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ者ニ對シテ送達スヘキ書類ハ前條第一項ノ規定ニ依リ送達スヘキ場所ニ宛テ書留郵便ニ付シテ之ヲ發送スルコトヲ得

第百七十六條　出陣ノ軍隊若ハ外國駐在ノ軍隊ニ屬スル者又ハ役務ニ服スル艦船ノ乘組員ニ對スル送達ハ裁判長上班司令官艦ニ囑託シテ之ヲ爲ス

前項ノ送達ニ付テハ第百六十七條ノ規定ヲ準用ス

第百七十七條　送達ヲ爲シタル吏員ハ書面ヲ作リ送達ニ關スル事項ヲ記載シ之ヲ裁判所ニ提出スルコトヲ要ス

第百七十八條　當事者ノ住所、居所其ノ他送達ヲ爲スヘキ場所カ知レサル場合又ハ外國ニ於テ爲スヘキ送達ニ付第百七十五條ノ規定ニ依ルコト能ハス若ハ之ニ依ルモ其ノ效ナシト認ムヘキ場合ニ於テハ申立ニ因リ裁判長ノ許可ヲ得テ公示送達ヲ爲スコトヲ得

同一ノ當事者ニ對スル爾後ノ公示送達ハ職權ヲ以テ之ヲ爲ス

第百七十九條　公示送達ハ裁判所書記送達スヘキ書類ヲ保管シ何時ニテモ送達ヲ受クヘキ者ニ交付スヘキ旨ヲ裁判所ノ掲示場ニ掲示シテ之ヲ爲ス但シ呼出狀ノ送達ハ呼出狀ヲ掲示場ニ貼附シテ之ヲ爲ス

裁判所ハ公示送達アリタルコトヲ官報又ハ新聞紙ニ掲載スヘキコトヲ命スルコトヲ得

但シ外國ニ於テ爲スヘキ送達ニ付テハ公示送達アリタルコトヲ郵便ニ付シテ通知スルコトヲ得

第百八十條　公示送達ハ前條第一項ノ規定ニ依ル掲示ヲ始メ又ハ貼附ヲ爲シタル日ヨリ二週間ヲ經過スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

但シ第百七十八條第二項ノ公示送達ハ掲示ヲ始メ又ハ貼附ヲ爲シタル日ノ翌日ニ於テ其ノ效力ヲ生ス

前項ノ期間ハ之ヲ短縮スルコトヲ得ス

第百八十一條　送達ニ關スル裁判長ノ權限ハ受命判事、受託判事及送達地ノ區裁判所ノ裁判事亦之ヲ有ス

第四節　裁判

第百八十二條　訴訟カ裁判ヲ爲スニ熟スルトキハ裁判所ハ終局判決ヲ爲ス

第百八十三條　訴訟ノ一部カ裁判ヲ爲スニ熟スルトキハ裁判所ハ其ノ一部ニ付終局判決ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ口頭辯論ノ併合ヲ命シタル數個ノ訴訟中其ノ一カ裁判ヲ爲スニ熟スル場合及本訴又ハ反訴カ裁判ヲ爲スニ熟スル場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　獨立シタル攻撃又ハ防禦ノ方法其ノ他中間ノ爭ニ付裁判ヲ爲スニ熟スルトキハ裁判所ハ中間判決ヲ爲スコトヲ得請求ノ原因及數額ニ付爭アル場合ニ於テ其ノ原因ニ付亦同シ

第百八十五條　裁判所ハ判決ヲ爲スニ當リ其ノ爲シタル口頭辯論ノ全趣旨及證據調ノ結果ヲ斟酌シ自由ナル心證ニ依リ事實上ノ主張ヲ眞實ト認ムヘキカ否ヲ判斷ス

第百八十六條　裁判所ハ當事者ノ申立テサル事項ニ付判決ヲ爲スコトヲ得ス

第百八十七條　判決ハ其ノ基本タル口頭辯論ニ關與シタル判事之ヲ爲ス

判事ノ更迭アル場合ニ於テハ當事者ハ從前ノ口頭辯論ノ結果ヲ陳述スルコトヲ要ス

第百八十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第百八十九條　判決ノ言渡ノ判決原本ニ基キ裁判長主文ヲ朗讀シテ之ヲ爲ス

裁判長ニ相當ト認ムルトキハ判決ノ理由ヲ朗讀シ又ハ口頭ヲ以テ其ノ要領ヲ告クルコトヲ得

第百九十條　判決ノ言渡ハ口頭辯論終結ノ日ヨリ二週間内ニ之ヲ爲ス但シ事件繁雜ナルトキ其ノ他特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

判決ノ言渡ハ當事者カ在廷セサル場合ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九十一條　判決ニハ左ノ事項ヲ記載シ判決ヲ爲シタル判事之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一　主文

二　事實及爭點

三　理由

四　當事者及法定代理人

五　裁判所

事實及爭點ノ記載ハ口頭辯論ニ於ケル當事者ノ陳述ニ基キ要領ヲ摘示シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

判事判決ニ署名捺印スルニ支障アルトキハ他ノ判事判決ニ其ノ事由ヲ記載シテ署名捺印スルコトヲ要ス

第百九十二條　判決ハ言渡後辯論ナク之ヲ裁判所書記ニ交付シ書記ハ言渡及交付ノ日ヲ附記シ之ニ捺印スルコトヲ要ス

第百九十三條　判決ハ交付ヲ受ケタル日ヨリ二週間内ニ之ヲ當事者ニ送達スルコトヲ要ス

第百九十四條　判決ノ送達ハ正本ヲ以テ之ヲ爲ス

第百九十五條　判決ニ違算、書損其ノ他之ニ類スル明白ナル錯誤アルトキハ裁判所ハ何時ニテモ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ更正決定ヲ爲スコトヲ得

更正決定ハ判決ノ原本及正本ニ之ヲ附記スルコトヲ要ス但シ正本ニ附記スルコト能ハサルトキハ決定ノ正本ヲ作リ之ヲ當事者ニ送達スルコトヲ要ス

更正決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得但シ判決ニ對シ適法ノ控訴アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百九十五條　裁判所カ請求ノ一部ニ付裁判ヲ脫漏シタルトキハ訴訟ハ其ノ請求ノ部分ニ付仍裁判所ニ繫屬ス

訴訟費用ノ裁判ヲ脫漏シタル場合ニ於テハ裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其ノ訴訟費用ニ付裁判ヲ爲ス但シ本案ノ裁判ニ對スル控訴アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百九十六條　裁判ノ更正ニ付テハ前三條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第百九十七條　裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其ノ訴訟費用ニ付裁判ヲ爲ス但シ本案ノ裁判ニ付テハ第百四條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依ル訴訟費用ノ裁判ハ本案判決ニ對シ適法ノ控訴アリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ控訴裁判所ハ訴訟ノ總費用ニ付裁判ヲ爲ス

第百九十八條　財産權上ノ請求ニ關スル判決ニ付テハ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ擔保ヲ供シ又ハ供セシテ假執行ヲ爲スコトヲ得ヘキコトヲ宣言スルコトヲ得

裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ擔保ヲ供シテ假執行ヲ免ルルコトヲ得ヘキコトヲ宣言スルコトヲ得

前二項ノ宣言ハ判決主文ニ之ヲ掲クルコトヲ要ス

第百九十九條　第百十二條、第百十三條、第百十五條及第百十六條ノ規定ハ前條ノ擔保ニ之ヲ準用ス

第百九十八條　假執行ノ宣言ハ其ノ宣言又ハ本案判決ヲ變更スル判決ノ言渡ニ因リ變更ス

本案判決ヲ變更スル場合ニ於テハ裁判所ハ被告ノ申立ニ因リ其ノ判決ニ於テ假執行ノ宣言ニ基キ被告カ給付シタルモノノ返還及假執行ニ因リ又ハ之ヲ免ルルカ爲被告ノ受ケタル損害ノ賠償ヲ原告ニ命スルコトヲ要ス

假執行ノ宣言ノミヲ變更シタルトキハ後ニ本案判決ヲ變更スル判決ニ付前項ノ規定ヲ適用ス

第百九十九條　確定判決ハ主文ニ包含スルモノニ限リ既判力ヲ有ス

相殺ノ爲主張シタル請求ノ成立又ハ不成立ノ判斷ハ相殺ヲ以テ對抗シタル額ニ付既判力ヲ有ス

第二百條　外國裁判所ノ確定判決ハ左ノ條件ヲ具備スル場合ニ限リ其ノ效力ヲ有ス

一　法令又ハ條約ニ於テ外國裁判所ノ裁判權ヲ否認セサルコト

二　敗訴ノ被告カ日本人ナル場合ニ於テハ公示送達ニ依ラスシテ訴訟ノ開始ニ必要ナル呼出若ハ命令ノ送達ヲ受ケタルコト又ハ之ヲ受ケサルモ應訴シタルコト

三　外國裁判所ノ判決カ日本ニ於ケル公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反セサルコト

四　相互ノ保證アルコト

第二百一條　確定判決ハ當事者、口頭辯論終結後ノ承繼人又ハ其ノ爲請求ノ目的物ヲ所持スル者ニ對シテ其ノ效力ヲ有ス

他人ノ爲原告又ハ被告トシテ爲リタル者ニ對スル確定判決ハ其ノ他人ニ對シテモ效力ヲ有ス

前二項ノ規定ハ假執行ノ宣言ニ之ヲ準用ス

第二百二條　不適法ナル訴ニシテ其ノ欠缺カ補正スルコト能ハサルモノナル場合ニ於テハ口頭辯論ヲ經スシテ判決ヲ以テ之ヲ却下スルコトヲ得

第二百三條　和解又ハ請求ノ拋棄若ハ認諾ヲ調書ニ記載シタルトキハ其ノ記載ハ確定判決ト同一ノ效力ヲ有ス

第二百四條　決定及命令ハ相當ト認ムル方法ヲ以テ之ヲ告知スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

裁判所書記ハ告知ノ方法、場所及年月日ヲ裁判ノ原本ニ附記シ之ニ捺印スルコトヲ要ス

第二百五條　訴訟ノ指揮ニ關スル決定及命令ハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得

第二百六條　裁判所書記ノ處分ニ對スル異議ニ付テハ其ノ書記所屬ノ裁判所決定ヲ以テ裁判ヲ爲ス

第二百七條　決定及命令ニハ其ノ性質ニ反セサル限リ判決ニ關スル規定ヲ準用ス

第五節　訴訟手續ノ中斷及中止

第二百八條　當事者カ死亡シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ相續人、相續財產管理人其ノ他法令ニ依リ訴訟ヲ續行スヘキ者ハ訴訟手續ヲ受繼クコトヲ要ス

相續人ハ相續ノ拋棄ヲ爲スコトヲ得此ノ間ハ訴訟手續ヲ受繼クコトヲ得ス

第二百九條　當事者タル法人カ合併ニ因リテ消滅シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ合併ニ因リテ設立シタル法人又ハ合併後存續スル法人ノ訴訟手續ヲ受繼クコトヲ要ス

前項ノ規定ハ合併ヲ以テ相手方ニ對抗スルコトヲ得サル場合ニハ之ヲ適用セス

第二百十條　當事者カ訴訟能力ヲ失ヒタルトキ又ハ其ノ法定代理人カ死亡シ若ハ代理權ヲ失ヒタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ法定代理人又ハ訴訟能力ヲ有スルニ至リタル當事者ハ訴訟手續ヲ受繼クコトヲ要ス

第二百十一條　受託者ノ信託ノ任務終了シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ新受託者訴訟手續ヲ受繼クコトヲ要ス

第二百十二條　一定ノ資格ヲ有スル者カ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲訴訟ノ當事者タル場合ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ同一ノ資格ヲ有スル者訴訟手續ヲ受繼クコトヲ要ス當事者ノ死亡ニ因リ訴訟手續カ中斷シタル場合亦同シ

第四十七條ノ規定ニ依リテ原告又ハ被告トナルヘキ者ヲ選定シタル訴訟ニ於テ其ノ選定セラレタル當事者ノ全員カ其ノ資格ヲ喪失シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ選定ヲ爲シタル者ノ總員又ハ新ニ原告若ハ被告トシテ選定セラレタル者ハ訴訟手續ヲ受繼クコトヲ要ス

第二百十三條　第二百八條第一項、第二百九條第一項及第二百十條乃至前條ノ規定ハ訴訟代理人アル間ハ之ヲ適用セス

第二百十四條　當事者カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テハ破產財團ニ關スル訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テ破產法ニ依ル受繼アルニ至ルマテ訴訟手續ハ中斷ス

第二百十五條　破產法ニ依リテ破產財團ニ關スル訴訟手續ノ受繼アリタル後破產手續ノ解止アリタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ破產者ハ訴訟手續ヲ受繼クコトヲ要ス

第二百十六條　訴訟手續ノ受繼ハ相手方ニ於テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

コトヲ得

第二百二十八條　訴狀カ第二百二十四條第一項ノ規定ニ違背スル場合ニ於テハ裁判長ハ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ欠缺ヲ補正スヘキコトヲ命スルコトヲ要ス法律ノ規定ニ從ヒ訴狀ニ印紙ヲ貼用セサル場合亦同シ原告カ欠缺ノ補正ヲ爲ササルトキハ裁判長ハ命令ヲ以テ訴狀ヲ却下スルコトヲ要ス

第二百二十九條　訴狀ハ之ヲ被告ニ送達スルコトヲ要ス

前條ノ規定ハ訴狀ノ送達ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三十條　裁判所ニ繫屬スル事件ニ付テハ當事者ハ更ニ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第二百三十一條　裁判所ニ繫屬スル事件ニ付テハ當事者ハ更ニ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第二百三十二條　原告ハ請求ノ基礎ニ變更ナキ限リ口頭辯論ノ終結ニ至ルマテ請求ノ趣旨又ハ原因ヲ變更スルコトヲ得但シ之ニ因リ著ク訴訟手續ヲ遲滯セシムヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

請求ノ變更ハ書面ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ書面ハ之ヲ相手方ニ送達スルコトヲ要ス

第二百三十三條　裁判所カ請求又ハ請求ノ原因又ハ變更ヲ不當ナリト認ムルトキハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其ノ變更ヲ許ササル旨ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

第二百三十四條　裁判カ訴訟ノ進行中爭ノ爲リタル法律關係ノ成立又ハ不成立ニ繫ルトキハ當事者ハ請求ヲ拡張シテ其ノ法律關係ノ確認ノ判決ヲ求ムルコトヲ得

但シ其ノ確認ノ請求カ他ノ裁判所ノ管轄ニ專屬セサルトキニ限ル

前項ノ規定ニ依リ請求ノ拡張ハ書面ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百三十五條　時效ノ中斷又ハ法律上ノ期間遵守ノ爲ス訴狀ノ送達ハ訴ヲ提起シタル時ニ於テ其ノ效力ヲ生ス

第二百三十六條　訴ハ判決ノ確定ニ至ル迄其ノ全部又ハ一部ヲ取下クルコトヲ得但シ相手方カ本案ニ付準備ノ口頭辯論ヲ爲シタル後ハ相手方ノ同意アルコトヲ要ス

訴ノ取下ハ書面ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ口頭辯論ニ於テ又ハ準備手續中受命判事ノ面前ニ於テ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ妨ケス

訴狀送達ノ後ニ在リテハ取下ノ書面ハ之ヲ相手方ニ送達スルコトヲ要ス

第二百三十七條　訴訟ハ訴ノ取下ニ因リテ終了ス

裁判所ハ前項ノ決定ヲ取消スコトヲ得

第二百三十八條　訴訟ハ當事者ノ和解ニ因リテ終了ス

和解ノ調書ニ記載シタル時ニ於テ其ノ效力ヲ生ス

第二百三十九條　和解ノ調書ハ確定判決ト同一ノ效力ヲ有ス

和解ニ無效又ハ取消ノ原因アルトキハ當事者ハ和解ノ調書ニ記載シタル時ニ於テ其ノ和解ヲ取消スコトヲ得

和解ノ取消ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第二百四十條　和解ノ調書ニ記載シタル和解ニ因リテ生シタル權利ニ付テハ其ノ和解ヲ爲シタル當事者ノ承繼人ト雖モ之ヲ援用スルコトヲ得

第二百四十一條　和解ノ調書ハ確定判決ト同一ノ效力ヲ有ス

和解ノ無效又ハ取消ヲ原因トスル再審ノ訴ニ付テハ和解ノ調書ハ確定判決ト同一ノ效力ヲ有ス

第二百四十二條　和解ノ調書ニ記載シタル和解ニ因リテ生シタル權利ニ付テハ其ノ和解ヲ爲シタル當事者ノ承繼人ト雖モ之ヲ援用スルコトヲ得

第二百四十三條　準備書面ハ之ニ記載シタル事項ニ付相手方ニ於テ準備ヲ爲スニ必要ナル期間ヲ存シ之ヲ裁判所ニ提出シ裁判所ハ之ヲ相手方ニ送達スルコトヲ要ス

裁判長ハ準備書面ヲ提出スヘキ期間ヲ定ムルコトヲ得

第二百四十四條　準備書面ニハ左ノ事項ヲ記載シ當事者又ハ代理人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一　當事者ノ氏名、名稱又ハ商號、職業及住所

二　代理人ノ氏名、職業及住所

三　事件ノ表示

四　攻撃又ハ防禦ノ方法

五　相手方ノ請求及攻撃又ハ防禦ノ方法ニ對スル陳述

六　附屬書類ノ表示

七　年月日

八　裁判所ノ表示

第二百四十五條　當事者ノ所持スル文書ニシテ準備書面ニ引用シタルモノハ準備書面ノ各通ニ其ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

文書ノ一部ノミヲ必要トスルトキハ其ノ抄本ヲ添附シ文書カ大部ナルトキハ其ノ文書ヲ表示スルヲ以テ足ル

第二百四十六條　前條ノ文書ハ相手方ノ求ニ因リ其ノ原本ヲ閲覽セシムルコトヲ要ス

第二百四十七條　準備書面ニ記載セサル事實ハ相手方カ在廷セサルトキハ口頭辯論ニ於テ之ヲ主張スルコトヲ得ス

第二百四十八條　外國語ヲ以テ作リタル文書ニハ其ノ譯文ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百四十九條　訴訟ニ付テハ受命判事ニ依リ口頭辯論ノ準備手續ヲ爲スコトヲ要ス但シ裁判所相當ト認ムルトキハ直ニ辯論ヲ命シ又ハ訴訟ノ一部若ハ或爭點ノミニ付準備手續ヲ命スルコトヲ得

第二百五十條　準備手續ニ於テハ調書ヲ作リ當事者ノ陳述ニ基キ第二百四十四條第四號及第五號ニ掲ケル事項ヲ記載シ株ニ證據ニ付テハ其ノ申出ヲ明確ニスルコトヲ要ス

第二百五十一條　受命判事ハ準備手續ヲ終結スルニ當リ其ノ旨ヲ當事者ニ告知スヘシ

第二百五十二條　受命判事ハ當事者ヲシテ準備手續ノ結果ヲ口頭ヲ以テ準備書面ノ記載ヲ引用シテ陳述セシムルコトヲ得

第二百五十三條　當事者カ期日ニ出頭セス又ハ前條ノ規定ニ依リ受命判事ノ定メタル期間内ニ準備書面ヲ提出セサルトキハ受命判事ハ準備手續ヲ終結スルコトヲ得

第二百五十四條　當事者ハ口頭辯論ニ於テ準備手續ノ結果ヲ陳述スルコトヲ要ス

第二百五十五條　調書又ハ之ニ代ルヘキ準備書面ニ記載セサル事項ハ口頭辯論ニ於テ之ヲ主張スルコトヲ得ス但シ其ノ事項カ裁判所職權ヲ以テ調査スヘキモノナルトキ、著ク訴訟ヲ遲滯セシメサルトキ又ハ重大ナル過失ナクシテ準備手續ニ於テ之ヲ提出スルコト能ハサリシコトヲ疏明シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ規定ハ第二百四十七條ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第二百五十六條　當事者ハ口頭辯論ニ於テ、準備書面ニ記載シタル事項ニ付テハ相手方ニ對シ直接ニ問ヲ發スルコトヲ得

第二百五十七條　裁判所ハ當事者ノ申出テタル證據ニシテ裁判所ニ於テ不必要ト認ムルモノハ之ヲ却ケルコトヲ要ス

第二百五十八條　當事者ハ一方ノ期日ニ出頭セサルトキハ前條ノ調書ノ謄本ヲ之ニ送達シ新期日ヲ定メ當事者雙方ヲ呼出スコトヲ得

第二百五十九條　受命判事ハ當事者ヲシテ準備書面ヲ提出セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二百四十三條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十條　當事者カ期日ニ出頭セス又ハ前條ノ規定ニ依リ受命判事ノ定メタル期間内ニ準備書面ヲ提出セサルトキハ受命判事ハ準備手續ヲ終結スルコトヲ得

第二百六十一條　裁判所ハ當事者ノ申出テタル證據ニ依リテ心證ヲ得ルコトヲ得但シ其ノ他必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スコトヲ得

第二百六十二條　裁判所ハ必要ナル調書ヲ官廳若ハ公署、外國ノ官廳若ハ公署又ハ學校、商業會議所、取引所其ノ他ノ團體ニ嘱託スルコトヲ得

第二百六十三條　證據調ハ當事者カ期日ニ出頭セサル場合ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第二百六十四條　外國ニ於テ爲スヘキ證據調ハ其ノ國ノ管轄官廳又ハ其ノ國ニ駐在スル日本ノ大使、公使若ハ領事ニ之ヲ嘱託シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

外國ニ於テ爲シタル證據調ハ其ノ國ノ法律ニ違背スルモ本法ニ違背セサルトキハ其ノ效力ヲ有ス

第二百六十五條　裁判所ハ相當ト認ムルトキノ裁判所外ニ於テ證據調ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ部員ニ命シ又ハ區裁判所ニ嘱託シテ證據調ヲ爲サシムルコトヲ得

受託判事カ他ノ區裁判所ニ於テ證據調ヲ爲スコトヲ相當ト認ムルトキハ更ニ證據調ノ嘱託ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ受託裁判所及當事者ニ通知スルコトヲ要ス

第二百六十六條　受託判事ハ證據調ニ關スル記錄ヲ受託裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

第二百六十七條　疏明ハ即時ニ取調フルコトヲ得ヘキ證據ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

裁判所ハ當事者若ハ法定代理人カ虚僞ノ申述ヲ爲シタルトキハ裁判所決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處ス

前項ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百六十八條　第二百六十五條乃至第二百六十七條ノ規定ハ前項ノ宣誓ニ之ヲ準用ス

第二百六十九條　前條第二項ノ規定ニ依リテ宣誓ヲ爲シタル當事者又ハ法定代理人カ虚僞ノ申述ヲ爲シタルトキハ裁判所決定ヲ以テ保證金ヲ沒取ス

第二百七十條　第二百六十七條第二項ノ規定ニ依リテ宣誓ヲ爲シタル當事者又ハ法定代理人カ虚僞ノ申述ヲ爲シタルトキハ宣誓ヲ爲サシメタル裁判所決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第二百七十一條　第二百六十八條及前條ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二款　證人訊問

第二百七十二條　裁判所ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外何人ト雖證人トシテ之ヲ訊問スルコトヲ得

第二百七十三條　官吏又ハ官吏タリシ者ヲ證人トシテ職務上ノ秘密ニ付訊問スル場合ニ於テハ裁判所ハ當該監督官廳ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ他ノ公務員ニ付之ヲ準用ス

第二百七十三條　國務大臣、宮內大臣、內大臣、樞密院議長、樞密院副議長、樞密顧問官、會計檢查院長、元帥、參謀總長、海軍軍令部長、教育總監若ハ軍事參議官又ハ此等ノ職ニ在リタル者ヲ證人トシテ職務上ノ秘密ニ付訊問スル場合ニ於テハ裁判所ハ勅許ヲ得ルコトヲ要ス

第二百七十四條　貴族院若ハ衆議院ノ議員又ハ議員タリシ者ヲ證人トシテ職務上ノ秘密ニ付訊問スル場合ニ於テハ裁判所ハ其ノ院ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

第二百七十五條　證人ノ訊問ノ申出ハ證人ヲ指定シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百七十六條　證人ノ呼出狀ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　當事者ノ表示

二　訊問事項ノ要領

三　出頭セサル場合ニ於ケル法律上ノ制裁

第二百七十七條　證人カ正當ノ事由ナクシテ出頭セサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ之ニ因リテ生シタル訴訟費用ノ負擔ヲ命シ且五百圓以下ノ過料ニ處スル此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百七十八條　前條ノ規定ハ證人カ宣誓又ハ證言ヲ拒ミタル場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十九條　證人カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ前條ノ規定ニ依ラス裁判所ハ決定ヲ以テ其ノ證言ニ因リテ生シタル訴訟費用ノ負擔ヲ命シ且百圓以下ノ過料ニ處スル此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

一　證人カ受訴裁判所ニ出頭スルニ付不相當ノ費用ヲ要スルトキ

二　證人カ受訴裁判所ニ出頭スルニ付不相當ノ時間ヲ要スルトキ

第二百八十條　證言カ證人又ハ左ニ掲ケル者ノ刑事上ノ訴追又ハ處罰ヲ招ク虞アル事項ニ關スルトキハ證人ハ證言ヲ拒ムコトヲ得

證言カ此等ノ者ノ恥辱ニ歸スヘキ事項ニ關スルトキ亦同シ

一　證人ノ配偶者、四親等內ノ血族若ハ三親等內ノ姻族又ハ證人ノ家ノ戶主但シ親族ニ付テハ親族關係止ミタル後亦同シ

二　證人ノ後見ヲ受ケル者

三　證人カ主人トシテ仕フル者

第二百八十一條　左ノ場合ニ於テハ證人ハ證言ヲ拒ムコトヲ得

一　第二百七十二條乃至第二百七十四條ノ場合

二　醫師、齒科醫師、藥劑師、藥種商、產婆、辯護士、辨理士、辯護人、公證人、宗教又ハ禮祀ノ職ニ在ル者又ハ此等ノ職ニ在リタル者カ職務上知リタル事實ニシテ默秘スヘキモノニ付訊問ヲ受ケルトキ

三　技術又ハ職業ノ秘密ニ關スル事項ニ付訊問ヲ受ケルトキ

前項ノ規定ハ證人カ默秘ノ義務ヲ免セラレタル場合ニハ之ヲ適用セス

第二百八十二條　證言拒絕ノ理由ハ之ヲ疏明スルコトヲ要ス

受命判事相當ト認ムルトキハ準備書面ヲ以テ前項ノ陳述及調書ニ代フルコトヲ得

第二百八十三條　當事者ノ一方カ期日ニ出頭セサルトキハ前條第二項ノ規定ニ依リテ保證金ノ供託ヲ爲シタルトキハ裁判所決定ヲ以テ保證金ヲ沒取ス

第二百八十四條　第二百六十七條第二項ノ規定ニ依リテ宣誓ヲ爲シタル當事者又ハ法定代理人カ虚僞ノ申述ヲ爲シタルトキハ裁判所決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第二百八十五條　第二百六十八條及前條ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百八十六條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百八十七條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百八十八條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百八十九條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百九十條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百九十一條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百九十二條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百九十三條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百九十四條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百九十五條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百九十六條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百九十七條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百九十八條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百九十九條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百一條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百二條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百三條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百四條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百五條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百六條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百七條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百八條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百九條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百十條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百十一條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百十二條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百十三條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百十四條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百十五條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百十六條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百十七條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百十八條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百十九條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百二十條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百二十一條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百二十二條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百二十三條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百二十四條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百二十五條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百二十六條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百二十七條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百二十八條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百二十九條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百三十條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百三十一條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百三十二條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百三十三條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百三十四條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百三十五條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百三十六條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百三十七條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百三十八條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百三十九條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百四十條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百四十一條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百四十二條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百四十三條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百四十四條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百四十五條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百四十六條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百四十七條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百四十八條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百四十九條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百五十條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百五十一條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百五十二條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百五十三條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百五十四條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百五十五條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百五十六條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百五十七條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百五十八條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百五十九條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百六十條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百六十一條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百六十二條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百六十三條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百六十四條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百六十五條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百六十六條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百六十七條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百六十八條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百六十九條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百七十條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百七十一條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百七十二條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百七十三條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百七十四條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百七十五條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百七十六條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百七十七條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百七十八條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百七十九條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百八十條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百八十一條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百八十二條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百八十三條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百八十四條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百八十五條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百八十六條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百八十七條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百八十八條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百八十九條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判所相當ト認ムル場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第三百九十條　證人ハ訊問ノ後宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得但シ裁判

第二百八十三條　第二百八十一條第一項第一號ノ場合ヲ除クノ外證言拒絶ノ當否ニ付テハ受訴裁判所當事者ヲ審問シテ裁判ヲ爲ス

證言拒絶ニ關スル裁判ニ對シテハ當事者及證人ハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百八十四條　證言拒絶ヲ理由ナシトスル裁判確定シタル後證人カ故ナク證言ヲ拒ムトキハ第二百七十七條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十五條　裁判長ハ證人ヲシテ訊問前宣誓ヲ爲サシムルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アルトキハ訊問後之ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十六條　宣誓ハ起立シテ厳肅ニ之ヲ行フコトヲ要ス

第二百八十七條　裁判長ハ宣誓前宣誓ノ趣旨ヲ諭示シ且僞證ノ罰ヲ警告スルコトヲ要ス

第二百八十八條　宣誓ハ證人ヲシテ宣誓書ヲ朗讀セシメ且之ニ署名捺印セシメテ之ヲ爲ス證人宣誓書ヲ朗讀スルコト能ハサルトキハ裁判長代リテ之ヲ朗讀ス

宣誓書ニハ良心ニ從ヒ眞實ヲ述ヘ何事ヲモ默秘セス又何事ヲモ附加セサルコトヲ誓フ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百八十九條　左ニ掲クル者ヲ證人トシテ訊問スルニハ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得ス

一　十六年未滿ノ者

二　宣誓ノ趣旨ヲ理解スルコト能ハサル者

第二百九十條　第二百八十條ノ規定ニ該當スル證人ニシテ證言拒絶ノ權利ヲ行ハサル者ヲ訊問スルニハ宣誓ヲ爲サシメサルコトヲ得

第二百九十一條　證人カ自己又ハ第二百八十條ニ掲クル者ニ對シ利害關係アル事項ニ付訊問ヲ受クルトキハ宣誓ヲ拒ムコトヲ得

第二百九十二條　宣誓ヲ爲サシメステ證人ヲ訊問シタルトキハ其ノ旨及事由ヲ調書ニ記載スルコトヲ要ス

第二百九十三條　證人ハ宣誓ノ趣旨ニ依リ官吏其ノ他ノ公務員カ職務上作成シタルモノト認ムヘキトキハ之ヲ眞正ナル公文書ト推定ス

公文書ノ眞否ニ付疑アルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ當該官廳又ハ公署ニ問合ヲ爲スコトヲ得

第三百二十條　前條ノ規定ハ外國ノ官廳又ハ公署ノ作成ニ係ルモノト認ムヘキ文書ニ之ヲ準用ス

第三百二十一條　私文書ハ本人又ハ其ノ代理人ノ署名又ハ捺印アルトキハ之ヲ眞正ナルモノト推定ス

第三百二十二條　文書ノ眞否ハ筆跡又ハ印影ノ對照ニ依リテモ之ヲ證スルコトヲ得

第三百二十三條　第三百十一條、第三百十四條乃至第三百十七條及第三百十九條乃至第三百二十一條ノ規定ハ對照ヲ用ヒテ文書ノ眞否ヲ決スル場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十四條　第三百十一條、第三百十四條乃至第三百十七條及第三百十九條乃至第三百二十一條ノ規定ハ對照ヲ用ヒテ文書ノ眞否ヲ決スル場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十五條　私文書ハ其ノ眞正ナルコトヲ證スルコトヲ要ス

第三百二十六條　私文書ハ本人又ハ其ノ代理人ノ署名又ハ捺印アルトキハ之ヲ眞正ナルモノト推定ス

第三百二十七條　文書ノ眞否ハ筆跡又ハ印影ノ對照ニ依リテモ之ヲ證スルコトヲ得

第三百二十八條　第三百十一條、第三百十四條乃至第三百十七條及第三百十九條乃至第三百二十一條ノ規定ハ對照ヲ用ヒテ文書ノ眞否ヲ決スル場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十九條　前條ノ場合ニ於テ當事者ヨリ提出シタル文書ノ眞否ニ付異議アルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ其ノ眞否ヲ決スルニ適當ナル筆跡又ハ印影ヲ具フル文書其ノ他ノ物件ノ提出又ハ送付ヲ命スルコトヲ得

第三百三十條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十一條　第三百十四條乃至第三百十七條及第三百十九條乃至第三百二十一條ノ規定ハ對照ヲ用ヒテ文書ノ眞否ヲ決スル場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十二條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十三條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十四條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十五條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十六條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十七條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十八條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十九條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十一條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十二條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十三條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十四條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十五條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十六條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十七條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十八條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十九條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十一條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十二條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十三條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十四條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十五條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十六條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十七條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十八條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十九條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十一條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十二條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十三條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十四條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十五條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十六條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十七條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十八條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十九條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十一條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十二條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十三條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十四條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十五條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十六條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十七條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十八條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十九條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十一條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十二條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十三條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十四條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十五條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十六條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十七條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十八條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十九條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十一條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十二條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十三條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十四條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十五條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十六條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十七條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十八條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十九條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百一條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百二條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百三條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百四條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百五條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百六條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百七條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百八條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百九條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百十條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百十一條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百十二條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百十三條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百十四條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百十五條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百十六條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百十七條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百十八條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百十九條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十一條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十二條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十三條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十四條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十五條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十六條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十七條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十八條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十九條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十一條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十二條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十三條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十四條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十五條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十六條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十七條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十八條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十九條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

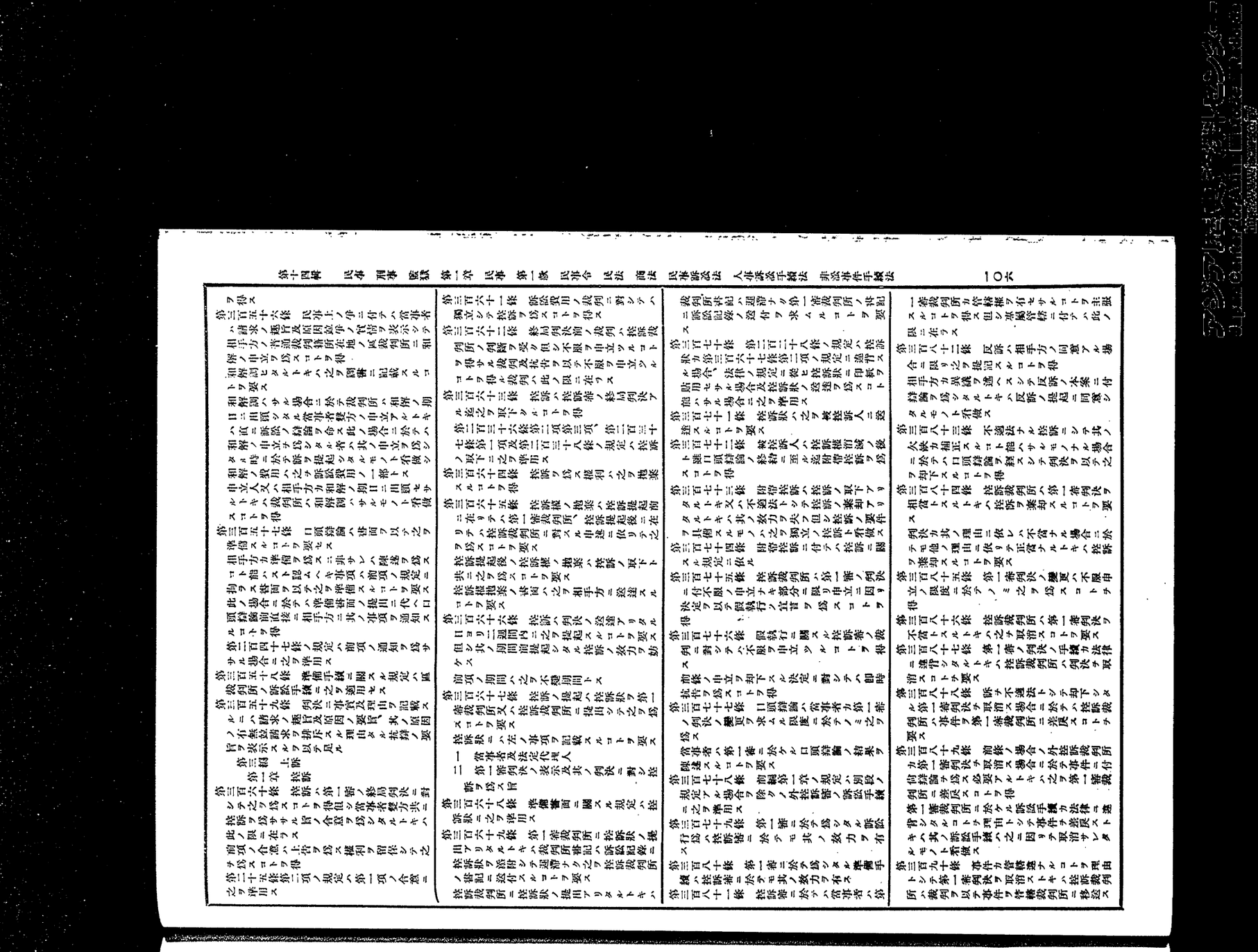
第四百四十條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十一條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十二條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十三條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ五百圓以下ノ過料ニ處シ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十四條　第三者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル提出ノ命ニ從ハサルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ



スル　第四百三十三條　支拂命令ノ申立カ第四百三十條若ハ管轄ニ關スル規定ニ違背スルトキ又ハ申立ノ趣旨ニ依リ請求ノ理由ナキコト明ナルトキハ其ノ申立ハ之ヲ却下スルコトヲ要ス請求ノ一部ニ付支拂命令ヲ發スルコトヲ得サルトキ其ノ一部ニ付亦同シ　申立却下ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス　第四百三十四條　支拂命令ハ債務者ヲ審訊セシテ之ヲ發ス　債務者ハ支拂命令ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得　第四百三十五條　支拂命令ハ當事者、法定代理人竝請求ノ趣旨及原因ヲ記載シ且債務者カ支拂命令送達ノ日ヨリ二週間內ニ異議ヲ申立テサルトキハ債權者ノ申立ニ因リ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス　第四百三十六條　支拂命令ハ之ヲ當事者ニ送達スルコトヲ要ス　第四百三十七條　債務者カ假執行ノ宣言前異議ヲ申立テタルトキハ支拂命令ノ其ノ異議ノ範圍內ニ於テ效力ヲ失フ　第四百三十八條　債務者カ支拂命令送達ノ日ヨリ二週間內ニ異議ヲ申立テサルトキハ裁判所ハ債權者ノ申立ニ因リ支拂命令ニ手續費用額ヲ附記シ假執行ノ宣言ヲ爲スコトヲ要ス但シ其ノ宣言前異議ノ申立アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス　假執行ノ宣言ハ支拂命令ノ原本及正本ニ之ヲ記載シ其ノ正本ヲ當事者ニ送達スルコトヲ要ス　假執行ノ申立却下ノ決定ニ對シテハ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得　第四百三十九條　卽時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス決定又ハ命令カ確定シタル場合ニ於テ第四百二十條第一項ニ揭ケル事由アルトキハ確定判決ニ對スル第四百二十條乃至前條ノ規定ニ準シ再審ノ申立ヲ爲スコトヲ得　第五編　督促手續　第四百三十條　金錢其ノ他ノ代替物又ハ有價證券ノ一定ノ數量ノ給付ヲ目的トスル請求ニ付テハ裁判所ハ債權者ノ申立ニ因リ支拂命令ヲ發スルコトヲ得但シ日本ニ於テ公示送達ニ依ラスシテ其ノ命令ノ送達ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ限ル　第四百三十一條　督促手續ハ債務者ノ普通裁判籍所在地ノ區裁判所又ハ第九條ノ規定ニ依ル管轄區裁判所ノ專屬管轄トス　第四百三十二條　支拂命令ノ申立ニハ其ノ性質ニ反セサル限リ訴ニ關スル規定ヲ準用スル外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス　一　當事者及法定代理人　二　不服ノ申立アル判決ノ表示及其ノ判決ニ對シ再審ヲ求ムル者　三　不服ノ理由　第四百三十六條　本案ノ辯論及裁判ハ不服ノ範圍內ニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ得　不服ノ理由ハ之ヲ變更スルコトヲ得　第四百三十八條　再審ノ事由アル場合ニ於テモ判決ヲ正當トスルトキハ裁判所ハ再審ノ訴ヲ却下スルコトヲ要ス　第四百三十九條　卽時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ル決定又ハ命令カ確定シタル場合ニ於テ第四百二十條第一項ニ揭ケル事由アルトキハ確定判決ニ對スル第四百二十條乃至前條ノ規定ニ準シ再審ノ申立ヲ爲スコトヲ得　第五編　督促手續　第四百三十條　金錢其ノ他ノ代替物又ハ有價證券ノ一定ノ數量ノ給付ヲ目的トスル請求ニ付テハ裁判所ハ債權者ノ申立ニ因リ支拂命令ヲ發スルコトヲ得但シ日本ニ於テ公示送達ニ依ラスシテ其ノ命令ノ送達ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ限ル　第四百三十一條　督促手續ハ債務者ノ普通裁判籍所在地ノ區裁判所又ハ第九條ノ規定ニ依ル管轄區裁判所ノ專屬管轄トス　第四百三十二條　支拂命令ノ申立ニハ其ノ性質ニ反セサル限リ訴ニ關スル規定ヲ準用スル外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス　一　當事者及法定代理人　二　不服ノ申立アル判決ノ表示及其ノ判決ニ對シ再審ヲ求ムル者　三　不服ノ理由　第四百三十六條　本案ノ辯論及裁判ハ不服ノ範圍內ニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ得　不服ノ理由ハ之ヲ變更スルコトヲ得　第四百三十八條　再審ノ事由アル場合ニ於テモ判決ヲ正當トスルトキハ裁判所ハ再審ノ訴ヲ却下スルコトヲ要ス　第四百三十九條　卽時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ル決定又ハ命令カ確定シタル場合ニ於テ第四百二十條第一項ニ揭ケル事由アルトキハ確定判決ニ對スル第四百二十條乃至前條ノ規定ニ準シ再審ノ申立ヲ爲スコトヲ得　第五編　督促手續　第四百三十條　金錢其ノ他ノ代替物又ハ有價證券ノ一定ノ數量ノ給付ヲ目的トスル請求ニ付テハ裁判所ハ債權者ノ申立ニ因リ支拂命令ヲ發スルコトヲ得但シ日本ニ於テ公示送達ニ依ラスシテ其ノ命令ノ送達ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ限ル　第四百三十一條　督促手續ハ債務者ノ普通裁判籍所在地ノ區裁判所又ハ第九條ノ規定ニ依ル管轄區裁判所ノ專屬管轄トス　第四百三十二條　支拂命令ノ申立ニハ其ノ性質ニ反セサル限リ訴ニ關スル規定ヲ準用スル外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス　一　當事者及法定代理人　二　不服ノ申立アル判決ノ表示及其ノ判決ニ對シ再審ヲ求ムル者　三　不服ノ理由　第四百二十七條　本案ノ辯論及裁判ハ不服ノ範圍內ニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ得　不服ノ理由ハ之ヲ變更スルコトヲ得　第四百二十八條　再審ノ事由アル場合ニ於テモ判決ヲ正當トスルトキハ裁判所ハ再審ノ訴ヲ却下スルコトヲ要ス　第四百二十九條　卽時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ル決定又ハ命令カ確定シタル場合ニ於テ第四百二十條第一項ニ揭ケル事由アルトキハ確定判決ニ對スル第四百二十條乃至前條ノ規定ニ準シ再審ノ申立ヲ爲スコトヲ得　第五編　督促手續　第四百三十條　金錢其ノ他ノ代替物又ハ有價證券ノ一定ノ數量ノ給付ヲ目的トスル請求ニ付テハ裁判所ハ債權者ノ申立ニ因リ支拂命令ヲ發スルコトヲ得但シ日本ニ於テ公示送達ニ依ラスシテ其ノ命令ノ送達ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ限ル　第四百三十一條　督促手續ハ債務者ノ普通裁判籍所在地ノ區裁判所又ハ第九條ノ規定ニ依ル管轄區裁判所ノ專屬管轄トス　第四百三十二條　支拂命令ノ申立ニハ其ノ性質ニ反セサル限リ訴ニ關スル規定ヲ準用

六　判決ノ證擇ト爲リタル文書其ノ他ノ物件カ僞造又ハ變造セラレタルモノナリシトキ　七　證人、鑑定人、通事又ハ宣誓シタル當事者若ハ法定代理人ノ虛僞ノ陳述カ判決ノ證擇ト爲リタルトキ　八　判決ノ基礎ト爲リタル民事若ハ刑事ノ判決其ノ他ノ裁判又ハ行政處分カ後ノ裁判又ハ行政處分ニ依リテ變更セラレタルトキ　九　判決ニ影響ヲ及ホスヘキ重要ナル事項ニ付判斷ヲ遺脫シタルトキ　十　不服ノ申立アル判決カ前ニ言渡サレタル確定判決ト牴觸スルトキ

前項第四號乃至第七號ノ場合ニ於テハ關スヘキ行爲ニ付有罪ノ判決若ハ過料ノ裁判確定シタルトキ又ハ證據欠缺外ノ理由ニ因リ有罪ノ確定判決若ハ過料ノ確定裁判ヲ得ル能ハサルトキニ限リ再審ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

控訴審ニ於テ事件ニ付本案判決ヲ爲シタルトキハ第一審ノ判決ニ對シ再審ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百二十一條　判決ノ基本タル裁判ニ付前條ニ定メタル事由アルトキハ其ノ裁判ニ對シ獨立ノ不服ノ方法ヲ完メタル場合ニ於テモ其ノ事由ヲ以テ判決ニ對スル再審ノ理由ト爲スコトヲ得

第四百二十二條　再審ハ不服ノ申立アル判決ヲ爲シタル裁判所ノ專屬管轄トス

管級ヲ異ニスル裁判所カ同一事件ニ付爲シタル判決ニ對スル再審ノ訴ハ上級裁判所併セテ之ヲ管轄ス

第四百二十三條　再審ノ訴訟手續ニハ其ノ性質ニ反セサル限リ各審級ニ於ケル訴訟手續ニ關スル規定ヲ準用ス

第四百二十四條　再審ノ訴ハ當事者カ判決確定後再審ノ事由ヲ知リタル日ヨリ三十日內ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

前項ノ期間ハ之ヲ不變期間トス

判決確定後五年ヲ經過シタルトキハ再審ノ訴ハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

再審ノ事由カ判決確定後ニ生シタルトキハ前項ノ期間ハ其ノ事由發生ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第四百二十五條　前條ノ規定ハ代理權ノ欠缺及第四百二十條第十號ニ揭ケル事項ヲ理由トスル再審ノ訴ニハ之ヲ適用セス

第四百二十六條　訴狀ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス　一　當事者及法定代理人　二　不服ノ申立アル判決ノ表示及其ノ判決ニ對シ再審ヲ求ムル者　三　不服ノ理由

第四百二十七條　本案ノ辯論及裁判ハ不服ノ範圍內ニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ得　不服ノ理由ハ之ヲ變更スルコトヲ得

第四百二十八條　再審ノ事由アル場合ニ於テモ判決ヲ正當トスルトキハ裁判所ハ再審ノ訴ヲ却下スルコトヲ要ス

第四百二十九條　卽時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ル決定又ハ命令カ確定シタル場合ニ於テ第四百二十條第一項ニ揭ケル事由アルトキハ確定判決ニ對スル第四百二十條乃至前條ノ規定ニ準シ再審ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第四百三十條　金錢其ノ他ノ代替物又ハ有價證券ノ一定ノ數量ノ給付ヲ目的トスル請求ニ付テハ裁判所ハ債權者ノ申立ニ因リ支拂命令ヲ發スルコトヲ得但シ日本ニ於テ公示送達ニ依ラスシテ其ノ命令ノ送達ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ限ル　第四百三十一條　督促手續ハ債務者ノ普通裁判籍所在地ノ區裁判所又ハ第九條ノ規定ニ依ル管轄區裁判所ノ專屬管轄トス　第四百三十二條　支拂命令ノ申立ニハ其ノ性質ニ反セサル限リ訴ニ關スル規定ヲ準用

第四百三十三條　支拂命令ノ申立カ第四百三十條若ハ管轄ニ關スル規定ニ違背スルトキ又ハ申立ノ趣旨ニ依リ請求ノ理由ナキコト明ナルトキハ其ノ申立ハ之ヲ却下スルコトヲ要ス請求ノ一部ニ付支拂命令ヲ發スルコトヲ得サルトキ其ノ一部ニ付亦同シ　申立却下ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス　第四百三十四條　支拂命令ハ債務者ヲ審訊セシテ之ヲ發ス　債務者ハ支拂命令ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得　第四百三十五條　支拂命令ハ當事者、法定代理人竝請求ノ趣旨及原因ヲ記載シ且債務者カ支拂命令送達ノ日ヨリ二週間內ニ異議ヲ申立テサルトキハ債權者ノ申立ニ因リ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス　第四百三十六條　支拂命令ハ之ヲ當事者ニ送達スルコトヲ要ス　第四百三十七條　債務者カ假執行ノ宣言前異議ヲ申立テタルトキハ支拂命令ノ其ノ異議ノ範圍內ニ於テ效力ヲ失フ　第四百三十八條　債務者カ支拂命令送達ノ日ヨリ二週間內ニ異議ヲ申立テサルトキハ裁判所ハ債權者ノ申立ニ因リ支拂命令ニ手續費用額ヲ附記シ假執行ノ宣言ヲ爲スコトヲ要ス但シ其ノ宣言前異議ノ申立アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス　假執行ノ宣言ハ支拂命令ノ原本及正本ニ之ヲ記載シ其ノ正本ヲ當事者ニ送達スルコトヲ要ス　假執行ノ申立却下ノ決定ニ對シテハ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得　第四百三十九條　卽時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ル決定又ハ命令カ確定シタル場合ニ於テ第四百二十條第一項ニ揭ケル事由アルトキハ確定判決ニ對スル第四百二十條乃至前條ノ規定ニ準シ再審ノ申立ヲ爲スコトヲ得　第五編　督促手續　第四百三十條　金錢其ノ他ノ代替物又ハ有價證券ノ一定ノ數量ノ給付ヲ目的トスル請求ニ付テハ裁判所ハ債權者ノ申立ニ因リ支拂命令ヲ發スルコトヲ得但シ日本ニ於テ公示送達ニ依ラスシテ其ノ命令ノ送達ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ限ル　第四百三十一條　督促手續ハ債務者ノ普通裁判籍所在地ノ區裁判所又ハ第九條ノ規定ニ依ル管轄區裁判所ノ專屬管轄トス　第四百三十二條　支拂命令ノ申立ニハ其ノ性質ニ反セサル限リ訴ニ關スル規定ヲ準用

又ハ適法ナル上訴ノ提起ニ付キ定メタル期間ノ滿了前ニハ確定セサルモノトス

判決ノ確定ハ故障若クハ上訴ヲ其期間內ニ申立若クハ提起スルニ因リ之ヲ遮斷ス

第四百九十九條　原告若クハ被告カ判決ノ確定ニ付キ證明書ヲ求ムルトキハ第一審裁判所ノ書記ハ記錄ニ基キ之ヲ付與ス

訴訟カ猶ホ上級審ニ於テ繫屬中ナルトキハ上級裁判所ノ書記ハ判決ノ確定ト爲リタル部分ノミニ付キ證明書ヲ付與ス

判決ニ對シ上訴ノ提起ナキ場合ニ非サレハ證明書ヲ付與スルコトヲ得サルトキニ限リ上訴ヲ管轄スル裁判所ノ書記カ不變期間內ニ上訴ノ提起ナキコトヲ認メタル證明書ヲ以テ足ル

第五百條　再審ヲ求ムル申立アルトキハ裁判所ハ申立ニ因リ保證ヲ立テシメ又ハ保證ヲ立テシメスシテ强制執行ヲ一時停止スルコトヲ命シ又ハ保證ヲ立テシメテ强制執行ヲ爲スヲ命シ及ヒ保證ヲ立テシメテ其爲シタル强制處分ヲ取消スコトヲ命スルコトヲ得

保證ヲ立テシメスシテ爲ス强制執行ノ停止ハ其執行ニ因リ償フコト能ハサル損害ヲ生スル虞アルコトヲ疏明スルトキニ限リ之ヲ許ス

右裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得其裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五百一條乃至第五百十一條　削除

第五百十二條　假執行ノ宣言ヲ付シタル判決ニ對シ上訴ヲ提起シタルトキ及ハ假執行ノ宣言ヲ付シタル支拂命令ニ對シ異議ヲ申立テタルトキハ第五百條ノ規定ヲ準用ス

第五百十三條　本綱ノ規定ニ從ヒ原告若クハ被告ニ保證ヲ立ツル義務ヲ負ハシメ若クハ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲スコトヲ許シタル場合ニ於テハ原告若クハ被告ハ其普通裁判籍ヲ有スル地ノ區裁判所又ハ執行裁判所ニ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲スコトヲ命スルコトヲ得

被告ニ保證ヲ立ツル義務ヲ負ハシメ若クハ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲スコトヲ許シタル場合ニ於テハ原告若クハ被告ハ其普通裁判籍ヲ有スル地ノ區裁判所又ハ執行裁判所ニ保證ヲ立テシメ又ハ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲スコトヲ命スルコトヲ得

第五百十四條　執行文ノ付與ニ對シ債務者ノ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百十五條　假執行ノ宣言ヲ付シタル判決ニ對シ上訴ヲ提起シタル場合ニ於テハ執行力アル正本ヲ以テ强制執行ヲ爲スコトヲ得

第五百十六條　第五百十八條第二項及ヒ第五百十九條ノ場合ニ於テハ執行力アル正本ハ裁判長ノ命令アルトキニ限リ之ヲ付與スルコトヲ得

裁判長ハ其命令前ニ審面又ハ口頭ヲ以テ債務者ヲ審訊スルコトヲ得

第五百十七條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百十八條　第五百十六條ノ場合ニ於テハ執行力アル正本ハ裁判長ノ命令アルトキニ限リ之ヲ付與スルコトヲ得

裁判長ハ其命令前ニ審面又ハ口頭ヲ以テ債務者ヲ審訊スルコトヲ得

第五百十九條　執行文ノ付與ニ對シ債務者ノ一般ノ承繼人カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百二十條　假執行ノ宣言ヲ付シタル判決ニ對シ上訴ヲ提起シタル場合ニ於テハ執行力アル正本ヲ以テ强制執行ヲ爲スコトヲ得

第五百二十一條　第五百十八條第二項及ヒ第五百十九條ノ場合ニ於テハ執行力アル正本ハ裁判長ノ命令アルトキニ限リ之ヲ付與スルコトヲ得

裁判長ハ其命令前ニ審面又ハ口頭ヲ以テ債務者ヲ審訊スルコトヲ得

第五百二十二條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百二十三條　債權者カ執行力アル正本ノ數通ヲ求メ又ハ前ニ付與シタル正本ヲ返還セシテ更ニ同一判決ノ正本ヲ求ムルトキハ裁判長ノ命令アルトキニ限リ之ヲ付與スルコトヲ得

裁判長ハ其命令ノ前ニ審面又ハ口頭ヲ以テ債務者ヲ審訊スルコトヲ得

第五百二十四條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百二十五條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百二十六條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百二十七條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百二十八條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百二十九條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百三十條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百三十一條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百三十二條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百三十三條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百三十四條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百三十五條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百三十六條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百三十七條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百三十八條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百三十九條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百四十條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百四十一條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百四十二條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百四十三條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百四十四條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百四十五條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百四十六條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百四十七條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百四十八條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百四十九條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百五十條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百五十一條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百五十二條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百五十三條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百五十四條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百五十五條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百五十六條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百五十七條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百五十八條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百五十九條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百六十條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百六十一條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百六十二條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百六十三條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百六十四條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百六十五條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百六十六條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百六十七條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百六十八條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百六十九條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百七十條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百七十一條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百七十二條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百七十三條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百七十四條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百七十五條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百七十六條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百七十七條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百七十八條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百七十九條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百八十條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百八十一條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百八十二條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百八十三條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百八十四條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百八十五條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百八十六條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百八十七條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百八十八條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百八十九條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百九十條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百九十一條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百九十二條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百九十三條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百九十四條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百九十五條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百九十六條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百九十七條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百九十八條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第五百九十九條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第六百條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第六百一條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第六百二條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第六百三條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第六百四條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第六百五條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第六百六條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第六百七條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第六百八條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執行文ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所之ヲ裁判ス

第六百九條　執行文ノ付與ニ對シ債務者カ異議ヲ申立テタルトキハ其執

受取ノ證ヲ之ニ交付シ又其義務ノ一分ヲ證シタルトキハ執行力アル正本ニ其旨ヲ附記シ且受取ノ證ヲ債務者ニ交付スル可シ

債務者カ後ニ債權者ニ對シ受取ノ證ヲ求ムルトキハ第百六十七條、第百六十八條、第百七十一條及ヒ第百七十二條ノ規定ヲ準用シテ其調書ノ謄本ヲ送達シ又ハ同時ニ送達シ又ハ同時ニ送達シタルトキニ限リ其執行ヲ始ムルコトヲ得

第五百三十條　強制執行ハ此法律ニ於テ別段ノ規定アルニ非サレハ債權者ノ申立ニ因リテ之ヲ爲ス

第五百三十一條　強制執行ハ執行力アル正本ニ基キテ之ヲ爲ス

第五百三十二條　執達吏ハ債權者ノ委任ニ因リテ爲ス執行及ヒ職務上ノ義務ノ違背ヨリ生シテ債權者其他ノ關係人ニ對シ損害ヲ生セシメタルトキハ第一ニ其責ニ任ス

第五百三十三條　債權者執行力アル正本ヲ交付シテ強制執行ヲ委任シタルトキハ執達吏ハ特別ノ委任ヲ受ケサルトキト雖モ支拂其他ノ給付ヲ受取リ其受取リタルモノニ付キ有效ニ受取ノ證書ヲ作リ之ヲ交付シ且債務者ニ於テ其義務ヲ完全ニ盡シタルトキハ執行力アル正本ヲ債務者ニ交付スルコトヲ得

第五百三十四條　執達吏ハ執行力アル正本ヲ所持スルヲ以テ債務者及ヒ第三者ニ對シ強制執行及ヒ前條ニ揭ケタル行爲ヲ實施スル權利ヲ有スル債權者ハ此等ノ者ニ對シ委任ノ欠缺又ハ制限ヲ主張スルコトヲ得ス

執達吏ハ其正本ヲ携帶シ關係人ノ求アルトキハ其書格ヲ證スル爲ニ之ヲ示ス可シ

第五百三十五條　執達吏ハ債務者カ其義務ヲ完全ニ盡シタルトキハ執行力アル正本及ヒ受取ノ證ヲ之ニ交付シ又其義務ノ一分ヲ盡シタルトキハ執行力アル正本ニ其旨ヲ附記シ且受取ノ證ヲ債務者ニ交付ス可シ

債務者カ數個ノ異議ヲ有スルトキハ同時ニ之ヲ主張スルコトヲ要ス

第五百三十六條　執達吏ハ執行ノ爲メ必要ナル權利ハ前項ノ規定ニ因リテ妨ケラルルコトヲ無シ

第五百三十七條　執達吏ハ執行ノ爲メ債務者ノ住居、倉庫及ヒ貸區ヲ捜索シ又ハ閉鎖シタル戸扉及ヒ貸區ヲ開カシムル權利ヲ有ス

抵抗ヲ受クル場合ニ於テハ執達吏ハ威力ヲ用ヰ且警察上ノ援助ヲ求ムルコトヲ得若シ兵力ヲ要スルトキハ之ヲ執行裁判所ニ申立ツ可シ

第五百三十八條　執達吏ハ執行ノ爲ヲ爲スニ際シ抵抗ヲ受クルトキ又ハ債務者ノ住居ニ於テ執行ノ爲ヲ爲スニ際シ債務者又ハ成長シタル共族若クハ雇人ニ出會ハサルトキハ成丁者二人又ハ市町村若クハ警察ノ吏員一人ヲ證人トシテ立會ハシム可シ

第五百三十九條　夜間及ヒ日曜日竝ニ一般ノ祝祭日ニハ執行裁判所ノ許可アルトキニ限リ執行ノ爲ヲ爲スコトヲ得

右許可ノ命令ハ強制執行ノ際之ヲ示ス可シ

第五百四十條　執達吏ハ執行ノ爲ヲ爲スニ際シ抵抗ヲ受クルトキ又ハ債務者ノ住居ニ於テ執行ノ爲ヲ爲スニ際シ債務者又ハ成長シタル共族若クハ雇人ニ出會ハサルトキハ成丁者二人又ハ市町村若クハ警察ノ吏員一人ヲ證人トシテ立會ハシム可シ

第五百四十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アリ又ハ其ノ爲メ執行ヲ爲スニ至ルマテ保證ヲ立テシメ若クハ之ヲ立テシメシテ強制執行ヲ停止スル可キコトヲ命シ又ハ保證ヲ立テシメテ強制執行ヲ續行スル可キコトヲ命シ又ハ其爲シタル執行處分ヲ保證ヲ立テシメテ取消スル可キヲ命スルコトヲ得

第五百四十二條　執達吏ハ執行ノ爲ヲ爲スニ際シ又ハ執行ノ爲ヲ爲シタル後ニ至リ債務者ノ住居ニ於テ又ハ其ノ他ノ場所ニ於テ債務者ニ對シ金錢ノ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得

第五百四十三條　執達吏ハ執行ノ爲ヲ爲スニ際シ債務者ノ住居ニ於テ又ハ其ノ他ノ場所ニ於テ債務者ニ對シ金錢ノ支拂ヲ爲サシムルニ當リ債務者ニ對シ受取ノ證ヲ求ムルトキハ第百六十七條、第百六十八條、第百七十一條及ヒ第百七十二條ノ規定ヲ準用シテ其調書ノ謄本ヲ送達シ又ハ同時ニ送達シタルトキニ限リ其執行ヲ始ムルコトヲ得

第五百四十四條　執達吏ハ執行ノ爲メ必要ナル權利ハ前項ノ規定ニ因リテ妨ケラルルコトヲ無シ

第五百四十五條　執達吏ハ執行ノ爲メ債務者ノ住居ニ於テハ債務者ノ住居、倉庫及ヒ貸區ヲ捜索シ又ハ閉鎖シタル戸扉及ヒ貸區ヲ開カシムル權利ヲ有ス

抵抗ヲ受クル場合ニ於テハ執達吏ハ威力ヲ用ヰ且警察上ノ援助ヲ求ムルコトヲ得若シ兵力ヲ要スルトキハ之ヲ執行裁判所ニ申立ツ可シ

第五百四十六條　執達吏ハ執行ノ爲ヲ爲スニ際シ抵抗ヲ受クルトキ又ハ債務者ノ住居ニ於テ執行ノ爲ヲ爲スニ際シ債務者又ハ成長シタル共族若クハ雇人ニ出會ハサルトキハ成丁者二人又ハ市町村若クハ警察ノ吏員一人ヲ證人トシテ立會ハシム可シ

第五百四十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アリ又ハ其ノ爲メ執行ヲ爲スニ至ルマテ保證ヲ立テシメ若クハ之ヲ立テシメシテ強制執行ヲ停止スル可キコトヲ命シ又ハ保證ヲ立テシメテ強制執行ヲ續行スル可キコトヲ命シ又ハ其爲シタル執行處分ヲ保證ヲ立テシメテ取消スル可キヲ命スルコトヲ得

第五百四十八條　執達吏ハ執行ノ爲メ官廳又ハ公署ノ援助ヲ必要トスルトキハ裁判所ニ其援助ヲ官廳又ハ公署ニ求ム可シ

第五百四十九條　執達吏ハ執行ノ爲メ官廳又ハ公署ノ援助ヲ必要トスルトキハ裁判所ニ其援助ヲ官廳又ハ公署ニ求ム可シ

第五百五十條　執達吏ハ執行ノ爲メ官廳又ハ公署ノ援助ヲ必要トスルトキハ裁判所ニ其援助ヲ官廳又ハ公署ニ求ム可シ

第五百五十一條　執達吏ハ執行ノ爲メ官廳又ハ公署ノ援助ヲ必要トスルトキハ裁判所ニ其援助ヲ官廳又ハ公署ニ求ム可シ

第五百五十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百五十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百五十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百五十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百五十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百五十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百五十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百五十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百六十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百六十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百六十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百六十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百六十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百六十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百六十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百六十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百六十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百六十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百七十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百七十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百七十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百七十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百七十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百七十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百七十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百七十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百七十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百七十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百八十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百八十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百八十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百八十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百八十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百八十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百八十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百八十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百八十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百八十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百九十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百九十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百九十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百九十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百九十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百九十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百九十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百九十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百九十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第五百九十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百二十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百二十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百二十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百二十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百二十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百二十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百二十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百二十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百二十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百二十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百三十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百三十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百三十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百三十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百三十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百三十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百三十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百三十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百三十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百三十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百四十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百四十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百四十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百四十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百四十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百四十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百四十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百四十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百四十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百四十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百五十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百五十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百五十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百五十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百五十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百五十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百五十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百五十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百五十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百五十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百六十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百六十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百六十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百六十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百六十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百六十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百六十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百六十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百六十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百六十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百七十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百七十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百七十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百七十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百七十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百七十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百七十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百七十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百七十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百七十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百八十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百八十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百八十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百八十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百八十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百八十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百八十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百八十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百八十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百八十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百九十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百九十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百九十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百九十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百九十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百九十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百九十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百九十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百九十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第六百九十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百二十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百二十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百二十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百二十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百二十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百二十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百二十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百二十七條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百二十八條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百二十九條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百三十條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百三十一條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百三十二條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百三十三條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百三十四條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百三十五條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行ノ爲メ債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得

第七百三十六條　強制執行ニ付キ利害ノ關係アル第三者ハ執行

ノ教育場教師ニ在テハ第六百十八條ニ規定スル職務上ノ收入又ハ恩給ノ差押ヲ受ケサル金額ヲ以テ差押ヨリ次期ノ俸給又ハ恩給ノ支拂マテノ日數ニ應シテ之ヲ算入スル

第七　藥舖ニ在テハ調藥ヲ爲スノ缺ク可カラサル器具及ヒ藥品

第八　勳章及ヒ名譽ノ證標

第九　實印其他ノ職業ニ必要ナル印

第十　神體、佛像其他禮拜ノ用ニ供スル物

第十一　系譜

第十二　債務者又ハ其家族ノ未タ公ニセサル發明ニ關スル物及ヒ債務者又ハ其家族ノ未タ公ニセサル著述ノ稿本

第十三　債務者及ヒ其家族カ學校ニ於テ使用ニ供スル書籍

前項第二號ノ場合ニ於テ食料又ハ薪炭ニ各數種ノモノアルトキハ裁判所ハ當事者ノ利益ヲ考慮シテ差押ヲ爲ササル範圍ヲ定ムルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ執達吏ハ一應差押ヲ爲シタル上執行裁判所ニ差押ヲ可キ物ノ指定ヲ求ムルコトヲ得此指定ニ對シテハ當事者ハ異議ヲ述フルコトヲ得ス

債務者ノ冰踏アルトキハ第一項第三號乃至第八號ニ揭ケタル物ヲ除ク外之ヲ差押フルコトヲ得

第五百七十條ノ二　差押ニ因リ債務者カ其生活上困復スルコト能ハサル窮迫ノ狀態ニ陷ルノ虞アル場合ニ於テ債務者又ハ債務者ノ親族ノ經濟ニ甚シキ影響ヲ及ホササルモノト認ムル可キ顯著ナル事由アルトキハ裁判所ハ債務者ノ申立ニ因リ前條ノ規定ニ依ル外必要ナル限度ニ於テ差押フルコトヲ得サル財産ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ裁判ヲ爲シタル後ニ於テ理由消滅シ又ハ事情變更シタルトキハ裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ前項ノ裁判ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ得

第五百二十二條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十一條　差押ニ因リ債務者カ其生活ノ基礎ヲ失フノ虞アル場合ニ於テ債務者又ハ債務者ノ親族ノ經濟ニ甚シキ影響ヲ及ホス事由カ生シタル後ニ非サレハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

第五百七十二條　執達吏ハ差押ヲ實施シタル後債權者又ハ裁判所ノ特別委任ヲ要セスシテ以下數條ノ規定ニ從ヒテ公ノ競賣方法ヲ以テ其差押物ヲ賣却スル可キ旨ノ命令ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第五百七十三條　競賣ハ其物ノ中ニ高價ノモノアルトキハ執達吏ハ適當ナル鑑定人ヲシテ其評價ヲ爲サシムル可シ

第五百七十四條　差押金錢ハ之ヲ債權者ニ引渡ス可シ

第五百七十五條　前條ノ規定ハ債權者又ハ物ノ提出ヲ拒マサル第三者ノ占有中ニ在ル物ノ差押ニ付テモ亦之ヲ準用ス

第五百七十六條　果實ハ未タ土地ヨリ離レサル前ト雖モ之ヲ差押フルコトヲ得然レトモ其差押ハ通常ノ成熟時期ノ前一个月内ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

但シ差押債權者、執行力アル正本ニ因リ配當ヲ要求スル債權者及ヒ債務者カ競賣ヲ更ニ早ク爲サンコトヲ合意シタルトキ又ハ差押物ヲ永ク貯藏スルニ付キ不相應ノ費用若クハ其物ノ價格ノ著シク減少スル危害ヲ避ケンカ爲ニ競賣ヲ早ク爲スコトノ必要アルトキハ此限ニ在ラス

第五百七十六條　競賣ハ差押ヲ爲シタル市町村ニ於テ之ヲ爲ス但差押債權者及ヒ債務者カ他ノ地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ合意シタルトキハ此限ニ在ラス

競賣ノ日時及ヒ場所ハ之ヲ公告ス但其公告ニハ競賣ニ付キ物ヲ表示スル可シ

第五百七十七條　最高價競買ノ爲メノ競落ハ其價額ヲ三回呼上ケタル後之ヲ爲ス

競落物ノ引渡ハ代金ノ引換ヘニ之ヲ爲ス

最高價競買人競賣條件ニ定メタル支拂期日又ハ其定アサルトキハ競賣期日ノ終了前ニ代金ノ支拂ヲ爲シテ物ノ引渡ヲ求メサルトキハ此限ニ在ラス

競賣ノ日時及ヒ場所ハ之ヲ公告シ且其公告ニハ競賣ニ付キ物ヲ表示スル可シ

第五百七十八條　競賣ハ差押ヲ實施シタル後債權者又ハ裁判所ノ特別委任ヲ要セスシテ以下數條ノ規定ニ從ヒテ公ノ競賣方法ヲ以テ其差押物ヲ賣却スル可シ

第五百七十九條　執達吏ハ差押ヲ實施シタル後債權者又ハ裁判所ノ特別委任ヲ要セスシテ以下數條ノ規定ニ從ヒテ公ノ競賣方法ヲ以テ其差押物ヲ賣却スル可キ旨ノ命令ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第五百八十條　競賣ハ差押ヲ實施シタル後債權者又ハ物ノ提出ヲ拒マサル第三者ノ占有中ニ在ル物ノ差押ニ付テモ亦之ヲ準用ス

第五百八十一條　執達吏ハ前條ノ規定ニ從ヒテ公ノ競賣方法ヲ以テ其差押物ヲ賣却スル可キ旨ノ命令ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第五百八十二條　競賣ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百八十三條　競賣ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第一　衣服、寢具、家具及ヒ厨具但此物カ債務者及ヒ其家族ノ爲メ缺ク可カラサルトキニ限ル

第二　債務者及ヒ其家族ニ必要ナル三个月間ノ食料及ヒ薪炭

第三　技術者、職工、勞役者及ヒ穡夫ニ在テハ其營業上缺ク可カラサル物

第四　農業者ニ在リテハ農業上缺ク可カラサル農具、家畜、肥料及ヒ次ノ收穫マテ農業ヲ續行スル爲メ缺ク可カラサル農産物

第五　文武ノ官吏、神職、僧侶、公立私立ノ教育場教師、辯護士、公證人及ヒ醫師ニ在テハ其職業ヲ執行スル爲メ缺ク可カラサル物竝ニ身分相當ノ衣服

第六　文武ノ官吏、神職、僧侶及ヒ公立私立ノ教育場教師ニ在テハ俸給又ハ恩給ノ差押ヲ受ケサル金額ヲ以テ之ヲ爲ス

第七　前條ノ規定ハ債權者又ハ物ノ提出ヲ拒マサル第三者ノ占有中ニ在ル物ノ差押ニ付テモ亦之ヲ準用ス

第五百八十四條　果實ハ未タ土地ヨリ離レサル前ト雖モ之ヲ差押フルコトヲ得然レトモ其差押ハ通常ノ成熟時期ノ前一个月内ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第五百八十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百八十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第一　衣服、寢具、家具及ヒ厨具但此物カ債務者及ヒ其家族ノ爲メ缺ク可カラサルトキニ限ル

第二　債務者及ヒ其家族ニ必要ナル三个月間ノ食料及ヒ薪炭

第三　技術者、職工、勞役者及ヒ穡夫ニ在テハ其營業上缺ク可カラサル物

第四　農業者ニ在リテハ農業上缺ク可カラサル農具、家畜、肥料及ヒ次ノ收穫マテ農業ヲ續行スル爲メ缺ク可カラサル農産物

第五　文武ノ官吏、神職、僧侶、公立私立ノ教育場教師、辯護士、公證人及ヒ醫師ニ在テハ其職業ヲ執行スル爲メ缺ク可カラサル物竝ニ身分相當ノ衣服

第六　文武ノ官吏、神職、僧侶及ヒ公立私立ノ教育場教師ニ在テハ俸給又ハ恩給ノ差押ヲ受ケサル金額ヲ以テ之ヲ爲ス

第七　前條ノ規定ハ債權者又ハ物ノ提出ヲ拒マサル第三者ノ占有中ニ在ル物ノ差押ニ付テモ亦之ヲ準用ス

第五百八十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百八十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百八十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百九十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百九十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百九十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百九十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百九十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百九十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百九十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百九十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百九十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第五百九十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百二十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百二十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百二十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百二十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百二十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百二十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百二十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百二十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百二十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百二十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百三十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百三十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百三十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百三十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百三十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百三十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百三十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百三十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百三十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百三十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百四十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百四十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百四十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百四十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百四十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百四十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百四十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百四十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百四十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百四十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百五十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百五十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百五十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百五十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百五十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百五十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百五十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百五十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百五十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百五十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百六十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百六十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百六十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百六十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百六十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百六十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百六十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百六十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百六十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百六十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百七十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百七十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百七十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百七十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百七十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百七十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百七十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百七十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百七十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百七十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百八十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百八十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百八十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百八十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百八十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百八十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百八十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百八十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百八十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百八十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百九十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百九十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百九十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百九十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百九十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百九十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百九十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百九十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百九十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第六百九十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百二十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百二十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百二十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百二十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百二十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百二十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百二十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百二十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百二十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百二十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百三十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百三十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百三十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百三十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百三十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百三十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百三十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百三十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百三十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百三十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百四十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百四十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百四十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百四十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百四十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百四十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百四十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百四十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百四十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百四十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百五十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百五十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百五十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百五十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百五十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百五十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百五十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百五十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百五十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百五十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百六十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百六十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百六十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百六十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百六十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百六十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百六十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百六十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百六十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百六十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百七十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百七十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百七十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百七十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百七十四條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百七十五條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百七十六條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百七十七條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百七十八條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百七十九條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百八十條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百八十一條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百八十二條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル法定ノ果實ニモ當然及ヒ其差押フルコトヲ得ス

第七百八十三條　差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然ノ産出物ニモ當然及ヒ其差押フルコ

第六百十四條　有體物ノ引渡又ハ給付ノ請求ニ對スル强制執行ハ以下數條ノ規定ヲ掛酌シテ第五百九十八條乃至第六百十二條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス

第六百十五條　有體動産ノ請求ノ差押ニ付テハ其動産ヲ債權者ノ委任シタル執達吏ニ引渡スコトヲ命スルコトヲ得

有動産ノ換價ニ付テハ差押物ノ換價ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百十六條　不動産ノ請求ノ差押ニ付テハ債權者ノ申立ニ因リ其不動産所在地ノ區裁判所ヨリ命シタル保管人ニ引渡スコトヲ命スルコトヲ得

第六百十七條　有體物ノ引渡又ハ給付ノ請求ニ付テハ差押物ノ換價ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百十八條　左ニ掲ケル債權ノ之ヲ差押フルコトヲ得

第一　法律上ノ養料

第二　債務者カ義捐建設所ヨリ又ハ第三者ノ慈惠ニ因リ受ケル繼續ノ收入但債務者及ヒ其家族ノ生活ノ爲メ必要ナルモノニ限ル

第三　下士、兵卒ノ給料竝ニ恩給及ヒ其ノ遺族ノ扶助料

第四　由陣ノ軍隊又ハ役務ニ服シタル軍艦ノ乘組員ニ屬スル軍人、軍屬ノ職務上ノ收入

第五　文武ノ官吏、神職、僧侶及ヒ公立私立ノ敎育場敎師ノ職務上ノ收入、恩給及ヒ其遺族ノ扶助料

第六　職工、勞役者又ハ雇人カ其勞力又ハ役務ノ爲ニ受ケル報酬

第一號、第五號、第六號ノ場合ニ於テ職務上ノ收入、恩給其他ノ收入カ一个年間ニ三百圓ヲ超過スルトキハ其超過額ノ半額ヲ差押フルコトヲ得

第六百十九條　數名ノ差押債權者ノ爲メ同時ニ爲スコトヲ得ル債權ノ差押ニ付テハ前數條ノ規定ヲ準用ス

第六百二十條　執行力アル正本ヲ有スル債權者及ヒ民法ニ從ヒ配當ノ要求ヲ爲シ得ヘキ債權者ハ差押債權者カ取立ヲ爲シ其旨ヲ執行裁判所ニ届出ツルマテ又ハ執達吏カ金ヲ領收スルマテ配當ヲ要求スルコトヲ得但執行力アル正本ニ因ラシテ配當ヲ要求スル債權者ニ付テハ第五百九十條及ヒ第五百九十一條第二項第三項ノ規定ヲ適用ス

第六百二十一條　金錢ノ債權ニ付キ配當要求ノ差違ヲ受ケタル第三債務者ハ債務額ヲ供託スル權利アリ

第三債務者ハ配當ニ與カル或ル債權者ノ求ニ因リ債務額ヲ供託スル義務アリ

第三債務者債務額ヲ供託シタルトキハ其事情ヲ裁判所ニ届出ツ可シ

第六百二十二條　請求カ不動産ニ關スルトキハ第三債務者ハ其不動産所在地ノ區裁判所カ差押債權者又ハ第三債務者ノ申立ニ因リ債務者人ニ事情ヲ開示シ且送達セラレタル命令ヲ添ヘ其不動産引渡ス權利ヲ有シ又ハ差押債權者ノ求ニ因リテ之ヲ引渡ス義務アリ

第六百二十三條　第三債務者カ取立手續ニ對シテ義務ヲ履行セサルトキハ差押債權者ハ訴ヲ以テ之ヲ履行セシムルコトヲ得

執行力アル正本ヲ有スル各債權者ハ共同訴訟人トシテ原告ニ加ハル權利アリ

訴ヲ受ケタル第三債務者ハ原告ニ加ハラサル債權者ヲ共同訴訟人トシテ呼出アランコトヲ口頭辯論ノ第一期日マテニ申立ツルコトヲ得

有ノ場合ニ於ケル裁判ハ呼出ヲ受ケタル債權者ニ利害ヲ及ホス效力アリ

第六百二十四條　差押債權者取立手續ヲ怠リタルトキハ執行力アル正本ニ因リ要求シタル各債權者ノ請求ノ差押ニ付テハ其動産ヲ債權者ノ委任シタル執達吏ニ引渡スコトヲ命スルコトヲ得

有動産ノ換價ニ付テハ差押物ノ換價ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百二十五條　不動産ヲ目的トセス又前數條ニ揭ケタル以外ノ財産權ニ對スル强制執行ニ付テハ本款ノ規定ヲ準用ス

第六百二十六條　前條ノ場合ニ於テハ差押ノ效力ハ債務者ニ權利ノ處分ヲ禁スル命令ヲ送達シタル日時ヲ以テ之ヲ爲シタルモノト看做ス

有ノ場合ニ於テハ裁判所ハ特別ノ處分ヲ爲シ其權利ノ管理若クハ讓渡ヲ命スルコトヲ得

第四款　配當手續

第六百二十六條　配當手續ハ動産ニ對スル强制執行ニ際シ競賣期日又ハ金錢差押ノ日ヨリ十四日ノ期間内ニ債權者間ノ協議調ハサルヲ爲メ金額ヲ供託シタルトキ之ヲ爲ス

第六百二十七條　裁判所ハ事情届書ニ基キ七日ノ期間内ニ元金、利息、費用其他附帶ノ債權ノ計算書ヲ差出ス可キ旨ヲ各債權者ニ催告ス可シ

第六百二十八條　前條ノ期間滿了後裁判所ハ配當表ヲ作ル可シ

右期間ヲ遵守セサル債權者ノ債權ハ配當表ヲ作ル=際シ配當要求竝ニ届書ノ旨趣及ヒ其還據書類ニ依リ之ヲ計算ス但後ニ債權額ヲ補充スルコトヲ許サス

第六百二十九條　裁判所ハ配當表ニ關スル陳述及ヒ配當實施ノ爲メ期日ヲ指定シ其期日ニハ各債權者及ヒ債務者ヲ呼出ス可シ但債務者ノ所在明カナラサルトキ又ハ外國ニ在ルトキハ呼出ヲ爲スコトヲ要セス

配當表ハ各債權者及ヒ債務者ニ閱覽セシムル爲メ遲クトモ期日ノ三日前ニ裁判所書記課ニ之ヲ備置ク可シ

第六百三十條　期日ニ於テ異議ノ申立ナキトキハ配當表ニ從ヒテ其配當ヲ實施ス可シ停止條件附ノ債權ノ配當額ハ仍ホ之ヲ供託シ民法ニ從ヒテ條件ノ成否ニ依リ後ニ之ヲ支拂ヒ又ハ更ニ配當ス可シ

第五百九十一條第三項ノ場合又ハ假差押ノ場合ニ於テ未タ確定セサル債權其他異議アル債權ノ配當額ハ仍ホ之ヲ供託ス可シ

配當實施ニ付テハ調書ヲ作ル可シ

第六百三十一條　異議ノ申立アルトキハ他ノ債權者ハ直チニ陳述ヲ爲ス可シ若シ關係人異議ヲ正當ナリト認ムルトキ又ハ他ノ方法ニ於テ合意スルトキハ之ニ從ヒ配當表ヲ更正シテ配當ヲ實施ス可シ

異議ノ完結セサルトキハ異議ナキ部分ニ限リ配當ヲ實施ス可シ

第六百三十二條　期日ニ出頭セサル債權者ハ配當表ノ調書ニ從ヒテ配當ヲ受ケサル債權者ニ對シ訴ヲ以テ優先權ヲ主張スル權利ハ配當實施ノ爲メ妨ケラルルコト無シ

第六百三十五條　異議ヲ申立テタル債權者ノ訴ニ付テハ配當裁判所之ヲ管轄ス然レトモ訴訟物カ區裁判所ノ管轄ニ屬セサルトキハ其配當裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所之ヲ管轄ス若シ數箇ノ訴ノ提起アリタル場合ニ於テハ訴ヲ地方裁判所カ管轄スル

トキハ其他ノ訴ヲモ亦之ヲ管轄ス但各債權者總テノ異議ニ付キ配當裁判所ノ裁判ヲ受ク可キコトヲ合意シタルトキハ此限ニ在ラス

第六百三十六條　異議ニ付キ裁判ヲ爲ス判決ニハ配當額ノ係爭部分ヲ如何ナル債權者ニ如何ナル數額ヲ以テ支拂フ可キヤヲ定ムル可シ若シ之ヲ定ムルコトヲ適當トセサルトキハ判決ニ於テ新ナル配當表ノ調製及ヒ他ノ配當手續ヲ命ス可シ

第六百三十七條　異議ヲ申立テタル債權者カ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキハ異議ヲ取下ケタルモノト看做ス

第六百三十八條　第六百三十六條ノ判決ノ確定シタルトキ又ハ前條ノ規定ニ從ヒ異議ヲ取下ケタルモノト看做サレタルトキハ配當額ノ支拂證ヲ爲シ配當ヲ實施ス可シ

債權全部ノ配當ヲ受ケ可キ債權者ニハ配當額支拂證ヲ交付スル同時ニ其所持スル執行力アル正本又ハ債權ノ證書ヲ差出サシメ之ヲ債務者ニ交付ス可シ

債權一分ノミノ配當ヲ受ケ可キ債權者ニハ執行力アル正本又ハ債權ノ證書ヲ差出サシメ之ニ配當額ヲ記入シテ返還シ且配當者支拂證ヲ交付スルト同時ニ右債權者ヨリ金額ヲ證記シタル受取書ヲ差出サシメ之ヲ債務者ニ交付ス可シ

期日ニ出頭セサル債權者ノ配當額ハ仍ホ之ヲ供託ス可シ

右ノ手續ヲ爲シタルトキハ調書ニ記載シテ之ヲ明確ニス可シ

第二節　强制競賣

第一款　通則

第六百四十條　不動産ニ對スル强制執行ハ左ノ方法ヲ以テ之ヲ爲ス

第一　强制競賣

第二　强制管理

第一款　通則

第六百四十一條　不動産ニ對スル强制執行ハ其不動産ノ所在地ノ區裁判所之ヲ管轄ス

第六百四十二條　競賣ノ原因タル一定ノ債權及ヒ其執行力アル正本ノ證書ヲ添附スル=非サレハ强制競賣ヲ開始スルコトヲ得ス

第六百四十三條　申立ニハ執行力アル正本ノ外左ノ證書ヲ添附ス可シ

第一　登記簿ニ記入アル不動産上權利者タル不動産ニ付テハ登記ノ證書

第二　登記簿ニ登記アラサル不動産ニ付テハ債務者ノ所有タルコトヲ證スル可キ證書

第三　地所ニ付テハ國郡市町村、字、番地、地目、反別若クハ坪數、土地臺帳ニ登錄シタル貸代價格及ヒ其地所ニ付キ納ム可キ一个年ノ租稅其他ノ公課ヲ證スル可キ證書

第四　建物ニ付テハ國郡市町村、字、番地、構造ノ種類、建坪及ヒ其建物ニ付キ納ム可キ一个年ノ公課ヲ證スル可キ證書

第五　地所、建物ニ付キ貸代價アル場合ニ於テハ其期限竝ニ借賃ヲ證スル可キ證書

第二號、第三號及ヒ第四號ノ要件ニ付テハ債權者公簿ヲ主管スル官廳ニ其證明書ヲ求ムルコトヲ得

第四號及ヒ第五號ノ要件ヲ證明スル能ハサルトキハ債權者ハ競賣申立ノ際其取調ヲ執行裁判所ニ申請スルコトヲ得但此場合ニ於テハ裁判所ハ執達吏ヲシテ其取調ヲ爲サシム

第六百四十四條　競賣ノ開始決定ニハ同時ニ債務者ノ爲メ不動産ノ利用及ヒ管理ヲ爲スコトヲ妨ケス

差押ハ債務者カ不動産ノ利用及ヒ管理ヲ爲スコトヲ妨ケス

第六百四十五條　裁判所ハ競賣手續開始ノ決定ヲ爲シタル不動産ニ付キ强制競賣ノ申立アルモ更ニ開始決定ヲ爲スコトヲ得ス

右申立ハ執行記錄ニ添附スルニ因リ配當要求ノ效力ヲ生シ又既ニ開始シタル競賣手續取消ト爲リタルトキハ第六百四十九條第一項ノ規定ヲ害セサル限リ開始決定ヲ受ケタル效力ヲ生ス

假差押ノ命令アリタル不動産ニ付テハ本條ノ規定ヲ適用セス

第六百四十六條　配當要求ハ其原因ヲ開示シ且裁判所ノ所在地ニ住居ヲモ事務所ヲモ有セサル者ハ假住所ヲ選定シテ執行裁判所ニ之ヲ要求ス可シ

右要求ハ競落期日ノ終ニ至ルマテ之ヲ爲スコトヲ得

第六百四十七條　執行裁判所ハ前二條ノ申立及ヒ要求アリタルコトヲ利害關係人ニ通知ス可シ

執行力アル正本ニ因ラシテ配當ヲ要求スル債權者アルトキハ債務者ハ右通知アリタル日ヨリ三日ノ期間内ニ其債權ヲ認諾スルヤ否ヤヲ裁判所ニ申立ツ可シ

債務者カ認諾セサルコトヲ裁判所ヨリ通知アリタルトキハ債權者ハ其通知アリタル日ヨリ三日ノ期間内ニ債務者ニ對シ訴ヲ起シ其債權ヲ確定ス可シ

第六百四十八條　左ニ掲ケル者ヲ競賣手續ニ於テノ利害關係人トス

第一　差押債權者及ヒ執行力アル正本ニ因リ配當ヲ要求スル債權者

第二　債務者

第三　登記簿ニ記入アル不動産上權利者

第四　不動産上權利者トシテ其債權ヲ證明シ執行記錄ニ備フ可キ届出ヲ爲シタル者

第五　知レタル抵當證券ノ所持人及ヒ裏書人

第六百四十九條　差押債權者ノ債權ニ先タツ債權ニ關スル不動産ノ負擔ヲ競落人ニ引受ケシムルカ又ハ賣却代金ヲ以テ其負擔ヲ辨濟スルニ足ル見込アルトキニ非サレハ賣却ヲ爲スコトヲ得ス

不動産ノ上ニ存スル一切ノ先取特權及ヒ技當權ハ賣却ニ因リテ消滅ス

留置權カ不動産ノ上ニ存スル場合ニ於テハ競落人ハ其留置權ヲ以テ擔保スル債權ヲ辨濟スル責ニ任ス

質權カ不動産ノ上ニ存スル場合ニ於テハ競落人ハ其質權ヲ以テ擔保スル債權及ヒ質權者ニ對シテ優先權ヲ有スル者ノ債權ヲ辨濟スル責ニ任ス

第六百五十條　權利ヲ取得スル第三者其取得ノ際差押又ハ競賣ノ申立アリタルコトヲ知リタルトキハ差押ノ效力ニ對シ其善意ナリシコトヲ主張スルコトヲ得ス

若シ不動産カ差押ノ原因タル債權ノ爲メ義務ヲ負擔スルトキハ差押後所有ノ移轉シタル場合ニ限リ新所有者其取得ノ際差押又ハ競賣ノ申立アリタルコトヲ知ラサルトキト雖モ競賣手續ヲ續行ス可シ

競賣申立ノ取下ニ因リテ差押ハ消滅ス

第六百五十一條　裁判所ハ競賣手續開始ノ決定ヲ爲ス際職權ヲ以テ競賣ノ申立アリタルコトヲ登記簿ニ記入ス可キ旨ヲ登記掛吏ニ囑託ス可シ

登記掛吏ハ前項ノ囑託ニ從ヒテ記入ヲ爲ス可キ旨ヲ裁判所ニ通知ス可シ

第六百五十二條　登記掛吏ハ前條ニ揭ケタル

記入ヲ爲シタル後登記簿ノ謄本ヲ裁判所ニ送付シ不動産上權利者ヨリ差出シタル證書アルトキハ其抄本ヲモ送付スヘシ

第六百五十三條　豫メ知ルニ於テハ手續ノ開始ヲ妨ケ又ハ其目的ヲ失ハシムルノ虞アル場合ニ於テハ裁判所ハ其事情ニ因リ直チニ手續ヲ取消シ又ハ裁判所ノ意見ヲ以テ定メタル期間内ニ其障碍ノ消滅シタルコトヲ證明スヘキコトヲ債權者ニ命スヘシ其期間内ニ其證明ヲ爲ササルトキハ期間ノ滿了後競賣ヲ以テ手續ヲ取消スヘシ

第六百五十四條　裁判所ハ競賣開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ租稅其他ノ公課ヲ主管スル官廳ニ通知シ其不動産ニ對スル債權及ヒ限度ヲ申出ツヘキコトヲ期間ヲ定メテ催告スヘシ

第六百五十五條　裁判所ハ登記判事及ヒ租稅其他ノ公課ヲ主管スル官廳ヨリ通知ヲ受ケタル後遲クトモ競賣期日ノ一週間前ニ不動産ノ評價ヲ爲サシメ其價額ヲ以テ最低競賣價額ヲ爲スヘシ

第六百五十六條　裁判所ハ最低競賣價額ヲ以テ差押債權者ノ債權ニ先タツ不動産上ノ總テノ負擔及ヒ手續ノ費用ヲ辨濟シテ剩餘アル見込ナシトスルトキハ差押債權者ニ其旨ヲ通知スヘシ

右通知ヨリ七日ノ期間内ニ差押債權者カ前項ノ負擔及ヒ費用ヲ辨濟シテ剩餘アル可キ價額ヲ定メ且其價額ニ應スル競賣人ナキ場合ニ於テハ自ラ其價額ヲ以テ買受ク可キ旨ヲ申立テ且分ナル保證ヲ立テサルトキハ競賣手續ヲ取消ス可シ

第六百五十七條　裁判所ハ前條第一項ノ債權及ヒ費用ヲ辨濟シ剩餘ヲ得ル見込アルトキ又ハ差押債權者前條第二項ノ申立ヲ爲シタル場合ニ於テハ競賣人ナキ場合ニ於テハ自ラ其價額ヲ以テ買受ク可キ旨ヲ申立テ且分ナル保證ヲ立テサルトキハ競賣手續ヲ取消ス可シ

第六百五十八條　競賣人ハ競賣ノ終局ヲ告知シタル日時、競落人及ヒ競落ヲ許シタル競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上ケタル後競賣ノ終局ヲ告知スヘシ

他ノ各競賣人ハ右ノ告知ニ因リ其競賣ノ貴務ヲ免カレ且預ケタル保證アルトキハ即時ニ其返還ヲ求ムル權利アリ

第六百五十九條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　不動産ノ表示

第二　差押債權者ノ表示

第三　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコトヌ特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第四　競賣價額ノ申出ヲ催告シタル日時

第五　總テノ競賣價額ニ其申出人ノ氏名、住所又ハ許可ヲ競賣ノ申出ナキコト

第六　競賣ノ終局ヲ告知シタル日時

第七　申立ニ因リ競賣ノ爲メ保證ヲ立テタルコト又ハ申立アルモ保證ヲ立テサル爲メ其競賣ヲ許ササルコト

第八　最高競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上ケタルコト

最高價競賣人及ヒ出頭シタル利害關係人ハ調書ニ署名捺印スヘシ若シ此等ノ者調書ノ作成前ニ退席シタルトキハ其旨ヲ附記スヘシ

競賣ノ保證ノ爲メ預リタル金錢又ハ有價證券ヲ返還スヘシ但シ競賣ノ不成立ニ因リ保證ヲ返還スルトキハ裁判所ハ其旨ヲ競賣人ニ告知スヘシ

第六百六十條　競賣期日ハ競賣期日ヨリ七日ヲ過クルコトヲ得ス

此期日ハ裁判所ニ於テ之ヲ開ク

第六百六十一條　競賣期日ノ公告ハ左ノ箇所ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第一　裁判所ノ揭示板

第二　不動産所在地ノ市町村ノ揭示板

此他公告ハ裁判所ノ意見ニ從ヒ一箇又ハ數箇ノ新聞紙ニ揭載スルコトヲ得

第六百六十二條　最低競賣價額ヲ除ク外本款ニ揭ケタル賣却條件ノ變更ハ利害關係人ノ合意アルトキニ限リ之ヲ許ス但此合意ハ競賣期日ニ至ルマテ之ヲ爲スコトヲ得

第六百六十三條　競賣期日ニ出頭シタル保證ヲ立テシメンコトヲ申立ツルトキハ其競賣人カ保證トシテ競賣價額十分ノ一ニ當ル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ直チニ執達吏ノ執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シ又特別ノ賣却條件アルトキハ之ヲ告知シ且競賣價額申出ヲ催告スヘシ

第六百六十四條　利害關係人カ減ル競賣人ヨリ保證ヲ立テシメンコトヲ申立ツルトキハ其競賣人カ保證トシテ競賣價額十分ノ一ニ當ル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ直チニ執達吏ニ預ケルトキニ非サレハ其競賣ヲ許サス

右申立ハ競賣價額ノ申出アリタル後直チニ之ヲ逸フルコトヲ要ス其申立ハ同一ナル競賣人ノ其後ノ競賣ニ付テモ亦效力アリ

第六百六十五條　競賣ヲ許サレタル各競賣人ハ更ニ高價ノ競賣ノ許アルマテ其申出テタル價額ニ付キ拘束ヲ受クルモノトス

競賣ハ競賣價額ヲ申出ツヘキ旨ノ催告後滿一時間ヲ過クルニ非サレハ之ヲ終局スルコトヲ得ス

第六百六十六條　執達吏ハ最高價競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上タル後競賣ノ終局ヲ告知スヘシ

他ノ各競賣人ハ右ノ告知ニ因リ其競賣ノ貴務ヲ免カレ且預ケタル保證アルトキハ即時ニ其返還ヲ求ムル權利アリ

第六百六十七條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　差押債權者ノ表示

第二　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコト又特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第三　貸貸借アル場合ニ於テハ其期限並ニ借賃

第四　强制執行ニ因リ競賣ヲ爲スヘキ旨

第五　競賣期日ノ場所、日時及ヒ競賣ヲ爲スヘキ執達吏ノ氏名竝ニ住所

第六　最低競賣價額

第七　競落期日ノ場所及ヒ日時

第八　執行記錄ヲ閱覽ス得ヘキ場所

第九　登記簿ニ記入ヲ要スル者ハ其債權ヲ申立ツ可キ旨

第十　利害關係人競賣期日ニ出頭スヘキ旨

第六百六十九條　競賣期日ハ公告ノ日ヨリ少クトモ十四日ノ後タル可シ

此期日ハ裁判所ノ意見ヲ以テ裁判所ハ其意見ヲ以テ最低競賣價額ヲ相當ニ低減シ新競賣期日ヲ定ムル可シ若シ其期日ニ於テ仍ホ許可キ競賣價額ノ申出ナキトキモ亦同シ新競賣期日ハ少クトモ十四日ノ後タル可シ

第六百七十條　競賣期日ニ於テハ其期限並ニ之ヲ逸フルコトヲ要ス其申立ハ同一ナル競賣人ノ其後ノ競賣ニ付テモ亦效力アリ

第六百七十一條　裁判所ハ競賣ヲ許サレタル各競賣人ニ更ニ高價ノ競賣ノ許アルマテ其申出テタル價額ニ付キ拘束ヲ受クルモノトス

競賣ハ競賣價額ヲ申出ツヘキ旨ノ催告後滿一時間ヲ過クルニ非サレハ之ヲ終局スルコトヲ得ス

第六百七十二條　執達吏ハ最高價競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上タル後競賣ノ終局ヲ告知スヘシ

他ノ各競賣人ハ右ノ告知ニ因リ其競賣ノ貴務ヲ免カレ且預ケタル保證アルトキハ即時ニ其返還ヲ求ムル權利アリ

第六百七十三條　裁判所ハ競賣開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ租稅其他ノ公課ヲ主管スル官廳ニ通知シ其不動産ニ對スル債權及ヒ限度ヲ申出ツヘキコトヲ期間ヲ定メテ催告スヘシ

第六百七十四條　裁判所ハ競賣開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ租稅其他ノ公課ヲ主管スル官廳ニ通知シ其不動産ニ對スル債權及ヒ限度ヲ申出ツヘキコトヲ期間ヲ定メテ催告スヘシ

第六百七十五條　裁判所ハ登記判事及ヒ租稅其他ノ公課ヲ主管スル官廳ヨリ通知ヲ受ケタル後遲クトモ競賣期日ノ一週間前ニ不動産ノ評價ヲ爲サシメ其價額ヲ以テ最低競賣價額ヲ爲スヘシ

第六百七十六條　競賣ノ終局ヲ告知シタル日時

第七　申立ニ因リ競賣ノ爲メ保證ヲ立テタルコト又ハ申立アルモ保證ヲ立テサル爲メ其競賣ヲ許ササルコト

第八　最高競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上ケタルコト

最高價競賣人及ヒ出頭シタル利害關係人ハ調書ニ署名捺印スヘシ若シ此等ノ者調書ノ作成前ニ退席シタルトキハ其旨ヲ附記スヘシ

競賣ノ保證ノ爲メ預リタル金錢又ハ有價證券ヲ返還スヘシ但シ競賣ノ不成立ニ因リ保證ヲ返還スルトキハ裁判所ハ其旨ヲ競賣人ニ告知スヘシ

第六百七十七條　競賣期日ハ競賣期日ヨリ七日ヲ過クルコトヲ得ス

此期日ハ裁判所ニ於テ之ヲ開ク

第六百七十八條　競賣期日ノ公告ハ左ノ箇所ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第一　裁判所ノ揭示板

第二　不動産所在地ノ市町村ノ揭示板

此他公告ハ裁判所ノ意見ニ從ヒ一箇又ハ數箇ノ新聞紙ニ揭載スルコトヲ得

第六百七十九條　最低競賣價額ヲ除ク外本款ニ揭ケタル賣却條件ノ變更ハ利害關係人ノ合意アルトキニ限リ之ヲ許ス但此合意ハ競賣期日ニ至ルマテ之ヲ爲スコトヲ得

第六百八十條　競賣期日ニ出頭シタル保證ヲ立テシメンコトヲ申立ツルトキハ其競賣人カ保證トシテ競賣價額十分ノ一ニ當ル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ直チニ執達吏ニ預ケルトキニ非サレハ其競賣ヲ許サス

右申立ハ競賣價額ノ申出アリタル後直チニ之ヲ逸フルコトヲ要ス其申立ハ同一ナル競賣人ノ其後ノ競賣ニ付テモ亦效力アリ

第六百八十一條　競賣ヲ許サレタル各競賣人ハ更ニ高價ノ競賣ノ許アルマテ其申出テタル價額ニ付キ拘束ヲ受クルモノトス

競賣ハ競賣價額ヲ申出ツヘキ旨ノ催告後滿一時間ヲ過クルニ非サレハ之ヲ終局スルコトヲ得ス

第六百八十二條　執達吏ハ最高價競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上タル後競賣ノ終局ヲ告知スヘシ

他ノ各競賣人ハ右ノ告知ニ因リ其競賣ノ貴務ヲ免カレ且預ケタル保證アルトキハ即時ニ其返還ヲ求ムル權利アリ

第六百八十三條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　差押債權者ノ表示

第二　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコト又特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第三　貸貸借アル場合ニ於テハ其期限並ニ借賃

第四　强制執行ニ因リ競賣ヲ爲スヘキ旨

第五　競賣期日ノ場所、日時及ヒ競賣ヲ爲スヘキ執達吏ノ氏名竝ニ住所

第六　最低競賣價額

第七　競落期日ノ場所及ヒ日時

第八　執行記錄ヲ閱覽ス得ヘキ場所

第九　登記簿ニ記入ヲ要スル者ハ其債權ヲ申立ツ可キ旨

第十　利害關係人競賣期日ニ出頭スヘキ旨

第六百八十四條　競賣期日ハ公告ノ日ヨリ少クトモ十四日ノ後タル可シ

此期日ハ裁判所ノ意見ヲ以テ裁判所ハ其意見ヲ以テ最低競賣價額ヲ相當ニ低減シ新競賣期日ヲ定ムル可シ若シ其期日ニ於テ仍ホ許可キ競賣價額ノ申出ナキトキモ亦同シ新競賣期日ハ少クトモ十四日ノ後タル可シ

第六百八十五條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　不動産ノ表示

第二　租稅其他ノ公課

第三　貸貸借アル場合ニ於テハ其期限並ニ借賃

第四　强制執行ニ因リ競賣ヲ爲スヘキ旨

第五　競賣期日ノ場所、日時及ヒ競賣ヲ爲スヘキ執達吏ノ氏名竝ニ住所

第六　最低競賣價額

第七　競落期日ノ場所及ヒ日時

第八　執行記錄ヲ閱覽ス得ヘキ場所

第九　登記簿ニ記入ヲ要スル者ハ其債權ヲ申立ツ可キ旨

第十　利害關係人競賣期日ニ出頭スヘキ旨

第六百八十六條　競賣期日ハ公告ノ日ヨリ少クトモ十四日ノ後タル可シ

此期日ハ裁判所ノ意見ヲ以テ裁判所ハ其意見ヲ以テ最低競賣價額ヲ相當ニ低減シ新競賣期日ヲ定ムル可シ若シ其期日ニ於テ仍ホ許可キ競賣價額ノ申出ナキトキモ亦同シ新競賣期日ハ少クトモ十四日ノ後タル可シ

第六百八十七條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　不動産ノ表示

第二　差押債權者ノ表示

第三　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコト又特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第四　競賣價額ノ申出ヲ催告シタル日時

第五　總テノ競賣價額ニ其申出人ノ氏名、住所又ハ許可ヲ競賣ノ申出ナキコト

第六　競賣ノ終局ヲ告知シタル日時

第七　申立ニ因リ競賣ノ爲メ保證ヲ立テタルコト又ハ申立アルモ保證ヲ立テサル爲メ其競賣ヲ許ササルコト

第八　最高競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上ケタルコト

最高價競賣人及ヒ出頭シタル利害關係人ハ調書ニ署名捺印スヘシ若シ此等ノ者調書ノ作成前ニ退席シタルトキハ其旨ヲ附記スヘシ

競賣ノ保證ノ爲メ預リタル金錢又ハ有價證券ヲ返還スヘシ但シ競賣ノ不成立ニ因リ保證ヲ返還スルトキハ裁判所ハ其旨ヲ競賣人ニ告知スヘシ

第六百八十八條　競賣期日ハ競賣期日ヨリ七日ヲ過クルコトヲ得ス

此期日ハ裁判所ニ於テ之ヲ開ク

第六百八十九條　競賣期日ノ公告ハ左ノ箇所ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第一　裁判所ノ揭示板

第二　不動産所在地ノ市町村ノ揭示板

此他公告ハ裁判所ノ意見ニ從ヒ一箇又ハ數箇ノ新聞紙ニ揭載スルコトヲ得

第六百九十條　最低競賣價額ヲ除ク外本款ニ揭ケタル賣却條件ノ變更ハ利害關係人ノ合意アルトキニ限リ之ヲ許ス但此合意ハ競賣期日ニ至ルマテ之ヲ爲スコトヲ得

第六百九十一條　競賣期日ニ出頭シタル保證ヲ立テシメンコトヲ申立ツルトキハ其競賣人カ保證トシテ競賣價額十分ノ一ニ當ル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ直チニ執達吏ニ預ケルトキニ非サレハ其競賣ヲ許サス

右申立ハ競賣價額ノ申出アリタル後直チニ之ヲ逸フルコトヲ要ス其申立ハ同一ナル競賣人ノ其後ノ競賣ニ付テモ亦效力アリ

第六百九十二條　競賣ヲ許サレタル各競賣人ハ更ニ高價ノ競賣ノ許アルマテ其申出テタル價額ニ付キ拘束ヲ受クルモノトス

競賣ハ競賣價額ヲ申出ツヘキ旨ノ催告後滿一時間ヲ過クルニ非サレハ之ヲ終局スルコトヲ得ス

第六百九十三條　執達吏ハ最高價競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上タル後競賣ノ終局ヲ告知スヘシ

他ノ各競賣人ハ右ノ告知ニ因リ其競賣ノ貴務ヲ免カレ且預ケタル保證アルトキハ即時ニ其返還ヲ求ムル權利アリ

第六百九十四條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　差押債權者ノ表示

第二　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコト又特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第三　貸貸借アル場合ニ於テハ其期限並ニ借賃

第四　强制執行ニ因リ競賣ヲ爲スヘキ旨

第五　競賣期日ノ場所、日時及ヒ競賣ヲ爲スヘキ執達吏ノ氏名竝ニ住所

第六　最低競賣價額

第七　競落期日ノ場所及ヒ日時

第八　執行記錄ヲ閱覽ス得ヘキ場所

第九　登記簿ニ記入ヲ要スル者ハ其債權ヲ申立ツ可キ旨

第十　利害關係人競賣期日ニ出頭スヘキ旨

第六百九十五條　競賣期日ハ公告ノ日ヨリ少クトモ十四日ノ後タル可シ

此期日ハ裁判所ノ意見ヲ以テ裁判所ハ其意見ヲ以テ最低競賣價額ヲ相當ニ低減シ新競賣期日ヲ定ムル可シ若シ其期日ニ於テ仍ホ許可キ競賣價額ノ申出ナキトキモ亦同シ新競賣期日ハ少クトモ十四日ノ後タル可シ

第六百九十六條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　不動産ノ表示

第二　差押債權者ノ表示

第三　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコト又特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第四　競賣價額ノ申出ヲ催告シタル日時

第五　總テノ競賣價額ニ其申出人ノ氏名、住所又ハ許可ヲ競賣ノ申出ナキコト

第六　競賣ノ終局ヲ告知シタル日時

第七　申立ニ因リ競賣ノ爲メ保證ヲ立テタルコト又ハ申立アルモ保證ヲ立テサル爲メ其競賣ヲ許ササルコト

第八　最高競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上ケタルコト

最高價競賣人及ヒ出頭シタル利害關係人ハ調書ニ署名捺印スヘシ若シ此等ノ者調書ノ作成前ニ退席シタルトキハ其旨ヲ附記スヘシ

競賣ノ保證ノ爲メ預リタル金錢又ハ有價證券ヲ返還スヘシ但シ競賣ノ不成立ニ因リ保證ヲ返還スルトキハ裁判所ハ其旨ヲ競賣人ニ告知スヘシ

第六百九十七條　競賣期日ハ競賣期日ヨリ七日ヲ過クルコトヲ得ス

此期日ハ裁判所ニ於テ之ヲ開ク

第六百九十八條　競賣期日ノ公告ハ左ノ箇所ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第一　裁判所ノ揭示板

第二　不動産所在地ノ市町村ノ揭示板

此他公告ハ裁判所ノ意見ニ從ヒ一箇又ハ數箇ノ新聞紙ニ揭載スルコトヲ得

第六百九十九條　最低競賣價額ヲ除ク外本款ニ揭ケタル賣却條件ノ變更ハ利害關係人ノ合意アルトキニ限リ之ヲ許ス但此合意ハ競賣期日ニ至ルマテ之ヲ爲スコトヲ得

第七百條　競賣期日ニ出頭シタル保證ヲ立テシメンコトヲ申立ツルトキハ其競賣人カ保證トシテ競賣價額十分ノ一ニ當ル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ直チニ執達吏ニ預ケルトキニ非サレハ其競賣ヲ許サス

右申立ハ競賣價額ノ申出アリタル後直チニ之ヲ逸フルコトヲ要ス其申立ハ同一ナル競賣人ノ其後ノ競賣ニ付テモ亦效力アリ

第七百一條　競賣ヲ許サレタル各競賣人ハ更ニ高價ノ競賣ノ許アルマテ其申出テタル價額ニ付キ拘束ヲ受クルモノトス

競賣ハ競賣價額ヲ申出ツヘキ旨ノ催告後滿一時間ヲ過クルニ非サレハ之ヲ終局スルコトヲ得ス

第七百二條　執達吏ハ最高價競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上タル後競賣ノ終局ヲ告知スヘシ

他ノ各競賣人ハ右ノ告知ニ因リ其競賣ノ貴務ヲ免カレ且預ケタル保證アルトキハ即時ニ其返還ヲ求ムル權利アリ

第七百三條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　差押債權者ノ表示

第二　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコト又特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第三　貸貸借アル場合ニ於テハ其期限並ニ借賃

第四　强制執行ニ因リ競賣ヲ爲スヘキ旨

第五　競賣期日ノ場所、日時及ヒ競賣ヲ爲スヘキ執達吏ノ氏名竝ニ住所

第六　最低競賣價額

第七　競落期日ノ場所及ヒ日時

第八　執行記錄ヲ閱覽ス得ヘキ場所

第九　登記簿ニ記入ヲ要スル者ハ其債權ヲ申立ツ可キ旨

第十　利害關係人競賣期日ニ出頭スヘキ旨

第七百四條　競賣期日ハ公告ノ日ヨリ少クトモ十四日ノ後タル可シ

此期日ハ裁判所ノ意見ヲ以テ裁判所ハ其意見ヲ以テ最低競賣價額ヲ相當ニ低減シ新競賣期日ヲ定ムル可シ若シ其期日ニ於テ仍ホ許可キ競賣價額ノ申出ナキトキモ亦同シ新競賣期日ハ少クトモ十四日ノ後タル可シ

第七百五條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　不動産ノ表示

第二　差押債權者ノ表示

第三　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコト又特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第四　競賣價額ノ申出ヲ催告シタル日時

第五　總テノ競賣價額ニ其申出人ノ氏名、住所又ハ許可ヲ競賣ノ申出ナキコト

第六　競賣ノ終局ヲ告知シタル日時

第七　申立ニ因リ競賣ノ爲メ保證ヲ立テタルコト又ハ申立アルモ保證ヲ立テサル爲メ其競賣ヲ許ササルコト

第八　最高競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上ケタルコト

最高價競賣人及ヒ出頭シタル利害關係人ハ調書ニ署名捺印スヘシ若シ此等ノ者調書ノ作成前ニ退席シタルトキハ其旨ヲ附記スヘシ

競賣ノ保證ノ爲メ預リタル金錢又ハ有價證券ヲ返還スヘシ但シ競賣ノ不成立ニ因リ保證ヲ返還スルトキハ裁判所ハ其旨ヲ競賣人ニ告知スヘシ

第七百六條　競賣期日ハ競賣期日ヨリ七日ヲ過クルコトヲ得ス

此期日ハ裁判所ニ於テ之ヲ開ク

第七百七條　競賣期日ノ公告ハ左ノ箇所ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第一　裁判所ノ揭示板

第二　不動産所在地ノ市町村ノ揭示板

此他公告ハ裁判所ノ意見ニ從ヒ一箇又ハ數箇ノ新聞紙ニ揭載スルコトヲ得

第七百八條　最低競賣價額ヲ除ク外本款ニ揭ケタル賣却條件ノ變更ハ利害關係人ノ合意アルトキニ限リ之ヲ許ス但此合意ハ競賣期日ニ至ルマテ之ヲ爲スコトヲ得

第七百九條　競賣期日ニ出頭シタル保證ヲ立テシメンコトヲ申立ツルトキハ其競賣人カ保證トシテ競賣價額十分ノ一ニ當ル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ直チニ執達吏ニ預ケルトキニ非サレハ其競賣ヲ許サス

右申立ハ競賣價額ノ申出アリタル後直チニ之ヲ逸フルコトヲ要ス其申立ハ同一ナル競賣人ノ其後ノ競賣ニ付テモ亦效力アリ

第七百十條　競賣ヲ許サレタル各競賣人ハ更ニ高價ノ競賣ノ許アルマテ其申出テタル價額ニ付キ拘束ヲ受クルモノトス

競賣ハ競賣價額ヲ申出ツヘキ旨ノ催告後滿一時間ヲ過クルニ非サレハ之ヲ終局スルコトヲ得ス

第七百十一條　執達吏ハ最高價競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上タル後競賣ノ終局ヲ告知スヘシ

他ノ各競賣人ハ右ノ告知ニ因リ其競賣ノ貴務ヲ免カレ且預ケタル保證アルトキハ即時ニ其返還ヲ求ムル權利アリ

第七百十二條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　差押債權者ノ表示

第二　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコト又特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第三　貸貸借アル場合ニ於テハ其期限並ニ借賃

第四　强制執行ニ因リ競賣ヲ爲スヘキ旨

第五　競賣期日ノ場所、日時及ヒ競賣ヲ爲スヘキ執達吏ノ氏名竝ニ住所

第六　最低競賣價額

第七　競落期日ノ場所及ヒ日時

第八　執行記錄ヲ閱覽ス得ヘキ場所

第九　登記簿ニ記入ヲ要スル者ハ其債權ヲ申立ツ可キ旨

第十　利害關係人競賣期日ニ出頭スヘキ旨

第七百十三條　競賣期日ハ公告ノ日ヨリ少クトモ十四日ノ後タル可シ

此期日ハ裁判所ノ意見ヲ以テ裁判所ハ其意見ヲ以テ最低競賣價額ヲ相當ニ低減シ新競賣期日ヲ定ムル可シ若シ其期日ニ於テ仍ホ許可キ競賣價額ノ申出ナキトキモ亦同シ新競賣期日ハ少クトモ十四日ノ後タル可シ

第七百十四條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　不動産ノ表示

第二　租稅其他ノ公課

第三　貸貸借アル場合ニ於テハ其期限並ニ借賃

第四　强制執行ニ因リ競賣ヲ爲スヘキ旨

第五　競賣期日ノ場所、日時及ヒ競賣ヲ爲スヘキ執達吏ノ氏名竝ニ住所

第六　最低競賣價額

第七　競落期日ノ場所及ヒ日時

第八　執行記錄ヲ閱覽ス得ヘキ場所

第九　登記簿ニ記入ヲ要スル者ハ其債權ヲ申立ツ可キ旨

第十　利害關係人競賣期日ニ出頭スヘキ旨

第七百十五條　競賣期日ハ公告ノ日ヨリ少クトモ十四日ノ後タル可シ

此期日ハ裁判所ノ意見ヲ以テ裁判所ハ其意見ヲ以テ最低競賣價額ヲ相當ニ低減シ新競賣期日ヲ定ムル可シ若シ其期日ニ於テ仍ホ許可キ競賣價額ノ申出ナキトキモ亦同シ新競賣期日ハ少クトモ十四日ノ後タル可シ

第七百十六條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　不動産ノ表示

第二　差押債權者ノ表示

第三　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコト又特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第四　競賣價額ノ申出ヲ催告シタル日時

第五　總テノ競賣價額ニ其申出人ノ氏名、住所又ハ許可ヲ競賣ノ申出ナキコト

第六　競賣ノ終局ヲ告知シタル日時

第七　申立ニ因リ競賣ノ爲メ保證ヲ立テタルコト又ハ申立アルモ保證ヲ立テサル爲メ其競賣ヲ許ササルコト

第八　最高競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上ケタルコト

最高價競賣人及ヒ出頭シタル利害關係人ハ調書ニ署名捺印スヘシ若シ此等ノ者調書ノ作成前ニ退席シタルトキハ其旨ヲ附記スヘシ

競賣ノ保證ノ爲メ預リタル金錢又ハ有價證券ヲ返還スヘシ但シ競賣ノ不成立ニ因リ保證ヲ返還スルトキハ裁判所ハ其旨ヲ競賣人ニ告知スヘシ

第七百十七條　競賣期日ハ競賣期日ヨリ七日ヲ過クルコトヲ得ス

此期日ハ裁判所ニ於テ之ヲ開ク

第七百十八條　競賣期日ノ公告ハ左ノ箇所ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第一　裁判所ノ揭示板

第二　不動産所在地ノ市町村ノ揭示板

此他公告ハ裁判所ノ意見ニ從ヒ一箇又ハ數箇ノ新聞紙ニ揭載スルコトヲ得

第七百十九條　最低競賣價額ヲ除ク外本款ニ揭ケタル賣却條件ノ變更ハ利害關係人ノ合意アルトキニ限リ之ヲ許ス但此合意ハ競賣期日ニ至ルマテ之ヲ爲スコトヲ得

第七百二十條　競賣期日ニ出頭シタル保證ヲ立テシメンコトヲ申立ツルトキハ其競賣人カ保證トシテ競賣價額十分ノ一ニ當ル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ直チニ執達吏ニ預ケルトキニ非サレハ其競賣ヲ許サス

右申立ハ競賣價額ノ申出アリタル後直チニ之ヲ逸フルコトヲ要ス其申立ハ同一ナル競賣人ノ其後ノ競賣ニ付テモ亦效力アリ

第七百二十一條　競賣ヲ許サレタル各競賣人ハ更ニ高價ノ競賣ノ許アルマテ其申出テタル價額ニ付キ拘束ヲ受クルモノトス

競賣ハ競賣價額ヲ申出ツヘキ旨ノ催告後滿一時間ヲ過クルニ非サレハ之ヲ終局スルコトヲ得ス

第七百二十二條　執達吏ハ最高價競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上タル後競賣ノ終局ヲ告知スヘシ

他ノ各競賣人ハ右ノ告知ニ因リ其競賣ノ貴務ヲ免カレ且預ケタル保證アルトキハ即時ニ其返還ヲ求ムル權利アリ

第七百二十三條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　差押債權者ノ表示

第二　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコト又特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第三　貸貸借アル場合ニ於テハ其期限並ニ借賃

第四　强制執行ニ因リ競賣ヲ爲スヘキ旨

第五　競賣期日ノ場所、日時及ヒ競賣ヲ爲スヘキ執達吏ノ氏名竝ニ住所

第六　最低競賣價額

第七　競落期日ノ場所及ヒ日時

第八　執行記錄ヲ閱覽ス得ヘキ場所

第九　登記簿ニ記入ヲ要スル者ハ其債權ヲ申立ツ可キ旨

第十　利害關係人競賣期日ニ出頭スヘキ旨

第七百二十四條　競賣期日ハ公告ノ日ヨリ少クトモ十四日ノ後タル可シ

此期日ハ裁判所ノ意見ヲ以テ裁判所ハ其意見ヲ以テ最低競賣價額ヲ相當ニ低減シ新競賣期日ヲ定ムル可シ若シ其期日ニ於テ仍ホ許可キ競賣價額ノ申出ナキトキモ亦同シ新競賣期日ハ少クトモ十四日ノ後タル可シ

第七百二十五條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　不動産ノ表示

第二　差押債權者ノ表示

第三　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコト又特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第四　競賣價額ノ申出ヲ催告シタル日時

第五　總テノ競賣價額ニ其申出人ノ氏名、住所又ハ許可ヲ競賣ノ申出ナキコト

第六　競賣ノ終局ヲ告知シタル日時

第七　申立ニ因リ競賣ノ爲メ保證ヲ立テタルコト又ハ申立アルモ保證ヲ立テサル爲メ其競賣ヲ許ササルコト

第八　最高競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上ケタルコト

最高價競賣人及ヒ出頭シタル利害關係人ハ調書ニ署名捺印スヘシ若シ此等ノ者調書ノ作成前ニ退席シタルトキハ其旨ヲ附記スヘシ

競賣ノ保證ノ爲メ預リタル金錢又ハ有價證券ヲ返還スヘシ但シ競賣ノ不成立ニ因リ保證ヲ返還スルトキハ裁判所ハ其旨ヲ競賣人ニ告知スヘシ

第七百二十六條　競賣期日ハ競賣期日ヨリ七日ヲ過クルコトヲ得ス

此期日ハ裁判所ニ於テ之ヲ開ク

第七百二十七條　競賣期日ノ公告ハ左ノ箇所ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第一　裁判所ノ揭示板

第二　不動産所在地ノ市町村ノ揭示板

此他公告ハ裁判所ノ意見ニ從ヒ一箇又ハ數箇ノ新聞紙ニ揭載スルコトヲ得

第七百二十八條　最低競賣價額ヲ除ク外本款ニ揭ケタル賣却條件ノ變更ハ利害關係人ノ合意アルトキニ限リ之ヲ許ス但此合意ハ競賣期日ニ至ルマテ之ヲ爲スコトヲ得

第七百二十九條　競賣期日ニ出頭シタル保證ヲ立テシメンコトヲ申立ツルトキハ其競賣人カ保證トシテ競賣價額十分ノ一ニ當ル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ直チニ執達吏ニ預ケルトキニ非サレハ其競賣ヲ許サス

右申立ハ競賣價額ノ申出アリタル後直チニ之ヲ逸フルコトヲ要ス其申立ハ同一ナル競賣人ノ其後ノ競賣ニ付テモ亦效力アリ

第七百三十條　競賣ヲ許サレタル各競賣人ハ更ニ高價ノ競賣ノ許アルマテ其申出テタル價額ニ付キ拘束ヲ受クルモノトス

競賣ハ競賣價額ヲ申出ツヘキ旨ノ催告後滿一時間ヲ過クルニ非サレハ之ヲ終局スルコトヲ得ス

第七百三十一條　執達吏ハ最高價競賣人ノ氏名及ヒ其價額ヲ呼上タル後競賣ノ終局ヲ告知スヘシ

他ノ各競賣人ハ右ノ告知ニ因リ其競賣ノ貴務ヲ免カレ且預ケタル保證アルトキハ即時ニ其返還ヲ求ムル權利アリ

第七百三十二條　競賣ニ付キ作ル可キ調書ハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　差押債權者ノ表示

第二　執行記錄ヲ各人ノ閱覽ニ供シタルコト又特別賣却條件アルトキハ之ヲ告知シタルコト

第三　貸貸借アル場合ニ於テハ其期限並ニ借

權者一致シタルトキハ其一致ニ基キ配當表ヲ作ル可シ

第六百九十七條　配當表ニ對スル異議ノ完結及ヒ配當表ノ實施ニ付テハ第六百三十條以下ノ規定ヲ準用ス但以下數條ニ於テ別段ノ規定ヲ設ケタルモノハ此限ニ在ラス

第六百九十八條　期日ニ出頭シタル債務者ハ各債權者ノ債權ニ對シ又ハ其債權ノ爲メ主張スル順位ニ對シ異議ヲ申立ツル權利アリ出頭シタル各債權者ハ自己ノ利害ニ關シテハ他ノ債權者ニ對シ前項ト同一ノ權利アリ

債權ノ届出ヲ爲ササル抵當證券ノ所持人ノ債權又ハ其順位ニ對シ異議ノ申立ヲ爲シタル債務者又ハ其ノ債權者ノ提起スヘキ訴ニ付テハ第六百九十七條ノ規定ニ依リ準用セラルル第六百三十三條ノ期間ハ其所持人ノ知レタル日ヨリ之ヲ起算ス

執行スルヲ得ヘキ債權ニ對スル債務者ノ異議ハ第五百四十五條、第五百四十七條及ヒ第五百四十九條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ完結ス

第六百九十九條　競落人ハ競落ノ許可ニ因リ不動產ノ負擔ヲ引受クル外配當表ノ實施ニ際シ買入代金ノ額ニ滿ツルヲ限トシ關係債權者ノ承諾ヲ得テ買入代金ノ支拂ニ換ヘ債務ヲ引受クルコトヲ得若シ債權者競落人ナルトキハ其債權ノ配當額カ買入代金ノ額ニ滿ツル限リハ買入代金トシテ之ヲ計算スルニ因リテ消滅ス然レトモ引受ケ可キ債務又ハ計算ス可キ競落人ノ債權ニ對シ適當ナル異議アルトキハ之ニ相當スル代金ヲ支拂ヒ又ハ保證ヲ立ツ可シ

第七百條　配當表ヲ實施シタル後裁判所ハ配當關書及ヒ競落決定ノ正本ヲ登記判事ニ送付シテ左ノ諸件ヲ嘱託ス可シ

第一　競落人ノ所有權ノ登記

第二　競落人ノ引受ケサル不動產上負擔記入ノ抹消

第三　第六百五十一條ノ規定ニ從ヒ爲シタル記入ノ抹消

右登記及ヒ抹消ニ關スル總テノ費用ハ競落人之ヲ負擔スル可シ

第七百一條　數多ノ差押債權者ノ爲メ同時ニ爲ス可キ不動產ノ競賣手續ニ付テハ前數條ノ規定ヲ準用ス

第七百二條　裁判所ハ競賣期日ノ公告前利害關係人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ競賣ニ換ヘテ入札拂ヲ命スルコトヲ得但入札拂ニ付テハ以下數條ノ規定ニ於テ別段ノ規定ナキモノハ前數條ノ規定ヲ準用ス

第七百三條　裁判所ハ入札期日ニ於テ競途吏ニ之ヲ差出ス可シ

入札ニハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　入札人ノ氏名及ヒ住所

第二　不動產ノ表示

第三　入札價額

第七百四條　執途吏ハ入札人ノ面前ニ於テ入札ヲ開封シ之ヲ朗讀ス可シ

二人以上同價額ノ入札アルトキハ執途吏ハ其者ヲシテ追加ノ入札ヲ爲サシメ最高價入札人ヲ定ム

一定ノ金額ヲ以テ入札價額ヲ表セシテ他ノ入札價額ニ對スル比例ヲ以テ價額ヲ表シタル入札ハ之ヲ許サス

第七百五條　最高價入札人入札人タル呼上ヲ受ケタル者第六百六十四條ノ規定ニ從ヒ保證ヲ立ツ可キ求ヲ受クルモ之ヲ立テサルトキハ其次位ノ入札人ヲ以テ最高價入札人ト定ム但此場合ニ於テハ最初呼上ヲ受ケタル者ハ其入札價額ト次位ノ入札價額トノ差金ヲ負擔スル義務アリ

第三款　强制管理

第七百六條　强制管理ニ付テハ第六百四十二條、第六百四十三條、第六百四十四條第一項第三項及ヒ第六百五十一條乃至第六百五十四條ノ規定ヲ準用ス

不動產カ債權者ノ債權ニ付キ不動產上ノ義務ヲ負フタル場合ニ於テハ第六百四十三條第二號ニ依リ提出ス可キ證書ハ不動產ヲ以テ足ル

第七百七條　裁判所ハ强制管理開始ノ決定ヲ許スコトヲ妨クル權利ヲ主張スル第三者ノ不動產ノ競賣手續ニ付テハ前數條ノ規定ヲ準用ス

第七百八條　裁判所ハ强制管理開始ノ決定ヲ爲シタル不動產ニ付キ强制管理ノ申立アルモ更ニ開始決定ヲ爲スコトヲ得ス

右申立ハ執行記錄ニ添附スルニ依リ配當要求ノ效力ヲ生シ又ハ假ニ開始シタル强制管理ノ取消ト爲リタルトキハ開始決定ヲ受ケタル效力ヲ生ス

假差押ノ命令アリタル不動產ニ付テハ本條ノ規定ヲ適用セス

第七百九條　配當要求ハ執行力ノ正本ニ因リ且裁判所ノ所在地ニ住居ヲモ事務所ヲモ有セサル者ハ假住所ヲ選定シテ執行裁判所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第七百十條　執行裁判所ハ前二條ノ申立及ヒ要求アリタルコトヲ債權者、債務者及ヒ管理人ニ通知ス可シ

第七百十一條　管理人ハ裁判所之ヲ任命ス但債權者ハ適當ノ人ヲ推薦スルコトヲ得

管理人ハ管理及ヒ收益ノ爲メ自ラ不動產ヲ占有スル權ヲ有ス此場合ニ於テ抵抗ヲ受クルトキハ執途吏ヲ立會ハシムルコトヲ得

管理人ノ任命ハ債務者ニ代リ第三者ノ給付ス可キ收益ヲ取立ツル權ヲ授與スルモノトス

第七百十二條　裁判所ハ債權者及ヒ債務者ヲ審訊シタル後又適當トスル場合ニ於テハ鑑定人ヲ立會ハシメタル上管理人ニ管理ニ關シ必要ナル指揮ヲ爲シ又管理人ニ與ヘ可キ報酬ヲ定メ且管理人ノ業務施行ヲ監督ス可シ

裁判所ハ管理人ニ保證ヲ立テシメ又ハ貳拾圓以下ノ過料ヲ言渡シ又ハ其職ヲ免スルコトヲ得

第七百十三條　第三者不動產ニ付キ强制管理ヲ許スコトヲ妨クル權利ヲ主張スルトキハ第五百四十九條ノ規定ヲ準用ス

第七百十四條　管理人ハ直チニ不動產ニ付キ得タル收益ヨリ其不動產ノ負擔ニ係ル租稅其他ノ公課ヲ控除シタル後別段ノ手續ヲ要セシテ管理ノ費用ヲ辨濟シ其殘額ノ配當ニ付キ債權者間ニ協議調ハサルトキハ其旨ヲ裁判所ニ届出ツ可シ

前項ノ届出アリタルトキハ裁判所ハ第六百九十一條、第六百九十六條乃至第六百九十八條ノ規定ヲ準用シテ配當表ヲ作リ其配當表ニ基キ管理人ヲシテ債權者ニ支拂ヲ爲サシムヘシ

第七百十五條　管理人ハ毎年及ヒ其業務施行ノ終了後各債權者、債務者及ヒ裁判所ニ計算書ヲ差出ス可シ

各債權者及ヒ債務者ハ計算書ノ送達アリタルヨリ七日ノ期間内ニ執行裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

右期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ計算ニ付キ全ク異議ナク且管理人ノ卸任ヲ承諾シタルモノト看做ス

異議ノ申立アルトキハ裁判所ハ管理人ヲ審訊シタル後之ヲ裁判ス可シ若シ異議ノ申立ナク又ハ申立テタル異議ヲ完結シタルトキハ裁判所ハ管理人ヲシテ卸任セシム可シ

第七百十六條　强制管理ノ取消ハ裁判所ノ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

此取消ハ各債權者不動產ノ收益ヲ以テ辨濟ヲ受ケタルトキハ勿論辨濟ノ提供アリタル後認諾又ハ意思ノ陳述ヲ爲スニ因リ又ハ假差押ノ金錢ノ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ若シ管理續行ノ爲メ特別ノ費用ヲ要スルトキ債權者カ必要ナル金額ヲ豫納セサルニ於テハ裁判所ハ强制管理ノ取消ヲ命スルコトヲ得

裁判所ハ右ノ取消ヲ決定スル際登記判事ニ强制管理ノ關スル記入ノ抹消ヲ嘱託ス可シ

第三節　船舶ニ對スル强制執行

第七百十七條　商船其他ノ海船ニ對スル强制執行ハ不動產ノ强制競賣ニ關スル規定ニ從ヒ之ヲ爲ス

此申立ニ付テハ終局判決ヲ以テ之ヲ裁判ス其裁判ハ假差押ヲ命シタル裁判所又ハ本案カ既ニ繫屬シタルトキハ本案ノ裁判所之ヲ爲ス

第七百四十八條　假差押ノ執行ニ付テハ强制執行ニ關スル規定ヲ準用ス但以下數條ニ於テ差異ノ生スルトキハ此限ニ在ラス

第七百四十九條　假差押ノ命令ニハ其命令ヲ發シタル後債權者又ハ債務者ニ於テ承繼アル場合ニ限リ執行文ヲ附記スルコトヲ要ス

假差押命令ノ執行ハ命令ヲ言渡シ又ハ申立人ニ命令ヲ送達シタルヨリ十四日ノ期間ヲ徒過スルトキハ之ヲ爲スコトヲ許サス

右執行ハ債務者ニ差押命令ヲ送達スル前ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得

第七百五十條　動產ニ對スル假差押ノ執行ハ各差押ト同一ノ原則ニ從ヒテ之ヲ爲ス

債權ノ假差押ニ付テハ其命令ヲ發シタル裁判所ヲ以テ第三債務者ニ對シ債務者ニ支拂ヲ爲スコトヲ禁スル命令ノミヲ

假差押ノ金錢ハ之ヲ供託スヘシ其他假差押物ノ競賣及ヒ假差押有價證券ノ換價ハ一時之ヲ爲サス然レトモ假差押物ニ著シキ價額ノ減少ヲ生スル恐アルトキ又ハ其貯藏ニ付キ不相應ナル費用ヲ生スルトキハ執行裁判所ハ申立ニ因リ其物ヲ競賣シ賣得金ヲ供託スヘキ旨ヲ執達吏ニ命スルコトヲ得

第七百五十一條　不動產ニ對スル假差押ノ執行ハ假差押ノ命令ヲ登記簿ニ記入スルニ因リテ之ヲ爲ス

第七百五十二條　假差押執行ノ爲メ强制管理ヲ爲ス場合ニ於テハ保全ス可キ債權ニ相當スル金額ヲ取立テ之ヲ供託スヘシ

第七百五十三條　船舶ニ對スル假差押ノ執行ハ假差押ノ當時碇泊セル港ニ碇泊セシムルコトニ因リテ之ヲ爲ス裁判所ハ債權者ノ申立ニ因リ船舶ノ監守及ヒ保存ノ爲メ必要ナル處分ヲ爲ス

第七百五十四條　假差押命令ニ於テ定メタル金額ヲ供託シタルトキハ執行裁判所ハ執行シタル假差押ヲ取消スヘシ

假差押ノ執行ニ付キ特別ノ費用ヲ要シ且之カ爲メ必要ナル金額ヲ債權者カ豫納セサルトキモ亦執行裁判所ハ假差押ノ取消ヲ命スルコトヲ得

第七百五十五條　假差押ノ命令ニハ假差押ノ執行ヲ停止スルコトヲ得ル爲メ又ハ執行シタル假差押ヲ取消スコトヲ得ル爲メ債務者ヨリ供託ス可キ金額ヲ記載ス可シ

第七百四十四條　債務者ハ假差押決定ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得

此異議ニ付テハ假差押ノ取消又ハ變更ヲ申立ツル理由ヲ開示スヘシ

異議ノ申立ハ假差押ノ執行ヲ停止セス

第七百四十五條　異議ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ口頭辯論ヲ爲メ當事者ヲ呼出スヘシ

裁判所ハ終局判決ヲ以テ假差押ノ全部若クハ一分ノ認可、變更又ハ取消ヲ言渡シ又自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立ツ可キコトノ條件ヲ附シテ之ヲ言渡スコトヲ得

第七百四十六條　本案ノ未タ繫屬セサルトキハ假差押裁判所ハ債務者ノ申立ニ因リ口頭辯論ヲ經スシテ相當ニ定ムル期間內ニ訴ヲ起ス可キコトヲ債權者ニ命スヘシ

此期間ヲ徒過シタル後ハ債務者ノ申立ニ因リ終局判決ヲ以テ假差押ヲ取消スヘシ

第七百四十七條　債務者ハ假差押ノ理由消滅シ其他事情ノ變更シタルトキ又ハ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル可キ保證ヲ立テンコトノ提供ヲ爲シタルトキハ假差押ノ認可後ト雖モ假差押ノ取消ヲ申立ツルコトヲ得

第七百六十六條　公示催告ニ付テノ公告ハ裁判所ノ揭示板ニ揭示及ヒ官報又ハ公報ニ揭載シテ之ヲ爲ス

裁判所相當ト認ムルトキハ新聞紙ニ公告ス可キコトヲ命スルコトヲ得

第七百六十七條　公示催告ヲ官報又ハ公報ニ揭載シタル日ト公示催告期日トノ間ニハ法律ニ別段ノ規定ヲ設ケサルトキハ少ナクトモ二个月ノ時間ヲ存スルコトヲ要ス

第七百六十八條　公示催告期日ノ終リタル後ト雖モ除權判決前ニ屆出ヲ爲ストキハ適當ナル時間ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七百六十九條　除權判決ハ申立ニ因リテ之ヲ爲ス

有判決前ニ詳細ナル探知ヲ爲ス可キ旨ヲ命スルコトヲ得

除權判決ノ申立ヲ却下スル決定及ヒ除權判決ニ付シタル制限又ハ留保ニ對シテハ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

第七百七十條　申立人ノ申立ノ理由トシテ主張シタル權利ヲ爭フコトノ屆出アリタルトキハ其事情ニ從ヒ屆出テタル權利ニ付テノ裁判確定スルマテ公示催告手續ヲ中止シ又ハ除權判決ニ於テ屆出テタル權利ヲ留保ス可シ

第七百七十一條　申立人カ公示催告期日ニ出頭セサルトキハ其申立ニ因リ數期日ヲ定ムル可シ此申立ハ公示催告期日ヨリ六个月ノ期間內ニ限リ之ヲ爲スコトヲ許ス

第七百七十二條　公示催告手續ヲ完結スル爲メ新期日ヲ定メタルトキハ其期日ノ公告ヲ爲スコトヲ要セス

第七百七十三條　裁判所ハ除權判決ノ重要ナル旨趣ヲ官報又ハ公報ニ揭載シテ公告ヲ爲スコトヲ得

第七百七十四條　除權判決ニ對シテハ上訴ヲ爲スコトヲ得ス

除權判決ニ對シテハ左ノ申立人ニ對スル訴ヲ以テ催告裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ニ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第七百七十五條　公示催告ニ付テノ公告ハ裁判所ノ揭示板ニ揭示及ヒ官報又ハ公報ニ揭載シテ之ヲ爲ス

裁判所相當ト認ムルトキハ新聞紙ニ公告ス可キコトヲ命スルコトヲ得

第七百七十六條　公示催告ヲ官報又ハ公報ニ揭載シタル日ト公示催告期日トノ間ニハ法律ニ別段ノ規定ヲ設ケサルトキハ少ナクトモ二个月ノ時間ヲ存スルコトヲ要ス

第七百七十七條　申立人カ公示催告期日ニ出頭セサルトキハ其申立ニ因リ數期日ヲ定ムル可シ此申立ハ公示催告期日ヨリ六个月ノ期間內ニ限リ之ヲ爲スコトヲ許ス

第七百七十八條　公示催告ヲ官報又ハ公報ニ揭載シタル日ト公示催告期日トノ間ニハ少ナクトモ六个月ノ時間ヲ存スルコトヲ要ス

第七百七十九條　特別ノ事情アルトキニ限リ公示催告ノ期間ヲ伸縮スルコトヲ得

第七百八十條　公示催告ノ公告ハ裁判所ノ揭示板ニ揭示シ且官報又ハ公報ニ揭載シ及ヒ新聞紙ニ三回揭載シテ之ヲ爲ス

公示催告裁判所ノ所在地ニ取引所アルトキハ取引所ニモ亦此公告ヲ揭示ス可シ

第七百八十一條　公示催告ヲ官報又ハ公報ニ揭載シタル日ト公示催告期日トノ間ニハ少ナクトモ六个月ノ時間ヲ存スルコトヲ要ス

第七百八十二條　公示催告ノ公告ハ裁判所ノ揭示板ニ揭示シ且官報又ハ公報ニ揭載シ及ヒ新聞紙ニ三回揭載シテ之ヲ爲ス

公示催告裁判所ノ所在地ニ取引所アルトキハ取引所ニモ亦此公告ヲ揭示ス可シ

第七百八十三條　公示催告ヲ官報又ハ公報ニ揭載シタル日ト公示催告期日トノ間ニハ少ナクトモ六个月ノ時間ヲ存スルコトヲ要ス

第七百八十四條　除權判決ニ於テハ證書ヲ無效ト宣言スル可シ

除權判決ノ重要ナル旨趣ハ官報又ハ公報ヲ以テ之ヲ公告ス可シ

不服申立ノ訴ニ因リ判決ヲ以テ無效宣言ヲ取消シタルトキハ其判決ノ確定後官報又ハ公報ヲ以テ之ヲ公告ス可シ

第七百八十五條　除權判決アリタルトキハ其申立人ハ證書ニ因リ義務ヲ負擔スル者ニ對シ得ヘキ者ト雖モ申立ヲ爲ス權アリ

此他ノ證書ニ付テハ證書ニ因リ權利ヲ主張シテ證書ニ因レル權利ヲ主張スルコトヲ得

第八編　仲裁手續

第七百八十六條　一名又ハ數名ノ仲裁人ヲシテ爭ノ判斷ヲ爲サシムル合意ハ當事者カ係爭物ニ付キ和解ヲ爲ス權利アル場合ニ限リ其效力ヲ有ス

第七百八十七條　將來ノ爭ニ關スル仲裁契約ハ一定ノ權利關係及ヒ其關係ヨリ生スル爭ニ關セサルトキハ其效力ヲ有セス

第七百八十八條　仲裁契約ニ仲裁人ノ選定ニ關スル定メナルトキハ當事者ハ各一名ノ仲裁人ヲ選定ス

第七百八十九條　當事者ノ雙方カ仲裁人ヲ選定スル權利ヲ有スルトキハ先ニ手續ヲ爲ス一方ハ求面ヲ以テ相手方ニ其選定シタル仲裁人ヲ指示シ丑七日ノ期間內ニ同一ノ手續ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スヘシ

右期間ヲ徒過シタルトキハ管轄裁判所ハ先ニ手續ヲ爲シ一方ノ申立ニ因リ仲裁人ヲ選定ス

第七百九十條　當事者ノ一方ハ相手方ニ仲裁人選定ノ通知ヲ爲シタル後ハ相手方ニ對シテ其選定ニ異ヲ述フルコトヲ得ス

第七百九十一條　仲裁契約ヲ以テ選定シタル非サル仲裁人カ死亡シ又ハ其他ノ理由ニ因リ欠缺シ又ハ其職務ノ引受若クハ施行ヲ拒ミタルトキハ其仲裁人ヲ選定シタル當事者ハ同一ノ理由ニ因リ七日ノ期間內ニ他ノ仲裁人ヲ選定スヘシ此期間ヲ徒過シタルトキハ管轄裁判所ハ其催告ヲ爲シタル仲裁人ヲ選定スヘシ

第七百九十二條　當事者ノ一方カ仲裁人ヲ忌避スル權利アルト雖モ自己ノ作リタル仲裁人ヲ忌避スルコトヲ得ス

第七百九十三條　仲裁契約ヲ以テ選定シタル仲裁人ハ其選定ニ因リ又ハ其後ニ生シタル忌避ノ原因ヲ知リタルトキハ遲滯ナク之ヲ相手方ニ通知スヘシ

第七百九十四條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第七百九十五條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第七百九十六條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第七百九十七條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第七百九十八條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第七百九十九條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百一條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百二條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百三條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百四條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百五條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百六條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百七條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百八條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百九條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百十條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百十一條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百十二條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百十三條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百十四條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百十五條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百十六條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百十七條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百十八條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百十九條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百二十條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百二十一條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百二十二條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百二十三條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百二十四條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百二十五條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百二十六條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百二十七條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百二十八條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百二十九條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百三十條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百三十一條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百三十二條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百三十三條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百三十四條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百三十五條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百三十六條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百三十七條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百三十八條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百三十九條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百四十條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百四十一條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百四十二條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百四十三條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百四十四條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百四十五條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百四十六條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百四十七條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百四十八條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百四十九條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百五十條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百五十一條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百五十二條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百五十三條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百五十四條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百五十五條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百五十六條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百五十七條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百五十八條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百五十九條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百六十條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百六十一條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百六十二條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百六十三條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百六十四條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百六十五條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百六十六條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百六十七條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百六十八條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百六十九條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百七十條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百七十一條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百七十二條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百七十三條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百七十四條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百七十五條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百七十六條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百七十七條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百七十八條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百七十九條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百八十條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百八十一條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百八十二條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百八十三條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百八十四條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百八十五條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百八十六條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百八十七條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百八十八條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百八十九條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百九十條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百九十一條　仲裁人ハ其就職ノ前後ヲ問ハス當事者ノ一方ヨリ忌避セラレタルトキハ其仲裁人ニ代ルヘキ仲裁人ノ選定ニ關スル定メニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

第八百九十二條　仲裁人

以テ左ノ場合ノ為メ豫定ヲ為ササリシトキ
第一　契約ニ拘テ一定ノ人ヲ仲裁人ニ選定シ其仲裁人中ノ或人カ死亡シ又ハ其他ノ理由ニ因リ欠缺シ又ハ其職務ノ引受ヲ拒ミ又ハ仲裁人ノ取結ヒタル契約ヲ解キ又ハ其責務ノ履行ヲ不當ニ遅延シタルトキ
第二　仲裁人カ其意見ノ可否同數ナル旨ヲ當事者ニ通知シタルトキ
第七百九十四條　仲裁人カ其意見ノ可否同數ナル旨ヲ當事者ニ通知シ且必要トスル限リ人ヲ以テ決ヲ採ラサル事件關係ヲ擇知ス可シ
仲裁手續ニ付キ當事者ノ合意アラサル場合ニ於テハ其手續ハ仲裁人ノ意見ヲ以テ之ヲ定ム
第七百九十五條　仲裁人ハ其面前ニ任意ニ出頭スル證人及ヒ鑑定人ヲ訊問スルコトヲ得
仲裁人ハ證人又ハ鑑定人ヲシテ宣誓ヲ為サシムル權ナシ
第七百九十六條　仲裁人ノ必要ト認ムル判斷上ノ行為ニシテ仲裁人ノ為スコトヲ得サルモノハ當事者ノ申立ニ因リ管轄裁判所之ヲ為スヲ可シ但其申立ヲ相當ト認メタルトキニ限ル
證人又ハ鑑定人ニ供述ヲ命シタル裁判所ハ證據方述フルコトヲ又ハ鑑定ヲ為スコトヲ拒ミタル場合ニ於テ必要ナル裁判ヲモ亦為ス權アリ
第七百九十七條　仲裁人ハ當事者カ仲裁手續ヲ許ス可カラサルコトヲ主張スルトキ殊ニ法律上有效ナル仲裁契約ノ成立セサルコト、仲裁契約カ期斷ス可キ事ニ關係セサルコト又ハ仲裁人カ其職務ヲ施行スル權ナキコトヲ主張スルトキト雖モ仲裁手續ヲ續行スルコトヲ得
第七百九十八條　敘名ノ仲裁人カ仲裁判斷ヲ為ス可キトキハ過半數ヲ以テ其判斷ヲ為ス可シ但仲裁契約ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス
第七百九十九條　仲裁判斷ニハ其作リタル年月日ヲ記載シテ仲裁人之ニ署名捺印ス可シ仲裁人ノ署名捺印シタル判斷ノ正本ハ之ヲ當事者ニ送達シ其原本ハ送達ノ證書ヲ添ヘテ管轄裁判所ノ書記課ニ之ヲ預ケ置ク可シ
第八百條　仲裁判斷ハ當事者間ニ於テ確定シタル裁判所ノ判決ト同一ノ效力ヲ有ス
第八百一條　仲裁判斷ノ取消ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ申立ツルコトヲ得
第一　仲裁手續ヲ許ス可カラサリシトキ
第二　仲裁判斷カ法律上禁止ノ行為ヲ為ス可キ旨ヲ當事者カ仲裁手續ニ於テ法律ノ規定ニ從ヒ代理セラレサリシトキ
第三　當事者カ仲裁手續ニ於テ法律ノ規定ニ從ヒ代理セラレサリシトキ
第四　仲裁手續ニ於テ當事者ヲ審訊セサリシトキ
第五　仲裁判斷ニ理由ヲ付セサリシトキ
第六　第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ許ス條件ノ存スルトキ
仲裁判斷ノ取消ハ當事者カ別段ノ合意ヲ為シタル理由ニ因リ之ヲ為スコトヲ得
第八百二條　仲裁判斷ニ因リ為ス強制執行ハ執行判決ヲ以テ其許ス可キコトヲ言渡シタルトキニ限リ之ヲ為スコトヲ得
右執行判決ハ仲裁判斷ノ取消ヲ申立ツルコトヲ得ヘキ理由ノ存スルトキハ之ヲ為スコトヲ得ス
第八百三條　執行判決ヲ為シタル後ハ仲裁判斷ノ取消ハ第八百一條第六號ニ掲ケタル理由ニ因リテノミ之ヲ申立ツルコトヲ得但當事者カ自己ノ過失ニ非スシテ前手續ニ於テ取消ノ理由ヲ主張スル能ハサリシコトヲ疏明シタルトキニ限ル
第八百四條　仲裁判斷取消ノ訴ハ前條ノ場合ニ於テハ一ヶ月ノ不變期間内ニ之ヲ起ス可シ
右期間ハ當事者カ取消ノ理由ヲ知リタル日ヲ以テ始マル然レトモ執行判決ノ確定前ニハ始マラサルモノトス但執行判決ノ確定ヲ為リタル日ヨリ起算シテ五个年ノ滿了後ハ此訴ヲ起スコトヲ許サス
仲裁判斷ヲ取消ストキハ執行判決ノ取消ヲモ亦實渡ス可シ
第八百五條　仲裁人ノ為メ豫定ヲ為ササリシトキ又ハ其效力ヲ失フ
第一　契約ニ拘テ一定ノ人ヲ仲裁人ニ選定シ其仲裁人中ノ或人カ死亡シ又ハ其他ノ理由ニ因リ欠缺シ又ハ其職務ノ引受ヲ拒ミ又ハ仲裁人ノ取結ヒタル契約ヲ解キ又ハ其責務ノ履行ヲ不當ニ遅延シタルトキ
第二　仲裁人カ其意見ノ可否同數ナル旨ヲ當事者ニ通知シ且必要トスル限リ人ヲ以テ決ヲ採ラサル事件關係ヲ擇知ス可シ
仲裁手續ニ付キ當事者ノ合意アラサル場合ニ於テハ其手續ハ仲裁人ノ意見ヲ以テ之ヲ定ム
第七百九十五條　仲裁人ハ其面前ニ任意ニ出頭スル證人及ヒ鑑定人ヲ訊問スルコトヲ得
仲裁人ハ證人又ハ鑑定人ヲシテ宣誓ヲ為サシムル權ナシ
第七百九十六條　仲裁人ノ必要ト認ムル判斷上ノ行為ニシテ仲裁人ノ為スコトヲ得サルモノハ當事者ノ申立ニ因リ管轄裁判所之ヲ為スヲ可シ但其申立ヲ相當ト認メタルトキニ限ル
證人又ハ鑑定人ニ供述ヲ命シタル裁判所ハ證據方述フルコトヲ又ハ鑑定ヲ為スコトヲ拒ミタル場合ニ於テ必要ナル裁判ヲモ亦為ス權アリ
第七百九十七條　仲裁人ハ當事者カ仲裁手續ヲ許ス可カラサルコトヲ主張スルトキ殊ニ法律上有效ナル仲裁契約ノ成立セサルコト、仲裁契約カ期斷ス可キ事ニ關係セサルコト又ハ仲裁人カ其職務ヲ施行スル權ナキコトヲ主張スルトキト雖モ仲裁手續ヲ續行スルコトヲ得
第七百九十八條　敘名ノ仲裁人カ仲裁判斷ヲ為ス可キトキハ過半數ヲ以テ其判斷ヲ為ス可シ但仲裁契約ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス
第七百九十九條　仲裁判斷ニハ其作リタル年月日ヲ記載シテ仲裁人之ニ署名捺印ス可シ仲裁人ノ署名捺印シタル判斷ノ正本ハ之ヲ當事者ニ送達シ其原本ハ送達ノ證書ヲ添ヘテ管轄裁判所ノ書記課ニ之ヲ預ケ置ク可シ
第八百條　仲裁判斷ハ當事者間ニ於テ確定シタル裁判所ノ判決ト同一ノ效力ヲ有ス
第八百一條　仲裁判斷ノ取消ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ申立ツルコトヲ得
第一　仲裁手續ヲ許ス可カラサリシトキ
第二　仲裁判斷カ法律上禁止ノ行為ヲ為ス可キ旨ヲ當事者カ仲裁手續ニ於テ法律ノ規定ニ從ヒ代理セラレサリシトキ
第三　當事者カ仲裁手續ニ於テ法律ノ規定ニ從ヒ代理セラレサリシトキ
第四　仲裁手續ニ於テ當事者ヲ審訊セサリシトキ
第五　仲裁判斷ニ理由ヲ付セサリシトキ
第六　第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ許ス條件ノ存スルトキ
仲裁判斷ノ取消ハ當事者カ別段ノ合意ヲ為シタル理由ニ因リ之ヲ為スコトヲ得
第八百二條　仲裁判斷ニ因リ為ス強制執行ハ執行判決ヲ以テ其許ス可キコトヲ言渡シタルトキニ限リ之ヲ為スコトヲ得
右執行判決ハ仲裁判斷ノ取消ヲ申立ツルコトヲ得ヘキ理由ノ存スルトキハ之ヲ為スコトヲ得ス
第八百三條　執行判決ヲ為シタル後ハ仲裁判斷ノ取消ハ第八百一條第六號ニ掲ケタル理由ニ因リテノミ之ヲ申立ツルコトヲ得但當事者カ自己ノ過失ニ非スシテ前手續ニ於テ取消ノ理由ヲ主張スル能ハサリシコトヲ疏明シタルトキニ限ル
第八百四條　仲裁判斷取消ノ訴ハ前條ノ場合ニ於テハ一ヶ月ノ不變期間内ニ之ヲ起ス可シ
右期間ハ當事者カ取消ノ理由ヲ知リタル日ヲ以テ始マル然レトモ執行判決ノ確定前ニハ始マラサルモノトス但執行判決ノ確定ヲ為リタル日ヨリ起算シテ五个年ノ滿了後ハ此訴ヲ起スコトヲ許サス
仲裁判斷ヲ取消ストキハ執行判決ノ取消ヲモ亦實渡ス可シ

依リ處断ス但シ過料ノ額ハ舊法ノ罰金又ハ過料ノ額ヲ超ユルコトヲ得ス
第十一條　新法施行前第一審裁判所又ハ裁判所カ管轄違ヒニシテ訴ヲ却下シタル場合ニ於テ上訴裁判所カ第一審裁判所ニ其ノ管轄權ナシトスルトキハ判決ヲ以テ事件ヲ第一審ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テ上訴裁判所カ第一審裁判所ニ管轄權アリトスルトキハ事件ヲ其ノ裁判所ニ差戻スコトヲ要ス但シ第一審裁判所カ管轄違ヒニシテ付控訴裁判所カ管轄違ヒニシテ訴ヲ却下シタル場合ニ於テハ上告裁判所ハ事件ヲ控訴裁判所ニ差戻スコトヲ得
第十二條　新法施行前抗告裁判所ノ為シタル決定ニ對シテハ仍舊法ニ依リ更ニ抗告ヲ為スコトヲ得
第十三條　開廷判決ニ對シテハ仍舊法ニ依リ故障ヲ申立ツルコトヲ得
執行命令ニ對シテハ舊法ニ依ル故障期間内ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得
第十四條　新法施行前妨訴抗辯ヲ棄却シ又ハ請求ノ原因ヲ正當ナリトシタル中間判決ニ對シテハ仍舊法ニ依リ上訴ヲ為スコトヲ得
第十五條　新法施行前ヨリ繫屬スル證書訴訟及ヒ為替訴訟ハ仍舊法ニ依リ之ヲ完結ス但シ訴訟カ新法施行ノ際第一審ニ繫屬スルトキハ新法施行ノ日ヨリ通常ノ手續ニ於テ繫屬スルモノト看做ス
第十六條　故障ヲ許ササル開廷判決ニ對シテハ仍舊法ニ依リ上訴ヲ為スコトヲ得
第十七條　新法施行前請求ノ拋棄又ハ認諾ニ基キ判決ヲ求ムル申立アリタルトキハ仍舊法ニ依リ裁判ヲ為ス新法施行前開廷判決ノ申立アリタルトキ亦同シ
第十八條　新法施行前言渡シタル判決ニシテ舊法第四百二十二條ニ掲クルモノニ對シ控訴ノ提起アリタル場合ニ於テハ仍同條ノ規定ニ依ル
附　則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治四年五月勅令ヲ以テ明治二十三年一月一日ヨリ施行ス）

●民事訴訟費用法

明治二十三年八月
法律第六十四號

改正　明治三十一年二月第三號、大正一〇年四第六七號

民事訴訟費用法ハ裁可ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條　民事訴訟法ノ規定ニ從ヒ訴訟費用ハ勝利ノ當事者ニ之ヲ負擔セシム
勝訴ノ當事者ト雖モ訴訟費用ノ負擔ヲ免ルルコトヲ得ス
第二條　訴訟ニ關スル書類ノ作成、送達、保存及ヒ執行ニ要スル費用ハ之ヲ訴訟費用ニ算入ス
第三條　訴訟費用ハ左ノ通リ定ム
一　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料
二　證人、鑑定人、通譯及ヒ民事訴訟法第三百十條第二項ニ規定スル說明者ノ日當及ヒ旅費
三　檢證ノ為メ現場ニ出頭シタル裁判所ノ官吏、證人、鑑定人、通譯及ヒ民事訴訟法第三百十條第二項ニ規定スル說明者ノ止宿料ハ一日五圓以内ニ於テ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル
第十三條　當事者、證人、鑑定人、通譯及ヒ民事訴訟法第三百十條第二項ニ規定スル說明者ノ旅費ハ鐵道又ハ船舶ノ通スル水路ニ在リテハ二等以下ノ汽車賃又ハ船賃ニシテ裁判所ノ相當ト認ムルモノニ依リ汽船ヲ通セサル水路ニ在リテハ一海里毎ニ五錢其他ニ在リテハ一里毎ニ三十錢トス但シ一海里未滿又ハ一里未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ
外國ニ在ル當事者ノ旅費ハ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル
第十四條　判事及ヒ裁判所書記檢證ノ為メ實地臨檢ヲ為スニ付テノ旅費及ヒ止宿料ハ證人ニ準ス
本法ニ定メタル外必要ノ費用ハ其實費ニ依ル
第十五條　強制執行及ヒ非訟事件ニ關スル費用ハ執達吏手數料規則ニ定メタルモノヲ除ク外前數條ノ規定ヲ準用シテ之ヲ算定ス
強制執行又ハ非訟事件ニ關シテ保管人若クハ管理人ヲ任命シタルトキハ其費用ハ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル
第十七條　證人、鑑定人、通譯及ヒ民事訴訟法第三百十條第二項ニ規定スル說明者ノ日當、旅費、止宿料及ヒ他ノ費用ハ請求ニ因リ裁判所之ヲ支拂フ民事訴訟法第三百六十二條及ヒ第三百十條第一項ノ規定ニ依ル場合ニ於テ其ノ受ケタル者ニ對スル報酬亦同シ
第十八條　當事者ノ致納ニ係ラサル費用ハ裁判ニ因リテ其費用ヲ負擔スヘキ者ヨリ裁判所之ヲ取立ツルコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル費用ノ取立ハ第一審ノ受訴裁判所ノ決定ニ依リ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒ之ヲ執行ス其決定ハ執行力アル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス
第十九條　破産ハ其ノ宣告ノ時ヨリ效力ヲ生ス
第二條　外國人又ハ外國法人ハ破産ニ關シ日本人又ハ日本法人ト同一ノ地位ヲ有ス但シ其ノ本國法ニ依リ日本人又ハ日本法人カ同一ノ地位ヲ有スルトキニ限ル
第三條　日本ニ於テ宣告シタル破産ハ破産者ノ財産ニシテ日本ニ在ルモノニ付テノミ其ノ效力ヲ有ス
外國ニ於テ宣告シタル破産ハ日本ニ在ル財産ニ付テハ其ノ效力ヲ有セス
民事訴訟法ニ依リ裁判上ノ請求ヲ為スコトヲ得ヘキ債權ハ日本ニ在ルモノト看做ス
第四條　解散シタル法人ハ破産ノ目的ノ範圍内ニ於テ清算ノ為メ必要ナル限リ其ノ人格ヲ有ス
第一章　總則
第一

以テ破産財團トス

検相續人カ相續人ニ對シ及相續人カ被相續人ニ對シテ有シタル權利ハ消滅セサリシモノト看做ス

第十三條　隱居又ハ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テ相續財產ニ對シテ破產ノ宣告アリタルトキハ家督相續人カ自己ノ爲メニ破產ノ宣告アリタルトキハ破產財團ニ屬スル財產ニ對シテ破產ノ宣告アリタルトキハ相續開始ノ時ニ於テ前戶主カ有シタル財產ヲ以テ破產財團トス

第十四條　相續人カ相續財產ノ全部又ハ一部ヲ處分シタル後相續財產ニ對シテ破產ノ宣告アリタルトキハ相續人カ反對給付ヲ受ケタル限度ニ於テ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十五條　破產債權ハ破產手續ニ依ルニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス

第十六條　破產債權ハ破產宣告ノ時ヨリ期限ニ至ルモノト看做ス

第十七條　期限附債權ハ破產宣告ノ時ニ於テ辨濟期ニ至リタルモノト看做ス

第十八條　債權カ無利息ニシテ其ノ期限カ破產宣告後ニ到來スヘキ場合ニ於テハ破產債權ノ額ハ破產宣告ノ時ヨリ期限ニ至ルマテノ法定利息ヲ控除スルモノトス

第十九條　前條ノ規定ハ金額及存續期間ノ確定スル定期金債權ニ之ヲ準用ス但シ其ノ總額カ法定利率ニ依リ其ノ定期金ニ相當スル利息ヲ生スヘキ元本額ヲ超ユルトキハ其ノ元本額ヲ以テ破產債權ノ額トス

第二十條　第三十四條、第三十五條及前條第二項ノ規定ハ數人ノ保證人カ各自ノ債務ノ一部ヲ負擔スヘキ場合ニ於テ其ノ負擔部分ニ付之ヲ準用ス

第二十八條　法人ノ債務ニ付其ノ債權者ニ對シテ無限ノ責任ヲ負フ者カ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキハ法人ノ債權者ハ破產宣言ノ時ニ於テ有スル債權ノ全額ニ付破產債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十九條　法人ノ債務ニ付其ノ債權者ニ對シテ無限ノ責任ヲ負フ者又ハ其ノ法人ノ破產ノ宣告アリタルトキハ其ノ債權者ハ破產宣告ノ時ニ於テ有スル債權ノ全額ニ付破產債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第三十條　前二條ノ場合ニ於テ破產ノ宣告ヲ受ケタル無限責任社員カ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキハ相續債權者及受遺者ハ其ノ債權ニ付破產債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第三十一條　相續人カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テハ財產ノ分離アリタルトキニ限リ相續債權者及受遺者ハ其ノ債權ノ全額ニ付破產債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第三十二條　前二條ノ場合ニ於テ破產ノ宣告ヲ受ケタル相續人カ限定承認ヲ爲シタルトキハ相續債權者及受遺者ハ其ノ固有財產ニ付破產債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得ス第八條第一項ノ規定ニ依リ限定承認ノ效力ヲ有シ場合ニ於テハ相續債權

コト能ハサル場合ニ於テ其ノ時期カ破産宣告後ニ到來スヘキトキハ契約ノ解除アリタルモノト看做シ此ノ場合ニ於テ損害賠償ノ額ハ履行地又ハ其ノ他ノ相場ノ標準ト爲ルヘキ地ニ於ケル同種ノ取引ニシテ同一ノ時期ニ履行スヘキモノト相場ト實買ノ代價トノ差額ニ依リテ之ヲ定ム

前條第一項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル損害賠償ニ付之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ付取引所ニ於テ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ其ノ定ニ從フ

第六十二條　第五十九條中二項ノ規定ハ民法第六百二十一號、第六百三十一條又ハ第六百四十二條第一項ノ規定ニ依リ相手方又ハ破産管財人カ有スル解除權ノ行使ニ付之ヲ準用ス

第六十三條　賃貸人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テハ借賃ノ前拂又ハ借賃ノ廉分ハ破産宣告ノ時ニ於ケル當期及次期ニ關スルモノヲ除クノ外之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得サル ニ因リテ損害ヲ受ケタル者ハ其ノ損害ノ賠償ニ付破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

前二項ノ規定ハ地上權及永小作權ニ付之ヲ準用ス

第六十四條　破産者カ請負契約ニ因リ仕事ヲ爲ス義務ヲ負擔スルトキハ破産管財人ハ必要ナル材料ヲ供シ破産者ヲシテ其ノ仕事ヲ爲サシムルコトヲ得其ノ仕事カ破産者自ヲ爲スコトヲ要セサルモノナルトキハ第三者ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ破産者カ其ノ相手方ヨリ受クヘキ報酬ハ破産財團ニ屬ス

第六十五條　委任者カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ受任者カ破産宣告ノ通知ヲ受ケス且破産宣告ノ事實ヲ知ラスシテ委任事務ヲ處理シタルトキハ之ニ因リテ生シタル債權ニ付破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第六十六條　交互計算ハ當事者ノ一方カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ終了ス此ノ場合ニ於テハ各當事者ハ計算ヲ閉鎖シ殘額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル請求權ハ破産者ノ爲スルトキハ破産債權トス

第六十七條　數人共同シテ財産權ヲ有スル場合ニ於テ共有者ノ中破産ノ宣告ヲ受ケタル者アルトキハ分割ヲ爲ササル定アルトキト雖破産手續ニ依ラスシテ其ノ分割ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ他ノ共有者ハ相當ノ償金ヲ拂ヒテ破産者ノ持分ヲ取得スルコトヲ得

第六十八條　民法第七百九十六條第二項第三項及第七百九十七條ノ規定ハ配偶者ノ財産管理又ハ其ノ權利ノ設定、移轉又ハ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ行爲カ權利ノ設定、移轉又ハ變更アリタル日ヨリ十五日ヲ經過シタル後惡意ニテ爲シタルモノナルトキハ之ヲ否認スルコトヲ得但シ登記及登錄ニ付テハ假登記又ハ假登錄アリタル後本登記又ハ本登錄ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ權利取得ノ效力ヲ生スル登錄ニ付之ヲ準用ス

第六十九條　破産財團ニ屬スル財産ニ關シ破産宣告ノ當時繫屬スル訴訟ハ破産管財人又ハ相手方ニ於テ之ヲ受繼クコトヲ得第四十七條第七號ニ揭クル請求權ニ關スル訴訟ニ付亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ訴訟費用ハ之ヲ財團債權トス

第七十條　破産債權ニ付破産財團ニ屬スル財産ニ對シ爲シタル强制執行、假差押又ハ假處分ハ破産財團ニ對シテハ效力ヲ失フ但シ强制執行ニ付テハ破産管財人ニ於テ破産財團ノ爲其ノ手續ヲ續行スルコトヲ妨ケス

前項但書ノ規定ニ依リ破産管財人カ强制執行ノ手續ヲ續行スルトキハ費用ハ之ヲ財團債權トシ强制執行ニ對スル第三者ノ異議ノ訴ニ付テハ破産管財人ヲ被告トス

前二項ノ規定ハ一般ノ先取特權者カ破産財團ニ屬スル財産ニ對シ爲シタル競賣手續ニ之ヲ準用ス

第七十一條　破産債權ニ付破産財團ニ屬スル財産ニ對シ國稅徵收法又ハ國稅徵收ノ例ニ依ル滯納處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ破産ノ宣告ハ其ノ處分ノ續行ヲ妨ケス

破産債權者ノ提起シタル訴訟カ破産宣告ノ當時繫屬スルトキハ其ノ訴訟手續ハ受繼又ハ破産手續ノ解止ニ至ル迄之ヲ中斷ス

第六十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七章　取戻權

第七十七條　破産ノ宣告ハ破産者ニ屬セサル財産ヲ破産財團ニ屬シ破産者ニ財産ヲ讓渡シタル者ハ擔保ノ目的ヲ以テシタルコトヲ得

第七十八條　破産宣告前破産者ニ財産ヲ讓渡シタル者ハ擔保ノ目的ヲ以テシタルコトヲ得ス

第七十九條　賣主カ賣買ノ目的タル物品ヲ買主ニ發送シタル場合ニ於テ買主カ未タ代金ノ全額ヲ辨濟セス且到達地ニ於テ其ノ物品ヲ受取ラサル間ニ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ賣主ハ其ノ物品ヲ取戻スコトヲ得但シ破産管財人カ代金ノ全額ヲ支拂ヒテ其ノ物品ノ引渡ヲ請求スルコトヲ妨ケス

前項ノ規定ハ第五十九條ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第八十條　前條第一項ノ規定ハ物品買入ノ委託ヲ受ケタル問屋カ其ノ物品ヲ委託者ニ發送シタル場合ニ之ヲ準用ス

第八十一條　破産者カ破産宣告前取戻權ノ目的タル財産ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ取戻權者ハ反對給付ノ請求權ノ移轉ヲ請求スルコトヲ得破産管財人カ取戻權ノ目的タル財産ヲ讓渡シタル場合亦同シ

前項ノ場合ニ於テ破産管財人カ反對給付ヲ受ケタルトキハ取戻權者ハ破産管財人カ反對給付ヲシテ受ケタル財産ノ給付ヲ請求スルコトヲ得

第八章　別除權

第八十二條　破産財團ニ屬スル財産ノ上ニ存スル特別ノ先取特權、質權又ハ抵當權ヲ有スル者ハ其ノ目的タル財産ニ付別除權ヲ有ス

第八十三條　破産財團ニ屬スル財産ノ上ニ存スル留置權ニシテ商法ニ依レモノハ破産財團ニ對シテハ之ヲ特別ノ先取特權ト看做ス

前二項ノ規定ニ依リ二項以上ノ裁判所カ管轄スル此ノ先取特權ハ他ノ特別ノ先取特權ニ後ル

第八十四條　破産宣告ノ日ヨリ一年前ニ爲シタル行爲ハ支拂停止ノ事實ヲ知リタルコトヲ理由トシテ之ヲ否認スルコトヲ得ス

第八十五條　否認權ハ破産宣告ノ日ヨリ二年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

行爲ノ日ヨリ二十年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第八十六條　民法第四百二十四條ノ規定ニ依リ破産債權者ノ提起シタル訴訟カ破産宣告ノ當時繫屬スルトキハ其ノ訴訟手續ハ受繼又ハ破産手續ノ解止ニ至ル迄之ヲ中斷ス

第六十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九章　取戻權

第八十七條　破産者ニ屬セサル財産ヲ破産財團ニ屬シ破産者ニ財産ヲ讓渡シタル者ハ擔保ノ目的ヲ以テシタルコトヲ得ス

第八十八條　破産宣告前破産者ニ財産ヲ讓渡シタル者ハ擔保ノ目的ヲ以テシタルコトヲ得ス

第八十九條　賣主カ賣買ノ目的タル物品ヲ買主ニ發送シタル場合ニ於テ買主カ未タ代金ノ全額ヲ辨濟セス且到達地ニ於テ其ノ物品ヲ受取ラサル間ニ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ賣主ハ其ノ物品ヲ取戻スコトヲ得但シ破産管財人カ代金ノ全額ヲ支拂ヒテ其ノ物品ノ引渡ヲ請求スルコトヲ妨ケス

前項ノ規定ハ第五十九條ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第九十條　前條第一項ノ規定ハ物品買入ノ委託ヲ受ケタル問屋カ其ノ物品ヲ委託者ニ發送シタル場合ニ之ヲ準用ス

第九十一條　破産者カ破産宣告前取戻權ノ目的タル財産ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ取戻權者ハ破産管財人カ反對給付ヲ請求スルコトヲ得破産管財人カ取戻權ノ目的タル財産ヲ讓渡シタル場合亦同シ

前項ノ場合ニ於テ破産管財人カ反對給付ヲ受ケタルトキハ取戻權者ハ破産管財人カ反對給付ヲシテ受ケタル財産ノ給付ヲ請求スルコトヲ得

第十章　別除權

第九十二條　破産財團ニ屬スル財産ノ上ニ存スル特別ノ先取特權、質權又ハ抵當權ヲ有スル者ハ其ノ目的タル財産ニ付別除權ヲ有ス

第九十三條　破産財團ニ屬スル財産ノ上ニ存スル留置權ニシテ商法ニ依レモノハ破産財團ニ對シテハ之ヲ特別ノ先取特權ト看做ス

前二項ノ規定ニ依リ二項以上ノ裁判所カ管轄スル此ノ先取特權ハ他ノ特別ノ先取特權ニ後ル

第九十四條　破産宣告ノ日ヨリ一年前ニ爲シタル行爲ハ支拂停止ノ事實ヲ知リタルコトヲ理由トシテ之ヲ否認スルコトヲ得ス

第九十五條　否認權ハ破産宣告ノ日ヨリ二年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

行爲ノ日ヨリ二十年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第九十六條　民法第四百二十四條ノ規定ニ依リ破産債權者ノ提起シタル訴訟カ破産宣告ノ當時繫屬スルトキハ其ノ訴訟手續ハ受繼又ハ破産手續ノ解止ニ至ル迄之ヲ中斷ス

第九十七條　破産財團ニ屬スル財産ノ上ニ特別ノ先取特權、質權又ハ抵當權ヲ有スル者ハ其ノ權利ノ行使ニ依リテ辨濟ヲ受クルコト能ハサル債權額ニ付テノミ破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第九十八條　破産債權者カ破産宣告ノ當時破産者ニ對シテ債務ヲ負擔スルトキハ破産手續ニ依ラスシテ相殺ヲ爲スコトヲ得

第九十九條　破産債權者ノ債權カ破産宣告ノ後他人ノ破産債權ヲ取得シタルトキハ破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第百條　停止條件附債權又ハ將來ノ請求權ヲ有スル者カ其ノ債務ヲ辨濟スル場合ニ於テハ後日相殺ヲ爲シ得ヘキ債權額ノ限度ニ於テ辨濟額ノ寄託ヲ請求スルコトヲ得

第百一條　解除條件附債權ヲ有スル者カ相殺ヲ爲ストキハ其ノ相殺額ニ付擔保ヲ供シ又ハ寄託ヲ爲スコトヲ要ス

第百二條　第十八條乃至第二十條、第二十二條及第二十三條ノ規定ハ破産債權者ノ債權ニ之ヲ準用ス

第百三條　破産債權者カ債權人ナルトキハ破産宣告ノ時ニ於ケル當期及次期ノ借賃ニ付相殺ヲ爲スコトヲ得動産ノ賃貸人カ破産宣告ノ後破産管財人ニ對シ借賃ニ付亦同シ

第百四條　左ノ場合ニ於テハ破産債權者ハ破産財團ニ對シ其ノ債權ノ全部ニ付破産手續ニ參加スルコトヲ得

一　破産債權者カ破産宣告ノ後破産財團ニ屬スル財産ニ對シ强制執行ヲ爲シタルトキ

二　破産者カ支拂ノ停止又ハ破産ノ申立アリタル後ニ爲シタル擔保ノ供與、債務ノ消滅ニ關スル行爲其ノ他破産債權者ヲ害スル行爲但シ之ニ因リテ利益ヲ受ケタル者カ其ノ行爲ノ當時支拂ノ停止又ハ破産ノ申立アリタルコトヲ知リタルトキニ限ル

三　前號ノ行爲ニシテ破産者ノ親族、戶主、家族又ハ同居者ヲ相手方トスルモノ但シ相手方カ其ノ行爲ノ當時支拂ノ停止又ハ破産ノ申立アリタルコトヲ知ラサリシトキハ此ノ限ニ在ラス

四　破産者カ支拂ノ停止若ハ破産ノ申立アリタル後又ハ其ノ前三十日内ニ爲シタル擔保ノ供與又ハ債務ノ消滅ニ關スル行爲ニシテ破産者ノ義務ニ屬セス又ハ其ノ方法若ハ時期カ破産者カ其ノ行爲ノ當時支拂ノ停止若ハ破産ノ申立アリタルコトヲ知リタルトキニ限ル

五　破産者カ支拂ノ停止若ハ破産ノ申立アリタル後又ハ其ノ前六月内ニ爲シタル無償行爲及之ト同視スヘキ有償行爲

第七十三條　前條ノ規定ニ依リ破産者ヨリ手形ノ支拂ヲ受ケタル者カ其ノ支拂ヲ受ケサレハ破産者ニ對シ償還請求權ヲ有スルトキハ破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第百五條　破産事件ハ債務者カ營業者ナルトキハ其ノ主タル營業所ノ所在地、外國ニ主タル營業所ヲ有スルトキハ日本ニ於ケル主タル營業所ノ所在地、營業者ニ非サルトキハ其ノ普通裁判籍ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第百六條　相續財産ニ關スル破産事件ハ相續開始地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第百七條　前二條ノ規定ニ依ル管轄裁判所ナルトキハ財産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第百八條　相續財産ニ關スル破産事件ハ相續人ノ債權者ノ請求ニ因リ又ハ遺言執行者ノ申立ニ因リ相續財産ノ分離ヲ命シタル場合ニ於テハ其ノ相續財産ニ關シテハ相續人ノ債權者ハ破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第百九條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬セサル財産ニ付取戻權ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ權利ノ行使ニ付破産管財人ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百十條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付別除權ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ權利ノ行使ニ付破産管財人ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百十一條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付留置權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百十二條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付質權又ハ抵當權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百十三條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付留置權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百十四條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付別除權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百十五條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付留置權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百十六條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付別除權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百十七條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付留置權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百十八條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付別除權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百十九條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付留置權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百二十條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付別除權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百二十一條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付留置權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百二十二條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付別除權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百二十三條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付留置權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百二十四條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付別除權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百二十五條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付留置權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百二十六條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付別除權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

第百二十七條　破産者カ破産宣告ノ當時破産財團ニ屬スル財産ニ付留置權ヲ有スル場合ニ於テハ破産管財人ハ其ノ權利ノ行使ニ付破産者ニ對シ相當ノ償金ヲ請求スルコトヲ得

裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第百八條　破産手續ニ關シテハ本法ニ別段ノ定アルトキノ外民事訴訟法ヲ準用ス

第百九條　破産事件ニ關シテハ裁判所ハ互ニ法律上ノ補助ヲ求ムルコトヲ得

第百十條　破産手續ニ關スル裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

裁判所ハ職權ヲ以テ破産事件ニ關シ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第百十一條　破産手續ニ關スル裁判ハ職權ヲ以テ其ノ送達ヲ爲スコトヲ要ス

第百十二條　破産手續ニ關スル裁判ニ對シテハ本編ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外其ノ裁判ニ付利害關係ヲ有スル者ハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ裁判ノ公告アリタル場合ニ於テハ其ノ公告アリタル日ヨリ起算シテ二週間トス

第百十三條　抗告裁判所ノ決定ハ確定ノ後ニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス但シ裁判所ハ其ノ決定ヲ以テ直ニ效力ヲ生スヘキコトヲ定ムルコトヲ得

抗告裁判所ノ破産ノ宣告ハ前項ノ規定ニ拘ラス直ニ其ノ效力ヲ生ス

第百十四條　破産手續ニ關スル申立、陳述及抗告ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第百十五條　本編ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告ハ官報及登記事項ノ公告ヲ掲載スヘキ新聞紙ヲ以テ之ヲ爲ス

公告ハ最終ノ掲載アリタル日ノ翌日ニ於テ其ノ效力ヲ生ス

第百十六條　裁判所ノ管轄内ニ前條第一項ノ新聞紙ナキトキハ公告ハ裁判所及破産者ノ營業所若ハ住所ノ所在地ノ出張所又ハ其ノ管轄内ノ市役所、町村役場若ハ之ニ準スヘキ公署ノ掲示場ニ掲示シテ之ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ公告ハ掲示ノ日ヨリ三日ヲ經過シタル後其ノ效力ヲ生ス

第百十七條　本編ノ規定ニ依リ送達ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ公告ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百十八條　本編ノ規定ニ依リ公告ノ外送達ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ送達ハ掛ヲ郵便ニ付シテ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ公告ハ一切ノ關係人ニ對スル送達ノ效力ヲ有ス

第百十九條　法人ニ對シテ破産ノ宣告ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ遲滯ナク嘱託書ニ破産決定書ノ謄本ヲ添附シテ破産ノ登記ヲ各營業所又ハ各事務所ノ所在地ノ登記所ニ嘱託スルコトヲ要ス

第百二十條　裁判所カ破産者ニ關スル登記ノ嘱託書ニ破産決定書ノ謄本ヲ添附シテ破産ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス破産管財人ニ關スル權利ニシテ登記シタルモノアルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ遲滯ナク嘱託書ニ破産決定書ノ謄本ヲ添附シテ破産ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十一條　前二條ノ規定ハ破産取消、破産廢止又ハ强制和議認可ノ決定カ確定シタル場合及破産終結ノ決定アリタル場合ニ之ヲ準用ス破産管財人カ破産ノ登記アリタル後其ノ權利ヲ破産財團ヨリ拋棄シタル場合ニ於テモ亦同シ

第百二十二條　登記所カ前三條ノ規定ニ依リテ登記ノ嘱託ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十三條　登記ノ原因タル行爲カ否認セラレタルトキハ破産管財人ハ否認ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス登記カ否認セラレタルトキ亦同シ

第百二十四條　前四條ノ規定ハ破産財團ニ屬スル權利ニシテ登錄シタルモノニ之ヲ準用ス

第百二十五條　法人ニ對シテ破産ノ宣告ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ遲滯ナク嘱託書ニ破産決定書ノ謄本ヲ添附シテ破産ノ登記ヲ完濟スルコト能ハサル場合ニ於テハ其ノ財産ヲ以テ破産ノ費用ヲ辨償シ尚殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第百二十六條　破産手續ニ關スル費用ハ財團ノ負擔トス

第百二十七條　破産手續ニ關スル費用ノ外破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニスル訴訟ニ關スル費用及破産債權者カ其ノ共同ノ利益ノ爲ニ支出シタル費用ハ財團ノ負擔トス

第百二十八條　破産債權者カ其ノ債權ノ調査ノ爲ニ要シタル費用ハ財團ニ對シテ償還ヲ請求スルコトヲ得ス

第百二十九條　破産債權者カ破産管財人ノ職務ニ關シ其ノ利益ヲ保護スル爲ニ要シタル費用ハ財團ニ對シテ償還ヲ請求スルコトヲ得ス

第百三十條　破産債權者カ破産管財人ノ職務ニ關シ其ノ利益ヲ保護スル爲ニ要シタル費用ハ財團ニ對シテ償還ヲ請求スルコトヲ得ス

第百三十一條　破産債權者カ破産管財人ノ職務ニ關シ其ノ利益ヲ保護スル爲ニ要シタル費用ハ財團ニ對シテ償還ヲ請求スルコトヲ得ス

第百三十二條　破産債權者カ破産管財人ノ職務ニ關シ其ノ利益ヲ保護スル爲ニ要シタル費用ハ財團ニ對シテ償還ヲ請求スルコトヲ得ス

第百三十三條　破産債權者カ破産管財人ノ職務ニ關シ其ノ利益ヲ保護スル爲ニ要シタル費用ハ財團ニ對シテ償還ヲ請求スルコトヲ得ス

第百三十四條　理事、無限責任社員、取締役又ハ清算人ノ全員カ破産ノ申立ヲ爲ササル場合ニ於テハ破産ノ原因タル事實ヲ疏明スル事ヲ要ス

第百三十五條　前二條ノ規定ハ第百三十三條ニ規定スル法人以外ノ法人ニ之ヲ準用ス

第百三十六條　相續財産ニ對シテハ相續債權者及受遺者ノ外相續人、相續財産管理人又ハ遺言執行者モ亦破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得

相續財産管理人、遺言執行者又ハ限定承認若ハ財産分離アリタル場合ニ於テハ相續人カ相續財産ヲ以テ相續債權者及受遺者ニ對スル債務ヲ完濟スルコト能ハサルコトヲ發見シタルトキハ直ニ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ要ス

相續人、相續財産管理人又ハ遺言執行者カ破産ノ申立ヲ爲ストキハ破産ノ原因タル事實ヲ疏明スルコトヲ要ス

第百三十七條　破産申立ノ當時既ニ外國ニ於テ破産ノ宣告アリタルトキハ破産申立人ハ破産ノ原因タル事實ヲ疏明スルコトヲ要ス

第百三十八條　破産申立人カ債權者ニ非サルトキハ申立時ニ財産ノ概況ヲ示スヘキ書面竝債權及債務者ノ一覽表ヲ提出スルコトヲ要ス申立ト同時ニ提出スルコト能ハサルトキハ爾後遲滯ナク之ヲ提出スルコトヲ要ス

第百三十九條　債權者カ破産ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ破産手續ノ費用トシテ裁判所カ相當ト認ムル金額ノ擔納アルコトヲ要ス擔納ナキトキハ裁判所ハ其ノ申立ヲ棄却スルコトヲ得

費用ノ豫納ニ關スル決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第百四十條　破産申立人カ債權者ニ非サルトキハ破産手續ノ費用ハ假ニ國庫ヨリ之ヲ支辨スル破産申立人カ債權者ナル場合ニ於テ費用ノ豫納ナキニ拘ラス裁判所カ破産ノ宣告ヲ爲スヘキトキハ裁判所ハ破産ノ原因タル事實ヲ疏明スルコトヲ要ス

第百四十一條　破産申立人カ債權者ニ非サルトキハ破産ノ原因タル事實ヲ疏明スルコト能ハサルトキハ裁判所ハ破産ノ宣告ヲ爲サス

第百四十二條　破産ノ宣告ヲ爲シタル裁判所ハ職權ヲ以テ破産管財人ヲ選任スルコトヲ要ス

第百四十三條　破産管財人ハ破産財團ノ管理及處分ノ權利ヲ有ス

第百四十四條　破産管財人ハ破産財團ニ屬スル財産ニ關シ訴ヲ以テ又ハ訴ニ因リテ權利ヲ行フコトヲ得

第百四十五條　破産管財人カ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニスル訴訟ニ付テハ破産債權者ノ委員會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

第百四十六條　破産管財人カ破産財團ニ屬スル訴訟ニ付テハ破産ノ宣告ト同時ニ破産廢止ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ破産決定ニ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ破産廢止ノ決定ノ取消カ確定シタルトキハ前三條ノ規定ヲ準用ス

第百四十六條　前條ノ規定ハ無限責任又ハ保證責任ノ相互保險會社ニ產業組合其ノ他ノ法人ニハ之ヲ適用セス破産手續ノ費用ヲ負擔スヘキ者ニ付テハ破産手續ノ費用ヲ以テ破産財團ニ屬スル權利ニシテ登錄シタルモノニ之ヲ準用ス

第百四十七條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百四十八條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百四十九條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百五十條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百五十一條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百五十二條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百五十三條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百五十四條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百五十五條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百五十六條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百五十七條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百五十八條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百五十九條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百六十條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百六十一條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百六十二條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百六十三條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百六十四條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百六十五條　破産廢止ノ決定ハ破産債權者ノ利益ノ爲ニ必要アルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産手續ノ續行ヲ命スルコトヲ得

第百六十六條　破産管財人ハ費用ノ前拂及報酬ヲ受クルコトヲ得其ノ額ハ裁判所之ヲ定ム

第百六十七條　裁判所ハ破産債權者集會ノ決議若ハ監査委員ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産管財人及前戶主若ハ其ノ相續人ノ任務ヲ辭セムトスルトキ相續人及前戶主ニ付之ヲ準用ス相續財産ニ對スル破産ノ場合ニ於テハ破産管財人カ其ノ任務ヲ辭セムトスルトキ亦同シ

第百六十八條　破産管財人ハ正當ノ事由アルニ非サレハ其ノ任務ヲ辭スルコトヲ得ス

破産管財人カ其ノ任務ヲ辭セムトスルトキハ裁判所ニ申立ヲ爲スコトヲ要ス

第百六十九條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議若ハ監査委員ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産管財人ヲ解任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ破産管財人ヲ審訊スルコトヲ要ス

第百七十條　破産管財人カ破産債權者集會ノ決議ニ從ハサルトキ其ノ他重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ破産債權者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産管財人ヲ解任スルコトヲ得

第百七十一條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ和議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第百七十二條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百七十三條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百七十四條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百七十五條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百七十六條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百七十七條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百七十八條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百七十九條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百八十條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百八十一條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百八十二條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百八十三條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百八十四條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百八十五條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百八十六條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百八十七條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百八十八條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百八十九條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百九十條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百九十一條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百九十二條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百九十三條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百九十四條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百九十五條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百九十六條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百九十七條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百九十八條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百九十九條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百一條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百二條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百三條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百七條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百八條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百九條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百十條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百十一條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百十二條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百十三條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百十四條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百十五條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百十六條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百十七條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百十八條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百十九條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百二十條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百二十一條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百二十二條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百二十三條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百二十四條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百二十五條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百二十六條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百二十七條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百二十八條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百二十九條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百三十條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百三十一條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百三十二條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百三十三條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百三十四條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百三十五條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百三十六條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百三十七條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百三十八條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百三十九條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四十條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四十一條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四十二條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四十三條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四十四條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四十五條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四十六條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四十七條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四十八條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四十九條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十一條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十二條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十三條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十四條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十五條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十六條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十七條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十八條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十九條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十一條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十二條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十三條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十四條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十五條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十六條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ以テ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニ破産ノ終結ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十七條　破産管財人ハ破産債權者集會ノ決議ニ從ヒ破産財團ヲ

スル者ハ其ノ議決權ヲ行フコトヲ要ス

第百八十條　前條ノ規定ニ依ル決議ヲ爲スコトヲ得ヘキ出席被產債權者ノ總債權ノ半額ヲ超ユルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ決議アリタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ決定ハ裁判所之ヲ公告スルコトヲ要ス其ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第百八十一條　破產債權者ハ代理人ヲ以テ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スルコトヲ要ス

第百八十二條　破產債權者ハ確定債權額ニ應シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得

未確定債權、停止條件附債權、將來ノ請求權又ハ別除權ノ行使ニ依リテ辨濟ヲ受クルコトヲ得サル債權者ハ破產管財人ノ裁判所ノ許可ヲ得テ破產債權者ノ異議ヲ止スルコトヲ得

議決權ヲ有セサリシ破產債權者カ前項ノ申立ヲ爲スニハ其ノ破產債權者タルコトヲ疏明スルコトヲ要ス

第一項ノ規定ニ依ル禁止決定ハ其ノ言渡アリタルトキハ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第百八十三條　債權者ハ代理人ヲ以テ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル決定ハ其ノ言渡アリタルトキハ送達ヲ爲スコトヲ要セス其ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第百八十四條　債權者集會ノ決議カ監査委員ノ意見ト異ナル場合ニ於テハ裁判所ハ其ノ決議ニ從フ

第百八十五條　債權者集會ノ決議カ破產債權者ノ一般ノ利益ニ反スルトキハ裁判所ハ破產管財人、監査委員若ハ破產債權者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其ノ決議ノ執行ヲ禁止スルコトヲ得

議決權ヲ有セサリシ破產債權者カ前項ノ申立ヲ爲スニハ其ノ破產債權者タルコトヲ疏明スルコトヲ要ス

第一項ノ規定ニ依ル禁止決定ハ其ノ言渡アリタルトキハ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第百八十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務及破產財團ニ關スル檢査ヲ爲スコトヲ得

第百八十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務及破產財團ニ關スル帳簿其ノ他ノ書類ヲ閱覽スルコトヲ得

第百八十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ費用ヲ以テ破產財團ノ狀況ニ關シ必要ナル調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百八十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第百九十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ監督委員ニ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第百九十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第百九十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第百九十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第百九十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第百九十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第百九十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第百九十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第百九十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第百九十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百三十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百三十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百三十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百三十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百三十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百三十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百三十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百三十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百三十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百三十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百四十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百四十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百四十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百四十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百四十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百四十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百四十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百四十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百四十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百四十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百五十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百五十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百五十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百五十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百五十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百五十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百五十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百五十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百五十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百五十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百六十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百六十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百六十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百六十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百六十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百六十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百六十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百六十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百六十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百六十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百七十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百七十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百七十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百七十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百七十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百七十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百七十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百七十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百七十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百七十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百八十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百八十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百八十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百八十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百八十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百八十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百八十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百八十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百八十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百八十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百九十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百九十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百九十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百九十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百九十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百九十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百九十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百九十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百九十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第二百九十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百二十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百二十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百二十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百二十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百二十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百二十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百二十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百二十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百二十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百二十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百四十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百六十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百八十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第三百九十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百三十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十九條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百五十條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百五十一條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百五十二條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百五十三條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百五十四條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百五十五條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百五十六條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百五十七條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告ヲ爲スコトヲ得

第四百五十八條　破產債權者ハ破產管財人ノ職務ニ關シ裁判所ニ報告

第十四編　民事訴訟法　人事訴訟手續法　非訟事件手續法　民法　商法　民事訴訟法　第一款　民事訴訟法　第一款　民事訴訟法　第一款

第二百八十四條　追加配當ハ最後ノ配當ニ付
作リタル配當表ニ依リテ之ヲ爲ス
第二百八十五條　破產管財人追加配當ヲ爲シ
タルトキハ遲滯ナク計算報告書ヲ作リ之ヲ
裁判所ニ提出シテ其ノ認可ヲ申請スルコト
ヲ要ス
第二百八十六條　配當率又ハ配當額ノ通知ヲ
發スル前破產管財人ニ知レサル財團債權者
ハ各配當ニ於テ配當ス可キ金額ヲ以テ辨濟
ヲ受クルコトヲ得ス
第二百八十七條　確定債權ニ付テハ破產者カ
債權調查ノ期日ニ於テ其ノ債權ニ對シテ異
議ヲ述ヘサリシ場合ニ限リ債權表ノ記載ハ
破產者ニ對シ確定判決ト同一ノ效力ヲ有ス
債權者ハ破產終結ノ後債權表ノ記載ニ基キ
テ强制執行ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ
ハ第二百十五條第三項及民事訴訟法第五百
十六條乃至第五百十八條ノ規定ヲ準用ス
第二百八十八條　破產者カ其ノ責ニ歸スヘカ
ラサル事由ニ因リ債權調查ノ期日ニ出頭ス
ルコト能ハサリシトキハ其ノ事由ノ止ミタ
ル日ヨリ一週間內ニ限リ異議ヲ述完スル爲
破產裁判所ニ原狀回復ノ申立ヲ爲スコトヲ
得
裁判所ハ職權ヲ以テ破產者ノ異議アル債權
ノ債權者ニ原狀回復ノ申立ヲ送達スルコ
トヲ要ス
裁判所原狀回復ヲ許シタルトキハ破產者カ
債權調查ノ期日ニ於テ異議ヲ述ヘタル同
一ノ效力ヲ生ス此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ
債權表ニ異議ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス
第二百八十九條　相續財產ニ對シテ破產ノ宣
告アリタル場合ニ於テハ破產債權者ニ對
シテ破產ノ宣告アリタル時ニ於ケル財產ヲ
以テ辨濟ヲ爲スコトヲ得
裁判所ハ職權ヲ以テ破產者ノ異議アル債權
ノ債權者ニ原狀回復ノ申立ヲ送達スルコ
トヲ要ス
裁判所原狀回復ヲ許シタルトキハ破產者カ
債權調查ノ期日ニ於テ異議ヲ述ヘタル時ニ
在リタルモノト看做ス
第二百九十條　破產者カ債權調查ノ期日ニ
出頭シテ强制執行ヲ爲ス可キ債權ニ付異議
ヲ述ヘサリシ場合ニ限リ債權表ノ記載ハ破
產者ニ對シ確定判決ト同一ノ效力ヲ有ス
第二百九十一條　破產終結ノ後破產者カ債
權調查ノ期日ニ出頭シテ强制和議ノ條件及
監查委員ノ意見ノ要領ヲ記載シタル書面ヲ送
達スルコトヲ要ス
第三百條　裁判所ハ强制和議ノ提供者及監查
委員ノ意見ノ要領ヲ記載シタル書面ヲ送
達スルコトヲ要ス
第三百一條　强制和議ノ提供者ハ期日ニ出頭
シテ强制和議ノ申立ヲ爲スコトヲ要ス但シ
正當ノ事由アルトキハ代理人ヲ出頭セシム
ルコトヲ得
强制和議ノ提供者又ハ其ノ代理人期日ニ出
頭シテ强制和議ノ申立ヲ爲ササルトキハ其
ノ提供ヲ撤回シタルモノト看做ス
第三百二條　强制和議ノ提供者ハ破產債權者
ヲ利スル場合ニ限リ債權者集會ニ於テ其ノ
條件ヲ變更スルコトヲ得
第三百三條　强制和議ハ一般ノ債權調查ノ終
了前又ハ最後ノ配當ノ許可アリタル後ハ之
ヲ決議スルコトヲ得ス
第三百四條　强制和議ノ條件ハ各破產債權者
ニ付平等ナルコトヲ要ス但シ不利益ヲ受ク
ル者ノ同意アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス
第三百五條　强制和議ノ提供者又ハ第三者カ
ニ特別ノ利益ヲ與フル行爲ハ之ヲ無效トス
第三百六條　强制和議ヲ可決スルニハ議決權
ヲ行フコトヲ得ヘキ出席破產債權者ノ過半
數ニシテ其ノ債權額カ屆出ヲ爲シタル破產
債權者ノ總債權ノ四分ノ三以上ニ當ル者ノ
同意アルコトヲ要ス
前項ノ債權額及總債權額ノ計算ニ付テハ確定
債權ニ在リテハ裁判所カ第百八十二條第二項ノ
規定ニ依リ定メタル所ニ依ル
第三百七條　破產者ハ何時ニテモ强制和議
ノ提供ヲ爲スコトヲ得
第二百九十條　破產者ハ何時ニテモ强制和議
ノ提供ヲ爲スコトヲ得
第二百九十一條　破產者カ强制和議ノ提供ヲ
爲シタルトキハ裁判所ハ其ノ事由ノ止ミタ
ル日ヨリ一週間內ニ限リ異議ヲ述完スル爲
破產裁判所ニ原狀回復ノ申立ヲ爲スコトヲ
得
裁判所ハ職權ヲ以テ破產者ノ異議アル債權
ノ債權者ニ原狀回復ノ申立ヲ送達スルコ
トヲ要ス
裁判所原狀回復ヲ許シタルトキハ破產者カ
債權調查ノ期日ニ於テ異議ヲ述ヘタル時ニ
在リタルモノト看做ス
第二百九十二條　强制和議ハ破產債權者ノ全
員ノ爲メ其ノ金員ニ對シテ效力ヲ有ス
强制和議ハ破產債權者カ破產者ノ保證人其
ノ他破產者ト共ニ債務ヲ負擔スル者ニ對シ
テ有スル權利及破產債權者ノ爲ニ供シタル
擔保ニ影響ヲ及ホサス
第三百二十七條　法人ノ債務ニ付責任ヲ負フ
社員ハ破產債權者カ强制和議ノ定ムル
限度ニ於テ其ノ責任ヲ負フ但シ强制和議ニ
別段ノ定アルトキハ其ノ定ニ從フ
第三百二十八條　確定債權ヲ有スル破產債權
者ハ債權調查ノ期日ニ於テ其ノ債權ニ對シ異議ヲ述ヘサリシ場合ニ限リ破產
終結ノ後破產者、强制和議ノ爲ニ保證人ト
爲リ其ノ他破產者ト共ニ債務ヲ負擔シタル者ニ對シ
破產債權者ノ爲ニ擔保ヲ供シタル者ニ對シ
債權表ノ記載ニ基キテ强制執行ヲ爲スコト
ヲ得但シ民法第四百五十二條及第四百五十
三條ノ適用ヲ妨ケス
第二百十五條第三項及民事訴訟法第五百十
六條乃至第五百五十八條ノ規定ハ前項ノ場
合ニ之ヲ準用ス
第二百九十九條　强制和議ハ不正ノ方法ニ因
リテ成立シタルトキハ債權者カ受ケタル損
害ノ賠償ヲ請求スル爲メ訴ヲ以テ之ヲ取消
スコトヲ得但シ其ノ訴ハ强制和議ノ取消ノ
判決ノ確定ノ日ヨリ一年ヲ經過シタルトキ
ハ之ヲ提起スルコトヲ得ス
第三百條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ住
所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百二十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百二十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百二十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百二十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百二十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百二十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百二十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百二十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百二十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百二十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百三十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百三十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百三十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百三十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百三十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百三十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百三十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百三十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百三十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百三十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百四十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百四十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百四十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百四十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百四十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百四十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百四十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百四十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百四十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百四十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百五十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百五十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百五十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百五十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百五十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百五十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百五十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百五十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百五十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百五十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百六十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百六十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百六十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百六十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百六十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百六十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百六十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百六十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百六十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百六十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百七十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百七十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百七十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百七十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百七十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百七十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百七十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百七十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百七十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百七十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百八十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百八十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百八十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百八十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百八十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百八十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百八十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百八十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百八十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百八十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百九十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百九十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百九十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百九十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百九十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百九十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百九十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百九十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百九十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第三百九十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百二十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百二十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百二十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百二十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百二十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百二十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百二十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百二十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百二十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百二十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百三十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百三十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百三十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百三十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百三十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百三十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百三十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百三十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百三十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百三十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百四十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百四十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百四十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百四十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百四十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百四十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百四十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百四十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百四十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百四十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百五十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百五十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百五十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百五十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百五十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百五十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百五十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百五十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百五十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百五十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百六十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百六十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百六十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百六十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百六十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百六十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百六十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百六十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百六十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百六十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百七十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百七十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百七十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百七十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百七十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百七十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百七十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百七十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百七十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百七十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百八十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百八十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百八十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百八十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百八十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百八十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百八十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百八十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百八十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百八十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百九十條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百九十一條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百九十二條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百九十三條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百九十四條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百九十五條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百九十六條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百九十七條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百九十八條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第四百九十九條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス
第五百條　强制和議ノ取消ノ訴ハ破產者ノ
住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ專屬トス

ニ依リ強制和議取消ノ決定ヲ爲スコトヲ得ル場合ニ於テ破産ノ宣告アリタルトキ亦同シ

第三百四十五條　相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アルカ場合ニ於テハ相續人ハ強制和議ノ履行完了前其ノ固有財産ニ於ケル同一ノ注意ヲ以テ相續財産ノ管理ヲ繼續スルコトヲ要ス但シ強制和議ニ別段ノ定アルトキハ其ノ定ニ從フ

民法第六百四十五條、第六百四十六條、第六百五十條第一項第二項及第千二十一條第二項第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十六條　第百三十一條ノ規定ハ相續財産ニ關スル強制和議取消ノ申立ニ之ヲ準用ス

第十章　破産廢止

第三百四十七條　破産者ハ債權者ノ同意ヲ得タルトキヲ除クノ外破産債權者ノ總額ノ破産債權者ノ同意ヲ爲ササル破産債權者ニ對シ他ノ破産債權者ノ同意ヲ得テ破産財團ヨリ擔保ヲ供シタルトキハ破産廢止ノ申立ヲ爲スコトヲ得

未確定債權ニ付其ノ債權者ノ同意ヲ必要トスヘキカ否ハ裁判所之ヲ定ム破産債權者ニ供スヘキ擔保カ相當ナルカ否ニ付亦同シ前項ノ規定ニ依ル決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三百四十八條　法人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ破産廢止ノ申立ヲ爲スニハ法人繼續ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ第三百十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百四十九條　破産廢止ノ申立ヲ爲スニハ其ノ申立ニ必要ナル條件カ具備スルコトヲ要ス

第三百五十條　裁判所ハ破産廢止ノ申立アリタル旨ヲ公告シ且利害關係人ニ問覽ニ供スル爲其ノ申立ニ關スル書類ヲ備ヘ置クコトヲ要ス

第三百五十一條　破産債權者カ前條ノ公告アリタル日ヨリ起算シテ二週間内ニ破産廢止ノ申立ニ付裁判所ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

前項ノ期間經過後ニ屆出ヲ爲シタル破産債權者モ亦異議ヲ申立ツルコトヲ得

第三百五十二條　裁判所ハ前條第一項ノ期間經過ノ後破産廢止ノ決定ヲ爲スニ必要ナル條件カ具備スルカ否ニ付破産者、破産管財人及異議ヲ申立テタル破産債權者ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第三百五十三條　破産宣告ノ後裁判所カ破産財團ヲ以テ破産手續ノ費用ヲ償フニ足ラスト認メタルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ破産廢止ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ債權者集會ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第三百五十四條　破産廢止ノ決定ヲ爲シタルトキハ破産管財人ハ財團債權ノ辨濟ヲ爲シ又ハ辨濟ノ爲メ供託ヲ爲スコトヲ要ス

第三百五十五條　破産廢止ノ決定カ確定シタルトキハ破産管財人ハ財團債權ノ辨濟ヲ爲シ異議アルモノニ付テハ債權者ノ爲供託ヲ爲スコトヲ要ス

第三百五十六條　第二百九十一條及第二百九十二條ノ規定ハ破産廢止ノ申立ニ之ヲ準用ス

第三百五十七條　第二百八十七條ノ規定ハ破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十八條　破産財團ニ屬スル財産ノ額カ一萬圓ニ滿タスト認ムルトキハ裁判所ハ破産ノ宣告ト同時ニ小破産ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ第百四十三條第一項ニ揭クル事項ノ外小破産決定ノ主文ヲ公告シ且同條第二項ノ書面ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百五十九條　裁判所破産手續中ニ破産財團ニ屬スル財産ノ額カ一萬圓ニ滿タサルコトヲ發見シタルトキハ小破産ノ決定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ敎育ヲ爲シタル貯蓄ノ拂戻其ノ他破産財團ノ利益ニ歸スル行爲ハ之ヲ否認スルコトヲ得

第三百六十條　破産者ノ債權者ニ對スル權利ハ破産手續ノ爲メニ其ノ行使ヲ妨ケラルルモノニ非ス

第三百六十一條　破産者ノ財産ニ對スル權利ハ破産手續ノ爲メニ其ノ行使ヲ妨ケラルルモノニ非ス

第三百六十二條　破産者ノ財産ニ對スル訴訟ハ破産手續ノ爲メニ中斷シ破産管財人之ヲ受継ク

第三百六十三條　監査委員ハ之ヲ罷免シ又ハ同意ヲ爲ササル破産債權者ノ同意ヲ得テ破産財團ヨリ擔保ヲ供シタルトキハ破産廢止ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第三百六十四條　第一回ノ債權者集會、强制和議取消後ノ第一回ノ債權者集會竝債權調査、計算報告及强制和議ノ爲ニスル債權者集會ヲ除クノ外裁判所ノ決定ヲ以テ債權者前項ノ決定ニ代フ

第三百六十五條　配當ハ一回トシ最後ノ配當ニ關スル規定ニ依ル但シ追加配當ヲ爲スコトヲ妨ケス

第三百六十六條　小破産手續ニ關スル公告ハ第百十六條ノ規定ニ依リ掲示ヲ爲スヲ以テ足ル

第三編　復權

第三百六十七條　破産者カ辨濟其ノ他ノ方法ニ因リ破産債權者ニ對スル債務ノ全部ノ免責ヲ得タルトキハ破産裁判所ハ破産者ノ申立ニ因リ復權ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

第三百六十八條　復權ノ決定ハ確定ノ後ニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三百六十九條　裁判所ハ復權ノ申立アリタル旨ヲ公告シ且利害關係人ノ閲覽ニ供スル爲其ノ申立ニ關スル書類ヲ備ヘ置クコトヲ要ス

第三百七十條　破産債權者ハ前條ノ公告アリタル日ヨリ起算シテ二週間内ニ破産廢止ノ申立ニ付裁判所ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

第三百七十一條　異議ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ破産者及異議ヲ申立テタル破産債權者ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第三百七十二條　復權ノ決定カ確定シタルトキハ裁判所ハ其ノ主文ヲ公告スルコトヲ要ス

第三百七十三條　第百八條乃至第百十二條及第百十四條乃至第百十七條ノ規定ハ復權ノ手續ニ之ヲ準用ス

第四編　罰則

第三百七十四條　債務者破産宣告ノ前後ヲ問ハス自己若ハ他人ノ利益ヲ圖リ又ハ債權者ヲ害スル目的ヲ以テ左ニ揭クル行爲ヲ爲シ其ノ宣告確定シタルトキハ詐欺破産ノ罪トシ十年以下ノ懲役ニ處ス

一　破産財團ニ屬スル財産ヲ隱匿、毀棄又ハ債權者ノ不利益ニ處分スルコト

二　破産財團ノ負擔ヲ虚僞ニ增加スルコト

三　法律ノ規定ニ依リ作ルヘキ商業帳簿ヲ作ラス、之ニ財産ノ現況ヲ知ルニ足ルヘキ記載ヲ爲サス又ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ之ヲ隱匿若ハ毀棄スルコト

四　第百八十七條ノ規定ニ依リ裁判所書記カ閉鎖シタル帳簿ニ變更ヲ加ヘ又ハ之ヲ隱匿若ハ毀棄スルコト

第三百七十五條　債務者破産宣告ノ前後ヲ問ハス左ニ揭クル行爲ヲ爲シ其ノ宣告確定シタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　浪費又ハ賭博其ノ他ノ射倖行爲ヲ爲シ因テ著ク財産ヲ減少シ又ハ過大ノ債務ヲ負擔スルコト

二　破産ノ宣告ヲ遲延セシムル目的ヲ以テ著ク不利益ナル條件ニテ債務ヲ負擔シ又ハ信用取引ニ因リ商品ヲ買入レ著ク不利益ナル條件ニテ之ヲ處分スルコト

三　破産ノ原因タル事實アルコトヲ知ルニ拘ラス破産債權者ニ特別ノ利益ヲ與フル目的ヲ以テ爲シタル擔保ノ供與又ハ債務ノ消滅ニ關スル行爲ニシテ債務者ノ義務ニ屬セス又ハ其ノ方法若ハ時期カ債務者ノ義務ニ屬セサルモノ

四　法律ノ規定ニ依リ作ルヘキ商業帳簿ヲ作ラス、之ニ財産ノ現況ヲ知ルニ足ルヘキ記載ヲ爲サス又ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ之ヲ隱匿若ハ毀棄スルコト

五　第百八十七條ノ規定ニ依リ裁判所書記カ閉鎖シタル帳簿ニ變更ヲ加ヘ又ハ之ヲ隱匿若ハ毀棄スルコト

第三百七十六條　債務者ノ法定代理人、理事及之ニ準スヘキ者並支配人前二條ニ規定スル行爲ヲ爲シ債務者ニ對スル破産宣告確定シタルトキハ前二條ノ例ニ依リ相續財産ニ對スル破産ニ付相續人及戸主竝其ノ法定代理人及支配人ニ付亦同シ

第三百七十七條　本法ニ依リ監守ヲ命セラレタル者逃走シ又ハ裁判所ノ許可ヲ得スシテ外人ト面接若ハ通信シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

破産者裁判所ノ許可ヲ得スシテ居住地ヲ離レタルトキ亦同シ

第三百七十八條　債務者及第三百七十六條ニ規定スル者ニ非スシテ第三百七十四條ニ規定スル行爲ヲ爲シタル者又ハ自己若ハ他人ノ利益ヲ圖リ破産債權者トシテ虚僞ノ權利ヲ行ヒタル者ハ債務者ニ對スル破産宣告確定シタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第三百七十九條、第三百七十四條、第三百七十五條及前條ノ規定ハ適用ニ付テハ强制和議ノ取消ヲ之ヲ破産ノ宣告ト看做ス

第三百八十條　破産管財人又ハ監査委員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收メ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ其ノ行爲ニ付テハ破産債權者、其ノ代理人又ハ理事若ハ之ニ準スヘキ者ニ對シ亦同シ

第三百八十一條　破産債權者ハ前條ノ公告アリタル日ヨリ起算シテ二週間内ニ破産廢止ノ申立ニ付裁判所ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ敎育ヲ爲シタル貯蓄ノ拂戻其ノ他破産財團ノ利益ニ歸スル行爲ハ之ヲ否認スルコトヲ得

第三百八十二條　破産管財人ハ破産廢止ノ申立ニ付裁判所ニ異議ヲ申立テタル破産債權者ニ對シ破産廢止ノ決定ニ付テハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三百八十三條　監査委員ハ之ヲ罷免シ又ハ同意ヲ爲ササル破産債權者ノ同意ヲ得テ破産財團ヨリ擔保ヲ供シタルトキハ破産廢止ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第三百八十四條　第一回ノ債權者集會、强制和議取消後ノ第一回ノ債權者集會竝債權調査、計算報告及强制和議ノ爲ニスル債權者集會ヲ除クノ外裁判所ノ決定ヲ以テ債權者前項ノ決定ニ代フ

第三百八十五條　配當ハ一回トシ最後ノ配當ニ關スル規定ニ依ル但シ追加配當ヲ爲スコトヲ妨ケス

第三百八十六條　小破産手續ニ關スル公告ハ第百十六條ノ規定ニ依リ掲示ヲ爲スヲ以テ足ル

第三編　復權

第三百八十七條　破産者カ辨濟其ノ他ノ方法ニ因リ破産債權者ニ對スル債務ノ全部ノ免責ヲ得タルトキハ破産裁判所ハ破産者ノ申立ニ因リ復權ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

第三百八十八條　復權ノ決定ハ確定ノ後ニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三百八十九條　裁判所ハ復權ノ申立アリタル旨ヲ公告シ且利害關係人ノ閲覽ニ供スル爲其ノ申立ニ關スル書類ヲ備ヘ置クコトヲ要ス

第三百九十條　破産債權者ハ前條ノ公告アリタル日ヨリ起算シテ二週間内ニ破産廢止ノ申立ニ付裁判所ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

前項ノ期間經過後ニ屆出ヲ爲シタル破産債權者モ亦異議ヲ申立ツルコトヲ得

第三百九十一條　裁判所ハ前條第一項ノ期間經過ノ後破産廢止ノ決定ヲ爲スニ必要ナル條件カ具備スルカ否ニ付破産者、破産管財人及異議ヲ申立テタル破産債權者ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第三百九十二條　破産宣告ノ後裁判所カ破産財團ヲ以テ破産手續ノ費用ヲ償フニ足ラスト認メタルトキハ破産管財人ノ申立ニ因リ破産廢止ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ債權者集會ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第三百九十三條　破産宣告ノ後裁判所カ破産財團ヲ以テ破産手續ノ費用ヲ償フニ足ラスト發見シタルトキハ小破産ノ決定ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第三百九十四條　小破産ノ決定及小破産及消ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三百九十五條　第一回ノ債權者集會ノ期日及債權調査ノ期日ハ已ムコトヲ得サル事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ併合スルコトヲ要ス

第三百九十六條　監査委員ハ之ヲ罷免シ又ハ同意ヲ爲ササル破産債權者ノ同意ヲ得テ破産財團ヨリ擔保ヲ供シタルトキハ破産廢止ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第三百九十七條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テ破産廢止ノ申立ヲ爲スニハ法人繼續ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ第三百十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百九十八條　破産廢止ノ申立ヲ爲スニハ其ノ申立ニ必要ナル條件カ具備スルコトヲ要ス

第三百九十九條　裁判所ハ破産廢止ノ申立アリタル旨ヲ公告シ且利害關係人ノ閲覽ニ供スル爲其ノ申立ニ關スル書類ヲ備ヘ置クコトヲ要ス

第四百條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百一條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百二條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百三條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百四條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百五條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百六條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百七條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百八條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百九條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百十條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百十一條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百十二條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百十三條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百十四條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百十五條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百十六條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百十七條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百十八條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百十九條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百二十條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百二十一條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百二十二條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百二十三條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百二十四條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百二十五條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百二十六條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百二十七條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百二十八條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百二十九條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百三十條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百三十一條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百三十二條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百三十三條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百三十四條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百三十五條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百三十六條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百三十七條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百三十八條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百三十九條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百四十條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百四十一條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百四十二條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百四十三條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百四十四條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百四十五條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百四十六條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百四十七條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百四十八條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百四十九條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百五十條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百五十一條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百五十二條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百五十三條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百五十四條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百五十五條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百五十六條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百五十七條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百五十八條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百五十九條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百六十條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百六十一條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百六十二條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百六十三條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百六十四條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百六十五條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百六十六條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百六十七條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百六十八條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百六十九條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百七十條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百七十一條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百七十二條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百七十三條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百七十四條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百七十五條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百七十六條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百七十七條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百七十八條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百七十九條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百八十條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百八十一條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百八十二條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百八十三條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百八十四條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百八十五條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百八十六條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百八十七條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百八十八條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百八十九條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百九十條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百九十一條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百九十二條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百九十三條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百九十四條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第四百九十五條　破産廢止ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ破産管財人ハ遲滯ナク破産ニ關スル帳簿ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ公告

キハ民事訴訟法ヲ準用ス

第二章　和議ノ開始

第十二條　破産ノ原因タル事實アル場合ニ於テハ債務者ハ和議開始ノ申立ヲ爲スコトヲ得但シ法人ニ在リテハ理事又ハ之ニ準スヘキ者ノ一致アルコトヲ要ス

相續財産ニ付テハ和議開始ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條　和議開始ノ申立ヲ爲スニハ清濟ノ方法、擔保ヲ供セムトスルトキハ其ノ擔保其ノ他和議ノ條件ヲ裁判所ニ申出ツルコトヲ要ス

和議申立人ハ申立ト同時ニ財産ノ狀況ヲ示スヘキ明細書竝債權者及債務者ノ一覽表ヲ提出スルコトヲ要ス申立ト同時ニ提出スルコト能ハサルトキハ爾後遲滯ナク之ヲ提出スルコトヲ要ス

第十四條　和議開始ノ申立ヲ爲スニハ和議手續ノ費用トシテ裁判所カ相當ト認ムル金額ノ豫納アルコトヲ要ス

第十五條　和議開始ノ決定アリタル後ハ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條　破産ノ宣告アリタル後ハ和議開始ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條　和議開始ノ申立及破産ノ申立アリタルトキハ破産手續ハ之ヲ中止ス

第十八條　左ノ場合ニ於テハ裁判所ハ和議開始ノ申立ヲ棄却スルコトヲ要ス

一　破産固有ノ目的ヲ以テ申立ヲ爲シタルトキ

二　和議申立人ノ所在カ不明ナルトキ

三　詐欺破産ノ罪ニ該ルヘキ行爲アリト認ムルトキ

四　和議ノ條件カ法律ノ規定ニ反スルトキ

五　和議ノ條件カ和議債權者ノ一般ノ利益ニ反スルトキ

第十九條　左ノ場合ニ於テハ裁判所ハ和議開始ノ申立ヲ棄却スルコトヲ得

一　和議手續ノ費用ノ豫納ナキトキ

二　債權者集會ニ於テ和議ヲ否決シタルコトアルトキ

三　和議開始ノ申立又ハ和議ノ提供ヲ撤回シタルトキ

第二十條　裁判所ハ和議開始ノ決定前ト雖利害關係人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ債務者ノ財產ニ關シ假差押、假處分其ノ他必要ナル保全處分ヲ命スルコトヲ得

第二十一條　裁判所ハ整理委員ヲ選任シ期間ヲ定メテ債務者ノ財產、賬簿及和議ノ條件ニ付必要ナル調查ヲ爲サシメ且和議ヲ開始スヘキカ否ニ付意見書ヲ提出セシムルコトヲ要ス

整理委員ハ自己ノ責任ヲ以テ鑑定人ヲ選任スルコトヲ得

第二十二條　和議申立人ハ前條第一項ニ依ル調查ヲ拒ムコトヲ得

第二十三條　破産法第百五十三條ノ規定ハ和議ニ關シ整理委員ノ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條　重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ整理委員ヲ解任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ整理委員ヲ審訊スルコトヲ要ス

第二十五條　破産法第百五十九條乃至第百六十一條、第百六十九條及第百七十二條ノ規定ハ整理委員ニ之ヲ準用ス

第二十六條　和議開始決定書ニハ決定ノ年月日時ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十七條　裁判所ハ和議開始ノ決定ト同時ニ管財人ヲ選任シ且左ノ事項ヲ定ムルコトヲ要ス

一　債權屆出ノ期間但シ其ノ期間ハ決定ノ日ヨリ二週間以上二月以下ナルコトヲ要ス

二　債權者集會ノ期日但シ其ノ期日ハ債權屆出期間ノ末日ノ翌日ニハ一週間以上一月以下ノ期間ヲ存スルコトヲ要ス

和議開始ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　裁判所カ和議開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ直ニ左ノ事項ヲ公告スルコトヲ要ス

一　和議開始決定ノ主文

二　管財人ノ氏名及住所

三　債權屆出ノ期間及債權者集會ノ期日

知レタル債權者、和議申立人、管財人及整理委員ニハ前項ニ掲ケル事項、和議ノ條件及送達スルコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ第一項第二號及第三號ニ掲ケル事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條　裁判所カ和議開始決定取消ノ決定ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ主文ヲ公告スルコトヲ要ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十條　和議開始ノ申立ニ關スル書類竝第二十一條ノ規定ニ依ル整理委員ノ調查書類及意見書ハ利害關係人ノ閱覽ニ供スル爲之ヲ裁判所ニ備ヘ置クコトヲ要ス

第三十一條　和議開始申立ノ時ヨリ決定ノ時迄ハ債務者ノ通常ノ範圍ニ屬セサル行爲及ホサス但シ通常ノ範圍ニ屬セサル行爲ト雖管財人ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

通常ノ行爲ト雖管財人ノ異議アルトキハ債務者ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

重要ナル行爲ニ付管財人カ第一項ノ規定ニ依リ同意ヲ爲スニハ整理委員ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第三十三條　第三十一條又ハ前條第一項第二項ノ規定ニ反スル行爲ハ和議債權者ニ於テ之ヲ否認スルコトヲ得但シ相手方カ行爲ノ當時其ノ事實ヲ知リタルトキニ限ル

第三十四條　債權者集會ニ於テ和議ヲ可決シタルトキハ裁判所ハ期日又ハ直ニ言渡シタル期日ニ於テ和議ノ認否ニ付決定ヲ爲スコトヲ要ス

第四十六條第一項ニ規定スル者、管財人及整理委員ハ和議ノ認否ニ付意見ヲ述フルコトヲ得

破産法第二百三十八條但書ノ規定ハ和議認否ノ期日ニ之ヲ準用ス

第五十一條　裁判所ハ左ノ場合ニ限リ和議債權者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ和議不認可ノ決定ヲ爲スコトヲ得

一　和議ノ手續又ハ決議カ法律ノ規定ニ反スル場合ニ於テ其ノ欠缺カ追完スヘカラサルモノナルトキ

二　第十八條第二號又ハ第三號ニ規定スル事由アルトキ

三　和議ノ決議カ不正ノ方法ニ因リテ成立スルニ至リタルトキ

四　和議ノ決議カ和議債權者ノ一般ノ利益ニ反スルトキ

第五十二條　和議認否ノ決定ハ之ヲ言渡シ且其ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス

但シ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第五十三條　和議認否ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

破産法第三百十九條ノ規定ハ和議ニ之ヲ準用ス

第五十四條　和議ハ認可ノ決定ノ確定ニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第五十五條　和議認可ノ決定カ確定シタルトキハ裁判所ハ和議ノ條件ヲ債權表ニ記載スルコトヲ要ス

第五十六條　和議認可ノ決定カ確定シタルトキハ債務者ハ和議ノ爲ニ生シタル債權、和議手續ノ費用及一般ノ先取特權其ノ他一般ノ優先權アル債權ノ辨濟ヲ爲スコトヲ要ス

前項ニ規定スル債權ニシテ異議アルモノニ付テハ債權者ノ爲供託ヲ爲スコトヲ要ス

第五十七條　破産法第三百二十五條乃至第三百二十七條及第三百四十二條ノ規定ハ和議ノ取消ニ之ヲ準用ス

第六章　和議ノ認否

第五十八條　和議認可ノ決定カ確定シタルトキハ第十七條ノ規定ニ依リ手續ヲ中止シタル破産ノ申立竝第四十條第二項ノ規定ニ依リ中止シタル强制執行、假差押及假處分ハ其ノ效力ヲ失フ

第六章　和議ノ廢止

第五十九條　左ノ場合ニ於テハ裁判所ハ職權ヲ以テ和議ヲ廢止ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

一　和議ノ可決前ニ和議ノ提供者カ其ノ提供ヲ撤回シタルトキ

二　債權者集會ノ第一期日ヨリ二月内ニ和議ヲ可決セサルトキ

第六十條　左ノ場合ニ於テハ裁判所ハ管財人若ハ整理委員ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ和議廢止ノ決定ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ債務者ヲ審訊スルコトヲ要ス

一　第二十條第一項第二項ノ規定ニ依ル裁判所ノ命ニ違反シタルトキ

二　債務者カ第三十一條又ハ第三十二條第一項第二項ノ規定ニ違反シタルトキ

三　債務者カ第三十四條ノ規定ニ依ル請求ニ拘ラス自ラ金錢ノ收支ヲ爲シ又ハ其ノ要領ヲ公告スルコトヲ怠リタルトキ

第六十一條　裁判所カ和議廢止ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス

第六十二條　和議廢止ノ決定ニ付テハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十三條　和議廢止ノ決定カ確定シタルトキハ債務者ハ第十七條ノ規定ニ依リ中止シタル破産ノ申立ヲ爲スコトヲ要ス

第六十四條　破産法第百七十八條、第百八十一條、第二百三十八條但書、第三百二條、第三百六條及第三百七條ノ規定ハ破産ノ申立ニ之ヲ準用ス

第六十五條　和議廢止ノ決定ニ付テハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十六條　裁判所カ和議取消又ハ和議廢止ノ決定ヲ爲シタルトキハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲スコトヲ要ス

和議取消ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス

前項ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十七條　破産法第三百三十八條、第三百四十條及第三百四十一條ノ規定ハ第九條ノ規定ニ依リ破産ノ宣告アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第八章　罰則

第六十八條　整理委員又ハ管財人其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス和議債權者、其ノ代理人又ハ理事若ハ之ニ準スヘキ者債權者集會ノ決議ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第六十九條　整理委員、管財人又ハ和議債權者、其ノ代理人、理事若ハ之ニ準スヘキ者ニ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第七十條　第二十三條又ハ第三十七條ノ規定ニ依リ說明ノ義務アル者故ナク說明ヲ爲サス又ハ虛僞ノ說明ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス和議申立人又ハ債務者第二十一條又ハ第三十六條ノ規定ニ依ル調查若ハ報告ヲ拒ミ又ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタルトキ亦同シ

第七十一條　第二十三條又ハ第三十七條ノ規定ニ依リ說明ヲ爲シタル者虛僞ノ說明ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十二條　第二十四條第一項ノ規定ニ依リ解任セラレタル整理委員又ハ第二十五條ノ規定ニ依リ準用セラルル破産法第百六十條ノ規定ニ依リ解任セラレタル破産管財人カ正當ノ事由ナクシテ其ノ職務ヲ行ハサルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十三條　第二十四條第一項ノ規定ニ依リ解任セラレタル整理委員又ハ第二十五條ノ規定ニ依リ準用セラルル破産法第百六十條ノ規定ニ依リ解任セラレタル破産管財人カ正當ノ事由ナクシテ其ノ職務ヲ行ハサルトキハ百圓以下ノ過料ニ處ス

第七十四條　第二十一條第一項ノ規定ニ依リ期間ヲ定メテ債務者ノ財產、賬簿及和議ノ條件ニ付必要ナル調查ヲ爲サシメ且和議ヲ開始スヘキカ否ニ付意見書ヲ提出セシムルコトヲ要ス

第二十二條第一項ノ規定ニ依リ鑑定人ヲ選任シ期間ヲ定メテ鑑定ヲ爲サシメ且和議ヲ開始スヘキカ否ニ付意見書ヲ提出セシムルコトヲ要ス

第二十三條ニ於テ準用スル破産法第百五十三條ノ規定ニ依リ和議ニ關シ整理委員ノ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條第一項ノ規定ニ依リ整理委員ヲ解任シ又ハ職權ヲ以テ整理委員ヲ解任シ期間ヲ定メテ債務者ノ財產、賬簿及和議ノ條件ニ付必要ナル調查ヲ爲サシメ且和議ヲ開始スヘキカ否ニ付意見書ヲ提出セシムルコトヲ要ス

第二十五條ニ於テ準用スル破産法第百五十九條乃至第百六十一條、第百六十九條及第百七十二條ノ規定ハ和議ニ關シ整理委員ヲ選任シ期間ヲ定メテ債務者ノ財產、賬簿及和議ノ條件ニ付必要ナル調查ヲ爲サシメ且和議ヲ開始スヘキカ否ニ付意見書ヲ提出セシムルコトヲ要ス

第二十六條ニ於テ準用スル破産法第百六十條ノ規定ニ依リ解任セラレタル整理委員又ハ第二十七條ニ於テ準用スル破産法第百六十條ノ規定ニ依リ解任セラレタル破産管財人カ正當ノ事由ナクシテ其ノ職務ヲ行ハサルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十五條　和議開始ノ申立又ハ和議ノ提供ヲ撤回シタル者ハ百圓以下ノ過料ニ處ス

第七十六條　和議手續ニ參加シタル債權者ニ對シ其ノ債權ニ關シ和議ニ依ラサル利益ヲ與フル旨ノ契約ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ過料ニ處ス

第七十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第七十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第七十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第八十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第八十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第八十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第八十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第八十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第八十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第八十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第八十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第八十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第八十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第九十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第九十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第九十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第九十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第九十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第九十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第九十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第九十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第九十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第九十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百二十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百二十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百二十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百二十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百二十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百二十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百二十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百二十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百二十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百二十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百三十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百三十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百三十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百三十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百三十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百三十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百三十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百三十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百三十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百三十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百四十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百四十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百四十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百四十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百四十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百四十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百四十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百四十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百四十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百四十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百五十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百五十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百五十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百五十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百五十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百五十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百五十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百五十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百五十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百五十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百六十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百六十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百六十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百六十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百六十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百六十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百六十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百六十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百六十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百六十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百七十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百七十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百七十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百七十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百七十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百七十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百七十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百七十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百七十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百七十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百八十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百八十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百八十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百八十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百八十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百八十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百八十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百八十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百八十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百八十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百九十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百九十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百九十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百九十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百九十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百九十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百九十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百九十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百九十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第百九十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百二十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百二十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百二十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百二十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百二十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百二十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百二十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百二十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百二十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百二十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百三十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百三十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百三十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百三十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百三十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百三十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百三十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百三十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百三十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百三十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百四十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百四十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百四十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百四十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百四十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百四十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百四十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百四十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百四十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百四十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百五十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百五十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百五十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百五十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百五十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百五十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百五十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百五十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百五十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百五十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百六十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百六十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百六十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百六十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百六十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百六十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百六十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百六十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百六十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百六十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百七十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百七十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百七十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百七十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百七十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百七十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百七十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百七十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百七十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百七十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百八十條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百八十一條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百八十二條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百八十三條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百八十四條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百八十五條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百八十六條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百八十七條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百八十八條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百八十九條　和議ニ關スル費用ハ和議手續ニ參加シタル債權者ノ負擔トス

第二百九十

●人事訴訟手續法

昭和二年三月廿五日　印刷
昭和二年三月廿八日　發行
大正十一年六月廿日　再版發行
大正十一年十二月廿日　三版發行

著作者　兼子一
東京市本郷區湯島三丁目三十一番地
發行者　岩松三郎
東京市本郷區湯島三丁目三十一番地
印刷者　岩松三郎
東京市本郷區湯島三丁目三十一番地
發行所　岩松三郎
東京市本郷區湯島三丁目三十一番地
電話本局一〇〇九番
振替口座東京一〇〇九番

版權所有

前項ノ期間ハ禁治產者ニ對シテハ禁治產ノ宣告ヲ知リタル日ヨリ之ヲ起算シ其他ノ者ニ對シテハ決定カ效力ヲ生シタル日ヨリ之ヲ起算ス

第五十六條　前條第一項ノ訴ハ禁治產ノ宣告ヲ爲シタル區裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第五十七條　第五十一條第一項ノ訴ニ於テハ禁治產ノ申立人ヲ以テ相手方トス

禁治產ノ申立人カ死亡シタル後ハ檢事ヲ以テ相手方トシ檢事カ提起スル前項ノ訴ニ於テハ禁治產者ノ法定代理人ヲ以テ相手方トス

第五十八條　第五十五條第一項ノ訴ニハ他ノ訴ヲ併合シ又ハ之ニ對シテ反訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第五十九條　第二條第四項、第五項、第三條、第五條、第十條、第十一條、第十七條、第四十七條及ヒ第四十八條ノ規定ハ第五十五條第一項ノ訴ニ之ヲ準用ス

第六十條　裁判所カ第五十五條第一項ノ訴ヲ理由アリト認ムルトキハ禁治產ヲ宣告シタル決定ヲ取消スヘシ此場合ニ於テハ判決ノ確定ニ至ルマテ禁治產者ノ監護又ハ其財產ノ保存ニ付キ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第六十一條　禁治產ノ宣告ノ取消前ニ於テ後見人カ爲シタル行爲ハ其效力ヲ變セス

禁治產ノ宣告ノ取消前ニ於テ禁治產者カ爲シタル行爲ハ禁治產ヲ宣告シタル決定ニ基キテ之ヲ取消スコトヲ得ス

第六十二條　禁治產ノ宣告ヲ取消シタル判決ハ職權ヲ以テ之ヲ當事者ニ送達スヘシ

前項ノ判決カ確定シタルトキハ第一審ノ受訴裁判所ハ之ヲ公告スヘシ

第六十三條　禁治產ノ原因止ミタルコトヲ理由トシテ其宣告ノ取消ヲ求ムル申立ハ禁治產者カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第一條第二項及ヒ第四十二條乃至第四十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十四條　前條第一項ノ規定ニ依リテ其宣告ノ取消ヲ爲シタル場合ニ於テハ禁治產者カ負擔ス

第六十五條　禁治產ノ宣告ヲ取消シタル判決ハ職權ヲ以テ之ヲ當事者ニ送達スヘシ

前項ノ判決カ確定シタルトキハ第一審ノ受訴裁判所ハ之ヲ公告スヘシ

第六十六條　禁治產ノ原因止ミタルコトヲ理由トシテ其宣告ノ取消ヲ求ムル申立ハ禁治產者カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第一條第二項及ヒ第四十二條乃至第四十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條　準禁治產ニ關スル手續ノ費用ハ本章ノ規定ヲ準用ス

第四十三條乃至第四十八條ノ規定ハ前項ノ訴ニ之ヲ準用ス

第六十八條　民法第三十二條ニ依ル失踪ノ宣告ノ取消ハ其判決ニ對スル不服申立ノ訴ヲ以テ之ヲ請求シ其他ノ者ニ對シテハ決定カ效力ヲ生シタル日ヨリ之ヲ起算ス

第六十九條　本章ノ規定ニ依リテ爲スヘキ公告ノ方法ハ司法大臣之ヲ定ム

第四章　失踪ノ宣告及ヒ其宣告ノ取消ニ關スル手續

第七十條　失踪ノ宣告及ヒ其宣告ノ取消ニハ以下數條ニ定メタルモノノ外民事訴訟法第七百六十五條乃至第七百七十五條ノ規定ヲ準用ス

第七十一條　失踪ノ宣告又ハ其取消ノ申立ハ不在者ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第七十二條　失踪ノ宣告又ハ其取消ノ申立ツルコトヲ得ル者ハ民法第七十二條第二項ノ規定ニ依リテ爲シタル宣告ノ取消又ハ變更ヲ申立ツルコトヲ得此場合ニ於テハ準禁治產ノ取消ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十三條　失踪ノ宣告ノ取消ヲ申立ツルコトヲ得此申立ハ其宣告ノ申立人ニ對シテ之ヲ爲スヘシ

第七十四條　檢事ハ失踪ノ宣告又ハ其取消ノ申立ニ付キ意見ヲ述ヘ且審問ヲ爲ス場合ニ於テハ之ニ立會フコトヲ得

第四十二條第二項、第四十五條第二項及ヒ第四十六條ノ規定ハ本章ノ手續ニ之ヲ準用ス

第七十五條　各利害關係人ハ共同ノ申立人ニ代ハリテ手續ヲ續行スルコトヲ得

第七十六條　不在者カ其生存ノ屆出ヲ爲シタル場合ニ於テハ申立人カ其事實ヲ認メサルキハ判決ノ確定ニ至ルマテ公示催告手續ヲ中止スヘシ

第七十七條　失踪ノ宣告ニ關スル手續ノ費用ハ失踪ノ宣告アリタル場合ニ於テハ相續財產ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ申立人ノ負擔トス

第七十八條　失踪ノ宣告ノ申立人カ死亡シタル後ハ檢事ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第七十九條　本章ノ規定ニ依リテ爲スヘキ公告ノ方法ハ司法大臣之ヲ定ム

第四章　失踪ノ宣告及ヒ其宣告ノ取消ニ關スル手續

第七十條　失踪ノ宣告及ヒ其宣告ノ取消ニハ以下數條ニ定メタルモノノ外民事訴訟法第七百六十五條乃至第七百七十五條ノ規定ヲ準用ス

第七十一條　失踪ノ宣告又ハ其取消ノ申立ハ不在者ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第七十二條　失踪ノ宣告及ヒ其宣告ノ取消ニハ以下數條ニ定メタルモノノ外民事訴訟法第七百六十五條乃至第七百七十五條ノ規定ヲ準用ス

第七十三條　失踪ノ宣告又ハ其取消ノ申立ツルコトヲ得ル者ハ民法第七十二條第二項ノ規定ニ依リテ爲シタル宣告ノ取消又ハ變更ヲ申立ツルコトヲ得此場合ニ於テハ準禁治產ノ取消ニ關スル規定ヲ準用ス

スヘシ

第二十六條　裁判所ハ開始決定ヲ爲スト同時ニ競權ヲ以テ競賣ノ申立アリタルコトヲ競賣ニ付スヘキ不動産ニ關スル登記簿ニ登記スヘキ旨ヲ其管轄登記所ニ嘱託スヘシ

民事訴訟法第六百五十一條第二項、第六百五十二條及ヒ第六百五十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條　裁判所カ開始決定ヲ爲シタルトキハ競賣期日及ヒ競落期日ヲ定メテ之ヲ公告スルコトヲ要ス

競賣ノ期日ハ競賣手續ノ利害關係人ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

左ニ記載シタル者ヲ利害關係人トス

一　申立人

二　債務者及ヒ所有者

三　登記簿ニ登記シタル不動産上ノ權利者

四　知レタル抵當證券ノ所持人及ヒ裏書人

五　知レタル抵當權ノ設定人ヲシテ競賣ヲ以テ最低競賣價額トスヘシ

第二十九條　競賣期日ノ公告ニハ第二十二條ニ揭ケタル者ノ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨ノ外民事訴訟法第六百五十八條第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第九號及ヒ第十號ニ揭ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

公告ニ之ヲ準用ス

第三十條　競賣期日、其開始、競賣謝書及ヒ競賣終局ノ告知ニ關スル民事訴訟法第六百五十九條第六百六十二條乃至第六百六十九條ノ規定ハ本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第二編　民事非訟事件

第一章　法人ニ關スル事件

第二章　財產ノ管理ニ關スル事件

第三章　信託ニ關スル事件

第四章　裁判上ノ代位ニ關スル事件

第五章　保存、供託、保管及ヒ鑑定ニ關スル事件

第六章　隱居、廢家、子ノ懲戒、家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件

第七章　相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件

第八章　遺言ノ確認及ヒ執行

第九章　決人及ヒ夫婦財產契約ノ登記

第三編　商事非訟事件

第一章　會社及ヒ競賣ニ關スル事件

第二章　會社ノ清算ニ關スル事件

第三章　商業登記

第一節　通則

第二節　商號ノ登記

第三節　未成年者、妻及ヒ法定代理人ノ登記

第四節　支配人及ヒ會社ノ清算人ノ登記

第五節　合名會社及ヒ合資會社ノ登記

第六節　株式會社ノ登記

第七節　株式合資會社ノ登記

第八節　外國會社ノ登記

附則

非訟事件手續法

第一編　總則

第一條　裁判所ノ管轄ニ屬スル非訟事件ニ付テハ本法其他ノ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外本編ノ規定ヲ適用ス

第二條　裁判所ノ土地ノ管轄カ住所ニ依リテ定マル場合ニ於テ日本ニ住所ナキトキ又ハ日本ノ住所ノ知レサルトキ居所ヲ以テ管轄裁判所トス

居所ヲ以テ管轄裁判所トス

最後ノ住所地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス

最後ノ住所ナキトキ又ハ其住所ノ知レサルトキハ財產ノ所在地又ハ司法大臣ノ指定シタル地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス

相續開始地ノ裁判所カ管轄裁判所ナル場合ニ於テ相續カ外國ニ於テ開始シタルトキ亦同シ

第三條　數個ノ管轄裁判所アル場合ニ於テハ最初事件ノ申立ヲ受ケタル裁判所其事件ヲ管轄ス但其裁判所ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ適當ト認ムル他ノ管轄裁判所ニ事件ヲ移送スルコトヲ得

第四條　管轄裁判所ノ指定ハ裁判所傳成法第十條第一號ニ揭ケタル場合ノ外數個ノ裁判所ノ土地ノ管轄ニ付キ疑アルトキ之ヲ爲ス

管轄裁判所ノ指定ハ關係アル裁判所ニ共通スル直近上級裁判所ノ申立ニ因リ決定ヲ以テ之ヲ爲ス此決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五條　裁判所職員ノ除斥ニ關スル民事訴訟法ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用ス

第六條　事件ノ關係人ハ訴訟能力者ヲシテ代理セシムルコトヲ得但自身出頭ヲ命セラレタルトキハ此限ニ在ラス

裁判所ハ辯護士ニ非サル代理ヲ禁スルヲ得

裁判所ハ辯護士ニ非サル代理ヲ禁スルヲ得

第七條　民事訴訟法第八十條ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス但私文書ニ認證ヲ受ケヘキ旨ノ命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第八條　民事訴訟法第百十條ノ規定ハ申立及ヒ陳述ニ之ヲ準用ス

第九條　申立ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ代野人之ニ署名、捺印スヘシ

一　申立人ハ氏名、住所

二　代理人ニ依リテ申立ヲ爲ストキハ其氏名、住所

三　申立ノ趣旨及ヒ其原因タル事實

四　年月日

五　裁判所ノ表示

證據書類アルトキハ其原本又ハ謄本ヲ添附スヘシ

第十條　期日、期間、疏明ノ方法、人證及ヒ鑑定ニ關スル民事訴訟法ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用ス

第十一條　裁判所ハ職權ヲ以テ事實ノ探知及ヒ必要ト認ムル證據調ヲ爲スヘシ

第十二條　事實ノ探知、呼出、告知及ヒ裁判ノ執行ニ關スル行爲ハ之ヲ囑託スルコトヲ得

第十三條　審問ハ之ヲ公行セス但裁判所ハ相當ト認ムル者ニ傍聽ヲ許スコトヲ得

第十四條　證人又ハ鑑定人ノ訊問ニ付テハ調書ヲ作ラシメ其他ノ審問ニ付テハ必要ト認ムル場合ニ限リ之ヲ作ラシムヘシ

第十五條　檢事ハ事件ニ付キ意見ヲ述ヘ審問ヲ爲ス場合ニ於テハ之ヲ立會フコトヲ得

事件及ヒ審問期日ハ檢事ニ之ヲ通知スヘシ

第十六條　裁判所其他ノ官廳、檢事及ヒ公吏ハ其職務上檢事ノ請求ニ因リテ裁判ヲ爲スヘキ場合カ生シタルコトヲ知リタルトキハ之ヲ管轄裁判所ノ檢事ニ通知スヘシ

第十七條　裁判所ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

裁判ノ原本ニハ判事署名、捺印スヘシ但申立書又ハ調書ニ裁判ヲ記載シ判事之ニ署名、捺印シテ原本ニ代フルコトヲ得

裁判ノ正本ニハ記署名、捺印シ且正本ニハ裁判所ノ印ヲ押捺スヘシ

第十八條　裁判ハ之ヲ受ケル者ニ告知スルニ因リテ其效力ヲ生ス

裁判ノ告知ハ裁判所ノ相當ト認ムル方法ニ依リテ之ヲ爲ス

告知ノ方法、場所及ヒ年月日ハ之ヲ裁判ノ原本ニ記入スヘシ

第十九條　裁判所ハ裁判ヲ爲シタル後其裁判ヲ不當ト認ムルトキハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

申立ニ因リテノミ裁判ヲ爲スヘキ場合ニ於テ申立ヲ却下シタル裁判ハ申立ニ因ルニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得ス

即時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ル裁判ハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得ス

第二十條　裁判ハ之ヲ受ケル者ニ告知スルニ因リテ其效力ヲ生ス

即時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ル裁判ハ確定ニ因リテ其效力ヲ生ス

第二十一條　抗告ハ特ニ定メタル場合ヲ除ク外執行停止ノ效力ヲ有セス

第二十二條　當事者カ其責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ即時抗告ノ期間ヲ遵守スルコト能ハサル場合ニ於テハ其事由ノ止ミタル後一週間内ニ限リ懈怠シタル行爲ノ追完ヲ爲スコトヲ得

第二十三條　抗告裁判所ノ裁判ニハ理由ヲ附スルコトヲ要ス

第二十四條　削除

第二十五條　抗告ニハ特ニ定メタルモノヲ除ク外民事訴訟法ノ抗告ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十六條　裁判前ノ手續及ヒ裁判ノ告知ノ費用ハ特ニ其負擔者ヲ定メタル場合ヲ除ク外事件ノ申立人ノ負擔トス但檢事カ申立ヲ爲シタル場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第二十七條　裁判所ハ費用ノ負擔ニ付キ裁判ヲ以テ必要ト認ムルトキハ其額ヲ確定シテ事件ノ關係人ニ之ヲ命スルコトヲ得

第二十八條　裁判所ハ特別ノ事情アルトキハ本法ノ規定ニ依リテ費用ヲ負擔スヘキ者ニ非サル關係人ニ費用ノ全部又ハ一部ノ負擔ヲ命スルコトヲ得

第二十九條　民事訴訟法第九十三條ノ規定ハ共同ニテ費用ヲ負擔スヘキ非數人アル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條　費用ノ裁判ニ對シテハ其負擔ヲ命セラレタル者ニ限リ不服ヲ申立ツルコトヲ得但獨立シテ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三十一條　費用ノ債權者ハ費用ノ裁判ニ基キテ強制執行ヲ爲スコトヲ得

民事訴訟法第六編ノ規定ハ前項ノ強制執行ニ之ヲ準用ス但執行ヲ爲ス前裁判ヲ送達ス

第百七十一條乃至第百七十四條、第百七十六條乃至第百八十三條、第百八十七條及ヒ第百八十八條ノ規定ハ本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第三十三條　競落人ハ競落ヲ許ス決定カ確定シタル後直チニ代價ヲ裁判所ニ支拂フコトヲ要ス此場合ニ於テハ裁判所ハ其ノ裁判ノ謄本ヲ添ヘ競落人カ取得シタル權利ノ移轉ノ管轄登記所ニ嘱託スヘシ

裁判所ハ前項ノ代價ノ中ヨリ競賣ノ費用ヲ控除シ其殘金ハ遲滯ナク之ヲ受取ルヘキ者ニ交付スルコトヲ要ス

第三十四條　裁判所ハ競賣期日ノ公告ヲ爲ス前申立ニ因リ競賣ニ代ヘテ人札拂ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百十條ノ規定ニ依リ最高價競買人カ其競賣ヲ取消シタルトキハ裁判所ハ更ニ競賣期日及ヒ競落期日ヲ定メテ之ヲ公告スルコトヲ要ス

第三十五條　競落ヲ爲サシテ競賣手續ヲ完結シタルトキハ裁判所ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲シタル競賣ノ抹消ヲ嘱託スヘシ

第三十六條　登記シタル船舶ノ競賣ハ申立ニ因リ其當時ノ碇泊港又ハ船舶ノ現在地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス

第三十七條　競賣ノ申立書ニハ船舶所有者並ニ船長ノ氏名、住所、船舶ノ表示及ヒ競賣ノ原因ヲ記載シ且船舶登記簿ノ謄本及ヒ官ノ認可ヲ要スル場合ニ於テハ其認可ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三十八條　競賣期日ノ公告ニハ因リテ競賣ヲ爲ス旨ノ外船舶ノ表示及ヒ其碇泊港又ハ現在ノ場所ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十九條　前章ノ規定及ヒ民事訴訟法第七百二十九條、第七百二十條乃至第七百二十三條、第七百二十五條ノ規定ハ船舶ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第四十條　民法第三百八十四條ノ規定ニ依リテ抵當不動產ノ拍賣競賣ヲ請求スル債權者ハ第三取得者ニ競賣ノ請求ヲ送達シタル日ヨリ三日内ニ抵當不動產所在地ノ區裁判所ニ競賣ノ申立ヲ爲シ且擔保ノ認許ヲ求ムルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依ラサル競賣ノ請求ハ無效トス

第四十一條　競賣ノ申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ請求債權者之ニ署名、捺印スヘシ

一　債務者ノ氏名、住所

二　抵當不動產ノ表示

三　第三取得者及ヒ讓渡人ノ氏名、住所

四　擔保ノ表示

五　請求者カ提供シタル金額

六　請求者カ定メタル增價念額

七　年月日

八　裁判所

申立書ニハ民法第三百八十三條ノ送達ヲ受ケタル日ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

民事訴訟法第六百四十三條第一項第三號乃至第五號、第二項及ヒ第三項ノ規定ハ本條ノ申立ニ之ヲ準用ス

第四十二條　裁判所ハ擔保ノ許否ニ付キ期日ヲ定メ決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘシ

期日ニハ請求債權者及ヒ第三取得者ヲ呼出タスヘシ

第四十三條　競賣ノ請求ハ擔保ヲ認許セサル裁判ニ因リテ當然其效力ヲ失フ

民法第三百十四條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ニ對シテ競賣ノ請求書ヲ送達シタル他ノ債權者ハ前項ノ裁判アリタル日ヨリ三日内ニ第四十條ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第四十四條　裁判所カ擔保ヲ認許シタルトキハ競賣手續ノ開始ノ決定ヲ爲スヘシ

決定ニハ認許シタル擔保ヲ表示シ且第四十一條第一項第一號乃至第三號、第六號及ヒ第七號ニ揭ケタル事項ヲ記載スヘシ

第四十五條　第二項、第三項及ヒ第二十六條第一項ノ規定ハ本條ノ決定ニ之ヲ準用ス

第四十六條　第二十七條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ增價競賣ニ之ヲ準用ス

第四十七條　增價競賣ノ擔保ハ競落代價ノ完濟ニ因リテ其效力ヲ失フ

第四十八條　裁判所ハ競賣請求者ノ申立ニ因リ競賣ニ代ヘテ入札拂ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百五條ノ規定ニ依リ增價競賣ノ擔保ハ競落代價ノ完濟ニ因リテ其效力ヲ失フ

第四十九條　裁判所ハ競賣請求者ノ申立ニ因リ競賣ニ代ヘテ人札拂ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百五條ノ規定ニ依リ增價競賣ノ擔保ハ競落代價ノ完濟ニ因リテ其效力ヲ失フ

附則

第五十條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條　明治二十三年法律第九十二號增價競賣法ハ本法發布ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

（本法ハ明治三十一年勅令第百二十三號ヲ以テ同年七月十六日ヨリ施行ス）

附則（大正十五年四月法律第六十八號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年五月勅令第百五號ヲ以テ昭和四年十月一日ヨリ施行）

附則（昭和六年三月法律第十九號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和六年七月勅令第百八十九號ヲ以テ昭和六年八月一日ヨリ施行）

●非訟事件手續法

明治三十一年六月
法律第十四號

改正　明治三二年三法律一號、明治四五年六法律七號、大正一年四法律二號、同年一〇法律一號、同八年一二法律一〇號、同一〇年四法律二號、同一一年三法律七號、同一五年四法律一〇號、六年四法律二號、九年三法律三號

於帝國議會ノ協賛ヲ經タル非訟事件手續法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

非訟事件手續法

第一編　總則

第一章　法人ニ關スル事件

第二章　財產ノ管理ニ關スル事件

第三章　信託ニ關スル事件

第四章　裁判上ノ代位ニ關スル事件

第五章　保存、供託、保管及ヒ鑑定ニ關スル事件

第六章　隱居、廢家、子ノ懲戒、家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件

第七章　相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件

第八章　遺言ノ確認及ヒ執行

第九章　決人及ヒ夫婦財產契約ノ登記

第二編　商事非訟事件

第一章　會社及ヒ競賣ニ關スル事件

第二章　會社ノ清算ニ關スル事件

第三章　商業登記

第一節　通則

第二節　商號ノ登記

第三節　未成年者、妻及ヒ法定代理人ノ登記

第四節　支配人及ヒ會社ノ清算人ノ登記

第五節　合名會社及ヒ合資會社ノ登記

第六節　株式會社ノ登記

第七節　株式合資會社ノ登記

第八節　外國會社ノ登記

附則

非訟事件手續法

第一編　總則

第一條　裁判所ノ管轄ニ屬スル非訟事件ニ付

ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四十一條　裁判所ハ共選任シタル管理人ニ財産ノ狀況ヲ報告シ且管理ノ計算ヲ爲スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

民法第二十七條第二項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ不在者ノ從キタル管理人ニモ前項ノ手續ヲ命スルコトヲ得

第四十二條　利害關係人ハ前條ノ報告及ヒ計算ニ關スル書類ノ閱覽ヲ申請シ又ハ手數料ヲ納付シテ其謄本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

檢事ハ前項ノ書類ヲ閱覽スルコトヲ得

第四十三條　民法第六百四十四條、第六百四十六條、第六百四十七條及ヒ第六百五十條ノ規定ハ裁判所カ財産ノ封印ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條　裁判所ハ管理人ヲシテ財産ノ目錄ヲ調製セシムルコトヲ得

第四十五條　裁判所ハ管理人ノ不動産又ハ船舶ノ上ニ抵當權ヲ設定スヘキコトヲ命シタルトキハ其設定ノ登記ヲ嘱託スルコトヲ得

前項ノ嘱託ニハ抵當權ノ設定ヲ命シタル裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

前二項ノ規定ハ設定シタル抵當權ノ變更又ハ消滅ノ登記ニ之ヲ準用ス

第四十六條　裁判所カ財産ノ封印ヲ命シタル場合ニ於テハ管轄區裁判所之ヲ爲ス

利害關係人ハ管理人及ヒ檢事ハ封印ノ手續ニ立會フコトヲ得

第四十七條　左ニ揭ケタル物ニハ封印ヲ爲スヲ要セス

一　封印ヲ爲スニ適セサル物

二　第三者ノ占有ニ屬スル物但其提出ヲ拒マサルトキハ此限ニ在ラス

第四十八條　封印ニ關スル事項ノ職務ヲ用ユヘシ

民事訴訟法第五百三十六條ノ規定ハ封印ノ手續ニ之ヲ準用ス

第四十九條　裁判所ハ封印ヲ爲シタルトキハ財産ノ保管者ヲ選任スヘシ

第四十條ノ二　管理人ノ選任又ハ改任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四十一條　裁判所ハ共選任シタル管理人ニ財産ノ狀況ヲ報告シ且管理ノ計算ヲ爲スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

民法第二十七條第二項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ不在者ノ從キタル管理人ニモ前項ノ手續ヲ命スルコトヲ得

第四十二條　利害關係人ハ前條ノ報告及ヒ計算ニ關スル書類ノ閱覽ヲ申請シ又ハ手數料ヲ納付シテ其謄本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

檢事ハ前項ノ書類ヲ閱覽スルコトヲ得

第四十三條　民法第六百四十四條、第六百四十六條、第六百四十七條及ヒ第六百五十條ノ規定ハ裁判所カ財産ノ封印ヲ爲ス場合ニ於テハ管轄區裁判所之ヲ準用ス

第四十四條　裁判所ハ管理人ヲシテ財産ノ目錄ヲ調製セシメタル後其增減、變更又ハ免除ヲ命スルコトヲ得

第四十五條　裁判所ハ管理人ノ不動産又ハ船舶ノ上ニ抵當權ヲ設定スヘキコトヲ命シタルトキハ其設定ノ登記ヲ嘱託スルコトヲ得

前項ノ嘱託ニハ抵當權ノ設定ヲ命シタル裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

前二項ノ規定ハ設定シタル抵當權ノ變更又ハ消滅ノ登記ニ之ヲ準用ス

第四十六條　裁判所カ財産ノ封印ヲ命シタル場合ニ於テハ管轄區裁判所之ヲ爲ス

利害關係人ハ管理人及ヒ檢事ハ封印ノ手續ニ立會フコトヲ得

第四十七條　左ニ揭ケタル物ニハ封印ヲ爲スヲ要セス

一　封印ヲ爲スニ適セサル物

二　第三者ノ占有ニ屬スル物但其提出ヲ拒マサルトキハ此限ニ在ラス

第四十八條　封印ニ關スル事項ノ職務ヲ用ユヘシ

民事訴訟法第五百三十六條ノ規定ハ封印ノ手續ニ之ヲ準用ス

第四十九條　裁判所ハ封印ヲ爲シタルトキハ財産ノ保管者ヲ選任スヘシ

第四十條ノ二　管理人ノ選任又ハ改任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四十一條　裁判所ハ共選任シタル管理人ニ財産ノ狀況ヲ報告シ且管理ノ計算ヲ爲スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

民法第二十七條第二項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ不在者ノ從キタル管理人ニモ前項ノ手續ヲ命スルコトヲ得

第四十二條　利害關係人ハ前條ノ報告及ヒ計算ニ關スル書類ノ閱覽ヲ申請シ又ハ手數料ヲ納付シテ其謄本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

檢事ハ前項ノ書類ヲ閱覽スルコトヲ得

第四十三條　民法第六百四十四條、第六百四十六條、第六百四十七條及ヒ第六百五十條ノ規定ハ裁判所カ財産ノ封印ヲ爲ス場合ニ

訊問ノ費用亦同シ

第八十五條　民法第千三十二條第二項、第千三十四條及ヒ第千百三十二條第二項ノ鑑定人ノ選任呼出及ヒ訊問ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第八十六條　民法第千四十七條及ヒ第千五十條ノ場合ニ於ケル鑑定人ノ選任、呼出及ヒ訊問ハ第六十七條ニ定メタル裁判所ノ管轄トス

第八十七條　民法第千三十二條第二項、第千三十四條、第千四十七條及ヒ第千五十條ノ場合ニ於ケル鑑定人ノ選任ニ關スル費用ハ相續財産ノ負擔トス

第八十八條　第十五條ノ規定ハ本章ノ手續ニハ之ヲ適用セス

第八十九條　本章ノ規定ニ依リテ指定若クハ選任セラルヘキ者カ其指定若クハ選任ヲ辭シ又ハ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第六章　隱居、廢疾、子ノ廢疾、家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件

第九十條　隱居ノ許可ハ隱居ヲ爲サントスル戶主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

許可ノ申請ニハ法定ノ推定家督相續人ヲ表示シ又ハ家督相續人タルヘキコトヲ承認シタル者ヲ表示シ且其者ヲシテ署名、捺印セシムヘシ

隱居ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得ス

第九十一條　廢家ノ許可ハ廢家セントスル戶主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

利害關係人及ヒ檢事ハ前項ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十八條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十二條　子ノ懲戒ニ關スル事件ハ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

檢事ハ前項ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十八條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十三條　隱居ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得ス

第九十四條　第百七條、第二百二條乃至第二百四條ノ規定ハ日本ニ在ル外國人ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二百二十五條、第百四十一條乃至第百五十一條ノ六、第百五十四條乃至第百五十七條及ヒ第百七十七條ノ規定ハ本章ニ定メタル登記ニ之ヲ準用ス

第百六十五條ノ規定ハ夫妻財産契約ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二百二十四條　第百十七條、第二百二條乃至第二百四條ノ規定ハ日本ニ在ル外國人ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二百二十五條、第百四十一條乃至第百五十一條ノ六、第百五十四條乃至第百五十七條及ヒ第百七十七條ノ規定ハ本章ニ定メタル登記ニ之ヲ準用ス

第百六十五條ノ規定ハ夫妻財産契約ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二百二十六條　商法第四十七條、第四十八條、第百十一條第二項、第百二十四條、第百六十八條第二項、第百九十六條第二項及ヒ第百九十八條ニ定メタル事件ハ會社ノ本店所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス

第二百二十七條　檢査役ノ選任ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百二十八條　商法第四十七條、第四十八條、第百十一條第二項、第百二十四條、第百六十八條第二項、第百九十六條第二項及ヒ第百九十八條ニ定メタル事件ハ會社ノ本店所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス地方裁判所ノ管轄ハ法第六條ノ四第二項（軌道法第二十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ定メタル事件亦同シ

商法第二百六十條ニ定メタル事件ハ閉鎖ヲ命セラルヘキ外國會社ノ支店ノ所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス

商法第二百三十條乃至第二百三十二條ニ定メタル事件ハ解散シタル株式會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

商法第二百八十九條第一項及ヒ第六百十條第一項ニ定メタル事件ハ競賣ニ付スヘキ物品所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

第二百二十七條　檢査役ノ選任ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ取締役又ハ株主之ニ署名、捺印スヘシ

一　申請ノ事由

二　檢査ノ目的

三　年月日

四　裁判所ノ表示

第二百二十八條　檢査役ノ報告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

裁判所ハ檢査役ニ付キ說明ヲ必要トスルトキハ檢査役ヲ參照セシムルコトヲ得

第二百二十九條　商法第百二十四條第二項ノ規定ニ依ル裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

前項ノ裁判ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第七章　相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件

第二百三十條　民法第千十七條第一項但書ニ定メタル期間ノ伸長ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第二百三十一條　相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第二百三十二條　相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ハ第九條第一號、第二號、第四號及ヒ第五號ニ揭ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シテ申述人又ハ代理人之ニ署名捺印スヘシ

一　被相續人ノ氏名及ヒ最後ノ住所

二　相續ノ限定承認又ハ拋棄ヲ爲ス旨

第二百三十三條　期間ノ伸長ノ申請又ハ相續ノ限定承認若クハ拋棄ノ申述ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第八章　遺言執行者ノ選任及ヒ解任ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所ニ於テ選任シタル遺言執行者カ其任務ヲ辭セントスルトキ又ハ其就職ヲ拒マントスルトキハ相續開始地ノ區裁判所ニ其申立ヲ爲スヘシ

裁判所カ前二項ニ揭ケタル事件ニ付キ申立株主總會ノ招集ヲ必要ト認ムルトキハ裁判所ハ一定ノ期間内ニ其招集ヲ爲スヘキコトヲ命スヘシ

第二百三十一條　商法第百十一條第二項ノ規定ニ依リ檢査ノ可許ヲ申請スル場合ニ於テハ檢査ヲ要スル事由、同法第百六十條第二項ノ規定ニ依リ總會招集ノ許可ヲ申請スル場合ニ於テハ取締役カ其招集ヲ怠リ事實ヲ疏明スルコトヲ要ス

第二百三十二條　前條ノ規定ニ依ル申請ニ付テハ裁判所ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ裁判ヲ爲スヘシ

申請ヲ認許スル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二百三十三條　商法第百九十六條第二項ノ規定ニ依ル定款ノ認可ノ申請ハ開業前ニ利息配當ヲ爲スコトヲ要スル事由ヲ疏明シ總發起人又ハ總取締役之ヲ爲スヘシ

前項ノ申請ニ對スル裁判ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用

第二百三十四條　商法第四十七條及ヒ第四十八條ノ場合ニ於ケル會社ノ解散ノ命令ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前利害關係人ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

前二項ノ規定ハ會社ノ申請ニ因リ開業期間ノ伸長ニ付キ裁判ヲ爲ス場合、商法施行法第百二十四條第二項ノ規定ニ依リ會社ノ督業ノ禁止ヲ命スル場合及ヒ日本ニ設立シタル外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十五條　會社及ヒ檢事ハ前條ノ決定ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

抗告裁判所カ會社ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ關シタル前審ノ費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百三十六條　商法第四十七條、第四十八條、第百十一條第二項、第百二十四條、第百六十八條第二項、第百九十六條第二項及ヒ第百九十八條ニ定メタル事件ハ會社ノ本店所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス地方裁判所ノ管轄ハ法第六條ノ四第二項（軌道法第二十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ定マル裁判所ニ之ヲ專屬ス

商法第二百六十條ニ定メタル事件ハ閉鎖ヲ命セラルヘキ外國會社ノ支店ノ所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス

商法第二百三十條ニ定メタル事件ハ解散シタル株式會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

商法第二百八十九條第一項及ヒ第六百十條第一項ニ定メタル事件ハ競賣ニ付スヘキ物品所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

第二百三十七條　檢査役ノ選任ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ取締役又ハ株主之ニ署名、捺印スヘシ

一　申請ノ事由

二　檢査ノ目的

三　年月日

四　裁判所ノ表示

第二百三十八條　檢査役ノ報告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

裁判所ハ檢査役ニ付キ說明ヲ必要トスルトキハ檢査役ヲ參照セシムルコトヲ得

第二百三十九條　商法第百二十四條第二項ノ規定ニ依ル裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

申請ヲ認許セサル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ニ揭ケタル者ハ裁判所ノ許可ヲ得テ前條ノ調書ヲ閱覽スルコトヲ得

第二百四十條　遺言書ノ提出、開封竝ニ檢認及ヒ其告知ノ費用ハ相續財産ノ負擔トス

第九章　法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記

第二百四十一條　法人ノ登記ニ付テハ法人ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第二百四十二條　夫婦財産契約ノ登記ニ付テハ夫ト爲ルヘキ者ノ住所地ノ區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第二百四十三條　各登記所ニ法人登記簿及ヒ夫妻財産契約登記簿ヲ備フ

第二百四十四條　法人設立ノ登記ハ理事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ定款、理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ主務官廳ノ許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百四十五條　事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百四十六條　法人ノ解散ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及ヒ理事カ清算人タラサル場合ニ於テハ清算人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百四十七條　夫妻財産契約ノ登記ハ夫妻財産契約者雙方ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ夫妻財産契約ノ變更若クハ夫妻財産契約ノ廢止ノ登記ニ在リテハ其旨ヲ記載シ且夫妻カ共ニ署名シタル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百四十八條　夫妻財産契約ノ變更ノ登記ハ夫妻ノ住所地ノ區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第二百四十九條　各登記所ニ法人登記簿及ヒ夫妻財産契約登記簿ヲ備フ

第二百五十條　法人設立ノ登記ハ理事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ定款、理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ主務官廳ノ許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百五十一條　事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百五十二條　法人ノ解散ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及ヒ理事カ清算人タラサル場合ニ於テハ清算人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百五十三條　商法第四十七條及ヒ第四十八條ノ場合ニ於ケル會社ノ解散ノ命令ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前利害關係人ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

前二項ノ規定ハ會社ノ申請ニ因リ開業期間ノ伸長ニ付キ裁判ヲ爲ス場合、商法施行法第百二十四條第二項ノ規定ニ依リ會社ノ督業ノ禁止ヲ命スル場合及ヒ日本ニ設立シタル外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十四條　會社ノ解散若クハ督業ノ禁止又ハ外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル裁判ハ會社ノ本店及ヒ支店又ハ閉鎖シタル外國會社ノ支店所在地ノ商業登記所ニ其ノ登記ノ嘱託ヲ爲スヘシ

登記所ハ裁判ヲ爲シタル旨ヲ登記簿ニ記載シ取締役又ハ株主之ニ署名、捺印スヘシ

第二百五十五條　會社ノ解散若クハ督業ノ禁止又ハ外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル裁判カ確定シタルトキハ裁判所ハ會社ノ本店及ヒ支店又ハ閉鎖シタル外國會社ノ支店所在地ノ商業登記所ニ其ノ登記ノ嘱託ヲ爲スヘシ

登記所ハ裁判ヲ爲シタル旨ヲ登記簿ニ記載シ取締役又ハ株主之ニ署名、捺印スヘシ

第二百五十六條　商法第四十七條、第四十八條、第百十一條第二項、第百二十四條、第百六十八條第二項、第百九十六條第二項及ヒ第百九十八條ニ定メタル事件ハ會社ノ本店所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス地方裁判所ノ管轄ハ法第六條ノ四第二項（軌道法第二十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ定マル裁判所ニ之ヲ專屬ス

商法第二百六十條ニ定メタル事件ハ閉鎖ヲ命セラルヘキ外國會社ノ支店ノ所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス

商法第二百三十條ニ定メタル事件ハ解散シタル株式會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

商法第二百八十九條第一項及ヒ第六百十條第一項ニ定メタル事件ハ競賣ニ付スヘキ物品所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

第二百五十七條　檢査役ノ選任ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ取締役又ハ株主之ニ署名、捺印スヘシ

一　申請ノ事由

二　檢査ノ目的

三　年月日

四　裁判所ノ表示

第二百五十八條　檢査役ノ報告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

裁判所ハ檢査役ニ付キ說明ヲ必要トスルトキハ檢査役ヲ參照セシムルコトヲ得

第二百五十九條　商法第百二十四條第二項ノ規定ニ依ル裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

申請ヲ認許セサル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第百二十四條 裁條本項ニ掲ケタル者ノ外裁判ニ関スル手続ニ付テハ裁判所ノ規則ヲ以テ之ヲ定ム

第百二十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百二十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百二十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百二十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百二十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百三十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百三十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百三十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百三十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百三十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百三十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百三十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百三十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百三十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百三十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百四十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百四十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百四十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百四十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百四十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百四十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百四十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百四十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百四十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百四十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百五十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百五十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百五十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百五十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百五十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百五十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百五十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百五十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百五十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百五十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百六十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百六十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百六十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百六十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百六十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百六十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百六十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百六十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百六十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百六十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百七十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百七十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百七十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百七十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百七十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百七十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百七十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百七十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百七十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百七十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百八十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百八十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百八十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百八十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百八十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百八十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百八十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百八十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百八十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百八十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百九十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百九十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百九十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百九十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百九十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百九十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百九十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百九十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百九十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第百九十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百二十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百二十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百二十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百二十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百二十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百二十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百二十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百二十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百二十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百二十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百三十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百三十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百三十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百三十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百三十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百三十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百三十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百三十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百三十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百三十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百四十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百四十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百四十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百四十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百四十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百四十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百四十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百四十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百四十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百四十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百五十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百五十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百五十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百五十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百五十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百五十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百五十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百五十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百五十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百五十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百六十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百六十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百六十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百六十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百六十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百六十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百六十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百六十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百六十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百六十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百七十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百七十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百七十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百七十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百七十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百七十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百七十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百七十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百七十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百七十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百八十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百八十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百八十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百八十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百八十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百八十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百八十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百八十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百八十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百八十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百九十條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百九十一條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百九十二條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百九十三條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百九十四條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百九十五條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百九十六條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百九十七條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百九十八條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第二百九十九條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第三百條 裁判ニ関スル手続ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

介ニ於テハ登記所ハ裁判所ノ嘱託ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ

第百八十二條　合名會社ノ合併ニ因ル解散ノ登記ハ解散スヘキ會社ノ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ商法第七十八條第二項ニ依ル公告及ヒ催告ヲ爲シタルコト、若シ異議チ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十二條ノ二　合名會社カ合併ニ因ル變更ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其事由ヲ記載シ第百七十九條第二項及ヒ前條第二項ニ揭ケタル書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十二條ノ三　合名會社カ合併ニ因ル設立ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其事由ヲ記載シ第百七十九條第二項竝ニ第百八十二條第二項ニ揭ケタル書類及ヒ商法第四十四條ノ三第二項ノ規定ニ依リテ選任セラレタル者ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十三條　第百七十九條第一項ノ規定ハ合名會社ノ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　合名會社ノ社員ノ請求ニ因リテ解散シタルトキハ各社員ノ申請ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ

前項ノ申請書ニハ判決ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十四條ノ二　第百八十一條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ合名會社ノ設立取消ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條ノ三　第百八十二條ノ規定ハ合名會社ノ組織變更ニ因ル解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條ノ四　商法第八十三條ノ三又ハ第百八十三條ノ四ノ規定ニ依リ合資會社ニ付キ爲スヘキ登記ハ無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百八十五條　商法第百十八條第二項ノ規定ニ依リ合名會社ニ付キ爲スヘキ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十五條ノ二　第百七十九條第二項及ヒ前條ノ規定ハ商法第百十八條ノ二ノ規定ニ依リ合名會社ニ付キ爲スヘキ登記ニ之ヲ準用ス

第百八十六條　第百七十九條乃至第百八十四條ノ三ノ規定ハ合資會社ノ登記ニ之ヲ準用ス但合名會社ニ於テ總社員ノ申請ニ因リテ爲スヘキ登記ハ合資會社ニ於テハ其無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第六節　株式會社ノ登記

第百八十七條　株式會社ノ設立ノ登記ハ總取締役及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

一　定款

二　株式ノ引受ヲ證スル書面

三　株式申込證

四　取締役及ヒ監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及ヒ其附屬書類

五　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其謄本

六　發起人カ取締役及ヒ監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類

七　創立總會ノ決議錄

第百八十八條　支店ノ設立、本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ總取締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ變更ノ事由ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十九條　第百七十九條第二項、第百八十三條ノ二、第百八十四條第一項ノ規定ハ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百九十條　株式合資會社ノ設立ノ登記ハ無限責任社員ノ全員及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百九十一條　第百七十九條第二項及ヒ第百八十七條第二項ノ規定ハ前項ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百九十二條　第百八十三條ノ二、第百八十四條第一項ノ規定ハ株式合資會社ニ付キ爲スヘキ登記ニ之ヲ準用ス

第百九十三條　第百七十九條第二項及ヒ第百八十五條ノ二ノ規定ハ商法第百十八條ノ二ノ規定ニ依リ合名會社ニ付キ爲スヘキ登記ニ之ヲ準用ス

第百九十四條　創立總會ノ決議錄ニハ發起人カ引受ヲ證スル書面及ヒ檢査役ノ調査報告書及ヒ其附屬書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第百九十五條　第百七十九條第二項及ヒ第百八十六條ノ二ノ規定ハ株式合資會社ノ設立ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百九十六條　第百七十九條第二項及ヒ第百八十六條ノ二ノ規定ハ株式合資會社ノ設立取消ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百九十七條　株式合資會社ノ設立ノ登記ハ無限責任社員ノ全員及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百九十八條　第百七十九條第二項及ヒ第百八十七條第二項ノ規定ハ前項ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百九十九條　第百七十九條第二項、第百八十三條ノ二、第百八十四條第一項ノ規定ハ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百條　株式合資會社ノ解散ノ事由ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百一條　株式合資會社ノ組織變更ニ因リ無限責任社員ノ全員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百二條　株式合資會社ノ設立ノ登記ハ無限責任社員ノ全員及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第二百三條　日本ニ於テ登記シタル外國會社ノ支店ノ代表者ハ管轄登記所ニ其屆出ヲ爲スヘシ

前條ノ規定ハ前項ノ屆出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百四條　外國會社ノ支店ノ廢止又ハ其登記事項ノ變更ノ登記ハ支店ノ代表者ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

日本ニ於テ登記シタル外國會社ノ支店ノ代表者カ外國ニ於テ生シタル登記事項ノ變更ニ付キ其登記ヲ申請スル場合ニ於テハ所ノ變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ無限責任社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ

第二百四條ノ二　株式合資會社ノ組織變更ニ因ル解散ノ登記ハ無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第二百四條ノ三　株式合資會社ノ解散ノ事由ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百五條　削除

第二百六條　附　則

第二百六條ノ二　社債ノ登記ハ無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ二十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ二十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ二十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ二十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ二十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ二十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ二十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ二十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ二十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ二十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ三十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ三十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ三十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ三十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ三十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ三十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ三十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ三十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ三十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ三十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ四十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ四十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ四十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ四十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ四十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ四十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ四十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ四十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ四十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ四十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ五十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ五十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ五十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ五十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ五十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ五十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ五十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ五十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ五十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ五十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ六十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ六十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ六十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ六十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ六十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ六十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ六十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ六十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ六十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ六十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ七十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ七十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ七十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ七十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ七十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ七十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ七十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ七十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ七十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ七十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ八十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ八十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ八十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ八十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ八十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ八十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ八十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ八十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ八十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ八十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ九十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ九十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ九十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ九十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ九十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ九十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ九十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ九十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ九十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ九十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百二十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百二十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百二十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百二十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百二十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百二十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百二十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百二十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百二十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百二十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百三十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百三十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百三十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百三十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百三十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百三十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百三十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百三十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百三十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百三十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百四十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百四十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百四十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百四十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百四十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百四十五　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百四十六　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百四十七　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百四十八　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百四十九　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百五十　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百五十一　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百五十二　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百五十三　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百六條ノ百五十四　社債ノ總額ハ會社カ既ニ募集シタル金額ト其會社ノ現ニ有スル財産ノ評價額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二

附　則（明治四十四年法律第七十四號）

本法ハ商法中改正法律施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（明治四十四年勅令第二百十九號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行）

本法施行前ニ裁判所ノ受理シタル事件ニハ從前ノ規定ヲ適用ス

商法中改正法律附則ノ規定ニ依リ商法ノ規定ヲ適用スヘキ場合ニ付テハ從前ノ規定ハ仍ホ其效力ヲ有ス

後見人登記簿ハ法定代理人登記簿ノ一部トシテ其效力ヲ有シ替利ヲ目的トスル社團法人ノ登記簿ハ其法人ノ種類ニ從ヒ合名會社登記簿、株式會社登記簿又ハ株式合資會社登記簿ノ一部トシテ其效力ヲ有ス

附　則（大正十一年四月法律第六十三號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十一年十二月勅令第五百十二號ヲ以テ同十二年一月一日ヨリ施行）

附　則（大正十五年四月法律第六十七號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年五月勅令第百五號ヲ以テ昭和四年十月一日ヨリ施行）

附　則（昭和二年三月法律第三十三號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和二年十二月勅令第三百四十二號ヲ以テ同三年一月一日ヨリ施行）

附　則（昭和四年四月法律第六十號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年十二月勅令第三百三十六號ヲ以テ昭和四年十二月五日ヨリ施行）

附　則（昭和九年三月法律第三號）

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

小切手法第六十五條ノ規定ニ依リ商法第五百三十六條ノ規定ヲ適用スヘキ場合ニ付テハ從前ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス

●外國人ノ署名捺印及訴訟上無資力證明方

明治三十二年三月
法律第五十號

改正　大正一五年四月第七一號

於帝國領事ノ協聲ヲ經タル外國人ノ署名捺印及無資力證明ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　法令ノ規定ニ依リ署名、捺印スヘキ場合ニ於テハ外國人ハ署名スルヲ以テ足ル

捺印ノミヲ爲スヘキ場合ニ於テハ外國人ハ署名ヲ以テ捺印ニ代フルコトヲ得

第二條　削除

第三條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則（大正十五年四月法律第七十一號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年五月勅令第百五號ヲ以テ昭和四年十月一日ヨリ施行）

明治三十二年七月
勅令第三百二十七號

於明治三十二年法律第五十號施行ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

明治三十二年法律第五十號ヲ明治三十二年七月十七日ヨリ施行ス

●小商人、公告、確定日附簿及日附アル印章ニ關スル件

明治四十五年三月
總令第三十一號

商行爲ヲ爲スチ業トスルモ資本金額五百圓ニ滿タサル者ハ之ヲ小商人トス

人事訴訟手續法第三章ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告ハ裁判ノ要旨ヲ朝鮮總督府官報及法人ノ登記ノ公告ニ付選定シタル新聞紙上ニ一回以上掲載シテ之ヲ爲スヘシ但シ上級裁判所ノ公告ハ其ノ所在地ノ地方法院カ選定シタル新聞紙上ニ掲載シテ之ヲ爲スヘシ

前項ノ新聞紙ナキトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ裁判所ノ掲示場ニ掲示シテ之ヲ爲スヘシ

登記所ニ備フヘキ確定日附簿ハ地方法院ニ於テ調製シ登記所ノ請求ニ因リテ之ヲ交付スヘシ

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號

確定日附簿

何地方法院（何支廳）

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

附錄第二號

日附アル印章雛形

外圓徑　一寸
內圓徑　六寸

朝明・何地方法院（何支廳）之印・何年何月何日

日附アル印章及割印

第一號　署名者ノ氏名　件名

第二號　署名者ノ氏名　件名

第三號　署名者ノ氏名　件名

第四號　署名者ノ氏名　件名

第五號　署名者ノ氏名　件名

第六號　署名者ノ氏名　件名

第七號　署名者ノ氏名　件名

第八號　署名者ノ氏名　件名

●法人ノ設立及監督ニ關スル規程

明治四十五年三月
總令第七十一號

法人ノ設立及監督ニ關スル件左ノ通定ム

法人ノ設立及監督ニ關スル規程

第一條　民法第三十四條ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ得テ社團又ハ財團ヲ以テ法人トスルトキハ其ノ設立者ニ於テ社團ニ在リテハ定款、資產ノ總額及社員ノ口數、財團ニ在リテハ寄附行爲及資產ノ總額ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スヘシ

第二條　法人ハ其ノ設立ノ許可アリタルトキハ遲滯ナク左ニ揭クル事項ヲ主タル事務所所在地ノ道長官ニ報告スヘシ其ノ第一號及第二號ノ事項中ニ變更ヲ生シタル場合亦同シ

一　定款又ハ寄附行爲

二　理事及監事ノ氏名、住所

三　財產目錄及社團法人ニ在リテハ社員ノ員數

第三條　法人ハ每年三月末ノ調査ニ依リ翌月中ニ財產目錄ヲ添附シ左ニ揭クル事項ヲ朝鮮總督ニ報知スヘシ

但シ特ニ事業年度ヲ設クルモノハ年度末ノ調査ニ依リ其ノ年度ノ終ヨリ三十日以內ニ之ヲ報告スヘシ

一　法人ノ目的タル事業ノ狀況

二　前年中ノ處務ノ要目

三　前年中ノ經費、收入支出金額及其ノ費目

社團法人ハ前項ニ揭ケタル事項ノ外社員ノ員數ヲ報告スヘシ

第四條　道長官ハ法人ノ業務ヲ監督スヘシ

第五條　道長官ハ法人ノ監督上必要ナル報告ヲ徵シ又ハ實地ニ就キ其ノ業務及財產ノ狀況ヲ檢查スルコトヲ得

前項ニ依リ徵シタル報告又ハ實地ニ就キ爲シタル檢查ノ成績ハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第六條　道長官ハ法人ニ於テ民法第七十一條ニ該當スル行爲アリト認ムルトキハ其ノ事由ヲ詳具シ之ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前設立ノ許可ヲ得タル法人ハ本令施行ノ日ヨリ三十日以內ニ第二條ニ揭クル事項ヲ道長官ニ報告スヘシ

●永代借地權ニ關スル件

大正三年五月
制令第七號

永代借地權ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第一條　永代借地權ニハ土地ノ所有權ニ關スル規定ヲ準用ス

永代借地權ハ朝鮮民事令ノ規定ニ從ヒ他ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得

前二項ノ規定ハ條約ニ別段ノ定アル場合ニハ之ヲ適用セス

第二條　永代借地權者永代借地權ヲ所有權ニ變更セントスルトキハ所有權保存ノ登記ヲ受クヘシ

永代借地權者前項ノ登記ヲ受ケタルトキハ其ノ土地ノ所有權ヲ取得ス

第三條　帝國ノ臣民又ハ法人カ永代借地權ヲ取得シタルトキハ永代借地權ハ消滅シ其ノ土地ノ所有權ヲ取得ス永代借地權者カ帝國ノ臣民ト爲リタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ永代借地權ニ關シ爲シタル登記ハ所有權ニ關シ爲シタル登記ト看做ス

第四條　前二條ノ場合ニ於テ永代借地權ヲ目的トスル權利ハ所有權ヲ目的トシテ存續ス

第五條　前條ノ權利ニ關シ爲シタル登記ハ所有權ヲ目的トスル權利ニ關シ爲シタル登記ト看做ス

第六條　永代借地及其ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記ノ規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

附　則

第七條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八條　永代借地權ヲ有スル帝國ノ臣民又ハ法人ハ本令施行ノ日ニ於テ其ノ土地ノ所有權ヲ取得シ永代借地權ハ消滅ス

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三條第二項ノ規定ハ第一項ノ場合ニ、第五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

●利息制限令

明治四十四年十一月
制令第十三號

利息制限令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第一條　利息制限令金錢貸借ニ關スル契約上ノ利息ハ左ノ制限ニ依ル

元金百圓未滿　年三割以下
元金百圓以上千圓未滿　年二割五分以下
元金千圓以上　年二割以下

貸居營業者ノ貸借元金五十圓未滿及市場ニ於ケル貸借元金五十圓未滿ノ利息ニ付テハ前項第一號ノ規定ヲ適用セス

第二條　契約上ノ利息ニシテ前條ニ定メタル制限ヲ超過シタルトキハ其ノ超過部分ヲ無效トス

第三條　禮金、割引金、手數料、引去金、借替金其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス金錢ノ貸借ニ關シ債權者ノ受クルモノハ之ヲ利息ト看做ス

第四條　裁判所ハ當事者カ金錢ヲ目的トスル債務ノ不履行ニ付豫定シタル賠償額ヲ不當ト認ムルトキハ相當ノ額迄之ヲ減少スルコトヲ得

附　則

本令ハ明治四十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●相續人賸缺ノ場合ニ於テ國庫ニ歸屬シタル財產ノ引渡ニ關スル件

明治三十三年十二月
勅令第四百九號

民相續人賸缺ノ場合ニ於テ國庫ニ歸屬シタル財產ノ引渡ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

相續人賸缺ノ爲國庫ニ歸屬シタル財產ハ管理人ヨリ遲滯ナク裁相續人ノ住所ヲ管轄スル地方行政官廳ニ引渡スヘシ但シ外國ニ在テハ領事又ハ貿易事務官ニ引渡スヘシ

●朝鮮總督府及所屬官署ノ民事訴訟ニ關シ國ヲ代表スルノ件

明治三十九年七月
勅令第百八十四號

改正　朝鮮四三年九號四四・二・

朝鮮總督府及所屬官署ノ民事訴訟ニ關シ國ヲ代表スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　朝鮮總督府ハ其ノ所管又ハ監督スル官署中其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スルモノヲ定ムルコトヲ得

第二條　朝鮮總督府ハ朝鮮總督府ノ所管又ハ監督スル官署中其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件左ノ通定ム

朝鮮總督府　朝鮮總督府鐵道局、朝鮮總督府遞信局、朝鮮總督府專賣局、專賣支局、朝鮮總督府稅關、朝鮮總督府監獄、朝鮮總督府醫院、朝鮮總督府林業試驗場、朝鮮總督府農事試驗場、朝鮮總督府水產試驗場、朝鮮總督府中央試驗所、朝鮮總督府水產試驗場、朝鮮總督府獸疫血清製造所及朝鮮總督府林業試驗所ニ在リテハ各其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表ス

朝鮮總督府裁判所及檢事局ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付テハ訴ヲ受クヘキ裁判所ノ檢事局國ヲ代表ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年四月總令第五十六號）

本令ハ昭和九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●政府ノ債務ニ對シ差押命令ヲ受クル場合會計上ノ規程

明治二十六年十二月
勅令第二百六十一號

改正　朝鮮四〇年一〇號三三・

朝鮮明治二十四年勅令第五十五號ヲ改正ス

明治二十四年勅令第五十五號左ノ通改正ス

第一條　政府ヲ第三債務者トシテ差押命令ハ左ノ四項ニ掲クルモノノ外仕拂命令仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續ニ依リ差押債權者ニ仕拂フヘキ金額ノ仕拂ヲ爲サヽルヘシ

第二條　朝鮮總督府ヲ以テ所屬官署中其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スルモノヲ定ムルコトヲ得

第三條　前二條ノ場合ニ於テ國ヲ代表シ訴訟ヲ爲ス者ハ各官廳ノ長官又ハ長官ノ指定シタル所屬官吏トス

●本府所屬官署ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件

明治四十三年十月
總令第四十二號

改正　朝治四五年五月九六號、大正一一年九第一三五號、一三年五月四號、一四年四月第五六號、昭和四年一三年五月四號、一四年四月第一〇五號、九年四月第

本府所屬官署ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件左ノ通定ム

朝鮮總督府　朝鮮總督府鐵道局、朝鮮總督府遞信局、專賣支局、朝鮮總督府稅務監督局、稅務署、道、府、郡、朝鮮總督府林業試驗場、朝鮮總督府農事試驗場、朝鮮總督府水產試驗場、朝鮮總督府中央試驗所、朝鮮總督府獸疫血清製造所及朝鮮總督府林業試驗所ニ在リテハ各其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表ス

朝鮮總督府裁判所及檢事局ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付テハ訴ヲ受クヘキ裁判所ノ檢事局國ヲ代表ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年四月總令第五十六號）

本令ハ昭和九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●政府第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續

明治二十七年二月
大令第二號

改正　朝治四一年四第二號

政府カ第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續左ノ通相定ム

第一條　仕拂命令官ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂命令又ハ仕拂請求書ニ何之誰ノ差押債權者何之誰ト記入シ之ニ署名捺印シ之ヲ政府ノ債權者ニ交付スヘシ

第二條　歲出金ノ繰替拂ヲ命令スル官吏ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ歲出金繰替拂證票又ハ同通知書ニ何之誰ノ差押債權者何之誰ト記入シ之ヲ歲出金繰替拂證票又ハ同通知書ヲ添ヘ第一號書式ノ仕拂傳票ニ本文ノ記入ヲ爲シ之ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

第三條　前條ノ場合ニ於テ繰替拂ヲ命令スル官吏ハ其ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂命令又ハ仕拂請求書ニ何之誰ノ差押債權者ニ交付シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ該仕拂命令官又ハ出納官吏ニ速カニ金庫ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

繰替拂ヲ命令スル官吏カ繰替拂ノ命令ヲ發シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ速ニ出納官吏ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

第四條　仕拂命令、仕拂請求書、集合仕拂命令、集合仕拂請求書及現金引出切符ヲ政府ノ債權者ニ交付シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ當該仕拂命令官又ハ出納官吏ハ速カニ金庫ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

繰替拂ヲ命令スル官吏カ繰替拂ノ命令ヲ發シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ速ニ出納官吏ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

第五條　差押ヘラレタル債務額ノ仕拂ヲ爲サヽル場合ニ於テハ當該仕拂命令官、郵便貯金ノ原簿ヲ管掌スル官署ノ長、繰替拂ヲ命令スル官吏、出納官吏、銀行又ハ金庫ニ於テ仕拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條　配當要求ノ遂達又ハ民事訴訟法第六百七條ノ命令ヲ受ケタル場合ニ於テハ當該仕拂命令官、郵便貯金ノ原簿ヲ管掌スル官署ノ長、繰替拂ヲ命令スル官吏、出納官吏、銀行又ハ金庫ニ於テ供託ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條　差押金額ノ仕拂停止、仕拂執行又ハ供託ニ關スル手續ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第八條　假差押命令ノ場合ニ於テハ本令ヲ準用ス

附　則

第九條　本令ハ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

●政府第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續

明治二十七年二月
大令第二號

改正　朝治四一年四第二號

政府カ第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續左ノ通相定ム

第一條　仕拂命令官ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂命令又ハ仕拂請求書ニ何之誰ノ差押債權者何之誰ト記入シ之ニ署名捺印シ之ヲ政府ノ債權者ニ交付スヘシ

第二條　歲出金ノ繰替拂ヲ命令スル官吏ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ歲出金繰替拂證票又ハ同通知書ニ何之誰ノ差押債權者何之誰ト記入シ之ヲ歲出金繰替拂證票又ハ同通知書ヲ添ヘ第一號書式ノ仕拂傳票ニ本文ノ記入ヲ爲シ之ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

第三條　前條ノ場合ニ於テ繰替拂ヲ命令スル官吏ハ其ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂命令又ハ仕拂請求書ニ何之誰ノ差押債權者ニ交付シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ當該仕拂命令官又ハ出納官吏ニ速カニ金庫ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

繰替拂ヲ命令スル官吏カ繰替拂ノ命令ヲ發シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ速ニ出納官吏ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

第四條　仕拂命令、仕拂請求書、集合仕拂命令、集合仕拂請求書及現金引出切符ヲ政府ノ債權者ニ交付シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ當該仕拂命令官又ハ出納官吏ハ速カニ金庫ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

繰替拂ヲ命令スル官吏カ繰替拂ノ命令ヲ發シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ速ニ出納官吏ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

第五條　差押ヘラレタル債務額ノ仕拂ヲ爲サヽル場合ニ於テハ當該仕拂命令官、郵便貯金ノ原簿ヲ管掌スル官署ノ長、繰替拂ヲ命令スル官吏、出納官吏、銀行又ハ金庫ニ於テ仕拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條　配當要求ノ遂達又ハ民事訴訟法第六百七條ノ命令ヲ受ケタル場合ニ於テハ當該仕拂命令官、郵便貯金ノ原簿ヲ管掌スル官署ノ長、繰替拂ヲ命令スル官吏、出納官吏、銀行又ハ金庫ニ於テ供託ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條　差押金額ノ仕拂停止、仕拂執行又ハ供託ニ關スル手續ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第八條　假差押命令ノ場合ニ於テハ本令ヲ準用ス

第一條ノ三　郵便貯金ノ原簿ヲ管掌スル官署ノ長ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ郵便貯金拂出證書ノ「何之誰ノ差押債權者何之誰」ト記入シ之ヲ差押債權者ニ交付スヘシ

第二條　政府カ差押債權者ニ仕拂フヘキ金額ニシテ郵便貯金拂出證書ニ關シ國ヲ代表スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　朝鮮總督府ハ其ノ所管又ハ監督スル官署中其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スルモノヲ定ムルコトヲ得

第二條　朝鮮總督府ハ朝鮮總督府ノ所管又ハ監督スル官署中其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件左ノ通定ム

朝鮮總督府　朝鮮總督府鐵道局、朝鮮總督府遞信局、專賣支局、朝鮮總督府稅關、朝鮮總督府監獄、朝鮮總督府醫院、朝鮮總督府林業試驗場、朝鮮總督府農事試驗場、朝鮮總督府水產試驗場、朝鮮總督府中央試驗所、朝鮮總督府獸疫血清製造所及朝鮮總督府林業試驗所ニ在リテハ各其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表ス

朝鮮總督府裁判所及檢事局ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付テハ訴ヲ受クヘキ裁判所ノ檢事局國ヲ代表ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年四月總令第五十六號）

本令ハ昭和九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●政府ノ債務ニ對シ差押命令ヲ受クル場合會計上ノ規程

明治二十六年十二月
勅令第二百六十一號

改正　朝鮮四〇年一〇號三三・

朝鮮明治二十四年勅令第五十五號ヲ改正ス

明治二十四年勅令第五十五號左ノ通改正ス

第一條　政府ヲ第三債務者トシテ差押命令ハ左ノ四項ニ掲クルモノノ外仕拂命令仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續ニ依リ差押債權者ニ仕拂フヘキ金額ノ仕拂ヲ爲サヽルヘシ

第二條　朝鮮總督府ヲ以テ所屬官署中其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スルモノヲ定ムルコトヲ得

第三條　前二條ノ場合ニ於テ國ヲ代表シ訴訟ヲ爲ス者ハ各官廳ノ長官又ハ長官ノ指定シタル所屬官吏トス

●本府所屬官署ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件

明治四十三年十月
總令第四十二號

改正　朝治四五年五月九六號、大正一一年九第一三五號、一三年五月四號、一四年四月第五六號、昭和四年一三年五月四號、一四年四月第一〇五號、九年四月第

本府所屬官署ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件左ノ通定ム

朝鮮總督府　朝鮮總督府鐵道局、朝鮮總督府遞信局、專賣支局、朝鮮總督府稅務監督局、稅務署、道、府、郡、朝鮮總督府林業試驗場、朝鮮總督府農事試驗場、朝鮮總督府水產試驗場、朝鮮總督府中央試驗所、朝鮮總督府獸疫血清製造所及朝鮮總督府林業試驗所ニ在リテハ各其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表ス

朝鮮總督府裁判所及檢事局ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付テハ訴ヲ受クヘキ裁判所ノ檢事局國ヲ代表ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年四月總令第五十六號）

本令ハ昭和九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●政府第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續

明治二十七年二月
大令第二號

改正　朝治四一年四第二號

政府カ第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續左ノ通相定ム

第一條　仕拂命令官ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂命令又ハ仕拂請求書ニ何之誰ノ差押債權者何之誰ト記入シ之ニ署名捺印シ之ヲ政府ノ債權者ニ交付スヘシ但シ歲出金繰替拂證票又ハ同通知書ヲ添ヘ第一號書式ノ仕拂傳票ニ本文ノ記入ヲ爲シ之ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

第二條　朝鮮總督府ヲ以テ所屬官署中其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スルモノヲ定ムルコトヲ得

第三條　前二條ノ場合ニ於テ國ヲ代表シ訴訟ヲ爲ス者ハ各官廳ノ長官又ハ長官ノ指定シタル所屬官吏トス

●本府所屬官署ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件

明治四十三年十月
總令第四十二號

改正　朝治四五年五月九六號、大正一一年九第一三五號、一三年五月四號、一四年四月第五六號、昭和四年一三年五月四號、一四年四月第一〇五號、九年四月第

本府所屬官署ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件左ノ通定ム

朝鮮總督府　朝鮮總督府鐵道局、朝鮮總督府遞信局、專賣支局、朝鮮總督府稅務監督局、稅務署、道、府、郡、朝鮮總督府林業試驗場、朝鮮總督府農事試驗場、朝鮮總督府水產試驗場、朝鮮總督府中央試驗所、朝鮮總督府獸疫血清製造所及朝鮮總督府林業試驗所ニ在リテハ各其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表ス

朝鮮總督府裁判所及檢事局ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付テハ訴ヲ受クヘキ裁判所ノ檢事局國ヲ代表ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年四月總令第五十六號）

本令ハ昭和九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●政府第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續

明治二十七年二月
大令第二號

改正　朝治四一年四第二號

政府カ第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續左ノ通相定ム

第一條　仕拂命令官ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂命令又ハ仕拂請求書ニ何之誰ノ差押債權者何之誰ト記入シ之ニ署名捺印シ之ヲ政府ノ債權者ニ交付スヘシ但シ歲出金繰替拂證票又ハ同通知書ヲ添ヘ第一號書式ノ仕拂傳票ニ本文ノ記入ヲ爲シ之ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

第二條　歲出金ノ繰替拂ヲ命令スル官吏ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ歲出金繰替拂證票又ハ同通知書ニ何之誰ノ差押債權者何之誰ト記入シ之ヲ歲出金繰替拂證票又ハ同通知書ヲ添ヘ第一號書式ノ仕拂傳票ニ本文ノ記入ヲ爲シ之ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

第三條　前條ノ場合ニ於テ繰替拂ヲ命令スル官吏ハ其ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂命令又ハ仕拂請求書ニ何之誰ノ差押債權者ニ交付シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ當該仕拂命令官又ハ出納官吏ニ速カニ金庫ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

繰替拂ヲ命令スル官吏カ繰替拂ノ命令ヲ發シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ速ニ出納官吏ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

第四條　仕拂命令、仕拂請求書、集合仕拂命令、集合仕拂請求書及現金引出切符ヲ政府ノ債權者ニ交付シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ當該仕拂命令官又ハ出納官吏ハ速カニ金庫ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

繰替拂ヲ命令スル官吏カ繰替拂ノ命令ヲ發シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ速ニ出納官吏ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

第五條　差押ヘラレタル債務額ノ仕拂ヲ爲サヽル場合ニ於テハ當該仕拂命令官、郵便貯金ノ原簿ヲ管掌スル官署ノ長、繰替拂ヲ命令スル官吏、出納官吏、銀行又ハ金庫ニ於テ仕拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條　配當要求ノ遂達又ハ民事訴訟法第六百七條ノ命令ヲ受ケタル場合ニ於テハ當該仕拂命令官、郵便貯金ノ原簿ヲ管掌スル官署ノ長、繰替拂ヲ命令スル官吏、出納官吏、銀行又ハ金庫ニ於テ供託ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條　差押金額ノ仕拂停止、仕拂執行又ハ供託ニ關スル手續ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第八條　假差押命令ノ場合ニ於テハ本令ヲ準用ス

第一條　政府ノ債務ニ對シ差押命令ヲ受クル場合會計上ノ規程ニ依リ差押債權者ニ仕拂フヘキ金額ノ仕拂ヲ爲サヽルヘシ

第二條　朝鮮總督府ヲ以テ所屬官署中其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スルモノヲ定ムルコトヲ得

第三條　前二條ノ場合ニ於テ國ヲ代表シ訴訟ヲ爲ス者ハ各官廳ノ長官又ハ長官ノ指定シタル所屬官吏トス

●本府所屬官署ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件

明治四十三年十月
總令第四十二號

改正　朝治四五年五月九六號、大正一一年九第一三五號、一三年五月四號、一四年四月第五六號、昭和四年一三年五月四號、一四年四月第一〇五號、九年四月第

本府所屬官署ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件左ノ通定ム

朝鮮總督府　朝鮮總督府鐵道局、朝鮮總督府遞信局、專賣支局、朝鮮總督府稅務監督局、稅務署、道、府、郡、朝鮮總督府林業試驗場、朝鮮總督府農事試驗場、朝鮮總督府水產試驗場、朝鮮總督府中央試驗所、朝鮮總督府獸疫血清製造所及朝鮮總督府林業試驗所ニ在リテハ各其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表ス

朝鮮總督府裁判所及檢事局ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付テハ訴ヲ受クヘキ裁判所ノ檢事局國ヲ代表ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年四月總令第五十六號）

本令ハ昭和九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●政府第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續

明治二十七年二月
大令第二號

改正　朝治四一年四第二號

政府カ第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續左ノ通相定ム

第一條　仕拂命令官ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂命令又ハ仕拂請求書ニ何之誰ノ差押債權者何之誰ト記入シ之ニ署名捺印シ之ヲ政府ノ債權者ニ交付スヘシ但シ歲出金繰替拂證票又ハ同通知書ヲ添ヘ第一號書式ノ仕拂傳票ニ本文ノ記入ヲ爲シ之ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

第二條　歲出金ノ繰替拂ヲ命令スル官吏ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ歲出金繰替拂證票又ハ同通知書ニ何之誰ノ差押債權者何之誰ト記入シ之ヲ歲出金繰替拂證票又ハ同通知書ヲ添ヘ第一號書式ノ仕拂傳票ニ本文ノ記入ヲ爲シ之ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

第三條　前條ノ場合ニ於テ繰替拂ヲ命令スル官吏ハ其ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂命令又ハ仕拂請求書ニ何之誰ノ差押債權者ニ交付シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ當該仕拂命令官又ハ出納官吏ハ速カニ金庫ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

繰替拂ヲ命令スル官吏カ繰替拂ノ命令ヲ發シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ速ニ出納官吏ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

第四條　仕拂命令、仕拂請求書、集合仕拂命令、集合仕拂請求書及現金引出切符ヲ政府ノ債權者ニ交付シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ當該仕拂命令官又ハ出納官吏ハ速カニ金庫ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

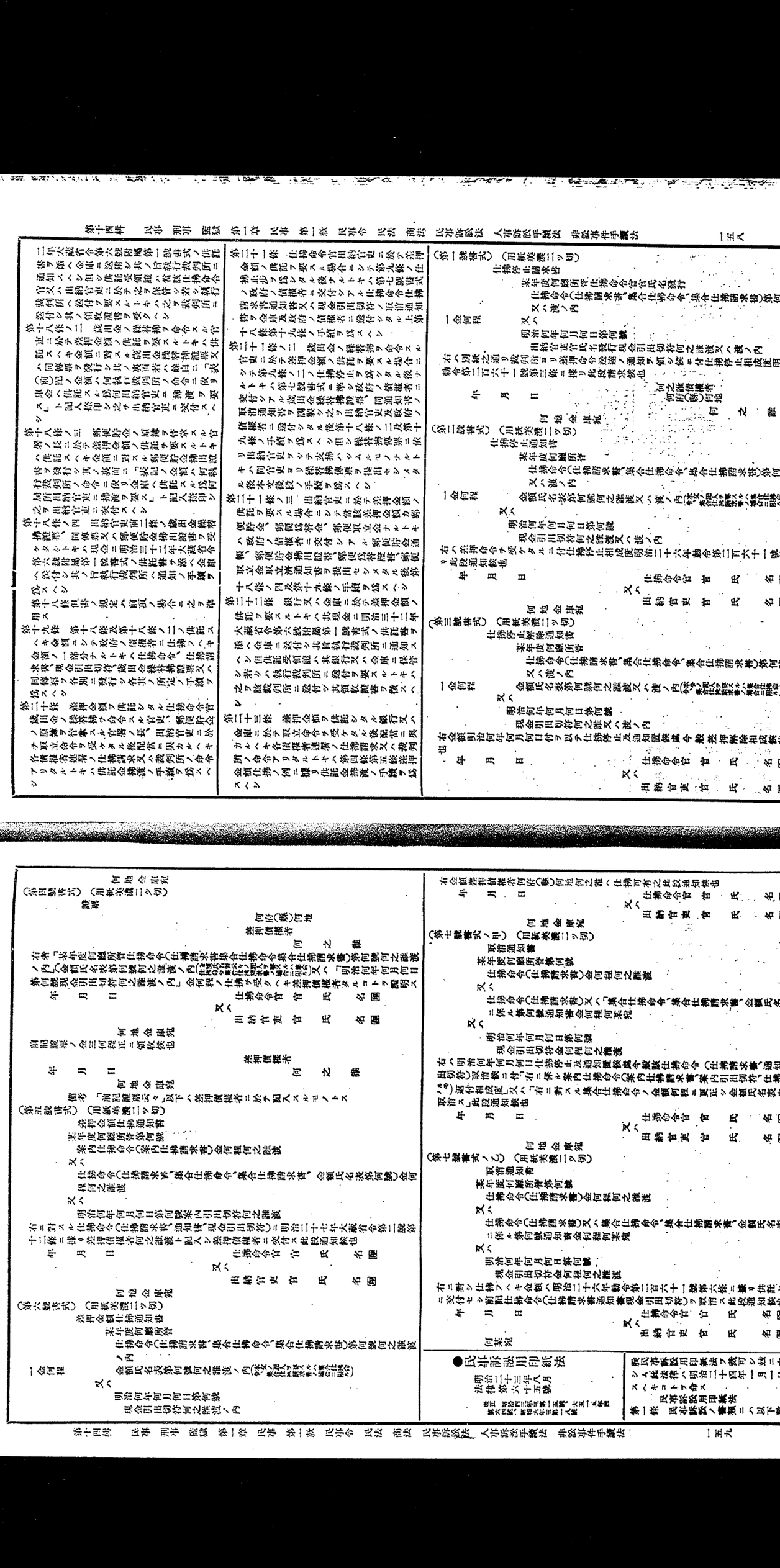
繰替拂ヲ命令スル官吏カ繰替拂ノ命令ヲ發シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ速ニ出納官吏ニ向テ差押金額ノ仕拂ヲ停止スヘシ

第五條　差押ヘラレタル債務額ノ仕拂ヲ爲サヽル場合ニ於テハ當該仕拂命令官、郵便貯金ノ原簿ヲ管掌スル官署ノ長、繰替拂ヲ命令スル官吏、出納官吏、銀行又ハ金庫ニ於テ仕拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條　配當要求ノ遂達又ハ民事訴訟法第六百七條ノ命令ヲ受ケタル場合ニ於テハ當該仕拂命令官、郵便貯金ノ原簿ヲ管掌スル官署ノ長、繰替拂ヲ命令スル官吏、出納官吏、銀行又ハ金庫ニ於テ供託ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條　差押金額ノ仕拂停止、仕拂執行又ハ供託ニ關スル手續ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第八條　假差押命令ノ場合ニ於テハ本令ヲ準用ス



●民事訴訟用印紙法
法明治二十三年法律第六十三號
施行明治二十三年五月一日
民事訴訟用印紙法ヲ廢止ス
民事訴訟用印紙法
第一條　民事訴訟ノ費用ニ充ツル爲メ印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ハ別表ニ掲ケタル金額ニ從ヒ之ヲ納ムヘシ
以下略
第二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ノ額ニ滿タサルトキハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用スヘシ
第三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲スヘシ
第四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用セサルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第二十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第二十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第二十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第二十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第二十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第二十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第二十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第二十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第二十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第二十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第三十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第三十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第三十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第三十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第三十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第三十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第三十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第三十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第三十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第三十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第四十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第四十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第四十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第四十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第四十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第四十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第四十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第四十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第四十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第四十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第五十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第五十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第五十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第五十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第五十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第五十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第五十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第五十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第五十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第五十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第六十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第六十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第六十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第六十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第六十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第六十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第六十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第六十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第六十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第六十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第七十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第七十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第七十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第七十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第七十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第七十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第七十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第七十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第七十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第七十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第八十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第八十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第八十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第八十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第八十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第八十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第八十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第八十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第八十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第八十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第九十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第九十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第九十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第九十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第九十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第九十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第九十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第九十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第九十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第九十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百二十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百二十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百二十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百二十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百二十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百二十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百二十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百二十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百二十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百二十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百三十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百三十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百三十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百三十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百三十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百三十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百三十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百三十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百三十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百三十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百四十條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百四十一條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百四十二條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百四十三條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百四十四條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百四十五條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百四十六條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百四十七條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百四十八條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ手數料ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且消印ヲ爲サヽルトキハ其ノ手數料ノ十倍ノ金額ヲ納ムヘシ
第百四十九條　印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料ニ付テハ其ノ

第六條ノ二　左ニ掲ク申立、申出又ハ申請ニシテ訴訟物ノ價額又ハ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ二十錢ノ印紙ヲ、二十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ四十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ

一　期日指定ノ申立

二　申斷又ハ申止シタル訴訟手續ノ受繼ノ申立

民事訴訟法第六十四條ノ參加ノ申出

三　除斥又ハ忌避ノ申立

四　和解ノ申立

五　證人證確定ノ申立

六　證人證假執行ニ關スル申立

七　假執行ニ關スル申立

八　强制執行ノ停止若クハ續行又ハ執行處分ノ取消ノ申立

九　配當要求

十　强制競賣又ハ强制管理ノ申立

十一　債權又ハ他ノ財產權差押ノ申請

十二　民事訴訟法第七百三十二條乃至第七百三十四條ノ申立

第六條ノ二ノ規定ニ依ル異議ノ申立及ヒ同法第三十二條第一項ノ規定ニ依ル許可ノ申請

非訟事件ニ關スル申立又ハ申請ニシテ請求ノ價額ナキモノハ其請求ノ價額二十圓以下ノモノト看做ス

第十一條ノ規定ニ依リ勅裁ヲ得ヘキ事件ニ付テハ其訴訟物ノ價額百圓ト看做シ印紙ヲ貼用スヘシ

第十一條ノ規定ニ依リ勅裁ヲ得ヘキ事件ニ付テハ其訴訟物ノ價額ニ付テハ第二條ノ規定ニ從ヒ其半額ヲ貼用スヘシ

第五條　焼訴狀ニハ第二條ノ規定ニ從ヒ其半額ノ印紙ヲ加貼スヘシ

第十條ノ二、民事訴訟法第七十一條又ハ第七十五條ノ規定ニ依リ參加ノ申出書ニハ第二條、第三條及ヒ前條ノ規定ニ準シ印紙ヲ貼用スヘシ

本訴ト反訴ト其目的ノ同一ノ訴訟物ナルトキハ反訴ノ訴狀ニ印紙ヲ貼用スルヲ要セス

第四條　本訴ト反訴ト其目的ノ同一ノ訴訟物ナルトキハ其訴訟物ノ價額ニ付テハ第二條ノ規定ニ從ヒ其訴訟物ノ價額ニ依リ印紙ヲ貼用スヘシ

第三條　財產權上ノ請求ニ非サル訴訟ニ付テハ其訴訟物ノ價額百圓ト看做シ印紙ヲ貼用スヘシ

財產權上ノ請求ニ非サル訴訟ト其訴訟ニ由テ生スル財產權上ノ訴訟トヲ併合スルトキハ其多額ナル一方ノ訴訟物ノ價額ニ依リ印紙ヲ貼用スヘシ

訴訟物ノ價額ヲ算定スルニハ民事訴訟法第二十二條第一項及ヒ第二十三條ノ規定ニ從フ

同	五千圓以上ハ千圓ニ達スル每ニ三圓ヲ加フ
同	三千圓マテ　三十圓
同	二千五百圓マテ
同	五千圓マテ
同	七十五圓マテ
同	百圓マテ
同	百五十圓マテ
同	二百五十圓マテ
同	三百五十圓マテ
同	五百圓マテ
同	七百五十圓マテ
同	千圓マテ
同	千五百圓マテ
同	二千圓マテ
同	二千五百圓マテ
同	三千圓マテ
同	四千圓マテ
同	五千圓マテ
同	六千圓マテ
同	七千圓マテ
同	八千圓マテ
同	九千圓マテ
同	一萬圓マテ
同	一萬五千圓マテ
同	二萬圓マテ
同	二萬五千圓マテ
同	三萬圓マテ
同	四萬圓マテ
同	五萬圓マテ
同	六萬圓マテ
同	七萬圓マテ
同	八萬圓マテ
同	九萬圓マテ
同	十萬圓マテ
同	十萬圓ヲ超ユル每ニ五千圓ヲ加フ

訴訟物ノ價額ヲ算定スルニハ民事訴訟法第二十二條第一項及ヒ第二十三條ノ規定ニ從フ

第三條　財產權上ノ請求ニ非サル訴訟ニ付テハ其訴訟物ノ價額百圓ト看做シ印紙ヲ貼用スヘシ

財產權上ノ請求ニ非サル訴訟ト其訴訟ニ由テ生スル財產權上ノ訴訟トヲ併合スルトキハ其多額ナル一方ノ訴訟物ノ價額ニ依リ印紙ヲ貼用スヘシ

第四條　本訴ト反訴ト其目的ノ同一ノ訴訟物ナルトキハ反訴ノ訴狀ニ印紙ヲ貼用スルヲ要セス

第五條　焼訴狀ニハ第二條ノ規定ニ從ヒ其半額ノ印紙ヲ加貼スヘシ

第十條ノ二、民事訴訟法第七十一條又ハ第七十五條ノ規定ニ依リ參加ノ申出書ニハ第二條、第三條及ヒ前條ノ規定ニ準シ印紙ヲ貼用スヘシ

同	千圓マテ　二十五錢
同	二千圓マテ　四十錢
同	五千圓マテ　八十錢
同	七十五圓マテ　一圓八十錢
同	百圓マテ　二圓五十錢
同	二百五十圓マテ　三圓五十錢
同	五百圓マテ　七圓
同	七百五十圓マテ　十二圓
同	千圓マテ　十五圓
同	二千五百圓マテ　二十五圓
同	五千圓マテ　三十圓

訴訟物ノ價額ヲ算定スルニハ民事訴訟法第二十二條第一項及ヒ第二十三條ノ規定ニ從フ

第三條　財產權上ノ請求ニ非サル訴訟ニ付テハ其訴訟物ノ價額百圓ト看做シ印紙ヲ貼用スヘシ

財產權上ノ請求ニ非サル訴訟ト其訴訟ニ由テ生スル財產權上ノ訴訟トヲ併合スルトキハ其多額ナル一方ノ訴訟物ノ價額ニ依リ印紙ヲ貼用スヘシ

第四條　本訴ト反訴ト其目的ノ同一ノ訴訟物ナルトキハ反訴ノ訴狀ニ印紙ヲ貼用スルヲ要セス

第五條　焼訴狀ニハ第二條ノ規定ニ從ヒ其半額ノ印紙ヲ加貼スヘシ

第十條ノ二、民事訴訟法第七十一條又ハ第七十五條ノ規定ニ依リ參加ノ申出書ニハ第二條、第三條及ヒ前條ノ規定ニ準シ印紙ヲ貼用スヘシ

第六條　支拂命令ノ申立ニシテ訴訟物ノ價額十圓以下ナル場合ニ於テハ二十錢ノ印紙ヲ、十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ第二條ニ依リ第一審ノ訴狀ニ貼用スヘキ印紙金額ノ半額ノ印紙ヲ貼用スヘシ

同	二百圓マテ　四十錢
同	三百圓マテ　六十錢
同	四百圓マテ　八十錢
同	五百圓マテ　一圓
同	六百圓マテ　一圓二十錢
同	七百圓マテ　一圓四十錢
同	八百圓マテ　一圓六十錢
同	九百圓マテ　一圓八十錢
同	千圓マテ　二圓
同	千百圓マテ　二圓二十錢
同	千二百圓マテ　二圓四十錢
同	千三百圓マテ　二圓六十錢
同	千四百圓マテ　二圓八十錢
同	千五百圓マテ　三圓
同	千六百圓マテ　三圓二十錢
同	千七百圓マテ　三圓四十錢
同	千八百圓マテ　三圓六十錢
同	千九百圓マテ　三圓八十錢
同	二千圓マテ　四圓
同	二千百圓マテ　四圓二十錢
同	二千二百圓マテ　四圓四十錢
同	二千三百圓マテ　四圓六十錢
同	二千四百圓マテ　四圓八十錢
同	二千五百圓マテ　五圓
同	二千六百圓マテ　五圓二十錢
同	二千七百圓マテ　五圓四十錢
同	二千八百圓マテ　五圓六十錢
同	二千九百圓マテ　五圓八十錢
同	三千圓マテ　六圓
同	三千百圓マテ　六圓二十錢
同	三千二百圓マテ　六圓四十錢
同	三千三百圓マテ　六圓六十錢
同	三千四百圓マテ　六圓八十錢
同	三千五百圓マテ　七圓
同	三千六百圓マテ　七圓二十錢
同	三千七百圓マテ　七圓四十錢
同	三千八百圓マテ　七圓六十錢
同	三千九百圓マテ　七圓八十錢
同	四千圓マテ　八圓
同	四千百圓マテ　八圓二十錢
同	四千二百圓マテ　八圓四十錢
同	四千三百圓マテ　八圓六十錢
同	四千四百圓マテ　八圓八十錢
同	四千五百圓マテ　九圓
同	四千六百圓マテ　九圓二十錢
同	四千七百圓マテ　九圓四十錢
同	四千八百圓マテ　九圓六十錢
同	四千九百圓マテ　九圓八十錢
同	五千圓マテ　十圓
同	五千圓ヲ超ユル每ニ千圓ヲ加フ

第七條　和解及ヒ督促手續ニ付キ民事訴訟法第三百五十六條、第四百四十二條ノ規定ニ依リ訴訟力發屬スルトキハ第二條及ヒ第三條ノ規定ニ從ヒ印紙ヲ貼用スヘシ

但第六條又ハ第十條ノ規定ニ依リ貼用シタル印紙ノ額ヲ通算ス

第八條　再審ヲ求ムルノ訴狀ニハ其訴ヲ提ス可キ裁判所ノ審級ニ依リ相當ノ印紙ヲ貼用スヘシ

第九條　削除

第十條　答辯書其他前數條ニ揭ケサル申立、申出又ハ申請ニシテ訴訟物ノ價額又ハ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ二十錢ノ印紙ヲ、二十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ一圓ノ印紙ヲ貼用スヘシ

同	千圓マテ　二十錢
同	二千圓マテ　四十錢
同	三千圓マテ　六十錢
同	四千圓マテ　八十錢
同	五千圓マテ　一圓
同	六千圓マテ　一圓二十錢
同	七千圓マテ　一圓四十錢
同	八千圓マテ　一圓六十錢
同	九千圓マテ　一圓八十錢
同	一萬圓マテ　二圓
同	一萬五千圓マテ　二圓五十錢
同	二萬圓マテ　三圓
同	二萬五千圓マテ　三圓五十錢
同	三萬圓マテ　四圓
同	四萬圓マテ　四圓五十錢
同	五萬圓マテ　五圓
同	六萬圓マテ　五圓五十錢
同	七萬圓マテ　六圓
同	八萬圓マテ　六圓五十錢
同	九萬圓マテ　七圓
同	十萬圓マテ　七圓五十錢
同	十萬圓ヲ超ユル每ニ五萬圓ヲ加フ

第十一條　民事訴訟法第百二十條第一號ノ場合ノ外此法律ニ從ヒ印紙ヲ貼用セサル民事訴訟ノ價額ハ其效力若クハ關係ノ種類ニ依リ左ノ印紙ヲ貼用スヘシ

一　財產權上ノ請求ニ係ル訴訟ニシテ其訴訟物ノ價額ヲ算定シ難キモノ	二十圓ノ印紙
二　財產權上ノ請求ニ係ル訴訟ニシテ其訴訟物ノ價額ヲ算定シ難キモノ	四十圓ノ印紙
三　財產權上ノ請求ニ非サル訴訟	二十圓ノ印紙
四　抵當證券法ニ依ル異議ノ申立及ヒ同法第三十二條第一項ノ規定ニ依ル許可ノ申請	二十圓ノ印紙
五　競賣法ニ依ル競賣ノ申立	二十圓ノ印紙
六　競賣法ニ依ル競賣ノ申立	二十圓ノ印紙
七　不動產登記ニ關スル抗告	二十圓ノ印紙
八　裁判上代位ノ申請	二十圓ノ印紙
九　前各號ニ揭ケサル民事訴訟ニ關スル申立、申出又ハ申請	二十圓ノ印紙

第十二條乃至第十五條　削除

第十六條　非訟事件ニ關スル申立又ハ申請ニシテ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ二十錢ノ印紙ヲ、二十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ一圓ノ印紙ヲ貼用スヘシ但第六條ノ三ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用ス

左ニ揭ケル申立又ハ申請ニシテ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ五十錢ノ印紙ヲ、二十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ一圓ノ印紙ヲ貼用スヘシ

一　裁判上代位ノ申請

二　競賣法ニ依ル競賣ノ申立

三　競賣法ニ依ル競賣ノ申立

四　抵當證券法ニ依ル異議ノ申立及ヒ同法第三十二條第一項ノ規定ニ依ル許可ノ申請

非訟事件ニ關スル申立又ハ申請ニシテ請求ノ價額ナキモノハ其請求ノ價額二十圓以下ノモノト看做ス

第十一條ノ規定ニ依リ勅裁ヲ得ヘキ事件ニ付テハ其訴訟物ノ價額百圓ト看做シ印紙ヲ貼用スヘシ

附　則（大正十五年四月法律第六十四號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年五月勅令第百五號ヲ以テ昭和四年十月一日ヨリ施行）

附　則（昭和六年三月法律第十八號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和六年七月勅令第百八十九號ヲ以テ同年八月一日ヨリ施行）

●民事爭訟調停ニ關スル件

明治四十三年十二月　制令第十一號

（改正　明治四五年三月一〇號）

民事爭訟調停ニ關スル件明治四十三年勅令第三百二十四號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

民事爭訟調停ニ關スル件

第一條　警察署長又ハ其ノ職務ヲ取扱フ者ハ當事者ノ申請ニ因リ其ノ管轄區域內ニ於ケル左ニ揭ケタル民事爭訟ニ付調停ヲ爲スコトヲ得但シ地方裁判所又ハ其ノ支廳所在地ノ警察署長又ハ其ノ職務ヲ取扱フ者ハ此ノ限ニ在ラス

一　二百圓ヲ超過セサル金額又ハ價額ニ百圓ヲ超過セサル物ニ關スル爭訟

二　價額ニ拘ハラス左ノ爭訟

（イ）賃貸人ト賃借人トノ間ニ住家其ノ他ノ建物又ハ其ノ或部分ノ受取、明渡、使用、占據若ハ修繕ニ關シ又ハ賃借人ノ家具若ハ所持品ヲ賃貸人ノ差押ヘタルコトニ關シ起リタル爭訟

（ロ）不動產ノ疆界ノミニ關スル爭訟

（ハ）占有ノミニ關スル爭訟

（ニ）履主ト履人トノ間ニ履期限一年以下ノ契約ニ關シ起リタル爭訟

（ホ）左ノ事項ニ付旅人ト旅店若ハ飲食店ノ主人トノ間ニ又ハ旅人ト水陸運送人トノ間ニ起リタル爭訟

（一）賄料、宿料又ハ旅人若ハ手荷物ノ運送料

（二）旅人ヨリ旅店若ハ飲食店ノ主人又ハ運送人ニ保護ノ爲預ケタル手荷物、金錢又ハ有價物

第二條　民事爭訟ノ調停成立シタルトキハ警察署長又ハ其ノ職務ヲ取扱フ者ハ調書ヲ以テ爭訟ノ事實及調停ノ始末ヲ明確ナラシムヘシ

調停ノ成立シタル爭訟ト同一ノ事件ニ付テハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第三條　地方裁判所又ハ其ノ管轄區域內ニ於ケル爭訟調停事務ヲ監視シ其ノ書類ヲ檢閱シ注意ヲ與フルコトヲ得

第四條　爭訟調停事務ノ取扱、其ノ費用、執行手續其ノ他必要ナル規定ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●民事爭訟調停事務取扱規則

明治四十三年十二月　總令第六十七號

改正　大正三年六月第九〇號、一一年三第七號

民事爭訟調停事務取扱規則左ノ通定ム

第一條　民事爭訟調停ノ申請ハ相手方ノ居住地ヲ管轄スル當該官署ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ不動產ニ關スル爭訟ニ付テハ其ノ所在地ヲ管轄スル官署ニ之ヲ爲スヘシ

第二條　前條ノ申請ヲ受ケタル官署ハ期日ヲ定メ當事者ヲ呼出スヘシ

相手方ノ管轄區域內ニ轉居シタルトキハ事件ヲ其ノ管轄官署ニ移送スルコトヲ得

第三條　當事者ハ代人ヲ用ヰルコトヲ得但シ調停官吏ノ許可ヲ受ケ親族又ハ雇人ヲ以テ代理セシムルハ此ノ限ニ在ラス

第四條　申請人正當ノ事由ナク指定ノ期日ニ出頭セサルトキハ申請ヲ取下ケタルモノト看做ス

被申請人期日ニ出頭セサルトキハ更ニ期日ヲ定メ當事者ヲ呼出スヘシ被申請人仍出頭セサルトキハ調停成立セサルモノト看做スコトヲ得

第五條　民事爭訟調停ノ調書ニハ左ノ諸件ヲ揭クヘシ

一　當事者及代人ノ氏名、年齡、身分、職業及住所

二　請求及答辯ノ要旨

三　調停ノ成立事項及履行ノ時期

第六條　調停調書ノ成立事項及履行ノ時期每葉ニ契印シ當事者又ハ代人ヲシテ署名捺印セシメ調停官吏署名捺印シ且職印ヲ押捺スヘシ

通譯ヲ用ヰタルトキハ其ノ旨及通譯者ノ氏名ヲ記載スヘシ

第七條　當事者ハ調停調書ノ正本又ハ謄本ノ下付ヲ請求スルコトヲ得

第八條　調停ノ費用ハ執行ニ關スルモノヲ除クノ外當事者各自其ノ支出シタルモノヲ負擔ス

第九條　調停ノ執行ニ付テハ裁判所ニ於テ爲シタル和解ニ因ル强制執行ノ法規ヲ準用シ裁判所、裁判長又ハ裁判所書記ニ屬スル職務ハ調停官吏之ヲ行フ但シ特別ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十條　調停ノ執行ヲ爲スニハ債務者ノ一般ノ承繼人ニ對スル場合ヲ除クノ外調停調書ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第十一條　强制執行ニ關スル法規中斷ヲ以テ權利又ハ異議ヲ主張スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ通常ノ手續ニ從ヒ調停官吏所屬官署ノ所在地ヲ管轄スル裁判所ニ其ノ訴ヲ爲スコトヲ得

第十二條　第類ノ送達ニ付テハ民事訴訟ニ關スル規定ヲ準用ス

第十三條　執達吏ノ職務ヲ行フヘキ者ハ調停官吏又ハ調停ノ執行ノ囑託ヲ受ケタル官署ノ長其ノ所屬官署ノ吏員中ニ就キ之ヲ命ス

第十四條　調停ノ執行ニ付テハ各當該官署間ニ於テ之ヲ爲シ又ハ地方法院若ハ其ノ支廳所在地ノ管察官署又ハ其ノ事務ヲ取扱フ官署ニ囑託ヲ爲スコトヲ得

第十五條　左ニ記載シタル事項ニ付テハ民事訴訟ニ關スル規定ヲ準用ス但シ民事爭訟調停ノ申請ハ之ヲ和解ノ申立ト看做ス

一　民事爭訟調停申請ノ手數料

二　付申請ノ手數料

三　執行交付與申請ノ手數料

四　執行費用ノ豫納、負擔及徵收方

第十六條　地方法院又ハ其ノ支廳所在地ノ警察官署ニ於テハ調停ノ執行竝調停調書ノ正本及謄本ノ下付ニ關シテハ當該警察署長ヲシテ調停官吏ノ職務ヲ行ハシムヘシ

第十七條　削除

第十八條　調停官署ニ在リテハ左記ノ書類、簿冊ヲ備ヘ調停官署ニシテ調停ノ執行ノ囑託ヲ受ケタルモノニ在リテハ第四號及第六號ノ書類ヲ簿冊ヲ備フヘシ

一　民事爭訟調停ノ申請書ニ附記スヘキ事項ヲ記載シ其ノ順序ニ從ヒ通番號ヲ附シ民事爭訟調停案帳（樣式）ニ記入スヘシ

前項ノ申請書ニシテ受理スヘカラサルモノト思料シタルトキハ案帳備考欄ニ其ノ旨ヲ記入シ之ヲ却下スヘシ

第二條　前條ノ申請ヲ受理シタルトキハ三日內ニ期日ヲ定メ當事者ニ對シ呼出ノ手續ヲ爲スヘシ（樣式）但シ出頭シタル當事者ニ對シテハ口頭ヲ以テ期日ヲ告知シ請書ヲ徵スルコトヲ得

第三條　被申請人他ノ管轄區域內ニ轉居シタル爲事件ヲ移送スル場合ニ於テハ申請人ニ其ノ旨ヲ通知シ案帳ニ備考欄其ノ處分ヲ記入スヘシ

第四條　書類送達ニ付必要ナル費用ハ申請人ニシテシテ之ヲ豫納セシムヘシ

第五條　調停官吏ハ調停ノ成立不成立ニ拘ハラス民事爭訟調停案帳（樣式）ノ各欄ニ記入ヲ爲シ調停官吏之ヲ行フ但シ特別ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十條　調停ノ執行ヲ爲スニハ債務者ノ一般ノ承繼人ニ對スル場合ヲ除クノ外調停調書ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第十一條　强制執行ニ關スル法規中斷ヲ以テ權利又ハ異議ヲ主張スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ通常ノ手續ニ從ヒ調停官吏所屬官署ノ所在地ヲ管轄スル裁判所ニ其ノ訴ヲ爲スコトヲ得

第十二條　第類ノ送達ニ付テハ民事訴訟ニ關スル規定ヲ準用ス

第十三條　執達吏ノ職務ヲ行フヘキ者ハ調停官吏又ハ調停ノ執行ノ囑託ヲ受ケタル官署ノ長其ノ所屬官署ノ吏員中ニ就キ之ヲ命ス

第十四條　調停ノ執行ニ付テハ各當該官署間ニ於テ之ヲ爲シ又ハ地方法院若ハ其ノ支廳所在地ノ管察官署又ハ其ノ事務ヲ取扱フ官署ニ囑託ヲ爲スコトヲ得

第十五條　左ニ記載シタル事項ニ付テハ民事訴訟ニ關スル規定ヲ準用ス但シ民事爭訟調停ノ申請ハ之ヲ和解ノ申立ト看做ス

一　民事爭訟調停申請ノ手數料

二　付申請ノ手數料

三　執行交付與申請ノ手數料

四　執行費用ノ豫納、負擔及徵收方

第十六條　地方法院又ハ其ノ支廳所在地ノ警察官署ニ於テハ調停ノ執行竝調停調書ノ正本及謄本ノ下付ニ關シテハ當該警察署長ヲシテ調停官吏ノ職務ヲ行ハシムヘシ

第十七條　削除

第十八條　調停官署ニ在リテハ左記ノ書類、簿冊ヲ備ヘ調停官署ニシテ調停ノ執行ノ囑託ヲ受ケタルモノニ在リテハ第四號及第六號ノ書類ヲ簿冊ヲ備フヘシ

一　民事爭訟調停ノ申請書ニ附記スヘキ事項ヲ記載シ其ノ順序ニ從ヒ通番號ヲ附シ民事爭訟調停案帳（樣式）ニ記入スヘシ

前項ノ申請書ニシテ受理スヘカラサルモノト思料シタルトキハ案帳備考欄ニ其ノ旨ヲ記入シ之ヲ却下スヘシ

第二條　前條ノ申請ヲ受理シタルトキハ三日內ニ期日ヲ定メ當事者ニ對シ呼出ノ手續ヲ爲スヘシ（樣式）但シ出頭シタル當事者ニ對シテハ口頭ヲ以テ期日ヲ告知シ請書ヲ徵スルコトヲ得

第三條　被申請人他ノ管轄區域內ニ轉居シタル爲事件ヲ移送スル場合ニ於テハ申請人ニ其ノ旨ヲ通知シ案帳ニ備考欄其ノ處分ヲ記入スヘシ

第四條　書類送達ニ付必要ナル費用ハ申請人ニシテシテ之ヲ豫納セシムヘシ

第五條　調停官吏ハ調停ノ成立不成立ニ拘ハラス民事爭訟調停案帳（樣式）ノ各欄ニ記入ヲ爲シ調停官吏之ヲ行フ但シ特別ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十條　調停ノ執行ヲ爲スニハ債務者ノ一般ノ承繼人ニ對スル場合ヲ除クノ外調停調書ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第十一條　强制執行ニ關スル法規中斷ヲ以テ權利又ハ異議ヲ主張スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ通常ノ手續ニ從ヒ調停官吏所屬官署ノ所在地ヲ管轄スル裁判所ニ其ノ訴ヲ爲スコトヲ得

第十二條　第類ノ送達ニ付テハ民事訴訟ニ關スル規定ヲ準用ス

第十三條　執達吏ノ職務ヲ行フヘキ者ハ調停官吏又ハ調停ノ執行ノ囑託ヲ受ケタル官署ノ長其ノ所屬官署ノ吏員中ニ就キ之ヲ命ス

第十四條　調停ノ執行ニ付テハ各當該官署間ニ於テ之ヲ爲シ又ハ地方法院若ハ其ノ支廳所在地ノ管察官署又ハ其ノ事務ヲ取扱フ官署ニ囑託ヲ爲スコトヲ得

第十五條　左ニ記載シタル事項ニ付テハ民事訴訟ニ關スル規定ヲ準用ス但シ民事爭訟調停ノ申請ハ之ヲ和解ノ申立ト看做ス

一　民事爭訟調停申請ノ手數料

二　付申請ノ手數料

三　執行交付與申請ノ手數料

四　執行費用ノ豫納、負擔及徵收方

第十六條　地方法院又ハ其ノ支廳所在地ノ警察官署ニ於テハ調停ノ執行竝調停調書ノ正本及謄本ノ下付ニ關シテハ當該警察署長ヲシテ調停官吏ノ職務ヲ行ハシムヘシ

第十七條　削除

第十八條　調停官署ニ在リテハ左記ノ書類、簿冊ヲ備ヘ調停官署ニシテ調停ノ執行ノ囑託ヲ受ケタルモノニ在リテハ第四號及第六號ノ書類ヲ簿冊ヲ備フヘシ

一　民事爭訟調停ノ申請書ニ附記スヘキ事項ヲ記載シ其ノ順序ニ從ヒ通番號ヲ附シ民事爭訟調停案帳（樣式）ニ記入スヘシ

第一號樣式　削除

第二號樣式（用紙ハ半紙判審號ハ通行番號）

明治　年調第　號

呼出	申請人 被申請人 ニ關スル民事爭訟調停事件ニ付明治　年　月　日午　時當警察署ニ出頭可有之候也

明治　年　月　日

何警察署長
朝鮮總督府警視（部）氏　名　印

殿

出頭ノ際ハ此呼出ヲ持參スヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第三號樣式（用紙ハ美濃判）

立成停調	旨趣	要	年　月　日	申執	明治　年　月　日
				酌行	
	結果	旨要	年　月　日	執行	明治　年　月　日
	立不調成停	旨要	明治　年　月　日		

口擦作事	名	住所氏名	常事弟	申　酌　人	被

番通發行	第　號	年接月日受	明治　年　月　日	主任官

考	
履行時期	

民事爭訟調停準用

其面ハ表面ニ同シ

第四號樣式（用紙ハ半紙判）

調停調書

住所	
身分	
職業	
申調人	氏名
年齢	
住所	
身分	
職業	
右代人	氏名
年齢	
住所	
身分	
職業	

第五號樣式（用紙ハ美濃判）

第　號	第　號	第　號	第　號	第　號

本件ハ通譯生宋ヲシテ通譯セシメタリ（通譯ヲ介シタルトキ）	
申調人ノ調求要旨、被申調人ノ答辯要旨、調停成立ノ條項及履行時期等ヲ分チ記ス）	
午　時　何書記ノ面前ニ於テ前記本件ハ當事者ノ合意ニ依リ調停成立シタリ	
右當事者出頭	本件ニ付明治　年　月　日
何書記	署名
右代人	氏名
年齢	
住所	身分　職業
年齢	被申調人　氏名

通譯人	署名捺印
何書記掛	署名捺印
申調人（代人）	署名捺印
被申調人（代人）	署名捺印
何書記掛	
立印	明治　年　月　日　於何裁判所

第六號樣式（用紙ハ美濃判）

第　號	第　號	第　號	第　號	第　號

番通發行	第　號	明治　年　月　日	主任官
	第　號	年接月日受	

立成停調	旨趣	要	年　月　日	申執	明治　年　月　日
				酌行	
	結果	旨要	年　月　日	執行	明治　年　月　日
	立不調成停	旨要	明治　年　月　日		

口擦作事	名	住所氏名	常事弟	申　酌　人	被

考	
履行時期	

民事爭訟調停準用

其面ハ表面ニ同シ

豫期收入	元金
	利息
	損害金
受取人	氏名
名印	

番通	番號	明治　年　月　日	發行
第　號		年接月日受	主任官
名所人			

元金	金　圓	利息	金　圓	損害金	金　圓
豫期收入	金　圓	殘額	金　圓	備考	

●朝鮮土地調查令

制令第七號
大正八年二月廿六日

第一條　朝鮮ニ於テ土地ノ調查及地籍ニ關スル事項ハ本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ行フ

第二條　土地ノ調查ハ土地ノ所有權、地上權、質權及永小作權ニ付之ヲ行フ

第三條　土地ノ調查ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督ニ於テ之ヲ定ム

第四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ立入リ又ハ障害物ヲ除去スルコトヲ得

第五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ標識ヲ設ケ又ハ測量ノ爲樹木ヲ伐採スルコトヲ得

第六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第二十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第二十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第二十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第二十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第二十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第二十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第二十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第二十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第二十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第二十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第三十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第三十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第三十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第三十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第三十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第三十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第三十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第三十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第三十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第三十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第四十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第四十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第四十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第四十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第四十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第四十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第四十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第四十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第四十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第四十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第五十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第五十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第五十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第五十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第五十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第五十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第五十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第五十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第五十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第五十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第六十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第六十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第六十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第六十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第六十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第六十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第六十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第六十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第六十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第六十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第七十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第七十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第七十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第七十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第七十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第七十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第七十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第七十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第七十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第七十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第八十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第八十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第八十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第八十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第八十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第八十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第八十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第八十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第八十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第八十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第九十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第九十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第九十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第九十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第九十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第九十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第九十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第九十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第九十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第九十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百二十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百二十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百二十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百二十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百二十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百二十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百二十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百二十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百二十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百二十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百三十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百三十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百三十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百三十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百三十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百三十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百三十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百三十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百三十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百三十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百四十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百四十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百四十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百四十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百四十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百四十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百四十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百四十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百四十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百四十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百五十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百五十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百五十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百五十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百五十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百五十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百五十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百五十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百五十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百五十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百六十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百六十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百六十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百六十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百六十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百六十五條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百六十六條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百六十七條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百六十八條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百六十九條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百七十條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百七十一條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百七十二條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百七十三條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物ヲ除去スルコトヲ得

第百七十四條　土地ノ調查ニ從事スル官吏ハ其ノ調查ニ必要ナル限度ニ於テ他人ノ土地ニ測量ノ爲障害物

機械、器具其ノ他工場ノ用ニ供スル物ニシテ前條ノ規定ニ依リ抵當權ノ目的タルモノノ目錄ヲ提出スヘシ

第二十二條第二項、第三十五條及第三十八條乃至第四十二條ノ規定ハ前項ノ目錄ニ之ヲ準用ス

第四條　第二條第一項但書ニ揭ケタル別段ノ定アルトキハ抵當權設定ノ登記ノ申請書ニ之ヲ記載スヘシ

第五條　抵當權ハ第二條ノ規定ニ依リテ其ノ目的タル物カ第三取得者ニ引渡サレタル後ト雖其ノ物ニ付之ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ハ民法第百九十二條乃至第百九十四條ノ適用ヲ妨ケス

第六條　工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ土地又ハ建物ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ヲ土地又ハ建物ト分離シタルトキハ抵當權ハ其ノ物ニ付消滅ス

工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ土地又ハ建物ニ備附ケタル機械、器具其ノ他ノ物ノ備附ヲ止メタルトキハ抵當權ハ其ノ物ニ付消滅ス

工場ノ所有者カ抵當權者ノ爲差押、假差押又ハ假處分アル前ニ於テ正當ナル事由ニ因リ前二項ノ同意ヲ求メタルトキハ抵當權者ハ其ノ同意ヲ拒ムコトヲ得ス

第七條　抵當權ノ目的タル土地又ハ建物ノ差押、假差押又ハ假處分ハ第二條ノ規定ニ依リテ抵當權ノ目的タル物ニ及フ

第二條ノ規定ニ依リテ抵當權ノ目的タル物ハ土地又ハ建物ト共ニスルニ非サレハ差押、假差押又ハ假處分ノ目的トスコトヲ得ス

第八條　工場ノ所有者ハ抵當權ノ目的トス爲一箇又ハ數箇ノ工場ニ付工場財團ヲ設クルコトヲ得數箇ノ工場カ各別ノ所有者ニ屬スルトキ亦同シ

工場財團ニ屬スルモノハ同時ニ他ノ財團ニ屬スルコトヲ得ス

第九條　工場財團ノ設定ハ工場財團登記簿ニ所有權保存ノ登記ヲ爲スニ依リテ之ヲ爲ス

第十條　工場財團ノ所有權保存ノ登記ハ其ノ登記後二箇月內ニ抵當權設定ノ登記ヲ受ケサルトキハ其ノ效力ヲ失フ

第十一條　工場財團ハ左ニ揭クルモノノ全部又ハ一部ヲ以テ之ヲ組成スルコトヲ得

一　工場ニ屬スル土地及工作物

二　機械、器具、電柱、電線、配置諸管、軌條ノ他ノ附屬物

三　地上權

四　賃貸人ノ承諾アルトキハ物ノ賃借權

五　工業所有權

第十二條　工場ニ屬スル土地又ハ建物ニシテ未登記ノモノアルトキハ工場財團ヲ設クル前其ノ所有權保存ノ登記ヲ受クヘシ

第十三條　他人ノ權利ノ目的タルモノ又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルモノハ工場財團ニ屬セシムルコトヲ得ス

工場財團ニ屬スルモノハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權以外ノ權利、差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ賃貸ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　工場財團ハ之ヲ一箇ノ不動產ト看做ス

工場財團ハ所有權及抵當權以外ノ權利ノ目的タルコトヲ得但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ賃貸スルハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ工場財團ニ屬スルモノニ付消滅スル旨ノ定ヲ爲シタルトキハ抵當權ハ其ノモノニ付消滅ス

第六條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條　第二條、民法第三百七十一條、第三百十八條及第三百八十九條ノ規定ハ土地又ハ建物ヲ抵當權ノ目的タル工場財團ニ屬スル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條　工場財團ノ所有權保存ノ登記ハ其ノ登記後二箇月內ニ抵當權設定ノ登記ヲ受ケサルトキハ其ノ效力ヲ失フ

第十一條　工場財團ハ左ニ揭クルモノノ全部又ハ一部ヲ以テ之ヲ組成スルコトヲ得

一　工場ニ屬スル土地及工作物

二　機械、器具、電柱、電線、配置諸管、軌條ノ他ノ附屬物

三　地上權

四　賃貸人ノ承諾アルトキハ物ノ賃借權

五　工業所有權

第十二條　工場ニ屬スル土地又ハ建物ニシテ未登記ノモノアルトキハ工場財團ヲ設クル前其ノ所有權保存ノ登記ヲ受クヘシ

第十三條　他人ノ權利ノ目的タルモノ又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルモノハ工場財團ニ屬セシムルコトヲ得ス

工場財團ニ屬スルモノハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權以外ノ權利、差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ賃貸ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　工場財團ハ之ヲ一箇ノ不動產ト看做ス

工場財團ハ所有權及抵當權以外ノ權利ノ目的タルコトヲ得但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ賃貸スルハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ工場財團ニ屬スルモノニ付消滅スル旨ノ定ヲ爲シタルトキハ抵當權ハ其ノモノニ付消滅ス

第六條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條　第二條、民法第三百七十一條、第三百十八條及第三百八十九條ノ規定ハ土地又ハ建物ヲ抵當權ノ目的タル工場財團ニ屬スル場合ニ之ヲ準用ス

民法第二百八十一條ノ規定ハ要役地カ抵當權ノ消滅ニ因リテ消滅スル場合ニ之ヲ準用ス

民法第三百九十八條ノ規定ハ地上權カ抵當權ノ目的タル工場財團ニ屬スル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條　工場財團ノ登記ニ付テハ工場所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

不動產登記法第八條第二項ノ規定ハ工場カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カリ又ハ工場財團ヲ組成スル數箇ノ工場カ數箇ノ登記所ノ管轄地內ニ在ル場合ニ之ヲ準用ス

第十八條　各登記所ニ工場財團登記簿ヲ備フ

第十九條　工場財團登記簿ハ一箇ノ工場財團ニ付一用紙ヲ備フ

第二十條　工場財團登記簿ハ其ノ一用紙ヲ登記番號欄、表題部及甲乙二區ニ分チ表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ケ各財團ニ付登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ工場財團ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第二十一條　登記ノ申請書ニハ不動產登記法第三十六條第三號乃至第八號ニ揭ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　工場ノ名稱及位置

二　主タル營業所

三　營業ノ種類

第二十二條　工場財團ニ付所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ不動產登記法第三十五條第一項ニ揭ケタル書面ノ外工場財團目錄ヲ提出スヘシ

前項ノ目錄ニハ工場財團ヲ組成スルモノノ表示ヲ揭ケ申請人ノ二署名、捺印スヘシ

第二十三條　所有權保存ノ登記ノ申請ヲ爲シタルトキハ其ノ財團ニ屬スヘキモノニシテ登記アルモノニ付テハ登記官吏ハ職權ヲ以テ其ノ登記用紙中相當區事項欄ニ工場財團ニ屬スヘキモノトシテ其ノ財團ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

前項ニ揭ケタルモノカ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ前項ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ヲ遲滯ナク管轄登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ第一項ノ手續ヲ爲シ其ノ登記用紙中相當區事項欄ニ工場財團ニ屬スヘキ場合ニ之ヲ準用ス但シ通知ハ之ヲ特許局ニ爲スヘシ

第二十四條　前條ノ場合ニ於テ登記官吏ハ官報ヲ以テ工場財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ス但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ賃貸ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ公告ハ所有權保存ノ登記ノ申請カ期間ノ滿了前ニ却下セラレタルトキ、遲滯ナク之ヲ取消スヘシ

第二十五條　前條第一項ノ期間內ニ權利ノ申出ナキトキハ其ノ權利ハ存在セサルモノト看做シ差押、假差押又ハ假處分ハ其ノ效力ヲ失フ但シ所有權保存ノ登記ノ申請カ却下セラレタルトキ又ハ其ノ登記カ效力ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　第二十四條第一項ノ期間內ニ權利ノ申出アリタルトキハ其ノ權利ノ存否ニ付テハ當事者間ニ協議調ハサルトキハ訴ヲ以テ之ヲ決定スヘシ

前項ノ訴ハ第一項ノ期間內ニ權利ノ申出アリタルトキハ工場財團ニ屬スヘキモノニシテ登記アルモノニ付テハ登記官吏ハ職權ヲ以テ其ノ登記用紙中相當區事項欄ニ工場財團ニ屬スヘキモノトシテ其ノ財團ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

前項ニ揭ケタルモノカ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ前項ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ヲ遲滯ナク管轄登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ第一項ノ手續ヲ爲シ其ノ登記用紙中相當區事項欄ニ工場財團ニ屬スヘキ場合ニ之ヲ準用ス但シ通知ハ之ヲ特許局ニ爲スヘシ

第二十七條　第二十四條第一項ノ期間內ニ權利ノ申出アリタルトキハ其ノ權利ハ存在セサルモノト看做シ差押、假差押又ハ假處分ハ其ノ效力ヲ失フ但シ所有權保存ノ登記ノ申請カ却下セラレタルトキ又ハ其ノ登記カ效力ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條　第二十四條第一項ノ期間內ニ權利ノ申出アリタルトキハ其ノ權利ノ存否ニ付テハ當事者間ニ協議調ハサルトキハ訴ヲ以テ之ヲ決定スヘシ

前項ノ訴ハ第一項ノ期間內ニ權利ノ申出アリタルトキハ工場財團ニ屬スヘキモノニシテ登記アルモノニ付テハ登記官吏ハ職權ヲ以テ其ノ登記用紙中相當區事項欄ニ工場財團ニ屬スヘキモノトシテ其ノ財團ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

前項ニ揭ケタルモノカ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ前項ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ヲ遲滯ナク管轄登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ第一項ノ手續ヲ爲シ其ノ登記用紙中相當區事項欄ニ工場財團ニ屬スヘキ場合ニ之ヲ準用ス但シ通知ハ之ヲ特許局ニ爲スヘシ

第二十九條　工場財團ニ屬スヘキモノニシテ登記又ハ登錄アルモノハ第二十三條ノ記載アリタル後ニ非サレハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第三十條　第二十三條ノ記載アリタル後競賣申立ノ登記アリタル場合ニ於テハ所有權保存ノ登記ノ申請カ却下セラレサル間及其ノ登記カ效力ヲ失ハサル間ハ競落ヲ許ス決定ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條　第二十三條ノ記載アリタル後ニ爲シタル差押、假差押若ハ假處分ノ登記又ハ第二十條ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニ關スル權利ノ得喪及變更ハ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十二條　前條ノ場合ニ於テ登記官吏カ職權ヲ以テ登記スヘキ事項ヲ登記シタルトキハ其ノ登記ハ登記ノ時ヨリ效力ヲ生ス

第三十三條　前條ノ場合ニ於テ登記官吏カ職權ヲ以テ登記スヘキ事項ヲ登記セサルトキハ其ノ登記ハ登記ノ時ヨリ效力ヲ生ス

第三十四條　第二十三條ノ記載アリタル後ニ爲シタル差押、假差押若ハ假處分ノ登記又ハ第二十條ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニ關スル權利ノ得喪及變更ハ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十五條　所有權保存ノ登記ノ申請ハ不動產登記法第四十九條ニ揭ケタル場合ノ外左ノ場合ニ於テ之ヲ却下スヘシ

一　登記簿若ハ其ノ謄本又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ニ依リ工場財團ニ屬スヘキモノカ他人ノ權利ノ目的タルコトヲ記載ヲ拂消スヘシ

二　工場財團目錄ニ揭ケタルモノノ表示カ登記簿若ハ其ノ謄本又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ト牴觸スルトキ

三　工場財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者カ其ノ權利ヲ申出テタル場合ニ於テ過クトモ第二十四條第一項ノ期間滿了後一週間內ニ其ノ申出ノ取消アラサルトキ又ハ其ノ申出ノ理由ナキコトノ證明アラサルトキ

第三十六條　登記官吏カ所有權保存ノ登記ノ申請ヲ却下シタルトキハ第二十三條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ拂消スヘシ

他ノ登記所又ハ特許局ニ所有權保存ノ登記ノ申請アルタル旨ヲ通知シタル場合ニ於テハ其ノ申請ヲ却下シタル旨ヲ遲滯ナク通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所又ハ特許局ハ第二十三條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

第三十七條　工場財團ニ屬スヘキモノニシテ登記又ハ登錄アルモノハ第二十三條ノ記載アリタル後ニ非サレハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第三十八條　第二十三條ノ記載アリタル後ニ爲シタル差押、假差押若ハ假處分ノ登記又ハ第二十條ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニ關スル權利ノ得喪及變更ハ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十九條　工場財團ニ屬スヘキモノニシテ登記又ハ登錄アルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタル後ニ爲シタル差押、假差押若ハ假處分ノ登記又ハ第二十條ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニ關スル權利ノ得喪及變更ハ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所又ハ特許局ハ第二十三條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

第四十條　工場財團ニ屬スルモノニ變更ヲ生シタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ目錄中其ノモノノ表示ノ側ニ其ノモノノ變更ヲ生シタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第四十一條　新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ目錄ノ末尾ニ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第四十二條　工場財團ニ屬シタルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ目錄中其ノモノノ表示ノ側ニ其ノモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載シ其ノモノノ表示ヲ朱抹スヘシ

第四十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條　工場財團ニ屬シタルモノニシテ登記アルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請カ却下セラレサル間及其ノ登記カ效力ヲ失ハサル間ハ競落ヲ許ス決定ヲ爲スコトヲ得ス

第四十五條　工場財團目錄ニ揭ケタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ所有者又ハ利害關係人ハ其ノ變更ノ登記ヲ申請スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ抵當權者ノ同意書又ハ之ニ代ルヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第四十六條　工場財團ニ屬スルモノニ變更ヲ生シ又ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ヲ申請スルトキハ變更シタルモノ又ハ新ニ屬シタルモノノ表示ヲ揭ケタル目錄ヲ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依リ提出シタル目錄ハ工場財團目錄ニ綴綴シ登記官吏其ノ綴目ニ契印スヘシ

第四十七條　工場財團ニ屬スルモノニ變更ヲ生シタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ目錄中其ノモノノ表示ノ側ニ其ノモノノ變更ヲ生シタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第四十八條　工場財團ニ屬スルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ目錄中其ノモノノ表示ヲ朱抹スヘシ

第四十九條　工場ノ所有者又ハ法律ニ依リ之ニ代リテ一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スル者カ讓渡又ハ質入ノ目的ヲ以テ第二條ノ規定ニ依リ抵當權ノ目的タル物ヲ第三者ニ引渡シ又ハ引渡サシメタルトキハ十五日以上二月以下ノ【重禁錮】ニ處ス

前項ニ規定シタル行爲ヲ謀計ニ正條アル

第二十七條　所有權保存ノ登記ノ申請ハ不動產登記法第四十九條ニ揭ケタル場合ノ外左ノ場合ニ於テ之ヲ却下スヘシ

一　登記簿若ハ其ノ謄本又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ニ依リ工場財團ニ屬スヘキモノカ他人ノ權利ノ目的タルコトヲ記載ヲ拂消スヘシ

二　工場財團目錄ニ揭ケタルモノノ表示カ登記簿若ハ其ノ謄本又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ト牴觸スルトキ

三　工場財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者カ其ノ權利ヲ申出テタル場合ニ於テ過クトモ第二十四條第一項ノ期間滿了後一週間內ニ其ノ申出ノ取消アラサルトキ又ハ其ノ申出ノ理由ナキコトノ證明アラサルトキ

第二十八條　登記官吏カ所有權保存ノ登記ノ申請ヲ却下シタルトキハ第二十三條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ拂消スヘシ

他ノ登記所又ハ特許局ニ所有權保存ノ登記ノ申請アルタル旨ヲ通知シタル場合ニ於テハ其ノ申請ヲ却下シタル旨ヲ遲滯ナク通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所又ハ特許局ハ第二十三條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

第二十九條　工場財團ニ屬スヘキモノニシテ登記又ハ登錄アルモノハ第二十三條ノ記載アリタル後ニ非サレハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第三十條　第二十三條ノ記載アリタル後競賣申立ノ登記アリタル場合ニ於テハ所有權保存ノ登記ノ申請カ却下セラレサル間及其ノ登記カ效力ヲ失ハサル間ハ競落ヲ許ス決定ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條　第二十三條ノ記載アリタル後ニ爲シタル差押、假差押若ハ假處分ノ登記又ハ第二十條ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニ關スル權利ノ得喪及變更ハ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十二條　前條ノ場合ニ於テ登記官吏カ職權ヲ以テ登記スヘキ事項ヲ登記シタルトキハ其ノ登記ハ登記ノ時ヨリ效力ヲ生ス

第三十三條　前條ノ場合ニ於テ登記官吏カ職權ヲ以テ登記スヘキ事項ヲ登記セサルトキハ其ノ登記ハ登記ノ時ヨリ效力ヲ生ス

第三十四條　第二十三條ノ記載アリタル後ニ爲シタル差押、假差押若ハ假處分ノ登記又ハ第二十條ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニ關スル權利ノ得喪及變更ハ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十五條　所有權保存ノ登記ノ申請ハ不動產登記法第四十九條ニ揭ケタル場合ノ外左ノ場合ニ於テ之ヲ却下スヘシ

一　登記簿若ハ其ノ謄本又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ニ依リ工場財團ニ屬スヘキモノカ他人ノ權利ノ目的タルコトヲ記載ヲ拂消スヘシ

二　工場財團目錄ニ揭ケタルモノノ表示カ登記簿若ハ其ノ謄本又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ト牴觸スルトキ

三　工場財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者カ其ノ權利ヲ申出テタル場合ニ於テ過クトモ第二十四條第一項ノ期間滿了後一週間內ニ其ノ申出ノ取消アラサルトキ又ハ其ノ申出ノ理由ナキコトノ證明アラサルトキ

第三十六條　登記官吏カ所有權保存ノ登記ノ申請ヲ却下シタルトキハ第二十三條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ拂消スヘシ

他ノ登記所又ハ特許局ニ所有權保存ノ登記ノ申請アルタル旨ヲ通知シタル場合ニ於テハ其ノ申請ヲ却下シタル旨ヲ遲滯ナク通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所又ハ特許局ハ第二十三條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

第三十七條　工場財團ニ屬スヘキモノニシテ登記又ハ登錄アルモノハ第二十三條ノ記載アリタル後ニ非サレハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第三十八條　第二十三條ノ記載アリタル後ニ爲シタル差押、假差押若ハ假處分ノ登記又ハ第二十條ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニ關スル權利ノ得喪及變更ハ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十九條　工場財團ニ屬スヘキモノニシテ登記又ハ登錄アルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ目錄中其ノモノノ表示ノ側ニ其ノモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載シ其ノモノノ表示ヲ朱抹スヘシ

第四十條　工場財團ニ屬スルモノニ變更ヲ生シタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ目錄中其ノモノノ表示ノ側ニ其ノモノノ變更ヲ生シタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第四十一條　新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ目錄ノ末尾ニ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第四十二條　工場財團ニ屬シタルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ目錄中其ノモノノ表示ノ側ニ其ノモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載シ其ノモノノ表示ヲ朱抹スヘシ

第四十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條　工場財團ニ屬シタルモノニシテ登記アルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請カ却下セラレサル間及其ノ登記カ效力ヲ失ハサル間ハ競落ヲ許ス決定ヲ爲スコトヲ得ス

第四十五條　工場財團目錄ニ揭ケタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ所有者又ハ利害關係人ハ其ノ變更ノ登記ヲ申請スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ抵當權者ノ同意書又ハ之ニ代ルヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第四十六條　工場財團ニ屬スルモノニ變更ヲ生シ又ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ヲ申請スルトキハ變更シタルモノ又ハ新ニ屬シタルモノノ表示ヲ揭ケタル目錄ヲ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依リ提出シタル目錄ハ工場財團目錄ニ綴綴シ登記官吏其ノ綴目ニ契印スヘシ

第四十七條　工場財團ニ屬スルモノニ變更ヲ生シタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ目錄中其ノモノノ表示ノ側ニ其ノモノノ變更ヲ生シタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第四十八條　工場財團ニ屬スルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ目錄中其ノモノノ表示ヲ朱抹スヘシ

第四十九條　工場ノ所有者又ハ法律ニ依リ之ニ代リテ一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スル者カ讓渡又ハ質入ノ目的ヲ以テ第二條ノ規定ニ依リ抵當權ノ目的タル物ヲ第三者ニ引渡シ又ハ引渡サシメタルトキハ十五日以上二月以下ノ【重禁錮】ニ處ス

前項ニ規定シタル行爲ヲ謀計ニ正條アル

モノハ刑法ニ從フ

第五十條　工場ノ所有者カ抵當權ノ目的ト爲シタル物又ハ抵當權ノ目的ト爲シタル工場財團ニ屬スル物ヲ毀損又ハ隱匿シタルトキハ刑法【第四百十七條乃至第四百二十三條】ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治三十八年六月二十七日勅令第百八十七號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行）

●鑛業抵當法

明治三十八年三月
法律第五十五號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル鑛業抵當法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

鑛業抵當法

第一條　採掘權者ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲鑛業財團ヲ設クルコトヲ得

第二條　鑛業財團ハ左ニ揭クルモノニシテ鑛業ニ關シ同一採掘權者ニ屬スルモノノ全部又ハ一部ヲ以テ之ヲ組成スルコトヲ得

一　鑛業權
二　土地及工作物
三　地上權及土地ノ使用權
四　賃貸人ノ承諾アルトキハ物ノ賃借權
五　機械、器具、車輛、船舶、牛馬其ノ他ノ附屬物

第三條　鑛業財團ニ付テハ工場抵當法中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス

第四條　採掘權取消ノ登錄アリタルトキハ【鑛山監督署長】ハ直ニ之ヲ抵當權者ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ抵當權者ハ直ニ其ノ權利ヲ實行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ抵當權ヲ實行セムトスルトキハ抵當權者ハ第一項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ六箇月內ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

採掘權ハ前項ノ期間內又ハ抵當權實行ノ終了ニ至ル迄抵當權實行ノ目的ノ範圍內ニ於テ仍存續スルモノト看做ス

鑛業抵當人又ハ鑛落人ニ依リテ設立セラレタル法人ハ採掘權取消ノ登錄アリタルトキニ於テ採掘權ヲ讓受ケタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ鑛業ノ出願ノ爲メニ爲シタル行爲ニ因リ鑛業ノ出願カ許可セラレタル場合又ハ鑛業カ公益ヲ害スルノ故ヲ以テ同年七月二十二日ヨリ施行）

●鑛業抵當法

明治三十八年三月
法律第五十五號

（發行ノ件　大正八年第五六號、昭和八年第四四號）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル鑛業抵當法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

鑛業抵當法

第一條　採掘權者ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲鑛業財團ヲ設クルコトヲ得

第二條　鑛業財團ハ左ニ揭クルモノニシテ鑛業ニ關シ同一採掘權者ニ屬スルモノノ全部又ハ一部ヲ以テ之ヲ組成スルコトヲ得

一　鑛業權
二　土地及工作物
三　地上權及土地ノ使用權
四　賃貸人ノ承諾アルトキハ物ノ賃借權
五　機械、器具、車輛、船舶、牛馬其ノ他ノ附屬物

第三條　鑛業財團ニ付テハ工場抵當法中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス

第四條　採掘權取消ノ登錄アリタルトキハ【鑛山監督署長】ハ直ニ之ヲ抵當權者ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ抵當權者ハ直ニ其ノ權利ヲ實行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ抵當權ヲ實行セムトスルトキハ抵當權者ハ第一項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ六箇月內ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

採掘權ハ前項ノ期間內又ハ抵當權實行ノ終了ニ至ル迄抵當權實行ノ目的ノ範圍內ニ於テ仍存續スルモノト看做ス

鑛業抵當人又ハ鑛落人ニ依リテ設立セラレタル法人ハ採掘權取消ノ登錄アリタルトキニ於テ採掘權ヲ讓受ケタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ鑛業ノ出願ノ爲メニ爲シタル行爲ニ因リ鑛業ノ出願カ許可セラレタル場合又ハ鑛業カ公益ヲ害スルノ故ヲ以テ同年七月二十二日ヨリ施行）

第一條　軌道ノ敷設ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外鐵道抵當法ヲ準用ス

第二條　軌道財團ハ左ニ揭クルモノニシテ軌道財團ノ所有者ニ屬スルモノヲ以テ之ヲ組成ス

一　軌道線路、其ノ他ノ軌道用地及其ノ上ニ存スル工作物並之ニ屬スル器具機械
二　工場、倉庫、廢舍、發電所、變壓所、配電所、事務所、舍宅其ノ他工事又ハ運輸ニ要スル建物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械
三　用水ニ關スル工作物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械
四　軌道用通信信號又ハ送電ニ要スル工作物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械
五　前四號ニ揭ケタル工作物ヲ所有シ又ハ使用スル爲他人ノ不動產ノ上ニ存スル地上權、登記シタル賃借權及前四號ニ揭ケタル土地ノ爲ニ存スル地役權
六　車輛及馬匹並之ニ屬スル器具機械
七　保線其ノ他ノ修繕ニ要スル材料及器具機械

軌道營業者カ軌道ニ要スル電氣ノ餘力ヲ以テ電氣供給ノ業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ供給ノ爲要スル第二號乃至第五號及第七號ニ揭ケタルモノヲ軌道財團ニ屬セシムルコトヲ得

第三條　公共圖書カ軌道及附屬物件ヲ買上ケタル場合ニ於テハ鐵道抵當法第二十六條ノ規定ヲ準用

特許ヲ附シタル條件ニ依リ軌道財團ニ屬スルモノヲ無償ニテ國又ハ公共團體ニ引渡スヘキトキハ其ノ財團ヲ目的トスル抵當權ハ消滅ス

第四條　軌道營業者カ株式會社ニ非サル場合ニ於ケル軌道ノ抵當ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治四十二年七月二十一日勅令第百九十一號ヲ以テ同年七月二十二日ヨリ施行）

●鐵道抵當法

明治三十八年三月
法律第五十三號

（發行ノ件　大正八年第五六號、昭和八年第四四號）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル鐵道抵當法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

鐵道抵當法

第一章　總　則

第一條　本法ニ於テ會社ト稱スルハ地方鐵道株式會社ヲ謂フ

第二條　會社ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲鐵道ノ全部又ハ一部ノ付鐵道財團ヲ設クルコトヲ得

鐵道財團ニ屬スルモノハ同時ニ他ノ鐵道財團ニ屬スルコトヲ得ス

鐵道財團ハ之ヲ一箇ノ物ト看做ス

鐵道財團ハ抵當權ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第三條　鐵道財團ニハ左ニ揭クルモノニシテ鐵道財團ノ所有者ニ屬スルモノヲ以テ之ヲ組成ス

一　鐵道線路、其ノ他ノ鐵道用地及其ノ上ニ存スル工作物並之ニ屬スル器具機械
二　工場、倉庫、發電所、變壓所、配電所、事務所、舍宅其ノ他工事又ハ運輸ニ要スル建物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械
三　用水ニ關スル工作物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械
四　鐵道用通信、信號又ハ送電ニ要スル工作物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械
五　前四號ニ揭ケタル工作物ヲ所有シ又ハ使用スル爲他人ノ不動產ノ上ニ存スル地上權、登記シタル賃借權及前四號ニ揭ケタル土地ノ爲ニ存スル地役權
六　車輛及之ニ屬スル器具機械
七　保線其ノ他ノ修繕ニ要スル材料及器具機械

會社カ鐵道ニ要スル冠氣ノ餘力ヲ以テ冠氣

供給ノ業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ供給ノ爲要スル第二號乃至第五號及第七號ニ揭ケタルモノニシテ鐵道財團ノ所有ニ屬スルモノハ之ヲ鐵道財團ニ屬セシムルコトヲ得

第四條　鐵道財團ハ所有權及抵當權以外ノ物權又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ス

鐵道財團ニ屬スルモノハ所有權以外ノ物權又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得

鐵道財團ニ屬スルモノニシテ所有權以外ノ物權ノ取得ハ登錄ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五條　抵當權ノ設定又ハ變更ハ總株金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後定款變更ト同一方法ノ決議ヲ經監督官廳ノ認可ヲ受クルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第六條　鐵道財團ヲ抵當ト爲ス債務ノ額ハ社債ノ額ト合セテ總株金拂込額ヲ超ユルコトヲ得但シ海債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ荷債務ノ額ハ之ヲ算入セス

第七條　抵當權設定ノ認可ヲ申請スルニハ抵當證書及鐵道財團目錄ヲ差出スヘシ但シ擔保附社債ヲ發行スル場合ニ在リテハ借証證書ヲ以テ抵當證書ニ代フ

抵當證書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　鐵道財團ニ屬スル線路ノ表示
二　抵當權者、債務者及鐵道財團ノ所有者ノ名稱及住所
三　抵當權ノ順位
四　債權額及償還ノ方法並期限
五　利率及利息支拂ノ方法並期限

抵當證書又ハ信託證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生スヘキ契約ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第八條　抵當權ノ設定認可ノ申請アリタルトキハ監督官廳ハ直ニ官報ヲ以テ鐵道財團ニ關スヘキモノニ問シ第四條第三項ノ權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者ニ一定ノ期間內ニ其ノ申立ヲ爲スヘキ旨ヲ公告シタル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者ニ一定ノ期間內ニ其ノ期間ハ一箇月ヲ下ルコトヲ得ス

監督官廳ハ抵當權ノ設定認可ノ申請前ニ於テモ命令ノ申請ニ因リ豫メ前項ノ公告ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ公告後六箇月內ニ抵當權設定認可ノ申請ナキトキハ公告ハ其ノ效力ヲ失フ

命令カ前項ノ申請ヲ棄ストキハ鐵道財團目錄ヲ差出スヘシ

第九條　前條第二項ニ依ル公告ヲ爲シタルトキ又ハ抵當權ノ設定認可ノ申請ヲ爲シタルトキハ鐵道財團ニ屬スヘキモノハ之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第十條　第八條ニ依ル公告カ效力ヲ失ハサル間、抵當權ノ設定認可ノ申請カ却下セラレサル間及其ノ認可カ效力ヲ失ハサル間ハ鐵道財團ニ屬スヘキ不動產ニ關スル權利ニ付競落ヲ許ス決定ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ハ動產ニ對スル競賣ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條　抵當權設定ノ認定アリタルトキハ其ノ鐵道ニ關スルモノニシテ第三條第一項ニ揭ケタルモノハ當然鐵道財團ニ屬シ其ノ抵當權設定後新ニ鐵道財團ノ所有者ニ屬シタルモノハ亦同シ

前項ノ規定ハ第三條第二項ニ依リテ鐵道財團ニ屬セシメタルモノニ之ヲ準用ス

前二項ニ揭ケタルモノニ關シ第四條第三項ノ權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者ニ一定ノ期間內ニ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ但シ其ノ期間ハ一箇月ヲ下ルコトヲ得ス

本條ノ規定ハ抵當權者カ豫メ同意ヲ與ヘタル場合ニハ之ヲ適用セス

第十二條　第八條第二項ノ公告カ效力ヲ失ヒタルトキ、抵當權ノ設定カ認可セラレサルトキ又ハ其ノ認可カ效力ヲ失ヒタルトキハ監督官廳ハ直ニ官報ヲ以テ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第十三條　抵當權設定ノ認可アリタル後二箇月內ニ其ノ登錄ノ申請ナキトキハ認可ハ其ノ效力ヲ失フ

第十四條　抵當權ハ債權成立以前ニ於テモ其ノ效力ヲ生ス

第十五條　抵當權ノ得喪若ハ變更又ハ鐵道財團ノ所有權ノ移轉ハ登錄ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十六條　設定ノ債權ヲ擔保スル爲同一ノ鐵道財團ニ付抵當權ヲ設定シタルトキハ其ノ抵當權ノ順位ハ登錄ノ前後ニ依ル

第十七條　抵當權者ハ鐵道財團ニ付他ノ債權者ニ先テ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得

第十八條　抵當權者ハ債權ノ全部ノ辨濟ヲ受クル迄ハ鐵道財團ノ全部ニ付其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十九條　抵當權ハ鐵道財團又ハ之ニ屬スルモノノ讓渡、貸付、滅失又ハ毀損ニ因リテ會社カ受クヘキ金錢其ノ他ノ物ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ抵當權者ハ其ノ拂渡又ハ引渡前ニ差押ヲ爲スコトヲ要ス

第二十條　會社カ鐵道財團ヲ讓渡シ、貸付シ若ハ抵當ト爲シ、又ハ線路ヲ變更シ又ハ其ノ管理委託ヲ爲シ、其ノ線路ヲ變更シ又ハ其ノ線路ノ全部若ハ一部ニ付營業ヲ休止セムトスルトキ又ハ鐵道財團ニ屬スルモノヲ處分セムトスルトキハ抵當權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間內ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

抵當權者カ前項ノ期間內ニ異議ヲ述ヘタルトキハ會社カ鐵道財團ノ全部ニ付其ノ權利ヲ行フコトヲ得ス

抵當權者カ前項ノ期間內ニ異議ヲ述ヘサルトキハ其ノ處分ニ付テハ抵當權ヲ有セサル債權者ニ對スル關係ニ於テハ其ノ處分ヲ爲スニ付抵當權者ノ承諾ヲ得タルモノト看做ス

第二十一條　會社カ鐵道財團ニ關スル工事ヲ施行セムトスルトキハ抵當權者ニ一定ノ期間內ニ其ノ施行ニ關スル計畫ヲ通知スヘシ但シ其ノ期間ハ一箇月ヲ下ルコトヲ得ス

抵當權者カ前項ノ期間內ニ異議ヲ述ヘタルトキハ會社カ鐵道財團ニ屬スル工事ヲ施行スルニ付抵當權者ノ承諾ヲ得タルモノト看做ス

第二十二條　會社カ鐵道財團ニ屬スル物件ヲ賣却セムトスルトキハ抵當權者ニ一定ノ期間內ニ其ノ賣却ニ異議ヲ述フヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ一箇月ヲ下ルコトヲ得ス

抵當權者カ前項ノ期間內ニ異議ヲ述ヘタルトキハ會社カ鐵道財團ニ屬スル物件ヲ賣却スルニ付抵當權者ノ承諾ヲ得タルモノト看做ス

第二十三條　抵當權者カ同一ノ債權ヲ擔保トシテ數箇ノ鐵道財團ノ上ニ抵當權ヲ有スル場合ニ於テ同時ニ其ノ代價ヲ配當スヘキトキハ其ノ各鐵道財團ノ價額ニ準シテ其ノ債權ノ負擔ヲ分ツ

或鐵道財團ノ代價ノミヲ配當スヘキトキハ抵當權者ハ其ノ代價ニ付債權ノ全部ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニ於テ次ノ順位ニ在ル抵當權者ハ前項ノ規定ニ從ヒ右ノ抵當權者カ他ノ鐵道財團ニ付辨濟ヲ受クヘキ金額ニ滿ツル迄之ヲ代位シテ抵當權ヲ行フコトヲ得

第二十四條　前條ノ規定ニ從ヒ代位ニ因リテ抵當權ヲ行フ者ハ其ノ抵當權ノ登錄ニ其ノ代位ヲ附記スルコトヲ得

第二十五條　抵當權者ハ鐵道財團ノ代價ヲ以テ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テノミ他ノ財產ヲ以テ辨濟ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ハ鐵道財團ノ代價ニ先チテ他ノ財產ノ代價ヲ配當スヘキ場合ニハ之ヲ適用セス但シ他ノ債權者ハ抵當權者ヲシテ前項ノ規定ニ從ヒ辨濟ヲ受ケシムルカ爲之ニ配

當スヘキ金額ノ供託ヲ請求スルコトヲ得

第二十六條　政府カ鐵道及附屬物件ヲ買上ケタル場合ニ於テ抵當權設定後二十箇年又ハ據置年限ヲ經過シタルトキハ抵當附債務ヲ辨濟スルコトヲ得但シ少クトモ一箇年前ニ豫告スヘシ

第二十六條ノ二　株式會社ニ非サル地方鐵道業者ノ鐵道ノ抵當ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第二章　登錄

第二十七條　鐵道財團ニ關スル登錄ヲ爲ス爲監督官廳ニ鐵道抵當原簿ヲ備ツ

鐵道抵當原簿ハ一箇ノ鐵道財團ニ付一用紙ヲ設ク

第二十八條　登錄ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外當事者ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第二十九條　抵當權設定ノ登錄申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　抵當權ノ設定ニ關スル證書

二　鐵道財團目錄

當事者ハ抵當權設定認可ノ申請書ニ添附シタル鐵道財團目錄ヲ前項第二號ノ書面トシテ引用スルコトヲ得

第一項第二號ノ書面ハ第二以下ノ順位ノ抵當權設定ノ登錄申請書ニハ之ヲ添附スルコトヲ要セス

第三十條　抵當權設定ノ登錄ハ鐵道抵當原簿ニ左ノ事項ヲ記載スルニ依リテ之ヲ爲ス

一　第七條第二項第一號乃至第五號ニ揭ケタル事項

二　免許ニ附シタル條件

三　抵當權ヲ設定シタルコト

四　抵當權設定認可ノ年月日

五　登錄ノ年月日

第七條第二項第一號及前項第二號ニ揭ケタル事項ハ第二以下ノ順位ノ抵當權ニ付テハ之ヲ登錄スルコトヲ要セス

第三十一條　登錄ハ第一號及第二號ニ揭ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルニ依リテ之ヲ爲ス

一　債務者タル會社及鐵道財團ノ所有者タル會社ノ商號及其ノ本店ノ所在地

二　鐵道ノ敷設ニ付スヘキ鐵道財團ノ表示

三　年月日

四　裁判所

五　執行力アル正本ノ外鐵道抵當原簿ノ謄本ヲ添附スヘシ但シ強制管理ノ開始アリタル場合ニ於テハ鐵道抵當原簿ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要セス

第四十四條　強制競賣ノ申立ハ競落期日迄ハ競買人ノ同意アル場合ニ限リ之ヲ取下クルコトヲ得

第四十五條　競賣手續ノ開始ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

開始決定ニハ申立人ノ名稱、住所及第四十三條第二項第一號乃至第四號ニ揭ケタル事項ヲ記載シ決定ヲ爲シタル裁判事務ニ之ニ署名捺印スヘシ

第四十六條　裁判所カ競賣手續開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ直ニ鐵道抵當原簿ニ競賣申立ノ登錄ヲ爲スヘキ旨ヲ監督官廳ニ囑託スヘシ

監督官廳ニ於テ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ裁判所ニ通知スヘシ

第四十七條　裁判所ハ二箇以上ノ競賣期日ヲ開始決定ヲ以テ又ハ二箇以上ノ方法ヲ併セテ強制執行ヲ爲スコトヲ得

第四十一條　抵當證書又ハ信託證書及之ニ記載シタル事項ヲ變更スル契約證書ハ強制執行ニ關シテハ公證人ノ作成シタル債務名義ト看做ス但シ其ノ執行力アル正本ハ監督官廳ノ官吏之ヲ付與ス

第四十二條　強制執行ハ鐵道財團ノ所有者タル會社ノ本店所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第四十三條　強制競賣ノ申立ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人ハ其ノ代理人之ニ署名捺印スヘシ

一　債務者タル會社及鐵道財團ノ所有者タル會社ノ商號及其ノ本店ノ所在地

二　競賣ニ付スヘキ鐵道財團ノ表示

三　年月日

四　裁判所

五　申立書ニハ執行力アル正本ノ外鐵道抵當原簿ノ謄本ヲ添附スヘシ但シ強制管理ノ開始アリタル場合ニ於テハ鐵道抵當原簿ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要セス

第四十四條　強制競賣ノ申立ハ競落期日迄ハ競買人ノ同意アル場合ニ限リ之ヲ取下クルコトヲ得

第四十五條　競賣手續ノ開始ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

開始決定ニハ申立人ノ名稱、住所及第四十三條第二項第一號乃至第四號ニ揭ケタル事項ヲ記載シ決定ヲ爲シタル裁判事務ニ之ニ署名捺印スヘシ

第四十六條　裁判所カ競賣手續開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ直ニ鐵道抵當原簿ニ競賣申立ノ登錄ヲ爲スヘキ旨ヲ監督官廳ニ囑託スヘシ

監督官廳ニ於テ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ裁判所ニ通知スヘシ

第四十七條　裁判所カ競賣手續開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ公告シ且競賣ニ關シ利害關係ヲ有スル者ノ爲メニ競賣期日ヲ定メ其ノ期日ヲ公告スヘシ

第四十八條　裁判所ハ競賣期日ヲ定ムルニ當リ鐵道財團ノ所有者ニ對シ競賣ニ關シ意見ヲ述フヘキ相當ノ期間ヲ定メ競賣期日ヲ公告スル前ニ之ヲ催告スヘシ

第四十九條　裁判所ハ競賣期日ヲ定メ官報ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

前項ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　競賣ニ付スヘキ鐵道財團ノ表示

二　競賣期日ノ場所及入札締切ノ時

三　最低競賣價額

四　競落期日ノ場所及日時

五　執行記錄ヲ閱覽シ得ヘキ場所

第五十條　〔削除〕

第五十一條　鐵道事業ヲ營ム者ニ非スシテ競賣ニ加入スル者ハ競賣ノ申込ト共ニ保證トシテ最低競賣價額百分ノ五ニ相當スル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ供託スヘシ

前項ノ規定ハ有價證券ヲ以テ供託スヘキ相當者カ之ニ加入セサルトキハ裁判所ノ定メタル場合ニ於テハ其ノ價額カ最低競賣價額ノ百分ノ五以上ニ相當スル場合ニ限リ之ヲ適用セス

第五十二條　競賣ハ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フ

第五十三條　裁判所ハ競買人ノ面前ニ於テ入札ヲ開封スヘシ

競落トスルヘキ同價額ノ入札二箇以上アルトキハ裁判所ハ同價額ノ競買人ヲシテ直ニ再度ノ入札ヲ爲サシムヘシ

再度ノ入札ヲ爲スモ仍同價額ノ入札アルトキハ裁判所ハ直ニ抽籤ヲ以テ最高價競買人ヲ定ムヘシ

第五十四條　削除

第五十五條　競賣期日ニ於テ入札ナキトキ、許スヘキ入札ナキトキ又ハ放棄競賣價額ニ達スル入札ナキトキハ裁判所ハ競賣期日ヲ續行スル旨ヲ告知スヘシ

第五十六條　裁判所カ競賣手續開始ノ決定ヲ更ニ競賣期日ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ競賣ノ費用及組稅其ノ他ノ公課ヲ控除シ其ノ殘額ハ抵當權ノ順位ニ從ヒ之ヲ抵當權者ニ配當シ仍殘餘アルトキハ之ヲ鐵道財團ノ所有者ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ旨ヲ監督官廳ニ通知シ競賣申立ノ登錄ノ抹消ヲ囑託スヘシ

第五十七條　裁判所ハ最高價競買人ノ名稱及其ノ競買價額ヲ表示シ競賣ノ終局ヲ告知シ且競賣價額ノ要旨ヲ記載シタル調書ヲ作成スヘシ

第五十八條　裁判所ハ競落代金ノ中ヨリ順次前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ鑑定人ノ意見ヲ聽キ最低競賣價額ヲ低減スルコトヲ得

第五十六條　入札ハ之ヲ變更シ又ハ取消スコトヲ得ス

入札ハ其ノ入札ヲ爲シタル競買人以外ノ者ニ競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキ、競落ヲ許ササル決定カ確定シタルトキ又ハ競落ヲ爲サスシテ競賣手續ヲ終了シタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

第五十七條　裁判所ハ最高價競買人ノ名稱及其ノ競買價額ヲ表示シ競賣ノ終局ヲ告知スヘシ

第五十八條　裁判所ハ競賣ニ關スル調書ヲ作成左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　競賣ノ年月日

二　競賣ノ場所

三　入札及開札ノ日時

四　總テノ競買價額及競買人ノ名稱、住所又ハ入札ナキコト、許スヘキ入札ナキコト若ハ最低競賣價額ニ達スル入札ナキコト效第五十三條第二項又ハ第三項ノ手續ヲ爲シタルコト

五　競賣ノ終局ヲ告知シタル日時竝最高價競買人ノ名稱及其ノ競買價額

第五十九條　裁判所ハ競落期日ニ出頭シタル債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者及競買人ニ競落ノ許可ニ付陳述ヲ爲サシムヘシ

第六十條　強制競賣申立ノ取下若ハ強制執行ノ取消アリタル場合又ハ第四十八條乃至第五十三條若ハ第五十七條ノ規定ニ違反シテ競賣ヲ爲シタル場合ニ限リ債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者又ハ競買人ハ競落ノ許可ニ付異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　裁判所ハ異議ノ申立ナキトキ又ハ其ノ不足額及手續ノ費用ヲ辨償スヘシ

第六十八條　裁判所ハ競落代金ノ中ヨリ順次其ノ他ノ公課ヲ控除シ其ノ殘額ハ抵當權ノ順位ニ從ヒ之ヲ抵當權者ニ配當シ仍殘餘アルトキハ之ヲ鐵道財團ノ所有者ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ旨ヲ監督官廳ニ通知シ競賣申立ノ登錄ノ抹消ヲ囑託スヘシ

監督官廳ニ於テ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　第四十六條第二項ニ依リテ爲シタル登錄及抵當權ノ登錄ヲ抹消スルコト

二　競落ヲ許ス決定アリタルコトヲ管轄登記所ニ通知シ競落人又ハ競落人ニ代リテ登記ヲ爲サシムヘキ者ニ通知スルコト

三　競賣ノ費用及組稅ヲ除キ其ノ殘額ヲ債務者ニ交付スルコト

四　總テノ競買價額及競買人ノ名稱、住所又ハ入札ナキコト、許スヘキ入札ナキコト若ハ最低競賣價額ニ達スル入札ナキコト效第五十三條第二項又ハ第三項ノ手續ヲ爲シタルコト

五　競賣ノ終局ヲ告知シタル日時竝最高價競買人ノ名稱及其ノ競買價額

第六十條　強制競賣申立ノ取下若ハ強制執行ノ取消アリタル場合又ハ第四十八條乃至第五十三條若ハ第五十七條ノ規定ニ違反シテ競賣ヲ爲シタル場合ニ限リ債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者又ハ競買人ハ競落ノ許可ニ付異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　裁判所ハ異議ノ申立ナキトキ又ハ其ノ不足額及手續ノ費用ヲ辨償スヘシ

第六十八條　裁判所ハ競落代金ノ中ヨリ順次前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ鑑定人ノ意見ヲ聽キ最低競賣價額ヲ低減スルコトヲ得

第五十六條　入札ハ之ヲ變更シ又ハ取消スコトヲ得ス

入札ハ其ノ入札ヲ爲シタル競買人以外ノ者ニ競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキ、競落ヲ許ササル決定カ確定シタルトキ又ハ競落ヲ爲サスシテ競賣手續ヲ終了シタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

第五十七條　裁判所ハ最高價競買人ノ名稱及其ノ競買價額ヲ表示シ競賣ノ終局ヲ告知スヘシ

第五十八條　裁判所ハ競賣ニ關スル調書ヲ作成左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　競賣ノ年月日

二　競賣ノ場所

三　入札及開札ノ日時

四　總テノ競買價額及競買人ノ名稱、住所又ハ入札ナキコト、許スヘキ入札ナキコト若ハ最低競賣價額ニ達スル入札ナキコト效第五十三條第二項又ハ第三項ノ手續ヲ爲シタルコト

五　競賣ノ終局ヲ告知シタル日時竝最高價競買人ノ名稱及其ノ競買價額

第五十九條　裁判所ハ競落期日ニ出頭シタル債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者及競買人ニ競落ノ許可ニ付陳述ヲ爲サシムヘシ

第六十條　強制競賣申立ノ取下若ハ強制執行ノ取消アリタル場合又ハ第四十八條乃至第五十三條若ハ第五十七條ノ規定ニ違反シテ競賣ヲ爲シタル場合ニ限リ債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者又ハ競買人ハ競落ノ許可ニ付異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　裁判所ハ異議ノ申立ナキトキ又ハ其ノ不足額及手續ノ費用ヲ辨償スヘシ

第六十二條　競落ハ裁判所カ競賣手續開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ公告シ且競賣ニ關シ利害關係ヲ有スル者ノ爲メニ競賣期日ヲ定メ其ノ期日ヲ公告スヘシ

第六十三條　裁判所ハ競落期日ヲ定ムルニ當リ鐵道財團ノ所有者ニ對シ競賣ニ關シ意見ヲ述フヘキ相當ノ期間ヲ定メ競賣期日ヲ公告スル前ニ之ヲ催告スヘシ

第六十四條　競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキハ裁判所ハ競落期日ニ出頭シ競落ヲ許ス決定ヲ告知スヘシ

第六十五條　競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキハ裁判所ハ競落人ニ對シ代金ノ支拂ヲ命スヘシ

第六十六條　競落代金ハ競落ヲ許ス決定カ確定シタル日又ハ第七十三條ノ期日ヲ受クルコトヲ要スル者ニ在リテハ其ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ一週間以內ニ之ヲ裁判所ニ支拂フヘシ但シ債權者カ競落人タル場合ニ於テハ自己カ競落代金中ヨリ受取ルヘキ金額ヲ控除シ其ノ殘額ノミヲ支拂フヲ以テ足ル

第六十六條　競落代金ノ支拂アリタルトキハ競賣ニ關セラレタル鐵道財團ニ關スル權利ハ競落人ニ、競落人カ會社ノ設立ノ場合ニ於テハ其ノ會社ニ移轉ス

抵當權ハ前項ニ依リ鐵道財團ニ關スル權利ノ移轉ニ因リ消滅ス

第六十七條　第七十三條ノ許可ヲ受ケタルトキ、第七十三條ノ期間內ニ許可ノ申請アキトキ又ハ第六十五條ノ期間內ニ競落代金ノ支拂アリタルトキハ裁判所ハ競落ヲ以テ競落ヲ許ス決定ヲ取消シ更ニ競賣期日ヲ定ムヘシ

前項ニ依リ競落ヲ許ス決定カ取消サレタルトキハ許可ハ取消サレタルモノトス

競落人ハ新競賣ニ加入スルコトヲ得ス且新競賣ニ於ケル競落代金カ最初ノ競落代金ヲ

及第六十九條ノ規定ヲ準用ス

競賣人ハ競賣ノ申込ト共ニ保證トシテ最低競賣價額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ供託スヘシ

第七十二條　削除

第七十三條　競落人カ故障ニ非サル場合ニ於テハ競落ヲ許ス決定カ確定シタル日ヨリ三箇月内ニ許可ヲ申請スヘシ

第七十四條　競落人カ會社ノ發起人ナルトキハ前條ノ許可ノ申請ニハ定款及會社ノ設立登記謄本ヲ添附スヘシ

第七十五條　削除

第七十六條　監督官廳ハ第七十三條及第七十四條ノ規定ニ依リ申請アリタルトキハ許可スヘシ

第七十七條　第七十三條ノ許可ハ競落人又ハ競落人ニ依リテ設立セラレタル會社カ競落代金ヲ支拂ヒタルトキニ非ラサレハ之ヲ與フルコトヲ得ス

第七十八條　強制管理ニ付テハ第四十三條、第四十五條乃至第四十七條ノ規定ヲ準用ス

第七十九條　強制管理開始ノ決定確定シタルトキハ裁判所ハ其ノ決定ノ謄本ヲ監督官廳ニ送付スヘシ

第八十條　前條決定ノ謄本ノ送付アリタルトキハ監督官廳ハ一人又ハ數人ノ管理人ヲ選任スヘシ但シ強制管理ノ申立人ハ適當ノ人ヲ推薦スルコトヲ得

第八十一條　監督官廳ハ管理人ヲ監督シ、管理方法ニ付指揮ヲ爲シ且管理人ニ與フヘキ報酬ノ額ヲ定ムヘシ

監督官廳ハ前項ニ揭ケタル事項ニ付債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者及鑑定人ノ意見ヲ聽クコトヲ得

監督官廳ハ管理人ニ擔保ヲ供スヘキコトヲ命シ又ハ之ヲ解任スルコトヲ得

第八十二條　監督官廳カ管理人ヲ任免シタルトキハ其ノ旨ヲ債務者鐵道財團ノ所有者、抵當權者及裁判所ニ通知スヘシ

第八十三條　鐵道財團ノ所有者カ管理人選任ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ鐵道財團ヲ管理人ニ引渡スヘシ

管理人ハ鐵道財團ノ所有者ニ對シ管理ニ必要ナル書類其ノ他ノ物ノ引渡ヲ求ムルコトヲ得

鐵道財團ノ所有者カ前二項ノ引渡ヲ拒ミタルトキハ裁判所ハ管理人ノ申立ニ因リ執達吏ヲシテ其ノ引渡ヲ爲サシムヘシ

第八十四條　强制管理ノ申立人ハ管理人ノ請求ニ因リ管理ノ費用ヲ立拂支辨スヘシ

第八十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理及收益ニ付必要ナル裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲スヘシ

第八十六條　鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對スル取締役ノ責任ハ管理人之ヲ負フ

第八十七條　管理人ハ每營業年度ノ終ニ於テ鐵道財團ノ收入ヨリ順次ニ管理ノ費用、管理人ノ報酬及租稅其ノ他ノ公課ヲ控除シ其ノ殘額ヲ抵當權者ニ交付スヘシ

第八十八條　管理人ハ每營業年額ノ終ニ於テ計算報告書ヲ監督官廳ニ差出スヘシ

監督官廳ハ前項計算報告書ノ謄本ヲ債務者、鐵道財團ノ所有者及抵當權者ニ送付シ且一定ノ期間内ニ異議アラハ之ヲ申出ツヘキ旨ヲ催告スヘシ

前項ノ期間内ニ異議ヲ申出テサリシ者ハ計算ヲ承認シタルモノト看做ス

異議ヲ申出テタル者アリタルトキハ監督官廳ハ管理人ノ陳述ヲ聽キタル後之ヲ裁定ス此ノ裁定ハ終局トス

第八十九條　管理人ハ前條第二項ノ期間ヲ過キ又ハ前條第四項ノ裁定ヲ經タル後ニ非サレハ抵當權者ニ對シ配當額ノ交付ヲ爲スコトヲ得

管理人カ配當額ノ交付ヲ爲シタルトキハ抵當權者ノ各債及配當額ヲ監督官廳及裁判所ニ通知スヘシ

第九十條　强制管理ノ取消ハ裁判所ノ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

强制管理ノ申立ヲ爲シタル抵當權者カ辨濟ヲ受ケタルトキハ裁判所ハ强制管理ノ取消ヲ命スヘシ

强制管理ノ申立人カ管理費用ノ立替支辨ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ管理人ノ申立ニ因リ强制管理ノ取消ヲ命スルコトヲ得

第九十一條　前條第二項及第三項ノ場合ニ關シテハ第六十八條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ヲ除クノ外强制管理ノ取消ニ關シテハ第六十九條ノ規定ヲ準用ス

第四章　總則

第九十二條　左ノ場合ニ於テハ取締役又ハ管理人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一　本法ニ定メタル裁定ヲ遵守セサルトキ

二　第九條ノ規定ニ違反シタルトキ

三　第二十條又ハ第二十一條ノ催告ヲ爲ササルトキ

四　登錄ニ關シ不正ノ申請ヲ爲シタルトキ、第三十條ノ二第二項ノ登錄ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ又ハ第三十一條ノ登錄ノ申請ヲ爲ササルトキ

五　鐵道財團目錄ニ不正ノ記錄ヲ爲シタルトキ、第三十四條ノ届出ヲ爲ササルトキ又ハ不正ノ届出ヲ爲シタルトキ

六　管理方法ニ付監督官廳ノ命令ニ違反シタルトキ

七　第八十八條ノ計算報告書ヲ差出ササルトキ又ハ不正ノ報告ヲ爲シタルトキ

八　配當額ノ交付ヲ爲ササルトキ又ハ第八十七條若ハ第八十九條第一項ノ規定ニ違反シテ配當額ノ交付ヲ爲シタルトキ

九　第八十九條第二項ノ通知ヲ爲ササルトキ

第九十三條　非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ニ定メタル過料ニ之ヲ準用ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治三十八年勅令第百八十六號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行）

●朝鮮私設鐵道及軌道抵當取扱規則

大正八年五月
總令第八十四號

改正　大正九年一一第二八三號、一五年一二第八八號、昭和三年七第四五號、九年三第二四號

朝鮮私設鐵道及軌道抵當取扱規則左ノ通定ム

朝鮮私設鐵道及軌道抵當取締規則

第一條　本令ニ於テ抵當權ト稱スルハ鐵道抵當權又ハ軌道抵當權、財團目錄ト稱スルハ鐵道財團又ハ軌道財團、財團目錄又ハ軌道財團目錄、抵當原簿ト稱スルハ鐵道財團又ハ軌道財團ノ收入ヨリ順次ニ管理ノ費用、管理人ノ報酬及租稅其ノ他ノ公課ヲ控除シ其ノ殘額ヲ抵當權者ニ交付スヘシ

第二條　抵當權設定ノ認可申請書ニハ抵當負債ヲ要スル事由ヲ記載シ會社ノ取締役署名捺印シ之ヲ提出スヘシ

第三條　抵當權設定ノ認可申請書ニハ抵當證書又ハ信託證書及財團目錄ノ外尚左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　貸借證書ノ謄本

二　株主總會ノ議事及決議ノ要領書

三　最終ノ貸借對照表

四　元利支拂ノ豫算

五　株金總額及拂込額ノ登記抄本

六　社債ノ總額及償還ヲ了ヘサル金額ノ登記抄本

前項ニ依リ差出シタル抵當證書又ハ信託證書ハ抵當權設定ノ認可アリタルトキハ認可ノ證印ヲ附シテ之ヲ還付ス

第三條ノ二ノ規定ハ第一項ノ書類ニ之ヲ準用ス

第四條　抵當權設定ノ認可ヲ受ケタルトキハ會社ハ遲滯ナク抵當證書ニ左ノ事項ヲ記載シ正副二通ヲ差出スヘシ

一　抵當權ノ順位

二　債權額及償還ノ方法竝ニ期限但シ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニハ社債ノ總額及社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル旨

三　抵當權ノ目的タル鐵道財團ノ所有者ノ名稱、住所

四　利率及利息支拂ノ方法竝ニ期限但シ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニハ社債ノ利率ノ最高限度

五　元本及利息支拂ノ方法竝ニ期限但シ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニハ各回ニ發行スヘキ社債ノ金額及發行ノ期日

六　許可ニ附シタル條件

七　抵當權ヲ設定シタル年月日

八　抵當權設定認可ノ年月日

九　課稅標準ノ價格

十　登錄稅額

負債アルトキハ其ノ總額及償還ヲ了ヘサル金額ノ登記抄本又ハ證明書ヲ添附スヘシ

第四條　抵當權設定ノ認可申請前會社ノ申請ニ因リ豫メ財團ノ公告ヲ爲シタル場合ニ於テ鐵道抵當法第八條ニ依リ財團目錄ヲ差出シタルモノニ付テハ抵當權設定ノ認可申請書ニ財團目錄ヲ添附スルコトヲ要セス

第五條　第二以下ノ順位ノ抵當權設定ノ認可申請書ニハ抵當權者ニ對スル催告ノ始末書及催告アリタルコトヲ證スル書面又ハ抵當權者ノ同意アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條　第三條第一項第四號ニ記載セル事項ヲ變更セムトスルトキハ認可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ變更ノ事項カ株主總會ノ決議ヲ要スルモノニ係ルトキハ認可申請書ニ株主總會ノ議事及決議ノ要領書ヲ添附スヘシ

第六條ノ二　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ其ノ回ノ發行毎ニ元利支拂ノ豫算書ヲ具シ監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第七條　抵當證書又ハ信託證書ニ記載シタル事項變更ノ認可申請書ニハ契約證書及其ノ謄本ヲ添附シ會社ノ取締役之ニ署名捺印スヘシ

第三條第二項及前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

抵當證書又ハ信託證書ニ記載シタル事項ノ變更ニシテ契約ニ基カサル場合ニ於テハ變更ノ事由及年月日ヲ記載シ利害關係人署名捺印シテ届出ツヘシ

第八條　抵當權設定ノ認可申請前ニ於ケル財團公告ノ申請書ニハ抵當負債ヲ要スル事由及其ノ總額ヲ記載シ會社ノ取締役之ニ署名捺印シテ差出スヘシ

第十八條ノ二　朝鮮登錄稅令施行規則第三條ノ二ノ規定ニ依リ登錄稅ヲ徵收スル場合ニ於テ登錄官吏ハ登錄ヲ申請スヘキ登記所又ハ登錄官廳ノ數ニ應シ課稅價格ヲ記載シタル登錄稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但シ二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スヘシ

朝鮮登錄稅令施行規則第三條ノ二第一項ノ場合ニ於テハ登記所又ハ登錄官廳ニ於テ登記又ハ登錄ヲ受ケタルトキハ登錄申請書ニ其ノ登記所又ハ登錄官廳ノ交付シタル登錄稅ノ受領書ヲ添附スヘシ

第九條　鐵道抵當法第二十六條ノ場合ニ於テハ其ノ債務ニ付擔保登記ニ關スル附記登錄申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ債權者及會社ノ取締役之ニ署名捺印スヘシ

一　發行金額及其ノ償還方法竝ニ期限

二　利率及利息支拂ノ方法竝ニ期限

三　登錄稅額

前項ノ申請書ニハ信託證書及擔保附社債信託法第十九條ノ三第一項ノ規定ニ依ル契約證書竝ニ其ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十條　財團目錄ニ記載シタル事項ノ變更又ハ消滅ノ届書ニハ變更又ハ消滅ノ事由ヲ記載シ會社ノ取締役之ニ署名捺印シ且每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第十一條　財團目錄ハ別記第一號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第十二條　財團目錄ニハ其ノ枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ會社ノ取締役之ニ署名捺印シ且每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第十三條　財團目錄ニ記載シタル事項ノ變更又ハ消滅ノ届書ニハ變更又ハ消滅ノ事由ヲ記載シ會社ノ取締役之ニ署名捺印スヘシ

前項ノ届書ハ財團目錄ノ樣式ニ依リ掲クヘキ事項ヲ記載シ目錄ノ部門及番項ヲ附記スヘシ

馬四、保線其ノ他ノ條緒ニ要スル材料及未開業線ノ財團ニ屬スルモノノ變更又ハ消滅ノ届出ハ決算期ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第十四條　抵當權設定ノ登錄申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ債權者及會社ノ取締役之ニ署名捺印スヘシ

一　財團ニ屬スル線路ノ表示

二　抵當權者、債務者及財團ノ所有者ノ名稱及住所

三　抵當權ノ順位

四　債權額及償還ノ方法竝ニ期限但シ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニハ社債ノ總額及社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル旨

五　利率及利息支拂ノ方法竝ニ期限但シ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニハ各回ニ發行スヘキ社債ノ金額及發行ノ期日

六　許可ニ附シタル條件

七　抵當權ヲ設定シタル年月日

八　抵當權設定認可ノ年月日

九　課稅標準ノ價格

十　登錄稅額

第十四條ノ二　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ社債發行ニ關スル附記登錄申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ債權者及會社ノ取締役之ニ署名捺印スヘシ

一　發行金額及其ノ償還方法竝ニ期限

二　利率及利息支拂ノ方法竝ニ期限

三　登錄稅額

前項ノ申請書ニハ信託證書及擔保附社債信託法第十九條ノ三第一項ノ規定ニ依ル契約證書竝ニ其ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十五條　登錄ハ申請書受附ノ順序ニ依リテ之ヲ爲ス

第十六條　登錄申請書其ノ他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ之ヲ申請者ニ交付スヘシ

前項ノ受領證ハ登錄濟證ヲ交附スルトキハ之ヲ還納セシムヘシ

第十七條　第十四條ノ規定ハ登錄ヲタル事項ノ變更又ハ消滅ノ登錄申請ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ登錄申請書ニ正副二通ヲ差出スヘシ

第十八條　抵當原簿ニ登錄ヲ完了シタルトキハ抵當權設定ノ場合ニ在リテハ抵當證書又ハ信託證書ニ、登錄事項ノ變更又ハ消滅ノ場合ニ在リテハ申請書ノ副本ニ登錄番號、申請書受附ノ年月日、受附番號及登錄濟ノ旨ヲ記載シ官印ヲ押捺シテ之ヲ申請者ニ還付スヘシ

附記登錄ヲ完了シタルトキハ信託證書及契約證書ニ申請書受附ノ年月日、受附番號及登錄濟ノ旨ヲ記載スルノ外契約證書ニハ信託證書ニ記載シタル事項ノ登錄濟ノ旨ヲ記載シ官印ヲ押捺シテ之ヲ申請者ニ還付スヘシ

第十九條　登錄ヲ完了シタル者其ノ登錄ニ付錯誤又ハ遺漏ノ訂正ヲ申請スル場合ニ於テハ登錄上利害ノ關係ヲ有スル者アルトキハ申請書ニ署名捺印シ又ハ其ノ承諾書若ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ書類ヲ添附スヘシ

第二十條　抵當原簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付又ハ抵當原簿若ハ財團目錄ノ閱覽ヲ請求スル者ハ申請書ニ署名捺印シテ之ヲ差出スヘシ但シ抄本ヲ請求スル場合ニ於テハ抄本ノ交附ヲ請求スル部分ヲ記載スヘシ

第二十一條　抵當原簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其ノ用紙一枚ニ付手數料金十錢ヲ納ムヘシ但シ一枚ニ滿タサルモノヲ雖仍之ヲ一枚ニ計算ス

手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

第二十二條　鐵道抵當法第二十條ニ依ル裁定申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ正副二通ヲ差出スヘシ

一　申請者及對手人ノ名稱、住所

二　裁定事件ノ表示

三　申請ノ要旨及理由

第二十三條　前條ノ申請書ヲ受取リタルトキハ其ノ副本ヲ對手人ニ送付シ相當ノ期限ヲ指定シ答辯書ヲ差出サシムヘシ但シ裁定申請カ其ノ理由ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

必要ト認ムルトキハ期限ヲ附シテ更ニ申請者又ハ對手人ヨリ準駁書又ハ答辯書ヲ差出サシムルコトヲ得

第二十四條　答辯書又ハ準駁書ニハ左ノ事項

（第一號樣式）

（用紙）

第二十三　一ノ二　貼用

第二十二ノ二ノ三　裁判所ハ辯護人ノ選任ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二十二ノ二ノ二　辯護人ハ第二十二ノ二ノ一ノ規定ニ依リ選任セラレタル場合ニ於テ被告人ノ爲ニ辯護ヲ爲スヘシ

第二十二ノ二ノ一　被告人ハ辯護人ヲ選任スルコトヲ得

第二十二　裁判所ハ必要ト認ムルトキハ職權ヲ以テ辯護人ヲ選任スルコトヲ得

第二十一　被告人ハ辯護人ヲ選任スルコトヲ得

第二十　豫審ニ於テハ辯護人ハ豫審判事ノ許可ヲ得テ書類ヲ閱覽シ及ヒ謄寫スルコトヲ得

第十九　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ被告人ヲ訊問スルコトヲ得

第十八　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十七　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十六　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十五　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十四　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十三　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十二　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十一　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第九　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第八　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第七　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第六　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第五　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第四　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第三　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第二　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第一　豫審判事ハ豫審ノ終結ニ至ルマテ何時ニテモ檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ得

（第二號樣式）

第三第二第一號	表題部	不動産ノ表示	地番	地目	地積	原因及ヒ其ノ日附	登記ノ日附

所有者	順位番號	登記ノ目的	受付年月日及ヒ受付番號	權利者其ノ他ノ事項

（第三號樣式）

鐵道（軌道）財團目錄	
本鐵道（軌道）株式會社	

第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			橋梁			木造			

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			隧道			煉瓦造			

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			停車場						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			運轉所						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			車庫						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			倉庫						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			其他ノ建物						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			電氣工作物						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			其他ノ工作物						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			附屬物						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			動産						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			特許ノ物件						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			其他ノ財産權						

（第四號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			賃貸借						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			使用貸借						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			地上權						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			質權						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			先取特權						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			抵當權						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			其他ノ權利						

（第五號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			假差押						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			假處分						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			其他ノ權利						

（第六號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權						

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ目的物						

（第七號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ順位						

（第八號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分						

（第九號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記						

（第十號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消						

（第十一號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ更正						

（第十二號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消						

（第十三號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ更正						

（第十四號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ更正ノ更正						

（第十五號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第十六號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第十七號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第十八號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第十九號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第二十號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第二十一號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第二十二號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第二十三號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第二十四號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第二十五號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第二十六號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第二十七號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第二十八號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第二十九號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第三十號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第三十一號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第三十二號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第三十三號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第三十四號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第三十五號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第三十六號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第三十七號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第三十八號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第三十九號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第四十號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第四十一號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第四十二號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第四十三號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第四十四號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第四十五號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第四十六號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第四十七號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第四十八號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第四十九號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消						

（第五十號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ抹消ノ更正						

（第五十一號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消						

（第五十二號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ更正						

（第五十三號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消						

（第五十四號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ更正						

（第五十五號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消						

（第五十六號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ更正						

（第五十七號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消						

（第五十八號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ更正						

（第五十九號樣式）

第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消						

（第六十號樣式）

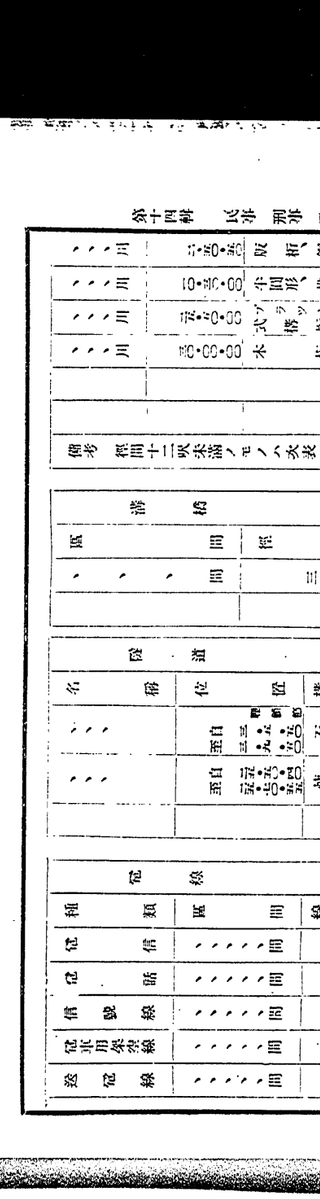
第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消ノ更正						

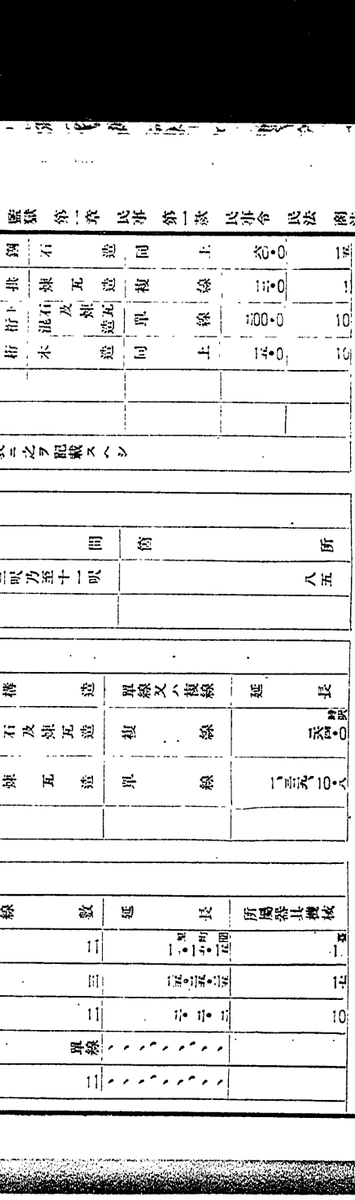
（第六十一號樣式）

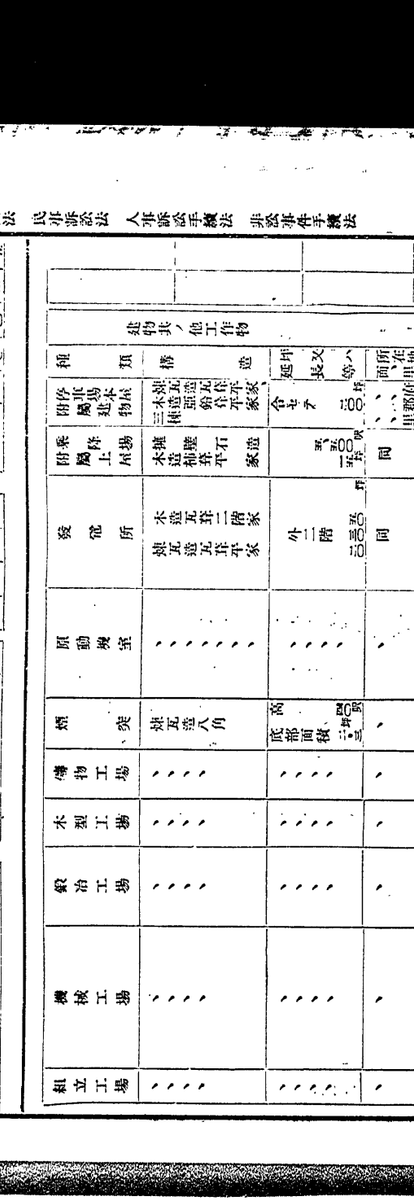
第三第二第一號	財團所屬線路	許可條件	種別	名稱	位置	構造	長サ	數量	摘要
			鐵道（軌道）抵當權ノ處分ノ登記ノ抹消						

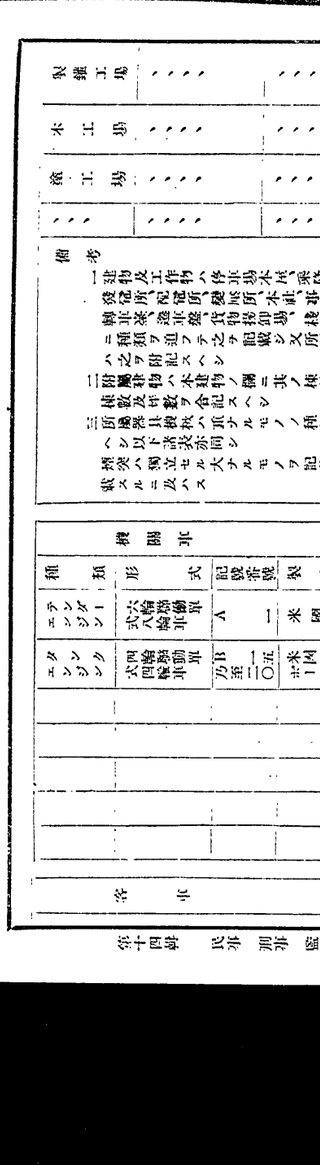
（第六十二號樣式）

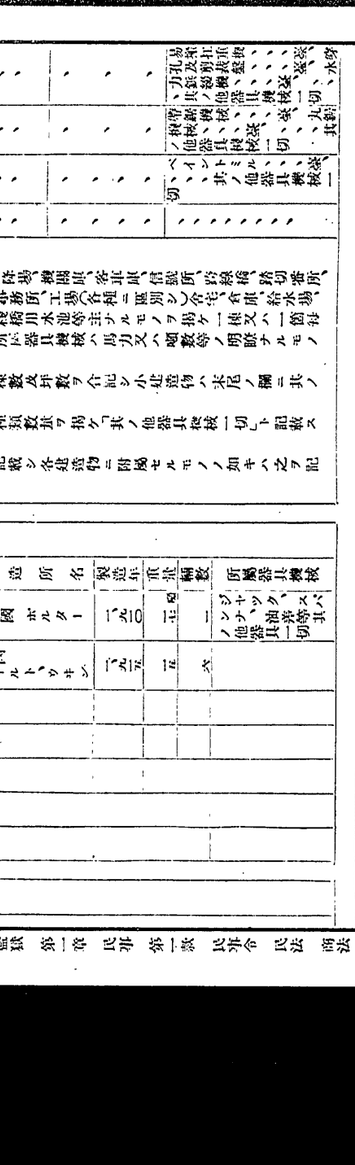
| 第三第二第一號 | 財團所屬線路 | 許可條件 | 種別 | 名稱 | 位置 | 構造 | 長サ | 數量 | 摘要

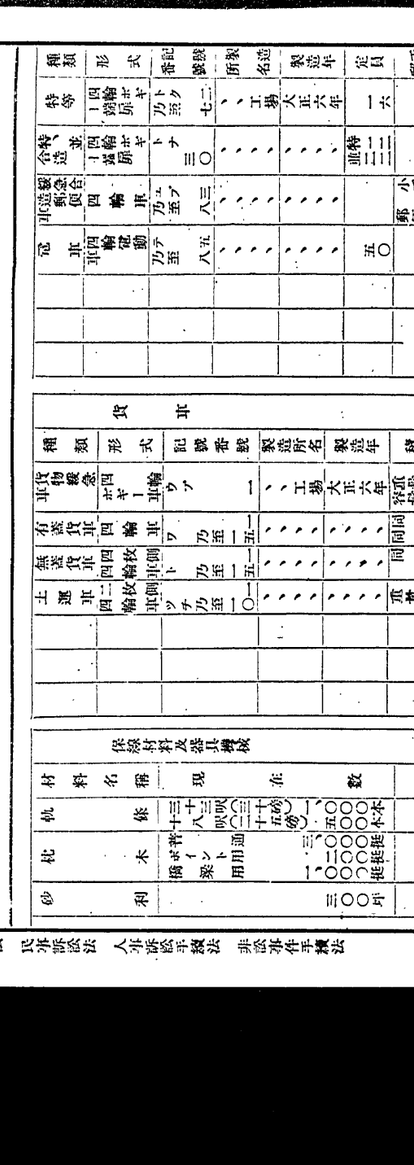












第二款　登記

●別鮮不動産登記令

制明治四十令五年三月廿九日

第一條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ爲ス

第二條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ其不動産ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ管轄ニ屬ス

第三條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ登記官吏之ヲ取扱フ

第四條　登記官吏ハ其職務ヲ行フニ付故意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第五條　登記官吏ハ其職務ヲ行フニ付テハ何人ニ對シテモ其責ニ任セス

第六條　登記官吏ハ其職務ヲ行フニ付テハ何人ニ對シテモ其責ニ任セス

第七條　登記官吏ハ其職務ヲ行フニ付テハ何人ニ對シテモ其責ニ任セス

第八條　本令ニ定メタル登記ノ外別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第九條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第十條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第十一條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第十二條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第十三條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第十四條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第十五條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第十六條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第十七條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第十八條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第十九條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第二十條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第二十一條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第二十二條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第二十三條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第二十四條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第二十五條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第二十六條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第二十七條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第二十八條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第二十九條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第三十條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第三十一條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第三十二條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第三十三條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第三十四條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第三十五條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第三十六條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第三十七條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第三十八條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第三十九條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第四十條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第四十一條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第四十二條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第四十三條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第四十四條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第四十五條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第四十六條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第四十七條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第四十八條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第四十九條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第五十條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第五十一條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第五十二條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第五十三條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第五十四條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第五十五條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第五十六條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第五十七條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第五十八條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第五十九條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第六十條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第六十一條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第六十二條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第六十三條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第六十四條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第六十五條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第六十六條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第六十七條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第六十八條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第六十九條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第七十條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第七十一條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第七十二條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第七十三條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第七十四條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第七十五條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第七十六條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第七十七條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第七十八條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第七十九條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第八十條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第八十一條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第八十二條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第八十三條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第八十四條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第八十五條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第八十六條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第八十七條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第八十八條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第八十九條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第九十條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第九十一條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第九十二條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第九十三條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第九十四條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第九十五條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第九十六條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第九十七條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第九十八條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第九十九條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

第百條　別鮮不動産ニ關スル登記ハ本令ニ定メタル登記ノ效力ヲ有セス

登記番號欄ニハ各土地又ハ各建物ニ付キ登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ土地又ハ建物ノ表示ヲ爲シ及ヒ其變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ所有權以外ノ權利ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第十七條　削除

第十八條　登記簿ニハ地方裁判所長其收斂ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ駿氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ且每葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第十九條　土地登記簿及ヒ建物登記簿ニ付キ各其見出帳ヲ設ク

第二十條　登記官ハ見出帳、共同人名簿及ヒ閲面ハ永久ニ之ヲ保存スルコトヲ要ス

申請書其他ノ附屬書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス

第二十一條　何人ト雖モ手數料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求シ又利害關係アル部分ニ限リ登記簿又ハ其附屬書類ノ閲覽ヲ請求スルコトヲ得

手數料ノ外郵便料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得

第二十一條ノ二　登記簿ノ謄本又ハ抄本又ハ登記ニ關スル書類ノ保存期間滿了ノ後ニ於テ之ヲ廢棄セムトスルトキハ豫メ其ノ旨ヲ公告スヘシ

前項ノ公告アリタル日ヨリ三箇月ヲ經過スルモ利害關係人ヨリ何等ノ申出ナキトキハ登記官ハ其ノ書類ヲ廢棄スルコトヲ得

第二十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第二十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第二十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第二十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第二十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第二十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第二十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第二十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第三十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第三十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第三十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第三十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第三十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第三十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第三十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第三十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第三十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第三十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第四十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第四十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第四十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第四十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第四十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第四十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第四十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第四十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第四十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第四十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第五十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第五十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第五十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第五十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第五十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第五十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第五十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第五十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第五十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第五十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第六十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第六十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第六十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第六十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第六十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第六十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第六十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第六十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第六十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第六十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第七十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第七十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第七十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第七十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第七十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第七十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第七十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第七十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第七十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第七十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第八十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第八十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第八十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第八十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第八十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第八十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第八十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第八十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第八十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第八十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第九十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第九十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第九十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第九十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第九十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第九十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第九十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第九十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第九十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第九十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百二十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百二十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百二十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百二十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百二十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百二十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百二十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百二十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百二十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百二十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百三十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百三十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百三十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百三十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百三十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百三十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百三十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百三十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百三十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百三十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百四十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百四十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百四十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百四十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百四十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百四十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百四十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百四十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百四十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百四十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百五十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百五十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百五十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百五十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百五十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百五十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百五十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百五十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百五十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百五十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百六十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百六十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百六十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百六十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百六十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百六十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百六十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百六十七條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百六十八條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百六十九條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百七十條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百七十一條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百七十二條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百七十三條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百七十四條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百七十五條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百七十六條　登記官ハ登記ノ完了シタル後登記ニ關スル書類ニ受附ノ番號順序ヲ記シ且其ノ末尾ニ登記ノ完了シタル旨ヲ記シ登記官之ニ署名スヘシ

第百七

第六十三條ノ三　前二條ノ通知ハ第四十六條ノ二ノ場合ニ於テハ借權者ニ亦之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十四條　第五十六條及ヒ第五十七條ノ規定ハ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　抹消シタル登記ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登記上利害ノ關係アル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス但登記ノ回復ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル所謂登記ノ所持人又ハ裏書人アルトキハ其者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲモ添附スルコトヲ要ス

第六十六條　登記回復ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ回復スルトキハ回復ノ登記ヲ爲シタル後更ニ抹消ニ係ル登記ト同一ノ登記ヲ爲シ若シ或登記事項ノミカ抹消ニ係ルトキハ附記ニ依リ更ニ其事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第六十七條　第九條第二項ノ場合ニ於テ乙登記所ハ移送ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ニ依リ相當區畫ノ登記簿ニ登記ヲ移スコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追テ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記區畫ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第六十八條　同一ノ登記所ノ管轄内ニ於テ一筒又ハ數箇ノ不動産ノ所在地カ甲登記區畫ヨリ乙登記區畫ニ轉屬シタルトキハ登記所ハ乙登記區畫ノ登記簿ニ其不動産ニ關スル登記ヲ移スコトヲ要ス

前條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ前登記用紙ニ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第六十九條　登記ヲ移シタル場合ニ於テハ登記用紙ニ登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ且前登記用紙ニ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第七十條　前條ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ登記ノ申請書ニ前登記ノ順位番號、申請書受附ノ年月日、受附番號ヲ記載シ前登記ノ登記濟證ヲ添附スルコトヲ要ス

第七十一條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ番號ヲ記載シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第七十二條　第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間中新登記ノ申請アリタルトキハ假設登記簿ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ登記濟證ニ假設登記簿ニ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十三條　假設登記簿ニ爲シタル登記ハ第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間滿了ノ後遲滯ナク之ヲ登記簿ニ移スコトヲ要ス

此場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ假設登記簿ニ於ケル登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十四條　假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シタルトキハ其不動産ニ關スル假設登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第七十五條　假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シタル場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙ヨリ所有權ノ登記ヲ移シ其登記ヲ抹消シ甲地ノ登記用紙ニ之ヲ移記スルコトヲ要ス

第七十六條　假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シタル場合ニ於テハ假設登記簿ニ其登記ヲ爲シタル旨ヲ記載シ且其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第七十七條　前條ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中所有權ノ登記ヲ抹消シタル旨ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第七十八條　所有權ノ一部移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ登記原因ニ百五十六條第一項但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十九條　土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ增減又ハ地目若クハ番號ノ變更アリタルトキハ其土地ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滯ナク其登記ノ變更ヲ申請スルコトヲ要ス

第八十條　土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數又ハ新地目若クハ新番號ヲ記載シ且土地表帳原本ヲ添附スルコトヲ要ス

第八十一條　土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ減少又ハ地目ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ申請書ニ其登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス但抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於テハ其所持人又ハ裏書人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第八十二條　甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ト爲シタル場合ニ於テ分筆ノ登記ヲ爲スニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第八十三條　土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ增減又ハ地目若クハ番號ノ變更アリタルトキハ其事項ヲモ記載スルコトヲ要ス

第八十四條　第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間中新登記ノ申請アリタルトキハ假設登記簿ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ登記濟證ニ假設登記簿ニ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十五條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第八十六條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第八十七條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第八十八條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第八十九條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第九十條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第九十一條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第九十二條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第九十三條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第九十四條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第九十五條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第九十六條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第九十七條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第九十八條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第九十九條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百一條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百二條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百三條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百四條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百五條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百六條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百七條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百八條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百九條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百十條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百十一條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百十二條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百十三條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百十四條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百十五條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百十六條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百十七條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百十八條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百十九條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百二十條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百二十一條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百二十二條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百二十三條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百二十四條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百二十五條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百二十六條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百二十七條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百二十八條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百二十九條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百三十條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百三十一條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百三十二條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百三十三條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百三十四條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百三十五條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百三十六條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百三十七條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百三十八條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百三十九條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百四十條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百四十一條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百四十二條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百四十三條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百四十四條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百四十五條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百四十六條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百四十七條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百四十八條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百四十九條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百五十條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百五十一條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百五十二條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百五十三條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百五十四條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百五十五條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百五十六條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百五十七條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百五十八條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百五十九條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百六十條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百六十一條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百六十二條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百六十三條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百六十四條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百六十五條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百六十六條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百六十七條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百六十八條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百六十九條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百七十條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百七十一條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百七十二條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百七十三條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百七十四條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百七十五條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百七十六條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百七十七條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百七十八條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百七十九條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百八十條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百八十一條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百八十二條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百八十三條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百八十四條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百八十五條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百八十六條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百八十七條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百八十八條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ前登記ノ順序ヲ追ヒ登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ前登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

第百八十九條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ

料ニ編入シタル旨ヲ記載シ若シ登記原因ニ存スル期間、地代又ハ其支拂時期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十二條　永小作權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ小作料ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間、小作料ノ支拂時期其他永小作人ノ權利若クハ義務ニ關スル特約アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十三條　地役權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ要役地ノ表示ヲ爲シ地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ民法第二百八十一條第一項但書又ハ第二百八十六條ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十四條　地役權ノ設定ノ登記ヲ爲シタルトキハ要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ承役地タル不動産ノ表示ヲ爲シ其不動産カ地役權ノ目的ノ及ヒ範圍ヲ記載スルコトヲ要ス要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滯ナク其登記所ニ承役地、要役地、地役權設定ノ目的竝ニ範圍及ヒ申請書受附ノ年月日ヲ通知スルコトヲ要ス

第百十五條　先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス但不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其工事費用ノ豫算額ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十六條　質權ノ設定又ハ轉質ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス但不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ其工事費用ノ豫算額ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十七條　抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十八條　先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其申請書ニ其權利ノ目的カ所有權以外ノ權利ナルトキハ其旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第百十九條　質權又ハ抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ設定者カ債務者ニ非サルトキハ申請書ニ債務者ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十條　抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權又ハ抵當權カ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十一條　抵當證券ノ發行アル抵當權ノ目的物ノ讓渡ニ因ル移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ抵當權設定者カ其氏名、住所ノ登記ヲ爲シタル後抵當證券ノ發行アリタルトキハ抵當權設定者カ其氏名、住所ノ登記ヲ爲シタル後抵當證券ノ發行アリタルトキハ其旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第百二十二條　數個ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ爲シタルトキハ各不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

第百二十二條ノ二　前條ノ場合ニ於テ不動産カ五箇以上ナルトキハ申請書ニ共同擔保目錄ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ目錄ニハ各不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

第百二十二條ノ三　一箇又ハ數箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ爲シタル後同一ノ債權ニ付キ他ノ一箇又ハ數箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ前ノ登記ヲ表示スルニ足ルヘキ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十三條　債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル先取特權、質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十四條　第百二十二條ノ規定ニ從ヒテ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ其一箇ノ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲ストキハ其不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ他ノ不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其權利カ共ニ擔保ノ目的タル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十四條ノ二　申請書ニ共同擔保目錄ヲ添附シタル場合ニ於テハ其一箇ノ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲ストキハ其不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ他ノ不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其權利カ共ニ擔保ノ目的タル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十一條　官吏又ハ公吏ノ身元保證ヲ目的トスル抵當權ノ設定ノ登記ハ嘱託書ニ其官吏又ハ公吏カ差出シタル登記請求書ヲ添附シテ當該官廳又ハ公署ヨリ遲滯ナク之ヲ登記所ニ嘱託スルコトヲ要ス

第百二十二條　數個ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ共同擔保目錄ヲ添附スルコトヲ要ス

第百二十三條　債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル先取特權、質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十四條　第百二十二條ノ規定ニ從ヒテ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ其一箇ノ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲ストキハ其不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ他ノ不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其權利カ共ニ擔保ノ目的タル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十四條ノ二　申請書ニ共同擔保目錄ヲ添附シタル場合ニ於テハ其一箇ノ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲ストキハ其不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ他ノ不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其權利カ共ニ擔保ノ目的タル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十一條　官吏又ハ公吏ノ身元保證ヲ目的トスル抵當權ノ設定ノ登記ハ嘱託書ニ其官吏又ハ公吏カ差出シタル登記請求書ヲ添附シテ當該官廳又ハ公署ヨリ遲滯ナク之ヲ登記所ニ嘱託スルコトヲ要ス

ヲ認可シタルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク世襲財産ノ設定ノ登記ヲ登記所ニ嘱託スルコトヲ要ス

華族世襲財産法第二十三條又ハ第二十八條ノ規定ニ依ル管理財産中不動産アルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク管理財産タル旨ノ登記ヲ登記所ニ嘱託シ管理終了シタルトキハ其登記ノ抹消ヲ嘱託スルコトヲ要ス

管理人カ其管理中取得シタル不動産ニ付テハ取得ノ登記ト共ニ管理財産タル旨ノ登記ヲ爲シ管理終了シタルトキハ其登記ノ抹消ヲ嘱託スルコトヲ要ス

第百四條　第百四條ノ二乃至前條ノ規定ハ擔保附社債信託法ニ依ル登記ニ之ヲ適用ス

第百五條　未登記ノ土地所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

一　土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ敷地ノ所有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證スル者

二　判決ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

三　收用ニ因リ所有權ヲ取得シタル者

四　判決其他官廳又ハ公署ノ書面ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第百六條　未登記ノ建物所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

一　建物ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者トシテ登記簿ニ登記セラレタル者

二　土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ敷地ノ所有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證スル者

三　既登記ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者ノ證明書ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

四　判決其他官廳又ハ公署ノ書面ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第百七條　前二條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ第百五條第何號又ハ前條第何號ニ依リテ登記ヲ申請スル旨ヲ記載シ必要ナル證明書類ヲ添附シ前條ノ規定ニ依ル申請ニ付テハ關面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八條　未登記ノ不動産所有權ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第百九條　第百二十九條ノ規定ハ未登記ノ不動産所有權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百十條　官廳又ハ公署カ未登記ノ不動産所有權ノ登記ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ第百五條第何號又ハ前條第何號ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第三節　所有權以外ノ權利ニ關スル登記手續

第百十一條　地上權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ地上權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ不動産ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第百二條ノ三　既登記ノ土地カ河川ノ敷地ト爲リタル場合ニ於テハ當該官廳ハ遲滯ナク其登記ノ抹消ヲ登記所ニ嘱託スルコトヲ要ス

前項ノ嘱託ヲ爲ス場合ニ於テ必要アルトキハ當該官廳ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ土地ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ嘱託スルコトヲ得

第一項ノ嘱託ヲ受ケタル登記所ハ登記用紙中表示欄ニ河川ノ敷地ト爲リタル旨ヲ記載シ土地ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ第百二條ノ規定ヲ準用ス

第百三條　土地ノ收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得其申請書ニハ補償金ノ受取證又ハ供託ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ必要アルトキハ起業者ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ土地ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ申請スルコトヲ得

官廳又ハ公署カ起業者ナルトキハ其官廳又ハ公署ハ遲滯ナク前二項ノ登記ヲ登記所ニ嘱託スルコトヲ要ス

第百三條ノ二　第四十六條ノ二、第五十條第三項、第六十條ノ二及ヒ第六十三條ノ三ノ規定ハ第百二條ノ三第二項及ヒ前條第二項ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百三條ノ三　不動産ニ付キ遺留財産ヲ設定又ハ增加ノ勅許アリタルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク遺留財産ノ設定ノ登記ヲ登記所ニ嘱託スルコトヲ要ス

第百三條ノ四　前條ノ規定ハ王公家軌範ニ依ル世襲財産ノ設定又ハ增加ノ勅許アリタルトキハ之ヲ準用ス

第百四條　不動産ヲ罪族世襲財産ト爲スコトヲ得

●朝鮮不動産登記令施行規則

明治四十五年三月
總令第三十六號

改正　大正三年五月第五〇號、五年四月第二九號、一五年二月第一〇號、昭和二年七月第七號、三年七月第四三號、六年八月第一〇六號、六年九月第一一八號、八年五月第五三號、八年一〇月第一二號

朝鮮不動産登記令施行規則左ノ通定ム

朝鮮不動産登記令施行規則

第一章　登記ニ關スル帳簿

第一條　土地登記簿及建物登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方法院ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條　共同人名簿ノ二種トス

共同人名簿ハ土地共同人名簿及建物共同人名簿トス

共同人名簿ハ登記簿ヲ分設シタル場合ニ於テハ登記簿ヲ分設シタル區畫每ニ見出ヲ附スヘシ

第三條　土地共同人名簿及建物共同人名簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方法院ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條　登記簿及共同人名簿ハ登記所ノ請求ニ因リ地方法院長之ヲ交付スヘシ

登記所ハ翌年中ニ必要ナル帳簿ノ册數及各册ノ枚數ヲ見積リ每年十一月中ニ請求ヲ爲スヘシ

豫定外ニ帳簿ノ必要ヲ生シタルトキハ臨時其ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五條　登記簿及共同人名簿ノ用紙ニハ豫メ丁數ヲ記入スヘシ

第六條　土地登記見出帳及林野登記見出帳ハ附錄第三號雛形、土地分合登記見出帳ハ附錄第四號雛形、建物登記見出帳ハ附錄第五號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第七條　土地登記見出帳ニハ土地ノ番號ヲ逐ヒ豫メ各葉ノ見出ニ登記番號ヲ記載スル每ニ其ノ登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ册數、丁數及登記番號ヲ記入スヘシ

建物登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部迄ヲ設ケ置キ建物登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル每ニ敷地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ敷地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ册數、丁數及登記番號ヲ記入シ若建物ノ番號アルトキハ其ノ番號ヲモ記入スヘシ但敷地カ二箇以上ノ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

第八條　土地分合登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部迄ヲ設ケ置キ土地ノ分合ニ關スル登記ヲ爲ス每ニ其ノ土地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ記入スルノ類ニ土地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ册數、丁數及登記番號ヲ記入スヘシ但シ土地カ合併ニ因リ二以上ノ番號ヲ有スルトキハ其ノ少キ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

前項ノ記入ヲ爲シタルトキハ土地登記見出帳ノ備考欄ニ事由ヲ記入シ其ノ見出ヲ朱抹スヘシ

第九條　建物登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部迄ヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル每ニ敷地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ敷地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ册數、丁數及登記番號ヲ記入シ若建物ノ番號アルトキハ其ノ番號ヲモ記入スヘシ但敷地カ二箇以上ノ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

第十條　登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳ノ備考欄ニ事由ヲ記入シ其ノ見出ヲ朱抹スヘシ

第十一條　受附帳ハ附錄第六號雛形ニ依リ每年之ヲ調製スヘシ

第十二條　受附番號ハ一年每ニ更新スヘシ

第十三條　受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ二人以上ナルトキハ申請書ニ揭ケタル筆頭ノ者ニノミ氏名及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十四條　登記所ニハ登記簿、共同人名簿、見出帳及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一　圖面綴込帳
二　印鑑簿
三　共同擔保目錄綴込帳
四　信託原簿綴込帳

五　申請書綴込帳
六　決定原本綴込帳
七　抗告書綴込帳
八　評價事件簿
九　評價書類綴込帳
十　印鑑證明書綴込帳
十一　本登記濟證交付帳
十二　土地登記濟通知簿
十三　謄本抄本交付帳
十四　各種通知簿
十五　受領證原符元帳
十六　還納受領證綴込帳

第十五條　前條第三號乃至第十六號ノ帳簿ハ一年每ニ別册トシ爲スヘシ但シ分册スルコトヲ妨ケス

第十六條　申請書、嘱託書、通知書、許可書、管轄轉屬ニ因リ移送ヲ受ケタル登記簿謄本、登記立會調書其ノ他ノ附屬書類ハ受附番號ノ順序ニ依リテ申請書類綴込帳ニ之ヲ編綴スヘシ

第十七條　圖面ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載シ受附番號ノ順序ニ依リ之ヲ編綴シ丁數ヲ附スヘシ

第十七條ノ二　共同擔保目錄ノ次紙ニハ申請番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ番號ヲ附スヘシ

第十七條ノ三　共同擔保目錄ハ一年每ニ其ノ番號ヲ更新スヘシ

第十七條ノ四　前二條ノ規定ハ信託原簿ニ之ヲ準用ス

第十八條　不動產登記法第四十四條ノ規定ニ依リ申請書ニ添附シタル書面二通ノ內一通ハ登記所ニ保存スヘシ

第十九條　第十四條第十三號ノ通知等ニハ大正三年制令第十六號第六條、朝鮮不動產登記令第八條ノ二、不動產登記法第二十八條乃至第六十三條ノ二、第六十一條、第六十三條第二項、第六十四條第一項、第百三條ノ二、第百十四條第二項、百二十六條第二項、第百二十七條ノ二、第百四十九條、第六十三條第一項、第七十條、第七十一條ノ二ノ通知事項、通知ヲ受ケル者及通知ヲ發スル年月日ヲ記入スヘシ

第二十條　評價事件簿ハ附錄第七號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十一條　事務ヲ避ケル爲登記簿又ハ其ノ附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ具申スヘシ

第二十二條　裁判所、檢察官事務ヲ檢事ヨリ申請書其ノ他ノ附屬書類ヲ送付スヘキ命令又ハ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其ノ關係アル部分ニ限リ之ヲ送付スヘシ

第二十三條　登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滯ナク其ノ事由、年月日、滅失セシ登記簿ノ册數其ノ他不動產登記法第二十三條ノ告示ヲ爲スニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且囘復登記期間ヲ豫定シ地方法院長ニ申報スヘシ

地方法院長カ前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後朝鮮總督ニ具申スヘシ

第二十四條　登記簿及其ノ附屬書類ノ滅失ニ歸アルトキハ詳細其ノ狀況ヲ取調ヘ且處分方法ヲ具シ前條ノ例ニ準シ申報又ハ具申ヲ爲スヘシ

第二十五條　登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢棄セントスルトキハ其ノ目錄ヲ作リ地方法院長ノ認可ヲ受ケヘシ

第二十六條　不動產ノ所有者ハ其ノ本籍地又ハ所在地ノ市、區、町村長（市、區、町村長ナキ地ニ於テハ其ノ職務ヲ行フ吏員）又ハ府尹、面長若ハ之ニ準スル者ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ不動產所在地ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ

前項ノ規定ニ依リ證明ヲ得ルコト能ハサル

トキハ成年者二人以上ノ連署シタル證明書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

不動產ヲ所有スル法人又ハ朝鮮外ニ於テ設立シタル會社ノ代表者ハ其ノ法人又ハ朝鮮外ニ於テ設立シタル會社ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ノ證明ヲ得タル印鑑、會社ノ第十九條第二項又ハ第二十條ニ規定スル會社ニシテ登記ヲ爲ササルモノニ在リテハ朝鮮ニ駐在スル其ノ本國領事官ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ提出スヘシ但シ法人又ハ朝鮮外ニ於テ設立シタル會社ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ト不動產所在地ヲ管轄スル登記所ト同一ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條　印鑑ハ附錄第八號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十八條　印鑑簿調製ノ樣式及貼附ノ方法等ハ地方法院長之ヲ定ムヘシ

第二十九條　第二十六條ノ規定ハ官廳及公署ニハ之ヲ適用セス

第三十條　登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付又ハ登記簿若ハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ

代理人カ前項ノ請求ヲ爲ストキハ申請書ニ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第三十一條　土地登記簿謄本ノ交付又ハ土地登記簿若ハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ共ノ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ又ハ申請人署名捺印スヘシ但シ閱覽ヲ請求スル申請書ニハ利害ノ關係アル事由ヲ記載シ又ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一　土地所在地ノ表示及土地ノ番號
二　手數料ノ金額
三　登記所ノ表示
四　年月日

第三十二條　土地登記簿抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ共ノ申請書ニ前條ニ揭ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

第三十三條　前二條ノ規定ハ建物登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ニ之ヲ準用ス

第三十四條　不動產登記法第二十一條第二項第一號乃至第十五號及第四條ノ二ノ登記ニ付テハ課稅標準ノ價格ヲモ記載スヘシ

朝鮮登錄稅第十條ノ場合ニ於テハ前項ニ揭ケタル事項ノ外差稅額ヲ記載スヘシ

第四十條ノ二　擔保附社債信託法第百十九條ノ二ノ規定ニ依リテ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書カ二葉以上ニ渉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ登記權利者又ハ登記義務者カ二人以上ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

第四十二條　登記原因ヲ證スル書面初ヨリ存在セス又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十二條ノ二　朝鮮不動產登記令第二條ノ四ニ規定スル社團又ハ財團左ノ如シ

一　宗中及門中
二　宗教團體又ハ布教規則第十五條第一項ノ規定ニ依リ同規則ヲ準用セラルル宗教類似團體
三　大正六年朝鮮總督府令第二十一號ニ依リ設立シタル神祠

第四十三條　不動產カ二以上ノ登記所ノ管轄ニ跨ル場合ニ於テ裁判所ノ指定シタル管轄登記所ニ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第四十四條　不動產登記法第百二十八條又ハ第百三十條ノ規定ニ依リ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ登記ニ共同擔保目錄ヲ添附スヘシ

第四十五條　建物ノ圖面ニハ不動產登記法第三十六條第一號並第三十七條ニ揭ケタル事項及敷地ノ方位並建物ノ形狀、間尺、位置ヲ記載シテ申請人署名捺印スヘシ

圖面ハ縱ヲ疊引、橫字ト爲シ若登記ノ目的外ナル建物アルトキハ其ノ圖ハ朱引、朱字ト爲スヘシ

圖面ハ美濃紙ヲ以テ之ヲ調製スヘシ

第四十五條ノ二　共同擔保目錄ハ附錄第九號樣式ニ依リ美濃紙ヲ以テ之ヲ調製スヘシ

第四十六條ノ二　申請人ハ共同擔保目錄ノ表紙ニ不動產共同擔保目錄ト記載シ之ニ署名捺印スヘシ

共同擔保目錄ノ用紙ニハ丁數ヲ記入シ且每葉ノ綴目ニ契印スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ各一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル

第四十七條ノ四　共同擔保目錄ニ不動產ニ關スル權利ノ表示ヲ爲スニハ其ノ表示ノ順序ヲ追ヒテ番號欄ニ番號ヲ附記スヘシ

第四十五條ノ五　賃權又ハ抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ先順位ノ賃權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ

タル不動産ノ表示及年月日又ハ登記番號

第六十九條　不動産登記法第十一條第一項ノ通知ニハ土地所在地ノ表示及土地ノ番號、地目、段別若ハ坪數、申請書受附ノ年月日、登記ノ目的及申請人ノ氏名、住所ヲ記載スヘシ

前項ノ通知ハ登記ヲ完了シタル日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スヘシ但シ土地ニ對スル地稅又ハ市街地稅ノ納期開始前十五日内ハ其ノ都度通知ヲ爲スヘシ

第七十條　登記官吏カ不動産登記法第百二十九條、第百三十一條又ハ第百三十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ不動産ノ表示、登記原因、其ノ日附、登記權利者ノ氏名、住所、登記ノ目的及登記濟ノ旨ヲ不動産ノ所有者ニ通知スヘシ但シ第百三十一條又ハ第百三十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ所有權以外ノ權利者ニモ其ノ通知ヲ爲スヘシ

第七十條ノ二　不動産登記法第百四十九條ノ二第一項ノ通知ハ同法第四十六條ノ二ノ場合ニ於テハ債權者、大正三年制令第十六號第二條ノ場合ニ於テハ申請人ニ亦之ヲ爲スヘシ

第七十條ノ三　不動産登記法第百四十九條ノ二第一項ノ通知ニハ登記ヲ完了シタル事件ノ表示及事件カ登記所ノ管轄ニ屬セサルコト又ハ登記スヘキモノニ非サルコトヲ記載スヘシ

第七十一條　大正三年制令第十六號第六條、朝鮮不動産登記令第八條ノ二、不動産登記法第二十八條ノ三、第六十一條乃至第六十三條ノ二、第七十五條第一項、第百三條ノ二、第百二十七條ノ二、第百四十九條ノ二第一項、第百五十三條第二項及本令第七十條、第七十條ノ二ノ通知ハ郵便其ノ他便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第七十二條　不動産登記法第九條第一項ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ管轄ノ變更アリタルコト及其ノ年月日ヲ記載シ其ノ表紙ニ記載シタル登記所ノ名稱ヲ變更スヘシ

同法第五十九條ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ行政區畫若ハ洞里ニ關スル又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルコト及其ノ年月日ヲ記載シ其ノ表紙ニ記載シタル行政區畫若ハ洞里ニ關スル又ハ其ノ名稱ヲ變更スヘシ

第七十二條ノ二　登記官吏カ其ノ職務上擔保附社債信託法第百九條十第四號ノ規定ニ依リテ過料ニ處セラルヘキ者アルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク其ノ事件ヲ管轄地方法院長ニ通知スヘシ

附　則

第七十三條　本令ハ朝鮮不動産登記令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正三年五月總令第五十號）

本令ハ朝鮮不動産登記令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十五年二月總令第十號）

本令ハ大正十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前調製シタル帳簿及用紙ハ本令施行後ト雖之ヲ使用スヘシ

見出帳ハ之ヲ改製スル迄ハ仍從前ノ樣式ニ依ルヘシ

附　則（昭和二年七月總令第四十三號）

本令ハ朝鮮貴族世襲財産令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和三年七月總令第百十五號）

本令ハ昭和三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年八月總令第百六號）

本令ハ昭和六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年九月總令第百十八號）

（別記）

附錄第一號

土地（建物）登記簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方法院長

表（不動産表示）部題部　第　號

表示番號	表示欄	表示番號	表示欄	表示番號	表示欄

丁

甲區（權利ノ所有以外ノ權利）

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄

丁

乙區（權利ノ所有以外ノ權利）

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄

丁

附錄第二號

土地（建物）共同人名簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方法院長

番號	申請人ノ氏名、住所	持分	摘要

丁

部ノ

土地ノ番	符號	本番	符號	登記	附錄第五號	備考
					建物	
					登記	
					見出帳	

部ノ

土地ノ番	符號	本番	符號	登記	附錄第五號	備考
					建物	
					登記	
					見出帳	

附錄第三號

土地（林野）登記見出帳

何地方法院（何支）廳（何支）廳所轄

土地ノ番	符號	本番	符號	登記	附錄第四號	備考
					林野地分合登記見出帳	

何地方法院（何支）廳（何支）廳所轄

順位番號	登記ノ目的	受付番號	受附ノ年月日	登記濟又ハ却下ノ年月日及ノ	申請人ノ氏名	備考

丁

順位番號	登記ノ目的	受付番號	受附ノ年月日	登記濟又ハ却下ノ年月日及ノ	申請人ノ氏名	備考

丁

附錄第十號

一	二	三	四
委託者ノ氏名住所	受託者ノ氏名住所	受益者ノ氏名住所	信託管理人ノ氏名住所

五	
信託條項	摘要 備考

附錄第十一號

摘要	備考

附錄第十二號

變更	變更

●朝鮮不動產登記令施行期日及地域

大正三年五月
總令第五十一號

朝鮮不動產登記令ヲ大正三年五月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道京城府、仁川府、水原郡水原面、開城郡松都面
一　忠淸北道淸州郡淸州面
一　忠淸南道公州郡公州面、大田郡大田面、論山郡江景面
一　全羅北道群山府、全州郡全州面
一　全羅南道木浦府、光州郡光州面、羅州郡羅州面
一　慶尙北道大邱府、金泉郡金泉面
一　慶尙南道釜山府、馬山府、晉州郡晉州面
一　黃海道海州郡海州面
一　平安南道平壤府、鎭南浦府
一　平安北道新義州府、義州郡義州面
一　咸鏡南道元山府、咸興郡咸興面
一　咸鏡北道淸津府、會寧郡會寧面ノ內一里、二里、三里、四里、五里、鏡城郡楮村面ノ內勝岩洞、蓍巢洞、一里洞、羅南町、生駒町、初瀨町、美吉町、城津郡鐵城面ノ內將各國居留地ニ屬セシ地域

大正四年三月
總令第十五號

朝鮮不動產登記令ヲ大正四年四月一日ヨリ左ノ地域ニ施行ス

一　忠淸南道天安郡、牙山郡、禮山郡
一　慶尙北道慶城郡、淸道郡、慶山郡、高靈郡
一　慶尙南道密陽郡

大正四年八月
總令第八十九號

朝鮮不動產登記令ヲ大正四年九月一日ヨリ左ノ地域ニ施行ス

一　京畿道驪州郡、水原郡、利川郡、龍仁郡、振威郡、安城郡、廣州郡
一　大正四年朝鮮總督府令第四十二號ニ依リ忠淸南道天安郡ニ編入シタル地域

大正四年十一月
總令第百十四號

朝鮮不動產登記令ヲ大正四年十二月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　忠淸北道沃川郡、鎭川郡、報恩郡、永同郡
一　忠淸南道燕岐郡、唐津郡、瑞山郡

大正五年一月
總令第四號

朝鮮不動產登記令ヲ大正五年二月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　忠淸北道淸州郡（淸州面ヲ除ク）、公州郡（公州面ヲ除ク）
一　忠淸南道公州郡（公州面ヲ除ク）
一　慶尙北道尙州郡、醴泉郡、軍威郡、漆谷郡、青松郡、鬱陵島
一　慶尙南道東萊郡、昌寧郡、梁山郡、蔚山郡

大正五年三月
總令第十九號

朝鮮不動產登記令ヲ大正五年四月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道坡州郡、開城郡（松嶽面ヲ除ク）
一　忠淸南道大田郡（大田面ヲ除ク）、靑陽郡、扶餘郡、論山郡（江景面ヲ除ク）
一　慶尙北道星州郡、義城郡、盈德郡、英陽郡、慶州郡、迎日郡、永川郡、金泉郡（金泉面ヲ除ク）
安東郡
一　慶尙南道金海郡
一　平安南道安州郡、平原郡

大正五年五月
總令第四十一號

朝鮮不動產登記令ヲ大正五年六月一日ヨリ全羅南道濟州島ニ施行ス

大正五年六月
總令第四十七號

朝鮮不動產登記令ヲ大正五年七月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道　高陽郡、長湍郡、漣川郡
一　忠淸南道　洪城郡、保寧郡
一　平安南道　中和郡
一　慶尙北道　開慶郡、陰泉郡
一　慶尙南道　宜寧郡、咸安郡
一　平安南道　江西郡

大正五年八月
總令第六十九號

朝鮮不動產登記令ヲ大正五年九月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　忠淸北道　陰城郡、堤川郡、槐山郡
一　忠淸南道　舒川郡
一　全羅北道　沃溝郡
一　慶尙北道　榮州郡、奈化郡
一　慶尙南道　晋州郡、昌原郡、泗川郡、山淸郡、咸陽郡

大正五年十一月
總令第九十七號

朝鮮不動產登記令ヲ大正五年十二月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道　楊平郡、抱川郡、加平郡
一　忠淸北道　丹陽郡
一　全羅北道　益山郡、全州郡（全州面ヲ除ク）、茂朱郡、淳昌郡
一　慶尙南道　陜川郡、統營郡
一　平安南道　龍岡郡、大同郡

大正六年一月
總令第二號

朝鮮不動產登記令ヲ大正六年二月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　忠淸北道　忠州郡
一　全羅北道　錦山郡、金堤郡、高敞郡、鎭安郡、長水郡、扶安郡
一　全羅南道　谷城郡
一　慶尙南道　居昌郡、河東郡、固城郡
一　黃海道　殷栗郡

大正六年二月
總令第十號

朝鮮不動產登記令ヲ大正六年三月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　全羅北道　井邑郡
一　全羅南道　靈光郡、光州郡（光州面ヲ除ク）、和順郡、求禮郡、光陽郡
一　慶尙南道　南海郡
一　平安南道　中和郡

大正六年五月
總令第二十九號

朝鮮不動產登記令ヲ大正六年六月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　全羅北道　南原郡
一　黃海道　海州郡（海州面ヲ除ク）、松禾郡、瑞興郡

大正六年八月
總令第五十一號

朝鮮不動產登記令ヲ大正六年八月十日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　全羅北道任實郡
一　全羅南道靈巖郡、潭陽郡、長城郡、靈光郡、海南郡、務安郡、咸平郡、康津郡、長興郡、高興郡
一　黃海道金川郡、延白郡、安岳郡
一　平安南道寧遠郡、孟山郡
一　江原道麟蹄郡

大正六年九月
總令第五十七號

朝鮮不動產登記令ヲ大正六年九月十日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　全羅南道順天郡、珍島郡、羅州郡（羅州面ヲ除ク）
一　黃海道長淵郡、甕津郡
一　平安南道江東郡
一　江原道蔚珍郡、寧越郡、華川郡、楊口郡、平昌郡

大正六年十一月
總令第八十九號

朝鮮不動產登記令ヲ大正六年十二月十日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　全羅南道寶城郡
一　黃海道遂安郡、新溪郡、載寧郡、信川郡、平安南道价川郡
一　江原道襄陽郡、金化郡、鐵原郡、杆城郡、蔚珍郡、旌善郡、原州郡、橫城郡

大正七年一月
總令第七號

朝鮮不動產登記令ヲ大正七年二月十日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　全羅南道榮島郡
一　黃海道谷山郡、黃州郡、平山郡
一　平安南道順川郡
一　平安北道定州郡、鐵山郡
一　江原道三陟郡、伊川郡、淮陽郡、平康郡
一　咸鏡南道洪原郡、永興郡

朝鮮不動產登記令ヲ大正七年三月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　黃海道瓜山郡
一　平安南道德川郡、成川郡、陽德郡
一　平安北道宣川郡、泰川郡、熙川郡、鐵山郡、碧潼郡、昌城郡、義州郡（舊義州郡ヲ除ク）、寧邊郡
一　江原道洪川郡、江陵郡、通川郡
一　咸鏡南道安邊郡、定平郡
一　咸鏡北道城津郡（舊城津郡ノ內舊吉州郡及舊明川郡ノ內舊上三峯社里ヲ除ク）

大正七年五月總令第五十三號

朝鮮不動產登記令ヲ大正七年六月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　平安北道朔州郡、泗原郡、楚山郡
一　咸鏡南道端川郡、新興郡、甲山郡、北青郡、文川郡、高原郡、豐山郡、利原郡、交川郡、咸興郡（舊咸興郡ヲ除ク）、德源郡

大正七年六月總令第六十四號

朝鮮不動產登記令ヲ大正七年七月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　咸鏡北道吉州郡、慶源郡、茂山郡、富寧郡（會寧郡（舊會寧郡ノ內三峯社里ヲ除ク）、慶興郡、鏡城郡（舊鏡城郡ノ內舊上三峯社里ヲ除ク）
一　平安北道雲山郡、龍川郡、江界郡、博川郡、慈城郡、厚昌郡
一　咸鏡南道長津郡、三水郡
一　咸鏡北道明川郡、鐘城郡、穩城郡

●永代借地登記規則

大正三年五月總令第五十四號

永代借地登記規則左ノ通定ム

第一條　永代借地登記規則

永代借地權ノ登記ニ付テハ永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ登記所ニ備フヘシ

第二條　永代借地登記簿ハ其ノ一用紙ヲ登記番號欄、表題部及甲乙二區ニ分チ表題部ニ表示欄及表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄及順位番號欄ヲ設ク

登記番號欄ニハ各永代借地ニ付登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ永代借地ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ永代借地權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ永代借地權以外ノ權利ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第三條　永代借地登記簿ハ附錄第一號樣形ニ依リ地方法院ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條　永代借地登記簿ニ付テハ見出帳ヲ設クヘシ

見出帳ハ附錄第二號樣形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條　未登記ノ永代借地權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ永代借地權ヲ證スル永代借地臺帳ノ謄本、永代借地券又ハ判決ノ謄本ヲ添附スヘシ未登記ノ永代借地權ヲ目的トスル賃借權ノ登記ヲ申請スル場合亦同シ

第六條　未登記ノ永代借地權ニ付登記ノ申請アリタルトキハ前條ノ申請アリタル場合ヲ除クノ外登記官吏ハ職權ヲ以テ永代借地權保存ノ登記ヲ爲スヘシ

前項ノ申請ヲ爲スニハ前條ノ書面ヲ申請書ニ添附スヘシ此ノ場合ニ於テハ不動產登記法第三十五條第三號ノ書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第七條　永代借地權ヲ所有權ニ變更スル爲所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ永代借地權ノ變更ニ因ル旨ヲ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ土地臺帳謄本ヲ添附スルコトヲ要セス

第八條　前條ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノ登記ハ土地登記簿ニ之ヲ爲シ甲區非項欄ニ永代借地權ノ變更ニ因ル旨ヲ記載シ永代借地登記簿ノ用紙中永代借地權ヲ目的トスル權利ニ關スル登記アルトキハ抹消ニ係ラサル非項ヲ土地登記簿ニ移記スヘシ

前項ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ永代借地登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

第九條　帝國ノ臣民又ハ法人ノ爲永代借地權移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ其ノ永代借地登記簿ノ用紙中抹消ニ係ラサル事項ヲ土地登記簿ニ移記シ其ノ永代借地登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

第十條　前條ノ規定ハ登記官吏府尹又ハ郡守ヨリ永代借地權者カ帝國ノ臣民ト爲リタル旨ノ通知ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條　永代借地權ノ保存、移轉又ハ永代借地權ノ變更ニ因ル所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ遲滯ナク其ヲ旨ヲ府尹又ハ郡守ニ通知スヘシ

第十二條　外國領事館ノ登記簿ノ謄本ニ永代借地權ヲ目的トスル賃權又ハ抵當權ニ關スル登記ノ現存スル場合ニ於テ其ノ賃權又ハ抵當權ノ移轉變更又ハ消滅ノ登記、永代借地權ノ移轉ノ登記又ハ永代借地權ノ變更ニ因ル所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニハ申請書ニ當該領事官ノ承認書ヲ添附スヘシ但シ法令ノ規定ニ依リ永代借地權ヲ處分シタル場合ノ登記ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　登記ノ申請書ニ添附スル書面カ外國語ヲ以テ記載シタルモノナルトキハ申請人ハ之ニ譯文ヲ附スヘシ

第十四條　永代借地ニ關スル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外朝鮮不動產登記令及同施行規則ノ規定ヲ準用ス

附　則

第十五條　本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十六條　本令施行前外國領事館ニ於テ永代借地又ハ其ノ上ニ存スル建物ニ關シ爲シタル登記ハ其ノ登記簿ノ謄本ノ引繼ヲ受ケタルモノニ限リ帝國法令ニ依リ爲シタル登記ト看做ス

外國領事館ヨリ引繼ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ハ帝國法令ニ依ル登記簿ト看做ス

第十七條　外國領事館ヨリ引繼ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ハ地方法院長之ヲ國別ニ編綴シ其ノ枚數ヲ裝紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ且每葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲シ之ヲ登記所ニ交付スヘシ

地方法院長ハ前項ノ登記簿ノ謄本ノ譯文ヲ作リ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十八條　前條ノ登記簿ノ謄本及其ノ譯文ニハ登記官吏國別ニ依リ登記ノ順序ヲ追ヒテ各登記ニ番號ヲ附スヘシ

前項ノ規定ニ依リ附シタル番號ハ之ヲ登記番號ト看做ス

第十九條　第十六條ノ登記ヲ受ケタル永代借地又ハ建物ニ付登記ヲ爲スヘキトキハ外國領事館ヨリ引繼ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ノ譯文中必要ナル事項ヲ永代借地登記簿又ハ建物登記簿ニ移記シタル後登記ヲ爲シ其ノ謄本及譯文ヲ閉鎖スヘシ但シ滅失又ハ抹消ノ登記ハ謄本及譯文ニ記載シテ之ヲ爲スヘシ

第二十條　本令施行前外國領事館ノ爲シタル登記ニ關スル謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求アリタルトキハ其ノ謄本ノ譯文ニ依リ之ヲ作成シ交付スヘシ

第二十一條　帝國ノ臣民又ハ法人カ舊日本居留地及各國居留地ニ於テ所有シタル永代借地ニ關スル登記簿ハ朝鮮不動產登記令第八條ニ規定スル要登記簿ト看做ス

附錄第一號

永代借地登記簿

何地方法院（何支廳）

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

表題部（永代借地（表示））　第　號

表示番號	表示欄	表示番號	表示欄

甲（永代借地登記簿）

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄

乙（永代借地登記簿）

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄

區（永代借地權）

| 区 | 永代借地登記簿 | | |

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方法院長

登記ノ年月日及ヒ登記官吏印	第　號	
一　名稱（法人ニ限ル）	大正年月日登記	
二　事務所		
三　目的		
四　設立許可ノ年月日		
五　存立時期		
六　資産ノ總額		
七　出資ノ方法		
八　理事ノ氏名、住所		
九　解散ノ因及ヒ年月日	大正年月日登記	
十　清算人ノ氏名住所	大正年月日登記	

丁

變更	殘
變更	備

丁

變更	
變更	

附錄第二號

夫婦財產契約登記簿

何地方法院（何支廳）

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

登記番號	第　號	
契約者ノ氏名住所	夫婦財產契約	
	夫婦財產契約	

丁

管理者ノ變更及共有財產ノ分割	
消滅	

附錄第三號

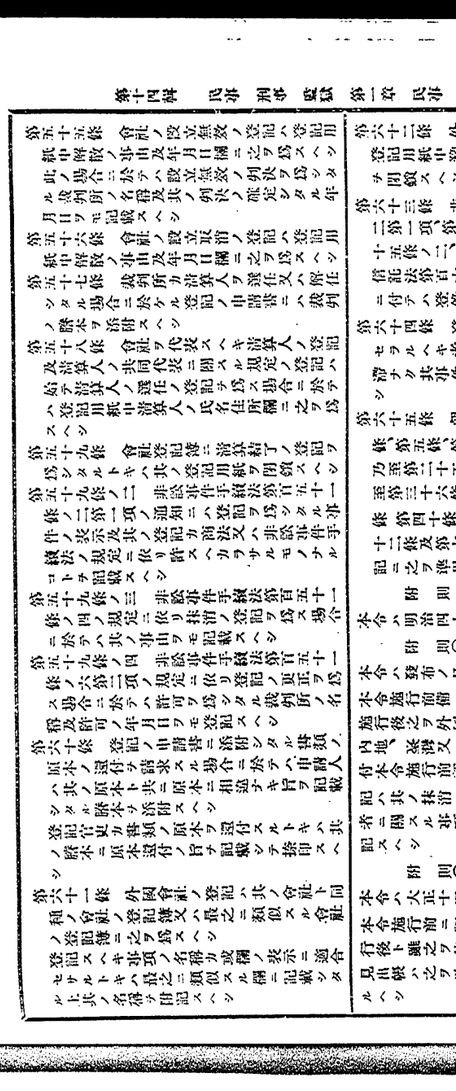
法人（夫婦財產契約）登記見出帳

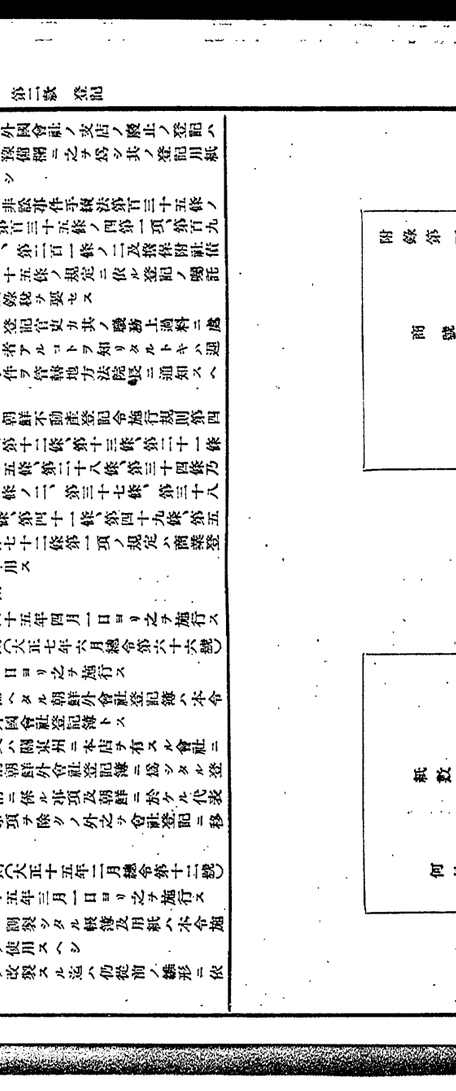
何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

登記簿ノ備考	登記用紙ノ數	登記用紙ノ番號	丁數	冊數	名稱	部ノ

丁

登記簿ノ備考	登記用紙ノ數	登記用紙ノ番號	丁數	冊數	名稱	部ノ


何
地
方
法
院
廳


何
地
方
法
院
廳

附錄第三號

妻登記簿

何地方法院（何支廳）

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

登記番號	第　號		
一	妻ノ氏名、住所		
二	營業ノ種類		
三	營業所		
登記ノ年月日及登記官印	右明治　年　月　日登記		
備考			
消滅	更變	明治　年　月　日登記	

登記番號	第　號		
一	妻ノ氏名、住所		
二	營業ノ種類		
三	營業所		
登記ノ年月日及登記官印	右明治　年　月　日登記		
備考			
消滅	更變	明治　年　月　日登記	

丁

附錄第四號

法定代理人登記簿

何地方法院（何支廳）

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

登記番號	第　號		
一	法定代理人ノ氏名、住所及資格		
二	無能力者ノ氏名、住所		
三	營業ノ種類		
四	營業所		
登記ノ年月日及登記官印	右明治　年　月　日登記		
備考			
消滅	更變	明治　年　月　日登記	

登記番號	第　號		
一	法定代理人ノ氏名、住所及資格		
二	無能力者ノ氏名、住所		
三	營業ノ種類		
四	營業所		
登記ノ年月日及登記官印	右明治　年　月　日登記		
備考			
消滅	更變	明治　年　月　日登記	

丁

附錄第五號

支配人登記簿

何地方法院（何支廳）

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

登記番號	第　號		
一	支配人ノ氏名、住所		
二	主人ノ氏名、住所		
三	主人ノ營業		
四	支配人ノ用ユヘキ商號		
五	支配人ヲ置キタル場所		
登記ノ年月日及登記官印	右明治　年　月　日登記		
備考			
消滅	更變	明治　年　月　日登記	

登記番號	第　號		
一	支配人ノ氏名、住所		
二	主人ノ氏名、住所		
三	主人ノ營業		
四	支配人ノ用ユヘキ商號		
五	支配人ヲ置キタル場所		
登記ノ年月日及登記官印	右明治　年　月　日登記		
備考			
消滅	更變	明治　年　月　日登記	

丁

印
紙
數
表
紙
ヲ
除
キ
枚

何
地
方
法
院
長

印
紙
代
金
名
金
紙
登
記
錢

何
地
方
法
院
何支
廳

號　第　[原][更]

備考	一十 月丁當日ノ登記年給	十 住ノ當所民登名入	九 年非解月出散日及ノ	八 ノハ時存非解期立出散又ノ
	明治 年 月 日 登記	明治 年 月 日 登記	明治 年 月 日 登記	
備考				

六 名員代ノ表民社	五 年設月立日ノ	四 日ノ	三 支	二 本	一 商	官及年登印公月記日ノ
			店	店	號	第號

七

格及種資所名ノ社
價額ノ出住民員

更　變

更　變

印
紙
數
表
紙
ヲ
除
キ
枚

何
地
方
法
院
長

印
紙
金
額
錢

何
地
方
法
院
何支
廳

號　第　[原][更]

備考	一十 月丁當日ノ登記年給	十 住ノ當所民登名入	九 年非解月出散日及ノ	八 ノハ時存非解期立出散又ノ
	明治 年 月 日 登記	明治 年 月 日 登記	明治 年 月 日 登記	
備考				

六 名員代ノ表民社	五 年設月立日ノ	四 日ノ	三 支	二 本	一 商	官及年登印公月記日ノ
			店	店	號	第號

七

格及種資所名ノ社
價額ノ出住民員

更　變

更　變

附錄　第八號

株式合資會社登記簿

何地方法院（何支廳）

株式合資會社登記	印紙及月ノ登記	株ノ總額	株金ノ總額	株ノ金額	株金ヲ拂込ミニ付ケル株ノ金額	株ノ數	代表社員ノ氏名	目的	支店	本店	社員ノ住所氏名	月設立日ノ年
第二十一條第一項第二號ノ事項	第二十一條第一項第三號ノ事項	第二十一條第一項第四號ノ事項	第二十一條第一項第五號ノ事項	第二十一條第一項第六號ノ事項	第二十一條第一項第七號ノ事項	第二十一條第一項第八號ノ事項	第二十一條第一項第九號ノ事項	第二十一條第一項第十號ノ事項	第二十一條第一項第十一號ノ事項	第二十一條第一項第十二號ノ事項	第二十一條第一項第十三號ノ事項	第二十一條第一項第十四號ノ事項
年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記

株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル株金ノ拂込ノ方法	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル現物出資ノ目的物ノ價格及ヒ之ヲ定メタル理由	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル財産引受ノ目的物ノ價格及ヒ之ヲ定メタル理由	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル株金ノ拂込ヲ爲サシメタル銀行ノ名稱及ヒ其ノ支店ノ所在場所	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ氏名及ヒ住所	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ數	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ方法	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ數	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ方法	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ數	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ方法	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ數	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ方法
第二十一條第一項第十五號ノ事項	第二十一條第一項第十六號ノ事項	第二十一條第一項第十七號ノ事項	第二十一條第一項第十八號ノ事項	第二十一條第一項第十九號ノ事項	第二十一條第一項第二十號ノ事項	第二十一條第一項第二十一號ノ事項	第二十一條第一項第二十二號ノ事項	第二十一條第一項第二十三號ノ事項	第二十一條第一項第二十四號ノ事項	第二十一條第一項第二十五號ノ事項	第二十一條第一項第二十六號ノ事項	第二十一條第一項第二十七號ノ事項

何地方法院長　印

附錄　第九號

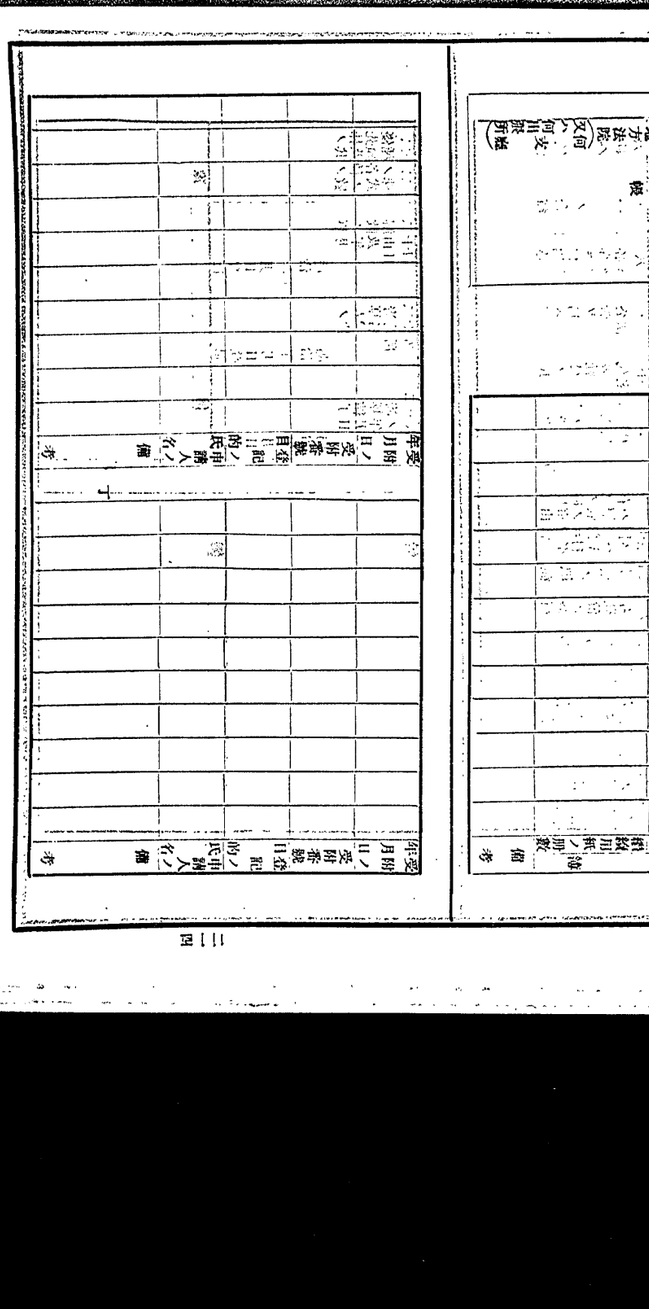
株式合資會社登記簿

何地方法院（何支廳）

株式合資會社登記	印紙及月ノ登記	株ノ總額	株金ノ總額	株ノ金額	株金ヲ拂込ミニ付ケル株ノ金額	株ノ數	代表社員ノ氏名	目的	支店	本店	社員ノ住所氏名	月設立日ノ年
第二十一條第一項第二號ノ事項	第二十一條第一項第三號ノ事項	第二十一條第一項第四號ノ事項	第二十一條第一項第五號ノ事項	第二十一條第一項第六號ノ事項	第二十一條第一項第七號ノ事項	第二十一條第一項第八號ノ事項	第二十一條第一項第九號ノ事項	第二十一條第一項第十號ノ事項	第二十一條第一項第十一號ノ事項	第二十一條第一項第十二號ノ事項	第二十一條第一項第十三號ノ事項	第二十一條第一項第十四號ノ事項
年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記	年月日登記

株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル株金ノ拂込ノ方法	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル現物出資ノ目的物ノ價格及ヒ之ヲ定メタル理由	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル財産引受ノ目的物ノ價格及ヒ之ヲ定メタル理由	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル株金ノ拂込ヲ爲サシメタル銀行ノ名稱及ヒ其ノ支店ノ所在場所	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ氏名及ヒ住所	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ數	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ方法	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ數	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ方法	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ數	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ方法	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ數	株式合資會社ノ設立ノ時ニ於ケル發起人ノ株金ノ引受ノ方法
第二十一條第一項第十五號ノ事項	第二十一條第一項第十六號ノ事項	第二十一條第一項第十七號ノ事項	第二十一條第一項第十八號ノ事項	第二十一條第一項第十九號ノ事項	第二十一條第一項第二十號ノ事項	第二十一條第一項第二十一號ノ事項	第二十一條第一項第二十二號ノ事項	第二十一條第一項第二十三號ノ事項	第二十一條第一項第二十四號ノ事項	第二十一條第一項第二十五號ノ事項	第二十一條第一項第二十六號ノ事項	第二十一條第一項第二十七號ノ事項

何地方法院長　印



第三百五十一條　特別規定ノ外犯罪ノ地ノ裁判所ハ其ノ管轄ニ屬ス

犯罪ノ地ハ犯罪ノ實行ノ場所及結果ノ發生シタル場所ヲ謂フ

第三百五十二條　犯罪ノ地ノ知レサル場合ニ於テ被告人ノ住所若ハ居所ニ依リ又ハ被告人ノ住所若ハ居所ノ知レサル場合ニ於テ最後ノ住所ニ依リ管轄ヲ定ムルコト能ハサルトキハ被告人ノ發見シタル地ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百五十三條　數個ノ裁判所ニ於テ同一ノ事件ニ付管轄ヲ有スルトキハ最初ニ公訴ヲ受ケタル裁判所之ヲ管轄ス

第三百五十四條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百五十五條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百五十六條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百五十七條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百五十八條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百五十九條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百六十條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百六十一條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百六十二條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百六十三條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百六十四條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百六十五條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百六十六條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百六十七條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百六十八條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百六十九條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百七十條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百七十一條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百七十二條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百七十三條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百七十四條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百七十五條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百七十六條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百七十七條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百七十八條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百七十九條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百八十條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百八十一條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百八十二條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百八十三條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百八十四條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百八十五條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百八十六條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百八十七條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百八十八條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百八十九條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百九十條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百九十一條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百九十二條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百九十三條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百九十四條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百九十五條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百九十六條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百九十七條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百九十八條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第三百九十九條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百一條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百二條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百三條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百四條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百五條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百六條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百七條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百八條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百九條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百十條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百十一條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百十二條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百十三條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百十四條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百十五條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百十六條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百十七條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百十八條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百十九條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百二十條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百二十一條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百二十二條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百二十三條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百二十四條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百二十五條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百二十六條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百二十七條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百二十八條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百二十九條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百三十條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百三十一條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百三十二條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百三十三條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百三十四條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百三十五條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百三十六條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百三十七條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百三十八條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百三十九條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百四十條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百四十一條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百四十二條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百四十三條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百四十四條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百四十五條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百四十六條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百四十七條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百四十八條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百四十九條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百五十條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百五十一條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百五十二條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百五十三條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百五十四條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百五十五條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百五十六條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百五十七條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百五十八條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百五十九條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百六十條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百六十一條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百六十二條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百六十三條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百六十四條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百六十五條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百六十六條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百六十七條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百六十八條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百六十九條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トスルトキハ檢事ハ其ノ裁判所ニ公訴ヲ提起スルコトヲ得

第四百七十條　第三百五十一條ノ規定ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所ニ於テ公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ他ノ裁判所ニ管轄ノ移轉ヲ必要トス

不動産登記法第四十三條及第五十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十八條　所有權ノ移轉ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ移轉ノ結果ニ因リ共有カ消滅スヘキトキハ船舶管理人ノ登記ヲ抹消スヘシ

第四十九條　未登記ノ船舶所有權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ此ヲ申請スルコトヲ得

不動産登記法第百二十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十條　左ノ場合ニ於テハ所有權ノ登記名義人ハ申請書ニ理由ヲ記載シテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ要ス

一　船舶カ滅失又ハ沈沒シタルトキ

二　船舶カ解撤セラレタルトキ

三　船舶ノ存否カ六箇月間分明ナラサルトキ

四　船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失シ其ノ他朝鮮船舶令第一條各號ニ該當セサル船舶ト爲リタルトキ

五　船舶カ船舶法第二十條ニ揭ケル船舶ト爲リタルトキ

前項ノ場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スル官吏又ハ公吏ノ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第五十條ノ二　登記官吏海官廳ヨリ船舶令第二十八條ノ通知ヲ受ケタルトキハ職權ヲ以テ抹消ノ登記ヲ爲シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖シ且其ノ旨ヲ所有權ニ關スル登記名義人及登記上利害ノ關係ヲ有スル者ニ通知スヘシ

第三節　抵當權及賃借權ニ關スル登記手續

第五十一條　共同擔保目錄ハ附錄第七號樣式ニ依リ美濃紙ヲ以テ之ヲ調製スルコトヲ要ス

第五十二條　申請人ハ共同擔保目錄ノ表紙ニ船舶共同擔保目錄ト記載シ之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

共同擔保目錄ノ用紙ニハ丁數ヲ記入シ且每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

前二項ノ場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ各一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル

第五十三條　登記官吏カ抵當權ノ登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ニ不動産登記法第百十七條ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ

第五十四條　製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ハ製造地ヲ管轄スル登記所ニ之ヲ申請スルコトヲ要ス

朝鮮外ニ於テ製造中ニ係ル船舶ノ抵當權ノ登記ハ朝鮮總督ノ指定スル登記所ニ之ヲ申請スルコトヲ得

第五十五條　製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一　船舶ノ種類及船質

二　龍骨ノ長、船幅ガ龍骨ヲ傭ヘザルモノハ計量ノ幅及深

三　計量ノ積量

四　計畫ノ積量

五　製造地

六　造船者ノ氏名、住所若造組者カ法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

七　不動産登記法第三十六條第三號乃至第八號ニ揭ケタル事項

八　登錄稅額及朝鮮登錄稅令第一條ノ二第一項第七號又ハ第十號ノ登記ニ付テハ課稅標準ノ價格

第五十六條　製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ前條第一號乃至第六號ニ揭ケタル事項ヲ證スル造船者ノ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第五十七條　製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スヘシ

第五十八條　特別登記簿ニ抵當權ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ第五十五條第一號乃至第六號ニ揭ケタル事項ヲ記載スヘシ

第五十九條　既登記ノ船舶ニ關スル未登記ノ抵當權又ハ賃借權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

不動産登記法第百三十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十條　本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十一條　薄船舶法ニ依リ船舶原簿ニ爲シタル船舶ノ所有權、抵當權、典當權又ハ賃借權ニ關スル登錄ハ本令ニ依リ爲シタル所有權、抵當權又ハ賃借權ニ關スル登記ト看做ス

第七十二條　管海官廳ハ前條ノ登錄ニ關スル船舶原簿ノ謄本ヲ作リ船籍港ヲ管轄スル登記所ニ移送スヘシ但シ其ノ謄本ニハ登記簿ニ記載ノ要ス事項ニシテ抹消ニ係ラサルモノヲ謄寫スヘシ

前項ノ移送ヲ爲シタルトキハ船舶原簿ハ登記ニ關シテハ閉鎖シタルモノト看做ス

第七十三條　船舶原簿ノ謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ登記所ハ其ノ謄本ニ依リ登記簿ニ用紙ヲ閉鎖スヘシ

第六十七條　特別登記簿ノ謄本ノ移送ヲ受ケタル登記所ハ其ノ謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移シ其ノ末尾ニ特別登記簿ノ謄本ニ依リ登記官吏捺印スヘシ

登記官吏カ抵當權ノ登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ニ不動産登記法第百十七條ニ揭ケタル事項ヲ記載スヘシ

第六十八條　登記官吏ハ特別登記簿ノ謄本ノ移送ヲ受ケタル登記所ニ其ノ謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移シ其ノ末尾ニ特別登記簿ノ謄本ニ依リ登記官吏捺印スヘシ

第六十九條　製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ハ製造地ヲ管轄スル登記所ニ之ヲ申請スルコトヲ要ス

朝鮮外ニ於テ製造中ニ係ル船舶ノ抵當權ノ登記ハ朝鮮總督ノ指定スル登記所ニ之ヲ申請スルコトヲ得

第七十條　本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十一條　薄船舶法ニ依リ船舶原簿ニ爲シタル船舶ノ所有權、典當權又ハ賃借權ニ關スル登錄ハ本令ニ依リ爲シタル所有權、抵當權又ハ賃借權ニ關スル登記ト看做ス

第七十二條　管海官廳ハ前條ノ登錄ニ關スル船舶原簿ノ謄本ヲ作リ船籍港ヲ管轄スル登記所ニ移送スヘシ但シ其ノ謄本ニハ登記簿ニ記載ノ要ス事項ニシテ抹消ニ係ラサルモノヲ謄寫スヘシ

前項ノ移送ヲ爲シタルトキハ船舶原簿ハ登記ニ關シテハ閉鎖シタルモノト看做ス

第七十三條　船舶原簿ノ謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ登記所ハ其ノ謄本ニ依リ登記簿ニ用紙ヲ閉鎖スヘシ

第六十七條　特別登記簿ノ謄本ノ移送ヲ受ケタル登記所ハ其ノ謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移シ其ノ末尾ニ特別登記簿ノ謄本ニ依リ登記官吏捺印スヘシ

登記官吏カ抵當權ノ登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ニ不動産登記法第百十七條ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ

第六十八條　登記官吏ハ特別登記簿ノ謄本ノ移送ヲ受ケタル登記所ニ其ノ謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移シ其ノ末尾ニ特別登記簿ノ謄本ニ依リ登記官吏捺印スヘシ

第六十九條　製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ハ製造地ヲ管轄スル登記所ニ之ヲ申請スルコトヲ要ス

朝鮮外ニ於テ製造中ニ係ル船舶ノ抵當權ノ登記ハ朝鮮總督ノ指定スル登記所ニ之ヲ申請スルコトヲ得

第七十條　本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十一條　薄船舶法ニ依リ船舶原簿ニ爲シタル船舶ノ所有權、典當權又ハ賃借權ニ關スル登錄ハ本令ニ依リ爲シタル所有權、抵當權又ハ賃借權ニ關スル登記ト看做ス

第七十二條　管海官廳ハ前條ノ登錄ニ關スル船舶原簿ノ謄本ヲ作リ船籍港ヲ管轄スル登記所ニ移送スヘシ但シ其ノ謄本ニハ登記簿ニ記載ノ要ス事項ニシテ抹消ニ係ラサルモノヲ謄寫スヘシ

前項ノ移送ヲ爲シタルトキハ船舶原簿ハ登記ニ關シテハ閉鎖シタルモノト看做ス

第七十三條　船舶原簿ノ謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ登記所ハ其ノ謄本ニ依リ登記簿ニ用紙ヲ閉鎖スヘシ

移記スヘシ

前項ノ移記ヲ爲スニハ登記番號欄ニ登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ船舶原簿ノ番號ヲ附記シ表示欄ニ船舶ノ表示ヲ移シ順位番號欄ニ新ナル番號ヲ附シ事項欄ニ相當事項ヲ移スヘシ

第七十四條　登記官吏前條ノ移記ヲ爲シタルトキハ第三十四條ノ規定ニ準シ登記證書ヲ作リ之ヲ船舶所有者ニ交付スヘシ

第三十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ登記證書ニハ抹消ニ係ラサル抵當權又ハ賃借權ニ關スル事項ヲモ記載スヘシ

附　則（大正三年十月總令第百四十五號）

第一條　本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條　船舶積量測度法第十二條ノ規定ニ依リ積量ノ改測ヲ受ケタル船舶ニ付其ノ改測ニ因ル變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ船舶原簿ノ謄本又ハ第三十三條第一項第二號ノ事項ヲ除クノ外同條ニ揭クル事項及改測ノ事實ヲ記載シタル船舶原簿ノ抄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲シタルトキハ變更後ノ事項ニ記載ヲ爲シ且第三十三條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三條　前條ノ規定ニ依リ變更ノ登記ヲ受ケサルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第四條　石數ヲ以テ積量ヲ表示シタル船舶ニシテ昭和六年法律第六號ニ依リ積量ノ改測ヲ受ケタル船舶ニ付其ノ改測ニ因ル變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ船舶原簿ノ謄本又ハ第三十三條第一項（第二號及第六號ヲ除ク）ニ揭ケル事項及改測ノ事實ヲ記載シタル抄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲シタルトキハ變更後ノ事項ニ記載ヲ爲シ且第三十三條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第五條　石數ヲ以テ積量ヲ表示シタル船舶ニシテ前條ノ規定ニ依リ變更ノ登記ヲ受ケサルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（大正十五年二月總令第十三號）

本令ハ大正十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前調製シタル帳簿及用紙ハ本令施行後之ヲ使用スヘシ

見出帳ハ之ヲ使用セス

附　則（昭和三年七月總令第四十四號）

本令ハ昭和三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年九月總令第百十九號）

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年六月總令第五十六號）

三條ノ規定ニ從テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三條　石數ヲ以テ積量ヲ表示シタル船舶ニシテ前條ノ規定ニ依リ變更ノ登記ヲ受ケサルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第四條　石數ヲ以テ積量ヲ表示シタル船舶ニシテ昭和六年法律第六號ニ依リ積量ノ改測ヲ受ケタル船舶ニ付其ノ改測ニ因ル變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ船舶原簿ノ謄本又ハ第三十三條第一項（第二號及第六號ヲ除ク）ニ揭ケル事項及改測ノ事實ヲ記載シタル抄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲シタルトキハ變更後ノ事項ニ記載ヲ爲シ且第三十三條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第五條　石數ヲ以テ積量ヲ表示シタル船舶ニシテ前條ノ規定ニ依リ變更ノ登記ヲ受ケサルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（大正十五年二月總令第十三號）

本令ハ大正十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前調製シタル帳簿及用紙ハ本令施行後之ヲ使用スヘシ

見出帳ハ之ヲ使用セス

附　則（昭和三年七月總令第四十四號）

本令ハ昭和三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年九月總令第百十九號）

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年六月總令第五十六號）

名書ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ表示欄ニ船舶ノ末尾ニ昭和六年法律第六號施行ノ結果登記スヘキ船舶トス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第五條　從前ノ規定ニ依リ登記簿ニ記載シタル船舶ノ表示欄ノ記載中「登簿順數」又ハ「汽機ノ種類及數」トアルハ夫々「純噸數」又ハ「汽關ノ種類及數」ニ當然變更セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ變更スルヲ妨ケス

附錄第一號

船舶登記簿

何地方法院（又ハ何出張所）支廳

紙數表紙ヲ除キ　枚

| 番號 | 第　　號 | | |

附錄第三號

船舶登記見出帳

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

船舶ノ名稱	登記簿冊數 丁 數	登記番號	備考

附錄第四號

船舶登記受附帳

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

船舶ノ名稱	登記簿冊數 丁 數	登記番號	備考

受附ノ年月日	受附登記ノ番號	目的	申請人ノ氏名	備考

甲 區	乙 區（船舶管理人）	丙 區（抵當權及賃借權）	丁
順位番號	順位番號	順位番號	順位番號
事項欄	事項欄	事項欄	事項欄
順位番號	順位番號	順位番號	
事項欄	事項欄	事項欄	
順位番號	順位番號	順位番號	
事項欄	事項欄	事項欄	

附錄第二號

船舶共同人名簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

番號	申請人ノ氏名、住所	持分	備考

共有物分割ノ訴ヲ勝チ又ハ和解ヲ成立シタル場合ニ於テ其ノ共有ニ屬スル船舶ノ處分ヲ委託スル爲メ裁判所ニ提出スル書面ハ左ノ例ニ依ル

地方法院長

番號	申請人ノ氏名、住所	持分	備考

附錄第五號

（用紙厚紙竪五寸横二寸）

住所
㊞印鑑　氏名
何年何月何日

（注意）法人ノ代表者ナルトキハ氏名ノ肩ニ事務所又ハ營業所ノ所在地、法人ノ名稱竝ニ代表者ノ資格ヲ記載スヘシ

附錄第六號（用紙美濃紙）

登記證書

附錄第七號

船舶共同擔保目錄

●釜山地方法院ヲ朝鮮船舶登記規則第五十四條第二項ノ規定ニ依ル登記所ニ指定

大正三年六月總督府告示第二百十一號

釜山地方法院ヲ朝鮮船舶登記規則第五十四條第二項ノ規定ニ依ル登記所ニ指定ス

●船舶ノ登記其ノ他ノ手續ニ關スル件

大正三年八月總訓第四十四號

（改正　昭和二年一〇月三六訓令第一四年三月三訓令、六年一一月訓令六號）

總督官房會計課長
遞信局長

登記簿ノ册數	登記番號	順位番號	擔保ノ目的タル權利ノ表示	摘要	備考

丁

鐵道局長
專賣局長
道知事
營林署長
稅關長
水產試驗場長
內務局土木出張所長

本府所管船舶ノ登記、登錄、檢査其ノ他一般海事ニ關スル申請、屆出等ノ手續ハ朝鮮總督府ノ名義ニテ其ノ官ノ名ヲ用ヒシムヲ以テスヘシ

●朝鮮産業組合登記取扱規則

大正十五年二月總令第十六號

朝鮮産業組合登記取扱規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮産業組合登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方法院ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條　朝鮮産業組合登記見出帳ハ附錄第二號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條　登記所ニハ登記簿見出帳及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一　印鑑簿
二　申請書類綴込帳
三　決定原本綴込帳
四　抗告書類綴込帳
五　登記濟證交付帳
六　謄本抄本證明書交付帳
七　受領證原符元帳

第四條　前條第二號乃至第七號ノ帳簿ハ一年毎ニ別冊ト爲スヘシ但シ分冊スルコトヲ妨ケス

第五條　産業組合カ其ノ主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第六條　前條ノ場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ舊所在地ニ於ケル登記簿ノ謄本ヲ添付スヘシ

第七條　朝鮮産業組合令第十五條ノ規定ニ依リ同令第十二條第一項各號ノ事項ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中摘備欄ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ産業組合ノ合併ニ因ル設立ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

第八條　不動産登記令施行規則第四條、第五條、第十二條、第二十一條乃至第二十五條、第二十八條、第三十四條乃至第三十六條ノ二、第三十七條、第三十八條、第四十一條、第四十九條、第五十二條及商業登記取扱規則第四條乃至第六條、第九條乃至第二十三條、第二十四條第四項、第二十六條乃至第三十一條、第三十二條乃至第三十五條、第五十九條乃至第五十九條ノ四、第六十條、第六十四條ノ規定ハ朝鮮産業組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ朝鮮産業組合令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一

朝鮮産業組合登記簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

登記ノ番號	第一欄 登記年月日及登記官吏ノ印	第二欄											備考
		一 名稱	二 主タル事務所	三 目的	四 區域	五 設立許可ノ年月日	六 存立時期又ハ解散ノ時期若ハ事由	七 出資總口數及拂込ミタル出資ノ總額	八 出資一口金額及其ノ拂込方法	九 組合長、理事及監事ノ氏名、住所	十 解散ノ原因及年月日	十一 清算人ノ氏名、住所	清算結了ノ年月日
	大正　年　月　日登記										大正　年　月　日登記	大正　年　月　日登記	大正　年　月　日登記

丁

第五十六條　削除

第五十七條　削除

第五十八條　削除

第五十九條　削除

第六十條　削除

第六十一條　削除

第六十二條　削除

第六十三條　削除

第六十四條　削除

第六十五條　削除

第六十六條　削除

第六十七條　削除

第六十八條　削除

第六十九條　削除

第七十條　削除

第七十一條　削除

第七十二條　削除

第七十三條　削除

第七十四條　削除

第七十五條　削除

第七十六條　削除

第七十七條　削除

第七十八條　削除

第七十九條　削除

第八十條　削除

第八十一條　削除

第八十二條　削除

第八十三條　削除

第八十四條　削除

第八十五條　削除

第八十六條　削除

第八十七條　削除

第八十八條　削除

第八十九條　削除

第九十條　削除

第九十一條　削除

第九十二條　削除

第九十三條　削除

第九十四條　削除

第九十五條　削除

第九十六條　削除

第九十七條　削除

第九十八條　削除

第九十九條　削除

第百條　削除

第百一條　削除

第百二條　削除

第百三條　削除

第百四條　削除

第百五條　削除

第百六條　削除

第百七條　削除

第百八條　削除

第百九條　削除

第百十條　削除

第百十一條　削除

第百十二條　削除

第百十三條　削除

第百十四條　削除

第百十五條　削除

第百十六條　削除

第百十七條　削除

第百十八條　削除

第百十九條　削除

第百二十條　削除

第百二十一條　削除

第百二十二條　削除

第百二十三條　削除

第百二十四條　削除

第百二十五條　削除

第百二十六條　削除

第百二十七條　削除

第百二十八條　削除

第百二十九條　削除

第百三十條　削除

第百三十一條　削除

第百三十二條　削除

第百三十三條　削除

第百三十四條　削除

第百三十五條　削除

第百三十六條　削除

第百三十七條　削除

第百三十八條　削除

第百三十九條　削除

第百四十條　削除

第百四十一條　削除

第百四十二條　削除

第百四十三條　削除

第百四十四條　削除

第百四十五條　削除

第百四十六條　削除

第百四十七條　削除

第百四十八條　削除

第百四十九條　削除

第百五十條　削除

第百五十一條　削除

第百五十二條　削除

第百五十三條　削除

第百五十四條　削除

第百五十五條　削除

第百五十六條　削除

第百五十七條　削除

第百五十八條　削除

第百五十九條　削除

第百六十條　削除

第百六十一條　削除

第百六十二條　削除

第百六十三條　削除

第百六十四條　削除

第百六十五條　削除

第百六十六條　削除

第百六十七條　削除

第百六十八條　削除

第百六十九條　削除

第百七十條　削除

第百七十一條　削除

第百七十二條　削除

第百七十三條　削除

第百七十四條　削除

第百七十五條　削除

第百七十六條　削除

第百七十七條　削除

第百七十八條　削除

第百七十九條　削除

第百八十條　削除

第百八十一條　削除

第百八十二條　削除

第百八十三條　削除

第百八十四條　削除

第百八十五條　削除

第百八十六條　削除

第百八十七條　削除

第百八十八條　削除

第百八十九條　削除

第百九十條　削除

第百九十一條　削除

第百九十二條　削除

第百九十三條　削除

第百九十四條　削除

第百九十五條　削除

第百九十六條　削除

第百九十七條　削除

第百九十八條　削除

第百九十九條　削除

第二百條　削除

第二百一條　削除

第二百二條　削除

第二百三條　削除

第二百四條　削除

第二百五條　削除

第二百六條　削除

第二百七條　削除

第二百八條　削除

第二百九條　削除

第二百十條　削除

第二百十一條　削除

第二百十二條　削除

第二百十三條　削除

第二百十四條　削除

第二百十五條　削除

第二百十六條　削除

第二百十七條　削除

第二百十八條　削除

第二百十九條　削除

第二百二十條　削除

第二百二十一條　削除

第二百二十二條　削除

第二百二十三條　削除

第二百二十四條　削除

第二百二十五條　削除

第二百二十六條　削除

第二百二十七條　削除

第二百二十八條　削除

第二百二十九條　削除

第二百三十條　削除

第二百三十一條　削除

第二百三十二條　削除

第二百三十三條　削除

第二百三十四條　削除

第二百三十五條　削除

第二百三十六條　削除

第二百三十七條　削除

第二百三十八條　削除

第二百三十九條　削除

第二百四十條　削除

第二百四十一條　削除

第二百四十二條　削除

第二百四十三條　削除

第二百四十四條　削除

第二百四十五條　削除

第二百四十六條　削除

第二百四十七條　削除

第二百四十八條　削除

第二百四十九條　削除

第二百五十條　削除

第二百五十一條　削除

第二百五十二條　削除

第二百五十三條　削除

第二百五十四條　削除

第二百五十五條　削除

第二百五十六條　削除

第二百五十七條　削除

第二百五十八條　削除

第二百五十九條　削除

第二百六十條　削除

第二百六十一條　削除

第二百六十二條　削除

第二百六十三條　削除

第二百六十四條　削除

第二百六十五條　削除

第二百六十六條　削除

第二百六十七條　削除

第二百六十八條　削除

第二百六十九條　削除

第二百七十條　削除

第二百七十一條　削除

第二百七十二條　削除

第二百七十三條　削除

第二百七十四條　削除

第二百七十五條　削除

第二百七十六條　削除

第二百七十七條　削除

第二百七十八條　削除

第二百七十九條　削除

第二百八十條　削除

第二百八十一條　削除

第二百八十二條　削除

第二百八十三條　削除

第二百八十四條　削除

第二百八十五條　削除

第二百八十六條　削除

第二百八十七條　削除

第二百八十八條　削除

第二百八十九條　削除

第二百九十條　削除

第二百九十一條　削除

第二百九十二條　削除

第二百九十三條　削除

第二百九十四條　削除

第二百九十五條　削除

第二百九十六條　削除

第二百九十七條　削除

第二百九十八條　削除

第二百九十九條　削除

第三百條　削除

第三百一條　削除

第三百二條　削除

第三百三條　削除

第三百四條　削除

第三百五條　削除

第三百六條　削除

第三百七條　削除

第三百八條　削除

第三百九條　削除

第三百十條　削除

第三百十一條　削除

第三百十二條　削除

第三百十三條　削除

第三百十四條　削除

第三百十五條　削除

第三百十六條　削除

第三百十七條　削除

第三百十八條　削除

第三百十九條　削除

第三百二十條　削除

第三百二十一條　削除

第三百二十二條　削除

第三百二十三條　削除

第三百二十四條　削除

第三百二十五條　削除

第三百二十六條　削除

第三百二十七條　削除

第三百二十八條　削除

第三百二十九條　削除

第三百三十條　削除

第三百三十一條　削除

第三百三十二條　削除

第三百三十三條　削除

第三百三十四條　削除

第三百三十五條　削除

第三百三十六條　削除

第三百三十七條　削除

第三百三十八條　削除

第三百三十九條　削除

第三百四十條　削除

第三百四十一條　削除

第三百四十二條　削除

第三百四十三條　削除

第三百四十四條　削除

第三百四十五條　削除

第三百四十六條　削除

第三百四十七條　削除

第三百四十八條　削除

第三百四十九條　削除

第三百五十條　削除

第三百五十一條　削除

第三百五十二條　削除

第三百五十三條　削除

第三百五十四條　削除

第三百五十五條　削除

第三百五十六條　削除

第三百五十七條　削除

第三百五十八條　削除

第三百五十九條　削除

第三百六十條　削除

第三百六十一條　削除

第三百六十二條　削除

第三百六十三條　削除

第三百六十四條　削除

第三百六十五條　削除

第三百六十六條　削除

第三百六十七條　削除

第三百六十八條　削除

第三百六十九條　削除

第三百七十條　削除

第三百七十一條　削除

第三百七十二條　削除

第三百七十三條　削除

第三百七十四條　削除

第三百七十五條　削除

第三百七十六條　削除

第三百七十七條　削除

第三百七十八條　削除

第三百七十九條　削除

第三百八十條　削除

第三百八十一條　削除

第三百八十二條　削除

第三百八十三條　削除

第三百八十四條　削除

第三百八十五條　削除

第三百八十六條　削除

第三百八十七條　削除

第三百八十八條　削除

第三百八十九條　削除

第三百九十條　削除

第三百九十一條　削除

第三百九十二條　削除

第三百九十三條　削除

第三百九十四條　削除

第三百九十五條　削除

第三百九十六條　削除

第三百九十七條　削除

第三百九十八條　削除

第三百九十九條　削除

第四百條　削除

第四百一條　削除

第四百二條　削除

第四百三條　削除

第四百四條　削除

第四百五條　削除

第四百六條　削除

第四百七條　削除

第四百八條　削除

第四百九條　削除

第四百十條　削除

第四百十一條　削除

第四百十二條　削除

第四百十三條　削除

第四百十四條　削除

第四百十五條　削除

第四百十六條　削除

第四百十七條　削除

第四百十八條　削除

第四百十九條　削除

第四百二十條　削除

第四百二十一條　削除

第四百二十二條　削除

第四百二十三條　削除

第四百二十四條　削除

第四百二十五條　削除

第四百二十六條　削除

第四百二十七條　削除

第四百二十八條　削除

第四百二十九條　削除

第四百三十條　削除

第四百三十一條　削除

第四百三十二條　削除

第四百三十三條　削除

第四百三十四條　削除

第四百三十五條　削除

第四百三十六條　削除

第四百三十七條　削除

第四百三十八條　削除

第四百三十九條　削除

第四百四十條　削除

第四百四十一條　削除

第四百四十二條　削除

第四百四十三條　削除

第四百四十四條　削除

第四百四十五條　削除

第四百四十六條　削除

第四百四十七條　削除

第四百四十八條　削除

第四百四十九條　削除

第四百五十條　削除

第四百五十一條　削除

第四百五十二條　削除

第四百五十三條　削除

第四百五十四條　削除

第四百五十五條　削除

第四百五十六條　削除

第四百五十七條　削除

第四百五十八條　削除

第四百五十九條　削除

第四百六十條　削除

第四百六十一條　削除

第四百六十二條　削除

第四百六十三條　削除

第四百六十四條　削除

第四百六十五條　削除

第四百六十六條　削除

第四百六十七條　削除

第四百六十八條　削除

第四百六十九條　削除

第四百七十條　削除

第四百七十一條　削除

第四百七十二條　削除

第四百七十三條　削除

第四百七十四條　削除

第四百七十五條　削除

第四百七十六條　削除

第四百七十七條　削除

第四百七十八條　削除

第四百七十九條　削除

第四百八十條　削除

第四百八十一條　削除

第四百八十二條　削除

第四百八十三條　削除

第四百八十四條　削除

第四百八十五條　削除

第四百八十六條　削除

第四百八十七條　削除

第四百八十八條　削除

第四百八十九條　削除

第四百九十條　削除

第四百九十一條　削除

第四百九十二條　削除

第四百九十三條　削除

第四百九十四條　削除

第四百九十五條　削除

第四百九十六條　削除

第四百九十七條　削除

第四百九十八條　削除

第四百九十九條　削除

第五百條　削除

第五百一條　削除

第五百二條　削除

第五百三條　削除

第五百四條　削除

第五百五條　削除

第五百六條　削除

第五百七條　削除

第五百八條　削除

第五百九條　削除

第五百十條　削除

第五百十一條　削除

第五百十二條　削除

第五百十三條　削除

第五百十四條　削除

第五百十五條　削除

第五百十六條　削除

第五百十七條　削除

第五百十八條　削除

第五百十九條　削除

第五百二十條　削除

第五百二十一條　削除

第五百二十二條　削除

第五百二十三條　削除

第五百二十四條　削除

第五百二十五條　削除

第五百二十六條　削除

第五百二十七條　削除

第五百二十八條　削除

第五百二十九條　削除

第五百三十條　削除

第五百三十一條　削除

第五百三十二條　削除

第五百三十三條　削除

第五百三十四條　削除

第五百三十五條　削除

第五百三十六條　削除

第五百三十七條　削除

第五百三十八條　削除

第五百三十九條　削除

第五百四十條　削除

第五百四十一條　削除

第五百四十二條　削除

第五百四十三條　削除

第五百四十四條　削除

第五百四十五條　削除

第五百四十六條　削除

第五百四十七條　削除

第五百四十八條　削除

第五百四十九條　削除

第五百五十條　削除

第五百五十一條　削除

第五百五十二條　削除

第五百五十三條　削除

第五百五十四條　削除

第五百五十五條　削除

第五百五十六條　削除

第五百五十七條　削除

第五百五十八條　削除

第五百五十九條　削除

第五百六十條　削除

第五百六十一條　削除

第五百六十二條　削除

第五百六十三條　削除

第五百六十四條　削除

第五百六十五條　削除

第五百六十六條　削除

第五百六十七條　削除

第五百六十八條　削除

第五百六十九條　削除

第五百七十條　削除

第五百七十一條　削除

第五百七十二條　削除

第五百七十三條　削除

第五百七十四條　削除

第五百七十五條　削除

第五百七十六條　削除

第五百七十七條　削除

第五百七十八條　削除

第五百七十九條　削除

第五百八十條　削除

第五百八十一條　削除

第五百八十二條　削除

第五百八十三條　削除

第五百八十四條　削除

第五百八十五條　削除

第五百八十六條　削除

第五百八十七條　削除

第五百八十八條　削除

第五百八十九條　削除

第五百九十條　削除

第五百九十一條　削除

第五百九十二條　削除

第五百九十三條　削除

第五百九十四條　削除

第五百九十五條　削除

第五百九十六條　削除

第五百九十七條　削除

第五百九十八條　削除

第五百九十九條　削除

第六百條　削除

第六百一條　削除

第六百二條　削除

第六百三條　削除

第六百四條　削除

第六百五條　削除

第六百六條　削除

第六百七條　削除

第六百八條　削除

第六百九條　削除

第六百十條　削除

第六百十一條　削除

第六百十二條　削除

第六百十三條　削除

第六百十四條　削除

第六百十五條　削除

第六百十六條　削除

第六百十七條　削除

第六百十八條　削除

第六百十九條　削除

第六百二十條　削除

第六百二十一條　削除

第六百二十二條　削除

第六百二十三條　削除

第六百二十四條　削除

第六百二十五條　削除

第六百二十六條　削除

第六百二十七條　削除

第六百二十八條　削除

第六百二十九條　削除

第六百三十條　削除

第六百三十一條　削除

第六百三十二條　削除

第六百三十三條　削除

第六百三十四條　削除

第六百三十五條　削除

第六百三十六條　削除

第六百三十七條　削除

第六百三十八條　削除

第六百三十九條　削除

第六百四十條　削除

第六百四十一條　削除

第六百四十二條　削除

第六百四十三條　削除

第六百四十四條　削除

第六百四十五條　削除

第六百四十六條　削除

第六百四十七條　削除

第六百四十八條　削除

第六百四十九條　削除

第六百五十條　削除

第六百五十一條　削除

第六百五十二條　削除

第六百五十三條　削除

第六百五十四條　削除

第六百五十五條　削除

第六百五十六條　削除

第六百五十七條　削除

第六百五十八條　削除

第六百五十九條　削除

第六百六十條　削除

第六百六十一條　削除

第六百六十二條　削除

第六百六十三條　削除

第六百六十四條　削除

第六百六十五條　削除

第六百六十六條　削除

第六百六十七條　削除

第六百六十八條　削除

第六百六十九條　削除

第六百七十條　削除

第六百七十一條　削除

第六百七十二條　削除

第六百七十三條　削除

第六百七十四條　削除

第六百七十五條　削除

第六百七十六條　削除

第六百七十七條　削除

第六百七十八條　削除

第六百七十九條　削除

第六百八十條　削除

第六百八十一條　削除

第六百八十二條　削除

第六百八十三條　削除

第六百八十四條　削除

第六百八十五條　削除

第六百八十六條　削除

第六百八十七條　削除

第六百八十八條　削除

第六百八十九條　削除

第六百九十條　削除

第六百九十一條　削除

第六百九十二條　削除

第六百九十三條　削除

第六百九十四條　削除

第六百九十五條　削除

第六百九十六條　削除

第六百九十七條　削除

第六百九十八條　削除

第六百九十九條　削除

第七百條　削除

第七百一條　削除

第七百二條　削除

第七百三條　削除

第七百四條　削除

第七百五條　削除

第七百六條　削除

第七百七條　削除

第七百八條　削除

第七百九條　削除

第七百十條　削除

第七百十一條　削除

第七百十二條　削除

第七百十三條　削除

第七百十四條　削除

第七百十五條　削除

第七百十六條　削除

第七百十七條　削除

第七百十八條　削除

第七百十九條　削除

第七百二十條　削除

第七百二十一條　削除

第七百二十二條　削除

第七百二十三條　削除

第七百二十四條　削除

第七百二十五條　削除

第七百二十六條　削除

第七百二十七條　削除

第七百二十八條　削除

第七百二十九條　削除

第七百三十條　削除

第七百三十一條　削除

第七百三十二條　削除

第七百三十三條　削除

第七百三十四條　削除

第七百三十五條　削除

第七百三十六條　削除

第七百三十七條　削除

第七百三十八條　削除

第七百三十九條　削除

第七百四十條　削除

第七百四十一條　削除

第七百四十二條　削除

第七百四十三條　削除

第七百四十四條　削除

第七百四十五條　削除

第七百四十六條　削除

第七百四十七條　削除

第七百四十八條　削除

第七百四十九條　削除

第七百五十條　削除

第七百五十一條　削除

第七百五十二條　削除

第七百五十三條　削除

第七百五十四條　削除

第七百五十五條　削除

第七百五十六條　削除

第七百五十七條　削除

第七百五十八條　削除

第七百五十九條　削除

第七百六十條　削除

第七百六十一條　削除

第七百六十二條　削除

第七百六十三條　削除

第七百六十四條　削除

第七百六十五條　削除

第七百六十六條　削除

第七百六十七條　削除

第七百六十八條　削除

第七百六十九條　削除

第七百七十條　削除

第七百七十一條　削除

第七百七十二條　削除

第七百七十三條　削除

第七百七十四條　削除

第七百七十五條　削除

第七百七十六條　削除

第七百七十七條　削除

第七百七十八條　削除

第七百七十九條　削除

第七百八十條　削除

第七百八十一條　削除

第七百八十二條　削除

第七百八十三條　削除

第七百八十四條　削除

第七百八十五條　削除

第七百八十六條　削除

第七百八十七條　削除

第七百八十八條　削除

第七百八十九條　削除

第七百九十條　削除

第七百九十一條　削除

第七百九十二條　削除

第七百九十三條　削除

第七百九十四條　削除

第七百九十五條　削除

第七百九十六條　削除

第七百九十七條　削除

第七百九十八條　削除

第七百九十九條　削除

第八百條　削除

第八百一條　削除

第八百二條　削除

第八百三條　削除

第八百四條　削除

第八百五條　削除

第八百六條　削除

第八百七條　削除

第八百八條　削除

第八百九條　削除

第八百十條　削除

第八百十一條　削除

第八百十二條　削除

第八百十三條　削除

第八百十四條　削除

第八百十五條　削除

第八百十六條　削除

第八百十七條　削除

第八百十八條　削除

第八百十九條　削除

第八百二十條　削除

第八百二十一條　削除

第八百二十二條　削除

第八百二十三條　削除

第八百二十四條　削除

第八百二十五條　削除

第八百二十六條　削除

第八百二十七條　削除

第八百二十八條　削除

第八百二十九條　削除

第八百三十條　削除

第八百三十一條　削除

第八百三十二條　削除

第八百三十三條　削除

第八百三十四條　削除

第八百三十五條　削除

第八百三十六條　削除

第八百三十七條　削除

第八百三十八條　削除

第八百三十九條　削除

第八百四十條　削除

第八百四十一條　削除

第八百四十二條　削除

第八百四十三條　削除

第八百四十四條　削除

第八百四十五條　削除

第八百四十六條　削除

第八百四十七條　削除

第八百四十八條　削除

第八百四十九條　削除

第八百五十條　削除

第八百五十一條　削除

第八百五十二條　削除

第八百五十三條　削除

第八百五十四條　削除

第八百五十五條　削除

第八百五十六條　削除

第八百五十七條　削除

第八百五十八條　削除

第八百五十九條　削除

第八百六十條　削除

第八百六十一條　削除

第八百六十二條　削除

第八百六十三條　削除

第八百六十四條　削除

第八百六十五條　削除

第八百六十六條　削除

第八百六十七條　削除

第八百六十八條　削除

第八百六十九條　削除

第八百七十條　削除

第八百七十一條　削除

第八百七十二條　削除

第八百七十三條　削除

第八百七十四條　削除

第八百七十五條　削除

第八百七十六條　削除

第八百七十七條　削除

第八百七十八條　削除

第八百七十九條　削除

第八百八十條　削除

第八百八十一條　削除

第八百八十二條　削除

第八百八十三條　削除

第八百八十四條　削除

第八百八十五條　削除

第八百八十六條　削除

第八百八十七條　削除

第八百八十八條　削除

第八百八十九條　削除

第八百九十條　削除

第八百九十一條　削除

第八百九十二條　削除

第八百九十三條　削除

第八百九十四條　削除

第八百九十五條　削除

第八百九十六條　削除

第八百九十七條　削除

第八百九十八條　削除

第八百九十九條　削除

第九百條　削除

第九百一條　削除

第九百二條　削除

第九百三條　削除

第九百四條　削除

第九百五條　削除

第九百六條　削除

第九百七條　削除

第九百八條　削除

第九百九條　削除

第九百十條　削除

第九百十一條　削除

第九百十二條　削除

第九百十三條　削除

第九百十四條　削除

第九百十五條　削除

第九百十六條　削除

第九百十七條　削除

第九百十八條　削除

第九百十九條　削除

第九百二十條　削除

第九百二十一條　削除

第九百二十二條　削除

第九百二十三條　削除

第九百二十四條　削除

第九百二十五條　削除

第九百二十六條　削除

第九百二十七條　削除

第九百二十八條　削除

第九百二十九條　削除

第九百三十條　削除

第九百三十一條　削除

第九百三十二條　削除

第九百三十三條　削除

第九百三十四條　削除

第九百三十五條　削除

第九百三十六條　削除

第九百三十七條　削除

第九百三十八條　削除

第九百三十九條　削除

第九百四十條　削除

第九百四十一條　削除

第九百四十二條　削除

第九百四十三條　削除

第九百四十四條　削除

第九百四十五條　削除

第九百四十六條　削除

第九百四十七條　削除

第九百四十八條　削除

第九百四十九條　削除

第九百五十條　削除

第九百五十一條　削除

第九百五十二條　削除

第九百五十三條　削除

第九百五十四條　削除

第九百五十五條　削除

第九百五十六條　削除

第九百五十七條　削除

第九百五十八條　削除

第九百五十九條　削除

第九百六十條　削除

第九百六十一條　削除

第九百六十二條　削除

第九百六十三條　削除

第九百六十四條　削除

第九百六十五條　削除

第九百六十六條　削除

第九百六十七條　削除

第九百六十八條　削除

第九百六十九條　削除

第九百七十條　削除

第九百七十一條　削除

第九百七十二條　削除

第九百七十三條　削除

第九百七十四條　削除

第九百七十五條　削除

第九百七十六條　削除

第九百七十七條　削除

第九百七十八條　削除

第九百七十九條　削除

第九百八十條　削除

第九百八十一條　削除

第九百八十二條　削除

第九百八十三條　削除

第九百八十四條　削除

第九百八十五條　削除

第九百八十六條　削除

第九百八十七條　削除

第九百八十八條　削除

第九百八十九條　削除

第九百九十條　削除

第九百九十一條　削除

第九百九十二條　削除

第九百九十三條　削除

第九百九十四條　削除

第九百九十五條　削除

第九百九十六條　削除

第九百九十七條　削除

第九百九十八條　削除

第九百九十九條　削除

第千條　削除

第千一條　削除

第千二條　削除

第千三條　削除

第千四條　削除

第千五條　削除

第千六條　削除

第千七條　削除

第千八條　削除

第千九條　削除

第千十條　削除

第千十一條　削除

第千十二條　削除

第千十三條　削除

第千十四條　削除

第千十五條　削除

第千十六條　削除

第千十七條　削除

第千十八條　削除

第千十九條　削除

第千二十條　削除

第千二十一條　削除

第千二十二條　削除

第千二十三條　削除

第千二十四條　削除

第千二十五條　削除

第千二十六條　削除

第千二十七條　削除

第千二十八條　削除

第千二十九條　削除

第千三十條　削除

第千三十一條　削除

第千三十二條　削除

第千三十三條　削除

第千三十四條　削除

第千三十五條　削除

第千三十六條　削除

第千三十七條　削除

第千三十八條　削除

第千三十九條　削除

第千四十條　削除

第千四十一條　削除

第千四十二條　削除

第千四十三條　削除

第千四十四條　削除

第千四十五條　削除

第千四十六條　削除

第千四十七條　削除

第千四十八條　削除

第千四十九條　削除

第千五十條　削除

第千五十一條　削除

第千五十二條　削除

第千五十三條　削除

第千五十四條　削除

第千五十五條　削除

第千五十六條　削除

第千五十七條　削除

第千五十八條　削除

第千五十九條　削除

第千六十條　削除

第千六十一條　削除

第千六十二條　削除

第千六十三條　削除

第千六十四條　削除

第千六十五條　削除

第千六十六條　削除

第千六十七條　削除

第千六十八條　削除

第千六十九條　削除

第千七十條　削除

第千七十一條　削除

第千七十二條　削除

第千七十三條　削除

第千七十四條　削除

第千七十五條　削除

第千七十六條　削除

第千七十七條　削除

第千七十八條　削除

第千七十九條　削除

第千八十條　削除

第千八十一條　削除

第千八十二條　削除

第千八十三條　削除

第千八十四條　削除

第千八十五條　削除

第千八十六條　削除

第千八十七條　削除

第千八十八條　削除

第千八十九條　削除

第千九十條　削除

第千九十一條　削除

第千九十二條　削除

第千九十三條　削除

第千九十四條　削除

第千九十五條　削除

第千九十六條　削除

第千九十七條　削除

第千九十八條　削除

第千九十九條　削除

第千百條　削除

第千百一條　削除

第千百二條　削除

第千百三條　削除

第千百四條　削除

第千百五條　削除

第千百六條　削除

第千百七條　削除

第千百八條　削除

第千百九條　削除

第千百十條　削除

第千百十一條　削除

第千百十二條　削除

第千百十三條　削除

第千百十四條　削除

第千百十五條　削除

第千百十六條　削除

第千百十七條　削除

第千百十八條　削除

第千百十九條　削除

第千百二十條　削除

第千百二十一條　削除

第千百二十二條　削除

第千百二十三條　削除

第千百二十四條　削除

第千百二十五條　削除

第千百二十六條　削除

第千百二十七條　削除

第千百二十八條　削除

第千百二十九條　削除

第千百三十條　削除

第千百三十一條　削除

第千百三十二條　削除

第千百三十三條　削除

第千百三十四條　削除

第千百三十五條　削除

第千百三十六條　削除

第千百三十七條　削除

第千百三十八條　削除

第千百三十九條　削除

第千百四十條　削除

第千百四十一條　削除

第千百四十二條　削除

第千百四十三條　削除

第千百四十四條　削除

第千百四十五條　削除

第千百四十六條　削除

第千百四十七條　削除

第千百四十八條　削除

第千百四十九條　削除

第千百五十條　削除

第千百五十一條　削除

第千百五十二條　削除

第千百五十三條　削除

第千百五十四條　削除

第千百五十五條　削除

第千百五十六條　削除

第千百五十七條　削除

第千百五十八條　削除

第千百五十九條　削除

第千百六十條　削除

第千百六十一條　削除

第千百六十二條　削除

第千百六十三條　削除

第千百六十四條　削除

第千百六十五條　削除

第千百六十六條　削除

第千百六十七條　削除

第千百六十八條　削除

第千百六十九條　削除

第千百七十條　削除

第千百七十一條　削除

第千百七十二條　削除

第千百七十三條　削除

第千百七十四條　削除

第千百七十五條　削除

第千百七十六條　削除

第千百七十七條　削除

第千百七十八條　削除

第千百七十九條　削除

第千百八十條　削除

第千百八十一條　削除

第千百八十二條　削除

第千百八十三條　削除

第千百八十四條　削除

第千百八十五條　削除

第千百八十六條　削除

第千百八十七條　削除

第千百八十八條　削除

第千百八十九條　削除

第千百九十條　削除

第千百九十一條　削除

第千百九十二條　削除

第千百九十三條　削除

第千百九十四條　削除

第千百九十五條　削除

第千百九十六條　削除

第千百九十七條　削除

第千百九十八條　削除

第千百九十九條　削除

第千二百條　削除

第千二百一條　削除

第千二百二條　削除

第千二百三條　削除

第千二百四條　削除

第千二百五條　削除

第千二百六條　削除

第千二百七條　削除

第千二百八條　削除

第千二百九條　削除

第千二百十條　削除

第千二百十一條　削除

第千二百十二條　削除

第千二百十三條　削除

第千二百十四條　削除

第千二百十五條　削除

第千二百十六條　削除

第千二百十七條　削除

第千二百十八條　削除

第千二百十九條　削除

第千二百二十條　削除

第千二百二十一條　削除

第千二百二十二條　削除

第千二百二十三條　削除

第千二百二十四條　削除

第千二百二十五條　削除

第千二百二十六條　削除

第千二百二十七條　削除

第千二百二十八條　削除

第千二百二十九條　削除

第千二百三十條　削除

第千二百三十一條　削除

第千二百三十二條　削除

第千二百三十三條　削除

第千二百三十四條　削除

第千二百三十五條　削除

第千二百三十六條　削除

第千二百三十七條　削除

第千二百三十八條　削除

第千二百三十九條　削除

第千二百四十條　削除

第千二百四十一條　削除

第千二百四十二條　削除

第千二百四十三條　削除

第千二百四十四條　削除

第千二百四十五條　削除

第千二百四十六條　削除

第千二百四十七條　削除

第千二百四十八條　削除

第千二百四十九條　削除

第千二百五十條　削除

第千二百五十一條　削除

第千二百五十二條　削除

第千二百五十三條　削除

第千二百五十四條　削除

第千二百五十五條　削除

第千二百五十六條　削除

第千二百五十七條　削除

第千二百五十八條　削除

第千二百五十九條　削除

第千二百六十條　削除

第千二百六十一條　削除

第千二百六十二條　削除

第千二百六十三條　削除

第千二百六十四條　削除

第千二百六十五條　削除

第千二百六十六條　削除

第千二百六十七條　削除

第千二百六十八條　削除

第千二百六十九條　削除

第千二百七十條　削除

第千二百七十一條　削除

第千二百七十二條　削除

第千二百七十三條　削除

第千二百七十四條　削除

第千二百七十五條　削除

第千二百七十六條　削除

第千二百七十七條　削除

第千二百七十八條　削除

第千二百七十九條　削除

第千二百八十條　削除

第千二百八十一條　削除

第千二百八十二條　削除

第千二百八十三條　削除

第千二百八十四條　削除

第千二百八十五條　削除

第千二百八十六條　削除

第千二百八十七條　削除

第千二百八十八條　削除

第千二百八十九條　削除

第千二百九十條　削除

第千二百九十一條　削除

第千二百九十二條　削除

第千二百九十三條　削除

第千二百九十四條　削除

第千二百九十五條　削除

第千二百九十六條　削除

第千二百九十七條　削除

第千二百九十八條　削除

第千二百九十九條　削除

第千三百條　削除

第千三百一條　削除

第千三百二條　削除

第千三百三條　削除

第千三百四條　削除

第千三百五條　削除

第千三百六條　削除

第千三百七條　削除

第千三百八條　削除

第千三百九條　削除

第千三百十條　削除

第千三百十一條　削除

第千三百十二條　削除

第千三百十三條　削除

第千三百十四條　削除

第千三百十五條　削除

第千三百十六條　削除

第千三百十七條　削除

第千三百十八條　削除

第千三百十九條　削除

第千三百二十條　削除

第千三百二十一條　削除

第千三百二十二條　削除

第千三百二十三條　削除

第千三百二十四條　削除

第千三百二十五條　削除

第千三百二十六條　削除

第千三百二十七條　削除

第千三百二十八條　削除

第千三百二十九條　削除

第千三百三十條　削除

第千三百三十一條　削除

第千三百三十二條　削除

第千三百三十三條　削除

第千三百三十四條　削除

第千三百三十五條　削除

第千三百三十六條　削除

第千三百三十七條　削除

第千三百三十八條　削除

第千三百三十九條　削除

第千三百四十條　削除

第千三百四十一條　削除

第千三百四十二條　削除

第千三百四十三條　削除

第千三百四十四條　削除

第千三百四十五條　削除

第千三百四十六條　削除

第千三百四十七條　削除

第千三百四十八條　削除

第千三百四十九條　削除

第千三百五十條　削除

第千三百五十一條　削除

第千三百五十二條　削除

第千三百五十三條　削除

第千三百五十四條　削除

第千三百五十五條　削除

第千三百五十六條　削除

第千三百五十七條　削除

第千三百五十八條　削除

第千三百五十九條　削除

第千三百六十條　削除

第千三百六十一條　削除

第千三百六十二條　削除

第千三百六十三條　削除

第千三百六十四條　削除

第千三百六十五條　削除

第千三百六十六條　削除

第千三百六十七條　削除

第千三百六十八條　削除

第千三百六十九條　削除

第千三百七十條　削除

第千三百七十一條　削除

第千三百七十二條　削除

第千三百七十三條　削除

第千三百七十四條　削除

第千三百七十五條　削除

第千三百七十六條　削除

第千三百七十七條　削除

第千三百七十八條　削除

第千三百七十九條　削除

第千三百八十條　削除

第千三百八十一條　削除

第千三百八十二條　削除

第千三百八十三條　削除

第千三百八十四條　削除

第千三百八十五條　削除

第千三百八十六條　削除

第千三百八十七條　削除

第千三百八十八條　削除

第千三百八十九條　削除

第千三百九十條　削除

第千三百九十一條　削除

第千三百九十二條　削除

第千三百九十三條　削除

第千三百九十四條　削除

第千三百九十五條　削除

第千三百九十六條　削除

第千三百九十七條　削除

第千三百九十八條　削除

第千三百九十九條　削除

第千四百條　削除

第千四百一條　削除

第千四百二條　削除

第千四百三條　削除

第千四百四條　削除

第千四百五條　削除

第千四百六條　削除

第千四百七條　削除

第千四百八條　削除

第千四百九條　削除

第千四百十條　削除

第千四百十一條　削除

第千四百十二條　削除

第千四百十三條　削除

第千四百十四條　削除

第千四百十五條　削除

第千四百十六條　削除

第千四百十七條　削除

第千四百十八條　削除

第千四百十九條　削除

第千四百二十條　削除

第千四百二十一條　削除

第千四百二十二條　削除

第千四百二十三條　削除

第千四百二十四條　削除

第千四百二十五條　削除

第千四百二十六條　削除

第千四百二十七條　削除

第千四百二十八條　削除

第千四百二十九條　削除

第千四百三十條　削除

第千四百三十一條　削除

第千四百三十二條　削除

第千四百三十三條　削除

第千四百三十四條　削除

第千四百三十五條　削除

第千四百三十六條　削除

第千四百三十七條　削除

第千四百三十八條　削除

第千四百三十九條　削除

第千四百四十條　削除

第千四百四十一條　削除

第千四百四十二條　削除

第千四百四十三條　削除

第千四百四十四條　削除

第千四百四十五條　削除

第千四百四十六條　削除

第千四百四十七條　削除

第千四百四十八條　削除

第千四百四十九條　削除

第千四百五十條　削除

第千四百五十一條　削除

第千四百五十二條　削除

第千四百五十三條　削除

第千四百五十四條　削除

第千四百五十五條　削除

第千四百五十六條　削除

第千四百五十七條　削除

第千四百五十八條　削除

第千四百五十九條　削除

第千四百六十條　削除

第千四百六十一條　削除

第千四百六十二條　削除

第千四百六十三條　削除

第千四百六十四條　削除

第千四百六十五條　削除

第千四百六十六條　削除

第千四百六十七條　削除

第千四百六十八條　削除

第千四百六十九條　削除

第千四百七十條　削除

第千四百七十一條　削除

第千四百七十二條　削除

第千四百七十三條　削除

第千四百七十四條　削除

第千四百七十五條　削除

第千四百七十六條　削除

第千四百七十七條　削除

第千四百七十八條　削除

第千四百七十九條　削除

第千四百八十條　削除

第千四百八十一條　削除

第千四百八十二條　削除

第千四百八十三條　削除

第千四百八十四條　削除

第千四百八十五條　削除

第千四百八十六條　削除

第千四百八十七條　削除

第千四百八十八條　削除

第千四百八十九條　削除

第千四百九十條　削除

第千四百九十一條　削除

第千四百九十二條　削除

第千四百九十三條　削除

第千四百九十四條　削除

第千四百九十五條　削除

第千四百九十六條　削除

第千四百九十七條　削除

第千四百九十八條　削除

第千四百九十九條　削除

第千五百條　削除

第千五百一條　削除

第千五百二條　削除

第千五百三條　削除

第千五百四條　削除

第千五百五條　削除

第千五百六條　削除

第千五百七條　削除

第千五百八條　削除

第千五百九條　削除

第千五百十條　削除

第千五百十一條　削除

第千五百十二條　削除

第千五百十三條　削除

第千五百十四條　削除

第千五百十五條　削除

第千五百十六條　削除

第千五百十七條　削除

第千五百十八條　削除

第千五百十九條　削除

第千五百二十條　削除

第千五百二十一條　削除

第千五百二十二條　削除

第千五百二十三條　削除

第千五百二十四條　削除

第千五百二十五條　削除

第千五百二十六條　削除

第千五百二十七條　削除

第千五百二十八條　削除

第千五百二十九條　削除

第千五百三十條　削除

第千五百三十一條　削除

第千五百三十二條　削除

第千五百三十三條　削除

第千五百三十四條　削除

第千五百三十五條　削除

第千五百三十六條　削除

第千五百三十七條　削除

第千五百三十八條　削除

第千五百三十九條　削除

第千五百四十條　削除

第千五百四十一條　削除

第千五百四十二條　削除

第千五百四十三條　削除

第千五百四十四條　削除

第千五百四十五條　削除

第千五百四十六條　削除

第千五百四十七條　削除

第千五百四十八條　削除

第千五百四十九條　削除

第千五百五十條　削除

第千五百五十一條　削除

第千五百五十二條　削除

第千五百五十三條　削除

第千五百

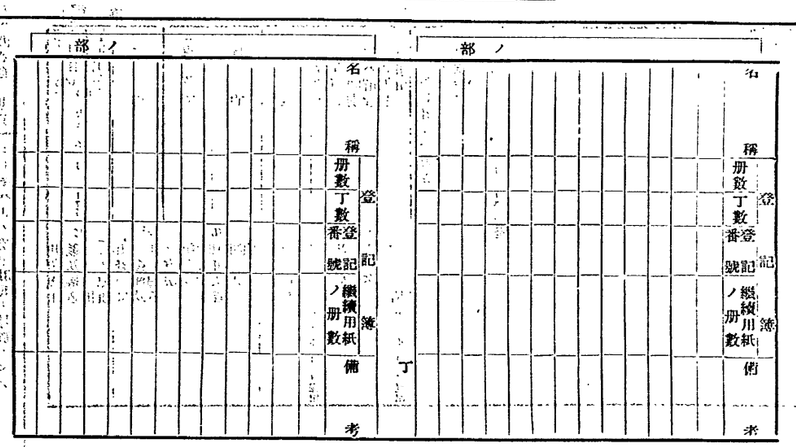
變更	變更
變更	變更

丁

附錄第二號

金融組合登記見出帳

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）



●朝鮮金融組合聯合會登記取扱規則

昭和八年八月總令第八十九號

朝鮮金融組合聯合會登記取扱規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮金融組合聯合會登記取扱規則朝鮮金融組合聯合會登記簿ハ附錄雛形ニ依リ地方法院ニ於テ之ヲ調製スベシ

第二條　登記所ニハ登記簿及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フベシ

一　印鑑簿
二　申請書類綴込帳
三　決定原本綴込帳
四　抗告書類綴込帳
五　登記濟證交付帳
六　謄本抄本證明書交付帳
七　受領證原符元帳

第三條　前條第二號乃至第七號ノ帳簿ハ一年毎ニ之ヲ別冊ト爲スベシ但シ分冊スルコトヲ妨ゲズ

第四條　朝鮮金融組合聯合會令第三十四條ニ於テ準用スル金融組合令第二十二條ノ規定ニ依リ朝鮮金融組合聯合會令第四十五條ニ揭グル事項ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スベシ

第五條　朝鮮金融債券ノ登記ヲ爲シタル後同一ノ事項ニ付更ニ登記ヲ爲スベキトキハ變更欄ニ其ノ登記ヲ爲スベシ

第六條　朝鮮金融債券ノ登記ノ囑託書ニハ其ノ登記ノ囑託ニ必要ナル事項ノ外登錄稅額ヲ記載スベシ但シ朝鮮登錄稅令第三條ノ二ノ規定ニ依リテ受クル同令第三條第一項第八號ノ登記ニ付テハ課稅標準ノ價格ヲモ記載スベシ

第七條　朝鮮不動產登記令施行規則第四條、第五條、第十二條、第二十一條乃至第二十五條、第二十八條、第三十四條乃至第三十六條ノ二、第三十七條、第三十八條、第四十一條、第四十九條、第五十二條及商業登記取扱規則第四條乃至第六條、第九條乃至第二十三條、第二十四條第四項、第二十六條乃至第三十條、第三十四條、第三十五條、第五十二條乃至第五十四條、第五十九條乃至第五十九條ノ四、第六十條、第六十四條ノ規定ハ朝鮮金融組合聯合會ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附錄

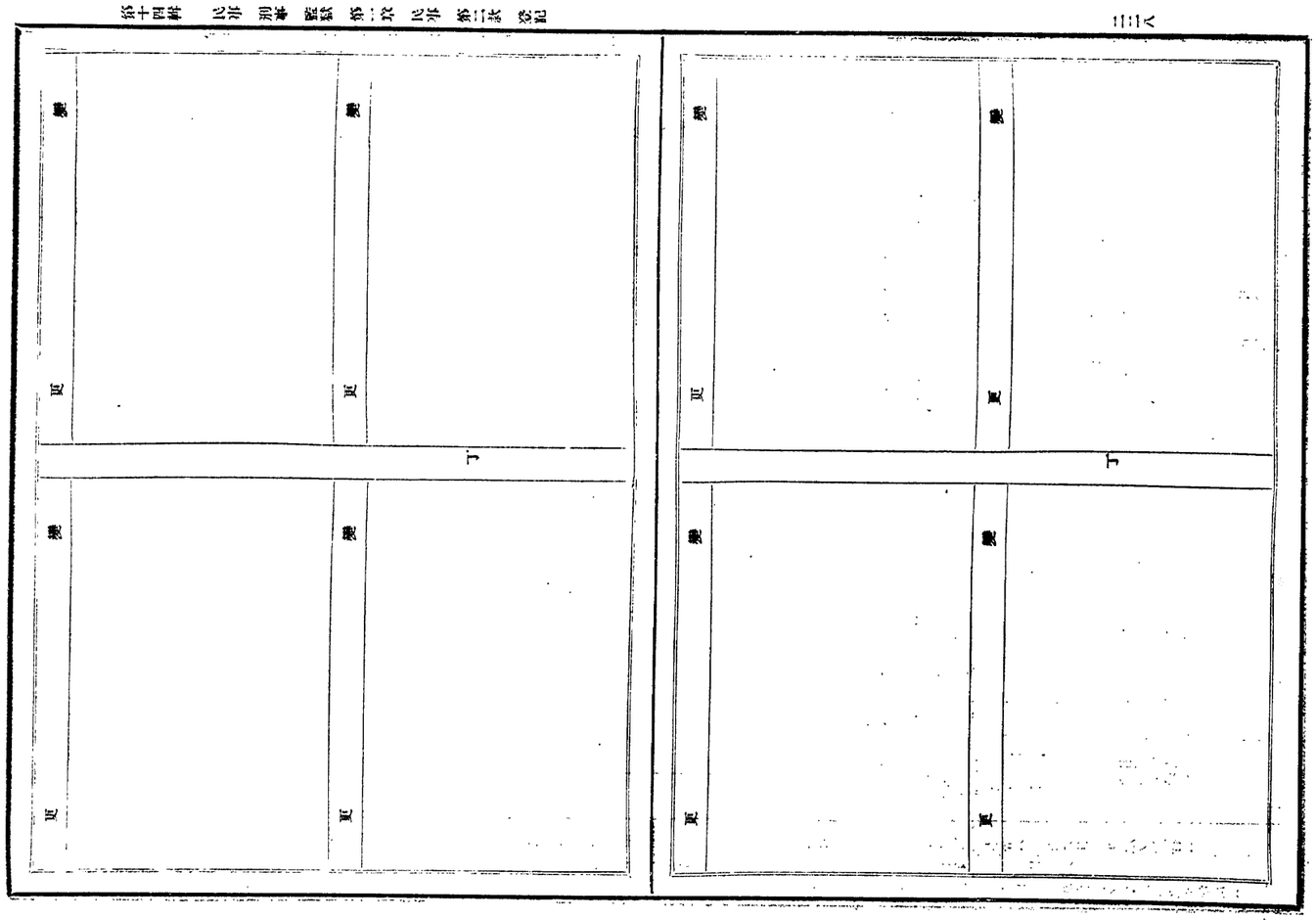
朝鮮金融組合聯合會登記簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

| 登記番號 | 第 | 號 | | |


更
更
更
更
更
更
更
更
丁
丁

ニ契印スヘシ但シ申請人カ多数ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

第十七條　工場ノ圖面ニハ工場ニ屬スル土地及工作物ノ方位、形狀及間尺竝重要ナル附屬物ノ配置ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

地上權ノ目的タル土地、貸借權ノ目的タル土地及工作物竝承役地ニ付テハ各其ノ方位、形狀及間尺ヲ記載スヘシ

工場ノ一部ヲ以テ工場財團ヲ設クル場合ニ於テハ財團ニ屬スル部分ト之ニ屬セサル部分トヲ區分スヘシ

第十八條　登記官吏カ工場抵當法第二十條第三項ニ依リ表示欄ニ工場ノ名稱、位置、主タル營業所及營業ノ種類ヲ記載スヘシ

第四條ノ場合ニ於テハ所有者ノ氏名又ハ名稱ヲモ記載スヘシ

第十九條　登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ工場財團目錄及工場ノ圖面ニ申請書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載スヘシ

工場抵當法第三十九條ニ依リ提出シタル目錄ニハ申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スルヲ以テ足ル

第二十條　登記官吏カ工場抵當法第二十三條第二項、第四項、第二十六條、第二十八條第二項、第三十四條第二項、第四十三條、第四十四條第二項ニ依リ通知ヲ爲ストキハ其ノ要旨、通知ヲ受クル者及通知ヲ發スル年月日ヲ朝鮮不動產登記令施行規則第十四條第十三號ノ通知簿ニ記入スヘシ

第二十一條　登記官吏カ工場抵當法第二十三條第二項、第二十八條第二項、第三十四條第二項、第三十七條第二項、第四十三條、第四十四條第二項及第四十八條第二項ニ依リ通知ヲ受ケタルトキハ受附簿ニ通知事項ノ要旨、通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ通知書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ但シ通知事項ノ要旨ハ登記ノ日ノ欄ニ通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱ハ申請人ノ氏名欄ニ之ヲ記載スヘシ

第二十二條　工場財團目錄及工場ノ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

第二十三條　工場抵當法第三條ノ場合ニ於テハ土地又ハ建物カ同法第一條ノ工場ニ屬スルモノナルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スヘシ

第二十四條　前條ノ場合ニ於テ土地又ハ建物ノ登記用紙中相當事項欄ニ其ノ登記ヲ爲ストキハ工場抵當法第三條ニヨリテ目錄ノ提出アリタルコトヲ記載スヘシ

第二十五條　第八條、第十五條、第十六條、第十九條及第二十二條ノ規定ハ工場抵當法第三條ノ目錄ニ之ヲ準用ス

第二十六條　鑛業抵當法ニ依ル鑛業財團ノ登記ニ付テハ後六條ニ規定スルモノヲ除クノ外本令中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十七條　鑛業財團所有權保存ノ登記ヲ申請スルニハ鑛業抵當法第三條及工場抵當法第二十二條ニ揭ケタル書面ノ外工作物ノ配置ヲ記載シタル圖面ヲ提出スヘシ

第二十八條　鑛業財團目錄ニ揭クヘキ鑛業權ニ付テハ鑛業權ノ位置、鑛物ノ名稱、鑛區ノ面積、鑛業權設定ノ年月日及其ノ登錄番號ヲ記載スヘシ

鑛業權ニ付期限アルモノニ付テハ其ノ期限ヲモ記載スヘシ

第二十九條　鑛業財團目錄ニ揭クヘキ土地ノ使用權ニ付テハ土地所在ノ府、郡、島、面、町洞里、土地ノ番號、地目、段別又ハ坪數、使用ノ目的、使用ノ時期、使用料及其ノ支拂時期竝土地所有者及關係人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第三十條　數箇ノ鑛業權ニ付鑛業財團ヲ設クル場合ニ於テ鑛業財團目錄ヲ作成スルニハ各鑛區ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ但シ數箇ノ鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條　登記官吏カ鑛業財團登記簿ノ用紙中表示欄ニ鑛業財團ノ表示ヲ爲スニハ鑛區ノ位置、鑛物ノ名稱、鑛區ノ面積、鑛業權ノ登錄番號及鑛業事務所ヲ記載スヘシ

第三十二條　鑛業財團目錄及第二十七條ニ依リ提出シタル圖面ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

附則

本令ハ寢布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　期（大正十五年二月總令第十五號）

本令ハ大正十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號

工場財團登記簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方法院長

附錄第二號

工場財團共同人名簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方法院長

登記番號　第　號

表示番號	表示欄	甲　區（所有權）				乙　區（抵當權）				丁
		順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	

番號	申請人ノ氏名、住所	持分	摘要	備考

丁

番號	申請人ノ氏名、住所	持分	摘要	備考

丁

●殖産契登記取扱規則

昭和十年十二月
總令第百四十九號

殖産契登記取扱規則左ノ通定ム

第一條　殖産契登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方法院ニ於テ之ヲ調製スベシ

第二條　殖産契登記見出帳ハ附錄第二號雛形ニ依リ之ヲ調製スベシ

第三條　登記所ニハ登記簿見出帳及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フベシ

一　印鑑簿
二　申請書類綴込帳
三　決定原本綴込帳
四　抗告書類綴込帳
五　登記濟證交付帳
六　謄本抄本證明書交付帳
七　受領證原符元帳

第四條　前條第二號乃至第七號ノ帳簿ハ一年毎ニ別冊トスベシ但シ分冊スルコトヲ妨ゲズ

第五條　殖産契ガ其ノ事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

第六條　前條ノ場合ニ於テ所在地ノ登記所ニ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ舊所在地ニ於ケル登記簿ノ謄本ヲ添附スベシ

第七條　殖産契令第二十條ノ規定ニ依リ同令施行規則第三十三條第一項各號ノ事項ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スベシ殖産契ノ合併ニ因ル設立ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同ジ

第八條　不動産登記令施行規則第四條、第五條、第十二條、第二十一條乃至第二十五條、第二十八條、第三十四條乃至第三十六條ノ二、第三十七條、第三十八條、第四十一條、第四十九條及第五十二條竝ニ商業登記取扱規則第四條乃至第六條、第九條乃至第二十三條、第二十四條第四項、第二十六條乃至第三十一條、第三十二條乃至第三十五條、第五十九條乃至第五十九條ノ四、第六十條及第六十四條ノ規定ハ殖産契ノ登記ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和十年十二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號

殖産契登記簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方法院長

登記番號	第一號					第 號					登記ノ年月日及吏印
	一 名稱	二 事務所	三 目的	四 地區	五 屬スル組合又ハ産業組合ノ名稱	十一 清算結了ノ年月日	備考				
	昭和　年　月　日登記					昭和　年　月　日登記					第一欄ヨリ第八欄マデ
	六 設立認可ノ年月日	七 存立時期又ハ解散ノ事由	八 主事及副主事ノ氏名及住所		九 解散ノ原因及年月日		十 清算人ノ氏名及住所				
					昭和　年　月　日登記		昭和　年　月　日登記				

附錄第二號

殖産契登記見出帳

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

登記番號	名稱	登記										備考
		冊數	丁數	登記番號	繼續用紙ノ冊數	冊數	丁數	登記番號	繼續用紙ノ冊數	名稱	ノ部	

●朝鮮漁業組合登記規則

昭和五年三月
總令第十八號

朝鮮漁業組合登記規則左ノ通定ム

朝鮮漁業組合登記規則

第一條　漁業組合登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方法院ニ於テ之ヲ調製スベシ

第二條　漁業組合登記見出帳ハ附錄第二號雛形ニ依リ之ヲ調製スベシ

第三條　登記所ニハ登記簿、見出帳及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フベシ

一　印鑑簿
二　申請書類綴込帳
三　決定原本綴込帳
四　抗告書類綴込帳
五　登記濟證交付帳
六　謄本抄本證明書交付帳
七　受領證原符元帳

第四條　前條第二號乃至第七號ノ帳簿ハ一年毎ニヲ別冊ト爲スベシ但シ分冊ト爲スコトヲ妨ゲズ

第五條　漁業組合（以下單ニ組合ト稱ス）朝鮮漁業組合規則第二十四條第一號及第二號ノ事由ニ因リテ解散スル場合ノ組合解散ノ登記及組合ノ合併又ハ分割ニ因ル組合設立ノ登記ノ申請書ニハ總代會又ハ總會ノ決議錄ヲ添附スベシ

第六條　朝鮮漁業組合規則第四十二條第二項ノ規定ニ依リ同令第四十一條第一項各號ノ事項ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中欄備欄ニ其ノ事由ヲ記載スベシ組合ノ合併又ハ分割ニ因ル組合設立ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同ジ

第七條　清算人ノ氏名及住所變更ノ登記ノ申請書ニハ其ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第八條　朝鮮不動產登記令施行規則第四條、第五條、第十條、第十二條、第二十一條乃至第二十五條、第二十八條、第三十四條乃至第三十六條ノ二、第三十七條、第三十八條、第四十一條、第四十九條及第五十二條竝ニ商業登記取扱規則第四條乃至第六條、第九條乃至第二十三條、第二十四條第四項、第二十六條乃至第三十一條、第三十三條乃至第三十五條、第五十二條、第五十三條、第五十九條乃至第五十九條ノ四、第六十條及第六十四條ノ規定ハ組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

第九條　漁業組合聯合會ノ登記ニ付テハ組合ノ登記ニ關スル規定ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號

漁業組合登記簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

登記番號	第　號								備考
登記ノ年月日及登記官吏印六欄迄	一 名稱	二 主タル事務所	三 目的	四 地區及組合員タル資格	五 設立認可ノ年月日	六 組合長 理事及監事ノ氏名住所	七 解散ノ原因及年月日	八 清算人ノ氏名住所	九 清算結了ノ年月日
第一欄昭和　年　月　日登記									昭和　年　月　日登記
丁									
變更									

附錄第二號

漁業組合登記見出帳

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

登記簿	名稱	冊數	丁數	登記番號	繼續用紙ノ冊數	備考
部ノ						
部ノ						

變更　變更　變更　變更

丁

●朝鮮自動車交通事業財團抵當登記取扱規則

昭和九年十二月
總令第百三十二號

朝鮮自動車交通事業財團抵當登記取扱規則左ノ通定ム

朝鮮自動車交通事業財團抵當登記取扱規則

第一條　朝鮮自動車交通事業令ニ依ル自動車交通事業財團ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除クノ外朝鮮不動産登記令施行規則ニ依ル

第二條　自動車交通事業財團ノ所有者タル會社ノ本店ガ一登記所ノ管轄地ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ移轉シタル場合又ハ自動車交通事業財團ノ所有權ガ一登記所ノ管轄地ニ本店ヲ有スル會社ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ本店ヲ有スル會社ニ移轉シタル場合ニ於テハ共ノ自動車交通事業財團ノ登記ノ事務ハ第十五條第一項ノ規定ニ依ル移送ヲ爲スニ至ル迄仍舊本店ノ所在地ノ登記所ニ於テ之ヲ取扱フ

第三條　自動車交通事業財團登記簿ハ附錄雛形ニ依リ地方法院ニ於テ之ヲ調製スベシ

第四條　登記所ニハ登記簿、共同人名簿及受附帳ノ外左ニ掲グル帳簿ヲ備フベシ

一　共同擔保目錄綴込帳
二　申請書類綴込帳
三　決定原本綴込帳
四　抗告書類綴込帳
五　評價事件簿
六　評價書類綴込帳
七　本登記濟證交付帳
八　謄本抄交付帳
九　通知簿
十　受領證原符元帳
十一　還納受領證綴込帳

第五條　朝鮮自動車交通事業令ニ於テ依ルコトヲ定メタル自動車交通事業法（以下單ニ自動車交通事業法ト稱ス）第四十七條第三項ニ掲グル自動車運輸事業ノ表示ハ事業種別（旅客運送又ハ物品運送ノ別）テ、路線又ハ一般自動車道ノ表示ハ起點及終點、主ナル經過地並ニ延長ヲ記載シテ之ヲ爲スベシ

第六條　主務官廳ニ於テ許可又ハ認可ヲ要スル事項ノ登記申請書ニハ免許、許可又ハ認可書又ハ主務官廳ノ認證アル謄本ヲ添附スベシ

第七條　自動車交通事業財團ニ屬スベキ自動車ニ關スル登記申請書ニハ朝鮮自動車運輸事業自動車登錄規程ニ依ル登記ヲ爲シタル旨ノ證明書面ヲ添附スベシ

第八條　登記官吏ハ申請人ヲシテ自動車交通事業法第四十七條第一項ニ於テ準用スル工場抵當法第二十三條第二項、第三十四條第二項、第四十三條第二項、第四十四條第二項又ハ第四十八條第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ爲スニ必要ナル不動產ノ目錄ヲ提出セシムルコトヲ得

第九條　自動車交通事業財團目錄ノ表示ニ付テハ左ノ各號ニ依ルベシ

一　土地ニ付テハ其ノ所在ル府郡島邑面町洞里竝ニ土地ノ番號、地目、面積及用方ヲ記載スルコト

二　建物其ノ他ノ工作物ニ付テハ其ノ種類構造、箇數及面積又ハ延長ヲ記載シ且其ノ所在スル土地ヲ表示スルコト

三　地上權ニ付テハ第一號ニ揭グル事項ノ外設定ノ目的及範圍、存續期間、地代及其ノ支拂時期、設定ノ年月日竝ニ所有者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スルコト

四　賃借權ニ付テハ第一號又ハ第二號ニ揭グル事項ノ外存續期間、借賃及其ノ支拂時期、設定ノ年月日、賃借權ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得ベキ事由、賃貸人ノ氏名又ハ名稱及住所竝ニ賃借權ノ讓渡又ハ賃借物ノ轉貸ヲ許ス特約アルトキハ其ノ特約ヲ記載スルコト

五　地役權ニ付テハ設定ノ目的及範圍、設定ノ年月日竝ニ所有者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載シ且承役地ヲ表示スルコト

六　自動車ニ付テハ其ノ車名、型式、年式及登錄番號竝ニ各自動車毎ノ附屬品ノ品名及數量ヲ記載スルコト但シ輕微ナル附屬品ノ記載ハ之ヲ省略スルコトヲ得

七　器具機械ニ付テハ其ノ種類、構造、箇數及所在竝ニ製作者ノ氏名又ハ名稱、製造ノ年月、記號、番號其ノ他同種類ノ他ノ物ト區別スルニ足ルベキ特質アルトキハ其ノ特質ヲ記載スルコト（土地又ハ工作物ニ屬スル器具機械ニ在リテハ其ノ土地又ハ工作物毎ニ之ヲ記載スルコト）

前號但書ノ規定ハ器具機械ノ記載ニ付之ヲ準用ス

八　貯藏物品ニ付テハ常備ノモノノ種類、數量又ハ箇數及所在ヲ記載スルコト

第十條　自動車交通事業財團目錄ハ張紙ナル美濃紙ヲ以テ之ヲ作成スベシ

前項ノ財團目錄ニハ其ノ每葉ノ綴目ニ申請人契印スベシ但シ申請人ガ二人以上ナルトキハ一人ノ契印ヲ以テ足ル

第十一條　自動車交通事業財團ノ所有者タル會社ガ本店ヲ一登記所ノ管轄地ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ移シタルトキハ遲滯ナク舊本店ノ所在地ノ登記所ニ所有權登記名義人ノ表示ノ變更登記ノ申請ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ抹消ニ係ラザル部分ノミヲ記載シタル自動車交通事業財團目錄ノ寫ヲ添附スベシ

第十二條　前條第二項ノ規定ハ自動車交通事業財團ノ所有權ガ一登記所ノ管轄地ニ本店ヲ有スル會社ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ本店ヲ有スル會社ニ移轉シタル場合ノ所有權移轉登記ノ申請ニ付之ヲ準用ス

第十三條　登記簿ノ表示欄ノ自動車交通事業法第四十七條第三項第一號乃至第五號ニ揭グル事項ヲ記載シテ之ヲ爲スベシ

第十四條　登記官吏登記ヲ爲シタルトキハ自動車交通事業財團目錄ニ申請書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載スベシ

自動車交通事業法第四十七條第一項ニ於テ準用スル工場抵當法第三十九條ノ規定ニ依リ提出シタル財團目錄ノ謄本ニハ前項ノ記載ヲ爲スベシ

第十五條　舊本店ノ所在地ノ登記所ニ於テ第十一條第一項ノ變更登記ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ遲滯ナク登記簿及財團目錄ノ謄本竝ニ附屬書類ヲ新本店ノ所在地ノ登記所ニ移送スベシ第十二條ノ所有權移轉ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同ジ

前項ノ登記簿ノ謄本ハ抹消ニ係ラザル登記ノミヲ記載シ財團目錄ノ謄本ハ第十一條第二項ノ規定ニ依リ提出シタル財團目錄ノ寫ヲ以テ之ヲ作成スルコトヲ得

第十六條　新本店ノ所在地ノ登記所ニ於テ前條第一項ノ規定ニ依ル移送ヲ受ケタルトキハ登記官吏ハ移送ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依ル登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ舊登記ノ登記番號ヲ、表示番號欄及順位番號欄ニ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記ノ番號ヲ表示シテ之ヲ爲スベシ

表示欄及事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニハ前登記ノ登記所ノ名稱、登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ第十七條　新本店ノ所在地ノ登記所ニ於テ前條ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ舊本店ノ所在地ノ登記所ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

舊本店ノ所在地ノ登記所ニ於テ前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ登記官吏ハ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

第十八條　第四條第九號ノ通知簿ニハ前條第一項、第十九條、朝鮮不動產登記令施行規則第七十條ノ二、自動車交通事業法第四十七條第一項第二項ニ於テ準用スル工場抵當法第二十三條第二項、第二十六條、第二十八條第二項、第三十四條第二項、第三十七條第二項、第四十三條、第四十四條第二項、第四十八條第二項及不動產登記法第二十八條ノ三第六十條ノ二、第六十一條、第六十三條乃至第六十三條ノ三、第七十五條第一項、第百二十六條第二項、第百四十九條ノ二第一項、第百五十三條第二項ノ通知事項ノ要旨、通知ヲ受クル者及通知ヲ爲スル年月日ヲ記載スベシ

第十九條　自動車交通事業法第四十六條第三項第一號ノ規定ニ依ル通知書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　財團ノ表示
二　財團所有者ノ名稱及住所
三　抵當權者ノ氏名又ハ名稱及住所
四　債權額、辨濟期及利息
五　登記ノ年月日

自動車交通事業法第四十六條第三項第二號ノ規定ニ依ル通知書ニハ前項第一號及第二號ニ揭グル事項竝ニ閉鎖ノ事由及其ノ年月日ヲ記載スベシ

第二十條　登記官吏ガ自動車交通事業法第四十七條第一項ニ於テ準用スル工場抵當法第二十三條第二項、第三十四條第二項、第四十三條第二項、第四十四條第二項、第四十八條第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱ハ申請人ノ氏名ニ之ヲ記載スベシ

第二十一條　自動車交通事業財團目錄ハ永久ニ之ヲ保存スベシ

附　則

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄

自動車交通事業財團登記簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

第十四輯　民事　刑事　監獄　第一章　民事　第二款　登記

登記番號　第　號

表題部（財團表示）

表示番號	表示欄	表示番號	表示欄	表示番號	表示欄

甲　區（所有權）

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄

丁

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄
	乙						

ヤル事由ヲ附記シ其ノ土地ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨ヲ記載シタル登記申請ノ場合ニ之ヲ準用ス

ノ制限ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ換地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ登記ノ旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スベシ

第三十條乃至第三十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條　第十八條及第三十二條ノ規定ハ甲乙兩登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條　第二十一條及第三十三條ノ規定ハ甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地ヲ交付シタル場合ニ於テ數個ノ土地ニ對シ甲乙兩登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十六條　同一ノ登記所ノ管轄內ニ於テ數個ノ土地ニ對シ交付シタル場合ニ於テハ乙登記所ハ各換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ記載シ表示ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ其ノ登記番號及土地改良ニ因リテ登記ヲ要セザル旨ヲ記載スベシ

第十七條乃至第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條　第十七條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十八條　第十七條第二項乃至第四項、第十九條乃至第二十條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條　甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地ニ對シ乙登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地ヲ交付シタル場合ニ於テハ乙登記所ハ各換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ其ノ登記番號及土地改良ニ因リテ登記ヲ要セザル旨ヲ記載スベシ

第四十條　第十七條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十一條　土地改良ニ因リテ登記ヲ要セザル旨ノ登記アリタルトキハ登記官吏ハ登記簿ニ其ノ旨ヲ記載シ表示欄ニ其ノ旨ヲ記載スベシ

第四十二條　第十七條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條　第十七條第二項乃至第四項ノ規定ハ第三十條乃至第三十三條ノ規定ニ依リ換地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ登記ノ旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スベシ

第四十四條　第十七條第二項乃至第四項ノ規定ハ第三十條乃至第三十三條ノ規定ニ依リ換地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ登記ノ旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スベシ

第四十五條　第十七條第二項乃至第四項ノ規定ハ第三十條乃至第三十三條ノ規定ニ依リ換地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ登記ノ旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スベシ

第四十六條　土地改良確定圖ニハ申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スベシ但シ土地改良施行地區內ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ其ノ都度之ヲ記載シ共ニ之ヲ爲スベシ

第四十二條　登記官吏ハ土地及建物ニ關スル登記ヲ完了シタルトキハ其ノ旨土地改良施行者ニ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ通知ヲ受ケベキ者共同施行者ナルトキハ申請書ニ揭ゲタル筆頭ノ者ノミニ通知スルヲ以テ足ル

第四十三條　登記官吏第二十四條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ換地及從前ノ土地ノ表示、土地改良ニ因リテ所有權及地役權ニ關スル登記ヲ爲シタル旨ヲ換地ノ所有者ニ通知スベシ

前項ノ通知ハ換地ガ共有ナル場合ニ於テハ共有者ノ一人ニ之ヲ爲スヲ以テ足ル

第四十四條　土地改良令第二十四條第四項ノ規定ニ依ル道知事ノ通知書及左ニ揭グル添附書類ハ之ヲ申請書ニ合綴シ別冊ト爲スベシ

一　土地改良令第二十四條第三項ノ規定ニ依ル認可書ノ謄本

二　土地改良者施行者ノ氏名及住所ヲ記載シタル書面

三　換地說明書

四　土地改良確定圖

前項ノ通知書及前項第一號乃至第三號ノ書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スベシ但シ第十一條第二項ノ規定ニ依リ土地改良施行地區內ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ最後ノ申請書受附ノ日ヨリ之ヲ起算スベシ

第一項第四號ノ圖面ニハ番號ヲ附シ永久ニ之ヲ保存スベシ

第四十五條　第六條ノ規定ニ依リ登記ノ申請書ニ添附スベキ圖面ニハ登記書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載シ前條ノ書類ニ之ヲ合綴スベシ

前項ノ圖面ニハ番號ヲ附シ永久ニ之ヲ保存スベシ

第四十六條　土地改良確定圖ニハ申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スベシ但シ土地改良施行地區內ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ其ノ都度之ヲ記載シ共ニ之ヲ爲スベシ

第四十二條　登記官吏ハ土地及建物ニ關スル登記ヲ完了シタルトキハ其ノ旨土地改良施行者ニ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ通知ヲ受ケベキ者共同施行者ナルトキハ申請書ニ揭ゲタル筆頭ノ者ノミニ通知スルヲ以テ足ル

第四十三條　登記官吏第二十四條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ換地及從前ノ土地ノ表示、土地改良ニ因リテ登記ヲ要セザル旨ノ登記アリタルトキハ換地ノ所有者ニ通知スベシ

前項ノ通知ハ換地ガ共有ナル場合ニ於テハ共有者ノ一人ニ之ヲ爲スヲ以テ足ル

第四十四條　土地改良令第二十四條第四項ノ規定ニ依リ道知事ノ通知書及左ニ揭グル添附書類ハ之ヲ申請書ニ合綴シ別冊ト爲スベシ

一　土地改良令第二十四條第三項ノ規定ニ依ル認可書ノ謄本

二　土地改良者施行者ノ氏名及住所ヲ記載シタル書面

三　換地說明書

四　土地改良確定圖

前項ノ通知書及前項第一號乃至第三號ノ書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スベシ但シ第十一條第二項ノ規定ニ依リ土地改良施行地區內ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ最後ノ申請書受附ノ日ヨリ之ヲ起算スベシ

第一項第四號ノ圖面ニハ番號ヲ附シ永久ニ之ヲ保存スベシ

第四十五條　第六條ノ規定ニ依リ登記ノ申請書ニ添附スベキ圖面ニハ登記書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載シ前條ノ書類ニ之ヲ合綴スベシ

前項ノ圖面ニハ番號ヲ附シ永久ニ之ヲ保存スベシ

第四十六條　土地改良確定圖ニハ申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スベシ但シ土地改良施行地區內ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ其ノ都度之ヲ記載

スベシ

第四十七條　第四十四條第三項ノ土地改良確定圖ノ番號ハ土地ノ登記用紙中表示欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ、第四十五條第二項ノ圖面ノ番號ハ乙區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ之ヲ記載スベシ

第四十八條　土地改良ニ因ル登記ヲ完了シタルトキハ從來ノ土地登記用紙ノ全部又ハ一部ヲ改製スルコトヲ得

第四十九條　第十四條、第二十九條第一項、第四十條、第四十二條及第四十三條ノ通知事項、通知ヲ受クベキ者及通知ヲ爲スル年月日ハ朝鮮不動產登記令施行規則第十四條第十三號ノ通知簿ニ之ヲ記入スベシ

第五十條　第十四條、第二十九條第一項、第四十條、第四十二條及第四十三條ノ通知ハ郵便其ノ他便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第五十一條　土地改良令第十五條ノ規定ニ依ル登記簿及其ノ附屬書類ノ謄寫ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムベシ

附　則

本令施行ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム（昭和四年三月總令第三十號ヲ以テ昭和四年四月一日ヨリ施行）

●官廳ノ保管ニ係ル不動產登記ノ囑託ニ關スル件

大正十年八月
總令第百二十三號

改正　大正二年一二第一三五號、一四年一第一號、一四年四第二五號、一五年一二第七八號、昭和四年一〇第一二號、五年三第二〇號、七年七第六八號、八年五第五七號、八年一二第一二六號、九年四第五七號、一〇年七第九五號

官廳ノ所管ニ係ル不動產登記ノ囑託ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　本府所管ニ係ル不產產ノ登記ハ左ノ官吏ヲシテ之カ囑託ヲ爲サシム

總督官房會計課長
內務局長
內務局出張所長
財務局長
殖產局長

第二條　前條ニ依リ指定シタル官吏ハ朝鮮不動產登記令ニ依ル不動產登記法第三十五條第一項ノ提出ヲ要セス

第五號ノ書面ノ提出ヲ要セス

第三條　左ニ揭クル官吏ハ所屬官廳ノ所管ニ係ル不動產登記ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

亦前條ニ同シ

朝鮮總理部長
師團經理部長

殖產局燃料選鑛研究所長
地質調查所長
農林局長
遞信局長
鐵道局鐵道事務所長
鐵道局建設事務所長
專賣局長
稅務監督局長
稅務署長
覆審法院長
地方法院長
中樞院書記官長
刑務所長
濟生院長
感化院長
農事試驗場長
穀物檢查所長
中央試驗所長
營林署長
觀測所長
獸疫血清製造所長
種馬牧場長
警察官講習所長
帝國大學總長
官立學校長
稅關長
道知事
府尹郡守島司
水產試驗場長
林業試驗場長
鬪雞飼育場長

第八條　戶籍謄ヲ閱覽シ又ハ戶籍ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ手數料ヲ納付シテ之ヲ請求スルコトヲ得

第九條　戶主相續、絕家其ノ他ノ事由ニ因リ戶籍ノ全部ヲ抹消シタルトキハ其ノ戶籍ヘ之ヲ保存ス

第十條　第七條及第八條ノ規定ハ除籍簿及除籍謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第十一條　戶籍ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　戶主及家族ノ姓名及本貫竝前戶主ノ姓名

二　戶主ノ本籍

三　戶主及家族カ朝鮮貴族ナルトキハ其ノ旨

四　戶主及家族ノ出生ノ年月日

五　戶主及家族ノ家族トナリタル原因及年月日

六　戶主及家族ノ實父母ノ姓名竝戶主及家族ト實父母トノ續柄

七　戶主及家族カ養子ナルトキハ其ノ養親及實父母ノ姓名竝養子ト養親及實父母トノ續柄

八　戶主ト前戶主及家族トノ續柄

九　家族ノ配偶者又ハ家族ヲ經テ戶主ト親族關係ヲ有スル者ニ付テハ其ノ家族トノ續柄

十　他家ヨリ入リテ家族トナリタル者カ他ノ家族トノミ親族關係ヲ有スルトキハ其ノ續柄

十一　他家ヨリ入リテ戶主又ハ家族トナリタル者ニ付テハ其ノ原籍、原籍ノ戶主ノ姓名及其ノ戶主ト戶主又ハ家族

要塞司令部工兵科將校

第三款　戶籍

●朝鮮戶籍令

大正十一年十二月
總令第百五十四號

朝鮮戶籍令左ノ通定ム

朝鮮戶籍令

第一章　總則

第一條　朝鮮人ノ戶籍ニ關シテハ朝鮮民事令ノ規定ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　地方法院支廳ノ一人ノ判事又ハ上席判事ハ地方法院長ノ命ヲ承ケ其ノ事務取扱區域內ニ於ケル戶籍事務ヲ監督ス

第二章　戶籍簿

第三條　戶籍ハ府又ハ面ノ區域內ニ本籍ヲ定メタル者ニ付戶主ヲ本トシテ一戶毎ニ之ヲ編製ス

第四條　戶籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編綴シテ帳簿ト爲ス

一ノ府又ハ面內ニ於ケル各區劃ノ順序ハ府尹又ハ面長之ヲ定ム

第五條　戶籍ハ正副二本ヲ設ク

正本ハ之ヲ府廳又ハ面事務所ニ備ヘ副本ハ監督裁判所之ヲ保存ス

第六條　新ニ戶籍ヲ編製シタルトキハ府尹又ハ面長ハ遲滯ナク其ノ副本ヲ監督裁判所ニ送付スヘシ

第七條　戶籍簿ハ事變ヲ避クル爲ニスル場合ヲ除クノ外府廳又ハ面事務所外ニ之ヲ持出スコトヲ得ス

トス但リタル者トノ續柄

十二　後見人又ハ保佐人アル者ニ付テハ後見人又ハ保佐人ノ姓名、本籍竝其ノ就職及任務終了ノ年月日

十三　其ノ他戸主又ハ家族ノ身分ニ關スル事項

第十二條　戸主及家族ノ姓名ノ記載ハ左ノ順序ニ依ル

第一　戸主

第二　戸主ノ直系尊屬

第三　戸主ノ配偶者

第四　戸主ノ直系卑屬及其ノ配偶者

第五　戸主ノ傍系親及其ノ配偶者

第六　戸主ノ親族ニ非サル者

直系尊屬ノ間ニ在リテハ親等ノ遠キ者ヲ先ニシ直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテハ親等ノ近キ者ヲ先ニス

戸籍ヲ編製シタル後家族ト爲リタル者ニ付テハ戸籍ノ末尾ニ之ヲ記載スヘシ

第十三條　戸籍ノ記載ハ届出、報告若ハ申請、證書若ハ就海日誌ノ謄本又ハ裁判ニ依リ之ヲ爲ス

第十四條　戸籍ニハ第十一條ニ揭クルモノノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　届出又ハ申請ノ受附ノ年月日、事件ノ本人ニ非サル者ノ届出又ハ申請ニ係ル場合ニ於テハ届出人又ハ申請人ノ資格及姓名、他ノ府尹、而長又ハ官廳ヨリ届書又ハ申請書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ受附ノ年月日及發送者ノ職氏名

二　報告ノ受附ノ年月日及報告者ノ職氏名

三　證書又ハ就海日誌ノ謄本ノ受附ノ年月日及證書又ハ就海日誌ノ作製者竝謄本ノ發送者ノ職氏名

四　戸籍ノ記載ヲ命シタル裁判ノ年月日及裁判所ノ名稱

第十五條　府尹又ハ而長カ届書、報告書其ノ他ノ書類ヲ受理シタルトキハ其ノ書類ニ受附ノ番號及年月日ヲ記載スヘシ

本籍地ノ府尹又ハ而長ハ前項ノ手續ヲ爲シタル後遅滯ナク戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ

第十六條　戸主相續、戸主相續回復其ノ他戸主ノ變更ヲ生スヘキ事項ニ付届出又ハ申請アリタルトキハ其ノ者カ本籍ヲ有スルニ至リタル旨ノ届出アリタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依リテ戸主ノ名義ヲ變更シ新戸籍ヲ編製スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セサル者ノ戸籍ニ本由ヲ記載シテ之ヲ抹消スヘシ

第十七條　一戸ノ全員又ハ一戸内ノ一人若ハ數人ヲ戸籍ヨリ除クヘキトキハ事由ヲ記シテ戸籍ノ全部又ハ一部ヲ抹消スヘシ

除籍セラルヘキ者ノ本籍カ他ノ府又ハ而ニ轉屬スル場合ニ於テハ前項ノ手續ハ入籍地ノ府尹又ハ而長カ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後除籍通知ヲ受ケタル後ニ之ヲ爲スヘシ但シ入籍ノ府尹又ハ而長カ届出ヲ受理シタルトキ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ付之ヲ準用ス

第十八條　戸籍ノ記載ヲ爲スニハ字畫ヲ明瞭ニシ略字又ハ俗字又ハ符號ヲ用ヰヘカラス

年月日ヲ記載スルニハ壹萬參拾ノ文字ヲ用ウヘシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若訂正挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ府尹又ハ而長之ニ認印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ尚明カニ讀得ヘキ程字體ヲ存スヘシ

第十九條　戸籍ノ記載ヲ爲シ毎ニ府尹又ハ而長ノ認印スヘシ

第二十條　戸籍用紙中ノ一部分ヲ用キ遽シクルトキハ掛紙ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニハ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スヘシ

第二十一條　届出事件ノ本人ノ本籍カ一ノ府又ハ而ヨリ他ノ府又ハ而ニ轉屬スル場合ニ於テハ前項ノ手續ハ入籍地ノ府尹又ハ而長カ届出ヲ受理シタル後遅滯ナク届書ノ一通ヲ他ノ府尹又ハ而長ニ送付スヘシ

第二十二條　届出事件ノ本人ノ本籍カ一ノ府又ハ而ヨリ他ノ府又ハ而ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ府尹又ハ而長カ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後除籍通知ヲ受ケタル後ニ之ヲ爲スヘシ但シ入籍ノ府尹又ハ而長カ届出ヲ受理シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付届出ヲ受理シタル後其ノ者ノ本籍カ分明ト爲リタル旨又ハ其ノ者カ本籍ヲ有スルニ至リタル旨ノ届出アリタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依リ戸主ノ名義ヲ變更シ新戸籍ヲ編製スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セサル者ノ戸籍ニ本由ヲ記載シテ之ヲ抹消スヘシ

第二十四條　前三條ノ規定ハ届書ニ非サル書面ニ依リ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ニ付之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ府尹又ハ而長ハ其ノ受附ケタル書面ノ謄本ヲ作リ之ヲ送付スヘシ

第二十五條　届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ府又ハ而ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ府尹又ハ而長カ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後除籍地ノ府尹又ハ而長ニ入籍ノ通知ヲ爲シ但シ入籍地ノ府尹又ハ而長カ届出ヲ受理シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ府尹又ハ而長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ付之ヲ準用ス

第二十六條　戸籍ノ記載手續ヲ完了シタルトキハ届書其ノ他受理シタル書類ハ本籍人及非本籍人ニ區別シ本籍人ニ關スルモノハ戸籍編綴ノ順序ニ從ヒテ之ヲ編綴シ非本籍人ニ關スルモノハ事件ノ種類ニ依リ各別ニ之ヲ編綴シ且各日錄ヲ附スヘシ

戸籍ノ記載ヲ要セサル事項ニ付受理シタル書類ハ之ヲ合綴シ且目錄ヲ附スヘシ

第二十七條　前條第一項ノ書類ハ一月毎ニ遲滯ナク之ヲ監督裁判所ニ送付スヘシ

第二十八條　戸籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノ又ハ其ノ記載ニ錯誤若ハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ府尹又ハ而長ハ遲滯ナク届出人又ハ届出事件ノ本人ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ但シ其ノ錯誤又ハ遺漏カ府尹又ハ而長ノ過誤ニ出テタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ通知ヲ爲スコト能ハサルトキ又ハ通知ヲ爲シタルモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキトキハ府尹又ハ而長ハ監督裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得前項但書ノ場合亦同シ

第二十九條　同一ノ事件ニ付數人ノ届出義務者ヨリ各別ニ届出アリタル場合ニ於テ後ニ受理シタル届出ニ因リテ戸籍ノ記載ヲ爲シタルトキハ前ニ受理シタル届出ニ基キ其ノ戸籍ノ訂正ヲ爲スヘシ

第三十條　行政區畫又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ戸籍ノ記載ハ訂正セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス

地番號ノ變更アリタルトキハ戸籍ノ記載ノ變更アリタルトキハ戸籍及之ニ關スル書類ハ之ヲ當該府又ハ而ニ引繼クヘシ

第三十一條　府又ハ而ノ區域ノ變更アリタルトキハ戸籍及之ニ關スル書類ハ之ヲ當該府又ハ而ニ引繼クヘシ

第三十二條　第二十一條乃至第二十四條及第二十五條第一項ノ規定ハ共通法第三條ノ規定ニ依リテ朝鮮ノ家ヲ去リタル者及他ノ地域ノ家ヲ去リテ朝鮮ノ家ニ入リタル者ノ戸籍ノ記載手續ニ付之ヲ準用ス

第四章　届出

第一節　通則

第三十三條　届出ハ届出事件ノ本人ノ本籍地又ハ届出人ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十四條　本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付届出アリタル後其ノ者ノ本籍カ分明ト爲リタルトキ又ハ届出人又ハ届出事件ノ本人ノ本籍ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第三十五條　届出ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三十六條　届書ニハ左ノ事項ヲ記載シ届出人之ニ署名、捺印スヘシ

一　届出事件

二　届出ノ年月日

三　届出人ノ出生ノ年月日及本籍

届出事件ニ因リ届出事件ノ本人ニ關セサル者ニ付テハ後ヲ去リ、他家ニ入リ其ノ他身分ニ變更ヲ生スル者アル場合ニ於テハ届書ニ其ノ者ノ姓名、出生ノ年月日及本籍竝身分變更ノ事由ヲ記載スヘシ

第三十七條　届出人ト届出事件ノ本人ト異ルトキハ届書ニ其ノ續柄ヲ記載スヘシ

届出人カ家族タルトキハ届書ニ戸主ノ姓名及届出人ト戸主トノ續柄ヲ記載スヘシ

第三十八條　届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者タルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ以テ其ノ他單純ノ非實ニ關スル届出ハ未成年者又ハ禁治産者亦之ヲ爲スコトヲ得

親權ヲ行フ者又ハ後見人カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　届出ヲ爲スヘキ者ノ姓名、出生ノ年月日及本籍

二　無能力ノ原因

三　届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人タルコト

第三十九條　無能力者カ其ノ法定代理人ノ同意ヲ得スシテ爲スコトヲ得ヘキ行爲ニ付テハ無能力者ノ届出ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

禁治産者カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ届出事件ノ性質及效果ヲ理會スルニ足ルヘキ能力ヲ有スルコトヲ證スヘキ診斷書ヲ添附スヘシ

第四十條　届出ニ證人ヲ要スル場合ニ於テハ證人ハ届書ニ出生ノ年月日及本籍ヲ記載シテ署名、捺印スヘシ

第四十一條　届出人、届出事件ノ本人又ハ證人カ本籍ニ在ラサルトキハ届書ニ其ノ所在ヲ記載スヘシ

第四十二條　届書ニ記載スヘキ事項ニシテ存セサルモノ又ハ知レサルモノアルトキハ其ノ旨ヲ記載スヘシ但シ府尹又ハ而長ハ特ニ重要ト認ムル事項ヲ記載セサル届書ヲ受理スルコトヲ得

第四十三條　届書ニハ本令其ノ他ノ法令ニ定メタル事項ノ外戸籍ニ記載スヘキ事項ヲ明瞭ニシ届出人又ハ届出事件ノ本人ニ於テ署名、捺印スヘシ

但シ届書ニ署名、捺印スヘキ者ニ付テハ後見人又ハ保佐人ノ姓名、本籍竝其ノ就職及任務終了ノ年月日

十三　其ノ他戸主又ハ家族ノ身分ニ關スル事項

第十二條　戸主及家族ノ姓名ノ記載ハ左ノ順序ニ依ル

第一　戸主

第二　戸主ノ直系尊屬

第三　戸主ノ配偶者

第四　戸主ノ直系卑屬及其ノ配偶者

第五　戸主ノ傍系親及其ノ配偶者

第六　戸主ノ親族ニ非サル者

直系尊屬ノ間ニ在リテハ親等ノ遠キ者ヲ先ニシ直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテハ親等ノ近キ者ヲ先ニス

戸籍ヲ編製シタル後家族ト爲リタル者ニ付テハ戸籍ノ末尾ニ之ヲ記載スヘシ

第十三條　戸籍ノ記載ハ届出、報告若ハ申請、證書若ハ就海日誌ノ謄本又ハ裁判ニ依リ之ヲ爲ス

第十四條　戸籍ニハ第十一條ニ揭クルモノノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　届出又ハ申請ノ受附ノ年月日、事件ノ本人ニ非サル者ノ届出又ハ申請ニ係ル場合ニ於テハ届出人又ハ申請人ノ資格及姓名、他ノ府尹、而長又ハ官廳ヨリ届書又ハ申請書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ受附ノ年月日及發送者ノ職氏名

二　報告ノ受附ノ年月日及報告者ノ職氏名

三　證書又ハ就海日誌ノ謄本ノ受附ノ年月日及證書又ハ就海日誌ノ作製者竝謄本ノ發送者ノ職氏名

四　戸籍ノ記載ヲ命シタル裁判ノ年月日及裁判所ノ名稱

第十五條　府尹又ハ而長カ届書、報告書其ノ他ノ書類ヲ受理シタルトキハ其ノ書類ニ受附ノ番號及年月日ヲ記載スヘシ

本籍地ノ府尹又ハ而長ハ前項ノ手續ヲ爲シタル後遅滯ナク戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ

第十六條　戸主相續、戸主相續回復其ノ他戸主ノ變更ヲ生スヘキ事項ニ付届出又ハ申請アリタルトキハ其ノ者カ本籍ヲ有スルニ至リタル旨ノ届出アリタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依リテ戸主ノ名義ヲ變更シ新戸籍ヲ編製スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セサル者ノ戸籍ニ本由ヲ記載シテ之ヲ抹消スヘシ

第十七條　一戸ノ全員又ハ一戸内ノ一人若ハ數人ヲ戸籍ヨリ除クヘキトキハ事由ヲ記シテ戸籍ノ全部又ハ一部ヲ抹消スヘシ

除籍セラルヘキ者ノ本籍カ他ノ府又ハ而ニ轉屬スル場合ニ於テハ前項ノ手續ハ入籍地ノ府尹又ハ而長カ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後除籍通知ヲ受ケタル後ニ之ヲ爲スヘシ但シ入籍ノ府尹又ハ而長カ届出ヲ受理シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ付之ヲ準用ス

第十八條　戸籍ノ記載ヲ爲スニハ字畫ヲ明瞭ニシ略字又ハ俗字又ハ符號ヲ用ヰヘカラス

年月日ヲ記載スルニハ壹萬參拾ノ文字ヲ用ウヘシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若訂正挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ府尹又ハ而長之ニ認印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ尚明カニ讀得ヘキ程字體ヲ存スヘシ

第十九條　戸籍ノ記載ヲ爲シ毎ニ府尹又ハ而長ノ認印スヘシ

第二十條　戸籍用紙中ノ一部分ヲ用キ遽シクルトキハ掛紙ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニハ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スヘシ

第二十一條　届出事件ノ本人ノ本籍カ一ノ府又ハ而ヨリ他ノ府又ハ而ニ轉屬スル場合ニ於テハ前項ノ手續ハ入籍地ノ府尹又ハ而長カ届出ヲ受理シタル後遅滯ナク届書ノ一通ヲ他ノ府尹又ハ而長ニ送付スヘシ

第二十二條　届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ府又ハ而ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ府尹又ハ而長カ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後除籍通知ヲ受ケタル後ニ之ヲ爲スヘシ但シ入籍ノ府尹又ハ而長カ届出ヲ受理シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ府尹又ハ而長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ付之ヲ準用ス

第二十三條　本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付届出ヲ受理シタル後其ノ者ノ本籍カ分明ト爲リタル旨又ハ其ノ者カ本籍ヲ有スルニ至リタル旨ノ届出アリタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依リテ戸主ノ名義ヲ變更シ新戸籍ヲ編製スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セサル者ノ戸籍ニ本由ヲ記載シテ之ヲ抹消スヘシ

第二十四條　前三條ノ規定ハ届書ニ非サル書面ニ依リ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ニ付之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ府尹又ハ而長ハ其ノ受附ケタル書面ノ謄本ヲ作リ之ヲ送付スヘシ

第二十五條　届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ府又ハ而ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ府尹又ハ而長カ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後除籍地ノ府尹又ハ而長ニ入籍ノ通知ヲ爲シ但シ入籍地ノ府尹又ハ而長カ届出ヲ受理シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ府尹又ハ而長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ付之ヲ準用ス

第二十六條　戸籍ノ記載手續ヲ完了シタルトキハ届書其ノ他受理シタル書類ハ本籍人及非本籍人ニ區別シ本籍人ニ關スルモノハ戸籍編綴ノ順序ニ從ヒテ之ヲ編綴シ非本籍人ニ關スルモノハ事件ノ種類ニ依リ各別ニ之ヲ編綴シ且各日錄ヲ附スヘシ

戸籍ノ記載ヲ要セサル事項ニ付受理シタル書類ハ之ヲ合綴シ且目錄ヲ附スヘシ

第二十七條　前條第一項ノ書類ハ一月毎ニ遲滯ナク之ヲ監督裁判所ニ送付スヘシ

第二十八條　戸籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノ又ハ其ノ記載ニ錯誤若ハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ府尹又ハ而長ハ遲滯ナク届出人又ハ届出事件ノ本人ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ但シ其ノ錯誤又ハ遺漏カ府尹又ハ而長ノ過誤ニ出テタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ通知ヲ爲スコト能ハサルトキ又ハ通知ヲ爲シタルモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキトキハ府尹又ハ而長ハ監督裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得前項但書ノ場合亦同シ

第二十九條　同一ノ事件ニ付數人ノ届出義務者ヨリ各別ニ届出アリタル場合ニ於テ後ニ受理シタル届出ニ因リテ戸籍ノ記載ヲ爲シタルトキハ前ニ受理シタル届出ニ基キ其ノ戸籍ノ訂正ヲ爲スヘシ

第三十條　行政區畫又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ戸籍ノ記載ハ訂正セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス

地番號ノ變更アリタルトキハ戸籍ノ記載ノ變更アリタルトキハ戸籍及之ニ關スル書類ハ之ヲ當該府又ハ而ニ引繼クヘシ

第三十一條　府又ハ而ノ區域ノ變更アリタルトキハ戸籍及之ニ關スル書類ハ之ヲ當該府又ハ而ニ引繼クヘシ

第三十二條　第二十一條乃至第二十四條及第二十五條第一項ノ規定ハ共通法第三條ノ規定ニ依リテ朝鮮ノ家ヲ去リタル者及他ノ地域ノ家ヲ去リテ朝鮮ノ家ニ入リタル者ノ戸籍ノ記載手續ニ付之ヲ準用ス

第四章　届出

第一節　通則

第三十三條　届出ハ届出事件ノ本人ノ本籍地又ハ届出人ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十四條　本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付届出アリタル後其ノ者ノ本籍カ分明ト爲リタルトキ又ハ届出人又ハ届出事件ノ本人ノ本籍ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第三十五條　届出ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三十六條　届書ニハ左ノ事項ヲ記載シ届出人之ニ署名、捺印スヘシ

一　届出事件

二　届出ノ年月日

三　届出人ノ出生ノ年月日及本籍

届出事件ニ因リ届出事件ノ本人ニ關セサル者ニ付テハ後ヲ去リ、他家ニ入リ其ノ他身分ニ變更ヲ生スル者アル場合ニ於テハ届書ニ其ノ者ノ姓名、出生ノ年月日及本籍竝身分變更ノ事由ヲ記載スヘシ

第三十七條　届出人ト届出事件ノ本人ト異ルトキハ届書ニ其ノ續柄ヲ記載スヘシ

届出人カ家族タルトキハ届書ニ戸主ノ姓名及届出人ト戸主トノ續柄ヲ記載スヘシ

第三十八條　届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者タルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ以テ其ノ他單純ノ非實ニ關スル届出ハ未成年者又ハ禁治産者亦之ヲ爲スコトヲ得

親權ヲ行フ者又ハ後見人カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　届出ヲ爲スヘキ者ノ姓名、出生ノ年月日及本籍

二　無能力ノ原因

三　届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人タルコト

第三十九條　無能力者カ其ノ法定代理人ノ同意ヲ得スシテ爲スコトヲ得ヘキ行爲ニ付テハ無能力者ノ届出ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

禁治産者カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ届出事件ノ性質及效果ヲ理會スルニ足ルヘキ能力ヲ有スルコトヲ證スヘキ診斷書ヲ添附スヘシ

第四十條　届出ニ證人ヲ要スル場合ニ於テハ證人ハ届書ニ出生ノ年月日及本籍ヲ記載シテ署名、捺印スヘシ

第四十一條　届出人、届出事件ノ本人又ハ證人カ本籍ニ在ラサルトキハ届書ニ其ノ所在ヲ記載スヘシ

第四十二條　届書ニ記載スヘキ事項ニシテ存セサルモノ又ハ知レサルモノアルトキハ其ノ旨ヲ記載スヘシ但シ府尹又ハ而長ハ特ニ重要ト認ムル事項ヲ記載セサル届書ヲ受理スルコトヲ得

第四十三條　届書ニハ本令其ノ他ノ法令ニ定メタル事項ノ外戸籍ニ記載スヘキ事項ヲ明瞭ニシ届出人又ハ届出事件ノ本人ニ於テ署名、捺印スヘシ

但シ届書ニ署名、捺印スヘキ者ニ付テハ後見人又ハ保佐人ノ姓名、本籍竝其ノ就職及任務終了ノ年月日

十三　其ノ他戸主又ハ家族ノ身分ニ關スル事項

第十二條　戸主及家族ノ姓名ノ記載ハ左ノ順序ニ依ル

第一　戸主

第二　戸主ノ直系尊屬

第三　戸主ノ配偶者

第四　戸主ノ直系卑屬及其ノ配偶者

第五　戸主ノ傍系親及其ノ配偶者

第六　戸主ノ親族ニ非サル者

直系尊屬ノ間ニ在リテハ親等ノ遠キ者ヲ先ニシ直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテハ親等ノ近キ者ヲ先ニス

戸籍ヲ編製シタル後家族ト爲リタル者ニ付テハ戸籍ノ末尾ニ之ヲ記載スヘシ

第十三條　戸籍ノ記載ハ届出、報告若ハ申請、證書若ハ就海日誌ノ謄本又ハ裁判ニ依リ之ヲ爲ス

第十四條　戸籍ニハ第十一條ニ揭クルモノノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　届出又ハ申請ノ受附ノ年月日、事件ノ本人ニ非サル者ノ届出又ハ申請ニ係ル場合ニ於テハ届出人又ハ申請人ノ資格及姓名、他ノ府尹、而長又ハ官廳ヨリ届書又ハ申請書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ受附ノ年月日及發送者ノ職氏名

二　報告ノ受附ノ年月日及報告者ノ職氏名

三　證書又ハ就海日誌ノ謄本ノ受附ノ年月日及證書又ハ就海日誌ノ作製者竝謄本ノ發送者ノ職氏名

四　戸籍ノ記載ヲ命シタル裁判ノ年月日及裁判所ノ名稱

第十五條　府尹又ハ而長カ届書、報告書其ノ他ノ書類ヲ受理シタルトキハ其ノ書類ニ受附ノ番號及年月日ヲ記載スヘシ

本籍地ノ府尹又ハ而長ハ前項ノ手續ヲ爲シタル後遅滯ナク戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ

第十六條　戸主相續、戸主相續回復其ノ他戸主ノ變更ヲ生スヘキ事項ニ付届出又ハ申請アリタルトキハ其ノ者カ本籍ヲ有スルニ至リタル旨ノ届出アリタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依リテ戸主ノ名義ヲ變更シ新戸籍ヲ編製スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セサル者ノ戸籍ニ本由ヲ記載シテ之ヲ抹消スヘシ

第十七條　一戸ノ全員又ハ一戸内ノ一人若ハ數人ヲ戸籍ヨリ除クヘキトキハ事由ヲ記シテ戸籍ノ全部又ハ一部ヲ抹消スヘシ

除籍セラルヘキ者ノ本籍カ他ノ府又ハ而ニ轉屬スル場合ニ於テハ前項ノ手續ハ入籍地ノ府尹又ハ而長カ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後除籍通知ヲ受ケタル後ニ之ヲ爲スヘシ但シ入籍ノ府尹又ハ而長カ届出ヲ受理シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ付之ヲ準用ス

第十八條　戸籍ノ記載ヲ爲スニハ字畫ヲ明瞭ニシ略字又ハ俗字又ハ符號ヲ用ヰヘカラス

年月日ヲ記載スルニハ壹萬參拾ノ文字ヲ用ウヘシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若訂正挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ府尹又ハ而長之ニ認印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ尚明カニ讀得ヘキ程字體ヲ存スヘシ

第十九條　戸籍ノ記載ヲ爲シ毎ニ府尹又ハ而長ノ認印スヘシ

第二十條　戸籍用紙中ノ一部分ヲ用キ遽シクルトキハ掛紙ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニハ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スヘシ

第二十一條　届出事件ノ本人ノ本籍カ一ノ府又ハ而ヨリ他ノ府又ハ而ニ轉屬スル場合ニ於テハ前項ノ手續ハ入籍地ノ府尹又ハ而長カ届出ヲ受理シタル後遅滯ナク届書ノ一通ヲ他ノ府尹又ハ而長ニ送付スヘシ

第二十二條　届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ府又ハ而ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ府尹又ハ而長カ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後除籍通知ヲ受ケタル後ニ之ヲ爲スヘシ但シ入籍ノ府尹又ハ而長カ届出ヲ受理シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ府尹又ハ而長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ付之ヲ準用ス

第二十三條　本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付届出ヲ受理シタル後其ノ者ノ本籍カ分明ト爲リタル旨又ハ其ノ者カ本籍ヲ有スルニ至リタル旨ノ届出アリタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依リテ戸主ノ名義ヲ變更シ新戸籍ヲ編製スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セサル者ノ戸籍ニ本由ヲ記載シテ之ヲ抹消スヘシ

第二十四條　前三條ノ規定ハ届書ニ非サル書面ニ依リ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ニ付之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ府尹又ハ而長ハ其ノ受附ケタル書面ノ謄本ヲ作リ之ヲ送付スヘシ

第二十五條　届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ府又ハ而ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ府尹又ハ而長カ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後除籍地ノ府尹又ハ而長ニ入籍ノ通知ヲ爲シ但シ入籍地ノ府尹又ハ而長カ届出ヲ受理シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ府尹又ハ而長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ付之ヲ準用ス

第二十六條　戸籍ノ記載手續ヲ完了シタルトキハ届書其ノ他受理シタル書類ハ本籍人及非本籍人ニ區別シ本籍人ニ關スルモノハ戸籍編綴ノ順序ニ從ヒテ之ヲ編綴シ非本籍人ニ關スルモノハ事件ノ種類ニ依リ各別ニ之ヲ編綴シ且各日錄ヲ附スヘシ

戸籍ノ記載ヲ要セサル事項ニ付受理シタル書類ハ之ヲ合綴シ且目錄ヲ附スヘシ

第二十七條　前條第一項ノ書類ハ一月毎ニ遲滯ナク之ヲ監督裁判所ニ送付スヘシ

第二十八條　戸籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノ又ハ其ノ記載ニ錯誤若ハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ府尹又ハ而長ハ遲滯ナク届出人又ハ届出事件ノ本人ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ但シ其ノ錯誤又ハ遺漏カ府尹又ハ而長ノ過誤ニ出テタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ通知ヲ爲スコト能ハサルトキ又ハ通知ヲ爲シタルモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキトキハ府尹又ハ而長ハ監督裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得前項但書ノ場合亦同シ

第二十九條　同一ノ事件ニ付數人ノ届出義務者ヨリ各別ニ届出アリタル場合ニ於テ後ニ受理シタル届出ニ因リテ戸籍ノ記載ヲ爲シタルトキハ前ニ受理シタル届出ニ基キ其ノ戸籍ノ訂正ヲ爲スヘシ

第三十條　行政區畫又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ戸籍ノ記載ハ訂正セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス

地番號ノ變更アリタルトキハ戸籍ノ記載ノ變更アリタルトキハ戸籍及之ニ關スル書類ハ之ヲ當該府又ハ而ニ引繼クヘシ

第三十一條　府又ハ而ノ區域ノ變更アリタルトキハ戸籍及之ニ關スル書類ハ之ヲ當該府又ハ而ニ引繼クヘシ

第三十二條　第二十一條乃至第二十四條及第二十五條第一項ノ規定ハ共通法第三條ノ規定ニ依リテ朝鮮ノ家ヲ去リタル者及他ノ地域ノ家ヲ去リテ朝鮮ノ家ニ入リタル者ノ戸籍ノ記載手續ニ付之ヲ準用ス

第四章　届出

第一節　通則

第三十三條　届出ハ届出事件ノ本人ノ本籍地又ハ届出人ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十四條　本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付届出アリタル後其ノ者ノ本籍カ分明ト爲リタルトキ又ハ届出人又ハ届出事件ノ本人ノ本籍ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第三十五條　届出ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三十六條　届書ニハ左ノ事項ヲ記載シ届出人之ニ署名、捺印スヘシ

一　届出事件

二　届出ノ年月日

三　届出人ノ出生ノ年月日及本籍

届出事件ニ因リ届出事件ノ本人ニ關セサル者ニ付テハ後ヲ去リ、他家ニ入リ其ノ他身分ニ變更ヲ生スル者アル場合ニ於テハ届書ニ其ノ者ノ姓名、出生ノ年月日及本籍竝身分變更ノ事由ヲ記載スヘシ

第三十七條　届出人ト届出事件ノ本人ト異ルトキハ届書ニ其ノ續柄ヲ記載スヘシ

届出人カ家族タルトキハ届書ニ戸主ノ姓名及届出人ト戸主トノ續柄ヲ記載スヘシ

第三十八條　届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者タルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ以テ其ノ他單純ノ非實ニ關スル届出ハ未成年者又ハ禁治産者亦之ヲ爲スコトヲ得

親權ヲ行フ者又ハ後見人カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　届出ヲ爲スヘキ者ノ姓名、出生ノ年月日及本籍

二　無能力ノ原因

三　届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人タルコト

第三十九條　無能力者カ其ノ法定代理人ノ同意ヲ得スシテ爲スコトヲ得ヘキ行爲ニ付テハ無能力者ノ届出ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

禁治産者カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ届出事件ノ性質及效果ヲ理會スルニ足ルヘキ能力ヲ有スルコトヲ證スヘキ診斷書ヲ添附スヘシ

第四十條　届出ニ證人ヲ要スル場合ニ於テハ證人ハ届書ニ出生ノ年月日及本籍ヲ記載シテ署

第八百三十六條第二項ノ規定ニ依リ嫡出子タルヘキ者ニ付父母カ嫡出子出生ノ届出ヲ為シタルトキハ認知ノ届出亦同シ

第七十一條　認知ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第六十八條ノ規定ニ依ル届出ヲ為スヘシ其ノ届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スヘシ

第七十二條　遺言ニ依ル認知ノ場合ニ於テハ遺言執行者ハ其ノ就職ノ日ヨリ十日内ニ認知ニ関スル遺言ノ謄本又ハ遺言アリタルコトヲ証スル書面ヲ添附シ第六十八條又ハ第六十九條ノ規定ニ従ヒテ其ノ届出ヲ為スヘシ

第七十三條　認知セラレタル胎児カ死体ニテ生レタルトキハ出生届出義務者ハ其ノ事実ヲ知リタル日ヨリ十四日内ニ認知ノ届出地ニ於テ其ノ届ヲ届出ツヘシ但シ遺言執行者カ前條ノ届出ヲ為シタル場合ニ於テハ遺言執行者ノ届出ヲ為シタル場合ニ於テハ遺言ニ思表示ヲ為シタル者又ハ養子ノ選定ヲ為シタル者又ハ養子ノ縁組ニ付テハ遺言執行者及養子ヨリ為スヘキ届出ヲ為ササル間ニ胎児カ出生シタルトキハ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第七十四條　第四節　養子縁組

第七十五條　縁組ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　当事者ノ姓名、本貫、出生ノ年月日、本籍及職業

二　養子ノ実父母ノ姓名及本籍

三　当事者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名、本籍ニ家ヲ立テタル者カ養子ト為ルトキハ其ノ旨

前項ノ届出ハ当事者双方及成年ノ証人二人以上ヨリ之ヲ為スヘシ

第七十六條　父母共ノ他ノ者カ養子ト為ルヘキ者ニ代リテ縁組ノ意思ヲ表示シタル場合又ハ死後養子ノ場合ニ於テハ届出ハ其ノ意思表示ヲ為シタル者又ハ養子ノ選定ヲ為シタル者之ヲ為スヘシ

第七十七條　遺言ニ依ル縁組ニ付テハ遺言執行者及養子ヨリ為スヘキ届出ヲ為サル間ニ遺言カ効力ヲ生シタル後遅滞ナク縁組ノ届出ヲ為スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ縁組ニ関スル遺言ノ謄本又ハ遺言アリタルコトヲ証スル書面ヲ届書ニ添附スヘシ

第七十八條　縁組ノ届出ハ養親ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ之ヲ為スヘシ

第七十九條　第四十六條第三項ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第五節　養子離縁

第八十條　離縁ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　当事者ノ姓名、本貫、本籍及職業

二　養子ノ実父母ノ姓名及本籍

三　当事者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名、本籍

四　養子カ一家ヲ創立スルトキハ其ノ旨並創立ノ原因及場所但シ実家ヲ再興スルトキハ其ノ旨及再興ノ場所

第七十五條第二項ノ規定ハ前項ノ届出ニ付之ヲ準用ス

第八十一條　父母其ノ他ノ者カ養子ニ代リテ離縁ノ協議ヲ為シタル場合ニ於テハ届出ハ其ノ協議ヲ為シタル者之ヲ為スヘシ養子カ死亡シタル後離縁ヲ為ス場合ニ於ケル届出ニ付亦同シ

第八十二條　離縁ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第八十條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ為スヘシ其ノ届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スヘシ

第八十三條　第四十六條第三項ノ規定ハ第八十條第一項及第八十一條ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第六節　婚姻

第八十四條　婚姻ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　当事者ノ姓名、本貫、出生ノ年月日、本籍及職業

二　父母ノ姓名及本籍

三　当事者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名、本籍及戸主トノ続柄

四　祖堵ナルトキハ其ノ旨

当事者ノ一方カ婿ヨリ更ニ婚姻ニ因リテ他ノ家ニ入ル場合ニ於テハ前項ニ掲ケル事項ノ外実家ノ戸主ノ姓名及本籍ヲ記載スヘシ

第八十五條　婚姻ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　当事者ノ姓名、本貫、本籍及職業

二　当事者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名、本籍及戸主トノ続柄

三　婚家ヲ去ル者カ一家ヲ創立スルトキハ其ノ旨並創立ノ原因及場所但シ実家ヲ再興スルトキハ其ノ旨及再興ノ場所

第七十五條第二項ノ規定ハ前項ノ届出ニ付之ヲ準用ス

第八十五條　婚姻ノ届出ハ夫ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ之ヲ為スヘシ但シ招婿ノ場合ニ於テハ妻ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ届出ヲ為スヘシ

第八十六條　第四十六條第三項ノ規定ハ婚姻ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第八十七條　離婚ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　当事者ノ姓名、本貫、本籍及職業

二　当事者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名、本籍

三　当事者ノ一方カ婿ヨリ更ニ婚姻ニ因リテ他ノ家ニ入ル場合ニ於テハ前項ニ掲ケル事項ノ外実家ノ戸主ノ姓名及本籍ヲ記載スヘシ

第八十五條第二項ノ規定ハ第一項ノ届出ニ付之ヲ準用ス

第八十五條　婚姻ノ届出ハ夫ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ之ヲ為スヘシ但シ招婿ノ場合ニ於テハ妻ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ届出ヲ為スヘシ

第八十六條　第四十六條第三項ノ規定ハ婚姻ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第七節　養子縁組

第八十七條　縁組ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　当事者ノ姓名、本貫、出生ノ年月日、本籍及職業

二　養子ノ実父母ノ姓名及本籍

三　当事者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名、本籍及戸主トノ続柄

四　新ニ家ヲ立テタル者カ養子ト為ルトキハ其ノ旨

前項ノ届出ハ当事者双方及成年ノ証人二人以上ヨリ之ヲ為スヘシ

第八十八條　父母共ノ他ノ者カ養子ト為ルヘキ者ニ代リテ縁組ノ意思ヲ表示シタル場合又ハ死後養子ノ場合ニ於テハ届出ハ其ノ意思表示ヲ為シタル者又ハ養子ノ選定ヲ為シタル者之ヲ為スヘシ

第八十九條　死亡ノ届出ハ届出義務者カ死亡ノ事実ヲ知リタル日ヨリ七日内ニ診断書若ハ検案書又ハ検視調書ノ謄本ヲ添附シテ之ヲ為スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　死亡者ノ姓名、本籍及職業

二　死亡ノ年月日時及場所

三　死亡者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名及戸主トノ続柄

第九十條　死亡ノ届出ハ届出義務者カ死亡ノ事実ヲ知リタル日ヨリ七日内ニ診断書若ハ検案書又ハ検視調書ノ謄本ヲ添附シテ之ヲ為スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　死亡者ノ姓名、本籍及職業

二　死亡ノ年月日時及場所

三　死亡者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名及戸主トノ続柄

第九十一條　死亡ノ届出ハ死亡地ニ於テ之ヲ為スヘシ

第九十二條　水難、火災其ノ他ノ事変ニ因リ死亡シタル者アル場合ニ於テハ其ノ取調ヲ為シタル官廳又ハ公署ハ死亡者ノ本籍地ノ府尹又ハ面長ニ死亡ノ報告ヲ為スヘシ

第九十三條　死刑ノ執行アリタルトキハ監獄ノ長ハ遅滞ナク監獄所在地ノ府尹又ハ面長ニ死亡ノ報告ヲ為スヘシ

前項ノ規定ハ在監中死亡シタル者ノ引取人ナキ場合ニ付之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ前条第二項ノ届出ヲ為シタル官吏ニ死亡ノ報告ヲ為サシムルヲ以テ足ル

第九十四條　死亡ノ届出ハ同居者又ハ家主、地主又ハ家屋若ハ土地ノ管理人ニ於テモ之ヲ為スコトヲ得

第九十五條　死亡ノ届出ハ死亡地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第九十六條　死亡者ノ本籍分明ナラス又ハ死亡者ヲ認識スルコト能ハサル場合ニ於テハ警察官ハ検視調書ヲ作リ之ヲ添附シテ遅滞ナク死亡地ノ府尹又ハ面長ニ死亡ノ報告ヲ為スヘシ

死亡者ノ本籍地分明ナルニ至リ又ハ死亡者ヲ認識スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ警察官ハ遅滞ナク其ノ旨ヲ報告スヘシ

第九十七條　前四條ノ届出ハ被後見人ノ本籍地又ハ後見人ノ所在地ニ於テ之ヲ為スヘシ

第九十八條　後見人ニ関スル本節ノ規定ハ保佐人ニ付之ヲ準用ス

第九節　死亡及失踪

第百五條　第五十九條、第六十二條及第六十三條ノ規定ハ死亡ノ届出ニ付之ヲ準用ス

第八十九條　第四十六條第三項ノ規定ハ第八十七條第一項ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第九節　親権及後見

第九十條　父カ親権又ハ管理權ノ喪失ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ母其ノ權利ヲ行フトキハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其ノ旨ヲ届出ツヘシ其ノ届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スヘシ

第九十一條　失權宣告取消ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其ノ旨ヲ届出ツヘシ其ノ届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スヘシ

第九十二條　後見開始ノ届出ハ後見人其ノ就職ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ為スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　後見人及被後見人ノ姓名、出生ノ年月日及本籍

二　被後見人カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名及本籍

三　後見開始ノ原因及年月日

四　後見人就職ノ年月日

第九十三條　後見人更迭ノ場合ニ於テハ後任者ハ就職ノ日ヨリ十日内ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第九十四條　遺言ニ依ル後見人指定ノ場合ニ於テハ指定ニ関スル遺言ノ謄本又ハ遺言アリタルコトヲ証スル書面ヲ届書ニ添附スヘシ

後見人選任ノ場合ニ於テハ選任ヲ証スル書面ヲ届書ニ添附スヘシ

第九十五條　後見終了ノ届出ハ後見人十日内ニ之ヲ為スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　被後見人ノ姓名及本籍

二　後見終了ノ原因及年月日

第九十六條　前四條ノ届出ハ被後見人ノ本籍地又ハ後見人ノ所在地ニ於テ之ヲ為スヘシ

第九十七條　後見人ニ関スル本節ノ規定ハ保佐人ニ付之ヲ準用ス

第九節　死亡及失踪

第百條　第五十九條、第六十二條及第六十三條ノ規定ハ死亡ノ届出ニ付之ヲ準用ス

第百一條　失踪宣告ノ届出ハ其ノ宣告ヲ請求シタル者裁判ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シテ之ヲ為スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　失踪者ノ姓名及本籍

二　民法第三十條ニ定ムル期間満了ノ日

三　失踪者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名及戸主ト失踪者トノ続柄

第百二條　戸主相続ノ届出ハ戸主ト為リタル者相続ノ事実ヲ知リタル日ヨリ一月内ニ之ヲ為スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　戸主相続ノ原因及戸主ト為リタル年月日

二　前戸主ノ姓名及前戸主ト戸主トノ続柄

戸主ト為リタル者カ外國ニ在ル場合ニ於テハ三月内ニ届出ヲ発送スルヲ以テ足ル

第百三條　戸主相続回復ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ前條ノ規定ニ依ル届出ヲ為スヘシ

第百四條　戸主ノ姓名及前二條ノ届出ハ被相続人ノ本籍地ニ於テ之ヲ為スヘシ

第百五條　親族入籍

第百六條　戸主カ他家ニ在ル自己又ハ家族ノ親族ヲ家族ト為サムト欲スルトキハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

一　入籍スヘキ者ノ姓名、本貫及出生ノ年月日

二　入籍スヘキ家ノ戸主又ハ家族ト入籍スヘキ者トノ続柄

三　入籍及其ノ戸主ト入籍スヘキ者トノ続柄

第百七條　分家ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　本家ノ戸主ノ姓名、本籍及其ノ戸主トノ続柄

二　分家ノ戸主及家族ト為ルヘキ者ノ父母ノ姓名及本籍

第百八條　戸主相続回復ノ届出ハ其ノ宣告ヲ請求シタル者裁判ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シテ之ヲ為スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　民法第三十條ニ定ムル期間満了ノ日

二　失踪者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名及戸主ト失踪者トノ続柄

第百九條　前二條ノ届出ハ被相続人ノ本籍地ニ於テ之ヲ為スヘシ

第百十條　戸主カ他家ニ在ル自己又ハ家族ノ親族ヲ家族ト為サムト欲スルトキハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

一　入籍スヘキ者ノ姓名、本貫及出生ノ年月日

二　入籍スヘキ家ノ戸主又ハ家族ト入籍スヘキ者トノ続柄

三　入籍及其ノ戸主ト入籍スヘキ者トノ続柄

第百十一條　分家ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　本家ノ戸主ノ姓名、本籍及其ノ戸主トノ続柄

二　分家ノ戸主及家族ト為ルヘキ者ノ父母ノ姓名及本籍

第百十二條　絶家ノ家族ハ絶家ノ承継ヲ為シタル者ト同一ノ家ニ入ル

第百十三條　改名、族稱ノ得喪及襲爵ハ内ニ之ヲ為スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　変更前ノ名

二　変更シタル名

三　許可ノ年月日

第百十四條　改名ノ届出ハ許可ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ為スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　族稱

二　族稱取得ノ原因

三　辞令ノ年月日

第百十五條　爵ヲ襲キタル者ハ辞令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

届書ニハ辞令ノ年月日ヲ記載スヘシ

第百十六條　前條ノ規定ハ襲爵ノ裁判カ確定シタル場合ニ於テハ之ヲ準用ス

第百十七條　朝鮮貴族ノ族稱ヲ褒矢シタル場合ニ於テハ戸主ハ十日内ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

届書ニハ族稱褒矢ノ原因及年月日ヲ記載スヘシ

第百十八條　前條ノ規定ハ歳刑ニ因リテ族稱ヲ褒矢シタル場合ニハ之ヲ適用セス此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ本人ノ本籍地ノ府尹又ハ面長ニ其ノ旨ヲ報告スヘシ

第百十九條　分家ノ届出ハ届出義務者カ其ノ事実ヲ知リタル日ヨリ七日内ニ診断書若ハ検案書又ハ検視調書ノ謄本ヲ添附シテ之ヲ為スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　分家ノ戸主ノ姓名及本籍

二　分家ノ年月日

第百二十條　絶家ノ家族ハ絶家ノ承継ヲ為シタル者ト同一ノ家ニ入ル

第百二十一條　絶家ノ戸主ノ姓名及本籍

二　絶家ノ戸主ト承継ノ関係

三　絶家ノ戸主ト再興ヲ為ス者トノ続柄

四　再興ヲ為ス者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名及本籍

第百二十二條　絶家ノ家族ハ絶家ノ承継ニ因リ一家ヲ創立スルトキハ其ノ旨並創立ノ原因及場所但シ実家ヲ再興スルトキハ其ノ旨及再興ノ場所

第百二十三條　絶家ノ戸主ノ姓名及本籍

二　絶家ノ戸主ト再興ノ関係

三　絶家ノ原因及年月日

第百二十四條　絶家再興ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　絶家ノ戸主ノ姓名及本籍

二　絶家ノ戸主ト再興ノ関係

三　絶家ノ年月日

第百二十五條　絶家ノ家族ハ絶家ノ承継ヲ為シタル者ト同一ノ家ニ入ル

第百二十六條　絶家ノ戸主ノ姓名及本籍

二　絶家ノ戸主ト承継ノ関係

三　絶家ノ年月日

第百二十七條　絶家ノ家族ハ絶家ノ承継ニ因リ一家ヲ創立スルトキハ其ノ旨並創立ノ原因及場所但シ実家ヲ再興スルトキハ其ノ旨及再興ノ場所

第百二十八條　絶家ノ戸主ノ姓名及本籍

二　絶家ノ戸主ト再興ノ関係

三　絶家ノ年月日

第百二十九條　絶家再興ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　絶家ノ戸主ノ姓名及本籍

二　絶家ノ戸主ト再興ノ関係

三　絶家ノ年月日

第百三十條　改名、族稱ノ得喪及襲爵ハ内ニ之ヲ為スヘシ

第百三十一條　改名ノ届出ハ許可ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ為スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　変更前ノ名

二　変更シタル名

三　許可ノ年月日

第百三十二條　新ニ朝鮮貴族ニ列セラレタル者ハ十日内ニ辞令書ノ謄本ヲ添附シ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

届出ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　族稱

二　辞令ノ年月日

三　爵ヲ襲キタル者ハ辞令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

届書ニハ辞令ノ年月日ヲ記載スヘシ

第百三十三條　前條ノ規定ハ襲爵ノ裁判カ確定シタル場合ニ於テハ之ヲ準用ス

第百三十四條　朝鮮貴族ノ族稱ヲ褒矢シタル場合ニ於テハ戸主ハ十日内ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

届書ニハ族稱褒矢ノ原因及年月日ヲ記載スヘシ

第百三十五條　前條ノ規定ハ歳刑ニ因リテ族稱ヲ褒矢シタル場合ニハ之ヲ適用セス此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ本人ノ本籍地ノ府尹又ハ面長ニ其ノ旨ヲ報告スヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第百十四條　轉籍及就籍

第百十九條　轉籍セムト欲スルトキハ新本籍ヲ届書ニ記載シ戸主其ノ旨ヲ届出ツヘシ

他ノ府又ハ面ニ轉籍スル場合ニ於テハ戸籍ノ謄本ヲ届書ニ添附スヘシ

第百二十條　轉籍ノ届出ハ轉籍地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第百二十一條　本籍ヲ有セサル者ハ其ノ就籍セムト欲スル地ヲ管轄スル裁判所ノ許可ヲ得テ十日内ニ就籍ノ届出ヲ為スヘシ

届書ニハ第十一條ニ掲ケル事項ノ外就籍許可ノ年月日ヲ記載スヘシ

第百二十二條　就籍ノ届出ハ就籍地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第百二十三條　就籍許可ノ裁判ヲ得タル者カ就籍ノ届出ヲ為ササルトキハ戸主之ヲ為スヘシ

第百二十四條　第百二十一條ノ規定ハ確定判決ニ因リテ就籍ノ届出ヲ為スヘキ場合ニ付之ヲ準用ス此場合ニ於テハ判決ノ謄本ヲ添附シ訂正ノ申請ヲ為スヘシ

第百二十五條　戸籍ノ訂正

第二章　戸籍ノ訂正

第百二十五條　戸籍ノ訂正ニ付許可ノ裁判アリタルトキハ一月内ニ其ノ謄本ヲ添附シ訂正ノ申請ヲ為スヘシ

第百二十六條　確定判決ニ因リ戸籍ノ訂正ヲ為スヘキトキハ訴ヲ提起シタル者ハ判決確定ノ日ヨリ一月内ニ判決ノ謄本ヲ添附シ訂正ノ申請ヲ為スヘシ

第百二十七條、第三十三條、第三十五條乃至第三十九條、第四十一條乃至第四十八條及第五十一條乃至第五十六條ノ規定ハ戸籍訂正ノ申請ニ付之ヲ準用ス

附　則

第百二十八條　本令ハ大正十一年制令第十三號申朝鮮民事令第十一條乃至第十一條ノ九ノ改正ニ關スル規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

民籍法、明治四十四年朝鮮總督府令第百四十八號及大正十年朝鮮總督府令第九十九號之ヲ廢止ス

第百二十九條　本令施行前生シタル事項ノ申告又ハ届出ニ關シテハ従前ノ規定ニ依ル

第百三十條　本令ノ規定ハ従前ノ申告又ハ届出及本令施行前ノ申告又ハ届出其ノ他ノ事由ニ因リ戸籍ノ記載手續ヲ為シ又ハ新ニ戸籍ヲ編製スル場合ニ亦之ヲ適用ス

第百三十一條　本令施行前共通法第三條ノ規定ニ依リ朝鮮ノ家ヲ去リ又ハ他ノ地域ノ家ヲ去リテ朝鮮ノ家ニ入リタル場合ニ於テ民籍法又ハ戸籍法ニ従ヒ申告又ハ届出アリタルモノニ付テハ府尹又ハ面長ハ本令ノ定ムル所ニ準シ入籍、除籍其ノ他ノ手續ヲ為スヘシ

當事者、戸主其ノ他ノ利害關係人ハ當事者ノ本籍地ノ府尹又ハ面長ニ其ノ申告又ハ届出アリタル旨ヲ申出ツヘシ

第百三十二條　従前ノ規定ニ依ル民籍ハ本令ニ依ル戸籍ト戸籍法ニ依リ之ヲ有ス

第百三十三條　府尹又ハ面長ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ従前ノ規定ニ依リ全戸除籍シタルモノヲ除クノ外前條ノ規定ニ依ル民籍ノ副本ヲ作リ之ヲ監督裁判所ニ送付スヘシ

●戸籍法

大正三年三月
法律第二十六號

改正　大正一〇年四月八日、一三年七月二〇號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル戸籍法改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

戸籍法

第一章　戸籍事務ノ管掌

第二章　戸籍簿

第三章　戸籍ノ記載手續

第四章　届出

第一節　通則

第二節　出生

第三節　認知

第四節　養子縁組

第五節　養子離縁

第六節　婚姻

第七節　離婚

第八節　親權及ヒ後見

第九節　隠居

第一章　戸籍事務ノ管掌

第一條　戸籍ニ關スル事務ハ市町村長之ヲ管掌ス

第二條　市町村長ハ自己又ハ自己ト家ヲ同シクスル者ニ關スル戸籍事件ニ付キ其職務ヲ行フコトヲ得

第三條　戸籍事務ハ市役所又ハ町村役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ一人ノ判事又ハ監督判事之ヲ監督ス

戸籍事務ノ監督ニ付テハ司法行政ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第四條　市町村長カ其職務ノ執行ニ付キ届出人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ市町村長ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限リ之ヲ賠償スル責ニ任ス

第五條　市制第六條及ヒ第八十二條第三項ノ市ニ在リテハ本法中市、市長及ヒ市役所ニ關スル規定ハ區、區長及ヒ區役所ニ之ヲ準用ス

第六條　市側町村制ヲ施行セサル地ニ有リテハ本法中市町村、市町村長及ヒ市役所竝ニ町村役場ニ關スル規定ハ之ニ相當スル地區、吏員及ヒ公署ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ノ事務ヲ代理スル吏員ナキ地ニ在リテハ其地ヲ管轄スル地方裁判所ノ登司法大臣ノ認可ヲ得テ豫メ其代理者ヲ定ム

第七條　第二條及ヒ第四條ノ規定ハ戸籍事務ヲ管掌スル吏員ノ代理者之ヲ準用ス

第八條　本法ノ規定ニ依リ納付スル手數料ハ之ヲ市町村ノ收入トス

手數料ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二章　戸籍簿

第九條　戸籍ハ市町村ノ區域内ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸主ヲ本トシテ一戸毎ニ之ヲ編製ス

第十條　戸籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編綴シテ帳簿ト為ス

一ノ市町村内ニ各別ニ地番號ヲ附シタル二個以上ノ區裏アル場合ニ於テハ其區畫ノ順序ハ市町村長之ヲ定ム

第十一條　戸籍ハ正副二本ヲ設ク

正本ハ之ヲ市役所又ハ町村役場ニ備ヘ副本ハ監督區裁判所之ヲ保存ス

第十二條　新ニ戸籍ヲ編製シタルトキハ市町村長ハ遅滞ナク其副本ヲ監督區裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

第十三條　戸籍簿ハ事變ヲ避クル為メニスル場合ヲ除ク外市役所又ハ町村役場外ニ之ヲ持出スコトヲ得ス

第十四條　戸籍簿ヲ閲覧又ハ戸籍ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ手數料ヲ納付シテ之ヲ請求スルコトヲ得

手數料ノ外郵送料ヲ納付シテ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得

市町村長ハ正當ノ理由アル場合ニ限リ前二項ノ請求ヲ拒ムコトヲ得此場合ニ於テハ書面ヲ以テ其旨ヲ請求者ニ告知スルコトヲ要ス

謄本又ハ抄本ハ市町村長之ヲ作リ原本ト相違ナキ旨ヲ附記シ且之ニ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺スルコトヲ要ス

第十五條　戸籍簿ノ全部又ハ一部分ヲ用キ毀シタルトキ又ハ滅失シタルトキハ更ニ謄本ヲ製シ職印ヲ以テ掛紙ヲ為スコトヲ得此場合ニ於テハ市町村長ハ職印ヲ以テ掛紙ヲ為スコトヲ要ス

第十六條　戸籍ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルトキハ市町村長ハ遅滞ナク其事件ニ付キ關係人ヲシテ認可ヲ得テ豫メ其代理者ヲ定ム

第七條　第二條及ヒ第四條ノ規定ハ戸籍事務ヲ管掌スル吏員ノ代理者之ヲ準用ス

第八條　本法ノ規定ニ依リ納付スル手數料ハ之ヲ市町村ノ收入トス

手數料ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二章　戸籍簿

第九條　戸籍ハ市町村ノ區域内ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸主ヲ本トシテ一戸毎ニ之ヲ編製ス

第十條　戸籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編綴シテ帳簿ト為ス

一ノ市町村内ニ各別ニ地番號ヲ附シタル二個以上ノ區裏アル場合ニ於テハ其區畫ノ順序ハ市町村長之ヲ定ム

第十一條　戸籍ハ正副二本ヲ設ク

正本ハ之ヲ市役所又ハ町村役場ニ備ヘ副本ハ監督區裁判所之ヲ保存ス

第十二條　新ニ戸籍ヲ編製シタルトキハ市町村長ハ遅滞ナク其副本ヲ監督區裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

第十三條　戸籍簿ハ事變ヲ避クル為メニスル場合ヲ除ク外市役所又ハ町村役場外ニ之ヲ持出スコトヲ得ス

第十四條　戸籍簿ヲ閲覧又ハ戸籍ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ手數料ヲ納付シテ之ヲ請求スルコトヲ得

手數料ノ外郵送料ヲ納付シテ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得

市町村長ハ正當ノ理由アル場合ニ限リ前二項ノ請求ヲ拒ムコトヲ得此場合ニ於テハ書面ヲ以テ其旨ヲ請求者ニ告知スルコトヲ要ス

謄本又ハ抄本ハ市町村長之ヲ作リ原本ト相違ナキ旨ヲ附記シ且之ニ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺スルコトヲ要ス

第十五條　戸籍簿ノ全部若クハ一部分ヲ用キ毀シタルトキ又ハ滅失シタルトキハ更ニ謄本ヲ製シ職印ヲ以テ掛紙ヲ為スコトヲ得此場合ニ於テハ市町村長ハ職印ヲ以テ掛紙ヲ為スコトヲ要ス

第十六條　戸籍ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルトキハ市町村長ハ遅滞ナク其事件ニ付キ關係人ヲシテ認可ヲ得テ豫メ其代理者ヲ定ム

第十節　死亡及失踪

第十一節　家督相續

第十二節　推定家督相續人ノ廢除

第十三節　家督相續人ノ指定

第十四節　入籍、離籍及ヒ復籍拒絶

第十五節　廢家及ヒ絶家

第十六節　分家及ヒ廢絶家再興

第十七節　國籍ノ得喪

第十八節　氏名、族稱ノ變更及ヒ襲貸

第十九節　轉籍及ヒ就籍

第五章　戸籍ノ訂正

第六章　抗告

第七章　罰則

附　則

戸籍法

第一章　戸籍事務ノ管掌

第一條　戸籍ニ關スル事務ハ市町村長之ヲ管掌ス

第二條　市町村長ハ自己又ハ自己ト家ヲ同シクスル者ニ關スル戸籍事件ニ付キ其職務ヲ行フコトヲ得

第三條　戸籍事務ハ市役所又ハ町村役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ一人ノ判事又ハ監督判事之ヲ監督ス

戸籍事務ノ監督ニ付テハ司法行政ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第四條　市町村長カ其職務ノ執行ニ付キ届出人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ市町村長ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限リ之ヲ賠償スル責ニ任ス

第五條　市制第六條及ヒ第八十二條第三項ノ市ニ在リテハ本法中市、市長及ヒ市役所ニ關スル規定ハ區、區長及ヒ區役所ニ之ヲ準用ス

第六條　市側町村制ヲ施行セサル地ニ有リテハ本法中市町村、市町村長及ヒ市役所竝ニ町村役場ニ關スル規定ハ之ニ相當スル地區、吏員及ヒ公署ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ノ事務ヲ代理スル吏員ナキ地ニ在リテハ其地ヲ管轄スル地方裁判所ノ登司法大臣ノ認可ヲ得テ豫メ其代理者ヲ定ム

第七條　第二條及ヒ第四條ノ規定ハ戸籍事務ヲ管掌スル吏員ノ代理者之ヲ準用ス

第八條　本法ノ規定ニ依リ納付スル手數料ハ之ヲ市町村ノ收入トス

手數料ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二章　戸籍簿

第九條　戸籍ハ市町村ノ區域内ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸主ヲ本トシテ一戸毎ニ之ヲ編製ス

第十條　戸籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編綴シテ帳簿ト為ス

一ノ市町村内ニ各別ニ地番號ヲ附シタル二個以上ノ區裏アル場合ニ於テハ其區畫ノ順序ハ市町村長之ヲ定ム

第十一條　戸籍ハ正副二本ヲ設ク

正本ハ之ヲ市役所又ハ町村役場ニ備ヘ副本ハ監督區裁判所之ヲ保存ス

第十二條　新ニ戸籍ヲ編製シタルトキハ市町村長ハ遅滞ナク其副本ヲ監督區裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

第十三條　戸籍簿ハ事變ヲ避クル為メニスル場合ヲ除ク外市役所又ハ町村役場外ニ之ヲ持出スコトヲ得ス

第十四條　戸籍簿ヲ閲覧又ハ戸籍ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

手數料ノ外郵送料ヲ納付シテ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得

市町村長ハ正當ノ理由アル場合ニ限リ前二項ノ請求ヲ拒ムコトヲ得此場合ニ於テハ書面ヲ以テ其旨ヲ請求者ニ告知スルコトヲ要ス

謄本又ハ抄本ハ市町村長之ヲ作リ原本ト相違ナキ旨ヲ附記シ且之ニ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺スルコトヲ要ス

第十五條　戸籍簿ノ全部若クハ一部分ヲ用キ毀シタルトキ又ハ滅失シタルトキハ更ニ謄本ヲ製シ職印ヲ以テ掛紙ヲ為スコトヲ得此場合ニ於テハ市町村長ハ職印ヲ以テ掛紙ヲ為スコトヲ要ス

第十六條　戸籍ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルトキハ市町村長ハ遅滞ナク其事件ニ付キ關係人ヲシテ認可ヲ得テ豫メ其代理者ヲ定ム

第三　戸主ノ配偶者

第四　戸主ノ直系卑屬及ヒ其配偶者

第五　戸主ノ傍系親及ヒ其配偶者

第六　戸主ノ親族ニ非サル者

直系卑屬ノ間ニ在リテハ親等ノ遠キ者ヲ先ニシ直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテハ親等ノ近キ者ヲ先ニス

戸籍ヲ編製シタル後家族ト為リタル者ニ付テハ戸籍ノ末尾ニ記載スルコトヲ要ス

第二十條　戸籍ノ記載ハ届出、報告、申請若クハ請求、證書若クハ航海日誌ノ謄本又ハ裁判ニ依リ之ヲ為ス

第二十一條　戸籍ニハ第十八條ニ揭ケタルモノノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　届出又ハ申請ノ受附ノ年月日、事件ノ本人ニ非サル者ノ届出又ハ申請ニ係ル場合ニ於テハ届出人又ハ申請人ノ資格及ヒ氏名、他ノ市町村長又ハ官廳ヨリ届書又ハ申請書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ其受附ノ年月日及ヒ發送者ノ職氏名

二　報告又ハ請求ノ受附ノ年月日及ヒ報告者又ハ請求者ノ職氏名

三　證書又ハ航海日誌ノ謄本ノ受附ノ年月日及ヒ證書又ハ航海日誌ノ作製者竝ニ謄本發送者ノ職氏名

四　戸籍ノ記載ヲ命シタル裁判ノ年月日及ヒ裁判所

第二十二條　市町村長カ届書、報告書其他ノ書類ヲ受理シタルトキハ其書類ニ受附ノ番號及ヒ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

木籍地ノ市町村長ハ前項ノ手續ヲ為シタル後遅滞ナク戸籍ノ記載ヲ為スコトヲ要ス

第二十三條　家督相續、家督相續回復其他戸主ノ變更ヲ生スヘキ事項ニ付キ届出、申請又ハ請求及ヒ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ依リテ新戸籍ヲ編製スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ事由ヲ記載シテ之ヲ抹消スルコトヲ要ス

第二十四條　戸籍ノ記載ニ為ス毎ニ市町村長ハ其文末ニ認印スルコトヲ要ス

第二十五條　戸籍用紙中ノ一部分ヲ用キ毀シタルトキハ掛紙ヲ為スコトヲ得此場合ニ於テハ市町村長ハ職印ヲ以テ掛紙ヲ為スコトヲ要ス

第二十六條　前條ノ場合ヲ除ク外他ノ市町村長カ戸籍ノ記載ヲ為スヘキ必要アル場合ニ於テハ届出ヲ受理シタル市町村長ハ遅滞ナク届書ノ一通ヲ他ノ市町村長ニ送付スルコトヲ要ス

第二十七條　本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付キ届出ヲ受理シタル後其者ノ本籍カ分明トナリタル旨又ハ其者カ本籍ヲ有スルニ至リタル旨ノ届出アリタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ハ其届書及ヒ前ニ受理シタル届書ニ付キ之ヲ適用ス

第二十八條　前條ノ場合ニ於テハ市町村長ハ本籍カ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ市町村長ハ戸籍ノ記載ヲ為シタル後除籍地ノ市町村長ニ入籍通知ヲ為スコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第三十條　戸籍ノ記載手續ヲ完了シタルトキハ届書其他受理シタル書類ハ本籍人及ヒ非本籍人ニ區別シ本籍人ニ關スルモノハ戸籍編綴ノ順序ニ從ヒテ之ヲ編綴シ非本籍人ニ關スルモノハ事件ノ種類ニ依リ各別ニ之ヲ編綴シ且各目錄ヲ附スルコトヲ要ス

第三十一條　届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ市町村長ハ戸籍ノ記載ヲ為シタル後除籍地ノ市町村長ニ入籍通知ヲ為スコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第三十二條　届出事件ノ本人ノ本籍カ一ノ市町村ヨリ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ届出ヲ受理シタル市町村長ハ戸籍ノ記載ヲ為シタル後遅滞ナク届書ノ一通ヲ他ノ市町村長ニ送付スルコトヲ要ス

第三十三條　本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付キ届出ヲ受理シタル後其者ノ本籍カ分明トナリタル旨又ハ其者カ本籍ヲ有スルニ至リタル旨ノ届出アリタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依リ届出ヲ受理シタル届書ニ付キ之ヲ適用ス

第三十四條　前三條ノ規定ハ届書ニ非サル書面ニ因リ戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ市町村長ハ受附ケタル書面ノ謄本ヲ作リ其謄本ヲ送付スルコトヲ要ス

第三十五條　届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ市町村長ハ戸籍ノ記載ヲ為シタル後遅滞ナク其旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第三十六條　届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ市町村長ハ戸籍ノ記載ヲ為シタル後除籍地ノ市町村長ニ入籍通知ヲ為スコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第三十八條　届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ市町村長ハ戸籍ノ記載ヲ為シタル後除籍地ノ市町村長ニ入籍通知ヲ為スコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十一條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十五條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十六條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十七條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十八條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

家督相續人カ胎兒ナルトキハ其出生ノ記載ヲ為スマテハ前二項ノ手續ヲ為スコトヲ要セス此場合ニ於テハ前戸主ノ戸籍中戸主ニ關スル部分ヲ抹消シ家督相續人カ胎兒ナル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十四條　復籍拒絶ノ届出アリタルトキハ復籍拒絶ニ關スル事項ヲ移記スル外復籍ヲ為シタル場合ニ之ヲ準用ス

復籍ヲ拒絶セラレタル者カ死亡シ其他復籍拒絶ニ關スル事項ヲ抹消スルコトヲ要ス

第二十五條　家督相續人指定ノ届出アリタルトキハ其指定ヲ為シタル者ノ戸籍ニ届出ノ要旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十六條　離籍セラレタル者ノ一家創立又ハ廢家ヲ為ス者ノ入籍ノ手續アリタル後之ヲ為スコトヲ要ス

第二十七條　一戸ノ全員又ハ一戸内ノ一人若クハ數人ノ戸籍ヨリ除クヘキトキハ事由ヲ記載シテ戸籍ノ全部又ハ一部ヲ抹消スルコトヲ要ス

他ノ家族トノミ親族關係ヲ有スルトキハ其續柄

第三章　戸籍ノ記載手續

第一節　通則

第二十八條　戸籍ノ記載ハ為スヘキ事項ノ發生シタル者カ戸主ナルトキハ其戸主ノ、家族ナルトキハ其家族ノ戸籍ニ之ヲ為ス

第二十九條　戸籍ノ記載ハ届出、報告、申請若クハ請求、證書若クハ航海日誌ノ謄本又ハ裁判ニ依リ之ヲ為ス

第三十條　戸籍ニハ第十八條ニ揭ケタルモノノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　届出又ハ申請ノ受附ノ年月日、事件ノ本人ニ非サル者ノ届出又ハ申請ニ係ル場合ニ於テハ届出人又ハ申請人ノ資格及ヒ氏名、他ノ市町村長又ハ官廳ヨリ届書又ハ申請書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ其受附ノ年月日及ヒ發送者ノ職氏名

二　報告又ハ請求ノ受附ノ年月日及ヒ報告者又ハ請求者ノ職氏名

三　證書又ハ航海日誌ノ謄本ノ受附ノ年月日及ヒ證書又ハ航海日誌ノ作製者竝ニ謄本發送者ノ職氏名

四　戸籍ノ記載ヲ命シタル裁判ノ年月日及ヒ裁判所

第三十一條　市町村長カ届書、報告書其他ノ書類ヲ受理シタルトキハ其書類ニ受附ノ番號及ヒ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

木籍地ノ市町村長ハ前項ノ手續ヲ為シタル後遅滞ナク戸籍ノ記載ヲ為スコトヲ要ス

第三十二條　家督相續、家督相續回復其他戸主ノ變更ヲ生スヘキ事項ニ付キ届出、申請又ハ請求及ヒ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ依リテ新戸籍ヲ編製スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ事由ヲ記載シテ之ヲ抹消スルコトヲ要ス

第三十三條　届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ市町村長ハ戸籍ノ記載ヲ為シタル後除籍地ノ市町村長ニ入籍通知ヲ為スコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條　本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付キ届出ヲ受理シタル後其者ノ本籍カ分明トナリタル旨又ハ其者カ本籍ヲ有スルニ至リタル旨ノ届出アリタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依リ届出ヲ受理シタル届書ニ付キ之ヲ適用ス

第三十五條　前三條ノ規定ハ届書ニ非サル書面ニ因リ戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ市町村長ハ受附ケタル書面ノ謄本ヲ作リ其謄本ヲ送付スルコトヲ要ス

第三十六條　届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ市町村長ハ戸籍ノ記載ヲ為シタル後除籍地ノ市町村長ニ入籍通知ヲ為スコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條　届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ市町村長ハ戸籍ノ記載ヲ為シタル後除籍地ノ市町村長ニ入籍通知ヲ為スコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第三十八條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十一條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戸籍ノ記載ヲ為シタル後其者ノ本籍ヲ有スル旨ヲ他ノ市町村長ニ通知スルコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ為スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條　戸籍ノ記載ヲ為スヘキ場合ニ於テハ市町

第六十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第七十條　出生ノ屆出ハ父之ヲ爲スヘシ父カ其ノ家ヲ去リ又ハ其ノ家ニ歸ルコト能ハサルトキハ母之ヲ爲スヘシ

第七十一條　出生ノ屆出ハ左ノ者ニ於テ之ヲ爲スヘシ

一　同居ノ親族

二　出生ノ場所ヲ管理スル者

三　出生ノ場所ニ在リタル者

第七十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ

第七十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第七十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第七十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第七十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第七十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第七十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第八十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第八十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第八十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第八十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第八十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第八十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第八十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第八十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第八十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第八十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第九十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第九十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第九十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第九十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第九十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第九十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第九十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第九十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第九十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第九十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百二十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百二十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百二十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百二十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百二十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百二十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百二十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百二十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百二十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百二十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百三十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百三十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百三十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百三十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百三十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百三十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百三十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百三十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百三十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百三十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百四十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百四十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百四十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百四十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百四十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百四十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百四十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百四十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百四十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百四十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百五十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百五十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百五十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百五十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百五十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百五十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百五十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百五十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百五十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百五十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百六十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百六十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百六十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百六十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百六十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百六十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百六十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百六十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百六十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百六十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百七十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百七十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百七十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百七十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百七十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百七十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百七十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百七十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百七十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百七十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百八十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百八十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百八十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百八十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百八十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百八十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百八十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百八十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百八十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百八十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百九十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百九十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百九十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百九十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百九十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百九十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百九十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百九十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百九十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第百九十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百二十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百二十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百二十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百二十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百二十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百二十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百二十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百二十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百二十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百二十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百三十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百三十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百三十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百三十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百三十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百三十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百三十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百三十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百三十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百三十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百四十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百四十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百四十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百四十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百四十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百四十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百四十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百四十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百四十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百四十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百五十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百五十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百五十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百五十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百五十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百五十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百五十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百五十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百五十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百五十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百六十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百六十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百六十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百六十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百六十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百六十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百六十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百六十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百六十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百六十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百七十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百七十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百七十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百七十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百七十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百七十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百七十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百七十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百七十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百七十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百八十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百八十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百八十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百八十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百八十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百八十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百八十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百八十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百八十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百八十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百九十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百九十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百九十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百九十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百九十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百九十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百九十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百九十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百九十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二百九十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百二十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百二十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百二十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百二十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百二十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百二十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百二十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百二十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百二十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百二十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百三十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百三十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百三十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百三十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百三十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百三十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百三十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百三十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百三十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百三十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百四十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百四十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百四十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百四十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百四十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百四十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百四十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百四十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百四十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百四十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百五十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百五十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百五十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百五十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百五十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百五十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百五十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百五十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百五十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百五十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百六十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百六十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百六十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百六十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百六十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百六十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百六十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百六十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百六十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百六十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百七十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百七十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百七十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百七十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百七十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百七十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百七十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百七十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百七十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百七十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百八十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百八十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百八十二條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百八十三條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百八十四條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百八十五條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百八十六條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百八十七條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百八十八條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百八十九條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百九十條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百九十一條　出生ノ屆出ハ出生ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第三百九十二

家ノ戸主、前婚親ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十九條　配偶者ノ一方カ雙方ノ名義ヲ以テ縁組ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十條　民法第八百四十三條ノ規定ニ依リテ縁組ノ承諾ヲ爲シタル場合ニ於テハ届出ハ其承諾ヲ爲シタル者之ヲ爲スコトヲ得

第九十一條　民法第八百四十八條ノ規定ニ依リ縁組ノ届出ヲ爲ストキハ縁組ニ關スル證書ノ謄本ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第九十二條　縁組ノ届出ハ養親ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十三條　縁組取消ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　當事者ノ氏名、本籍及ヒ職業

二　養子ノ實父母ノ氏名及ヒ本籍

三　當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ本籍

四　養子カ一家ヲ創立スルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因並ニ場所但實家ヲ再興スルトキハ其旨及ヒ再興ノ場所

五　裁判確定ノ日

第九十四條　第五十七條第三項ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第五節　養子離縁

第九十五條　離縁ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　當事者ノ氏名、本籍及ヒ職業

二　養子ノ實父母ノ氏名及ヒ本籍

三　當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ本籍

四　養子ノ復籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

五　養子カ一家ヲ創立スルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因並ニ場所但實家ヲ再興スルトキハ其旨及ヒ再興ノ場所

第九十六條　第五十七條第三項ノ規定ハ離縁ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第九十七條　離縁取消ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第九十八條　第五十七條第三項ノ規定ハ離縁ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第九十九條　第五十七條第三項ノ規定ハ第九十五條乃至第九十七條ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第六節　婚姻

第百條　婚姻ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　當事者ノ氏名、出生ノ年月日、本籍及ヒ職業

二　父母ノ氏名及ヒ本籍

三　當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ本籍

四　入夫婚姻又ハ婿養子縁組ナルトキハ其旨

五　入夫婚姻ノ場合ニ於テ入夫カ戸主ヨリ爲ルトキハ其旨

當事者ノ一方カ婚家又ハ養家ヨリ更ニ婚姻ニ因リテ他家ニ入ル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外實家ノ戸主、養親ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第百一條　婚姻ノ届出ハ夫ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス但入夫婚姻又ハ婿養子縁組ノ場合ニ於テハ妻ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第百二條　第九十三條ノ規定ハ婚姻取消ノ裁判カ確定シタル場合ニ之ヲ準用ス

檢事カ訴ヲ提起シタル場合ニ於テハ裁判確定ノ後遅滞ナク戸籍記載ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第百三條　第五十七條第三項ノ規定ハ婚姻ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第七節　離婚

第百四條　離婚ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　當事者ノ氏名、本籍及ヒ職業

二　父母ノ氏名及ヒ本籍

三　當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ本籍

四　婚家ヲ去ル者ノ復籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

五　家ヲ去ル者カ一家ヲ創立スルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因並ニ場所但實家ヲ再興スルトキハ其旨及ヒ再興ノ場所

第百五條　離婚ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ前條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スコトヲ要ス其届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百六條　第五十七條第三項ノ規定ハ第百四條ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第八節　親權及ヒ後見

第百七條　父カ親權又ハ管理權ノ喪失ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ母其權利ヲ行フトキハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス其届書ニハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第百八條　第九十三條第一項ノ規定ハ失權宣告取消ノ裁判カ確定シタル場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ届書ニ裁判確定ノ日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百九條　後見開始ノ届出ハ後見人其就職ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　後見人及ヒ被後見人ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍

二　被後見人カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ本籍

三　後見開始ノ原因及ヒ年月日

四　後見人就職ノ年月日

第百十條　後見人ノ變遷ノ場合ニ於テハ後任者ハ就職ノ日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第百十一條　遺言ニ依ル後見人指定ノ場合ニ於テハ遺言ニ依ル後見人ニ關スル證書ノ謄本ヲ届書ニ添附シテ届出ツルコトヲ要ス

第百十二條　後見ノ終了ハ後見人ノ氏名及ヒ本籍

一　後見終了ノ原因及ヒ年月日

二　後見終了ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十三條　前四條ノ届出ハ被後見人ノ本籍地又ハ後見人ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ保佐人ニ之ヲ準用ス

第九節　隱居

第百十五條　隱居ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　隱居者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍

二　家督相續人ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍及ヒ家督相續人ト隱居者トノ續柄

三　隱居ノ原因

第百十六條　死亡ノ届出ハ届出義務者カ死亡ノ事實ヲ知リタル日ヨリ七日内ニ診斷書若クハ檢案書又ハ檢視調書ノ謄本ヲ添附シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百十七條　左ニ掲ケタル者ハ其順序ニ從ヒ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ得

第一　戸主

第二　同居者

第三　家主、地主又ハ家屋若クハ土地ノ管理人

第百十八條　死亡ノ届出ハ死亡地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第百十九條　水難、火災其他ノ事變ニ因リ死亡シタル場合ニ於テハ其取調ヲ爲シテハ届出ハ其協議ヲ爲シタル者之ヲ爲スコトヲ得

第九十七條　民法第八百六十二條第三項ノ規定ニ依リテ離縁ヲ爲ス場合ニ於テハ養子其届出ヲ爲スコトヲ要ス

第九十八條　離縁ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第九十五條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スコトヲ要ス其届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十九條　離縁ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第九十五條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スコトヲ要ス其届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百條　婚姻ノ届出ハ其協議ヲ爲シタル者之ヲ爲スコトヲ得

第百一條　民法第八百六十二條第三項ノ規定ニ依リテ離縁ヲ爲ス場合ニ於テハ養子其届出ヲ爲スコトヲ得

第九十八條　離縁ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第九十五條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スコトヲ要ス其届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十九條　離縁ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第九十五條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スコトヲ要ス其届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百條　婚姻ノ届出ハ其協議ヲ爲シタル者之ヲ爲スコトヲ得

第百一條　民法第八百六十二條第三項ノ規定ニ依リテ離縁ヲ爲ス場合ニ於テハ養子其届出ヲ爲スコトヲ得

第九十八條　離縁ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第九十五條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スコトヲ要ス其届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十九條　離縁ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第九十五條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スコトヲ要ス其届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スルコトヲ要ス

タル官廳又ハ公衆ハ死亡者ノ本籍地ノ市町村長ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十條　死刑ノ執行アリタルトキハ監獄ノ長ハ遅滯ナク監獄所在地ノ市町村長ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ在監中死亡シタル者ノ引取人ナキ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ報告書ニ診斷書又ハ檢案書ヲ添附スルコトヲ要ス

第百二十一條　前二條ノ報告書ニハ第百十六條第二項ニ揭ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十二條　死亡者ノ本籍分明ナラス又ハ死亡者ヲ認識スルコト能ハサル場合ニ於テハ警察官ハ檢視調書ヲ作リ之ヲ添附シテ遅滯ナク死亡地ノ市町村長ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

死亡者ノ本籍分明ナルニ至リ又ハ死亡者ヲ認識スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ警察官ハ遅滯ナク其旨ヲ報告スルコトヲ要ス

第一項ノ報告アリタル後第百十七條第一號及ヒ第二號ニ揭ケタル者カ死亡者ヲ認識シタルトキハ十日内ニ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十三條　第七十一條、第七十五條及ヒ第七十六條ノ規定ハ死亡ノ届出ニ之ヲ準用スル

第百二十四條　失踪宣告ノ届出ハ其宣告ヲ請求シタル者裁判ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　失踪者ノ氏名及ヒ本籍

二　民法第三十條ニ定メタル期間滿了ノ日

三　失踪者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ戸主ト失踪者トノ續柄

第十一節　家督相續

第百二十五條　家督相續ノ届出ハ戸主ト爲リタル事實ヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但入夫婚姻ニ因リテ戸主ト爲リタル者ハ此限ニ在ラス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　家督相續人カ前戸主ト爲リタル年月日

二　前戸主ノ氏名及ヒ前戸主ト戸主トノ續柄

戸主ト爲リタル者カ外國ニ在ル場合ニ於テハ三个月内ニ届書ヲ發送スルヲ以テ足ル

第百二十六條　選定ニ因ル家督相續人カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ選定ヲ證スル書面ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第百二十七條　家督相續人カ胎兒ナルトキハ母カ相續ノ開始ヲ知リタルコトヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ診斷書ヲ添附シ家督相續ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　家督相續人カ胎兒ナルコト

二　家督相續ノ原因及ヒ相續開始ノ年月日

三　前戸主ノ氏名及ヒ前戸主ト家督相續人トノ續柄

第百二十五條第三項ノ規定ハ前項ノ届出ニ之ヲ準用ス

第百二十八條　前條ノ届出ヲ爲シタル後胎兒カ死體ニテ生レタルトキハ母ハ一箇月内ニ醫師又ハ産婆ノ檢案書ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第百二十九條　家督相續回復ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一箇月内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第百二十五條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第百三十條　廢家ヲ爲サムト欲スル者カ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス但入夫婚姻ニ因リテ戸主ト爲リタル者ニ非サルトキハ其旨ヲ届書ニ記載スルコトヲ要ス

第百三十一條　推定家督相續人廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第百三十二條　廢除取消ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第百三十三條　家督相續人指定ノ裁判カ確定シタルトキハ指定家督相續人ノ氏名及ヒ本籍ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第百三十四條　家督相續人指定取消ノ届書ニハ指定家督相續人ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第百三十五條　遺言ニ依ル家督相續人ノ指定又ハ指定取消ノ場合ニ於テハ指定又ハ指定取消ニ關スル遺言ノ謄本ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第百三十六條　指定家督相續人カ死亡シタルトキハ指定者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第十四節　入籍、離籍及ヒ復籍拒絕

第百三十七條　民法第七百三十七條ノ規定ニ依リ家族ヲ爲サムト欲スル者ハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一　入籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

二　入籍スヘキ家ノ戸主ト入籍スヘキ者トノ續柄

三　原籍ノ戸主ノ氏名、本籍及ヒ其戸主ト入籍スヘキ者トノ續柄

第百三十八條　民法第七百三十八條ノ規定ニ依リ自己ノ親族ヲ家族ト爲サムト欲スル者ハ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ前條ニ揭ケタル事項ノ外入籍スヘキ者ノ氏名及ヒ出生ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百三十九條　戸主カ共家族ヲ離籍セムト欲スルトキハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一　離籍セラルヘキ者ノ氏名

二　離籍ノ原因

第百四十條　離籍ニ因リテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　離籍者ノ氏名及ヒ本籍

二　離籍者ト離籍セラレタル者トノ續柄

三　離籍ノ原因及ヒ年月日

第百四十一條　戸主カ其家族タリシ者ノ復籍ヲ拒マムト欲スルトキハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一　復籍ヲ拒マルヘキ者ノ氏名及ヒ本籍

二　復籍ヲ拒マルヘキ者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名

三　復籍拒絕ノ原因

第百四十二條　復籍拒絕又ハ復籍スヘキ家ノ廢絕ニ因リテ一家ヲ創立シタル者カ縁組若クハ婚姻ノ取消又ハ離縁若クハ離婚ノ届書ニ其場所ヲ記載セサリシトキハ一家創立ノ事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ其届出ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　復籍拒絕者又ハ廢絕家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

二　復籍拒絕ノ原因及ヒ年月日又ハ廢絕ノ年月日

第百四十三條　廢家ヲ爲サムト欲スル者カ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス但入夫婚姻ニ因リテ戸主ト爲リタル者ニ非サルトキハ其旨ヲ届書ニ記載スルコトヲ要ス

第百四十四條　廢家ヲ爲サムト欲スル者カ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス但入夫婚姻ニ因リテ戸主ト爲リタル者ニ非サルトキハ其旨ヲ届書ニ記載スルコトヲ要ス

第百四十五條　分家ヲ爲サムト欲スル者ハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコト

第一章　民事訴訟

第一節　通則

第一款　裁判所

第一條　裁判所ハ民事訴訟ニ付キ法律ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ管轄区域内ニ於テ訴訟ヲ取扱フ

第二條　裁判所ハ職権ヲ以テ其ノ管轄ニ属スルヤ否ヤヲ調査スルコトヲ要ス

第三條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有セサルトキハ申立ニ因リ又ハ職権ヲ以テ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移ス

第四條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ特別ノ事情アルトキハ申立ニ因リ又ハ職権ヲ以テ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第五條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ訴訟ノ著シキ遅滞ヲ避ケ又ハ当事者ノ衡平ヲ保ツ為メ必要アリト認ムルトキハ申立ニ因リ又ハ職権ヲ以テ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第六條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第七條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第八條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第九條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第十條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第十一條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第十二條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第十三條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第十四條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第十五條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第十六條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第十七條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第十八條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第十九條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第二十條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第二十一條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第二十二條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第二十三條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第二十四條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第二十五條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第二十六條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第二十七條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第二十八條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第二十九條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第三十條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第三十一條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第三十二條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第三十三條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第三十四條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第三十五條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第三十六條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第三十七條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第三十八條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第三十九條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第四十條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第四十一條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第四十二條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第四十三條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第四十四條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第四十五條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第四十六條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

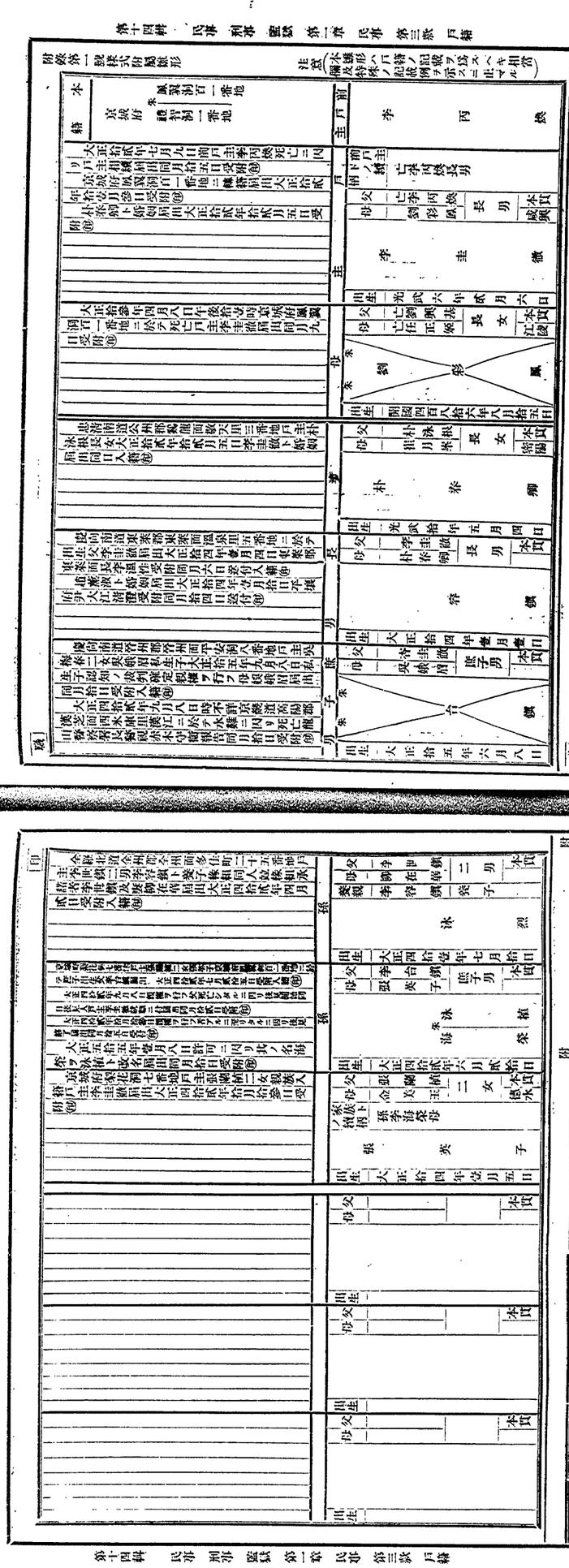
第四十七條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第四十八條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第四十九條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

第五十條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄権ヲ有スルトキト雖モ当事者ノ合意ニ因リ訴訟ヲ他ノ管轄裁判所ニ移スコトヲ得

附錄第一號樣式　戸籍用紙形



附錄第二號樣式　戸籍謄抄紙

附錄第三號樣式　受附帳（用紙美濃紙）

附錄第四號　戸籍記載例

（事例括弧内ノ記載ハ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ事項欄ヲ示ス）

出　生

一　子ノ本籍地ニ於テ届出テタル嫡出子出生ニ關スル記載（子ノ事項欄）

京城府仁義洞壹番地ニ於テ出生父李圭徹母朴泰卿届出大正拾貳年七月參日受附入籍㊞

二　名未定ノ子ノ出生ニ關スル記載（同上）

京城府仁義洞壹番地ニ於テ出生名未定分娩ヲ介抱シタル者安順子届出大正拾貳年七月四日受附入籍㊞

三　子ノ出生地ニ於テ同居者ヨリ届出テタル庶子出生ニ關スル記載（同上）

前例ニ付子ノ名ノ追完ニ關スル記載（同上）

忠清南道公州郡鷄龍面敬天里五番地戸主朴泳根長女朴泰卿慶尚南道東萊郡東萊面溫泉里六番地ニ於テ庶子出生同居者金華山届出大正拾貳年七月四日東萊郡東萊面長李溫性受附同月六日送付入籍㊞

父李圭徹子ノ名追完届出大正拾貳年七月拾日受附㊞

四　私生子カ一家ヲ創立スル場合ニ其ノ本籍地ニ於テ母ノ後見人ヨリ届出テタル私生子出生ニ關スル記載（同上）

認知

一　私生子認知ノ届出ニ因リ子カ父ノ家ニ入ル場合ニ於ケル認知ニ關スル記載（父ノ戸籍中子ノ事項欄）

忠清南道公州郡鷄龍面敬天里五番地戸主朴泳根長女朴泰卿私生子父李圭徹認知届出大正拾貳年七月拾壹日受附入籍㊞

二　除籍地ノ府尹又ハ面長カ他ノ府又ハ面ニ在ル父ノ家ニ入ルヘキ私生子認知ノ届出ヲ受ケタル場合ニ於ケル認知ニ關スル記載及入籍通知ニ因リテ爲ス除籍（原籍戸籍中子ノ事項欄）

父京城府仁義洞壹番地李圭徹認知届出大正拾貳年七月拾壹日受附㊞同月拾六日入籍通知ニ因リ除籍㊞

三　死亡シタル子カ認知セラレ其ノ者ノ子カ認知者タル祖父ノ家ニ入ル場合ニ於ケル認知ニ關スル記載（祖父ノ戸籍中孫ノ事項欄）

忠清南道公州郡鷄龍面敬天里五番地戸主朴泳根亡父李重喆祖父李圭徹認知届出大正拾貳年七月拾六日受附入籍㊞

四　裁判ニ因ル認知ニ關スル記載（父ノ戸籍中子ノ事項欄）

忠清南道公州郡鷄龍面敬天里五番地戸主朴泰卿私生子大正拾貳年七月七日私生子認知ノ裁判確定親權ヲ行フ戸主朴泰卿届出同月拾壹日受附入籍㊞

五　遺言ニ依ル認知ニ關スル記載（同上）

忠清南道公州郡鷄龍面敬天里五番地戸主朴泰卿私生子父亡李圭徹認知遺言執行者李容鎭届出大正拾貳年七月八日受附入籍㊞

六　妻ノ實家ニ在ル私生子ノ認知届出ニ因リ子カ父ノ家ニ入ル場合ニ於ケル認知ニ關スル記載（同上）

忠清南道公州郡鷄龍面敬天里五番地戸主朴泳根孫妻朴泰卿私生子父李圭徹認知届出大正拾貳年七月貳拾日受附入籍㊞

七　父ノ家ニ入ルコトヲ得サル私生子ノ認知ニ關スル記載（私生子ノ父京城府仁義洞壹番地李圭徹認知届出大正拾貳年七月拾四日受附㊞　養子縁組

一　本籍地ヲ同シクスル當事者カ本籍地ニ於テ届出テタル養子縁組ニ因ル入籍（父家ノ戸籍中養子ノ事項欄）

京城府忠信洞八番地戸主李世鎭二男李容鎭ト養子縁組届出大正拾貳年七月貳日受附入籍㊞

二　同上除籍（養家ノ戸籍中養子ノ事項欄）

京城府仁義洞一番地李容鎭ト養子縁組届出大正拾貳年七月貳日受附除籍㊞

京城府仁義洞一番地李容鎭ト養子縁組届出大正拾貳年七月貳日受附入籍㊞

三　養子ニ代リ父母カ承諾ヲ爲ス養子縁組ニ關スル記載（養家ノ戸籍中養子ノ事項欄）

京城府忠信洞八番地戸主李世鎭二男李容鎭ト養子縁組同人竝縁組承諾者李世鎭及妻柳在華届出大正拾貳年七月貳日受附入籍㊞

四　死後養子縁組ニ關スル記載（同上）

京城府忠信洞八番地戸主李世鎭二男戸主趙蕙淑ノ亡夫李容鎭ト養子縁組養子選定者趙蕙淑ト共ニ届出大正拾貳年七月貳日受附入籍㊞

五　遺言ニ依ル養子縁組ニ關スル記載（同上）

京城府忠信洞八番地戸主李世鎭二男亡李容鎭ト養子縁組遺言執行者趙蕙淑ト共ニ届出大正拾貳年七月貳日受附入籍㊞

六　縁組届出ノ不受理ニ對スル抗告ニ付テノ裁判ニ依ル記載（同上）

京城府忠清洞八番地李世鎭二男李容鎭ト養子縁組大正拾貳年七月貳日届出右不受理ニ對スル抗告ニ付同月貳拾日京城地方法院ニ於テ受理ヲ命シタル裁判同月貳拾壹日受附入籍㊞

七　新ニ家ヲ立テタル者カ養子ト爲リタル場合ニ於ケル縁組ニ關スル記載（同上）

京城府忠信洞八番地戸主李容鎭ト養子縁組届出大正拾貳年七月貳日受附入籍㊞

八　同上除籍（養家ノ戸籍中養子ノ事項欄）

京城府仁義洞一番地李容鎭ト養子縁組届出大正拾貳年七月貳日受附除籍㊞

九　戸籍ヲ抹消ス㊞

同上戸主ニ隨ヒテ其ノ養家ニ入ル子ノ除籍（同子ノ事項欄）

大正拾貳年七月貳日父李泳烈養子縁組ニ付共ニ除籍㊞

離　縁

一　實家ト養家ト本籍地ヲ同シクスル場合ニ於ケル協議離縁ニ因ル養子ノ除籍（養家ノ戸籍中養子ノ事項欄）

養父李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附除籍㊞

二　同上ノ復籍（實家ノ戸籍中養子ノ事項欄）

養父京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附復籍㊞

三　養子ニ隨ヒテ養家ヲ去ル者ノ除籍（養家ノ戸籍中養家ノ事項欄）

養子ニ隨ヒテ養家ヲ去ル者ノ除籍（養家ノ戸籍中養家ノ事項欄）

大正拾貳年七月參日夫李泳烈離縁ニ付共ニ除籍㊞

養子ノ事項欄）

京城道開城郡松面滿月町十五番地戸主李世鎭二男李容鎭ト養子縁組届出大正拾貳年七月貳日仁川府尹中川清明受附同月五日送付入籍㊞

四　同上除籍（實家ノ戸籍中養子ノ事項欄）

京城府仁義洞一番地李容鎭ト養子縁組届出大正拾貳年七月貳日仁川府尹中川清明受附同月五日送付復籍㊞同月七日入籍通知ニ因リ除籍㊞

五　夫ノ縁組ニ因リ之ニ隨ヒテ養家ニ入ル妻ノ入籍（養家ノ戸籍中妻ノ事項欄）

大正拾貳年七月貳日夫李泳烈養子縁組ニ因リ夫ト共ニ入籍㊞

六　同上除籍（原籍ノ戸籍中妻ノ事項欄）

大正拾貳年七月貳日夫李泳烈養子縁組ニ因リ夫ト共ニ除籍㊞

七　養子ニ代リ父母カ承諾ヲ爲ス養子縁組ニ關スル記載（養家ノ戸籍中養子ノ事項欄）

京城府忠信洞八番地戸主李世鎭二男李容鎭ト養子縁組同人竝縁組承諾者李世鎭及妻柳在華届出大正拾貳年七月貳日受附入籍㊞

八　死後養子縁組ニ關スル記載（同上）

京城府忠信洞八番地戸主李世鎭二男戸主趙蕙淑ノ亡夫李容鎭ト養子縁組養子選定者趙蕙淑ト共ニ届出大正拾貳年七月貳日受附入籍㊞

九　遺言ニ依ル養子縁組ニ關スル記載（同上）

京城府忠信洞八番地戸主李世鎭二男亡李容鎭ト養子縁組遺言執行者趙蕙淑ト共ニ届出大正拾貳年七月貳日受附入籍㊞

十　縁組届出ノ不受理ニ對スル抗告ニ付テノ裁判ニ依ル記載（同上）

京城府忠清洞八番地李世鎭二男李容鎭ト養子縁組大正拾貳年七月貳日届出右不受理ニ對スル抗告ニ付同月貳拾日京城地方法院ニ於テ受理ヲ命シタル裁判同月貳拾壹日受附入籍㊞

十一　養家ノ戸籍中（養家ノ戸籍中養子ノ事項欄）

養父京城府仁義洞一番地戸主李容鎭ト養子縁組届出大正拾貳年七月貳日受附㊞實家絶家ニ付仁川府花平里七番地ニ一家創立届出同月貳拾九日送付㊞同年八月壹日送付㊞

十二　同上除籍（養家ノ戸籍中養子ノ事項欄）

養父李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月貳日受附㊞實家絶家ニ付仁川府花平里七番地ニ一家創立届出同月貳拾九日受附㊞同年八月參日入籍通知ニ因リ除籍㊞

十三　同上戸主ニ隨ヒテ其ノ養家ニ入ル子ノ除籍（養家ノ戸籍中養子ノ事項欄）

養父京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日京城府尹國府政雄受附同月參拾壹日送付實家絶家ニ付一家創立届出同月貳拾五日開城郡松都面長人見參太郎受附同月參拾壹日送付㊞

十四　同上除籍（養家ノ戸籍中養子ノ事項欄）

養父李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附㊞實家絶家ニ付仁川府花平里七番地ニ一家創立届出同月貳拾五日開城郡松都面長人見參太郎受附同月貳拾九日送付㊞同年八月壹日入籍通知ニ因リ除籍㊞

十五　離縁及實家再興ニ因ル除籍（同上）

養父李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附實家絶家ニ付仁川府花平里七番地ニ再興㊞同月五日入籍通知ニ因リ除籍㊞

婚姻

一　夫ニ付婚姻ニ關スル記載（夫ノ事項欄）
趙蕙淑ト婚姻届出大正拾弐年七月弐日受附㊞

二　婚姻ニ因ル妻ノ入籍（妻ノ戸籍中夫ノ事項欄）
京畿道高陽郡漢芝面漢江里六番地戸主趙德順二女大正拾弐年七月弐日李容鎭ト婚姻届出同日入籍㊞

三　同上除籍（妻ノ戸籍中夫ノ事項欄）
京城府仁義洞一番地李容鎭ト婚姻届出大正拾弐年七月弐日京城府尹國府政雄受附同月四日送付除籍㊞

四　婚姻證書ノ謄本ノ送付ヲ受ケタル場合ニ關スル記載（夫ノ事項欄）
マリヤ、ベルナール婚姻大正拾弐年七月弐日何國何縣何某婚姻證書作製右謄本提出同月拾日同國駐在大使大和武雄受附同年九月弐拾日送付㊞

五　妻ニ付招婿ニ關スル記載（妻ノ事項欄）
李明鎭ト婚姻（招婿）届出大正拾弐年七月弐日受附㊞

六　招婿ニ因ル夫ノ入籍（婚家ノ戸籍中夫ノ事項欄）
京城府仁義洞一番地戸主李圭徹三男大正拾弐年七月弐日趙蕙淑ト婚姻（招婿）届出同日入籍㊞

七　同上夫ノ除籍（夫ノ實家ノ戸籍中夫ノ事項欄）
京畿道高陽郡漢芝面漢江里六番地趙蕙淑ト婚姻（招婿）届出大正拾弐年七月弐日高陽郡漢芝面長郭斗榮受附同月五日送付除籍㊞

八　父ノ家ニ在ル庶子カ父母ノ婚姻ニ因リ嫡出子ノ身分ヲ取得シタル者ノ事項欄（嫡出子ノ身分ヲ取得シタル場合ニ關スル記載（嫡出子ノ身分ヲ取得シタル者ノ戸籍中夫ノ事項欄））
大正拾弐年七月弐日父李容鎭趙蕙淑ノ婚姻ニ因リ嫡出子ト爲ル㊞

九　本籍不明ノ夫カ婚姻ヲ爲シタル後本籍分明ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於ケル夫ニ付テノ記載（夫ノ事項欄）
趙蕙淑ト婚姻届出大正拾弐年七月弐日高陽郡漢芝面長郭斗榮受附李明鎭本籍分明届出同年九月八日同面長朱昌鍾受附同月拾日送付㊞

十　同上妻ノ入籍（婚家ノ戸籍中妻ノ事項欄）
京畿道高陽郡漢芝面漢江里六番地戸主趙德順二女大正拾弐年七月弐日李明鎭ト婚姻届出同年九月拾日入籍㊞

十一　同上除籍（實家ノ戸籍中妻ノ事項欄）
本籍不明李明鎭ト婚姻届出大正拾弐年七月弐日受附㊞李明鎭本籍京城府仁義洞一番地分明届出同年九月八日受附㊞同月拾弐日入籍通知ニ因リ除籍㊞

十二　婚家ヨリ更ニ婚姻ニ因リ他家ニ入ル場合ニ於ケル妻ノ入籍（婚家ノ戸籍中京城府仁義洞一番地戸主李圭徹亡弟李圭泰ノ妻（實家戸主全羅南道濟州島右面西歸里五番地金敬煥）大正拾弐年七月弐日洪鍾馨ト婚姻届出同日入籍㊞

十三　婚家ノ戸主ト爲レル女更ニ婚姻ニ因リ他家ニ入ル場合ニ於ケル妻ノ入籍（同上）
京城府黃金町三丁目百三番地戸主（實家戸主黃海道延白郡銀川面漫月里百八十三番地朴炳日）大正拾弐年七月弐日洪鍾馨ト婚姻届出同日入籍㊞

離婚

一　夫ニ付協議離婚ニ關スル記載（夫ノ事項欄）
妻趙蕙淑ト協議離婚届出大正拾弐年七月參日受附㊞

二　協議離婚ニ因ル妻ノ除籍（妻ノ戸籍中夫ノ事項欄）
大正拾弐年七月參日夫李容鎭ト協議離婚届出㊞同月六日入籍通知ニ因リ除籍㊞

三　同上復籍（實家ノ戸籍中妻ノ事項欄）
夫京城府仁義洞一番地戸主李圭徹三男李容鎭ト協議離婚届出大正拾弐年七月參日京城府尹國府政雄受附同月四日送付復籍㊞

四　夫ニ付裁判上ノ離婚ニ關スル記載（夫ノ事項欄）
大正拾弐年七月參日離婚ノ裁判確定（妻ノ事項欄）
大正拾弐年七月參日夫李容鎭届出同月拾壹日受附㊞

五　裁判上ノ離婚ニ因ル妻ノ除籍（妻ノ戸籍中夫ノ事項欄）
大正拾弐年七月參日離婚ノ裁判確定㊞同月拾四日入籍通知ニ因リ除籍㊞

六　同上復籍（實家ノ戸籍中妻ノ事項欄）
大正拾弐年七月參日離婚ノ裁判確定夫京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭届出同月拾壹日京城府尹國府政雄受附同月拾弐日送付復籍㊞

七　婚姻入籍後實家カ轉籍シタル場合ニ於ケル離婚（妻ノ戸籍中夫ノ事項欄）
大正拾弐年七月參日夫李容鎭ト協議離婚届出京畿道水原郡水原面南昌里九番地戸主趙德順方ヘ復籍㊞同月六日入籍通知ニ因リ除籍㊞

親權（管理權）ノ喪失ニ關スル記載（子ノ事項欄）

大正拾弐年七月壹日父李容鎭親權（管理權）喪失ノ裁判確定ニ因リ母趙蕙淑親權（管理權）ヲ行フ旨届出同月八日受附㊞

一　親權（管理權）ノ喪失ニ關スル記載（子ノ事項欄）
大正拾弐年七月壹日父李容鎭親權（管理權）喪失ノ裁判確定ニ因リ母趙蕙淑親權（管理權）ヲ行フ旨届出同月八日受附㊞

二　失權宣告ノ取消ニ關スル記載（同上）
大正拾弐年七月弐日失權宣告取消ノ裁判確定訴提起者李台鎭届出同月八日受附㊞

三　後見ノ開始ニ關スル記載（無能力者ノ事項欄）
大正拾弐年七月拾日親權ヲ行フ母財産ノ管理ヲ辭シタルニ因リ後見開始同月參拾日後見人京城府臥龍洞八十三番地李圭泰就職ニ付届出同年八月五日受附㊞

四　後見人ノ更迭ニ關スル記載（同上）
大正拾弐年七月八日後見人李圭泰辭任同月拾五日京畿道高陽郡漢芝面漢江里六番地趙德順就職ニ付更迭届出同月拾九日受附㊞

五　後見ノ終了ニ關スル記載（同上）
大正拾弐年七月五日被後見人成年ニ達シタルニ付後見終了届出同月八日受附㊞

六　保佐人ニ關スル記載（同上）
大正拾弐年七月壹日準禁治產宣告ノ效力發生同月參拾日保佐人京城府仁義洞一番地李圭徹就職ニ付届出同月參拾壹日受附㊞

七　保佐人ノ任務終了ニ關スル記載（同上）
大正拾弐年七月弐日準禁治產宣告取消ノ裁判確定ニ因リ保佐人ノ任務終了届出同月八日受附㊞

死亡及失踪

一　本籍地ニ於テ届出テタル死亡ニ關スル記載（死亡者ノ事項欄）
大正拾弐年七月八日午後拾壹時京城府鳳翼洞百壹番地ニ於テ死亡戸主李圭徹届出同月九日受附㊞

二　水難ニ付取調官廳ノ報告ヲ受ケタル場合ニ關スル記載（同上）
大正拾弐年七月八日時不詳京畿道高陽郡漢芝面西氷庫里漢江ニ於テ水難ニ因リ死亡龍山警察署長警視赤木守衞報告同月拾壹日受附㊞

三　在監中ノ死亡ニ關スル記載（同上）
大正拾弐年七月八日午後三時京畿道高陽郡龍江面孔德里一番地京城監獄ニ於テ死亡典獄山路改造報告同月拾日高陽郡龍江面長權世益受附報告書ヲ以テ届出ヲ爲ス者ナキニ付大正拾弐年九月壹日京城地方法院ノ許可ニ因リ同月六日除籍㊞

四　本籍姓名不明ノ死亡者ノ報告ヲ受ケタル場合ニ關スル記載（同上）
大正拾弐年七月八日午前拾壹時京城府惠化洞七番地先道路ニ於テ本籍姓名不詳ノ者死亡ニ付東大門警察署長警視赤木守衞報告同月拾壹日受附㊞

五　死亡ニ關シ願出ヲ以テ爲ス記載（同上）
大正拾弐年七月八日午後三時京畿道高陽郡龍江面孔德里一番地京城監獄ニ於テ死亡典獄山路改造報告同月拾日高陽郡龍江面長權世益受附報告書ヲ以テ届出ヲ爲ス者ナキニ付大正拾弐年九月壹日京城地方法院ノ許可ニ因リ同月六日除籍㊞

六　失踪ニ關スル記載（失踪者ノ事項欄）
大正拾弐年七月八日失踪宣告大正拾弐年弐月七日死亡ト看做サル右本人妻祖斯月届出

戸主相續

一　戸主死亡ニ因ル相續ニ關スル記載（新戸籍中戸主ノ事項欄）
大正拾弐年七月九日前戸主李丙煥死亡ニ因リ戸主相續届出同月拾五日受附㊞

二　前戸主ノ戸籍ノ抹消（前戸主ノ事項欄）
大正拾弐年七月拾五日李圭徹ノ戸主相續届出アリタルニ因リ本戸籍ヲ抹消ス㊞

三　死後養子緣組ニ因ル相續ニ關スル記載（新戸籍中戸主ノ事項欄）
大正拾弐年七月弐日前戸主趙蕙淑ノ前戸主亡夫李容鎭トノ死後養子緣組ニ因リ戸主相續親權ヲ行フ養母趙蕙淑届出同月五日受附㊞

四　戸主相續ノ回復ニ付新戸籍ノ記載（同上）
大正拾弐年七月九日前戸主李丙煥死亡ニ因リ戸主相續大正拾參年四月八日戸主相續回復ノ裁判確定届出同月拾日受附㊞

五　戸主相續回復ノ場合ニ於テ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ノ扶消（戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ事項欄）
大正拾參年四月拾日李圭徹ノ戸主相續回復届出アリタルニ因リ本戸籍ヲ扶消ス㊞

親族入籍

一　家族ノ親族入籍ニ關スル記載（入リタル家ノ戸籍中入籍者ノ事項欄）
京城府梨花洞七番地戸主張商杓二女親族入籍戸主李圭徹届出大正拾弐年七月拾參日受附㊞

二　同上除籍（去リタル家ノ戸籍中入籍者ノ事項欄）

京城府仁義洞壹番地李圭徹家ニ親族入籍戸主李圭徹届出大正拾弐年七月弐日受附入籍㊞

分家及絕家

一　分家ニ因ル新戸籍ノ記載（戸主ノ事項欄）
京城府鳳翼洞百壹番地戸主李圭徹姓分家届出大正拾弐年七月五日受附㊞

二　分家ノ戸主ニ關ヒテ其ノ家ニ入ル者ノ入籍（新戸籍中入籍者ノ事項欄）
大正拾弐年七月五日父李春鎔分家ニ付共ニ入籍㊞

三　分家者ノ除籍（本家戸籍中分家ノ戸主ノ事項欄）
京城府忠信洞貳番地ニ分家届出大正拾弐年七月五日受附除籍㊞

四　分家ノ戸主ニ關ヒテ其ノ家ニ入ル者ノ除籍（同入籍者ノ事項欄）
大正拾弐年七月五日父李春鎔分家ニ付共ニ除籍㊞

五　絕家ニ關スル記載（最終戸主ノ事項欄）
戸主相續人ナキニ因リ絕家李圭泰届出大正拾弐年七月壹日受附㊞

六　絕家ニ因ル一家創立ニ關スル記載（一家創立者ノ事項欄）
京城府鳳翼洞百壹番地戸主李圭徹弟大正九年五月拾五日李圭徹死亡戸主相續人ナキニ付絕家ニ因リ一家創立届出大正拾弐年七月壹日受附㊞

七　絕家ノ家族ノ一家創立ニ因ル除籍（絕家ノ戸籍中家族ノ事項欄）
京城府孝悌洞五拾參番地ニ於テ一家創立届出大正拾弐年七月壹日受附除籍㊞

八　職權ヲ以テスル絕家ノ戸籍ノ抹消（最終戸主ノ事項欄）
相續人ナキニ因リ絕家大正拾弐年八月壹日京城地方法院ノ許可ニ因リ同月參日本戸籍ヲ扶消ス㊞

九　絕家再興ニ因ル新戸籍ノ記載（戸主ノ事項欄）
京城府鳳翼洞百壹番地戸主李圭徹弟絕家李圭範家再興届出大正拾弐年七月壹日受附㊞

十　絕家再興者ノ除籍（去リタル家ノ戸籍中再興者ノ事項欄）
京城府臥龍洞八拾參番地ニ於テ絕家李圭範家再興届出大正拾弐年七月壹日受附除籍㊞

改名、族稱ノ變更及變籍

一　改名ニ關スル記載（名ヲ變更シタル者ノ事項欄）
大正拾弐年七月八日許可ニ因リ其ノ名海榮ヲ泳植ト改名届出同月拾日受附㊞

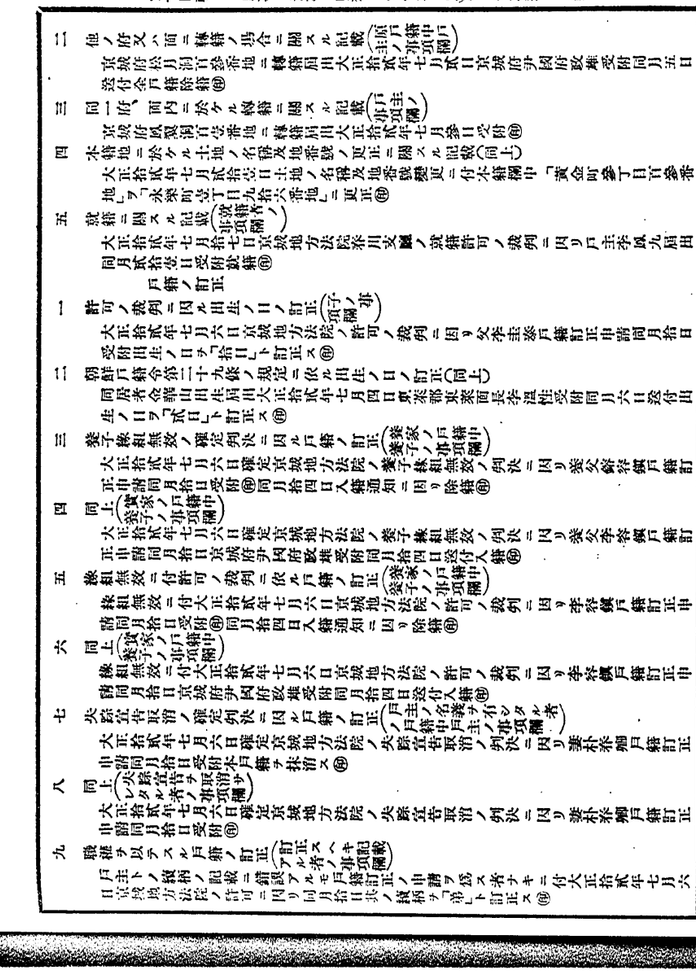
二　族稱取得ニ關スル記載（朝鮮貴族ニ列セラレタル者ノ事項欄）
大正拾弐年七月壹日朝鮮貴族ニ列セラルル右届出同月八日受附㊞

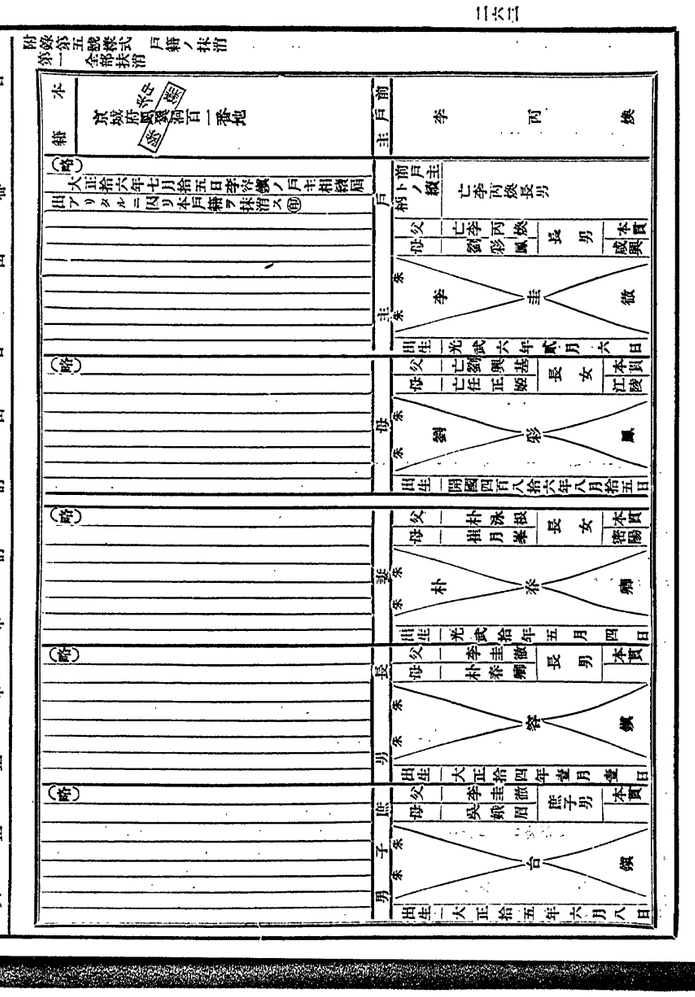
三　襲爵ニ關スル記載（爵ヲ襲キタル者ノ事項欄）
大正拾弐年七月拾壹日襲爵仰付ラルル右届出同月拾五日受附㊞

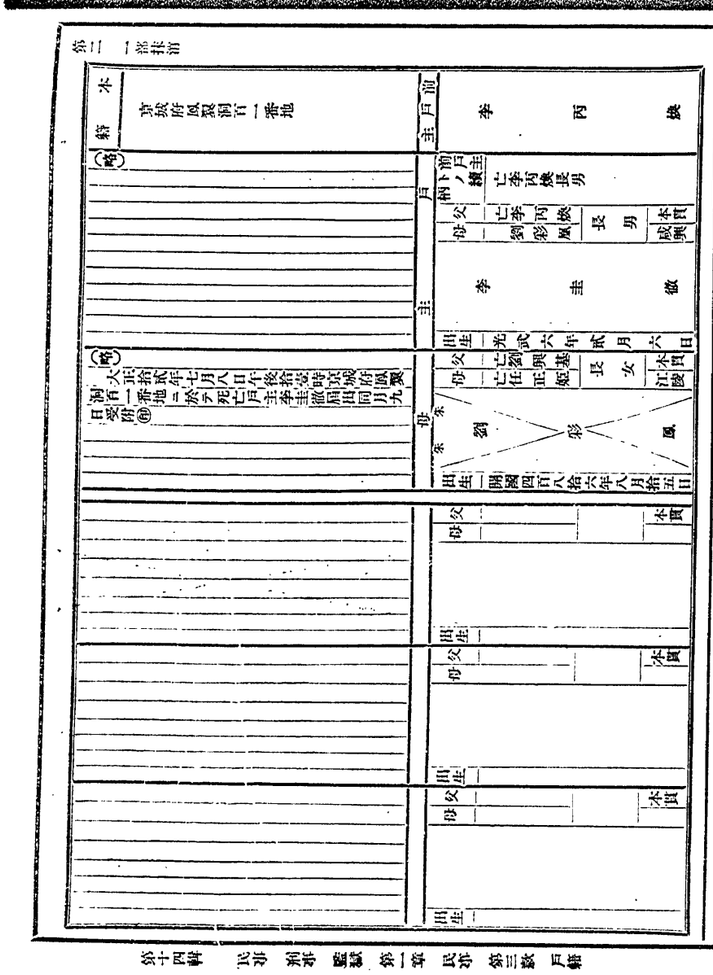
四　處刑ニ因ル族稱喪失ニ關スル記載（族稱喪失者ノ事項欄）
大正拾弐年七月七日京城地方法院ニ於テ懲役ノ刑ニ處セラレ朝鮮貴族ノ總稱喪失右同法院ノ報告同月拾參日受附㊞

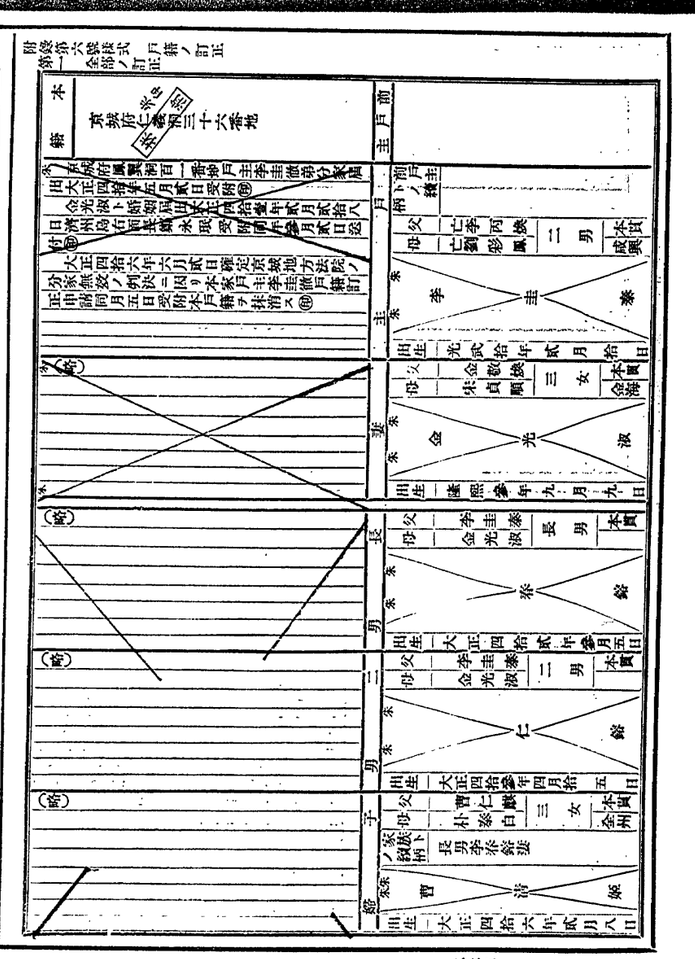
轉籍及就籍

一　他ノ府又ハ面ヨリノ轉籍ニ關スル記載（新戸籍中戸主ノ事項欄）
京畿道高陽郡延禧面新村里六番地ヨリ轉籍届出大正拾弐年七月弐日受附入籍㊞



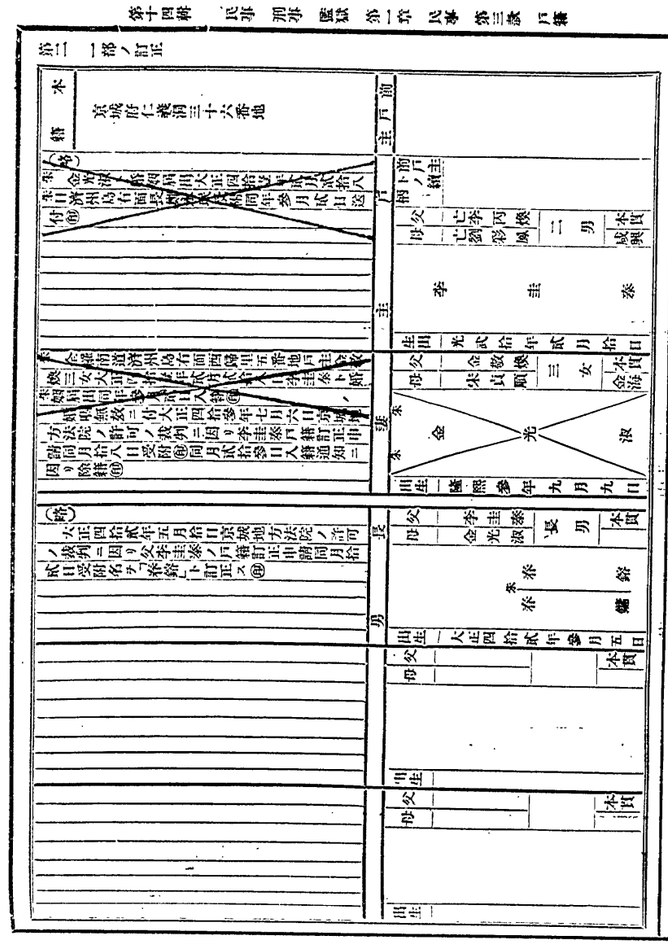


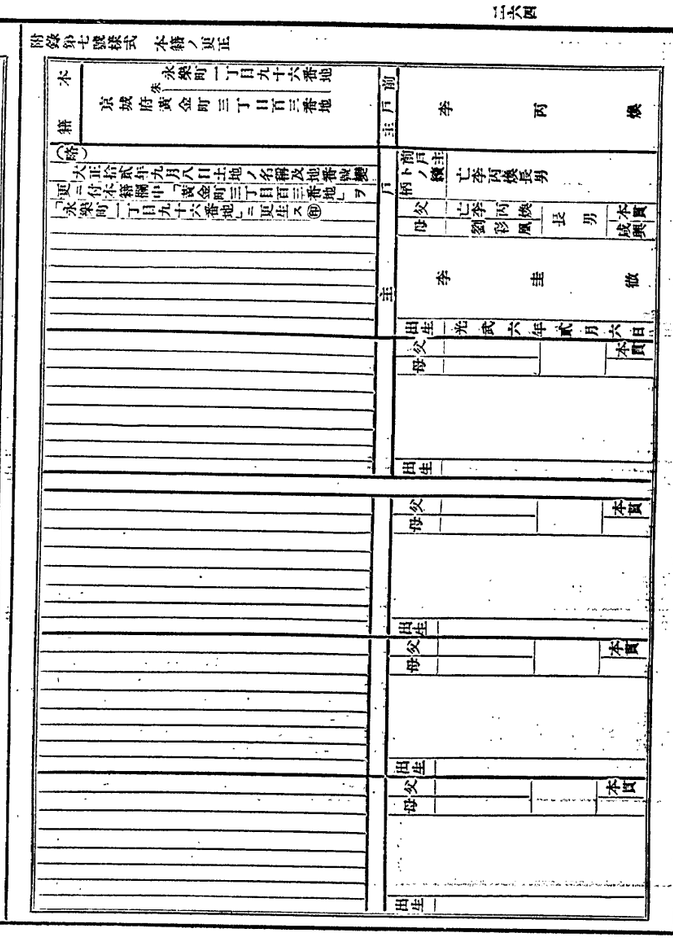




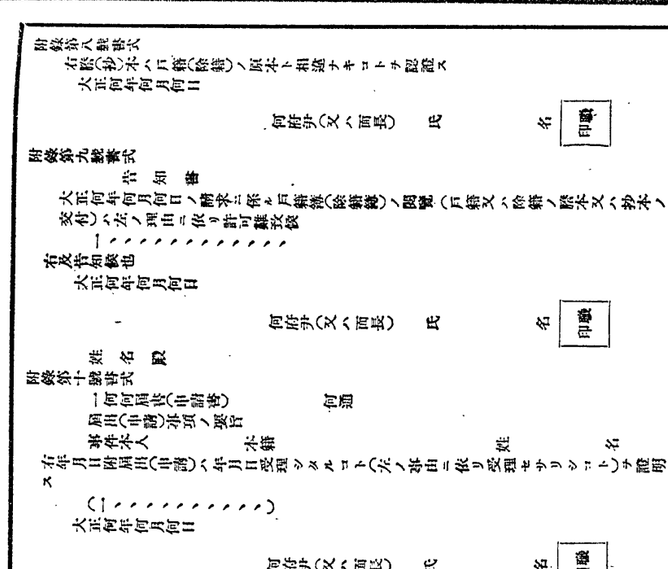
第三一條ノ訂正

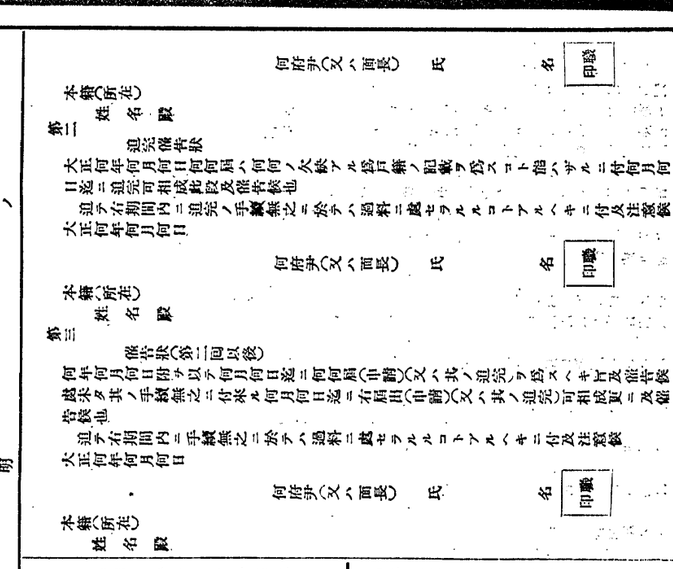
附錄第七號樣式　本籍ノ更正





附錄第八號樣式





大正十二年三月
總令第四十三號

府尹又ハ面長ノ管掌スル戸籍承務ノ費用負擔ニ關スル件左ノ通定ム

朝鮮民事令ニ依リ府尹又ハ面長ノ管掌スル戸籍事務ノ爲要スル費用ハ府又ハ面ノ負擔トス

附　則

本令ハ大正十一年制令第十三號中朝鮮民事令第十一條乃至第十一條ノ九ノ改正ニ關スル規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

㊈朝鮮人ノ姓名改稱ニ關スル件

明治四十四年十月
總令第百二十四號

改正　大正四年三第一九號

朝鮮人ノ姓名改稱ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　朝鮮人ニシテ姓名ヲ改稱セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ民籍謄本ヲ添ヘ所轄面長又ハ府尹ヲ經由シ道長官ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

一　本籍、住所、姓名、職業、年齡
二　改稱セムトスル姓名
三　改稱ノ理由

第二條　前條ノ願書ニハ妻又ハ妾ニ在リテハ其ノ夫ノ承諾書、滿二十歲以下ノ者ニ在リテハ戸主ノ承諾書ヲ添附スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ承諾ヲ與ヘサル者ナキトキハ願書ニ其ノ事實ヲ記載スヘシ

第三條　第一條ニ依リ姓名改稱ノ出願ヲ爲ス者ハ手數料トシテ五十錢ヲ納付スヘシ

前項ノ手數料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

附　則

本令ハ明治四十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●工場法ノ適用ヲ受ケル工場ノ職工徒弟等民籍無償證明ノ件

大正七年八月
總令第八十號

府尹又ハ面長ハ工場法ノ適用ヲ受ケル工場ノ職工徒弟、職工徒弟タラムトスル者若ハ工業主又ハ其ノ法定代理人若ハ工場管理人ヨリ職工徒弟又ハ職工徒弟タラムトスル者ノ戸籍ニ關シ戸籍事務ヲ管掌スル者又ハ其ノ代理者ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

●土地調査令ニ依ル地番號ノ設定ナキ地ノ統戸番號ノ新設、變更ニ關スル件

大正四年七月
總訓第四十一號

道長官
府尹
郡守
島司
面長
警務總長
警務部長
警察署長
憲兵分隊長
同

土地調査令ニ依ル地番號ノ設定ナキ地ニ於テハ統戸番號ノ新設、變更ヲ要スルトキハ郡守又ハ島司ノ認可ヲ受ケ而長之ヲ定ムヘシ

大正三年朝鮮總督府訓令第四十八號ハ之ヲ廢止ス

●外國在留鮮人ノ身分取扱ニ關スル件

大正二年六月
總訓第三十二號

【警務總長】
【警務部長】
【警察署長、同分署長】
【受領官吏ノ職務ニ關スル件ニ依リ道長官ニ於テ受理シタル外國在留朝鮮人ノ身分ニ關スル届書又ハ證書ノ謄本ノ送付ヲ受ケタルトキハ民籍法ニ依ル申告ニ準シ之ヲ取扱フヘシ】

第四款　華族　貴族

●華族令

明治四十年五月
皇室令第二號

改正　明治四三年八第一七號

第一條　凡ソ有爵者ヲ華族トス

第二條　有爵者ノ家族ハ華族ノ族稱ヲ享ク

第三條　爵ヲ授クルハ勅旨ヲ以テ宮內大臣之ヲ奉行ス、

第四條　有爵者ハ其ノ爵ニ相當スル禮遇ヲ享ク

第五條　有爵者ノ嫡ハ其ノ夫ノ爵ニ相當スル禮遇及名稱ヲ享ク

有爵者ノ嫡嫡其ノ家ニ在ルトキハ特ニ從前ノ禮遇及名稱ヲ享ケ其ノ家ノ戸主トナリタルトキ又ハ襲爵者ナクシテ其ノ家ニ在ルトキハ其ノ者ニ限リ特ニ華族ノ族稱ヲ保有セシメ從前ノ禮遇及名稱ヲ享ケシム

第六條　有爵者ノ家族ニシテ左ニ揭ケタル者ハ華族ノ禮遇ヲ享ク

一　曾祖父、祖父、父

二　爵ヲ襲クコトヲ得ヘキ法定ノ推定家督相續人及其ノ嫡長男子、嫡出ノ男子

三　戸主タリシ者

四　前三號ニ揭ケタル者ノ配偶者

第七條　有爵者又ハ前二條ノ禮遇ヲ享クヘキ者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ禮遇ヲ享クルコトヲ得ス

一　身代限ノ處分ヲ受ケ依然ノ辨濟ヲ終ヘサル者及家資分散者ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタル時ヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

二　刑事ノ訴ヲ受ケ勾留又ハ保釋中ニ在ル者

三　禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル時ヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者

四　有爵者ハ法律命令及華族ニ關スル規程ノ範圍內ニ於テ家範ヲ定ムルコトヲ得

變更スルトキ亦同シ

有爵者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ家範ヲ定メ又ハ之ヲ廢止變更スルコトヲ得ス

第九條　爵ハ男子ノ家督相續人ニ之ヲ授ク

第十條　爵ヲ襲クコトヲ得ヘキ家督相續人又ハ其ノ法定代理人ハ相續ノ開始ヲ知リタル時ヨリ六箇月內ニ宮內大臣ニ家督相續ノ届出ヲ爲スヘシ

前項ノ届出アリタルトキハ宮內大臣ハ勅許ヲ經テ襲爵ノ辭令書ヲ交付ス

第十一條　襲爵ノ家督相續開始ノ時ヨリ其ノ效力ヲ生ス

第十二條　左ノ場合ニ於テハ家督相續人ハ爵ヲ襲クコトヲ得ス

一　第十一條第一項ノ期間內又ハ家督相續開始ノ時ヨリ三箇年內ニ家督相續ノ届出ヲ爲ササルトキ

三　第二十二條又ハ第二十四條ニ依リ華族ノ族稱ヲ享ケサルトキ又ハ之ヲ失ヒ若ハ之ヲ除カレタルトキ

第十三條　有爵者及其ノ家族ノ身分ニ關シ監督上必要ナル事項ハ宮內大臣之ヲ管掌ス

第十四條　有爵者婚姻、養子緣組、隱居、協議上ノ離婚若ハ離緣又ハ家督相續人ノ指定若ハ其ノ取消ヲ爲サムトスルトキハ戸籍吏ニ其ノ届出ヲ爲スニ付キ裁判所ノ許可ヲ要スル場合ハ其ノ許可ヲ請求スル前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

有爵者遺言ヲ以テ養子緣組ヲ爲シ又ハ家督相續人ノ指定ヲ爲スノ意思ヲ表示シタルトキハ養子トナル者又ハ之ニ代ハリテ承諾ヲ爲スコトヲ得ヘキ者ニ在リテハ其ノ承諾ヲ爲ス前、被指定者、又ハ其ノ法定代理人ニ在リテハ相續ノ承認ヲ爲ス前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

第二項ノ規定ハ當事者ノ一方皇族ナルトキハ之ヲ適用セス

第十五條　有爵者法定ノ推定家督相續人ノ廢除若其ノ取消ヲ爲サムトスルトキハ又ハ被廢除者廢除ノ取消ヲ爲サムトスルトキハ裁判所ニ請求スル前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ但シ有爵者遺言ヲ以テ家督相續人ノ廢除又ハ其ノ取消ヲ爲ス之ノ意思ヲ表示シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條　有爵者ノ家督相續人ニ選定セラレタル者又ハ其ノ法定代理人ハ相續ノ承認ヲ爲ス前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ被選定者皇族ナルトキハ之ヲ適用セス

第十七條　有爵者ノ家族婚姻、養子緣組、分家、廢絕家再興又ハ他家相續ヲ爲シ若ハ他家ノ家族トナラムトスルトキハ有爵者又ハ其ノ法定代理人ハ之ニ同意ヲ爲ス前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ婚姻ノ當事者ノ一方皇族ナルトキハ之ヲ適用セス

第十八條　有爵者又ハ其ノ法定代理人其ノ家ニ入籍ニ同意ヲ爲サムトスルトキハ其ノ同意ヲ爲ス前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

第十九條　有爵者又ハ其ノ推定家督相續人養子緣組ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ養子、家督相續人ノ指定又ハ選定ノ場合ニ於テハ其ノ家督相續人左ノ各號ノ一ニ該當セサルトキハ宮內大臣ノ認許ヲ受クルコトヲ得ス

一　衆又ハ其ノ推相續人ノ男系ノ六親等內ノ血族但シ他家ヨリ入リタル者ノ實方親族ヲ除ク

二　本家又ハ同家ノ家族若ハ分家ノ戸主又ハ家族

三　華族ノ族稱ヲ享ケル者

第二十條　宮內大臣ノ認許ヲ受ケ若ハ認許ヲ受クシテ第十四條乃至第十八條ノ行爲ヲ爲シタルトキハ情狀ニ依リ華族ノ禮遇ヲ停止シ又ハ爵ヲ褫カシメサルコトアルヘシ

第十八條ノ規定ニ違反シタル場合ニ於テハ入籍者ハ華族ノ族稱ヲ享クルコトヲ得ス

第二十一條　有爵者死刑又ハ懲役ノ宣言ヲ受ケ其ノ裁判確定シタルトキハ其ノ爵ヲ失フ有爵者ノ婦前項ノ場合ニ該當スルトキハ其ノ禮遇ヲ禁止ス

第二十二條　第五條第二項ノ禮遇ヲ享クヘキ者又ハ有爵者ノ家族前條ノ場合ニ該當スルトキハ其ノ者ニ限リ華族ノ族稱ヲ失フ

新ニ爵ヲ授ケラレタル者ノ家族ニシテ前條ノ場合ニ該當スル者アルトキハ其ノ者ニ限リ華族ノ族稱ヲ享クルコトヲ得ス

第二十三條　有爵者又ハ第五條、第六條ノ禮遇ヲ享クヘキ者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ禮遇ヲ停止ス

一　華族ノ品位ヲ保ツコト能ハサル者

二　宮內大臣ノ命令又ハ家範ニ違反シ情狀重キ者

第二十四條　前三條ニ規定シタル場合ノ外華族ノ體面ヲ汚辱シ失行アリタル者ハ情狀ニ依リ爵ヲ返上セシメ、華族ノ族稱ヲ除キ又ハ其ノ禮遇ヲ停止若ハ禁止ス

第五條、第六條ノ禮遇ヲ享クサル家族ニシテ前項ノ失行アリタル者ハ華族ノ族稱ヲ除ク

第二十五條　有爵者其ノ禮遇ノ停止又ハ禁止中ニ在ルトキハ第五條第一項、第六條ノ禮遇ヲ享クヘキ者ノ身分ニ關シ監督上必要ノ事項ハ宮內大臣之ヲ管掌ス

第二十六條　有爵者國籍ヲ喪失シタルトキ又ハ禁錮若ハ禁獄以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判確定シタルトキハ其ノ爵ヲ失フ

第六條又ハ第七條ノ禮遇ヲ享クヘキ者前項ノ場合ニ該當スルトキハ貴族ノ族稱ヲ除キ又ハ禮遇ヲ禁止ス

第二十七條　第二十條第一項、第二十三條、第二十四條ノ處分及解除ニ付テハ宗秩寮審議會ノ審議ヲ經タル後勅裁ヲ經ヘシ

第二十條　宮內大臣ノ認許ヲ受クル者

三　華族ノ族稱ヲ享クル者

相續人ノ指定ヲ爲スノ意思ヲ表示シタルトキハ養子トナル者又ハ之ニ代ハリテ承諾ヲ爲スコトヲ得ヘキ者ニ在リテハ其ノ承諾ヲ爲ス前、被指定者、又ハ其ノ法定代理人ニ在リテハ相續ノ承認ヲ爲ス前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

第二項ノ規定ハ當事者ノ一方皇族ナルトキハ之ヲ適用セス

第十五條　有爵者法定ノ推定家督相續人ノ廢除若其ノ取消ヲ爲サムトスルトキハ又ハ被廢除者廢除ノ取消ヲ爲サムトスルトキハ裁判所ニ請求スル前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ但シ有爵者遺言ヲ以テ家督相續人ノ廢除又ハ其ノ取消ヲ爲ス之ノ意思ヲ表示シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條　有爵者ノ家督相續人ニ選定セラレタル者又ハ其ノ法定代理人ハ相續ノ承認ヲ爲ス前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ被選定者皇族ナルトキハ之ヲ適用セス

第十七條　有爵者ノ家族婚姻、養子緣組、分家、廢絕家再興又ハ他家相續ヲ爲シ若ハ他家ノ家族トナラムトスルトキハ有爵者又ハ其ノ法定代理人ハ之ニ同意ヲ爲ス前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ婚姻ノ當事者ノ一方皇族ナルトキハ之ヲ適用セス

第十八條　有爵者又ハ其ノ法定代理人其ノ家ニ入籍ニ同意ヲ爲サムトスルトキハ其ノ同意ヲ爲ス前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

第十九條　有爵者又ハ其ノ推定家督相續人養子緣組ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ養子、家督相續人ノ指定又ハ選定ノ場合ニ於テハ其ノ家督相續人左ノ各號ノ一ニ該當セサルトキハ宮內大臣ノ認許ヲ受クルコトヲ得ス

一　衆又ハ其ノ推相續人ノ男系ノ六親等內ノ血族但シ他家ヨリ入リタル者ノ實方親族ヲ除ク

二　本家又ハ同家ノ家族若ハ分家ノ戸主又ハ家族

三　華族ノ族稱ヲ享クル者

第二十條　宮內大臣ノ認許ヲ受ケ若ハ認許ヲ受クシテ第十四條乃至第十八條ノ行爲ヲ爲シタルトキハ情狀ニ依リ華族ノ禮遇ヲ停止シ又ハ爵ヲ褫カシメサルコトアルヘシ

第十八條ノ規定ニ違反シタル場合ニ於テハ入籍者ハ華族ノ族稱ヲ享クルコトヲ得ス

第二十一條　有爵者死刑又ハ懲役ノ宣言ヲ受ケ其ノ裁判確定シタルトキハ其ノ爵ヲ失フ有爵者ノ婦前項ノ場合ニ該當スルトキハ其ノ禮遇ヲ禁止ス

第二十二條　第五條第二項ノ禮遇ヲ享クヘキ者又ハ有爵者ノ家族前條ノ場合ニ該當スルトキハ其ノ者ニ限リ華族ノ族稱ヲ失フ

新ニ爵ヲ授ケラレタル者ノ家族ニシテ前條ノ場合ニ該當スル者アルトキハ其ノ者ニ限リ華族ノ族稱ヲ享クルコトヲ得ス

第二十三條　有爵者又ハ第五條、第六條ノ禮遇ヲ享クヘキ者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ禮遇ヲ停止ス

一　華族ノ品位ヲ保ツコト能ハサル者

二　宮內大臣ノ命令又ハ家範ニ違反シ情狀重キ者

第二十四條　前三條ニ規定シタル場合ノ外華族ノ體面ヲ汚辱シ失行アリタル者ハ情狀ニ依リ爵ヲ返上セシメ、華族ノ族稱ヲ除キ又ハ其ノ禮遇ヲ停止若ハ禁止ス

第五條、第六條ノ禮遇ヲ享クサル家族ニシテ前項ノ失行アリタル者ハ華族ノ族稱ヲ除ク

第二十五條　有爵者其ノ禮遇ノ停止又ハ禁止中ニ在ルトキハ第五條第一項、第六條ノ禮遇ヲ享クヘキ者ノ身分ニ關シ監督上必要ノ事項ハ宮內大臣之ヲ管掌ス

第二十六條　有爵者國籍ヲ喪失シタルトキ又ハ禁錮若ハ禁獄以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判確定シタルトキハ其ノ爵ヲ失フ

第六條又ハ第七條ノ禮遇ヲ享クヘキ者前項ノ場合ニ該當スルトキハ貴族ノ族稱ヲ除キ又ハ禮遇ヲ禁止ス

第二十七條　第二十條第一項、第二十三條、第二十四條ノ處分及解除ニ付テハ宗秩寮審議會ノ審議ヲ經タル後勅裁ヲ經ヘシ

第十七條　有爵者ノ家族婚姻、養子緣組、分家、廢絕家再興又ハ他家相續ヲ爲シ若ハ他家ノ家族トナラムトスルトキハ有爵者又ハ其ノ法定代理人ハ之ニ同意ヲ爲ス前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ婚姻ノ當事者ノ一方皇族ナルトキハ之ヲ適用セス

第十八條　有爵者又ハ其ノ法定代理人其ノ家ニ入籍ニ同意ヲ爲サムトスルトキハ其ノ同意ヲ爲ス前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

第十九條　有爵者又ハ其ノ推定家督相續人養子緣組ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ養子、家督相續人ノ指定又ハ選定ノ場合ニ於テハ其ノ家督相續人左ノ各號ノ一ニ該當セサルトキハ宮內大臣ノ認許ヲ受クルコトヲ得ス

一　衆又ハ其ノ推相續人ノ男系ノ六親等內ノ血族但シ他家ヨリ入リタル者ノ實方親族ヲ除ク

二　本家又ハ同家ノ家族若ハ分家ノ戸主又ハ家族

三　華族ノ族稱ヲ享クル者

第二十條　宮內大臣ノ認許ヲ受ケ若ハ認許ヲ受クシテ第十四條乃至第十八條ノ行爲ヲ爲シタルトキハ情狀ニ依リ華族ノ禮遇ヲ停止シ又ハ爵ヲ褫カシメサルコトアルヘシ

第十八條ノ規定ニ違反シタル場合ニ於テハ入籍者ハ華族ノ族稱ヲ享クルコトヲ得ス

第二十一條　有爵者死刑又ハ懲役ノ宣言ヲ受ケ其ノ裁判確定シタルトキハ其ノ爵ヲ失フ有爵者ノ婦前項ノ場合ニ該當スルトキハ其ノ禮遇ヲ禁止ス

第二十二條　第五條第二項ノ禮遇ヲ享クヘキ者又ハ有爵者ノ家族前條ノ場合ニ該當スルトキハ其ノ者ニ限リ華族ノ族稱ヲ失フ

新ニ爵ヲ授ケラレタル者ノ家族ニシテ前條ノ場合ニ該當スル者アルトキハ其ノ者ニ限リ華族ノ族稱ヲ享クルコトヲ得ス

第二十三條　有爵者又ハ第五條、第六條ノ禮遇ヲ享クヘキ者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ禮遇ヲ停止ス

一　華族ノ品位ヲ保ツコト能ハサル者

二　宮內大臣ノ命令又ハ家範ニ違反シ情狀重キ者

第二十四條　前三條ニ規定シタル場合ノ外華族ノ體面ヲ汚辱シ失行アリタル者ハ情狀ニ依リ爵ヲ返上セシメ、華族ノ族稱ヲ除キ又ハ其ノ禮遇ヲ停止若ハ禁止ス

第五條、第六條ノ禮遇ヲ享クサル家族ニシテ前項ノ失行アリタル者ハ華族ノ族稱ヲ除ク

第二十五條　有爵者其ノ禮遇ノ停止又ハ禁止中ニ在ルトキハ第五條第一項、第六條ノ禮遇ヲ享クヘキ者ノ身分ニ關シ監督上必要ノ事項ハ宮內大臣之ヲ管掌ス

第二十六條　有爵者國籍ヲ喪失シタルトキ又ハ禁錮若ハ禁獄以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判確定シタルトキハ其ノ爵ヲ失フ

第六條又ハ第七條ノ禮遇ヲ享クヘキ者前項ノ場合ニ該當スルトキハ貴族ノ族稱ヲ除キ又ハ禮遇ヲ禁止ス

第二十七條　第二十條第一項、第二十三條、第二十四條ノ處分及解除ニ付テハ宗秩寮審議會ノ審議ヲ經タル後勅裁ヲ經ヘシ

第十七條　有爵者又ハ其ノ法定代理人其ノ家ニ入籍ニ同意ヲ爲サムトスルトキハ其ノ同意ヲ爲ス前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

第十八條　有爵者又ハ其ノ法定代理人其ノ家ニ入籍ニ同意ヲ爲サムトスルトキハ其ノ同意ヲ爲ス前宮內大臣ノ認許ヲ受クヘシ

第十九條　有爵者又ハ其ノ推定家督相續人養子緣組ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ養子、家督相續人ノ指定又ハ選定ノ場合ニ於テハ其ノ家督相續人左ノ各號ノ一ニ該當セサルトキハ宮內大臣ノ認許ヲ受クルコトヲ得ス

一　衆又ハ其ノ推相續人ノ男系ノ六親等內ノ血族但シ他家ヨリ入リタル者ノ實方親族ヲ除ク

二　本家又ハ同家ノ家族若ハ分家ノ戸主又ハ家族

三　華族ノ族稱ヲ享クル者

第二十條　宮內大臣ノ認許ヲ受ケ若ハ認許ヲ受クシテ第十四條乃至第十八條ノ行爲ヲ爲シタルトキハ情狀ニ依リ華族ノ禮遇ヲ停止シ又ハ爵ヲ褫カシメサルコトアルヘシ

第十八條ノ規定ニ違反シタル場合ニ於テハ入籍者ハ華族ノ族稱ヲ享クルコトヲ得ス

第二十一條　有爵者死刑又ハ懲役ノ宣言ヲ受ケ其ノ裁判確定シタルトキハ其ノ爵ヲ失フ有爵者ノ婦前項ノ場合ニ該當スルトキハ其ノ禮遇ヲ禁止ス

第二十二條　第五條第二項ノ禮遇ヲ享クヘキ者又ハ有爵者ノ家族前條ノ場合ニ該當スルトキハ其ノ者ニ限リ華族ノ族稱ヲ失フ

新ニ爵ヲ授ケラレタル者ノ家族ニシテ前條ノ場合ニ該當スル者アルトキハ其ノ者ニ限リ華族ノ族稱ヲ享クルコトヲ得ス

第二十三條　有爵者又ハ第五條、第六條ノ禮遇ヲ享クヘキ者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ禮遇ヲ停止ス

一　華族ノ品位ヲ保ツコト能ハサル者

二　宮內大臣ノ命令又ハ家範ニ違反シ情狀重キ者

第二十四條　前三條ニ規定シタル場合ノ外華族ノ體面ヲ汚辱シ失行アリタル者ハ情狀ニ依リ爵ヲ返上セシメ、華族ノ族稱ヲ除キ又ハ其ノ禮遇ヲ停止若ハ禁止ス

第五條、第六條ノ禮遇ヲ享クサル家族ニシテ前項ノ失行アリタル者ハ華族ノ族稱ヲ除ク

第二十五條　有爵者其ノ禮遇ノ停止又ハ禁止中ニ在ルトキハ第五條第一項、第六條ノ禮遇ヲ享クヘキ者ノ身分ニ關シ監督上必要ノ事項ハ宮內大臣之ヲ管掌ス

第二十六條　有爵者國籍ヲ喪失シタルトキ又ハ禁錮若ハ禁獄以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判確定シタルトキハ其ノ爵ヲ失フ

第六條又ハ第七條ノ禮遇ヲ享クヘキ者前項ノ場合ニ該當スルトキハ貴族ノ族稱ヲ除キ又ハ禮遇ヲ禁止ス

第二十七條　第二十條第一項、第二十三條、第二十四條ノ處分及解除ニ付テハ宗秩寮審議會ノ審議ヲ經タル後勅裁ヲ經ヘシ

第二條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ以テ之ニ充ツ

第三條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第四條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第五條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第六條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第七條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第八條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第九條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第十條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第十一條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第十二條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第十三條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第十四條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第十五條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第十六條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第十七條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第十八條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第十九條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第二十條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第二十一條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第二十二條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第二十三條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第二十四條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第二十五條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第二十六條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第二十七條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第二十八條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第二十九條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第三十條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第三十一條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第三十二條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第三十三條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第三十四條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第三十五條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第三十六條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第三十七條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第三十八條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第三十九條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第四十條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第四十一條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第四十二條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第四十三條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第四十四條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第四十五條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第四十六條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第四十七條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第四十八條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第四十九條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第五十條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第五十一條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第五十二條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第五十三條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第五十四條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第五十五條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第五十六條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第五十七條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第五十八條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第五十九條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第六十條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第六十一條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第六十二條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第六十三條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第六十四條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第六十五條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第六十六條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第六十七條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第六十八條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第六十九條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第七十條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第七十一條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第七十二條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第七十三條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第七十四條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第七十五條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第七十六條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第七十七條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第七十八條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第七十九條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第八十條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第八十一條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第八十二條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第八十三條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第八十四條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第八十五條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第八十六條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第八十七條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第八十八條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第八十九條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第九十條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第九十一條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第九十二條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第九十三條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第九十四條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第九十五條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第九十六條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第九十七條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第九十八條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第九十九條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

第百條　朝鮮貴族ハ其ノ家ノ相續人ヲ定メ又ハ變更スルニハ戸主ノ指定ニ依リ其ノ家ノ會議ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

●朝鮮貴族世襲財産令

制定　明治四十四年八月二十九日
令和二年三月一日改正

第一條　朝鮮貴族世襲財産ハ公爵爵位令ニ依リ授ケラレタル爵位ニ伴ヒ之ヲ設定スルコトヲ得

第二條　前條ノ規定ニ依リ世襲財産ヲ設定スルニハ必要ナル財産ノ設定ニ付キ戸主ノ指定ヲ得ルコトヲ要ス

第三條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第五條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第六條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第七條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第八條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第九條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第十條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第十四條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第十八條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第十九條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第二十條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第二十一條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第二十二條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第二十四條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第二十七條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第二十八條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第二十九條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第三十條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第三十二條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第三十三條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第三十四條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第三十五條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第三十六條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第三十八條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第三十九條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四十條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四十一條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四十二條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四十三條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四十四條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四十五條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四十六條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四十七條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四十八條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四十九條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第五十條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第五十一條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第五十二條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第五十三條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第五十四條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第五十五條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第五十六條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第五十七條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第五十八條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第五十九條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第六十條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第六十一條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第六十二條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第六十三條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第六十四條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第六十五條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第六十六條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第六十七條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第六十八條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第六十九條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第七十條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第七十一條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第七十二條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第七十三條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第七十四條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第七十五條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第七十六條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第七十七條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第七十八條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第七十九條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第八十條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス

第八十一條　世襲財産ハ之ヲ分割シ又ハ之ヲ分割シテ譲渡シ若ハ抵當ニ供シ又ハ之ニ對シ強制執行ヲ

第二百三十一條　婚姻ハ戸籍吏ニ届出ツルニ因リテ其効力ヲ生ス

第二百三十二條　婚姻ハ当事者双方ノ本籍地ニ於テ届出ツルコトヲ得

第二百三十三條　婚姻ハ当事者ノ一方ノ本籍地ニ於テ届出ツルコトヲ得

第二百三十四條　婚姻ハ当事者ノ一方ノ住所地ニ於テ届出ツルコトヲ得

第二百三十五條　婚姻ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ届出ツルコトヲ得

第二百三十六條　婚姻ノ届出ハ当事者双方及ヒ成年ノ証人二人以上ノ署名シタル書面ヲ以テ之ヲ為スコトヲ要ス

第二百三十七條　婚姻ノ届出ハ口頭ヲ以テ之ヲ為スコトヲ得

第二百三十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百三十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百四十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百四十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百四十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百四十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百四十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百四十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百四十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百四十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百四十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百四十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百五十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百五十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百五十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百五十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百五十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百五十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百五十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百五十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百五十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百五十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百六十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百六十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百六十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百六十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百六十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百六十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百六十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百六十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百六十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百六十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百七十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百七十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百七十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百七十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百七十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百七十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百七十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百七十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百七十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百七十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百八十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百八十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百八十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百八十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百八十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百八十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百八十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百八十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百八十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百八十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百九十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百九十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百九十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百九十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百九十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百九十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百九十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百九十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百九十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第二百九十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百二十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百二十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百二十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百二十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百二十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百二十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百二十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百二十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百二十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百二十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百三十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百三十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百三十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百三十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百三十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百三十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百三十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百三十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百三十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百三十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百四十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百四十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百四十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百四十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百四十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百四十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百四十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百四十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百四十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百四十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百五十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百五十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百五十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百五十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百五十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百五十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百五十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百五十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百五十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百五十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百六十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百六十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百六十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百六十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百六十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百六十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百六十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百六十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百六十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百六十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百七十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百七十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百七十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百七十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百七十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百七十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百七十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百七十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百七十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百七十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百八十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百八十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百八十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百八十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百八十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百八十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百八十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百八十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百八十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百八十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百九十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百九十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百九十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百九十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百九十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百九十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百九十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百九十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百九十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第三百九十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百二十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百二十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百二十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百二十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百二十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百二十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百二十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百二十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百二十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百二十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百三十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百三十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百三十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百三十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百三十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百三十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百三十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百三十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百三十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百三十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百四十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百四十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百四十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百四十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百四十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百四十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百四十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百四十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百四十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百四十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百五十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百五十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百五十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百五十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百五十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百五十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百五十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百五十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百五十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百五十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百六十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百六十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百六十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百六十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百六十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百六十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百六十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百六十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百六十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百六十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百七十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百七十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百七十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百七十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百七十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百七十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百七十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百七十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百七十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百七十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百八十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百八十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百八十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百八十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百八十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百八十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百八十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百八十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百八十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百八十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百九十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百九十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百九十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百九十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百九十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百九十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百九十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百九十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百九十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第四百九十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百十九條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百二十條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百二十一條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百二十二條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百二十三條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百二十四條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百二十五條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百二十六條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百二十七條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百二十八條　婚姻ノ届出ハ当事者ノ一方ノ現在地ニ於テ之ヲ為スコトヲ得

第五百二十九條

（房総様式）

朝鮮貴族世襲財産叙爵

決定代理人保佐人						家政協議員					
所有者	氏（姓）名	退就職年月日	備考			所有者	氏（姓）名	退就職年月日	備考		

朝鮮貴族世襲財産叙爵	朝鮮總督府

| 財産表示部 | | | | | |

氏名表示部

所有者	管理人				
姓名	管理開始相續開始年月日	住所	氏(姓)名	就職退職年月日	備考

管理財産臺帳　朝鮮總督府

管理開始年月日	番號	所在地番	地目	面積	地價	事由	備考
				坪 段 畝			

（土地）

管理財産臺帳　朝鮮總督府

財産表示部

管理開始年月日	番號	所在	種類	構造	建造ノ年月日	事由	備考

（建物、土地ノ定著物）

管理財産臺帳　朝鮮總督府

●朝鮮貴族ニ關スル審査委員會規程

明治四十五年三月
總令第十七號

朝鮮貴族ニ關スル審査委員會規程左ノ通定ム

第一條　審査委員會ハ委員長及委員五名ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條　委員長ハ朝鮮總督府政務總監ヲ以テ之ニ充ツ

第三條　審査委員會ハ委員長之ヲ招集ス

第四條　審査委員會ノ議事ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ委員長ノ決スル所ニ依ル

第五條　委員長事故アルトキハ朝鮮總督ノ指定シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第六條　審査委員會ノ議事ハ之ヲ秘密トス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五款　財産管理及處理

●獨逸國等ニ屬スル財産管理ノ件

大正九年三月
勅令第四十八號

股肱ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ獨逸國等ニ屬スル財産管理ノ件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

第一條　政府ハ獨逸國、墺地利洪牙利國若ハ土耳其國ニ屬シ又ハ其ノ國人若ハ法人ニ屬スル財産ヲ管理スルコトヲ得

第二條　政府ハ前條ノ財産ノ所有者、保管者其ノ他關係者ニ對シ其ノ財産ノ所在、種類、數狀、價額、權利狀態其ノ他管理ニ必要ナル事項ノ申告ヲ命スルコトヲ得

第三條　當該官吏又ハ吏員ハ第一條ノ財産ニ關シ調査ノ爲必要ナル場所ニ立入リ若ハ檢査ヲ爲シ又ハ其ノ財産ノ所有者、保管者其ノ他關係者ニ對シ調査資料ノ提供ヲ命シ若ハ供述ヲ求ムルコトヲ得

第四條　第一條ノ財産ノ管理ハ當該官廳ノ管理命令ヲ以テ之ヲ開始ス

第五條　當該官廳ハ管理財産ニシテ登記又ハ登錄ノ規定アルモノニ付テハ管理財産タル旨ノ登記又ハ登錄ヲ關係ノ官廳其ノ他ニ囑託又ハ請求スヘシ

當該官廳ハ管理財産借權ナルトキハ管理財産タル旨ヲ借務者ニ通知スヘシ

前二項ノ規定ニ依ル手續ヲ爲スヘキ財産ノ管理ハ登記若ハ登錄又ハ通知アルニ非サレハ之ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第六條　前二條ノ規定ハ財産ノ管理ヲ終了スル場合ニ之ヲ準用ス

第七條　當該官廳ハ管理財産ノ所有者又ハ保管者ニ對シ其ノ引渡ヲ命スルコトヲ得

第八條　管理ニハ財産ノ換價其ノ他ノ處分ヲ包含ス

政府カ擔保權ノ目的タル管理財産ヲ換價シタルトキハ擔保權ハ代金ノ上ニ存在スル此ノ場合ニ於テハ其ノ代金ハ別ニ之ヲ保管スヘシ

第九條　第一條ノ國、國人又ハ法人ノ其ノ者ニ屬スル管理財産ニ關シ處分其ノ他ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第十條　管理財産ハ管理ニ依リテ生シタル權利ニ基ク場合ヲ除クノ外民事上ノ强制執行又ハ競賣ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條　財産ノ管理ニ要スル費用ハ本人ニ屬スル管理財産ヲ以テ之ヲ支辨スルコトヲ得

第十二條　財産ノ管理ヲ免ルルノ目的ヲ以テ財産ノ隱匿、處分、毀棄ヲ爲シ若ハ爲サムトスル行爲アリタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ處分ヲ受諾シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

一　第二條ノ規定ニ依リ命セラレタル申告ヲ爲サス又ハ虛僞ノ申告ヲ爲シタル者

二　第三條ノ規定ニ依ル當該官吏又ハ吏員ノ職務ノ執行ヲ拒ミ妨ケ若ハ忌避シ、調査資料ノ提供ヲ爲サス若ハ虛僞ノ調査資料ヲ提供シ又ハ供述ヲ拒ミ若ハ虛僞ノ供述ヲ爲シタル者

三　第七條ノ規定ニ依ル引渡ノ命ニ應セサル者

附　則

本令ハ大正八年勅令第三百四號失效ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正九年勅令第四十八號ニ依ル管理財産タル國債ニ關スル取扱手續

大正九年三月
大令第十一號

大正九年勅令第四十八號ニ依ル管理財産タル國債ニ關スル取扱手續左ノ通定ム

第一條　當該官廳ニ於テ管理財産タル旨ノ登錄ヲ受ケムトスルトキハ國債ノ種別、登錄ノ金額、記號、番號（記名證券ノ場合ニ付テハ登錄ノ記號、番號ニ代ヘ記名者ノ氏名ヲ以テス）及記名ヲ記載シタル請求書ヲ取扱店ニ提出スヘシ

第二條　取扱店ニ於テ國債登錄簿ニ管理財産タル旨ノ登錄ヲ爲シタルトキハ請求書記載シ事項及登錄濟年月日ヲ記載シタル登錄濟通知書ヲ當該官廳ニ交付スヘシ

第三條　前二條ノ規定ハ登錄國債ノ管理財産タルノ登錄ヲ變更シ又ハ抹消スル場合ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記）

第一號樣式

損害申告書

申告者	居住所			損	被害者及	被氏名年齡	被害者ノ住所	被害年月日及場所	被害ノ種類及程度	被害ノ情狀及發生原因
	職業				被扶養者及ビ其ノ續柄					
					損害ノ該當條項					

合同會社登記規則　民事訴訟法　民事訴訟費用法　民事調停法　非訟事件手續法　人事訴訟手續法　刑事訴訟法　刑事訴訟費用法　犯罪搜查規範　檢察廳法　裁判所構成法　辯護士法　公證人法　戶籍法　戶籍法施行規則　國籍法　國籍法施行規則　供託法　供託規則　司法代書人法　司法代書人法施行規則　不動產登記法　不動產登記規則　不動產登記令　不動產登記令施行細則　船舶登記令　船舶登記規則　船舶法　船舶法施行規則　商標法　商標法施行規則　著作權法　著作權法施行規則　特許法　特許法施行規則　實用新案法　實用新案法施行規則　意匠法　意匠法施行規則　鑛業法　鑛業法施行規則　鑛業警察規則　鑛業登錄稅法　鑛業登錄稅法施行規則　鑛業權原狀回復令　鑛業權原狀回復令施行規則　鑛業權者ノ土地使用ニ關スル法律　鑛業權者ノ土地使用ニ關スル法律施行規則　鑛業權者ノ土地使用ニ關スル法律施行細則　鑛業權者ノ土地使用ニ關スル法律施行手續　鑛業權者ノ土地使用ニ關スル法律施行手續細則　鑛業權者ノ土地使用ニ關スル法律施行手續細則　鑛業權者ノ土地使用ニ關スル法律施行手續細則

第二樣式

| 財産 | | |

其他朝憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トシテ暴動ヲ爲シタル者ハ內亂ノ罪ト爲シ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　首魁ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス

二　謀議ニ參與シ又ハ部衆ノ指揮ヲ爲シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ禁錮ニ處シ其他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ一年以上十年以下ノ禁錮ニ處ス

三　附和隨行シ其他單ニ暴動ニ干與シタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス但前項第三號ニ記載シタル者ハ此限ニ在ラス

第七十八條　內亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ禁錮ニ處ス

第七十九條　兵器、金穀ヲ資給シ又ハ其他ノ行爲ヲ以テ前二條ノ罪ヲ幇助シタル者ハ七年以下ノ禁錮ニ處ス

第八十條　前二條ノ罪ヲ犯スト雖モ未タ暴動ニ至ラサル前自首シタル者ハ其刑ヲ免除ス

第三章　外患ニ關スル罪

第八十一條　外國ニ通謀シテ帝國ニ對シ戰端ヲ開カシメ又ハ敵國ニ與シテ帝國ニ抗敵シタル者ハ死刑ニ處ス

第八十二條　要塞、陣營、軍隊、艦船其他軍用ニ供スル場所又ハ建造物ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

兵器、彈藥其他軍用ニ供スル物ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第八十三條　敵國ヲ利スル爲メ要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥、汽車、電車、鐵道、電線其他軍用ニ供スル場所又ハ物ヲ損壞シ若クハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第八十四條　帝國ノ軍用ニ供セサル兵器、彈藥其他直接ニ戰闘ノ用ニ供ス可キ物ヲ敵國ニ交付シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第八十五條　敵國ノ爲メニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幇助シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ五年以上ノ懲役ニ處ス

軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄シタル者亦同シ

第八十六條　公務員ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シテ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

公務員ヲシテ或處分ヲ爲サシメ若クハ爲サラシムル爲メ又ハ其職ヲ辭セシムル爲メ又ハ其職務ノ執行ヲ妨害スル目的ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第八十七條　帝國ニ派遣セラレタル外國ノ使節ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

帝國ニ派遣セラレタル外國ノ使節ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス但外國政府ノ請求ヲ待テ其罪ヲ論ス

第八十八條　外國ニ對シ私ニ戰闘ヲ爲ス目的ヲ以テ其豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ三月以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ物自己ノ所有ニ係ルトキハ一年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シ因テ第百八條第二項ノ罪ヲ犯シ因テ第百八條第一項ニ記載シタル物ニ延燒シタルトキハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第八十九條　外國ニ對シ公共ノ危險ヲ生セシメタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ物自己ノ所有ニ係ルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス但公共ノ危險ヲ生セサルトキハ之ヲ罰セス

第九十條　外國ニ對シ軍事上ノ利益ヲ害スル目的ヲ以テ其豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ三月以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

第九十一條　外國ニ對シ敵對ノ行爲ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十二條　外國ニ對シ傷害ヲ加フル目的ヲ以テ其國ノ國旗其他ノ國章ヲ損壞、除去又ハ汚穢シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス但外國政府ノ請求ヲ待テ其罪ヲ論ス

第九十三條　外國ニ對シ敵國ヲ爲ス目的ヲ以テ其豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ三月以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

第九十四條　外國交戰ノ際局外中立ニ關スル命令ニ違背シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ千圓以上ノ罰金ニ處ス

第四章　公務ノ執行ヲ妨害スル罪

第九十五條　公務員ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シテ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

公務員ヲシテ或處分ヲ爲サシメ若クハ爲サラシムル爲メ又ハ其職ヲ辭セシムル爲メ又ハ其職務ノ執行ヲ妨害スル目的ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十六條　公務員ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十七條　公務員ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

帝國ニ滯在スル外國ノ君主又ハ大統領ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第九十八條　公務ヲ妨害スル目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十九條　法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ奪取シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第百條　法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ逃走セシムル目的ヲ以テ器具ヲ給與シ其他逃走ヲ容易ナラシムヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第百一條　法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ看守又ハ護送スル者拘禁者ヲ逃走セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第五章　犯人藏匿及ヒ證憑湮滅ノ罪

第百三條　罰金以上ノ刑ニ該ル罪ヲ犯シタル者又ハ拘禁中逃走シタル者ヲ藏匿シ又ハ隱避セシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四條　他人ノ刑事被告事件ニ關スル證憑ヲ湮滅シ又ハ僞造、變造シ若クハ僞造、變造ノ證憑ヲ使用シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五條　本章ノ罪ハ犯人又ハ逃走者ノ親族ニシテ犯人又ハ逃走者ノ利益ノ爲メニ犯シタルトキハ之ヲ罰セス

第六章　放火及ヒ失火ノ罪

第百六條　火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用シ又ハ人ノ現在スル建造物、汽車、電車、艦船若クハ鑛坑ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第百七條　火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用セス又ハ人ノ現在セサル建造物、艦船若クハ鑛坑ヲ燒燬シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ物自己ノ所有ニ係ルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス但公共ノ危險ヲ生セサルトキハ之ヲ罰セス

第百八條　火ヲ放テ前二條ニ記載シタル以外ノ物ヲ燒燬シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

前條第二項ノ罪ヲ犯シ因テ前條第一項ニ記載シタル物ニ延燒シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第百九條　火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用セス又ハ人ノ現在セサル建造物、汽車、電車、艦船若クハ鑛坑ヲ燒燬シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ物自己ノ所有ニ係ルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス但公共ノ危險ヲ生セサルトキハ此限ニ在ラス

第百十條　火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用セス又ハ人ノ現在セサル建造物、汽車、電車、艦船若クハ鑛坑ヲ燒燬シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス但外國ニ在ル日本臣民ノ所有ニ係ルトキハ此限ニ在ラス

第百十一條　帝國ニ派遣セラレタル外國ノ使節ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

帝國ニ派遣セラレタル外國ノ使節ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス但外國政府ノ請求ヲ待テ其罪ヲ論ス

第百十二條　外國ニ對シ敵國ヲ爲ス目的ヲ以テ其豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ三月以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

第百十三條　外國ニ對シ軍事上ノ利益ヲ害スル目的ヲ以テ其豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ三月以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

第百十四條　外國交戰ノ際局外中立ニ關スル命令ニ違背シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ千圓以上ノ罰金ニ處ス

第七章　公務ノ執行ヲ妨害スル罪

第百十五條　公務員ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シテ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

公務員ヲシテ或處分ヲ爲サシメ若クハ爲サラシムル爲メ又ハ其職ヲ辭セシムル爲メ又ハ其職務ノ執行ヲ妨害スル目的ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第百十六條　公務員ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百十七條　公務ヲ妨害スル目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百十八條　兵役ニ關スル義務ヲ免レ又ハ免レシムル目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百十九條　法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ奪取シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十條　法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ逃走セシムル目的ヲ以テ器具ヲ給與シ其他逃走ヲ容易ナラシムヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十一條　法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ看守又ハ護送スル者拘禁者ヲ逃走セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十二條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八章　騷擾ノ罪

第百二十三條　多衆集合シテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ又ハ他人ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物又ハ他人ノ所有ニ係ル第百八條ニ記載シタル物ヲ燒燬シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十四條　多衆集合シテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ又ハ他人ノ所有ニ係ル第百八條ニ記載シタル物ヲ損壞シ若クハ其他ノ方法ヲ以テ鎭火ヲ妨害シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十五條　第百九條第一項及ヒ第百十條第一項ニ記載シタル物ヲ自己ノ所有ニ係ルト雖モ差押ヲ受ケ、物權ヲ負擔シ又ハ賃貸シ若クハ保險ニ付シタルモノヲ燒燬シタルトキハ他人ノ物ヲ燒燬シタル例ニ同シ

第百二十六條　火ヲ失シテ第百八條ニ記載シタル物又ハ他人ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物ヲ燒燬シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者亦同シ

第百二十七條　火藥、汽罐其他激發ス可キ物ヲ破裂セシメテ第百八條ニ記載シタル物又ハ他人ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ放火ノ例ニ同シ自己ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物ヲ損壞シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者亦同シ

第百二十八條　第百二十四條第一項、第百二十五條及ヒ第百二十六條第一項、第二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百二十九條　過失ニ因リ汽車、電車又ハ艦船ノ往來ノ危險ヲ生セシメ又ハ汽車、電車又ハ艦船ノ顚覆若クハ破壞又ハ艦船ノ覆沒若クハ破壞ヲ致シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九章　水利ニ關スル罪

第百三十條　故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若クハ艦船ニ侵入シ又ハ要求ヲ受ケテ其場所ヨリ退去セサル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十一條　故ナク鳥居、禁苑、離宮又ハ行在所ニ侵入シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第十章　秘密ヲ侵ス罪

第百三十二條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十一章　住居ヲ侵ス罪

第百三十三條　故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若クハ艦船ニ侵入シ又ハ要求ヲ受ケテ其場所ヨリ退去セサル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二章　信書ヲ開披シ又ハ隱匿スル罪

第百三十四條　醫師、藥劑師、藥種商、產婆、辯護士、辯護人、公證人又ハ此等ノ職ニ在リシ者故ナク其業務上取扱ヒタルコトニ付キ知得タル人ノ秘密ヲ漏泄シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

宗教若クハ禮祀ノ職ニ在ル者又ハ此等ノ職ニ在リシ者故ナク其業務上取扱ヒタルコトニ付キ知得タル人ノ秘密ヲ漏泄シタルトキ亦同シ

第百三十五條　本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第十三章　阿片煙ニ關スル罪

第百三十六條　阿片煙ヲ輸入、製造又ハ販賣シ若クハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第百三十七條　阿片煙ヲ吸食スル器具ヲ輸入、製造又ハ販賣シ若クハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第十四章　通貨僞造ノ罪

第百四十條　行使ノ目的ヲ以テ通用ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ僞造又ハ變造シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第百四十一條　公衆ノ飲料ニ供スル淨水ノ水道ヲ損壞シ又ハ其水ヲ汚穢シ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第百四十二條　水道ニ因リテ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第百四十三條　第百八條又ハ第百九條第一項ノ罪ヲ犯ス目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス但情狀ニ因リ其刑ヲ免除スルコトヲ得

第百十四條　火藥ノ爆發、火用ノ物ヲ隱匿又ハ損壞シ若クハ其他ノ方法ヲ以テ鎭火ヲ妨害シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百十五條　第百九條第一項及ヒ第百十條第一項ニ記載シタル物自己ノ所有ニ係ルト雖モ差押ヲ受ケ、物權ヲ負擔シ又ハ賃貸シ若クハ保險ニ付シタルモノヲ燒燬シタルトキハ他人ノ物ヲ燒燬シタル例ニ同シ

第百十六條　火ヲ失シテ第百八條ニ記載シタル物又ハ他人ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物ヲ燒燬シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者亦同シ

第百十七條　火藥、汽罐其他激發ス可キ物ヲ破裂セシメテ第百八條ニ記載シタル物又ハ他人ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ放火ノ例ニ同シ自己ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物ヲ損壞シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者亦同シ

第百十八條　瓦斯、電氣又ハ蒸汽ヲ漏出若クハ流出セシメ又ハ之ヲ遮斷シ因テ人ノ生命、身體又ハ財產ニ危險ヲ生セシメタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

瓦斯、電氣又ハ蒸汽ヲ漏出若クハ流出セシメ又ハ之ヲ遮斷シ因テ人ノ生命、身體又ハ財產ニ危險ヲ生セシメタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十九條　溢水セシメテ現ニ人ノ住居ニ使用シ又ハ人ノ現在スル建造物、汽車、電車若クハ鑛坑ヲ浸害シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第百二十條　溢水ヲ故意ニ堤防ヲ決潰シ、水閘ヲ破壞シ其他水利ノ妨害ヲ爲シ因テ人ノ現在スル建造物、汽車、電車若クハ鑛坑ヲ浸害シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ三年以上ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第百二十一條　水害ノ際防水用ノ物ヲ隱匿又ハ損壞シ若クハ其他ノ方法ヲ以テ水防ヲ妨害シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十二條　過失ニ因リ溢水セシメテ第百十九條ニ記載シタル物ヲ浸害シタル者又ハ第百二十條ニ記載シタル物ヲ浸害シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十三條　堤防ヲ決潰シ、水閘ヲ破壞シ其他水利ノ妨害ヲ爲シ可キ行爲ヲ爲シタル者又ハ溢水セシム可キ行爲ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一章　往來ヲ妨害スル罪

第百二十四條　陸路、水路又ハ橋梁ヲ損壞又ハ壅塞シテ往來ノ妨害ヲ生セシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十五條　第百八條又ハ第百九條第一項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第百二十六條　人ノ現在スル汽車又ハ電車ヲ顚覆又ハ破壞シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

人ノ現在スル艦船ヲ覆沒又ハ破壞シタル者亦同シ

第百二十七條　阿片煙ヲ輸入、製造又ハ販賣シ若クハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十八條　阿片煙ヲ吸食スル器具ヲ輸入、製造又ハ販賣シ若クハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第十四章　通貨僞造ノ罪

第百三十六條　阿片煙ヲ輸入、製造又ハ販賣シ若クハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第百三十七條　阿片煙ヲ吸食スル器具ヲ輸入、製造又ハ販賣シ若クハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第百三十八條　行使ノ目的ヲ以テ通用ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ僞造又ハ變造シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

僞造、變造ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シ若クハ

第百九十九條　法律ニ依リ公務ニ從事スル官吏又ハ其ノ指揮ヲ受ケテ公務ニ從事スル者其ノ職務ヲ行フニ當リ刑法ノ罪ヲ犯シタルトキハ其ノ官吏又ハ其ノ監督官ニ告訴又ハ告發ヲ爲スコトヲ要ス

第二百條　公務員ニ對シ虛僞ノ申立ヲ爲シ又ハ公務員ヲ欺罔シテ不正ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第二百一條　公務員ニ對シ賄賂ヲ供與シ又ハ其ノ申込又ハ約束ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二條　前二條ノ賄賂ハ沒收ス其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第二百三條　公務員又ハ仲裁人其職務ニ關シ不正ノ請託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ其ノ收受ノ約束ヲ爲シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百四條　公務員又ハ仲裁人其職務ニ關シ不正ノ請託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ其ノ收受ノ約束ヲ爲シタル後其請託ヲ爲シタルトキハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五條　公務員又ハ仲裁人其職務ニ關シ不正ノ請託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ其ノ收受ノ約束ヲ爲シタル後其職務上相當ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルコトヲ請託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ其ノ收受ノ約束ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百六條　第二百四條ノ場合ニ於テ犯人ノ收受シタル賄賂ハ沒收ス其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第二百七條　公務員又ハ仲裁人其職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ其ノ要求若ハ約束ヲ爲シタル後其職務ヲ離レテ他ノ事務ニ從事シ又ハ仲裁人ノ職ヲ離レタル後其職務上相當ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルコトヲ請託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ其ノ收受ノ約束ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百八條　第二百三條又ハ前二條ノ罪ヲ犯シ因テ公務員又ハ仲裁人ノ職ヲ免シ又ハ職務ニ關シ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ刑ヲ加重ス

第二百九條　公務員又ハ仲裁人其職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ其ノ要求若ハ約束ヲ爲シタル後其職務ヲ離レテ他ノ事務ニ從事シ又ハ仲裁人ノ職ヲ離レタル後其職務上相當ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルコトヲ請託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ其ノ收受ノ約束ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ニ之ヲ供與シ又ハ其ノ供與ノ約束ヲ爲シタルトキハ其ノ利益ヲ沒收ス

第二百十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ニ之ヲ供與シ又ハ其ノ供與ノ約束ヲ爲シタルトキハ其ノ利益ヲ追徵ス

第二百十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ニ之ヲ供與シ又ハ其ノ供與ノ約束ヲ爲シタルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第二百十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十七條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十八條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十九條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十一條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十二條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十三條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十四條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十五條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ犯人又ハ情ヲ知レル第三者ノ利益ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十六條　第二百三條又ハ前二條ノ賄賂ハ沒收又ハ追徵ヲ爲スニ付テハ

從テ處斷ス

第三十二章　脅迫ノ罪

第二百二十二條　生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ人ヲ脅迫シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

親族ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ人ヲ脅迫シタル者亦同シ

第二百二十三條　生命、身體、自由、名譽若クハ財産ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ脅迫シ又ハ暴行ヲ用ヒ人ヲシテ義務ナキ事ヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

親族ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ人ヲ脅迫シタル者亦同シ

第二百二十四條　未成年者ヲ略取又ハ誘拐シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十五條　營利、猥褻又ハ結婚ノ目的ヲ以テ人ヲ略取又ハ誘拐シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十六條　帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ買賣シ又ハ被拐取者若クハ被賣者ヲ帝國外ニ移送シタル者亦同シ

第二百二十七條　前三條ノ罪ヲ犯シタル者ヲ幇助スル目的ヲ以テ被拐取者又ハ被賣者ヲ收受若クハ隱匿シ又ハ隱避セシメタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

營利又ハ猥褻ノ目的ヲ以テ被拐取者又ハ被賣者ヲ收受シタル者ハ六月以下ノ懲役若クハ科料ニ處ス

第二百二十八條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百二十九條　第二百二十六條、第二百二十七條ノ豫備ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第三十三章　略取及ヒ誘拐ノ罪

第二百三十四條　未成年者ヲ略取又ハ誘拐シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十五條　他人ノ爲メ其事務ヲ處理スル者自己若クハ第三者ノ利益ヲ圖リ又ハ本人ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ其任務ニ背キタル行爲ヲ爲シ本人ニ財産上ノ損害ヲ加ヘタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十六條　人ヲ恐喝シテ財物ヲ交付セシメ又ハ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ之ヲ得セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

第二百三十七條　人ヲ恐喝シテ財物ヲ騙取シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

第二百三十八條　親族ノ間ニ於テ前三條ノ罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除シ其他ノ親族又ハ家族ニ係ルトキハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三十四章　公然ト人ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ其事實ノ有無ヲ問ハス一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

死者ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ誣罔ニ出ツルニ非サレハ之ヲ罰セス

第二百三十一條　事實ヲ摘示セスト雖モ公然人ヲ侮辱シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二百三十二條　本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第三十五章　信用及ヒ業務ニ關スル罪

第二百三十三條　虚僞ノ風說ヲ流布シ又ハ僞計ヲ用ヒ人ノ信用ヲ毀損シ若クハ其業務ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十四條　威力ヲ用ヒ人ノ業務ヲ妨害シタル者亦前條ノ例ニ同シ

第二百三十五條　他人ノ財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪トシテ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十六條　暴行又ハ脅迫ヲ以テ他人ノ財物ヲ强取シタル者ハ强盜ノ罪トシテ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

第二百三十七條　强盜ノ目的ヲ以テ其現場ニ於テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十八條　竊盜財物ヲ得テ其取還ヲ拒キ又ハ逮捕ヲ免レ若クハ罪跡ヲ湮滅スル爲メ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタルトキハ强盜ヲ以テ論ス

第二百三十九條　人ヲ昏醉セシメテ其財物ヲ盜取シタル者ハ强盜ヲ以テ論ス

第二百四十條　强盜人ヲ傷シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス死ニ致シタルトキ亦同シ

第二百四十一條　强盜婦女ヲ强姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第二百四十二條　自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有ニ屬シ又ハ公務所ノ命ニ因リ他人ノ看守シタルモノナルトキハ本章ノ罪ニ付テハ他人ノ財物ト看做ス

第二百四十三條　第二百三十五條、第二百三十六條、第二百三十八條乃至第二百四十一條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百四十四條　直系血族、配偶者及ヒ同居ノ親族ノ間ニ於テ第二百三十五條ノ罪及ヒ其未遂罪ヲ犯シタル者ハ刑ヲ免除シ其他ノ親族又ハ家族ニ係ルトキハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三十五章　信用及ヒ業務ニ關スル罪

第二百三十三條　虚僞ノ風說ヲ流布シ又ハ僞計ヲ用ヒ人ノ信用ヲ毀損シ若クハ其業務ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十四條　威力ヲ用ヒ人ノ業務ヲ妨害シタル者亦前條ノ例ニ同シ

第二百三十五條　他人ノ財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪トシテ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十六條　暴行又ハ脅迫ヲ以テ他人ノ財物ヲ强取シタル者ハ强盜ノ罪トシテ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

第二百三十七條　强盜ノ目的ヲ以テ其現場ニ於テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十八條　竊盜財物ヲ得テ其取還ヲ拒キ又ハ逮捕ヲ免レ若クハ罪跡ヲ湮滅スル爲メ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタルトキハ强盜ヲ以テ論ス

第二百三十九條　人ヲ昏醉セシメテ其財物ヲ盜取シタル者ハ强盜ヲ以テ論ス

第二百四十條　强盜人ヲ傷シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第二百四十一條　强盜婦女ヲ强姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死ニ致シタルトキ亦同シ

第二百四十二條　自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有ニ屬シ又ハ公務所ノ命ニ因リ他人ノ看守シタルモノナルトキハ本章ノ罪ニ付テハ他人ノ財物ト看做ス

第二百四十三條　第二百三十五條、第二百三十六條、第二百三十八條乃至第二百四十一條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百四十四條　直系血族、配偶者及ヒ同居ノ親族ノ間ニ於テ第二百三十五條及ヒ其未遂罪ヲ犯シタル者ハ刑ヲ免除シ其他ノ親族又ハ家族ニ係ルトキハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三十六章　竊盜及ヒ强盜ノ罪

第二百三十五條　他人ノ財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪トシテ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十六條　暴行又ハ脅迫ヲ以テ他人ノ財物ヲ强取シタル者ハ强盜ノ罪トシテ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

第二百三十七條　强盜ノ目的ヲ以テ其現場ニ於テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル後刑ノ對照ヲ爲ス可シ

第二百三十八條　竊盜財物ヲ得テ其取還ヲ拒キ又ハ逮捕ヲ免レ若クハ罪跡ヲ湮滅スル爲メ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタルトキハ强盜ヲ以テ論ス

第二百三十九條　人ヲ昏醉セシメテ其財物ヲ盜取シタル者ハ强盜ヲ以テ論ス

第二百四十條　强盜人ヲ傷シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第二百四十一條　强盜婦女ヲ强姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死ニ致シタルトキ亦同シ

第二百四十二條　自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有ニ屬シ又ハ公務所ノ命ニ因リ他人ノ看守シタルモノナルトキハ本章ノ罪ニ付テハ他人ノ財物ト看做ス

第二百四十三條　第二百三十五條、第二百三十六條、第二百三十八條乃至第二百四十一條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百四十四條　直系血族、配偶者及ヒ同居ノ親族ノ間ニ於テ第二百三十五條及ヒ其未遂罪ヲ犯シタル者ハ刑ヲ免除シ其他ノ親族又ハ家族ニ係ルトキハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第二百五十一條　本章ノ罪ニハ第二百四十二條、第二百四十四條及ヒ第二百四十五條ノ規定ヲ準用ス

第三十八章　橫領ノ罪

第二百五十二條　自己ノ占有スル他人ノ物ヲ橫領シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

自己ノ物ト雖モ公務所ヨリ保管ヲ命セラレタル場合ニ於テ之ヲ橫領シタル者亦同シ

第二百五十三條　業務上自己ノ占有スル他人ノ物ヲ橫領シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十四條　遺失物、漂流物其他占有ヲ離レタル他人ノ物ヲ橫領シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

第二百五十五條　本章ノ罪ニハ第二百四十四條及ヒ第二百四十五條ノ規定ヲ準用ス

第三十九章　贓物ニ關スル罪

第二百五十六條　贓物ヲ收受シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

贓物ノ運搬、寄藏、故買又ハ牙保ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役及ヒ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十七條　直系血族、配偶者、同居ノ親族又ハ家族及ヒ此等ノ者ノ間ニ於テ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除ス

親族又ハ家族ニ非サル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

第四十章　毀棄及ヒ隱匿ノ罪

第二百五十八條　公務所ノ用ニ供スル文書ヲ毀棄シタル者ハ三月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十九條　權利、義務ニ關スル他人ノ文書ヲ毀棄シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百六十條　他人ノ建造物又ハ艦船ヲ損壞シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二百六十一條　前三條ニ記載シタル以外ノ物ヲ損壞又ハ傷害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

第二百六十二條　自己ノ物ト雖モ差押ヲ受ケ、物權ヲ負擔シ又ハ賃貸シタルモノヲ損壞又ハ傷害シタルトキハ前三條ノ例ニ依ル

第二百六十三條　他人ノ信書ヲ隱匿シタル者ハ六月以下ノ懲役若クハ科料ニ處ス

第二百六十四條　第二百五十九條、第二百六十一條及ヒ前條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

明治四十一年六月
勅令第百六十三號

廢刑法施行期日ノ件ヲ裁可ス玆ニ之ヲ公布セシム

刑法ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●刑法施行法

明治四十一年三月
法律第二十九號

第一條　刑法第二十一條ノ規定ハ廢止シ其ノ期間ハ之ヲ無期ニ準ス

第二條　刑法第二十二條ノ規定ハ廢止シ其ノ期間ハ之ヲ有期ニ準ス

第三條　法律ニ依リ刑ヲ加重減輕ス可キトキ又ハ酌量減輕ヲ爲ス可キトキハ加重又ハ減輕ヲ爲シタル後刑ノ對照ヲ爲ス可シ

數罪俱發ニ關スル規定ハ各罪ニ付テハ併合罪又ハ數罪俱發ニ關スル規定ヲ適用シタル後刑ノ對照ヲ爲ス可シ

一罪ニ付キ二個以上ノ主刑ヲ併科ス可キトキ又ハ二個以上ノ主刑中其一個ヲ科ス可キトキハ其中ニテ重キ刑ノミニ付キ對照ヲ爲ス可シ併合罪又ハ數罪俱發ニ關スル規定ニ依リ數罪ノ主刑ヲ併科ス可キトキハ亦同シ

第四條　刑法施行前ノ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ告訴ヲ待テ論ス可キ罪ヲ犯シタル者ハ死刑ノ規定ニ依リ告訴ヲ要セサルモノト雖モ告訴アルニ非サレハ其罪ヲ論セス

第五條　刑法第六條ニ依リ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スル場合ニ於テハ刑事ノ公權、監視又ハ罰金ヲ附加ス可キトキト雖モ之ヲ附加セス

第六條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ刑法施行ノ前又ハ後ニ確定裁判アリタル後刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ストキハ左ノ例ニ依ル

一　確定裁判アリタル罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シタルトキト雖モ刑法又ハ刑法ノ刑名ニ依リ刑ヲ定メタル法令ニ於テハ其罪ヲ舊刑法ニ依リ處斷スル場合ニ於テハ其罪ヲ刑法ニ依リ處斷スル場合ニ於テ其罪ニ付キ科シタル刑ヲ通算シ其合算刑ヲ以テ處斷ス

二　確定裁判アリタル罪ニ刑法又ハ刑法ノ刑名ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用シタルトキト雖モ舊刑法又ハ他ノ法律ニ於テハ其罪ヲ舊刑法ニ依リ處斷スル場合ニ於テハ其罪ニ付キ數罪俱發ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條　左ニ記載シタル者刑法施行前更ニ刑法ノ有期懲役ニ相當スル刑ニ該ル罪ヲ犯シ刑法施行後其罪ニ付キ裁判ヲ爲ストキハ刑法又ハ刑法ノ刑名ニ依リ刑ヲ定メタル法令ニ於テハ累犯ニ關スル規定ヲ準用ス

一　舊刑法又ハ他ノ法律ニ依リ刑法ノ懲役ニ該ル罪ニ付キ亦前項ニ同シ

二　舊刑法又ハ他ノ法律ニ定メタル主刑ヘ刑法ノ例ニ準シ刑法ノ刑ニ對照シテ之ヲ刑法ノ刑名ニ變更スル但單ニ禁錮トアルハ之ヲ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ變更ス

第八條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ刑法第二條及ヒ明治十四年第八十一號布告第一條ノ例ニ依リ主刑ノ對照ヲ爲ス可シ

舊刑法ノ刑ニ處セラレタル者ノ刑法施行前ニ於ケル時效期間ノ起算及ヒ時效ノ中斷ニ付テハ期滿免除ニ關スル規定ニ從フ

第九條　刑法施行後ハ舊刑法ノ刑ニ處シ可キ者ト雖モ刑ノ執行猶豫ニ付テハ刑法ノ規定ヲ準用ス

第十條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ付キ刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第十一條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用ス可キトキハ數罪俱發ニ關スル規定ニ依リテ定マリタル一ノ重キ罪ト刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十二條　第七條第一項各號ニ記載シタル者刑法施行後有期懲役ニ該ル罪ヲ犯シタルトキハ累犯ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十三條　刑法施行後ハ舊刑法又ハ舊刑法施行前ノ法令ノ刑ニ處セラレタル者ト雖モ刑ノ執行、假出獄及ヒ時效ニ付テハ刑法ノ規定ヲ準用ス但罰金又ハ科料ヲ完納スルコトヲ能ハサル者ヲ勞役場ニ留置スル場合ニ於テハ拾圓ヲ金壹圓ニ換算ス

刑法第五十六條第三項ノ規定ハ數罪俱發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第八條　刑法施行前ニ犯シタル一罪ト刑法施行後ニ犯シタル一罪又ハ數罪トニ付キ同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ刑法施行前ノ罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スル可キトキハ數罪俱發ニ關スル規定ヲ準用ス

第九條　刑法施行前ニ犯シタル數罪ト刑法施行後ニ犯シタル一罪又ハ數罪トニ付キ同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テ刑法施行前ノ罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スル可キトキハ數罪俱發ニ關スル規定ニ依リテ定マリタル一ノ重キ罪ト刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十條　刑法施行後ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第十一條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第十二條　第七條第一項各號ニ記載シタル者刑法施行後有期懲役ニ該ル罪ヲ犯シタルトキハ累犯ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十三條　刑法施行後ハ舊刑法又ハ舊刑法施行前ノ法令ノ刑ニ處セラレタル者ト雖モ刑ノ執行、假出獄及ヒ時效ニ付テハ刑法ノ規定ヲ準用ス但罰金又ハ科料ヲ完納スルコトヲ能ハサル者ヲ勞役場ニ留置スル場合ニ於テハ金壹圓ヲ以テ壹日ニ相當スル刑ニ換算ス

第十四條　刑法施行前ニ舊刑法又ハ他ノ法律ニ依リ刑ヲ加重減輕ス可キトキハ刑法第五十六條第三項ノ規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第十五條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ付キ刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十六條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第十七條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第十八條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第十九條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第二十條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第二十一條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第二十二條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第二十三條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第二十四條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第二十五條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第二十六條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第二十七條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第二十八條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第二十九條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第三十條　刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行後ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シ可キトキハ舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用スル可キトキハ其數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

ノハ之ヲ廢止ス

第二十條　他ノ法律ニ定メタル刑ニ付テハ其期間又ハ金額ヲ變更セル但他ノ法律中特ニ期間又ハ金額ヲ定メサル刑ニ付テハ仍ホ舊刑法越則中期間又ハ金額ニ關スル規定ニ從フ

第二十一條　他ノ法律ニ定メタル刑ヲ加重又ハ減輕スル可キ場合ニ於テハ第三十三條ノ場合ヲ除ク外舊刑法ノ加減例ニ關スル規定ニ依ル

第二十二條　他ノ法律中舊刑法ノ規定ヲ揭ケ又ハ舊刑法ノ規定ニ依リ若クハ之ニ依ラサルコトヲ定メタル場合ニ付キ刑法中其規定ニ相當スル規定アルモノハ刑法ノ規定ニ變更ス

爆發物取締罰則第十條ハ之ヲ廢止ス

第二十三條　前條ノ規定ニ依リ刑法ノ刑ヲ適用ス可キ場合ニ於テハ他ノ法律中刑ノ加重ニ關スル特別ノ規定ハ之ヲ適用セス刑ノ減輕ノ方法ニ付テハ刑法ノ加減例ニ關スル規定ニ從フ

第二十四條　明治二十二年法律第二十八號及ヒ明治二十三年法律第九十九號ハ之ヲ廢止ス

第二十五條　左ニ記載シタル舊刑法ノ規定ハ當分ノ內刑法施行前ト同一ノ效力ヲ有ス

一　第二編第四章第九節

二　第二編第五章第三節

刑法第八條ノ規定及ヒ本法中他ノ法律ニ關スル規定ハ之ヲ前項ノ規定ニ準用ス

第二十六條　左ニ記載シタル罪ハ刑法第二條ノ例ニ從フ

一　軍機保護法ニ揭ケタル罪

二　削除

三　明治三十八年法律第六十六號ニ揭ケタル罪

四　通貨及證券模造取締法ニ揭ケタル罪

五　船舶法ニ揭ケタル罪

六　船員法ニ揭ケタル罪

七　船舶職員法ニ揭ケタル罪

八　船舶檢查法ニ揭ケタル罪

九　戶籍法ニ揭ケタル罪

第二十七條　左ニ記載シタル罪ハ刑法第三條ノ例ニ從フ

一　著作權法ニ揭ケタル罪

二　削除

三　移民保護法ニ揭ケタル罪

第二十八條　人ノ素格其他ノ事項ニ關シ舊刑法ノ刑名又ハ刑別ヲ揭ケタル他ノ法律ノ規定ハ刑法施行ノ爲メ變更セラルルコトナシ

第二十九條　死刑、無期又ハ短期一年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ該ル罪ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重罪ト看做ス

第三十條　前條ニ該當セサル懲役若クハ禁錮又ハ舊刑金ニ該ル罪ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ輕罪ト看做ス

前條ニ該當セサル懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ輕禁錮ニ該ル罪ト看做ス

第三十一條　拘留又ハ科料ニ該ル罪ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ違警罪ト看做ス

第三十二條　他ノ法律ニ定メタル死刑、無期又ハ短期六年以上ノ懲役禁錮ニ該ルモノノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三十三條　死刑、無期又ハ六年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ處セラレタル者ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルモノト看做ス

第三十四條　前條ニ記載シタル者及ヒ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ公權ヲ剝奪セラレタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ復權ヲ得タル者ニハ之ヲ適用セス

第三十五條　六年未滿ノ懲役若クハ禁錮又ハ罰金ニ處セラレタル者ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ輕罪ノ刑ニ處セラレタルモノト看做ス

六年未滿ノ懲役ニ處セラレタル者ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルモノト看做ス

第三十六條　六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者及ヒ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ輕禁錮ニ處セラレタルモノト看做ス

第三十七條　他ノ法律中舊刑法第三十一條又ハ第三十三條ノ規定ハ刑ノ輕重ニ關シ別段ノ規定ヲ設ケサリシ場合ニ付テハ舊刑法第三十一條及ヒ第三十三條ノ規定ヲ準用ス

第三十八條　（本條乃至第五十二條ハ刑事訴訟法中ノ改正ニ係ル依テ同法中ニ訂正セリ故ニ略ス）

第五十三條　刑法第五十二條又ハ第五十八條ノ規定ニ依リ刑ヲ定ム可キ場合ニ於テハ其所ノ檢事其裁判所ニ請求ヲ爲シタル裁判前項ノ請求アリタルトキハ裁判所ハ被告人又ハ其代理人ノ意見ヲ聽キ決定ヲ爲スコトヲ得

第五十四條　刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消ス可キ場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ所在地又ハ最後ノ住所地ヲ管轄スル地方裁判所ノ檢事其裁判所ニ請求ヲ爲ス可シ前項ノ請求アリタルトキハ裁判所ハ被告人又ハ其代理人ノ意見ヲ聽キ決定ヲ爲ス可シ此決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得

第五十五條　刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消シ又ハ破毀シタル場合ハ此限ニ在ラス

上訴裁判所ハ新ニ執行猶豫ノ言渡ヲ爲スコトヲ得

第五十六條　刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消ス可キ場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ所在地又ハ最後ノ住所地ヲ管轄スル地方裁判所ノ檢事其裁判所ニ請求ヲ爲ス可シ前項ノ請求アリタルトキハ裁判所ハ被告人又ハ其代理人ノ意見ヲ聽キ決定ヲ爲ス可シ此決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得

第五十七條　第五十三條及ヒ前條ノ裁判及ヒ抗告ニ付テハ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

第五十八條　明治三十八年法律第七十號ニ依リ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケ仍ホ猶豫ノ期間ヲ經過セサル者ハ刑法ニ依リ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルモノト看做ス

第五十九條　明治三十九年法律第五十四號ハ之ヲ廢止ス

第六十條　私訴ハ公訴ニ附帶スルトキハ民事訴訟ノ方式ニ依ラス裁判所ノ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　贓物犯人ノ手ニ在ルトキハ被害者ノ請求ナシト雖モ之ヲ還付スル言渡ヲ爲ス可シ

附　則

本法ハ刑法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

刑法施則其他舊刑法施行ノ爲メ公布シタル法令ハ之ヲ廢止ス

●決鬪罪ニ關スル件

明治二十二年十二月

法律第三十四號

決鬪罪ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　決鬪ヲ挑ミタル者又ハ其挑ニ應シタル者ハ六月以上二年以下【重禁錮】ニ處シ【十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二條　決鬪ヲ行ヒタル者ハ二年以上五年以下ノ【重禁錮】ニ處シ【二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三條　決鬪ニ依テ人ヲ殺傷シタル者ハ刑法各本條ニ照シテ處斷ス

第四條　決鬪ノ立會ヲ爲シ又ハ立會ヲ爲スコトヲ約シタル者ハ一年以上三年以下【重禁錮】ニ處シ【五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

情ヲ知テ決鬪ノ場所ヲ貸與シ又ハ供用セシメタル者ハ前項ニ同シ

第五條　決鬪ノ挑ニ應セサルノ故ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ刑法ニ照シ【誹毀】ノ罪ヲ以テ論ス

第六條　前數條ニ記載シタル犯罪ハ刑法ニ照シ其重キモノハ重キニ從テ處斷ス

●盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律

昭和五年五月

法律第九號

枢密院議長ノ奏請ニ因リ盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ其ノ生命、身體又ハ貞操ニ對シ現在ノ危險アルモノヲ排除スル爲犯人ヲ殺傷シタルトキハ刑法第三十六條第一項ノ防衛行爲ト認ムヘキトキハ此ノ限ニ在ラス

一　盜犯ヲ防止シ又ハ盜贓ヲ取還セントスルトキ

二　兇器ヲ攜帶シテ又ハ門戶牆壁等ヲ踰越損壞シ若ハ偽稱ヲ用キテ人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ船舶ニ侵入スル者ヲ防止セントスルトキ

三　故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ船舶ニ侵入シタル者又ハ要求ヲ受ケテ此等ノ場所ヨリ退去セサル者ヲ排斥セントスルトキ

前項各號ノ場合ニ於テ自己又ハ他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危險アルニ非スト雖モ行爲者恐怖、驚愕、興奮又ハ狼狽ニ因リ現場ニ於テ犯人ヲ殺傷スルニ至リタルトキハ之ヲ罰セス

第二條　常習トシテ左ノ各號ノ方法ニ依リ刑法第二百三十五條、第二百三十六條、第二百三十八條若ハ第二百三十九條ノ罪又ハ其未遂罪ヲ犯シタル者ニ對シ編造ヲ以テ論スヘキトキハ三年以上、强盜ヲ以テ論スヘキトキハ七年以上ノ有期懲役ニ處ス

一　兇器ヲ攜帶シテ犯シタルトキ

二　二人以上現場ニ於テ共同シテ犯シタルトキ

三　門戶牆壁等ヲ踰越損壞シ又ハ偽稱ヲ用キ人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ艦船ニ侵入シテ犯シタルトキ

四　夜間人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ艦船ニ侵入シテ犯シタルトキ

第三條　常習トシテ前條ニ揭ケタル刑法各條ノ罪又ハ其ノ未遂罪ヲ犯シタル者ニシテ其ノ行爲前十年內ニ此等ノ罪ノ一ニ付キ懲役ニ處セラレタル者ハ他ノ罪ト併合罪ニ付三回以上六月ノ懲役以上ノ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ其ノ執行ヲ免除セラレタル者ニシテ其ノ犯ス第一條ノ罪ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第四條　第一條ノ罪ヲ犯サントシテ骨迫教唆煽動ニ止ル者及ヒ共謀ニ止ル者ハ三年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第五條　第一條ニ記載シタル犯罪者ノ爲メ情ヲ知テ爆發物若クハ其使用ニ供ス可キ器具ヲ製造輸入販賣讓與當藏シ及ヒ其約束ヲ爲シタル者ハ三年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六條　爆發物ヲ製造輸入所持シ又ハ注文ヲ爲シタル者第一條ニ記載シタル犯罪ノ目的ニアラサルコトヲ證明スルコト能ハサル時ハ六月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第七條　爆發物ヲ發見シタル者ハ直ニ警察官吏ニ告知ス可シ違フ者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條　第二條乃至第五條ノ犯罪アルコトヲ認知シタル時ハ眞ニ警察官吏若クハ危害ヲ被ムラレントスル人ニ告知ス可シ違フ者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第九條　第一條乃至第五條ノ犯罪者ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメ又ハ其罪跡ヲ湮滅シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第十條　廢止

第十一條　第一條ニ記載シタル犯罪ノ豫備陰謀ヲ爲シタル者ト雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シ因テ危害ヲ爲ス可キ凡ラサル時ハ其刑ヲ免除ス第五條ニ記載シタル犯罪者モ亦同シ

第十二條　本則ニ記載シタル犯罪刑法ニ照シ仍ホ重キ者ハ重キニ從テ處斷ス

●印紙犯罪處罰法

明治四十二年四月

法律第三十九號

枢密院議長ノ奏請ニ因リ印紙犯罪處罰法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

印紙犯罪處罰法

第一條　行使ノ目的ヲ以テ帝國政府ノ發行スル印紙又ハ印紙金額ヲ表彰スヘキ印章ヲ僞造又ハ變造シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス行使ノ目的ヲ以テ印紙ノ消印ヲ除去シタル者亦同シ

第二條　僞造、變造ノ印紙、印紙金額ヲ表彰スヘキ印章若ハ消印ヲ除去シタル印紙ヲ使用シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シ、輸入シ若ハ移入シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス印紙金額ヲ表彰スヘキ印章ヲ不正ニ

昭和五年五月

法律第九號

枢密院議長ノ奏請ニ因リ盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ其ノ生命、身體又ハ貞操ニ對シ現在ノ危險アルヲ排除スル爲犯人ヲ殺傷シタルトキハ刑法第三十六條第一項ノ防衛行爲ト認ムヘキトキハ此ノ限ニ在ラス

一　盜犯ヲ防止シ又ハ盜贓ヲ取還セントスルトキ

二　兇器ヲ攜帶シテ又ハ門戶牆壁等ヲ踰越損壞シ若ハ偽稱ヲ用キテ人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ船舶ニ侵入スル者ヲ防止セントスルトキ

三　故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ船舶ニ侵入シタル者又ハ要求ヲ受ケテ此等ノ場所ヨリ退去セサル者ヲ排斥セントスルトキ

前項各號ノ場合ニ於テ自己又ハ他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危險アルニ非スト雖モ行爲者恐怖、驚愕、興奮又ハ狼狽ニ因リ現場ニ於テ犯人ヲ殺傷スルニ至リタルトキハ之ヲ罰セス

第二條　常習トシテ左ノ各號ノ方法ニ依リ刑法第二百三十五條、第二百三十六條、第二百三十八條若ハ第二百三十九條ノ罪又ハ其未遂罪ヲ犯シタル者ニ對シ編造ヲ以テ論スヘキトキハ三年以上、强盜ヲ以テ論スヘキトキハ七年以上ノ有期懲役ニ處ス

一　兇器ヲ攜帶シテ犯シタルトキ

二　二人以上現場ニ於テ共同シテ犯シタルトキ

三　門戶牆壁等ヲ踰越損壞シ又ハ偽稱ヲ用キ人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ艦船ニ侵入シテ犯シタルトキ

四　夜間人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ艦船ニ侵入シテ犯シタルトキ

第三條　常習トシテ前條ニ揭ケタル刑法各條ノ罪又ハ其ノ未遂罪ヲ犯シタル者ニシテ其ノ行爲前十年內ニ此等ノ罪ノ一ニ付キ懲役ニ處セラレタル者ハ他ノ罪ト併合罪ニ付三回以上六月ノ懲役以上ノ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ其ノ執行ヲ免除セラレタル者ニシテ其ノ犯ス第一條ノ罪ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第四條　第一條ノ罪ヲ犯サントシテ骨迫教唆煽動ニ止ル者及ヒ共謀ニ止ル者ハ三年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第五條　第一條ニ記載シタル犯罪者ノ爲メ情ヲ知テ爆發物若クハ其使用ニ供ス可キ器具ヲ製造輸入販賣讓與當藏シ及ヒ其約束ヲ爲シタル者ハ三年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六條　爆發物ヲ製造輸入所持シ又ハ注文ヲ爲シタル者第一條ニ記載シタル犯罪ノ目的ニアラサルコトヲ證明スルコト能ハサル時ハ六月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第七條　爆發物ヲ發見シタル者ハ直ニ警察官吏ニ告知ス可シ違フ者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條　第二條乃至第五條ノ犯罪アルコトヲ認知シタル時ハ眞ニ警察官吏若クハ危害ヲ被ムラレントスル人ニ告知ス可シ違フ者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第九條　第一條乃至第五條ノ犯罪者ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメ又ハ其罪跡ヲ湮滅シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第十條　廢止

第十一條　第一條ニ記載シタル犯罪ノ豫備陰謀ヲ爲シタル者ト雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シ因テ危害ヲ爲ス可キ凡ラサル時ハ其刑ヲ免除ス第五條ニ記載シタル犯罪者モ亦同シ

第十二條　本則ニ記載シタル犯罪刑法ニ照シ仍ホ重キ者ハ重キニ從テ處斷ス

●印紙犯罪處罰法

明治四十二年四月

法律第三十九號

枢密院議長ノ奏請ニ因リ印紙犯罪處罰法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

印紙犯罪處罰法

第一條　行使ノ目的ヲ以テ帝國政府ノ發行スル印紙又ハ印紙金額ヲ表彰スヘキ印章ヲ僞造又ハ變造シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス行使ノ目的ヲ以テ印紙ノ消印ヲ除去シタル者亦同シ

第二條　僞造、變造ノ印紙、印紙金額ヲ表彰スヘキ印章若ハ消印ヲ除去シタル印紙ヲ使用シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シ、輸入シ若ハ移入シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス印紙金額ヲ表彰スヘキ印章ヲ不正ニ

●紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル件

明治三十八年三月
法律第六十六號

第一條　流通セシムルノ目的ヲ以テ外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシス

第二條　自己ノ生命若ハ船舶ヲ保護スル爲又ハ海底電信線ヲ布設若ハ修繕スルニ付已ムコトヲ得ス因テ海底電信線ヲ損壞シタル者ハ直ニ無線電信ニ依リ電信官署又ハ帝國領事館ニ屆出ツヘシ無線電信ニ依ルコトヲ得サルトキハ最初ニ著船シタル時ヨリ二十四時間内ニ其ノ地ノ電信官署又ハ帝國領事館ニ屆出ツヘシ

前項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三條　海底電信線保護萬國聯合條約第五條第一項乃至第三項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條　海底電信線保護萬國聯合條約第十條第二項ノ場合ニ於テ公署ノ呼示ヲ拒ミタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

暴行又ハ脅迫ヲ以テ前項ノ呈示ヲ拒ミタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（大正五年七月勅令第百八十五號ヲ以テ大正五年八月一日ヨリ施行）

●刑事訴訟法

大正十一年五月
法律第七十五號

改正　大正一五年四月七日法律第四三號　昭和一〇年五月四三號

第一編　總則

第一章　裁判所及檢事

第一條　裁判所ノ土地管轄ハ犯罪地又ハ被告人ノ住所、居所若ハ現在地ニ依リ帝國領外ニ在リ帝國艦船内ニ於テ犯シタル罪ハ第七條（本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ禁錮ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス）

第八條　本法ニ規定シタル罪ヲ犯シタル者偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物ノ未タ行使セラレサル前又ハ第五條ニ記載シタル物ノ未タ授付セラレサル前ニ於テ官ニ自首シタルトキハ主刑ヲ免除スルコトヲ得

第九條　本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ外國ニ於テ確定裁判ヲ經タル者ト雖更ニ之ヲ處罰スルコトヲ妨ケス但シ犯人既ニ外國ニ於テ言渡サレタル刑ノ全部又ハ一部ノ執行ヲ受ケタルトキハ刑ノ執行ヲ減免スルコトヲ得

第十條　偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物及第五條ニ記載シタル物ハ裁判ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハス行政ノ處分ヲ以テ之ヲ官沒ス

官沒ニ關スル手續ハ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條　偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物及第五條ニ記載シタル物ニハ明治九年布告第五十七號ヲ準用ス

附　則

本法ハ襲布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十七年勅令第百七十七號ハ之ヲ廢止ス

●海底電信線保護萬國聯合條約罰則

大正五年三月
法律第二十號

脫帝國議會ノ協賛ヲ經タル海底電信線保護萬國聯合條約罰則改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

海底電信線保護萬國聯合條約罰則

第一條　海底電信線保護萬國聯合條約ニ依ル海底電信線ヲ損壞シテ通信ヲ障碍シ又ハ障碍ヲ與ヘキ危險ヲ生セシメタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ海底電信線ヲ布設又ハ修繕スルニ付已ムコトヲ得サル目的ヲ以テ前項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

過失ニ因リ第一項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

脫帝國議會ノ協賛ヲ經タル外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシス

第一條　流通セシムルノ目的ヲ以テ外國ニ於テ流通スル金銀貨、紙幣、銀行券、帝國官府發行ノ證券ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ（重懲役）又ハ（輕懲役）ニ處ス

金銀貨以外ノ硬貨ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ（輕懲役）又ハ二年以上五年以下ノ（重禁錮）ニ處ス

第二條　流通セシムルノ目的ヲ以テ偽造又ハ變造ニ係ル前條ニ記載シタル物ヲ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第三條　情ヲ知テ偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物ヲ行使シ若ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル者ハ（重禁錮）ニ處ス

收得シタル後其ノ偽造又ハ變造ナルコトヲ知テ行使シ若ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授付シタル者ハ其ノ名價三倍以上ノ罰金ニ處ス但シ二圓以下ニ降スコトヲ得ス

第四條　第一條ノ偽造又ハ變造ノ用ニ供シ若ハ供セシムルノ目的ヲ以テ器械若ハ原料ヲ製造シ、授受シ若ハ準備シ又ハ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者ハ六月以上五年以下ノ（重禁錮）ニ處ス

第五條　販賣スルノ目的ヲ以テ第一條ニ記載シタル物ニ於ハシキ外觀ヲ有スル物ヲ製造シ又ハ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者ハ二年以下ノ（重禁錮）ニ處ス

前項ニ記載シタル物ヲ販賣シタル者ハ前項ノ例ニ同シ

第六條　前數條ニ規定シタル罪ハ裁判ノ豫審又ハ公判ニ繫屬スルトキハ上級裁判所ノ裁判ニ於テ其管轄ヲ定ム

第七條　本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ外國ニ於テ言渡サレタル刑ノ全部又ハ一部ノ執行ヲ受ケタルトキハ刑ノ執行ヲ減免スルコトヲ得

第八條　本法ニ規定シタル罪ヲ犯シタル者偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物ノ未タ行使セラレサル前又ハ第五條ニ記載シタル物ノ未タ授付セラレサル前ニ於テ官ニ自首シタルトキハ主刑ヲ免除スルコトヲ得

第九條　本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ外國ニ於テ確定裁判ヲ經タル者ト雖更ニ之ヲ處罰スルコトヲ妨ケス但シ犯人既ニ外國ニ於テ言渡サレタル刑ノ全部又ハ一部ノ執行ヲ受ケタルトキハ刑ノ執行ヲ減免スルコトヲ得

第十條　偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物及第五條ニ記載シタル物ハ裁判ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハス行政ノ處分ヲ以テ之ヲ官沒ス

官沒ニ關スル手續ハ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

刑法施行法第二十五條第一項第二號及第二十六條第十一號ハ之ヲ削ル

●通貨及證券模造取締法

明治二十八年四月
法律第二十八號

脫帝國議會ノ協賛ヲ經タル通貨及證券模造取締法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

通貨及證券模造取締法

第一條　貨幣、政府發行紙幣、銀行紙幣、兌換銀行券、國債證券及地方債證券ニ紛ハシキ外觀ヲ有スルモノヲ製造シ又ハ販賣スルコトヲ得ス

第二條　前條ニ違犯シタル者ハ一月以上三年以下ノ（重禁錮）ニ處シ（五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス）

第三條　第一條ニ揭ケタル物件ハ刑法ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハス發禁官ニ於テ之ヲ破毀スヘシ

第四條　第一條ニ揭ケタル物件ニハ明治九年布告第五十七號ヲ適用ス

（參照）

明治九年布告第五十七號ハ贋造金銀銅貨幣紙幣等取扱規則ナリ

●外國ニ於テ流通スル貨幣

使用シタル者亦同シ

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三條　帝國政府ノ發行スル印紙其ノ他印紙金額ヲ表彰スヘキ證票ヲ再ヒ使用シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四條　本法ハ何人ヲ問ハス帝國外ニ於テ第一條又ハ第二條ノ罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

第五條　偽造、變造ノ印紙、印紙金額ヲ表彰スヘキ印章又ハ消印ヲ除去シタル印紙ハ裁判ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハス行政ノ處分ヲ以テ之ヲ官沒ス

官沒ニ關スル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

刑法施行法第二十五條第一項第二號及第二十六條第十一號ハ之ヲ削ル

●通貨及證券模造取締法

明治二十八年四月
法律第二十八號

脫帝國議會ノ協賛ヲ經タル通貨及證券模造取締法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

通貨及證券模造取締法

第一條　貨幣、政府發行紙幣、銀行紙幣、兌換銀行券、國債證券及地方債證券ニ紛ハシキ外觀ヲ有スルモノヲ製造シ又ハ販賣スルコトヲ得ス

第二條　前條ニ違犯シタル者ハ一月以上三年以下ノ（重禁錮）ニ處シ（五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス）

第三條　第一條ニ揭ケタル物件ハ刑法ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハス發禁官ニ於テ之ヲ破毀スヘシ

第四條　第一條ニ揭ケタル物件ニハ明治九年布告第五十七號ヲ適用ス

（參照）

明治九年布告第五十七號ハ贋造金銀銅貨幣紙幣等取扱規則ナリ

●外國ニ於テ流通スル貨幣

第十條　偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物及第五條ニ記載シタル物ハ裁判ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハス行政ノ處分ヲ以テ之ヲ官沒ス

官沒ニ關スル手續ハ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

刑法施行法第二十五條第一項第二號及第二十六條第十一號ハ之ヲ削ル

●紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル件

明治三十八年三月
法律第六十六號

脫帝國議會ノ協賛ヲ經タル外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシス

第一條　流通セシムルノ目的ヲ以テ外國ニ於テ流通スル金銀貨、紙幣、銀行券、帝國官府發行ノ證券ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ（重懲役）又ハ（輕懲役）ニ處ス

金銀貨以外ノ硬貨ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ（輕懲役）又ハ二年以上五年以下ノ（重禁錮）ニ處ス

第二條　流通セシムルノ目的ヲ以テ偽造又ハ變造ニ係ル前條ニ記載シタル物ヲ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第三條　情ヲ知テ偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物ヲ行使シ若ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル者ハ（重禁錮）ニ處ス

收得シタル後其ノ偽造又ハ變造ナルコトヲ知テ行使シ若ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授付シタル者ハ其ノ名價三倍以上ノ罰金ニ處ス但シ二圓以下ニ降スコトヲ得ス

第四條　第一條ノ偽造又ハ變造ノ用ニ供シ若ハ供セシムルノ目的ヲ以テ器械若ハ原料ヲ製造シ、授受シ若ハ準備シ又ハ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者ハ六月以上五年以下ノ（重禁錮）ニ處ス

第五條　販賣スルノ目的ヲ以テ第一條ニ記載シタル物ニ於ハシキ外觀ヲ有スル物ヲ製造シ又ハ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者ハ二年以下ノ（重禁錮）又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ニ記載シタル物ヲ販賣シタル者ハ前項ノ例ニ同シ

第六條　前數條ニ規定シタル罪ハ裁判ノ豫審又ハ公判ニ繫屬スルトキハ上級裁判所ノ裁判ニ於テ其管轄ヲ定ム

第七條　本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ外國ニ於テ言渡サレタル刑ノ全部又ハ一部ノ執行ヲ受ケタルトキハ刑ノ執行ヲ減免スルコトヲ得

第八條　本法ニ規定シタル罪ヲ犯シタル者偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物ノ未タ行使セラレサル前又ハ第五條ニ記載シタル物ノ未タ授付セラレサル前ニ於テ官ニ自首シタルトキハ主刑ヲ免除スルコトヲ得

第九條　本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ外國ニ於テ確定裁判ヲ經タル者ト雖更ニ之ヲ處罰スルコトヲ妨ケス但シ犯人既ニ外國ニ於テ言渡サレタル刑ノ全部又ハ一部ノ執行ヲ受ケタルトキハ刑ノ執行ヲ減免スルコトヲ得

第十條　偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物及第五條ニ記載シタル物ハ裁判ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハス行政ノ處分ヲ以テ之ヲ官沒ス

官沒ニ關スル手續ハ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

刑法施行法第二十五條第一項第二號及第二十六條第十一號ハ之ヲ削ル

●刑事訴訟法

大正十一年五月
法律第七十五號

改正　大正一五年四月七日法律第四三號　昭和一〇年五月四三號

第一編　總則

第一章　裁判所及檢事

第一條　裁判所ノ土地管轄ハ犯罪地又ハ被告人ノ住所、居所若ハ現在地ニ依リ帝國領外ニ在リ帝國艦船内ニ於テ犯シタル罪ハ第七條（本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ禁錮ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス）

第八條　本法ニ規定シタル罪ヲ犯シタル者偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物ノ未タ行使セラレサル前又ハ第五條ニ記載シタル物ノ未タ授付セラレサル前ニ於テ官ニ自首シタルトキハ主刑ヲ免除スルコトヲ得

第九條　本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ外國ニ於テ確定裁判ヲ經タル者ト雖更ニ之ヲ處罰スルコトヲ妨ケス但シ犯人既ニ外國ニ於テ言渡サレタル刑ノ全部又ハ一部ノ執行ヲ受ケタルトキハ刑ノ執行ヲ減免スルコトヲ得

第十條　偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物及第五條ニ記載シタル物ハ裁判ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハス行政ノ處分ヲ以テ之ヲ官沒ス

官沒ニ關スル手續ハ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

刑法施行法第二十五條第一項第二號及第二十六條第十一號ハ之ヲ削ル

●通貨及證券模造取締法

明治二十八年四月
法律第二十八號

脫帝國議會ノ協賛ヲ經タル通貨及證券模造取締法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

通貨及證券模造取締法

第一條　貨幣、政府發行紙幣、銀行紙幣、兌換銀行券、國債證券及地方債證券ニ紛ハシキ外觀ヲ有スルモノヲ製造シ又ハ販賣スルコトヲ得ス

第二條　前條ニ違犯シタル者ハ一月以上三年以下ノ（重禁錮）ニ處シ（五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス）

第三條　第一條ニ揭ケタル物件ハ刑法ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハス發禁官ニ於テ之ヲ破毀スヘシ

第四條　第一條ニ揭ケタル物件ニハ明治九年布告第五十七號ヲ適用ス

（參照）

明治九年布告第五十七號ハ贋造金銀銅貨幣紙幣等取扱規則ナリ

●外國ニ於テ流通スル貨幣

二　數人共ニ同一又ハ別個ノ罪ヲ犯シタルトキ

三　數人通謀シテ各別ニ罪ヲ犯シタルトキ

四　數人同時ニ同一ノ場所ニ於テ各別ニ罪ヲ犯シタルトキ

犯人藏匿ノ罪、證憑湮滅ノ罪、僞證ノ罪、虛僞ノ鑑定通譯ノ罪及贓物ニ關スル罪ト其ノ本犯ノ罪トハ共ニ犯シタルモノト看做ス

第九條　同一事件事物管轄ヲ異ニスル數個ノ裁判所ノ豫審又ハ公判ニ繫屬スルトキハ上級裁判所ニ於テ之ヲ審判ス

上級裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ管轄權ヲ有スル下級裁判所ヲシテ其ノ事件ヲ審判セシムルコトヲ得

第十條　同一事件事物管轄ヲ同シクスル數個ノ裁判所ノ豫審又ハ公判ニ繫屬スルトキハ最初ニ公訴ヲ受ケタル裁判所ニ於テ之ヲ審判ス

第二十三條　管轄ノ指定又ハ移轉ノ請求ヲ受ケタル裁判所ハ檢事ノ意見ヲ聽キ決定ヲ爲スヘシ

第二章　裁判所職員ノ除斥、忌避及回避

第二十四條　判事ハ左ノ場合ニ於テ職務ノ執行ヨリ除斥セラルヘシ

一　判事被害者タルトキ

二　判事私訴當事者タルトキ

三　判事被告人、被害者又ハ私訴當事者ノ配偶者、四親等内ノ血族、三親等内ノ姻族又ハ同居ノ戶主若ハ家族タルトキ親族關係ノ止ミタル後亦同シ

四　判事被告人、被害者又ハ私訴當事者ノ法定代理人、後見監督人又ハ保佐人タルトキ

五　判事事件ニ付證人又ハ鑑定人ト爲リタルトキ

六　判事事件ニ付被告人ノ代理人、辯護人、輔佐人又ハ私訴當事者ノ代理人ト爲リタルトキ

七　判事事件ニ付檢事又ハ司法警察官ノ職務ヲ行ヒタルトキ

八　判事事件ニ付豫審終結決定若ハ前審ノ裁判又ハ其ノ基礎ト爲リタル取調ニ關與シタルトキ但シ受託判事トシテ關與シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　判事職務ノ執行ヨリ除斥セラルヘキトキ又ハ偏頗ノ裁判ヲ爲ス虞アルトキハ檢事、被告人又ハ私訴當事者之ヲ忌避スルコトヲ得

辯護人ハ被告人ノ爲忌避ノ申立ヲ爲スコトヲ得但シ被告人ノ明示シタル意思ニ反スルコトヲ得ス

第二十六條　事件ニ付請求又ハ陳述ヲ爲シタル後ハ偏頗ノ裁判ヲ爲ス虞アリトシテ判事ヲ忌避スルコトヲ得ス但シ忌避ノ原由アリシコトヲ知ラサリシトキ又ハ忌避ノ原由其ノ後ニ發生シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條　合議裁判所ノ判事ニ對スル忌避

第二立非前定以ス二十九條　忌ヘ忌ヘ忌ヘ

第
二一勾八出八サ救逃十ル逃合ル出頭ヲ
得ハ依ノ辯護人配ノ選更
ヲ
得ク
第
訴ヲ提キ決定ト左ノ如ク
ス
受ケ
タル
者ハ
之ヲ
不服
トスル
ト
キハ
抗告
ヲ
為ス
コト
ヲ
得
抗告ハ
原裁判所ニ
提起
スル
ヲ
要ス
抗告ハ
裁判
ノ
告知
ヲ
受ケ
タル
日ヨリ
三日
ノ
不変期間
内ニ
之ヲ
為スヲ
要ス
抗告ハ
執行
ヲ
停止
スル
ノ
効力
ヲ
有ス
但シ
裁判
ニ
別段
ノ
定
アル
トキハ
此
限
ニ
在ラス
抗告ハ
裁判
ノ
執行
ヲ
停止
スル
ノ
効力
ヲ
有セス
但シ
裁判
ニ
別段
ノ
定
アル
トキハ
此
限
ニ
在ラス
抗告ハ
原裁判所
ニ
抗告
ノ
理由
ヲ
記シ
タル
書面
ヲ
差出
スヘシ
抗告
ノ
理由
ヲ
記シ
タル
書面
ヲ
差出
サヽルトキ
ハ
抗告
ヲ
棄却
スヘシ
但
抗告
ノ
理由
ヲ
記シ
タル
書面
ヲ
差出
シタル
後
抗告
ノ
取下
ヲ
為シ
タルトキ
ハ
此
限
ニ
在ラス
抗告
ヲ
棄却
シタル
決定
ニ
対シ
テハ
更ニ
抗告
ヲ
為スヲ
得ス
抗告
ヲ
棄却
シタル
決定
ニ
対シ
テハ
再抗告
ヲ
為スヲ
得
再抗告ハ
抗告
ノ
裁判
ニ
対シ
テハ
抗告
ヲ
為スヲ
得ス
再抗告ハ
抗告
ノ
裁判
ニ
対シ
テハ
再抗告
ヲ
為スヲ
得ス

第百三十一條　第九十七條、第九十八條及第百條乃至第百十條ノ規定ハ第百二十三條及第百二十九條ノ勾引又ハ勾留ニ付之ヲ準用ス

第百三十二條　五百圓以下ノ罰金、拘留又ハ科料ニ該ル卽ノ現行犯ニ付テハ犯人ノ住居若ハ氏名分明ナラサル場合又ハ犯人ノ逃亡ス ル虞アル場合ニ限リ第百二十四條乃至前條ノ規定ヲ適用ス

第十章　被告人訊問

第百三十三條　被告人ニ對シテハ先ツ其ノ人違ナキコトヲ確ムルニ足ルヘキ事項ヲ訊問スヘシ

第百三十四條　被告人ニ對シテハ被告事件ヲ告ケ其ノ事件ニ付陳述スヘキコトアリヤ否ヲ問フヘシ

第百三十五條　被告人ニ對シテハ丁寧深切ヲ旨トシ其ノ利益ト爲ルヘキ事實ヲ陳述スル機會ヲ與フヘシ

第百三十六條　被告人ヲ訊問スルトキハ裁判所書記ヲシテ立會ハシムヘシ

第百三十七條　事實發見ノ爲必要アルトキハ被告人ト他ノ被告人又ハ證人ト對質セシムルコトヲ得

第百三十八條　被告人ノ辯護人ニ對シテハ前ニ陳ヘタル事項ヲ以テ答ヘシムルコトヲ得

第百三十九條　本章ノ規定ハ被疑者ヲ訊問スル場合ニ之ヲ準用ス但シ司法警察官訊問ヲ爲ス場合ニ於テハ司法警察吏ヲシテ立會ハシムルヘシ

第十一章　押收及捜索

第百四十條　裁判所ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外證據物又ハ沒收スヘキ物ト思料スルモノアルトキハ之ヲ差押フヘシ

裁判所ハ差押フヘキ物ヲ指定シ所有者、所持者又ハ保管者ニ其ノ物ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第百四十一條　裁判所ハ被告人ヨリ發シ又ハ被告人ニ對シテ發シタル郵便物又ハ電信ニ關スル書類ニシテ發信事務ヲ取扱フ官署其ノ他ノ者ノ保管又ハ所持スルモノヲ差押ヘ

又ハ之ヲ提出セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ該當セサル郵便物又ハ電信ニ關スル書類ニシテ通信事務ヲ取扱フ官署其ノ他ノ者ノ保管又ハ所持スルモノハ被告事件ニ關係アリト思料スルニ足ルヘキ狀況アルモノニ限リ之ヲ差押ヘ又ハ提出セシムルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ發信人又ハ受信人ニ通知スヘシ但シ通知ニ因リ審理ヲ妨クル虞アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十二條　被告人其ノ他ノ者ノ遺留シタル物又ハ所有者、所持者若ハ保管者ニ於テ任意ニ提出シタル物ハ之ヲ領置スルコトヲ得

第百四十三條　裁判所ハ必要アルトキハ被告人ノ身體、物又ハ住居其ノ他ノ場所ニ就キ捜索ヲ爲スコトヲ得

被告人ニ非サル者ノ身體、物又ハ住居其ノ他ノ場所ニ付テハ押收スヘキ物ノ存在ヲ認知スルニ足ルヘキ狀況アル場合ニ限リ捜索ヲ爲スコトヲ得

婦女ノ身體ノ捜索ニ付テハ成年ノ婦女ヲシテ之ニ立會ハシムヘシ但シ急速ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十四條　捜索ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第百四十五條　捜索ヲ爲シタル場合ニ於テ證據物又ハ沒收スヘキ物ト思料スル文書其ノ他ノ物ニ付亦同シ

第百四十六條　押收又ハ捜索ニ付テハ鎖鑰又ハ封緘ノ開披其ノ他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得押收物ニ付亦同シ

第百四十七條　軍事上秘密ヲ要スル場所ニ於テハ其ノ長又ハ之ニ代ルヘキ者ノ承諾アルニ非サレハ押收又ハ捜索ヲ爲スコトヲ得

第百四十八條　押收又ハ捜索ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス

公務所又ハ公務員ノ占有シ又ハ保管スル物ニ付テハ本人又ハ當該公務所ヨリ職務上ノ秘密ニ關スルモノナルコトヲ申立テタルトキハ當該監督官廳ノ承諾アルニ非サレハ押收ヲ爲スコトヲ得

第百四十九條　醫師、齒科醫師、藥劑師、藥種商、產婆、辯護士、辯護人、辨理士、公證人、宗教若ハ禳祀ノ職ニ在ル者又ハ此等ノ職ニ在リタル者ハ業務上委託ヲ受ケタルカ爲保管又ハ所持スル物ニシテ他人ノ祕密ニ關スルモノニ付證拒ヲ爲シタルトキハ本人承諾シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百五十條　裁判所ハ押收スヘキ物又ハ捜索スヘキ場所、身體若ハ物ヲ指定シ卽命狀ヲ以テ其ノ事由ヲ調査シ記臧スルヘシ

日沒前押收又ハ捜索ニ著手シタルトキハ日沒後ト雖其ノ處分ヲ繼續スルコトヲ得

第百五十一條　日出前、日沒後ニハ住居主若ハ看守者又ハ之ニ代ルヘキ者ノ承諾アルトキ又ハ急速ヲ要スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百五十二條　裁判所ハ必要アルトキハ被告人ノ身體、物又ハ住居其ノ他ノ場所ニ就キ捜索ヲ爲スコトヲ得

受命判事又ハ受託判事ノ爲ス押收又ハ捜索ニ付テハ裁判所ノ爲ス押收又ハ捜索ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第百四十一條第三項ノ通知ハ裁判所之ヲ爲スヘシ

第百五十五條　日出前、日沒後ニハ住居主若ハ看守者又ハ之ニ代ルヘキ者ノ承諾アルトキ又ハ急速ヲ要スル場合ノ外住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ艦船ニ入ルコトヲ得

猶豫スヘカラサル場合ニ於テハ前項ニ規定スル制限ニ依ルコトヲ要セス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ調書ニ記臧スルヘシ

日沒前押收又ハ捜索ニ著手シタルトキハ日沒後ト雖其ノ處分ヲ繼續スルコトヲ得

第百五十六條　左ノ場所ニ於テ爲ス押收又ハ捜索ニ付テハ前條第一項ニ規定スル制限ニ依ルコトヲ要セス

一　賭博、富籤又ハ風俗ヲ害スル行爲ニ常用セラルルモノト認ムヘキ場所

二　旅店、飲食店其ノ他夜間營業公衆ノ出入スルコトヲ得ヘキ場所但シ公開シタル時間内ニ限ル

第百五十七條　公務所又ハ軍事用ノ艦船若ハ艦船ノ內ニ在ル押收又ハ捜索ニ付テハ其ノ長又ハ之ニ代ルヘキ者ニ通知シテ其ノ處分ニ立會ハシムヘシ

前項ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ艦船ノ內ニ於テ押收又ハ捜索ヲ爲ストキハ住居主若ハ看守者又ハ之ニ代ルヘキ者ヲシテ之ニ立會ハシムヘシ此等ノ者ヲシテ立會ハシムルコト能ハサルトキハ鄰人又ハ市町村吏員ヲシテ立會ハシムヘシ

第百五十八條　檢事、被告人又ハ辯護人ハ押收又ハ捜索ニ立會フコトヲ得但シ拘禁セラレタル被告人ハ此ノ限ニ在ラス

押收又ハ捜索ヲ爲スニ付必要アルトキハ被告人ヲシテ之ニ立會ハシムルコトヲ得

第百五十九條　押收又ハ捜索ヲ爲スヘキ日時及場所ハ豫メ前條ノ規定ニ依リ其ノ處分ニ立會フコトヲ得ヘキ者ニ通知スヘシ但シ急速ヲ要スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百六十條　押收又ハ捜索ヲ爲スニ付必要アルトキハ司法警察官吏ヲシテ補助ヲ爲サシムルコトヲ得

第百六十一條　押收又ハ捜索ノ處分中ハ何人ニ限ラス許可ヲ得シテ其ノ場所ニ出入スルコトヲ禁止スルコトヲ得

前項ノ禁止ニ從ハサル者ハ之ヲ退去セシメ又ハ處分終ルニ至ル迄留置スルコトヲ得

第百六十二條　押收又ハ捜索ノ處分ヲ中止スル場合ニ於テ必要アルトキハ其ノ場所ヲ閉鎖シ又ハ看守者ヲ置クヘシ

第百六十三條　押收ヲ爲シタル場合ニ於テ所有者、所持者若ハ保管者又ハ之ニ代ルヘキ者ノ請求アリタルトキハ品目ヲ記載シタル謄書又ハ目錄ノ謄本又ハ抄本ヲ交付スヘシ

第百六十四條　押收物ニ付テハ褒失又ハ毀損ヲ防クカ爲相當ノ處置ヲ爲スヘシ

運搬又ハ保管ニ不便ナル押收物ニ付テハ看守者ヲ置キ又ハ所有者其ノ他ノ者ヲシテ之ヲ保管セシムルコトヲ得

危險ヲ生スル虞アル押收物ハ之ヲ廢棄スルコトヲ得

第百六十五條　沒收スルコトヲ得ヘキ押收物ニシテ滅失若ハ毀損ノ虞アルモノ又ハ保管ニ不便ナルモノハ之ヲ賣却シテ其ノ代價ヲ保管スルコトヲ得

第百六十六條　押收物ニシテ留置ノ必要ナキモノハ被告事件ノ終結ヲ待タス檢非ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ之ヲ還付スヘシ

押收物ハ所有者、所持者、保管者又ハ差出人ノ請求ニ因リ檢非ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ假ニ之ヲ還付スルコトヲ得

第百六十七條　押收シタル贓物ニシテ留置ノ必要ナキモノハ被害者ニ還付スヘキ理由明白ナルトキニ限リ被告事件ノ終結ヲ待タス檢非ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ之ヲ被害者ニ還付スヘシ

前項ノ規定ハ民事訴訟ノ手續ニ從ヒ利害關係人ヨリ其ノ權利ヲ主張スルコトヲ妨ケス

第百六十八條　押收又ハ捜索ヲ爲シトキハ裁判所書記ヲシテ立會ハシムヘシ

第百六十九條　瑣末判事ハ押收及捜索ニ關シ裁判所ト同一ノ權ヲ有ス

第百七十條　檢事ハ第百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百七十一條　檢事ハ第百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ押收若ハ捜索ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ場合ニ於テハ公訴提起前ニ限リ押收若ハ捜索ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百七十二條　檢事ハ第百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ場合ニ於テハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百七十三條　檢事ハ第百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ捜索ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ場合ニ於テハ公訴提起前ニ限リ捜索ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百七十四條　檢事ハ第百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ捜索ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ場合ニ於テハ公訴提起前ニ限リ捜索ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百七十五條　檢事ハ第百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ場合ニ於テハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百七十六條　檢事ハ第百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ場合ニ於テハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百七十七條　檢事ハ第百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ場合ニ於テハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百七十八條　檢事ハ第百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ場合ニ於テハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百七十九條　檢事ハ第百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ場合ニ於テハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百八十條　檢事ハ第百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ場合ニ於テハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百八十一條　檢事ハ第百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ場合ニ於テハ公訴提起前ニ限リ檢證ヲ爲シ又ハ之ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百八十二條　變死者又ハ變死ノ疑アル死體アルトキハ其ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所又ハ區裁判所ノ檢事檢視ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

第百八十三條　第百四十七條、第百五十七條、第百五十八條、第百六十條、第百六十一條、第百六十二條及第百六十三條ノ規定ハ檢事ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　裁判所ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外檢事ノ處分ニ付之ヲ準用ス

第十三章　證人訊問

第百八十五條　裁判所ハ檢事、被告人又ハ辯護人ノ押收又ハ捜索ニ立會フコトヲ得但シ拘禁セラレタル被告人ハ此ノ限ニ在ラス

第百八十六條　公務所又ハ公務員タリシ者ノ知得タル事實ニ付本人又ハ當該公務所ヨリ職務上ノ祕密ニ關スルモノナルコトヲ申立テタルトキハ當該監督官廳ノ承諾アルニ非サレハ證人トシテ之ヲ訊問スルコトヲ得

第百八十七條　公務員又ハ公務員タリシ者ノ知得タル事實ニ付本人又ハ當該公務所ヨリ職務上ノ祕密ニ關スルモノナルコトヲ申立テタルトキハ當該監督官廳ノ承諾アルニ非サレハ證人トシテ之ヲ訊問スルコトヲ得

第百八十八條　第百四十七條、第百五十四條、第百五十七條乃至第百六十二條及第百六十八條ノ規定ハ檢證ニ付之ヲ準用ス

第百八十九條　瑣末判事ノ檢證ニ關シ裁判所ト同一ノ權ヲ有ス

第百九十一條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十二條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第百九十三條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第百九十四條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第百九十五條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第百九十六條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第百九十七條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第百九十八條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第百九十九條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百一條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百二條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百三條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百四條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百五條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百六條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百七條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百八條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百九條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百十條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百十一條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百十二條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百十三條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百十四條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百十五條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百十六條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百十七條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百十八條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百十九條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百二十條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百二十一條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百二十二條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百二十三條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百二十四條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百二十五條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百二十六條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百二十七條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百二十八條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百二十九條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百三十條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百三十一條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百三十二條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百三十三條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百三十四條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百三十五條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百三十六條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百三十七條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百三十八條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百三十九條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百四十條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百四十一條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百四十二條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百四十三條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百四十四條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百四十五條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百四十六條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百四十七條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百四十八條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百四十九條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百五十條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百五十一條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百五十二條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百五十三條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百五十四條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百五十五條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百五十六條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百五十七條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百五十八條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百五十九條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百六十條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百六十一條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百六十二條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百六十三條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百六十四條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百六十五條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百六十六條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百六十七條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百六十八條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百六十九條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百七十條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百七十一條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百七十二條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百七十三條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百七十四條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百七十五條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百七十六條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百七十七條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百七十八條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百七十九條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百八十條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百八十一條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百八十二條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百八十三條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百八十四條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百八十五條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百八十六條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百八十七條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百八十八條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百八十九條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百九十條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百九十一條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百九十二條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百九十三條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百九十四條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百九十五條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百九十六條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百九十七條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百九十八條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二百九十九條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第三百條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ於テ裁判所ノ召喚ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

注意スヘシ

第二百五十四條　捜査ニ付テハ其ノ目的ヲ達スル爲必要ナル取調ヲ爲スコトヲ得但シ强制ノ處分ハ別段ノ規定アル場合ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

捜査ニ付テハ公務所ニ照會シテ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第二百五十五條　檢事捜査ヲ爲スニ付强制ノ處分ヲ必要トスルトキハ公訴ノ提起前ト雖押收、捜索、檢證及被疑者ノ勾留、被疑者若ハ證人ノ鑑定ノ處分ヲ其ノ所屬地方裁判所ノ豫審判事又ハ所屬區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル請求ヲ受ケタル判事ハ其ノ處分ニ關シ豫審判事ト同一ノ權ヲ有ス

第二百五十六條　判事前條ノ處分ヲ爲シタルトキハ遅ニモ之ニ關スル書類及證據物ヲ檢事ニ送付スヘシ

第二百五十七條　第二百五十五條ノ規定ニ依リ被疑者ヲ勾留シタル事件ニ付十日内ニ公訴ヲ提起セサルトキハ檢事ハ速ニ被疑者ヲ釋放スヘシ

第二百五十八條　第二百五十五條ノ規定ニ依リ押收ヲ爲シタル事件ニ付公訴ヲ提起セサル處分ヲ爲シタルトキハ檢事ハ速ニ押收物ヲ還付スヘシ但シ必要アル場合ニ於テハ公訴ノ時效完成スルニ至ル迄之ヲ保管スルコトヲ得

第二百五十八條　犯罪ニ因リ害ヲ被リタル者ハ告訴ヲ爲スコトヲ得

第二百五十九條　親族又ハ父母ニ對シテハ告訴ヲ爲スコトヲ得ス

第二百六十條　被害者ノ法定代理人又ハ夫ハ獨立シテ告訴ヲ爲スコトヲ得

被害者死亡シタルトキハ其ノ配偶者、家督相續人、直系ノ親族又ハ兄弟姉妹ハ告訴ヲ爲スコトヲ得但シ被害者ノ明示シタル意思ニ反スルコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ刑法第百八十三條ノ罪ニ付テハ之ヲ適用セス

第二百六十一條　檢事事件其ノ所屬裁判所ノ管轄ニ關セサルモノト思料スルトキハ書類及證據物ト共ニ其ノ事件ヲ管轄裁判所ノ檢事又ハ相當官署ニ送致スヘシ、

前項ノ場合ニ於テ被疑者ニ對シ勾留ヲ繼續スル必要アリト思料スルトキハ之ヲ釋放スヘシ

第二百六十二條　告訴ニ係ル事件ニ付公訴ヲ提起シ又ハ之ヲ提起セサル處分ヲ爲シタルトキハ遅ニ其ノ旨ヲ告訴人ニ通知スヘシ公訴ヲ取消シ又ハ事件ヲ他ノ裁判所ノ檢事若ハ相當官署ニ送致シタルトキ亦同シ

第三章　豫審

第二百六十三條　檢事ハ被告事件ヲ公判ニ付スヘキカ否ヲ決スル爲必要ナル事項ヲ取調フルヲ以テ其ノ目的トス

豫審判事ハ公判ニ於テ取調ヘ難シト思料スル事項ニ付亦取調ヲ爲スヘシ

第二百六十四條　豫審ニ於テハ取調ノ秘密ヲ保チ被告人其ノ他ノ者ノ名譽ヲ毀損セサルコトニ注意スヘシ

第二百六十五條　豫審判事豫審中共犯アルコト又ハ他ノ犯罪アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ檢事ノ請求ヲ待タス豫審ニ關スル處分ヲ爲スコトヲ得

豫審判事前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ檢事ニ通知スヘシ

第二百六十六條　檢事前條第二項ノ規定ニ依ル豫審ノ請求ヲ受ケタルトキハ速ニ意見ヲ付シテ之ヲ豫審判事ニ還付スヘシ

第二百六十七條　被告事件裁判所ノ管轄ニ屬セサルトキハ豫審判事ハ決定ヲ以テ管轄違ノ言渡ヲ爲スヘシ

第二百六十八條　豫審判事ハ其ノ所屬裁判所ノ管轄ニ屬スル事件ニ付テハ之ヲ豫審判事ニ還付スヘシ

第二百六十九條　被告事件裁判所ノ管轄ニ屬セサルトキハ豫審判事ハ決定ヲ以テ管轄違ノ言渡ヲ爲スヘシ

第二百七十條　豫審判事ハ其ノ所屬裁判所ノ管轄ニ屬スル事件ニ付テハ豫審ヲ終了シタル旨ノ決定ヲ爲スヘシ

第二百七十一條　豫審判事ハ被告人ニ定マリタル住所ナキトキハ其ノ居所ニ就キ之ヲ訊問スルコトヲ得

第二百七十二條　豫審判事ハ被告人ノ所在ニ就キ之ヲ訊問スルコトヲ得

第二百七十三條　豫審判事ハ豫審終結前被告人ニ對シ豫疑ヲ受ケタル原由ヲ告知シ辯解ヲ爲サシムヘシ但シ被告人正當ノ事由ナクシテ出頭セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二百七十四條　豫審判事ハ公判ニ於テ召喚シ難キ證人ノ訊問スル場合ニ於テハ檢事及辯護人ハ其ノ訊問ニ立會フコトヲ得

第二百七十五條　檢事、被告人又ハ辯護人ハ豫審中何時ニテモ必要ト認ムル處分ヲ豫審判事ニ請求スルコトヲ得

檢事ハ豫審ノ進行ヲ妨ケサル限リ書類及證據物ヲ閲覽スルコトヲ得

辯護人ハ豫審判事ノ許可ヲ受ケ書類及證據物ヲ閲覽スルコトヲ得

第二百七十六條　豫審判事ハ公務所ニ照會シテ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第二百七十七條　豫審判事ハ左ノ場合ニ於テハ檢事ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ豫審手續ヲ中止スルコトヲ得

一　被告人ノ所在分明ナラサルトキ

二　被告人心神喪失ノ狀態ニ在ルトキ

前項ノ決定ハ之ヲ送達セス

第三百六條　豫審判事被告事件ニ付取調ヲ終ヘタルトキハ檢事ニ事件ヲ送致シ又ハ管轄裁判所ニ直ニ被告人ヲ釋放スヘシ被告事件ノ送致ヲ受ケタル檢事ハ速ニ其ノ手續ヲ

署名捺印スヘシ

公判開廷中被告人ニ他ノ犯罪アルコトヲ發見シ公判ヲ請求スル場合ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第二百六十七條　公訴ヲ提起スルニハ被告人ヲ指定シ犯罪事實及罰名ヲ示スヘシ

被告人ノ指定ハ氏名ヲ以テシ氏名知レサルトキハ容貌體格其ノ他ノ徴表ヲ以テスヘシ

第二百六十八條　公訴ハ豫審終結決定又ハ第一審ノ判決アル迄之ヲ取消スコトヲ得

公訴ノ取消ハ理由ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第二百六十九條　檢事事件ノ管轄ニ屬セサルモノト思料スルトキハ書類及證據物ト共ニ其ノ事件ヲ管轄裁判所ノ檢事又ハ相當官署ニ送致スヘシ、

前項ノ場合ニ於テ被疑者ニ對シ勾留ヲ繼續スル必要アリト思料スルトキハ之ヲ釋放スヘシ

第二百七十條　告訴ニ係ル事件ニ付公訴ヲ提起シ又ハ之ヲ提起セサル處分ヲ爲シタルトキハ遅ニ其ノ旨ヲ告訴人ニ通知スヘシ公訴ヲ取消シ又ハ事件ヲ他ノ裁判所ノ檢事若ハ相當官署ニ送致シタルトキ亦同シ

第三章　豫審

第二百七十一條　豫審ハ被告事件ヲ公判ニ付スヘキカ否ヲ決スル爲必要ナル事項ヲ取調フルヲ以テ其ノ目的トス

豫審判事ハ公判ニ於テ取調ヘ難シト思料スル事項ニ付亦取調ヲ爲スヘシ

第二百七十二條　豫審ニ於テハ取調ノ秘密ヲ保チ被告人其ノ他ノ者ノ名譽ヲ毀損セサルコトニ注意スヘシ

第二百七十三條　豫審判事豫審中共犯アルコト又ハ他ノ犯罪アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ檢事ノ請求ヲ待タス豫審ニ關スル處分ヲ爲スコトヲ得

豫審判事前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ檢事ニ通知スヘシ

第二百七十四條　豫審判事豫審中共犯アルコト又ハ他ノ犯罪アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ檢事ノ請求ヲ待タス豫審ニ關スル處分ヲ爲スコトヲ得

豫審判事前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ檢事ニ通知スヘシ

第二百七十五條　檢事、被告人又ハ辯護人ハ豫審中何時ニテモ必要ト認ムル處分ヲ豫審判事ニ請求スルコトヲ得

檢事ハ豫審ノ進行ヲ妨ケサル限リ書類及證據物ヲ閲覽スルコトヲ得

辯護人ハ豫審判事ノ許可ヲ受ケ書類及證據物ヲ閲覽スルコトヲ得

第二百七十六條　豫審判事ハ公務所ニ照會シテ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第二百七十七條　豫審判事ハ左ノ場合ニ於テハ檢事ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ豫審手續ヲ中止スルコトヲ得

一　被告人ノ所在分明ナラサルトキ

二　被告人心神喪失ノ狀態ニ在ルトキ

前項ノ決定ハ之ヲ送達セス

第三百六條　豫審判事被告事件ニ付取調ヲ終ヘタルトキハ檢事ニ事件ヲ送致シ又ハ管轄裁判所ニ直ニ被告人ヲ釋放スヘシ被告事件ノ送致ヲ受ケタル檢事ハ速ニ其ノ手續ヲ

ナルトキハ被害者ノ親族ハ獨立シテ告訴ヲ爲スコトヲ得

第二百六十二條　死者ノ名譽ヲ毀損シタル罪ニ付テハ死者ノ親族、遺族又ハ後裔ハ告訴ヲ爲スコトヲ得

名譽ヲ毀損シタル罪ニ付被害者告訴ヲ爲サスシテ死亡シタルトキ亦前項ニ同シ但シ被害者ノ明示シタル意思ニ反スルコトヲ得ス

第二百六十三條　親告罪ニ付告訴ヲ爲スコトヲ得ヘキ者ナキ場合ニ於テハ管轄裁判所ノ檢事ハ利害關係人ノ申立ニ因リ告訴ヲ爲スコトヲ得ヘキ者ヲ指定スルコトヲ得

第二百六十四條　刑法第百八十三條ノ罪ニ付テハ婚姻解消シ又ハ離婚ノ訴ヲ提起シタル後ニ非サレハ告訴ヲ爲スコトヲ得ス再ヒ婚姻ヲ爲シ又ハ離婚ノ訴ヲ取下ケタルトキハ告訴ヲ取消シタルモノト看做ス

第二百六十五條　親告罪ノ告訴ハ犯人ヲ知リタル日ヨリ六月ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

刑法第二百二十九條但書ノ場合ニ於ケル告訴ハ婚姻ノ無效又ハ取消ノ裁判確定シタル日ヨリ六月内ニ之ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ナシ

第二百六十六條　告訴ヲ爲スコトヲ得ヘキ者數人アル場合ニ於テ一人ノ期間ノ懈怠ハ他ノ者ニ對シ其ノ效力ヲ及ホサス

第二百六十七條　告訴ハ第二審ノ判決アル迄之ヲ取消スコトヲ得

告訴ノ取消ヲ爲シタル者ハ更ニ告訴ヲ爲スコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ請求ヲ待チテ受理スヘキ事件ニ付テノ請求ニ之ヲ準用ス

第二百六十八條　親告罪ニ付共犯ノ一人又ハ數人ニ對シテ爲シタル告訴又ハ其ノ取消ハ他ノ共犯ニ對シ亦其ノ效力ヲ生ス

前項ノ規定ハ請求ヲ待チテ受理スヘキ事件ニ付テノ請求又ハ其ノ取消ニ之ヲ準用ス

刑法第百八十三條ノ罪ニ付相姦者ノ一人ニ對シテ告訴又ハ其ノ取消アリタルトキハ他ノ者ニ對シ亦其ノ效力ヲ生ス

第二百六十九條　拘留又ハ科料ニ該ル事件ニ付テハ缺席ノ儘公判ヲ開キ被告人ニ對シテ發スヘキ召喚狀ハ之ヲ送達セス

第二百七十條　親告罪ニ付共犯ノ一人又ハ數人ニ對シテ爲シタル告訴又ハ其ノ取消ハ他ノ共犯ニ對シ亦其ノ效力ヲ生ス

前項ノ規定ハ請求ヲ待チテ受理スヘキ事件ニ付テノ請求又ハ其ノ取消ニ之ヲ準用ス

刑法第百八十三條ノ罪ニ付相姦者ノ一人ニ對シテ告訴又ハ其ノ取消アリタルトキハ他ノ者ニ對シ亦其ノ效力ヲ生ス

第二百七十一條　拘留又ハ科料ニ該ル罪ニ付テハ缺席ノ儘公判ヲ開キ被告人ニ對シテ發スヘキ召喚狀ハ之ヲ送達セス

第二百七十二條　拘留又ハ科料ニ該ル罪ニ付テハ六月

第二百七十三條　二以上ノ主刑中其ノ一ヲ科スヘキ罪ニ付テハ其ノ重キ刑ニ從ヒ前條ノ規定ヲ適用ス

第二百七十四條　刑法ニ依リ刑ヲ加重又ハ減輕スヘキ場合ニ於テハ加重又ハ減刑ニ從ヒ第二百八十一條ノ規定ヲ適用ス

第二百七十五條　時效ハ公訴ノ提起ニ因リ中斷ス但シ其ノ效力ハ訴ノ提起ヲ取消シ又ハ不適法ナリトシテ却下シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二百七十六條　時效ハ公訴ノ提起、公判若ハ豫審ノ處分又ハ第二百五十五條ノ規定ニ依リ爲シタル判事ノ處分ニ因リ中斷ス但シ其ノ手續ノ規定ニ違反シタル爲無效ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二百七十七條　時效ハ中斷ノ事由ノ終了シタル時ヨリ更ニ進行ス

第二百七十八條　時效ハ第三百五條第一項第二號ノ規定ニ依リ豫審手續ヲ中止シ又ハ第三百五十二條ノ規定ニ依リ公判手續ヲ停止シタル期間内ハ進行セス

第二百七十九條　時效ハ公訴ノ提起ニ豫審又ハ公判ヲ請求スルニ依リテ之ヲ準用ス

第二百八十條　親告罪ニ付共犯ノ一人又ハ數人ニ對シテ爲シタル告訴又ハ其ノ取消ハ他ノ共犯ニ對シ亦其ノ效力ヲ生ス

前項ノ規定ハ請求ヲ待チテ受理スヘキ事件ニ付テノ請求又ハ其ノ取消ニ之ヲ準用ス

刑法第百八十三條ノ罪ニ付相姦者ノ一人ニ對シテ告訴又ハ其ノ取消アリタルトキハ他ノ者ニ對シ亦其ノ效力ヲ生ス

第二百八十一條　何人ト雖犯罪アリト思料スルトキハ告發ヲ爲スコトヲ得

第二百八十二條　死者ノ名譽ヲ毀損シタル罪ニ付テハ六月

第二百八十三條　親族又ハ後裔ハ告訴ヲ爲サスシテ死亡シタルトキ亦前項ニ同シ但シ被害者ノ明示シタル意思ニ反スルコトヲ得ス

第二百八十四條　刑法第百八十三條ノ罪ニ付テハ婚姻解消シ又ハ離婚ノ訴ヲ提起シタル後ニ非サレハ告訴ヲ爲スコトヲ得ス再ヒ婚姻ヲ爲シ又ハ離婚ノ訴ヲ取下ケタルトキハ告訴ヲ取消シタルモノト看做ス

第二百八十五條　親告罪ノ告訴ハ犯人ヲ知リタル日ヨリ六月ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

刑法第二百二十九條但書ノ場合ニ於ケル告訴ハ婚姻ノ無效又ハ取消ノ裁判確定シタル日ヨリ六月内ニ之ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ナシ

第二百八十六條　告訴ヲ爲スコトヲ得ヘキ者數人アル場合ニ於テ一人ノ期間ノ懈怠ハ他ノ者ニ對シ其ノ效力ヲ及ホサス

第二百八十七條　告訴ハ第二審ノ判決アル迄之ヲ取消スコトヲ得

告訴ノ取消ヲ爲シタル者ハ更ニ告訴ヲ爲スコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ請求ヲ待チテ受理スヘキ事件ニ付テノ請求又ハ其ノ取消ニ之ヲ準用ス

第二百八十八條　親告罪ニ付共犯ノ一人又ハ數人ニ對シテ爲シタル告訴又ハ其ノ取消ハ他ノ共犯ニ對シ亦其ノ效力ヲ生ス

前項ノ規定ハ請求ヲ待チテ受理スヘキ事件ニ付テノ請求又ハ其ノ取消ニ之ヲ準用ス

刑法第百八十三條ノ罪ニ付相姦者ノ一人ニ對シテ告訴又ハ其ノ取消アリタルトキハ他ノ者ニ對シ亦其ノ效力ヲ生ス

第二百八十九條　拘留又ハ科料ニ該ル罪ニ付テハ六月

第二百九十條　親告罪ニ付告訴ヲ爲サスシテ死亡シタルトキ亦前項ニ同シ但シ被害者ノ明示シタル意思ニ反スルコトヲ得ス

第二百九十一條　告訴人代理人ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得告訴ノ取消ニ付亦同シ

第二百九十二條　告訴又ハ告發ハ書面又ハ口頭ヲ以テ檢事又ハ司法警察官ニ之ヲ爲スヘシ

第二百九十三條　檢事又ハ司法警察官口頭ノ告訴又ハ告發ヲ受ケタルトキハ調書ヲ作ルヘシ

第二百九十四條　司法警察官告訴又ハ告發ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ檢事ニ送付スヘシ

第二百九十五條　檢事又ハ司法警察官ハ前項ノ調書ニ付テハ公訴ノ時效完成スルニ至ル迄之ヲ保管スルコトヲ得

第二百九十六條　犯人ノ性格、年齢及境遇竝犯罪ノ情狀及犯罪後ノ情況ニ因リ訴追ヲ必要トセサルトキハ公訴ヲ提起セサルコトヲ得

第二百九十七條　公訴ハ檢事之ヲ行フ

第二百九十八條　公訴ハ檢事ノ指定シタル被告人以外ノ者ニ其ノ效力ヲ及ホサス

第二百九十九條　時效ハ左ノ期間ヲ經過スルニ因リテ完成ス

一　死刑ニ該ル罪ニ付テハ十五年

二　無期ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ニ付テハ十年

三　長期十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ニ付テハ七年

四　長期十年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ニ付テハ五年

五　長期五年未滿ノ懲役若ハ禁錮又ハ罰金ニ該ル罪ニ付テハ三年

六　刑法第百八十五條ノ罪ニ付テハ六月

七　拘留又ハ科料ニ該ル罪ニ付テハ六月

第三百條　豫審判事ハ被告人ヲ訊問スルニ當リ犯罪アリト思料スルトキハ檢事ニ事件ヲ送致スヘシ

第三百一條　豫審判事ハ豫審終結前被告人ニ對シ豫疑ヲ受ケタル原由ヲ告知シ辯解ヲ爲サシムヘシ但シ被告人正當ノ事由ナクシテ出頭セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三百二條　豫審判事ハ公判ニ於テ召喚シ難キ證人ノ訊問スル場合ニ於テハ檢事及辯護人ハ其ノ訊問ニ立會フコトヲ得

第三百三條　檢事、被告人又ハ辯護人ハ豫審中何時ニテモ必要ト認ムル處分ヲ豫審判事ニ請求スルコトヲ得

檢事ハ豫審ノ進行ヲ妨ケサル限リ書類及證據物ヲ閲覽スルコトヲ得

辯護人ハ豫審判事ノ許可ヲ受ケ書類及證據物ヲ閲覽スルコトヲ得

第三百四條　豫審判事ハ公務所ニ照會シテ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第三百五條　豫審判事ハ左ノ場合ニ於テハ檢事ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ豫審手續ヲ中止スルコトヲ得

一　被告人ノ所在分明ナラサルトキ

二　被告人心神喪失ノ狀態ニ在ルトキ

前項ノ決定ハ之ヲ送達セス

第三百六條　豫審判事被告事件ニ付取調ヲ終ヘタルトキハ檢事ニ事件ヲ送致シ又ハ管轄裁判所ニ直ニ被告人ヲ釋放スヘシ被告事件ノ送致ヲ受ケタル檢事ハ速ニ其ノ手續ヲ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第三百四十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百四十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百五十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百六十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百七十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百八十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十一條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十二條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十三條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十四條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十五條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十六條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

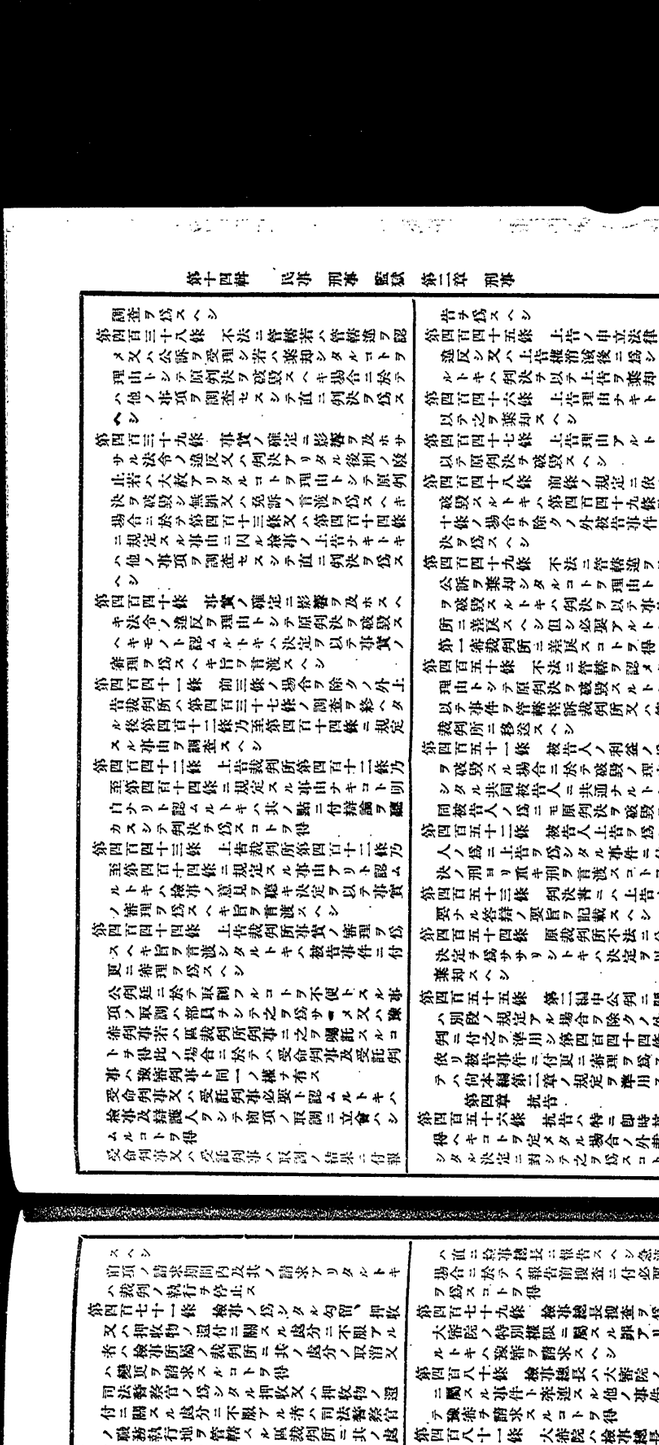
第三百九十七條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十八條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第三百九十九條　公判期日ニ於テ証人ノ訊問ヲ為ス場合ニ於テ裁判長ハ其ノ証人ニ対シ宣誓ヲ為サシメタル後之ヲ尋問スヘシ

第二章　刑事

第十四編　民事　刑事　監獄



第四百九十一條　判決ノ一部第二審ニ於テ確定シ其ノ部分ニ對スル再審ノ請求ニ付再審開始ノ決定アリシトキハ第一審ニ於テ確定シタル部分ニ對スル再審ノ請求ハ控訴裁判所之ヲ管轄ス

判決ノ一部上告審ニ於テ確定シ其ノ部分ニ對スル再審ノ請求ニ付再審開始ノ決定アリタルトキハ第一審又ハ第二審ニ於テ確定シタル部分ニ對スル再審ノ請求ハ上告裁判所之ヲ管轄ス

第四百九十二條　有罰ノ言渡ヲ受ケタル者ノ利益ノ爲ニスル再審ノ請求ハ左ニ揭ケル者之ヲ爲スコトヲ得

一　管轄裁判所ノ檢事

二　有罰ノ言渡ヲ受ケタル者

三　有罰ノ言渡ヲ受ケタル者ノ法定代理人、保佐人及夫

四　有罰ノ言渡ヲ受ケタル者死亡シ又ハ心神喪失ノ狀態ニ在ル場合ニ於テハ其ノ配偶者、家督相續人、直系ノ親族及兄弟姉妹

第四百八十五條第七號、第四百八十七條第二號又ハ第四百八十八條第二號ニ規定スル原由ニ因ル再審ノ請求ニシテ有罰ノ言渡ヲ受ケタル者ノ利益ノ爲ニスルモノハ有罰ノ言渡ヲ受ケタル者ノ行爲罰ヲ犯スニ至シメタル場合ニ於テハ檢事ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百八十六條ノ規定ニ依ル再審ノ請求ハ管轄裁判所ノ檢事之ヲ爲スコトヲ得第四百八十七條又ハ第四百八十八條ノ規定ニ依ル再審ノ請求ニシテ第一項ノ規定ニ該當セサルモノニ付亦同シ

第四百九十三條　檢事ニ非サル者再審ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ辯護人ノ選任スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル辯護人ノ選任ハ再審ノ判決アル迄其ノ效力ヲ有ス

第四百九十四條　再審ノ請求ハ刑ノ執行ヲ停止スル迄其ノ效力ヲ有ス

第四百九十五條　再審ノ請求ハ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタルトキト雖之ヲ爲スコトヲ得

第四百九十六條　再審ノ請求ハ同一ノ原由ニ因リ更ニ再審ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第四百九十九條　第三百八十五條、第三百九十一條及第三百九十三條ノ規定ハ再審ノ請求又ハ其ノ取下ニ付之ヲ準用ス

第五百條　第四百九十一條第一項ノ場合ニ於テ第一審裁判所又ハ控訴裁判所ノ決定前再審ノ請求ヲ受ケタルトキハ決定ヲ以テ刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第五百一條　第四百九十二條第二項ノ場合ニ於テ第一審裁判所又ハ控訴裁判所上告裁判所ノ再審開始ノ決定前再審ノ請求ヲ受ケタルトキハ決定ヲ以テ刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ得ス

第五百二條　第一審又ハ第二審ノ確定判決ト上告ヲ棄却シタル判決トニ對シテ再審ノ請求アリタルトキハ控訴裁判所ノ決定ヲ以テ第一審裁判所ノ訴訟手續ノ終了スルニ至ル迄訴訟手續ヲ停止スヘシ

第五百三條　再審ノ請求ヲ受ケタル裁判所ハ必要アル場合ニ於テ部員ヲシテ再審ノ原由ニ付事實ノ取調ヲ爲サシメ又ハ豫審判事若ハ區裁判所判事ニ其ノ取調ヲ囑託スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ受命判事及受託判事ハ豫審判事ト同一ノ權ヲ有ス

第五百三條ノ二　再審ノ請求ハ決定ヲ以テ之ヲ棄却ス

第五百四條　再審ノ請求ハ理由アリト認ムルトキハ再審開始ノ決定ヲ爲シ其ノ請求ノ全部又ハ一部ニ付更ニ審判ヲ爲ス

第五百五條　再審ノ請求ハ理由ナシトスルトキハ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

前項ノ決定アリタルトキハ同一ノ原由ニ因リ再審ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第五百六條　再審ノ請求ヲ理由アリトスルトキハ再審開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ決定ヲ以テ刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第五百七條　第五百一條ノ場合ニ於テ第一審裁判所再審ノ請求ヲ棄却スヘシ

第五百八條　第五百二條ノ場合ニ於テ第一審裁判所又ハ控訴裁判所再審ノ判決ヲ爲シタルトキハ上告裁判所ハ決定ヲ以テ再審ノ請求ヲ棄却スヘシ

第五百九條　再審ノ請求ニ付決定ヲ爲ス場合ニ於テハ請求ヲ爲シタル者及其ノ對手人ノ意見ヲ聽クヘシ第四百九十二條第一項第三號ニ揭ケル者請求ヲ爲シタル場合ニ於テハ倘有罰ノ言渡ヲ受ケタル者ノ意見ヲ聽クヘシ

第五百十條　第五百四條、第五百五條、第五百六條第一項、第五百七條又ハ第五百八條ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百十一條　裁判所ハ再審開始ノ決定確定シタル事件ニ付テハ第五百條、第五百七條及第五百八條ノ場合ヲ除クノ外其ノ審級ニ從ヒ更ニ審判ヲ爲スヘシ

第五百十二條　死亡者又ハ回復ノ見込ナキ心神喪失者ノ利益ノ爲ニ再審ノ請求ヲ爲シタル事件ニ付テハ公判ヲ開カス檢事及辯護人ノ意見ヲ聽キ判決ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ再審ノ請求ヲ棄却スヘシ

第五百十三條　略式命令ニ正式裁判ノ請求ハ第一審ノ判決アル迄之ヲ取下クルコトヲ得

第五百三十條　正式裁判ノ請求ハ控訴審ノ判決アル迄之ヲ取下クルコトヲ得

第五百三十一條　正式裁判ノ請求權消滅後ニ爲シタルモノナルトキハ檢事ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

正式裁判ノ請求ヲ適法トスルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ審判ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ略式命令ニ拘束セラルルコトナシ

第五百三十二條　正式裁判ノ請求ニ因リ判決チ爲シタルトキハ略式命令ハ其ノ效力ヲ失フ

第五百三十三條　略式命令ハ正式裁判ノ請求期間ノ經過又ハ其ノ請求ノ取下ニ因リ確定判決ト同一ノ效力ヲ生ス正式裁判ノ請求ヲ棄却スル裁判確定シタルトキ亦同シ

第五百三十四條　裁判ノ執行ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所之ニ當ル但シ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五百三十五條　裁判ノ執行ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ檢事之ヲ指揮ス但シ其ノ性質上裁判所又ハ裁判長受命判事豫審判事又ハ區裁判所判事ノ爲スヘキモノハ此ノ限ニ在ラス

上訴ノ裁判又ハ上訴ノ取下ニ因リ下級裁判所ノ裁判ヲ執行スヘキ場合ニ於テハ上訴裁判所ノ檢事其ノ執行ヲ指揮ス但シ訴訟記錄下級裁判所ニ在ルトキハ其ノ裁判所ノ檢事之ヲ指揮ス

第五百三十六條　裁判ノ執行ノ指揮ハ書面ヲ以テ之ヲ爲シ之ニ裁判書又ハ裁判ヲ記載シタル調書ノ謄本又ハ抄本ヲ添附スヘシ但シ刑ノ執行ヲ指揮スル場合ノ外裁判書ノ原本、謄本若ハ抄本又ハ調書ノ謄本若ハ抄本ニ認印シテ之ヲ爲スコトヲ得

第五百三十七條　二以上ノ主刑ノ執行ハ罰金及科料ヲ除クノ外其ノ重キモノヲ先ニス但シ檢事ノ命令ニ因リ之ヲ執行スル此ノ命令ハ執行ヲ停止スルコトヲ得

第五百三十八條　死刑ノ執行ハ司法大臣ノ命令ニ依リ之ヲ執行ス

第五百三十九條　死刑ヲ言渡シタル判決確定シタルトキハ檢事ハ速ニ訴訟記錄ヲ司法大臣ニ送付スヘシ

第五百四十條　司法大臣死刑ノ執行ヲ命シタルトキハ五日内ニ其ノ執行ヲ爲スヘシ

第五百四十一條　死刑ノ執行ハ檢事及裁判所書記ノ立會ヒテ之ヲ爲スヘシ

第七編　略式手續

第五百二十三條　區裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ其ノ管轄ニ屬スル事件ニ付公判前略式命令ヲ以テ罰金又ハ科料ヲ科スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル辯護人ノ選任ハ再審ノ判決アル迄其ノ效力ヲ有ス

第五百二十四條　略式命令ノ請求ハ公訴ノ提起ト同時ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第五百二十五條　前條ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件略式命令ヲ爲スコトヲ得又ハ之ヲ爲スコトヲ相當ナラスト思料スルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ審判ヲ爲スヘシ

第五百二十六條　裁判書ニハ罰トスヘキ事實、適用シタル法令、科スヘキ刑及附隨ノ處分竝檢本ノ送達アリタル日ヨリ七日内ニ正式裁判ノ請求ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ示スヘシ

第五百二十七條　略式命令ヲ爲シタルトキハ檢事ニ裁判書ノ謄本ヲ送達スヘシ

第五百二十八條　略式命令ヲ受ケタル者ハ謄本ノ送達アリタル日ヨリ七日内ニ正式裁判ノ請求ヲ爲スコトヲ得

正式裁判ノ請求ハ略式命令ヲ爲シタル裁判所ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ正式裁判ノ請求アリタルトキハ裁判所ハ遅ニ其ノ旨ヲ檢事ニ通知スヘシ

第五百二十九條　第三百八十七條乃至第三百九十條ノ規定ハ正式裁判ノ請求ニ付之ヲ準用ス

第五百三十條　略式命令ハ正式裁判ノ請求ニ因リ其ノ效力ヲ失フ

第五百三十一條　正式裁判ノ請求ハ第一審ノ判決アル迄之ヲ取下クルコトヲ得

第五百三十二條　正式裁判ノ請求權消滅後ニ爲シタルモノナルトキハ檢事ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

正式裁判ノ請求ヲ適法トスルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ審判ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ略式命令ニ拘束セラルルコトナシ

第五百三十三條　略式命令ハ正式裁判ノ請求期間ノ經過又ハ其ノ請求ノ取下ニ因リ確定判決ト同一ノ效力ヲ生ス正式裁判ノ請求ヲ棄却スル裁判確定シタルトキ亦同シ

第五百三十四條　裁判ノ執行ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所之ニ當ル但シ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五百三十五條　裁判ノ執行ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ檢事之ヲ指揮ス但シ其ノ性質上裁判所又ハ裁判長受命判事豫審判事又ハ區裁判所判事ノ爲スヘキモノハ此ノ限ニ在ラス

上訴ノ裁判又ハ上訴ノ取下ニ因リ下級裁判所ノ裁判ヲ執行スヘキ場合ニ於テハ上訴裁判所ノ檢事其ノ執行ヲ指揮ス但シ訴訟記錄下級裁判所ニ在ルトキハ其ノ裁判所ノ檢事之ヲ指揮ス

第五百三十六條　裁判ノ執行ノ指揮ハ書面ヲ以テ之ヲ爲シ之ニ裁判書又ハ裁判ヲ記載シタル調書ノ謄本又ハ抄本ヲ添附スヘシ但シ刑ノ執行ヲ指揮スル場合ノ外裁判書ノ原本、謄本若ハ抄本又ハ調書ノ謄本若ハ抄本ニ認印シテ之ヲ爲スコトヲ得

第五百三十七條　二以上ノ主刑ノ執行ハ罰金及科料ヲ除クノ外其ノ重キモノヲ先ニス但シ檢事ノ命令ニ因リ之ヲ執行スル此ノ命令ハ執行ヲ停止スルコトヲ得

第五百三十八條　死刑ノ執行ハ司法大臣ノ命令ニ依リ之ヲ執行ス

第五百三十九條　死刑ヲ言渡シタル判決確定シタルトキハ檢事ハ速ニ訴訟記錄ヲ司法大臣ニ送付スヘシ

第五百四十條　司法大臣死刑ノ執行ヲ命シタルトキハ五日内ニ其ノ執行ヲ爲スヘシ

第五百四十一條　死刑ノ執行ハ檢事及裁判所書記ノ立會ヒテ之ヲ爲スヘシ

第五百四十二條　死刑ノ言渡ヲ受ケタル者心神喪失ノ狀態ニ在ルトキハ法務大臣ノ命令アル迄執行ヲ停止ス

第五百四十三條　死刑ノ言渡ヲ受ケタル婦女懷胎ナルトキハ前二項ノ規定ニ依リ死刑ノ執行ヲ停止ス

司法大臣ノ命令ニ因リ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ其ノ事件略式命令ヲ爲スコトヲ得又ハ之ヲ爲スコトヲ相當ナラスト思料スルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ審判ヲ爲スヘシ

第五百四十四條　懲役、禁錮又ハ拘留ノ言渡ヲ受ケタル者心神喪失ノ狀態ニ在ルトキハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事又ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ現在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ檢事ノ指揮ニ因リ其ノ痊癒ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第五百四十五條　前條ノ規定ニ依リ刑ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テハ檢事ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ監護義務者又ハ市町村長ニ引渡シ病院其ノ他適當ノ場所ニ入レシムルコトヲ得

第五百四十六條　懲役、禁錮又ハ拘留ノ言渡ヲ受ケタル者ニ付左ニ揭ケル事由アルトキハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事又ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ現在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ檢事ノ指揮ニ因リ刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

一　刑ノ執行ニ因リ著シク健康ヲ害スルトキ又ハ生命ヲ保ツコト能ハサル虞アルトキ

二　七十歳以上ノトキ

三　受胎後百五十日以上ナルトキ

四　分娩後六十日ヲ經過セサルトキ

五　刑ノ執行ニ因リ回復スヘカラサル不利益ヲ生スル虞アルトキ

六　祖父母又ハ父母七十歳以上又ハ重篤疾ニシテ侍養ノ子孫ナキトキ

七　其ノ他重大ナル事由アルトキ

第五百四十七條　死刑、懲役、禁錮又ハ拘留ノ言渡ヲ受ケタル者逃亡シタルトキ又ハ逃亡スル虞アルトキハ檢事ハ直ニ逮捕狀ヲ發シ又ハ司法警察官ヲシテ之ヲ發セシムルコトヲ得

第五百四十九條　死刑、懲役、禁錮又ハ拘留ノ言渡ヲ受ケタル者ノ現在地ヲ覺知スルコト能ハサルトキハ檢事ハ檢事長ニ人相書ヲ送付シ其ノ逮捕ヲ請求スルコトヲ得

請求ヲ受ケタル檢事長ハ其ノ管內ノ檢事ヲシテ逮捕狀ヲ發シ逮捕ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第五百五十條　逮捕狀ニハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ氏名、住居、年齡、刑名、刑期其ノ他逮捕ニ必要ナル事項ヲ記載シ檢事又ハ司法警察官之ニ記名捺印スヘシ

必要アル場合ニ於テハ逮捕狀ニ人相書ヲ添附スヘシ

第五百五十一條　逮捕狀ハ勾引狀ト同一ノ效力ヲ有ス

第五百五十二條　逮捕狀ノ執行ニ付テハ勾引狀ノ執行ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十三條　罰金、科料、沒收、追徵、過料、沒取、訴訟費用又ハ費用賠償ノ裁判ハ檢事ノ命令ニ因リ之ヲ執行ス此ノ命令ハ執行力アル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス

前項ノ裁判ヲ執行ニ付テハ民事訴訟法ヲ準用ス

第四百九十一條　判決ノ一部第二審ニ於テ確定シ其ノ部分ニ對スル再審ノ請求ニ付再審開始ノ決定アリシトキハ第一審ニ於テ確定シタル部分ニ對スル再審ノ請求ハ控訴裁判所之ヲ管轄ス

判決ノ一部上告審ニ於テ確定シ其ノ部分ニ對スル再審ノ請求ニ付再審開始ノ決定アリタルトキハ第一審又ハ第二審ニ於テ確定シタル部分ニ對スル再審ノ請求ハ上告裁判所之ヲ管轄ス

第四百九十二條　有罰ノ言渡ヲ受ケタル者ノ利益ノ爲ニスル再審ノ請求ハ左ニ揭ケル者之ヲ爲スコトヲ得

一　管轄裁判所ノ檢事

二　有罰ノ言渡ヲ受ケタル者

三　有罰ノ言渡ヲ受ケタル者ノ法定代理人、保佐人及夫

四　有罰ノ言渡ヲ受ケタル者死亡シ又ハ心神喪失ノ狀態ニ在ル場合ニ於テハ其ノ配偶者、家督相續人、直系ノ親族及兄弟姉妹

第四百八十五條第七號、第四百八十七條第二號又ハ第四百八十八條第二號ニ規定スル原由ニ因ル再審ノ請求ニシテ有罰ノ言渡ヲ受ケタル者ノ利益ノ爲ニスルモノハ有罰ノ言渡ヲ受ケタル者ノ行爲罰ヲ犯スニ至シメタル場合ニ於テハ檢事ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百八十六條ノ規定ニ依ル再審ノ請求ハ管轄裁判所ノ檢事之ヲ爲スコトヲ得第四百八十七條又ハ第四百八十八條ノ規定ニ依ル再審ノ請求ニシテ第一項ノ規定ニ該當セサルモノニ付亦同シ

第四百九十三條　檢事ニ非サル者再審ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ辯護人ノ選任スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル辯護人ノ選任ハ再審ノ判決アル迄其ノ效力ヲ有ス

第四百九十四條　再審ノ請求ハ刑ノ執行ヲ停止スル迄其ノ效力ヲ有ス

第四百九十五條　再審ノ請求ハ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタルトキト雖之ヲ爲スコトヲ得

第四百九十六條　再審ノ請求ハ同一ノ原由ニ因リ更ニ再審ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第四百九十九條　第三百八十五條、第三百九十一條及第三百九十三條ノ規定ハ再審ノ請求又ハ其ノ取下ニ付之ヲ準用ス

第五百條　第四百九十一條第一項ノ場合ニ於テ第一審裁判所又ハ控訴裁判所ノ再審開始ノ決定前再審ノ請求ヲ受ケタルトキハ決定ヲ以テ刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第五百一條　第四百九十二條第二項ノ場合ニ於テ第一審裁判所又ハ控訴裁判所上告裁判所ノ再審開始ノ決定前再審ノ請求ヲ受ケタルトキハ決定ヲ以テ刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ得ス

第五百二條　第一審又ハ第二審ノ確定判決ト上告ヲ棄却シタル判決トニ對シテ再審ノ請求アリタルトキハ控訴裁判所ノ決定ヲ以テ第一審裁判所ノ訴訟手續ノ終了スルニ至ル迄訴訟手續ヲ停止スヘシ

第五百三條　再審ノ請求ヲ受ケタル裁判所ハ必要アル場合ニ於テ部員ヲシテ再審ノ原由ニ付事實ノ取調ヲ爲サシメ又ハ豫審判事若ハ區裁判所判事ニ其ノ取調ヲ囑託スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ受命判事及受託判事ハ豫審判事ト同一ノ權ヲ有ス

第五百三條ノ二　再審ノ請求ハ決定ヲ以テ之ヲ棄却ス

第五百四條　再審ノ請求ハ理由アリト認ムルトキハ再審開始ノ決定ヲ爲シ其ノ請求ノ全部又ハ一部ニ付更ニ審判ヲ爲ス

第五百五條　再審ノ請求ハ理由ナシトスルトキハ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

前項ノ決定アリタルトキハ同一ノ原由ニ因リ再審ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第五百六條　再審ノ請求ヲ理由アリトスルトキハ再審開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ決定ヲ以テ刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第五百七條　第五百一條ノ場合ニ於テ第一審裁判所再審ノ請求ヲ棄却スヘシ

第五百八條　第五百二條ノ場合ニ於テ第一審裁判所又ハ控訴裁判所再審ノ判決ヲ爲シタルトキハ上告裁判所ハ決定ヲ以テ再審ノ請求ヲ棄却スヘシ

第五百九條　再審ノ請求ニ付決定ヲ爲ス場合ニ於テハ請求ヲ爲シタル者及其ノ對手人ノ意見ヲ聽クヘシ第四百九十二條第一項第三號ニ揭ケル者請求ヲ爲シタル場合ニ於テハ倘有罰ノ言渡ヲ受ケタル者ノ意見ヲ聽クヘシ

第五百十條　第五百四條、第五百五條、第五百六條第一項、第五百七條又ハ第五百八條ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百十一條　裁判所ハ再審開始ノ決定確定シタル事件ニ付テハ第五百條、第五百七條及第五百八條ノ場合ヲ除クノ外其ノ審級ニ從ヒ更ニ審判ヲ爲スヘシ

第五百十二條　死亡者又ハ回復ノ見込ナキ心神喪失者ノ利益ノ爲ニ再審ノ請求ヲ爲シタル事件ニ付テハ公判ヲ開カス檢事及辯護人ノ意見ヲ聽キ判決ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ再審ノ請求ヲ棄却スヘシ

第五百十三條　略式命令ニ正式裁判ノ請求ハ第一審ノ判決アル迄之ヲ取下クルコトヲ得

第五百三十條　正式裁判ノ請求ハ控訴審ノ判決アル迄之ヲ取下クルコトヲ得

第五百三十一條　正式裁判ノ請求權消滅後ニ爲シタルモノナルトキハ檢事ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ此ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

正式裁判ノ請求ヲ適法トスルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ審判ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ略式命令ニ拘束セラルルコトナシ

第五百三十二條　正式裁判ノ請求ニ因リ判決チ爲シタルトキハ略式命令ハ其ノ效力ヲ失フ

第五百三十三條　略式命令ハ正式裁判ノ請求期間ノ經過又ハ其ノ請求ノ取下ニ因リ確定判決ト同一ノ效力ヲ生ス正式裁判ノ請求ヲ棄却スル裁判確定シタルトキ亦同シ

第五百三十四條　裁判ノ執行ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所之ニ當ル但シ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五百三十五條　裁判ノ執行ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ檢事之ヲ指揮ス但シ其ノ性質上裁判所又ハ裁判長受命判事豫審判事又ハ區裁判所判事ノ爲スヘキモノハ此ノ限ニ在ラス

上訴ノ裁判又ハ上訴ノ取下ニ因リ下級裁判所ノ裁判ヲ執行スヘキ場合ニ於テハ上訴裁判所ノ檢事其ノ執行ヲ指揮ス但シ訴訟記錄下級裁判所ニ在ルトキハ其ノ裁判所ノ檢事之ヲ指揮ス

第五百三十六條　裁判ノ執行ノ指揮ハ書面ヲ以テ之ヲ爲シ之ニ裁判書又ハ裁判ヲ記載シタル調書ノ謄本又ハ抄本ヲ添附スヘシ但シ刑ノ執行ヲ指揮スル場合ノ外裁判書ノ原本、謄本若ハ抄本又ハ調書ノ謄本若ハ抄本ニ認印シテ之ヲ爲スコトヲ得

第五百三十七條　二以上ノ主刑ノ執行ハ罰金及科料ヲ除クノ外其ノ重キモノヲ先ニス但シ檢事ノ命令ニ因リ之ヲ執行スル此ノ命令ハ執行ヲ停止スルコトヲ得

第五百三十八條　死刑ノ執行ハ司法大臣ノ命令ニ依リ之ヲ執行ス

第五百三十九條　死刑ヲ言渡シタル判決確定シタルトキハ檢事ハ速ニ訴訟記錄ヲ司法大臣ニ送付スヘシ

第五百四十條　司法大臣死刑ノ執行ヲ命シタルトキハ五日内ニ其ノ執行ヲ爲スヘシ

第五百四十一條　死刑ノ執行ハ檢事及裁判所書記ノ立會ヒテ之ヲ爲スヘシ

第五百四十二條　死刑ノ言渡ヲ受ケタル者心神喪失ノ狀態ニ在ルトキハ法務大臣ノ命令アル迄執行ヲ停止ス

第五百四十三條　死刑ノ言渡ヲ受ケタル婦女懷胎ナルトキハ前二項ノ規定ニ依リ死刑ノ執行ヲ停止ス

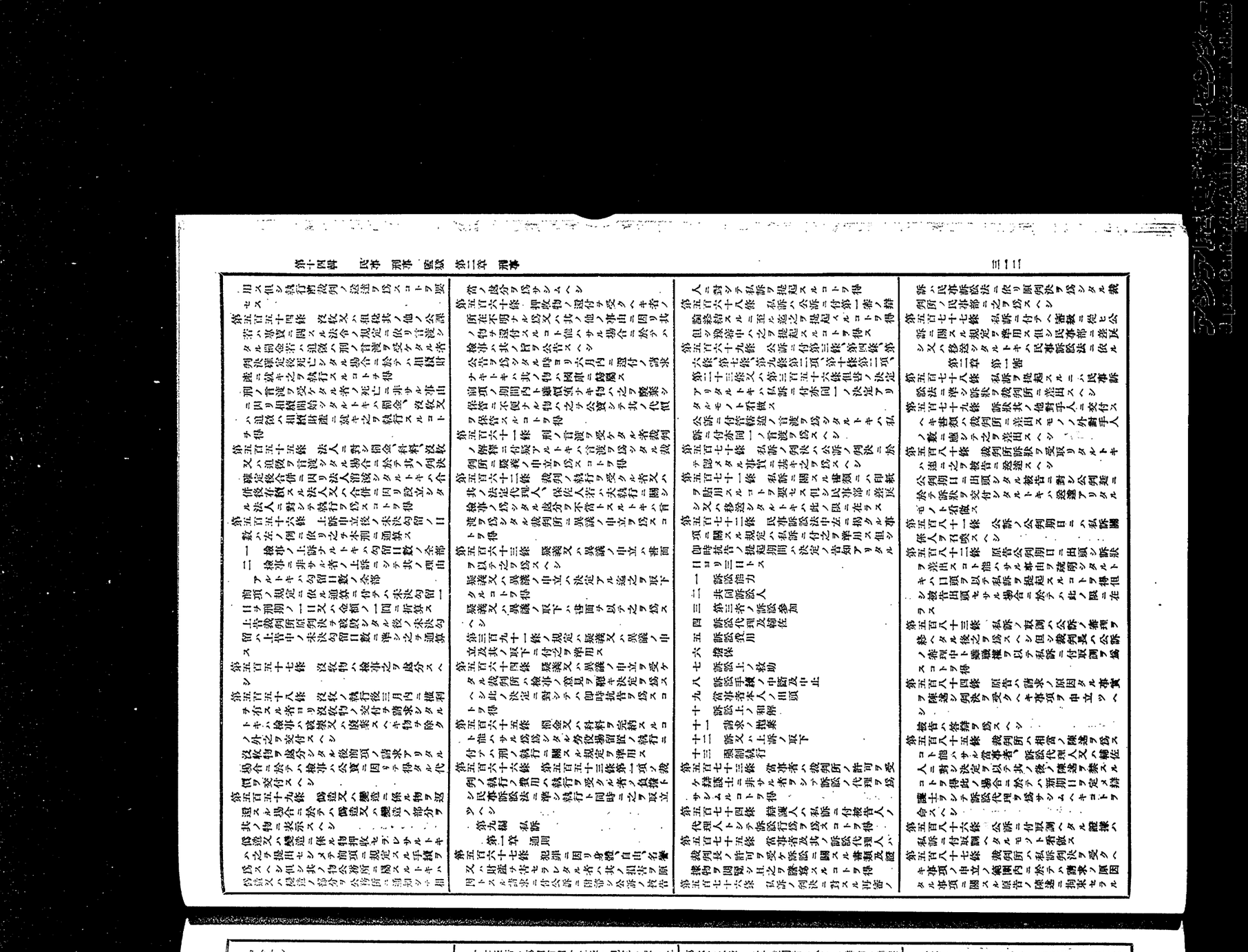
司法大臣ノ命令ニ因リ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ其ノ事件略式命令ヲ爲スコトヲ得又ハ之ヲ爲スコトヲ相當ナラスト思料スルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ審判ヲ爲スヘシ

第五百四十四條　懲役、禁錮又ハ拘留ノ言渡ヲ受ケタル者心神喪失ノ狀態ニ在ルトキハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事又ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ現在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ檢事ノ指揮ニ因リ刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第五百四十五條　前條ノ規定ニ依リ刑ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テハ檢事ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ監護義務者又ハ市町村長ニ引渡シ病院其ノ他適當ノ場所ニ入レシムルコトヲ得

第五百四十六條　懲役、禁錮又ハ拘留ノ言渡ヲ受ケタル者ニ付左ニ揭ケル事由アルトキハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事又ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ現在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ檢事ノ指揮ニ因リ刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



第六百二十二條　本法施行前保釋ノ許ササル旨渡ニ對シテ爲シタル異議ノ申立ニ付テハ從前ノ規定ニ依リ裁判ヲ爲スヘシ

第六百二十三條　本法施行前犯人ヲ知リ又ハ姓名若ハ取消ノ裁判確定シタル場合ニ於テハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第六百二十四條　本法施行前免訴ノ決定確定シタル事件ニ付明治二十三年法律第九十六號刑事訴訟法第百七十五條第二項ノ規定ニ依リ爲シタル請求ニシテ未タ決定ナキモノハ其ノ效力ヲ失フ

第六百二十五條　本法施行前爲シタル本案前ノ判決ニシテ未タ確定セサルモノハ其ノ效力ヲ失フ

第六百二十六條　本法施行前明治二十三年法律第九十六號刑事訴訟法第二百四十一條第二項又ハ同法第二百六十四條第一項ノ規定ニ依リ取調ヲ命セラレタル受命判事ノ事件ニ付第三百五十一條ノ規定ニ準シ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第六百二十七條　本法施行前言渡シタル陽席判決ニ對シテハ控訴ノ申立アリタル場合ヲ除クノ外從前ノ規定ニ依リ故障ヲ申立ツルコトヲ得

本法施行前陽席判決ニ對シテ爲シタル故障申立ヲ不適法トスルトキハ從前ノ規定ニ依リ裁判ヲ爲スヘシ

第六百二十八條　本法施行前爲シタル抗告ハ之ヲ本法ニ依リ爲シタル即時抗告ト看做ス

第六百二十九條　本法施行前爲シタル再審ノ訴ニシテ上告裁判所ノ判決ヲ經サルモノハ本法ニ依リ管轄裁判所ニ再審ノ請求ヲ爲シタルモノト看做シ次ノ場合ニ於テハ上告裁判所ハ書類及證據物ヲ管轄裁判所ニ送付スヘシ

第六百三十條　本法施行前進行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百三十一條　本法施行前提起シタル要償ノ訴判決ヲ經サルモノナルトキハ民事訴訟法ニ從ヒ事件ヲ管轄スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百三十二條　本法中市町村吏員ニ關スル規定ハ北海道ノ區ニ於テハ區吏員ニ之ヲ適用ス

本法中市町村長ニ關スル規定ハ市制第六條ノ市又ハ北海道ノ區ニ於テハ區長ニ町村制第七條ノ場合ニ於テハ町村長ニ準スヘキ者ニ之ヲ適用ス

附　則（大正十五年四月法律第七十二號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年五月勅令第百五號ヲ以テ昭和四年十月一日ヨリ施行）

●刑事訴訟費用法

大正十年四月
法律第六十八號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル刑事訴訟費用法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

刑事訴訟費用法

第一條　左ニ掲クルモノヲ以テ公訴ニ關スル訴訟費用トス

一　豫審又ハ公判ニ付呼出シタル證人、鑑定人及通事ニ給スヘキ日當、旅費及止宿料

二　第三條第二項ニ規定スル費用

第二條　證人ノ日當ハ出頭一度ニ付二圓以内ニ於テ豫審判事、受託判事又ハ裁判所之ヲ定ム

第三條　鑑定人及通事ノ日當ハ出頭一度ニ付二圓以上十圓以内ニ於テ豫審判事、受託判事又ハ裁判所之ヲ定ム

鑑定又ハ通譯ニ付特別ノ技能若ハ費用又ハ長時間ヲ要スルトキハ日當ノ外豫審判事、受託判事又ハ裁判所ノ相當ト認ムル金額ヲ給スルコトヲ得

第四條　證人、鑑定人及通事ノ旅費ハ鐵道又ハ汽船ヲ通スル水路ニ在リテハ二等以下ノ汽車賃又ハ船賃ニシテ豫審判事、受託判事又ハ裁判所ノ相當ト認ムルモノニ依リ汽船ヲ通セサル水路ニ在リテハ一海里毎ニ五錢其ノ他ニ在リテハ一里毎ニ三十錢トス但シ一海里未滿又ハ一里未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

第五條　證人、鑑定人及通事ノ止宿料ハ一日五圓以内ニシテ豫審判事、受託判事又ハ裁判所之ヲ定ム

第六條　證人、鑑定人及通事ノ日當、旅費及止宿料ハ豫審ニ付テハ共ノ終結前公判ニ付テハ判決前ニ請求スルニ非サレハ之ヲ給セス

第七條　共犯人ヲシテ訴訟費用ヲ負擔セシムヘキ場合ニ於テハ連帶負擔トス

附　則

本令施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十年四月勅令第百七十四號ヲ以テ大正十年五月一日ヨリ施行）

刑法施行法第六十二條乃至第六十七條ヲ削ル

陸軍刑法施行法第三十一條中「刑法施行法第六十三條乃至第六十六條ノ規定」ヲ「刑事訴訟費用法ニ關スル規定」ニ改ム

本法施行前要シタル費用ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

●敍位條例施行細則又ハ勳章褒賞令施行細則ニ依ル申牒及勳章年金支給細則第十三條ニ依ル通知ニ關スル件

大正十年二月
總裁第七號

朝鮮總督府裁判所檢事局

敍位條例施行細則又ハ勳章褒賞令施行細則ニ依ル申牒及勳章年金支給細則第十三條ニ依ル通知ハ檢事局ノ長ニ於テ之ヲ爲スヘシ

前項ノ申牒書、通知書及之ニ關スル往復文書ハ本府ヲ經由スルニ及ハス

大正三年朝鮮總督府訓令第四號ハ之ヲ廢止ス

●逃亡犯罪人引渡條例

明治二十年八月
勅令第四十二號

朕逃亡犯罪人引渡條例ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

逃亡犯罪人引渡條例

第一條　本條例ニ於テ締約國ト稱スルハ既ニ帝國ト犯罪人引渡條約ヲ締結シ若クハ今後締約スル外國ヲ謂フ

引渡犯罪ト稱スルハ外國ト締結シタル犯罪人引渡條約ニ掲クル犯罪ヲ謂フ

逃亡犯罪人ト稱スルハ締約國ノ管轄内ニ於テ犯シタル引渡犯罪ニ付告訴告發ヲ受ケ若クハ有罪ノ宣告ヲ受ケタル帝國臣民外ノ人ニシテ帝國ノ管轄内ニ逃避シタル者又ハ逃避シタルノ嫌疑アル者ヲ謂フ但左ノ場合ニ於テハ帝國臣民ト雖モ逃亡犯罪人ト看做ス

一　帝國ト請求國トノ犯罪人引渡條約ニ交付ヲ包含ス

二　其臣民ノ引渡ヲ爲スヘキ條款アルトキ

三　犯罪人引渡條約ニ交互ノ任意ヲ以テ其臣民ノ引渡請求ニ應スルコトアルヘキ旨ノ條款アリ且請求國ニ於テ同樣ノ場合ニ自國ノ臣民ヲ引渡スヘキ旨ヲ申出タルトキ

第二條　締約國ヨリ逃亡犯罪人ノ引渡請求アリタルトキハ本條例ニ定ムル所ノ條款ニ據リ引渡ノ目的ヲ以テ其手續ヲ爲スヘシ

第三條　左ノ場合ニ於テハ逃亡犯罪人ヲ引渡スコトヲ得ス

一　引渡ノ請求ニ係ル者ノ所犯政事上ノ犯罪ナルトキ

二　引渡ノ請求ハ實際政事上ノ犯罪ニ付審問シ若クハ處刑セムトスルノ目的ヲ以テ出テタル旨ヲ本人ニ於テ證明シタルトキ

第四條　逃亡犯罪人其引渡請求ニ係ル犯罪ノ事件ニ付帝國内ニ於テ告訴告發ヲ受ケ又ハ處刑中ナルトキハ無罪又ハ刑期滿限若クハ其他ノ事由ニ因リ釋放セラレタル後ニアラサレハ之ヲ引渡スコトヲ得ス

第五條　帝國ト外國ト犯罪人引渡條約ヲ締結シタルトキハ逃亡犯罪人ソ犯時其締約以前ニ係ルトキハ之ヲ引渡スコトヲ得ス

第六條　引渡犯罪ニ付帝國裁判所ニ於テ締約國裁判所ト均シク裁判權ヲ有スト雖モ若シ司法大臣ニ於テ其審判ヲ便ナラシムカ爲メ逃亡犯罪人ノ引渡ヲ可トスルトキハ之ヲ引渡スコトアルヘシ

第七條　本條例ニ據リ發シタル總テノ逮捕狀ハ帝國内ノ何レノ地ニ於テモ效力アルモノトス

第八條　一逃亡犯罪人ヲ二國以上ノ締約國ヨリ各其國ニ於テ犯シタル罪ノ爲メ引渡請求

ヲ爲シタルトキハ最初請求ヲ爲シタル國ニ之ヲ引渡スヘシ但其請求ヲ爲シタル締約國間ニ特別ノ約束若クハ協議アル場合ハ此限ニ在ラス

第九條　司法大臣ハ外務大臣ノ請求ニ依リ一名若クハ二名以上ノ上席檢事ニ命シ逃亡犯罪人ヲ假ニ逮捕スル爲メ附錄第一號書式ニ依リ假逮捕狀ヲ發セシムルコトヲ得

外務大臣ハ締約國ヨリ相當ノ順序ヲ經由シ書面又ハ電信ヲ以テ逃亡犯罪人ヲ逮捕スル爲メ既ニ逮捕狀ヲ發シタルコトノ通知ト共ニ引渡ノ正式ニ依リ請求スヘキ旨ノ保證トニ接シタル後ニ限リ本條ノ請求ヲ爲スヘシ

第十條　假逮捕狀ニ據リ逃亡犯罪人ヲ逮捕シタル場合ニ於テ二月ヲ過キタル相當ノ期限内ニ共引渡ノ請求ナキトキハ之ヲ釋放スヘシ但此場合ニ於テ逮捕シタル者ヲ釋放スヘキ旨ヲ逮捕シタル國ニ通知シタル後ニ非サレハ本條例ニ於テ再ヒ之ヲ逮捕シ及引渡スコトヲ妨ケサルモノトス

假逮捕狀ニ據リ逮捕シタル者ノ引渡請求アリタルトキハ更ニ附錄第二號書式ノ逮捕狀ヲ發シ假逮捕狀ト交換スヘシ

第十一條　第九條ニ定メタル例外ノ場合ヲ除クノ外ハ引渡請求ヲ爲シタル國トノ條約ニ定メタル相當ノ順序ヲ經由シ左ノ書類ヲ添ヘ引渡請求ヲ爲スヘシ

一　告訴告發ヲ受ケタル者ノ場合ニ於テハ其所犯ニ付テハ管轄裁判所ノ、有罪ノ宣告ヲ受ケタル者ノ場合ニ於テハ其宣告ヲ爲シタル裁判所ノ證印アル宣告書ノ寫

第十二條　外務大臣引渡請求書ニ接シ犯罪人引渡條約ノ條款ニ適合シタリト思惟スルトキハ該請求書ニ其關係書類ヲ添ヘ之ヲ司法大臣ニ送付スヘシ

第十三條　外務大臣引渡請求書ニ接シ犯罪人引渡條約ノ條款ニ適合シタリト思惟スルトキハ該請求書ニ其關係書類ヲ添ヘ之ヲ司法大臣ニ送付スヘシ

司外大臣本條ノ請求ニ接シ必當ノ事由アル請求ト思惟スルトキハ逃亡犯罪人ノ所在又ハ其到著スヘシト認ムル地ノ上席檢事ニ命シ逮捕狀ヲ發セシムルモ之ヲ妨ケス

第十四條　上席檢事前條ニ揭ケタル司法大臣ノ命令ニ接シタルトキハ附錄第二號書式ニ依リ逮捕狀ヲ發スヘシ

第十四條　請求ニ係ル逃亡犯罪人ヲ逮捕シ若クハ假逮捕狀ヲ發シタル地ノ上席檢事ニ於テハ其逮捕シタル地ノ上席檢事ニ引渡スヘシ

上席檢事ハ逃亡犯罪人逮捕ノ報來ヲ直ニ司法大臣ニ具申スヘシ

第十五條　上席檢事前條ニ揭ケタル司法大臣ノ命令ニ接シタルトキ引渡請求書アレハ其寫及附屬書類ヲ速ニ該檢事ニ送付スヘシ但被告人ヲ釋放スヘキ命令ヲ發スルトキハ此手續ヲ爲スニ及ハス

第十五條　告訴告發ヲ受ケタル者ノ場合ニ於テハ上席檢事ハ速ニ之ヲ訊問シ其人違ナキコト及引渡請求書ニ附屬セル證書類ノ確實公正ナルコトヲ認定スヘシ但上席檢事該書類ノミニテハ證據不充分ナリト認ムルトキハ仍ホ被告人ノ犯罪ニ對スル證據ヲ取ルコトヲ得

有罪ノ宣告ヲ受ケタル者ノ場合ニ於テハ上席檢事ハ速ニ之ヲ訊問シ其人違ナキコト及其引渡ヲ請求シタル締約國ノ相當裁判所ニ於テ宣告ヲ爲シタルノ確實ナルコトヲ認定スヘシ

第十六條　上席檢事被告人ノ訊問ヲ結了シタルトキハ訊問書ニ其意分方ニ關スル意見書ヲ添ヘ之ヲ司法大臣ニ具申スヘシ但上席檢事ハ之ト同一ノ場合即チ第三國ヨリ帝國ニ逃亡犯罪人ヲ引渡シタル場合ニ該請求國内海陸ノ通行ヲ均シク認可スヘキノ保證ヲ爲シタルトキニ限リ被告人ヲ審判ニ付スルニ充分ナル犯罪ノ證據アリト認メタルトキハ特別ノ約束アル場合ヲ除ク外其引渡ヲ許可スヘキ旨ノ意見ヲ具シ書類ヲ添ヘ之ヲ司法大臣ニ送付スヘシ

第十七條　逃亡犯罪人ハ逮捕狀ニ據リ逮捕セラレタル後二月以上留置セラルルコトナカルヘシ

第十八條　司法大臣ハ左ノ場合ニ限リ引渡狀ヲ發スルコトヲ得

一　引渡犯罪ニ付告訴告發ヲ受ケタル者ノ爲メ引渡請求アリタル場合ニ於テハ若シ其告訴告發ヲ受ケタル罪ヲ帝國内ニ於テ犯シタルモノトセハ帝國ノ法律ニ據リ被告人ヲ審判ニ付スルニ充分ナル犯罪ノ證據アリト認メタルトキ

二　有罪ノ宣告ヲ受ケタル者ノ場合ニ於テハ相當裁判所ニ於テ其宣告ヲ爲シタルコトヲ認メタルトキ

第十九條　關席裁判ニ由リ有罪ノ宣告ヲ受ケタル者ハ其引渡ヲ請求シタル締約國トノ間ニ特別ノ約款アルニ非サレハ本條例ニ於テハ之ヲ告訴告發ヲ受ケタル者ト爲シ有罪ノ宣告ヲ受ケタル者ト爲シ取扱フヘシ

第二十條　逮捕シタル者ヲ釋放シ又ハ其引渡ノ爲メ拘束シタル者ヲ釋放スヘキ旨ヲ逮捕シタル國ニ通知シタル後何人ヲモ一月以上留置スルコトヲ得ス但此期限内ニ之ヲ引渡請求書及附屬書類ニ其執行シタル手續及其理由ノ略記ヲ添ヘ之ヲ外務大臣ニ返付スヘシ

第二十一條　引渡狀ヲ發シタル後何人ヲモ一月以上留置スルコトヲ得ス但此期限内ニ之ヲ帝國外ニ引取ラサルトキハ請求國相當官史ニ於テ正當ノ事由ヲ示ニアラサレハ釋放スヘシ

第二十二條　逃亡犯罪人ヲ引渡ストキハ其逮捕ノ際差押ヘタル本人ノ携帶品ハ正當ノ理由アルニアラサレハ其引渡ノ節本人ト共ニ悉ク之ヲ交付スヘシ

第二十三條　司法大臣ハ外務大臣ノ請求ニ依リ一外國ヨリ他ノ外國ニ引渡シタル者ノ帝國内海陸ノ通行ヲ認可スルコトヲ得

本條ノ請求ハ引渡ヲ受ケタル國ノ政府ヨリ引渡狀ノ公寫ヲ添ヘ相當ノ順序ヲ經由シタル照會書ヲ外務大臣ニ於テ受領シタルトキニ限ル但帝國ト請求國トノ間ニ特別ノ約款アルトキハ該照會書ノ外仍ホ請求國ノ政府ニ於テ之ト同一ノ場合即チ第三國ヨリ帝國ニ逃亡犯罪人ヲ引渡シタル場合ニ該請求國内海陸ノ通行ヲ均シク認可スヘキノ保證ヲ爲シタルトキニ限ル

附錄

第一號書式

假逮捕狀

逮捕セラルヘキ者ノ氏名
年齡本貫住所

司法大臣ノ命令ヲ受ケ逃亡犯罪人引渡條約ニ據リ此假逮捕狀ヲ發シ右ニ掲ケル（告訴告發ヲ受ケタル・有罪ノ宣告ヲ受ケタル）ヲ受ケタル於テハ、ノ犯罪ニ付、ノ、ノ、ニ國ノ逃亡犯罪人、ノ、ノヲ法律ニ遵ヒ處分スル爲メ逮捕スヘキコトヲ命スルモノ也

檢事局ノ印　明治　年　月　日

上席檢事署名捺印

裁判所書記署名捺印

（此狀ヲ送達シ一葉ヲ受取人ニ渡スヘシ）

第二號書式

逮捕狀

逮捕セラルヘキ者ノ氏名
年齡本貫住所

右ハ逃亡犯罪人引渡條約ニ據リ逮捕セラルヘキ者ノ氏名ニ相違ナキヤ

司法大臣ノ命令ヲ受ケ逃亡犯罪人引渡條約ニ據リ此假逮捕狀ヲ發シ右ニ掲ケル（告訴告發ヲ受ケタル・有罪ノ宣告ヲ受ケタル）ヲ受ケタル於テハ、ノ犯罪ニ付、ノ、ノ、ニ國ノ逃亡犯罪人、ノ、ノヲ法律ニ遵ヒ處分スル爲メ逮捕スヘキコトヲ命スルモノ也

檢事局ノ印　明治　年　月　日

上席檢事署名捺印

裁判所書記署名捺印

（英譯文ヲ此狀ノ裏面ニ記スヘシ）

（割）

逮捕セラルヘキ者ノ氏名ヲ記スヘシ

逮捕セラルヘキ者ノ氏名ニ相違ナキヤヲ問ヒ且ヲ記スヘシ

年　月　日　時　執行ノ場所

逮捕狀ヲ受ケタル者ノ氏名ヲ記スヘシ

逮捕狀ヲ受ケタル者ニ其逮捕狀ノ趣旨ヲ說明シ且ヲ記スヘシ

年　月　日　時　執行ノ場所

明治　年　月　日

巡査又ハ憲兵署名捺印

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第一條　裁判所ノ公布ス

第二條　犯罪捜査ノ権限ハ法律ノ定ムル所ニ依リ検事長又ハ検事正ノ指揮ヲ受ケ検事之ヲ行フ

第三條　検事ハ犯罪ヲ捜査シ公訴ヲ提起シ及ヒ其ノ公訴ヲ維持スル為必要ナル処分ヲ為スヘシ

第四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ法律ノ定ムル所ニ従ヒ裁判所ノ職務ヲ補助スヘシ

第五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ法廷ノ秩序ヲ維持スル為裁判長ノ命令ニ従フヘシ

第六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ犯罪ノ捜査ヲ為スコトヲ得ス

第七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第百條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第一條　裁判所ノ公布ス

第二條　犯罪捜査ノ権限ハ法律ノ定ムル所ニ依リ検事長又ハ検事正ノ指揮ヲ受ケ検事之ヲ行フ

第三條　検事ハ犯罪ヲ捜査シ公訴ヲ提起シ及ヒ其ノ公訴ヲ維持スル為必要ナル処分ヲ為スヘシ

第四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ法律ノ定ムル所ニ従ヒ裁判所ノ職務ヲ補助スヘシ

第五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ命令ニ従フヘシ

第六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ犯罪ノ捜査ヲ為スコトヲ得ス

第七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第二十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第四十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第五十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第六十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第七十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第八十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十一條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十二條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十三條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十四條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十五條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十六條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十七條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十八條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十九條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第百條　検事ハ裁判所ノ構内ニ於テ裁判長ノ許可ヲ得スシテ逮捕状又ハ勾引状ヲ執行スルコトヲ得ス

第三號樣式（用紙ハ半紙判）

年	月	日	何裁判所檢事正	官氏名	印

第四號樣式（用紙ハ半紙判）

年	月	日	何裁判所檢事長	官氏名	印

第五號樣式（用紙ハ半紙判）

年	月	日	何裁判所檢事長	官氏名	印

第六號樣式（用紙ハ半紙判）

年	月	日	何裁判所檢事長	官氏名	印

第七號樣式（用紙ハ半紙判）

年	月	日	何裁判所檢事長	官氏名	印

第三號樣式（用紙ハ半紙判）

年	月	日	何裁判所檢事正	官氏名	印

第四號樣式（用紙ハ半紙判）

年	月	日	何裁判所檢事長	官氏名	印

第一審ノ刑ノ執行指揮ニ關スル規程

第一條　刑ノ執行指揮ハ檢事ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ謄本ヲ檢閱シ且裁判ノ確定ノ日ヲ調査スヘシ

第三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第二十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第二十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第二十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第二十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第二十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第二十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第二十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第二十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第二十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第二十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第三十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第三十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第三十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第三十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第三十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第三十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第三十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第三十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第三十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第三十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第四十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第四十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第四十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第四十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第四十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第四十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第四十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第四十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第四十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第四十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第五十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第五十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第五十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第五十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第五十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第五十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第五十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第五十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第五十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第五十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第六十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第六十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第六十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第六十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第六十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第六十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第六十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第六十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第六十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第六十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第七十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第七十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第七十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第七十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第七十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第七十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第七十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第七十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第七十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第七十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第八十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第八十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第八十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第八十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第八十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第八十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第八十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第八十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第八十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第八十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第九十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第九十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第九十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第九十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第九十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第九十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第九十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第九十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第九十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第九十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百二十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百二十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百二十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百二十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百二十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百二十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百二十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百二十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百二十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百二十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百三十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百三十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百三十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百三十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百三十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百三十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百三十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百三十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百三十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百三十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百四十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百四十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百四十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百四十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百四十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百四十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百四十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百四十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百四十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百四十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百五十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百五十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百五十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百五十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百五十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百五十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百五十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百五十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百五十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百五十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百六十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百六十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百六十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百六十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百六十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百六十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百六十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百六十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百六十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百六十九條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百七十條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百七十一條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百七十二條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百七十三條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百七十四條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百七十五條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百七十六條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百七十七條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定ノ日ヨリ起算シテ刑ノ執行ヲ終ルヘキ日ヲ計算スヘシ

第百七十八條　檢事ハ刑ノ執行ヲ指揮スルニ當リ其ノ裁判ノ確定

様式第三號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第四號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第五號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第六號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第七號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第八號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第九號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第十號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第十一號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第十二號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第十三號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第十四號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第十五號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第十六號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第十七號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第十八號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第十九號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第二十號

罪名	犯者	刑	所濟	年裁	刑ノ執行停止指揮書	弁	號
				大正　年　月　日			
				受刑者ノ氏名			

何
刑務所(支所)長
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
區裁判所(支部)
簡易裁判所
檢事(檢事局(支部)檢事分局)
朝鮮總督府典獄(看守長補)　殿

右ノ者ニ對スル刑ノ執行ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ停止ス

大正　年　月　日

何
檢事(檢事局(支部)檢事分局)

様式第七號

第　號

出監指揮書

罪名		被告人（被疑者）
判決決定年月日	大正　年　月　日	
出監ノ事由		ノ氏名

右者直ニ出監ノ手續可有之候也

大正　年　月　日

何法院檢事局（支廳檢事分局）
朝鮮總督府檢事（檢事事務取扱朝鮮總督府道警部）
道警視

何刑務所（支所）長
朝鮮總督府典獄（典獄補）（看守長）　殿

出監事由欄ニハ左ノ區別ニ從ヒ記載スヘシ

一、無罪、免訴、刑ノ免除、刑ノ執行猶豫、公訴棄却、管轄違、罰金又ハ科料ノ言渡、勾留ノ取消、保釋、責付、勾留執行停止、勾留期間滿了、其ノ他

二、刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ出監セシムルトキハ刑名、刑期、猶豫期間及裁判確定年月日ヲ附記スヘシ

●刑ノ執行猶豫ニ關スル取扱規程

明治四十五年三月
總訓第十五號

朝鮮總督府檢事
朝鮮總督府警察署

刑ノ執行猶豫ニ關スル取扱規程左ノ通定ム

刑ノ執行猶豫ニ關スル取扱規程ノ通定ム

第一條　一定ノ住所ヲ有セサル犯人ニ對シテハ檢事ハ犯人ヲシテ速ニ其ノ住所ヲ定メ之ヲ届出テシムヘシ

第二條　檢事ハ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタル犯人ニ猶豫期間ノ始期及終期並刑法第二十六條及第二十七條ノ趣旨ヲ告知スヘシ

第三條　地方法院又ハ地方法院支廳ニ於テ刑ノ執行猶豫ヲ言渡シタルトキハ檢事ハ犯人ノ氏名、年齡、職業、本籍地、住所、罰名、刑名、刑期、猶豫期間及其ノ始期、終期其ノ他必要ト認ムル事項ヲ所轄警察署（警察分署及警察官吏駐在所ヲ含ム以下同シ）ニ通知スヘシ

犯人其ノ裁判所ノ管轄地域外ニ住スルトキハ管轄地方法院又ハ支廳ノ檢事ニ亦前項ノ通知ヲ爲スヘシ

第四條　高等法院又ハ覆審法院ニ於テ刑ノ執行猶豫ヲ言渡シタル場合ニ於テハ檢事ハ犯人ノ住所ノ地ヲ管轄スル地方法院又ハ支廳ノ檢事ニ前條第一項ニ定ムル事項ヲ通知シ其ノ通知ヲ受ケタル檢事ハ之ヲ所轄警察署ニ通知スヘシ高等法院又ハ覆審法院ニ於テ上訴ヲ棄却シ刑ノ執行猶豫ノ言渡確定シタルトキ亦同シ

第五條　地方法院又ハ支廳ノ檢事局及警察署ニハ別記樣式ニ依リ刑ノ執行猶豫人名簿ヲ備フヘシ

刑ノ執行猶豫人名簿各欄ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ記入スヘシ

第六條　警察署ハ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタル犯人ニ付刑ノ執行猶豫人名簿ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ所轄警察署ニ通知スヘシ

第七條　地方法院又ハ支廳ノ檢事刑ノ執行猶豫人名簿ノ寫ヲ添ヘ速ニ其ノ旨ヲ所轄警察署ニ通知スヘシ

第八條　地方法院又ハ支廳ノ檢事刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタル犯人カ住所ヲ轉シタルコトヲ知リタルトキハ刑ノ執行猶豫人名簿ノ寫ヲ添ヘ速ニ其ノ轉住地ヲ管轄スル地方法院又ハ支廳ノ檢事ニ通知スヘシ

第九條　警察署ハ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタル犯人ニ付言渡取消ノ原因アルコトヲ覺知シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ管轄地方法院又ハ支廳ノ檢事ニ通知スヘシ

第十條　檢事前條ノ原因アルコトヲ覺知シタルトキハ犯人所在ノ地又ハ最後ノ住所ノ地ヲ管轄スル地方法院又ハ支廳ノ檢事ニ之ヲ通知スヘシ

第十一條　刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消シタル場合ニ於テハ檢事ハ所轄警察署ニ之ヲ通知スヘシ

刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ爲シタル裁判所又ハ犯人住所ノ地ヲ管轄スル裁判所ニ於テ取消ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テハ檢事ハ猶豫ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事又ハ住所ノ地ヲ管轄スル地方法院若ハ支廳ノ檢事ニモ亦其ノ旨ヲ通知スヘシ

刑ノ執行猶豫人名簿樣式

（用紙美濃紙　但半面ヲ以テ一用紙トス）

| 本籍 | | |

者ヲ檢舉シ又ハ其ノ所在ヲ發見シタルトキハ通常ノ手續ニ從ヒ搜査ヲ進行スヘシ

第十四條　司法警察官吏ノ作成スル書類ニ付テハ刑事訴訟法第七十一條及第七十二條ノ規定ニ從フヘシ

第十五條　書類ヲ作成スルニハ簡易ニシテ事實ヲ失ハサルヲ旨トシ特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　複雜ナル事項ハ項ヲ分チ序ヲ逐ヒテ記述スルコト

二　方言、略語、隱語ノ類ニハ其ノ下ニ括弧ヲ附シ說明又ハ譯解ヲ爲スコト

三　地名、人名等ニシテ讀ミ難キトキ又ハ特殊ノ稱呼アルトキハ傍訓ヲ附スルコト

第十六條　被疑者其ノ他ノ者ノ供述ヲ聽キタルトキハ聽取書ヲ作成スヘシ（樣式第十一號、第十八號、第十九號）

供述事項簡單ナルカ又ハ本人ノ希望アルトキハ書面（手續書又ハ始末書）ヲ差出サシメテ聽取書ニ代フルコトヲ得

第十七條　被疑者、證人、鑑定人其ノ他ノ者ノ作成スル書類ハ朝鮮刑事令ニ依リサルモノト雖成ルヘク刑事訴訟法第七十三條及第七十四條ノ規定ニ從ハシムヘシ

前項ノ書類代書ニ係ルトキハ代書者ヲシテ其ノ書類ヲ本人ニ讀聞カセタルコト及代書ノ事由ヲ附記セシメ署名捺印セシムヘシ

第十八條　司法警察官吏ハ朝鮮刑事令ニ定ムル場合ノ外其ノ作成ニ係ル書類ニシテ被疑者、證人、鑑定人其ノ他ノ者ニ署名捺印セシメサルトキハ同令ニ於テハ刑事訴訟法第五十六條及第七十四條ノ規定ニ從フヘシ

第二章　搜査

第十九條　搜査ハ犯罪ノ證據ヲ蒐集シ犯人ヲ檢擧シ公訴ノ提起及實行ノ資料ヲ得ルヲ以テ目的ノトス

第二十條　搜査ニ付テハ秘密ヲ嚴守シ被疑者其ノ他ノ者ノ名譽ヲ毀損セサルコトニ注意スヘシ

第二十一條　搜査ハ犯罪ノ證據ヲ確實ニシ犯人ヲ檢擧スルニ必要ナル限リ之ヲ爲スヘシ

第二十二條　搜査ヲ爲スニハ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　被疑者ノ氏名、年齡、身分、職業、本籍、住居、出生地及前科、起訴猶豫又ハ訓戒放免ノ有無

二　被疑者位記、勳章、年金、恩給又ハ記章ヲ有スルヤ否

三　被疑者ノ兵役關係（徵集年、役種、兵種及官等敎ヲ記入スルコト）

四　被疑者ノ素行、經歷、家庭ノ狀況、生活ノ狀態、敎育ノ程度、宗敎及出獄後ノ狀態等

五　犯罪ノ性質、方法、日時、場所及原因

六　被害者ノ氏名、年齡、職業及住居

七　被疑者ノ身分、親族關係其ノ他被疑者ト被疑者ノ身分ニ關係等ニ因リ罪ノ成否又ハ刑ノ輕重等ニ關係アル事件ニ付テハ特ニ其ノ事項

八　被疑者ノ處刑ニ因リ其ノ家庭及家族ニ及ホス影響

九　犯罪ニ因リ被害者ノ家庭及家族ニ及ホス影響

十　被害ノ狀態及損害ノ值格

十一　被疑者ノ利益ト爲ルヘキ事實

十二　前各號ノ事項ヲ證明スヘキ資料

第二十二條　被疑者其ノ他ノ關係人ニ對シテハ丁寧深切ヲ旨トシ其ノ利益ト爲ルヘキ事實ヲ陳述スル機會ヲ與フヘシ

第二十三條　告訴、告發、自首其ノ他犯罪ノ申告又ハ變死者、變死ノ疑アル死體ヲ發見シタルコトノ屆出アリタルトキハ其ノ名稱ノ何タルヲ問ハス且搜査ヲ要スヘキモノナルト否トニ拘ラス之ヲ受理シ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十四條　告訴、告發、自首其ノ他犯罪ノ申告ヲ爲ス者アルトキハ成ルヘク其ノ原由及第二十一條ニ揭ケル事項ヲ明瞭ナラシムル爲相當ノ處置ヲ爲シ且檢證ノ結果ニ關シ第二十七條ニ規定スル書類ヲ作成スヘシ

第二十五條　日頃ヲ以テ告訴告發、又ハ自首ヲ受ケタルトキハ調書ヲ作ルヘシ（樣式第四號、第五號）

書面ヲ以テ前項ニ規定スル申告ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ趣旨不明瞭ナルカ又ハ必要アリト思料シ其ノ趣旨ニ付陳述ヲ爲サシメタルトキハ補充調書ヲ作ルヘシ（樣式第六號）

第二十六條　告訴、告發又ハ自首ニ付取消ノ申立アリタルトキハ其ノ原因ヲ明確ナラシムルコトニ注意スヘシ

日頃ヲ以テ前項ノ申立ヲ爲シタル場合ニ於テハ調書ヲ作ルヘシ（樣式第七號）

第二十七條　刑事訴訟法第二百七十一條ノ代理人告訴又ハ告訴ノ取消ヲ爲ストキハ本人ノ委任狀ヲ差出サシムヘシ

第二十八條　告訴、告發又ハ自首ノ書面ハ其ノ取消ノ申立アルモ之ヲ還付セサルモノトス

第二十九條　司法警察官吏現行犯人ヲ逮捕シタルトキハ逮捕始末書ヲ作成スヘシ（樣式第八號）

第三十條　司法警察官吏現行犯人ヲ受取リタルトキハ逮捕者ノ氏名、住居及逮捕ノ年月日ヲ聽取リ必要アル場合ニ於テハ逮捕者ニ對シ共ニ官署ニ至ルコトヲ求ムルコトヲ得

第三十一條　司法警察官現行犯人ヲ受取リタルトキハ犯罪發覺ノ原因、逮捕ノ日時、場所其ノ他必要ノ狀況ヲ申立テシメ逮捕及告訴調書ヲ作成スヘシ（樣式第九號）

前項ノ場合ニ於テ逮捕始末書ヲ差出シタルトキハ其ノ相違ナキヤ否ヲ取調ヘ其ノ旨ヲ記載シ署名捺印シ之ヲ以テ調書ニ代フルコトヲ得（樣式第八號、第十號）

第三十二條　司法警察官現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リ又ハ勾引狀ノ執行ヲ受ケタル場合ニ於テハ檢事ノ指揮ヲ待タスシテ之ヲ釋放スヘシ

第三十三條　司法警察官被疑者、證人、鑑定人其ノ他ノ者ヲ取調フルニ當リ必要アルトキハ通知ヲ用ヰ又ハ書面ヲ以テ問答ヲ爲スヘシ

通知ヲ用ヰ問答ヲ爲シタルトキハ通知ヲ取調フルニ當リ又ハ聽取書ノ趣旨ヲ本人ニ告知セシメ其ノ旨ヲ附記シ通知ヲシテ共ニ署名捺印セシムヘシ（樣式第十八號）

書面ヲ以テ問答ヲ爲シタルトキハ調書又ハ聽取書ヲシテ供述者ニ讀聞カセ又ハ供述者ヲシテ之ヲ閱覽セシメ其ノ記載ノ正確ナルヤ否ヲ問フヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ附記シ署名捺印セシムヘシ

第三十四條　血痕、指紋、足跡其ノ他滅失ノ虞アル證據物ハ之カ保全ニ注意シ且檢證調書又ハ其ノ他ノ書類ヲ以テ其ノ形狀ヲ明確ナラシムヘシ

檢證ヲ爲シ又ハ鑑定ヲ命スルニ際シ死體解剖又ハ物ノ毀損其ノ他原狀ノ變更ヲ要スル場合ニハ其ノ變更前ノ形狀ニ付前項ニ準シ血液、排泄物及劇毒藥ニ等付鑑定ヲ命スル場合ニ於テハ其ノ一部ヲ保存スルコトニ注意スヘシ

第三十五條　現行犯處分其ノ他強制處分ニ著手シタル後檢事ノ臨檢ヲ必要トリト思料スルトキハ其ノ旨ヲ事件所管廳ノ檢事ニ報告シ指揮ヲ待ツヘシ但シ猶豫スヘカラサル處分ハ之ヲ擅行スヘシ

第三十六條　現行犯處分其ノ他強制處分ニ著手シタル場合ニ於テハ事由ヲ其ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ速ニ之ヲ引繼クヘシ

第三十七條　現行犯處分其ノ他強制處分シテ押收、捜索及檢證ノ方法ニ依ルヘシ

第三十八條　押收物ニ付テハ喪失又ハ毀損ヲ防ク爲相當ノ處置ヲ爲シ且事件名、被疑者ノ氏名及差押目錄又ハ領置目錄ニ記載シタ

ル場合ニ於テハ檢事ノ指揮ヲ待タスシテ之ヲ執行スヘシ

第四十八條　被疑者、被告人又ハ證人ニ對シ令狀ヲ執行スル場合ニ於テハ丁寧深切ヲ旨トシ其ノ身體及名譽ヲ保全スルコトニ注意スヘシ

第四十九條　勾引狀ノ執行ヲ受ケタル證人ヲ護送スル場合又ハ引致シタル場合ト雖監獄又ハ警察署ノ留置場ニ留置スルコトヲ得ス

第五十條　司法警察官令狀ヲ執行スル場合ニ於テ執行ヲ受クヘキ者其ノ管內ニ居住セサルトキハ左ノ區別ニ從ヒ處理シ命令又ハ囑託ヲ爲シタル官廳ニ其ノ旨ヲ報告又ハ通報スヘシ

一　同一地方法院ノ管轄內ナルトキハ其ノ所轄司法警察官ニ令狀ヲ送付シテ執行ヲ求ムヘシ

二　他ノ地方法院ノ管轄內ナルトキ、住居分明ナラサルトキ其ノ他執行不能ノトキハ令狀ヲ返戾又ハ送付スヘシ

前項ノ規定ハ刑事訴訟法第百二條ノ適用ヲ妨ケス

第五十一條　令狀ノ執行ヲ終リ又ハ返戾ヲ受ケタルトキハ之ヲ其ノ事件ノ記錄ニ編綴スヘシ但シ命令又ハ囑託ヲ受ケタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十二條　朝鮮刑事令第十三條ノ規定ニ依ル留置ハ留置狀ヲ發シテ之ヲ爲スヘシ（樣式第三十六號）

第五十三條　留置狀ヲ執行スルニハ之ヲ被疑者ニ示シテ警察署ノ留置場ニ留置スヘシ

第五十四條　留置期間內ト雖留置スヘカラス

又ハ留置ノ必要ナシト思料スルトキハ速ニ被疑者ヲ釋放スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ年月日ヲ留置狀ニ記載スヘシ

第五十五條　同一事件ニ付テハ再ヒ被疑者ヲ留置スルコトヲ得ス

第五十六條　留置狀ハ執行ノ後之ヲ其ノ事件ノ記錄ニ編綴スヘシ

第五十七條　本規程ニ於テ令狀ト稱スルハ勾引狀、勾留狀、逮捕狀及假逮捕狀ヲ謂フ

第四十五條　令狀ハ逮捕且適確ニ之ヲ執行スヘシ

第四十六條　令狀又ハ留置狀

第三章　令狀及留置狀

第四十五條　本規程ニ於テ令狀ト稱スルハ勾引狀、勾留狀、逮捕狀及假逮捕狀ヲ謂フ

第四十六條　令狀ハ逮捕且適確ニ之ヲ執行スヘシ

第四十七條　判事ノ發シタル勾引狀又ハ勾留狀ニ檢事ノ認印アルトキハ執行指揮書ノ添附ヲシト雖之ヲ執行スヘシ

刑事訴訟法第百條第一項但書ノ指揮アリタルトキハ檢事ノ認印ヲ要セス

第四十八條　勾引狀又ハ勾留狀ノ執行ヲ受ケタル者ニ非サルトキハ告訴權ノ有無、親告罪ニ係ルモノナルトキハ刑事訴訟法第二百六十五條ノ期間ヲ經過セサルヤ否、裁通罪ニ係ルモノナルトキハ刑事訴訟法第二百六十四條ノ條件ヲ具備スルヤ否ヲ調査スヘシ

第二十五條　日頃ヲ以テ告訴告發、又ハ自首ヲ受ケタルトキハ調書ヲ作ルヘシ（樣式第四號、第五號）

書面ヲ以テ前項ニ規定スル申告ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ趣旨不明瞭ナルカ又ハ必要アリト思料シ其ノ趣旨ニ付陳述ヲ爲サシメタルトキハ補充調書ヲ作ルヘシ（樣式第六號）

第二十六條　告訴、告發又ハ自首ニ付取消ノ申立アリタルトキハ其ノ原因ヲ明確ナラシムルコトニ注意スヘシ

日頃ヲ以テ前項ノ申立ヲ爲シタル場合ニ於テハ調書ヲ作ルヘシ（樣式第七號）

第二十七條　刑事訴訟法第二百七十一條ノ代理人告訴又ハ告訴ノ取消ヲ爲ストキハ本人ノ委任狀ヲ差出サシムヘシ

第二十八條　告訴、告發又ハ自首ノ書面ハ其ノ取消ノ申立アルモ之ヲ還付セサルモノトス

第二十九條　司法警察官吏現行犯人ヲ逮捕シタルトキハ逮捕始末書ヲ作成スヘシ（樣式第八號）

第三十條　司法警察官吏現行犯人ヲ受取リタルトキハ逮捕者ノ氏名、住居及逮捕ノ年月日ヲ聽取リ必要アル場合ニ於テハ逮捕者ニ對シ共ニ官署ニ至ルコトヲ求ムルコトヲ得

第三十一條　司法警察官現行犯人ヲ受取リタルトキハ犯罪發覺ノ原因、逮捕ノ日時、場所其ノ他必要ノ狀況ヲ申立テシメ逮捕及告訴調書ヲ作成スヘシ（樣式第九號）

前項ノ場合ニ於テ逮捕始末書ヲ差出シタルトキハ其ノ相違ナキヤ否ヲ取調ヘ其ノ旨ヲ記載シ署名捺印シ之ヲ以テ調書ニ代フルコトヲ得（樣式第八號、第十號）

第三十二條　司法警察官現行犯人ヲ逮捕シ若ハ之ヲ受取リ又ハ勾引狀ノ執行ヲ受ケタル場合ニ於テハ檢事ノ指揮ヲ待タスシテ之ヲ釋放スヘシ

第三十三條　司法警察官被疑者、證人、鑑定人其ノ他ノ者ヲ取調フルニ當リ必要アルトキハ通知ヲ用ヰ又ハ書面ヲ以テ問答ヲ爲スヘシ

通知ヲ用ヰ問答ヲ爲シタルトキハ通知ヲ取調フルニ當リ又ハ聽取書ノ趣旨ヲ本人ニ告知セシメ其ノ旨ヲ附記シ通知ヲシテ共ニ署名捺印セシムヘシ（樣式第十八號）

書面ヲ以テ問答ヲ爲シタルトキハ調書又ハ聽取書ヲシテ供述者ニ讀聞カセ又ハ供述者ヲシテ之ヲ閱覽セシメ其ノ記載ノ正確ナルヤ否ヲ問フヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ附記シ署名捺印セシムヘシ

第三十四條　血痕、指紋、足跡其ノ他滅失ノ虞アル證據物ハ之カ保全ニ注意シ且檢證調書又ハ其ノ他ノ書類ヲ以テ其ノ形狀ヲ明確ナラシムヘシ

檢證ヲ爲シ又ハ鑑定ヲ命スルニ際シ死體解剖又ハ物ノ毀損其ノ他原狀ノ變更ヲ要スル場合ニハ其ノ變更前ノ形狀ニ付前項ニ準シ血液、排泄物及劇毒藥ニ等付鑑定ヲ命スル場合ニ於テハ其ノ一部ヲ保存スルコトニ注意スヘシ

第三十五條　現行犯處分其ノ他強制處分ニ著手シタル後檢事ノ臨檢ヲ必要トリト思料スルトキハ其ノ旨ヲ事件所管廳ノ檢事ニ報告シ指揮ヲ待ツヘシ但シ猶豫スヘカラサル處分ハ之ヲ擅行スヘシ

第三十六條　現行犯處分其ノ他強制處分ニ著手シタル場合ニ於テハ事由ヲ其ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ速ニ之ヲ引繼クヘシ

第三十七條　現行犯處分其ノ他強制處分シテ押收、捜索及檢證ノ方法ニ依ルヘシ

第三十八條　押收物ニ付テハ喪失又ハ毀損ヲ防ク爲相當ノ處置ヲ爲シ且事件名、被疑者ノ氏名及差押目錄又ハ領置目錄ニ記載シタル場合ニ於テハ檢事ノ指揮ヲ待タスシテ之ヲ執行スヘシ

第四十條　被疑者、被告人又ハ證人ニ對シ必要ナル事項ヲ指示シテ其ノ訓誡ヲ求メ且將來ノ保護監督ニ付條定ヲ遂クヘシ

前項ノ場合ニ於テハ特ニ其ノ少年ノ犯罪ニ關スル事項ヲ他ノ調書ト添ヘササル樣注意スヘシ

第四十一條　前條ノ規定ハ刑事訴訟法第百二條ノ適用ヲ妨ケス

第四十二條　搜査ニ依リ事件ノ要領ヲ得タルトキハ速ニ管轄裁判所ノ檢事、相當官署又ハ即決官署ニ之ヲ送致スヘシ但シ檢證ヲ經サル犯人不明ノ事件ハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　事件ヲ送致スルニハ記錄ニ送致書、押收物アルトキハ押收金品總目錄、記錄目錄、及意見書ヲ添ヘ且成ルヘク被疑者ノ素行調書ヲ添附スヘシ（樣式第一號乃至第三號、第四十二號、第四十四號）

第四十四條　死刑、無期又ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ルヘキ事件ヲ送致スルニ當リ被疑者ノ所在不明ナルトキハ成ルヘク人相書ヲ添附スヘシ（樣式第四十五號）

第四十五條　送致記錄ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ編綴スヘシ

一　送致書

二　押收金品總目錄

三　記錄目錄

四　意見書

五　其ノ他ノ書類

前項第五號ノ書類ハ受理又ハ作成ノ順序ニ依リ之ヲ編綴シ同項第四號及第五號ノ書類ニハ每葉ニ丁數ヲ附スヘシ

第四十六條　第六條第一號ノ事件ノ記錄ヲ各別ニ送致スルトキハ各送致書ニ其ノ關係事件ノ送致年月日、事件名、被疑者ノ氏名、若事件所管廳ヲ異ニスルトキハ其ノ旨ヲ附記シ一方ニ其ノ證據ト爲ルヘキ書類ノ謄本ヲ添附スヘシ

第四十七條　搜査ノ結果訴ト爲ラス又ハ被疑者ノ死亡、公訴時效ノ完成其ノ他公訴棄消滅ノ原因アリト認ムル事件ハ之ヲ送致セサ

ルコトヲ得但シ告訴又ハ告發ニ係ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十二條　事件輕微ニシテ處罰ノ實益ナシト思料スルトキハ被疑者ニ訓誡ヲ加ヘ之ヲ送致セサルコトヲ得但シ告訴又ハ告發ニ係ルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ被疑者ヲシテ成ルヘク贓品ノ返還、損害ノ賠償又ハ謝罪ノ方法ニ依リ被害者ニ滿足ヲ與ヘシムルコトニ注意シ若法禁物又ハ犯罪供用物件アルトキハ被疑者ヲシテ任意ニ廢棄其ノ他適宜ノ處分ヲ爲サシムヘシ

第七十三條　前條ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ所轄地方法院檢事正及事件所管區ノ檢事ニ報告シ被疑者他ノ管内ニ居住スルトキハ所轄警察署長ニモ通知スヘシ（樣式第四十六號）

第七十四條　公ニスルヲ相當トセサル報告又ハ復命等ノ書類ハ記錄ニ綴殺スルコトナク親展書トシテ送付スヘシ

第七十五條　證據物中證書及書翰ノ類ハ之ヲ一括シテ封筒ニ入レ封皮ニ證據品ナル旨ヲ表示シテ送付スヘシ

押收物ヲ記錄ト共ニ送致セサルトキハ送致書ニ其ノ事由ヲ附記スヘシ

第七十六條　押收物ニシテ送付ノ必要ナシト認メタルモノ又ハ運搬ニ不便ナルモノハ之ヲ保管シ又ハ適當ノ者ニ命シテ之ヲ保管セシムヘシ

前項ニ依リ保管ヲ命シタルトキハ保管者ニ請書ヲ差出サシムヘシ（樣式第四十一號）

第七十七條　押收物ニシテ送付スルノ必要ナク且返收スヘカラサルモノト認ムルトキハ之ヲ假ニ還付スルコトヲ得

假還付ヲ爲スニハ假還付申請人ナル管理者ノ注意ヲ以テ其ノ物件ヲ保管シ一切ノ處分行爲ヲ爲スコトヲ得サル旨ヲ假還付物受領者ニ諭示シ假還付請書ヲ差出サシムヘシ（樣式第四十號）

第七十八條　被疑者ノ手ニ現存スル贓物、贓物ト交換シタル物、贓物ヲ賣却シタル代金又ハ賍金ヲ以テ購求シタル物ヲ押收シタル場合ニ於テ之ヲ送付スルノ必要ナク且返收スヘカラサルモノト認ムルトキハ成ルヘク關係人ヲシテ協議ノ上相當ノ處置ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十九條　押收物ニシテ事件ニ關係ナキコト分明シタルトキハ之ヲ還付スヘシ

前項ニ依リ還付ノ手續ヲ爲シタルトキハ還付請書ヲ差出サシムヘシ（樣式第三十九號）

第八十條　前四條ノ場合ニ於テ請書及協議書ハ之ヲ記錄ニ綴殺シ差押目錄又ハ領置目錄ニ其ノ旨ヲ記入スヘシ

第八十一條　押收物ノ廢棄、換價、還付又ハ假還付ヲ爲ス場合ニ於テ高價品、貴重品又ハ事件ニ重要ナル關係アル者ニ係ルトキハ處分前檢事ノ指揮ヲ受クヘシ

第八十二條　事件送致後ニ於テ書類又ハ物件ヲ追送スル場合ニ於テハ事件送致ノ年月日、事件名及被疑者ノ氏名ヲ記載シタル送付書ヲ添附スヘシ

第六章　帳簿及書類

第八十三條　警察署ニハ左ノ帳簿及書類ヲ備フヘシ

一　犯罪捜査簿（樣式第五十二號）　二十年
二　犯罪事件簿（樣式第五十三號）　二十年
三　押收票（樣式第五十四號）　十年
四　令狀執行簿（樣式第五十五號）　二年
五　勾引狀原簿（留置狀原簿）（樣式第五十六號）　二年
六　檢視名簿（樣式第五十七號）　二年
七　過料請求簿（樣式第五十八號）　五年
八　司法警察ニ關スル例規綴　永久
九　司法警察ニ關スル機密書類綴　三年
十　犯罪捜査既濟事件記錄綴（第八十六條第二項但書ノ意見書寫綴ヲ除ク）　三年
十一　犯罪捜査未濟事件記錄綴　七年
十二　翻譯放免記錄綴　三年
十三　司法警察ニ關スル表記綴　五年
十四　司法處分結果通知綴　二年
十五　司法警察ニ關スル雜書綴　二年
十六　逮捕狀ハ刑ノ時效完成迄之ヲ保存スヘシ
第八十六條第二項但書ノ意見書寫綴ハ當該犯罪事件簿ノ保存期間之ヲ保存スヘシ
第一項第十號ノ記錄綴中所定ノ保存期間ヲ經過スルモ尚公訴時效完成セサルモノアルトキハ其ノ時效完成迄之ヲ保存スヘシ
第八十四條　警察署長ハ必要ト認ムルトキハ

第九十四條　警察署長ハ必要ト認ムルトキハ第八十三條ノ規定以外ニ相當ノ帳簿又ハ書類ヲ備フルコトヲ得

第九十五條　司法警察事務ニ關スル帳簿及書類ハ行政警察事務ニ關スル帳簿及書類ト明ニ區別シ一定ノ場所ニ整備スヘシ

第九十六條　司法警察事務ニ關スル帳簿及書類綴ハ每歷年之ヲ更新スヘシ但シ必要アルトキハ累年繼續使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ年度ノ區劃ヲ爲ス分界紙ヲ挿入シ又ハ見出札ヲ附スヘシ

第九十七條　帳簿及書類ハ左ノ期間之ヲ保存スヘシ

犯罪捜査簿　二十年
犯罪事件簿　二十年
押收票　十年
令狀執行簿　二年
勾引狀原簿（留置狀原簿）　二年
檢視名簿　二年
過料請求簿　五年
司法警察ニ關スル例規綴　永久
司法警察ニ關スル機密書類綴　三年
犯罪捜査既濟事件記錄綴（第八十六條第二項但書ノ意見書寫綴ヲ除ク）　三年
犯罪捜査未濟事件記錄綴　七年
翻譯放免記錄綴　三年
司法警察ニ關スル表記綴　五年
司法處分結果通知綴　二年
司法警察ニ關スル雜書綴　二年

第八十四條　警察署長ハ必要ト認ムルトキハ第八十三條ノ規定以外ニ相當ノ帳簿又ハ書類ヲ備フルコトヲ得

第九十五條　司法警察事務ニ關スル帳簿及書類ハ行政警察事務ニ關スル帳簿及書類ト明ニ區別シ一定ノ場所ニ整備スヘシ

第九十六條　司法警察事務ニ關スル帳簿及書類綴ハ每歷年之ヲ更新スヘシ但シ必要アルトキハ累年繼續使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ年度ノ區劃ヲ爲ス分界紙ヲ挿入シ又ハ見出札ヲ附スヘシ

第九十七條　帳簿及書類ハ左ノ期間之ヲ保存スヘシ

犯罪捜査簿　二十年
犯罪事件簿　二十年
押收票　十年
令狀執行簿　二年
勾引狀原簿（留置狀原簿）　二年
檢視名簿　二年
過料請求簿　二年
司法警察ニ關スル例規綴　永久
司法警察ニ關スル機密書類綴　三年
犯罪捜査既濟事件記錄綴　三年
犯罪捜査未濟事件記錄綴　七年
翻譯放免記錄綴　三年
司法警察ニ關スル表記綴　五年
司法處分結果通知綴　二年
司法警察ニ關スル雜書綴　二年
逮捕狀ハ刑ノ時效完成迄之ヲ保存スヘシ
第八十六條第二項但書ノ意見書寫綴ハ當該犯罪事件簿ノ保存期間之ヲ保存スヘシ
第一項第十號ノ記錄綴中所定ノ保存期間ヲ經過スルモ尚公訴時效完成セサルモノアルトキハ其ノ時效完成迄之ヲ保存スヘシ
第九十八條　保存期間ハ事件完結ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス
保存期間ヲ經過シタル帳簿及書類綴ハ廢棄目錄ヲ作リ廢棄スヘシ
第九十九條　本規程ハ司法警察官吏ノ職務ヲ取扱フ者ノ職務執行ニ付之ヲ準用ス

附　則

本規程ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス（昭和十年九月總訓第四十二號ハ昭和十年十月一日ヨリ施行）

樣式第一號

第　號

事件送致書（檢事直受事件）

| | | |

規参
程照
六條
七支

様式第三號

| 一　刑事ノ成分ヲ起訴猶豫又ハ訓戒放免ヲ受ケタルコトノ有無 | | |

様式第七號

規參程照三條一文

告訴（告發）ニ付キ辯護人（告訴人）（告發人）ノ氏名住居職業

年齡

告訴（告發）ニ付キ辯護（代言）人ノ氏名住居職業

年齡

告ケ何ノ某ニ對スル何罪告訴（告發）ノ事件ニ付變更（取消）ノ致度旨申立ツルニ依リ取調ヲ爲スコト左ノ如シ

問　何

答　何

問　何

答　何

立會人

様式第八號

規參程照三條一文

注意　變更（取消）ノ非ヲ詳述セシムルコトヲ要ス

一、犯人　住居、職業

タル始末左ノ如シ

大正　年　月　日午前（後）何時何所ニ於テ何罪ヲ現認シ犯人ヲ逮捕シ

逮捕始末書

一、犯罪非實　何

一、逮捕ノ狀況　何

氏名

年齡

様式第九號

規參程照三條一文

逮捕告發（告訴）調書

大正　年　月　日午前（後）何時逗留先何所ニ於テ本職ニ何罪現行犯人ヲ引致シタル逮捕及告發（告訴）ノ申立テヲ爲シタリ

一、犯人　住居、職業

氏名

年齡

一、犯罪非實　何

一、逮捕ノ狀況　何

大正　年　月　日

何警察署（何警察署何警察官駐在所）

司法警察官　官氏名

逮捕告發（告訴）人（官）氏名

注意　逮捕ノ狀況ニハ發現所因、逮捕ノ日時場所及現行犯ト認メタル狀況ヲ詳記スヘシ

様式第十號

規參程照三條一文

右逮捕告發（告訴）ノ非實ニ付訴訟ヘタル處實ノ申立前書ノ通相違ナキニ付キ（逮捕人ヨリ提出シタル手錄ヲ其ノ儘ト左ノ如ク更ニ作ノ手續ヲ爲サルヘキ旨ノ命令ヲ受ケ逮捕人ヨリ提出シタル實ノ紙尾ニ依リ逮捕ノ顚末ヲ記載シ及告發（告訴）人ニ對シ逮捕ノ通相違ナキヲ付箋シ）

三名署名捺印ス

大正　年　月　日

於某署

官氏名

逮捕人氏名

様式第十一號

規參程照一條一六文

右常某（何所）ニ出頭シ左ノ通住居逃走ヲ爲シタリ

一、何

一、何

住居身分職業

氏名

年齡

聽取書（二回以上ニ亘リ何回目ト記載スルヲ要セス）

様式第十二號

刑事
刑令一一一訴照
四二九三三五條
四二九三三六文

答	被疑者ヘ左ノ如ク答ヘタリ	被疑者ニ於テ刑事訴訟法第百八十六條第一項ニ記載シタル者ナリヤ否ヤヲ問ヒ非ノ	問	何	設令セルコトヲ認メ證人トシテ訊問スベキ旨ヲ告ゲタリ
答	何		問	何	

| 證人訊問調書 | | |

様式第十七號

刑　刑參
令二訴照
四二六六支

答	問	駐在所ニ於テ司法警察吏巡査何某ヲ労センメ訊問ヲ乞フコト左ノ如シ
何	住所、職業、氏名、年齢ハ如何	

通告（翻譯人訊問調書）

通告（翻譯人）

何某ニ對スル何事件ニ付大正　年　月　日何警察第（何）警察署何警察官

駐在所ニ於テ司法警察吏巡査何某ヲ労センメ訊問ヲ乞フコト左ノ如シ

答	問	住所、職業、氏名、年齢ハ如何	駐在所ニ於テ司法警察吏巡査何某ヲ労センメ訊問ヲ乞フコト左ノ如シ
何			
一、死後經過シタル時間			
一、致死方法及用器、凶器ノ名稱			
一、他殺、自殺ノ區別			
一、実ニ氏名不詳ノ男女ニシテ死體ノ創傷ノ位置形狀大小深淺及致死ノ原因			
定ヲ労シ其ノ檢定書ヲ作成シ提出スヘキ旨ヲ命シタリ			
該當セサルコトヲ認メ檢定人トシテ訊問スヘキ旨ヲ告ケタル上左ノ頁ノ證			
左ノ如シ			

様式第十八號

規參
程照
三一六支

右通非ヲ介シテ本人ニ就キ面會セシメタルニ相違ナキ旨申立テ通事ト共ニ署名捺印シタリ	
通事　氏　名	
大正　年　月　日	
何警察署（何警察署何警察官駐在所）	
司法警察官　官　氏　名	
司法警察吏　官　氏　名	

答	問	該當セサルコトヲ認メ通非ノ翻譯人トシテ訊問スヘキ旨ヲ告ケタル上	裁ニ於テ刑非訴訟法第百八十六條第一項ニ記載シタル事ナリヤ否ヤヲ問ヒ其ノ
何	何		

様式第十九號

規參
程照
三一六支

右本人ニ就キ面會セシメタルニ相違ナキ旨申立テ署名捺印シタリ	
通事　氏　名	
大正　年　月　日	
何警察署（何警察署何警察官駐在所）	
司法警察官　官　氏　名	
司法警察吏　官　氏　名	

注意
一、本人ニ就キ面會セシ警察署以外ノ場所ニ於テ作成シタルトキハ何所ニ於テト記載スヘシ

様式第二十號

規參
程照
四依
二支

此ノ見分ハ本日午前（後）何時ニ始メ何時ニ終ル	大正　年　月　日	一　何	二　何	三　何所ニ於テ之ヲ領置シタル物件何ハ何ニ在リ本件證據トシテ何某ノ承諾ヲ得	テ何場所（物件）ノ狀況ヲ見分スルコト左ノ如シ	大正　年　月　日何事件ニ付何所ニ於テ何某（何某）ノ承諾ヲ得	實況見分書

様式第二十一號

一一一一一一一刑參
七七四四訴照
四〇一〇ニ依
ニ支

注意	添附圖面又ハ領置目錄アルトキハ之ト契印スヘシ	物件提出命令	左記物件ハ何某ニ對スル何事件ニ付差押ノ必要有之候條提出可相成候也	大正　年　月　日	何警察署（何警察署何警察官駐在所）	司法警察官　官　氏　名	何所ニ於テ

記

様式第二十七號

刑事訴訟法第一七三條第一七四條第一七五條第一七六條第一七七條第一七八條第一七九條第一八〇條第一八一條第一八二條第一八三條第一八四條第一八五條第一八六條第一八七條第一八八條第一八九條第一九〇條第一九一條第一九二條第一九三條第一九四條第一九五條第一九六條第一九七條第一九八條第一九九條第二〇〇條第二〇一條第二〇二條第二〇三條第二〇四條第二〇五條第二〇六條第二〇七條第二〇八條第二〇九條第二一〇條第二一一條第二一二條第二一三條第二一四條第二一五條第二一六條第二一七條第二一八條第二一九條第二二〇條第二二一條第二二二條第二二三條第二二四條第二二五條第二二六條第二二七條第二二八條第二二九條第二三〇條第二三一條第二三二條第二三三條第二三四條第二三五條第二三六條第二三七條第二三八條第二三九條第二四〇條第二四一條第二四二條第二四三條第二四四條第二四五條第二四六條第二四七條第二四八條第二四九條第二五〇條第二五一條第二五二條第二五三條第二五四條第二五五條第二五六條第二五七條第二五八條第二五九條第二六〇條第二六一條第二六二條第二六三條第二六四條第二六五條第二六六條第二六七條第二六八條第二六九條第二七〇條第二七一條第二七二條第二七三條第二七四條第二七五條第二七六條第二七七條第二七八條第二七九條第二八〇條第二八一條第二八二條第二八三條第二八四條第二八五條第二八六條第二八七條第二八八條第二八九條第二九〇條第二九一條第二九二條第二九三條第二九四條第二九五條第二九六條第二九七條第二九八條第二九九條第三〇〇條第三〇一條第三〇二條第三〇三條第三〇四條第三〇五條第三〇六條第三〇七條第三〇八條第三〇九條第三一〇條第三一一條第三一二條第三一三條第三一四條第三一五條第三一六條第三一七條第三一八條第三一九條第三二〇條第三二一條第三二二條第三二三條第三二四條第三二五條第三二六條第三二七條第三二八條第三二九條第三三〇條第三三一條第三三二條第三三三條第三三四條第三三五條第三三六條第三三七條第三三八條第三三九條第三四〇條第三四一條第三四二條第三四三條第三四四條第三四五條第三四六條第三四七條第三四八條第三四九條第三五〇條第三五一條第三五二條第三五三條第三五四條第三五五條第三五六條第三五七條第三五八條第三五九條第三六〇條第三六一條第三六二條第三六三條第三六四條第三六五條第三六六條第三六七條第三六八條第三六九條第三七〇條第三七一條第三七二條第三七三條第三七四條第三七五條第三七六條第三七七條第三七八條第三七九條第三八〇條第三八一條第三八二條第三八三條第三八四條第三八五條第三八六條第三八七條第三八八條第三八九條第三九〇條第三九一條第三九二條第三九三條第三九四條第三九五條第三九六條第三九七條第三九八條第三九九條第四〇〇條第四〇一條第四〇二條第四〇三條第四〇四條第四〇五條第四〇六條第四〇七條第四〇八條第四〇九條第四一〇條第四一一條第四一二條第四一三條第四一四條第四一五條第四一六條第四一七條第四一八條第四一九條第四二〇條第四二一條第四二二條第四二三條第四二四條第四二五條第四二六條第四二七條第四二八條第四二九條第四三〇條第四三一條第四三二條第四三三條第四三四條第四三五條第四三六條第四三七條第四三八條第四三九條第四四〇條第四四一條第四四二條第四四三條第四四四條第四四五條第四四六條第四四七條第四四八條第四四九條第四五〇條第四五一條第四五二條第四五三條第四五四條第四五五條第四五六條第四五七條第四五八條第四五九條第四六〇條第四六一條第四六二條第四六三條第四六四條第四六五條第四六六條第四六七條第四六八條第四六九條第四七〇條第四七一條第四七二條第四七三條第四七四條第四七五條第四七六條第四七七條第四七八條第四七九條第四八〇條第四八一條第四八二條第四八三條第四八四條第四八五條第四八六條第四八七條第四八八條第四八九條第四九〇條第四九一條第四九二條第四九三條第四九四條第四九五條第四九六條第四九七條第四九八條第四九九條第五〇〇條第五〇一條第五〇二條第五〇三條第五〇四條第五〇五條第五〇六條第五〇七條第五〇八條第五〇九條第五一〇條第五一一條第五一二條第五一三條第五一四條第五一五條第五一六條第五一七條第五一八條第五一九條第五二〇條第五二一條第五二二條第五二三條第五二四條第五二五條第五二六條第五二七條第五二八條第五二九條第五三〇條第五三一條第五三二條第五三三條第五三四條第五三五條第五三六條第五三七條第五三八條第五三九條第五四〇條第五四一條第五四二條第五四三條第五四四條第五四五條第五四六條第五四七條第五四八條第五四九條第五五〇條第五五一條第五五二條第五五三條第五五四條第五五五條第五五六條第五五七條第五五八條第五五九條第五六〇條第五六一條第五六二條第五六三條第五六四條第五六五條第五六六條第五六七條第五六八條第五六九條第五七〇條第五七一條第五七二條第五七三條第五七四條第五七五條第五七六條第五七七條第五七八條第五七九條第五八〇條第五八一條第五八二條第五八三條第五八四條第五八五條第五八六條第五八七條第五八八條第五八九條第五九〇條第五九一條第五九二條第五九三條第五九四條第五九五條第五九六條第五九七條第五九八條第五九九條第六〇〇條第六〇一條第六〇二條第六〇三條第六〇四條第六〇五條第六〇六條第六〇七條第六〇八條第六〇九條第六一〇條第六一一條第六一二條第六一三條第六一四條第六一五條第六一六條第六一七條第六一八條第六一九條第六二〇條第六二一條第六二二條第六二三條第六二四條第六二五條第六二六條第六二七條第六二八條第六二九條第六三〇條第六三一條第六三二條第六三三條第六三四條第六三五條第六三六條第六三七條第六三八條第六三九條第六四〇條第六四一條第六四二條第六四三條第六四四條第六四五條第六四六條第六四七條第六四八條第六四九條第六五〇條第六五一條第六五二條第六五三條第六五四條第六五五條第六五六條第六五七條第六五八條第六五九條第六六〇條第六六一條第六六二條第六六三條第六六四條第六六五條第六六六條第六六七條第六六八條第六六九條第六七〇條第六七一條第六七二條第六七三條第六七四條第六七五條第六七六條第六七七條第六七八條第六七九條第六八〇條第六八一條第六八二條第六八三條第六八四條第六八五條第六八六條第六八七條第六八八條第六八九條第六九〇條第六九一條第六九二條第六九三條第六九四條第六九五條第六九六條第六九七條第六九八條第六九九條第七〇〇條第七〇一條第七〇二條第七〇三條第七〇四條第七〇五條第七〇六條第七〇七條第七〇八條第七〇九條第七一〇條第七一一條第七一二條第七一三條第七一四條第七一五條第七一六條第七一七條第七一八條第七一九條第七二〇條第七二一條第七二二條第七二三條第七二四條第七二五條第七二六條第七二七條第七二八條第七二九條第七三〇條第七三一條第七三二條第七三三條第七三四條第七三五條第七三六條第七三七條第七三八條第七三九條第七四〇條第七四一條第七四二條第七四三條第七四四條第七四五條第七四六條第七四七條第七四八條第七四九條第七五〇條第七五一條第七五二條第七五三條第七五四條第七五五條第七五六條第七五七條第七五八條第七五九條第七六〇條第七六一條第七六二條第七六三條第七六四條第七六五條第七六六條第七六七條第七六八條第七六九條第七七〇條第七七一條第七七二條第七七三條第七七四條第七七五條第七七六條第七七七條第七七八條第七七九條第七八〇條第七八一條第七八二條第七八三條第七八四條第七八五條第七八六條第七八七條第七八八條第七八九條第七九〇條第七九一條第七九二條第七九三條第七九四條第七九五條第七九六條第七九七條第七九八條第七九九條第八〇〇條第八〇一條第八〇二條第八〇三條第八〇四條第八〇五條第八〇六條第八〇七條第八〇八條第八〇九條第八一〇條第八一一條第八一二條第八一三條第八一四條第八一五條第八一六條第八一七條第八一八條第八一九條第八二〇條第八二一條第八二二條第八二三條第八二四條第八二五條第八二六條第八二七條第八二八條第八二九條第八三〇條第八三一條第八三二條第八三三條第八三四條第八三五條第八三六條第八三七條第八三八條第八三九條第八四〇條第八四一條第八四二條第八四三條第八四四條第八四五條第八四六條第八四七條第八四八條第八四九條第八五〇條第八五一條第八五二條第八五三條第八五四條第八五五條第八五六條第八五七條第八五八條第八五九條第八六〇條第八六一條第八六二條第八六三條第八六四條第八六五條第八六六條第八六七條第八六八條第八六九條第八七〇條第八七一條第八七二條第八七三條第八七四條第八七五條第八七六條第八七七條第八七八條第八七九條第八八〇條第八八一條第八八二條第八八三條第八八四條第八八五條第八八六條第八八七條第八八八條第八八九條第八九〇條第八九一條第八九二條第八九三條第八九四條第八九五條第八九六條第八九七條第八九八條第八九九條第九〇〇條第九〇一條第九〇二條第九〇三條第九〇四條第九〇五條第九〇六條第九〇七條第九〇八條第九〇九條第九一〇條第九一一條第九一二條第九一三條第九一四條第九一五條第九一六條第九一七條第九一八條第九一九條第九二〇條第九二一條第九二二條第九二三條第九二四條第九二五條第九二六條第九二七條第九二八條第九二九條第九三〇條第九三一條第九三二條第九三三條第九三四條第九三五條第九三六條第九三七條第九三八條第九三九條第九四〇條第九四一條第九四二條第九四三條第九四四條第九四五條第九四六條第九四七條第九四八條第九四九條第九五〇條第九五一條第九五二條第九五三條第九五四條第九五五條第九五六條第九五七條第九五八條第九五九條第九六〇條第九六一條第九六二條第九六三條第九六四條第九六五條第九六六條第九六七條第九六八條第九六九條第九七〇條第九七一條第九七二條第九七三條第九七四條第九七五條第九七六條第九七七條第九七八條第九七九條第九八〇條第九八一條第九八二條第九八三條第九八四條第九八五條第九八六條第九八七條第九八八條第九八九條第九九〇條第九九一條第九九二條第九九三條第九九四條第九九五條第九九六條第九九七條第九九八條第九九九條第一〇〇〇條

Japanese Law Translation

様式第三十四號

刑訴令規則一條四項

| 書（命令）記載事項 | | |

規參程照七條九文

様式第四十號

住居

大正　年　月　日

御用ノ向ヘ何時ニテモ提出可致此段御諚仕候也

何裁判所（何檢事局）檢事　何裁判所檢事局司法檢察官　氏名殿

様式第四十一號

住居

大正　年　月　日

付テハ兼テ管理者ノ注意ヲ以テ保管シ一切ノ處分行爲ヲ爲サヽルヘク勿論

假還付請書

左記物件ハ何某何某ニ假還付ノ上ハ裁判中ノ處假還付相成候ニ付

何裁判所檢事局（何裁判所檢事局）司法檢察官　氏名殿

規參程照七條六文

様式第四十二號

住居

大正　年　月　日

ル管理者ノ注意ヲ以テ保管可致此段請書及提出候也

保管請書

左記物件ハ何某何某ヨリ提出ノ處今般保管ヲ命セラレ候ニ付テハ兼テ

何裁判所檢事局（何裁判所檢事局）司法檢察官　氏名殿

規參程照七條九文

様式第四十三號

住居

大正　年　月　日

右還付相成正ニ領收候也

一、何　何某

一、何　何箇

還付請書

記

何裁判所檢事局（何裁判所檢事局）司法檢察官　氏名殿

規參程照七條六文

様式第四十四號

住居

大正　年　月　日

付テハ兼テ管理者ノ注意ヲ以テ保管シ一切ノ處分行爲ヲ爲サヽルヘク勿論

假還付請書

左記物件ハ何某何某ニ假還付ノ上ハ裁判中ノ處假還付相成候ニ付

何裁判所檢事局（何裁判所檢事局）司法檢察官　氏名殿

規參程照七條六文

様式第四十五號

住居

大正　年　月　日

御用ノ向ヘ何時ニテモ提出可致此段御諚仕候也

何裁判所檢事局（何裁判所檢事局）司法檢察官　氏名殿

規參程照七條六文

様式第四十六號

住居

大正　年　月　日

付テハ兼テ管理者ノ注意ヲ以テ保管シ一切ノ處分行爲ヲ爲サヽルヘク勿論

假還付請書

左記物件ハ何某何某ニ假還付ノ上ハ裁判中ノ處假還付相成候ニ付

何裁判所檢事局（何裁判所檢事局）司法檢察官　氏名殿

規參程照七條六文

様式第四十七號

住居

大正　年　月　日

御用ノ向ヘ何時ニテモ提出可致此段御諚仕候也

何裁判所檢事局（何裁判所檢事局）司法檢察官　氏名殿

規參程照七條六文

様式第四十八號

住居

大正　年　月　日

付テハ兼テ管理者ノ注意ヲ以テ保管シ一切ノ處分行爲ヲ爲サヽルヘク勿論

假還付請書

左記物件ハ何某何某ニ假還付ノ上ハ裁判中ノ處假還付相成候ニ付

何裁判所檢事局（何裁判所檢事局）司法檢察官　氏名殿

規參程照七條六文

様式第四十九號

住居

大正　年　月　日

御用ノ向ヘ何時ニテモ提出可致此段御諚仕候也

何裁判所檢事局（何裁判所檢事局）司法檢察官　氏名殿

規參程照七條六文

様式第五十號

住居

大正　年　月　日

付テハ兼テ管理者ノ注意ヲ以テ保管シ一切ノ處分行爲ヲ爲サヽルヘク勿論

假還付請書

左記物件ハ何某何某ニ假還付ノ上ハ裁判中ノ處假還付相成候ニ付

何裁判所檢事局（何裁判所檢事局）司法檢察官　氏名殿

規第
程照
六條
七二
之

様式第四十四號

死ノ場所	住所	氏名	年齢	職業	死ノ原因	死ノ年月日時	死亡届出人ノ資格及ヒ届出ノ年月日	届出ノ受附	備考

注意

一　本則ノ届出ニ付手数料ヲ納ムヘキトキハ其ノ手数料ヲ納メタルコトヲ証スル書面ヲ添附スヘシ

二　届出ハ書面ヲ以テスルヲ要ス但シ已ムヲ得サル場合ニ於テハ口頭ヲ以テスルコトヲ得

三　届出ハ死亡ノ場所、死亡ノ原因及ヒ死亡ノ年月日ヲ知リタル時ヨリ十日以内ニ之ヲ為スヘシ

四　届出ハ届出人ノ住所又ハ死亡ノ場所ニ於テ之ヲ為スヘシ

五　届出人ハ死亡ノ場所ヲ知リタル時ヨリ三日以内ニ死体ヲ検シタル医師又ハ其ノ他ノ者ヲシテ死亡ノ原因ヲ届出テシムヘシ

六　死亡ノ原因ニ付届出ヲ為スヘキ者ナキトキ又ハ其ノ者ニ付届出ヲ為スヘキ者ナキトキハ死体ヲ検シタル医師又ハ其ノ他ノ者ヲシテ死亡ノ原因ヲ届出テシムヘシ

七　行旅病人其ノ他届出ヲ為スヘキ者ナキ死亡ニ付テハ其ノ発見者又ハ其ノ地ノ警察官ヲシテ届出ヲ為サシムヘシ

八　届出ハ届出人ノ署名捺印シタル書面ヲ以テスルヲ要ス但シ已ムヲ得サル場合ニ於テハ口頭ヲ以テスルコトヲ得

九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

百　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

規第
程照
六條
七二
之

様式第四十五號

出生ノ場所	出生ノ年月日時	男女ノ別	嫡出子又ハ庶子ノ別	庶子ノ認知ノ場合ニ於テハ其ノ旨	父ノ氏名、住所及ヒ本籍	母ノ氏名、住所及ヒ本籍	届出人ノ資格及ヒ署名	届出ノ年月日	届出ノ受附	届出人ノ住所	証人ノ氏名、住所及ヒ職業	届書ノ番号	備考

注意

一　本則ノ届出ニ付手数料ヲ納ムヘキトキハ其ノ手数料ヲ納メタルコトヲ証スル書面ヲ添附スヘシ

二　届出ハ書面ヲ以テスルヲ要ス但シ已ムヲ得サル場合ニ於テハ口頭ヲ以テスルコトヲ得

三　届出ハ出生ノ場所、出生ノ年月日時及ヒ男女ノ別ヲ記載スルコトヲ要ス

四　届出ハ届出人ノ住所又ハ出生ノ場所ニ於テ之ヲ為スヘシ

五　届出人ハ出生ノ場所ヲ知リタル時ヨリ十四日以内ニ之ヲ為スヘシ

六　出生ノ届出ヲ為スヘキ者ナキトキ又ハ其ノ者ニ付届出ヲ為スヘキ者ナキトキハ出生ニ立会ヒタル医師又ハ其ノ他ノ者ヲシテ出生ノ届出ヲ為サシムヘシ

七　行旅病人其ノ他届出ヲ為スヘキ者ナキ出生ニ付テハ其ノ発見者又ハ其ノ地ノ警察官ヲシテ届出ヲ為サシムヘシ

八　届出ハ届出人ノ署名捺印シタル書面ヲ以テスルヲ要ス但シ已ムヲ得サル場合ニ於テハ口頭ヲ以テスルコトヲ得

九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

二十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

三十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

四十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

五十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

六十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

七十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

八十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十一　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十二　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十三　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十四　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十五　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十六　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十七　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十八　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

九十九　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

百　届出ヲ受ケタル者ハ届出ノ年月日時ヲ記載シタル書面ヲ届出人ニ交付スヘシ

様式第四十七號

（何地方法院檢事正　何支廳檢事）　宛

大正　年　月　日

何警察署（何警察署）　何警察官駐在所）
司法警察官　氏名

前科	年月日	罰名	刑名、刑期、金額	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
	年月日			年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
考	言渡及確定	裁判所名	裁判言渡及確定日	言渡	確定	確定	確定	確定

住居	本籍	職業	月生	氏名
		業分	日年	

年　月　日

犯罪事項	摘要	罰名	裁判言渡及確定	備考
一、何	一、 道ヲ左キ何 常習知起物所 ノ見ヲノ件ニ 者シス者押 ヲ他ヲ取ニ 定ト之ニ人コ 人キヲトシ ニヘ知シテ 還押ルテ 定取モ指定ノ シノノア定ノ 左上アノ本 記起訴ル本頃 罪絵ト頃ノキ訊 頃ノキ訊ノ ニコヘ問ノ 盗ト者ニ 定ト者コ ヲ訊（命）指定ノ 命スル訊ノ スルヲ足ノ ルヲ足ル コ足ルヘ ト		

右及鞫（命令）候也

大正　年　月　日

何警察署（何警察署）　何警察官駐在所）
司法警察官　官　氏名

御中

| 裁判言渡及確定 | 裁判所名 | 罰名 | 刑名、刑期、金額 | 度 | 度 | 度

様式第五十一號

| 號 | | |

一　令狀ニ記載スヘキ事項ハ勾引狀ニ勾留狀ニ勾引狀ヲ變更スルトキニ準用ス

二　勾引狀原簿及勾留狀原簿ハ口絵別トス

注意　勾引狀原簿及勾留狀原簿ハ口絵別トス

様式第五十七號

様式第五十六號

様式第五十五號

様式第五十八號

三、刑事訴訟法第百二條ノ他必要ナル場合ニ於テ被告人ニ對シ令狀ヲ執行スルニ當リ令狀ニ記載シタル事項ヲ告知スルコト

三、令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事ノ指揮ヲ受ケ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

三、刑事訴訟法第百二條ノ他必要ナル場合ニ於テ被告人ニ對シ令狀ヲ執行スルニ當リ令狀ニ記載シタル事項ヲ告知スルコト

第一條　勾引狀又ハ勾留狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第二條　勾引狀又ハ勾留狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第三條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第四條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第五條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第六條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第七條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第八條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第九條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第十條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第十一條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第十二條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第十三條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第十四條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第十五條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第十六條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第十七條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第十八條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第十九條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第二十條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第二十一條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第二十二條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第二十三條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第二十四條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第二十五條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第二十六條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第二十七條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第二十八條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第二十九條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第三十條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第三十一條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第三十二條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第三十三條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第三十四條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第三十五條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第三十六條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第三十七條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第三十八條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第三十九條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第四十條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第四十一條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第四十二條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第四十三條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第四十四條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第四十五條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第四十六條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第四十七條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第四十八條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第四十九條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第五十條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第五十一條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第五十二條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第五十三條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第五十四條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第五十五條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第五十六條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第五十七條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第五十八條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第五十九條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第六十條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第六十一條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第六十二條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第六十三條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第六十四條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第六十五條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第六十六條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第六十七條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第六十八條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第六十九條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第七十條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第七十一條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第七十二條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第七十三條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第七十四條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第七十五條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第七十六條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第七十七條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第七十八條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第七十九條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第八十條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第八十一條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第八十二條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第八十三條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第八十四條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第八十五條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第八十六條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第八十七條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第八十八條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第八十九條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第九十條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第九十一條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第九十二條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第九十三條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第九十四條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第九十五條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第九十六條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第九十七條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第九十八條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第九十九條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

第百條　令狀ノ執行ニ關スル事務ハ檢事局ノ檢事又ハ檢事正ノ定メタル區域ニ從ヒ司法警察官吏之ヲ取扱フ

移送ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ囑託官署ニ通知スヘシ令狀ノ執行ヲ輸囑シタルトキ亦同シ

第七條　受託官署ハ令狀ノ執行ヲ受クヘキ者押送ヲ要スルモノナルトキハ令狀ニ押送指揮書ヲ添附スヘシ

第八條　受囑官署ハ令狀ヲ執行シタルトキハ速ニ令狀執行ノ年月日及押送指揮ヲ爲シタルモノニ付テハ其ノ旨ヲ囑託官署ニ通知スヘシ但シ刑ノ執行ヲ併セテ囑託シタル逮捕狀ヲ執行シタルトキハ此ノ限ニ在ラス令狀ヲ執行スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ囑託官署ニ通知シ令狀ヲ送付スヘシ

第九條　令狀執行ノ必要止ミタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ發付及執行又ハ指揮又ハ囑託ヲ爲シタル官署ニ通知シ令狀ヲ送付セシムヘシ

第十條　逮捕狀ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外犯罪地、刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ本籍地、住居地、徘徊ノ見込アル地ノ司法警察官署及事件ヲ送致シタル司法警察官署ニ送付シテ執行セシムヘシ

前項ノ司法警察官署管轄區域外ナルトキハ其ノ管轄區ノ檢事ニ逮捕ノ囑託ヲ爲スヘシ

第十一條　逮捕ノ場合ハ成ルヘク刑ノ執行ヲ併セテ囑託スヘシ

第十二條　受託檢事刑ノ執行ヲ指揮シタルトキハ刑期起算日ヲ囑託檢事ニ通知スヘシ

第十三條　受託檢事ハ逮捕狀發付後一年ヲ經過シ執行ノ見込ナキトキハ之ヲ取消シ逮捕狀ヲ添ヘ其ノ旨ヲ囑託檢事ニ通知スヘシ但シ管内在籍者及死刑又ハ無期刑ノ者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　護衛法院檢事長ノ指揮ニ依リ發付スヘキ勾引狀及逮捕狀ニ付テハ囑託ニ關スル規定ヲ準用ス

第十五條　檢事局ハ每年一月管内司法警察官ヨリ前年中未執行ニ係ル逮捕狀取調書ヲ送付セシメ原簿ト照合スヘシ

附　則

本規程ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

司法警察官吏ノ職務ヲ行フヘキ者及其ノ職務ノ範圍

大正十三年五月
總令第三十三號

改正　大正一五年一六第三三號、昭和二年七號
七一號、大正一五年一〇第八八號、七年八第七三
於、七年九第八五號、八年四第三五號

司法警察官吏ノ職務ヲ行フヘキ者及其ノ職務ノ範圍左ノ通定ム

第一條　地方法院檢事局又ハ其ノ管内地方法院支部檢事分局勤務ノ書記又ハ屬員ニシテ檢事正ノ指命シタル者ハ其ノ局ニ於テ受理シタル事件ニ付書記ニ在リテハ朝鮮刑事令第五條ニ規定スル司法警察官吏ノ職務ヲ行フ屬員ニ在リテハ司法警察官吏ノ職務ヲ行フ

第二條　朝鮮ニ於ケル監獄又ハ分監ニ於ケル犯罪ニ付朝鮮刑事令第五條ニ規定スル司法警察官ノ職務ヲ行フ

第三條　左ニ掲クル者ニシテ其ノ所屬長官其ノ者ノ勤務地ヲ管轄スル地方法院ノ檢事正ト協議シテ指名シタルモノハ第一號乃至第七號ニ掲クル者ニ在リテハ朝鮮刑事令第五條ニ規定スル司法警察官ノ職務ヲ、第八號乃至第十三號ニ掲クル者ニ在リテハ司法警察吏ノ職務ヲ行フ

一　朝鮮ニ於ケル監獄又ハ分監ノ長タラサル朝鮮總督府典獄補及看守長

二　朝鮮總督府營林署山林事務官、技師、屬、技手及森林主事

三　朝鮮總督府林業試驗場ノ試驗林保護ノ事務ニ從事スル朝鮮總督府林業試驗場技師、屬及技手

四　道ニ勤務シ國有林野ノ保護及經營ノ事務ニ從事スル技師、屬及技手

五　朝鮮總督府郡島森林主事

六　府郡島ニ勤務シ林業ニ關スル技術ニ從事スル産業技手

七　道地方費ノ所有スル林野ノ所在地ニ勤務シ其ノ林業ニ關スル技術ニ從事スル産業技手

八　朝鮮總督府營林署森林主事補及屬員

九　朝鮮總督府營林署森林主事補及屬員

十　朝鮮總督府林業試驗場ノ試驗林保護ノ事務ニ從事スル屬員

十一　道ニ勤務シ國有林野ノ保護及經營ノ事務ニ從事スル屬員

十二　府郡島ニ勤務シ公有又ハ私有ノ林野ノ保護ニ從事スル道吏員

十三　府郡島ニ勤務シ林業事務ニ從事スル屬員

第四條　前條ノ規定ニ依リ司法警察官吏ノ職務ヲ行フ者ノ職務ノ範圍ハ左ニ掲クル罪ニ關スルモノニ限ル

一　前條第一號及第八號ニ掲クル者ニ在リテハ監獄又ハ分監ニ於ケル犯罪

二　前條第二號及第九號ニ掲クル者ニ在リテハ朝鮮總督府營林署所管ノ國有林野、第四號及第十一號ニ掲ケル者ニ在リテハ道所管ノ國有林野、第五號ニ掲クル者ニ在リテハ朝鮮總督府林署所管ノ國有林野以外ノ林野、第六號、第十二號及第十三號ニ掲クル者ニ在リテハ國有林野以外ノ林野ニ於ケル森林若ハ其ノ産物又ハ狩獵ニ關スル罪

三　前條第三號及第十號ニ掲クル者ニ在リテハ朝鮮總督府林業試驗場ノ試驗林ニ於ケル森林又ハ其ノ産物ニ關スル罪

四　前條第七號ニ掲クル者ニ在リテハ道地方費ノ所有スル林野ニ於ケル森林若ハ其ノ産物又ハ狩獵ニ關スル罪

第五條　海船（沿海航路以上ノ航路ヲ航路定限トスル總噸數二十噸以上又ハ積石數二百石以上ノモノニ）ノ船長ハ其ノ船内ニ於テ朝鮮刑事令第五條ニ規定スル司法警察官ノ職務ヲ行フ

前項ノ海船内ニ於ケル司法警察吏ノ職務ハ甲板部、機關部又ハ事務部ノ海員中其ノ各部ニ於テ職掌ノ上位ニ在ル者之ヲ行フ

●刑事補償法

昭和六年四月
法律第六十號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル刑事補償法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

刑事補償法

第一條　刑事訴訟法ニ依ル通常手續又ハ再審若ハ非常上告ノ手續ニ於テ無罪ノ言渡ヲ受ケタル者又ハ同法第三百十三條ノ規定ニ依リ免訴ノ言渡ヲ受ケタル者未決勾留ヲ受ケタル場合ニ於テハ國ハ其ノ者ニ對シ勾留ニ因ル補償ヲ爲ス

再審又ハ非常上告ノ手續ニ於テ無罪ノ言渡ヲ受ケタル者原判決ニ因リ既ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ刑法第十一條第二項ノ規定ニ依ル拘置ヲ受ケタル場合ニ於テハ國ハ其ノ者ニ對シ刑ノ執行又ハ拘置ニ依ル補償ヲ爲ス

第二條　前條ノ規定ニ依リ補償ヲ受クヘキ者死亡シタル場合ニ於テハ本人ノ遺族ニ對シ前條ノ補償ヲ爲ス死亡シタル者ニ付再審又ハ非常上告ノ手續ニ於テ無罪ノ言渡アリタル場合亦同シ

補償ヲ受クヘキ遺族死亡シタルトキハ次順位ノ遺族ニ對シ其ノ補償ヲ爲ス

第三條　本法ニ於テ遺族ト稱スルハ本人ノ配偶者、子、孫、父、母、祖父及祖母ニシテ本人死亡ノ當時ニ於ケル戸籍ヲ調ジタル引續キ其ノ戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ

補償ヲ受クヘキ遺族ノ順位ハ前項ニ記載スル順序ニ依ル父母及祖父母ニ付テハ養方ヲ先ニシ實方ヲ後ニス

子及孫數人アルトキハ其ノ順位ハ本人ヲ被相續人トシタル家督相續ノ順位ニ準ジ之ヲ定ム

第四條　無罪又ハ免訴ノ言渡ヲ受ケタル者ニ付左ノ事由アルトキハ補償ヲ爲サズ

一　刑法第三十九條乃至第四十一條ニ規定スル事由ニ因リ無罪又ハ免訴ノ言渡アリタルトキ

二　起訴セラレタル行爲ガ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反シ著シク非難スベキモノナルトキ

本人ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因ル行爲ガ起訴、勾留、公判ニ付スル處分又ハ再審請求ノ原由ト爲リタルトキハ第一條第一項ノ補償ヲ爲サズ

本人ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因ル行爲ガ原有罪判決ノ變棲ト爲リタルトキハ第一條第二項ノ補償ヲ爲サズ

第二條　補償ヲ受クヘキ者ハ先順位者ノ明示シタル意思ニ反シ補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

第七條　補償ヲ受クヘキ者ハ先順位者ノ明示シタル意思ニ反シ補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

補償ヲ受クヘキ者請求ヲ取消シタルトキハ其ノ取消ヲ爲シタル者及後順位者ニ於テ更ニ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

第八條　補償ノ請求ハ代理人ニ依リテモ之ヲ爲スコトヲ得

第九條　補償ノ請求ハ無罪又ハ免訴ノ裁判確定ノ日ヨリ六十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十條　補償ノ請求アリタルトキハ裁判所ハ檢事ノ意見ヲ聽キ請求ニ付決定ヲ爲スヘシ

決定ノ謄本ハ檢事及請求人ニ送達スヘシ

請求理由アルトキハ補償ノ決定ヲ爲スヘシ

請求理由ナキトキハ期間經過後ニ係ルトキハ之ヲ棄却スヘシ

刑ノ執行又ハ拘置ニ因ル補償ノ請求ト同時ニ勾留ニ因ル補償ノ請求アリタルトキハ主文ヲ區別シテ決定ヲ爲スヘシ

第十一條　補償ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ

補償ノ請求ヲ棄却スル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第十二條　補償ノ決定アリタル後之ニ依リテ補償ヲ受クヘキ者其ノ拂渡ヲ受ケズシテ死亡シタルトキハ其ノ決定ハ順次次順位ニ於テ補償ヲ受クヘキ者ニ對シ之ヲ爲シタルモ亦仍ホ之ヲ受クベキ遺族其ノ拂渡ヲ受ケズシテ其ノ家ヲ去リタルトキ亦同シ

第十三條　補償ノ拂渡ヲ受ケントスル者ハ其ノ決定ヲ爲シタル裁判所ニ請求書ヲ差出スヘシ

請求書ニハ戸籍謄本ヲ添附スヘシ

補償ノ決定ノ送達アリタル後一年内ニ補償拂渡ノ請求ヲ爲サザルトキハ權利ヲ失フ

第十四條　補償拂渡ノ請求ニ關スル事件繁劇中再審ノ請求又ハ刑事訴訟法第三百十七條ノ規定ニ依ル公訴ノ提起アリタルトキハ其ノ裁判確定ニ至ル迄補償拂渡ノ手續ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於テ被告人ニ對シテ有罪ノ判決アリタルトキハ補償ノ決定ハ其ノ效力ヲ失フ

第十五條　補償ノ決定アリタル後再審ノ請求又ハ刑事訴訟法第三百十七條ノ規定ニ依ル公訴ノ提起アリタルトキハ其ノ裁判確定ニ至ル迄補償拂渡ノ手續ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於テ被告人ニ對シテ有罪ノ判決アリタルトキハ補償ノ決定ハ其ノ效力ヲ失フ

第十六條　補償ノ決定アリタル後再審ノ請求又ハ刑事訴訟法第三百十七條ノ規定ニ依ル公訴ノ提起アリタルトキハ其ノ裁判確定ニ至ル迄補償拂渡ノ手續ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於テ被告人ニ對シテ有罪ノ判決アリタルトキハ補償ノ決定ハ其ノ效力ヲ失フ

第十七條　前條第二項ノ場合ニ於テ既ニ補償ノ拂渡アリタルトキハ有罪ノ判決ヲ爲シタル裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ補償ノ返還ヲ命スベシ此ノ決定ノ執行ニ付テハ刑事訴訟法第五百五十三條乃至第五百五十五條ノ規定ヲ準用ス

第十八條　本法ノ決定及之ニ對スル即時抗告ニ付テハ別段ノ規定ノ場合ヲ除クノ外刑事訴訟法ヲ準用スル期間ニ付亦同シ

第十九條　裁判所補償ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ決定ヲ受ケタル者ノ申立ニ因リ速ニ無罪又ハ免訴ノ裁判ノ主文及要旨並ニ補償ヲ爲シタル旨ヲ官報ニ掲載スベシ

第二十條　本法ハ軍法會議ニ於テ無罪ノ言渡アリタル場合ニ之ヲ準用ス但シ補償ノ請求ヲ棄却スル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ズ

軍法會議ニ於テ補償ノ返還ヲ命ズル決定ノ執行ニ付テハ陸軍軍法會議法第五百十八條乃至第五百二十條又ハ海軍軍法會議法第五百二十條乃至第五百二十二條ノ規定ヲ準用ス

軍法會議ニ於テ補償ニ關スル決定ヲ爲ス場合ノ例ヲ以テ區別ニ付テハ陸軍軍法會議法第五十九條第一項又ハ海軍軍法會議法第五十九條第一項ノ規定ヲ準用ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和六年十月勅令第二百五十八號ヲ以テ昭和七年一月一日ヨリ施行）

●刑事補償事務取扱規程

昭和八年一月
總訓第三號

朝鮮總督府裁判所
朝鮮總督府檢事局

刑事補償事務取扱規程左ノ通定ム

刑事補償事務取扱規程

第一條　補償請求書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載セシムベシ

一　請求人ノ氏名、住居、職業及年齡

二　無罪又ハ免訴ノ言渡ノ年月日、裁判所名及被告事件ノ表示

三　勾留若ハ拘置ノ日數又ハ執行ヲ受ケタル刑名、刑期及金額

四　補償ヲ請求スル旨ノ表示及請求ノ年月日

前項ノ補償請求書ニハ請求人又ハ代理人記名捺印シ戸籍謄本ノ外無罪又ハ免訴ノ裁判ノ謄本及代理人ニ依リ補償ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ委任狀ヲモ添附セシムベシ

第二條　朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑事補償法第六條第三項ノ場合ニ於テハ補償ノ請求ヲ受繼スル旨ノ文書及死亡ヲ證スベキ文書ヲ提出セシムベシ

第三條　補償ノ請求ニ付テハ刑事訴訟法第百十二條ノ場合ニ於テハ檢事、刑事補償法第十六條ノ場合ニ於テハ檢事ノ外無罪又ハ免訴ノ裁判ノ謄本及代理人ニ依リ拂渡ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ委任狀ヲモ添附セシムベシ

第四條　補償拂渡請求書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載セシムベシ

一　第一條第一項第一號ノ事項

二　補償決定ノ年月日及裁判所名

三　裁判ノ金額及種別

四　拂渡ヲ受ケベキ旨ノ表示及請求ノ年月日

前項ノ拂渡請求書ニハ請求人又ハ代理人記名捺印シ戸籍謄本ノ外補償決定ノ謄本及代理人ニ依リ拂渡ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ委任狀ヲモ添附セシムベシ

第五條　朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑事補償法第十二條ノ場合ニ於テハ拂渡請求ヲ受繼スベキ旨ノ表示及次順位者ニ關リタルコトヲ證スベキ文書ヲ提出セシムベシ

第六條　補償拂渡請求書ノ提出アリタルトキハ事件主任官ノ之ヲ調査シ過誤ナキトキハ該請求書ヲ添ヘ拂渡方ヲ所管支出官ニ請求スベシ

第七條　朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑事補償法第十五條及第十六條ノ場合ニ於テハ檢事ハ速ニ公訴提起アリタル旨ヲ裁判所ニ通知スベシ

第八條　朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑事補償法第十九條ノ申立ヲ爲サントスル者アルトキハ申立書ヲ提出セシムベシ

前項ノ申立ハ拂渡請求書中ニ掲記セシムルコトヲ得

第九條　前條ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ速ニ官報原稿ヲ法務局ニ送付スベシ

●恩赦令

大正元年九月
勅令第二十三號
改正　昭和二年第一〇號、九年一二第三九號

朕禍將顧問ノ諮詢ヲ經テ恩赦令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

恩赦令

第一條　大赦、特赦、減刑及復權ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　大赦ハ勅令ヲ以テ罪ノ種類ヲ定メ之ヲ行フ

第三條　大赦ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外大赦アリタル罪ニ付左ノ效力ヲ有ス

一　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ付テハ其ノ言渡ハ將來ニ向テ效力ヲ失フ

二　未タ刑ノ言渡ヲ受ケサル者ニ付テハ公訴權ハ消滅ス

第四條　特赦ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ對シ之ヲ行フ

第五條　特赦ハ刑ノ執行ヲ免除ス但シ特則ノ事情アルトキハ將來ニ向テ刑ノ言渡ノ效力ヲ失ハシムルコトヲ得

第六條　減刑ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シ勅令ヲ以テ罪若ハ刑ノ種類ヲ定メ之ヲ行ヒ又ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ對シ之ヲ行フ

第七條　勅令ニ依ル減刑ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外將來ニ向テ刑ヲ變更ス

特定ノ者ニ對スル減刑ハ刑ノ執行ヲ減輕ス但シ特別ノ事情アルトキハ刑ヲ變更スルコトヲ得

第八條　刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シテハ刑ノ言渡ノ效力ヲ失ハシムル特赦若ハ刑ヲ變更スル減刑ヲ行ヒ又ハ其ノ減刑ト共ニ猶豫ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

第九條　復權ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル場合ノ定ムル所ニ依リ資格ヲ喪失又ハ停止セラレタル者ニ對シ勅令ヲ以テ要件ヲ定メ之ヲ行ヒ又ハ特定ノ者ニ付之ヲ行フ

第十條　復權ハ將來ニ向テ資格ヲ回復ス

第十一條　刑ノ言渡ヲ基ク既成ノ效果ハ大赦、特赦、減刑又ハ復權ニ因リ變更セラルルコトナシ

第十二條　特赦又ハ特定ノ者ニ對スル減刑若ハ復權ハ司法大臣之ヲ上奏ス

第十三條　刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事又ハ受刑者ノ在監スル監獄ノ長ハ司法大臣ニ特赦又ハ減刑ノ申立ヲ爲スコトヲ得

監獄ノ長前項ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第十四條　特赦又ハ減刑ノ申立書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑期計算書

三　犯罪ノ情狀、本人ノ性行、受刑中ノ行狀、將來ノ生計其ノ他參考ト爲ルヘキ事項ニ關スル調査書類

第十五條　刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ハ職權ヲ以テ又ハ本人ノ出願ニ依リ司法大臣ニ復權ノ申立ヲ爲スコトヲ得

復權ノ出願ハ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル日ヨリ三年ヲ經過シタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條　復權ノ申立書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタルコトヲ證スル書類

三　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後ニ於ケル本人ノ行狀、現在及將來ノ生計其ノ他參考ト爲ルヘキ事項ニ關スル調査書類

本人ノ出願ニ依リ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ前項ノ書類ノ外其ノ願書ヲ添附スヘシ

第十七條　特赦、減刑又ハ復權ノ裁可アリタルトキハ司法大臣ハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ特赦、減刑又ハ復權ノ裁可ヲ通知スヘシ

第十八條　恩赦狀ノ送付ヲ受ケタル檢事恩赦令第五條、恩赦狀ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十八條ニ依リ附記ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ裁判所ノ檢事ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知書ハ之ヲ訴訟記錄ニ添附シ又ハ恩赦狀ヲ本人ニ下付シタルトキハ檢事ヘ速ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ申報スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●刑事判決ノ正本、謄本及抄本ノ手數料ニ關スル件

大正元年八月
總令第三號

刑事判決ノ正本、謄本及抄本ヲ求ムル者ハ其ノ用紙一枚ニ付手數料トシテ三錢ヲ納付スヘシ其ノ一枚ニ滿タサルトキ亦同シ

附　則

本令ハ大正元年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

●刑法施行前ニ公布シタル命令ニ關スル件

明治四十一年九月
勅令第二百十七號

脫刑法施行前ニ公布シタル命令ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

刑法施行法中他ノ法律ニ關スル規定ハ刑法施行前ニ公布シタル命令ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年勅令第百五十五號ハ之ヲ廢止ス

●刑法施行後施行ノ命令ニ揭ケタル刑法ノ刑名ニ關スル件

明治四十二年五月
勅令第百二十號

脫刑法施行後施行ノ命令ニ揭ケタル刑法ノ刑名ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

刑法施行後施行ノ命令ニ於テ人ノ資格其ノ他ノ事項ニ關シ揭ケタル刑法ノ刑名ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ例ニ從ヒ對照シタル舊刑法、舊陸軍刑法及舊海軍刑法ノ刑名ヲ包含ス

刑法ノ刑　舊刑法、舊陸軍刑法及舊海軍刑法ノ刑

死刑　死刑

懲役　無期徒刑、有期徒刑、重懲役、輕懲役、重禁錮

禁錮　無期流刑、有期流刑、重禁獄、輕禁獄、輕禁錮

罰金　罰金

拘留　拘留

科料　科料

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅章綬褒章附則第三項ハ之ヲ廢止ス

●舊刑法

明治十三年七月
太政官布告第三十六號
（明治四十年法律第四十五號ヲ以テ改正、同四十一年法律第三十九號ヲ以テ改正ノ上刑法ノ名稱ヲ改ム）

刑法別冊ノ通改定候條此旨布告候事

（別冊）　刑法（抄錄）

刑法目錄

第一編　總則

第二章　刑例

第三節　附加刑處分

第二編　公益ニ關スル重罪輕罪

第四章　信用ヲ害スル罪

第九節　公選ノ投票ヲ僞造スル罪

〔第五章　健康ヲ害スル罪〕

〔第三節　傳染病豫防規則ニ關スル罪〕

第三編　〔身體〕財產ニ對スル重罪輕罪

第二章　財產ニ對スル罪

第四節　家妻分散ニ關スル罪

第三百八十八條　家妻分散ノ際共財產ヲ藏匿毀棄シ又ハ虛僞ノ負債ヲ增加シタル者ハ二月以上四年以下ノ〔重禁錮〕ニ處ス

情ヲ知テ讓僞ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百八十九條　家妻分散ノ際業簿ノ類ヲ藏匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二年以下ノ〔重禁錮〕ニ處ス

第三十一條　剝奪公權ハ左ノ權ヲ剝奪ス

一　國民ノ特權

二　官吏ト爲ルノ權

三　勳章年金位記貴族恩給ヲ有スルノ權

四　外國ノ勳章ヲ佩用スルノ權

五　兵籍ニ入ルノ權

六　裁判所ニ於テ證人ト爲ルノ權但單ニ事實ヲ陳述スルハ此限ニ在ラス

七　後見人ト爲ルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子孫ノ爲メニスルハ此限ニ在ラス

八　分散者ノ管財人ト爲リ又ハ令狀及ヒ共有財產ヲ管理スルノ權

九　學校長及ヒ教師學監ト爲ルノ權

第三十三條　禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス現在ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間公權ヲ行フコトヲ停止ス

第二編　公益ニ關スル重罪輕罪

第四章　信用ヲ害スル罪

第九節　公選ノ投票ヲ僞造スル罪

第二百三十三條　公選ノ投票ヲ僞造又ハ其數ヲ增減シタル者ハ一月以上一年以下ノ〔輕禁錮〕ニ處シ〔二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加〕ス

第二百三十四條　賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ〔輕禁錮〕ニ處シ〔三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加〕ス

第二百三十五條　投票ヲ檢查シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ僞造シ又ハ增減シタル時ハ六月以上三年以下ノ〔輕禁錮〕ニ處シ〔四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加〕ス

第二百三十六條　訓令ヲ違ヒ投票ヲ結局ヲ報告スル者其數ヲ增減シ其他詐僞ノ所爲アル時ハ一年以上五年以下ノ〔輕禁錮〕ニ處シ〔五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加〕ス

〔第五章　健康ヲ害スル罪〕

〔第三節　傳染病豫防規則ニ關スル罪〕

第二百四十六條　〔傳染病豫防ノ爲メ設ケタル規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス〕

第二百四十七條　〔船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スコトヲ知テ制セサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加ス〕

第二百四十八條　〔傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他處ニ出タル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス〕

第二百四十九條　獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十一月以上二月以下ノ〔輕禁錮〕ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三編　〔身體〕財產ニ對スル重罪輕罪

第二章　財產ニ對スル罪

第四節　家妻分散ニ關スル罪

第三百八十八條　家妻分散ノ際共財產ヲ藏匿毀棄シ又ハ虛僞ノ負債ヲ增加シタル者ハ二月以上四年以下ノ〔重禁錮〕ニ處ス

情ヲ知テ讓僞ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百八十九條　家妻分散ノ際業簿ノ類ヲ藏匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二年以下ノ〔重禁錮〕ニ處ス

●朝鮮舊刑所犯ノ罪囚ニ對シ大赦ヲ行フノ件

明治四十三年八月
勅令第三百二十五號

脫玆ニ朝鮮ヲ統治スルノ始ニ方リ惠澤ヲ施サムカ爲左ノ條項ニ依リ特ニ大赦ヲ行ハシム

第一條　本令公布前ニ於テ左ニ記載シタル舊韓國法令ノ罪ヲ犯シタル者ハ赦免ス

一　刑法大全第九十二條ノ罪、同罪ニ關スル第九十三條ノ罪竝第九十四條ノ罪

二　當スル犯人ノ情ヲ知リテ藏匿シ又ハ隱秘セシメタル罪

三　刑法大全第九十六條乃至第百九十九條ノ罪

四　刑法大全第二百條ノ罪

五　刑法大全第二百一條ノ罪及同條ニ該當スル犯人ノ情ヲ知リテ藏匿シ又ハ隱秘セシメタル罪

第二章　財產ニ對スル罪

第四節　家妻分散ニ關スル罪

第三百八十八條　家妻分散ノ際共財產ヲ藏匿毀棄シ又ハ虛僞ノ負債ヲ增加シタル者ハ二月以上四年以下ノ〔重禁錮〕ニ處ス

情ヲ知テ讓僞ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百八十九條　家妻分散ノ際業簿ノ類ヲ藏匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二年以下ノ〔重禁錮〕ニ處ス

●朝鮮舊刑所犯ノ罪囚ニ對シ大赦ヲ行フノ件

明治四十三年八月
勅令第三百二十五號

脫玆ニ朝鮮ヲ統治スルノ始ニ方リ惠澤ヲ施サムカ爲左ノ條項ニ依リ特ニ大赦ヲ行ハシム

第一條　本令公布前ニ於テ左ニ記載シタル舊韓國法令ノ罪ヲ犯シタル者ハ赦免ス

一　刑法大全第九十二條ノ罪、同罪ニ關スル第九十三條ノ罪竝第九十四條ノ罪

二　當スル犯人ノ情ヲ知リテ藏匿シ又ハ隱秘セシメタル罪

三　刑法大全第九十六條乃至第百九十九條ノ罪

四　刑法大全第二百條ノ罪

五　刑法大全第二百一條ノ罪及同條ニ該當スル犯人ノ情ヲ知リテ藏匿シ又ハ隱秘セシメタル罪

六　刑法大全第二百四十三條乃至第二百五十二條ノ罪

七　刑法大全第二百六十條ノ罪

八　刑法大全第二百六十二條及第二百六十四條ノ罪

九　刑法大全第二百六十五條ノ罪

十　刑法大全第二百六十七條及第二百八十條ノ罪

十一　刑法大全第二百七十五條及第二百八十條ノ罪但シ人ヲ殺シタル罪ヲ除ク

十二　刑法大全第二百八十九條及第二百九十二條ノ罪

十三　刑法大全第二百九十三條、第二百九十四條及第二百九十六條ノ罪

十四　刑法大全第三百三條及第三百四條ノ罪但シ第三百四條但書ノ罪ヲ除ク

十五　刑法大全第三百六條ノ罪

十六　刑法大全第三百十二條ノ罪

十七　刑法大全第三百十八條ノ罪

十八　刑法大全第三百二十條乃至第三百二十七條ノ罪但シ第三百二十二條但書及第三百二十七條第四項ノ罪ヲ除ク

十九　刑法大全第三百三十四條乃至第三百三十七條ノ罪但シ致死ニ致シタル罪ヲ除ク

二十　刑法大全第三百四十六條ノ罪

二十一　刑法大全第三百五十三條乃至第三百六十一條ノ罪但シ因リテ所犯アリタル者ニシテ其ノ所犯本令ニ依リ赦免スヘカラサル罪ニ該當スルトキハ之ヲ除ク

二十二　刑法大全第三百六十七條乃至第三百七十條ノ罪

二十三　刑法大全第三百八十二條、第三百八十三條及第三百八十六條ノ罪

二十四　刑法大全第四百條乃至第四百三條ノ罪

二十五　刑法大全第四百四條乃至第四百七條ノ罪

二十六　刑法大全第四百八條及第四百九條ノ罪

二十七　刑法大全第四百十三條乃至第四百十七條ノ罪

二十八　刑法大全第四百二十條乃至第四百二十一條ノ罪

二十九　刑法大全第四百二十四條乃至第四百三十四條乃至第四百三十六條ノ罪

三十　刑法大全第四百三十七條ノ罪
三十一　刑法大全第四百三十九條乃至第四百四十二條ノ罪但シ因リテ所犯アリタル者ニシテ其ノ所犯本令ニ依リ赦免スヘカラサル罪ニ該當スルトキハ之ヲ除ク
三十二　刑法大全第四百四十八條乃至第四百五十四條、第四百五十六條及第四百五十七條ノ罪但シ人ヲ殺シタル罪ヲ除ク
三十三　刑法大全第四百五十八條乃至第四百六十條、第四百六十三條及第四百六十四條ノ罪
三十四　刑法大全第四百六十六條、第四百六十七條及第四百六十九條乃至第四百七十二條ノ罪
三十五　刑法大全第四百八十三條ノ罪
三十六　刑法大全第四百八十四條ノ罪
三十七　刑法大全第四百九十三條ノ罪
三十八　刑法大全第四百九十五條及第四百九十六條ノ罪但シ人ヲ殺シタル罪ヲ除ク
三十九　刑法大全第四百九十八條第二號及第四百九十九條第六號乃至第八號ノ罪
四十　刑法大全第五百十一條及第五百十五條ノ罪
四十一　刑法大全第五百二十條及第五百二十七條ノ罪
四十二　刑法大全第五百三十條乃至第五百三十二條ノ罪
四十三　刑法大全第五百三十三條ノ罪
四十四　刑法大全第五百三十四條及第五百四十條ノ罪
四十五　刑法大全第五百四十三條ノ罪
四十六　刑法大全第五百五十七條及第五百五十八條ノ罪
四十七　刑法大全第五百五十九條乃至第五百六十一條ノ罪
四十八　刑法大全第六百二十三條ノ罪
四十九　刑法大全第六百三十一條乃至第六百三十三條ノ罪
五十　刑法大全第六百四十四條乃至第六百四十六條ノ罪
五十一　刑法大全第六百四十八條ノ罪
五十二　刑法大全第六百五十二條乃至第六百五十六條ノ罪
五十三　刑法大全第六百六十條乃至第六百六十三條ノ罪
五十四　刑法大全第六百六十七條ノ罪
五十五　刑法大全第六百六十八條ノ罪
五十六　刑法大全第六百七十二條及第六百七十三條ノ罪
五十七　刑法大全第六百七十六條及第六百七十七條ノ罪
五十八　刑法大全第六百七十八條ノ罪
五十九　刑法大全第六百七十九條ノ罪
六十　陸軍法律ノ罪但シ第二百七十八條、第二百八十一條、第二百八十九條及第三百八十一條、第二百九十六條、第二百九十七條及第三百九十條中死刑ニ該當スル罪ヲ除ク
六十一　海軍法律ノ罪但シ第二百七十八條、第二百八十一條、第二百九十六條、第二百九十七條及第三百九十條中死刑ニ該當スル罪ヲ除ク
六十二　會計法違犯ノ罪
六十三　開國五百四年法律第十九號違犯ノ罪
六十四　電報事項犯罪人處斷例ノ罪
六十五　郵遞事項犯罪人處斷例ノ罪
六十六　典當舖規則違犯ノ罪
六十七　鐵道事項犯罪人處斷例ノ罪但シ第三條ノ罪及同例ノ罪ヲ犯スニ因リ人ヲ死ニ致シタル罪ヲ除ク
六十八　度量衡法及度量衡法施行規則違犯ノ罪
六十九　新聞紙法違犯ノ罪
七十　保安法違犯ノ罪
七十一　銃砲及火藥類圍束法違犯ノ罪
七十二　森林法違犯ノ罪但シ第十五條ノ罪ヲ除ク
七十三　人蔘稅法違犯ノ罪
七十四　紅蔘專賣法違犯ノ罪
七十五　漁業法及漁業法施行細則違犯ノ罪
七十六　家屋稅法違犯ノ罪
七十七　酒稅法違犯ノ罪
七十八　煙草稅法違犯ノ罪
七十九　國稅徵收法違犯ノ罪
八十　出版法違犯ノ罪
八十一　民籍法違犯ノ罪
八十二　漁業稅法違犯ノ罪
八十三　屠獸規則違犯ノ罪
八十四　船舶法及船舶法施行細則違犯ノ罪
八十五　船舶檢查法及船舶檢查法施行細則違犯ノ罪
八十六　檢疫規則違犯ノ罪
八十七　銀行條例違犯ノ罪
八十八　農工銀行條例違犯ノ罪
八十九　鹽稅規程違犯ノ罪
九十　寄附金募集取締規則違犯ノ罪
九十一　種痘規則違犯ノ罪
九十二　檢疫停船規則違犯ノ罪
九十三　痘苗製下規則違犯ノ罪
九十四　水道給水規則違犯ノ罪
九十五　船車牌規則違犯ノ罪
九十六　警務總令、警視總令及各道令違犯ノ罪
九十七　前條法令ヲ比附援引シテ處斷シタル罪及處斷スヘキ罪
九十八　前記法令ヲ比附援引シテ處斷シタル罪ニ該當スルトキハ他ノ罪赤之ヲ赦免ス
第二條　前條ノ外朝鮮國隆熙二年法律第十六號及第十九號施行前同法律ヲ以テ廢止又ハ削除シタル法律ノ條項ニ依リ又ハ其ノ條項ヲ比附援引シテ處斷セラレタル者ハ之ヲ赦免ス
第三條　二罪以上俱發例ニ依リ處斷セラレタル者最重ノ罪前二條ニ該當スルトキハ他ノ罪赤之ヲ赦免ス
第四條　赦免ヲ得ルト雖既ニ徵收シタル罰金、科料、收贖金、追徵金及沒入シタル物件ハ之ヲ還付セス
附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮舊刑所犯ノ罪囚ニ對シ大赦ヲ行フノ件施行手續

明治四十三年八月
統監府令第七號

統監府裁判所檢事局
統監府監獄
統監府警察官署

本年勅令第三百二十五號大赦ニ關スル件施行手續左ノ通定ム
第一條　本年勅令第三百二十五號ニ依リ赦免ヲ得ヘキ罪ヲ犯シタル者ハ既ニ判決ヲ經タル者ト雖前條ニ揭ケタル罪名ニ關スル犯罪ト牽連關係アル罪ニシテ赦免ヲ得サルモノハ此ノ限ニ在ラス
第二條　赦免ヲ得ヘキ罪ニ付刑ノ言渡ヲ受ケ其ノ言渡未タ確定セサル者、言渡確定スルモ未タ其ノ執行ニ著手セサル者及其ノ執行中ニ係ル者ニ對シテハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ヨリ速ニ赦免ヲ得タル旨ヲ通知シ在監中ノ者ハ之ヲ放免スヘシ
第三條　赦免ヲ得ヘキ者刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ管轄地外ノ監獄ニ在ルトキハ監獄ノ長ヨリ其ノ罪名、刑名、刑期、刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所名、言渡年月及氏名ヲ其ノ監獄所在地ヲ管轄スル地方裁判所又ハ地方裁判所支部ノ檢事ニ通知スヘシ
檢事前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ第二條ノ處分ヲ爲シ其ノ旨刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ通知スヘシ
第四條　大赦ノ施行ニ關スル處分ハ檢事ヨリ迅速且明細ニ統監ニ報告スヘシ

●減刑令

昭和九年二月
勅令第十九號

朕謹テ之ヲ公布セシム

減刑令

第一條　昭和九年二月十一日前刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニシテ其ノ刑ノ執行前、執行猶豫中、執行中、執行停止中又ハ假出獄中ノモノハ本令ニ依リ其ノ刑ヲ減輕ス但シ其ノ執行ヲ逋ルル者ハ此ノ限ニ在ラス
第二條　死刑ハ之ヲ無期懲役トス
第三條　無期懲役ハ之ヲ二十年ノ有期禁錮トス但シ無期禁錮ハ之ヲ二十年ノ有期禁錮トス但シ昭和九年二月十一日ニ於テ七十歳以上ノ者及犯時十六歳未滿ノ者ニ付テハ之ヲ十五年ノ懲役又ハ禁錮トス
第四條　有期ノ懲役又ハ禁錮ニ付テハ左ノ例ニ依リ刑期ヲ變更ス
一、刑ノ執行ヲ始メサル者ニ付テハ殘刑期ノ四分ノ一ヲ減ス
二、刑ノ執行ヲ始メタル者ニ付テハ殘刑期ノ二分ノ一ヲ減ス但シ刑ノ執行ガ刑期ノ二分ノ一ニ至ラサル者ニ付テハ前號ノ例ニ依ル

三　昭和九年二月十一日ニ於テ七十歳以上ノ者及犯時十六歳未滿ノ者ニ付テハ前二號ノ例ニ依ラス刑期ノ三分ノ一ヲ減ス
短期ト長期トヲ定メテ言渡シタル刑ニ付テハ短期及長期ニ付前項ノ例ニ依ル但シ犯時十六歳以上ノ者ニシテ短期ヲ經過シタルモノニ付テハ長期ニ付前項第二號ノ例ニ依ル
前二項ノ計算ヲ爲スニ當リ年、月又ハ日ノ端數ヲ生ズルトキハ一年ハ之ヲ十二月、一月ハ之ヲ三十日トシ日ノ端數ハ之ヲ除棄ス
第五條　左ニ揭ケル罪ニ付テハ其ノ刑ヲ減輕セズ

一　刑法第七十三條及第七十五條ノ罪
二　刑法第百八條ノ罪及其ノ未遂罪
三　刑法第百八條ノ罪及其ノ未遂罪
四　刑法第百四十一條ノ罪及其ノ未遂罪
五　刑法第二百條ノ罪及其ノ未遂罪
六　自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタル刑法第二百四條ノ罪
七　刑法第二百五條第二項ノ罪
八　刑法第二百十八條第二項ノ罪及其ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル罪
九　刑法第二百二十條第二項ノ罪及其ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル罪
十　刑法第二百三十六條、第二百三十八條第二百三十九條ノ罪又ハ其ノ未遂罪（但シ前ニ强盜又ハ竊盜ノ行爲ニ因リ刑ニ處セラレタル者ニ限ル）
十一　刑法第二百四十條ノ罪及第二百四十一條ノ罪並ニ其ノ未遂罪
十二　前各號ニ揭ケル罪ト性質ヲ同ジクスル舊法ノ罪
十三　軍機保護法第一條乃至第三條ノ罪及其ノ未遂罪
十四　朝鮮、臺灣、關東州又ハ南洋群島ニ行ハルル法令ノ罪ニシテ前各號ニ揭ケル罪ト性質ヲ同ジクスルモノ

第六條　併合罪ニ付併合シテ一個ノ刑ノ言渡アリタル場合ニ於テ其ノ併合罪中前條ニ揭ケル罪アルトキハ減刑ヲ爲サズ
前條ニ揭ケザル罪名ニ關ルル行爲ニシテ同時ニ前條ニ揭ケル罪名ニ揭ケルトキ又ハ前條ノ手段若ハ結果タルトキ亦前項ニ同ジ
第七條　前ニ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ昭和九年二月十一日前十五年以内ニ恩赦ヲ得其ノ後七年以内ニ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルモノニ付テハ其ノ刑ヲ減輕セズ
附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●復權令

昭和九年二月
勅令第二十號

朕復權令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

復權令

第一條　罰金以上ノ刑ノ言渡ヲ受ケタル爲資格ヲ喪失シ又ハ停止セラレタル者ニシテ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除ヲ得タル日ヨリ昭和九年二月十一日ノ前日迄ニ十年以上ヲ經過シタルモノハ復權ス但シ大正十三年二月十一日以後ニ再ビ罰金以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラズ
第二條　十八歳未滿ノ時刑ヲ犯シ死刑又ハ無期刑ニ非ザル刑ニ處セラレタル者ニシテ昭和九年二月十一日ノ前日迄ニ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除ヲ得タルモノハ其ノ刑ニ處セラレタル爲資格ニ付復權ス
附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和九年勅令第二十號復權令ニ依リ復權シタル者ノ證明申出方ノ件

昭和九年二月
總督第五十二號

昭和九年勅令第二十號復權令ニ依リ復權シタル者ニシテ其ノ罰ノ言渡ヲ受ケントスルモノハ其ノ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ（證明ヲ受ケントスル者ガ犯罪即決ノ言渡ヲ受ケタルモノナルトキハ當該犯罪即決官廳ニ於テ同時ニ前條ニ揭ケル罪名ニ關スル犯罪ト牽連關係アル罪ニシテ赦免ヲ得サルモノハ此ノ限ニ在ラス
第二條　赦免ヲ得ヘキ罪ニ付刑ノ言渡ヲ受ケタル者未タ其ノ言渡確定セサル者、言渡確定スルモ未タ其ノ執行ニ著手セサル者及其ノ執行中ニ係ル者ニ對シテハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ヨリ速ニ赦免ヲ得タル旨ヲ通知シ在監中ノ者ハ之ヲ放免スヘシ
第三條　赦免ヲ得ヘキ者刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ管轄地外ノ監獄ニ在ルトキハ監獄ノ長ヨリ其ノ罪名、刑名、刑期、刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所名、言渡年月及氏名ヲ其ノ監獄所在地ヲ管轄スル地方裁判所又ハ地方裁判所支部ノ檢事ニ通知スヘシ
檢事前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ第二條ノ處分ヲ爲シ其ノ旨刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ通知スヘシ
第四條　大赦ノ施行ニ關スル處分ハ檢事ヨリ迅速且明細ニ統監ニ報告スヘシ

●減刑令

昭和九年二月
勅令第十九號

朕謹テ之ヲ公布セシム

減刑令

第一條　昭和九年二月十一日前刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニシテ其ノ刑ノ執行前、執行猶豫中、執行中、執行停止中又ハ假出獄中ノモノハ本令ニ依リ其ノ刑ヲ減輕ス但シ其ノ執行ヲ逋ルル者ハ此ノ限ニ在ラズ
第二條　死刑ハ之ヲ無期懲役トス
第三條　無期懲役ハ之ヲ二十年ノ有期禁錮トス但シ無期禁錮ハ之ヲ二十年ノ有期禁錮トス但シ昭和九年二月十一日ニ於テ七十歳以上ノ者及犯時十六歳未滿ノ者ニ付テハ之ヲ十五年ノ懲役又ハ禁錮トス
第四條　有期ノ懲役又ハ禁錮ニ付テハ左ノ例ニ依リ刑期ヲ變更ス
一、刑ノ執行ヲ始メサル者ニ付テハ殘刑期ノ四分ノ一ヲ減ス
二、刑ノ執行ヲ始メタル者ニ付テハ殘刑期ノ二分ノ一ヲ減ス但シ刑ノ執行ガ刑期ノ二分ノ一ニ至ラサル者ニ付テハ前號ノ例ニ依ル

第三章　監獄

第一款　監獄令

大正八年四月
勅令第七號

政治ニ關スル犯罪處斷ノ件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス
第一條　政治ノ變革ヲ目的トシテ多數共同シ安寧秩序ヲ妨害シ又ハ妨害セントシタル者十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ但シ刑法第二編第二章ノ規定ニ該當スルトキハ本令ヲ適用セス
前項ノ行爲ヲ爲サシムル目的ヲ以テ煽動ヲ爲シタル者ノ嗣亦前項ニ同シ
第二條　前條ノ罪ヲ犯シタル者製鬱前自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除ス
第三條　本令ハ帝國外ニ於テ第一條ノ罪ヲ犯シタル帝國臣民ニ亦之ヲ適用ス

第一款　監獄令

明治四十五年三月
勅令第百四號

朝鮮監獄令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮監獄令

第一條　監獄ニ關スル事項ハ本令其ノ他ノ法令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外監獄法ニ依ル
第二條　監獄法中主務大臣ノ職務ハ朝鮮總督之ヲ行フ
第三條　拘置監ニハ笞刑ノ執行ヲ受クヘキ者ヲ留置スルコトヲ得
第四條　新ニ入監スル者傳染病ニ罹リタル者ナルトキハ入監セシメサルコトヲ得
第五條　在監者ニハ獨立ノ自辨ヲ許スコトヲ得

附　則

本令ノ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

ノ存在ヲ認メ之ニ基キ本件ノ請求ヲ正当ト判断シタルハ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第十一点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第十二点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第十三点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第十四点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第十五点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第十六点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第十七点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第十八点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第十九点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第二十点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第二十一点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第二十二点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第二十三点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第二十四点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第二十五点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第二十六点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第二十七点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第二十八点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第二十九点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第三十点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第三十一点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第三十二点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第三十三点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第三十四点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第三十五点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第三十六点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第三十七点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第三十八点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第三十九点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第四十点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第四十一点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第四十二点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第四十三点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第四十四点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第四十五点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第四十六点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第四十七点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第四十八点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第四十九点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第五十点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第五十一点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第五十二点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第五十三点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第五十四点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第五十五点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第五十六点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第五十七点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第五十八点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第五十九点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第六十点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第六十一点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第六十二点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第六十三点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第六十四点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第六十五点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第六十六点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第六十七点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第六十八点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第六十九点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第七十点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第七十一点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第七十二点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第七十三点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第七十四点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第七十五点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第七十六点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第七十七点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第七十八点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第七十九点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第八十点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第八十一点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第八十二点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第八十三点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第八十四点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第八十五点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第八十六点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第八十七点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第八十八点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第八十九点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第九十点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第九十一点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第九十二点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第九十三点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第九十四点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第九十五点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第九十六点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第九十七点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第九十八点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ照シ相当ニシテ原判決ニ所論ノ違法アルコトナシ

第九十九点ニ付テハ原判決ハ其ノ挙示スル証拠ニ依リ上告人ハ本件土地ノ所有権ヲ取得シ之ヲ占有シ来リタルモノニシテ其ノ占有ハ平穏且公然ニシテ善意ニ始マリ且過失ナキモノト認メタルモノニシテ其ノ認定ハ挙示ノ証拠ニ

●朝鮮監獄令施行規則

朝鮮監獄令第一條ノ規定ニ依リ朝鮮監獄令施行ノ爲メ必要ナル事項ハ本令ニ定ムルモノノ外朝鮮總督之ヲ定ム

第一章　監獄

第一節　通則

第二條　監獄ハ之ヲ典獄ノ管理ニ屬ス

第三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ掌理シ所屬官吏ヲ指揮監督ス

第四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ其ノ一部ヲ看守長ニ分掌セシムルコトヲ得

第五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守長ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第三十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第三十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第三十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第三十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第三十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第三十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第三十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第三十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第三十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第三十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第四十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第四十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第四十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第四十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第四十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第四十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第四十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第四十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第四十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第四十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第五十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第五十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第五十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第五十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第五十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第五十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第五十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第五十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第五十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第五十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第六十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第六十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第六十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第六十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第六十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第六十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第六十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第六十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第六十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第六十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第七十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第七十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第七十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第七十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第七十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第七十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第七十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第七十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第七十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第七十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第八十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第八十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第八十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第八十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第八十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第八十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第八十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第八十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第八十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第八十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第九十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第九十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第九十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第九十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第九十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第九十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第九十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第九十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第九十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第九十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百二十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百二十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百二十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百二十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百二十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百二十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百二十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百二十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百二十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百二十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百三十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百三十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百三十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百三十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百三十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百三十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百三十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百三十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百三十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百三十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百四十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百四十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百四十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百四十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百四十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百四十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百四十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百四十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百四十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百四十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百五十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百五十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百五十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百五十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百五十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百五十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百五十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百五十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百五十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百五十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百六十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百六十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百六十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百六十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百六十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百六十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百六十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百六十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百六十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百六十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百七十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百七十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百七十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百七十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百七十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百七十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百七十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百七十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百七十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百七十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百八十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百八十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百八十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百八十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百八十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百八十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百八十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百八十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百八十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百八十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百九十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百九十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百九十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百九十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百九十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百九十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百九十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百九十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百九十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第百九十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百二十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百二十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百二十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百二十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百二十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百二十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百二十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百二十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百二十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百二十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百三十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百三十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百三十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百三十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百三十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百三十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百三十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二百三十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ處理スル爲メ必要ト認ムルトキハ看守ヲ代理者ニ指定スルコトヲ得

第二

第二一條　監獄ノ設置廢止ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二二條　監獄ニ收容スヘキ者ハ左ノ如シ

一　刑ノ言渡ヲ受ケ其裁判カ確定シタル者

二　刑事被告人又ハ被疑者

三　民事ノ強制執行ニ關シ收容セラルヘキ者

四　民事ノ假差押又ハ假處分ニ關シ收容セラルヘキ者

五　其他法律ニ依リ收容セラルヘキ者

第二三條　監獄ニ收容スヘキ者ハ男女ヲ區別シ且未決ト既決トヲ區別シテ之ヲ監置スヘシ

第二四條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ年齢ト犯罪ノ情狀トニ從ヒ之ヲ分類シテ各別ニ之ヲ監置スヘシ

第二五條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第二六條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第二七條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第二八條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第二九條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第三〇條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第三一條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第三二條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第三三條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第三四條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第三五條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第三六條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第三七條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第三八條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第三九條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第四〇條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第四一條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第四二條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第四三條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第四四條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第四五條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第四六條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第四七條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第四八條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第四九條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第五〇條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第五一條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第五二條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第五三條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第五四條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第五五條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第五六條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第五七條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第五八條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第五九條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第六〇條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第六一條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第六二條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第六三條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第六四條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第六五條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第六六條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第六七條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第六八條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第六九條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第七〇條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第七一條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第七二條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第七三條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第七四條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第七五條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第七六條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第七七條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第七八條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第七九條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第八〇條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第八一條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第八二條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第八三條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第八四條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第八五條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第八六條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第八七條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第八八條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第八九條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第九〇條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第九一條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第九二條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第九三條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第九四條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第九五條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第九六條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第九七條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第九八條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第九九條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第一〇〇條　監獄ニ收容スヘキ者ハ其ノ健康ヲ保持スル爲メ適當ノ衣食ヲ給シ且運動ヲ爲サシムヘシ

第百二十四條　囚人ニ對シテハ其ノ性行ヲ察シ其ノ改悛ノ情ニ從ヒ仮釋放ヲ許スコトヲ得

第百二十五條　仮釋放ヲ許スニハ典獄ノ意見ヲ具シ囚人ノ住所ヲ管轄スル地方裁判所ニ出願スヘシ

第百二十六條　仮釋放ヲ許スニハ左ノ事項ヲ審査スヘシ

一　改悛ノ情ニ顯著ナルコト

二　悔悟ノ實ヲ擧ケ再ヒ罪ヲ犯ササルヘキ確證アルコト

三　一定ノ住居又ハ生業アルコト

四　仮釋放ノ後保護ヲ加フヘキ親族又ハ保護者アルコト

第百二十七條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ノ意見ヲ聽クヘシ

第百二十八條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ氏名年齢罪名刑期及ヒ入監ノ年月日ヲ通知スヘシ

第百二十九條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百三十條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百三十一條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百三十二條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百三十三條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百三十四條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百三十五條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百三十六條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百三十七條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百三十八條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百三十九條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百四十條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百四十一條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百四十二條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百四十三條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百四十四條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百四十五條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百四十六條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百四十七條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百四十八條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百四十九條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百五十條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百五十一條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百五十二條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百五十三條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百五十四條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百五十五條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百五十六條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百五十七條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百五十八條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百五十九條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百六十條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百六十一條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百六十二條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百六十三條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百六十四條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百六十五條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百六十六條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百六十七條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百六十八條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百六十九條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百七十條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百七十一條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百七十二條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百七十三條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百七十四條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百七十五條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百七十六條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百七十七條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百七十八條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百七十九條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百八十條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百八十一條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百八十二條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百八十三條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百八十四條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百八十五條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百八十六條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百八十七條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百八十八條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百八十九條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百九十條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百九十一條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百九十二條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百九十三條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百九十四條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百九十五條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百九十六條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百九十七條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百九十八條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第百九十九條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第二百條　仮釋放ヲ許スニハ囚人ノ本籍地ノ檢事ニ對シ其ノ住居ヲ指定スヘシ

第一號様式（第十二條ノ二第一項ノ場合ニ用ヒ紙寸法適宜）

假出獄者逃走ノ場所ニ到ル
假出獄者逃走ノ場所ヲ去ル
假出獄者逃走ノ場所ニ到ル日時ヲ知ラス
假出獄者逃走ノ場所ヲ去ル日時ヲ知ラス
假出獄者逃走ノ場所ニ到ル日時ヲ知ラス
假出獄者逃走ノ場所ヲ去ル日時ヲ知ラス
假出獄者逃走ノ場所ニ到ル日時ヲ知ラス
假出獄者逃走ノ場所ヲ去ル日時ヲ知ラス
假出獄者逃走ノ場所ニ到ル日時ヲ知ラス
假出獄者逃走ノ場所ヲ去ル日時ヲ知ラス

一　假出獄者逃走ノ場所ニ到ル日時ヲ知ラス
一　假出獄者逃走ノ場所ヲ去ル日時ヲ知ラス

明治　年　月　日

假出獄取締規則第八條ニ依リ此ノ旅券ヲ交付ス

年　月　日

假出獄者逃走ノ場所ニ到ル日時ヲ知ラス
假出獄者逃走ノ場所ヲ去ル日時ヲ知ラス

キ者ノ氏名、年齢、本籍、住所、罪名、犯數、刑名、刑期、刑期ノ起算竝終了日、刑期三分ノ一ニ相當スル日、假出獄ヲ許ス事由、出獄後ノ住所、生活ノ狀態及保護者ト本人トノ關係ヲ記載スヘシ

第二條　假出獄ノ具申書ニハ假出獄ヲ許スヘキ者ノ氏名、年齢、本籍、住所、罪名、犯數、刑名、刑期若ハ金額、刑期ノ起算及終了日、假出場ヲ許ス事由ヲ記載スヘシ

第三條　監獄令施行規則第百七十三條ニ依リ假出獄ノ具申書ニ添附スヘキ行狀簿ハ身分帳簿ニ編綴シテ特ニ參考ト爲ルヘキモノノ寫ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第四條　刑期三分ノ一ヲ算出スルニハ左ノ例ニ依リ曆ニ從ヒ計算スヘシ

一　刑期三年以下ニシテ年ノミニ係ルトキハ年ヲ月ニ換算シテ之ヲ三分シ其ノ商ニ相當スル期間ヲ刑期起算日ヨリ計算ス

二　刑期三年以上ニシテ年ノミニ係ル場合ニ於テ其ノ餘三分スルコト能ハサルトキハ先ツ年ヲ三分シテ其ノ商ヲ得、年ノ端數ハ之ヲ月ニ換算シテ之ヲ三分シ月ノ商ヲ得、年ノ端數ハ月ニ換算シ之ニ刑期ノ月ヲ加ヘ其ノ和ヲ三分シテ月ノ商ヲ得、月ノ端數ハ次ノ方法ニ依リ計算ス

(イ)　先ツ刑期起算日ヨリ年ト月トノ商ニ相當スル期間ヲ曆ニ從ヒ計算シ其ノ期間ノ最終日ヲ定ム

(ロ)　次ニ(イ)號ノ最終日ノ翌日ヲ起算點トシテ月ノ端數ヲ曆ニ從ヒ計算シ其ノ期間ニ相當スル日數ヲ算出ス

(ハ)　(ロ)號ニ依リ算出シタル日數ヲ三分シテ日ノ商ヲ得、更ニ(イ)號ノ最終日ノ翌日ヲ起算點トシテ日ノ商ニ相當シ日ノ端數ヲ生スルトキハ商ヲ一日繰上クルモノトス

五　年ト月トヨリ跨リ其ノ餘三分スルコト能ハサルトキハ四號(イ)(ロ)ノ例ニ準シ日數ヲ算出シ其ノ算出シタル日數ニ刑期ノ日ヲ加ヘ之ヲ三分シテ日ノ商ヲ得、

四號(ハ)ノ例ニ依リ計算ス

六　月トヨリ跨リ又ハ日ノミニ係ル場合ニ於テ其ノ餘三分スルコト能ハサルトキハ前數號ノ例ニ準シ計算ス

七　刑期ニ算入スヘキ日數アルトキハ先ツ全刑期ノ最終日ヨリ遡テ算入スヘキ日數ヲ控除シ其ノ殘期ノ三分ノ一ヲ計算ス

第五條　假出獄證票ハ別記第一號書式ニ依リ之ヲ作成シ假出場證票ハ別記第二號書式ニ依リ之ヲ作成スヘシ

第六條　假出獄又ハ假出場ニ因リ釋放シタルトキハ許可書到達ノ年月日時及釋放シタル年月日時ヲ朝鮮總督府典獄ニ報告スヘシ

第一號書式（用紙厚紙紙質適宜）

假出獄證票

本籍
住所（假出場後住居ノ地）
氏名
年月日生

罪名
刑名
刑期
明治　年　月　日ヨリ執行
明治　年　月　日刑期終了
假出獄期間　年　月　日自明治　年　月　日至明治　年　月　日
住居ノ地ヲ管轄スル警察署ニ出頭スヘキ期限
明治　年　月　日
假出獄ヲ許サレタルヲ以テ此ノ證票ヲ附與ス
明治　年　月　日
某監獄
朝鮮總督府典獄　氏名印

（六寸五分）

（裏面）

一　此ノ證票ニ記載シタル日限ニ住居ノ地ヲ管轄スル警察署（警察分署及憲兵分隊ヲ含ム以下之ニ倣フ）ニ出頭シ證票ニ認印ヲ受クヘシ

二　假出獄中天災、疾病其ノ他ノ事故ニ因リ前項ノ規定ニ從フコト能ハサルトキ又ハ其ノ住居アルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ最寄ノ地ノ警察官ニ具申シ證明書ヲ受クヘシ

此ノ證明書ハ監督警察署ニ提出スヘシ

三　假出獄中ハ住居ノ地ヲ管轄スル警察署ノ監督ヲ受ク

四　遲滯ナク監督警察署ニ職業其ノ他生計ニ關スル見込ヲ立テ之ヲ屆出ツヘシ保護者アルトキハ連署ヲ要ス

五　轉住又ハ十日以上ノ旅行ヲ爲サムトスルトキハ其ノ事由、轉住地又ハ行先地及旅行日數ヲ記載シテ監督警察署ノ許可ヲ請ヒ旅券ヲ受クヘシ第一、第二ノ規定ハ此ノ場合ニ準用ス

六　旅行ヲ爲シタル場合ニ於テ轉住ノ地ニ歸著シタルトキハ遲滯ナク監督警察署ニ出頭シ旅券ヲ還納スヘシ轉住又ハ旅行ヲ中止シタルトキ亦同シ

七　朝鮮外ニ轉住又ハ旅行ヲ爲サムトスルトキハ其ノ事由、轉住地又ハ行先地及旅行日數ヲ記載シ監督警察署及釋放シタル監獄ヲ經由シテ朝鮮總督ノ許可ヲ請ヒ監督警察署ヨリ證明書ヲ受クヘシ

八　朝鮮外ニ轉住又ハ旅行ヲ許可セラレタル場合ニ於テ轉住又ハ旅行ヲ中止シ若ハ旅行ヲ爲シ轉住ノ地ニ歸著シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ監督警察署ニ屆出ツヘシ

九　朝鮮外ニ轉住ヲ爲シタル場合ニ於テ再ヒ朝鮮ニ來リタルトキハ遲滯ナク住所ヲ定メ其ノ旨ヲ監督警察署ニ屆出ツヘシ

右假出獄者心得事項ニ違背シタルトキ又ハ左ニ揭ケル事由アルトキハ假出獄ノ處分ヲ取消サルルコトアルヘシ

一　假出獄中更ニ罪ヲ犯シ罰金以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

（裏面）

記名及警察官吏ノ認印

（八）

第二號書式（用紙厚紙紙質適宜）

假出場證票

本籍
住所（假出獄後住居ノ地）
氏名
年月日生

罪名
拘留又ハ勞役場留置期間
明治　年　月　日ヨリ執行
明治　年　月　日滿期
假出場期間　年　月　日自明治　年　月　日至明治　年　月　日
假出場ヲ許サレタルヲ以テ此ノ證票ヲ附與ス
明治　年　月　日
某監獄
朝鮮總督府典獄　氏名印

（五寸五分）

（八）

二　假出獄留ニ犯シタル他ノ罪ニ付キ罰金以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

三　假出獄前他ノ罪ニ付キ罰金以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ刑ノ執行ヲ爲スヘキトキ

假出獄ノ處分ヲ取消サレタルトキハ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入セラレサルモノトス

●指紋取扱規程

大正十年十二月
總督府令第七十一號

朝鮮總督府監獄

指紋取扱規程左ノ通改正ス

指紋取扱規程

第一條　懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル受刑者ニ付テハ其ノ指紋ヲ押捺セシメ指紋原紙ヲ作成スヘシ

第二條　指紋原紙ハ刑ノ執行ニ著手シタル後三日内ニ之ヲ作成スヘシ

疾病其ノ他ノ事故ニ因リ指紋ヲ押捺セシムルコト能ハサル者ニ付テハ其ノ事故ノ止ミタル後直ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條　指紋原紙ハ樣式第一號ニ依リ二通ヲ作成スヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ指紋原紙ニ代ヘ樣式第三號ノ指紋原紙受刑追加小票一通ヲ作成スヘシ

一　受刑中他ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ノ執行指揮アリタルトキ

二　朝鮮總督府監獄ニ於テ懲役又ハ禁錮ノ刑ノ執行ヲ受ケ再ヒ入監シタルトキ

第四條　疾病其ノ他ノ事故ニ因リ釋放前ニ指紋ヲ押捺セシムルコト能ハサル場合ニ於テハ指紋原紙ヲ作成シ表面備考欄ニ再入ノ記號ヲ押捺シ第五條ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條　樣式第一號ノ指紋原紙ハ一通ヲ本人ノ身分帳簿ニ編綴シ他ノ一通及指紋原紙受刑追加小票各欄ノ記入ヲ爲シ表面備考欄ニ其ノ事由ヲ朱記スヘシ

第六條　前條ノ手續ヲ爲シタル後左ノ事項アリタルトキハ各所定ノ樣式ニ依リ一月每ニ取纏メ翌月十日迄ニ之ヲ報告スヘシ

一　懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル受刑者ニ付テハ其ノ指紋ヲ押捺セシメ指紋原紙ヲ作成スヘシ

第七條　在監中指頭損傷シタルトキハ更ニ指紋原紙ヲ作成シ表面備考欄ニ其ノ事由ヲ朱記シ第五條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條第二號ニ該當スル場合ニ於テ指頭ノ損傷アリタルトキハ指紋原紙ヲ作成シ表面備考欄ニ再入ノ記號ヲ押捺シ第五條ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條　第二條乃至第四條及前條ノ場合ニ於テ內地人ナルトキハ樣式第一號ノ指紋原紙又ハ指紋原紙受刑追加小票ノ外樣式第二號ノ指紋原紙二通ヲ作成シ共ニ送付スヘシ

第九條　在監者ヲ移監スル場合ニ於テ前各條ノ手續ヲ終ラサルトキハ其ノ旨ヲ通報シ移監ヲ受ケタル官廳ニ於テ所定ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條　指紋ノ對照ヲ求メムトスルトキハ指紋原紙ノ表面備考欄ニ要對照ノ記號ヲ押捺シ本府ニ之ヲ送付スヘシ

第十一條　懲役又ハ禁錮ノ刑ノ前科アルコトヲ發見シ又ハ其ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ關係裁判所ノ檢事ニ通報スヘシ

第十二條　監獄又ハ分監ニ指紋擔當者ヲ置キ指紋ノ事務ニ從事セシムヘシ

附　則

本令ハ大正十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規程ニ依リ作成シタル指紋原紙ハ本規程施行ノ際在監ス者ニ付テハ速ニ身分帳簿ニ編綴シ其ノ他ノ者ニ付テハ他ノ監獄ヨリ終結身分帳簿取寄ノ照會アリタルトキ又ハ再ヒ入監シ若ハ復監シタルトキニ於テ身分帳簿ニ編綴シテ整理スヘシ

様式第一號

氏名	男女	原籍	出生地	住所	戸籍	明治大正和元 2, 5, 年生 月 日生	身分	職業	備考	指紋番號
左	示指	中指	環指	小指	拇指					
右	示指	中指	環指	小指	拇指					
折	左手			右手						

縦八寸六分　横六寸一分

大正　年　月　日作成　大正　年　月　日法務局檢査

罪名	刑名	刑期	執行官署	言渡年月日	裁判所	摘要

指示手左	日其ノ他出獄ニ關スル事項	刑名	言渡裁判所	刑期	言渡年月日	刑期ノ始期	刑期ノ終期	名刺	刑ノ言渡ヲ受ケタル氏名ヲ受ケタル年月日

名氏	入監年月日	身分	尺寸分	備考

右手指紋	拇指	示指	中指	環指	小指

様式第二號

氏名	身分	職業	稱名若ハ通稱ノ有無	男女ノ別	分類番號	指紋番號

原籍　出生地

住所　生年月日　年　月　日

(折)　左手

1,示指	2,中指	3,環指	4,小指	5,拇指

(折)　右手

6,示指	7,中指	8,環指	9,小指	10,拇指

(折)　左手　右手

大正　年　月　日　ニ於テ作成　備考

(折)　大正　年　月　日　ニ於テ分類

大正　年　月　日　ニ於テ檢査

様式第三號

帶小駁照

第　號

本籍	氏名	出生年月日	刑名刑期（金額）	言渡年月日	刑ノ執行始期	執行官署	執行監獄	出獄年月日	出獄事由	備考

分監獄

指紋番號	分類番號	刑名	刑期	言渡年月日	刑ノ執行始期	執行官署	執行監獄	出獄年月日	出獄事由	備考

様式第四號（用紙半紙形）

朔　年　月　日

朝鮮總督府御中

指紋番號	刑名	刑期	言渡年月日	刑ノ執行始期	執行官署	執行監獄	出獄年月日	出獄事由	備考

監獄又ハ分監

様式第五號（用紙半紙形）

朔　年　月　日

朝鮮總督府御中

指紋番號	氏名	原籍	住所	年齢	職業	出獄年月日	出獄事由	備考

監獄又ハ分監

様式第六號（用紙半紙形）

朔　大正　年　月　日

朝鮮總督府御中

指紋番號	氏名	年齢	原籍	住所	職業	稱名若ハ通稱ノ有無	男女ノ別	分類番號	指紋押捺未濟ノ事由	指紋押捺未濟ノ事由

監獄又ハ分監

様式第七號（用紙半紙形）

朔　大正　年　月　日

朝鮮總督府御中

番指紋	氏名	年齢	原籍	住所	職業	稱名若ハ通稱ノ有無	男女ノ別	分類番號	指紋押捺未濟ノ事由	指紋押捺未濟ノ事由

監獄又ハ分監

様式第八號（用紙半紙形）

朔　大正　年　月　日

朝鮮總督府御中

番指紋	氏名	年齢	原籍	住所	職業	稱名若ハ通稱ノ有無	男女ノ別	分類番號	指紋押捺未濟ノ事由	指紋押捺未濟ノ事由

監獄又ハ分監

第二款　囚人、被告人及被疑者押送ノ規則

●囚人、被告人及被疑者押送ノ通則

第一條　囚人ヲ監獄ニ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲ附スルノ外必要ト認ムルトキハ警察官吏ヲシテ之ヲ護送セシムルコトヲ得

第二條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ手錠ヲ施シ又ハ捕縄ヲ用ユルコトヲ得

第三條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第四條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第五條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第六條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第七條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第八條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第九條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第十條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第十一條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第十二條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第十三條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第十四條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第十五條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第十六條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第十七條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第十八條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第十九條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第二十條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第二十一條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第二十二條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第二十三條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第二十四條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第二十五條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第二十六條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第二十七條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第二十八條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第二十九條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第三十條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第三十一條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第三十二條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第三十三條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第三十四條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第三十五條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第三十六條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第三十七條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第三十八條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第三十九條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第四十條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第四十一條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第四十二條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第四十三條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第四十四條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第四十五條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第四十六條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第四十七條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第四十八條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第四十九條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第五十條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第五十一條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第五十二條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第五十三條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第五十四條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第五十五條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第五十六條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第五十七條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第五十八條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第五十九條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

第六十條　囚人ヲ護送スル場合ニ於テハ其ノ情況ニ依リ看守ヲシテ之ニ同行セシムルコトヲ得

キハ首魁ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十七條　敵ニ奉リタル者ハ無期又ハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十八條　第七十五條第一號、第七十六條第一號及前條ニ未遂罪ノ之ヲ罰ス

第八章　軍用物損壞ノ罪

第七十九條　陸軍ノ工場、船舶、戰闘ノ用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ橋梁又ハ陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ貯藏スル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第八十條　鑛務シタル兵器、彈藥、仝糧、被服其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ燒燬シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十一條　火藥、瓦斯其ノ他激發スヘキ物ヲ破裂セシメテ前二條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ燒燬ノ例ニ同シ

第八十二條　第七十九條ニ記載シタル物又ハ陸軍戰闘ノ用ニ供スル鐵道、電線若ハ水陸ノ通路ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十三條　兵器、彈藥、糧食、被服、馬匹其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十四條　第七十九條乃至第八十二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八十五條　本章ノ規定ハ陸軍ト共同作戰ニ從ヲ外國陸海軍ノ軍用物ヲ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第九章　掠奪ノ罪

第八十六條　戰地又ハ帝國軍ノ占領地ニ於テ住民ノ財物ヲ掠奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯スニ當リ婦女ヲ强姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十四年第六十九號布告陸軍刑法ハ之ヲ廢止ス

明治四十一年六月
勅令第百六十四號

陸軍刑法施行期日ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍刑法ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍刑法施行法

明治四十一年四月
法律第四十七號
改正　一〇年四月法六八

第一條　本法ニ於テ舊陸軍刑法ト稱スルハ明治十四年第六十九號布告陸軍刑法ヲ謂ヒ他ノ法律ト稱スルハ陸軍刑法施行前ニ施行シタル法律及勅令、布告ニシテ法律ト同一ノ效力ヲ有スルモノヲ謂フ

第二條　陸軍刑法施行前ニ舊陸軍刑法ノ罪又ハ他ノ法律ノ罪ヲ犯シタル者ニ付テハ左ノ例ニ從ヒ陸軍刑法ニ定メタル主刑ト舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ノ主刑トヲ對照シ刑法第十條ノ規定ニ依リ其ノ輕重ヲ定ム

舊陸軍刑法ニ定メタル刑　　他ノ法律ノ刑

死刑　　死刑
無期懲役　　無期徒刑
無期禁錮　　無期流刑
有期懲役　　有期徒刑、重懲役
輕懲役、重禁錮
有期禁錮　　有期流刑、重禁獄、
輕禁獄、輕禁錮

第三條　刑法施行法第三條ノ規定ハ前條ニ之ヲ準用ス

第四條　刑法第六條ニ依リ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スル場合ニ於テハ剝奪公權、剝官、停止公權、監視又ハ閙金ヲ附加スヘキトキ雖之ヲ附加セス

前項ノ場合ニ於テハ肩校ニ非スシテ官職ヲ有スル者ハ官校ニ在リテ剝官ヲ附加スル刑ニ該ルトキト雖其ノ官職ヲ失ハス

第五條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付陸軍刑法施行ノ前又ハ後ニ確定裁判アリタル後陸軍刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付裁判ヲ爲ストキハ左ノ例ニ依ル

一　確定裁判アリタル罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シタルトキト雖陸軍刑法ニ於テハ其ノ罪ト餘罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

二　確定裁判アリタル罪ニ陸軍刑法ヲ適用シタルトキト雖舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ニ於テハ其ノ罪ト餘罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條　陸軍刑法施行後確定裁判アリタル後陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ罪ト餘罪ニ付裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ確定裁判アリタル罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シタルトキト雖其ノ罪ト餘罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條　陸軍刑法施行後ハ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ノ罪ヲ犯シタル者ト雖刑ノ執行、假出獄及時效ニ付テハ刑法ノ規定ヲ準用ス但シ死刑ニ付テハ陸軍ニ於テ之ヲ執行スル場合ニ限リ陸軍刑法ノ規定ヲ準用ス

他ノ法律ニ依リ處セラレタル死刑ニ付亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ第二條及明治十五年第四號布告第一條ノ例ニ依リ主刑ノ對照ヲ爲スヘシ

舊陸軍刑法ノ刑ニ處セラレタル者ノ陸軍刑法施行前ニ於ケル時效期間ノ起算及時效ノ中斷ニ付テハ期滿免除ニ關スル規定ニ從フ

第十四條　陸軍刑法施行後ハ他ノ法律ニ依リ處セラレタル閙金又ハ科料ヲ完納スルコト能ハサル者ヲ勞役場ニ留置スル場合ニハ軍法會議ニ於テハ理事其ノ言渡ヲ爲スヘシ

第十五條　陸軍刑法施行後ハ刑法第六條ニ依リ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ノ刑ニ處スヘキ者ト雖刑ノ執行猶豫ニ付テハ刑法ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ第二條ノ例ニ依リ主刑ノ對照ヲ爲スヘシ

第十六條　陸軍刑法施行前假出獄ヲ許サレタル者及兩罰ヲ免セラレタル者ニ付テハ陸軍刑法施行ノ日ヨリ刑法ノ假出獄ニ關スル規定ヲ準用ス

第十七條　剝奪公權、停止公權及監視ノ言渡ハ陸軍刑法施行ノ日ヨリ其ノ效力ヲ失フ

第十八條　人ノ資格其ノ他ノ事項ニ關シ舊陸軍刑法ノ刑名又ハ罰別ヲ揚ケタル他ノ法律ノ規定ハ陸軍刑法施行ノ爲變更セラルルコトナシ

第十九條　刑法施行法第二十九條及第三十條ノ規定ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ陸軍刑法ノ罰ニ之ヲ準用ス

第二十條　刑法施行法第三十三條乃至第三十六條ノ規定ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ陸軍刑法ニ定メタル刑又ハ舊陸軍刑法ノ刑ニ處セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第二十一條　陸軍刑法ニ依リ六年未滿ノ懲役又ハ一年以上六年未滿ノ禁錮ニ處セラレタル者ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊陸軍刑法ノ刑官ヲ附加セラレ又ハ之ヲ附加スヘキ刑ニ處セラレタル者ニ付亦同シ

第二十二條　他ノ法律中舊陸軍刑法第二十八條、第三十條及第三十一條ノ規定ハ陸軍刑法第三十條及第三十一條ノ規定ニ依リ定マリタル刑ニ付テハ舊陸軍刑法第二十八條、第三十條及第三十一條ノ資格ニ關シ別段ノ規定ヲ設ケサリシ場合ニ付テハ舊陸軍刑法第二十八條、第三十條及第三十一條ノ規定ニ依リ定マリタル刑ニ付テハ舊陸軍刑法第二十八條、第三十條及第三十一條ノ資格ニ關シ陸軍刑法ノ規定ニ從フ

第二十三條　舊陸軍刑法ニ於テ軍人ト稱スルハ陸軍刑法又ハ他ノ法律ノ刑ニ付確定裁判アリタル後陸軍刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ本法第四條ノ例ニ依ル

第二十四條　陸軍治罪法ニ於テ軍人ト稱スルハ陸軍刑法又ハ他ノ法律ノ刑ニ處スヘキ者ト雖陸軍刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ本法第四條ノ例ニ依ル

第二十五條　刑事訴訟法第八條ノ規定ハ軍法會議ノ管轄ニ之ヲ準用ス

第二十六條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付テハ陸軍刑法ニ定メタル刑又ハ舊陸軍刑法ノ刑ニ處セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第二十七條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第二十八條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第二十九條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第三十條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第三十一條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第三十二條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第三十三條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第三十四條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第三十五條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第三十六條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第三十七條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第三十八條　戰場ニ於テ戰死者又ハ戰傷病者ノ衣服其ノ他ノ財物ヲ竊取シタル者ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十九條　敵ニ奉リタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第四十條　第三十五條第一號、第三十六條第一號及前條ニ未遂罪ノ之ヲ罰ス

第四章　軍用物損壞ノ罪

第四十一條　陸軍ノ工場、船舶、戰闘ノ用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ橋梁又ハ陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ貯藏スル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第四十二條　鑛務シタル兵器、彈藥、仝糧、被服其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ燒燬シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第四十三條　火藥、瓦斯其ノ他激發スヘキ物ヲ破裂セシメテ前二條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ燒燬ノ例ニ同シ

第四十四條　第四十一條乃至第四十三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四十五條　本章ノ規定ハ陸軍ト共同作戰ニ從ヲ外國陸海軍ノ軍用物ヲ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第五章　掠奪ノ罪

第四十六條　戰地又ハ帝國軍ノ占領地ニ於テ住民ノ財物ヲ掠奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯スニ當リ婦女ヲ强姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第四十七條　敵ニ奉リタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第四十八條　第四十五條第一號、第四十六條第一號及前條ニ未遂罪ノ之ヲ罰ス

第六章　俘虜ノ罪

第四十九條　俘虜ヲ以テ器具ヲ給與シ其ノ他逃走ヲ容易ナラシムヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第五十條　俘虜ヲ奪取シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第五十一條　逃走シタル俘虜ヲ藏匿又ハ隱避セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第五十二條　第五十條乃至第五十一條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第七章　逃亡ノ罪

第五十三條　敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二　軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ外哨兵ニ對シ哨令ヲ犯シタル者亦前項ニ同シ

第五十四條　在郷軍人故ナク召集ノ期限ニ後レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十五條　敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期又ハ終身ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ首魁ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第五十六條　左ニ記載シタル陸軍刑法施行前更ニ陸軍刑法ノ有期懲役ニ相當スル刑ニ該ル舊陸軍刑法ノ罪ヲ犯シ陸軍刑法施行後其ノ罪ニ付裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法ニ於テハ累犯ニ關スル規定ヲ準用ス

一　舊陸軍刑法ニ依リ陸軍刑法ノ懲役ニ相當スル刑ニ該シタル者ト雖刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ免除ヲ得タル後更ニ罪ヲ犯シ陸軍刑法ニ於テ有期懲役ニ處セラレタル者

二　舊陸軍刑法ニ依リ陸軍刑法ノ懲役ニ相當スル刑ニ該シ陸軍刑法ノ罰ニ因リ死刑ニ處セラレ其ノ執行ノ免除ヲ得又ハ減刑ニ因リ懲役ニ相當スル刑ニ減輕セラレタル者

刑法第五十六條第三項ノ規定ハ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第五十七條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第五十八條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第五十九條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第六十條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第六十一條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第六十二條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第六十三條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第六十四條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第六十五條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第六十六條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第六十七條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第六十八條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第六十九條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第七十條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第七十一條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第七十二條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第七十三條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第七十四條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第七十五條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第七十六條　陸軍刑法施行前ニ犯シタル一罪ト陸軍刑法施行後ニ犯シタル陸軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍刑法施行前ノ罪ニ舊陸軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキハ其ノ數罪倶發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第七十七條　戰場ニ於テ戰死者又ハ戰傷病者ノ衣服其ノ他ノ財物ヲ竊取シタル者ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十八條　敵ニ奉リタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第七十九條　第七十五條第一號、第七十六條第一號及前條ニ未遂罪ノ之ヲ罰ス

第八章　軍用物損壞ノ罪

第八十條　陸軍ノ工場、船舶、戰闘ノ用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ橋梁又ハ陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ貯藏スル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第八十一條　鑛務シタル兵器、彈藥、仝糧、被服其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ燒燬シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十二條　火藥、瓦斯其ノ他激發スヘキ物ヲ破裂セシメテ前二條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ燒燬ノ例ニ同シ

第八十三條　致治ニ關シ上書、建白其ノ他請願ヲ爲シ又ハ演說若ハ文書ヲ以テ意見ヲ公ニシタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第百四條　服從ノ義務ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ六月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第百五條　治安ヲ妨ケ又ハ風俗ヲ害スヘキ物ヲ公然陳列シタル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第百一條　哨兵又ハ衛兵故ナク銃砲ヲ發シタルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第百二條　戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ急呼ノ號報アリタル場合ニ故ナク來會セサル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第百三條　敵ニ關シ上書、建白其ノ他請願ヲ爲シ又ハ演說シ文書ヲ以テ意見ヲ公ニシタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第百四條　敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期又ハ終身ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ首魁ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百五條　敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二　軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ外哨兵ニ對シ哨令ヲ犯シタル者亦前項ニ同シ

第百六條　在郷軍人故ナク召集ノ期限ニ後レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第百七條　敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期又ハ終身ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ首魁ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百八條　敵ニ奉リタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第百九條　第百五條第一號、第百七條第一號及前條ニ未遂罪ノ之ヲ罰ス

第九章　掠奪ノ罪

第百十條　戰地又ハ帝國軍ノ占領地ニ於テ住民ノ財物ヲ掠奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯スニ當リ婦女ヲ强姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第百十一條　敵ニ奉リタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第百十二條　第百九條第一號、第百十條及前條ニ未遂罪ノ之ヲ罰ス

第十章　俘虜ノ罪

第百十三條　俘虜ヲ以テ器具ヲ給與シ其ノ他逃走ヲ容易ナラシムヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第百十四條　俘虜ヲ奪取シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第百十五條　逃走シタル俘虜ヲ藏匿又ハ隱避セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第百十六條　第百十三條乃至第百十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十一章　造言ノ罪

第百十七條　哨兵ヲ欺キテ哨所ヲ通過シ又ハ哨兵ノ制止ニ背キタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二　軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ外哨兵ニ對シ哨令ヲ犯シタル者亦前項ニ同シ

第百十八條　戰場ニ於テ戰死者又ハ戰傷病者ノ衣服其ノ他ノ財物ヲ竊取シタル者ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百十九條　敵ニ奉リタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第百二十條　第百十六條第一號及前條ニ未遂罪ノ之ヲ罰ス

第十二章　逃亡ノ罪

第百二十一條　敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二　軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第百二十二條　敵ニ奉リタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第百二十三條　第百二十一條第一號及前條ニ未遂罪ノ之ヲ罰ス

第十三章　軍用物損

海軍刑法

第一章　總則

第一節　法例

第一條　海軍之刑罰ハ海軍刑法ニ定ムル所ニ依リ之ヲ科ス

第二條　海軍刑法ハ帝國臣民ニ對スルノ外帝國軍人ニ對シ又ハ帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ亦之ヲ適用ス

第三條　海軍刑法ハ帝國ノ領土ニ於テ犯シタル者ニ對シ亦之ヲ適用ス

第四條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ又ハ帝國ノ領土ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ軍艦ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第五條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第六條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第七條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第八條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第九條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第十條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第十一條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第十二條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第十三條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第十四條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第十五條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第十六條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第十七條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第十八條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第十九條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二十條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二十一條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二十二條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二十三條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二十四條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二十五條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二十六條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二十七條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二十八條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二十九條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第三十條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第三十一條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第三十二條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第三十三條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第三十四條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第三十五條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第三十六條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第三十七條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第三十八條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第三十九條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第四十條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第四十一條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第四十二條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第四十三條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第四十四條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第四十五條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第四十六條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第四十七條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第四十八條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第四十九條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第五十條　帝國ノ軍艦ニ於テ犯シタル者ニ對シ帝國ノ領土ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スニ當リ帝國ノ法律ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

タル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第五十九條　蒸與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ首魁ハ無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十條　上官ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用キテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ無期若ハ二年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十一條　蒸與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十二條　守兵ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十三條　蒸與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十四條　守兵ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用キテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十五條　蒸與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ無期若ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十六條　上官又ハ守兵以外ノ海軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用キテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十七條　上官又ハ守兵以外ノ海軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十八條　多衆聚合シテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　他人ヲ指揮シ又ハ他人ヲ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三　附和隨行シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十九條　多衆聚合シテ兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他海軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十條　第五十八條乃至第六十八條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六章　傷害ノ罪

第七十一條　上官ヲ其ノ面前ニ於テ傷辱シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

交替、闘毆若ハ偶像ヲ公示シ又ハ演說ヲ爲シ其ノ他公然ノ方法ヲ以テ上官ヲ傷辱シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十二條　守兵ヲ其ノ面前ニ於テ傷辱シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十三條　故ナク職役ヲ離レ又ハ職役ニ就カサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　戰時ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十四條　艦船ノ乘員故ナク其ノ艦船發航ノ期ニ後レタルトキハ其ノ經過日數ヲ問ハス前二條ノ規定ヲ適用ス

第七十五條　敵ニ奔リタル者ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

第七十六條　敵ニ奔リタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十七條　第七十三條第一號、第七十四條第一號及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八章　軍用物損壞ノ罪

第七十八條　海軍ノ經船、工場、鐵閘ノ用ニ供シ又ハ海軍ノ軍用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ橋梁又ハ海軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄シ又ハ其ノ倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第七十九條　貯積シタル兵器、彈藥、糧食被服其ノ他海軍ノ軍用ニ供スル者ヲ燒燬シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　戰時ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ無期若ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十條　火藥、汽罐其ノ他激發スヘキ物ヲ破裂セシメテ前二條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ燒燬ノ例ニ同シ

第八十一條　海軍ノ艦船ヲ覆沒又ハ破壞シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第八十二條　第七十八條ニ記載シタル物又ハ海軍戰闘用ニ供スル鐵道、電線若ハ水陸ノ通路ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十三條　兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他海軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十四條　第七十八條乃至第八十二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八十五條　本章ノ規定ハ海軍ト共同作戰ニ從ヒ外國陸海軍ノ軍用物ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第九章　掠奪ノ罪

第八十六條　戰地又ハ帝國軍ノ占領地ニ於テ住民ノ財物ヲ掠奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯ス當リ婦女ヲ强姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第八十七條　戰場ニ於テ戰死者又ハ戰傷利者ノ衣服其ノ他ノ財物ヲ掠奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

第八十八條　前二條ノ罪ヲ犯ス者人ヲ傷害シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處シ死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第八十九條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十章　俘虜ニ關スル罪

第九十條　俘虜ヲ看守又ハ護送スル者其ノ俘虜ヲ逃走セシメタルトキハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十一條　俘虜ヲ逃走セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

俘虜ヲ逃走セシムル目的ヲ以テ器具ヲ給與シ其ノ他逃走ヲ容易ナラシムヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十二條　俘虜ヲ虐取シタル者ハ二年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十三條　逃走シタル俘虜ヲ隱匿シ又ハ隱避セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第九十四條　第九十條乃至第九十二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十一章　違令ノ罪

第九十五條　守兵ヲ欺キテ守所ヲ逃過シ又ハ守兵ノ制止ニ背キタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二　戰時ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第九十六條　守兵ヲ傷害シ又ハ守兵ノ職務ヲ避セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第九十七條　逃走シタル俘虜ヲ藏匿シ又ハ隱避セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第九十八條　第九十五條乃至第九十七條ノ罪ハ之ヲ罰ス

第十二章　逃亡ノ罪

第九十九條　敵ニ奔リタル者ハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　戰時ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百條　戰時又ハ事變ニ際シ軍事ニ關シ造言飛語ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第百一條　讒毀、號砲其ノ他空砲ヲ發スヘキ場合ニ於テ彈丸、瓦石其ノ他ノ物ヲ裝填シテ發シタル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第百二條　守兵故ナク銃砲ヲ發シタルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第百三條　戰時又ハ事變ニ際シ急呼ノ號聲アリタル場合ニ故ナク來會セサル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第百四條　政治ニ關シ上書、建白其ノ他請願ヲ爲シ又ハ演說若ハ文書ヲ以テ意見ヲ公ニシタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第百五條　服從ノ義務ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ六月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十四年第七十號布告海軍刑法ハ之ヲ廢止ス

明治四十一年六月
勅令第百六十五號

廢海軍刑法施行期日ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

海軍刑法ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍刑法施行法

明治四十一年四月
法律第四十九號

改正　大正二〇年四第六八號

廢帝國議會ノ協賛ヲ經タル海軍刑法施行法ヲ玆ニ公布セシム

第一條　海軍刑法施行法

本法ニ於テ舊海軍刑法ト稱スルハ明治十四年第七十號布告海軍刑法ヲ謂ヒ他ノ法律ト稱スルハ海軍刑法施行前ニ施行シタル法律及勅令、布告ニシテ法律ト同一ノ效力ヲ有スルモノヲ謂フ

第二條　海軍刑法施行前ニ舊海軍刑法ノ罰又ハ他ノ法律ノ罰ヲ犯シタル者ニ付テハ左ノ例ニ從ヒ海軍刑法ニ定メタル主刑ト舊海軍刑法又ハ他ノ法律ノ主刑トヲ對照シ刑法第十條ノ規定ニ依リ其ノ輕重ヲ定ム

海軍刑法ニ定メタル刑　　舊海軍刑法又ハ他ノ法律ノ刑

死刑　　死刑
無期懲役　　無期徒刑
無期禁錮　　無期流刑
有期懲役　　有期徒刑、重懲役、輕懲役、重禁錮、輕禁錮
有期禁錮

第三條　刑法施行法第三條ノ規定ハ前條ニ定メタル刑ノ對照ニ之ヲ準用ス

第四條　刑法第六條ニ依リ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スル場合ニ於テハ剝奪公權、剝官、停止公權、監視又ハ罰金ヲ附加スヘキトキト雖之ヲ附加セス

前項ノ場合ニ於テハ將校ニ非ラシテ官職ヲ有スル者將校ニ在リテ剝官ヲ附加スル刑ニ該ルトキト雖其ノ官職ヲ失ハス

第五條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法施行前又ハ後ニ確定裁判アリタル後海軍刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付裁判ヲ爲ストキハ左ノ例ニ依ル

一　確定裁判アリタル罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シタルトキト雖海軍刑法ニ於テハ其ノ罪ト餘罪トヲ併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

二　確定裁判アリタル罪ニ海軍刑法ヲ適用シタルトキト雖舊海軍刑法又ハ他ノ法律ニ於テハ其ノ罪ト餘罪トヲ併合罪ニ關スル規定ニ依ル

第六條　左ニ記載シタル者海軍刑法施行前更ニ海軍刑法ノ有期懲役ニ相當スル刑ニ該ル舊海軍刑法ノ罰ヲ犯シ海軍刑法施行後其ノ罪ニ付裁判ヲ爲ストキハ海軍刑法ニ於テハ累犯ニ關スル規定ヲ準用ス

一　舊海軍刑法ニ依リ海軍刑法ノ懲役ニ相當スル刑ニ該セラレタル者

二　舊海軍刑法ニ依リ海軍刑法ノ懲役ニ相當スル刑ニ該セラレタル者

第七條　海軍刑法施行前ニ犯シタル一罪トシテ海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第八條　海軍刑法施行前ニ犯シタル一罪トシテ海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第九條　海軍刑法施行前ニ犯シタル數罪トシテ海軍刑法施行後ニ犯シタル海軍刑法ノ一罪又ハ數罪トニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十一條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十二條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十三條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十四條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十五條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十六條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十七條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十八條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十九條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十一條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十二條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十三條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十四條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十五條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十六條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十七條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十八條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十九條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十一條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十二條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十三條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十四條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十五條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十六條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十七條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十八條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十九條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十一條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十二條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十三條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十四條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十五條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十六條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十七條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十八條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十九條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十一條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十二條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十三條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十四條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十五條　海軍刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付海軍刑法ノ一罪又ハ數罪ニ付同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ海軍刑法施行前ノ罪ニ舊海軍刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スヘキトキト雖其ノ罪ト海軍刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十六條　海軍刑法施行前ニ犯

第十一條　非常上告ハ判決確定後ニ發見シタル新ナル證據ニ依リ原判決ノ言渡ヲ受ケタル者ノ利益ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十二條　非常上告ハ檢事總長ニ於テ之ヲ爲ス

第十三條　非常上告ニ付テハ本章ニ特別ノ規定アルモノヲ除ク外通常上告ニ關スル規定ヲ準用ス

第十四條　非常上告ニ付テハ辯護人ヲ選任スルコトヲ得ス

第十五條　非常上告ニ付テハ口頭辯論ヲ開クコトヲ得ス

第十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第二十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第二十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第二十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第二十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第二十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第二十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第二十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第二十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第二十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第二十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第三十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第三十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第三十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第三十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第三十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第三十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第三十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第三十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第三十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第三十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第四十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第四十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第四十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第四十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第四十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第四十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第四十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第四十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第四十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第四十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第五十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第五十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第五十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第五十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第五十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第五十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第五十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第五十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第五十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第五十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第六十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第六十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第六十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第六十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第六十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第六十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第六十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第六十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第六十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第六十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第七十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第七十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第七十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第七十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第七十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第七十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第七十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第七十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第七十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第七十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第八十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第八十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第八十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第八十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第八十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第八十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第八十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第八十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第八十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第八十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第九十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第九十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第九十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第九十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第九十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第九十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第九十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第九十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第九十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第九十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百二十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百二十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百二十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百二十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百二十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百二十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百二十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百二十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百二十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百二十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百三十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百三十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百三十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百三十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百三十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百三十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百三十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百三十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百三十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百三十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百四十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百四十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百四十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百四十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百四十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百四十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百四十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百四十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百四十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百四十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百五十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百五十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百五十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百五十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百五十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百五十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百五十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百五十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百五十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百五十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百六十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百六十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百六十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百六十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百六十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百六十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百六十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百六十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百六十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百六十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百七十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百七十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百七十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百七十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百七十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百七十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百七十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百七十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百七十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百七十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百八十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百八十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百八十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百八十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百八十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百八十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百八十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百八十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百八十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百八十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百九十條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百九十一條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百九十二條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百九十三條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百九十四條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百九十五條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百九十六條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百九十七條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百九十八條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第百九十九條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第二百條　非常上告ニ付テハ原判決ニ對スル上告ノ申立ヲ爲シタル者ト雖モ之ヲ取下ルコトヲ得ス

求ニ因リ管轄移轉ノ決定ヲ爲スヘシ

第二十九條　軍法會議ヲ廢シタルトキハ陸軍大臣ハ後繼軍法會議ヲ指定スヘシ

第三十條　訴訟手續ハ管轄違ノ理由ニ因リ其ノ效力ヲ失ハス

第三章　軍法會議ノ職員

第三十一條　軍法會議ニ判士、陸軍法務官、陸軍錄事及陸軍醫官ヲ置ク

第三十二條　判士ハ陸軍ノ將校ヲ以テ之ニ充ツ

第三十三條　將官ヲ以テ判士ト爲スト雖モ陸軍大臣ノ豫請ニ因リ之ヲ命ス

特設軍法會議ニ於テハ長官又ハ其ノ直系上官ハ急遽ヲ要スル場合ニ限リ部下ノ將官中ヨリ判士ヲ命スルコトヲ得

第三十四條　佐官以下ノ將校ヲ以テ判士ト爲スト雖モ長官之ヲ命ス

長官ノ部下ニ非サル將校ヲ以テ判士ト爲スコトヲ要スルトキハ陸軍大臣之ヲ命ス特設軍法會議ニ於テハ急遽ヲ要スル場合ニ限リ長官ノ直系上官ハ部下ノ將校中ヨリ之ヲ命スルコトヲ得

第三十五條　法務官ハ終身官トシ勳任又ハ奏任トス

第三十六條　法務官ハ左ノ場合ノ外職ヲ免セラルルコトナシ

一　公然政事ニ關係スルコト

二　政黨ノ黨員又ハ政社ノ社員ト爲ルコト

三　帝國議會ノ議員又ハ道、府、縣、郡、市、區、町、村會ノ議員ト爲ルコト

四　報酬アル公務ニ就クコト

五　商業ヲ營ムコト

第三十七條　法務官ハ刑事裁判又ハ懲戒處分ニ因ルニ非サレハ其ノ意ニ反シテ免官又ハ轉官セラルルコトナシ

第三十八條　法務官身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキハ陸軍大臣ハ高等軍法會議總會ノ決議ニ因リ速ニ退職ヲ命スルコトヲ得

第三十九條　陸軍大臣ハ左ノ場合ニ於テハ法務官ニ現役ノ平組ヲ給シテ休職ヲ命スルコトヲ得

一　懲戒令ニ依リ懲戒委員會ノ審査ニ付セラレタルトキ

二　刑事事件ニ關シ起訴セラレタルトキ

三　官制又ハ定員ノ改正ニ因リ過員ヲ生シタルトキ

四　戰時又ハ事變ニ際シ臨時增員シタル場合ニ於テ其ノ必要止ミ過員ヲ生シタルトキ

五　病氣ノ爲執務セサルコト六月ニ至リタルトキ

休職ノ期間ハ前項第一號及第二號ノ場合ニ於テハ其ノ事件ノ繫屬中トシ第三號乃至第五號ノ場合ニ於テハ三年トス

第四十條　法務官前條第一項第三號乃至第五號ノ規定ニ依リ休職ヲ命セラレ滿期ト爲リタルトキハ退職ト爲ス

第四十一條　法務官ノ任用及懲戒ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條　錄事ハ判任トス

第四十三條　特設軍法會議ニ於テハ長官之ヲ命ス

第四十四條　特設軍法會議ニ於テハ長官ハ陸軍ノ准士官又ハ下士官ヲシテ錄事ノ職務ヲ行ハシメ陸軍ノ下士官又ハ兵卒ヲシテ警査ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十五條　合圍地境ニ在ル判任文官ヲシテ錄事ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十六條　特設軍法會議ニ於テハ長官ハ陸軍ノ准士官又ハ下士官又ハ兵卒ヲシテ警査ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十七條　警察官ハ警察機關

第四章　軍律

第四十八條　軍法會議ニ於テハ上席判士及法務官ヲ以テ之ニ充ツ上席判士ヲ裁判長ト爲ス

特設軍法會議ニ於テハ上席判士及法務官ヲ除クノ外裁判官二人ヲ減スルコトヲ得

第四十九條　裁判官ハ長官之ヲ定ム

第四十八條　師團軍法會議及特設軍法會議ニ於テハ判士四人及法務官一人ヲ以テ裁判官トス

第五十條　上告、非常上告又ハ再審ノ審判ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判長ノ官等ハ原軍法會議ノ裁判長ヨリ下ルコトヲ得ス

第五十一條　高等軍法會議ニ於テハ判士三人及法務官二人ヲ以テ裁判官トス

前項ノ判士ハ左ノ區別ニ從フ

一　被告人下士又ハ兵卒ナルトキハ佐官一人大尉二人

二　被告人中尉、少尉又ハ准士官ナルトキハ大佐又ハ中佐一人少佐一人大尉一人

三　被告人大尉ナルトキハ大佐一人中佐一人少佐一人

四　被告人少佐ナルトキハ大佐一人中佐二人少佐一人

五　被告人中佐ナルトキハ少將一人大佐二人

六　被告人大佐ナルトキハ中將一人少將二人

七　被告人少將ナルトキハ大將又ハ中將一人中將又ハ少將一人

八　被告人中將ナルトキハ大將二人大將又ハ中將一人

九　被告人大將ナルトキハ大將三人

第五十二條　被告人官等又ハ等級ヲ有セサルトキ又ハ其ノ官等又ハ等級ニ對シ士官ノ候補者ニシテ士官ノ勅務ニ關スル者ナルトキハ少尉ニ準シ士官ノ勅務ニ服セサル者ナルトキハ下士ニ準シ判士ヲ區別スヘシ

被告人准士官又ハ下士タル士官ノ候補者ニシテ士官ノ勅務ニ服スル者ナルトキハ少尉ニ準シ判士ヲ區別ス

第五十三條　被告人將校相當官、軍醫、海軍軍人又ハ海軍軍屬ナルトキハ其ノ官等、等級又ハ階級ニ從ヒ將校、准士官、下士又ハ兵卒ニ準シ判士ヲ區別ス

第五十四條　被告人第四十九條及第五十一條乃至第五十三條ニ記載シタル者ニ非サルトキハ下士又ハ兵卒ニ準シ判士ヲ區別ス

前項ノ場合ニ於テ長官ハ事情ニ因リ判士ノ區別ヲ變更スルコトヲ得

第五十五條　被告人佯瘋ナルトキハ第四十九條及第五十一條乃至前條ノ規定ニ準シ判士ト區別ス

第五十六條　二個以上ノ異ル官等、等級又ハ階級ヲ有スル被告人ニ付テハ其ノ最高キ官等、等級又ハ階級ニ從ヒ判士ヲ區別ス

第五十七條　官等、等級又ハ階級ノ異ニスル共同被告人ニ付テハ其ノ官等、等級又ハ階級ノ最高キ者ニ從ヒ判士ヲ區別ス

第五十八條　判士ノ區別ハ被告人ノ身分ニ異動アルモ官等、等級又ハ階級ノ高キ身分ヲ取得シタル場合ヲ除クノ外變更セラルルコトナシ

第五十九條　上告、非常上告又ハ再審ノ審判ヲ爲ス場合ノ判士ノ區別ハ原軍法會議ノ裁判官ヲ定メタル當時ノ被告人ノ身分ニ從フ但シ被告人官等、等級又ハ階級ノ高キ身分ヲ取得シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ第百七十三條第三項、第四百十五條、第四百十六條、第四百三十六條又ハ第五百三十條ノ決定ヲ爲ス場合ノ判士ノ區別ニ之ヲ準用ス

第六十條　上告、非常上告又ハ再審ノ審判ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判長ノ官等ハ原軍法會議ノ裁判長ヨリ下ルコトヲ得ス

第五章　豫審機關

第六十一條　豫審ハ豫審官之ヲ行フ

第六十二條　豫審官ハ法務官中ヨリ長官之ヲ命ス

第六十三條　特設軍法會議ニ於テハ長官ハ陸軍ノ將校ヲシテ豫審官ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第六十四條　合圍地軍法會議ニ於テハ長官ハ合圍地境ニ在ル高等軍法會議總會ノ決議ニ因リ速ニ退職ヲ命スルコトヲ得

第六十五條　陸軍大臣ハ公訴及搜查ヲ指揮監督ス

第六十六條　長官ハ所管軍法會議ノ管轄ニ屬スル事件ニ付公訴ヲ指揮ス

長官ハ所管軍法會議ノ管轄ニ屬スル事件、之ト牽連スル事件及所管部隊內ノ犯罪事件ニ付搜查ヲ指揮ス

第六十七條　檢察官ハ長官ニ隸屬シ搜查ヲ爲シ公訴ヲ行フ

第六十八條　檢察官ハ法務官中ヨリ長官之ヲ命ス

第六十九條　長官ハ法務官試補ヲシテ檢察官ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第七十條　特設軍法會議ニ於テハ長官ハ陸軍合圍地境ニ在ル高等交官ヲシテ檢察官ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第七十一條　合圍地軍法會議ニ於テハ長官ハ合圍地境ニ在ル高等交官ヲシテ檢察官ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第七十二條　檢察官ハ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ヲシテ搜查ノ輔佐ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十三條　憲兵ノ將校、准士官又ハ下士ハ陸軍司法警察官トシテ搜查ヲ爲ス

陸軍大臣ハ所管ノ大臣ト協議シテ警察官中ヨリ陸軍司法警察官トシテ勤務スル者ヲ指定スルコトヲ得

第七十四條　左ニ記載シタル部隊ノ長ハ其ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ノ犯罪ニ付陸軍司法警察官ノ職務ヲ行フ

一　中隊以上ノ軍隊及之ニ準スヘキ軍隊

二　官衙、學校、特務機關及戰時ニ於ケル特設機關

三　陸軍大臣ノ指定シタル部隊

第七十五條　憲兵ノ將校、准士官又ハ下士ハ其ノ他裁判官ヲ變更スヘキ正當ノ事由アリト思料スルトキハ其ノ旨ヲ長官ニ具申スルコトヲ得

第七十六條　長官前條ノ具申ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ軍法會議ニ通知スヘシ

軍法會議前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ裁判官ノ變更ニ關シ通知ヲ受ケタル迄訴訟手續ヲ停止スヘシ但シ急速ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十七條　裁判官自ラ除斥ノ原由其ノ他裁判官ヲ變更スヘキ正當ノ事由アリト思料スルトキハ其ノ旨ヲ長官ニ具申スヘシ

第七十八條　前五條ノ規定ハ豫審官及錄事ニ之ヲ準用ス

第七十九條　特設軍法會議ニ於テハ本節ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第二節　辯護及輔佐

第八十條　被告人ハ公訴ノ提起アリタル後何時ニテモ辯護人ヲ選任スルコトヲ得

被告人ノ法定代理人、保佐人又ハ夫ハ獨立シテ辯護人ヲ選任スルコトヲ得

第八十一條　辯護人ハ左ニ記載シタル者ヨリ之ヲ選任スヘシ

一　陸軍高等文官又ハ將校相當官

二　陸軍大臣ノ指定シタル辯護士

三　陸軍司法警察官

第八十二條　檢察官又ハ被告人ノ原由其ノ他裁判官ヲ變更スヘキ正當ノ事由アリト思料スルトキハ其ノ旨ヲ長官ニ具申スヘシ

第八十三條　前五條ノ規定ハ豫審官及錄事ニ之ヲ準用ス

第八十四條　裁判官自ラ除斥ノ原由其ノ他回避スヘキ正當ノ事由アリト思料スルトキハ其ノ旨ヲ長官ニ具申スヘシ

第八十五條　前五條ノ規定ハ豫審官及錄事ニ之ヲ準用ス

第八十六條　特設軍法會議ニ於テハ本節ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第二節　辯護及輔佐

第八十七條　被告人ハ公訴ノ提起アリタル後何時ニテモ辯護人ヲ選任スルコトヲ得

被告人ノ法定代理人、保佐人又ハ夫ハ獨立シテ辯護人ヲ選任スルコトヲ得

第八十八條　辯護人ハ左ニ記載シタル者ヨリ之ヲ選任スヘシ

一　陸軍高等文官又ハ將校相當官

二　陸軍大臣ノ指定シタル辯護士

三　陸軍司法警察官

第八十九條　辯護人ノ選任ハ辯護人一人ニ付二人ヲ超ユルコトヲ得ス

第九十條　辯護人ノ數ハ被告人一人ニ付二人以下之ヲ爲スヘシ

第九十一條　辯護人ハ軍法會議ニ於テ被告事件ニ關スル書類及證據物ヲ閱覽シ且其ノ謄類ヲ謄寫スルコトヲ得

第九十二條　辯護人ハ別段ノ規定アル場合ニ限リ獨立シテ訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得

第九十三條　前六條ノ規定ハ特設軍法會議ニ付テハ之ヲ適用セス

第九十四條　被告人ノ法定代理人、保佐人又ハ夫ハ公訴ノ提起アリタル後何時ニテモ輔佐人ト爲ルコトヲ得

輔佐人ハ各ラムトスルトキハ審級每ニ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

輔佐人ハ獨立シテ被告人ノ爲スコトヲ得ヘキ訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得但シ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三節　裁判

第九十五條　裁判ノ定數ノ裁判官評議シテ之ヲ爲ス但シ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十六條　裁判官ノ評議ハ之ヲ公行セス但シ法務官試補ノ傍聽ヲ許スコトヲ得

裁判長ノ評議ハ裁判長之ヲ整理ス其ノ評議ノ順序及各裁判官ノ意見ノ祕密トス

第九十七條　裁判官意見ヲ述フルノ順序ハ法務官ヲ始トス其ノ他ノ裁判官ハ下ノ席次ノ低キ者ヲ始トス

第九十八條　裁判ハ過半數ノ意見ニ依ル

裁判官ノ意見ハ三說以上分レ各過半數ニ至ラサルトキハ過半數ニ至ル迄被告人ニ不利ナル意見ヲ順次利益ナル意見ニ合算ス

第九十九條　裁判官ハ裁判ス可キ事項ニ付自己ノ意見ヲ表スルコトヲ拒ムコトヲ得ス

第百條　判決ハ口頭辯論ニ基キ之ヲ爲スヘシ但シ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

決定ハ公判廷ニ於テハ訴訟關係人ノ陳述ヲ聽キ之ヲ爲スヘシ其ノ他ノ場合ニ於テハ訴訟關係人ノ陳述ヲ聽カスシテ之ヲ爲スコトヲ得但シ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

命令ハ訴訟關係人ノ陳述ヲ聽カスシテ之ヲ爲スコトヲ得

決定又ハ命令ヲ爲スニ付必要アル場合ニ於テハ事實ノ取調ヲ爲スコトヲ得

前項ノ取調ハ受命裁判官ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

第百一條　裁判ニハ理由ヲ附スヘシ但シ決定又ハ命令ニハ理由ヲ附セサルコトヲ得

刑ノ言渡ヲ爲スニハ罪トナルヘキ事實及其

ノ事實ヲ認メタル理由竝法令ノ適用ヲ示スヘシ

第百二條　裁判ノ告知ハ公判廷ニ於テハ宣告ニ依リ之ヲ爲シ其ノ他ノ場合ニ於テハ裁判書ノ謄本ノ送達ニ依リ之ヲ爲スヘシ但シ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三條　裁判ノ宣告ハ公判廷ニ於テハ主文及理由ヲ朗讀シ又ハ主文ノ朗讀ト同時ニ理由ノ要旨ヲ告クヘシ

第百四條　檢察官ノ執行指揮ヲ要スル裁判ヲ爲シタルトキハ速ニ裁判書又ハ裁判ヲ記載シタル調書ノ謄本又ハ抄本ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第百五條　裁判書又ハ裁判ヲ記載シタル調書ノ謄本又ハ抄本ハ被告人其ノ他訴訟關係人ノ請求ニ因リ之ヲ交付ス

前項ノ場合ニハ其ノ費用ヲ徵スルコトヲ得

第四節　書類

第百六條　訴訟ニ關スル書類ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外裁判官之ヲ調製スヘシ

第百七條　裁判官、豫審官又ハ檢察官ハ錄事ノ作リタル書類ニ付意見アルトキハ錄事ニ命シ之ヲ變更セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ錄事ハ自己ノ意見ヲ書類ニ附記スルコトヲ得

第百八條　被告人、證人、鑑定人、通事又ハ翻譯人ノ取調ニ付テハ調書ヲ作ルヘシ

調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　被告人、證人、鑑定人、通事又ハ翻譯人ニ對スル訊問及其ノ供述

二　證人、鑑定人、通事又ハ翻譯人宣誓ヲ爲ササルトキハ其ノ事由

調書ハ錄事ヲシテ之ヲ供述者ニ讀聞カサシメ又ハ供述者ヲシテ之ヲ閱覽セシメ其ノ記載ノ相違ナキカ否ヲ問フヘシ

供述者增減變更ヲ申立テタルトキハ其ノ供述ヲ調書ニ記載スヘシ

調書ニハ供述者ヲシテ署名捺印セシムヘシ

第百九條　檢證ニ、押收又ハ搜索ニ付テハ調書ニ押收ヲ爲シタルトキハ其ノ品目ヲ調書ニ記載シ又ハ別ニ目錄ヲ作リ之ヲ調書ニ添附スヘシ

第百十條　前二條ノ調書ニハ取調又ハ處分ヲ爲シタル年月日及場所ヲ記載シ其ノ取調又ハ處分ヲ爲シタル者錄事ト共ニ署名捺印スヘシ但シ公判期日外ニ於テ軍法會議取調又ハ處分ヲ爲シタルトキハ裁判官タル法務官前條ノ調書ニハ理由ノ要旨ヲ告クヘシモ記載スヘシ

第百十一條　錄事ノ立會ナクシテ取調又ハ處分ヲ爲ス場合ニ於テハ錄事ノ行フヘキ職務ハ其ノ取調又ハ處分ヲ爲ス者自ラ之ヲ行フヘシ

第百十二條　公判期日ニ於ケル訴訟手續ニ付テハ公判調書ニ左ノ事項及訴訟關係人ノ請求ニ因リ記載ヲ許シタル事項ノ外公判期日ニ於テ軍法會議ニ於ケル訴訟手續ヲ記載スヘシ

第百十三條　公判調書ニハ裁判長及陪席者ノ署名捺印ヲ要ス

裁判長故障アルトキハ陪席者ノ一人之ニ署名捺印スヘシ

第百十四條　訴訟ニ關スル書類ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外錄事之ヲ調製スヘシ

第百十五條　裁判書又ハ裁判ヲ記載シタル調書ハ裁判官之ニ署名捺印スヘシ

裁判官故障アルトキハ他ノ裁判官署名捺印スヘシ

裁判長署名捺印スルコトヲ得ルトキハ前項ノ規定ニ依リ署名捺印スル者其ノ事由ヲ附記シテ署名捺印スヘシ

第百十六條　公判期日ニ於ケル訴訟手續ハ公判調書ノミニ依リ之ヲ證明スルコトヲ得

第百十七條　裁判ヲ爲ストキハ裁判ヲ作ルヘシ但シ決定又ハ命令ヲ宣告スル場合ニ於テハ裁判書ヲ作ルヲ要セス

第百十八條　裁判書ハ裁判官之ヲ作ルヘシ

第百十九條　裁判書又ハ裁判ヲ記載シタル調書ニハ裁判官署名捺印スヘシ裁判長署名捺印スルコトヲ得ルトキハ前項ノ規定ニ依リ署名捺印スル者其ノ事由ヲ附記シテ署名捺印スヘシ他ノ裁判官署名捺印スルコトヲ得ルトキハ裁判長其ノ事由ヲ附記シテ署名捺印スヘシ

第百二十條　裁判書ニハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外裁判ヲ受ケル者ノ氏名、年齡、職業及住居ヲ記載スヘシ

第百二十一條　裁判書又ハ裁判ヲ記載シタル調書ノ謄本又ハ抄本ハ原本ニ依リ之ヲ作ルヘシ

第百二十二條　前四條ノ規定ハ豫審官裁判ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二十三條　官吏又ハ公吏ノ作ルヘキ書類ニハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外年月日ヲ記載シテ署名捺印シ其ノ所屬ノ官署又ハ公署ヲ表示スヘシ

書類ニハ毎葉ニ契印スヘシ

第百二十四條　官吏又ハ公吏書類ヲ作ルニハ文字ヲ改竄スヘカラス挿入、削除又ハ欄外記入ヲ爲シタルトキハ之ニ認印シ其ノ字數ヲ記載スヘシ削除シタル部分ハ讀ミ得ヘキ爲ニ字體ヲ存スヘシ

第百二十五條　官吏及公吏ニ非サル者ノ作ルヘキ書類ニハ年月日ヲ記載シテ署名捺印スヘシ

第百二十六條　官吏及公吏ニ非サル者ノ署名捺印スヘキ場合ニ於テ署名スルコト能ハサルトキハ他人ヲシテ代署セシメ捺印スルコト能ハサルトキハ花印又ハ拇印スヘシ他人ヲシテ代署セシメタル場合ニ於テハ代署シタル者其ノ事由ヲ記載シテ署名捺印スヘシ

第百二十七條　特設軍法會議ニ於テ審判スヘキ事件ノ書類ニ付テハ本節ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第五節　送達

第百二十八條　送達ハ錄事送達吏ヲシテ之ヲ爲サシムル但シ陸軍司法警察官ノ發スル書類ノ送達ハ其ノ書類ヲ作リタル者之ヲ爲サシムヘシ

第百二十九條　送達吏ハ陸軍司法警察吏ヲ以テ之ニ充ツ

第百三十條　送達ハ之ヲ施行スヘキ地ヲ管轄スル區裁判所ノ書記又ハ之ニ相當スル官署ニ嘱託シテ之ヲ爲スコトヲ得

第三十一條　兵營其ノ他軍事用ノ廠舍又ハ艦船ノ內ニ在ル者ニ對スル送達ハ廳舍若ハ艦船ノ長又ハ之ニ代ルヘキ者ニ嘱託シテ之ヲ爲ス

第一條又ハ海軍軍法會議法第一條ニ記載シタル者ニシテ前項ニ記載シタル以外ノ場所ニ在ル者ニ對スル送達ハ其ノ所屬ノ長若ハ監督者又ハ之ニ代ルヘキ者ニ嘱託シテ之ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル送達ハ書類ヲ本人ニ交付シタル旨ノ證書ヲ以テ之ヲ證ス

第百三十二條　第一條及海軍軍法會議法第一條ニ記載シタル以外ノ者被告人、代理人、辯護人又ハ補佐人ヲシテ書類ノ送達ヲ受ケシムル爲書類ヲ以テ其ノ住居又ハ事務所ヲ軍法會議ノ開ケル地ニ住居及事務所ヲ有セサルトキハ其ノ所在地ニ住居又ハ事務所ヲ有スル者ヲシテ送達ヲ受取人ニ選任シ其ノ旨及送達ヲ受取人ノ住居又ハ事務所ヲ其ノ者ト共ニ書面ヲ以テ届出ツヘシ

前項ノ規定ハ在監者ニ付之ヲ適用セス

送達受取人ハ送達ヲ受クヘキ本人ト看做シ送達受取人ノ住居又ハ事務所ハ本人ノ住居又ハ事務所ト看做ス

第百三條　前條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スヘキ者其ノ届出ヲ爲ササルトキハ交付スヘキ書類ヲ郵便ニ付シテ送達ヲ爲スコトヲ得

前項ノ送達ハ書類ヲ郵便ニ付シタル時ヲ以テ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百三十四條　檢察官ニ對スル送達ハ書類ヲ其ノ所屬官廳ニ送付シテ之ヲ爲ス

第百三十五條　被告人ノ現在地知レサルトキハ公示送達ヲ爲スコトヲ得

被告人裁判構ソ及ハサル場所ニ在ル爲他ノ方法ヲ以テ送達ヲ爲スコト能ハサルトキ亦前項ニ同シ

第百三十六條　公示送達ハ軍法會議ノ指揮アリタルトキニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

公示送達ハ交付スヘキ書類又ハ其ノ抄本ヲ軍法會議ノ揭示場ニ公示シテ之ヲ爲ス

公判ニ於ケル第一回ノ召喚狀ノ公示送達ハ召喚狀ヲ軍法會議ノ揭示場ニ公示シ且其ノ謄本ヲ官報又ハ新聞紙ニ揭載シテ之ヲ爲ス

前項ノ公示送達ハ最後ニ官報又ハ新聞紙ニ揭載シタル時ヨリ三十日其ノ他ノ公示送達ハ揭示場ニ公示シタル時ヨリ七日ノ期間ヲ經過スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第百三十七條　送達ニ付テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟法ヲ準用ス

第六節　期間

第百三十八條　期間ヲ計算スルニ時ヲ以テスルモノハ即時ヨリ之ヲ起算シ日、月又ハ年ヲ以テスルモノハ初日ヲ算入セス但シ時效期間ノ初日ハ時間ヲ論セス一日トシテ之ヲ計算ス

月及年ハ暦ニ從ヒテ之ヲ計算ス

期間ノ末日ハ曜日、一月一日二日四日、十二月二十九日三十日三十一日、一般ノ休日トシテ指定セラレタル大祭日若ハ祝日又ハ陸軍一般ノ休日ニ當ルトキハ之ヲ期間ニ算入セス但シ時效期間ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百三十九條　法定ノ期間ハ訴訟行爲ヲ爲スヘキ者ノ住居地ト軍法會議所在地トノ距離ニ從ヒ汽船路二十里每ニ一日ヲ加フ二十里ニ滿タサルモ五里以上ナルトキ亦同シ但シ海路ハ二海里ヲ一里トシテ之ヲ計算ス

外國又ハ交通不便ノ地ニ在ル者ノ爲ニハ特ニ期間ヲ定ムルコトヲ得

第七節　軍法會議公訴ヲ受ケタルトキハ

第百四十條　軍法會議ハ召喚、勾引及勾留被告人ヲ召喚スヘシ

第百四十一條　被告人ノ召喚ハ召喚狀ヲ發シテ之ヲ爲スヘシ

被告人期日ニ出頭スヘキ旨ヲ記載ノ書面ヲ差出シ又ハ出廷シタル被告人ニ對シ出頭ヲ以テ次回ノ出頭ヲ命シタルトキハ召喚狀ヲ發セス

召喚狀ニハ被告人ノ出頭スヘキ年月日時及場所竝召喚ニ應セサルトキハ勾引狀ヲ發スル旨ヲ記載スヘシ

第百四十二條　被告人ノ召喚ヲ受ケタル者正當ノ事由ナクシテ出頭セス又ハ出頭セサルトキハ勾引狀ヲ發シテ之ヲ勾引スヘシ

第百四十三條　左ノ場合ニ於テハ直ニ被告人ヲ勾引スルコトヲ得

一　軍紀ヲ保持スル爲必要アルトキ

二　被告人逃走シタルトキ又ハ逃走スル虞アルトキ

三　被告人ノ肥體ヲ潰滅スル虞アルトキ

四　被告人定リタル住居ヲ有セサルトキ

第百四十四條　被告人ノ勾引ハ勾引狀ヲ發シテ之ヲ爲スヘシ

第百四十五條　勾引シタル被告人ハ軍法會議ニ引致シタル時ヨリ四十八時間內ニ之ヲ訊問スヘシ其ノ時間內ニ勾留狀ヲ發セサルトキハ被告人ヲ釋放スヘシ

第百四十六條　第百四十三條ニ記載シタル事由アルトキハ被告人ヲ勾留スルコトヲ得但シ被告人監獄ニ在ルトキハ其ノ事由ナシトノ勾留スルコトヲ得

前項ノ規程ハ五百圓ヲ超過セサル罰金、拘留又ハ科料ニ該ルヘキ事件ニ付テハ第百四十三條第四號ノ場合ヲ除クノ外之ヲ適用セス

被告人ノ勾留ハ訊問シタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得但シ第百四十三條第一號ノ場合及被告人逃走シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十七條　被告人ノ勾留ハ勾留狀ヲ發シテ之ヲ爲スヘシ

第百四十八條　裁判長ハ急速ヲ要スル場合ニ於テハ第百四十條乃至前條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

第百四十九條　裁判長ハ被告人現在地ノ豫審官、檢察官、陸軍司法警察官、豫審判事、區裁判所判事、檢事、司法警察官又ハ法令ニ依リ特別ニ裁判權ヲ有スル官署ニ被告人ノ勾引ヲ嘱託スルコトヲ得

受託官署ハ更ニ受託ノ權限アル官署ニ轉嘱スルコトヲ得但シ陸軍司法警察官及司法警察官ハ此ノ限ニ在ラス

受託官署受託事項ニ付權限ヲ有セサルトキハ受託ノ權限アル官署ニ嘱託ヲ移送スルコトヲ得但シ陸軍司法警察官及司法警察官ハ此ノ限ニ在ラス

嘱託又ハ移送ヲ受ケタル官署ハ勾引狀ヲ發スヘシ

第百五十條　被告人ノ現在地ヲ管知スルコトヲ能ハサルトキハ裁判長ハ檢事長又ハ之ニ相當スル官署ニ被告人ノ人相書ヲ送付シ其ノ搜查及勾引ヲ嘱託スルコトヲ得

嘱託ヲ受ケタル官署ハ其ノ管轄區域內ノ檢事又ハ相當官署ヲシテ勾引狀ヲ發シ搜查及勾引ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第百五十一條　前二條ノ場合ニ於テ嘱託ニ因リ勾引狀ヲ發シタル官署ハ被告人ヲ引致シタル時ヨリ四十八時間內ニ之ヲ訊問スヘシ其ノ時間內ニ勾留狀ヲ發セサルトキハ被告人ヲ釋放スヘシ

第百五十二條　勾引狀又ハ勾留狀ヲ發スル場合ニ於テ被告人ノ住所分明ナラサルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要セス其ノ氏名分明ナラサルトキハ容貌、體格其ノ他ノ徵表ヲ以テ被告人ヲ指示スヘシ

召喚狀ニハ被告人ノ出頭スヘキ年月日時及場所竝召喚ニ應セサルトキハ勾引狀ヲ發スル旨ヲ記載スヘシ

勾留狀ニハ被告人ヲ勾留スヘキ監獄ヲ指定スヘシ

第百五十三條　前條第一項及第二項ノ規定ハ第百四十九條第四項ノ規定ニ依リ豫審官、檢察官又ハ陸軍司法警察官ノ發スル勾引狀ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ勾引狀ニ氏名及其ノ嘱託ニ因リ之ヲ發スル旨ヲ記載スヘシ

第百五十四條　勾引狀又ハ勾留狀ハ檢察官ノ指揮ニ依リ陸軍司法警察官吏之ヲ執行ス但シ急速ヲ要スル場合ニ於テハ裁判長、受命裁判官又ハ豫審官其ノ執行ヲ指揮スルコトヲ得

監獄ニ在ル被告人ニ對シテ發シタル勾留狀ハ監獄官吏之ヲ執行ス

第百五十五條　勾引狀ハ勾引狀ヲ發シテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

特設軍法會議ニ於テハ陸軍下士卒ヲシテ勾引狀又ハ勾留狀ヲ執行セシムルコトヲ得

第百五十六條　勾引狀ハ數通ヲ作リ之ヲ陸軍司法警察官吏、陸軍下士卒又ハ司法警察官

吏數人ニ交付スルコトヲ得

第百五十七條　陸軍司法警察官吏又ハ司法警察官吏ハ必要アルトキハ管轄地外ニ於テ勾引狀ノ執行ヲ爲シ又ハ其ノ地ノ陸軍司法警察官ニ其ノ執行ヲ求ムルコトヲ得

第百五十八條　勾引狀ヲ執行スルニハ之ヲ被告人ニ示シテ指定セラレタル軍法會議ニ引致スヘシ

第百四十九條第四項及第百五十條第二項ノ場合ニ於テハ勾引狀ヲ發シタル官署ニ引致スヘシ

勾留狀ヲ執行スルニハ之ヲ被告人ニ示シテ勾留狀ノ内ニ在ル者ニ對シ勾引狀又ハ勾留狀ヲ執行スヘキ場合ニ於テハ檻舍若ハ艦艙ノ長又ハ之ニ代ルヘキ者ニ勾引狀又ハ勾留狀ヲ示シテ引渡ヲ求ムヘシ

第百四十九條第四項及第百五十條第二項ノ場合ニ於テハ勾引狀ヲ發シタル官署ニ引致スヘシ

勾留狀ヲ執行スルニハ之ヲ被告人ニ示シテ指定セラレタル監獄ニ引致スヘシ

第百五十九條　兵營其ノ他軍用ノ檻舍又ハ艦艙ノ内ニ在ル者ニ對シ勾引狀又ハ勾留狀ヲ執行スヘキ場合ニ於テハ檻舍若ハ艦艙ノ長又ハ之ニ代ルヘキ者ニ勾引狀又ハ勾留狀ヲ示シテ引渡ヲ求ムヘシ

軍事用ノ檻舍及艦艙ノ外ニ在リテ現ニ陸海軍ノ勤務ニ從事スル者ニ對シ勾引狀又ハ勾留狀ヲ執行スヘキ場合ニ於テハ其ノ所屬ノ長又ハ之ニ代ルヘキ者ニ勾引狀又ハ勾留狀ヲ示シテ引渡ヲ求ムヘシ

第百六十條　軍法會議ハ必要アルトキハ決定シタル後執行ヲ猶豫スルコトヲ得

第百六十一條　勾引狀又ハ勾留狀ノ執行ヲ受ケタル被告人ヲ引致シタル場合ニ於テ必要アルトキハ之ヲ監獄ニ留置スルコトヲ得

第百六十二條　勾引狀ノ執行ヲ受ケタル被告人ヲ護送スル場合ニ於テ必要アルトキハ假ニ最寄ノ監獄ニ之ヲ留置スルコトヲ得

第百六十三條　勾引狀又ハ勾留狀ノ執行ヲ受ケタル被告人ヲ護送スル場合ニ於テ必要アルトキハ之ニ準シ看守ヲ附スルコトヲ得

第百六十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ軍法會議又ハ裁判長同一ノ權ヲ有ス

第百七十七條　左ノ場合ニ於テ被告事件急況ノ處分ヲ要シ軍法會議又ハ豫審官ノ勾引狀ヲ以テ命スルコト能ハサルトキハ檢察官又ハ陸軍司法警察官ハ勾引狀ヲ發スルコトヲ得

一　軍紀ヲ保持スル爲必要アルトキ

二　現行犯ノ被告人其ノ場所ニ在ラサルトキ

三　現行犯ノ取調ニ因リ其ノ事件ノ共犯ヲ發見シタルトキ

四　死體ノ檢證ニ因リ其ノ事件ノ被告人ヲ發見シタルトキ

五　既定ノ因人又ハ法令ニ依リ拘禁セラレタル被告人逃走シタルトキ

六　被告人强盜又ハ窃盜ノ罪ヲ犯シタルモノナルトキ

七　被告人定リタル住居ヲ有セサルトキ

前項ノ規定ニ依リ勾引狀ヲ發スルコトヲ得ル場合ニ於テハ檢察官ハ之ヲ他ノ檢察官、陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ嘱託シ陸軍司法警察官又ハ之ヲ他ノ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百七十八條　檢察官、陸軍司法警察官又ハ司法警察官ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ現行犯人ヲ認メタルトキハ何人ト雖モ之ヲ逮捕スルコトヲ得

檢察官ハ現行犯ノ逮捕ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百七十九條　保釋ノ請求アリタルトキハ軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ爲スヘシ

保釋ヲ許ス場合ニ於テハ被告人ノ住居ヲ制限スルコトヲ得

第百八十條　保釋ヲ許ス決定ハ保證金ヲ差出シタル後之ヲ執行スヘシ

檢察官ハ保釋請求者ニ非サル者ヲシテ保證金ヲ差出サシムルコトヲ得

檢察官ハ有價證券又ハ軍法會議ノ所在地ニ住居シ保證金ヲ納ムルニ十分ナル資產ヲ有スル者ノ保證書ヲ以テ保證金ニ代フルコトヲ許スコトヲ得

前項ノ保證書ニハ保證金額及何時ニテモ保證金ヲ納ムヘキ旨ヲ記載スヘシ

第百八十一條　軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ勾留ヲ取消シ又ハ保釋ヲ許ス場合ニ於テハ被告人ニ住居ヲ制限スルコトヲ得

第百八十二條　勾引狀又ハ勾留狀ノ執行ヲ受ケタル被告人ヲ護送スル場合ニ於テ必要アルトキハ假ニ最寄ノ監獄ニ之ヲ留置スルコトヲ得

第百八十三條　勾引狀又ハ勾留狀ヲ執行シタル檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ軍法會議又ハ裁判長同一ノ權ヲ有ス

第百八十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百八十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百八十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百八十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百八十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百八十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百九十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百九十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百九十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百九十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百九十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百九十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百九十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百九十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百九十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第百九十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百二十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百二十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百二十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百二十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百二十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百二十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百二十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百二十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百二十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百二十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百三十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百三十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百三十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百三十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百三十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百三十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百三十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百三十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百三十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百三十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百四十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百四十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百四十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百四十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百四十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百四十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百四十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百四十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百四十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百四十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百五十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百五十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百五十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百五十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百五十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百五十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百五十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百五十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百五十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百五十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百六十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百六十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百六十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百六十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百六十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百六十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百六十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百六十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百六十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百六十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百七十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百七十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百七十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百七十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百七十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百七十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百七十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百七十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百七十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百七十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百八十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百八十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百八十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百八十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百八十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百八十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百八十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百八十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百八十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百八十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百九十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百九十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百九十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百九十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百九十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百九十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百九十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百九十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百九十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第二百九十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百二十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百二十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百二十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百二十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百二十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百二十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百二十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百二十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百二十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百二十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百三十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百三十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百三十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百三十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百三十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百三十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百三十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百三十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百三十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百三十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百四十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百四十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百四十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百四十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百四十四條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百四十五條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百四十六條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百四十七條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百四十八條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百四十九條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百五十條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百五十一條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百五十二條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ陸軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ嘱託スルコトヲ得

第三百五十三條　檢察官ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留

第二百十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ公訴ヲ棄却スルコトヲ得

第二百十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ管轄違ノ言渡ヲ爲スコトヲ得

第二百十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百二十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百二十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百二十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百二十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百二十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百二十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百二十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百二十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百二十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百二十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百三十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百三十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百三十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百三十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百三十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百三十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百三十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百三十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百三十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百三十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百四十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百四十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百四十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百四十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百四十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百四十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百四十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百四十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百四十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百四十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百五十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百五十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百五十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百五十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百五十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百五十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百五十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百五十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百五十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百五十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百六十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百六十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百六十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百六十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百六十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百六十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百六十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百六十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百六十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百六十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百七十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百七十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百七十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百七十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百七十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百七十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百七十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百七十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百七十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百七十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百八十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百八十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百八十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百八十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百八十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百八十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百八十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百八十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百八十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百八十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百九十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百九十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百九十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百九十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百九十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百九十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百九十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百九十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百九十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二百九十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百二十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百二十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百二十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百二十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百二十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百二十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百二十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百二十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百二十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百二十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百三十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百三十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百三十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百三十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百三十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百三十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百三十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百三十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百三十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百三十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百四十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百四十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百四十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百四十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百四十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百四十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百四十六條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百四十七條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百四十八條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百四十九條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百五十條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百五十一條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百五十二條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百五十三條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百五十四條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件ニ付キ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄權ヲ有スル裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三百五十五條　裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ公訴ノ提起アリタル事件

第二條　第百十二條ニ掲ケタル者ノ外左ノ者ハ軍法會議ノ管轄ニ屬ス

一　軍人ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘ又ハ其ノ職務ヲ妨害シタル者

二　軍人ニ對シ侮辱又ハ誹謗ヲ加ヘタル者

三　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ申告ヲ爲シタル者

四　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ證言、鑑定、通譯又ハ飜譯ヲ爲シタル者

五　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告シタル者

六　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆シタル者

七　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ偽造シ又ハ變造シタル者

八　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ隱滅シタル者

九　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ隱匿シタル者

十　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付シタル者

十一　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメタル者

十二　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシタル者

十三　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者

十四　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者

十五　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

十六　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

十七　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

十八　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

十九　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

二十　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

二十一　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

二十二　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

二十三　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

二十四　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

二十五　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

二十六　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

二十七　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

二十八　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

二十九　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

三十　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

三十一　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

三十二　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

三十三　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

三十四　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

三十五　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

三十六　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

三十七　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

三十八　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

三十九　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

四十　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

四十一　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

四十二　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

四十三　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

四十四　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

四十五　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

四十六　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

四十七　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

四十八　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

四十九　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

五十　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

五十一　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

五十二　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

五十三　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

五十四　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

五十五　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

五十六　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

五十七　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

五十八　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

五十九　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

六十　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

六十一　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

六十二　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

六十三　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

六十四　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

六十五　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

六十六　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

六十七　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

六十八　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

六十九　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

七十　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

七十一　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

七十二　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

七十三　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

七十四　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

七十五　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

七十六　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

七十七　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

七十八　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

七十九　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

八十　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

八十一　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

八十二　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

八十三　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

八十四　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

八十五　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

八十六　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

八十七　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

八十八　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

八十九　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

九十　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

九十一　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

九十二　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

九十三　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

九十四　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

九十五　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

九十六　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

九十七　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

九十八　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

九十九　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又ハ申告スルコトヲ敎唆スル目的ヲ以テ證據ヲ交付セシメントシテ未遂ニ終リタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者ヲ敎唆シタル者

百　軍人ニ對シ故意ニ其ノ職務ニ關スル虚僞ノ事實ヲ告訴、告發又

スヘシ

豫審官檢察官ヨリ豫審ヲ請求セサル旨ノ通知ヲ受ケタルトキ又ハ前條ノ通知ヲ爲シタル時ヨリ四十八時間内ニ豫審ノ請求ナキトキハ其ノ處分ヲ繼續スルコトヲ得檢察官ハ被告人ヲ勾留シタルトキハ之ヲ釋放シ押收シタル物アルトキハ之ヲ還付スヘシ

第三百十九條　公訴ヲ受ケタル被告人ニ對シテハ同一事件ニ付豫審ヲ爲スコトヲ得ス

第三百二十條　豫審官ハ豫審請求ノ手續其ノ規定ニ違ヒタル爲無效ナルトキ又ハ第三百三十二條、第三百三十七條若ハ第四百條ノ規定ニ違反シテ豫審ヲ請求シタルトキハ豫審ノ請求ヲ却下スヘシ

第三百二十一條　豫審ハ事件カ公訴ヲ提起スヘキモノナリヤ否ヲ決スルニ必要ナル事項ニ付テ取調ヲ爲スヘシ但シ公判ニ於テ取調ヘ難シト思料スル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三百二十二條　豫審官ハ公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第三百二十三條　豫審官ハ被告人ヲ訊問スヘシ

豫審官ハ被告人ノ所在ニ就キ之ヲ訊問スルコトヲ得

第三百二十四條　豫審官ハ豫審終了前被告人ニ對シ嫌疑ヲ受ケタル原由ヲ告知シ辯解ヲ爲サシムヘシ但シ被告人正當ノ事由ナクシテ出頭セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三百二十五條　豫審官ハ豫審處分ノ一部ニ付其ノ軍法會議ノ豫審官ニ補助ヲ求ムルコトヲ得

第三百二十六條　檢察官及被告人ハ豫審中何時ニテモ必要ナル豫審處分ヲ豫審官ニ請求スルコトヲ得

檢察官ハ豫審中何時ニテモ書類及證據物ヲ閲覽スルコトヲ得

第三百二十七條　豫審官ハ左ニ記載シタル場合ニ於テハ檢察官ノ意見ヲ聽キ豫審手續ヲ中止スルコトヲ得

一　被告人分明ナラサルトキ

二　被告人ノ所在分明ナラサルトキ

三　被告人心神喪失ノ狀況ニ在ルトキ

第三百二十八條　豫審中ノ事件ニ付高等軍法會議ノ管轄ニ屬スルモノトシテ高等軍法會議ノ檢察官ヨリ豫審ノ請求アリタルトキハ豫審官ハ豫審手續ヲ止ムヘシ

第三百二十九條　豫審官被告事件ニ付取調ヲ終了シタリト思料シタルトキハ書類及證據物ヲ檢察官ニ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ勾留セラレタル被告人ニ對シ勾留ヲ繼續スル必要ナシト思料スルトキハ之ヲ釋放スヘシ

第三百三十條　檢察官ハ長官ノ命令ニ依リ豫審ノ請求ヲ取消スコトヲ得豫審ノ請求ヲ受理シタル場合ニ於テ被告人トシテ訊問ヲ受ケタル者アルトキハ其ノ旨ヲ之ニ通知スヘシ

豫審請求取消前ニ爲シタル處分ハ其ノ效力ヲ有ス

豫審請求ノ取消ニ付テハ第三百十四條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十七條　第三百三十二條乃至第三百三十四條ノ規定ハ豫審ノ請求ヲ取消シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十八條　第三百七十九條及第三百八十一條ノ規定ハ豫審ニ之ヲ準用ス但シ同條中裁判長又ハ軍法會議トアルハ豫審官トシ

三　被告人心神喪失ノ狀況ニ在ルトキ

第三百二十八條　豫審中ノ事件ニ付高等軍法會議ノ管轄ニ屬スルモノトシテ高等軍法會議ノ檢察官ヨリ豫審ノ請求アリタルトキハ豫審官ハ豫審手續ヲ止ムヘシ

第三百二十九條　豫審官被告事件ニ付取調ヲ終了シタリト思料シタルトキハ書類及證據物ヲ檢察官ニ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ勾留セラレタル被告人ニ對シ勾留ヲ繼續スル必要ナシト思料スルトキハ之ヲ釋放スヘシ

第三百三十條　檢察官ハ長官ノ命令ニ依リ豫審ノ請求ヲ取消スコトヲ得豫審ノ請求ヲ受理シタル場合ニ於テ被告人トシテ訊問ヲ受ケタル者アルトキハ其ノ旨ヲ之ニ通知スヘシ

豫審請求取消前ニ爲シタル處分ハ其ノ效力ヲ有ス

豫審請求ノ取消ニ付テハ第三百十四條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十一條　長官前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ檢察官ニ對シ左ノ命令ヲ爲スヘシ

一　公訴ヲ提起スヘキモノト思料スルトキハ公訴提起ノ命令

二　不起訴ノ處分ヲ爲スヘキモノト思料スルトキハ不起訴處分ノ命令

三　被告事件其ノ軍法會議ノ管轄ニ屬セサルモノナルトキ又ハ軍法會議ノ裁判權ニ屬セサルモノナルトキハ事件送致ノ命令

檢察官前項第一號又ハ第二號ノ命令ニ依リ公訴提起又ハ不起訴處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ豫審官及被告人ニ通知スヘシ

第三百三十二條　被告人ニ對シ不起訴處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ新ナル事實又ハ證據ヲ發見シタルトキニ非サレハ同一事件ニ付之ヲ豫審ノ被告人ト爲シ又ハ之ニ對シ公訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百三十三條　檢察官不起訴處分ヲ爲シタルトキハ直ニ被告人ヲ釋放スヘシ

第三百三十四條　檢察官不起訴處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ公訴ノ時效完成スル迄之ヲ還付スヘシ但シ必要アル場合ニ於テハ公訴ノ時效完成スル迄押收シタル贓物ニシテ被害者ニ還付スヘキ理由明瞭ナルモノハ之ヲ被害者ニ還付スヘシ

第三百三十五條　檢察官事件送致ノ命令ヲ受ケタルトキハ事件ヲ管轄軍法會議ノ檢察官ニ送致スヘシ

第三百三十六條　檢察官ハ長官ノ命令ニ依リ豫審ノ請求ヲ取消スコトヲ得豫審ノ請求ヲ受理シタル場合ニ於テ訊問ヲ受ケタル者アルトキハ其ノ旨ヲ之ニ通知スヘシ

第三百三十七條　豫審ハ事件カ公訴ヲ提起スヘキモノナリヤ否ヲ決スルニ必要ナル事項ニ付公判ニ於テ取調ヘ難シト思料スル事項ニ付亦其ノ取調ヲ爲スヘシ

第三百三十八條　第三百三十二條乃至第三百三十四條ノ規定ハ豫審ニ之ヲ準用ス

第三百三十九條　公訴ハ檢察官ノ指定シタル以外ノ者ニ其ノ效力及ホサス

第三百四十條　檢察官ハ長官ノ命令ニ依リ公訴ノ取消ヲ爲スコトヲ得

公訴ノ取消ハ書面ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第三百四十一條　時效ハ左ノ期間ヲ經過スルニ因リテ完成ス

一　死刑ニ該ル罪ニ付テハ十五年

二　無期ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ニ付テハ十年

三　長期十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ニ付テハ七年

四　長期十年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ニ付テハ五年

五　長期五年未滿ノ懲役若ハ禁錮又ハ罰金ニ該ル罪ニ付テハ三年

六　拘留又ハ科料ニ該ル罪ニ付テハ六月

七　拘留又ハ科料ニ該ル罪ニ付テハ六月ト雖モ其ノ期間内ニ公訴ノ提起アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三百四十二條　公訴ノ提起アリタル時ヨリ總テノ共犯ニ對シテ時效ノ期間ヲ起算ス

第三百四十三條　時效ハ公訴ノ提起、豫審ノ請求、公判若ハ豫審ニ於テハ時效ノ加重又ハ減輕ニ定メタル豫審官ノ處分ニ因リ中斷ス

共犯ノ一人ニ對シテ爲シタル手續ニ因リ時效ノ中斷ハ他ノ共犯ニ對シ效力ヲ有ス

第三百四十四條　時效ハ第三百二十七條第三號ノ規定ニ依リ豫審手續ヲ中止シ又ハ第三百九十六條ノ規定ニ依リ公判手續ヲ停止シタル期間内ハ進行セス

第三百四十八條　公訴提起ノ命令ハ審面ニ依リ之ヲ爲ス

公訴提起ノ命令ニハ被告人ヲ指定シ犯罪事實ヲ示スヘシ

第三百四十九條　公訴ヲ提起スルニハ被告人ヲ指定シ犯罪ノ事實及罰名ヲ示スヘシ

第三百五十條　告訴ニ係ル事件ニ付公訴ヲ提起シ若ハ之ヲ提起セス又ハ其ノ事件ヲ他ノ軍法會議ノ檢察官若ハ相當官署ニ送致シタルトキハ檢察官ハ速ニ其ノ旨ヲ告訴人ニ通知スヘシ

第四節　公判

第三百五十二條　裁判長ハ公判期日ヲ定ムヘシ

期日ニハ被告人、辯護人及補佐人ヲ召喚スヘシ

第百四十一條及第百五十四條ノ規定ハ辯護人及補佐人ノ召喚ニ之ヲ準用ス

第三百五十三條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷期日ノ之ヲ檢察官ニ通知スヘシ

第三百五十三條　第一回ノ期日ト被告人ニ對スル召喚狀ノ送達トノ間ニハ少クトモ三日ノ猶豫期間ヲ存スヘシ但シ特段軍法會議ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

被告人辯護人異議ナキトキハ前項ノ猶豫期間ヲ存セサルコトヲ得

第三百五十四條　裁判長ハ期日ヲ變更スルコトヲ得

期日ノ變更ニ關スル請求ヲ却下スル命令ハ之ヲ送達スルコトヲ要セス

第三百五十五條　軍法會議ハ第一回ノ期日ニ於ケル取調ノ爲期日前證據物若ハ證據書類ノ提出ヲ命シ又ハ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ニ對シ期日ニ出頭スヘキ旨ノ召喚狀ヲ發スルコトヲ得

第三百五十六條　軍法會議ハ第一回ノ期日ニ於ケル取調ノ爲期日前證據物若ハ證據書類ノ提出ヲ命シ又ハ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ニ對シ期日ニ出頭スヘキ旨ノ召喚狀ヲ發スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ召喚スル證人、鑑定人、通事又ハ鑑譯人ノ氏名ハ直ニ之ヲ訴訟關係人ニ通知スヘシ

檢察官、被告人又ハ辯護人ハ第一項ノ處分ヲ軍法會議ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ却下スルトキハ決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

前四項ノ規定ハ第二回以後ノ期日ニ於ケル取調ニ關シ之ヲ準用ス

第三百五十七條　檢察官、被告人又ハ辯護人ハ期日前證據物又ハ證據書類ヲ軍法會議ニ提出スルコトヲ得

第三百五十八條　軍法會議ハ證人疾病其ノ他ノ事由ニ因リ期日ニ出頭スルコト能ハスト思料スルトキハ期日前之ヲ訊問シ又ハ受命裁判官ヲシテ訊問セシムルコトヲ得

檢察官及辯護人ハ前項ノ訊問ニ立會フコトヲ得

第二百八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十九條　軍法會議ハ急遽ヲ要スル場合ニ於テハ期日前鑑定若ハ翻譯ヲ爲サシメ又ハ押收、搜索若ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第三百六十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第三百六十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第三百六十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ裁判官ハ判士一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十三條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第三百六十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第三百六十四條　罰金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得但シ軍法會議ハ本人ノ出廷ヲ命スルコトヲ得

第三百六十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第三百六十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六十七條　前二條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ其ノ處分及理由ヲ公判調書ニ記載スヘシ

第三百六十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷キトキハ裁判長ハ辯護人ヲ附スヘシ

第三百六十八條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ヲ解カレタルトキ又ハ辯護人ノ出廷ヲ妨ケラルルトキ

第三百六十九條　辯護人數人アルトキハ其ノ一人ニ對スル召喚狀ノ送達ヲ以テ他ノ辯護人ニ對スル召喚狀ノ送達ニ代フルコトヲ得

第三百七十條　辯護人ハ被告人ノ爲ニ辯護ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第三百七十一條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ニ對シ發セラレタル問ヲ制止シ又ハ其ノ答ヲ變更スルコトヲ得

第三百七十二條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ意見ニ對シ辯論ヲ爲スコトヲ得

第三百七十三條　辯護人ハ公判廷ニ於テ證據ニ關シ檢察官ニ問ヲ發シ又ハ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ニ對シ直ニ問ヲ發スコトヲ得

第三百七十四條　辯護人ハ公判廷ニ於テ證據書類ヲ朗讀シ又ハ證據物ヲ示スコトヲ得

第三百七十五條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十六條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第三百七十七條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第三百七十八條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第三百七十九條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ最終ノ辯論ヲ爲スコトヲ得

第三百八十條　辯護人數人アルトキハ各辯護人ニ對シ辯論ヲ爲スヘキ時間ヲ制限スルコトヲ得

第三百八十一條　辯護人ハ公判廷ニ於テ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十二條　辯護人ハ公判廷ニ於テ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第三百八十三條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第三百八十四條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第三百八十五條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十六條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第三百八十七條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第三百八十八條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第三百八十九條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第三百九十條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第三百九十一條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第三百九十二條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第三百九十三條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第三百九十四條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第三百九十五條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第三百九十六條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第三百九十七條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第三百九十八條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第三百九十九條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百一條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百二條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百三條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百四條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百五條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百六條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百七條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百八條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百九條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百十條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百十一條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百十二條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百十三條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百十四條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百十五條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百十六條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百十七條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百十八條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百十九條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百二十條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百二十一條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百二十二條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百二十三條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百二十四條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百二十五條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百二十六條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百二十七條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百二十八條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百二十九條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百三十條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百三十一條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百三十二條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百三十三條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百三十四條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百三十五條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百三十六條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百三十七條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百三十八條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百三十九條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百四十條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百四十一條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百四十二條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百四十三條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百四十四條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百四十五條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百四十六條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百四十七條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百四十八條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百四十九條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百五十條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百五十一條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百五十二條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百五十三條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百五十四條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百五十五條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百五十六條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百五十七條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百五十八條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百五十九條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百六十條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百六十一條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百六十二條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百六十三條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百六十四條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百六十五條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百六十六條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百六十七條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百六十八條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百六十九條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百七十條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百七十一條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百七十二條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百七十三條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百七十四條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百七十五條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百七十六條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百七十七條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百七十八條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百七十九條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百八十條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百八十一條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十二條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百八十三條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百八十四條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百八十五條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告人ノ爲ニ證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ召喚スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十六條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第四百八十七條　辯護人ハ公判廷ニ於テ被告人ノ爲ニ檢察官ノ請求ニ係ル證人、鑑定人、通事若ハ鑑譯人ヲ尋問スルコトヲ得

第四百八十八條　辯護人ハ公判廷ニ於テ檢察官ノ請求ニ係ル證據書類ヲ閲覽シ又ハ證據物ヲ檢スルコトヲ得

第四百八十九條　辯護人ハ公判廷ニ於テ最終ノ辯論ヲ爲スニ當リ被告

第
ル人キ被告人ノ法定代理人又ハ保佐人ニ対シテモ之ヲ為スコトヲ得
第二百十三条　証人ハ自己又ハ自己ノ為ニ証言ニ因リ刑事上ノ訴追ヲ受ケ又ハ恥辱ヲ蒙ムルノ虞アル事項ニ付テハ証言ヲ拒ムコトヲ得
第二百十四条　医師、薬剤師、産婆、弁護士又ハ弁護人ハ其ノ職務上知得シタル事実ニ付テハ本人ノ承諾アルニ非サレハ証言ヲ拒ムコトヲ得
第二百十五条　官吏又ハ公吏ハ職務上知得シタル事実ニ付テハ官庁又ハ監督官庁ノ承諾アルニ非サレハ証言ヲ拒ムコトヲ得ス
第二百十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百二十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百二十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百二十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百二十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百二十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百二十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百二十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百二十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百二十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百二十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百三十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百三十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百三十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百三十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百三十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百三十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百三十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百三十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百三十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百三十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百四十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百四十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百四十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百四十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百四十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百四十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百四十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百四十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百四十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百四十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百五十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百五十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百五十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百五十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百五十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百五十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百五十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百五十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百五十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百五十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百六十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百六十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百六十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百六十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百六十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百六十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百六十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百六十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百六十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百六十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百七十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百七十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百七十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百七十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百七十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百七十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百七十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百七十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百七十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百七十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百八十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百八十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百八十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百八十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百八十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百八十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百八十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百八十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百八十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百八十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百九十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百九十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百九十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百九十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百九十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百九十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百九十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百九十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百九十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第二百九十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ

第
第三百一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百二十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百二十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百二十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百二十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百二十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百二十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百二十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百二十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百二十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百二十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百三十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百三十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百三十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百三十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百三十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百三十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百三十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百三十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百三十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百三十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百四十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百四十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百四十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百四十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百四十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百四十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百四十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百四十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百四十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百四十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百五十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百五十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百五十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百五十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百五十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百五十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百五十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百五十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百五十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百五十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百六十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百六十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百六十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百六十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百六十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百六十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百六十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百六十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百六十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百六十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百七十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百七十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百七十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百七十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百七十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百七十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百七十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百七十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百七十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百七十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百八十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百八十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百八十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百八十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百八十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百八十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百八十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百八十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百八十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百八十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百九十条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百九十一条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百九十二条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百九十三条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百九十四条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百九十五条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百九十六条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百九十七条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百九十八条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第三百九十九条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ
第四百条　証人ハ宣誓ノ前又ハ後ニ於テ偽証ノ罰アルコトヲ告知スヘシ

受取リタルトキハ速ニ其ノ謄本ヲ對手人ニ
送達スヘシ
第四百四十九條　上告人期間内ニ上告趣意書
ヲ差出ササルトキハ高等軍法會議ハ檢察官
ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ上告ヲ棄却スヘシ
第四百五十條　上告ノ對手人ハ上告趣意書ノ
謄本ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ答辯
書ヲ高等軍法會議ニ差出スコトヲ得
檢察官對手人タルトキハ重要ト認ムル上告
ノ理由ニ付答辯書ヲ差出スヘシ
高等軍法會議答辯書ヲ受取リタルトキハ速
ニ其ノ謄本ヲ上告人ニ送達スヘシ
第四百五十一條　裁判長ハ受命裁判官ヲシテ
上告申立書、上告趣意書及答辯書ヲ閲シテ
報告書ヲ作ラシムルコトヲ得
第四百五十二條　上告ノ審判ニ於テハ被告人
ニ限ラス辯護人ハ被告人ニ非サレハ之ヲ爲
スコトヲ得ス
第四百五十三條　期日ニハ受命裁判官ハ辯論
前ニ報告書ヲ朗讀スヘシ
檢察官及辯護人ハ上告趣意書ニ基キ辯論ヲ
爲スヘシ
第四百五十四條　辯護人出廷セサルトキ又ハ
辯護人ノ選任ナキトキハ法律ニ依リ辯護人
ヲ要スル場合又ハ決定ニ依リ辯護人ヲ附シ
タル場合ヲ除クノ外檢察官ノ陳述ヲ聽キ判
決ヲ爲スヘシ
第四百五十五條　高等軍法會議ハ上告趣意書
ニ包含セラレタル事項ニ限リ調査ヲ爲スヘ
シ
軍法會議ノ管轄、公訴ノ受理及原判決ニ依
リ定リタル事實ニ對スル法令ノ適用ノ當否
ニ付テハ職權ヲ以テ調査ヲ爲スコトヲ得原
判決アリタル後ニ於ケル刑ノ廢止若ハ變更
又ハ大赦ニ付亦同シ
第四百五十六條　高等軍法會議ハ軍法會議ノ
管轄、公訴ノ受理及訴訟手續ノ當否ニ關シ
テハ事實ノ取調ヲ爲スコトヲ得
前項ノ取調ハ受命裁判官ヲシテ之ヲ爲サシ
メ又ハ他ノ軍法會議ノ豫審官ニ之ヲ囑託ス
ルコトヲ得
第四百五十七條　上告ノ申立法律上ノ方式ニ
違ヒ又ハ上告權消滅後ニ爲シタルモノナル
トキハ高等軍法會議ハ判決ヲ以テ上告ヲ棄
却スヘシ
第四百五十八條　高等軍法會議上告ヲ理由ナ
シトスルトキハ判決ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ
第四百五十九條　高等軍法會議上告ヲ理由ア
リトスルトキハ判決ヲ以テ原判決ヲ破毀ス
ヘシ
前項ノ場合ニ於テハ其ノ事件ヲ原軍法會議
ニ差戻シ又ハ原軍法會議以外ノ師團軍法會
議ニ移送スヘシ但シ別段ノ規定アル場合ハ
此ノ限ニ在ラス
第四百六十條　法令ヲ適用セサルコト、法令
ノ適用ヲ誤リタルコト、判決アリタル後刑
ノ廢止若ハ變更又ハ大赦アリタルコト理
由トシテ原判決ヲ破毀スル場合ニ於テ被告
事件ノ事實原判決ニ依リ定リタルトキハ高
等軍法會議ハ其ノ事件ニ付判決ヲ爲スヘシ
不當ニ公訴ヲ受理シタルコト理由トシテ原
判決ヲ破毀スルトキ亦同シ
第四百六十一條　不當ニ管轄違ヲ認メ又ハ公
訴ヲ棄却シタルコトヲ理由トシテ原判決ヲ
破毀スルトキハ判決ヲ以テ其ノ事件ヲ原軍
法會議ニ差戻スヘシ
第四百六十二條　不當ニ管轄ヲ認メタルコト
ヲ理由トシテ原判決ヲ破毀スルトキハ判決
ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄軍法會議ニ移送スヘ
シ
第四百六十三條　上告ノ趣意及重要ナル答辯
ノ要旨ハ之ヲ判決書ニ記載スヘシ
第四百六十四條　被告人上告ヲ爲シタル事件ニ付テハ
高等軍法會議ハ原判決ニ定メタル刑ヨリ重
キ刑ヲ言渡スコトヲ得
第四百六十五條　卻刪軍法會議不當ニ公訴棄
却決定ヲ以テ公訴ヲ棄却スヘシ
第四百六十六條　非サリシトキハ高等軍法會議
ハ其ノ事件ニ付更ニ公訴ヲ受理シ又ハ原判
決ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ
第四百六十七條　非常上告ハ判決確定後ト雖
モ公訴ノ時效ニ付定メタル期間ヲ經過シタ
ル後ニ於テハ之ヲ爲スコトヲ得ス
第四百六十八條　再審ノ請求ハ刑ノ執行ヲ停
止スル效力ヲ有セス但シ管轄軍法會議ノ檢
察官ハ長官ノ命令ニ依リ再審ノ請求ニ付テ
ノ決定アル迄刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ
得
第四百六十九條　再審ノ請求ヲ爲スニハ其ノ
趣意書ニ原判決ノ謄本及證據ヲ添ヘ之ヲ管
轄軍法會議ニ差出スヘシ
第四百七十條　再審ノ請求ハ之ヲ取下ルコト
ヲ得
第四百七十一條　再審ノ請求ハ刑ノ執行ヲ停
止スル效力ヲ有セス
第四百七十二條　再審ノ請求ハ之ヲ棄却スル
ノ決定アル迄刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ
得
第四百七十三條　再審ノ請求ハ判決確定後其
ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ノ免除アリ
タル後ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得
第四百七十四條　再審ノ請求ハ左ノ場合ニ於
テ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ利益ノ爲之ヲ爲
スコトヲ得ス
一　原判決ノ證據ト爲リタル證言、鑑定、通
譯又ハ翻譯確定判決ニ因リ僞證又ハ虚僞
ノ鑑定、通譯若ハ翻譯ナリシコト證明セ
ラレタルトキ
二　原判決ノ證據ト爲リタル證言、鑑定、通
譯又ハ翻譯確定判決ニ因リ僞造又ハ變造ナ
リシコト證明セラレタルトキ
三　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ誣告シタル罪
確定判決ニ因リ證明セラレタルトキ但シ
誣告ニ因リ刑ノ言渡ヲ受ケタルトキニ限
ル
四　原判決ノ證據ト爲リタル裁判確定裁判
ニ因リ變更セラレタルトキ
五　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シテ無罪又
ハ免訴ヲ言渡スヘキ明確ナル證據又ハ原
判決ニ於テ認メタル罪ヨリ輕キ罪ヲ認ム
ヘキ明確ナル證據ヲ新ニ發見シタルトキ
六　原判決ニ干與シタル裁判官、原判決ノ
基礎ト爲ルヘキ取調ニ干與シタル豫審官、搜
査若ハ公訴ノ提起ニ干與シタル豫審官又
ハ第三百四條ノ規定ニ依リ檢察官ノ請求
ヲ受ケテ處分ヲ爲シタル豫審官被告事件
ニ付職務ニ關スル罪ヲ犯シタルコト確定
判決ニ因リ證明セラレタルトキ但シ原判
決ヲ爲ス前裁判官、豫審官又ハ檢察官ニ
對シテ公訴ノ提起アリタル場合ニ於テハ
原判決ヲ以テ之ヲ棄却シ又ハ原判決ヲ破
毀スル場合ニ於テハ其ノ事件ヲ原判決ヲ
破毀スルニ付テノ理由ニ付テハ此ノ限ニ
在ラス
第四百七十五條　期日ニハ檢察官ハ申立書ニ基
キ陳述ヲ爲スヘシ
第四百七十六條　高等軍法會議非常上告ヲ理
由アリトスルトキハ判決ヲ以テ原判決ヲ破
毀スヘシ但シ原判決ニ定メタル刑ヨリ重キ
刑ヲ言渡スコトヲ得ス
第四章　再審
第四百七十七條　再審ノ請求ハ左ノ場合ニ於
テ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ利益ノ爲之ヲ爲
スコトヲ得ス
一　原判決ノ證據ト爲リタル證言、鑑定、通
譯又ハ翻譯確定判決ニ因リ僞證又ハ虚僞
ノ鑑定、通譯若ハ翻譯ナリシコト證明セ
ラレタルトキ
二　原判決ノ證據ト爲リタル證據書類又ハ
證據物確定判決ニ因リ僞造又ハ變造ナリ
シコト證明セラレタルトキ
三　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ誣告シタル罪
確定判決ニ因リ證明セラレタルトキ但シ
誣告ニ因リ刑ノ言渡ヲ受ケタルトキニ限
ル
四　原判決ノ證據ト爲リタル裁判確定裁判
ニ因リ變更セラレタルトキ
五　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シテ無罪又
ハ免訴ヲ言渡スヘキ明確ナル證據又ハ原
判決ニ於テ認メタル罪ヨリ輕キ罪ヲ認ム
ヘキ明確ナル證據ヲ新ニ發見シタルトキ
六　原判決ニ干與シタル裁判官、原判決ノ
基礎ト爲ルヘキ取調ニ干與シタル豫審官、搜
査若ハ公訴ノ提起ニ干與シタル豫審官又
ハ第三百四條ノ規定ニ依リ檢察官ノ請求
ヲ受ケテ處分ヲ爲シタル豫審官被告事件
ニ付職務ニ關スル罪ヲ犯シタルコト確定
判決ニ因リ證明セラレタルトキ但シ原判
決ヲ爲ス前裁判官、豫審官又ハ檢察官ニ
對シテ公訴ノ提起アリタル場合ニ於テハ
原判決ヲ以テ之ヲ棄却シ又ハ原判決ヲ破
毀スル場合ニ於テハ其ノ事件ヲ原軍法會
議ニ差戻シ又ハ原軍法會議以外ノ師團軍法會
議ニ移送スヘシ但シ別段ノ規定アル場合ハ
此ノ限ニ在ラス
第四百六十條　法令ヲ適用セサルコト、法令
ノ適用ヲ誤リタルコト、判決アリタル後刑
ノ廢止若ハ變更又ハ大赦アリタルコト理
由トシテ原判決ヲ破毀スル場合ニ於テ被告
事件ノ事實原判決ニ依リ定リタルトキハ高
等軍法會議ハ其ノ事件ニ付判決ヲ爲スヘシ
不當ニ公訴ヲ受理シタルコト理由トシテ
第四百六十一條　不當ニ管轄違ヲ認メ又ハ公
訴ヲ棄却シタルコトヲ理由トシテ原判決ヲ
破毀スルトキハ判決ヲ以テ其ノ事件ヲ原軍
法會議ニ差戻スヘシ
第四百六十二條　不當ニ管轄ヲ認メタルコト
ヲ理由トシテ原判決ヲ破毀スルトキハ判決
ヲ以テ其ノ事件ヲ管轄軍法會議ニ移送スヘ
シ
第四百六十三條　上告ノ趣意及重要ナル答辯
ノ要旨ハ之ヲ判決書ニ記載スヘシ
第四百六十四條　被告人上告ヲ爲シタル事件ニ付テハ
高等軍法會議ハ原判決ニ定メタル刑ヨリ重
キ刑ヲ言渡スコトヲ得
第四百六十五條　卻刪軍法會議不當ニ公訴棄
却決定ヲ以テ公訴ヲ棄却スヘシ
第四百六十六條　非サリシトキハ高等軍法會議
ハ其ノ事件ニ付更ニ公訴ヲ受理シ又ハ原判
決ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ
第四百六十七條　非常上告ハ判決確定後ト雖
モ公訴ノ時效ニ付定メタル期間ヲ經過シタ
ル後ニ於テハ之ヲ爲スコトヲ得ス
第四百六十八條　再審ノ請求ハ刑ノ執行ヲ停
止スル效力ヲ有セス但シ管轄軍法會議ノ檢
察官ハ長官ノ命令ニ依リ再審ノ請求ニ付テ
ノ決定アル迄刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ
得
第四百六十九條　再審ノ請求ヲ爲スニハ其ノ
趣意書ニ原判決ノ謄本及證據ヲ添ヘ之ヲ管
轄軍法會議ニ差出スヘシ
第四百七十條　再審ノ請求ハ之ヲ取下ルコト
ヲ得
第四百七十一條　再審ノ請求ハ刑ノ執行ヲ停
止スル效力ヲ有セス
第四百七十二條　再審ノ請求ハ之ヲ棄却スル
ノ決定アル迄刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ
得
第四百七十三條　再審ノ請求ハ判決確定後其
ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ノ免除アリ
タル後ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得ス
第四百七十四

第五百二條　第三百四十六條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三條　第三百四十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四條　第三百四十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五條　第三百四十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六條　第三百五十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七條　第三百五十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八條　第三百五十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九條　第三百五十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十條　第三百五十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十一條　第三百五十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十二條　第三百五十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十三條　第三百五十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十四條　第三百五十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十五條　第三百五十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十六條　第三百六十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十七條　第三百六十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十八條　第三百六十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十九條　第三百六十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十條　第三百六十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十一條　第三百六十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十二條　第三百六十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十三條　第三百六十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十四條　第三百六十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十五條　第三百六十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十六條　第三百七十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十七條　第三百七十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十八條　第三百七十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十九條　第三百七十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十條　第三百七十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十一條　第三百七十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十二條　第三百七十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十三條　第三百七十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十四條　第三百七十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十五條　第三百七十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十六條　第三百八十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十七條　第三百八十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十八條　第三百八十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十九條　第三百八十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十條　第三百八十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十一條　第三百八十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十二條　第三百八十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十三條　第三百八十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十四條　第三百八十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十五條　第三百八十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十六條　第三百九十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十七條　第三百九十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十八條　第三百九十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十九條　第三百九十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十條　第三百九十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十一條　第三百九十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十二條　第三百九十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十三條　第三百九十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十四條　第三百九十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十五條　第三百九十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十六條　第四百條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十七條　第四百一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十八條　第四百二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十九條　第四百三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十條　第四百四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十一條　第四百五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十二條　第四百六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十三條　第四百七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十四條　第四百八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十五條　第四百九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十六條　第四百十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十七條　第四百十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十八條　第四百十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十九條　第四百十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十條　第四百十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十一條　第四百十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十二條　第四百十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十三條　第四百十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十四條　第四百十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十五條　第四百十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十六條　第四百二十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十七條　第四百二十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十八條　第四百二十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十九條　第四百二十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十條　第四百二十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十一條　第四百二十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十二條　第四百二十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十三條　第四百二十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十四條　第四百二十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十五條　第四百二十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十六條　第四百三十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十七條　第四百三十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十八條　第四百三十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十九條　第四百三十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十條　第四百三十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十一條　第四百三十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十二條　第四百三十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十三條　第四百三十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十四條　第四百三十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十五條　第四百三十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十六條　第四百四十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十七條　第四百四十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十八條　第四百四十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十九條　第四百四十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百條　第四百四十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百一條　第四百四十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二條　第四百四十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百三條　第四百四十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四條　第四百四十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百五條　第四百四十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六條　第四百五十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百七條　第四百五十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百八條　第四百五十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九條　第四百五十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十條　第四百五十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十一條　第四百五十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十二條　第四百五十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十三條　第四百五十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十四條　第四百五十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十五條　第四百五十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十六條　第四百六十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十七條　第四百六十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十八條　第四百六十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十九條　第四百六十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十條　第四百六十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十一條　第四百六十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十二條　第四百六十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十三條　第四百六十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十四條　第四百六十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十五條　第四百六十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十六條　第四百七十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十七條　第四百七十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十八條　第四百七十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十九條　第四百七十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百三十條　第四百七十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百三十一條　第四百七十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百三十二條　第四百七十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百三十三條　第四百七十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百三十四條　第四百七十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百三十五條　第四百七十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百三十六條　第四百八十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百三十七條　第四百八十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百三十八條　第四百八十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百三十九條　第四百八十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四十條　第四百八十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四十一條　第四百八十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四十二條　第四百八十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四十三條　第四百八十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四十四條　第四百八十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四十五條　第四百八十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四十六條　第四百九十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四十七條　第四百九十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四十八條　第四百九十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四十九條　第四百九十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百五十條　第四百九十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百五十一條　第四百九十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百五十二條　第四百九十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百五十三條　第四百九十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百五十四條　第四百九十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百五十五條　第四百九十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百五十六條　第五百條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百五十七條　第五百一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百五十八條　第五百二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百五十九條　第五百三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六十條　第五百四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六十一條　第五百五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六十二條　第五百六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六十三條　第五百七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六十四條　第五百八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六十五條　第五百九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六十六條　第五百十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六十七條　第五百十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六十八條　第五百十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六十九條　第五百十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百七十條　第五百十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百七十一條　第五百十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百七十二條　第五百十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百七十三條　第五百十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百七十四條　第五百十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百七十五條　第五百十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百七十六條　第五百二十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百七十七條　第五百二十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百七十八條　第五百二十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百七十九條　第五百二十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百八十條　第五百二十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百八十一條　第五百二十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百八十二條　第五百二十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百八十三條　第五百二十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百八十四條　第五百二十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百八十五條　第五百二十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百八十六條　第五百三十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百八十七條　第五百三十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百八十八條　第五百三十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百八十九條　第五百三十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九十條　第五百三十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九十一條　第五百三十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九十二條　第五百三十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九十三條　第五百三十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九十四條　第五百三十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九十五條　第五百三十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九十六條　第五百四十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九十七條　第五百四十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九十八條　第五百四十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九十九條　第五百四十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百條　第五百四十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百一條　第五百四十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百二條　第五百四十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百三條　第五百四十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百四條　第五百四十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百五條　第五百四十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百六條　第五百五十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百七條　第五百五十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百八條　第五百五十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百九條　第五百五十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百十條　第五百五十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百十一條　第五百五十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百十二條　第五百五十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百十三條　第五百五十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百十四條　第五百五十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百十五條　第五百五十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百十六條　第五百六十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百十七條　第五百六十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百十八條　第五百六十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百十九條　第五百六十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百二十條　第五百六十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百二十一條　第五百六十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百二十二條　第五百六十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百二十三條　第五百六十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百二十四條　第五百六十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百二十五條　第五百六十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百二十六條　第五百七十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百二十七條　第五百七十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百二十八條　第五百七十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百二十九條　第五百七十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百三十條　第五百七十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百三十一條　第五百七十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百三十二條　第五百七十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百三十三條　第五百七十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百三十四條　第五百七十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百三十五條　第五百七十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百三十六條　第五百八十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百三十七條　第五百八十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百三十八條　第五百八十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百三十九條　第五百八十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百四十條　第五百八十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百四十一條　第五百八十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百四十二條　第五百八十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百四十三條　第五百八十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百四十四條　第五百八十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百四十五條　第五百八十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百四十六條　第五百九十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百四十七條　第五百九十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百四十八條　第五百九十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百四十九條　第五百九十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百五十條　第五百九十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百五十一條　第五百九十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百五十二條　第五百九十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百五十三條　第五百九十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百五十四條　第五百九十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百五十五條　第五百九十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百五十六條　第六百條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百五十七條　第六百一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百五十八條　第六百二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百五十九條　第六百三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百六十條　第六百四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百六十一條　第六百五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百六十二條　第六百六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百六十三條　第六百七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百六十四條　第六百八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百六十五條　第六百九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百六十六條　第六百十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百六十七條　第六百十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百六十八條　第六百十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百六十九條　第六百十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百七十條　第六百十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百七十一條　第六百十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百七十二條　第六百十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百七十三條　第六百十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百七十四條　第六百十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百七十五條　第六百十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百七十六條　第六百二十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百七十七條　第六百二十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百七十八條　第六百二十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百七十九條　第六百二十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百八十條　第六百二十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百八十一條　第六百二十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百八十二條　第六百二十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百八十三條　第六百二十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百八十四條　第六百二十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百八十五條　第六百二十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百八十六條　第六百三十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百八十七條　第六百三十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百八十八條　第六百三十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百八十九條　第六百三十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百九十條　第六百三十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百九十一條　第六百三十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百九十二條　第六百三十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百九十三條　第六百三十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百九十四條　第六百三十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百九十五條　第六百三十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百九十六條　第六百四十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百九十七條　第六百四十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百九十八條　第六百四十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七百九十九條　第六百四十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百條　第六百四十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百一條　第六百四十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百二條　第六百四十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百三條　第六百四十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百四條　第六百四十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百五條　第六百四十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百六條　第六百五十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百七條　第六百五十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百八條　第六百五十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百九條　第六百五十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百十條　第六百五十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百十一條　第六百五十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百十二條　第六百五十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百十三條　第六百五十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百十四條　第六百五十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百十五條　第六百五十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百十六條　第六百六十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百十七條　第六百六十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百十八條　第六百六十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百十九條　第六百六十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百二十條　第六百六十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百二十一條　第六百六十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百二十二條　第六百六十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百二十三條　第六百六十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百二十四條　第六百六十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百二十五條　第六百六十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百二十六條　第六百七十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百二十七條　第六百七十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百二十八條　第六百七十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百二十九條　第六百七十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百三十條　第六百七十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百三十一條　第六百七十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百三十二條　第六百七十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百三十三條　第六百七十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百三十四條　第六百七十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百三十五條　第六百七十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百三十六條　第六百八十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百三十七條　第六百八十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百三十八條　第六百八十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百三十九條　第六百八十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百四十條　第六百八十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百四十一條　第六百八十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百四十二條　第六百八十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百四十三條　第六百八十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百四十四條　第六百八十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百四十五條　第六百八十九條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百四十六條　第六百九十條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百四十七條　第六百九十一條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百四十八條　第六百九十二條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百四十九條　第六百九十三條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百五十條　第六百九十四條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百五十一條　第六百九十五條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百五十二條　第六百九十六條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百五十三條　第六百九十七條ノ規定ハ第五百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百五十四條　第六百九十八條ノ規定ハ第五百二條ノ場

第五條　軍法會議ハ戒嚴令ニ定メタル特別裁判權ヲ行フ

第六條　軍法會議ハ戰時事變ニ際シ軍ノ安寧ヲ保持スル爲必要アルトキハ第一條ニ記載シタル以外ノ者ニ對シ犯罪ニ付裁判權ヲ行フコトヲ得

第七條　第四條及前條ノ規定ハ陸軍軍法會議法第一條乃至第三條ノ規定ニ依リ陸軍軍法會議ノ裁判權ヲ有スル犯罪ニ付テハ之ヲ適用セス但シ被告人ノ所在地陸軍軍法會議ノ所在地ト交通斷絕シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第八條　軍法會議ヲ設クルコト左ノ如シ

一　高等軍法會議

二　東京軍法會議

三　鎭守府軍法會議

四　要港部軍法會議

五　艦隊軍法會議

六　合圍地軍法會議

七　臨時軍法會議

第九條　高等軍法會議、東京軍法會議、鎭守府軍法會議及要港部軍法會議ハ之ヲ常設ス但シ要港部ニハ軍法會議ヲ設ケサルコトヲ得

艦隊軍法會議ハ必要ニ因リ艦隊司令長官、獨立艦隊司令官若ハ分遣艦隊司令官ノ率ヰル艦隊又ハ外國派遣ノ軍艦ニ之ヲ特設ス

合圍地軍法會議ハ戒嚴ノ宣告アリタルトキ合圍地境ニ之ヲ特設ス

臨時軍法會議ハ戰時事變ニ際シ必要ニ因リ海軍ノ部隊ニ之ヲ特設ス

第十條　高等軍法會議又ハ東京軍法會議ハ海軍大臣ヨリ上長官トス

鎭守府軍法會議ハ鎭守府司令長官ヲ以テ長官トス

要港部軍法會議ハ要港部司令官ヲ以テ長官トス

特設軍法會議ハ軍法會議ヲ設置シタル部隊又ハ地域ノ指揮官ヲ以テ長官トス

第十一條　高等軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　海軍ノ將官、勅任文官及勅任文官待遇ノ者竝陸軍ノ將官、將官相當官、勅任文官及勅任文官待遇者ニ對スル被告事件

二　上告

三　非常上告

第十二條　東京軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　第十三條第一號、第十四條第一號、第十五條第一號、第十六條第一號又ハ第十七條第一號ノ規定ニ依リ他ノ軍法會議ノ管轄ニ屬スル以外ノ第一條乃至第三條記載ノ者ニ對スル被告事件

二　第三百十二條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ移送アリタル被告事件

三　第三百十二條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ移送アリタル被告事件

第十三條　鎭守府軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　鎭守府司令長官ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件

二　警備區內ニ在リ又ハ警備區內ニ於テ第十四條　要港部軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　要港部司令官ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件

二　警備區內ニ在リ又ハ警備區內ニ於テ第十五條　艦隊軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　艦隊又ハ外國派遣ノ軍艦ノ長又ハ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件

二　占領地警備區內ニ在リ又ハ占領地警備區內ニ於テ第十六條　合圍地軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　臨時軍法會議ノ設置セラレタル部隊ノ長ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件

二　臨時軍法會議ノ設置セラレタル部隊ノ守備地域ニ在リ又ハ其ノ地域ニ於テ第十七條　臨時軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　臨時軍法會議ノ設置セラレタル部隊ノ長ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件

二　臨時軍法會議ノ設置セラレタル部隊ノ守備地域ニ在リ又ハ其ノ地域ニ於テ第十八條　管轄ヲ異ニスル數個ノ事件牽連スルトキハ一個ノ事件ニ付管轄權ヲ有スル軍法會議ハ他ノ事件ヲ管轄スルコトヲ得

但シ高等軍法會議ノ管轄ニ屬スル事件及第四條乃至第六條ニ記載シタル事件ハ牽連ノ事由ニ因リ併セテ之ヲ管轄スルコトヲ得ス

第十九條　軍法會議牽連事件ニ付公訴ヲ受クタル場合ニ於テ併セテ審判スルコトヲ必要トセサルモノアルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ之ヲ一ノ軍法會議ニ併合スルコトヲ得

第二十條　數個ノ軍法會議牽連事件ニ付各別ニ公訴ヲ受ケタルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ之ヲ一ノ軍法會議ニ併合スルコトヲ得

第二十一條　高等軍法會議牽連事件ニ付公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ併セテ審判スルコトヲ必要トセサルモノアルトキハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ牽連關係ノ一部ニ付キ管轄權ヲ有スル軍法會議ニ之ヲ移送スルコトヲ得

第二十二條　高等軍法會議及他ノ軍法會議牽連事件ニ付各別ニ公訴ヲ受ケタルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ他ノ軍法會議ノ管轄ニ屬スル事件ヲ併セテ審判スルコトヲ得

第二十三條第一號、第十四條第一號、第十五條第一號、第十六條第一號又ハ第十七條第一號ノ規定ニ依リ他ノ軍法會議ノ管轄ニ屬スル以外ノ第一條乃至第三條記載ノ者ニ對スル被告事件

第二十三條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ移送アリタル被告事件

第二十四條　數個ノ軍法會議同一事件ニ付公訴ヲ受ケタルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ各別ニ審判スルコトヲ得

第二十五條　管轄ハ公訴提起後ニ於テハ被告人ノ轉屬、失官其ノ他管轄ヲ定ムル事由ノ變更ニ因リ變更セラルルコトナシ但シ被告人第十一條第一號ニ記載シタル身分ヲ取得シタル場合ニ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　第十一條第一號ニ記載シタル者被告人ナル場合ニ於テハ現在地高等軍法會議ノ所在地ト交通斷絕シタルトキ又ハ其ノ所在地ト審シク難隔シ且審判急速ヲ要スルトキハ被告人ノ現在地又ハ其ノ附近ニ在ル軍法會議被告事件ヲ管轄スルコトヲ得

第二十七條　管轄軍法會議ニ於テ法律上ノ現由又ハ特別ノ事情ニ因リ裁判權ヲ行フコト能ハサルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ管轄移轉ノ決定ヲ爲スヘシ

第二十九條　軍法會議ヲ廢シタルトキハ海軍大臣ハ後續軍法會議ヲ指定スヘシ

第三十條　斷絕手續ハ管轄移轉ノ理由ニ因リ其ノ效力ヲ失ハス

第三章　軍法會議ノ職員

第三十一條　軍法會議ニ判士、海軍法務官、海軍錄事及海軍警査ヲ置ク

第三十二條　判士ハ海軍ノ將校ヲ以テ之ニ充ツ

第三十三條　將官ヲ以テ判士ト爲ストキハ海軍大臣ノ奏請ニ因リ之ヲ命ス

特設軍法會議ニ於テハ長官又ハ其ノ直系上官ハ急遽ヲ要スル場合ニ限リ部下ノ將官中ヨリ判士ヲ命スルコトヲ得

第三十四條　佐官以下ノ將校ヲ以テ判士ト爲ストキハ長官之ヲ命ス

長官ノ部下ニ非サル將校ヲ以テ判士ト爲スコトヲ要スルトキハ海軍大臣之ヲ命ス特設軍法會議ニ於テハ急遽ヲ要スル場合ニ限リ長官ノ直系上官ハ部下ノ將校中ヨリ之ヲ命スルコトヲ得

第三十五條　法務官ハ終身官トシ勅任又ハ奏任トス

第三十六條　法務官ハ在職中左ノ諸件ヲ爲スコトヲ得ス

一　公然政事ニ關係スルコト

二　政黨ノ黨員又ハ政社ノ社員ト爲ルコト

三　帝國議會ノ議員又ハ道、府、縣、郡、市、區、町、村會ノ議員ト爲ルコト

四　報酬アル公務ニ就クコト

五　商業ヲ營ムコト

第三十七條　法務官ハ刑事裁判又ハ懲戒處分ニ因ルニ非サレハ其ノ意ニ反シテ免官又ハ轉官セラルルコトナシ

第三十八條　法務官身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキハ海軍大臣ハ高等軍法會議總會ノ決議ニ因リ之ニ退職ヲ命スルコトヲ得

第三十九條　海軍大臣ハ左ノ場合ニ於テハ法務官ニ現役ノ中將ヲ給シテ休職ヲ命スルコトヲ得

一　懲戒委員會ノ決議ニ依リ懲戒委員會ノ審査ニ付セラレタルトキ

二　刑事事件ニ關シ起訴セラレタルトキ

三　官制又ハ定員ノ改正ニ因リ過員ヲ生シタルトキ

四　戰時又ハ事變ニ際シ臨時增員シタル場合ニ於テ其ノ必要止ミタル時

五　病氣ノ爲執務セサルコト六月ニ亘リタルトキ

休職ノ期間ハ前項第一號及第二號ノ場合ニ於テハ其ノ事件ノ繫屬中ニシテ第三號乃至第五號ノ場合ニ於テハ三年トス

第四十條　法務官前條第一項第三號乃至第五號ノ規定ニ依リ休職ヲ命セラレ滿期ト爲リタルトキハ退職トス

第四十一條　法務官ノ任用及懲戒ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條　錄事ハ判士ト

第四十三條　錄事ハ判士ノ官等ノ區別ニ從ヒ判士ノ職務ヲ補助ス

第四十四條　特設軍法會議及要港部軍法會議ニ於テハ長官ノ指揮ヲ受ケ判士ノ職務ヲ補助ス

第四十五條　合圍地軍法會議ニ於テハ長官ノ指揮ヲ受ケ判士ノ職務ヲ補助ス

第四十六條　警察官吏ハ軍法會議ノ命ニ從ヒ被告人ノ召喚、護送、看守、檢證、捜索、差押ノ執行ヲ爲スヘシ

第四十七條　軍法會議ノ職員ハ其ノ職務ニ關シ知リ得タル秘密ヲ漏洩スルコトヲ得ス

第四章　審判機關

第四十八條　軍法會議ハ審判ヲ爲スニ付他ノ干涉ヲ受クルコトナシ

第四十九條　審判ハ裁判官五人ヲ以テ構成シタル會議ニ於テ之ヲ爲ス

裁判官ハ判士及法務官ヲ以テ之ヲ充ツ

判士ヲ裁判官トシ

特設軍法會議ニ於テハ上席判士及法務官ヲ除クノ外裁判官二人ヲ減スルコトヲ得

第五十條　海軍大臣ハ公訴及搜査ヲ指揮監督ス

第五十一條　長官ハ所管軍法會議ノ管轄ニ屬スル事件ニ付公訴ヲ指揮ス

長官ハ所管軍法會議ノ管轄ニ屬スル事件、之ヲ來連スル事件及所管部隊內ノ犯罪事件竝陸軍ノ將官、將官相當官、勅任文官及勅任文官待遇者ニ對スル被告事件

二　上告

三　非常上告

第十二條　東京軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　第十三條第一號、第十四條第一號、第十五條第一號、第十六條第一號及第十七條第一號ノ規定ニ依リ他ノ軍法會議ノ管轄ニ屬スル以外ノ第一條乃至第三條記載ノ者ニ對スル被告事件

二　第三百十二條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ移送アリタル被告事件

三　第三百十二條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ移送アリタル被告事件

第十三條　鎭守府軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　鎭守府司令長官ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件

二　警備區內ニ在リ又ハ警備區內ニ於テ卽ヲ犯シタル第一條乃至第三條記載ノ者ニ對スル被告事件

三　第三百十二條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ移送アリタル被告事件

第十四條　要港部軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　要港部司令官ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件

二　警備區內ニ在リ又ハ警備區內ニ於テ卽ヲ犯シタル第一條乃至第三條記載ノ者ニ對スル被告事件

三　第三百十二條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ移送アリタル被告事件

第十五條　艦隊軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　艦隊又ハ外國派遣ノ軍艦ノ長又ハ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件

二　占領地警備區內ニ在リ又ハ占領地警備區內ニ於テ第十六條　合圍地軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　臨時軍法會議ノ設置セラレタル部隊ノ長ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件

二　臨時軍法會議ノ設置セラレタル部隊ノ守備地域ニ在リ又ハ其ノ地域ニ於テ第十七條　臨時軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス

一　臨時軍法會議ノ設置セラレタル部隊ノ長ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件

二　臨時軍法會議ノ設置セラレタル部隊ノ守備地域ニ在リ又ハ其ノ地域ニ於テ第十八條　管轄ヲ異ニスル數個ノ事件牽連スルトキハ一個ノ事件ニ付管轄權ヲ有スル軍法會議ハ他ノ事件ヲ管轄スルコトヲ得

但シ高等軍法會議ノ管轄ニ屬スル事件及第四條乃至第六條ニ記載シタル事件ハ牽連ノ事由ニ因リ併セテ之ヲ管轄スルコトヲ得ス

第十九條　軍法會議牽連事件ニ付公訴ヲ受クタル場合ニ於テ併セテ審判スルコトヲ必要トセサルモノアルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ之ヲ一ノ軍法會議ニ併合スルコトヲ得

第二十條　數個ノ軍法會議牽連事件ニ付各別ニ公訴ヲ受ケタルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ之ヲ一ノ軍法會議ニ併合スルコトヲ得

第二十一條　高等軍法會議牽連事件ニ付公訴ヲ受ケタル場合ニ於テ併セテ審判スルコトヲ必要トセサルモノアルトキハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ之ヲ移送スルコトヲ得

第二十二條　高等軍法會議及他ノ軍法會議牽連事件ニ付各別ニ公訴ヲ受ケタルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ他ノ軍法會議ノ管轄ニ屬スル事件ヲ併セテ審判スルコトヲ得

第二十三條第一號、第十四條第一號、第十五條第一號、第十六條第一號又ハ第十七條第一號ノ規定ニ依リ他ノ軍法會議ノ管轄ニ屬スル以外ノ第一條乃至第三條記載ノ者ニ對スル被告事件

二　第三百十二條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ移送アリタル被告事件

三　第三百十二條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ移送アリタル被告事件

第二十四條　數個ノ軍法會議同一事件ニ付公訴ヲ受ケタルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ各別ニ審判スルコトヲ得

第二十五條　管轄ハ公訴提起後ニ於テハ被告人ノ轉屬、失官其ノ他管轄ヲ定ムル事由ノ變更ニ因リ變更セラルルコトナシ但シ被告人第十一條第一號ニ記載シタル身分ヲ取得シタル場合ニ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　第十一條第一號ニ記載シタル者被告人ナル場合ニ於テハ現在地高等軍法會議ノ所在地ト交通斷絕シタルトキ又ハ其ノ所在地ト審シク難隔シ且審判急速ヲ要スルトキハ被告人ノ現在地又ハ其ノ附近ニ在ル軍法會議被告事件ヲ管轄スルコトヲ得

召喚狀ヲ軍法會議ノ掲示場ニ公示シ且其ノ謄本ヲ官報又ハ新聞紙ニ掲載シテ之ヲ爲ス

前項ノ公示送達ハ最後ニ官報又ハ新聞紙ニ掲載シタル時ヨリ三十日其ノ他ノ公示送達ハ掲示場ニ公示シタル時ヨリ七日ノ期間ヲ經過スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第百三十七條　送達ニ付テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟法ヲ準用ス

第六節　期間

第百三十八條　期間ヲ計算スルニ時ヲ以テスルモノハ即時ヨリ之ヲ起算シ日、月又ハ年ヲ以テスルモノハ初日ヲ算入セス但シ時效期間ノ初日ハ時間ヲ論セス一日トシテ之ヲ計算ス

月及年ハ曆ニ從ヒテ之ヲ計算ス

期間ノ末日日曜日、一月一日、二月四日、十二月二十九日三十日三十一日、一般ノ休日トシテ指定セラレタル大祭日若ハ一般ノ休日ニ當ルトキハ之ヲ期間ニ算入セス但シ時效期間ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百三十九條　法定ノ期間ハ訴訟行爲ヲ爲スヘキ者ノ住居地ト海陸路二十里毎ニ一日ヲ加ヘ二十里ニ滿タサルモ五里以上ナルトキ亦同シ但シ海路ハ二海里ヲ一里トシテ之ヲ計算ス

外國又ハ交通不便ノ地ニ在ル者ノ爲ニハ特ニ期間ヲ定ムルコトヲ得

第百四十條　軍法會議公訴ヲ受ケタルトキハ被告人ヲ召喚スヘシ

第百四十一條　被告人ノ召喚ハ召喚狀ヲ發シテ之ヲ爲スヘシ

被告人期日ニ出頭スヘキ旨ヲ記載シタル書面ヲ差出シ又ハ出廷シタル被告人ニ對シ口頭ヲ以テ次回ノ出頭ヲ命シタルトキハ召喚狀ヲ發セスシテ同一ノ效力ヲ有ス口頭ヲ以テ出頭ヲ命シタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ調書ニ記載スヘシ

軍艦、兵營其ノ他軍事用ノ廳舍又ハ艦船ノ內ニ在ル被告人ノ召喚ハ廳舍若ハ艦船ノ長又ハ之ニ代ルヘキ者ニ通知シテ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十二條　召喚狀ニハ被告人ノ氏名及住居ヲ記載シ裁判長又ハ命令裁判官之ニ記名捺印スヘシ

第百四十三條　被告人ノ召喚ハ召喚狀ヲ發シテ之ヲ爲スヘシ

第百四十四條　軍法會議公訴ヲ受ケタルトキハ被告人ニ對シ口頭ヲ以テ出頭ヲ命シタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ調書ニ記載スヘシ

第百四十五條　召喚狀ハ遲クトモ公判期日ノ三日前ニ被告人ニ送達スヘシ但緊急ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十六條　被告人ノ召喚ハ召喚狀ヲ發シテ之ヲ爲スヘシ

第百四十七條　召喚狀ニハ被告人ノ氏名及住居ヲ記載シ裁判長又ハ命令裁判官之ニ記名捺印スヘシ

第百四十八條　召喚狀ニハ被告人ノ出頭スヘキ年月日時及場所竝召喚ニ應セサルトキハ召喚狀ヲ發スルコトアルヘキ旨ヲ記載スヘシ

軍艦、兵營其ノ他軍事用ノ廳舍又ハ艦船ノ內ニ在ル被告人ノ召喚ハ廳舍若ハ艦船ノ長又ハ之ニ代ルヘキ者ニ通知シテ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十九條　召喚狀ハ被告人ニ送達スルニ非サレハ之ヲ發スルコトヲ得ス但緊急ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第百五十條　被告人ノ現在地ヲ管轄セサル裁判長ハ檢事長又ハ之ニ相當スル官署ニ被告人ノ召喚ヲ囑託スルコトヲ得

囑託ヲ受ケタル官署ハ其ノ管轄區域內ノ檢事又ハ相當官署ヲシテ勾引狀ヲ發シ搜査及勾引ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第百五十一條　前二條ノ場合ニ於テ囑託ニ因リ勾引狀ヲ發シタル官署ハ被告人ヲ引致シタル時ヨリ四十八時間內ニ其ノ留置ニ付テ此ノ限ニ在ラス

否ヲ取調フヘシ

被告人ノ逃ニ非サルトキハ速ニ之ヲ指定セラレタル軍法會議ニ送致スヘシ此ノ場合ニ於テハ第百四十五條ノ期間ハ被告人ノ送致ヲ受ケタル時ヨリ四十八時間內ニ其ノ人違ナキカ

第百五十二條　召喚狀、勾引狀又ハ勾留狀ニハ被告事件竝被告人ノ氏名及住居ヲ記載シ裁判長又ハ受命裁判官之ニ記名捺印スヘシ

勾引狀又ハ勾留狀ヲ發スル場合ニ於テ被告人ノ住居分明ナラサルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要セス其ノ氏名分明ナサルトキハ容貌、體格其ノ他ノ徵表ヲ以テ被告人ヲ指示スヘシ

召喚狀ニハ被告人ノ出頭スヘキ年月日時及場所竝召喚ニ應セサルトキハ勾引狀ヲ發スル旨ヲ記載スヘシ

勾留狀ニハ被告人ヲ勾留スヘキ旨ヲ記載スルコトアルヘキ旨ヲ記載シ裁判長又ハ命令裁判官之ニ記名捺印スヘシ

第百五十三條　勾引狀又ハ勾留狀ヲ執行シタルトキハ之ニ執行ノ場所及年月日時ヲ記載シ之ヲ執行シタル司法警察官又ハ司法警察官吏ニ交付スヘシ

勾引狀又ハ勾留狀ノ執行ヲ受ケタル被告人ヲ他ノ監獄ニ移スコトヲ得

第百五十四條　勾引狀又ハ勾留狀ノ執行ヲ受ケタル被告人ヲ護送スル場合ニ於テ必要アルトキハ假ニ最寄ノ監獄ニ之ヲ留置スルコトヲ得

第百五十五條　勾引狀ノ執行ヲ受ケタル被告人ヲ引渡シタル場合ニ於テ必要アルトキハ之ヲ監獄ニ留置スルコトヲ得

第百五十六條　勾引狀又ハ勾留狀ヲ執行シタルトキハ之ニ執行ノ場所及年月日時ヲ記載シ之ヲ執行シタル司法警察官又ハ司法警察官吏ニ交付スヘシ

勾引狀又ハ勾留狀ノ執行ヲ指揮シタル官署ニ差出スヘシ

勾引狀ノ執行ニ關スル書類ヲ受取リタル檢察官其ノ他ノ官署ハ被告人ノ引致セラレタル年月日時ヲ勾引狀ニ記載スヘシ

第百五十七條　檢察官ハ勾留セラレタル被告人ヲ他ノ監獄ニ移スコトヲ得

第百五十八條　勾留セラレタル被告人ハ法令ノ範圍內ニ於テ他人ト接見又ハ書類若ハ物ノ授受ヲ爲スコトヲ得勾引狀ニ因リ監獄ニ留置セラレタル被告人亦同シ

第百五十九條　軍法會議ハ誹謗ヲ遮滅シ、逃走シ又ハ軍事上ノ機密ヲ漏泄スル虞アルトキハ勾留セラレタル被告人ト他人トノ接見ヲ禁シ又ハ他人ト授受スヘキ書類若ハ物ヲ檢閱シ又ハ其ノ授受ヲ禁シ若ハ之ヲ差押フルコトヲ得

軍法會議書類又ハ物ノ檢閱ヲ爲スコトヲ得

サルトキハ檢察官之ヲ爲スコトヲ得

第百六十七條　勾留ノ原由消滅シタルトキハ軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ勾留ヲ取消スヘシ

第百六十八條　勾留セラレタル被告人第一條第一項第一號、第四號及陸軍軍法會議法第一條第一項第一號、第四號ニ記載シタル以外ノ者ナルトキハ被告人又ハ其ノ法定代理人、保佐人若ハ夫ハ保釋ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百六十九條　保釋ノ請求アリタルトキハ軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ爲スヘシ

保釋ヲ許ス場合ニ於テハ保證金額ヲ定ムヘシ

保釋ヲ許ス場合ニ於テハ被告人ノ住居ヲ制限スルコトヲ得

第百七十條　保釋ヲ許ス決定ハ保證金ヲ差出シタル後之ヲ執行スヘシ

檢察官ハ保釋請求者ニ非サル者ヲシテ保證金ヲ差出サシムルコトヲ得

檢察官ハ有價證券又ハ軍法會議ノ所在地ニ住居シ保證金ヲ納ムルニ十分ナル資產ヲ有スル者ノ保證書ヲ以テ保證金ニ代フルコトヲ許スコトヲ得

前項ノ保證書ニハ保證金額及何時ニテモ保證金ヲ納ムヘキ旨ヲ記載スヘシ

第百七十一條　軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ勾留セラレタル被告人ヲ責付スルコトヲ得

責付ハ被告人ノ所屬部隊ノ長ニ之ヲ爲シ部隊內居住者ニ非サルトキハ親族其ノ他ノ者ニ之ヲ爲スヘシ

部隊內居住者ニ非サル者ヲ責付スルトキハ其ノ所屬部隊ノ長ニ之ヲ爲シ部隊內居住者ニ非サルトキハ親族其ノ他ノ者ニ之ヲ爲スヘシ

第百七十二條　被告人部隊內居住者ニ非サルトキハ軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ何時ニテモ召喚ニ應シ被告人ヲ出頭セシムヘキ旨ヲ書面ヲ差出サシムヘシ

第百七十三條　軍法會議ニハ檢察官ノ意見ヲ聽キ何時ニテモ決定ヲ以テ保釋、責付又ハ勾留ノ執行停止ヲ取消スコトヲ得

保釋中被告人召喚ヲ受ケ正當ノ事由ナクシテ出頭セス、住居ノ制限ニ違反シ又ハ逃走シタルトキ又ハ召喚ヲ受ケ正當ノ事由ナクシテ出頭セス、住居ノ制限ニ違反シ又ハ逃走シタル爲保釋ヲ取消ス場合ニ於テハ軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ保證金ノ全部又ハ一部ヲ沒取スヘシ

第百七十四條　勾留若ハ保釋ヲ取消シ又ハ勾留狀ノ效力消滅シタルトキハ檢察官ハ沒取ニ係ラサル保證金ヲ還付スヘシ

第百七十五條　上告提起期間內又ハ上告中ノ事件ニ付勾留ヲ取消シ保釋、責付若ハ勾留ノ執行停止ヲ爲シ又ハ之ヲ取消スヘキ場合ニ於テハ原軍法會議其ノ決定ヲ爲スヘシ

第百七十六條　陸海軍大臣ハ被告人ノ召喚、勾引及勾留ニ關シ軍法會議ニ對スル監督權ヲ有ス

第百七十七條　左ノ場合ニ於テ被告事件急速ノ處分ヲ要シ軍法會議又ハ豫審官ノ勾引狀ヲ求ムルコトヲ能ハサルトキハ檢察官又ハ海軍司法警察官ハ勾引狀ヲ發スルコトヲ得

一　軍紀ヲ保持スル爲必要アルトキ

二　現行犯ノ被告人其ノ場所ニ在ラサルトキ

三　現行犯ノ取調ニ因リ其ノ事件ノ共犯ヲ發見シタルトキ

四　死體ノ檢證ニ因リ其ノ事件ノ被告人ヲ發見シタルトキ

五　既決ノ囚人又ハ法令ニ依リ拘禁セラレタル被告人逃走シタルトキ

六　被告人ニ竊盜又ハ竊盜ノ罪ヲ犯シタルモノナルトキ

七　被告人定リタル住居ヲ有セサルトキ

前項ノ規定ニ依リ勾引狀ヲ發スルコトヲ得ル場合ニ於テハ檢察官ハ之ヲ他ノ檢察官、海軍司法警察官又ハ司法警察官ニ囑託シ海軍司法警察官ハ之ヲ他ノ海軍司法警察官又ハ司法警察官ニ命令シ又ハ囑託スルコトヲ得

第百七十八條　檢察官、海軍司法警察官吏又ハ司法警察官吏ハ勾引狀ヲ發シタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ軍法會議ニ通知スヘシ

第一節　公訴

第一款　通則

第百七十九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ被告人ニ通知スヘシ

第百八十條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百八十一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百八十二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ被告人ニ通知スヘシ

第百八十三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百八十四條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百八十五條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百八十六條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百八十七條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百八十八條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百八十九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百九十條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百九十一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百九十二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百九十三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百九十四條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百九十五條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百九十六條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百九十七條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百九十八條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第百九十九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百四條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百五條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百六條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百七條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百八條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百十條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百十一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百十二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百十三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百十四條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百十五條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百十六條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百十七條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百十八條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百十九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百二十條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百二十一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百二十二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百二十三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百二十四條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百二十五條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百二十六條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百二十七條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百二十八條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百二十九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百三十條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百三十一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百三十二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百三十三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百三十四條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百三十五條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百三十六條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百三十七條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百三十八條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百三十九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百四十條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百四十一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百四十二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百四十三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百四十四條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百四十五條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百四十六條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百四十七條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百四十八條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百四十九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百五十條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百五十一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百五十二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百五十三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百五十四條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百五十五條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百五十六條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百五十七條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百五十八條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百五十九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百六十條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百六十一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百六十二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百六十三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百六十四條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百六十五條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百六十六條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百六十七條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百六十八條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百六十九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百七十條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百七十一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百七十二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百七十三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百七十四條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百七十五條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百七十六條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百七十七條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百七十八條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百七十九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百八十條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百八十一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百八十二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百八十三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百八十四條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百八十五條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百八十六條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百八十七條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百八十八條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百八十九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百九十條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百九十一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百九十二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百九十三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百九十四條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百九十五條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百九十六條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百九十七條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百九十八條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第二百九十九條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第三百條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第三百一條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第三百二條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ管轄スル檢察官ニ事件ヲ送致スヘシ

第三百三條　軍法會議ハ被告人ノ住居ヲ管轄セサル場合ニ於テハ直ニ被告人ノ住居ヲ

第二百四十八條　裁判所ハ辯論ノ全趣旨及證據調ノ結果ヲ斟酌シテ自由ナル心證ニ依リ事實ノ眞否ヲ判斷ス

第二百四十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百五十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百五十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百五十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百五十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百五十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百五十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百五十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百五十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百五十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百五十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百六十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百六十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百六十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百六十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百六十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百六十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百六十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百六十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百六十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百六十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百七十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百七十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百七十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百七十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百七十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百七十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百七十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百七十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百七十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百七十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百八十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百八十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百八十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百八十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百八十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百八十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百八十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百八十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百八十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百八十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百九十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百九十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百九十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百九十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百九十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百九十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百九十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百九十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百九十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第二百九十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百二十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百二十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百二十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百二十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百二十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百二十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百二十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百二十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百二十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百二十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百三十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百三十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百三十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百三十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百三十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百三十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百三十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百三十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百三十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百三十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百四十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百四十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百四十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百四十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百四十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百四十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百四十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百四十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百四十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百四十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百五十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百五十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百五十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百五十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百五十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百五十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百五十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百五十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百五十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百五十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百六十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百六十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百六十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百六十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百六十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百六十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百六十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百六十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百六十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百六十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百七十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百七十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百七十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百七十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百七十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百七十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百七十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百七十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百七十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百七十九條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百八十條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百八十一條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百八十二條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百八十三條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百八十四條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百八十五條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百八十六條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百八十七條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ申出ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡スコトヲ得

第三百八十八條　裁判所ハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ於テ相手方ノ爲ニ證據ノ

第二百二十四條　第二百二十三條ノ規定ハ第二百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スコトヲ得

第二百二十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ鑑定ヲ命スルコトヲ得

第二百二十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ檢證ヲ爲スコトヲ得

第二百二十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ證人ノ訊問ヲ爲スコトヲ得

第二百二十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者本人ノ訊問ヲ爲スコトヲ得

第二百三十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百三十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百三十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百三十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百三十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百三十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百三十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百三十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百三十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百三十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百四十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百四十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百四十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百四十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百四十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百四十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百四十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百四十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百四十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百四十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百五十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百五十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百五十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百五十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百五十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百五十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百五十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百五十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百五十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百五十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百六十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百六十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百六十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百六十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百六十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百六十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百六十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百六十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百六十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百六十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百七十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百七十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百七十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百七十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百七十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百七十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百七十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百七十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百七十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百七十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百九十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百九十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百九十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百九十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百九十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百九十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百九十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百九十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百九十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百九十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百二十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百二十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百二十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百二十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百二十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百二十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百二十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百二十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百二十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百二十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百三十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百三十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百三十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百三十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百三十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百三十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百三十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百三十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百三十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百三十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百四十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百四十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百四十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百四十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百四十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百四十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百四十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百四十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百四十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百四十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百五十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百五十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百五十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百五十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百五十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百五十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百五十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百五十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百五十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百五十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百六十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百六十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百六十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百六十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百六十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百六十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百六十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百六十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百六十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百六十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百七十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百七十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百七十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百七十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百七十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百七十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百七十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百七十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百七十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百七十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百八十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百八十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百八十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百八十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百八十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百八十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百八十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百八十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百八十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百八十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百九十條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百九十一條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百九十二條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百九十三條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百九十四條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百九十五條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百九十六條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百九十七條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百九十八條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百九十九條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第四百條　第二百二十條ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ當事者ニ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百六十四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ公訴ヲ維持スル爲必要ナル證據ノ提出及證人ノ尋問ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第三百六十五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ構成ニ關シ忌避ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百六十六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ異議ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百六十七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲スニ付意見ヲ述フルコトヲ得

第三百六十八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百六十九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百七十條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百七十一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百七十二條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百七十三條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百七十四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百七十五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百七十六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百七十七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百七十八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百七十九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百八十條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百八十一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百八十二條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百八十三條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百八十四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百八十五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百八十六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百八十七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百八十八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百八十九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百九十條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百九十一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百九十二條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百九十三條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百九十四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百九十五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百九十六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百九十七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百九十八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第三百九十九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百二條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百三條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百十條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百十一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百十二條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百十三條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百十四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百十五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百十六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百十七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百十八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百十九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百二十條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百二十一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百二十二條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百二十三條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百二十四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百二十五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百二十六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百二十七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百二十八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百二十九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百三十條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百三十一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百三十二條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百三十三條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百三十四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百三十五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百三十六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百三十七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百三十八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百三十九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百四十條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百四十一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百四十二條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百四十三條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百四十四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百四十五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百四十六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百四十七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百四十八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百四十九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百五十條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百五十一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百五十二條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百五十三條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百五十四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百五十五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百五十六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百五十七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百五十八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百五十九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百六十條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百六十一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百六十二條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百六十三條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百六十四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百六十五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百六十六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百六十七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百六十八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百六十九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百七十條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百七十一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百七十二條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百七十三條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百七十四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百七十五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百七十六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百七十七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百七十八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百七十九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百八十條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百八十一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百八十二條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百八十三條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百八十四條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百八十五條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百八十六條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百八十七條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百八十八條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百八十九條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百九十條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ得

第四百九十一條　檢察官ハ公訴ヲ提起シタル事件ニ付キ裁判所ノ管轄又ハ訴訟手續ニ關シ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ即時抗告ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ對スル意見ヲ述フルコトヲ

第四百三十二條　裁判ハ檢察官之ヲ執行ス但法律ニ特別ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四百三十三條　裁判ハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ所在地ニ於テ之ヲ執行ス但裁判所ニ於テ相當ト認メタルトキハ他ノ場所ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得

第四百三十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲スヘシ但裁判ノ執行ニ付テ期間ヲ定メタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四百三十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ檢察官ハ其ノ理由ヲ裁判所ニ通知スヘシ

第四百三十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百三十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百三十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百三十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百四十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百四十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百四十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百四十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百四十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百四十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百四十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百四十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百四十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百四十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百五十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百五十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百五十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百五十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百五十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百五十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百五十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百五十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百五十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百五十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百六十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百六十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百六十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百六十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百六十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百六十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百六十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百六十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百六十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百六十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百七十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百七十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百七十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百七十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百七十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百七十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百七十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百七十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百七十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百七十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百八十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百八十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百八十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百八十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百八十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百八十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百八十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百八十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百八十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百八十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百九十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百九十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百九十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百九十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百九十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百九十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百九十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百九十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百九十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第四百九十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百二十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百二十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百二十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百二十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百二十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百二十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百二十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百二十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百二十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百二十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百三十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百三十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百三十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百三十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百三十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百三十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百三十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百三十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百三十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百三十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百四十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百四十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百四十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百四十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百四十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百四十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百四十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百四十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百四十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百四十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百五十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百五十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百五十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百五十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百五十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百五十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百五十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百五十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百五十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百五十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百六十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百六十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百六十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百六十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百六十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百六十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百六十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百六十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百六十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百六十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百七十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百七十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百七十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百七十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百七十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百七十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百七十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百七十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百七十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百七十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百八十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百八十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百八十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百八十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百八十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百八十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百八十六條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百八十七條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百八十八條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百八十九條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百九十條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百九十一條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百九十二條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百九十三條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百九十四條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ執行ヲ命スルコトヲ得

第五百九十五條　裁判ハ其ノ確定ノ日ヨリ十日以内ニ執行ヲ爲ササルトキハ

第四百二十一條 第四百二十條ノ規定ハ第四百十九條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百二十二條 第四百十九條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十八條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百二十三條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百二十四條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百二十五條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百二十六條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百二十七條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百二十八條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百二十九條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百三十條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百三十一條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百三十二條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百三十三條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百三十四條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百三十五條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百三十六條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百三十七條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百三十八條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百三十九條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百四十條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百四十一條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百四十二條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百四十三條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百四十四條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百四十五條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百四十六條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百四十七條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百四十八條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百四十九條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百五十條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百五十一條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百五十二條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百五十三條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百五十四條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百五十五條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百五十六條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百五十七條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百五十八條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百五十九條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百六十條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百六十一條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百六十二條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百六十三條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百六十四條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百六十五條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百六十六條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百六十七條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百六十八條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百六十九條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百七十條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百七十一條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百七十二條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百七十三條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百七十四條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百七十五條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百七十六條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百七十七條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百七十八條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百七十九條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百八十條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百八十一條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百八十二條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百八十三條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百八十四條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百八十五條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百八十六條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百八十七條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百八十八條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百八十九條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百九十條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百九十一條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百九十二條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百九十三條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百九十四條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百九十五條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百九十六條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百九十七條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百九十八條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第四百九十九條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第五百條 第四百十八條ノ場合ニ於テ裁判所ハ其ノ裁判ヲ以テ第四百十九條ノ規定ニ依リ定メタル金額ヲ超ユル損害ノ賠償ヲ命スルコトヲ得

第五百四十一條　第五百四十條ノ規定ハ第五百三十九條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十二條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ裁判ノ執行ニ因リ債務者ノ受ケタル損害ノ賠償ニ付テハ裁判所ハ債權者ノ申立ニ因リ假ニ其ノ賠償ヲ命ズルコトヲ得

第五百四十三條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ受ケタル賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百四十四條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百四十五條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百四十六條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百四十七條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百四十八條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百四十九條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百五十條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百五十一條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百五十二條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百五十三條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百五十四條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百五十五條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百五十六條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百五十七條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百五十八條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百五十九條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百六十條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百六十一條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百六十二條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百六十三條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百六十四條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百六十五條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百六十六條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百六十七條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百六十八條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百六十九條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百七十條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百七十一條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百七十二條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百七十三條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百七十四條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百七十五條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百七十六條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百七十七條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百七十八條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百七十九條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百八十條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百八十一條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百八十二條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百八十三條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百八十四條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百八十五條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百八十六條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百八十七條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百八十八條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百八十九條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百九十條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百九十一條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百九十二條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百九十三條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百九十四條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百九十五條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百九十六條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百九十七條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百九十八條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第五百九十九條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百一條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百二條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百三條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百四條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百五條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百六條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百七條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百八條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百九條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百十條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百十一條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百十二條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百十三條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百十四條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百十五條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百十六條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百十七條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百十八條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百十九條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百二十條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百二十一條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百二十二條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百二十三條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百二十四條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百二十五條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百二十六條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百二十七條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百二十八條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百二十九條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百三十條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百三十一條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百三十二條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百三十三條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百三十四條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百三十五條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百三十六條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百三十七條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百三十八條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百三十九條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百四十條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百四十一條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百四十二條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百四十三條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百四十四條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百四十五條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百四十六條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百四十七條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百四十八條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百四十九條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百五十條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百五十一條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百五十二條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百五十三條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百五十四條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償ヲ命ジタル裁判ヲ執行シタルトキハ其ノ賠償ニ付キ原狀回復ノ義務ヲ負フ

第六百五十五條　第五百三十九條ノ場合ニ於テ假ニ賠償ヲ命ジタル裁判カ變更セラレタルトキハ債權者ハ其ノ賠償ニ付キ損害ノ賠償

例言

一　本章ハ裁判ノ種類及ヒ裁判ノ効力ニ関スル規則ヲ掲ケタリ

二　裁判ノ種類ハ判決、決定及ヒ命令ノ三トス

三　判決ハ訴訟ノ終局ヲ目的トスル裁判ニシテ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ裁判所ノ審級ヨリ離脱セシムルモノトス

四　決定及ヒ命令ハ訴訟ノ終局ヲ目的トセサル裁判ニシテ訴訟ノ進行ニ関スルモノトス

五　判決ハ口頭弁論ニ基キテ之ヲ為スヘシ但シ法律ニ特別ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

六　決定及ヒ命令ハ口頭弁論ヲ経スシテ之ヲ為スコトヲ得

七　判決ハ言渡ニ因リテ其効力ヲ生ス

八　決定及ヒ命令ハ之ヲ為シタル裁判所ニ於テ其効力ヲ生ス

九　決定及ヒ命令ハ之ヲ為シタル裁判所ニ於テ之ヲ取消シ又ハ変更スルコトヲ得

十　決定及ヒ命令ハ抗告ニ因リテ之ヲ取消シ又ハ変更スルコトヲ得

十一　抗告ハ抗告状ヲ原裁判所ニ差出スニ因リテ之ヲ為ス

十二　抗告状ニハ抗告ノ趣意及ヒ原裁判ノ表示ヲ為スヘシ

十三　抗告状ニハ抗告ノ理由ヲ記載スルコトヲ要ス

十四　抗告ノ理由ハ原裁判ノ取消又ハ変更ヲ求ムルニ必要ナル事実及ヒ証拠ニ限ルヘシ

十五　抗告ハ原裁判ノ執行ヲ停止スルノ効力ヲ有ス

十六　抗告ハ原裁判ノ執行ヲ停止スルノ効力ヲ有セス

十七　抗告ハ抗告状ヲ原裁判所ニ差出スニ因リテ之ヲ為ス

十八　抗告状ニハ抗告ノ理由ヲ記載スルコトヲ要ス

十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

百　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

例言

一　本章ハ裁判ノ種類及ヒ裁判ノ効力ニ関スル規則ヲ掲ケタリ

二　裁判ノ種類ハ判決、決定及ヒ命令ノ三トス

三　判決ハ訴訟ノ終局ヲ目的トスル裁判ニシテ訴訟ノ進行ニ関スルモノトス

四　決定及ヒ命令ハ訴訟ノ終局ヲ目的トセサル裁判ニシテ訴訟ノ進行ニ関スルモノトス

五　判決ハ口頭弁論ニ基キテ之ヲ為スヘシ但シ法律ニ特別ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

六　決定及ヒ命令ハ口頭弁論ヲ経スシテ之ヲ為スコトヲ得

七　判決ハ言渡ニ因リテ其効力ヲ生ス

八　決定及ヒ命令ハ之ヲ為シタル裁判所ニ於テ其効力ヲ生ス

九　決定及ヒ命令ハ之ヲ為シタル裁判所ニ於テ之ヲ取消シ又ハ変更スルコトヲ得

十　決定及ヒ命令ハ抗告ニ因リテ之ヲ取消シ又ハ変更スルコトヲ得

十一　抗告ハ抗告状ヲ原裁判所ニ差出スニ因リテ之ヲ為ス

十二　抗告状ニハ抗告ノ趣意及ヒ原裁判ノ表示ヲ為スヘシ

十三　抗告状ニハ抗告ノ理由ヲ記載スルコトヲ要ス

十四　抗告ノ理由ハ原裁判ノ取消又ハ変更ヲ求ムルニ必要ナル事実及ヒ証拠ニ限ルヘシ

十五　抗告ハ原裁判ノ執行ヲ停止スルノ効力ヲ有ス

十六　抗告ハ原裁判ノ執行ヲ停止スルノ効力ヲ有セス

十七　抗告ハ抗告状ヲ原裁判所ニ差出スニ因リテ之ヲ為ス

十八　抗告状ニハ抗告ノ理由ヲ記載スルコトヲ要ス

十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

二十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

三十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

四十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

五十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

六十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

七十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

八十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十一　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十二　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十三　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十四　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十五　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十六　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十七　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十八　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

九十九　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

百　抗告状ニ抗告ノ理由ヲ記載セサルトキハ裁判長ハ相当ノ期間ヲ定メテ其補正ヲ命スヘシ

●海軍軍法會議法第一條第二項ノ規定ニ依リ除外スヘキ者ニ關スル件

大正十一年三月
勅令第百二號

於海軍軍法會議法第一條第二項ノ規定ニ依リ除外スヘキ者ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

海軍軍法會議法第一條第二項ノ規定ニ依リ除外スヘキ者ハ海軍各部隊所屬ノ職工トス

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ニ關スル件

大正十一年三月
勅令第百三號

於陸軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ市町村吏員ニ準スル吏員、朝鮮ニ於テハ市街庄又ハ區ニ在リテハ其ノ官吏吏員其ノ他ノ地域ニ在リテハ樺太廳支廳ノ官吏、關東州ニ於テハ民政署ノ官吏之ヲ行フ

改正　昭和九年二勅三九五號

於陸軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ市町村吏員ニ準スル吏員、朝鮮ニ於テハ市街庄又ハ區ニ在リテハ其ノ官吏吏員其ノ他ノ地域ニ在リテハ樺太廳支廳ノ官吏、關東州ニ於テハ民政署ノ官吏之ヲ行フ

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ニ關スル件

大正十一年三月
勅令第百四號

改正　昭和九年二勅三九五號

於海軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

海軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ市町村吏員ニ準スル吏員、朝鮮ニ於テハ市街庄又ハ區ニ在リテハ其ノ官吏吏員其ノ他ノ地域ニ在リテハ樺太廳支廳ノ官吏、關東州ニ於テハ民政署ノ官吏之ヲ行フ

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中時效ニ關スル規定等施行期日

大正十二年六月
勅令第三百號

於陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中時效ニ關スル規定等施行期日ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍軍法會議法第二編第二章中親告罪ノ告訴、請求ヲ待テ受理スヘキ事件ニ付テノ請求及時效ニ關スル規定竝海軍軍法會議法第二編第二章中親告罪ノ告訴、請求ヲ待テ受理スヘキ事件ニ付テノ請求及時效ニ關スル規定ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十五輯　學事

第十五輯　學事

第一章　學事

第一款　勅語及御影

○勅語（明治二三、一〇）……一
○勅語謄本頒布ノ件（明治四五、一、總訓一）……一
○御影竝　勅語謄本奉置心得（明治四二、五、統訓一四）……一

第二款　通則

○國體ノ本義明徴ニ關スル件（昭和一〇、四、總訓一四）……一
○朝鮮總督府視學官及朝鮮總督府視學委員學事視察規程（昭和三、一〇、總訓二九）……一
○學校生徒兒童身體檢查規程（大正一〇、五、總令八六）……一
○學生生徒兒童身體檢查規程（大正九、七、文令一六）……二
○學校體操教授要目（昭和二、四、總訓八）……四
○官立學校授業料規則（大正三、三、總令一七）……五
○教員心得（大正五、一、總訓二）……五
○學校醫規則（大正八、四、總令五九）……六
○學校消毒方法（大正八、四、總訓一一）……六
○教育敎績者選奬規程（大正一一、八、總令一一六）……七
○文部大臣所轄ノ學校ニ陸軍現役將校ヲ配屬スルノ件（大正一四、七、勅令二四六）……七
○陸軍現役將校學校配屬令（大正一四、四、勅令一三五）……七
○陸軍現役將校學校配屬令施行規程（大正一四、四、陸文令）……八
○陸軍現役將校配屬學校教練查閱規程（大正一五、九、陸令一九）……八
○學校教練檢定規定（昭和一〇、一一、陸令二二）……八
○陸軍現役將校ノ配屬ヲ受クタル學校ノ教練敎授要目（大正一五、六、總訓一五）……一〇
○野球ノ統制竝ニ施行ニ關スル件（昭和七、九、總訓五六）……一三

第三款　朝鮮敎育令

○朝鮮敎育令（大正一一、二、勅令一九）……一四
○朝鮮敎育令施行期日（大正一一、二、總令五）……一六
○朝鮮敎育令改正ニ關スル豫告（大正一一、二、總告二、總督豫告）……一六
○朝鮮敎育令第二十五條ニ依リ國語ヲ常用セサル者ノ入學ニ關スル件（大正一一、二、總令一五）……一六
○朝鮮敎育令ニ依リ設置セル學校ノ生徒兒童竝ニ卒業者ノ他ノ學校ヘ入學轉學ニ關スル規程（大正一一、二、文令一）……一六

第四款　小學校　幼稚園

○小學校令（明治三三、八、勅令三四四）……一六
○小學校規則（大正一一、二、總令六）……一七
○公立幼稚園保姆ノ資格、俸給等ニ關スル件（大正一一、二、總令一一〇）……一六
○他學校ヘ入學轉學ノ關係ニ就キ朝鮮公立小學校兒童及卒業者ノ取扱方（明治四五、五、文令一二）……一六
○幼稚園規程（大正一一、二、總令一一）……一六

第五款　普通學校

○普通學校規程（大正一一、二、總令八）……一七

第六款　高等普通學校

○高等普通學校規程（大正一一、二、總令一六）……二四

第七款　女子高等普通學校

○女子高等普通學校規程（大正一一、二、總令一四）……二七

第八款　高等女學校

○高等女學校令（明治三二、二、勅令三一）……四一
○高等女學校規程（大正一一、二、總令一〇）……四三

第九款　中學校

○中學校令（明治三二、二、勅令二八）……四七
○中學校規程（大正一一、二、總令一三）……四八

第十款　師範學校

○師範學校規程（大正一一、二、總令一七）……五一
○官立師範學校生徒ノ學資及其ノ支給方法（大正一二、四、總告一二）……五九
○京城師範學校ニ女子演習科及講習科設置（大正一四、四、總告七二）……五九

第十一款　大學

○大學令（大正七、一二、勅令三八八）……五九
○京城帝國大學ニ關スル件（大正一三、五、勅令一〇五）……五九
○京城帝國大學學部（大正一三、五、勅令一〇四）……五九
○京城帝國大學各學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ニ關スル件（大正一五、四、勅令四七）……五九
○京城帝國大學法文學部ニ法學科、哲學科、史學科及文學科設置（大正一五、四、總令三一）……六〇
○大學規程（大正一五、四、總令三〇）……六〇
○京城帝國大學豫科規程（大正一三、五、總令二一）……六〇

第十二款　專門學校

○專門學校令（明治三六、三、勅令六一）……六三
○公立私立專門學校規程（大正一一、三、總令二一）……六三
○京城法學專門學校規程（大正一一、四、總令四九）……六三
○京城醫學專門學校規程（大正一一、四、總令五〇）……六四
○京城高等工業學校規程（大正一一、四、總令五一）……六五
○水原高等農林學校規程（大正一一、四、總令

五二）……六九
○京城高等商業學校規程（大正一一、四、總令五三）……七一

第十三款　實業學校

○實業學校令（明治三二、二、勅令二九）……七二
○實業學校規程（大正一一、二、總令九）……七二
○實業補習學校規程（昭和一〇、四、總令五二）……七四

第十四款　學位

○朝鮮、臺灣、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル學位授與ニ關スル件（昭和六、一一、勅令二六八）……七四
○學位令（大正九、七、勅令二〇〇）……七五

第十五款　青年訓練所

○**青年訓練所規程**（昭和四、一〇、總令八九）……七五
○青年訓練手帳樣式（昭和四、一〇、總告三五七）……七六
○青年學校教練科等查閱令（昭和一〇、八、勅令二四九）……七六
○青年學校教練科等查閱規程（昭和一〇、八、陸令八）……七六
○青年學校課程修得者檢定規程（昭和一〇、一一、陸令二二）……七九
○兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依ル認定ニ關スル件（昭和一〇、六、陸令一）……八〇
○兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依ル認定ニ關スル件（昭和一〇、六、陸令一）……八〇
○兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依ル認定（昭和九、一〇、陸令告九）……八〇

第二章　養成所　講習所

○水原高等農林學校附設農業教育養成所規程（昭和一一、七、總令五四）……八一
○道立醫學講習所規程（昭和四、六、總令五四）……八二
○逓信業務傳習生養成規則（大正二、一〇、總訓五四）……八三
○朝鮮總督府遞信局海員養成所規程（大正八、七、總令一二二）……八三
○朝鮮總督府鐵道從業員養成所規程（大正一四、四、總令二七）……八六

第三章　教育費　（第八輯ニ收ム）

第四章　私立學校　書堂

○**私立學校規則**（大正九、三、總令二一）……九〇
○私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程（大正一一、三、總令二八）……九一
○私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程ニ依リ私立學校ノ教員タル資格ヲ有スル者指定（大正一一、四、總告一〇五）……九二
○書堂規則（大正七、二、總令一八）……一〇五
○書堂規則竝ニ關スル件（大正七、二、總訓九）……一〇五

第五章　學校ノ認定、指定及檢定

○公立私立學校認定ニ關スル規則（明治三二、六、文令三四）……一〇九
○文官任用令上學校認定ニ關スル件（大正四、二、文令二）……一〇九
○釜山公立商業專修學校ヲ徵兵令竝文官任用令ニ依リ認定（明治四一、四、文告一四三）……一〇九
○京城中學校附屬臨時小學校教員養成所、京城高等普通學校附設臨時教員養成所ヲ文官任用令ニ依リ認定（大正二、五、文告一三五）……一〇九
○善隣商業學校ヲ徵兵令竝文官任用令ニ依リ認定（大正四、三、文告三三）……一〇九
○仁川公立商業專修學校ヲ文官任用令ニ依リ認定（大正四、六、文告一一八）……一〇九
○京城高等普通學校附設臨時教員養成所ヲ文官任用令ニ依リ認定（大正五、六、文告九五）……一一〇
○朝鮮、臺灣、樺太又ハ關東州ニ於テ專門學校入學者檢定ニ關スル規程ニ依リ行フ檢定ノ效力ニ關スル件（大正一、五、一、文令五）……一一一
○大學規程第五條第二號ノ規程ニ依ル指定（昭和九、三、總告一四九）……一一一
○私立學校教員資格認定ニ關スル件（大正一二、一、總令一一八）……一一一
○徵兵令ニ依リ學校認定（大正一〇、四、陸文告一五）……一一三
○高等試驗令第八條ニ依ル指定學校（大正一三、五、文告二九〇）……一一三
○藥品及藥品營業取締令施行規則ニ依リ學校指定（大正一四、三、總告四一）……一一三
○私立東洋協會京城專門學校ヲ徵兵令竝文官任用令ニ依リ認定（大正七、四、文告一一八）……一一四
○朝鮮總督府鐵道從業員養成所規程（大正一四、四、總令二七）……一一四
○朝鮮教育令ニ依ル中學校、高等普通學校、師範學校、專門學校ヲ文官任用令ニ依リ認定（大正一二、二、文告三四）……一一四
○セアランス聯合醫學專門學校ヲ醫師規則ニ依リ指定（大正一二、二、總告三四）……一一四
○京城齒科醫學校ヲ齒科醫師規則ニ依リ指定（大正一四、二、總告二八）……一一四
○京城齒科醫專門學校ヲ齒科醫師規則ニ依リ指定（昭和五、一、總告一二）……一一四
○明治四十三年勅令第三百九十六號第五條ニ依ル認定學校（明治四五、五、總告二四二）……一一四
○明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校（明治四四、一、總告七）……一一四
○專門學校入學者檢定規程（大正一四、四、總令四九）……一一四
○專門學校入學者檢定規定ニ依リ試驗免除ノ學科目（大正一四、四、總告八六）……一一五
○專門學校入學者檢定規程第十一條ノ規定ニ依ル指定ニ關スル規程（昭和三、四、總令二六）……一一五
○專門學校入學者檢定規程ニ依リ指定ヲタル者（大正一〇、四、總告一〇五）……一一五
○朝鮮、臺灣、樺太又ハ關東州ニ於テ專門學校入學者檢定ニ關スル規程ニ依リ行フ檢定ノ效力ニ關スル件（大正一、五、一、文令五）……一一六
○大學規程第五條第二號ノ規程ニ依ル指定（昭和九、三、總告一四九）……一一六
○私立學校教員資格認定ニ關スル件（大正一二、一、總令一一八）……一一六
○徵兵令ニ依リ學校認定（大正一〇、四、陸文告一五）……一一六
○高等試驗令第八條ニ依ル指定學校（大正一三、五、文告二九〇）……一一六
○藥品及藥品營業取締令施行規則ニ依リ學校指定（大正一四、三、總告四一）……一一六

第六章　經學院　文廟　學會　講習會

○經學院規程（明治四四、六、總令七三）……一二三
○經學院ニ關スル件（明治四四、八、總訓六五）……一二三
○經學院ノ院務ニ關スル件（大正二、三、總訓一三）……一二三
○明倫學院規程（昭和五、二、總令一三）……一二三
○地方文廟職員ニ關スル件（大正一二、四、總令六八）……一二三
○學會令（隆熙二、九、勅令六三）……一二四
○學會ニ關スル件（隆熙二、一〇、訓學二發一五）……一二四
○私設學術講習會ニ關スル件（大正二、一、總令三）……一二四

第七章　在外研究員、留學生及委託生

○在外研究員規程（大正一、一、勅令六）……一二四
○在外研究員規程施行細則（大正一、九、總令一三〇）……一二五
○在內地給費生規程（大正一一、四、總令四四）……一二八
○申等教員委託生規則（大正九、六、總令八九）……一二九
○朝鮮人留學生ノ特別入學ニ關スル件（明治四四、四、文令一六）……一二九
○文部省直轄學校外國人特別入學規程（明治三四、一一、文令一五）……一二九

第八章　教科用圖書

○教科用圖書檢定規程（明治四五、六、總令一二一）……一三〇
○教科用圖書等ノ翻刻及發行ニ關スル件（大正一二、三、總告九四）……一三一

第九章　時　氣象　民曆

○朝鮮ノ標準時（明治四四、一一、總告三三八）……一三一
○木初子午線經度計算方及標準時ノ件（明治一九、七、勅令五一）……一三一
○測候所規程（大正一四、五、總令六一）……一三二
○朝鮮總督府簡易氣象觀測規程（大正三、四、總令三七）……一三三
○朝鮮總督府簡易氣象觀測報告規則（昭和一〇、一一、總令一三七）……一三三
○氣象特報及暴風警報規程（昭和一〇、一一、總令一三八）……一三三
○氣象信號規程（昭和一〇、一一、總告六六七）……一三四
○天氣豫報、氣象特報及暴風警報信號ニ關スル件（昭和一〇、一一、總告六六八）……一三四
○地方天氣豫報、地方氣象特報及地方暴風警報信號式（昭和一〇、一一、總告六六七）……一三四
○暴風雨標竝暴風警報信號ノ種類（昭和一〇、七、總告三八九）……一三六
○氣象實況報及暴風警報放送方（大正一四、四、總告七八）……一三八
○朝鮮總督府觀測所天氣圖ノ發行及發賣ニ關スル件（大正一〇、八、總告一七二）……一三八
○朝鮮民曆ノ製造竝販賣ニ關スル件（大正一二、四、總告一二二）……一三九

第十章　博物館　展覽會

○朝鮮總督府博物館設置ノ件（大正四、一一、總告二九六）……一三一
○朝鮮總督府博物館陳列品寄託心得（大正六、四、總告九〇）……一三一
○慶州博物館分館觀覽時間（大正一五、六、總告一九三）……一三二
○朝鮮美術展覽會規程（大正一一、一、總告三）……一三二

第十一章　寶物古蹟名勝天然記念物

○**朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令**（昭和八、八、制令六）……一三四
○朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行規則（昭和八、一二、總令一三六）……一三五
○朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行手續（昭和八、一二、總訓四二）……一三六
○朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會議事規則（昭和八、一二、總訓四三）……一三八

第十五輯　學事

第一章　學事

第一款　勅語及御影

●勅　語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ倶ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト倶ニ拳々服膺シテ咸其德ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

朕カ茲ニ教育ノ大本ヲ示シ忠良ノ臣民ヲ成スノ道ヲ明ニスルハ又以テ朕カ祖先ノ訓ヲ繼キ朕カ臣民ノ祖父母ニ對スル孝心ヲ篤クシ夫婦ノ和朋友ノ信恭儉己レヲ持リ博愛衆ニ及ホスノ德ヲ全クシ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘキハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン

斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ倶ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト倶ニ拳々服膺シテ咸其德ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

朕惟フニ我カ臣民ノ教育ニ軫念シタマヒ誠ニ教育ニ關スル　勅語ヲ宣セラレ今又之ヲ朝鮮ニ下シ賜フ是レ帝國教育ノ本義ヲ明ニシ一視同仁民衆ヲ子愛シタマフ　聖旨ニ外ナラサルナリ正毅　勅語ヲ拜戴シテ感激ノ至ニ堪ヘス謹テ其ノ謄本ヲ作リ管内ノ學校ニ頒ツ苟モ教育ノ職ニ在ル者ハ常ニ之ヲ奉體シテ生徒ノ薫陶ニ努メ殊ニ學校ノ式日ニハ恭シク之ヲ奉讀シ生徒ヲシテ夙夜服膺セシメ以テ教化ノ實ヲ擧ク　聖旨ニ奉答セムコトヲ期スヘシ

●御影竝　勅語謄本奉置心得

明治四十二年五月
訓令第十四號

管内學校ニ下付セラレタル

天皇陛下ノ　御影竝教育ニ關シ下シタマヒタル　勅語謄本奉置心得左ノ通定ム

御影竝　勅語謄本奉置心得

第一條　御影ハ學校内ニ特別ナル奉置所ヲ設ケ若ハ校舍内ニ敕清淨ナル場所ヲ選ヒ一室又ハ一區域ヲ設ケ唐櫃等ニ納メ最敬重ニ奉置スヘシ

學校ニ適當ナル場所ナキトキハ【理事廳民閣役所】等ニ於テ前項ニ準シ奉置スルコトヲ得

第二條　勅語謄本ハ　御影ト共ニ奉置所ニ奉置スヘシ

勅語謄本ノミヲ下付セラレタル學校ニ在リテハ校舍内敕清淨ナル場所若ハ職員室内ノ高所ニ最重ニ奉置スヘシ

第三條　御影竝　勅語謄本ヲ奉置セル學校ニ在リテハ職員ヲシテ宿直セシムヘシ

勅語謄本ノミ奉置セル學校ニ於テモ亦同シ學校内ニ教員住宅ノ設アリテ管守ヲ缺カサルモノハ特ニ宿直ヲ置クコトヲ要ス

第四條　非常變災ノ及幾メ奉遷所ヲ定メ置クヘシ

第五條　御影竝　勅語謄本ハ儀式ヲ擧行スル場合ノ外他ニ假用セシムルコトヲ得ス

第六條　御影竝　勅語謄本奉置ノ學校ニ廢校シタル場合ハ　御影竝　勅語謄本ハ第一條乃至第三條及第五條ノ規定ヲ準用ス

納スヘシ

第二款　通則

●國體ノ本義明徵ニ關スル件

昭和十年四月
總訓第十四號

道　知　事
京城帝國大學總長
官立諸學校長
公私立專門學校長

方今内外ノ情勢ヲ稽フルニ刻下ノ急務ハ實ニ建國ノ大義ニ基キ日本精神ヲ作興シ國民的教養ノ完成ヲ期シ由テ以テ國本ヲ不拔ニ培フニ在リ我カ皇統ナル國體ノ本義ヲ明徵ニシ之ニ基キテ教育ノ刷新ト振作トヲ圖リ以テ民心ノ嚮フ所ヲ明ニスルハ文教ニ於テ喫緊ノ要務トスル所ナリ此ノ非常ノ時局ニ際シ教育及學術ニ關與スル者ハ眞ニ其ノ責任ノ重且大ナルヲ自覺シ敍上ノ趣旨ヲ體シ苟モ國體ノ本義ニ疑惑ヲ生セシムルカ如キ言說ハ嚴ニ之ヲ戒メ常ニ其ノ精華ノ發揚ヲ念トシ之ニ由テ自己ノ研鑽ニ努メ子弟ノ教養ニ勵ミ以テ其ノ任務ヲ達成センコトヲ期スヘシ

●朝鮮總督府視學官及朝鮮總督府視學委員學事視察規程

昭和三年十月
總訓第二十九號

朝鮮總督府
道　官立學校
公立學校

朝鮮總督府視學官及朝鮮總督府視學委員學事視察規程左ノ通定ム

朝鮮總督府視學官及朝鮮總督府視學

第一條　視學官學事視察ヲ命セラレタルトキハ左ノ事項ニ就キ視察スヘシ

一　教育行政ノ狀況
二　學校教育ノ狀況
三　國語普及ノ狀況及其ノ施設
四　學校衞生ノ狀況
五　學校經濟ノ狀況
六　學校ト其ノ所在地トノ關係
七　書堂及私設學術講習會ノ狀況
八　社會教育其ノ他教育學藝ニ關スル諸施設ノ狀況
九　學事關係職員執務ノ狀況
十　特ニ指命ヲ承ケタル事項
十一　前各號ノ外必要ト認ムル事項

第二條　視學官視察上必要ト認ムルトキハ日課ヲ變更シテ授業ヲ爲サシメ又ハ生徒兒童ノ學力ヲ試驗スルコトヲ得

第三條　視學官ハ學事視察ノ際左ノ事項ニ就キ關係者ニ對シ注意ヲ與フヘシ

一　法規ニ牴觸シタル事項
二　齟齬ノ決定ニ反シタル事項
三　教授訓育ニ關スル事項
四　其ノ他特ニ指命ヲ承ケタル事項

前項ノ注意中後日參考ト爲ルヘキ事項ハ學校ノ記錄ニ留メシメ視學官之ニ認印スヘシ

第四條　視學官ハ視察上差支ナキトキハ成ルヘク關係道知事ニ視察ノ狀況ヲ陳述スヘシ

視學官ハ前項ノ外學事ニ關スル施設ニ就キ關係道知事ニ對シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第五條　視學官歸廳シタルトキハ遲滯ナク視察ノ大要ヲ復命スヘシ但シ急ヲ要スル事項ハ出張先ヨリ其ノ要領ヲ申報スヘシ

第六條　視學委員ハ朝鮮總督ノ命ヲ承ケ特ニ指命セラレタル學事ヲ視察ス

視學委員視察ヲ終リタルトキハ一月以内ニ復命書ヲ提出スヘシ

第二條、第四條及第五條ノ規定ハ視學委員ノ視察ニ關シ之ヲ準用ス

第七條　視學官及視學委員ニ非ザル者朝鮮總督ノ命ヲ承ケ學事ヲ視察スル場合ハ第一條乃至第三條及第五條ノ規定ヲ準用ス

●學校生徒兒童身體檢查規程

大正十年五月
總令第八十六號

學校生徒兒童身體檢查規程左ノ通定ム

學校生徒兒童身體檢查規程

（改正　昭和二年四月第三七號）

第一條　學校生徒兒童身體檢查ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ但シ止ムヲ得サル場合ニ於テハ五月ニ於テ之ヲ施行スルコトヲ得

監督官廳又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ身體檢查ノ全部又ハ一部ヲ臨時施行スルコトヲ得

第二條　身體檢查ハ學校醫ナシテ之ヲ行ハシムヘシ但シ學校醫ナキ場合又ハ學校醫カ身體檢查ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ臨時ニ檢查醫ヲ囑託シテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第三條　學校醫又ハ臨時檢查醫ナキ學校ニ於テハ其ノ職員ヲシテ生徒兒童ノ發育（身長、體重、胸圍、概評）ニ就キ身體檢查ヲ行ハシムヘシ

第四條　身體檢查ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外大正九年文部省令第十六號學生生徒兒童身體檢查規程ヲ準用ス

第五條　生徒兒童ノ發育概評ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ムヘシ

一　七年ヨリ十八年マテノ男子、七年ヨリ十六年マテノ女子ニ在リテハ被檢者ノ身長、體重、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ノ三者カ何レモ別表發育概評決定標準表ニ照シテ當該年齢ヨリ一年長ノモノノ標準以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セシテ一年半少ノモノノ標準以上ナルヲ乙トシ甲乙何レニモ該當セサルモノヲ丙トス

別表中ニ揭ケサル年少者ニ關シテハ右ニ準シテ推定スルモノトス

二　十九年以上ノ男子ニ在リテハ身長一六〇・六センチメートル、體重五三・六キログラム、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ〇・三三四以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セシテ身長一五七・〇センチメートル、體重四八・八キログラム、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ〇・三一一以上ナルヲ乙トシ、甲乙何レニモ該當セサルヲ丙トス

十七年以上ノ女子ニ在リテハ身長一四八・五センチメートル、體重四六・八キログラム、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ〇・三一五以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セシテ身長一四三・九センチメートル、體重三九・四キログラム、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ〇・二七四以上ナルヲ乙トシ、甲乙何レニモ該當セサルヲ丙トス

三　前各號ニ於ケル被檢者ノ身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ノ計算ハ小數第三位ニ止メ第四位以下ハ切捨ツルモノトス

第六條　第一條第一項ノ身體檢查ヲ施行シタルトキハ學校長ハ身體檢查統計表ヲ調製シ其ノ年六月限リ官立學校ニ在リテハ朝鮮總督ニ其ノ他ノ學校ニ在リテハ道知事ニ報告スヘシ

道知事前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ其ノ年七月限リ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第七條　特別ノ事情アル場合ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ本令ノ身體檢查ヲ行ハサルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

教科課程ニ關シ規定ナキ私立學校ニ於テハ當分ノ間本令ノ身體檢查ヲ行ハサルコトヲ得

本令ハ當分ノ間朝鮮人タル女生徒兒童ニハ之ヲ適用セサルコトヲ得

發育概評決定標準表

男

年齢	身長	體重	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商	身長	體重	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商
六年	一〇二・七	一六・〇	〇・一五六	一〇一・種	一五・趣	〇・一五二
七年	一〇六・七	一七・五	〇・一六四	一〇五・五	一六・九	〇・一六〇
八年	一一一・二	一九・二	〇・一七三	一〇九・七	一八・四	〇・一六八
九年	一一五・八	二一・〇	〇・一八一	一一四・二	二〇・二	〇・一七七
一〇年	一二〇・三	二二・九	〇・一九〇	一一八・八	二二・一	〇・一八六
一一年	一二四・九	二四・九	〇・一九九	一二三・六	二四・三	〇・一九七
一二年	一二八・八	二七・一	〇・二一〇	一二八・五	二七・〇	〇・二一〇
一三年	一三三・六	二九・九	〇・二二四	一三五・二	三〇・八	〇・二二八
一四年	一三九・四	三三・六	〇・二四一	一三九・四	三四・七	〇・二四九
一五年	一四六・四	三八・二	〇・二六一	一四三・九	三九・〇	〇・二七一
一六年	一五二・七	四四・五	〇・二九一	一四六・七	四二・七	〇・二九一
一七年	一五七・〇	四八・二	〇・三〇七	一四七・九	四五・一	〇・三〇五
一八年	一五九・一	五〇・七	〇・三一九			
一九年	一六〇・三	五二・六	〇・三二八			

女

年齢	身長	體重	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商	身長	體重	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商
六年	一〇二・七	一六・〇	〇・一五六	一〇一・種	一五・趣	〇・一五二
七年	一〇六・七	一七・五	〇・一六四	一〇五・五	一六・九	〇・一六〇
八年	一一一・二	一九・二	〇・一七三	一〇九・七	一八・四	〇・一六八
九年	一一五・八	二一・〇	〇・一八一	一一四・二	二〇・二	〇・一七七
一〇年	一二〇・三	二二・九	〇・一九〇	一一八・八	二二・一	〇・一八六
一一年	一二四・九	二四・九	〇・一九九	一二三・六	二四・三	〇・一九七
一二年	一二八・八	二七・一	〇・二一〇	一二八・五	二七・〇	〇・二一〇
一三年	一三三・六	二九・九	〇・二二四	一三五・二	三〇・八	〇・二二八
一四年	一三九・四	三三・六	〇・二四一	一三九・四	三四・七	〇・二四九
一五年	一四六・四	三八・二	〇・二六一	一四三・九	三九・〇	〇・二七一
一六年	一五二・七	四四・五	〇・二九一	一四六・七	四二・七	〇・二九一
一七年	一五七・〇	四八・二	〇・三〇七	一四七・九	四五・一	〇・三〇五
一八年	一五九・一	五〇・七	〇・三一九			
一九年	一六〇・三	五二・六	〇・三二八			

●學生生徒兒童身體檢查規程

大正九年七月
文部省令第十六號

（改正　昭和二年三月第七號、七年二月第四號）

學生生徒兒童身體檢查規程左ノ通定ム

學生生徒兒童身體檢查規程

第一條　學生生徒兒童身體檢查ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ但シ止ムヲ得サル場合ニハ五月ニ於テ之ヲ施行スルコトヲ得

第二條　身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ但シ學校醫ナキ場合又ハ學校醫カ身體檢查ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ臨時ニ檢查醫ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第三條　身體檢查ハ學校職員又ハ他ノ適當ナルモノヲシテ身體檢查ノ一部ヲ助ケシムルコトヲ得

第四條　身體檢查ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

一　發育（身長、體重、胸圍、概評）二榮養　三脊柱　四視力及屈折狀態　五色神　六眼疾　七聽力　八耳疾　九齒牙　十其ノ他ノ疾病及異常　十一檢查ノ要否

前項目ノ外必要ト認メタル事項ハ特ニ檢查ヲ行フコトヲ得

色神檢查ハ在學中一回行ヒタルトキハ其ノ後之ヲ省略スルコトヲ得

尋常小學校第四學年以下ノ兒童ニ在リテハ視力及屈折狀態色神並聽力ノ檢查ヲ省略スルコトヲ得

第四條　身體檢查ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

一　檢查ノ表記ニハ度ハセンチメートル、衝ハキログラムヲ以テ單位トシ四捨五入

法ヲ用ヒテ夫々單位ノ下一位ニ止ムヘシ

二　身長ヲ測定スルニハ足袋、靴等ヲ脫セシメ兩踵ヲ密接シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ又女子ニシテ髷アル者ハ小桿ヲ髷下ニ水平ニ挿入シテ測定スヘシ

三　體重ハ著衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ著衣ノ重量ヲ除去スヘシ

四　胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ乳頭ノ水平線ニ沿ヒ普通呼氣ノ終レル時ヲ測定スヘシ

乳房ノ下垂セル女子ニ在リテハ乳線上第四肋間ノ水平線ニ於テ測定スルモノトス

五　發育ノ概評ハ別ニ定ムル標準ニ據リ甲、乙、丙ノ三ニ分ツモノトス

六　榮養ハ甲、乙、丙ニ分チ其ノ佳良ナルヲ甲トシ不良ナルヲ丙トシ其ノ中間ナルヲ乙トス

七　脊柱ハ正、左彎、右彎、前彎、後彎ヲ區別シ脊柱ニ就テハ凡テ其ノ凸側ニ依リテ前後左右ノ方向ヲ表示スルモノトス其ノ程度ハ之ヲ強弱ノ二種ニ區別シ自己ノ意思ニ依リ容易ニ矯正シ得ルモノヲ弱トシ然ラサルモノヲ強トス

八　視力ハ萬國式試視力表ニ就キ兩眼ヲ各別ニ檢查シ裸眼視力ヲ記入スヘシ、裸眼視力ニ〇以上ナルヲ正視眼トス

屈折機ノ異常アルモノハ其ノ種別ヲ記入スヘシ

弱視、失明等モ兩眼ニツキ各別ニ記入スヘシ

九　色神ハ其ノ異常アルモノニ就キ色盲及色弱ヲ區別スヘシ

十　聽力ハ其ノ障碍ノ有無ヲ檢查スヘシ

十一　齒牙ハ齲齒ニ就キ檢查スヘシ

十二　其ノ他ノ疾病及異常ハ檢查ノ際發見シタルモノヲ記入スヘシ殊ニ結核性疾患、腺病、肋膜炎、心臟疾患及機能障碍、貧血、脚氣、傳染性皮膚病、腺樣肢殖症及扁桃腺肥大、「ヘルニヤ」、神經衰弱、精神障碍ニ注意スヘシ

十三　監督ノ要否ハ檢查ノ結果身心ノ健康狀態不良ニシテ學校衛生上特ニ繼續的ニ監督ヲ要スト認ムル者ヲ「要」トシ記入スルモノトス

第五條　第一條第一項ノ身體檢查ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ身體檢查票ニ記入シ本人同一種類ノ學校ニ在學中連年之ヲ施行スヘシ但シ程度ヲ異ニスル學科部類毎ニ別票ヲ用フルモノトス

第一條第二項ノ臨時身體檢查ノ際必要ト認ムル事項ヲ發見シタルトキハ之ヲ身體檢查票ノ裏面ニ記入スルモノトス

他校ヨリ轉入シタル者アルトキハ前ノ學校ヨリ其ノ身體檢查票ノ交付ヲ受ケ使用スヘシ

身體檢查票ハ學校長ニ於テ保管スヘシ

第六條　身體檢查ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ本人若ハ其ノ保護者ニ示シ又ハ治療保護矯正等ヲ要スヘキモノアルトキハ本人若ハ其ノ保護者ニ對シテ特ニ注意スヘキモノトス

第七條　第一條第一項ノ身體檢查ヲ施行シタルトキハ學校長ハ身體檢查統計表ヲ調製シ其ノ年六月限リ直轄學校、公立私立ノ大學高等學校及專門學校ニ在リテハ文部大臣ニ其ノ他ノ學校ニ在リテハ地方長官ニ報告スヘシ

地方長官ハ前項ノ報告ヲ受ケタルトキ取纏メ其ノ年七月限リ文部大臣ニ報告スヘシ

第八條　幼稚園ニ於テハ本令中尋常小學校第四學年以下ノ兒童ノ身體檢查ニ關スル規定ニ準用スル但シ胸圍及脊柱ノ檢查ヲ省略スルコトヲ得

第九條　特別ノ事情アル場合ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ本令ノ身體檢查ヲ行ハサルコトヲ得

附　則

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年文部省令第四號ハ之ヲ廢止ス

本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和二年三月文令第三號）

身體檢查票

學校名												
氏名	男女	年 月 日生	家ノ職業	發育	身長	年 齡 年	年 齡 年	年 齡 年	年 齡 年	年 齡 年	年 齡 年	年 齡 年
					體重	學年	學年	學年	學年	學年	學年	學年
				胸圍		檢查年月日						
				概評								
				榮養								
				脊柱								
				視力及屈折狀態	左							
					右							
				色神								
				眼疾								
				聽力								
				耳疾								

（注意事項）

一用紙ノ大サハ幅二十四センチメートル、長サ三十六センチメートルトス

二横ノ區劃ハ全學年數ヨリ二欄多クシ尙足ラサルトキハ符箋ヲ以テ之ヲ補フヘシ

三學校名欄ニハ本規程第五ノ學科部類名ヲモ併セ記入スヘシ移轉先學校名ハ適宜學校名欄ノ餘白ニ記入スヘシ

四疾病其ノ他ノ爲檢查ヲ受ケサル場合ハ當該區劃ニ其ノ旨記入スヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

（檢查 月 日 年 和昭）（女男）表計統查檢體身童兒徒生生學（校名）

年		年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
身長	均長年															
體重	均重年															
胸圍	均長年															
發育概評	甲乙丙甲乙丙															
榮養	正常															
脊柱	正常															
視力及屈折狀態	眼裸右															
	眼裸左															
	眼矯右															
	眼矯左															
	近視及其ノ他ノ亂視															
色神異常	檢查人員															
眼疾ノ他	トラホーム															
聽力障害	アル者															
耳病																
齒牙齒列	アル者															
其ノ他ノ疾病異常																
檢查要スル者																
檢查人員																
備考																

齒牙

其ノ他ノ疾病、異常

監察ノ要否

本人ニ對スル注意

備考

檢查醫印

一用紙ノ大サハ幅二十六センチメートル長サ三十八センチメートルトス

一本表ハ男女別學科部類別ニ調製スヘシ

一年齢ハ四月一日ノ計算ニ依リ滿六年一日以上滿七年迄ノ者ヲ七年トシ其ノ他之ニ準ス

一身長、胸圍ニ係ル總長、體重ニ係ル總重ノ各欄ニハ執レモ同一年齢ニ於ケル各檢查人員ノ身長、胸圍又ハ體重ノ各合計ヲ揭ケ平均ノ各欄ニハ其檢查人員ヲ以テ總長又ハ總重ヲ除シタル商ヲ揭クヘシ

一視力及屈折狀態ニ就テハ兩眼ノ欄ニハ兩眼トモ正視、遠視、近視、若ハ亂視及ヒ其ノ他ノ者ノ人員ヲ揭ケ一眼ノ欄ニハ一眼ノミ正視、遠視、近視若ハ亂視及ヒ其ノ他ノ者ノ人員ヲ揭クヘシ

一色神ニ就テハ異常者ノ數及ヒ檢查人員ヲ記スヘシ

一尋常小學校第四學年以下ノ兒童及幼稚園幼兒ニ在リテハ視力及屈折狀態、色神竝聽力之ヲ本表ニ計入スルヲ要セス

一其ノ他ノ疾病異常欄ニ不足ヲ生シタルトキハ附箋ヲ以テ之ヲ補フヘシ

一前項ノ外本表ニ記入スヘキ項目ノ一部ノ檢查ヲ缺キタル者ハ之ヲ表中ニ計入スヘカラス

一外國人ニ係ルモノハ之ヲ計入スヘカラス

一備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ關シ說明ヲ要スル事項其ノ他特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

一本表ノ成績ニ關シ學校醫ニ於テ學校衛生上意見アルトキハ之ヲ表末ニ附記スヘシ

●學校體操教授要目

昭和二年四月
總訓第八號

學校體操教授要目左ノ通改正ス宜シク本教授要目ニ準據シ且教練教授要目トノ聯繫ヲ保チ克ク土地ノ情況ト生徒兒童心身ノ發達トニ鑑ミ各適切ナル教程ヲ定メテ之ヲ實施シ以テ體育ノ振興ヲ圖リ生徒兒童身體ノ健全ナル發達ヲ期スヘシ

學校體操教授要目

目次

體操科ノ教材
體操
教練
遊戲及競技
劍道及柔道
體操科教材ノ配當
小學校及普通學校
高等女學校、女子高等普通學校及女子ノ實業學校
中學校、高等普通學校及男子ノ實業學校
師範學校
體操科教授時間外ニ於テ行フヘキ諸運動教授上ノ注意

學校體操教授要目（省略）

●官立學校授業料規則

大正三年三月
總令第十七號
改正　大正四年勅令第三三號、九年同第五一號、一一年同第三六號、一二年第三一號、一四年同第三六號、九年同第三九號

官立學校授業料規則左ノ通定ム

官立學校授業料規則

第一條　官立學校ハ左ノ區別ニ依リ授業料ヲ徵收ス

大學豫科	一學年	七十五圓
專門學校	一學年	五十圓
實業學校	一月	二圓
附屬小學校	一月	四十錢
附屬普通學校	一月	四十錢

第二條　授業料ハ大學豫科及專門學校ニ在リテハ左ノ三期ニ分納セシメ其ノ他ノ學校ニ在リテハ每月之ヲ納付セシム

第一期	四月一日ヨリ八月三十一日迄
第二期	九月一日ヨリ十二月二十日迄
第三期	一月一日ヨリ三月三十一日迄

第三條　附屬普通學校ノ兒童ニシテ授業料ヲ納付シ能ハサル者ニ付テハ學校長ハ情狀ニ依リ其ノ授業料ヲ減額又ハ免除スルコトヲ得

第四條　大學豫科又ハ專門學校ノ生徒ニシテ休學スル者ノ業授料ハ次期以後ノ分納額ヲ免除ス

休學ノ事故止ミ各分納期ノ中途ヨリ出席シタルトキハ當該期ノ分納額ハ休學一月ニ渉リタル分ニ對シ大學豫科ニ在リテハ一月六圓、專門學校ニ在リテハ一月四圓ノ割合ヲ以テ之ヲ免除ス

大學豫科及專門學校以外ノ學校ニ在リテハ夏季休業日又ハ學校ノ都合ニ依リ休業引續キ一月ニ渉ルトキハ其ノ月ノ授業料ヲ徵收セス引續キ一月ニ渉リ休學シタルトキ亦同シ

第五條　授業料ノ缺席又ハ出席停止ノ爲減額又ハ免除セス

第六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七條　授業料徵收期日ハ總長又ハ學校長之ヲ定ム但シ大學豫科及專門學校ニ在リテハ各納期ノ最初ノ月ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第八條　總長又ハ學校長ハ授業料徵收期日後滯納一月ニ及ヒ者ニハ出席ヲ停止シ二月ニ及フ者ニハ退學ノ處分ヲ爲スコトヲ得

附　則

本令ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮總督府中學校以外ノ學校生徒ニシテ本令施行前入學シタル者ニ付テハ本令ヲ適用セス

附　則（大正九年四月總令第五十一號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前入學シタル者ニ付テハ其ノ卒業ニ至ル迄ノ間第四條ヲ除クノ外仍從前ノ規程ニ依ル

附　則（大正十一年二月總令第二十二號）

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十三年五月總令第三十一號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大學豫科ノ大正十三年度第一期分授業料納付期日ニ付テハ第七條但書ノ規定ヲ適用セス

附　則（昭和九年四月總令第三十九號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前大學豫科ニ入學シタル生徒ニ付テハ其ノ修了ニ至ル迄ノ間仍從前ノ規定ニ依ル

●教員心得

大正五年一月
總訓第二號

教員心得左ノ通定ム

教員心得

帝國教育ノ本旨ハ夙ニ教育ニ關スル勅語ニ明示セラルル所其ノ內地人ニ對スルト朝鮮人ニ對スルトヲ問ハス均シク聖慮ニ基キ忠良ナル國民ヲ育成セサルヘカラス蓋シ我カ帝國ハ開闢以來萬世一系君臣一體世界ニ比類ナキ國體ヲ有ス故ニ帝國臣民タルモノハ協心戮力瓶先ノ美風ヲ繼承シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼セサルヘカラス是レ實ニ教育ノ大本ニシテ又國家カ特ニ教育ヲ布ク所以ナリ故ニ教育ノ任ニ當ル者ハ常ニ國民教育ノ大本ニ思ヲ致シ特ニ左ノ三箇條ニ留意シテ努力奮勵セムコトヲ要ス

第一條　忠孝ヲ本トシ德性ヲ涵養スヘシ

忠孝ハ人倫ノ大本ニシテ臣子ノ至情ニ出ツ此ノ大本ニ基キ此ノ至情ニ出テテ始メテ百行其ノ軌ヲ謬ラサルヲ得ヘシ忠誠孝順能ク臣子ノ本分ヲ知ルモノハ日常其ノ業ヲ執ルコトヲ忠實ニ其ノ產ヲ治ムルコト勤儉ニ以テ身ヲ立テ世ニ處シ國運ノ發展ニ貢獻スルノ人タルヲ得ヘシ故ニ教育ノ任ニ當ルモノハ忠孝ヲ本トシテ德性ヲ涵養シ以テ帝國ノ臣民トシテ其ノ本分ヲ完ウシ得ルノ人物ヲ教養セムコトヲ期スヘシ

第二條　實用ヲ旨トシテ知識技能ヲ教授スヘシ

教育ノ要ハ實用的人材ヲ育成シ國家ノ需要ニ應セシメムトスルニ在リ若シ國民ヲシテ徒ラニ空論ニ走リテ世用ニ遠サカリ勤勞ヲ厭ヒテ實行ヲ怠ニスルカ如キコトアラハ何ソ能ク身ヲ立テ產ヲ興シ國益ヲ增進シ以テ其ノ本分ヲ完ウスルコトヲ得ムヤ故ニ教育ノ任ニ當ル者ハ須ラク利用厚生ノ道ニ著眼シ有用ナル智能ノ啓沃ニ務メ以テ國家ノ需要ニ適應スル實用的人材ヲ育成セムコトヲ期スヘシ

第三條　强健ナル身體ヲ育成スヘシ

凡百ノ事業ヲ遂行スルニハ强健ナル體力ヲ要シ國家ノ富强モ亦强健ナル國民ノ努力ニ待ツコト大ナリ身體羸弱ニシテ用ニ耐ヘスムハ何ソ能ク世ニ處シ業ニ服シ以テ帝國ノ進運ニ貢獻スルコトヲ得ムヤ故ニ教育ノ任ニ當ル者ニ此ニ留意シ强健ナル國民ヲ育成セムコトヲ期スヘシ

以上ノ三箇條ハ教育ノ大綱ナリ凡ソ邦家ノ隆替ハ之ヲ構成スル人民ノ良否ニ由リ人民ノ良否ハ其ノ德操智能體力ノ如何ニ存スル故ニ苟モ教育ニ從事スル者ハ其ノ初等教育タルト高等教育タルトヲ問ハス普通教育タルト專門教育タルトヲ論セス常ニ此ノ大綱ヲ念頭ニ置キ全力ヲ擧ケテ其ノ實現ヲ期シ以テ教育ノ本旨ヲ達セサルヘカラス而シテ之カ實現ノ方法ニツキテハ特ニ左ノ九項ニ注意スルヲ要ス

一　生徒ノ性質境遇ニ順應シテ教育ヲ施スヘシ

教師ハ先ツ生徒一般ノ性質境遇ヲ明カニシ之ニ順應シテ適當ナル教育ヲ施ササルヘカラス生徒ノ性質及境遇ノ如何ヲ究メスシテ漫然教育ヲ爲スカ如キコトアラハ教育ノ效果ヲ收ムル能ハサルノミナラス或ハ有害ナル結果ニ陷ルヘシ故ニ教師ハ夙メ生徒ノ年齡體質氣風習慣等ヲ知悉シテ教育ノ資トナサムコトヲ要ス又教師ハ生徒一般ノ性質境遇ノ外ニ各生徒ノ個性ヲ知リ之ニ應シテ善導スルコトクナルヘシ若シ夫レ教室ニ於ケル

官立學校

道

學校體操教授要目左ノ通改正ス宜シク本教授要目ニ準據シ且教練教授要目トノ聯繫ヲ保チ克ク土地ノ情況ト生徒兒童心身ノ發達トニ鑑ミ各適切ナル教程ヲ定メテ之ヲ實施シ以テ體育ノ振興ヲ圖リ生徒兒童身體ノ健全ナル發達ヲ期スヘシ

學校體操教授要目

目次

體操科ノ教材
體操
教練
遊戲及競技
劍道及柔道
體操科教材ノ配當
小學校及普通學校
高等女學校、女子高等普通學校及女子ノ實業學校
中學校、高等普通學校及男子ノ實業學校
師範學校
體操科教授時間外ニ於テ行フヘキ諸運動教授上ノ注意

學校體操教授要目（省略）

●官立學校授業料規則

大正三年三月
總令第十七號
改正　大正四年勅令第三三號、九年同第五一號、一一年同第三六號、一二年第三一號、一四年同第三六號、九年同第三九號

官立學校授業料規則左ノ通定ム

官立學校授業料規則

第一條　官立學校ハ左ノ區別ニ依リ授業料ヲ徵收ス

大學豫科	一學年	七十五圓
專門學校	一學年	五十圓
實業學校	一月	二圓
附屬小學校	一月	四十錢
附屬普通學校	一月	四十錢

第二條　授業料ハ大學豫科及專門學校ニ在リテハ左ノ三期ニ分納セシメ其ノ他ノ學校ニ在リテハ每月之ヲ納付セシム

第一期	四月一日ヨリ八月三十一日迄
第二期	九月一日ヨリ十二月二十日迄
第三期	一月一日ヨリ三月三十一日迄

第三條　附屬普通學校ノ兒童ニシテ授業料ヲ納付シ能ハサル者ニ付テハ學校長ハ情狀ニ依リ其ノ授業料ヲ減額又ハ免除スルコトヲ得

第四條　大學豫科又ハ專門學校ノ生徒ニシテ休學スル者ノ業授料ハ次期以後ノ分納額ヲ免除ス

休學ノ事故止ミ各分納期ノ中途ヨリ出席シタルトキハ當該期ノ分納額ハ休學一月ニ渉リタル分ニ對シ大學豫科ニ在リテハ一月六圓、專門學校ニ在リテハ一月四圓ノ割合ヲ以テ之ヲ免除ス

大學豫科及專門學校以外ノ學校ニ在リテハ夏季休業日又ハ學校ノ都合ニ依リ休業引續キ一月ニ渉ルトキハ其ノ月ノ授業料ヲ徵收セス引續キ一月ニ渉リ休學シタルトキ亦同シ

第五條　授業料ノ缺席又ハ出席停止ノ爲減額又ハ免除セス

第六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七條　授業料徵收期日ハ總長又ハ學校長之ヲ定ム但シ大學豫科及專門學校ニ在リテハ各納期ノ最初ノ月ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第八條　總長又ハ學校長ハ授業料徵收期日後滯納一月ニ及ヒ者ニハ出席ヲ停止シ二月ニ及フ者ニハ退學ノ處分ヲ爲スコトヲ得

附　則

本令ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮總督府中學校以外ノ學校生徒ニシテ本令施行前入學シタル者ニ付テハ本令ヲ適用セス

附　則（大正九年四月總令第五十一號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前入學シタル者ニ付テハ其ノ卒業ニ至ル迄ノ間第四條ヲ除クノ外仍從前ノ規程ニ依ル

附　則（大正十一年二月總令第二十二號）

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十三年五月總令第三十一號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大學豫科ノ大正十三年度第一期分授業料納付期日ニ付テハ第七條但書ノ規定ヲ適用セス

附　則（昭和九年四月總令第三十九號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前大學豫科ニ入學シタル生徒ニ付テハ其ノ修了ニ至ル迄ノ間仍從前ノ規定ニ依ル

●教員心得

大正五年一月
總訓第二號

教員心得左ノ通定ム

教員心得

帝國教育ノ本旨ハ夙ニ教育ニ關スル勅語ニ明示セラルル所其ノ內地人ニ對スルト朝鮮人ニ對スルトヲ問ハス均シク聖慮ニ基キ忠良ナル國民ヲ育成セサルヘカラス蓋シ我カ帝國ハ開闢以來萬世一系君臣一體世界ニ比類ナキ國體ヲ有ス故ニ帝國臣民タルモノハ協心戮力瓶先ノ美風ヲ繼承シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼セサルヘカラス是レ實ニ教育ノ大本ニシテ又國家カ特ニ教育ヲ布ク所以ナリ故ニ教育ノ任ニ當ル者ハ常ニ國民教育ノ大本ニ思ヲ致シ特ニ左ノ三箇條ニ留意シテ努力奮勵セムコトヲ要ス

第一條　忠孝ヲ本トシ德性ヲ涵養スヘシ

忠孝ハ人倫ノ大本ニシテ臣子ノ至情ニ出ツ此ノ大本ニ基キ此ノ至情ニ出テテ始メテ百行其ノ軌ヲ謬ラサルヲ得ヘシ忠誠孝順能ク臣子ノ本分ヲ知ルモノハ日常其ノ業ヲ執ルコトヲ忠實ニ其ノ產ヲ治ムルコト勤儉ニ以テ身ヲ立テ世ニ處シ國運ノ發展ニ貢獻スルノ人タルヲ得ヘシ故ニ教育ノ任ニ當ルモノハ忠孝ヲ本トシテ德性ヲ涵養シ以テ帝國ノ臣民トシテ其ノ本分ヲ完ウシ得ルノ人物ヲ教養セムコトヲ期スヘシ

第二條　實用ヲ旨トシテ知識技能ヲ教授スヘシ

教育ノ要ハ實用的人材ヲ育成シ國家ノ需要ニ應セシメムトスルニ在リ若シ國民ヲシテ徒ラニ空論ニ走リテ世用ニ遠サカリ勤勞ヲ厭ヒテ實行ヲ怠ニスルカ如キコトアラハ何ソ能ク身ヲ立テ產ヲ興シ國益ヲ增進シ以テ其ノ本分ヲ完ウスルコトヲ得ムヤ故ニ教育ノ任ニ當ル者ハ須ラク利用厚生ノ道ニ著眼シ有用ナル智能ノ啓沃ニ務メ以テ國家ノ需要ニ適應スル實用的人材ヲ育成セムコトヲ期スヘシ

第三條　强健ナル身體ヲ育成スヘシ

凡百ノ事業ヲ遂行スルニハ强健ナル體力ヲ要シ國家ノ富强モ亦强健ナル國民ノ努力ニ待ツコト大ナリ身體羸弱ニシテ用ニ耐ヘスムハ何ソ能ク世ニ處シ業ニ服シ以テ帝國ノ進運ニ貢獻スルコトヲ得ムヤ故ニ教育ノ任ニ當ル者ニ此ニ留意シ强健ナル國民ヲ育成セムコトヲ期スヘシ

以上ノ三箇條ハ教育ノ大綱ナリ凡ソ邦家ノ隆替ハ之ヲ構成スル人民ノ良否ニ由リ人民ノ良否ハ其ノ德操智能體力ノ如何ニ存スル故ニ苟モ教育ニ從事スル者ハ其ノ初等教育タルト高等教育タルトヲ問ハス普通教育タルト專門教育タルトヲ論セス常ニ此ノ大綱ヲ念頭ニ置キ全力ヲ擧ケテ其ノ實現ヲ期シ以テ教育ノ本旨ヲ達セサルヘカラス而シテ之カ實現ノ方法ニツキテハ特ニ左ノ九項ニ注意スルヲ要ス

一　生徒ノ性質境遇ニ順應シテ教育ヲ施スヘシ

教師ハ先ツ生徒一般ノ性質境遇ヲ明カニシ之ニ順應シテ適當ナル教育ヲ施ササルヘカラス生徒ノ性質及境遇ノ如何ヲ究メスシテ漫然教育ヲ爲スカ如キコトアラハ教育ノ效果ヲ收ムル能ハサルノミナラス或ハ有害ナル結果ニ陷ルヘシ故ニ教師ハ夙メ生徒ノ年齡體質氣風習慣等ヲ知悉シテ教育ノ資トナサムコトヲ要ス又教師ハ生徒一般ノ性質境遇ノ外ニ各生徒ノ個性ヲ知リ之ニ應シテ善導スルコトクナルヘシ若シ夫レ教室ニ於ケル

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一般教育ノミチヲ以テ能ク単レリトイヘシ一般生徒ニ対シテモ個人ニ対シテモ特別ノ指導扶掖ヲ怠ルカ如キコトアラハ未タ以テ周到切実ナル教育ト謂フコト能ハス

二　教育ハ時勢ト民度トニ適合スル教育ヲ施スヘシ教育ハ時勢ト民度トヲ措ヘ之ニ適合セムコトヲ務メサルヘカラス従ヒテ因襲ノ形式ニ拘束セラレ或ハ漫然事ヲ慮スルカ如キハ教育ノ功ヲ収ムル所以ニアラス故ニ教師ハ徳育ニ智育ニ体育ニ各一定ノ計畫ヲ立テ周密ナル豫定ヲ案シ以テ教育ノ方法ヲ校其スルニ於テ遺算ナカラムコトヲ要ス

三　訓育ニ留意シ国民的性格ノ養成ニ力ムヘシ

教育ニ於テハ国民的性格ノ養成ヲ期シ特ニ訓育ニ力ヲ用ヒ徳性ノ涵養ヲ務メサルヘカラスサレハ学科ヲ授クル間ニモ実習ヲ課スル間ニモ其ノ他機会ノアル毎ニ訓育ニ留意シテ訓諭ニ勉メ生徒ヲシテ日常人ニ接スルニ覚容己レヲ持スルニ謹格秩序ヲ重ンシ規律ヲ守リ力行業ニ勵ミ倹素身ヲ奉シ著実敦厚ノ習性トナリ能ク国民タルノ本分ヲ完ウスヘキ人物ヲ教養セムコトヲ期スヘシ

四　統一アル教授ヲ行ヒ錬磨ノ效ヲ積マシメ生徒ヲシテ其ノ学ノ所ヲ確実ナラシムヘシ教授ノ的確ナラシメムカ為メニハ各教科目ノ教授ノ目的ヲ明カニシ系統ヲ追ヒ秩序ヲ正スト共ニ各教科目ノ間ニ連絡統一アラシメ散漫孤立ニ陥リ扞格矛盾スルカ如キコトナキヲ要ス各教師科目ヲ分チテ業ヲ授クル場合ニハ特ニ此ノ点ニ注意シ互ニ連絡ヲ保チ協議ヲ怠ラス生徒ヲシテ首尾相應シ脈絡貫通スル教授ヲ受ケシメムコトヲ期スヘシ生徒ニ授クル知識技能ノ分量ハ必スシモ多キヲ貪ルヘカラス要ハ生徒ヲシテ十分ニ理會習熟セシムルニアリ故ニ一且授ケタル知識技能ハ機ニ觸レ物ニ應シテ反覆錬磨ノ效ヲ積マシムヘシ此ノ如クニシテ始メテ生徒ノ修得セル智能ハ確實ナル根蒂ト具ニ圓熟ナル統一ヲ保チ自由ニ敏活ニ運用セラルルニ至ルモノナリ

五　学習ニ興味ヲ感シ自発自習ノ習慣ヲ得シムヘシ

教授ノ際ハ適宜ナル方策ニヨリ興味ヲ感セシメ理會ノ透徹ヲ期シ生徒ノ向学心ヲ振起スルコト肝要ナリ又生徒ヲ教授スルニ當リミナラス倆ラ学習ノ方法ヲ指導セムコトヲ要ス其ノ他児科教育ニ於テハ實習ニ對シテ興味ヲ感セシメ勤ヘシ斯クノ如クニシテ児童ヲシテ自発的ニ学ハシメ勉メシメサルヘカラス

六　運動ト娯楽

人ノ世ニ處シ事ヲ成スト強健ナル體力ニ待タサルヘカラス故ニ身體ノ發育ニ作ヒ適度ノ體操ト課スルト共ニ季節ニ應シ土地ノ状況ニ從ヒ適當ナル運動遊戯ヲ奨勵シ以テ身體ヲ鍛錬シ氣力ヲ旺盛ニシ寒暑風雪ヲ冒シ困苦缺乏ニ耐ヘ得ル體質ヲ養成スヘシ尚ホ生徒サシテ修學中ハ勿論卒業後ト雖自ラ進ンテ運動ヲ務ムルノ風ヲ養成シ其ノ體質ヲ強健ニセムコトヲ期スヘシ

七　教師ハ親愛ト威重トヲ以テ生徒ニ臨ミ常ニ率先シテ模範ヲ示スヘシ

教師ノ生徒ニ臨ムヤ威重ナカルヘカラス之ニヨリテ教授訓練共ニ徹底シ訓育ノ効力ヲ生スルモノナリ教師ハ常ニ自己ノ修養ニ力ムヘシ

八　教師ハ志操ヲ堅實ニシ常ニ自己ノ修養ニ努ムヘシ

教育ノ事業タル功ヲ日前ニ求メスシテ之ヲ永遠ノ期スルモノナレハ教師タルモノハ教育ヲ以テ名譽アル天職トシ屑セス撓マス終局ノ目的ニ向ツテ勇往邁進シ斯業ニ殉スル操守ナカルヘカラス又教師ハ其ノ任務ノ重大ナル所以ヲ自覚シ修養ノ是レサルヲ以テ生徒上ノ模範タルニ恥チサルヘカラス

九　教師ハ同僚相親和シ進ンテ父兄鄉黨ニ親ミ之ヲ教化スルノ覺悟アルヘシ

教育ノ事業ハ關係スル所大ニシテ獨力其ノ效果ヲ擧ケ難キモノナレハ教師ハ同僚互ニ親和一致シ好窓ヲ以テ忠告善導シ優良ナル校風ヲ扶植シ最善ノ訓化ヲ生徒ニ及ホサムコトヲ期スヘシ其ノ他教師ハ父兄鄉黨ト親睦提携シ相呼應シテ教育ノ事業ヲ成就セムコトヲ計ルト共ニ社會ノ先覺ヲ以テ自ラ任シ之ヲ教化誘導スルノ覺悟アルヲ要ス之ヲ要スルニ教師タルモノハ帝國教育ノ本旨ヲ體シ之ヲ實現スル所以ノ方法ヲ講シ至誠ヲ基トシ努力之ヲ遂行シ以テ教育ノ實績ヲ擧ケ帝國ノ進運ニ貢献セムコトヲ期スヘシ遊シ人生凡百ノ行爲一トシテ至誠ニ基カサルハナク努力ニ待タサルハナシ此ノ至誠此ノ努力アリテ始メテ能ク忠良ナル國民ヲ育成シ聖旨ニ奉答スルコトヲ得ヘシ本總督朝鮮ノ教育ニ關シ其ノ職ニ當ル者ニ望ヲ屬スルヤ切リ玆ニ教師ノ日常心得ヘキモノヲ示シ其ノ歸嚮スル所ヲ知ラシム

●學校醫規則

大正八年四月
總令第五十九號

學校醫規則左ノ通定ム

第一條　官公立學校ニ學校醫ヲ置ク

公立學校ニハ特別ノ事情アルトキハ當分ノ內學校醫ヲ置カサルコトヲ得

第二條　學校醫ハ醫師免許規則ニ依リ醫師ノ免許ヲ受クタル者ナルコトヲ要ス

第三條　學校醫ハ官立學校ニ在リテハ朝鮮總督、公立學校ニ在リテハ道長官之ヲ囑託ス

第四條　學校醫ノ手當ハ其ノ學校經費ヨリ支給スヘシ

第五條　學校醫ハ毎月少クモ一回教授時間內ニ於テ當該學校ニ至リ教室及寄宿舍等ノ衛生上ノ事項ヲ視察シ其ノ要領ヲ視察簿ニ記入スヘシ

視察スヘキ事項ノ概目左ノ如シ

一　換気ノ良否
二　採光ノ適否
三　室内ノ温度
四　煖房装置ノ適否
五　机、腰掛及其ノ排列ノ適否
六　飲料水ノ良否
七　職員生徒ノ健康狀態
八　職員生徒ノ健康ニ必要ナル事項
九　前各號ノ外衛生上必要ナル事項

第六條　學校醫ハ學校視察ノ際疾病ニ罹レル職員生徒ヲ發見シタルトキハ其ノ病症ニ依リ缺勤缺課、休學又ハ治療ヲ爲サシムヘキコトヲ學校長ニ申告スヘシ

第七條　學校醫ハ學校附近又ハ學校內ニ於テ傳染病發生シタルトキハ學校ニ到リ必要ナル豫防及消毒方法ヲ講シ尚其ノ狀況ニ依リ學校ノ全部又ハ一部ノ閉鎖ヲ必要ト認ムルトキハ之ヲ學校長ニ申告スヘシ

通學生徒ニ住居地又ハ其ノ附近ニ傳染病發生シタル場合ニ於テ其ノ通學生徒ノ昇校ヲ禁止スル必要ヲ認ムルトキハ之ヲ學校長ニ申告スヘシ

第八條　學校醫ハ本令ニ規定スルモノノ外學校長ノ請求ニ依リ職員生徒ノ身體檢査其ノ他學校衛生ニ關スル事務ニ從事スヘシ

第九條　學校醫ハ學校衛生上必要ト認メタル事項ニ就キ學校長學校組合管理者又ハ監督官廳ニ意見ヲ述フルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●學校清潔方法

大正八年四月
總訓第十一號

道　官立學校

學校ノ清潔ハ公衆衛生上忽ニスヘカラサル所ナルヲ以テ今般左ノ通學校清潔方法ノ標準ヲ定ム各學校ニ於テハ其ノ校令ノ設備、經費及

季節ノ關係等ヲ相酌シ取捨宜シキヲ制シ以テ衛生上ノ遺憾ナキヲ期スヘシ

學校清潔方法

學校清潔方法ヲ分チテ日常清潔方法、定期清潔方法ノ二トス

甲　日常清潔方法

一　教室及寄宿舍ハ毎日人無キ時ニ於テ先ツ窓戸ヲ開キ如露ノ類ヲ以テ少シク牀板及階段ヲ洞ホシ又ハ濕リタル木屑、籾殻等ヲ以テ建具、校具等ヲ拭フヘシ

掃除ノ爲室内ヲ洞ホスハ生徒ノ再ヒ之ニ入ル迄ニ充分乾燥シ了ル様注意スヘシ

二　教室及寄宿舍ニハ其ノ人員ニ應シ紙屑籠ヲ少量ノ水又ハ藥液（冬季ハ木灰又ハ砂等）ヲ盛レル唾壺ト共ニ備ヘ紙片其ノ他ノ棄却物ハ必ス紙屑籠ニ投入シ唾痰ハ必ス唾壺ニ於テ決シテ室内廊下等ニ放下セシムヘカラス

紙屑籠及唾壺ハ毎日之ヲ掃除スヘシ

唾壺内ノ唾痰ハ大正七年朝鮮總督府令第四號ニ依リ消毒ノ後投棄スヘシ

三　寄宿舍内ニ於テハ戸外ニ於テ用ヰル履物ヲ禁スヘシ但シ已ムヲ得サル事情アリテ特ニ之ヲ許ストキハ適宜ノ方法ヲ設ケテ室内ニ陷ラシメサラムコトヲ務ムヘシ

四　靴ノ儘昇校スル校令ノ出入口ニハ人員ニ應シ靴拭ヲ備フヘシ

五　寢具ハ屢之ヲ日光ニ曝シ拂布及敷布等ハ努メテ之ヲ洗濯セシムヘシ寄宿直具ノ掛布及敷布等ハ數箇之ヲ備付ケ成ルヘク寄宿直具ノ交替毎ニ洗濯シタルモノヲ用ユヘシ

六　便所ノ尿溝及注壁等ハ毎日一回水ヲ以テ之ヲ洗ヒ固形汚物ヲ以テ拭フヘシ

七　痰壺内ニハ防臭藥トシテ粗製過滿俺酸加里、木炭末、灰等ヲ撒布シ期ヲ短ラス汲取ラシムヘシ

八　食堂、炊事場、洗濯所等ハ時時窓戸ヲ開キテ空氣ヲ通シ悪臭、煙気又ハ湯氣ノ鬱滯ナキヲ務メ且掃除ヲ怠ルヘカラス殊ニ食堂、炊事場ハ常ニ清潔ニシ天蓋採光ノ場所ニ於テハ出入口及窓戸ニ簾又ハ寒冷紗ヲ張リテ蠅族ノ侵入ヲ防キ尚相當ノ期間ヲ以テ蠅法ヲ講スヘシ

芥薬場ノ不潔物ハ期ヲ短ラス撤出セシムヘシ殊ニ夏季ニ於テハ、時時浚潔シ木炭末、灰等ヲ撒布シ蠅族ノ發生及群集ヲ防止スヘシ

下水溝ハ常ニ疏通セシメ炊事場、浴室、洗面所、洗濯所等ノ下水溝ハ毎月少クトモ一回大掃除ヲ行フヘシ

十一　庭園、體操場、遊戯場、廐下、樑下等モ亦常ニ清潔ナラシムヘシ

十二　運動場ニハ努メテ撒水シ塵埃ノ飛散ヲ防止スヘシ

十三　校内ニ於テハ雨水ノ停滯セサル様常ニ排水ニ注意スヘシ

乙　定期清潔方法

定期清潔方法ハ毎年少クトモ二回夏季又ハ其ノ他ノ休業中ニ之ヲ行フモノトス

一　定期清潔法施行ノ際ニハ先ツ教室、寄宿舍等ニアル机、腰掛、寢臺、戸棚等ヲ室外ニ出シ戸、障子、窓掛等ヲ外シ敷物ヲ剥キタル後如露ヲ以テ牀板ヲ洞ホシ天井、四壁、牀板等塵ク之ヲ掃ヒ然ル後清水ヲ以テ洗拭スヘシ但シ汚染殊ニ甚シキ部分及器具等ハ熱湯汁又ハ石鹸水等ヲ以テ洗濯スヘシ

二　廐下、牀下等モ手ノ屆ク限リ之ヲ掃ヒ外部ノ羽目及窓廻リハ適宜ノ方法ニ依リ水ヲ以テ洗滌スヘシ

三　寢具、窓掛、敷物等ニシテ洗濯シ得ヘキモノハ之ヲ洗濯シ其ノ洗濯シ得ヘカラサルモノハ先ツ其ノ塵ヲ掃ヒ背鐙交具等ト共ニ數日之ヲ日光ニ曝シタル後刷掃スヘシ器具、疑具等ハ總テ室ノ乾キタル後ニ非サレハ室内ニ持込ムヘカラス

四　私立學校規則第十四條ノ規定ニ依ル處分ヲ受ケタルトキ

五　不正ノ所爲アリテ其ノ情狀重シト認メタルトキ

第四條　第一條ノ效績ヲ審査スル爲朝鮮總督府ニ委員ヲ置ク

委員ハ朝鮮總督府官吏ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●文部大臣所轄外ノ學校ニ陸軍現役將校ヲ配屬スルノ件

大正十四年七月
勅令第二百四十六號

改正　昭和九年一二第三九五號

陸文部大臣所轄外ノ學校ニ陸軍現役將校ヲ配屬スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍大臣　内大臣　文部大臣　以外ノ各省大臣、朝鮮總督、臺灣總督、關東廳長官ヨリ協議アリタルトキハ各其ノ所轄學校ニ於ケル男生徒ノ教練ヲ掌ラシムル爲陸軍現役將校ヲ當該學校ニ配屬スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ陸軍現役將校學校配屬令ヲ準用ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍現役將校配屬令

大正十四年四月
勅令第百三十五號

改正　昭和四年五第二三四號、一〇年八第二〇八號

陸陸軍現役將校ヲ將校學校配屬令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍現役將校學校配屬令

第一條　官立又ハ公立ノ師範學校、中學校、實業學校、高等學校、臨時教員養成所、實業學校教員養成所又ハ青年學校教員養成所ニ於ケル男生徒ノ教練ヲ掌ラシムル爲陸軍現役將校ヲ當該學校ニ配屬ス但シ戰時事變ノ際其ノ已ムヲ得サル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ將校ノ配屬ハ陸軍大臣文部大臣ト協議シテ之ヲ行フ

配屬將校ハ教練ニ關シテハ當該學校長ノ指揮監督ヲ受ク

第二條　私立ノ中學校、實業學校、高等學校、

第一條　陸軍現役將校學校配屬令施行規程ハ陸軍現役將校學校配屬令第二條ノ規定ニ依リ陸軍現役將校ノ配屬ヲ受ケムトスルトキハ當該學校長立會ノ上配屬將校ニ對シ所見ヲ開示スベシ

第九條　教練査閲官ハ査閲ヲ終了シタルトキハ其ノ結果ニ基キ左ノ事項ヲ記載シタル教練査閲報告書ヲ調製シ其ノ終了後二十日以内ニ師團長又ハ軍司令官ニ提出スベシ

一　學校別査閲方法
二　學校別教練成績ノ概要
三　各配屬將校ニ關スル意見
四　將校ニ關スル意見
五　其ノ他必要ト認ムル事項

第十條　師團長又ハ軍司令官ハ前條ノ報告書ニ基キ左ノ事項ヲ記載シタル管内教練査閲報告書ヲ調製シ四月二十五日迄ニ陸軍大臣ニ提出スベシ

一　第七條第三項ノ規定ニ依リ其ノ年度ニ於テ特ニ指示シタル事項
二　管内教練一般ノ成績
三　將來ニ關スル意見
四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十一條　教練ノ成果ヲ鼎ゲル見込ナシト認メタル學校ニ關スル報告其ノ他急ヲ要スル報告ハ前二條ノ規定ニ拘ラズ其ノ都度教練査閲官ハ師團長又ハ軍司令官ニ、師團長又ハ軍司令官ハ陸軍大臣ニ之ヲ提出スベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年九月十九日
陸令第十九號

改正　昭和二年一二月三一日勅令第三一七號、九年六月一七號

●陸軍現役將校學校配屬令施行規程

陸軍現役將校學校配屬令第四條ノ規定及大正十四年勅令第二百四十六號ニ依リ學校ノ教練ヲ査閲セシムル將校ヲ教練査閲官ト稱ス

第二條　教練査閲官ハ陸軍大臣之ヲ命ズ

第三條　教練ノ査閲ハ專門學校又ハ之ト同等以上ノ學校ニ在リテハ師管毎ニ其ノ區域ニ從ヒ一名ノ教練査閲官ヲシテ之ヲ行ハシム但シ當該區域内ニ在ル學校多數ナルトキハ二名以上ノ教練査閲官ヲシテ分擔査閲セシムルコトアルベシ

第一師管内ニ在ル學校ニシテ近衞師團長ノ隷下ノ將校ヲ配屬シタルモノニ在リテハ前項ノ區域ニ拘ラズ近衞師團長ニ於テ、臺灣軍司令官又ハ支那駐屯軍司令官ノ隷下ノ將校ヲ配屬シタル學校ニ在リテハ當該軍司令官ニ於テ、第十九又ハ第二十師團ノ管區（臨軍召集規則第百九十六條ノ管區以下同ジ）内ニ在ル學校ニ在リテハ第十九又ハ第二十師團長ニ於テ適宜ニ査閲ノ區域ヲ定メ前項ノ規定ニ準ジ教練査閲官ニ其ノ擔任ヲ命ズベシ

第四條　陸軍大臣ハ前條ノ規定ニ依ル外臨時ニ教練査閲官ヲ命ジ査閲スベキ學校ヲ指定シテ其ノ教練ヲ査閲セシムルコトアルベシ

第五條　師團長ハ其ノ師管内ノ教練ノ査閲ヲ指揮監督ス

近衞師團長、臺灣軍司令官、關東軍司令官又ハ支那駐屯軍司令官ハ其ノ隷下ノ將校ヲ配屬シタル學校、第十九又ハ第二十師團長ハ其ノ管區内ノ學校ノ教練ノ査閲ヲ指揮監督ス

第六條　教練ノ査閲ハ毎年度（四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄）内ニ於テ各學校ニ付少クモ一回之ヲ行フヲ例トス

第七條　師團長ハ關係ノ地方長官（地方長官ノ管轄ニ屬セザル學校ニ在リテハ當該學校長）ニ對シ教練ノ査閲日割表ヲ作製シ之ヲ査閲ヲ受クベキ學校長ニ通知シ且陸軍大臣ニ報告スベシ

前項ノ通知及報告ハ査閲ヲ開始スル日ヨリ三十日前ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

師團長又ハ軍司令官ハ教練査閲日割表及査閲ノ要領其ノ他必要ナル事項ヲ教練査閲官ニ指示スベシ

第八條　教練査閲官ハ學校ノ教練ヲ査閲シタルトキハ當該學校長立會ノ上配屬將校ニ對シ所見ヲ開示スベシ

第九條　教練査閲官ハ査閲ヲ終了シタルトキハ其ノ結果ニ基キ左ノ事項ヲ記載シタル教練査閲報告書ヲ調製シ其ノ終了後二十日以内ニ師團長又ハ軍司令官ニ提出スベシ

一　學校別査閲方法
二　學校別教練成績ノ概要
三　各配屬將校ニ關シ所見
四　將校ニ關スル意見
五　其ノ他必要ト認ムル事項

第十條　師團長又ハ軍司令官ハ前條ノ報告書ニ基キ左ノ事項ヲ記載シタル管内教練査閲報告書ヲ調製シ四月二十五日迄ニ陸軍大臣ニ提出スベシ

一　第七條第三項ノ規定ニ依リ其ノ年度ニ於テ特ニ指示シタル事項
二　管内教練一般ノ成績
三　將來ニ關スル意見
四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十一條　教練ノ成果ヲ鼎ゲル見込ナシト認メタル學校ニ關スル報告其ノ他急ヲ要スル報告ハ前二條ノ規定ニ拘ラズ其ノ都度教練査閲官ハ師團長又ハ軍司令官ニ、師團長又ハ軍司令官ハ陸軍大臣ニ之ヲ提出スベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年陸軍省令第二十四號及同第二十七號ハ之ヲ廢止ス

●學校教練檢定規程

昭和十年十一月
陸軍省令第二十二號

學校教練檢定規程左ノ通定ム

第一條　教練檢定ハ學校教練檢定委員ノ行フ檢閲ニ依リ之ヲ爲ス

檢閲ハ學校教練及青年訓練修了者檢定規程ハ之ヲ廢止ス

第二條　學校教練檢定委員ハ陸軍現役將校學校配屬令第一條ノ學校ニ配屬シタル現役將校ヲ以テ之ニ充ツ

第三條　檢閲ハ學校教練及青年訓練修了者檢定規程第一章ノ規定ニ依リ檢定ヲ受ケ合格シタル者ヲ本令ニ依リ檢定ヲ受ケ合格シタル者ト看做ス

大學豫科若ハ專門學校又ハ兵役法施行令第百條第三號ノ規定ニ依ル認定ヲ受ケタル私立學校ニ於ケル男生徒ノ教練ヲ掌ラシムル爲當該學校ノ申請ニ因リ陸軍現役將校ヲ之ニ配屬スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ將校ヲ配屬スル場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

大學學部ノ申出アルトキハ前二項ノ規定ニ準ジテ陸軍現役將校ヲ之ニ配屬スルコトヲ得

第三條　陸軍大臣及文部大臣ハ特別ノ事由アルトキハ本令ニ依ル將校ノ配屬ヲ止ムルコトヲ得

第四條　陸軍大臣ハ現役將校ヲシテ本令ニ依リテ將校ヲ配屬シタル學校ニ於ケル教練實施ノ狀況ヲ査閲セシムルコトヲ得

第五條　官立又ハ公立ノ商船專門學校及商船學校ニハ第一條ノ規定ニ拘ラス將校ヲ配屬セサルコトヲ得

尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年ノ實業學校又ハ之ト同等以上ノ實業學校以外ノ實業學校、修業年限二年未滿ノ青年學校教員養成所及夜間ニ於テ教練ヲ課スル學校ニ付テハ第一條及第二條ノ規定ヲ適用セス

第六條　配屬將校傷痍疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因リ服務シ難キトキハ陸軍大臣ハ文部大臣ト協議シテ他ノ現役將校ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條又ハ第二條ニ規定スル學校ニシテ大正十四年二月一日以後ニ於テ設立シタルモノニハ當分ノ内將校ヲ配屬セサルコトヲ得

●陸軍現役將校學校配屬令施行規程

大正十四年四月
文部省令
陸軍省令

改正　昭和一〇年六月一日號

陸軍現役將校學校配屬令施行規程左ノ通定ム

第一條　陸軍現役將校學校配屬令第一條ノ學校ニ配屬スル將校ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ其ノ學校ニ在リテハ聯隊區毎ニ其ノ區域ニ從ヒ一名ノ教練査閲官ヲシテ之ヲ行ハシム但シ當該區域内ニ在ル學校多數ナルトキハ二名以上ノ教練査閲官ヲシテ分擔査閲セシムルコトアルベシ

第一師管内ニ在ル學校ニシテ近衞師團長ノ隷下ノ將校ヲ配屬シタルモノニ在リテハ前項ノ區域ニ拘ラズ近衞師團長ニ於テ、臺灣軍司令官又ハ支那駐屯軍司令官ノ隷下ノ將校ヲ配屬シタル學校ニ在リテハ當該軍司令官ニ於テ、第十九又ハ第二十師團ノ管區（臨軍召集規則第百九十六條ノ管區以下同ジ）内ニ在ル學校ニ在リテハ第十九又ハ第二十師團長ニ於テ適宜ニ査閲ノ區域ヲ定メ前項ノ規定ニ準ジ教練査閲官ニ其ノ擔任ヲ命ズベシ

（附錄第二樣式）

學校名	檢定合格人員	檢定不合格人員	計
第一錬兵場内第二分教場			
第二錬兵場			
計			

學校教練檢定結果	學校名	教材	年次	教練部隊	教練種目	教練時間	教練場所	教練實施ノ概況	備考
			第一年						
			第二年						
			第三年						
			第四年						
			第五年						

（附錄第三樣式）

氏名	檢定合格ノ證明書ノ有無	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
		府縣郡市區町村字番地				

（附錄第四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第二十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第二十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第二十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第二十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第二十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第二十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第二十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第二十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第二十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第二十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第三十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第三十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第三十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第三十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第三十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第三十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第三十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第三十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第三十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第三十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第四十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第四十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第四十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第四十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第四十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第四十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第四十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第四十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第四十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第四十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第五十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第五十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第五十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第五十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第五十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第五十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第五十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第五十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第五十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第五十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第六十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第六十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第六十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第六十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第六十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第六十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第六十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第六十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第六十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第六十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第七十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第七十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第七十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第七十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第七十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第七十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第七十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第七十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第七十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第七十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第八十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第八十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第八十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第八十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第八十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第八十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第八十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第八十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第八十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第八十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第九十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第九十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第九十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第九十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第九十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第九十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第九十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第九十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第九十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第九十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百二十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百二十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百二十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百二十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百二十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百二十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百二十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百二十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百二十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百二十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百三十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百三十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百三十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百三十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百三十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百三十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百三十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百三十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百三十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百三十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百四十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百四十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百四十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百四十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百四十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百四十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百四十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百四十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百四十八樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百四十九樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百五十樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百五十一樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百五十二樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百五十三樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百五十四樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百五十五樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百五十六樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百五十七樣式）

氏名	本籍地	年齢	教育ノ程度	教練ノ經歷	備考
	府縣郡市區町村字番地	日現在			

（附錄第百五十八樣式）

| 氏名

	帝國軍制	列國軍事ノ趨勢	
	兵器軍用器材ノ進歩ノ概要等		
其ノ他	兵器取扱手入保存法	傷生及救急法	
	結繃	手榴弾投擲法等	

備考

一　行進ノ歩幅及速度ハ學年ニ應ジ適宜之ヲ定ム

二　狹窄射撃ハ依托伏射、立射、膝射、伏射各一回以上之ヲ行ヒ實包射撃ハ設備ノ許ス場合ニ限リ之ヲ行フ

三　器械運動ハ學校ノ狀況ニ之ヲ缺クコトヲ得

四　既習ノ教材ハ隨時之ヲ復習セシム

五　低學年ノ教授ニ當リテハ高學年ノ生徒ヲ以テ幹部ニ充ツルコトヲ得

六　軍事ニ關スル諸設備各種演習ノ見學ハ適宜之ヲ行フ

大學豫科

專門學校

左ノ教材ヲ適宜配當シテ之ヲ實施スベシ

各個教練、部隊教練

射撃

指揮法

陣中勤務

軍事講話

備考

一　師範學校、中學校、高等普通學校及實業學校ニ於ケル既習事項ニ習熟セシメ特ニ指揮法ノ程度ヲ向上セシム

二　部隊教練ニ於テハ簡易ナル大隊教練ヲ行フコトヲ得

三　射撃ニ於テハ毎年二回以上狹窄射撃ヲ行ヒ尚設備ノ許ス場合ニ於テハ一回以上實包射撃ヲ行フ

四　軍事講話ニ於テハ外國軍制ノ要綱竝ニ諸兵聯合部隊運用ノ初歩ヲモ教授ス

五　專門學校ニ於テハ其ノ種類ニ依リ當該學科ニ適應スル事項ヲ以テ前掲ノ教材ノ一部ニ代フルコトヲ得

六　軍事ニ關スル諸設備各種演習ノ見學ハ適宜之ヲ行フ

大學

大學豫科ニ於テ課スタル事項ヲ適宜配當シテ實施スベシ

右ノ外戰史ノ概要ヲ授クベシ

備考

一　戰史ニ於テハ內外國戰史ヲ講述シ其ノ一般ヲ會得セシム

二　軍事ニ關スル諸設備各種演習ノ見學ハ適宜之ヲ行フ

三　每週教授時數及每年野外演習日數

學校種別	學年	每週教授時數	每年野外演習日數
師範學校普通科	第一學年	二	
	第二學年		

| | | |

九　生徒ハ個人ノ資格ニ於テ入場料ヲ徴収スルヲ得ス

十　選手ハ「クラブチーム」ニ加ハリ試合ニ出場スルヲ得ザルコト

出場スルヲ得ザルコト但シ學校ヲ背景トスル「クラブチーム」ニシテ道體育團體ノ承認ヲ得タルモノニ加ハリ學校長ノ許可ヲ受ケテ徴収入ヲ伴ハザル試合ニ出場スル場合ハ此ノ限ニ在ラザルコト

第三　大學、大學豫科及專門學校ノ野球ニ關スル事項

一　全鮮的大會、地方的大會又ハ聯盟試合ヲ開催スル常設ノ團體ハ其ノ體育會（又ハ運動會）ノ責任者若ハ野球部長ヲ加ヘ豫メ團體ノ代表者ニ於テ左記事項ヲ具シ朝鮮總督府學務局ニ報告シ其ノ公認ヲ受クベキコト但シ關係學校多數ノ爲全部ノ學校ヨリ役員ヲ加ヘ難キ場合ハ適當ノ員數ニ制限スルモ妨ゲナキコト

(一)　團體ノ名稱

(二)　事務所ノ所在地

(三)　團體組織ニ關スル規定

(四)　團體代表者ノ氏名

(五)　事業施行ニ關スル詳細ナル規定

(六)　經理ニ關スル詳細ナル規定

前記各號ノ事項ニ變更ヲ生ジタル場合ハ其ノ都度朝鮮總督府學務局ニ報告シ其ノ承認ヲ得ベキコト

二　前項ノ常設團體ハ每年度ノ始ニ於テ其ノ年度ノ事業豫定及收支決算ヲ朝鮮總督府學務局ニ報告スベキコト

三　第一項ノ常設團體以外ノ團體ニ於テ全鮮的大會、地方的大會、聯盟試合又ハ之ニ準ズル試合ヲ開催セントスルトキハ參加學校長ノ承認ノ下ニ試合ノ施行及經理方法ヲ具シ試合開催前豫メ朝鮮總督府學務局ノ承認ヲ受クベキコト

四　兩校對抗試合ハ當該學校長ノ承認ノ下ニ行ハルモノタルコト但シ入場料ヲ徴收スル場合及當該學校ガ其ノ所在スル道ヲ離レ試合ヲ行フ場合ハ豫メ當該學校ニ於テ朝鮮總督府學務局ノ承認ヲ受クベキコト

五　選手ハ學校當局ノ承認ヲ得タル者ニ限リ參加スルコト

六　學生生徒ハ朝鮮總督府學務局ノ認メタル場合ノ外入場料ヲ徴收スル試合ニ參加スルヲ得ザルコト

七　選手ハ在籍又ハ出身學校ヲ背景トスル「クラブチーム」以外ノ「チーム」ニ加ハリ優勝大會又ハ之ニ準ズベキ試合ニ出場スルヲ得ザルコト

七　試合ハ土曜日ノ午後又ハ休業日ニ限リ行フコト但シ以上ノ期日外ニ行フ場合ハ關係學校當局ニ於テ支障ナキモノト認メタル場合ニ限ルコト

第四　入場料ニ關スル事項

一　入場料ハ徴收セザルコト但シ入場者整理ノ爲效ニ次項ニ掲グル經費ニ充ツル爲必要アル場合ハ左記各項ニ關シ豫メ朝鮮總督府學務局ノ承認ヲ受ケ特ニ入場料ヲ徴收スルコトヲ得ルコト

イ　徴收ノ理由

ロ　入場料ノ金額

ハ　入場料ノ使途

二　入場料其ノ他ノ收入ハ朝鮮總督府學務局ノ承認ヲ得タル團體ニ於テ收受シ左ノ順序ニ依リ支出シ體育運動以外ノ經費ニ充當セザルコト但シ體育運動團體（大學及高等專門學校ニ關シテハ學校ヲ含ム）以外ノ主催者ガ收受スル場合ハ豫メ朝鮮總督府學務局ト協議ヲ遂ゲ其ノ使途ヲ定ムルコト

(一)　當該試合ヲ開催スルニ必要ナル經費

イ　會場費

ロ　試合施行ニ要スル經費

ハ　試合ノ參加並ニ準備ニ要スル經費

ニ　其ノ他ノ雜費

(二)　主催體育運動團體ノ管理ニ必要ナル經費

(三)　參加學校ニ於ケル體育運動競技ノ施行ニ資スル經費

(四)　各種體育運動ノ普及發達ニ必要ナル經費

第五　試合、褒賞等ニ關スル特殊事項

一　學校ノ「チーム」ハ當該學校長及朝鮮總督府學務局ノ承認アル場合ノ外縣外ニ遠征又ハ來鮮「チーム」ト試合ヲ行フコトヲ得ザルコト但シ明治神宮大會、文部省ノ承認ヲ得タル全國的優勝大會及全國的選拔大會ニ出場スル場合ハ此ノ限ニ在ラザルコト

二　試合參加ニ關シ選手又ハ學校ノ優勝旗、優勝牌其ノ他之ニ準ズルモノヲ除クノ外褒賞ヲ受クルヲ得ザルコト

三　選手ハ廣告、商品又ハ營利宣傳ニ利用セラルル虞アル記事等ニ自己ノ名聲、肖像等ヲ利用セシメザルコト

四　學校選手ハ職業選手ト試合ヲ行フヲ得ザルコト但シ學校長及朝鮮總督府學務局ノ承認アル場合ハ此ノ限ニ在ラザルコト

五　選手ハ「コーチ」審判等ヲ行フニ當リ旅費、宿泊費其ノ他當然必要ナル經費以外ノ金品ヲ受クルヲ得ザルコト

六　選手ハ選手タルノ故ヲ以テ學校又ハ學校ヲ背景トスル團體等ヨリ學費其ノ他ノ生活費ヲ受クルヲ得ザルコト

七　野球ニ優秀ナルノ故ヲ以テ入學ノ便ヲ與ヘ又ハ學費其ノ他ノ生活費ヲ授クルガ如キコトヲ條件トシテ入學ヲ勸誘セザルコト

第六　應援ニ關スル事項

一　應援ハ當該試合主催者及學校當局者ノ承認アル場合ニ限リ之ヲ行ヒ得ルコト

二　學生生徒ガ應援團ヲ組織スル場合ハ左ノ條項ヲ遵守スルコト

(一)　應援團ハ當該學校ノ職員、學生生徒以外ノ者ヲ加入セシメザルコト

(二)　應援團ハ豫メ其ノ責任者ヲ定メ當該試合ノ主催者ニ屆出ヅルコト

(三)　應援團ハ當該學校ノ當局者及其ノ運動部ト十分ナル聯絡ヲ保ツベキコト

三　應援ノ方法ニ關シテハ學校當局者、試合主催者、關係學校應援團ノ間ニ十分ナル協議ヲ遂ゲ特ニ左記事項ニ關シテハ之ヲ嚴守スベキコト

(一)　應援ハ學生生徒ノ本分ヲ體シ運動競技ノ精神ニ從ヒテ之ヲ行ヒ苟モ試合ノ妨害ト爲ルガ如キ事ハ一切之ヲ行ハザルコト

(二)　應援者ノ服裝ハ當該學校ノ制服制帽ニ限ルコト

(三)　廣告、宣傳等ニ利用セラルル虞アル物品ヲ一切使用セザルコト

(四)　應援ノ爲遙ニ多額ノ經費ヲ費サザルコト

附　則

本令中道ノ體育團體トアルハ道學事當局者及道內學校長ト密接ナル關係ヲ有シ他ノ運動種目ト共ニ初等學校及中等學校ノ野球ヲ統制シ得ル府、郡、島當局者及府、郡、島內學校長ト密接ナル關係ヲ有シ道ノ體育團體ノ公認ヲ得タルモノタルベキコト但シ府、郡、島ノ當局者及初等學校長ト密接ナル關係ヲ有スル教育會等ナシ之ニ代ラシムルハ妨ゲザルコト

道體育團體、道中等學校體育聯盟又ハ道中等學校野球聯盟ノ設立ニ關シテハ道學務課ニ於テ適當ナル方法ニ依リ初等學校及中等學校ノ野球ノ統制ニ關スル事務ヲ取扱フベキコト

第三款　朝鮮教育令

●朝鮮教育令

大正十一年二月
勅令第十九號

改正　昭和四年四月八日勅令第八十三號、
一〇年四月四日號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ朝鮮教育令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

朝鮮ニ施ク

第一條　朝鮮ニ於ケル教育ハ本令ニ依ル

第二條　國語ヲ常用スル者ノ普通教育ハ小學校令、中學校令及高等學校令ニ依ル但シ此等ノ勅令中文部大臣ノ職務ハ朝鮮總督之ヲ行フ

前項ノ場合ニ於テ朝鮮特殊ノ事情ニ依リ特ニ教育ノ必要アルモノニ付テハ朝鮮總督別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

第三條　國語ヲ常用セサル者ハ普通教育ヲ爲ス學校ハ普通學校、高等普通學校及女子高等普通學校トス

第四條　普通學校ハ兒童ノ身體ノ發達ニ留意シテ之ニ德育ヲ施シ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授ケ國民タルノ性格ヲ涵養シ國語ヲ習得セシムルコトヲ目的トス

第五條　普通學校ノ修業年限ハ六年トス但シ土地ノ情況ニ依リ五年又ハ四年ト爲スコトヲ得

普通學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齡六年以上ノ者トス

修業年限六年ノ普通學校ニ修業年限二年ノ高等科ヲ置クコトヲ得

高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限六年ノ普通學校ヲ卒業シタル者又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第六條　高等普通學校ハ男生徒ノ身體ノ發達ニ留意シテ之ニ德育ヲ施シ生活ニ有用ナル普通ノ知識技能ヲ授ケ國民タルノ性格ヲ養成シ國語ニ熟達セシムルコトヲ目的トス

第七條　高等普通學校ノ修業年限ハ五年トス

高等普通學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限六年ノ普通學校ヲ卒業シタル者又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

高等普通學校ニ補習科ヲ置クコトヲ得

補習科ノ修業年限及入學資格ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

第八條　女子高等普通學校ハ女生徒ノ身體ノ發達及賢德ノ涵養ニ留意シテ之ニ德育ヲ施シ生活ニ有用ナル普通ノ知識技能ヲ授ケ國民タルノ性格ヲ養成スルコトヲ目的トス

第九條　女子高等普通學校ノ修業年限ハ五年

倒テ設クル必要アルモノニ付テハ朝鮮總督別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第三條　國語ヲ常用セサル者ハ普通教育ヲ爲ス學校ハ普通學校、高等普通學校及女子高等普通學校トス

第四條　普通學校ハ兒童ノ身體ノ發達ニ留意シテ之ニ德育ヲ施シ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授ケ國民タルノ性格ヲ涵養シ國語ヲ習得セシムルコトヲ目的トス

第五條　普通學校ノ修業年限ハ六年トス但シ土地ノ情況ニ依リ五年又ハ四年ト爲スコトヲ得

普通學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齡六年以上ノ者トス

修業年限六年ノ普通學校ニ修業年限二年ノ高等科ヲ置クコトヲ得

高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限六年ノ普通學校ヲ卒業シタル者又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第六條　高等普通學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限六年ノ普通學校ヲ卒業シタル者又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

高等普通學校ニ補習科ヲ置クコトヲ得

補習科ノ修業年限及入學資格ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

第七條　高等普通學校ノ修業年限ハ五年トス但シ土地ノ情況ニ依リ五年又ハ四年ト爲スコトヲ得

女子高等普通學校ニ補習科ヲ置クコトヲ得

補習科ノ修業年限及入學資格ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

第八條　女子高等普通學校ハ女生徒ノ身體ノ發達及賢德ノ涵養ニ留意シテ之ニ德育ヲ施シ生活ニ有用ナル普通ノ知識技能ヲ授ケ國民タルノ性格ヲ養成スルコトヲ目的トス

第九條　女子高等普通學校ノ修業年限ハ五年

高等普通學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限六年ノ普通學校ヲ卒業シタル者又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

高等普通學校ニ補習科ヲ置クコトヲ得

補習科ノ修業年限及入學資格ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

第十條　入學資格ニ關シテハ修業年限六年ノ普通學校ノ卒業者ハ尋常小學校卒業者、普通學校高等科ノ第一學年修了者及卒業者ハ各高等小學校第一學年修了者及卒業者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十一條　實業教育ハ實業學校令ニ依ル但シ實業補習教育ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

實業學校令中文部大臣ノ職務ハ朝鮮總督之ヲ行フ

實業學校ノ設立及教科書ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

第十二條　專門教育ハ專門學校令ニ、大學教育及其ノ豫備教育ハ大學令ニ依ル但シ此等ノ勅令中文部大臣ノ職務ハ朝鮮總督之ヲ行フ

專門學校ノ設立及大學豫科ノ教員ノ資格ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

第十三條　師範教育ヲ爲ス學校ハ師範學校トス

師範學校ハ特ニ德性ノ涵養ニ力メ小學校教員タルヘキ者及普通學校教員タルヘキ者ヲ養成スルコトヲ目的トス

第十四條　師範學校ニ第一部及第二部ヲ置ク但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ第一部又ハ第二部ノミヲ置クコトヲ得

第二部ノミヲ置クトキハ修業年限ヲ一年以上トス

第十五條　師範學校ニ附屬小學校及普通學校ヲ附屬セシムルコトヲ得

師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クコトヲ得但シ研究科ハ尋常科ノミヲ置ク

師範學校ニ於テハ之ヲ置クコトヲ得ス

研究科及講習科ノ修業年限及入學資格ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

第十六條　師範學校ニ附屬小學校及普通學校ヲ置ク但シ師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置ク

師範學校ニ附屬小學校ニハ附屬普通學校ヲ附屬セシムルコトヲ得

第十七條　師範學校ニハ特別ノ事情アル場合ニ於テ尋常科ヲ置キ又ハ尋常科ノミヲ置クコトヲ得

第十四條ノ規定ハ前項ノ尋常科ニ付之ヲ準用ス

第十八條　尋常科ノ修業年限ハ五年トス但シ女子ニ在リテハ之ヲ四年トス

尋常科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十九條　師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クコトヲ得但シ研究科ハ尋常科ノミヲ置ク

師範學校ニ於テハ之ヲ置クコトヲ得ス

研究科及講習科ノ修業年限及入學資格ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

第二十條　師範學校ニ附屬小學校及普通學校ヲ置ク但シ師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置ク

師範學校ニ附屬小學校ニハ附屬普通學校ヲ附屬セシムルコトヲ得

第二十一條　師範學校ハ官立又ハ公立トス

公立師範學校ハ道地方費ニ限リ之ヲ設立スルコトヲ得

第二十二條　削除

第二十三條　普通學校、高等普通學校、女子高等普通學校及師範學校ノ教科、編制、設備及授業料等ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

第二十四條　公立又ハ私立ノ普通學校、高等普通學校及女子高等普通學校設立師範學校ノ設立及廢止ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第二十五條　特別ノ事情アル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ國語ヲ常用スル者ハ普通學校高等普通學校又ハ女子高等普通學校ニ、國語ヲ常用セサル者ハ小學校中學校又ハ高等女學校ニ入學スルコトヲ得

第二十六條　本令ニ規定スルモノヲ除クノ外私立學校、特殊ノ教育ヲ爲ス學校其ノ他ノ教育施設ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

附　則

第二十七條　本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二十八條　明治四十四年勅令第二百二十九號朝鮮教育令ハ之ヲ廢止ス

第二十九條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル小學校、中學校、高等女學校、普通學校高等普通學校、女子高等普通學校、實業學校、實業專修學校、簡易實業專修學校、實業學校、官立ノ專門學校及師範學校ハ各之ヲ本令ニ依リ設立シタル小學校、中學校、高等女學校、普通學校、女子高等普通學校、實業學校、專門學校及師範學校トス

前項ノ高等普通學校、女子高等普通學校、實業學校及專門學校ハ現ニ在學スル生徒ニ付其ノ在學ノ間仍舊ノニ依ルコトヲ得

第三十條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル高等普通學校ハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第三十一條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル補習科ヲ存置スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ朝鮮特殊ノ事情ニ依リ特別ノ事情アル場合ニ於テハ第一部又ハ第二部ノミヲ置クコトヲ得

第三十二條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノ設ケアルモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第三十三條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノ設ケアルモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第三十四條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第三十五條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第三十六條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第三十七條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第三十八條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第三十九條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第四十條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノ設ケアルモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第四十一條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノ設ケアルモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第四十二條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第四十三條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第四十四條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第四十五條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第四十六條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第四十七條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第四十八條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第四十九條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第五十條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第五十一條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第五十二條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第五十三條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第五十四條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第五十五條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第五十六條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第五十七條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第五十八條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第五十九條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第六十條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第六十一條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第六十二條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第六十三條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第六十四條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第六十五條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第六十六條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第六十七條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第六十八條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第六十九條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第七十條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第七十一條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第七十二條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第七十三條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第七十四條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第七十五條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第七十六條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第七十七條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第七十八條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第七十九條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第八十條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第八十一條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第八十二條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第八十三條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第八十四條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第八十五條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第八十六條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第八十七條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第八十八條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第八十九條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第九十條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第九十一條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第九十二條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第九十三條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第九十四條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第九十五條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第九十六條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第九十七條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第九十八條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第九十九條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百一條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百二條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百三條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百四條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百五條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百六條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百七條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百八條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百九條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百十條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百十一條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百十二條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百十三條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百十四條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百十五條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百十六條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百十七條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百十八條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百十九條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百二十條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百二十一條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百二十二條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百二十三條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百二十四條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百二十五條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百二十六條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百二十七條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百二十八條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬小學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百二十九條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ附屬普通學校ノミヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百三十條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百三十一條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ニ尋常科ヲ置クモノハ本令施行後二年ヲ限リ仍舊ノニ依ル

第百三十二條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存ス

官立ノ高等普通學校及女子高等普通學校ハ本令施行後高等普通學校ニ在リテハ四年、女子高等普通學校ニ在リテハ三年ヲ限リ仍舊令ニ依ル師範科ヲ存置スルコトヲ得

第三十二條　本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル私立ノ專門學校ハ當分ノ內仍舊令ニ依リ存續スルコトヲ得

附　則（昭和四年四月勅令第八十二號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存スル師範學校ノ特科ハ現ニ在學スル生徒ノ在學ノ間仍從前ノ規定ニ依ル

朝鮮ニ於ケル官立師範學校ニハ昭和六年三月三十一日迄仍從前ノ規定ニ依ル特科ヲ置クコトヲ得

附　則（昭和四年四月一日勅令第二十三號）

本令ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮總督府師範學校ニハ本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ノ在學ノ間仍從前ノ規定ニ依ル演習科ヲ存置スルコトヲ得

●朝鮮教育令施行期日

大正十一年二月
總令第五號

朝鮮教育令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮教育令改正ニ關スル諭告

大正十一年二月
總督諭告

朝鮮教育令施行以來屢ヲ閱スルコト既ニ十有餘年此ノ間社會ノ進歩民力ノ伸展極メテ著シク殆ント朝鮮往時ノ面目ヲ一新セルノ觀アリ予ハ就任ノ初ニ當リ先ツ社會文化ノ根蒂タル教育ノ刷新ニ付キ宣明スル所アリ爾來教育制度ノ改正ヲ企テ著々着手ス爲ス又臨時教育調査委員會ヲ設ケテ朝野有識ノ士ニ諮ル所アリシカ今回愈朝鮮教育令ノ公布ヲ見ルニ至レリ

抑從來ノ朝鮮教育令ハ其ノ當時ノ世態ト民度トニ鑑ミ簡易ニシテ實用ヲ主トシ施設ヲ爲スノ趣旨ニ出デタルモノナレハ能ク社會ノ實情ニ適合シ文運ノ隆昌ニ寄與セルコト勘カラサリシカ世人ノ齊シク認ムル所ナリト然レトモ時勢ノ推移ハ徒ラニ舊株ヲ守ルヲ許サス必ス之ヲ之ニ應シ適當ナル改正ヲ行ヒ益制度ヲ整ヘ施設ヲ完セサルヘカラサルハ言ヲ俟タス是レ今回新ニ師範教育及大學教育ヲ加ヘ且普通教育實業教育竝專門教育ノ程度ヲ進メ內鮮共通ノ精神ニ基キ同一制度ノ下ニ施設ノ完整ヲ期スルニ至レル所以ナリ但シ內鮮自ラ其情ヲ異ニスルモノアルヲ以テ普通教育機關ハ特ニ從來ノ名稱ヲ襲用シテ教育ヲ施シ又子弟ノ特別ナル事情ニ應シ適當ニ學習シ得ルノ途ヲ開キタリ

惟フニ純近時勢ノ趨ク所尙學心ノ弟上ヲ來シ教育施設ノ充實整備ヲ促シテ已マサルモノアリ此ノ秋ニ方リ新ニ朝鮮教育令ヲ公布セラレタルハ是レニ依リテ益教育ノ普及徹底ヲ圖リ民衆ヲシテ一層文明ノ惠澤ニ浴シ其ノ福祉ヲ增サシメムトスルノ趣旨ニ外ナラス官民宜シク協心戮力新令ノ精神ニ則リ質實健全ナル施設ヲ爲シ以テ帝國ノ奎運ヲ樽ケ更ニ皓ムルヤ世界文化ノ發展ニ參セムコトヲ期ムヘシ

●朝鮮教育令第二十五條ニ依リ國語ヲ常用スル者又ハ國語ヲ常用セサル者ノ入學ニ關スル件

大正十一年二月
總令第十五號

朝鮮教育令第二十五條ニ依リ國語ヲ常用スル者又ハ國語ヲ常用セサル者ノ入學ニ關スル件左ノ通定ム

（既正　昭和六年四月三八號、七年三月二六號）

第一條　國語ヲ常用スル者ニシテ普通學校、高等普通學校又ハ女子高等普通學校ニ、國語ヲ常用セサル者ニシテ小學校、中學校又ハ高等女學校ニ入學セシムルトキハ其ノ兒童ノ學區ニ委託セシムルコト

府縣知事ハ町村ノ一部ニシテ前項ノ事情アルモノ其ノ町村ノ區域ニ對シ適當ナル小學校ニ對シ適度ノ通學路程內ニ在ラストノ認メタルトキ、ハ亦前項ノ例ニ依ルヘシ

府縣知事ハ町村學校組合ノ一部ニシテ前項ニ準スヘキ事情アリト認メタルトキハ第一項第二號ノ例ニ準スヘシ

第八條ノ二　府縣知事ハ町村、町村學校組合又ハ其ノ一部ニシテ前條各項ノ一ニ該當スルト事情アル場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ其ノ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ市町村又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコトヲ得

府縣知事ハ市ノ一部ニシテ就學セシムヘキ兒童ノ數一箇學小學校ヲ構成スルニ足ラスト認メタルトキ又ハ適度ノ通學路程內ニ於テ一箇學小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキハ其ノ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ他ノ市町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコトヲ得

第九條　市町村立尋常小學校ノ設數竝位置ハ府縣知事ニ於テ市町村又ハ町村學校組合ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムヘシ

第十條　第七條又ハ第八條ニ依リ府縣知事ニ於テ町村學校組合ヲ設ケシメムトスルトキハ組合規約ヲ定メ關係町村ノ意見ヲ聞クヘシ組合規約ヲ變更シ組合町村ノ數ヲ增減シ又ハ組合ヲ解カシメムトスルトキ亦同シ

第八條又ハ第八條ノ二ニ依リ府縣知事ニ於テ兒童教育事務ヲ委託セシメムトスルトキハ關係市町村、町村學校組合及學區ノ意見ヲ聞クヘシ

第十一條　府縣知事ハ市町村若ハ町村學校組合ニ於テ設置スヘキ尋常小學校數竝位置ニ關シ豫メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條　府縣知事ハ第七條及第八條第一項ノ事情アルモ同項及第五十三條ニ依ルコトヲ得ス認メタルトキハ其ノ町村サシテ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルコトヲ得

府縣知事ハ第八條第二項又ハ第三項ノ事情アルモ同項及第五十三條ニ依ルコトヲ得ス認メタルトキハ其ノ町村サシテ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルコトヲ得

第十三條　削除

第十四條　市町村ハ市町村又ハ其ノ學區ノ負擔ヲ以テ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得

市町村又ハ町村ハ其ノ協議ニ依リ市町村學校組合又ハ町村學校組合ヲ設ケ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得

第十五條　市町村立高等小學校ノ設置及廢止ハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條　私立小學校ノ設置及廢止ハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　前三條ノ規定ハ小學校ニ類スル各種學校ニ之ヲ準用ス

第七條　府縣知事ハ一町村ノ資力尋常小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘスト認メタルトキハ其ノ町村サシテ尋常小學校設置ノ爲他ノ町村學校組合ヲ設ケシムヘシ

第八條　府縣知事ハ一町村ニ於テ就學セシムヘキ兒童ノ數一尋常小學校ヲ構成スルニ足ラスト認メタルトキ又ハ適度ノ通學路程內ニ於テ一箇尋常小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキハ左ノ例ニ依ルヘシ

第二款　小學校

第一章　總則

第一條　小學校ハ兒童身體ノ發達ニ留意シテ道德教育及國民教育ノ基礎竝其ノ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス

第二條　小學校ハ之ヲ分チ尋常小學校及高等小學校トス

尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ一校ニ併設スルモノヲ尋常高等小學校トス

市町村、町村學校組合若ハ其ノ學區又ハ市町村學校組合ノ負擔ヲ以テ設置スルモノヲ私立小學校トス

第三條　尋常高等小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授ケヘキ部分ニ對シテハ尋常小學校ノ規定ヲ準用シ高等小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對シテハ高等小學校ノ規定ヲ準用ス但シ專用ノ場合ニ於テハ關係市町村、町村學校組合及學區ノ意見ヲ聞クヘシ其ノ之ヲ止メムトスルトキ亦同シ

第十二條　府縣知事ハ第七條及第八條第一項ノ事情アルモ同條及第五十三條ニ依ルコトヲ得ス認メタルトキハ其ノ町村サシテ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルコトヲ得

府縣知事ハ第八條第二項又ハ第三項ノ事情アルモ同項及第五十三條ニ依ルコトヲ得ス認メタルトキハ其ノ町村サシテ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルコトヲ得

第十三條　削除

第十四條　市町村ハ市町村又ハ其ノ學區ノ負擔ヲ以テ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得

市町村又ハ町村ハ其ノ協議ニ依リ市町村學校組合又ハ町村學校組合ヲ設ケ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得

第十五條　市町村立高等小學校ノ設置及廢止ハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條　私立小學校ノ設置及廢止ハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　前三條ノ規定ハ小學校ニ類スル各種學校ニ之ヲ準用ス

第七條　府縣知事ハ一町村ノ資力尋常小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘスト認メタルトキハ其ノ町村サシテ尋常小學校設置ノ爲他ノ町村學校組合ヲ設ケシムヘシ

第八條　府縣知事ハ一町村ニ於テ就學セシムヘキ兒童ノ數一尋常小學校ヲ構成スルニ足ラスト認メタルトキ又ハ適度ノ通學路程內ニ於テ一箇尋常小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキハ左ノ例ニ依ルヘシ

一　其ノ町村サシテ尋常小學校設置ノ爲他ノ町村ト學校組合ヲ設ケシムルコト

二　其ノ町村サシテ就學セシムヘキ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ他町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコト

府縣知事ハ町村ノ一部ニシテ前項ノ事情アルモノ其ノ町村ノ區域ニ對シ適當ナル小學校ニ對シ適度ノ通學路程內ニ在ラストノ認メタルトキ、ハ亦前項ノ例ニ依ルヘシ

府縣知事ハ町村學校組合ノ一部ニシテ前項ニ準スヘキ事情アリト認メタルトキハ第一項第二號ノ例ニ準スヘシ

第八條ノ二　府縣知事ハ町村、町村學校組合又ハ其ノ一部ニシテ前條各項ノ一ニ該當スルト事情アル場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ其ノ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ市町村又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコトヲ得

府縣知事ハ市ノ一部ニシテ就學セシムヘキ兒童ノ數一尋常小學校ヲ構成スルニ足ラスト認メタルトキ又ハ適度ノ通學路程內ニ於テ一尋常小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキハ其ノ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ他ノ市町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコトヲ得

第九條　市町村立尋常小學校ノ設數竝位置ハ府縣知事ニ於テ市町村又ハ町村學校組合ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムヘシ

第十條　第七條又ハ第八條ニ依リ府縣知事ニ於テ町村學校組合ヲ設ケシメムトスルトキハ組合規約ヲ定メ關係町村ノ意見ヲ聞クヘシ組合規約ヲ變更シ組合町村ノ數ヲ增減シ又ハ組合ヲ解カシメムトスルトキ亦同シ

第八條又ハ第八條ノ二ニ依リ府縣知事ニ於テ兒童教育事務ヲ委託セシメムトスルトキハ關係市町村、町村學校組合及學區ノ意見ヲ聞クヘシ

第十一條　府縣知事ハ市町村若ハ町村學校組合ニ於テ設置スヘキ尋常小學校數竝位置ニ關シ豫メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條　府縣知事ハ第七條及第八條第一項ノ事情アルモ同條及第五十三條ニ依ルコトヲ得ス認メタルトキハ其ノ町村サシテ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルコトヲ得

府縣知事ハ第八條第二項又ハ第三項ノ事情アルモ同項及第五十三條ニ依ルコトヲ得ス認メタルトキハ其ノ町村サシテ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルコトヲ得

第十三條　削除

第十四條　市町村ハ市町村又ハ其ノ學區ノ負擔ヲ以テ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得

市町村又ハ町村ハ其ノ協議ニ依リ市町村學校組合又ハ町村學校組合ヲ設ケ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得

第十五條　市町村立高等小學校ノ設置及廢止ハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條　私立小學校ノ設置及廢止ハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　前三條ノ規定ハ小學校ニ類スル各種學校ニ之ヲ準用ス

第七條　府縣知事ハ一町村ノ資力尋常小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘスト認メタルトキハ其ノ町村サシテ尋常小學校設置ノ爲他ノ町村學校組合ヲ設ケシムヘシ

第八條　府縣知事ハ一町村ニ於テ就學セシムヘキ兒童ノ數一尋常小學校ヲ構成スルニ足ラスト認メタルトキ又ハ適度ノ通學路程內ニ於テ一箇尋常小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキハ左ノ例ニ依ルヘシ

一　其ノ町村サシテ尋常小學校設置ノ爲他ノ町村ト學校組合ヲ設ケシムルコト

二　其ノ町村サシテ就學セシムヘキ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ他町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコト

府縣知事ハ町村ノ一部ニシテ前項ノ事情アルモノ其ノ町村ノ區域ニ對シ適當ナル小學校ニ對シ適度ノ通學路程內ニ在ラストノ認メタルトキ、ハ亦前項ノ例ニ依ルヘシ

府縣知事ハ町村學校組合ノ一部ニシテ前項ニ準スヘキ事情アリト認メタルトキハ第一項第二號ノ例ニ準スヘシ

第八條ノ二　府縣知事ハ町村、町村學校組合又ハ其ノ一部ニシテ前條各項ノ一ニ該當スルト事情アル場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ其ノ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ市町村又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコトヲ得

府縣知事ハ市ノ一部ニシテ就學セシムヘキ兒童ノ數一尋常小學校ヲ構成スルニ足ラスト認メタルトキ又ハ適度ノ通學路程內ニ於テ一箇

第六條　本令ニ於テ學校ト稱スルハ小學校、中學校、高等女學校、實業學校、專門學校、師範學校、盲啞學校、幼稚園ヲ謂フ

第七條　學校ハ公立、私立ヲ問ハス文部大臣ノ監督ニ屬ス

第八條　學校ハ法人又ハ一定ノ資產ヲ有スル者ニ非サレハ之ヲ設置スルコトヲ得ス

第九條　學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケサルヘカラス

第十條　學校ノ設置廢止ハ文部大臣ニ屆出ツヘシ

第十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ハ其ノ學校ノ種類ニ從ヒ左ノ事項ヲ具ヘ設置者ヨリ之ヲ爲スヘシ

一　名稱及位置

二　學則

三　學年、學期及休業日

四　學級編制ノ方法

五　教員ノ組織

六　學校ノ設備

七　入學ノ資格及入學ノ時期

八　授業料ノ額及徵收ノ方法

第十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ位置ヲ管轄スル地方廳ヲ經由スヘシ

第十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第二十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第二十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第二十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第二十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第二十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第二十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第二十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第二十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第二十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第二十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第三十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第三十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第三十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第三十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第三十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第三十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第三十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第三十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第三十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第三十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第四十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第四十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第四十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第四十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第四十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第四十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第四十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第四十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第四十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第四十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第五十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第五十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第五十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第五十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第五十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第五十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第五十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第五十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第五十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第五十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第六十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第六十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第六十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第六十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第六十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第六十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第六十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第六十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第六十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第六十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第七十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第七十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第七十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第七十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第七十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第七十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第七十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第七十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第七十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第七十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第八十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第八十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第八十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第八十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第八十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第八十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第八十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第八十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第八十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第八十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第九十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第九十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第九十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第九十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第九十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第九十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第九十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第九十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第九十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第九十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百二十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百二十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百二十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百二十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百二十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百二十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百二十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百二十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百二十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百二十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百三十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百三十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百三十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百三十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百三十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百三十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百三十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百三十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百三十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百三十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百四十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百四十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百四十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百四十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百四十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百四十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百四十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百四十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百四十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百四十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百五十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百五十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百五十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百五十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百五十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百五十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百五十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百五十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百五十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百五十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百六十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百六十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百六十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百六十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百六十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百六十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百六十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百六十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百六十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百六十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百七十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百七十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百七十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百七十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百七十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百七十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百七十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百七十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百七十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百七十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百八十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百八十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百八十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百八十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百八十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百八十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百八十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百八十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百八十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百八十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百九十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百九十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百九十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百九十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百九十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百九十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百九十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百九十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第百九十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第百九十九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第二百條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ學校ト稱スルハ小學校、中學校、高等女學校、實業學校、專門學校、師範學校、盲啞學校、幼稚園ヲ謂フ

第二條　學校ハ公立、私立ヲ問ハス文部大臣ノ監督ニ屬ス

第三條　學校ハ法人又ハ一定ノ資產ヲ有スル者ニ非サレハ之ヲ設置スルコトヲ得ス

第四條　學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケサルヘカラス

第五條　學校ノ設置廢止ハ文部大臣ニ屆出ツヘシ

第六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ種類ニ從ヒ左ノ事項ヲ具ヘ設置者ヨリ之ヲ爲スヘシ

一　名稱及位置

二　學則

三　學年、學期及休業日

四　學級編制ノ方法

五　教員ノ組織

六　學校ノ設備

七　入學ノ資格及入學ノ時期

八　授業料ノ額及徵收ノ方法

第七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第九條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第十條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第十一條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第十二條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第十三條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第十四條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第十五條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第十六條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ資產ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第十七條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ屆出ニハ其ノ學校ノ設置者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第十八條　學校ノ設置廢止ニ關スル認可ノ申請又ハ

第
遠足ハ生徒ノ心身ヲ休養セシメ自然ニ親ミ其ノ美ヲ感ゼシムルヲ以テ目的トス
遠足ハ学校ノ教育ト密接ノ関係ヲ有スルヲ以テ其ノ実施ニ当リテハ教育上ノ効果ヲ挙ゲ得ル様適当ノ場所ヲ選ビ時期ヲ定メ教師ノ指導ノ下ニ行ハルヘキモノトス
遠足ハ其ノ性質上児童ノ心身ニ及ボス影響大ナルヲ以テ其ノ実施ニ当リテハ予メ児童ノ健康ニ注意シ且ツ危険ノ伴ハサル様適当ノ方法ヲ講スルヲ要ス
遠足ハ之ヲ実施スル前後ニ於テ適当ノ方法ヲ以テ其ノ効果ヲ収メ得ル様ニ努ムルヲ要ス
遠足ハ之ヲ実施スル前後ニ於テ児童ノ衛生ニ関シ特ニ留意ス

及毎週教授時數ハ第一號表ニ依ルヘシ

手工ヲ加フルトキ又ハ第一學年、第二學年ニ於テ圖書ヲ課スルトキハ其ノ毎週教授時數ハ學校長ニ於テ他ノ教科目ノ毎週教授時數ヲ減ジ之ニ充ツヘシ

隨意科目トシテ朝鮮語ヲ加フルトキハ第五學年、第六學年ニ於テ毎週二時以内ノ課ヲ課シ其ノ毎週教授時數ハ學校長ニ於テ他ノ教科目ノ毎週教授時數ヲ減ジ又ハ各學年毎週教授時數ノ合計ヲ增加シテ之ニ充ツヘシ但シ其ノ教科目ヲ學習セサル兒童ニ對シテハ之カ爲ニ他ノ教科目ノ毎週教授時數ヲ減スルコトヲ得ス

第三十三條　高等小學校各學校ノ教授ノ程度及毎週教授時數ハ第二號表又ハ第三號表ニ依ルヘシ

第十三條ノ第二項ノ教科目ニ關シテハ毎週教授時數ハ第二號表、第三號表ノ毎週教授時數ノ外男兒三時以内、女兒二時以内ニ於テ學校長之ヲ定ムヘシ

前項ノ外第二號表、第三號表ノ各教科目ノ毎週教授時數ハ學校長ニ於テ之ヲ增加スルコトヲ得但シ毎週教授時數ノ合計ハ三十三時ヲ超エルコトヲ得ス

職業ニ於テ工業ヲ學習スル爲手工ヲ課セサル兒童ニ對シテハ其ノ毎週教授時數ヲ學校長ニ於テ他ノ教科目ニ配當スルコトヲ得

第三學年ニ於ケル國語、唱歌ヲ隨意科目ト爲シタル場合ニ於テハ其ノ毎週教授時數ヲ學校長ニ於テ他ノ教科目ニ配當スルコトヲ得

第三十四條　第五十一條ノ規定ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ教科目ノ毎週教授時數ハ府尹若ハ學校組合管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ定メ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

第三十五條　土地ノ情況ニ依リ府尹若ハ學校組合管理者又ハ設立者ニ於テ道知事ノ認可ヲ受ケ左ノ制限内ニ於テ第三十二條及第三十三條ノ規定ニ依ル時數ヲ增減スルコトヲ得

一　尋常小學校ノ毎週教授時數ハ三十二時ヲ超エス又ハ十八時ヲ下ルコトヲ得ス

二　高等小學校ノ毎週教授時數ハ三十三時ヲ超エス又ハ二十七時ヲ下ルコトヲ得ス

第五十一條ノ規定ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ毎週教授時數ハ各部十八時以上ニ減スルコトヲ得ス

第三十六條　學校長ハ一學年ヲ通シ五十日以内夏季又ハ冬季ノ休業日ノ前後ニ於テ毎週教授時數ヲ減シ又ハ各學年毎週ノ教授時數ノ合計ヲ增加シテ之ヲ補フヘシ但シ前項ノ規定ニ依リ教授時數ヲ減スルトキハ學校長ニ於テ毎週教授時數ヲ增加スヘシ

第三十七條　尋常小學校又ハ高等小學校ニ於テ數學年ノ兒童ヲ一學級ニ編制スルトキハ其ノ程度ニ拘ラス全部又ハ一部ノ兒童ヲ同一ノ程度ニ依リ教授スルコトヲ得

第三十八條　學校長ハ其ノ小學校ニ於テ教スヘキ各教科目ノ教授細目ヲ定ムヘシ

第三十九條　小學校ニ於テ各學年ノ課程ヲ了ヌル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

第四十條　學校長ハ修業年限ノ終ニ於テ尋常小學校ノ高等小學校ノ教科ヲ修了セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

學校長ハ學年末ニ於テ各學年ノ課程ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書、第三十條ノ規定ニ依リ一學年間學習セシ者ニハ習證書ヲ與フルコトヲ得

第四十一條　學校長ハ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メタル者ニ對シ父兄又ハ之ニ代ルヘキ者ノ請求ニ因リ試驗ノ上相當學年ヲ修了シ又ハ全教科ヲ卒業シタル者ト同等ノ學力ヲ有スルコトヲ證明スルコトヲ得

第二節　學年、學期、休業日及式日

第四十二條　小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ハ之ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第四十三條　小學校ノ休業日數ハ日曜日ヲ除キ毎日ノ教授終始ノ時刻ハ學校長ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十四條　小學校ノ休業日數ハ日曜日ヲ除クノ外毎年九十日ヲ超エルコトヲ得ス但シ補習科ハ此ノ限ニ在ラス

特別ノ事情アルトキハ道知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ日數ヲ增加スルコトヲ得

傳染病豫防ノ爲必要アルトキ其ノ他非常變災アルトキハ府尹、郡守又ハ島司ニ於テ臨時小學校ノ閉鎖ヲ命スヘシ其ノ急迫ノ事情アル場合ニ於テハ學校組合ノ負擔ヲ以テ設立シタル公立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ之ヲ閉鎖スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ府尹、郡守又ハ島司ニ届出ツヘシ

第四十五條　小學校ノ休業日ハ左ノ如シ但シ第四號乃至第七號ノ休業日ハ學年ニ於リ之ヲ異ニスルコトヲ得

一　一月一日及昭和二年勅令第二十五號ニ依リ休日タル祭日、祝日

二　朝鮮總督府始政記念日

三　夏季休業日

四　冬季休業日

五　學年末休業日

六　其ノ他道知事ノ定ムル休業日

前項第四號乃至第六號ノ休業日數ハ道知事之ヲ定ムヘシ

第四十六條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニ於テハ職員及兒童學校ニ參集シテ左ノ式ヲ行フヘシ

一　職員及兒童「君カ代」ヲ合唱ス

二　職員及兒童ハ天皇陛下

皇后陛下ノ御影ニ對シ奉リ最敬禮ヲ行フ

三　學校長ハ教育ニ關スル勅語ヲ奉讀ス

四　學校長ハ教育ニ關スル勅語ニ基キ聖旨ノ在ル所ヲ訓告ス

五　職員及兒童ハ其ノ祝日ニ相當スル唱歌ヲ合唱ス

御影ハ非戰セサル學校ニ於テハ前項第二號ノ式ヲ闕ク

第三節　編制

第四十七條　小學校ノ學級ハ二十四學級以下トス

一分教場ノ學級數ハ四學級以下トシ前項ノ制限外ト爲スコトヲ得

特別ノ事情アルトキハ公立小學校ニ在リテハ府又ハ學校組合ニ於テ私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ道知事ノ認可ヲ受ケ前二項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

第四十八條　一學級ノ兒童數ハ尋常小學校ニ在リテハ七十人以下、高等小學校ニ在リテハ六十人以下トス

特別ノ事情アルトキハ前項ノ制限ヲ超過シテ各十人迄ヲ增スコトヲ得

第四十九條　尋常小學校ニ於テ同一學年ノ女兒ノ數一學級ヲ編制スルニ足ルトキハ男女ニ依リ該學年ノ學級ヲ別ツヘシ

第一學年及第二學年ニ在リテハ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

高等小學校ニ於テ全校女兒ノ數一學級ヲ編制スルニ足ルトキハ男女ニ依リ學級ヲ別ツヘシ

特別ノ事情アルトキハ第一項又ハ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第五十條　修身、職業、體操、唱歌、家事及裁縫、家事、裁縫、手工及第十三條第二項ノ規定ニ依リ加ヘタル教科目ハ數學級ノ全部又ハ一部ノ兒童ヲ合セテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得但シ職業、家事及裁縫、家事、裁縫、手工ニ就キテハ兒童ノ數七十人ヲ超エサル場合ニ限ル

第五十一條　土地ノ情況ニ依リ尋常小學校ニ於テ全部又ハ一部ノ兒童ヲ前後二部ニ分チテ教授スルコトヲ得

第五十二條　補習科ヲ置ク場合ニ於テハ其ノ學級數ハ第四十七條ニ規定シタル學級數ノ制限外トス但シ其ノ教授時間ヲ正教科ノ教授ノ在ル所ヲ訓告ス

第五十三條　全校ノ兒童ヲ一學級ニ編制スル學校ヲ單級小學校トシ二學級以上ニ編制スル學校ヲ多級小學校トス

第四節　補習科

第五十四條　小學校ニ補習科ヲ置クコトヲ得

第五十五條　補習科ハ之ヲ分チテ尋常小學校補習科及高等小學校補習科トス

尋常小學校補習科ハ尋常小學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ、高等小學校補習科ハ尋常小學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ各目的ト

第五十六條　補習科ノ教科目ハ府尹若ハ學校組合管理者又ハ設立者ニ於テ隨意科目ト爲スコトヲ得

第五十七條　補習科ノ教科用圖書ハ道知事ノ認可ヲ受ケ學校長ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第五十八條　補習科ノ教授ハ一定ノ季節ヲ選ヒテ之ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　補習科ノ教授日、教授時間及毎週教授時數ハ兒童ノ便宜ヲ圖リ府尹若ハ學校組合管理者又ハ設立者ニ於テ道知事ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第六十二條　高等小學校補習科ノ學級ハ男女ヲ合シテ之ヲ編制スルコトヲ得ス

教授時間ヲ正教科ノ教習時間内ニ定メタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條　補習科ノ教場ハ正教科ヲ授クル校舍外ニ之ヲ設クルコトヲ得

第六十四條　補習科ノ教授ハ正教科ヲ教授スル教員ニ於テ之ヲ擔任スヘシ

補習科ノ教授時間ヲ正教科ノ教授時間内ニ定メタルトキハ前項ノ規定ヲ適用セス

特別ノ事情アルトキハ前二項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第六十五條　尋常小學校又ハ高等小學校ノ教授ノ程度及毎週教授時數ハ第二號表又ハ第三號表ニ依ルヘシ

第六十六條　前條ニ依リ教科用圖書ハ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノヲ除クノ外學校長ニ於テ之ヲ選定スヘシ

小學校教科用圖書中修身、國語、算術、國史、地理、理科、家事、圖畫ヲ除キ其ノ他ノ圖書ニ限リ第一項ノ規定ニ拘ラス文部省ニ於テ檢定ヲ經タルモノ及朝鮮總督府又ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ道知事之ヲ定スルコトヲ得

朝鮮總督府ニ於テ編纂シタル小學校教科用圖書アルトキハ前三項ノ規定ニ拘ラス之ヲ使用セシムルコトヲ得

體操、家事及裁縫、裁縫、手工及珠算小學校用圖書ヲ使用セシムルコトヲ得又國語ニ關シテハ兒童ニ教ヘキ方、算術、理科、圖畫ノ教科用圖書及小學校地理歷史ニハ學校長ニ於テ之ヲ兒童ニ使用セシメサルコトヲ得

第六十六條　前條ニ依リ教科用圖書ヲ採定シタルトキハ之ヲ使用セムトスル學年ノ開始ヨリ九十日前ニ其ノ旨ヲ公告スヘシ

特別ノ事情アルトキハ前項ノ期間ニ依ラルコトヲ得

第六十七條　朝鮮總督又ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タル小學校教科用圖書ノ定價ヲ增加シタルトキハ學校長ハ其ノ圖書ハ當下學年ノ兒童ニ限リ道知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ制限ヲ超エタル授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第六十八條　小學校教科用圖書ヲ變更シタル場合ニ於テハ其ノ圖書ハ當下學年ノ兒童ニ限リ道知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ制限ヲ超エタル授業料ヲ徵收スルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮公立小學校規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ存スル小學校ニ付テハ本令ニ依リ認可ヲ受ケヘキ事項ハ本令施行ノ際ニ限リ之ヲ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

本令施行ノ際現ニ存スル小學校ハ當分ノ内仍舊令ニ依リ存續スルコトヲ得

本令施行ノ際公立小學校ニ現ニ在學スル兒童ハ本令ニ依ル小學校ノ相當學年ニ編入スヘシ

附　則（昭和二年三月總令第二十一號）

第七十三條　學校ノ一學級ニ編制スル學校ヲ單級小學校トシ二學級以上ニ編制スル學校ヲ多級小學校トス

第四節　補習科

第五十四條　小學校ニ補習科ヲ置クコトヲ得

第五十五條　補習科ハ之ヲ分チテ尋常小學校補習科及高等小學校補習科トス

尋常小學校補習科ハ尋常小學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ、高等小學校補習科ハ尋常小學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ各目的トス

第五十六條　補習科ノ教科目ハ府尹若ハ學校組合管理者又ハ設立者ニ於テ隨意科目ト爲スコトヲ得

第五十七條　補習科ノ教科用圖書ハ道知事ノ認可ヲ受ケ學校長ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第五十八條　補習科ノ教授ハ一定ノ季節ヲ選ヒテ之ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　補習科ノ教授日、教授時間及毎週教授時數ハ兒童ノ便宜ヲ圖リ府尹若ハ學校組合管理者又ハ設立者ニ於テ道知事ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第六十二條　高等小學校補習科ノ學級ハ男女ヲ合シテ之ヲ編制スルコトヲ得ス

教授時間ヲ正教科ノ教習時間内ニ定メタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條　補習科ノ教場ハ正教科ヲ教授スル校舍外ニ之ヲ設クルコトヲ得

第六十四條　補習科ノ教授ハ正教科ヲ教授スル教員ニ於テ之ヲ擔任スヘシ

補習科ノ教授時間ヲ正教科ノ教授時間内ニ定メタルトキハ前項ノ規定ヲ適用セス

特別ノ事情アルトキハ前二項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第六十五條　尋常小學校又ハ高等小學校ノ教授ノ程度及毎週教授時數ハ第二號表又ハ第三號表ニ依ルヘシ

第六十六條　前條ニ依リ教科用圖書ハ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノヲ除クノ外學校長ニ於テ之ヲ選定スヘシ

小學校教科用圖書中修身、國語、算術、國史、地理、理科、家事、圖畫ヲ除キ其ノ他ノ圖書ニ限リ第一項ノ規定ニ拘ラス文部省ニ於テ檢定ヲ經タルモノ及朝鮮總督府又ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ道知事之ヲ定スルコトヲ得

朝鮮總督府ニ於テ編纂シタル小學校教科用圖書アルトキハ前三項ノ規定ニ拘ラス之ヲ使用セシムルコトヲ得

體操、家事及裁縫、裁縫、手工及珠算小學校用圖書ヲ使用セシムルコトヲ得又國語ニ關シテハ兒童ニ教ヘキ方、算術、理科、圖畫ノ教科用圖書及小學校地理歷史ニハ學校長ニ於テ之ヲ兒童ニ使用セシメサルコトヲ得

第六十六條　前條ニ依リ教科用圖書ヲ採定シタルトキハ之ヲ使用セムトスル學年ノ開始ヨリ九十日前ニ其ノ旨ヲ公告スヘシ

特別ノ事情アルトキハ前項ノ期間ニ依ラルコトヲ得

第六十七條　朝鮮總督又ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タル小學校教科用圖書ノ定價ヲ增加シタルトキハ學校長ハ其ノ圖書ハ當下學年ノ兒童ニ限リ道知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ制限ヲ超エタル授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第六十八條　小學校教科用圖書ヲ變更シタル場合ニ於テハ其ノ圖書ハ當下學年ノ兒童ニ限リ道知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ制限ヲ超エタル授業料ヲ徵收スルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮公立小學校規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ存スル小學校ニ付テハ本令ニ依リ認可ヲ受ケヘキ事項ハ本令施行ノ際ニ限リ之ヲ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

本令施行ノ際現ニ存スル小學校ハ當分ノ内仍舊令ニ依リ存續スルコトヲ得

本令施行ノ際公立小學校ニ現ニ在學スル兒童ハ本令ニ依ル小學校ノ相當學年ニ編入スヘシ

附　則（昭和二年三月總令第二十一號）

年	作業	地理	國語	修身	教科ノ時数
第十五年	作業ノ種類ニ應ジ適宜ニ課スルコト	地理ノ初歩ヲ授ケ地球ノ運動ニ及ボス影響ヲ知ラシメ日本ノ地勢ヲ概説シ地圖ノ讀方ニ習熟セシムルコト	國語ノ應用ヲ練習シ文法ノ大要ヲ授ケ文章ノ種類ヲ知ラシメ文章ノ作法ニ習熟セシムルコト	修身ノ要旨ヲ授ケ實踐躬行ノ習慣ヲ養フコト	毎週時数二十五時以内
第十六年	作業ノ種類ニ應ジ適宜ニ課スルコト	地理ノ初歩ヲ授ケ地球ノ運動ニ及ボス影響ヲ知ラシメ日本ノ地勢ヲ概説シ地圖ノ讀方ニ習熟セシムルコト	國語ノ應用ヲ練習シ文法ノ大要ヲ授ケ文章ノ種類ヲ知ラシメ文章ノ作法ニ習熟セシムルコト	修身ノ要旨ヲ授ケ實踐躬行ノ習慣ヲ養フコト	毎週時数二十五時以内

年	作業	地理	國語	修身	教科ノ時数
第一學年	作業ノ種類ニ應ジ適宜ニ課スルコト	地理ノ初歩ヲ授ケ地球ノ運動ニ及ボス影響ヲ知ラシメ日本ノ地勢ヲ概説シ地圖ノ讀方ニ習熟セシムルコト	國語ノ應用ヲ練習シ文法ノ大要ヲ授ケ文章ノ種類ヲ知ラシメ文章ノ作法ニ習熟セシムルコト	修身ノ要旨ヲ授ケ實踐躬行ノ習慣ヲ養フコト	毎週時数二十五時以内
第二學年	作業ノ種類ニ應ジ適宜ニ課スルコト	地理ノ初歩ヲ授ケ地球ノ運動ニ及ボス影響ヲ知ラシメ日本ノ地勢ヲ概説シ地圖ノ讀方ニ習熟セシムルコト	國語ノ應用ヲ練習シ文法ノ大要ヲ授ケ文章ノ種類ヲ知ラシメ文章ノ作法ニ習熟セシムルコト	修身ノ要旨ヲ授ケ實踐躬行ノ習慣ヲ養フコト	毎週時数二十五時以内

年	作業	地理	國語	修身	教科ノ時数
第三學年	作業ノ種類ニ應ジ適宜ニ課スルコト	地理ノ初歩ヲ授ケ地球ノ運動ニ及ボス影響ヲ知ラシメ日本ノ地勢ヲ概説シ地圖ノ讀方ニ習熟セシムルコト	國語ノ應用ヲ練習シ文法ノ大要ヲ授ケ文章ノ種類ヲ知ラシメ文章ノ作法ニ習熟セシムルコト	修身ノ要旨ヲ授ケ實踐躬行ノ習慣ヲ養フコト	毎週時数二十五時以内
第四學年	作業ノ種類ニ應ジ適宜ニ課スルコト	地理ノ初歩ヲ授ケ地球ノ運動ニ及ボス影響ヲ知ラシメ日本ノ地勢ヲ概説シ地圖ノ讀方ニ習熟セシムルコト	國語ノ應用ヲ練習シ文法ノ大要ヲ授ケ文章ノ種類ヲ知ラシメ文章ノ作法ニ習熟セシムルコト	修身ノ要旨ヲ授ケ實踐躬行ノ習慣ヲ養フコト	毎週時数二十五時以内

年	作業	地理	國語	修身	教科ノ時数
第五學年	作業ノ種類ニ應ジ適宜ニ課スルコト	地理ノ初歩ヲ授ケ地球ノ運動ニ及ボス影響ヲ知ラシメ日本ノ地勢ヲ概説シ地圖ノ讀方ニ習熟セシムルコト	國語ノ應用ヲ練習シ文法ノ大要ヲ授ケ文章ノ種類ヲ知ラシメ文章ノ作法ニ習熟セシムルコト	修身ノ要旨ヲ授ケ實踐躬行ノ習慣ヲ養フコト	毎週時数二十五時以内
第六學年	作業ノ種類ニ應ジ適宜ニ課スルコト	地理ノ初歩ヲ授ケ地球ノ運動ニ及ボス影響ヲ知ラシメ日本ノ地勢ヲ概説シ地圖ノ讀方ニ習熟セシムルコト	國語ノ應用ヲ練習シ文法ノ大要ヲ授ケ文章ノ種類ヲ知ラシメ文章ノ作法ニ習熟セシムルコト	修身ノ要旨ヲ授ケ實踐躬行ノ習慣ヲ養フコト	毎週時数二十五時以内

年	作業	地理	國語	修身	教科ノ時数
第七學年	作業ノ種類ニ應ジ適宜ニ課スルコト	地理ノ初歩ヲ授ケ地球ノ運動ニ及ボス影響ヲ知ラシメ日本ノ地勢ヲ概説シ地圖ノ讀方ニ習熟セシムルコト	國語ノ應用ヲ練習シ文法ノ大要ヲ授ケ文章ノ種類ヲ知ラシメ文章ノ作法ニ習熟セシムルコト	修身ノ要旨ヲ授ケ實踐躬行ノ習慣ヲ養フコト	毎週時数二十五時以内
第八學年	作業ノ種類ニ應ジ適宜ニ課スルコト	地理ノ初歩ヲ授ケ地球ノ運動ニ及ボス影響ヲ知ラシメ日本ノ地勢ヲ概説シ地圖ノ讀方ニ習熟セシムルコト	國語ノ應用ヲ練習シ文法ノ大要ヲ授ケ文章ノ種類ヲ知ラシメ文章ノ作法ニ習熟セシムルコト	修身ノ要旨ヲ授ケ實踐躬行ノ習慣ヲ養フコト	毎週時数二十五時以内

第四號表

住所	氏名	入學年月日	入學前ノ經歷	卒業年月日	退學年月日	退學ノ事由	生年月日

氏名住所	職業	關係
		兒童トノ關係
		家族ノ關係

成績	學業	在學中ノ操行及賞罰

身體ノ狀況	記事
體格	
發育	
疾病	
視力及聽力	
齒牙	
言語	
其他ノ特質	

年	作業	地理	國語	修身	教科ノ時数
第九學年	作業ノ種類ニ應ジ適宜ニ課スルコト	地理ノ初歩ヲ授ケ地球ノ運動ニ及ボス影響ヲ知ラシメ日本ノ地勢ヲ概説シ地圖ノ讀方ニ習熟セシムルコト	國語ノ應用ヲ練習シ文法ノ大要ヲ授ケ文章ノ種類ヲ知ラシメ文章ノ作法ニ習熟セシムルコト	修身ノ要旨ヲ授ケ實踐躬行ノ習慣ヲ養フコト	毎週時数二十五時以内

科目	教授ノ時数	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	第七學年	第八學年	第九學年
修身	毎週教授時数	二	二	二	二	二	二	二	二	二
國語	毎週教授時数	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
算術	毎週教授時数	五	五	五	五	五	五	五	五	五
地理	毎週教授時数	一	一	一	一	一	一	一	一	一
歴史	毎週教授時数					一	一	一	一	一
理科	毎週教授時数							二	二	二
圖畫	毎週教授時数	一	一	一	一	一	一	一	一	一
手工	毎週教授時数	一	一	一	一	一	一	一	一	一
唱歌	毎週教授時数	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	毎週教授時数	四	四	四	四	四	四	四	四	四
裁縫	毎週教授時数									二
農業	毎週教授時数									二
商業	毎週教授時数									二
英語	毎週教授時数									二
計	毎週教授時数	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇

第二號表

科目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	第七學年	第八學年	第九學年
修身	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
國語	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
算術	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
地理	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
歴史					教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
理科							教授要旨	教授要旨	教授要旨
圖畫	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
手工	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
唱歌	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
體操	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
裁縫									教授要旨
農業									教授要旨
商業									教授要旨
英語									教授要旨

第三號表

科目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	第七學年	第八學年	第九學年
修身	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
國語	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
算術	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
地理	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
歴史					教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
理科							教授時数	教授時数	教授時数
圖畫	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
手工	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
唱歌	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
體操	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
裁縫									教授時数
農業									教授時数
商業									教授時数
英語									教授時数
計	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数

第四號表

科目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	第七學年	第八學年	第九學年
修身	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
國語	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
算術	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
地理	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
歴史					教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
理科							教授要旨	教授要旨	教授要旨
圖畫	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
手工	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
唱歌	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
體操	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
裁縫									教授要旨
農業									教授要旨
商業									教授要旨
英語									教授要旨

第三號表

科目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	第七學年	第八學年	第九學年
修身	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
國語	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
算術	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
地理	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
歴史					教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
理科							教授時数	教授時数	教授時数
圖畫	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
手工	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
唱歌	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
體操	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
裁縫									教授時数
農業									教授時数
商業									教授時数
英語									教授時数
計	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数

第二號表

科目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	第七學年	第八學年	第九學年
修身	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
國語	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
算術	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
地理	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
歴史					教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
理科							教授要旨	教授要旨	教授要旨
圖畫	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
手工	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
唱歌	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
體操	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
裁縫									教授要旨
農業									教授要旨
商業									教授要旨
英語									教授要旨

第一號表

科目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	第七學年	第八學年	第九學年
修身	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
國語	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
算術	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
地理	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
歴史					教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
理科							教授時数	教授時数	教授時数
圖畫	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
手工	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
唱歌	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
體操	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数
裁縫									教授時数
農業									教授時数
商業									教授時数
英語									教授時数
計	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数	教授時数

第一號表

科目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	第七學年	第八學年	第九學年
修身	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
國語	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
算術	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
地理	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
歴史					教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
理科							教授要旨	教授要旨	教授要旨
圖畫	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
手工	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
唱歌	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
體操	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨	教授要旨
裁縫									教授要旨
農業									教授要旨
商業									教授要旨
英語									教授要旨

| | | |

トチカ又ハ図表模型利表等ノ取扱ニ慣レシメ且暗算ニ熟達セシメムコトチ要ス

算術ノ問題ハ他ノ教科目ニ於テ授ケタル事項又ハ他ノ情況ヲ推酌シテ日常ノ生活ニ適切ナルモノヲ選フヘシ

第十三條　國史ハ國體ノ大要ヲ知ラシメ兼ネテ國民タルノ志操ヲ養フヲ以テ要旨トス

國史ハ我カ國ノ國初ヨリ現時ニ至ル迄ノ重要ナル事歴ヲ授ケ朝鮮ノ變遷ニ關スル事蹟ノ大要ヲモ知ラシムヘシ

國史ヲ授クルニハ成ルヘク圖畫、地圖、標本等ヲ示シテ當時ノ實狀ヲ想像シ易カラシメ特ニ修身ノ教授事項ト聯絡セシメムコトチ要ス

第十四條　地理ハ我カ國勢ノ大要ヲ理會セシメ地勢ト人類生活ノ狀態ニ關シ知識ノ一斑ヲ得シメ兼ネテ愛國心ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

地理ハ鄉土ノ實勢ヨリ始メテ我カ國ノ地勢、氣候、陸圻、産業、交通等竝ニ地球ノ形狀、運動等ノ大要ヲ授ケ且滿洲地理ノ大要ヲ知ラシメ兼ネテ我カ國トノ關係ニ於テ重要ナル諸國ノ地理ニ關スル簡單ナル知識ヲ得シムヘシ

地理ヲ授クルニハ成ルヘク實地ノ觀察ニ基キ又地球儀、地圖、標本、寫眞等ヲ示シテ確實ナル知識ヲ得シメ特ニ國史及理科ノ教授事項ト聯絡セシメムコトチ要ス

第十五條　理科ハ通常ノ天然物及自然ノ現象ニ關スル知識ノ一斑ヲ得シメ其ノ相互及人生ニ對スル關係ノ大要ヲ理會セシメ兼ネテ觀察ト精密ニシ利用厚生ノ途ヲ知ラシメ自然ヲ愛スルノ心ヲ養フヲ以テ要旨トス

理科ハ植物、動物、鑛物及自然ノ現象ニ就キ主トシテ兒童ノ日常シ得ル事項ヲ授ケ特ニ重要ナル植物、鑛物ノ名稱、形狀、效用及發育ノ大要ヲ知ラシメ又通常ノ物理化學上ノ現象及人身生理ノ初歩ヲ授クヘシ

理科ニ於テハ努メテ農事、水產、工業、家事等ニ適切ナル事項ヲ授ケ特ニ植物、動物等ニ就キ教授スル際ニハ之ヲ以テ製藥ニ必要ナル植物ヲモ授クヘシ

唱歌ニ於テハ簡易ナル複音唱歌ヲモ授クヘシ

手工ニ於テハ製圖ヲ簡易ナル程度ニ於テ併セ授クヘシ

圖畫ニ於テハ土地ノ情況ニ依リ簡易ナル幾何畫ヲモ授クヘシ

第二十六條ノ二　削除

第二十七條　削除

第二十八條　削除

第二十九條　高等科各學年ノ教授ノ程度及毎週教授時數ハ第四號表ニ依ルヘシ

第二十五條第二項ノ教科目ノ毎週教授時數ハ第四號表ノ毎週教授時數ノ外ニ時ヲ以内ニ於テ學校長之ヲ定ムヘシ

前項ノ外第四號表ノ各教科目ノ毎週教授時數ハ學校長ニ於テ之ヲ增加スルコトヲ得但シ毎週教授時數ノ合計ハ三十四時ヲ超ユルコトヲ得ス

職業ニ於テ工業ヲ學習スル爲手工ヲ課セサル兒童ニ對シテハ其ノ毎週教授時數ヲ學校長ニ於テ他ノ教科目ニ配當スルコトヲ得

第三十條　第七條及第二十五條ノ教科目中兒童ノ特別ノ事情ニ依リ學習スルコト能ハサル兒童ニ對シテハ其ノ兒童ニ課セサルコトヲ得

第三十一條　第四十八條ノ規定ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ教科目ノ毎週教授時數ハ府尹、郡守若ハ島司又ハ設立者ニ於テ之ヲ定メ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

第三十二條　土地ノ情況ニ依リ府尹、郡守若ハ島司又ハ設立者ニ於テ道知事ノ認可ヲ受ケ左ノ制限内ニ於テ第二十四條及第二十九條ノ規定ニ依ル時數ヲ增減スルコトヲ得

一　普通學校ノ毎週教授時數ハ三十二時ヲ超エス又十八時ヲ下ルコトヲ得ス

二　高等科ノ毎週教授時數ハ三十四時ヲ超エス又二十七時ヲ下ルコトヲ得ス

第四十五條　普通學校ノ一學級兒童數ハ七十人以下トス

高等科ノ一學級兒童數ハ六十人以下トス

特別ノ事情アルトキハ前二項ノ制限ヲ超過シテ各十人迄ヲ增スコトヲ得

第四十六條　全校ニ於ケル兒童ノ數一學級ヲ編制スルニ足ルトキハ男女ニ依リ學級ヲ別ツヘシ

特別ノ事情アルトキハ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得ス

高等科ニ於テハ男女ヲ合シテ學級ヲ編制スルコトヲ得ス

第四十七條　修身、職業、體操、唱歌、家事及裁縫、家事、裁縫、手工ニ就キテハ兒童ノ數七十人ヲ超エサル場合ニ限ル

第四十八條　土地ノ情況ニ依リ普通學校ニ於テハ全部又ハ一部ノ兒童ヲ前後二部ニ分チテ教授スルコトヲ得

第四十九條　補習科ヲ置ク場合ニ於テハ其ノ學級數ハ第四十四條ニ規定シタル學級數ノ制限外トス但シ其ノ教授時間ヲ定ムル際ニ在ラス

第五十條　全校ノ兒童ヲ一學級ニ編制スル學校ヲ普通學校トシ二學級以上ニ編制スル學校ヲ多級普通學校トス

第五十一條　補習科ハ之ヲ分チテ左ノ四種トス

一　高等科ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ高等科ノ教科目ヲ補習セシムルコトヲ目的トスルモノ

二　修業年限六年ノ普通學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ普通學校ノ教科目ヲ補習セシムルコトヲ目的トスルモノ

三　修業年限五年ノ普通學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ實業ニ關スル事項ヲ補習セシムルコトヲ目的トスルモノ

四　修業年限四年ノ普通學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ實業ニ關スル事項ヲ補習セシムルコトヲ目的トスルモノ

第五十二條　補習科ノ教授ハ時間ノ一部若ハ教授時間ノ外ニ於テ適宜ノ戶外運動ヲ爲サシメ又水泳ヲ授クルコトアルヘシ

體操ノ教授ニ依リテ習成シタル姿勢ハ常ニヨク保タシメムコトヲ力ムヘシ

第十九條　家事及裁縫ハ家事ヲ知ラシメ兼ネテ國民タルノ志操ヲ養フヲ以テ要旨トス

普通ノ知識技能ヲ得シメ之カ趣味ヲ長シ兼ネテ節約、利用、秩序、清潔等ノ諸德ヲ尊フノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

家事ハ特ニ理科及職業ト聯絡ニ注意シテ衣食住、看病其ノ他一家ノ經濟勞ニ關スル實習ヲ課スヘシ

近易ナル事項ヲ選ヒテ之ヲ授ケ又成ルヘク實習實驗ノ裁縫ハ運針法ヨリ始メ漸ク進ミテハ通常ノ衣類ノ縫ヒ方ヲ授ケ又便宜裁ヲ方、結ヒ方等ヲ授クヘシ

土地ノ情況ニ依リテハ簡易ナル手藝ヲ併セ授クルモ妨ケナシ

裁縫及手藝ハ其ノ材料ヲ日常所用ノモノニ取リ又之ヲ授クル際用具ノ使用方、材料ノ品類、性質及衣類ノ保存方、洗濯方等ヲ教授スヘシ

第二十條　手工ハ簡易ナル物品ヲ製作スルノ能ヲ得シメ工業ノ趣味ヲ長シ勤勞ヲ好ムノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

手工ハ紙、絲、粘土、麥稈、木、竹、金屬等其ノ土地ニ適切ナル材料ヲ用キテ簡易ナル製作ヲ爲サシムヘシ

手工ヲ授クル際ニハ用具ノ使用方、材料ノ品類性質等ヲ教示スヘシ

第二十一條　削除

第二十二條　削除

第二十三條　漢文ハ平易ナル漢文ヲ了解スルノ能ヲ得シメ兼ネテ德性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

漢文ハ初ハ短句、短文ノ讀ミ方ヲ授ケ漸ク進ミテハ平易ナル漢文ニ及ホシ又嘉言懿辭等ヲ加フヘシ

漢文ヲ授クルニハ國語ト聯絡ヲ保チ時トシテハ國語ニテ話サシムヘシ

第二十四條　普通學校各學年ノ教授ノ程度及往週教授時數ハ第一號表、第二號表及ハ第三號表ニ依ルヘシ

手工ヲ加フルトキ又ハ第一學年若ハ第三號表以外ニ於テ第二學年ニ園藝ヲ課スルトキハ其ノ每週教授時數ハ學校長ニ於テ他ノ教科目ノ毎週教授時數ヲ減シ之ニ充ツルコトヲ得

第二十五條　職業ハ職業ニ關スル普通ノ知識技能ヲ得シメ職業ヲ重ンジ勤勞ヲ好愛スルノ精神ヲ養ヒ兼ネテ適切ナル職業ヲ指導スルヲ以テ要旨トス

職業ハ農業、工業、商業、水產等ニ關スル事項中ニ就キ土地ノ情況ニ適切ナルモノヲ選ヒテ之ヲ授クヘシ

職業ヲ授クルニハ成ルヘク家庭ノ業務ト密接ナル關係アラシメンコトニ留意シ特ニ實習實驗ノ指導ニ力ムヘシ

女兒ニ在リテハ特ニ家事及裁縫トノ聯絡ヲ密接ニシテ之ヲ授ケ女子ニ適切ナル職業ノ指導ニ留意センコトヲ要ス

第二十六條　圖畫ハ通常ノ形體ヲ看取シ正シク之ヲ畫クノ能ヲ得シメ兼ネテ美感ヲ養フヲ以テ要旨トス

圖畫ハ單形ヨリ始メ漸ク簡單ナル形體及ホシ實物若ハ手本ニ就キ又時時自己ノ工夫ヲ以テ畫カシムヘシ

圖畫ヲ授クルニハ成ルヘク他ノ教科目ニ於テ授ケタル物體及兒童ノ日常目擊セル物體中ニ就キテ之ヲ畫カシメ兼ネテ清潔ヲ好ミ綿密ヲ尚フノ習慣ヲ養ハムコトニ注意スヘシ

第二十七條　削除

第二十八條　高等科ノ教科目ハ修身、國語、朝鮮語、算術、國史、地理、理科、職業、圖畫、手工、唱歌、體操トシ女兒ノ爲ニハ家事、裁縫ヲ加フ

土地ノ情況ニ依リ前項教科目ノ外漢文其ノ他必要ナル教科目ヲ加フルコトヲ得

前項ノ教科目ハ之ヲ隨意科目トスルコトヲ得

手工ハ職業ニ於テ工業ヲ學習スル兒童ニハ之ヲ課セサルコトヲ得

第二十九條　高等科ノ教授上ノ注意竝修身、國語、朝鮮語、算術、國史、地理、理科、職業、唱歌、體操、家事、裁縫、手工、漢文、圖畫ノ要旨及程度ハ第八條乃至第二十三條ノ規定ニ準シ更ニ一層之ヲ精深ナラシムル外尚第二項乃至第十一項ノ事項ヲ加フヘシ

女兒ノ學級ニ用ヰル國語、朝鮮語ノ讀本ニハ特ニ家事上ノ事項ヲ交フヘシ

國語書キ方ニ用ヰル漢字ノ書體ニハ草書ヲモ授クヘシ

算術ニ於テハ普通學校ニ於テ授ケタル事項ノ程度ヲ進メ且數ノ代數的計算及幾何圖形ニ關スル知識ノ初歩ヲ授ケ又土地ノ情況ニ依リテハ日用簿記ノ大要ヲモ授クヘシ

算術ノ教授ハ第一學年ヨリ第四學年ニ至ル迄ノ間ニ於テ珠算ヲ用ヰ筆算ヲ併セ課スヘシ

國史ニ於テハ第十三條第二項ノ旨趣ヲ擴メ特ニ近世史ニ重キヲ置キテ之ヲ授クヘシ

地理ニ於テハ各大洲ノ地勢、氣候、區劃、交通等ノ概略ヨリ進ミテ我カ國トノ關係ニ於テ重要ナル諸國ノ地理ノ大要及我カ國ノ政治經濟上ノ狀態竝外國ニ對スル地位等ノ大

要ヲ知ラシメ又地文ノ一斑ヲ授クヘシ

理科ニ於テハ特ニ重要ナル元素及化合物、簡易ナル器械ノ構造、作用、人身生理衛生上ノ大要ヲ授ケ兼ネテ植物、動物、鑛物ノ相互及人生ニ對スル關係ノ大要ヲモ理會セシムヘシ

唱歌ニ於テハ簡易ナル複音唱歌ヲモ授クヘシ

手工ニ於テハ製圖ヲ簡易ナル程度ニ於テ併セ授クヘシ

圖畫ニ於テハ土地ノ情況ニ依リ簡易ナル幾何畫ヲモ授クヘシ

第二十六條ノ二　削除

第二十七條　削除

第二十八條　削除

第二十九條　高等科各學年ノ教授ノ程度及毎週教授時數ハ第四號表ニ依ルヘシ

第二十五條第二項ノ教科目ノ毎週教授時數ハ第四號表ノ毎週教授時數ノ外ニ時ヲ以内ニ於テ學校長之ヲ定ムヘシ

前項ノ外第四號表ノ各教科目ノ毎週教授時數ハ學校長ニ於テ之ヲ增加スルコトヲ得但シ毎週教授時數ノ合計ハ三十四時ヲ超ユルコトヲ得ス

職業ニ於テ工業ヲ學習スル爲手工ヲ課セサル兒童ニ對シテハ其ノ毎週教授時數ヲ學校長ニ於テ他ノ教科目ニ配當スルコトヲ得

第三十條　第七條及第二十五條ノ教科目中兒童ノ特別ノ事情ニ依リ學習スルコト能ハサル兒童ニ對シテハ其ノ兒童ニ課セサルコトヲ得

第三十一條　第四十八條ノ規定ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ教科目ノ毎週教授時數ハ府尹、郡守若ハ島司又ハ設立者ニ於テ之ヲ定メ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

第三十二條　土地ノ情況ニ依リ府尹、郡守若ハ島司又ハ設立者ニ於テ道知事ノ認可ヲ受ケ左ノ制限内ニ於テ第二十四條及第二十九條ノ規定ニ依ル時數ヲ增減スルコトヲ得

一　普通學校ノ毎週教授時數ハ三十二時ヲ超エ又十八時ヲ下ルコトヲ得ス

二　高等科ノ毎週教授時數ハ三十四時ヲ超エ又二十七時ヲ下ルコトヲ得ス

第四十五條　普通學校ノ一學級兒童數ハ七十人以下トス

高等科ノ一學級兒童數ハ六十人以下トス

特別ノ事情アルトキハ前二項ノ制限ヲ超過シテ各十人迄ヲ增スコトヲ得

第四十六條　全校ニ於ケル兒童ノ數一學級ヲ編制スルニ足ルトキハ男女ニ依リ學級ヲ別ツヘシ

特別ノ事情アルトキハ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

高等科ニ於テハ男女ヲ合シテ學級ヲ編制スルコトヲ得ス

第四十七條　修身、職業、體操、唱歌、家事及裁縫、家事、裁縫、手工ニ就キテハ兒童ノ數七十人ヲ超エサル場合ニ限ル

第四十八條　土地ノ情況ニ依リ普通學校ニ於テハ全部又ハ一部ノ兒童ヲ前後二部ニ分チテ教授スルコトヲ得

第四十九條　補習科ヲ置ク場合ニ於テハ其ノ學級數ハ第四十四條ニ規定シタル學級數ノ制限外トス但シ其ノ教授時間ヲ定ムル際ニ在ラス

第五十條　全校ノ兒童ヲ一學級ニ編制スル學校ヲ普通學校トシ二學級以上ニ編制スル學校ヲ多級普通學校トス

第五十一條　補習科ハ之ヲ分チテ左ノ四種トス

一　高等科ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ高等科ノ教科目ヲ補習セシムルコトヲ目的トスルモノ

二　修業年限六年ノ普通學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ普通學校ノ教科目ヲ補習セシムルコトヲ目的トスルモノ

三　修業年限五年ノ普通學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ實業ニ關スル事項ヲ補習セシムルコトヲ目的トスルモノ

四　修業年限四年ノ普通學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ實業ニ關スル事項ヲ補習セシムルコトヲ目的トスルモノ

第四十一條　休業日數ハ日曜日ヲ除クノ外每年九十日ヲ超ユルコトヲ得但シ補習科ハ此ノ限ニ在ラス

特別ノ事情アルトキハ道知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ日數ヲ增加スルコトヲ得

傳染病豫防ノ爲必要アルトキ其ノ他非常變災アルトキハ臨時普通學校ノ閉鎖ヲ命スヘシ其ノ急迫ノ事情アル場合ニ於テハ私立普通學校ニ在リテハ設立者ニ於テ之ヲ閉鎖スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ臨時官廳ニ届出ツヘシ

第四十二條　休業日ハ左ノ如シ但シ第四號乃至第七號ノ休業日ハ學年ニ依リ之ヲ異ニスルコトヲ得

一　一月一日及昭和二年勅令第二十五號ニ依リ休日タル祭日、祝日

二　日曜日

三　朝鮮總督府始政紀念日

四　夏季休業日

五　冬季休業日

六　學年末休業日

七　其ノ他道知事ノ定ムル休業日

前項第四號乃至第六號ノ休業日數ハ道知事之ヲ定ムヘシ

第四十三條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニ於テハ職員及兒童學校ニ參集シテ左ノ式ヲ行フヘシ

一　職員及兒童「君カ代」ヲ合唱ス

二　學校長ハ敎育ニ關スル勅語ヲ奉讀ス

三　學校長ハ敎育ニ關スル勅語ニ基キ聖旨ノ在ル所ヲ講告ス

四　職員及兒童ハ其ノ祝日ニ相當スル唱歌ヲ合唱ス

第三節　編制

第四十四條　全校ノ學級數ハ二十四學級以下トス

分敎場ノ學級數ハ四學級以下トシ前項ノ制限外ト爲スコトヲ得

特別ノ事情アルトキハ府尹、郡守若ハ島司又ハ設立者ニ於テ道知事ノ認可ヲ受ケ前二項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第二表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第三表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第四表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第五表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第六表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第七表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第八表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第九表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第十表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第十一表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第十二表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第十三表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第十四表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第十五表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第十六表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第十七表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第十八表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第十九表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第二十表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第二十一表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第二十二表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第二十三表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第二十四表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第二十五表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第二十六表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第二十七表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第二十八表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第二十九表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第三十表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	一	一	一	一	一	一
讀方	一	一	一	一	一	一
綴方	一	一	一	一	一	一
習字	一	一	一	一	一	一
算術	四	四	四	四	四	四
日本歷史				二	二	二
地理				二	二	二
理科				二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三
裁縫				二	二	二
手藝						
農業						
商業						
外國語						
數時接教週毎	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

第三十一表

教科 / 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年

學科目＼年	一	二	三	四	五	六
修身	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨
國語	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト
算術	一百以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト
朝鮮語	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト
時數	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス
教授時數	第一學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第二學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第三學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第四學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第五學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第六學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得

第十五表

普通學校

第三讀本

學科目＼年	一	二	三	四	五	六
修身	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨
國語	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト
算術	一百以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト
朝鮮語	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト
時數	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス
教授時數	第一學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第二學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第三學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第四學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第五學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第六學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得

第十五表

普通學校

第三讀本

學科目＼年	一	二	三	四	五	六
修身	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨
國語	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト
算術	一百以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト
朝鮮語	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト
時數	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス
教授時數	第一學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第二學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第三學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第四學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第五學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第六學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得

第十五表

普通學校

第三讀本

學科目＼年	一	二	三	四	五	六
修身	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨	道徳ノ要旨
國語	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	平易ナル文ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト
算術	一百以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト	一萬以下ノ數ノ計算ニ習熟セシメ且ツ加減乘除ノ意義ヲ了解セシメ且ツ其ノ應用ニ習熟セシムルコト
朝鮮語	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト	假名書ノ單語ヲ讀ミ書キ且ツ意味ヲ知ルコト
時數	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス	毎週一時之ヲ課ス
教授時數	第一學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第二學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第三學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第四學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第五學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得	第六學年ニ於テハ規定ノ教授時數外ニ渉リテ何之ヲ課スルコトヲ得

第十五表

普通學校

第三讀本

第五號表

| 學業成績 | | |

國語漢文	七	六	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
朝鮮語及漢文	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
外國語	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
歷史	六	六	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
地理	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
數學	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
理科	二	二	三	三	四	四	四	四	四	四	四	四
實業	二	二	三	三	五	五	五	五	五	五	五	五
圖畫	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
音樂	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
計	三二	三二	三二	三二	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三二

實業ノ實習ハ前表ノ教授時數外ニ於テ之ヲ課スルコトヲ得

特別ノ事情アル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ生徒ノ全部又ハ一部ニ對シ修身、國語（漢文、體操ヲ除キ前表各學科目ノ毎週教授時數ヲ彼此增減シテ之ヲ課スルコトヲ得但シ一學科目ノ毎週教授時數ハ二時以上ヲ增加スルコトヲ得

音樂ヲ缺キタル學校ニ於テハ其ノ毎週教授時數ハ便宜他ノ學科目ニ配當スヘシ

體操ハ前表ノ教授時數ヲ三時以內增加シテ之ヲ課スルコトヲ得

學校長ハ季節ニ依リ各學科目ノ一學年間ニ於ケル教授時數ノ總計ヲ增減セサル範圍內ニ於テ每週教授時數ヲ變更スルコトヲ得

第二十四條　補習科ノ修業年限ハ一年以下トシ學科目ハ第七條ノ學科目中ニ就キ之ヲ定ムヘシ

補習科ノ各學科目ハ隨意科目トス

第二十五條　高等普通學校ノ教科書ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學校長ノ選定ヲ經タル高等普通學校又ハ中學校ノ教科書ニ就キ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム但シ特別ノ事情アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ一時他ノ教科書ヲ使用セシムルコトヲ得

朝鮮總督府ニ於テ編纂シタル高等普通學校教科書アルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス之ヲ使用セシムヘシ

第二十六條　前條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ圖書ノ名稱、卷冊ノ記號、使用セムトスル學年、著譯者及發行者ノ氏名、發行年月日、檢定年月日並前條第一項但書ノ場合ニ在リテハ使用期間ヲ具シ申請スヘシ

第二十七條　生徒ノ特別ノ事情ニ依リ學習スルコト能ハサル學科目ハ之ヲ其ノ生徒ニ課セサルコトヲ得

第三章　學年、學期、教授日數及式日

第二十八條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

補習科ニ關シテハ前二項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第二十九條　教授日數ハ第一學年乃至第三學年ニ在リテハ每學年二百二十日以上トシ第四學年及第五學年ニ在リテハ二百日以上トス但シ次條ノ場合及特別ノ事情ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第三十條　傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變異アルトキハ學校長ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ臨時休業ヲ爲スヘシ其ノ急迫ノ事情アリテ認可ヲ受クル暇ナキトキハ學校長ニ於テ臨時休業ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ遲滯ナク之ヲ監督官廳ニ屆出ツヘシ

前項ノ事由アルトキハ監督官廳ハ臨時休業ヲ命スルコトヲ得

第三十一條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第四章　編制

第三十二條　高等普通學校ノ生徒數ハ八百人以下トス但シ特別ノ事情アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニアラス

第三十三條　學級ノ編制ハ同學年ノ生徒ヲ以テ之ヲ編制スヘシ

一學級ノ生徒數ハ五十人以下トス

第二學年以上ニ於ケル各學年ノ學級數ハ第一學年ノ學級數ニ超過スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

第三十四條　修身、實業、音樂及體操ハ學年又ハ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第五章　設備

第三十五條　高等普通學校ノ生徒數ニ對シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第三十六條　生徒退學セムトスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十七條　學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第六章　入學、在學、休學、退學及懲戒

第三十八條　生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以內トス但シ缺員アルトキハ第二學期ノ始ヨリ十日以內ニ臨時入學セシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ補習科ノ生徒入學ニ關シテハ之ヲ適用セス

第三十九條　入學ヲ許可セラレタル者ハ指定ノ日時ニ保證人ヲ同伴シ學校ニ出頭シテ左ノ事項ヲ具シ保證人ヨリ誓約書ヲ差出スヘシ

一　本人ノ氏名、族籍、年齡、出生地及現住所

二　保證人ノ氏名、族籍、職業及本人トノ關係

第四十條　入學ヲ許可セラレタル者ニシテ指定ノ日時ニ出頭セサル者ハ入學ノ許可ヲ取消スヘシ但シ豫メ入學延期ノ願出アリタル者ニ對シテハ此ノ限ニアラス

第四十一條　入學ヲ許可セラレタル者ニシテ入學ノ際ニ於ケル學年ノ學級ノ生徒數ニ超過スルトキハ學校長ハ其ノ入學ヲ許可セサルコトヲ得

第四十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ第一學年ノ入學ニ關シ修業年限六年ノ普通學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アルモノト認ム

一　普通小學校ヲ卒業シタル者

二　中學校又ハ高等學校ノ豫科ヲ修了シタル者

三　國語、朝鮮語、算術、國史、地理、理科ニ就キ修業年限六年ノ普通學校卒業程度ニ依ル試驗ニ合格シタル者但シ國語ヲ常用スル者ニ在リテハ朝鮮語ノ試驗ハ之ヲ缺クコトヲ得

前項ノ試驗ヲ受クルコトヲ得ル者ハ年齡十二年以上ノ者タルヘシ但シ修業年限六年ノ普通學校若ハ尋常小學校ノ第五學年ノ課程ヲ修了シ又ハ修業年限五年ノ普通學校ヲ卒業シ學業優秀且身體ノ發育十分ニシテ高等普通學校ノ課程ヲ修ムルニ足ルコトヲ當該學校長ニ於テ證明シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　第一學年入學志願者ノ數入學セシムヘキ人員ヲ超過スルトキハ試驗ニ依リテ入學者ヲ選拔スヘシ但シ修業年限六年ノ普通學校ヲ卒業シタル者又ハ前條第一號若ハ第二號ニ該當スル者ニシテ其ノ在學中ノ成績優良ト認メタルトキハ試驗ニ依ラシテ入學ヲ許可スルコトヲ得

其ノ他ノ高等普通學校ニ在リテハ國面ヲ具シ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ニ依リ道知事ニ於テ認可ヲ爲シタルトキハ國面ヲ具シ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第六章　入學、在學、休學、退學及懲戒

第四十一條　生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以內トス但シ缺員アルトキハ第二學期ノ始ヨリ十日以內ニ臨時入學セシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ補習科ノ生徒入學ニ關シテハ之ヲ適用セス

第五學年ニハ轉學又ハ當該學年ニ於テ退學シタル者ノ再入學ヲ除クノ外新ニ生徒ノ入學ヲ許スコトヲ得ス

第四十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ第一學年ノ入學ニ關シ修業年限六年ノ普通學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アルモノト認ム

一　普通小學校ヲ卒業シタル者

二　中學校又ハ高等學校ノ豫科ヲ修了シタル者

三　國語、朝鮮語、算術、國史、地理、理科ニ就キ修業年限六年ノ普通學校卒業程度ニ依ル試驗ニ合格シタル者但シ國語ヲ常用スル者ニ在リテハ朝鮮語ノ試驗ハ之ヲ缺クコトヲ得

前項ノ試驗ヲ受クルコトヲ得ル者ハ年齡十二年以上ノ者タルヘシ但シ修業年限六年ノ普通學校若ハ尋常小學校ノ第五學年ノ課程ヲ修了シ又ハ修業年限五年ノ普通學校ヲ卒業シ學業優秀且身體ノ發育十分ニシテ高等普通學校ノ課程ヲ修ムルニ足ルコトヲ當該學校長ニ於テ證明シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　第一學年入學志願者ノ數入學セシムヘキ人員ヲ超過スルトキハ試驗ニ依リテ入學者ヲ選拔スヘシ但シ修業年限六年ノ普通學校ヲ卒業シタル者又ハ前條第一號若ハ第二號ニ該當スル者ニシテ其ノ在學中ノ成績優良ト認メタルトキハ試驗ニ依ラシテ入學ヲ許可スルコトヲ得

前條第三號ノ試驗ハ同一學科目ニ限リ前項ノ試驗ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第四十四條　第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ相當年齡ニ達シ前各學年ノ課程ヲ卒リタル者ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

前項ノ學力ハ前各學年ノ程度ニ於テ其ノ各學科目ニ就キ試驗ニ依リテ檢定スヘシ

第四十五條　高等普通學校生徒ニシテ退學シタル者退學シタルトキヨリ一年以內ニ於テ其ノ高等普通學校又ハ他ノ高等普通學校ニ入學ヲ志願シタルトキハ原學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ退學シタル高等普通學校ニ再入學ヲ志願シタル者ニ限リ試驗ニ依ラサルコトヲ得

第四十六條　他ノ高等普通學校又ハ中學校ニ轉學ヲ志願スル生徒アルトキハ學校長ハ正當ノ事由アリト認メタル場合ニ限リ其ノ生徒ノ在學證明書及成績表ヲ移轉先學校ニ送付スヘシ

移轉先學校ニ於テハ缺員アル場合ニ限リ前項生徒ノ轉學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ轉學ヲ許可スル生徒ハ試驗ヲ行ハシテ同一學年ニ編入スルコトヲ得

第四十七條　各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ

第四十八條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第四十九條　學校長ハ修業年限ノ終リニ於テ高等普通學校ノ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

第五十條　補習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ高等普通學校ヲ卒業シタル者タルヘシ

補習科生徒ノ在學期間ハ高等普通學校ヲ卒業シタル日ヨリ起算シ二年ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十一條第三項ノ規定ハ本令施行ノ日ヨリ一年ヲ限リ之ヲ適用セス

第四學年以下ノ修身、國語及漢文、朝鮮語及漢文ノ教科書ハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ編纂スルニ至ル迄第二十五條第一項ノ規定ニ拘ラス仍從前ノモノヲ使用セシムヘシ但シ國語及漢文ノ漢文教科書ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附　則（昭和二年三月總令第二十二號）

本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年一月總令第一號）

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年一月總令第十三號）

本令ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依リ又ハ之ヲ斟酌スルコトヲ得

第七款　女子高等普通學校

●女子高等普通學校規程

大正十一年二月
總令第十四號

改正　昭和二年三月第二〇號、二年一二第一二四號、五年八第七七號、六年四第三六號、七年三第二五號

女子高等普通學校規程左ノ通定ム

女子高等普通學校規程

第一章　設立及廢止

第一條　女子高等普通學校ハ道地方費、府若ハ學校費ノ負擔又ハ私人ノ費用ヲ以テ設立スルコトヲ得

道地方費、府若ハ學校費ノ負擔ヲ以テ設立スルモノヲ公立女子高等普通學校トシ私人ノ費用ヲ以テ設立スルモノヲ私立女子高等普通學校トス

第二條　女子高等普通學校設立ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スヘシ

一　名稱、位置

二　各學科ノ修業年限

三　各學科ノ生徒定員、學級數

四　開校年月日

五　學則

六　校地校舍寄宿舍等ノ平面圖（坪數及附近ノ情況ヲ記載ス）

特別ノ事情アルトキハ寄宿舍ヲ設ケサルコトヲ得

第三十六條　校地、校舍及體操場ハ學校ノ規模ニ適應スルコトヲ要ス

校地ハ道德上及衞生上害ナキ所タルヘシ

校舍ハ教授上、管理上及衞生上適當ニシテ質朴堅牢ナラムコトヲ要ス

第三十七條　校具ハ圖書、器械、器具、標本、模型及表簿等トス

第三十八條　高等普通學校ニ於テ備フヘキ表簿ノ種類左ノ如シ

一　學則、日課表、教科書配當表及學校暦

二　職員ノ名簿、履歷書、出勤簿並擔任學科目及時間表

三　生徒ノ學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表

四　入學試驗及學年試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及關書、器械、器具、標本、模型ノ目錄

六　往復書類

學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學、退學ノ事由、兵役關係、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第一項ノ表簿中學籍簿ハ十五年以上其ノ他ノ表簿ハ五年以上之ヲ保存スヘシ

高等普通學校ヲ廢止シタルトキハ三十日以內ニ學籍簿ヲ監督官廳ニ提出スヘシ監督官廳ノ命ニ依リ高等普通學校ヲ閉鎖シタルトキ亦同シ

前項ノ學籍簿ハ十五年以上之ヲ保存スルモノトス

第三十九條　土地ノ情況ニ依リ學校長、舍監及教員ノ住宅ヲ設クヘシ

第四十條　公立又ハ私立ノ高等普通學校ノ校舍又ハ寄宿舍ノ新築、增築、改築又ハ校地ノ擴張若ハ縮小ハ道地方費立高等普通學校ニ在リテハ關面ヲ具シ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

シヘ及飲料水ノ定性分析表

七　一年ノ收支經算（初年度ヨリ第次年度ニ至ル一年ノ收支經算ニ付キ記載スヘシ）

八　維持方法

第三條　女子高等普通學校ニ於テ前條第一號乃至第三號、第五號又ハ第八號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第四號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第四條　學則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一　休業日ニ關スル事項

二　學科課程、教授時數ニ關スル事項

三　課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項

四　授業料入學料等ニ關スル事項

五　寄宿舍ニ關スル事項

六　前各號ノ外學校ニ於テ必要トスル事項

第五條　女子高等普通學校廢止ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日其ノ朝鮮總督ニ申請スヘシ

第六條　本令ニ依ラサル學校ハ女子高等普通學校トノ名稱又ハ其ノ名稱ニ女子高等普通學校タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ユルコトヲ得ス

第二章　學科及其ノ程度

第七條　女子高等普通學校ノ學科目ハ修身、公民科、國語、朝鮮語、外國語、歷史、地理、數學、理科、圖畫、家事、裁縫、音樂、體操トス

外國語ハ之ヲ缺キ又ハ隨意科目トスコトヲ得

圖畫、音樂ノ一科目又ハ二科目ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ缺クコトヲ得

土地ノ情況ニ依リ第一項ノ學科目ノ外漢文、教育、手藝又ハ實業ヲ加ヘ其ノ他朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ必要ナル學科目ヲ加フルコトヲ得

前項ノ學科目ハ之ヲ隨意科目又ハ選擇科目トナスコトヲ得

第二十四條　削除

第二十五條　手藝ハ手藝ニ關スル知識技能ヲ得シメ兼ネテ意匠ヲ練リ美感ヲ養ヒ節約利用ノ習慣ヲ造ルヲ以テ要旨トス

生徒ノ特別ノ事情ニ依リ學習スルコト能ハサル學科目ハ之ヲ其ノ生徒ニ課セサルコトヲ得

適切ナル事項ヲ選擇シテ之ヲ授クヘシ

第二十六條　實業ハ實業ニ關シ生活上必要ナル知識技能ヲ得シメ兼ネテ勤勞ヲ尚フノ念ヲ養フヲ以テ要旨トス

實業ハ農業、工業、商業等ノ中ニ就キ當該地方ニ必要ニシテ且女子ニ適切ナル事項ヲ選擇シ又成ルヘク實習ヲ課スヘシ

第二十七條　各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ其ノ修業年限ニ依リ甲號表、乙號表又ハ丙號表ニ依ルヘシ

甲號表

學科目 ＼ 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	一	一	一	一	一
公民科					一
國語	六	六	五	五	五
朝鮮語	六	三	二	二	二
外國語	三	三	三	三	二
歷史				二	二
地理	三	三	二		
數學	二	二	三	三	三
理科	二	二	三	三	三
圖畫	一	一	一	一	一
家事		一	一	二	二
裁縫	四	四	四	四	四
音樂	二	二	一	一	一
體操	三	三	三	三	三
計	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇

乙號表

學科目 ＼ 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
修身	一	一	一	一
公民科				一
國語	五	五	五	五
朝鮮語	四	四	四	四
外國語	三	三	三	二
歷史				二
地理	三	三	二	
數學	二	二	三	三
理科	二	二	三	三
圖畫	一	一	一	一
家事		一	一	二
裁縫	四	四	四	四
音樂	二	二	一	一
體操	三	三	三	三
計	三〇	三〇	三〇	三〇

丙號表

學科目 ＼ 學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
公民科			
國語	六	六	五
朝鮮語	三	三	二
外國語	三	三	二
歷史			
地理	三	三	二
數學	二	二	三
理科	二	二	三
圖畫	一	一	一
家事			
裁縫	四	四	四
音樂	二	二	一
體操	三	三	三
計	三〇	三〇	三〇

第八條　女子高等普通學校ニ於テハ教授上特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　國民タルノ性格ヲ涵養シ國語ニ熟達セシムルコトハ何レノ學科目ニ於テモ常ニ深ク之ニ留意セムコトヲ要ス

二　善良ナル風俗ヲ尊重シ生徒ノ德性ヲ涵養シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ殊ニ貞淑ニシテ同情ニ富ミ勤儉ヲ尚フノ志操ヲ厚クシ進ムテ同胞幹睦ノ美風ヲ奬ハムコトヲ期シ何レノ學科目ニ於テモ常ニ深ク之ニ留意セムコトヲ要ス

三　知識技能ハ生徒將來ノ生活上適切ナル事項ヲ選ヒテ之ヲ授ケ又成ルヘク個人ノ特性ニ留意セムコトヲ要ス

四　生徒ノ身體ヲ健全ニ發達セシメムコトヲ期シ何レノ學科目ニ於テモ其ノ教授ハ生徒ノ心身發達ノ程度ニ副ハシメムコトヲ要ス

五　各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益セムコトヲ要ス

第九條　修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ道德上ノ思想及情操ヲ養成シ中等以上ノ社會ニ於ケル女子ニ必要ナル品格ヲ具ヘシメムコトヲ期シ實踐躬行ヲ勸奬スルヲ以テ要旨トス

修身ハ初ハ嘉言善行等ニ徵シ又生徒日常ノ行狀ニ因ミテ道德ノ要領ヲ教示シ及作法ヲ授ケ進ミテハ稍秩序ヲ整ヘテ自己、家族、社會及國家ニ對スル責務ヲ知ラシムヘシ

第九條ノ二　公民科ハ國民ノ公民的生活ヲ完ウスルニ足ルヘキ智德ヲ涵養シ殊ニ遵法ノ精神ト共存共榮ノ本義トヲ會得セシメ公共ノ爲ニ奉仕シ協同シテ事ニ當ルノ氣風ヲ奬ヒ以テ健全ナル國民タルノ素地ヲ育成スルヲ以テ要旨トス

公民科ニ於テハ國民生活ノ本義ヲ明ニシ日常ノ生活ニ適切ナル法制上、經濟上及社會上ノ事項ヲ授クヘシ

第十條　國語ハ普通ノ言語、文章ヲ了解シ正確且自由ニ思想ヲ表彰スルノ能ヲ得シメ又學上ノ趣味ヲ養ヒ兼ネテ智德ノ啓發ニ資スルヲ以テ要旨トス

朝鮮語ハ普通ノ言語、文章ヲ了解シ且之ヲ運用スルノ能ヲ得シメ兼ネテ知識ノ增進ニ資スルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音、綴字ヨリ始メ簡易ナル文章ノ讀方、譯解、書取、作文ヲ授ケ進ミテハ普通ノ文章ニ及ホシ又文法ノ大要、會話及習字ヲ授クヘシ

第十三條　歷史ハ歷史上重要ナル事蹟ヲ知ラシメ社會ノ變遷、文化ノ由來ヲ理會セシメ特ニ我國ノ發達ヲ詳ニシ國體ノ特異ナル所以ヲ明ニスルヲ以テ要旨トス

歷史ハ我國ノ國初ヨリ現時ニ至ル迄ノ重要ナル事歷ヲ授ケ朝鮮ニ關スル事項ヲ詳ニシ兼ネテ外國歷史ノ大要ヲ授クヘシ

第十四條　地理ハ地球ノ形狀、運動並地球表面及人類生活ノ狀態ヲ理會セシメ我國及諸外國ノ國勢ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ日本地理並我國ト重要ノ關係アル諸外國ノ地理ノ大要ヲ知ラシメ朝鮮ニ關スル事項ヲ詳ニシ兼ネテ地文ノ一斑ヲ授クヘシ

第十五條　數學ハ數量ノ關係ヲ明ニシ計算ニ習熟セシメ兼ネテ生活上必要ナル事項ヲ知ラシメ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ算術ヲ授クヘシ又必要ニ應シ代數及幾何ノ初步ヲ授クルコトヲ得

第十六條　理科ハ天然物及自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ法則並其ノ相互及人生ニ對スル關係ヲ理會セシメ兼ネテ日常ノ生活ニ資スルヲ以テ要旨トス

理科ハ重要ナル植物、動物、鑛物ニ關スル一般ノ知識、人體ノ構造、生理及衞生ノ大要竝重要ナル物理上及化學上ノ現象及定律、器械ノ構造及作用、元素及化合物ニ關スル知識ヲ授ケ又便宜實驗ヲ課スヘシ

第十七條　圖畫ハ物體ヲ精密ニ觀察シ正確且自由ニ之ヲ描クノ能ヲ得シメ意匠ヲ練リ美感ヲ養フヲ以テ要旨トス

圖畫ハ自在畫トシ寫生畫ヲ主トシ臨畫ヲ加ヘ授ケ又時時自己ノ考案ヲ以テ畫カシムヘシ

前項ノ外幾何畫ノ初步ヲ授クルコトヲ得

第十八條　家事ハ家事整理上必要ナル知識技能ヲ得シメ兼ネテ勤勉、節儉、秩序、周密、清潔ヲ尚フノ念ヲ養フヲ以テ要旨トス

家事ハ衣食住、看病、育兒、家計簿記其ノ他一家ノ整理、經濟等ニ關スル事項ヲ授ケ又實習ヲ課スヘシ

第十九條　裁縫ハ裁縫ニ關スル知識技能ヲ得シメ兼ネテ節約利用ノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

裁縫ハ普通ノ衣類ノ縫ヒ方、裁ヒ方及繕ヒ方ヲ授クヘシ

第二十條　音樂ハ音樂ニ關スル知識、技能ヲ得シメ美感ヲ養ヒ心情ヲ高潔ニシ兼ネテ德性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

音樂ハ單音唱歌ヲ授ケ又便宜輪唱歌及複音唱歌ヲ交ヘ樂器使用法ヲ授クヘシ

第二十一條　體操ハ身體ノ各部ヲ生理的ニ發育セシメテ之ヲ强健ナラシメ四肢ノ動作ヲ機敏ナラシメ容儀ヲ整ヘ精神ヲ快活ニシ兼ネテ規律ヲ守リ協同ヲ尚フノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

第二十二條　漢文ハ普通ノ漢文ヲ了解スルノ能ヲ得シメ兼ネテ德性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

漢文ハ初ハ短句、短文ノ讀ミ方ヲ授ケ漸ク進ミテハ普通ノ漢文ニ及ホシ又嘉言懿行等ヲ授クヘシ

漢文ヲ授クルニハ常ニ國語ト聯絡ヲ保タシムヘシ

第二十三條　教育ハ教育ニ關スル一般ノ知識

國	讀	二	一
家	事	一	二
裁	縫	四	四
音	樂	二	一
體	操	三	三
計		三〇	三〇

外國語、圖畫又ハ音樂ヲ缺キタル學校ニ於テハ其ノ毎週教授時數ハ便宜前各表中ノ學科目又ハ第七條第五項ノ規定ニ依ル加設科目ヲ配當スルコトヲ得

特別ノ事情アル場合ニ於テハ前各表中各學科目ノ毎週教授時數ヲ增加シ又ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ減少スルコトヲ得

第七條第五項ノ規定ニ依ル加設科目ニ充ツル爲各學年ノ毎週教授時數ヲ增加スルコトヲ得

學校長ハ季節ニ依リ各學科目ノ一學年間ニ於ケル教授時數ノ總計ヲ增減セサル範圍内ニ於テ毎週教授時數ヲ變更スルコトヲ得

各學年ノ毎週教授時數ノ總計ハ三十二時ヲ超ユルコトヲ得ス

家事又ハ實業ノ實習及音樂ノ樂器使用法ハ前項ノ總教授時數外ニ於テ之ヲ課スルコトヲ得

第二十八條　特別ノ事情アル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ生徒ノ全部又ハ一部ニ對シ各學年ノ學科目及其ノ程度ニ付前條各表ニ依ラサルコトヲ得但シ甲號表及乙號表ニ依ル學校ノ第二學年以下ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條　補習科ノ修業年限ハ二年以下トス

補習科ノ學科目ハ第七條ノ學科目中ニ就キ之ヲ定ムヘシ

補習科ノ各學科目ハ之ヲ隨意科目又ハ選擇科目トスルコトヲ得

第三十條　補習科ノ毎週教授時數ノ總計ハ三十二時ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十一條　女子高等普通學校ノ敎科書ハ朝鮮總督又ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タル女子高等普通學校又ハ高等女學校ノ敎科書ニ就キ朝鮮總督又ハ其ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム但シ特別ノ事情アルトキハ學校長ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ一時他ノ敎科書ヲ使用セシムルコトヲ得

朝鮮總督府ニ於テ編纂シタル女子高等普通學校敎科書アルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス之ヲ使用セシムヘシ

第三十二條　前條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ圖書ノ名稱、卷册ノ記號、使用セムトスル學年、著譯者及發行者ノ氏名、發行年月日、檢定年月日竝前條第一項但書ノ場合ニ在リテハ使用期間ヲ具シ申請スヘシ

第三章　學年、學期、敎授日數及式日

第三十三條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

補習科ニ關シテハ前二項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第三十四條　敎授日數ハ每學年二百日以上トス但シ次條ノ場合及特別ノ事情ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第三十五條　傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變異アルトキハ學校長ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ臨時休業ヲ爲スヘシ其ノ急迫ノ事情アリテ認可ヲ受クル暇ナキトキハ學校長ニ於テ臨時休業ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ遲滯ナク之ヲ監督官廳ニ屆出ツヘシ

前項ノ事由アルトキハ監督官廳ハ臨時休業ヲ命スルコトヲ得

第三十六條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第四章　編制

第三十七條　女子高等普通學校ノ生徒數ハ八百人以下トス但シ特別ノ事情アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ增スコトヲ得

第三十八條　學級ハ同學科、同學年ノ生徒ヲ以テ之ヲ編制スヘシ

一學級ノ生徒數ハ五十人以下トス

第三十九條　音樂、體操、隨意科目及選擇科目ハ敎授上支障ナキ場合ニ限リ學科、學年又ハ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ敎授スルコトヲ得

第五章　設備

第四十條　女子高等普通學校ニ於テハ校地、校令、體操場及校具ヲ備フヘシ

公立女子高等普通學校ニ於テハ前項ノ外成ルヘク寄宿舍ヲ備フヘシ

第四十一條　校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ敎育上及衞生上害ナキ所タルヘシ

第四十二條　校舍ハ敎授上、管理上及衞生上適當ニシテ質朴堅牢ナラムコトヲ要ス

第四十三條　校具ハ圖書、器械、器具、標本、模型及表簿等トス

第四十四條　女子高等普通學校ニ於テ備フヘキ表簿ノ種類左ノ如シ

一　學則、日課表、敎科書配當表及學校歷視簿

二　職員ノ名簿、履歷書、出勤簿竝擔任學科目及時間表

三　生徒ノ學籍簿、出席簿及身體檢査ニ關スル表

四　試驗ノ問題答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル報簿及圖書、器械、器具、標本、模型ノ目錄

六　往復書類

前項ノ表簿中學籍簿ハ十年以上其ノ他ノ表簿ハ五年以上之ヲ保存スヘシ

女子高等普通學校ヲ廢止シタルトキハ三十日以内ニ學籍簿ヲ監督官廳ニ提出スヘシ監督官廳ノ命ニ依リ女子高等普通學校ヲ閉鎖シタルトキ亦同シ

前項ノ學籍簿ハ十年以上之ヲ保存スルモノトス

第四十五條　土地ノ情況ニ依リ學校長、舍監及敎員ノ住宅ヲ設クヘシ

第四十六條　公立、私立ノ女子高等普通學校ノ校令又ハ寄宿令ノ新築、增築、改築又ハ校地ノ擴張若ハ縮小ハ道地方費立女子高等普通學校ニ在リテハ圖面ヲ具シ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ其ノ他ノ女子高等普通學校ニ在リテハ圖面ヲ具シ道知事ノ認可ヲ受ケヘシ

前項ノ規定ニ依リ道知事ニ於テ認可ヲ爲シタルトキハ圖面ヲ具シ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第六章　入學、在學、退學及懲戒

第四十七條　生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス但シ缺員アルトキハ第二學期ノ始ヨリ十日以内ニ臨時入學セシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ補習科ノ生徒入學ニ關シテハ之ヲ適用セス

第四十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ女子高等普通學校第一學年ノ入學ニ關シ修業年限六年ノ普通學校卒業シタル者ト同等以上ノ學力アルモノト認ムル者

一　尋常小學校ヲ卒業シタル者

二　成業ノ見込ナシト認メタル者

三　出席常ナラサル者

第四十九條　生徒退學セムトスルトキハ學校長ノ許可ヲ受ケヘシ

第五十條　學校長ハ敎育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第七章　授業料

第五十一條　公立女子高等普通學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

公立女子高等普通學校ニ於テハ特別ノ必要アルトキハ入學料ヲ徵收スルコトヲ得

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

女子高等普通學校規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ存スル女子高等普通學校ニ付テハ本令ニ依リ認可ヲ受ケヘキ事項ハ本令施行ノ際ニ限リ之ヲ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

朝鮮敎育令第二十九條第二項ノ規程ニ依リ舊令ニ依リタル生徒ニ對シテハ敎科目、敎則及課程竝敎科用圖書ハ仍舊令ニ依リ又ハ之ヲ斟酌スルコトヲ得

朝鮮敎育令第三十一條ノ規定ニ依リ春澄シタル師範科ノ敎科目、敎則及課程竝敎科用圖書ニ關シテハ仍舊令ニ依ル

修身、國語、朝鮮語及漢文ノ敎科書ハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ編纂スルニ至ル迄第三十一條ノ規定ニ拘ラス仍從前ノモノヲ使用セシムヘシ

附　則（昭和二年三月總令第二十號）

本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年三月總令第二十五號）

本令ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八款　高等女學校

●高等女學校令

明治三十二年二月
勅令第三十一號

改正　明治四〇年七月第二八一號、四三年一〇第四二四號、大正九年七第一九九號

第一條　高等女學校ハ女子ニ須要ナル高等普通敎育ヲ爲スヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ養成ニ力メ婦德ノ涵養ニ留意スヘキモノトス

第二條　北海道及府縣ニ於テハ高等女學校ヲ設置スヘシ

第三條　前條ノ高等女學校ノ經費ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス

第四條　郡市町村學校組合及町村學校組合ハ土地ノ情況ニ依リ須要ニシテ其ノ區域内小學敎育ノ施設上妨ナキ場合ニ限リ高等女學校ヲ設置スルコトヲ得

第五條　削除

第六條　私人ハ本令ノ規定ニ依リ高等女學校校長ハ正當ノ事由アリト認メタル場合ニ限リ高等女學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

高等女學校ノ設置廢止ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條　公立高等女學校ノ位置ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ地方長官之ヲ定ム

第九條　高等女學校ノ修業年限ハ五箇年又ハ四箇年トス但シ土地ノ情況ニ依リ三箇年トスルコトヲ得

第十條　高等女學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣之ヲ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者タルヘシ

第十一條　高等女學校ニ於テハ高等科、專攻科又ハ補習科ヲ置クコトヲ得

第十二條　高等女學校ノ三　高等科ハ精深ナル程度ニ於テ高等普通敎育ヲ爲スモノトス

專攻科ハ精深ナル程度ニ於テ高等女學校ノ學科目中一科目又ハ數科目ヲ專攻セシムルモノトス

第十三條　高等科及專攻科ノ修業年限ハ二箇年又ハ三箇年トス

第十四條　修業年限三箇年ノ高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限四箇年ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者タルヘシ

修業年限二箇年ノ高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限五箇年若ハ三箇年ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者タルヘシ

第十五條　高等女學校ニ於テハ主トシテ家政ニ關スル學科目ヲ修メムトスル者ノ爲ニ實科ヲ設クルコトヲ得

第十一條　高等女學校ニ於テハ主トシテ家政ニ關スル學科目ヲ修メムトスル者ノ爲ニ實科ヲ設クルコトヲ得

第十五章　高等女学校規程　第八款　第二節　第三節　第四節　第五節　第六節　第七節　第八節　第九節　第十節　第十一節　第十二節　第十三節　第十四節　第十五節　第十六節　第十七節　第十八節　第十九節　第二十節　第二十一節　第二十二節　第二十三節　第二十四節　第二十五節　第二十六節　第二十七節　第二十八節　第二十九節　第三十節　第三十一節　第三十二節　第三十三節　第三十四節　第三十五節　第三十六節　第三十七節　第三十八節　第三十九節　第四十節　第四十一節　第四十二節　第四十三節　第四十四節　第四十五節　第四十六節　第四十七節　第四十八節　第四十九節　第五十節　第五十一節　第五十二節　第五十三節　第五十四節　第五十五節　第五十六節　第五十七節　第五十八節　第五十九節　第六十節　第六十一節　第六十二節　第六十三節　第六十四節　第六十五節　第六十六節　第六十七節　第六十八節　第六十九節　第七十節　第七十一節　第七十二節　第七十三節　第七十四節　第七十五節　第七十六節　第七十七節　第七十八節　第七十九節　第八十節　第八十一節　第八十二節　第八十三節　第八十四節　第八十五節　第八十六節　第八十七節　第八十八節　第八十九節　第九十節　第九十一節　第九十二節　第九十三節　第九十四節　第九十五節　第九十六節　第九十七節　第九十八節　第九十九節　第百節　第百一節　第百二節　第百三節　第百四節　第百五節　第百六節　第百七節　第百八節　第百九節　第百十節　第百十一節　第百十二節　第百十三節　第百十四節　第百十五節　第百十六節　第百十七節　第百十八節　第百十九節　第百二十節　第百二十一節　第百二十二節　第百二十三節　第百二十四節　第百二十五節　第百二十六節　第百二十七節　第百二十八節　第百二十九節　第百三十節　第百三十一節　第百三十二節　第百三十三節　第百三十四節　第百三十五節　第百三十六節　第百三十七節　第百三十八節　第百三十九節　第百四十節　第百四十一節　第百四十二節　第百四十三節　第百四十四節　第百四十五節　第百四十六節　第百四十七節　第百四十八節　第百四十九節　第百五十節　第百五十一節　第百五十二節　第百五十三節　第百五十四節　第百五十五節　第百五十六節　第百五十七節　第百五十八節　第百五十九節　第百六十節　第百六十一節　第百六十二節　第百六十三節　第百六十四節　第百六十五節　第百六十六節　第百六十七節　第百六十八節　第百六十九節　第百七十節　第百七十一節　第百七十二節　第百七十三節　第百七十四節　第百七十五節　第百七十六節　第百七十七節　第百七十八節　第百七十九節　第百八十節　第百八十一節　第百八十二節　第百八十三節　第百八十四節　第百八十五節　第百八十六節　第百八十七節　第百八十八節　第百八十九節　第百九十節　第百九十一節　第百九十二節　第百九十三節　第百九十四節　第百九十五節　第百九十六節　第百九十七節　第百九十八節　第百九十九節　第二百節　第二百一節　第二百二節　第二百三節　第二百四節　第二百五節　第二百六節　第二百七節　第二百八節　第二百九節　第二百十節　第二百十一節　第二百十二節　第二百十三節　第二百十四節　第二百十五節　第二百十六節　第二百十七節　第二百十八節　第二百十九節　第二百二十節　第二百二十一節　第二百二十二節　第二百二十三節　第二百二十四節　第二百二十五節　第二百二十六節　第二百二十七節　第二百二十八節　第二百二十九節　第二百三十節　第二百三十一節　第二百三十二節　第二百三十三節　第二百三十四節　第二百三十五節　第二百三十六節　第二百三十七節　第二百三十八節　第二百三十九節　第二百四十節　第二百四十一節　第二百四十二節　第二百四十三節　第二百四十四節　第二百四十五節　第二百四十六節　第二百四十七節　第二百四十八節　第二百四十九節　第二百五十節　第二百五十一節　第二百五十二節　第二百五十三節　第二百五十四節　第二百五十五節　第二百五十六節　第二百五十七節　第二百五十八節　第二百五十九節　第二百六十節　第二百六十一節　第二百六十二節　第二百六十三節　第二百六十四節　第二百六十五節　第二百六十六節　第二百六十七節　第二百六十八節　第二百六十九節　第二百七十節　第二百七十一節　第二百七十二節　第二百七十三節　第二百七十四節　第二百七十五節　第二百七十六節　第二百七十七節　第二百七十八節　第二百七十九節　第二百八十節　第二百八十一節　第二百八十二節　第二百八十三節　第二百八十四節　第二百八十五節　第二百八十六節　第二百八十七節　第二百八十八節　第二百八十九節　第二百九十節　第二百九十一節　第二百九十二節　第二百九十三節　第二百九十四節　第二百九十五節　第二百九十六節　第二百九十七節　第二百九十八節　第二百九十九節　第三百節　第三百一節　第三百二節　第三百三節　第三百四節　第三百五節　第三百六節　第三百七節　第三百八節　第三百九節　第三百十節　第三百十一節　第三百十二節　第三百十三節　第三百十四節　第三百十五節　第三百十六節　第三百十七節　第三百十八節　第三百十九節　第三百二十節　第三百二十一節　第三百二十二節　第三百二十三節　第三百二十四節　第三百二十五節　第三百二十六節　第三百二十七節　第三百二十八節　第三百二十九節　第三百三十節　第三百三十一節　第三百三十二節　第三百三十三節　第三百三十四節　第三百三十五節　第三百三十六節　第三百三十七節　第三百三十八節　第三百三十九節　第三百四十節　第三百四十一節　第三百四十二節　第三百四十三節　第三百四十四節　第三百四十五節　第三百四十六節　第三百四十七節　第三百四十八節　第三百四十九節　第三百五十節　第三百五十一節　第三百五十二節　第三百五十三節　第三百五十四節　第三百五十五節　第三百五十六節　第三百五十七節　第三百五十八節　第三百五十九節　第三百六十節　第三百六十一節　第三百六十二節　第三百六十三節　第三百六十四節　第三百六十五節　第三百六十六節　第三百六十七節　第三百六十八節　第三百六十九節　第三百七十節　第三百七十一節　第三百七十二節　第三百七十三節　第三百七十四節　第三百七十五節　第三百七十六節　第三百七十七節　第三百七十八節　第三百七十九節　第三百八十節　第三百八十一節　第三百八十二節　第三百八十三節　第三百八十四節　第三百八十五節　第三百八十六節　第三百八十七節　第三百八十八節　第三百八十九節　第三百九十節　第三百九十一節　第三百九十二節　第三百九十三節　第三百九十四節　第三百九十五節　第三百九十六節　第三百九十七節　第三百九十八節　第三百九十九節　第四百節　第四百一節　第四百二節　第四百三節　第四百四節　第四百五節　第四百六節　第四百七節　第四百八節　第四百九節　第四百十節　第四百十一節　第四百十二節　第四百十三節　第四百十四節　第四百十五節　第四百十六節　第四百十七節　第四百十八節　第四百十九節　第四百二十節　第四百二十一節　第四百二十二節　第四百二十三節　第四百二十四節　第四百二十五節　第四百二十六節　第四百二十七節　第四百二十八節　第四百二十九節　第四百三十節　第四百三十一節　第四百三十二節　第四百三十三節　第四百三十四節　第四百三十五節　第四百三十六節　第四百三十七節　第四百三十八節　第四百三十九節　第四百四十節　第四百四十一節　第四百四十二節　第四百四十三節　第四百四十四節　第四百四十五節　第四百四十六節　第四百四十七節　第四百四十八節　第四百四十九節　第四百五十節　第四百五十一節　第四百五十二節　第四百五十三節　第四百五十四節　第四百五十五節　第四百五十六節　第四百五十七節　第四百五十八節　第四百五十九節　第四百六十節　第四百六十一節　第四百六十二節　第四百六十三節　第四百六十四節　第四百六十五節　第四百六十六節　第四百六十七節　第四百六十八節　第四百六十九節　第四百七十節　第四百七十一節　第四百七十二節　第四百七十三節　第四百七十四節　第四百七十五節　第四百七十六節　第四百七十七節　第四百七十八節　第四百七十九節　第四百八十節　第四百八十一節　第四百八十二節　第四百八十三節　第四百八十四節　第四百八十五節　第四百八十六節　第四百八十七節　第四百八十八節　第四百八十九節　第四百九十節　第四百九十一節　第四百九十二節　第四百九十三節　第四百九十四節　第四百九十五節　第四百九十六節　第四百九十七節　第四百九十八節　第四百九十九節　第五百節　第五百一節　第五百二節　第五百三節　第五百四節　第五百五節　第五百六節　第五百七節　第五百八節　第五百九節　第五百十節　第五百十一節　第五百十二節　第五百十三節　第五百十四節　第五百十五節　第五百十六節　第五百十七節　第五百十八節　第五百十九節　第五百二十節　第五百二十一節　第五百二十二節　第五百二十三節　第五百二十四節　第五百二十五節　第五百二十六節　第五百二十七節　第五百二十八節　第五百二十九節　第五百三十節　第五百三十一節　第五百三十二節　第五百三十三節　第五百三十四節　第五百三十五節　第五百三十六節　第五百三十七節　第五百三十八節　第五百三十九節　第五百四十節　第五百四十一節　第五百四十二節　第五百四十三節　第五百四十四節　第五百四十五節　第五百四十六節　第五百四十七節　第五百四十八節　第五百四十九節　第五百五十節　第五百五十一節　第五百五十二節　第五百五十三節　第五百五十四節　第五百五十五節　第五百五十六節　第五百五十七節　第五百五十八節　第五百五十九節　第五百六十節　第五百六十一節　第五百六十二節　第五百六十三節　第五百六十四節　第五百六十五節　第五百六十六節　第五百六十七節　第五百六十八節　第五百六十九節　第五百七十節　第五百七十一節　第五百七十二節　第五百七十三節　第五百七十四節　第五百七十五節　第五百七十六節　第五百七十七節　第五百七十八節　第五百七十九節　第五百八十節　第五百八十一節　第五百八十二節　第五百八十三節　第五百八十四節　第五百八十五節　第五百八十六節　第五百八十七節　第五百八十八節　第五百八十九節　第五百九十節　第五百九十一節　第五百九十二節　第五百九十三節　第五百九十四節　第五百九十五節　第五百九十六節　第五百九十七節　第五百九十八節　第五百九十九節　第六百節　第六百一節　第六百二節　第六百三節　第六百四節　第六百五節　第六百六節　第六百七節　第六百八節　第六百九節　第六百十節　第六百十一節　第六百十二節　第六百十三節　第六百十四節　第六百十五節　第六百十六節　第六百十七節　第六百十八節　第六百十九節　第六百二十節　第六百二十一節　第六百二十二節　第六百二十三節　第六百二十四節　第六百二十五節　第六百二十六節　第六百二十七節　第六百二十八節　第六百二十九節　第六百三十節　第六百三十一節　第六百三十二節　第六百三十三節　第六百三十四節　第六百三十五節　第六百三十六節　第六百三十七節　第六百三十八節　第六百三十九節　第六百四十節　第六百四十一節　第六百四十二節　第六百四十三節　第六百四十四節　第六百四十五節　第六百四十六節　第六百四十七節　第六百四十八節　第六百四十九節　第六百五十節　第六百五十一節　第六百五十二節　第六百五十三節　第六百五十四節　第六百五十五節　第六百五十六節　第六百五十七節　第六百五十八節　第六百五十九節　第六百六十節　第六百六十一節　第六百六十二節　第六百六十三節　第六百六十四節　第六百六十五節　第六百六十六節　第六百六十七節　第六百六十八節　第六百六十九節　第六百七十節　第六百七十一節　第六百七十二節　第六百七十三節　第六百七十四節　第六百七十五節　第六百七十六節　第六百七十七節　第六百七十八節　第六百七十九節　第六百八十節　第六百八十一節　第六百八十二節　第六百八十三節　第六百八十四節　第六百八十五節　第六百八十六節　第六百八十七節　第六百八十八節　第六百八十九節　第六百九十節　第六百九十一節　第六百九十二節　第六百九十三節　第六百九十四節　第六百九十五節　第六百九十六節　第六百九十七節　第六百九十八節　第六百九十九節　第七百節　第七百一節　第七百二節　第七百三節　第七百四節　第七百五節　第七百六節　第七百七節　第七百八節　第七百九節　第七百十節　第七百十一節　第七百十二節　第七百十三節　第七百十四節　第七百十五節　第七百十六節　第七百十七節　第七百十八節　第七百十九節　第七百二十節　第七百二十一節　第七百二十二節　第七百二十三節　第七百二十四節　第七百二十五節　第七百二十六節　第七百二十七節　第七百二十八節　第七百二十九節　第七百三十節　第七百三十一節　第七百三十二節　第七百三十三節　第七百三十四節　第七百三十五節　第七百三十六節　第七百三十七節　第七百三十八節　第七百三十九節　第七百四十節　第七百四十一節　第七百四十二節　第七百四十三節　第七百四十四節　第七百四十五節　第七百四十六節　第七百四十七節　第七百四十八節　第七百四十九節　第七百五十節　第七百五十一節　第七百五十二節　第七百五十三節　第七百五十四節　第七百五十五節　第七百五十六節　第七百五十七節　第七百五十八節　第七百五十九節　第七百六十節　第七百六十一節　第七百六十二節　第七百六十三節　第七百六十四節　第七百六十五節　第七百六十六節　第七百六十七節　第七百六十八節　第七百六十九節　第七百七十節　第七百七十一節　第七百七十二節　第七百七十三節　第七百七十四節　第七百七十五節　第七百七十六節　第七百七十七節　第七百七十八節　第七百七十九節　第七百八十節　第七百八十一節　第七百八十二節　第七百八十三節　第七百八十四節　第七百八十五節　第七百八十六節　第七百八十七節　第七百八十八節　第七百八十九節　第七百九十節　第七百九十一節　第七百九十二節　第七百九十三節　第七百九十四節　第七百九十五節　第七百九十六節　第七百九十七節　第七百九十八節　第七百九十九節　第八百節　第八百一節　第八百二節　第八百三節　第八百四節　第八百五節　第八百六節　第八百七節　第八百八節　第八百九節　第八百十節　第八百十一節　第八百十二節　第八百十三節　第八百十四節　第八百十五節　第八百十六節　第八百十七節　第八百十八節　第八百十九節　第八百二十節　第八百二十一節　第八百二十二節　第八百二十三節　第八百二十四節　第八百二十五節　第八百二十六節　第八百二十七節　第八百二十八節　第八百二十九節　第八百三十節　第八百三十一節　第八百三十二節　第八百三十三節　第八百三十四節　第八百三十五節　第八百三十六節　第八百三十七節　第八百三十八節　第八百三十九節　第八百四十節　第八百四十一節　第八百四十二節　第八百四十三節　第八百四十四節　第八百四十五節　第八百四十六節　第八百四十七節　第八百四十八節　第八百四十九節　第八百五十節　第八百五十一節　第八百五十二節　第八百五十三節　第八百五十四節　第八百五十五節　第八百五十六節　第八百五十七節　第八百五十八節　第八百五十九節　第八百六十節　第八百六十一節　第八百六十二節　第八百六十三節　第八百六十四節　第八百六十五節　第八百六十六節　第八百六十七節　第八百六十八節　第八百六十九節　第八百七十節　第八百七十一節　第八百七十二節　第八百七十三節　第八百七十四節　第八百七十五節　第八百七十六節　第八百七十七節　第八百七十八節　第八百七十九節　第八百八十節　第八百八十一節　第八百八十二節　第八百八十三節　第八百八十四節　第八百八十五節　第八百八十六節　第八百八十七節　第八百八十八節　第八百八十九節　第八百九十節　第八百九十一節　第八百九十二節　第八百九十三節　第八百九十四節　第八百九十五節　第八百九十六節　第八百九十七節　第八百九十八節　第八百九十九節　第九百節　第九百一節　第九百二節　第九百三節　第九百四節　第九百五節　第九百六節　第九百七節　第九百八節　第九百九節　第九百十節　第九百十一節　第九百十二節　第九百十三節　第九百十四節　第九百十五節　第九百十六節　第九百十七節　第九百十八節　第九百十九節　第九百二十節　第九百二十一節　第九百二十二節　第九百二十三節　第九百二十四節　第九百二十五節　第九百二十六節　第九百二十七節　第九百二十八節　第九百二十九節　第九百三十節　第九百三十一節　第九百三十二節　第九百三十三節　第九百三十四節　第九百三十五節　第九百三十六節　第九百三十七節　第九百三十八節　第九百三十九節　第九百四十節　第九百四十一節　第九百四十二節　第九百四十三節　第九百四十四節　第九百四十五節　第九百四十六節　第九百四十七節　第九百四十八節　第九百四十九節　第九百五十節　第九百五十一節　第九百五十二節　第九百五十三節　第九百五十四節　第九百五十五節　第九百五十六節　第九百五十七節　第九百五十八節　第九百五十九節　第九百六十節　第九百六十一節　第九百六十二節　第九百六十三節　第九百六十四節　第九百六十五節　第九百六十六節　第九百六十七節　第九百六十八節　第九百六十九節　第九百七十節　第九百七十一節　第九百七十二節　第九百七十三節　第九百七十四節　第九百七十五節　第九百七十六節　第九百七十七節　第九百七十八節　第九百七十九節　第九百八十節　第九百八十一節　第九百八十二節　第九百八十三節　第九百八十四節　第九百八十五節　第九百八十六節　第九百八十七節　第九百八十八節　第九百八十九節　第九百九十節　第九百九十一節　第九百九十二節　第九百九十三節　第九百九十四節　第九百九十五節　第九百九十六節　第九百九十七節　第九百九十八節　第九百九十九節　第千節　第千一節　第千二節　第千三節　第千四節　第千五節　第千六節　第千七節　第千八節　第千九節　第千十節　第千十一節　第千十二節　第千十三節　第千十四節　第千十五節　第千十六節　第千十七節　第千十八節　第千十九節　第千二十節　第千二十一節　第千二十二節　第千二十三節　第千二十四節　第千二十五節　第千二十六節　第千二十七節　第千二十八節　第千二十九節　第千三十節　第千三十一節　第千三十二節　第千三十三節　第千三十四節　第千三十五節　第千三十六節　第千三十七節　第千三十八節　第千三十九節　第千四十節　第千四十一節　第千四十二節　第千四十三節　第千四十四節　第千四十五節　第千四十六節　第千四十七節　第千四十八節　第千四十九節　第千五十節　第千五十一節　第千五十二節　第千五十三節　第千五十四節　第千五十五節　第千五十六節　第千五十七節　第千五十八節　第千五十九節　第千六十節　第千六十一節　第千六十二節　第千六十三節　第千六十四節　第千六十五節　第千六十六節　第千六十七節　第千六十八節　第千六十九節　第千七十節　第千七十一節　第千七十二節　第千七十三節　第千七十四節　第千七十五節　第千七十六節　第千七十七節　第千七十八節　第千七十九節　第千八十節　第千八十一節　第千八十二節　第千八十三節　第千八十四節　第千八十五節　第千八十六節　第千八十七節　第千八十八節　第千八十九節　第千九十節　第千九十一節　第千九十二節　第千九十三節　第千九十四節　第千九十五節　第千九十六節　第千九十七節　第千九十八節　第千九十九節　第二千節　第二千一節　第二千二節　第二千三節　第二千四節　第二千五節　第二千六節　第二千七節　第二千八節　第二千九節　第三千節　第三千一節　第三千二節　第三千三節　第三千四節　第三千五節　第三千六節　第三千七節　第三千八節　第三千九節　第四千節　第四千一節　第四千二節　第四千三節　第四千四節　第四千五節　第四千六節　第四千七節　第四千八節　第四千九節　第五千節　第五千一節　第五千二節　第五千三節　第五千四節　第五千五節　第五千六節　第五千七節　第五千八節　第五千九節　第六千節　第六千一節　第六千二節　第六千三節　第六千四節　第六千五節　第六千六節　第六千七節　第六千八節　第六千九節　第七千節　第七千一節　第七千二節　第七千三節　第七千四節　第七千五節　第七千六節　第七千七節　第七千八節　第七千九節　第八千節　第八千一節　第八千二節　第八千三節　第八千四節　第八千五節　第八千六節　第八千七節　第八千八節　第八千九節　第九千節　第九千一節　第九千二節　第九千三節　第九千四節　第九千五節　第九千六節　第九千七節　第九千八節　第九千九節　第一万節　第一万一節　第一万二節　第一万三節　第一万四節　第一万五節　第一万六節　第一万七節　第一万八節　第一万九節　第二万節　第二万一節　第二万二節　第二万三節　第二万四節　第二万五節　第二万六節　第二万七節　第二万八節　第二万九節　第三万節　第三万一節　第三万二節　第三万三節　第三万四節　第三万五節　第三万六節　第三万七節　第三万八節　第三万九節　第四万節　第四万一節　第四万二節　第四万三節　第四万四節　第四万五節　第四万六節　第四万七節　第四万八節　第四万九節　第五万節　第五万一節　第五万二節　第五万三節　第五万四節　第五万五節　第五万六節　第五万七節　第五万八節　第五万九節　第六万節　第六万一節　第六万二節　第六万三節　第六万四節　第六万五節　第六万六節　第六万七節　第六万八節　第六万九節　第七万節　第七万一節　第七万二節　第七万三節　第七万四節　第七万五節　第七万六節　第七万七節　第七万八節　第七万九節　第八万節　第八万一節　第八万二節　第八万三節　第八万四節　第八万五節　第八万六節　第八万七節　第八万八節　第八万九節　第九万節　第九万一節　第九万二節　第九万三節　第九万四節　第九万五節　第九万六節　第九万七節　第九万八節　第九万九節　第十万節　第十万一節　第十万二節　第十万三節　第十万四節　第十万五節　第十万六節　第十万七節　第十万八節　第十万九節　第十一万節　第十一万一節　第十一万二節　第十一万三節　第十一万四節　第十一万五節　第十一万六節　第十一万七節　第十一万八節　第十一万九節　第十二万節　第十二万一節　第十二万二節　第十二万三節　第十二万四節　第十二万五節　第十二万六節　第十二万七節　第十二万八節　第十二万九節　第十三万節　第十三万一節　第十三万二節　第十三万三節　第十三万四節　第十三万五節　第十三万六節　第十三万七節　第十三万八節　第十三万九節　第十四万節　第十四万一節　第十四万二節　第十四万三節　第十四万四節　第十四万五節　第十四万六節　第十四万七節　第十四万八節　第十四万九節　第十五万節　第十五万一節　第十五万二節　第十五万三節　第十五万四節　第十五万五節　第十五万六節　第十五万七節　第十五万八節　第十五万九節　第十六万節　第十六万一節　第十六万二節　第十六万三節　第十六万四節　第十六万五節　第十六万六節　第十六万七節　第十六万八節　第十六万九節　第十七万節　第十七万一節　第十七万二節　第十七万三節　第十七万四節　第十七万五節　第十七万六節　第十七万七節　第十七万八節　第十七万九節　第十八万節　第十八万一節　第十八万二節　第十八万三節　第十八万四節　第十八万五節　第十八万六節　第十八万七節　第十八万八節　第十八万九節　第十九万節　第十九万一節　第十九万二節　第十九万三節　第十九万四節　第十九万五節　第十九万六節　第十九万七節　第十九万八節　第十九万九節　第二十万節　第二十万一節　第二十万二節　第二十万三節　第二十万四節　第二十万五節　第二十万六節　第二十万七節　第二十万八節　第二十万九節　第二十一万節　第二十一万一節　第二十一万二節　第二十一万三節　第二十一万四節　第二十一万五節　第二十一万六節　第二十一万七節　第二十一万八節　第二十一万九節　第二十二万節　第二十二万一節　第二十二万二節　第二十二万三節　第二十二万四節　第二十二万五節　第二十二万六節　第二十二万七節　第二十二万八節　第二十二万九節　第二十三万節　第二十三万一節　第二十三万二節　第二十三万三節　第二十三万四節　第二十三万五節　第二十三万六節　第二十三万七節　第二十三万八節　第二十三万九節　第二十四万節　第二十四万一節　第二十四万二節　第二十四万三節　第二十四万四節　第二十四万五節　第二十四万六節　第二十四万七節　第二十四万八節　第二十四万九節　第二十五万節　第二十五万一節　第二十五万二節　第二十五万三節　第二十五万四節　第二十五万五節　第二十五万六節　第二十五万七節　第二十五万八節　第二十五万九節　第二十六万節　第二十六万一節　第二十六万二節　第二十六万三節　第二十六万四節　第二十六万五節　第二十六万六節　第二十六万七節　第二十六万八節　第二十六万九節　第二十七万節　第二十七万一節　第二十七万二節　第二十七万三節　第二十七万四節　第二十七万五節　第二十七万六節　第二十七万七節　第二十七万八節　第二十七万九節　第二十八万節　第二十八万一節　第二十八万二節　第二十八万三節　第二十八万四節　第二十八万五節　第二十八万六節　第二十八万七節　第二十八万八節　第二十八万九節　第二十九万節　第二十九万一節　第二十九万二節　第二十九万三節　第二十九万四節　第二十九万五節　第二十九万六節　第二十九万七節　第二十九万八節　第二十九万九節　第三十万節　第三十万一節　第三十万二節　第三十万三節　第三十万四節　第三十万五節　第三十万六節　第三十万七節　第三十万八節　第三十万九節　第三十一万節　第三十一万一節　第三十一万二節　第三十一万三節　第三十一万四節　第三十一万五節　第三十一万六節　第三十一万七節　第三十一万八節　第三十一万九節　第三十二万節　第三十二万一節　第三十二万二節　第三十二万三節　第三十二万四節　第三十二万五節　第三十二万六節　第三十二万七節　第三十二万八節　第三十二万九節　第三十三万節　第三十三万一節　第三十三万二節　第三十三万三節　第三十三万四節　第三十三万五節　第三十三万六節　第三十三万七節　第三十三万八節　第三十三万九節　第三十四万節　第三十四万一節　第三十四万二節　第三十四万三節　第三十四万四節　第三十四万五節　第三十四万六節　第三十四万七節　第三十四万八節　第三十四万九節　第三十五万節　第三十五万一節　第三十五万二節　第三十五万三節　第三十五万四節　第三十五万五節　第三十五万六節　第三十五万七節　第三十五万八節　第三十五万九節　第三十六万節　第三十六万一節　第三十六万二節　第三十六万三節　第三十六万四節　第三十六万五節　第三十六万六節　第三十六万七節　第三十六万八節　第三十六万九節　第三十七万節　第三十七万一節　第三十七万二節　第三十七万三節　第三十七万四節　第三十七万五節　第三十七万六節　第三十七万七節　第三十七万八節　第三十七万九節　第三十八万節　第三十八万一節　第三十八万二節　第三十八万三節　第三十八万四節　第三十八万五節　第三十八万六節　第三十八万七節　第三十八万八節　第三十八万九節　第三十九万節　第三十九万一節　第三十九万二節　第三十九万三節　第三十九万四節　第三十九万五節　第三十九万六節　第三十九万七節　第三十九万八節　第三十九万九節　第四十万節　第四十万一節　第四十万二節　第四十万三節　第四十万四節　第四十万五節　第四十万六節　第四十万七節　第四十万八節　第四十万九節　第五十万節　第五十万一節　第五十万二節　第五十万三節　第五十万四節　第五十万五節　第五十万六節　第五十万七節　第五十万八節　第五十万九節　第六十万節　第六十万一節　第六十万二節　第六十万三節　第六十万四節　第六十万五節　第六十万六節　第六十万七節　第六十万八節　第六十万九節　第七十万節　第七十万一節　第七十万二節　第七十万三節　第七十万四節　第七十万五節　第七十万六節　第七十万七節　第七十万八節　第七十万九節　第八十万節　第八十万一節　第八十万二節　第八十万三節　第八十万四節　第八十万五節　第八十万六節　第八十万七節　第八十万八節　第八十万九節　第九十万節　第九十万一節　第九十万二節　第九十万三節　第九十万四節　第九十万五節　第九十万六節　第九十万七節　第九十万八節　第九十万九節　第百万節　第百万一節　第百万二節　第百万三節　第百万四節　第百万五節　第百万六節　第百万七節　第百万八節　第百万九節　第二百万節　第二百万一節　第二百万二節　第二百万三節　第二百万四節　第二百万五節　第二百万六節　第二百万七節　第二百万八節　第二百万九節　第三百万節　第三百万一節　第三百万二節　第三百万三節　第三百万四節　第三百万五節　第三百万六節　第三百万七節　第三百万八節　第三百万九節　第四百万節　第四百万一節　第四百万二節　第四百万三節　第四百万四節　第四百万五節　第四百万六節　第四百万七節　第四百万八節　第四百万九節　第五百万節　第五百万一節　第五百万二節　第五百万三節　第五百万四節　第五百万五節　第五百万六節　第五百万七節　第五百万八節　第五百万九節　第六百万節　第六百万一節　第六百万二節　第六百万三節　第六百万四節　第六百万五節　第六百万六節　第六百万七節　第六百万八節　第六百万九節　第七百万節　第七百万一節　第七百万二節　第七百万三節　第七百万四節　第七百万五節　第七百万六節　第七百万七節　第七百万八節　第七百万九節　第八百万節　第八百万一節　第八百万二節　第八百万三節　第八百万四節　第八百万五節　第八百万六節　第八百万七節　第八百万八節　第八百万九節　第九百万節　第九百万一節　第九百万二節　第九百万三節　第九百万四節　第九百万五節　第九百万六節　第九百万七節　第九百万八節　第九百万九節　第千万節　第千万一節　第千万二節　第千万三節　第千万四節　第千万五節　第千万六節　第千万七節　第千万八節　第千万九節　第二千万節　第二千万一節　第二千万二節　第二千万三節　第二千万四節　第二千万五節　第二千万六節　第二千万七節　第二千万八節　第二千万九節　第三千万節　第三千万一節　第三千万二節　第三千万三節　第三千万四節　第三千万五節　第三千万六節　第三千万七節　第三千万八節　第三千万九節　第四千万節　第四千万一節　第四千万二節　第四千万三節　第四千万四節　第四千万五節　第四千万六節　第四千万七節　第四千万八節　第四千万九節　第五千万節　第五千万一節　第五千万二節　第五千万三節　第五千万四節　第五千万五節　第五千万六節　第五千万七節　第五千万八節　第五千万九節　第六千万節　第六千万一節　第六千万二節　第六千万三節　第六千万四節　第六千万五節　第六千万六節　第六千万七節　第六千万八節　第六千万九節　第七千万節　第七千万一節　第七千万二節　第七千万三節　第七千万四節　第七千万五節　第七千万六節　第七千万七節　第七千万八節　第七千万九節　第八千万節　第八千万一節　第八千万二節　第八千万三節　第八千万四節　第八千万五節　第八千万六節　第八千万七節　第八千万八節　第八千万九節　第九千万節　第九千万一節　第九千万二節　第九千万三節　第九千万四節　第九千万五節　第九千万六節　第九千万七節　第九千万八節　第九千万九節　第一億節　第一億一節　第一億二節　第一億三節　第一億四節　第一億五節　第一億六節　第一億七節　第一億八節　第一億九節　第二億節　第二億一節　第二億二節　第二億三節　第二億四節　第二億五節　第二億六節　第二億七節　第二億八節　第二億九節　第三億節　第三億一節　第三億二節　第三億三節　第三億四節　第三億五節　第三億六節　第三億七節　第三億八節　第三億九節　第四億節　第四億一節　第四億二節　第四億三節　第四億四節　第四億五節　第四億六節　第四億七節　第四億八節　第四億九節　第五億節　第五億一節　第五億二節　第五億三節　第五億四節　第五億五節　第五億六節　第五億七節　第五億八節　第五億九節　第六億節　第六億一節　第六億二節　第六億三節　第六億四節　第六億五節　第六億六節　第六億七節　第六億八節　第六億九節　第七億節　第七億一節　第七億二節　第七億三節　第七億四節　第七億五節　第七億六節　第七億七節　第七億八節　第七億九節　第八億節　第八億一節　第八億二節　第八億三節　第八億四節　第八億五節　第八億六節　第八億七節　第八億八節　第八億九節　第九億節　第九億一節　第九億二節　第九億三節　第九億四節　第九億五節　第九億六節　第九億七節　第九億八節　第九億九節　第十億節　第十億一節　第十億二節　第十億三節　第十億四節　第十億五節　第十億六節　第十億七節　第十億八節　第十億九節　第二十億節　第二十億一節　第二十億二節　第二十億三節　第二十億四節　第二十億五節　第二十億六節　第二十億七節　第二十億八節　第二十億九節　第三十億節　第三十億一節　第三十億二節　第三十億三節　第三十億四節　第三十億五節　第三十億六節　第三十億七節　第三十億八節　第三十億九節　第四十億節　第四十億一節　第四十億二節　第四十億三節　第四十億四節　第四十億五節　第四十億六節　第四十億七節　第四十億八節　第四十億九節　第五十億節　第五十億一節　第五十億二節　第五十億三節　第五十億四節　第五十億五節　第五十億六節　第五十億七節　第五十億八節　第五十億九節　第六十億節　第六十億一節　第六十億二節　第六十億三節　第六十億四節　第六十億五節　第六十億六節　第六十億七節　第六十億八節　第六十億九節　第七十億節　第七十億一節　第七十億二節　第七十億三節　第七十億四節　第七十億五節　第七十億六節　第七十億七節　第七十億八節　第七十億九節　第八十億節　第八十億一節　第八十億二節　第八十億三節　第八十億四節　第八十億五節　第八十億六節　第八十億七節　第八十億八節　第八十億九節　第九十億節　第九十億一節　第九十億二節　第九十億三節　第九十億四節　第九十億五節　第九十億六節　第九十億七節　第九十億八節　第九十億九節　第百億節　第百億一節　第百億二節　第百億三節　第百億四節　第百億五節　第百億六節　第百億七節　第百億八節　第百億九節　第二百億節　第二百億一節　第二百億二節　第二百億三節　第二百億四節　第二百億五節　第二百億六節　第二百億七節　第二百億八節　第二百億九節　第三百億節　第三百億一節　第三百億二節　第三百億三節　第三百億四節　第三百億五節　第三百億六節　第三百億七節　第三百億八節　第三百億九節　第四百億節　第四百億一節　第四百億二節　第四百億三節　第四百億四節　第四百億五節　第四百億六節　第四百億七節　第四百億八節　第四百億九節　第五百億節　第五百億一節　第五百億二節　第五百億三節　第五百億四節　第五百億五節　第五百億六節　第五百億七節　第五百億八節　第五百億九節　第六百億節　第六百億一節　第六百億二節　第六百億三節　第六百億四節　第六百億五節　第六百億六節　第六百億七節　第六百億八節　第六百億九節　第七百億節　第七百億一節　第七百億二節　第七百億三節　第七百億四節　第七百億五節　第七百億六節　第七百億七節　第七百億八節　第七百億九節　第八百億節　第八百億一節　第八百億二節　第八百億三節　第八百億四節　第八百億五節　第八百億六節　第八百億七節　第八百億八節　第八百億九節　第九百億節　第九百億一節　第九百億二節　第九百億三節　第九百億四節　第九百億五節　第九百億六節　第九百億七節　第九百億八節　第九百億九節　第千億節　第千億一節　第千億二節　第千億三節　第千億四節　第千億五節　第千億六節　第千億七節　第千億八節　第千億九節　第二千億節　第二千億一節　第二千億二節　第二千億三節　第二千億四節　第二千億五節　第二千億六節　第二千億七節　第二千億八節　第二千億九節　第三千億節　第三千億一節　第三千億二節　第三千億三節　第三千億四節　第三千億五節　第三千億六節　第三千億七節　第三千億八節　第三千億九節　第四千億節　第四千億一節　第四千億二節　第四千億三節　第四千億四節　第四千億五節　第四千億六節　第四千億七節　第四千億八節　第四千億九節　第五千億節　第五千億一節　第五千億二節　第五千億三節　第五千億四節　第五千億五節　第五千億六節　第五千億七節　第五千億八節　第五千億九節　第六千億節　第六千億一節　第六千億二節　第六千億三節　第六千億四節　第六千億五節　第六千億六節　第六千億七節　第六千億八節　第六千億九節　第七千億節　第七千億一節　第七千億二節　第七千億三節　第七千億四節　第七千億五節　第七千億六節　第七千億七節　第七千億八節　第七千億九節　第八千億節　第八千億一節　第八千億二節　第八千億三節　第八千億四節　第八千億五節　第八千億六節　第八千億七節　第八千億八節　第八千億九節　第九千億節　第九千億一節　第九千億二節　第九千億三節　第九千億四節　第九千億五節　第九千億六節　第九千億七節　第九千億八節　第九千億九節　第一兆節　第一兆一節　第一兆二節　第一兆三節　第一兆四節　第一兆五節　第一兆六節　第一兆七節　第一兆八節　第一兆九節　第二兆節　第二兆一節　第二兆二節　第二兆三節　第二兆四節　第二兆五節　第二兆六節　第二兆七節　第二兆八節　第二兆九節　第三兆節　第三兆一節　第三兆二節　第三兆三節　第三兆四節　第三兆五節　第三兆六節　第三兆七節　第三兆八節　第三兆九節　第四兆節　第四兆一節　第四兆二節　第四兆三節　第四兆四節　第四兆五節　第四兆六節　第四兆七節　第四兆八節　第四兆九節　第五兆節　第五兆一節　第五兆二節　第五兆三節　第五兆四節　第五兆五節　第五兆六節　第五兆七節　第五兆八節　第五兆九節　第六兆節　第六兆一節　第六兆二節　第六兆三節　第六兆四節　第六兆五節　第六兆六節　第六兆七節　第六兆八節　第六兆九節　第七兆節　第七兆一節　第七兆二節　第七兆三節　第七兆四節　第七兆五節　第七兆六節　第七兆七節　第七兆八節　第七兆九節　第八兆節　第八兆一節　第八兆二節　第八兆三節　第八兆四節　第八兆五節　第八兆六節　第八兆七節　第八兆八節　第八兆九節　第九兆節　第九兆一節　第九兆二節　第九兆三節　第九兆四節　第九兆五節　第九兆六節　第九兆七節　第九兆八節　第九兆九節　第十兆節　第十兆一節　第十兆二節　第十兆三節　第十兆四節　第十兆五節　第十兆六節　第十兆七節　第十兆八節　第十兆九節　第二十兆節　第二十兆一節　第二十兆二節　第二十兆三節　第二十兆四節　第二十兆五節　第二十兆六節　第二十兆七節　第二十兆八節　第二十兆九節　第三十

甲號表

學科目	修身	公民科	國語	外國語	歷史	地理	數學	理科及家事	圖畫	唱歌	體操	實業	計
第一學年	二	一	五	三	二	二	二	三	一	一	三	一	二六
第二學年	二	一	五	三	二	二	二	三	一	一	三	一	二六
第三學年	二	一	五	三	二	二	二	三	一	一	三	一	二六
第四學年	二	一	五	三	二	二	三	三	一	一	三	一	二九

第三條　第一項乃至第七項ノ規定ハ實科ニ關シ之ヲ準用ス

第三條　第一項ノ規定ニ依リ修業年限ヲ四年トスル場合ニ於テハ第一學年ニ於テ修ムヘキ教科目ノ毎週教授時數ハ前項ノ規定ニ拘ラス三十二時ヲ超エサルモノトス

第三條　第一項ノ規定ニ依リ修業年限ヲ四年トスル場合ニ於テハ第一學年ニ於テ修ムヘキ教科目ノ毎週教授時數ハ第一

第三十八條　補習科ノ學科目ハ第十一條又ハ第三十五條ノ學科目中ニ就キ之ヲ定ムヘシ

補習科ノ各學科目ハ之ヲ隨意科目又ハ選擇科目トシ又スコトヲ得

補習科ノ毎週教授時數ハ總計ハ三十時ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十九條　教科書ハ朝鮮總督又ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ道知事ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム但シ朝鮮總督又ハ文部大臣ノ檢定ヲ經サル教科書ヲ使用セシムル必要アルトキハ道知事ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ一時其ノ使用ヲ認可スルコトヲ得

朝鮮總督府ニ於テ編纂シタル高等女學校教科書アルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス之ヲ使用セシムヘシ

第四十條　道知事前條第一項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ都度教科書ノ名稱、巻冊ノ記號、使用セムトスル學年、著譯者及發行者ノ氏名、發行年月日ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スヘシ

第四十一條　學年、學期、教授日數及式日ハ朝鮮總督府ニ於テ編纂シタル高等女學校教科書アルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス之ヲ使用セシムヘシ

第四十條　道知事前條第一項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ都度教科書ノ名稱、巻冊ノ記號、使用セムトスル學年、著譯者及發行者ノ氏名、發行年月日ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スヘシ

第四十一條　學年、學期、教授日數及式日ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

補習科ニ關シテハ前二項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第四十二條　教授日數ハ每學年二百日以上トス但シ次條ノ場合及特別ノ事情ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第四十三條　傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變災アルトキハ學校長ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ臨時休業ヲ爲スヘシ其ノ急迫ノ事情アリテ認可ヲ受クル暇ナキトキハ學校長ニ於テ臨時休業ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ遲滯ナク之ヲ監督官廳ニ届出ツヘシ

前項ノ事由アルトキハ監督官廳ハ臨時休業ヲ命スルコトヲ得

第四十四條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第五章　編制

第四十五條　高等女學校ノ生徒數ハ八百人以下トス但シ特別ノ事情アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ增スコトヲ得

高等科ノ生徒數ハ四百八十人以下トス

第四十六條　學級ハ同學科同學年ノ生徒ヲ以テ之ヲ編制スヘシ但シ實科ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

一學級ノ生徒數ハ五十人以下トス但シ高等科及專攻科ニ在リテハ四十人以下トス

第四十七條　音樂又ハ唱歌、體操、隨意科目及選擇科目ハ教授上支障ナキ場合ニ限リ學科、學年又ハ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第六章　設備

第四十八條　高等女學校ニ於テハ校地、校令、運動場及校具ヲ備フヘシ

體操場及校具ヲ備フヘシ

道地方費立高等女學校ニ於テハ前項ノ外成ルヘク寄宿舍ヲ備フヘシ

第四十九條　校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ教育上及衞生上害ナキ所タルヘシ

第五十條　校令ハ教授上、管理上並衞生上適當ニシテ實科歷史ニ關シ修業年限四年ノ高等女學校ノ生徒數ハ第一項ノ生徒數ニ算入セス

第五十一條　校具ハ圖書、器械、器具、標本、模型及表簿等トス

第五十二條　高等女學校ニ於テ備フヘキ表簿ノ種類左ノ如シ

一　學則、日課表、教科書配當表及學校暨視察簿

二　職員ノ名簿、履歷書、出勤簿並擔任學科目及時間表

三　生徒ノ學籍簿、出席簿及身體檢査ニ關スル表

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書、器械、器具、標本、模型ノ目錄

六　往復書類

前項ノ表簿中學籍簿ハ十年以上其ノ他ノ表簿ハ五年以上之ヲ保存スヘシ

高等女學校ヲ廢止シタルトキハ三十日以內ニ學籍簿ヲ監督官廳ニ提出スヘシ監督官廳ノ命ニ依リ高等女學校ヲ閉鎖シタルトキ亦同シ

前項ノ學籍簿ハ十年以上之ヲ保存スルモノトス

第五十三條　土地ノ情況ニ依リ學校長、舍監及教員ノ住宅ヲ設ケヘシ

第五十四條　高等女學校ノ校令又ハ寄宿舍ノ新築、增築、改築又ハ校地ノ擴張若ハ縮小ハ道地方費立高等女學校ニ在リテハ關面ヲ具シ朝鮮總督ニ届出ツヘク其ノ他ノ高等女學校ニ在リテハ關面ヲ具シ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ニ依リ道知事ニ於テ認可ヲ爲シタルトキハ關面ヲ具シ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第七章　入學、在學、退學及懲戒

第五十五條　生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以內トス但シ缺員アルトキハ第二學期ノ始ヨリ十日以內ニ臨時入學セシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ補習科ノ生徒入學ニ關シテハ之ヲ適用セス

第五十六條　高等女學校第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ尋常小學校卒業シタル者又ハ年齡十二年以上ニシテ國語、算術、國史、地理、理科ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ高等女學校ノ生徒數ニ算入セス

本令ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則（昭和七年三月總令第二十四號）

本令ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

街、園史、地理、理科、農業ニ就キ高等小學校第一學年修了程度ニ依リ高等女學校ニ於テ之ヲ送付スヘシ

本令施行ノ際高等女學校ニ現ニ在學スル生徒ハ試驗ヲ用ヰスシテ之ヲ本令ニ依ル當該高等女學校ノ相當學年ニ編入スヘシ

附則（昭和二年三月總令第十九號）

本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則（昭和七年三月總令第二十四號）

本令ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第九款　中學校

●中學校令

明治三十二年二月勅令第二十八號

改正　明治四〇年七第二〇四號、大正八年二第二一號

第一條　中學校ハ男子ニ須要ナル高等普通教育ヲ爲スヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ養成ニ力ムヘキモノトス

第二條　北海道及府縣ニ於テハ土地ノ情況ニ應シ一箇以上ノ中學校ヲ設置スヘシ

文部大臣ハ必要ト認ムル場合ニ於テ北海道及府縣ニ中學校ノ增設ヲ命スルコトヲ得

第三條　前條ノ中學校ノ經費ハ北海道地方費又ハ府縣（北海道ニ在リテハ廳ノ所在スル市町村ヲ含ム）都市町村學校組合及町村學校組合ノ土地ノ情況ニ依リ須要ニシテ其ノ區域內小學教育ノ施設上妨ナキ場合ニ限リ中學校ヲ設置スルコトヲ得

第四條　私人ハ本令ノ規定ニ依リ中學校ヲ設置スルコトヲ得

第五條　土地ノ情況ニ依リ中學校ノ分校ヲ必要トスルトキハ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ設置スルコトヲ得但シ一校ニ付一分校ニ限ル

第六條　中學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

第七條　中學校ノ設置廢止ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條　公立中學校ノ位置ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ地方長官之ヲ定ム

第九條　中學校ノ修業年限ハ五年トス

中學校ニハ補習科ヲ置クコトヲ得

中學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得

補習科及豫科ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條　中學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校豫科ヲ修了シタル者、尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者タルヘシ

第十一條　中學校ノ學科及其ノ程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條　中學校ノ教科書ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ地方長官ノ認可ヲ經テ學校長之ヲ定ム但シ文部大臣ノ檢定ヲ經サル教科書ヲ使用スル必要アルトキハ地方長官ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ一時其ノ使用ヲ認可スルコトヲ得

中學校教科書ノ檢定ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十三條　中學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル教員免許狀ヲ有スル者タルヘシ但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ本文ノ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

中學校教員免許狀ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十四條　削除

第十五條　中學校ノ編制及設備ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十六條　公立中學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

附則

第十七條　本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮公立高等女學校規則ハ之ヲ廢止ス

第十八條　本令施行ノ際現ニ存スル高等女學校ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ三年以內ニ本令ニ依リ認可ヲ受クヘキ事項ハ本令施行ノ際ニ限リ之ヲ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第八條　公立中學校ノ位置ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ地方長官之ヲ定ム

第九條　中學校ノ修業年限ハ五年トス

中學校ニハ補習科ヲ置クコトヲ得

中學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得但シ豫科ニ在リテハ四十人以下トス

第十條　中學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校豫科ヲ修了シタル者、尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ニ於テ指定シタル者

第十一條　中學校ノ學科及其ノ程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條　中學校ノ教科書ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ地方長官ノ認可ヲ經テ學校長之ヲ定ム但シ文部大臣ノ檢定ヲ經サル教科書ヲ使用スル必要アルトキハ地方長官ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ一時其ノ使用ヲ認可スルコトヲ得

中學校教科書ノ檢定ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十三條　中學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル教員免許狀ヲ有スル者タルヘシ但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ本文ノ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

中學校教員免許狀ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十四條　削除

第十五條　中學校ノ編制及設備ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十六條　公立中學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

附則

第十七條　本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮公立高等女學校規則ハ之ヲ廢止ス

第十八條　本令施行ノ際現ニ存スル高等女學校ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ三年以內ニ本令ニ依リ認可ヲ受クヘキ事項ハ本令施行ノ際ニ限リ之ヲ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

部大臣之ヲ定ム

附　則

第十九條　本令ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

第二十條　既設ノ尋常中學校分校ニシテ第六條ノ制限ニ超過スルモノハ文部大臣ノ認可ヲ經テ本令施行ノ日ヨリ五箇年以内存置スルコトヲ得

第二十一條　明治十九年勅令第十五號中學校令第十二條ニ依リ設置シタル農業工業商業等ノ專修科ハ本令施行ノ日ニ於テ現ニ在學スル生徒ノ卒業スル迄之ヲ存置スルコトヲ得

第二十二條　既設ノ公私立尋常中學校ハ本令施行ノ日ヨリ中學校ト改稱ス

他ノ法令中尋常中學校トアルハ本令施行ノ日ヨリ當然中學校ト看做ス

附　則（明治四十年七月勅令第二百八十號）

本令ハ明治四十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十條ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

修業年限四箇年ノ尋常小學校ノ課程ヲ卒リタル者ノ入學ニ付テハ第十條施行後ト雖仍從前ノ例ニ依ル

●中學校規程

大正十一年二月
總令第十三號

改正　大正一五年四月第二八號、昭和二年三月第一七號、二年一二月第二二號、五年九月第七四號、六年一月第一號、六年四月第三三號、七年一月第二號

中學校規程左ノ通定ム

中學校規程

第一章　總則

第一條　中學校ハ男子ニ須要ナル高等普通教育ヲ施スヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ養成ニ力ムヘキモノトス

第二條　本令ノ規定ニ依ラサル學校ハ中學校ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ中學校タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ヰルコトヲ得ス

第三條　中學校ノ設立、廢止ハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第二章　設立及廢止

第四條　中學校ハ道地方費、府縣又ハ學校組合ノ負擔又ハ私人ノ費用ヲ以テ設立スルコトヲ得

道地方費、府縣又ハ學校組合ノ負擔ヲ以テ設立スルモノヲ公立中學校トシ私人ノ費用ヲ以テ設立スルモノヲ私立中學校トス

第五條　中學校ヲ設立セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

一　名稱、位置

二　各學科ノ生徒定員、學級數

三　開校年月日

四　學則

五　校地、校舍、寄宿舍等ノ平面圖（坪數及現況ヲ記入スヘシ）及飲料水ノ定性分析表

六　一年ノ收支概算（初年度ニ於ケル設備ニ關スル分ニ付テハ其ノ詳細ヲ記載スヘシ）

七　維持方法

第六條　中學校ニ於テ前條第一號、第二號、第四號又ハ第七號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第三號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第七條　學則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一　補習科ヲ設クル場合ニ於テハ其ノ修業年限

二　休業日ニ關スル事項

三　學科課程教授時數ニ關スル事項

四　課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項

五　入學、退學、懲戒ニ關スル事項

六　授業料、入學料等ニ關スル事項

七　寄宿舍ニ關スル事項

八　前各號ノ外學校ニ於テ必要トスル事項

第八條　中學校ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三章　修業年限學科及其ノ程度

第九條　中學校ノ修業年限ハ五年トス

中學校ニハ修業年限一年以下ノ補習科ヲ置クコトヲ得

中學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ修業年限二年ノ豫科ヲ置クコトヲ得

第十條　中學校ノ學科目ハ修身、公民科、國語、漢文、外國語、歷史、地理、數學、理科、實業、圖書、音樂、體操トス

前項ノ學科目ノ外朝鮮語ヲ加フルコトヲ得

外國語ハ英語、獨語、佛語又ハ支那語トス

音樂ハ當分ノ內之ヲ缺クコトヲ得

朝鮮語ハ之ヲ隨意科目トシ爲スコトヲ得

第十一條　中學校ニ於テハ教授上特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　國民道德ノ養成ニ關聯セル事項ハ何レノ學科目ニ於テモ常ニ深ク之ニ留意セムコトヲ要ス

二　生徒ノ德性ヲ涵養シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ進ムテ社會ニ奉仕スルノ念ヲ厚クシ同胞輯睦ノ美風ヲ養ハムコトヲ期シ何レノ學科目ニ於テモ常ニ深ク之ニ留意セムコトヲ要ス

三　知識技能ハ生徒將來ノ生活上適切ナル事項ヲ選ヒテ之ヲ授ケ又成ルヘク個人ノ特性ニ留意セムコトヲ要ス

四　生徒ノ身體ヲ健全ニ發達セシメムコトヲ期シ何レノ學科目ニ於テモ其ノ教授ハ生徒ノ心身發達ノ程度ニ副ハシメムコトヲ要ス

五　各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益セムコトヲ要ス

第十二條　修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ道德上ノ思想及情操ヲ養成シ中等以上ノ社會ニ於ケル男子ニ必要ナル品格ヲ具ヘシメムコトヲ期シ實踐躬行ヲ勸奬スルヲ以テ要旨トス

修身ハ道德ノ要領ヲ授ケ國家、社會及家族ニ對スル責務並人格修養ニ關シ必要ナル事項ヲ知ラシメ特ニ我國道德ノ特質ヲ悟ラシムヘシ

第十二條ノ二　公民科ハ國民ノ公民的生活ヲ完カスルニ足ルヘキ智德ヲ涵養シ殊ニ遵法共ノ爲ニ奉仕シ協同シテ事ニ當ルノ氣風ヲ養成シ以テ健全ナル國民タルノ素地ヲ育成スルヲ以テ要旨トス

第十三條　國語ハ國民道德ノ涵養ニ關スル知識技能ヲ得シメ兼ネテ實業ニ對スル趣味ト勤勞ヲ重ムスルノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

實業ハ農業、工業及商業ノ大要ヲ授ケ成ルヘク實習ヲ課スヘシ尙土地ノ情況ニ應シ適切ナル事項ニ關シテハ更ニ之ヲ精深ナラシムヘシ

第十二條　國語ハ物體ヲ精密ニ觀察シ正確且自由ニ之ヲ寫ノ能ヲ得シメ愛護ノ念ヲ養フヲ以テ要旨トス

圖畫ハ自在畫及用器畫トシ自在畫ニ於テハ寫生畫ヲ主トシ臨畫ヲ加ヘ又時時自己ノ考案ヲ以テ畫カシメ用器畫ニ於テハ幾何畫ヲ授クヘシ

第二十三條　音樂ハ歌曲ヲ唱フコトヲ得シメ美感ヲ養ヒ心情ヲ高潔ニシ兼ネテ德性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

音樂ハ單音唱歌及簡易ナル重音唱歌ヲ授ケ又樂典ノ大要ヲ授クヘシ

第二十四條　體操ハ身體ノ各部ヲ生理的ニ發育セシメ身體ヲ强健ナラシメ動作ヲ機敏ナラシメ快活剛毅堅忍持久ノ精神ト規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

體操ハ體操、教練、遊戲及競技ヲ授クヘシ又劍道及柔道ヲ加フルコトヲ得

第二十五條　朝鮮語ハ普通ノ言語、文章ヲ了解シ日常ノ應對ヲ爲シ用務ヲ辨スルノ能ヲ得シムルヲ以テ要旨トス

朝鮮語ハ諺文ヨリ始メテ漢字交リ文ヲ講讀

第十六條　理科ハ天然物及自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ人生ニ對スル關係及之カ應用ヲ理解セシメ觀察及工夫ノ力ヲ養フヲ以テ要旨トス

理科ハ日常生活ニ關スル事項ノ理科的說明ヨリ始メ進ミテハ重要ナル植物、動物及鑛物ニ關スル一般ノ知識、人體ノ構造、生理及衛生ノ大要竝ニ重要ナル物理上及化學上ノ現象及定律、機械ノ構造及作用、元素及化合物ニ關スル知識ヲ授クヘシ

第十九條　削除

第二十條　削除

第二十一條　實業ハ實業ニ關スル知識技能ヲ得シメ兼ネテ實業ニ對スル趣味ト勤勞ヲ重ムスルノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

實業ハ農業、工業及商業ノ大要ヲ授ケ成ルヘク實習ヲ課スヘシ尙土地ノ情況ニ應シ適切ナル事項ニ關シテハ更ニ之ヲ精深ナラシムヘシ

第二十二條　圖畫ハ物體ヲ精密ニ觀察シ正確且自由ニ之ヲ寫ノ能ヲ得シメ愛護ノ念ヲ養フヲ以テ要旨トス

圖畫ハ自在畫及用器畫トシ自在畫ニ於テハ寫生畫ヲ主トシ臨畫ヲ加ヘ又時時自己ノ考案ヲ以テ畫カシメ用器畫ニ於テハ幾何畫ヲ授クヘシ

第二十三條　音樂ハ歌曲ヲ唱フコトヲ得シメ美感ヲ養ヒ心情ヲ高潔ニシ兼ネテ德性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

音樂ハ單音唱歌及簡易ナル重音唱歌ヲ授ケ又樂典ノ大要ヲ授クヘシ

第二十四條　體操ハ身體ノ各部ヲ生理的ニ發育セシメ身體ヲ强健ナラシメ動作ヲ機敏ナラシメ快活剛毅堅忍持久ノ精神ト規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

體操ハ體操、教練、遊戲及競技ヲ授クヘシ又劍道及柔道ヲ加フルコトヲ得

第二十五條　朝鮮語ハ普通ノ言語、文章ヲ了解シ日常ノ應對ヲ爲シ用務ヲ辨スルノ能ヲ得シムルヲ以テ要旨トス

朝鮮語ハ諺文ヨリ始メテ漢字交リ文ヲ講讀

セシメ又言語ノ使用ニ稔熟セシメ實用ニ適スル文ヲ作ラシムヘシ

第二十六條　各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	一	一	一	一	一
公民科					二
國語　漢文	七	六	五	五	五
外國語	六	六	六	五	五
朝鮮語	三	二	二	一	一
歷史			三	三	三
地理	三	三			
數學	三	三	三	五	五
理科	二	三	三	四	四
實業	二	二	二	三	三
圖畫	一	一	一	一	一
音樂	一	一	一	一	一
體操	五	五	五	五	五
計	三四	三四	三四	三四	三四

體操ハ前表ノ教授時數ヲ適宜增加シテ之ヲ課スルコトヲ得

學校長ハ季節ニ依リ各學科目ノ一學年間ニ於ケル教授時數ノ總計ヲ增減セサル範圍內ニ於テ每週教授時數ヲ變更スルコトヲ得

第二十七條　補習科ノ學科目ハ第十條ノ學科目中ニ就キ之ヲ定ムヘシ

補習科ノ各學科目ハ隨意科目又ハ選擇科目トス爲スコトヲ得

第二十八條　豫科ノ學科目、教授上ノ注意、各學科目ノ要旨及其ノ程度竝每週教授時數ニ關シテハ小學校規程第十二條、第十五條乃至第二十四條、第二十六條乃至第二十八條、實業ノ實習ハ前表ノ教授時數外ニ於テ之ヲ課スルコトヲ得

特別ノ事情アル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ生徒ノ全部又ハ一部ニ對シ修身及體操ヲ除キ前表各學科目ノ每週教授時數ヲ彼此增減シテ之ヲ課スルコトヲ得但シ一學科目ノ每週教授時數ハ二時以上ヲ增加スルコトヲ得ス

音樂ヲ缺キタル學校ニ於テハ其ノ每週教授時數ハ便宜他ノ學科目ニ配當スヘシ

朝鮮語ヲ加ヘサル學校ニ於テハ其ノ第四學年及第五學年ノ每週教授時數ヲ當該學年ノ他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第三十條及第三十二條ノ規定ヲ準用スル前項ノ學科目ノ外外國語ヲ加フルコトヲ得

外國語ハ簡易ナル英語、獨語、佛語又ハ支那語トス

外國語ノ每週教授時數ハ三時トシ國語、圖畫及唱歌ノ每週教授時數各一時ヲ減シテ之ニ充ツヘシ

第二十九條　中學校ノ教科書ハ朝鮮總督又ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ官立學校ニ在リテハ學校長之ヲ定メ公立又ハ私立ノ學校ニ在リテハ道知事ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定メ但シ朝鮮總督又ハ文部大臣ノ檢定ヲ經サル教科書ヲ使用セシムル必要アルトキハ朝鮮總督又ハ文部大臣ノ檢定ヲ經サル教科書ヲ使用セシメ公立又ハ私立ノ學校ニ在リテハ道知事ノ認可ヲ受ケ一時其ノ使用ヲ認可スルコトヲ得

朝鮮總督府ニ於テ編纂シタル中學校教科書ニ在リテハ學校長、公立又ハ私立ノ學校ニ在リテハ道知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第三十一條　第二十九條第一項又ハ第三十條ノ規定ニ依リ官立學校長ニ於テ教科書ヲ定メタルトキハ其ノ都度其ノ圖書ノ名稱、卷冊ノ記號、使用スル學年、著譯者及發行者ノ氏名、發行年月日、檢定ノ年月日ヲ具シ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十條　豫科ノ教科書ニ關シテハ小學校規程第六十五條ノ規定ヲ準用ス但シ同條中道知事トアルハ官立ノ學校ニ在リテハ學校長トス

特別ノ事情アルトキハ官立ノ學校ニ在リテハ學校長、公立又ハ私立ノ學校ニ在リテハ道知事ニ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第三十條　豫科ノ教科書ニ關シテハ小學校規程第六十五條ノ規定ヲ準用ス但シ同條中道知事トアルハ官立ノ學校ニ在リテハ學校長トス

特別ノ事情アルトキハ官立ノ學校ニ在リテハ學校長、公立又ハ私立ノ學校ニ在リテハ道知事ニ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第三十一條　第二十九條第一項又ハ第三十條ノ規定ニ依リ官立學校長ニ於テ教科書ヲ定メタルトキハ其ノ都度其ノ圖書ノ名稱、卷冊ノ記號、使用スル學年、著譯者及發行者ノ氏名、發行年月日、檢定ノ年月日ヲ具シ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十二條　豫科ノ教科書ニ關シテハ小學校規程第六十五條ノ規定ヲ準用ス但シ同條中道知事トアルハ官立ノ學校ニ在リテハ學校長トス

特別ノ事情アルトキハ官立ノ學校ニ在リテハ學校長、公立又ハ私立ノ學校ニ在リテハ道知事ニ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

ニ關シテハ中學校令ノ規定ヲ適用セス

第二章　設立及廢止

第四條　中學校ハ道地方費、府縣又ハ學校組合ノ負擔又ハ私人ノ費用ヲ以テ設立スルコトヲ得

道地方費、府縣又ハ學校組合ノ負擔ヲ以テ設立スルモノヲ公立中學校トシ私人ノ費用ヲ以テ設立スルモノヲ私立中學校トス

第五條　中學校ヲ設立セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

一　名稱、位置

二　各學科ノ生徒定員、學級數

三　開校年月日

四　學則

五　校地、校舍、寄宿舍等ノ平面圖（坪數及現況ヲ記入スヘシ）及飲料水ノ定性分析表

六　一年ノ收支概算（初年度ニ於ケル設備ニ關スル分ニ付テハ其ノ詳細ヲ記載スヘシ）

七　維持方法

第六條　中學校ニ於テ前條第一號、第二號、第四號又ハ第七號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第三號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第七條　學則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一　補習科ヲ設クル場合ニ於テハ其ノ修業年限

二　休業日ニ關スル事項

三　學科課程教授時數ニ關スル事項

四　課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項

五　入學、退學、懲戒ニ關スル事項

六　授業料、入學料等ニ關スル事項

七　寄宿舍ニ關スル事項

八　前各號ノ外學校ニ於テ必要トスル事項

第八條　中學校ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三章　修業年限學科及其ノ程度

第九條　中學校ノ修業年限ハ五年トス

中學校ニハ修業年限一年以下ノ補習科ヲ置クコトヲ得

中學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ修業年限二年ノ豫科ヲ置クコトヲ得

第十條　中學校ノ學科目ハ修身、公民科、國語、漢文、外國語、歷史、地理、數學、理科、實業、圖書、音樂、體操トス

前項ノ學科目ノ外朝鮮語ヲ加フルコトヲ得

外國語ハ英語、獨語、佛語又ハ支那語トス

音樂ハ當分ノ內之ヲ缺クコトヲ得

朝鮮語ハ之ヲ隨意科目トス爲スコトヲ得

第十一條　中學校ニ於テハ教授上特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　國民道德ノ養成ニ關聯セル事項ハ何レノ學科目ニ於テモ常ニ深ク之ニ留意セムコトヲ要ス

二　生徒ノ德性ヲ涵養シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ進ムテ社會ニ奉仕スルノ念ヲ厚クシ同胞輯睦ノ美風ヲ養ハムコトヲ期シ何レノ學科目ニ於テモ常ニ深ク之ニ留意セムコトヲ要ス

三　知識技能ハ生徒將來ノ生活上適切ナル事項ヲ選ヒテ之ヲ授ケ又成ルヘク個人ノ特性ニ留意セムコトヲ要ス

四　生徒ノ身體ヲ健全ニ發達セシメムコトヲ期シ何レノ學科目ニ於テモ其ノ教授ハ生徒ノ心身發達ノ程度ニ副ハシメムコトヲ要ス

五　各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益セムコトヲ要ス

第十二條　修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ道德上ノ思想及情操ヲ養成シ中等以上ノ社會ニ於ケル男子ニ必要ナル品格ヲ具ヘシメムコトヲ期シ實踐躬行ヲ勸奬スルヲ以テ要旨トス

修身ハ道德ノ要領ヲ授ケ國家、社會及家族ニ對スル責務並人格修養ニ關シ必要ナル事項ヲ知ラシメ特ニ我國道德ノ特質ヲ悟ラシムヘシ

第十二條ノ二　公民科ハ國民ノ公民的生活ヲ完カスルニ足ルヘキ智德ヲ涵養シ殊ニ遵法共ノ爲ニ奉仕シ協同シテ事ニ當ルノ氣風ヲ養成シ以テ健全ナル國民タルノ素地ヲ育成スルヲ以テ要旨トス

第十三條　國語ハ國民道德ノ涵養ニ關スル知識技能ヲ得シメ兼ネテ實業ニ對スル趣味ト勤勞ヲ重ムスルノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

實業ハ農業、工業及商業ノ大要ヲ授ケ成ルヘク實習ヲ課スヘシ尙土地ノ情況ニ應シ適切ナル事項ニ關シテハ更ニ之ヲ精深ナラシムヘシ

第十四條　地理ハ地球ノ形狀、運動並地球表面及人類生活ノ狀態ヲ理會セシメ我國及諸外國ノ國勢ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ日本地理竝我國ト重要ノ關係アル諸外國ノ地理ノ大要ヲ知ラシメ又地文ノ一斑ヲ授クヘシ

第十五條　歷史ハ歷史上重要ナル事蹟ヲ知ラシメ社會ノ變遷、邦國盛衰ノ由ル所ヲ理會セシメ特ニ我國ノ發達ヲ詳ニシ國體ノ特異ナル所以ヲ明ニシ兼ネテ國民性格ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

歷史ハ日本歷史及外國歷史トシ日本歷史ニ於テハ國初ヨリ現時ニ至ル竝ニ重要ナル事蹟ヲ授ケ外國歷史ニ於テハ世界大勢ノ變遷ニ關スル事蹟ヲ主トシ著明ナル諸國ノ興亡、人文ノ發達及我國ノ文化ニ關係アル事項ノ大要ヲ知ラシムヘシ

第十六條　地理ハ地球ノ形狀、運動並地球表面及人類生活ノ狀態ヲ理會セシメ我國及諸外國ノ國勢ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ日本地理竝我國ト重要ノ關係アル諸外國ノ地理ノ大要ヲ知ラシメ又地文ノ一斑ヲ授クヘシ

第十七條　數學ハ數量ニ關スル知識ヲ與ヘ計算ニ習熟セシメ應用ヲ自在ナラシメ兼ネテ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ算術、代數及幾何ヲ授ケ又三角法ヲ授クルコトアルヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

トスル學年、著譯者及發行者ノ氏名、發行年月日ヲ具シテ申請スヘシ

第三十二條　生徒ノ轉學ハ其ノ事情ニ依リ學習スルコト能ハリル學科目ハ之ヲ其ノ生徒ニ課セサルコトヲ得

第四章　學年、學期、教授日數及休日

第三十三條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

補習科ニ關シテハ前二項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第三十四條　教授日數ハ豫科及第一學年乃至第三學年ニ在リテハ每年二百二十日以上トシ第四學年及第五學年ニ在リテハ二百日以上トス但シ次條ノ場合及特別ノ事情ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第三十五條　傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變異アルトキハ學校長ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ臨時休業ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ遲滯ナク之ヲ監督官廳ニ届出ツヘシ

前項ノ事由アルトキハ監督官廳ハ臨時休業ヲ命スルコトヲ得

第三十六條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第五章　編制

第三十七條　中學校ノ生徒數ハ八百人以下トス但シ特別ノ事情アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ增スコトヲ得

中學校ノ全學科ヲ卒業セリトノ認メタル者ニハ卒業證書、豫科ノ全學科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第五十六條　補習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者タルヘシ

補習科生徒ノ在學期間ハ中學校ヲ卒業シタル日ヨリ起算シ二年ヲ超ユルコトヲ得ス

補習科ヲ修了シ又ハ退學シタル者補習科ニ再入學スルトキハ其ノ修了又ハ退學前ニ於ケル補習科在學ノ期間ハ之ヲ前項ノ期間ニ算入ス

學校長ハ補習科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書ヲ授與スルコトヲ得

第五十七條　學校長ハ兵役ニ服スル生徒ニ對シテハ其ノ期間休學ヲ許可スヘシ

第五十八條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第五十九條　生徒退學セムトスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第六十條　學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第八章　授業料

第六十一條　公立中學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

公立中學校ニ於テハ特別ノ必要アル場合ニ生徒數及學級數ヲ參酌シテ之ヲ定ムヘシ

前項ノ生徒數及學級數ヲ以テ第一項ノ生徒數ニ算入セス

第三十八條　學級ハ同學科同學年ノ生徒ヲ以テ之ヲ編制スヘシ

一學級ノ生徒數ハ五十人以下トス

第二學年以上ニ於ケル各學年ノ學級數ハ第一學年ノ學級數ニ超過スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受クタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條　修身、實業、音樂及體操ハ學年又ハ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第六章　設備

第四十條　中學校ニ於テハ校地、校舍、寄宿舍、體操場及校具ヲ備フヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ寄宿舍ヲ設ケサルコトヲ得

第四十一條　校地、校舍及體操場ハ學校ノ規模ニ適應スルコトヲ要ス

校地ハ道德上及衞生上害ナキ所タルヘシ

校舍ハ教授上、管理上及衞生上適當ニシテ實用堅牢ナラムコトヲ要ス

第四十二條　校具ハ圖書、器械、器具、標本、模型及表簿等トス

第四十三條　中學校ニ於テ備フヘキ表簿ノ種類左ノ如シ

一　學則、日課表、教科書配當表及學校護視簿

二　職員ノ名簿、履歷書、出勤簿並擔任學科目及時間表

三　生徒ノ學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表及兵役ニ關スル書類

四　入學試驗及學年試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書、器械、器具、標本、模型ノ目錄

六　往復書類

學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學、退學ノ事由、兵役關係、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第一項ノ表簿中學籍簿ハ十五年以上其ノ他ノ表簿ハ五年以上之ヲ保存スヘシ

中學校ヲ廢止シタルトキハ三十日以內ニ生徒ノ學籍簿ヲ監督官廳ニ提出スヘシ監督官廳ノ命ニ依リ中學校ヲ閉鎖シタルトキ亦同シ

前項ノ學籍簿ハ十五年以上之ヲ保存スルモノトス

第四十四條　土地ノ情況ニ依リ學校長、令監及教員ノ住宅ヲ設クヘシ

第四十五條　公立又ハ私立ノ中學校ノ校舍又ハ寄宿舍ノ新築增築、若ハ改築又ハ校地ノ擴張若ハ縮小ハ道地方費立中學校ニ在リテハ圖面ヲ具シ朝鮮總督ニ届出ツヘシ其ノ他ノ中學校ニ在リテハ圖面ヲ具シ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ニ依リ道知事ニ於テ認可ヲ爲シタルトキハ圖面ヲ具シ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第七章　入學、在學、休學、退學及懲戒

第四十六條　生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ初ヨリ三十日以內ト但シ缺員アルトキハ第二學期ノ初ヨリ十日以內ニ臨時入學セシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ補習科ノ生徒入學ニ關シテハ之ヲ適用セス

第五學年ニハ轉學又ハ當該學年ニ於テ退學シタル者ノ再入學ヲ除クノ外新ニ生徒ノ入學ヲ許スコトヲ得ス

第四十七條　中學校第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校豫科ヲ修了シタル者、尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルヘシ

一　他ノ中學校又ハ高等學校ノ豫科ヲ修了シタル者

二　國語、算術、國史、地理、理科ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依ル試驗ニ合格シタル者

前項ノ試驗ヲ受ケルコトヲ得ル者ハ年齡十二年以上ノ者タルヘシ但シ尋常小學校若ハ修業年限六年ノ普通學校ノ第五學年ノ課程ヲ修了シ又ハ修業年限五年ノ普通學校ヲ卒業シ學業優秀且身體ノ發育十分ニシテ中學校ノ課程ヲ修ムルニ足ルコトヲ當該學校長ニ於テ認明シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條　豫科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ尋常小學校若ハ普通學校ノ第四學年ノ課程ヲ修了シタル者、修業年限四年ノ普通學校ヲ卒業シタル者又ハ年齡十年以上ニシテ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

第四十九條　當該中學校ノ豫科ヲ修了シタル者以外ノ第一學年入學志願者ノ數入學セシムヘキ人員ヲ超過スルトキハ試驗ニ依リテ入學者ヲ選拔スヘシ但シ尋常小學校ヲ卒業シタル者若ハ之ニ準スヘキ學校ヲ卒業シタル者又ハ第四十七條第一號ニ該當スル者ニシテ其ノ在學中ノ成績優良ト認メタルトキハ試驗ニ依ラシテ入學ヲ許可スルコトヲ得

第四十七條第二號ノ試驗ハ同一學科目ニ限リ前項ノ試驗ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第五十條　第二學年以上又ハ豫科第二學年ニ入學ヲ許スヘキ者ハ相當年齡ニ達シ前各學年ノ課程ヲ卒リタル者ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

前項ノ學力ハ前各學年ノ程度ニ於テ其ノ各學科目ニ就キ試驗ニ依リテ檢定スヘシ

第五十一條　中學校生徒ニシテ退學シタル者退學シタルトキヨリ一年以內ニ於テ其ノ中學校又ハ他ノ中學校ニ入學ヲ志願シタルトキハ原學年以下ノ學年ニ入學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ退學シタル中學校ニ再入學ヲ志願シタル者ニ限リ試驗ニ依ラサルコトヲ得

第五十二條　他ノ中學校又ハ高等普通學校ニ轉學ヲ志願スル生徒アルトキハ學校長ハ正當ノ事由アリト認メタル場合ニ限リ其ノ生徒ノ在學證明書及成績表ヲ轉學先學校ニ送付スヘシ

移轉先學校ニ於テハ缺員アル場合ニ限リ前項生徒ノ轉學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ轉學ヲ許可スル生徒ハ試

驗ヲ行ハスシテ同一學年ニ相當スル學級ニ入學ヲ許可スルコトヲ得

第五十三條　各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ

第五十四條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第五十五條　學校長ハ修業年限ノ終リニ於テ中學校ノ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書、豫科ノ全學科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第五十六條　補習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者タルヘシ

補習科生徒ノ在學期間ハ中學校ヲ卒業シタル日ヨリ起算シ二年ヲ超ユルコトヲ得ス

補習科ヲ修了シ又ハ退學シタル者補習科ニ再入學スルトキハ其ノ修了又ハ退學前ニ於ケル補習科在學ノ期間ハ之ヲ前項ノ期間ニ算入ス

學校長ハ補習科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書ヲ授與スルコトヲ得

第五十七條　學校長ハ兵役ニ服スル生徒ニ對シテハ其ノ期間休學ヲ許可スヘシ

第五十八條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第五十九條　生徒退學セムトスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第六十條　學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第八章　授業料

第六十一條　公立中學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

公立中學校ニ於テハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ入學若干ノ豫定數ヲ定ムヘシ

前項ノ豫定數ヲ以テ第一學年ニ編入スルコトヲ得

第三十八條　各學年ノ學科目ハ左ノ如シ

修身、國語、漢文、朝鮮語、歷史、地理、數學、理科、圖畫、體操

第一學年ニ於テハ前項ノ學科目ノ外ニ外國語ヲ加フ

第二學年以上ニ於テハ第一項ノ學科目ノ外ニ外國語、實業、音樂ヲ加フ

第三學年以上ニ於テハ第一項ノ學科目ノ外ニ外國語、實業、音樂、法制及經濟大意ヲ加フ

第三十九條　學科目ノ教授ニ當リテハ左ノ事項ニ注意シテ生徒ヲ教養スヘシ

一　國民道德ノ特質ヲ明ニシ國民タルノ志操ヲ鞏固ナラシメムコトヲ力ムヘシ

二　常ニ德性ノ涵養ニ留意シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ師表タルヘキ品格ヲ具ヘシメ又勤勞ヲ重ンスルノ精神ヲ振起シ進ムテ社會ニ奉仕スルノ念ヲ厚クシ同胞輯睦ノ美風ヲ養ハムコトヲ力ムヘシ

女生徒ニ在リテハ殊ニ貞淑ニシテ同情ニ富ミ勤儉ヲ尙フノ志操ヲ養ハムコトヲ要ス

三　國語ノ使用ヲ正確ニシ其ノ應用ヲ自在ナラシメムコトヲ期シ常ニ之カ熟達ニ留意セムコトヲ要ス

四　生徒及兒童ノ授業料

五　學級ノ編制

甲種尋常小學校ノ學級ハ同一學年ヲ以テ編成スルヲ原則トス

乙種尋常小學校ノ學級ハ同一學年ヲ以テ編成スルヲ原則トス但シ第一學年ノ學級ニ在リテハ第二學年ノ生徒ヲ合セ第二學年ノ學級ニ在リテハ第三學年ノ生徒ヲ合セ第三學年ノ學級ニ在リテハ第四學年ノ生徒ヲ合セ第四學年ノ學級ニ在リテハ第五學年ノ生徒ヲ合セ第五學年ノ學級ニ在リテハ第六學年ノ生徒ヲ合セ第六學年ノ學級ニ在リテハ第一學年ノ生徒ヲ合セ編制スルコトヲ得

第四十條　甲種尋常小學校ニ於テハ學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

乙種尋常小學校ニ於テハ學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

第一學期　四月一日ヨリ九月三十日ニ至ル

第二學期　十月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第四十一條　甲種尋常小學校ノ教授日數ハ二百二十日以上乙種尋常小學校ノ教授日數ハ二百日以上トス但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條　甲種尋常小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、國史、地理、理科、圖畫、唱歌、體操、實業及外國語トス

乙種尋常小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、國史、地理、理科、圖畫、唱歌、體操及實業トス

第四十三條　甲種尋常小學校ニ於テハ前條第一號乃至第四號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第五號乃至第七號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第四十四條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第四十五條　學校長ハ修業年限ノ終リニ於テ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

第四十六條　補習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者タルヘシ

補習科生徒ノ在學期間ハ中學校ヲ卒業シタル日ヨリ起算シ二年ヲ超ユルコトヲ得ス

補習科ヲ修了シ又ハ退學シタル者補習科ニ再入學スルトキハ其ノ修了又ハ退學前ニ於ケル補習科在學ノ期間ハ之ヲ前項ノ期間ニ算入ス

學校長ハ補習科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書ヲ授與スルコトヲ得

第四十七條　學校長ハ兵役ニ服スル生徒ニ對シテハ其ノ期間休學ヲ許可スヘシ

第四十八條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第四十九條　生徒退學セムトスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十條　學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第九章　授業料

第五十一條　公立中學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

公立中學校ニ於テハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ入學若干ノ豫定數ヲ定ムヘシ

前項ノ豫定數ヲ以テ第一學年ニ編入スルコトヲ得

第三十九條　各學年ノ學科目ハ左ノ如シ

修身、國語、漢文、朝鮮語、歷史、地理、數學、理科、圖畫、體操

第一學年ニ於テハ前項ノ學科目ノ外ニ外國語ヲ加フ

第二學年以上ニ於テハ第一項ノ學科目ノ外ニ外國語、實業、音樂ヲ加フ

第三學年以上ニ於テハ第一項ノ學科目ノ外ニ外國語、實業、音樂、法制及經濟大意ヲ加フ

第四十條　學科目ノ教授ニ當リテハ左ノ事項ニ注意シテ生徒ヲ教養スヘシ

一　國民道德ノ特質ヲ明ニシ國民タルノ志操ヲ鞏固ナラシメムコトヲ力ムヘシ

二　常ニ德性ノ涵養ニ留意シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ師表タルヘキ品格ヲ具ヘシメ又勤勞ヲ重ンスルノ精神ヲ振起シ進ムテ社會ニ奉仕スルノ念ヲ厚クシ同胞輯睦ノ美風ヲ養ハムコトヲ力ムヘシ

女生徒ニ在リテハ殊ニ貞淑ニシテ同情ニ富ミ勤儉ヲ尙フノ志操ヲ養ハムコトヲ要ス

三　國語ノ使用ヲ正確ニシ其ノ應用ヲ自在ナラシメムコトヲ期シ常ニ之カ熟達ニ留意セムコトヲ要ス

四　生徒及兒童ノ授業料

五　學級ノ編制

甲種尋常小學校ノ學級ハ同一學年ヲ以テ編成スルヲ原則トス但シ第一學年ノ學級ニ在リテハ第二學年ノ生徒ヲ合セ第二學年ノ學級ニ在リテハ第三學年ノ生徒ヲ合セ第三學年ノ學級ニ在リテハ第四學年ノ生徒ヲ合セ第四學年ノ學級ニ在リテハ第五學年ノ生徒ヲ合セ第五學年ノ學級ニ在リテハ第六學年ノ生徒ヲ合セ第六學年ノ學級ニ在リテハ第一學年ノ生徒ヲ合セ編制スルコトヲ得

第四十一條　甲種尋常小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

乙種尋常小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

第一學期　四月一日ヨリ九月三十日ニ至ル

第二學期　十月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第四十二條　甲種尋常小學校ノ教授日數ハ二百二十日以上乙種尋常小學校ノ教授日數ハ二百日以上トス但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　甲種尋常小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、國史、地理、理科、圖畫、唱歌、體操及實業トス

乙種尋常小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、國史、地理、理科、圖畫、唱歌、體操及實業トス

第四十四條　甲種尋常小學校ニ於テハ前條第一號乃至第四號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第五號乃至第七號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第四十五條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第四十六條　學校長ハ修業年限ノ終リニ於テ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書、豫科ノ全學科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第四十七條　補習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者タルヘシ

補習科生徒ノ在學期間ハ中學校ヲ卒業シタル日ヨリ起算シ二年ヲ超ユルコトヲ得ス

補習科ヲ修了シ又ハ退學シタル者補習科ニ再入學スルトキハ其ノ修了又ハ退學前ニ於ケル補習科在學ノ期間ハ之ヲ前項ノ期間ニ算入ス

學校長ハ補習科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書ヲ授與スルコトヲ得

第四十八條　學校長ハ兵役ニ服スル生徒ニ對シテハ其ノ期間休學ヲ許可スヘシ

第四十九條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第五十條　生徒退學セムトスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十一條　學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十章　授業料

第五十二條　公立中學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

公立中學校ニ於テハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ入學若干ノ豫定數ヲ定ムヘシ

前項ノ豫定數ヲ以テ第一學年ニ編入スルコトヲ得

第三十九條　各學年ノ學科目ハ左ノ如シ

修身、國語、漢文、朝鮮語、歷史、地理、數學、理科、圖畫、體操

第一學年ニ於テハ前項ノ學科目ノ外ニ外國語ヲ加フ

第二學年以上ニ於テハ第一項ノ學科目ノ外ニ外國語、實業、音樂ヲ加フ

第三學年以上ニ於テハ第一項ノ學科目ノ外ニ外國語、實業、音樂、法制及經濟大意ヲ加フ

第四十條　學科目ノ教授ニ當リテハ左ノ事項ニ注意シテ生徒ヲ教養スヘシ

一　國民道德ノ特質ヲ明ニシ國民タルノ志操ヲ鞏固ナラシメムコトヲ力ムヘシ

二　常ニ德性ノ涵養ニ留意シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ師表タルヘキ品格ヲ具ヘシメ又勤勞ヲ重ンスルノ精神ヲ振起シ進ムテ社會ニ奉仕スルノ念ヲ厚クシ同胞輯睦ノ美風ヲ養ハムコトヲ力ムヘシ

女生徒ニ在リテハ殊ニ貞淑ニシテ同情ニ富ミ勤儉ヲ尙フノ志操ヲ養ハムコトヲ要ス

三　國語ノ使用ヲ正確ニシ其ノ應用ヲ自在ナラシメムコトヲ期シ常ニ之カ熟達ニ留意セムコトヲ要ス

四　生徒及兒童ノ授業料

五　學級ノ編制

甲種尋常小學校ノ學級ハ同一學年ヲ以テ編成スルヲ原則トス但シ第一學年ノ學級ニ在リテハ第二學年ノ生徒ヲ合セ第二學年ノ學級ニ在リテハ第三學年ノ生徒ヲ合セ第三學年ノ學級ニ在リテハ第四學年ノ生徒ヲ合セ第四學年ノ學級ニ在リテハ第五學年ノ生徒ヲ合セ第五學年ノ學級ニ在リテハ第六學年ノ生徒ヲ合セ第六學年ノ學級ニ在リテハ第一學年ノ生徒ヲ合セ編制スルコトヲ得

第四十條　甲種尋常小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

乙種尋常小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

第一學期　四月一日ヨリ九月三十日ニ至ル

第二學期　十月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第四十一條　甲種尋常小學校ノ教授日數ハ二百二十日以上乙種尋常小學校ノ教授日數ハ二百日以上トス但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條　甲種尋常小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、國史、地理、理科、圖畫、唱歌、體操及實業トス

乙種尋常小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、國史、地理、理科、圖畫、唱歌、體操及實業トス

第四十三條　甲種尋常小學校ニ於テハ前條第一號乃至第四號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第五號乃至第七號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第四十四條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第四十五條　學校長ハ修業年限ノ終リニ於テ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書、豫科ノ全學科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第四十六條　補習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者タルヘシ

補習科生徒ノ在學期間ハ中學校ヲ卒業シタル日ヨリ起算シ二年ヲ超ユルコトヲ得ス

補習科ヲ修了シ又ハ退學シタル者補習科ニ再入學スルトキハ其ノ修了又ハ退學前ニ於ケル補習科在學ノ期間ハ之ヲ前項ノ期間ニ算入ス

學校長ハ補習科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書ヲ授與スルコトヲ得

第四十七條　學校長ハ兵役ニ服スル生徒ニ對シテハ其ノ期間休學ヲ許可スヘシ

第四十八條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第四十九條　生徒退學セムトスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十條　學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十章　授業料

第五十一條　公立中學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

公立中學校ニ於テハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ入學若干ノ豫定數ヲ定ムヘシ

前項ノ豫定數ヲ以テ第一學年ニ編入スルコトヲ得

第三十九條　各學年ノ學科目ハ左ノ如シ

修身、國語、漢文、朝鮮語、歷史、地理、數學、理科、圖畫、體操

第一學年ニ於テハ前項ノ學科目ノ外ニ外國語ヲ加フ

第二學年以上ニ於テハ第一項ノ學科目ノ外ニ外國語、實業、音樂ヲ加フ

第三學年以上ニ於テハ第一項ノ學科目ノ外ニ外國語、實業、音樂、法制及經濟大意ヲ加フ

第四十條　學科目ノ教授ニ當リテハ左ノ事項ニ注意シテ生徒ヲ教養スヘシ

一　國民道德ノ特質ヲ明ニシ國民タルノ志操ヲ鞏固ナラシメムコトヲ力ムヘシ

二　常ニ德性ノ涵養ニ留意シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ師表タルヘキ品格ヲ具ヘシメ又勤勞ヲ重ンスルノ精神ヲ振起シ進ムテ社會ニ奉仕スルノ念ヲ厚クシ同胞輯睦ノ美風ヲ養ハムコトヲ力ムヘシ

女生徒ニ在リテハ殊ニ貞淑ニシテ同情ニ富ミ勤儉ヲ尙フノ志操ヲ養ハムコトヲ要ス

三　國語ノ使用ヲ正確ニシ其ノ應用ヲ自在ナラシメムコトヲ期シ常ニ之カ熟達ニ留意セムコトヲ要ス

四　生徒及兒童ノ授業料

五　學級ノ編制

甲種尋常小學校ノ學級ハ同一學年ヲ以テ編成スルヲ原則トス但シ第一學年ノ學級ニ在リテハ第二學年ノ生徒ヲ合セ第二學年ノ學級ニ在リテハ第三學年ノ生徒ヲ合セ第三學年ノ學級ニ在リテハ第四學年ノ生徒ヲ合セ第四學年ノ學級ニ在リテハ第五學年ノ生徒ヲ合セ第五學年ノ學級ニ在リテハ第六學年ノ生徒ヲ合セ第六學年ノ學級ニ在リテハ第一學年ノ生徒ヲ合セ編制スルコトヲ得

第四十條　甲種尋常小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

乙種尋常小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

第一學期　四月一日ヨリ九月三十日ニ至ル

第二學期　十月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第四十一條　甲種尋常小學校ノ教授日數ハ二百二十日以上乙種尋常小學校ノ教授日數ハ二百日以上トス但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條　甲種尋常小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、國史、地理、理科、圖畫、唱歌、體操及實業トス

乙種尋常小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、國史、地理、理科、圖畫、唱歌、體操及實業トス

第四十三條　甲種尋常小學校ニ於テハ前條第一號乃至第四號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第五號乃至第七號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第四十四條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第四十五條　學校長ハ修業年限ノ終リニ於テ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書、豫科ノ全學科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第四十六條　補習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者タルヘシ

補習科生徒ノ在學期間ハ中學校ヲ卒業シタル日ヨリ起算シ二年ヲ超ユルコトヲ得ス

補習科ヲ修了シ又ハ退學シタル者補習科ニ再入學スルトキハ其ノ修了又ハ退學前ニ於ケル補習科在學ノ期間ハ之ヲ前項ノ期間ニ算入ス

學校長ハ補習科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書ヲ授與スルコトヲ得

第四十七條　學校長ハ兵役ニ服スル生徒ニ對シテハ其ノ期間休學ヲ許可スヘシ

第四十八條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第四十九條　生徒退學セムトスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十條　學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十章　授業料

第五十一條　公立中學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

公立中學校ニ於テハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ入學若干ノ豫定數ヲ定ムヘシ

前項ノ豫定數ヲ以テ第一學年ニ編入スルコトヲ得

第三十九條　各學年ノ學科目ハ左ノ如シ

修身、國語、漢文、朝鮮語、歷史、地理、數學、理科、圖畫、體操

第一學年ニ於テハ前項ノ學科目ノ外ニ外國語ヲ加フ

第二學年以上ニ於テハ第一項ノ學科目ノ外ニ外國語、實業、音樂ヲ加フ

第三學年以上ニ於テハ第一項ノ學科目ノ外ニ外國語、實業、音樂、法制及經濟大意ヲ加フ

第四十條　學科目ノ教授ニ當リテハ左ノ事項ニ注意シテ生徒ヲ教養スヘシ

一　國民道德ノ特質ヲ明ニシ國民タルノ志操ヲ鞏固ナラシメムコトヲ力ムヘシ

二　常ニ德性ノ涵養ニ留意シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ師表タルヘキ品格ヲ具ヘシメ又勤勞ヲ重ンスルノ精神ヲ振起シ進ムテ社會ニ奉仕スルノ念ヲ厚クシ同胞輯睦ノ美風ヲ養ハムコトヲ力ムヘシ

女生徒ニ在リテハ殊ニ貞淑ニシテ同情ニ富ミ勤儉ヲ尙フノ志操ヲ養ハムコトヲ要ス

三　國語ノ使用ヲ正確ニシ其ノ應用ヲ自在ナラシメムコトヲ期シ常ニ之カ熟達ニ留意セムコトヲ要ス

四　生徒及兒童ノ授業料

五　學級ノ編制

甲種尋常小學校ノ學級ハ同一學年ヲ以テ編成スルヲ原則トス但シ第一學年ノ學級ニ在リテハ第二學年ノ生徒ヲ合セ第二學年ノ學級ニ在リテハ第三學年ノ生徒ヲ合セ第三學年ノ學級ニ在リテハ第四學年ノ生徒ヲ合セ第四學年ノ學級ニ在リテハ第五學年ノ生徒ヲ合セ第五學年ノ學級ニ在リテハ第六學年ノ生徒ヲ合セ第六學年ノ學級ニ在リテハ第一學年ノ生徒ヲ合セ編制スルコトヲ得

第四十條　甲種尋常小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

乙種尋常小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

第一學期　四月一日ヨリ九月三十日ニ至ル

第二學期　十月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第四十一條　甲種尋常小學校ノ教授日數ハ二百二十日以上乙種尋常小學校ノ教授日數ハ二百日以上トス但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條　甲種尋常小學校ノ教科目

第一號表

教科目 ＼ 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	一	一	一	二	二
公民科	一	一	一	二	二
教育	一	一	一	二	二
國語	六	六	五	五	五
歷史	二	二	二	二	二
地理	二	二	二	二	二
數學	二	二	二	二	二
理科	三	三	三	四	四
農業	二	二	二	三	三
手工	二	二	二	二	二
圖畫	二	二	二	二	二
家事	二	二	二	二	二
裁縫	四	四	四	四	四
樂歌	二	二	二	二	二
體操	三	三	三	三	三
計	三六(三四)	三六(三四)	三六(三四)	三六(三四)	三六(三四)

同一欄中括弧ヲ甘セル時數ハ第二部ノ生徒ニ課スル時數トス

第二號表

教科目 ＼ 學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	一	一	一	二	二
公民科	一	一	一	二	二
教育	一	一	一	二	二
國語	六	六	五	五	五
朝鮮語及漢文	三(四)	三(四)	三(四)	二(三)	二(三)
歷史	二	二	二	二	二
地理	二	二	二	二	二
數學	二	二	二	二	二
理科	三	三	三	四	四
農業	二	二	二	三	三
手工	二	二	二	二	二
圖畫	二	二	二	二	二
家事	二	二	二	二	二
裁縫	四	四	四	四	四
樂歌	二	二	二	二	二
體操	三	三	三	三	三
計	三六(三四)	三六(三四)	三六(三四)	三六(三四)	三六(三四)

同一欄中括弧ヲ甘セル時數ハ第二部ノ生徒ニ課スル時數トス

第三號表

手岡	歷	數	地	歷	朝鮮語及漢文	國語	讀方	書取	綴	作文	習字	算術	理科	農業	手工	圖畫	唱歌	體操	修身	學科目	年
工業	四	三	地理	三	二（四）	四	六	一	二	三	二	三	二	三	二	三	二	三	二	第一學年	
	四	三	地理	三	二（四）	四	六	一	二	三	二	三	二	三	二	三	二	三	二	第二學年	

課同一欄中括弧ヲ附セル時數ハ第二部ノ生徒ニ課スル時數トス

計	總	操	帝	漢文ハ朝鮮語及漢文	家事	手工	圖畫	唱歌	體操	修身	學科目	年
三四（三六）	三四（三六）	二（四）	二	二	三	二	二	三	三	二	第一學年	
三四（三六）	三四（三六）	二（四）	二	二	三	二	二	三	三	二	第二學年	

第三號表

| 修 | 學科目 | 年 | 修身 | 公民 | 科 | 歷史 | 地理 | 數 | 理科 | 農業 | 手工 | 圖畫 | 唱歌 | 體操 | 朝鮮語及漢文ハ | 國語 | 漢文 | 讀方 | 書取 | 綴 | 作文 | 習字 | 算術 | 歷史 | 地理 | 數 | 理科 | 農業 | 家事

第十五編　第一章　第十五條　第十六條　第十七條　第十八條　第十九條　第二十條　第二十一條　第二十二條　第二十三條　第二十四條　第二十五條　第二十六條　第二十七條　第二十八條　第二十九條　第三十條　第三十一條　第三十二條　第三十三條　第三十四條　第三十五條　第三十六條　第三十七條　第三十八條　第三十九條　第四十條　第四十一條　第四十二條　第四十三條　第四十四條　第四十五條　第四十六條　第四十七條　第四十八條　第四十九條　第五十條　第五十一條　第五十二條　第五十三條　第五十四條　第五十五條　第五十六條　第五十七條　第五十八條　第五十九條　第六十條　第六十一條　第六十二條　第六十三條　第六十四條　第六十五條　第六十六條　第六十七條　第六十八條　第六十九條　第七十條　第七十一條　第七十二條　第七十三條　第七十四條　第七十五條　第七十六條　第七十七條　第七十八條　第七十九條　第八十條　第八十一條　第八十二條　第八十三條　第八十四條　第八十五條　第八十六條　第八十七條　第八十八條　第八十九條　第九十條　第九十一條　第九十二條　第九十三條　第九十四條　第九十五條　第九十六條　第九十七條　第九十八條　第九十九條　第百條　第百一條　第百二條　第百三條　第百四條　第百五條　第百六條　第百七條　第百八條　第百九條　第百十條　第百十一條　第百十二條　第百十三條　第百十四條　第百十五條　第百十六條　第百十七條　第百十八條　第百十九條　第百二十條　第百二十一條　第百二十二條　第百二十三條　第百二十四條　第百二十五條　第百二十六條　第百二十七條　第百二十八條　第百二十九條　第百三十條　第百三十一條　第百三十二條　第百三十三條　第百三十四條　第百三十五條　第百三十六條　第百三十七條　第百三十八條　第百三十九條　第百四十條　第百四十一條　第百四十二條　第百四十三條　第百四十四條　第百四十五條　第百四十六條　第百四十七條　第百四十八條　第百四十九條　第百五十條　第百五十一條　第百五十二條　第百五十三條　第百五十四條　第百五十五條　第百五十六條　第百五十七條　第百五十八條　第百五十九條　第百六十條　第百六十一條　第百六十二條　第百六十三條　第百六十四條　第百六十五條　第百六十六條　第百六十七條　第百六十八條　第百六十九條　第百七十條　第百七十一條　第百七十二條　第百七十三條　第百七十四條　第百七十五條　第百七十六條　第百七十七條　第百七十八條　第百七十九條　第百八十條　第百八十一條　第百八十二條　第百八十三條　第百八十四條　第百八十五條　第百八十六條　第百八十七條　第百八十八條　第百八十九條　第百九十條　第百九十一條　第百九十二條　第百九十三條　第百九十四條　第百九十五條　第百九十六條　第百九十七條　第百九十八條　第百九十九條　第二百條　第二百一條　第二百二條　第二百三條　第二百四條　第二百五條　第二百六條　第二百七條　第二百八條　第二百九條　第二百十條　第二百十一條　第二百十二條　第二百十三條　第二百十四條　第二百十五條　第二百十六條　第二百十七條　第二百十八條　第二百十九條　第二百二十條　第二百二十一條　第二百二十二條　第二百二十三條　第二百二十四條　第二百二十五條　第二百二十六條　第二百二十七條　第二百二十八條　第二百二十九條　第二百三十條　第二百三十一條　第二百三十二條　第二百三十三條　第二百三十四條　第二百三十五條　第二百三十六條　第二百三十七條　第二百三十八條　第二百三十九條　第二百四十條　第二百四十一條　第二百四十二條　第二百四十三條　第二百四十四條　第二百四十五條　第二百四十六條　第二百四十七條　第二百四十八條　第二百四十九條　第二百五十條　第二百五十一條　第二百五十二條　第二百五十三條　第二百五十四條　第二百五十五條　第二百五十六條　第二百五十七條　第二百五十八條　第二百五十九條　第二百六十條　第二百六十一條　第二百六十二條　第二百六十三條　第二百六十四條　第二百六十五條　第二百六十六條　第二百六十七條　第二百六十八條　第二百六十九條　第二百七十條　第二百七十一條　第二百七十二條　第二百七十三條　第二百七十四條　第二百七十五條　第二百七十六條　第二百七十七條　第二百七十八條　第二百七十九條　第二百八十條　第二百八十一條　第二百八十二條　第二百八十三條　第二百八十四條　第二百八十五條　第二百八十六條　第二百八十七條　第二百八十八條　第二百八十九條　第二百九十條　第二百九十一條　第二百九十二條　第二百九十三條　第二百九十四條　第二百九十五條　第二百九十六條　第二百九十七條　第二百九十八條　第二百九十九條　第三百條　第三百一條　第三百二條　第三百三條　第三百四條　第三百五條　第三百六條　第三百七條　第三百八條　第三百九條　第三百十條　第三百十一條　第三百十二條　第三百十三條　第三百十四條　第三百十五條　第三百十六條　第三百十七條　第三百十八條　第三百十九條　第三百二十條　第三百二十一條　第三百二十二條　第三百二十三條　第三百二十四條　第三百二十五條　第三百二十六條　第三百二十七條　第三百二十八條　第三百二十九條　第三百三十條　第三百三十一條　第三百三十二條　第三百三十三條　第三百三十四條　第三百三十五條　第三百三十六條　第三百三十七條　第三百三十八條　第三百三十九條　第三百四十條　第三百四十一條　第三百四十二條　第三百四十三條　第三百四十四條　第三百四十五條　第三百四十六條　第三百四十七條　第三百四十八條　第三百四十九條　第三百五十條　第三百五十一條　第三百五十二條　第三百五十三條　第三百五十四條　第三百五十五條　第三百五十六條　第三百五十七條　第三百五十八條　第三百五十九條　第三百六十條　第三百六十一條　第三百六十二條　第三百六十三條　第三百六十四條　第三百六十五條　第三百六十六條　第三百六十七條　第三百六十八條　第三百六十九條　第三百七十條　第三百七十一條　第三百七十二條　第三百七十三條　第三百七十四條　第三百七十五條　第三百七十六條　第三百七十七條　第三百七十八條　第三百七十九條　第三百八十條　第三百八十一條　第三百八十二條　第三百八十三條　第三百八十四條　第三百八十五條　第三百八十六條　第三百八十七條　第三百八十八條　第三百八十九條　第三百九十條　第三百九十一條　第三百九十二條　第三百九十三條　第三百九十四條　第三百九十五條　第三百九十六條　第三百九十七條　第三百九十八條　第三百九十九條　第四百條　第四百一條　第四百二條　第四百三條　第四百四條　第四百五條　第四百六條　第四百七條　第四百八條　第四百九條　第四百十條　第四百十一條　第四百十二條　第四百十三條　第四百十四條　第四百十五條　第四百十六條　第四百十七條　第四百十八條　第四百十九條　第四百二十條　第四百二十一條　第四百二十二條　第四百二十三條　第四百二十四條　第四百二十五條　第四百二十六條　第四百二十七條　第四百二十八條　第四百二十九條　第四百三十條　第四百三十一條　第四百三十二條　第四百三十三條　第四百三十四條　第四百三十五條　第四百三十六條　第四百三十七條　第四百三十八條　第四百三十九條　第四百四十條　第四百四十一條　第四百四十二條　第四百四十三條　第四百四十四條　第四百四十五條　第四百四十六條　第四百四十七條　第四百四十八條　第四百四十九條　第四百五十條　第四百五十一條　第四百五十二條　第四百五十三條　第四百五十四條　第四百五十五條　第四百五十六條　第四百五十七條　第四百五十八條　第四百五十九條　第四百六十條　第四百六十一條　第四百六十二條　第四百六十三條　第四百六十四條　第四百六十五條　第四百六十六條　第四百六十七條　第四百六十八條　第四百六十九條　第四百七十條　第四百七十一條　第四百七十二條　第四百七十三條　第四百七十四條　第四百七十五條　第四百七十六條　第四百七十七條　第四百七十八條　第四百七十九條　第四百八十條　第四百八十一條　第四百八十二條　第四百八十三條　第四百八十四條　第四百八十五條　第四百八十六條　第四百八十七條　第四百八十八條　第四百八十九條　第四百九十條　第四百九十一條　第四百九十二條　第四百九十三條　第四百九十四條　第四百九十五條　第四百九十六條　第四百九十七條　第四百九十八條　第四百九十九條　第五百條　第五百一條　第五百二條　第五百三條　第五百四條　第五百五條　第五百六條　第五百七條　第五百八條　第五百九條　第五百十條　第五百十一條　第五百十二條　第五百十三條　第五百十四條　第五百十五條　第五百十六條　第五百十七條　第五百十八條　第五百十九條　第五百二十條　第五百二十一條　第五百二十二條　第五百二十三條　第五百二十四條　第五百二十五條　第五百二十六條　第五百二十七條　第五百二十八條　第五百二十九條　第五百三十條　第五百三十一條　第五百三十二條　第五百三十三條　第五百三十四條　第五百三十五條　第五百三十六條　第五百三十七條　第五百三十八條　第五百三十九條　第五百四十條　第五百四十一條　第五百四十二條　第五百四十三條　第五百四十四條　第五百四十五條　第五百四十六條　第五百四十七條　第五百四十八條　第五百四十九條　第五百五十條　第五百五十一條　第五百五十二條　第五百五十三條　第五百五十四條　第五百五十五條　第五百五十六條　第五百五十七條　第五百五十八條　第五百五十九條　第五百六十條　第五百六十一條　第五百六十二條　第五百六十三條　第五百六十四條　第五百六十五條　第五百六十六條　第五百六十七條　第五百六十八條　第五百六十九條　第五百七十條　第五百七十一條　第五百七十二條　第五百七十三條　第五百七十四條　第五百七十五條　第五百七十六條　第五百七十七條　第五百七十八條　第五百七十九條　第五百八十條　第五百八十一條　第五百八十二條　第五百八十三條　第五百八十四條　第五百八十五條　第五百八十六條　第五百八十七條　第五百八十八條　第五百八十九條　第五百九十條　第五百九十一條　第五百九十二條　第五百九十三條　第五百九十四條　第五百九十五條　第五百九十六條　第五百九十七條　第五百九十八條　第五百九十九條　第六百條　第六百一條　第六百二條　第六百三條　第六百四條　第六百五條　第六百六條　第六百七條　第六百八條　第六百九條　第六百十條　第六百十一條　第六百十二條　第六百十三條　第六百十四條　第六百十五條　第六百十六條　第六百十七條　第六百十八條　第六百十九條　第六百二十條　第六百二十一條　第六百二十二條　第六百二十三條　第六百二十四條　第六百二十五條　第六百二十六條　第六百二十七條　第六百二十八條　第六百二十九條　第六百三十條　第六百三十一條　第六百三十二條　第六百三十三條　第六百三十四條　第六百三十五條　第六百三十六條　第六百三十七條　第六百三十八條　第六百三十九條　第六百四十條　第六百四十一條　第六百四十二條　第六百四十三條　第六百四十四條　第六百四十五條　第六百四十六條　第六百四十七條　第六百四十八條　第六百四十九條　第六百五十條　第六百五十一條　第六百五十二條　第六百五十三條　第六百五十四條　第六百五十五條　第六百五十六條　第六百五十七條　第六百五十八條　第六百五十九條　第六百六十條　第六百六十一條　第六百六十二條　第六百六十三條　第六百六十四條　第六百六十五條　第六百六十六條　第六百六十七條　第六百六十八條　第六百六十九條　第六百七十條　第六百七十一條　第六百七十二條　第六百七十三條　第六百七十四條　第六百七十五條　第六百七十六條　第六百七十七條　第六百七十八條　第六百七十九條　第六百八十條　第六百八十一條　第六百八十二條　第六百八十三條　第六百八十四條　第六百八十五條　第六百八十六條　第六百八十七條　第六百八十八條　第六百八十九條　第六百九十條　第六百九十一條　第六百九十二條　第六百九十三條　第六百九十四條　第六百九十五條　第六百九十六條　第六百九十七條　第六百九十八條　第六百九十九條　第七百條　第七百一條　第七百二條　第七百三條　第七百四條　第七百五條　第七百六條　第七百七條　第七百八條　第七百九條　第七百十條　第七百十一條　第七百十二條　第七百十三條　第七百十四條　第七百十五條　第七百十六條　第七百十七條　第七百十八條　第七百十九條　第七百二十條　第七百二十一條　第七百二十二條　第七百二十三條　第七百二十四條　第七百二十五條　第七百二十六條　第七百二十七條　第七百二十八條　第七百二十九條　第七百三十條　第七百三十一條　第七百三十二條　第七百三十三條　第七百三十四條　第七百三十五條　第七百三十六條　第七百三十七條　第七百三十八條　第七百三十九條　第七百四十條　第七百四十一條　第七百四十二條　第七百四十三條　第七百四十四條　第七百四十五條　第七百四十六條　第七百四十七條　第七百四十八條　第七百四十九條　第七百五十條　第七百五十一條　第七百五十二條　第七百五十三條　第七百五十四條　第七百五十五條　第七百五十六條　第七百五十七條　第七百五十八條　第七百五十九條　第七百六十條　第七百六十一條　第七百六十二條　第七百六十三條　第七百六十四條　第七百六十五條　第七百六十六條　第七百六十七條　第七百六十八條　第七百六十九條　第七百七十條　第七百七十一條　第七百七十二條　第七百七十三條　第七百七十四條　第七百七十五條　第七百七十六條　第七百七十七條　第七百七十八條　第七百七十九條　第七百八十條　第七百八十一條　第七百八十二條　第七百八十三條　第七百八十四條　第七百八十五條　第七百八十六條　第七百八十七條　第七百八十八條　第七百八十九條　第七百九十條　第七百九十一條　第七百九十二條　第七百九十三條　第七百九十四條　第七百九十五條　第七百九十六條　第七百九十七條　第七百九十八條　第七百九十九條　第八百條　第八百一條　第八百二條　第八百三條　第八百四條　第八百五條　第八百六條　第八百七條　第八百八條　第八百九條　第八百十條　第八百十一條　第八百十二條　第八百十三條　第八百十四條　第八百十五條　第八百十六條　第八百十七條　第八百十八條　第八百十九條　第八百二十條　第八百二十一條　第八百二十二條　第八百二十三條　第八百二十四條　第八百二十五條　第八百二十六條　第八百二十七條　第八百二十八條　第八百二十九條　第八百三十條　第八百三十一條　第八百三十二條　第八百三十三條　第八百三十四條　第八百三十五條　第八百三十六條　第八百三十七條　第八百三十八條　第八百三十九條　第八百四十條　第八百四十一條　第八百四十二條　第八百四十三條　第八百四十四條　第八百四十五條　第八百四十六條　第八百四十七條　第八百四十八條　第八百四十九條　第八百五十條　第八百五十一條　第八百五十二條　第八百五十三條　第八百五十四條　第八百五十五條　第八百五十六條　第八百五十七條　第八百五十八條　第八百五十九條　第八百六十條　第八百六十一條　第八百六十二條　第八百六十三條　第八百六十四條　第八百六十五條　第八百六十六條　第八百六十七條　第八百六十八條　第八百六十九條　第八百七十條　第八百七十一條　第八百七十二條　第八百七十三條　第八百七十四條　第八百七十五條　第八百七十六條　第八百七十七條　第八百七十八條　第八百七十九條　第八百八十條　第八百八十一條　第八百八十二條　第八百八十三條　第八百八十四條　第八百八十五條　第八百八十六條　第八百八十七條　第八百八十八條　第八百八十九條　第八百九十條　第八百九十一條　第八百九十二條　第八百九十三條　第八百九十四條　第八百九十五條　第八百九十六條　第八百九十七條　第八百九十八條　第八百九十九條　第九百條　第九百一條　第九百二條　第九百三條　第九百四條　第九百五條　第九百六條　第九百七條　第九百八條　第九百九條　第九百十條　第九百十一條　第九百十二條　第九百十三條　第九百十四條　第九百十五條　第九百十六條　第九百十七條　第九百十八條　第九百十九條　第九百二十條　第九百二十一條　第九百二十二條　第九百二十三條　第九百二十四條　第九百二十五條　第九百二十六條　第九百二十七條　第九百二十八條　第九百二十九條　第九百三十條　第九百三十一條　第九百三十二條　第九百三十三條　第九百三十四條　第九百三十五條　第九百三十六條　第九百三十七條　第九百三十八條　第九百三十九條　第九百四十條　第九百四十一條　第九百四十二條　第九百四十三條　第九百四十四條　第九百四十五條　第九百四十六條　第九百四十七條　第九百四十八條　第九百四十九條　第九百五十條　第九百五十一條　第九百五十二條　第九百五十三條　第九百五十四條　第九百五十五條　第九百五十六條　第九百五十七條　第九百五十八條　第九百五十九條　第九百六十條　第九百六十一條　第九百六十二條　第九百六十三條　第九百六十四條　第九百六十五條　第九百六十六條　第九百六十七條　第九百六十八條　第九百六十九條　第九百七十條　第九百七十一條　第九百七十二條　第九百七十三條　第九百七十四條　第九百七十五條　第九百七十六條　第九百七十七條　第九百七十八條　第九百七十九條　第九百八十條　第九百八十一條　第九百八十二條　第九百八十三條　第九百八十四條　第九百八十五條　第九百八十六條　第九百八十七條　第九百八十八條　第九百八十九條　第九百九十條　第九百九十一條　第九百九十二條　第九百九十三條　第九百九十四條　第九百九十五條　第九百九十六條　第九百九十七條　第九百九十八條　第九百九十九條　第千條

リテハ學校長、公立師範學校ニ在リテハ道知事ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第五章　附屬小學校、附屬普通學校及附屬幼稚園

第百十條　附屬小學校ニハ小學校規程第一條、第二條第一項、第十一條乃至第三十三條、第三十五條乃至第四十二條、第四十三條、第四十四條第一項及第二項、第四十五條、第四十六條、第五十四條乃至第六十二條、第六十五條、第六十六條、第七十四條乃至第八十二條ヲ準用ス但シ官立ノ學校ニ在リテハ同規程第三十五條、第四十四條第二項、第四十五條、第五十四條第二項及第三項、第六十八條第三項ニ關シテハ學校長之ヲ專行シ公立ノ學校ニ在リテハ同規程第三十五條、第四十四條第二項、第五十六條、第六十八條第三項ニ關シテハ道知事ニ於テ之ヲ專行スヘシ

第百十一條　附屬小學校ニハ尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ併置スヘシ

第百十二條　附屬小學校ニ於テハ單級尋常小學校ノ兒童ヲ以テ編制シタル學級、數學年ノ兒童ヲ以テ編制シタル學級又ハ一學年ノ兒童ヲ以テ編制シタル學級ヲ設クルコトヲ得

第百十三條　附屬普通學校ニハ朝鮮教育令第四條、第五條、普通學校規程第七條乃至第十條、第三十二條乃至第三十七條、第四十條、第四十一條第一項及第二項、第四十二條、第四十三條、第五十一條乃至第五十六條、第六十一條乃至第六十三條、第六十六條、第七十二條乃至第八十條ヲ準用ス但シ官立ノ學校ニ在リテハ普通學校規程第三十二條、第三十三條、第四十一條第一項及第二項、第四十二條、第四十三條、第五十一條乃至第五十六條、第六十一條乃至第六十三條、第六十六條、第七十二條乃至第八十條ヲ準用スル外左ノ如シ

官立師範學校生徒ニ給與スル學資ハ食費、手當及被服費トス

前項食費、手當及被服費ノ額ハ豫算ノ範圍內ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム

學資支給ニ關スル細則ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム

附　則

大正十一年朝鮮總督府告示第五十三號ハ之ヲ廢止ス

●京城師範學校ニ女子演習科及講習科設置

大正十四年四月
總告第七十二號

京城師範學校ニ女子演習科及講習科ヲ置キ大正十四年四月ヨリ授業ヲ開始ス

第十一款　大學

●大學令

大正七年十二月
勅令第三百八十八號

（改正　昭和三年一第七號）

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ大學令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

大學令

第一條　大學ハ國家ニ須要ナル學術ノ理論及應用ヲ教授シ並其ノ蘊奧ヲ攻究スルヲ以テ目的トシ兼テ人格ノ陶冶及國家思想ノ涵養ニ留意スヘキモノトス

第二條　大學ニハ數個ノ學部ヲ置クヲ常例トス但シ特別ノ必要アル場合ニ於テハ單ニ一個ノ學部ヲ置キ又ハ數個ノ學部ヲ置クモノヲ以テ一大學ト爲スコトヲ得

學部ハ法學、醫學、工學、文學、理學、農學、經濟學及商學ノ各部トス

特別ノ必要アル場合ニ於テハ單ニ一部ヲ構成スルニ適スルトキハ前項ノ學部ノ分合ニ依ラスシテ學部ヲ設クルコトヲ得

第三條　學部ニハ研究科ヲ置クヘシ

數個ノ學部ヲ置キタル大學ニ於テハ研究科ノ外本令ノ規定ニ依リ公立又ハ私立ト爲スコトヲ得

第四條　大學ハ帝國大學其ノ他官立ノモノヲ除クノ外文部大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ設立スルコトヲ得

第五條　公立大學ハ特別ノ必要アル場合ニ於テ北海道、府縣及市ニ限リ之ヲ設立スルコトヲ得

第六條　私立大學ハ財團法人タルコトヲ要ス但シ特別ノ必要ニ因リ學校經營ノミヲ目的トスル財團法人カ其ノ事業トシテ之ヲ設立スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　前條ノ財團法人ハ大學ニ必要ナル設備又ハ之ニ要スル資金及少クトモ大學持スルニ足ルヘキ收入ヲ生スル基本財產ヲ有スルコトヲ要ス

基本財產中前項ニ該當スルモノハ現金、國債證券其ノ他文部大臣ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第八條　公立及私立ノ大學ノ設立廢止ハ大臣ノ認可ヲ受クヘシ學部ノ設置廢止亦同シ

前項ノ認可ハ文部大臣ニ於テ勅裁ヲ請フヘシ

第九條　學部ニ入學スルコトヲ得ル者ハ大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

入學ノ順位ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條　學部ニ三年以上在學シ一定ノ試驗ヲ受ケ之ニ合格シタル者ハ學士ト稱スルコトヲ得

前項ノ在學年限ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上トス

第十一條　研究科ニ入ルコトヲ得ル者ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上其ノ他ノ者ニ在リテハ三年以上當該學部ニ在學シ其ノ他相當ノ學力ヲ具ヘタル者ニシテ當該學部ニ於テ適當ト認メタルモノトス

第十二條　大學ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置カサルコトヲ得

大學豫科ニ於テハ高等學校高等科ノ程度ニ依リ高等普通教育ヲ爲スヘシ

第十三條　大學豫科ノ修業年限ハ三年又ハ二年トス

修業年限三年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

修業年限二年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十四條　大學豫科ノ設備、編制、教員及教科書ニ付テハ高等學校高等科ニ關スル規程ヲ準用ス

第十五條　大學豫科ノ生徒定數ハ每年ノ豫科修了者ノ員數カ其ノ年當該大學ニ收容シ得ル員數ヲ超過セサル程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十六條　大學及大學豫科ノ學則ハ法令ノ範圍內ニ於テ當該大學之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　公立及私立ノ大學ニハ相當員數ノ專任教員ヲ置カルヘカラス

第十八條　私立大學ノ教員ノ採用ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ公立大學ノ教員ニシテ官吏ノ待遇ヲ受ケサル者ニ付亦同シ

第十九條　公立及私立ノ大學ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第二十條　文部大臣ハ公立及私立ノ大學ニ對シ報告ヲ徵シ檢閱ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　本令ニ依ラサル學校ハ勅定規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外大學トノ稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウル學校ニハ當分ノ內第二十一條ノ規定ヲ適用セス

●京城帝國大學ニ關スル件

大正十三年五月
勅令第百五號

樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ京城帝國大學ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

京城帝國大學ニ關シテハ帝國大學ニ關シ別段ノ定アル場合ノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

●京城帝國大學學部

大正十三年五月
勅令第百四號

京城帝國大學學部ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

京城帝國大學學部ハ法文學部ノ二トス

附　則

本令ハ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●京城帝國大學各學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ニ關スル件

大正十五年四月
勅令第四十七號

（改正　昭和二年一第六號、三年四第五八號、四年四第六號）

京城帝國大學各學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行

昭和八年勅令第二十三號附則第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督府師範學校ニ在學スル演習科ノ生徒ニ課スヘキ各學科目ノ每週教授時數及其ノ卒業者ノ服務ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

●官立師範學校生徒ノ學資及其ノ支給方法

大正十二年四月
總告第百二十一號

師範學校規程第八十七條第二項ノ規定ニ依リ官立師範學校生徒ノ學資及其ノ支給方法ヲ定ムルコト左ノ如シ

官立師範學校生徒ニ給與スル學資ハ食費、手當及被服費トス

前項食費、手當及被服費ノ額ハ豫算ノ範圍內ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム

學資支給ニ關スル細則ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム

附　則

大正十一年朝鮮總督府告示第五十三號ハ之ヲ廢止ス

●京城師範學校ニ女子演習科及講習科設置

大正十四年四月
總告第七十二號

京城師範學校ニ女子演習科及講習科ヲ置キ大正十四年四月ヨリ授業ヲ開始ス

第十一款　大學

●大學令

大正七年十二月
勅令第三百八十八號

（改正　昭和三年一第七號）

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ大學令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

大學令

第一條　大學ハ國家ニ須要ナル學術ノ理論及應用ヲ教授シ並其ノ蘊奧ヲ攻究スルヲ以テ目的トシ兼テ人格ノ陶冶及國家思想ノ涵養ニ留意スヘキモノトス

第二條　大學ニハ數個ノ學部ヲ置クヲ常例トス但シ特別ノ必要アル場合ニ於テハ單ニ一個ノ學部ヲ置キ又ハ數個ノ學部ヲ置クモノヲ以テ一大學ト爲スコトヲ得

學部ハ法學、醫學、工學、文學、理學、農學、經濟學及商學ノ各部トス

特別ノ必要アル場合ニ於テハ單ニ一部ヲ構成スルニ適スルトキハ前項ノ學部ノ分合ニ依ラスシテ學部ヲ設クルコトヲ得

第三條　學部ニハ研究科ヲ置クヘシ

數個ノ學部ヲ置キタル大學ニ於テハ研究科ノ外本令ノ規定ニ依リ公立又ハ私立ト爲スコトヲ得

第四條　大學ハ帝國大學其ノ他官立ノモノヲ除クノ外文部大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ設立スルコトヲ得

第五條　公立大學ハ特別ノ必要アル場合ニ於テ北海道、府縣及市ニ限リ之ヲ設立スルコトヲ得

第六條　私立大學ハ財團法人タルコトヲ要ス但シ特別ノ必要ニ因リ學校經營ノミヲ目的トスル財團法人カ其ノ事業トシテ之ヲ設立スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　前條ノ財團法人ハ大學ニ必要ナル設備又ハ之ニ要スル資金及少クトモ大學持スルニ足ルヘキ收入ヲ生スル基本財產ヲ有スルコトヲ要ス

基本財產中前項ニ該當スルモノハ現金、國債證券其ノ他文部大臣ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第八條　公立及私立ノ大學ノ設立廢止ハ大臣ノ認可ヲ受クヘシ學部ノ設置廢止亦同シ

前項ノ認可ハ文部大臣ニ於テ勅裁ヲ請フヘシ

第九條　學部ニ入學スルコトヲ得ル者ハ大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

入學ノ順位ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條　學部ニ三年以上在學シ一定ノ試驗ヲ受ケ之ニ合格シタル者ハ學士ト稱スルコトヲ得

前項ノ在學年限ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上トス

第十一條　研究科ニ入ルコトヲ得ル者ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上其ノ他ノ者ニ在リテハ三年以上當該學部ニ在學シ其ノ他相當ノ學力ヲ具ヘタル者ニシテ當該學部ニ於テ適當ト認メタルモノトス

第十二條　大學ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置カサルコトヲ得

大學豫科ニ於テハ高等學校高等科ノ程度ニ依リ高等普通教育ヲ爲スヘシ

第十三條　大學豫科ノ修業年限ハ三年又ハ二年トス

修業年限三年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

修業年限二年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十四條　大學豫科ノ設備、編制、教員及教科書ニ付テハ高等學校高等科ニ關スル規程ヲ準用ス

第十五條　大學豫科ノ生徒定數ハ每年ノ豫科修了者ノ員數カ其ノ年當該大學ニ收容シ得ル員數ヲ超過セサル程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十六條　大學及大學豫科ノ學則ハ法令ノ範圍內ニ於テ當該大學之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　公立及私立ノ大學ニハ相當員數ノ專任教員ヲ置カルヘカラス

第十八條　私立大學ノ教員ノ採用ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ公立大學ノ教員ニシテ官吏ノ待遇ヲ受ケサル者ニ付亦同シ

第十九條　公立及私立ノ大學ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第二十條　文部大臣ハ公立及私立ノ大學ニ對シ報告ヲ徵シ檢閱ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　本令ニ依ラサル學校ハ勅定規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外大學トノ稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウル學校ニハ當分ノ內第二十一條ノ規定ヲ適用セス

●京城帝國大學ニ關スル件

大正十三年五月
勅令第百五號

樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ京城帝國大學ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

京城帝國大學ニ關シテハ帝國大學ニ關シ別段ノ定アル場合ノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

●京城帝國大學學部

大正十三年五月
勅令第百四號

樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ京城帝國大學學部ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

京城帝國大學學部ハ法文學部ノ二トス

附　則

本令ハ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●京城帝國大學各學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ニ關スル件

大正十五年四月
勅令第四十七號

（改正　昭和二年一第六號、三年四第五八號、四年四第六號）

京城帝國大學各學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

京城帝國大學官制
京城帝國大學令
京城帝國大學學則
京城帝國大學豫科規程
京城帝國大學豫科學則
京城帝國大學豫科修業年限ニ關スル件
京城帝國大學豫科入學者檢定規程
京城帝國大學豫科入學者檢定手數料ニ關スル件
京城帝國大學豫科入學者檢定ニ關スル件
京城帝國大學豫科入學者檢定ニ關スル件
京城帝國大學豫科入學者檢定

定ニ合格シタル者
六　朝鮮總督ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項第四號ノ大學豫科入學資格試驗ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條　入學志願者ニ對シテハ身體檢査ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ限リ入學セシムヘシ

必要アリト認ムルトキハ入學志願者ノ數募集人員ニ超過スルトキハ中學校又ハ高等普通學校第四學年修了ノ程度ニ依リ選拔試驗ヲ行フヘシ

入學者ノ選拔ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條　入學志願者ノ數募集人員ニ超過スルトキハ中學校又ハ高等普通學校第四學年修了ノ程度ニ依リ選拔試驗ヲ行フヘシ

入學者ノ選拔ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十五條　削除

第十六條　入學志願者ハ其ノ入學後修學セムトスル科ヲ指定スヘシ

第十七條　大學豫科ヲ退學シタル者退學ノ時ヨリ一學年以下ノ學年ニ限リ試驗ニ依ラス入學ヲ許可スルコトヲ得

第十八條　生徒ハ豫科部長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ學校ノ入學試驗ヲ受クルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

第十九條　各學年ノ課程ヲ修了ハ平素ノ學業及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ認ムヘシ但シ正當ノ事由ニ依リ試驗ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ成績ノミヲ考査シテ之ヲ認ムルコトヲ得

試驗ハ豫科部長ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

第二十條　豫科部長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第二十一條　大學豫科ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第二十二條　豫科部長ハ正當ノ事由アリト認メタル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

第二章　學年ニ編入ス

從前ノ規定ニ依リ入學シタル生徒ニシテ本令施行ノ際現ニ第一學年ニ在學スルモノハ之ヲ本改正規定ニ依ル第一學年ニ編入ス

第十二款　專門學校

●專門學校令

明治三十六年三月
勅令第六十一號
（改正　昭和三年一勅八號）

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ專門學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

專門學校令

第一條　高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス

專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第二條　北海道府縣又ハ市ハ土地ノ情況ニ依リ必要アル場合ニ限リ專門學校ヲ設置スルコトヲ得

第三條　私人ハ專門學校ヲ設置スルコトヲ得

第四條　公立又ハ私立ノ專門學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第五條　專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ於テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條　專門學校ニハ左ノ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條　官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度ヲ豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第九條　專門學校ニ於テ本科生徒ヲ入學セシムルハ每年一回トス其ノ期間ハ三十日以內トス但シ學科課程相同シキ專門學校間ニ於テ生徒ノ轉學ヲ此ノ限ニ在ラス

專門學校ノ本科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ本科第一學年ニ入學スルコトヲ得スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第二十四條　生徒退學セムトスルトキハ豫科部長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十五條　豫科部長ハ教育上必要アリト認ムルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第五章　雜則

第二十六條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第二十七條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第二十八條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第二十九條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第二十六條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第二十七條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第二十八條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第二十九條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第三十條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第三十一條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第三十二條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第三十三條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第三十四條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第三十五條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第三十六條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第三十七條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第三十八條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第三十九條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第四十條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第四十一條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第四十二條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第四十三條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第四十四條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第四十五條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第四十六條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第四十七條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第四十八條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第四十九條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第五十條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第五十一條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第五十二條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第五十三條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第五十四條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第五十五條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第五十六條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第五十七條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第五十八條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第五十九條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第六十條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第六十一條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第六十二條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第六十三條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第六十四條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第六十五條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第六十六條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第六十七條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第六十八條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第六十九條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第七十條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第七十一條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第七十二條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第七十三條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第七十四條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第七十五條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第七十六條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第七十七條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第七十八條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第七十九條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第八十條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第八十一條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第八十二條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第八十三條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第八十四條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第八十五條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第八十六條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第八十七條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第八十八條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第八十九條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第九十條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第九十一條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第九十二條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第九十三條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第九十四條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第九十五條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第九十六條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第九十七條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第九十八條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第九十九條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第百條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第百一條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

第百二條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第百三條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

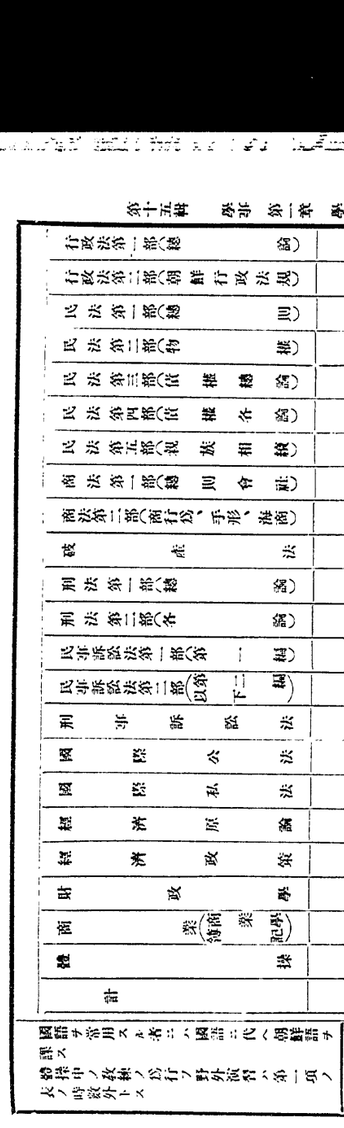
三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

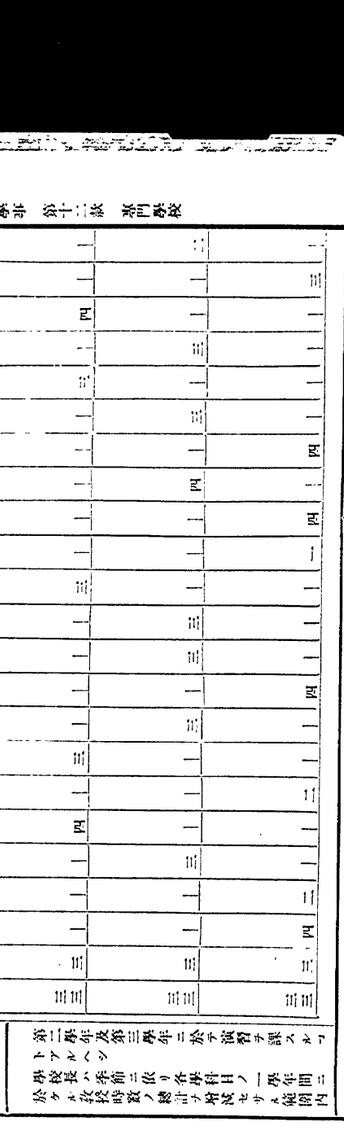
四　試驗ノ問題、答案及成績表

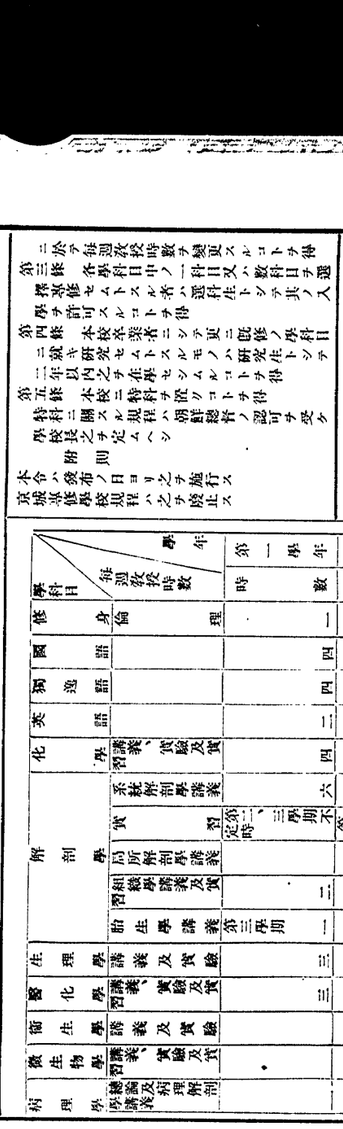
五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

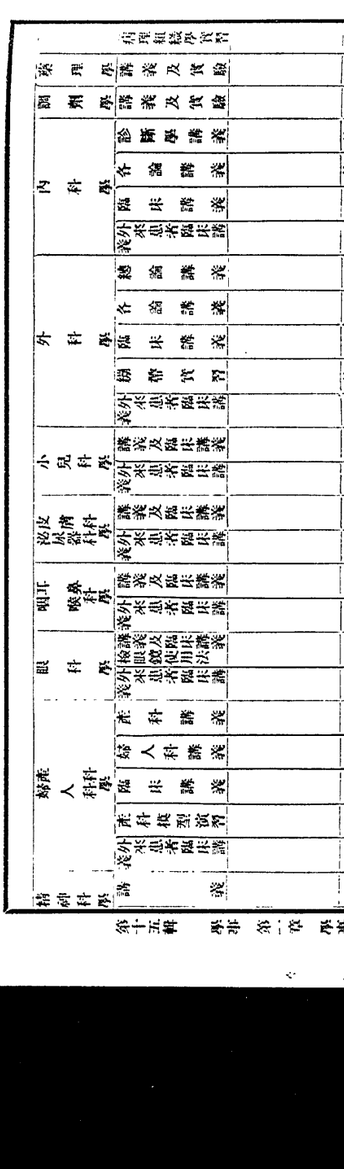
第百四條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

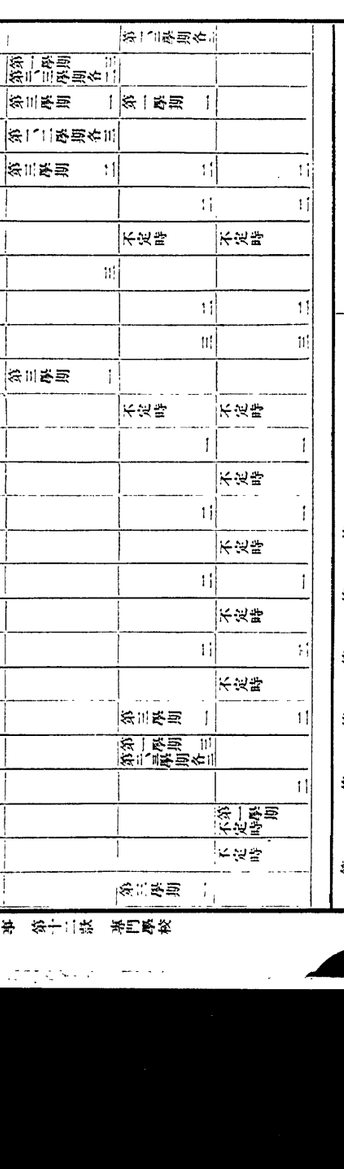
第百五條　大學豫科ニ於テハ

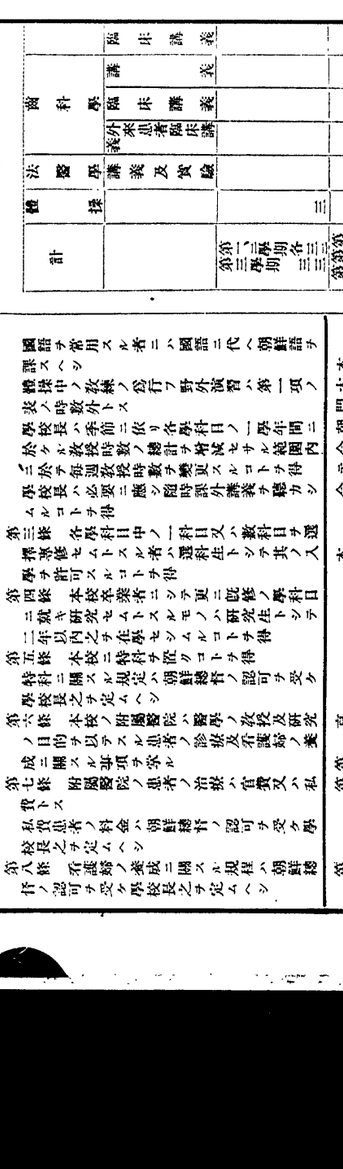












土木學科

學科目	修業年限	第一學年			第二學年			第三學年		
		每週教授時數			每週教授時數			每週教授時數		
		第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
國語	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
外國語	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
數學	三	五	五	五	四	四	四	三	三	三
物理及實驗	二	三	三	三						
化學及實習	二				三	三	三			
應用力學	三							三	三	三
圖畫	一	一	一	一						
測量及實習	三				三	三	三			
材料及施工法	三							三	三	三
石工	二							二	二	二
煉瓦工	二							二	二	二
鐵筋混凝土工	二							二	二	二
木工	一							一	一	一
製圖	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二
土木設計	三							三	三	三
土木施工法	三							三	三	三
土木材料強弱及試驗	二							二	二	二
土木水理及水力利用	二							二	二	二
衛生工學	二							二	二	二
鐵道	二							二	二	二
道路	二							二	二	二
橋梁	二							二	二	二
港灣	二							二	二	二
河海工學	二							二	二	二
鐵筋混凝土構造	二							二	二	二
家屋構造	一							一	一	一
工業經濟	一							一	一	一
工業簿記及會計法	一							一	一	一
計	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九

紡織學科

學科目	修業年限	第一學年			第二學年			第三學年		
		每週教授時數			每週教授時數			每週教授時數		
		第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
國語	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
外國語	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
數學	三	五	五	五	四	四	四	三	三	三
物理及實驗	二	三	三	三						
化學及實習	二				三	三	三			
應用力學	三							三	三	三
圖畫	一	一	一	一						
製圖	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二
紡織機械	三							三	三	三
紡織機械原動力	二							二	二	二
紡織機械工作法	一							一	一	一
紡織機械製圖	二							二	二	二
紡織物分解及意匠	三							三	三	三
紡織法	二							二	二	二
紡織法	二							二	二	二
紡織及染色	二							二	二	二
紡織物染法	一							一	一	一
紡織物仕上法	二							二	二	二
紡織物染色及仕上法	二							二	二	二
紡織物染色及仕上實習	三							三	三	三
計	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九

學年	每週授業時數	修身	國語	英語	物理及氣象	化學
第一學年	前學期	一	二	二	二	二
	後學期	一	二	二	二	二
第二學年	前學期	一	二	二	二	二
	後學期	一	二	二	二	二
第三學年	前學期	一	二	二	二	二
	後學期	一	二	二	二	二

農學科

學年	每週授業時數	修身	國語	英語	物理及氣象	化學	農業經營	農業政策	農業經濟	法學通論	生産製造	農産製造	家畜繁殖飼養	獸醫學大意	家畜衛生	獸疫	農産物檢查	農産物貯藏	農業倉庫	農業氣象	農業土壤	肥料	農具及機械	灌漑排水	開墾	農業土木	農業簿記	農業實習	地質及鑛物	植物學及植物病害蟲	動物學及動物病害
第一學年	前學期	一	二	二	二	二																									
	後學期	一	二	二	二	二																									
第二學年	前學期	一	二	二	二	二																									
	後學期	一	二	二	二	二																									
第三學年	前學期	一	二	二	二	二																									
	後學期	一	二	二	二	二																									

合計　一

農學科ノ學科目及其程度ハ左ノ規程ニ依リ各學校ニ於テ之ヲ定ム

第一條　農學科ノ修業年限ハ三年トス

第二條　農學科ノ學科目及其程度ハ左ノ如シ

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第二十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第二十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第二十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第二十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第二十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第二十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第二十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第二十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第二十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第二十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第二十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第二十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第二十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第二十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第二十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第二十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第二十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第二十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第二十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第二十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第三十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第三十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第三十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第三十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第三十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第三十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第三十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第三十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第三十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第三十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第三十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第三十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第三十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第三十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第三十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第三十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第三十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第三十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第三十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第三十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第四十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第四十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第四十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第四十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第四十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第四十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第四十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第四十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第四十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第四十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第四十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第四十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第四十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第四十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第四十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第四十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第四十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第四十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第四十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第四十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第五十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第五十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第五十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第五十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第五十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第五十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第五十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第五十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第五十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第五十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第五十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第五十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第五十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第五十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第五十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第五十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第五十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第五十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第五十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第五十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第六十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第六十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第六十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第六十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第六十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第六十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第六十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第六十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第六十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第六十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第六十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第六十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第六十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第六十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第六十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第六十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第六十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第六十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第六十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第六十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第七十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第七十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第七十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第七十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第七十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第七十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第七十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第七十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第七十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第七十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第七十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第七十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第七十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第七十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第七十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第七十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第七十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第七十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第七十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第七十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第八十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第八十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第八十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第八十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第八十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第八十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第八十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第八十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第八十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第八十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第八十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第八十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第八十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第八十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第八十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第八十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第八十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第八十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第八十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第八十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第九十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第九十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第九十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第九十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第九十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第九十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第九十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第九十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第九十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第九十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第九十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第九十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第九十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第九十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第九十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第九十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第九十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第九十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第九十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第九十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百二十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百二十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百二十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百二十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百二十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百二十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百二十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百二十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百二十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百二十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百二十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百二十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百二十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百二十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百二十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百二十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百二十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百二十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百二十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百二十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百三十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百三十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百三十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百三十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百三十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百三十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百三十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百三十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百三十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百三十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百三十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百三十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百三十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百三十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百三十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百三十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百三十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百三十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百三十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百三十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百四十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百四十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百四十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百四十一條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百四十二條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百四十二條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百四十三條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百四十三條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百四十四條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百四十四條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百四十五條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百四十五條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百四十六條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百四十六條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百四十七條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百四十七條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百四十八條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百四十八條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

第百四十九條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

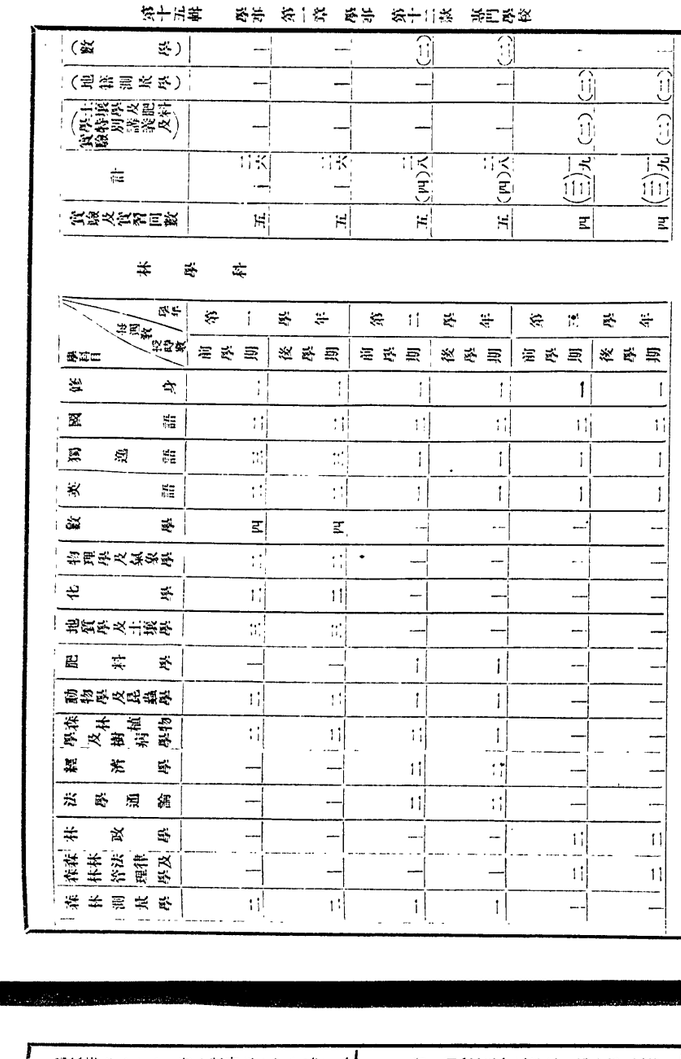
本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百四十九條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

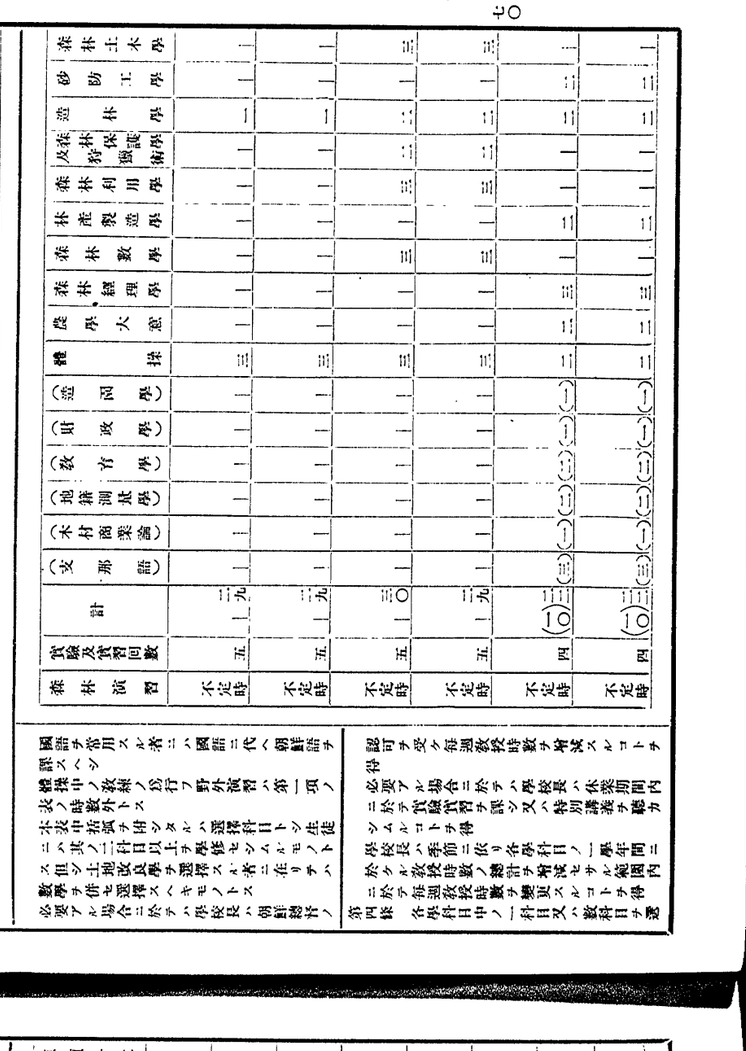
第百五十條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

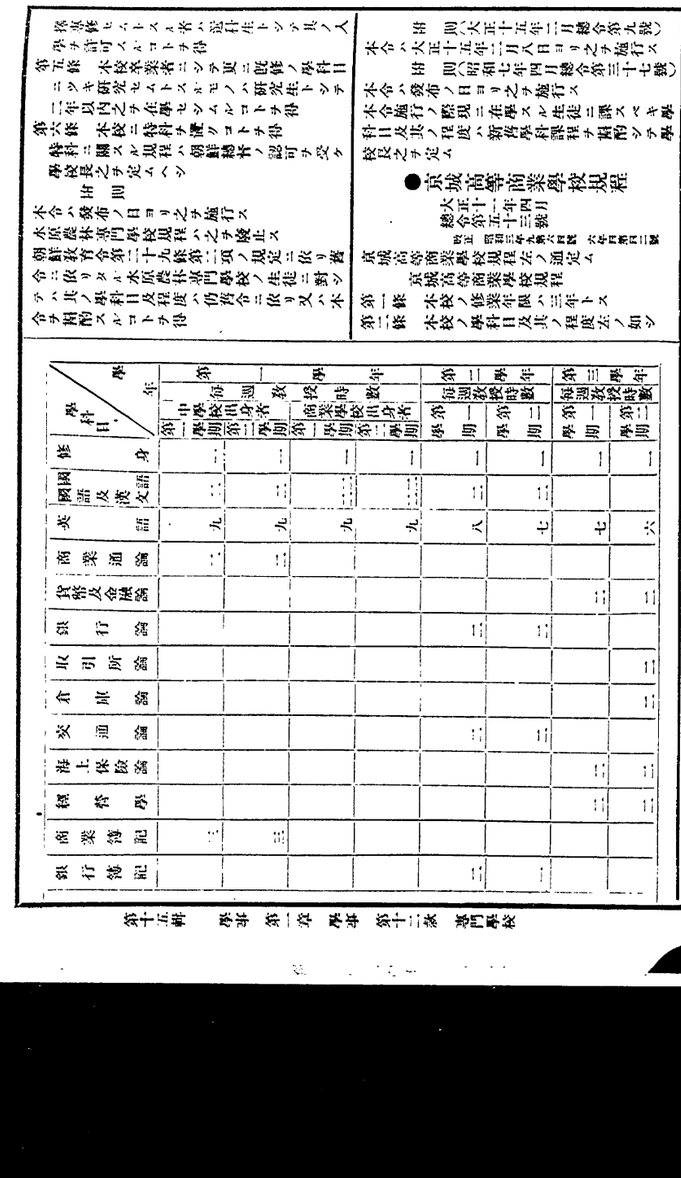
本校ノ農學科ニ於テハ高等農林學校規程第百五十條ノ學科目及其程度ニ依リ之ヲ教授ス

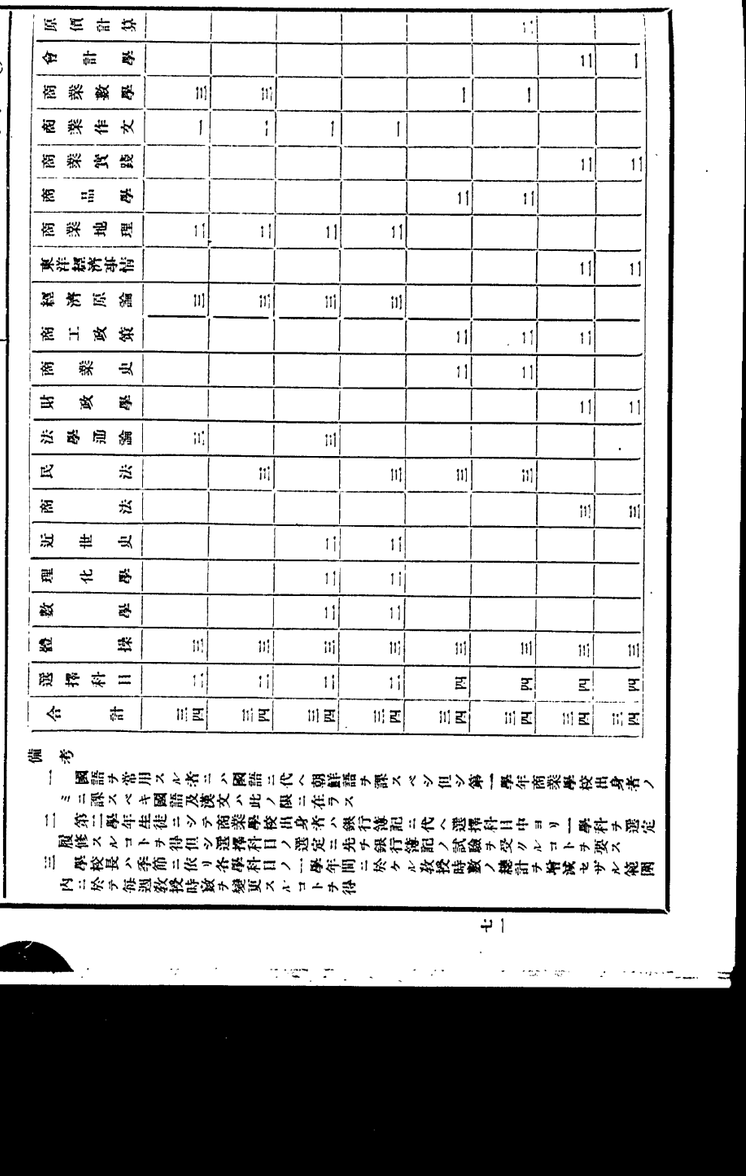
第百五十一條　農學科ノ學科目ノ教授ハ左ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ス

本校ノ農









四　體操中ノ教練ノ爲行フ野外演習ハ本條ノ表ノ時數外トス

五　選擇科目ハ左ノ諸學科目中ヨリ適宜選定シテ學校長之ヲ公示スル學科目ノ中志願者過少ナルモノニ付テハ之カ授業ヲ爲サザルコトアルベシ

イ　商業學ニ屬スルモノ
　會計監査、市場論、信託論、保險論、商業經濟事講讀

ロ　經濟學ニ屬スルモノ
　經濟學史、農業政策、交通政策、統計學

ハ　法律學ニ屬スルモノ
　憲法、行政法、民法、商法

ニ　語學ニ屬スルモノ
　朝鮮語、支那語、獨逸語、佛蘭西語、露西亞語

ホ　其ノ他
　論理學及心理學、哲學概論、教育學、文明史、工學

六　各學年ニ配當スベキ選擇科目ハ第一學年ニ於テ一科目、第二學年及第三學年ニ於テ各二科目トス

七　語學ヲ選擇セントスル者ハ支那語、獨逸語、佛蘭西語、露西亞語ノ中ヨリ其ノ一ヲ選擇シ第一學年ヨリ第三學年ニ至ルモノトシ特別ノ事由アル者ニ限リ第二學年又ハ第三學年ニ於テ語學ヲ選擇セントスル者ハ試驗ノ結果之ヲ許可スルコトヲ得

第二學年又ハ第三學年ニ於テ語學ヲ選擇セントスル者ハ試驗ノ結果之ヲ許可スルコトアルベシ

第三條　各學科目中ノ一科目又ハ數科目ヲ選擇專修セムトスル者ハ選科生トシテ其ノ入學ヲ許可スルコトヲ得

第四條　本校卒業者ニシテ更ニ專修ノ學科目ニツキ研究セムトスルモノハ研究生トシテ二年以內之ヲ在學セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令發布ノ際現ニ在學スル生徒ニ對スル本令施行ノ際私立京城高等商業學校ニ現ニ在學スル生徒ハ試驗ニ依ラスシテ本校ノ相當學年ニ之ヲ編入スルコトヲ得

附　則（昭和六年四月總令第四十二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ課スベキ學科目及其ノ程度ハ新舊課程ヲ期酌シテ學校長之ヲ定ム

第十三款　實業學校

●實業學校令

明治三十二年二月
勅令第二十九號

改正　明治三五年四第一三二號、三六年三第五二號、三九年三第六二號、大正九年一二第五四號、昭和一〇年四第四三號

朕實業學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

實業學校令

第一條　實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ目的トシ德性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條　實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校及職業學校其ノ他實業教育ヲ爲スモノトス

第三條　北海道及府縣ニ於テハ實業學校ヲ置クコトヲ得

第四條　市町村、北海道ノ一級町村二級町村、市町村學校組合及町村學校組合ハ土地ノ情況ニ依リ須要ニシテ且ノ區域內小學教育ノ施設上妨ナキ場合ニ限リ實業學校ヲ設置スルコトヲ得

市町村、市町村學校組合及町村學校組合ハ前項ノ規定ニ依リ實業學校ヲ設置スル場合ニ於テ費用ノ負擔ノ爲學區ヲ設クルコトヲ得

第五條　商業會議所、農會其ノ他之ニ準スヘキ公共團體ハ實業學校ヲ設置スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設置シタル實業學校ハ私立トス

第六條　私人ハ本令ノ規定ニ依リ實業學校ヲ設置スルコトヲ得

第七條　公立又ハ私立ノ實業學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

公立又ハ私立ノ實業學校ノ設置廢止ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條　實業學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第九條　實業學校ノ教科書ハ公立學校ニ在リテハ學校長ニ於テ私立學校ニ在リテハ設置者ニ於テ地方長官ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第十條　公立又ハ私立ノ實業學校教員ノ資格ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十一條、第十二條　削除

第十三條　公立又ハ私立ノ實業學校ノ編制及設備ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十四條　實業學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第十五條　本令施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

附　則

第十六條　本令ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

第十七條　削除

第十八條　他ノ法令中ニ技藝學校トアルハ本令施行ノ日ヨリ當然實業學校ト看做ス

第十九條　明治二十三年勅令第二百十五號小學校令中徒弟學校及實業補習學校ニ關スル規定ハ本令施行ノ際亦仍效力ヲ有ス

●實業學校規程

大正十一年二月
總令第九號

改正　大正一二年六第七九號、一四年四第二一號、昭和二年三第一四號、四年一第二號、六年四第三一號、七年二第一二號、一〇年四第五三號

實業學校規程左ノ通定ム

實業學校規程

第一條　實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼ネテ德性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條　實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校、職業學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校トス

第三條　實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス

實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

第四條　工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校及職業學校ノ內二種以上ノ學校ノ學科又ハ之ヲ併合シタル學科ヲ置ク實業學校ハ道府、學校費又ハ學校組合ノ實業學校ヲ設立スルコトヲ得

商工會議所其ノ他之ニ準スヘキ公共團體又ハ私人ハ實業學校ヲ設立スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ設立スルモノヲ公立實業學校トシ前項ノ規定ニ依リテ設立スルモノヲ私立實業學校トス

第五條　道府、學校費又ハ學校組合ノ實業學校ヲ設立スルコトヲ得

第六條　實業學校ノ修業年限ハ本令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外尋常小學校卒業ノ者ヲ入學セシメ十年以上ト爲スヘシ

但シ實業學校ノ種類ニ依リ修業年限ヲ短縮シ又ハ尋常小學校卒業ノ者ヲ入學セシメ修業年限ヲ延長スルコトヲ得

第七條　實業學校ニハ本科ノ外豫科、專攻科、別科又ハ講習科ヲ置クコトヲ得

豫科ハ入學ノ者ニ對シ普通ノ教育ヲ爲ス

專攻科ハ本科卒業ノ者ニ對シ高等ノ教育ヲ爲ス

別科ハ特別ノ事項ヲ教授スル

講習科ハ現ニ業ニ從事スル者ニ對シ其ノ業務ニ關スル事項ヲ教授スル

第八條　實業學校ニハ實業補習學校ヲ附設スルコトヲ得

第九條　實業學校ニハ生徒ノ心身ノ發達ニ留意スルノ外其ノ學校ノ種類ニ應シ左ノ事項ニ關シ適當ナル教育ヲ爲スヘシ

一　國民タルノ性格ヲ涵養シ德性ヲ陶冶スルコト

二　生徒ノ身體ヲ健全ニ發達セシムルコト

三　生徒ノ身體ノ健全ニ發達セシムルコト

四　各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ラス生徒ノ心身發達ノ程度ニ副ハシムルコトヲ要ス

五　知識技能ハ學校ノ程度ニ適應スル事項ヲ選ヒ生徒之ヲ授ケ且土地ノ情況及生活ノ實際ニ適切ナラシムルコトヲ期スルコト

第十條　實業學校ニハ學則、日課表、教科書配當表及學校暦ヲ備フヘシ

第十一條　學則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一　學校ノ目的

二　修業年限及入學資格ニ關スル事項

三　學科、學科課程及每週教授時數ニ關スル事項

四　休業日ニ關スル事項

五　入學、在學、退學及懲戒ニ關スル事項

六　課程ノ修了及卒業ニ關スル事項

七　授業料ニ關スル事項

八　寄宿舍ニ關スル事項

九　前各號ノ外學校ニ於テ必要トスル事項

第十二條　實業學校ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十三條　實業學校ニ於テハ教授上特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　國民タルノ性格ヲ涵養シ德良ナル人格ノ養成ヲ圖リ特ニ誠實ニシテ信用ヲ重ムシ勤儉ニシテ公益ニ力ヲ盡スノ氣風ヲ養ハムコトヲ期シ何レノ學科目ニ於テモ常ニ深ク之ニ留意スヘシ

二　知識技能ハ學校ノ程度ニ適應スル事項ヲ選ヒ生徒之ヲ授ケ且土地ノ情況及生活ノ實際ニ適切ナラシメムコトヲ期スヘシ

三　生徒ノ身體ヲ健全ニ發達セシメムコトヲ期シ何レノ學科目ニ於テモ其ノ教授ニ生徒ノ心身發達ノ程度ニ副ハシメムコトヲ要ス

四　各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ラス生徒ノ心身發達ノ程度ニ副ハシメムコトヲ要ス

第十二條　工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校及職業學校ノ修業年限、入學、學科、學科目及其ノ程度、入學、轉學、退學、教授日數、教授時數、編制及設備ニ關スル規定ハ本令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外文部省令ノ定ムル當該學校規程ニ依ル

但シ此等ノ規程中文部大臣トアルハ朝鮮總督トス

第十四條　削除

第十五條　實業學校ノ教科書ハ學校長ニ於テ之ヲ定ム

朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル教科書

第十六條　實業學校ノ學科目及其ノ程度ニ適合スル教科用圖書ハ學校長ニ於テ之ヲ定ム

朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル教科用圖書

第十七條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第十八條　傳染病豫防ノ爲必要アルトキハ其ノ他非常變災アルトキハ學校長ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ臨時休業ヲ爲スヘシ其ノ急迫シ事情アル場合ニ於テハ學校長ニ於テ臨時休業ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ遲滯ナク之ヲ監督官廳ニ屆出ツヘシ

前項ノ事由アルトキハ監督官廳ハ臨時休業ヲ命スルコトヲ得

第十九條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第二十條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第二十一條　生徒退學セムトスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條　學校長ハ兵役ニ服スル生徒ニ對シテハ休學ヲ許可スヘシ

第二十三條　學校長ハ調育上必要ト認ムルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第二十四條　各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ

第二十五條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得

第二十六條　學校長ハ全學科ノ卒業ヲ認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

第二十七條　實業學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第二十八條　實業學校ニ於テハ左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表、教科書配當表及學校暦

二　職員ノ名簿、履歷書、出勤簿並擔任學科目及時間表

三　生徒ノ學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表及兵役ニ關スル書類

四　入學試驗及學年試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、器械、器具、標本及模型ノ目錄

六　往復書類

學籍簿ニハ生徒ノ兵名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學退學ノ事由、兵役關係、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第一項ノ表簿中學籍簿ハ十五年以上之ヲ保存シ其ノ他ノ表簿ハ五年以上之ヲ保存スヘシ

實業學校ヲ廢止シタルトキハ三十日以內ニ生徒ノ學籍簿ヲ監督官廳ニ提出スヘシ監督官廳ノ命ニ依リ實業學校ヲ閉鎖シタルトキ亦同シ

前項ノ生徒ノ學籍簿ハ十五年以上之ヲ保存スルモノトス

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

實業學校規則及朝鮮公立實業專修學校及朝鮮公立簡易實業專修學校規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ在ル農業學校、商業學校及商業專修學校、商工學校、水產學校又ハ簡易實業學校及簡易實業專修學校ハ各本令ニ依リ規定ニ本令施行ノ日ヨリ其ノ效力ヲ失フ

附　則（明治三十六年三月勅令第六十二號）

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

【札幌農學校】、盛岡高等農林學校【東京高等商業學校】神戶高等商業學校、東京高等工業學校、大阪高等工業學校及京都高等工藝學校ハ本令施行ノ日ヨリ實業專門學校トス

一　名稱、位置

二　生徒及學級數

三　開校年月日

四　學則

五　校地、校舍、寄宿舍及實習地等ノ平面圖（增築及新設ノ場合ニ於テハ增築及新設ノ分ヲ記載スヘシ）

六　農業ヲ授クル學校ニ限リ記載スヘシ

一年ノ收支概算（初年度ヨリ整ハル年度ニ至ル年度ノ分ニ付記載スヘシ）

七　維持方法

第七條　實業學校ニ於テ前條第一號、第二號、第四號又ハ第七號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第三號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第七條ノ二　第六條ノ規定ハ公立實業學校ノ設立者變更ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條　實業學校ノ校舍若ハ寄宿舍ノ新築、增築、改築又ハ校地ノ擴張、縮小又ハ道立實業學校ニ在リテハ國面ヲ具シ朝鮮總督ニ屆出テ其ノ他ノ實業學校ニ在リテハ國面ヲ具シ道知事ノ認可ヲ受クヘシ農業ヲ授クル學校ノ實習地ニ付亦同シ

前項ノ規定ニ依リ道知事ニ於テ認可ヲ爲シタルトキハ國面ヲ具シ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第九條　學則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一　學校ノ目的

二　修業年限及入學資格ニ關スル事項

三　學科、學科課程及每週教授時數ニ關スル事項

四　休業日ニ關スル事項

五　入學、在學、退學及懲戒ニ關スル事項

六　課程ノ修了及卒業ニ關スル事項

七　授業料ニ關スル事項

八　寄宿舍ニ關スル事項

九　前各號ノ外學校ニ於テ必要トスル事項

第十條　實業學校ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條　實業學校ニ於テハ教授上特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　國民タルノ性格ヲ涵養シ德良ナル人格ノ養成ヲ圖リ特ニ誠實ニシテ信用ヲ重ムシ勤儉ニシテ公益ニ力ヲ盡スノ氣風ヲ養ハムコトヲ期シ何レノ學科目ニ於テモ常ニ深ク之ニ留意スヘシ

二　知識技能ハ學校ノ程度ニ適應スル事項ヲ選ヒ生徒之ヲ授ケ且土地ノ情況及生活ノ實際ニ適切ナラシメムコトヲ期スヘシ

三　生徒ノ身體ヲ健全ニ發達セシメムコトヲ期シ何レノ學科目ニ於テモ其ノ教授ニ生徒ノ心身發達ノ程度ニ副ハシメムコトヲ要ス

四　各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ラス生徒ノ心身發達ノ程度ニ副ハシメムコトヲ要ス

第十二條　工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校及職業學校ノ修業年限、入學、學科、學科目及其ノ程度、入學、轉學、退學、教授日數、教授時數、編制及設備ニ關スル規定ハ本令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外文部省令ノ定ムル當該學校規程ニ依ル

但シ此等ノ規程中文部大臣トアルハ朝鮮總督トス

第十三條　削除

第十四條　實業學校ノ教科書ハ學校長ニ於テ之ヲ定ム

朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル教科書

第十五條　實業學校ノ學科目及其ノ程度ニ適合スル教科用圖書ハ學校長ニ於テ之ヲ定ム

朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル教科用圖書

第十六條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第十七條　傳染病豫防ノ爲必要アルトキハ其ノ他非常變災アルトキハ學校長ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ臨時休業ヲ爲スヘシ其ノ急迫シ事情アル場合ニ於テハ學校長ニ於テ臨時休業ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ遲滯ナク之ヲ監督官廳ニ屆出ツヘシ

前項ノ事由アルトキハ監督官廳ハ臨時休業ヲ命スルコトヲ得

第十八條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第十九條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第二十條　生徒退學セムトスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十一條　學校長ハ兵役ニ服スル生徒ニ對シテハ休學ヲ許可スヘシ

第二十二條　學校長ハ調育上必要ト認ムルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第二十三條　削除

第二十四條　實業學校ノ教科書ハ學校長ニ於テ之ヲ定ム

朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル教科書

第二十五條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得

第二十六條　學校長ハ全學科ノ卒業ヲ認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

第二十七條　實業學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第二十八條　實業學校ニ於テハ左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表、教科書配當表及學校暦

二　職員ノ名簿、履歷書、出勤簿並擔任學科目及時間表

三　生徒ノ學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表及兵役ニ關スル書類

四　入學試驗及學年試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並圖書、器械、器具、標本及模型ノ目錄

六　往復書類

學籍簿ニハ生徒ノ兵名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學退學ノ事由、兵役關係、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第一項ノ表簿中學籍簿ハ十五年以上之ヲ保存シ其ノ他ノ表簿ハ五年以上之ヲ保存スヘシ

實業學校ヲ廢止シタルトキハ三十日以內ニ生徒ノ學籍簿ヲ監督官廳ノ命ニ依リ實業學校ヲ閉鎖シタルトキ亦同シ

前項ノ生徒ノ學籍簿ハ十五年以上之ヲ保存スルモノトス

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

實業學校規則及朝鮮公立實業專修學校及朝鮮公立簡易實業專修學校規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ在ル農業學校、商業學校及商業專修學校、商工學校、水產學校又ハ簡易實業學校及簡易實業專修學校ハ各本令ニ依リ

ノ設立シタル農業學校、商業學校、商工學校、本庄學校ハ又實業補習學校トス
前項ノ學校ハ本令ニ依リ認可ヲ受ケヘキ事項ハ本令施行ノ際ニ限リ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス
朝鮮教育令第二十九條第二項ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル生徒ニ對シテハ教科目、教則及課程ハ仍尋常ニ依リ又ハ之ヲ準用シ
仍尋常ニ依リ又ハ之ヲ準用シ

●實業補習學校規程

昭和十年四月
總令第五十二號

實業補習學校規程左ノ通定ム

實業補習學校規程

第一條　實業補習學校ハ小學校又ハ普通學校ノ教科ヲ卒ヘ職業ニ從事スル者ニ對シ德性ヲ涵養シ職業ニ關スル知識技能ヲ授ケ國民生活ニ須要ナル教育ヲ爲スヲ目的トス

第二條　道、府、學校費又ハ學校組合ハ實業補習學校ヲ設立スルコトヲ得
商工會議所其ノ他之ニ準ズベキ公共團體又ハ私人ハ實業補習學校ヲ設立スルコトヲ得
第一項ノ規定ニ依リテ設立スルモノヲ公立實業補習學校トシ前項ノ規定ニ依リテ設立スルモノヲ私立實業補習學校トス

第三條　實業補習學校ヲ設立セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一　名稱及位置
二　生徒ノ定員及學級數
三　開校年月日
四　學則
五　校地、校舍、寄宿舍及實習地等ノ平面圖（圖面ニ方位ヲ記載スベシ）
但シ實習地等ノ平面圖ハ農業ヲ授クル實業補習學校ニ限リ記載スベシ
六　一年ノ收支概算（初年度ヨリ完成年度ニ至ル各年ノ收支ノ分ニ付記載スベシ）
七　維持方法

第四條　實業補習學校ニ於テ前條第一號、第二號、第四號又ハ第七號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第三號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五條　第三條ノ規定ハ公立實業補習學校ノ設立者變更ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條　實業補習學校ノ校舍若ハ寄宿舍ヲ新築、增築若ハ改築シ又ハ校地ヲ擴張若ハ縮小セントスルトキハ同面ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケベシ農業ヲ授クル實業補習學校ノ實習地等ニ付亦同シ

第七條　學則ニハ左ノ事項ヲ規定スベシ

一　學校ノ目的
二　修業年限及入學資格ニ關スル事項
三　學科目、學科課程及教授時數ニ關スル事項
四　學年、學期及教授ノ季節ニ關スル事項
五　休業日ニ關スル事項
六　入學、退學及懲戒ニ關スル事項
七　授業料ニ關スル事項
八　寄宿舍ニ關スル事項
九　前各號ノ外學校ニ於テ必要トスル事項

第八條　實業補習學校ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケベシ

第九條　實業補習學校ノ修業年限ハ二年乃至三年ヲ標準トス但シ農業ヲ授クル實業補習學校ニ在リテハ入學資格、教授時數等ニ應ジ一年以内之ヲ短縮シ又ハ延長スルコトヲ得

第十條　實業補習學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齢十二年以上ニシテ尋常小學校若ハ普通學校ノ教科ヲ卒ヘタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルベシ但シ農業ヲ授クル實業補習學校ニ在リテハ其ノ修業年限ニ應ジ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

第十一條　實業補習學校ノ總教授時數（實習ヲ含ム）ハ六百時以上トス

第十二條　實業補習學校ノ學科目ハ修身及公民（國語、職業トス但シ國語ヲ常用スル者ニハ國語ニ代ヘ朝鮮語ヲ課スルコトヲ得）
女子ニハ前項學科目ノ外家事及裁縫ヲ加フ
前二項ノ學科目ノ外必要ニ應ジ歷史、地理、數學、理科、體操、簿記其ノ他ノ學科目中ヨリ適宜選擇シテ之ヲ加設スルコトヲ得
前項ノ加設科目ハ適宜之ヲ綜合シテ課スルコトヲ得

第十三條　實業補習學校ニ於テハ教授上特ニ左ノ事項ニ注意スベシ

一　國民タルノ性格ヲ涵養シ醇良ナル人格ノ養成ヲ圖リ特ニ誠實ニシテ信用ヲ重ンジ勤儉ニシテ公益ニ力ヲ盡スノ氣風ヲ長ジ同胞輯睦ノ美風ヲ養ハンコトヲ期シ何レノ學科目ニ於テモ常ニ深ク之ニ留意スルコトヲ要ス
二　總テ教材ハ鄉土的事象ノ中ニ之ヲ求メ教授ハ力メテ生活ノ實驗ト卽セシメ實習ヲ重ンジ勤勞好愛ノ美風ヲ涵致スルコトニ力ムルト共ニ農業、工業、商業、水産等ニ關シ實際經營上必要ナル技能ヲ體得セシメンコトヲ要ス
三　生徒心身ノ發達ニ應ジ身體ヲ練磨シ心力ヲ練成シテ堅忍耐久ノ體質ト剛健敢爲ノ氣象ヲ陶冶スルコトヲ要ス
四　各學科目ノ綜合的指導ニ留意シ五ニ相關聯シテ補益セシメンコトヲ要ス

第十四條　實業補習學校ノ教科書ハ道知事ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムベシ前項ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ圖書ノ名稱、巻册ノ記號、使用セントスル學年、著者及發行者ノ氏名、發行年月日ヲ具シ道知事ニ申請スベシ

朝鮮總督府ニ於テ編纂シタル實業補習學校教科書アルトキハ之ヲ使用セシムベシ

第十五條　實業補習學校ノ課程ヲ卒ヘ更ニ學習セントスル者ノ爲別ニ適宜ノ課程ヲ設ケ一定ノ期間之ヲ在學セシムルコトヲ得

第十六條　學年、學期及教授ノ季節ハ土地ノ狀況又ハ學校ノ種類ニ依リ適宜之ヲ定ムベシ

第十七條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ親賀ノ式ヲ行フベシ

第十八條　學校長ハ訓育上必要ト認ムルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十九條　生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クベシ

第二十條　學校長ハ全課程ノ卒業ヲ認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スベシ

第二十一條　實業補習學校ニ於テハ教授料ヲ徵收スルコトヲ得

第二十二條　實業補習學校ニ於テハ左ノ表簿ヲ備フベシ

一　學則、日課表及教科書配當表
二　職員ノ履歷書、出勤簿及擔任學科目表
三　生徒ノ學籍簿、出席簿及成績表
四　設備原簿、出納簿及經費ノ收支ニ關スル帳簿
五　往復文書

前項ノ表簿中履歷書及學籍簿ハ十五年以上之ヲ保存シ其ノ他ハ五年以上之ヲ保存スベシ

第二十三條　實業補習學校ニ於テハ短期特殊ノ事項ヲ授クル爲隨時講習ヲ爲スコトヲ得

第二十四條　實業補習學校ハ之ヲ他ノ學校、試驗場、講習所等ニ併設スルコトヲ得

第二十五條　本令中朝鮮總督トアルハ道ノ實業補習學校ニ係ル場合ヲ除クノ外道知事トス

前項ノ規定ニ依リ道知事ニ於テ認可シタル事項及同ジク受ケタル事項ハ選滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ存スル實業補習學校ハ之ヲ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス
本令施行ノ際現ニ前項ノ實業補習學校ニ在學スル生徒ニ付テハ其ノ在學ノ間仍舊令ニ依リ又ハ之ヲ準用スルコトヲ得

第十四款　學位

●朝鮮、臺灣、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル學位授與ニ關スル件

昭和六年十一月
勅令第二百六十八號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ朝鮮、臺灣、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル學位授與ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

朝鮮、臺灣、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル學位授與ニ關スル件

●學位令

大正九年七月
勅令第二百號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ學位令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

學位令

第一條　學位ハ博士トス

第二條　學位ハ大學ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ授與ス

第三條　博士ノ種類ハ大學ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四條　學位ヲ授與セラルヘキ者ハ大學學部研究科ニ於テ二年以上研究ニ從事シ論文ヲ提出シテ學部教員會ノ審査ニ合格シタル者又ハ論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ學部教員會ニ於テ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者トス

第五條　學部教員會ハ前條ノ論文審査ニ付其ノ提出者ニ對シ試問ヲ行フコトヲ得

第六條　大學ニ於テ學位授與ノ認可ヲ申請スルトキハ論文及其ノ審査ノ要旨ヲ添附スヘシ

第七條　學位ヲ授與セラレタル者ハ授與ノ日ヨリ六月内ニ其ノ提出ニ係ル論文ヲ印刷公表スヘシ但シ學位授與前既ニ印刷公表セラレタルモノナルトキ又ハ文部大臣ニ於テ其ノ印刷公表ヲ相當ナラスト認メタルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條　大學ハ論文ノ審査ニ付手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第九條　學部教員會ニ於ケル論文審査ノ手續其ノ他學位ニ關スル規程ハ大學ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十條　學位ヲ有スル者其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アルトキハ大學ニ於テ學位ニ關スル規程ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ經テ學位ノ授與ヲ取消スルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮、臺灣、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル學位授與ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

●學位令

大正九年七月
勅令第二百號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ學位令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

學位令

第一條　學位ハ博士トス

第二條　學位ハ大學ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ授與ス

第三條　博士ノ種類ハ大學ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四條　學位ヲ授與セラルヘキ者ハ大學學部研究科ニ於テ二年以上研究ニ從事シ論文ヲ提出シテ學部教員會ノ審査ニ合格シタル者又ハ論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ學部教員會ニ於テ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者トス

第五條　學部教員會ハ前條ノ論文審査ニ付其ノ提出者ニ對シ試問ヲ行フコトヲ得

第六條　大學ニ於テ學位授與ノ認可ヲ申請スルトキハ論文及其ノ審査ノ要旨ヲ添附スヘシ

第七條　學位ヲ授與セラレタル者ハ授與ノ日ヨリ六月内ニ其ノ提出ニ係ル論文ヲ印刷公表スヘシ但シ學位授與前既ニ印刷公表セラレタルモノナルトキ又ハ文部大臣ニ於テ其ノ印刷公表ヲ相當ナラスト認メタルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條　大學ハ論文ノ審査ニ付手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第九條　學部教員會ニ於ケル論文審査ノ手續其ノ他學位ニ關スル規程ハ大學ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十條　學位ヲ有スル者其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アルトキハ大學ニ於テ學位ニ關スル規程ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ經テ學位ノ授與ヲ取消スルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮、臺灣、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル學位授與ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第十五款　青年訓練所

●青年訓練所規程

昭和四年十月
總令第八十九號
改正　昭和五年三月二九號

青年訓練所規程左ノ通定ム

青年訓練所規程

第一條　青年訓練所ハ青年ノ心身ヲ鍛練シテ國民タルノ資質ヲ向上セシムルヲ以テ目的トス

第二條　青年訓練所ノ訓練期間ハ四年トス

第三條　青年訓練所ニ入所スルコトヲ得ル者ハ其ノ年ノ三月三十一日ニ於テ十六歲以上十七歲未滿ノ男子トス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル者ニ限リ入所セシムルコトヲ得

第四條　青年訓練所ノ入所期ハ毎年四月トス但シ特別ノ事情アル者ハ中途之ヲ入所セシムルコトヲ得

第五條　府及面ハ青年訓練所ヲ設立スルコトヲ得

私人ハ工場、商店等ニ於テ青年訓練所ヲ設クルコトヲ得ル者多數ニ徒儲スルコトヲ得

第六條　青年訓練所ヲ設立セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

一　名稱
二　位置

三　規則

四　青年訓練所ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

五　開所年月日

前項第一號及第二號ノ變更ハ朝鮮總督ニ届出ヅヘシ

第七條　青年訓練所ノ訓練ハ毎年四月ヨリ翌年三月ニ至ル間ニ於テ之ヲ行フ

第八條　青年訓練所ノ訓練時間ハ毎年二百時以上トス

第九條　青年訓練所ノ訓練ハ主トシテ夜間又ハ休日ニ之ヲ行フ

第十條　青年訓練所ノ訓練ハ修身及公民科、教練、普通學科、職業科トス

第十一條　普通學科ハ日常必須ノ知能ヲ增進セシムルヲ以テ要旨トス

普通學科ハ國語（數學、歷史、地理、理科等ニ關スル事項ニ就キ高等小學校卒業ノ程度ヲ基準トシ地方ノ情況ニ應ジ實際生活ニ適切ナル事項ヲ選ビテ之ヲ授ケ特ニ生徒ノ職業ニ對スル趣味ト勤勞ヲ重ンズル習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

第十二條　職業科ハ農業、工業、商業ノ中ニ就キ土地ノ情況ニ適切ナル事項ヲ授クベシ

第十三條　青年訓練所ノ訓練時數ハ四年ヲ通シテ修身及公民科百時、教練四百時、普通學科二百時、職業科百時ヲ下ラザルモノトス

特別ノ事由アル場合ニ於テハ前項教練ノ訓練時數ヲ二百時ニ減ジ之ヲ普通學科及職業科ノ時數ニ配當スルコトヲ得

第十四條　現ニ學校ニ在學スル者若ハ相當ノ學力アリト認メタル者又ハ特別ノ事由アル者ニ對シテハ一部ノ訓練項目ヲ課セザルコトヲ得

第十五條　現ニ學校ニ在學シ朝鮮總督ニ於テ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認ムル課程ヲ修メタル者ハ青年訓練所ノ訓練ヲ受ケタル者ト看做ス

第十六條　青年訓練所ノ訓練ヲ受ケタル者ニハ修了證書ヲ授與スベシ但シ前各號ニ依リ學位ヲ授與スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　青年訓練所ニ主事及指導員ヲ置ク

主事ハ道知事ノ指揮ヲ受ケ訓練ヲ擔當ス

第十八條　公立青年訓練所ノ主事ハ實業補習學校長、小學校長又ハ普通學校長ニ、指導員ハ實業補習學校、小學校又ハ普通學校ノ教員、在鄉軍人其ノ他適當ト認メタル者ニ道知事之ヲ囑託ス

公立青年訓練所ノ主事及指導員ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

私立青年訓練所ノ主事及指導員ハ設立者ニ於テ道知事ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムベシ

第十九條　青年訓練所ニ於テハ訓練ヲ受ケル者ヨリ費用ヲ徵收スルコトヲ得ズ但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條　青年訓練所ハ別表ノ樣式ニ依リ青年訓練名簿ヲ調製スベシ

第二十一條　青年訓練所ハ訓練ヲ受ケル者ノ出席簿ヲ作リ其ノ出席缺席ヲ明ニスベシ

第二十二條　青年訓練所ハ訓練ヲ受ケル者ヲシテ青年訓練手帳ヲ所持セシムベシ

青年訓練手帳ノ樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第二十三條　青年訓練所ノ課程ヲ修了シタル者ニ修了證ヲ授與スベシ但シ訓練ヲ受ケタル者ニハ一定メタル時數ノ訓練ヲ受ケタル後入校シタル者ニ對シテハ修了證ヲ授與スベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル青年訓練所ニシテ昭和三年文部省告示第一號第三號ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ認定シタルモノハ當分ノ間本令ニヨリ設立シタルモノト看做ス

在鄉軍人分會其ノ他朝鮮總督ノ適當ト認ムル團體ハ當分ノ間青年訓練所ヲ設立スルコトヲ得

氏名		原籍	住所	現住所ノ世帯主トノ關係	職業	年月日	入所	修了	退所	摘要
						年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
						〃 〃 〃	〃 〃 〃	〃 〃 〃	〃 〃 〃	
						〃 〃 〃	〃 〃 〃	〃 〃 〃	〃 〃 〃	
						〃 〃 〃	〃 〃 〃	〃 〃 〃	〃 〃 〃	
						〃 〃 〃	〃 〃 〃	〃 〃 〃	〃 〃 〃	

記載ニ關シ必要ナル事項ハ非現役者ニ在リテハ入所ノ際ノ住所ニ付キ記載スルモノトス

○

氏名	年 月 日生	現住所	世帯主トノ關係	職業	入所 年 月 日	修了 年 月 日	退所 年 月 日	摘要
	年 月 日生				年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	〃 〃 〃				〃 〃 〃	〃 〃 〃	〃 〃 〃	
	〃 〃 〃				〃 〃 〃	〃 〃 〃	〃 〃 〃	
	〃 〃 〃				〃 〃 〃	〃 〃 〃	〃 〃 〃	
	〃 〃 〃				〃 〃 〃	〃 〃 〃	〃 〃 〃	

備考
○　○

四　各欄ノ紙數ハ適宜トスルコト

（參照）

青年訓練手帳ニ關スル心得

一、本手帳ハ青年訓練所ニ出席ノ際必ズ之ヲ携帶スベシ

二、本手帳ハ教育ニ關スル軈語ヲ來記シ且訓練ニ關スル重要事項ヲ記載スルモノナレバ細心ノ注意ヲ以テ之ヲ取扱ヒ汚損又ハ紛失等ノコト無キ樣スベシ

三、本手帳中學歷欄及出席時數欄ハ青年訓練所ニ於テ之ヲ記入スベシ但シ出席時數欄ハ當該年次ノ終リタルトキ之ヲ記入スルモノトス

四、前項以外ノ各欄ハ青年訓練ヲ受ケル者ニ於テ適宜記入スルモノトス

五、居住所移轉等ノ事由ニ因リ退所スル場合ニ於テハ本手帳ヲ青年訓練所ニ提示シ出席時數其ノ他當該訓練所ニ於テ受ケタル訓練ニ關係アル事項ノ記入證明ヲ受クルモノトス

六、他ノ青年訓練所ニ入所シタルトキハ其ノ青年訓練所ニ本手帳ヲ提示スルモノトス

七、本手帳ヲ滅失毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ新ニ手帳ヲ當該訓練所ニ提出シテ必要ナル事項ノ記入ヲ申出ツベシ

●青年學校教練科等査閱令

昭和十年八月
勅令第二百四十九號

陸青年學校教練科等査閱令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

青年學校教練科等査閱令

陸軍大臣ハ陸軍現役將校ヲシテ青年學校等又ハ昭和十年勅令第九十一號ニ依ル青年學校ニ於ケル教練科及兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依リ其ノ課程ヲ青年學校ノ課程ト同等以上ト認定シタル學校（陸軍現役將校學校配屬令又ハ大正十四年勅令第二百四十六號ニ依リ陸軍現役將校ヲ配屬シタル學校、陸軍現役將校學校配屬令第五條第一項ニ揭ゲル學校及陸軍所屬ノ學校ヲ除ク）ニ於ケル青年學校教練科相當科目ニ關スル査閱ヲ爲サシムルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年勅令第七十八號ハ之ヲ廢止ス

●青年學校教練科等査閱規程

昭和十年八月
陸令第八號

青年學校教練科等査閱規程左ノ通定ム

第一條　青年學校教練科等査閱ハ昭和十年勅令第二百四十九號ニ依ル青年學校等ニ於ケル教練科等ノ査閱ハ各青年學校（其ノ課程ヲ青年學校ノ課程ト同等以上ト認定シタル學校ヲ含ム以下同ジ）ニ於ケル教練科（其ノ課程ヲ青年學校ノ課程ト同等以上ト認定シタル學校ニ在リテハ青年學校ニ於ケル教練科相當科目以下同ジ）ノ情況ヲ檢シ當該青年學校ノ課程ヲ修ムル者ガ兵役ニ關スル特別ノ資格ヲ具備スルヤ否ヤヲ考察スルト共ニ教練科ノ進歩發達ニ資スルヲ以テ目的トス

第二條　青年學校ニ於ケル教練科ニ關スル査閱ヲ爲サシムル將校ヲ青年教練査閱官ト稱ス

第三條　青年教練査閱官ハ師團長又ハ軍司令官（朝鮮軍司令官ヲ除ク以下同ジ）其ノ部下ノ將校ノ中ヨリ之ヲ命ズ但シ師團長又ハ軍司令官ノ部隊ノ長ト協議シ青年教練査閱官ヲ命ズルコトヲ得

第四條　青年學校ニ於ケル教練科ニ關スル査閱ハ聯隊區（朝鮮、臺灣、關東州、滿洲國又ハ支那ニ在リテハ兵役法施行規則第百八十一條ニ揭ゲル上欄ノ地域ニ從ヒ各其ノ下欄ノ師團長又ハ軍司令官ニ於テ適宜定ムル區域以下同ジ）毎ニ若干名ノ青年教練査閱官ヲシテ分擔シテ之ヲ行ハシム

第五條　師團長又ハ軍司令官ハ當該師管（第十二師團長ニ在リテハ當該師管ニ上海、漢口ヲ加ヘタル地域、兵役法施行規則第百八十一條ニ揭ゲル下欄ノ師團長（第十二師團長ヲ除ク）又ハ軍司令官ニ在リテハ各其ノ上欄ニ揭ゲル地域以下同ジ）内ニ於ケル教練科ニ關スル査閱ヲ指揮監督ス

第六條　師團長又ハ軍司令官ハ教練科ニ關スル査閱ニ關シ關係ノ地方長官（朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、關東州ニ在リテハ關東州廳長官、南滿洲鐵道附屬地ニ在リテハ滿洲國駐劄特命全權大使、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、滿洲國（南滿洲鐵道附屬地ヲ含ム）及支那ニ在リテハ領事官（明治三十二年法律第七十號第十九條ニ規定スル領事官ヲ謂フ）以下同ジ）ト協議スベシ

師團長（第十九、第二十師團長ヲ除ク）ハ前項ノ協議ノ結果及青年教練査閱官ノ官氏名ヲ聯隊區司令官ニ通知スベシ

第九條　聯隊區司令官ハ第十九、第二十師團長又ハ軍司令官ハ青年教練査閱日割表ノ調製及査閱場ノ選定ニ關シ要スレバ聯隊區司令官ニ對シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條　聯隊區司令官ハ青年教練査閱官ノ擔任スベキ青年學校、査閱ノ場所及査閱日割ヲ定メテ査閱ノ日ヨリ概ネ二十日前ニ之ヲ地方長官、道知事、州知事、廳長及青年教練査閱官ニ通知スベシ但シ聯隊區司令官ニ在リテハ該通知前豫メ師團長ノ認可ヲ受クルモノトス

第十一條　師團長又ハ軍司令官ハ豫メ聯隊區毎ニ分チタル青年教練査閱日割表ヲ陸軍大臣ニ報告スベシ

前項ノ査閱日割表ハ當該年ノモノヲ數次ニ分チ報告スルコトヲ得

第十二條　青年教練査閱官教練科ニ關スル査閱ヲ爲ス青年教練査閱官ハ當該青年學校ノ管理者（道府縣立學校ニ在リテハ學校長、私立學校ニ在リテハ設置者又ハ其ノ代表者）立會ノ上學校長（道府縣立學校ノ學校長ヲ除ク）又ハ青年訓練所主事並ニ教練科ヲ擔任スル教諭、助教諭及指導員ニ對シ所見ヲ開示スベシ

第十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ結果ニ基キ其ノ全般及各青年學校ノ教練科ニ付左ノ事項ヲ記載シタル報告書三通ヲ調製シ査閱終了後二十日以内ニ師團長又ハ軍司令官ニ提出スベシ

一　教練科成績ノ概要

二　査閱ノ結果ニ付開示シタル所見ノ要旨

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十四條　師團長又ハ軍司令官ハ前條ノ報告書ノ内一通ヲ當該青年學校所管ノ地方長官、道知事、州知事及廳長ニ送付シ師團長（第十九、第二十師團長ヲ除ク）ニ在リテハ他ノ一通ヲ當該青年學校所在地ノ聯隊區司令官ニ交付スベシ

第十五條　師團長又ハ軍司令官ハ毎年左ノ事項ヲ記載シタル管内青年教練査閱報告書ヲ調製シ五月十日迄ニ陸軍大臣ニ提出スベシ

一　第六條ノ規定ニ依リ指示シタル査閱ノ要領其ノ他ノ事項

二　教練科一般ノ成績

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十六條　師團長ハ毎年初年兵入營後七十日以内ニ到着スル如ク左ノ事項ヲ記載シタル檢定報告書ヲ調製シテ陸軍大臣ニ提出シ且前條ノ檢定結果表ヲ關係ノ地方長官又ハ樺太廳長官ニ送付スベシ

一　第二條ノ規定ニ依リ指示シタル事項

二　前條ノ規定ニ依リ檢定ニ關シ各聯隊長ヨリ提出シタル報告書（檢定結果表ヲ除ク）

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十七條　師團長ハ毎年初年兵入營後七十日以内ニ到着スル如ク左ノ事項ヲ記載シタル檢定報告書ヲ調製シテ陸軍大臣ニ提出シ且前條ノ檢定結果表ヲ關係ノ地方長官又ハ樺太廳長官ニ送付スベシ

一　第二條ノ規定ニ依リ指示シタル事項

二　前條ノ規定ニ依リ檢定ニ關シ各聯隊長ヨリ提出シタル報告書（檢定結果表ヲ除ク）

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十八條　師團長ハ毎年初年兵入營後七十日以内ニ到着スル如ク左ノ事項ヲ記載シタル檢定報告書ヲ調製シテ陸軍大臣ニ提出シ且前條ノ檢定結果表ヲ關係ノ地方長官又ハ樺太廳長官ニ送付スベシ

一　第二條ノ規定ニ依リ指示シタル事項

二　前條ノ規定ニ依リ檢定ニ關シ各聯隊長ヨリ提出シタル報告書（檢定結果表ヲ除ク）

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十九條　本規程ハ教育ノ爲兵役ニ召集セラレタル者ニシテ第一條第一項ノ證明書ヲ有スルモノニ付テハ同條ニ規定スル檢定ニ合格シタル者ト看做ス

第二十條　聯隊區司令官ハ第十九、第二十師團長又ハ軍司令官ハ青年教練査閱日割表ノ調製及査閱場ノ選定ニ關シ要スレバ聯隊區司令官ニ對シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　師團長又ハ軍司令官ハ青年教練査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年教練査閱官ヲ增加スルコトヲ得

第二十二條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ニ對シ教練科ニ關スル書類ノ提出ヲ求メ又ハ教練科ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル教員ヲ召集シテ教練ノ實施ニ關シ意見ヲ徵シ又ハ教練科ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十四條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十五條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十六條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十七條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十八條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十九條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十一條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十二條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十四條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十五條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十六條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十七條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十八條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十九條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十一條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十二條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十四條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十五條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十六條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十七條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十八條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十九條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第五十條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第五十一條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第五十二條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第五十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第五十四條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第五十五條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第五十六條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第五十七條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第五十八條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第五十九條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第六十條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第六十一條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第六十二條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第六十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第六十四條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第六十五條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第六十六條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第六十七條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第六十八條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第六十九條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第七十條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第七十一條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第七十二條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第七十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第七十四條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第七十五條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第七十六條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第七十七條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第七十八條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第七十九條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第八十條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第八十一條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第八十二條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第八十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第八十四條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第八十五條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第八十六條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第八十七條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第八十八條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第八十九條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第九十條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第九十一條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第九十二條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第九十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第九十四條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第九十五條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第九十六條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第九十七條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第九十八條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第九十九條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第百條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

埋者、學校長、警察官、道知事、州知事又ハ廳長ト協議スベシ

第十條　聯隊區司令官第十九、第二十師團長又ハ軍司令官ハ青年學校、査閱ノ場所及査閱日割ヲ定メテ査閱ノ日ヨリ概ネ二十日前ニ之ヲ地方長官、道知事、州知事、廳長及青年教練査閱官ニ通知スベシ但シ聯隊區司令官ニ在リテハ該通知前豫メ師團長ノ認可ヲ受クルモノトス

第十一條　師團長又ハ軍司令官ハ豫メ聯隊區毎ニ分チタル青年教練査閱日割表ヲ陸軍大臣ニ報告スベシ

前項ノ査閱日割表ハ當該年ノモノヲ數次ニ分チ報告スルコトヲ得

第十二條　青年教練査閱官教練科ニ關スル査閱ヲ爲ス青年教練査閱官ハ當該青年學校ノ管理者（道府縣立學校ニ在リテハ學校長、私立學校ニ在リテハ設置者又ハ其ノ代表者）立會ノ上學校長（道府縣立學校ノ學校長ヲ除ク）又ハ青年訓練所主事並ニ教練科ヲ擔任スル教諭、助教諭及指導員ニ對シ所見ヲ開示スベシ

第十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ結果ニ基キ其ノ全般及各青年學校ノ教練科ニ付左ノ事項ヲ記載シタル報告書三通ヲ調製シ査閱終了後二十日以内ニ師團長又ハ軍司令官ニ提出スベシ

一　教練科成績ノ概要

二　査閱ノ結果ニ付開示シタル所見ノ要旨

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十四條　師團長又ハ軍司令官ハ前條ノ報告書ノ内一通ヲ當該青年學校所管ノ地方長官、道知事、州知事及廳長ニ送付シ師團長（第十九、第二十師團長ヲ除ク）ニ在リテハ他ノ一通ヲ當該青年學校所在地ノ聯隊區司令官ニ交付スベシ

第十五條　師團長又ハ軍司令官ハ毎年左ノ事項ヲ記載シタル管内青年教練査閱報告書ヲ調製シ五月十日迄ニ陸軍大臣ニ提出スベシ

一　第六條ノ規定ニ依リ指示シタル査閱ノ要領其ノ他ノ事項

二　教練科一般ノ成績

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十六條　師團長ハ毎年初年兵入營後七十日以内ニ到着スル如ク左ノ事項ヲ記載シタル檢定報告書ヲ調製シテ陸軍大臣ニ提出シ且前條ノ檢定結果表ヲ關係ノ地方長官又ハ樺太廳長官ニ送付スベシ

一　第二條ノ規定ニ依リ指示シタル事項

二　前條ノ規定ニ依リ檢定ニ關シ各聯隊長ヨリ提出シタル報告書（檢定結果表ヲ除ク）

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十七條　師團長ハ毎年初年兵入營後七十日以内ニ到着スル如ク左ノ事項ヲ記載シタル檢定報告書ヲ調製シテ陸軍大臣ニ提出シ且前條ノ檢定結果表ヲ關係ノ地方長官又ハ樺太廳長官ニ送付スベシ

一　第二條ノ規定ニ依リ指示シタル事項

二　前條ノ規定ニ依リ檢定ニ關シ各聯隊長ヨリ提出シタル報告書（檢定結果表ヲ除ク）

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十八條　師團長ハ毎年初年兵入營後七十日以内ニ到着スル如ク左ノ事項ヲ記載シタル檢定報告書ヲ調製シテ陸軍大臣ニ提出シ且前條ノ檢定結果表ヲ關係ノ地方長官又ハ樺太廳長官ニ送付スベシ

一　第二條ノ規定ニ依リ指示シタル事項

二　前條ノ規定ニ依リ檢定ニ關シ各聯隊長ヨリ提出シタル報告書（檢定結果表ヲ除ク）

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十九條　本規程ハ教育ノ爲兵役ニ召集セラレタル者ニシテ第一條第一項ノ證明書ヲ有スルモノニ付テハ同條ニ規定スル檢定ニ合格シタル者ト看做ス

第二十條　聯隊區司令官ハ第十九、第二十師團長又ハ軍司令官ハ青年教練査閱日割表ノ調製及査閱場ノ選定ニ關シ要スレバ聯隊區司令官ニ對シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　師團長又ハ軍司令官ハ青年教練査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年教練査閱官ヲ增加スルコトヲ得

第二十二條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ニ對シ教練科ニ關スル書類ノ提出ヲ求メ又ハ教練科ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル教員ヲ召集シテ教練ノ實施ニ關シ意見ヲ徵シ又ハ教練科ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十四條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十五條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十六條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十七條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十八條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十九條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十一條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十二條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十四條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十五條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十六條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十七條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十八條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十九條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十一條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十二條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十三條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十四條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ檢閱スルコトヲ得

第四十五條　青年教練査閱官ハ査閱ノ爲必要アリト認ムルトキハ青年學校ノ教練科ニ關スル學生生徒ヲ召集シテ教練ノ實施ヲ

ノ大意、典令範中必要ノ事項等ニ付其ノ概要ヲ會得シ居ルコト

證　操一六　體操ハ基本體操ニ付略完全ニ、其ノ他ハ概要ヲ會得シ居ルコト

備考　教材ハ青年學校教練科教材配當及進度參考表中ノ教材ヲ標準トス

附錄第一樣式

青年學校課程修得者檢定測查表

歩兵第　聯隊

| | | |

七　寄宿舍ニ關スル事項
八　前各號ノ外學事講習所ニ於テ必要トスル事項

第十二條　醫學講習所ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由、講習生ノ處分方法、廢止期日及資産ノ處分ニ關スル事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●遞信業務傳習生養成規則

大正二年十月
總督第五十四號

改正　大正四年三第一八號、六年一一第四九號、八年一〇第三六號、九年三第一七號

遞信官署

遞信業務傳習生養成規則左ノ通改正ス

遞信業務傳習生養成規則

第一條　遞信業務傳習生（以下單ニ傳習生ト稱ス）ハ遞信官署ノ通信業務、航路標識業務又ハ電信電話ノ工務ニ從事セシムル目的ヲ以テ養成スルモノトス

第二條　傳習生養成ニ關スル事務ハ遞信局長官之ヲ管理ス

第三條　傳習生ハ左ノ各號ニ該當スル者ノ中ヨリ採用ス

一　通信業務ノ甲種傳習生（以下單ニ通信甲種傳習生ト稱ス）ハ年齡十七歲以上二十三歲以下ノ男子、通信業務ノ乙種傳習生（以下單ニ通信乙種傳習生ト稱ス）ハ年齡十四歲以上十九歲以下ノ男子又ハ女子、航路標識業務ノ傳習生（以下單ニ航路標識傳習生ト稱ス）ハ年齡二十歲以上三十五歲以下ノ男子、電信電話工務ノ傳習生（以下單ニ工務傳習生ト稱ス）ハ年齡十七歲以上二十五歲以下ノ男子

二　養成期間中陸海軍ノ現役ニ關係ナキ者ヽ女子ニ在リテハ夫ナキ者

三　品行方正身元確實ニシテ將來永ク第一條ニ揭ケタル業務ニ從事スヘキ志望堅固ナル者

四　體格檢査ニ合格シタル者

五　採用試驗ニ及第シタル者

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ傳習生タルコトヲ得ス

一　故意ヲ以テ通信又ハ航路標識ニ關スル罪ヲ犯シタル者

二　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

三　破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者

四　懲戒ニ依リ免官又ハ免職トナリ二年ヲ經過セサル者

第五條　採用試驗ヲ分チテ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書、（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　算術
五　地理
六　理科（物理、化學ノ初步）
七　英語（讀書、譯解ノ初步）

通信甲種傳習生及工務傳習生筆記試驗ハ中學校卒業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　讀書、（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第六條　傳習生ニ採用セラレタル者ハ保證人ト連署シタル誓約書（第一號書式）ヲ差出スヘシ

傳習生ノ保證人タルヘキ者ハ成年ノ男子ニシテ遞信局長官ニ於テ適當ト認メタル者ニ限ル

第七條　傳習生ノ養成期間ハ十二月以内ニ於テ遞信局長官之ヲ定ム

第八條　通信甲乙兩種傳習生ノ教科目左ノ如シ但シ第六號及第七號ノ科目ハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　電氣通信術
二　電信法規
三　電信學（通信甲種傳習生ニ用ユ）
四　電信術（通信甲種傳習生ニ用ユ）
五　電機取扱方法（通信乙種傳習生ニ用ユ）
六　前各號ノ外郵便局ニ於ケル現業事務一般
七　會計事務
八　服務心得
九　國語（朝鮮人ニ用ユ）
十　朝鮮語（內地人ニ用ユ）
十一　英語
十二　佛語（通信甲種傳習生ニ用ユ）
十三　體操

第九條　航路標識傳習生ノ教科目左ノ如シ

一　燈器取扱方法
二　霧笛號取扱方法
三　氣象觀測方法
四　信號方法
五　營造物ノ保存及修理方法
六　庶務及會計事務
七　服務心得
八　國語（朝鮮人ニ用ユ）
九　朝鮮語（內地人ニ用ユ）
十　體操

第十條　工務傳習生ノ教科目左ノ如シ

一　電氣磁氣學
二　電信學

三　電話學
四　電線路建築準

第十一條　傳習生左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ直ニ之ヲ免ス

第四條ニ該當シタルトキ

一　品行不良又ハ怠惰ニシテ改悛ノ見込ナキトキ

二　傷痍疾病ニ因リ若ハ成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキトキ

三　傳習生ニハ養成期間中手當金ヲ給與スルコトヲ得其ノ金額ハ遞信局長官之ヲ定ム

第十二條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　算術
五　地理
六　理科（物理、化學ノ初步）
七　英語（讀書、譯解）

通信甲種傳習生及工務傳習生筆記試驗ハ中學校卒業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理
八　歷史
九　英語（讀書、譯解、作文）

第十三條　傳習生ノ授業ニ要スル器具機械類及式紙類ハ官品ヲ使用セシム

第十四條　傳習生ニシテ第十二條ノ手當金ヲ受ケタル者ハ卒業ノ日ヨリ起算シ三年間、之ヲ受ケサル者ハ同二年間各其ノ養成セラレタル業務ニ從事スル義務アルモノトス但シ卒業ノ日ヨリ起算シ六月ヲ經ルモ其ノ業務ヲ從事スヘキ官職ニ採用セラレサル者ニ限リ之ヲ免除ス

第十五條　傳習生左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ採用ノ日ヨリ傳習生ノ籍ヲ除キ其ノ養成ニ要シタル費用ヲ一月乃至十二月ノ間ニ償還セシム

一　傳習生ニ採用セラレタル者ハ保證人ヲシテ誓約書（第一號書式）ヲ差出スヘシ

二　傳習生ノ保證人タルヘキ者ハ成年ノ男子ニシテ遞信局長官ニ於テ適當ト認メタル者ニ限ル

第十六條　傳習生ハ遞信局長官ニ於テ已ムヲ得サル事情アリト認ムル場合ヲ除ク外卒業ノ後一定ノ期間遞信官署ニ於テ勤務スヘシ

前項ノ期間ハ通信甲種傳習生ニ付テハ三年、通信乙種傳習生ニ付テハ二年、航路標識傳習生ニ付テハ三年、工務傳習生ニ付テハ二年トス

第十七條　傳習生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ養成ニ要シタル費用ヲ一月乃至十二月ノ間ニ償還セシム

一　故意又ハ重大ナル過失ニ因リ遞信官署ニ損害ヲ與ヘタルトキ

二　正當ノ理由ナクシテ第十一條ノ命令ニ違背シタルトキ

三　第十二條ノ試驗ニ及第スルノ見込ナキニ至リタルトキ

四　第十三條ノ官品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキ

五　第十四條ノ義務年限內ニ辭職シタルトキ

六　前各號ノ外傳習生ニ於テ已ムヲ得サル事情アリト認ムル場合ヲ除ク外卒業ノ後一定ノ期間遞信官署ニ於テ勤務スヘシ

前項ノ期間ハ通信甲種傳習生ニ付テハ三年、通信乙種傳習生ニ付テハ二年、航路標識傳習生ニ付テハ三年、工務傳習生ニ付テハ二年トス

第十八條　傳習生ニ關スル事務ハ遞信局長官之ヲ管理ス

第十九條　傳習生ハ左ノ各號ニ該當スル者ノ中ヨリ採用ス

一　通信業務ノ甲種傳習生（以下單ニ通信甲種傳習生ト稱ス）ハ年齡十七歲以上二十三歲以下ノ男子、通信業務ノ乙種傳習生（以下單ニ通信乙種傳習生ト稱ス）ハ年齡十四歲以上十九歲以下ノ男子又ハ女子、航路標識業務ノ傳習生（以下單ニ航路標識傳習生ト稱ス）ハ年齡二十歲以上三十五歲以下ノ男子、電信電話工務ノ傳習生（以下單ニ工務傳習生ト稱ス）ハ年齡十七歲以上二十五歲以下ノ男子

二　養成期間中陸海軍ノ現役ニ關係ナキ者ヽ女子ニ在リテハ夫ナキ者

三　品行方正身元確實ニシテ將來永ク第一條ニ揭ケタル業務ニ從事スヘキ志望堅固ナル者

四　體格檢査ニ合格シタル者

五　採用試驗ニ及第シタル者

第二十條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　算術
五　地理
六　理科（物理、化學ノ初步）
七　英語（讀書、譯解）

通信甲種傳習生及工務傳習生筆記試驗ハ中學校卒業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）

第二十一條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第二十二條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第二十三條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第二十四條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第二十五條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第二十六條　傳習生ニ採用セラレタル者ハ保證人ト連署シタル誓約書（第一號書式）ヲ差出スヘシ

傳習生ノ保證人タルヘキ者ハ成年ノ男子ニシテ遞信局長官ニ於テ適當ト認メタル者ニ限ル

第二十七條　傳習生ノ養成期間ハ十二月以内ニ於テ遞信局長官之ヲ定ム

第二十八條　通信甲乙兩種傳習生ノ教科目左ノ如シ但シ第六號及第七號ノ科目ハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　電氣通信術
二　電信法規
三　電信學（通信甲種傳習生ニ用ユ）
四　電信術（通信甲種傳習生ニ用ユ）
五　電機取扱方法（通信乙種傳習生ニ用ユ）
六　前各號ノ外郵便局ニ於ケル現業事務一般
七　會計事務
八　服務心得
九　國語（朝鮮人ニ用ユ）
十　朝鮮語（內地人ニ用ユ）
十一　英語
十二　佛語（通信甲種傳習生ニ用ユ）
十三　體操

第二十九條　航路標識傳習生ノ教科目左ノ如シ

一　燈器取扱方法
二　霧笛號取扱方法
三　氣象觀測方法
四　信號方法
五　營造物ノ保存及修理方法
六　庶務及會計事務
七　服務心得
八　國語（朝鮮人ニ用ユ）
九　朝鮮語（內地人ニ用ユ）
十　體操

第三十條　工務傳習生ノ教科目左ノ如シ

一　電氣磁氣學
二　電信學
三　電話學
四　電線路建築準

第三十一條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第三十二條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第三十三條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第三十四條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第三十五條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第三十六條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第三十七條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第三十八條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第三十九條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第四十條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第四十一條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第四十二條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第四十三條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第四十四條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第四十五條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第四十六條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第四十七條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第四十八條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第四十九條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第五十條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

七　寄宿舍ニ關スル事項
八　前各號ノ外學事講習所ニ於テ必要トスル事項

第十二條　醫學講習所ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由、講習生ノ處分方法、廢止期日及資産ノ處分ニ關スル事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●遞信業務傳習生養成規則

大正二年十月
總督第五十四號

改正　大正四年三第一八號、六年一一第四九號、八年一〇第三六號、九年三第一七號

遞信官署

遞信業務傳習生養成規則左ノ通改正ス

遞信業務傳習生養成規則

第一條　遞信業務傳習生（以下單ニ傳習生ト稱ス）ハ遞信官署ノ通信業務、航路標識業務又ハ電信電話ノ工務ニ從事セシムル目的ヲ以テ養成スルモノトス

第二條　傳習生養成ニ關スル事務ハ遞信局長官之ヲ管理ス

第三條　傳習生ハ左ノ各號ニ該當スル者ノ中ヨリ採用ス

一　通信業務ノ甲種傳習生（以下單ニ通信甲種傳習生ト稱ス）ハ年齡十七歲以上二十三歲以下ノ男子、通信業務ノ乙種傳習生（以下單ニ通信乙種傳習生ト稱ス）ハ年齡十四歲以上十九歲以下ノ男子又ハ女子、航路標識業務ノ傳習生（以下單ニ航路標識傳習生ト稱ス）ハ年齡二十歲以上三十五歲以下ノ男子、電信電話工務ノ傳習生（以下單ニ工務傳習生ト稱ス）ハ年齡十七歲以上二十五歲以下ノ男子

二　養成期間中陸海軍ノ現役ニ關係ナキ者ヽ女子ニ在リテハ夫ナキ者

三　品行方正身元確實ニシテ將來永ク第一條ニ揭ケタル業務ニ從事スヘキ志望堅固ナル者

四　體格檢査ニ合格シタル者

五　採用試驗ニ及第シタル者

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ傳習生タルコトヲ得ス

一　故意ヲ以テ通信又ハ航路標識ニ關スル罪ヲ犯シタル者

二　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

三　破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者

四　懲戒ニ依リ免官又ハ免職トナリ二年ヲ經過セサル者

第五條　採用試驗ヲ分チテ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　算術
五　地理
六　理科（物理、化學ノ初步）
七　英語（讀書、譯解）

通信甲種傳習生及工務傳習生筆記試驗ハ中學校卒業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第六條　傳習生ニ採用セラレタル者ハ保證人ト連署シタル誓約書（第一號書式）ヲ差出スヘシ

傳習生ノ保證人タルヘキ者ハ成年ノ男子ニシテ遞信局長官ニ於テ適當ト認メタル者ニ限ル

第七條　傳習生ノ養成期間ハ十二月以内ニ於テ遞信局長官之ヲ定ム

第八條　通信甲乙兩種傳習生ノ教科目左ノ如シ但シ第六號及第七號ノ科目ハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　電氣通信術
二　電信法規
三　電信學（通信甲種傳習生ニ用ユ）
四　電信術（通信甲種傳習生ニ用ユ）
五　電機取扱方法（通信乙種傳習生ニ用ユ）
六　前各號ノ外郵便局ニ於ケル現業事務一般
七　會計事務
八　服務心得
九　國語（朝鮮人ニ用ユ）
十　朝鮮語（內地人ニ用ユ）
十一　英語
十二　佛語（通信甲種傳習生ニ用ユ）
十三　體操

第九條　航路標識傳習生ノ教科目左ノ如シ

一　燈器取扱方法
二　霧笛號取扱方法
三　氣象觀測方法
四　信號方法
五　營造物ノ保存及修理方法
六　庶務及會計事務
七　服務心得
八　國語（朝鮮人ニ用ユ）
九　朝鮮語（內地人ニ用ユ）
十　體操

第十條　工務傳習生ノ教科目左ノ如シ

一　電氣磁氣學
二　電信學
三　電話學
四　電線路建築準

第十一條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）

通信甲種傳習生及工務傳習生筆記試驗ハ中學校卒業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第十二條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

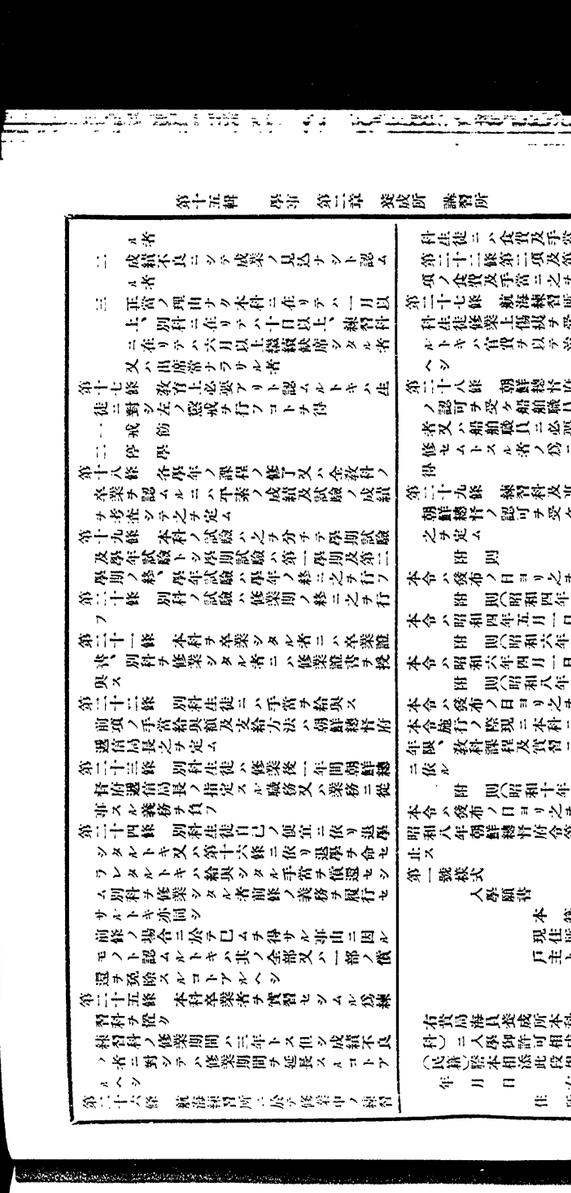
第十三條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

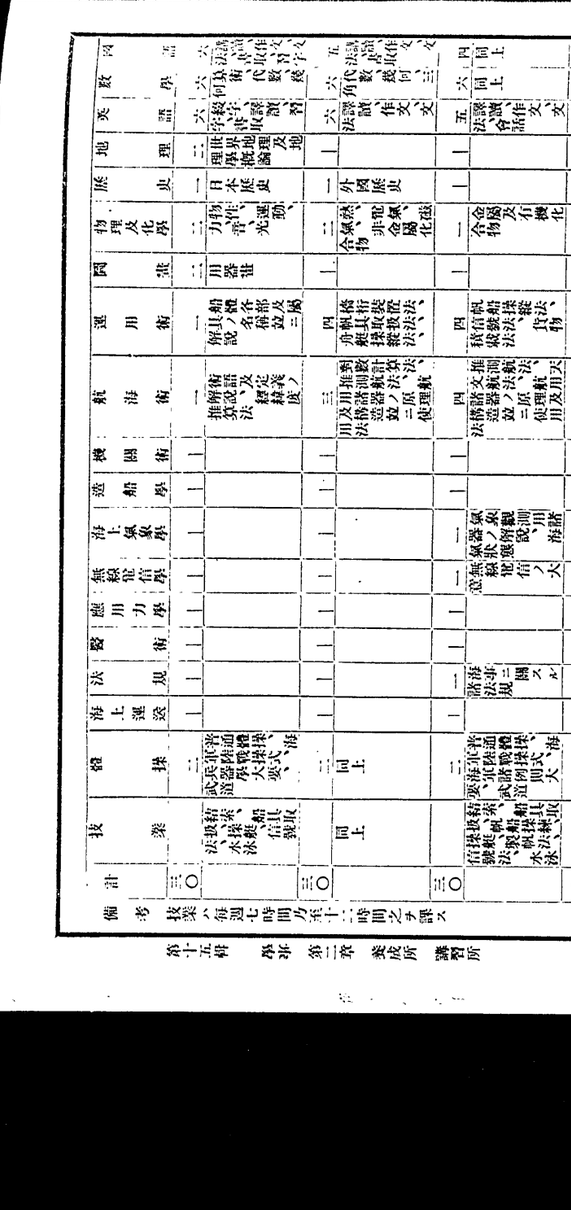
通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ第七號ノ科目ニハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

一　讀書（漢字交リ文）
二　作文（往復文、記事文）
三　筆寫（楷書、行書）
四　數學
五　物理
六　化學
七　地理（甲種傳習生ニ課ス）
八　歷史（甲種傳習生ニ課ス）
九　英語（讀書、譯解、作文）
十　口術試驗ハ筆記試驗科目中ノ一科目ニ付之ヲ行フ

第十四條　傳習生ニハ養成期間ニ於テ筆記試驗及口述試驗ノ二種トス

通信乙種傳習生及航路標識傳習生筆記試驗ハ中學校第二學年修業ノ程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ





備考

技業ハ毎週七時間乃至十二時間之ヲ課ス

●朝鮮總督府鐵道從事員養成所規程

大正十四年四月
總令第二十七號
改正　昭和三年三第一一號、五年八第六六號

朝鮮總督府鐵道從事員養成所規程左ノ通定ム

第一條　朝鮮總督府鐵道從事員養成所ハ鐵道從事員タルニ必要ナル知識技能ヲ授ケ身體ヲ鍛錬シ德性ヲ涵養スル所トス

第二條　本所ニ本科、工作科、電信科及講習科ヲ置ク

本科ヲ分チテ業務科、運轉科及土木科トシ業務科ハ主トシテ鐵道ノ運輸業務ニ關スル事項、運轉科ハ主トシテ機關車ノ運轉ニ關スル事項、土木科ハ主トシテ鐵道線路ノ建設及保存ノ技術ニ關スル事項ヲ授ク

工作科ハ鐵道工場ノ技術ニ關スル事項ヲ授ク

電信科ハ鐵道ノ電氣通信技術ニ關スル事項ヲ授ク

講習科ハ鐵道業務上必要ナル事項ヲ講習ス

第三條　本科、工作科及電信科ノ修業期間左ノ如シ

本科　三年
工作科　二年
電信科　三十週

講習科ノ修業期間ハ朝鮮總督府鐵道局長之ヲ定ム

第四條　本科及工作科ノ生徒ノ定員左ノ如シ

本科　四百五十人以內
工作科　二百人以內
電信科及講習科ノ定員ハ鐵道局長之ヲ定ム

第五條　本科、工作科及電信科ノ學科課程及每週教授時數ハ別表ニ依ル
講習科ノ學科課程及每週教授時數ハ鐵道局長之ヲ定ム

第六條　所長ハ鐵道局長ノ認可ヲ受ケ前條第一項ノ規定ニ依ル教授時數外ニ於テ教練ヲ課シ又ハ夏季ニ於テ四十日以內ハ每週教授時數ヲ減少シ若ハ實習ノミヲ課スルコトヲ得

第七條　本科及工作科ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
前項ノ學年ヲ分チテ左ノ三期トス

第一學期　四月一日ヨリ七月三十一日ニ至ル
第二學期　八月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル
第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第八條　電信科及講習科ノ始業ノ期日ハ鐵道局長之ヲ定ム

第九條　本科及工作科ノ休業日左ノ如シ

一　祭日、祝日
二　日曜日
三　朝鮮總督府始政記念日
四　夏季休業日　八月一日ヨリ同月二十一日ニ至ル
五　冬季休業日　十二月二十六日ヨリ翌年一月七日ニ至ル
六　學年末休業日　學年末試驗終了後若干日

電信科及講習科ノ休業日ニ關シテハ前項ノ規定ヲ準用ス但シ鐵道局長ニ於テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

所長ハ休業日ト雖生徒ニ實習其ノ他ノ課業ヲ課スルコトヲ得

第十條　傳染病豫防其ノ他非常變災ノ爲必要アリト認ムルトキハ所長ハ鐵道局長ノ認可ヲ受ケ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第十一條　入學期ハ本科及工作科ニ在リテハ每學年ノ始トシ、電信科及講習科ニ在リテハ每始業ノトキトス

第十二條　本科及工作科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ各號ニ該當スル者タルコトヲ要ス

一　年齡十四年以上十八年未滿ノ男子
二　身體ノ發達順當ニシテ本所所定ノ身體檢查ニ合格シタル者
三　心性ノ發達順正ニシテ本所所定ノ試問ニ合格シタル者
四　高等小學校第二學年ノ課程ヲ修了シタル者又ハ所長ニ於テ之ト同等以上ノ學力ヲ有スト認メタル者

工作科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ前項ノ規定ニ依ル外鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ適性考查ヲ行フヘシ

第十三條　工作科ノ入學ニ付テハ鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ鐵道工場ノ從事員タル者ノ家族ヲシテ他ノ入學者ニ優先セシムルコトヲ得

第十四條　入學志願者ノ數入學セシムヘキ人員ヲ超過スルトキハ選拔試驗ヲ行フヘシ

前項ノ試驗科目ハ鐵道局長ノ認可ヲ受ケ所長之ヲ定ム

第十五條　本科及工作科ノ入學志願者ハ入學願書(第一號樣式)ニ履歷書(第二號樣式)、戶籍抄本、本人ノ寫眞(手札形トシ半身脫帽ニテ出願前六月以內ニ撮影シ裏紙ニ貼附セス裏面ニ撮影年月日及氏名(姓名)ヲ記載シタルモノ)一葉及受驗料一圓ヲ添ヘ所長ニ之ヲ差出スヘシ

第十六條　本科及工作科ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ保證人二人ヲ定メ始業期日迄ニ保證書(第三號樣式)ヲ所長ニ差出スヘシ

保證人ニ關スル事項ハ前項ニ規定スルモノノ外鐵道局長之ヲ定ム

第十七條　第十一條及第十四條ニ規定スルモノノ外電信科及講習科ノ入學ニ關スル事項ハ鐵道局長之ヲ定ム

第十八條　所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル生徒及講習員ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認ムル者
二　學力技能劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認ムル者
三　引續キ一年以上缺席シタル者
四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者
五　出席不ナサル者
六　入學ニ付氏名(姓名)、年齡若ハ履歷書ヲ僞リ又ハ不正行爲アリタル者

第十九條　生徒及講習員退學セムトスルトキハ所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十條　前條ノ規定ニ依リ退學シタル者再ヒ入學ヲ願出テタルトキハ退學當時ノ學年以下ニ入學セシムルコトヲ得

第二十一條　本科及工作科ハ每學年末ニ於テ學科及出席ノ狀況ヲ考查シテ修業ヲ認定ス

成績ノ考查ハ平素ノ學習及各學期ノ試驗ニ依ルモノトス

第二十二條　本科及工作科ハ修業年限ノ終ニ於テ各學年ノ修業成績ニ依リ卒業ヲ認定シ卒業證書(第四號樣式)ヲ授與ス

第二十三條　電信科ハ平素ノ學習及試驗ニ依リ卒業ヲ認定シ卒業證書(第四號樣式)ヲ授與ス

第二十四條　講習科ハ試驗ニ依リ成績ヲ考查シ講習證書(第五號樣式)ヲ授與ス

第二十五條　本所ヲ卒業シタル者ニ左ノ期間鐵道局ニ勤務スル義務ヲ負フモノトス

本科　五年
工作科　三年
電信科　三年

第二十六條　生徒及講習員ニ對シテハ授業料ヲ徵收セサルモノトス

第二十七條　退學ヲ命セラレタル者、第十九條ノ規定ニ依リ退學シタル者又ハ第二十五條ニ規定スル義務年限內ニ於テ退職シ若ハ退職ヲ命セラレタル者ニ對シテハ鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ在學中ノ費用ヲ辨償セシム

前項ノ場合ニ於テ鐵道局長必要アリト認ムルトキハ辨償ヲ免除シ又ハ辨償額ヲ減少スルコトヲ得

第二十八條　削除

第二十九條　工作科ニ入學シタル者ハ鐵道局從事員ニ採用シ鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ手當ヲ支給ス

前項ノ規定ハ第十二條第二項ノ規定ニ依ル適性考查中ノ者ニ之ヲ準用ス

（別表）

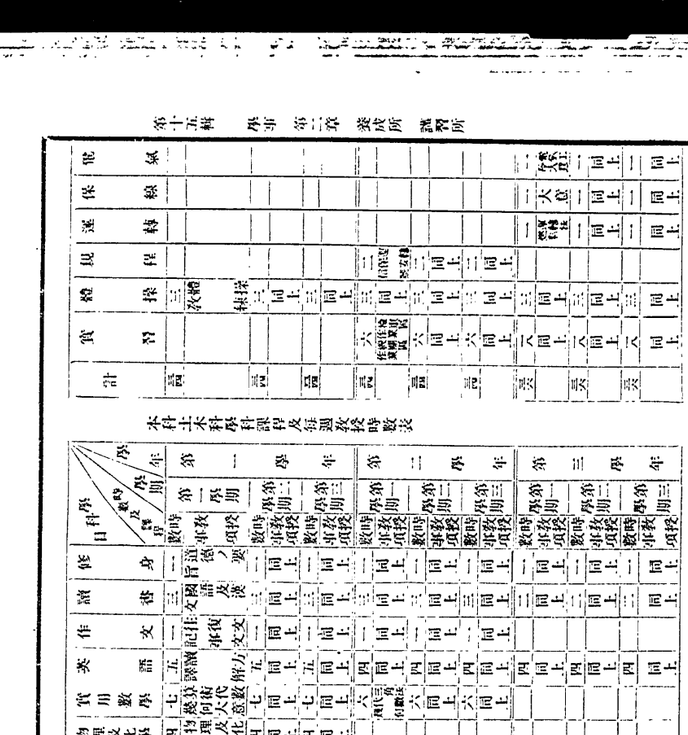
本科業務科學科課程及每週教授時數表

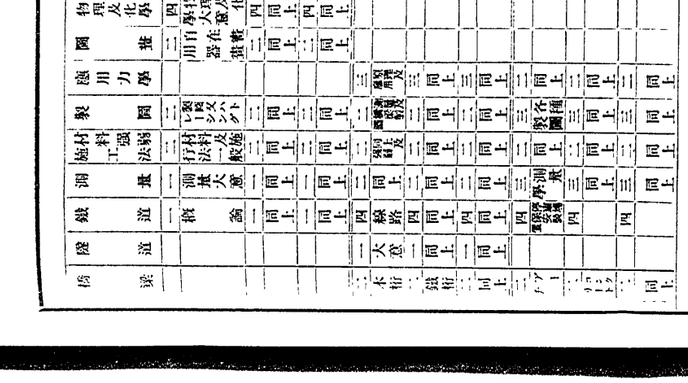
學年	第一學年			第二學年			第三學年		
學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	道德ノ要旨	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
讀書	國語漢文	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
作文	普通文	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
數學	六年算珠算	同上	六代數	同上	四代數	同上	四代數	同上	同上
地理歷史	內外地理	同上	同上	內外商業地理	同上	同上	內外商業地理	同上	同上
英語	讀方、解音話	讀方、作文、會話	七	同上	同上	同上	同上	同上	同上
朝鮮語	讀方會話	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
商業要項	通論各論	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
商品							內外商品	同上	同上
簿記	商業簿記	同上	同上						
珠算				珠算	同上	同上			
商業				商業	同上	同上			
算術				算術	同上	同上			

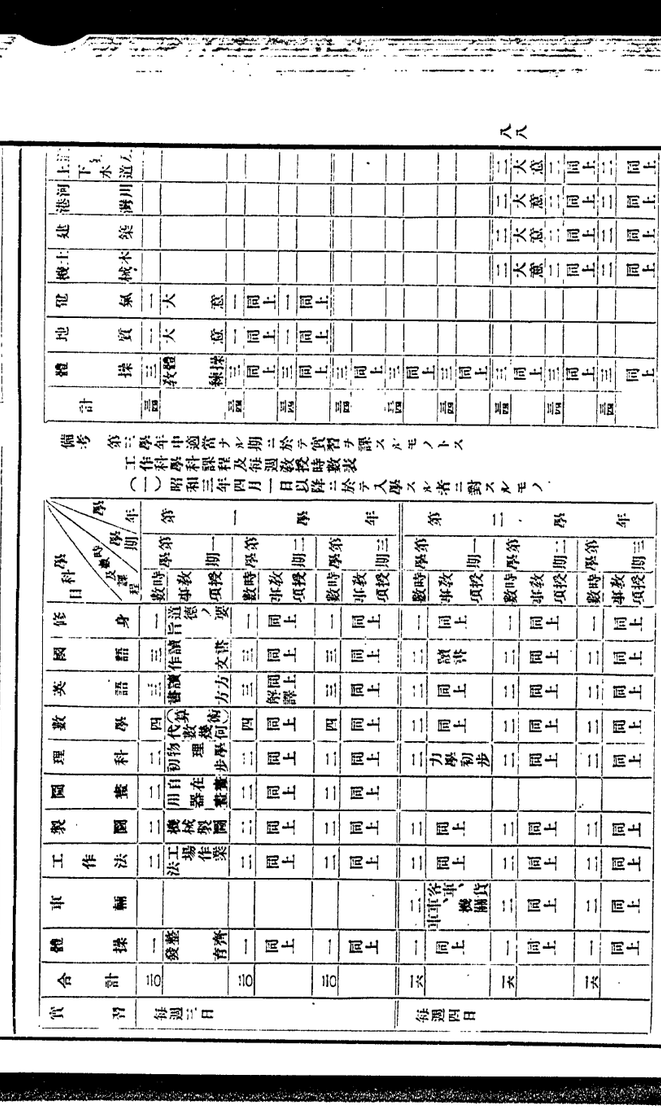
學年	第一學年			第二學年			第三學年		
學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	道德ノ要旨	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
讀書	國語漢文	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
作文	普通文	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
數學	六代數	同上	同上	四代數	同上	同上	四代數	同上	同上
地理歷史	內外地理	同上	同上	內外商業	同上	同上	內外商業	同上	同上
英語	讀方、作文、會話	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
朝鮮語	讀方會話	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
商業要項	通論各論	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
商品							內外商品	同上	同上
簿記	商業簿記	同上	同上						
珠算				珠算	同上	同上			
商業				商業	同上	同上			
算術				算術	同上	同上			

本科運轉科學科課程及每週教授時數表

學年	第一學年			第二學年			第三學年		
學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	道德ノ要旨	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
讀書	國語漢文	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
作文	普通文	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
數學	八珠算	同上	同上	四代數	同上	同上	二代數	同上	同上
英語	讀方、作文、會話	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
物理				二物理	同上	同上	同上	同上	同上
化學							同上	同上	同上
地理歷史	內外地理	同上	同上	內外交通史	同上	同上			
圖畫	用器畫	同上	同上	自在畫	同上	同上			
製圖	見取圖	同上	同上	四代數	同上	同上	機械製圖	同上	同上
鐵道	概論	同上	同上						
發動機	汽罐	同上	一同上	汽機	一同上	一同上			
車輛							客貨車	同上	一同上
應用力學							機關車	同上	一同上
機構學							大意	一同上	一同上
運轉法							運轉法	二同上	二同上
運轉實務							運轉實務	同上	同上
計	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四
實習				通信 四	同上	同上	通信 四	同上	同上
體操	三教練體操	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
法規經濟							法學通論 二	同上	同上
鐵道	概論旅客 二	同上	二同上	八同上	八同上	八同上	八同上	五同上	同上
修身	道德ノ要旨	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
讀書	國語漢文	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
作文	普通文	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
數學	八珠算	同上	同上	四代數	同上	同上	二代數	同上	同上
英語	讀方、作文、會話	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
物理				二物理	同上	同上	同上	同上	同上
化學							同上	同上	同上
地理歷史	內外地理	同上	同上	內外交通史	同上	同上			
圖畫	用器畫	同上	同上	自在畫	同上	同上			
製圖	見取圖	同上	同上	四代數	同上	同上	機械製圖	同上	同上
鐵道	概論	同上	同上						
發動機	汽罐	同上	一同上	汽機	一同上	一同上			
車輛							客貨車	同上	一同上
應用力學							機關車	同上	一同上
機構學							大意	一同上	一同上
運轉法							運轉法	二同上	二同上
運轉實務							運轉實務	同上	同上
計	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四
實習				通信 四	同上	同上	通信 四	同上	同上
體操	三教練體操	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
法規經濟							法學通論 二	同上	同上
鐵道	概論旅客 二	同上	二同上	八同上	八同上	八同上	八同上	五同上	同上







保證書

本籍
現住所　　姓　　名

年　月　日生

右者今般御所へ入學御許可相成候ニ付テハ御規則ヲ相守ラセ候ハ勿論本人ニ關スル一切ノ事件ハ捐者共ニ於テ引受ケ聊御辨可致候也

年　月　日

本籍
現住所
職業及生徒トノ關係
保證人　姓　　名

本籍
現住所
職業及生徒トノ關係
保證人　姓　　名

朝鮮總督府鐵道從事員養成所長殿

第四號樣式

卒業證書

姓　　名

年　月　日生

本所何科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタルコトヲ證ス

年　月　日

朝鮮總督府鐵道從事員養成所長　姓　　名　印

第　號

第五號樣式

講習證書

姓　　名

年　月　日生

本所何何講習科(又ハ講習科何何)ノ課程ヲ修了シタルコトヲ證ス

年　月　日

朝鮮總督府鐵道從事員養成所長　姓　　名　印

第　號

第三章　教育費

（第八輯ニ收ム）

第四章　私立學校　書堂

㉖私立學校規則

大正九年三月
總令第二十一號

改正　大正一一年三月二七號、一四年五月六號
三號、昭和四年二月二三號、五年四月三七號、七年四月三九號、一〇年四月五四號

私立學校規則左ノ通改正ス

私立學校規則

第一條　私立ノ小學校、普通學校、實業補習學校、中學校、高等普通學校、高等女學校、女子高等普通學校、實業學校及專門學校ノ設立認可ノ申請書ニハ設立者ノ履歷書（財團法人ニ在リテハ寄附行爲）、學則、校地、校舍、寄宿舍等ノ平面圖（坪數及附近ノ狀況モ記載ス）、一年ノ收支概算（初年度ヨリ完成年度ニ至ル迄ノ分ニ付キ記載ス）、維持方法但シ基本財産、寄附金ニ付テハ證憑書類ヲ添附スヘシ

第二條　前條以外ノ私立學校ヲ設立セムトスルトキハ左記各號ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

一　名稱、位置
二　學則
三　校地、校舍、寄宿舍等ノ平面圖（坪數及附近ノ狀況モ記載ス）
四　維持方法但シ基本財産、寄附金ニ付テハ證憑書類ヲ添附スヘシ
五　設立者ノ履歷書（財團法人ニ在リテハ寄附行爲トス）

前項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三條　第二條第二號ノ學則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一　修業年限、教科目、教科課程及毎週教授時數ニ關スル事項
二　學年、學期ニ關スル事項
三　休業日ニ關スル事項
四　入學者ノ資格及生徒ノ入學ニ關スル事項
五　生徒ノ退學、懲戒ニ關スル事項
六　課程ノ修了及卒業ニ關スル事項
七　授業料、入學料ニ關スル事項
八　寄宿舍ニ關スル事項
九　前各號ノ外學校ニ於テ必要ト認ムル事項

前項第一號第二號、第四號又ハ第五號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル私立ノ各種學校ハ大正十四年三月三十一日迄第十一條ノ規定ニ依リ存續スルコトヲ得

大正四年三月三十一日以前ニ設置ノ認可ヲ受ケタル私立ノ各種學校ハ大正十四年三月三十一日迄第十一條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

大正四年朝鮮總督府令第八十四號ハ之ヲ廢止ス

附　則（大正十一年三月總令第二十七號）

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

私立學校教員試驗規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ存スル私立高等普通學校ニ付テハ第四條ノ規定ヲ適用セス

朝鮮教育令第二十九條第二項ノ規定ニ依リ高等普通學校、女子高等普通學校及實業學校ニ於テ前令ニ依リタル生徒教育スル教員ノ資格並朝鮮教育令第三十二條ノ規定ニ依リ存續シタル專門學校ノ教員ノ資格ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

本令施行ノ際現ニ普通學校、高等普通學校、女子高等普通學校又ハ實業學校ニ在職スル教員ニシテ私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程第一條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（昭和五年四月總令第三十七號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル高等女學校、女子高等普通學校並ニ職業學校及實業補習學校以外ノ實業學校ニ付テハ當分ノ內第四條ノ規定ヲ適用セズ

本令施行ノ際現ニ存スル第一條以外ノ私立學校ニシテ寄宿舍ヲ有シ又ハ入學料ヲ徵收スルモノハ本令施行ノ日ヨリ六十日內ニ第三條第二項ノ規定ニ準シ屆出ヅベシ

附　則（昭和七年四月總令第三十九號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル外國人子教育スル學校ハ之ヲ本令ニ依リ設立ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

●私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程

大正十一年三月
總令第二十八號

改正　昭和一〇年四月五五號

私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程左ノ通定ム

私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程

第一條　私立學校ノ教員ノ資格及員數ニ關シテハ特別ノ規定アルモノヲ除ノ外本令ニ依ル

第二條　小學校ノ教員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス

一　小學校ノ正教員ノ免許狀ヲ有スル者
二　小學校令施行規則第百七條第一項第一號乃至第五號ノ一ニ該當スル者
三　小學校及普通學校教員試驗規則ニ依ル第一種試驗ニ合格シタル者
四　教員養成ヲ目的トスル朝鮮ノ官公立學校ヲ卒業シタル朝鮮ノ官公立學校（高等普通學校ノ師範科又ハ高等師範學校ノ師範科又ハ京城師範學校ノ師範科ノ卒業者又ハ同等以上ノ學力アリト認メラレタル者ヲ除ク）ノ卒業者ニシテ同等ノ學力ヲ有スル者

五　大正十年朝鮮總督府令第七十二號第三條ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者又ハ同第八條ノ規定ニ依リ指定セラレタル者

六　朝鮮總督ノ指定シタル者

前項第二號ノ場合ニ於テ小學校令施行規則第百七條第一項第四號若ハ第五號ニ該當スル者又ハ前項第五號ニ該當スル者ハ卒業若ハ合格後二年以上小學校若ハ普通學校ノ教育ニ從事シタル者又ハ高等女學校ヲ卒業シ

拂依ナキ者

三　懲戒ニ依リ免職ニ處セラレ二年ヲ經過セサル者但シ懲戒ヲ免除セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

四　教員免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケ又ハ第十四條ノ規定ニ依リ解職ヲ命セラレ若ハ認可ヲ取消サレ二年ヲ經過セサル者

五　性行不良ト認ムヘキ者

第十三條　設立者ニ於テ學校長ヲ採用又ハ解職セントスルトキハ專門學校、中學校、高等普通學校竝ニ職業學校以外ノ實業學校ニ在リテハ朝鮮總督、其ノ他ノ學校ニ在リテハ道知事ノ認可ヲ受ケ教員ヲ採用又ハ解職セントスルトキハ專門學校ニ在リテハ朝鮮總督、其ノ他ノ學校ニ在リテハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ採用ノ認可申請書ニハ小學校、普通學校及之ニ類スル各種學校ニ在リテハ本人ノ履歷書、其ノ他ノ學校ニ在リテハ本人ノ履歷及擔任教科目ヲ記載シタル書類ヲ添附シ前項ノ解職ノ認可申請書ニハ解職ヲ必要トスル理由ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

第一項ノ採用ノ認可ヲ申請スル場合ニ於テ私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程第十一條ノ規定ニ依ラムトスルトキハ前項ノ書類ノ外其ノ教員ノ採用期間竝現在教員ノ氏名及資格ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程第五條第一項又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ第一項ノ採用ノ認可ノ申請ヲ爲シタル場合ニ於テ相當ノ學力ヲ有シ且國語ニ通達スルヤトヲ認メ難キトキハ本人ノ志望ニ依リ試驗ヲ施スコトアルヘシ

第十四條　學校長又ハ教員ノ採用ヲ認可シタル官廳ハ私立學校ノ校長又ハ教員ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ解職ヲ命シ又其ノ與ヘタル認可ヲ取消スコトヲ得

第十五條　私立學校ノ設備、授業其ノ他ノ事項ニシテ教育上有害ナリト認メタルトキハ監督官廳ハ之ヲ變更ヲ命スルコトヲ得

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ私立學校ノ監督官廳ニ命令ニ違反シタルトキ

一　法令ノ規定ニ違反シタルトキ
二　安寧秩序ヲ紊亂シ又ハ風俗ヲ壞亂スルノ虞アルトキ
三　六月以上所定ノ授業ヲ爲ササルトキ
四　第十四條、第十五條ノ命令ニ違反シタルトキ

第十六條ノ二　監督官廳ニ於テ學校ノ事業ヲ爲スモノト認メタルトキハ其ノ旨ヲ關係者ニ通告シテ本令ノ規定ニ依ラシメ又ハ之ヲ禁止スヘシ

第十七條　私立學校ニ於テハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學籍簿、出席簿
二　職員ノ履歷書
三　卒業者名簿

第十八條　私立學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外道知事ノ監督ニ屬シ府尹、郡守又ハ島司ハ私立ノ小學校、普通學校又ハ之ニ類スル各種學校ニ對シ必要ト認ムルトキハ管地ノ訓導ヲシテ參觀セシメ又ハ報告ヲ徵シ且意見ヲ監督官廳ニ具申スルコトヲ得

第十八條ノ二　小學校又ハ普通學校ニ類スル私立ノ各種學校ニ付テハ本令中第九條ノ規定ヲ除クノ外朝鮮總督トアルハ道知事トシ第十九條、外國人ヲ教育スル學校ニハ第六條、第九條乃至第十一條ノ規定ヲ適用セス

第二十條、第十八條、第十一條乃至第十六條ノ規定ハ之ヲ私立幼稚園ニ準用ス

特別ノ事情アルトキハ第十一條ニ該當セサル者ヲ保姆ニ採用スルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第六條ノ規定ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル高等女學校、女子高等普通學校及實業補習學校以外ノ實業學校ニ付テハ當分ノ內第四條ノ規定ヲ適用セズ

本令施行ノ際現ニ存スル第一條以外ノ私立學校ニシテ寄宿舍ヲ有シ又ハ入學料ヲ徵收スルモノハ本令施行ノ日ヨリ六十日內ニ第三條第二項ノ規定ニ準シ屆出ヅベシ

附　則（昭和七年四月總令第三十九號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル外國人子教育スル學校ハ之ヲ本令ニ依リ設立ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

修業年限一年以上ノ補習科ニ於テ修身、教育、國語及漢文、國史、音樂（女學校ニ於テ體操シタルモノニ付テハ之ヲ省ク）ノ學科目ヲ履修シ卒業シタル者ニ限ル

第三條　普通學校ノ教員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス

一　前條ノ規定ニ依リ小學校教員ノ資格ヲ有スル者

二　小學校及普通學校教員試驗規則ニ依ル第二種試驗ニ合格シタル者

三　高等普通學校又ハ女子高等普通學校ノ師範科ヲ卒業シタル者

四　第三項各號ノ一ニ該當スル者ニシテ三年以上普通學校又ハ小學校ノ教育ニ從事シ道知事ニ於テ其ノ成績優良ト認メ普通學校ノ教員タルコトヲ認可シタル者

五　朝鮮總督ノ指定シタル者

前項第四號ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ履歴書ヲ具シ申請スヘシ

第一項ノ資格ヲ有スル者ノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ第四學年以下ノ教授ヲ擔任スル教員タルコトヲ得

一　小學校及普通學校教員試驗規則ニ依ル第三種ノ試驗ニ合格シタル者

二　高等普通學校ノ教員速成科ヲ卒業シタル者

三　京城高等普通學校附設臨時教員養成所ノ大正二年以前ノ卒業者及同第一部ノ卒業者

四　小學校ノ准教員ノ免許狀ヲ有スル者

五　朝鮮總督ノ指定シタル者

第四條　小學校又ハ普通學校ニ於テハ一學級毎ニ他ノ職ヲ兼ネ又ハ他ノ職ヨリ兼ネサル教員一人以上ヲ置クヘシ

特別ノ事情アル場合ニ於テハ道知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ數ヲ減スルコトヲ得

第五條　小學校又ハ普通學校ニ於テ第二條又ハ第三條ニ該當スル教員ヲ得難キ場合ニ於テハ之ニ該當セサル者ヲ以テ代用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ採用スル教員ハ相當ノ學力ヲ有シ且國語ニ通達スルコトヲ要ス但シ前項ノ規定ニ依リ採用スル教員ハ其ノ學校ノ程度ニ應スル學力ヲ有シ且國語ニ通達スルコトヲ要スル但シ專ラ朝鮮語、漢文、外國語又ハ特種ノ技術ヲ教授スル者ニ限リ國語ニ通達セサルモ之ヲ妨ケス

第一項ノ規定ニ依リ採用スル教員ノ數ハ其ノ學級數ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第六條　中學校、高等普通學校、高等女學校又ハ女子高等普通學校ノ教員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス

一　師範學校、中學校、高等女學校又ハ高等學校高等科ノ教員免許狀ヲ有スル者

二　朝鮮總督ノ指定シタル者

第七條　實業學校ノ教員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス

一　文部省令公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條ニ該當スル者

二　朝鮮總督ノ指定シタル者

一般ノ實業學校ノ教員タル資格ヲ有スル者ノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ實業補習學校ノ教員タルコトヲ得

一　實業補習學校教員養成所卒業者

二　第三條第一項ニ該當スル者

實業ニ關スル特別ノ知識經驗ヲ有スル者道知事ノ認可ヲ受ケ實業補習學校ノ教員タルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケムトスル者其ノ從事セムトスル學校ノ種類、程度、學科竝擔任ノ學科目ヲ記載シタル願書ニ履歴書ヲ添ヘ申請スヘシ

第八條　中學校、高等普通學校、高等女學校又ハ實業學校ノ教員ノ數ハ五學級以下ノ學校ニ在リテハ一學級毎ニ一人以上ニシテ五學級以上一學級ヲ加フル毎ニ一人半以上ノ割合ヲ以テ之ヲ增スヘシ但シ一學級毎ニ一人ヲ他ノ職ヲ兼ネ又ハ他ノ職ヨリ兼ネサルコトヲ要ス

實業補習學校ノ教員ノ數ニ關シテハ道知事ノ定ムル所ニ依ル

第九條　實業補習學校、中學校、高等普通學校又ハ高等女學校、女子高等普通學校又ハ實業學校ニ於テ第六條又ハ第七條ニ該當スル教員ヲ得難キ場合ニ於テハ之ニ該當セサル者ヲ以テ代用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ採用スル教員ハ其ノ學校ノ程度ニ應スル學力ヲ有シ且國語ニ通達スルコトヲ要ス但シ專ラ朝鮮語、漢文、外國語又ハ特種ノ技術ヲ教授スル者ニ限リ國語ニ通達セサルモ之ヲ妨ケス

第十條　中學校、高等普通學校、高等女學校又ハ女子高等普通學校又ハ實業學校ニ於テハ新ニ採用セムトスル者ヲ加算シ前條第一項ノ規定ニ依リ採用スル教員ノ數ハ第六條又ハ第七條ニ該當スル教員ノ數ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十一條　特別ノ事情アル場合ニ於テハ一定ノ期間ヲ限リ第五條第三項又ハ前條ノ制限ヲ超エ第五條第一項又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ教員ヲ採用スルコトヲ得

第十二條　職業學校又ハ實業補習學校ニ於テ第九條第一項ノ規定ニ依リ採用スル教員數ノ制限ニ關シテハ道知事ノ定ムル所ニ依ル

第十三條　本令ハ實業專門學校ニ關シテハ之ヲ適用セス

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程ニ依リ私立學校ノ教員タル資格ヲ有スル者指定

大正十一年四月
總督第百五號

改正　大正一一年一一第二四八號、一二年七第一九九號、一三年五第一〇三號、一三年一一第二二號、一四年六第一〇八號、一五年七第二一四號、一五年一〇第三八〇號、一五年一〇第三八〇號、一五年一〇第三八〇號、昭和三年二第五五號、三年一〇第三八〇號、一〇年六第三五二號

私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程ニ依リ私立學校ノ教員タル資格ヲ有スル者左ノ通指定ス

第一條　左ニ揭ケル者ハ普通學校及女子高等普通學校ノ教員タル資格ヲ有ス

一　專門學校卒業者（特科又ハ別科ノ卒業者ヲ含ム）

二　舊朝鮮教育令ニ依ル專門學校卒業者

三　元京城專修學校卒業者

四　元官立漢城師範學校卒業者

明治三十九年二月一日以後朝鮮公立諸學校官制公布前ニ於テ公立普通學校訓導ノ職ニ在リタル者

五　左ニ揭ケル者ニシテ一年以上小學校又ハ普通學校ノ教育ニ從事シタル者

元朝鮮人判任文官試驗合格者

元朝鮮總督府及所屬官署判任文官見習試驗合格者

第二條　左ニ揭ケル者ハ普通學校第四學年以下ノ教授ヲ擔任スル教員タル資格ヲ有ス

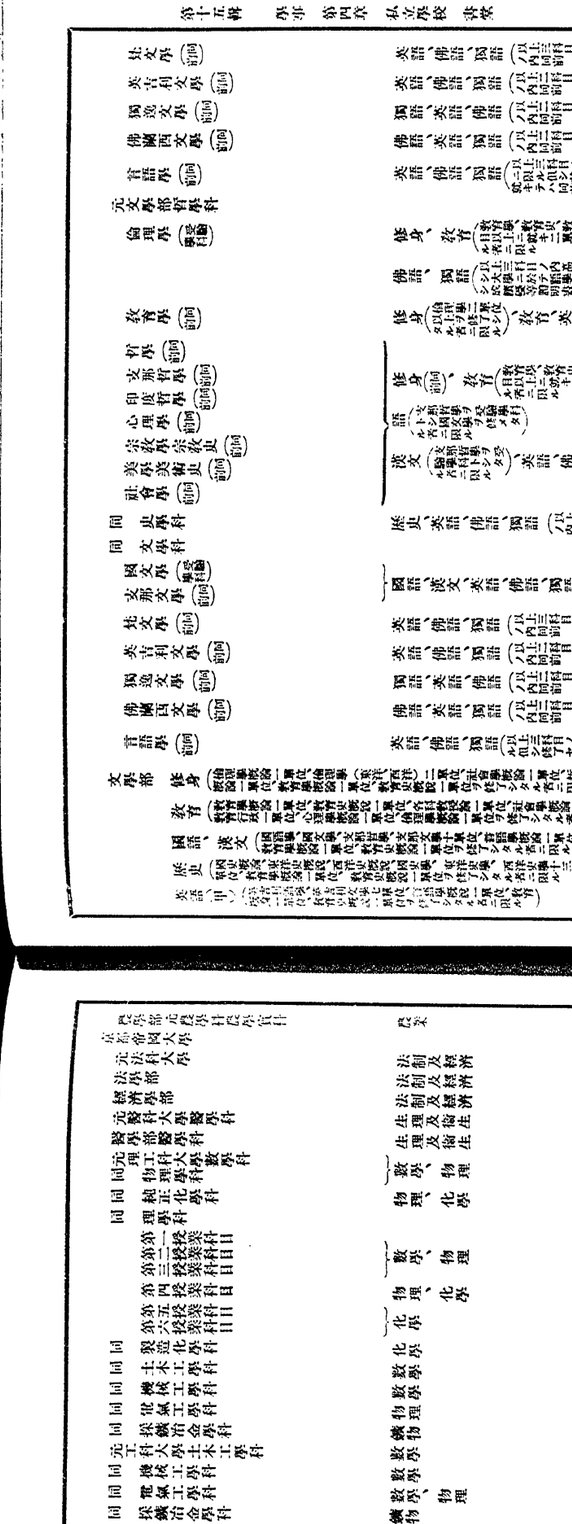
一　明治三十九年二月一日以後公立普通學校副訓導ノ職ニ在リタル者

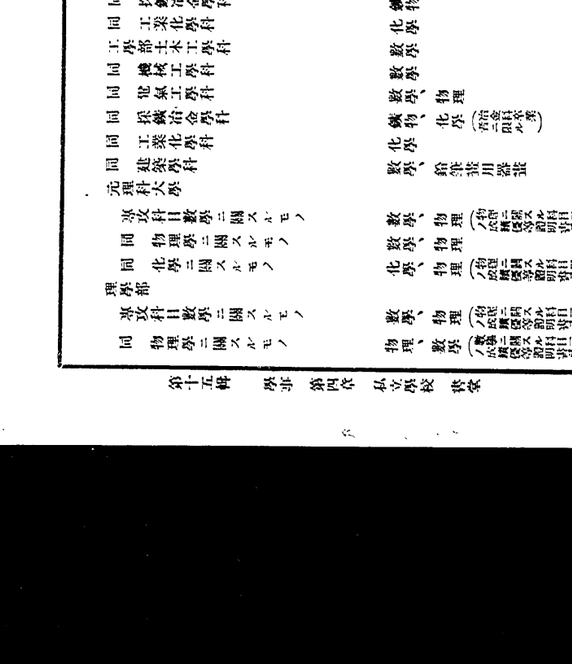
二　元私立學校教員試驗合格者

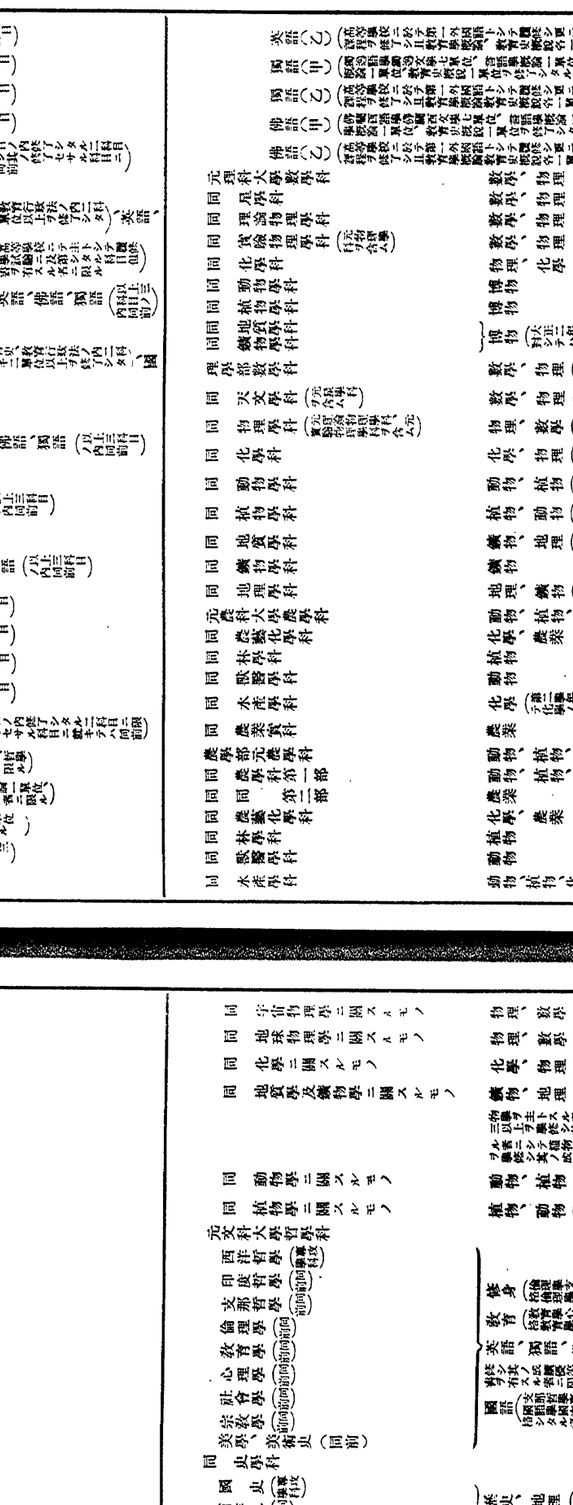
三　舊朝鮮教育令ニ依ル實業學校卒業者（實業補習學校卒業者ヲ除ク）

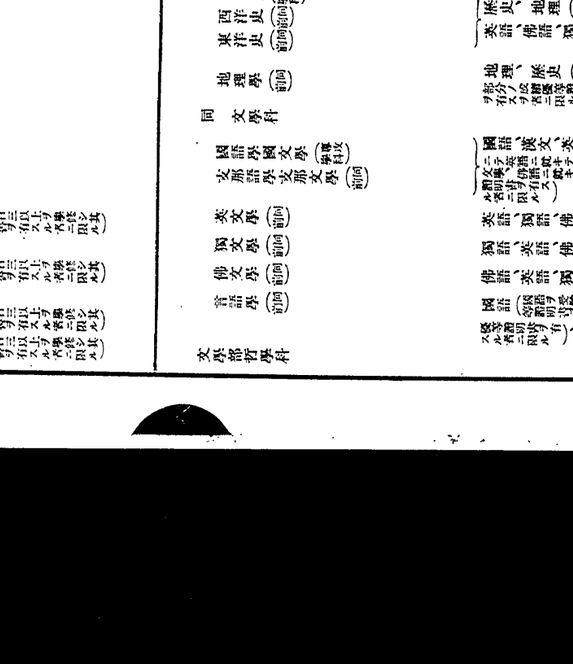
學校名ト擔任學科目

學校名	擔任學科目
東京帝國大學（元東京大學ノ各部及元帝國大學ヲ含ム）	法制及經濟
元法科大學	法制及經濟
同　政治學科	法制及經濟
同　經濟學科	法制及經濟、商業、簿記
同　商業學科	法制及經濟、商業、簿記
法學部	法制及經濟
經濟學部經濟學科	法制及經濟
同　商業學科	法制及經濟、商業、簿記
元醫科大學醫學科	生理及衛生
同　藥學科	化學
醫學部醫學科	生理及衛生
同　藥學科	化學
元工科大學土木工學科	數學
同　機械工學科	數學
同　元造船學科	數學
同　船舶工學科	數學
同　造兵學科	數學
同　電氣工學科	數學、物理
同　元造家學科	數學、鉛筆畫用器畫
同　建築學科	數學、鉛筆畫用器畫
同　應用化學科	化學
同　火藥學科	化學
同　採鑛學科	鑛物
同　冶金學科	鑛物
同　鑛山學科	鑛物、化學
同　冶金學科	數學
元文科大學哲學科（明治三十七年以前ノ卒業者）	數學
同　國文學科（同前、元和文學科ヲ含ム）	數學
同　漢學科（同前、明治三十七年以前ノ卒業者）	數學
同　國史科（同前）	數學、物理
同　史學科（同前）	數學、鉛筆畫用器畫
同　言語學科（專攻科ヲ含ム、元博言學科ヲ含ム）	數學、鉛筆畫用器畫
同　英文學科（同前、明治三十七年以前ノ卒業者）	化學
同　獨逸文學科（同前）	鑛物
同　佛蘭西文學科（同前）	鑛物
同　哲學科（明治三十八年以後ノ卒業者）	數學
倫理學（受驗科目）	數學
教育學（同前）	數學
哲學及哲學史（同前）	數學
哲學（同前）	數學
支那哲學（同前）	數學
印度哲學（同前）	數學
心理學（同前）	數學
元宗教學（同前）	數學
宗教學、宗教史（同前）	數學
元美學（同前）	數學
美學美術史（同前）	數學
社會學（同前）	數學、物理（大正九年以後ノ卒業者ニ限ル）
同　史學科（明治三十八年以後ノ卒業者）	數學、物理
同　文學科（同前）	數學、鉛筆畫用器畫
國文學（受驗科目）	化學
支那文學（同前）	鑛物
	鑛物、化學
	數學
	數學
	數學
	數學、物理（大正九年以後ノ卒業者ニ限ル）
	數學、物理
	數學、鉛筆畫用器畫
	化學
同　英語學科（同前）	英語
同　獨逸語學科（同前）	獨語
同　佛蘭西語學科（同前）	佛語
同　露西亞語學科（同前）	露語
同　法律學科





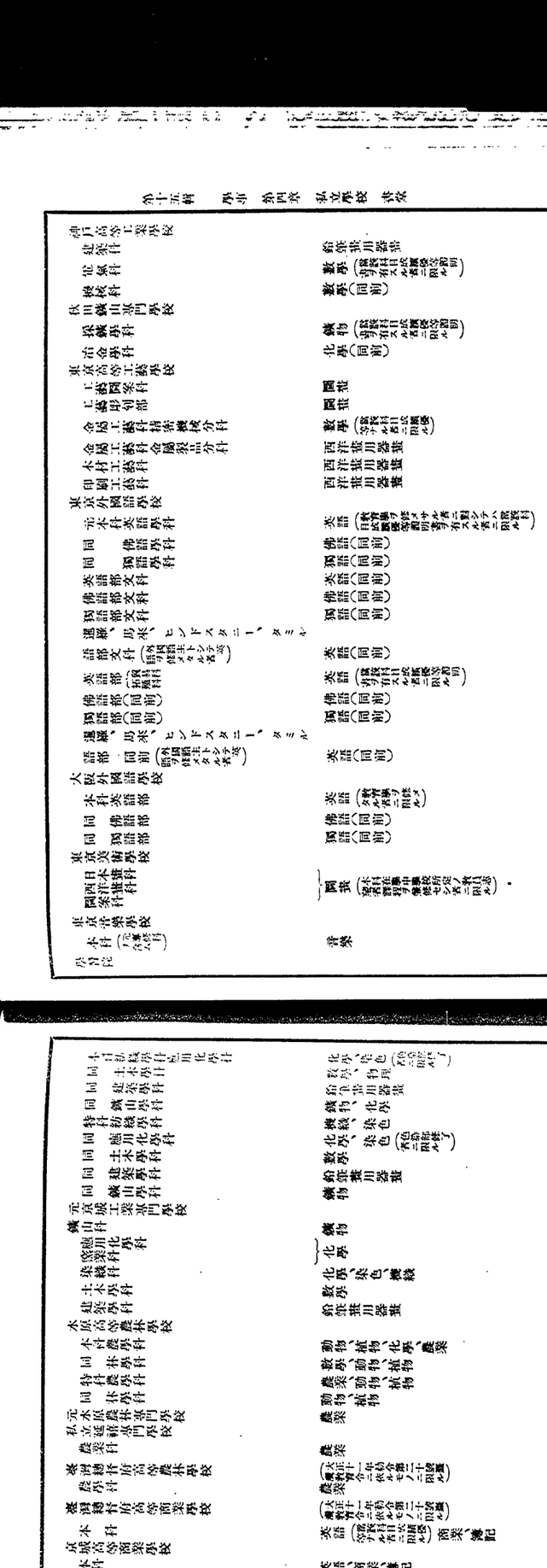


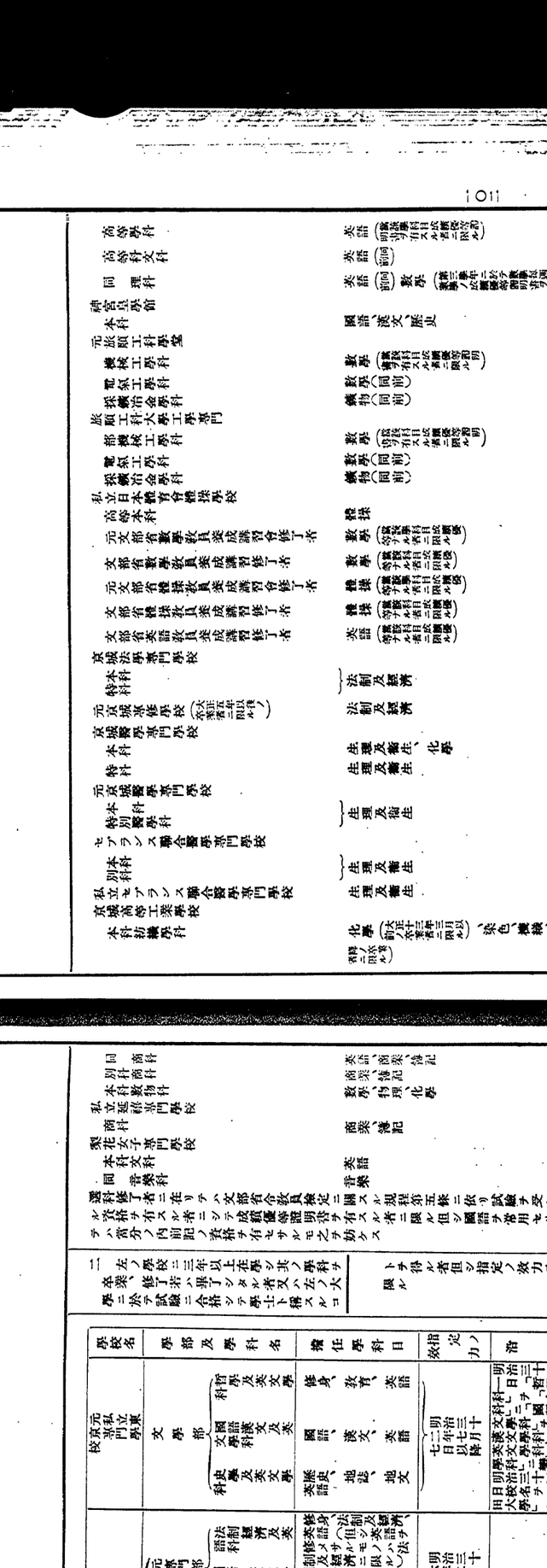


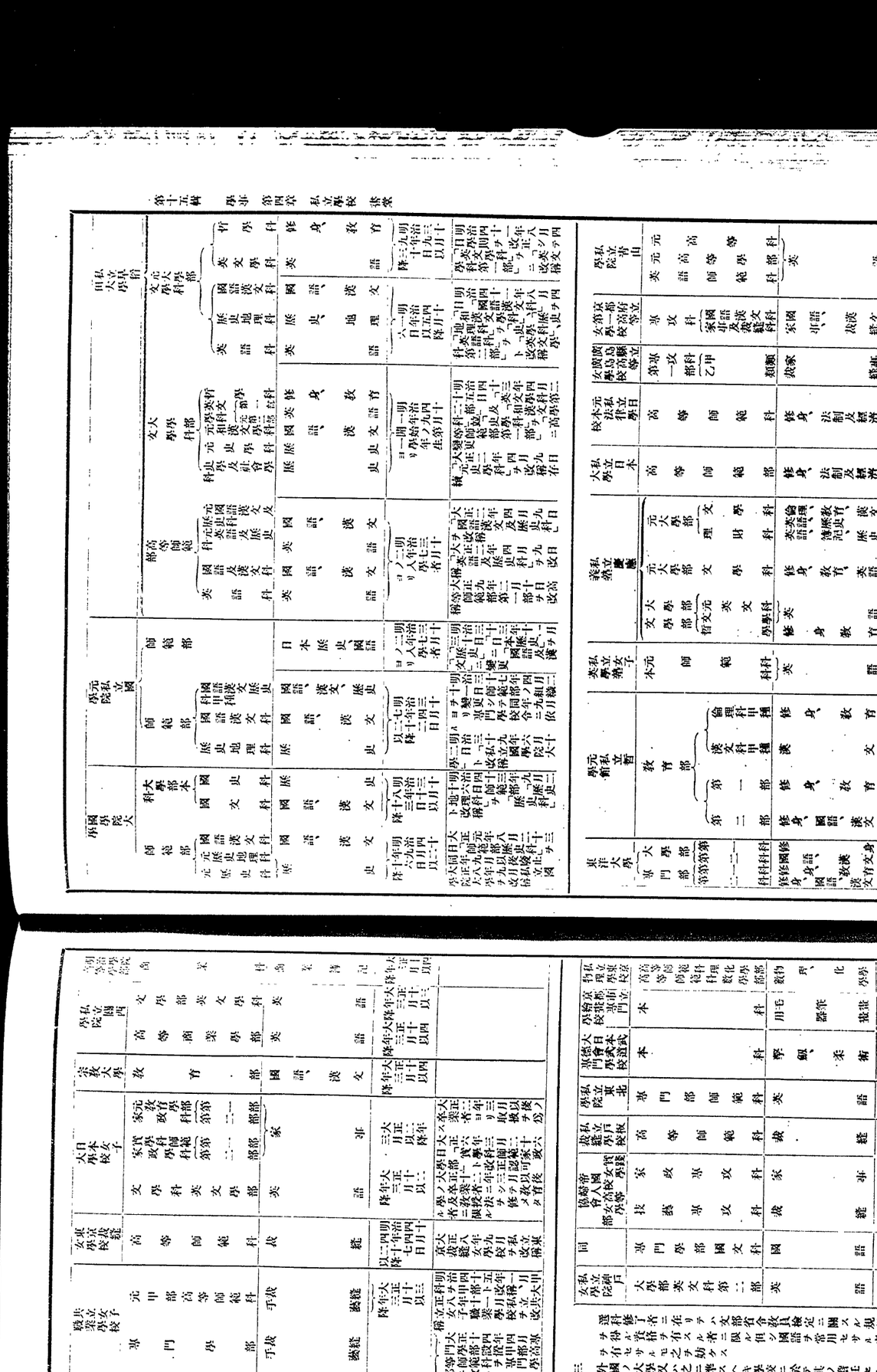
同理学部　同地質学科　同化学科　同物理学科　同工学科　同機械工学科　同電気工学科　同応用化学科　同冶金学科　同鉱山学科　同土木工学科　同建築学科　同造船学科　同航海学科　同農学部　同獣医学科　同畜産学科　同水産学部　同製糸学科　同紡績学科　同染色学科　同図案学科　同商船学科　同水産製造学科　同水産増殖学科　同水産学科　同林学部　同林学科　同森林学科　同林産製造学科　同農芸化学部　同農学部　同獣医学部　同畜産学部　同水産学部　同林学部　同医学部　同歯科医学部　同薬学部　同工学部　同理学部　同文学部　同法学部　同経済学部　同商学部　同政治学部　同文学部　同理学部　同工学部　同農

盛岡高等農林學校
農業同窓會
農業同窓會事務所
農業同窓會學藝部
農業同窓會學藝部會報
農學校
農學校同窓會
農學校同窓會事務所
農學校同窓會學藝部
農學校同窓會學藝部會報
農學校同窓會會報
農學校同窓會會報編輯所
農學校同窓會會報編輯部
農學校同窓會會報編輯部會報
農學校同窓會會報編輯部會報編輯所
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯所
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯所
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯所
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯所
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯所
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯所
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部
農學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報

農業學校
農業學校同窓會
農業學校同窓會事務所
農業學校同窓會學藝部
農業學校同窓會學藝部會報
農業學校同窓會會報
農業學校同窓會會報編輯所
農業學校同窓會會報編輯部
農業學校同窓會會報編輯部會報
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯所
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯所
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯所
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯所
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯所
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯所
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部
農業學校同窓會會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報編輯部會報







●書堂規則

大正七年二月
総令第十八號

書堂規則左ノ通定ム

第一條　書堂ヲ開設セントスルトキハ左ニ掲ケル事項ヲ具シ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

一　名稱及位置
二　學堂ノ定數
三　教授事項及教授用圖書名
四　維持方法
五　開設者及教師ノ氏名竝ニ其ノ履歴
六　開設年月日
七　季節ヲ定メテ授業ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ季節

前項第一號、第三號、第四號及第五號ニ掲ケル事項ヲ變更セントスルトキハ道知事ノ認可ヲ受ケ第二號、第六號及第七號ニ掲ケル事項ヲ變更シタルトキハ道知事ニ届出ツヘシ

第一條ノ二　書堂ニ於テ國語、朝鮮語、算術等ヲ教授スル場合ニ於テハ其ノ教授用圖書ハ朝鮮總督府編纂教科書ヲ使用スヘシ

第二條　書堂ヲ廢止シタルトキハ開設者ニ於テ遅滞ナク之ヲ道知事ニ届出ツヘシ

第三條　書堂ノ名稱ニハ學校ニ類スル文字ヲ用ヰルコトヲ得ス

書堂ハ名稱ヲ記シタル標札ヲ見易キ場所ニ掲クヘシ

第四條　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者又ハ性行不良ナル者ハ書堂ノ開設者又ハ教師トナルコトヲ得ス

第五條　左ノ場合ニ於テハ道長官ハ書堂ノ閉鎖又ハ教師ノ變更其ノ他必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

一　法令ノ規定ニ違反シタルトキ
二　公安ヲ害シ又ハ教育上害ナリト認メタルトキ

第六條　書堂ハ道知事ノ監督ニ屬ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●書堂規則發布ニ關スル件

大正七年二月
總訓第九號

道府郡島

書堂規則ヲ別紙ノ通リ定メ本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル書堂ハ本令ニ依リ道知事ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（昭和四年六月總令第五十五號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル書堂ハ本令ニ依リ道知事ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

●書堂規則發布ニ關スル件

大正七年二月
總訓第九號

道府郡島

書堂規則ヲ別紙ノ通リ定メ本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル書堂ハ本令ニ依リ道知事ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（昭和四年六月總令第五十五號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五章　學校ノ認定　指定及檢定

●公立私立學校認定ニ關スル件

明治三十二年六月
文令第三十四號

改正　明治三四年第三五號、三六年八第三〇號、三七年三第一一號、四〇年一一第三三號、四三年六第一五號、大正二年三第七號、四年八第二一號、九年四第一一號、一〇年四第二三號

公立私立學校認定ニ關スル規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

公立私立學校認定ニ關スル規則

第一條　公立私立學校ニシテ文官任用令第六條ニ關シ中學校同等以上トシテ文部大臣ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ公立學校ニ在リテハ其管理者、私立學校ニ在リテハ其設立者ニ於テ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ申請スヘシ但特別ノ規定ニ依リ文部大臣ニ開申シ若クハ其認可ヲ得タル事項ハ之ヲ省略スルコトヲ得

一　名稱
二　位置
三　學校ノ沿革
四　學則
五　學校長、學校長ナキトキハ其設立者ノ履歴

六　教員ノ氏名、資格學業經歴分擔學科及專任兼任ノ區別

七　生徒定員、現在生徒學年及學級別員數

八　卒業生ノ員數及卒業後ノ情況

九　校地、校舍及寄宿舍ノ圖面

十　經費及維持ノ方法

十一　教科書目錄

十二　教科用器具、器械及標本目錄

特別ノ規定アル場合ヲ除ク外學則ニ規定スヘキ事項ニ關シテハ中學校令施行規則第五十四條第二項ノ規定ヲ準用ス

第二條　前條ノ申請ニ基キ文部大臣ニ於テ認定ヲ爲スヘキ學校ハ其管理及維持ノ方法確實ニシテ所定ノ學科ヲ教授スルニ足ルヘキ相當ノ教員及設備ヲ具ヘ左ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一　專門學校（別科ヲ除ク）及實業專門學校（別科ヲ除ク）ニ在リテハ其ノ入學者ハ中學校ヲ卒業シタル者、專門學校令第

ニ非ラス之ヲ以テ書堂ノ學童數ハ多クモ三十人ヲ超エサル範圍ニ於テ之ヲ定メシムヘク且現ニ存在スル書堂ニ對シテモ漸次勸奬シテ之ニ準拠セシムルコトヲ期スヘシ又書堂ノ教授ハ從來概シテ唯漢文ノ素讀ニ止レリト雖土地ノ狀況竝書堂ノ實情ニ依リ漸次勸奬シテ國語及算術ヲ教授セシムルヲ要ス若夫レ名ヲ書堂ニ藉リテ私立學校規則ノ適用ヲ免カレムトスルモノ如キハ特ニ留意シテ取締ノ實效ヲ擧ケムコトヲ期スヘシ

三　書堂教師ヲ往往ニシテ偏見固陋時勢ヲ解セサル者アリ是等ニ付テハ平素其ノ思想ノ啓發ニ努ムルト共ニ其ノ言動ニ注意シ相當取締ヲ怠ラサムコトヲ要ス尚公立普通學校長ヲシテ臨時書堂ノ視察ヲ行ハシメ又時時書堂教師ヲ集メ講習其ノ他ノ方法ニ依リ必要ナル事項ヲ講習セシムル等指導誘掖ニ力ヲ致ササルヘカラス

四　書堂ニ於テ教授スル書籍ハ從來ノ慣例ニ依リ妨ケナキ限從來ノ時勢竝學童ノ能力等ニ比シ不適當ナルモノヲ除カラス依テ左ニ適當ト認ムヘキモノヲ列擧シテ之ヲ示ス須ラク書堂ヲシテ此ノ內ヨリ選擇使用セシメ彼ノ發賣頒布禁止其ノ他不良書籍ヲ用ユルカ如キコト莫ラシムヘシ

千字文　類合　啓蒙篇　擊蒙要訣
小學　孝經　四書　三經　通鑑　古文眞寶　明心寶鑑　文章軌範　唐宋八家文讀本　東詩　唐詩　法帖　朝鮮總督府編纂教科書

第五章　學校ノ認定　指定及檢定

●公立私立學校認定ニ關スル件

明治三十二年六月
文令第三十四號

改正　明治三四年第三五號、三六年八第三〇號、三七年三第一一號、四〇年一一第三三號、四三年六第一五號、大正二年三第七號、四年八第二一號、九年四第一一號、一〇年四第二三號

公立私立學校認定ニ關スル規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

公立私立學校認定ニ關スル規則

第一條　公立私立學校ニシテ文官任用令第六條ニ關シ中學校同等以上トシテ文部大臣ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ公立學校ニ在リテハ其管理者、私立學校ニ在リテハ其設立者ニ於テ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ申請スヘシ但特別ノ規定ニ依リ文部大臣ニ開申シ若クハ其認可ヲ得タル事項ハ之ヲ省略スルコトヲ得

一　名稱
二　位置
三　學校ノ沿革
四　學則
五　學校長、學校長ナキトキハ其設立者ノ履歴

六　教員ノ氏名、資格學業經歴分擔學科及專任兼任ノ區別

七　生徒定員、現在生徒學年及學級別員數

八　卒業生ノ員數及卒業後ノ情況

九　校地、校舍及寄宿舍ノ圖面

十　經費及維持ノ方法

十一　教科書目錄

十二　教科用器具、器械及標本目錄

特別ノ規定アル場合ヲ除ク外學則ニ規定スヘキ事項ニ關シテハ中學校令施行規則第五十四條第二項ノ規定ヲ準用ス

第二條　前條ノ申請ニ基キ文部大臣ニ於テ認定ヲ爲スヘキ學校ハ其管理及維持ノ方法確實ニシテ所定ノ學科ヲ教授スルニ足ルヘキ相當ノ教員及設備ヲ具ヘ左ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一　專門學校（別科ヲ除ク）及實業專門學校（別科ヲ除ク）ニ在リテハ其ノ入學者ハ中學校ヲ卒業シタル者、專門學校令第

五條ノ檢定ニ合格シタル者、又ハ當該學校ノ豫科ヲ修了シタル者タルコト

二　實業學校ニ在リテハ本當小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年ノモノ、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノモノ又ハ之ト同等以上ノ學科程度ヲ具ヘ修業年限三年以上ノモノ

三　其ノ他ノ學校ニ在リテハ其ノ學科程度、入學規則、編制及設備等中學校ノ規定ニ準スルモノ

前項第三號ノ學校ニ在リテハ其ノ教員全數ノ三分ノ一以上ハ專任タルヘシ且中學校ノ程度ニ準シ中學校同種ノ學科目ヲ教授スル教員ニ就キテハ中學校ノ教員免許狀ヲ有セサル者ノ數之ヲ有スル者ノ數ヲ超過スルヲ得ス

專門學校及實業專門學校ニ於テ中學校ト同等程度ノ豫科ヲ置キタル場合ハ前項ノ要件ニ適合スルモノタルヘシ

第三條　文部大臣又ハ地方長官ハ必要ト認メタルトキハ主務官吏ヲシテ認定ヲ受ケタル學校ノ入學試驗ニ立會ハシメ又ハ入學試驗問題及其答案ヲ查閱セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ試驗ノ問題又ハ方法中不適當ト認メタルモノアルトキハ當該官吏ハ其變更ヲ命スルコトヲ得

第四條　認定ヲ受ケタル學校ニ於テ名稱、位置、學則、生徒定員、校地、校舍及學校維持ノ方法ヲ變更セムトスルトキ若ハ特別ノ事情ニ依リ第二條第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ難キトキハ公立學校ニ在リテハ其管理者、私立學校ニ在リテハ其設立者ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受ケヘシ但特別ノ規定ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケ又ハ文部大臣ニ届出ツヘキ事項ニ關シテハ各其規定ニ依ルヘシ

設立者變更ノ場合ニ於テモ前項ノ規定ニ依ルヘシ

第五條　中學校令施行規則第三十四條、第三十九條第二項、第四十八條、第五十一條及第五十二條ノ規定ハ認定ヲ受ケタル學校ニ關シ之ヲ準用ス

第六條　認定ヲ受ケタル學校ニシテ未タ文官任用令ニ依リ認定ヲ受ケサルモノハ本令施行ノ日ニ於テ文官任用令ニ依リ之ヲ認定ス

前項ニ依ル認定ノ效力ハ徵兵令ニ依リ認定第二條　大正三年十二月一日以前ニ於テ文官任用令ニ依リ認定ヲ受ケタル學校ニシテ其ノ認定前既ニ徵兵令ニ依リ認定ヲ受ケタルモノニ在リテハ文官任用令ニ依ル認定ノ效力ハ徵兵令ニ依リ認定ヲ受ケタル時ニ溯ル

第三條　前二條ニ依リ認定ヲ受ケタル學校ニシテ未タ文官任用令ニ依リ認定ヲ受ケサルモノハ本令施行ノ日ニ於テ文官任用令ニ依リ之ヲ認定ス

前項ニ依ル認定ノ效力ハ徵兵令ニ依リ認定ヲ受ケタル時ニ溯ル

第二條　大正三年十二月一日以前ニ於テ文官任用令ニ依リ認定ヲ受ケタル學校ニシテ其ノ認定前既ニ徵兵令ニ依リ認定ヲ受ケタルモノニ在リテハ文官任用令ニ依ル認定ノ效力ハ徵兵令ニ依リ認定ヲ受ケタル時ニ溯ル

第三條　前二條ニ依リ認定ヲ受ケタル學校ニシテ其ノ依ル認定ニ於テ除外シタルモノニ及ハス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●釜山公立商業專修學校ヲ徵兵令竝文官任用令ニ依リ認定

明治四十一年四月
文告第百四十三號

【釜山居留民團立釜山商業學校】

右ハ徵兵令第十三條竝文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス

●京城中學校附屬臨時小學校教員養成所、京城高等普通學校附設臨時教員養成所第二部ヲ文官任用令ニ依リ認定

大正二年五月
文告第百三十號

京城中學校附屬臨時小學校教員養成所

京城高等普通學校附設臨時教員養成所第二部

右ハ文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス

●普隣商業學校ヲ徵兵令竝文官任用令ニ依リ認定

大正四年三月
文告第三十三號

注意　大正十一年七月文部省告示第四百九十五號ヲ以テ財團法人私立普隣商業學校ヲ改稱

普隣商業學校

右ハ徵兵令第十三條竝文官任用令第六條第一號ニ依リ認定ス但シ認定ノ效力ハ第二部生及夜學科生ニ及ハス

●仁川公立商業專修學校ヲ文官任用令ニ依リ認定

大正四年六月
文告第百十八號

朝鮮仁川公立商業專修學校

右ハ徵兵令第十三條竝文官任用令第六條第一號ニ依リ認定ス

●京城高等普通學校附設臨時教員養成所ヲ文官任用令ニ依リ認定

大正五年六月
文告第九十五號

京城高等普通學校附設臨時教員養成所

右ハ文官任用令第六條第一號ニ依リ認定ス

●私立東洋協會京城專門學校ヲ徵兵令竝文官任用令ニ依リ認定

大正七年四月
文告第百十八號

朝鮮京畿道京城府私立東洋協會京城專門學校

右ハ徵兵令第十三條竝文官任用令第六條ニ依リ中學校ト同等以上ト認定ス

●朝鮮總督府鐵道從事員養成所ヲ文官任用令ニ依リ認定

第一號書式（用紙半紙）

印	收入

外國語ノ種類

非常變災其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ試驗ヲ行フ能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ試驗ノ日ヨリ十日以内ニ文部大臣ニ屆出ツヘシ

第十一條　試驗ニ合格シタル者ニハ合格證書ヲ授與ス

第十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第三十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第三十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第三十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第三十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第三十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第三十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第三十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第三十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第三十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第三十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第四十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第四十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第四十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第四十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第四十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第四十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第四十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第四十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第四十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第四十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第五十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第五十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第五十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第五十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第五十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第五十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第五十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第五十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第五十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第五十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第六十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第六十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第六十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第六十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第六十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第六十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第六十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第六十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第六十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第六十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第七十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第七十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第七十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第七十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第七十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第七十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第七十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第七十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第七十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第七十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第八十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第八十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第八十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第八十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第八十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第八十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第八十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第八十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第八十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第八十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第九十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第九十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第九十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第九十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第九十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第九十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第九十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第九十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第九十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第九十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百二十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百二十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百二十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百二十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百二十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百二十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百二十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百二十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百二十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百二十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百三十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百三十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百三十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百三十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百三十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百三十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百三十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百三十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百三十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百三十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百四十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百四十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百四十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百四十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百四十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百四十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百四十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百四十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百四十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百四十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百五十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百五十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百五十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百五十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百五十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百五十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百五十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百五十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百五十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百五十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百六十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百六十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百六十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百六十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百六十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百六十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百六十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百六十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百六十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百六十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百七十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百七十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百七十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百七十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百七十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百七十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百七十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百七十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百七十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百七十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百八十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百八十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百八十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百八十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百八十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百八十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百八十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百八十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百八十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百八十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百九十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百九十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百九十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百九十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百九十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百九十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百九十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百九十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百九十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第百九十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百二十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百二十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百二十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百二十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百二十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百二十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百二十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百二十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百二十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百二十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百三十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百三十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百三十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百三十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百三十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百三十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百三十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百三十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百三十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百三十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百四十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百四十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百四十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百四十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百四十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百四十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百四十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百四十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百四十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百四十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百五十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百五十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百五十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百五十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百五十四條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百五十五條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百五十六條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百五十七條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百五十八條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百五十九條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百六十條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百六十一條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百六十二條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百六十三條　試驗ニ合格シタル者ハ其ノ試驗ニ係ル外國語ノ種類ヲ記載シタル證書ヲ授與ス

第二百六十四條　試驗ニ合格シタル者ハ

●專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗免除ノ學科目

大正十四年四月

總督第八十六號
改正　昭和一〇年九月第七〇二號

專門學校入學者檢定規程第八條ノ規定ニ依リ左ノ通學科目ノ試驗ヲ免除ス

資格	試驗免除學科目
小學校及普通學校教員試驗規則ニ依ル第一種試驗合格者	外國語ヲ除クノ外ノ學科目
私立學校教員資格認定ニ關スル規程ニ依リ認定ヲ受ケタル者	認定證書ニ記載シタル學科目
中學校又ハ高等普通學校ノ第四學年修了者	博物
大學豫科ノ入學ニ關シ指定セラレタル者	博物 外國語ヲ除クノ外ノ學科目
師範學校卒業者	經歷、擔任學科及專任兼任ノ區別
中學校卒業者	現在生徒ノ學年及學級別員數
修業年限四年以上ノ高等女學校卒業者	卒業者ノ員數及卒業後ノ狀況
專門學校入學者檢定規程第十一條ノ規定ニ依リ指定シタル者	教科書目錄
朝鮮總督ノ指定（以下單ニ指定ト稱ス）ヲ受ケントスルトキハ學校設立者ニ於テ左ニ掲グル事項ヲ具シ申請スベシ	參考書並教授用ノ器具、機械、模型及標本ノ目錄
一　目的	學校ノ資產目錄
二　名稱	指定ヲ受ケタル學校ノ目的、名稱、位置、學則、生徒定員又ハ維持方法ヲ變更セントスルトキハ設立者ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ但シ特別ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベキ事項ニ關シテハ其ノ規定ニ依ル
三　位置	第三條　指定ヲ爲スベキ學校ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ其ノ管理及維持ノ方法確實ニシテ相當ノ教員及設備ヲ具ヘ成績優良ナルモノニ限ル
四　學校ノ沿革	一　男子ノ學校ニ在リテハ尋常小學校又ハ修業年限六年ノ普通學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校又ハ普通學校高等科卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年又ハ之ト同等以上ノ學校
五　學則	二　女子ノ學校ニ在リテハ尋常小學校又ハ修業年限六年ノ普通學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限四年、高等小學校又ハ普通學校高等科卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年又ハ之ト同等以上ノ學校
六　生徒定員	三　平安南道平壤府私立崇義女學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル
七　校地、校舍、寄宿舍等ノ平面圖（坪數及附近略ス）及飲食水ノ定性分析表（設立者ノ履歷（資產法人ニ在リテハ沿革）及飲食水ノ定性分析表ベシ）	四　慶尚北道大邱府啓聖學校卒業者　但シ昭和八年三月以後ノ卒業者ニ限ル
八　學校長ノ履歷（教員ノ氏名、資格、學歷及擔任學科ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ朝鮮總督ニ差出スベシ	五　慶尚北道大邱府私立景義女學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル
九　學校ノ設立者ニ於テ左ニ掲グル事項ヲ具シ申請スベシ	六　京畿道京城府中東學校本科卒業者　但シ昭和四年三月以後ノ卒業者ニ限ル
一　目的	七　平安南道鎭南浦公立高等女學校卒業者　但シ昭和六年三月以後ノ卒業者ニ限ル
二　名稱	八　京畿道京城府中東學校本科卒業者　但シ昭和四年三月以後ノ卒業者ニ限ル
三　位置	九　平安北道宣川信聖學校卒業者　但シ昭和八年三月以後ノ卒業者ニ限ル
四　學校ノ沿革	十　朝鮮總督府遞信局海員養成所本科卒業者　但シ昭和七年三月以後ノ卒業者ニ限ル
五　學則	十一　平安南道平壤府私立崇義女學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル
六　生徒定員	十二　慶尚北道大邱府啓聖學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル
七　校地、校舍、寄宿舍等ノ平面圖（坪數及附近略ス）及飲食水ノ定性分析表（設立者ノ履歷（資產法人ニ在リテハ沿革）及飲食水ノ定性分析表ベシ）	十三　全羅北道全州興學校卒業者　但シ昭和十年三月以後ノ卒業者ニ限ル
八　學校長ノ履歷（教員ノ氏名、資格、學歷及擔任學科ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ朝鮮總督ニ差出スベシ	十四　慶尚南道東萊日新女學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル
九　學校ノ設立者ニ於テ左ニ掲グル事項ヲ具シ申請スベシ	十五　京城京城府真信女學校卒業者　但シ

●專門學校入學者檢定規程第十一條ノ規定ニ依ル指定ニ關スル規程

昭和三年五月
總令第二十六號

專門學校入學者檢定規程第十一條ノ規定ニ依ル指定ニ關スル規程左ノ通定ム

專門學校入學者檢定規程第十一條ノ規定ニ依ル指定ニ關スル規程

第一條　專門學校入學者檢定規程第十一條ノ規定ニ依ル指定ニ關スル規程

一　朝鮮總督、臺灣總督又ハ關東長官ノ定メタル專門學校入學者檢定ニ關スル規程ニ依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試驗檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者

二　第二號書式ノ履歷書及大正十一年朝鮮總督府告示第百五號第三條第四號ニ揭載シテ之ヲ公告スル第三號書式ノ身體檢查書

三　戶籍謄本但シ外國人ニ在リテハ國籍、出生地及生年月日ニ關シ住所地ヲ管轄スル領事ノ證明書

地方長官ニ前項願書ヲ受附タルトキハ出願者カ私立學校規則第十二條各號ニ該當ノ有無ヲ調査シ且其ノ性行ニ就キ意見ヲ具申スベシ

第六條　出願者ハ手數料トシテ一學科目毎ニ五圓ヲ納付スベシ但シ第二條第二項ノ場合ニ於テハ一學科目ノ一部又ハ數部ノ認定ヲ出願スルモ其ノ手數料ニ關シテハ一學科目ト看做ス

第七條　敎員資格ヲ認定シタル者ニ對シテハ認定證書ヲ交付ス

第八條　認定證書ヲ交付シタル者ノ姓名、本籍道府縣及認定ノ學科目ハ朝鮮總督府官報ニ揭載シテ之ヲ公告ス

第九條　認定證書ヲ有スル者其ノ姓名若ハ本籍道府縣ヲ變更シ又ハ認定證書ヲ毀損亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ認定證書ノ書換又ハ再交付ヲ出願スルコトヲ得

前項ノ認定證書ノ書換又ハ再交付ヲ出願スルコトヲ得ル者ハ手數料一圓ヲ納付スベシ

第十條　手數料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納付スベシ

既納ノ手數料ハ之ヲ還付セス

第十一條　認定ヲ受ケタル者私立學校規則第十二條第一號又ハ第二號ニ該當スルニ至リタルトキハ認定ハ其ノ效力ヲ失フ

前項ノ規定ニ依リ效力ヲ失ヒタルトキハ朝鮮總督ニ認定證書ヲ返納スベシ

第十二條　認定ヲ受ケタル者不正ノ所爲其ノ他敎員タルヘキ體面ヲ汚辱スルノ所爲アリテ其ノ情狀重シトスルトキハ朝鮮總督ハ其ノ認定ヲ取消シ認定證書ヲ毀棄ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大學規程第五條第二號ノ規程ニ依ル指定

昭和九年三月
總告第百四十九號

大學規程第五條第二號ノ規定ニ依リ左記ノ者ヲ大學豫科ノ入學ニ關シ中學校第四學年修了者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ト指定ス

記

專門學校入學者檢定規程第四條ノ規定ニ依リ左記ノ者ヲ專門學校ノ入學ニ關シ中學校又ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ト指定ス

一　朝鮮總督、臺灣總督又ハ關東長官ノ定メタル專門學校入學者檢定ニ關スル規程ニ依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試驗檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者

●朝鮮、臺灣、樺太又ハ關東州ニ於テ專門學校入學者檢定ニ關スル規程ニ依リ行フ檢定ノ效力ニ關スル件

大正十五年一月
文令第五號
改正　昭和一〇年四月第二四號

大正十年文部省令第二十六號左ノ通改正ス

朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ滿洲國駐劄特命全權大使ノ定メタル專門學校入學者檢定ニ關スル規程ニ依リ行フ試驗檢定ハ大正十三年文部省令第二十二號ニ依ル試驗檢定ト同一ノ效力ヲ有ス朝鮮、臺灣、樺太又ハ關東州ニ於ケル官立公立ノ中學校、高等普通學校、修業年限四年以上ノ高等女學校若ハ女子高等普通學校ニ於テ專門學校入學者檢定ニ關スル規程ニ依リ行ヒタル試驗檢定ニ付亦同シ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●私立學校敎員資格認定ニ關スル件

大正十二年十一月
總令第百二十八號
改正　昭和四年一〇月第六號

大正十一年朝鮮總督府告示第百五號第三條第四號ニ規定スル私立學校敎員資格認定ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　私立學校敎員資格ノ認定ハ出願者ノ學力、性行及身體ニ就キ之ヲ行フ

第二條　認定ヲ爲スヘキ學科目左ノ如シ

修身　敎育　國語　漢文　朝鮮語及漢文　英語　歷史　地理　數學　物理　化學　博物　理科　習字　圖畫　家事　裁縫　體操　音樂　簿記　農業　商業

手藝

歷史ハ日本史東洋史、西洋史ノ二部ニ博物ハ動物、植物、鑛物、生理及衞生ノ四部ニ、圖畫ハ日本畫用器畫、西洋畫用器畫ノ二部ニ、手藝ハ刺繡、造花、編物、袋物ノ四部ニ分チテ出願スルコトヲ得

第三條　私立學校規則第十二條各號ノ一ニ該當スル者ハ認定ヲ受クルコトヲ得ス

第四條　認定ハ隨時之ヲ行フ

第五條　認定ヲ受クルトキハ朝鮮總督ハ第一號書式ノ敎員資格認定願書ニ左ノ書類ヲ添ヘ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ朝鮮總督ニ差出スヘシ

一　第二號書式ノ履歷書及大正十一年朝鮮總督府告示第百五號第三條第四號ニ揭載シテ之ヲ公告スル第三號書式ノ身體檢查書

二　戶籍謄本但シ外國人ニ在リテハ國籍、出生地及生年月日ニ關シ住所地ヲ管轄スル領事ノ證明書

三　學力、性行及身體ニ關スル履歷書

四　學校ノ沿革、學則、生徒定員又ハ維持方法ヲ變更セントスルトキハ設立者ニ於テ總督ノ認可ヲ受クベシ但シ特別ノ規定ニ依リ總督ノ認可ヲ受クベキ事項ニ關シテハ其ノ規定ニ依ル

第三條　指定ヲ爲スベキ學校ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ其ノ管理及維持ノ方法確實ニシテ相當ノ敎員及設備ヲ具ヘ成績優良ナルモノニ限ル

一　男子ノ學校ニ在リテハ尋常小學校又ハ修業年限六年ノ普通學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校又ハ普通學校高等科卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年又ハ之ト同等以上ノ學校

二　女子ノ學校ニ在リテハ尋常小學校又ハ修業年限六年ノ普通學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限四年、高等小學校又ハ普通學校高等科卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年又ハ之ト同等以上ノ學校

三　平安南道平壤府私立崇義女學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル

四　慶尚北道大邱府啓聖學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル

五　全羅北道全州興學校卒業者　但シ昭和十年三月以後ノ卒業者ニ限ル

六　慶尚南道東萊日新女學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル

七　京畿道京城府真信女學校卒業者　但シ昭和十年三月以後ノ卒業者ニ限ル

八　京畿道京城府中東學校本科卒業者　但シ昭和四年三月以後ノ卒業者ニ限ル

九　平安北道宣川信聖學校卒業者　但シ昭和八年三月以後ノ卒業者ニ限ル

十　朝鮮總督府遞信局海員養成所本科卒業者　但シ昭和七年三月以後ノ卒業者ニ限ル

十一　卒業者ノ員數及卒業後ノ狀況

十二　敎科書目錄

十三　參考書並敎授用ノ器具、機械、模型及標本ノ目錄

十四　學校ノ資產目錄

十五　指定ヲ受ケタル學校ノ目的、名稱、位置、學則、生徒定員又ハ維持方法ヲ變更セントスルトキハ設立者ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ但シ特別ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベキ事項ニ關シテハ其ノ規定ニ依ル

第三條　指定ヲ受ケタル學校ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ其ノ管理及維持ノ方法確實ニシテ相當ノ敎員及設備ヲ具ヘ成績優良ナルモノニ限ル

一　男子ノ學校ニ在リテハ尋常小學校又ハ修業年限六年ノ普通學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校又ハ普通學校高等科卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年又ハ之ト同等以上ノ學校

二　女子ノ學校ニ在リテハ尋常小學校又ハ修業年限六年ノ普通學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限四年、高等小學校又ハ普通學校高等科卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年又ハ之ト同等以上ノ學校

三　平安南道平壤府私立崇義女學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル

四　慶尚北道大邱府啓聖學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル

五　全羅北道全州興學校卒業者　但シ昭和十年三月以後ノ卒業者ニ限ル

六　慶尚南道東萊日新女學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル

七　京畿道京城府真信女學校卒業者　但シ昭和十年三月以後ノ卒業者ニ限ル

八　京畿道京城府中東學校本科卒業者　但シ昭和四年三月以後ノ卒業者ニ限ル

九　平安北道宣川信聖學校卒業者　但シ昭和八年三月以後ノ卒業者ニ限ル

十　朝鮮總督府遞信局海員養成所本科卒業者　但シ昭和七年三月以後ノ卒業者ニ限ル

十一　平安南道平壤府私立崇義女學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル

十二　慶尚北道大邱府啓聖學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル

十三　全羅北道全州興學校卒業者　但シ昭和十年三月以後ノ卒業者ニ限ル

十四　慶尚南道東萊日新女學校卒業者　但シ昭和九年三月以後ノ卒業者ニ限ル

十五　京城京城府真信女學校卒業者　但シ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

收入印紙

敎員資格認定願書

本籍
現住所
學科目　　姓　　名
　　年　月　日生

私儀私立ノ高等普通學校及女子高等普通學校敎員志願ニ付前記學科目ニ就キ資格認定相受度書類ヲ具シ此段相願候也

　　年　月　日　　右　　姓　　名㊞

朝鮮總督殿

第二號書式

履歷書

　　姓　　名
學業　　年　月　日生

年　月　日何學校何科第何學年入學
年　月　日卒業（卒業證書番號）
年　月　日何講習會ニ於テ何科目ニ關シ講習ヲ受ク（別紙證明書添附）
年　月　日何敎員免許狀受領（免許狀番號）（別紙證明書添附）

業務

年　月　日何官職ニ奉命若ハ何業ニ從事
年　月　日何事由ニ依リ退官若ハ廢業

賞罰

年　月　日何事由ニ依リ何賞若ハ何罰ヲ受ク

身上ニ關スル事項

年　月　日何事由ニ依リ何ト改氏名等

以上

　　年　月　日　　右　　姓　　名㊞

第三號書式

身體檢查書

本籍　　姓　　名
　　年　月　日生

（記載方ハ別紙身體檢查書記載方心得ニ依ルヘシ）

一、體格
一、身長
一、體重
一、胸圍
中心視力
色盲
眼病
聽力
一、耳疾
一、呼吸器
一、神經系
一、皮膚
一、言語

既往現在ノ疾病又ハ畸形

右檢查候處相違無之候也

年　月　日　檢查
何學校醫員　何

（別記）
身體檢查書記載方ハ明治四十一年文部省令第二號教員檢定ニ關スル規程第四條第三號別記身體檢查書記載方心得ニ依ル

●徵兵令ニ依リ學校認定

大正十年四月
陸、文告第十五號

注意　大正十一年六月文部省告示第四百五十八號ヲ以テ私立京城鐵道學校ヲ改稱

京城鐵道學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス但シ認定ノ效力ハ本科以外ノモノニ及ハス

大正十二年一月
陸、文告第二十四號

釜山第一公立商業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス

大正十三年七月
陸、文告第二十八號

新義州公立商業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス

大正十五年五月
陸、文告第三十一號

仁川公立商業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス

大正十五年四月
陸、文告第二十七號

裡里農林學校
京城第一高等普通學校
平壤高等普通學校
大邱高等普通學校
咸興高等普通學校
全州高等普通學校
京城第二高等普通學校
新義州高等普通學校
光州高等普通學校
東萊高等普通學校
鐵城高等普通學校
海州高等普通學校
公州高等普通學校
清州高等普通學校
春川高等普通學校
晋州高等普通學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス但シ認定ノ效力ハ裡里農林學校攻科生ニ及ハス

前項ノ認定ハ大正十五年三月卒業ノ者ヨリ之ヲ適用ス

大正十五年五月
陸、文告第三十一號

仁川公立商業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス

大正十四年十月
陸、文告第六十三號

大邱公立農業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス

大正十五年二月
陸、文告第三號

京城公立商業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス

大正十一年四月
陸、文告第二十六號

京城鐵道學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス但シ認定ノ效力ハ昭和二年三月卒業ノ者ヨリ之ヲ適用ス

昭和二年六月
陸、文告第十六號

開城公立商業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス但シ認定ノ效力ハ昭和二年三月卒業ノ者ヨリ之ヲ適用ス

昭和二年八月
陸、文告第三十一號

大邱公立商業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス

昭和七年五月
文告第百五十七號

一　延禧專門學校
但シ昭和二年三月以後ノ商科本科卒業者及昭和三年三月以後ノ文科本科卒業者ニ限ル

昭和七年五月
文告第百十八號

大正七年文部省令第三號第二條ニ依リ左記ノ學校ヲ高等學校高等科若ハ大學豫科ト同等以上ト指定ス

一　中央佛教專門學校
但シ昭和八年三月以後ノ本科卒業者ニ限ル

●藥品及藥品營業取締令施行規則ニ依リ學校指定

大正十四年三月
總督第四十一號

藥品及藥品營業取締令施行規則第一條第二項ノ藥學校ヲ左ノ通指定ス

本指定ハ大正十四年三月以降ノ卒業者ニ對シ效力ヲ有ス但シ特別科卒業者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

朝鮮藥學校

昭和五年九月
總督第三百八十四號

藥品及藥品營業取締令施行規則第一條第二項ノ藥學校ヲ左ノ通指定ス

本指定ハ昭和六年三月以降ノ本科及別科卒業者ニ對シ效力ヲ有ス

京城藥專專門學校

第六章　經學院　文廟　學會　講習會

●經學院規程

明治四十四年六月
總令　第七十三號
改正　大正一一年一月四日

經學院規程左ノ通定ム

第一條　經學院ハ朝鮮總督ノ監督ニ屬シ經學ノ講究ヲ爲シ風敎德化ヲ裨補スルコトヲ目的トス

第二條　經學院ニ左ノ職員ヲ置ク

學監　一人
講師　若干人
幹事　若干人
書記　若干人

前項ノ職員ハ朝鮮總督之ヲ任免ス

第三條　總裁ハ朝鮮總督ノ指揮監督ヲ承ケ院務ヲ掌理ス

學監ハ總裁ノ命ヲ承ケ敎務ヲ掌ル

講師ハ生徒ノ敎授ヲ掌ル

幹事ハ上職ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

書記ハ上職ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四條　明倫學院ニ評議員會ヲ置キ議長及評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

議長ハ經學院大提學ヲ以テ之ニ充ツ

評議員ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ズ

評議員會ハ明倫學院ニ關スル重要ナル事項ヲ審議ス

第五條　總裁ハ庶務ニ關スル規程其ノ他本令ノ施行上必要ナル事項ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第六條　明倫學院ノ生徒數ハ本科九十人以內
研究科二十人以內トス

第七條　明倫學院ニ左ノ職員ヲ置ク

總裁　一人
學監　一人
講師　若干人
幹事　若干人
書記　若干人

前項ノ職員ハ朝鮮總督之ヲ任免ス

第八條　總裁ハ朝鮮總督ノ指揮監督ヲ承ケ院務ヲ掌理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

學監ハ總裁ノ命ヲ承ケ敎務ヲ掌ル

講師ハ生徒ノ敎授ヲ掌ル

幹事ハ上職ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

書記ハ上職ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第九條　明倫學院ニ評議員會ヲ置キ議長及評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

議長ハ經學院大提學ヲ以テ之ニ充ツ

評議員ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ズ

評議員會ハ明倫學院ニ關スル重要ナル事項ヲ審議ス

第十條　總裁ハ庶務ニ關スル規程其ノ他本令ノ施行上必要ナル事項ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第十一條　經學院ノ經費中明倫學院ノ經費ハ之ヲ特別會計ト爲シ補助金、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和八年二月總令第二十四號）

本令ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

附　則（昭和十一年三月總令第十五號）

本令ハ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●地方文廟職員ニ關スル件

大正十二年四月
總令第六十八號
改正　昭和七年四月第三五號、八年二月二四號、一一年三月一五號

地方文廟職員ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　經學院ハ之ヲ京城ニ置ク

第二條　朝鮮總督ハ各道ニ於テ學識德望アル者ヲ講師ニ舉ケ經學院ニ列セシム

第三條　經學院ハ每年春秋二回文廟ノ祭祀ヲ擧行ス

祭祀ハ朝鮮總督ノ指揮ヲ承ケ大提學之ヲ行ヒ經學院講師之ニ列ス

第四條　經學院ニ左ノ職員ヲ置ク

大提學　一人
副提學　二人
祭酒　五人
司成　若干人
直員　若干人

前項職員ノ進退ハ朝鮮總督之ヲ行フ

第五條　大提學ハ朝鮮總督ノ指揮監督ヲ承ケ院務ヲ總理ス

第六條　副提學ハ大提學ヲ補佐シ大提學非故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第七條　祭酒ハ上職ノ命ヲ承ケ院務ヲ分掌ス

第八條　司成ハ上職ノ指揮ヲ承ケ院務ニ從事ス

第九條　直員ハ上職ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第十條　經學院ノ講士及職員ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

京城以外ノ在住スル講士ニシテ經學院ニ列スル者ニハ旅費ヲ給ス

第十一條　削除

第十二條　第十條ノ手當並旅費額並其ノ支給方法ニ付テハ別ニ定ムル處ニ依ル

第十三條　經學院ノ職員及講士ノ手當、旅費其ノ他ノ經費ハ其本財產ヨリ生スル收入及

第十四條　經學院ハ寄附ヲ受クルコトヲ得

第十五條　其本財產ハ土地、建物、國債證券又ハ確實ナル有價證券若ハ銀行預金トシテ之ヲ保管スヘシ

其本財產ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第十六條　大提學ニ每會計年度歲入歲出豫算ヲ調製シ年度前ニ總督ノ認可ヲ受クヘシ

豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲サムトスルトキ亦同シ

大提學ハ每會計年度歲入歲出決算ヲ具シ年度後三月以內ニ朝鮮總督ニ報告スヘシ

前二項ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第十七條　本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ大提學之ヲ定ム

●經學院ニ關スル件

明治四十四年八月
總訓第六十五號

經學院

今回經學院ヲ設立シタル趣旨ハ其ノ規程ノ示スカ如ク經學ヲ講シ文廟ヲ祀リ敎化ヲ裨補セシムルニ在リ之ニ依リテ啻ニ高德篤行ノ者宿儒ヲ優待シ以テ儒林ヲ尊ヒ碩學ヲ重スルノ美風ヲ推奬セムトスルニ止マラス又進テ彝倫ノ扶持人心ノ啓發ニ資スル所アラシメムトス其ノ責任重且大ナリト謂フヘシ

惟フニ孔孟ノ道ハ仁義忠孝ヲ主トシ實踐躬行ヲ尙フ後世新道ヲ唱フル者往往無爲徒食ニ陷リ空論橫議ヲ事トスルニ至リタルハ唯其ノ徒弊ニ過キサルノミ今我　天皇陛下國祚弐拾五萬圓ヲ賜ヒ經學院ノ基金ニ充テシメラル聖旨ノ優渥ナル感激ニ堪ヘムヤ其ノ職員並講士タル者ハ徒ニ靑衿ヲ誦ミ祭ヲ司ルヲ以テ足レリトセス宜ク身ヲ以テ隣里鄕黨ノ儀表トナリ其ノ弊風ヲ矯正シ其ノ良俗ヲ助長シ以テ一般敎化ノ裨補ニ努ムルニ於テ遺憾ナキヲ期スヘシ

●經學院ノ院務ニ關スル件

大正二年三月
總訓第十三號

經學院

經學院ハ其ノ創設以來方サニ二年ニ垂トシ儒林ヲ率ヰ風敎ヲ扶持スルニ於テ見ルヘキモノ少シトセス今回更ニ院務ヲ宏擴シテ月次必ス經典ヲ講究シ春秋二季ノ釋奠ヲ期シテ特ニ講筵ヲ開キ又講士ヲ地方ニ派シテ巡回講演セシメ且院認ヲ發行シ以テ益益敎化裨補ノ實ヲ擧ケシメムトス職員須ラク此ノ意ヲ體シテ風勉事ニ當リ能ク施政ノ方針ヲ奬順シテ自ラ民衆ノ儀表トナリ儒林ノ木鐸トナリ以テ其ノ目的ヲ全ウスルニ於テ遺憾ナキヲ期セサルヘカラス

地方支廳中京都道廳城郡松都面所在ノ支廳ニハ司成一人、直員一人ヲ置キ其ノ他ノ地方ニ於ケル支廳ニハ直員一人ヲ置ク

司成ノ進退ハ道知事ノ申請ニ依リ朝鮮總督之ヲ行フ

司成ハ名譽職トシ郡守ノ指揮ヲ承ケ文廳ノ事務及管守ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬直員ヲ監督ス

直員ノ進退ハ府尹、郡守、島司ノ申請ニ依リ道知事之ヲ行フ

直員ハ名譽職トシ府尹、郡守、島司及司成ノ指揮ヲ承ケ文廳ヲ直守シ庶務ニ從事ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年朝鮮總督府令第百二十七號ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際文廳直員ノ職ニ在ル者ハ本令ニ依リ任命セラレタルモノトス

●學會令

陸軍二年九月
勅令第六十三號

廢學會令ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ頒布セシム

學會令

第一條　本會ニ學會ト稱スルハ名稱ノ如何ヲ問ハス教育學藝ノ普及發達ヲ圖ルヲ目的トスル團體ヲ謂フ

第二條　學會ヲ設立セムトスル者ハ其ノ請願書ニ設立者ノ履歷書及左ノ事項ヲ記載シタル會則ヲ添附シ【學部大臣】ノ認可ヲ受クヘシ

一　目的
二　名稱
三　事業
四　事務所ノ位置
五　會員ノ資格
六　入會及退會ニ關スル事項
七　任員選定ニ關スル事項
八　經費收支及資產ニ關スル事項
九　支會ヲ設ケル者ハ名稱、位置其ノ他支會ニ關スル事項

學會ヲ前項ノ外特別手當ヲ支給スルコトヲ得

第五條　學資金及巡歷手當ハ別表ニ依ル但シ官吏ニ非サル者ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議シ別表ニ準シテ之ヲ定ム

第六條　學資金ハ最初ノ在留地到著ノ翌日ヨリ歸朝ノ途ニ就ク前日迄月割及日割ヲ以テ之ヲ支給ス

在留國間移轉ノ場合ニ於テハ前在留地ヲ出發シタル日ノ翌日ヨリ後在留地ニ付定メタル學資金ヲ支給ス

第七條　各地ヲ巡歷研究スル場合ニ於テハ旅費ヲ支給セス巡歷手當ヲ支給ス

第八條　旅費ハ本邦在留國間往返ノ場合又ハ在留國間移轉ノ場合ニ於テ外國旅費規則ノ定ムル所ニ依リ本人相當ノ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料、食卓料及支度料ヲ支給ス

第九條　外國在留中特別ノ任務ニ從事スル場合ニ於テハ外國旅費規則ノ定ムル所ニ依リ旅費ヲ支給スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ旅費ヲ支給スル場合ニ於テハ學資金及巡歷手當ハ之ヲ支給セス

第十條　外國旅費規則中死亡手當ニ關スル規定ハ在外研究員ニ付之ヲ準用ス

第十一條　學資金及巡歷手當ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得但シ學資金ニ付テハ六月分ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條　在外研究員ヲ命セラレタル官吏ハ本邦出發ノ日ヨリ歸朝ノ日迄之ヲ定員外ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ定員外ト爲リタル者ニハ俸給ヲ支給セス但シ時宜ニ依リ其ノ俸給ノ三分ノ二以內ヲ支給スルコトヲ得

第十三條　特別ノ事情アルトキハ官吏ニ非スシテ在外研究員ヲ命セラレタル者ニ年額二千五百圓以內ノ家族手當ヲ支給スルコトヲ得

前項ノ規定ハ前條第一項ノ規定ニ依リ定員外ト爲リタル在外研究員ニ之ヲ準用スル場合ニ於テ別ニ手當ノ給與ヲ請ハムトスルトキハ第六號書式ノ巡歷手當給與願書ヲ成ルヘク三月前ニ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ巡歷手當ノ額ト合シテ俸給ノ三分ノ二ヲ超ユルトキハ其ノ超ユル部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　在外研究員ハ歸朝ノ日ヨリ外國在留期間ノ二倍ニ相當スル期間主管大臣ノ指定シタル職務ニ從事スル義務ヲ負フモノトス但シ歸朝ヲ爲サムトシテ直ニ外國ニ在勤ヲ命シタル場合ニ於テハ其ノ期間ハ在勤ヲ命シタル日ヨリ之ヲ起算ス

第十五條　在外研究員ハ主管大臣ノ命ニ從背シタルトキ又ハ成業ノ目途ナキニ至リタルトキハ之ヲ免スルコトヲ得

第十六條　第十四條ノ義務ヲ履行セス又ハ前條ノ規定ニ依リ研究員ヲ免セラレタル者ノ受ケタル學資金、巡歷手當、特別手當及旅費ハ之ヲ償還セシム但シ特別ノ事情アルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得

第十七條　特別ノ事情ニ因リ本會ニ依リ難キ場合ニ於テハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ學資金及巡歷手當ニ關シ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十八條　本會中主管大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ在リテハ滿洲國駐劄特命全權大使、樺太ニ在リテハ樺太廳長官之ヲ行フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

遞信省外國留學生規程
水產講習所在外研究生規程
明治四十二年勅令第二百二十九號
關東廳在外研究員規程
臺灣總督府在外研究員規程
大正五年勅令第百六十五號
文部省在外研究員規程
朝鮮總督府在外研究員規程

本令施行ノ際現ニ在ル在外國留學生、在外研究員又ハ在外研究員ト看做シ其ノ給與ニ付テハ文部省在外研究員ト除クノ外大正十年九月分ヨリ本令ヲ適用ス但シ大正十年九月一日前本邦ヲ出發シタル者ノ支度料及最初ノ在留國ニ至ル迄ノ旅費竝大正十年九月一日前最後ノ在留國ヲ出發シタル者ノ旅費ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本令施行前外國留學生、在外研究員又ハ在外研究生ニ命セラレタル者ノ義務ニ關シテハ仍舊令ニ依ル

（別表）

區分	學資金年額			巡歷手當年額		
	甲地方	乙地方	丙地方	甲地方	乙地方	丙地方
高等官	五千五百圓以內	四千五百圓以內	三千圓以內	九百圓以內	七百圓以內	
判任官	四千五百圓以內	三千七百圓以內	二千四百圓以內	九百圓以內	七百圓以內	

備考

甲地方トハ南北亞米利加、乙地方トハ歐羅巴、亞非利加、大洋洲竝支那及西比利亞以外ノ亞細亞、丙地方トハ支那及西比利亞ヲ謂フ

●在外研究員規程施行細則

大正十一年九月
總令第百三十號

在外研究員規程施行細則左ノ通定ム

第一條　朝鮮總督府在外研究員ヲ命セムトスルトキハ身體檢查ヲ行ヒ之ヲ免スルコトアルヘシ

第二條　朝鮮總督府在外研究員ヲ命セラレタル者ハ七日以內ニ第一號書式ノ誓書ヲ差出シ且速ニ第二號書式ノ出發屆ヲ差出スヘシ

第三條　朝鮮總督府在外研究員ニシテ本邦出發前疾病ニ罹リタル者ニ付テハ更ニ身體檢查ヲ行ヒ之ヲ免スルコトアルヘシ

第四條　朝鮮總督府在外研究員ヲ在留地ニ到著シタルトキハ第三號書式ニ依リ、在留地ヲ離ルルトキハ第四號書式ニ依リ遲滯ナク朝鮮總督及當該國駐在帝國大使、公使又ハ最寄地方駐在帝國領事ニ其ノ旨屆出ツヘシ

第五條　朝鮮總督府在外研究員ヲ在留國ヲ轉セムトスルトキハ第五號書式ノ旅費給與願書ヲ、學術研究ノ爲各地ヲ巡歷セムトスル場合ニ於テ別ニ手當ノ給與ヲ請ハムトスルトキハ第六號書式ノ巡歷手當給與願書ヲ成ルヘク三月前ニ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ巡歷手當ノ額ト合シテ俸給ノ三分ノ二ヲ超ユルトキハ其ノ超ユル部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六條　朝鮮總督府在外研究員ニ在外中學術研究上特ニ多額ノ費用ヲ要スルトキ又ハ不慮ノ事變若ハ災害ニ遇ヒタルトキニ於テ特ニ特別手當支給ヲ請ハムトスル者ハ其ノ事由及費用見積額ヲ添附シテ第六號書式ニ準シ朝鮮總督ニ差出スヘシ

第七條　朝鮮總督府在外研究員ハ第七號書式ノ在留國追加願ヲ朝鮮總督ニ差出シ其ノ許可ヲ受クルニ非サレハ指定在留國以外ニ轉スルコトヲ得ス

第八條　朝鮮總督府在外研究員ハ自己ノ便宜ニ依リ滯期前歸朝スルコトヲ得但シ疾病ニ因リ研究ニ堪ヘ難キトキハ第八號書式ノ滯期前歸朝願ニ醫師ノ診斷書ヲ添附シ朝鮮總督ニ差出シ其ノ許可ヲ受クヘシ

前項但書ヲ以テ許可ヲ受クルノ暇ナキトキハ急症ニシテ許可ヲ受クルノ暇ナキトキハ當該國駐在帝國大使、公使又ハ最寄駐在帝國領事ノ證明ヲ得歸朝ノ後第九號書式ノ滯期前歸朝追認願ヲ差出スヘシ

第九條　朝鮮總督府在外研究員ハ每年四月及十月ノ二回ニ第十號書式ニ依リ其ノ研究事

告スヘシ

第十條　會則ヲ變更セムトスルトキハ【學部大臣】ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條　本會ニ依リ【學部大臣】ニ提出スヘキ文書ハ事務所ノ地方官ヲ經由スヘシ

地方長官前項文書ヲ受ケタルトキハ意見ヲ付シ提出スヘシ

附　則

第十二條　本令ハ隆熙二年十月一日ヨリ施行ス

第十三條　既設ノ學會ハ其ノ設立認可ヲ受ケタルト否トヲ問ハス總テ本令施行ノ日ヨリ二箇月以內ニ本令ノ規定ニ準シ【學部大臣】ノ認可ヲ受クヘシ

●學會ニ關スル件

隆熙二年十月
訓學二發第百五號

學會ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

朕惟フニ學會ハ其ノ會員ノ資格ニ應シ學術技藝ヲ研究セシムル爲在外研究員ヲ外國ニ派遣スルコトヲ得

第一條　在外研究員規程

第一條　主管大臣ハ其ノ主管事項ニ關シ須要ノ學術技藝ヲ研究セシムル爲在外研究員ヲ命ス

第二條　在外研究員ハ選拔ニ依リ主管大臣之ヲ指定ス

第三條　在外研究員ノ研究事項、在留國、在留期間其ノ他必要ナル事項ハ主管大臣之ヲ定ム

第四條　在外研究員ニハ本令ノ定ムル所ニ依リ學資金、巡歷手當及旅費ヲ支給ス

特別ノ事由アルトキハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第五條　在外研究員ニシテ學術研究ノ爲講習會ヲ開設シタル者アルトキハ道長官ニ其ノ開設ヲ出願スヘシ

第六條　講習會ヲ開設セムトスル者ハ講習會ノ名稱、位置、講習ノ目的、講習ノ期間及場所、講習ノ事項、講習員ノ資格及定數、講師ノ住所、氏名及經歷、經費支辨ノ方法ヲ具シ道長官ニ出願スヘシ

第七條　道長官ハ講習會ニシテ其ノ方法不適當又ハ有害ナリト認メタルトキハ之ヲ變更又ハ第一條ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第八條　講習會ニ於テ本令又ハ設立認可ノ條件ニ違背シ若ハ其ノ他公益ヲ害シ又ハ認可ヲ取消スコトヲ得

第九條　設立認可ヲ受ケシテ學會ト認ムヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シテハ【學部大臣】ハ其ノ禁止ヲ命スヘシ

第十條　地方官ハ【學部大臣】ノ指揮ヲ承ケ所管內ノ學會ヲ監督ス

第十一條　本令ニ依リ【學部大臣】ニ提出スヘキ文書ハ事務所ノ地方官ヲ經由スヘシ

地方長官前項文書ヲ受ケタルトキハ意見ヲ付シ提出スヘシ

附　則

第十二條　本令ハ隆熙二年十月一日ヨリ施行ス

第十三條　既設ノ學會ハ其ノ設立認可ヲ受ケタルト否トヲ問ハス總テ本令施行ノ日ヨリ二箇月以內ニ本令ノ規定ニ準シ【學部大臣】ノ認可ヲ受クヘシ

第七章　在外研究員　留學生及委託生

●在外研究員規程

大正十一年一月
勅令　第六號

敬正　昭和九年一二第三九五號

朕在外研究員規程ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　在外研究員規程

第一條　主管大臣ハ其ノ主管事項ニ關シ須要ノ學術技藝ヲ研究セシムル爲在外研究員ヲ命ス

第二條　在外研究員ハ選拔ニ依リ主管大臣之ヲ指定ス

第三條　在外研究員ノ研究事項、在留國、在留期間其ノ他必要ナル事項ハ主管大臣之ヲ定ム

第四條　在外研究員ニハ本令ノ定ムル所ニ依リ學資金、巡歷手當及旅費ヲ支給ス

特別ノ事由アルトキハ所管大臣大藏大臣ト

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第十六號 辞式

在外研究始末書

一往返發著
何年何月何日何港發纜何洋ヲ經（何年何月何日迄何地ニ滯在）
何年何月何日最初ノ在留地何國何所ニ到著
何年何月何日滿期（病氣或ハ何何ノ事故ニ付歸朝ヲ命セラレ或ハ何何ノ事故ニ依リ何年何月何日何所出發何洋ヲ經（何年何月何日ヨリ何年何月何日迄在）
何年何月何日何港（本邦何港）ニ到著
一修學狀況
何年何月何日何國何所ニ於テ教師何某氏ニ從ヒ何年何月何日迄左ノ學科ヲ研修ス
學科　何何
何年何月何日ヨリ何何ノ爲何校ニ轉シ教師何某氏ニ從ヒ何年何月何日迄左ノ學科（又ハ事項）ヲ研修ス
學科　何何（又ハ事項何何）
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄何所ニ於テ（又ハ何地ヘ巡歷）左ノ事項ヲ研究（又ハ實驗）ス
事項何何
一右ノ外緊要ノ事項
年　月　日
朝鮮總督府在外研究員　何　某印
朝鮮總督何某殿

●在內地給費生規程

大正十一年四月
總令第四十四號

在內地給費生規程左ノ通定ム

第一條　在內地給費生ハ內地ニ於テ學習ヲ必要トスル學術、技藝ヲ履修セシムル爲品行方正、學力優秀、身體健全ナル者ニ付朝鮮總督之ヲ命ス

第二條　在內地給費生ノ入學スヘキ學校、履修學科及學資給與期間ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

第三條　在內地給費生ヲ命セラレタル者ハ第一號書式ノ誓約書ヲ提出スヘシ

第四條　在內地給費生ニハ學資ノ一部ヲ給與ス

前項ノ規定ニ依リ給與スル學資ハ月額三十圓以內トス但シ必要ト認ムル場合ニ於テハ之ヲ增加スルコトアルヘシ

第五條　前條ノ學資ハ在內地給費生ヲ命シタル學科目ヲ履修スル爲入學スヘキ學校ノ休業中歸鮮シタル者ニシテ休業期間ヲ超エ歸校セサルトキ又ハ父母ノ喪ニ因リ歸鮮シタル期間ハ學資ヲ給與セス休業期間ヲ超過シタル期間ハ學資ヲ給與セス

第六條　在內地給費生ハ朝鮮總督ノ指示ニ從フヘシ

第七條　在內地給費生ヲ辭セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケヘシ

第八條　在內地給費生ニシテ左ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學資ノ全部又ハ一部ヲ償還セシム

一　學業ヲ怠リ成業ノ見込ナシト認メタルトキ

二　品行不良ニシテ在內地給費生タルノ體面ヲ汚辱スヘキ行爲アリタルトキ

三　監督者ノ指示ニ服從セス又ハ學校ノ規程ニ違反シ其ノ情狀重キトキ

四　疾病ノ爲又ハ學業ノ成績不良ニシテ成業ノ見込ナシト認メタルトキ

第九條　在內地給費生指定期間滿了シタルトキハ其ノ翌日ヨリ二十日以內ニ在學地ヲ出發シ歸鮮スヘシ

歸鮮シタルトキハ遲滯ナク第二號書式ノ修學始末書ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ

第十條　在內地給費生ハ指定期間滿了ノ日ヨリ當該期間ノ二分ノ一ニ當ル期間朝鮮總督ノ指定スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

前項ノ義務ヲ盡ササルトキハ既ニ給與シタル學資ノ全部又ハ一部ヲ償還セシム但シ情狀ニヨリ償還義務ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

在內地官費朝鮮總督學生規程ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ在內地官費朝鮮學生タル者ハ本令ニ依リ在內地給費生ヲ命セラレタル者ト看做ス但シ學資ノ額、指定期間滿了ニ因リ歸鮮スル場合ノ旅費、現ニ治療ヲ受クルモノノ治療費及指定期間滿了後ノ義務ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

本令施行前在內地官費朝鮮學生ノ指定期間滿了シタル者ニシテ未タ其ノ義務ヲ完了セサルモノノ義務ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

第一號書式

誓約書

族籍
某長（次）男　氏　名
生年月日

右者今般在內地給費生ヲ命セラレ候ニ付テハ在內地給費生規程ヲ遵守シ熱心勉學致スヘキハ勿論卒業歸鄉ノ上ハ御指定ノ職務ニ服シ可申且本人同規程ニ依リ既ニ御給與相成候學資金償還ヲ命セラレ候場合ニ於テハ本人及保證人連帶ノ上速ニ償還可致候仍テ誓約書提出候也

年　月　日

住所　在內地給費生　氏　名印
住所職業
本人トノ關係　保證人　氏　名印
住所職業
本人トノ關係　保證人　氏　名印

第二號書式

朝鮮總督府

修學始末書

何年何月受命在內地給費生
履修學科何科　氏　名

出發

何年何月何日學校ヲ卒業シ何月何日何地ヲ出發シ何月何日何港ヲ解纜ス（何月何日ヨリ何月何日迄何事由ニ因リ何地ニ滯留ス）

發端　何年何月何日何港ニ投錨シ何月何日何地ニ歸著ス

一修學狀況
何年何月何日第何學年ニ進級ス
轉學　何年何月何日何事故ニ因リ何地官（公、私）立何學校何科第何學年ニ轉學ス
卒業　何年何月何日何地官（公、私）立何學校何科ヲ卒業ス在學中研修シタル學科目ハ左記ノ如シ

休學　何年何月何日ヨリ何月何日迄疾病又ハ何事故ニ因リ休學ス

一褒賞及卒業證等
何年何月何日何學校第何學年修業ノ際成績優等ニ依リ賞狀又ハ何賞品ヲ受ク
證書（卒業證書、卒業證書ナキ者ハ修業證書）ノ謄本別紙ノ如シ
一前項以外ノ重要事項　何何
右ノ通相違無之候也

年　月　日

住所
氏
名印

朝鮮總督宛

●中等教員委託生規則

大正九年六月
總令第八十九號

改正　大正十二年四月第九號

中等教員委託生規則左ノ通定ム

中等教員委託生規則

第一條　中等教員委託生ハ朝鮮ニ於ケル中等學校ノ教職ニ從事セシムル目的ヲ以テ高等師範學校其ノ他朝鮮總督ノ適當ト認ムル學校ノ學生生徒ノ中ニ就キ朝鮮總督之ヲ命ス

第二條　委託生ヲ命セラレタル者ハ別記樣式ノ誓約書ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ

第三條　委託生ニハ月額三十圓ノ學費及年額四十七圓ノ被服費ヲ給與ス

第四條　學費ハ委託生ヲ命セラレタル月ヨリ卒業ノ月迄每月二十五日迄ニ其ノ月分ヲ給與ス

被服費ハ每學年ノ初ニ其ノ學年分ヲ給與スル但シ學年ノ中途ニ於テ委託生ヲ命セラレタル者ニ對シテハ其ノ際之ヲ給與ス

第五條　委託生死亡シタルトキハ其ノ遺族ニ百圓以內ノ葬儀料ヲ給與スルコトアルヘシ

第六條　委託生左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ委託生ヲ免シ其ノ翌月分ヨリ學費ノ給與ヲ廢止ス

一　懲戒ニ因リ退學處分ヲ受ケタルトキ

二　學業不進又ハ身體虛弱ニシテ成業ノ見込ナキトキ其ノ他教員タルニ適セサルトキ

前項各號ノ一ニ該當スルトキハ既ニ給與シタル學費、被服費ヲ本人又ハ保證人ヨリ償還セシム但シ第二號ノ場合ニ於テハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

第七條　委託生ヲ命セラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ給費ヲ辭シ又ハ退學スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違反シタルトキハ既ニ給與シタル學費及被服費ノ全部又ハ一部ヲ償還セシムルコトアルヘシ

第八條　委託生ハ卒業後學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

就職義務年限中禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ、懲戒免官トナリタルトキ又ハ正當ノ事由ナクシテ前項ノ義務ヲ履行セサルトキハ在學中給與シタル學費、被服費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ償還義務ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

第九條　就職前若ハ在職中ニ於テ現役兵ニ服シタル學費及被服費ノ全部又ハ一部ヲ償還セシムルコトアルヘシ

第十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第二十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第二十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第二十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第二十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第二十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第二十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第二十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第二十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第二十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第二十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第三十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第三十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第三十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第三十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第三十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第三十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第三十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第三十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第三十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第三十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第四十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第四十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第四十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第四十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第四十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第四十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第四十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第四十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第四十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第四十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第五十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第五十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第五十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第五十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第五十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第五十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第五十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第五十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第五十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第五十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第六十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第六十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第六十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第六十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第六十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第六十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第六十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第六十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第六十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第六十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第七十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第七十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第七十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第七十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第七十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第七十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第七十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第七十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第七十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第七十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第八十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第八十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第八十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第八十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第八十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第八十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第八十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第八十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第八十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第八十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第九十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第九十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第九十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第九十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第九十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第九十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第九十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第九十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第九十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第九十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百二十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百二十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百二十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百二十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百二十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百二十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百二十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百二十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百二十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百二十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百三十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百三十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百三十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百三十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百三十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百三十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百三十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百三十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百三十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百三十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百四十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百四十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百四十二條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百四十三條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百四十四條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百四十五條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百四十六條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百四十七條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百四十八條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百四十九條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百五十條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

第百五十一條　委託生ハ在學中ニ於テ學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ

施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第八章　教科用圖書

●教科用圖書檢定規程

明治四十五年六月
總令第百十二號

改正　大正二年三月四二號、昭和八年七月六七號

教科用圖書檢定規程左ノ通定ム

教科用圖書檢定規程

第一條　教科用圖書ノ檢定ハ朝鮮教育令及師範學校規程、中學校規程、高等普通學校規程、女子高等普通學校規程、實業學校規程、小學校規程、普通學校規程又ハ私立學校規則ノ旨趣ニ合シ教科用ニ適スルコトヲ認定スルモノトス

本規程ニ於テ教科用圖書ト稱スルハ師範學校、中學校、高等普通學校、高等女學校、女子高等普通學校及之ニ類スル私立ノ各種學校ニ關シテハ生徒用圖書、實業學校及之ニ類スル私立ノ各種學校ニ關シテハ普通學科目ノ生徒用圖書、小學校、普通學校及之ニ類スル私立ノ各種學校ニ關シテハ教師用圖書及兒童用圖書トス

前項ノ教師用圖書トハ教授スヘキ事項、教授上ノ注意及應用ニ關スル事項等ヲ記載シタル圖書又ハ該圖書ニ附屬シテ生徒ニ示ス目的ヲ以テスル掛圖類ヲ云フ

第二條　教科用圖書ノ發行者ハ其ノ圖書ノ檢定ヲ朝鮮總督ニ出願スルコトヲ得但シ職業學校ノ專攻科及高等科並ニ實業補習學校ノ教科用圖書ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ出願者ニシテ朝鮮内ニ住所ヲ有セサルトキハ檢定ニ關スル一切ノ事項ヲ代理セシムルカ爲朝鮮内ニ住所ヲ有スル者ニ就キ代理人ヲ定ムヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ檢定願書ニ委任狀ヲ添ヘテ提出スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ發行者數名アルトキハ其ノ中ニ就キ代表者ヲ定ムヘシ

第三條　第二條ニ依リ檢定ヲ出願スル者ハ第一號書式ノ願書ニ檢定料及圖書刊本二部ヲ添ヘテ提出スヘシ

圖書ハ其ノ全部揃ヒタルモノニ非サレハ之ヲ檢定セス

檢定料ハ圖書一種ニツキ其ノ目的トスル學校一種毎ニ該圖書ノ定價ノ二十倍トス但シ掛圖ニ限リ其ノ定價ノ二倍トス

第四條　檢定料ハ收入印紙ヲ以テ納付スヘシ已ニ納メタル檢定料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第五條　第二條ニ依リ檢定ヲ出願シタル圖書中項少ノ修正ヲ加フレハ檢定ヲ與フルコトヲ得ヘシト認ムルモノアルトキハ其ノ修正サヘスヘキ箇所ヲ檢定出願者ニ指示スヘシ

第六條　前條ニ依リ圖書中修正スヘキ箇所ヲ指示セラレタルトキハ一年以内ニ修正ヲ加ヘテ出版シ第二號書式ニ依リ該圖書二部ヲ添ヘ其ノ圖書ノ檢定ヲ追願スヘシ但シ極メテ輕易ノ修正ニ過キサルモノハ正誤表ヲ添附セシメ又ハ修正紙ヲ貼付セシメテ本項ノ手續ヲ略スルコトアルヘシ

前項ノ期限内ニ修正追願ヲ爲ササルトキハ檢定ノ出願ヲ取下ケタルモノト看做ス

第七條　檢定シタル圖書ハ朝鮮總督府官報ニ其ノ名稱、册數、定價、目的トスル學校及學科ノ種類、生徒用又ハ教師用ノ區別、發行及檢定年月日、該圖書ニ署名セル著作者及發行者ノ住所姓名ヲ公告スヘシ

第八條　檢定ヲ得タル圖書ハ每册表紙又ハ扉等ノ見易キ所ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　檢定年月日
二　朝鮮總督府檢定濟
三　目的トスル學校
四　小學校、普通學校又ハ之ニ類スル私立各種學校ニ在リテハ兒童用教師用ノ區別（掛圖ニ限リ之ヲ省ク）

第九條　檢定ヲ得タル圖書ヲ出版シタルトキハ其ノ都度發行後三日内ニ該圖書二部ヲ納付スヘシ

第十條　檢定ヲ得タル圖書ノ名稱、册數、定價及其ノ内容ニ變更アリタルトキハ檢定ノ際ニ準シ檢定ヲ出願スヘシ但シ其ノ變更ノ程度輕微ニシテ檢定ヲ要セサルモノト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　前條ノ場合ニ於テ更ニ其ノ圖書ノ檢定ヲ出願スルトキハ第三號書式ノ願書ニ圖書刊本二部ヲ添ヘテ提出スヘシ此ノ場合ニハ檢定料ヲ要セス但シ其ノ圖書ノ定價ヲ增加シタル場合ニ於テハ第三條第三項ニ準シ其ノ差額ヲ納付スヘシ

第十二條　檢定ヲ得タル圖書ニ署名セル著作者又ハ發行者ノ住所姓名ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ事由ヲ屆出ツヘシ

前項ノ屆出アリタルトキハ朝鮮總督府官報ニ之ヲ公告スヘシ

第十三條　朝鮮總督ニ於テ必要ト認ムルトキハ檢定シタル圖書ノ修正ヲ命スルコトアルヘシ

第十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ圖書ノ檢定ヲ取消スコトアルヘシ

一　第八條、第九條又ハ第十二條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ

二　第十三條ノ命ニ從ハサルトキ

三　檢定圖書ニシテ朝鮮總督府ニ納付シタル圖書ニ比シ紙質、印刷又ハ製本粗惡ナルモノヲ發賣シタルトキ

四　其ノ内容教科用ニ不適當トナリタルトキ

五　檢定ヲ與ヘタル圖書ニシテ當該學科目若ハ其ノ程度ノ變更又ハ教授要旨若ハ教授要目ノ制定若ハ變更アリタルトキ

第十五條　圖書ノ檢定ヲ取消シタルトキハ朝鮮總督府官報ニ之ヲ公告ス

第十六條　檢定ヲ得サル圖書又ハ檢定ノ效力ヲ失ヒタル圖書ニ朝鮮總督府檢定濟其ノ他之ニ類スル文字ヲ記載シテ發行シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ情ヲ知リテ受託販賣シタル者亦同シ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ提出シタル教科用圖書檢定願書ニシテ本令施行ノ日ニ於テ未濟ノモノハ本令施行ノ日ニ於テ本令ニ依リ提出シタルモノト看做ス

明治四十三年十月一日以前ニ檢定シタル圖書ハ刊本ニ在リテハ明治四十七年三月三十一日ヨリ六月ヲ經過シタルトキハ其ノ檢定ノ效力ヲ失フ

前項ノ刊本圖書ニシテ其ノ效力ヲ失ヒタル日ヨリ五十日以内ニ更ニ檢定ヲ出願スルトキハ檢定料ヲ要セス

明治四十三年十月一日以降檢定シタル刊本圖書ハ本令ニ依リ檢定シタルモノト看做ス

前項ニ依リ檢定シタル圖書ニシテ本令施行ノ日ヨリ一年以内ニ發行セサルモノ其ノ檢定ハ效力ヲ失フ

附　則（大正十一年三月總令第四十二號）

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年四月一日以前ニ檢定シタル圖書ハ本令施行ノ日ヨリ六月ヲ經過シタルトキハ其ノ檢定ノ效力ヲ失フ

前項ノ圖書ニシテ其ノ效力ヲ失ヒタル日ヨリ五十日以内ニ檢定ヲ出願スルトキハ檢定料ヲ要セス

（第一號書式）

教科用圖書檢定願

（印紙貼附ノ場所）

圖書ノ名稱	一部ノ册數	册數	定價	目的トスル學校	學科ノ種類	生徒用又ハ教師用ノ區別	年月日	住所姓名	發行者ノ住所姓名

右ハ年月日檢定出願致候處年月日ノ御指示ニ基キ今般修正發行致候間御檢定相成度該圖書二部相添ヘ此段相願候也

年　月　日

住所
請願者　姓　名　㊞

朝鮮總督府

（第二號書式）

教科用圖書檢定追願

圖書ノ名稱	一部ノ册數	册數	定價	目的トスル學校	學科ノ種類	修正發行	年月日	著作者ノ住所姓名	發行者ノ住所姓名

右ハ年月日附檢定出願致候處年月日ノ御指示ニ基キ今般修正發行致候間御檢定相成度該圖書二部相添ヘ此段相願候也

年　月　日

住所
請願者　姓　名　㊞

朝鮮總督府

（第三號書式）

教科用圖書變更檢定願

（印紙貼附ノ場所）

圖書ノ名稱	卷册ノ記號一部ノ册數	册數	定價	目的トスル學校	學科ノ種類	生徒用又ハ教師用ノ區別	發行年月日	著作者ノ住所姓名	發行者ノ住所姓名	變更ノ要領

右ハ年月日檢定濟ノ處前記ノ通リ變更ノ上發行致候ニ付御檢定相成度該圖書二部（並定價增加ニ對スル差額金）相添ヘ此段相願候也

年　月　日

住所
請願者　姓　名　㊞

朝鮮總督府

●教科用圖書等ノ翻刻及發行ニ關スル件

大正十二年三月
總督第九十四號

朝鮮總督府ニ於テ著作權ヲ有スル諸學校教科用圖書、教授參考用圖書其ノ他必要ナル圖書ノ翻刻ハ大正十二年四月一日ヨリ其ノ發行ハ大正十二年六月一日ヨリ朝鮮書籍印刷株式會社ヲシテ之ヲ爲サシム

第九章　時　氣象　民曆

●朝鮮ノ標準時

明治四十四年十二月
總令第三百三十八號

朝鮮ノ標準時ハ明治四十五年一月一日ヨリ中央標準時ニ依ル

●本初子午線經度計算方及標準時ノ件

明治十九年七月
勅令第五十一號

爰本初子午線經度計算方及標準時ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

一　英國グリニッヂ天文臺子午儀ノ中心ヲ經過スル子午線ヲ以テ經度ノ本初子午線トス

一　經度ハ本初子午線ヨリ起算シ東西各百八十度ニ至リ東經子正トシ西經ヲ負トス

一　明治二十一年一月一日ヨリ東經百三十五度ノ子午線ノ時ヲ以テ本邦一般ノ標準時ト定ム

明治二十八年十二月
勅令第百六十七號

朕標準時ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　帝國從來ノ標準時ハ爾今之ヲ中央標準時ト稱ス

第二條　東經百二十度ノ子午線ノ時ヲ以テ臺灣及澎湖列島竝ニ八重山及宮古列島ノ標準時ト定メ之ヲ西部標準時ト稱ス

第三條　本令ハ明治二十九年一月一日ヨリ施行ス

●測候所規程

大正十四年五月
總令第六十一號

改正　昭和一〇年二第二六號

測候所規程左ノ通定ム

測候所ノ規程

第一條　測候所ヲ設立セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

一　位置及名稱
二　敷地建物ノ坪數及其ノ附近ノ地勢ヲ示スニ足ルヘキ圖面
三　建物ノ構造、間取及配置圖面
四　所員ノ職名及員數
五　備附クヘキ器械ノ明細書
六　經費豫算書

第二條　測候所ヲ廢止シ又ハ其ノ敷地建物ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三條　測候所長ハ左ノ事項ヲ朝鮮總督府觀測所長ニ通知スヘシ

一　經費豫算
二　所員ノ異動
三　備附器械ノ異動

第四條　測候所ハ所在地ノ氣象及地動ヲ觀測シ道又ハ其ノ一部ノ氣象予測ヲ爲シ地方天氣豫報、地方氣象特報及地方暴風警報ヲ發スヘシ

第五條　測候所ハ朝鮮總督府觀測所ニ左ノ報告ヲ爲スヘシ

氣象電報、豪雨電報、氣象摘要報告、氣象概況報告、每時雨量觀測報告、氣象月報、氣象年報、氣象五年報、暴風報告、地方氣象特報報告、地方暴風警報報告、雷雨報告、地動報告、霧報告、動物報告、植物報告、管内氣象報告、臨時氣象報告、一箇年事業報告

第六條　測候所ハ必要ニ應シ相互ニ氣象報告ヲ交換スヘシ

第七條　測候所ハ觀測器械ノ定期檢定ヲ受クヘシ

第八條　測候所ニ備附クヘキ器械ノ種類及品位、觀測ノ時刻、觀測、豫報及警報ノ方法、報告ノ樣式及期限竝觀測器械ノ檢定方法ハ朝鮮總督府觀測所長之ヲ定ム

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ道地方費ヲ以テ經營スル測候所ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

附　則（昭和十年十一月總令第百三十

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

（六號）

本令ハ昭和十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮總督府簡易氣象觀測規程

大正三年四月
總令第三十七號
改正　大正八年府令第七四號

朝鮮總督府簡易氣象觀測規程左ノ通定ム

第一條　朝鮮總督ノ指定シタル府、郡、島ニ於テハ簡易氣象觀測ヲ施行スヘシ

第二條　前條ノ觀測ヲ施行スル爲府郡島廳ニ觀測主任及觀測補助員各一名ヲ置ク

觀測主任及觀測補助員ハ當該廳ノ職員中ニ就キ道長官之ヲ命免ス

第三條　朝鮮總督府觀測所長ハ臨時簡易氣象觀測ニ就キ觀測事務ニ關シ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得

第四條　簡易氣象觀測ヲ施行スル官署ノ長ハ朝鮮總督府觀測所長ニ氣象報告ヲ提出スヘシ

第五條　觀測ノ方法設備竝氣象報告ニ關シテハ朝鮮總督府觀測所長ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮總督府簡易氣象觀測規程ニ依リ簡易氣象觀測ヲ施行スヘキ府郡

大正三年四月
總告第百八號
改正　大正八年府令第七四號
大正八年府令第九五號ニ依リ第一項第二號ヲ削ル
大正八年府令第一四九號ニ依リ第一項第二號ヲ削ル
大正十年府令第三二號

大正三年朝鮮總督府令第三十七號朝鮮總督府簡易氣象觀測規程第一條ニ依リ簡易氣象觀測ヲ施行スヘキ府郡ヲ左ノ通指定ス

記

京畿道　楊平郡　加平郡　江華郡　振威郡
忠清北道　堤川郡　鎭川郡　報恩郡　丹陽郡
永同郡
忠清南道　公州郡　舒山郡　瑞山郡　洪城郡
全羅北道　全羅北道、全羅南道
慶尙北道　慶尙南道
平安南道　平安北道
江原道　咸鏡南道北部、咸鏡北道

第二章　地方天氣豫報

第四條　地方天氣豫報ハ觀測所、同支所及測候所カ各其ノ所管氣象區域ニ於ケル當日及翌日ノ天氣ヲ豫報スルモノトス

前項ノ氣象區域ハ第十三條別表ニ依ル

第五條　地方天氣豫報ハ每日午前十一時以前ニ一回之ヲ發ス但シ必要ニ應ジ追報ヲ發シテ之ヲ更新スルコトアルヘシ

前項ノ外午前八時以前ニ當日ノ地方天氣豫報ヲ發スルコトヲ得

第六條　地方天氣豫報ハ「今晩」及「明日」ニ分チテ之ヲ發ス但シ午前八時以前ニ之ヲ發スル場合ニハ「今日」及「今晩」ニ分チ、夜間ニ追報ヲ發スル場合ニハ「明日」及「明晩」ニ分チテ之ヲ發スルコトヲ得

第三章　全般氣象特報

第七條　全般氣象特報ハ朝鮮及其ノ附近ニ風雨、風雪、大雨、大雪其ノ他特ニ注意ヲ要スル氣象上ノ異常現象ノ起ラントスルトキ隨時之ヲ豫告スルモノニシテ觀測所ニ於テ各道別ニ之ヲ發スルモノトス

前項ノ異常現象ノ消長ニ付テハ必要ニ應ジ臨機ニ之ヲ報ズ

第四章　地方氣象特報

第八條　地方氣象特報ハ觀測所、同支所及測候所カ各其ノ所管氣象區域ニ強風、風雨、風雪、大雨、大雪其ノ他特ニ注意ヲ要スル氣象上ノ異常現象ノ起ラントスルトキ隨時之ヲ豫告スルモノトス

前項ノ異常現象ノ消長ニ付テハ必要ニ應ジ臨機ニ之ヲ報ズ

第五章　全般暴風警報

第九條　全般暴風警報ハ朝鮮及其ノ附近ニ大ナル災害ヲ伴フヘキ暴風雨又ハ暴風雪襲來セントスルトキ觀測所ニ於テ之ヲ豫告スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ豫告スル區域ハ道名又ハ道名ヲ以テ表示スヘシ

暴風雨又ハ暴風雪ノ消長ニ付テハ臨機ニ之ヲ報ズ

第十條　天氣平常ニ復セントスルトキハ解警報ヲ發ス

第六章　地方暴風警報

第十一條　地方暴風警報ハ觀測所、同支所及測候所カ各其ノ所管氣象區域ニ大ナル災害ヲ伴フヘキ暴風雨又ハ暴風雪襲來セントスルトキ隨時ニ之ヲ豫告スルモノトス

前項ノ氣象區域ハ第十三條別表ニ依ル

暴徐雨又ハ暴風雪ノ消長ニ付テハ臨機ニ之ヲ報ズ

第十二條　天候平常ニ復セントスルトキハ解警報ヲ發ス

第七章　觀測所、同支所及測候所

所管氣象區域

第十三條　觀測所、同支所及測候所ノ所管氣象區域ハ別表ニ依ル

第十四條　觀測所所管氣象區域中忠清北道、忠清南道及黃海道ニ付テハ當分ノ內地方氣象特報及地方暴風警報ノミヲ發ス

（別表）

觀測所又ハ測候所氣象區	小區	該當地域
朝鮮總督府觀測所	仁川	京畿道ノ內仁川府及富川郡
	全	區
	忠清北道	忠清北道（永同郡黃金面ヲ除ク）
	忠清南道	忠清南道
	第二區	忠清南道

觀測所又ハ測候所氣象區	小區	該當地域
濟州測候所	全	區
	第一區	南部
	全	區
	全羅南道	全羅南道濟州島ノ內大靜面、安德面、中文面、西歸面、南元面、表善面及城山面

觀測所又ハ測候所氣象區	小區	該當地域
木浦測候所	全	區
	全羅南道	全羅南道（濟州島ヲ除ク）
	第一區	沿海東部
	全羅南道	全羅南道ノ內寶城郡ノ沿海部、順天郡及寶城郡ノ沿海部
	第二區	沿海西部
	全羅南道	全羅南道ノ內木浦府、務安郡、莞島郡、珍島郡竝ニ長興郡、康津郡、海南郡、靈巖郡成平郡及靈光郡ノ沿海部
	第三區	內陸東部
	全羅南道	全羅南道ノ內谷城郡、求禮郡、和順郡竝ニ光陽郡、順天郡及寶城郡ノ內陸部
	第四區	內陸西部
	全羅南道	全羅南道（木浦觀象區第一區乃至第三區及濟州氣象區ノ該當地域ヲ除ク）

觀測所又ハ測候所氣象區	小區	該當地域
朝鮮總督府觀測所蔚山支所	蔚山	全 區
	慶尙南道	蔚山郡及彦陽郡
朝鮮總督府觀測所秋風嶺支所	秋風嶺	全 區
	忠清南道	忠清北道永同郡黃金面
京城測候所	京城	全 區
	京畿道	京畿道（仁川府及富川郡ヲ除ク）
	第一區	沿海部
	京畿道	京畿道ノ內振威郡、水原郡、始興郡、金浦郡、江華郡竝ニ開豐郡南面、西面、臨漢面及光德面
	第二區	內陸南部
	京畿道	京畿道ノ內驪州郡、利川郡、龍仁郡及安城郡
	第三區	內陸中部
	京畿道	京畿道ノ內京城府、高陽郡、廣州郡、楊州郡（檜泉面、伊淡面、廣積面及白石面ヲ除ク）加平郡及楊平郡
	第四區	內陸北部
	京畿道	京畿道（仁川氣象區及京城氣象區第一區乃至第三區ノ該當地域ヲ除ク）
全州測候所	全州	區
	全羅北道	全羅北道
	第一區	沿海部
	全羅北道	全羅北道（全州氣象區第二區及第三區ノ該當地域ヲ除ク）
	第二區	內陸南部
	全羅北道	全羅北道ノ內長水郡、任實郡、南原郡及淳昌郡
	第三區	內陸北部
	全羅北道	全羅北道ノ內全州府、完州郡、鎭安郡、錦山郡及茂朱郡

全羅北道　牙山郡　保寧郡　唐津郡
全羅南道　群山府　錦山郡　南原郡　金堤郡
高敞郡　井邑郡
全羅南道　靈光郡　順天郡　海南郡　羅州郡
寶城郡　求禮郡　珍島郡　麗水郡　高興郡
慶尙北道　榮州郡　慶州郡　青松郡　善山郡
迎日郡　盈德郡　永川郡　鬱陵島
慶尙南道　昌寧郡　居昌郡　馬山府　河東郡
蔚山郡　陜川郡　統營郡　咸陽郡　泗川郡
黃海道　載寧郡　谷山郡　瑞興郡　鹽津郡
新溪郡　長淵郡　延白郡　殷栗郡
平安南道　安州郡　陽德郡　成川郡　德川郡
順川郡　平原郡　寧遠郡
平安北道　熙川郡　慈城郡　昌城郡
厚昌郡　渭原郡　江界郡　鐵山郡
義州郡　楚山郡　龍川郡
江原道　原州郡　淮陽郡　麟蹄郡　杆城郡
鐵原郡　旌善郡　金化郡　寧越郡
通川郡　三陟郡　蔚珍郡　平昌郡
橫城郡　伊川郡
甲山郡　長津郡　永興郡　端川郡
北青郡　豐山郡　洪原郡　三水郡
鍾城郡　茂山郡　富寧郡　明川郡
咸鏡南道　會寧郡　慶源郡　穩城郡
咸鏡北道　鏡城郡　吉州郡　穩城郡

（昭和六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス）

●朝鮮船舶氣象觀測報告規則

昭和十年二月
總令第三十號

朝鮮船舶氣象觀測報告規則左ノ通定ム

第一條　公衆通信ヲ取扱フ無線電信ノ施設ヲ有スル船舶及朝鮮總督ノ指定スル船舶ハ其ノ船舶ノ位置ニ於ケル氣象ヲ觀測シ左ノ時刻ニ之ヲ報告スヘシ

午前六時、正午及午後六時ニ氣象觀測ヲ爲スヘシ

天候異常ノ場合ニ於テ特ニ必要ト認ムルトキハ前項ノ時刻ト雖モ氣象觀測ヲ爲スヘシ

第二條　前條ノ氣象觀測ヲ爲シタルトキハ直ニ朝鮮總督府觀測所ニ左ノ事項ヲ報告スヘシ

一　船舶ノ位置
二　氣壓（海面ニ於ケル氣壓ニ換算シタルモノ）
三　風向及風力
四　天候
五　氣溫
六　海面ノ狀況

第三條　前條ノ報告ハ中央氣象臺ノ告示シタル船舶氣象電報式ニ依ルヘシ

附　則

本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

●氣象信號規程

昭和十年十一月
總令第百三十七號

氣象信號規程左ノ通改正ス

氣象信號規程

第一條　朝鮮總督府觀測所、同支所及測候所ハ地方天氣豫報、地方氣象特報及地方暴風警報ノ信號標ヲ揭ゲヘシ

第二條　天氣豫報信號所又ハ暴風警報信號所ニ於テハ左ノ各號ノ事項ヲ具シ設置センスル地ヲ管轄スル道知事ノ認可ヲ受クヘシ

一　位置（略圖ヲ添附スヘシ）
二　信號柱ノ高サ（米ヲ以テ表示スヘシ）
三　維持方法
四　管理者
五　信號開始ノ期日

第三條　天氣豫報信號所ノ管理者ハ朝鮮總督府觀測所、同支所又ハ測候所ノ發スル地方天氣豫報ニ依リ信號標ヲ揭ゲヘシ

第四條　暴風警報信號所ノ管理者ハ朝鮮總督府觀測所、同支所又ハ測候所ノ發スル地方氣象特報及地方暴風警報ニ依リ信號標ヲ揭ゲヘシ

第五條　第二條第一號乃至第四號ノ事項ヲ變更シ又ハ天氣豫報信號所若ハ暴風警報信號所ヲ廢止セントスルトキハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

天氣豫報信號所又ハ暴風警報信號所ニ於テ信號ヲ休止セントスルトキハ其ノ事由及期間ヲ具シ道知事ニ屆出ヅヘシ

第六條　天氣豫報信號所又ハ暴風警報信號所ノ管理者ハ道名又ハ道名ヲ以テ表示スル地名ニ依ル

暴風雨又ハ暴風雪ノ消長ニ付テハ臨機ニ之ヲ報ズ

第十條　天氣平常ニ復セントスルトキハ解警報ヲ發ス

第六章　地方暴風警報

第十一條　地方暴風警報ハ觀測所、同支所及測候所カ各其ノ所管氣象區域ニ大ナル災害ヲ伴フヘキ暴風雨又ハ暴風雪襲來セントスルトキ隨時ニ之ヲ豫告スルモノトス

前項ノ氣象區域ハ第十三條別表ニ依ル

暴徐雨又ハ暴風雪ノ消長ニ付テハ臨機ニ之ヲ報ズ

第十二條　天候平常ニ復セントスルトキハ解警報ヲ發ス

第七章　觀測所、同支所及測候所

所管氣象區域

第十三條　觀測所、同支所及測候所ノ所管氣象區域ハ別表ニ依ル

第十四條　觀測所所管氣象區域中忠清北道、忠清南道及黃海道ニ付テハ當分ノ內地方氣象特報及地方暴風警報ノミヲ發ス

（別表）

觀測所又ハ測候所氣象區	小區	該當地域
朝鮮總督府觀測所	仁川	京畿道ノ內仁川府及富川郡
	全	區
	忠清北道	忠清北道（永同郡黃金面ヲ除ク）
	忠清南道	忠清南道
	第二區	忠清南道

觀測所又ハ測候所氣象區	小區	該當地域
濟州測候所	全	區
	第一區	南部
	全	區
	全羅南道	全羅南道濟州島

觀測所又ハ測候所氣象區	小區	該當地域
木浦測候所	全	區
	全羅南道	全羅南道（濟州島ヲ除ク）
	第一區	沿海東部
	全羅南道	全羅南道ノ內寶城郡ノ沿海部、順天郡及寶城郡ノ沿海部
	第二區	沿海西部
	全羅南道	全羅南道ノ內木浦府、務安郡、莞島郡、珍島郡竝ニ長興郡、康津郡、海南郡、靈巖郡成平郡及靈光郡ノ沿海部
	第三區	內陸東部
	全羅南道	全羅南道ノ內谷城郡、求禮郡、和順郡竝ニ光陽郡、順天郡及寶城郡ノ內陸部
	第四區	內陸西部
	全羅南道	全羅南道（木浦觀象區第一區乃至第三區及濟州氣象區ノ該當地域ヲ除ク）

觀測所又ハ測候所氣象區	小區	該當地域
朝鮮總督府觀測所蔚山支所	蔚山	全 區
	慶尙南道	蔚山郡及彦陽郡
朝鮮總督府觀測所秋風嶺支所	秋風嶺	全 區
	忠清南道	忠清北道永同郡黃金面
京城測候所	京城	全 區
	京畿道	京畿道（仁川府及富川郡ヲ除ク）
	第一區	沿海部
	京畿道	京畿道ノ內振威郡、水原郡、始興郡、金浦郡、江華郡竝ニ開豐郡南面、西面、臨漢面及光德面
	第二區	內陸南部
	京畿道	京畿道ノ內驪州郡、利川郡、龍仁郡及安城郡
	第三區	內陸中部
	京畿道	京畿道ノ內京城府、高陽郡、廣州郡、楊州郡（檜泉面、伊淡面、廣積面及白石面ヲ除ク）加平郡及楊平郡
	第四區	內陸北部
	京畿道	京畿道（仁川氣象區及京城氣象區第一區乃至第三區ノ該當地域ヲ除ク）
全州測候所	全州	區
	全羅北道	全羅北道
	第一區	沿海部
	全羅北道	全羅北道（全州氣象區第二區及第三區ノ該當地域ヲ除ク）
	第二區	內陸南部
	全羅北道	全羅北道ノ內長水郡、任實郡、南原郡及淳昌郡
	第三區	內陸北部
	全羅北道	全羅北道ノ內全州府、完州郡、鎭安郡、錦山郡及茂朱郡

●天氣豫報、氣象特報及暴風警報規程

昭和十年十一月
總令第六百六十六號

天氣豫報、氣象特報及暴風警報規程昭和十年十二月一日ヨリ左ノ通定ム

天氣豫報、氣象特報及暴風警報規程

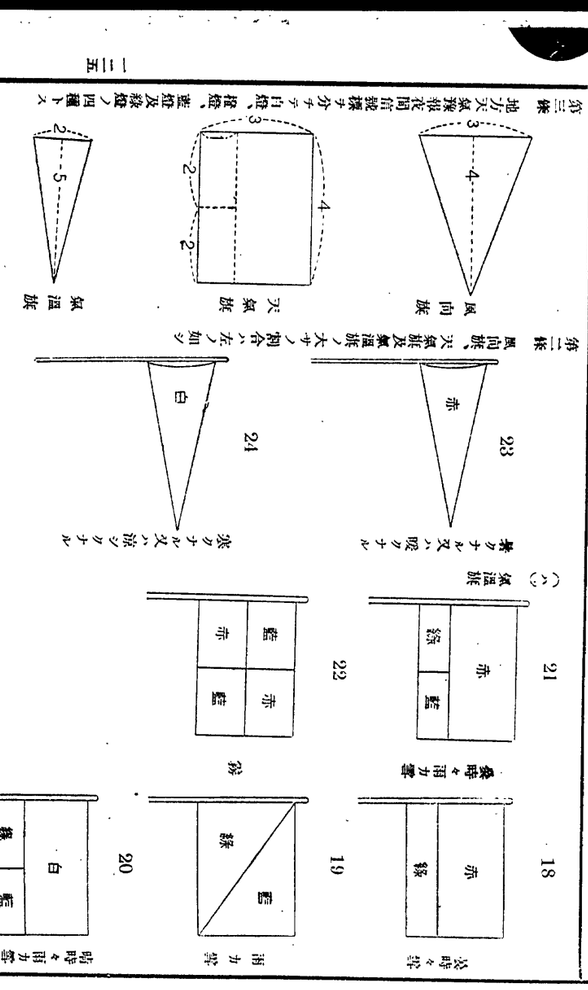
第一章　全般天氣豫報

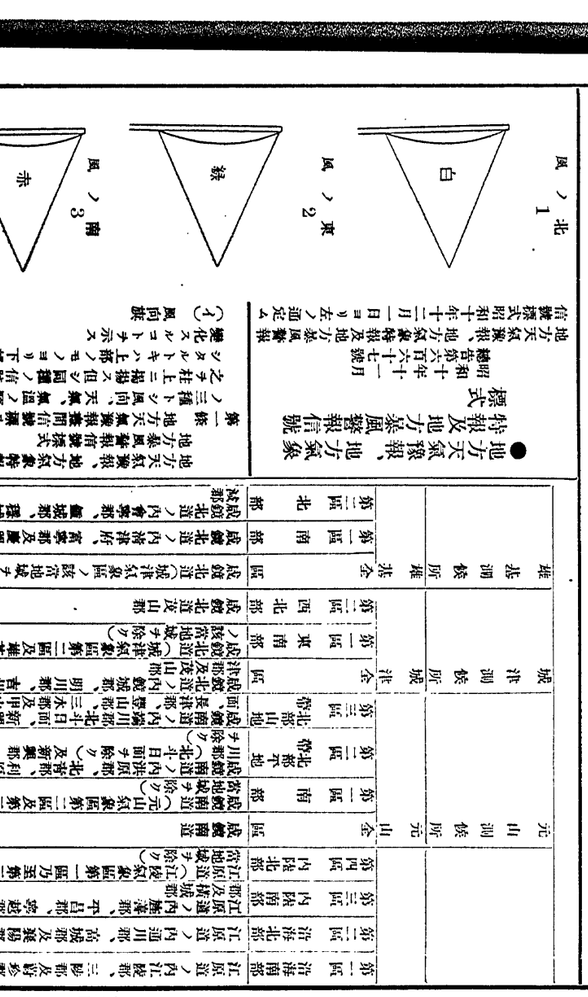
第一條　全般天氣豫報ハ當日及翌日ニ於ケル朝鮮全般ノ天氣ノ大勢ヲ豫告スルモノニシテ朝鮮總督府觀測所（以下單ニ觀測所ト稱ス）ニ於テ之ヲ發スルモノトス

第二條　全般天氣豫報ハ每日午前十時以前及午後四時以前ノ二回之ヲ發シ前者ハ當日ノ日沒時迄、後者ハ當日ノ夜半ヨリ翌日ノ夜半迄ノ天氣ヲ豫告スルモノトス

第三條　全般天氣豫報ハ左ノ六區ニ分チテ之ヲ發ス

第一區　京畿道、忠清北道、忠清南道、





江段	中江鎮測候所	函館測候所	江差測候所	寿都測候所	岩内測候所	小樽測候所	留萌測候所	増毛測候所	羽幌測候所	稚内測候所	網走測候所	根室測候所	釧路測候所	帯広測候所	浦河測候所	室蘭測候所	札幌測候所	旭川測候所	寿都測候所	函館測候所	江段
全	全	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	全
所	所	北部	南部	中部	北部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	所
江原郡中江村	函館區	檜山郡江差町	寿都郡寿都町	岩内郡岩内町	小樽區	空知郡滝川町	留萌郡留萌町	増毛郡増毛町	羽幌郡羽幌町	稚内區	網走郡網走町	根室郡根室町	釧路郡釧路町	帯広區	浦河郡浦河町	室蘭區	札幌區	旭川區	寿都郡寿都町	函館區	江原郡中江村
中江鎮	函館	江差	寿都	岩内	小樽	滝川	留萌	増毛	羽幌	稚内	網走	根室	釧路	帯広	浦河	室蘭	札幌	旭川	寿都	函館	中江鎮
測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所
江段	全	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	江段
全	全	北部	南部	中部	北部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	全
所	所	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	所
江原郡中江村	函館區	檜山郡江差町	寿都郡寿都町	岩内郡岩内町	小樽區	空知郡滝川町	留萌郡留萌町	増毛郡増毛町	羽幌郡羽幌町	稚内區	網走郡網走町	根室郡根室町	釧路郡釧路町	帯広區	浦河郡浦河町	室蘭區	札幌區	旭川區	寿都郡寿都町	函館區	江原郡中江村
中江鎮	函館	江差	寿都	岩内	小樽	滝川	留萌	増毛	羽幌	稚内	網走	根室	釧路	帯広	浦河	室蘭	札幌	旭川	寿都	函館	中江鎮
測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所
江段	全	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	江段
全	全	北部	南部	中部	北部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	全
所	所	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	所
江原郡中江村	函館區	檜山郡江差町	寿都郡寿都町	岩内郡岩内町	小樽區	空知郡滝川町	留萌郡留萌町	増毛郡増毛町	羽幌郡羽幌町	稚内區	網走郡網走町	根室郡根室町	釧路郡釧路町	帯広區	浦河郡浦河町	室蘭區	札幌區	旭川區	寿都郡寿都町	函館區	江原郡中江村
中江鎮	函館	江差	寿都	岩内	小樽	滝川	留萌	増毛	羽幌	稚内	網走	根室	釧路	帯広	浦河	室蘭	札幌	旭川	寿都	函館	中江鎮
測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所

大段	阪	堺	測候所	大	元段	元	山	測候所	元	江段	堆	港	測候所	堆	平段	平	港	測候所	平	江段	城	港	測候所	城
全	全	全	所	全	全	全	全	所	全	全	全	全	所	全	全	全	全	所	全	全	全	全	所	全
第一區	第三區	第二區	第一區	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第四區	第三區	第二區	第一區	第四區	第三區	第二區	第一區	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區
北部	内陸南部	内陸中部	内陸北部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸北部	内陸南部	沿海部
函館區	寿都郡寿都町	岩内郡岩内町	小樽區	空知郡滝川町	留萌郡留萌町	増毛郡増毛町	羽幌郡羽幌町	稚内區	網走郡網走町	根室郡根室町	釧路郡釧路町	帯広區	浦河郡浦河町	室蘭區	札幌區	旭川區	寿都郡寿都町	函館區	江原郡中江村	檜山郡江差町	寿都郡寿都町	岩内郡岩内町	小樽區	空知郡滝川町
函館	江差	寿都	岩内	小樽	滝川	留萌	増毛	羽幌	稚内	網走	根室	釧路	帯広	浦河	室蘭	札幌	旭川	寿都	函館	中江鎮	江差	寿都	岩内	小樽	滝川
測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所
第一段	第三段	第二段	第一段	第四段	第三段	第二段	第一段	第三段	第二段	第一段	第四段	第三段	第二段	第一段	第四段	第三段	第二段	第一段	第四段	第三段	第二段	第一段	第三段	第二段	第一段
全	全	全	所	全	全	全	全	所	全	全	全	全	所	全	全	全	全	所	全	全	全	全	所	全	全
第一區	第三區	第二區	第一區	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第四區	第三區	第二區	第一區	第四區	第三區	第二區	第一區	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區
北部	内陸南部	内陸中部	内陸北部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸北部	内陸南部	沿海部
函館區	寿都郡寿都町	岩内郡岩内町	小樽區	空知郡滝川町	留萌郡留萌町	増毛郡増毛町	羽幌郡羽幌町	稚内區	網走郡網走町	根室郡根室町	釧路郡釧路町	帯広區	浦河郡浦河町	室蘭區	札幌區	旭川區	寿都郡寿都町	函館區	江原郡中江村	檜山郡江差町	寿都郡寿都町	岩内郡岩内町	小樽區	空知郡滝川町
函館	江差	寿都	岩内	小樽	滝川	留萌	増毛	羽幌	稚内	網走	根室	釧路	帯広	浦河	室蘭	札幌	旭川	寿都	函館	中江鎮	江差	寿都	岩内	小樽	滝川
測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所

堆段	堆	港	測候所	堆	城段	城	港	測候所	城
全	全	全	所	全	全	全	全	所	全
第四區	第三區	第二區	第一區	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區
北部	内陸南部	内陸中部	内陸北部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部
函館區	寿都郡寿都町	岩内郡岩内町	小樽區	空知郡滝川町	留萌郡留萌町	増毛郡増毛町	羽幌郡羽幌町	稚内區	網走郡網走町
函館	江差	寿都	岩内	小樽	滝川	留萌	増毛	羽幌	稚内
測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所
第一段	第三段	第二段	第一段	第四段	第三段	第二段	第一段	第三段	第二段
全	全	全	所	全	全	全	全	所	全
第一區	第三區	第二區	第一區	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區
北部	内陸南部	内陸中部	内陸北部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部
函館區	寿都郡寿都町	岩内郡岩内町	小樽區	空知郡滝川町	留萌郡留萌町	増毛郡増毛町	羽幌郡羽幌町	稚内區	網走郡網走町
函館	江差	寿都	岩内	小樽	滝川	留萌	増毛	羽幌	稚内
測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所

江段	中江鎮測候所	函館測候所	江差測候所	寿都測候所	岩内測候所	小樽測候所	留萌測候所	増毛測候所	羽幌測候所	稚内測候所	網走測候所	根室測候所	釧路測候所	帯広測候所	浦河測候所	室蘭測候所	札幌測候所	旭川測候所	寿都測候所	函館測候所	江段
全	全	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	全
所	所	北部	南部	中部	北部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	所
江原郡中江村	函館區	檜山郡江差町	寿都郡寿都町	岩内郡岩内町	小樽區	空知郡滝川町	留萌郡留萌町	増毛郡増毛町	羽幌郡羽幌町	稚内區	網走郡網走町	根室郡根室町	釧路郡釧路町	帯広區	浦河郡浦河町	室蘭區	札幌區	旭川區	寿都郡寿都町	函館區	江原郡中江村
中江鎮	函館	江差	寿都	岩内	小樽	滝川	留萌	増毛	羽幌	稚内	網走	根室	釧路	帯広	浦河	室蘭	札幌	旭川	寿都	函館	中江鎮
測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所
江段	全	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	江段
全	全	北部	南部	中部	北部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	内陸北部	内陸南部	沿海部	全
所	所	第四區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	第三區	第二區	第一區	所
江原郡中江村	函館區	檜山郡江差町	寿都郡寿都町	岩内郡岩内町	小樽區	空知郡滝川町	留萌郡留萌町	増毛郡増毛町	羽幌郡羽幌町	稚内區	網走郡網走町	根室郡根室町	釧路郡釧路町	帯広區	浦河郡浦河町	室蘭區	札幌區	旭川區	寿都郡寿都町	函館區	江原郡中江村
中江鎮	函館	江差	寿都	岩内	小樽	滝川	留萌	増毛	羽幌	稚内	網走	根室	釧路	帯広	浦河	室蘭	札幌	旭川	寿都	函館	中江鎮
測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所	測候所

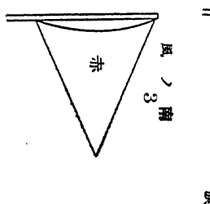
● 地方天氣及地方暴風警報信號

標式

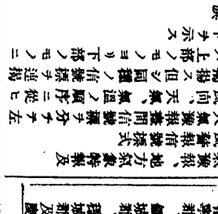
特報、地方氣象豫報、地方暴風警報信號ハ明治四十四年十二月一日ヨリ施行ス

地方天氣豫報及實況報告ノ爲メ測候所ニ於テ白赤藍及緑ノ四種ノ標式ヲ左ノ如ク定ム

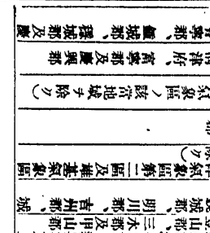
風ノ北 1



風ノ東 2



風ノ南 3



地方天氣豫報式　地方氣象豫報、地方暴風警報及特報ハ左ノ三種トシ風向、天氣、氣溫ノ順序ヲ以テ左ノ如ク掲ケルモノトス

第一種　地方天氣豫報

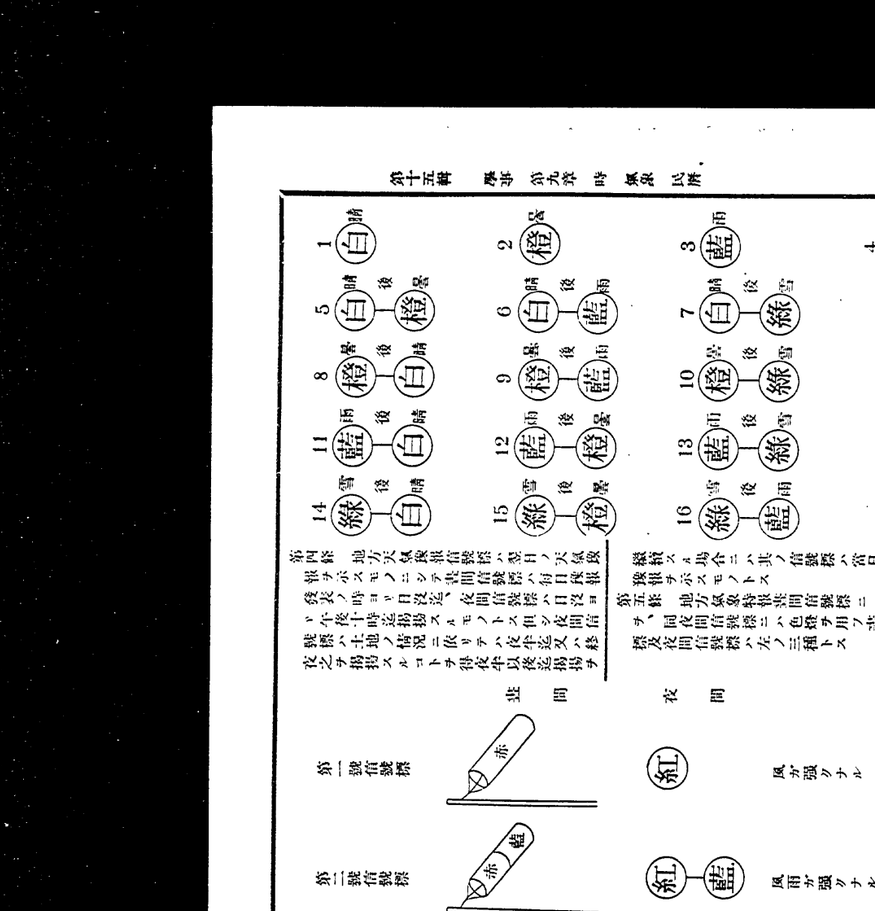
風向旗　天氣旗　氣溫旗

第二種　地方暴風警報

風向旗　天氣旗　氣溫旗

第三種　特報

風向旗　天氣旗　氣溫旗



第七條　第一號標ハ晝間ニ於テ赤キ吹流ノ大サハ前部口徑ノ八十糎以上ノ赤キ球ヲ掲ゲ第二號標ハ晝間ニ於テ赤キ吹流ノ大サハ前部口徑ノ八十糎以上ノ赤キ球ト藍色ノ球ヲ掲ゲ第三號標ハ晝間ニ於テ赤キ吹流ノ大サハ前部口徑ノ八十糎以上ノ赤キ球ト緑色ノ球ヲ掲ゲ

第八條　第一號標ハ夜間ニ於テ紅色ノ燈火ヲ掲ゲ第二號標ハ夜間ニ於テ紅色ノ燈火ヲ上下ニ掲ゲ第三號標ハ夜間ニ於テ紅色ノ燈火ヲ上中下ニ掲ゲ

第九條　第一號標ハ夜間ニ於テ紅色ノ燈火ヲ掲ゲ第二號標ハ夜間ニ於テ紅色ノ燈火ヲ上下ニ掲ゲ第三號標ハ夜間ニ於テ紅色ノ燈火ヲ上中下ニ掲ゲ

第十條　高サ又ハ長サ四尺以上ノ地方又ハ基礎ノ上ニ風ノ強サヲ表ハス爲ノ風標ヲ掲ゲ

第十一條　風標ハ風ノ方向ヲ表ハス爲ノ吹流ト風ノ強サヲ表ハス爲ノ球形又ハ圓錐形ノ球トヲ掲ゲ

第十二條　風標ハ地方ノ氣象ヲ表ハス爲ノ信號ヲ掲ゲ

第十三條　信號ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ掲ゲ

一　暴風信號

二　雨信號

三　風雨信號

四　雪信號

五　雷雨信號

六　風雪信號

七　濃霧信號

八　雹信號

九　霜信號

十　凍結信號

十一　烈風信號

十二　高潮信號

十三　低氣壓信號

十四　颶風信號

十五　大雨信號

十六　洪水信號

十七　津浪信號

十八　地震信號

十九　火山噴火信號

二十　暴風雪信號

二十一　大雪信號

二十二　濃霧信號

二十三　雷雨信號

二十四　雹信號

二十五　霜信號

二十六　凍結信號

第十四條　暴風信號ハ風速毎秒二十五米以上ノ風ノ吹クベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第十五條　雨信號ハ二十四時間ニ雨量百粍以上ノ雨ノ降ルベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第十六條　風雨信號ハ風速毎秒二十五米以上ノ風ト雨量百粍以上ノ雨トノ併發スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第十七條　雪信號ハ降雪ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第十八條　雷雨信號ハ雷雨ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第十九條　雹信號ハ雹ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第二十條　霜信號ハ霜ノ爲メ農作物ニ被害ヲ與フベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第二十一條　凍結信號ハ凍結ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第二十二條　烈風信號ハ風速毎秒十七米以上ノ風ノ吹クベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第二十三條　高潮信號ハ高潮ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第二十四條　低氣壓信號ハ低氣壓ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第二十五條　津浪信號ハ津浪ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第二十六條　地震信號ハ地震ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第二十七條　火山噴火信號ハ火山噴火ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第二十八條　暴風雪信號ハ暴風雪ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第二十九條　大雪信號ハ降雪ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第三十條　濃霧信號ハ濃霧ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第三十一條　雷雨信號ハ雷雨ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第三十二條　雹信號ハ雹ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第三十三條　霜信號ハ霜ノ爲メ農作物ニ被害ヲ與フベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第三十四條　凍結信號ハ凍結ノ爲メ交通ニ支障ヲ來スベキ場合ニ之ヲ掲ゲ

第三十五條　強風雨雪霜雹雷霧凍結ノ信號ハ夫々左ノ種類ニ依リ之ヲ掲ゲ

一　暴風信號

二　雨信號

三　風雨信號

四　雪信號

五　雷雨信號

六　風雪信號

七　濃霧信號

八　雹信號

九　霜信號

十　凍結信號

第三十六條　信號ハ之ヲ掲ゲタル後ト雖モ其ノ必要ナキニ至リタルトキハ之ヲ撤スベシ

第三十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第三十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第三十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第四十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第四十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第四十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第四十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第四十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第四十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第四十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第四十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第四十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第四十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第五十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第五十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第五十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第五十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第五十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第五十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第五十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第五十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第五十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第五十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第六十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第六十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第六十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第六十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第六十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第六十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第六十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第六十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第六十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第六十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第七十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第七十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第七十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第七十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第七十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第七十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第七十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第七十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第七十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第七十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第八十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第八十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第八十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第八十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第八十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第八十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第八十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第八十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第八十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第八十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第九十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第九十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第九十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第九十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第九十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第九十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第九十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第九十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第九十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第九十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百二十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百二十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百二十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百二十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百二十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百二十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百二十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百二十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百二十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百二十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百三十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百三十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百三十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百三十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百三十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百三十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百三十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百三十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百三十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百三十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百四十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百四十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百四十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百四十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百四十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百四十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百四十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百四十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百四十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百四十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百五十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百五十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百五十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百五十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百五十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百五十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百五十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百五十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百五十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百五十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百六十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百六十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百六十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百六十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百六十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百六十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百六十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百六十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百六十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百六十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百七十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百七十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百七十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百七十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百七十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百七十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百七十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百七十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百七十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百七十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百八十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百八十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百八十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百八十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百八十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百八十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百八十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百八十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百八十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百八十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百九十條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百九十一條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百九十二條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百九十三條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百九十四條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百九十五條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

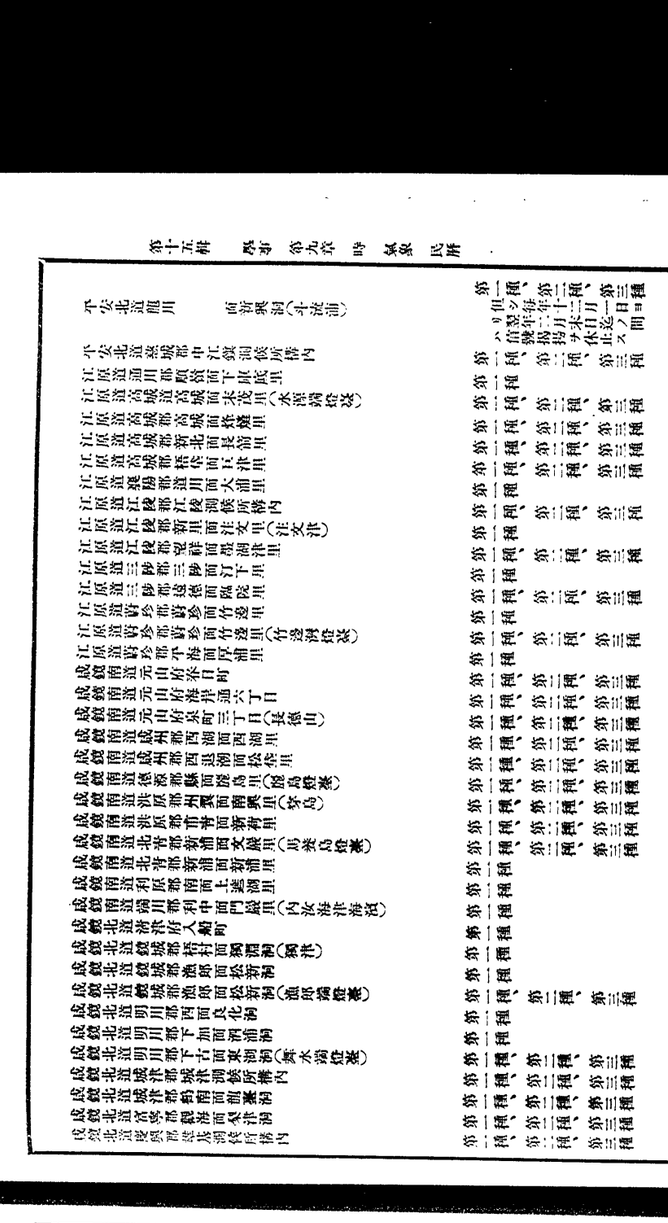
第百九十六條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百九十七條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百九十八條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第百九十九條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ

第二百條　信號ハ之ヲ掲ゲ又ハ撤スルニ際シ其ノ種類ヲ公衆ニ知ラシムル爲メ必要ナル通報ヲ爲スベシ



七二	A	A		A	C		A	D		A	E		A	F	
以下															
七一一	A	B		A	C		A	D		A	E		A	F	
七一二	A	G		A	H		A	I		A	J		A	K	
七一三	A	L		A	M		A	N		A	O		A	P	
七一四	A	Q		A	R		A	S		A	T		A	U	
七一五	A	V		A	W		A	X		A	Y		A	Z	
七一六	B	A		B	B		B	C		B	D		B	E	
七一七	B	F		B	G		B	H		B	I		B	J	
七一八	B	K		B	L		B	M		B	N		B	O	
七一九	B	P		B	Q		B	R		B	S		B	T	
七二〇	B	U	B	V	B	W	B	XB	YB	ZC	AC	BC	CC	D	
七二一	C	E	C	F	C	G	C	HC	IC	JC	KC	LC	MC	N	
七二二	C	O	C	P	C	Q	C	RC	SC	TC	UC	VC	WC	X	
七二三	C	Y	C	Z	D	A	D	BD	CD	DD	ED	FD	GD	H	
七二四	D	I	D	J	D	K	D	LD	MD	ND	OD	PD	QD	R	
七二五	D	S	D	T	D	U	D	VD	WD	XD	YD	ZE	AE	B	
七二六	E	C	E	D	E	E	E	FE	GE	HE	IE	JE	KE	L	
七二七	E	M	E	N	E	O	E	PE	QE	RE	SE	TE	UE	V	
七二八	E	W	E	X	E	Y	E	ZF	AF	BF	CF	DF	EF	F	
七二九	F	G	F	H	F	I	F	JF	KF	LF	MF	NF	OF	P	
七三〇	F	Q	F	R	F	S	F	TF	UF	VF	WF	XF	YF	Z	
七三一	G	A	G	B	G	C	G	DG	EG	FG	GG	HG	IG	J	
七三二	G	K	G	L	G	M	G	NG	OG	PG	QG	RG	SG	T	
七三三	G	U	G	V	G	W	G	XG	YG	ZH	AH	BH	CH	D	
七三四	H	E	H	F	H	G	H	HH	IH	JH	KH	LH	MH	N	
七三五	H	O	H	P	H	Q	H	RH	SH	TH	UH	VH	WH	X	
七三六	H	Y	H	Z	I	A	I	BI	CI	DI	EI	FI	GI	H	
七三七	I	I	I	J	I	K	I	LI	MI	NI	OI	PI	QI	R	
七三八	I	S	I	T	I	U	I	VI	WI	XI	VI	ZJ	AJ	B	
七三九	J	C	J	D	J	E	J	FJ	GJ	HJ	IJ	JJ	KJ	L	
七四〇	J	M	J	N	J	O	J	PJ	QJ	RJ	SJ	TJ	UJ	V	
七四一	J	W	J	X	J	Y	J	ZK	AK	BK	CK	DK	EK	F	
七四二	K	G	K	H	K	I	K	JK	KK	LK	MK	NK	OK	P	
七四三	K	Q	K	R	K	S	K	TK	UK	VK	WK	XK	YK	Z	
七四四	L	A	L	B	L	C	L	DL	EL	FL	GL	HL	IL	J	
七四五	L	K	L	L	L	M	L	NL	OL	PL	QL	RL	SL	T	
七四六	L	U	L	V	L	W	L	XL	YL	ZM	AM	BM	CM	D	
七四七	M	E	M	F	M	G	M	HM	IM	JM	KM	LM	MM	N	
七四八	M	O	M	P	M	Q	M	RM	SM	TM	UM	VM	WM	X	
七四九	M	Y	M	Z	O	A	O	BO	CO	DO	EO	FO	GO	H	
七五〇	O	I	O	J	O	K	O	LO	MO	NO	PO	QO	RO	S	
七五一	O	T	O	U	O	V	O	WO	XO	YO	ZP	AP	BP	C	
七五二	P	D	P	E	P	F	P	GP	HP	IP	JP	KP	LP	M	
七五三	P	N	P	O	P	P	P	QP	RP	SP	TP	UP	VP	W	
七五四	P	X	P	V	P	Z	Q	AQ	BQ	CQ	DQ	EQ	FQ	G	
七五五	Q	H	Q	I	Q	J	Q	KQ	LQ	MQ	NQ	OQ	PQ	Q	
七五六	Q	R	Q	S	Q	T	Q	UQ	VQ	WQ	XQ	VQ	ZR	A	
七五七	R	B	R	C	R	D	R	ER	FR	GR	HR	IR	JR	K	
七五八	R	L	R	M	R	N	R	OR	PR	QR	RR	SR	TR	U	
七五九	R	V	R	W	R	X	R	YR	ZS	AS	BS	CS	DS	E	
七六〇	S	F	S	G	S	H	S	IS	JS	KS	LS	MS	NS	O	
七六一	S	P	S	Q	S	R	S	SS	TS	US	VS	WS	XS	Y	
七六二	S	Z	T	A	T	B	T	CT	DT	ET	FT	GT	HT	I	
七六三	T	J	T	K	T	L	T	MT	NT	OT	PT	QT	RT	S	
七六四	T	T	T	U	T	V	T	WT	XT	YT	ZU	AU	BU	C	
七六五	U	D	U	E	U	F	U	GU	HU	IU	JU	KU	LU	M	
七六六	U	N	U	O	U	Q	U	QU	RU	SU	TU	UU	VU	W	
七六七	U	X	U	Y	U	Z	V	AV	BV	CV	DV	EV	FV	G	
七六八	V	H	V	I	V	J	V	KV	LV	MV	NV	OV	PV	Q	
七六九	V	R	V	S	V	T	V	UV	VV	WV	XV	YV	ZW	A	
七七〇	W	B	W	C	W	D	W	EW	FW	GW	HW	IW	JW	K	
七七一	W	L	W	M	W	N	W	OW	PW	QW	RW	SW	TW	U	
七七二	W	V	W	W	W	X	W	YW	ZX	AX	BX	CX	DX	E	
七七三	X	F	X	G	X	H	X	IX	JX	KX	LX	MX	NX	O	
七七四	X	P	X	Q	X	R	X	SX	TX	UX	VX	WX	XX	Y	
七七五	X	Z	Y	A	Y	B	Y	CY	DY	EY	FY	GY	HY	I	
七七六	Y	J	Y	K	Y	L	Y	MY	NY	OY	PY	QY	RY	S	
七七七	Y	T	Y	U	Y	V	Y	WY	XY	YY	ZZ	AZ	BZ	C	
七七八	Z	D	Z	E	Z	F	Z	GZ	HZ	IZ	JZ	KZ	LZ	M	
七七九	Z	N	Z	O	Z	P	Z	QZ	RZ	SZ	TZ	UZ	VZ	W	
七八〇	Z	X	Z	Y											
七八〇、一以上	Z	Z													

風力（ビ氏階級）

天気	雨雪雲霧雹雷	風力（ビ氏階級）
晴（快晴共）	V Q K F A	○及1（軽風）2及3（風軟）4及5（風疾）6及7（風強）8及9（風烈）10以上（風颶）
曇	V Q K F A	
雨	W R L G B	
雪	X S M H C	
霧雹雷	Y T N I D	
其他	Z U P J E	

注意　一　階級名称ハ便宜上之ニ近キ程上ル毎ニ風向ノ有無ヲ附ス

二　静穏ト軟風ハ而シテ之ヲ区別シ得ルヤ否ヤハ風向ノ有無ニヨリ之ヲ区別シ得ベシ

第三表　風向

符號	方向
N	N
O	NNE
P	NE
Q	ENE
E	E
F	ESE
G	SE
H	SSE
S	S
T	SSW
U	SW
V	WSW
W	W
X	WNW
Y	NW
Z	NNW
C	靜穏

無線氣象實況報ノ記載例

ARMGO	BRHFY	CQYFY	DQKKV	EQYFZ
FQOGW	GQGFY	HQXFX	IQIFZ	JQFKW
KQGAC	LPPFC	MPVQQ	NQYFC	OSGAC
PSDBX	QRSFY	RRWCY	SSBFW	TSAGZ
USJHY	VSRAW	XTYWY	YTWFN	ZRGAW

6 TAC

（露文）

地名	氣壓	天氣	風力	風向
那覇	758.1	曇	4—5	NNE
名瀬	757.6	曇	2—3	NW
鹿児島	756.7	曇	2—3	NW
熊本	755.3	雨	2—3	WSW
下関	756.7	曇	2—3	NNW
門司	755.7	曇	4—5	W
松山	754.9	曇	2—3	NW
大阪	756.6	曇	2—3	WNW
室戸岬	755.1	曇	2—3	NNW
江陵	754.8	雨	2—3	W
元山	754.9	晴	0—1	静穏
城津	753.2	曇	0—1	静穏
羅津	753.8	曇	2—3	ENE
平壌鎮	756.7	曇	0—1	静穏
新義州	760.1	晴	0—1	静穏
平壌	759.8	晴	4—5	WNW
京城	758.7	曇	2—3	NW
仁川	759.1	晴	6—7	NW
仝	759.6	曇	2—3	W
木浦	759.5	曇	4—5	NNW
釜山	760.4	曇	6—7	NW
大連	761.2	晴	2—3	W
青島	764.5	霧	4—5	NW
上海	764.3	曇	2—3	N
奉天	757.5	晴	2—3	W
天津	762.6	晴	0—1	静穏

（昭和三年一月總督府令第一號ヲ以テ施行）
（昭和五年九月總督府令第三百五十六號ヲ以テ同年九月二十日ヨリ施行）
（昭和五年十一月總督府令第四百四十三號ヲ以テ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和五年十二月總督府令第五百八號ヲ以テ昭和六年一月一日ヨリ施行）
（昭和七年十一月總督府令第三號ヲ以テ昭和七年十二月一日ヨリ施行）
（昭和九年十四月總督府令第百六十一號ヲ以テ昭和十年三月一日ヨリ施行）

●朝鮮總督府觀測所天氣圖ノ發行及發賣ニ關スル件

大正十年九月一日　朝鮮總督府令第百二十八號

第一條　天氣圖ハ朝鮮總督府觀測所ニ於テ發行ス

第二條　天氣圖ハ左ノ通定メ大正十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

發行回數	發行時刻
一日	午前八時
二日	午前八時
三日	午前八時
四日	午前八時
五日	午前八時
六日	午前八時
七日	午前八時
八日	午前八時
九日	午前八時
十日	午前八時
十一日	午前八時
十二日	午前八時
十三日	午前八時
十四日	午前八時
十五日	午前八時
十六日	午前八時
十七日	午前八時
十八日	午前八時
十九日	午前八時
二十日	午前八時
二十一日	午前八時
二十二日	午前八時
二十三日	午前八時
二十四日	午前八時
二十五日	午前八時
二十六日	午前八時
二十七日	午前八時
二十八日	午前八時
二十九日	午前八時
三十日	午前八時
三十一日	午前八時

第三條　天氣圖ハ朝鮮總督府觀測所ニ於テ發賣ス

第四條　天氣圖ノ發賣ニ關スル事務ハ朝鮮總督府觀測所ニ於テ之ヲ取扱フ

第五條　天氣圖ノ發賣ニ關スル經費ハ朝鮮總督府觀測所ニ於テ之ヲ支辨ス

第六條　天氣圖ノ發賣ニ關スル細則ハ朝鮮總督府觀測所ニ於テ之ヲ定ム

附則

第七條　本令ハ大正十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八條　朝鮮總督府觀測所ニ於テ發賣スル天氣圖ハ朝鮮總督府觀測所ニ於テ發賣スル天氣圖ノ發賣ニ關スル件ニ依リ發賣スル天氣圖ト看做ス

●朝鮮總督府觀測所天氣圖ノ發賣ニ關スル件

大正十年九月一日　朝鮮總督府令第百二十八號

第一條　天氣圖ハ朝鮮總督府觀測所ニ於テ發賣ス

第二條　天氣圖ノ發賣ハ左ノ通定メ大正十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

發賣回數	發賣時刻
一日	午前八時
二日	午前八時
三日	午前八時
四日	午前八時
五日	午前八時
六日	午前八時
七日	午前八時
八日	午前八時
九日	午前八時
十日	午前八時
十一日	午前八時
十二日	午前八時
十三日	午前八時
十四日	午前八時
十五日	午前八時
十六日	午前八時
十七日	午前八時
十八日	午前八時
十九日	午前八時
二十日	午前八時
二十一日	午前八時
二十二日	午前八時
二十三日	午前八時
二十四日	午前八時
二十五日	午前八時
二十六日	午前八時
二十七日	午前八時
二十八日	午前八時
二十九日	午前八時
三十日	午前八時
三十一日	午前八時

第三條　天氣圖ハ朝鮮總督府觀測所ニ於テ發賣ス

第四條　天氣圖ノ發賣ニ關スル事務ハ朝鮮總督府觀測所ニ於テ之ヲ取扱フ

第五條　天氣圖ノ發賣ニ關スル經費ハ朝鮮總督府觀測所ニ於テ之ヲ支辨ス

第六條　天氣圖ノ發賣ニ關スル細則ハ朝鮮總督府觀測所ニ於テ之ヲ定ム

附則

第七條　本令ハ大正十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八條　朝鮮總督府觀測所ニ於テ發賣スル天氣圖ハ朝鮮總督府觀測所ニ於テ發賣スル天氣圖ノ發賣ニ關スル件ニ依リ發賣スル天氣圖ト看做ス

●朝鮮總督府博物館陳列品

自大正十年十二月二日至同年十二月十日

博物館展覽會

第十章　博物館展覽會

●朝鮮總督府博物館設置ノ件

朝鮮總督府勅令第百二十八號

大正十年九月一日

朝鮮總督府ニ博物館ヲ置ク

朝鮮總督府博物館ニ關スル事務ハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ掌ル

朝鮮總督府博物館ニ館長ヲ置キ朝鮮總督府ノ奏任官ヲ以テ之ニ充ツ

朝鮮總督府博物館ニ館員ヲ置キ朝鮮總督府ノ奏任又ハ判任官ヲ以テ之ニ充ツ

朝鮮總督府博物館ニ關スル細則ハ朝鮮總督之ヲ定ム

●朝鮮ノ製造販賣ニ關スル件

朝鮮民間ニ於テ製造販賣スル朝鮮民族ノ美術的又ハ考古學的ノ物品ニシテ朝鮮總督府博物館ニ於テ公告セシムルモノハ朝鮮非常時氣象民間

第十五輯　附非常時氣象民間

一　寄託品ノ所有者ニ變更アリタルトキハ新所有者ヨリ書面ヲ以テ朝鮮總督府ニ届出テ受託證書ノ書換ヲ受クヘシ但死亡ニ因ル相續ノ場合ノ外遞所有者ノ連署ヲ要ス

一　受託證書ヲ紛失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ書面ヲ以テ朝鮮總督府ニ申出テ再交付ヲ受クヘシ

一　寄託品ノ亡失ニ對スル賠償金額ハ寄託者ト協定シ但其ノ協定調ハサルトキハ總務局長ノ選定スル二人以上ノ鑑定人ノ評價ニ依ル

一　受託品ノ紛失ニ對シ賠償ヲ爲シタル後二年内ニ之ヲ發見シタルトキハ其ノ賠償金ヲ返還セシメ現品ヲ寄託者ニ還付ス

一　受託期間ハ特ニ協定シタル場合ヲ除クノ外一年トス

一　寄託者ハ寄託品ノ撮影ニ付異議ヲ述フルコトヲ得ス博物館ニ於テ模寫又ハ模造スルトキ亦同シ

一　寄託者寄託品ノ返還ヲ受ケムトスルトキハ書面ヲ以テ朝鮮總督府ニ申出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ寄託者ハ受託證書ニ受領ノ旨ヲ記載シ署名捺印シ之ト引換ニ物品ノ返還ヲ受クヘシ

表記ノ寄託品返還相成正ニ受領候也

大正　年　月　日　　姓氏名㊞

●慶州博物館分館觀覽時間

大正十五年六月
總告第百九十三號

朝鮮總督府博物館慶州分館ヲ慶尚北道慶州郡慶州面東部里ニ設置シ大正十五年六月二十日ヨリ開館一般ノ觀覽ヲ許ス

一　觀覽時間

自一月五日　至三月二十日　午前十時ヨリ午後四時迄
自三月二十一日　至四月三十日　午前九時ヨリ午後四時迄
自五月一日　至九月三十日　午前八時ヨリ午後四時迄
自十月一日　至十一月三十日　午前九時ヨリ午後四時迄
自十二月一日　至十二月二十五日　午前十時ヨリ午後四時迄

左記ノ日ハ休館トス

大祭祀日ノ翌日
月曜日

●朝鮮美術展覽會規程

大正十一年一月
總告第三號

改正　大正一年五第一二號、一三年四第一九號、一二年四第八五號、一五年五第一四九號、昭和三年四第一五五號、七年三第一三三號、九年四第一七三號、一〇年三第一八四號、一〇年五第二九六號、一二年三第一〇七號

朝鮮美術展覽會規程左ノ通定ム

朝鮮美術展覽會規程

第一章　總則

第一條　朝鮮ニ於ケル美術ノ發達ヲ裨補スル爲毎年一回朝鮮美術展覽會ヲ開ク

會場、事務所及會期ハ其ノ都度之ヲ公告ス

第二條　本會ハ之ヲ左ノ三部ニ分ツ

第一部　東洋畫
第二部　西洋畫
第三部　彫塑及工藝

第三條　出品ハ鑑査ヲ經タルモノニ限リ之ヲ陳列ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル出品ハ鑑査外トス

一　朝鮮美術審査委員會委員（以下委員ト稱ス）又ハ委員タリシ者ノ出品

二　朝鮮美術審査委員會委員長ニ於テ推薦シタル者ノ出品但シ一點ニ限ル

三　前回ノ朝鮮美術展覽會ニ於テ特選セラレタル者ノ出品但シ一點ニ限ル

出品ノ荷造及運送費ハ總テ出品人ノ負擔トス

第四條　本會ハ出品ノ保管ニ關シ十分ノ注意ヲ爲スト雖出品ノ紛失又ハ損害ニ對シ一切其ノ責任セス

第五條　出品人ノ承諾ヲ得且本會ノ許可ヲ得ルニ非サレハ出品ノ撮影又ハ模寫ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ得タル者會場ニ於テ出品ノ撮影又ハ模寫ヲ爲サムトスルトキハ許可證ヲ事務員ニ提示シテ其ノ指揮ヲ受クヘシ

本會ハ出品ヲ撮影模寫シ又ハ之ヲ刊行スルコトアルヘシ

第六條　朝鮮美術展覽會ニ評議員及參與ヲ置ク

評議員及參與ハ朝鮮美術展覽會ニ關シ朝鮮總督ノ諮問ニ應シテ意見ヲ陳述ス

評議員ハ朝鮮ニ於ケル美術ニ關シ功勞アル者又ハ美術ニ關シ學識經驗アル者ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ囑託ス

參與ハ朝鮮美術展覽會ニ於テ特選セラレタル者ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ囑託ス

第七條　出品人ハ出品ノ製作者、製作者死亡シタルトキハ其ノ家族ニ限ルモノトス

第七條ノ二　出品ノ製作者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ナルコトヲ要ス

一　朝鮮ニ本籍又ハ住所ヲ有スル者

二　朝鮮ニ三年以上居住シタル者

三　朝鮮美術展覽會ニ於テ三回以上特選セラレタル者

第七條ノ三　第三條但書第一號及第二號ノ出品ニ付テハ前二條ノ規定ヲ適用セス

第八條　同一人ノ出品ハ第一乃至第三ノ各部ニ付三點以内トス

第九條　出品ノ形狀表裝等ノ如何ニ拘ラス同一意匠ニ依ル一箇ノ作品ト認ムヘキモノハ二箇以上ニ分離セルモノト雖之ヲ一點ト看做ス

前項ノ事實ハ委員長ノ認定ニ依ル

同一意匠ニ依ラサル數箇ノ作品ト雖之ヲ一箇ニ表裝シタルモノハ之ヲ一點ト看做ス

第十條　出品ハ一點ニ付幅四間ヲ超エルコトヲ得ス

各出品人ノ占メ得ヘキ陳列壁面ハ各部毎ニ幅四間迄トス

第三部ノ出品ハ立體ニ在リテハ一點ニ付十尺平方以内ノ場所ニ陳列シ得ルモノニ限ル

同一部ニ於ケル一人ノ出品二點以上ニシテ其ノ幅合セテ四間ヲ超エルトキハ其ノ出品ハ一定日數毎ニ陳列替ヲ爲スモノトス

會場ノ都合ニ依リ出品ノ全部ヲ同時ニ陳列スルコト能ハスト認ムルトキハ一定日數毎ニ陳列替ヲ爲スコトアルヘシ

陳列替ニ關スル事項ハ委員長之ヲ決ス

出品ハ丈高キニ過キ陳列ニ不便アリト認メタルモノハ其ノ表裝ヲ適宜變更セシムルコトアルヘシ

第十一條　左ニ揭クルモノハ出品スルコトヲ得ス

一　製作後五年以上ヲ經タルモノ

二　本會ニ陳列シタルコトアルモノ

三　治安風敎ニ害アリト認ムルモノ

第十二條　出品ヲ爲サムトスル者ハ甲號樣式ノ出品願書ヲ添ヘテ作品ヲ事務所ニ差出スヘシ其ノ期日等ハ別ニ之ヲ公告ス

作品ニハ一點毎ニ命題及出品人氏名ヲ記シタル出品札ヲ貼附スヘシ

第十三條　事務所ニ於テ出品ヲ受理シタルトキハ直ニ受領證ヲ交付ス

第十四條　出品ハ願面ト爲シ又ハ枠、緣ヲ附スル等出品人ニ於テ適當ノ裝飾設備ヲ爲スヘシ

第十五條　鑑査ノ結果陳列セサルモノト決定シタルモノニ付テハ第二十三條第三項ノ公告アリタル日ヨリ十日内ニ出品人ニ於テ之ヲ撤去スヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル出品ハ此ノ限ニ在ラス

一　朝鮮總督ハ特選ト授與シタル者ニ賞牌又ハ賞金ヲ授與スルコトアルヘシ

第二十七條　同一人ニシテ同一部ニ二點以上出品シタル場合ニ於テハ其ノ中優秀ト評セラレタル一點ニ就テノミ特選ス

第二章　資約及撤出

第二十八條　陳列品ハ本會ニ於テ其ノ賣買約手取扱フモノトス出品人ニ於テ本會ヲシテ賣買契約ヲ爲サムトスルトキハ本會ノ承認ヲ經ヘシ

第二十九條　陳列品ヲ購買セムトスル者ハ金ヲ添ヘテ事務所ニ申出ツヘシ

第三十條　即時ニ代金ヲ支拂ハサルトキハ附ケ以テ賣買契約ヲ爲スコトヲ得手附金ハ代價ノ三分ノ一以上トス

前項ノ買主カ閉會後七日以内ニ殘餘代金ヲ支拂ヲ爲ササルトキハ手附金ハ之ヲ拋棄シタルモノト看做シ當該出品人ノ所得トス

第三十一條　賣買契約ヲ爲シタルトキハ出品札ニ其ノ旨ヲ貼紙スルモノトス

第三十二條　出品人ニ於テ陳列品ノ代價ヲ變更セムトスルトキハ其ノ旨事務所ニ届出ツヘシ

第三十三條　出品人ニ於テ出品及代金受領ノ爲特ニ代理人ヲ置キタルトキハ其ノ住所氏名ヲ具シ事務所ニ届出ツヘシ

第三十四條　陳列品ハ開會中之ヲ撤出スルコトヲ得ス

第三十五條　出品ノ撤出期間ハ閉會後七日内トス若期間内ニ撤出セサル者アルトキハ本會ニ於テ相當ノ處置ヲ爲スヘシ

第三十六條　陳列品中賣約濟ノモノハ閉會前條ノ期間内ニ買主ニ於テ之ヲ撤出スヘシ前項ノ場合ニ於テハ代金受取證ヲ提示シ自己ノ買主タルコトヲ證明スルコトヲ要ス

第六章　觀覽

第三十七條　觀覽時間ハ開會中毎日午前九時ヨリ午後五時迄トス但シ都合ニ依リ之ヲ伸縮シ又ハ觀覽ヲ停止スルコトアルヘシ

第三十八條　觀覽人ハ陳列品ニ觸ルルコトヲ得ス

附　則（大正十五年五月總告第百四十九號）

第四回朝鮮美術展覽會ニ於テ入賞シタル者ノ出品ハ第五回朝鮮美術展覽會ニ限リ之ヲ鑑査外トス

一　出品ハ鑑査及審査ノ結果ニ依リ之ヲ撤出セシムルコトアルヘシ但シ出品人ハ委員ニ對シ鑑査及審査ノ再考ヲ請求スルコトヲ得ス

第十六條　本會ニ於テ定メタル陳列品ノ位置配列等ニ對シ出品人ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三章　鑑査及審査

第十七條　朝鮮美術審査委員會委員ハ委員長ノ定ムル所ニ依リ第一乃至第三ノ各部ニ分リ各部ノ委員ハ其ノ互選ニ依リ主任一人ヲ定ム

第十八條　出品ノ鑑査及審査ハ各部ニ就キ委員之ヲ行フ

第十九條　陳列品ハ總テ審査ヲ受クルモノトス但シ第三條但書第一號及第二號ノ出品ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十條　出品人ハ鑑査又ハ審査ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二十一條　鑑査及審査ハ其ノ部ニ屬スル委員半數以上ノ出席アルニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス

第二十二條　委員ハ各出品ニ就キ出品願書ニ記載シタル解說ヲ參照シテ鑑査及審査ヲ爲スモノトス

第二十三條　鑑査ハ出品ニ就キ陳列スヘキモノヲ決定スルモノトス

前項ノ決定ハ出席委員過半數ノ同意ニ依ル

第一項ノ決定ハ之ヲ公告ス

第二十四條　審査ハ陳列品ニ就キ優秀ナルモノヲ特選スルモノトス

委員ハ各自特選スルヲ相當ト思料スル作品ヲ選出シ之ニ關スル意見ヲ附シテ主任ニ提案シ主任ハ委員ノ提案ヲ取纏メ之ヲ委員會ニ付議シ特選品ト爲スコトノ適否ヲ審議評定ノ上之ヲ委員長ニ報告スルモノトス

第二十五條　委員長ハ各部ノ報告ニ依リ特選品ヲ確定シ之ヲ朝鮮總督ニ廢告スルモノトス

第四章　特選及賞

第二十六條　特選セラレタル作品ニ付テハ朝鮮總督ノ乙號樣式ニ依リ其ノ出品人ニ特選狀ヲ授與ス

朝鮮總督ハ特選狀ヲ授與シタル者ニ賞牌又ハ賞金ヲ授與スルコトアルヘシ

第二十七條　同一人ニシテ同一部ニ二點以上出品シタル場合ニ於テハ其ノ中優秀ト評セラレタル一點ニ就テノミ特選ス

第五章　資約及撤出

第二十八條　陳列品ハ本會ニ於テ其ノ賣買約手取扱フモノトス出品人ニ於テ本會ヲシテ賣買契約ヲ爲サムトスルトキハ本會ノ承認ヲ經ヘシ

第二十九條　陳列品ヲ購買セムトスル者ハ金ヲ添ヘテ事務所ニ申出ツヘシ

第三十條　即時ニ代金ヲ支拂ハサルトキハ附ケ以テ賣買契約ヲ爲スコトヲ得手附金ハ代價ノ三分ノ一以上トス

前項ノ買主カ閉會後七日以内ニ殘餘代金ヲ支拂ヲ爲ササルトキハ手附金ハ之ヲ拋棄シタルモノト看做シ當該出品人ノ所得トス

第三十一條　賣買契約ヲ爲シタルトキハ出品札ニ其ノ旨ヲ貼紙スルモノトス

第三十二條　出品人ニ於テ陳列品ノ代價ヲ變更セムトスルトキハ其ノ旨事務所ニ届出ツヘシ

第三十三條　出品人ニ於テ出品及代金受領ノ爲特ニ代理人ヲ置キタルトキハ其ノ住所氏名ヲ具シ事務所ニ届出ツヘシ

第三十四條　陳列品ハ開會中之ヲ撤出スルコトヲ得ス

第三十五條　出品ノ撤出期間ハ閉會後七日内トス若期間内ニ撤出セサル者アルトキハ本會ニ於テ相當ノ處置ヲ爲スヘシ

第三十六條　陳列品中賣約濟ノモノハ閉會前條ノ期間内ニ買主ニ於テ之ヲ撤出スヘシ前項ノ場合ニ於テハ代金受取證ヲ提示シ自己ノ買主タルコトヲ證明スルコトヲ要ス

第六章　觀覽

第三十七條　觀覽時間ハ開會中毎日午前九時ヨリ午後五時迄トス但シ都合ニ依リ之ヲ伸縮シ又ハ觀覽ヲ停止スルコトアルヘシ

第三十八條　觀覽人ハ陳列品ニ觸ルルコトヲ得ス

第三十九條　觀覽人ニシテ秩序風俗ヲ紊ル虞アリト認ムル者ハ入場ヲ禁シ又ハ退場セシムルコトアルヘシ

第四十條　觀覽人ハ靜肅ヲ旨トシ且係員ノ指揮ニ從フヘシ

（甲號樣式）

出品願書

私儀朝鮮美術展覽會規程ニ遵ヒ左記ノ通出品致度此段出願候也

年　月　日

住所
職業
出願人　氏名　㊞

朝鮮美術展覽會宛

解說

部	命題	代價	備考
第　部			
（　）			
命題ノ說明			
履歷			

注意　一　非賣品ハ代價ノ欄ニ非賣品ト記入スヘシ

二　故人ノ作品ヲ出品スル場合ニハ履歷ノ欄ニ其ノ旨竝ニ製作者ノ氏名及履歷ヲ書スヘシ

三　出品人ノ氏名ニハ必ス本名ヲ用ヒ且假名ヲ附シ雅號アルモノハ氏名ノ傍ニ之ヲ記入スヘシ

四　朝鮮ニ三年以上居住シタル者ハ其ノ時期及場所ヲ記入スヘシ

五　部名欄ノ括弧内ニハ東洋畫西洋畫彫塑及工藝ノ別ヲ明記スヘシ

六　出品願書ハ出品一點ニ付一葉トス

（乙號樣式）

縱一尺三寸、橫二尺　用紙ハ局紙トス

第　號

朝鮮　道　何　某

第　回朝鮮美術展覽會出品

東洋畫　何何
西洋畫　何何
彫塑　何何
工藝　何何

審査委員

審査委員長　何
審査委員　何
何
何
何
何

右審査委員長ノ報告ヲ領シ玆ニ特選狀（及賞牌又ハ賞金）ヲ授與ス

年　月　日

朝鮮總督　何

第十一章　寶物古蹟名勝天然記念物

●朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令

昭和八年六月
制令第六號

朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニヲ公布ス

朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令

第一條　建造物、典籍、書跡、繪畫、彫刻、工藝品其ノ他ノ物件ニシテ特ニ歷史ノ證徵又ハ美術ノ模範トナルベキモノハ朝鮮總督之ヲ寶物トシテ指定スルコトヲ得

貝塚、古墳、寺址、城址、窯址其ノ他之ニ準ズル遺跡ニシテ保存ノ必要アリト認ムルモノハ朝鮮總督之ヲ古蹟、名勝又ハ天然記念物トシテ指定スルコトヲ得

第二條　朝鮮總督前條ノ指定ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會（以下單ニ保存會ト稱ス）ニ諮問スベシ

前條ノ指定以前ニ於テ急施ヲ要シ保存會ニ諮問スル暇ナシト認ムルトキハ朝鮮總督ハ假ニ指定スルコトヲ得

第三條　朝鮮總督ハ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ立入リ、調査ニ必要ナル物件ノ提供ヲ求メ、測量調査ヲ爲シ又ハ土地ノ發掘、障碍物ノ變更除却其ノ他調査ニ必要ナル行爲ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帶スベシ

第四條　寶物ハ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

朝鮮總督前項ノ許可ヲ爲サントスルトキハ保存會ニ諮問スベシ

第五條　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ關シ其ノ現狀ヲ變更シ又ハ其ノ保存ニ影響ヲ及ボスベキ行爲ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第六條　朝鮮總督ハ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ保存ニ關シ必要アリト認ムルトキハ一定ノ行爲ヲ禁止若ハ制限シ又ハ必要ナル施設ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ施設ニ要スル費用ニ對シテハ國庫ヨリ豫算ノ範圍内ニ於テ其ノ一部ヲ補助スルコトヲ得

第七條　朝鮮總督第五條ノ規定ニ依ル許可又ハ前條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスルトキハ保存會ニ諮問スベシ但シ輕易ナル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　寶物ノ所有者ニ付變更アリタルトキハ朝鮮總督ハ寶物ノ所有者ヨリ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ寶物滅失又ハ毀損シタルトキ亦同シ

第九條　寶物ノ所有者ハ朝鮮總督ノ命令ニ依リ一年ノ期間ヲ限リ李王家、宮立又ハ公立ノ博物館又ハ美術館ニ其ノ寶物ヲ出陳スル義務アルモノトス但シ祭祀法用又ハ公務執行ノ爲必要アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十條　前條ノ規定ニ依リ寶物ヲ出陳シタル者ニ對シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ國庫ヨリ補給金ヲ交付スルコトヲ得

第十一條　第三條ノ規定ニ依ル行爲若ハ第六條第一項ノ規定ニ依ル命令ノ爲損害ヲ被リタル者アルトキ又ハ第九條ノ規定ニ依リテ出陳シタル寶物其ノ出陳中不可抗力ニ因ルニ非ズシテ滅失若ハ毀損シタルトキハ朝鮮總督ハ其ノ定ムル所ニ依リ損害ヲ補償スルコトヲ得

第十二條　第九條ノ規定ニ依リテ出陳シタル寶物ニ付其ノ出陳中所有者ノ變更アリタルトキハ新所有者ハ當該寶物ニ關シ本令ニ規定スル舊所有者ノ權利義務ヲ承繼ス

第十三條　朝鮮總督ハ地方公共團體ヲ指定シテ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ管理ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ管理ニ要スル費用ニ當該公共團體ノ負擔トス

前項ノ費用ニ對シテハ國庫ヨリ豫算ノ範圍内ニ於テ其ノ一部ヲ補助スルコトヲ得

第十四條　公益上其ノ他特殊ノ事由ニ依リ必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ保存會ニ諮問シ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第十五條　朝鮮總督第一條若ハ第二條第二項ノ規定ニ依リ指定ヲ爲シタル前條ノ規定ニ依リ指定ノ解除ヲ爲シタルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ之ヲ告示シ且當該物件又ハ土地ノ所有者、管理者又ハ占有者ニ通知スベシ但シ指定セラレタル物ノ保存上必要ト認ムルトキハ告示セザルコトヲ得

第十六條　朝鮮總督ハ國ノ所有ニ屬スル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ關シ所有者ヨリ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ寶物滅失又ハ毀損シタルトキ亦同シ

第十七條　寺刹ノ所有ニ屬スル寶物ハ之ヲ差押フルコトヲ得ズ

前項ノ寶物ノ管理ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十八條　貝塚、古蹟、寺址、城址、窯址其ノ他ノ遺蹟ト認ムベキモノハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ發掘其ノ他現狀ヲ變更スルコトヲ得ズ

前項ノ遺蹟ト認ムベキモノヲ發見シタル者ハ直ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第十九條　朝鮮總督ハ本令ニ規定スル其ノ職權ノ一部ヲ道知事ニ委任スルコトヲ得

第二十條　朝鮮總督ノ許可ヲ受ケテ寶物ヲ輸出又ハ移出シタル者ハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條　寶物ヲ損壞、毀棄又ハ隱匿シタル者ハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ寶物自己ノ所有ニ係ルトキハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金若ハ科料ニ處ス

第二十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金若ハ科料ニ處ス

一　許可ヲ受ケズシテ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ關シ其ノ現狀ヲ變更シ又ハ其ノ保存ニ影響ヲ及ボスベキ行爲ヲ爲シタル者

二　第六條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三　第十八條第一項ノ規定ニ違反シタル者

四　第五條若ハ第十八條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シテ得タル物件ヲ讓受ケタル者

第二十三條　第三條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ妨ゲ若ハ忌避シ、調査ニ必要ナル物件ノ提供ヲ爲サズ又ハ調査ニ必要ナル物件ニシテ虚僞ナルモノヲ提供シタル

者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條　第八條又ハ第十八條第二項ノ規定ニ違反シ屆出ヲ爲サザル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和八年十二月總令第百三十七號ヲ以テ昭和八年十二月十一日ヨリ施行）

●朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行規則

昭和八年十二月
總令第百三十六號

朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行規則左ノ通定ム

朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行規則

第一條　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定又ハ其ノ解除ノ告示ハ左ノ事項ヲ朝鮮總督府官報ニ揭載シテ之ヲ爲ス

一　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ名稱及主タル事務所ノ所在地）

二　所在地及地域

三　所有者ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱及主タル事務所ノ所在地）

第二條　朝鮮總督朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存會（以下單ニ保存會ト稱ス）第六條第一項ノ規定ニ依リ一定ノ行爲ノ禁止又ハ制限ヲ爲シタルトキハ禁止又ハ制限ヲ揭ゲル事項及前條第一號及第二號ニ揭ゲル事項ヲ朝鮮總督府官報ヲ以テ告示シ且當該物件又ハ土地ノ所有者、管理者又ハ占有者ニ通知スベシ但シ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ保存上必要ト認ムルトキハ告示セザルコトヲ得

第三條　寶物、古蹟、名勝及天然記念物ニ付テハ朝鮮總督府ニ其ノ臺帳ヲ備フ

第四條　當該官吏保存會第三條ノ規定ニ依ル行爲ヲ爲サントスルトキハ豫メ其ノ旨ヲ關係物件又ハ土地ノ所有者、管理者又ハ占有者ニ通知スベシ

日出前又ハ日沒後ニ於テハ占有者ノ承諾ア

ルニ非ザレバ保存會第三條ノ規定ニ依ル臨内ニ立入ルコトヲ得ズ

第五條　當該官吏保存會第三條ノ規定ニ依ル行爲ヲ爲ストキハ別記樣式ノ證票ヲ携帶スベシ

第六條　寶物ノ輸出又ハ移出ノ許可ヲ受ケントスルトキハ所有者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　寶物ノ指定番號、名稱及員數

二　輸出又ハ移出ヲ必要トスル事由

三　輸出又ハ移出ノ期間

四　輸出港又ハ輸出地

五　輸出先又ハ移出先

六　荷造運搬ノ方法

七　輸出又ハ移出ノ期間中ニ於ケル保管ノ方法

八　保險ノ方法

九　摸寫、模造等ニ關シ定メタル事項アラバ其ノ事項

前項ニ揭ゲル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第七條　前條第一項ノ規定ニ依リ寶物輸出ノ許可ヲ受ケタル者當該寶物ヲ輸出セントスルトキハ輸出申告ノ際輸出許可書ヲ稅關ニ呈示スベシ

第八條　寶物ヲ輸出又ハ移出シタル者當該寶物ヲ輸入又ハ移入シタルトキハ七日内ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第九條　保存會第五條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數

二　現狀ヲ變更シ又ハ保存ニ影響ヲ及ボスベキ行爲ヲ必要トスル事由

三　現狀ノ變更又ハ保存ニ影響ヲ及ボスベキ行爲ヲ必要トスル事由

四　著手及竣功ノ豫定時期

第十條　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ所有者、管理者又ハ占有者其ノ氏名又ハ住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱又ハ主タル事務所ノ所在地）ニ變更アリタルトキハ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ變更ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第十一條　保存會第六條第二項ノ規定ニ依リ補助ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數

二　補助ヲ必要トスル事由

三　施設ニ關スル工費豫算、設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣功ノ豫定時期

第十二條　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ所有者、管理者又ハ占有者其ノ氏名又ハ住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱又ハ主タル事務所ノ所在地）ニ變更アリタルトキハ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ變更ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ所有者、管理者又ハ占有者ニ變更アリタルトキハ新ナル所有者、管理者又ハ占有者ヨリ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ變更ノ事實ヲ證スルニ足ル書面ヲ添ヘ變更ノ日ヨリ十四日内ニ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第十三條　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物滅失若ハ毀損シ又ハ現狀ニ變更アリタルトキハ其ノ所有者、管理者又ハ占有者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告シ且當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ遲滯ナク朝鮮總督ニ申請スベシ

前項ノ場合ニ於テ寶物ヲ輸出又ハ移出シタルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ通知スベシ

第十四條　保存會第九條ノ規定ニ依リ出陳シタル寶物其ノ出陳中滅失若ハ毀損シ又ハ其ノ現狀ニ變更アリタルトキハ當該博物館又ハ美術館ハ其ノ事由、實況竝ニ當該寶物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十五條　保存會第九條ノ規定ニ依リ出陳シタル寶物ノ出陳及返還ニ要スル荷造運搬費ハ當該博物館又ハ美術館ニ於テ之ヲ負擔スベシ

第十六條　保存會第九條ノ規定ニ依リ出陳シタル寶物ノ出陳中滅失若ハ毀損シ又ハ其ノ現狀ニ變更アリタルトキハ當該博物館又ハ美術館ハ其ノ事由、實況竝ニ當該寶物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告シ且當該寶物ノ所有者ニ通知スベシ

第十七條　保存會第十條ノ規定ニ依リ補給金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由竝ニ當該寶物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ遲滯ナク朝鮮總督ニ申請スベシ

前項ノ補給金ハ寶物一件ニ付一年三圓以上六十圓以下トシ其ノ額ハ朝鮮總督之ヲ定ム

前項ノ補償ハ通常生ズベキ損害ニ限リ之ヲ爲スモノトシ其ノ額ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十八條　保存會第十一條ノ規定ニ依リ補償原因ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ損害ノ發生ノ日ヨリ三月内ニ朝鮮總督ニ申請スベシ

前項ノ補給金ハ寶物一件ニ付一年三圓以上六十圓以下トシ其ノ額ハ朝鮮總督之ヲ定ム

前項ノ補償ハ通常生ズベキ損害ニ限リ之ヲ爲スモノトシ其ノ額ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十九條　朝鮮總督保存會第十三條第一項ノ規定ニ依リ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

物ノ管理ヲ爲サシムルトキハ之ヲ當該寶物古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ所有者、管理者又ハ占有者ニ通知ス

第二十條　保存令第十三條第一項ノ規定ニ依リ管理スル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物滅失若ハ毀損シ又ハ其ノ現狀ニ變更アリタルトキハ當該地方公共團體ハ其ノ事由、實況竝ニ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告シ且當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ所有者、管理者又ハ占有者ニ通知スベシ

第二十一條　保存令第十三條第一項ノ規定ニ依リ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ管理ヲ爲ス地方公共團體ハ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ付觀覽料ヲ徵收スルコトヲ得

第二十二條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助ヲ受ケントスルトキハ當該地方公共團體ハ其ノ事由及當該年度管理費豫算竝ニ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

第二十三條　寺刹其ノ所有ニ屬スル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ヲ維持修理スルコト能ハザルトキハ朝鮮總督ハ之ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得

朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ寺刹以外ノ者ノ所有ニ屬スル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ付前項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數

二　補助ヲ必要トスル事由

三　維持修理ニ關スル工費豫算、設計仕樣書、計畫圖及寫眞

四　著手及竣功ノ豫定時期

第二十四條　第十一條又ハ前條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者其ノ維持修理ニシテ政府ノ會計年度内ニ其ノ工事ヲ終ラザルモノニ在リテハ尚竣工ニ至ル迄ノ間毎會計年度工費ノ收支計算及工事ノ進行狀況ヲ會計年度經過後二月内ニ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第二十九條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ設計仕樣書ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第二十八條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ施設又ハ維持修理ニ關スル工費豫算ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十七條　朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ設計仕樣書ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第二十六條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ關シ國他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　土地ノ所有者タルコト又ハ土地ノ所有者及關係人ノ承諾ヲ得タルコトヲ證スルニ足ル書面

六　由來又ハ傳說

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第三十六條　貝塚、古墳、寺址、城址、窯址其ノ他ノ遺蹟ヲ認ムベキモノヲ發掘シ又ハ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　土地ノ所有者タルコト又ハ土地ノ所有者及關係人ノ承諾ヲ得タルコトヲ證スルニ足ル書面

六　由來又ハ傳說

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第三十七條　貝塚、古墳、寺址、城址、窯址其ノ他ノ遺蹟ヲ認ムベキモノヲ發掘シ又ハ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ二月内ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第三十八條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他ノ遺蹟ヲ認ムベキモノヲ發掘シ又ハ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

第三十九條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀變更ノ許可ヲ受ケタル者其ノ發掘其ノ他現狀ノ變更ヲ終リタルトキハ實施仕樣書及圖面竝ニ埋藏物ノ類ヲ發見シタルトキハ其ノ狀況ヲ具シ二月内ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第四十條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀變更ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　工事竣工ノ豫定時期

三　詐欺其ノ他不正ノ手段ヲ以テ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ

四　發掘ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第四十一條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第四十二條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第四十三條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第四十四條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第四十五條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第四十六條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第四十七條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第四十八條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第四十九條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第五十條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

二　怠慢ニ因リ寶物ヲ滅失又ハ毀損スルニ至ラシメタルトキ

三　許可ヲ受ケズシテ寶物ヲ寺刹外ニ搬出シタルトキ

四　許可ヲ受ケズシテ寶物ヲ揭拓、模寫若ハ模造シ、揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認シタルトキ

第三十九條　第八條、第十條、第三十一條第一項、第三十三條又ハ第三十六條ノ規定ニ違反シ同出ヲ爲サザル者ハ科料ニ處ス

第四十條　本令ノ朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

古蹟及遺物保存規則ハ之ヲ廢止ス

別記樣式

十センチメートル

表　六センチメートル　裏面

第　號

寶物古蹟名勝
天然記念物調査員之標

官　氏　名

年　月　日

朝鮮總督府印

朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行手續

朝鮮總督府所屬官署

朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行ノ日

●朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行手續

昭和八年十二月
總訓第四十二號

朝鮮總督府訓令

朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行手續ヲ別冊ノ通定ム

朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行手續

第一條　道知事ハ朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令（以下單ニ保存令ト稱ス）第一條ノ規定ニ依リ指定ノ必要アリト認ムル物アルトキハ左ノ事項ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

一　名稱、員數及所在地

二　地域ノ地番、地目及地積

三　所有者、管理者及占有者ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱及主タル事務所ノ所在地）

四　品質、形狀、構造及大サ

五　現狀

六　保存上必要ト認メラルル事項

七　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第二條　道知事保存令第六條第一項ノ規定ニ依リ一定ノ行爲ノ禁止若ハ制限ヲ爲シ又ハ必要ナル施設ヲ命ズルノ必要アリト認ムルトキハ左ノ事項ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

一　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數

二　禁止又ハ制限スベキ事項

三　施設ノ概要及經費竝ニ補助ノ必要ノ有無

第三條　道知事朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行規則（以下單ニ規則ト稱ス）第二十九條ノ規定ニ依リ補助金ノ全部若ハ一部ノ交付ヲ停止若ハ廢止シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ必要アルトキハ左ノ事項ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

一　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數

二　補助ヲ必要トスル事由

三　現狀

四　保存上必要ト認メラルル事項

五　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第四條　朝鮮總督ノ保存令第六條第一項ノ規定ニ依ル禁止若ハ制限又ハ必要ナル施設ノ命令ニ關スル權限ハ道知事ニ委任ス

第五條　道知事ハ保存令第七條ノ規定ニ依リ寶物ノ管理ヲ爲サシムルトキハ之ヲ當該寶物古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ所有者、管理者又ハ占有者ニ通知ス

第六條　保存令第十三條第一項ノ規定ニ依リ管理スル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物滅失若ハ毀損シ又ハ其ノ現狀ニ變更アリタルトキハ當該地方公共團體ハ其ノ事由、實況竝ニ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告シ且當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ所有者、管理者又ハ占有者ニ通知スベシ

第七條　保存令第十三條第一項ノ規定ニ依リ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ管理ヲ爲ス地方公共團體ハ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ付觀覽料ヲ徵收スルコトヲ得

第八條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助ヲ受ケントスルトキハ當該地方公共團體ハ其ノ事由及當該年度管理費豫算竝ニ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

第九條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助ヲ受ケントスル寺刹ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　寶物ノ指定番號、名稱及員數

二　補助ヲ必要トスル事由

三　維持修理ニ關スル工費豫算、設計仕樣書、計畫圖及寫眞

四　著手及竣功ノ豫定時期

第十條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助ヲ受ケントスル寺刹以外ノ者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數

二　補助ヲ必要トスル事由

三　維持修理ニ關スル工費豫算、設計仕樣書、計畫圖及寫眞

四　著手及竣功ノ豫定時期

第十一條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十二條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十三條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十四條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十五條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十六條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十七條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十八條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十九條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十一條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十二條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十三條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十四條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十五條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十六條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十七條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十八條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十九條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第三十條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第三十一條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第三十二條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第三十三條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第三十四條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第三十五條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　遺蹟ヲ認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地

二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由

三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕樣書及計畫圖

四　著手及竣工ノ豫定時期

五　捐拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

前項ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第三十六條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ他現狀

第十六輯

産業

第一項、第九條、第十三條第一項若ハ第十八條第一項又ハ規則第三十二條若ハ第三十四條ノ規定ニ依ル指令ヲ傳達スルトキ

三　規則第三十一條第二項ノ規定ニ依ル管理方法ノ變更命令又ハ管理方法ノ指定ヲ傳達スルトキ

四　規則第八條、第十二條乃至第十四條、第二十條、第三十一條第一項、第三十二條又ハ第三十七條ノ規定ニ依ル届出又ハ報告ヲ進達スルトキ

五　前條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキ

第十一條　警察官署ニ於テ埋藏物ニシテ石器、骨角器、土器、陶磁器、耳飾、瓔珠、帶金具、勾玉、刀劍、矛利金具、石塔、石燈、石碑、墓誌、綰靑、彫劍、瓦塼其ノ他學術技藝又ハ考古ノ資料ニ供スベキモノト認メラルル物件發見ノ届出ヲ受ケタルトキハ警察署長ハ左ノ事項ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

一　種類及員數

二　構造及品質

三　現狀

四　發見ノ場所

五　發見ノ事情

六　發見ノ年月日及届出ノ年月日

七　發見シタル土地ノ所有者ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱及主タル事務所ノ所在地）

八　發見者ノ氏名及住所

九　由來又ハ傳說

第十二條　前條ノ報告アリタルトキハ審査ノ上學術技藝又ハ考古ノ資料ニ供スベキモノナルヤ否ヤヲ決定シ其ノ旨ヲ當該警察署長ニ通知ス

前項ノ審査上必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ當該警察署長ニ現品ノ送付ヲ命ズルコトアルベシ

第十三條　前條第一項ノ規定ニ依リ學術技藝又ハ考古ノ資料ニ供スベキモノト決定シタル物件ニシテ國庫ニ歸屬シタルモノハ當該警察署長ニ於テ之ヲ朝鮮總督ニ送付スベシ

第十四條　沒收、還付不能其ノ他ノ事由ニ依リ國庫ニ歸屬シタル石器、骨角器、土器、陶磁器、耳飾、瓔珠、帶金具、勾玉、刀劍、矛利金具、石塔、石燈、石碑、墓誌、綰靑、彫劍、瓦塼其ノ他學術技藝又ハ考古ノ資料ニ供スベキモノト認メラルル物件ニ付テハ檢事局ノ長（檢事分局ノ長ヲ含ム）又ハ警察署長ニ於テ其ノ概況ヲ朝鮮總督ニ報告シ其ノ通知ヲ俟テ之ヲ處分スベシ

●朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會議事規則

昭和八年十二月總訓第四十三號

朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會議事ニ關シテハ朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會議事規則ニ依ル

第一條　朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會ノ第一部及第二部ヲ置ク

第一部ニ於テハ名勝及天然記念物ニ關スル事項ヲ掌ル

第二部ニ於テハ古蹟及古蹟ニ關スル事項ヲ掌ル

第二條　部ノ議決ハ之ヲ保存會ノ議決ト看做ス

第三條　委員及臨時委員ノ部屬ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

第四條　總會及部會ハ會長之ヲ招集ス但シ部會ニ於テ議決スベキ事件ニシテ輕易ナルモノニ付テハ會議ヲ開カズ書面ヲ以テ其ノ委員及臨時委員ノ意見ヲ聽キ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ之ヲ其ノ部ノ意見ト看做スコトヲ得

會長ハ總會及部會ノ議長ト爲リ會議ヲ開閉シ議事ヲ整理ス

第五條　總會ハ各部ノ委員及臨時委員ヲ合セ其ノ半數以上、部會ハ其ノ部ノ委員及臨時委員ヲ合セ其ノ半數以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ但シ急ヲ要スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　議事ハ出席シタル委員及臨時委員ヲ合セ其ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第七條　委員又ハ臨時委員建議案ヲ提出セントスルトキハ其ノ案ヲ具シ總會ニ在リテハ五人以上、部會ニ在リテハ三人以上ノ賛成者ト連署シテ之ヲ議長ニ差出スベシ

第八條　幹事ハ會議錄ヲ作製シ關係書類ト共ニ之ヲ保存スベシ

第九條　本令ニ規定スルモノノ外保存會ノ議事ニ關シ必要ナル事項ハ會長之ヲ定ム

第十六輯　産業

第一章　農業

第一款　農事

○自作農民ノ保護培殖ニ關スル件（大正元、一一、總訓一三）……一
○米作ノ改良奬勵ニ關スル件（明治四五、三、總訓一〇）……一
○陸地棉栽培奬勵ニ關スル件（明治四五、三、總訓八）……一
○水稻採種奮補助規程（大正一一、六、總令九）……二
○植桑奬勵補助規程（大正一四、六、總令七、一）……二
○朝鮮農地令（昭和九、四、制令五）……三
○朝鮮農地令施行規則（昭和九、九、總令九三）……四

第二款　農會

○朝鮮農會令（大正一五、一、制令二）……五
○農會法（大正一一、四、法律四〇）……五
○朝鮮農會令施行規則（大正一五、一、總令三）……八

第三款　農業倉庫

○朝鮮農業倉庫令（昭和六、七、制令一四）……九
○朝鮮農業倉庫業令施行規則（昭和六、七、總令九六）……一〇
○朝鮮農業倉庫業令第二條第二項ノ物品指定（昭和六、九、總告四一八）……一一
○移出米穀倉庫營業補助規則（昭和六、一一、總令一四九）……一一

第四款　害蟲驅除豫防

○害蟲驅除豫防規則（大正二、一、總令一）……一三
○害蟲驅除豫防規則第二條第一項ニ依リ驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法（大正二、一、總告九）……一五

第五款　肥料

○朝鮮肥料取締令（昭和二、九、制令一四）……一三
○肥料取締法（明治四一、四、法律五一）……一四
○朝鮮肥料取締令施行規則（昭和二、九、總令八七）……一四
○朝鮮肥料取締令ニ依ル肥料又ハ製造原料ノ收去、分析及鑑定方ニ關スル件（昭和二、一二、總訓三七）……一六
○朝鮮總督府農事試驗場肥料又ハ製造原料分析及鑑定規則（昭和三、二、總令六）……一七

第六款　米穀

○米穀統制法ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件（昭和八、一〇、勅令二七九）……一八
○米穀統制法（昭和八、三、法律二四）……一八
○米穀統制法施行令（昭和八、一〇、勅令二八〇）……一八
○米穀統制法第九條ノ規定ニ依リ米穀其ノ他ノ輸入稅增加ノ件（昭和八、一〇、勅令二八三）……二〇
○米穀統制法第七條ノ規定ニ依ル米穀ノ輸入又ハ檢出ノ制限ニ關スル件（昭和八、一一、總令一二九）……二〇
○米穀自治管理法（昭和一一、五、法律二二）……二〇

第七款　穀物及叺檢查

○朝鮮穀物檢查令（昭和七、九、制令二）……二三
○朝鮮穀物檢查令施行規則（昭和七、九、總令九一）……二四
○朝鮮穀物檢查令第一條ニ規定スル指定地及當該指定地ニ於テ檢查ヲ受クヘキ穀物（昭和一〇、九、總告五四五）……二三
○朝鮮穀物檢查令施行規則第二十三條ニ規定スル指定地（昭和一〇、九、總告五四六）……二四
○朝鮮穀物檢查令第一條ニ規定スル指定地及當該指定地ニ於テ檢查ヲ受クヘキ穀物（昭和七、九、總令一〇〇）……二四
○朝鮮叺檢查規則（昭和七、九、總令一〇一）……二五
○朝鮮叺檢查規則第一條第一項ニ規定スル指定地區及指定地（昭和一〇、九、總告五四七）……二七

第八款　蠶絲業

○朝鮮蠶業令（大正八、四、制令一〇）……五四
○朝鮮蠶業令施行期日（大正八、四、總令七九）……五五
○朝鮮蠶業令施行規則（大正八、四、總令八〇）……五五
○朝鮮蠶業令施行事務取扱規程（大正八、四、總訓一四）……六〇
○朝鮮蠶業令施行心得（大正八、四、總告九八）……六〇
○原蠶種配付規程（大正一〇、六、總告一四二）……六一
○道原蠶種製造所及蠶業取締所設置ニ關スル件（大正八、四、總令八三）……六二
○蠶業改良奬勵ニ關スル件（明治四五、三、總訓一）……六三
○朝鮮製絲業令（昭和一〇、八、制令一一）……六三
○朝鮮製絲業令施行規則（昭和一〇、一〇、總令一二七）……六三

第九款　畜産

○畜牛ノ改良增殖ニ關スル件（明治四五、三、總訓九）……六五
○牛種ノ保存及改良ニ關スル件（大正三、一二、總訓七〇）……六五
○保護牛規則（大正五、七、總令五五）……六五

第十款　競馬

○朝鮮競馬令（昭和七、一〇、制令三）……六六
○朝鮮競馬令施行規則（昭和七、一二、總令一二九）……六七

第十一款　植物檢查

○朝鮮輸移出入植物檢查規則（昭和八、八、總令七九）……六八
○朝鮮輸移出入植物檢查規則ニ依リ檢查ヲ行フ稅關（昭和八、八、總告三九五）……七一
○朝鮮輸移出入植物檢查規則第一條ニ依リ檢查ヲ受クヘキ植物（昭和八、八、總告三九四）……七二
○朝鮮輸移出入植物檢查規則ニ依リ許可ヲ受クヘキ植物及病菌又ハ害蟲ノ附著セル虞アル物（昭和八、九、總告四五六）……七二
○輸出柑橘ノ取締ニ關スル件（昭和一〇、一一、總令一三九）……七三

第二章　商業　工業

第一款　銀行　金融組合　無盡業

○**銀行令**（昭和三、一二、制令六）……一二
○銀行令施行規則（昭和三、一二、總令八〇）……一四
○銀行令第三十七條ノ規定ニ依ル銀行ノ特例（昭和三、一二、總令八一）……一八
○**朝鮮銀行法**（明治四四、三、法律四八）……一八
○朝鮮銀行法施行期日（明治四四、七、勅令二三）……二〇
○朝鮮銀行法第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ職務ニ屬スル事項ヲ朝鮮總督ヲシテ行ハシムル件（大正一三、八、勅令二〇二）……二五
○**朝鮮殖産銀行令**（大正七、六、制令七）……二〇
○朝鮮殖産銀行令第二十六條ノ銀行指定（大正八、七、總告一八四）……二五
○**朝鮮不動産融資及損失補償令**（昭和七、一、制令四）……二五
○朝鮮不動産融資及損失補償令第一條ニ依ル資金融通ニ關スル件（昭和八、二、總令二〇）……二五
○昭和八年朝鮮總督府令第二十號第四條ノ利率及遲延利息ノ割合（昭和八、二、總告三〇）……二四
○**貯蓄銀行令**（昭和三、一二、制令七）……二四
○貯蓄銀行令施行規則（昭和四、六、總令六二）……二五
○韓國銀行條例ニ定メタルモノノ外政府ノ認可ヲ受クヘキ事項ニ付命令（隆熙三、一一、度令六七）……二七
○日本銀行特別融通及損失補償法（昭和二、五、法律五五）……二七
○日本銀行特別融通及損失補償法第一條ニ依ル特別融通ニ關スル規程（昭和二、五、大令一二）……二七
○**金融組合令**（大正三、五、制令二二）……二八
○金融組合令施行期日（大正三、八、總令一二〇）……二二
○金融組合業務監督規程（昭和四、四、總令三八）……二二
○金融組合第五條第二項ノ規定ニ依ル市街地指定（昭和六、九、總告四五）……二三
○金融組合令第九條第一項ノ規定ニ依リ指定銀行（大正七、一〇、總告二三〇）……二七
○金融組合業務監督規程ニ依ル有價證券指定（昭和四、六、總告二二〇）……二七
○金融組合理事及副理事服務及懲戒規程（大正一四、一二、總訓五〇）……二七
○金融組合理事及副理事身元保證金規程（昭和二、一、總訓二）……二八
○金融組合員ノ負債整理ニ關スル件（昭和七、一一、總令一一）……二八
○**朝鮮金融組合聯合會令**（昭和八、八、制令七）……二八
○朝鮮金融組合聯合會令第三條ノ規定ニ依ル金融組合聯合會指定（昭和八、八、總告四一三）……三〇
○朝鮮金融組合聯合會令施行規則（昭和八、八、總令一二）……三〇
○朝鮮金融組合聯合會令第十七條ノ規定ニ依ル銀行（昭和八、八、總告四〇九）……三一
○朝鮮金融債券規則（昭和八、八、總令四四）……三一
○朝鮮金融組合聯合會令第十三條ノ規定ニ依リ朝鮮金融組合聯合會ノ一部ヲ道知事ニ委任スル件（大正三、九、總令一三六）……三三
○金融組合令第九條ニ依ル指定銀行（大正七、一〇、總告二三〇）……三三
○金融組合業務監督規程ニ依ル有價證券指定（昭和四、六、總告二二〇）……三三
○金融組合理事及副理事服務及懲戒規程（大正一四、一二、總訓五〇）……三三
○金融組合理事及副理事身元保證金規程（昭和二、一、總訓二）……三四
○金融組合員ノ負債整理ニ關スル件（昭和七、一一、總令一一）……三四
○朝鮮金融組合聯合會令（昭和八、八、制令七）……三四
○朝鮮金融組合聯合會令第三條ノ規定ニ依ル金融組合聯合會指定（昭和八、八、總告四一三）……三五
○朝鮮金融組合聯合會令施行規則（昭和八、八、總令一二）……三五
○朝鮮無盡業令（昭和六、六、制令八）……三六
○朝鮮無盡業令施行規則（昭和六、六、總令七五）……三六
○朝鮮無盡業令第四十三條ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ職權ノ一部ヲ道知事ニ委任スル件（大正三、九、總令一三六）……三七
○會社令廢止ニ關スル件（大正九、四、制令七）……三七
○會社令施行規則（明治四三、一二、總令六六）……三七

第二款　會社

○會社令廢止ニ關スル件（大正九、四、制令七）……三七
○會社令施行規則（明治四三、一二、總令六六）……三七

第三款　取引所　市場

○朝鮮取引所令（昭和六、五、制令五）……三七
○朝鮮取引所令施行規則（昭和六、九、總令一〇八）……三九
○朝鮮取引所令施行規則ニ依ル取引所ノ地區指定（昭和六、九、總告四一七）……三九
○朝鮮正米市場規則（昭和六、九、總令一一〇）……三九

第四款　商工會議所

○朝鮮商工會議所令（昭和五、五、制令四）……三一
○朝鮮商工會議所令施行規則（昭和五、一一、總令九五）……三三
○朝鮮商工會議所令施行規則ニ依リ特別議員ヲ設ク商工會議所及其ノ定數（昭和五、一二、總告五二〇）……三三
○朝鮮商工會議所議員選舉規則（昭和五、一二、總令一一〇）……三三

第五款　信託業

○朝鮮信託業令（昭和六、六、制令八）……三八
○朝鮮信託業令施行規則（昭和六、九、總令一一五）……三四〇
○朝鮮商工會議所令施行規則ニ規定スル補足契約ノ最高利益歩合（昭和六、九、總告四四五）……三四
○擔保附社債信託法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件（大正九、一一、勅令三三三）……三四
○擔保附社債信託法（明治三八、三、法律五二）……三四
○擔保附社債信託法施行規則（大正九、一一、總令一八四）……三四一

第六款　商品券取締

○朝鮮商品券取締令（昭和八、一、制令一）……三四
○商品券取締法（昭和七、九、法律二八）……三四
○朝鮮商品券取締令施行規則（昭和八、一、總令五）……三四
○朝鮮商品券取締令施行規則第八條第二項ニ依ル百貨店（昭和八、二、總告四九）……三五

第七款　輸出品檢査　不正競爭防止

○朝鮮重要輸出品檢査規則（昭和一〇、四、總令五）……三五
○朝鮮重要輸出品檢査規則ノ規定ニ依ル重要輸出品指定（昭和一〇、四、總告二六九）……三五

朝鮮重要輸出品檢査標準（昭和一〇、四、總告二七〇）……三五
○朝鮮不正競爭防止令（昭和九、二、制令二四）……三五
○不正競爭防止法（昭和九、三、法律一四）……三七
○朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ國ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章等指定ニ關スル件（昭和一〇、三、總告一四三）……三七
○朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ國ノ紋章及旗章指定（昭和一〇、三、總告一四四）……三七
○朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章指定（昭和一〇、三、總告一四五）……三七

第八款　貿易調節

○昭和九年法律第四十五號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件（昭和九、四、勅令一一八）……三一〇
○貿易調節及通商擁護ニ關スル法律（昭和九、四、法律四五）……三一〇
○昭和九年法律第四十五號第一條ノ規定ニ依ル輸入制限等ニ關スル件（昭和一一、六、勅令一二四）……三一〇
○昭和十一年勅令第百二十四號ノ施行手續ニ關スル件（昭和一一、六、總令四八）……三一一
○昭和十一年勅令第百二十四號第一條第一項ニ規定スル國（昭和一一、六、總告三七〇）……三一二
○昭和十一年朝鮮總督府令第四十八號ノ規定ニ依ル申請書及屆書ノ樣式（昭和一一、六、總告三七一）……三一三

第九款　工業

○朝鮮總督府中央試驗所試驗、分析及鑑定規則（昭和七、一〇、總令一〇六）……三一三

第三章　鑛業

○朝鮮鑛業令（大正四、一二、制令八）……三一五
○朝鮮鑛業令施行期日（大正五、二、總令八）……三一八
○朝鮮鑛業令施行規則（大正五、二、總令九）……三一八

第四章　漁業

第一款　漁業

○朝鮮漁業令（昭和四、一、制令一）……三二五
○朝鮮漁業令施行規則（昭和四、一二、總令一一）……三二五

（大正十五年制令第八號附則第三項ノ規定ニ依リ採掘ヲ繼續スルコトヲ得ル土地ニ付同項ノ規定ニ依ル出願手續（大正一五、五、總令四六）……三二九
○昭和八年制令第二號附則第二項ノ規定ニ依ル出願手續（昭和八、一、總令一二）……三二九
○石油業法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件（昭和九、六、勅令一九八）……三二九
○石油業法施行令（昭和九、六、勅令一九九）……三二九
○石油業法施行規則（昭和九、六、總令六八）……三三〇
○石油業法施行令第六條ノ特例ニ關スル件（昭和一〇、九、勅令二七二）……三三〇
○昭和十年勅令第二百七十二號ノ規定ニ依リ石油精製業者又ハ石油輸入業者ノ保有スヘキ石油ノ數量ニ關スル件（昭和一〇、九、總令一一一）……三三一
○朝鮮漁業令施行規則（昭和四、一二、總令一一三）……三三一
○朝鮮漁業登錄規則（昭和四、一二、總令一一四）……三三五
○朝鮮漁業登錄規則ニ依リ登錄官廳ニ差出スヘキ漁業ニ關スル登錄申請書ノ調製心得及書式（昭和五、四、總告一八五）……三三七
○朝鮮總督府水產試驗場分析及鑑定規則（昭和七、一一、總令一一五）……三三六
○朝鮮漁業取締規則（昭和四、一二、總令一一六）……三三八
○朝鮮漁業保護取締規則（昭和四、一二、總令一一七）……三四四
○外國人ノ漁業ニ關スル規程（昭和四、一二、總令一一八）……三四六
○朝鮮漁業令施行規則第九條及第十五條第二項ノ漁業ノ名稱（昭和四、一二、總告四七七）……三四六
○明治四十四年朝鮮總督府告示第二百四十五號ノ改正ニ伴フ漁業ノ免許及漁業權ノ效果（昭和五、一、總令七）……三四七
○朝鮮漁業令施行規則第三十條第一項ノ規定ニ依ル漁業ノ指定（昭和四、一二、總告四八一）……三四七
○捕鯨漁業ノ操業區域及許可ノ定限數（昭和四、一二、總告四七八）……三四八
○機船底曳網漁業ノ操業區域及許可ノ定限數（昭和八、一一、總告五七七）……三四八
○漬水器漁業ノ操業區域及許可ノ定限數（昭和四、一二、總告四八〇）……三四八
○工船漁業ノ操業區域及許可ノ定限數（昭和五、四、總告一七八）……三四九
○漁業ニ關スル手數料規程（昭和四、一二、總令一一二）……三四九
○朝鮮漁業令施行規則ニ依リ交付スヘキ許可狀及鑑札ノ樣式（昭和四、一二、總告四八三）……三四九
○朝鮮漁業令施行規則ニ依リ行政官廳ニ差出スヘキ漁業ニ關スル願書、申請書、屆書及圖面ノ調製心得竝ニ其ノ樣式及圖式（昭和四、一二、總告四八二）……三五一
○漁業監督官吏ニ關スル規程（昭和四、一二、總令一一）……三五四
○朝鮮漁業令施行規則ニ依ル鑑定人、事實參考人及利害關係人旅費手當支給規程（昭和四、一二、總令一一三）……三五五
○朝鮮漁業登錄規則（昭和四、一二、總令一一四）……三五五

第二款　水產製品及水產物

○水產製品檢查規則（大正七、五、總令五六）……三五七
○水產製品檢查所ノ名稱及位置（大正一三、一二、總告二七八）……三五一
○朝鮮水產物罐詰製造營業取締規則（昭和五、九、總令七九）……三五二
○水產物冷藏奬勵補助規則（昭和二、八、總令七九）……三五三

第三款　水產會

○朝鮮水產會令（大正一一、一、制令一）……三五四
○水產會法（大正一〇、四、法律六〇）……三五五
○朝鮮水產會令施行規則（大正一一、二、總令二七）……三五六

第五章　狩獵

○狩獵規則（明治四四、四、總令四六）……三五七
○狩獵規則取扱手續（昭和二、九、總訓二三）……三六〇
○明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル件（明治四五、六、勅令一三五）……三六二
○臘虎膃肭獸獵獲禁止ニ關スル件（明治四五、四、法律二二）……三六三

第六章　組合

○朝鮮產業組合令（大正一五、一、制令二）……三六三
○朝鮮產業組合令施行規則（大正一五、一、總令四）……三六六
○朝鮮重要物產同業組合令（大正四、七、制令三）……三六七
○朝鮮重要物產同業組合令施行期日（大正四、八、總令八〇）……三六八
○朝鮮重要物產同業組合令施行規則（大正四、八、總令八一）……三六八
○朝鮮漁業組合規則（昭和四、一、總令一）……三六九

第七章　移住拓殖

○農地移住奬勵補助規則（昭和一〇、五、總令七四）……四〇〇
○東洋拓殖株式會社法（明治四一、八、法律六三）……四〇一
○鮮滿拓殖株式會社令（昭和一二、六、制令七）……四〇三

第八章　勸業

第一款　商工奬勵館

○朝鮮總督府商工奬勵館規則（昭和四、一二、總令四六七）……四〇四

第二款　奬勵

○製鐵業奬勵法ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スル件（大正一五、四、勅令五九）……四〇五
○製鐵業奬勵法（大正一五、四、法律三一）……四〇六
○昭和八年法律第四十八號製鐵業奬勵法中改正法律ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スル件（昭和八、九、勅令一〇）……四〇七
○朝鮮漁業組合業務規程（昭和四、一二、總令一一五）……四〇九
○朝鮮漁業組合規則第十五條第三項ノ規定ニ依ル漁業組合（昭和四、一、總告一）……四〇九
○朝鮮漁業組合規則ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル漁業組合ノ理事竝ニ漁業組合聯合會ノ理事及理事ノ身元保證ニ關スル件（昭和六、五、總令六一）……四〇九
○朝鮮漁業組合補助規則（大正一一、四、總令七四）……四〇九
○朝鮮水產組合規則（昭和四、一二、總令一一七）……四一〇
○朝鮮水產組合規則第六條第三項ノ規定ニ依ル水產組合指定（昭和一〇、二、總告四八）……四一八
○殖產奬勵令（昭和一〇、八、制令一二）……四一八
○殖產奬勵令施行規則（昭和一〇、一二、總令一四五）……四一九

第九章　特許　意匠　商標

第一款　特許

○特許法等ヲ朝鮮ニ施行スル件（明治四三、八、勅令三三五）……四二〇
○特許法（大正一〇、四、法律九六）……四二〇
○特許法等改正法律施行期日（大正一〇、一二、勅令四五九）……四二七
○特許法施行令（大正一〇、一二、勅令四六〇）……四二七
○特許法施行規則（大正一〇、一二、農商令三三）……四二八
○特許登錄令（大正一〇、一二、勅令四六一）……四三三
○特許登錄令施行規則（大正一〇、一二、農商令三九）……四三五
○辨理士法ヲ朝鮮及臺灣ニ施行スル件（大正一一、一、勅令九）……四三九
○辨理士法（大正一〇、四、法律一〇〇）……四三九
○辨理士法施行令（大正一〇、一二、勅令四六六）……四三〇
○韓國特許辨理士令ニ依ル登錄ハ特許辨理士令ニ依ル登錄ト看做スノ件（明治四三、八、勅令三九）……四三一
○工業所有權戰時法ヲ朝鮮及臺灣ニ施行ノ件（大正六、九、勅令一四三）……四三一
○工業所有權戰時法（大正六、七、法律二一）……四三一
○工業所有權戰時法施行期日（大正六、九、勅令一四〇）……四三一
○工業所有權戰時法施行令（大正六、九、勅令一四一）……四三二
○工業所有權戰時法施行規則（大正六、九、農商令二二）……四三三
○工業所有權戰時法登錄令（大正六、九、勅令一四二）……四三三
○工業所有權戰時法登錄令施行規則（大正六、九、一、勅令一〇）……四三四
○製鐵業奬勵法施行令（大正一五、四、勅令五八）……四三四
○製鐵業奬勵法施行規則（大正一五、五、總令四五）……四三九

○工業所有權戰時法ニ依ル專用權ニ關スル件（大正九、一、勅令九）……四三五
○平和條約ノ實施ニ伴フ流通證券及工業所有權ニ關スル件（大正九、三、法律一）……四三五
○特許法、意匠法及實用新案法ヲ朝鮮ニ施行スルコトニ關スル件（明治四三、八、勅令三三六）……四三五
○特許、意匠、商標及實用新案ニ關スル手數料ノ件（大正一〇、一二、勅令四六五）……四三五
○特許出願ニ關スル明細書及圖面測製標準（大正一〇、一二、農商告三一〇）……四三四
○特許法施行規則等ニ依ル請求、申請及屆出ニ關スル手數料（大正一〇、一二、農商令三七）……四三五
○特許登錄令第十三條ノ規定ニ依ル滅失特許原簿回復規則（大正一二、一〇、農商令臨六）……四三五
○滅失シタル實用新案原簿ノ回復ニ關スル件（大正一二、一〇、農商令臨七）……四三六
○滅失シタル意匠原簿ノ回復ニ關スル件（大正一二、一〇、農商令臨八）……四三六
○滅失シタル商標原簿ノ回復ニ關スル件（大正一二、一〇、農商令臨九）……四三六

第二款　意匠

○意匠法（大正一〇、四、法律九八）……四三六
○意匠法施行規則（大正一〇、一二、農商令四三五）……四三九
○意匠登錄規則（大正一〇、一二、農商令四一）……四四〇
○意匠ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件（大正一〇、一二、勅令四六二）……四四〇

第三款　實用新案

○實用新案法（大正一〇、四、法律九七）……四四〇
○實用新案法施行規則（大正一〇、一二、農商令三四）……四四三
○實用新案ノ登錄ニ關スル件（大正一〇、一二、農商令四〇）……四四五
○軍事上秘密ヲ要スル實用新案竝實用新案ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件（大正一〇、一二、勅令四六三）……四四五

第十章　度量衡

○朝鮮度量衡令（大正一五、二、制令六）……四四九
○朝鮮度量衡令施行規則（大正一五、三、總令二五）……四五一
○度量衡器及計量器構造規則（大正一五、五、總令四三）……四五六
○朝鮮度量衡令施行規則第三十四條ニ依リ道知事ヲシテ檢定ヲ行ハシムル度量衡器（大正一五、四、總令三三）……四七〇
○度量衡器及計量器ノ種類、名稱及價格（昭和一一、五、總告三三）……四七〇
○政府ニ於テ販賣スル度量衡器及計量器ノ修覆材料ノ名稱及價格（昭和一一、五、總告三三）……四七二
○朝鮮度量衡令施行規則第十三條ノ宏託證様式（昭和三、四、總告一一〇）……四七四
○朝鮮ニ輸入又ハ移入シタル度量衡器又ハ計量器ノ檢定ニ關スル件（昭和三、九、總告三七一）……四七四
○修覆瓦斯メートル檢查費用徵收ノ件（昭和五、三、總告一三七）……四七七
○水氣メートルノ檢定費用ニ關スル件（昭和五、一一、總告四二五）……四七八

第四款　商標

○商標法（大正一〇、四、法律九九）……四四三
○商標法施行規則（大正一〇、一二、農商令三六）……四四三
○商標登錄規則（大正一〇、一二、農商令四二）……四四八
○商標ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件（大正一〇、一二、勅令四六四）……四四九
○商標法ヲ朝鮮ニ施行スルコトニ關スル件（明治四三、八、勅令三三七）……四四九
○關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ於ケル特許權、意匠權、商標權及著作權ノ保護ニ關スル件（明治四四、五、勅令一六七）……四四九

第十六輯　産業

第一章　農業

第一款　農事

●自作農民ノ保護増殖ニ關スル件

大正元年十一月
總訓第十三號
道　長　官

朝鮮ニ於ケル農事ノ改良ハ地方官廳ノ指導奬勵ト農家各自ノ覺醒トニ依テ漸次其ノ歩武ヲ進ムルニ至リタルコト洵ニ喜フヘシト雖此ノ際自作農民ノ保護増殖ニ就キ特ニ留意ヲ要スルモノアリ由來朝鮮農家ノ多數ハ小作及大地主ノ二階級ニ分レ多少ノ田畓ヲ有シテ自ラ耕種セル自作農民甚タ少ナク所謂社會組織ノ中堅ヲ缺如シ爲ニ産業ノ隆興ト社會ノ發展トヲ阻碍シ來レリ故ニ農事ヲ奬勵シテ堅實ナル發展ヲ促進セムト欲セハ勉メテ自作農民ヲ保護シ若ハ増殖セサルヲ可トス然ルニ近時土地策併ノ漸ク波生シ巨貲ヲ擁シテ農事經營ヲ慫慂シ若ニ土地ヲ買收スル者アリ或ハ投機ノ目的ヲ以テ奇利ヲ射ラムトシ隣隣ノ衆ニ出ツルモノアリ地價爲ニ昂騰シ一時ノ安逸ヲ貪ラムトスル中小農民ハ眼前ノ小利ニ遮ハサレテ百年ノ長計ヲ誤リ往往祖先傳襲ノ田畓ヲ放賣スルモノ遂日多カラムトスルノ傾向アリ是レ實ニ寒心スヘキノ至リナリ想フニ交通日ニ開ケ産業月ニ加ハルノ今日ニ際シテハ中小ノ農民タルモノ專ラ土地ノ保有ニ努メ一意稼穡ヲ勵マハ期セスシテ自家ノ富力ヲ倍蓰スルヲ得ヘシ事此ニ出テスシテ一時ノ小利ニ眩惑シ恆産ヲ失ヒ居處ヲ離レ自ラ求メテ流亡スルニ至ラハ曾ニ農民各自ノ不幸ノミナラス延テ一般農業ヲ萎靡シ益社會ノ組織ヲ薄弱ナラシメムトス故ニ地方長官ハ能ク這般ノ消息ニ鑑ミ兼併ヲ抑ヘ小農ヲ勵マシ誠意拂畜ニ從事セムトスル移住農民ニ對シテハ便宜保護ヲ與ヘ徒ラニ艱苦ヲ嘗メシムルニ至ラサル樣周到ノ注意ヲ爲スヘシ

●米作ノ改良奬勵ニ關スル件

明治四十五年三月
總訓第十號
道

勸業模範場

米作ハ朝鮮ニ於ケル農業ノ首位ヲ占メ其ノ産額ノ多寡ナル本土一般ノ需要ヲ充タスノ外内地ニ移出シ及外國ニ輸出スル數額亦夥カラス然ルニ農民ハ古來單ニ天惠ニ依賴シテ人力ニ由ル利用ノ方法ヲ閑却シタル結果品質ハ劣惡ニ流レ收穫ノ成績良好ナラス養ニ農業改善ノ急務ナルヲ認メ之カ必要ナル植林水利等各種ノ施設ヲ爲スト同時ニ米作改良上直接ニ須要ナル措置トシテ優良品種ノ配與、收穫後ノ乾燥調製ノ方法及肥料ノ使用等ニ關シ從來屢奬勵指導ノ方針ヲ示シタリト雖尚未タ充分ニ民心ニ徹底スルニ至ラサルノ遺憾ナシトセス米穀ハ日常ノ必須品ナルト共ニ重要ナル輸移出品トシテ他ノ雜穀ニ比シ一層其ノ改良ヲ促進スルニ勉メサルヘカラス而シテ之カ輸移出秩序ノ整否ハ實ニ國運ニ關スル重大事ニシテ之カ改良ノ目的ヲ以テ棉花栽培協合ト相應シ紡績原料トシテ優良ナル陸地棉ヲ南部地方ニ試作シ鋭意其ノ實績ヲ擧クルコトニ勉メタル結果陸地棉ノ品質收量繰綿歩合共ニ遙ニ在來棉ニ優レルヲ認メタルヲ以テ爾來幾多ノ試驗ヲ重ネ共ニ奬勵方法ヲ講シ數年ナラスシテ良好ナル成績ヲ觀ルニ至レリ乃チ明治三十九年ニ於ケル陸地棉作付段別四十五町歩其ノ栽培者僅ニ三百餘人ヲ出テサリシニ明治四十四年ニ至リ約二千七百町歩其ノ栽培者實ニ四萬餘人ノ多キニ達セリ著夫レ良好ナル種子ノ供給竪ニシテ之カ栽培指導其ノ宜シキヲ得ルニ於テハ陸地棉ノ擴張期シテ待ツヘキナリ

●陸地棉栽培奬勵ニ關スル件

明治四十五年三月
總訓第八號
道（黄海道、江原道、平安南道、平安北道、咸鏡北道ヲ除ク）

勸業模範場

朝鮮ノ風土ハ殆ト全般ニ亙リテ棉花ノ栽培ニ適スト雖在來ノ品種良好ナラサルニ依リ養ニ當局者ハ之カ改良ヲ圖ルノ目的ヲ以テ棉花栽培ヲ奬勵シ從來ノ實績ヲ擧クルニ勉メタル結果陸地棉ノ品質收量繰綿歩合共ニ遙ニ在來棉ニ優レルヲ認メタルヲ以テ爾來幾多ノ試驗ヲ重ネ共ニ奬勵方法ヲ講シ數年ナラスシテ良好ナル成績ヲ觀ルニ至レリ乃チ明治三十九年ニ於ケル陸地棉作付段別四十五町歩其ノ栽培者僅ニ三百餘人ヲ出テサリシニ明治四十四年ニ至リ約二千七百町歩其ノ栽培者實ニ四萬餘人ノ多キニ達セリ著夫レ良好ナル種子ノ供給竪ニシテ之カ栽培指導其ノ宜シキヲ得ルニ於テハ陸地棉ノ擴張期シテ待ツヘキナリ

鑑テ本年ヨリ奬勵ノ目的ヲ以テ左ノ要項ニ依リ陸地棉ノ栽培ヲ奬勵スルコトトセリ

一　優良ナル種子ノ普及

棉花ノ品種ハ其ノ纖維ノ長短ニ依リ大別シテ三種トス即チ纖維ノ長サ一寸以上ノモノヲ長棉ト稱シ一寸以下七分以上ノモノヲ中棉ト稱シ七分以下ノモノヲ短棉ト稱ス而シテ長棉ハ纖維ノ長キト強靭ナルトヲ以テ紡績原料トシテ最モ優良ナルモ栽培ノ難易ト收穫ノ多寡トヲ比較スレハ中棉ニ及ハサルヲ以テ一般ニ中棉ノ栽培ヲ奬勵シ長棉ハ特ニ適地ニ於テノミ栽培セシムルヲ可トス

陸地棉ハ中棉ニ屬スルモノニシテ其ノ纖維ノ長サ一寸乃至一寸一分ニシテ強靭ナルヲ以テ紡績原料トシテ最モ優良ナルヲ以テ奬勵ノ目的ヲ達スルニ最モ適當ナリ

陸地棉ニハ多數ノ品種アリト雖モ其ノ纖維ノ長サ強靭ノ程度收穫ノ多寡等ニ於テ優劣アリ且風土ニ適スルト否トニ依リ其ノ成績ニ著シキ差異ヲ生スルヲ以テ栽培ニ當リテハ必ス其ノ地方ニ適スル品種ヲ選ムヲ要ス

陸地棉ノ品種ハ其ノ種類甚タ多キヲ以テ一概ニ之ヲ列擧スルヲ得サルモ左ニ掲ケタル品種ハ概ネ纖維ノ長サ強靭ノ程度收穫ノ多寡等ニ於テ優良ナルヲ以テ奬勵ノ目的ヲ達スルニ最モ適當ナリ

一　Upland Cotton
二　Acala
三　Peterkin
四　Truitt
五　Rowden
六　Dixie Triumph
七　Cook
八　Mebane
九　Simpson
十　Wannamaker
十一　Lone Star
十二　Dallas
十三　Texas Big Boll
十四　Texas Storm Proof
十五　Texas Wonder
十六　Texas Red Rust Proof
十七　Texas Rust Proof
十八　Texas Prolific
十九　Texas Triumph
二十　Texas Peerless
二十一　Texas Pride
二十二　Texas Climax
二十三　Texas Standard
二十四　Texas Star
二十五　Texas Mammoth
二十六　Texas Record
二十七　Texas Improved
二十八　Texas Improved Big Boll
二十九　Texas Improved Prolific
三十　Texas Improved Rust Proof
三十一　Texas Improved Storm Proof
三十二　Texas Improved Wonder
三十三　Texas Improved Red Rust Proof
三十四　Texas Improved Peerless
三十五　Texas Improved Pride
三十六　Texas Improved Climax
三十七　Texas Improved Standard
三十八　Texas Improved Star
三十九　Texas Improved Mammoth
四十　Texas Improved Record

二　栽培ノ方法

（一）播種

播種ハ四月中旬ヨリ五月中旬ニ至ル間ニ於テ行フヲ可トス

播種ニ當リテハ種子ヲ一晝夜乃至二晝夜水ニ浸シ置キ其ノ膨脹シタルヲ待チテ播種スルヲ可トス

播種ノ方法ハ條播ト點播トノ二種アリ條播ハ畦ヲ作リ其ノ上ニ種子ヲ播キ點播ハ一定ノ間隔ヲ以テ種子ヲ播キ其ノ上ニ覆土ヲ爲スモノニシテ條播ハ點播ニ比シ種子ノ節約ヲ圖リ得ルノ利アリト雖モ除草ニ不便ナルノ缺點アリ點播ハ條播ニ比シ種子ノ節約ヲ圖リ得サルノ缺點アリト雖モ除草ニ便利ナルノ利アリ

播種ノ際ニ於ケル種子ノ分量ハ一反歩ニ付キ條播ニ在リテハ二升乃至二升五合點播ニ在リテハ一升乃至一升五合ヲ標準トス

播種ノ際ニ於ケル覆土ノ厚サハ一寸乃至一寸五分ヲ標準トス

（二）間引

間引ハ播種後二回乃至三回ニ分チテ行フヲ可トス

間引ノ際ニ於ケル株間ハ一株ニ付キ三本乃至四本ヲ殘スヲ標準トス

（三）除草

除草ハ播種後ヨリ收穫ニ至ル迄ニ少クトモ三回乃至四回ヲ行フヲ要ス

除草ハ晴天ノ日ニ行フヲ可トス

（四）灌漑

灌漑ハ播種後ヨリ收穫ニ至ル迄ニ少クトモ三回乃至四回ヲ行フヲ要ス

灌漑ハ晴天ノ日ニ行フヲ可トス

（五）施肥

施肥ハ播種後ヨリ收穫ニ至ル迄ニ少クトモ二回乃至三回ヲ行フヲ要ス

施肥ノ際ニ於ケル肥料ノ種類ハ大豆粕、菜種粕、人糞尿、堆肥、綠肥等ヲ適當ニ混合シテ施用スルヲ可トス

（六）收穫

收穫ハ莢ノ開裂シタルヲ見テ行フヲ可トス

三　病害蟲ノ豫防及驅除

病害蟲ノ豫防及驅除ハ播種後ヨリ收穫ニ至ル迄ニ少クトモ三回乃至四回ヲ行フヲ要ス

病害蟲ノ豫防及驅除ハ晴天ノ日ニ行フヲ可トス

四　收穫ノ調製

收穫ノ調製ハ莢ノ開裂シタルヲ見テ行フヲ可トス

收穫ノ調製ハ晴天ノ日ニ行フヲ可トス

五　種子ノ採收

種子ハ收穫ノ調製ニ當リ纖維ノ長サ強靭ノ程度收穫ノ多寡等ニ於テ優良ナル株ヲ選ミ其ノ種子ヲ採收スルヲ要ス

種子ハ晴天ノ日ニ採收スルヲ可トス

六　種子ノ貯藏

種子ハ乾燥シタル場所ニ貯藏スルヲ要ス

七　種子ノ交換

種子ハ其ノ地方ニ適スル品種ヲ選ムヲ要スルモ尚ホ其ノ種子ヲ交換スルヲ要ス

種子ノ交換

移出稙ナ全廃セムトス是レ皆陸地棉ノ普及ヲ奨勵セムトスル趣旨ニ外ナラス依テ左記要項ヲ實行シ官民歩調ヲ一ニシテ棉作ノ奨勵殊ニ陸地棉ノ普及ニ努メムヘシ

陸地棉栽培ノ奨勵　棉作ニ關スル講話誘習ヲ慫シ或ハ品評會ヲ開キ以テ陸地棉ノ栽培ヲ勸誘スルハ勿論率先シテ陸地棉ヲ栽培セムトスル者ニハ種子ヲ給與シ或ハ熱心ニ陸地棉ノ栽培ニ從事スル篤農者ヲ表彰シ或ハ販賣ニ不便ナル地方ノ陸地棉ニ對シテハ便宜ノ市場迄ノ運賃ヲ補助シ或ハ肥料ヲ給與シテ施肥ノ效果ヲ發知セシムル等地方ニ適切ナル奨勵方法ヲ講スルコト

陸地棉種子ノ保存　朝鮮ノ風土ニ馴化セル陸地棉ノ種子ハ其ノ作付段別ノ擴張ニ伴ヒ得易キヲ以テ其ノ栽培者ヲシテ自ラ進ムテ自家採種用種子ノ保存ニ勉メシムルコト

陸地棉栽培ノ指導　陸地棉ノ栽培ヲ直接指導スルノ任ニ當ル者ハ勿論道廳、府郡衙及面事務所ノ職員ヲシテ懇切丁寧ニ栽培ノ方法及利益ヲ說示シ以テ農民ノ疑惑ヲ懷カシメサル樣注意スルコト

陸地棉栽培地ノ擴張　從來陸地棉栽培ノ中心トナレル全羅南道ニ於テ極力之カ奨勵ヲ圖ルハ勿論全羅北道、慶尙南北道、忠淸南北道ノ如キ陸地棉ノ栽培ニ適セル地域多キ地方ニ於テハ速ニ該棉ノ普及ヲ圖ラサルヘカラス然レトモ陸地棉種子ノ供給充分ナルニ至ル迄ハ在來棉ノ作付ヲ奨勵シ棉作段別ヲ擴張シ以テ他日陸地棉栽培ノ素地ヲ作ラシムルコト

朝鮮在來棉ノ栽培改良　朝鮮在來棉ハ其ノ收量及繰綿歩合ニ於テ陸地棉ニ劣ルト雖打綿トシテ需用尠カラサルヲ以テ陸地棉ノ栽培ニ適セサル地方ニ於テハ其ノ栽培法ノ改良ヲ奨勵スルコト

備考

一　植栽桑樹種類名ヲ根刈桑田用ト其ノ他桑田用トニ區別シ條白ニ附記スルコト

二　桑苗ヲ内地ヨリ移入シタル場合ハ接木及實生（砧木ヲ除ク）苗ニ區別シ主ナル種類、數量及價格ヲ附記スルコト

其ノ二

府郡島名	增加桑田段別			所要桑苗本數						植栽桑苗本數段當本數						活著見込歩合			段當桑苗本數		
	根刈桑田用		其ノ他桑田用	補植用			計			補植用			計			根刈桑田用		其ノ他桑田用			
	根刈桑田用	其ノ他	計	接木苗	實生苗	計	接木苗	實生苗	計	接木苗	實生苗	計	接木苗	實生苗	計	根刈桑田用	其ノ他桑田用	計	根刈桑田用	其ノ他桑田用	計
	町段	町段	町段	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
計																					

其ノ二

府郡島名	桑苗價格	桑苗單價	桑苗補助金額			備考
	接木苗實生苗	計	接木苗實生苗	接木苗實生苗	計	同上内譯
	四錢	四錢	錢	錢	錢	郡農會（養蠶組合）費
	四錢	四錢	錢	錢	錢	道地方費
	錢	錢	錢	錢	錢	面費
	錢	錢	錢	錢	錢	郡農會（養蠶組合）費
	錢	錢	錢	錢	錢	

備考

道地方費欄ニハ國費ヲ含マサルモノ、面費欄ニハ面自體ノ負擔ニ係ルモノ、郡農會（蠶業組合）費欄ニハ郡農會（蠶業組合）自體ノ負擔ニ係ルモノヲ夫々掲記スルコト

●朝鮮農地令

昭和九年四月
制令第五號

朝鮮農地令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮農地令

第一條　本令ハ耕作ヲ目的トスル土地ノ賃貸借ニ之ヲ適用ス

本令ニ於テ小作地ト稱スルハ前項ノ賃貸借ノ目的タル土地ヲ謂フ

第二條　土地ノ耕作ヲ目的トスル請負其ノ他ノ契約ハ之ヲ賃貸借ト看做ス但シ本令ノ適用ヲ免ルル目的ニ出デサルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ賃貸借ノ條件ハ當事者ノ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ申立ニ依リ裁判所之ヲ定ム

前項ノ規定ニ依ル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三條　賃貸人ハ賃貸人ノ承諾アルトキヲ除クノ外當事者ノ期間ハ之ヲ二週間トス

當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間ヲ定メサリシトキハ第一項ノ規定ニ依リ三年又ハ七年ノ期間ヲ定メタルモノト看做ス

第一項但書ノ永年作物ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第八條　小作地ノ賃貸借ニ付期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルトキハ前條第一項ノ規定ニ依リ三年又ハ七年ノ定アルモノト推定ス

第九條　前二條ノ規定ハ小作地ノ賃貸借ノ期間ヲ更新スル場合ニ之ヲ準用ス但シ七年トアルハ新ニ永年作物ヲ栽培スルコトヲ目的トシテ更新スル場合ヲ除クノ外三年トス

第十條　前三條ノ規定ハ傷損、疾病其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ依リ賃貸人又ハ其ノ同居ノ親族ニシテ耕作ヲ爲スコト能ハザル場合又ハ土地使用ノ目的ノ變更其ノ他特別ノ事由ニ依リテ第七條第一項若ハ前條但書ニ規定スル期間以上賃貸スルコト能ハザル事情存スル場合ニハ之ヲ適用セズ

第十一條　賃貸借ノ當事者ノ相續人ハ相續開始ノ時ヨリ被相續人ノ小作地ノ賃貸借ニ基ク一切ノ權利義務ヲ承繼ス

第十二條　小作地ノ賃貸借ハ其ノ登記ナキモ小作地ノ引渡アリタルトキハ爾後其ノ小作地ニ付物權ヲ取得シタル者ニ對シ其ノ效力生ズ

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第五百六十六條第一項及第三項ノ規定ハ賃貸借ノ登記ニ之ヲ準用ス

本令ニ於テ小作地ト稱スルハ前項ノ賃貸借ノ目的タル土地ヲ謂フ

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第三百三十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十三條　賃借人ハ賃貸人ノ承諾アルトキヲ除クノ外當事者カ小作地ヲ轉貸スルコトヲ得ズ但シ傷痍、疾病其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ依リ賃借人又ハ其ノ同居ノ親族ニシテ主トシテ耕作ニ從事スル者カ耕作ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ轉貸スルコトヲ得ル場合ニ於テ賃貸人ハ賃借人ノ轉貸ニ因リ賃貸借ノ關係ヨリ生スル自己ノ義務ヲ履行セサルニ因リ賃貸借ヲ解除スルコトヲ得

第十四條　賃借人ハ賃貸人ノ承諾アルトキヲ除クノ外小作地ノ使用又ハ收益ヲ他人ニ爲サシムルコトヲ得ズ

賃借人カ前項ノ規定ニ違反シタルトキハ賃貸人ハ賃貸借ヲ解除スルコトヲ得

第十五條　賃借人カ小作料ノ一部ヲ受領スルモ之カ爲ニ小作料ノ減額其ノ他ノ申出ヲ承諾シタルモノト推定セラルルコトナシ

第十六條　不可抗力ニ因リ收穫高ニ著シキ減少アリタルトキハ賃借人ハ賃貸人ニ對シ小作料ノ輕減又ハ免除ヲ申出ヅルコトヲ得

前項ノ申出ハ遲クトモ收穫著手ノ日ヨリ十五日前ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ當事者カ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ其ノ時期ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ豫想スベキ事由アルトキハ相當ノ時期ニ於テ申出ヲ爲スコトヲ得

第十七條　契約又ハ慣習ニ依リ檢見ノ上小作料ノ額ヲ定ムル場合ノ檢見及前條ノ申出ニ依リ爲ス檢見ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十八條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了前三月乃至一年内ニ相手方ニ對シ更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第十九條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十一條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十二條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十三條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十四條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十五條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十六條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十七條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十八條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十九條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十一條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十二條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十三條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十四條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十五條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十六條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十七條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十八條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十九條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十一條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十二條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十三條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十四條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十五條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十六條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十七條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十八條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十九條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十一條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十二條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十三條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十四條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十五條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十六條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十七條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十八條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十九條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十一條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十二條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十三條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十四條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十五條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十六條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十七條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十八條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十九條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十一條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十二條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十三條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十四條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十五條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十六條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十七條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十八條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十九條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十一條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十二條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十三條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十四條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第八十五條　第十條ニ規定スル賃貸借ヲ除クノ外當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了ノ際更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ

第十九條　貸貸人ハ貸借人ニ背信ノ行爲アリ因リ貸貸借ノ更新ヲ拒ムコトヲ得ズ但シ貸貸人ニ正當ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條　貸借人第十三條一項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第三項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ第三者ヲシテ小作地ノ使用又ハ收益ヲ爲サシメタルトキハ貸貸人ハ貸貸借ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　第十六條ノ小作料ノ輕減又ハ免除ニ關スル爭項ニ付當事者カ府郡島小作委員會ノ判定ヲ求メタル場合ニ於テハ其ノ判定アル迄朝鮮小作調停令ニ依リ調停ノ申立ヲ爲シタル場合ニ於テハ調停ノ終了スル迄貸貸人ハ當該小作料ノ履行遲滯ヲ理由トシテ貸貸借ノ解除ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十二條　小作地返還ノ場合ニ於テ小作地ニ契約ニ從ヒ作付シタル作物アルトキハ貸借人ハ貸貸人ニ對シ相當ノ價格ヲ以テ之ヲ買取ルベキコトヲ請求スルコトヲ得但シ貸借人又ハ轉借人カ信義ニ反シ買取ラシムル目的ヲ以テ作付ヲ爲シタル作物ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條　第十五條乃至第十七條ノ規定ハ貸貸人ト轉借人トノ關係ニ之ヲ準用ス

第二十四條　當事者ハ合意ヲ以テ關係地ノ所在スル府郡島小作委員會ノ判ヲ以テ小作料其ノ他小作關係ニ付判定ヲ求ムルコトヲ得

第二十五條　前條ノ規定ニ依リ判定ヲ求メタル事件ニ付訴訟カ繫屬スルトキ又ハ朝鮮小作調停令ニ依ル調停ノ申立ノ受理アリタルトキハ判定アル迄當該裁判所ハ決定ヲ以テ訴訟手續又ハ調停手續ヲ中止スルコトヲ得

第二十六條　裁判所ハ當事者又ハ小作官ノ申立ニ依リ府郡島小作委員會ノ判定者シクハ此ノ申立ハ府郡島小作委員會ノ判定ニ付左ニ揭ゲル事項ヲ具シ十五日內ニ小作地ノ所在地ヲ管轄スル府尹、郡守又ハ島司ニ屆出ヅベシ其ノ屆出アタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

一　住所、氏名及職業

二　管理スル小作地ノ所在地、地目及面積

三　管理ニ關スル契約ノ年月日

四　管理爭務ノ範圍及管理爭務ヲ行フ期間

五　報酬及其ノ支給方法

第二條　前條ノ規定ハ小作地管理者カ更ニ小作地管理者ヲ置キタル場合ニ之ヲ準用ス

第三條　府尹、郡守又ハ島司必要アリト認ムルトキハ貸貸人又ハ小作地管理者ニ對シ小作地ノ管理ニ關スル爭項ノ報告ヲ命ズルコトヲ得

第四條　小作地管理者カ更ニ小作地管理者ヲ置キタル場合ニ於テ府尹、郡守又ハ島司其ノ小作地管理者ヲ不適當ト認ムルトキハ府郡島小作委員會ノ意見ヲ聽キ小作地管理者ニ對シ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第五條　府尹、郡守又ハ島司ニ於テ小作地ノ管理ニ關スル契約ヲ不適當ト認ムルトキハ府郡島小作委員會ノ意見ヲ聽キ貸貸人又ハ小作地管理者ニ對シ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第六條　朝鮮農地令第七條第四項ノ永年作物、桑樹、茶麻及楮ト其ノ他小作地ノ貸貸借ニシテ小作地ニ契約ノ存續期間ノ定アルモノハ本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ第七條第一項ノ規定ニ依リ契約ノ日ヨリ三年又ハ七年ノ定アルモノト推定ス

第七條　朝鮮農地令第七條第四項ノ永年作物ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ本令施行ノ日ヨリ七年ノ定アルモノト推定ス

第八條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ第七條第一項ノ規定ニ依リ契約ノ日ヨリ三年又ハ七年ノ定アルモノト推定ス

第九條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ノ定アルモノト推定ス

第十條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ニシテ第七條第一項ノ規定ニ依リ契約ノ日ヨリ三年又ハ七年ノ定アルモノト推定ス

第十一條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ノ定アルモノト推定ス

第十二條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ニシテ第七條第一項ノ規定ニ依リ契約ノ日ヨリ三年ノ期間ノ定アルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ノ定アルモノト推定ス

第十三條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ第七條第一項ノ規定ニ依リ契約ノ日ヨリ三年又ハ七年ノ定アルモノト推定ス

第十四條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ノ定アルモノト推定ス

第十五條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ノ定アルモノト推定ス

第十六條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ノ定アルモノト推定ス

第十七條　前二條ノ規定ハ第十條ノ規定ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セズ

第十八條　本令施行ノ際現ニ存スル第十三條第一項但書ノ規定ニ該當セザル小作地ノ轉貸借ニシテ期間ノ定アルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ヲ超エザル範圍內ニ於テ其ノ殘期間、期間ノ定ナキモノハ本令施行ノ日ヨリ三年間仍其ノ效力ヲ有ス

第十九條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ本令施行後一年內ニ其ノ期間滿了スベキモノニ付當事者カ其ノ滿了前一年內ニ相手方ニ對シテ爲シタル更新拒絕ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ其ノ期間內ニ爲サザルモノト推定ス

第二十條　貸貸人ハ第十三條ノ規定ニ違反シ轉貸ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ屆出ヲ爲シタルトキハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

●朝鮮農地令施行規則

昭和九年九月
總令第九十三號

朝鮮農地令施行規則左ノ通定ム

朝鮮農地令施行規則

第一條　令第其ノ他小作地ノ管理者（以下單ニ小作地管理者ト稱ス）ヲ置キタルトキハ貸貸人ハ小作地管理者ニ付左ニ揭ゲル事項ヲ具シ十五日內ニ小作地ノ所在地ヲ管轄スル府尹、郡守又ハ島司ニ屆出ヅベシ其ノ屆出アタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

一　住所、氏名及職業

二　管理スル小作地ノ所在地、地目及面積

三　管理ニ關スル契約ノ年月日

四　管理爭務ノ範圍及管理爭務ヲ行フ期間

五　報酬及其ノ支給方法

第二條　前條ノ規定ハ小作地管理者カ更ニ小作地管理者ヲ置キタル場合ニ之ヲ準用ス

第三條　府尹、郡守又ハ島司必要アリト認ムルトキハ貸貸人又ハ小作地管理者ニ對シ小作地ノ管理ニ關スル爭項ノ報告ヲ命ズルコトヲ得

第四條　小作地管理者カ更ニ小作地管理者ヲ置キタル場合ニ於テ府尹、郡守又ハ島司其ノ小作地管理者ヲ不適當ト認ムルトキハ府郡島小作委員會ノ意見ヲ聽キ小作地管理者ニ對シ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第五條　府尹、郡守又ハ島司ニ於テ小作地ノ管理ニ關スル契約ヲ不適當ト認ムルトキハ府郡島小作委員會ノ意見ヲ聽キ貸貸人又ハ小作地管理者ニ對シ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第六條　朝鮮農地令第七條第四項ノ永年作物、桑樹、茶麻及楮ト其ノ他小作地ノ貸貸借ニシテ小作地ニ契約ノ存續期間ノ定アルモノハ本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ第七條第一項ノ規定ニ依リ契約ノ日ヨリ三年又ハ七年ノ定アルモノト推定ス

第七條　朝鮮農地令第七條第四項ノ永年作物ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ本令施行ノ日ヨリ七年ノ定アルモノト推定ス

第八條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ第七條第一項ノ規定ニ依リ契約ノ日ヨリ三年又ハ七年ノ定アルモノト推定ス

第九條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ノ定アルモノト推定ス

第十條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ノ定アルモノト推定ス

第十一條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ノ定アルモノト推定ス

第十二條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ノ定アルモノト推定ス

第十三條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ貸貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ本令施行ノ日ヨリ三

第六條　行政官廳ハ農會ニ對シ農業ニ關スル報告書ノ提出及農業ニ關スル事項ノ調査ヲ命スルコトヲ得

第七條　政府ハ農會ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第八條　農會ハ町村農會、市農會、郡農會、道府縣農會及帝國農會トス

第九條　農會ノ地區ハ町村農會ニ在リテハ町村又ハ町村組合、市農會ニ在リテハ市、郡農會ニ在リテハ郡、道府縣農會ニ在リテハ道府縣、帝國農會ニ在リテハ内地ノ區域ニ依ル特別ノ事由アルトキハ農會ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

町村、市又ハ府縣ノ廢置分合其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外第一項ノ區域ニ增減アリタルトキハ其ノ區域ヲ地區トスル農會ノ地區モ亦之ニ應ジテ增減アリタルモノトス

町村カ市ト爲リタルトキハ其ノ町村ノ區域ヲ地區トスル町村農會ハ市農會ト爲リタルモノトス

第十條　農會ノ名稱ニハ町若ハ村農會、市農會、郡農會、道、府若ハ縣農會又ハ帝國農會ナル文字ヲ用ヰルヘシ但シ農會ノ地區カ町村、市、郡、道、府又ハ縣ノ區域ニ依ラサルトキハ其ノ名稱中ニ此等ノ區域ヲ示スヘキ文字ヲ用ヰサルコトヲ得

本法ニ依リ設立シタル農會ニ非サレハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲ケル文字ヲ用ヰルコトヲ得ス

第十一條　農會ハ町村農會及市農會ニ在リテハ國、公共團體及命令ヲ以テ規定シタル者ヲ除クノ外其ノ地區内ノ耕地、牧場又ハ原野ヲ所有スル者及其ノ地區内ニ於テ農業ヲ營ム者、郡農會ニ在リテハ其ノ地區内ノ町村農會、道府縣農會ニ在リテハ其ノ地區内ノ市農會、郡農會及帝國農會ニ在リテハ道府縣農會ノ會員ニ非サルヘキ旨ヲ以テ其ノ會員トス

第十二條　農會ノ會員タル資格ヲ有スルニ至リタル者ハ總テ其ノ會員トス

第十三條　農會ノ會員ハ左ニ揭ケル事項ヲ除ク外其ノ所有スル耕地、牧場又ハ原野ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ農會ノ經費ヲ賦課徵收ス

一　地租ヲ賦課セラルル土地

二　營業收益稅ヲ賦課セラルル營業

三　所得稅ヲ賦課セラルル所得

四　六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケルコトナキニ至ラサル者

五　總代ノ任期ハ會令ノ定ムル所ニ依リ農會ノ事業年度ニ從ヒ四年以内トス

第十七條ノ三　郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ノ議員ハ其ノ會員タル農會ノ會員ノ中ヨリ其ノ會員ヲ以テ之ニ充ツ但シ郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ノ會長ニシテ道府縣農會ノ議員ニ充ツヘキモノノ選出ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十八條　郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ニ豫備議員ヲ設ク其ノ會員タル農會ノ副會長ヲ以テ之ニ充ツ前條但書ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

豫備議員ハ議員ニ事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス

第十九條　行政官廳ハ農業ニ關スル學識經驗アル者ヲ郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會特別議員ニ任命スルコトヲ得

特別議員ノ員數ハ議員定數ノ三分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十七條ノ二第三項ノ規定ハ特別議員ニ之ヲ準用ス

特別議員ハ役員ノ選任又ハ解任ノ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第二十條　左ニ揭ケル事項ハ總代會又ハ總會ノ議決ヲ經ヘシ

一　歎支豫算

二　經費ノ分賦收入方法

三　事業報告及收支決算

四　借入金

五　基本財産ノ造成、管理及處分

六　會則ノ變更

七　役員ノ解任

八　第三十二條第一項、第二十四條第二項及第三十五條ノ同意

第三十二條　總代會又ハ總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ會則ノ定ムル所ニ依リ書面ヲ以テ其ノ總代會又ハ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

第二十六條　削除

第二十七條　農會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　一人

副會長　一人

評議員　數人

役員ハ町村農會及市農會ニ在リテハ會員中ヨリ、其ノ他ノ農會ニ在リテハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任スル但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ケス

前項但書ノ規定ニ依ル選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十七條ノ二　役員ノ選任ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會又ハ總會ニ於テ之ヲ行フ第二十二條ノ二但書ノ規定ハ此ノ場合ニハ之ヲ適用セス

第十七條ノ二第二項及第三項ノ規定ハ役員ニ之ヲ準用ス

會長ハ會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ニ故アルトキ又ハ會長カ缺員ト爲リタルトキ其ノ職務ヲ代理ス

會長ニ事故アルトキ又ハ會長カ缺員ト爲リタルトキハ總代會又ハ總會ニ於テ其ノ會員ノ中ヨリ總代ヲ選舉シ其ノ總代ノ中ヨリ副會長ヲ選舉スヘシ

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ總代ヲ選舉スルコトヲ得ス

一　禁治産者又ハ準禁治産者

二　破産者ニシテ復權ヲ得サル者

三　六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケルコトナキニ至ラサル者

第十七條ノ二第二項及第三項ノ規定ハ總代ニ之ヲ準用ス

第十六條　農會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ會員タルモノト看做ス但シ行政官廳ノ認可ヲ受ケ成立シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　町村農會及市農會ニ總代ヲ置ク

總代會ハ總代ヲ以テ之ヲ組織ス

總代會ハ會長之ヲ招集ス

第十七條ノ二　町村農會及市農會ノ會長ハ總代會ノ議長トス

會長故アルトキハ副會長ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシム

會長及副會長共ニ故アルトキハ總代會ノ議長ハ總代ノ中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

第十八條　總代會ハ會長、副會長又ハ總代五人以上ノ發議ニ依リ會長ヲシテ之ヲ招集セシムルコトヲ得

總代ノ半數以上ノ請求アリタルトキハ會長ハ總代會ヲ招集スルコトヲ得

第十九條　總代會ハ總代ノ半數以上出席スルニ非サレハ議決ヲ開クコトヲ得ス但シ第三十四條ノ規定ニ依ル職務停止ノ爲出席者半數ニ滿タサルトキ、同一ノ事項ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

特別議員第十九條第四項ノ規定ニ依リ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ前項ノ總會ヲ組織スル者ノ中ニ算入セス

第二十三條　總代會又ハ總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

特別議員第十九條第四項ノ規定ニ依リ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ前項ノ總會ヲ組織スル者ノ中ニ算入セス

第二十三條　總代會又ハ總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十二條ノ二　總代會又ハ總會ハ之ヲ組織スル者ノ半數以上出席スルニ非サレハ開クコトヲ得ス但シ第三十四條ノ規定ニ依ル職務停止ノ爲出席者半數ニ滿タサルトキ、同一ノ事項ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條　總代會又ハ總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲシテ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第二十二條ノ二　總代會又ハ總會ハ之ヲ組織スル者ノ半數以上出席スルニ非サレハ議決ヲ開クコトヲ得ス但シ第三十四條ノ規定ニ依ル職務停止ノ爲出席者半數ニ滿タサルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十二條　總代會又ハ總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲシテ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第二十二條ノ二　總代會又ハ總會ハ之ヲ組織スル者ノ半數以上出席スルニ非サレハ議決ヲ開クコトヲ得ス但シ第三十四條ノ規定ニ依ル職務停止ノ爲出席者半數ニ滿タサルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十二條　總代會又ハ總會ハ之ヲ組織スル者ノ半數以上ヨリ請求アリタルトキハ會長ハ總代會又ハ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

會長ハ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後十四日以内ニ總代會又ハ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依リ總代會又ハ總會ヲ招集スル場合ニ於テ郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ニ豫備議員ヲ設ケサルトキハ行政官廳ハ總代又ハ總會ヲ招集セシムルコトヲ得

第二十二條　總代會又ハ總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲシテ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第二十三條　總代會又ハ總會ハ之ヲ組織スル者ノ半數以上出席スルニ非サレハ議決ヲ開クコトヲ得ス但シ第三十四條ノ規定ニ依ル職務停止ノ爲出席者半數ニ滿タサルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

特別議員第十九條第四項ノ規定ニ依リ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ前項ノ總會ヲ組織スル者ノ中ニ算入セス

第二十三條　總代會又ハ總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

特別議員第十九條第四項ノ規定ニ依リ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ前項ノ總會ヲ組織スル者ノ中ニ算入セス

第二十三條　總代會又ハ總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十二條ノ二　總代會又ハ總會ハ之ヲ組織スル者ノ半數以上出席スルニ非サレハ議決ヲ開クコトヲ得ス但シ第三十四條ノ規定ニ依ル職務停止ノ爲出席者半數ニ滿タサルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十二條　總代會又ハ總會ハ之ヲ組織スル者ノ半數以上ヨリ請求アリタルトキハ會長ハ總代會又ハ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

會長ハ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後十四日以内ニ總代會又ハ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依リ總代會又ハ總會ヲ招集スル場合ニ於テ郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ニ豫備議員ヲ設ケサルトキハ行政官廳ハ總代又ハ總會ヲ招集セシムルコトヲ得

第二十二條　總代會又ハ總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲシテ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第二十二條ノ二　總代會又ハ總會ハ之ヲ組織スル者ノ半數以上出席スルニ非サレハ議決ヲ開クコトヲ得ス但シ第三十四條ノ規定ニ依ル職務停止ノ爲出席者半數ニ滿タサルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

特別議員第十九條第四項ノ規定ニ依リ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ前項ノ總會ヲ組織スル者ノ中ニ算入セス

第二十三條　總代會又ハ總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

前項ノ請求ニ依ル會議ヲ開キタルトキ又ハ出席者中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉ヂ又ハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二十四條　會則ノ變更ハ總代會又ハ總會ニ於テ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決スルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十二條ノ二第二項ノ規定ハ會則ノ變更ニ之ヲ準用ス

第二十五條　總代會又ハ總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ會則ノ定ムル所ニ依リ書面ヲ以テ其ノ總代會又ハ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

第二十六條　削除

第二十七條　農會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　一人

副會長　一人

評議員　數人

役員ハ町村農會及市農會ニ在リテハ會員中ヨリ、其ノ他ノ農會ニ在リテハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任スル但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ケス

前項但書ノ規定ニ依ル選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十七條ノ二　役員ノ選任ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會又ハ總會ニ於テ之ヲ行フ第二十二條ノ二但書ノ規定ハ此ノ場合ニハ之ヲ適用セス

第十七條ノ二第二項及第三項ノ規定ハ役員ニ之ヲ準用ス

會長ハ會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ニ故アルトキ又ハ會長カ缺員ト爲リタルトキ其ノ職務ヲ代理ス

會長ニ故アルトキ又ハ會長カ缺員ト爲リタルトキハ總代會又ハ總會ニ於テ其ノ會員ノ中ヨリ總代ヲ選舉シ其ノ總代ノ中ヨリ副會長ヲ選舉スヘシ

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ總代ヲ選舉スルコトヲ得ス

一　禁治産者又ハ準禁治産者

二　破產者ニシテ復權ヲ得サル者

三　六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケルコトナキニ至ラサル者

第十七條ノ二第二項及第三項ノ規定ハ總代ニ之ヲ準用ス

第十六條　農會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ會員タルモノト看做ス但シ行政官廳ノ認可ヲ受ケ成立シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　町村農會及市農會ニ總代ヲ置ク

總代會ハ總代ヲ以テ之ヲ組織ス

總代會ハ會長之ヲ招集ス

第十七條ノ二　町村農會及市農會ノ會長ハ總代會ノ議長トス

會長故アルトキハ副會長ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシム

會長及副會長共ニ故アルトキハ總代會ノ議長ハ總代ノ中ヨリ總代ヲ選舉スヘシ

第十八條　總代會ハ會長、副會長又ハ總代五人以上ノ發議ニ依リ會長ヲシテ之ヲ招集セシムルコトヲ得

總代ノ半數以上ノ請求アリタルトキハ會長ハ總代會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

會長ハ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後十四日以内ニ總代會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依リ總代會ヲ招集スル場合ニ於テ郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ニ豫備議員ヲ設ケサルトキハ行政官廳ハ總代又ハ總會ヲ招集セシムルコトヲ得

第二十二條　總代會又ハ總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲシテ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第二十二條ノ二　總代會又ハ總會ハ之ヲ組織スル者ノ半數以上出席スルニ非サレハ議決ヲ開クコトヲ得ス但シ第三十四條ノ規定ニ依ル職務停止ノ爲出席者半數ニ滿タサルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

特別議員第十九條第四項ノ規定ニ依リ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ前項ノ總會ヲ組織スル者ノ中ニ算入セス

第二十三條　總代會又ハ總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ會務執行及賦課收入方法ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十三條　農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル農會ニ對シ農業ニ關スル報告書ノ提出及農業ニ關スル事項ノ調査ヲ命スルコトヲ得

第三十四條　行政官廳ハ農會ノ決議若ハ選舉又ハ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議、選舉若ハ當選ヲ取消シ、役員若ハ特別議員ヲ解任シ、總代ノ改選ヲ命シ、農會ノ事業ヲ停止シ又ハ農會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第三十五條　農會解散又ハ合併ヲ爲サムトスルトキハ總代會又ハ總會ノ議決ヲ經且其ノ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得、道府縣農會ニ在リテハ尙其ノ會員タル郡農會及市農會ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得且合併ノ場合ニ於テハ會則ヲ議定シ事由ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ農會ガ總代會ヲ設ケル場合ニ於ケル會則ノ變更ニ關シテハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

昭和九年七月勅令第二百三十號ヲ以テ第九條第二十三條ノ二、第二十五條、第二十八條ノ二、第三十五條及第四十一條ノ改正規定ハ昭和九年八月一日ヨリ、其ノ他ノ規定ハ昭和十年四月一日ヨリ施行

●朝鮮農會令施行規則

大正十五年一月
總令第三號
昭正・昭和九年一〇勅一〇六改

朝鮮農會令施行規則左ノ通定ム

第一條　府郡島農會ノ地區內ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル農業ノミヲ營ム者ハ其ノ農會ノ會員ヨリ之ヲ除外ス

一　三段歩未滿ノ他人ノ土地ニ於テ行フ耕種

二　一年ヲ通シテ栃製葉種一枚未滿又ハ之ニ相當スル葉種ヲ栽立テテ行フ養蠶

三　前二號ニ揭ゲル者ノ外道知事ニ於テ特ニ府郡島農會ノ會員ヨリ除外スル者ノ必要アリト認ムル者アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ命令ヲ以テ定ムルコトヲ得

第二條　府郡島農會ノ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區內ニ居住セサル會員（法人タル會員ニ在リテハ其ノ地區內ニ代理人ヲ有セサルモノヲ）ヲシテ其ノ地區內ニ代理人ヲ設ケシムルコトヲ得

農會ハ前項ノ代理人ニ對スル通知ヲ以テ本人ニ對スル通知ニ代フルコトヲ得

第三條　農會ヲ設立セムトスルトキハ會員タル資格ヲ有スル者發起人ト爲リ他ノ會員タル資格ヲ有スル者ニ地區、創立費用、收支概算及經費分賦收入方法ノ概要ヲ通知シ設立ノ同意ヲ求ムヘシ

第四條　創立總會ハ府郡島農會ニ在リテハ其ノ會員ニシテ會員タル資格ヲ有スル者、其ノ他ノ農會ニ在リテハ其ノ會員タル資格ヲ有スル農會ノ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲ以テ之ニ充ツ

之ヲ組織ス

第五條　發起人創立總會ヲ招集セムトスルトキハ朝鮮農會ニ在リテハ少クトモ三十日前ニ、其ノ他ノ農會ニ在リテハ少クトモ十四日前ニ會議ノ目的ノタル事項、日時及場所ヲ創立總會ヲ組織スヘキ者ニ通知シ尙府郡島農會ニ在リテハ之ヲ公告スヘシ

第六條　創立總會ノ議事ハ之ヲ組織スル者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ議決スルコトヲ得ス

府郡島農會ノ創立總會ニ在リテハ會員タル資格ヲ有スル者ハ他ノ會員タル資格ヲ有スル者ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

第七條　創立總會ノ議長ハ出席者中ヨリ之ヲ互選スヘシ

第八條　創立總會ノ決議ハ發起人ハ之ヲ準用ス

遲滯ナク設立認可申請書ヲ行政官廳ニ差出スヘシ

第九條　創立總會ノ議事ノ顚末ハ之ヲ組織スル者ノ中ヨリ選擧シタル議事錄ニ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ會則、設立ニ付法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面、創立費用ノ明細書及議事錄ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十條　農會ノ設立ヲ認可シタル行政官廳ハ會員名簿ヲ調製シ之ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　會員ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所ノ所在地、代表者ノ氏名及住所）

二　會員タル資格

三　地稅納額其ノ他經費賦課ノ基礎ト爲ルヘキ事項

四　代理人ノ氏名及住所

會員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ會員ハ遲滯ナク之ヲ訂正スヘシ

會員名簿ノ閱覽ヲ求ムル者アリタルトキハ農會ハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十一條　府農會ノ通常議員ノ定數ハ二十人以下ニ於テ、府島農會ノ通常議員ノ定數ハ其ノ地區內ノ面ノ數ノ二倍以下ニ於テ會則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

道農會及朝鮮農會ノ通常議員ノ定數ハ其ノ會員タル農會ノ數トス

第十三條　前條ノ通常議員ノ定數ハ郡島農會ニ在リテハ其ノ地區內ノ各面ニ、道農會及朝鮮農會ニ在リテハ其ノ會員タル各農會ニ之ヲ配當スヘシ

第十四條　通常議員ノ候補者ノ定數ハ通常議員ノ定數ノ二倍トス

第十五條　通常議員ハ於テ地區內ノ會員ノ中ヨリ、道農會及朝鮮農會ニ在リテハ其ノ會員ノ總會ヲ組織スル者ノ中ヨリ本會ノ定ムルモノノ外會則ノ定ムル方法ニ依リ之ヲ選出スヘシ

第十六條　通常議員ノ候補者ヲ選出スルノ權利ハ各會員平等トス

前項ノ權利ハ代理人ヲシテ以テ之ヲ行フコトヲ得

代理人ハ會員又ハ同居ノ親族ナルコトヲ要ス

第一項ノ權利ハ未成年者及禁治產者ニ在リテハ法定代理人ヲ以テ之ヲ行フヘシ第二條ノ代理人ヲ設ケタル場合ニ在リテハ其ノ代理人ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第十七條　農會ノ通常議員ノ候補者ノ選出ニ關スル事務ハ會長之ヲ管理ス

第十八條　通常議員、特別議員及役員ノ任期ハ農會ノ非業年度ニ從ヒ四年トス但シ補闕ノ評議員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十九條　總會ヲ招集セムトスルトキハ朝鮮農會ニ在リテハ少クトモ三十日前ニ、道農會ニ在リテハ少クトモ十四日前ニ、府郡島農會ニ在リテハ少クトモ七日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總會ヲ組織スル者ニ通知ス、ヘシ

前項ノ期間ハ會則ヲ以テ之ヲ伸縮スルコトヲ得

第二十條　總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル事項ニ付テノミ議決スルコトヲ得

但シ會則ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　總會ノ議長ハ議事錄ヲ作リ左ニ揭ケル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名スヘシ

一　開會ノ日時及場所

二　總會ヲ組織スル者ノ定數

三　出席者ノ員數

四　議事ノ要領

五　議決シタル事項及贊否ノ數

第二十二條　農會ニハ會則ノ定ムル所ニ依リ理事、主事、技師、技手、書記其ノ他ノ職員ヲ置クコトヲ得

理事、主事及技師ノ命免ハ之ヲ行政官廳ニ届出ツヘシ

第二十三條　農會ノ事業年度ハ每年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第二十四條　府郡島農會ノ經費ヲ分賦セムトスルトキハ左ノ賦課方法及金額ノ制限ニ依ルヘシ

一　會員割　平均一人ニ付三十錢以內（會員及擔稅者ノ地稅納額百分ノ八以內ニ依リ之ヲ倉庫ニ保管スル者ヲ謂フ

前項ニ規定スル寄託物ニ付所有權ノ移轉アリタルトキト雖モ農業倉庫業者ハ其ノ寄託物ノ保管期間ノ滿了ニ至ル迄之ヲ保管スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ前二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限リ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前二項ノ規定ニ依ラヌ物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得

第二條　農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前條ノ事業ノ外左ノ事業ヲ爲スコトヲ得

一　受寄物ノ調製、改裝又ハ荷造ヲ爲スコト

二　受寄物ノ運送又ハ賣買ノ仲立ヲ爲スコト

三　受寄物ノ運送又ハ賣買ノ取次ヲ爲スコト

四　寄託セシトスル小作料ノ受領ノ代理ヲ爲スコト

前項第一號乃至第三號ノ事業ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ受寄物ニ非ザル米穀其ノ他朝鮮總督ノ指定スル物品ニ付之ヲ爲スコトヲ得

第三條　農業倉庫業者ハ費利ヲ目的トシテ其ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條　農會、產業組合及農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人ニ非ザレバ農業倉庫業者タルコトヲ得ス

第五條　農業倉庫業者タル產業組合ハ朝鮮產業組合令ニ規定スルモノノ外第一條及第二條ニ規定スル事業ヲ目的トスルコトヲ得

前項ノ產業組合ハ組合員ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ組合員ニ非ザル者ノ爲ニモ之ヲ爲スコトヲ得

第六條　農業倉庫業者タラントスル者ハ業務規程ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第七條　農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ種類及品位ノ同一ナル寄託物ヲ混合シテ保管スルコトヲ得

第八條　農業倉庫業者ハ寄託者ノ請求ニ依リ寄託物ノ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

原野ニシテ農業ニ利用セサル土地ニ付テハ地稅割ヲ賦課スルコトヲ得ス

特別ノ事由アル場合ニ於テハ府郡島農會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第一項ノ賦課方法又ハ金額ノ制限ニ依ラスシテ經費ヲ分賦スルコトヲ得

第二十五條　府郡島農會ハ其ノ會員ニ對シ總會ノ議決ニ依リ穀物、繭其ノ他ノ農產物ヲ以テ經費ヲ負擔セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ物品ノ價格ハ經費ノ賦課額ニ相當スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ經費ヲ負擔セシメラレタル會員ハ金錢ヲ以テ物件ノ納付ニ代フルコトヲ得

第二十六條　會長ハ府郡島農會ノ經費ヲ分賦セラレタル者ニシテ特別ノ事情アルモノニ限リ其ノ延納ヲ許可シ又ハ其ノ分賦ヲ減免スルコトヲ得但シ分賦ノ減免ニ付テハ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第二十七條　農會ノ經費ヲ徵收セムトスルトキハ會長ハ納入義務者ニ對シ納金額、納期日及納付ノ場所ヲ記載シタル納入告知書ヲ發スヘシ過怠金ヲ徵收セムトスルトキ亦同シ

第二十八條　經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ノ通知ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ納入告知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日內ニ其ノ農會ノ會長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ會長ハ評議員ノ意見ヲ徵シ遲滯ナク決定ヲ爲シ異議申立人ニ之ヲ通知スヘシ

前項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ其ノ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日內ニ府郡島農會ノ會員ニ在リテハ道知事ニ、道農會又ハ朝鮮農會ノ會員ニ在リテハ朝鮮總督ニ裁決ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　收支豫算及經費分賦收入方法ノ認可申請書ハ每年二月末日迄ニ之ヲ行政官廳ニ差出スヘシ但シ設立ノ認可ヲ受ケタル年度ニ於テハ總會ノ議決ヲ經タル後遲滯ナク之ヲ差出スヘシ

第三十條　會則、收支豫算及經費分賦收入方法ノ變更ハ總會ノ議決ヲ經タル後遲滯ナク行政官廳ニ差出スヘシ

第三十一條　事業報告及收支決算ハ次ノ事業年度內ニ總會ノ承認ヲ受ケ遲滯ナク之ヲ行政官廳ニ差出スヘシ

第三十二條　農會ノ解散、合併若ハ分割又ハ地區ノ增減ニ關スル會則ノ變更ノ認可申請書ニハ法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

合併又ハ分割ノ認可申請書ニハ前項ノ書類ノ外其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第三十三條　農會ノ解散、合併又ハ分割ヲ認可シタルトキハ行政官廳ハ其ノ旨告示スヘシ

第三十四條　清算結了シタルトキハ清算人ハ清算ノ要領ヲ會則ノ定ムル所ニ依リ公告スヘシ

第三十五條　評議員ノ選任又ハ解任アリタルトキハ農會ハ遲滯ナク其ノ旨行政官廳ニ届出ツヘシ但シ朝鮮農會令第十一條ノ規定ニ依リ解任ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條　府尹、郡守又ハ島司ハ府郡島農會ノ通常議員及特別議員ヲ命免シタルトキハ道知事ニ報告スヘシ

第三十七條　左ノ場合ニ於テハ道知事ハ朝鮮總督ニ報告スヘシ

一　府郡島農會ノ設立、解散、合併又ハ分割ノ認可ヲ爲シタルトキ

二　朝鮮農會令第十一條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シ又ハ農會法第三十二條ノ規定ニ依リ會則、收支豫算若ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命シタルトキ

三　府郡島農會ノ會長及副會長竝議員ノ通常議員及特別議員ヲ命免シタルトキ

前項第二號ノ場合ニ於テハ其ノ報告書ニ事由書ヲ添附スヘシ

第三十八條　第十條、第二十二條、第二十五條、第三十一條、第三十三條乃至第三十五條、朝鮮農會令第七條、同令第八條、同令第十一條、同令第十二條、農會法第十二條、同法第十六條、同法第二十一條、同法第二十二條及同法第三十八條乃至第四十條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ府郡島農會ニ在リテハ道知事、道農會及朝鮮農會ニ在リテハ朝鮮總督トス

朝鮮農會令第六條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ府郡島農會ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、道農會ニ在リテハ道知事、朝鮮農會ニ在リテハ朝鮮總督トス

前項ノ場合ニ於テ府郡島農會ノ地區カ二郡以上又ハ府郡ニ渉ルトキハ道知事ハ其ノ行政官廳タル府尹又ハ郡守ヲ指定スヘシ

附　則

本令ハ朝鮮農會令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年十月總令第百六號）

本令ハ昭和十年度分地稅割ヨリ之ヲ適用ス

昭和九年度分地稅割ニ付テハ地稅納額ノ百分ノ七・五以內トス

第三款　農業倉庫

●朝鮮農業倉庫業令

昭和六年七月
制令第十四號

朝鮮農業倉庫業令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮農業倉庫業令

第一條　本令ニ於テ農業倉庫業者ト稱スルハ農業ヲ營ム者カ其ノ生產シタル米穀其ノ他朝鮮總督ノ指定スル物品ヲ所有スル場合又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者カ小作料トシテ受ケタル米穀其ノ他朝鮮總督ノ指定スル物品ヲ所有スル場合ニ於テ其ノ者ノ爲ニ本令

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第三百八十三條ノ二第二項及第三百八十三條ノ三ノ規定ハ前項ノ倉荷證券ニ之ヲ準用ス

第九條　農業倉庫業者ノ作成スル倉荷證券ニハ朝鮮農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ要ス

農業倉庫業者ニ非ザル者ノ作成スル預證券及買入證券又ハ倉荷證券ニハ朝鮮農業倉庫證券タルコトヲ示スベキ文字ヲ記載スルコトヲ得ズ

第十條　混合保管ノ場合ニ於テハ農業倉庫業者ハ倉荷證券ニ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第十一條　寄託物ノ保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六月以内トス

第一條第一項ニ規定スル寄託物ニ付テハ保管期間ヲ更新スルコトヲ得但シ寄託者ハ更新ノ際同項ニ揚ゲル者タルコトヲ要ス

農業倉庫業者ニ非ザル者ノ作成スル預證券及買入證券又ハ倉荷證券ニハ朝鮮農業倉庫證券タルコトヲ示スベキ文字ヲ記載スルコトヲ得ズ

第十條　混合保管ノ場合ニ於テハ農業倉庫業者ハ倉荷證券ニ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第十一條　寄託物ノ保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六月以内トス

第一條第一項ニ規定スル寄託物ニ付テハ保管期間ヲ更新スルコトヲ得但シ寄託者ハ更新ノ際同項ニ揚ゲル者タルコトヲ要ス

農業倉庫業者ニ非ザル者ノ作成スル倉荷證券ニハ朝鮮農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ要ス

第一條第一項ニ規定スル寄託物ニ付テハ保管期間ヲ更新スルコトヲ得但シ寄託者ハ更新ノ際同項ニ揚ゲル者タルコトヲ要ス

第一條第三項ニ規定スル寄託物ニ付テハ同條第一項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限リ保管期間ヲ更新スルコトヲ得

第一條第三項ニ規定スル寄託物ニ付テハ同條第一項及第二

昭和六年十一月
總令第百四十九號

移出米穀倉庫替業補助規則左ノ通定ム

移出米穀倉庫替業補助規則

第一條　倉庫替業者ニシテ移出セラルベキ米穀ノ保管ヲ目的トスルモノニ對シテハ本令ノ定ムル所ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條　補助金ノ額ハ左ニ揭グル費用ノ六割以内トス

一　倉庫及附屬建物ノ新築、增築、改築、移築、買入又ハ借入ニ要スル費用

二　倉庫替業經營ニ要スル敷地ノ買入又ハ借入ニ要スル費用

三　附屬設備ニ要スル費用

第三條　補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ揭グル書類ヲ添附シ政府ノ會計年度開始ノ一月前迄ニ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ特別ノ事情アリト認ムルトキハ期限經過後ト雖モ之ヲ受理スルコトアルベシ

一　本店及支店其ノ他ノ替業所ノ所在地ヲ記載シタル書面

二　定款又ハ組合規約及替業規則

三　最近ノ替業狀況說明書

四　替業ニ付決議ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ證スル書面

五　倉庫及附屬建物ノ位置、棟數、建坪、收容力及構造概要竝ニ敷地ノ面積ヲ記載シタル書面

六　借入倉庫ニ在リテハ其ノ借入ニ關スル契約書ノ謄本

七　事業計畫書

八　新築又ハ移築セントスル倉庫及附屬建物ノ豫定地、增築改築買入又ハ借入セントスル倉庫及附屬建物ノ所在地竝ニ其ノ附近地ノ略圖

九　新築、增築、改築、移築、買入又ハ借入セントスル倉庫又ハ附屬建物ノ棟數、建坪、收容力及敷地ノ面積ヲ記載シタル書面竝ニ工事設計書又ハ構造概要書

十　買入又ハ借入セントスル倉庫又ハ敷地ノ所有者其ノ他ノ權利者ノ住所氏名及契約セントスル年項ノ概要ヲ記載シタル書面

十一　附屬設備ニ關スル事項ヲ記載シタル書面

十二　工事費、買收費又ハ借庫料ノ概算書及ビ年間ノ各年度別收支概算見込書

十三　工事ノ著手及竣功又ハ倉庫及附屬建物若ハ敷地ノ買入若ハ借入ノ豫定年月日ヲ記載シタル書面

第四條　朝鮮總督前條ノ申請書ヲ受理シ補助金ヲ交付スベキモノト認メタルトキハ補助金額、補助金交付ノ方法其ノ他ノ條件ヲ定メ指令書ヲ交付ス

第五條　補助金ヲ受クル者ハ工事ノ竣功又ハ倉庫及附屬建物若ハ敷地ノ買入若ハ借入ノ移了後一月內ニ費用精算書ヲ朝鮮總督ニ提出シ補助金ノ交付ヲ請求スベシ

第六條　補助金ヲ受クル者ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケベシ

一　替業所ヲ新設シ又ハ其ノ所在地ヲ變更セントスルトキ

二　第三條第二號、第五號乃至第十三條ニ揭グル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ

三　利益金ノ處分ヲ爲サントスルトキ

四　替業ヲ讓渡セントスルトキ

五　他ノ法人ト合併セントスルトキ

第七條　朝鮮總督前條第二號ノ認可ヲ爲スニ際シテハ其ノ變更ノ程度ニ應ジ補助金額又ハ補助金交付ノ方法ノ他ノ條件ヲ變更スルコトアルベシ

第八條　相續又ハ第六條第四號若ハ第五號ノ規定ニ依リ替業ヲ承繼シタル場合ニ於テハ其ノ替業ヲ承繼シタル者ヲ以テ補助金ヲ受クル者ト看做ス

第九條　工事竣功シ又ハ倉庫及附屬建物若ハ敷地ノ買入若ハ借入ヲ了シタルトキハ檢查ヲ行フ

第十條　費用精算額ガ補助金額算出ノ基礎トナリタル費用額ニ比シ增減アリタルトキハ其ノ增減ノ程度ニ應ジ補助金額ヲ變更スルコトアルベシ

第十一條　第六條第三號ノ規定ニ依ル利益金處分ノ認可申請書ニハ左ニ揭グル書類ヲ添附スベシ

一　財產目錄

二　貸借對照表

三　替業報告書

四　損益計算書

五　利益金處分案

認可ヲ受ケントスル者株式會社ナルトキハ定時總會開會前ニ前項ノ規定ニ依リ認可申請書ヲ提出スベシ

第十二條　補助金ヲ受クル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

一　補助金ヲ受クベキ工事ニ著手シ又ハ工竣功シタルトキ

二　倉庫及附屬建物又ハ敷地ノ買入又ハ借入ヲ了シタルトキ

三　替業ヲ開始シタルトキ（休止シタル替業ヲ開始シタルトキ場合ヲ含ム）

四　相續ニ依リ替業ヲ承繼シタルトキ

五　替業規則ヲ除ク外替業ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ之ヲ變更若ハ廢止シタルトキ

第十三條　補助金ヲ受クル者替業ヲ休止又ハ廢止セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第十四條　補助金ヲ受クル者ハ移出セラルベキ米穀ノ保管ニ支障ナキ場合ニ非ザレバ他ノ物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得ズ

第十五條　補助金ヲ受クル者ハ每替業年度終了後三月內ニ利益金處分明細書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十六條　朝鮮總督ハ公益上必要アリト認ムルトキハ補助金ヲ受クル者ニ對シ其ノ指定スル穀物ノ寄託ヲ受ケ、受寄物ノ檢查其ノ他ノ行爲ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十七條　朝鮮總督ハ補助金ヲ受クル者ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ倉庫、書類、帳簿又ハ業務執行若ハ財產ノ狀況ヲ檢查シ替業規則ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトアルベシ

第十八條　補助金ヲ受クル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ補助金ノ全部若ハ一部ノ交付ヲ停止若ハ廢止シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一　本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ

二　工事竣功ノ見込ナキニ至リタルトキ

三　倉庫及附屬建物又ハ敷地ノ買入又ハ借入ヲ爲サザルニ至リタルトキ

四　替業ノ全部又ハ一部ヲ休止又ハ廢止シタルトキ

五　前條ノ規定ニ依ル檢查ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタルトキ

六　詐欺其ノ他不正ノ手段ヲ以テ補助金交付ノ指令ヲ受ケ又ハ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ

附　則

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ニ規定スル補助金受付ノ申請期限ハ昭和六年度ニ限リ十二月末日迄トス

第四款　害蟲驅除豫防規則

●害蟲驅除豫防規則

大正二年一月
總令第一號

害蟲驅除豫防規則左ノ通定ム

害蟲驅除豫防規則

第一條　本規則ハ於テ害蟲ト稱スルハ農作物ヲ害スル各種ノ蟲類ヲ謂フ

第二條　驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法ハ之ヲ告示ス

前項ノ種類以外ノ害蟲發生シ急速ノ處分ヲ要スルトキハ地方長官ハ臨時驅除豫防ノ方法ヲ定メ之ヲ施行スルコトヲ得

第三條　田、畓其ノ他ノ地ノ耕作人又ハ所有者ニ於テ害蟲其ノ他ニ發生シ又ハ發生ノ虞アルコトヲ知リタルトキハ直ニ口頭又ハ書面ヲ以テ面長ニ屆出ツヘシ

前項ノ屆出ヲ受ケタル面長ハ府尹又ハ郡守ニ、府尹又ハ郡守ハ地方長官ニ急報スヘシ

第四條　害蟲田、畓ニ發生シ又ハ發生ノ虞アル害蟲ノ種類ニ應シ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ補助金ノ全部若ハ一部ノ交付ヲ停止若ハ廢止シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一　本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ

二　工事竣功ノ見込ナキニ至リタルトキ

三　倉庫及附屬建物又ハ敷地ノ買入又ハ借入ヲ爲サザルニ至リタルトキ

四　替業ノ全部又ハ一部ヲ休止又ハ廢止シタルトキ

五　前條ノ規定ニ依ル檢查ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタルトキ

六　詐欺其ノ他不正ノ手段ヲ以テ補助金交付ノ指令ヲ受ケ又ハ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ

附　則

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ニ規定スル補助金受付ノ申請期限ハ昭和六年度ニ限リ十二月末日迄トス

第四款　害蟲驅除豫防

●害蟲驅除豫防規則

大正二年一月
總令第一號

害蟲驅除豫防規則左ノ通定ム

害蟲驅除豫防規則

第一條　本規則ニ於テ害蟲ト稱スルハ農作物ヲ害スル各種ノ蟲類ヲ謂フ

第二條　驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法ハ之ヲ告示ス

前項ノ種類以外ノ害蟲發生シ急速ノ處分ヲ要スルトキハ地方長官ハ臨時驅除豫防ノ方法ヲ定メ之ヲ施行スルコトヲ得

第三條　田、畓其ノ他ノ地ノ耕作人又ハ所有者ニ於テ害蟲其ノ他ニ發生シ又ハ發生ノ虞アルコトヲ知リタルトキハ直ニ口頭又ハ書面ヲ以テ面長ニ屆出ツヘシ

前項ノ屆出ヲ受ケタル面長ハ府尹又ハ郡守ニ、府尹又ハ郡守ハ地方長官ニ急報スヘシ

第四條　害蟲田、畓ニ發生シ又ハ發生ノ虞アル害蟲ノ種類ニ應シ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ補助金ノ全部若ハ一部ノ交付ヲ停止若ハ廢止シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一　本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ

二　工事竣功ノ見込ナキニ至リタルトキ

三　倉庫及附屬建物又ハ敷地ノ買入又ハ借入ヲ爲サザルニ至リタルトキ

四　替業ノ全部又ハ一部ヲ休止又ハ廢止シタルトキ

五　前條ノ規定ニ依ル檢查ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタルトキ

六　詐欺其ノ他不正ノ手段ヲ以テ補助金交付ノ指令ヲ受ケ又ハ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ

附　則

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ニ規定スル補助金受付ノ申請期限ハ昭和六年度ニ限リ十二月末日迄トス

ルトキハ該田、畓ノ耕作人又ハ所有者ハ地方長官ノ命スル所ニ依リ其ノ驅除豫防ヲ行フヘシ

耕作人又ハ所有者前項ノ驅除豫防ヲ行ハサルトキハ地方長官ハ地方費ヲ以テ之ヲ行ヒ耕作人又ハ所有者ヨリ其ノ費用ヲ徵收スルコトヲ得

第五條　害蟲田、畓ニ蔓延シタルトキ若ハ蔓延ノ虞アルトキ又ハ害蟲田、畓以外ノ地ニ發生シタルトキ若ハ發生ノ虞アルトキハ地方長官ハ地方費ヲ以テ一定區域內ノ驅除豫防ヲ行フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ田、畓及其ノ以外ノ地ニ區別シ段別ヲ準率トシテ夫役ヲ其ノ施行區域內ノ田、畓及其ノ以外ノ地ノ耕作人又ハ所有者ニ賦課スルコトヲ得

第六條　地方長官ハ驅除豫防ノ爲必要アルトキハ堪莠ヲ設ケ又ハ農作物、樹木、藁稈、刈株、雜草ヲ拔棄、燒棄若ハ埋沒スルコトヲ得

第七條　土地所有者、管理者又ハ使用者ハ官吏及其ノ指揮ヲ承ケタル者ノ其ノ地ニ入リ驅除豫防ニ從事スルヲ拒ムコトヲ得ス

第八條　害蟲發生シ若ハ發生ノ虞アルトキ又ハ蔓延シ若ハ蔓延ノ虞アルトキハ地方長官ハ直ニ報告スヘシ

第九條　害蟲發生シ隣接道ニ蔓延ノ虞アルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ關係地方長官ニ急報スヘシ

第十條　害蟲二道以上ニ跨リ蔓延シタルトキ若ハ蔓延ノ虞アルトキハ關係地方長官ハ驅除豫防ノ方法及施行區域ヲ協定シ驅除豫防ヲ行フヘシ

第十一條　地方長官ハ第二條第二項、第四條第一項及第五條ノ驅除豫防ノ著手及終了ヲ其ノ都度報告スヘシ

第十二條　第四條第一項ノ屆出ヲ爲サザル者、第四條第一項ノ驅除豫防ヲ行ハサル者又ハ第七條ニ依レル官吏若ハ其ノ指揮ヲ承ケル者ノ行爲ヲ妨害スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ大正二年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●害蟲驅除豫防規則第二條第一項ニ依リ驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法

大正二年一月
總告第九號

改正　大正六年一二月三五號、昭和五年九月三六號

害蟲驅除豫防規則第二條第一項ニ依リ驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法左ノ通定ム

第一　害蟲ノ種類

一　浮塵子（ウンカ）　方言ウンカ蟬（ウンカせみ）　主ナル被害植物　稻

一　蝗（イナゴ）　同　バッタ蟲（バッタむし）　同　同

一　夜盜蟲（ヨトウむし）　同　ヨトウ蟲（ヨトウむし）　同　同

一　綿蟲（メンむし）　同　同　棉、燕麥

一　介殼蟲（カイガラむし）　同　同　苹果樹

一　黑金龜子（クロコガネ）　同　同　果樹

一　果蠹蟲（カクトむし）

第二　驅除豫防方法

一　浮塵子　畓ニ水チ湛ヘ一段歩一升以上ノ割合ニテ石油（魚油、荏油、豆油ノ類ニテモ可ナリ以下同シ）ヲ滴下シ葉莖ノ類ニテ叮嚀ニ油水ヲ稻株ニ灌キ掛ケ蟲ヲ水面ニ拂ヒ落シテ驅殺スヘシ

（一）灌水缺乏ノ畓（畓面ニ少量ノ水アル場合）ニ於テハ九尺以內ノ距離ニ細薄ヲ設ケ水ヲ薄中ニ湛ヘ薄路十間ニ付石油一合五勺以上ノ割合ニテ滴下シ油水ヲ稻株ニ灌キ掛ケ蟲ヲ洗ヒ落シテ驅殺スヘシ

（二）灌水缺乏ノ畓ニ於テハ捕蟲網ヲ用ヒテ捕殺シ或ハ適宜ノ受蟲器ヲ樹下ニ設キ拂ヒ落シテ石油又ハ熱湯ヲ注キ殺スヘシ

一　蝗蟲

（一）苗代ニテ採卵ヲ行ヒ且母蝗ヲ捕殺スヘシ

（二）袋掛方法ニ依リ果實蟲ノ果實中ニ喰入スルヲ防止スヘシ

一　夜盜蟲

（一）藥劑ヲ防止スヘシ

（二）藥劑ハ砒酸鉛、硫酸ニコチン、ネオトン、デリス石鹼類ヲ使用シ時期ニ應シ適宜之ヲ薄メ噴霧器ヲ以テ撒布スヘシ

第五款　肥料

●朝鮮肥料取締令

昭和二年九月
制令第十四號

朝鮮肥料取締令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ公布ス

朝鮮肥料取締令

第一條　肥料ノ取締ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外肥料取締法ニ依ル但シ同法第五條及第十一條第二號ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

肥料取締法中主務大臣トアルハ朝鮮總督トス

第二條　朝鮮總督ハ肥料營業者ヲ除クノ外自家用ニ非ザル肥料ノ製造、輸入、移入又ハ賣買ヲ爲ス者ニ對シ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ本令ノ全部又ハ一部ヲ適用スルコトヲ得

第三條　當該官吏ハ肥料營業者、運送業者、運送取扱業者又ハ倉庫業者ノ店舖、倉庫、工場、船車等ニ臨檢シ帳簿物件ヲ檢查シ必要ナル分析ニ限リ無償ニテ肥料又ハ製造原料ヲ收去スルコトヲ得

當該官吏臨檢ノ際肥料ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ捜索ヲ爲シ、犯罪嫌疑者若ハ參考人ニ質問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スベキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、捜索、質問及差押ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ當該官吏ノ臨檢、檢查、收去、捜索若ハ差押ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者、質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者又ハ虛僞ノ記載ヲ爲シタル帳簿ヲ提示シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

肥料取締法

第一條

肥料ノ取締ニ關シテハ本法ノ定ムル所ニ依ル

第二條

本法ニ於テ肥料ト稱スルハ植物ノ栽培ニ供スル目的ヲ以テ販賣スル物品ニシテ左ニ掲クルモノヲ謂フ

一 人造肥料

二 前號ノ外主トシテ植物ノ栄養ニ供スル目的ヲ以テ販賣スル物品

三 前二號ノ肥料ニ混和シテ使用スル目的ヲ以テ販賣スル物品

第三條

肥料ニハ其ノ名稱、保證成分量及製造者又ハ販賣者ノ氏名又ハ商號ヲ表示スヘシ

第四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ包裝スヘシ

第五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ貯藏スヘシ

第六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ運搬スヘシ

第七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ陳列スヘシ

第八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ販賣スヘシ

第九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ使用スヘシ

第十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ廢棄スヘシ

第十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ處分スヘシ

第十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第三十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第三十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第三十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第三十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第三十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第三十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第三十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第三十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第三十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第三十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第四十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第四十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第四十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第四十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第四十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第四十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第四十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第四十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第四十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第四十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第五十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第五十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第五十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第五十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第五十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第五十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第五十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第五十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第五十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第五十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第六十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第六十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第六十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第六十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第六十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第六十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第六十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第六十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第六十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第六十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第七十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第七十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第七十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第七十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第七十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第七十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第七十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第七十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第七十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第七十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第八十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第八十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第八十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第八十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第八十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第八十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第八十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第八十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第八十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第八十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第九十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第九十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第九十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第九十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第九十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第九十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第九十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第九十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第九十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第九十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百二十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百二十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百二十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百二十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百二十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百二十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百二十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百二十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百二十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百二十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百三十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百三十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百三十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百三十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百三十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百三十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百三十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百三十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百三十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百三十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百四十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百四十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百四十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百四十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百四十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百四十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百四十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百四十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百四十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百四十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百五十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百五十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百五十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百五十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百五十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百五十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百五十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百五十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百五十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百五十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百六十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百六十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百六十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百六十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百六十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百六十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百六十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百六十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百六十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百六十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百七十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百七十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百七十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百七十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百七十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百七十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百七十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百七十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百七十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百七十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百八十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百八十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百八十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百八十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百八十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百八十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百八十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百八十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百八十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百八十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百九十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百九十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百九十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百九十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百九十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百九十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百九十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百九十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百九十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第百九十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百二十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百二十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百二十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百二十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百二十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百二十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百二十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百二十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百二十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百二十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百三十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百三十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百三十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百三十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百三十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百三十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百三十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百三十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百三十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百三十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百四十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百四十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百四十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百四十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百四十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百四十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百四十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百四十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百四十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百四十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百五十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百五十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百五十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百五十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百五十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百五十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百五十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百五十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百五十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百五十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百六十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百六十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百六十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百六十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百六十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百六十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百六十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百六十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百六十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百六十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百七十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百七十一條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百七十二條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百七十三條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百七十四條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百七十五條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百七十六條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百七十七條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百七十八條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百七十九條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百八十條

肥料ニハ其ノ品質ヲ變セサル爲メ適當ナル方法ヲ以テ檢査スヘシ

第二百八十一條

主若ハ管理者、従業者、同居者又ハ隣佑ニシテ成年ニ達シタル者ノ立會ヲ以テ之ヲ為スベシ

牧去シタル肥料又ハ製造原料ハ之ヲ容器ニ密封シ之ニ肥料又ハ製造原料ノ名稱、肥料營業者ノ氏名竝牧去ノ年月日及場所ヲ記載シ官吏及立會人之ニ署名封印スベシ立會人署名封印セズ又ハ署名封印スルコト能ハザルトキハ其ノ旨附記スベシ

第十九條　朝鮮肥料取締令第三條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル臨檢、捜索、質問及差押ニ關シテハ朝鮮關係犯則者處分令施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十三條ノ規定ヲ準用ス

第二十條　肥料營業者カ肥料ヲ輸入若ハ移入シタルトキ又ハ輸入地若ハ移入地ニ於テ輸入若ハ移入ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚又ハ荷卸後遅滞ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先竝陸揚又ハ荷卸ノ場所及年月日ヲ陸揚又ハ荷卸地ヲ管轄スル道知事ニ届出ヅベシ

第二十一條　肥料營業者ハ各營業所ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ讓受ケ又ハ肥料營業者ニ之ヲ讓渡スル毎ニ其ノ名稱、數量（價額、年月日竝相手方ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ主タル事務所ノ所在地）ヲ記載スベシ

肥料製造營業者ハ前項ノ外其ノ製造場ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ製造スル毎ニ其ノ名稱、數量及年月日ヲ記載スベシ

前二項ノ帳簿ハ之ニ最終ノ記載ヲ為シタル日ヨリ二年以上之ヲ保存スベシ

第二十二條　肥料製造營業者ハ各製造場ニ於テ前年中ニ製造シタル肥料及製造ノ原料ニ供シタル肥料ニ付名稱別ノ數量及價額ヲ毎年二月末日迄ニ其ノ製造場所在ノ場所ヲ管轄スル道知事ニ届出ヅベシ

肥料營業者ハ各營業所ニ於テ前年中ニ輸入、移入、輸出又ハ移出シタル肥料ニ付前項ノ規定ニ準ジ其ノ營業所在ノ場所ヲ管轄スル道知事ニ届出ヅベシ

前二項ノ規定ニ依リ届出ヅベキ事項ヲ除キ其ノ旨届出ヅベキ事項ヲ記載スベシ

附　則

本令ハ昭和三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮總督府農事試驗場肥料又ハ製造原料分析及鑑定規則

昭和三年二月
總令第六號

改正　昭和五年一月七日第六号

朝鮮總督府勧業模範場肥料又ハ製造原料分析及鑑定規則左ノ通定ム

朝鮮總督府農事試驗場肥料又ハ製造原料分析及鑑定規則

第一條　朝鮮總督府農事試驗場ニ肥料又ハ製造原料ノ分析又ハ鑑定ヲ依頼セントスル者ハ第一號様式ニ依ル分析又ハ鑑定依頼書ニ供試品ヲ添ヘ提出スベシ

第二條　前條ノ規定ニ依リ分析又ハ鑑定ヲ依頼セントスル者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納付スベシ

一　定性分析　　毎一件一成分
二　定量分析　　毎一件一成分
シ水分、有機物、灰分又ハ土砂毎一件一成分五十錢、加里毎一件一成分三

三　鑑定　　四トス
其ノ都度農事試驗場長之ヲ定ム

第三條　前條ニ規定スル手數料ハ收入印紙ヲ分析又ハ鑑定依頼書ニ貼附シテ之ヲ納付スベシ

收入印紙ノ消印ハ農事試驗場ニ於テ之ヲ押捺ス

第四條　分析又ハ鑑定ノ為提出スベキ供試品ノ數量左ノ如シ但シ農事試驗場長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ之ヲ增加セシムルコトアルベシ

一　販賣肥料　　三百グラム
二　販賣肥料以外ノ肥料　　二キログラム
三　製造原料　　五百グラム

第五條　農事試驗場長ニ於テ分析若ハ鑑定ノ必要ナシト認ムルトキ又ハ分析若ハ鑑定ヲ為スコト能ハザルトキハ依頼ヲ拒絶スルコトヲ得

第六條　分析又ハ鑑定供試品ハ之ヲ還付セズ但シ前條ノ規定ニ依リ分析又ハ鑑定ノ依頼ヲ拒絶シタルモノニ付テハ其ノ旨通知ノ日ヨリ二週間以内ニ依頼者ヨリ請求アリタル場合ニ限リ之ヲ還付ス

前項但書ノ場合ニ於テ還付ニ要スル費用ハ依頼者ノ負擔トス

第七條　分析又ハ鑑定ヲ結了シタルトキハ第二號様式ニ依ル成績書ヲ依頼者ニ交付ス

第八條　分析又ハ鑑定依頼者ニ於テ成績書ノ複本ノ交付ヲ請求セントスルトキハ第三號様式ニ依ル分析又ハ鑑定成績書複本下付願書ニ手數料トシテ複本一通ニ付二十錢ノ割合ヲ以テ收入印紙ヲ貼附シ之ヲ提出スベシ

第九條　分析又ハ鑑定依頼者ニ於テ成績書ノ交付ヲ以テ收入印紙ヲ貼收セズ公共團體又ハ產業組合ノ依頼ニ係ルモノニ對シテハ手數料ヲ半減ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

分析「鑑定」依頼書

貼附シタル收入印紙ノ額（何程）

（消印ヲ要セズ）

一　供試品名（肥料又ハ製造原料名）
二　生產地名又ハ製造地名
三　生產者名又ハ製造者名
四　當時ノ價格（一單位ノ價格）
五　分析ヲ要スル成分「鑑定ヲ要スル事項」
右定性（定量）分析「鑑定」相成度候也

年　月　日

現住所
職業　氏名　㊞

朝鮮總督府農事試驗場御中

第二號様式

第　號

分析「鑑定」成績書

供試品名
一　何

現住所
依頼者　氏名

定性（定量）分析「鑑定」成績

一　何

右依頼者ヨリ本場ニ提出シタル供試品ニ付施行シタル分析「鑑定」ノ結果ナルコトヲ證ス

年　月　日

朝鮮總督府農事試驗場㊞

第三號様式

分析「鑑定」成績書複本下付願

收入印紙（消印）

（何年何月何日第何號下付相成候）成績書複本何通御下付相成度候也

年　月　日

現住所
氏　名　㊞

朝鮮總督府農事試驗場御中

テハ此ノ限ニ在ラズ

肥料營業者カ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ其ノ届出ト同時ニ前三項ノ規定ニ準ジ届出ヅベシ

肥料營業者カ死亡シタルトキハ其ノ相續人ニ於テ其ノ届出ト同時ニ第一項乃至第三項ノ規定ニ準ジ届出ヅベシ

第二十三條　肥料營業ニ關スル免許、認可若ハ免許ノ取消、營業ノ停止若ハ制限又ハ營業ニ關スル行為ノ禁止ニ關スル處分ヲ製造營業ニ在リテハ製造場所在ノ場所ヲ輸入、移入又ハ賣買營業ニ在リテハ營業所在ノ場所ヲ管轄スル道知事之ヲ行フモノトス

第二十四條　肥料營業者ヲ除クノ外自家用ニ非ザル肥料ヲ輸入又ハ移入セントスル者ハ願書ニ左ノ各號ニ掲ゲル事項ヲ記載シ道知事ノ認可ヲ受クベシ

一　肥料ノ名稱、數量及價額、第十四條第一項各號ニ掲ゲル肥料ニ在リテハ尚其ノ保證成分其ノ二　製造者ノ氏名（其ノ氏名不明ナルトキハ生產地）
三　輸入又ハ移入ノ期日及場所
四　調合肥料ニ在リテハ其ノ原料ノ名稱及成分並
五　用途

第二十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第四條、第七條第一項及第四項、第八條乃至第十二條、第十七條、第二十條乃至第二十二條又ハ第二十四條ノ規定ニ違反シタル者

二　肥料ノ效能ヲ誇稱シテ虚僞ノ廣告ヲ為シタル者

三　保證票ノ添附ヲ要セザル肥料ニ虚僞ノ主成分並ヲ記載シタル票箋ヲ添附シタル者

附　則

本令ハ朝鮮肥料取締令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ製造、輸入又ハ移入シタル肥料ヲ所有スル者ニシテ肥料取締法第二條ニ規定スル肥料ニ關スル營業ヲ為ス者ハ本令施行ノ日ヨリ一月以内ニ肥料ノ名稱及數量ヲ肥料營業者ノ場所ヲ管轄スル道知事ニ届出ヅベシ

本令ニ依リ保證票ノ添附ヲ要スル肥料ニ在リテハ容器一箇ニ付十分ニ混合攪拌シテ其ノ一部ヲ牧去スベシ但シ有ノ方法ニ依ル代表的標品ヲ牧去スルコト能ハズト認ムルトキハ其ノ一部ヲ適當ノ器物ニ移シ更ニ十分ニ混合攪拌シ漸次均等ニ分別シテ其ノ一部ヲ牧去スベシ

第二十六條　前條ニ規定スル方法ニ依リ牧去シタル物料ハ之ヲ硝子瓶ニ容レ朝鮮肥料取締令施行規則第十八條第二項ノ手續ヲ為スベシ但シ牧去物ガ容易ニ其ノ成分ニ變化ヲ來ス虞アルモノ又ハ其ノ容器ヲ紙製二重袋ト為スコトヲ得

第二十七條　肥料檢查ノ為勤業模範場ニ肥料又ハ製造原料ノ分析又ハ鑑定ノ請求ヲ為サントスルトキハ前條ノ手續ヲ為シタル肥料又ハ製造原料ヲ密封ノ儘差出スベシ

第二十八條　前條ニ規定スル肥料又ハ製造原料ノ分析請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　流動狀態ノ肥料又ハ罐入若ハ樽入等ノ肥料ニ在リテハ容器一箇ニ付十分ニ混合攪拌シテ其ノ一部ヲ牧去スベシ但シ有ノ方法ニ依ル代表的標品ヲ牧去スルコト能ハズト認ムルトキハ其ノ一部ヲ適當ノ器物ニ移シ更ニ十分ニ混合攪拌シ漸次均等ニ分別シテ其ノ一部ヲ牧去スベシ

二　前各號ノ場合ニ於テ其ノ數量多額ナルカ或ハ同一名稱ノ肥料ニシテ其ノ品質一樣ナラズト認ムルトキハ二三箇ニ付各箇別ニ前各號ノ方法ニ依リ牧去スベシ

三　虚僞ノ保證票添附ノ疑アル場合ニ在リテハ前各號ニ規定スル方法ニ依リ牧去スルノ外現在品總數十箇未滿ノ場合ニ在リテハ三箇、五十箇未滿ノ場合ニ在リテハ五箇、五十箇以上三百箇未滿ノ場合ニ在リテハ其ノ總數ノ約一割、三百箇以上ノ場合ニ在リテハ三十箇ノ容器中ヨリ各等量ヲ採收シ十分ニ之ヲ混合シテ其ノ一部ヲ牧去スベシ

七　粉末狀態ノ肥料ニシテ之ヲ撒積セル場合ニ在リテハ其ノ集積ニ付數箇所ヨリ採收シ十分ニ之ヲ混合シ漸次均等ニ分別シテ其ノ一部ヲ牧去スベシ

八　犯則事實ノ證明ニ供セントスル場合ニ在リテハ前各號ニ規定スル方法ニ依リ同一標品各三箇以上ヲ牧去シ內一箇ハ分析鑑定ノ用ニ供シ一箇ハ該事件ノ終了スル迄地方廳ニ保存シ置クベシ

第二條　前條ニ規定スル方法ニ依リ牧去シタル物料ハ之ヲ硝子瓶ニ容レ朝鮮肥料取締令施行規則第十八條第二項ノ手續ヲ為スベシ但シ牧去物ガ容易ニ其ノ成分ニ變化ヲ來ス虞アルモノ又ハ其ノ容器ヲ紙製二重袋ト為スコトヲ得

第三條　肥料檢查ノ為勤業模範場ニ肥料又ハ製造原料ノ分析又ハ鑑定ノ請求ヲ為サントスルトキハ前條ノ手續ヲ為シタル肥料又ハ製造原料ヲ密封ノ儘差出スベシ

第四條　前條ニ規定スル肥料又ハ製造原料ノ分析請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

●朝鮮肥料取締令ニ依ル肥料又ハ製造原料ノ牧去、分析及鑑定方ニ關スル件

昭和二年十二月
總訓第三十七號

道知事

朝鮮肥料取締令ニ依ル肥料又ハ製造原料ノ牧去、分析及鑑定方ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　朝鮮肥料取締令第三條第一項ノ規定ニ依リ肥料又ハ製造原料ヲ牧去セントスルトキハ左ノ各號ニ掲ゲル方法ニ依ルベシ

一　吸入、俵入又ハ袋入ノ粉末狀態ノ肥料ニ在リテハ容器一箇ニ付適宜數箇所ヨリ刺チ以テ拔キ取リ十分ニ之チ混合シ漸次均等ニ分別シテ其ノ一部チ牧去スベシ但シ刺チ以テ拔キ取ルモ代表的標品チ牧去スルコト能ハズト認ムルトキハ容器一箇チ開キ十分ニ混合攪拌シ其ノ一部チ適當ノ器物ニ移シ更ニ十分ニ混合シ漸次均等ニ分別シテ其ノ一部チ牧去スベシ

二　魚肥其ノ他粉末狀態ナラザル肥料（別號ニ掲ゲルモノチ除ク）ニ在リテハ容器チ開キ蓋上其ノ他適當ノ器物ニ移シ十分ニ之チ混合ノ漸次均等ニ分別シテ其ノ一部チ牧去スベシ

三　油粕類其ノ他一定ノ固塊チ為セル肥料ニ在リテハ其ノ固塊一箇ニ付數箇所ヨリ崩壞シ十分ニ之チ混合シ漸次均等ニ分別シテ其ノ一部チ牧去スベシ（此ノ種ノ肥料ハ一固塊中其ノ中央部ト周緣部トニ依リ肥料成分含有量ニ相當差等アルベキチ以テ特ニ注意スルコト）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第六款　米穀

㊀米穀統制法ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

昭和八年十月
勅令第二百七十九號

朕米穀統制法ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

米穀統制法第七條乃至第九條及第十二條竝ニ附則第三項及第四項ノ規定ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附　則

本令ハ米穀統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

㊁米穀統制法

昭和八年三月
法律第二十四號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル米穀統制法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

米穀統制法

第一條　政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節シ米穀ノ統制ヲ圖ル爲本法ニ依リ米穀ノ買入及賣渡ヲ行フ

第二條　政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ毎年米穀ノ最低價格及最高價格ヲ公定シ之ヲ告示ス

前項ノ最低價格及最高價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費、家計費及物價其ノ他經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

前項ノ規定ニ依リ定メタル最低價格又ハ最高價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ物價ノ變動著シキ場合又ハ米穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ生ジ若ハ生ズルノ虞アル場合ニ於テハ之ヲ改定スルコトヲ得

第三條　政府ハ前條ノ最低價格又ハ最高價格ヲ維持スル爲勅令ノ定ムル所ニ依リ最低價格ニ依ル賣渡ノ申込又ハ最高價格ニ依ル買入ノ申込ニ應ジテ米穀ノ賣渡又ハ買入ヲ爲ス

前項ノ賣渡又ハ買入ハ米穀ノ生産費、家計費及物價其ノ他經濟事情ヲ參酌シテ勅令ノ定ムル所ニ依リ定メタル最低價格又ハ最高價格ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

第四條　政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ毎年米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節シ米穀ノ統制ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産者、米穀ノ賣渡ヲ爲ス者又ハ米穀ノ賣渡ヲ爲シタル者ニ對シ米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ命ジ又ハ米穀生産者、米穀ノ賣渡ヲ爲ス者又ハ米穀ノ賣渡ヲ爲シタル者ニ對シ米穀ノ保有ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ若ハ其ノ職員ヲシテ米穀生産者、米穀ノ賣渡ヲ爲ス者又ハ米穀ノ賣渡ヲ爲シタル者ノ業務ニ關シ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第五條　政府ハ必要ニ應ジ所有米穀ノ貯藏、買換、交換、加工及整理ヲ爲ス爲又ハ輸入若ハ輸出ノ爲勅令ノ定ムル所ニ依リ輸出入ヲ目的トスル米穀ノ買入及輸出ヲ目的トスル米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第六條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀ノ買換ヲ爲サントスル者ニ對シ貸付スルコトヲ得

第七條　米穀ノ輸入又ハ輸出ハ勅令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第八條　政府ハ米穀ノ統制ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産者、米穀ノ賣渡ヲ爲ス者又ハ米穀ノ賣渡ヲ爲シタル者ニ對シ其ノ期間ヲ指定シ米、粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ制限シ又ハ米穀生産者、米穀ノ賣渡ヲ爲ス者又ハ米穀ノ賣渡ヲ爲シタル者ニ對シ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ禁止シ若ハ制限シ又ハ米穀生産者、米穀ノ賣渡ヲ爲ス者又ハ米穀ノ賣渡ヲ爲シタル者ニ對シ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ爲ス者ニ對シ其ノ輸入ヲ爲シタル後ト雖モ仍其ノ期間ヲ指定シ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第九條　政府ハ米穀ノ統制ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ爲ス者又ハ輸入ヲ爲シタル後ト雖モ仍其ノ期間ヲ指定シ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第十條　米穀生産者、家計費竝ニ米穀其ノ他ノ穀物ノ生産高、現在高、移動及價格ノ調査ニ關シ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産者、米穀ノ賣渡ヲ爲ス者又ハ米穀ノ賣渡ヲ爲シタル者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ其ノ職員ヲシテ米穀生産者、米穀ノ賣渡ヲ爲ス者又ハ米穀ノ賣渡ヲ爲シタル者ノ業務ニ關シ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第十一條　政府ハ前條ニ規定スル事項其ノ他米穀ノ統制ニ關シ必要ナル事項ヲ調査スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産者、米穀ノ賣渡ヲ爲ス者又ハ米穀ノ賣渡ヲ爲シタル者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ其ノ職員ヲシテ米穀生産者、米穀ノ賣渡ヲ爲ス者又ハ米穀ノ賣渡ヲ爲シタル者ノ業務ニ關シ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第十二條　米穀ノ賣渡又ハ輸出ハ勅令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第十三條　第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ職務ノ執行ヲ妨グタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和八年十月勅令第二百七十八號ヲ以テ昭和八年十一月一日ヨリ施行）

米穀法ハ之ヲ廢止ス

本法施行前米穀法第三條ノ規定ニ依リ之ヲ爲シタル許可ハ本法第七條ノ規定ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

本法施行前ニ米穀法ノ罰則ヲ適用スベキ行爲ニ付テハ本法施行ノ後ト雖モ仍其ノ罰則ヲ適用ス

昭和十一年五月
法律第二十三號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル米穀統制法中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

米穀統制法中左ノ通改正ス

第二條第三項中「前項ヲ」ヲ「前二項ヲ」ニ改ム

第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

政府ハ第一項ノ最低價格ノ決定ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ金利及保管料ヲ加算スルコトヲ得

第四條ノ二　政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ災害、事變其ノ他避ケ難キ事由ニ依リ米穀ノ配給上特ニ必要アリト認ムルトキハ米穀ノ市價ニ惡影響ヲ及ボサザル場合ニ限リ所有米穀ノ總數量ヨリ最高價格ヲ維持スル爲必要ナル數量ヲ控除シタル數量ノ範圍内ニ於テ道府縣ニ對シ米穀ノ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

前項ノ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第八條及第九條中「高粱又ハ黍」ヲ「高粱、黍、小麥又ハ小麥粉」ニ改ム

第十二條中「高粱若ハ黍」ヲ「高粱、黍、小麥若ハ小麥粉」ニ、「高粱又ハ黍」ヲ「高粱、黍、小麥又ハ小麥粉」ニ改ム

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條ノ二ノ規定ニ依ル米穀ノ賣渡ニ關スル一切ノ裁判ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

㊂米穀統制法施行令

昭和八年十月
勅令第二百八十號
改正　昭和二〇年二第三〇八號

朕米穀統制法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

米穀統制法施行令

第一條　米穀統制法第二條ノ最低價格及最高價格ハ毎年十二月東京市及大阪市ニ於ケル價格ニ付之ヲ公定ス

前項ノ最低價格及最高價格ハ當該年産ノ內地米ニシテ農林大臣ノ告示スル銘柄及等級ノ米ニ付之ヲ定ム

第二條　最低價格ハ農林大臣ノ定ムル標準最低價格ヲ標準トシ其ノ他ノ銘柄及等級ノ米ニ付之ヲ定ム

第三條　最高價格ハ農林大臣ノ定ムル標準最高價格ヲ標準トシ其ノ他ノ銘柄及等級ノ米ニ付之ヲ定ム

第四條　米穀統制法第三條ノ規定ニ依ル賣渡ノ申込ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ズ

一　申込數量ガ命令ノ定ムル數量ニ達セザルトキ

二　買古其ノ他不當ノ利得ヲ圖ル目的ヲ以テ申込ヲ爲シタルモノト認メタルトキ

第五條　第二條ノ規定ニ依ル最高價格ニ依ル賣渡ノ申込アリタル場合ニ於テ賣渡ノ申込ヲ爲シタル銘柄及等級ノ米ヲ所有セザルトキハ政府ハ賣渡ノ申込ノ際反對ノ意思ヲ表示シタル場合ヲ除クノ外他ノ銘柄及等級ノ米穀ヲ賣渡スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ第三條ノ規定ニ依ル最高價格ノ定ナキ銘柄及等級ノ米穀ヲ賣渡ス場合ニ於テハ其ノ價格ハ農林大臣之ヲ定メ公示ス

第六條　第三條第二項ノ家計米價ハ命令ノ定ムル所ニ依リ白米一石當價格ヲ玄米一石當價格ニ換算シテ之ヲ定ム

前項ノ白米一石當價格ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ毎年調査シタル各世帶ノ家計費（例外ト認ムルモノヲ除ク）ニ依リ算定スル平均家計費中ノ米代平均數量、嗜好品費、交際費、修養娛樂費、旅行費及貯金額ノ合計額ニ別ニ皆示スル割合ヲ乘ジタル額トノ合計額ヲ平均一世帶當白米消費量トシテ以テ除シテ之ヲ算出ス

第七條　米穀統制法第三項ノ規定ニ依ル賣渡及買入ハ同時期ニ於テ之ヲ行フ但シ八月ヨリ十月迄ノ間ニ於テ賣渡ヲ行ヒ新米ノ出廻期ニ於テ買入ヲ行フ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ買入ヲ爲ス場合ニ於テ第十二條第一項但書ノ平均價格ガ標準最高價格ヲ現ニ超エ又ハ超エントスルノ虞アルトキハ買入ハ其ノ間之ヲ行ハザルモノトス

第八條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル米穀ノ賣付ハ道府縣ニ於テ米穀ヲ市町村、產業組合ニ於テ米穀ヲ市町村、產業組合又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル條件ヲ以テ賣付ケ又ハ賣渡ヲ爲サントスル場合ニ之ヲ行フ

第九條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依リ米穀ノ賣付ヲ受ケタル道府縣ハ賣付ヲ受ケタル米穀ヲ同一銘柄及等級ノ米穀ト混合シ又ハ之ヲ賣渡ス場合ニ於テハ其ノ混合又ハ賣渡ノ時期ニ關シ農林大臣ノ指定スル前項ノ規定ニ依ル賣渡ニ付テハ米穀ノ賣渡ニ關スル一切ノ裁判ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

第十條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル賣渡ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ金利及保管料ヲ加算スルコトヲ得

第十一條　政府ハ米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル賣渡ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ賣渡ヲ爲ス者ニ對シ貸付スルコトヲ得

第十二條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル賣渡ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀ノ賣渡ヲ爲ス者ニ對シ其ノ賣渡ヲ爲シタル後ト雖モ仍其ノ期間ヲ指定シ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第十三條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル賣渡ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀ノ賣渡ヲ爲ス者ニ對シ其ノ賣渡ヲ爲シタル後ト雖モ仍其ノ期間ヲ指定シ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ禁止シ若ハ制限シ又ハ米穀ノ賣渡ヲ爲ス者ニ對シ其ノ輸入ヲ爲シタル後ト雖モ仍其ノ期間ヲ指定シ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第十四條　米穀ノ賣換ヲ行フ場合ニ於ケル賣渡及買入ハ同時期ニ於テ之ヲ行フ但シ八月ヨリ十月迄ノ間ニ於テ賣渡ヲ行ヒ新米ノ出廻期ニ於テ買入ヲ行フ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル米穀ノ賣付ハ道府縣ニ於テ米穀ヲ市町村、產業組合ニ於テ米穀ヲ市町村、產業組合又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル條件ヲ以テ賣付ケ又ハ賣渡ヲ爲サントスル場合ニ之ヲ行フ

第十六條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依リ米穀ノ賣付ヲ受ケタル道府縣ハ賣付ヲ受ケタル米穀ト同一銘柄及等級ノ米穀ト混合シ又ハ之ヲ賣渡ス場合ニ於テハ其ノ混合又ハ賣渡ノ時期ニ關シ農林大臣ノ指定スル前項ノ規定ニ依ル賣渡ニ付テハ米穀ノ賣渡ニ關スル一切ノ裁判ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

第十七條　賣付又ハ返還ノ爲ニスル米穀ノ受渡ハ農林大臣ノ指定スル倉庫ニ於テ之ヲ行フ

第十八條　米穀統制法第七條ノ規定ニ依ル米穀ノ輸入又ハ輸出ノ許可ハ內地ニ於テハ農林大臣、朝鮮ニ於テハ朝鮮總督、臺灣ニ於テハ臺灣總督、樺太ニ於テハ樺太廳長官之ヲ

樺太廳長官ノ米穀管理ニ之ヲ定ム

前項ノ標準最低價格ハ當該年產米穀ノ生產費ニ運賃諸掛ヲ加ヘタル額ト米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格トノ範圍內ニ於テ之ヲ定ム

前項ノ農林大臣ノ定ムル價格トノ範圍內ニ於テ之ヲ定ム

前項ノ農林大臣ノ定ムル價格ハ米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ノ下値二割ニ相當スル價格ト下値二割ニ相當スル價格トノ範圍內ニ於テ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第三條　最高價格ハ農林大臣ノ定ムル標準最高價格ト前條ノ標準最低價格トノ差額ヲ前條ノ規定ニ依リ定メタル各銘柄及等級ノ米穀ノ最低價格ニ加ヘタル之ヲ定ム

前項ノ標準最高價格ハ當該年ニ調査シタル家計費ヲ基礎トシテ算出シタル價格（家計米價ト稱ス）ト米價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ニ基キ農林大臣ノ定ムル價格トノ範圍內ニ於テ之ヲ定ム

前項ノ農林大臣ノ定ムル價格ハ米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ノ上値二割ニ相當スル價格ト上値三割ニ相當スル價格トノ範圍內ニ於テ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第四條　米穀統制法第二條ノ米穀生產費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ毎年調査シタル各農家ノ玄米一石當生產費（例外ト認ムルモノヲ除ク）ヲ平均シテ之ヲ算出ス

前項ノ玄米一石當生產費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ニ揭ゲル費用ノ合計額ヨリ副收入ノ金額ヲ控除シタル額ヲ以テ除シテ之ヲ算出ス

一　種苗代

二　肥料代

三　勞賃

四　畜力費

五　諸材料費

六　農舍費

七　農具費

八　租稅其ノ他ノ公課

九　部落協議費又ハ之ニ準ズルモノ（水利費又ハ耕地整理ノ負擔金ヲ含ム）

十　土地資本利子

十一　小作料

十二　米穀檢查手數料

前項各號ニ揭ゲル事項、副收入及米穀收支ノ調查方法ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條　第二條第二項ノ運賃諸掛ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ揭ゲル費用ノ合計額ヲ平均シテ之ヲ算出ス

一　農林大臣ノ指定スル地方主要米穀集散地ニ於テ要スル小運送費及積込費

二　前號ノ地方主要米穀集散地ヨリ第一條ノ地迄ノ鐵道又ハ船舶ノ運賃

三　第一條ノ地ニ於テ要スル積卸費及小運送費

第六條　第三條第二項ノ家計米價ハ命令ノ定ムル所ニ依リ白米一石當價格ヲ玄米一石當價格ニ換算シテ之ヲ定ム

前項ノ白米一石當價格ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ毎年調查シタル各世帶ノ家計費（例外ト認ムルモノヲ除ク）ニ依リ算定スル平均家計費中ノ米代平均數量、嗜好品費、交際費、修養娛樂費、旅行費及貯金額ノ合計額ニ別ニ皆示スル割合ヲ乘ジタル額トノ合計額ヲ平均一世帶當白米消費量トシテ以テ除シテ之ヲ算出ス

第七條　米穀統制法第三項ノ規定ニ依ル賣渡及買入ハ同時期ニ於テ之ヲ行フ但シ八月ヨリ十月迄ノ間ニ於テ賣渡ヲ行ヒ新米ノ出廻期ニ於テ買入ヲ行フ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ買入ヲ爲ス場合ニ於テ第十二條第一項但書ノ平均價格ガ標準最高價格ヲ現ニ超エ又ハ超エントスルノ虞アルトキハ買入ハ其ノ間之ヲ行ハザルモノトス

第八條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル米穀ノ賣付ハ道府縣ニ於テ米穀ヲ市町村、產業組合ニ於テ米穀ヲ市町村、產業組合又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル條件ヲ以テ賣付ケ又ハ賣渡ヲ爲サントスル場合ニ之ヲ行フ

第九條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依リ米穀ノ賣付ヲ受ケタル道府縣ハ賣付ヲ受ケタル米穀ト同一銘柄及等級ノ米穀ト混合シ又ハ之ヲ賣渡ス場合ニ於テハ其ノ混合又ハ賣渡ノ時期ニ關シ農林大臣ノ指定スル前項ノ規定ニ依ル賣渡ニ付テハ米穀ノ賣渡ニ關スル一切ノ裁判ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

第十條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル賣渡ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ金利及保管料ヲ加算スルコトヲ得

第十一條　政府ハ米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル賣渡ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ賣渡ヲ爲ス者ニ對シ貸付スルコトヲ得

第十二條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル賣渡ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀ノ賣渡ヲ爲ス者ニ對シ其ノ賣渡ヲ爲シタル後ト雖モ仍其ノ期間ヲ指定シ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第十三條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル賣渡ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀ノ賣渡ヲ爲ス者ニ對シ其ノ賣渡ヲ爲シタル後ト雖モ仍其ノ期間ヲ指定シ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ禁止シ若ハ制限シ又ハ米穀ノ賣渡ヲ爲ス者ニ對シ其ノ輸入ヲ爲シタル後ト雖モ仍其ノ期間ヲ指定シ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第十四條　米穀ノ賣換ヲ行フ場合ニ於ケル賣渡及買入ハ同時期ニ於テ之ヲ行フ但シ八月ヨリ十月迄ノ間ニ於テ賣渡ヲ行ヒ新米ノ出廻期ニ於テ買入ヲ行フ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ買入ヲ爲ス場合ニ於テ第十二條第一項但書ノ平均價格ガ標準最高價格ヲ現ニ超エ又ハ超エントスルノ虞アルトキハ買入ハ其ノ間之ヲ行ハザルモノトス

第十五條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル米穀ノ賣付ハ道府縣ニ於テ米穀ヲ市町村、產業組合ニ於テ米穀ヲ市町村、產業組合又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル條件ヲ以テ賣付ケ又ハ賣渡ヲ爲サントスル場合ニ之ヲ行フ

第十六條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依リ米穀ノ賣付ヲ受ケタル道府縣ハ賣付ヲ受ケタル米穀ト同一銘柄及等級ノ米穀ト混合シ又ハ之ヲ賣渡ス場合ニ於テハ其ノ混合又ハ賣渡ノ時期ニ關シ農林大臣ノ指定スル前項ノ規定ニ依ル賣渡ニ付テハ米穀ノ賣渡ニ關スル一切ノ裁判ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

第十七條　賣付又ハ返還ノ爲ニスル米穀ノ受渡ハ農林大臣ノ指定スル倉庫ニ於テ之ヲ行フ

第十八條　米穀統制法第七條ノ規定ニ依ル米穀ノ輸入又ハ輸出ノ許可ハ內地ニ於テハ農林大臣、朝鮮ニ於テハ朝鮮總督、臺灣ニ於テハ臺灣總督、樺太ニ於テハ樺太廳長官之ヲ

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ政府ハ米穀統制法第三條ノ規定ニ依ル賣渡又ハ買入ノ申込ヲ拒ムコトヲ得

一　申込數量ガ命令ノ定ムル數量ニ達セザルトキ

二　買古其ノ他不當ノ利得ヲ圖ル目的ヲ以テ申込ヲ爲シタルモノト認メタルトキ

第十條　最高價格ニ依ル買入ノ申込アリタル場合ニ於テ買入ノ申込アリタル銘柄及等級ノ米穀ヲ所有セザルトキハ政府ハ買入ノ申込ノ際反對ノ意思ヲ表示シタル場合ヲ除クノ外他ノ銘柄及等級ノ米穀ヲ買入スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ第三條ノ規定ニ依ル最高價格ノ定ナキ銘柄及等級ノ米穀ヲ買入ス場合ニ於テハ其ノ價格ハ農林大臣之ヲ定メ公示ス

第十一條　米穀統制法第四條ノ規定ニ依ル內地米ノ買入數量ハ當該米穀年度ニ於ケル年推算移出數量ヨリ算出シタル數量（家計米價ト米價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ニ基キ農林大臣ノ定ムル價格ト前項ノ農林大臣ノ定ムル價格トノ範圍內ニ於テ之ヲ定ムル前項ノ年推算移出數量ハ命令ヲ以テ定ムル各道府縣別ノ第二回米穀豫想收穫高ニ當該道府縣ノ米穀生產高ニ對スル當該道府縣產米ノ地域外移出數量ノ割合ヲ前五年ニ付平均シタル數量ヲ限度トス

前項ノ年推算移出數量ハ命令ヲ以テ定ムル各道府縣別ノ第二回米穀豫想收穫高ニ當該道府縣ノ米穀生產高ニ對スル當該道府縣產米ノ地域外移出數量ノ割合ヲ前五年ニ付平均シタル數量ヲ限度トス

第一項ノ各月推算移出數量ハ各月ニ於ケル各道府縣產米ノ地域外移出數量ノ年移出數量ニ對スル割合ヲ前五年ニ付平均シタル數量ヲ限度トス

前項ノ玄米一石當生產費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ニ揭ゲル費用ノ合計額ヨリ副收入ノ金額ヲ控除シタル額ヲ以テ除シテ之ヲ算出ス

一　種苗代

二　肥料代

三　勞賃

四　畜力費

五　諸材料費

六　農舍費

七　農具費

八　租稅其ノ他ノ公課

九　部落協議費又ハ之ニ準ズルモノ（水利

昭和八年産米穀ノ生産費ニ付本令施行前米穀法施行令ニ依リ調査シタル モノト本令ニ依リ之ヲ調査シタル モノトヲ比較シ米穀統制法第二條ノ最高價格ハ當分ノ内第三條ノ規定ニ拘ラズ米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ノ上下二割ニ相當スル價格ト上下三割ニ相當スル價格トノ範圍内ニ於テ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ムルコトヲ得

米穀ノ輸入ハ當分ノ内總テ米穀統制法第七條ノ規定ニ依ル許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

昭和八年産米穀ノ生産費ニ付本令施行前米穀法施行令ニ依リ調査シタル モノト本令ニ依リ之ヲ調査シタル モノトヲ比較シ

穀販賣組合ト稱ス）ノ存スル市町村ニ於テ特別ノ事情アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ代表者ヲ以テ之ニ充ツ

第三十六條　地方米穀統制組合聯合會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　一人

副會長　一人（又ハ二人）

評議員　數人

役員ハ議員中ヨリ之ヲ選任スル但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ

前項但書ノ規定ニ依ル會長及副會長ノ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十七條　第四條第一項第六條、第八條乃至第十條、第十一條第一項、第十四條乃至第十六條、第十八條第三項乃至第七項、第十九條乃至第二十一條、第二十二條第一項及第二十三條乃至第二十六條ノ規定竝ニ第二十七條中解散ニ關スル規定ハ地方米穀統制組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第三十八條　勅令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケ道府縣ヲ區域トスル米穀ヲ取扱フ販賣組合聯合會（以下道府縣米穀販賣組合聯合會ト稱ス）ハ地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フコトヲ得

第三十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會ハ其ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合及所屬組合ニ非ズシテ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ所屬組合ニ準ジ第三十七條ニ於テ準用スル第四條第一項ニ掲ゲル事業ヲ行フコトヲ得

第四十條　地方米穀統制組合聯合會ハ其ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ第三十七條ニ於テ準用スル第四條第一項ニ掲ゲル事業ヲ行フコトヲ得

第四十一條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ第二項ノ場合及勅令ノ定ムル場合ヲ除クノ外第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏ノ解除ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十二條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ貯藏ノ解除ヲ命ズルコトヲ得

第四十三條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ團體ハ第四十三條又ハ第四十四條ノ規定ニ依リ製當テラレタル數量ノ米穀ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ寄託スルコトヲ要ス

第二十九條及第三十條ニ規定スル者ニ付亦同ジ

第四十八條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ第二項ノ場合及勅令ノ定ムル場合ヲ除クノ外第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏ノ解除ヲ爲スコトヲ得ズ

政府ハ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏ノ解除ヲ命ズルコトヲ得

第四十九條　政府ハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ貯藏スベキ米穀中貯藏能力其ノ他ノ事情ニ依リ貯藏シタル米穀ニシテ當該米穀年度ヲ越ユルモ其ノ貯藏ヲ解除セラレザルモノニ付買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條　命令ヲ以テ指定スル地ニ於ケル米穀取扱業者ハ米穀商統制組合ヲ設立スルコトヲ得

第五十二條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ對シ報告ヲ爲シ又ハ其ノ帳簿書類ヲ檢査セラルルコトアルベシ

第五十三條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ其ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第五十四條　政府ハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ其ノ業務ニ關シ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議、選舉若ハ當選ヲ取消シ、役員ヲ解任シ、總代ノ改選ヲ命ジ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第二十七條　米穀統制組合解散又ハ合併ヲ爲サントスルトキハ總代會ノ議決ヲ經且其ノ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得但合併ノ場合ニ在リテハ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十條及第十五條第一項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

前三項ニ規定スルモノヲ除クノ外解散、合併又ハ分割ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條　米穀ヲ取扱フ販賣組合（以下米穀販賣組合ト稱ス）ノ存スル市町村ニ於テ特別ノ事情アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ代表者ヲ以テ之ニ充ツ

第三十條　地方米穀統制組合聯合會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　一人

副會長　一人（又ハ二人）

評議員　數人

役員ハ議員中ヨリ之ヲ選任スル但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ

前項但書ノ規定ニ依ル會長及副會長ノ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十七條　第四條第一項第六條、第八條乃至第十條、第十一條第一項、第十四條乃至第十六條、第十八條第三項乃至第七項、第十九條乃至第二十一條、第二十二條第一項及第二十三條乃至第二十六條ノ規定竝ニ第二十七條中解散ニ關スル規定ハ地方米穀統制組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第三十八條　勅令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケ道府縣ヲ區域トスル米穀ヲ取扱フ販賣組合聯合會（以下道府縣米穀販賣組合聯合會ト稱ス）ハ地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フコトヲ得

第三十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會ハ其ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合及所屬組合ニ非ズシテ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ所屬組合ニ準ジ第三十七條ニ於テ準用スル第四條第一項ニ掲ゲル事業ヲ行フコトヲ得

第四十條　地方米穀統制組合聯合會ハ其ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ第三十七條ニ於テ準用スル第四條第一項ニ掲ゲル事業ヲ行フコトヲ得

第四十一條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ第二項ノ場合及勅令ノ定ムル場合ヲ除クノ外第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏ノ解除ヲ爲スコトヲ得ズ

政府ハ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏ノ解除ヲ命ズルコトヲ得

第四十二條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ對シ報告ヲ爲シ又ハ其ノ帳簿書類ヲ檢査セラルルコトアルベシ

第四十三條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ對シ報告ヲ爲シ又ハ其ノ帳簿書類ヲ檢査セラルルコトアルベシ

第四十四條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ貯藏スベキ米穀中貯藏能力其ノ他ノ事情ニ依リ貯藏シタル米穀年度ヲ越ユルモ其ノ貯藏ヲ解除セラレザルモノニ付買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條　命令ヲ以テ指定スル地ニ於ケル米穀取扱業者ハ米穀商統制組合ヲ設立スルコトヲ得

第四十六條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ對シ報告ヲ爲シ又ハ其ノ帳簿書類ヲ檢査セラルルコトアルベシ

第四十七條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ貯藏スベキ米穀中貯藏能力其ノ他ノ事情ニ依リ貯藏シタル米穀ニシテ當該米穀年度ヲ越ユルモ其ノ貯藏ヲ解除セラレザルモノニ付買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十八條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ第二項ノ場合及勅令ノ定ムル場合ヲ除クノ外第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏ノ解除ヲ爲スコトヲ得ズ

政府ハ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏ノ解除ヲ命ズルコトヲ得

第四十九條　政府ハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ貯藏スベキ米穀中貯藏能力其ノ他ノ事情ニ依リ貯藏シタル米穀ニシテ當該米穀年度ヲ越ユルモ其ノ貯藏ヲ解除セラレザルモノニ付買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第五十一條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第五十二條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第五十三條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第五十四條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第五十五條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第五十六條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第五十七條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第五十八條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第五十九條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第六十條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第六十一條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第六十二條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第六十三條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第六十四條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第六十五條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第六十六條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第六十七條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第六十八條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第六十九條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第七十條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第七十一條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第七十二條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第七十三條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第七十四條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第七十五條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第七十六條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第七十七條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第七十八條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第七十九條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第八十條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第八十一條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第八十二條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第八十三條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第八十四條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第八十五條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第八十六條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第八十七條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第八十八條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第八十九條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第九十條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第九十一條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第九十二條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第九十三條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第九十四條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第九十五條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第九十六條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第九十七條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第九十八條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第九十九條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第百條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第百一條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第百二條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第百三條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第百四條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第百五條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第百六條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第百七條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第百八條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第百九條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀ヲ貯藏セザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ貯藏ニ係ル米穀ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ

規定ニ拘ラズ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第三條　本令ニ規定スルモノノ外檢査ノ方法其ノ他檢査ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四條　當該官吏ハ第一條第二項ニ規定スル穀物ノ取引業者、倉庫業者、所有者其ノ他占有者ニ對シ檢査ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　當該官吏取締上必要アリト認ムルトキハ店舖、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ穀物、帳簿其ノ他ノ物件ノ檢査ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ證票ヲ携帶スベシ

第六條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反スト認ムルトキハ當該官吏ハ第一條第二項ニ規定スル穀物ノ取引業者、倉庫業者、所有者其ノ他占有者ニ對シ穀物ノ運搬停止又ハ積戻ヲ命ジ其ノ他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　檢査ヲ受ケズシテ第一條第二項ニ規定スル穀物ヲ朝鮮總督ノ指定スル地ヨリ又ハ指定スル地ヲ經テ搬出シタル者

二　第二條第一項又ハ第二項ノ規定ニ違反シテ檢査ニ合格セザル穀物ヲ輸出又ハ移出シタル者

三　詐欺ノ行爲ヲ以テ檢査ヲ受ケタル者

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八條　第六條ノ規定ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第四條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲サズ又ハ虚僞ノ報告ヲ爲シタル者

二　正當ノ理由ナクシテ第五條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ臨檢檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚僞ノ陳述ヲ爲シタル者

第十條　第一條第二項ニ規定スル穀物ノ取引業者、倉庫業者、所有者其ノ他占有者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ヲ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル場合ニ於テハ其ノ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ本人ニ對シテモ各本條ノ罰金ヲ科ス

第十一條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル罰則ヲ適用スベキ者法人ナルトキハ其ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用スル但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和七年十月一日施行）

本令施行前從前ノ規程ニ依リ第一條第二項ニ規定スル穀物ニ付爲シタル檢査ハ之ヲ本令ニ依リ爲シタル檢査ト看做ス

●朝鮮穀物檢査令施行規則

昭和七年九月總令第九十一號

改正　昭和七年一一月一二日府令第一〇七號、一〇年八月九日

朝鮮穀物檢査令施行規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮穀物檢査令（以下單ニ穀令ト稱ス）第一條第一項ノ規定ニ依リ檢査ヲ受ケベキ穀物ハ籾、玄米、白米、小麥、大豆、小豆、菜豆及豌豆トス但シ左ノ一ニ該當スルモノハ檢査ヲ受クルヲ要セズ

一　商品見本ニシテ一口一斗以内ノモノ

二　自家用品ニシテ一口四斗以内ノモノ

三　軍ノ所有穀物ニシテ其ノ證明アルモノ

四　府物、碎米等ニシテ朝鮮總督府穀物檢査所支所又ハ其ノ出張所（以下單ニ檢査所ト稱ス）ノ證明アルモノ

五　試驗調査ノ爲ノ種子ノ用ニ供シ又ハ興業、共進會、品評會等ノ出品ノ用ニ供スルモノニシテ官公署ノ證明アルモノ

六　叺ニシテ小作料トシテ納付スル米穀ヲ容ルルモノ

第二條　檢査官吏ハ穀令第三條ノ穀物檢査所長（以下單ニ穀物檢査所長ト稱ス）ハ必要アリト認ムルトキハ部下ノ官吏ノ中ヨリ檢査監督官ヲ命ズルコトヲ得

第三條　朝鮮總督府穀物檢査所長（以下單ニ穀物檢査所長ト稱ス）ハ必要アリト認ムルトキハ部下ノ官吏ノ中ヨリ檢査監督官ヲ命ズルコトヲ得

第四條　檢査ヲ請求スル者ハ左ノ檢査手數料ヲ納ムベシ但シ第十六條又ハ第十七條ニ該當スル場合ノ外此ノ限ニ在ラズ

一　叺入ノモノ（叺ヲ除ク）、麻袋百斤入小豆及麻袋百封度入菜豆　一箇ニ付五錢

二　叺入叺及布袋入白米　一箇ニ付三錢

三　麻袋百五十斤入小豆、菜豆、豌豆　一箇ニ付十錢

四　第十條ニ規定スル容量、重量又ハ包裝ノ標準ニ依ラザルモノ　一箇ニ付五錢

前項ノ檢査手數料ハ第二號樣式ノ檢査請求書ニ收入印紙ヲ貼附シテ所轄穀物檢査所ニ之ヲ納ムベシ

第五條　檢査請求人檢査ヲ受クベキ地ニ居住セザルトキハ檢査ニ關シ一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スル代理人ヲ選定シ第三號樣式ニ依リ所轄穀物檢査所ニ之ヲ屆出ヅベシ

第六條　檢査ハ穀物檢査所ノ指定スル場所ニ於テ之ヲ行フ

檢査ニ支障ナキ場合ニ限リ穀物檢査令第一條第一項ノ規定ニ依リ指定スル地以外ノ地ニ出張シテ檢査ヲ行フコトヲ得

前項ニ規定スル出張檢査ヲ受ケントスル者ハ豫メ第四號樣式ノ申請書ヲ所轄穀物檢査所支所ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

第七條　檢査請求人ハ檢査ヲ受クベキ穀物ノ包裝ニ第五號樣式ノ票簽ヲ附スベシ但シ穀物檢査所長ニ於テ其ノ必要ナシト認メタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　檢査請求人又ハ其ノ代理人ハ檢査ニ立會フベシ

檢査請求人又ハ其ノ代理人前項ノ規定ニ違反スルトキハ檢査ヲ拒コトアルベシ

第九條　檢査ノ爲必要ナル積替、運搬、解裝、復裝等ニ要スル費用ハ檢査請求人ノ負擔トス

第六條第二項ニ規定スル出張檢査ニ要スル費用ハ檢査請求人ノ負擔トス但シ地主ノ米穀ヲ賠償スル倉庫ノ所在地、叺ノ共同販賣ヲ行フ場所其ノ他叺ノ集散ス場所ニ於ケル叺ノ出張檢査ニ要スル費用ハ穀物檢査所長ニ於テ之ヲ免除スルコトヲ得

前項ニ規定スル費用ハ別ニ定ムル所ニ依リ第四條第二項ノ檢査請求書ニ收入印紙ヲ貼附シテ所轄穀物檢査所ニ之ヲ納ムベシ

第十條　檢査ヲ受クベキ穀物ノ容量又ハ重量及包裝ハ左ノ標準ニ依ルベシ但シ特別ノ事由ニ依リ穀物檢査所長ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

容量又ハ重量

一　叺入玄米、大豆、小豆、菜豆、豌豆

一箇ニ付四斗（日枡五合乃至八合ヲ添加スベシ）

二　白米

叺入一箇ニ付六十キログラム（日枡四百グラムヲ添加スベシ）

布袋入一箇ニ付三十キログラム（日枡二百グラムヲ添加スベシ）又ハ十五キログラム（日枡百グラムヲ添加スベシ）

三　籾、小麥

叺入一箇ニ付九十斤（日枡籾ニ在リテハ一斤、小麥ニ在リテハ一・五斤ヲ添加スベシ）

四　麻袋入小豆、菜豆、豌豆

一箇ニ付百五十斤（日枡二・五斤ヲ添加スベシ）但シ精選品ニ在リテハ小豆ハ百斤（日枡一・五斤ヲ添加スベシ）菜豆ハ百封度（日枡一封度ヲ添加スベシ）ト爲スコトヲ得

包裝

一　叺入穀物

（イ）叺ハ叺檢査規則ニ依リ天位又ハ地位ノ決定ヲ受ケタル新叺ヲ用フベシ但シ籾ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

（ロ）掛繩ハ直徑四分乃至四分五厘ノ搓繩ヲ用フベシ

（ハ）縦繩ハ三箇所ニ施シ各二廻シトシ男結ニテ結フベシ

（ニ）横繩ハ二箇所ニ施シ（日枡ヲ用ヒザル樣式ノ證票ヲ携帶スベシ

ホ）叺ニ在リテハ一箇所ニ之ヲ施スコトヲ得）各二ツ折繩ヲ以テ中央ノ縦繩ニ戻シ掛ケ兩端ノ縦繩ニ本掛トシ其ノ縦繩ノ折目ニ引掛ケテ男結ニテ結フベシ

（ホ）日取繩ハ中央ノ縦繩ニ掛ケテ其ノ縦繩ト共ニ男結ト爲シ結止ノ端ニ卷封ヲ施ス餘部ヲ存スベシ

布袋入白米

（イ）布袋ハ構造完全ニシテ强靱ナル新布袋ヲ用フベシ

（ロ）口縫ハ强靱ナル木綿絲ヲ以テ酸衝ニ施スベシ

（ハ）掛繩ハ直徑三分五厘乃至四分ノ捻繩ヲ用フベシ

（ニ）横繩ハ二箇所ニ施シ各二廻シトシ男結ニテ結フベシ

（ホ）縦繩ハ一箇所ニ施シ二ツ折繩ヲ以テ横繩ニ本掛トシ其ノ繩ノ折目ニ引掛ケテ男結ト爲シ結止ノ端ニ卷封ヲ施ス餘部ヲ存スベシ

三　麻袋入小豆、菜豆、豌豆

（イ）麻袋ハ構造完全ニシテ强靱ナル新麻袋ヲ用フベシ

（ロ）口縫ハ强靱ナル麻絲ヲ以テ酸衝ニ施スベシ

第十一條　前條ニ規定スル容量又ハ重量及包裝ヲ具備スル穀物ニシテ其ノ品質、乾燥及包裝左ノ標準ニ該當スルトキハ叺ニ在リテハ之ニ等級ヲ附シ其ノ他ノ穀物ニ在リテハ之ヲ合格トシ等級ヲ附ス

叺

一等

品質及乾燥　一等標準品以上ノモノ

調製　赤米ノ混入一合ニ付四十粒以内ニシテ石、土、稗、不熟米其ノ他ノ夾雜物ノ混入百分ノ三以内ノモノ

二等

品質及乾燥　二等標準品以上ノモノ

調製　赤米ノ混入一合ニ付六十粒以内ニシテ石、土、稗、不熟米其ノ他ノ夾雜物ノ混入百分ノ六以内ノモノ

三等

品質及乾燥　三等標準品以上ノモノ

調製　赤米ノ混入一合ニ付百粒以内ニシテ土、稗、青米、死米、碎米其ノ他ノ夾雜物ノ混入百分ノ十以内ノモノ

四等

品質及乾燥　四等標準品以上ノモノ

調製　赤米ノ混入一合ニ付百五十粒以内ニシテ土、稗、青米、死米、碎米其ノ他ノ夾雜物ノ混入百分ノ十五以内ノモノ

五等

品質及乾燥　五等標準品以上ノモノ

調製　赤米ノ混入一合ニ付百二十粒以内ニシテ土、稗、青米、死米、碎米其ノ他ノ夾雜物ノ混入百分ノ六以内ノモノ

白米

一等

品質及乾燥　一等標準品以上ノモノ

調製　稗、籾其ノ他ノ夾雜物ノ除去其ノ分ニシテ碎米ノ混入百分ノ十以内ノモノ

二等

品質及乾燥　二等標準品以上ノモノ

調製　稗、籾其ノ他ノ夾雜物ノ除去其ノ分ニシテ碎米ノ混入百分ノ十二以内ノモノ

三等

品質及乾燥　三等標準品以上ノモノ

調製　稗、籾其ノ他ノ夾雜物ノ除去其ノ分ニシテ碎米ノ混入百分ノ十五以内ノモノ

大豆

特等

品質及乾燥　特等標準品以上ノモノ

調製　異品種ノ混入ナク夾雜物ノ混入百分ノ一以内ノモノ

一等

品質及乾燥　一等標準品以上ノモノ

調製　異品種ノ混入百分ノ五以内ニシテ夾雜物ノ混入百分ノ二以内ノモノ

二等

品質及乾燥　二等標準品以上ノモノ

調製　異品種ノ混入百分ノ二十以内ニシテ夾雜物ノ混入百分ノ三以内ノモノ

三等

品質及乾燥　三等標準品以上ノモノ

調製　異品種ノ混入百分ノ三十以内ニシテ夾雜物ノ混入百分ノ五以内ノモノ

四等

品質及乾燥　四等標準品以上ノモノ

調製　異品種ノ混入百分ノ五十以内ニシテ夾雜物ノ混入百分ノ七以内ノモノ

小麥

一等

品質及乾燥　一等標準品以上ノモノ

調製　石、土、麥殼、不熟麥、蟲喰、病害麥其ノ他ノ夾雜物ノ混入百分ノ二以内ノモノ

二等

品質及乾燥　二等標準品以上ノモノ

調製　石、土、麥殼、不熟麥、蟲喰、病害麥其ノ他ノ夾雜物ノ混入百分ノ三以内ノモノ

三等

品質及乾燥　三等標準品以上ノモノ

調製　石、土、麥殼、不熟麥、蟲喰、病害麥其ノ他ノ夾雜物ノ混入百分ノ四以内ノモノ

小豆、菜豆、豌豆

一等

品質及乾燥　一等標準品以上ノモノ

調製　赤米ノ混入一合ニ付百粒以内ニシテ石、土、稗、青米、死米、碎米其ノ他ノ夾雜物ノ混入百分ノ八以内ノモノ

二等

品質及乾燥　二等標準品以上ノモノ

調製　異品種及夾雜物ノ混入ナキモノ

三等

品質及乾燥　三等標準品以上ノモノ

調製　異品種ノ混入百分ノ五以内ニシテ夾雜物ノ混入百分ノ二以内ノモノ

四等

品質及乾燥　四等標準品以上ノモノ

調製　異品種ノ混入百分ノ三以内ニシテ夾雜物ノ混入百分ノ三以内ノモノ

五等

品質及乾燥　五等標準品以上ノモノ

調製　赤米ノ混入一合ニ付百二十粒以内ニシテ土、稗、青米、死米、碎米其ノ他ノ夾雜物ノ混入百分ノ六以内ノモノ

第十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル穀物ハ前條第一項ノ規定ニ拘ラズ之ヲ不合格トス但シ叺ニ在リテハ等外トス

一　異年度產穀物ノ混入スルモノ

二　蛾米ノ混入スルモノ

三　玄米及白米ニ在リテハ石ノ混入一升ニ付二粒以上ノモノ

四　包裝ノ損傷又ハ不完全等當該官吏ニ於テ搬出ニ適セズト認ムルモノ

不合格ハ之ヲ二等級ニ分ツコトヲ得

第十三條　檢査ヲ了シタル穀物ニハ其ノ包裝ノ表面ニ叺ニ在リテハ第六號樣式ノ檢査證印ヲ、其ノ他ノ穀物ニ在リテハ同樣式ノ檢査證印及第七號樣式ノ檢査所記號ヲ押捺シ且賭稻ニ在リテハ第八號樣式ノ證印ヲ、屑小豆ニ在リテハ第九號樣式ノ證印ヲ、石拔小麥及石拔大豆ニ在リテハ第十號樣式ノ證印ヲ押捺ス

檢査ヲ爲シタル穀物ニハ第十一號樣式ノ封緘紙ヲ以テ叺入ニ在リテハ口取繩ニ、布袋入ニ在リテハ縦繩ノ各結止ノ餘部ニ、麻袋入ニ在リテハ口縫絲ノ中央部ニ卷封ヲ爲シ之ニ第十二號樣式ノ日附印ヲ押捺ス

籾、玄米、白米、大豆、小豆、菜豆及豌豆ノ袋入精選品ニ限リ檢査請求人ノ請求ニ依リ第六號樣式ノ檢査證印及第七號樣式ノ檢査所記號ニ代ヘ第十三號樣式ノ證印ヲ押捺シ第十四號樣式ノ證票ヲ附スルコトヲ得

檢査ニ合格シタル穀物ニシテ特別ノ標記ヲ

必要トスルモノニハ程ニ在リテハ第五號樣式ノ票繩ニ其ノ品種名ヲ表示シ其ノ他ノ穀物ニ在リテハ其ノ包裝ノ表面ニ第一項及第二項ニ規定スル證印及記號ノ外第十五號樣式ノ記號ヲ押捺ス

第十四條　檢査ノ決定ニ對シテハ異議ヲ述フルコトヲ得ズ

第十五條　檢査監督官必要アリト認ムルトキハ檢査ヲ了シタル穀物ニ付更ニ檢査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ檢査ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十六條　檢査ニ合格シタル穀物ト雖モ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ更ニ檢査ヲ受ケ之ニ合格シタルモノニ非ザレバ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ

一　檢査ヲ受ケタル日ヨリ起算シ六十日（白米ニ在リテハ四十日）ヲ經過シタル穀物（小麥及豌豆ヲ除ク）ヲ六月一日ヨリ十月三十一日ニ至ル期間ニ於テ輸出又ハ移出セントスルトキ

二　檢査ヲ受ケタル日ヨリ起算シ六十日（白米ニ在リテハ四十日）ヲ經過シタル過年度産穀物ヲ輸出又ハ移出セントスルトキ

三　檢査ヲ受ケタル日ヨリ起算シ六十日ヲ經過シタル小麥又ハ豌豆ヲ輸出又ハ移出セントスルトキ

四　病害蟲其ノ他ノ被害ニ依リ穀物損傷シ又ハ變質異狀ヲ呈シタルトキ

五　包裝損傷シタルトキ

六　檢査證印及檢査所記號其ノ他ノ記號ナキトキ又ハ磨滅、汚損等ニ依リ之ヲ識別シ難キニ至リタルトキ

七　封緘紙、證票又ハ票繩毀損又ハ亡失シタルトキ

穀物檢査令第五條ノ規定ニ依ル臨檢檢査ニ依リ當該官吏ニ於テ更ニ檢査ヲ受ケシムルノ必要アリト認定シタルトキ亦前項ニ同シ

第十七條　前條第一項第四號乃至第七號及第二項ニ規定スル場合ニ檢査ヲ了シタル穀物ヲ穀物檢査合第一條第一項ノ規定ニ依リ指定スル地ヨリ又ハ指定スル地ヲ經テ移出セントスルトキハ當分ノ內第十條乃至第十八條ニ規定スル檢査ヲ受クベシ

第十八條　前三條ニ規定スル檢査ヲ了シタル穀物ニハ其ノ包裝ノ表面ニ第十六號樣式ノ再檢査證印ヲ、封緘紙ニ第十七號樣式ノ附印ヲ押捺ス

前三條ニ規定スル檢査ノ結果前檢査ノ決定ヲ變更シタルトキハ第十八號樣式ノ消印ヲ以テ前檢査ノ檢査證印又ハ記號ヲ抹消シ更ニ第十三條ノ規定ニ準シ必要ナル檢査證印又ハ記號ヲ押捺ス

第十九條　第一條ニ規定スル穀物ノ包裝ニハ第十三條及前條ニ規定スル檢査證印、日附印及檢査所記號其ノ他ノ記號ニ類似スル商標、記號其ノ他ノ標記ヲ附スルコトヲ得ズ

第二十條　商標ハ檢査ヲ受クベキ穀物ノ包裝前面ニ印寫スベシ

前項ノ商標ハ豫メ雛形ニ其ノ圖形、程、肉幅ヲ記載シ之ヲ第十九號樣式ノ申請書ヲ添附シ穀物檢査所長ノ承認ヲ受クベシ

第十三條第三項ノ規定ニ依ル袋入精選品ニハ第二十號樣式ノ責任番號ヲ印寫スベシ

前項ニ規定スル責任番號ハ豫メ第二十一號樣式ニ依リ穀物檢査所長ノ承認ヲ受ケタル者ハ五日以內ニ所轄穀物檢査所ニ之ヲ屆出ヅベシ

第二十二條　第十三條第三項ノ規定ニ依ル菜豆袋入精選品ヲ輸出セントスル者ハ第二十二號樣式ノ願書ヲ所轄穀物檢査所ニ提出シ檢査證明書ノ下附ヲ受クルコトヲ得

前項ノ願書ニハ手數料トシテ穀物一個ニ付一錢ノ割合ヲ以テ收入印紙ヲ貼附スベシ

第二十三條　穀物檢査令第四條ニ揭ゲル者第一條ニ規定スル穀物ヲ朝鮮總督ノ指定スル地ヨリ輸出又ハ移出セントスルトキハ豫メ第二十三號樣式ニ依リ所轄穀物檢査所ニ之ヲ屆出ヅベシ

第二十四條　第一條ニ規定スル穀物ニシテ朝鮮產以外ノモノヲ輸入又ハ移入シタル者ハ遲滯ナク第二十四號樣式ニ依リ所轄穀物檢査所ニ之ヲ屆出ヅベシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

一　標本又ハ見本ノ穀物ニシテ郵便物又ハ十キログラム以內ノ鐵道小荷物タルモノ

二　旅客ノ携帶品タル穀物ニシテ百斤ヲ超エザルモノ

第二十五條　第一條ニ規定スル穀物ニシテ朝鮮產以外ノモノ又ハ同條ニ規定スル穀物ノ屑物、碎米等ヲ輸出又ハ移出セントスル者ハ第二十五號樣式ノ申請書ヲ所轄穀物檢査所ニ提出シ其ノ承認ヲ受クベシ

穀物檢査所前項ノ承認ヲ與ヘタルトキハ其ノ包裝ノ表面ニ第二十六號樣式ノ記號ヲ押捺シ第二十七號樣式ノ證票ヲ附スベシ

第一項ノ申請書ニハ手數料トシテ穀物一個ニ付一錢ノ割合ヲ以テ收入印紙ヲ貼附スベシ

第二十六條　當該官吏ハ檢査ニ合格シタル穀物ノ見本ノ採取ヲ制限スルコトヲ得

第二十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第十五條第二項、第十七條又ハ第十九條ノ規定ニ違反シタル者

二　第十三條又ハ第十八條ノ規定ニ依リ押捺シタル檢査證印、日附印、檢査所記號其ノ他ノ記號ヲ濫ニ抹消シタル者

第二十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第二十條第二項又ハ第四項ノ規定ニ違反シ承認ヲ受ケザル商標又ハ責任番號ヲ印寫シタル者

二　第二十一條、第二十三條乃至第二十五條第一項ノ規定ニ違反シタル者

三　第二十六條ノ規定ニ依ル制限ニ從ハザル者

附則

本令ハ朝鮮穀物檢査令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和七年十月一日ヨリ施行）

本令施行前第一條ニ規定スル穀物ニ付從前ノ規定ニ依リ檢査ノ請求ヲ爲シタル者ハ本令ニ依ル檢査ノ請求ヲ爲シタルモノト看做ス

本令施行前從前ノ規定ニ依リ叺ノ檢査ノ請求ヲ爲シタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

檢査ヲ受クベキ叺ノ重量及包裝ニ付テハ第十條第一項但書ノ許可ヲ受ケ當分ノ內左ノ標準ニ依ルコトヲ得

重量

一

在來俵

(イ)一個ニ付九十斤（日桝二斤ヲ添加スベシ）

(ロ)一個ニ付百二十斤（日桝二斤ヲ添加スベシ）

(ハ)一個ニ付百五十斤（日桝三斤ヲ添加スベシ）

(ニ)一個ニ付九八十斤（日桝三斤ヲ添加スベシ）

二

麻袋

一個ニ付百斤（日桝一斤ヲ添加スベシ）

包裝

一

在來俵

(イ)掛繩ハ直徑四分乃至四分五厘ノモノヲ用フベシ

(ロ)縦繩ハ五箇所（九十斤入ニ在リテハ三箇所）ニ施シ各二廻トシ男結ニテ結フベシ

(ハ)横繩ハ二箇所ニ施シ各二ツ折繩ヲ以テ中部ノ縦繩ニ戻シ掛ケ兩端ノ縦繩ニ本掛トシ男結ニテ結フベシ

(ニ)側繩ハ一箇所（九十斤入ニ在リテハ之ヲ要セズ）ニ施シ二ツ折繩ヲ以テ縦繩ト横繩ニ各戻シ掛トシ中キハ當分ノ內第十條包裝ノ部第一號（ハ）中三箇所トアルハ之ヲ四箇所ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於ケル封緘紙ハ第十三條第二項ノ規定ニ拘ラズ之ヲ横繩ノ結止ニ卷附クベシ

附則（昭和九年十一月總令第百七號）

本令ハ昭和九年十一月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

附則（昭和十年八月總令第九十六號）

本令ハ昭和十年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮叺檢査規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前從前ノ規定ニ依リ爲シタル叺ノ檢査ハ之ヲ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

本令施行前從前ノ規定ニ依リ叺ノ檢査ノ請求ヲ爲シタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

檢査ヲ受クベキ叺ノ重量及包裝ニ付テハ第十條第一項但書ノ許可ヲ受ケ當分ノ內左ノ標準ニ依ルコトヲ得

重量

一

在來俵

(イ)一個ニ付九十斤（日桝二斤ヲ添加スベシ）

(ロ)一個ニ付百二十斤（日桝二斤ヲ添加スベシ）

(ハ)一個ニ付百五十斤（日桝三斤ヲ添加スベシ）

(ニ)一個ニ付九八十斤（日桝三斤ヲ添加スベシ）

二

麻袋

一個ニ付百斤（日桝一斤ヲ添加スベシ）

包裝

一

在來俵

(イ)掛繩ハ直徑四分乃至四分五厘ノモノヲ用フベシ

(ロ)縦繩ハ五箇所（九十斤入ニ在リテハ三箇所）ニ施シ各二廻トシ男結ニテ結フベシ

(ハ)横繩ハ二箇所ニ施シ各二ツ折繩ヲ以テ中部ノ縦繩ニ戻シ掛ケ兩端ノ縦繩ニ本掛トシ男結ニテ結フベシ

(ニ)側繩ハ一箇所（九十斤入ニ在リテハ之ヲ要セズ）ニ施シ二ツ折繩ヲ以テ縦繩ト横繩ニ各戻シ掛トシ中

央ノ縦繩ト共ニ男結ニテ結フベシ

二　叺袋

(イ)掛繩ハ直徑四分乃至四分五厘ノモノヲ用フベシ

(ロ)縦繩ハ一箇所ニ施シ二ツ折繩ヲ以テ横繩ニ本掛トシ其ノ繩ノ折目ニ引掛ケテ男結ニテ結フベシ

(ハ)横繩ハ一箇所ニ施シ二廻トシ男結ニテ結フベシ

前項ノ規定ニ依リ檢査ヲ請求スル者ハ第四條第一項第四號ノ規定ニ拘ラズ左ノ檢査手數料ヲ納ムベシ

一　在來俵九十斤入ノモノ　一個ニ付四錢

二　在來俵百二十斤入ノモノ　一個ニ付五錢

三　在來俵百五十斤入ノモノ　一個ニ付六錢

四　在來俵百八十斤入ノモノ　一個ニ付七錢

五　麻袋百斤入ノモノ　一個ニ付四錢

第一號樣式

檢査官證票

〔表面〕

第　號

檢査官之證

官氏名

〔裏面〕

年　月　日

朝鮮總督府穀物檢査所

所印

第二號樣式

（用紙ハ美濃判模造紙ノ全紙トス種類生產年度及容（重）量ヲ異ニスル毎ニ別紙ニ依リ請求スルコト）

穀物檢査請求書

生產年別	種類及品種名	叺又ハ袋數	一箇ノ原料容（重）量	生產地	調製地	仕向地	出荷發檢査ヲ受ケン定月日トスル場所	時間
								後間
								精時
								搗過
								白米經

右檢査相受度候也

年　月　日

住所

請求人　何　某　㊞

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所長殿

第三號樣式

穀物受檢代理人選定屆

一　住所

一　氏名

一　職業

一　代理期間

右ノ通代理人ヲ定メ受檢上一切ノ行爲ヲ委任候ニ付此段及御屆候也

年　月　日

住所

屆出人　何　某　㊞

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所何々出張所御中

第四號樣式

指定地外出張檢査申請書

一、檢査ヲ受ケントスル穀物ノ種類

一、檢査ヲ受ケントスル場所

一、一箇年ノ受檢見込數量

一、一回ノ受檢見込數量

一、檢査ヲ受ケントスル期間

右ノ通指定地外出張檢査受度及申請候也

年　月　日

住所

申請人　何　某　㊞

第五號樣式　票繩（用紙模造紙）

〔裏面〕

○

名地檢査

住所

受檢者名氏

斤　量重掛皆

←分三寸一→

←三寸→

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所長嚴

一　大正〇年〇月〇日農商務省令第〇〇号ヲ以テ定メタル標準ニ依リ製造シタル生糸ニ付テハ左ノ標章ヲ用ヰルコトヲ得

第十五號様式　特別標章

（大正〇年〇月〇日農商務省令第〇〇号ヲ以テ定メタル標準ニ依リ製造シタル生糸ニ付テハ左ノ標章ヲ用ヰルコトヲ得）

第十四號様式　第五條第一項第二號、第三條第一項第二號ノ標章（第十二號様式）

（第十二號様式）　標章ノ寸法ハ縦横ノ比例ヲ変ヘズシテ之ヲ拡大又ハ縮小スルコトヲ得

第十三號様式　第五條第一項第一號、第三條第一項第一號ノ標章

（第十二號様式）　標章ノ寸法ハ縦横ノ比例ヲ変ヘズシテ之ヲ拡大又ハ縮小スルコトヲ得

CHIEF, INSPECTION OFFICE
GOVERNMENT
GENERAL OF
CHOSEN
GRADED AS
UNDER
KOTENASHI
CC 1982 CROP
NET 100LBS
RICE, NO.

第十一號様式　特別標章

（第十一號様式）

（一）
（二）
（三）
（四）

第十六類様式　標章ノ寸法ハ縦横ノ比例ヲ変ヘズシテ之ヲ拡大又ハ縮小スルコトヲ得

（第十六類様式）

第十七類様式　標章ノ寸法ハ縦横ノ比例ヲ変ヘズシテ之ヲ拡大又ハ縮小スルコトヲ得

（第十七類様式）

第十八類様式　標章ノ寸法ハ縦横ノ比例ヲ変ヘズシテ之ヲ拡大又ハ縮小スルコトヲ得

（第十八類様式）

第十九類様式　標章ノ寸法ハ縦横ノ比例ヲ変ヘズシテ之ヲ拡大又ハ縮小スルコトヲ得

（第十九類様式）

第二十類様式　標章ノ寸法ハ縦横ノ比例ヲ変ヘズシテ之ヲ拡大又ハ縮小スルコトヲ得

（第二十類様式）

第二十三號樣式

朝鮮銀行格銭物接者所何々支所異動

住　所
屆出人　何　某㊞

年　月　日

右証明書御下用相成度此段及御照会也

年　月　日

朝鮮銀行格銭物接者所何々支所異動

第二十四號樣式

印紙	消印不要
取入	

一、品　種名
二、産　所
三、年　齢
四、一袋ノ正味重量
五、数
六、袋
七、包
八、賃　銭
九、積出港及出帆年月日
十、積出地及出帆年月日
十一、抽出見本個数
十二、抽出見本個数
十三、抽出見本個数
十四、抽出見本個数
十五、抽出見本個数
十六、抽出見本個数
十七、抽出見本個数
十八、抽出見本個数
十九、抽出見本個数
二十、抽出見本個数

年　月　日

右　兵　名㊞

朝鮮穀肯格銭物接者所何々支所異動

第二十五號樣式

取入	消印不要
印紙	

一、品　種名
二、産　所
三、年　齢
四、一袋ノ正味重量
五、数
六、袋
七、包
八、賃　銭
九、積出港及出帆年月日
十、積出地及出帆年月日
十一、抽出見本個数
十二、抽出見本個数
十三、抽出見本個数
十四、抽出見本個数
十五、抽出見本個数
十六、抽出見本個数
十七、抽出見本個数
十八、抽出見本個数
十九、抽出見本個数
二十、抽出見本個数

年　月　日

右　兵　名㊞

朝鮮穀肯格銭物接者所何々支所異動

第二十六號樣式

取入	消印不要
印紙	

一、品　種名
二、産　所
三、年　齢
四、一袋ノ正味重量
五、数
六、袋
七、包
八、賃　銭
九、積出港及出帆年月日
十、積出地及出帆年月日
十一、抽出見本個数
十二、抽出見本個数
十三、抽出見本個数
十四、抽出見本個数
十五、抽出見本個数
十六、抽出見本個数
十七、抽出見本個数
十八、抽出見本個数
十九、抽出見本個数
二十、抽出見本個数

年　月　日

右　兵　名㊞

第十六類　商標　第一章　商標　第七款　物品及人格権

第二十七號樣式

CHOSEN
DDDD㎜

大　寸
人　寸

朝鮮産肯格物接者所何々支所異動

第二十八號樣式

取入	消印不要
印紙	

一、品　種名
二、産　所
三、年　齢
四、一袋ノ正味重量
五、数
六、袋
七、包
八、賃　銭
九、積出港及出帆年月日
十、積出地及出帆年月日
十一、抽出見本個数
十二、抽出見本個数
十三、抽出見本個数
十四、抽出見本個数
十五、抽出見本個数
十六、抽出見本個数
十七、抽出見本個数
十八、抽出見本個数
十九、抽出見本個数
二十、抽出見本個数

年　月　日

右　兵　名㊞

朝鮮産肯格物接者所何々支所異動

第二十九號樣式

取入	消印不要
印紙	

一、品　種名
二、産　所
三、年　齢
四、一袋ノ正味重量
五、数
六、袋
七、包
八、賃　銭
九、積出港及出帆年月日
十、積出地及出帆年月日
十一、抽出見本個数
十二、抽出見本個数
十三、抽出見本個数
十四、抽出見本個数
十五、抽出見本個数
十六、抽出見本個数
十七、抽出見本個数
十八、抽出見本個数
十九、抽出見本個数
二十、抽出見本個数

年　月　日

右　兵　名㊞

第三十號樣式

（三寸）

（三寸）

（三寸）

生産年度	種類及名	品種名	等級	數量（叺又ハ袋）	仕向地	出荷豫定月日

右届出候也

年　月　日

住所
届出人　何　某　㊞

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所何々出張所御中

第二十四號樣式（品名欄ニハ籾、玄米、白米、大豆、小豆、菜豆、豌豆、小麥、碎米、長粒、丸粒、糯、粳ノ別ニ種類ヲ記載スルコト）

朝鮮外産穀物輸（移）入届

生産年別	地名	品名	數量	一箇ノ容（重）量	包裝ノ種類	仕出地	入荷月日	用途

右届出候也

年　月　日

住所
届出人　何　某　㊞

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所何々出張所御中

第二十五號樣式

收入印紙

朝鮮外産穀物又ハ府物碎米等輸（移）出承認申請書

一、生産年度

二、生産地名

三、品名

四、數量

五、一箇ノ容（重）量

六、包裝ノ種類及方法

七、積出地

八、仕向地

九、出荷豫定月日

十、事由

右輸（移）出致度候條御承認相成度候也

年　月　日

住所
申請人　何　某　㊞

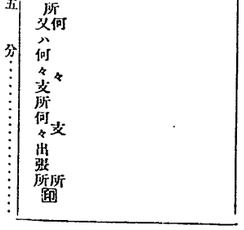
朝鮮總督府穀物檢査所何々支所長殿

第二十六號樣式

朝鮮外産穀物又ハ碎米府物等輸（移）出承認證印（肉色黑）

第二十七號樣式

朝鮮外産穀物又ハ碎米府物等輸（移）出承認證票



●朝鮮穀物檢査令第一條ニ規定スル指定地及當該指定地ニ於テ受クベキ穀物

昭和十年九月
總督第五百四十五號
改正　昭和一〇年一二第七四號、一二年三第二二號

朝鮮穀物檢査令第一條ニ規定スル指定地及當該指定地ニ於テ檢査ヲ受クベキ穀物昭和十年十月一日ヨリ左ノ通定ム

京畿道	籾	玄米、白米、大豆、小麥
京城府	仁川府	開城府
高陽郡	知道面土堂里	中面一山里
楊州郡	柴竹面議政府里	檜泉面德亭里
伊淡面東立川里	漢海面倉洞里	
漣川郡	郡內面東灘里	嶺斤面全谷里
驪州郡	州內面弘門里	陵西面梅柳里
金沙面梨浦里	大神面川西里	
利川郡	利川面倉前里	戶法面西山里
廣長面午川里	清渓面長湖院里	
龍仁郡	水俗面金良場里	器興面新葛里
內四面陽智里		
安城郡	安城面	後陽面陽支里
一竹面菱菊里	二竹面竹山里	
振威郡	平澤面平澤里	松炭面西井里
靑北面三溪里	浦升面曉湖里	
水原郡	水原邑梅山里	陰德面南陽里
麻道面石橋里	雨汀面朝嚴里	鄕南面發安里
城湖面烏山里	台章面餠店里	
始興郡	西二面安養里	南面堂里
富川郡	素砂面深谷里	多朱面士忠里
金浦郡	鄕內面	陽東面木洞里
月串面城東里	月串面高陽里	
江華郡	府內面	佛恩面鰲頭里
吉祥面溫水里	吉祥面草芝里	
下道面內里	下道面沙器里	
良道面稷逸里	內可面外浦里	
河岾面新鳳里	禪寺面鐵山里	
坡州郡	臨津面汶山里	炭縣面吾今里
突河面新村里	嵓洞面金村里	
條里面奉日川里	長湍郡	長南面高浪浦里
津南面東場里	開豐郡	中西面土城里
北面加土尾里	進鳳面鳳東里	大聖面豐德里
光德面高尺里		
忠淸北道	籾	玄米、白米、大豆、小麥
淸州郡	淸州邑	米院面米院里
芙蓉面芙江里	江內面丁峰里	
江外面五松里	江外面蜂山里	
梧倉面場垈里	北一面內秀里	
淸州郡	淸州邑	四州面內德里
米院面米院里	芙蓉面芙江里	
江內面丁峰里	江外面五松里	
江外面蜂山里	北一面內秀里	

忠州都　豐都縣　涪州都　墊江縣　梁山縣　長壽縣　巴縣　江北廳　南川縣　綦江縣　銅梁縣　永川縣　榮昌縣　大足縣　璧山縣　定遠縣　合州　鄰水縣　渠縣　廣安州　新寧縣　達縣　東鄉縣　開縣　萬縣　雲陽縣　奉節縣　巫山縣　巫溪縣　大寧縣　夔州府　忠州都　豐都縣　涪州都　墊江縣　梁山縣　長壽縣　巴縣　江北廳　南川縣　綦江縣　銅梁縣　永川縣　榮昌縣　大足縣　璧山縣　定遠縣　合州　鄰水縣　渠縣　廣安州　新寧縣　達縣　東鄉縣　開縣　萬縣　雲陽縣　奉節縣　巫山縣　巫溪縣　大寧縣　夔州府

產額

穀

玄米、白米、大豆、小麥

忠州都　豐都縣　涪州都　墊江縣　梁山縣　長壽縣　巴縣　江北廳　南川縣　綦江縣　銅梁縣　永川縣　榮昌縣　大足縣　璧山縣　定遠縣　合州　鄰水縣　渠縣　廣安州　新寧縣　達縣　東鄉縣　開縣　萬縣　雲陽縣　奉節縣　巫山縣　巫溪縣　大寧縣　夔州府　忠州都　豐都縣　涪州都　墊江縣　梁山縣　長壽縣　巴縣　江北廳　南川縣　綦江縣　銅梁縣　永川縣　榮昌縣　大足縣　璧山縣　定遠縣　合州　鄰水縣　渠縣　廣安州　新寧縣　達縣　東鄉縣　開縣　萬縣　雲陽縣　奉節縣　巫山縣　巫溪縣　大寧縣　夔州府

產額

穀

玄米、白米、大豆、小麥

高俊郡 新新新新泰泰古古北非州
泰泰泰泰仁仁古古北西州
仁仁仁仁南南南南澳邑
南南南南泰泰泰泰新竹榜
采新牛新九成昌興游里
潤德德嶺泰石里仁里
里里里里里

非邑郡 金泰泰泰
里里里

泰昌郡 泰泰泰泰
里里里里

高俊郡 新新新泰泰泰
仁仁仁仁南南南南
南南南南泰泰泰泰
南南南南泰泰泰泰
南南南南泰泰泰泰
南南南南泰泰泰泰

光陽郡 光光光光光光光光
陽陽陽陽陽陽陽陽
古古古古古古古古
西西西西西西西西
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

光陽郡 光光光光光光光光
陽陽陽陽陽陽陽陽
古古古古古古古古
西西西西西西西西
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

光陽郡 光光光光光光光光
陽陽陽陽陽陽陽陽
古古古古古古古古
西西西西西西西西
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

求穆郡 求求求求求求求求
穆穆穆穆穆穆穆穆
谷谷谷谷谷谷谷谷
南南南南南南南南
城城城城城城城城
里里里里里里里里

求穆郡 求求求求求求求求
穆穆穆穆穆穆穆穆
谷谷谷谷谷谷谷谷
南南南南南南南南
城城城城城城城城
里里里里里里里里

求穆郡 求求求求求求求求
穆穆穆穆穆穆穆穆
谷谷谷谷谷谷谷谷
南南南南南南南南
城城城城城城城城
里里里里里里里里

濟陽郡 濟濟濟濟濟濟濟濟
陽陽陽陽陽陽陽陽
古古古古古古古古
西西西西西西西西
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

濟陽郡 濟濟濟濟濟濟濟濟
陽陽陽陽陽陽陽陽
古古古古古古古古
西西西西西西西西
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

濟陽郡 濟濟濟濟濟濟濟濟
陽陽陽陽陽陽陽陽
古古古古古古古古
西西西西西西西西
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

任官郡 任任任任任任任任
官官官官官官官官
滋滋滋滋滋滋滋滋
內內內內內內內內
山山山山山山山山
里里里里里里里里

光永光州
山郡府府

沃溝郡 造造造造造造造造
鳳鳳鳳鳳鳳鳳鳳鳳
德德德德德德德德
面面面面面面面面
古古古古古古古古
南南南南南南南南
里里里里里里里里

沃溝郡 造造造造造造造造
鳳鳳鳳鳳鳳鳳鳳鳳
德德德德德德德德
面面面面面面面面
古古古古古古古古
南南南南南南南南
里里里里里里里里

金堤郡 造造造造造造造造
鳳鳳鳳鳳鳳鳳鳳鳳
德德德德德德德德
面面面面面面面面
古古古古古古古古
南南南南南南南南
里里里里里里里里

金堤郡 造造造造造造造造
鳳鳳鳳鳳鳳鳳鳳鳳
德德德德德德德德
面面面面面面面面
古古古古古古古古
南南南南南南南南
里里里里里里里里

扶安郡 扶扶扶扶扶扶扶扶
安安安安安安安安
面面面面面面面面
古古古古古古古古
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

扶安郡 扶扶扶扶扶扶扶扶
安安安安安安安安
面面面面面面面面
古古古古古古古古
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

非邑郡 非非非非非非非非
州州州州州州州州
邑邑邑邑邑邑邑邑
古古古古古古古古
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

非邑郡 非非非非非非非非
州州州州州州州州
邑邑邑邑邑邑邑邑
古古古古古古古古
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

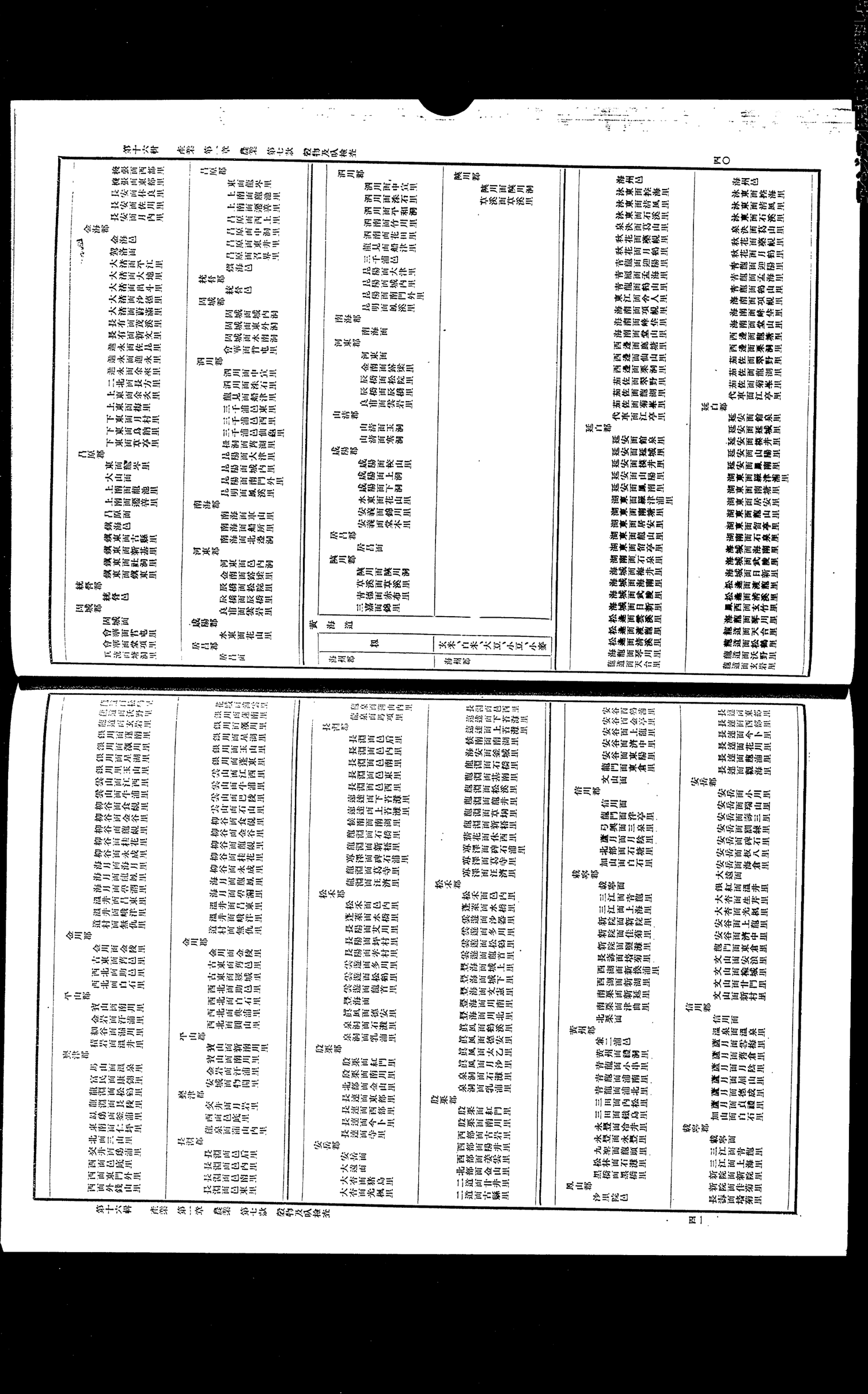
泰昌郡 泰泰泰泰泰泰泰泰
昌昌昌昌昌昌昌昌
古古古古古古古古
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

泰昌郡 泰泰泰泰泰泰泰泰
昌昌昌昌昌昌昌昌
古古古古古古古古
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

泰昌郡 泰泰泰泰泰泰泰泰
昌昌昌昌昌昌昌昌
古古古古古古古古
南南南南南南南南
東東東東東東東東
里里里里里里里里

興德郡 興興興興興興興興
德德德德德德德德
面面面面面面面面

長城都
長城西門外
長城西關外
長城南門外
長城北門外
新城縣城內
新城縣城外
新城縣城內
新城縣城外
新城縣城內
新城縣城



平安百達

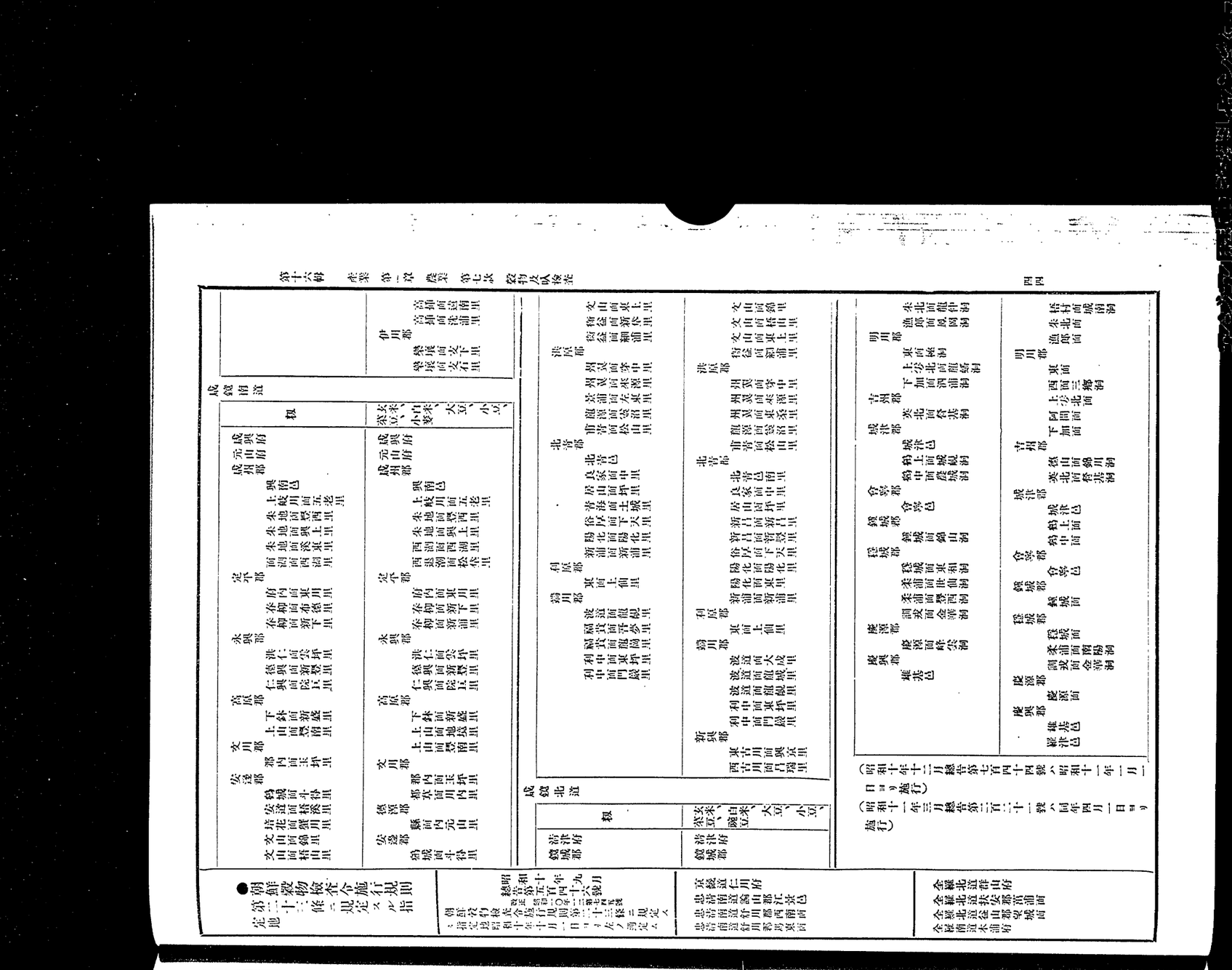
瑞興郡

令人泉前西瑞興

令人人前面瑞興

令人人前面瑞興

令人人前面



第一號樣式

產年別	受檢數	受檢手數料	受檢場所	備考

（吸盤殼料用川用川）

第二號樣式

移利項造第下條第一項以外ノ鑛物ヲ採掘セムトスル者ハ其ノ目的タル鑛物ノ種類及ビ鑛區ノ位置ヲ記載シタル願書ヲ主務大臣ニ提出シテ其ノ許可ヲ受ケルコトヲ要ス

前項ノ願書ニハ鑛區ノ略圖ヲ添附スルコトヲ要ス

第三條　第一項ノ願書ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條　第一項ノ願書ニ關シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ主務大臣ハ其ノ願書ヲ却下スルコトヲ得

一　鑛區ノ位置ガ第十七條ノ規定ニ依リ禁止セラレタル區域ニ屬スルトキ

二　鑛區ノ位置ガ第十八條ノ規定ニ依リ禁止セラレタル區域ニ屬スルトキ

三　鑛區ノ位置ガ第十九條ノ規定ニ依リ禁止セラレタル區域ニ屬スルトキ

四　鑛區ノ位置ガ第二十條ノ規定ニ依リ禁止セラレタル區域ニ屬スルトキ

五　鑛區ノ位置ガ第二十一條ノ規定ニ依リ禁止セラレタル區域ニ屬スルトキ

六　鑛區ノ位置ガ第二十二條ノ規定ニ依リ禁止セラレタル區域ニ屬スルトキ

七　鑛區ノ位置ガ第二十三條ノ規定ニ依リ禁止セラレタル區域ニ屬スルトキ

八　鑛區ノ位置ガ第二十四條ノ規定ニ依リ禁止セラレタル區域ニ屬スルトキ

九　鑛區ノ位置ガ第二十五條ノ規定ニ依リ禁止セラレタル區域ニ屬スルトキ

十　他ノ鑛業權ト鑛區ノ位置ガ重複スルトキ

十一　第三十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

十二　第三十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ抛棄シタル者ニ對シ其ノ抛棄シタル鑛業權ニ關シ抛棄ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

十三　第三十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

十四　第三十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

十五　第三十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

十六　第三十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

十七　第三十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

十八　第三十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

十九　第三十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

二十　第三十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

二十一　第四十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

二十二　第四十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ抛棄シタル者ニ對シ其ノ抛棄シタル鑛業權ニ關シ抛棄ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

二十三　第四十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

二十四　第四十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

二十五　第四十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

二十六　第四十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

二十七　第四十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

二十八　第四十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

二十九　第四十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

三十　第四十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

三十一　第五十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

三十二　第五十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

三十三　第五十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

三十四　第五十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

三十五　第五十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

三十六　第五十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

三十七　第五十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

三十八　第五十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

三十九　第五十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

四十　第五十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

四十一　第六十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

四十二　第六十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

四十三　第六十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

四十四　第六十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

四十五　第六十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

四十六　第六十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

四十七　第六十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

四十八　第六十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

四十九　第六十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

五十　第六十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

五十一　第七十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

五十二　第七十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

五十三　第七十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

五十四　第七十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

五十五　第七十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

五十六　第七十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

五十七　第七十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

五十八　第七十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

五十九　第七十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

六十　第七十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

六十一　第八十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

六十二　第八十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

六十三　第八十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

六十四　第八十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

六十五　第八十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

六十六　第八十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

六十七　第八十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

六十八　第八十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

六十九　第八十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

七十　第八十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

七十一　第九十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

七十二　第九十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

七十三　第九十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

七十四　第九十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

七十五　第九十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

七十六　第九十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

七十七　第九十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

七十八　第九十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

七十九　第九十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

八十　第九十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

八十一　第百條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

八十二　第百一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

八十三　第百二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

八十四　第百三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

八十五　第百四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

八十六　第百五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

八十七　第百六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

八十八　第百七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

八十九　第百八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

九十　第百九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

九十一　第百十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

九十二　第百十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

九十三　第百十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

九十四　第百十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

九十五　第百十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

九十六　第百十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

九十七　第百十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

九十八　第百十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

九十九　第百十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百　第百十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百一　第百二十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百二　第百二十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百三　第百二十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百四　第百二十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百五　第百二十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百六　第百二十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百七　第百二十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百八　第百二十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百九　第百二十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百十　第百二十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百十一　第百三十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百十二　第百三十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百十三　第百三十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百十四　第百三十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百十五　第百三十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百十六　第百三十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百十七　第百三十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百十八　第百三十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百十九　第百三十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百二十　第百三十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百二十一　第百四十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百二十二　第百四十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百二十三　第百四十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百二十四　第百四十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百二十五　第百四十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百二十六　第百四十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百二十七　第百四十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百二十八　第百四十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百二十九　第百四十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百三十　第百四十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百三十一　第百五十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百三十二　第百五十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百三十三　第百五十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百三十四　第百五十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百三十五　第百五十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百三十六　第百五十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百三十七　第百五十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百三十八　第百五十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百三十九　第百五十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百四十　第百五十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百四十一　第百六十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百四十二　第百六十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百四十三　第百六十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百四十四　第百六十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百四十五　第百六十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百四十六　第百六十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百四十七　第百六十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百四十八　第百六十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百四十九　第百六十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百五十　第百六十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百五十一　第百七十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百五十二　第百七十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百五十三　第百七十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百五十四　第百七十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百五十五　第百七十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百五十六　第百七十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百五十七　第百七十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百五十八　第百七十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百五十九　第百七十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百六十　第百七十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百六十一　第百八十條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百六十二　第百八十一條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百六十三　第百八十二條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百六十四　第百八十三條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百六十五　第百八十四條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百六十六　第百八十五條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百六十七　第百八十六條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百六十八　第百八十七條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百六十九　第百八十八條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

百七十　第百八十九條ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ取消サレタル者ニ對シ其ノ取消サレタル鑛業權ニ關シ取消ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セサルトキ

| | | |

| | | |

府川府
宿川府　安化府　保寧府　順川府　慈山府　江界府　渭原府　茂山府　會寧府　鍾城府　穩城府　慶源府　富寧府

慶興府　鏡城府　吉州府　明川府　城津府　北青府　利原府　端川府　厚昌府　三水府　甲山府

定平府　咸興府　永興府　文川府　高原府　德源府　安邊府　元山府　永興府　高山府　金化府　淮陽府　伊川府　楊口府　麟蹄府　春川府　洪川府　横城府　原州府　寧越府　旌善府　平昌府　江陵府　三陟府　襄陽府

忠州府　清州府　槐山府　延豐府　陰城府　堤川府　丹陽府　永春府　榮川府　豐基府　順興府　慶州府　醴泉府　安東府　義興府　軍威府　新寧府　永川府　慶山府　大丘府　仁同府　善山府　金山府　知禮府　星州府　高靈府　陜川府　固城府　巨濟府　統營府　東萊府　金海府　昌原府　鎮海府　晉州府　泗川府　南海府　河東府　山淸府　丹城府　咸陽府　居昌府　安陰府　三嘉府　宜寧府　草溪府　合浦府　昌寧府　靈山府　密陽府　梁山府　蔚山府　彦陽府　機張府　東萊府　釜山府　多大浦府　加德鎭　熊川府　巨濟府　統營府　固城府　河東府　晉州府　泗川府　南海府　昌原府　鎮海

安濃面椋渓里
塔花面鎧川里
文山面椋山里
洪原郡　舟銀面來源里
北青郡　北青邑南里
　　俗厚里下天里
端川郡　波道面龍城里
新興郡　加平面聖上里
　　西古川面昌瑞里

（昭和十一年三月總督第二百二十二號同年四月一日ヨリ施行）

第八款　蠶絲業

●朝鮮蠶業令

大正八年四月
制令第十號

朝鮮蠶業令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮蠶業令

第一條　本令ニ於テ蠶種製造者ト稱スルハ他人ニ譲渡スルノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造スル者ヲ謂フ

第二條　本令ニ於テ蠶ト稱スルハ病原微粒子病、軟化病、硬化病、農病及蚋病ヲ謂フ

第三條　蠶種製造者ヲ監督スル者ハ道長官ノ免許ヲ受クヘシ

第四條　蠶種製造者ハ原蠶種ヨリ産出シタル繭ヲ用ヰルニ非サレハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス

第五條　蠶種製造者ハ現ニ普通蠶種ノ蠶見ノ掃立又ハ其ノ飼育ヲ爲ス建物内ニ於テ蠶種製造用蠶見ノ掃立ヨリ蠶種ノ製造ヲ終ル迄ノ作業ヲ爲スコトヲ得ス

第六條　蠶種製造者ハ現ニ普通蠶種製造用蠶見ノ飼育ヲ爲ス室内ニ於テ原蠶種製造用蠶見ノ掃立ヨリ蠶ノ製造ヲ終ル迄ノ作業ヲ爲スコトヲ得ス

第七條　蠶種製造者ハ其ノ蠶室ヲ左ノ第一號又ハ第四號ニ定メタル方法ニ依リ、蠶具ヲ左ノ各號ノ一ニ定メタル方法ニ依リ消毒スヘシ但シ新築ノ蠶室又ハ新調ノ蠶具ニシテ當該官吏ニ於テ消毒ノ必要ナシト認メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　「アオルマリス」消毒
二　蒸氣消毒
三　燒酸「アルデヒード」瓦斯消毒
四　昇汞水消毒

第八條　蠶種製造者ハ左ノ事項ヲ原蠶種ノ製造ニ關スルモノニ區別シ毎年二月末日迄ニ道長官ニ届出ツヘシ

一　蠶種製造場所及蠶見飼育場所
二　化性、化期、越年不越年ノ別及品種名
三　掃立豫定月日
四　掃立豫定蛾數又ハ蛾量
五　蠶種製造豫定數

第九條　蠶種製造者ハ蠶種製造ヲ終ル迄之ニ用ヰタル原蠶種ノ掃殺ヲ保存スヘシ

第十條　化性、化期、品種名又ハ蠶種製造者ノ異ニスル原蠶種ヲ産出シタル蠶見、繭、蛾又ハ卵並蠶見飼育場所又ハ掃立月日ヲ異ニスル蠶見、繭、蛾又ハ卵ハ掃立日ヲ異ニスルモノトス

第十一條　蠶種製造者ハ掃立ノ異ナル蠶見、繭又ハ蛾ヲ混同スルコトヲ得ス

原蠶種製造ノ爲一蛾別飼育ニ依リ得タル繭ハ朝鮮蠶業令第七條第一項ニ規定スル繭ノ檢査ヲ終ル迄之ヲ混同スルコトヲ得ス

第十二條　蠶種製造者ハ朝鮮蠶業令第七條ニ規定スル繭ノ檢査ヲ終ル迄蠶種製造用蠶見ノ掃立ヲ爲シ又ハ蠶種製造用蠶見ノ飼育場所以外ニ搬出スルコトヲ得ス但シ天災其ノ他不可抗力ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶見ノ上蔟以後蠶種ノ製造ヲ終ル迄同一建物内ニ蠶種製造用繭ニ非サル生繭ヲ置クコトヲ得ス

第十四條　蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶見ノ掃立ヨリ蠶室ノ平面圖及面積

五　掃立蛾數又ハ蠶種製造豫定數

蠶種製造者蠶種製造ノ管理者ヲ選任シ又ハ分割ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條　蠶種製造者ハ掃立ノ異ナル蠶見、繭又ハ蛾ヲ混同スルコトヲ得ス

原蠶種製造ノ爲一蛾別飼育ニ依リ得タル繭ハ朝鮮蠶業令第七條第一項ニ規定スル繭ノ檢査ヲ終ル迄之ヲ混同スルコトヲ得ス

第十二條　蠶種製造者ハ朝鮮蠶業令第七條ニ規定スル繭ノ檢査ヲ終ル迄蠶種製造用蠶見ノ掃立ヲ爲シ又ハ蠶種製造用蠶見ノ飼育場所以外ニ搬出スルコトヲ得ス但シ天災其ノ他不可抗力ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶見ノ上蔟以後蠶種ノ製造ヲ終ル迄同一建物内ニ蠶種製造用繭ニ非サル生繭ヲ置クコトヲ得ス

第十四條　蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶見ノ掃立ヨリ蠶室ノ平面圖及面積

四

在リテハ種繭檢查合格證ヲ返納シ一部ノ譲渡ニ在リテハ之カ裏書ヲ請求スヘシ

第十七條　蠶種ノ臺紙ハ縦一尺二寸七分横七寸四分ノ厚紙トス

蠶種ハ其ノ臺紙ヲ二十八區ニ區劃シ一母蛾一個ノ停頓ヲ以テ一區ニ産卵セシメ母蛾ト其ノ區トニ同一ノ符號ヲ附スヘシ

第十八條　蠶種製造者ハ朝鮮蠶業令第七條ニ規定スル母蛾ノ檢査ヲ受クル前左ノ事項ヲ第二號樣式ニ依リ臺紙ノ表面ニ記載スヘシ

一　化性、化期、越年不越年ノ別、品種名、記號及番號

二　蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱、住所及蠶種製造場所

三　繭色

四　産卵月日

第十九條　前條第一號ノ品種名ハ其ノ蠶種ヲ製造スヘキ繭ヲ産出シタル原蠶種ヨリ之ヲ選用スヘシ

蠶種製造者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ前項ノ品種名ヲ變更スルコトヲ得

一代交雑蠶種ノ品種名ハ雌蛾ヲ先ニ雄蛾ヲ後ニ記載シ之ニ一代交雑ノ四字ヲ冠スヘシ

第二十條　蠶種製造者又ハ蠶種ノ販賣ヲ業トスル者ハ第十四條又ハ第十八條ニ依リ蠶種ノ臺紙ニ記載シタル文字ヲ訂正、增加若ハ抹消シ又ハ其ノ填補ヲ爲スコトヲ得但シ第二號乃至第五號ニ付テハ蠶種製造者自己ノ製造シタル蠶種ニ付テモ亦同シ

前項ノ訂正、增加若ハ抹消又ハ填補ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

道長官前項但書ニ依リ文字ノ訂正、增加又ハ抹消ヲ承認シタルトキハ其ノ箇所ニ第三號樣式ノ變更證ヲ押捺スヘシ

第二十一條　朝鮮蠶業令第八條第一項但書ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ製造方法、化性、化期、品種名及住所先ヲ記載シタル願書ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ

前項ニ依リ許可ヲ受ケ製造シタル蠶種ニ對スル朝鮮蠶業令第七條ノ規定ニ依ル母蛾又ハ卵ノ檢査ニ付テハ原蠶種ヲ爲サムトスル蠶種ノ檢査ヲ拒ムコトヲ得

第二十二條　蠶種製造者第三十條第二項ニ依リ除却セラレ又ハ自ラ除却シタル卵區ニ檢査合格ノ卵區ヲ填補セムトスルトキハ蠶業取締所ニ於テ之ヲ行フヘシ

前項ニ依リ填補シタル卵區ニハ第十號樣式ノ繼印ノ押捺ヲ受クヘシ

第二十三條　蠶種製造者蠶種ヲ分割シテ譲渡セムトスルトキハ其ノ裏紙ノ裏面ニ截斷スヘキ部分ヲ區劃シ各部ニ第十四條及第十八條ニ規定スル事項ヲ記載シ第三十條第三項又ハ第三十二條第二項ニ規定スル蠶種檢查合格證印ノ押捺ヲ受クヘシ

第二十四條　蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヲ終リタル後ニ於テ蠶種製造ノ全部ヲ廢止シタルトキハ其ノ旨ヲ、其ノ一部ヲ廢止シタル蠶種ニ付第二十三條各號ノ事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滯ナク道長官ニ提出スヘシ但シ第十六條ノ手續ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　蠶種製造者ハ母蛾ニ燻蒸又ハ藥液ヲ加ヘ其ノ他殺死ヲ遂ケシムヘキ方法ヲ施スコトヲ得サル場合ハ此ノ限ニ在ラス

道長官ハ第十八條若ハ前項ニ違反シタルモノ、故意若ハ過失ニ因リ微粒子ノ檢出ヲ困難ナラシメタルモノ又ハ母蛾ノ取替若ハ混入ノ疑アルモノニ對シ蠶種ノ檢查ヲ拒ムコトヲ得

第二十六條　蠶種製造者第三十條第二項ニ依リ除却セラレ又ハ自ラ除却シタル卵區ニ檢查合格ノ卵區ヲ填補セムトスルトキハ蠶業取締所ニ於テ之ヲ行フヘシ

前項ニ依リ填補シタル卵區ニハ第十號樣式ノ繼印ノ押捺ヲ受クヘシ

第二十七條　蠶種製造者蠶種ヲ分割シテ譲渡セムトスルトキハ其ノ裏紙ノ裏面ニ截斷スヘキ部分ヲ區劃シ各部ニ第十四條及第十八條ニ規定スル事項ヲ記載シ第三十條第三項又ハ第三十二條第二項ニ規定スル蠶種檢查合格證印ノ押捺ヲ受クヘシ

第二十八條　蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヲ終リタル後ニ於テ蠶種製造ノ全部ヲ廢止シタルトキハ其ノ旨ヲ、其ノ一部ヲ廢止シタル蠶種ニ付第二十三條各號ノ事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滯ナク道長官ニ提出スヘシ但シ第十六條ノ手續ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條　蠶種製造者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ蠶種ノ製造ヲ休止シ又ハ其ノ製造ヲ再開セムトスルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第三十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第三十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第三十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第三十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第三十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第三十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第三十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第三十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第三十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第三十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第四十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第四十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第四十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第四十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第四十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第四十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第四十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第四十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第四十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第四十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第五十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第五十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第五十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第五十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第五十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第五十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第五十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第五十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第五十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第五十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第六十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第六十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第六十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第六十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第六十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第六十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第六十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第六十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第六十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第六十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第七十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第七十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第七十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第七十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第七十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第七十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第七十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第七十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第七十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第七十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第八十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第八十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第八十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第八十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第八十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第八十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第八十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第八十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第八十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第八十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第九十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第九十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第九十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第九十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第九十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第九十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第九十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第九十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第九十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第九十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百二十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百二十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百二十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百二十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百二十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百二十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百二十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百二十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百二十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百二十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百三十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百三十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百三十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百三十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百三十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百三十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百三十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百三十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百三十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百三十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百四十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百四十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百四十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百四十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百四十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百四十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百四十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百四十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百四十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百四十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百五十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百五十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百五十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百五十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百五十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百五十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百五十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百五十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百五十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百五十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百六十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百六十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百六十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百六十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百六十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百六十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百六十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百六十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百六十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百六十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百七十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百七十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百七十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百七十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百七十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百七十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百七十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百七十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百七十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百七十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百八十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百八十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百八十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百八十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百八十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百八十五條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百八十六條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百八十七條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百八十八條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百八十九條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百九十條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百九十一條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百九十二條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百九十三條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル後ニ於テ蠶種ノ殘餘アルトキハ其ノ旨ヲ道長官ニ届出ツヘシ

第百九十四條　蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終リタル

第五十六條　蠶種製造者及第四十六條ノ届出ヲ爲シタル者ハ蠶兒飼育場所、蠶種製造場所又ハ生繭取扱場所毎ニ第十二號樣式ノ標札ヲ掲ケヘシ

第五十二條ノ届出ヲ爲シタル者ハ桑苗個毎ニ第十三號樣式ノ標木ヲ建ツヘシ

第五十七條　蠶種製造者又ハ蠶種ノ賣買ヲ業トスル者自ラ蠶種ノ行商ヲ爲シ又ハ從業者ヲシテ之ヲ爲サシメムトスルトキハ道長官ニ願出テ鑑札ヲ受クヘシ

前項ノ鑑札ハ本人又ハ從業者從業中之ヲ携帶スヘシ

第一項ノ鑑札ハ第十四號樣式又ハ第十五號樣式ニ依ル

第五十八條　蠶種製造者、第四十六條、第五十二條又ハ第五十五條ノ届出ヲ爲シタル者死亡シ、業務ヲ廢止シ又ハ第八條、第四十六條、第五十二條若ハ第五十五條ニ依リ届出ヲ爲シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遅滞ナク之ヲ道長官ニ届出ツヘシ

前項死亡ノ場合ニ於ケル届出ハ其ノ相續人又ハ戸主若ハ家族ヨリ之ヲ爲スヘシ

第五十八條ノ二　蠶種製造者死亡シタル場合ニ於テ其ノ相續人蠶種製造ノ業務ヲ承繼セムトスルトキハ被相續人死亡ノ日ヨリ十五日内ニ免許ヲ出願スヘシ

前項ノ出願ヲ爲シタル者ハ許否ノ處分アル迄被相續人ノ業務ヲ繼續スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ業務ヲ繼續スル期間内ハ蠶種製造ノ免許ヲ受ケタル者ト看做ス

第五十九條　左ノ蠶種ハ朝鮮蠶業令第六條但書ノ規定ニ依リ之ヲ指定ス

一　勸業模範場又ハ道原蠶種製造所ニ於テ蠶種製造用トシテ配付スル蠶種

二　地方費ヲ以テ經營スル學校又ハ講習所等ニ於テ第四十五條第一項ニ依リ蠶種製造用トシテ配付スル蠶種

三　蠶業試驗場又ハ府縣原蠶種製造所ニ於テ製造スル原蠶種

第六十條　朝鮮蠶業令第十條ニ依リ原蠶種及普通蠶種ヲ指定スルコト左ノ如シ

一　前條第一號又ハ第二號ニ規定スル蠶種

二　第四十二條ニ依リ原蠶種檢査合格印ヲ押捺シタル蠶種

普通蠶種

一　勸業模範場又ハ道原蠶種製造所ニ於テ製絲用ノ繭生産用トシテ配付スル蠶種

二　地方費ヲ以テ經營スル學校又ハ講習所等ニ於テ第四十五條第一項ニ依リ製絲用繭ノ生産用トシテ配付スル蠶種

三　第四十二條ニ依リ普通蠶種檢査合格印ヲ押捺シタル蠶種

第六十一條　左ノ蠶種ニ非サレハ朝鮮ニ於テ之ヲ製造スルコトヲ得ス但シ檢出又ハ移出ノ目的ヲ以テ道知事ノ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一代交雑種

一　國蠶日一號ト國蠶支四號トノ交雑

二　國蠶支四號ト國蠶欧三號トノ交雑

三　國蠶支十四號ト國蠶欧十七號トノ交雑

四　國蠶支七號ト國蠶欧七號トノ交雑

五　國蠶日一號ト國蠶支一〇一號トノ交雑

六　國蠶日一〇六號ト國蠶支一〇一號トノ交雑

七　國蠶支一〇六號ト國蠶欧十八號トノ交雑

八　國蠶日七號ト國蠶支一〇六號トノ交雑

九　國蠶支十六號ト國蠶欧十八號トノ交雑

十　朝五蠶一號ト國蠶欧十八號トノ交雑

十一　朝四蠶一號ト國蠶支十號トノ交雑

十二　國蠶支十七號ト國蠶欧十九號トノ交雑

十三　國蠶支十七號ト國蠶支一〇六號トノ交雑

十四　國蠶日一〇號ト國蠶支一〇六號トノ交雑

三元交雑種

一　國蠶支九號ト國蠶支一〇一號トノ交雑種トノ國蠶日一〇七號トノ交雑

前項ノ交雑種製造ノ用ニ供スヘキ原蠶種ハ前項ノ規定ニ拘ラス之ヲ製造スルコトヲ得

第一項但書ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ提出スヘシ

一　品種名及系統

二　仕向先

第六十二條　朝鮮蠶業令第二十條ニ依リ物品ヲ收去セムトスルトキハ當業者、其ノ從業者若ハ同居者又ハ隣佑ニシテ成年ニ達シタル者ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ收メ又ハ結束ヲ爲シ之ニ封緘ヲ施シ其ノ品名、物品ヲ收去セラレタル者ノ氏名又ハ名稱、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏員及立會人ノ署名捺印シタル收去調書ヲ作成スヘシ

立會人署名捺印セス又ハ署名捺印スルコトヲ能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第六十三條　當該官吏員ハ其ノ職務ヲ行ハムテ製造シタル蠶種ノ檢査ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第六十四條　道原蠶種製造所又ハ第四十五條第一項ニ依リ蠶種ヲ配付スル學校又ハ講習所等ハ原蠶種タルヘキ蠶種ニ第十七號樣式ノ證印ヲ押捺スヘシ

第六十五條　道長官ハ蠶種又ハ繭ノ買賣ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第六十六條　道長官朝鮮蠶業令又ハ本令ノ施行ニ關スル規定ヲ定メタルトキハ朝鮮總督ニ報告スヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第六十七條　道長官ハ朝鮮蠶業令施行ニ關スル事務ヲ處理スル爲蠶業取締所ヲ設置スヘシ

第六十八條　朝鮮蠶業令第十九條第二項ノ檢査手數料ハ全部ノ柞蠶ノ檢査ヲ行フ場合ニ於テハ蠶種一枚ニ付五錢以内其ノ他ノ場合ニ於テハ三錢以内トス

第六十九條　第一條第二項、第三項、第八條、第九條、第十一條乃至第十三條、第十五條、第十六條、第十七條第二項、第三項、第十九條第一項、第二十條第一項、第二項、第八條、第五十二條、第五十四條乃至第五十七條、第一項、第二項、第五十八條第一項、第六十一條第一項ニ違反シタル者又ハ第五十四條若ハ第十八條ニ依リ蠶種ノ褒紙ニ記載スヘキ事項ニ付虚僞ノ記載ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ朝鮮蠶業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條及第十八條ニ依リ蠶種ノ褒紙ニ記載スヘキ事項及之カ記載ノ方法ハ大正八年ニ於テ製造シタル蠶種ニ限リ從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第八條又ハ第五十二條ノ期日ハ本令施行ノ年ニ限リ其ノ施行後三十日以内トス

附　則（大正九年六月總令第八十六號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條ニ依リ記載スヘキ品種名ハ本年ニ限リ從前ノ例ニ依ルコトヲ得

附　則（大正十三年十二月總令第九十三號）

本令ハ大正十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三號

圓形
直徑　五分
肉色　朱

第四號　紙　縱四寸　横六寸

第　號

原蠶種用繭檢査合格證

住所　氏名又ハ名稱

一　蠶種製造場
二　蠶兒飼育場所
三　記號
四　化性化期及品種名
五　種繭柄尾
六　一升ノ蠶數
七　一頴ノ平均繭層重
右原蠶種用繭檢査ニ合格シタルコトヲ證ス

年　月　日　道　印

第五號　紙　縱四寸　横六寸

第　號

普通蠶種用種繭檢査合格證

住所　氏名又ハ名稱

一　蠶種製造場所
二　蠶兒飼育場所
三　記號
四　化性化期及品種名
五　種繭柄尾
右普通蠶種用種繭檢査ニ合格シタルコトヲ證ス

年　月　日　道　印

第六號

四形
直徑　六分
肉色　朱

第七號

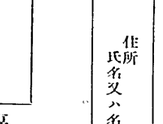
四形
外圓　直徑八分
肉色　朱

第八號　削除

第九號

楕圓形
外圓
長徑　八分
短徑　六分
肉色　朱

第十號



楕圓形
長徑　三分
短徑　二分
肉色　朱

第十一號

消印　道名

縦長方形
縦八分
横五分
肉色　黒

第十二號

蠶兒飼育場所
（蠶種製造場所）住所
氏名又ハ名稱
（生繭取扱場所）

木村
縦二尺以上
横五寸以上
厚四分以上

第十三號

地番段別　住所
氏名又ハ名稱

木村
高　地上　四尺以上
幅　四寸以上
厚　五分以上

第十四號

表

第　號

道
蠶種行商者之證
印

厚紙
縦三寸
横二寸

裏

住所
氏名
生年月日

第十五號

表

第　號

道
蠶種行商者之證
印

厚紙
縦三寸
横二寸

裏

住所
氏名又ハ名稱
右從業者氏名
生年月日

樣式

第一號　縦四寸　横六寸

第　號

蠶種製造免許證

住所
氏名又ハ名稱

朝鮮蠶業令第三條ニ依リ蠶種製造者タルコトヲ免許ス

年　月　日　道　印

第二號

證印押捺欄	記號番號		
	化性		
	化期		
	越年蠶種		
	品名		
	繭色		
	生産日卵		
	何道何郡何面何里製造場所	氏名又ハ名稱	
	何道何郡何面何里		

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第十六號

第甲號

表面

（道）蠶業取締官吏（吏員）之證印

厚紙　縦三寸　横二寸

裏面

官職氏名

第十七號

道名　原蠶種製造所何何講習所

檜圓形　外圓　長徑　八分　短徑　六分　内色　朱

第十八號

道名　普通蠶種製造所何何講習所

檜圓形　外圓　長徑　八分　短徑　六分　内色　朱

❹朝鮮蠶業令施行事務取扱規程

大正八年四月
總訓第十四號
改正　大正十三年十二月第五七號

道

第一條　蠶業令施行事務取扱規程左ノ通定ム

蠶業取締所ニハ蠶種製造者臺帳、生蠶取扱者臺帳、原蠶種檢查臺帳、普通蠶種檢查臺帳、歩合檢查臺帳、普通蠶種再檢查臺帳、檢入移入蠶種檢查臺帳、蠶種賣買者臺帳、蠶種行商者鑑札下付臺帳及桑苗取締臺帳ヲ備ヘ證ク

第二條　當該官吏吏員臨檢又ハ檢查ヲ爲シタルトキハ蠶業取締所ヨリ交付セラレタル手簿ニ其ノ要領ヲ記入シ上司ノ檢閱ヲ受クヘシ

第三條　一蛾別飼育ヲ爲シタル蠶兒ニシテ其ノ蛾蠶ヲ知リ難キトキハ檢蠶閉ノ持參ヲ行フ場合ニ之ヲ檢查トス　幼虫ヲ爲シタルヲ手傳

及檢查臺帳ニ記入スヘシ

第四條　朝鮮蠶業令施行規則第十六條ニ依ル種蔟檢查合格證ノ數量、月日、讓受人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載シ蠶業取締所ノ印ヲ押捺シ、其ノ下付ヲ爲スニハ之ト同一ノ事項ヲ異書シタル種蔟檢查合格證ヲ作成スヘシ

第五條　蠶種製造用蠶兒、種蔟又ハ蛾カ他ノ以前ニ於ケル臨檢又ハ檢查ノ成績及其ノ他ノ經過ヲ移動先ノ蠶業取締所ニ通知スヘシ

第六條　交雜ニ依リ製造シタル蠶種ハ其ノ母蛾ヲ出シタル掃立日ノ所屬ト ス

第七條　朝鮮蠶業令施行規則第二十七條第一項ノ檢查ハ左ノ各號ニ依ルヘシ

一　雄蠶期ノ檢查ハ一齒乃至三齒ニ於テ、雌蠶期ノ檢查ハ四齒又ハ五齒ニ於テ之ヲ行フヘシ

二　病蠶ノ數ハ檢查ノ爲現場ニ臨ミタル時ニ於ケル蛾區又ハ掃立日ノ蠶兒ノ總數ニ併計スヘシ

三　蠶兒ノ微粒子病ノ疑ノ有無ハ一蛾別飼育ヲ爲スモノニ在リテハ各蛾區毎ニ、其他ノモノニ在リテハ掃立日毎ニ微粒子病ノ疑アル蠶兒五頭以上ニ付顯微鏡檢查ヲ以テ之ヲ決スヘシ

四　繭ノ平均一頴ノ繭層量釋定ノ方法ハ一蛾區毎ニ十頴以上ノ普通繭ノ繭層量ヲ秤リ之ヲ平均シテ一頴ノ繭層量ヲ求メ、掃立日毎ニ檢查ヲ行フモノニ在リテハ掃立日毎ニ五十頴以上ノ普通繭ノ繭層量ヲ求ムヘシ

第八條　前條ニ依ル一蛾別檢查ノ成績ハ掃立日ノ記號及蛾區ノ番號ニ依リ整理シ朝鮮蠶業令施行規則第二十七條第一項第四號ニ依ル全蛾區ノ對照ハ病蠶及微粒子ノ檢查ニ合格シタルモノノ全部ニ付之ヲ行フヘシ

第九條　朝鮮蠶業令施行規則第二十七條第一項第四號及第五號ノ檢查ニ不合格トナリタルモノハ之ヲ當業者ニ告知シ適宜ノ處理ヲ爲サシムヘシ

第十條　母蛾又ハ卵ノ顯微鏡檢查ハ一鏡面ニ付五視野以上ヲ檢視シ微粒子ヲ發見セサルトキハ其ノ母蛾又ハ卵ニ微粒子ナキモノトス

前項ノ檢查ハ原蠶種ニ付テハ同一ノ母蛾又ハ卵ヨリ二箇ノ「アレバラート」ヲ作リ二人ノ當該官吏吏員ニテ各其ノ一枚ヲ檢視スヘシ

第十一條　朝鮮蠶業令施行規則第四十一條第三項ニ依ル卵ノ檢查ハ原蠶ニ在リテハ一卵區毎ニ檢查シ得トキハ其ノ各卵區ニ付キ約十粒ヲ採リ其ノ他ニ在リテハ蠶種一枚又ハ一容器毎ニ約百粒ヲ採リテ之ヲ十等分シ其ノ一分毎ニ檢視スヘシ

第十二條　朝鮮蠶業令施行規則第三十條第三十二條及第六十四條ノ證印ハ之ヲ證印押捺綱ニ押捺スヘシ

第十三條　朝鮮蠶業令施行規則第十七條第一項ノ蠶種臺紙ハ左ノ各號ニ依ルヘシ

一　各蛾區ノ番號ノ字體ハ一、二、三、十、廿ノ例ニ依ルコト

二　番號ハ各蛾區ノ上部右ノ一隅ニ記載スルコト

三　番號一字ノ大サハ二分平方以内トスルコト

四　各蛾區ノ區劃線ノ幅ハ五厘トシ臺紙周圍ノ線ノ幅ハ七厘トスルコト

●朝鮮蠶業令施行心得

大正八年四月
總督第九十八號

朝鮮蠶業施行心得左ノ通定ム

第一條　朝鮮蠶業令施行規則第七條ニ依ル蠶室蠶具ノ消毒方法左ノ如シ

一　「フオルマリン」消毒法

蠶室ヲ消毒スルニハ瓦斯ノ漏洩ヲ防ク爲其ノ周圍ヲ密閉シ噴霧器ニテ天井、四圍、床板ノ順序ニ依リ華氏七十五度以上ノ温度ナルトキハ室ノ内面百平方尺ニ對シ百分中一分以上ノ蟻酸「アルデヒード」ヲ含有スル「フオルマリン」四百二十廷伽二合三勺一才ヲ撒布シ其ノ後十五時間以上室ヲ密閉シ置クヘシ但シ充分ニ密閉シ難キ室、撒布面ノ粗雜ナル室又ハ温度ヲ華氏七十五度以上ニ保タシメ難キ室ニ在リテハ「フオルマリン」撒布ノ量ヲ適宜增加スヘシ

蠶具ヲ消毒スルニハ華氏七十五度以上ノ室内ニ於テ之ヲ行ヒ百分中一分以上ノ蟻酸「アルデヒード」ヲ含有スル「フオルマリン」蠶網、蠶蔟及蠶箔ノ類ニ在リテハ一枚毎ニ、蠶架ノ類ニ在リテハ一箇毎ニ表裏全面ノ凹凸程度ニ撒布シ順次之ヲ堆積シ瓦斯ノ漏洩ヲ防ク爲蔟、蔟等ヲ以テ其ノ周圍ヲ覆ヒ十五時間以上之ヲ放置スヘシ

二　蒸氣消毒法

桶、箱等ニ蠶具ヲ容レ之ニ蒸氣ヲ通シ華氏二百十二度ニ達シタル後尚三十分間以上同温度ヲ保タシムヘシ

三　蟻酸「アルデヒード」瓦斯消毒法

消毒ニ用ウヘキ室ヲ密閉シ温度ヲ華氏七十五度以上温度ヲ七十五「パーセント」以上ト爲シ皆用蔟ハ四枚厚蔟ハ二枚、蠶網ハ十枚ヲ限度トシテ重積シ室ノ立方積一千立方尺ニ對シ八百枚以下ノ蠶箔及皆用蔟ヲ納メタルトキハ三五「パーセント」ノ「フオルマリン」ヲ五百八十三廷伽ニ合二勺以上ヲ蒸發セシメ後六時間以上其ノ室ヲ密閉シ置クヘシ

昇汞水消毒法

蠶室ヲ消毒スルニハ千分中五分ノ昇汞水及十分ノ鹽酸ヲ含有スル液ヲ雜巾ノ類ニ含マシメ蠶室ノ天井、四隅及床板ヲ擦拭シ又ハ如露ノ類ヲ以テ撒布シ全面ノ充分潤フヲ程度トシ三十分間以上之ヲ放置スヘシ

蠶具ヲ消毒スルニハ千分中二分ノ昇汞及十分ノ鹽酸ヲ含有スル液ニ之ヲ浸漬シ内部ニ滲透セシメ後三十分間以上濕潤ノ狀態ニ在ラシメ、蠶架ノ如キ浸漬シ難キモノニ在リテハ蠶室ノ昇汞水消毒ニ準シ之ヲ行フヘシ

第二條　朝鮮蠶業令施行規則第十八條第三號ノ繭色ハ黄、金黄、白、雜及紅ニ區別シ其ノ蠶種ヨリ生産スヘキ繭ニ依リ之ヲ記載スヘシ

第三條　朝鮮蠶業令施行規則ニ依ル品種名ハ日本種又ハ支那種ニシテ從來慣用ノ文字アルモノハ之ニ依リ新ニ用ウヘキモノハ漢字ニ依リ、歐羅巴種ハ其ノ發音ニ從ヒ片假名ニ依リ之ヲ記載スヘシ

第四條　朝鮮蠶業令施行規則第四十八條ニ依リ蠶兒、蠶蛹、蠶蛾又ハ其ノ屍體及死籠繭又ハ海皮繭ヲ處理スルニ當リ燒棄以外ノ方法左ノ如シ

一「アオルマリン」ヲ用ヰル場合ニ在リテハ百分中二分以上ノ蟻酸「アルデヒード」ヲ含有シ室氏七十五度以上ノ温度ヲ保チシ室ニ投入シ六十時間以上之ヲ放置スヘシ

二　石灰ヲ用ヰル場合ニ在リテハ百分中十分ノ生石灰ヲ含有スル液ニ投入シ百乾燥ヲ行フ場合ニ在リテハ華氏百六十度以上ノ火熱又ハ蒸氣熱ヲ用ヰ生繭重量百ニ對シ四十以内ニ至ラシムヘシ

第五條　朝鮮蠶業令施行規則第四十九條第三項ニ依リ廢棄ヲ處理スル方法ハ之ヲ燒棄シ又ハ水液中ニ百二十時間以上浸漬スヘシ

第六條　朝鮮蠶業令施行規則第五十四條ノ病菌トハ紫紋羽病菌、白紋羽病菌又ハ根朽病菌ヲ謂ヒ、害蟲トハ桑介殼蟲ヲ謂ソ

●原蠶種配付規程

大正十年六月
總告第百四十二號
改正　昭和二年六第一八一號、六年四第二五

原蠶種配付規程左ノ通定ム

原蠶種配付規程

第一條　朝鮮總督府農事試驗場ニ於テ製造スル原蠶種ハ原蠶種製造用原種トシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ對シ無償ニテ之ヲ配付ス

一　道原蠶種製造所

二　原蠶種ヲ製造スル官公立學校

第二條　原蠶種ノ製造ノ設備ヲ有スル蠶種製造者ニシテ朝鮮總督府農事試驗場長（以下單ニ場長ト稱ス）ニ於テ適當ト認ムルモノニ對シテハ原蠶種ノ有償配付ヲ爲スコトアルヘシ

第三條　第一條又ハ第二條ニ依リ原蠶種ノ配付ヲ受ケムトスル者ハ毎年一月十五日迄ニ翌年ノ所要數量ヲ樣式第一號ニ依リ農事試驗場長ニ請求スヘシ

第四條　農事試驗場長ハ原蠶種配付請求者ニ對シ配付スヘキ品種及蛾數ヲ十一月三十日迄ニ通知スヘシ

第五條　原蠶種配付請求者ハ前條ノ通知ヲ受ケタル後ニ於テ其ノ品種及數量ヲ變更ヲ求ムルトキハ其ノ旨ヲ各品種ニ付極端用精繭ヨリ五十頴ヲ採取シテ之ヲ添附シ十一月末日迄ニ農事試驗場長ニ差出スヘシ

第六條　第一條又ハ第二條ニ依リ原蠶種ノ配付ヲ受ケタル者ハ樣式第二號ニ依ル報告書ヲ作リ各品種ニ付極端用精繭ヨリ五十頴ヲ採取シテ之ヲ添附シ十一月末日迄ニ農事試驗場長ニ差出スヘシ

樣式第一號

原蠶種配付請求書

一　何何　何蛾
一　何何　何蛾

右蠶種ヲ昭和何年度原蠶種製造用トシテ飼育致度候條御配付相成度候也

年　月　日

請求者　住所　氏名印

朝鮮總督府農事試驗場長宛

樣式第二號

飼育成績報告書

貴所昭和何年度製造原蠶種飼育成績左ノ通ニ候條此段及報告候也

年　月　日

住所　氏名印

朝鮮總督府農事試驗場長宛

第一表

品種名	飼育	飼育	飼育	掃立	掃立上蔟飼育給桑		飼育溫濕度	
場所別	法	蛾數	月日時	月日時	日時數	回數	全期（起）溫度（℃）	濕度（%）

備考

一　飼育別ノ欄ニハ一蛾育混合育ノ別ヲ記入スベシ

二　飼育法ノ欄ニハ到桑育、全芽育、條桑育等ノ方法ヲ記入スベシ

三　掃立蛾數ノ欄ニハ混合育ニ在リテハ一蛾ノ平均蛾量ニ依リテ換算シタルモノヲ記入スベシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第二表

品種名	牧繭量（瓦）	對精繭一瓦種繭一立原蠶種製造蛾數	蠶種用紙重量（瓦）	對種繭一立蠶種病毒歩合（%）
精繭				
同巧繭				
屑繭				
計				

備考

一　牧繭量、種繭用紙、原蠶種製造蛾數ハ掃立一蛾ニ對スルモノヲ記入スベシ

二　原蠶種製造蛾數及蠶種病毒歩合ノ外各項目ニ付テノ調査時期ハ春蠶ニ在リテハ上蔟後八日目、夏秋蠶ニ在リテハ同七日目トシテ計算ハ瓦未滿ハ切捨トス

三　原蠶種製造蛾數ノ棚ニハ整理數ヲ記入シ小數點二位以下ハ切捨トス

四　蠶種病毒歩合ハ小數點四位以下ハ切捨トス

●道原蠶種製造所及蠶業取締所設置ニ關スル件

大正八年四月
總令第八十三號

道原蠶種製造所及蠶業取締所設置ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　本令ニ於テ道原蠶種製造所ト稱スルハ地方費ヲ以テ設置スルモノヲ謂フ

第二條　道原蠶種製造所ヲ設置セムトスルトキハ道長官ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

一　名稱及位置
二　業務ノ種類
三　用地ノ種類及其ノ面積
四　建物ノ種類及其ノ坪數
五　用地及建物ノ平面圖
六　職員ノ職名其ノ員數及俸給額
七　支出豫算書

第三條　前條第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第四條　道原蠶種製造所ハ蠶質ノ改良、蠶種ノ統一ヲ圖リ原蠶種ノ製造及配付ヲ爲スヘシ

道原蠶種製造所ハ蠶業ニ關スル試驗、調査、講習、誘話、實地指導其ノ他蠶業奬勵上必要ナル事業ヲ行フコトヲ得

前項ノ試驗又ハ調査ニ關スル事項ハ其ノ目的及方法ヲ記載シ毎年三月末日限リ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第五條　朝鮮總督ハ道原蠶種製造所ニ對シ試驗又ハ調査ヲ爲スヘキ事項ヲ指定スルコトアルヘシ

第六條　道長官必要ト認ムルトキハ朝鮮蠶業令施行規則第六十七條ニ依リ設置スヘキ蠶業取締所ノ支所又ハ臨時出張所ヲ設置スルコトヲ得

蠶業取締所、支所又ハ臨時出張所ノ管轄區域及臨時出張所ノ開閉日ハ道長官之ヲ告示スヘシ

第七條　道原蠶種製造所及蠶業取締所ニ所長タル官吏ヲ置キ道長官ノ指揮ヲ受ケ所務ヲ掌理セシムヘシ

第八條　道長官蠶業取締吏員ヲ命免シタルトキハ其ノ氏名ヲ告示スヘシ

第九條　道長官ハ毎年六月末日迄ニ原蠶種製造所及蠶業取締所ノ前年度ノ業務成績ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

●蠶業改良奬勵ニ關スル件

明治四十五年三月
總訓第十一號

道

勸業模範場

一　朝鮮ニ於ケル蠶業ハ今尚幼稚ノ域ニ在リテ其ノ產額亦微弱タリト雖土質ハ桑樹ノ栽培ニ適シ乾燥セル氣候ハ最蠶ニ可ナルヲ以テ適切ナル改良方法ヲ施ストキハ副業中主要ナル位地ヲ占メ當業者ニ多大ノ利益ヲ與フルハ勿論一般經濟ノ發達ニ資スル所鮮カラサルヘシ是ヲ以テ從來蠶業教育ヲ奬勵セムカ爲各地ニ蠶業傳習所ヲ設置セシメ栽桑、育蠶、製絲ニ關シ進歩シタル知識技術ヲ授ケ以テ其ノ周知普及ヲ圖リ殊ニ各府郡ニ分與セラレタル恩賜金ニ依リ授產事業トシテ養蠶ヲ奬勵スルヲ得タルヲ以テ漸次良好ナル效果ヲ收ムルニ至レリト雖今尚雜駁ニシテ劣等ナル在來蠶種ノ飼育ヲ行ヒ又ハ育蠶ノ方法ニ於テ其ノ舊態ヲ改メサルモノアリ之カ爲獲期ノ收繭ヲ得サルノミナラス其ノ品質モ亦劣惡ナルヲ免カレス是レ最留意スヘキ所ナルカ故ニ本府ハ來年度ヨリ原蠶種ノ製造ニ著手シ朝鮮ノ氣候ニ調化セル蠶種ヲ得ル之ヲ各道ニ配付シ以テ漸次不良蠶種ノ驅逐ト產繭ノ統一ヲ計ルヘシ左ニ蠶業改良奬勵ニ關スル要項ヲ列舉シ當業者ノ歸嚮スル所ヲ知ラシメムト共ニ趣旨ノ周知徹底ヲ圖ルニ於テ遺憾ナキヲ期スヘシ

一　優良蠶種ノ普及　蠶業ノ改良發達ニ最緊要ナルハ優良蠶種ノ普及ニ在リ從來ノ蠶種ハ極メテ雜駁劣等ニシテ產繭ノ統一ヲ缺キ又内地ヨリ移入スル蠶種ノ多クハ性質虛弱ニシテ育蠶術ノ未熟ナル朝鮮人ノ飼育ニ適セス依テ道農蠶業技術者及種苗場、蠶業傳習所等ノ如キ地方農蠶業機關ヲシテ專ラ蠶種ノ雜駁ニ流レサルコトニ勉メシメ又内地ヨリ蠶種ヲ購入スル場合ニハ克ク其ノ原集ヲ精査シ春蠶ニ在リテハ又昔、小石丸又ハ昔熟、夏秋蠶ニ在リテハ新屋、秋蠶ニ在リテハ白熊等ニ就キ選擇シ本府製造ノ原蠶種配付ノ時期ニ至ラハ地方農蠶業機關ヲシテ之ヲ原種トシ蠶種ヲ製造セシメ當業者ニ洽ク配付スルノ方法ヲ講シ以テ產繭ノ統一ヲ期スルコト

雜蠶共同飼育所ノ設置　雜蠶共同飼育ハ單ニ蔟蠶ノ方法ヲ傳習シ技術ノ錬磨ヲ圖ルノ利アルノミナラス育蠶中ニ於ケル幾多ノ缺陷ヲ補足シ成繭ノ品質ヲ一定ナラシメ益テ當業者ヲシテ共同ノ必要ヲ感知セシムルノ極朝鮮ノ現狀ニ鑑ミ頗ル適切ナル事業ナルカ故ニ本府ハ來年度ヨリ更ニ本事業ニ對スル補助金ヲ增加シ大ニ之ヲ奬勵セムトス依テ之カ實行ニ際シテハ從來ノ養蠶地又ハ將來蠶業ノ主要地タルヘキ地方ニ之ヲ設ケ蠶業技術者若ハ地方農蠶業機關ヲシテ懇切ニ指導監督セシメ以テ十全ノ效果ヲ收ムルコトニ努ムルコト

一　女子ノ蠶業奬勵　蠶業ハ副心緻密ナル婦女子ニ最適當ナル業務ナリ本府カ女子蠶業講習所ニ於テ各道ヨリ本府カ女子募集シ蠶業教育ヲ計ラムトスル所以ノモノハ一定ノ職業ヲ有セサル多數ノ婦女子ヲシテ之ニ從事セシメムトスルノ意ニ外ナラス故ニ各道推薦ニ係ル女生徒ノ卒業者ヲ利用シ其ノ地ニ於ケル一般婦女子ヲ誘導シテ蠶業ヲ奬勵セシムルコト

一　產繭販賣ノ斡旋　產繭販賣ノ便宜ヲ計リ品質相當ノ價格ヲ保持セシムルハ蠶業發達上須要缺クヘカラサル所ナリ然ルニ從來往往後良ナル內地種繭ヲ生產シナカラ其ノ販路ヲ得ス或ハ不良ナル繭ヲ生產シナカラ其ノ取締ヲ缺キ苦ミ遂ニ在來繭ト同價ニ賣却スルノ止ムヲキニ至ルカ如キ如何ニ優良ナル蠶種ヲ配付シ繭質ノ改善ヲ圖ルモ其ノ效ヲ擧ケサルカ故ニ產繭ノ販賣ニ關シテハ自今一層周到ナル注意ヲ以テ農蠶業團體又ハ農蠶業機關ヲ利用スルハ勿論其ノ他荀モ之カ指導奬勵ノ任ニ當ル者ヲシテ懇切ニ幹旋ノ勞ヲ執ラシメ以テ當業者ニ於テ容易ニ其ノ販路ヲ發見シ得ルノ途ヲ開クコト

●朝鮮製絲業令

昭和十年八月
制令第十一號

朝鮮製絲業令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮製絲業令

第一條　本令ニ於テ製絲業者ト稱スルハ朝鮮總督ノ定ムル者ヲ除クノ外生絲ノ製造ヲ業トスル者ヲ謂フ

生絲ノ製造場ヲ有スル產業組合ハ朝鮮總督ノ定ムル者ヲ除クノ外本令ノ適用ニ付テハ之ヲ製絲業者ト看做ス

第二條　製絲業者タラントスル者ハ朝鮮總督ノ免許ヲ受クヘシ

前項ノ免許ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三條　朝鮮總督ハ製絲業者ニ對シ製絲業ノ統制上必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第四條　製絲業者免許ヲ受ケタル日ヨリ二年以内ニ事業ヲ開始セサルトキハ朝鮮總督ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

製絲業者引續キ一年以上其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルトキハ朝鮮總督ハ其ノ免許ヲ取消シ又ハ事業ヲ制限スルコトヲ得

第五條　製絲業者ノ所爲ニシテ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ其ノ免許ヲ取消シ又ハ其ノ事業ヲ制限シ若ハ停止スルコトヲ得

朝鮮總督ハ前項ノ處分ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ製絲業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ事務所、營業所、製造場、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ若ハ帳簿物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帶スヘシ

第七條　第二條第一項ノ規定ニ違反シタル者

一　第三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二　第四條第二項ノ規定ニ依ル制限又ハ第五條ノ規定ニ依ル制限若ハ停止ノ處分ニ違反シタル者

三　正當ノ理由ナクシテ第六條第一項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス若ハ虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ臨檢檢查ヲ拒ミ、妨ケ、忌避シ若ハ其ノ質問ニ對シ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者

第八條　製絲業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其他ノ從業者カ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第九條　本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ製絲業者ニ適用スヘキ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附　則

本令ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令施行ノ際現ニ製絲業者タル者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ本令ニ依リ免許ヲ受ケタル者ト看做ス

（昭和十年十月總令第百二十六號ヲ以テ昭和十年十一月一日ヨリ施行）

●朝鮮製絲業令施行規則

昭和十年十月
總令第百二十七號

朝鮮製絲業令施行規則左ノ通定ム

朝鮮製絲業令施行規則

第一條　朝鮮製絲業令（以下單ニ製絲業令ト稱ス）第一條ノ規定ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ同令ノ製絲業者ヨリ除外ス

一　五釜未滿ノ設備ヲ以テ生絲ノ製造ヲ業トスル者

二　揚返又ハ東裝以後ノ工程ノミヲ行フコトヲ業トスル者

三　他ノ者ニ委託シテノミ生絲ノ製造ヲ業トスル者

四　產業組合ノ有スル製絲場ヲ利用シ又ハ產業組合ニ委託シテノミ生絲ノ製造ヲ業トスル者

五　釜未滿ノ設備ノ製絲場ヲ有スル產業組合

六　揚返又ハ東裝以後ノ工程ノミヲ行フ產業組合

第二條　製絲業者タラントスル者ハ製絲場毎ニ免許ヲ申請ヲ爲スヘシ

第三條　前條ノ規定ニ依ル免許申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　申請者ノ氏名住所及履歷（法人ニ在リテハ名稱、事務所ノ所在地竝ニ代表者ノ氏名、住所及履歷）

二　製絲場ノ所在地

三　器械製絲、足踏製絲又ハ座繰製絲ノ別

四　繰絲機ノ名稱簽數及繰數

五　一日ノ平均揉業時間

六　一年間ノ原料繭消費見込數量

七　一年間ノ目的繊度別生絲製造見込數量

八　事業ノ經營ニ要スル資本ノ見込額及其ノ出資方法

九　製絲場ノ管理ニ關シ一切ノ權限ヲ有スル管理人（以下單ニ管理人ト稱ス）ヲ置カントスルトキハ其ノ者ノ氏名、住所及履歷

十　起業費ノ收支概算

十一　事業開始ノ豫定時期

二人以上共同シテ事業ヲ行ハントスルトキハ內一人ヲ代表者ト定メ其ノ氏名ヲ免許申請書ニ附記スベシ

第四條　第二條ノ規定ニ依ル免許申請書ニハ左ニ掲ケル書類ヲ添附スベシ

一　製絲場ノ敷地ノ面積竝ニ建物ノ種類、面積及構造ノ概要ヲ記載シタル書類

二　製絲場ノ敷地內ニ建物及設備ノ配置圖竝ニ敷地附近ノ概況圖

三　繭ノ乾燥及貯藏ニ關スル設備ノ名稱能力及員數ヲ記載シタル書類

四　煮繭機ノ名稱、能力及臺數竝ニ揚返機ノ窯數ヲ記載シタル書類

五　生絲ノ檢查及檢查ニ關スル設備ノ種類及員數ヲ記載シタル書類

六　從業者ノ業務別員數表

七　共同出生絲ノ製造ヲ行ハントスル場合ニ於テハ其ノ製造ニ係ル生絲ノ加工品ノ種類、加工設備ノ所在地及一年間ノ原料生絲ノ消費見込數量ヲ記載シタル書類

八　製絲業以外ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ其ノ事業ノ概要ヲ記載シタル書類

九　事業ノ收支概算書

十　申請者個人ナルトキハ資產ノ概要ヲ記載シタル書類

十一　申請者法人ナルトキハ定款、登記簿ノ謄本、財產目錄、貸借對照表及事業報告書

十二　申請者產業組合ナルトキハ職業別組合員數、出資口數及組合員一年間ノ產繭見込額ヲ記載シタル書類

十三　二人以上共同シテ申請ヲ爲ストキハ事業ニ關スル各共同者ノ出資額及權利義務ノ關係ヲ記載シタル書類

朝鮮總督ハ前項ノ書類ノ外免許ニ關シ必要ナル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルヘシ

第五條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ製絲業者ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

一　繰絲機ノ增設又ハ改設ヲ爲サントスル

トキ

二、當時一日十六時間以上ノ操業ヲ爲サンスルトキ

三、事業ノ經營ニ要スル資本ノ增減ヲ爲サントスルトキ

四、管理人ノ廢置又ハ變更ヲ爲サントスルトキ

前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テ免許申請書又ハ其ノ添附書類ニ記載シタル事項ニ異動ヲ生ズルトキハ其ノ概要ヲ記載シタル書類ヲ以テ其ノ事由ヲ爲ルベキ者ノ履歷書ヲ認可申請書ニ添附スベシ

第六條　左ニ揭グル場合ニ於テハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ但シ第一號ノ場合ニ於テ製絲業者ノ相續人（法人ニ在リテハ合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リテ設立シタル法人）ガ引續キ其ノ事業ヲ行フトキハ此ノ限ニ在ラズ

一、製絲業者死亡（法人ニ在リテハ解散）シタルトキ

二、事業ヲ廢止シタルトキ

三、製絲場滅失シタルトキ

第七條　左ニ揭グル場合ニ於テハ製絲業者ハ遲滯ナク朝鮮總督ニ其ノ旨ヲ屆出ヅベシ

一、製絲業者ノ氏名又ハ住所（法人ニ在リテハ名稱若ハ事務所ノ所在地又ハ代表者ノ氏名若ハ住所）ニ變更アリタルトキ

二、第三條第二項ノ代表者ニ變更アリタルトキ

三、製絲業者事業ヲ開始シ又ハ廢止シタルトキ

四、製絲業者引續キ三十日以上事業ノ全部若ハ一部ヲ休止シ又ハ休止シタル事業ヲ開始シタルトキ

五、製絲ノ委託ヲ受ケタルトキ

六、製絲業者製絲業以外ノ事業ヲ新ニ兼營シ又ハ兼營事業ヲ廢止シタルトキ

七、二人以上共同シテ免許ヲ受ケタル場合ニ於テ各共同者ノ出資額又ハ權利義務ノ關係ニ變動アリタルトキ

第三條第二項ノ代表者ニ變更アリタルトキ

製絲業者事業ヲ開始シ又ハ廢止シタルトキ

第四條　製絲業者ハ毎年七月末日迄ニ前月ニ日ヨリ當年五月末日迄ノ一年間ノ事業概況表ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

前項ノ事業概況書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一、繰絲機、揚返機、煮繭機其ノ他ノ設備ニ關スル事項

二、操業ニ關スル事項（操業日數、從業者ノ業務別員數等）

三、原料繭ノ數量及價額ニ關スル事項

四、生絲ノ製造及販賣ニ關スル事項

五、副産物ノ生産及販賣ニ關スル事項

六、生絲ノ製造費ニ關スル事項

七、組合ニ關スル事項（產業組合ニ限ル）

製絲業者ハ毎年前年十一月一日ヨリ當年五月末日迄、六月一日ヨリ八月末日迄及九月一日ヨリ十月末日迄ノ各期間ニ於テ購買シタル繭ノ數量及價額ヲ記載シタル繭買賞簿ヲ作成シ各期間經過後一月以內ニ前項ノ繭買賞簿ヲ作成シ各期間經過後一月以內ニ朝鮮總督ニ之ヲ提出スベシ

第八條　製絲業者ハ每年七月末日迄ニ前月ニ日ヨリ當年五月末日迄ノ一年間ノ事業概況書ニ最近年度ノ財產目錄及貸借對照表及事業報告書ヲ添附シ朝鮮總督ニ提出スベシ

前項ノ事業概況書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一、繰絲機、揚返機、煮繭機其ノ他ノ設備ニ關スル事項

二、操業ニ關スル事項（操業日數、從業者ノ業務別員數等）

三、原料繭ノ數量及價額ニ關スル事項

四、生絲ノ製造及販賣ニ關スル事項

五、副産物ノ生産及販賣ニ關スル事項

六、生絲ノ製造費ニ關スル事項

七、組合ニ關スル事項（產業組合ニ限ル）

製絲業者ハ每年前年十一月一日ヨリ當年五月末日迄、六月一日ヨリ八月末日迄及九月一日ヨリ十月末日迄ノ各期間ニ於テ購買シタル繭ノ數量及價額ヲ記載シタル繭買賞簿ヲ作成シ各期間經過後一月以內ニ前項ノ繭買賞簿ヲ作成シ各期間經過後一月以內ニ朝鮮總督ニ之ヲ提出スベシ

第九條　製絲業者第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ實行シタルトキ

九、製絲業者製絲場ノ名稱ヲ定メ又ハ之ヲ變更シタルトキ

十、直接製絲ノ用ニ供スル建物ヲ新築、改築、增築又ハ廢棄シタルトキ

十一、繰絲機ヲ廢棄シタルトキ

十二、製絲場ノ全部又ハ一部滅失シタルトキ

十三、製絲場ノ所有權ニ移轉アリタルトキ

十四、相續（法人ニ在リテハ合併）ニ因リ製絲業ヲ承繼シタルトキ

十五、製絲業者死亡（法人ニ在リテハ解散）シタルトキ

前項第十四號ノ規定ニ依リ屆出ニハ相續又ハ合併アリタルコトヲ證スル書類及相續人ノ履歷書竝ニ合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ノ定款、財產目錄、貸借對照表及代表者ノ履歷書ヲ添附スベシ

第一項第十五號ノ規定ニ依ル屆出ハ製絲業者ノ戶主又ハ家族（法人ニ在リテハ清算人）ニ於テ之ヲ爲スベシ

第八條　製絲業者ハ每年七月末日迄ニ前月ニ日ヨリ當年五月末日迄ノ一年間ノ事業概況表ヲ

第六條　保護牛ノ所有者ニハ保護料ヲ支給ス保護料ハ地方費ノ支辨トシ其ノ額及支給ノ方法ハ地方長官之ヲ定ム

第七條　保護牛ノ所有者ハ地方長官ノ承認ヲ受クルニ非サレハ之ヲ譲渡シ又ハ其ノ管理者ヲ變更スルコトヲ得ス

保護牛ハ之ヲ屠殺スルコトヲ得ス

第八條　地方長官ハ保護牛左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ解除スヘシ

一　第二條ノ要件ヲ缺キタルトキ

二　所有者又ハ管理者ヲ不適當ト認メタルトキ

三　保護ノ必要ナシト認メタルトキ

前項ノ解除ヲ爲シタルトキハ第五條ノ烙印ノ側ニ第二號樣式ノ烙印ヲ爲スヘシ

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ保護牛ノ所有者ハ十日以内ニ地方長官ニ届出ツヘシ

一　所有者又ハ管理者ノ住所氏名ヲ變更シタルトキ

二　管理者ヲ變更シタルトキ

三　保護牛ヲ讓受ケタルトキ

四　保護牛ノ斃死シ其ノ他亡失シタルトキ

第十條　地方長官ハ保護牛ヲ選定シ、解除シ又ハ前條ノ届出アリタルトキハ道報又ハ他ノ適當ナル方法ヲ以テ之ヲ公示スヘシ

第十一條　第三條、第四條、第七條若ハ第九條ノ規定ニ違反シ又ハ擅ニ第五條若ハ第八條第二項ノ烙印ヲ抹消シタル者ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ大正五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

京　畿　道保護牛烙印樣式

忠清北道同上

忠清南道同上

全羅北道同上

全羅南道同上

慶尚北道同上

慶尚南道同上

黄　海　道同上

平安南道同上

平安北道同上

江　原　道同上

咸鏡南道同上

咸鏡北道同上

備考

烙印ハ直徑六分餘及文字ノ太サ五厘トス

第二號樣式

（消）

備考

烙印ハ直徑六分餘及文字ノ太サ五厘トス

第十款　競馬

●朝鮮競馬令

昭和七年十月
制令第三號

朝鮮競馬令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮競馬令

第一條　馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ヲ圖ルコトヲ目的トスル朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第三十四條ノ法人ニシテ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルモノハ本令ニ依ル競馬ヲ行フコトヲ得

第二條　競馬ノ開催ハ年二回ヲ超ユルコトヲ得ス但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルトキハ年三回開催スルコトヲ得

競馬開催ノ期間ハ毎回八日以内トス

第三條　競馬ヲ開催スルトキハ入場者ヨリ入場料ヲ徴收スヘシ但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條　第二條ノ法人ハ馬匹ノ改良増殖ノ目的ヲ以テ左ノ事業ヲ營ムヘシ

一　競馬ノ開催

二　馬匹ノ輸入、移出、移入、賣買、交換、貸借又ハ仲立

三　馬匹ノ保護、飼養、調教又ハ競走

四　馬匹ノ保險

五　馬匹ノ賣買又ハ貸借ノ媒介

六　前條各號ノ一ニ規定スル行爲ノ相手方トナリタル者

第十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第四條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ購買シタル者

二　第五條第一項ニ揭ケル者ニシテ勝馬投票券ヲ購買シタルモノ

三　勝馬投票券ヲ譲渡又ハ譲受ケタル者

四　第六條ノ規定ニ依リ制限ニ違反シタル拂戻金ノ交付ヲ受ケタル者

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

（昭和七年十二月總令第百二十八號ヲ以テ昭和八年一月一日ヨリ施行）

●朝鮮競馬令施行規則

昭和七年十二月
總令第百二十九號

（改正　昭和八年九月第九六號、九年二月第一六號、一〇年七月第八七號）

朝鮮競馬令施行規則左ノ通定ム

第一條　本令ニ於テ競馬令ト稱スルハ朝鮮競馬令（以下單ニ競馬令ト稱ス）第一條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ヲ謂フ

第二條　競馬令第一條ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ左定款ノ外左ニ揭ケル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一　競馬場ノ位置

二　競馬場及其ノ附近ノ見取圖

三　馬場、馬見所、下見所、檢査所、入場券發賣所、勝馬投票券發賣所、拂戻金交付所、廐舍其ノ他ノ工作物ノ位置、構造、設備及圖面

四　競馬場ノ設備ニ要スル費用ノ見積額及其ノ支辨方法

五　競走ノ種類

六　入場料ノ金額

第三條　競馬令第一條ノ規定ニ依ル認可ヲ爲スニハ競馬場及其ノ附近ノ見取圖

二　競馬場、馬見所、下見所、檢査所、入場券發賣所、勝馬投票券發賣所、拂戻金交付所、廐舍其ノ他ノ工作物ノ位置、構造、設備及圖面

三　開催執務委員

前項第二號ノ番組ノ要項ニハ各競走ノ番號、種類、名稱、距離、賞金額、賞品ノ種類及負擔重量ノ條件ヲ記載スヘシ

競馬令第二條但書ノ規定ニ依リ競馬ヲ開催セントスルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ第一項ノ認可申請書及第一項ノ認可ヲ受ケタル法人ヲ謂フ

第四條　競馬令第一條ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ左定款ノ外左ニ揭ケル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一　開催ノ日時

二　番組ノ要項

三　開催執務委員

前項第二號ノ番組ノ要項ニハ各競走ノ番號、種類、名稱、距離、賞金額、賞品ノ種類及負擔重量ノ條件ヲ記載スヘシ

一　番組編成ニ關スル事項

二　開催執務委員ノ執務ニ關スル事項

三　競走馬ニ關スル事項

四　負擔重量ニ關スル事項

五　發走及審判ニ關スル事項

六　馬ノ所有者及騎手ニ關スル事項

七　登録料ニ關スル事項

八　場内ノ取締ニ關スル事項

第十條　競馬令第二條ノ規定ニ依ル開催セントスルトキハ左ニ揭ケル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ出馬登録締切期日ノ二月前迄ニ朝鮮總督ニ提出スヘシ

一　馬場ニ出デタル馬一頭ノミト爲リタルコト

二　競走成立セザルコト

三　競走ニ勝馬ヲ投票シタル者ニ對シ勝馬投票券ノ發賣及拂戻金ノ交付ニ關スル事項

第十一條　勝馬投票券ノ發賣及拂戻金ノ交付ハ競馬會ノ勝馬投票券ノ發賣及拂戻金交付ノ事務ニ從事スル者ノ氏名ヲ豫メ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第十二條　勝馬投票券ノ發賣ハ當該競走ニ參加スヘキ馬ノ確定シタル後之ヲ開始シ馬カ競走ニ出發シタル出發時ヲ以テ締切ルヘシ

第十三條　勝馬投票券ノ發賣ハ前項第九號ノ勝馬投票法ノ種類ニハ單勝式勝馬投票法及複勝式勝馬投票法ノ別ヲ記載スヘシ

第一項第十號ノ勝馬投票券ノ發賣ニ關スル事項ニハ競馬令第四條第二項及第三項ニ規定スル事項ノ取締ニ關スル方法ヲ詳記スヘシ

競馬令第一條ノ規定ニ依リ認可アリタルトキハ競馬令第三條但書及第七條ノ規定ニ依ル認可アリタルモノト看做ス

第一項第一號及第三號乃至第十二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條　勝馬投票券ノ發賣ハ當該競走ニ參加スヘキ馬ノ確定シタル後之ヲ開始シ馬カ競走ニ出發シタル出發時ヲ以テ締切ルヘシ

第十五條　勝馬投票券發賣ノ後當該競走ニ付左ノ各號ノ一ニ該當スル事由ヲ生シタルトキハ其ノ投票ヲ無效トシ競馬會ハ勝面金額以下ニテ勝馬投票券ノ買戻ニ應ズヘシ發賣シタル勝馬投票券ニ表ホセラレタル馬場ニ出デザルトキハ其ノ馬ニ對スル勝馬投票券ニ付亦同シ

一　馬場ニ出デタル馬一頭ノミト爲リタルコト

二　競走成立セザルコト

三　競走ニ勝馬ヲ投票シタル者ニ對シ勝馬投票券ノ發賣及拂戻金ノ交付ハ競馬會ノ勝馬投票券發賣所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第十六條　競走ニ勝馬ヲ投票シタル者自ラ之ヲ爲スヘシ

競馬會ハ勝馬投票券ノ發賣及拂戻金交付ノ事務ニ從事スル者ノ氏名ヲ豫メ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第十七條　勝馬投票券ノ發賣ハ當該競走ニ參加スヘキ馬ノ確定シタル後之ヲ開始シ馬カ競走ニ出發シタル出發時ヲ以テ締切ルヘシ

第十八條　勝馬投票券ノ發賣及拂戻金交付ノ事務ニ從事スル者ハ勝馬投票券ノ發賣及拂戻金ノ交付ニ關シ知リ得タル秘密ヲ漏洩スヘカラス

第十九條　勝馬投票券ノ發賣及拂戻金ノ交付ニ關スル事務ニ從事スル者ハ勝馬投票券ヲ購買シ又ハ他人ヲシテ購買セシムヘカラス

第二十條　勝馬投票券ノ發賣及拂戻金ノ交付ニ關スル事務ニ從事スル者ハ勝馬投票券ヲ譲受ケ又ハ他人ヲシテ譲受ケシムヘカラス

第二十一條　勝馬投票券ノ發賣及拂戻金ノ交付ニ關スル事務ニ從事スル者ハ勝馬投票券ヲ譲渡シ又ハ他人ヲシテ譲渡セシムヘカラス

第二十二條　勝馬投票券ノ發賣及拂戻金ノ交付ニ關スル事務ニ從事スル者ハ勝馬投票券ヲ變造シ又ハ變造ノ勝馬投票券ヲ行使シ又ハ他人ヲシテ變造ノ勝馬投票券ヲ行使セシムヘカラス

第二十三條　勝馬投票券ノ發賣及拂戻金ノ交付ニ關スル事務ニ從事スル者ハ勝馬投票券ヲ僞造シ又ハ僞造ノ勝馬投票券ヲ行使シ又ハ他人ヲシテ僞造ノ勝馬投票券ヲ行使セシムヘカラス

第二十四條　第十條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第二十五條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第二十六條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第二十七條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第二十八條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第二十九條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第三十條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第三十一條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第三十二條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第三十三條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第三十四條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第三十五條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第三十六條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第三十七條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第三十八條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第三十九條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第四十條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第四十一條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第四十二條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第四十三條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第四十四條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第四十五條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第四十六條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第四十七條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第四十八條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第四十九條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第五十條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第五十一條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第五十二條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第五十三條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第五十四條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第五十五條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第五十六條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第五十七條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第五十八條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第五十九條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第六十條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第六十一條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第六十二條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第六十三條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第六十四條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第六十五條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第六十六條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第六十七條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第六十八條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第六十九條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第七十條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第七十一條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第七十二條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第七十三條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第七十四條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第七十五條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第七十六條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第七十七條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第七十八條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第七十九條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第八十條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第八十一條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第八十二條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第八十三條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第八十四條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第八十五條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第八十六條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第八十七條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第八十八條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第八十九條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第九十條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第九十一條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第九十二條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第九十三條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第九十四條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第九十五條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第九十六條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第九十七條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第九十八條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第九十九條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第百條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第百一條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第百二條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第百三條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第百四條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第百五條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第百六條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第百七條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第百八條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第百九條　競馬令第三條但書ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ハ競馬令第七條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第百十條　朝鮮總督ハ第一條ノ法人ニ對シ勝馬投票券ノ發賣及拂戻金ノ交付ニ關シ必要アリト認ムルトキハ左ノ事項ヲ命スルコトヲ得

一　勝馬投票券發賣ノ停止又ハ制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ發賣シタル者

二　前條第二號ノ停止又ハ制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ發賣シタル者

三　第一條ノ法人ノ開催スル競馬ノ競走ニ關シ業トシテ多數ノ者ニ對シ財物ヲ以テ賭事ヲ爲シタル者

第百十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役若ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ其ノ刑ヲ併科ス

一　第一條ノ法人ニ非ズシテ勝馬投票券ヲ發賣シタル者

二　前條第二號ノ停止又ハ制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ發賣シタル者

三　第一條ノ法人ノ開催スル競馬ノ競走ニ關シ業トシテ多數ノ者ニ對シ財物ヲ以テ賭事ヲ爲シタル者

第百十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第四條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ發賣シタル者

二　第五條第二項ニ揭ケル者ニシテ勝馬投票券ヲ購買シタル者

三　第六條ノ規定ニ依リ制限ニ違反シテ拂戻金ヲ交付シタル者

四　第七條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタルニ非ザル勝馬投票券發賣所ニ於テ勝馬投票券ヲ發賣シタル者

五　第十條　朝鮮總督ハ第一條ノ法人ニ對シ馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ヲ爲ス必要ナル施設ヲ命ズルコトヲ得

第十一條　第一條ノ法人ハ豫メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第一條ノ法人ハ毎年度終了後三月以内ニ朝鮮總督ニ決算報告ヲ爲スヘシ

第十二條　第一條ノ法人ノ理事及監事ノ就任ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十三條　朝鮮總督ハ公益上必要アリト認ムルトキハ第一條ノ法人ノ定款其ノ他ノ規則ノ改正ヲ命シ又ハ其ノ總會ノ決議ヲ取消スコトヲ得

第十四條　朝鮮總督ハ第一條ノ法人又ハ其ノ役員ノ行爲カ法令若ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一　競馬ノ停止

二　勝馬投票券發賣ノ停止又ハ制限

三　役員ノ解任

第十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役若ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ其ノ刑ヲ併科ス

一　第一條ノ法人ニ非ズシテ勝馬投票券ヲ發賣シタル者

二　前條第二號ノ停止又ハ制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ發賣シタル者

三　第一條ノ法人ノ開催スル競馬ノ競走ニ關シ業トシテ多數ノ者ニ對シ財物ヲ以テ賭事ヲ爲シタル者

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第四條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ發賣シタル者

二　第五條ノ規定ニ違反シタル者

三　第六條第二項ニ揭ケル者ニシテ勝馬投票券ヲ購買シタル者

四　第六條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シテ拂戻金ヲ交付シタル者

五　第七條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタルニ非ザル勝馬投票券發賣所ニ於テ勝馬投票券ヲ發賣シタル者

第十六輯　産業　第一章　農業　第十款　競

第十八條　單勝式勝馬投票法及複勝式勝馬投票法ヲ併セ用フル競馬會ハ勝馬投票券發賣開始ノ時ニ於テ競走ニ參加スヘキ四頭以下ナルトキハ其ノ競走ニ付複勝式勝馬投票券ヲ發賣スルコトヲ得ス

第十九條　競馬會第八條第一項ノ規定ニ依リ政府ニ納付スヘキ金額ハ其ノ季ノ競馬ニ於ケル勝馬投票券ノ賣得金額ノ百分ノ五ト又但シ對スル勝馬投票券ノ賣得金（單勝式勝馬投票法及複勝式勝馬投票法ヲ併セ用フル場合ニ於テハ其ノ各區分ニ依リ各勝馬ニ對スル勝馬投票券ノ拂戻金總額ヲ算出シ之ヲ當該勝馬ニ對スル各勝馬投票券ノ券面金額ニ按分シタルモノヲ勝馬投票的中者ニ對シ勝馬投票券引換ニ交付スヘシ但シ其ノ金額ハ勝馬投票券ノ券面金額ノ十倍ヲ超ユルコトヲ得ス）

前項ノ規定ニ依リ拂戻金ノ算出ヲ爲ス場合ニ於テ勝馬投票的中者無キ勝馬アルトキハ其ノ算出ニ付テハ之ヲ勝馬ニ非ザルモノト看做ス

第二十二條　競馬會第六條第二項ノ規定ニ依リ拂戻スヘキ賣得金又ハ超過金アル場合ニ於テハ賣得金ニ在リテハ其ノ金額ヨリ政府ニ納付スヘキ金額及賣得歩合金ヲ控除シタル殘額ヲ勝馬投票券ヲ購買シタル者ニ對シ、超過金ニ在リテハ其ノ金額ヲ馬場ニ出デタル馬ニシテ勝馬以外ノモノニ對シ投票ニ付テハ日頭ヲ以テ我國官吏ニ檢查ノ申請ヲ爲スコトヲ得

檢出又ハ移出地ノ官憲ニ於テ病菌又ハ害蟲ノ附著セザルコトヲ證明シタル檢查證ヲ有スル植物ニ付テハ輸入又ハ移入ノ檢查ハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

第四條　第一條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受クヘキ植物ヲ檢出又ハ移出センスル者ハ第二號樣式ノ書面ヲ以テ我國ニ檢查ノ申請ヲ爲スヘシ

第五條　病菌又ハ害蟲ヲ輸入又ハ移入セントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ第三號樣式ノ申請書ヲ輸入又ハ移入セントスル我國ヲ經由シテ朝鮮總督ニ差出スヘシ

病菌又ハ害蟲ハ通常郵便ニ依リ輸入又ハ移入スルコトヲ得ス

第六條　前條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クタル病菌又ハ害蟲ヲ輸入又ハ移入セントスルトキハ其ノ病菌又ハ害蟲ノ到著後遲滯ナク我國ノ檢查ヲ受クヘシ

前項ノ檢查ヲ受ケントスル者ハ第四號樣式ノ申請書ヲ我國ニ提出スヘシ

第七條　我國官吏ハ第三條第一項又ハ前條第二項ノ申請前ト雖モ檢查ヲ爲スコトヲ得

第八條　第三條第一項、第四條又ハ第六條第二項ノ申請ヲ爲シタル者ハ我國官吏ノ指揮ニ從ヒ檢查ヲ受クヘキ物又ハ檢查ヲ受ケタル物ノ運搬、荷扱、荷造其ノ他ノ處置ヲ爲スヘシ

第九條　檢查ノ結果病菌又ハ害蟲附著ス、認メタル植物其ノ他ノ物ハ之ヲ輸入、移入、檢出又ハ移出ルコトヲ得ス但シ我國ニ於テ消滅ヲ爲シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

我國官吏病菌又ハ害蟲傳播ノ虞アリト認ムルトキハ植物其ノ他ノ物ニ對シ消毒其ノ他必要ナル處置ヲ爲スコトヲ得

第十條　我國官吏ハ本令ノ檢查ヲ受クヘキ植物其ノ他ノ物ヲ積載シ又ハ積載セル疑アル船車又ハ航空機ニ臨檢シ又ハ檢查スルコトヲ得

第十一條　別ニ告示スル地ヨリ發送シ又ハ之ヲ經由スル植物又ハ病菌若ハ害蟲ノ附著セル虞アル物ヲ輸入又ハ移入セントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クヘキ植物及病菌又ハ害蟲ノ附著セル虞アル物ハ別ニ之ヲ告示ス

第十二條　我國官吏檢查ノ結果支障ナシト認ムルトキハ輸入又ハ移入スルモノニ在リテハ第五號樣式ノ證明又ハ證印ヲ附シ輸出スルモノニ在リテハ第六號樣式、移出スルモノニ在リテハ第七號樣式ノ證明書ヲ交付スヘシ

我國官吏ハ第三條第二項ノ規定ニ依リ檢查ヲ爲シタル植物其ノ他ノ物ヲ廢棄シ又ハ燒却シ其ノ他必要ナル處置ヲ爲シ又ハ第三條第一項、第四條若ハ第六條第二項ノ申請ヲ爲シタル者又ハ通關手續ヲ爲シタル郵便局若ハ鐵道驛ニ之ヲ通知スヘシ

第十三條　郵便物ノ通關手續ヲ爲スヘキ郵便局又ハ鐵道小荷物ノ通關手續ヲ爲スヘキ鐵道驛ハ本令ノ規定ニ依リ檢入又ハ移入ニ付檢查ヲ受クヘキ物ヲ包容スル小包郵便物又ハ鐵道小荷物ノ運送ヲ受クタルトキハ其ノ旨ヲ我國ノ郵便局員又ハ鐵道驛員ノ立會ノ上之ヲ行フヘシ

第十四條　我國官吏第九條第二項ノ規定ニ依ル處置ヲ爲ス植物其ノ他ノ物ヲ署シクハ毀損シタルトキハ第三條第一項、第四條若ハ第六條第二項ノ申請ヲ爲シタル者又ハ通關手續ヲ爲シタル郵便局若ハ鐵道驛ニ之ヲ通知スヘシ

第十五條　第九條第二項ノ處置ニ必要ナル費用ハ當事者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第一號　第一條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受クヘキ植物ヲ輸入又ハ移入ノ檢查ヲ受ケスシテ之ヲ輸入、移入、檢出又ハ移出シタル者

第二號　第三條第一項ノ規定ニ依リ檢查ヲ受クヘキ植物ヲ積載シタル船車又ハ航空機ノ到著後遲滯ナク第一號樣式ノ書面ヲ以テ我國官吏ニ檢查ノ申請ヲ爲サスシテ之ヲ輸入、移入、檢出又ハ移出シタル者

第三號　第九條第二項但書ノ場合ニ於テ許可ノ條件ニ違反シタル者

第四號　第九條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ違反シタル者

第十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第一號　第一條第一項ノ規定ニ違反シタル者

第二號　第五條第一項ノ規定ニ違反シタル者

第三號　第五條第一項ノ許可ノ條件ニ違反シタル者

四　本令ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ之ヲ妨ゲ又ハ忌避シタル者

第十八條　第三條第一項、第六條第一項又ハ第八條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條　未成年者又ハ禁治産者カ本令ニ違反シタルトキハ本令ニ定ムル罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條　法人ノ代表者、法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者又ハ人ノ戶主、家族若ハ同居者カ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ本令ニ定ムル罰則ハ之ヲ行爲者ニ適用スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シテモ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正九年朝鮮總督府令第百三十四號（果樹及樅樹檢移入取締ニ關スル件）ハ之ヲ廢止ス

第一號樣式

植物檢（移）入檢查申請書

左記ノ通檢（移）入致度候ニ付檢查相成度此段申請候也

年　月　日

住所
職業
氏名　印

何税關（何税關支署）御中

積載船車又ハ航空機名					
入港年月日					
檢（移）入地					
荷送人住所氏名					
荷受人住所氏名					
細數	植種	別	數量	價格	產地	備考

第三號樣式

一　備考
一　價格ハ區別ハ檢查移出ノ時ニ於ケル價格ヲ記載スルコト
一　種類ノ名稱ヲ記載シ且普通種子ノ如キモノニ付テハ其

物	植 種類	別	數	積	荷 受人 住所 氏名	荷 送人 住所 氏名	出 港 年 月 日	積載船舶又ハ航空機名
			數					
		貫	價格					
			產地					

何税關（何税關支署）印中
何年何月何日
税關長（支署長）氏名　㊞

左記ノ通病菌（害蟲）輸（移）入許可申請候也

船舶又ハ航空機名及入港年月日	朝鮮總督ノ輸（移）入許可年月日及番號	種	數	病菌（害蟲）ノ學名及和名	朝鮮總督ノ輸（移）入許可年月日及番號

其ノ他ノ參考トナルヘキ事項	小包郵便物又ハ携帶品ニ關シ特ニ記載スヘキコト	偽瞞防止ノ設備ノ有無	輸送（小包郵便又ハ携帶品ニ在リテハ輸入後ノ移轉ノ方法ヲ含ム）	住所又ハ居所	病菌害蟲ノ學名及和名

第四號樣式

左記ノ通病菌（害蟲）輸（移）入申請候也

住所又ハ居所	氏名	職業

何年何月何日
何税關長（支署長）殿

第五號樣式

植物檢查合格證

植物檢查合格證

年　月　日

何税關
植物檢查印

21.5c.m
6c.m

第六號樣式

Original Certificate of Examination of Plants,
Agricultural products.

To Whom it May Concern:

This is to certify that the plants or agricultural products included in this shipment described below were throughly inspected by ····, a duly authorized official of the customs, on ·····19····; and were found to the best of his knowledge to be free from dangerous insect and plant diseases.

植物檢查合格證印

3.6c.m
4.5c.m
Custom House JAPAN（入ノ記ノ地在所關稅）

Issued Date·····19·····

Plant Inspector
····· Custom House
Chosen (Korea) Japan

(1) Number of Permit: No.·····
(2) Number and Description of Packages in Consignment·····
(3) Distinguishing Marks:·····
(4) Description of Plants, Agricultural Products;·····
(5) District or Locality where grown:·····
(6) Name and Address of Exporter:·····
(7) Name and Address of Consignee:·····
(8) Name of Vessel:·····
(9) Date of Shipment:·····
(10) Port of Shipment:·····
(11) Port of Landing:·····

第七號樣式

移出植物檢查證

植物檢查合格證印

3.5c.m

第八號樣式

植物檢查合格證

昭和　年　月　日

植物檢查ノ結果病菌及害蟲ノ種類及數

右ハ左記ノ通リ檢查ノ結果病菌及害蟲ノ種類及數ニ付本證ス

何税關（何税關支署）㊞

植物檢查合格證印

3.5c.m
6c.m
21.5c.m

朝鮮ヨリ移出入植物檢查規則ニ依ル檢查ヲ行フ

關稅朝鮮移出入植物檢查規則ニ依ル檢查ヲ行フ

改正
明治四十五年一月勅令第三號
大正九年十月勅令第三百四十號
昭和八年十月勅令第二百六十二號
十年十月勅令第二百六十二號

檢查ノ種別
檢查ヲ行フ場所
制限

出港及移出ノ檢查
入港ノ檢查
鎖港消毒仁川
商港非各山川
稅關稅關出張所
關稅稅關支署
署署關關

群山稅關支署
元山稅關支署
木浦稅關支署
羅津稅關支署
三陟稅關支署
南鮮江橋側稅關出張所
鴨綠江橋側稅關出張所
平壤稅關支署
京城旅行場稅關出張所
茴山飛行場稅關出張所

一　旅客携帶品及郵便物ニ限リ檢疫ヲ行フ但シ病菌、害蟲及臺灣産西瓜ヲ除ク檢疫ヲ行フ但シ病菌、害蟲及臺灣産西瓜ヲ除ク

二　旅客携帶品及郵便物以外ノ檢疫ヲ行フ但シ病菌、害蟲及臺灣産西瓜ヲ除ク

銀行令施行規則

第一條　銀行業ヲ營マントスル株式會社ハ免許申請書ニ總取締役署名左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　定款
二　株式ノ引受ヲ證スルニ足ル書面
三　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載セル書面
四　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類
五　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本
六　發起人ガ取締役及監査役ヲ選任シタル場合ニハ其ノ氏名、住所及就任ノ承諾ヲ證スル書面
七　創立總會ノ決議錄
八　會社設立ノ際ニ設置スル支店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ記載シタル書面
九　免許申請前日ニ於ケル財產目錄
十　預ケ先ノ預金證明書
十一　事業目論見書

第二條　銀行業ヲ營マントスル者ハ其ノ目的ヲ變更シテ銀行業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　會社設立ノ際ニ於ケル財產目錄
二　免許申請前日ニ於ケル財產目錄
三　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ性質ヲ知ルニ足ル書面
四　最終ノ財產目錄及貸借對照表
五　最終ノ損益計算書及利益處分ニ關スル書面
六　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面
七　支店其ノ他ノ營業所ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置ヲ記載シタル書面
八　事業目論見書

第三條　銀行ガ銀行業ヲ營ムニ付テハ其ノ營業所ヲ代理店ヲ以テ之ヲ營ムニ付テハ其ノ代理店ノ位置ヲ定メ其ノ代理店ニ關シ第一條第一號乃至第三號ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第四條　銀行ガ銀行令第七條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ認可申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　定款
二　株式ノ引受ヲ證スルニ足ル書面
三　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載セル書面
四　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類
五　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本
六　發起人ガ取締役及監査役ヲ選任シタル場合ニハ其ノ氏名、住所及就任ノ承諾ヲ證スル書面
七　創立總會ノ決議錄
八　會社設立ノ際ニ設置スル支店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ記載シタル書面
九　免許申請前日ニ於ケル財產目錄
十　預ケ先ノ預金證明書
十一　事業目論見書
株式會社ガ其ノ目的ヲ變更シテ銀行業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　會社登記簿ノ謄本
二　免許申請前日ニ於ケル財產目錄
三　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ性質ヲ知ルニ足ル書面
四　最終ノ財產目錄及貸借對照表
五　最終ノ損益計算書及利益處分ニ關スル書面
六　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面
七　支店其ノ他ノ營業所ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置ヲ記載シタル書面
八　事業目論見書

第二條　銀行業ヲ營マントスル者他ノ業務ヲ兼營セントスルトキハ免許申請書ニ總取締役署名左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　定款
二　株式ノ引受ヲ證スルニ足ル書面
三　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載セル書面
四　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類
五　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本
六　發起人ガ取締役及監査役ヲ選任シタル場合ニハ其ノ氏名、住所及就任ノ承諾ヲ證スル書面
七　創立總會ノ決議錄
八　會社設立ノ際ニ設置スル支店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ記載シタル書面
九　事業目論見書
十　預ケ先ノ預金證明書
十一　事業目論見書
株式會社ガ其ノ目的ヲ變更シテ銀行業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　會社登記簿ノ謄本
二　免許申請前日ニ於ケル財產目錄
三　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ性質ヲ知ルニ足ル書面
四　最終ノ財產目錄及貸借對照表
五　最終ノ損益計算書及利益處分ニ關スル書面
六　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面
七　支店其ノ他ノ營業所ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置ヲ記載シタル書面
八　事業目論見書
九　事業目論見書

第二條　銀行業ヲ營マントスル者他ノ業務ヲ兼營セントスルトキハ免許申請書ニ總取締役署名左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

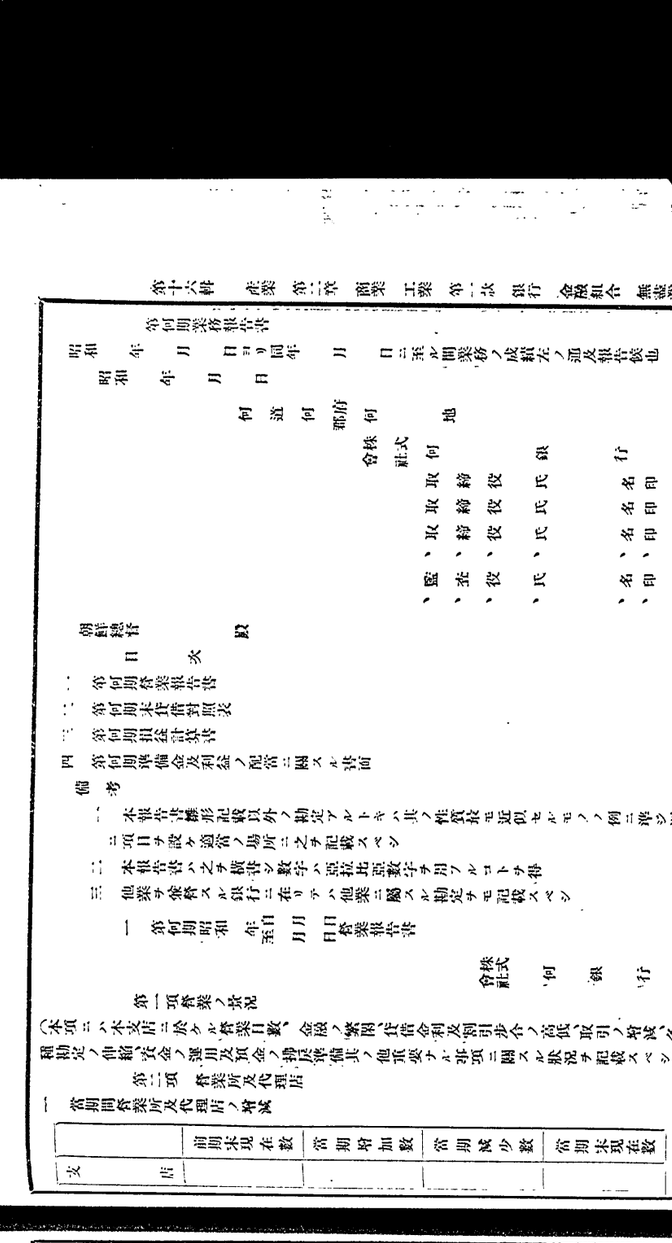
一　定款
二　株式ノ引受ヲ證スルニ足ル書面
三　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載セル書面
四　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類
五　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本
六　發起人ガ取締役及監査役ヲ選任シタル場合ニハ其ノ氏名、住所及就任ノ承諾ヲ證スル書面
七　創立總會ノ決議錄
八　會社設立ノ際ニ設置スル支店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ記載シタル書面
九　事業目論見書
十　預ケ先ノ預金證明書
十一　事業目論見書
株式會社ガ其ノ目的ヲ變更シテ銀行業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

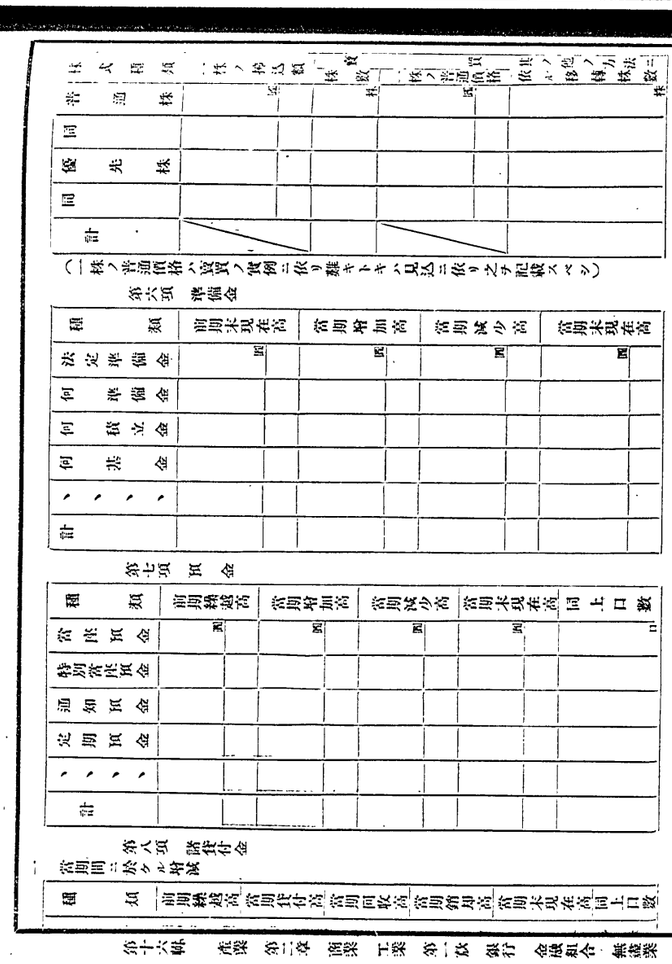
一　會社登記簿ノ謄本
二　免許申請前日ニ於ケル財產目錄
三　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ性質ヲ知ルニ足ル書面
四　最終ノ財產目錄及貸借對照表
五　最終ノ損益計算書及利益處分ニ關スル書面
六　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面
七　支店其ノ他ノ營業所ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置ヲ記載シタル書面
八　事業目論見書
九　事業目論見書

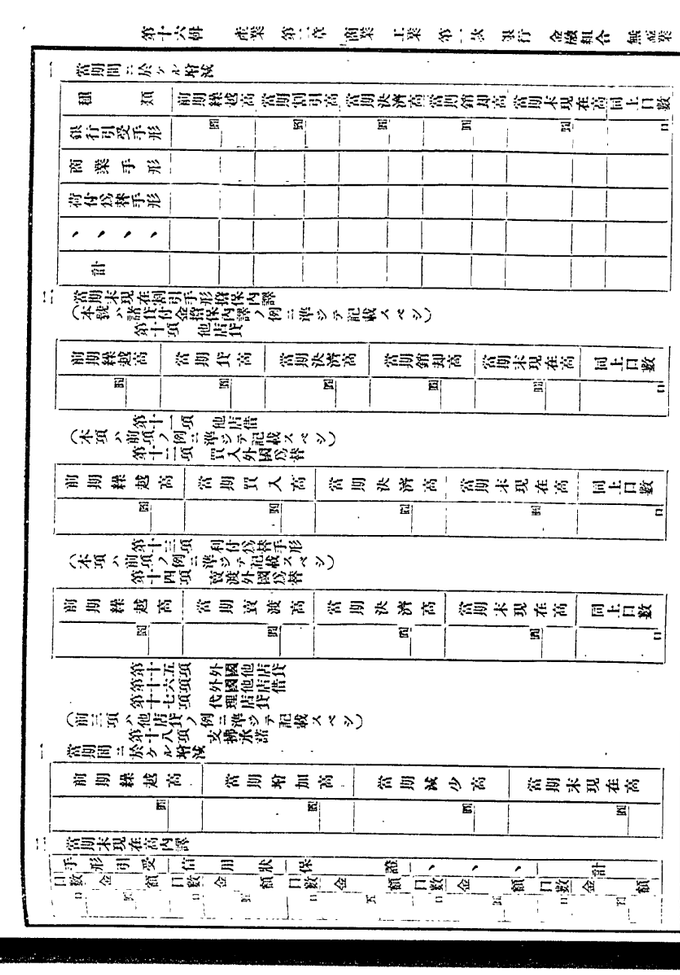
第三條　銀行ガ銀行業ヲ營ムニ付テハ其ノ營業所ヲ代理店ヲ以テ之ヲ營ムニ付テハ其ノ代理店ノ位置ヲ定メ其ノ代理店ニ關シ第一條第一號乃至第三號ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

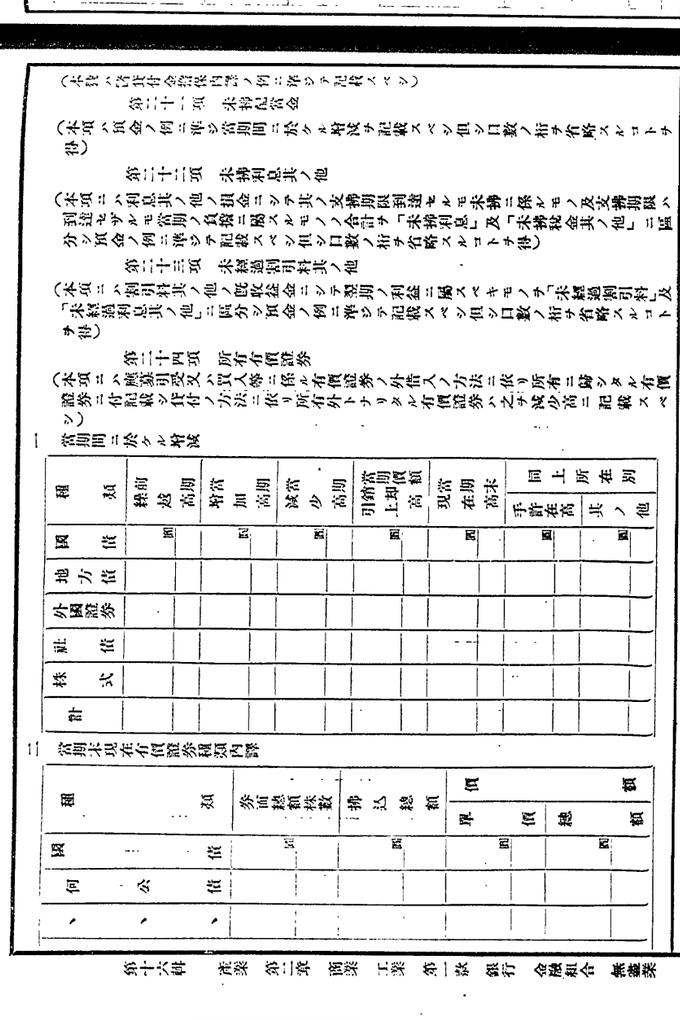
第四條　銀行ガ銀行令第七條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ認可申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　定款
二　株式ノ引受ヲ證スルニ足ル書面
三　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載セル書面
四　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類
五　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本
六　發起人ガ取締役及監査役ヲ選任シタル場合ニハ其ノ氏名、住所及就任ノ承諾ヲ證スル書面
七　創立總會ノ決議錄
八　會社設立ノ際ニ設置スル支店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ記載シタル書面
九　免許申請前日ニ於ケル財產目錄









第二十八項　營業用土地建物什器

一　常期間ニ於ケル增減

前期繰越高	常期增加高	常期減少高	銷常期却價高額	常期末現在高
圓	圓	圓	圓	圓

二　常期末現在高內譯

種類	數量	價額
土地	何何坪	圓
建物	何何棟	
什器	何何點	

第二十九項　所有動產不動產

（未項、營業用以外ノ動產不動產ヲ營業用土地建物什器ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

第三十項　現金

（現金、通貨及通貨ト同一視シ得ベキ小切手、利札ノ類ヲ指稱シ常期入金高及常期出金高ノ增減ヲ合算記載スベシ）

一　常期間ニ於ケル增減

前期繰越高	常期入金高	常期出金高	常期末現在高
圓	圓	圓	圓

二　常期末現在高內譯

常期末現在高	內			
	貨幣	銀行券	小切手、利札ノ類	課
圓	圓	圓	圓	

第三十一項　內國公債取扱高

種類	送金公債		代金取立	
	口數	金額	口數	金額
內地へ向ケルル分	口	圓	口	圓
計				
內各地へ向ケタル分				

第三十二項　保護預リ

一　常期末現在高

種類	口數
封緘封印ノ儘預リ	
貨幣紙幣銀貨保護函	
計	

第三十三項　常期末現在受託代金取立未濟高

地方別	種別	各地へ向ケタル分				各地ヨリ受ケタル分			
		賣公債		買公債		賣公債		買公債	
		口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
、、、、洲									
計									
歐羅巴		口	圓	口	圓	口	圓	口	圓
亞米利加									
支那									
印度									
濠太剌利									
、、、、洲									
計									
內地ヨリ受ケタル分									

第三十三項　外國公債取扱高

（未項取扱高ノ中ニ、本店及各支店相互間ニ於ケル取扱高ヲモ含ムモノトス項外國公債取扱高ノ項亦同ジ）

種別	各地へ向ケタル分				各地ヨリ受ケタル分			
	賣公債		買公債		賣公債		買公債	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
計								
內地ヨリ受ケタル分								

第三十四項　共同ニ行ヒタル代理別

二

諸證券	株券	社債券	公債證書	預金
、、、、、				圓
、、、、、				株
、、、、、				枚
、、、、、				口

第三十五項　損益

內	當期純益（純損）金	差引當期利益（損失）金	內	前期繰越損益金	當期總損益金	何回當期利益金戻入	當期增加高	當期減少高（△ヲ對スル額）	科目	當期總益金	內	前期繰越金
										圓		
									增減前期ニ對スル額			
									增減前期ニ對スル額			

第三十六項　本支店間

（支店ノ配列ハ第二項ニ準ジ第二號所載ノ順序ニ依ルベシ）

第三十七項　當期末現在株主氏名及持株

何株式（何回拂込濟）	株式（何回拂込濟）	合計	住所	氏名
株	株	株		來
			、、、、何	、、、、何
			、、、、支	、、、、支
			、、、、店	、、、、店
			、、、、ヘ	、、、、ヘ
計	計			

（來期繰越ス株主ノ住所ノコトヲ得）

（株券ニ止ムルコトヲ得）

（本項ノ之ヲ準用スル場合ニ於テモ亦同ジ）

（現金ニ換ヘタル株數ヲモ含ムモノトス）

一　株券ノ發行ニ關スル規定ノ概要

二　貯藏發行令ニ定ムル事項

本金ノ增減、貯藏株ノ處分ニ關スル規則ノ制定、貯藏株ノ發行ニ關スル規則ノ制定、貯藏株ノ發行ニ關スル規則ノ制定、貯藏株ノ發行ニ關スル規則ノ制定

三　貯藏株ノ發行ニ關スル規則ノ制定

貯藏株ノ發行ニ關スル規則ノ制定

四　貯藏株ノ發行ニ關スル規則ノ制定

貯藏株ノ發行ニ關スル規則ノ制定

（第二表ニ掲ゲタル銀行ヲ除ク）

| 銀行名 | 本店所在地 | 支店数 | 出張所数 | 代理店数 | 設立年月日 | 資本金 | 公称 | 払込 | 積立金 | 前期繰越金 | 当期利益金 | 当期配当率 | 当期配当金 | 当期末預金 | 当期末貸出金 | 当期末有価証券 | 当期末現金 | 当期末預ケ金 | 当期末借入金 | 当期末再割引手形 | 当期末支払手形 | 当期末支払保証 | 当期末支払為替 | 当期末支払銀行券 | 当期末支払預金 | 当期末支払借入金 | 当期末支払再割引

乙　大口債権調

乙號表　　拂込資本金及準備金ノ合計額　　圓

昭和　年第何季末　月　日現在調　　株式會社　何　銀　行

債務者（借主）				割引手形	手形貸付	證書貸付	當座貸越	預ケ金	社債	其ノ他ノ債權	保證及裏書	合計	擔保ノ有無		當季間ニ顯著ナル增要減ノ大	備考
職業	氏名	同一關係者ト利害相一ノ關係ノ續											擔保金額	無擔保金額（上ノ擔保額ト同額不足額）		
	甲某 乙某	甲ノ妻		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
	計															
	丙某 丁會社	丙ノ經營スル會社														
	計															
	、、、 、、、															
	計															

備考

（一）大口債権トハ同一債務者及之ト同一利害關係ヲ有スル者ニ對スル債権合計額ガ拂込資本金及準備金合計額ノ十分ノ一ヲ超ユルモノヲ指稱ス

（二）本表ニハ債務者（借主）毎ニ各口ヲ合計シタルモノヲ記載スベシ

（三）銀行ガ債務者（借主）ニ對シ支拂承諾ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ金額ヲ各人ニ付備考欄ニ記載スベシ

（四）債務者（借主）ニシテ銀行ニ對シ預金ヲ有スルモノアルトキハ其ノ種類及金額ヲ備考欄ニ記載スベシ

乙號附屬表ノ一　割引手形明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

（本表以下各表ハ甲號附屬各表ノ例ニ準ジテ記載スベシ但シ其ノ甲號附屬表ニ既ニ記載セラレタルモノニ付テハ其ノ氏名及金額ノ外之ガ揭記ヲ省略スルコトヲ得）

乙號附屬表ノ二　手形貸付明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

乙號附屬表ノ三　證書貸付明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

乙號附屬表ノ四　當座貸越明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

丙　大口ノ所有又ハ擔保株式調

丙號表　　昭和　年第何季末　月　日現在調　　株式會社　何　銀　行

會社名	會社ノ公稱資本金	一株金額	會社總株數及單價			所有株式		債權ノ擔保トシテ受入レタル株式		合計		合計株數ノ會社ノ總株數ニ對スル割合	當季間ニ顯著ナル增要減ノ大	備考
			一株ニ對スル拂込區別	會社ノ總株數	一株ノ普通實價額	株數	時價	株數	時價	株數	時價			
	圓	圓	全額拂込		圓		圓		圓		圓			
			何圓拂込											
			計											
			全額拂込											
			何圓拂込											
			計											

備考　大口ノ所有又ハ擔保株式トハ銀行ノ所有シ若ハ債權ノ擔保トシテ受入レタル一會社ノ株式ガ該會社ノ總株式ノ五分ノ一ヲ超ユルモノヲ指稱ス

甲號附屬表ノ一　割引手形明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

債務者（借主）			手形關係人氏名				當初割引年月日	滿期日	割引歩合	金額	擔保物				承認監査役氏名	當季間ニ於ケル顯著ナル增減ノ大要	備考
氏名又ハ商號	手形上ノ關係		約束手形振出人爲替手形ノ拂人	爲替手形振出人	裏書人						種類	數量	單價	價額			
										圓				圓			
計																	

備考

（一）商業手形、銀行引受手形及荷付爲替手形ニ付テハ氏名及金額ノ外ハ之ガ揭記ヲ省略スルコトヲ得此ノ以外ノ手形ニ付テハ總テ之ヲ詳記スベシ

（二）本表ハ各口毎ニ之ヲ記載シ同一債務者ニ屬スルモノハ同一場所ニ列記スベシ

（三）債務者（借主）ノ欄ニ揭ゲタル者ニ付テハ手形關係人ノ欄ニ於テ其ノ氏名又ハ商號ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

（四）擔保物ノ欄種類ニハ有價證券ニ付テハ銘柄ヲ土地ニ付テハ其ノ地目ヲ揭ゲ其ノ他之ニ準ズ

（五）前三項ハ以下各號諸表ニ付亦同ジ

甲號附屬表ノ二　手形貸付明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

債務者（借主）			手形關係人氏名				當初貸付年月日	滿期日	利息割合	金額	擔保物				承認監査役氏名	當季間ニ於ケル顯著ナル增減ノ大要	備考
氏名又ハ商號	手形上ノ關係		約束手形振出人爲替手形ノ拂人	爲替手形振出人	裏書人						種類	數量	單價	價額			
										圓				圓			
計																	

甲號附屬表ノ三　證書貸付明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

債務者（借主）ノ氏名又ハ商號	保證人	當初貸付年月日	濟、辨期、日	當初貸付高	現貸付高	利息割引	擔保物				承認監査役氏名	當季間ニ於ケル顯著ナル增減ノ大要	備考
							種類	數量	單價	價額			
				圓	圓					圓			
計													

甲號附屬表ノ四　當座貸越明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

債務者（借主）ノ氏名又ハ商號	保證人	契約年月日	契約期間	契約極度額	貸越殘高	利息割合	擔保物				承認監査役氏名	當季間ニ於ケル顯著ナル增減ノ大要	備考
							種類	數量	單價	價額			
				圓	圓					圓			
計													

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

丁　不良ト認ムル債權調

丁號表　　銀行　株式會社何銀行　昭和　年第何季末　月　日現在

（第一）　債權回收不能見込ノ分

債務者 氏名	債務者 職業	（主）（借）	割引手形 現在高	割引手形 回收不能見込額	貸付手形 現在高	貸付手形 回收不能見込額	貸付證書 現在高	貸付證書 回收不能見込額	當座貸越 現在高	當座貸越 回收不能見込額	、、、、 現在高	、、、、 回收不能見込額	合計 現在高	合計 回收不能見込額	備考 二期增要ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ當該箇所ニ記載スベシ
			圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
計															

（第二）　債權回收困難分（回收困難ノ點ニ特ニ手數ヲ用ヒ又ハ年月ヲ要スルモノ）

債務者 氏名	債務者 職業	（主）（借）	割引手形 現在高	割引手形 回收困難額	貸付手形 現在高	貸付手形 回收困難額	貸付證書 現在高	貸付證書 回收困難額	當座貸越 現在高	當座貸越 回收困難額	、、、、 現在高	、、、、 回收困難額	合計 現在高	合計 回收困難額	備考 二期增要ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ當該箇所ニ記載スベシ
			圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
計															

備考　（一）本表ニハ各債權ニ付其期限ノ到來セザルニ拘ラズ債務者保證人ノ資產信用擔保物ノ現狀ニ鑑ミ回收困難ト認ムルモノヲ記載スベシ

（二）本表ニハ債務者毎ニ各口ヲ合算シタルモノヲ記載スベシ

（毎月ノ營業報告書雛形）

備考

一　本報告書ハ本店、支店及代理店分ヲ合算シテ作成シタル總括表ノ外本店、支店及代理店分內譯表ヲ添附シテ本店ヨリ之ヲ提出スベシ

二　銀行令施行地外ニ本店ヲ有スル銀行中外國銀行以外ノ銀行ニ在リテハ銀行令施行地內ニ於ケル營業所又ハ代理店中本報告書ヲ提出スベキ總括店ヲ定メ前項ニ準ジテ作成シタル總括表ノ外各營業所及代理店分內譯表ヲ添附シテ該總括店ヨリ之ヲ提出スベシ

三　本報告書第二項ハ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ本表中括弧內ノ文字ヲ削リ括弧內ノ文字ヲ加フルコトヲ得

銀行　株式會社何銀行　調細明細　不良ト認ムル割引手形ノ一　昭和　年第何季末　月　日現在　一ノ表附屬丁號

（額面又ハ拂込金額ニ對スル回收不能見込額（甲號雛形ノ備考ノ前ニ相當スルモノ）及回收困難額（乙號雛形ノ備考ノ前ニ相當スルモノ）ヲ各表ニ例ヲ準ジテ作成シ備考ノ末尾ニ第一表乃至第二表ニ相當スル旨ヲ記載スベシ）

銀行　株式會社何銀行　調細明細　不良ト認ムル貸付手形ノ二　昭和　年第何季末　月　日現在　二ノ表附屬丁號

銀行　株式會社何銀行　調細明細　不良ト認ムル貸付證書ノ三　昭和　年第何季末　月　日現在　三ノ表附屬丁號

銀行　株式會社何銀行　調細明細　不良ト認ムル當座貸越ノ四　昭和　年第何季末　月　日現在　四ノ表附屬丁號

第一項　書書報告業營分月何年何

印　銀行　何株式會社　昭和何年何月末現在

勘定科目	資產（借方）殘高	資產（借方）金高	摘要	負債（貸方）殘高	負債（貸方）金高
	圓	圓		圓	圓
			何勘定		
			何		

備考

一　勘定科目ハ貸借對照表（本支店合併貸借對照表）ノ科目ヲ記載スベシ

二　他業ヲ兼營スル銀行ニ在リテハ他業ニ關スル勘定ヲ明カニスベシ

第二項　昭和　年　月何日現在各種預金高

一　何月末現在各種預金高

種類	月末現在高	每日殘高 最高	每日殘高 最低	每日殘高 平均
	圓	圓	圓	圓
當座預金及特別當座預金				
通知預金				
定期預金				
、、、、				
計				

二　預金拂戻準備內譯

種類	月末現在高	每日殘高 最高	每日殘高 最低	每日殘高 平均
	圓	圓	圓	圓
現金				
地金銀				
外國通貨				
郵便振替貯金				
國債手許				
所有高				
有價證券				
手許所有高				

（預金拂戻準備ノ各種預金ニ對スル比率　月末現在ニ對スルモノ　每日殘高平均ニ對スルモノ　割分厘）

備考

一　有價證券手許所有高ノ欄ニハ銀行令第十條ニ規定スル朝鮮總督ノ認可シタル有價證券ノ手許所有高ニ限リ之ヲ記載シ尙銀行ヘノ預ケ金ノ指定シタル銀行ヘノ預ケ金ニ限リ之ヲ記載スベシ

二　每日殘高ノ欄最高ニハ每日殘高ノ月中最高ヲ、最低ニハ每月殘高ノ中最低ヲ、平均ニハ每日殘高ノ月中平均ヲ記載スベシ

三　每日殘高ノ欄最高及最低ニハ其ノ日ヲ左傍ニ附記スベシ

何月末現在預金拂戻準備種類內譯

（イ）預金拂戻準備中銀行ヘノ預ケ金債務者內譯

種類	債務者	金額
		圓
當座預ケ金		
通知預ケ金		
、、、		
計		

銀行ヘノ預金

合計	
計	

（ロ）預金拂戻準備中國債手許所有高及有價證券手許所有高內譯

銘柄	額面又ハ拂込金額	單價	價額
	圓	圓	圓
國債			
、、、			
、、、			
計			
地方債			
、、、			
、、、			
計			
社債			
、、、			
、、、			
計			
株式			
、、、			
、、、			

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

計						
合計						

備考
本表ハ國債、地方債、社債、株式ニ分ケ銘柄ノ異ル毎ニ別行ニ記載スベシ

●銀行令第三十七條ノ規定ニ依ル銀行ノ特例

昭和三年十二月
勅令第八十一號

銀行令第三十七條ノ規定ニ依ル銀行ノ特例左ノ通定ム

第一條　銀行令施行地外ニ本店ヲ有スル銀行カ銀行令施行地内ニ支店、出張所又ハ代理店ヲ設ケ銀行業ヲ營ム場合ニ於テハ銀行令第三條、第四條、第七條第二號乃至第六號、第九條、第十條、第十四條乃至第三十九條、第二十七條、第二十九條及第三十一條乃至第三十四條ノ規定ヲ、尚外國銀行ニ付テハ銀行令第六條及第七條第一號ノ規定ヲ、外國銀行以外ノ銀行ニ付テハ銀行令第三十條、第三十五條及第三十六條ノ規定ヲ適用セズシテ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　外國銀行カ銀行令施行地内ニ營業所又ハ代理店ヲ設ケ銀行業ヲ營ムニハ營業所又ハ代理店毎ニ十萬圓ニ相當スル金額ノ國債又ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル有價證券ヲ供託スルコトヲ要ス

外國銀行ハ前項ノ規定ニ依リ供託シタル國債又ハ有價證券ノ時價カ營業年度末ニ於テ十萬圓ヲ下ルニ至リタルトキハ該營業年度經過後二月内ニ其ノ不足額ニ相當スル金額ノ國債又ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル有價證券ヲ供託スベシ

第三條　外國銀行カ前條ノ規定ニ依リ供託スベキ有價證券ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ノ代表者ニ於テ認可申請書ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル事面ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　銀行ノ名稱及住所

二　國債以外ノ公債又ハ社債ニ在リテハ利率竝ニ擔保ノ有無及其ノ種類

三　取引所ニ於ケル最近ノ相場其ノ他實價ヲ知ルニ足ル事實

第四條　第二條ノ規定ニ依ル供託ハ各營業所又ハ代理店ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スベシ

第五條　外國銀行カ第二條ノ規定ニ依ルベキ有價證券ヲ供託スルトキハ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ノ代表者ニ於テ供託受領證ヲ添附シテ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六條　外國銀行カ供託シタル國債又ハ有價證券ノ下戻ヲ受ケントスルトキハ朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

外國銀行カ前項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ノ代表者ニ於テ遲滯ナク朝鮮總督ニ提出スベシ

第七條　第一條ノ銀行カ銀行令施行地内ニ營業所又ハ代理店ヲ有セザルニ至リタルトキハ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ニ本店ヲ有シ銀行業ヲ以テ資本ノ額ヲ定ムル銀行ニ在リテハ百萬海圓ニ相當スル額ノ上ノ株式會社ナルコトヲ要ス

第八條　外國銀行ハ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ニ於テ銀行業以外ノ營業ヲ爲スコトヲ得ズ

第九條　第一條ノ銀行カ銀行令第三十七條第一項ノ營業所若ハ代理店ノ位置ヲ變更シ、若ハ營業所ノ種類ヲ變更シ、代理店ヲ營業所ニ變更シ又ハ營業所若ハ代理店ニ於ケル銀行業ヲ廢止セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第十條　前條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ認可申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　理由書

二　決議錄

三　營業所又ハ代理店廢止ノ場合ニハ銀行令施行規則第十七條第三號乃至第五號ニ掲グル書類

第十一條　第一條ノ銀行ハ預金ノ拂戻準備金トシテ銀行令施行地内ノ各營業所及代理店ヲ通ジテ預金總額ノ十分ノ一以上ヲ備ヘ置クベシ

銀行令第十條第二項及第三項竝ニ銀行令施行規則第八條及第九條ノ規定ハ前項ノ拂戻準備金ニ之ヲ準用ス

第十二條　銀行令第三十七條第一項ノ營業所ノ常務ニ從事スル代表者又ハ支配人カ營利ヲ目的トスル他ノ業務ニ從事セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依ル認可申請ニ付テハ銀行令施行規則第十三條ノ規定ヲ準用ス

第十三條　外國銀行カ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ニ於ケル銀行業ヲ廢止シタル場合ニ於テ他ニ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ヲ有スルトキハ朝鮮總督ハ廢止シタル營業ヲ他ノ營業所又ハ代理店ヲシテ引繼カシムルコトヲ得銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ニ付銀行營業ノ免許ヲ取消サレタルトキハ外國銀行ハ其ノ營業所ニ關シテハ之ニ因リテ解散シタルモノト看做ス

第十四條　前條ノ場合ヲ除クノ外外國銀行ノ本店ニ於ケル銀行業ヲ廢止シタルトキ又ハ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ニ付銀行業ヲ廢止シ若ハ銀行營業ノ免許ヲ取消サレタルトキハ外國銀行ハ其ノ營業所ニ關シテハ之ニ因リテ解散シタルモノト看做ス

第十五條　外國銀行カ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ニ付銀行營業ノ免許ヲ取消サレタルトキハ外國銀行ハ其ノ營業所ニ關シテハ之ニ因リテ解散シタルモノト看做ス

第十六條　外國銀行カ解散シタル場合又ハ第十四條ノ規定ニ依リ銀行營業ノ免許ノ取消以外ノ事由ニ因リテ解散シタルモノト看做サレタル場合ニ於テハ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ニ關スル清算ニ付テハ該營業所又ハ代理店ノ代表者其ノ清算人ヲ前項ノ規定ニ依リテ清算人タルベキ者ナキトキハ朝鮮總督ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ之ヲ選任ス

銀行令第三十三條及第三十四條ノ規定ハ外國銀行ノ清算ニ之ヲ準用ス

第十七條　第一條ノ銀行ハ銀行令第十二條ノ規定ニ依リテ提出スベキ報告書ノ外其ノ營ム事業ノ全部ニ關シ本店ニ於テ決算期ニ作成シタル營業報告書、貸借對照表、損益計算書及利益ノ配當ニ關スル書面等ヲ其ノ作成ノ都度銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ノ代表者ニ於テ遲滯ナク朝鮮總督ニ提出スベシ

第十八條　第一條ノ銀行ニ付左ニ掲グル事由ノ生ジタルトキハ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ノ代表者ニ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　商號ノ變更

二　資本金ノ變更

三　本店ノ所在地ノ變更

四　本店ニ於ケル銀行業ノ廢止

五　解散又ハ合併

第十九條　第一條ノ銀行ニ付左ニ掲グル事由ノ生ジタルトキハ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ノ代表者ニ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　第九條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ實行シタルトキ

二　銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ノ代表者ノ就任又ハ退任アリタルトキ

三　銀行令第三十七條第一項ノ營業所ノ常務ニ從事スル代表者又ハ支配人ニシテ營利ヲ目的トスル他ノ業務ニ從事スルモノ

第二十條　本令ニ依ル届出若ハ提出書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ第ノ届出若ハ提出書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ非實ヲ隱蔽シタルトキハ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ノ代表者ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ銀行令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際銀行令第三十七條第一項ノ營業所ノ常務ニ從事スル代表者又ハ支配人ニシテ現ニ營利ヲ目的トスル他ノ業務ニ從事スル者ハ本令施行後一年ヲ限リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケズシテ引續キ其ノ業務ニ從事スルコトヲ得

●朝鮮銀行法

明治四十四年三月
法律第四十八號

改正　大正七年四月第二八號、一三年七月第二二號、昭和二〇年第一號

朝鮮銀行ニ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一　爲替手形其ノ他商業手形ノ割引

二　平常取引スル諸會社銀行又ハ商人ノ爲替手形金ノ取立

三　確實ナル擔保アル貸付

四　諸預リ金及當座貸越勘定

五　金銀貨、貴金屬及諸證券ノ保護預リ

六　地金銀ノ賣買及貨幣ノ交換

七　信託ノ業務

八　前項ノ外營業ノ都合ニ依リ國債證券、地方債證券其ノ他大藏大臣ノ指定スル確實ナル有價證券ノ買入ヲ爲スコトヲ得

第十八條　朝鮮銀行ハ前條ニ掲グルモノノ外大藏大臣ノ認可ヲ受ケ左ノ業務ヲ營ムコトヲ得

一　公共團體ニ對スル無擔保貸付

二　他銀行ノ業務代理

第十九條　朝鮮銀行ハ營業ノ爲必要ナル物件ヲ取得シ又ハ債務辨濟ノ爲物件ヲ引受クル場合ヲ除クノ外動產及不動產ヲ所有スルコトヲ得

第二十條　朝鮮銀行ハ本法ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得但シ大藏大臣ノ命ニ基ク場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五章　銀行券

第二十一條　朝鮮銀行ハ銀行券ヲ發行スルコトヲ得但シ銀行券ノ樣式及種類ニ關シテハ大藏大臣ノ認可ヲ受クルヘシ

前項ノ銀行券ハ朝鮮銀行ノ本店及支店ニ於テ營業時間中何時ニテモ金貨又ハ日本銀行兌換券ト引換フルモノニ但シ支店ニ於テハ本店ヨリ準備金ノ到達スヘキ時間其ノ引換ヲ延期スルコトヲ得

第二十二條　朝鮮銀行ハ銀行券發行高ニ對シ同額ノ金貨、地金銀又ハ日本銀行兌換券ヲ置キ其ノ仕拂準備ニ充ツヘシ但シ銀地金ハ仕拂準備總額ノ四分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

第二十三條　朝鮮銀行ハ銀行券ノ發行額及仕拂準備ニ關スル每週平均高ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第二十四條　朝鮮銀行ハ每營業年度ニ於テ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ八以上ヲ積立テ且利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第二十五條　株主ニ對シ配當ヲ爲ヘキ利益金額カ拂込資本ニ對シ一年百分ノ十二ノ割合ヲ超過スルトキハ朝鮮銀行ハ該超過額ノ二分ノ一ヲ政府ニ納付スヘシ

第六章　政府ノ監督及補助

第二十六條　政府ハ朝鮮銀行ノ業務ヲ監督スルヲ得

朝鮮銀行ハ其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十七條　朝鮮銀行ハ株主ニ配當金ヲ分配セムトスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十八條　故府ハ朝鮮銀行ノ業務ニ關シ命令ヲ發スルヲ得

第二十九條　朝鮮銀行ハ其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十條　朝鮮銀行ハ株主ニ配當金ヲ分配セムトスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十一條　大藏大臣ハ必要アリト認ムルトキハ朝鮮銀行ノ業務ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ檢査ヲ爲スコトヲ得

第七章　罰則

第三十二條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　銀行券ノ發行ニ關シ不正ノ行爲ヲ爲シタルトキ

二　銀行券ノ發行額ヲ超過シテ銀行券ヲ發行シタルトキ

三　第二十三條ノ規定ニ違反シタルトキ

第三十三條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第二十條ノ規定ニ違反シタルトキハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十四條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第二十六條ノ規定ニ依リ監督官ノ命令ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第二十七條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十六條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第二十八條ノ規定ニ依リ監督官ノ命令ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第二十九條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第三十條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第三十一條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲サス又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ拒ミタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第八章　附則

第四十條　朝鮮銀行ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一　爲替手形其ノ他商業手形ノ割引

二　平常取引スル諸會社銀行又ハ商人ノ爲替手形金ノ取立

三　確實ナル擔保アル貸付

四　諸預リ金及當座貸越勘定

五　金銀貨、貴金屬及諸證券ノ保護預リ

六　地金銀ノ賣買及貨幣ノ交換

七　信託ノ業務

八　前項ノ外營業ノ都合ニ依リ國債證券、地方債證券其ノ他大藏大臣ノ指定スル確實ナル有價證券ノ買入ヲ爲スコトヲ得

第四十一條　朝鮮銀行ハ前條ニ掲グルモノノ外大藏大臣ノ認可ヲ受ケ左ノ業務ヲ營ムコトヲ得

一　公共團體ニ對スル無擔保貸付

二　他銀行ノ業務代理

第四十二條　朝鮮銀行ハ營業ノ爲必要ナル物件ヲ取得シ又ハ債務辨濟ノ爲物件ヲ引受クル場合ヲ除クノ外動產及不動產ヲ所有スルコトヲ得ス

第四十三條　朝鮮銀行ハ本法ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得但シ大藏大臣ノ命ニ基ク場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條　朝鮮銀行ハ銀行券ヲ發行スルコトヲ得但シ銀行券ノ樣式及種類ニ關シテハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ銀行券ハ朝鮮銀行ノ本店及支店ニ於テ營業時間中何時ニテモ金貨又ハ日本銀行兌換券ト引換フルモノニ但シ支店ニ於テハ本店ヨリ準備金ノ到達スヘキ時間其ノ引換ヲ延期スルコトヲ得

第四十五條　朝鮮銀行ハ銀行券發行高ニ對シ同額ノ金貨、地金銀又ハ日本銀行兌換券ヲ置キ其ノ仕拂準備ニ充ツヘシ但シ銀地金ハ仕拂準備總額ノ四分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

第四十六條　朝鮮銀行ハ銀行券發行高ニ對シ政府ノ定ムル所ニ依リ其ノ發行高ノ對シ一年百分ノ三千五千萬圓ヲ限リ國債證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

前二項ニ規定スルモノノ外市場ノ狀況ニ依リ銀行券ノ發行ヲ必要トスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ國債證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ノ命スル所ニ依リ其ノ發行高ニ對シ一年百分ノ三千五サル割合ヲ以テ發行稅ヲ納ムヘシ

第四十七條　朝鮮銀行ハ銀行券ノ製造、發行、損券引換及銷却等ノ手續ハ大藏大臣之ヲ定ム

第七章　重役

第四十八條　朝鮮銀行ニ總裁、副總裁各一人理事三人以上監事二人以上ヲ置ク

總裁ハ朝鮮銀行ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理ス

副總裁ハ總裁非故アルトキ其ノ職務ヲ代理シ總裁闕員ノトキ其ノ職務ヲ行フ

副總裁及理事ハ總裁ヲ補佐シ定款ノ定ムル所ニ從ヒ朝鮮銀行ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ朝鮮銀行ノ業務ヲ監督ス

第四十九條　總裁及副總裁ハ政府之ヲ命シ其ノ期ヲ五年ト

理事ハ百株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主會ニ於テ選舉シタル二倍ノ候補者中ヨリ株主總會之ヲ命シ其ノ任期ヲ三年トス

監事ハ五十株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第五十條　總裁、副總裁及理事ハ何等ノ名稱ヲ以テスルニ拘ラス他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得但シ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三章　株主總會

第五十一條　通常株主總會ハ定款ニ定メタル時期ニ於テ總裁之ヲ招集ス

第五十二條　臨時株主總會ハ臨時必要アルトキ總裁之ヲ招集ス

第五十三條　監事ノ全員又ハ資本ノ五分ノ一以上ニ當ル株主ハ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ臨時株主總會ノ招集ヲ總裁ニ請求スルコトヲ得

總裁前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ臨時株主總會ヲ招集スヘシ

第五十四條　株主ハ株主ニ非サル者ヲ代理人トシテ議決權ヲ行フコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十五條　株主ハ株主ニ非サル者ヲ代理人トシテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第五十六條　定款ノ變更ハ株主總會ニ於テ議決權ヲ有スル株主ノ半數以上ニシテ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テスル決議ヲ要ス

第五十七條　株主總會ノ決議ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五十八條　株主總會ノ議事ニ關シテハ總裁ハ其ノ經過ノ要領及結果ヲ記載シタル議事錄ヲ作成シ之ニ署名スルコトヲ要ス

第五十九條　株主總會ニ於テ決議ヲ要スル事項ニ付株主ニ異議アル場合ニ於テハ總裁ハ其ノ決議ニ拘ラス政府ノ認可ヲ受ケ其ノ決議ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

第六十條　株主ハ株主總會ニ於テ決議ヲ要スル事項ニ付株主ニ異議アル場合ニ於テハ總裁ハ其ノ決議ニ拘ラス政府ノ認可ヲ受ケ其ノ決議ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

第八章　業務

第六十一條　朝鮮銀行ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一　爲替手形其ノ他商業手形ノ割引

二　平常取引スル諸會社銀行又ハ商人ノ爲替手形金ノ取立

三　確實ナル擔保アル貸付

四　諸預リ金及當座貸越勘定

五　金銀貨、貴金屬及諸證券ノ保護預リ

六　地金銀ノ賣買及貨幣ノ交換

七　信託ノ業務

八　前項ノ外營業ノ都合ニ依リ國債證券、地方債證券其ノ他大藏大臣ノ指定スル確實ナル有價證券ノ買入ヲ爲スコトヲ得

第六十二條　朝鮮銀行ハ前條ニ掲グルモノノ外大藏大臣ノ認可ヲ受ケ左ノ業務ヲ營ムコトヲ得

一　公共團體ニ對スル無擔保貸付

二　他銀行ノ業務代理

第六十三條　朝鮮銀行ハ營業ノ爲必要ナル物件ヲ取得シ又ハ債務辨濟ノ爲物件ヲ引受クル場合ヲ除クノ外動產及不動產ヲ所有スルコトヲ得ス

第六十四條　朝鮮銀行ハ本法ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得但シ大藏大臣ノ命ニ基ク場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九章　銀行券

第六十五條　朝鮮銀行ハ銀行券ヲ發行スルコトヲ得但シ銀行券ノ樣式及種類ニ關シテハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ銀行券ハ朝鮮銀行ノ本店及支店ニ於テ營業時間中何時ニテモ金貨又ハ日本銀行兌換券ト引換フルモノニ但シ支店ニ於テハ本店ヨリ準備金ノ到達スヘキ時間其ノ引換ヲ延期スルコトヲ得

第六十六條　朝鮮銀行ハ銀行券發行高ニ對シ同額ノ金貨、地金銀又ハ日本銀行兌換券ヲ置キ其ノ仕拂準備ニ充ツヘシ但シ銀地金ハ仕拂準備總額ノ四分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

第六十七條　朝鮮銀行ハ銀行券發行高ニ對シ政府ノ定ムル所ニ依リ其ノ發行高ノ對シ一年百分ノ三千五千萬圓ヲ限リ國債證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ仕拂準備ニ依ルノ外朝鮮銀行ハ特ニ五千萬圓ヲ限リ國債證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

第六十八條　朝鮮銀行ハ銀行券ノ發行額及仕拂準備ニ關スル每週平均高ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第六十九條　銀行券ノ製造、發行、損券引換及銷却等ノ手續ハ大藏大臣之ヲ定ム

第十章　計算

第七十條　朝鮮銀行ハ每營業年度ニ於テ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ八以上ヲ積立テ且利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第七十一條　株主ニ對シ配當ヲ爲ヘキ利益金額カ拂込資本ニ對シ一年百分ノ十二ノ割合ヲ超過スルトキハ朝鮮銀行ハ該超過額ノ二分ノ一ヲ政府ニ納付スヘシ

第十一章　政府ノ監督及補助

第七十二條　政府ハ朝鮮銀行ノ業務ヲ監督スルヲ得

朝鮮銀行ハ其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七十三條　朝鮮銀行ハ株主ニ配當金ヲ分配セムトスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七十四條　故府ハ朝鮮銀行ノ業務ニ關シ命令ヲ發スルヲ得

第七十五條　朝鮮銀行ハ銀行券發行高ニ對シ政府ノ定ムル所ニ依リ其ノ發行高ノ對シ一年百分ノ三千五千萬圓ヲ限リ國債證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ銀行券發行ノ外朝鮮銀行ハ特ニ五千萬圓ヲ限リ國債證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

第七十六條　朝鮮銀行ハ銀行券發行高ニ對シ政府ノ定ムル所ニ依リ其ノ發行高ノ對シ一年百分ノ三千五千萬圓ヲ限リ國債證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ銀行券發行ノ外朝鮮銀行ハ特ニ五千萬圓ヲ限リ國債證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

第七十七條　朝鮮銀行ハ銀行券ノ發行額及仕拂準備ニ關スル每週平均高ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第七十八條　朝鮮銀行ハ每營業年度ニ於テ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ八以上ヲ積立テ且利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第七十九條　株主ニ對シ配當ヲ爲ヘキ利益金額カ拂込資本ニ對シ一年百分ノ十二ノ割合ヲ超過スルトキハ朝鮮銀行ハ該超過額ノ二分ノ一ヲ政府ニ納付スヘシ

第十二章　政府ノ監督及補助

第八十條　故府ハ朝鮮銀行ノ業務ニ關シ命令ヲ發スルヲ得

第八十一條　朝鮮銀行ハ其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八十二條　朝鮮銀行ハ株主ニ配當金ヲ分配セムトスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八十三條　朝鮮銀行ハ株主ニ非サル者ヲ代理人トシテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第八十四條　朝鮮銀行ハ株主ニ付一箇トス但シ十一株以上ハ十株ヲ增ス每ニ一箇ヲ加フ

第八十五條　株主ハ株主ニ非サル者ヲ代理人トシテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第八十六條　定款ノ變更ハ株主總會ニ於テ議決權ヲ有スル株主ノ半數以上ニシテ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テスル決議ヲ要ス

第八十七條　株主總會ノ決議ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第八十八條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　銀行券ノ發行ニ關シ不正ノ行爲ヲ爲シタルトキ

二　銀行券ノ發行額ヲ超過シテ銀行券ヲ發行シタルトキ

三　第八十三條ノ規定ニ違反シタルトキ

第八十九條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第八十條ノ規定ニ違反シタルトキハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第八十二條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十一條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第八十四條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十二條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第八十五條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十三條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第八十六條ノ規定ニ依リ監督官ノ命令ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十四條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第八十七條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第八十八條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十六條　朝鮮銀行ノ役員又ハ清算人カ第八十九條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲サス又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ拒ミタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三章　附則

第九十七條　朝鮮銀行ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一　爲替手形其ノ他商業手形ノ割引

二　平常取引スル諸會社銀行又ハ商人ノ爲替手形金ノ取立

三　確實ナル擔保アル貸付

四　諸預リ金及當座貸越勘定

五　金銀貨、貴金屬及諸證券ノ保護預リ

六　地金銀ノ賣買及貨幣ノ交換

七　信託ノ業務

八　前項ノ外營業ノ都合ニ依リ國債證券、地方債證券其ノ他大藏大臣ノ指定スル確實ナル有價證券ノ買入ヲ爲スコトヲ得

第九十八條　朝鮮銀行ハ前條ニ掲グルモノノ外大藏大臣ノ認可ヲ受ケ左ノ業務ヲ營ムコトヲ得

一　公共團體ニ對スル無擔保貸付

二　他銀行ノ業務代理

第九十九條　朝鮮銀行ハ營業ノ爲必要ナル物件ヲ取得シ又ハ債務辨濟ノ爲物件ヲ引受クル場合ヲ除クノ外動產及不動產ヲ所有スルコトヲ得ス

第百條　朝鮮銀行ハ本法ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得但シ大藏大臣ノ命ニ基ク場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十四章　銀行券

第百一條　朝鮮銀行ハ銀行券ヲ發行スルコトヲ得但シ銀行券ノ樣式及種類ニ關シテハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ銀行券ハ朝鮮銀行ノ本店及支店ニ於テ營業時間中何時ニテモ金貨又ハ日本銀行兌換券ト引換フルモノニ但シ支店ニ於テハ本店ヨリ準備金ノ到達スヘキ時間其ノ引換ヲ延期スルコトヲ得

第百二條　朝鮮銀行ハ銀行券發行高ニ對シ同額ノ金貨、地金銀又ハ日本銀行兌換券ヲ置キ其ノ仕拂準備ニ充ツヘシ但シ銀地金ハ仕拂準備總額ノ四分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

第百三條　朝鮮銀行ハ銀行券發行高ニ對シ政府ノ定ムル所ニ依リ其ノ發行高ノ對シ一年百分ノ三千五千萬圓ヲ限リ國債證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ銀行券發行ノ外朝鮮銀行ハ特ニ五千萬圓ヲ限リ國債證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

第百四條　朝鮮銀行ハ銀行券ノ發行額及仕拂準備ニ關スル每週平均高ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第百五條　銀行券ノ製造、發行、損券引換及銷却等ノ手續ハ大藏大臣之ヲ定ム

第十五章　重役

第百六條　朝鮮銀行ニ總裁、副總裁各一人理事三人以上監事二人以上ヲ置ク

總裁ハ朝鮮銀行ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理ス

副總裁ハ總裁非故アルトキ其ノ職務ヲ代理シ總裁闕員ノトキ其ノ職務ヲ行フ

副總裁及理事ハ總裁ヲ補佐シ定款ノ定ムル所ニ從ヒ朝鮮銀行ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ朝鮮銀行ノ業務ヲ監督ス

第百七條　總裁及副總裁ハ政府之ヲ命シ其ノ期ヲ五年トス

理事ハ百株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ選舉シタル二倍ノ候補者中ヨリ株主總會之ヲ命シ其ノ任期ヲ三年トス

監事ハ五十株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第百八條　總裁、副總裁及理事ハ何等ノ名稱ヲ以テスルニ拘ラス他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得但シ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十六章　株主總會

第百九條　通常株主總會ハ定款ニ定メタル時期ニ於テ總裁之ヲ招集ス

第百十條　臨時株主總會ハ臨時必要アルトキ總裁之ヲ招集ス

第百十一條　監事ノ全員又ハ資本ノ五分ノ一以上ニ當ル株主ハ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ臨時株主總會ノ招集ヲ總裁ニ請求スルコトヲ得

總裁前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ臨時株主總會ヲ招集スヘシ

第百十二條　株主ハ株主ニ非サル者ヲ代理人トシテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第百十三條　株主ハ株主ニ付一箇トス但シ十一株以上ハ十株ヲ增ス每ニ一箇ヲ加フ

第百十四條　株主ハ株主ニ非サル者ヲ代理人トシテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第百十五條　定款ノ變更ハ株主總會ニ於テ議決權ヲ有スル株主ノ半數以上ニシテ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テスル決議ヲ要ス

第百十六條　定款ノ變更ハ株主總會ニ於テ議決權ヲ有スル株主ノ半數以上ニシテ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テスル決議ヲ要ス

第百十七條　株主總會ノ決議ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第百十八條　株主總會ノ議事ニ關シテハ總裁ハ其ノ經過ノ要領及結果ヲ記載シタル議事錄ヲ作成シ之ニ署名スルコトヲ要ス

第百十九條　株主總會ニ於テ決議ヲ要スル事項ニ付株主ニ異議アル場合ニ於テハ總裁ハ其ノ決議ニ拘ラス政府ノ認可ヲ受ケ其ノ決議ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

第百二十條　株主ハ株主總會ニ於テ決議ヲ要スル事項ニ付株主ニ異議アル場合ニ於テハ總裁ハ其ノ決議ニ拘ラス政府ノ認可ヲ受ケ其ノ決議ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

第十七章　業務

第百二十一條　朝鮮銀行ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一　爲替手形其ノ他商業手形ノ割引

二　平常取引スル諸會社銀行又ハ商人ノ爲替手形金ノ取立

三　確實ナル擔保アル貸付

四　諸預リ金及當座貸越勘定

五　金銀貨、貴金屬及諸證券ノ保護預リ

六　地金銀ノ賣買及貨幣ノ交換

七　信託ノ業務

八　前項ノ外營業ノ都合ニ依リ國債證券、地方債證券其ノ他大藏大臣ノ指定スル確實ナル有價證券ノ買入ヲ爲スコトヲ得

第百二十二條　朝鮮銀行ハ前條ニ掲グルモノノ外大藏大臣ノ認可ヲ受ケ左ノ業務ヲ營ムコトヲ得

一　公共團體ニ對スル無擔保貸付

二　他銀行ノ業務代理

第百

第四十條　朝鮮銀行ノ總裁、副總裁又ハ理事ハ第十條ノ規定ニ違反シタルトキハ二十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第四十一條　前三條ノ過料ニ關シテハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ニ依ル

附　則

第四十二條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條　舊韓國陸軍武官ノ恩給ニ關スル件ニ依リ韓國銀行ハ朝鮮銀行ヲ稱シ韓國銀行設立ノ日ニ於テ本法ニ依リ設立シタルモノト看做シ韓國銀行ノ爲シタル行爲ハ朝鮮銀行ノ爲シタルモノト看做ス

韓國銀行ニ付爲シタル登記ハ朝鮮銀行ニ付爲シタル登記ト看做シ登記簿ニ於ケル銀行ノ名稱ハ當然變更セラレタルモノトス

第四十四條　韓國銀行ノ總裁、理事監事ハ朝鮮銀行ノ總裁、理事監事トシテ就職シタルモノト看做ス

第四十五條　韓國銀行ノ發行シタル韓國銀行券及其ノ發行ト看做シタル株式會社第一銀行ノ銀行券ハ朝鮮銀行ニ於テ發行シタルモノト看做ス

附　則（大正十三年七月法律第二十一號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十三年勅令第二百一號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十年三月法律第一號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十年三月勅令第三十二號ヲ以テ昭和十年四月一日ヨリ施行）

●朝鮮銀行法施行期日

明治四十四年七月
勅令第二百三號

廢朝鮮銀行法施行期日ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布ス御名御璽

明治四十四年七月十五日

内閣總理大臣侯爵　桂太郎
大藏大臣男爵　阪谷芳郎

二ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ職務ニ屬スル事項ヲ朝鮮總督ヲシテ行ハシムル件

大正十三年八月
勅令第二百二號

朝鮮銀行法第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ左ニ掲ク事項ハ朝鮮總督ヲシテ之ヲ行ハシム但シ第七號ノ檢査ハ事宜ニ依リ大藏大臣ニ於テ之ヲ行フ

一　朝鮮銀行法第二條第一項ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル支店若ハ代理店ノ設置又ハ朝鮮ニ於ケル他銀行トノコルレスポンデンスノ締約ヲ認可スルコト

二　朝鮮銀行法第二條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル支店又ハ代理店ノ設置ヲ命スルコト

三　朝鮮銀行法第十七條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル替業ノ都合ニ依リ買入ヲ爲ス有價證券ヲ指定スルコト

四　朝鮮銀行法第十八條ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル左ノ替業ヲ認可スルコト

イ　朝鮮ニ於ケル公共團體ニ對スル無擔保貸付ヲ爲スコト

ロ　朝鮮ニ於ケル他銀行ノ業務ヲ代理スルコト

四　朝鮮ニ於テ同法ニ記載セサル業務ヲ營マシムルコト

五　朝鮮銀行法第三十一條ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル貸付若ハ割引ノ金額、方法、利子若ハ歩合又ハ爲替料ニ關シ制限ヲ付スルコト

六　朝鮮銀行法第三十二條ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル替業上法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル事項アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ制止スルコト

七　朝鮮ニ於ケル朝鮮銀行ノ業務及財產ノ狀況ヲ檢査スルコト

附　則

本令ハ大正十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮殖産銀行令

大正七年六月
制令第七號

改正　大正一三年八月九號
三號、大正一三年八月九號
昭和六年六月一號、昭和六年六月二號

朝鮮殖産銀行令明治四十四年法律第三十七號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮殖産銀行令

第一章　總則

第一條　朝鮮殖産銀行ハ株式會社トシ其ノ本店ヲ京城ニ置ク

第二條　朝鮮殖産銀行ノ資本金ハ一千萬圓トシ之ヲ二十萬株ニ分チ一株ノ金額ヲ五十圓トス但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ資本金ヲ增加スルコトヲ得

第三條　朝鮮殖産銀行ノ存立期間ハ設立登記ノ日ヨリ百年トス但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ延長スルコトヲ得

第四條　朝鮮殖産銀行ノ株券ハ記名式トス帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル法人ニ非サレハ朝鮮殖産銀行ノ株主トナルコトヲ得ス

第五條　政府又ハ公共團體ハ朝鮮殖産銀行ノ株主トナルコトヲ得

第二章　重役

第六條　朝鮮殖産銀行ニ頭取一人理事三人以上監事二人以上ヲ置ク

第七條　頭取ハ朝鮮殖産銀行ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理ス

頭取事故アルトキハ定款ノ定ムル所ニ從ヒ理事中一人其ノ職務ヲ代理シ頭取闕員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ頭取ヲ補佐シ朝鮮殖産銀行ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ朝鮮殖産銀行ノ業務ヲ監査ス

第八條　頭取ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ五十株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ選舉シタル二倍ノ候補者中ヨリ朝鮮總督之ヲ命シ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ三十株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主

ニ依リ其ノ替業ニ關スル諸般ノ景況及計算ノ報告書ヲ差出スヘシ

第三十四條　政府ハ特ニ朝鮮銀行監理官ヲ置キ朝鮮銀行ノ業務ヲ監視セシム

第三十五條　朝鮮銀行監理官ハ何時ニテモ朝鮮銀行ノ金庫帳簿及諸般ノ文書ヲ檢査スルコトヲ得

朝鮮銀行監理官ハ監視上必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ朝鮮銀行ニ命シ替業上諸般ノ計算及景況ヲ報告セシムルコトヲ得

朝鮮銀行監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第三十六條　朝鮮銀行ノ利益配當金ニシテ政府持株以外ノ株式ニ對シ每替業年度ニ於テ一年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄ハ政府持株ニ配當ヲ爲スコトヲ要セス

第三十七條　朝鮮銀行ノ利益配當金ニシテ政府持株以外ノ株式ニ對シ每替業年度ニ於テ一年百分ノ六ノ割合ニ達セサルトキハ政府ハ創立初期ノ未日ヨリ五年ヲ限リ之ニ達スル金額ヲ補給ス

第三十七條ノ二　本法中大藏大臣ノ職務ニ屬スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第八章　罰則

第三十八條　朝鮮銀行ノ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副總裁ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

其ノ事犯ニシテ副總裁又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同シ

一　第十九條、第二十條、第二十二條第一項又ハ第二十六條ノ規定ニ違反シタルトキ

二　本法ニ依リ認可ヲ受ケヘキ事項ニ關シ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

第三十九條　朝鮮銀行ノ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副總裁又ハ理事ノ分擔業務ニ係ルトキハ副總裁又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同シ

一　第十九條、第二十條、第二十二條第一項又ハ第二十六條ノ規定ニ違反シタルトキ

二　本法ニ依リ認可ヲ受ケヘキ事項ニ關シ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

第三十九條　朝鮮銀行ノ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副總裁又ハ理事ノ分擔業務ニ係ルトキハ副總裁又ハ理事ヲ過料ニ處ス

第四十條　朝鮮銀行ノ總裁、副總裁又ハ理事第十條ノ規定ニ違反シタルトキハ二十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第四十一條　前三條ノ過料ニ關シテハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ニ依ル

附　則

第四十二條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條　舊韓國陸軍武官ノ恩給ニ關スル件ニ依リ韓國銀行ハ朝鮮銀行ヲ稱シ韓國銀行設立ノ日ニ於テ本法ニ依リ設立シタルモノト看做シ韓國銀行ノ爲シタル行爲ハ朝鮮銀行ノ爲シタルモノト看做ス

韓國銀行ニ付爲シタル登記ハ朝鮮銀行ニ付爲シタル登記ト看做シ登記簿ニ於ケル銀行ノ名稱ハ當然變更セラレタルモノトス

第四十四條　韓國銀行ノ總裁、理事監事ハ朝鮮銀行ノ總裁、理事監事トシテ就職シタルモノト看做ス

第四十五條　韓國銀行ノ發行シタル韓國銀行券及其ノ發行ト看做シタル株式會社第一銀行ノ銀行券ハ朝鮮銀行ニ於テ發行シタルモノト看做ス

附　則（大正十三年七月法律第二十一號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十三年勅令第二百一號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十年三月法律第一號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十年三月勅令第三十二號ヲ以テ昭和十年四月一日ヨリ施行）

●朝鮮銀行法施行期日

明治四十四年七月
勅令第二百三號

廢朝鮮銀行法施行期日ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布ス御名御璽

明治四十四年七月十五日

内閣總理大臣侯爵　桂太郎
大藏大臣男爵　阪谷芳郎

二ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ職務ニ屬スル事項ヲ朝鮮總督ヲシテ行ハシムル件

大正十三年八月
勅令第二百二號

朝鮮銀行法第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ左ニ掲ク事項ハ朝鮮總督ヲシテ之ヲ行ハシム但シ第七號ノ檢査ハ事宜ニ依リ大藏大臣ニ於テ之ヲ行フ

一　朝鮮銀行法第二條第一項ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル支店若ハ代理店ノ設置又ハ朝鮮ニ於ケル他銀行トノコルレスポンデンスノ締約ヲ認可スルコト

二　朝鮮銀行法第二條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル支店又ハ代理店ノ設置ヲ命スルコト

三　朝鮮銀行法第十七條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル替業ノ都合ニ依リ買入ヲ爲ス有價證券ヲ指定スルコト

四　朝鮮銀行法第十八條ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル左ノ替業ヲ認可スルコト

イ　朝鮮ニ於ケル公共團體ニ對スル無擔保貸付ヲ爲スコト

ロ　朝鮮ニ於ケル他銀行ノ業務ヲ代理スルコト

四　朝鮮ニ於テ同法ニ記載セサル業務ヲ營マシムルコト

五　朝鮮銀行法第三十一條ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル貸付若ハ割引ノ金額、方法、利子若ハ歩合又ハ爲替料ニ關シ制限ヲ付スルコト

六　朝鮮銀行法第三十二條ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル替業上法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル事項アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ制止スルコト

七　朝鮮ニ於ケル朝鮮銀行ノ業務及財產ノ狀況ヲ檢査スルコト

附　則

本令ハ大正十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

總會ニ於テ還任シ其ノ任期ヲ二年トス

第九條　頭取及理事ハ何等ノ名稱ヲ以テスルニ拘ラス他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三章　株主總會

第十條　通常株主總會ハ定款ニ定メタル時期ニ於テ頭取之ヲ招集ス

第十一條　臨時株主總會ハ臨時必要アルトキ頭取之ヲ招集ス

第十二條　監事ノ全員又ハ資本ノ五分ノ一以上ニ當ル株主ハ會議ノ目的タル事項及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ頭取ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

頭取前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ臨時株主總會ヲ招集スヘシ

第十三條　株主ノ議決權ハ一株ニ付一箇トス但シ十一株以上ハ十株ヲ增ス每ニ一箇ヲ加フ

第十四條　株主ハ株主ニ非サル者ヲ代理人トシ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得ス但シ法定代理人ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　定款ノ變更ハ資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第四章　替業

第十六條　朝鮮殖産銀行ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一　五十年以内ノ年賦償還又ハ五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依リ不動產又ハ不動產上ノ權利ヲ擔保トスル貸付

二　前號ノ擔保ヲ以テスル貸付ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ債務者ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

三　法令ノ規定ニ依リ設立シタル財團ヲ擔保トスル貸付

四　農業者又ハ工業者十人以上連帶シテ債務ヲ負フ者ニ對スル五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ル貸付

第十七條　朝鮮殖産銀行ハ公共團體ノ爲ニ其ノ發行シタル債券ノ元利金ノ支拂ヲ保證スルコトヲ得

第十八條　朝鮮殖産銀行ハ本店ニ規定セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス

第五章　朝鮮殖産債券

第十九條　朝鮮殖産銀行ハ拂込資本金額ノ十倍ヲ限リ債券ヲ發行スルコトヲ得但シ年賦償還貨付金總高、定期償還貨付金總高竝

第二十條　債務者ハ借用金ノ五分ノ一以上ヲ償還シタルトキハ亦同シ

第二十一條　朝鮮殖産銀行ハ年賦金ノ拂込ヲ遲延シタル債務者ニ對シ償還期限前ト雖貨付金全部ノ償還ヲ請求スルコトヲ得

第二十四條　朝鮮殖産銀行ハ抵當物ノ價格減少シ貨付金償還殘額ニ對シ第二十條ノ割合ニ不足ヲ生シタルトキハ增抵當ヲ請求シ又ハ其ノ不足ニ相當スル貨付金額ノ償還ヲ請求スルコトヲ得

債務者前項ノ請求ニ應セサルトキハ朝鮮殖産銀行ハ償還期限前ト雖貨付金全部ノ償還ヲ請求スルコトヲ得

第二十五條　無擔保ニテ借入ヲ爲シタル公共團體其ノ他ノ法人カ年賦金、定期償還金若ハ利子ノ拂込ヲ遲延シ又ハ期限前ノ償還請求ニ對シ拂込ヲ遲延シタルトキハ朝鮮殖産銀行ハ其ノ法人ノ監督官廳ニ拂込ニ關スル處分ヲ請求スルコトヲ得

監督官廳前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ公共團體其ノ他ノ法人ニ命シテ延滯金及遲延利子ヲ拂込マシムヘシ

第二十六條　朝鮮殖産銀行ハ國債證券、地方債證券若ハ朝鮮總督ノ認可シタル有價證券ノ應募、引受若ハ買入ヲ爲シ又ハ朝鮮總督ノ指定シタル銀行ニ預入ヲ爲ス場合ヲ除ク外替業上ノ僉裕金ヲ使用スルコトヲ得但シ年賦償還貨付金總高、定期償還貨付金總高竝

第二十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ債務者ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　朝鮮殖産銀行ハ公共團體ノ爲ニ其ノ金錢出納ノ取扱ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　朝鮮殖産銀行ハ本令ニ規定セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス

第五章　朝鮮殖産債券

第三十條　朝鮮殖産銀行ハ拂込資本金額ノ十五倍ヲ限リ債券ヲ發行スルコトヲ得但シ年賦償還貨付金總高、定期償還貨付金總高竝

一號ノ方法ニ依ル無擔保貸付

朝鮮ノ產物又ハ朝鮮ノ產業上必要ナル貨物ヲ擔保トスル貸付

國債證券又ハ朝鮮總督ノ認可シタル有價證券ヲ質トスル貸付

九　公共團體ノ債券、朝鮮金融債券又ハ朝鮮ニ於テ殖產事業ヲ營ムコトヲ目的トスル會社ノ社債券ノ應募又ハ引受

十　擔保附社債ニ關スル信託事業

前項ニ掲ケル貸付ニシテ一年以內ノモノハ手形割引ノ方法ニ依ルコトヲ得

十一　第七條ノ有價證券ノ保護預リヲ爲スコトヲ得

地金銀有價證券ノ保護預リ金ハ前條第一項第七號乃至第九號ノ資金ニ充ツルノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十八條　朝鮮殖産銀行ニ於テ抵當ヲ徵スルトキハ總テ第一抵當ナルコトヲ要ス但シ前債アル場合ニ於テ朝鮮殖産銀行ヨリ借入ル新債ヲ以テ其ノ舊債ヲ償還スル效果ニ依リ新債ノ第一抵當ト爲ルコトヲ得ヘキトキ又ハ先順位ノ抵當權者カ朝鮮殖産銀行ニシテ貨付金額及新貨付金額カ第二十條ノ制限ヲ超エサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條　朝鮮殖産銀行ニ於テ抵當トシテ徵スル土地ハ永續スヘキ確實ナル收益ノ見込アルモノニ限ル

朝鮮殖産銀行ニ於テ抵當トシテ徵スル建物ハ保險附ノモノニ限ル

第二十條　不動產、不動產上ノ權利、漁業權又ハ財團ヲ抵當トシテ貨付ケル金額ハ朝鮮殖産銀行ニ於テ鑑定シタル價格ノ三分ノ二以內トス

第二十一條　年賦償還ノ方法ヲ以テ借入ヲ爲シタル場合ニ於テ朝鮮殖産銀行ハ公共團體ノ爲ニ其ノ金錢出納ノ取扱ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第二十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第二十四條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第二十五條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第二十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第三十條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第三十一條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第三十二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第三十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第三十四條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第三十五條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第三十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第三十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第三十八條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第三十九條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第四十條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第四十一條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第四十二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第四十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第四十四條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第四十五條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第四十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第四十八條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第四十九條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第五十條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第五十一條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第五十二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第五十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第五十四條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第五十五條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第五十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第五十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第五十八條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第五十九條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第六十條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第六十二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第六十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第六十四條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第六十五條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第六十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第六十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第六十八條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第六十九條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第七十條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第七十一條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第七十二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第七十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第七十四條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第七十五條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第七十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第七十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第七十八條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第七十九條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第八十條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第八十一條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第八十二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第八十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第八十四條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第八十五條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第八十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第八十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第八十八條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第八十九條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第九十條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第九十一條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第九十二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第九十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第九十四條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第九十五條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第九十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第九十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第九十八條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第九十九條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百一條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百四條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百五條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百八條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百九條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百十條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百十一條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百十二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百十四條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百十五條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百十八條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百十九條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百二十條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百二十一條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百二十二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百二十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百二十四條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百二十五條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百二十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百二十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百二十八條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百二十九條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百三十條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百三十一條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百三十二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百三十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百三十四條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百三十五條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百三十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百三十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百三十八條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百三十九條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百四十條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百四十一條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百四十二條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀行ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第百四十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮殖産銀

前項ノ規定ニ依リ債券ヲ發行シタル場合ニ於テハ發行後一月内ニ其ノ發行券面金額ニ相當スル舊債券ヲ償還スヘシ

第三十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ債券ノ買入銷却ヲ爲スコトヲ得

第三十七條　債券ノ元金ノ請求權ハ十五年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第三十八條　債券ノ僞造ニ關シテハ通貨及證券僞造取締法ヲ準用ス

第六章　準備金

第三十九條　朝鮮殖産銀行ハ每營業年度準備金トシテ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ八以上及利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第七章　監督

第四十條　朝鮮總督ハ朝鮮殖産銀行ノ業務ヲ監督ス

第四十一條　定款ノ變更ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十二條　朝鮮殖産銀行カ支店又ハ代理店ヲ設置セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ朝鮮殖産銀行ニ命シ支店又ハ代理店ヲ設置セシムルコトヲ得

第四十三條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ス

第四十四條　朝鮮總督ハ朝鮮殖産銀行ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第四十五條　朝鮮總督ハ朝鮮殖産銀行監理官ヲ設キ朝鮮殖産銀行ノ業務ヲ監視セシム

第四十六條　朝鮮殖産銀行監理官ハ何時ニテモ朝鮮殖産銀行ノ金庫、帳簿及文書ヲ檢査スルコトヲ得

朝鮮殖産銀行監理官ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ朝鮮殖産銀行ニ命シ營業上ノ計算及其ノ狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

朝鮮殖産銀行監理官ハ株主總會又ハ他ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第八章　罰則

第四十七條　左ノ場合ニ於テハ朝鮮殖産銀行ノ頭取又ハ頭取ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル理事ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處シ理事ハ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一　定款認可ノ年月日

二　商法第百二十條第一號乃至第四號及第七號ニ揭ケル事項

三　本店ノ所在地

四　存立時期

五　第一回ノ拂込ノ金額

六　農工銀行ノ株主ニ對シ割當テタル株式ノ數及其ノ割合

七　設立費用

第六十條　前條ニ依リ募集シタル株式ノ總數ニ付第一回ノ拂込アリタルトキハ第五十三條第一項及第五十七條第一項ノ規定ニ依リ割當テタル株式ニ付政府所有ノ株式ハ全額其ノ以外ノ株式ハ第一回ノ拂込ヲ了シタルモノト看做ス

第六十一條　第五十九條第一項ノ規定ニ依リ募集シタル各株ニ付第一回ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

創立總會ハ第五十三條第一項及第五十七條第一項ノ規定ニ依リ株式ノ割當ヲ受ケタル農工銀行ノ株主ニ對シ五圓拂込ノ株式四株、十圓拂込ノ株式二株、二十圓拂込ノ株式一株ニ付各朝鮮殖産銀行ノ株式一株ヲ割當ツヘシ但シ政府所有ノ株式ニ對シテハ五株ニ付朝鮮殖産銀行株式二株ニ割當ツヘシ

設立委員ハ前項ノ割當ヲ爲ス爲朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル方法ニ依リ公告シ一定ノ期間農工銀行ノ株式ノ名義書換ヲ停止スルコトヲ得

第五十四條　前條第一項ノ割當ヲ爲ス場合ニ於テハ設立委員ハ農工銀行ノ株主ニ對シ一月内ニ株券ヲ設立委員ニ提供スヘキ旨及期間内ニ之ヲ提供セサルトキハ株主ノ權利ヲ失フヘキ旨ヲ通知シ且之ヲ公告スヘシ

第五十五條　設立委員前條ノ手續ヲ爲シタルモ株主カ株券ヲ提供セサルトキハ其ノ權利ヲ失フ株主カ株券ヲ提供シタル場合ニ於テ割當ニ適セサル株アルトキハ其ノ株ニ付亦同シ

前項ノ規定ニ依リ株主カ其ノ權利ヲ失ヒタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク其ノ株主ノ氏名、住所及株券ノ番號ヲ公告スヘシ

第五十六條　設立委員ハ前條第一項ノ規定ニ依リ權利ヲ失ヒタル株主ニ對シテハ其ノ株式ヲ資却シ代金ヲ交付スヘシ

農工銀行令第三條ノ規定ハ前項ノ株式ノ買受人ニ之ヲ適用セス

第五十七條　設立委員前條ノ株式ノ買受人ニ對シ第五十三條第一項ノ規定ニ依リ直ニ株式ノ割當ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ニ依リ割當ヲ爲スコトヲ得サル株式ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ農工銀行ニ於テ之ヲ競却スヘシ

第五十八條　農工銀行ノ株式ヲ目的トスル質權ハ第五十三條第一項ノ規定ニ依リ割當ツヘキ朝鮮殖産銀行ノ株式及第五十六條第一項ノ規定ニ依リ交付スヘキ代金ノ上ニ存在ス

第五十九條　設立委員ハ朝鮮殖産銀行ノ株式總數ヨリ第五十三條第一項及第五十七條第一項ノ規定ニ依リ割當ヲ爲シ得ヘキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集スヘシ

商法第百二十六條乃至第百三十條ノ規定ハ前項ノ募集ニ付之ヲ準用ス

第一回ノ拂込金額ハ各株式ニ付二十圓ト株式申込證ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　定款認可ノ年月日

二　商法第百二十條第一號乃至第四號及第七號ニ揭ケル事項

三　本店ノ所在地

四　存立時期

五　第一回ノ拂込ノ金額

六　農工銀行ノ株主ニ對シ割當テタル株式ノ數及其ノ割合

七　設立費用

第六十條　前條ニ依リ募集シタル株式ノ總數ニ付第一回ノ拂込アリタルトキハ第五十三條第一項及第五十七條第一項ノ規定ニ依リ割當テタル株式ニ付政府所有ノ株式ハ全額其ノ以外ノ株式ハ第一回ノ拂込ヲ了シタルモノト看做ス

第六十一條　第五十九條第一項ノ規定ニ依リ募集シタル各株ニ付第一回ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

創立總會ハ第五十三條第一項及第五十七條第一項ノ規定ニ依リ株式ノ割當ヲ受ケタル農工銀行ノ株主又ハ株主總代人ニ於テ資本ノ半額以上ニ當タル者出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ一切ノ決議ヲ爲ス

第六十二條　創立總會ニ於テハ創立ニ關スル事項ヲ調査報告セシムル爲檢査役ヲ選任スヘシ

第六十三條　創立總會ニ於テハ第八條ノ規定ニ準シ設立初度ノ理事候補者ノ選舉及監事ノ選任ヲ行フヘシ

第六十四條　朝鮮殖産銀行ハ創立總會ノ終結ニ因リテ成立ス

設立委員ハ朝鮮殖産銀行成立シタルトキハ直ニ其ノ事務ヲ朝鮮殖産銀行頭取ニ引渡スヘシ

第六十五條　農工銀行ニ關シ農工銀行令ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

●朝鮮殖産銀行令第二十六條ノ銀行指定

大正八年七月

總督第百八十四號

左記銀行ヲ朝鮮殖産銀行令第二十六條ノ銀行ニ指定ス

朝鮮銀行

●朝鮮不動産融資及損失補償令

昭和二年六月

總督第百七十九號

左記銀行ヲ朝鮮殖産銀行令第二十六條ノ銀行ニ指定ス

記

日本銀行

●朝鮮不動産融資及損失補償令

昭和七年十月

制令第四號

改正　第百一〇年七第九號

朝鮮不動産融資及損失補償令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第一條　朝鮮不動産融資及損失補償令

第一條　朝鮮殖産銀行ハ銀行ヨリ不動産資金融通ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ緊急融通ノ必要アリト認ムルトキハ抵當權又ハ質權ノ設定登記ノ完了前ト雖モ其ノ登記ニ要スル書類及當該銀行役員ノ個人ノ資格ヲ以テスル連帶保證書ヲ徵シテ資金ノ融通ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ遠ニ抵當權又ハ質權ノ設定登記ヲ完了スヘク其ノ登記完了後朝鮮殖産銀行ハ特別ノ事由アラサル限リ當該銀行役員ノ個人ノ資格ヲ以テスル連帶保證ヲ免除スルモノトス

第四條　朝鮮殖産銀行カ不動産融資ヲ爲ス場合ニ於テハ利率及同銀行カ債務者ノ債務ノ辨濟ヲ怠リタル場合ニ於テ徵スル遲延利息ノ割合ハ別ニ之ヲ定ム

第五條　朝鮮殖産銀行ハ不動産融資ニ付調査費ヲ徵スルコトヲ得ズ但シ特ニ多額ノ費用ヲ要スル林野等ノ調査ニ付其ノ實費ヲ徵スルハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　朝鮮殖産銀行ハ銀行ニ對シ抵當ヲ設定シテ不動産融資ノ契約ヲ爲シタル場合其ノ後ニ於テ融資ノ必要ヲ生セザリシトキ又ハ融資金額カ契約金額ニ比シ著シク少額ナリシトキハ朝鮮總督ノ承認ヲ受ケ調査ノ實費ヲ徵スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル承認ノ申請書ニハ明細書ヲ添附スヘシ

第七條　朝鮮殖産銀行ハ債務者カ償還期限前ニ貸付金ノ全部又ハ一部ヲ辨濟スル場合ニ於テ償還手數料ヲ徵スルコトヲ得ズ

第八條　朝鮮殖産銀行ハ不動産融資ニ關シ別ニ定ムル所ニ依リ報告ヲ爲スヘシ

第九條　不動産融資ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外必要ニ應シ別ニ之ヲ定ム

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和八年朝鮮總督府令第二十號第四條ノ利率及延利息ノ割合

昭和八年二月
總督第三十號

改正　昭和九年二月第八九號、一〇年五第三一號

昭和八年朝鮮總督府令第二十號（朝鮮不動産融資及損失補償令第一條ニ依リ資金融通ニ關スル件）第四條ノ利率及延利息ノ割合左ノ通定ム

利率　昭和十一年五月一日以後ノ融資ニ付テハ年四分九厘、昭和十一年四月三十日以前ノ融資ニ付テハ同年七月一日以後年五分二厘

延利息ノ割合　百圓ニ付日歩四錢

●貯蓄銀行令

昭和三年十二月
制令第七號

改正　昭和八年八第一〇號

貯蓄銀行令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

貯蓄銀行令

第一條　左ニ揭ゲル業務ヲ營ム者ハ之ヲ貯蓄銀行トス

一　複利ノ方法ニ依リ貯金ヲ受入ルルコト

二　一回五圓未滿ノ金額ヲ頂金トシテ受入ルルコト

三　豫メ拂戻ノ期限ヲ定メ定期ニ又ハ一定ノ期間內ニ於テ數回ニ頂金ヲ受入レルルコト

四　期限ヲ定メテ一定金額ノ給付ヲ爲スコトヲ約シ定期ニ又ハ一定ノ期間內ニ於テ數回ニ金錢ヲ受入ルルコト

貯蓄銀行ニ非ザル銀行ガ本令施行前ニ爲シタル契約ニシテ第一條第一項ノ業務ニ屬スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍ホ其ノ契約ニ關スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ得

附　則（昭和八年八月制令第十號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和八年八月總令第八十二號ヲ以テ昭和八年八月三十一日ヨリ施行）

●貯蓄銀行令施行規則

昭和四年六月
總令第六十二號

改正　昭和八年九第八六號

貯蓄銀行令施行規則左ノ通定ム

第一條　貯蓄銀行令施行規則

貯蓄銀行ノ業務ヲ營マントスル株式會社ハ免許申請書ニ總取締役署名ノ上左ニ揭ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

二　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

三　株式ノ引受ヲ證スルニ足ル書面

四　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載セル書面

五　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類

六　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本

七　發起人カ取締役及監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類

八　創立總會ノ決議錄

九　會社設立ノ際ニ設立スル支店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ記載シタル書面

十　免許申請前日ニ於ケル財産表

十一　頂ケ先ノ頂金證明書

十二　事業目論見書

株式會社カ其ノ目的ヲ變更シテ貯蓄銀行業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ左ニ揭ゲル書面ヲ添附スベシ

一　定款

二　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

三　會社登記謄本

四　免許申請前日ニ於ケル財産表

五　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ性質ヲ知ルニ足ル書面

六　最終ノ財產目錄及貸借對照表

七　最終ノ損益計算書及利益處分ニ關スル書面

八　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面

九　支店其ノ他ノ營業所ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置ヲ記載シタル書面

十　事業目論見書

第二條　業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ左ノ區分ニ依リ其ノ營ム業務ノ種類ヲ記載スベシ

一　普通貯金（貯蓄銀行令第一條第一項第一號及第二號ノ頂金）

二　據置貯金（貯蓄銀行令第一條第一項第二號ノ頂金）

三　定期積金（貯蓄銀行令第一條第一項第三號ノ受入金）

四　定期頂金（貯蓄銀行令第五條第一號ノ頂金）

五　保護預リ

六　債券ノ取立

七　公共團體又ハ產業組合ノ金錢出納事務ノ取扱

八　公共團體又ハ產業組合ヨリノ頂金

第三條　業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ業務ノ方法ニ付左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

一　頂金拂戻ノ豫告期間ニ關スル事項

二　頂金者又ハ積金者ニ對スル利益ノ分配又ハ特別利益ノ提供ニ關スル事項

三　頂金者又ハ積金者ニ對スル貸付ノ特約ニ關スル事項

四　保護預リ品ノ種類及保管ノ方法

五　頂金利子計算ノ方法

六　其ノ他重要ナル事項

據據貯金又ハ定期積金ニ付テハ前項ニ揭ゲタル モノノ外左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

一　頂金拂戻ノ豫告期間ニ關スル事項

二　頂金者又ハ積金者ニ對スル利益ノ分配又ハ特別利益ノ提供ニ關スル事項

三　頂金者又ハ積金者ニ對スル貸付ノ特約

四　保護預リ品ノ種類及保管ノ方法

五　頂金利子計算ノ方法

六　其ノ他重要ナル事項

第四條　拂戻ニ付期限ヲ定ムル頂金契約ノ期間ハ五年ヲ超ユルコトヲ得ズ定期積金ノ契約期間ニ付亦同シ

第五條　貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依ル供託ハ本店ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スベシ

第六條　貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依リ供託スル國債及有價證券ノ供託價格ハ毎半年末日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ズ

第七條　貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依ル供託ハ供託ヲ爲シタルトキハ供託受領證ノ寫ヲ添附シテ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第八條　貯蓄銀行ガ貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債又ハ有價證券ノ下戻ヲ受ケントスルトキハ朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

貯蓄銀行カ前項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由並ニ國債又ハ有價證券ノ種類、記號、番號、數額、券面額、拂込金額及供託價格ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第九條　貯蓄銀行ガ貯蓄銀行令第十一條第二項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ認可申請書ニ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　發行者及其ノ住所

二　社債ニ在リテハ利率竝ニ擔保ノ有無及其ノ種類

三　取引所ニ於ケル最近ノ相場其ノ他實價ヲ知ルニ足ル事實

第十條　貯蓄銀行カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ朝鮮民事令ニ於ケル依ルコトヲ定メタル商法第七十八條ノ規定ニ依ル手續ヲ了シタル後貯蓄銀行ノ總取締役ノ署名シタル認可書ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

貯蓄銀行カ合併ニ因リテ貯蓄銀行ノ權利義務ヲ承繼シタル場合ニ於テハ其ノ契約ニ基ク契約ノ完了ニ關スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ妨ゲズ

第八條　貯蓄銀行ハ小切手ニ依リ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ

第九條　貯蓄銀行ハ本令ニ規定セザル業務ヲ營ムコトヲ得ズ

第十條　貯蓄銀行ガ合併ニ因リテ貯蓄銀行ノ營ムコトヲ得ザル業務ヲ併セ營ムコトヲ得

左ニ揭ゲル業務ヲ併セ營ムコトヲ得

一　第一條第一項各號ニ揭ゲル方法ニ依リ貯金セラレタル金額ヲ定期頂金トシテ受入ルルコト

二　保護預リ

三　債權ノ取立

四　公共團體又ハ產業組合ノ金錢出納事務ノ取扱

五　公共團體又ハ產業組合ヨリ頂金ヲ受入ルルコト

第六條　貯蓄銀行ハ本令ニ規定セザル業務ヲ營ムコトヲ得ズ

第七條　貯蓄銀行ガ前條ニ揭ゲル業務ニ關スル契約ニ基ク權利義務ヲ承繼シタル場合ニ於テハ其ノ契約ノ完了ニ關スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ妨ゲズ

第八條　貯蓄銀行ハ小切手ニ依リ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ

第九條　貯蓄銀行ハ第一條第一項並ニ第五條第一號及第五號ノ規定ニ依リ受入レタル金額ノ三分ノ一以上ノ金額ニ相當スル國債ヲ供託スベシ但シ貯蓄銀行ニ非ザル銀行ガ頂金取引ヲ有スル者ヨリ其ノ者トノ取引ノ結果生ジタル五圓未滿ノ金額ヲ其ノ頂金ニ受入レ又ハ小切手ニ依リ支拂ヲ爲スベキ頂金取引ヲ有スル者ヨリ五圓未滿ノ金額ヲ其ノ頂金ニ受入ルル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十條　第九條ノ種類及方法ヲ記載シタル書面ニハ登記謄本ノ寫ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十一條　貯蓄銀行ガ第一條第一項第四號ノ規定ニ依ル給付金ノ債權者ニ對シ其ノ給付金額ヲ限度トスル貸付

五　第一條第一項第四號ノ規定ニ依ル給付金ノ債權者ニ對シ其ノ給付金額ヲ限度トスル貸付

六　銀行若ハ朝鮮金融組合聯合會ヘノ頂ケ金又ハ郵便貯金

七　銀行引受手形ノ買入

前項ニ規定スル社債及株式ニ付テハ其ノ種類ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第十二條　貯蓄銀行ノ所有シ又ハ貸付金若ハ頂ケ金ノ擔保トシテ受入ルル一會社ノ株式ハ該會社ノ總株式ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十三條　一人ニ對スル貸付金額ハ拂込資本金及準備金ノ十分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十一條第一項第三號ノ規定ニ依ル貸付金ノ總額ハ拂込資本金及準備金ノ總額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十一條第一項第五號ノ貸付金額中既ニ受入レタル金額ヲ超過スル額ニ付テハ確實ナル擔保又ハ保證アルコトヲ要ス

第十四條　一銀行ニ對スル頂ケ金及其ノ銀行ノ引受ケタル手形ノ買入高ノ總額ハ第一條第一項並ニ第五條第一號及第五號ニ規定スル受入金ノ十分ノ一ヲ限度トシ且該銀行ノ拂込資本金及準備金ノ四分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ其ノ總額中國債其ノ他第十一條第一項第一號ニ揭ゲル有價證券ヲ以テ擔保セラレタル額ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條　貯蓄銀行ガ其ノ財產ヲ以テ債務ヲ完濟スルコト能ハザルニ至リタルトキハ第一條第一項並ニ第五條第一號及第五號ノ規定ニ依ル契約ニ基ク銀行ノ債務ニ付各取締役ハ連帶シテ其ノ辨濟ノ責ニ任ズ

前項ノ責任ハ取締役ノ退任登記前ノ債務ニ付退任登記後二年間仍ホ存續ス

第十六條　貯蓄銀行ハ左ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一　定款ヲ變更セントスルトキ

二　業務ノ種類又ハ方法ヲ變更セントスルトキ

朝鮮總督ハ必要ト認ムルトキハ業務ノ種類若ハ方法ヲ制限シ又ハ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十七條　朝鮮總督ノ免許ヲ受ケズシテ貯蓄銀行業ヲ營ミタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條　第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役又ハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一　第六條、第八條、第九條、第十一條乃至第十四條又ハ第十六條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ

二　第十六條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

前項ノ過料ニ關シテハ民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第二十條　本令ニ別段ノ規定ヲ設ケサル事項ニ付テハ銀行令ニ依ル但シ銀行令第十條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

銀行令第十七條ノ規定ノ適用ニ付テハ第一條第一項第四號ノ規定ニ依リ給付金ノ之ヲ頂金ト看做ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和四年五月總令第四十二號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行）

貯蓄銀行ニ非ザル銀行ガ本令施行前ニ爲シタル契約ニシテ第一條第一項ノ業務ニ屬スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍ホ其ノ契約ニ關スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ得

附　則（昭和八年八月制令第十號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和八年八月總令第八十二號ヲ以テ昭和八年八月三十一日ヨリ施行）

●貯蓄銀行令施行規則

昭和四年六月
總令第六十二號

改正　昭和八年九第八六號

貯蓄銀行令施行規則左ノ通定ム

第一條　貯蓄銀行令施行規則

貯蓄銀行ノ業務ヲ營マントスル株式會社ハ免許申請書ニ總取締役署名ノ上左ニ揭ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

二　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

三　株式ノ引受ヲ證スルニ足ル書面

四　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載セル書面

五　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類

六　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本

七　發起人カ取締役及監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類

八　創立總會ノ決議錄

九　會社設立ノ際ニ設立スル支店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ記載シタル書面

十　免許申請前日ニ於ケル財産表

十一　頂ケ先ノ頂金證明書

十二　事業目論見書

株式會社カ其ノ目的ヲ變更シテ貯蓄銀行業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ左ニ揭ゲル書面ヲ添附スベシ

一　定款

二　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

三　會社登記謄本

四　免許申請前日ニ於ケル財産表

五　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ性質ヲ知ルニ足ル書面

六　最終ノ財產目錄及貸借對照表

七　最終ノ損益計算書及利益處分ニ關スル書面

八　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面

九　支店其ノ他ノ營業所ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置ヲ記載シタル書面

十　事業目論見書

第二條　業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ左ノ區分ニ依リ其ノ營ム業務ノ種類ヲ記載スベシ

一　普通貯金（貯蓄銀行令第一條第一項第一號及第二號ノ頂金）

二　據置貯金（貯蓄銀行令第一條第一項第二號ノ頂金）

三　定期積金（貯蓄銀行令第一條第一項第三號ノ受入金）

四　定期頂金（貯蓄銀行令第五條第一號ノ頂金）

五　保護預リ

六　債券ノ取立

七　公共團體又ハ產業組合ノ金錢出納事務ノ取扱

八　公共團體又ハ產業組合ヨリノ頂金

第三條　業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ業務ノ方法ニ付左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

一　頂金拂戻ノ豫告期間ニ關スル事項

二　頂金者又ハ積金者ニ對スル利益ノ分配又ハ特別利益ノ提供ニ關スル事項

三　頂金者又ハ積金者ニ對スル貸付ノ特約ニ關スル事項

四　保護預リ品ノ種類及保管ノ方法

五　頂金利子計算ノ方法

六　其ノ他重要ナル事項

據據貯金又ハ定期積金ニ付テハ前項ニ揭ゲタル モノノ外左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

一　頂金拂戻ノ豫告期間ニ關スル事項

二　頂金者又ハ積金者ニ對スル利益ノ分配又ハ特別利益ノ提供ニ關スル事項

三　頂金者又ハ積金者ニ對スル貸付ノ特約

四　保護預リ品ノ種類及保管ノ方法

五　頂金利子計算ノ方法

六　其ノ他重要ナル事項

第四條　拂戻ニ付期限ヲ定ムル頂金契約ノ期間ハ五年ヲ超ユルコトヲ得ズ定期積金ノ契約期間ニ付亦同シ

第五條　貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依ル供託ハ本店ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スベシ

第六條　貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依リ供託スル國債及有價證券ノ供託價格ハ毎半年末日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ズ

第七條　貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依ル供託ハ供託ヲ爲シタルトキハ供託受領證ノ寫ヲ添附シテ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第八條　貯蓄銀行ガ貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債又ハ有價證券ノ下戻ヲ受ケントスルトキハ朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

貯蓄銀行カ前項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由並ニ國債又ハ有價證券ノ種類、記號、番號、數額、券面額、拂込金額及供託價格ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第九條　貯蓄銀行ガ貯蓄銀行令第十一條第二項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ認可申請書ニ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　發行者及其ノ住所

二　社債ニ在リテハ利率竝ニ擔保ノ有無及其ノ種類

三　取引所ニ於ケル最近ノ相場其ノ他實價ヲ知ルニ足ル事實

第十條　貯蓄銀行カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ朝鮮民事令ニ於ケル依ルコトヲ定メタル商法第七十八條ノ規定ニ依ル手續ヲ了シタル後貯蓄銀行ノ總取締役ノ署名シタル認可書ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

貯蓄銀行カ合併ニ因リテ貯蓄銀行ノ權利義務ヲ承繼シタル場合ニ於テハ其ノ契約ニ基ク契約ノ完了ニ關スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ妨ゲズ

第十一條　貯蓄銀行ガ其ノ財產ヲ以テ債務ヲ完濟スルコト能ハザルニ至リタルトキハ第一條第一項並ニ第五條第一號及第五號ノ規定ニ依ル契約ニ基ク銀行ノ債務ニ付各取締役ハ連帶シテ其ノ辨濟ノ責ニ任ズ

前項ノ責任ハ取締役ノ退任登記前ノ債務ニ付退任登記後二年間仍ホ存續ス

第十二條　貯蓄銀行ハ左ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一　定款ヲ變更セントスルトキ

二　業務ノ種類又ハ方法ヲ變更セントスルトキ

朝鮮總督ハ必要ト認ムルトキハ業務ノ種類若ハ方法ヲ制限シ又ハ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十三條　朝鮮總督ノ免許ヲ受ケズシテ貯蓄銀行業ヲ營ミタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條　第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役又ハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一　第六條、第八條、第九條、第十一條乃至第十四條又ハ第十六條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ

二　第十六條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

前項ノ過料ニ關シテハ民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第十六條　本令ニ別段ノ規定ヲ設ケサル事項ニ付テハ銀行令ニ依ル但シ銀行令第十條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

銀行令第十七條ノ規定ノ適用ニ付テハ第一條第一項第四號ノ規定ニ依リ給付金ノ之ヲ頂金ト看做ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和四年五月總令第四十二號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行）

貯蓄銀行ニ非ザル銀行ガ本令施行前ニ爲シタル契約ニシテ第一條第一項ノ業務ニ屬スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍ホ其ノ契約ニ關スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ得

附　則（昭和八年八月制令第十號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和八年八月總令第八十二號ヲ以テ昭和八年八月三十一日ヨリ施行）

●貯蓄銀行令施行規則

昭和四年六月
總令第六十二號

改正　昭和八年九第八六號

貯蓄銀行令施行規則左ノ通定ム

第一條　貯蓄銀行令施行規則

貯蓄銀行ノ業務ヲ營マントスル株式會社ハ免許申請書ニ總取締役署名ノ上左ニ揭ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

二　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

三　株式ノ引受ヲ證スルニ足ル書面

四　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載セル書面

五　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類

六　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本

七　發起人カ取締役及監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類

八　創立總會ノ決議錄

九　會社設立ノ際ニ設立スル支店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ記載シタル書面

十　免許申請前日ニ於ケル財産表

十一　頂ケ先ノ頂金證明書

十二　事業目論見書

株式會社カ其ノ目的ヲ變更シテ貯蓄銀行業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ左ニ揭ゲル書面ヲ添附スベシ

一　定款

二　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

三　會社登記謄本

四　免許申請前日ニ於ケル財産表

五　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ性質ヲ知ルニ足ル書面

六　最終ノ財產目錄及貸借對照表

七　最終ノ損益計算書及利益處分ニ關スル書面

八　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面

九　支店其ノ他ノ營業所ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置ヲ記載シタル書面

十　事業目論見書

第二條　業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ左ノ區分ニ依リ其ノ營ム業務ノ種類ヲ記載スベシ

一　普通貯金（貯蓄銀行令第一條第一項第一號及第二號ノ頂金）

二　據置貯金（貯蓄銀行令第一條第一項第二號ノ頂金）

三　定期積金（貯蓄銀行令第一條第一項第三號ノ受入金）

四　定期頂金（貯蓄銀行令第五條第一號ノ頂金）

五　保護預リ

六　債券ノ取立

七　公共團體又ハ產業組合ノ金錢出納事務ノ取扱

八　公共團體又ハ產業組合ヨリノ頂金

第三條　業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ業務ノ方法ニ付左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

一　頂金拂戻ノ豫告期間ニ關スル事項

二　頂金者又ハ積金者ニ對スル利益ノ分配又ハ特別利益ノ提供ニ關スル事項

三　頂金者又ハ積金者ニ對スル貸付ノ特約ニ關スル事項

四　保護預リ品ノ種類及保管ノ方法

五　頂金利子計算ノ方法

六　其ノ他重要ナル事項

據據貯金又ハ定期積金ニ付テハ前項ニ揭ゲタル モノノ外左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

一　頂金拂戻ノ豫告期間ニ關スル事項

二　頂金者又ハ積金者ニ對スル利益ノ分配又ハ特別利益ノ提供ニ關スル事項

三　頂金者又ハ積金者ニ對スル貸付ノ特約

四　保護預リ品ノ種類及保管ノ方法

五　頂金利子計算ノ方法

六　其ノ他重要ナル事項

第四條　拂戻ニ付期限ヲ定ムル頂金契約ノ期間ハ五年ヲ超ユルコトヲ得ズ定期積金ノ契約期間ニ付亦同シ

第五條　貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依ル供託ハ本店ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スベシ

第六條　貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依リ供託スル國債及有價證券ノ供託價格ハ毎半年末日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ズ

第七條　貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依ル供託ハ供託ヲ爲シタルトキハ供託受領證ノ寫ヲ添附シテ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第八條　貯蓄銀行ガ貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債又ハ有價證券ノ下戻ヲ受ケントスルトキハ朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

貯蓄銀行カ前項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由並ニ國債又ハ有價證券ノ種類、記號、番號、數額、券面額、拂込金額及供託價格ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第九條　貯蓄銀行ガ貯蓄銀行令第十一條第二項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ認可申請書ニ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　發行者及其ノ住所

二　社債ニ在リテハ利率竝ニ擔保ノ有無及其ノ種類

三　取引所ニ於ケル最近ノ相場其ノ他實價ヲ知ルニ足ル事實

第十條　貯蓄銀行カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ朝鮮民事令ニ於ケル依ルコトヲ定メタル商法第七十八條ノ規定ニ依ル手續ヲ了シタル後貯蓄銀行ノ總取締役ノ署名シタル認可書ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

貯蓄銀行カ合併ニ因リテ貯蓄銀行ノ權利義務ヲ承繼シタル場合ニ於テハ其ノ契約ニ基ク契約ノ完了ニ關スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ妨ゲズ

第十一條　貯蓄銀行ガ其ノ財產ヲ以テ債務ヲ完濟スルコト能ハザルニ至リタルトキハ第一條第一項並ニ第五條第一號及第五號ノ規定ニ依ル契約ニ基ク銀行ノ債務ニ付各取締役ハ連帶シテ其ノ辨濟ノ責ニ任ズ

前項ノ責任ハ取締役ノ退任登記前ノ債務ニ付退任登記後二年間仍ホ存續ス

第十二條　貯蓄銀行ハ左ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一　定款ヲ變更セントスルトキ

二　業務ノ種類又ハ方法ヲ變更セントスルトキ

朝鮮總督ハ必要ト認ムルトキハ業務ノ種類若ハ方法ヲ制限シ又ハ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十三條　朝鮮總督ノ免許ヲ受ケズシテ貯蓄銀行業ヲ營ミタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條　第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役又ハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一　第六條、第八條、第九條、第十一條乃至第十四條又ハ第十六條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ

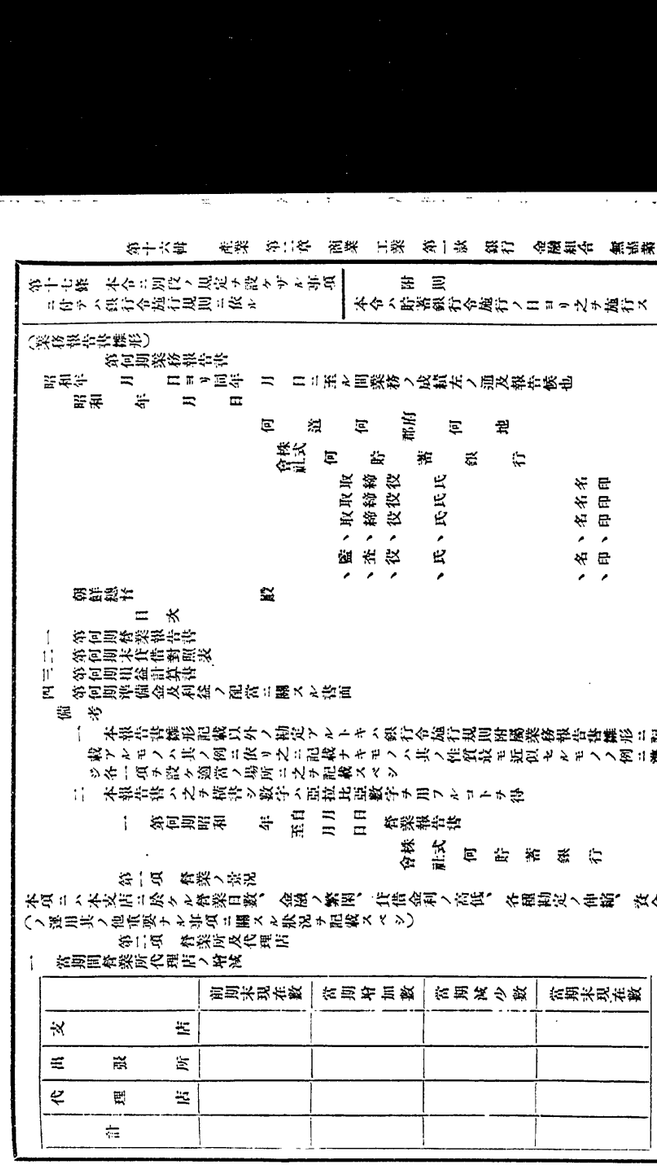
二　第十六條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

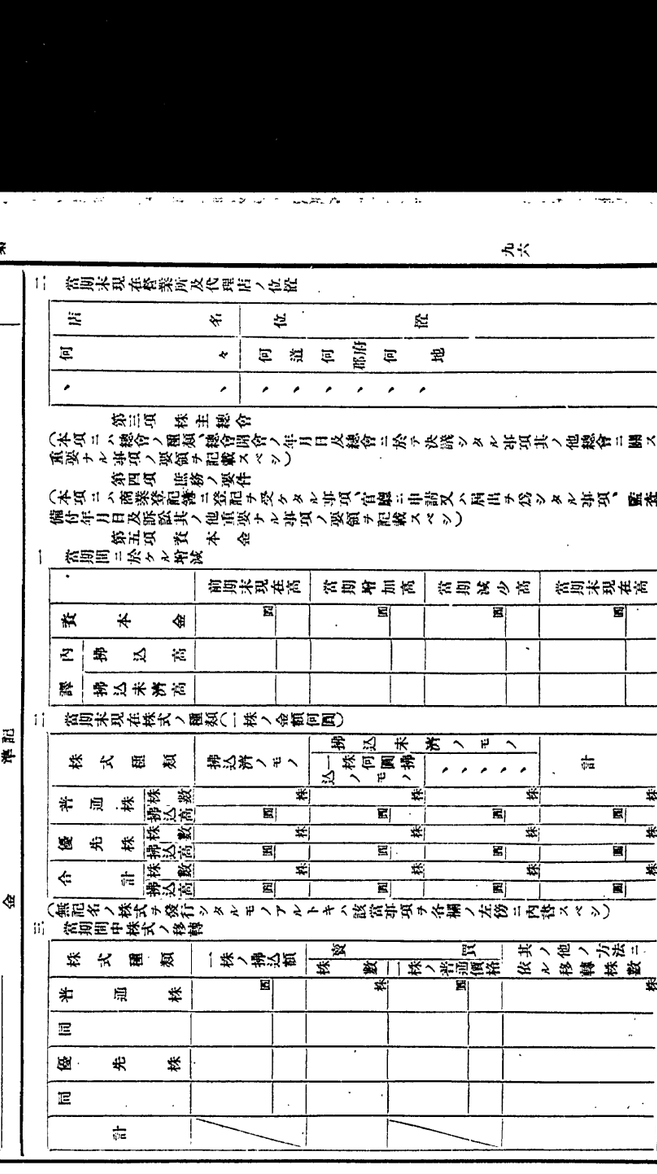
前項ノ過料ニ關シテハ民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第十六條　本令ニ別段ノ規定ヲ設ケサル事項ニ付テハ銀行令ニ依ル但シ銀行令第十條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

銀行令第十七條ノ規定ノ適用ニ付テハ第一條第一項第四號ノ規定ニ依リ給付金ノ之ヲ頂金ト看做ス

附　則





（未項ニハ振込金ノ利息支拂備金ヲ記載スベシ）

第九項　利息支拂備金

種別	年分	普通	定期	合計
		口数 金額	口数 金額	口数 金額
	昨年分			
	本年分			

（未項ニハ定期積金ノ六月元加減利計算ニ依ル利廻リヲ左ノ如シ）

（一）

種別	受入金	給付契約高	増 口数	増 金額	減 口数	減 金額	差引 口数	差引 金額

（二）常期末現在高ヲ積金ノ異変ニ依リ區別スレバ左ノ如シ

種別	給付契約高	五年以上 口数	五年以上 金額	三年以上五年未満 口数	三年以上五年未満 金額	三年未満 口数	三年未満 金額	計 口数	計 金額

（三）常期末現在高ヲ積金ノ異変ニ依リ區別スレバ左ノ如シ

種別	受入金	給付契約高	増 口数	増 金額	減 口数	減 金額	差引 口数	差引 金額

（四）常期末現在高ヲ給付期限ノ長短ニ依リ區別スレバ左ノ如シ

種別	給付契約高	千給付契約以上 口数	千給付契約以上 金額	百給付契約以上千給付契約未満 口数	百給付契約以上千給付契約未満 金額	百給付契約未満 口数	百給付契約未満 金額	計 口数	計 金額

（五）

（イ）常期間給付契約高ノ増減

種別	前期繰越高	常期増加高	常期減少高	常期末現在高

（ロ）定期積金

種別	千給付契約以上 口数	千給付契約以上 金額	百給付契約以上千給付契約未満 口数	百給付契約以上千給付契約未満 金額	百給付契約未満 口数	百給付契約未満 金額	計 口数	計 金額

（六）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（七）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（八）

種別	前期繰越高	常期増加高	常期減少高	常期末現在高

（九）常期末現在高代理店別

種別	代理店名	何銀行	金額	有価証券	不動産	動産	保証	其ノ他

（十）

種別	前期繰越高	常期決済高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（十一）常期末現在高内譯

種別	常期末現在高	内譯 三年据置定期積金受入金額高	内譯 積立定期預金受入金額高	内譯 保証金額	内譯 保証超過アルモノ金額

（十二）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（十三）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（十四）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（十五）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（十六）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（十七）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（十八）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（十九）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（二十）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（二十一）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（二十二）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（二十三）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（二十四）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（二十五）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（二十六）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（二十七）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（二十八）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（二十九）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（三十）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（三十一）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（三十二）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（三十三）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（三十四）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（三十五）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（三十六）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（三十七）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（三十八）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（三十九）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（四十）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（四十一）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（四十二）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（四十三）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（四十四）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（四十五）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（四十六）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（四十七）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（四十八）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（四十九）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（五十）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（五十一）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（五十二）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（五十三）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（五十四）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（五十五）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（五十六）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（五十七）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（五十八）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（五十九）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（六十）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（六十一）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（六十二）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（六十三）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（六十四）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（六十五）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（六十六）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（六十七）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（六十八）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（六十九）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（七十）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（七十一）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（七十二）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（七十三）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（七十四）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（七十五）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（七十六）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（七十七）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（七十八）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（七十九）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（八十）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（八十一）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（八十二）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（八十三）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（八十四）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（八十五）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（八十六）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（八十七）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（八十八）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（八十九）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（九十）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（九十一）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（九十二）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（九十三）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（九十四）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（九十五）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（九十六）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（九十七）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（九十八）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（九十九）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（百）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（百一）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（百二）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（百三）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（百四）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（百五）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（百六）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（百七）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（百八）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（百九）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（百十）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（百十一）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（百十二）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（百十三）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（百十四）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数	超過額	保証金額

（百十五）常期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期新規高	常期未現在高	同上口数

（百十六）

（未項ニハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ制限ヲ超ユルモノノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ノ如ク記載スベシ）

| 種別 | 前期繰越高

一　常期間ニ於ケル增減

何公債	種類	株式	社債	地方債	國債	種類
	株券面總額					前期繰越高
	拂込總額					當期增加高
	現價總額					當期減少高
	現價總額					當期償還額
	現價總額					當期償還額
	株數					當期未現在高

（株式ノ一部ヲ拂込ミタル場合ニ於テハ其ノ拂込ミタル金額ヲ拂込總額ノ欄ニ記載スベシ）

（株式中貯蓄銀行令第十二條ノ規定ニ依リ所有スルモノニ付テハ其ノ超過部分ニ付株數及金額ヲ超ユルモノニ付テハ其ノ超過部分ニ付株數及金額ヲ差引キ其ノ他ノ事由ニ因リ增減アリタル場合ニ於テハ其ノ增減ノ內容ヲ記載スベシ）

（令第十二條ノ規定ニ依リ所有ス

| 利益 | 計 | 何組合員ノ他ノ組合員ニ対スル債権ノ方ニ利益ヲ与フルモノアルトキハ其ノ利益ヲ受ケタル組合ハ之ヲ償還スルコトヲ要ス（第百十五条） | 何組合ハ其ノ組合員ノ他ノ組合ニ対スル債務ヲ引受ケタルトキハ其ノ債務ニ付キ連帯シテ責ニ任ス（第百十五条） | 何組合ハ其ノ組合員ノ他ノ組合ニ対スル債権ヲ譲受ケタルトキハ其ノ債権ニ付キ連帯シテ責ニ任

預金者ニ對スル貸付金明細表

甲號附屬表ノ三　　昭和　年第何季末　月　日現在　　株式會社何貯蓄銀行

債務者（借主）又ハ商號	氏名又ハ名稱	當初貸付年月日	辨濟期日	當初貸付高	現貸付高	利息割合	預金現在高 普通貯金	預金現在高 据置貯金	預金現在高 ヽヽヽヽ	預金現在高 合計	當季末ニ於ケル顯著ナル增減ノ大要	備考
				圓	圓		圓	圓	圓	圓		
計												

定期積金者ニ對スル貸付金明細表

甲號附屬表ノ四　　昭和　年第何季末　月　日現在　　株式會社何貯蓄銀行

債務者（借主）ノ氏名又ハ商號	氏名又ハ名稱	當初貸付年月日	辨濟期日	當初貸高	現貸付高	利息割合	給付契約高	積金受入濟高 貸付時ノ額	積金受入濟高 現在高	擔保 種類	擔保 數量	擔保 單價	擔保 價額	保證人 氏名	保證人 職業	保證人 債務者トノ續柄	當季末ニ於ケル顯著ナル增減	當季末ニ於ケル顯著ナル增減ノ大要	備考
				圓	圓		圓	圓	圓				圓						
計																			

備考

擔保物ノ欄種類又ハ單價ノ記載方ニ付テハ甲號附屬表ノ一又ハ二ノ備考ヲ參照スベシ

乙　不良ト認ムル債權調

乙號表　　昭和　年第何季末　月　日現在　　株式會社何貯蓄銀行

（第一）債權回收不能見込ノ分

債務者（借主）ノ氏名又ハ商號	氏名又ハ名稱	職業	國債其ノ他有價證券擔保貸付金 現在高	國債其ノ他有價證券擔保貸付金 回收不能見込額	不動產抵當貸付金 現在高	不動產抵當貸付金 回收不能見込額	預金者ニ對スル貸付金 現在高	預金者ニ對スル貸付金 回收不能見込額	定期積金者ニ對スル貸付金 現在高	定期積金者ニ對スル貸付金 回收不能見込額	ヽヽヽヽ 現在高	ヽヽヽヽ 回收不能見込額	合計 現在高	合計 回收不能見込額	當季末ニ於ケル顯著ナル增減ノ大要	備考
			圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓		
計																

（第二）債權回收困難分（回收上特ニ手數費用又ハ年月ヲ要スルモノ）

債務者（借主）ノ氏名又ハ商號	氏名又ハ名稱	職業	國債其ノ他有價證券擔保貸付金 現在高	國債其ノ他有價證券擔保貸付金 回收困難額	不動產抵當貸付金 現在高	不動產抵當貸付金 回收困難額	預金者ニ對スル貸付金 現在高	預金者ニ對スル貸付金 回收困難額	定期積金者ニ對スル貸付金 現在高	定期積金者ニ對スル貸付金 回收困難額	ヽヽヽヽ 現在高	ヽヽヽヽ 回收困難額	合計 現在高	合計 回收困難額	當季末ニ於ケル顯著ナル增減ノ大要	備考
			圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓		
計																

備考

一　本表ニハ各債權ニ付其ノ期限ノ到來セルト否トニ拘ラズ債務者、保證人ノ資產信用、擔保物ノ現狀ヲ斟酌シ嚴正ニ査定シテ回收不能見込額又ハ回收困難額ヲ記載スベシ

二　本表ニハ債務者毎ニ各口ヲ合算シタルモノヲ記載スベシ

甲　新舊役員及此等ノ關係先ニ對スル債權調

甲號表　　昭和　年第何季末　月　日現在調　　株式會社何貯蓄銀行

債務者（借主）ノ新舊役員トノ關係	氏名又ハ名稱	職業	國債其ノ他有價證券擔保貸付金	不動產抵當貸付金	預金者ニ對スル貸付金	定期積金者ニ對スル貸付金	ヽヽヽ	合計	擔保ノ有無 擔保金	擔保ノ有無 擔保額	擔保ノ有無 同上ノ擔保不足金額	債務ノ保證又ハ裏書	當季末ニ於ケル顯著ナル增減ノ大要	備考
			圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓		

備考

（一）　支店ヲ有スル銀行ニ在リテハ本支店分ヲ合算シテ記載スベシ以下各號諸表ニ付亦同ジ

（二）　新舊役員トハ現任取締役、監査役及支配人並ニ退任後五年ヲ經過セザル取締役、監査役及支配人ヲ指稱シ此等ノ關係先トハ其ノ家族、親族、使用人又ハ關係會社等ヲ指稱ス

（三）　本表ニハ債務者（借主）毎ニ各口ヲ合算シタルモノヲ記載スベシ

（四）　債務者（借主）ニシテ銀行ニ對シ預金ヲ有スルモノアルトキハ備考欄ニ之カ種類及金額ヲ記載スベシ

國債其ノ他有價證券擔保貸付金明細表

甲號附屬表ノ一　　昭和　年第何季末　月　日現在　　株式會社何貯蓄銀行

債務者（借主）ノ氏名又ハ商號	氏名又ハ名稱	當初貸付年月日	辨濟期日	當初貸付高	現貸付高	利息割合	擔保物 種類	擔保物 數量	擔保物 單價	擔保物 價額	承認監査役氏名	當季末ニ於ケル顯著ナル增減ノ大要	備考
				圓	圓					圓			
計													

備考

（一）　本表ハ各口毎ニ之ヲ記載シ同一債務者ニ屬スルモノハ同一場所ニ列記スベシ

（二）　擔保物ノ欄種類ニハ有價證券ノ銘柄ヲ揭グベシ

不動產抵當貸付金明細表

甲號附屬表ノ二　　昭和　年第何季末　月　日現在　　株式會社何貯蓄銀行

債務者（借主）ノ氏名又ハ商號	氏名又ハ名稱	當初貸付年月日	辨濟期日	當初貸付高	現貸付高	利息割合	抵當物 種類	抵當物 數量	抵當物 單價	抵當物 價額	承認監査役氏名	當季末ニ於ケル顯著ナル增減ノ大要	備考
				圓	圓					圓			
計													

備考

抵當物ノ欄種類ハ土地ニ付テハ其ノ地目ヲ單價ハ段又ハ坪當ノ時價ヲ揭ゲ其ノ他之ニ準ズ

乙號附屬表ノ一

銀行　株式会社　何　貯蓄銀行　調細明(分ルム認ト良不)金付貸保擔券證有價他ノ其ノ債國

昭和　年第何季末　月　日現在

乙號附屬表ノ二

銀行　株式会社　何　貯蓄銀行　調細明(分ルム認ト良不)金付貸當抵産動不

昭和　年第何季末　月　日現在

乙號附屬表ノ三

銀行　株式会社　何　貯蓄銀行　調細明(分ルム認ト良不)金付貸ニ對スル預金者

昭和　年第何季末　月　日現在

乙號附屬表ノ四

銀行　株式会社　何　貯蓄銀行　調細明(分ルム認ト良不)金付貸ニ對スル預金者

昭和　年第何季末　月　日現在

(ノモノヲ相當スルモノ表乙號)額金不能回收ニ前ノ欄ノ備考ニ準ジテ作成シ備ノ表乙號附屬甲表ハ表各下以
及回收困難ノ額(乙號表第二ニ相當スルモノ)ニ關スル欄ヲ設ケ該當事項ヲ明細ニ記載スベシ

(毎月ノ營業報告書雛形)

昭和何年何月分　營業報告書

昭和何年何月末現在

株式会社何貯蓄銀行　印

資産(借方)		摘要	負債(貸方)	
金高	殘高		殘高	金高
圓	圓		圓	圓
		資本金		
		株主勸定		
		拂込未濟資本金		
		法定積立金		
		何準備積立金		
		前期損益金		
		有價證券勸定		
		國債		
		地方債		
		社債		
		株式		
		貸付金勸定		
		國債其ノ他有價證券擔保貸付金		
		不動産抵當貸付金		
		預金者ニ對スル貸付金		
		定期積金者ニ對スル貸付金		
		預ケ金勸定		
		預金郵便貯金勸定		
		預金積金勸定		
		普通貯金勸定		
		據證貯金勸定		
		定期積金勸定		
		定期預金		
		當座預金		
		特別當座預金		
		通知預金		
		銀行引受手形		

備考

一　金高ニハ營業年度初ヨリ當該月末ニ至ル取扱高ノ累計ヲ記載スベシ

二　支店ヲ有スル貯蓄銀行ハ本表(總括表)ノ外本店及支店分內譯表ヲ本表ノ樣式ニ準ジテ作成添附スベシ

三　本報告書ハ之ヲ橫書シ數字ハ亞拉比亞數字ヲ用フルコトヲ得

勘定金	備考
利息支拂備金勸定	
給付補塡備金勸定	
動産不動産勸定	
營業用土地建物什器勸定	
所有不動産勸定	
代理店勸定	
雜勸定	
未拂利息其ノ他	
未經過利益勸定	
未拂配當金勸定	
現金	

●韓國銀行條例ニ定メタルモノノ外政府ノ認可ヲ受クヘキ事項ニ付命令

隆熙三年十一月
度令第六十七號

【韓國銀行】條例ニ定メタルモノノ外左ノ事項ハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

一　銀行內規及諸規則
二　預金及貸付金ノ最高利子比例並手形割引ノ最高比例
三　不動産ヲ擔保トスヘキ五萬圓以上ノ貸付
四　銀行券發行ニ付地金銀ノ準備價格及國債證券其他證券ノ保證價格
五　債務辨償ノタメ引受ケタル動産不動産ノ賣却ヲ延期スルコト
六　理事又ハ監事ノ補缺選舉ヲ定時株主總會マテ延期スル事

【韓國銀行】

●日本銀行特別融通及損失補償法

昭和二年五月
法律第五十五號

改正　昭和九年三月三日法律第八號

第一條　日本銀行ハ現ニ預金ノ拂戻停止中ニ非ザル銀行ヨリ其ノ預金(定期積金ヲ含ム)ノ支拂準備ニ充ツルガ爲資金融通ノ請求アリタル場合ニ於テ財界ノ安定ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ之ニ對シ手形割引ノ方法ニ依リ大藏大臣ノ定ムル特別融通ヲ爲スコトヲ得

本法ニ依ル特別融通ニ因リテ日本銀行ノ受ケタル損失及其ノ額ハ特別融通損失審查會之ヲ決定ス

第六條　第四條第一項ノ契約ニ基キ政府ガ日本銀行ニ對シテ支拂フベキ損失補償金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第七條　政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スルガ爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第八條　本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和二年四月二十二日ヨリ本法施行ノ日ノ前日迄ニ日本銀行ノ爲シタル手形割引ニ依ル融通ニシテ第一條ノ特別融通ニ相當スルモノハ之ヲ第一條ノ特別融通ト看做ス

●日本銀行特別融通及損失補償法第一條ニ依ル特別融通ニ關スル規程

昭和二年五月
大合第十二號

改正　昭和二年一二第三六號

日本銀行特別融通及損失補償法第一條ニ依ル特別融通審查會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條　日本銀行ガ前條ノ特別融通ノ爲ニスル手形割引ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本法施行ノ日ヨリ一年トス

第三條　第一條ノ特別融通ノ爲ニスル手形ノ貸換ノ爲ニ振出シタル手形ノ割引ニ依ル特別融通ノ期限ハ本法施行ノ日ヨリ二十年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四條　政府ハ本法ニ依ル特別融通ニ因リテ日本銀行ガ損失ヲ受ケタルトキハ同行ニ對シ五億圓ヲ限リ其ノ損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五條　本法ニ依ル特別融通ニ因リテ日本銀行ノ受ケタル損失及其ノ額ハ特別融通損失審查會之ヲ決定ス

特別融通損失審查會ノ組織及權限ヲ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　第四條第一項ノ契約ニ基キ政府ガ日本銀行ニ對シテ支拂フベキ損失補償金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第七條　政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第八條　本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和二年四月二十二日ヨリ本法施行ノ日ノ前日迄ニ日本銀行ノ爲シタル手形割引ニ依ル融通ニシテ第一條ノ特別融通ニ相當スルモノハ之ヲ第一條ノ特別融通ト看做ス

日本銀行特別融通及損失補償法第一條ニ依ル特別融通ニ關スル規程左ノ通定ム

日本銀行特別融通及損失補償法第一條ニ依ル特別融通ニ關スル規程

第一條　日本銀行ガ特別融通及損失補償法第一條ニ依ル特別融通ヲ爲ス場合ニ於テハ本令ノ定ムル所ニ依リ特別融通審查會ノ議ヲ經ルモノトス

第二條　日本銀行カ特別融通ノ爲手形割引ヲ爲ス場合ニ於テハ有價證券、不動産及法律ノ規定ニ依リ設定シタル財團ヲ擔保トスル債權ヲ見返ト爲スコトヲ得

特別ノ必要アル場合ニ於テハ日本銀行ハ大藏大臣ノ承認ヲ受ケ前項ノ利率ニ依ラス特別融通ヲ爲スコトヲ得

日本銀行ハ特別融通ヲ爲シタル銀行ノ狀況ニ依リ特別融通資金ノ回收ヲ促進スル爲必要アリト認ムルトキハ特別融通手形書換ノ場合ニ於テ其ノ割引歩合ヲ高ムルコトヲ得

第四條　日本銀行ハ特別融通ノ爲割引ヲ爲シタル手形ニ關シ必要ナル事項ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第五條　日本銀行ハ特別融通ヲ爲シタル銀行ニ對シ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ其ノ資產負債及營業ノ狀態ヲ調查スルコトヲ得ヘキ旨契約ヲ締結スヘシ

日本銀行カ前項ノ契約ニ依リ調查ヲ爲シタルトキハ其ノ結果ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第六條　日本銀行ハ特別融通ヲ爲シタル銀行ト契約ヲ締結シ少クトモ毎月一回日計表其ノ他必要ト認ムル書類各二通ヲ提出セシムヘシ

日本銀行ハ前項ノ契約ニ依リ徵シタル書類各一通ヲ大藏大臣ニ提出スヘシ

第七條　不動産又ハ法律ノ規定ニ依リ設定シタル財團ヲ擔保トスル債權ヲ見返トスル特別融通ニ付テハ日本銀行ハ株式會社日本勸

業銀行、農工銀行、株式會社北海道拓殖銀行又ハ株式會社日本興業銀行ヲシテ日本銀行ノ爲メ其ノ事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

朝鮮、臺灣、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル朝鮮銀行以外ノ銀行ニ對スル特別融通ニ付テハ日本銀行ノ爲メ其ノ業務ヲ代理セシムルコトヲ得

樺太ニ於ケル株式會社北海道拓殖銀行以外ノ銀行ニ對スル特別融通ニ付テハ日本銀行ノ爲メ其ノ業務ヲ代理セシムルコトヲ得

臺灣ニ於ケル株式會社臺灣銀行以外ノ銀行ニ對スル特別融通ニ付テハ日本銀行ノ爲メ其ノ業務ヲ代理セシムルコトヲ得

樺太ニ於ケル株式會社北海道拓殖銀行以外ノ銀行ニ對スル特別融通ニ付テハ日本銀行ノ爲メ其ノ業務ヲ代理セシムルコトヲ得

第八條　特別融通ニ關シテハ本令ニ依ルモノノ外大藏大臣之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●金融組合令

大正三年五月
制令第二十二號
改正　大正七年六號（二三號、昭和三年一二號八號、四年四號、六年六號二二號、八年八號）

金融組合令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

金融組合令

第一章　總　則

第一條　金融組合ハ組合員ノ金融ヲ緩和シ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル社團法人トス

第二條　金融組合ノ組合員ハ組合ノ區域内ニ於テ住所又ハ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第三條　金融組合ノ住所ハ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條　金融組合ノ名稱中ニハ金融組合ナル文字ヲ用ヰルコトヲ要ス

金融組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ金融組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ヰルコトヲ得ス

第五條　金融組合ハ左ノ業務ヲ行フモノトス

一　組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト

二　組合員ノ爲ニ預金ヲ受入レ又ハ期限ヲ定メテ一定金額ノ給付ヲ爲スコトヲ約シ定期ニ若ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ金錢ヲ受入レルコト

三　組合員ノ爲ニ預金ヲ受入レ又ハ期限ヲ定メテ一定金額ノ給付ヲ爲スコトヲ約シ定期ニ若ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ金錢ヲ受入レルコト

府又ハ朝鮮總督ノ指定シタル市街地カ組合ノ區域ニ屬スル金融組合ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前項第一號ノ資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲スコトヲ得

金融組合ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員ノ爲ニ其ノ貨物ヲ倉庫ニ保管シ又ハ之ニ對シ倉荷證券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ倉荷證券ニハ商法中倉荷證券ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條　金融組合ハ組合員ニ非サル者ノ爲ニ貯蓄銀行令第一條第一項若ハ第五條第一號ノ業務ヲ爲シ又ハ同令第五條第五號ノ業務ヲ爲スコトヲ得

金融組合ハ無盡會社又ハ無盡管理會社ヨリ預リ金ヲ爲スコトヲ得

第七條　金融組合ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ他ノ金融組合若ハ銀行ノ業務ヲ代理シ又ハ銀行ノ業務ノ媒介ヲ爲スコトヲ得

第八條　金融組合ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ借入金ヲ爲スコトヲ得

第九條　業務上ノ餘裕金ハ朝鮮金融組合聯合會若ハ朝鮮總督ノ指定シタル銀行ニ預入シ、郵便貯金ト爲シ又ハ國債證券、地方債證券其ノ他朝鮮總督ノ認可シタル有價證券ヲ買入ルルノ外之ヲ使用スルコトヲ得

第十條　金融組合ハ業務ノ爲必要ナル物件ヲ取得シ又ハ債務辨濟ノ爲物件ヲ引受ケル場合ヲ除ク外動產又ハ不動產ヲ所有スルコトヲ得ス

第十一條　金融組合ハ本令ニ記載セサル業務ヲ行フコトヲ得ス但シ朝鮮總督ノ命令アリタルトキハ此限ニ在ラス

金融組合ハ地方金融ノ調節ニ關スル業務ヲ行フコトヲ得

朝鮮總督ハ必要ト認ムルトキハ金融組合ノ業務ヲ制限スルコトヲ得

第十一條ノ二　金融組合ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルトキ朝鮮金融組合聯合會ノ會員ト

第十二號ニ掲ケタル事項

二　事務所

三　出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額

四　設立許可ノ年月日

五　組合長、理事、副理事及監事ノ氏名、住所

金融組合ノ設立ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十條　前條第一項ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ但シ前條第一項第三號ノ事項ニ付テハ毎事業年度末日ノ現在ニ依リ年度終了後一月内ニ登記ヲ爲スコトヲ得

前項ノ登記前ニ在リテハ登記事項ノ變更ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

主タル事務所以外ノ事務所ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ヲ登記セサリシトキハ前項ノ規定ハ其ノ事務所ニ於テ爲シタル行爲ニ付テノミ之ヲ適用ス

第二十一條　行政區劃又ハ土地ノ名稱ニ變更アリタルトキハ登記簿ニ記載シタル其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス

前項ノ變更アリタルトキハ金融組合ハ遲滯ナク之ヲ登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ登記所ハ登記簿ノ記載ヲ變更スヘシ

第一項ノ規定ハ組合ノ區域及事務所所在地ニ關スル定款ノ變更ニ之ヲ準用ス

第二十二條　民法第四十五條第三項、第四十七條及第四十八條ノ規定ハ金融組合ニ之ヲ準用ス但シ期間ニ付一週間トアルハ二週間トス

第三章　組合員ノ權利義務

第二十三條　組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ

組合員ノ有スヘキ出資口數ハ百口ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十四條　組合員ノ責任ハ其ノ出資額ヲ限度トス

第二十五條　組合員ハ拂込ムヘキ出資ニ付相

殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十六條　組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得ス

組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ第五十七條第一項ノ例ニ依ヘルシ

組合員ノ持分ハ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第二十七條　組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十八條　持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十八條ノ二　死亡ニ因リ脫退シタル組合員ノ相續人ハ第五十七條第一項ノ例ニ依リ被相續人ノ持分ヲ承繼スルコトヲ得

前條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ持分ヲ承繼シタル相續人ニ付之ヲ準用ス

第二十九條　組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ組合長ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ組合長ハ二週間内ニ總會ヲ招集スヘシ

第三十條　組合員總會ハ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違反スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ道知事ニ請求スルコトヲ得

第四章　管　理

第三十一條　金融組合ニ組合長一人、理事一人、監事二人以上及評議員五人以上ヲ置ク但シ必要ナル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ副理事一人又ハ數人ヲ置クコトヲ得

組合長、監事及評議員ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任シ理事及副理事ハ朝鮮總督之ヲ任免ス

組合長ノ選任ハ道知事ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

組合設立當時ノ組合長及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三十二條　監事ハ組合長、理事、副理事其ノ他組合ノ職員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十三條　組合長ノ任期ハ三年ト但シ定

役ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十六條　組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得ス

組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ第五十七條第一項ノ例ニ依ヘルシ

組合員ノ持分ハ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第二十七條　組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十八條　持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十八條ノ二　死亡ニ因リ脫退シタル組合員ノ相續人ハ第五十七條第一項ノ例ニ依リ被相續人ノ持分ヲ承繼スルコトヲ得

前條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ持分ヲ承繼シタル相續人ニ付之ヲ準用ス

第二十九條　組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ組合長ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ組合長ハ二週間内ニ總會ヲ招集スヘシ

第三十條　組合員總會ハ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違反スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ道知事ニ請求スルコトヲ得

第四章　管　理

第三十一條　金融組合ニ組合長一人、理事一人、監事二人以上及評議員五人以上ヲ置ク但シ必要ナル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ副理事一人又ハ數人ヲ置クコトヲ得

組合長、監事及評議員ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任シ理事及副理事ハ朝鮮總督之ヲ任免ス

組合長ノ選任ハ道知事ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

組合設立當時ノ組合長及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三十二條　監事ハ組合長、理事、副理事其ノ他組合ノ職員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十三條　組合長ノ任期ハ三年ト但シ定

第三十八條　評議員ハ評議員會ヲ組織ス

評議員會ハ組合長之ヲ招集ス

評議員會ハ本令、本令ニ基キテ發スル命令又ハ定款ニ定メタル事項ヲ決議ス其ノ決議ノ方法ハ定款ニ定ムル所ニ依ル

評議員ハ組合ノ業務ニ關シ組合長ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得

第三十九條　定時總會ハ毎年一回定款ニ定メタル時期ニ於テ組合長之ヲ招集ス

第四十條　臨時總會ハ必要アルトキ組合長之ヲ招集ス

第四十一條　總會ノ招集ハ少クモ十日前ニ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ各組合員ニ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四十二條　總會ニ於テハ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スモノトス

第四十三條　總會ノ決議ハ本令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第四十四條　組合員ノ議決權ハ平等トス

第四十五條　組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

代理人ハ組合員又ハ同居ノ戸主若ハ家族ナルコトヲ要ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第四十五條ノ二　金融組合ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前條ノ規定ヲ除クノ外前項ノ總代會ニ之ヲ準用シ總代會ニ於テ解散及合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第四十五條ノ三　金融組合ト或ル組合員、評議員又ハ總代トノ關係ニ付決議ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ組合員、評議員又ハ總代ハ議決權ヲ有セス

第四十六條　組合長及理事ハ定時總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財產目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ揭ケタル書

類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第四十七條　組合長及理事ハ前條第一項ニ揭ケタル書類及監事ノ意見書ヲ定時總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

組合長及理事ハ前項ノ承認ヲ得タルトキハ二週間内ニ其ノ要旨ヲ道知事ニ提出シ且貸借對照表ヲ公告スヘシ

第四十八條　定款ハ總會ノ決議ヲ經朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第三十四條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第四十九條　金融組合ハ定款ヲ事務所ニ備ヘ置カヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ揭ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第四十九條ノ二　金融組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者カ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第五十條　組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　各組合員ノ氏名、住所

二　各組合員ノ出資口數

三　出資各口ノ付拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日

四　出資各口ノ取得ノ年月日

第五十條ノ二　金融組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財產目錄及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アルトキハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ス

第五十條ノ三　債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第五十一條　金融組合ハ剩餘金ノ處分ヲ爲スニ非サレハ剩餘金ノ損失ヲ補塡スルコトヲ得ス

第五十二條　金融組合ハ準備金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第五十三條　金融組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄毎年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

剩餘金ハ拂込出資額ニ應シ年七分以下ノ割合ヲ以テ配當ヲ爲スコトヲ得但シ組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ヲ終ル迄之ヲ積立ツルコトヲ要ス

第五十三條ノ二　前條第一項ノ準備金ハ左ノ場合ヲ除クノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　損失ノ補塡ニ充ツルトキ

二　其ノ金融組合ノ區域カ他ノ金融組合ノ區域ト爲リタル場合ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ其ノ財産ノ一部ヲ他ノ金融組合ニ讓與スルトキ

第五十三條ノ三　金融組合ハ第六條ノ規定ニ依リ受入レタル金額ノ三分ノ一以上ノ金額ヲ左ノ方法ニ依リ管理スヘシ

一　朝鮮金融組合聯合會若ハ朝鮮殖産銀行ヘノ預ケ金又ハ郵便貯金

二　國債證券又ハ地方債證券ノ朝鮮金融組合聯合會又ハ朝鮮殖産銀行ヘノ保護預ケ

前項ノ受入金額ハ毎年三月及九月ノ各末日現在ニ依リ之ヲ定ム

第六條ノ規定ニ依ル預金者及給付金ノ債權者ハ其ノ預金及給付金ニ關シテハ第一項ノ規定ニ依リ管理シタル預ケ金、國債證券及地方債證券ニ付他ノ債權者ニ先チ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第五十四條　金融組合ハ組合員ノ持分ヲ取得スルコトヲ得ス

第五十五條　組合長、理事又ハ副理事ハ定款又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレサルトキニ限リ或ル種類又ハ特定ノ事項ニ付他人ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第五十六條　金融組合ハ組合員ノ事由ニ因リ脫退シタルトキハ脫退シタル組合員ニ其ノ持分ヲ拂戻スヘシ

前項ノ規定ニ依リ拂戻ヲ請求スルコトヲ得但シ第五十三條第一項ノ準備金ニ對シ持分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ規定スル拂戻ノ請求權ハ二年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第六十二條　持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完濟スルニ足ラサルトキハ脫退シタル組合員ハ出資額ヲ限度トシ其ノ負擔ニ歸スヘキ金額ヲ拂込ムヘシ

第六十三條　脫退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完濟スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第六章　監督

第六十四條　金融組合ハ朝鮮總督及道知事之ヲ監督ス

第六十五條　監督官廳ハ何時ニテモ金融組合ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ之ヲ檢査スルコトヲ得

第六十六條　監督官廳ハ金融組合ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ依リ組合ニ對シ財産ノ供託ヲ命シ又ハ前條ノ代理人カ其ノ職務ヲ行フニ付他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任スヘキ事又ハ前條ノ代理人カ其ノ職務ヲ行フニ付他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任スル事ヲ命シ又ハ組合ノ事業若ハ財産ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ總會若ハ總代會ヲ招集シ又ハ其ノ招集ヲ命スルコトヲ得

第六十七條　組合員ハ加入ノ評議員會ノ決議ニ依リ直ニ第一回ノ拂込ヲ爲スヘシ

第六十八條　組合員ハ左ノ事由ニ因リ脫退スルノ外本人ノ意思ニ反シテ脫退セシメラルルコトナシ

一　死亡

二　破產

三　禁治產

四　除名

五　除名ハ評議員會ノ決議ニ依リ組合員ヲ以テ其ノ組合員ニ對シ除名ヲ爲スヘシ

除名ハ評議員會ノ決議ニ依ル旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第六十一條　脫退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名、住所ノ登記ヲ爲スヘシ

前項ノ登記事項ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク其ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十二條　清算人ハ就職後二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

一　組合員ノ氏名、住所

二　組合員ノ出資ノ種類及口數

三　出資ノ一口ノ金額

四　出資一口ノ金額減少ノ登記

五　定款ノ定メタル存立時期ノ滿了又ハ事由ノ發生

六　總會ノ決議

七　合併

八　組合員ノ死亡

九　破產

十　前條第二項ノ命令

十一　第三十四條ノ規定ニ依リ受入レタル金額ノ三分ノ一以上ノ金額ヲ左ノ方法ニ依リ管理スヘシ

一　朝鮮金融組合聯合會若ハ朝鮮殖産銀行ヘノ預ケ金又ハ郵便貯金

二　國債證券又ハ地方債證券ノ朝鮮金融組合聯合會又ハ朝鮮殖産銀行ヘノ保護預ケ

前項ノ受入金額ハ毎年三月及九月ノ各末日現在ニ依リ之ヲ定ム

第六條ノ規定ニ依ル預金者及給付金ノ債權者ハ其ノ預金及給付金ニ關シテハ第一項ノ規定ニ依リ管理シタル預ケ金、國債證券及地方債證券ニ付他ノ債權者ニ先チ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第五十四條　金融組合ハ組合員ノ持分ヲ取得スルコトヲ得ス

第五十五條　組合長、理事又ハ副理事ハ定款又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレサルトキニ限リ或ル種類又ハ特定ノ事項ニ付他人ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第五十六條　金融組合ハ組合員ノ事由ニ因リ脫退シタルトキハ脫退シタル組合員ニ其ノ持分ヲ拂戻スヘシ

前項ノ規定ニ依リ拂戻ヲ請求スルコトヲ得但シ第五十三條第一項ノ準備金ニ對シ持分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ規定スル拂戻ノ請求權ハ二年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第六十二條　持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完濟スルニ足ラサルトキハ脫退シタル組合員ハ出資額ヲ限度トシ其ノ負擔ニ歸スヘキ金額ヲ拂込ムヘシ

第六十三條　脫退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完濟スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第六章　監督

第六十四條　金融組合ハ朝鮮總督及道知事之ヲ監督ス

第六十五條　監督官廳ハ何時ニテモ金融組合ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ之ヲ檢査スルコトヲ得

第六十六條　監督官廳ハ金融組合ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ依リ組合ニ對シ財産ノ供託ヲ命シ又ハ前條ノ代理人カ其ノ職務ヲ行フニ付他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任スル事ヲ命シ又ハ組合ノ事業若ハ財産ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ總會若ハ總代會ヲ招集シ又ハ其ノ招集ヲ命スルコトヲ得

第六十七條　組合員ハ加入ノ評議員會ノ決議ニ依リ直ニ第一回ノ拂込ヲ爲スヘシ

第六十八條　組合員ハ左ノ事由ニ因リ脫退スルノ外本人ノ意思ニ反シテ脫退セシメラルルコトナシ

一　死亡

二　破產

三　禁治產

四　除名

五　除名ハ評議員會ノ決議ニ依ル旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第六十九條　清算人ハ朝鮮總督之ヲ任免ス

第七十條　清算人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ其ノ職務ヲ辭スルコトヲ得

第七十一條　解散シタル金融組合ハ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ清算ノ結了ニ至ル迄尚其ノ存在ヲ有スルモノトス

第七十二條　清算人ハ解散ノ場合ニ於テハ其ノ職務ニ關シ裁判所ノ監督ヲ受ケ其ノ指揮ニ從フヘシ

第七十三條　清算人ハ解散ノ場合ニ於テハ其ノ就職後遲滯ナク財産目錄及貸借對照表ヲ作リ總會ヲ招集シ之ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十四條　清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合ノ財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十五條　清算人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ其ノ職務ヲ辭スルトキハ清算ノ結了ニ至ル迄尚其ノ存在ヲ有ス

第七十六條　解散シタル金融組合ハ其ノ清算ノ結了ニ至ル迄尚其ノ存在ヲ有ス

第七十七條　金融組合ハ其ノ債務ヲ完濟スルニ至ル迄ハ組合員ニ對スル債權ニ付相殺ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七十八條　金融組合ハ其ノ債務ヲ完濟スルニ至ル迄ハ組合員ニ對スル債權ニ付相殺ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七十九條　清算人ハ朝鮮總督之ヲ任免ス

第八十條　清算人ハ就職後二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名、住所ノ登記ヲ爲スヘシ

前項ノ登記事項ニ變更アリタルトキハ清算人ハ二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第八十一條　清算人ハ就職後遲滯ナク組合財産ノ狀況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作リ總會ヲ招集シ之ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第八十二條　清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合ノ財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第八十三條　清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ總會ヲ招集シ之ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第八十四條　清算カ結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

清算人ハ清算ノ期末ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第八十五條　第四十三條乃至第四十五條及民法第七十三條、第七十八條乃至第八十一條ノ規定ハ金融組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

第九章　登記

第八十六條　金融組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ヲ管轄スル地方法院又ハ其ノ支廳若ハ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第八十七條　登記所ニ金融組合登記簿ヲ備フ

第八十八條　第十九條第一項ノ登記ノ申請書ニハ定款ヲ添附スヘシ

第八十九條　事務所ノ移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ノ申請書ニハ移轉其ノ他變更ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第八十九條ノ二　出資一口ノ金額減少ノ登記ノ申請書ニハ其ノ事實ヲ證スル書面ノ外第五十條ノ二第二項ノ規定ニ依リ債告ヲ爲シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第九十條　組合解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ總會ノ決議錄ヲ添附スヘシ

前條ノ規定ハ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第九十一條　金融組合カ朝鮮總督ノ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ其ノ囑託ニ因リテ登記ヲ爲スヘシ

第九十二條　金融組合ニ關シ登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告スヘシ

第九十三條　非訟事件手續法第百四十一條乃至第百四十三條、第百四十七條乃至第百四十九條、第百五十條ノ二乃至第百五十一條ノ六、第百五十四條乃至第百五十七條及第百七十五條乃至第百七十八條ノ規定ハ金融組合ノ登記ニ之ヲ準用ス但シ同法第百四十八條ノ朝鮮總督、地方裁判所長トアルハ朝鮮總督、地方裁判所長トアルハ地方法院長トス

第十章　罰則

第九十四條　第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條　第四十三條乃至第四十五條及民法第七十三條、第七十八條乃至第八十一條ノ規定ハ金融組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

第九章　登記

第八十六條　金融組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ヲ管轄スル地方法院又ハ其ノ支廳若ハ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第八十七條　登記所ニ金融組合登記簿ヲ備フ

第八十八條　第十九條第一項ノ登記ノ申請書ニハ定款ヲ添附スヘシ

第八十九條　事務所ノ移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ノ申請書ニハ移轉其ノ他變更ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第八十九條ノ二　出資一口ノ金額減少ノ登記ノ申請書ニハ其ノ事實ヲ證スル書面ノ外第五十條ノ二第二項ノ規定ニ依リ債告ヲ爲シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第九十條　組合解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ總會ノ決議錄ヲ添附スヘシ

前條ノ規定ハ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第九十一條　金融組合カ朝鮮總督ノ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ其ノ囑託ニ因リテ登記ヲ爲スヘシ

第九十二條　金融組合ニ關シ登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告スヘシ

第九十三條　非訟事件手續法第百四十一條乃至第百四十三條、第百四十七條乃至第百四十九條、第百五十條ノ二乃至第百五十一條ノ六、第百五十四條乃至第百五十七條及第百七十五條乃至第百七十八條ノ規定ハ金融組合ノ登記ニ之ヲ準用ス但シ同法第百四十八條ノ朝鮮總督、地方裁判所長トアルハ朝鮮總督、地方裁判所長トアルハ地方法院長トス

第十章　罰則

第九十四條　第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條　左ノ場合ニ於テハ金融組合ノ組合長、理事、副理事、監事又ハ清算人ヲ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

一　監督官廳ノ認可ヲ受クヘキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

二　登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

三　官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

四　第九條乃至第十一條、第十八條、第二十條、第二項、第二十九條第二項、第三十九條、第五十條ノ二、第五十三條、第五十四條、第五十五條、第五十七條ノ三、第七十一條又ハ第七十五條第二項ノ規定ニ違反シタルトキ

五　第四十六條第一項若ハ第四十九條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ第四十六條第一項若ハ第四十九條第一項ニ揭ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス、不正ノ記載ヲ爲シ若ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ閱覽セシメサルトキ

六　第四十七條、第六十五條又ハ第八十四條第二項ニ規定スル報告ヲ爲サス又ハ資料ヲ提出セサルトキ

七　公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

八　清算ノ場合ニ於テ第八十一條乃至第八十三條、民法第七十九條若ハ第八十一條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ債權申出期間滿了前ニ債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シタルトキ

九　監督官廳ノ檢查ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シ又ハ當該官吏ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタルトキ

十　本令ニ基キテ發スル命令又ハ處分ニ從ハサルトキ

第九十六條　非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督之ヲ公布ス

（昭和六年六月制令第十二號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和六年六月制令第十二號ノ二）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

（昭和六年九月總令第百十四號ヲ以テ昭和六年十二月一日ヨリ施行）

附　則（昭和八年八月制令第八號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

（昭和八年八月總令第八十二號ヲ以テ昭和八年八月三十一日ヨリ施行）

金融組合聯合會所屬ノ組合又ハ法人ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ朝鮮金融組合聯合會成立ノトキ其ノ會員ト爲ルモノトス

●金融組合施行期日

大正三年八月
總令第百二十號

金融組合令ハ大正三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

●金融組合業務監督規程

昭和四年四月
總令第三十八號

改正　昭和四年九月六日八號、五年八月七日五年一二月九日九號、六年一〇月一三日一〇號、七年一二月一八日一二號、八年八月五日一〇號

大正三年朝鮮總督府令第百十五號金融組合業務監督規程左ノ通改正ス

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ組合ト稱スルハ金融組合令第五條ノ組合、都市組合ト稱スルハ金融組合令第五條ノ組合ヲ謂フ

第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ手形ノ割引ヲ爲ス金融組合、村落組合ト稱スルハ其ノ他ノ金融組合、聯合會ト稱スルハ朝鮮金融組合聯合會ヲ謂フ

第二條　組合ガ其ノ業務ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ道知事ヲ經由シ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

組合設立ニ關スル費用ハ組合成立ノ後組合費ヲ以テ支辨スヘシ

第三條　組合ガ從タル事務所ヲ設置セントスルトキハ其ノ名稱、所在地、區域及業務ノ種類ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更シ又ハ事務所ヲ廢止セントスルトキ亦

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

同シ

前項ノ事務所ニ於テ業務ヲ開始シタルトキハ遅滞ナク其ノ旨ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第四條　組合ノ業務時間ハ四月一日ヨリ翌年三月三十日迄ハ午前九時ヨリ午後四時迄、十二月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ハ午前十時ヨリ午後四時迄トス

組合ハ道知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ時間ヲ変更スルコトヲ得

第五條　組合ノ各事務所ノ業務ハ一月一日、一月二日、五月三十日、十月一日、祭日、祝日及日曜日並ニ各事務所ノ所在地ニ於ケル定例ノ休日ニ之ヲ休止ス但シ村落組合ニ在リテハ一月一日、五月三十日、紀元節、天長節及明治節ヲ除クノ外其ノ事務所ノ所在地ニ於ケル市場開設日ニ相當スルトキハ業務ヲ休止スルコトヲ得ズ

前項ノ外組合休業ノ必要アルトキハ道知事ノ認可ヲ受クベシ

第六條　組合ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條　金融組合令第五十三條ノ三ノ規定ニ依ル管理ハ主タル事務所ニ於テ之ヲ為スベシ

前項ノ場合ニ於テ預ケ金又ハ有価證券ノ保護預ケヲ為シタルトキハ遅滞ナク其ノ旨ヲ道知事ニ届出ヅベシ決定ノ最低管理金額ヲ超過スル部分ヲ引出シタルトキ亦同ジ

前項ノ場合ニ於テハ有価證券ノ見積価額ハ三月及九月ノ各末日ニ於ケル時價ヲ超エルコトヲ得ズ

第八條　組合ノ業務、給與、服務、身元保證及懲戒ニ關スル諸規則ヲ制定セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

前項ノ諸規則ニシテ朝鮮總督又ハ朝鮮總督ノ承認ヲ受ケ道知事ノ定ムル準則ニ依リ制定又ハ變更スルモノハ認可ヲ受クルコトヲ要セズ

前項ノ規定ニ依リ諸規則ヲ制定又ハ變更シタルトキハ遅滞ナク其ノ旨ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第九條　組合ハ毎事業年度ニ於ケル資金ノ運轉其ノ他業務上ノ計畫ヲ定メ年度始迄ニ道知事ニ届出ヅベシ

第十條　組合ハ毎事業年度ノ經費豫算ヲ定メキハ開會十日前ニ其ノ旨ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第十一條　總會又ハ總代會ヲ開カントスルトキハ開會十日前ニ其ノ旨ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第十二條　組合ハ毎事業年度ノ經費豫算ヲ定メ年度始迄ニ道知事ノ認可ヲ受ケベシ豫算ヲ追加更正セントスルトキ亦同ジ

豫算ニ定メタル各項ノ金額ハ彼是流用スルコトヲ得ズ

第十三條　組合ノ各事務所ノ業務ハ一月一日、一月二日、五月三十日、十月一日、祭日、祝日及日曜日並ニ各事務所ノ所在地ニ於ケル定例ノ休日ニ之ヲ休止ス但シ村落組合ニ在リテハ一月一日、五月三十日、紀元節、天長節及明治節ヲ除クノ外其ノ事務所ノ所在地ニ於ケル市場開設日ニ相當スルトキハ業務ヲ休止スルコトヲ得ズ

前項ノ外組合休業ノ必要アルトキハ道知事ノ認可ヲ受クベシ

第十四條　組合ハ毎事業年度ノ經費豫算ヲ定メ年度始迄ニ道知事ノ認可ヲ受クベシ豫算ヲ追加更正セントスルトキ亦同ジ

豫算ニ定メタル各項ノ金額ハ彼是流用スルコトヲ得ズ

第十五條　組合ハ第一號樣式ニ依リ毎月實際報告表ヲ作成シ翌月五日迄ニ道知事ニ提出スベシ

第十六條　財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剰餘金處分案ハ第二號樣式ニ依リ作成スベシ

第十七條　組合ノ公告ハ所轄警察官署ノ掲示場ニ之ヲ為スベシ

第十八條　組合ノ監事ハ毎年二回以上組合ノ財産及業務執行ノ狀況ヲ監査シ其ノ結果ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第十九條　出資一口ノ金額減少ノ認可申請書及總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ財産目錄及貸借對照表ヲ添附スベシ

第二十條　合併ノ認可申請書ニハ合併契約書、財産目錄、貸借對照表及合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款ヲ添附スベシ

第二十一條　組合ガ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ遅滞ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第二十二條　組合ノ清算人ハ金融組合令第八十一條ノ規定ニ依リ總會ノ承認ヲ得タルトキハ財産目錄及貸借對照表ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

清算人ハ毎月清算事務報告書及貸借對照表ヲ作成シ翌月十日迄ニ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二十三條　道知事ハ金融組合令第六十六條又ハ第六十七條ノ規定ニ依リ命令又ハ處分ヲ為シタルトキハ遅滞ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十四條　金融組合令又ハ本令ニ依リ朝鮮總督又ハ道知事ニ提出スル書類ニシテ總令若ハ總代會又ハ評議員會ノ決議ヲ經ベキ事項ニ係ルモノニハ其ノ決議錄ノ寫ヲ添附スベシ

前項ノ規定ニ依リ償還スル場合ニ於テハ組合ハ手數料ヲ請求スルコトヲ得ズ但シ低利ニ借替ヲ為ス為償還セラルルモノニ限リ其ノ償還金額ノ百分ノ一以内ノ手數料ヲ請求スルコトヲ得

第四十七條　年賦償還貸付及月賦償還貸付ノ賦拂金ヲ拂込期日前ニ受ケル場合ニハ拂込期日迄ノ期間ニ應ジ利子ノ割引ヲ為スベシ

第三章　預金及定期積金

第四十八條　組合ノ受入ル預金ハ定期預金、當座預金、据置預金（貯蓄銀行令第一條第一項第三號ニ該當スル預金）及貯蓄預金（貯蓄銀行令第一條第一項第二號及第二號ニ該當スル預金）トシ定期積金令第一條第一項第四號ニ該當スル受入金トス

第四十九條　組合員ニ非ザル者ノ預金ニシテ其ノ拂戻ニ付期限ヲ定ムルモノノ契約期限ハ五年ヲ超エルコトヲ得ズ定期積金ノ契約期間ニ付亦同ジ

第五十條　組合員ニ非ザル者ノ當座預金ハ公共團體、產業組合、無盡會社又ハ無盡管理會社ニ限リ之ヲ取扱フコトヲ得

第五十一條　組合員ニ非ザル者ノ預金及定期積金ノ受拂ハ組合員ノ預金及定期積金ト區別シタル帳簿ニ依リ之ヲ整理スベシ

第五十二條　定期預金ハ金額二十圓以上期間三月以上ノモノニ限ル

第五十三條　當座預金、据置預金及複利ノ方法ニ依ラザル貯蓄預金ノ利子ハ毎日ノ最低殘高ニ對シ之ヲ附スベシ

複利ノ方法ニ依ル貯蓄預金ノ利子ハ月ノ初ヨリ十五日迄、十六日ヨリ末日迄ヲ各一期間トシ每期間ニ於ケル最低殘高ニ對シ之ヲ附スベシ

第五十四條　當座預金及貯蓄預金ノ利子ハ每年二月及八月ニ之ヲ計算シ複利ノ方法ニ依ル貯蓄預金ノ利子ハ定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ元加スベシ

據置預金ノ利子及定期積金ノ給付補塡金ハ每年二月及八月ノ初ニ複利ノ方法ニ依リ之ヲ計算シ別勘定ニ繰入レ其ノ支拂又ハ給付ニ備ル貸付及手形割引ノ總額ハ第三十四條ニ定ムル組合ノ拂込ミタルモノニ限ル

第四十條　擔保トシテ徵シタル貨物ハ組合ノ倉庫ニ之ヲ保管スベシ但シ特別ノ事情アル場合ハ組合ニ於テ之ニ火災保險ヲ付シ確實ナル第三者ヲシテ保管セシムルコトヲ得

第四十一條　擔保トシテ徵シタル有價證券、拂戻ニ付期限ノ定アル預金證書又ハ定期積金證書ハ組合ニ於テ保管シ且之ヲ以テ第三債務者其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ベキ法定ノ手續ヲ為スベシ

第四十二條　削除

第四十三條　組合ハ印鑑證明規則ニ依リ證明ヲ受ケタル組合員ノ印鑑ヲ備ヘ貸付ノ都度借主ノ印章ト照合スベシ

第四十四條　貸付金ノ利子ハ貸付ノ日ヨリ償還ノ日迄日割ニ依リ之ヲ計算スベシ手形ノ割引料ニ付亦同ジ

短期貸付及定期償還貸付ノ利子ハ數回ニ分割シテ之ヲ徵スベシ

第四十五條　貸付金及其ノ利子ニ對スル還延利息ハ貸付金ノ利子歩合ニ其ノ十分ノ三ヲ加ヘタル割合ヲ超エルコトヲ得ズ

第四十六條　組合員ハ償還期限前ト雖貸付金ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得

ル貸付及手形割引ノ總額ハ三十圓ニ其ノ契具ノ數ヲ乘ジタル額迄トス但シ特別ノ事由アルトキハ道知事ノ認可ヲ受ケ此ノ制限ヲ超エルコトヲ得

擔保貸付ノ擔保トシテ徵スル有價證券ハ國債證券、地方債證券、社債、道知事ノ認可シタル株券、倉庫證券又ハ貨物引換證ニ限ル

第三十條　貸付ノ期間ハ都市組合ニ在リテハ六月内、村落組合ニ在リテハ一年内トス但シ災害其ノ他特別ノ事由アルトキハ利子ノ支拂ヲ愈ヲザル者ニ限リ其ノ期間ヲ更新スルコトヲ得（以下之ヲ短期貸付ト稱ス）

貸付金ノ使途ノ性質長期ノ償還ヲ必要トスル場合ハ組合ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ貸付ヲ為スコトヲ得ズ

長期貸付ノ擔保トシテ徵スル株式ハ全額ヲ拂込ミタルモノニ限ル

第四十條　擔保トシテ徵シタル貨物ハ組合ノ倉庫ニ之ヲ保管スベシ但シ特別ノ事情アル場合ハ組合ニ於テ之ニ火災保險ヲ付シ確實ナル第三者ヲシテ保管セシムルコトヲ得

第四十一條　擔保トシテ徵シタル有價證券、拂戻ニ付期限ノ定アル預金證書又ハ定期積金證書ハ組合ニ於テ保管シ且之ヲ以テ第三債務者其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ベキ法定ノ手續ヲ為スベシ

第四十二條　削除

第四十三條　組合ハ印鑑證明規則ニ依リ證明ヲ受ケタル組合員ノ印鑑ヲ備ヘ貸付ノ都度借主ノ印章ト照合スベシ

第四十四條　貸付金ノ利子ハ貸付ノ日ヨリ償還ノ日迄日割ニ依リ之ヲ計算スベシ手形ノ割引料ニ付亦同ジ

短期貸付及定期償還貸付ノ利子ハ數回ニ分割シテ之ヲ徵スベシ

第四十五條　貸付金及其ノ利子ニ對スル還延利息ハ貸付金ノ利子歩合ニ其ノ十分ノ三ヲ加ヘタル割合ヲ超エルコトヲ得ズ

第四十六條　組合員ハ償還期限前ト雖貸付金ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得

第三十三條　手形ハ九十日内ニ支拂期日ノ到來スベキモノニ非ザレバ割引ヲ為スコトヲ得ズ

第三十四條　組合ハ每年少クトモ一回各組合員（預金契約ヲ除ク）ノ信用狀態ヲ調査シ信用程度ヲ決定シ信用程度表ニ之ヲ記載スベシ

組合ハ每年數回組合員タル預金者ノ產業ノ狀況ヲ調査スベシ

貸付又ハ手形割引ノ金額ハ信用程度表又ハ前項ノ調査ニ基キ資金ノ用途ヲ斟酌シテ之ヲ決定スベシ但シ擔保貸付ヲ為ス場合ニ在リテハ信用程度表ニ基ク事ヲ要セズ

第三十五條　組合ガ無擔保貸付ヲ為ス場合ニハ其ノ債務者ヲ立テシムベシ但シ短期貸付及預金契ニ對スル貸付ニ付テハ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ為スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ組合員ヲ保證人ト為スニハ其ノ組合ニ對スル主タル債務ト保證債務トヲ合セテ前條ノ信用程度表ニ依ル信用程度ヲ超過セザル場合ニ限リ組合員ヲ手形上ノ債務者ト為ス場合亦同ジ

第三十六條　擔保貸付ノ金額ハ組合ニ於テ鑑定書ヲ作成シ評價シタル額ノ十分ノ八以内ニ於テ之ヲ定ムベシ但シ拂戻ニ付期限ノ定アル預金證書又ハ定期積金證書ヲ擔保トスルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十七條　建物又ハ工場ハ火災保險ヲ付シタルモノニ非ザレバ擔保トシテ之ヲ徵スルコトヲ得ズ

長期貸付ノ擔保トシテ徵スル株式ハ全額ヲ拂込ミタルモノニ限ル

第三十八條　不動產ヲ擔保トシテ徵スル場合ニ於テハ抵當權設定ノ登記ヲ為スベシ

前項ノ抵當權設定ハ第一順位ナルコトヲ要ス但シ組合ヨリ借入スル新債ヲ以テ其ノ舊債ヲ償還スル效果ニ依リ第一順位ヲ為ルコトヲ得ベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十九條　建物又ハ工場ハ火災保險ヲ付シタルモノニ非ザレバ擔保トシテ之ヲ徵スルコトヲ得ズ

長期貸付ノ擔保トシテ建物又ハ工場ヲ徵スルニハ其ノ敷地ヲモ組合ニ擔保トシテ提供スルニハ其ノ敷地ヲモ組合ニ擔保トシテ提供スルニ非ザレバ擔保トシテ之ヲ徵スルコトヲ得ベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十九條　建物又ハ工場ハ火災保險ヲ付シタルモノニ非ザレバ擔保トシテ之ヲ徵スルコトヲ得ズ

長期貸付ノ擔保トシテ建物又ハ工場ヲ徵スルニハ其ノ敷地ヲモ組合ニ擔保トシテ提供スルニハ其ノ敷地ヲモ組合ニ擔保トシテ提供スルニ非ザレバ擔保トシテ之ヲ徵スルコトヲ得ベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十七條　建物又ハ工場ハ火災保險ヲ付シタルモノニ非ザレバ擔保トシテ之ヲ徵スルコトヲ得ズ

長期貸付ノ擔保トシテ徵スル株式ハ全額ヲ拂込ミタルモノニ限ル

第三十八條　不動產ヲ擔保トシテ徵スル場合ニ於テハ抵當權設定ノ登記ヲ為スベシ

前項ノ抵當權設定ハ第一順位ナルコトヲ要ス但シ組合ヨリ借入スル新債ヲ以テ其ノ舊債ヲ償還スル效果ニ依リ第一順位ヲ為ルコトヲ得ベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十九條　建物又ハ工場ハ火災保險ヲ付シタルモノニ非ザレバ擔保トシテ之ヲ徵スルコトヲ得ズ

長期貸付ノ擔保トシテ建物又ハ工場ヲ徵スルニハ其ノ敷地ヲモ組合ニ擔保トシテ提供スルニハ其ノ敷地ヲモ組合ニ擔保トシテ提供スルニ非ザレバ擔保トシテ之ヲ徵スルコトヲ得ベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十條　擔保トシテ徵シタル貨物ハ組合ノ倉庫ニ之ヲ保管スベシ但シ特別ノ事情アル場合ハ組合ニ於テ之ニ火災保險ヲ付シ確實ナル第三者ヲシテ保管セシムルコトヲ得

第四十一條　擔保トシテ徵シタル有價證券、拂戻ニ付期限ノ定アル預金證書又ハ定期積金證書ハ組合ニ於テ保管シ且之ヲ以テ第三債務者其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ベキ法定ノ手續ヲ為スベシ

第四十二條　削除

第四十三條　組合ハ印鑑證明規則ニ依リ證明ヲ受ケタル組合員ノ印鑑ヲ備ヘ貸付ノ都度借主ノ印章ト照合スベシ

第四十四條　貸付金ノ利子ハ貸付ノ日ヨリ償還ノ日迄日割ニ依リ之ヲ計算スベシ手形ノ割引料ニ付亦同ジ

短期貸付及定期償還貸付ノ利子ハ數回ニ分割シテ之ヲ徵スベシ

第四十五條　貸付金及其ノ利子ニ對スル還延利息ハ貸付金ノ利子歩合ニ其ノ十分ノ三ヲ加ヘタル割合ヲ超エルコトヲ得ズ

第四十六條　組合員ハ償還期限前ト雖貸付金ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得

第五十八條　第五十六條ノ場合ニ於テハ組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ要セス

第五十七條　第五十六條ノ場合ニ於テハ組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ要セス

第五十六條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第五十五條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第五十四條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第五十三條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第五十二條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第五十一條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第五十條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第四十九條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第四十八條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第四十七條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第四十五條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第四十四條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第四十三條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第四十二條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第四十一條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第四十條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第三十九條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第三十八條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第三十七條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第三十六條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第三十五條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第三十四條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第三十三條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第三十二條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第三十一條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第三十條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第二十六條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第二十五條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第二十四條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第二十三條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第二十條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第十九條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第十八條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第十七條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第十六條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第十五條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第十四條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第十三條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第十二條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第十一條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第十條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第九條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第八條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第七條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第六條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第五條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第四條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第三條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第二條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

第一條　組合ハ預貯金ノ受入ヲ爲スコトヲ得

（第一號樣式）

毎月資産報告表

組合長

理事

昭和　年　月　日

何　金融組合

資産（貸方）				摘要	負債（貸方）			
金額		残高			残高		金額	
圓		圓		組合員勘定	圓		圓	
				出資金				
				拂込未濟出資金				
				非組合員定期預金				
				非組合員何預金				
				非組合員定期積金				
				身元保證金勘定				
				職員身元保證金				
				供託金勘定				
				供託金				
				貸出金勘定				
				（特別貸付金）				
				農事改良資金長期貸付金				
				何資金長期貸付金				
				農事改良資金短期貸付金				
				何資金短期貸付金				
				（普通貸付金）				
				長期擔保貸付金				
				長期無擔保貸付金				
				短期擔保貸付金				
				短期保證貸付金				
				擔保手形貸付金				
				無擔保手形貸付金				
				擔保當座貸越				
				保證當座貸越				
				（割引手形）				
				擔保附割引手形				
				無擔保割引手形				
				銀行及他組合勘定				
				政府下付非本金				
				法定準備金				
				何積立金				
				配當金				
				前年度繰越金				
				前年度損益				
				借入金勘定				
				（特別借入金）				
				無利子借入金				
				特別低利借入金				
				農事改良資金長期借入金				
				何資金長期借入金				
				農事改良資金短期借入金				
				何資金短期借入金				
				（普通借入金）				
				普通長期借入金				
				普通短期借入金				
				當座借越				
				預金及積金勘定				
				（組合員預金及定期積金）				
				定期預金				
				据置預金				
				貯蓄預金				
				當座預金				
				定期積金				
				（非組合員預金及定期積金）				
				媒介貨付金				
				取立金				
				振込金				
				預ケ金勘定				
				特別預ケ金				
				定期預ケ金				
				特別當座預ケ金				
				當座預ケ金				
				郵便貯金				
				振替貯金				
				聯合會勘定				
				聯合會出資金				
				聯合會拂込未濟出資金				
				損益整理勘定				
				給付補塡備金				
				据置預金其ノ他ノ未拂利息				
				預ケ金其ノ他ノ未收利息				
				未決算勘定				
				假受金				
				假拂金				
				損益勘定				
				收入利子				
				收入割引料				
				收入手數料				
				保管料				
				鑑定料				

（第二號樣式）

（甲）第何期末（昭和　年三月末日現在）財産目録

資　産

種類	摘要	金額
拂込未済出資金	組合員何名何口	圓
（特別貸付金）		（　）
農非改良資金長期貸付金	證書　何通	
何資金長期貸付金	同　何通	
農非改良資金短期貸付金	手證形書　何何通通　何何圓圓	
何資金短期貸付金	手證形書　何何通通　何何圓圓	
（準通貸付金）		（　）
長期擔保貸付金	證書　何通	
長期無擔保貸付金	同　何通	
短期擔保貸付金	同　何通	
短期保證貸付金	同　何通	
擔保手形貸付金	約束手形　約束手形	
無擔保手形貸付金	約束手形　約束手形	
擔保當座貸越	何口	
保證當座貸越	何口	
（割引手形）		（　）
擔保割引手形	約束手形　約束手形	
無擔保割引手形	何通　何通	
何銀行何口	何銀行何口	

負　債

種類	摘要	金額
特別低利借入金	同	
無利子借入金	聯合會	
（特別借入金）		（　）
配當當金	何口	
何積立金		
法定準備金		
政府下付基本金	何口	
出資金	組合員何名何口	圓
種類	摘要	金額
金銀勘定		
有價證券		
什器		
建物		
土地		
所有物勘定		
雜損		
所有物資產評損		
所有物資產評益		
雜收		
營業費		
營繕費		
修理費		
支拂手數料		
給料及手當		
旅費		
事務費		
交際費		
雜費		

（注意）本表ニ記載スヘキ事項ニシテ本表ニ記載スルコトヲ得サルモノハ之ヲ追加スルモノトス

| 總計 | 現金 | | |

（乙）

第何期末（前期）年三月末日現在貸借對照表

資産	金額	負債	金額
拂込未済出資金	円	出資金	円
特別貸付金		政府下付金	
普通貸付金		法定準備金	
割引手形		何積立金	
其他貸付金		配当金	
預ケ金		特別借入金	
聯合会出資金		普通借入金	
現金		取立金	
現金		取扱為替送金	
現金		出納為替拂込未済金	
有価証券		供託金	
土地、建物及什器		職員身元保證金	
假拂金		未拂込株金及組合員ノ出資ニ對スル拂込未済金	
未収金其ノ他ノ總ノ勘定		假受金	
繰延利息		繰延利息	
繰延費用		繰延費用	
本年度利益金		本年度利益金	
合計		合計	

注意　「損益預金其ノ他ノ未拂利息ノ外未經過割引料其ノ他ノ一料目ヲ除ク外未經過割引料等ノ未經過分ヲ以テ貸借對照表ニ載スヘキモノトス

總計		
（內前年度繰越金）	（　四　）	
本年度利益金		

（丙）

第何期（自昭和　年　月　日至同　年　月　日）

第一項　事務所及區域

事務所別	本所	何支所	何出張所
事務所ノ位置			
區域			
備考			

（注意）一　位置及區域ニ關シ變更アリタル場合ニ於テハ本表ノ記載ヲ省略ス

二　本表ハ本年度ニ於テ事務所ノ位置又ハ區域ニ關シ變更ノミ記載スヘシ

三　以上ノ支所ヲ有スル組合ハ「事務所別」欄ヲ設ケ各事務所ノ位置及區域ニ關シ變更アリタル場合ニ於テハ「事務所別」欄ヲ設ケ各事務所ニ關シ變更ヲ記載スヘシ

（イ）組合員ノ增減

個人タル組合員

地方別	現在員數	增加員數	減少員數	現在員數	世帶數	員ニ同一ノ世帶ニ屬スル組合員數
何面						
何面						
何面						
何面ノ內						
計						

（注意）地方別ハ村落組合ハ銀行ノ如ク、都市組合ハ町內ノ區分ニ依リ、又ハ郡市ノ區劃ニ依リ之ニ準ス

（ロ）

產業	本年度利益金	假受利息金	未拂込株金及組合員ノ出資金拂込未濟金	積立金	繰越高	增加高	減少高	未現在高
農業者								
商業者								
工業者								
水產業者								
其ノ他ノ者								
殖產契								
計								

（注意）農業者ニハ本年度間ニ於テ農業、林業、牧畜業、水產業者ヲ、商業者ニハ商業、漁業、製造業者ヲ、工業者ニハ工業、鑛業者ヲ、其ノ他ノ者ニハ第三項ニ掲ケサル業務ノ概況

二

本年度末現在組合員ノ職業ニ依ル區分

何面ノ內	何面	何面	何面	地方別	住所	同上員數	內ヲ組合ニ加入セル者ノ員數
				產業名			內ヲ組合ニ加入セル者ノ員數

一　貸出金ノ種類

種別	定期預金	通知預金	當座預金	貯蓄預金	積立預金	定期積金	計	種別	百圓以上 口數	百圓以上 金額	五十圓以上 口數	五十圓以上 金額	三十圓以上 口數	三十圓以上 金額	十圓以上 口數	十圓以上 金額	十圓未滿 口數	十圓未滿 金額
	圓									圓		圓		圓		圓		圓

二　各種預金本年度末現在高ノ預入主ト支拂者ノ職業ニ依ル區分

種別	職業別 農業者 口數	農業者 金額	商工業者 口數	商工業者 金額	水產業者 口數	水產業者 金額	其ノ他ノ者 口數	其ノ他ノ者 金額	法人 口數	法人 金額	計 口數	計 金額
		圓		圓		圓		圓		圓		圓

三　各種預金本年度末現在高ノ預金額ノ大小ニ依ル區分

種別	計	定期積金	貯蓄預金	積立預金	定期預金	種別	百圓以上 口數	百圓以上 金額	五十圓以上 口數	五十圓以上 金額	三十圓以上 口數	三十圓以上 金額	十圓以上 口數	十圓以上 金額	十圓未滿 口數	十圓未滿 金額
					圓			圓		圓		圓		圓		圓

一　預金及定期積金ノ增減

第十一項　組合員ノ預金及定期積金

種別	計	定期積金	當座預金	貯蓄預金	積立預金	定期預金	種別	本年度受入高 口數	本年度受入高 金額	本年度拂戻高 口數	本年度拂戻高 金額	前年度繰越高 口數	前年度繰越高 金額	本年度末現在高 口數	本年度末現在高 金額
						圓			圓		圓		圓		圓

二　各種預金及定期積金本年度末現在高ノ預ケ主及契約者ノ區分

（イ）

種別	計	定期積金	當座預金	貯蓄預金	積立預金	定期預金	種別	本年度受入高 口數	本年度受入高 金額	本年度拂戻高 口數	本年度拂戻高 金額	前年度繰越高 口數	前年度繰越高 金額	本年度末現在高 口數	本年度末現在高 金額
						圓			圓		圓		圓		圓

（ロ）

種別	計	定期積金	當座預金	貯蓄預金	積立預金	定期預金	種別	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
						圓			圓		圓		圓		圓

一　預金及定期積金ノ增減

第十二項　非組合員ノ預金及定期積金

種別	計	定期積金	當座預金	貯蓄預金	積立預金	定期預金	種別	本年度受入高 口數	本年度受入高 金額	本年度拂戻高 口數	本年度拂戻高 金額	前年度繰越高 口數	前年度繰越高 金額	本年度末現在高 口數	本年度末現在高 金額
						圓			圓		圓		圓		圓

二　各種預金及定期積金本年度末現在高ノ預ケ主及契約者ノ區分

（イ）

種別	計	定期積金	當座預金	貯蓄預金	積立預金	定期預金	種別	本年度受入高 口數	本年度受入高 金額	本年度拂戻高 口數	本年度拂戻高 金額	前年度繰越高 口數	前年度繰越高 金額	本年度末現在高 口數	本年度末現在高 金額
						圓			圓		圓		圓		圓

（ロ）

種別	計	定期積金	當座預金	貯蓄預金	積立預金	定期預金	種別	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
						圓			圓		圓		圓		圓

一　貸出金ノ增減

（注意）・供託有價證券ハ其ノ券面額ヲ記載スベシ

第十五項　貸出金

種別	計	供託有價證券	供託金	前年度繰越高 口數	前年度繰越高 金額	本年度受入高 口數	本年度受入高 金額	本年度拂戻高 口數	本年度拂戻高 金額	本年度末現在高 口數	本年度末現在高 金額
			圓		圓		圓		圓		圓

二　退職者ノ爲ノ供託ニ係ルモノハ其ノ代用有價證券ニ付テハ左欄ニ括弧ヲ附シ內訳ヲ記載スベシ

第十四項　供託

（注意）一　代用有價證券ニ付テハ其ノ代用ヲ爲シタル有價證券ノ種類ニ依リ區分スベシ

種別	計	代用有價證券	身元保證金	前年度繰越高 口數	前年度繰越高 金額	本年度受入高 口數	本年度受入高 金額	本年度拂出高 口數	本年度拂出高 金額	本年度末現在高 口數	本年度末現在高 金額
			圓		圓		圓		圓		圓

身元保證金及代用有價證券ノ受拂

第十三項　職員身元保證

（注意）一　同種ノ預金ニ非ノ他ノ系統ニ合マシムベシ

種別	計	當座預金	定期積金	貯蓄預金	積立預金	定期預金	種別	農業者 口數	農業者 金額	商工業者 口數	商工業者 金額	水產業者 口數	水產業者 金額	其ノ他ノ者 口數	其ノ他ノ者 金額	計 口數	計 金額
						圓			圓		圓		圓		圓		圓

（注意）一　貸出金ノ種類ニ依リ區分スベシ

二　各種貸出金本年度末現在高ノ期間ノ長短及擔保ノ有無ニ依リ括弧內ニ其ノ金額ヲ記載スベシ

種別	計	當座貸越	無擔保手形貸付	擔保手形貸付	割引手形	種別	擔保附 口數	擔保附 金額	無擔保 口數	無擔保 金額	擔保附 口數	擔保附 金額	無擔保 口數	無擔保 金額	擔保附 口數	擔保附 金額	無擔保 口數	無擔保 金額
							圓		圓		圓		圓		圓		圓	

四　普通貯金及割引手形本年度末現在高ノ貸出種別依ル區分

店舗數	商工業ノ充テ又ハ運轉資金ニ借	農業	勞務ニ支拂ヒタル賃金	農業用器具	肥料購入費	農業牛馬購入費	農地小作料	農業ノ爲ニ土地購入費	農業資金	貸出種別	長期貸付	手形貸付及割引手形	當座貸越	計
										口數				
										金額				
										口數				
										金額				
										口數				
										金額				
										口數				
										金額				

三　貸出金ノ本年度末現在高ノ借主及割引手形ノ種類別ニ依ル區分

計	何ノ向ニ貸出シタルカ不明ノ分	何レノ地方ニ貸出シタルカ	農業	商工業	水產業	其他ノ業種	擔保ノ種類	貸出種別	長期貸付	短期貸付	當座貸越	割引手形	計
								口數					
								金額					
								口數					
								金額					
								口數					
								金額					
								口數					
								金額					

五　各種貸出金本年度末現在高ノ貸出金額ノ大小ニ依ル區分

計	普通	特別	種別	千圓以上	百圓以上千圓未滿	五十圓以上百圓未滿	五十圓未滿	不一均口額當
			口數					
			金額					
			口數					
			金額					
			口數					
			金額					
			口數					
			金額					

六　各種擔保貸出金本年度末現在高ノ擔保種別ニ依ル區分

計	不動產	擔保種別	貸出種別	長期貸付	手形（短期ノ貸付及割引手形ヲ除ク）貸付	當座貸越	割引手形	計
			口數					
			金額					
			口數					
			金額					
			口數					
			金額					
			口數					
			金額					

（イ）擔保不動產內譯

| 何等ノ株式ナルカ | 何等ノ社債ナルカ | 國債 | 何公債ナルカ | 種別 | 數 | 高 | 計 | 、 | 、 | 、

三　本年度末現在代金取立受託手形内訳

| 計 | 銀行 | 何某銀行 | 何某銀行 | 何某

一　有價證券ノ增減　第二十四項　所有價證券

計	他流ノ込ニ因リ證券ノ	買入證券	取得區分	有價證券利息	配當ヲ受ケタル	保管有價證券ノ	保管料	貸付金利息	種別	金額
			株前年度						預金	
			株當年度高度						貸付金	
			株當年度末高度						借入金	
			株少年度高度						手形割引	
			株當年度末高度						當座借越	
			株前年度末高度						其他	

（注意）建物ノ數ハ第二十六棟數及延坪ヲ記載スベシ

三　本年度末現在ニ於ケル自己ノ土地建物

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）建物ノ數ハ第二十六棟數及延坪ヲ記載スベシ

四　本年度末現在ニ於ケル自己ノ土地建物ヲ除ク

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

五　本年度總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

六　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

七　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

八　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

九　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

十　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

十一　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

十二　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

十三　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

十四　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

十五　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

十六　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

十七　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

十八　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

十九　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

二十　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

二十一　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

二十二　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

二十三　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

二十四　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

二十五　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

二十六　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

二十七　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

二十八　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

二十九　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

三十　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

三十一　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

三十二　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

三十三　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

三十四　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

三十五　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

三十六　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

三十七　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

三十八　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

三十九　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

四十　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

四十一　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

四十二　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

四十三　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

四十四　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

四十五　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

四十六　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

四十七　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

四十八　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

四十九　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

五十　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

五十一　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

五十二　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

五十三　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

五十四　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

五十五　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

五十六　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

五十七　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

五十八　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

五十九　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

六十　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

六十一　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

六十二　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

六十三　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

六十四　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

六十五　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

六十六　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

六十七　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

六十八　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

六十九　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

七十　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

七十一　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

七十二　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

七十三　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

七十四　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

七十五　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

七十六　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

七十七　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

七十八　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

七十九　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

八十　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

八十一　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

八十二　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

八十三　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

八十四　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

八十五　本年度末現在ニ於ケル總損益金

計	、、、、	本店支店ノ	倉庫	土地	種別	數量	取得價格	計本年度末現在價額	備考

（注意）本年度總損益金ニ本所及支所ニ於ケル損益金ヲ併記スベシ

八十六　本年度末現在ニ於ケル總損益金

| 計 | 、、、、

第二條　理事及副理事ハ職務ノ内外ヲ問ハス廉恥ヲ重シ謹慎恩切ヲ旨トシ苟モ貪汚ノ所為アルヘカラス

第三條　理事及副理事ハ道知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ商業ヲ營ミ又ハ會社ノ役員トナル可カラス

第四條　理事及副理事ハ道知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ本職ノ外報酬又ハ給料ヲ受クヘキ事務ヲ行フコトヲ得ス

第五條　理事及副理事ハ道知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ擔ニ職務ヲ離レ又ハ職務上居住ノ地ヲ離ルルコトヲ得ス

第六條　理事及副理事ハ道知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ職務ニ關シ慰勞、謝儀其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルモ直接ト間接トヲ問ハス總テ他人ヨリ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス

第七條　理事及副理事ハ浪費シテ產ヲ破リ又ハ其ノ分ニ應セサル負債ヲ爲スヘカラス

第二章　懲戒

第八條　理事及副理事ノ懲戒ヲ受クヘキ場合左ノ如シ

一　職務上ノ職務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リタルトキ

二　職務ノ内外ヲ問ハス信用ヲ失フヘキ所爲アリタルトキ

第九條　懲戒ノ左ノ如シ

一　免職　情狀最モ重キモノ

二　減給　情狀重キモノ

三　譴責　情狀輕キモノ

第十條　減給ハ一月以上一年以下毎月給料三分ノ一以下ヲ減額スルモノトス

第十一條　減給及譴責ハ道知事之ヲ行フ但シハ譴責ニ相當スト認ムルトキハ朝鮮總督之ヲ行フ

第十二條　道知事理事及副理事ノ減給又ハ譴責ヲ行ハントスルトキハ其ノ道ヲ業務區域トスル朝鮮金融組合聯合會ノ支部ノ長タル理事ノ意見ヲ徵スヘシ

第十三條　道知事ハ理事及副理事ノ免職ニ當ルヘキ所爲アリト認ムルトキハ其ノ理由ヲ具シ朝鮮總督ニ内申スヘシ

第十四條　道知事ハ職務ノ内外ヲ問ハス廉恥ヲ重シ謹慎恩切ヲ旨トシ苟モ貪汚ノ所爲アルヘカラス

第十五條　懲戒ハ辭令書ヲ作リ本人ニ送達スヘシ

●金融組合理事及副理事身元保證金規程

昭和二年一月
總訓第二號
改正　昭和四年五月一七號、七年一二號六七號、八年八號三五號

第一條　金融組合理事及副理事ノ身元保證金ハ金融組合理事及副理事ノ身元保證金規程左ノ通定ム

金融組合理事及副理事身元保證金規程

第一條　金融組合ノ理事及副理事ハ其ノ給料ノ五年分ニ相當スル金額ヲ身元保證金トシテ組合ニ提供スヘシ但シ國債證券又ハ地方債證券ヲ以テ現金ニ代フルコトヲ得其ノ代用價格ハ道知事ノ定ムル所ニ依ル

前項ノ證券カ記名ノモノナルトキハ其ノ記名者ノ委任狀ヲ添附スルコトヲ要ス

第二條　理事又ハ副理事身元保證金ヲ一時ニ提供シ得サル事情アルトキハ毎月ノ給料及在勤手當ノ百分ノ二十以上、賞與金ノ百分ノ四十以上ノ割合ニ依リ定額ニ達スル迄分割シテ之ヲ提供スルコトヲ得

第三條　身元保證金ノ提供定額ニ滿タサル理事又ハ副理事ハ身元引受證書ヲ組合ニ差入ルヘシ

前項ノ身元引受證書ニハ資產信用確實ナル者二人以上チシテ保證セシムルコトヲ要ス

他ノ組合又ハ朝鮮金融組合聯合會ニ提供シ居レル定額ニ達スル身元保證金ノ拂戻ヲ受ケントスル者ニ付テハ其ノ道ヲ業務區域トスル朝鮮金融組合聯合會ノ支部ノ長タル理事ノ意見ヲ徵スヘシ

第四條　提供ヲ受ケタル身元保證金證券ナルトキハ組合ハ之ヲ朝鮮金融組合聯合會ニ預託スヘシ

第五條　身元保證金ハ理事又ハ副理事ノ故意又ハ過失ニ因リ組合ニ於テ損害ヲ受ケタルトキ之カ辨償ニ充當スヘシ

前項ノ場合ニ於テ身元保證金ヲ充當シ尙不足ヲ生シタルトキハ本人又ハ身元保證人ヨリ其ノ不足額ヲ徵收スヘシ但シ身元保證人ノ賠償責任ハ本人ノ辨償シタル金額ヲ通算シ第一條ニ定ムル保證金ノ定額ヲ限度トス

第六條　理事又ハ副理事ハ在職中身元保證金ヲ擔保ノ目的ニ供シ又ハ之カ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ス

第七條　身元保證金及身元引受證書ハ理事又ハ副理事退職又ハ死亡ノ後六月以上ヲ經過スルニ非サレハ之ヲ還附スルコトヲ得ス但シ組合ニ於テ道知事ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　身元保證金ニ對シテハ組合ニ於テ毎年二月及八月利息ヲ計算シ支拂フヘシ

身元保證金ノ提供定額ニ達セサル理事又ハ副理事ニ支拂フヘキ利息ハ之ヲ保證金ニ組入ルルコトヲ要ス身元保證金證券ナルトキ其ノ利息ニ付亦同シ

第九條　組合ハ毎年六月及十二月末日現在ヲ以テ各翌月十日迄ニ理事及副理事ノ身元保證金提供狀況ヲ道知事ニ届出ツヘシ

附　則

本令施行ノ際現ニ提供セル身元保證金從前ノ規定ニ依ル定額ニ達スル場合ニ在リテハ第三條第一項ノ規定ニ依ル身元引受證書ヲ差入ルルコトヲ要セス

●金融組合員ノ負債整理ニ關スル件

昭和七年十一月
總令第百十一號
改正　昭和一〇年一二第一四七號

金融組合員ノ負債數整ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　金融組合員カ組合以外ノ者ヨリ負債ノ整理ノ爲左ノ方法ニ依ル資金ノ融通ヲ爲スコトヲ得

一　一組合員一千圓ヲ限度トシ十五年以内ノ年賦償還又ハ年以内ノ月賦償還ノ方法ニ依ル不動產ヲ擔保トスル貸付

二　一組合員二百圓ヲ限度トシ五年以内ノ年賦償還又ハ月賦償還ノ方法ニ依ル貸付

前項第二號ノ場合ニ於テハ確實ナル保證人ヲ立テシムヘシ

第二條　組合カ前條ノ規定ニ依リ融通ヲ爲スニハ金融組合業務監督規程第二十九條ニ規定スル貸出金總額ノ制限ノ計算上之ヲ算入セズ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年十二月總令第百四十七號）

本令ハ昭和十年十二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮金融組合聯合會令

昭和八年八月
制令第七號

朝鮮金融組合聯合會令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮金融組合聯合會令

第一條　朝鮮金融組合聯合會（以下單ニ聯合會ト稱ス）ハ會員ニ對シ資金ヲ供給シ、業務上ノ指導ヲ爲シ其ノ他會員共同ノ利益ノ增進ヲ圖ルヲ目的トスル法人トシ其ノ主タル事務所ヲ京城府ニ置ク

第二條　聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ從タル事務所ヲ置クコトヲ得

第三條　聯合會ノ會員ハ金融組合トス

聯合會ハ前項ノ外朝鮮總督ノ指定シタル產業ニ關スル法人ヲ其ノ會員トスルコトヲ得

第四條　會員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ

出資一口ノ金額ハ五百圓トス

第五條　會員ノ責任ハ其ノ出資額ヲ限度トス

第六條　聯合會ニ會長一人、理事十三人以上及監事二人以上ヲ置ク

會長ハ聯合會ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理シ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外總會ノ議長トシテ提出セシムルコトヲ得

第十五條　聯合會ハ左ノ業務ヲ行フモノトス

一　會員ニ必要ナル資金ノ貸付ヲ爲スコト

二　會員ニ對シ手形ノ割引ヲ爲スコト

三　會員ノ爲ニ爲替業務ヲ爲スコト

四　會員ヨリ預リ金ヲ爲スコト

五　會員ニ對シ業務上ノ指導ヲ爲スコト

六　會員相互ノ聯絡及業務上ノ便宜ヲ圖ルコト

七　會員ノ職員ノ敎養其ノ他會員ノ共同ノ利益ヲ增進スル爲必要ナル業務ヲ爲スコト

聯合會ハ貯蓄銀行、信託會社又ハ公共團體其ノ他普利ヲ目的トセザル法人ヨリ預リ金ヲ爲スコトヲ得

第十六條　聯合會ハ本合ニ記載セザル業務ヲ行フコトヲ得ズ

朝鮮總督ハ必要ト認ムルトキハ聯合會ノ業務ヲ制限スルコトヲ得

第十七條　聯合會ハ左ノ方法ニ依ル外業務上ノ餘裕金ヲ使用スルコトヲ得ズ

一　朝鮮總督ノ指定シタル銀行ヘノ預金又ハ郵便貯金ト爲スコト

二　國債證券、地方債證券又ハ朝鮮總督ノ認可シタル有價證券ノ買入ヲ爲スコト

三　公共團體其ノ他普利ヲ目的トセザル法人ノ一時借入ニ對シ貸付ヲ爲スコト

第十八條　聯合會ハ會員ノ業務及財產ノ狀況ヲ調查スルコトヲ得

第十九條　聯合會ハ拂込出資金額ノ十五倍ヲ限リ朝鮮金融債券ヲ發行スルコトヲ得但シ貸付金現在高及割引手形現在高ヲ超過スルコトヲ得ズ

朝鮮金融債券ノ發行ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二十條　朝鮮金融債券ハ券面金額十圓以上トシ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名トスルコトヲ得

第二十一條　聯合會ハ朝鮮金融債券借換ノ爲一時第十九條ノ制限ニ依ラズ朝鮮金融債券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ朝鮮金融債券ヲ發行シタルトキハ第三十三條若ハ第七十五條第二項ノ規定ニ準ス

第二十二條　聯合會ハ朝鮮金融債券ノ發行ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二十三條　朝鮮金融債券ノ消滅時效ハ元金ニ在リテハ十五年、利子ニ在リテハ五年ヲ以テ完成ス

第二十四條　朝鮮金融債券ノ構造ニ關シテハ朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル通貨及證券模造取締法ヲ準用ス

第二十五條　會員ハ其ノ解散ニ因リ脫退ス會員除名セラレタルトキ亦同シ

第二十六條　定款ノ變更ハ總議員ノ半數以上出席シタル總會ノ決議ヲ經朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレハ其ノ效力ヲ生セズ

第二十七條　聯合會ハ朝鮮總督之ヲ監督ス

第二十八條　朝鮮總督ハ聯合會ニ對シ監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第二十九條　聯合會ガ本令、本令ニ基キテ發スル處分若ハ定款ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スル虞アルトキハ朝鮮總督ハ總會ノ決議ヲ取消シ、會長若ハ理事ヲ解任シ又ハ監事ノ改選ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ朝鮮總督ハ聯合會ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第三十條　朝鮮總督ハ朝鮮金融組合聯合會監理官ヲシテ聯合會ノ業務ヲ監視セシム

第三十一條　朝鮮金融組合聯合會監理官ハ何時ニテモ聯合會ノ金庫、帳簿及諸般ノ文書物件ヲ檢查スルコトヲ得

朝鮮金融組合聯合會監理官ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ聯合會ニ命ジテ業務上ノ報告ヲ爲サシメ又ハ出張シテ檢查スルコトヲ得

朝鮮金融組合聯合會監理官ハ總會其ノ他ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第三十二條　朝鮮總督ハ其ノ定ムル所ニ依リ本令ニ定ムル其ノ職權ノ一部ヲ道知事ニ委任シ又ハ專決ノ範圍ヲ定メ道知事ニ於テ之ヲ專決セシムルコトヲ得

第三十三條　登記所ニ朝鮮金融組合聯合會登記ヲ囑託スルニハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第三十四條　金融組合第三條、第十一條ノ三、第十六條、第二十條乃至第二十二條、第二十五條、第二十八條、第二十九條第一項第三項、第二十七條、第二十八條、第三十條、第三十一條乃至第三十三條、第三十四條第二項、第三十七條、第三十八條、第四十一條乃至第四十三條、第四十五條ノ三乃至第四十七條、第四十九條、第四十九條ノ二、第五十一條乃至第五十三條、第五十六條、第五十七條、第五十九條乃至第六十一條、第六十八條、第七十一條、第七十五條乃至第八十六條、第八十九條、第九十一條乃至第九十三條（非訟事件手續法第百四十一條ノ規定ノ準用ヲ除ク）ノ規定ハ聯合會ニ付之ヲ準用ス但シ同令第四十六條、第四十七條及第七十五條中組合長及理事トアルハ會長、同令第三十條、第三十七條第二項及第四十七條中道知事トアルハ朝鮮總督トス

第三十五條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ノ會長、理事、監事又ハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一　朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘキ事項ニ付其ノ認可ヲ受ケサルトキ

二　登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

三　官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

四　第十一條第一項、第十二條第二項第三項、第十六條第一項、第十七條、第十九條、第二十一條第二項ノ規定又ハ第三十四條ニ於テ準用スル金融組合令第二十一條、第二十二條若ハ第七十五條第二項ノ規定ニ違反シタルトキ

五　第三十四條ニ於テ準用スル金融組合令第四十六條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ同項ニ掲ゲル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セズ、不正ノ記載ヲ爲シ若ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ閱覽セシメザルトキ

六　第三十四條ニ於テ準用スル金融組合令第四十七條又ハ第八十四條第二項ニ規定

前項ノ申請書ニハ金融組合聯合會ノ裁可ノ謄本又ハ抄本ヲ添附スベシ

第四條　聯合會監事ヲ選任シタルトキハ遲滯ナク其ノ住所及氏名ヲ具シ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五條　監事ハ總會ノ決議ニ依リ非ザレバ報酬ヲ受クコトヲ得ズ

第六條　聯合會ハ新ニ出資口數ヲ增加スル會員ヨリ增口金ヲ徵スルコトヲ得ズ

第七條　聯合會ノ業務時間ハ四月一日ヨリ十一月三十日迄ハ午前九時ヨリ午後四時迄、十二月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ハ午前十時ヨリ午後四時迄トス但シ土曜日ニ限リ午後一時迄之ヲ短縮スルコトヲ得

聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前項ノ時間ヲ變更スルコトヲ得

第八條　聯合會ノ各事務所ノ業務ハ一月一日、一月二日、五月三十日、十月一日、祭日、祝日及日曜日竝ニ各事務所ノ所在地ニ於ケル定例ノ休日ニ之ヲ休止ス

前項ノ外聯合會ハ休業ノ必要アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケシ但シ從タル事務所ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ノ認可ヲ受クベシ

第九條　聯合會ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十條　聯合會ハ毎事業年度ニ於ケル業務上ノ計畫ヲ定メ年度始迄ニ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第十一條　聯合會ハ毎事業年度ノ豫算ヲ定メ年度始迄ニ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ豫算ヲ追加更正セントスルトキ亦同ジ

第十二條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一　業務、給與、服務、身元保證、懲戒其ノ他ノ事項ニ關スル諸規則ヲ制定シ又ハ變更セントスルトキ

二　預リ金及貸付金ノ利子步合、手形ノ割引步合又ハ手數料ノ割合ヲ定メ又ハ變更セントスルトキ

三　資金ノ借入ヲ爲サントスルトキ

第四條　聯合會ハ承繼シタル不動產ニ付テハ登記簿ニ於ケル各金融組合聯合會ノ名義ヲ聯合會ノ名義ニ變更シタル旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五條　會長及理事ノ給料及手當ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

監事ハ總會ノ決議ニ依リ非ザレバ報酬ヲ受クコトヲ得ズ

第六條　聯合會ハ新ニ出資口數ヲ增加スル會員ヨリ增口金ヲ徵スルコトヲ得ズ

第七條　聯合會ノ業務時間ハ四月一日ヨリ十一月三十日迄ハ午前九時ヨリ午後四時迄、十二月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ハ午前十時ヨリ午後四時迄トス但シ土曜日ニ限リ午後一時迄之ヲ短縮スルコトヲ得

聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前項ノ時間ヲ變更スルコトヲ得

第八條　聯合會ノ各事務所ノ業務ハ一月一日、一月二日、五月三十日、十月一日、祭日、祝日及日曜日竝ニ各事務所ノ所在地ニ於ケル定例ノ休日ニ之ヲ休止ス

前項ノ外聯合會ハ休業ノ必要アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケシ但シ從タル事務所ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ノ認可ヲ受クベシ

第九條　聯合會ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十條　聯合會ハ毎事業年度ニ於ケル業務上ノ計畫ヲ定メ年度始迄ニ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第十一條　聯合會ハ毎事業年度ノ豫算ヲ定メ年度始迄ニ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ豫算ヲ追加更正セントスルトキ亦同ジ

第十二條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一　業務、給與、服務、身元保證、懲戒其ノ他ノ事項ニ關スル諸規則ヲ制定シ又ハ變更セントスルトキ

二　預リ金及貸付金ノ利子步合、手形ノ割引步合又ハ手數料ノ割合ヲ定メ又ハ變更セントスルトキ

三　資金ノ借入ヲ爲サントスルトキ

●朝鮮金融組合聯合會令施行規則

昭和八年八月
總令第八十三號

朝鮮金融組合聯合會令施行規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮金融組合聯合會（以下單ニ聯合會ト稱ス）ガ從タル事務所ヲ設置セントスルトキハ認可申請書ニ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　名稱
二　所在地
三　業務區域

聯合會ガ從タル事務所ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第二條　聯合會ノ從タル事務所ニハ支部ナル名稱ヲ用フベシ

第三條　聯合會ハ朝鮮金融組合聯合會令第三條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル產業ニ關スル法人ヲ其ノ會員トスルトキハ其ノ法人ニ付左ノ事項ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　名稱
二　主タル事務所ノ所在地
三　代表者ノ氏名

前項ニ揭グル事項ニ變更アリタルトキハ聯合會ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第一項ノ法人ガ脫退ノ申込ヲ爲シタルトキハ聯合會ハ同項ニ揭グル事項ノ外其ノ法人ノ脫退申込當時ニ於ケル財產ノ狀況及聯合會ニ對スル債權債務ノ整理方法ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

前三項ノ届出ヲ爲シタルトキハ聯合會ハ遲滯ナク當該會員ノ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ニ其ノ副本ヲ提出スベシ

第四條　聯合會監事ヲ選任シタルトキハ遲滯ナク其ノ住所及氏名ヲ具シ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五條　監事ハ總會ノ決議ニ依リ非ザレバ報酬ヲ受クコトヲ得ズ

第六條　聯合會ハ新ニ出資口數ヲ增加スル會員ヨリ增口金ヲ徵スルコトヲ得ズ

第七條　聯合會ノ業務時間ハ四月一日ヨリ十一月三十日迄ハ午前九時ヨリ午後四時迄、十二月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ハ午前十時ヨリ午後四時迄トス但シ土曜日ニ限リ午後一時迄之ヲ短縮スルコトヲ得

聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前項ノ時間ヲ變更スルコトヲ得

第八條　聯合會ノ各事務所ノ業務ハ一月一日、一月二日、五月三十日、十月一日、祭日、祝日及日曜日竝ニ各事務所ノ所在地ニ於ケル定例ノ休日ニ之ヲ休止ス

前項ノ外聯合會ハ休業ノ必要アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケシ但シ從タル事務所ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ノ認可ヲ受クベシ

第九條　聯合會ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十條　聯合會ハ毎事業年度ニ於ケル業務上ノ計畫ヲ定メ年度始迄ニ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第十一條　聯合會ハ毎事業年度ノ豫算ヲ定メ年度始迄ニ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ豫算ヲ追加更正セントスルトキ亦同ジ

第十二條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一　業務、給與、服務、身元保證、懲戒其ノ他ノ事項ニ關スル諸規則ヲ制定シ又ハ變更セントスルトキ

二　預リ金及貸付金ノ利子步合、手形ノ割引步合又ハ手數料ノ割合ヲ定メ又ハ變更セントスルトキ

三　資金ノ借入ヲ爲サントスルトキ

●朝鮮金融組合聯合會令第三條ノ規定ニ依ル產業ニ關スル法人指定

昭和八年八月
總告第四百九號

朝鮮金融組合聯合會令第三條ノ規定ニ依ル產業ニ關スル法人ヲ左ノ通指定ス

一　朝鮮產業組合及水產組合

二　各金融債券ニ付拂込ミタル金額

四　法定準備金以外ノ積立金ヲ損失ノ補塡以外ノ用途ニ使用セントスルトキ

第十三條　聯合會ノ會員ニ對スル資金ノ貸付ノ期間ハ五年ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ金融組合聯合會令第三條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル產業ニ關スル法人ノ事業執行上必要ナル設備ニ要スル資金ハ二十年ノ年賦償還ヲ方法ニ依リ貸付ヲ爲スコトヲ得

第十四條　聯合會ハ預リ金ノ拂戻準備金トシテ預金總額ノ十分ノ一以上ヲ備ヘ置クベシ

前項ノ拂戻準備金ハ現金、國債證券、地方債證券若ハ朝鮮金融組合聯合會令第十七條第二號ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ認可シタル有價證券ニテ之ヲ保有シ又ハ同條第一號ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル銀行ニ預入シ若ハ郵便貯金トシ爲スベシ

第十五條　聯合會ガ會員ニ就キ業務又ハ財產ノ狀況ノ調查指導ヲ爲シタルトキハ其ノ要領ヲ一月内ニ朝鮮總督及當該會員ノ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ニ届出ヅベシ

第十六條　金融組合令第六十七條第一項ニ規定スル場合其ノ他會員ノ財產ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ關シ重大ナル不整アリト認メタル場合ニ於テハ聯合會ハ直ニ其ノ狀況ヲ朝鮮總督及當該會員ノ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ニ具申スベシ

第十七條　朝鮮金融組合聯合會令第十七條第二號ノ認可ヲ受ケントスルトキハ認可申請書ニ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　發行者及其ノ住所
二　種類、擔保ノ有無及利率又ハ最近ニ於ケル配當率
三　取引所ニ於ケル最近ノ相場其ノ他實價ヲ知ルニ足ル事實

第十八條　聯合會ノ損失ノ補塡ハ先ツ法定準備金以外ノ積立金ヲ以テシ次ニ法定準備金ヲ以テスベシ

第十九條　聯合會ガ其ノ脫退シタル會員ニ對シ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲サザルトキハ其ノ金額ハ之ヲ法定準備金ニ組入ルベシ

第二十條　聯合會ハ每月業務ノ狀況ヲ翌月十五日迄ニ朝鮮總督ニ報告スベシ

金融債券發行ノ最低價額ヲ定メタル場合ニ於テハ應募者ハ朝鮮金融債券申込證ニ應募價額ヲ記載スベシ

第二十一條　聯合會ガ總會、協議會、講習會其ノ他ノ集會ヲ開催セントスルトキハ豫メ前項ノ集會ヲ開催シタルトキハ聯合會ハ其ノ狀況ヲ選滯ナク朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六條　金融債券ノ應募總額ガ朝鮮金融債券申込證ニ記載シタル金融債券ノ總額ニ達セザルトキト雖モ金融債券ノ發行ヲ成立セシムル旨ヲ朝鮮金融債券申込證ニ記載シタルトキハ其ノ應募總額ヲ以テ金融債券ノ總額トス

第七條　金融債券ノ募集ガ完了シタルトキハ聯合會ハ遲滯ナク各金融債券ニ付其ノ全額又ハ第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

第八條　金融債券募集ノ委託ヲ受ケタル者ハ自己ノ名ヲ以テ朝鮮金融組合聯合會ノ爲ニ第四條第二項及前條ニ定ムル行爲ヲ爲スコトヲ得

第九條　金融債券ノ發出ヲ爲サントスルトキハ會長ハ左ニ揭グル事項ヲ公告スベシ

一　發行ノ價額
二　金融債券發行ノ價額
三　第二條第一號乃至第五號及第八號乃至第十號ニ揭グル事項

四　第十號ニ規定スル事項

第十條　發出期間内ニ資上ゲタル金融債券ノ總額ガ前條ノ規定ニ依リ公告シタル金融債券ノ總額ニ達セザルトキハ其ノ資上總額ヲ以テ金融債券ノ總額トス

第十一條　第七條ノ拂込アリタルトキ又ハ發出期間滿了シタルトキハ左ニ揭グル事項ヲ登記スベキモノトス

一　第二條第二號乃至第五號ニ揭グル事項
二　各金融債券ニ付拂込ミタル金額

金融債券ノ數及住所ヲ記載ヅノ二署名又ハ記名捺印スベシ

朝鮮金融債券申込證ハ朝鮮金融組合聯合會ノ會長（以下單ニ會長ト稱ス）之ヲ作リ第二條ニ揭グル事項ヲ之ニ記載スベシ

金融債券發行ノ最低價額ヲ定メタル場合ニ於テハ應募者ハ朝鮮金融債券申込證ニ應募價額ヲ記載スベシ

第五條　前條ノ規定ハ契約ニ依リ金融債券ノ總額ヲ引受クル場合ニハ之ヲ適用セズ金融債券募集ノ委託ヲ受ケタル者ガ自ラ金融債券ノ一部ヲ引受クル場合ニ於テ其ノ一部ニ付亦同ジ

第六條　金融債券ノ應募總額ガ朝鮮金融債券申込證ニ記載シタル金融債券ノ總額ニ達セザルトキト雖モ金融債券ノ發行ヲ成立セシムル旨ヲ朝鮮金融債券申込證ニ記載シタルトキハ其ノ應募總額ヲ以テ金融債券ノ總額トス

第七條　金融債券ノ募集ガ完了シタルトキハ聯合會ハ遲滯ナク各金融債券ニ付其ノ全額又ハ第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

第八條　金融債券募集ノ委託ヲ受ケタル者ハ自己ノ名ヲ以テ朝鮮金融組合聯合會ノ爲ニ第四條第二項及前條ニ定ムル行爲ヲ爲スコトヲ得

第九條　金融債券ノ發出ヲ爲サントスルトキハ會長ハ左ニ揭グル事項ヲ公告スベシ

一　發行ノ價額
二　金融債券發行ノ價額
三　第二條第一號乃至第五號及第八號乃至第十號ニ揭グル事項
四　第十號ニ規定スル事項

第十條　發出期間内ニ資上ゲタル金融債券ノ總額ガ前條ノ規定ニ依リ公告シタル金融債券ノ總額ニ達セザルトキハ其ノ資上總額ヲ以テ金融債券ノ總額トス

第十一條　第七條ノ拂込アリタルトキ又ハ發出期間滿了シタルトキハ左ニ揭グル事項ヲ登記スベキモノトス

一　第二條第二號乃至第五號ニ揭グル事項
二　各金融債券ニ付拂込ミタル金額

●朝鮮金融組合聯合會令第十七條ノ規定ニ依ル指定銀行

昭和八年八月
總告第四百九號

朝鮮金融組合聯合會令第十七條ノ規定ニ依ル指定銀行左ノ通定ム

一　朝鮮銀行
一　株式會社朝鮮殖產銀行

●朝鮮金融債券規則

昭和八年八月
總令第八十四號

朝鮮金融債券規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮金融組合聯合會ノ朝鮮金融債券（以下單ニ金融債券ト稱ス）ノ發行ハ募集又ハ資出ノ方法ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

第二條　朝鮮金融組合聯合會ガ金融債券ヲ發行セントスルトキハ認可申請書ニ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　金融債券ノ總額
二　各金融債券ノ金額
三　金融債券ノ利率
四　金融債券償還ノ方法及期限
五　數回ニ分チテ金融債券ノ拂込ヲ爲サシムルトキハ其ノ拂込ノ金額及時期
六　金融債券發行ノ價額又ハ其ノ最低價額
七　金融債券ノ募集ヲ委託スル者アルトキハ其ノ者ノ住所及氏名又ハ名稱
八　朝鮮金融組合聯合會ノ拂込ミタル出資總額
九　最終ノ貸借對照表ニ依リ朝鮮金融組合聯合會ニ現存スル財產ノ額
十　前ニ金融債券ヲ發行シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘザル總額

第三條　朝鮮金融組合聯合會ハ前ニ募集シタル金融債券ノ總額ノ拂込前ト雖モ更ニ金融債券ヲ發行スルコトヲ得

第四條　金融債券ノ募集ニ應セントスル者ハ朝鮮金融債券申込證二通ニ其ノ引受ケベキ

二　金融債券發行ノ年月日
三　第二條第二號乃至第六號ニ掲グル事項
四　各金融債券ニ付拂込ミタル金額及拂込ノ年月日
金融債券ヲ記名トスルトキハ前項ニ掲グル事項ノ外權利者ノ氏名、住所及取得ノ年月日ヲ朝鮮金融債券原簿ニ記載スベシ
第十八條　金融債券ノ權利者ニ償還スベキ金額ガ券面額ニ超ユベキコトヲ定メタルトキハ其ノ金額ハ各金融債券ニ付同一ニ定メ且券面ニ之ヲ記載スベシ
第十九條　金融債券ノ應募者ニ對スル通知又ハ催告ハ朝鮮金融債券申込證ニ記載シタル其ノ者ノ住所ニ、其ノ者ガ別ニ其ノ住所ヲ朝鮮金融組合聯合會ニ通知シタルトキハ其ノ住所ニ宛ツルヲ以テ足ル
前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スベカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス
附　則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和九年水害復舊資金ノ融通ニ關スル件

昭和九年十二月
總令第百二十號

昭和九年水害復舊資金ノ融通ニ關スル件左ノ通定ム
第一條　忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尙北道及慶尙南道ニ於ケル金融組合ガ昭和九年ノ水害ニ因ル被害者ニ對シ其ノ損害ノ復舊ノ爲ニ貸付ヲ爲ス場合ニ限リ貸付ノ總額ハ金融組合業務監督規程第二十九條第二項但書ノ規定ニ拘ラズ三千圓迄ト爲シ千圓ヲ超エル額ニ付テハ不動産ヲ擔保トスル貸付ナルコトヲ要ス
第二條　組合ガ前條ノ規定ニ依リ貸付ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本令施行ノ日ヨリ二年トス
附　則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和六年六月
制令第七號
（昭和二年五月六號）
（改正　昭和二年五月六號）

朝鮮無盡業令

朝鮮無盡業令改正ノ件ヲ明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス
朝鮮無盡業令左ノ通改正ス

第一條　本令ニ於テ無盡ト稱スルハ一定ノ口數ト給付金額トヲ定メ定期ニ掛金ヲ拂込マシメ一口毎ニ抽籤、入札其ノ他類似ノ方法ニ依リ掛金者ニ對シ金錢ノ給付ヲ爲スヲ謂フ無盡類似ノ方法ニ依リ金錢、有價證券其ノ他ノ財産ノ給付ヲ爲スモノ亦同シ但シ賭博又ハ富籤ニ類似スルモノハ此ノ限ニ在ラズ
第二條　無盡ハ營業トシテ之ヲ爲ストキハ之ヲ商行爲トス
第三條　無盡業ハ朝鮮總督ノ免許ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ營ムコトヲ得ズ
前項ノ免許ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ定款、事業方法ヲ記載シタル書面及無盡契約約款ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ
第四條　無盡業ハ資本金十萬圓以上ノ株式會社ニ非ザレバ之ヲ營ムコトヲ得ズ
第五條　無盡會社ガ第三條ノ免許ヲ日ヨリ六月內ニ營業ヲ開始セザルトキハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ
朝鮮總督ハ正當ノ事由アリト認ムルトキハ申請ニ因リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得
第六條　無盡會社ハ其ノ商號中ニ無盡ナル文字ヲ用フベシ
無盡會社ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ無盡業者タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ
第七條　無盡會社ノ營業區域ハ道ノ區域內ニ於テ之ヲ定ムベシ但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ營業區域ノ定款中ニ之ヲ記載スベシ
第八條　無盡會社ハ無盡ノ缺口又ハ掛金ノ拂込ヲ爲サザル者アル場合ト雖モ第一回ノ抽籤、入札其ノ他類似ノ方法ヲ行ヒタル後ハ掛金者ノ不利益ニ給付ヲ變更シ又ハ掛金額ヲ增加スルコトヲ得ズ
第九條　無盡會社ハ未拂無盡給付金ノ總額ヲ現金、銀行若ハ金融組合ヘノ預ケ金、信託會社ヘノ金錢信託又ハ郵便貯金ニテ保有スルコトヲ要ス但シ掛金者ガ給付ヲ受クルコトヲ留保シタル金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
第十條　無盡會社ハ左ノ方法ニ依ル外其ノ營業上ノ資金ヲ運用スルコトヲ得ズ
一　國債、地方債、社債又ハ株式ノ買入
二　國債其ノ他前號ニ揭グル有價證券又ハ不動產ヲ擔保トスル貸付
三　掛金者ニ對シ既ニ拂込ミタル金額ヲ限度トスル貸付
四　掛金者ニ對シ既ニ拂込ミタル金額ヲ超過シ約約給付金額ヲ限度トスル貸付
五　銀行若ハ金融組合ベノ預ケ金、信託會社ヘノ金錢信託又ハ郵便貯金
前項ニ規定スル社債及株式ニ付テハ其ノ種類ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ
第一項第二號ノ規定ニ依ル一人ニ對スル貸付金額ハ拂込資本金及準備金ノ十分ノ一ヲ超エズ且一萬圓ヲ超エザルコトヲ要ス
第一項第四號ノ規定ニ依ル貸付金總額ハ拂込資本金及準備金ノ總額ヲ超エルコトヲ得ズ
第十一條　無盡會社ハ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ヲ配當セズ毎ニ準備金トシテ其ノ利益ノ十分ノ二以上ヲ積立ツベシ
第十二條　無盡會社ノ營業年度ハ一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄トス
第十三條　無盡會社ハ營業年度毎ニ營業報告書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ
第十四條　無盡會社ハ營業年度毎ニ朝鮮總督ノ定ムル樣式ニ依リ貸借對照表ヲ作成シ新聞紙ニ依リ之ヲ公告スベシ
第十五條　無盡會社ハ何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ自己ノ計算ニ於テ其ノ經營スル無盡會社ニ加入スルコトヲ得ズ
第十六條　無盡會社ノ營業區域內ニ於テ開業シ又ハ營業區域ヲ變更シ若ハ營業ヲ廢止セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ
朝鮮總督ハ正當ノ事由アリト認ムルトキハ前項ノ認可ヲ與フベシ
第十七條　無盡會社ハ營業ヲ休止シ又ハ解散セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ
第十八條　無盡會社ノ合併ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
第十九條　無盡會社ノ合併ニ於テ存續スル會社又ハ合併ニ因リ設立スル會社ガ合併ニ因リ消滅スル會社ノ債務ヲ承繼スル場合ニ於テ其ノ債務ヲ完濟スルニ至ル迄消滅スル會社ノ掛金者ニ對スル其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
第二十條　無盡會社ガ其ノ目的ヲ變更シ他ノ業務ヲ營ム會社トシテ存續スル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ其ノ會社ガ掛金者ニ對スル債務ヲ完濟スルニ至ル迄消滅スル會社ノ掛金者ニ對シ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
第二十一條　無盡會社ガ其ノ目的ヲ變更シ又ハ營業ヲ廢止スル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ其ノ會社ガ掛金者ニ對スル債務ヲ完濟スルニ至ル迄其ノ會社ガ無盡會社ノ掛金者ニ對スル債務ヲ承繼シタル場合ト同ジ
第二十二條　第二十條及第二十一條ノ規定ハ前項ノ場合之ヲ準用ス
第二十三條　無盡會社ガ營業ノ免許ヲ取消サレタルトキハ之ニ因リテ解散
第二十四條　無盡會社ガ營業ノ免許ヲ取消サレタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
一　第七條第一項ノ規定ニ依リ定メタル營業區域外ニ於テ營業ヲ爲シタルトキ
二　第八條乃至第十一條、第十三條乃至第十五條、第十七條又ハ第十九條ノ規定ニ違反シタルトキ
三　第二十條又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ書類帳簿ヲ提出セザルトキ
四　第二十二條、第二十三條、第二十六條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ取締役、監査役又ハ支配人ヲ解任スベキ旨ノ命令ヲ爲シタルトキ
第二十五條　無盡會社ガ解散ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督ハ其ノ管理人ヲ選任スベキトキ又ハ其ノ管理人ヲ解任スベキトキハ其ノ旨ヲ公告スベシ
第二十六條　無盡會社ハ其ノ管理人ヲ選任シタルトキハ其ノ氏名、住所及其ノ權限ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ
前項ノ規定ニ依リ屆出アリタルトキハ前項ノ規定ニ依ル屆出アリタルトキハ其ノ旨ヲ公告スベシ
第二十七條　無盡會社ハ其ノ管理人ニ對シ其ノ管理ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
第二十八條　無盡會社ノ清算ハ朝鮮總督ノ監督ニ屬ス
朝鮮總督ハ清算事務及財產ノ狀況ヲ檢査シ又ハ清算人ヲ選任スベキトキ又ハ其ノ清算人ヲ解任スルコトヲ得
第二十九條　無盡會社ガ解散シタルトキハ其ノ財產ハ定款ノ定ムル所ニ依リ處分スベシ但シ定款ニ之ニ關スル規定ナキトキハ總會ノ決議ヲ以テ處分ノ方法ヲ定ムベシ
第三十條　朝鮮總督ハ無盡會社ノ業務及財產ノ狀況ヲ檢査シ又ハ其ノ業務ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
第三十一條　朝鮮總督ハ其ノ指揮スル朝鮮總督府ノ官吏ヲシテ無盡會社ノ業務及財產ノ狀況ヲ檢査セシムルコトヲ得
第三十二條　朝鮮總督ハ無盡會社ノ業務若ハ財產ノ狀況ニ付必要アリト認ムルトキハ其ノ業務ヲ停止シ又ハ財產ノ保全ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
第三十三條　朝鮮總督ハ無盡會社ノ業務若ハ財產ノ狀況ニ付必要アリト認ムルトキハ其ノ業務ヲ停止シ又ハ財產ノ保全ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
第三十四條　朝鮮總督ハ業務ノ停止ヲ命セラレタル無盡會社ニ對シ其ノ整理ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ營業ノ免許ヲ取消スコトヲ得
第三十五條　無盡管理會社ハ其ノ管理スル無盡ノ掛金ノ拂込ヲ爲サザル者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ其ノ拂込ヲ催告シ其ノ期間內ニ拂込ノ履行ナキ場合ニ於テ其ノ掛金者ニ代リ掛金ノ拂込ヲ爲ス責ニ任ズ
第三十六條　無盡管理會社ハ其ノ管理スル無盡ノ加入者ニ代リ掛金ノ拂込及給付金ノ支拂ニ關シ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス
掛金ノ拂込又ハ給付金ノ支拂ニ關スル訴ニ於テハ無盡管理會社ハ原告又ハ被告ト爲ルコトヲ得
第三十七條　朝鮮總督ハ免許ヲ受ケズシテ無盡業ヲ營ミタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ罰金ニ處ス
第三十八條　第六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
第三十九條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役、支配人又ハ清算人ヲ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
一　業務報告書ノ不實ノ記載、虛僞ノ公告其ノ他ノ方法ニ依リ官憲又ハ公衆ヲ欺罔シタルトキ
二　本令ニ依ル檢査ニ際シ帳簿書類ノ隱蔽、不實ノ申立其ノ他ノ方法ニ依リ檢査ヲ妨ゲタルトキ
第四十條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役、支配人、代理店主法人ナルトキハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他法人ノ代表者）又ハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス但シ其ノ行爲ニ付刑ヲ科スベキトキハ此ノ限ニ在ラズ
一　第七條第一項ノ規定ニ依リ定メタル營業區域外ニ於テ營業ヲ爲シタルトキ
二　第八條乃至第十一條、第十三條乃至第十五條、第十七條又ハ第十九條ノ規定ニ違反シタルトキ
三　第二十條又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ書類帳簿ヲ提出セザルトキ
四　第二十二條、第二十三條、第二十六條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ取締役、監査役又ハ支配人ヲ解任スベキ旨ノ命令ヲ爲シタルトキ
第四十一條　第十六條ノ規定ニ違反シタル取締役、監査役、使用人若ハ代理店主（代理店主法人ナルトキハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他法人ノ代表者）又ハ法人タル代理店主ノ業務ヲ執行スル社員、取締役又ハ其ノ他代表者ハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス
前項ノ場合ニ於テハ無盡會社ノ取締役、監査役又ハ支配人モ千圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス
第四十二條　前二條ノ過料ニ關シテハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス
第四十三條　朝鮮總督ハ本令ニ規定スル其ノ職權ノ一部ヲ道知事ニ委任スルコトヲ得
第四十四條　本令中無盡會社竝ニ其ノ取締役、監査役、支配人、使用人、清算人、代理店主及法人タル代理店主ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他代表者ニ關スル規定ハ無盡管理會社竝ニ其ノ取締役、監査役、支配人、使用人、清算人、代理店主及法人タル代理店主ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他代表者ニ、無盡業ニ關スル規定ハ無盡管理業ニ之ヲ準用ス
附　則
本令施行ノ期日ハ朝鮮民事令ニ於テ之ヲ定ム（昭和六年六月總令第七十三號ヲ以テ昭和六年七月一日ヨリ施行）
從前ノ規定ニ依リテ免許ヲ受ケ無盡業ヲ營ム合資會社ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ本令施行後五年ヲ限リ仍其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得
第三十三條　無盡會社ハ本令中無盡業ヲ營ム株式會社ニ關スル規定ハ前項ノ無盡業ヲ營ム合資會社ニ之ヲ準用ス
從前ノ規定ニ依リテ免許ヲ受ケ無盡業ヲ營ム株式會社ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ資本金ニ付テハ第四條ノ改正規定ニ拘ラズ本令施行後五年ヲ限リ仍從前ノ規定ニ依リ無盡業ヲ營ムコトヲ得
第三十四條　朝鮮總督ハ業務ノ停止ヲ命セラレタル無盡會社ニ對シ其ノ整理ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ營業ノ免許ヲ取消スコトヲ得
第三十五條　無盡管理會社ハ其ノ管理スル無盡ノ掛金ノ拂込ヲ爲サザル者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ其ノ拂込ヲ催告シ其ノ期間內ニ拂込ノ履行ナキ場合ニ於テ其ノ掛金者ニ代リ掛金ノ拂込ヲ爲ス責ニ任ズ
第三十六條　無盡管理會社ハ其ノ管理スル無盡ノ加入者ニ代リ掛金ノ拂込及給付金ノ支拂ニ關シ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス
掛金ノ拂込又ハ給付金ノ支拂ニ關スル訴ニ於テハ無盡管理會社ハ原告又ハ被告ト爲ルコトヲ得
第三十七條　朝鮮總督ハ免許ヲ受ケズシテ無盡業ヲ營ミタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ罰金ニ處ス
第三十八條　第六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
第三十九條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役、支配人又ハ清算人ヲ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
一　業務報告書ノ不實ノ記載、虛僞ノ公告其ノ他ノ方法ニ依リ官憲又ハ公衆ヲ欺罔シタルトキ
二　本令ニ依ル檢査ニ際シ帳簿書類ノ隱蔽、不實ノ申立其ノ他ノ方法ニ依リ檢査ヲ妨ゲタルトキ
第四十條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役、支配人、代理店主法人ナルトキハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他法人ノ代表者）又ハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス但シ其ノ行爲ニ付刑ヲ科スベキトキハ此ノ限ニ在ラズ
一　第七條第一項ノ規定ニ依リ定メタル營業區域外ニ於テ營業ヲ爲シタルトキ
二　第八條乃至第十一條、第十三條乃至第十五條、第十七條又ハ第十九條ノ規定ニ違反シタルトキ
三　第二十條又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ書類帳簿ヲ提出セザルトキ
四　第二十二條、第二十三條、第二十六條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ取締役、監査役又ハ支配人ヲ解任スベキ旨ノ命令ヲ爲シタルトキ
第四十一條　第十六條ノ規定ニ違反シタル取締役、監査役、使用人若ハ代理店主（代理店主法人ナルトキハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他法人ノ代表者）又ハ法人タル代理店主ノ業務ヲ執行スル社員、取締役又ハ其ノ他代表者ハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス
前項ノ場合ニ於テハ無盡會社ノ取締役、監査役又ハ支配人モ千圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス
第四十二條　前二條ノ過料ニ關シテハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス
第四十三條　朝鮮總督ハ本令ニ規定スル其ノ職權ノ一部ヲ道知事ニ委任スルコトヲ得
第四十四條　本令中無盡會社竝ニ其ノ取締役、監査役、支配人、使用人、清算人、代理店主及法人タル代理店主ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他代表者ニ關スル規定ハ無盡管理會社竝ニ其ノ取締役、監査役、支配人、使用人、清算人、代理店主及法人タル代理店主ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他代表者ニ、無盡業ニ關スル規定ハ無盡管理業ニ之ヲ準用ス
附　則
本令施行ノ期日ハ朝鮮民事令ニ於テ之ヲ定ム（昭和六年六月總令第七十三號ヲ以テ昭和六年七月一日ヨリ施行）
從前ノ規定ニ依リテ免許ヲ受ケ無盡業ヲ營ム合資會社ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ本令施行後五年ヲ限リ仍其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得
第三十三條　無盡會社ハ本令中無盡業ヲ營ム株式會社ニ關スル規定ハ前項ノ無盡業ヲ營ム合資會社ニ之ヲ準用ス
從前ノ規定ニ依リテ免許ヲ受ケ無盡業ヲ營ム株式會社ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ資本金ニ付テハ第四條ノ改正規定ニ拘ラズ本令施行後五年ヲ限リ仍從前ノ規定ニ依リ無盡業ヲ營ムコトヲ得
第三十四條　朝鮮總督ハ業務ノ停止ヲ命セラレタル無盡會社ニ對シ其ノ整理ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ營業ノ免許ヲ取消スコトヲ得
第三十五條　無盡管理會社ハ其ノ管理スル無盡ノ掛金ノ拂込ヲ爲サザル者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ其ノ拂込ヲ催告シ其ノ期間內ニ拂込ノ履行ナキ場合ニ於テ其ノ掛金者ニ代リ掛金ノ拂込ヲ爲ス責ニ任ズ
第三十六條　無盡管理會社ハ其ノ管理スル無盡ノ加入者ニ代リ掛金ノ拂込及給付金ノ支拂ニ關シ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス
掛金ノ拂込又ハ給付金ノ支拂ニ關スル訴ニ於テハ無盡管理會社ハ原告又ハ被告ト爲ルコトヲ得
第三十七條　朝鮮總督ハ免許ヲ受ケズシテ無盡業ヲ營ミタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ罰金ニ處ス
第三十八條　第六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
第三十九條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役、支配人又ハ清算人ヲ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
一　業務報告書ノ不實ノ記載、虛僞ノ公告其ノ他ノ方法ニ依リ官憲又ハ公衆ヲ欺罔シタルトキ
二　本令ニ依ル檢査ニ際シ帳簿書類ノ隱蔽、不實ノ申立其ノ他ノ方法ニ依リ檢査ヲ妨ゲタルトキ
第四十條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役、支配人、代理店主法人ナルトキハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他法人ノ代表者）又ハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス但シ其ノ行爲ニ付刑ヲ科スベキトキハ此ノ限ニ在ラズ
一　第七條第一項ノ規定ニ依リ定メタル營業區域外ニ於テ營業ヲ爲シタルトキ
二　第八條乃至第十一條、第十三條乃至第十五條、第十七條又ハ第十九條ノ規定ニ違反シタルトキ
三　第二十條又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ書類帳簿ヲ提出セザルトキ
四　第二十二條、第二十三條、第二十六條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ取締役、監査役又ハ支配人ヲ解任スベキ旨ノ命令ヲ爲シタルトキ

株式會社ニシテ前項ノ期限迄ニ第四條ノ改正規定ノ要件ヲ具備セザルモノガ其ノ期限迄ニ爲シタル無盡契約ニ付テハ之ガ完了ニ至迄其ノ契約ニ關スル業務ニ限リ仍之ヲ繼續スルコトヲ得

第二十條　第二十一條、第二十六條第一項、第三十九條並ニ第四十條第一項第三號及第四號ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五項ノ場合ニ於テ無盡業ヲ營ム株式會社ガ同項ノ業務以外ニ無盡業ヲ營ミタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

從前ノ規定ニ依リテ免許ヲ受ケ無盡業ヲ營ム株式會社ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノニハ本令施行後一年ヲ限リ第九條ノ改正規定ヲ適用セズ

本令中取締役ニ關スル規定ハ第二項ノ無盡會社ニ付テハ其ノ業務ヲ執行スル社員ニ之ヲ準用ス

●朝鮮無盡業令施行規則

昭和六年六月
總令第七十四號

改正　昭和一二年五月三日號

朝鮮無盡業令施行規則左ノ通改正ス

朝鮮無盡業令施行規則

第一條　無盡業ヲ營マントスル株式會社ハ免許申請書ニ總取締役署名シ左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　定款
二　事業方法書
三　無盡契約約款
四　株式ノ引受ヲ證スル書面
五　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載シタル書面
六　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類
七　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本
八　發起人ガ取締役及監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類
九　創立總會ノ決議錄

十　營業所ノ位置ヲ記載シタル書面
十一　免許申請前日ニ於ケル日計表
十二　預ケ先ノ預金證明書
株式會社ガ其ノ目的ヲ變更シテ無盡業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ前項第一號乃至第三號、第十號及第十一號ニ掲グル書類ノ外左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　會社登記簿ノ謄本
二　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ狀況ヲ知ルニ足ル書面
三　最終ノ財產目錄及貸借對照表
四　最終ノ損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書面
五　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面
第二條　事業方法書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　無盡ノ種類
二　各種無盡ノ掛金ニ付無盡會社ノ利益ニ組入ルベキ金額ノ算出方法
三　各種無盡ニ付給付ス可キ掛金ヲ超過スル場合ニ於ケル給付資金ノ補填方法
五　掛金ノ取立又ハ拂込ノ方法
六　抽籤、入札其ノ他給付ノ順位ヲ定ムル方法
七　入札ノ場合ニ於ケル最低手取金額ノ制限
八　入札差金分配ノ方法
九　掛金ニ對スル保證又ハ擔保ニ關スル事項
十　缺口處理ノ方法
十一　掛金若ニ對シ特別利益ノ提供ヲ爲ス場合ニ在リテハ之ニ關スル事項
十二　代理店ノ權限ニ關スル事項
十三　勸誘又ハ集金ニ要スル經費
十四　其ノ他重要ナル事項
前項第二號ノ豫定收支計算ハ無盡ノ口數、毎回ノ掛金額、給付金額、回數竝ニ毎回ノ收入及支出ノ金額ヲ表記スルコトヲ要ス
第三條　無盡契約約款ニハ前條第一項第五號乃至第十號ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　無盡ノ種類
二　各種無盡ノ豫定收支計算
三　各種無盡ニ付無盡會社ノ利益ニ組入ルベキ金額ノ算出方法
四　各種無盡ニ於ケル給付資金ノ掛金ヲ超過スル場合ニ於ケル給付資金ノ補填方法
五　掛金ノ取立又ハ拂込ノ方法
六　抽籤、入札其ノ他給付ノ順位ヲ定ムル方法
七　入札ノ場合ニ於ケル最低手取金額ノ制限
八　入札差金分配ノ方法
九　掛金ニ對スル保證又ハ擔保ニ關スル事項
十　缺口處理ノ方法
十一　掛金若ニ對シ特別利益ノ提供ヲ爲スベキ金額ノ算出方法
十二　代理店ノ權限ニ關スル事項
十三　勸誘又ハ集金ニ要スル經費
十四　其ノ他重要ナル事項
前項第二號ノ豫定收支計算ハ無盡ノ口數、毎回ノ掛金額、給付金額、回數竝ニ毎回ノ收入及支出ノ金額ヲ表記スルコトヲ要ス
第三條　無盡契約約款ニハ前條第一項第五號乃至第十號ニ掲グル事項ノ外左ニ掲グル

一　常期間ニ於ケル銀行資本金

内譯	拂込未済高	拂込高	資本金	區別
			圓	前期末現在高
			圓	當期增加高
			圓	當期減少高
			圓	當期末現在高

（注意）一　本項ニハ當期間ニ於ケル銀行資本金ノ種類、增減ノ原因其ノ他增減ニ關スル重要ナル事項ヲ記載スベシ

二　本項ニハ當期間ニ於ケル銀行資本金ノ增減ニ關シ株主總會ノ決議ヲ經タル事項ノ概要ヲ記載スベシ

三　本項ニハ株金ノ種類、株金ノ一部ヲ以テ優先株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ劣後株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ無議決權株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ償還株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ利益配當ニ關シ特別ノ定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ殘餘財產ノ分配ニ關シ特別ノ定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨及其ノ他株金ニ關シ特別ノ定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ記載スベシ

（一）　第何期　昭和　年　月　日現在

（注意）一　二　三　項目ヲ本店ノ外他ノ營業所ニ於テ記載スル場合ハ其ノ事由ヲ本表末ニ記載スベシ

第二項　營業ノ狀況

資金運用其ノ他重要ナル事項ニハ營業目的ノ變更、營業ノ盛衰、無益契約ノ有無、株金ノ拂込、株金及給付金ノ受拂、株金ノ增減、株金ノ變更、株金ノ拂戻、株金ノ消却、株金ノ併合、株金ノ分割、株金ノ種類ノ變更、株金ノ種類ノ增減、株金ノ種類ノ消却、株金ノ種類ノ併合、株金ノ種類ノ分割、株金ノ種類ノ變更ニ關スル定款ノ定メ、株金ノ種類ノ增減ニ關スル定款ノ定メ、株金ノ種類ノ消却ニ關スル定款ノ定メ、株金ノ種類ノ併合ニ關スル定款ノ定メ、株金ノ種類ノ分割ニ關スル定款ノ定メ、株金ノ種類ノ變更ニ關スル株主總會ノ決議、株金ノ種類ノ增減ニ關スル株主總會ノ決議、株金ノ種類ノ消却ニ關スル株主總會ノ決議、株金ノ種類ノ併合ニ關スル株主總會ノ決議、株金ノ種類ノ分割ニ關スル株主總會ノ決議、株金ノ種類ノ變更ニ關スル種類株主ノ總會ノ決議、株金ノ種類ノ增減ニ關スル種類株主ノ總會ノ決議、株金ノ種類ノ消却ニ關スル種類株主ノ總會ノ決議、株金ノ種類ノ併合ニ關スル種類株主ノ總會ノ決議、株金ノ種類ノ分割ニ關スル種類株主ノ總會ノ決議ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スベシ

店名	位置	備考
本店	市郡町村大字字番地	
何支店	市郡町村大字字番地	
何出張所	市郡町村大字字番地	
何代理店	市郡町村大字字番地	

當期末現在營業所及代理店左ノ如シ

二　當期末現在營業所及代理店ノ狀況ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スベシ

三　當期末現在無議決權株主ノ總株ニ對スル株數ノ割合ヲ記載スベシ

四　當期末現在無議決權株主ノ株金ノ給付ノ狀況ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スベシ

（注意）一　本項ニハ株金ノ種類、株金ノ一部ヲ以テ決議シタル事項其ノ他株金ニ關スル重要ナル事項ヲ記載スベシ

二　本項ニハ當期間ニ於ケル株金ノ增減ニ關スル決議ノ年月日、株金ノ一部ヲ以テ劣後株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ無議決權株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ償還株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ種類ノ增減ニ關スル定款ノ定メ、株金ノ種類ノ增減ニ關スル株主總會ノ決議、株金ノ種類ノ增減ニ關スル種類株主ノ總會ノ決議ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スベシ

三　當期末現在無議決權株主ノ總株ニ對スル株數ノ割合ヲ記載スベシ

四　當期末現在無議決權株主ノ株金ノ給付ノ狀況ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スベシ

（注意）一　本項ニハ株金ノ種類、株金ノ一部ヲ以テ決議シタル事項其ノ他株金ニ關スル重要ナル事項ヲ記載スベシ

二　本項ニハ當期間ニ於ケル株金ノ增減ニ關スル決議ノ年月日、株金ノ一部ヲ以テ劣後株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ無議決權株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ償還株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ種類ノ增減ニ關スル定款ノ定メ、株金ノ種類ノ增減ニ關スル株主總會ノ決議、株金ノ種類ノ增減ニ關スル種類株主ノ總會ノ決議ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スベシ

三　當期末現在無議決權株主ノ總株ニ對スル株數ノ割合ヲ記載スベシ

四　當期末現在無議決權株主ノ株金ノ給付ノ狀況ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スベシ

（注意）一　本項ニハ株金ノ種類、株金ノ一部ヲ以テ決議シタル事項其ノ他株金ニ關スル重要ナル事項ヲ記載スベシ

二　本項ニハ當期間ニ於ケル株金ノ增減ニ關スル決議ノ年月日、株金ノ一部ヲ以テ劣後株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ無議決權株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ償還株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ種類ノ增減ニ關スル定款ノ定メ、株金ノ種類ノ增減ニ關スル株主總會ノ決議、株金ノ種類ノ增減ニ關スル種類株主ノ總會ノ決議ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スベシ

三　當期末現在無議決權株主ノ總株ニ對スル株數ノ割合ヲ記載スベシ

四　當期末現在無議決權株主ノ株金ノ給付ノ狀況ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スベシ

（注意）一　本項ニハ株金ノ種類、株金ノ一部ヲ以テ決議シタル事項其ノ他株金ニ關スル重要ナル事項ヲ記載スベシ

二　本項ニハ當期間ニ於ケル株金ノ增減ニ關スル決議ノ年月日、株金ノ一部ヲ以テ劣後株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ無議決權株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ一部ヲ以テ償還株ヲ發行シタルトキハ其ノ旨、株金ノ種類ノ增減ニ關スル定款ノ定メ、株金ノ種類ノ增減ニ關スル株主總會ノ決議、株金ノ種類ノ增減ニ關スル種類株主ノ總會ノ決議ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スベシ

三　當期末現在無議決權株主ノ總株ニ對スル株數ノ割合ヲ記載スベシ

四　當期末現在無議決權株主ノ株金ノ給付ノ狀況ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スベシ

十

常期未現在増減別給付済口掛金

| 回次 | 給付済口掛金 | 内訳 | | |

五　常期未現在同一人ニ對スル契約貸付金以度貨付金ノ貨付金高ノ大小ニ依ル區分

同一人ニ對スル貸付金ノ貨付金高ノ大小ニ依ル區分	百	三	千	五	千	七	千	一	萬	計
	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄
口數										口
常期未現在貨付高										圓

（注意）一　本表ニハ無盡業令第十條第一項第三號ノ規定ニ依リ區分シ揭ケベキ貸付金高ノ大小ニ依リ區分シ揭ケタル貸付金ノ例ニ準ジ記載スベシ

二　常期未現在擔保別貨付金

（イ）擔保價額參入内譯

種別			計	株式	社債	地方債	國債
評價額							圓
常期未現在貨付金高							圓

（ロ）擔保不動産内譯

種別			計	地坪	建物	田	畑	宅
評價額								圓
常期未現在貨付金高								圓

（ハ）排込金以度貨付内譯

種別			計	當座ヘ受入ルガ爲ニ振出ス小切手金額	差引同上ヨリ入札差金額ヲ除ク	常期未現在貨付金高
排込金以度貨付金						圓
常期未現在貨付金高						圓

（ニ）契約貸付金以度貨付内譯

種別			契約貸付金高	當座ヘ受入ルガ爲ニ振出ス小切手金額	差引同上ヨリ入札差金額ヲ除ク	常期未現在貨付金高
以度契約貨付金						圓
常期未現在貨付金高						圓

三　常期未現在同一人ニ對スル擔保貨付金ノ貨付金高ノ大小ニ依ル區分

同一人ニ對スル貸付金ノ貨付金高ノ大小ニ依ル區分	百	三	千	五	千	七	千	一	萬	計
	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄
口數										口
常期未現在貨付高										圓

（注意）一　以度貨付金高ノ大小ニ依リ區分シ揭ケタル貸付金ノ例ニ準ジ記載スベシ

二　常期未現在高内譯

種別			計	何ノ定期貨金	通知貨金	當座貨金	前期未現在高
計器	何點						
建物	何何棟						
土地	何	坪					圓
數量							常期貸付高
取得價額							常期自由高
評價額							常期未現在貨付高

六　貨付金利率

區別		最高	最低	普通
擔保貨付金券	擔保價額			
不動産擔保金券	不動産價額			
以度契約貨付金金額	以度契約貨付金金額ニ對スル貨出金額			

（注意）一　金額ハ本表ニハ無盡業令第十條第一項第三號ノ規定ニ依リ區分シ揭ケベキ貸付金高ノ大小ニ依リ區分シ揭ケタル貸付金ノ例ニ準ジ記載スベシ

二　貨付金利率ハ無盡業令第十條第一項第四號ノ規定ニ依リ區分シ揭ケベキ貸付金高ノ大小ニ依リ區分シ揭ケタル貸付金ノ例ニ準ジ記載スベシ

一　土地、建物及什器

第十九項　所有土地、建物及什器

種別			計	什器	建物	土地	前期末現在高
現在高							圓
當期增加高							圓
當期減少高							圓
當期償却高							圓
當期末現在高							圓

第十八項　假受金

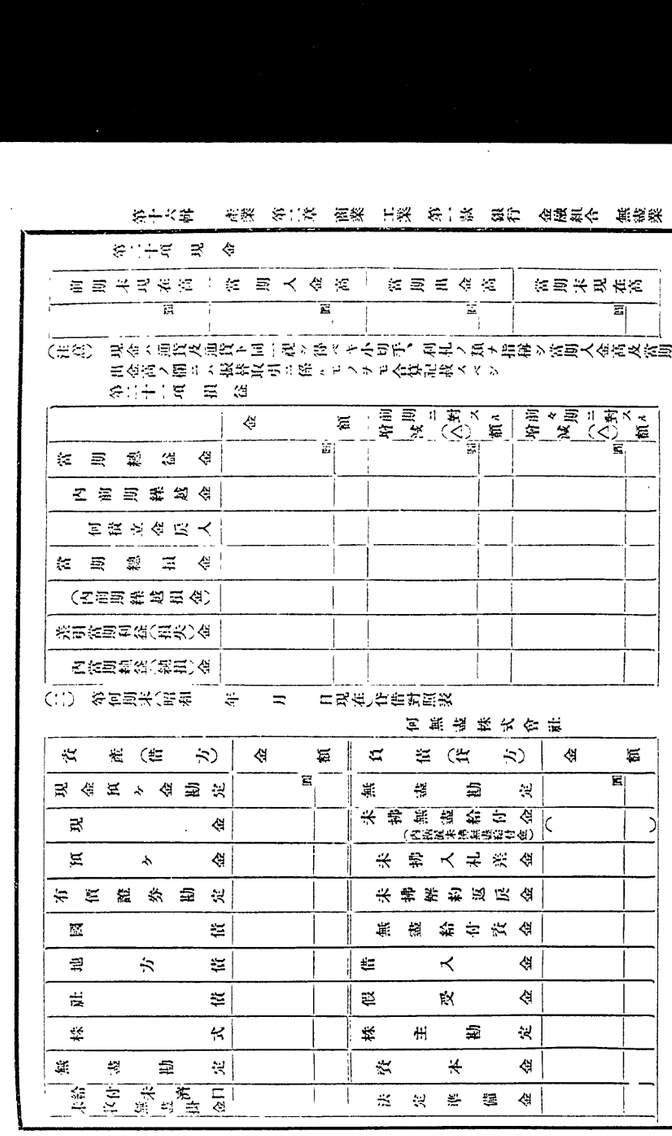
前期末現在高	當期增加高	當期減少高	當期償却高	當期末現在高
圓	圓	圓	圓	圓

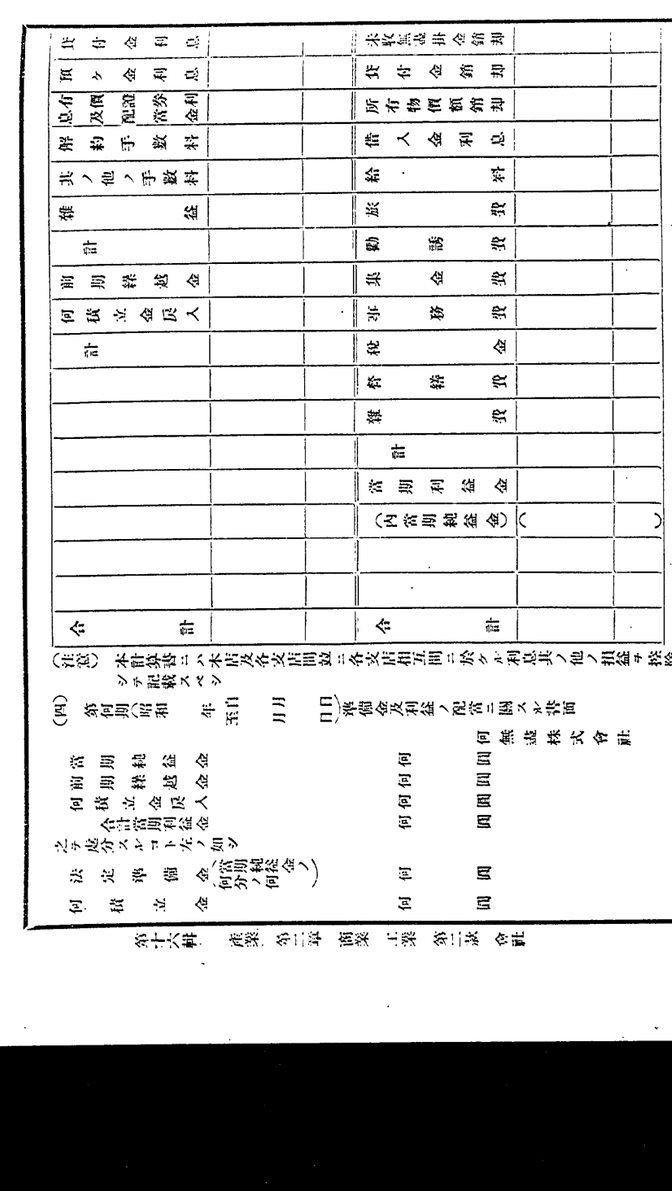
第十七項　假拂金

前期末現在高	當期增加高	當期減少高	當期償却高	當期末現在高
圓	圓	圓	圓	圓

第十六項　代理店貸

計	何代理店	店名	現前在期高	當期增加高	當期減少高	當期償却高	現當在期高
			圓	圓	圓	圓	圓
郵便貯金	計						





ハ朝鮮總督ノ事業ノ停止、禁止、支店ノ閉鎖又ハ會社ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第六條　不實ノ申告ヲ爲シテ第一條又ハ第二條ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第七條　第一條又ハ第二條ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第八條　第五條又ハ前條ノ規定ニ依リ會社カ解散シタルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任ス

第九條　會社ハ登記ヲ爲スニ非サレハ其ノ名稱ヲ以テ他人ノ爲ニ商業ヲ營ムコトヲ得ス

第十條　會社ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ會社ト云フ文字ヲ用ユルコトヲ得ス

第十一條　會社ニ關シテハ本令及朝鮮總督府令ニ規定スルモノノ外商法中會社ニ關スル規定ニ依ル但シ商法中日本ト異ルハ朝鮮トス

第十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者會社ニ設立行爲ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス不實ノ申告ヲ爲シテ其ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

第十三條　會社ノ業務ヲ執行スル役員又ハ外國會社ノ朝鮮ニ於ケル代表者ハ左ノ場合ニ於テ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二條ノ許可ヲ受ケシテ本店又ハ支店ヲ設ケタルトキ

二　不實ノ申告ヲ爲シテ第二條ノ許可ヲ受ケタルトキ

三　第三條ノ規定ニ違反シテ事業ヲ開始シタルトキ

四、第五條ノ規定ニ依ル事業ノ停止、禁止又ハ支店閉鎖ノ命令ニ違反シテ事業ヲ營ミタルトキ

第十四條　第十條ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條　本令ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

附　則

本令ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十七條　蔣聲國政府ノ免許ヲ受ケ本令施行ノ際事業ヲ營ム會社ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第十八條　本令施行前商法ニ依リ朝鮮ニ於テ設立シタル會社ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第十九條　朝鮮外ニ於テ設立シタル會社ノ本店又ハ支店ニシテ本令施行ノ際朝鮮ニ存在スルモノハ本令ニ依リ設ケタルモノト看做ス

外國ニ於テ設立シタル會社ニシテ本令施行ノ際朝鮮ニ本店又ハ本店ヲ有スルモノニ付テハ當分ノ內從前ノ例ニ依ル

第二十條　外國ニ於テ設立シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トスル會社ニシテ朝鮮ニ本店又ハ支店ヲ設ケシテ本令施行ノ際其ノ事業ヲ營ムモノニ付テハ當分ノ內第三條ノ規定ヲ適用セス

（參照）

●會社令施行規則

明治四十三年十二月
總令第六十六號

改正　大正三年一一第二六二號

會社令施行規則左ノ通定ム

第一條　會社令第一條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ無限責任社員タルヘキ者又ハ發起人ノ全員ノ署名捺印シタル申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

一　會社ノ目的

二　會社ノ種類

三　會社ノ商號又ハ名稱

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トスル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第二條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ無限責任社員タル朝鮮人ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第三條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第四條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第五條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第六條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第七條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第八條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第九條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第十條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第十一條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者會社ニ設立行爲ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス不實ノ申告ヲ爲シテ其ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

第十三條　會社ノ業務ヲ執行スル役員又ハ外國會社ノ朝鮮ニ於ケル代表者ハ左ノ場合ニ於テ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二條ノ許可ヲ受ケシテ本店又ハ支店ヲ設ケタルトキ

二　不實ノ申告ヲ爲シテ第二條ノ許可ヲ受ケタルトキ

三　第三條ノ規定ニ違反シテ事業ヲ開始シタルトキ

四、第五條ノ規定ニ依ル事業ノ停止、禁止又ハ支店閉鎖ノ命令ニ違反シテ事業ヲ營ミタルトキ

第十四條　第十條ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條　本令ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

附　則

第十六條　本令ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十七條　蔣聲國政府ノ免許ヲ受ケ本令施行ノ際事業ヲ營ム會社ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第十八條　本令施行前商法ニ依リ朝鮮ニ於テ設立シタル會社ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第十九條　朝鮮外ニ於テ設立シタル會社ノ本店又ハ支店ニシテ本令施行ノ際朝鮮ニ存在スルモノハ本令ニ依リ設ケタルモノト看做ス

外國ニ於テ設立シタル會社ニシテ本令施行ノ際朝鮮ニ本店又ハ本店ヲ有スルモノニ付テハ當分ノ內從前ノ例ニ依ル

第二十條　外國ニ於テ設立シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トスル會社ニシテ朝鮮ニ本店又ハ支店ヲ設ケシテ本令施行ノ際其ノ事業ヲ營ムモノニ付テハ當分ノ內第三條ノ規定ヲ適用セス

（參照）

●會社令施行規則

明治四十三年十二月
總令第六十六號

改正　大正三年一一第二六二號

會社令施行規則左ノ通定ム

第一條　會社令第一條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ無限責任社員タルヘキ者又ハ發起人ノ全員ノ署名捺印シタル申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第二條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第三條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第四條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第五條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第六條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第七條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第八條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第九條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第十條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第十一條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニ於テ朝鮮ニ支店ヲ設ケムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

一　會社ノ種類

二　會社ノ商號又ハ名稱

三　本店及支店ノ所在地

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所、其ノ出資額竝合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ目的トセサル事業ヲ營ムモノニ付テハ其ノ種類

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受ケヘキ株式ノ數及其ノ受ケヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トセサル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　本店及支店ノ所在地

第十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者會社ニ設立行爲ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス不實ノ申告ヲ爲シテ其ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

第十三條　會社ノ業務ヲ執行スル役員又ハ外國會社ノ朝鮮ニ於ケル代表者ハ左ノ場合ニ於テ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二條ノ許可ヲ受ケシテ本店又ハ支店ヲ設ケタルトキ

二　不實ノ申告ヲ爲シテ第二條ノ許可ヲ受ケタルトキ

三　第三條ノ規定ニ違反シテ事業ヲ開始シタルトキ

四、第五條ノ規定ニ依ル事業ノ停止、禁止又ハ支店閉鎖ノ命令ニ違反シテ事業ヲ營ミタルトキ

第十四條　第十條ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條　本令ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

附　則

本令ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十七條　蔣聲國政府ノ免許ヲ受ケ本令施行ノ際事業ヲ營ム會社ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第十八條　本令施行前商法ニ依リ朝鮮ニ於テ設立シタル會社ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第十九條　朝鮮外ニ於テ設立シタル會社ノ本店又ハ支店ニシテ本令施行ノ際朝鮮ニ存在スルモノハ本令ニ依リ設ケタルモノト看做ス

外國ニ於テ設立シタル會社ニシテ本令施行ノ際朝鮮ニ本店又ハ本店ヲ有スルモノニ付テハ當分ノ內從前ノ例ニ依ル

第二十條　外國ニ於テ設立シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トスル會社ニシテ朝鮮ニ本店又ハ支店ヲ設ケシテ本令施行ノ際其ノ事業ヲ營ムモノニ付テハ當分ノ內第三條ノ規定ヲ適用セス

（參照）

●會社令施行規則

明治四十三年十二月
總令第六十六號

改正　大正三年一一第二六二號

會社令施行規則左ノ通定ム

第一條　會社令第一條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ無限責任社員タルヘキ者又ハ發起人ノ全員ノ署名捺印シタル申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

一　會社ノ種

第十八條　會員ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ身元保證金ヲ取引所ニ納ムベシ

第十九條　取引所ハ業務規程ヲ設ケ賣買取引ニ關スル細則ヲ定ムベシ

業務規程ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第二十條　會員ハ支店、出張所其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ二以上ノ場所ヲ以テ同一取引所ノ賣買取引ノ取扱ヲ爲ス場所ト爲スコトヲ得ズ

第二十一條　會員ハ自己ノ計算ヲ以テスルト他人ノ計算ヲ以テスルトヲ問ハズ取引所ニ於ケル其ノ賣買取引ニ付一切ノ責任ヲ負フベシ

第二十二條　取引所ハ其ノ秩序ヲ保持スル爲定款ノ定ムル所ニ依リ會員ニ對シ其ノ營業ヲ停止シ、千圓以下ノ過怠金ヲ課シ又ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ除名スルコトヲ得

第二十三條　會員ハ死亡、解散、脫退、除名其ノ他ノ事由ニ因リ會員タラザルニ至リタル後ト雖モ其ノ取引所ニ於ケル賣買取引ノ結了ノ目的ノ範圍内ニ於テハ其ノ結了ニ至ル迄仍會員ト看做ス

前項ノ場合ニ於テ會員ノ行爲ヲ爲ス者ナキトキハ取引所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ他人ヲシテ其ノ行爲ヲ爲サシムルコトヲ得

第三章　取引所ノ役員及商議員會

第二十四條　取引所ニ左ノ役員ヲ置ク

理事長　一人

理事　若干人

監事　若干人

役員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ二年以内ノ任期ヲ以テ會員總會ニ於テ之ヲ選任ス但シ理事長及理事ハ會員ニ非ザル者ヨリ之ヲ選任スルヲ妨ゲズ

第二十五條　理事長ハ取引所ノ業務ヲ總理シ取引所ヲ代表ス

理事ハ理事長ヲ補佐シ定款ノ定ムル所ニ依リ理事長ニ事故アルトキ又ハ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ代理ス

監事ハ取引所ノ業務及會計ヲ監査ス

第二十六條　役員ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ不正ノ行爲アリタルトキハ總會ニ於テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ不正ノ行爲アリタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百二十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百二十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百二十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百二十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百二十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百二十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百二十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百二十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百二十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百二十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百三十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百三十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百三十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百三十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百三十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百三十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百三十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百三十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百三十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百三十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百四十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百四十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百四十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百四十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百四十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百四十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百四十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百四十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百四十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百四十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百五十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百五十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百五十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百五十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百五十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百五十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百五十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百五十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百五十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百五十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百六十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百六十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百六十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百六十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百六十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百六十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百六十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百六十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百六十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百六十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百七十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百七十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百七十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百七十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百七十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百七十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百七十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百七十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百七十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百七十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百八十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百八十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百八十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百八十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百八十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百八十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百八十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百八十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百八十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百八十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百九十條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百九十一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百九十二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百九十三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百九十四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百九十五條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百九十六條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百九十七條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百九十八條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第百九十九條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二百條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二百一條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二百二條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二百三條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ役員ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二百四條　役員ハ在任中其ノ職務ニ關シ取引所ニ損

國スル事項

第四條　取引所ノ地區ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

第五條　取引所設立ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ取引所ノ名稱、目的、資本金額、業務ノ種類、開閉業ノ時刻、地區、事務所ノ位置、役員ノ定數、選任ノ方法、株金ノ拂込ノ方法、株券ノ樣式、定款ノ要領、創立ノ費用ノ概算、開業ノ豫定日、取引ノ種類、取引ノ方法、取引ノ時間、受渡ノ方法、取引ノ立會ノ方法、取引ノ中止ノ方法、取引ノ制限ノ方法、取引ノ清算ノ方法、取引ノ決濟ノ方法、取引ノ公表ノ方法、取引ノ報告ノ方法、取引ノ檢査ノ方法、取引ノ紛議ノ解決ノ方法、取引ノ違約ノ處分ノ方法、取引ノ受渡ノ延期ノ方法、取引ノ受渡ノ代用ノ方法、取引ノ受渡ノ決濟ノ方法、取引ノ受渡ノ保證ノ方法、取引ノ受渡ノ保證金ノ額、取引ノ受渡ノ保證金ノ代用ノ方法、取引ノ受渡ノ保證金ノ利子ノ方法、取引ノ受渡ノ保證金ノ返還ノ方法、取引ノ受渡ノ保證金ノ處分ノ方法、取引ノ受渡ノ保證金ノ不足ノ場合

第十五條　第八條ノ許可ヲ受ケタル者其ノ營業ヲ開始シ廢止シ又ハ休業日以外ニ休止シタルトキハ遅滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ但シ營業休止ノ場合ハ其ノ事由ヲ屆書ニ記載スヘシ

營業者死亡シタルトキ又ハ解散ニ依リ營業ヲ廢止シタルトキハ相續人又ハ清算人ヨリ遅滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ

第十六條　道知事又ハ警察署長必要アリト認ムルトキハ第八條ノ許可ヲ受ケタル者ヲシテ營業ノ狀況及出納計算ノ報告ヲ爲サシメ又ハ之ニ關スル書類帳簿ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第十七條　第八條ノ許可ヲ受ケタル者許可ヲ受ケタル日ヨリ六月内ニ營業ヲ開始セス又ハ營業休止一月ヲ超ユルトキハ道知事ハ營業ノ許可ヲ取消スコトヲ得

道知事公益上必要アリト認ムルトキハ第八條ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ許可ヲ取消シ又ハ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命スルコトヲ得

第十八條　警察官必要アリト認ムルトキハ市場ニ於テ營業ヲ爲ス者又ハ市場ニ入ル者ニ對シ公安交通又ハ衛生ノ取締ニ關シ臨時必要ナル措置ヲ爲スコトヲ得

第十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　許可ヲ受ケシテ市場ヲ設置シタルトキ

二　許可ヲ受ケシテ第八條ニ規定スル營業ヲ爲シ又ハ不實ノ申告ヲ爲シテ第八條ノ許可ヲ受ケタルトキ

三　第八條ノ許可ヲ受ケタル營業者營業所トシテ許可ヲ受ケタル市場外ニ於テ其ノ營業ヲ爲シタルトキ

四　第十三條若ハ第十四條ノ規定又ハ第十七條ノ命令ニ違反シタルトキ

第二十條　第八條ノ許可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十二條第一項ノ規定ニ違反シタル者

一　第十二條第一項ノ屆出ヲ爲シ若ハ虚偽ノ屆出ヲ爲シタルトキ

二　許可ノ條件又ハ營業規程ニ違反シタルトキ

三　第十六條ニ規定スル檢査ヲ拒ミ營業ノ狀況若ハ出納計算ノ報告ヲ爲サス又ハ報告ニ不實ノ記載ヲ爲シ若ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

四　營業ニ關スル書類帳簿ニ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ故意ニ必要ノ事項ヲ記載セサルトキ

第二十一條　第十八條ニ依ル營察官ノ命令ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二十二條　第十一條、第十二條第二項又ハ第十五條ニ規定スル屆出ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本令ニ規定スル罰ヲ犯シタルトキハ其ノ屆則ヲ法人ニ適用ス

法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

第二十四條　第八條ニ規定スル營業者ハ其ノ代理人戸主家族同居者雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本令ニ規定シタル罪ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ヲ免カルルコトヲ得ス

故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第二十四條ノ二　本令ハ主トシテ米ノ賣買取引ヲ爲ス市場ニハ之ヲ適用セス

附　則

第二十五條　本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十六條　委託ヲ受ケ競賣ノ方法ニ依リ貨物ヲ販賣スル市場ハ當分ノ内公共團體又ハ之ニ準スヘキモノ以外ノ者ニ對シ期限ヲ附シ其ノ設置ヲ許可スルコトヲ得

第二十七條　本令施行ノ際現ニ存在スル市場ニシテ會社又ハ個人ノ經營ニ屬セサルモノハ道長官ノ指定スル公共團體又ハ之ニ準スヘキモノニ於テ設置シタルモノハ之ヲ其ノ者ノ具備シタルモノト看做ス

第二十八條　本令施行ノ際現ニ存スル第一條第四號ノ市場及其ノ市場ヲ經營スル組合ノ組合員ニ關シテハ本令施行ノ日ヨリ一年ヲ限リ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

●朝鮮正米市場規則

昭和六年九月
總令第百十號

朝鮮正米市場規則左ノ通定ム

第一條　正米市場ハ營利ヲ目的トセサル法人又ハ米ノ賣買若ハ仲立ヲ業トスル商人ノ組合ニ非サレハ之ヲ經營スルコトヲ得ス

第二條　正米市場ヲ設置セントスルトキハ願書ニ左ノ書類ヲ添附シ朝鮮總督ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

一　定款又ハ組合規約

二　業務規程

三　組合員ノ氏名又ハ名稱、營業種目及營業所ヲ記載シタル書面

四　賣買取引スヘキ物件ノ其ノ地方ニ於ケル賣買高ヘシ

前二項ノ屆出ヲ爲シ若ハ屆出タルトキハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則（大正九年四月總令第三十八號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第一條第四號ノ市場ヲ經營スル者及其ノ仲買人ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ本令ニ依リ許可ヲ受クヘシ

前項ニ依リ許可ヲ願出タル者ハ其ノ許否決定スル迄從前ノ例ニ依リ事業ヲ繼續スルコトヲ得

本令施行前會社令ニ依リ許可ヲ受ケ第一條第四號ノ市場ヲ經營スル會社ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（昭和五年五月總令第五十三號）

本令ハ昭和五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年九月總令第百九號）

本令ハ施行ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム（昭和六年十一月總令第百三十七號ヲ以テ昭和七年一月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際現ニ存スル第一條第四號ノ市場及其ノ市場ヲ經營スル組合ノ組合員ニ關シテハ本令施行ノ日ヨリ一年ヲ限リ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

ノ見込ヲ記載シタル書面

第三條　業務規程ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　市場ノ名稱及位置

二　賣買物件ノ種類

三　市場管理者ニ關スル事項

四　賣買又ハ仲立ヲ爲ス者ニ關スル事項

五　市場ノ開閉ニ關スル事項

六　賣買又ハ仲立ノ方法ニ關スル事項

七　市場經營者ノ收受スル手數料其ノ他ノ料金ニ關スル事項

八　賣買又ハ仲立ヲ爲ス者ノ收受スル手數料其ノ他ノ料金ニ關スル事項

九　標準値段ノ決定及公示ノ方法ニ關スル事項

十　賣買又ハ仲立ノ造約ニ關スル事項

業務規程ノ變更ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第四條　正米市場ノ經營者ハ市場管理者ヲ定メ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五條　正米市場ニ於テハ米ノ外業務規程ノ定ムル所ニ依リ粟、大豆、麵其ノ他ノ雜穀又ハ肥料ヲ賣買スルコトヲ得

第六條　正米市場ニ於ケル賣買ノ受渡期限ハ賣買成立ノ日ヨリ起算シ五日ヲ超ユルコトヲ得ス

第七條　正米市場ニ於ケル賣買ハ差金ノ授受ニ依リ決濟ヲ爲スコトヲ得ス

第八條　正米市場ノ經營者ハ左ニ揭ケル書類ヲ作成シ遅滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

一　毎日標準値段表

二　毎日賣買高表

三　毎期ノ收支決算書及事業報告書

前項第一號及第二號ノ書類ハ之ヲ毎月末日ニ作成スヘシ

正米市場ノ經營者ハ毎日標準値段表ヲ公示スヘシ

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ正米市場ノ經營者ハ遅滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ但シ第四號ノ場合ニ於テハ道知事ニ屆出ツヘシ

一　自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ爲スヲ業トスル者、取引所又ハ鑛業權者ニシテ商工會議所ノ地區内ニ於テ營業税、取引所税又ハ鑛區稅ヲ一年間ニ朝鮮總督ノ定ムル額以上納ムルコト但シ地區外ニモ營業場ヲ有スル者ノ納稅額ノ算出方法ニ付テハ朝鮮總督之ヲ定ム

二　組合員異動ヲ生ジタルトキ

三　市場ヲ開始又ハ廢止シタルトキ

四　市場休業日以外ノ日ニ於テ休業シタルトキ

第十條　朝鮮總督ハ正米市場ニシテ一年以上休業シ其ノ他存續セシムル必要ナシト認ムルモノニ付テハ第二條ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十一條　朝鮮總督又ハ道知事必要アリト認ムルトキハ正米市場ノ業務ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ官吏ヲシテ正米市場ノ經營者又ハ其ノ市場ニ於テ賣買若ハ仲立ヲ爲ス者ノ業務、書類、帳簿又ハ財産ヲ檢査セシムルコトヲ得

第十二條　朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ業務規程ノ變更其ノ他監督上必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第十三條　朝鮮總督ハ正米市場ノ經營者若ハ市場管理者又ハ賣買若ハ仲立ヲ爲ス者ノ行爲カ法令若ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ第二條ノ許可ヲ取消シ、市場管理者ノ解任ヲ命シ又ハ市場ニ於ケル賣買若ハ仲立ノ禁止若ハ停止ヲ命スルコトヲ得

第十四條　許可ヲ受ケスシテ正米市場ヲ設置シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令施行ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム（昭和六年十一月總令第百三十七號ヲ以テ昭和七年一月一日ヨリ施行）

第四款　商工會議所

●朝鮮商工會議所令

昭和五年五月
制令第四號

朝鮮商工會議所令明治四十四年法律第三十號ノ第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮商工會議所令

第一條　商工會議所ハ商工會議所ニ對シ商工業ニ關スル事項ノ調査ヲ爲シ又ハ商工業者ニ對シ商工業ニ關スル統計其ノ他ノ調査ヲ爲ス必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第十四條　商工會議所ニ議員總會ヲ置ク

第十五條　議員總會ハ議員ヲ以テ之ヲ組織スル但シ第二十條第一項ノ規定ニ依リ特別議員

ルヲ以テ目的トス

第二條　商工會議所ハ法人トス

第三條　商工會議所ノ地區ハ府ノ區域ニ依ル但シ商工業ノ狀況ニ依リ必要アル場合ニ於テハ府ノ區域ニ依ルコトヲ得

特別ノ事情アル場合ニ於テハ府ト面若ハ其ノ一部又ハ面ト面若ハ其ノ一部ヲ合シテ一地區トヲ爲スコトヲ得

第四條　商工會議所ノ名稱中ニハ商工會議所ナル文字ヲ用フヘシ

第五條　商工會議所ヲ設立セントスルトキハ商工會議所ノ議員ノ被選舉權ヲ有スヘキ者三十人以上發起人トヲ爲シ會員タルヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第六條　商工會議所ハ前條ノ設立ノ認可アリタル日ニ於テ成立ス

商工會議所成立ノ後役員ノ選任アル迄ノ間必要ナル事務ハ發起人之ヲ行フ

第七條　定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　名稱、地區及事務所ノ所在地

二　議員ノ定數及選舉ニ關スル規定

三　役員ノ定數、權限及選任ニ關スル規定

四　會議ニ關スル規定

五　事業及其ノ執行ニ關スル規定

六　庶務及會計ニ關スル規定

第八條　左ノ條件ヲ具フル者ハ商工會議所ノ會員トス

一　帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル會社ナルコト但シ會社ニ在リテハ資本又ハ財産ヲ目的トスル出資ノ半額以上ヲ議決權ノ過半數カ帝國臣民（帝國法令ニ依リ設立シタル法人ヲ含ム）ニ屬スルモノタルコトヲ要ス

二　商工會議所ノ地區内ニ於テ引續キ一年以上本店、支店其ノ他ノ營業場ヲ有スルコト

三　自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ爲スヲ業トスル者、取引所又ハ鑛業權者ニシテ商工會議所ノ地區内ニ於テ營業税、取引所税又ハ鑛區稅ヲ一年間ニ朝鮮總督ノ定ムル額以上納ムルコト但シ地區外ニモ營業場ヲ有スル者ノ納稅額ノ算出方法ニ付テハ朝鮮總督之ヲ定ム

前項第三號ノ納稅額決定以前ニ於テハ其ノ最近ニ決定セラレタル一年間ノ納稅額ヲ以テ其ノ納稅額ト看做ス

四　商工業ニ關スル團體又ハ仲介又ハ斡旋

五　商工業ニ關スル證明又ハ仲裁

六　商工業ニ關スル統計ノ調査及編集

七　其ノ他商工業ノ改善發達ヲ圖ルニ必要ナル事業

第十一條　商工會議所ハ商工業ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得

商工會議所ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

第十二條　行政官廳ハ商工會議所ニ對シ商工業ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

第十三條　商工會議所ハ商工業者ニ對シ商工業ニ關スル統計其ノ他ノ調査ヲ爲ス必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第十四條　商工會議所ニ議員總會ヲ置ク

第十五條　議員總會ハ議員ヲ以テ之ヲ組織スル但シ第二十條第一項ノ規定ニ依リ特別議員

二　同一商工會議所ノ議員又ハ特別議員タルコト

三　議員ノ選舉權及被選舉權停止ノ者

第二十三條　議員及特別議員ハ名譽職トス

第二十四條　議員ノ任期ハ三年トス

前項ノ期間ハ議員ノ總選舉ノ第一日ヨリ之ヲ起算ス

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

特別議員ハ議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第二十五條　議員ニシテ其ノ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル者ハ其ノ職ヲ失ソ

議員ニシテ其ノ選舉權及被選舉權ヲ停止セラレタル者亦前項ニ同ジ

第二十六條　左ノ事項ハ議員總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

一　經費ノ豫算及賦課徵收方法

二　經費報告及收支決算ノ承認

四　借入金

五　議員又ハ役員ノ解任

六　過怠金ノ徵收

七　議員ノ選舉權及被選舉權ノ停止

八　商工會議所ノ解散

九　其ノ他重要ナル事項

前項第一號、第二號、第四號及第八號ニ掲ゲル事項ノ議決ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ但シ其ノ年度內ノ收入ヲ以テ償還スベキ一時ノ借入金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條　議員總會ノ議長ハ會頭、會頭事故アルトキハ副會頭ヲ以テ之ニ充ツ會頭及副會頭共ニ事故アルトキハ出席議員ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

議員總會ハ議員及特別議員ノ三分ノ一以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ

第二十八條　商工會議所ハ少クトモ毎年一回其ノ事業成績ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十九條　商工會議所ハ收支決算ヲ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第三十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內議員又ハ役員ノ選舉權及被選舉權ヲ停止スルコトヲ得

第三十一條　商工會議所ハ其ノ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

商工會議所ハ經費賦課ノ額ニ關スル制限及經費賦課ノ方法ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三十二條　商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款違反者ニ對シ過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第三十三條　經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ會頭ノ請求アルトキハ府面ハ國稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商工會議所ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ五ヲ府面ニ交付スベシ

前項ノ徵收金ハ府面ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

經費ノ賦課徵收又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立及裁決ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第三十四條　商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手數料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手數料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十五條　商工會議所ハ職務ヲ怠リ其ノ他不正ノ行爲アリタル議員又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第三十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ選舉權及被選舉權ヲ停止スルコトヲ得

第三十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任セラレタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內議員ノ選舉權及被選舉權ヲ停止スルコトヲ得

第三十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第三十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第四十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第四十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第四十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第四十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第四十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第四十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第四十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第四十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第四十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第四十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第五十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第五十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第五十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第五十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第五十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第五十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第五十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第五十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第五十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第五十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第六十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第六十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第六十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第六十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第六十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第六十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第六十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第六十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第六十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第六十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第七十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第七十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第七十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第七十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第七十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第七十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第七十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第七十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第七十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第七十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第八十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第八十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第八十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第八十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第八十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第八十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第八十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第八十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第八十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第八十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第九十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第九十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第九十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第九十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第九十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第九十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第九十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第九十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第九十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第九十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百二十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百二十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百二十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百二十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百二十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百二十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百二十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百二十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百二十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百二十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百三十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百三十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百三十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百三十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百三十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百三十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百三十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百三十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百三十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百三十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百四十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百四十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百四十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百四十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百四十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百四十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百四十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百四十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百四十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百四十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百五十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百五十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百五十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百五十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百五十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百五十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百五十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百五十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百五十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百五十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百六十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百六十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百六十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百六十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百六十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百六十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百六十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百六十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百六十八條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百六十九條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百七十條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百七十一條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百七十二條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百七十三條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百七十四條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百七十五條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百七十六條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ關シ投票ヲ爲シ又ハ候補者ト爲ルコトヲ得ズ

第百七十七條　商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ三年以內ニ其ノ議員ノ選舉ニ

一　事業報告ノ承認
二　借入金
三　過怠金ノ徴收
四　朝鮮商工會議所ノ設立ノ同意
五　朝鮮商工會議所令第四十二條ノ議決

第十三條　役員ノ選任ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ議決ハ其ノ履歴書ヲ、役員ノ選任ニ付テハ其ノ履歴書ノ外其ノ代表者ノ履歴書ヲ添附シ其ノ旨ヲ遅滯ナク朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第十四條　議員、特別議員又ハ役員ノ退任アリタルトキハ商工會議所ハ其ノ氏名又ハ名稱及退任ノ事由ヲ其ノ旨ヲ遅滯ナク朝鮮總督ニ届出ヅベシ但シ朝鮮總督又ハ道知事ニ於テ解任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ届出アリタルトキハ商工會議所ハ其ノ氏名又ハ名稱及退任ノ事由ヲ其ノ旨ヲ遅滯ナク朝鮮總督又ハ道知事ニ於テ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ遅滯ナク朝鮮總督ニ届出ヅベシ但シ朝鮮總督又ハ道知事ニ於テ解任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條　理事ハ商工會議所ヲ代表シ會議所ノ事務ヲ執行シ又商工會議所ヲ代表シテ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

理事ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十六條　商工會議所ハ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第十七條　商工會議所ハ會員ニ對シ一年間ノ費業稅、取引所稅又ハ鑛產稅ノ地區內ニ於ケル納稅額ヲ標準トシ左ノ制限內ニ於テ定メタル賦課率ニ依リ其ノ經費ヲ賦課スルコトヲ得

一　營業稅　百分ノ五十
二　取引所稅　百分ノ二十
三　鑛產稅　百分ノ四十

前項ノ納稅額決定以前ニ於テ其ノ最近ニ決定セラレタル一年間ノ納稅額ヲ以テ其ノ納稅額ト看做ス

特別ノ必要アル場合ニ於テハ商工會議所ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第一項ノ制限ヲ超過シテ其ノ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第十八條　商工會議所ハ經費負擔義務者ニ對シ其ノ負擔義務ノ發生シタル月ヨリ其ノ消滅シタル月迄ノ月割額ヲ超エテ經費ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ既ニ徴收シタル經費ハ定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ還付セザルコトヲ得

事業年度一年ニ滿チザル場合ニ於テハ前條ノ賦課率ハ其ノ年度ノ開始シタル月ヨリ其ノ終了シタル月迄ノ月割ヲ以テ計算ス

第十九條　商工會議所ハ毎年一月末日迄ニ次年度ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ノ認可申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ但シ商工會議所ヲ新ニ設立シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スコトヲ得

初年度ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ノ認可申請書ハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ノ認可申請書ニハ議事錄ノ謄本ヲ添附スベシ

前三項ノ認可申請書ニハ議事錄ノ謄本ヲ添附スベシ

第二十條　商工會議所ノ經費ノ賦課又ハ過怠金ノ徴收ノ通知ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ商工會議所ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ商工會議所ハ遲滯ナク議員總會ノ議決ヲ經テ決定ヲ爲シ異議申立人ニ之ヲ通知スベシ

第二十一條　前條第二項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ決定書ノ謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ道知事ニ審查ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ審查ノ請求アリタルトキハ道知事ハ遲滯ナク議員總會ノ議決ヲ經テ決定ヲ爲シ其ノ決定書ノ謄本ヲ交付アリタル日ヨリ三十日以内ニ朝鮮總督ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

第二十二條　朝鮮商工會議所令第三十三條第一項ノ處分ニ不服アル者ハ處分アリタル日ヨリ三十日以内ニ道知事ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ヲ受ケタル者又ハ商工會議所ニ於テ其ノ裁決ニ不服アルトキハ裁決書ノ謄本ノ交付アリタル日ヨリ三十日以内ニ朝鮮總督ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

第二十三條　朝鮮商工會議所令第三十三條第一項ノ處分ニ不服アル者又ハ商工會議所ニ於テ其ノ裁決ニ不服アルトキハ裁決書ノ謄本ノ交付アリタル日ヨリ三十日以内ニ朝鮮總督ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

第二十四條　借入金ヲ爲サントスルトキハ商工會議所ハ其ノ金額、利率、期間、擔保ノ有無及種別、借入先、借入ヲ必要トスル事由竝ニ償還方法ヲ記載シタル認可申請書ニ議事錄ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ但シ朝鮮總督又ハ道知事ニ於テ解任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條　商工會議所ノ定款ノ變更及解散ノ議決ヲ爲シタル事由竝ニ償還方法ヲ具シ其ノ旨ヲ遅滯ナク朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第二十七條　商工會議所解散シタルトキハ朝鮮總督ハ其ノ旨ヲ告示ス

第二十八條　商工會議所ニ於テ清算人ヲ選任シタルトキハ其ノ履歴書ヲ添附シ遅滯ナク認可申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

清算人ノ退任アリタルトキハ商工會議所ハ其ノ氏名及退任ノ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ遅滯ナク道知事ニ届出ヅベシ但シ朝鮮總督又ハ道知事ニ於テ解任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

道知事ハ清算人ノ選任ヲ認可シ又ハ清算人ヲ選任シタルトキハ其ノ氏名及住所ヲ告示スベシ清算人ノ退任アリタルトキ亦同ジ

第二十九條　清算人ハ就職ノ日ヨリ六月以内ニ清算及財產處分ノ方法ヲ定メ議員總會ノ議決ヲ經ベシ

前項ノ清算及財產處分ノ方法ニシテ議員總會ノ議決ヲ經タルトキハ財產目錄及貸借對照表ヲ添附シ七日以内ニ認可申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

清算人タル者ナキトキハ道知事之ヲ選任スベシ

清算人ノ退任アリタルトキハ商工會議所ハ其ノ氏名及住所ヲ告示スベシ清算人ノ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ遅滯ナク道知事ニ届出ヅベシ但シ朝鮮總督又ハ道知事ニ於テ解任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ノ認可申請書ニハ議事錄ノ謄本ヲ添附スベシ

第二十一條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スコトヲ得

第二十二條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第二十三條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第二十四條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第二十五條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第二十六條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第二十七條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第二十八條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第二十九條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十一條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十二條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十三條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十四條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十五條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十六條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十七條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十八條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十九條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四十條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四十一條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四十二條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四十三條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四十四條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四十五條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四十六條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四十七條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四十八條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四十九條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五十條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五十一條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五十二條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五十三條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五十四條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五十五條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五十六條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五十七條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五十八條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五十九條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六十條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六十一條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六十二條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六十三條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六十四條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六十五條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六十六條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六十七條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六十八條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六十九條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七十條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七十一條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七十二條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七十三條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七十四條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七十五條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七十六條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七十七條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七十八條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七十九條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第八十條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第八十一條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第八十二條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第八十三條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第八十四條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第八十五條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第八十六條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第八十七條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第八十八條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第八十九條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第九十條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第九十一條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第九十二條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第九十三條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第九十四條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第九十五條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第九十六條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第九十七條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第九十八條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第九十九條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百一條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百二條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百三條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百四條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百五條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百六條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百七條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百八條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百九條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百十條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百十一條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百十二條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百十三條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百十四條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百十五條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百十六條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百十七條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百十八條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百十九條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百二十條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百二十一條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百二十二條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百二十三條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百二十四條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百二十五條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百二十六條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百二十七條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百二十八條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百二十九條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百三十條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百三十一條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百三十二條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百三十三條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百三十四條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百三十五條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百三十六條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百三十七條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百三十八條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百三十九條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第百四十條　商工會議所ハ其ノ經費ノ豫算及賦課徴收方法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以内ニ差出スベシ但シ

第十條　選舉人又ハ其ノ代人ニ非ザル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ズ但シ選舉會場ノ非常ノ際ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條　選舉人ハ投票ノ際氏名ヲ自書シ且選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シテ投函スベシ

第十二條　選舉人又ハ其ノ代人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シ且選舉會場ニ於テ投票用紙ヲ投票スルコトヲ得

第十三條　投票ノ拒否ハ選舉立會人ノ決定ニ從フ

第十四條　選舉ハ會社又ハ無能力者ナルトキハ左ニ掲グル者ニシテ帝國臣民タル能力者ノ中ヨリ其ノ代人ヲ定ムベシ

一　會社ニ在リテハ其ノ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ支配人

二　無能力者ニ在リテハ親權者、後見人又ハ保佐人又ハ法定代理人

第十五條　選舉ハ會社又ハ無能力者ナルトキハ左ニ掲グル者ニシテ帝國臣民タル能力者ノ中ヨリ其ノ代人ヲ定ムベシ

一　會社ニ在リテハ其ノ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ支配人

二　無能力者ニ在リテハ親權者、後見人又ハ保佐人ニシテ同一ノ選舉ニ於テ二人以上ノ選舉人ノ代人トナルコトヲ得ズ

第十六條　選舉ハ代人ヲシテ投票セシムル場合ニ於テハ其ノ代人ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ニ非ザレバ之ヲ選舉スルコトヲ得ズ

第十七條　選舉人名簿ハ選舉ノ日前五日間之ヲ縱覽ニ供スベシ

縱覽ノ期間ハ選舉會場ニ於テ之ヲ告示スベシ

第十八條　選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ニシテ選舉ノ日ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ選舉ヲ行フコトヲ得ズ

一　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二　破產者ニシテ復權ヲ得サル者

三　選舉ニ關スル犯罪ニ因リ選舉權及被選舉權ヲ停止セラレタル者

四　懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至ラサル者

五　懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ執行猶豫ノ期間ヲ經過シタル後其ノ刑ノ言渡ノ效力ヲ失ハサル者

六　懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ刑ノ時效ノ完成セサル者

七　被選舉權ヲ有セサル者

第十九條　有效投票ハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

當選者ヲ定ムルニ當リ得票數同シキトキハ年長者ヲ取リ年齡ニ依リ難キトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムベシ

第二十條　當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキ又ハ被選舉權停止セラレタルトキハ其ノ當選ヲ失フ

第二十一條　選舉長又ハ其ノ代人ハ選舉ノ當日開票ノ場所ニ於テ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票ヲ點檢スベシ

投票用紙ハ選舉當日選舉會場ニ於テ選舉人又ハ其ノ代人ニ之ヲ交付スベシ

投票時間內ニ選舉會場ニ入リタル選舉人又ハ其ノ代人ハ其ノ時間ヲ過ギルモ投票ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　商工會議所前條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ通知シ同時ニ當選者ノ氏名又ハ名稱及營業場ヲ告示シ且選舉錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ道知事ニ届出ヅベシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ道知事ニ届出ヅベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三日以內ニ之ヲ商工會議所ニ申出ヅベシ

一人ニシテ兩級ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三日以內ニ何レノ當選ニ應ズベキカヲ商工會議所ニ申立ツベシ其ノ期間內ニ之ヲ申立テザルトキハ商工會議所ニ於テ抽籤シテ之ヲ定ムベシ

當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ

選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ若ハ達セザルニ至リタルトキハ商工會議所ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且之ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第二十三條　當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルニ至リタル場合ニ於テ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者ノ中ヨリ商工會議所ノ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第十九條ノ規定ヲ準用ス

當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ滿チザルトキハ商工會議所ハ三月以內ニ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フベシ

前項ノ事由議員ノ任期滿了前六月以內ニ生ジタルトキハ前項ノ選舉ハ之ヲ行ハズ但シ議員ノ定數ニ達セザルトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ滿チザルトキハ商工會議所ハ三月以內ニ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フベシ

第二十四條　當選者ナキトキ又ハ當選者ナキニ至リタルトキハ商工會議所ハ三月以內ニ更ニ選舉ヲ行フベシ

選舉ノ取消アリタルトキ亦前項ニ同ジ

前條第三項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第二十五條　第二十二條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ、同條第三項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ商工會議所ハ直ニ當選者ノ氏名又ハ名稱及營業場ヲ告示シ且之ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第二十六條　會社議員ニ當選シタルトキハ當選確定ノ日ヨリ五日以內ニ朝鮮商工會議所令第二十一條第一項ノ代表者ノ氏名、住居及會社ニ於ケル地位ヲ商工會議所ニ届出ヅベシ

前項ノ場合ニ於テ議員ノ定數ニ達セザルトキハ商工會議所ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且之ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第二十三條　當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルニ至リタル場合ニ於テ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者ノ中ニ就キ商工會議所ノ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムルモ仍議員ノ定數ニ滿チザルトキハ商工會議所ハ三月以內ニ補闕選舉ヲ行フベシ

前二項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍議員ノ定數ニ達セザルトキ又ハ前二項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ滿チザルトキハ商工會議所ハ三月以內ニ補闕選舉ヲ行フベシ

前二項ノ場合ニ於テハ商工會議所ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示シ且之ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第二十四條　當選者ナキトキ又ハ當選者ナキニ至リタルトキハ商工會議所ハ三月以內ニ更ニ選舉ヲ行フベシ

選舉ノ取消アリタルトキ亦前項ニ同ジ

前條第三項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第二十五條　第二十二條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ、同條第三項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ商工會議所ハ直ニ當選者ノ氏名又ハ名稱及營業場ヲ告示シ且之ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第二十六條　會社議員ニ當選シタルトキハ當選確定ノ日ヨリ五日以內ニ朝鮮商工會議所令第二十一條第一項ノ代表者ノ氏名、住居及會社ニ於ケル地位ヲ商工會議所ニ届出ヅベシ

前條ノ場合ニ於テ商工會議所ノ決定確定シ又ハ道知事ノ裁決アリタルニ因リ選舉人名簿ノ修正ヲ要スルトキハ商工會議所ハ直ニ之ヲ修正スベシ

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ商工會議所ハ直ニ其ノ旨ヲ異議申立人、裁決申請人及關係者ニ通知シ且之ヲ告示スベシ

第四條　第三條ノ場合ニ於テ商工會議所ノ決定確定シ又ハ道知事ノ裁決アリタルトキハ更ニ之ヲ調製スベシ天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ必要アルトキ亦同ジ

選舉人名簿調製後商工會議所ノ地區ノ擴張アリタル場合ニ於テハ新ニ屬シタル地區ノ選舉人ヲ選舉人名簿ニ追加スベシ此ノ場合ニ於テハ第二條乃至前條及前項ノ規定ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ依ル選舉人名簿ノ調製、追加縱覽、確定及異議ノ申立ニ對スル商工會議所ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ道知事ノ定ムル所ニ依ル

第七條　商工會議所ハ選舉期日前二十日目迄ニ選舉會場、投票及開票ノ日時竝ニ選舉スベキ議員數ヲ告示スベシ

開票ノ日ハ投票ノ日又ハ其ノ翌日トス

天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ投票ヲ行フノ必要アルトキハザルトキ又ハ更ニ投票ノ期日前五日迄ニ第一項ニ規定スル事項ヲ告示スベシ

ルトキハ之ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第八條　選舉ニ付テハ商工會議所ノ理事、理事事故アルトキハ道知事ノ指名シタル官吏選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ

選舉會ニ關スル費用ハ商工會議所ノ負擔トス

第九條　選舉長ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スベシ

選舉立會人ハ名譽職トス

第十條　選舉人又ハ其ノ代人ニ非ザル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ズ但シ選舉會場ノ非常ノ際ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ渉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ選舉長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムルコトヲ得

選舉長ハ選舉會場ノ取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第十一條　選舉人又ハ其ノ代人ハ選舉ノ當日投票時間內ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スベシ

投票用紙ハ選舉當日選舉會場ニ於テ選舉人又ハ其ノ代人ニ之ヲ交付スベシ

投票時間內ニ選舉會場ニ入リタル選舉人又ハ其ノ代人ハ其ノ時間ヲ過ギルモ投票ヲ爲スコトヲ得

第十二條　選舉人又ハ其ノ代人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シテ投函スベシ

自ラ被選舉人ノ氏名又ハ名稱ヲ書クコト能ハザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ

投票用紙ハ商工會議所ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フベシ

第十三條　確定名簿ニ登錄セラレザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ但シ選舉人名簿ニ登錄セラレタルベキ旨ノ道知事ノ裁決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル選舉人又ハ其ノ代人ハ此ノ限ニ在ラズ

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ登錄セラルコトヲ得ザル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ選舉ノ當日選舉權ヲ有セザル者又ハ選舉權停止中ノ者ナルトキ亦同ジ

第十四條　選舉人會社又ハ無能力者ナルトキハ左ニ掲グル者ニシテ帝國臣民タル能力者ノ中ヨリ其ノ代人ヲ定ムベシ

一　會社ニ在リテハ其ノ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ支配人

二　無能力者ニ在リテハ親權者、後見人又ハ保佐人ニシテ同一ノ選舉ニ於テ二人以上ノ選舉人ノ代人トナルコトヲ得ズ

第十五條　選舉ハ會社又ハ無能力者ナルトキハ左ニ掲グル者ニシテ帝國臣民タル能力者ノ中ヨリ其ノ代人ヲ定ムベシ

一　會社ニ在リテハ其ノ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ支配人

二　無能力者ニ在リテハ親權者、後見人又ハ保佐人ニシテ同一ノ選舉ニ於テ二人以上ノ選舉人ノ代人トナルコトヲ得ズ

第十六條　選舉ハ代人ヲシテ投票セシムル場合ニ於テハ其ノ代人ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ニ非ザレバ之ヲ選舉スルコトヲ得ズ

第十七條　左ノ投票ハ之ヲ無效トス

一　成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ

二　現ニ商工會議所ノ議員ノ職ニ在ル者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シタルモノ

三　一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シタルモノ

四　被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

五　被選舉權ナキ者又ハ被選舉權ノ停止中ノ者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シタルモノ

六　被選舉人ノ氏名又ハ名稱ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

七　被選舉人ノ氏名又ハ名稱ヲ自書セザルモノ

連記投票ノ方法ニ依リタル場合ニ於テハ前項第一號、第六號若ハ第七號ニ該當スルモノ又ハ其ノ記載ノ人員選舉ニ關スル可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決定ス

第十八條　選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ニシテ選舉ノ日ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ選舉ヲ行フコトヲ得ズ

一　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二　破產者ニシテ復權ヲ得サル者

三　選舉ニ關スル犯罪ニ因リ選舉權及被選舉權ヲ停止セラレタル者

四　懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至ラサル者

五　懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ執行猶豫ノ期間ヲ經過シタル後其ノ刑ノ言渡ノ效力ヲ失ハサル者

六　懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ刑ノ時效ノ完成セサル者

七　被選舉權ヲ有セサル者

第十九條　有效投票ハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

當選者ヲ定ムルニ當リ得票數同シキトキハ年長者ヲ取リ年齡ニ依リ難キトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムベシ

第二十條　當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキ又ハ被選舉權停止セラレタルトキハ其ノ當選ヲ失フ

第二十一條　選舉長又ハ其ノ代人ハ選舉ノ當日開票ノ場所ニ於テ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票ヲ點檢スベシ

投票用紙ハ選舉當日選舉會場ニ於テ選舉人又ハ其ノ代人ニ之ヲ交付スベシ

投票時間內ニ選舉會場ニ入リタル選舉人又ハ其ノ代人ハ其ノ時間ヲ過ギルモ投票ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　商工會議所前條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ通知シ同時ニ當選者ノ氏名又ハ名稱及營業場ヲ告示シ且選舉錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ道知事ニ届出ヅベシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ道知事ニ届出ヅベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三日以內ニ之ヲ商工會議所ニ申出ヅベシ

一人ニシテ兩級ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三日以內ニ何レノ當選ニ應ズベキカヲ商工會議所ニ申立ツベシ其ノ期間內ニ之ヲ申立テザルトキハ商工會議所ニ於テ抽籤シテ之ヲ定ムベシ

當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第
札、四、處、本、前、ス、二、探、四、ツ、票、迫、場、三、ノ、股、法、四、法、ハ、ツ、ヲ、十、ノ、ヲ、ヲ、ヲ

朝鮮信託業令施行規則

昭和六年九月
總令第百十五號

改正　昭和八年八月第八七號

朝鮮信託業令施行規則左ノ通定ム

朝鮮信託業令施行規則

第一條　朝鮮信託業ヲ營ムトキハ信託業ノ免許申請書ニ總取締役署名シ左ニ掲ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　定款
二　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面
三　株式ノ引受ヲ證スル證券ニ足ル書面
四　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載シタル書面
五　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類
六　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本
七　發起人ガ取締役及監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類
八　創立總會ノ決議錄
九　營業所ノ位置ヲ記載シタル書面
十　免許申請前日ニ於ケル日計表
十一　預ケ先ノ預金證明書
株式會社ガ其ノ目的ヲ變更シテ信託業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ前項第一號、第二號、第九號及第十號ニ掲ゲル書類ノ外左ニ掲ゲル書類ヲ添附スベシ
一　會社登記簿ノ謄本
二　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ狀況ヲ知ルニ足ル書面
三　最終ノ財產目錄及貸借對照表
四　最終ノ損益計算及利益處分ニ關スル書面
五　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面
六　代理店ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置、代理店ノ氏名又ハ商號及住所ヲ記載シタル書面竝ニ代理店契約書
第二條　業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ左ノ區分ニ依リ其ノ營ム信託業務ノ種類ヲ記載スベシ

甲　金錢信託ニ付テハ其ノ運用方法ニ依ル區分
一　運用方法ノ特定セル金錢信託
二　運用方法ノ特定セザル金錢信託
乙　金錢信託以外ノ信託ニ付テハ信託引受ノ際受入ルル財產ノ種類ニ依ル區分
一　有價證券ノ信託
二　金錢債權ノ信託
三　動產ノ信託
四　土地及其ノ定著物ノ信託
五　地上權ノ信託
六　土地ノ賃借權ノ信託
七　土地ノ賃借權及方法ヲ記載スル書面ニハ左ノ區分ニ依リ其ノ併セ營ム業務ノ種類ヲ記載スベシ
一　保護預リ
二　債務ノ保證
三　不動產賣買ノ媒介
四　不動產賃借ノ媒介
五　金錢貸借ノ媒介
六　國債、地方債、社債若ハ株式ノ募集又ハ其ノ拂込金受入ノ取扱
七　國債、地方債、社債若ハ株式ノ元利金又ハ配當金ノ支拂ノ取扱
八　財產ニ關スル遺言ノ執行
九　會計ノ檢查
十　財產ノ取得、管理、處分又ハ清算ノ代理事務
十一　理事務
十二　債權取立ノ代理事務
十三　債務履行ノ代理事務
十四　保險ノ代理事務
第三條　業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ其ノ營ム信託業務ノ方法ニ付左ニ掲ゲル事項ヲ記載スベシ
一　信託引受ノ際受入ルル動產ノ種類
二　信託事務ノ處理ニ依リ取得スベキ財產ノ種類
三　朝鮮信託業令（以下單ニ信託業令ト稱ス）第八條ノ規定ニ依ル補塡又ハ補足ニ關スル事項

第四條　信託會社ハ信託業令第十一條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第八號ニ規定スル方法ニ依ル外運用方法ノ特定セザル金錢信託ニ關シテハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和六年九月總令第百十四號ヲ以テ昭和六年十二月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際迄一年以上引續キ信託業ヲ營ム株式會社ニシテ本令施行後一月內ニ信託業ノ免許ヲ申請スルモノニハ第二條ノ規定ヲ適用セズ

信託會社ニシテ前項ノ規定ノ適用ヲ受ケルモノノ資本金ハ本令施行後五年內ニ百萬圓以上トスルコトヲ要ス

本令施行ノ際現ニ信託業ヲ營ム株式會社ニシテ本令ニ依リ營業ノ免許ヲ受ケタルモノニハ本令施行前其ノ爲シタル契約ニシテ本令ニ依リ信託會社ノ爲スコトヲ得ザル業務ニ屬スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍之ヲ繼續スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ信託業ヲ營ム者ハ本令ニ依リ營業ノ免許ヲ受ケザル者ト雖モ本令施行前其ノ爲シタル信託ノ引受ニ付テハ其ノ信託ノ完了スル迄其ノ信託ノ引受ニ關スル業務ニ限リ仍之ヲ繼續スルコトヲ得

第二十二條（第二十三條、第二十八條第一項、第三十九條竝ニ第四十條第一項第四號及第五號ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附　則（昭和八年八月制令第十一號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和八年八月三十一日ヨリ施行）

九　信託會社カ正當ノ理由ナクシテ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第四十條ノ規定ニ依ル閱覽ノ請求ヲ拒ミ又ハ說明ヲ爲サザルトキ

前項ノ過料ニ關シテハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和六年九月總令第百十四號ヲ以テ昭和六年十二月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際迄一年以上引續キ信託業ヲ營ム株式會社ニシテ本令施行後一月內ニ信託業ノ免許ヲ申請スルモノニハ第二條ノ規定ヲ適用セズ

信託會社ニシテ前項ノ規定ノ適用ヲ受ケルモノノ資本金ハ本令施行後五年內ニ百萬圓以上トスルコトヲ要ス

本令施行ノ際現ニ信託業ヲ營ム株式會社ニシテ本令ニ依リ營業ノ免許ヲ受ケタルモノハ本令施行前其ノ爲シタル契約ニシテ本令ニ依リ信託會社ノ爲スコトヲ得ザル業務ニ屬スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍之ヲ繼續スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ信託業ヲ營ム者ハ本令ニ依リ營業ノ免許ヲ受ケザル者ト雖モ本令施行前其ノ爲シタル信託ノ引受ニ付テハ其ノ信託ノ完了スル迄其ノ信託ノ引受ニ關スル業務ニ限リ仍之ヲ繼續スルコトヲ得

第二十二條（第二十三條、第二十八條第一項、第三十九條竝ニ第四十條第一項第四號及第五號ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附　則（昭和八年八月制令第十一號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和八年八月三十一日ヨリ施行）

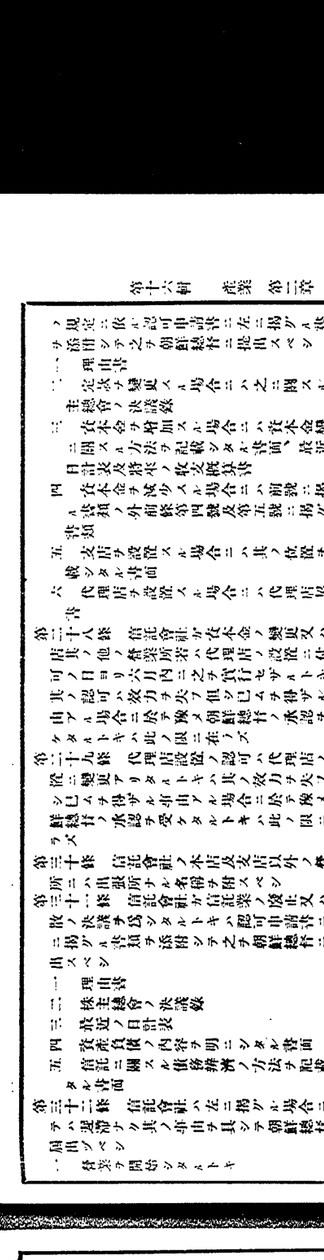
朝鮮信託業令施行規則

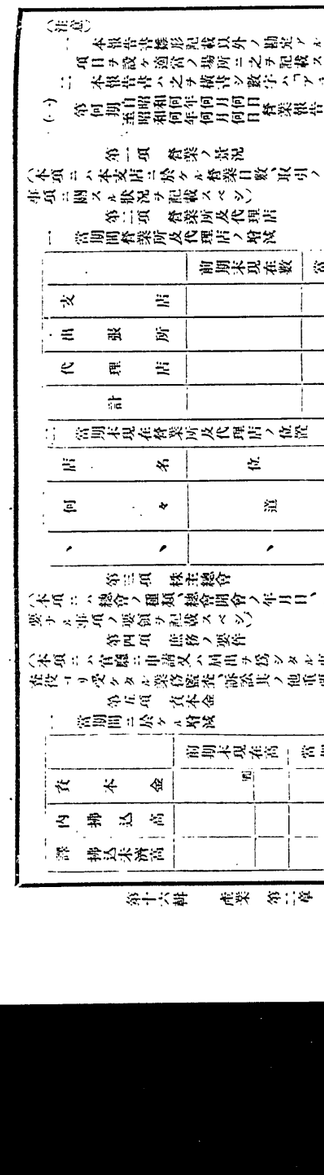
第一條　朝鮮信託業ヲ營ムトキハ信託業ノ免許申請書ニ總取締役署名シ左ニ掲ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　定款
二　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面
三　株式ノ引受ヲ證スル證券ニ足ル書面
四　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載シタル書面
五　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類
六　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本
七　發起人ガ取締役及監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類
八　創立總會ノ決議錄
九　營業所ノ位置ヲ記載シタル書面
十　免許申請前日ニ於ケル日計表
十一　預ケ先ノ預金證明書
株式會社ガ其ノ目的ヲ變更シテ信託業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ前項第一號、第二號、第九號及第十號ニ掲ゲル書類ノ外左ニ掲ゲル書類ヲ添附スベシ
一　會社登記簿ノ謄本
二　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ狀況ヲ知ルニ足ル書面
三　最終ノ財產目錄及貸借對照表
四　最終ノ損益計算及利益處分ニ關スル書面
五　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面
六　代理店ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置、代理店ノ氏名又ハ商號及住所ヲ記載シタル書面竝ニ代理店契約書
第二條　業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ左ノ區分ニ依リ其ノ營ム信託業務ノ種類ヲ記載スベシ

甲　金錢信託ニ付テハ其ノ運用方法ニ依ル區分
一　運用方法ノ特定セル金錢信託
二　運用方法ノ特定セザル金錢信託
乙　金錢信託以外ノ信託ニ付テハ信託引受ノ際受入ルル財產ノ種類ニ依ル區分
一　有價證券ノ信託
二　金錢債權ノ信託
三　動產ノ信託
四　土地及其ノ定著物ノ信託
五　地上權ノ信託
六　土地ノ賃借權ノ信託
七　土地ノ賃借權及方法ヲ記載スル書面ニハ左ノ區分ニ依リ其ノ併セ營ム業務ノ種類ヲ記載スベシ
一　保護預リ
二　債務ノ保證
三　不動產賣買ノ媒介
四　不動產賃借ノ媒介
五　金錢貸借ノ媒介
六　國債、地方債、社債若ハ株式ノ募集又ハ其ノ拂込金受入ノ取扱
七　國債、地方債、社債若ハ株式ノ元利金又ハ配當金ノ支拂ノ取扱
八　財產ニ關スル遺言ノ執行
九　會計ノ檢查
十　財產ノ取得、管理、處分又ハ清算ノ代理事務
十一　理事務
十二　債權取立ノ代理事務
十三　債務履行ノ代理事務
十四　保險ノ代理事務
第三條　業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ其ノ營ム信託業務ノ方法ニ付左ニ掲ゲル事項ヲ記載スベシ
一　信託引受ノ際受入ルル動產ノ種類
二　信託事務ノ處理ニ依リ取得スベキ財產ノ種類
三　朝鮮信託業令（以下單ニ信託業令ト稱ス）第八條ノ規定ニ依ル補塡又ハ補足ニ關スル事項

第四條　信託會社ハ信託業令第十一條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第八號ニ規定スル方法ニ依ル外運用方法ノ特定セザル金錢信託





第七項　各種信託ノ増減

（信託ノ種類ハ信託引受ノ際信託財産トシテ受入レタル財産ノ種類ニ依リテ区分セラルモノトス但シ金銭信託ト雖スルハ信託引受ノ際信託財産トシテ金銭ヲ受入レ元本タル信託財産ヲ受益セシムル場合ニ金銭ヲ以テ給付スベキモノヲ謂フ以下各項之ニ準ズ）

（信託業令施行前ノ引受其ノ他ノ事由ニ因リ信託引受ノ際信託財産トシテ信託業令第七條ニ掲ゲル財産以外ノモノヲ受入レタルモノアルトキハ各適当科目ヲ設ケテ記載シ且其ノ事由ヲ附記スベシ以下各項之ニ準ズ）

（信託財産ヨリ生ジタル利益ハ如何ナル種類ノ財産タルヲ問ハズ總テ其ノ信託財産ノ属スル科目ニ組入ルモノトス但シ其ノ生ジタル利益ニ付新ニ別箇ノ信託關係ヲ設定スベキ特約アルモノニ在リテハ之ヲ新ナル信託ノ引受トシテ適當ノ科目ヲ以テ整理スベシ以下各項之ニ準ズ）

當期間ニ於ケル増減

種類	前期繰越高	當期増加高	當期減少高	當期末現在高
	圓	圓	圓	圓
金銭信託				
金銭信託以外ノ金銭ノ信託				
有価證券ノ信託				
金銭債權ノ信託				
動産ノ信託				
土地及其ノ定著物ノ信託				
地上權ノ信託				
土地賃借權ノ信託				
計				

二　當期増加高増加事由別

種類	新規引受高	資買及評價益	運用益	其ノ他	計
	圓	圓	圓	圓	圓
金銭信託					
金銭信託以外ノ金銭ノ信託					
有価證券ノ信託					
金銭債權ノ信託					
動産ノ信託					
土地及其ノ定著物ノ信託					
地上權ノ信託					
土地賃借權ノ信託					
計					

三　當期減少高減少事由別

種類	受益者ヘ交付高	資買及償還損	評價損	其ノ他	計
	圓	圓	圓	圓	圓
金銭信託					
金銭信託以外ノ金銭ノ信託					
有価證券ノ信託					
金銭債權ノ信託					
動産ノ信託					
土地及其ノ定著物ノ信託					
地上權ノ信託					
土地賃借權ノ信託					
計					

第八項　各種信託當期末現在高金額別

種類	五萬圓以上 口數	五萬圓以上 金額	一萬圓以上五千圓未満 口數	一萬圓以上五千圓未満 金額	五千圓以上三百圓未満 口數	五千圓以上三百圓未満 金額	三百圓未満 口數	三百圓未満 金額	計 口數	計 金額	一口當金額
		圓		圓		圓		圓		圓	圓
金銭信託											
金銭信託以外ノ金銭ノ信託											
有価證券ノ信託											
金銭債權ノ信託											
動産ノ信託											
土地及其ノ定著物ノ信託											
地上權ノ信託											
土地賃借權ノ信託											
計											

（注意）金銭信託ニ付本令施行前ノ引受其ノ他ノ事由ニ因リ一口ノ金額三百圓未満ノモノアルトキハ其ノ事由ヲ附記スベシ

第九項　各種信託當期末現在高信託期間別

種類	十年以上 口數	十年以上 金額	五年以上十年未満 口數	五年以上十年未満 金額	一年以上五年未満 口數	一年以上五年未満 金額	期間ノ定ナキモノ 口數	期間ノ定ナキモノ 金額	計 口數	計 金額
		圓		圓		圓		圓		圓
金銭信託										
金銭信託以外ノ金銭ノ信託										
有価證券ノ信託										
金銭債權ノ信託										
動産ノ信託										
土地及其ノ定著物ノ信託										
地上權ノ信託										
土地賃借權ノ信託										
計										

（注意）運用方法ノ特定セザル金銭信託ニ付本令施行前ノ引受其ノ他ノ事由ニ因リ信託期間ノ一年未満ノモノ又ハ期間ノ定ナキモノアルトキハ各欄ノ左傍ニ其ノ口數及金額ヲ内書シ且其ノ事由ヲ附記スベシ

第十項　各種信託當期末現在高信託財産別

種類	金銭（金銭信託以外ノ金銭ノ信託ヲ除ク） 圓	有価證券ノ信託 圓	金銭債權ノ信託 圓	動産ノ土地及其ノ定著物ノ信託 圓	地上權ノ信託 圓	土地賃借權ノ信託 圓	計 圓
國債							
地方債							
外國證券							
信託業令第十一條第一項第一號ニ規定スル社債							
其ノ他ノ社債							
信託業令第十一條第一項第一號ニ規定スル株式							
其ノ他ノ有價證券							
國債其ノ他信託業令第十一條第一項第一號ニ規定スル擔保トスル貸付金							
不動産擔保付金							
動産擔保付金							
有價證券擔保付金							
金銭債權擔保付金							
保證貸付金							
銀行ヘノ預ケ金							
朝鮮金融組合聯合會ヘノ預ケ金							
郵便貯金							
貸付有價證券							
動産							
不動産							
地上權							
土地賃借權							
、、、、、、							
、、、、、、							
現金							
計							

第十一項　金銭信託ニ關スル特別事項

一　當期末現在高ヲ運用方法ノ特定セルモノ及特定セザルモノニ區別スレバ左ノ如シ

五　合同運用利益歩合

及	高	年	利	分	厘

種類	計	利益	元本	口数
又ハ初受約入利元金本額			円	
常期末現在額			円	
補塡補足額			円	

四　補塡又ハ補足ノ要否ヲ確定スベキ時期ニ達セザル場合ニ於テ補塡又ハ補足ヲ要スベキ状態ニ在ル元本ノ左ノ如シ

種類	計	其ノ他ノ定著物	其ノ他ノ土地	建物	坪	田	畓	種類	口数	数量	金額
					坪	歩	歩				円

三　常期間ニ於ケル元本ノ補塡及利益ノ確定セザルモノト雖別ニスレバ左ノ如シ

種類	計	利益	元本	約本常利額入受完	丁補塡又ハ補足ノ時ニ定ス額	補塡又ハ補足ノ額	内訳
			円			円	
口数							
金額							

二　常期末現在高中運用方法ノ特定セザルモノト雖別ニスレバ左ノ如シ

種類	計	運用方法ノ特定セザルモノ	運用方法ノ特定セルモノ	区分
			円	
口数				
金額				

一　(イ)　國債其ノ他有價證券

常期間ニ於ケル增減

種類	計	其ノ他ノ定著物	其ノ他ノ土地	建物	坪	田	畓	種類	口数	数量	金額
前期繰越高					坪	歩	歩				円
常期增加高											
常期減少高											
期末引償上額高											
現在高											

(ロ)　常期末現在種類別

| 種類 | 計 | 何ノ何某 | 何ノ何某 | 何ノ何某

合計

区分	前期繰越高	常期増加高	常期減少高	現常期末現在高
同上口数				

常期間ニ於ケル増減

種類	常期引出高	常期解却高	常期末現在高
郵便貯金			
預ケ金計			
、、、、			
通知預ケ金			
当座預ケ金			
前期繰越高			
常期入金高			
同上口数			

(イ) 銀行及組合銀行ヘノ預ケ金並ニ郵便貯金
常期及翌期ニ於ケル増減ヲ記載スベシ

(ロ) 常期末現在高ニ対スル担保別
(第一表(イ)ノ例ニ準ジテ記載スベシ)

種類	計	其ノ他ノ人	公共団体	会社	種類	計	証拠金ニ依ル保証	有価証券ニ依ル保証	保証ナシ
当座貸越					当座貸越				
手形貸付					手形貸付				
証書貸付					証書貸付				
割引手形					割引手形				
計					計				

(注意)
一、当期末現在高ノ内訳ハ其ノ保証ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
二、当期末現在高ノ内訳ハ其ノ保証ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
三、当期末現在高ノ内訳ハ其ノ保証ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ

五　担保別当期末現在貸付金

種類	計	、	、	担保ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
計				
、				
、				
担保ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ				

六　保証責任ノ種類別当期末現在高

種類	計	、	、	保証責任ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
計				
、				
、				
保証責任ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ				

七　当期末現在高ニ対スル担保別貸付金額

種類	計	、	、	担保ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
計				
、				
、				
担保ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ				

八　(イ)　当期末現在ニ於ケル預ケ金ノ種類別

種類	計	、	、	種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
計				
、				
、				
種類ニ依リ区別シテ記載スベシ				

(ロ)　当期末現在ニ於ケル預ケ金ノ種類別

種類	計	、	、	種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
計				
、				
、				
種類ニ依リ区別シテ記載スベシ				

九　(イ)　当期末現在ニ於ケル貸付有価証券

種類	計	、	、	種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
計				
、				
、				
種類ニ依リ区別シテ記載スベシ				

(ロ)　当期末現在ニ於ケル貸付有価証券

種類	計	、	、	種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
計				
、				
、				
種類ニ依リ区別シテ記載スベシ				

十　(イ)　動産ニ対スル当期末現在貸付有価証券

種類	計	、	、	種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
計				
、				
、				
種類ニ依リ区別シテ記載スベシ				

(ロ)　当期末現在高内訳

種類	計	、	、	種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
計				
、				
、				
種類ニ依リ区別シテ記載スベシ				

十一　不動産

(イ)　当期間ニ於ケル増減
(第十表(イ)ノ例ニ準ジテ記載スベシ)

(ロ)　当期末現在高内訳

種類	計	、	、	種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
田				
畑				
宅地				
山林				
種類ニ依リ区別シテ記載スベシ				

十二　(注意)　一、土地ノ反別ハ坪数ヲ以テ記載スベシ
二、本令施行前ノ当期末現在高ノ内訳ハ本令第十一条ノ規定ニ依リ記載スベシ

第十七表　不動産質ノ権利ヲ以テスル金銭債権ノ担保ニ関スル当期末現在高

種別	計	、	、	種別ニ依リ区別シテ記載スベシ
計				
、				
、				
種別ニ依リ区別シテ記載スベシ				

(注意)　一、当期末現在高ノ内訳ハ其ノ保証ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
二、当期末現在高ノ内訳ハ其ノ保証ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
三、当期末現在高ノ内訳ハ其ノ保証ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ

種類	計	其ノ他ノ人	公共団体	会社	種類	計	証拠金ニ依ル保証	有価証券ニ依ル保証	保証ナシ
当座貸越					当座貸越				
手形貸付					手形貸付				
証書貸付					証書貸付				
割引手形					割引手形				
計					計				

(注意)　一、当期末現在高ノ内訳ハ其ノ保証ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
二、当期末現在高ノ内訳ハ其ノ保証ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
三、当期末現在高ノ内訳ハ其ノ保証ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ

種類	計	、	、	種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
計				
、				
、				
種類ニ依リ区別シテ記載スベシ				

(注意)　一、当期末現在高ノ内訳ハ其ノ保証ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
二、当期末現在高ノ内訳ハ其ノ保証ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ
三、当期末現在高ノ内訳ハ其ノ保証ノ種類ニ依リ区別シテ記載スベシ

一　當期中ニ於ケル增減

種類	前期繰越高	當期引受件數	當期終了件數	在高
計				
、、、、				
保險ノ引受及取扱				
保險ノ履行及取扱				
保險ノ代理取扱				

二　當期末現在作數ヲ種類ニ依リ區分スレバ左ノ如シ

種類	件數
計	
他人ノ爲メ	
會社	
個人	
官廳	

第二十二項　財産管理ノ代理取扱ニ係ル當期末現在管理財産

種類	數量	評價額
計		
、、、		
建物	坪	
倉庫	坪	
田	歩	
畑	歩	
株式	株	
社債	圓	
地方債	圓	
國債	圓	

第二十三項　債權取立ノ代理取扱

種類	前期繰越高	當期引受高	當期取立濟高	當期末現在取立未濟高
計				
、、、				

第二十四項　債務履行ノ代理取扱

種類	前期繰越高	當期引受高	當期履行高	當期末現在履行未濟高
計				
、、、				

第二十五項　保險ノ代理取扱

保險ノ種類	前期繰越高		當期增加高		當期減少高		當期末現在高	
	保險金額	口數	保險金額	口數	保險金額	口數	保險金額	口數
計								
、、、、								
火災保險								
生命保險								

（一）（本項ハ第二十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

（二）（本項ハ第二十八項第二號ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

一　當期中ニ於ケル增減

種類	前期繰越高	當期引受件數	當期終了件數	在高
計				
、、、、				
建物	坪			
倉庫	坪			
田	歩			
畑	歩			
株式	株			
社債	圓			
地方債	圓			
國債	圓			

二　當期末現在高內譯

種類	數量	評價額
計		
、、、		
建物	坪	
倉庫	坪	
田	歩	
畑	歩	
株式	株	
社債	圓	
地方債	圓	
國債	圓	

第二十六項　所有不動産ヲ記載スベシ

（一）（本項ハ第二十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

（二）（本項ハ第二十七項第二號ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

一　當期中ニ於ケル增減

種類	前期繰越高	當期引受件數	當期終了件數	在高
計				
、、、				
建物	坪			
倉庫	坪			
田	歩			
畑	歩			
株式	株			
社債	圓			
地方債	圓			
國債	圓			

二　當期末現在高內譯

種類	數量	評價額
計		
、、、		
建物	坪	
倉庫	坪	
田	歩	
畑	歩	
株式	株	
社債	圓	
地方債	圓	
國債	圓	

第二十七項　有價證券及株式ノ募集ノ當期取扱高

一　當期中ニ於ケル增減

種類	前期繰越高	當期引受件數	當期終了件數	在高
計				
株式				
社債				
地方債				
國債				

二　當期末現在高內譯

種類	數量	評價額
計		
株式		
社債		
地方債		
國債		

第二十八項　有價證券ノ賣買ノ當期取扱高

一　當期中ニ於ケル增減

種類	前期繰越高	當期買入件數	當期賣渡件數	在高
計				
株式				
社債				
地方債				
國債				

二　當期末現在高內譯

種類	數量	評價額
計		
株式		
社債		
地方債		
國債		

第二十九項　國債、地方債、社債及株式ノ募集ノ當期取扱高

一　當期中ニ於ケル增減

種類	前期繰越高	當期引受件數	當期終了件數	在高
計				
株式				
社債				
地方債				
國債				

二　當期末現在高內譯

種類	數量	評價額
計		
株式		
社債		
地方債		
國債		

第三十項　有價證券賣買ノ當期取扱高

一　當期中ニ於ケル增減

種類	前期繰越高	當期買入件數	當期賣渡件數	在高
計				
株式				
社債				
地方債				
國債				

二　當期末現在高內譯

種類	數量	評價額
計		
株式		
社債		
地方債		
國債		

第三十一項　國債、地方債、社債及株式ノ募集ノ當期取扱高

一　當期中ニ於ケル增減

種類	前期繰越高	當期引受件數	當期終了件數	在高
計				
株式				
社債				
地方債				
國債				

二　當期末現在高內譯

種類	數量	評價額
計		
株式		
社債		
地方債		
國債		

二　常期末現在代理店別

何	代理店名	金額	有価証券			不動産		動産		類			
、	、	円	円			円		円		、			
、	、									、			

一　常期間ニ於ケル増減

前期繰越高	常期増加高	常期減少高	常期銷却高	常期末現在高
円	円	円	円	円

（本項ニハ第十八項第二號以外ノ立替金ノ當期ニ於ケル増減ヲ前項第一號ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

第三十九項

（本項ニハ第十八項第二號假受金ノ欄ニ掲ゲルモノ以外ノ假受金ヲ記載スベシ）

第四十項　假受金

（本項ニハ第十八項第一號假受金ノ當期ニ於ケル増減ヲ前項第一號ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

第四十一項　立替金

前期繰越高	當期増加高	當期減少高	當期末現在高
円	円	円	円

（本項ニハ第十八項第一號立替金ノ欄ニ掲ゲルモノ以外ノ立替金ヲ記載スベシ）

第四十二項　未收金

（本項ニハ第四十項ノ假受金ニ對スル未收金ヲ記載スベシ）

第四十三項　未拂金

（本項ニハ第四十一項ノ立替金ニ對スル未拂金ヲ記載スベシ）

第四十四項　前拂費用

（本項ニハ第四十二項ノ未收金ニ對スル前拂費用ヲ記載スベシ）

第四十五項　未收收益

（本項ニハ第四十三項ノ未拂金ニ對スル未收收益ヲ記載スベシ）

第四十六項　前受收益

（本項ニハ第四十四項ノ前拂費用ニ對スル前受收益ヲ記載スベシ）

第四十七項　假拂金

（本項ニハ第四十五項ノ假受金ニ對スル假拂金ヲ記載スベシ）

第四十八項　本支店勘定

（本項ニハ本店又ハ支店ニ於テ他ノ本店又ハ支店ノ勘定ヲ記載スベシ）

第四十九項　常期末現在株主氏名及持株

（注意）一　取締役又ハ監査役ノ有スル特別ノ利害關係ヲ有スル株主ニ付テハ其ノ氏名ノ次ニ其ノ利害關係ノ種類ヲ括弧内ニ記載スベシ

二　本店ノ所在地ノ記載ハ登記ノ場合ニ於ケル登記ノ程度ニ準ジ又ハ登記ノ場合ニ於ケル登記ノ程度ニ準ジテ記載スベシ

三　株主ノ住所ノ記載ハ登記ノ場合ニ於ケル登記ノ程度ニ準ジテ記載スベシ

何株式（何個拂込済）	何株式（何個拂込済）	合計	住所	氏名又ハ名稱
株	株	株		
計	計			

（二）

第何期末（昭和　年　月　日現在）貸對照表

借方	金額	貸方	金額
現金	円	當座借越	円
當座預金		支拂手形	
受取手形		買掛金	
有價證券		借入金	
割引手形		未拂金	
貸付金		前受收益	
未收收益		預金	
前拂費用		假受金	
假拂金		未拂利益配當金	
未拂金		未拂利益總額	
立替金		資本金	
株式拂込未了額		法定準備金	
株金拂込剰餘金		任意準備金	
土地		當期利益金	
建物			
什器			
特許權			
營業權			
合計		合計	

（注意）一　本表ハ第四十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二　本表ニハ第四十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三　本表ニハ第四十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

四　本表ニハ第四十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

五　本表ニハ第五十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

六　本表ニハ第五十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

七　本表ニハ第五十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

八　本表ニハ第五十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

九　本表ニハ第五十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

十　本表ニハ第五十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

十一　本表ニハ第五十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

十二　本表ニハ第五十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

十三　本表ニハ第五十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

十四　本表ニハ第五十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

十五　本表ニハ第六十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

十六　本表ニハ第六十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

十七　本表ニハ第六十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

十八　本表ニハ第六十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

十九　本表ニハ第六十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二十　本表ニハ第六十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二十一　本表ニハ第六十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二十二　本表ニハ第六十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二十三　本表ニハ第六十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二十四　本表ニハ第六十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二十五　本表ニハ第七十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二十六　本表ニハ第七十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二十七　本表ニハ第七十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二十八　本表ニハ第七十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二十九　本表ニハ第七十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三十　本表ニハ第七十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三十一　本表ニハ第七十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三十二　本表ニハ第七十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三十三　本表ニハ第七十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三十四　本表ニハ第七十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三十五　本表ニハ第八十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三十六　本表ニハ第八十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三十七　本表ニハ第八十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三十八　本表ニハ第八十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三十九　本表ニハ第八十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

四十　本表ニハ第八十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

四十一　本表ニハ第八十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

四十二　本表ニハ第八十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

四十三　本表ニハ第八十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

四十四　本表ニハ第八十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

四十五　本表ニハ第九十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

四十六　本表ニハ第九十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

四十七　本表ニハ第九十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

四十八　本表ニハ第九十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

四十九　本表ニハ第九十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

五十　本表ニハ第九十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

五十一　本表ニハ第九十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

五十二　本表ニハ第九十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

五十三　本表ニハ第九十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

五十四　本表ニハ第九十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

五十五　本表ニハ第百項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

五十六　本表ニハ第百一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

五十七　本表ニハ第百二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

五十八　本表ニハ第百三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

五十九　本表ニハ第百四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

六十　本表ニハ第百五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

六十一　本表ニハ第百六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

六十二　本表ニハ第百七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

六十三　本表ニハ第百八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

六十四　本表ニハ第百九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

六十五　本表ニハ第百十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

六十六　本表ニハ第百十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

六十七　本表ニハ第百十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

六十八　本表ニハ第百十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

六十九　本表ニハ第百十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

七十　本表ニハ第百十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

七十一　本表ニハ第百十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

七十二　本表ニハ第百十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

七十三　本表ニハ第百十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

七十四　本表ニハ第百十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

七十五　本表ニハ第百二十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

七十六　本表ニハ第百二十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

七十七　本表ニハ第百二十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

七十八　本表ニハ第百二十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

七十九　本表ニハ第百二十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

八十　本表ニハ第百二十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

八十一　本表ニハ第百二十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

八十二　本表ニハ第百二十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

八十三　本表ニハ第百二十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

八十四　本表ニハ第百二十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

八十五　本表ニハ第百三十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

八十六　本表ニハ第百三十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

八十七　本表ニハ第百三十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

八十八　本表ニハ第百三十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

八十九　本表ニハ第百三十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

九十　本表ニハ第百三十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

九十一　本表ニハ第百三十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

九十二　本表ニハ第百三十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

九十三　本表ニハ第百三十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

九十四　本表ニハ第百三十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

九十五　本表ニハ第百四十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

九十六　本表ニハ第百四十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

九十七　本表ニハ第百四十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

九十八　本表ニハ第百四十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

九十九　本表ニハ第百四十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百　本表ニハ第百四十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百一　本表ニハ第百四十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百二　本表ニハ第百四十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百三　本表ニハ第百四十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百四　本表ニハ第百四十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百五　本表ニハ第百五十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百六　本表ニハ第百五十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百七　本表ニハ第百五十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百八　本表ニハ第百五十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百九　本表ニハ第百五十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百十　本表ニハ第百五十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百十一　本表ニハ第百五十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百十二　本表ニハ第百五十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百十三　本表ニハ第百五十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百十四　本表ニハ第百五十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百十五　本表ニハ第百六十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百十六　本表ニハ第百六十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百十七　本表ニハ第百六十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百十八　本表ニハ第百六十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百十九　本表ニハ第百六十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百二十　本表ニハ第百六十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百二十一　本表ニハ第百六十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百二十二　本表ニハ第百六十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百二十三　本表ニハ第百六十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百二十四　本表ニハ第百六十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百二十五　本表ニハ第百七十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百二十六　本表ニハ第百七十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百二十七　本表ニハ第百七十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百二十八　本表ニハ第百七十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百二十九　本表ニハ第百七十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百三十　本表ニハ第百七十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百三十一　本表ニハ第百七十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百三十二　本表ニハ第百七十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百三十三　本表ニハ第百七十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百三十四　本表ニハ第百七十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百三十五　本表ニハ第百八十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百三十六　本表ニハ第百八十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百三十七　本表ニハ第百八十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百三十八　本表ニハ第百八十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百三十九　本表ニハ第百八十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百四十　本表ニハ第百八十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百四十一　本表ニハ第百八十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百四十二　本表ニハ第百八十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百四十三　本表ニハ第百八十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百四十四　本表ニハ第百八十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百四十五　本表ニハ第百九十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百四十六　本表ニハ第百九十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百四十七　本表ニハ第百九十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百四十八　本表ニハ第百九十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百四十九　本表ニハ第百九十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百五十　本表ニハ第百九十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百五十一　本表ニハ第百九十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百五十二　本表ニハ第百九十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百五十三　本表ニハ第百九十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百五十四　本表ニハ第百九十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百五十五　本表ニハ第二百項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百五十六　本表ニハ第二百一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百五十七　本表ニハ第二百二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百五十八　本表ニハ第二百三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百五十九　本表ニハ第二百四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百六十　本表ニハ第二百五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百六十一　本表ニハ第二百六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百六十二　本表ニハ第二百七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百六十三　本表ニハ第二百八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百六十四　本表ニハ第二百九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百六十五　本表ニハ第二百十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百六十六　本表ニハ第二百十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百六十七　本表ニハ第二百十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百六十八　本表ニハ第二百十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百六十九　本表ニハ第二百十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百七十　本表ニハ第二百十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百七十一　本表ニハ第二百十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百七十二　本表ニハ第二百十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百七十三　本表ニハ第二百十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百七十四　本表ニハ第二百十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百七十五　本表ニハ第二百二十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百七十六　本表ニハ第二百二十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百七十七　本表ニハ第二百二十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百七十八　本表ニハ第二百二十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百七十九　本表ニハ第二百二十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百八十　本表ニハ第二百二十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百八十一　本表ニハ第二百二十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百八十二　本表ニハ第二百二十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百八十三　本表ニハ第二百二十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百八十四　本表ニハ第二百二十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百八十五　本表ニハ第二百三十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百八十六　本表ニハ第二百三十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百八十七　本表ニハ第二百三十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百八十八　本表ニハ第二百三十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百八十九　本表ニハ第二百三十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百九十　本表ニハ第二百三十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百九十一　本表ニハ第二百三十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百九十二　本表ニハ第二百三十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百九十三　本表ニハ第二百三十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百九十四　本表ニハ第二百三十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百九十五　本表ニハ第二百四十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百九十六　本表ニハ第二百四十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百九十七　本表ニハ第二百四十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百九十八　本表ニハ第二百四十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

百九十九　本表ニハ第二百四十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百　本表ニハ第二百四十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百一　本表ニハ第二百四十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百二　本表ニハ第二百四十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百三　本表ニハ第二百四十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百四　本表ニハ第二百四十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百五　本表ニハ第二百五十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百六　本表ニハ第二百五十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百七　本表ニハ第二百五十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百八　本表ニハ第二百五十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百九　本表ニハ第二百五十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百十　本表ニハ第二百五十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百十一　本表ニハ第二百五十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百十二　本表ニハ第二百五十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百十三　本表ニハ第二百五十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百十四　本表ニハ第二百五十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百十五　本表ニハ第二百六十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百十六　本表ニハ第二百六十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百十七　本表ニハ第二百六十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百十八　本表ニハ第二百六十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百十九　本表ニハ第二百六十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百二十　本表ニハ第二百六十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百二十一　本表ニハ第二百六十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百二十二　本表ニハ第二百六十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百二十三　本表ニハ第二百六十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百二十四　本表ニハ第二百六十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百二十五　本表ニハ第二百七十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百二十六　本表ニハ第二百七十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百二十七　本表ニハ第二百七十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百二十八　本表ニハ第二百七十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百二十九　本表ニハ第二百七十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百三十　本表ニハ第二百七十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百三十一　本表ニハ第二百七十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百三十二　本表ニハ第二百七十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百三十三　本表ニハ第二百七十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百三十四　本表ニハ第二百七十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百三十五　本表ニハ第二百八十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百三十六　本表ニハ第二百八十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百三十七　本表ニハ第二百八十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百三十八　本表ニハ第二百八十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百三十九　本表ニハ第二百八十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百四十　本表ニハ第二百八十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百四十一　本表ニハ第二百八十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百四十二　本表ニハ第二百八十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百四十三　本表ニハ第二百八十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百四十四　本表ニハ第二百八十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百四十五　本表ニハ第二百九十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百四十六　本表ニハ第二百九十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百四十七　本表ニハ第二百九十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百四十八　本表ニハ第二百九十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百四十九　本表ニハ第二百九十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百五十　本表ニハ第二百九十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百五十一　本表ニハ第二百九十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百五十二　本表ニハ第二百九十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百五十三　本表ニハ第二百九十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百五十四　本表ニハ第二百九十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百五十五　本表ニハ第三百項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百五十六　本表ニハ第三百一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百五十七　本表ニハ第三百二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百五十八　本表ニハ第三百三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百五十九　本表ニハ第三百四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百六十　本表ニハ第三百五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百六十一　本表ニハ第三百六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百六十二　本表ニハ第三百七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百六十三　本表ニハ第三百八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百六十四　本表ニハ第三百九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百六十五　本表ニハ第三百十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百六十六　本表ニハ第三百十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百六十七　本表ニハ第三百十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百六十八　本表ニハ第三百十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百六十九　本表ニハ第三百十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百七十　本表ニハ第三百十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百七十一　本表ニハ第三百十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百七十二　本表ニハ第三百十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百七十三　本表ニハ第三百十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百七十四　本表ニハ第三百十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百七十五　本表ニハ第三百二十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百七十六　本表ニハ第三百二十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百七十七　本表ニハ第三百二十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百七十八　本表ニハ第三百二十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百七十九　本表ニハ第三百二十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百八十　本表ニハ第三百二十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百八十一　本表ニハ第三百二十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百八十二　本表ニハ第三百二十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百八十三　本表ニハ第三百二十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百八十四　本表ニハ第三百二十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百八十五　本表ニハ第三百三十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百八十六　本表ニハ第三百三十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百八十七　本表ニハ第三百三十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百八十八　本表ニハ第三百三十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百八十九　本表ニハ第三百三十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百九十　本表ニハ第三百三十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百九十一　本表ニハ第三百三十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百九十二　本表ニハ第三百三十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百九十三　本表ニハ第三百三十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百九十四　本表ニハ第三百三十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百九十五　本表ニハ第三百四十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百九十六　本表ニハ第三百四十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百九十七　本表ニハ第三百四十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百九十八　本表ニハ第三百四十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二百九十九　本表ニハ第三百四十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百　本表ニハ第三百四十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百一　本表ニハ第三百四十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百二　本表ニハ第三百四十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百三　本表ニハ第三百四十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百四　本表ニハ第三百四十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百五　本表ニハ第三百五十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百六　本表ニハ第三百五十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百七　本表ニハ第三百五十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百八　本表ニハ第三百五十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百九　本表ニハ第三百五十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百十　本表ニハ第三百五十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百十一　本表ニハ第三百五十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百十二　本表ニハ第三百五十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百十三　本表ニハ第三百五十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百十四　本表ニハ第三百五十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百十五　本表ニハ第三百六十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百十六　本表ニハ第三百六十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百十七　本表ニハ第三百六十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百十八　本表ニハ第三百六十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百十九　本表ニハ第三百六十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百二十　本表ニハ第三百六十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百二十一　本表ニハ第三百六十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百二十二　本表ニハ第三百六十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百二十三　本表ニハ第三百六十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百二十四　本表ニハ第三百六十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百二十五　本表ニハ第三百七十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百二十六　本表ニハ第三百七十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百二十七　本表ニハ第三百七十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百二十八　本表ニハ第三百七十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百二十九　本表ニハ第三百七十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百三十　本表ニハ第三百七十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百三十一　本表ニハ第三百七十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百三十二　本表ニハ第三百七十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百三十三　本表ニハ第三百七十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百三十四　本表ニハ第三百七十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百三十五　本表ニハ第三百八十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百三十六　本表ニハ第三百八十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百三十七　本表ニハ第三百八十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百三十八　本表ニハ第三百八十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百三十九　本表ニハ第三百八十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百四十　本表ニハ第三百八十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百四十一　本表ニハ第三百八十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百四十二　本表ニハ第三百八十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百四十三　本表ニハ第三百八十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百四十四　本表ニハ第三百八十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百四十五　本表ニハ第三百九十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百四十六　本表ニハ第三百九十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百四十七　本表ニハ第三百九十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百四十八　本表ニハ第三百九十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百四十九　本表ニハ第三百九十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百五十　本表ニハ第三百九十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百五十一　本表ニハ第三百九十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百五十二　本表ニハ第三百九十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百五十三　本表ニハ第三百九十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百五十四　本表ニハ第三百九十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百五十五　本表ニハ第四百項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百五十六　本表ニハ第四百一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百五十七　本表ニハ第四百二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百五十八　本表ニハ第四百三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百五十九　本表ニハ第四百四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百六十　本表ニハ第四百五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百六十一　本表ニハ第四百六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百六十二　本表ニハ第四百七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百六十三　本表ニハ第四百八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百六十四　本表ニハ第四百九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百六十五　本表ニハ第四百十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百六十六　本表ニハ第四百十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百六十七　本表ニハ第四百十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百六十八　本表ニハ第四百十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百六十九　本表ニハ第四百十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百七十　本表ニハ第四百十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百七十一　本表ニハ第四百十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百七十二　本表ニハ第四百十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百七十三　本表ニハ第四百十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百七十四　本表ニハ第四百十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百七十五　本表ニハ第四百二十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百七十六　本表ニハ第四百二十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百七十七　本表ニハ第四百二十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百七十八　本表ニハ第四百二十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百七十九　本表ニハ第四百二十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百八十　本表ニハ第四百二十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百八十一　本表ニハ第四百二十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百八十二　本表ニハ第四百二十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百八十三　本表ニハ第四百二十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百八十四　本表ニハ第四百二十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百八十五　本表ニハ第四百三十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百八十六　本表ニハ第四百三十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百八十七　本表ニハ第四百三十二項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百八十八　本表ニハ第四百三十三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百八十九　本表ニハ第四百三十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百九十　本表ニハ第四百三十五項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百九十一　本表ニハ第四百三十六項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百九十二　本表ニハ第四百三十七項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百九十三　本表ニハ第四百三十八項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百九十四　本表ニハ第四百三十九項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百九十五　本表ニハ第四百四十項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百九十六　本表ニハ第四百四十一項ノ例ニ準ジテ記載スベシ

三百九十

| 計 | 前期繰越金 | 、何期繰越金 | 、何期準備金 | 、何期積立金 | 、何期別途積立金 | 、何期繰越金 | 、何期繰越金 | 、何期繰越

（毎月ノ替業報告書雛形）

書告報業替分月何年何
現在末月何年何昭和

帝国社會式株式信託何

摘要	負債（貸方）		資産（借方）	
	合計	残高	高残	合計
	四	四	四	四
定勘有固				
何				
定勘託信				
何				

（注意）
一　本報告書ハ本店、支店及代理店分ヲ合算シテ作成シタル總括表ノ外本店支店
　代理店分内譯表ヲ添附シテ本店ヨリ之ヲ提出スベシ
二　勘定科目ハ貸借對照表（本支店合併貸借對照表）ノ科目ヲ記載スベシ

●朝鮮信託業令施行規則第八條ニ規定スル補足契約ノ最高利益歩合

昭和六年九月
總督第四百四十五號

朝鮮信託業令施行規則第八條ニ規定スル補足契約ノ最高利益歩合ヲ年四分七厘ト定メ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●擔保附社債信託法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件

大正九年十一月
勅令第五百三十三號

朕擔保附社債信託法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

擔保附社債信託法ハ之ヲ朝鮮ニ施行ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●擔保附社債信託法

明治三十八年三月
法律第五十二號

改正　明治四二年四第二九號、四五年四第一四號、大正三年二第三號、一一年四第六號、昭和八年四第四號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル擔保附社債信託法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

擔保附社債信託法

第一章　總則

第一條　本法ニ於テ信託會社ト稱スルハ擔保附社債ニ關スル信託事業ヲ營ム會社ヲ謂フ

第二條　社債ニ物上擔保ヲ附セムトスルトキハ其ノ社債ヲ發行スル會社ト信託會社トノ信託契約ニ從ヒ之ヲ爲スヘシ

第三條　本法ニ依ル信託ノ引受ハ之ヲ商行爲トス

第四條　社債ニ附スルコトヲ得ヘキ物上擔保ハ左ニ掲クルモノニ限ル

一　動産質
二　證書アル債權質
三　信託證書ノ表示

擔保ノ價格ヲ知ラシムル必要アル程度ニ於テ第十九條第九號ニ掲ケタル事項ノ概要ノ表示

四ノ二　受託會社カ擔保ノ價格ニ付調査シタル結果ノ表示

五　前ニ社債ヲ募集シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘサル總額

六　會社ノ資本及拂込ミタル株金ノ總額

七　最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財産ノ額

八　信託證書若ハ其ノ謄本ヲ應募者ノ閲覧ニ供スヘキ時及場所

社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲモ公告スヘシ但シ第十九條第三號乃至第七號ニ掲ケタル事項ハ其ノ回ニ發行スル社債ニ關スルモノトス

一　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル旨ノ表示及其ノ回ノ發行金額

二　既ニ發行ニ係ル社債ノ金額、其ノ未償還效未償還額ノ利率及償還期限

三　其ノ回ノ發行ニ付第十九條ノ四第一項ノ契約證書アルトキハ其ノ證書ノ表示

四　前號ニ掲ケタル契約證書若ハ其ノ謄本ヲ應募者ノ閲覧ニ供スヘキ時及場所

前二項ノ公告ハ受託會社ノ承認ヲ得テ之ヲ爲スヘシ

第二十三條　委託會社ハ信託契約ニ依リ社債ノ募集ヲ受託會社ニ委任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ信託契約ニ別段ノ定ナキトキハ受託會社ハ債券ノ發行、社債ノ償還及利息ノ支拂ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第二十四條　前條ノ場合ニ於テハ第二十二條ニ掲ケタル公告ハ受託會社ニ於テ之ヲ爲スヘシ

前項ノ公告ニハ受託會社カ委託會社ニ代リテ社債ノ募集ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

第二十五條　受託會社ハ信託契約ノ定ムル所ニ依リ社債ノ總額ヲ引受クルコトヲ得

第二十六條　第二百二十六條第二項、第百條、第二百二十六條第二項、第二百二十八條第二項又ハ第二百三十二條ニ定ムル清算人ノ選任又ハ解任ハ主務官廳ニ於テ之ヲ爲ス

商法第二百二十八條第二項ニ依ル請求ハ委託會社又ハ社債權者集會ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第二十六條　信託會社ノ清算ハ主務官廳ノ監督ニ屬ス

主務官廳ハ何時ニテモ前項ノ監督ニ必要ナル檢査ヲ爲スコトヲ得

第十七條　外國ニ於テ物上擔保附社債ヲ募集セムトスル會社ハ主務官廳ノ許可ヲ受ケ外國會社ト信託契約ヲ締結スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ信託ヲ引受ケタル外國會社カ日本ニ於ケル代表者ヲ定ムヘシ

商事會社ハ前項ノ代表者ヲ定メタルトキハ遲滯ナク其ノ氏名及住所又ハ商號及本店ノ所在場所ヲ外國會社ノ代表者ハ信託事務ニ關シテハ信託會社ノ取締役又ハ之ヲ代表スル社員ト同一ノ權限ヲ有ス

第二章　信託證書

第十八條　信託契約ハ信託證書ニ依リ之ヲ締結スヘシ

第十九條　信託證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ委託會社及受託會社ノ商號

一　委託會社及受託會社ノ商號

二　社債ノ總額

三　各社債ノ金額

四　社債發行ノ價額又ハ其ノ最低價額

五　社債ノ利率

六　社債償還ノ方法及期限

七　利息支拂ノ方法及期限

八　債券ニ記載スヘキ事項ノ表示及利札附ナルトキハ其ノ旨ノ表示

九　擔保ノ種類、目的物、順位、先順位ノ擔保チ附シタル社債ノ金額其ノ他目的物ニ關シ擔保權者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ權利ノ表示

十　第三十二條ニ依ル社債ナルトキハ其ノ事實及各會社ノ負擔部分

十一　委託及受託ノ表示

十二　證書作成ノ年月日

第十九條ノ二　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ信託證書ニハ前條第三號乃至第八號ニ掲ケタル事項ニ代ヘ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル旨ノ表示

二　社債ノ利率ノ最高限度

信託契約ニ於テ第一回又ハ其ノ後ニ發行スル社債ニ付發行金額及前條第三號乃至第八號ニ掲ケタル事項ヲ定メタルトキハ其ノ事項ヲモ記載スヘシ

第十九條ノ三　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テ信託契約ニ前條第二項ノ事項ヲ定メサルトキハ委託會社ハ受託會社トノ契約ヲ以テ其ノ發行每ニ之ヲ定ムヘシ

前項ノ契約ハ信託契約ト同一ノ效力ヲ有ス

第十九條ノ四　前條第一項ノ契約ハ委託會社及受託會社ノ代表者ノ署名シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十七條第二項ノ規定ハ前項ノ契約證書ニ之ヲ準用ス

第十九條ノ五　各社債ノ金額ハ社債ノ總額ニ付均一ナルカ又ハ最低額ヲ以テ整除シ得ヘキモノナルコトヲ要ス

第二十條　信託證書ハ委託會社及受託會社ニ於テ各自其ノ一通ヲ保存スヘシ

前項ノ信託證書ハ其ノ原本ヲ本店ニ、其ノ謄本ヲ各支店ニ備置クヘシ

第二十一條　信託證書ノ原本又ハ謄本ハ委託會社ノ株主、債權者又ハ社債應募者ノ請求アルトキハ營業時間内何時ニテモ之ヲ閲覧セシムヘシ

第三章　社債募集

第二十二條　信託契約ニ依リ物上擔保附社債ヲ募集スル會社ハ左ノ事項ヲ公告スヘシ

一　第十九條第一號乃至第七號及第十號ニ掲ケタル事項

二　物上擔保附社債ナルコト

三　不動産抵當
四　船舶抵當
五　鐵道抵當
六　工場抵當
七　鑛業抵當
八　軌道抵當
九　運河抵當
十　漁業財團抵當
十一　自動車交通事業抵當

第五條　擔保附社債ニ關スル信託事業ハ特別ノ法律ニ依ル場合ヲ除クノ外主務官廳ノ免許ヲ受クルニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス

第六條　信託會社ハ銀行事業ヲ除クノ外他ノ事業ヲ兼ヌルコトヲ得ス但シ銀行事業ヲ兼營セサル株式會社ニ在リテハ信託業法ニ依リ信託業ヲ營ムコトヲ得

第七條　信託會社ノ資本又ハ金錢ヲ目的トスル出資ノ總額ハ百萬圓ヲ下ルコトヲ得ス

第八條　信託會社ハ資本又ハ金錢ヲ目的トスル出資ノ拂込金額カ五十萬圓ニ達スル迄其ノ事業ニ著手スルコトヲ得ス

第九條　信託ノ業務ハ主務官廳ノ監督ニ屬ス

第十條　主務官廳ハ何時ニテモ信託會社ニ對シ其ノ業務及財產ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

第十一條　主務官廳ハ信託會社ノ業務又ハ會社財產ノ狀況カ信託事業ノ執行ニ適セスト認ムルトキハ其ノ事業ノ停止又ハ業務執行方法ノ變更ヲ命シ其ノ他委託會社及社債權者ノ利益ヲ保護スルニ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第十二條　信託會社カ法令、定款若ハ主務官廳ノ命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ主務官廳ハ其ノ事業ノ停止若ハ取締役ノ改選ヲ命シ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得

第十三條　擔保附社債ニ關スル信託事業ヲ專業トスル會社ハ免許ノ取消ニ因リテ解散ス

第十四條　信託會社カ免許ノ取消ニ因リテ解散シタルトキハ主務官廳ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任ス

第十五條　商法第八十八條、第八十九條、第九十六條第二項、第百條、第二百二十六條第二項、第二百二十八條第二項又ハ第二百三十二條ニ定ムル清算人ノ選任又ハ解任ハ主務官廳ニ於テ之ヲ爲ス

商法第二百二十八條第二項ニ依ル請求ハ委託會社又ハ社債權者集會ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第十六條　信託會社ノ清算ハ主務官廳ノ監督ニ屬ス

主務官廳ハ何時ニテモ前項ノ監督ニ必要ナル檢査ヲ爲スコトヲ得

第十七條　外國ニ於テ物上擔保附社債ヲ募集セムトスル會社ハ主務官廳ノ許可ヲ受ケ外國會社ト信託契約ヲ締結スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ信託ヲ引受ケタル外國會社カ日本ニ於ケル代表者ヲ定ムヘシ

商事會社ハ前項ノ代表者ヲ定メタルトキハ遲滯ナク其ノ氏名及住所又ハ商號及本店ノ所在場所ヲ外國會社ノ代表者ハ信託事務ニ關シテハ信託會社ノ取締役又ハ之ヲ代表スル社員ト同一ノ權限ヲ有ス

第二章　信託證書

第十八條　信託契約ハ信託證書ニ依リ之ヲ締結スヘシ

第十九條　信託證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ委託會社及受託會社ノ商號

一　委託會社及受託會社ノ商號

二　社債ノ總額

三　各社債ノ金額

四　社債發行ノ價額又ハ其ノ最低價額

五　社債ノ利率

六　社債償還ノ方法及期限

七　利息支拂ノ方法及期限

八　債券ニ記載スヘキ事項ノ表示及利札附ナルトキハ其ノ旨ノ表示

九　擔保ノ種類、目的物、順位、先順位ノ擔保チ附シタル社債ノ金額其ノ他目的物ニ關シ擔保權者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ權利ノ表示

第二十條　委託會社又ハ受託會社ハ信託證書ノ謄本ヲ第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ制限スヘキ時及場所

第二十一條　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ委託會社ハ受託會社トノ契約ヲ以テ社債ノ總額ヲ其ノ既ニ發行シタル額ニ至ルマテ減額スルコトヲ得受託會社ハ正當ノ事由アクシテ契約ノ締結ヲ拒ムコトヲ得

前項ノ契約ノ締結ニ因リ受託會社ノ受ケタル損害ハ委託會社ノ負擔トス

第二十二條　會社ハ合同シテ社債ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ社債ノ募集ヲ受託會社ニ委任シ又ハ受託會社チシテ社債ノ總額ヲ引受ケシムヘシ

第二十三條　前條ノ場合ニ於テハ受託會社ハ債券ノ發行、社債ノ償還及利息ノ支拂ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第二十四條　委託會社ハ信託契約ニ依リ社債ノ募集ヲ受託會社ニ委任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ信託契約ニ別段ノ定ナキトキハ受託會社ハ債券ノ發行、社債ノ償還及利息ノ支拂ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第二十五條　前條ノ場合ニ於テハ第二十二條ニ掲ケタル公告ハ受託會社ニ於テ之ヲ爲スヘシ

前項ノ公告ニハ受託會社カ委託會社ニ代リテ社債ノ募集ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

第二十六條　受託會社ハ信託契約ノ定ムル所ニ依リ社債ノ總額ヲ引受クルコトヲ得

第二十七條　第二百二十六條第二項、第百條、第二百二十六條第二項又ハ第二百三十二條ニ定ムル清算人ノ選任又ハ解任ハ主務官廳ニ於テ之ヲ爲ス

商法第二百二十八條第二項ニ依ル請求ハ委託會社又ハ社債權者集會ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　信託會社ノ清算ハ主務官廳ノ監督ニ屬ス

主務官廳ハ何時ニテモ前項ノ監督ニ必要ナル檢査ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　外國ニ於テ物上擔保附社債ヲ募集セムトスル會社ハ主務官廳ノ許可ヲ受ケ外國會社ト信託契約ヲ締結スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ信託ヲ引受ケタル外國會社カ日本ニ於ケル代表者ヲ定ムヘシ

商事會社ハ前項ノ代表者ヲ定メタルトキハ遲滯ナク其ノ氏名及住所又ハ商號及本店ノ所在場所ヲ外國會社ノ代表者ハ信託事務ニ關シテハ信託會社ノ取締役又ハ之ヲ代表スル社員ト同一ノ權限ヲ有ス

第二章　信託證書

第三十條　信託契約ハ信託證書ニ依リ之ヲ締結スヘシ

第三十一條　信託證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ委託會社及受託會社ノ商號

一　委託會社及受託會社ノ商號

二　社債ノ總額

三　各社債ノ金額

四　社債發行ノ價額又ハ其ノ最低價額

五　社債ノ利率

六　社債償還ノ方法及期限

七　利息支拂ノ方法及期限

八　債券ニ記載スヘキ事項ノ表示及利札附ナルトキハ其ノ旨ノ表示

九　擔保ノ種類、目的物、順位、先順位ノ擔保チ附シタル社債ノ金額其ノ他目的物ニ關シ擔保權者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ權利ノ表示

第三十一條　委託會社又ハ受託會社ハ信託證書ノ謄本ヲ第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ制限スヘキ時及場所

第三十二條　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ委託會社ハ受託會社トノ契約ヲ以テ社債ノ總額ヲ其ノ既ニ發行シタル額ニ至ルマテ減額スルコトヲ得受託會社ハ正當ノ事由アクシテ契約ノ締結ヲ拒ムコトヲ得

前項ノ契約ノ締結ニ因リ受託會社ノ受ケタル損害ハ委託會社ノ負擔トス

第三十三條　會社ハ合同シテ社債ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ社債ノ募集ヲ受託會社ニ委任シ又ハ受託會社チシテ社債ノ總額ヲ引受ケシムヘシ

第三十四條　前條ノ場合ニ於テハ受託會社ハ債券ノ發行、社債ノ償還及利息ノ支拂ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第三十五條　委託會社ハ信託契約ニ依リ社債ノ募集ヲ受託會社ニ委任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二十二條ニ掲ケタル公告ハ受託會社ニ於テ之ヲ爲スヘシ

前項ノ公告ニハ受託會社カ委託會社ニ代リテ社債ノ募集ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

第三十六條　受託會社ハ信託契約ノ定ムル所ニ依リ社債ノ總額ヲ引受クルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ第二十二條及前條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ要セス

第二十六條　前條第一項ノ場合ニ於テ受託會社カ其ノ引受ケタル社債ヲ分割シテ之ニ相當スル債券ノ發行ヲ受託會社ニ請求スルコトヲ得

受託會社カ信託契約ニ依リ債券發行ノ權限ヲ有スルトキハ委託會社ニ通知シテ前項ノ債券ヲ發行スルコトヲ得

第二十七條　受託會社カ第二十五條第一項ニ依リ引受ケタル社債ヲ譲渡シタルトキハ其ノ旨ヲ公告シ前項ノ規定ニ依ル社債ノ總額ヲ引受ケタル者ハ其ノ譲受ケタル者ノ請求アルトキハ其ノ氏名及住所ヲ社債原簿ニ記載スヘシ

前項ノ規定ハ社債ヲ譲受ケタル者ノ請求アルトキハ其ノ氏名及住所ヲ社債原簿ニ記載スヘキ事項ニ付テハ第二十二條ノ規定ヲ準用ス

受託會社ハ社債ヲ譲受ケタル者ノ請求アルトキハ營業時間内何時ニテモ信託證書又ハ其ノ謄本ヲ閲覧セシムヘシ

第二十八條　受託會社カ前條ノ規定ニ依リ社債ヲ譲渡シタル場合ニ於テハ委託會社ニ代リテ其ノ社債ノ償還及利息ノ支拂ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第二十九條　委託會社又ハ受託會社ハ信託契約ノ定ムル所ニ從ヒ第三者ヲシテ社債ノ總額ヲ引受ケシムルコトヲ得

第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ハ其ノ引受ケタル社債ヲ分割シテ之ニ相當スル債券ノ發行ヲ委託會社ニ請求スルコトヲ得

第三十條　第二十五條第二項、第二十七條第一項、第二項及第二十八條ノ規定ハ前條第一項ニ依リ第三者カ社債ノ總額ヲ引受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

前條第一項ニ依リ第三者カ社債ノ總額ヲ引受ケタル場合ニ於テハ其ノ第三者カ擔保ノ價格ニ付調査シタル結果ノ表示ヲ以テ第二十二條第一項第四號ノ二ニ掲ケタル事項ニ代フルコトヲ得

事實
四　第二十九條第一項ニ依リ引受アリタルトキハ其ノ事實及引受人ノ氏名又ハ商號

社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ其ノ第一回ノ發行ニ付テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外第二十二條第二項第一號及第三號ニ掲ケタル事項ヲモ登記シ第二回以後ノ發行ニ付テハ其ノ回ノ發行金額竝第十九條第三號、第五號乃至第七號、第二十二條第二項第三號、前項第三號及第四號ニ掲ケタル事項ヲ其ノ發行毎ニ登記スヘシ

第四章　債券

第三十五條　信託證書ニ依ル債券ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一　第十九條第一號乃至第三號、第五號乃至第七號ニ掲ケタル事項
二　第二十二條第一項第二號及第三號ニ掲ケタル事項
二ノ二　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スルトキハ第二十二條第二項第一號及第三號ニ掲ケタル事項
三　債券ノ番號
四　前條第一項第三號及第四號ニ掲ケタル事項

第三十六條　受託會社ハ委託會社カ信託契約ノ條狀ニ適合スル債券ヲ發行シタルトキハ其ノ請求ニ依リ債券カ信託證書ニ依ル債券ナルコトヲ證明シテ之ヲ委託會社又ハ其ノ指定シタル者ニ引渡スヘシ
前項ノ證明ハ各債券ニ記載シテ委託會社ノ取締役又ハ之ヲ代表スル社員之ニ署名スルニ依リテ之ヲ爲ス

第三十七條　信託證書ニ依ル債券ハ前條ノ證明アルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十八條　受託會社カ委託會社ニ代リテ債券ヲ發行シタルトキハ其ノ旨ヲ各債券ニ記載シ受託會社ノ取締役又ハ之ヲ代表スル社員之ニ署名スヘシ

受託會社ハ委託會社又ハ社債權者ノ請求アルトキハ營業時間内何時ニテモ前項ノ決議錄ヲ閱覽セシムヘシ

第六十一條　受託會社以外ノ者カ決議錄ヲ作成シタルトキハ自己其ノ原本ヲ保存シ其ノ謄本ヲ受託會社ニ交付スヘシ
前條第二項ノ規定ハ前項ノ謄本ニ之ヲ準用ス

第六十二條　社債權者集會ノ費用ハ受託會社又ハ第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニ於テ招集シタル場合ヲ除クノ外集會ヲ招集シタル者ニ於テ之ヲ負擔ス

第六十三條　社債權者集會ノ決議ハ受託會社之ヲ執行スルコトヲ許ササルトキハ集會ニ於テ之ヲ執行スヘキ者ヲ定ム

第六十四條　信託契約ニ別段ノ定ナキトキハ社債權者集會ニ於テ一人又ハ數人ノ代表者ヲ選任シ其ノ決議スヘキ事項ノ決定ヲ之ニ委任スルコトヲ得

第六十五條　社債權者集會ニ於テ別段ノ定ヲ爲ササルトキハ代表者ノ權限ニ屬シ總テノ事項ニ付其ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第六十五條ノ二　代表者ハ社債權者ニ對シ自己ノ爲ニスルカ如ク其ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十六條　代表者就任シタルトキハ其ノ公告ヲ爲シ委託會社、受託會社及第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニ之ヲ通知スヘシ

第六十七條　社債權者集會ハ何時ニテモ代表者又ハ其ノ權限ヲ變更スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ集會ハ其ノ公告ヲ爲シ委託會社及第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニ之ヲ通知スヘシ

第六十七條ノ二　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ社債權者ノ集會ハ其ノ發行ノ都度委託會社及社債權者ノ集會ニ於テ前項ノ決議ヲ爲スコトヲ得

第六十八條　受託會社ハ委託會社及社債權者ノ爲ニ辨濟ヲ得

第六十九條　受託會社ハ委託會社及社債權者ニ對シテ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ信託事務ヲ處理スル義務ヲ負フ

第七十條　信託契約ニ依リ物上擔保ハ信託證書ニ記載シタル總社債ノ爲ニ受託會社ニ歸屬スル規定ヲ準用ス

第七十一條　社債權者ハ其ノ社債權額ニ應シ平等ニ擔保ノ利益ヲ享受ス

第七十二條　信託契約ニ依リ物上擔保ハ社債成立以前ニ於テモ其ノ效力ヲ生ス

第七十三條　民法第三百四十八條、第三百七十五條及商法第二百七十七條ノ規定ハ信託契約ニ依ル擔保權ニ之ヲ適用セス

第七十四條　受託會社ハ委託會社ト契約ヲ以テ擔保ヲ追加スルコトヲ得

第七十五條　受託會社ハ社債權者集會ノ決議ニ依リ委託會社トノ契約ヲ以テ擔保ヲ變更スルコトヲ得

第七十六條　前二條ノ契約ハ信託契約ト同一

事項ハ本法ニ規定アルモノノ外特ニ信託契約ニ定メタルモノニ限ル

第五十九條　社債權者集會ヲ招集シタル者ハ決議錄ヲ作成スヘシ

第六十條　受託會社ハ社債權者集會ノ決議錄ノ原本又ハ謄本ヲ本店及支店ニ備置クヘシ

受託會社ハ委託會社又ハ社債權者ノ請求アルトキハ營業時間内何時ニテモ前項ノ決議錄ヲ閱覽セシムヘシ

第六十一條　受託會社以外ノ者カ決議錄ヲ作成シタルトキハ自己其ノ原本ヲ保存シ其ノ謄本ヲ受託會社ニ交付スヘシ
前條第二項ノ規定ハ前項ノ謄本ニ之ヲ準用ス

第六十二條　社債權者集會ノ費用ハ受託會社又ハ第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニ於テ招集シタル場合ヲ除クノ外集會ヲ招集シタル者ニ於テ之ヲ負擔ス

第六十三條　社債權者集會ノ決議ハ受託會社之ヲ執行スルコトヲ許ササルトキハ集會ニ於テ之ヲ執行スヘキ者ヲ定ム

第六十四條　信託契約ニ別段ノ定ナキトキハ社債權者集會ニ於テ一人又ハ數人ノ代表者ヲ選任シ其ノ決議スヘキ事項ノ決定ヲ之ニ委任スルコトヲ得

第六十五條　社債權者集會ニ於テ別段ノ定ヲ爲ササルトキハ代表者ノ權限ニ屬シ總テノ事項ニ付其ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第六十五條ノ二　代表者ハ社債權者ニ對シ自己ノ爲ニスルカ如ク其ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十六條　代表者就任シタルトキハ其ノ公告ヲ爲シ委託會社、受託會社及第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニ之ヲ通知スヘシ

第六十七條　社債權者集會ハ何時ニテモ代表者又ハ其ノ權限ヲ變更スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ集會ハ其ノ公告ヲ爲シ委託會社及第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニ之ヲ通知スヘシ

第六十七條ノ二　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ社債權者ノ集會ハ其ノ發行ノ都度委託會社及社債權者ノ集會ニ於テ前項ノ決議ヲ爲スコトヲ得

第六十八條　受託會社ハ委託會社及社債權者ノ爲ニ辨濟ヲ得

第六十九條　受託會社ハ委託會社及社債權者ニ對シテ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ信託事務ヲ處理スル義務ヲ負フ

第七十條　信託契約ニ依リ物上擔保ハ信託證書ニ記載シタル總社債ノ爲ニ受託會社ニ歸屬スル規定ヲ準用ス

第七十一條　社債權者ハ其ノ社債權額ニ應シ平等ニ擔保ノ利益ヲ享受ス

第七十二條　信託契約ニ依リ物上擔保ハ社債成立以前ニ於テモ其ノ效力ヲ生ス

第七十三條　民法第三百四十八條、第三百七十五條及商法第二百七十七條ノ規定ハ信託契約ニ依ル擔保權ニ之ヲ適用セス

第七十四條　受託會社ハ委託會社ト契約ヲ以テ擔保ヲ追加スルコトヲ得

第七十五條　受託會社ハ社債權者集會ノ決議ニ依リ委託會社トノ契約ヲ以テ擔保ヲ變更スルコトヲ得

第七十六條　前二條ノ契約ハ信託契約ト同一

第九十一條　受託會社ハ委託會社ニ對シ信託事務ノ處理ニ付相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得

信託契約ニ別段ノ定ナキトキハ民法第六百四十八條第二項及第三項ノ規定ハ信託契約ニ之ヲ準用ス

第九十二條　委託會社ハ受託會社カ信託事務ヲ處理スルニ付正當ニ支出シタル一切ノ費用及支出ノ日以後ニ於ケル其ノ利息ヲ償還シ及過失ナクシテ受ケタル一切ノ損害ヲ賠償スル義務ヲ負フ

受託會社ハ信託事務ヲ處理スルニ付要スル費用ノ前拂ヲ委託會社ニ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニ關シ之ヲ準用ス

第九十三條　信託契約ニ依リ物上擔保ハ前條第一項ノ規定ニ依リ受託會社ニ生スヘキ債權ノ爲ニモ其ノ效力ヲ有ス

受託會社ハ前項ノ債權ニ付社債權者ニ優先シテ擔保物ヨリ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

第九十四條　受託會社カ故意若ハ過失ニ因リ物上擔保ヲ消滅セシメ又ハ其ノ價格ヲ減少セシメタルトキハ主務官廳ハ委託會社又ハ社債權者集會ノ申請ニ因リ受託會社ヲシテ相當ノ金額ヲ供託セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ委託會社カ供託金ノ上ニ質權ヲ設定シタルモノト看做ス

前項ノ質權ハ信託契約ニ依ル物上擔保ト看做ス

第九十五條　委託會社、第六十四條第一項ニ依リ選任セラレタル代表者又ハ社債總額ノ十分ノ一以上ニ當ル社債權者ハ何時ニテモ受託會社ニ於ケル擔保物保管ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

受託會社ニ於ケル擔保物保管ノ狀況ヲ檢査無記名式ノ債券ヲ有スル者ハ其ノ債券ヲ受託會社ニ供託スルニ非サレハ前項ノ檢査ヲ爲スコトヲ得ス

第九十六條　民法第二百九十八條第三項ノ規定ハ信託契約ニ依ル質權ニ之ヲ準用ス

第八章　信託事務ノ承繼及終了

第九十七條　受託會社ハ信託契約ノ定ムル所ニ依リ又ハ委託會社及社債權者集會ノ同意ニ關スル第十九條第五號乃至第七號ニ掲ケタル場合ニ於テ第三十六條ニ定メタル手續ヲ履行セスシテ之ヲ突付シタルトキ

信託事務ヲ承繼スヘキ會社カ外國會社ナルトキハ第十七條第一項ノ規定ヲ準用ス

第九十八條　受託會社ハ已ムコトヲ得ル事由アルトキハ主務官廳ノ許可ヲ受ケ辭任スルコトヲ得

第九十九條　受託會社カ其ノ義務ニ違反シ又ハ信託事務ヲ處理スルニ不適任ナルトキハ其ノ委託會社又ハ社債權者集會ノ申請ニ因リ受託會社ヲ解任スルコトヲ得

第百條　前二條ノ規定ニ依リ受託會社カ辭任シ若ハ解任セラレタルトキ又ハ免許ヲ取消サレ若ハ解散シタルトキハ主務官廳ハ更ニ受託會社ヲ選任シテ信託事務ヲ承繼セシムヘシ

第百一條　第九十七條ニ依ル信託事務ノ承繼ハ委託會社、前受託會社及新受託會社ノ代表者ノ署名シタル契約書ヲ作成シ其ノ效力ヲ生ス

前項ノ契約ヲ締結シタルトキハ各受託會社ハ遲滯ナク書面ヲ以テ之ヲ主務官廳ニ屆出ツヘシ

第百二條　信託事務ノ承繼ハ第九十七條ニ依リ受託會社及新受託會社カ連署シタル書面ヲ主務官廳ノ命令書ヲ交付スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第百三條　前條ニ依ル承繼ハ新受託會社ニ對スル主務官廳ノ命令書ヲ交付スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第百四條　前受託會社ハ不法處分ニ因リ賃物ノ占有ヲ得タル者カ惡意ナリシトキハ新受託會社カ其ノ者ノ爲ニ占有ヲ棄ハレタルトキ又ハ賃物ニ付キ留置權ヲ有スル場合ニ於テ其ノ賃物ヲ新受託會社ニ引渡シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百五條　前受託會社ハ委託會社及新受託會社ニ對シ遲滯ナク其ノ受ケタル利益ヲ計算シ之ヲ引渡スヘシ

第百六條　承繼ハ關スル事務ハ主務官廳ノ監督ニ屬ス

第百七條　承繼ハ關スル事務ハ主務官廳ノ監督ニ屬ス

第百八條　第五條ノ規定ニ違反シテ擔保附社債ニ關スル信託事業ヲ營ム者ハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

第百九條　左ノ場合ニ於テハ會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、清算人、破產管財人、第八十九條ノ特別代理人又ハ外國會社ノ代表者ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一　第六條ノ規定ニ違反シタルトキ

二　第八條ノ規定ニ違反シタルトキ

三　本法ニ依ル主務官廳ノ命令ニ違反シタルトキ

四　本法ニ依ル主務官廳ノ檢査ヲ妨ケタルトキ

五　第十七條第一項又ハ第九十七條第二項ノ規定ニ違反シタルトキ

六　本法ニ依リ債券ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

七　委託會社ニ於テ債券ヲ發行シタル場合ニ於テ第三十六條ニ定メタル手續ヲ履行セスシテ之ヲ突付シタルトキ

八　第七十條第二項ニ依ル擔保權ノ保存又ハ實行ヲ怠リタルトキ

九　第八十八條第一項又ハ同條第三項ノ規定ニ違反シタルトキ

十　第九十五條第一項ニ依ル檢査ヲ妨ケタルトキ

十一　第百五條第一項ニ定メタル事務ノ引繼ヲ怠リタルトキ

十二　社債權者集會又ハ其ノ決議ニ依ルヘキ場合ニ於テ之ニ依ラス又ハ之ニ違反シタルトキ

十三　社債權者集會又ハ其ノ代表者ニ對シテモ實ノ報告ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

十四　第百十九條ノ二ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

第百十條　第九十七條ニ依ル信託事務ノ承繼ハ委託會社、前受託會社及新受託會社ノ代表者ノ署名シタル契約書ヲ作成シ其ノ效力ヲ生ス

前項ノ契約ヲ締結シタルトキハ各受託會社ハ遲滯ナク書面ヲ以テ之ヲ主務官廳ニ屆出ツヘシ

第百十一條　第九十七條ニ依ル信託事務ノ承繼ハ委託會社、前受託會社及新受託會社ノ代表者ノ署名シタル契約書ヲ作成シ其ノ效力ヲ生ス

前項ノ契約ヲ締結シタルトキハ各受託會社ハ遲滯ナク書面ヲ以テ之ヲ主務官廳ニ屆出ツヘシ

第百十二條　第九十七條ニ依ル信託事務ノ承繼ハ委託會社、前受託會社及新受託會社ノ代表者ノ署名シタル契約書ヲ作成シ其ノ效力ヲ生ス

前項ノ契約ヲ締結シタルトキハ各受託會社ハ遲滯ナク書面ヲ以テ之ヲ主務官廳ニ屆出ツヘシ

第百十三條　擔保附社債ニ關スル信託事業ヲ營ム會名會社及合資會社ノ設立登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ非訟事件手續法第百七十九條第二項ニ掲ケタル事項ノ外主務官廳ノ免許書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

既設ノ會社カ擔保附社債ニ關スル信託事業ヲ營ム免許ヲ受ケタルニ因リ其ノ登記ヲ申請スルトキ亦前項ニ同シ

第百十四條　信託會社ノ登記スヘキ事項ニシテ主務官廳ノ免許ヲ要スルモノニ付テハ免許書ノ到達ノ日ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第百十五條　主務官廳カ第十一條又ハ第十二條ノ規定ニ依リ事業ノ停止ヲ命シ又ハ免許ヲ取消シタルトキハ登記所ハ主務官廳ノ囑託ニ因リテ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第百十六條　本法ニ依ル社債ノ登記ノ申請書ニハ非訟事件手續法第百九十一條ニ掲ケタル書面ノ外信託證書及第十九條ノ四第一項ノ契約證書アルトキハ其ノ證書ヲ添附スヘシ

第百十七條　本法ニ依ル社債ノ登記事項ニ變更生シタルトキハ委託會社ノ取締役又ハ之ヲ代表スル社員ハ遲滯ナク其ノ登記ヲ申請スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ其ノ變更ヲ證スル書類ヲ添附スヘシ

第百十八條　信託契約ニ依ル擔保權設定ノ登記ニ付テハ受託會社ヲ登記權利者トス

第百十九條　信託契約ニ依ル擔保權設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ不動產登記法第百十六條又ハ第百十七條ニ依ル債權額ノ記載ハ社債ノ總額ヲ表示スルヲ以テ足ル

前項ノ場合ニ於テ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スルトキハ不動產登記法第百十六條又ハ第百十七條ノ規定ニ拘ラス申請書ニハ社債ノ總額、社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル旨ノ表示及社債ノ利率ノ最高限度ノミヲ記載スヘシ

第百十九條ノ二　信託契約ニ依ル物上擔保附社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テ社債ヲ發行シタルトキハ其ノ回ノ發行金額ノ總額ニ付引受ケヲ爲サントスル者アルトキハ其ノ者ニ對シ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニ關スル信託事業ヲ營ム會名會社及合資會社ノ設立登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ非訟事件手續法第百七十九條第二項ニ掲ケタル事項ノ外主務官廳ノ免許書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

既設ノ會社カ擔保附社債ニ關スル信託事業ヲ營ム免許ヲ受ケタルニ因リ其ノ登記ヲ申請スルトキ亦前項ニ同シ

第百十四條　信託會社ノ登記スヘキ事項ニシテ主務官廳ノ免許ヲ要スルモノニ付テハ免許書ノ到達ノ日ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第百十五條　主務官廳カ第十一條又ハ第十二條ノ規定ニ依リ事業ノ停止ヲ命シ又ハ免許ヲ取消シタルトキハ登記所ハ主務官廳ノ囑託ニ因リテ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第百十六條　本法ニ依ル社債ノ登記ノ申請書ニハ非訟事件手續法第百九十一條ニ掲ケタル書面ノ外信託證書及第十九條ノ四第一項ノ契約證書アルトキハ其ノ證書ヲ添附スヘシ

第百十七條　本法ニ依ル社債ノ登記事項ニ變更生シタルトキハ委託會社ノ取締役又ハ之ヲ代表スル社員ハ遲滯ナク其ノ登記ヲ申請スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ其ノ變更ヲ證スル書類ヲ添附スヘシ

第百十八條　信託契約ニ依ル擔保權設定ノ登記ニ付テハ受託會社ヲ登記權利者トス

第百十九條　信託契約ニ依ル擔保權設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ不動產登記法第百十六條又ハ第百十七條ニ依ル債權額ノ記載ハ社債ノ總額ヲ表示スルヲ以テ足ル

前項ノ場合ニ於テ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スルトキハ不動產登記法第百十六條又ハ第百十七條ノ規定ニ拘ラス申請書ニハ社債ノ總額、社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル旨ノ表示及社債ノ利率ノ最高限度ノミヲ記載スヘシ

第百十九條ノ二　信託契約ニ依ル物上擔保附社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テ社債ヲ發行シタルトキハ其ノ回ノ發行金

前條第二項ノ規定ハ前項ノ契約又ハ變更ニ關シ之ヲ準用ス

第五條　信託會社カ委託會社ノ委任ニ因リ社債ヲ募集シタル場合ニ於テ其ノ社債ノ募集カ確定シタルトキハ遲滯ナク左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ屆出ツヘシ

一　應募ノ口數券面總額及其ノ申込價格ノ總額

二　募入ノ口數券面總額及總價格（即チ會社ノ實收スヘキ金額）

第六條　外國會社ト信託契約ヲ締結セントスル會社ハ豫可申請書ニ左ノ書類ヲ添附シテ差出スヘシ

一　信託證書案

二　社債募集ニ關スル株主總會ノ決議錄謄本

三　社債ニ附スヘキ擔保ノ種類及價格ヲ記載シタル書面

四　第三條第一項第四號及第五號ノ書類

五　信託ヲ引受ケムトスル外國會社ノ定款寫又ハ會社ノ性質ヲ識別スルニ足ル書面

六　前號ノ外國會社ノ最終ノ財產目錄、借對照表、損益計算書、利益ノ處分ニ關スル書面其ノ他會社ノ營業狀態ヲ知ルニ足ル書面

七　第五號ノ外國會社ノ重ナル出資者及役員ノ氏名、國籍及住所ヲ記載シタル書面

第七條　擔保附社債信託法第十七條第四項ノ屆書ニハ代表者タル資格ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第八條　第六條ノ信託契約ヲ締結シタル外國會社ニ付テハ第三條乃至第五條ノ規定ヲ準用ス

第九條　信託會社ハ社債權者集會ノ招集アリタルトキハ遲滯ナク集會ノ目的、場所、期日及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ屆出ツヘシ

信託事業ニ關スル訴訟事件ノ當事者トナリタルトキ及其ノ判決アリタルトキ

二　非訟事件ニ付裁判所ニ請求又ハ抗告ヲ爲シタルトキ及其ノ決定アリタルトキ

三　檢查役ノ選任アリタルトキ

四　仕拂ヲ停止シ又ハ解散ノ事由發生シタルトキ

五　商法第百七十四條第一項ニ依ル株主總會ノ招集ヲ爲シタルトキ

第二十六條　信託會社カ其ノ定款ヲ變更シタルトキ

第二十七條　信託會社ノ營業年度ハ毎年六月ヨリ十一月迄及十二月ヨリ翌年五月迄トス但シ銀行事業ヲ兼營スル信託會社ニ在リテハ銀行ノ營業年度ニ依ル

第二十八條　朝鮮信託業令施行規則第二十三條ノ規定ハ信託會社ニ之ヲ準用ス但シ社債ニ關スル事項ハ附屬樣式ニ準シテ營業報告書中ニ之ヲ記載スヘシ

銀行事業又ハ朝鮮信託業令ニ依ル信託業ヲ兼營スル信託會社ニ對シテハ前項ノ規定ヲ適用セス此ノ場合ニ於テハ銀行令、朝鮮信託業令又ハ其ノ他ノ特別ノ規定ニ依リ提出スヘキ業務報告書中ニ社債ニ關スル事項ヲ附屬樣式ニ準シテ記載スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（附屬樣式）

第　項　當會社ノ受託ニ係ル擔保附社債ニ關スル事項

（本樣式ニ記載スル外他ノ勘定アルトキハ類似ノ例ニ準シテ便宜調製スヘシ）

第一　信託契約

種類	前期繰越	當期增加	當期減少	當期末現在高
	口數	社債金額	口數	社債金額	口數	社債金額	口數	社債金額
一回發行ノモノ		圓		圓		圓		圓
數回發行ノモノ								
計								

（一回發行ノモノトアルハ社債ノ總額ヲ一回ニ發行スルモノヲ、數回發行ノモノトアルハ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スルモノヲ謂フ以下同シ）

（當期ニ於テ承繼契約又ハ主務官廳ノ承繼命令ニ依リ他ノ受託會社ヨリ引渡サレタルモノ又ハ他ノ受託會社ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ口數及社債金額ヲ當期增加又ハ當期減少ニ合算シ各其ノ口數及社債金額ヲ相當欄ノ左傍ニ附記スヘシ）

（當期ニ於テ擔保附社債信託法第三十一條ノ三ノ規定ニ依リ契約ニ依リ社債ノ總額ヲ減シタルモノアルトキハ其ノ金額ヲ當期減少社債金額ニ合算シ日其ノ口數及金額ヲ相當欄ノ左傍ニ附記スヘシ）

第二　發行社債

一　當期間ニ於ケル社債ノ增減

種類	發行高	募集方法	發行價格	發行年月日	利率	據置期限及償還方法	當期償還高	當期減少高	當期末現在高	擔保ノ種類	備考
何社何債											
、、、											

（數回發行ノモノニ在リテハ一回ヲ一口トシテ計算記載スヘシ）

（他人ト共同シテ引受ケタルモノニ在リテハ當會社總額引受ノ欄ニ其ノ總額ヲ合算記載シ、其ノ他人ノ負擔部分ヲ左傍ニ內書スヘシ）

三　當期末現在各社債內譯

（募集方法ハ第二號ノ例ニ從ヒ記載スヘシ）

（償還高中ニハ銷却高ヲ合算記載スヘシ）

（擔保ノ種類ハ擔保附社債信託法第四條ノ種類ニ從ヒ擔保ノ價格ハ擔保ノ種類毎ニ記載スヘシ）

（擔保ニ付先順位ノ擔保權者アルトキハ其ノ氏名又ハ商號及債權金額ヲ備考欄ニ記載スヘシ）

（當期ニ於テ社債ノ總額、利率、償還期限、擔保ノ種類等ニ變更アリタルトキハ其ノ旨備考欄ニ記載スヘシ）

（他人ト共同シテ引受ケタルモノニ在リテハ其ノ他人ノ氏名又ハ商號及其ノ各負擔部分ヲ備考欄ニ記載スヘシ）

（第三者總額引受ノモノニ在リテハ其ノ第三者ノ氏名又ハ商號ヲ、第三者カ數人ナルトキハ其ノ各負擔部分ヲモ備考欄ニ記載スヘシ）

（イ）一回發行ノモノ

種類	發行高	募集方法	發行價格	發行年月日	利率	據置期限及償還方法	當期償還高	當期減少高	當期末現在高	擔保ノ種類	擔保價格	備考
何社何債												
、、、												

シタル書面ヲ添附シテ屆出ツヘシ其ノ決議ノ無效ノ宣告又ハ其ノ宣告ノ取消アリタルトキ亦同シ

社債權者集會ニ於テ選任セラレタル代表者カ社債權者集會ノ決議スヘキ事項ノ決定ヲ爲シタルトキハ信託會社ハ遲滯ナク其ノ決定ノ內容及賴末ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ屆出ツヘシ

第十二條　社債權者集會ノ決議又ハ其ノ選任シタル代表者ノ爲シタル決定ヲ執行シタルトキハ執行者ハ遲滯ナク其ノ顚末ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ屆出ツヘシ

第十三條　擔保附社債信託法第四十九條第二項ニ依リ受託會社ニ提供スルカ又ハ朝鮮總督ノ指定スル銀行ニ預ケ入レ其ノ預リ證書ヲ提供スヘシ

第十四條　擔保附社債信託法第四十九條第二項ニ依ル許可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　集會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面

二　招集ノ請求ヲ受ケタル者カ請求アリタル後二週間內ニ招集ノ手續ヲ爲ササリシ事實ヲ記載シタル書面

前項ノ申請者カ社債總額ノ十分ノ一ニ當ル社債權者カ各自有スル債券額及社債原簿ニ現存セル社債總額ヲ記載シ且其ノ事實ヲ證スル書面ヲ添ヘ其ノ許可申請書ニハ各自署名スヘシ但シ無記名債券ハ之ヲ信託會社ニ提供スルカ又ハ朝鮮總督ノ指定スル銀行ニ預ケ入レ其ノ預リ證書ヲ提供スヘシ

第十一條　擔保附社債信託法第八十九條ニ依ル申請書ニハ社債權者集會ノ決議錄ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　擔保附社債信託法第八十九條第一項ノ場合ニ於テハ其ノ爲スヘキ行爲ヲ怠リタル事實ヲ證スル書面

二　同條第二項ノ場合ニ於テハ社債權者ト受託會社トノ利益相反スルノ事實及其ノ事實ニ依リ總社債權者ノ爲ニ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ必要トスル事由ヲ記載シタル書面

第十二條　擔保附社債信託法第九十四條ニ依ル申請書ニハ左ノ書類ヲ添附シテ差出スヘシ但シ申請者カ社債權者集會ナルトキハ前項ノ書類ノ外其ノ社債權者ノ過半數ニ當ル社債權者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

一　擔保ノ消滅又ハ其ノ價格減少ニ關スル計算書

二　本令中社債權者集會ニ關スル規定ハ擔保附社債信託法第六十七條ノ二又ハ第六十七條ノ三ノ規定ニ依ル社債權者ノ集會ニ之ヲ準用ス

第十三條　信託會社カ擔保附社債信託法第八十八條第三項及第九十四條第一項ノ規定ニ依リ供託ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク供託金受領書謄本ヲ添ヘ屆出ツヘシ

第十四條　信託會社ハ擔保附社債信託法第九十五條ニ依ル檢查ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ年月日及檢查ノ狀況ヲ報告スヘシ

第十五條　擔保附社債信託法第九十七條第二項ニ依リ外國會社ト信託事務ノ承繼契約ヲ締結セムトスル場合ニ於テハ委託會社ハ許可申請書ニ左ノ書類及第六條第一項第五號乃至第七號ノ書類ヲ添附スヘシ

一　信託契約ノ定ムル所ニ依リ辭任シタルコト又ハ委託會社及社債權者集會カ辭任ニ同意シタルコトヲ表示シタル書面

二　承繼契約書案

第十六條　擔保附社債信託法第九十八條ニ依ル許可申請書ニハ辭任ヲ要スル事由ヲ記載シタル書面及信託事務ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第十七條　擔保附社債信託法第九十九條ニ依ル申請書ニハ辭任ヲ必要トスル事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ但シ申請者カ社債權者集會ナルトキハ同條第一項ノ契約書謄本ヲ添附スヘシ

第十八條　擔保附社債信託法第百一條第二項ニ依ル屆書ニハ同條第一項ノ契約書謄本ヲ添附スヘシ

前項ノ書類ニハ第十五條第一號及第二號ノ書類ヲ添附スヘシ但シ第十五條ノ手續ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニアラス

第十九條　擔保附社債信託法第百五條第二項ニ依ル屆書ニハ引繼ノ顚末ヲ記載シ同條第三項ノ目錄ト共ニ差出スヘシ

第二十條　信託會社カ信託事務ヲ終了シタルトキハ遲滯ナク總計算書ヲ添附シテ屆出ツヘシ

第二十一條　信託會社カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ商法第七十八條ノ手續ヲナリシタル後遲滯ナク各會社共同シテ左ノ書類ヲ添附シテ屆出ツヘシ但シ合併ニ依リ信託ノ業務ヲ廢止スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　合併ニ關スル契約書

二　合併ニ依リ設立シ又ハ合併後存續スル會社ノ定款

三　商法第七十八條第一項ノ規定ニ依リ作成シタル會社各自ノ貸借對照表

四　合併ニ關スル株主總會決議錄謄本又ハ社員總會ノ決議ヲ記載シタル書面

五　商法第七十九條第一項ノ規定ニ依リタルコト又ハ同條第二項ノ規定ヲ履行シタルコトヲ證スル書面

合併ニ因リ設立シ又ハ合併後存續スル會社カ新ニ信託事業ヲ營マムトスルトキハ免許申請書ニ第一項ノ書類ヲ添附スヘシ

第二十二條　擔保附社債信託法第十四條及第十五條ニ依ル請求書ニハ請求者カ利害關係ヲ有スル事實及清算人ノ選任又ハ解任ヲ必要トスル事由ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ差出スヘシ

前項ノ請求者カ社債總額十分ノ一ニ當ル社債權者ナルトキハ第十條第二項ノ規定ヲ適用ス

第二十三條　信託會社ノ清算人ハ就職後遲滯ナク會社財產ノ現況ヲ調査シ財產目錄及貸借對照表ヲ添附シテ屆出ツヘシ

清算人ハ每月清算ノ狀況ヲ報告スヘシ但シ重要ナル事項ニ付キテハ其ノ都度遲滯ナク屆出ツヘシ

清算カ結了シタルトキハ遲滯ナク決算書ヲ添附シテ屆出ツヘシ

第二十四條　信託會社カ登記又ハ登錄ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ事項及年月日ヲ記

（ロ）　数回發行ノモノ

種類	社債ノ總回數	回別	發行方法	募集價額	發行年月日	利率	据置期限及償還方法	前期末現在高	當期發行高	當期償還ノ金額	當期償還未現在高	當期末現在高	擔保ノ種類	擔保價格	未發行高	備考
社債	何回社債	第四回	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
		、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

（未發行高アルモノニ擔保附社債信託法第三十一條ノ二ノ期限ヲ經過シタルモノニ付テハ其ノ旨備考欄ニ記載スヘシ）

第三　當會社總引受社債

前期繰越高	當期引受高	當期償還高	當期末現在高	同上時價額
圓	圓	圓	圓	圓

（他人ト共同シテ引受ケタルモノニ在リテハ當會社ノ負擔部分ニ付記載スヘシ）

第四　社債ノ元利金支拂ノ取扱

種類	前期繰越高	當期受入高	當期支拂高	當期末現在高
元金ノ支拂	圓	圓	圓	圓
利息ノ支拂				
計				

（當期ニ於テ承繼契約又ハ主務官廳ノ承繼命令ニ依リ他ノ受託會社ヨリ引渡サレタルモノ又ハ他ノ受託會社ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額ヲ當期受入高又ハ當期支拂高ニ合算シ且各其ノ金額ヲ相當欄ノ左傍ニ附記スヘシ）

第六款　商品券取締

●朝鮮商品券取締令

昭和八年一月
制令第一號

朝鮮商品券取締令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮商品券取締令

商品券ノ取締ニ關シテハ商品券取締法ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第一條　本令ニ於テ商品券ト稱スルハ名稱ノ如何ヲ問ハス左ニ掲クル證票ヲ謂フ

一　一定ノ金額ヲ表示シ之ヲ發行スル者ニ於テ其ノ證票ト引換ニ又ハ其ノ證票ニ記載シタル金額ヲ限リ發行者又ハ發行者ノ指定スル者ニ於テ物品ノ給付ヲ爲スヘキコトヲ約シタル證票

二　一定ノ金額ヲ表示シ之ヲ發行スル者ニ於テ其ノ證票ト引換ニ又ハ其ノ證票ニ記載シタル金額ヲ限リ發行者又ハ發行者ノ指定スル者ニ於テ物品ノ給付ヲ爲スヘキコトヲ約シタル證票

三　一定ノ金額ヲ表示シ之ヲ發行スル者ニ於テ其ノ證票ト引換ニ又ハ其ノ證票ニ記載シタル金額ヲ限リ發行者又ハ發行者ノ指定スル者ニ於テ物品ノ給付ヲ爲スヘキコトヲ約シタル證票

四　一定ノ金額ヲ表示シ之ヲ發行スル者ニ於テ其ノ證票ト引換ニ又ハ其ノ證票ニ記載シタル金額ヲ限リ發行者又ハ發行者ノ指定スル者ニ於テ物品ノ給付ヲ爲スヘキコトヲ約シタル證票

第二條　本令ニ於テ商品券ト稱スルハ前條ニ掲ケタル證票ニシテ左ニ掲クルモノヲ除ク

一　鐵道乘車券、船舶乘船券、電氣通信ノ料金ノ支拂ニ關スル證票

二　郵便切手、郵便葉書、鐵道郵便切手、鐵道郵便葉書、鐵道小荷物引換證、鐵道手荷物引換證、鐵道運送狀、船荷證券、倉庫證券、電氣通信ノ料金ノ支拂ニ關スル證票

三　入場券、觀覽券、競技券、演藝券、飲食券、宿泊券、理髮券、娛樂券、其ノ他ノ遊興ニ關スル證票

四　官廳又ハ公署ノ發行スル證票

五　學校ノ發行スル證票

六　會社ノ發行スル證票ニシテ其ノ會社ノ營業ニ關スルモノ

七　一定ノ金額ヲ表示シ之ヲ發行スル證票ニシテ其ノ發行者ノ營業ニ關スルモノ

八　一定ノ金額ヲ表示シ之ヲ發行スル證票ニシテ其ノ發行者ノ營業ニ關スルモノ

第三條　商品券ノ發行者ハ朝鮮商品券取締令ニ依リ許可ヲ受ケタル者ニ限ル

第四條　主務大臣ハ商品券ノ發行ニ關シ取締上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第五條　主務大臣必要アリト認ムルトキハ商品券ノ發行者ニ對シ報告ヲ命シ又ハ當該官吏ヲシテ帳簿其ノ他ノ物件ノ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六條　商品券ノ發行者第一條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二　正當ノ理由ナクシテ第五條ノ規定ニ依リ命セラレタル報告ヲ爲サス若ハ虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ同條ノ規定ニ依ル檢査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタル者

第八條　商品券ノ發行者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ營業ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサル故ヲ以テ其ノ違罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第九條　本法ニ依リ商品券ノ發行者ニ適用スヘキ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和七年九月勅令第二百七十五號ヲ以テ昭和七年十月一日ヨリ施行）

本法施行ノ際現ニ商品券ヲ發行スル者ハ本法施行ノ日現在ニ於ケル商品券發行額ニ依リ第一條ノ供託ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於ケル供託ハ命令ノ定ムル所ニ依リ分割シテ之ヲ爲スコトヲ得

●朝鮮商品券取締令施行規則

昭和八年一月
總令第五號

朝鮮商品券取締令施行規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮商品券取締令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商品券取締法（以下單ニ商品券取締法ト稱ス）第一條ノ規定ニ依ル供託ハ毎年三月三十一日及九月三十日現在ニ於ケル商品券發行額ニ依リ翌月末日迄ニ之ヲ爲スヘシ

第二條　商品券取締法第一條但書ノ商品券發行額ハ三千圓トス

第三條　朝鮮商品券取締令ニ依ル供託ハ朝鮮ニ本店ヲ有スル者ニ在リテハ本店ヲ有セサル者ニ在リテハ本店ノ所在地ニ於テ、朝鮮ニ本店ヲ有セサル者ニ在リテハ朝鮮ニ於ケル主タル營業所ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第四條　商品券取締法第一條ノ規定ニ依リ供託スル國債ノ供託價格ハ毎年三月三十一日又ハ九月三十日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ス

第五條　商品券ノ發行者朝鮮商品券取締令ニ依リ供託ヲ爲シタルトキハ供託物受入ノ記載アル供託書ノ寫及供託價格ヲ記載シタル書面ヲ添附シ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第六條　商品券ノ發行者朝鮮商品券取締令ニ依リ供託シタル國債ノ下戻ヲ受ケントスルトキハ朝鮮總督ノ承認ヲ受クヘシ

商品券ノ發行者前項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由並ニ國債ノ種類、記號、番號、枚數、券面額及供託價格ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ

第七條　券面ニ金額ヲ表示シタル商品券ニハ發行者ノ氏名若ハ又ハ商號、引換ヲ爲スヘキ營業所、發行年月日及發行番號ヲ記載スヘシ

第八條　百貨店ハ券面金額三圓未滿ノ商品券ヲ發行スルコトヲ得ス

前項ノ百貨店ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

第九條　券面ニ金額ヲ表示シタル商品券ノ發行者ハ商品券發行ニ關スル帳簿ヲ營業所別ニ調製シ之ヲ朝鮮ニ本店ヲ有スル者ニ在リテハ本店ニ、朝鮮ニ本店ヲ有セサル者ニ在リテハ朝鮮ニ於ケル主タル營業所ニ備附ケ商品券ノ發行年月日、發行番號、券面金額及引換年月日ヲ之ニ記載スヘシ

前項ノ主タル營業所ハ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十條　券面ニ金額ヲ表示シタル商品券ノ發行者ハ其ノ毎月發行シタル枚數及金額、引換ヘタル枚數及金額並ニ毎月末現在ニ於ケル發行額ヲ券面金額別ニ記載シタル報告書ヲ翌月二十日迄ニ朝鮮總督ニ提出スヘシ但シ月末現在ニ於ケル發行額カ千圓ヲ超エサルトキハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令ハ昭和八年二月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第七條乃至第九條ノ規定ハ本令施行ノ日ヨリ一月間之ヲ適用セズ

本令施行ノ際現ニ券面ニ金額ヲ表示シタル商品券ヲ發行スル者ハ本令施行ノ日現在ニ於ケル商品券發行額ヲ本令施行ノ日ヨリ二十日以內ニ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ但シ其ノ商品券發行額カ三千圓ヲ超エサルトキハ此ノ限ニ在ラズ

朝鮮商品券取締令附則第二項ノ規定ニ依ル供託ハ本令施行ノ日ヨリ一月以內ニ之ヲ爲スヘシ但シ分割シテ供託ヲ爲ス場合ニ於テハ本令施行ノ日ヨリ一月以內ニ法定額ノ三分ノ一以上ヲ、本令施行ノ日ヨリ五月以內ニ其ノ殘額ヲ供託スヘシ

朝鮮商品券取締令附則第二項ノ規定ニ依リ供託スル國債ノ供託價格ハ本令施行ノ日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ス

●朝鮮商品券取締令施行規則第八條第二項ニ依ル百貨店

昭和八年二月
總告第四十九號

朝鮮商品券取締令施行規則第八條第二項ニ依ル百貨店左ノ通指定ス

東京市日本橋區駿河町弐番地　株式會社三越

京城府本町壹丁目四拾五番地　株式會社三越

京城府南大門通弐丁目百弐拾參番地　株式會社丁子屋商店

京城府本町壹丁目五拾壹番地　株式會社平田百貨店

京城府錦路弐丁目參番地　株式會社和信商會

第七款　輸出品檢查　不正競爭防止

●朝鮮重要輸出品檢查規則

昭和十年四月
總令第六十五號

朝鮮重要輸出品檢查規則左ノ通定ム

朝鮮重要輸出品檢查規則

第一條　重要輸出品ハ本令ニ依リ組合若ハ其ノ聯合會、公益法人又ハ道ニ於テ前條第一項ノ檢查ヲ行ハシトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第二條　組合若ハ其ノ聯合會、公益法人又ハ道ニ於テ前條第一項ノ檢查ヲ行ハントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三條　第一條第一項ノ檢查ハ朝鮮總督ノ定ムル檢查標準ニ依リ之ヲ行フヘシ

第四條　前三條ノ規定ハ保稅工場ニ於テ加工シ又ハ製造シタル貨物ノ積戻ニ付之ヲ準用ス

第五條　第一條又ハ前條ノ規定ニ違反シテ重要輸出品ヲ輸出シ又ハ積戻シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

附　則

本令施行ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム

（昭和十年五月總令第七十三號ヲ以テ昭和十年五月十一日ヨリ施行）

●朝鮮重要輸出品檢查規則ノ規定ニ依ル重要輸出品指定

昭和
十年四月
總告第二百六十九號

改正　昭和一〇年一二月總告第七六八號

朝鮮重要輸出品檢查規則第一條第二項ノ規定ニ依リ重要輸出品ヲ左ノ通指定ス

琺瑯鐵器

●朝鮮重要輸出品檢查標準

昭和　十年四月
總告第二百七十號

改正　昭和一〇年一二月總告第七六九號

朝鮮重要輸出品檢查規則第三條ノ規定ニ依リ檢查標準左ノ通定ム

朝鮮重要輸出品檢查標準

電球

一　硝子球不良ナルモノ

二　口金不良ナルモノ

三　撮條不良ナルモノ

四　導入線不良ナルモノ

五　取付ケ、接續又ハ絕緣不良ナルモノ

六　眞空電球ニシテ排氣不十分ナルモノ

七　瓦斯入電球ニシテ不良ナル瓦斯ヲ有スルモノ

八　硝子球ノ大サ消費電力ニ比シ不適當ナルモノ

九　家庭電球ニシテ之ニ適合スル電壓及消費電力又ハ燭光ヲ表示セザルモノ

十　家庭電球以外ノ電球ニシテ使用ニ耐ヘ得ル電壓ノ範圍ヲ表示セザルモノ

十一　消費電力表示シタルモノ又ハ表示シタル燭光ヨリ算出シタルモノニ比シ著シク相違セルモノ

十二　龍華不良ナルモノ

十三　壽命短キ虞アルモノ

十四　彩色不良ナルモノ

十五　前各號ノ外不良ト認ムルモノ

琺瑯鐵器

一　壺形ナルモノ

二　色澤鮮明ナラザルモノ

三　仕上不良ナルモノ

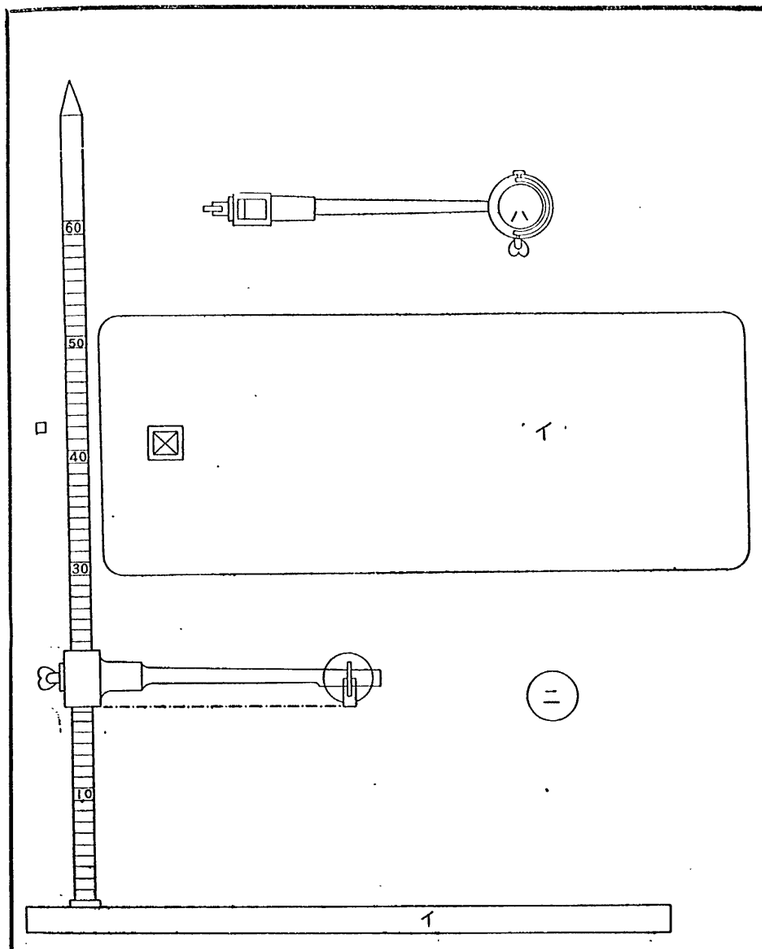
四　別記第一號樣式ノ檢定器ニ依リ四十五粁ノ高サヨリ重量百八十七瓦ノ鐵球ヲ落下セシムル場合ニ於テ其ノ破損面ノ下附琺瑯ヲ全ク剝落スルモノ

五　胴又ハ底ガ鐵附品ナルトキハ別記第二號樣式ノ票紙ヲ見易キ箇所ニ貼附セザルモノ

六　胴又ハ底ガ接合品ナルトキハ別記第三號樣式ノ票紙ヲ見易キ箇所ニ貼附セザルモノ

（別記）

第一號樣式



イ　裏板　標材厚サ　二・四糎
ロ　目盛棒　六十糎迄目盛ヲ有スル鍛鐵棒
ハ　支持環　內徑　三・七糎
ニ　鐵球　徑三・六糎ノ鋼鐵球

第二號樣式

長徑　三糎
短徑　一・九五糎
輪ノ幅　〇・一五糎
輪及文字ハ赤トス

第三號樣式

長徑　三糎
短徑　一・九五糎
輪ノ幅　〇・一五糎
輪及文字ハ赤トス

●朝鮮不正競爭防止令

昭和九年十二月
制令第二十四號

朝鮮不正競爭防止令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮不正競爭防止令

不正ノ競爭ニ關シテハ不正競爭防止法ニ依ル但シ同法中主務大臣トアルハ朝鮮總督トス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

（昭和九年十二月總令第百十八號ヲ以テ昭和十年一月一日ヨリ施行）

●不正競爭防止法

昭和九年三月
法律第十四號

貴帝國議會ノ協賛ヲ經タル不正競爭防止法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

不正競爭防止法

第一條　不正ノ競爭ノ目的ヲ以テ左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲シタル者ハ被害者ニ對シ損害賠償ノ責ニ任ズ

一　本法施行ノ地域內ニ於テ取引上廣ク認識セラルル他人ノ氏名、商號、商標、商品ノ容器包裝其ノ他人ノ商品タルコトヲ示ス表示ト同一若ハ類似ノモノヲ使用シ又ハ之ヲ使用シタル商品ヲ販賣若ハ擴布シテ他人ノ商品ト混同ヲ生セシムル行爲

二　假設若ハ僭用ノ商號ニ附加シテ商品ニ虛僞ノ原產地ノ表示ヲ爲シ又ハ之ヲ表示シタル商品ヲ販賣若ハ擴布シテ原產地ノ誤認ヲ生セシムル行爲

三　他人ノ商品ノ信用ヲ害スル虛僞ノ事實ヲ陳述シ又ハ之ヲ流布スル行爲

前項ノ行爲ヲ爲シタル者ニ對シテハ裁判所ハ被害者ノ請求ニ因リ損害賠償ニ代ヘ又ハ損害賠償ト共ニ其ノ行爲ノ差止ヲ命ズルコトヲ得

第一項第三號ノ行爲ヲ爲シタル者ニ對シテハ裁判所ハ被害者ノ請求ニ因リ商品ノ信用ヲ回復スルニ必要ナル處置ヲモ命ズルコトヲ得

第二條　商品ノ普通名稱若ハ取引上普通ニ同種ノ商品ニ慣用セラルル地名其ノ他ノ表示ヲ使用スル行爲又ハ之ヲ使用シタル商品ヲ販賣若ハ擴布スル行爲ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用セズ

第三條　外國人ニシテ本法施行ノ地域內ニ住所又ハ營業所ヲ有セザルモノハ條約又ハ之ニ準ズベキモノニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外第一條ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

第四條　外國ノ國ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章ニシテ主務大臣ノ指定スルモノト同一又ハ類似ノモノハ其ノ國ノ當該官廳ノ許可ナクシテ之ヲ商標トシテ使用シ又ハ之ヲ商標トシテ使用シタル商品ヲ販賣若ハ擴布スルコトヲ得ズ

前項ノ紋章ハ其ノ國ノ當該官廳ノ許可ナクシテ商品ノ原產地ノ誤認ヲ生セシムル方法ニ依リ取引上之ヲ使用シ又ハ之ヲ使用シタル商品ヲ販賣若ハ擴布スルコトヲ得ズ

外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章又ハ記號ニシテ主務大臣ノ指定スルモノト同一又ハ類似ノモノハ其ノ國ノ當該官廳ノ許可ナクシテ之ヲ同一若ハ類似ノ商品ノ商標トシテ使用シ又ハ之ヲ使用シタル商品ヲ販賣若ハ擴布スルコトヲ得ズ

第五條　前條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六條　第一條第一項第一號、第二號及第四條第一項乃至第三項ノ規定ハ特許法、實用新案法、意匠法又ハ商標法ニ依リ權利ノ行使ト認メラルル行爲ニハ之ヲ適用セズ

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（昭和九年十二月勅令第三百十一號ヲ以テ昭和十年一月一日ヨリ施行）

●朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ國ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章等指定ニ關スル件

昭和十年三月
總督告示第百四十三號

朝鮮不正競爭防止令ニ於テ依ルコトヲ定メタル不正競爭防止令ニ依ル外國ノ國ノ紋章（別記ノ一）、旗章（別記ノ二）及徽章（別記ノ三）ハ左ノ如シ

一　瑞西聯邦ノ紋章（別記ノ一）

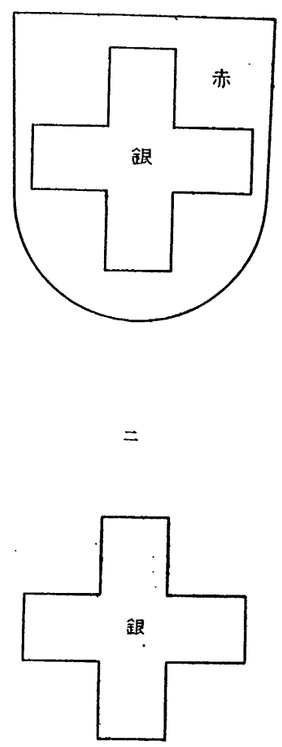
二　「グレート・レバノン」國ノ國旗（別記ノ二）

三　獨逸國ノ旗章（別記ノ三）

四　獨逸國ノ紋章（別記ノ四）

別記

一　瑞西聯邦



二

●朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ國ノ紋章及旗章指定

昭和十年三月
總督告示第百四十四號

改正　昭和一〇・八・四告示第四七號、一〇・一二・二第七六三號、一一・四・二第二五七號

朝鮮不正競爭防止令ニ於テ依ルコトヲ定メタル不正競爭防止法第四條第一項ノ規定ニ依リ外國ノ國ノ紋章又ハ旗章ヲ指定スルコト左ノ如シ

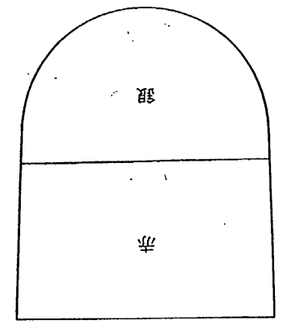
一　瑞西聯邦ノ紋章（別記ノ一）

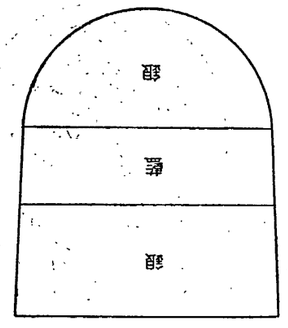
二　「グレート・レバノン」國ノ國旗（別記ノ二）

三　獨逸國ノ旗章（別記ノ三）

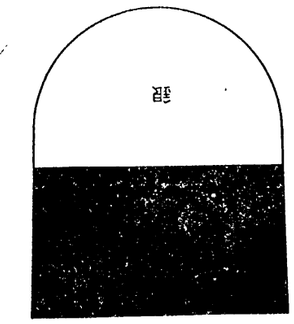
四　獨逸國ノ紋章（別記ノ四）

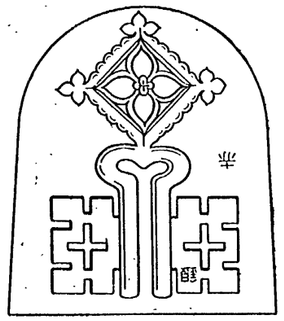
銀

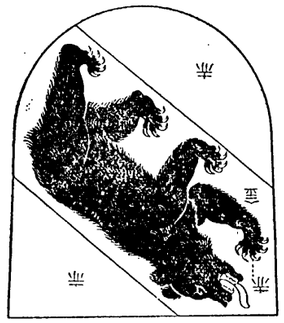

赤
銀

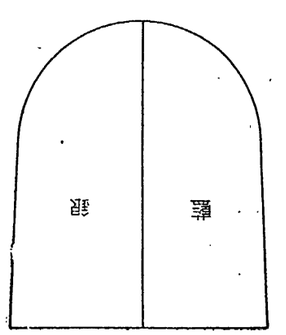

銀
藍
銀

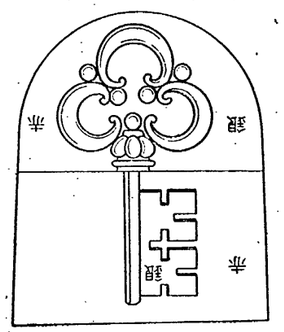
赤
青
緑
褐
褐
緑

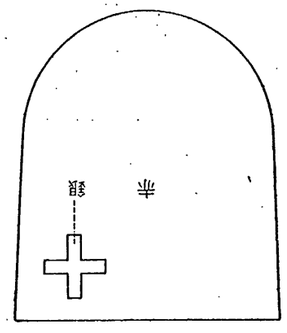

銀

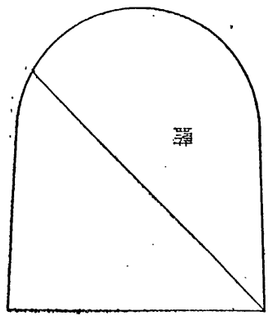

赤
銀


赤
青
黄


藍
銀

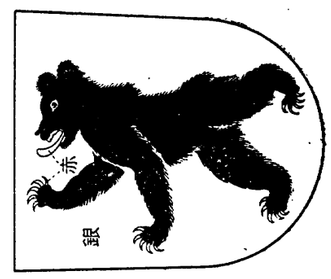

赤
銀


赤
銀


黒

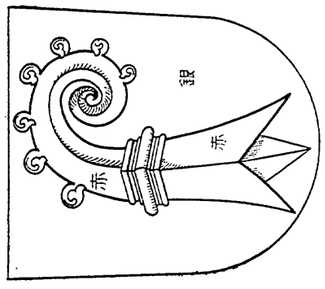
赤
金

アインジーデル・イン・オベル・ユーテン

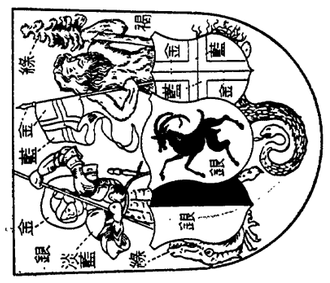


シャフハウセン

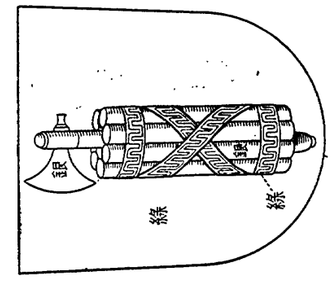
バーゼル・ラント



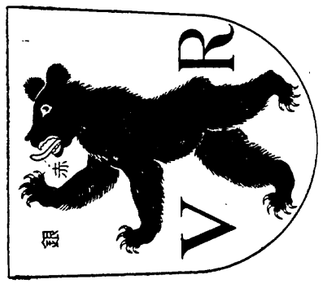
グラウビュンテン



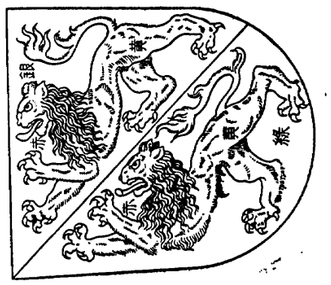
ザンクト・ガルレン



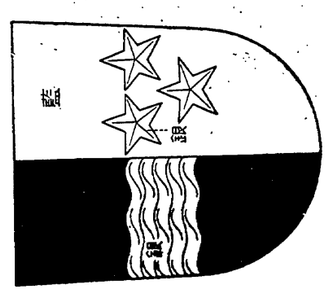
アインジーデル・アウセル・ユーテン



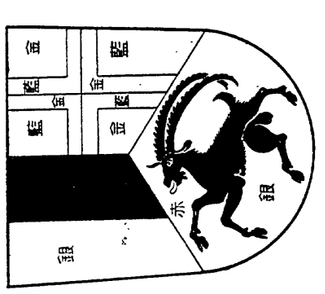
トゥールガウ



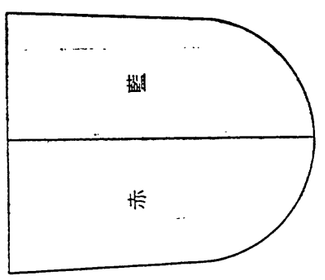
アールガウ



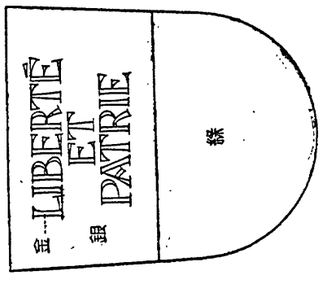
グラウビュンテン



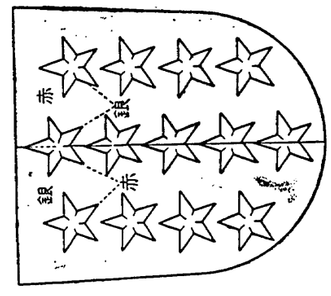
ティチーノ



ヴォー

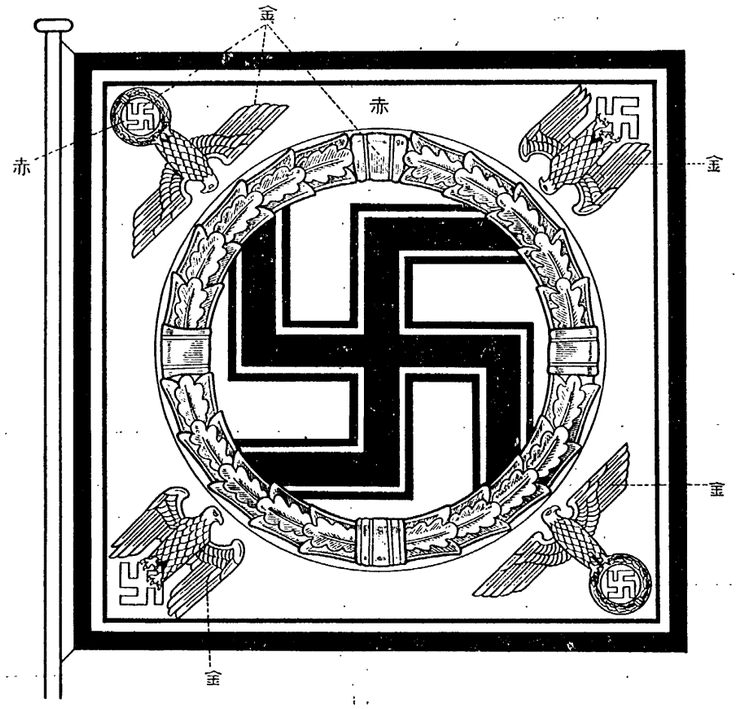


ヴァレ

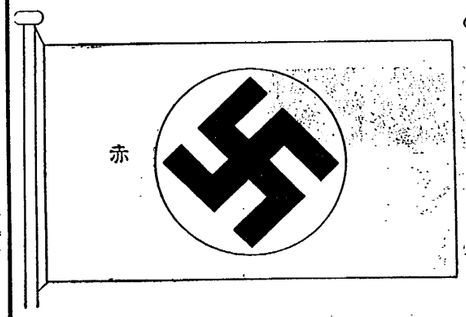


三

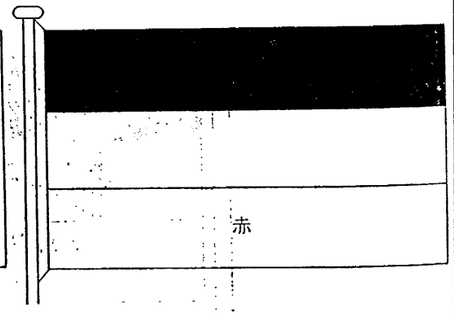
總統兼宰相旗



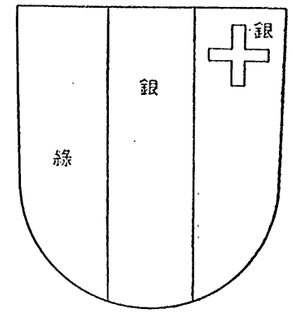
鈎十字旗



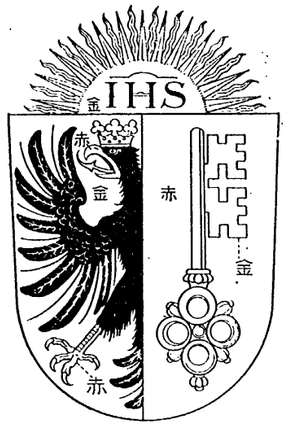
黑白赤旗



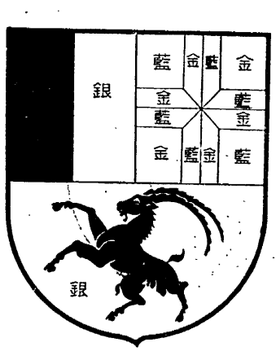
ヌーシャーテル



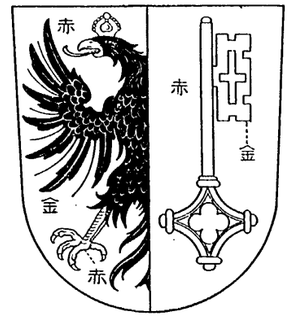
ジュネーヴ



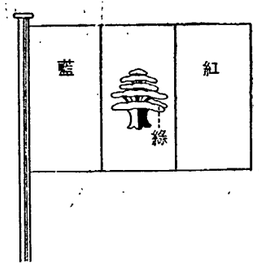
グラウビュンデン



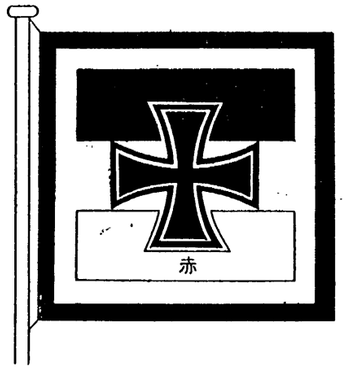
ジュネーヴ



二

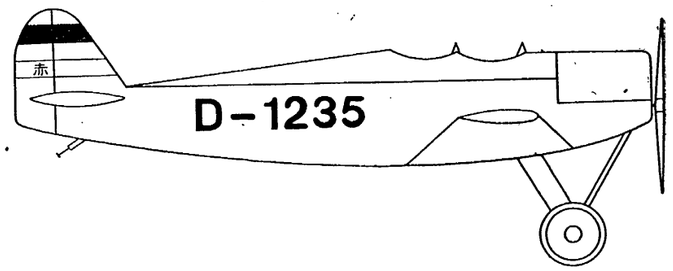


國防大臣旗

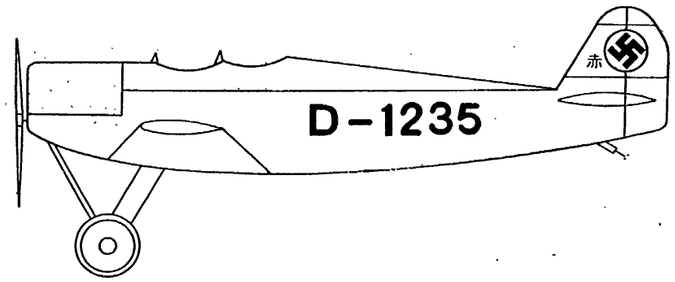


飛行機ノ主標章（國籍標識）

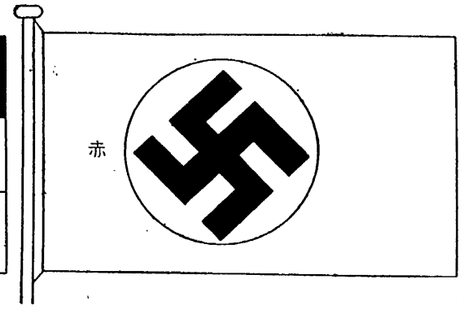
右側



左側

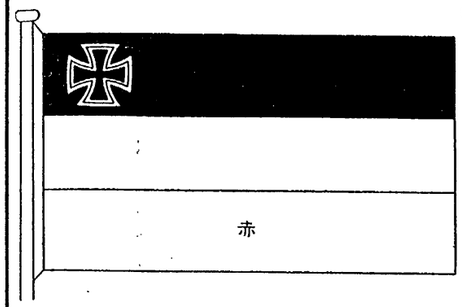


貿易船指揮官タル前海軍士官旗

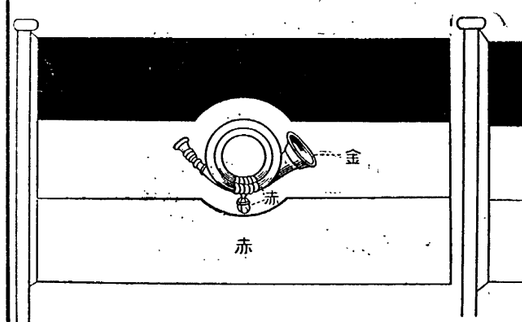


官衙旗

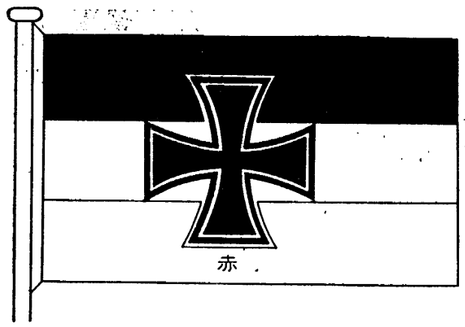
商船用鉤十字旗



郵便旗



軍旗及軍艦旗



色　州

黄
赤
黄

色　州

紫

色　州

赤
黄

色　州

赤

旅客船一及色州

色　州

黄
赤

旅客船出關條通交國

（蒸際條國）章標主ノ船行殊

側　右

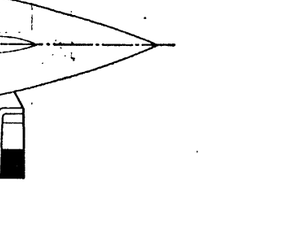
赤
赤

側　左

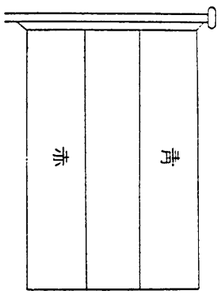
赤
赤

色　州

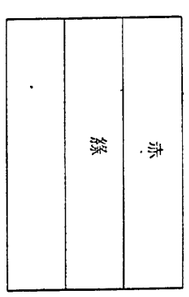
青



旅州及色州

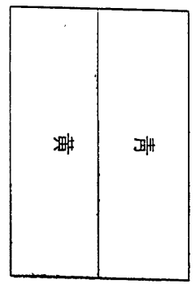


メクレンブルグ・シュウェリン　旗　州　船舶

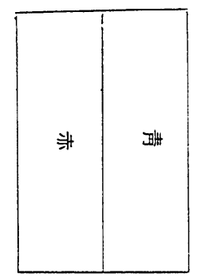


オルデンブルグ　色　州

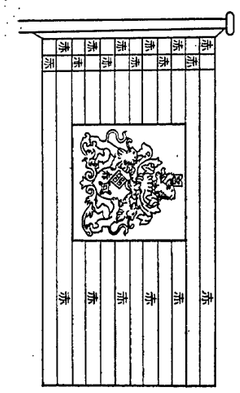
アンハルト　色　州



ブラウンシュワイグ　色　州

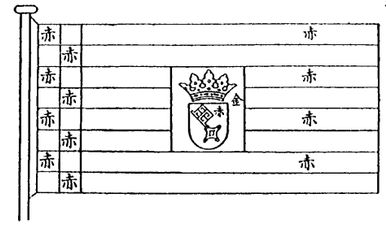


リッペ　色　州

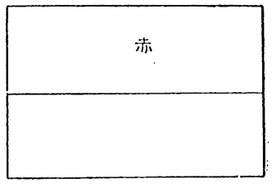

赤
赤
赤

プレーメン

小　國　旗

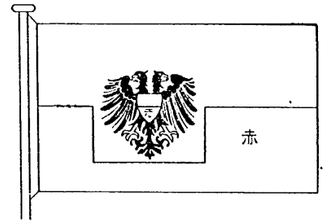


州　色

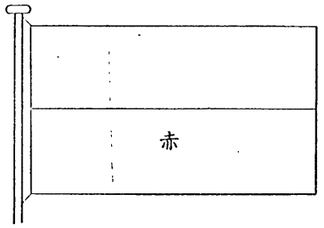


リューベック

國　旗

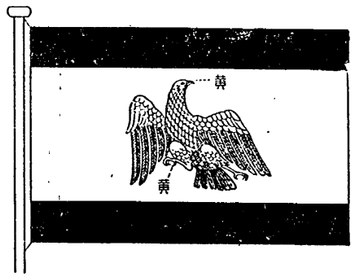


州　色　及　旗



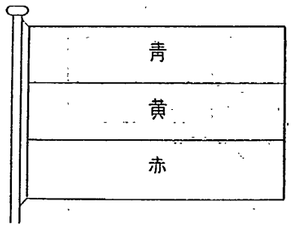
プロイセン

旗務勤上海ノ國海沿



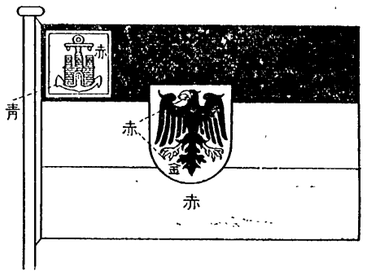
メクレンブルグーシュトレリッツ

州　色　及　旗



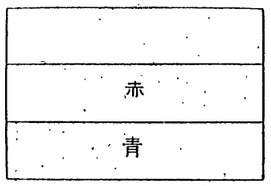
ハンブルグ

旗務勤上海ノ國海沿



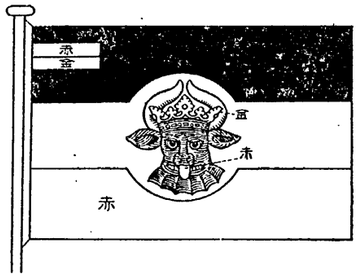
シャウムブルグーリッペ

色　州



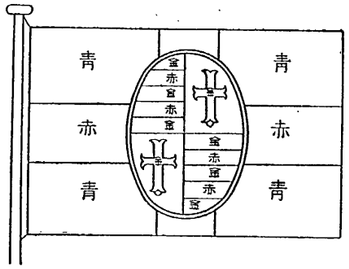
メクレンブルグーシュウェーリン

旗務勤上海ノ國海沿



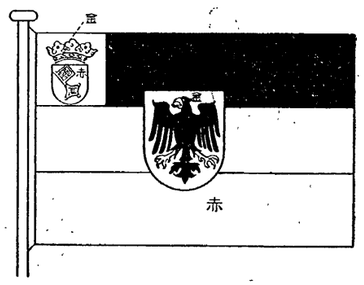
オルデンブルグ

旗務勤上海ノ國海沿



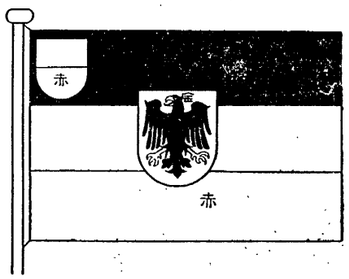
プレーメン

旗務勤上海ノ國海沿

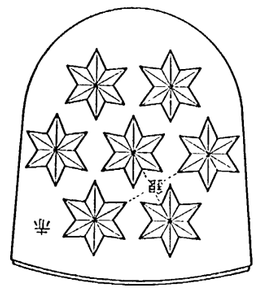


リューベック

旗務勤上海ノ國海沿



紋章



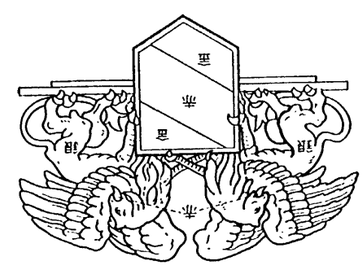
紋章ノ一例ヲ示ス

紋章附

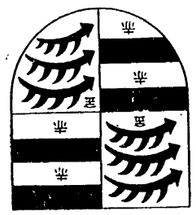
紋章附

紋章附

紋章附



紋章附

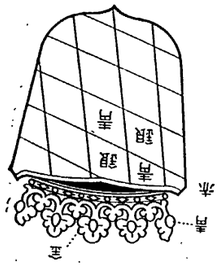


紋章附

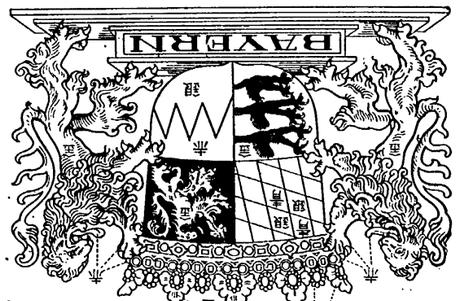
紋章附

紋章附

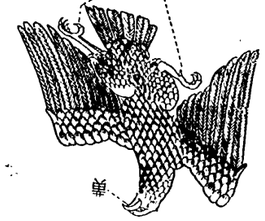
紋章附



紋章附



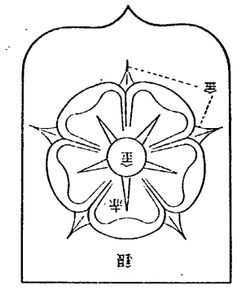
紋章附



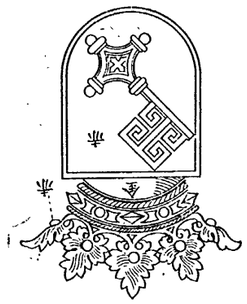
紋章附

紋章附

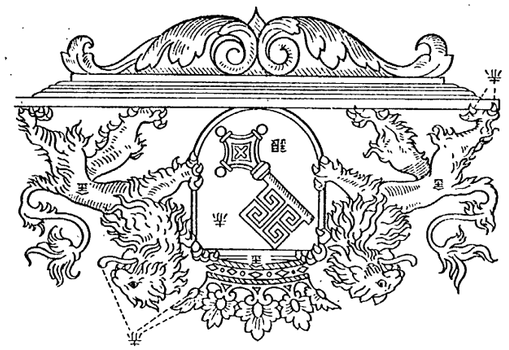
章紋州



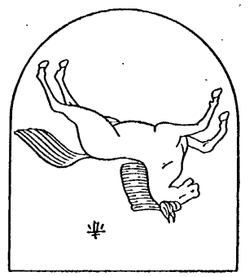
章紋中



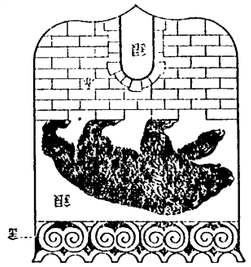
章紋大



章紋州

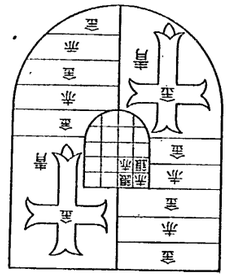


章紋図



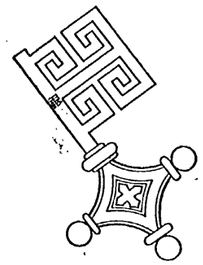
章紋州小

章紋ノ部州ノ名ヲ以テス


金
赤
金
赤
緑
青
赤
青
赤
青
赤

プレーメン

小紋章



メクレンブルグ・シュトレリッツ

州紋章

リューベック

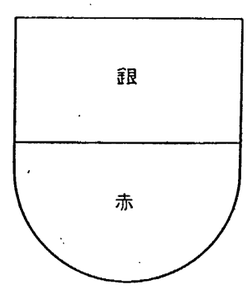
大國紋章

リューベック

小國紋章

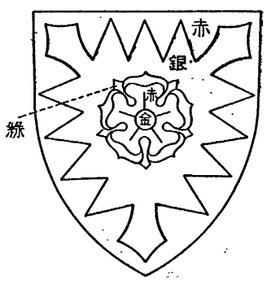
リューベック

州紋章



シャウムブルグ・リッペ

州紋章



●朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章指定

昭和十年三月總督第百四十五號

改正　昭和一〇年一二第七六四號

朝鮮不正競爭防止令ニ於テ依ルコトヲ定メタル不正競爭防止法第四條第三項ノ規定ニ依リ外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章ヲ指定スルコト左ノ如シ

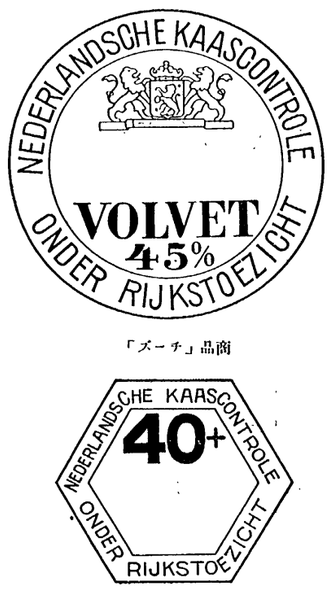
一　和蘭國ノ官ノ監督用及證明用ノ印章（別記ノ一）

二　瑞西聯邦ノ官ノ監督用ノ印章（別記ノ二）

三　「グレート・レバノン」國ノ官ノ監督用及證明用ノ印章（別記ノ三）

別記

一



「ズーチ」品商

「ズーチ」品商

二

金製品商

金製品商

金製品商

銀製品商

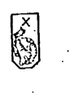
銀製品商

金製品商

偽計哈製銀　品商

偽計哈製金　品商

偽計哈製銀　品商



偽計哈製金　品商

偽計哈製金　品商

偽計哈製金

第八款　貿易調節

●昭和九年法律第四十五號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

昭和九年四月
勅令第百十八號

朕昭和九年法律第四十五號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

昭和九年法律第四十五號ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附　則

本令ハ昭和九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●貿易調節及通商擁護ニ關スル法律

昭和九年四月
法律第四十五號

改正　昭和一二年五月一號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル貿易調節及通商擁護ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　政府ハ外國ノ執リ又ハ執ラントスル措置ニ對應シテ貿易ヲ調節シ又ハ通商ヲ擁護スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關稅調査委員會ノ議ヲ經テ期間及物品ヲ指定シ關稅定率法別表輸入稅表ニ定ムル輸入稅ノ外其ノ物品ノ價格ト同額以下ノ輸入稅ヲ課シ若ハ輸入稅ヲ減免シ又ハ輸出若ハ輸入ノ禁止若ハ制限ヲ爲スコトヲ得

第二條　政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リテ爲ス禁止又ハ制限ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ檢查ヲ行フコトヲ得

第三條　第一條ノ規定ニ依リテ爲ス禁止又ハ制限ニ違反シテ輸出若ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ七千圓以下ノ罰金ニ處シ犯罪ニ係ル物品ノ價格ノ三倍ガ七千圓ヲ超ユルトキハ罰金ハ當該價格ノ三倍以下トス

前條ノ規定ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ報告ヲ爲サズ虚僞ノ報告ヲ爲シ、帳簿其ノ他ノ檢查ヲ拒ミ又ハ帳簿書類ノ隱蔽不實ノ申立其ノ他ノ方法ニ依リ檢查ヲ妨ゲタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處シ本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者亦同ジ

第四條　法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業員ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前條ノ違反行爲ヲ爲シタトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前條ノ罰金刑ヲ科ス

第五條　本法ノ施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業員ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同ジ

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和九年四月勅令第百十七號ヲ以テ昭和九年五月一日ヨリ施行）

本法ハ施行後六年間ヲ限リ其ノ效力ヲ有ス

前項ノ期間内ニ爲サレタル本法ニ依リ處罰セラルル行爲ニ付テハ本法ノ期間ハ前項ノ期間ノ經過後ト雖モ仍之ヲ適用ス

●昭和九年法律第四十五號ノ規定ニ依ル輸入制限等ニ關スル件

昭和十一年六月
勅令第百二十四號

朕昭和九年法律第四十五號第一條ノ規定ニ依ル輸入制限等ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　大正千年以降外國貿易上本邦ガ各年著シク輸入超過ノ關係ニ在リ、本邦トノ間ニ通商航海條約ノ締結ナク且本令施行ノ際本邦ノ產出又ハ製造ニ係ル物品ニ對シ不當ナル輸入防遏ノ措置ヲ執ル國ノ產出又ハ製造ニ係ル物品ハ昭和九年法律第四十五號第一條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クル者ニ非ザレバ之ヲ輸入スルコトヲ得ズ

前項ノ物品ハ關稅定率法別表輸入稅表ニ揭グル物品ニシテ本令ノ別表乙號ニ揭グルモノニ限ル

第二條　前項ノ物品ハ關稅定率法別表輸入稅表ニ揭グル物品ニシテ本令ノ別表甲號又ハ丙號ニ揭グルモノノ輸入者、輸出者、取引業者、倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ當該物品ノ輸入又ハ輸出ノ數量及價格、在庫數量其ノ他必要ナル事項ニ關シ報告ヲ命ジ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ物品ハ關稅定率法別表輸入稅表ニ揭グル物品ニシテ本令ノ別表乙號ニ揭グルモノニ限ル

第三條　關稅定率法別表輸入稅表ニ揭グル物品ニシテ本令ノ別表丙號ニ揭グルモノハ昭和九年法律第四十五號第一條ノ規定ニ依リ本令施行ノ日ヨリ一年間主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸出スルコトヲ得ズ

第四條　第一條ノ許可ヲ受クタル者ハ許可ノ日ヨリ三月内ニ其ノ物品ヲ輸入スベシ

主務大臣ハ正當ノ事由アリト認ムル場合ニ限リ前項ノ期間ノ延長ヲ許可スルコトヲ得

第一條ノ許可ヲ受クタル者前二項ノ期間内ニ其ノ物品ヲ輸入セザルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

第五條　關稅定率法別表輸入稅表ニ揭グル物品ニシテ本令ノ別表甲號又ハ乙號ニ揭グルモノヲ輸入セントスル者ハ製產原地證明書ヲ稅關ニ提出スベシ但シ郵便物ナルトキ又ハ物品ノ原價百圓ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ製產地證明書ニハ物品ノ記號、番號、品名、箇數、數量及產出又ハ製造ノ地域ヲ記載シ物品ノ產出地、製造地、仕入地又ハ積出地ノ帝國領事館、帝國館事館ナキトキハ其ノ地ノ稅關其ノ他ノ官廳、公署又ハ商工會議所ノ證明アルヲ要ス但シ第六條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣必要アリト認ムルトキハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶スベシ

第七條　本令中主務大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官之ヲ行フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ本邦ニ向ケ輸送ノ途ニ在ル物品又ハ保稅地域ニ藏置中ノ物品ニハ本令ヲ適用セズ

（別表）

甲號

輸入稅表番號	品名
一六	小麥
二二	穀粉及澱粉類
一	小麥粉
二八二	羊毛、山羊毛及駱駝毛ノ內羊毛
二九五	屑又ハ故ノ纖維、屑絨絲及屑絲ノ內屑又ハ羊毛

乙號

輸入稅表番號	品名
五二	鳥獸肉類
一	生鮮ナルモノ
甲	牛肉
五三	バター、人造バター及ギーノ內バター
五五	コンデンスドミルク
七一	皮類（別號ニ揭ゲザルモノ）
一〇八	獸脂
二	牛脂

二一七　カセイシ

丙號

輸入稅表番號	品名
二八二	羊毛、山羊毛及駱駝毛
二九五	屑又ハ故ノ纖維、屑絲及屑絲ノ內毛又ハ毛ノモノ
三四一	擬絨ノ內毛又ハ毛入ノモノ

●昭和十一年勅令第百二十四號ノ施行手續ニ關スル件

昭和十一年六月
總令第四十八號

昭和十一年勅令第百二十四號ノ施行手續ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　昭和十一年勅令第百二十四號第一條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル輸入許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　品名
二　數量
三　產出地又ハ製造地
四　積出港
五　豫定輸入港
六　豫定輸入時期

前項ノ場合ニ於テ許可ヲ受ケントスル者他人ヨリ委託ヲ受ケ輸入セントスルモノナルトキハ輸入許可申請書ニ前項各號ノ事項ノ外委託者ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所ヲ記載シ且委託アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第二條　昭和十一年勅令第百二十四號第一條ノ許可ヲ受クタル者前條第一項第四號乃至第六號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第三條　昭和十一年勅令第百二十四號第一條ノ許可ヲ受クタル者又ハ輸入者又ハ輸出者ヨリ取引業者、倉庫業者其ノ他必要アル場合ニ於テ輸入又ハ輸出ノ數量及價格、在庫數量其ノ他必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶スベシ

第四條　昭和十一年勅令第百二十四號第一條ノ許可ヲ受クタル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル輸入許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　品名
二　數量
三　仕向港及仕向地
四　貿濟先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所
五　豫定輸出港
六　豫定輸出時期

第五條　昭和十一年勅令第百二十四號第三條ノ許可ヲ受クタル者ハ第四號及第六號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第六條　昭和十一年勅令第百二十四號第一條又ハ第三條ノ許可ヲ受クタル者ハ其ノ物品ノ輸入又ハ輸出ヲ爲ス場合ニ於テ朝鮮總督ノ交付スル輸入許可書又ハ輸出許可書ヲ輸入又ハ輸出ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベシ

第七條　昭和十一年勅令第百二十四號第一條又ハ第三條ノ許可ヲ受クタル者輸入又ハ輸出ヲ爲シタル日ヨリ七日以内ニ左ニ揭グル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

一　輸入又ハ輸出ノ許可ヲ受クタル物品ノ品名及數量竝ニ許可ノ年月日
二　輸入又ハ輸出ヲ爲シタル物名ノ品名、數量及價格
三　輸入港又ハ輸出港
四　輸入又ハ輸出ノ年月日

第八條　昭和十一年勅令第百二十四號別表甲號ニ揭グル物品ニシテ本令ノ別表乙號ニ揭グルモノヲ輸入シタル者ハ輸入ヲ日ヨリ七日以内ニ左ニ揭グル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ但シ「オーストラリア」聯邦ノ產出又ハ製造ニ係ルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　品名
二　數量（種類別ニ記載スベシ）
三　產出地又ハ製造地
四　買入先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所

第九條　昭和十一年勅令第百二十四號第三條ノ許可ヲ受クタル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル輸出許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　品名
二　數量
三　仕向港及仕向地
四　貿濟先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所
五　豫定輸出港
六　豫定輸出時期

第五條　昭和十一年勅令第百二十四號第三條ノ許可ヲ受クタル者ハ左ニ揭グル事項及第六號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第六條　昭和十一年勅令第百二十四號第一條又ハ第三條ノ許可ヲ受クタル者ハ其ノ物品ノ輸入又ハ輸出ヲ爲ス場合ニ於テ朝鮮總督ノ交付スル輸入許可書又ハ輸出許可書ヲ輸入又ハ輸出ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベシ

第七條　昭和十一年勅令第百二十四號第一條又ハ第三條ノ許可ヲ受クタル者ハ其ノ物品ノ輸入又ハ輸出ヲ爲シタル日ヨリ七日以内ニ左ニ揭グル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

一　輸入又ハ輸出ノ許可ヲ受クタル物品ノ品名及數量竝ニ許可ノ年月日
二　輸入又ハ輸出ヲ爲シタル物名ノ品名、數量及價格
三　輸入港又ハ輸出港
四　輸入又ハ輸出ノ年月日

第八條　昭和十一年勅令第百二十四號別表甲號ニ揭グル物品ニシテ本令ノ別表乙號ニ揭グルモノヲ輸入シタル者ハ輸入ヲ日ヨリ七日以内ニ左ニ揭グル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ但シ「オーストラリア」聯邦ノ產出又ハ製造ニ係ルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　品名
二　數量（種類別ニ記載スベシ）
三　產出地又ハ製造地
四　買入先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所

第十條　昭和十一年勅令第百二十四號第三條ノ許可ヲ受クタル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル輸出許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　品名
二　數量
三　仕向港及仕向地
四　貿濟先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所
五　豫定輸出港
六　豫定輸出時期

第五條　昭和十一年勅令第百二十四號第三條ノ許可ヲ受クタル者ハ左ニ揭グル事項及第六號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第六條　昭和十一年勅令第百二十四號第一條又ハ第三條ノ許可ヲ受クタル者ハ其ノ物品ノ輸入又ハ輸出ヲ爲ス場合ニ於テ朝鮮總督ノ交付スル輸入許可書又ハ輸出許可書ヲ輸入又ハ輸出ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベシ

第七條　昭和十一年勅令第百二十四號第一條又ハ第三條ノ許可ヲ受クタル者ハ其ノ物品ノ輸入又ハ輸出ヲ爲シタル日ヨリ七日以内ニ左ニ揭グル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

一　輸入又ハ輸出ノ許可ヲ受クタル物品ノ品名及數量竝ニ許可ノ年月日
二　輸入又ハ輸出ヲ爲シタル物名ノ品名、數量及價格
三　輸入港又ハ輸出港
四　輸入又ハ輸出ノ年月日

第八條　昭和十一年勅令第百二十四號別表甲號又ハ丙號ニ揭グル物品ニシテ本令ノ別表乙號ニ揭グルモノヲ輸入シタル者ハ輸入ヲ日ヨリ七日以内ニ左ニ揭グル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ但シ「オーストラリア」聯邦ノ產出又ハ製造ニ係ルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　品名
二　數量（種類別ニ記載スベシ）
三　產出地又ハ製造地
四　買入先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所

第九條　昭和十一年勅令第百二十四號第三條ノ許可ヲ受クタル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル輸出許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　品名
二　數量
三　仕向港及仕向地
四　貿濟先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所

五　積載船舶ノ名稱及國籍
六　積出港
七　輸入港
八　輸入年月日

第九條　昭和十一年勅令第百二十四號第六條

別記樣式

第　號　年　月　日交付

昭和十一年勅令第百二十四號第六條第二項ノ證票

官　職
氏
朝鮮總督府印
名

第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十一年勅令第百二十四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

裏面

昭和九年法律第四十五號摘要

第二條　政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リテ爲ス禁止又ハ制限ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ檢查ヲ行フコトヲ得

第三條　第二項前條ノ規定ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虚僞ノ報告ヲ爲シ、帳簿其ノ他ノ檢查ヲ拒ミ又ハ帳簿書類ノ隱蔽不實ノ申立其ノ他ノ方法ニ依リ檢查ヲ妨ゲタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處シ本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者亦同ジ

昭和十一年勅令第百二十四號摘要

第六條　昭和九年法律第四十五號第二條ノ規定ニ依リ主務大臣必要アリト認ムルトキハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官之ヲ行フ

（別表）

檢入役表番號	品名
二八二 二九五	羊毛、山羊毛及駱駝毛ノ內羊毛 屑又ハ故ノ纖維、屑絲及屑絲ノ內屑又ハ故ノ羊毛

●昭和十一年勅令第百二十四號第一條第一項ニ規定スル國

昭和十一年六月總督令第三百七十一號

●昭和十一年朝鮮總督府令第四十八號ノ規定ニ依ル申請書及届書ノ樣式

昭和十一年朝鮮總督府令第四十八號（貿易調節及通商擁護ニ關スル法律施行手續）ノ規定ニ依ル申請書及届書ノ樣式左ノ通定ム

樣式第一號

輸入許可申請書

年　月　日

朝鮮總督　　宛

事務所又ハ替業所
申請者ノ氏名又ハ名稱　印

左記輸入ニ付昭和十一年勅令第百二十四號第一條ノ許可相成度昭和十一年朝鮮總督府令第四十八號第一條ノ規定ニ依リ此段及申請候也

記

品名	
數量	
產出地又ハ製造地	
積出港	
豫定輸入港	
豫定輸入時期	
委託者ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ替業所	

備考

數量ハ

(イ) 小麥及小麥粉ニ付テハ百斤單位ニテ記載スルコト

(ロ) 羊毛ニ付テハ「メリノ」種又ハ其ノ他ノ種（各種ニ付脂付原毛、洗上原毛及「トツプ」ニ組別スルコトノ別毎ニ封度及百斤ノ兩單位ニテ記載スルコト

樣式第二號

輸出許可申請書

年　月　日

事務所又ハ替業所
申請者ノ氏名又ハ名稱　印

朝鮮總督　　宛

左記輸出ニ付昭和十一年勅令第百二十四號第三條ノ許可相成度昭和十一年朝鮮總督府令第四十八號第四條ノ規定ニ依リ此段及申請候也

記

品名	
數量	
仕向港及仕向地	
賣渡先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ替業所	
豫定輸出港	
豫定輸出時期	

備考

數量ハ封度及百斤ノ兩單位ニテ記載スルコト

樣式第三號

屆書

年　月　日

事務所又ハ替業所
輸入者（輸出者）ノ氏名又ハ名稱　印

朝鮮總督　　宛

昭和十一年朝鮮總督府令第四十八號第七條ノ規定ニ依リ輸入（輸出）ニ左記ノ通及屆出候也

記

朝鮮總督府指令　第　號

品名		品名	
數量		數量	
許可ノ年月日		輸入（輸出）ノ年月日	
		輸入（輸出）ノ價格	

備考

一　數量單位ニ付テハ樣式第一號及第二號ノ備考ニ依リ記載スルコト

二　輸入價額ハ輸入港ニ於ケルc.i.f.價格ヲ記載スルコト

三　輸出價額ハ輸出港ニ於ケルf.o.b.價格ヲ記載スルコト

第九款　工業

●朝鮮總督府中央試驗所試驗分析及鑑定規則

昭和七年十月
總令第百六號
改正　昭和八年五月四日

朝鮮總督府中央試驗所試驗、分析及鑑定規則左ノ通定ム

朝鮮總督府中央試驗所試驗、分析及鑑定規則

第一條　朝鮮總督府中央試驗所（以下單ニ中央試驗所ト稱ス）ニ工業ニ關スル試驗又ハ分析ノ依頼ヲ爲サントスル者ハ別表ニ定ムル分量ノ現品ヲ添ヘ第一號樣式ノ依頼書ヲ差出シ又ハ口頭ヲ以テ申出ヅベシ

試驗又ハ分析ノ爲必要アルトキハ更ニ相當分量ノ現品ヲ差出サシムルコトアルベシ

第二條　前條第一項ノ規定ニ依リ試驗又ハ分析ノ依頼ヲ爲サントスル者ハ一件毎ニ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムベシ

一　定性分析

指定成分ノ定性分析

一成分一回、一成分ヲ增ス毎ニ五十錢ヲ加フ

全成分又ハ主要成分ノ定性分析

三回以上十回以下

二　定量分析

指定成分ノ定量分析

一成分二回、一成分ヲ增ス毎ニ一回ヲ加フ

全成分又ハ主要成分ノ定量分析

五回以上十五回以下

三　土石及其ノ製品ノ試驗

土石又ハ其ノ製品ノ耐火度、收縮度又ハ膨脹度ノ試驗

一項目一回以上十回以下

粘土ノ機械的分析

一回以上十回以下

陶磁器、硝子、琺瑯、煉瓦、瓦又ハセメントノ原料ノ應用試驗

三回以上五十回以下

セメントノ比重、一定容量ノ重量、凝結時間、粉末ノ細度、膨脹又ハ龜裂ノ試驗

一項目一回

セメントノ耐伸强、耐壓强又ハ滲透力ノ試驗

一項目一回

石材、煉瓦又ハ瓦ノ吸水率、耐伸强、耐壓强又ハ耐撓强ノ試驗

一項目二回

石材、煉瓦又ハ瓦ノ凍寒作用ノ試驗

一回以上五十回以下

土管ノ耐壓ノ試驗

二回以上三十回以下

四　油脂、蠟、精油及鐵油ノ試驗

油脂、蠟、精油又ハ鐵油ノ比重、粘度、凝點、撥點、沸點、引火點、燃燒點又ハ光度ノ試驗

一項目一回

油脂、蠟、精油又ハ鐵油ノ沃素價、酸價、鹼化價、殘若ハアルカリノ作用又ハ金屬ニ對スル作用ノ試驗

一項目二回

油脂、蠟、精油又ハ鐵油ノ應用試驗

三回以上五十回以下

五　塗料及顏料ノ試驗

塗料ノ比重、粘度、乾燥度、色澤又ハ透明度ノ試驗

一項目一回

顏料ノ細度又ハ被覆度ノ試驗

一項目一回

塗料又ハ顏料ノ應用試驗

三回以上五十回以下

六　紙ノ試驗

紙ノ耐揉度又ハ强度伸度ノ試驗

一項目一回

紙ノ原料ノ應用試驗

三回以上五十回以下

七　護謨ノ試驗

護謨ノ加硫試驗

十回

護謨ノ抵斷强及伸張率ノ試驗

二回

護謨ノ硬度又ハ彈性ノ試驗

一項目一回

護謨ノ老化試驗

五回

八　纖維、絲及纖布ノ試驗

纖維、絲又ハ纖布ノ强度伸度及摩擦度ノ試驗

一回

纖維、絲又ハ纖布ノ練減ノ試驗

二回

纖維、絲又ハ纖布ノ精練及漂白ノ試驗

一回以上五回以下

絲又ハ纖布ノ整理加工ノ試驗

一回

纖布ノ原絲、組織及密度ノ試驗

一回

製織設計

二回以上二十回以下

製織試驗

一反二回以上二十回以下

九　染料及媒染劑ノ試驗

染料及媒染劑ノ品質又ハ應用試驗

一項目一回以上十回以下

絲又ハ纖布ノ色染試驗

一回以上十回以下

絲又ハ纖布ノ染色堅牢度ノ試驗

一回

第六條ノ場合ニ於テハ前項ニ定ムル額ノ二倍ノ手數料ヲ納ムベシ

第三條　前二條ニ規定スルモノノ外工業ニ關係アル物料ノ試驗又ハ分析ニ關スル現品ノ分量及手數料ニ付テハ前二條ノ規定ニ準ジ朝鮮總督府中央試驗所長（以下單ニ試驗所長ト稱ス）之ヲ定ム

第四條　中央試驗所ニ工業ニ關スル鑑定ノ依頼ヲ爲サントスル者ハ第一號樣式ノ依頼書ヲ差出シ又ハ口頭ヲ以テ申出ヅベシ

前項ノ依頼アリタルトキハ中央試驗所長鑑定ノ爲必要ナル分量ヲ定メ現品ヲ差出サシムル

第五條　前條第一項ノ規定ニ依リ鑑定ノ依頼ヲ爲サントスル者ハ第二條ノ規定ニ準ジ中央試驗所長ノ定ムル手數料ヲ納ムベシ

第六條　試驗、分析又ハ鑑定ハ通常ノ依頼ニ先チ急速ニ又ハ日時ヲ限リ施行スルコトヲ依頼スルコトヲ得

第七條　特種ノ作業ノ依頼ヲ爲サントスル者ハ第二號樣式ノ依頼書ヲ差出スベシ

前項ノ規定ニ依ル特種ノ作業ノ手數料ハ中央試驗所長之ヲ定ム

第八條　中央試驗所長試驗、分析、鑑定又ハ特種作業ノ爲必要アリト認ムルトキハ依頼者ニ器具機械、材料又ハ勞務ヲ提供セシムルコトアルベシ

第九條　試驗、分析又ハ鑑定ノ結果ニ付テハ其ノ報告書ヲ依頼者ニ交付ス

第十條　試驗、分析又ハ鑑定ノ依頼ヲ爲ス者ハ其ノ試驗、分析又ハ鑑定ノ報告書ノ副本ヲ請求セントスルトキハ第三號樣式ノ願書ヲ差出スベシ

前項ノ請求ヲ爲ストキハ副本用紙一枚毎ニ十錢、外國語ニ依ル副本ヲ請求スルトキハ一件毎ニ五十錢以上五圓以下ノ手數料ヲ納ムベシ

第十一條　本令ニ依リ試驗、分析又ハ鑑定ヲ受ケタル物品ニ對シ所定ノ封緘又ハ證印押捺ノ依頼ヲ爲サントスル者ハ第四號樣式ノ依頼ヲ差出スベシ

前項ノ封緘又ハ證印押捺ノ手數料ハ中央試驗所長之ヲ定ム

第十二條　中央試驗所ノ設備ヲ使用セントスル者ハ第五號樣式ノ願書ヲ差出スベシ

前項ノ規定ニ依ル設備ノ使用料ハ中央試驗

所長之ヲ定ム

第十二條　前條第一項ノ規定ニ依ル設備ノ使用ニ關シ必要ナル事項ハ中央試驗所長之ヲ定ム

第十三條　手數料ニシテ最高最低ノ限度ヲ定メタルモノニ付テハ中央試驗所長其ノ額ヲ定ム

第十四條　手數料及使用料ハ收入印紙ヲ以テ納ムベシ

收入印紙ノ消印ハ中央試驗所ニ於テ之ヲ押捺ス

第十五條　試驗、分析又ハ鑑定ノ爲差出シタル現品ハ之ヲ還付セズ但シ差出ノ際豫メ申出アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テ現品還付ニ要スル費用ハ依賴者ノ負擔トス

第十六條　本令ノ手數料及使用料ハ官廳ノ請求ニ係ルモノニ付テハ之ヲ徵收セズ公共團體又ハ督利チ目的トセザル組合ノ依賴ニ係ルモノニ付テハ之ヲ半減ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

光武十年農商工部令第四十二號ハ之ヲ廢止ス

從前ノ規定ニ依リ試驗、分析又ハ鑑定ノ依賴ヲ爲シタルモノニ付テハ仍舊令ニ依ル

（別表）

試驗又ハ分析ニ關スル現品ノ分量表

一　定性分析		
指定成分ノ定性分析		
全成分又ハ主要成分ノ定性分析		百グラム以上
二　定量分析		
指定成分ノ定量分析		
全成分又ハ主要成分ノ定量分析		百グラム以上
三　土石及其ノ製品ノ試驗		
土石又ハ其ノ製品ノ耐火度、收縮度又ハ膨脹度ノ試驗		五百グラム又ハ二箇以上
粘土ノ機械的分析		一キログラム以上
陶磁器、硝子、琺瑯、煉瓦、瓦又ハセメントノ原料ノ應用試驗		十キログラム以上
セメントノ比重、一定容量ノ重量、凝結時間、粉末ノ細度、膨脹又ハ龜裂ノ試驗		一キログラム以上
セメントノ耐伸强、耐壓强又ハ滲透力ノ試驗		二十キログラム以上
石材、煉瓦又ハ瓦ノ吸水量、耐伸强、耐壓强、耐撓强又ハ凍寒作用ノ試驗		八箇以上（石材ハ五センチメートル立法以上ノモノ）
四　土管ノ耐壓强ノ試驗		八箇以上
油脂、蠟、精油又ハ鑛油ノ試驗		
油脂、蠟、精油又ハ鑛油ノ比重、粘度、凝點、融點、沸點、引火點、燃燒點、光度、沃素價、酸價、鹼化價、酸若ハアルカリノ作用又ハ金屬ニ對スル作用ノ試驗		五十センチリットル又ハ五百グラム以上
五　油脂、蠟、精油又ハ鑛油ノ應用試驗		二リットル又ハ一キログラム以上
塗料及顏料ノ試驗		
塗料ノ比重、粘度、乾燥度、色澤又ハ透明度ノ試驗		三百グラム以上
六　紙ノ試驗		
紙ノ耐撰度又ハ强度伸度ノ試驗		五百グラム以上
紙ノ原料ノ應用試驗		十枚以上（二十五センチメートル平方以上ノモノ）
護謨ノ試驗		五キログラム以上
護謨ノ加硫試驗		
護謨ノ扯斷强及伸張率ノ試驗		厚サ四ミリメートル以上
護謨ノ硬度又ハ彈性ノ試驗		幅七センチメートル以上
護謨ノ老化試驗		長サ二十センチメートル以上
七　纖維、絲又ハ織布ノ試驗		
纖維、絲又ハ織布ノ强度伸度及摩擦度ノ試驗		纖維及絲二百グラム以上
纖維、絲又ハ織布ノ縮減ノ試驗		絲布小幅二メートル以上
纖維、絲又ハ織布ノ精練及漂白ノ試驗		絲布大幅一・五メートル以上
絲又ハ織布ノ整理加工ノ試驗		百グラム以上
織布ノ原絲、組織及密度ノ試驗		纖維及絲二百グラム以上
製織設計		織布一メートル以上
製織試驗		絲三百グラム以上
八　染料及媒染劑ノ試驗		
染料及媒染劑ノ品質又ハ應用試驗		絲布一反
絲又ハ織布ノ色染試驗		十センチメートル以上
絲又ハ織布ノ染色堅牢度ノ試驗		織布十センチメートル以上
九　染料及媒染劑ノ試驗		一キログラム以上
染料二十グラム以上		
媒染劑百グラム以上		
絲二百グラム以上		
織布一メートル以上		
絲百グラム以上		
織布五十センチメートル以上		

第一號樣式

試驗「分析」「鑑定」依賴書

收入印紙　貼附シタル收入印紙ノ額

一　供試品名

二　產地又ハ製造地名及製造者名

三　試驗ノ項目「定性又ハ定量スベキ物質名」「鑑定ノ項目」

右試驗「分析」「鑑定」及依賴候也

年　月　日

住所又ハ督業所

依賴者　氏名又ハ名稱　㊞

朝鮮總督府中央試驗所長　宛

第二號樣式

作業依賴書

收入印紙　貼附シタル收入印紙ノ額

一　品名及其ノ數量若ハ分量

二　產地又ハ製造地名及製造者名

三　作業ノ種別

四　作業ノ項目

右作業及依賴候也

年　月　日

住所又ハ督業所

依賴者　氏名又ハ名稱　㊞

朝鮮總督府中央試驗所長　宛

第三號樣式

試驗（分析、鑑定）成績報告書副本下付願

收入印紙　貼附シタル收入印紙ノ額

何年何月何日第何號

品名　何種

右成績報告書副本（何國文）何通下付相成度及依賴候也

年　月　日

住所又ハ督業所

依賴者　氏名又ハ名稱　㊞

朝鮮總督府中央試驗所長　宛

第四號樣式

封緘「證印押捺」依賴書

收入印紙　貼附シタル收入印紙ノ額

一　品名、種別及其ノ數量又ハ分量

二　產地又ハ製造地名及製造者名

三　封緘ノ種別及箇數「證印ノ箇數」

右封緘「證印押捺」相成度及依賴候也

年　月　日

住所又ハ督業所

依賴者　氏名又ハ名稱　㊞

朝鮮總督府中央試驗所長　宛

第五號樣式

收入印紙　貼附シタル收入印紙ノ額

一　設備名

二　使用ノ目的

三　使用期間　自　年　月　日

至　年　月　日

右使用ノ儀許可相成度及願候也

年　月　日

住所又ハ督業所

願人　氏名又ハ名稱　㊞

朝鮮總督府中央試驗所長　宛

設備使用願書

第三章　鑛業

●朝鮮鑛業令

大正四年十二月制令第八號

改正　大正七年一二月一七號、一〇年一二號一六號、一五年五號八年一號二號、九年第二三號

朝鮮鑛業令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅令ヲ俟テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮鑛業令

第一條　本令ニ於テ鑛業ト稱スルハ鑛物ノ採掘及之ニ附屬スル事業ヲ謂フ

本令ニ於テ鑛物ト稱スルハ金鑛、銀鑛、銅鑛、鉛鑛、岩鉛鑛、錫鑛、安質母尼鑛、水銀鑛、亞鉛鑛、鐵鑛、硫化鐵鑛、硼砂鐵鑛、滿俺鐵、タングステン鐵、水鉛鐵、砒鐵、ニッケル鐵、コバルト鑛、燐鑛、黑鉛、石炭、石油、土瀝青、硫黃、雲母、石綿、高嶺土（蝕石ヘ滑石ヲ含ム）、明礬石、重晶石、螢石、マグネサイト、硅砂、砂金、砂鐵及砂鐵ヲ謂フ

本令ニ於テ鑛業權ト稱スルハ鑛區ニ於テ許可ヲ受ケタル鑛物ヲ採掘シ及之ヲ取得スル權利ヲ謂フ

本令ニ於テ鑛區ト稱スルハ鑛業權ノ登錄ヲ得タル土地ノ區域ヲ謂フ

第二條　未タ採掘セサル鑛物ハ國ノ所有トス

廢鑛及鑛滓亦同シ

第三條　鑛區ノ境界ハ直線ヲ以テ之ヲ定メ地表境界線ノ直下ヲ限トス

鑛區ノ面積ハ石炭ニ在リテハ五萬坪以上其ノ他ノ鑛物ニ在リテハ五千坪以上トシ共ニ百萬坪ヲ超ユルコトヲ得ス

鑛利保護上又ハ鑛區ノ分合上已ムヲ得サル場合ニ於テハ鑛區ハ百萬坪ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條　要塞地帶第一區內ノ場合ハ之ヲ鑛區ト爲スコトヲ得ス

陸海軍所轄ノ軍港、要港、火藥製造所、火藥庫若ハ彈藥庫ノ周圍三百間內又ハ要塞地帶第二區及第三區內ノ場所ハ所轄官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ鑛區ト爲スコトヲ得ス

前二項ニ揭ケル場所ハ所轄官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ鑛業ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得ス

第五條　鐵道、軌道、道路、水道、運河、隧壕、社寺境內地、墓地、公園地其ノ他ノ督造物又ハ建物ノ地表地下ニ在ル周圍高最土、硅砂、砂金、砂鍚又ハ砂鐵ニ付テハ五間內其ノ他ノ鑛物ニ付テハ三十間內ノ場所ニ於テハ所轄官廳ノ許可又ハ督造物若ハ建物ニ關シ所有權其ノ他ノ權利ヲ有スル者ノ承諾ヲ受クルニ非サレハ鑛業ヲ爲スコトヲ得ス

所有權其ノ他ノ權利ヲ有スル者ハ正當ノ理由ナクシテ前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第六條　帝國臣民又ハ帝國法令ニ從ヒ成立シタル法人ニ非サレハ鑛業權ヲ享有スルコトヲ得ス

第七條　鑛業ヲ爲サムトスル者ハ願書ニ鑛區圖ヲ添ヘ朝鮮總督ニ出願シ其ノ許可ヲ受クヘシ

鑛業出願人ハ出願地ニ其ノ探掘セムトスル鑛物ノ存在スルコトヲ證明スヘシ但シ砂金、砂鐵又ハ砂鐵ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八條　二人以上共同シテ鑛業ノ出願ヲ爲ス場合ニ於テハ內一人ヲ代表者トシ其ノ屆出ヲナサシムヘシ其ノ屆出ナキトキハ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ其ノ屆出ナキトキハ朝鮮總督之ヲ指定ス

代表者ハ國ニ對シ共同鑛業出願人ヲ代表スル一切ノ事件ニ付テモ其ノ效力ヲ有ス

第九條　鑛業出願地重複スルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ願書到達ノ日時ノ先ナル者ニ鑛業ノ出願ヲ許可ス同時ニ願書到達シタルトキハ朝鮮總督ハ之ヲ各出願人ニ通知スヘシ此ノ場合ニ於テハ出願人ハ朝鮮總督ノ指定スル期限迄ニ協議ヲ調ヘシテ之ヲ屆出ヅヘシ

出願人指定ノ期限迄ニ前項ノ屆出ヲ爲サザルトキハ抽籤ニ依リ許可スヘキ者ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テハ出願人ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十條　公益ヲ害スルモノト認ムルトキ又ハ鑛業ノ價值ナシト認ムルトキハ鑛業ノ出願ハ之ヲ許可セス

第十一條　鑛業出願人ハ鑛業出願地ノ增減ヲ出願スルコトヲ得

第十二條　鑛業出願地ノ位置形狀鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損スルモノト認ムルトキハ朝鮮總督ハ期限ヲ指定シテ其ノ訂正ノ出願ヲ命スヘシ

前項ノ場合ニ於テ指定ノ期限迄ニ訂正ノ出願ヲナサルトキハ鑛業ノ出願ハ之ヲ許可セス

第十三條　鑛業出願地ノ位置形狀鑛床ノ位置ノ訂正ニ依リ增加スル地區ニ付テハ之ヲ適用セス

第十四條　公益ヲ害スルモノト認ムルトキ又ハ鑛業ノ價值ナシト認ムルトキハ鑛業ノ出願ハ之ヲ許可セス

第十五條　鑛業出願人ハ鑛業出願地ノ位置形狀鑛床ノ位置ニ付テハ之ヲ適用セス

第十六條　鑛業出願人ハ其ノ鑛區內ニ存スル砂金ヲ採掘シ及之ヲ取得スル權利ヲ有スル外其ノ鑛區內ニ存スル砂金ノ鑛區ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　鑛業出願人ノ名義ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ變更シ又ハ相續人其ノ他ノ一般承繼人ニ於テ之ヲ承繼スルコトヲ得

第十八條　金鐵ヲ目的トスル鑛業權者ハ其ノ鑛區內ニ存スル砂金ヲ採掘シ及之ヲ取得スル權利ヲ有スル外其ノ鑛區內ニ存スル砂金ノ鑛區ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第十九條　鑛業權ハ鑛區ノ全部又ハ分割ニ依リ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ變更シ又ハ相續人其ノ他ノ一般承繼人ニ於テ之ヲ承繼スルコトヲ得

第二十條　前條第一項ニ揭ケル事項ハ相續其ノ他ノ一般承繼及第三十一條ノ鑛資ノ場合ヲ除クノ外登錄ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十一條　鑛業權者ハ鑛區ノ全併又ハ分割ヲ出願スルコトヲ得鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキ亦同シ

抵當權ノ設定アル場合ニ於テ前項ノ出願ヲ爲サムトスルトキハ抵當權者ノ承諾及抵當權ノ順位ニ關スル協定ヲ經ヘシ

第二十二條　第十一條、第十二條第一項及第十三條ノ規定ハ之ヲ鑛區ニ準用ス

抵當權ノ設定アル場合ニ於テハ前項ノ出願ヲナサムトスルトキハ抵當權者ノ承諾ヲ經ヘシ

第二十三條　鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正又ハ增減ノ出願ニ付テハ鑛業ノ出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十四條　朝鮮總督ハ鑛業權者ヲシテ施業案又ハ鑛夫ノ保護取締ニ關スル規程ノ認可ヲ受ケシムルコトヲ得

朝鮮總督必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依ル施業案又ハ規程ノ變更ヲ命スルコトヲ得

鑛業權者第一項ノ規定ニ依ル施業案又ハ規程ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第二十五條　鑛業上危險ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ鑛業權者ニ其ノ豫防又ハ鑛業ノ停止ヲ命スヘシ

第二十六條　朝鮮總督ハ鑛業權者ニ技術ニ關スル管理者ノ選任又ハ解任ヲ命スルコトヲ得

管理者ノ資格及職務ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二十七條　朝鮮總督ハ部下ノ官吏ヲシテ鑛業ニ關スル書類、物件ヲ檢查シ又ハ坑內其ノ他ノ場所ニ臨檢セシムルコトヲ得

第二十八條　錯誤ニ因リ鑛業ノ出願ヲ許可シタルトキハ朝鮮總督ハ鑛業權ヲ取消シ又ハ鑛業出願人ハ其ノ訂正ヲ出願スルコトヲ得

第二十九條　鑛業出願地願書到達ノ當時同種ノ鑛物ノ鑛區ト重複スルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ之ヲ許可セス

第三十條　鑛業出願地他人ノ異種ノ鑛物ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テ他人ノ鑛業ニ妨害アリト認ムルトキハ之ヲ許可セス

第三十一條　鑛業出願人ノ名義ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ變更シ又ハ相續人其ノ他ノ一般承繼人ニ於テ之ヲ承繼スルコトヲ得

第三十二條　金鐵ヲ目的トスル鑛業權者ハ其ノ鑛區內ニ存スル砂金ヲ採掘シ及之ヲ取得スル權利ヲ有スル外其ノ鑛區內ニ存スル砂金ノ鑛區ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條　鑛業權ハ鑛區ノ全部又ハ分割ニ依リ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ變更シ又ハ相續人其ノ他ノ一般承繼人ニ於テ之ヲ承繼スルコトヲ得

第三十四條　鑛業權ハ鑛區ノ全併又ハ分割ニ依リ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ變更シ又ハ相續人其ノ他ノ一般承繼人ニ於テ之ヲ承繼スルコトヲ得

第三十五條　鑛業權者ハ鑛區ノ全併又ハ分割ヲ出願スルコトヲ得鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキ亦同シ

抵當權ノ設定アル場合ニ於テ前項ノ出願ヲナサムトスルトキハ抵當權者ノ承諾及抵當權ノ順位ニ關スル協定ヲ經ヘシ

第三十六條　鑛業權者ハ鑛區ノ全併又ハ分割ヲ出願スルコトヲ得鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキ亦同シ

抵當權ノ設定アル場合ニ於テ前項ノ出願ヲナサムトスルトキハ抵當權者ノ承諾及抵當權ノ順位ニ關スル協定ヲ經ヘシ

第三十七條　鑛業權ハ鑛區ノ全併又ハ分割ニ依リ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ變更シ又ハ相續人其ノ他ノ一般承繼人ニ於テ之ヲ承繼スルコトヲ得

第三十八條　共同鑛業權者ハ組合契約ヲ爲シタルモノト看做ス

共同鑛業權者ノ有スル鑛業權ノ持分ハ他ノ共同鑛業權者ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ讓渡シ又ハ抵當權ノ目的ヲ爲スコトヲ得ス

共同鑛業權者ノ有スル鑛業權ノ持分ニ付滯納處分又ハ强制執行アリタルトキハ二月內ニ他ノ共同鑛業權者ハ一致ヲ以テ其ノ持分ノ鑛資人又ハ買受人ニ通知シ之ヲ組合ヨリ除名スルコトヲ得

第三十九條　鑛業權ハ其ノ全部又ハ分割ニ依リ數人ニ歸屬スルトキハ其ノ數人ヲシテ共同シテ鑛業權ヲ行使セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テハ其ノ數人ハ鑛業權ニ付テハ之ヲ一人ト看做ス

第四十條　鑛業權者ハ鑛業權ヲ抛棄セムトスルトキハ朝鮮總督ノ定ムル期間內ニ鑛業權ノ鑛資ヲ請求スルコトヲ得但シ第二十八條又ハ第二十九條第一號ノ規定ニ依ル取消ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

鑛業權ハ鑛資ノ手續完結ノ日迄鑛資ノ目的ノ範圍內ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

鑛資ニ依ル資得金ハ鑛資ノ費用及抵當權者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス

第四十一條　鑛業權ノ取消又ハ登錄アリタル時ニ於テ鑛業權ヲ讓受ケタルモノト看做ス

前項ノ登錄ニ不動產ニ關スル規定ノ準用ニ付テハ登記ニ代ハルモノトス

登錄ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四十二條　鑛業ノ爲ス施業案ニ關スル規程ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ハ本令ニ依リ爲シタル出願ト看做ス

第四十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百四十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百四十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百四十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百四十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百四十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百四十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百四十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百四十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百四十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百四十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百五十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百五十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百五十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百五十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百五十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百五十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百五十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百五十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百五十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百五十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百六十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百六十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百六十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百六十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百六十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百六十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百六十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百六十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百六十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百六十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百七十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百七十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百七十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百七十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百七十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百七十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百七十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百七十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百七十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百七十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百八十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百八十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百八十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百八十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百八十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百八十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百八十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百八十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百八十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百八十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百九十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百九十一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百九十二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百九十三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百九十四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百九十五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百九十六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百九十七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百九十八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第百九十九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百一條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百二條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百三條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百四條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百五條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百六條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百七條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百八條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百九條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百十條　本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ本令ニ依リ爲シタル出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第

附　則（大正十年十二月制令第十六號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四十一條　第三項ノ規定ハ大正十一年分以後ノ鑛區稅ニ付之ヲ適用ス

附　則（大正十五年五月制令第八號）

本令ハ大正十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル土石採取權ニシテ蠟石、明礬石、重晶石又ハ螢石ニ關スルモノニ付テハ其ノ權利ノ存續期間漸ク二至ル迄仍從前ノ例ニ依ル

本令施行ノ際國有ニ非サル土地ニ於テ蠟石、明礬石、重晶石又ハ螢石ヲ採掘スル者又ハ其ノ承繼人ハ本令施行ノ日ヨリ六日間其ノ採掘ノ繼續ヲ許可ヲ得但シ其ノ期間內ニ當該採掘者又ハ其ノ承繼人カ朝鮮鑛業令ニ依リ鑛業ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ出願ニ付許可ヲ得ルマテ採掘ノ繼續ヲ許可ス

本令ハ大正十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル土石採取權ニシテ蠟石、明礬石、重晶石又ハ螢石ニ關スルモノニ付テハ其ノ權利ノ存續期間漸ク二至ル迄仍從前ノ例ニ依ル

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條　本令ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ朝鮮鑛業令第五條第一項ニ揭クル者、鑛業權者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

本令ニ於テ關係人ト稱スルハ朝鮮鑛業令第三十二條、第三十三條又ハ第四十條ノ規定ニ依リ使用又ハ收用スヘキ物又ハ權利ニ關シ所有權其ノ他ノ權利ヲ有スル者ヲ謂フ

第三十五條第二項又ハ第三十六條第三項ノ通知アリタル後使用又ハ收用スヘキ物又ハ權利ニ關シ權利ヲ取得シタル者ハ關係人ト看做サス但シ既存ノ權利ヲ承繼シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　背面又ハ圖面不完備ナルトキハ朝鮮總督ハ期限ヲ附シテ之ヲ修正又ハ補充セシム

第六條　鑛業出願地カ百萬坪ヲ超ユルトキハ願書ニ理由書ヲ添附スヘシ

第七條　鑛業出願地朝鮮鑛業令第四條第二項ニ規定スル場所ニ係ルトキハ願書ニ所轄官廳ヲ許可ヲ證スル背面ヲ添附スヘシ

第八條　鑛業出願人ハ其ノ願書ニ採掘セムトスル鑛床ニ關スル說明書ヲ添附スヘシ但シ砂金、砂鑛及砂鐵ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ說明書ハ鑛物ノ標品ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ出願後十日內ニ之ヲ差出スヘシ

第九條　同一地域ニ於テ二種以上ノ鑛物ニ付鑛業ヲ爲サムトスル者ハ各種ノ鑛物毎ニ願書ヲ差出スヘシ但シ同一ノ鑛床中ニ存スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十條　朝鮮鑛業令第八條第一項ノ代表者屆ハ願書ニ添附シテ之ヲ差出スヘシ但シ願ノ願書ニ代表者ヲ表示シテ屆出ニ代フルコトヲ得

前項ノ屆書ニハ相續開始其ノ他ノ一般承繼ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ同順位ノ相續人數人ノ場合ニ於テ其ノ中ノ一人又ハ數人ノ者ヲ鑛業出願人ト爲サムトスルトキハ他ノ相續人ノ承諾書ヲ添附スヘシ

鑛業權者ハ第一項又ハ第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ指定ノ期限迄ニ鑛業權ノ表示ノ變更ノ登錄ヲ申請スヘシ

第十二條　削除

第十三條　鑛業出願人ハ鑛業權者實地調査ノ爲立會ヲ命セラレタルトキハ指定ノ期日ニ立會シ調査事項ニ付說明ヲ爲スヘシ代理人ヲシテ立會セシムルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ携帶セシムヘシ

第十四條　鑛業出願人又ハ鑛業權者實地調査ノ爲必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ他人ノ鑛區ニ接近シテ鑛區ヲ定ムル鑛業ノ出願人ニ對シ鑛區間ニ相當ノ距離ヲ設カシムルコトアルヘシ

第十五條　鑛業出願人ノ名義ヲ變更セムトスルトキハ新荷出願人連署シテ屆出ツヘシ

鑛業出願人ノ相續人其ノ他ノ一般承繼人ハ戶籍ノ事務ヲ取扱フ官吏若ハ公吏ニ屆出ノ日又ハ登記ノ日ヨリ三十日內ニ屆出テ其ノ名義ヲ承繼スルコトヲ得其ノ屆出アリタルトキハ其ノ相續開始其ノ他ノ一般承繼ノ日ニ於テ名義ヲ承繼シタルモノト看做ス

第一項及第二項ノ規定ヲ適用セス

本令施行ノ際現ニ存スル鑛區及本令施行ノ日ノ前日迄ニ願書到達セル鑛業ノ出願ニシテ鑛區及鑛業出願地ノ境界ヲ河床ノ延長ヲ以テ定メタルモノニ付テハ第三條ノ改正規定及鑛區稅ニ關スル第四十一條ノ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ規定ニ依ル

本令施行ノ日ノ前日迄ニ願書到達セル鑛業ノ出願ニシテ鑛業出願地重複シ且同日ニ願書到達シタルモノハ之ヲ同時ニ願書制達シタルモノト看做シ第九條ノ改正規定ヲ適用ス

附　則（昭和九年九月制令第二十三號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

（昭和九年九月制令第八十七號ヲ以テ昭和九年九月十五日ヨリ施行）

●朝鮮鑛業令施行期日

大正五年二月

總令第八號

朝鮮鑛業令ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮鑛業令施行規則

大正五年二月

總令第九號

改正、大正一〇年七第二五號、一二年二第九號、昭和八年一第一〇號

朝鮮鑛業令施行規則左ノ通定ム

第一條　鑛業ニ關スル願書、申請書、屆書又ハ圖面ハ一件每ニ之ヲ調製シ樣式ノ定アルモノハ其ノ樣式ニ準用スヘシ

前項ノ背面又ハ圖面ハ地方官廳ヲ經由スルコトヲ得但シ朝鮮總督府ニ差出スヘシ但シ本令中地方長官ヲ經由スヘキ旨若ハ地方長官ニ屆出ツヘキ旨ヲ定メタルモノ又ハ地方長官ノ許可、裁決若ハ決定ニ關スルモノハ此ノ限ニ在ラス

背面又ハ圖面ノ差出期限ヲ定メタル場合ニ於テ其ノ期限迄ニ到達スルコトヲ要ス

第二條　削除

第三條　鑛業ニ關シ命令又ハ通知ヲ送達スヘキ場合ニ於テ受信人ノ住所不分明ナルトキハ送達スヘキ書類ノ全文又ハ其ノ要旨ヲ三日間朝鮮總督府官報ニ揭載スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ揭載ヲ了リタル日ヨリ十四日ヲ經過スルトキハ書類ノ送達アリタルモノト看做ス

第四條　本令ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ朝鮮鑛業令第五條第一項ニ揭クル者、鑛業權者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

本令ニ於テ關係人ト稱スルハ朝鮮鑛業令第三十二條、第三十三條又ハ第四十條ノ規定ニ依リ使用又ハ收用スヘキ物又ハ權利ニ關シ所有權其ノ他ノ權利ヲ有スル者ヲ謂フ

第三十五條第二項又ハ第三十六條第三項ノ通知アリタル後使用又ハ收用スヘキ物又ハ權利ニ關シ權利ヲ取得シタル者ハ關係人ト看做サス但シ既存ノ權利ヲ承繼シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　背面又ハ圖面不完備ナルトキハ朝鮮總督ハ期限ヲ附シテ之ヲ修正又ハ補充セシム

第六條　鑛業出願地カ百萬坪ヲ超ユルトキハ願書ニ理由書ヲ添附スヘシ

第七條　鑛業出願地朝鮮鑛業令第四條第二項ニ規定スル場所ニ係ルトキハ願書ニ所轄官廳ヲ許可ヲ證スル背面ヲ添附スヘシ

第八條　鑛業出願人ハ其ノ願書ニ採掘セムトスル鑛床ニ關スル說明書ヲ添附スヘシ但シ砂金、砂鑛及砂鐵ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ說明書ハ鑛物ノ標品ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ出願後十日內ニ之ヲ差出スヘシ

第九條　同一地域ニ於テ二種以上ノ鑛物ニ付鑛業ヲ爲サムトスル者ハ各種ノ鑛物毎ニ願書ヲ差出スヘシ但シ同一ノ鑛床中ニ存スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十條　朝鮮鑛業令第八條第一項ノ代表者屆ハ願書ニ添附シテ之ヲ差出スヘシ但シ願ノ願書ニ代表者ヲ表示シテ屆出ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ハ鑛業出願人ノ變更又ハ鑛業權ノ設定若ハ移轉ニ依リ鑛業出願人又ハ鑛業權者ト爲ルヘキ者二人以上ナル場合ニ之ヲ準用ス但シ鑛業權設定又ハ移轉ノ場合ニ於テハ登錄申請書ニ代表者ヲ表示シテ屆出ニ代フルコトヲ得

共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ノ代表者ヲ改定シタルトキハ連署シテ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

朝鮮總督ハ代表者ヲ指定シタルトキハ之ヲ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ニ通知スヘシ

第十一條　共同鑛業出願人代表者ニ依リテ出願人ノ名義變更ノ屆出鑛業出願ノ取下、鑛業出願地ノ增減若ハ訂正ノ出願又ハ其ノ取下ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ願書又ハ屆書ニ共同鑛業出願人ノ決議書又ハ之ニ代ヘキ書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ共同鑛業權者代表者ニ依リテ鑛區ノ增減、訂正、合併又ハ分割ノ出願スル場合ニ之ヲ準用ス

朝鮮總督ノ命令ニ依リ鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正ヲ出願スル場合ニハ前二項ノ規定ヲ適用セス

第十二條　鑛業出願人又ハ鑛業權者實地調査ノ爲立會ヲ命セラレタルトキハ指定ノ期日ニ立會シ調査事項ニ付說明ヲ爲スヘシ代理人ヲシテ立會セシムルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ携帶セシムヘシ

第十三條　公安保護ノ爲必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ他人ノ鑛區ニ接近シテ鑛區ヲ定ムル鑛業ノ出願人ニ對シ鑛區間ニ相當ノ距離ヲ設カシムルコトアルヘシ

第十四條　鑛業出願人ノ名義ヲ變更セムトスルトキハ新荷出願人連署シテ屆出ツヘシ

鑛業出願人ノ相續人其ノ他ノ一般承繼人ハ戶籍ノ事務ヲ取扱フ官吏若ハ公吏ニ屆出ノ日又ハ登記ノ日ヨリ三十日內ニ屆出テ其ノ名義ヲ承繼スルコトヲ得其ノ屆出アリタルトキハ其ノ相續開始其ノ他ノ一般承繼ノ日ニ於テ名義ヲ承繼シタルモノト看做ス

前項ノ屆書ニハ相續開始其ノ他ノ一般承繼ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ同順位ノ相續人數人ノ場合ニ於テ其ノ中ノ一人又ハ數人ノ者ヲ鑛業出願人ト爲サムトスルトキハ他ノ相續人ノ承諾書ヲ添附スヘシ

鑛業權者ハ第一項又ハ第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ指定ノ期限迄ニ鑛業權ノ表示ノ變更ノ登錄ヲ申請スヘシ

第十五條　朝鮮總督ハ期限ヲ附シテ鑛業出願人ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ同順位ノ相續人數人ノ場合ニ於テ其ノ中ノ一人又ハ數人ノ者ヲ鑛業出願人ト爲サムトスルトキハ他ノ相續人ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第十六條　鑛業出願地又ハ鑛區ノ增減ヲ出願スル場合ニ於テハ鑛區圖ニ增減スヘキ區域ヲ明示スヘシ

鑛業出願地又ハ鑛區ノ增加ノ出願ニ付テハ第六條乃至第八條ノ規定ヲ準用ス

鑛區ノ減少ノ願書ニハ抵當權者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第十六條ノ二　鑛業出願地ノ形狀鑛業ヲ爲ス不適當ナリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ期限ヲ附シ出願地ノ增減ノ出願ヲ命スルコトアルヘシ

第十七條　鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正ヲ出願スル場合ニハ其ノ願書ニ理由書ヲ添附スヘシ但シ朝鮮總督ノ命令ニ依リ訂正ヲ出願スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正ヲ出願スル場合ニ於テハ鑛區圖ニ訂正スヘキ區域ヲ明示スヘシ

第十八條　鑛區ノ合併又ハ分割ヲ爲サムトスル者ハ合併又ハ分割スヘキ區域ヲ明示スル圖面ヲ添附スヘシ鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキハ亦同シ

鑛區ノ合併又ハ分割ノ願書ニハ理由書ヲ添附スヘシ

鑛區ノ合併又ハ分割ニ付テハ抵當權者ノ承諾書及抵當權ノ順位ニ關スル協定書ヲ添附スヘシ

第十九條　鑛物ノ名稱ヲ更正セムトスルトキハ鑛業權者ニ理由書ヲ添附シ出願スヘシ

第十九條ノ二　朝鮮鑛業令第九條第二項ノ規定ニ依ル抽鑛ハ關係鑛業出願人立會ノ上之ヲ行フ關係鑛業出願人代理人ヲシテ立會セシムルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ携帶セシムヘシ

前項ノ抽鑛ノ日時ハ關係鑛業出願人ニ通知ス

前項ノ通知ヲ受ケタル鑛業出願人又ハ其ノ代理人抽鑛日時ニ出頭セサルトキハ二人以上ノ關係官吏立會ノ上之ヲ行フ

第二十條　鑛業ノ出願ヲ許可シタルトキハ其ノ旨ヲ鑛業出願人ニ通知スヘシ

鑛業出願人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ指定ノ期限迄ニ鑛業權設定ノ登錄ヲ申請スヘシ指定ノ期限內ニ登錄ノ申請ヲ爲ササルトキハ出願ノ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

前二項ノ規定ハ鑛區ノ訂正、增減、合併、分割又ハ鑛種名更正ノ出願ノ許可ニ付之ヲ準用ス

第二十條ノ二　前條第一項ノ通知ヲ爲シタルトキハ鑛業出願地ノ增減、訂正若ハ鑛種ノ名更正ノ願書又ハ鑛業出願人ノ名義ノ變更若ハ共同鑛業出願人ノ脫退ノ屆書ヲ受理セス

第二十一條　鑛區ノ境界、基點、面積又ハ所在地ノ名稱若ハ地目カ鑛區圖ト相違スルコトヲ發見シタルトキハ其ノ旨ヲ鑛業權者ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ鑛區圖ノ修正ヲ要スルモノト看做ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

内ニ增減ノ出願ヲ爲サザルトキ

第二十四條　相續其ノ他ノ一般承繼ニ因リ鑛業權者又ハ抵當權者ト爲リタル者ハ戸籍ノ事務ヲ取扱フ官吏若ハ公吏ニ屆出ノ日又ハ登記ノ日ヨリ三十日内ニ其ノ登錄ヲ申請スヘシ

鑛業權者又ハ抵當權者氏名、名稱又ハ住所ヲ變更シタルトキハ三十日内ニ其ノ登錄ヲ申請スヘシ

鑛業權者又ハ抵當權者法人ナル場合ニ於テ其ノ代表者又ハ代表者ノ氏名ヲ變更シタルトキハ三十日内ニ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ添ヘ屆出ツヘシ

鑛業權者ノ代理人氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ三十日内ニ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ氏名變更ノ屆出ヲ爲ス場合ニハ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第二十五條　鑛業權者鑛業ニ著手シタルトキハ遲滯ナク鑛區所在地又ハ其ノ附近ニ鑛業事務所ヲ定メ十日内ニ其ノ所在地、名稱及著手ノ年月日ヲ記載シタル屆書ヲ差出スヘシ鑛業事務所ヲ移轉シタルトキ亦同シ

鑛業事務所ノ位置又ハ名稱不適當ト認ムルトキハ朝鮮總督ハ期限ヲ附シ之カ變更ヲ命スルコトアルヘシ

鑛業權者鑛業權ノ設定若ハ移轉ノ登錄ノ日ヨリ六月内ニ鑛業ニ著手セス又ハ六月以上休業セントスルトキハ其ノ期間及詳細ナル理由ヲ記載シタル屆書ヲ差出スヘシ

休業期間内ニ事業ニ著手シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

第一項、第二項及前項ノ屆書ハ地方長官ヲ經由スヘシ

第二十六條　鑛業權者其ノ他ノ利害關係人隣接セル他人ノ鑛區ニ付實地調査ヲ必要トスルトキハ願書ニ調査區域及其ノ事由ヲ詳記シタル書面ヲ添附シ出願スルコトヲ得

第一項ノ許可ヲ受ケタル者他人ノ土地ニ立入リ測量又ハ調査ヲ爲ス必要アルトキハ立入ルヘキ土地ノ區域ヲ定メ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ測量又ハ調査ノ爲障碍物ヲ除却スル必要アルトキハ障碍物ノ種類、所有者及占有者ノ場所、豫定價格、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱ヲ具シ地方長官ニ出願シ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ受ケタル者他人ノ土地ニ立入リ測量又ハ調査ヲナサムトスルトキハ豫メ占有者ニ立入ルヘキ日時及場所ヲ通知スヘシ

第一項ノ許可ヲ受ケタル者障碍物ヲ除却スル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ障碍物ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ

他人ノ土地ニ立入リ測量若ハ調査ヲ爲シ又ハ障碍物ヲ除却スル場合ニ於テハ地方長官ヨリ受ケタル許可證ヲ携帶スヘシ

前項ニ規定スル行爲ニ因リ土地ノ所有權其ノ他ノ權利ヲ有スル者ニ及ホシタル損失ハ鑛業出願人又ハ鑛業權者之ヲ補償スヘシ補償ニ付協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ地方長官之ヲ決定ス

前項ノ決定ニ付テハ第三十八條ノ規定ヲ準用ス

第一項ニ規定スル土地、物件ノ所有權其ノ他ノ權利ヲ有スル者ノ承繼人ニ付テハ第四十條ノ規定ヲ準用ス

第四十條　地方長官ノ裁決又ハ決定ニ付テハ土地收用令施行規則第十三條乃至第十六條ノ規定ヲ準用ス

第四十一條　本令中土地ノ使用又ハ收用ニ關スル規定及其ノ細則ニ關スル規定ハ土地ニ關スル所有權以外ノ權利、水ノ使用ニ關スル權利又ハ工作物其ノ他ノ定著物ノ使用又ハ收用ニ關シ之ヲ準用ス

第四十二條　朝鮮鑛業令第三十七條ニ規定スル事項ニ關係地方長官協議ノ上之ヲ處分スル事項ハ關係地方長官協議ノ上ニ之ヲ處分スヘシ協議調ハサルトキハ朝鮮總督ノ指揮ヲ受クヘシ

第四十三條　鑛業ニ關スル出願書請求申請又ハ屆出ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムヘシ

一	鑛業ノ出願	每一件　百圓
二	鑛業出願人ノ名義變更屆	每一件　五十圓
三	相續其ノ他ノ一般承繼ニ因ル鑛業出願人ノ名義承繼屆	每一件　十圓
三ノ二	共同鑛業出願人脫退屆	每一件　五圓
四	鑛業出願地又ハ鑛區ノ增區又ハ減區トヲ包含スル出願	每一件　五十圓
五	鑛業出願地又ハ鑛區ノ減區ノ出願	每一件　五圓
六	朝鮮鑛業令第十二條、第十三條又ハ第二十二條ノ規定ニ依ル訂正ノ出願	每一件　三十圓
七	鑛區ノ合併又ハ分割ノ出願	每一件　五十圓
八	鑛種名更正ノ出願	每一件　五圓
九	第二十六條ノ規定ニ依ル實地調査ノ出願	每一件　百圓
十	朝鮮鑛業令第三十二條又ハ第四十條ノ規定ニ依ル使用又ハ收用ノ申請	每一件　二十圓
十一	第三十九條ノ規定ニ依ル土地ノ立入又ハ障碍物除却ノ出願	每一件　十五圓
十二	鑛業出願地及鑛區地名變更閱覽ノ請求	一郡ニ付一時間　五圓
十三	鑛業出願圖面閱覽ノ請求	每一件ニ付一時間　二圓

手數料ハ收入印紙ヲ願書、請求書、申請書又ハ屆書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

二　共同鑛業出願ノ場合ニハ願書ト共ニ代表者屆ヲ差出スカ又ハ願書ニ代表者ヲ表示シテ屆出ニ代フヘシ

三　削除

注意

四　手數料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

五　砂金、砂鑛又ハ砂鐵ノ出願ノ場合ニ於テハ鑛床說明書又ハ鑛物標品ノ添附ヲ要セス

第四十四條　第十四條第四項、第二十一條第四項、第二十四條、第二十五條第一項第三項第四項、第二十七條、第三十八條、第三十三條、第三十四條ノ二第一項乃至第三項、第三十四條ノ三、第三十六條第三項、第三十七條若ハ第三十九條第二項乃至第四項ノ規定ニ依リ指定セラレタル者、第十二條ノ規定ニ依リ指定セラレタル期日ニ立會ハス若ハ調査事項ノ說明ヲ爲ササル鑛業權者、第二十一條第二項ノ規定ニ依リ命セラレタル期間内ニ鑛區圖ヲ差出ササル者又ハ第二十五條第二項ノ規定ニ依リ命セラレタル期間内ニ變更ヲ爲ササル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十五條　本令ハ朝鮮鑛業令施行ノ日ヨリ施行ス

第四十六條　本令ハ朝鮮鑛業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四十七條　本令施行前光武十年農商工部令第四十三號鑛業法施行細則及同年農商工部令第四十六號砂鑛採取法施行細則ニ依リ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十八條　朝鮮鑛業令第六十三條ノ規定ニ依ル願書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　事業ノ現狀ヲ詳記セル書類

二　朝鮮鑛業令公布前ヨリ出願鑛物ヲ採掘シタルコトヲ證スル書類

附　則（昭和八年一月總令第十號）

本令ハ昭和八年二月十六日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ日ノ前日迄ニ願書到達セル鑛業ノ出願又ハ鑛區ノ增減ノ出願ニシテ出願地又ハ增減スヘキ區域ノ形狀鑛業ヲ爲スニ不適當ト認ムルモノニ付テハ第十六條ノ二ノ規定ヲ適用ス

本令施行ノ際現ニ鑛業ニ著手セズ又ハ休業中ノ鑛業權者ニシテ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ鑛業ニ著手セズ又ハ六月以上休業セントスルモノハ本令施行ノ日ヨリ三十日内ニ其ノ期間及詳細ナル理由ヲ記載シタル屆書ヲ差出スベシ

前項ノ規定ニ違背シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

様式第一號

何鑛鑛業願

何道何郡何面何洞（里）

面積何坪

右箇所ニ於テ何鑛鑛業許可相成度鑛區圖竝鑛床說明書（鑛物標品）相添此段相願候也

年　月　日

住所
出願人　氏名（名稱）印

朝鮮總督　氏　名殿

前項ノ代理人ハ朝鮮鑛業令及本令ノ規定ニ依リテ鑛業ノ管理ニ關シ鑛業權者ノ爲スヘキ一切ノ行爲ヲ委任セラレタルモノト看做ス但シ鑛業權者ハ其ノ代理權ニ制限ヲ加ヘタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條　鑛業權者ハ鑛區圖、坑內實測圖、鑛業簿及鑛夫名簿ヲ鑛業事務所ニ備置クヘシ施業案又ハ鑛夫ノ保護取締ニ關スル規定ヲ定メタル場合ニ於テハ其ノ施業案又ハ規定ニ付亦同シ

第二十九條　坑內實測圖ハ平面圖及縱面圖ノ二種トシ少クトモ每月末ニ於ケル調進ノ狀況ヲ測定シ翌月中ニ調製スヘシ

坑內實測圖ノ複本ハ每年末日迄ニ分ヲ翌年二月末日迄ニ差出スヘシ

第三十條　鑛業簿ニハ鑛產物ノ數量、販賣數量、販賣價格、行業日數及工數ヲ記載スヘシ

第三十一條　鑛業明細表ハ每年一月末日迄ニ其ノ前年分ヲ差出スヘシ

第三十二條　鑛夫名簿ニハ鑛夫ノ氏名、生年月日、本籍、履歷ノ要領、業務ノ種類、賃金、扈傭及解傭年月日竝扈傭期間ヲ記載スヘシ其ノ異動アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ記入スヘシ

第三十三條　坑內實測圖ノ複本又ハ鑛業明細表ヲ差出スヘキ場合ニ於テ記載スヘキ事項ナキトキハ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

坑內實測圖ノ複本ハ每年末日迄ニ分ヲ翌年二月末日迄ニ差出スヘシ

第三十四條　二箇以上ノ鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ニ於テハ前五條ノ書類又ハ圖面ハ合併シテ之ヲ調製スルコトヲ得

第三十四條ノ二　瓦斯若ハ炭塵ノ爆發又ハ坑內ニ於テ火災若ハ水害起リタル場合ニ於テハ鑛業權者ハ直ニ其ノ旨ヲ急報スヘシ

前項以外ノ災害事變ニ因リ死者、重傷者（症狀危篤ナル者及四週間以上休業見込ノ者）若ハ五人以上ノ負傷者（三日以上休業見込ノ者）アリタルトキ又ハ死傷者ナキ場合ト雖モ作業ノ全部若ハ一部ヲ休止シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

第三十五條　朝鮮鑛業令第三十二條ノ規定ニ依リ土地ノ使用又ハ收用ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ土地ノ名稱、地番、地目、面積、關係人ノ氏名又ハ名稱、住所、使用又ハ收用ノ目的及時期、使用又ハ收用ヲ必要トスル事由ヲ記載シタル申請書ニ關係地實測圖及工事設計書ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シテ申請スヘシ土地收用ノ許可ヲ申請スル場合ニハ使用ノ期間ヲモ記載スヘシ

土地ノ使用又ハ收用ノ許可ヲ受ケタル者ハ朝鮮鑛業令第三十二條第二項ニ規定スル事項ト共ニ事業ノ種類及使用又ハ收用ニ關スル協議ノ方法ヲ關係人ニ通知スヘシ土地ノ使用ノ期間ヲモ通知スヘシ

第三十六條　朝鮮鑛業令第三十三條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ヲ使用セムトスル者ハ使用ノ目的、使用ヲ必要トスル事由、土地ノ名稱、區域及古有者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シテ地方長官ニ申請スヘシ

前項ノ申請ハ地信ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ土地ノ使用ノ許可ヲ受ケタルトキハ鑛業權者ハ直ニ使用ノ區域、使用ノ目的及許可ノ年月日ヲ關係人ニ通知スヘシ

第三十七條　朝鮮鑛業令第三十二條ノ規定ニ依ル土地ノ使用又ハ收用ノ許可アリタル後土地ヲ使用若ハ收用スル必要ナキニ至リタルトキハ直ニ地方長官ヲ經由シテ屆出テヲ同時ニ關係人ニ通知スヘシ

朝鮮鑛業令第三十五條ノ規定ニ依ル補償ニ關スル裁決申請書ニハ土地ノ現狀ヲ記載シタル實測圖及圖面ヲ添附スヘシ此ノ場合ニハ事業計畫書及其ノ圖面ノ添附ヲ要セス

地方長官第一項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ關係人ニ交付スヘシ

關係人ハ申請書ノ副本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日内ニ地方長官ニ意見書ヲ差出スコトヲ得

地方長官ハ前項ノ期間ヲ經過シタル後十四日内ニ裁決ヲ爲スヘシ

前項ノ期間内ニ裁決ヲ爲スコト能ハサル事由アルトキハ朝鮮總督ハ地方長官ノ申請ニ依リ其ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

朝鮮鑛業令第五條第二項ノ承諾ヲ拒ミ又ハ其ノ承諾ヲ得ルコト能ハサル爲地方長官ノ裁決ヲ求メムトスルトキハ裁決申請書ニ申請人ノ氏名又ハ名稱及住所、朝鮮鑛業令第五條第一項ニ掲ケル者ノ氏名又ハ名稱及住

様式第二號

何鑛鑛業出願地增減區(增區)(減區)願

何年何月何日出願
何道何郡何面何洞(里)何鑛鑛業出願地何坪
增區　何郡何面何洞(里)何坪
減區　何郡何面何洞(里)何坪
差引(合計)何坪

右鑛業出願地增減區(增區)(減區)許可相成度圖面竝鑛床說明書(鑛物標品)相添此段相願候也

年　月　日

住所
出願人　氏名(名稱)印

朝鮮總督　氏　殿

注意
一　願書ハ一通トシ圖面五葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ
二　代表者ニテ出願スル場合ニハ共同出願人ノ決議書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附スヘシ
三　手數料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ
四　減區出願又ハ砂金、砂錫若ハ砂鐵ノ出願ノ場合ニ於テハ鑛床說明書又ハ鑛物標品ノ添附ヲ要セス

様式第三號

何鑛鑛區增減區(增區)(減區)願

鑛業權登錄第何號
何道何郡何面何洞(里)何鑛區何坪
增區　何郡何面何洞(里)何坪
減區　何郡何面何洞(里)何坪
差引(合計)何坪

右鑛區增減區(增區)(減區)許可相成度圖面竝鑛床說明書(鑛物標品)相添此段相願候也

年　月　日

住所
鑛業權者　氏　名(名稱)印

朝鮮總督　氏　殿

注意
一　願書ハ一通トシ圖面五葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ
二　代表者ニテ出願スル場合ニハ共同鑛業權者ノ決議書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附スヘシ
三　手數料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ
四　抵當權ノ設定アル鑛區ノ減少ノ場合ハ抵當權者ノ承諾書ヲ添附スヘシ
五　減區出願又ハ砂金、砂錫若ハ砂鐵ノ出願ノ場合ニ於テハ鑛床說明書又ハ鑛物標品ノ添附ヲ要セス

様式第四號

何鑛鑛業出願地(何鑛鑛區)訂正願

何年何月何日出願(鑛業權登錄第何號)
何道何郡何面何洞(里)何鑛鑛業出願地(何鑛鑛區)何坪
增區　何郡何面何洞(里)何坪
減區　何郡何面何洞(里)何坪
差引(合計)何坪

右鑛業出願地(鑛區)訂正許可相成度圖面竝理由書相添此段相願候也

年　月　日

住所
出願人(鑛業權者)氏名(名稱)印

朝鮮總督　氏　殿

注意
一　願書ハ一通トシ圖面五葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ
二　代表者ニテ出願スル場合ニハ共同鑛業出願人若ハ共同鑛業權者ノ決議書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附スヘシ
三　朝鮮總督ノ命令ニ依リ鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正ヲ出願スル場合ニハ(二)ノ書面及理由書ノ添附ヲ要セス此ノ場合ニ於テハ命令何號ニ依ルモノナルコトヲ記載スヘシ
四　手數料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

様式第五號

鑛業出願人名義變更届

何年何月何日出願
何道何郡何面何鑛鑛業出願地何坪
右鑛業出願ニ付出願人名義ヲ何某ニ變更致候間新舊出願人連署此段及届出候也

年　月　日

住所
舊出願人　氏　名(名稱)印
住所
新出願人　氏　名(名稱)印

朝鮮總督　氏　殿

注意
一　届書ハ一通トシ名義變更ニ依リ出願人二人以上トナリタル場合ニハ届書ト共ニ代表者届ヲ差出スカ又ハ届書ニ代表者ヲ表示シテ届出ニ代フヘシ
二　舊共同出願人代表者ニテ届出ヲ爲スニハ決議書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附スヘシ
三　手數料ハ收入印紙ヲ届書ニ添附シテ之ヲ納ムヘシ

様式第六號

鑛業出願相續(承繼)届

何年何月何日出願
何道何郡何面何鑛鑛業出願地何坪

右鑛業出願人何某死亡(其ノ他相續開始又ハ一般承繼ノ原因ヲ記載ス)ニ因リ相續(承繼)致候間戸籍謄本(其ノ他相續又ハ一般承繼ヲ證スル書面)相添此段及御届候也

年　月　日

住所
相續人(又ハ承繼人)　氏　名(名稱)印

朝鮮總督　氏　殿

注意
一　届書ハ一通トシ戸籍ノ事務ヲ取扱フ官吏若ハ公吏ニ届出ノ日又ハ登記ノ日ヨリ三十日内ニ届出ツヘシ
二　同順位ノ相續人數人アル場合ニ於テ其ノ中ノ一人又ハ數人ノ名義ト爲サントスルトキハ他ノ相續人ノ承諾書ヲ添附スヘシ
三　手數料ハ收入印紙ヲ届書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

様式第六號ノ二

共同鑛業出願人脫退届

何年何月何日出願
何道何郡何面何鑛鑛業出願地何坪

右鑛業出願ニ付共同鑛業出願人何某脫退致候間連署此段及御届候也

年　月　日

住所
脫退人　氏　名　印
住所
共同鑛業出願人　氏　名　印
住所
共同鑛業出願人　氏　名　印

朝鮮總督　氏　名殿

注意
一　届書ハ一通トシ代表者タル共同鑛業出願人ノ脫退ノ場合ニ於テ尙二人以上ノ出願人殘存スルトキハ脫退届書ト共ニ代表者届ヲ差出スカ又ハ脫退届書ニ代表者ヲ表示シテ届出ニ代フヘシ
二　手數料ハ收入印紙ヲ届書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

様式第七號

何鑛鑛區合併願

一　鑛業權登錄第何號
何道何郡何面何洞(里)何鑛鑛區何坪

一　鑛業權登錄第何號
何道何郡何面何洞(里)何鑛鑛區何坪

右鑛區合併許可相成度圖面竝理由書相添此段相願候也

年　月　日

住所
鑛業權者　氏　名(名稱)印

朝鮮總督　氏　殿

注意
一　願書ハ一通トシ圖面五葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ
二　抵當權ノ設定アル場合ニハ抵當權者ノ承諾書及抵當權ノ順位ニ關スル協定書ヲ添附スヘシ
三　代表者ニテ出願スル場合ニハ共同鑛業權者ノ決議書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附スヘシ
四　手數料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

様式第八號

何鑛鑛區分割願

鑛業權登錄第何號
何道何郡何面何洞(里)何鑛鑛區何坪
此ノ分割
何道何郡何面何洞(里)何坪
何道何郡何面何洞(里)何坪

右鑛區分割許可相成度圖面竝理由書相添此段相願候也

年　月　日

住所
鑛業權者　氏　名(名稱)印

朝鮮總督　氏　名殿

注意
一　願書ハ一通トシ圖面ハ分割區域毎ニ各五葉ヲ添附シテ適宜契印スヘシ
二　抵當權ノ設定アル場合ニハ抵當權者ノ承諾書及抵當權ノ順位ニ關スル協定書ヲ添附スヘシ
三　代表者ニテ出願スル場合ニハ決議書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附スヘシ
四　手數料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

様式第九號

鑛種名更正願

鑛業權登錄第何號
何道何郡何面

右鑛業權ノ鑛種ハ何鑛トシテ登錄相成候處何鑛ト更正許可相成度理由書相添此段相願候也

第十六條　地圖ハ左ノ各號ニ掲ケル事項ヲ具備スルモノトス

一　名稱

二　圖面縮尺ハ千分ノ一、千二百分ノ一、五百分ノ一又ハ二百五十分ノ一ノ何レカニ依ルヘシ但シ軌道ヲ敷設スル爲必要アル場合ニ於テハ二千分ノ一又ハ五千分ノ一ノ縮尺ヲ用フルヘシ

三　水準面ヲ海面上三尺ノ高サニ於ケル平均水面トシ其ノ高サヲ赤色ノ線ヲ以テ圖上ニ明示スヘシ

四　圖面上ニ於ケル一點ノ位置ハ經緯度ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

五　測量ニ使用シタル三角點、水準點、多角點、圖根點ノ位置及ヒ其ノ名稱ヲ圖上ニ明示スヘシ

六　地形ハ等高線ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

七　道路、鐵道、水路、堤防、橋梁、建物、境界、森林、田畑、墓地、其ノ他ノ地形地物ハ總テ之ヲ圖示スヘシ

八　市街地ニ於ケル道路ハ其ノ幅員ヲ明示スヘシ

九　鐵道ハ軌條ノ中心線ヲ以テ之ヲ表示シ其ノ種別ヲ明記スヘシ

十　境界ハ之ヲ明示スヘシ

十一　縮尺千分ノ一ノ圖ニ於テハ一筆毎ノ地積ヲ明示スヘシ

第十七條　地圖ニハ左ノ各號ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ

一　圖面ノ方位

二　縮尺

三　經緯度原點ノ名稱及ヒ其ノ位置

四　圖面ニ使用シタル測地系ノ名稱

五　面積ヲ測定シタルトキハ其ノ方法及ヒ精度

六　測量ノ年月日

七　測量者ノ住所及ヒ氏名

八　製圖者ノ住所及ヒ氏名

第十八條　地圖ニハ左ノ各號ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ

一　圖面ノ方位

二　縮尺

三　經緯度原點ノ名稱及ヒ其ノ位置

四　圖面ニ使用シタル測地系ノ名稱

五　面積ヲ測定シタルトキハ其ノ方法及ヒ精度

六　測量ノ年月日

七　測量者ノ住所及ヒ氏名

八　製圖者ノ住所及ヒ氏名

第十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第五十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第五十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第五十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第五十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第五十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第五十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第五十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第五十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第五十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第五十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第六十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第六十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第六十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第六十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第六十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第六十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第六十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第六十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第六十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第六十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第七十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第七十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第七十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第七十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第七十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第七十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第七十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第七十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第七十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第七十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第八十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第八十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第八十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第八十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第八十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第八十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第八十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第八十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第八十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第八十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第九十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第九十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第九十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第九十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第九十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第九十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第九十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第九十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第九十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第九十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百二十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百二十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百二十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百二十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百二十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百二十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百二十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百二十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百二十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百二十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百三十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百三十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百三十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百三十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百三十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百三十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百三十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百三十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百三十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百三十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百四十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百四十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百四十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百四十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百四十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百四十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百四十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百四十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百四十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百四十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百五十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百五十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百五十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百五十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百五十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百五十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百五十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百五十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百五十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百五十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百六十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百六十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百六十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百六十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百六十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百六十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百六十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百六十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百六十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百六十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百七十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百七十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百七十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百七十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百七十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百七十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百七十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百七十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百七十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百七十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百八十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百八十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百八十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百八十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百八十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百八十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百八十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百八十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百八十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百八十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百九十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百九十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百九十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百九十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百九十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百九十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百九十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百九十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百九十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第百九十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百二十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百二十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百二十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百二十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百二十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百二十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百二十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百二十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百二十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百二十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百三十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百三十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百三十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百三十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百三十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百三十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百三十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百三十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百三十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百三十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百四十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百四十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百四十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百四十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百四十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百四十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百四十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百四十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百四十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百四十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百五十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百五十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百五十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百五十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百五十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百五十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百五十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百五十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百五十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百五十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百六十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百六十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百六十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百六十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百六十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百六十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百六十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百六十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百六十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百六十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百七十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百七十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百七十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百七十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百七十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百七十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百七十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百七十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百七十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百七十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百八十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百八十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百八十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百八十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百八十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百八十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百八十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百八十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百八十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百八十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百九十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百九十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百九十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百九十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百九十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百九十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百九十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百九十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百九十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第二百九十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百二十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百二十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百二十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百二十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百二十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百二十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百二十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百二十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百二十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百二十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百三十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百三十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百三十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百三十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百三十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百三十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百三十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百三十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百三十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百三十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百四十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百四十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百四十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百四十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百四十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百四十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百四十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百四十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百四十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百四十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百五十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百五十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百五十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百五十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百五十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百五十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百五十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百五十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百五十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百五十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百六十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百六十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百六十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百六十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百六十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百六十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百六十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百六十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百六十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百六十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百七十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百七十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百七十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百七十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百七十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百七十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百七十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百七十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百七十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百七十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百八十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百八十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百八十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百八十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百八十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百八十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百八十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百八十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百八十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百八十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百九十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百九十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百九十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百九十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百九十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百九十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百九十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百九十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百九十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第三百九十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百二十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百二十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百二十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百二十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百二十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百二十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百二十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百二十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百二十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百二十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百三十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百三十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百三十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百三十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百三十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百三十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百三十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百三十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百三十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百三十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百四十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百四十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百四十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百四十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百四十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百四十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百四十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百四十七條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百四十八條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百四十九條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百五十條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百五十一條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百五十二條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

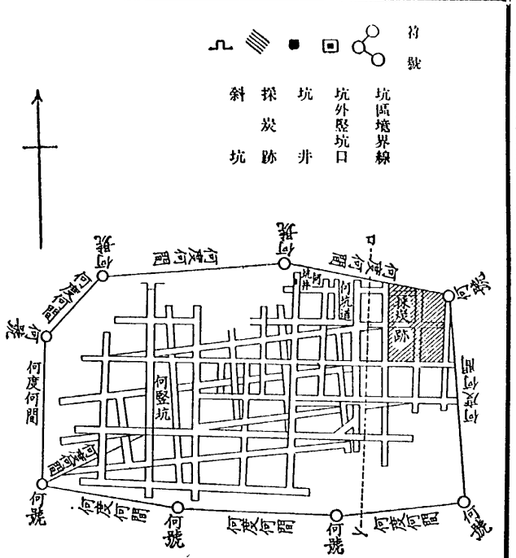
第四百五十三條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百五十四條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百五十五條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百五十六條　地圖ハ之ヲ一筆毎ニ調製スヘシ

第四百五十七條　地圖ハ之ヲ一筆


符號
坑區境界線
坑外竪坑口
坑　井
採炭跡
斜　坑
何號
何號
何號

様式第十四號ノ

登録第　號　昭和　年鑛業明細表

鑛區	所在地	何道何郡何面何洞（里）
	鑛山名	何鑛山

鑛業權者、代表者又ハ鑛業代理人	住所	
	氏名	印

採鑛ノ部

種別	越高	採鑛高	平均品位	選鑛元鑛高	販賣數量	販賣價額	殘高
工數		行業日數					

鑛區所在地ノ災害及其ノ狀況

擔任係員ノ巡視時刻及其ノ狀況	
鑛業權ニ對シテ執リタル處置	
鑛業權者ノ災害事變ニ對シテ執リタル處置	
鑛業權者ノ死傷者ニ對シテ執リタル處置	

注意

一　本表ハ三通トス

二　本表ハ石炭ニ適用スルモノトス

三　種別ノ欄ニハ塊炭、切込炭、粉炭ノ區別ヲ記載スヘシ

四　販賣價額ハ山元選炭場渡價段ヲ記載スヘシ

五　山元消費高ノ欄ニハ山元ニ於ケル自家用消費高及其ノ見積價額ヲ記載スヘシ

六　數量ノ單位ハ瓲トシ瓲以下一位迄ヲ記載スヘシ

七　殘高ハ產出高ヨリ販賣及山元消費高ヲ差引キタル殘リノ產出高ヲ記載スヘシ

八　工數ノ欄ニハ一年中ノ作業ニ使役シタル鑛夫ノ延人員ヲ、行業日數ノ欄ニハ實際作業ヲ行ヒタル日數ヲ、使役人員ノ欄ニハ六月末日現在ニ於ケル鑛夫ノ人員ヲ記載スヘシ

様式第十五號

災害事變屆

鑛種	鑛業權登錄番號	鑛業權者、代表者又ハ鑛業代理人	住所
鑛山名	登錄第　號		氏名　印

災害事變發生年月日時	
死傷者職名、氏名年齡及負傷程度	
災害事變發生箇所	
擔任係員職名、氏名	

部ノ	工數	行業日數	六月末日現在使役人員

注意

一　本表ハ三通トス

二　本表ハ石炭以外ノ非金屬鑛物ニ適用スルモノトス

三　種別ノ欄ニハ採鑛ノ部ニ於テハ粗鑛ノ種類ヲ、選鑛ノ部ニ於テハ精鑛ノ種類及名稱ヲ記載スヘシ

四　採鑛高ノ欄ニハ採掘粗鑛ノ數量ヲ記載スヘシ

五　選鑛元鑛高ノ欄ニハ選鑛ニ供シタル粗鑛ノ數量ヲ記載スヘシ

六　平均品位ノ欄ニハ有效成分ノ百分率ヲ以テ表示シ難キモノニ在リテハ販賣建値ノ標準トナルヘキ品質（雲母ニ在リテハ厚サ及大サノ如シ）ヲ記載スヘシ

七　數量ノ單位ハ鱗狀黑鉛、塊狀及石綿ニ在リテハ瓩、土狀黑鉛、高嶺土、礬石、明礬石、重晶石及螢石ニ在リテハ瓲トス但シ瓲ヲ單位トスルモノニ在リテハ瓲以下一位迄ヲ記載スヘシ尙單位ヲ表ス文字ハ數字ノ末尾ニ附記スヘシ

八　販賣價額ハ鑛山渡シ値段ニ依リ記載スヘシ

九　殘高ハ採鑛ノ部ニ於テハ採鑛高ヨリ選鑛元鑛高及販賣高ヲ差引キタル殘リノ採鑛高ヲ、選鑛ノ部ニハ一年中ノ作業ニ使役シタル鑛夫ノ延人員ヲ、行業日數ノ欄ニハ實際作業ヲ行ヒタル日數ヲ、使役人員ノ欄ニハ六月末日現在ニ於ケル鑛夫ノ人員ヲ記載スヘシ

●大正十五年制令第八號附則第三項ノ規定ニ依リ採掘ヲ繼續スルコトヲ得ル土地ニ付同附則第四項ノ規定ニ依ル出願手續

大正十五年五月
總令第四十六號

大正十五年制令第八號附則第三項ノ規定ニ依リ採掘ヲ繼續スルコトヲ得ル土地ニ付同附則第四項ノ規定ニ依ル出願ヲ爲ス場合ニ於テハ願書ニ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　事業ノ現狀ヲ詳記セル書類

二　大正十五年制令第八號施行ノ際出願鑛物ヲ採掘セルコトヲ證スル書類

三　他人ノ土地ニ於テ出願鑛物ヲ採掘シ又ハ土地所有者ノ承諾書ヲ添附スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ詳記セル書面

附　則

本令ハ大正十五年制令第八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和八年制令第二號附則第二項ノ規定ニ依ル出願手續

昭和八年一月
總令第十二號

昭和八年制令第二號附則第二項ノ規定ニ依リ採掘ヲ繼續スルコトヲ得ル土地ニ付同附則第三項ノ規定ニ依ル出願ヲ爲ス場合ニ於テハ願書ニ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　事業ノ現狀ヲ詳記セル書類

二　昭和八年制令第二號施行ノ際出願鑛物ヲ採掘セルコトヲ證スル書類

三　他人ノ土地ニ於テ出願鑛物ヲ採掘スル者ハ土地所有者ノ承諾書但シ承諾書ヲ添附スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ詳記セル書面

附　則

本令ハ昭和八年制令第二號施行ノ際出願鑛物ヲ採掘セルコトヲ證スル書類

三　他人ノ土地ニ於テ出願鑛物ヲ採掘スル者ハ土地所有者ノ承諾書但シ承諾書ヲ添附スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ詳記セル書面

附　則

本令ハ昭和八年二月十六日ヨリ之ヲ施行ス

●金探鑛奬勵金交付規則

昭和七年八月
總令第七十八號

金探鑛奬勵金交付規則左ノ通定ム

金探鑛奬勵金交付規則

第一條　金ノ採掘ヲ目的トスル鑛業權者ニシテ探鑛ノ爲坑道ヲ掘鑿シ又ハ試雜ヲ爲サントスル者ニ對シテハ本令ノ定ムル所ニ依リ每年度豫算ノ範圍内ニ於テ奬勵金ヲ交付ス

第二條　奬勵金ノ額ハ左ノ割合ニ依ル

一　金鑛床ノ探鑛ヲ爲スモノ

イ　水平坑道　延長一メートルニ付
十六圓五十錢以内

ロ　竪坑　深度一メートルニ付
三十三圓以内

二　砂金鑛床ノ探鑛ヲ爲スモノ
三十三圓以内

試雜一箇所ニ付　五圓以内

第三條　奬勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ第一號樣式ノ申請書ニ必要ナル書面ヲ添附シ朝鮮總督ニ提出スヘシ

第四條　朝鮮總督前條ノ申請ヲ受理シ奬勵金ヲ交付スヘキモノト認メタルトキハ奬勵金ノ交付ノ條件ヲ定メ指令書ヲ交付ス

指令書交付前施行シタル探鑛作業ニ對シテハ奬勵金ヲ交付セズ但シ特別ノ事情ニ依リ豫メ朝鮮總督ノ承認ヲ受ケタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　前條第一項ノ指令書ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ指令ノ日ヨリ三十日内ニ探鑛作業ニ着手スヘシ

第六條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ奬勵金ノ交付ヲ受ケル者ニ對シ探鑛計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルヘシ

奬勵金ノ交付ヲ受ケル者探鑛計畫ヲ變更セントスルトキハ當該探鑛作業ヲ中止シ遲滯ナク理由ヲ具シテ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第七條　朝鮮總督ハ必要ト認ムルトキハ奬勵金ノ交付ヲ受ケル者ニ對シ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ、當該官吏ヲシテ書類、物件若ハ作業ヲ檢査セシメ又ハ監督上必要ナル處分ヲ爲スコトアルヘシ

第八條　奬勵金ノ交付ヲ受ケル者當該探鑛作業ニ著手シ又ハ其ノ豫定期日前十五日迄ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

奬勵金ノ交付ヲ受ケル者探鑛作業ヲ豫定ノ延長若ハ深度ニ達シ又ハ豫定箇所ノ試雜ヲ終了シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

奬勵金ノ交付ヲ受ケル者ハ探鑛作業ニ著手ノ日ヨリ鑛況日誌ヲ作リ地質鑛床ニ關スル狀況ヲ記入シ之ニ基キ每月十日迄ニ其ノ前月分ノ狀況ヲ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第九條　奬勵金ノ交付ヲ受ケル者其ノ鑛業權ヲ讓渡セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ讓受ケタル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出デ引續キ奬勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得

第十條　奬勵金ノ交付ヲ受ケル者第八條第二項ノ届出ヲ爲シタルトキハ二箇月内ニ坑内實測圖覆本ヲ添附シ第四號樣式ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ申請スヘシ但シ探鑛計畫ニ定メタル工程ノ半以上ヲ施行シタルトキハ奬勵金ノ分割交付ヲ申請スルコトヲ得

第十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ奬勵金ノ交付ヲ停止若ハ廢止シ又ハ既ニ交付シタル奬勵金ノ一部若ハ全部ノ返還ヲ命ズルコトアルヘシ

一　鑛業ニ關スル法令又ハ奬勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

二　奬勵金ヲ受ケル探鑛作業ヲ休止又ハ廢止シタルトキ

三　朝鮮總督探鑛繼續ノ價値ナシト認メタルトキ

四　第五條、第六條第二項又ハ第八條ノ規定ニ違反シタルトキ

五　第六條第一項ノ命令ニ從ハザルトキ

六　第七條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シ、檢査ヲ拒ミ、報告ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタルトキ

七　詐欺其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ奬勵金ノ交付ヲ受ケタルトキ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

金探鑛奬勵金申請書

鑛區所在地		
鑛業權登錄番號		
鑛業權者住所氏名		
探鑛作業開始年月日		
探鑛計畫	坑道	延長　深度
	試雜	箇所
探鑛作業ノ現狀		
奬勵金ノ交付ヲ受ケントスル金額		

右ノ通リ奬勵金ノ交付ヲ申請ス

年　月　日

住所
申請人　氏名　㊞

朝鮮總督　殿

記

一　最近ニ於ケル坑内實測圖覆本

二　鑛業狀況調書

三　探鑛計畫書

注意

一　坑内實測圖覆本ハ朝鮮鑛業令施行規則附錄樣式ノ定ムルトコロニ依ルベシ

二　鑛業狀況調書ハ第二號樣式ニ依ルベシ

三　探鑛計畫書ハ第三號樣式ニ依ルベシ

第二號樣式　鑛業狀況調書

一　鑛山ノ名稱
二　沿革概要
三　鑛業着手年月
四　採鑛選鑛製錬設備ノ詳細
五　鑛產額及鑛產物販賣狀況
六　投資額及收支狀況
右ノ通相違無之候也

年　月　日　　住所
　　氏名　㊞

注意

一　鑛產額及鑛產物販賣狀況ハ左ノ事項ヲ記載スベシ
イ　最近五年間（鑛業ニ着手後五年ニ滿タザルトキハ鑛業着手ノ年以後）ニ於ケル採鑛高、製錬高、產金高竝ニ地金又ハ鑛石ノ販賣先別數量價額ヲ年別ニ掲記スルコト
ロ　鑛石ヲ販賣シタルトキハ最近一年間ノ賣鑛計算書寫（買鑛者ノ交付シタルモノ）添附スルコト
二　投資額及收支狀況
イ　投資額ハ當該鑛山ニ對スル投資額ヲ費目別ニ掲記スルコト
ロ　收支狀況ハ年別費目別ニ掲記スルコト

第三號樣式　採鑛計畫書

一　鑛山ノ名稱
二　地質鑛床ノ狀態（地質竝ニ鑛床ノ走向、傾斜、鑛脈ノ幅等詳記スルコト）
三　奬勵金ノ交付ヲ受ケ坑道ヲ開鑿又ハ延長スル者ニ在リテハ坑道ノ位置及大サ竝ニ其ノ豫定延長又ハ深度（砂金鑛床ノ試錐ヲ爲ス者ニ在リテハ鑛區圖ニ豫定試錐地點及深度ヲ表示スルコト）
四　開鑿又ハ試錐ニ使用セントスル鑿岩機又ハ試錐機ノ種類型式臺數
五　開鑿又ハ試錐ノ着手及終了ノ豫定時期
六　主任技術者ノ氏名及履歷（履歷書ヲ添附スルコト）
右ノ通相違無之候也

年　月　日　　住所
　　氏名　㊞

第四號樣式　金探鑛奬勵金交付申請書

指令番號　昭和　年　月　日鑛第　號
鑛區所在地
鑛業權ノ登錄番號
水平坑ノ延長　メートル
竪坑ノ深度　メートル
試錐施行箇所　箇所
右昭和　年　月　日ヨリ昭和　年　月　日迄ノ坑道掘進（試錐）成績右ノ通相違無之ニ付奬勵金交付相成度此段及申請候也

年　月　日　　住所
　　氏名　㊞

朝鮮總督　殿

●低品位金鑛石賣鑛奬勵金交付規則

昭和八年六月
總令第五十九號

低品位金鑛石賣鑛奬勵金交付規則左ノ通定ム

第一條　低品位金鑛石賣鑛奬勵金交付規則（別ニ告示スル舍金品位以下ノ金鑛石ヲ謂フ以下同ジ）ヲ朝鮮ニ於ケル金鑛製錬業者ニ賣渡ス鑛業權者（以下單ニ賣鑛者ト稱ス）及其ノ鑛石ヲ買入レ製錬業ヲ行フ者（以下單ニ買鑛製錬業者ト稱ス）ニハ本令ノ定ムル所ニ依リ每年度豫算ノ範圍内ニ於テ奬勵金ヲ交付ス

第二條　賣鑛者ニ對スル奬勵金ハ其ノ鑛山選鑛場ヨリ最寄鐵道停車場又ハ船積場迄ノ低品位金鑛石ノ陸運賃ヲ標準トシテ別ニ告示スル額ニ依ル

買鑛製錬業者ニ對スル奬勵金ハ低品位金鑛石ノ賣渡スベキニ付賣鑛ノ上ハ低品位金鑛石賣鑛奬勵金交付規則ニ依ル奬勵金御交付相成度左記書類相添ヘ此段御屆候也

年　月　日　　住所
　　申請人
　　氏名　㊞

朝鮮總督　殿

記

一　採鑛費調書
二　運搬費調書
三　運搬料程證明書

交付ヲ受ケル賣鑛者ニ對シ運搬施設ノ改善ヲ命ズルコトアルベシ

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スト認ムルトキハ奬勵金ノ交付ヲ受ケル者ニ對シ奬勵金ノ交付ヲ停止若ハ廢止シ又ハ既ニ交付シタル奬勵金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一　詐僞其ノ他不正ノ行爲ヲ以テ奬勵金ノ交付ヲ受ケタルトキ
二　第六條第一項ノ規定ニ依ル處分ニ違反シ、檢査ヲ拒ミ、報告ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタルトキ
三　賣鑛者ガ第六條第二項ノ命令ニ從ハザルトキ

附　則

本令ハ昭和八年六月十六日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式　低品位金鑛石賣鑛屆

一　鑛山所在地
一　鑛山名
一　鑛業權登錄番號
右鑛山產出鑛石ハ何株式會社何製錬所ニ賣渡スベキニ付賣鑛ノ上ハ低品位金鑛石賣鑛奬勵金交付規則ニ依ル奬勵金御交付相成度左記書類相添ヘ此段御屆候也

年　月　日　　住所
　　申請人
　　氏名　㊞

朝鮮總督　殿

記

一　採鑛費調書
二　運搬費調書
三　運搬料程證明書

第二號樣式　採鑛費調書

一　採鑛方法（手掘發破法又ハ鑿岩機使用等簡明ニ記載ノコト）
二　最近一年間ニ於ケル採鑛費賃錢

工賃	費目	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
	火藥													
	坑木													
	何々													
	何々													
	計													
	採鑛高													
	適當採鑛費													

右ノ通相違無之候也

年　月　日　　住所
　　氏名　㊞

注意

一　賣目ハ實際ニ區別セル支出費目ニ依ルベシ
二　賣目ヲ區別セザルモノニ在リテハ採鑛ニ要シタル工賃、火藥代、坑木代其ノ他採鑛用品賣ニ區別掲記スベシ
三　採鑛着手後一年ニ滿タザルモノハ採鑛着手後ノ分ニ付掲記スベシ

第三號樣式　運搬費調書

一　積出驛又ハ船積場所在地名及名稱
一　鑛石ノ山出シ場所ヨリ積出驛又ハ船積場迄ノ軌程
一　運搬ノ方法及運搬賃
右ノ通相違無之候也

年　月　日　　住所
　　氏名　㊞

注意

一　運搬方法及運搬賃ハ左ノ例ニ依ルベシ
何面何洞（里）選鑛場ヨリ何面何洞（里）迄馬背
此ノ間何軒鑛石一吋（何瓩）ニ付運搬賃何十何錢
何面何洞（里）ヨリ何驛迄貨物自動車
此ノ間何軒鑛石一瓩ニ付運搬賃何十何錢（請負人何郡何面何洞（里）何番地何某）
二　運搬ガ直營ナルトキハ運搬賃算定ノ根據ヲ證スルニ足ル書類、請負ナルトキハ契約書ノ寫ヲ添附スベシ

第四號樣式　低品位金鑛石賣鑛奬勵金交付申請書

年　月　日　　住所
　　申請人
　　鑛業權者　氏名　㊞

朝鮮總督　殿

左記ノ通低品位金鑛石ヲ賣渡シタルニ付奬勵金交付相成度此段及申請候也

記

賣鑛者氏名	買入年月	買鑛高	對スル奬勵金額
合計			

注意

一　賣鑛高ハ買鑛製錬所ノ受入レタル濕鑛高ヲ掲記シ數量單位ハ瓩以下二位迄トシ以下切捨トス
二　適當奬勵金ノ選鑛場ヨリ積出停車場又ハ船積場迄全軌程ニ對スル金額ヲ記載スベシ

第五號樣式　低品位金鑛石買鑛奬勵金交付申請書

年　月　日　　住所
　　申請人　氏名　㊞

朝鮮總督　殿

左記ノ通低品位金鑛石ヲ買入タルニ付奬勵金交付相成度成規ノ書類相添ヘ此段及申請候也

記

賣鑛年月	賣鑛高	適當奬勵金	奬勵金額
合計			

注意

一　賣鑛高ハ乾鑛量ヲ掲記シ數量單位ハ瓩以下二位迄トシ以下切捨トス
二　買鑛計算書寫ハ本表記載ノ順序ニ依リ一括添附スベシ

●朝鮮鑛業登錄規則

大正五年二月
總令第十號

改正　昭和三年七制第二號、大年二第一四
八制、八年四第三七號

朝鮮鑛業登錄規則左ノ通定ム

朝鮮鑛業登錄規則

第一章　總則

第一條　鑛業ニ關スル登錄ハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ爲ス

第二條　同一ノ鑛業權ニ關シテ登錄シタル權利ノ順位ニ付法令ニ別段ノ定ナキトキハ其ノ順位ハ登錄ノ前後ニ依ル

第三條　附記登錄ノ順位ハ主登錄ノ順位ニ依ル但シ附記登錄間ノ順位ハ其ノ前後ニ依ルモ假登錄ヲ爲シタルモノニ付本登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ本登錄ノ順位ハ假登錄ノ順位ニ依ル

第二章　登錄ニ關スル帳簿

第四條　鑛業原簿ハ第一號樣式ニ依リ之ヲ調製シ一鑛區ニ付テハ鑛區關綴込帳、借託ニ付テハ鑛業借託原簿ヲ設ケ鑛業原簿ノ一部トス

第五條　鑛區關綴込帳ハ登錄番號ノ順序ニ依リ之ヲ編綴シ鑛區關ニ登錄番號及登錄年月日ヲ記載シ丁數ヲ附スヘシ

鑛業借託原簿ハ第四號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第六條　登錄受附簿ハ第二號樣式ニ依リ毎年之ヲ調製シ受附番號ヲ更新スヘシ

第七條　登錄ニ關シテハ鑛業原簿、鑛業借託原簿、鑛區關綴込帳及登錄受附簿ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一　申請書噸託書附屬書類綴込帳
二　通知簿
三　印鑑簿
四　請求書綴込帳

第八條　何人ト雖手數料ヲ納付シテ鑛業原簿ノ謄本、抄本若ハ鑛區關ノ謄本ノ交付又ハ鑛業原簿若ハ鑛區關綴込帳ノ閲覽ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲ス者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

一　請求者ノ氏名又ハ名稱及住所
二　鑛區所在地及登錄番號又ハ鑛區ヲ表示スルニ足ルヘキ事項
三　請求ノ範圍
四　年月日

第一項ノ手數料ハ左ノ區分ニ依ル

一　鑛業原簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付
用紙毎一枚一圓
二　鑛區關綴原本ノ交付
鑛區毎十萬坪又ハ毎二里　三圓
三　鑛業原簿又ハ鑛區關綴込帳ノ閲覽
特鑛區毎一時間　五十錢
紙數、面積、延長又ハ時間ニ依リ手數料ヲ定ムル場合ニ於テハ一枚、十萬坪、二里又ハ一時間ニ滿タサルモノ雖一枚、十萬坪、二里又ハ一時間トシテ計算ス

第一項ノ手數料ハ收入印紙ヲ請求書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

官吏又ハ公吏ハ職務ヲ以テ第一項ノ請求ヲ爲ス場合ニハ手數料ヲ納付スルコトヲ要セス

第九條　鑛業原簿ノ謄本ハ鑛業原簿ト同一樣式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作成シ餘白アルトキハ之ニ朱線ヲ施シ其ノ末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ朝鮮總督府農商工部長官ノ二年月日ヲ記載シ記名捺印スヘシ

此ノ謄本ハ鑛業原簿ニ依リ之ヲ作リ鑛業原簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ鑛區關ノ謄本及鑛業原簿ノ抄本ヲ作成スル場合ニ之ヲ準用ス

第九條ノ二　鑛業原簿ノ謄本ハ請求ニ因リ抹消ニ係リタル登錄、權利關係ヲ定ムルニ付必要ナキ登錄又ハ借託原簿ヲ除キテ作成スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ認證文ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第三章　登錄手續

第一節　通則

第十條　登錄ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外申請ニ因リ之ヲ爲ス

登錄原因ヲ證スル書面カ執行力アル判決ナルトキハ第一項第三號ニ掲ケル書面ヲ提出スルコトヲ要セス

第一項第三號ノ書面ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ第三者ヲシテ申請書ニ署名捺印セシメテ其ノ書面ニ代フルコトヲ得

登錄ノ申請人國ナルトキハ第一項第四號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セス

第十六條　鑛業權設定ノ登錄ノ申請書ニハ登錄申請人ノ住所地、本籍地又ハ寄留地ノ府尹、面長又ハ市區町村長若ハ之ニ準スル者ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ添附スヘシ鑛業權移轉ノ登錄ノ申請ノ場合ニ於テ鑛業權ヲ承繼シタル者ニ付亦同シ

前項ノ登錄申請人法人ナルトキハ其ノ代表者ハ登錄申請書ニ法人ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ノ證明ヲ得タル印鑑、會社合第十九條第二項又ハ第二十條ニ規定スル會社ニシテ登記ヲ爲ササルモノニ在リテハ朝鮮ニ駐在スル其ノ本國領事官ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ添附スヘシ

鑛業權者又ハ前項ニ規定スル法人ノ代表者改印ヲ爲シタルトキハ前二項ニ規定スル官廳又ハ公署ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ提出スヘシ

印鑑ハ第三號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ前各項ノ規定ハ官廳及公署ニハ之ヲ適用セス

第十七條　登錄申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ登錄申請人、代理人又ハ代表者之ニ署名捺印スヘシ

一　鑛區所在地
二　鑛業權ノ登錄番號
三　登錄申請人ノ氏名又ハ名稱及住所
四　代理人又ハ代表者ニ依リ申請スルトキハ其ノ氏名及住所
五　登錄原因及其ノ日附
六　登錄ノ目的
七　年月日

鑛業權設定ノ登錄又ハ第四十三條第二項ノ規定ニ依ル採掘權設定ノ登錄ノ申請ニ付テハ前項第二號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セス

第十八條　登錄申請書ニハ登錄原因ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

登錄原因ヲ證スル書面ヲ提出スルコト能ハサルトキハ前項ノ規定ニ依リ之ヲ提出スルコトヲ要セサルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ且申請書ノ副本ヲ添附スヘシ

登錄原因ヲ證スル書面ヲ提出スルコト能ハサルトキハ第一項ノ規定ニ依リ之ヲ提出スルコトヲ要セサルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ且申請書ノ副本ヲ添附スヘシ

登錄原因ヲ證スル書面カ官廳又ハ公署ノ作成ニ係ルトキハ第一項第三號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セス

第十九條　登錄申請書ニハ登錄原因ヲ證スル書面ノ外左ノ書面ヲ添附スヘシ

一　申請書ノ副本
二　登錄原因ヲ證スル書面
三　登錄原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面
四　代理人ニ依リテ登錄ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面

鑛業權ノ設定若ハ變更、鑛業權ノ表示ノ變更若ハ更正又ハ廢棄ノ登錄ノ申請ニ付テハ前項第二號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セス

登錄原因ヲ證スル書面ヲ提出スルコト能ハサルトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ之ヲ提出スルコトヲ要セサルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ且申請書ノ副本ヲ添附スヘシ

第二十條　朝鮮登錄稅令施行規則第三條ノ二ノ規定ニ依リ登錄稅ヲ徵收スル場合ニ於テハ後ニ登記又ハ登錄ヲ申請スヘキ登記ノ申請書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ

第二十一條　登錄申請書ヲ提出アリタルトキハ登錄受附簿ニ登錄ノ目的、登錄申請人ノ氏名又ハ名稱受附ノ年月日及受附番號ヲ、申請書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ

前項ノ受附番號ハ受附ノ順序ニ依リ之ヲ附スヘシ但シ同一ノ鑛業權又ハ鑛業權ニ關シテ同時ニ數箇ノ申請アリタルトキハ同一ノ受附番號ヲ附スヘシ

第二十二條　左ノ場合ニハ於テハ登錄ノ申請ハ之ヲ受理セス

一　事件カ登錄スヘキモノニ非サルトキ又ハ第四十三條第二項ノ期限内ニ申請ヲ爲ササルトキ
二　申請書カ方式ニ適合セサルトキ
三　申請書ニ掲ケタル鑛業權又ハ採掘權ノ表示カ鑛業原簿ト抵觸スルトキ
四　第十九條第二項第一號ノ場合ヲ除クノ外申請書ニ掲ケタル登錄申請人ノ表示カ鑛業原簿ト符合セサルトキ
五　申請書ニ掲ケタル事項又ハ登錄ノ事項ニ關シ登錄官吏ニ於テ證スヘキ書面ヲ提出セサルトキ
六　申請ニ必要ナル書面ヲ提出セサルトキ

第二十三條　登錄官吏ハ登錄ヲ爲シタルトキハ登錄ヲ爲シタル旨ヲ申請書ニ記載シ且申請書ノ副本ニ登錄ノ年月日ヲ記載シ登錄官吏ノ職氏名ヲ記名捺印シテ申請人ニ之ヲ交付スヘシ

第二十四條　登錄官吏ハ登錄ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク登錄ノ年月日、登錄ノ目的、登錄申請人ノ氏名又ハ名稱及住所、登錄原因及其ノ年月日、登錄ノ順位、登錄番號、鑛區ノ位置及坪數又ハ區域ヲ登錄原簿ニ記載スヘシ

第二十五條　登錄官吏ハ登錄ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク登錄ノ年月日、登錄ノ目的、登錄申請人ノ氏名又ハ名稱及住所、登錄原因及其ノ年月日、登錄ノ順位、登錄番號、鑛區ノ位置及坪數又ハ區域ヲ登錄受附簿ニ記載スヘシ

第二十六條　登錄官吏ハ登錄ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク登錄ノ年月日、登錄ノ目的、登錄申請人ノ氏名又ハ名稱及住所、登錄原因及其ノ年月日、登錄ノ順位、登錄番號、鑛區ノ位置及坪數又ハ區域ヲ鑛區關綴込帳ニ記載スヘシ

第二十七條　表示欄ニ登錄ヲ爲シタルトキハ表示番號欄及表示欄ニ縱線ヲ劃シ事項欄ニ登錄ヲ爲シタルトキハ順位番號欄及事項欄ニ縱線ヲ劃シテ除白ト分界スヘシ

第二十八條　附記登錄ノ順位番號ハ主登錄ノ番號ニ附記何號ト記載スヘシ

第二十九條　登錄名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登錄ハ其ノ登錄ニ因リテ變更又ハ更正セラレタル登錄事項ヲ朱抹スヘシ

第三十一條　行政區劃又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキハ鑛業原簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス

前項第二號ノ記載ヲ要セス

第十五條第二項ノ申請ニ付テハ第一項第五號ノ記載ヲ要セス

第十八條　債權者カ民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登錄ヲ申請スルニハ第十五條第一項ニ掲ケル書面ノ外代位原因ヲ證スル書面ヲ提出シ且申請書ニ前條第一項ニ掲ケル事項ノ外債權者ノ氏名又ハ名稱及住所竝代位原因ヲ記載シ債權者之ニ署名捺印スヘシ

第十八條ノ二　抵當權設定ノ新規登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ課稅標準ノ價格ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ滯納處分以外ノ原因ニ因ル鑛業權又ハ抵當權ノ處分ノ制限ノ登錄ヲ囑託スル場合ニ之ヲ準用ス

第十九條　相續其ノ他ノ一般承繼ニ因ル鑛業權又ハ抵當權ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ相續其ノ他ノ一般承繼アリタルコトヲ證スル戸籍若ハ登記ノ謄本ヲ取扱フ官吏若ハ公吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ同順位ノ相續人數人アル場合ニ於テ其ノ中ノ一人又ハ數人ニ於テ相續ヲ爲シタルトキハ他ノ相續人ノ承諾書又ハ相續ノ抛棄ヲ證スル書面ヲモ添附スヘシ

左ノ場合ニ於テハ申請書ニ其ノ事實ヲ證スル戸籍若ハ登記ノ謄本ヲ取扱フ官吏若ハ公吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書類ヲ添附スヘシ但シ住所ノ變更又ハ更正ノ登錄ヲ申請スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　申請人カ登錄權利者又ハ登錄義務者ノ相續人其ノ他ノ一般承繼人ナルトキ
二　登錄名義人カ其ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登錄ヲ申請スルトキ
三　死亡ニ因ル共同鑛業權者脫退ノ登錄ヲ申請スルトキ
四　數箇ノ鑛區ニ關シ抵當權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ登錄原因カ同一ナルトキニ限リ同一ノ申請書ヲ以テ登錄ヲ申請スルコトヲ得

第二十條　數箇ノ鑛區ニ關シ抵當權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ登錄原因カ同一ナルトキニ限リ同一ノ申請書ヲ以テ登錄ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ハ鑛業權ノ移轉ノ登錄、鑛業權ノ處分ノ制限ノ登錄ヲ囑託スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條　登錄申請書ニ其ノ事實ヲ證スル戸籍若ハ登記ノ謄本、抄本若ハ鑛區關ノ謄本ノ交付又ハ鑛業原簿若ハ鑛區關綴込帳ノ閲覽ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲ス者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

一　請求者ノ氏名又ハ名稱及住所
二　鑛區所在地及登錄番號又ハ鑛區ヲ表示スルニ足ルヘキ事項
三　請求ノ範圍
四　年月日

第一項ノ手數料ハ左ノ區分ニ依ル

一　鑛業原簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付
用紙毎一枚一圓
二　鑛區關綴原本ノ交付
鑛區毎十萬坪又ハ毎二里　三圓
三　鑛業原簿又ハ鑛區關綴込帳ノ閲覽
特鑛區毎一時間　五十錢
紙數、面積、延長又ハ時間ニ依リ手數料ヲ定ムル場合ニ於テハ一枚、十萬坪、二里又ハ一時間ニ滿タサルモノ雖一枚、十萬坪、二里又ハ一時間トシテ計算ス

第一項ノ手數料ハ收入印紙ヲ請求書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

官吏又ハ公吏ハ職務ヲ以テ第一項ノ請求ヲ爲ス場合ニハ手數料ヲ納付スルコトヲ要セス

第二十二條　鑛業原簿ノ謄本ハ鑛業原簿ト同一樣式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作成シ餘白アルトキハ之ニ朱線ヲ施シ其ノ末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ朝鮮總督府農商工部長官ノ二年月日ヲ記載シ記名捺印スヘシ

此ノ謄本ハ鑛業原簿ニ依リ之ヲ作リ鑛業原簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ鑛區關ノ謄本及鑛業原簿ノ抄本ヲ作成スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條　朝鮮鑛業登錄規則ハ之ヲ廢止ス

第二十四條　本令ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本令施行ノ際現ニ存スル鑛業權ニ關シテハ本令ニ別段ノ規定アル場合ニ除クノ外本令ニ依ル登錄ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十五條　鑛業權ハ登錄權利者及登錄義務者若ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留郵便ヲ以テ之ヲ取扱フ官吏若ハ公吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附シテ申請スヘシ

書留郵便ヲ以テ登錄申請ヲ爲ス場合ニ於テハ郵便物ノ表面ニ鑛業登錄申請ナルコトヲ朱書スヘシ

第二十六條　判決又ハ相續其ノ他ノ一般承繼ニ因ル登錄ハ登錄權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得鑛業權ノ表示ノ變更ノ登錄ノ申請ニ付亦同シ但シ共同鑛業權者ノ有スル鑛業權ノ持分ノ相續ノ登錄ハ他ノ共同鑛業權者ノ同意ヲ要ス

登錄名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登錄ハ登錄名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第二十七條　鑛業權ヲ取消シタルトキ又ハ取消處分ノ取消ヲ爲シタルトキハ職權ヲ以テ鑛業權ノ消滅又ハ回復ノ登錄ヲ爲スヘシ

第二十八條　左ノ登錄ニ付テハ官廳又ハ公署ハ囑託書ニ登錄原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ囑託スヘシ

一　處分ノ制限ノ登錄
二　公賣處分ニ因ル鑛業權移轉ノ登錄
第二十九條　登錄ニ關シテハ鑛業原簿ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ
一　申請書噸託書附屬書類綴込帳
二　登錄原因ヲ證スル書面
三　登錄原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面
四　代理人ニ依リテ登錄ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面

鑛業權ノ設定若ハ變更、鑛業權ノ表示ノ變更若ハ更正又ハ廢棄ノ登錄ノ申請ニ付テハ前項第二號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セス

登錄原因ヲ證スル書面ヲ提出スルコト能ハサルトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ之ヲ提出スルコトヲ要セサルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ且申請書ノ副本ヲ添附スヘシ

第三十條　登錄官吏ハ登錄ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク登錄ノ年月日、登錄ノ目的、登錄申請人ノ氏名又ハ名稱及住所、登錄原因及其ノ年月日、登錄ノ順位、登錄番號、鑛區ノ位置及坪數又ハ區域ヲ登錄原簿ニ記載スヘシ

第三十一條　登錄官吏ハ登錄ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク登錄ノ年月日、登錄ノ目的、登錄申請人ノ氏名又ハ名稱及住所、登錄原因及其ノ年月日、登錄ノ順位、登錄番號、鑛區ノ位置及坪數又ハ區域ヲ登錄受附簿ニ記載スヘシ

第三十二條　表示欄ニ登錄ヲ爲シタルトキハ表示番號欄及表示欄ニ縱線ヲ劃シ事項欄ニ登錄ヲ爲シタルトキハ順位番號欄及事項欄ニ縱線ヲ劃シテ除白ト分界スヘシ

第三十三條　附記登錄ノ順位番號ハ主登錄ノ番號ニ附記何號ト記載スヘシ

第三十四條　登錄名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登錄ハ其ノ登錄ニ因リテ變更又ハ更正セラレタル登錄事項ヲ朱抹スヘシ

第三十五條　行政區劃又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキハ鑛業原簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス

第三十六條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄權利者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第三十七條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第三十八條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第三十九條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第四十條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第四十一條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第四十二條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第四十三條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第四十四條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第四十五條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第四十六條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第四十七條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第四十八條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第四十九條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第五十條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第五十一條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第五十二條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第五十三條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第五十四條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第五十五條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第五十六條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第五十七條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第五十八條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第五十九條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第六十條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第六十一條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第六十二條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第六十三條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第六十四條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第六十五條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第六十六條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第六十七條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第六十八條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第六十九條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第七十條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第七十一條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第七十二條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第七十三條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第七十四條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第七十五條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第七十六條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第七十七條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第七十八條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第七十九條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第八十條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第八十一條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第八十二條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第八十三條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第八十四條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第八十五條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第八十六條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第八十七條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第八十八條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第八十九條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第九十條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第九十一條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第九十二條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第九十三條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第九十四條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第九十五條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第九十六條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第九十七條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第九十八條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第九十九條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第百條　鑛業權ノ消滅ニ因リ登錄ヲ抹消スル場合ニ於テハ登錄義務者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

前項ノ變更アリタルトキハ鑛業權ノ表示ニ付キ亦職權ヲ以テ其ノ變更ヲ登錄スヘシ

第三十二條　登錄ヲ完了シタルトキハ登錄原因ヲ證スル書面又ハ申請書ノ副本ニ登錄番號、順位番號、登錄ノ年月日及登錄濟ノ旨ヲ記載シ朝鮮總督府ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄權利者ニ交付シ且登錄義務者ニハ其ノ登錄濟ノ旨ヲ通知スヘシ但信託ニ關スル登錄ヲ完了シタルトキハ受益者又ハ信託管理人ニモ亦通知スヘシ

鑛業權ノ設定若ハ變更又ハ鑛區圍ノ修正ヲ伴フ鑛業權ノ表示ノ變更ニ關スル登錄ニ付テハ前項ノ規定ニ依リ登錄權利者ニ交付スヘキ書面ニ鑛區圍手續ヲ添附スヘシ

職權ヲ以テ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ前條ノ場合ヲ除クノ外登錄濟ノ旨ヲ登錄權利者又ハ登錄義務者ニ通知スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ登錄權利者又ハ登錄義務者多數ナルトキハ其ノ一人ニ交付又ハ通知スルヲ以テ足ル

第三十三條　第十八條ノ申請アリタル場合ニ於テ登錄ヲ完了シタルトキ亦同シ

第十四條ノ場合ニ於テハ第一項ノ書面ハ登錄ヲ嘱託シタル官廳又ハ公署ニ送付シ其ノ官廳又ハ公署ハ速ニ之ヲ登錄權利者ニ交付スヘシ強制執行又ハ抵當權ノ實行ニ因ル鑛業權ノ移轉ノ登錄ヲ完了シタルトキ亦同シ

第三十四條　登錄ヲ完了シタル後其ノ登錄ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スヘシ

前項ノ規定ハ第十八條ノ場合ニ於テハ債權者ニ、第六十九條第一項又ハ第七十八條第二項ニ依ル申請ニ依リ登錄ヲ完了シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條　鑛業權消滅ノ登錄ヲ爲シタル後他人ノ鑛區ト重複スル鑛業權ノ設定又ハ變更ノ登錄申請ヲ爲シタル場合ニ於テハ第三十五條ノ規定ニ依リ登錄權利者ニ交付スヘキ書面ニ鑛區圍手續ヲ添附スヘシ

第三十六條　鑛業權消滅ノ登錄ヲ爲シタル後他人ノ鑛區ト重複スル鑛業權ノ設定又ハ變更ノ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ第三十五條ノ規定ニ依リ登錄權利者ニ交付スヘキ書面ニ鑛區圍手續ヲ添附スヘシ

第三十七條　鑛業權消滅ノ登錄ヲ爲シタル後他ノ鑛業權ノ設定又ハ變更ノ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ第三十五條ノ規定ニ依リ登錄權利者ニ交付スヘキ書面ニ鑛區圍手續ヲ添附スヘシ

第三十八條　登錄ヲ完了シタル後其ノ登錄ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スヘシ

前項ノ規定ハ第六十九條第一項又ハ第七十八條第二項ニ依ル申請ニ依リ登錄ヲ完了シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條　鑛業原簿ノ册數、丁數及其ノ繼續用紙ヲ以テ調製シ且前項ノ登錄ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ鑛業原簿ニ記載スヘシ

第四十條　鑛業ノ出願ヲ以テ鑛區ノ訂正、增減、合併若ハ分割ノ出願ノ許可ニ因ル鑛業權ノ設定又ハ變更ノ登錄ノ申請ハ登錄權利者ニ於テ之ヲ爲シ申請書ニ鑛物ノ名稱及鑛區ノ面積ヲ記載シ且許可通知書ヲ添附スヘシ

第四十一條　死亡、破產、禁治產又ハ朝鮮鑛業令第十八條第三項ノ規定ニ依ル除名ニ因ル鑛業權者ノ脫退ノ登錄ハ登錄權利者又ハ登錄義務者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第四十二條　鑛區ノ合併又ハ分割ニ因ル鑛業權設定又ハ鑛區ノ減少ニ因ル鑛業權變更ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ合併、分割又ハ減少前ノ鑛業權ニ付登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ第三十五條ノ規定ヲ準用スル但シ鑛區ノ合併、分割又ハ減少ノ願書ト共ニ承諾書ヲ差出シタルモノニ付テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スルヲ以テ足ル

第四十三條　抵當權ノ設定アル鑛區ノ合併及分割ニ因ル鑛業權設定ノ登錄ノ申請アリタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ抵當權者ニ通知スヘシ

前項ノ抵當權者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日內ニ抵當權設定ノ登錄ヲ申請スヘシ此ノ場合ニ於テハ抵當權ノ順位ハ協定ノ順位ニ依ル

前項ノ申請ニ付テハ最後ニ通知ヲ受ケタル者ニ對スル前項ノ期間滿了ノ日ノ翌日ニ於テ鑛業權設定ノ登錄ヲ爲スヘシ

錯誤又ハ遺漏カ前項ニ規定スル登錄以外ノ登錄ニ係ルトキハ登錄更正ノ申請アリタル場合ニ於テ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者ナキトキ又ハ申請書ニ登錄上利害ノ關係アル第三者ノ承諾書若ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルニ限リ附記ニ依リ更正ノ登錄ヲ爲スヘシ

第四十四條　第三十五條　抹消シタル登錄ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第四十五條　鑛業權ノ設定、變更又ハ鑛區圍ノ修正ヲ伴フ鑛業權ノ表示ノ變更ヲ爲シタル場合ニ於テハ表示欄ニ鑛區圍手續ヲ爲シタル登錄ノ末尾ニ鑛區圍綴紙ノ册數及丁數ヲ記載スヘシ

第四十六條　朝鮮鑛業令第三十一條ノ規定ニ依リ爲シタル競賣ニ因ル鑛業權移轉ノ登錄ヲ嘱託シタル場合ニ於テハ第三十六條ノ規定ニ準シ登錄ヲ爲シタル後移轉ノ登錄ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ前登錄用紙ノ表示欄ニ新登錄用紙ニ登錄ヲ移シタル旨ヲ記載スヘシ

第四十七條　他人ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テ鑛業權ノ設定又ハ變更ノ登錄ヲ爲ストキハ表示欄ニ他ノ鑛業權ノ登錄番號、鑛種名及之ト重複ノ關係ヲ有スル旨ヲ記載シ他ノ鑛業權ニ付テハ其ノ登錄用紙中表示欄ニ重複スル鑛業權ノ登錄番號及鑛種名ヲ記載シ前項ノ場合ニ於テ一箇ノ鑛業權消滅シタルトキハ之ト重複ノ關係ヲ有スル他ノ鑛業權ノ登錄用紙中表示欄ニ其ノ鑛業權ノ消滅シタル旨ヲ記載シ消滅ニ係ル事項ヲ朱抹スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ鑛區ノ合併又ハ分割ニ因リ設定セラレタル新ナル鑛業權ノ登錄番號、鑛種名及之ト重複ノ關係アル旨ヲ記載スヘシ

第三節　抵當權ニ關スル登錄手續

第四十八條　抵當權ノ設定、移轉、變更、處分ノ制限又ハ順位ノ變更ニ關スル登錄ハ登錄權利者ノ申請ニ因リ之ヲ爲ス但シ官廳又ハ公署ノ嘱託アリタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條　抵當權ノ設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ抵當債權額ヲ記載シ若登錄原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ利息ニ關スル定アルトキ又ハ債權ニ條件ヲ附シタルトキハ之ヲ記載スヘシ

追加抵當權設定ノ登載ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ前抵當權ノ目的タル鑛業權ノ登錄番號及鑛區所在地ヲ記載スヘシ

第五十條　抵當權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債務者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

抵當權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ抵當權力債權ト共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スヘシ

第五十一條　一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タル抵當權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ債權ノ目的タル物ノ價格ヲ記載スヘシ

第五十二條　債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル抵當權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スヘシ

第五十三條　抵當權變更ノ登錄ノ申請アリタル場合ニ於テハ第三十四條第三項ノ規定ヲ準用ス

第五十四條　抵當權ノ移轉、順位ノ變更ニ因ル抵當權ノ變更及其ノ處分ノ制限ノ登錄ハ附記ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第五十五條　數個ノ鑛業權カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ一個ノ鑛業權ニ付抵當權設定ノ登錄ヲ爲ストキハ其ノ鑛業權ノ登錄番號、鑛區所在地及其ノ目的タル旨ヲ抵當權用紙中乙區事項欄ニ他ノ鑛業權ニ付抵當權設定ノ登錄ヲ爲シタル旨ヲ記載スヘシ

第五十六條　數個ノ鑛業權カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ一個ノ鑛業權ノ消滅ノ登錄ヲ爲シタルトキハ他ノ鑛業權ノ登錄用紙中乙區事項欄ニ其ノ抵當權ノ消滅ノ登錄ヲ爲シタル旨ヲ附記シ消滅ニ係ル事項ヲ朱抹スヘシ

前項ノ場合ニ於テ鑛業權ノ消滅ヲ鑛區ノ合併又ハ分割ニ因ルモノナルトキハ前項ノ手續ヲ爲スノ外第四十三條ニ定メタル新ナル鑛業權ノ登錄番號及鑛區所在地ヲ表示シ其ノ鑛業權カ共ニ抵當件ノ目的タル旨ヲ記載スヘシ

第四節　抹消ニ關スル登錄手續

第五十七條　廢業ニ因ル鑛業權消滅ノ登錄ハ登錄權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

共同鑛業ノ廢業ノ場合ニ在リテハ申請書ニ共同鑛業權者ノ決議書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第五十八條　鑛區ノ合併又ハ分割ニ因リ鑛業權消滅シタルトキハ其ノ原因ヲ記載シテ鑛業權消滅ノ登錄ヲ爲スヘシ

第五十九條　抵當權ノ登錄アル鑛業權ニ關シ廢業ニ因ル鑛業權消滅ノ登錄ノ申請アリタルトキハ其ノ登錄ヲ抹消シタル旨ヲ抵當權者ニ通知スヘシ

第六十條　抵當權力人ノ死亡ニ因リ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其ノ死亡ヲ證スル戶籍又ハ民籍ノ謄本ヲ添附スルトキハ前項ノ規定ニ準シ其ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

第六十一條　登錄ヲ完了シタル後其ノ登錄カ錯誤又ハ遺漏ニ因リ登錄ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テハ第三十五條ノ規定ニ依リ登錄權利者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第六十二條　廢業ニ因ル場合ヲ除クノ外登錄ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ前抵當權ノ目的タル鑛業權ノ登錄番號及鑛區所在地ヲ記載スヘシ

第六十三條　第十四條ノ規定ニ依リ公賣處分ニ因ル鑛業權移轉ノ登錄ノ嘱託アリタル場合ニ於テハ職權ヲ以テ處分ノ制限ノ登錄ヲ抹消シ若抵當權ノ登錄アルトキハ其ノ登錄ヲ抹消スヘシ

第六十四條　登錄ヲ抹消スルニハ抹消ノ登錄ヲ爲シタル後抹消スヘキ登錄ヲ朱抹スヘシ

第六十五條　鑛業權消滅ノ登錄ヲ爲ストキハ表示欄ニ消滅ノ原因ヲ記載シ鑛業權ノ表示、表示番號及登錄番號ヲ朱抹シ其ノ登錄用紙ヲ閉鎖スヘシ但シ抵當權ノ設定アル場合ニ於テ廢業又ハ朝鮮鑛業令第二十九條第二號乃至第六號ノ規定ニ依リ取消ニ因ル鑛業權消滅ノ登錄ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ第四十六條ノ規定ニ依リ鑛業權移轉ノ登錄ヲ爲ストキ又ハ第五十九條第二項ニ依リ鑛業權ノ登錄ヲ爲ストキ亦同シ

第六十六條　登錄ヲ完了シタル後其ノ登錄カ錯誤又ハ遺漏ニ因リ登錄ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テハ第三十五條ノ規定ニ依リ登錄權利者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第六十七條　信託ノ登錄ノ申請ハ信託ニ因ル鑛業權移轉ノ登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ前條ノ規定ニ依リテ受益者又ハ委託者カ登錄ノ代位ヲ申請スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財產ニ屬スル鑛業權ノ信託ノ登錄ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第六十八條　受託者更迭ノ場合ニ於テハ鑛業權移轉ノ登錄ヲ申請スルニハ申請書ニ其ノ更迭ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第五十條第二項ノ場合ニ於テ閉鎖スヘキ登錄權利者ノミニテ之ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第六十九條　受託者ノ任務カ終了シタル場合ニ於テ信託財產ニ屬スル鑛業權ノ登錄ヲ抹消スル場合ニ之ヲ準用ス

第七十條　信託ノ登錄ノ申請ハ信託ニ因ル鑛業權移轉ノ登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ前條ノ規定ニ依リテ受益者又ハ委託者カ登錄ノ代位ヲ申請スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財產ニ屬スル鑛業權ノ信託ノ登錄ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第七十一條　受託者更迭ノ場合ニ於テハ鑛業權移轉ノ登錄ヲ申請スルニハ申請書ニ其ノ更迭ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第五十條第二項ノ場合ニ於テ閉鎖スヘキ登錄權利者ノミニテ之ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第七十二條　第二十二條第一號ニ該當スルモノナルコトヲ發見シタルトキハ職權ヲ以テ其ノ登錄ヲ抹消シ登錄權利者、登錄義務者及登錄上利害關係ヲ有スル第三者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ハ第十八條ノ場合ニ於テハ債權者ニ、第六十九條第一項又ハ第七十八條第二項ノ場合ニ於テハ受益者、信託管理人又ハ委託者ニモ亦之ヲ爲スヘシ

第五節　信託ニ關スル登錄手續

第七十三條　鑛業權ノ信託ノ登錄ハ信託ニ付テハ受託者ヲ登錄權利者トシ委託者ヲ登錄義務者トス

第七十四條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財產ニ屬スル鑛業權ノ信託ノ登錄ハ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第二十七條ノ規定ニ依ル信託財產ノ復歸ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　受益者又ハ委託者ハ受託者ニ代位シテ信託ノ登錄ヲ申請スルコトヲ得

第七十六條　第十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ代位登錄ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ代位登錄ノ申請ニ付テハ登錄ノ目的タル鑛業權カ信託財產タルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第七十七條　信託ノ登錄ノ申請ハ信託ニ因ル鑛業權移轉ノ登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ第七十五條ノ規定ニ依リテ受益者又ハ委託者カ登錄ノ代位ヲ申請スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第五十條第二項ノ場合ニ於テ閉鎖スヘキ登錄權利者ノミニテ之ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第七十八條　第十八條ノ規定ハ第七十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十九條　第十八條ノ規定ハ第七十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十條　第十八條ノ規定ハ第七十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十一條　第十八條ノ規定ハ第七十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十二條　第十八條ノ規定ハ第七十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十三條　第十八條ノ規定ハ第八十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十四條　第十八條ノ規定ハ第八十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十五條　第十八條ノ規定ハ第八十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條　第十八條ノ規定ハ第八十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十七條　第十八條ノ規定ハ第八十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十八條　第十八條ノ規定ハ第八十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十九條　第十八條ノ規定ハ第八十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十條　第十八條ノ規定ハ第八十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十一條　第十八條ノ規定ハ第八十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十二條　第十八條ノ規定ハ第八十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十三條　第十八條ノ規定ハ第九十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十四條　第十八條ノ規定ハ第九十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十五條　第十八條ノ規定ハ第九十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十六條　第十八條ノ規定ハ第九十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十七條　第十八條ノ規定ハ第九十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十八條　第十八條ノ規定ハ第九十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十九條　第十八條ノ規定ハ第九十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百條　第十八條ノ規定ハ第九十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百一條　第十八條ノ規定ハ第九十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二條　第十八條ノ規定ハ第九十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三條　第十八條ノ規定ハ第百條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四條　第十八條ノ規定ハ第百一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五條　第十八條ノ規定ハ第百二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六條　第十八條ノ規定ハ第百三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七條　第十八條ノ規定ハ第百四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八條　第十八條ノ規定ハ第百五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九條　第十八條ノ規定ハ第百六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百十條　第十八條ノ規定ハ第百七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百十一條　第十八條ノ規定ハ第百八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百十二條　第十八條ノ規定ハ第百九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百十三條　第十八條ノ規定ハ第百十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百十四條　第十八條ノ規定ハ第百十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百十五條　第十八條ノ規定ハ第百十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百十六條　第十八條ノ規定ハ第百十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百十七條　第十八條ノ規定ハ第百十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百十八條　第十八條ノ規定ハ第百十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百十九條　第十八條ノ規定ハ第百十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十條　第十八條ノ規定ハ第百十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十一條　第十八條ノ規定ハ第百十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十二條　第十八條ノ規定ハ第百十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十三條　第十八條ノ規定ハ第百二十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十四條　第十八條ノ規定ハ第百二十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十五條　第十八條ノ規定ハ第百二十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十六條　第十八條ノ規定ハ第百二十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十七條　第十八條ノ規定ハ第百二十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十八條　第十八條ノ規定ハ第百二十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十九條　第十八條ノ規定ハ第百二十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十條　第十八條ノ規定ハ第百二十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十一條　第十八條ノ規定ハ第百二十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十二條　第十八條ノ規定ハ第百二十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十三條　第十八條ノ規定ハ第百三十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十四條　第十八條ノ規定ハ第百三十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十五條　第十八條ノ規定ハ第百三十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十六條　第十八條ノ規定ハ第百三十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十七條　第十八條ノ規定ハ第百三十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十八條　第十八條ノ規定ハ第百三十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十九條　第十八條ノ規定ハ第百三十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十條　第十八條ノ規定ハ第百三十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十一條　第十八條ノ規定ハ第百三十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十二條　第十八條ノ規定ハ第百三十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十三條　第十八條ノ規定ハ第百四十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十四條　第十八條ノ規定ハ第百四十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十五條　第十八條ノ規定ハ第百四十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十六條　第十八條ノ規定ハ第百四十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十七條　第十八條ノ規定ハ第百四十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十八條　第十八條ノ規定ハ第百四十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十九條　第十八條ノ規定ハ第百四十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十條　第十八條ノ規定ハ第百四十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十一條　第十八條ノ規定ハ第百四十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十二條　第十八條ノ規定ハ第百四十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十三條　第十八條ノ規定ハ第百五十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十四條　第十八條ノ規定ハ第百五十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十五條　第十八條ノ規定ハ第百五十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十六條　第十八條ノ規定ハ第百五十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十七條　第十八條ノ規定ハ第百五十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十八條　第十八條ノ規定ハ第百五十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十九條　第十八條ノ規定ハ第百五十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十條　第十八條ノ規定ハ第百五十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十一條　第十八條ノ規定ハ第百五十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十二條　第十八條ノ規定ハ第百五十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十三條　第十八條ノ規定ハ第百六十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十四條　第十八條ノ規定ハ第百六十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十五條　第十八條ノ規定ハ第百六十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十六條　第十八條ノ規定ハ第百六十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十七條　第十八條ノ規定ハ第百六十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十八條　第十八條ノ規定ハ第百六十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十九條　第十八條ノ規定ハ第百六十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十條　第十八條ノ規定ハ第百六十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十一條　第十八條ノ規定ハ第百六十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十二條　第十八條ノ規定ハ第百六十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十三條　第十八條ノ規定ハ第百七十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十四條　第十八條ノ規定ハ第百七十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十五條　第十八條ノ規定ハ第百七十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十六條　第十八條ノ規定ハ第百七十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十七條　第十八條ノ規定ハ第百七十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十八條　第十八條ノ規定ハ第百七十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十九條　第十八條ノ規定ハ第百七十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十條　第十八條ノ規定ハ第百七十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十一條　第十八條ノ規定ハ第百七十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十二條　第十八條ノ規定ハ第百七十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十三條　第十八條ノ規定ハ第百八十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　第十八條ノ規定ハ第百八十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十五條　第十八條ノ規定ハ第百八十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十六條　第十八條ノ規定ハ第百八十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十七條　第十八條ノ規定ハ第百八十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十八條　第十八條ノ規定ハ第百八十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十九條　第十八條ノ規定ハ第百八十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十條　第十八條ノ規定ハ第百八十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十一條　第十八條ノ規定ハ第百八十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十二條　第十八條ノ規定ハ第百八十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十三條　第十八條ノ規定ハ第百九十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十四條　第十八條ノ規定ハ第百九十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十五條　第十八條ノ規定ハ第百九十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十六條　第十八條ノ規定ハ第百九十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十七條　第十八條ノ規定ハ第百九十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十八條　第十八條ノ規定ハ第百九十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十九條　第十八條ノ規定ハ第百九十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百條　第十八條ノ規定ハ第百九十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百一條　第十八條ノ規定ハ第百九十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二條　第十八條ノ規定ハ第百九十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三條　第十八條ノ規定ハ第二百條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四條　第十八條ノ規定ハ第二百一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百五條　第十八條ノ規定ハ第二百二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百六條　第十八條ノ規定ハ第二百三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百七條　第十八條ノ規定ハ第二百四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百八條　第十八條ノ規定ハ第二百五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百九條　第十八條ノ規定ハ第二百六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十條　第十八條ノ規定ハ第二百七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十一條　第十八條ノ規定ハ第二百八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十二條　第十八條ノ規定ハ第二百九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十三條　第十八條ノ規定ハ第二百十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十四條　第十八條ノ規定ハ第二百十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十五條　第十八條ノ規定ハ第二百十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十六條　第十八條ノ規定ハ第二百十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十七條　第十八條ノ規定ハ第二百十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十八條　第十八條ノ規定ハ第二百十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十九條　第十八條ノ規定ハ第二百十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十條　第十八條ノ規定ハ第二百十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十一條　第十八條ノ規定ハ第二百十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十二條　第十八條ノ規定ハ第二百十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十三條　第十八條ノ規定ハ第二百二十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十四條　第十八條ノ規定ハ第二百二十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十五條　第十八條ノ規定ハ第二百二十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十六條　第十八條ノ規定ハ第二百二十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十七條　第十八條ノ規定ハ第二百二十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十八條　第十八條ノ規定ハ第二百二十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十九條　第十八條ノ規定ハ第二百二十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十條　第十八條ノ規定ハ第二百二十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十一條　第十八條ノ規定ハ第二百二十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十二條　第十八條ノ規定ハ第二百二十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十三條　第十八條ノ規定ハ第二百三十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十四條　第十八條ノ規定ハ第二百三十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十五條　第十八條ノ規定ハ第二百三十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十六條　第十八條ノ規定ハ第二百三十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十七條　第十八條ノ規定ハ第二百三十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十八條　第十八條ノ規定ハ第二百三十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十九條　第十八條ノ規定ハ第二百三十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十條　第十八條ノ規定ハ第二百三十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十一條　第十八條ノ規定ハ第二百三十八條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十二條　第十八條ノ規定ハ第二百三十九條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十三條　第十八條ノ規定ハ第二百四十條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十四條　第十八條ノ規定ハ第二百四十一條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十五條　第十八條ノ規定ハ第二百四十二條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十六條　第十八條ノ規定ハ第二百四十三條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十七條　第十八條ノ規定ハ第二百四十四條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十八條　第十八條ノ規定ハ第二百四十五條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十九條　第十八條ノ規定ハ第二百四十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十條　第十八條ノ規定ハ第二百四十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十

ス

第七十二條　受託者ノ任務カ死亡、破産、禁治産、準禁治産又ハ裁判所若ハ主務官廳ノ解任命令ニ因リテ終了シタルトキハ前條ノ任務カ新受託者又ハ他ノ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得受託者タル法人ノ任務カ解散ニ因リテ終了シタルトキ亦同シ

第七十三條　信託ノ登錄申請書ニハ第十七條ニ掲ケル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　委託者、受託者、受益者及信託管理人ノ氏名又ハ名稱及住所

二　信託ノ目的

三　信託財産ノ管理方法

四　信託終了ノ事由

五　其ノ他信託ノ條項

前項ニ掲ケル事項ハ鑛業信託原簿ニ之ヲ登錄スヘシ

第七十四條　裁判所カ信託管理人ヲ選任シ又ハ解任シタルトキハ遲滯ナク鑛業信託原簿ノ登錄ヲ囑託スヘシ主務官廳カ信託管理人ヲ選任シタルトキ亦同シ

第七十五條　前條ノ規定ハ裁判所又ハ主務官廳カ受託者ヲ解任シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十六條　裁判所カ信託財産ノ管理方法ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク鑛業信託原簿ノ登錄ヲ囑託スヘシ

前項ノ規定ハ主務官廳カ信託ノ條項ヲ變更シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十七條　第七十一條又ハ第七十二項ノ場合其ノ他鑛業信託原簿ノ記載事項ニ關シ鑛業原簿ニ變更ノ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ職權ヲ以テ鑛業信託原簿ニ之カ登錄ヲ爲スヘシ

第七十八條　第七十一條、第七十二條及第七十四條乃至第七十六條ノ場合ヲ除クノ外第七十三條第一項ニ掲ケル事項ノ變更ノ登錄ハ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得此場合ニ於テハ其ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

受益者又ハ受託者ハ受託者ニ代位シテ前項ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ代位登錄ノ申請ニ付之ヲ準用ス

第七十九條　第七十五條ニ規定スル登錄ヲ爲シタルトキハ職權ヲ以テ鑛業原簿ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第八十條　信託財産ニ屬スル鑛業權カ移轉ニ因リテ信託財産ニ屬セサルニ至リタル場合ニ於テ爲スヘキ信託登錄抹消ノ申請ハ移轉登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ハ信託ノ終了ニ因リ信託財産ニ屬スル鑛業權カ移轉シタル場合ニ之ヲ準用ス

第八十一條　第四條第二項、第二十四條第四項及第五項並ニ第六十七條乃至前條ノ規定ハ鑛業權ヲ目的トスル抵當權ノ信託ノ登錄ニ付之ヲ準用ス

第四章　假登錄及豫告登錄

第八十二條　鑛業權ノ移轉又ハ抵當權ノ設定、移轉、變更若ハ消滅ニ關シ請求權ヲ保全セムトスル者ハ假登錄ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第八十三條　假登錄ハ次條ノ場合ヲ除クノ外假登錄權利者ノ申請ニ因リ其ノ目的タル鑛區ノ所在地ヲ管轄スル地方法院ヨリ囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添附シテ囑託スヘシ

前項ノ假處分命令ハ假登錄權利者カ假登錄原因ヲ疏明シタルトキハ地方法院之ヲ發スヘシ

申請ヲ却下シタル決定ニ對シテハ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ卽時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第八十四條　假登錄ハ假登錄義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書ヲ添附シテ假登錄權利者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第八十五條　假登錄ハ登錄用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲スヘシ

第八十六條　假登錄ハ登錄原因ノ無效又ハ取消ニ因ル登錄ノ抹消又ハ回復ノ訴訟ノ提起アリタル場合ニ於テ之ヲ爲スヘシ但シ登錄原因ノ無效又ハ取消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル

第八十九條　豫告登錄ハ前條ニ掲ケル訴訟ヲ受理シタル地方法院ヨリ囑託書ニ訴狀ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ囑託スヘシ

第九十條　豫告登錄ハ登錄用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲スヘシ

第九十一條　第八十八條ニ掲ケル訴ヲ却下シタル裁判若ハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判カ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付和解アリタルトキハ第一審裁判所ノ裁判ノ謄本若ハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若ハ和解ヲ證スル裁判所書記ノ書面ヲ添附シテ豫告登錄ノ抹消ヲ囑託スヘシ

附　則

第九十二條　本令ハ朝鮮鑛業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第九十三條　本令施行前舊鑛業原簿、砂鑛採取業原簿及タンガステン鑛、水鉛鑛、燐鑛、雲母、石綿ニ關シ土石採取業原簿ニ爲シタル登錄又ハ記載ハ本令ニ依リ爲シタル登錄ト看做シ其ノ登錄又ハ記載中抹消ニ係ラサル事項ハ本令施行後直ニ鑛業原簿ニ之ヲ移記スヘシ

第九十四條　前條ニ依リ移記ヲ爲スニハ舊鑛業原簿、砂鑛採取業原簿、土石採取業原簿ノ順序ニ依リ登錄番號欄ニハ舊鑛業原簿ヨリ移記シタルモノニ在リテハ舊番號ヲ記載シ其ノ他ノモノニ在リテハ舊簿ニ登錄又ハ記載シタル順序ニ依リ新ニ番號ヲ附シ第二十四條ノ區分ニ從ヒ相當欄ニ記載ヲ爲シ且舊原簿第何册第何丁ヨリ移シタル旨ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ニ依リ表示欄及事項欄ニ記載ヲ爲ストキハ其ノ記載ノ順序ニ依リ新ニ表示番號及順位番號ヲ附スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ新ニ附シタル登錄番號ハ朝鮮總督府官報ニ公告シ且鑛業權者ニ通知スヘシ

第九十五條　鑛業原簿ニ移記ヲ了リタルトキハ舊原簿ノ表示欄登白ニ鑛業原簿第何册第何丁ニ移記シタル旨ヲ記載シ其ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

第九十六條　本令施行前登錄ニ關シ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第九十七條　本令ニ依リ始メテ鑛業權設定ノ登錄ヲ爲ス場合ニ於ケル登錄番號ハ第九十四條ニ依リ附シタル登錄番號ヲ追ヒテ之ヲ附スヘシ

第九十八條　朝鮮鑛業令第六十條及第六十二條ノ鑛業權カ期限ノ到來ニ因リ消滅シタルトキハ鑛業權ヲ以テ鑛業權消滅ノ登錄ヲ爲スヘシ

第九十九條　朝鮮鑛業令第六十二條ニ規定スル高嶺土又ハ硅砂ノ鑛業權ヲ有スル者ハ本令施行ノ日ヨリ六十日內ニ許可書及圖面ヲ添附シ鑛業權設定ノ登錄ヲ申請スヘシ

第百條　鑛業權者又ハ抵當權者ハ本令施行後二月內ニ第十六條ニ規定スル印鑑ヲ提出スヘシ但シ印鑑提出前登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ之ヲ添附スヘシ

附　則（昭和三年七月總令第四十二號）

本令ハ昭和三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年十一月總令第百四十八號）

本令ハ和等六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和八年一月總令第十一號）

本令ハ昭和八年二月十六日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ鑛業原簿ニ登錄セラレタルモノト看做ス

第一號樣式

表

鑛業原簿　第何册

朝鮮總督府

裏

紙數表紙ヲ除キ　枚

朝鮮總督府農商工部長官

年月日　何某印

甲

登錄番號	表示番號	表示欄	表示番號	表示欄	表示番號	表示欄

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄

鑛業原簿　丁　朝鮮總督府

乙

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄

鑛業原簿　丁　朝鮮總督府

丙

第二號樣式

表紙

何年

登錄受附簿　第何册

朝鮮總督府

受附ノ年月日	受附番號	登錄ノ目的	申請人ノ氏名	備考

第三號樣式

（用紙厚紙竪五寸横一寸）

㊞

印

鑛

住所

氏名

何年何月何日生

（注意）
一、会社ノ代表者ナルトキハ氏名ノ肩ニ会社ノ營業所ノ所在地、会社ノ商號及代表者ノ資格ヲ記載スヘシ

一、会社ノ代表者ニ非サル者ハ鑛業ニ關スル一切ノ行爲ニ付キ会社ヲ代表スルコトヲ得ス

一、鑛業ニ關スル一切ノ行爲ニ付キ会社ヲ代表スル者ハ其ノ資格ヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

一、鑛業ニ關スル一切ノ行爲ニ付キ会社ヲ代表スル者ハ其ノ住所ヲ管轄スル鑛務署ニ代理人ヲ選任シ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

一、代理人ヲ選任シタルトキハ其ノ資格ヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

一、代理人ヲ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

一、代理人ノ住所ヲ變更

ノ鐵業實習生採用願ニ履歴書及醫師ノ身體檢査書ヲ添附シ燃料選鑛研究所長ニ差出スヘシ

第六條　實習生トシテ採用セラレタル者ハ様式第二號ノ誓約書ヲ差出スヘシ

第七條　實習生ノ實習期間ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル但シ時宜ニ依リ之ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第八條　實習生ニシテ疾病ニ因ルノ外自己ノ便宜ニ依リ退所セントスルトキ又ハ不都合ノ所爲ニ依リ退所ヲ命セラレタルトキハ實習中給與シタル月手當ノ全部又ハ一部ヲ償還セシムルコトアルヘシ

第九條　實習ヲ終了シタルトキハ修了證書ヲ授與ス

第十條　現ニ鐵業ニ從事スル者ニシテ燃料選鑛研究所ニ於テ特種ノ技術ヲ修習セントスル者アルトキハ燃料選鑛研究所長ハ之ヲ許可スルコトヲ得

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ用品實費トシテ修習期間三十日又ハ其ノ端數毎ニ十圓ヲ納付スヘシ

第十一條　實習及修習ニ關スル細目ハ燃料選鑛研究所長之ヲ定ム

様式第一號

鐵業實習生採用願

私儀貴所實習生志願ニ付採用相成度別紙履歴書及身體檢査書相添此段及御願候也

本籍
現住所
戸主トノ續柄

年　月　日　　氏　名印

燃料選鑛研究所長殿

様式第二號

誓約書

私儀今般實習生ニ採用相成候ニ付テハ諸規則命令等堅ク遵守可致此段誓約候也

本籍
現住所

年　月　日　　本人氏　名印　年　月　日生

右何某實習生ニ御採用相成候ニ付テハ同人ニ係ル一切ノ件ハ拙者ニ於テ引受可申候也

本籍
現住所

年　月　日　　右保證人　氏　名印　年　月　日生

（注意）保證人ハ獨立ノ生計ヲ營ム二十五年以上ノ男子ニシテ朝鮮内ニ居住スル者ニ限ル

●燃料選鑛研究所分析、試驗及鑑定規則

昭和七年四月
總令第四十二號

燃料選鑛研究所分析、試驗及鑑定規則左ノ通定ム

燃料選鑛研究所分析、試驗及鑑定規則

第一條　朝鮮總督府燃料選鑛研究所ニ分析、試驗又ハ鑑定ノ依頼ヲ爲サントスル者ハ第一號乃至第三號様式ノ依頼書ニ現品ヲ添ヘ差出スヘシ

前項ノ依頼ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第二條　前條ノ規定ニ依リ分析、試驗又ハ鑑定ノ依頼ヲ爲サントスル者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムヘシ

一　定性分析　　毎一件一成分一圓、一成分ヲ增ス毎ニ五十錢ヲ加フ

二　定量分析　　毎一件一成分二圓、一成分ヲ增ス毎ニ五十錢ヲ加フ

三　耐火度又ハ比重ノ測定試驗　一箇二圓、一箇ヲ增ス毎ニ五十錢ヲ加フ

四　實驗室ニ於ケル選鑛及製錬試驗　毎一件十圓

五　工場設備ノ運轉ヲ要スル選鑛及製錬試驗　鐵石一噸五圓

六　熔鑛爐ノ使用ヲ要スル乾式製錬試驗　鐵石一噸十圓

七　青化製錬ニ依リ生産シタル亞鉛澱物ヲ處理シテ粗金ヲ製出スル試驗　亞鉛澱物五瓲二圓、五瓲以内ヲ增ス毎ニ一圓ヲ加フ

八　選鑛製錬又ハ分析ニ關スル器具機械ノ試驗又ハ鑑定　毎一件二圓

九　石炭類燃燒器具ノ試驗又ハ鑑定　毎一件十圓

前項ニ揭グルモノノ外特種ノ試驗又ハ鑑定ニ關スル手數料ニ付テハ同項ノ規定ニ準ジ燃料選鑛研究所長之ヲ定ム

第三條　分析、試驗又ハ鑑定ヲ通常ノ依頼ニ先チ急速ニ若ハ日時ヲ限リ施行スルコトヲ依頼スル者又ハ立會分析ノ施行ノ依頼ヲ爲ス者ハ前條ニ定ムル額ノ二倍ノ手數料ヲ納ムヘシ

第四條　燃料選鑛研究所長試驗又ハ鑑定ノ爲必要アリト認ムルトキハ依頼者ニ器具機械又ハ材料ヲ提供セシムルコトアルヘシ

第五條　分析、試驗又ハ鑑定ノ爲差出スヘキ現品ノ分量左ノ如シ

一　第二條第一項第一號乃至第三號ノ分析又ハ試驗　百五以上

二　同項第四號ノ試驗　四瓲以上

三　同項第五號及第六號ノ試驗　十瓲以上百瓲以内

四　同項第七號ノ試驗　五瓲以上

燃料選鑛研究所長必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ更ニ相當分量ノ現品ヲ差出サシムルコトヲ得

第一項ニ揭グル以外ノ試驗又ハ鑑定ノ爲差出スヘキ現品ノ分量ニ付テハ燃料選鑛研究所長之ヲ指定ス

第六條　分析、試驗又ハ鑑定ノ結果ニ付テハ其ノ報告書ヲ依頼者ニ交付ス

第七條　分析、試驗又ハ鑑定ノ依頼ヲ爲ス者其ノ分析、試驗又ハ鑑定ノ報告書ノ副本ヲ請求セントスルトキハ用紙一枚毎ニ十錢ノ手數料ヲ納ムヘシ

第八條　燃料選鑛研究所ノ試驗設備ヲ使用シ試驗ヲ爲サントスル者ハ第四號様式ノ願書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ニ依ル試驗設備ノ使用料ハ月三十圓トス

第九條　前條第一項ノ規定ニ依ル試驗設備ノ使用ニ關シ必要ナル事項ハ燃料選鑛研究所長之ヲ定ム

第十條　手數料及使用料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

收入印紙ノ消印ハ燃料選鑛研究所ニ於テ之ヲ押捺ス

第十一條　分析、試驗又ハ鑑定ノ爲差出シタル現品ノ之ヲ還付セズ但シ第二條第一項第八號及第九號ノ試驗及鑑定ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條第一項第四號乃至第七號ノ試驗ニ依ル製出品ハ依頼者ニ還付

前二項ノ規定ニ依リ還付スヘキ現品又ハ製出品ノ還付ニ要スル費用ハ依頼者ノ負擔トス

第十二條　本令ノ手數料及使用料ハ官廳ノ請求ニ係ルモノニ付テハ之ヲ徵收セズ

附　則

本令ハ昭和七年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛物ノ選鑛製錬依託試驗規則ハ之ヲ廢止ス

從前ノ規定ニ依リ分析又ハ試驗ノ依頼ヲ爲シタルモノニ付テハ仍舊令ニ依ル

第一號様式

收入印紙

分析依頼書

一　品名
二　産地
三　定性又ハ定量又ハスペキ物質名
四　貼附シタル收入印紙ノ額

右分析及依頼候也

年　月　日

住所
依頼者　氏　名㊞

燃料選鑛研究所長宛

第二號様式

收入印紙

試驗依頼書

一　品名
二　供試品産地
三　試驗ノ項目
四　差出シタル現品ノ數量
五　貼附シタル收入印紙ノ額

右試驗及依頼候也

年　月　日

住所
依頼者　氏　名㊞

燃料選鑛研究所長宛

第三號様式

收入印紙

試驗（鑑定）依頼書（第二條第八號又ハ第九號ノ場合）

一　品名
二　製造地名及製造者名
三　試驗又ハ鑑定スベキ事項ノ要領
四　貼附シタル收入印紙ノ額

右試驗（鑑定）及依頼候也

年　月　日

住所
依頼者　氏　名㊞

燃料選鑛研究所長宛

第四號樣式

敎　人
印　紙

試驗設備使用願

一、使用ノ目的
二、使用ノ期間
三、使用者ノ住所氏名

右試驗設備使用致度ニ付御許可相成度使用者ノ履歷書相添及願候也

年　月　日

住所
願人　氏名　㊞

燃料選鑛研究所長宛

●石油業法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

昭和九年六月
勅令第百九十八號

朕石油業法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

石油業法

第一條　石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營マントスル者ハ政府ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ石油精製業及石油輸入業ノ範圍竝ニ許可ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ政府ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第三條　石油精製業又ハ石油輸入業ノ全部又ハ一部ヲ讓渡シ、廢止シ又ハ休止セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クベシ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社合併ヲ爲シ又ハ解散セントスルトキ亦同シ

第四條　石油ノ輸入ヲ石油精製業者ガ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合ヲ除クノ外石油輸入業者ニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ勅令ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ石油ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ者ノ輸入數量ヲ標準トシテ算定シタル數量ノ石油ヲ常時保有スベシ

第六條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ其ノ所有スル石油ヲ政府ガ命令ノ定ムル所ニ依リ時價ヲ標準トシテ賣入セントスルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第七條　政府ハ公益上必要アリト認ムルトキハ石油精製業者又ハ石油輸入業者ニ對シ石油ノ販賣價格ノ變更、石油供給量ノ確保其ノ他石油ノ需給ヲ調節スル爲必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

政府ハ公益上必要アリト認ムルトキハ石油精製業者又ハ石油輸入業者ニ對シ石油ノ保有ニ關シ必要ナル事項ハ商工大臣之ヲ定ム

第七條　石油業法第五條ノ規定ニ依ル石油ノ保有ハ命令ヲ以テ定ムル容量以上ノ石油タンクニ依リ之ヲ爲スベシ但シ商工大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

陸軍大臣、海軍大臣又ハ商工大臣軍事上其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ石油ノ保有ノ場所ヲ指定スルコトヲ得

第八條　政府ハ軍事上其ノ他公益上緊急ノ必要アルトキハ石油業法第六條ノ規定ニ依リ石油精製業者又ハ石油輸入業者ノ所有スル石油ヲ購入スルコトヲ得

前項ノ石油ノ購入ニ付テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

第九條　陸軍大臣又ハ海軍大臣軍事上必要アリト認メ石油業法第七條ノ命令又ハ第七條第二項ノ指定ヲ爲サントスルトキハ商工大臣ト協議スベシ

商工大臣石油業法第七條ノ命令又ハ第七條第二項ノ指定ヲ爲サントスル場合ニ於テ其ノ命令又ハ指定ガ軍事上ニ影響ヲ及ボスベキモノナルトキハ陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ協議スベシ

第十條　本令中商工大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トス

附　則

本令ハ石油業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ石油業法施行規則第一條ノ規定ニ依ル石油精製業又ハ石油輸入業ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ石油業法施行ノ際現ニ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日ヨリ之ヲ本法ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

本法施行ノ際輸入ノ爲輸送ノ途ニ在ル石油又ハ本法施行前注文ヲ發シタル石油ヲ輸入セントスル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ政府ニ屆出デタルトキハ第四條ノ規定ニ拘ラズ輸入ヲ爲スコトヲ得

第五條ノ規定ハ本法施行後六月間之ヲ適用セズ

（昭和九年六月勅令第百九十五號ヲ以テ昭和九年七月一日ヨリ施行）

●石油業法施行令

昭和九年六月
勅令第百九十六號

朕石油業法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

石油業法施行令

第一條　石油業法第一條ノ石油精製業ハ鑛物性ノ原料油（含油層ト將接ノ關係アル可燃質天然瓦斯ヲ含ム）ヨリ鑛物性ノ揮發油、燈油、輕油、機械油又ハ重油ヲ精製スル事業ヲ謂フ

石油業法第一條ノ石油輸入業ハ石油精製業者ニ對シ石油ノ賣渡ヲ爲ス事業ヲ謂フ

石油業法第一條ノ石油精製業者ガ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合ヲ除クノ外石油輸入業者ニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ勅令ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

石油業法第一條ノ石油精製業者又ハ石油輸入業者ニ對シ石油ノ販賣價格ノ變更、石油供給量ノ確保其ノ他石油ノ需給ヲ調節スル爲必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條　石油業法第二條ノ規定ニ依ル石油精製業ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　精製工場ノ名稱及所在地
二　精製設備及精製能力
三　貯藏設備及貯藏能力竝ニ貯藏設備ノ所在地
四　原料油ノ種類及產地
五　主要製品ノ種類
六　事業開始ノ豫定時期

前項ノ許可申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

一　精製ノ方法
二　原料油ノ取得方法
三　工場及設備ノ工事費概算
四　工場及設備ノ工事計畫ノ概要（設計圖ヲ添附スベシ）
五　事業資金ノ總額及其ノ調達方法
六　生產及販賣ノ豫定計畫
七　事業收支ノ見込
八　法人ニ在リテハ其ノ定款、組合ニ在リテハ其ノ組合契約

第二條　石油輸入業ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル許可申請書ニ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　營業所又ハ事務所ノ名稱及所在地
二　石油ノ種類及產地
三　輸入地
四　貯藏設備及貯藏能力竝ニ貯藏設備ノ所在地
五　事業開始ノ豫定時期

前項ノ申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

一　輸入方法
二　輸入及販賣ノ豫定計畫
三　前條第二項第三號乃至第五號、第七號及第八號ニ揭グル事項

第三條　第一條第一項各號及前條第一項各號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第四條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ每年一月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間ノ事業計畫ヲ定メ其ノ前年九月三十日迄ニ認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第五條　石油精製業ノ事業計畫認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　事業計畫ノ概要
二　精製設備及貯藏設備ノ改良計畫
三　操業計畫ノ概要
四　原料油又ハ燃料用重油ノ輸入數量
五　原料油及燃料用重油ノ使用數量竝ニ年始及年末ノ在庫數量
六　生產數量及販賣數量竝ニ年始及年末ノ在庫數量
七　收支豫算

第六條　石油輸入業ノ事業計畫認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　事業計畫ノ概要
二　貯藏設備ノ改良計畫
三　販賣數量竝ニ年始年末ノ在庫數量
四　收支豫算

第七條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ事業ヲ開始シタルトキハ十四日內ニ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第八條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ石油ヲ輸入セントスルトキハ其ノ都度其ノ種類、種別、數量、價格、積出地、輸入地、積載船名（汽車ニ依ル場合ニ在リテハ列車番號）及輸入ノ年月日ヲ豫メ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ但シ石油業法施行令第五條ニ揭グル石油ヲ輸入セントスルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ每月十五日迄ニ前月中ノ石油ノ購入又ハ輸入數量、處理數量、生產數量、販賣數量及月末在庫數量ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第十條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ每

石油業法第一條ノ石油輸入業ハ鑛物性ノ揮發油、燈油、輕油、機械油、重油又ハ原油ヲ輸入スル事業トス但シ鑛、樺其ノ他之ニ準ズル容器ニ入レタル鑛物性ノ燈油、輕油又ハ機械油ノミヲ輸入スル事業ヲ除ク

第二條　石油業法第一條ノ石油精製業ノ許可ハ石油精製工場每ニ之ヲ爲スモノトス

石油精製工場ニシテ輸入シタル原料油ノ精製ヲ爲スモノハ一基ニ付一年五萬キロリツトル以上ノ原料油處理能力ヲ有スル直溜裝置及一基ニ付一年二萬五千キロリツトル以上ノ原料油處理能力ヲ有スル分解蒸溜裝置ヲ備ヘ又ハ一基ニ付一年五萬キロリツトル以上ノ原料油處理能力ヲ有スル分解蒸溜裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第三條　商工大臣ハ石油ノ需要供給ヲ參酌シ石油業ノ健全ナル發達ニ支障アリト認ムルトキハ石油業法第一條ノ石油精製業又ハ石油輸入業ノ許可ヲ爲サザルコトヲ得

第四條　石油業法第四條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ニ非ザレバ輸入ヲ爲スコトヲ得ザル石油ノ種類ハ鑛物性ノ揮發油、燈油、輕油、機械油、重油及原油トシテ同條ノ規定ニ依リ石油精製業者ノ輸入ヲ爲スコトヲ得ル石油ノ種類ハ鑛物性ノ重油及原油トス

第五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル石油ヲ輸入シ又ハ石油輸入業者ヲシテ輸入セシムル場合ニ於テハ其ノ輸入ニ係ル石油ニ付テハ石油業法第五條ノ規定ニ依ル石油ノ保有ヲ爲スベキ數量ヲ標準トシテ算定シタル數量ノ石油ヲ常時保有スベシ

一　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業者ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

二　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業者ノ石油精製業ノ休止又ハ廢止ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

三　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業者ノ石油精製業ノ一部ヲ讓渡スニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

四　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業者ノ石油精製業ノ全部又ハ一部ヲ讓渡シ又ハ其ノ石油精製業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

五　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業者ノ石油精製業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

六　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業者ノ石油精製業ノ廢止ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

七　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業者ノ石油精製業ヲ營ム會社ノ解散ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

八　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業者ノ石油精製業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

九　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業者ノ石油精製業ヲ營ム會社ノ解散ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

十　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業者ノ石油精製業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

十一　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

十二　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

十三　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

十四　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

十五　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

十六　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

十七　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

十八　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

十九　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

二十　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

二十一　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

二十二　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

二十三　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

二十四　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

二十五　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

二十六　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

二十七　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

二十八　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

二十九　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

三十　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

三十一　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

三十二　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

三十三　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

三十四　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

三十五　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

三十六　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

三十七　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

三十八　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

三十九　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

四十　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

四十一　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

四十二　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

四十三　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

四十四　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

四十五　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

四十六　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

四十七　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

四十八　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

四十九　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

五十　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

五十一　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

五十二　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

五十三　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

五十四　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

五十五　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

五十六　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

五十七　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

五十八　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

五十九　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

六十　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

六十一　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

六十二　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

六十三　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

六十四　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

六十五　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

六十六　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

六十七　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

六十八　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

六十九　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

七十　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

七十一　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

七十二　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

七十三　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

七十四　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

七十五　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

七十六　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

七十七　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

七十八　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

七十九　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

八十　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

八十一　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

八十二　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

八十三　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

八十四　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

八十五　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

八十六　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

八十七　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

八十八　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

八十九　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

九十　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

九十一　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

九十二　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

九十三　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

九十四　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

九十五　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

九十六　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

九十七　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

九十八　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

九十九　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

百　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

百一　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

百二　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

百三　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

百四　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

百五　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ必要ナル石油ヲ輸入スル場合

百六　政府ノ許可ヲ受ケタル石油精製業又ハ石油輸入業者ノ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム會社ノ合併ニ伴ヒ其ノ精製ニ

ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第十六條　石油業法施行令第六條ノ規定ニ依リ石油精製業者又ハ石油輸入業者ノ保有スベキ石油ノ數量ハ左ノ數量トス

一　四月一日ヨリ九月三十日迄（前期保有期間）ハ前年一月一日ヨリ十二月三十一日迄（前期引取期間）ノ間ニ稅關ノ免許又ハ認許ヲ得テ引取リタル數量ノ二分ノ一以上ニ相當スル數量

二　十月一日ヨリ翌年三月三十一日迄（後期保有期間）ハ前年ノ七月一日ヨリ其ノ年ノ六月三十日迄（後期引取期間）ノ間ニ稅關ノ免許又ハ認許ヲ得テ引取リタル數量ノ二分ノ一以上ニ相當スル數量

石油業法施行令第五條第一號乃至第三號ニ揭グル石油ノ數量ハ前項ノ稅關ノ免許又ハ認許ヲ得テ引取リタル數量ノ計算ニ付之ヲ算入セズ

第十七條　石油業法施行令第六條ノ規定ニ依リ石油精製業者又ハ石油輸入業者ノ保有スベキ石油ハ左ノ種別ニ從ヒ前條ノ引取期間内ニ其ノ者ノ引取リタル貨物性ノ揮發油、重油若ハ原油又ハ之ト同等以上ノ品質ヲ有スルモノトス

一　揮發油

第一種　攝氏十五度ノ時ニ於ケル比重〇・七四二八ヲ超エザルモノ

第二種　攝氏十五度ノ時ニ於ケル比重〇・七四二八ヲ超エ〇・八〇一七ヲ超エザルモノ

二　重油及原油

劃溫蒸餾法ニ依リ攝氏二百七十五度ニ至ル間ニ於テ蒸溜スル液ノ原液ノ容量ニ對スル百分率

第一種　四十ヲ超ユルモノ

第二種　四十ヲ超エザルモノ

第十八條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ毎保有期間開始ノ二月前迄ニ當該保有期間中保有スベキ石油ノ種別及數量、石油ノ保有ノ場所竝ニ石油タンクノ容量及基數ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ届出ヅベシ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ別記樣式ニ依ル

第十九條　石油業法施行令第七條第一項ノ石油タンクノ容量ハ一基ニ付原油及重油ニ在リテハ千キロリツトル以上、揮發油ニ在リテハ第一種ハ百キロリツトル以上、第二種ハ五百キロリツトル以上トス

第二十條　石油精製業者又ハ石油輸入業者前條ノ容量未滿ノ石油タンクニ依リ石油ノ保有ヲ以テ足レリトスルトキハ其ノ事由、保有スベキ石油ノ種別及數量、石油ノ保有ノ場所竝ニ石油タンクノ容量及基數ヲ具シ許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

石油精製業者又ハ石油輸入業者石油タンクニ依ル保有以外ノ方法ニ依リ石油ノ保有ヲ爲サントスルトキハ其ノ事由、保有スベキ石油ノ種別及數量竝ニ保有ノ方法及場所ヲ具シ許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二十一條　石油業法施行令第六條第一項但書ニ揭グル事由ニ因リ石油ノ保有量ガ第十六條ノ規定ニ依リ保有スベキ數量ヲ下リタルトキハ十四日内ニ其ノ事由及狀況竝ニ減少シタル數量ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

前項ノ場合ニ於テ石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ其ノ事由ノ止ミタル日ヨリ三月内ニ其ノ保有スベキ數量ニ充タザル數量ヲ補充スベシ

朝鮮總督ニ届ムコトヲ得ザル事由アリト認ムルトキハ前項ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第二十二條　石油精製業者又ハ石油輸入業者其ノ事業ノ全部ヲ讓渡シタルトキハ讓渡人ノ輸入シタル石油ハ讓受人ノ保有スベキ石油ノ計算ニ付之ヲ讓受人ノ輸入シタルモノト看做ス石油精製業又ハ石油輸入業者其ノ會社合併ヲ爲シタルトキ亦同ジ

第二十三條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ石油ノ保有ノ場所毎ニ帳簿ヲ備ヘ毎日左ノ事項ヲ記載シ其ノ寫ヲ毎月取纏メ其ノ翌月十日迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　搬入數量

二　搬出數量

三　保有量

第二十四條　石油業法第十條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第二十五條　第一條、第三條、第七條、第十二條及第十五條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第十三條及第十四條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ提出スベキ書類竝ニ第二條、第三條、第七條及第十二條乃至第十五條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

附　則

第二十六條　本令ハ昭和九年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十七條　本令施行ノ際現ニ石油精製業ヲ營ム者ハ本令施行後二月内ニ左ノ事項ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　第一條第一項第一號乃至第五號ニ揭グル事項

二　第一條第二項第一號、第二號、第六號及第八號ニ揭グル事項

三　事業ヲ開始シタル時期

四　本令施行前一年間ニ於ケル原料油及燃料用重油ノ使用數量及輸入數量

五　本令施行前一年間ニ於ケル生産數量及販賣數量竝ニ販賣價格

六　本令施行ノ日ニ於ケル石油ノ貯藏數量竝ニ貯藏ノ場所及方法

七　最近一年間ノ收支決算（法人ニ在リテハ最近ノ二營業期ノ財産目錄、貸借對照表、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書面）

第二十八條　本令施行ノ際現ニ石油輸入業ヲ營ム者ハ本令施行後二月内ニ左ノ事項ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　第一條第一項第一號乃至第五號ニ揭グル事項

二　第一條第二項第一號、第二號、第六號及第八號ニ揭グル事項

三　事業ヲ開始シタル時期

四　本令施行前一年間ニ於ケル原料油及燃料用重油ノ使用數量及輸入數量

五　本令施行前一年間ニ於ケル生産數量及販賣數量竝ニ販賣價格

六　本令施行ノ日ニ於ケル石油ノ貯藏數量竝ニ貯藏ノ場所及方法

七　最近一年間ノ收支決算（法人ニ在リテハ最近ノ二營業期ノ財産目錄、貸借對照表、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書面）

第二十九條　本令施行ノ際現ニ石油精製業ヲ營ム者ハ本令施行後二月内ニ左ノ事項ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　第一條第一項第一號乃至第五號ニ揭グル事項

二　第一條第二項第一號、第二號、第六號及第八號ニ揭グル事項

三　事業ヲ開始シタル時期

四　本令施行前一年間ニ於ケル原料油及燃料用重油ノ使用數量及輸入數量

五　本令施行前一年間ニ於ケル生産數量及販賣數量竝ニ販賣價格

六　本令施行ノ日ニ於ケル石油ノ貯藏數量竝ニ貯藏ノ場所及方法

七　最近一年間ノ收支決算（法人ニ在リテハ最近ノ二營業期ノ財産目錄、貸借對照表、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書面）

第三十條　本令施行ノ際現ニ石油輸入業ヲ營ム者ハ本令施行後二月内ニ左ノ事項ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　第一條第一項第一號乃至第五號ニ揭グル事項

二　第一條第二項第一號、第二號、第六號及第八號ニ揭グル事項

三　事業ヲ開始シタル時期

四　本令施行前一年間ニ於ケル原料油及燃料用重油ノ使用數量及輸入數量

五　本令施行前一年間ニ於ケル生産數量及販賣數量竝ニ販賣價格

六　本令施行ノ日ニ於ケル石油ノ貯藏數量竝ニ貯藏ノ場所及方法

七　最近一年間ノ收支決算（法人ニ在リテハ最近ノ二營業期ノ財産目錄、貸借對照表、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書面）

第三十一條　本令施行ノ際現ニ石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營ム者ハ本令施行後二月内ニ其ノ營業ニ關スル帳簿ヲ備ヘ毎日左ノ事項ヲ記載シ其ノ寫ヲ毎月取纏メ其ノ翌月十日迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　搬入數量

二　搬出數量

三　保有量

第三十二條　石油業法第十條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第三十三條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第三十四條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ毎保有期間開始ノ二月前迄ニ當該保有期間中保有スベキ石油ノ種別及數量ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十五條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ毎保有期間開始ノ二月前迄ニ當該保有期間中保有スベキ石油ノ種別及數量ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十六條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ毎保有期間開始ノ二月前迄ニ當該保有期間中保有スベキ石油ノ種別及數量ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十七條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ毎保有期間開始ノ二月前迄ニ當該保有期間中保有スベキ石油ノ種別及數量ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三十八條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ毎保有期間開始ノ二月前迄ニ當該保有期間中保有スベキ石油ノ種別及數量、石油ノ保有ノ場所竝ニ石油タンクノ容量及基數ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ別記樣式ニ依ル

第三十九條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ毎保有期間開始ノ二月前迄ニ當該保有期間中保有スベキ石油ノ種別及數量、石油ノ保有ノ場所竝ニ石油タンクノ容量及基數ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ別記樣式ニ依ル

第四十條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ毎保有期間開始ノ二月前迄ニ當該保有期間中保有スベキ石油ノ種別及數量、石油ノ保有ノ場所竝ニ石油タンクノ容量及基數ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ別記樣式ニ依ル

第四十一條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ毎保有期間開始ノ二月前迄ニ當該保有期間中保有スベキ石油ノ種別及數量、石油ノ保有ノ場所竝ニ石油タンクノ容量及基數ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ別記樣式ニ依ル

第四十二條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ毎保有期間開始ノ二月前迄ニ當該保有期間中保有スベキ石油ノ種別及數量、石油ノ保有ノ場所竝ニ石油タンクノ容量及基數ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ別記樣式ニ依ル

第四十三條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第四十四條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ毎保有期間開始ノ二月前迄ニ當該保有期間中保有スベキ石油ノ種別及數量、石油ノ保有ノ場所竝ニ石油タンクノ容量及基數ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ別記樣式ニ依ル

第四十五條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第四十六條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第四十七條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第四十八條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第四十九條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第五十條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第五十一條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第五十二條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第五十三條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第五十四條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第五十五條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第五十六條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第五十七條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第五十八條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第五十九條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第六十條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第六十一條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第六十二條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第六十三條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第六十四條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第六十五條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第六十六條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第六十七條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第六十八條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第六十九條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第七十條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第七十一條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第七十二條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第七十三條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第七十四條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第七十五條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第七十六條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第七十七條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第七十八條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第七十九條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第八十條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第八十一條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第八十二條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第八十三條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第八十四條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第八十五條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第八十六條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第八十七條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第八十八條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第八十九條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第九十條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第九十一條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第九十二條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第九十三條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第九十四條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第九十五條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第九十六條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第九十七條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第九十八條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第九十九條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第百條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第百一條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第百二條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第百三條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第百四條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第百五條　第二十七條ノ規定ニ依リ石油精製業者ヨリ朝鮮總督ニ届出スベキ書類ハ石油精製工場ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由シ第二十八條ノ規定ニ依リ石油輸入業者ヨリ朝鮮總督

ニ基キテ發スル命令ニ依ル書類ノ送付ヲ爲スコト能ハザルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ公告ヲ爲シタル日ノ翌日ヨリ起算シ三十日ヲ經過シタルトキハ其ノ末日ニ於テ書類ノ到達アリタルモノト看做ス

第五條　本令ニ依ル朝鮮總督ノ職權ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ一部ヲ道知事ニ委任スルコトヲ得

第二章　漁業ノ免許、許可及届出

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ヲ爲サントスル者ハ朝鮮總督ノ免許ヲ受クベシ

一　養殖漁業

二　定置漁業

三　定所集魚漁業

四　定所曳網漁業

五　定所敷網漁業

六　專用漁業

前項ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケタル漁業ヲ爲ス一定ノ水面ヲ漁場ト謂フ

第七條　專用漁業ノ漁業經營上共同ノ利益ヲ增進スル爲必要アル場合ヲ除クノ外之ヲ免許セズ

第八條　第六條第一項ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ヲ受ケタル者ハ漁業權ヲ取得ス

漁業權ノ存續期間ハ免許ノ日ヨリ二十年以内ニ於テ免許ノ際朝鮮總督之ヲ定ム

朝鮮總督ハ漁業權者ノ申請ニ依リ漁業權ノ存續期間滿了ノ日ヨリ二十年以内ニ於テ其ノ期間ノ延長ヲ許可スルコトヲ得

第九條　第六條第一項ノ規定ニ依リ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消スコトヲ得

前項ノ期間中ニハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ漁業ヲ爲サザル期間及前條ノ規定又ハ第三十九條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ之ヲ算入セズ

許可ヲ受ケタル者ハ其ノ漁場ノ一部ヲ廢止シ又ハ其ノ漁場ノ區域ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ヲ爲サントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

一　捕鯨漁業

二　「トロール」漁業（機船（螺旋推進器ヲ備フル船舶以下之ニ同ジ）又ハ帆船ニ依リ「オッタートロール」又ハ「ビームトロール」ヲ使用シテ爲ス漁業

三　工船漁業

四　機船底曳網漁業

五　潛水器漁業

六　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ爲スニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第十一條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ爲スニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ免許シ若ハ許可シタル漁業ヲ制限シ、停止シ又ハ漁業ノ免許若ハ許可ヲ取消スコトヲ得

一　水產動植物ノ蕃殖保護上必要アルトキ

二　國防其ノ他軍事上必要アルトキ

三　船舶ノ航行疏通繁留、水底電線ノ敷設

四　漁業者本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ制限、條件ニ違反シタルトキ

第十三條　免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ニシテ引續キ二年以上之ヲ爲サザルトキハ朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消スコトヲ得

第十四條　第六條第一項又ハ第十條ニ規定スル漁業ニ非ザル漁業ヲ爲サントスル者ハ道知事ニ届出ヅベシ

第三章　漁業權

第十五條　漁業權ハ物權トシ土地ニ關スル規定ヲ準用ス

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第二編第九章ノ規定ニ依リ漁業權及之ヲ目的トスル權利ニ之ヲ適用セズ

第十六條　朝鮮總督ハ漁業權保護ノ爲保護區域ヲ設クルコトヲ得

保護區域内ニ於ケル漁業權ノ行使ノ妨害ト爲ルベキ漁業ノ制限又ハ禁止ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十七條　漁業權ヲ抵當ト爲シタル場合ニ於テ其ノ漁場ニ定著シタル工作物ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第三百七十條ノ規定ノ準用ニ付テハ漁業權ニ附加シタル一個ノ物ト看做ス

第十八條　本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ制限、條件ニ依リ漁業權者ニ生ジタル權利義務ハ漁業權ノ處分ニ從フ朝鮮河川令ニ依ル許可ニ因リテ生ジタル河川ノ占用ニ關スル漁業權者ノ權利義務ニ付亦同シ

第十九條　漁業權ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ分割シ其ノ他變更スルコトヲ得ズ

專用漁業ノ漁業權ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ處分シ、擔保ニ供シ又ハ賃付スルコトヲ得ズ

第二十條　漁業權ハ登錄シタル權利者ノ同意ヲ得ル場合ニ非ザレバ之ヲ抛棄スルコトヲ得ズ

第四章　漁業組合、漁業組合聯合會、水產組合及水產組合聯合會

第二十一條　漁業權ノ共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非ザレバ其ノ持分ヲ處分シ又ハ之ヲ擔保ニ供スルコトヲ得ズ

第二十二條　朝鮮ノ場合ニ於テハ共有者ノ住所又ハ居所ノ不分明ナル場合ニ於テハ共有者ノ住所ノ他ノ事由ニ因リ之ガ同意ヲ求ムルコト能ハザルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ公告ヲ爲シタル日ノ翌日ヨリ起算シ三十日以内ニ異議ノ申立ナキトキハ其ノ末日ニ於テ同意ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十三條　漁業ノ免許ヲ取消シタルトキハ朝鮮總督ハ遲滯ナク之ヲ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ通知スベシ

第二十四條　第十二條第四號及第十三條第一項ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ノ取消アリタル場合ニ於テハ漁業權ニ付登錄シタル先取特權者及抵當權者ハ前條ノ通知ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ起算シ三十日以内ニ漁業權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ競賣ヲ請求シタル場合ニ於テハ漁業權ハ漁業ノ免許ヲ取消シタル日ヨリ競賣ノ手續完結ノ日迄競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續シ競賣ニ依リ得金ハ競賣ノ費用及第一項ノ權利者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス

競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキハ漁業ノ免許ノ取消ハ其ノ效力ヲ生ゼザリシモノト看做ス

第二十五條　專用漁業ノ漁業權者ハ從來ノ慣行ニ依リ其ノ漁場ニ於テ漁業ヲ爲ス者ノ入漁ヲ拒ムコトヲ得ズ

第二十六條　前條ノ漁業權者ハ入漁ヲ爲ス者ニ對シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ入漁料ヲ請求スルコトヲ得但シ別段ノ慣行アル場合ヲ除クノ外入漁料算定ノ基礎ト爲ルベキ期間入漁ヲ爲サザル場合ニ於テハ其ノ入漁ヲ爲サザル期間ニ對スル入漁料ハ之ヲ請求スルコトヲ得ズ

第二十七條　水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業ノ調整ニ關シ必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ免許若ハ許可ニ條件ヲ附シ若ハ既ニ附シタル條件ヲ變更シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第二十八條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十九條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十一條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十二條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十三條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十四條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十五條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十六條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十七條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十八條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十九條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十一條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十二條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十三條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十四條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十五條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十六條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十七條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十八條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十九條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十一條　朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消シ又ハ漁業ノ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

ノ共同使用ノ爲必要アリト認ムルトキハ第二十五條ノ漁業權者及入漁ヲ爲ス者ハ協議ニ依リ其ノ漁場ニ於ケル漁業ニ關スル制限ヲ爲スコトヲ得

漁業權者又ハ入漁ヲ爲ス者前項ノ協議ヲ爲サズ又ハ協議調ハザルトキハ其ノ支拂ヲ完了スルニ至ル迄入漁ヲ爲ス者引續キ三年以上入漁料ノ支拂ヲ怠リタルトキハ其ノ支拂ヲ停止スルコトヲ得

入漁ヲ爲ス者引續キ三年以上入漁料ノ支拂ヲ怠ルタルトキハ漁業權者ハ爾後其ノ入漁ヲ拒ムコトヲ得

第二十九條　第十一條ノ規定ニ依リ專用漁業ノ免許ニ附シタル制限若ハ條件又ハ第十二條第一號乃至第三號ノ規定ニ依ル專用漁業ノ制限若ハ停止ハ入漁ヲ爲ス者ノ入漁ニ附シタル制限、條件又ハ停止ニ之ヲ準用ス

第三十條　漁業權竝ニ之ヲ目的トスル先取特權、抵當權及賃借權ノ設定、保存、移轉、變更、消滅及處分ノ制限竝ニ入漁ニ關スル事項ハ漁業權原簿ニ之ヲ登錄ス

漁業權原簿ノ登錄ハ登記ニ代ルモノトス

登錄ニ關スル規程ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第五章　土地ノ使用

第三十一條　漁業者ハ左ニ掲ゲル目的ノ爲必要アルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ他人ノ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ヲ使用シ又ハ立木竹若ハ土石ノ除去ヲ制限スルコトヲ得

一　漁場標識ノ設置

二　魚見若ハ漁業ニ關スル倉庫又ハ之ニ必要ナル施設物ノ設置

三　漁業ニ必要ナル目標ノ保存又ハ設置

前項ノ規定ニ依リ他人ノ土地又ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ヲ使用セントスル公共ノ用ニ供セザル水面其ノ他朝鮮總督ノ指定スル公共ノ用ニ供セザル水面ニ於テハ水產動植物ヲ採捕スル爲ノ場合ニ限リ之ヲ準用ス但シ同法第四條ノ規定ハ海軍艦艇乘組將校及警察官ニ之ヲ準用セズ

第三十二條　前條第一項ノ目的又ハ漁業ニ關スル測量若ハ漁場ノ檢查ノ爲必要アルトキハ漁業者又ハ漁業ノ免許ヲ受ケタル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ他人ノ土地ニ立入リ又ハ已ムコトヲ得ザルトキハ立木竹其ノ他ノ障碍物ヲ變更又ハ除却スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入ラントスルトキハ土地ノ占有者ニ、立木竹其ノ他障碍物ヲ變更又ハ除却セントスルトキハ其ノ所有者及占有者ニ豫メ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

第三十三條　住所又ハ居所ノ不分明ナル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入ラントスルトキハ土地ノ占有者ニ、立木竹其ノ他障碍物ヲ變更又ハ除却セントスルトキハ其ノ所有者及占有者ニ豫メ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス但シ豫メ通知スルニ在ラズ

第三十四條　漁業組合ヲ設立セントスルトキハ發起人ニ於テ規約ヲ定メ組合ノ地區及其ノ地區ニ居住スル漁業者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

漁業組合ノ地區ノ府若ハ面ノ區域又ハ府若ハ面ノ區域ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十五條　漁業組合ヲ設立セントスルトキハ發起人ニ於テ規約ヲ定メ組合ノ地區及其ノ地區內ニ居住スル漁業者ノ其ノ組合ノ組合員トス

第三十六條　朝鮮總督ハ漁業組合ヲ設立セントスルトキハ其ノ組合ノ地區內ニ居住スル漁業者ヲ以テ組合員トスル漁業組合ヲ設立スルコトヲ得

第三十七條　朝鮮總督ハ漁業組合ヲ設立セントスルトキハ其ノ組合ノ地區內ニ居住スル漁業者ヲ以テ組合員トスル漁業組合ヲ設立スルコトヲ得

第三十八條　朝鮮總督ハ漁業組合ヲ設立セントスルトキハ其ノ組合ノ地區內ニ居住スル漁業者ヲ以テ組合員トスル漁業組合ヲ設立スルコトヲ得

第三十九條　漁業組合ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ法人トス

第四十條　朝鮮總督ハ水產動植物ノ蕃殖保護及漁業取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ一定ノ水面ヲ指定シ漁區ニ於テハ水產動植物ヲ採捕スルコトヲ得但シ官公署ニ於テ調查若ハ試驗ヲ爲ス場合又ハ學術研究其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十一條　朝鮮總督ハ漁業組合ノ組合員ノ規約ヲ定ムル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ組合ノ地區內ニ於ケル漁業ニ關シ組合員ニ對シ制限又ハ禁止ニ關スル命令ヲ發スルコトヲ得

第四十二條　前二條ノ規定ニ依リ發スル命令ニハ違反者ニ對シ二百圓以下ノ罰金又ハ拘留ノ罰ヲ附スルコトヲ得

第四十三條　朝鮮總督ハ漁業組合ノ組合員ノ規約ニ違反シタル者ニ對シ漁業權ノ行使ヲ停止シ又ハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十四條　朝鮮總督ハ水產動植物ノ蕃殖保護ノ爲必要アリト認ムルトキハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十五條　朝鮮總督ハ漁業組合ノ組合員ノ規約ニ違反シタル者ニ對シ漁業權ノ行使ヲ停止シ又ハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十六條　朝鮮總督ハ漁業組合ノ組合員ノ規約ニ違反シタル者ニ對シ漁業權ノ行使ヲ停止シ又ハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十七條　朝鮮總督ハ漁業組合ノ組合員ノ規約ニ違反シタル者ニ對シ漁業權ノ行使ヲ停止シ又ハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十八條　朝鮮總督ハ漁業組合ノ組合員ノ規約ニ違反シタル者ニ對シ漁業權ノ行使ヲ停止シ又ハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十九條　朝鮮總督ハ漁業組合ノ組合員ノ規約ニ違反シタル者ニ對シ漁業權ノ行使ヲ停止シ又ハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十條　朝鮮總督ハ漁業組合ノ組合員ノ規約ニ違反シタル者ニ對シ漁業權ノ行使ヲ停止シ又ハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十一條　朝鮮總督ハ漁業組合ノ組合員ノ規約ニ違反シタル者ニ對シ漁業權ノ行使ヲ停止シ又ハ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲サシムルコトヲ得

第六章　漁業組合、漁業組合聯合會、水產組合及水產組合聯合會

第四十二條　前條第一項ノ目的又ハ漁業ニ關スル測量若ハ漁場ノ檢查ノ爲必要アルトキハ漁業者又ハ漁業ノ免許ヲ受ケタル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ他人ノ土地ニ立入リ又ハ已ムコトヲ得ザルトキハ立木竹其ノ他ノ障碍物ヲ變更又ハ除却スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入ラントスルトキハ土地ノ占有者ニ、立木竹其ノ他障碍物ヲ變更又ハ除却セントスルトキハ其ノ所有者及占有者ニ豫メ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス但シ豫メ通知スルニ在ラズ

第四十三條　漁業組合ハ漁業組合聯合會、水產組合又ハ水產組合聯合會ノ組合員ニ對シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ入漁料ヲ請求スルコトヲ得但シ別段ノ慣行アル場合ヲ除クノ外入漁料算定ノ基礎ト爲ルベキ期間入漁ヲ爲サザル場合ニ於テハ其ノ入漁ヲ爲サザル期間ニ對スル入漁料ハ之ヲ請求スルコトヲ得ズ

第四十四條　漁業組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時ニ於テ法人トス

第四十五條　漁業組合ハ組合員ヲシテ漁業ヲ爲サシムル爲漁業權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ賃付ヲ受ケ且組合員ノ漁業又ハ之ニ關スル經濟若ハ教濟ニ必要ナル共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス

漁業組合ハ漁業ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十六條　漁業組合ハ組合員ト規約ノ定ムル所ニ依リ組合ノ取得シ又ハ賃付ヲ受ケタル漁業權ノ範圍內ニ於テ漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス

第四十七條　漁業組合ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ漁業組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

第五十條　漁業組合聯合會ハ所屬漁業組合ノ目的ヲ達成セシムル爲必要アル施設ヲ爲シ又ハ所屬漁業組合ニ對シ業務上ノ指導ヲ爲スヲ以テ目的トス

漁業組合聯合會ハ漁業ヲ爲スコトヲ得ズ

第五十一條　一定ノ地區內ニ居住スル漁業者ハ他ノ共有者ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ其ノ持分ヲ處分シ又ハ之ヲ擔保ニ供スルコトヲ得ズ

漁業ノ免許ノ取消ヲ受ケタル者ハ其ノ漁場ニ付朝鮮河川令第二十條第三號ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ヲ爲サントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

一　捕鯨漁業

二　「トロール」漁業（機船（螺旋推進器ヲ備フル船舶以下之ニ同ジ）又ハ帆船ニ依リ「オッタートロール」又ハ「ビームトロール」ヲ使用シテ爲ス漁業

三　工船漁業

四　機船底曳網漁業

五　潛水器漁業

六　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ爲スニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ免許シ若ハ許可シタル漁業ヲ制限シ、停止シ又ハ漁業ノ免許若ハ許可ヲ取消スコトヲ得

一　水產動植物ノ蕃殖保護上必要アルトキ

二　國防其ノ他軍事上必要アルトキ

三　船舶ノ航行疏通繁留、水底電線ノ敷設

四　漁業者本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ制限、條件ニ違反シタルトキ

第十三條　免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ニシテ引續キ二年以上之ヲ爲サザルトキハ朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消スコトヲ得

第十四條　第六條第一項又ハ第十條ニ規定スル漁業ニ非ザル漁業ヲ爲サントスル者ハ道知事ニ届出ヅベシ

第三章　漁業權

第十五條　漁業權ハ物權トシ土地ニ關スル規定ヲ準用ス

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第二編第九章ノ規定ニ依リ漁業權及之ヲ目的トスル權利ニ之ヲ適用セズ

第十六條　朝鮮總督ハ漁業權保護ノ爲保護區域ヲ設クルコトヲ得

保護區域内ニ於ケル漁業權ノ行使ノ妨害ト爲ルベキ漁業ノ制限又ハ禁止ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十七條　漁業權ヲ抵當ト爲シタル場合ニ於テハ其ノ漁場ニ定著シタル工作物ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第三百七十條ノ規定ノ準用ニ付テハ漁業權ニ附加シタル一個ノ物ト看做ス

第十八條　本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ制限、條件ニ依リ漁業權者ニ生ジタル權利義務ハ漁業權ノ處分ニ從フ朝鮮河川令ニ依ル許可ニ因リテ生ジタル河川ノ占用ニ關スル漁業權者ノ權利義務ニ付亦同シ

第十九條　漁業權ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ分割シ其ノ他變更スルコトヲ得ズ

專用漁業ノ漁業權ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ處分シ、擔保ニ供シ又ハ賃付スルコトヲ得ズ

第二十條　漁業權ハ登錄シタル權利者ノ同意ヲ得ル場合ニ非ザレバ之ヲ抛棄スルコトヲ得ズ

第四章　漁業組合、漁業組合聯合會、水產組合及水產組合聯合會

第二十一條　漁業權ノ共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非ザレバ其ノ持分ヲ處分シ又ハ之ヲ擔保ニ供スルコトヲ得ズ

第二十二條　朝鮮ノ場合ニ於テハ共有者ノ住所又ハ居所ノ不分明ナル場合ニ於テハ共有者ノ住所ノ他ノ事由ニ因リ之ガ同意ヲ求ムルコト能ハザルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ公告ヲ爲シタル日ノ翌日ヨリ起算シ三十日以内ニ異議ノ申立ナキトキハ其ノ末日ニ於テ同意ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十三條　漁業ノ免許ヲ取消シタルトキハ朝鮮總督ハ遲滯ナク之ヲ漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ通知スベシ

第二十四條　第十二條第四號及第十三條第一項ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ノ取消アリタル場合ニ於テハ漁業權ニ付登錄シタル先取特權者及抵當權者ハ前條ノ通知ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ起算シ三十日以内ニ漁業權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ競賣ヲ請求シタル場合ニ於テハ漁業權ハ漁業ノ免許ヲ取消シタル日ヨリ競賣ノ手續完結ノ日迄競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續シ競賣ニ依リ得金ハ競賣ノ費用及第一項ノ權利者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス

競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキハ漁業ノ免許ノ取消ハ其ノ效力ヲ生ゼザリシモノト看做ス

第二十五條　專用漁業ノ漁業權者ハ從來ノ慣行ニ依リ其ノ漁場ニ於テ漁業ヲ爲ス者ノ入漁ヲ拒ムコトヲ得ズ

第二十六條　前條ノ漁業權者ハ入漁ヲ爲ス者ニ對シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ入漁料ヲ請求スルコトヲ得但シ別段ノ慣行アル場合ヲ除クノ外入漁料算定ノ基礎ト爲ルベキ期間入漁ヲ爲サザル場合ニ於テハ其ノ入漁ヲ爲サザル期間ニ對スル入漁料ハ之ヲ請求スルコトヲ得ズ

第二十七條　水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ヲ營業トスル者ハ水産組合ヲ設立スルコトヲ得

第五十二條　水産組合ヲ設立セントスルトキハ發起人ニ於テ規約ヲ定メ組合ノ地區タルベキ區域内ニ居住スル者ニシテ規約ニ依リ組合員タルノ資格ヲ有スルモノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第五十三條　水産組合ハ前項ノ認可ヲ受ケタル時成立スル

第五十四條　水産組合ハ法人トス

水産組合ハ當該水産業ノ改良發達ヲ圖リ營業上ノ弊害ヲ矯正スルヲ以テ目的トス

第五十五條　水産組合ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ水産組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

第五十六條　水産組合聯合會ハ法人トス

水産組合聯合會ハ所屬水産組合ノ目的ヲ達成セシムル爲必要ナル施設ヲ爲シ又ハ所屬水産組合及水産組合聯合會ノ經營ニ對シ業務上ノ指導ヲ爲スヲ以テ目的トス

水産組合聯合會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ズ

第五十七條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ使用料又ハ手數料ヲ徴收スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五十八條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ經費ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニ之ヲ賦課スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ使用料又ハ手數料ヲ徴收スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五十九條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニ之ヲ賦課スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ使用料又ハ手數料ヲ徴收スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニ之ヲ賦課スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ使用料又ハ手數料ヲ徴收スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十一條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニ之ヲ賦課スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ使用料又ハ手數料ヲ徴收スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十二條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニ之ヲ賦課スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ使用料又ハ手數料ヲ徴收スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十三條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニ之ヲ賦課スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ使用料又ハ手數料ヲ徴收スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十四條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニ之ヲ賦課スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ使用料又ハ手數料ヲ徴收スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十五條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニ之ヲ賦課スルコトヲ得

漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十六條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十七條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十八條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十九條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十一條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十二條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十三條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十四條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十五條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十六條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十七條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十八條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十九條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十一條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十二條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十三條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十四條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十五條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十六條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十七條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十八條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十九條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十一條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十二條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十三條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十四條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十五條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十六條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十七條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十八條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十九條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第百條　漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合及水産組合聯合會ノ解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ組合員又ハ所屬組合ニシテ規約ニ違反シタル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課スルコトヲ得

前三項ノ經費、使用料、手數料又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ、同條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂ハ之ヲ罰ス

第七十四條　第六十八條、第六十九條、第七十條第一項、第七十一條第一項及第七十二條ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有又ハ所持スル採捕物、養殖物、其ノ製品及漁具ニシテ朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑法第十九條第一項ノ物ハ之ヲ沒收ス

前條ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有又ハ所持スル採捕物、養殖物、其ノ製品、船舶（屬具ヲ含ム）、漁具、有毒物、爆發物及電氣器具（屬具ヲ含ム）ニシテ朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑法第十九條第一項ノ物ハ之ヲ沒收ス

前二項ノ場合ニ於テ沒收スベキ物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコトヲ能ハザルトキハ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第一項及第二項ニ規定スルモノヲ除クノ外第六十八條、第六十九條、第七十條第一項、第七十一條第一項、第七十二條及前條ノ場合ニ於テハ朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑法第十九條ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

第七十五條　漁業標識ヲ移轉シ、損壞シ若ハ隱蔽シタル者又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ漁場標識ノ效用ヲ失ハシメタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第七十六條　第四十條、第四十一條第一項又ハ第四十二條ノ規定ニ依リ爲シタル職務ノ執行ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ球間ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十一條第二項ノ規定ニ依リ同行又ハ廻航ノ命ニ從ハザル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十七條　第四十二條ノ規定ニ依リ爲シタル職務ノ執行ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ球間ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十一條第二項ノ規定ニ依リ同行又ハ廻航ノ命ニ從ハザル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十七條　漁業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル制則ニ違反シタルトキ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ニ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第七十八條　漁業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル制則ニ違反シタルトキ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ニ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第七十九條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ制則ヲ營業者ノ業務ニ關シ之ニ適用スベキ場合ニ於テ營業者法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ場合ニ於テハ懲役ノ刑ヲ科スルコトヲ得ズ

附　則

第七十九條　本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和五年一月總令第四號ヲ以テ昭和五年五月一日ヨリ施行）

第八十條　漁業令ハ之ヲ廢止ス

第八十一條　舊令又ハ舊令ニ基キテ發シタル命令ニ依リテ爲シタル免許、許可、認可、處分其ノ他ノ行爲ハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

舊令又ハ舊令ニ基キテ發シタル命令ニ依リテ爲シタル處分ニ因リ生ジタル事項ニ付テハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ相當ノ規定アル場合ニ於テハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

舊令又ハ舊令ニ基キテ發シタル命令ニ依リテ爲シタル處分若ハ其ノ制限、條件ニ違反シタルトキ、規約ニ違反シタルトキ其ノ他公益ヲ害シ又ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ左ニ揭グル處分ヲ爲スコトヲ得

一　決議ノ取消

二　役員ノ解職

三　解散

第八十二條　舊令ニ依リ設立ノ許可ヲ受ケタル漁業組合又ハ水産組合ハ本令ニ依リ設立ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第八十三條　舊令ニ依リ設立ノ許可ヲ受ケタル漁業組合又ハ水産組合ハ本令ニ依リ設立ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

●朝鮮漁業令施行規則

昭和四年十二月
總令第百七號
改正　昭和七年一〇第一〇五號、八年一二第一一四號、一三四號、八年一二第一四一號

朝鮮漁業令施行規則左ノ通定ム

朝鮮漁業令施行規則

第一章　總　則

第一條　本令ニ於テ行政官廳ト稱スルハ朝鮮總督ニ於テ免許又ハ許可ヲ爲ス漁業ニ付テハ朝鮮總督、道知事ニ於テ免許又ハ許可ヲ爲ス漁業及道知事ニ屬出ヅベキ漁業ニ付テハ道知事ヲ謂フ

第二條　朝鮮漁業令（以下單ニ漁業令ト稱ス）ニ依ル朝鮮總督ノ職權ニシテ左ニ揭グルモノハ道知事之ヲ行フ

一　漁業令第二條ノ許可

二　養殖漁業（藻類ノ養殖漁業ニ限ル）、定置漁業、定所集魚漁業、定所曳網漁業及定所敷網漁業ニ關スル免許（漁業令第八條第二項及第十一條ノ規定ニ依ル處分ヲ含ム）

三　前號ノ免許ニ關スル漁業令第十二條及第十三條ノ規定ニ依ル處分、同令第八條第三項及第十九條第一項ノ許可、同令第二十三條ノ通知竝ニ同令第三十八條ノ命令

四　本令第十五條第一項ノ漁業ノ許可ニ關スル漁業令第十二條及第十三條ノ規定ニ依ル處分（同令第十一條ノ規定ニ依ル處分ヲ含ム）

五　漁業令第三十二條第一項及第三十二條第一項ノ許可竝ニ同令第六十三條第二項ノ裁定

前項第二號ノ規定ニ依リ道知事ノ免許ヲ受クベキ漁業ニ付免許ヲ受ケントスル水面ガ二以上ノ道知事ノ管轄ニ屬スルトキ又ハ其ノ水面ヲ管轄スル道知事明確ナラザルトキハ朝鮮總督ノ免許ヲ受クベシ

道知事漁業令第十二條第一號乃至第三號ノ規定ニ依リ免許シ若ハ許可シタル漁業ヲ制限シ、停止シ又ハ漁業ノ免許若ハ許可ヲ取消サントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第三條　漁業令第二條ノ規定ニ依リ水面ノ利用ノ制限又ハ禁止ニ付許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

一　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域

二　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ古有者又ハ其ノ數地ノ所有者タルコトヲ證スベキ書面

三　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ニ於テ漁業權ヲ有スル者アルトキ又ハ其ノ同意ヲ得ルコト能ハザルトキハ其ノ事由書

第四條　漁業令第二條ノ許可ヲ爲シタルトキハ道知事ハ左ニ掲グル事項ヲ公告シ且之ヲ其ノ水面ニ於テ漁業權ヲ有スル者及漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ通知スベシ

一　利用ノ制限又ハ禁止ヲ許可シタル水面ノ位置及區域

二　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル事由

前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域圖

二　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ古有者又ハ其ノ數地ノ所有者タルコトヲ證スベキ書面

三　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ニ於テ漁業權ヲ有スル者アルトキ又ハ其ノ同意ヲ得ルコト能ハザルトキハ其ノ事由書

第四條　漁業令第二條ノ許可ヲ爲シタルトキハ道知事ハ左ニ掲グル事項ヲ公告シ且之ヲ其ノ水面ニ於テ漁業權ヲ有スル者及漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ通知スベシ

一　利用ノ制限又ハ禁止ヲ許可シタル水面ノ位置及區域

二　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル事由

三　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域

四　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル期間

五　漁業ノ種類

六　漁具ノ名稱（定置漁業、定所曳網漁業及定所敷網漁業ニ限ル）又ハ裝置ノ名稱（定所敷網漁業ニ限ル）

四　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域（定所敷網漁業ニ限ル）又ハ裝置ノ名稱

五　漁業ノ方法（養殖漁業、定所集魚漁業及專用漁業ニ限ル）

六　採捕物又ハ養殖物ノ種類

七　漁業ノ時期

八　免許ヲ受ケントスル期間

九　漁獲物ノ見込年額

二人以上共同シテ漁業ノ免許ヲ出願セントスル場合ニ於テハ免許ヲ受ケタル場合ニ於ケル漁業權ノ持分ヲ願書ニ附記スベシ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第二百五十六條第一項但書ノ特約アルトキ亦同ジ

第一項ノ願書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

二　事業計畫書（養殖漁業、定所集魚漁業及專用漁業ニ限ル）

三　免許ヲ受ケントスル水面ガ他人ノ占有ニ係ルトキ又ハ其ノ數地ガ他人ノ所有者ノ同意書（同意ヲ得ルコト能ハザルトキハ其ノ事由書）

四　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ古有者又ハ其ノ數地ノ所有者タルコトヲ證スベキ書面

三　漁具ノ名稱（定置漁業、定所曳網漁業及定所敷網漁業ニ限ル）又ハ裝置ノ名稱（定所敷網漁業ニ限ル）

四　利用ノ制限又ハ禁止ヲ許可セラレタル者ノ氏名（法人ニ在リテハ名稱以下之ニ同ジ）及住所

第五條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ前條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第六條　漁業ノ免許、許可其ノ他ノ漁業ニ關スル處分ヲ爲スニ付必要アリト認ムルトキハ行政官廳ハ出願若ハ申請ヲ爲シタル者、漁業者又ハ利害關係人ニ對シ書類ノ提出、訂正若ハ補充又ハ物件ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第七條　漁業令又ハ本令ニ依リ朝鮮總督ニ差出スベキ書類ニハ其ノ經由スベキ道知事ノ數ニ相當スル複本ヲ添附スベシ

第八條　漁業令又ハ本令其ノ他ノ漁業令ニ基キテ發スル命令ニ依リ朝鮮總督ニ於テ爲ス公告ハ朝鮮總督府官報ヲ以テ之ヲ爲ス

漁業令又ハ本令其ノ他ノ漁業令ニ基キテ發スル命令ニ依リ道知事ニ於テ爲ス公告ハ其ノ道ノ道令ノ布告方法ニ準ジテ之ヲ爲スベシ

第二章　漁業ノ免許、許可及届出

第九條　漁業令第六條第一項第二號乃至第五號ノ漁業ニ該當スル漁業ノ名稱ハ朝鮮總督之ヲ定メ公告ス

第十條　漁業令第六條第一項ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ヲ受ケントスル者ハ發殖漁業及專用漁業ニ在リテハ漁場毎ニ、其ノ他ノ漁業ニ在リテハ漁業ノ名稱及水面毎ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル願書ヲ行政官廳ニ差出スベシ

一　漁業ノ種類

二　漁業ノ名稱（定置漁業、定所集魚漁業、定所曳網漁業及定所敷網漁業ニ限ル）

三　漁具ノ名稱（定置漁業、定所曳網漁業及定所敷網漁業ニ限ル）又ハ裝置ノ名稱（定所敷網漁業ニ限ル）

四　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域（定所敷網漁業ニ限ル）又ハ裝置ノ名稱

五　漁業ノ方法（養殖漁業、定所集魚漁業及專用漁業ニ限ル）

六　採捕物又ハ養殖物ノ種類

七　漁業ノ時期

八　免許ヲ受ケントスル期間

九　漁獲物ノ見込年額

二人以上共同シテ漁業ノ免許ヲ出願セントスル場合ニ於テハ免許ヲ受ケタル場合ニ於ケル漁業權ノ持分ヲ願書ニ附記スベシ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第二百五十六條第一項但書ノ特約アルトキ亦同ジ

第一項ノ願書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

二　事業計畫書（養殖漁業、定所集魚漁業及專用漁業ニ限ル）

三　免許ヲ受ケントスル水面ガ他人ノ占有ニ係ルトキ又ハ其ノ數地ガ他人ノ所有者ノ同意書（同意ヲ得ルコト能ハザルトキハ其ノ事由書）

四　法人ニ非ザル社團ニ在リテハ願書ニ記載シタル代表者ノ資格ヲ證スル書面

第十一條　漁業令第八條第三項ノ規定ニ依リ漁業權ノ存續期間ノ延長ノ許可ヲ受ケントスル者ハ其ノ期間ヲ定メ行政官廳ハ申請書前條第三項第三號ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ申請書ハ漁業權ノ存續期間滿了ノ日ヨリ三月以前ニ之ヲ差出スニ非ザレバ延長ノ許可ヲ受クルコトヲ得ズ

第十二條　漁業ノ免許ヲ爲シタルトキハ行政官廳ハ左ニ掲グル事項ヲ公告スベシ

一　免許ノ番號

二　漁業ノ種類

三　漁業ノ名稱（定置漁業、定所集魚漁業、定所曳網漁業及定所敷網漁業ニ限ル）

四　漁具ノ名稱（定置漁業、定所曳網漁業及定所敷網漁業ニ限ル）又ハ裝置ノ名稱（定所敷網漁業ニ限ル）

五　漁業ノ方法（養殖漁業、定所集魚漁業及專用漁業ニ限ル）

六　採捕物又ハ養殖物ノ種類

七　漁業ノ時期

八　免許ヲ受ケントスル期間

九　漁獲物ノ見込年額

十　漁業令第十一條ノ規定ニ依リ制限又ハ條件ヲ附シタルトキハ其ノ事項

十一　免許ノ年月日

十二　免許ヲ受ケタル者ノ氏名及住所（法人ニ非ザル社團ニ在リテハ名稱及事務所ノ所在地以下之ニ同ジ）

第十三條　漁業權ノ存續期間ノ延長ノ許可ヲ爲シタルトキハ行政官廳ハ前條第一號及第十二號ノ事項、延長シタル期間並ニ許可ノ年月日ヲ公告スベシ

第十四條　免許シタル漁業ヲ制限シ、停止シ若ハ漁業ノ免許ニ關スル處分ヲ變更シ、解除シ若ハ取消シ又ハ漁業ノ免許ヲ取消シタルトキハ行政官廳ハ左ニ掲グル事項ヲ公告スベシ漁業令第十一條ノ規定ニ依リ制限又ハ條件ヲ附シタルトキ亦同ジ

一　免許ノ番號

二　處分ノ年項

三　處分ノ年月日

四　漁業權ヲ有スル者ノ氏名及住所

漁業令第十二條第一號乃至第三號又ハ第十三條第三項ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ヲ取消シタルトキハ前項各號ノ事項ヲ、漁業令第十二條第四號又ハ第十三條第一項ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ヲ取消シタルトキハ前項各號ノ事項ヲ公告スベシ

第十四條ノ二　左ノ漁業ヲ爲サントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

機船曳漁業（螺旋推進器ヲ備フル船舶以下之ニ同ジ）ニ依リ漁獲ヲ引旋シ

網揚ヲ引綰メ爲ス漁業

第十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ヲ爲サントスル者ハ道知事ノ許可ヲ受クベシ

一　曳網漁業（水面ヲ一定セズ漁網ヲ引曳シテ爲ス漁業（機船ニ依リ遂網ヲ引曳シテ爲スモノヲ除ク）

二　敷網漁業（水面ヲ一定セズ漁網ヲ敷設シ又ハ建設シテ爲ス漁業

三　繰網漁業（漁船ニ依リ漁網ヲ繰寄セテ爲ス漁業（機船ニ依リ曳網ヲ繰寄セテ爲スモノヲ除ク）

四　旋網漁業（漁網ヲ引旋シ網裾ヲ引締メ又ハ之ヲ絆上ゲテ爲ス漁業（機船ニ依リ漁網ヲ引旋シ網裾ヲ引締メテ爲スモノヲ除ク）

五　刺網漁業（刺網ヲ使用シテ爲ス漁業

六　空釣繩漁業（餌料ヲ裝置セザル釣繩ヲ使用シテ爲ス漁業

七　柴漬漁業（柴漬ニ依リ水産動物ヲ集合セシメテ採捕ヲ爲ス漁業

八　鵜飼漁業（鵜ヲ使用シテ爲ス漁業

九　採潛漁業（潛水器具ヲ使用セズ潛水シテ爲ス漁業

十　海獣漁業（海獣（鯨ヲ除ク）ヲ捕獲スル漁業

前項第一號乃至第七號ノ漁業ニ該當スル漁業ノ名稱ハ朝鮮總督之ヲ定メ公告ス

第十六條　捕鯨漁業、「トロール」漁業ノ許可ノ期間ハ許可ノ日ヨリ十年以内、機船底曳網漁業、潛水器漁業、機船巾著網漁業及前條第一項ニ規定スル漁業ノ許可ノ期間ハ許可ノ日ヨリ五年以内ニ於テ許可ノ際行政官廳之ヲ定ムベシ

第十七條　捕鯨漁業、工船漁業及潛水器漁業ノ操業區域及其ノ區域内ニ於ケル許可ノ定限數竝ニ機船底曳網漁業ノ操業區域及其ノ區域内ニ於ケル許可ノ定限船數ノ朝鮮總督之ヲ定メ公告ス

第十八條　漁業令第十號第一項竝ニ本令第十四條ノ二及第十五條第一項ノ規定ニ依リ漁業ノ許可ヲ受ケントスル者ハ捕鯨漁業及「トロール」漁業ニ在リテハ漁船一隻毎ニ、工船漁業ニ在リテハ製造工場設備ヲ有スル機船一隻毎ニ、潛水器漁業ニ在リテハ潛水器具一具毎ニ、機船底曳網漁業、曳網漁業、繰網漁業、旋網漁業、刺網漁業、敷網漁業、空釣繩漁業及海獣漁業ニ在リテハ漁具（銃器ヲ含ム）一具（曳網漁業、敷網漁業、繰網漁業及空釣繩漁業ニシテ同種ノ漁具二以上ヲ一漁船ニ依リ同時ニ使用スルモノニ在リテハ之ヲ一具ト看做ス）毎ニ、柴漬漁業ニ在リテハ一漁業毎ニ、鵜飼漁業ニ在リテハ潛水ス者一人毎ニ、採潛漁業ニ在リテハ潛水ス者一人毎ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ行政官廳ニ差出スベシ

一　漁業ノ種類

二　漁業ノ名稱（曳網漁業、敷網漁業、繰網漁業、旋網漁業、刺網漁業、空釣繩漁業、柴漬漁業ニ限ル）

三　漁具ノ名稱（曳網漁業、敷網漁業、繰網漁業、旋網漁業、刺網漁業、空釣繩漁業、柴漬漁業ニ限ル）

四　操業ノ區域

五　漁業ノ方法（捕鯨漁業、「トロール」漁業、工船漁業、機船底曳網漁業、機船巾著網漁業、鵜飼漁業、繰網漁業、潛水器漁業、旋網漁業、柴漬漁業、採潛漁業、敷網漁業及空釣繩漁業ニシテ同種ノ漁具二以上ヲ一漁船ニ依リ同時ニ使用スルモノニ限ル）

六　漁網ノ長サ（曳網漁業、敷網漁業及旋網漁業ニ限ル）

七　漁船ノ種類、名稱、捕鯨漁業、「トロール」漁業、工船漁業、機船底曳網漁業、機船巾著網漁業及機船ヲ使用セザルモノニ在リテハ漁具一具（同人カ同種ノ漁具二以上ヲ同時ニ使用スルモノニ在リテハ之ヲ一具ト看做ス）毎ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル履書ヲ道知事ニ差出スベシ

一　漁業ノ名稱又ハ漁業ノ方法

二　漁具ノ名稱又ハ漁業ノ方法

三　漁船ノ種類、積量（積量ニ依リ稱ヘザルモノニ在リテハ長サ及肩幅）及乘組人員

十一　許可ヲ受ケントスル期間

十二　漁獲物ノ見込年額（捕鯨漁業、「トロール」漁業、工船漁業、機船底曳網漁業、機船巾著網漁業及潛水器漁業ニ限ル）

前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　漁船ノ船籍國籍證書寫及船舶檢査證書寫又ハ總噸數札寫（捕鯨漁業、「トロール」漁業及工船漁業ニ限ル）

第一項ノ場合ニ於テ漁船ガ製造前又ハ製造中ニ爲ス船舶國籍證書寫及船舶檢査證書寫又ハ總噸數札寫ヲ添附スルコト能ハザルトキハ漁業ノ竣成時期ヲ第一項第七號ノ事項ニ附記シ船舶國籍證書寫及船舶檢査證書寫又ハ船噸札寫ハ漁船ノ竣成後遅滞ナク之ヲ差出スベシ

第十九條　漁業ノ許可ヲ爲ストキハ行政官廳ハ許可狀ヲ交付スベシ

第二十條　漁業ノ許可ヲ受ケタル者第十八條第一項第二號乃至第十號、變更セントスル事項ヲ記載シタル申請書ニハ許可ノ番號、變更セントスル事項及事由ヲ記載シタル履書ヲ差出スベシ

第二十一條　漁業ノ許可ヲ受ケタル者其ノ漁業ヲ廢止シタルトキハ遅滞ナク行政官廳ニ其ノ旨ヲ屆出デ許可狀ハ之ヲ返納スベシ

第二十二條　漁業令第十四條ノ規定ニ依リ漁業ノ屆出ヲ爲サントスル者ハ漁船ヲ使用スルモノニ在リテハ漁船一隻毎ニ、漁船ヲ使用セザルモノニ在リテハ漁具一具（同人カ同種ノ漁具二以上ヲ同時ニ使用スルモノニ在リテハ之ヲ一具ト看做ス）毎ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル屆書ヲ道知事ニ差出スベシ

一　漁業ノ名稱又ハ漁業ノ方法

二　漁具ノ名稱又ハ漁業ノ方法

三　漁船ノ種類、積量（積量ニ依リ稱ヘザルモノニ在リテハ長サ及肩幅）及乘組人員

四　機關ノ種類及馬力（機關附漁船ヲ使用シテ爲ス漁業ニ限ル）

五　採捕物ノ種類

六　漁業ノ時期

七　漁業ヲ爲スベキ期間

第二十三條　漁業ノ屆出ノ有效期間ハ屆出ヲ受理シタル日ヨリ三年以内ニ於テ受理ノ際道知事之ヲ定ムベシ

第二十四條　漁業ノ屆出ヲ受理シタルトキハ道知事ハ鑑札ヲ交付スベシ

第二十五條　朝鮮公有水面取締規則第一條ノ公有水面ニ於テ漁業ノ免許ヲ受ケタル者ハ其ノ漁場ニ付同令第二條各號ノ許可ヲ受ケタル者ハ權利義務ハ漁業權ノ處分ニ從フ

水産植物ノ採取ニ付朝鮮公有水面取締規則第一條ノ公有水面ニ於テ漁業令第十條第一項第五號若ハ本令第十五條第一項第三號、第九號ノ漁業ノ許可ヲ受ケタル者又ハ漁業令第十四條ノ規定ニ依リ漁業ノ屆出ヲ爲シタル者ハ其ノ水面ニ於テ其ノ水産植物ノ採取ニ付朝鮮公有水面取締規則第二條第五號ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス此ノ場合ニ於テハ同令第五條ノ規定ノ之ヲ適用セズ

漁業ノ免許又ハ許可ノ取消ヲ受ケタル者ハ其ノ漁場又ハ水面ニ付朝鮮公有水面取締規則第二條各號ノ許可ノ取消ヲ受ケタルモノニ付同令第五條ノ規定ノ之ヲ適用セズ

第二十六條　二人以上共同シテ漁業ノ免許又ハ許可ノ出願又ハ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ内一人ヲ代表者ト定メ願書又ハ申請書ニ之ヲ附記スベシ

二人以上共同シテ漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ内一人ヲ代表者ト定メ

ヲ爲シタルトキハ免許ノ番號ニ係業許可ノ期間及年月日ヲ、前項ノ屆出ヲ受理シタルトキハ免許ノ番號、休業許可ノ期間及就業ノ年月日ヲ公告スベシ

第三十條　漁業令第十條第一項、第十四條若ハ本令第十五條第一項ノ漁業中朝鮮總督ノ指定スル漁業又ハ本令第十四條ノ二ノ漁業ヲ爲ス者ニシテ當時其ノ漁業ニ依ル漁獲物ノ陸揚、賣買、交換若ハ賃貸、交換ノ委託ヲ爲シ又ハ其ノ漁業ニ關シ必要ナル食料、燃料其ノ他ノ物ノ積込ヲ爲スモノ其ノ他採業上ノ根據ヲ設クルモノハ漁業令及本令ノ適用ニ付テハ當該漁業ヲ爲スモノト看做ス

前項ノ規定ニ依リ指定シタル漁業ハ朝鮮總督之ヲ公告ス

第三十一條　許可狀又ハ鑑札ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ行政官廳ニ再交付ノ申請ヲ爲スベシ

許可狀又ハ鑑札ヲ毀損シ其ノ用ヲ爲サザルニ至リタルトキハ行政官廳ニ之ヲ返納シ再交付ノ申請ヲ爲スベシ

第三十二條　左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滯ナク行政官廳ニ屆出ヅベシ

一　第二十六條又ハ第二十七條ノ代表者又ハ代理人ヲ變更シタルトキ

二　漁業ノ免許又ハ許可ニ關スル出願又ハ申請ヲ爲シタル者代名ヲ變更シタルトキ

三　漁業ノ屆出ヲ爲シタル者第二十二條第二號乃至第六號ノ事項ヲ變更シタルトキ

四　漁業ノ許可ヲ受ケ又ハ漁業ノ屆出ヲ爲シタル者氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキ

五　第二十六條若ハ法人ニ非ザル社團ノ代表者又ハ第二十七條ノ代理人氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキ法人ニ非ザル社團ノ代表者ニ變更アリタルトキハ新代表者ヨリ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附シ遲滯ナク行政官廳ニ屆出ヅベシ

第一項第一號及第三號乃至第五號ノ場合ニ於テハ屆書ニ許可狀又ハ鑑札ヲ添附スベシ

第三十三條　許可狀又ハ鑑札無效ニ歸シタルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ行政官廳ニ之ヲ返納スベシ

漁業者死亡シ又ハ解散シタルトキハ其ノ相續人又ハ清算人ヨリ前項ノ規定ニ依リ手續ヲ爲スベシ

第三章　漁業權

第三十四條　漁業令第十九條第一項ノ規定ニ依リ漁業權ノ分割又ハ變更ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ行政官廳ニ差出スベシ

一　免許ノ番號

分割又ハ變更セントスル事項

二　分割又ハ變更セントスル事由

三　分割ヲ爲ス者ハ其ノ分割又ハ變更セントスル水面ノ位置及區域竝ニ付登錄シタル權利者アルモノニ在リテハ其ノ同意書ヲ添附スベシ

第三十五條　漁業令第十九條第二項ノ規定ニ依リ專用漁業ノ漁業權ノ處分、擔保又ハ貸付ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

一　免許ノ番號

二　處分、擔保ニ供シ又ハ貸付セントスル事由

四　處分ニシ、擔保ニ供シ又ハ貸付ケントスル事由

五　參考ト爲ルベキ事項（寶買ノ場合ニ在リテハ寶買價格等、交換ノ場合ニ在リテハ交換物件、交換價格（補足金ヲ含ム）等、共有ノ場合ニ在リテハ各共有者ノ持分、持分取得ニ伴フ代償金額等、擔保ニ供スル場合ニ在リテハ債務ノ金額、期間、利率、償還方法等、貸付ノ場合ニ在リテハ其ノ期間、貸貸料等）

前項ノ場合ニ於テ朝鮮總督ノ免許ニ關セザル漁業權原簿ノ際本ヲ、漁業權ノ持分ヲ處分セントスルトキハ他ノ共有者ノ同意ヲ證スル書面ヲ、漁業權ヲ拋棄セントスルトキハ登錄シタル權利者ノ同意ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スベシ

第三十六條　漁業令第十條第一項、第十四條若ハ本令第十五條第一項ノ漁業ヲ爲ス者ニシテ當時其ノ漁業ニ依ル漁獲物ノ賣買、交換若ハ賃貸、交換ノ委託ヲ爲シ又ハ其ノ漁業ニ關シ必要ナル食料、燃料其ノ他ノ物ノ積込ヲ爲スモノ其ノ他採業上ノ根據ヲ設クルモノハ漁業令及本令ノ適用ニ付テハ當該漁業ヲ爲スモノト看做ス

前項ノ規定ニ依リ指定シタル漁業ハ朝鮮總督之ヲ公告ス

第三十七條　許可狀又ハ鑑札ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ行政官廳ニ再交付ノ申請ヲ爲スベシ

許可狀又ハ鑑札ヲ毀損シ其ノ用ヲ爲サザルニ至リタルトキハ行政官廳ニ之ヲ返納シ再交付ノ申請ヲ爲スベシ

第三十八條　漁業令第十條第一項ノ規定ニ依リ專用漁業ノ漁業權ノ處分、擔保又ハ貸付ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

一　免許ノ番號

二　處分、擔保又ハ貸付ノ種類

三　關係人ノ氏名及住所

四　處分ニシ、擔保ニ供シ又ハ貸付セントスル事由

五　參考ト爲ルベキ事項（寶買ノ場合ニ在リテハ寶買價格等、交換ノ場合ニ在リテハ交換物件、交換價格（補足金ヲ含ム）等、共有ノ場合ニ在リテハ各共有者ノ持分、持分取得ニ伴フ代償金額等、擔保ニ供スル場合ニ在リテハ債務ノ金額、期間、利率、償還方法等、貸付ノ場合ニ在リテハ其ノ期間、貸貸料等）

前項ノ場合ニ於テ朝鮮總督ノ免許ニ關セザル漁業權原簿ノ際本ヲ、漁業權ノ持分ヲ處分セントスルトキハ他ノ共有者ノ同意ヲ證スル書面ヲ、漁業權ヲ拋棄セントスルトキハ登錄シタル權利者ノ同意ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スベシ

第三十九條　漁業令第十條第一項ノ規定ニ依リ漁業權ノ分割又ハ變更ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ行政官廳ニ差出スベシ

一　免許ノ番號

二　分割又ハ變更セントスル事由

三　分割ヲ爲ス者ハ其ノ分割又ハ變更ニ在リテハ其ノ分割又ハ變更セントスル水面ノ位置及區域竝ニ付登錄シタル權利者アルモノニ在リテハ其ノ同意書ヲ添附スベシ

第四十條　漁業令第十九條第二項ノ規定ニ依リ專用漁業ノ漁業權ノ處分、擔保又ハ貸付ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

一　免許ノ番號

二　處分、擔保又ハ貸付ノ種類

三　關係人ノ氏名及住所

四　處分ニシ、擔保ニ供シ又ハ貸付セントスル事由

五　參考ト爲ルベキ事項（寶買ノ場合ニ在リテハ寶買價格等、交換ノ場合ニ在リテハ交換物件、交換價格（補足金ヲ含ム）等、共有ノ場合ニ在リテハ各共有者ノ持分、持分取得ニ伴フ代償金額等、擔保ニ供スル場合ニ在リテハ債務ノ金額、期間、利率、償還方法等、貸付ノ場合ニ在リテハ其ノ期間、貸貸料等）

前項ノ場合ニ於テ朝鮮總督ノ免許ニ關セザル漁業權原簿ノ際本ヲ、漁業權ノ持分ヲ處分セントスルトキハ他ノ共有者ノ同意ヲ證スル書面ヲ、漁業權ヲ拋棄セントスルトキハ登錄シタル權利者ノ同意ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スベシ

第四十一條　漁業令第二十七條第一項ノ規定ニ依リ漁業ニ關スル制限ヲ爲シタルトキハ漁業權者及入漁ヲ爲ス者ハ遲滯ナク左ニ掲グル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

一　免許ノ番號

二　制限ノ事項

三　制限ノ時期又ハ期間

四　協議調ヒタル年月日

第四十二條　入漁ヲ制限シ、停止シ若ハ禁止シ又ハ其ノ處分ヲ變更シ、解除シ若ハ取消シタルトキハ朝鮮總督ハ左ニ掲グル事項ヲ公告ス

一　免許ノ番號

二　處分ノ事項

三　處分ノ年月日

四　處分ヲ受ケタル者ノ氏名及住所

第四章　漁業權

第四十三條　漁業令第三十一條第一項ノ規定ニ依リ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ除去ノ制限ニ付許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ、前條第二項其ノ他ノ事由ニ因リ許可ノ指令書ヲ携帶スルコト能ハザルトキハ府尹、郡守又ハ島司ノ證明書ヲ携帶スベシ

第五章　補償及裁定

第四十八條ノ二　漁業令第三十三條第一項ノ規定ニ依ル公告ハ使用シントスル土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物、立入ラントスル土地又ハ變更若ハ除却セントスル立木竹其ノ他障碍物所在ノ府邑面ノ掲示場ニ通知スベキ事項ヲ掲示シテ之ヲ爲スベシ

第四十九條　漁業令第十二條第一號若ハ第二號ノ規定ニ依リ漁業ノ免許若ハ許可ヲ取消シタル場合、同令第十二條第一號乃至第三號ノ規定ニ依リ免許若ハ許可シタル漁業ヲ停止シタル場合又ハ同令第三十六條第二項ノ規定ニ依リ除害設備ヲ命ジタル場合ニ於テ其ノ處分ニ因リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ朝鮮總督ハ損害ノ原因タル處分ニ因リ通常生ズベキ直接ノ損害ニ付其ノ一部ヲ補償スルコトヲ得

第五十條　漁業令第十二條第一號乃至第三號ノ規定ニ依リ免許又ハ許可シタル漁業ヲ制限シタル場合ニ於テ其ノ處分ニ因リ著シク損害ヲ受ケタル者アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ損害ノ原因タル處分ニ因リ通常生ズベキ直接ノ損害ニ付其ノ一部ヲ補償スルコトヲ得

第五十一條　前二條ノ規定ニ依リ補償ノ申請ヲ爲シタル場合ニ於テ前條第一號乃至第三號ノ規定ニ依ル處分ニ在リテハ其ノ處分アリタル日ヨリ、同令第三十六條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ在リテハ除害設備ノ完成シタル日ノ翌日ヨリ起算シ二月以内ニ其ノ事由ヲ具シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

前條第三項ノ規定ハ前項ノ裁定ノ申請ニ之ヲ準用ス

第五十二條　漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依リ補償又ハ負擔ニ付裁定ヲ求メントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

一　使用スベキ土地ノ圖面

二　使用シントスル土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ制限スベキ立木竹若ハ土石ノ位置ヲ表シタル附近ノ土地及浴岸ノ連絡見取圖

第四十四條　漁業令第三十一條第一項ノ許可ヲ爲シタルトキハ道知事ハ前條第一項第一號及第三號ノ事項、許可ノ年月日竝ニ許可ヲ受ケタル者ノ氏名及住所ヲ公告スベシ

第四十五條　漁業令第三十一條第一項ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ除去ノ制限ヲ爲シタルトキハ道知事ハ前條第一項第一號及第三號ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

一　立入ルベキ土地ノ所在、地番、地目及區域又ハ變更若ハ除去スベキ障碍物ノ所在ノ場所、種類、數量及見積價格

二　立入ルベキ土地又ハ變更若ハ除却スベキ障碍物ノ所有者及占有者ノ氏名及住所

三　立入リ又ハ變更若ハ除却ヲ必要トスル事由

四　立入リ又ハ變更若ハ除却ヲ必要トスル期間

五　許可ヲ申請セントスル事由

第四十六條　漁業令第三十一條第一項又ハ同令第三十二條第一項ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ本令第四十三條第一項第一號若ハ第三號又ハ前條第一號若ハ第三號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ變更セントスル事由ヲ具シ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

前項ノ場合ニ於テ前條第一號又ハ第三號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ許可ノ指令書ヲ、前項ノ場合ニ於テ其ノ變更セントスル事由ヲ申請書ニ添附スベシ

道知事本令第四十三條第一項第一號又ハ第三號ノ事項ノ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ免許ノ番號ニ係業許可ノ期間及年月日ヲ、前項ノ屆出ヲ受理シタルトキハ免許ノ番號、休業許可ノ期間及就業ノ年月日ヲ公告スベシ

第四十七條　漁業令第三十一條第一項ノ許可ヲ爲シタル場合ニ於テ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ除去ノ制限ニ付許可ヲ受ケタル者其ノ他ノ權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲スベシ

前項ノ補償ニ關シ協議調ハザルトキハ其ノ裁定ヲ道知事ニ申請スベシ

第四十八條　漁業令第三十二條第一項ノ規定ニ依リ土地ノ立入リ又ハ障碍物ノ變更若ハ除却ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

一　立入ルベキ土地ノ所在、地番、地目及區域又ハ變更若ハ除却スベキ障碍物ノ所在ノ場所、種類、數量及見積價格

二　立入ルベキ土地又ハ變更若ハ除却スベキ障碍物ノ所有者及占有者ノ氏名及住所

三　立入リ又ハ變更若ハ除却ヲ必要トスル事由

四　立入リ又ハ變更若ハ除却ヲ必要トスル期間

五　許可ヲ申請セントスル事由

第四十九條　漁業令第三十二條第一項又ハ同令第三十三條第一項ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ本令第四十三條第一項第一號若ハ第三號又ハ前條第一號若ハ第三號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ變更セントスル事由ヲ具シ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

前項ノ場合ニ於テ前條第一號又ハ第三號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ許可ノ指令書ヲ、前項ノ場合ニ於テ其ノ變更セントスル事由ヲ申請書ニ添附スベシ

道知事本令第四十三條第一項第一號又ハ第三號ノ事項ノ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ免許ノ番號ニ係業許可ノ期間及年月日ヲ、前項ノ屆出ヲ受理シタルトキハ免許ノ番號、休業許可ノ期間及就業ノ年月日ヲ公告スベシ

第五十條　漁業令第三十一條第一項ノ許可ヲ爲シタル場合ニ於テ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ除去ノ制限ニ付許可ヲ受ケタル者其ノ他ノ權利者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲スベシ

前項ノ補償ニ關シ協議調ハザルトキハ其ノ裁定ヲ道知事ニ申請スベシ

第五十一條　漁業令第三十二條第一項ノ規定ニ依リ土地ノ立入リ又ハ障碍物ノ變更若ハ除却ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

一　立入ルベキ土地ノ所在、地番、地目及區域又ハ變更若ハ除却スベキ障碍物ノ所在ノ場所、種類、數量及見積價格

二　立入ルベキ土地又ハ變更若ハ除却スベキ障碍物ノ所有者及占有者ノ氏名及住所

三　立入リ又ハ變更若ハ除却ヲ必要トスル事由

四　立入リ又ハ變更若ハ除却ヲ必要トスル期間

五　許可ヲ申請セントスル事由

第五十二條　漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依リ補償又ハ負擔ニ付裁定ヲ求メントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

一　使用スベキ土地ノ圖面

二　使用シントスル土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ制限スベキ立木竹若ハ土石ノ位置ヲ表シタル附近ノ土地及浴岸ノ連絡見取圖

三　入漁料ノ請求方法

四　入漁ヲ爲ス者ノ數

五　入漁料請求ニ關スル慣行

六　入漁料請求セントスル事由

第四十一條　漁業令第二十七條第一項ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入リ又ハ障碍物ヲ變更若ハ除却スル場合ニ於テハ許可ノ指令書ヲ、前條第二項其ノ他ノ事由ニ因リ許可ノ指令書ヲ携帶スルコト能ハザルトキハ府尹、郡守又ハ島司ノ證明書ヲ携帶スベシ

第五章　補償及裁定

第四十八條ノ二　漁業令第三十三條第一項ノ規定ニ依ル公告ハ使用シントスル土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物、立入ラントスル土地又ハ變更若ハ除却セントスル立木竹其ノ他障碍物所在ノ府邑面ノ掲示場ニ通知スベキ事項ヲ掲示シテ之ヲ爲スベシ

第四十九條　漁業令第十二條第一號若ハ第二號ノ規定ニ依リ漁業ノ免許若ハ許可ヲ取消シタル場合、同令第十二條第一號乃至第三號ノ規定ニ依リ免許若ハ許可シタル漁業ヲ停止シタル場合又ハ同令第三十六條第二項ノ規定ニ依リ除害設備ヲ命ジタル場合ニ於テ其ノ處分ニ因リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ朝鮮總督ハ損害ノ原因タル處分ニ因リ通常生ズベキ直接ノ損害ニ付其ノ一部ヲ補償スルコトヲ得

第五十條　漁業令第十二條第一號乃至第三號ノ規定ニ依リ漁業ノ免許又ハ許可シタル漁業ヲ制限シタル場合ニ於テ其ノ處分ニ因リ著シク損害ヲ受ケタル者アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ損害ノ原因タル處分ニ因リ通常生ズベキ直接ノ損害ニ付其ノ一部ヲ補償スルコトヲ得

第五十一條　前二條ノ規定ニ依リ補償ノ申請ヲ爲シタル場合ニ於テ前條第一號乃至第三號ノ規定ニ依ル處分ニ在リテハ其ノ處分アリタル日ノ翌日ヨリ、同令第三十六條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ在リテハ除害設備ノ完成シタル日ノ翌日ヨリ起算シ二月以内ニ其ノ事由ヲ具シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

前條第三項ノ規定ハ前項ノ裁定ノ申請ニ之ヲ準用ス

第五十二條　漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依リ補償又ハ負擔ニ付裁定ヲ求メントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

一　使用スベキ土地ノ圖面

二　使用シントスル土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ制限スベキ立木竹若ハ土石ノ位置ヲ表シタル附近ノ土地及浴岸ノ連絡見取圖

三　入漁料ノ請求方法

四　入漁ヲ爲ス者ノ數

五　入漁料請求ニ關スル慣行

六　入漁料請求セントスル事由

第四十一條　漁業令第二十七條第一項ノ規定ニ依リ漁業ニ關スル制限ヲ爲シタルトキハ漁業權者及入漁ヲ爲ス者ハ遲滯ナク左ニ掲グル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

一　免許ノ番號

二　制限ノ事項

三　制限ノ時期又ハ期間

四　協議調ヒタル年月日

第四十二條　入漁ヲ制限シ、停止シ若ハ禁止シ又ハ其ノ處分ヲ變更シ、解除シ若ハ取消シタルトキハ朝鮮總督ハ左ニ掲グル事項ヲ公告ス

一　免許ノ番號

二　處分ノ事項

三　處分ノ年月日

四　處分ヲ受ケタル者ノ氏名及住所

第四章　漁業權

第四十三條　漁業令第三十一條第一項ノ規定ニ依リ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ除去ノ制限ニ付許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ、前條第二項其ノ他ノ事由ニ因リ許可ノ指令書ヲ携帶スルコト能ハザルトキハ府尹、郡守又ハ島司ノ證明書ヲ携帶スベシ

第五章　補償及裁定

第四十八條ノ二　漁業令第三十三條第一項ノ規定ニ依ル公告ハ使用シントスル土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物、立入ラントスル土地又ハ變更若ハ除却セントスル立木竹其ノ他障碍物所在ノ府邑面ノ掲示場ニ通知スベキ事項ヲ掲示シテ之ヲ爲スベシ

第四十九條　漁業令第十二條第一號若ハ第二號ノ規定ニ依リ漁業ノ免許若ハ許可ヲ取消シタル場合、同令第十二條第一號乃至第三號ノ規定ニ依リ免許若ハ許可シタル漁業ヲ停止シタル場合又ハ同令第三十六條第二項ノ規定ニ依リ除害設備ヲ命ジタル場合ニ於テ其ノ處分ニ因リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ朝鮮總督ハ損害ノ原因タル處分ニ因リ通常生ズベキ直接ノ損害ニ付其ノ一部ヲ補償スルコトヲ得

第五十條　漁業令第十二條第一號乃至第三號ノ規定ニ依リ漁業ノ免許又ハ許可シタル漁業ヲ制限シタル場合ニ於テ其ノ處分ニ因リ著シク損害ヲ受ケタル者アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ損害ノ原因タル處分ニ因リ通常生ズベキ直接ノ損害ニ付其ノ一部ヲ補償スルコトヲ得

第五十一條　前二條ノ規定ニ依リ補償ノ申請ヲ爲シタル場合ニ於テ前條第一號乃至第三號ノ規定ニ依ル處分ニ在リテハ其ノ處分アリタル日ノ翌日ヨリ、同令第三十六條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ在リテハ除害設備ノ完成シタル日ノ翌日ヨリ起算シ二月以内ニ其ノ事由ヲ具シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

前條第三項ノ規定ハ前項ノ裁定ノ申請ニ之ヲ準用ス

第五十二條　漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依リ補償又ハ負擔ニ付裁定ヲ求メントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

一　使用スベキ土地ノ圖面

二　使用シントスル土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ制限スベキ立木竹若ハ土石ノ位置ヲ表シタル附近ノ土地及浴岸ノ連絡見取圖

三　入漁料ノ請求方法

四　入漁ヲ爲ス者ノ數

五　入漁料請求ニ關スル慣行

六　入漁料請求セントスル事由

第四十一條　漁業令第二十七條第一項ノ規定ニ依リ漁業ニ關スル制限ヲ爲シタルトキハ漁業權者及入漁ヲ爲ス者ハ遲滯ナク左ニ掲グル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

一　免許ノ番號

二　制限ノ事項

三　制限ノ時期又ハ期間

四　協議調ヒタル年月日

第四十二條　入漁ヲ制限シ、停止シ若ハ禁止シ又ハ其ノ處分ヲ變更シ、解除シ若ハ取消シタルトキハ朝鮮總督ハ左ニ掲グル事項ヲ公告ス

一　免許ノ番號

二　處分ノ事項

三　處分ノ年月日

四　處分ヲ受ケタル者ノ氏名及住所

第四章　漁業權

第四十三條　漁業令第三十一條第一項ノ許可

項ヲ沼載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

一　免許ノ番號
二　制限ヲ爲サントスル事項
三　制限ヲ爲サントスル時期又ハ期間
四　制限ヲ爲サントスル事由
五　對手方ノ氏名及住所
六　申請ノ事由

專用漁業ノ漁業權者又ハ入漁ヲ爲ス者二人以上アル場合ニ於テ其ノ一部ノ者ト協議調ハザルカ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザル爲漁業令第六十五條ノ規定ニ依リ裁定ヲ求メントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

一　對手方ノ氏名及住所
二　申請ノ目的及事由
三　申請ノ日時及事由

前項ノ申請書ニハ證據書類ヲ添附スベシ

第五十六條　前三條ノ申請書ニハ關係人ト交渉シタル顚末書又ハ交渉ヲ爲スコト能ハザル事由書竝ニ關係人ノ數ニ相當スル申請書及關係書類ノ副本ヲ添附スベシ

第五十七條　前條第二項ノ規定ニ依リ告知書ノ送達ヲ受ケタル場合ニ於ケル意見書ノ差出期間ハ送達ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ起算シ二月以内トス

前項ノ期間内ニ意見書ヲ差出サザルトキハ意見ナキモノト看做ス

第五十八條　朝鮮總督又ハ道知事第五十一條乃至第五十五條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ第五十一條又ハ第五十二條ノ場合ニ在リテハ第五十一條又ハ第五十二條ノ規定ニ依リ裁定ヲ求メントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

一　對手方ノ氏名及住所
二　申請ノ目的及事由

前項ノ申請書ニハ證據書類ヲ添附スベシ

第五十九條　裁定又ハ補償若ハ負擔ノ決定理由ヲ附シタル文書ヲ以テ之ヲ爲シ朝鮮總督又ハ道知事ハ遲滯ナク其ノ裁定書又ハ決定書ノ謄本ヲ關係人ニ送達スベシ

第六十條　漁業令第六十一條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル補償若ハ負擔ノ決定又ハ同令第六十六條ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタル場合ニ於テ第三項、第六十三條第二項若ハ第四項ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタル者又ハ道知事ハ第六十六條ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタル者ハ其ノ裁定ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三月以内ニ裁定又ハ補償ノ決定ヲ爲スベシ

第六十一條　漁業令第六十一條若ハ第二項ノ規定ニ依ル補償若ハ負擔ノ決定又ハ同令第六十六條ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタル場合ニ於テ第三項、第六十三條第二項若ハ第四項ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタル者又ハ道知事ハ第六十六條ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタル者ハ其ノ裁定ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三月以内ニ裁定又ハ補償ノ決定ヲ爲スベシ

第六十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第六條ノ規定ニ依リ利害關係人ヲ呼出シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ準ジ之ニ旅費及手當ヲ支給スルコトヲ得

第六章　罰則

第六十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第六條ノ規定ニ依リ利害關係人ヲ呼出シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ準ジ之ニ旅費及手當ヲ支給スルコトヲ得

第六十一條　前條ノ規定ニ依リ鑑定人又ハ通譯參考人ヲ呼出シタル場合ニ於テハ之ニ旅費及手當ヲ支給スルコトヲ得

漁業ノ名稱	保護區域	保護區域圖解
大敷網漁業 大袋網漁業 角網漁業	沖出綱及沖出延長綱三百メートルノ水面	綱五十メートルヲ合シタル沖側ノ長サ二百二十メートル以上ノモノ 綱五十メートルヲ合シタル身網部ノ長サ二百二十メートル以上ノモノ ノモノ及後面二百五十メートル未滿ノモノ

（圖：保護區域圖解）

漁業ノ名稱	保護區域	保護區域圖解
大敷網漁業 大袋網漁業 角網漁業	面積二千七百五十メートル以上ノ水面	沖出綱及沖出延長綱三百メートルノ水面

（圖：保護區域圖解）

甲　身網及垣網ヲ有スルモノ

漁業ノ名稱	保護區域	保護區域圖解
大敷網漁業 大袋網漁業 角網漁業	面積二千七百五十メートル以上ノ水面	沖出綱（沖出綱ヨリ身網部寄ニ平行ニ張ル綱ヲ謂フ以下之ニ同ジ）及沖出綱ノ身網部ヨリ延長シタル綱以下之ニ同ジ）五百五十メートル以上ノモノ

（圖：保護區域圖解）

第三條　漁業ノ免許ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ漁業ノ種類毎ニ漁場ヲ管轄スル地方廳ニ出願スヘシ

一　漁業ノ種類及漁場ノ區域

二　漁具ノ構造及其ノ設置ノ方法

三　漁船ノ名稱、數、種類及總噸數

四　漁業ノ時期

五　漁業ノ期間

六　漁業ノ組合ヲ設ケントスルトキハ其ノ名稱

七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

四十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

四十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

四十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

四十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

四十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

四十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

四十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

四十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

四十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

四十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

五十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

五十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

五十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

五十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

五十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

五十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

五十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

五十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

五十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

五十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

六十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

六十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

六十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

六十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

六十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

六十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

六十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

六十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

六十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

六十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

七十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

七十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

七十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

七十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

七十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

七十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

七十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

七十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

七十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

七十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

八十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

八十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

八十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

八十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

八十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

八十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

八十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

八十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

八十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

八十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

九十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

九十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

九十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

九十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

九十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

九十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

九十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

九十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

九十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

九十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百二十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百二十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百二十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百二十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百二十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百二十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百二十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百二十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百二十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百二十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百三十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百三十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百三十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百三十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百三十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百三十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百三十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百三十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百三十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百三十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百四十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百四十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百四十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百四十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百四十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百四十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百四十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百四十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百四十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百四十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百五十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百五十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百五十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百五十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百五十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百五十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百五十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百五十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百五十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百五十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百六十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百六十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百六十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百六十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百六十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百六十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百六十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百六十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百六十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百六十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百七十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百七十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百七十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百七十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百七十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百七十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百七十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百七十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百七十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百七十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百八十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百八十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百八十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百八十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百八十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百八十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百八十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百八十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百八十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百八十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百九十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百九十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百九十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百九十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百九十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百九十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百九十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百九十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百九十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

百九十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百二十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百二十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百二十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百二十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百二十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百二十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百二十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百二十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百二十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百二十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百三十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百三十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百三十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百三十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百三十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百三十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百三十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百三十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百三十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百三十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百四十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百四十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百四十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百四十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百四十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百四十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百四十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百四十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百四十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百四十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百五十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百五十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百五十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百五十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百五十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百五十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百五十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百五十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百五十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百五十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百六十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百六十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百六十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百六十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百六十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百六十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百六十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百六十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百六十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百六十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百七十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百七十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百七十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百七十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百七十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百七十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百七十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百七十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百七十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百七十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百八十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百八十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百八十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百八十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百八十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百八十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百八十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百八十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百八十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百八十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百九十　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百九十一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百九十二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百九十三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百九十四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百九十五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百九十六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百九十七　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百九十八　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

二百九十九　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三百　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三百一　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三百二　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

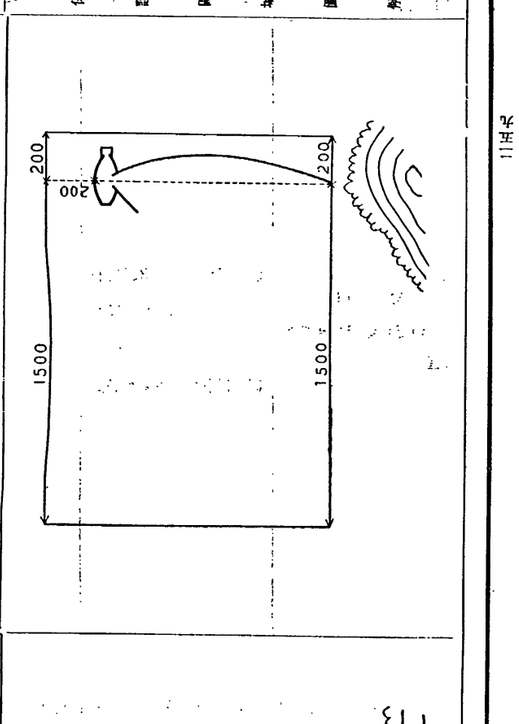
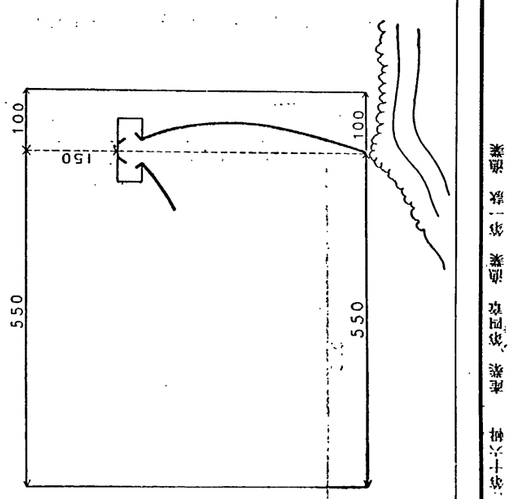
三百三　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

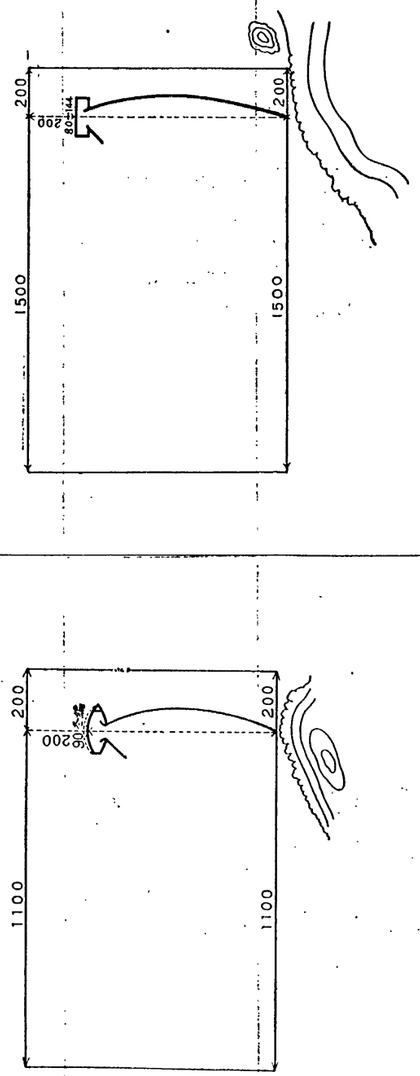
三百四　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三百五　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三百六　漁業ノ組合ニ加入シテ漁業ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合ノ名稱

三

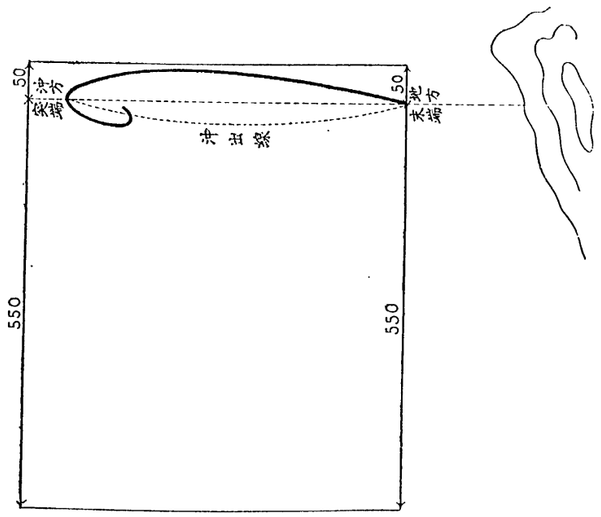
漁業ノ名稱	保護區域	保護區域圖解
小型定置漁業	沖出線及沖出延長線ニ百メートルヲ合シタル線ノ前面千五百メートル及後面千メートルノ水面	
飼付漁業	沖出線及沖出延長線百五十メートルヲ合シタル線ノ前面千五百メートル及後面百五十メートルノ水面	

漁業ノ名稱	保護區域	保護區域圖解
大敷網漁業 大謀網漁業 角網漁業	沖出線及沖出延長線ニ百メートルヲ合シタル線ノ前面千五百メートル及後面千メートルノ水面	
大敷網漁業 大謀網漁業 角網漁業	沖出線及沖出延長線ニ百メートルヲ合シタル線ノ前面千百メートル及後面二百メートルノ水面	

漁業ノ名稱	保護區域	保護區域圖解
建網（曲建網ヲ使用スルモノヲ除ク） 三隻ニ限ル	沖出綱及沖出延長線ヨリ十メートルヲ合シタル線ノ前面五百五十メートル及後面五十メートルノ水面	

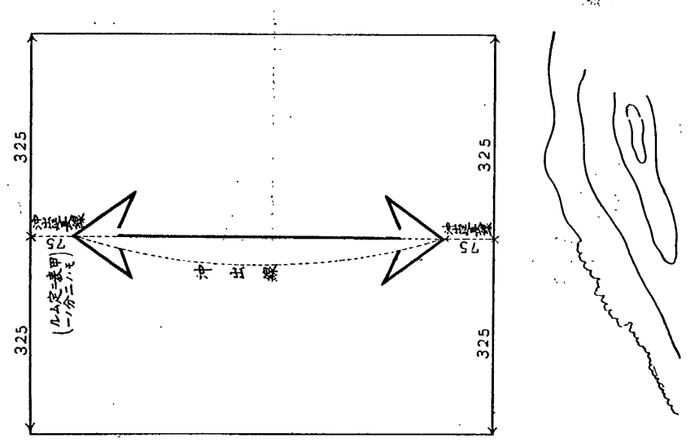
備考

例一　曲建網ノ沖出綱ハ漁具ノ地方突端ヨリ沖方突端ニ至ル線トス



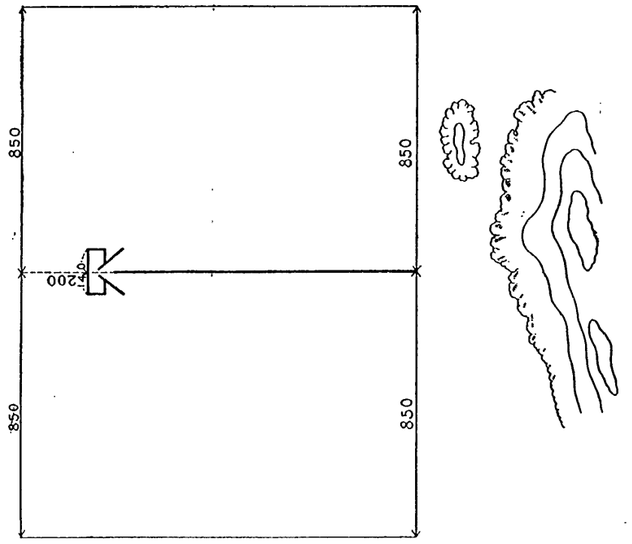
二　垣網ノ側端ニ身網ヲ有スルモノノ沖出綱、同身網部分側中央ヲ起終シタル線トシ合沖出延長線ハ甲乙ヲ定ムルモノノ二分ノ一トス

例（垣網ノ側端ニ身網ヲ有スル場合ノ例）



三　垣網ノ左右ニ網口ヲ有スルモノニ在リテハ沖出綱及沖出延長線ノ前後側面ニ於テ甲乙ヲ定ムルノ二分ノ一ノ水面トス

例（身網ヲ以テ沖出綱ノ長サ百四十メートルノ角網ニシテ垣網ノ先右ニ網口ヲ備フルモノヲ使用シテ恰モ角網ノ例）



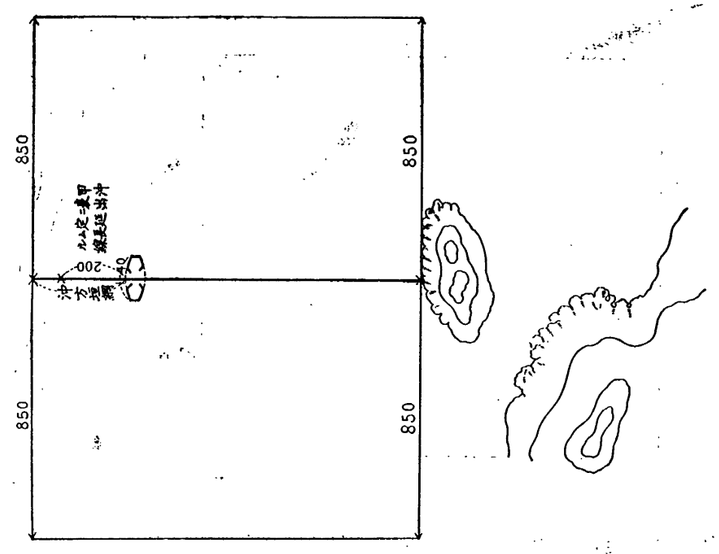
乙　地盤垣縄ノミヲ有スルモノ

漁業ノ名称	保護区域	保護区域図解
小成底建網漁業 刺網漁業 流し網漁業	口前線（固縛垣縄ノ水面ヨリ測起シタル線ノ二百メートルヲ超エザル線ノ二百メートルチ隔テ口前線ニ並行スル線ノ二百メートル各シ（口之ニ同シ）及口前線以下之ニ同シ）ノ水面及其ノ外方二百メートルノ水面	200 200 200 200 200 口前線 900 900
釧建網漁業 刺網漁業 流し網漁業	口前線及口前線ヨリ百メートルチ合シタル線ノ水面及其ノ外方百メートルノ水面	100 100 100 100 350 350

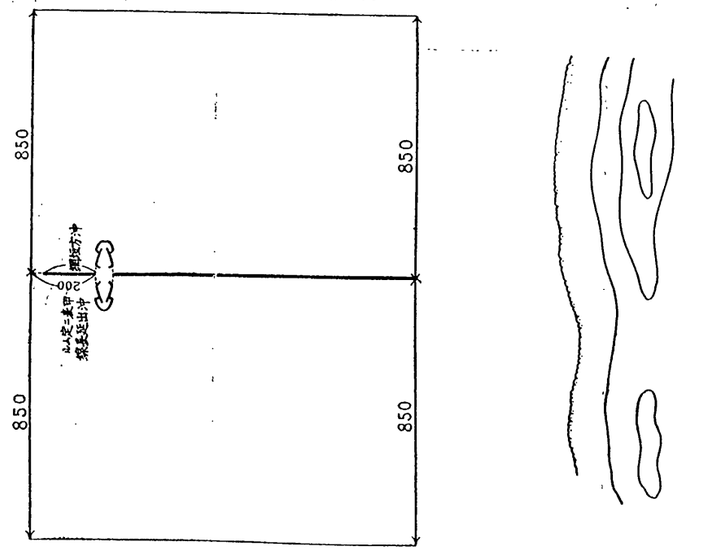
11糎

四　側面中央ニ於ケル垣縄ノ外出口及之ニ対スル垣縄ヲ有スルモノノ外出延長線ヨリ身網始外方垣縄ノ末端ヨリ身網始外側面中央ニ至ル線ノ長サニ依リ短キトキハ沖出延長線ヨリ身網始外方垣縄ノ末端ヨリ身網始外側面中央ニ至ル線ノ長サニ依リ短キモノ

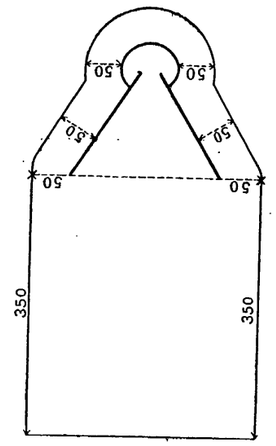
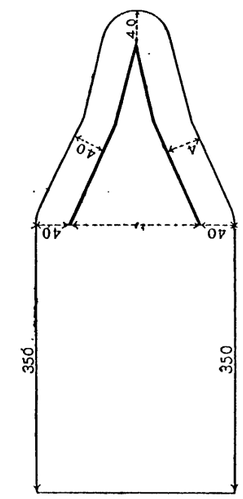
例一　沖方垣縄ガ沖出延長線ヨリ長キモノ（身網始手前沖側ノ長サ百四十メートルノ八角網ノ例）

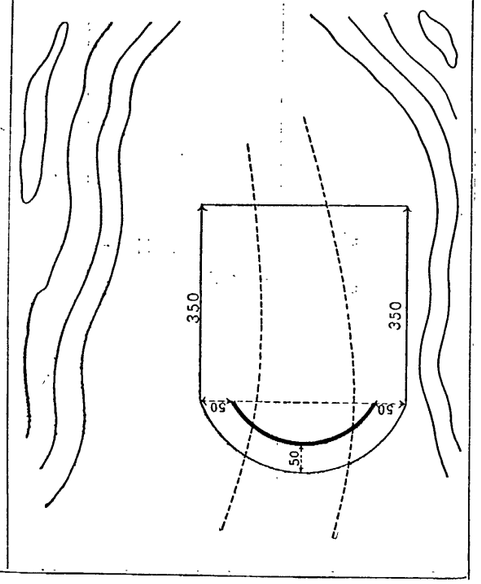
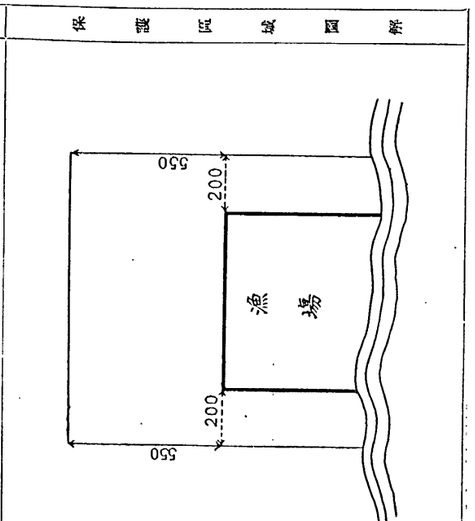


例二　沖側垣縄ガ沖出延長線ヨリ短キモノ（小袋網ノ例）

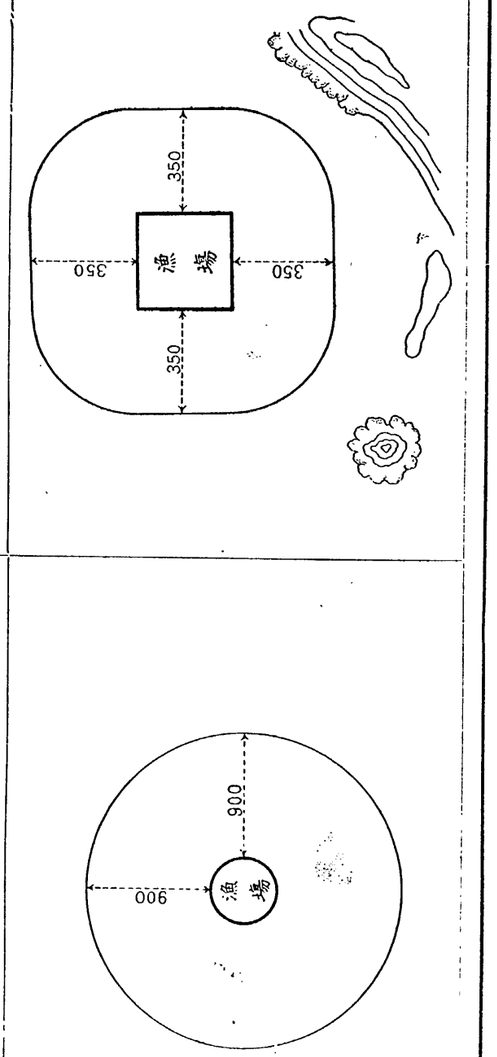
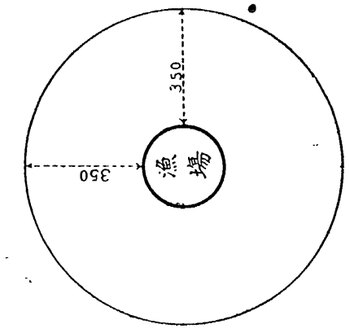
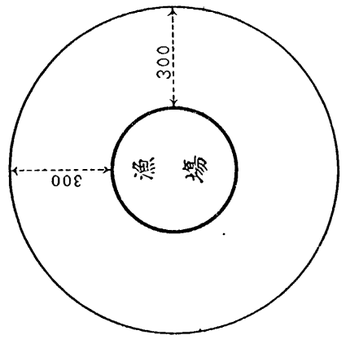


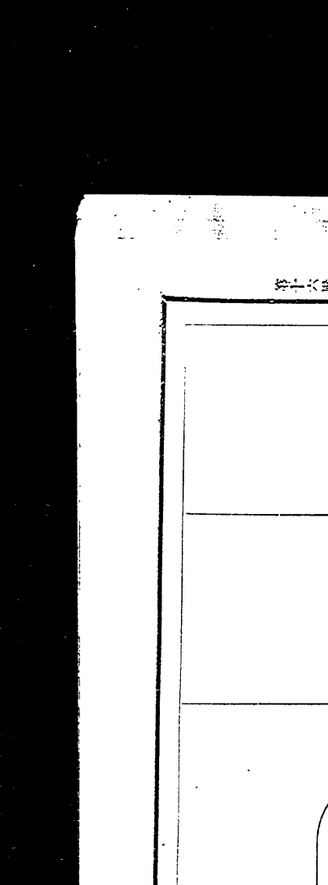
五　釧ノ囲ハズ又ハ囲網ノ身網ト称スル

漁業ノ名稱	保護區域	保護區域圖解
漁業	口前線及口前延長線各五十メートルヲ合シタル線ノ前面三百五十メートルノ水面及漁具ノ外方五十メートルノ水面	
漁業	口前線及口前延長線各四十メートルヲ合シタル線ノ前面三百五十メートルノ水面及漁具ノ外方四十メートルノ水面	

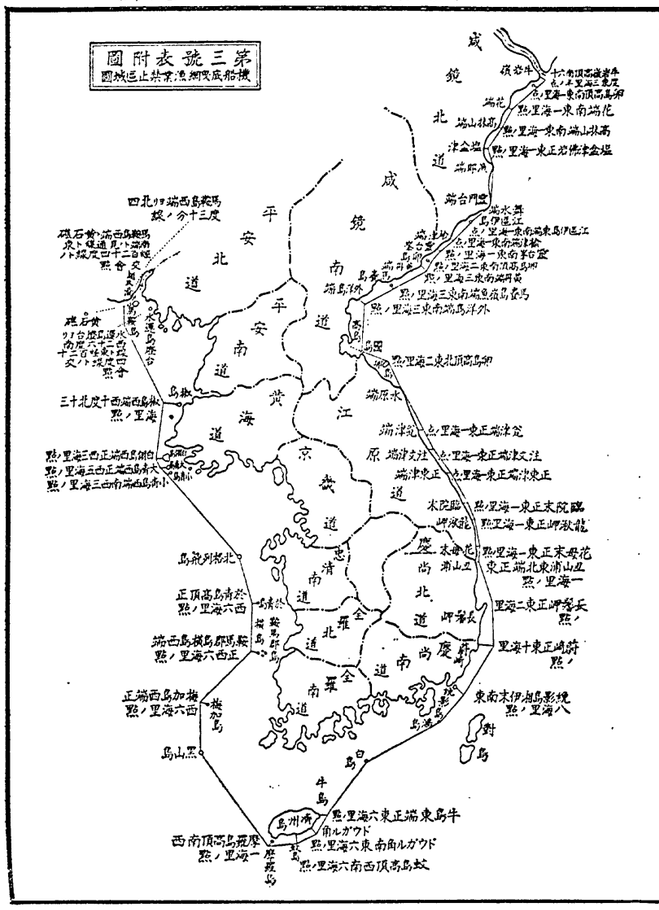
漁業ノ名稱	保護區域	保護區域圖解
總延延 （曲ヲ除ク） 干潮線ヨリ使用漁具ヲ入レテ漁業	口前線及口前延長線各五十メートルヲ合シタル線ノ前面三百五十メートルノ水面及漁具ノ外方五十メートルノ水面	
防船地 阡 潮 漁 漁業	面シタル各五十メートルヲ合シタル線及漁港側側線ノ延長線（沖合線）ニ面シ漁港ニ接セサル側ニ面シ及漁港沖合線ノ前面ニ百メートルノ水面ヲ合シタル線ノ前面三百五十メートルノ水面外方一延長線（沖合線）ニ面シ漁港ニ接セサル側ニ面シ及漁港沖合線ノ前面ニ百メートルノ水面外方一延長線（沖合線）ニ面シ漁港ニ接セサル側ニ面シ及漁港沖合線ノ前面ニ百メートルノ水面外方一延長線（沖合線）ニ面シ漁港ニ接セサル側ニ面シ及漁港沖合線ノ前面ニ百メートルノ水面外方一延長線（沖合線）ニ面シ漁港ニ接セサル側ニ面シ及漁港沖合線ノ前面ニ百メートルノ水面外方一延長線（沖合線）ニ面シ漁港ニ接セサル側ニ面シ及漁港沖合線ノ前面ニ百メートルノ水面外方一延長線	

何其ノ他ノモノ

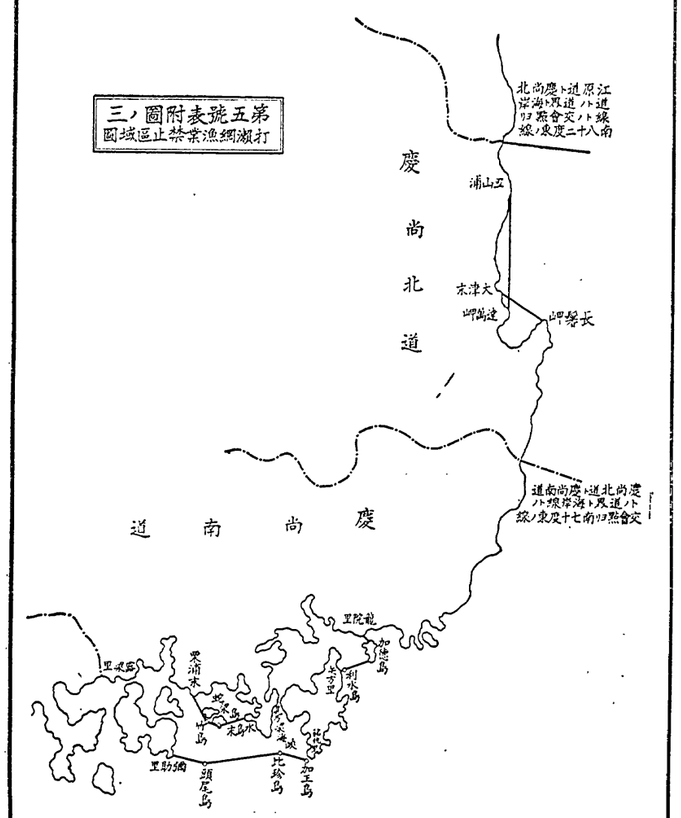
漁業ノ名称	保護区域	保護区域図解
捕鯨業	漁場ノ周囲三百五十メートルノ水面	
捕鯨業ノ附属漁業	漁場ノ周囲九百メートルノ水面	
飼付漁業（鯨ノ飼付ヲ目的トスルモノヲ除ク）	漁場ノ周囲三百五十メートルノ水面	
飼付漁業（鯨ノ飼付ヲ目的トスルモノヲ除ク）	漁場ノ周囲三百メートルノ水面	


漁場
100
100
100
100

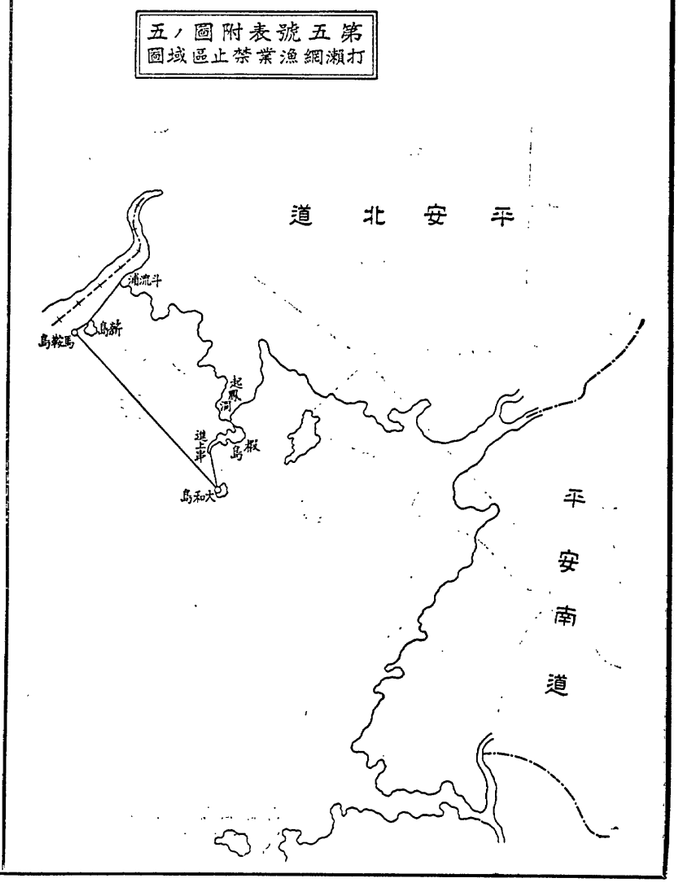
第三號表附圖
機船底曳網漁業特別禁止區域圖


咸鏡北道
咸鏡南道
平安北道
平安南道
黃海道
京畿道
忠清南道
全羅北道
全羅南道
慶尚北道
慶尚南道
濟州島
鬱陵島
端花
端水舁
端台雲
端卵源
端原水
端津筧
端津東正
端津輸
端山抹高
津金塩
端岩牛
島卵
島伊邑江
島養馬
島白牛
島對馬
島山黒
島松列花北
島飛龍
島加梅
島船舶
島鳥海
島山竹
島山竹
島山竹

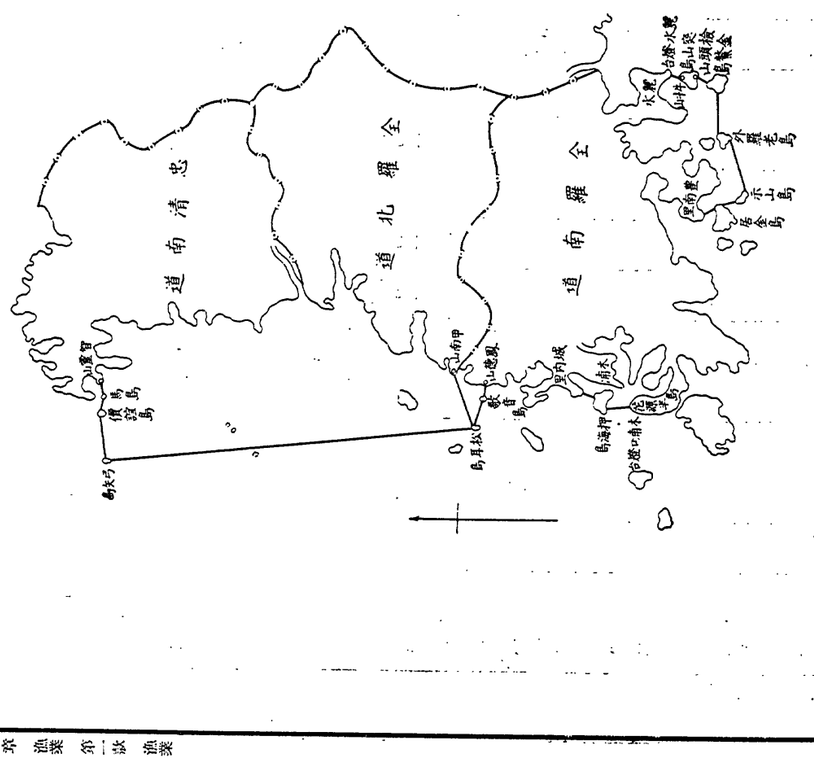
第五號表附圖ノ三
圖域區止禁業漁網瀨打



第五號表附圖ノ五
圖域區止禁業漁網瀨打



第五號表附圖ノ四
圖域區止禁業漁網瀨打



第六號表

第五條ノ水産動植物ノ採捕禁止區域及期間

種別 ＼ 期間 ＼ 區域	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ゐ	ゑ	を	ん
成鏡北道	至自四月十九日	同上							至自六月一日	同上																											至自十一月一日	同上										
成鏡南道	同上	同上							同上	同上																											同上	同上										
江原道	同上	同上							同上	同上																											同上	同上										
慶尚北道	同上	同上							同上	同上																											同上	同上										
慶尚南道	同上	同上							同上	同上																											同上	同上										
全羅南道	同上	同上							同上	同上																											同上	同上										
全羅北道	同上	同上							同上	同上																											同上	同上										
忠清南道	同上	同上							同上	同上																											同上	同上										
忠清北道	同上	同上							同上	同上																											同上	同上										
京畿道	同上	同上							同上	同上																											同上	同上										
黄海道	同上	同上							同上	同上																											同上	同上										
平安南道	同上	同上							同上	同上																											同上	同上										
平安北道	同上	同上							同上	同上																											同上	同上										

備考　魚類ノ鰐長ハ吻端ヨリ尾鰭サトス

第七號表

第五條ノ水産動植物中特別採捕禁止區域及期間

種別 ＼ 期間 ＼ 區域	あ	ゆ
(三浜ヨリ江流度ノ渡江而碧潼郡ノ下船ト雲山郡ノ境地ノ一南房而郡ノ中渚傍ヨリ川州郡迄船ノ谷里ト中流ノ谷里ト上流ノ地点ニ至ル間ノ江流ニ於ケル鮭鱒ノ採捕ヲ禁ス)	至自十月一日来一月末日	至自十月一日来一月末日
慶尚北道ノ東海岸ニ於ケル蟹ノ採捕ヲ禁ス	至自五月一日来七月末日	至自五月一日来七月末日
慶尚南道ノ東海岸ニ於ケル蟹ノ採捕ヲ禁ス	至自五月一日来七月末日	至自五月一日来七月末日
全羅南道ノ東海岸ニ於ケル蟹ノ採捕ヲ禁ス	至自五月一日来七月末日	至自五月一日来七月末日
全羅北道ノ東海岸ニ於ケル蟹ノ採捕ヲ禁ス	至自五月一日来七月末日	至自五月一日来七月末日
忠清南道ノ東海岸ニ於ケル蟹ノ採捕ヲ禁ス	至自五月一日来七月末日	至自五月一日来七月末日
忠清北道ノ東海岸ニ於ケル蟹ノ採捕ヲ禁ス	至自五月一日来七月末日	至自五月一日来七月末日
京畿道ノ東海岸ニ於ケル蟹ノ採捕ヲ禁ス	至自五月一日来七月末日	至自五月一日来七月末日
黄海道ノ東海岸ニ於ケル蟹ノ採捕ヲ禁ス	至自五月一日来七月末日	至自五月一日来七月末日
平安南道ノ東海岸ニ於ケル蟹ノ採捕ヲ禁ス	至自五月一日来七月末日	至自五月一日来七月末日
平安北道ノ東海岸ニ於ケル蟹ノ採捕ヲ禁ス	至自五月一日来七月末日	至自五月一日来七月末日

第一號様式

機船底曳網漁業ニ使用スル機船ニ表示スベキ許可ノ記號及番號

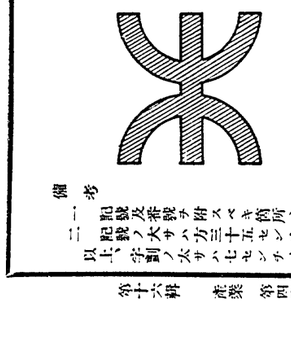
備考

一　番號ハ四個ノ算用數字ヲ以テ記載スルコト

二　記號及番號ハ船首ノ兩側ニ於テ見易キ所ノ地色ト著シク對照スル白色ノ塗料ヲ以テ左ノ大サニ明記スルコト

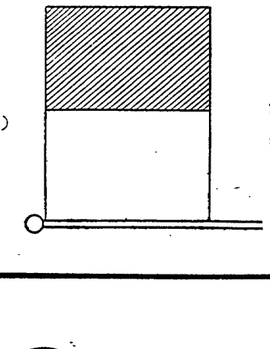
イ　記號ハ長サ方三十五センチメートル以上ノローマ字ノ大文字トシ其ノ太サハ五センチメートル以上トス

ロ　番號ハ高サ三十五センチメートル以上ノ算用數字トシ其ノ太サハ五センチメートル以上トス



第二號様式

停船信號旗



●朝鮮漁業令施行規則第一項ノ規定ニ依ル漁業ノ免許及漁業ノ名稱

漁業ノ名稱	漁業ノ種類	漁具ノ名稱
大敷網漁業	大敷網	大敷網
大謀網漁業	大謀網、北海道式改良大謀網	大謀網
角網漁業	角網、八角網、櫛形網、ほら穴網	角網、八角網、櫛形網、ほら穴網
行成網漁業	行成網、築網	行成網、築網
小袋網漁業	小袋網	小袋網
落刺、棧橋刺、張網、搭口網	落刺、棧橋刺、張網、搭口網	

漁業ノ名稱	漁業ノ種類	漁具ノ名稱
刺網漁業	刺網、ふくろ刺網、すだれ刺網、さし網、刺ぶり刺網、刺ぶり、お神刺網、ゆ神刺網、刺えび刺網、ひっかけ刺網、さし刺網、刺網、ちょう刺網、まき刺網	漁具
石建網漁業	石建網	石建網
防陣網漁業	防陣網	防陣網
鮭鱒流網漁業	鮭鱒流網	鮭鱒流網
手繰網漁業	手繰網、五智網	手繰網、五智網
桁網漁業	桁網、海渠莞辺網	桁網、海渠莞辺網

漁業ノ名稱	漁業ノ種類	漁具ノ名稱
敷網漁業	敷網、二艘張網、四艘張網、六艘張網、八艘張網、奕谷抄網	敷網、二艘張網、四艘張網、六艘張網、八艘張網、奕谷抄網
桂木網漁業	桂木網	桂木網
鮫鰊刺網漁業	鮫鰊刺網	鮫鰊刺網
中船網漁業	中船網、改船網	中船網、改船網
弓船網漁業	弓船網	弓船網
桁網漁業	桁網、張網、三角網、底刳網	桁網、張網、三角網、底刳網
建干網漁業	建干網、非網、立廻網、設網、庇網	建干網、非網、立廻網、設網、庇網
巾着網漁業	巾着網	巾着網
掛廻漁業	掛廻漁業	掛廻漁業

漁業ノ名稱	漁業ノ種類	漁具ノ名稱
打瀬網漁業	打瀬網	打瀬網、羽平刺、斬打瀬網
潜網漁業	えび潜網	えび潜網

漁業ノ名稱	漁業ノ種類	漁具ノ名稱
地曳網漁業	地曳網、揚繰網、重曳網、地漕網	地曳網、揚繰網、重曳網、地漕網
船曳網漁業	船曳網、推現網、船曳立網、中曳網、潜曳網、掬網	船曳網、推現網、船曳立網、中曳網、潜曳網、掬網

漁業ノ名稱	漁業ノ種類	漁具ノ名稱
坪網漁業	坪網、底人坪建網、底刳網、簗網、三角網	坪網、底人坪建網、底刳網、簗網、三角網
建網漁業	建網、従船網、建切網、曲建網	建網、従船網、建切網、曲建網
建干網漁業	建干網、掛網、立廻網、設網、庇網	建干網、掛網、立廻網、設網、庇網
袋網漁業	袋網、桂木網、長袋網	袋網、桂木網、長袋網
刺網漁業	刺網、防底網、網刺	刺網、防底網、網刺
建網漁業	建網、桁網、張網、建廻網、建切網、曲建網	建網、桁網、張網、建廻網、建切網、曲建網
坪網漁業	坪網、底人坪建網、底刳網、簗網、三角網	坪網、底人坪建網、底刳網、簗網、三角網

漁業ノ名稱	漁業ノ種類	漁具ノ名稱
漁業ノ名稱	漁業ノ種類	漁具ノ名稱
地曳網漁業	地曳網、揚繰網、重曳網、地漕網	地曳網、揚繰網、重曳網、地漕網
船曳網漁業	船曳網、推現網、船曳立網、中曳網、潜曳網、掬網	船曳網、推現網、船曳立網、中曳網、潜曳網、掬

漁業ノ指定

昭和四年十二月
總督令第四百八十二號

朝鮮漁業令施行規則第三十條第一項ノ規定ニ依リ朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ左ニ掲グル漁業ヲ指定ス

一　捕鯨漁業
二　工船漁業
三　機船底曳網漁業
四　打瀬網漁業
五　敷網漁業
六　山青網漁業
七　揚繰網漁業
八　流網漁業
九　延縄漁業（機船ヲ使用シテ爲スモノニ限ル）

●捕鯨漁業ノ操業區域及許可ノ定限數

昭和四年十二月
總督令第四百七十八號

朝鮮漁業令施行規則第十七條ノ規定ニ依ル捕鯨漁業ノ操業區域及許可ノ定限數朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ左ノ通定ム

大正六年朝鮮總督府告示第二百四十七號（漁業令規行規則第三十一條ニ依ル第一種許可漁業ノ船數ノ定限）ハ之ヲ廢止ス

捕鯨漁業ノ操業區域及許可ノ定限數表

操業區域	許可ノ定限數
朝鮮沿海及其ノ沖合	十二

●機船底曳網漁業ノ操業區域及許可ノ定限數

昭和八年十一月
總督令第五百七十七號

朝鮮漁業令施行規則第十七條ノ規定ニ依ル機船底曳網漁業ノ操業區域及許可ノ定限數朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ左ノ通定ム

昭和八年十一月二十八日ヨリ左ノ通定ム

昭和四年朝鮮總督府告示第四百七十九號（機船底曳網漁業ノ操業區域及許可ノ定限數）ハ之ヲ廢止ス

機船底曳網漁業ノ操業區域及許可ノ定限船數表

區別	操業區域	許可ノ定限船數
第一區	咸鏡北道ト咸鏡南道トノ道界ト海岸線トノ交會點南五十六度東ノ線以北ノ海面	五〇
第二區	咸鏡北道ト咸鏡南道トノ道界ト海岸線トノ交會點南五十六度東ノ線及江原道ト慶尚北道トノ道界ト海岸線トノ交會點南八十二度東ノ線間ノ海面	四五
第三區	江原道ト慶尚北道トノ道界ト海岸線トノ交會點南八十二度東ノ線及慶尚北道ト慶尚南道トノ道界ト海岸線トノ交會點南七十三度東ノ線間ノ海面	二〇
第四區	慶尚北道ト慶尚南道トノ道界ト海岸線トノ交會點南七十三度東ノ線並ニ慶尚南道河東郡南面加引浦南岬ヨリ同面大島西端ヲ經テ同道南海島德山末ニ至ル線及南海島以里山頂ヨリ全羅南道麗水郡南面鵲島高頂ヲ見通シタル線間ノ海面	三〇
第五區	慶尚南道河東郡南面加引浦南岬ヨリ同面大島西端ヲ經テ同道南海島德山末ニ至ル線及南海島以里山頂ヨリ全羅南道麗水郡南面鵲島高頂ヲ見通シタル線並ニ全羅北道沃溝郡米面煙島北端及同面於靑島北端ヲ見通シタル線間ノ海面	六五
第六區	全羅北道沃溝郡米面煙島北端及同面於靑島北端ヲ見通シタル線以北ノ海面	四五

●潛水器漁業ノ操業區域及許可ノ定限數

昭和四年十二月
總督令第四百八十號

朝鮮漁業令施行規則第十七條ノ規定ニ依ル潛水器漁業ノ操業區域及許可ノ定限數表

操業區域	許可ノ定限數
第一區	四三
第二區	六一
第三區	四七
第四區	一七

江原道江陵郡注文津端正東線以北ノ海面

江原道江陵郡新里面注文津端正東線以北ノ海面

慶尚南道河東郡南面加引浦南岬ヨリ同面大島西端ヲ經テ同道南海郡古縣面德山末ニ至ル線及同郡南面以里山頂ヨリ全羅南道麗水郡南面鵲島高頂ヲ見通シタル線間ノ海面

慶尚南道河東郡南面加引浦南岬ヨリ同面大島西端ヲ經テ同道南海郡古縣面德山末ニ至ル線及同郡南面以里山頂ヨリ全羅南道麗水郡南面鵲島高頂ヲ見通シタル線間ノ海面

全羅北道沃溝郡米面簑雀島北端及同面稷島北端ヲ見通シタル線以北ノ海面

水器漁業ノ操業區域及許可ノ定限數朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ左ノ通定ム

明治四十四年朝鮮總督府告示第二百四十六號（漁業令施行規則第三十一條ニ依ル第三種許可漁業ノ漁場區域及裏數ノ定限）ハ之ヲ廢止ス

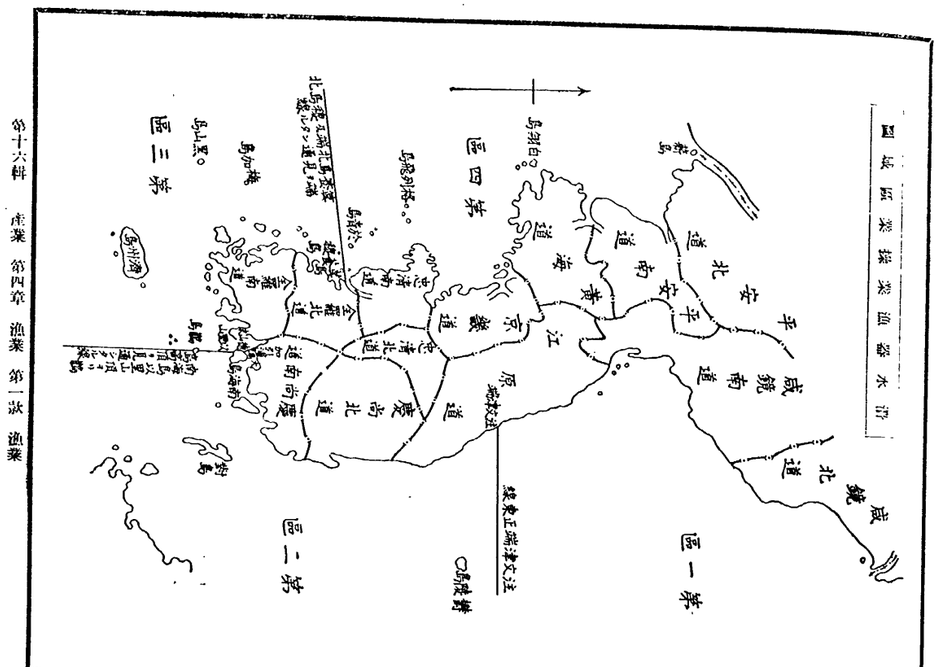


圖 域 區 業 操 業 漁 鮮 水 滿
咸鏡北道
咸鏡南道
平安北道
平安南道
江原道
京畿道
忠淸南道
忠淸北道
全羅北道
全羅南道
慶尚北道
慶尚南道
區一第
區二第
區三第
區四第
鬱陵島
海馬島
鳥加島
鳥島
鳥島
鳥

朝鮮漁業令施行規則ニ依リ行政官廳ニ提出スベキ漁業ニ關スル屆書、願書及屆出ノ書式

●朝鮮漁業令施行規則ニ依リ行政官廳ニ提出スベキ漁業ニ關スル屆書、願書及屆出ノ書式

總督府令第四百年八十一月十二日
改正 總督府令第○百九十號

得業漁業ニ關スル屆書、願書及屆出ノ書式

一　調製ノ非面心得

イ　調製ニ關スル心得

(一)　各種ノ書式ニ依リ屆書、願書及屆出ノ書式ニ依リ屆書、願書及屆出ノ書式ニ依リ屆書、願書及屆出

第一號　朝鮮漁業令第二條ノ許可ノ申請書

朝鮮漁業令第二條ノ許可申請

利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域

何道何郡（府）何面（町）何里（洞）何番地別紙圖面ノ通

利用ノ制限ヲ爲サントスル事項

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル時期

何月何日ヨリ　迄

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル期間

何　利用ノ年

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル水面ニ於ケル漁業ノ狀況

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル非由

前記何々ノ水面ノ利用制限（禁止）ノ許可相受ケタシ

住所

年　月　日

氏名　㊞

道知事　殿

（注意）

一　添附書類ノ炎示

一　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域圖　一通

一　漁業權ヲ有スル者（及慈惠ヲ爲ス者）ノ同意ヲ得ルコトヲ證スベキ書面（漁業權ノ所有者ノ同意ヲ得ルコトヲ證スル書面ハ一通）

非由書）　一通

第二號　朝鮮漁業令第二條ノ許可事項ノ變更ノ許可申請書

朝鮮漁業令第二條ノ許可事項ノ變更許可申請

一　何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域

二　何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル非項

何道何郡（府）何面（町）何里（洞）何番地別紙圖面ノ通

何　利用ノ制限ヲ爲サントスル事項

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル時期

何月何日ヨリ　迄

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル期間

何　利用ノ年

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル水面ニ於ケル漁業ノ狀況

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル非由

前記何々ノ水面ノ利用制限（禁止）ノ許可相受ケタシ

住所

年　月　日

氏名　㊞

道知事　殿

（注意）

一　朝鮮漁業令（以下法令ト稱ス）第二條及朝鮮漁業令施行規則（以下法令ト稱ス）第二條ノ許可事項中ニ於テハ單ニ漁業令施行規則ト稱ス）第三條參照

第三號　朝鮮漁業令第二條ノ許可事項ノ變更ノ許可申請書

朝鮮漁業令第二條ノ許可事項ノ變更許可申請

一　何　利用ノ制限（禁止）ノ許可年月日及番號

二　何通何郡（府）何面（町）何里（洞）何番地別紙圖面ノ通

利用ノ制限ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域

何　利用ノ制限ヲ爲サントスル非項

何月何日ヨリ　迄

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル時期

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル期間

何　利用ノ年

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル水面ニ於ケル漁業ノ狀況

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル非由

前記何々ノ水面ノ利用制限（禁止）ノ許可相受ケタシ

住所

年　月　日

氏名　㊞

道知事　殿

（注意）

一　朝鮮漁業令（以下法令ト稱ス）第二條及朝鮮漁業令施行規則（以下法令ト稱ス）第三條參照

第二號　朝鮮漁業令第二條ノ許可事項ノ變更許可申請書

朝鮮漁業令第二條ノ許可事項ノ變更許可申請

一　何　利用ノ制限（禁止）ノ許可年月日及番號

二　何通何郡（府）何面（町）何里（洞）何番地別紙圖面ノ通

利用ノ制限ヲ爲サントスル事項

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル時期

何月何日ヨリ　迄

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル期間

何　利用ノ年

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル水面ニ於ケル漁業ノ狀況

何　利用ノ制限（禁止）ヲ爲サントスル非由

前記何々ノ水面ノ利用制限（禁止）ノ許可相受ケタシ

住所

年　月　日

氏名　㊞

道知事　殿

（注意）

一　朝鮮漁業令（以下法令ト稱ス）第二條及朝鮮漁業令施行規則（以下法令ト稱ス）第三條參照

第三號　漁業ノ免許ノ願書

（一）定置漁業、定所ニ於ケル漁業ノ例

（二）定置漁業ニ非ザル漁業ノ例

（三）十統以上ノ漁具ヲ使用スル漁業ノ例

（四）十統以上ノ漁具ヲ使用スル漁業ニシテ其ノ漁具ノ一部ヲ定置漁業ニ使用スル場合ノ例

（五）二種以上ノ漁業ヲ兼營スル場合ノ例

（六）第一種區劃漁業ノ例

（七）第二種區劃漁業ノ例

（八）第三種區劃漁業ノ例

（九）第四種區劃漁業ノ例

（十）第五種區劃漁業ノ例

（十一）第六種區劃漁業ノ例

（十二）第七種區劃漁業ノ例

（十三）第八種區劃漁業ノ例

（十四）第九種區劃漁業ノ例

（十五）第十種區劃漁業ノ例

（十六）第十一種區劃漁業ノ例

（十七）第十二種區劃漁業ノ例

（十八）第十三種區劃漁業ノ例

（十九）第十四種區劃漁業ノ例

（二十）第十五種區劃漁業ノ例

（二十一）第十六種區劃漁業ノ例

（二十二）第十七種區劃漁業ノ例

（二十三）第十八種區劃漁業ノ例

（二十四）第十九種區劃漁業ノ例

（二十五）第二十種區劃漁業ノ例

（二十六）第二十一種區劃漁業ノ例

（二十七）第二十二種區劃漁業ノ例

（二十八）第二十三種區劃漁業ノ例

（二十九）第二十四種區劃漁業ノ例

（三十）第二十五種區劃漁業ノ例

（三十一）第二十六種區劃漁業ノ例

（三十二）第二十七種區劃漁業ノ例

（三十三）第二十八種區劃漁業ノ例

（三十四）第二十九種區劃漁業ノ例

（三十五）第三十種區劃漁業ノ例

（三十六）第三十一種區劃漁業ノ例

（三十七）第三十二種區劃漁業ノ例

（三十八）第三十三種區劃漁業ノ例

（三十九）第三十四種區劃漁業ノ例

（四十）第三十五種區劃漁業ノ例

（四十一）第三十六種區劃漁業ノ例

（四十二）第三十七種區劃漁業ノ例

（四十三）第三十八種區劃漁業ノ例

（四十四）第三十九種區劃漁業ノ例

（四十五）第四十種區劃漁業ノ例

（四十六）第四十一種區劃漁業ノ例

（四十七）第四十二種區劃漁業ノ例

（四十八）第四十三種區劃漁業ノ例

（四十九）第四十四種區劃漁業ノ例

（五十）第四十五種區劃漁業ノ例

（五十一）第四十六種區劃漁業ノ例

（五十二）第四十七種區劃漁業ノ例

（五十三）第四十八種區劃漁業ノ例

（五十四）第四十九種區劃漁業ノ例

（五十五）第五十種區劃漁業ノ例

（五十六）第五十一種區劃漁業ノ例

（五十七）第五十二種區劃漁業ノ例

（五十八）第五十三種區劃漁業ノ例

（五十九）第五十四種區劃漁業ノ例

（六十）第五十五種區劃漁業ノ例

（六十一）第五十六種區劃漁業ノ例

（六十二）第五十七種區劃漁業ノ例

（六十三）第五十八種區劃漁業ノ例

（六十四）第五十九種區劃漁業ノ例

（六十五）第六十種區劃漁業ノ例

（六十六）第六十一種區劃漁業ノ例

（六十七）第六十二種區劃漁業ノ例

（六十八）第六十三種區劃漁業ノ例

（六十九）第六十四種區劃漁業ノ例

（七十）第六十五種區劃漁業ノ例

（七十一）第六十六種區劃漁業ノ例

（七十二）第六十七種區劃漁業ノ例

（七十三）第六十八種區劃漁業ノ例

（七十四）第六十九種區劃漁業ノ例

（七十五）第七十種區劃漁業ノ例

（七十六）第七十一種區劃漁業ノ例

（七十七）第七十二種區劃漁業ノ例

（七十八）第七十三種區劃漁業ノ例

（七十九）第七十四種區劃漁業ノ例

（八十）第七十五種區劃漁業ノ例

（八十一）第七十六種區劃漁業ノ例

（八十二）第七十七種區劃漁業ノ例

（八十三）第七十八種區劃漁業ノ例

（八十四）第七十九種區劃漁業ノ例

（八十五）第八十種區劃漁業ノ例

（八十六）第八十一種區劃漁業ノ例

（八十七）第八十二種區劃漁業ノ例

（八十八）第八十三種區劃漁業ノ例

（八十九）第八十四種區劃漁業ノ例

（九十）第八十五種區劃漁業ノ例

（九十一）第八十六種區劃漁業ノ例

（九十二）第八十七種區劃漁業ノ例

（九十三）第八十八種區劃漁業ノ例

（九十四）第八十九種區劃漁業ノ例

（九十五）第九十種區劃漁業ノ例

（九十六）第九十一種區劃漁業ノ例

（九十七）第九十二種區劃漁業ノ例

（九十八）第九十三種區劃漁業ノ例

（九十九）第九十四種區劃漁業ノ例

（百）第九十五種區劃漁業ノ例

（百一）第九十六種區劃漁業ノ例

（百二）第九十七種區劃漁業ノ例

（百三）第九十八種區劃漁業ノ例

（百四）第九十九種區劃漁業ノ例

（百五）第百種區劃漁業ノ例

（百六）第百一種區劃漁業ノ例

（百七）第百二種區劃漁業ノ例

（百八）第百三種區劃漁業ノ例

（百九）第百四種區劃漁業ノ例

（百十）第百五種區劃漁業ノ例

（百十一）第百六種區劃漁業ノ例

（百十二）第百七種區劃漁業ノ例

（百十三）第百八種區劃漁業ノ例

（百十四）第百九種區劃漁業ノ例

（百十五）第百十種區劃漁業ノ例

（百十六）第百十一種區劃漁業ノ例

（百十七）第百十二種區劃漁業ノ例

（百十八）第百十三種區劃漁業ノ例

（百十九）第百十四種區劃漁業ノ例

（百二十）第百十五種區劃漁業ノ例

（百二十一）第百十六種區劃漁業ノ例

（百二十二）第百十七種區劃漁業ノ例

（百二十三）第百十八種區劃漁業ノ例

（百二十四）第百十九種區劃漁業ノ例

（百二十五）第百二十種區劃漁業ノ例

（百二十六）第百二十一種區劃漁業ノ例

（百二十七）第百二十二種區劃漁業ノ例

（百二十八）第百二十三種區劃漁業ノ例

（百二十九）第百二十四種區劃漁業ノ例

（百三十）第百二十五種區劃漁業ノ例

（百三十一）第百二十六種區劃漁業ノ例

（百三十二）第百二十七種區劃漁業ノ例

（百三十三）第百二十八種區劃漁業ノ例

（百三十四）第百二十九種區劃漁業ノ例

（百三十五）第百三十種區劃漁業ノ例

（百三十六）第百三十一種區劃漁業ノ例

（百三十七）第百三十二種區劃漁業ノ例

（百三十八）第百三十三種區劃漁業ノ例

（百三十九）第百三十四種區劃漁業ノ例

（百四十）第百三十五種區劃漁業ノ例

（百四十一）第百三十六種區劃漁業ノ例

（百四十二）第百三十七種區劃漁業ノ例

（百四十三）第百三十八種區劃漁業ノ例

（百四十四）第百三十九種區劃漁業ノ例

（百四十五）第百四十種區劃漁業ノ例

（百四十六）第百四十一種區劃漁業ノ例

（百四十七）第百四十二種區劃漁業ノ例

（百四十八）第百四十三種區劃漁業ノ例

（百四十九）第百四十四種區劃漁業ノ例

（百五十）第百四十五種區劃漁業ノ例

（百五十一）第百四十六種區劃漁業ノ例

（百五十二）第百四十七種區劃漁業ノ例

（百五十三）第百四十八種區劃漁業ノ例

（百五十四）第百四十九種區劃漁業ノ例

（百五十五）第百五十種區劃漁業ノ例

（百五十六）第百五十一種區劃漁業ノ例

（百五十七）第百五十二種區劃漁業ノ例

（百五十八）第百五十三種區劃漁業ノ例

（百五十九）第百五十四種區劃漁業ノ例

（百六十）第百五十五種區劃漁業ノ例

（百六十一）第百五十六種區劃漁業ノ例

（百六十二）第百五十七種區劃漁業ノ例

（百六十三）第百五十八種區劃漁業ノ例

（百六十四）第百五十九種區劃漁業ノ例

（百六十五）第百六十種區劃漁業ノ例

（百六十六）第百六十一種區劃漁業ノ例

（百六十七）第百六十二種區劃漁業ノ例

（百六十八）第百六十三種區劃漁業ノ例

（百六十九）第百六十四種區劃漁業ノ例

（百七十）第百六十五種區劃漁業ノ例

（百七十一）第百六十六種區劃漁業ノ例

（百七十二）第百六十七種區劃漁業ノ例

（百七十三）第百六十八種區劃漁業ノ例

（百七十四）第百六十九種區劃漁業ノ例

（百七十五）第百七十種區劃漁業ノ例

（百七十六）第百七十一種區劃漁業ノ例

（百七十七）第百七十二種區劃漁業ノ例

（百七十八）第百七十三種區劃漁業ノ例

（百七十九）第百七十四種區劃漁業ノ例

（百八十）第百七十五種區劃漁業ノ例

（百八十一）第百七十六種區劃漁業ノ例

（百八十二）第百七十七種區劃漁業ノ例

（百八十三）第百七十八種區劃漁業ノ例

（百八十四）第百七十九種區劃漁業ノ例

（百八十五）第百八十種區劃漁業ノ例

（百八十六）第百八十一種區劃漁業ノ例

（百八十七）第百八十二種區劃漁業ノ例

（百八十八）第百八十三種區劃漁業ノ例

（百八十九）第百八十四種區劃漁業ノ例

（百九十）第百八十五種區劃漁業ノ例

（百九十一）第百八十六種區劃漁業ノ例

（百九十二）第百八十七種區劃漁業ノ例

（百九十三）第百八十八種區劃漁業ノ例

（百九十四）第百八十九種區劃漁業ノ例

（百九十五）第百九十種區劃漁業ノ例

（百九十六）第百九十一種區劃漁業ノ例

（百九十七）第百九十二種區劃漁業ノ例

（百九十八）第百九十三種區劃漁業ノ例

（百九十九）第百九十四種區劃漁業ノ例

（二百）第百九十五種區劃漁業ノ例

（二百一）第百九十六種區劃漁業ノ例

（二百二）第百九十七種區劃漁業ノ例

（二百三）第百九十八種區劃漁業ノ例

（二百四）第百九十九種區劃漁業ノ例

（二百五）第二百種區劃漁業ノ例

（二百六）第二百一種區劃漁業ノ例

（二百七）第二百二種區劃漁業ノ例

（二百八）第二百三種區劃漁業ノ例

（二百九）第二百四種區劃漁業ノ例

（二百十）第二百五種區劃漁業ノ例

（二百十一）第二百六種區劃漁業ノ例

（二百十二）第二百七種區劃漁業ノ例

（二百十三）第二百八種區劃漁業ノ例

（二百十四）第二百九種區劃漁業ノ例

（二百十五）第二百十種區劃漁業ノ例

（二百十六）第二百十一種區劃漁業ノ例

（二百十七）第二百十二種區劃漁業ノ例

（二百十八）第二百十三種區劃漁業ノ例

（二百十九）第二百十四種區劃漁業ノ例

（二百二十）第二百十五種區劃漁業ノ例

（二百二十一）第二百十六種區劃漁業ノ例

（二百二十二）第二百十七種區劃漁業ノ例

（二百二十三）第二百十八種區劃漁業ノ例

（二百二十四）第二百十九種區劃漁業ノ例

（二百二十五）第二百二十種區劃漁業ノ例

（二百二十六）第二百二十一種區劃漁業ノ例

（二百二十七）第二百二十二種區劃漁業ノ例

（二百二十八）第二百二十三種區劃漁業ノ例

（二百二十九）第二百二十四種區劃漁業ノ例

（二百三十）第二百二十五種區劃漁業ノ例

（二百三十一）第二百二十六種區劃漁業ノ例

（二百三十二）第二百二十七種區劃漁業ノ例

（二百三十三）第二百二十八種區劃漁業ノ例

（二百三十四）第二百二十九種區劃漁業ノ例

（二百三十五）第二百三十種區劃漁業ノ例

（二百三十六）第二百三十一種區劃漁業ノ例

（二百三十七）第二百三十二種區劃漁業ノ例

（二百三十八）第二百三十三種區劃漁業ノ例

（二百三十九）第二百三十四種區劃漁業ノ例

（二百四十）第二百三十五種區劃漁業ノ例

（二百四十一）第二百三十六種區劃漁業ノ例

（二百四十二）第二百三十七種區劃漁業ノ例

（二百四十三）第二百三十八種區劃漁業ノ例

（二百四十四）第二百三十九種區劃漁業ノ例

（二百四十五）第二百四十種區劃漁業ノ例

（二百四十六）第二百四十一種區劃漁業ノ例

（二百四十七）第二百四十二種區劃漁業ノ例

（二百四十八）第二百四十三種區劃漁業ノ例

（二百四十九）第二百四十四種區劃漁業ノ例

（二百五十）第二百四十五種區劃漁業ノ例

（二百五十一）第二百四十六種區劃漁業ノ例

（二百五十二）第二百四十七種區劃漁業ノ例

（二百五十三）第二百四十八種區劃漁業ノ例

（二百五十四）第二百四十九種區劃漁業ノ例

（二百五十五）第二百五十種區劃漁業ノ例

（二百五十六）第二百五十一種區劃漁業ノ例

（二百五十七）第二百五十二種區劃漁業ノ例

（二百五十八）第二百五十三種區劃漁業ノ例

（二百五十九）第二百五十四種區劃漁業ノ例

（二百六十）第二百五十五種區劃漁業ノ例

（二百六十一）第二百五十六種區劃漁業ノ例

（二百六十二）第二百五十七種區劃漁業ノ例

（二百六十三）第二百五十八種區劃漁業ノ例

（二百六十四）第二百五十九種區劃漁業ノ例

（二百六十五）第二百六十種區劃漁業ノ例

（二百六十六）第二百六十一種區劃漁業ノ例

（二百六十七）第二百六十二種區劃漁業ノ例

（二百六十八）第二百六十三種區劃漁業ノ例

（二百六十九）第二百六十四種區劃漁業ノ例

（二百七十）第二百六十五種區劃漁業ノ例

（二百七十一）第二百六十六種區劃漁業ノ例

（二百七十二）第二百六十七種區劃漁業ノ例

（二百七十三）第二百六十八種區劃漁業ノ例

（二百七十四）第二百六十九種區劃漁業ノ例

（二百七十五）第二百七十種區劃漁業ノ例

（二百七十六）第二百七十一種區劃漁業ノ例

（二百七十七）第二百七十二種區劃漁業ノ例

（二百七十八）第二百七十三種區劃漁業ノ例

（二百七十九）第二百七十四種區劃漁業ノ例

（二百八十）第二百七十五種區劃漁業ノ例

（二百八十一）第二百七十六種區劃漁業ノ例

（二百八十二）第二百七十七種區劃漁業ノ例

（二百八十三）第二百七十八種區劃漁業ノ例

（二百八十四）第二百七十九種區劃漁業ノ例

（二百八十五）第二百八十種區劃漁業ノ例

（二百八十六）第二百八十一種區劃漁業ノ例

（二百八十七）第二百八十二種區劃漁業ノ例

（二百八十八）第二百八十三種區劃漁業ノ例

（二百八十九）第二百八十四種區劃漁業ノ例

（二百九十）第二百八十五種區劃漁業ノ例

（二百九十一）第二百八十六種區劃漁業ノ例

（二百九十二）第二百八十七種區劃漁業ノ例

（二百九十三）第二百八十八種區劃漁業ノ例

（二百九十四）第二百八十九種區劃漁業ノ例

（二百九十五）第二百九十種區劃漁業ノ例

（二百九十六）第二百九十一種區劃漁業ノ例

（二百九十七）第二百九十二種區劃漁業ノ例

（二百九十八）第二百九十三種區劃漁業ノ例

（二百九十九）第二百九十四種區劃漁業ノ例

（三百）第二百九十五種區劃漁業ノ例

（三百一）第二百九十六種區劃漁業ノ例

（三百二）第二百九十七種區劃漁業ノ例

（三百三）第二百九十八種區劃漁業ノ例

（三百四）第二百九十九種區劃漁業ノ例

（三百五）第三百種區劃漁業ノ例

（三百六）第三百一種區劃漁業ノ例

（三百七）第三百二種區劃漁業ノ例

（三百八）第三百三種區劃漁業ノ例

（三百九）第三百四種區劃漁業ノ例

（三百十）第三百五種區劃漁業ノ例

（三百十一）第三百六種區劃漁業ノ例

（三百十二）第三百七種區劃漁業ノ例

（三百十三）第三百八種區劃漁業ノ例

（三百十四）第三百九種區劃漁業ノ例

（三百十五）第三百十種區劃漁業ノ例

（三百十六）第三百十一種區劃漁業ノ例

（三百十七）第三百十二種區劃漁業ノ例

（三百十八）第三百十三種區劃漁業ノ例

（三百十九）第三百十四種區劃漁業ノ例

（三百二十）第三百十五種區劃漁業ノ例

（三百二十一）第三百十六種區劃漁業ノ例

（三百二十二）第三百十七種區劃漁業ノ例

（三百二十三）第三百十八種區劃漁業ノ例

（三百二十四）第三百十九種區劃漁業ノ例

（三百二十五）第三百二十種區劃漁業ノ例

（三百二十六）第三百二十一種區劃漁業ノ例

（三百二十七）第三百二十二種區劃漁業ノ例

（三百二十八）第三百二十三種區劃漁業ノ例

（三百二十九）第三百二十四種區劃漁業ノ例

（三百三十）第三百二十五種區劃漁業ノ例

（三百三十一）第三百二十六種區劃漁業ノ例

（三百三十二）第三百二十七種區劃漁業ノ例

（三百三十三）第三百二十八種區劃漁業ノ例

（三百三十四）第三百二十九種區劃漁業ノ例

（三百三十五）第三百三十種區劃漁業ノ例

（三百三十六）第三百三十一種區劃漁業ノ例

（三百三十七）第三百三十二種區劃漁業ノ例

（三百三十八）第三百三十三種區劃漁業ノ例

（三百三十九）第三百三十四種區劃漁業ノ例

（三百四十）第三百三十五種區劃漁業ノ例

（三百四十一）第三百三十六種區劃漁業ノ例

（三百四十二）第三百三十七種區劃漁業ノ例

（三百四十三）第三百三十八種區劃漁業ノ例

（三百四十四）第三百三十九種區劃漁業ノ例

（三百四十五）第三百四十種區劃漁業ノ例

（三百四十六）第三百四十一種區劃漁業ノ例

（三百四十七）第三百四十二種區劃漁業ノ例

（三百四十八）第三百四十三種區劃漁業ノ例

（三百四十九）第三百四十四種區劃漁業ノ例

（三百五十）第三百四十五種區劃漁業ノ例

（三百五十一）第三百四十六種區劃漁業ノ例

（三百五十二）第三百四十七種區劃漁業ノ例

（三百五十三）第三百四十八種區劃漁業ノ例

（三百五十四）第三百四十九種區劃漁業ノ例

（三百五十五）第三百五十種區劃漁業ノ例

（三百五十六）第三百五十一種區劃漁業ノ例

（三百五十七）第三百五十二種區劃漁業ノ例

（三百五十八）第三百五十三種區劃漁業ノ例

（三百五十九）第三百五十四種區劃漁業ノ例

（三百六十）第三百五十五種區劃漁業ノ例

（三百六十一）第三百五十六種區劃漁業ノ例

（三百六十二）第三百五十七種區劃漁業ノ例

（三百六十三）第三百五十八種區劃漁業ノ例

（三百六十四）第三百五十九種區劃漁業ノ例

（三百六十五）第三百六十種區劃漁業ノ例

（三百六十六）第三百六十一種區劃漁業ノ例

（三百六十七）第三百六十二種區劃漁業ノ例

（三百六十八）第三百六十三種區劃漁業ノ例

（三百六十九）第三百六十四種區劃漁業ノ例

（三百七十）第三百六十五種區劃漁業ノ例

（三百七十一）第三百六十六種區劃漁業ノ例

（三百七十二）第三百六十七種區劃漁業ノ例

（三百七十三）第三百六十八種區劃漁業ノ例

（三百七十四）第三百六十九種區劃漁業ノ例

（三百七十五）第三百七十種區劃漁業ノ例

（三百七十六）第三百七十一種區劃漁業ノ例

（三百七十七）第三百七十二種區劃漁業ノ例

（三百七十八）第三百七十三種區劃漁業ノ例

（三百七十九）第三百七十四種區劃漁業ノ例

（三百八十）第三百七十五種區劃漁業ノ例

（三百八十一）第三百七十六種區劃漁業ノ例

（三百八十二）第三百七十七種區劃漁業ノ例

（三百八十三）第三百七十八種區劃漁業ノ例

（三百八十四）第三百七十九種區劃漁業ノ例

（三百八十五）第三百八十種區劃漁業ノ例

（三百八十六）第三百八十一種區劃漁業ノ例

（三百八十七）第三百八十二種區劃漁業ノ例

（三百八十八）第三百八十三種區劃漁業ノ例

（三百八十九）第三百八十四種區劃漁業ノ例

（三百九十）第三百八十五種區劃漁業ノ例

（三百九十一）第三百八十六種區劃漁業ノ例

（三百九十二）第三百八十七種區劃漁業ノ例

（三百九十三）第三百八十八種區劃漁業ノ例

（三百九十四）第三百八十九種區劃漁業ノ例

（三百九十五）第三百九十種區劃漁業ノ例

（三百九十六）第三百九十一種區劃漁業ノ例

（三百九十七）第三百九十二種區劃漁業ノ例

（三百九十八）第三百九十三種區劃漁業ノ例

（三百九十九）第三百九十四種區劃漁業ノ例

（四百）第三百九十五種區劃漁業ノ例

（四百一）第三百九十六種區劃漁業ノ例

（四百二）第三百九十七種區劃漁業ノ例

（四百三）第三百九十八種區劃漁業ノ例

（四百四）第三百九十九種區劃漁業ノ例

（四百五）第四百種區劃漁業ノ例

（四百六）第四百一種區劃漁業ノ例

（四百七）第四百二種區劃漁業ノ例

（四百八）第四百三種區劃漁業ノ例

（四百九）第四百四種區劃漁業ノ例

（四百十）第四百五種區劃漁業ノ例

（四百十一）第四百六種區劃漁業ノ例

（四百十二）第四百七種區劃漁業ノ例

（四百十三）第四百八種區劃漁業ノ例

（四百十四）第四百九種區劃漁業ノ例

（四百十五）第四百十種區劃漁業ノ例

（四百十六）第四百十一種區劃漁業ノ例

（四百十七）第四百十二種區劃漁業ノ例

（四百十八）第四百十三種區劃漁業ノ例

（四百十九）第四百十四種區劃漁業ノ例

（四百二十）第四百十五種區劃漁業ノ例

（四百二十一）第四百十六種區劃漁業ノ例

（四百二十二）第四百十七種區劃漁業ノ例

（四百二十三）第四百十八種區劃漁業ノ例

（四百二十四）第四百十九種區劃漁業ノ例

（四百二十五）第四百二十種區劃漁業ノ例

（四百二十六）第四百二十一種區劃漁業ノ例

（四百二十七）第四百二十二種區劃漁業ノ例

（四百二十八）第四百二十三種區劃漁業ノ例

（四百二十九）第四百二十四種區劃漁業ノ例

（四百三十）第四百二十五種區劃漁業ノ例

（四百三十一）第四百二十六種區劃漁業ノ例

（四百三十二）第四百二十七種區劃漁業ノ例

（四百三十三）第四百二十八種區劃漁業ノ例

（四百三十四）第四百二十九種區劃漁業ノ例

（四百三十五）第四百三十種區劃漁業ノ例

（四百三十六）第四百三十一種區劃漁業ノ例

（四百三十七）第四百三十二種區劃漁業ノ例

（四百三十八）第四百三十三種區劃漁業ノ例

（四百三十九）第四百三十四種區劃漁業ノ例

（四百四十）第四百三十五種區劃漁業ノ例

（四百四十一）第四百三十六種區劃漁業ノ例

（四百四十二）第四百三十七種區劃漁業ノ例

（四百四十三）第四百三十八種區劃漁業ノ例

（四百四十四）第四百三十九種區劃漁業ノ例

（四百四十五）第四百四十種區劃漁業ノ例

（四百四十六）第四百四十一種區劃漁業ノ例

（四百四十七）第四百四十二種區劃漁業ノ例

（四百四十八）第四百四十三種區劃漁業ノ例

（四百四十九）第四百四十四種區劃漁業ノ例

（四百五十）第四百四十五種區劃漁業ノ例

（四百五十一）第四百四十六種區劃漁業ノ例

（四百五十二）第四百四十七種區劃漁業ノ例

（四百五十三）第四百四十八種區劃漁業ノ例

（四百五十四）第四百四十九種區劃漁業ノ例

（四百五十五）第四百五十種區劃漁業ノ例

（四百五十六）第四百五十一種區劃漁業ノ例

（四百五十七）第四百五十二種區劃漁業ノ例

（四百五十八）第四百五十三種區劃漁業ノ例

（四百五十九）第四百五十四種區劃漁業ノ例

（四百六十）第四百五十五種區劃漁業ノ例

（四百六十一）第四百五十六種區劃漁業ノ例

（四百六十二）第四百五十七種區劃漁業ノ例

（四百六十三）第四百五十八種區劃漁業ノ例

（四百六十四）第四百五十九種區劃漁業ノ例

（四百六十五）第四百六十種區劃漁業ノ例

（四百六十六）第四百六十一種區劃漁業ノ例

（四百六十七）第四百六十二種區劃漁業ノ例

（四百六十八）第四百六十三種區劃漁業ノ例

（四百六十九）第四百六十四種區劃漁業ノ例

（四百七十）第四百六十五種區劃漁業ノ例

（四百七十一）第四百六十六種區劃漁業ノ例

（四百七十二）第四百六十七種區劃漁業ノ例

（四百七十三）第四百六十八種區劃漁業ノ例

（四百七十四）第四百六十九種區劃漁業ノ例

（四百七十五）第四百七十種區劃漁業ノ例

（四百七十六）第四百七十一種區劃漁業ノ例

（四百七十七）第四百七十二種區劃漁業ノ例

（四百七十八）第四百七十三種區劃漁業ノ例

（四百七十九）第四百七十四種區劃漁業ノ例

（四百八十）第四百七十五種區劃漁業ノ例

（四百八十一）第四百七十六種區劃漁業ノ例

（四百八十二）第四百七十七種區劃漁業ノ例

（四百八十三）第四百七十八種區劃漁業ノ例

（四百八十四）第四百七十九種區劃漁業ノ例

（四百八十五）第四百八十種區劃漁業ノ例

（四百八十六）第四百八十一種區劃漁業ノ例

（四百八十七）第四百八十二種區劃漁業ノ例

（四百八十八）第四百八十三種區劃漁業ノ例

（四百八十九）第四百八十四種區劃漁業ノ例

（四百九十）第四百八十五種區劃漁業ノ例

（四百九十一）第四百八十六種區劃漁業ノ例

（四百九十二）第四百八十七種區劃漁業ノ例

（四百九十三）第四百八十八種區劃漁業ノ例

（四百九十四）第四百八十九種區劃漁業ノ例

（四百九十五）第四百九十種區劃漁業ノ例

（四百九十六）第四百九十一種區劃漁業ノ例

（四百九十七）第四百九十二種區劃漁業ノ例

（四百九十八）第四百九十三種區劃漁業ノ例

（四百九十九）第四百九十四種區劃漁業ノ例

（五百）第四百九十五種區劃漁業ノ例

（五百一）第四百九十六種區劃漁業ノ例

（五百二）第四百九十七種區劃漁業ノ例

（五百三）第四百九十八種區劃漁業ノ例

（五百四）第四百九十九種區劃漁業ノ例

（五百五）第五百種區劃漁業ノ例

（五百六）第五百一種區劃漁業ノ例

（五百七）第五百二種區劃漁業ノ例

（五百八）第五百三種區劃漁業ノ例

（五百九）第五百四種區劃漁業ノ例

（五百十）第五百五種區劃漁業ノ例

（五百十一）第五百六種區劃漁業ノ例

（五百十二）第五百七種區劃漁業ノ例

（五百十三）第五百八種區劃漁業ノ例

（五百十四）第五百九種區劃漁業ノ例

（五百十五）第五百十種區劃漁業ノ例

（五百十六）第五百十一種區劃漁業ノ例

（五百十七）第五百十二種區劃漁業ノ例

（五百十八）第五百十三種區劃漁業ノ例

（五百十九）第五百十四種區劃漁業ノ例

（五百二十）第五百十五種區劃漁業ノ例

（五百二十一）第五百十六種區劃漁業ノ例

（五百二十二）第五百十七種區劃漁業ノ例

（五百二十三）第五百十八種區劃漁業ノ例

（五百二十四）第五百十九種區劃漁業ノ例

（五百二十五）第五百二十種區劃漁業ノ例

（五百二十六）第五百二十一種區劃漁業ノ例

（五百二十七）第五百二十二種區劃漁業ノ例

（五百二十八）第五百二十三種區劃漁業ノ例

（五百二十九）第五百二十四種區劃漁業ノ例

（五百三十）第五百二十五種區劃漁業ノ例

（五百三十一）第五百二十六種區劃漁業ノ例

（五百三十二）第五百二十七種區劃漁業ノ例

（五百三十三）第五百二十八種區劃漁業ノ例

（五百三十四）第五百二十九種區劃漁業ノ例

（五百三十五）第五百三十種區劃漁業ノ例

（五百三十六）第五百三十一種區劃漁業ノ例

（五百三十七）第五百三十二種區劃漁業ノ例

（五百三十八）第五百三十三種區劃漁業ノ例

（五百三十九）第五百三十四種區劃漁業ノ例

（五百四十）第五百三十五種區劃漁業ノ例

（五百四十一）第五百三十六種區劃漁業ノ例

（五百四十二）第五百三十七種區劃漁業ノ例

（五百四十三）第五百三十八種區劃漁業ノ例

（五百四十四）第五百三十九種區劃漁業ノ例

（五百四十五）第五百四十種區劃漁業ノ例

（五百四十六）第五百四十一種區劃漁業ノ例

（五百四十七）第五百四十二種區劃漁業ノ例

（五百四十八）第五百四十三種區劃漁業ノ例

（五百四十九）第五百四十四種區劃漁業ノ例

（五百五十）第五百四十五種區劃漁業ノ例

（五百五十一）第五百四十六種區劃漁業ノ例

（五百五十二）第五百四十七種區劃漁業ノ例

（五百五十三）第五百四十八種區劃漁業ノ例

（五百五十四）第五百四十九種區劃漁業ノ例

（五百五十五）第五百五十種區劃漁業ノ例

（五百五十六）第五百五十一種區劃漁業ノ例

（五百五十七）第五百五十二種區劃漁業ノ例

（五百五十八）第五百五十三種區劃漁業ノ例

（五百五十九）第五百五十四種區劃漁業ノ例

（五百六十）第五百五十五種區劃漁業ノ例

（五百六十一）第五百五十六種區劃漁業ノ例

（五百六十二）第五百五十七種區劃漁業ノ例

（五百六十三）第五百五十八種區劃漁業ノ例

（五百六十四）第五百五十九種區劃漁業ノ例

（五百六十五）第五百六十種區劃漁業ノ例

（五百六十六）第五百六十一種區劃漁業ノ例

（五百六十七）第五百六十二種區劃漁業ノ例

（五百六十八）第五百六十三種區劃漁業ノ例

（五百六十九）第五百六十四種區劃漁業ノ例

（五百七十）第五百六十五種區劃漁業ノ例

（五百七十一）第五百六十六種區劃漁業ノ例

（五百七十二）第五百六十七種區劃漁業ノ例

（五百七十三）第五百六十八種區劃漁業ノ例

（五百七十四）第五百六十九種區劃漁業ノ例

（五百七十五）第五百七十種區劃漁業ノ例

（五百七十六）第五百七十一種區劃漁業ノ例

（五百七十七）第五百七十二種區劃漁業ノ例

（五百七十八）第五百七十三種區劃漁業ノ例

（五百七十九）第五百七十四種區劃漁業ノ例

（五百八十）第五百七十五種區劃漁業ノ例

（五百八十一）第五百七十六種區劃漁業ノ例

（五百八十二）第五百七十七種區劃漁業ノ例

（五百八十三）第五百七十八種區劃漁業ノ例

（五百八十四）第五百七十九種區劃漁業ノ例

（五百八十五）第五百八十種區劃漁業ノ例

（五百八十六）第五百八十一種區劃漁業ノ例

（五百八十七）第五百八十二種區劃漁業ノ例

（五百八十八）第五百八十三種區劃漁業ノ例

（五百八十九）第五百八十四種區劃漁業ノ例

（五百九十）第五百八十五種區劃漁業ノ例

（五百九十一）第五百八十六種區劃漁業ノ例

（五百九十二）第五百八十七種區劃漁業ノ例

（五百九十三）第五百八十八種區劃漁業ノ例

（五百九十四）第五百八十九種區劃漁業ノ例

（五百九十五）第五百九十種區劃漁業ノ例

（五百九十六）第五百九十一種區劃漁業ノ例

（五百九十七）第五百九十二種區劃漁業ノ例

（五百九十八）第五百九十三種區劃漁業ノ例

（五百九十九）第五百九十四種區劃漁業ノ例

（六百）第五百九十五種區劃漁業ノ例

（六百一）第五百九十六種區劃漁業

第一款　漁業

（注）（四）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニハ各別ニ漁業免許ヲ受ケシムルヲ相當トスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（六）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（七）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（注）（八）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（九）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十一）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十二）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十三）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十四）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十五）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十六）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十七）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十八）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十九）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二十）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二一）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二二）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二三）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二四）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二五）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二六）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二七）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二八）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二九）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三十）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三一）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三二）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三三）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三四）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三五）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三六）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三七）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三八）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三九）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四十）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四一）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四二）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四三）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四四）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四五）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四六）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四七）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四八）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四九）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五十）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五一）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五二）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五三）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五四）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五五）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五六）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五七）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五八）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五九）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（六十）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

第一款　漁業

（注）（四）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（六）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（七）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（注）（八）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（九）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十一）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十二）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十三）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十四）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十五）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十六）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十七）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十八）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（十九）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二十）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二一）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二二）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二三）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二四）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二五）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二六）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二七）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二八）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（二九）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三十）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三一）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三二）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三三）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三四）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三五）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三六）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三七）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三八）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（三九）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四十）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四一）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四二）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四三）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四四）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四五）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四六）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四七）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四八）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（四九）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五十）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五一）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五二）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五三）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五四）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五五）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五六）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五七）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五八）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（五九）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

（六十）一　漁業ノ種類ニ依リ漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期及漁獲物ノ見込年額ヲ異ニスル場合ニ於テハ漁業ノ種類ニ依リ各別ニ漁業免許ヲ與フルコトヲ得

漁業權拋棄屆

何漁業免許第何號漁業權
前記ノ漁業權拋棄シタルニ付屆出ヅ

年　月　日

住所
氏名　㊞

朝鮮總督（道知事）宛

（添附書類ノ表示）
（一）漁業權ニ付登錄シタル權利者ノ同意書　何通

（注意）
一　本屆ハ漁業ノ免許ヲ受ケタル行政官廳ニ對シテ之ヲ爲スベシ
二　專用漁業ノ漁業權ハ拋棄ニ付朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルトキハ別ニ拋棄屆ヲ要セズ
三　漁業令第二十條、漁業令施行規則第一條、第二條、第七條、第三十八條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

第十一號

入漁料請求認可申請書

收入印紙　收入印紙　何圓貼附

專用漁業免許第何號
一　入漁料ノ額　一年何圓（一月何圓）（一回何錢）
一　入漁料ノ請求方法
一　入漁料ハ毎年入漁開始前一年分ヲ取纏メ請求ス（何々）
一　入漁ヲ爲ス者ノ數　何人
一　入漁料請求ニ關スル慣行
一　何
一　入漁料ヲ請求セントスル事由
前記ノ通入漁料請求ノ認可相受ケタシ

年　月　日

住所　何漁業組合
組合長　氏名　㊞
理事　氏名　㊞

朝鮮總督宛

（注意）
一　「入漁料請求ニ關スル慣行」ニハ慣行ノ有無、入漁料ノ額其ノ他入漁ヲ爲サザル間ニ於ケル入漁料ノ請求ニ關スル慣行等ヲ記載スベシ
二　漁業令第二十六條、漁業令施行規則第七條、第四十條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

第十二號　專用漁業ノ漁業ニ於ケル漁業制限ノ協定ノ屆書

漁業制限協定屆

專用漁業免許第何號
一　漁場全部ニ付制限期間內漁業ヲ禁止ス（漁業ヲ何處ヨリ何處ヲ見通シタル線ニヨリ二分シ制限期間內毎年輪番ニ漁業ヲ爲ス）
一　制限ノ（時期及）期間　（何月何日ヨリ何月何日迄）何年
一　協議調ヒタル年月日　何年何月何日
前記ノ通專用漁業ノ漁場ニ於ケル漁業制限ノ協定ヲ爲シタルニ付屆出ヅ

年　月　日

住所　漁業權者　何漁業組合
組合長　氏名　職印
理事　氏名　職印
住所　入漁者　氏名　㊞
同　氏名　㊞
住所　同　氏名　㊞

朝鮮總督宛

（注意）
一　漁業令第二十七條、漁業令施行規則第七條、第四十一條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

第十三號　漁業ノ許可ノ申請書　捕鯨漁業、「トロール」漁業、工船漁業、機船底曳網漁業及機船巾著漁業ノ例

漁業許可申請

一　漁業ノ種類　（捕鯨漁業）
一　操業ノ區域　何々
一　漁業ノ方法　何々
一　漁船ノ種類　（西洋型）
一　漁船ノ名稱　何丸（何年何月何日竣成）
一　漁船ノ積量　何トン
一　漁船ノ隻數　何隻
一　機關ノ種類及馬力　石油發動機、純何馬力
一　採捕物ノ種類　何
一　漁業ノ時期　何月何日ヨリ何月何日迄
一　許可ヲ受ケントスル期間　何年
一　漁獲物ノ見込年額　何キログラム（何頭）、何圓
前記ノ通漁業ノ許可相受ケタシ

年　月　日

住所
氏名　㊞

住所
氏名　㊞
右二名代表者
住所（右代表者何某代理人）
氏名　㊞

朝鮮總督宛

添附書類ノ表示
一　船舶國籍證書寫（船籍札寫）　何通
（一）船舶檢査證書寫　何通
（二）漁業計畫書　一通

（注意）
一　操業ノ區域ハ捕鯨漁業、工船漁業及機船底曳網漁業ニ付テハ漁業令施行規則第十七條ノ規定ニ依ル操業區域ニ依リ機船巾著網漁業ニ付テハ何道及何道沿海ノ如ク記載スベシ
二　工船漁業ニ在リテハ一隻毎ニ漁船ノ種類、積量及隻數竝ニ機關ノ種類及馬力ヲ記載シ且製造工場設備ヲ有スル母船及附屬漁船ノ區別ヲ明示スベシ
三　代表者ノ住所ガ許可ヲ爲スベキ行政官廳ノ管轄區域內ニ住所ヲ有スル代理人ヲ定メ其ノ氏名及住所ヲ申請書ニ附記スベシ
四　漁業令第十條、漁業令施行規則第一條、第七條、第十六條乃至第十八條、第二十六條、第二十七條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照
（二）潛水器漁業、鷄卵漁業及裸潛漁業ノ例

漁業許可申請

一　漁業ノ種類　（潛水器漁業）
一　操業ノ區域　第何區（何川）（何郡沿海）
一　漁業ノ方法　何々
一　漁船ノ種類　（日本型帆船）
一　漁船ノ長サ及肩幅（積量）　長サ何メートル　肩幅何メートル（何トン）
一　漁船ノ隻數及馬力　何隻　石油發動機、純何馬力
一　漁業ノ時期　何月何日ヨリ何月何日迄
一　許可ヲ受ケントスル期間　何年
一　漁獲物ノ見込額　何キログラム、何圓
前記ノ通漁業ノ許可相受ケタシ

年　月　日

住所
氏名　㊞

道知事宛

（注意）
一　操業ノ區域ハ漁業ヲ爲サントスル水面ノ名稱又ハ其ノ水面ニ近接セル陸地ノ名稱ニ依リ之ヲ表示スベシ
二　海獸漁業ニ在リテハ「漁具ノ名稱」ニ銃器ノ種類ヲ記載スベシ
三　漁具ノ名稱ガ昭和四年朝鮮總督府告示第四百七十七號ニ揭ゲタル漁具ノ名稱ト異ルトキハ其ノ漁具圖及漁法ノ概要ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

第十四號　漁業令施行規則第一條、第十五條、第十六條、第十八條及第二十五條參照

漁業ノ許可申請書

（一）（二）何年

漁業種類　漁獲物ノ種類及ノ數量　漁船ノ名稱、噸數、構造及馬力數　漁業ノ方法　漁業時期　漁業ノ區域　漁業ノ制限ニ關スル事項　漁業ノ許可ヲ受ケントスル年月日

住所又ハ居所　氏名又ハ名稱及法人ニ在リテハ其ノ代表者ノ氏名　年齢

漁業權ノ存スル場合ニ於テハ其ノ旨及漁業權ノ種類

漁業權ノ存スル場合ニ於テハ其ノ漁業權ニ關スル漁業ノ制限ニ關スル事項

漁業權ノ存スル場合ニ於テハ其ノ漁業權ニ關スル漁業

第二十一號　免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ休業及廢業ノ届書

（一）休業ノ許可申請書

一	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
休業セントスル期間	何年何月何日ヨリ

（二）廢業ノ許可申請書及廢業ノ届書

一	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
廢業ノ理由	
廢業ノ年月日	

（三）漁業ノ休業又ハ廢業ノ届書

一	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
休業又ハ廢業ノ理由	
休業又ハ廢業ノ年月日	

（注意）

一　本届ハ漁業令施行規則第一條、第七條、第三十二條第一項第一號及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

二　漁業令施行規則第一條、第七條、第三十二條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

三　（一）ノ休業ノ許可申請書ハ休業ノ前例ニ同シ

四　（二）ノ廢業ノ許可申請書ハ廢業ノ前例ニ同シ

第二十二號　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願人又ハ申請人ノ氏名又ハ住所變更ノ届書

何	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
變更ノ年月日	
變更ノ事由	
變更ノ前後ノ氏名又ハ住所	

（注意）

一　本届ハ漁業令施行規則第一條、第七條、第三十二條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

二　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願人又ハ申請人ノ氏名又ハ住所變更ノ届書

第二十三號　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願人又ハ申請人ノ氏名又ハ住所變更ノ届書

何	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
變更ノ年月日	
變更ノ事由	
變更ノ前後ノ氏名又ハ住所	

（注意）

一　本届ハ漁業令施行規則第一條、第七條、第三十二條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

二　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願人又ハ申請人ノ氏名又ハ住所變更ノ届書

第二十四號　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

何	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
死亡又ハ解散ノ年月日	
死亡又ハ解散ノ事由	
死亡又ハ解散ノ届出人	

（注意）

一　本届ハ漁業令施行規則第一條、第七條、第三十二條第一項及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

二　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

第二十五號　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

何	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
死亡又ハ解散ノ年月日	
死亡又ハ解散ノ事由	
死亡又ハ解散ノ届出人	

（注意）

一　本届ハ漁業令施行規則第一條、第七條、第三十二條第一項及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

二　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

第二十六號　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

何	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
死亡又ハ解散ノ年月日	
死亡又ハ解散ノ事由	
死亡又ハ解散ノ届出人	

（注意）

一　本届ハ漁業令施行規則第一條、第七條、第三十二條第一項及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

二　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

第二十七號　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

何	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
死亡又ハ解散ノ年月日	
死亡又ハ解散ノ事由	
死亡又ハ解散ノ届出人	

（注意）

一　本届ハ漁業令施行規則第一條、第七條、第三十二條第一項及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

二　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

第二十八號　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

何	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
死亡又ハ解散ノ年月日	
死亡又ハ解散ノ事由	
死亡又ハ解散ノ届出人	

（注意）

一　本届ハ漁業令施行規則第一條、第七條、第三十二條第一項及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

二　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

第二十九號　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

何	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
死亡又ハ解散ノ年月日	
死亡又ハ解散ノ事由	
死亡又ハ解散ノ届出人	

（注意）

一　本届ハ漁業令施行規則第一條、第七條、第三十二條第一項及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

二　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

第三十號　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

何	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
死亡又ハ解散ノ年月日	
死亡又ハ解散ノ事由	
死亡又ハ解散ノ届出人	

（注意）

一　本届ハ漁業令施行規則第一條、第七條、第三十二條第一項及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

二　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

第三十一號　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

何	漁業免許（何年何漁業許可）第何號
死亡又ハ解散ノ年月日	
死亡又ハ解散ノ事由	
死亡又ハ解散ノ届出人	

（注意）

一　本届ハ漁業令施行規則第一條、第七條、第三十二條第一項及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

二　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ノ出願又ハ申請ヲ爲シタル者ノ死亡又ハ解散ノ届書

第二十五號

許可狀又ハ鑑札返納ノ屆書

一添附
許許類ノ表示
可狀ノ受付ノ
狀(鑑札)一通

前記ノ通土地ノ使用ノ許可ヲ受ケタルニ付返納ス

年　月　日

住所
(相續人)
氏名　㊞

何縣知事　宛

(注意)
一　本屆ハ漁業ノ許可ヲ受ケ又ハ漁業ノ屆出ヲ爲シタル行政廳ニ對シテノミ之ヲ爲スヘシ

二　照
漁業令施行規則第一條、第七條、第三十三條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參

第二十六號

土地ノ使用又ハ除去制限ノ許可申請書

(一)　土地物件ノ使用ノ許可申請書

印紙	收入印紙
	何圓貼附

土地(工作物)(何々)使用許可申請

一　何　使用スヘキ土地ノ所在、地番、地目及坪數

一　何　使用スヘキ土地ノ所有者ノ氏名及住所

一　何　使用スヘキ期間

一　何　使用ノ必要トスル事由

何年何月何日ヨリ何年何月何日迄

一　何　使用ノ方法

一　何　使用ノ必要トスル事由

許可ヲ申請セントスル事由ニ付協議ヲ爲シタル年月日及番號

一　何　使用スヘキ土地ノ所在、地番、地目及坪數

一　何　使用スヘキ土地ノ所有者ノ氏名及住所

一　何　使用スヘキ期間

（注意）
一　本申請ハ漁業令第十二條ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ヲ受ケントスル場合ニ使用スヘシ
二　申請ノ非ザルトキハ申請書ニ記載シタル事項ニ付キ立證スヘキ書類ヲ添附スヘシ
三　之ヲ添附スヘキ書類ハ漁業令第一號乃至第三號、第六十一條、漁業令施行規則第七條、第十二條及第五十一條、第四十九條乃至第五十一條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

第三十一號　朝鮮漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依ル裁定ノ申請書

朝鮮漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依ル裁定申請

印紙	收入印紙
	何回貼附

一　何　損害ノ非ザル事實
一　何　損害ノ見積金額及其ノ內譯
　金何圓
　內何圓
　金何圓　損害見積金額
　內譯
　金何圓　損害見積金額
一　何　損害ノ發生年月日
一　何　損害ノ發生場所
一　何　損害ノ發生原因及狀況
一　何　損害ノ防止又ハ救助ノ爲メ講シタル手段及其ノ費用
一　何　損害ノ發生ニ關シ利害關係ヲ有スル者ノ住所氏名
一　何　損害ノ發生ニ關シ證據ト爲ルヘキ事項
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ事項
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ書類
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ物件
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ場所
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ人
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ檢證
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ鑑定
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ通譯
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ其ノ他ノ事項
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ書類ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ物件ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ場所ノ檢證
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ人ノ訊問
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ檢證ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ鑑定ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ通譯ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ其ノ他ノ事項
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ書類ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ物件ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ場所ノ檢證
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ人ノ訊問
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ檢證ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ鑑定ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ通譯ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ其ノ他ノ事項

前記ノ通裁定相受ケタシ

年　月　日

住所
氏名　㊞

（注意）
一　前記ノ何レノ事項ニ付テモ申請ノ必要ナキ場合ニハ其ノ旨ヲ記載スヘシ
二　申請ノ非ザルトキハ申請書ニ記載シタル事項ニ付キ立證スヘキ書類ヲ添附スヘシ
三　之ヲ添附スヘキ書類ハ漁業令第一號乃至第三號、第六十一條、漁業令施行規則第七條、第四十九條乃至第五十一條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

第三十二號　朝鮮漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依ル裁定ノ申請書

朝鮮漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依ル裁定申請

印紙	收入印紙
	何回貼附

一　何　損害ノ非ザル事實
一　何　損害ノ見積金額及其ノ內譯
　金何圓
　內何圓
　金何圓　損害見積金額
　內譯
　金何圓　損害見積金額
一　何　損害ノ發生年月日
一　何　損害ノ發生場所
一　何　損害ノ發生原因及狀況
一　何　損害ノ防止又ハ救助ノ爲メ講シタル手段及其ノ費用
一　何　損害ノ發生ニ關シ利害關係ヲ有スル者ノ住所氏名
一　何　損害ノ發生ニ關シ證據ト爲ルヘキ事項
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ書類ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ物件ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ場所ノ檢證
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ人ノ訊問
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ檢證ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ鑑定ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ通譯ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ其ノ他ノ事項
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ書類ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ物件ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ場所ノ檢證
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ人ノ訊問
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ檢證ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ鑑定ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ通譯ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ其ノ他ノ事項

前記ノ通裁定相受ケタシ

年　月　日

住所
氏名　㊞

（注意）
一　本申請ハ漁業令第十二條ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ヲ受ケントスル場合ニ使用スヘシ
二　申請ノ非ザルトキハ申請書ニ記載シタル事項ニ付キ立證スヘキ書類ヲ添附スヘシ
三　之ヲ添附スヘキ書類ハ漁業令第一號乃至第三號、第六十一條、漁業令施行規則第七條、第四十九條乃至第五十一條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

第三十三號　朝鮮漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依ル裁定ノ申請書

朝鮮漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依ル裁定申請

印紙	收入印紙
	何回貼附

一　何　損害ノ非ザル事實
一　何　損害ノ見積金額及其ノ內譯
　金何圓
　內何圓
　金何圓　損害見積金額
　內譯
　金何圓　損害見積金額
一　何　損害ノ發生年月日
一　何　損害ノ發生場所
一　何　損害ノ發生原因及狀況
一　何　損害ノ防止又ハ救助ノ爲メ講シタル手段及其ノ費用
一　何　損害ノ發生ニ關シ利害關係ヲ有スル者ノ住所氏名
一　何　損害ノ發生ニ關シ證據ト爲ルヘキ事項
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ書類ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ物件ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ場所ノ檢證
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ人ノ訊問
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ檢證ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ鑑定ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ通譯ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ其ノ他ノ事項
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ書類ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ物件ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ場所ノ檢證
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ人ノ訊問
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ檢證ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ鑑定ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ通譯ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ其ノ他ノ事項

前記ノ通裁定相受ケタシ

年　月　日

住所
氏名　㊞

（注意）
一　本申請ハ漁業令第十二條ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ヲ受ケントスル場合ニ使用スヘシ
二　申請ノ非ザルトキハ申請書ニ記載シタル事項ニ付キ立證スヘキ書類ヲ添附スヘシ
三　之ヲ添附スヘキ書類ハ漁業令第一號乃至第三號、第六十一條、漁業令施行規則第七條、第四十九條乃至第五十一條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

第三十四號　朝鮮漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依ル裁定ノ申請書

朝鮮漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依ル裁定申請

印紙	收入印紙
	何回貼附

一　何　損害ノ非ザル事實
一　何　損害ノ見積金額及其ノ內譯
　金何圓
　內何圓
　金何圓　損害見積金額
　內譯
　金何圓　損害見積金額
一　何　損害ノ發生年月日
一　何　損害ノ發生場所
一　何　損害ノ發生原因及狀況
一　何　損害ノ防止又ハ救助ノ爲メ講シタル手段及其ノ費用
一　何　損害ノ發生ニ關シ利害關係ヲ有スル者ノ住所氏名
一　何　損害ノ發生ニ關シ證據ト爲ルヘキ事項
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ書類ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ物件ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ場所ノ檢證
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ人ノ訊問
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ檢證ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ鑑定ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ通譯ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ其ノ他ノ事項
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ書類ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ物件ノ提出
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ場所ノ檢證
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ人ノ訊問
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ檢證ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ鑑定ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ通譯ノ實施
一　何　損害ノ發生ニ關シ參考ト爲ルヘキ其ノ他ノ事項

前記ノ通裁定相受ケタシ

年　月　日

住所
氏名　㊞

（注意）
一　前記ノ何レノ事項ニ付テモ申請ノ必要ナキ場合ニハ其ノ旨ヲ記載スヘシ
二　申請ノ非ザルトキハ申請書ニ記載シタル事項ニ付キ立證スヘキ書類ヲ添附スヘシ
三　之ヲ添附スヘキ書類ハ漁業令第一號乃至第三號、第六十一條、漁業令施行規則第七條、第四十九條乃至第五十一條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

第三十五號　朝鮮漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定ノ申請書

朝鮮漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定申請

印紙	收入印紙
	何回貼附

一　何　漁業ノ制限又ハ禁止ノ事項
一　何　漁業ノ制限又ハ禁止ノ期間
　（漁業全部ニ付制限又ハ禁止ヲ爲サントスル時期及期間）
一　何　漁業ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル非由
一　何　同　何　對手方ノ氏名及住所
　同　何　郡何面何里何番地何某
　所有ノ非由
（漁業ノ制限ニ付協議ハザルニ依ル）

前記ノ通裁定相受ケタシ

年　月　日

住所
氏名　㊞

（注意）
一　漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定ノ申請ハ漁業ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル日ノ何日前ニ爲スヘシ
二　申請ノ非ザルトキハ申請書ニ記載シタル事項ニ付キ立證スヘキ書類ヲ添附スヘシ
三　之ヲ添附スヘキ書類ハ漁業令第一號乃至第三號、第六十一條、漁業令施行規則第七條、第四十九條乃至第五十一條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

第三十六號　朝鮮漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定ノ申請書

朝鮮漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定申請

印紙	收入印紙
	何回貼附

一　何　漁業ノ制限又ハ禁止ノ事項
一　何　漁業ノ制限又ハ禁止ノ期間
　（漁業全部ニ付制限又ハ禁止ヲ爲サントスル時期及期間）
一　何　漁業ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル非由
一　何　同　何　對手方ノ氏名及住所
　同　何　郡何面何里何番地何某
　所有ノ非由
（漁業ノ制限ニ付協議ハザルニ依ル）

前記ノ通裁定相受ケタシ

年　月　日

住所
氏名　㊞

（注意）
一　漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定ノ申請ハ漁業ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル日ノ何日前ニ爲スヘシ
二　申請ノ非ザルトキハ申請書ニ記載シタル事項ニ付キ立證スヘキ書類ヲ添附スヘシ
三　之ヲ添附スヘキ書類ハ漁業令第一號乃至第三號、第六十一條、漁業令施行規則第七條、第四十九條乃至第五十一條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

第三十七號　朝鮮漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定ノ申請書

朝鮮漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定申請

印紙	收入印紙
	何回貼附

一　何　漁業ノ制限又ハ禁止ノ事項
一　何　漁業ノ制限又ハ禁止ノ期間
　（漁業全部ニ付制限又ハ禁止ヲ爲サントスル時期及期間）
一　何　漁業ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル非由
一　何　同　何　對手方ノ氏名及住所
　同　何　郡何面何里何番地何某
　所有ノ非由
（漁業ノ制限ニ付協議ハザルニ依ル）

前記ノ通裁定相受ケタシ

年　月　日

住所
氏名　㊞

（注意）
一　漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定ノ申請ハ漁業ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル日ノ何日前ニ爲スヘシ
二　申請ノ非ザルトキハ申請書ニ記載シタル事項ニ付キ立證スヘキ書類ヲ添附スヘシ
三　之ヲ添附スヘキ書類ハ漁業令第一號乃至第三號、第六十一條、漁業令施行規則第七條、第四十九條乃至第五十一條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

第三十八號　朝鮮漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定ノ申請書

朝鮮漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定申請

印紙	收入印紙
	何回貼附

一　何　漁業ノ制限又ハ禁止ノ事項
一　何　漁業ノ制限又ハ禁止ノ期間
　（漁業全部ニ付制限又ハ禁止ヲ爲サントスル時期及期間）
一　何　漁業ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル非由
一　何　同　何　對手方ノ氏名及住所
　同　何　郡何面何里何番地何某
　所有ノ非由
（漁業ノ制限ニ付協議ハザルニ依ル）

前記ノ通裁定相受ケタシ

年　月　日

住所
氏名　㊞

（注意）
一　漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定ノ申請ハ漁業ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル日ノ何日前ニ爲スヘシ
二　申請ノ非ザルトキハ申請書ニ記載シタル事項ニ付キ立證スヘキ書類ヲ添附スヘシ
三　之ヲ添附スヘキ書類ハ漁業令第一號乃至第三號、第六十一條、漁業令施行規則第七條、第四十九條乃至第五十一條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

（注意）

一　漁業令第二十七條第一項、第六十五條、漁業令施行規則第七條、第五十四條、第五十六條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

第三十四號　朝鮮漁業令第六十六條ノ規定ニ依ル裁定ノ申請書

朝鮮漁業令第六十六條ノ規定ニ依ル裁定申請

收入印紙	收入印紙　何圓貼附

一　紛爭ノ事實

何々

一　對手方ノ氏名及住所

何道何郡何面何里何番地何某

一　申請ノ目的及事由

何々ノ事由ニ因リ何々ト裁定ヲ受ケントス

前記ノ通裁定相受ケタシ

年　月　日

住所

氏名　㊞

朝鮮總督殿

添附書類ノ表示

一　關係人ト交渉シタル顚末書　一通

一　申請書ノ副本　何通

一　何々　何通

（注意）

一　漁業令第六十六條、漁業令施行規則第七條、第五十五條、第五十六條及明治四十三年朝鮮總督府令第五號參照

乙　圖面

イ　調製心得

一　漁業ノ免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖ハ左ニ揭ゲル方法ニ依リ調製スベシ

（一）漁業ノ免許ヲ受ケントスル水面ノ區域ハ左ニ揭ゲル區分ニ依リ定ムベシ

養殖漁業　區劃其ノ他ノ施設ヲ爲シテ養殖ヲ爲ス區域

定置漁業　漁具ヲ定置シテ採捕ヲ爲スニ必要ナル區域

定所集魚漁業　水産動物ヲ集合セシムル裝置ヲ施シテ採捕ヲ爲スニ必要ナル區域

定所曳網漁業　漁網ヲ曳揚ゲ又ハ曳寄セテ採捕ヲ爲スニ必要ナル區域

定所敷網漁業　漁網ヲ敷設シ又ハ建設シテ採捕ヲ爲スニ必要ナル區域

專用漁業　專用シテ漁業ヲ爲ス區域

（二）位置及區域圖ノ調製ハ左ニ揭ゲル方法ニ依ルベシ

(1)　基點ヲ定メ方位及距離ニ依リ免許ヲ受ケントスル水面ノ位置ヲ示スニハ其ノ基點、方位及距離ヲ記入スベシ

基點ハ免許ヲ受ケントスル水面ニ最モ接近スル顯著ナル不動物體ヲ選ブベシ若シ適當ナル不動物體ナキトキハ標本又ハ標石ヲ建設シ其ノ位置ヲ明示スベシ

(2)　山見法（山立トモ謂ヒ二箇ノ顯著ナル目標ノ見通線ト同一方法ニ依レル他ノ見通線トノ交叉ニ依リ基點ノ位置ヲ定ムル方法ヲ謂フ）ニ依リ免許ヲ受ケントスル水面ノ位置ヲ示スニハ目標及見通線ヲ記入シ見通狀態ヲ明示スル對景圖（見取圖）ヲ添附スベシ磁針ヲ併用シタルトキハ其ノ方位ヲ併記スベシ

(3)　方位ハ磁針ニ取リ分度法（三百六十度ニ分ツモノ）ニ依ルベシ

(4)　距離、面積及水深ノ測定ハメートル法ニ依ルベシ

(5)　沿岸線及水深ヲ定ムルニハ朔望滿潮ノ時ヲ以テ標準トスベシ

(6)　免許ヲ受ケントスル水面ハ赤色ノ實線ニテ表示シ且其ノ附近ノ沿岸線竝ニ山丘、河川、部落等ノ位置及名稱、面里（洞）ノ境界線、南北線及縮尺ノ定アルモノハ其ノ縮尺ヲ記入スベシ

(7)　養殖漁業ノ免許願ニ付免許ヲ受ケントスル水面ノ面積ノ算出ヲ三斜法ニ依リタル場合ニ於テハ圖面ニ面積算出線ヲ記入シ計算器ニ依リタル場合ニ於テハ之ニ其ノ旨ヲ記載スベシ

(8)　免許ヲ受ケントスル水面ノ附近ニ他ノ漁場アルトキハ成ルベク其ノ漁具ノ名稱、漁場ノ位置及其ノ漁場ト免許ヲ受ケントスル水面トノ距離ノ概略ヲ圖示スベシ

(9)　圖面ニハ出願人記名捺印スベシ（漁業組合其ノ他ノ法人又ハ法人ニ非ザル社團ニ在リテハ其ノ名稱ヲ記載スルノ外代表者記名捺印スベシ）

二　漁業ニ關スル願書、申請書又ハ屆書ニ添附スベキ漁具圖ハ左ノ各號ニ依リ調製スベシ

（一）漁具ノ全形ヲ示シ其ノ名稱、材料、大サ、網目ノ寸法等ヲ記入シ曳網ヲ有スル漁網ニ在リテハ其ノ曳網ノ長サヲ附記スベシ

（二）定所集魚漁業ニシテ特別ノ裝置ヲ爲サントスルモノニ在リテハ前號ノ事項ノ外其ノ裝置ノ全形ヲ前號ニ準ジ圖示スベシ

ロ　圖式

一　漁業ノ免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

第一號　養殖漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類及漁業ノ方法

養殖漁業、石撒畦立

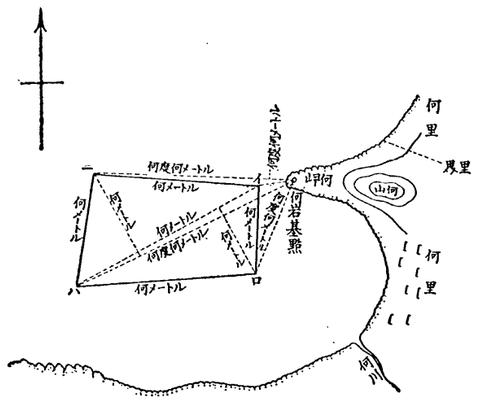
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置

何道何郡何面何里地先

一　基點　何面何里何岬東北端何岩

一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域

左圖ニ於テ（イ）、（ロ）、（ハ）、（ニ）、（イ）ノ各點ヲ順次ニ連結シタル線ニ依リ圍マレタル水面此ノ面積何平方キロメートル



出願人氏名　㊞

第二號　定置漁業ノ例

（一）大敷網漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類竝ニ漁業及漁具ノ名稱

定置漁業、大敷網漁業、大敷網

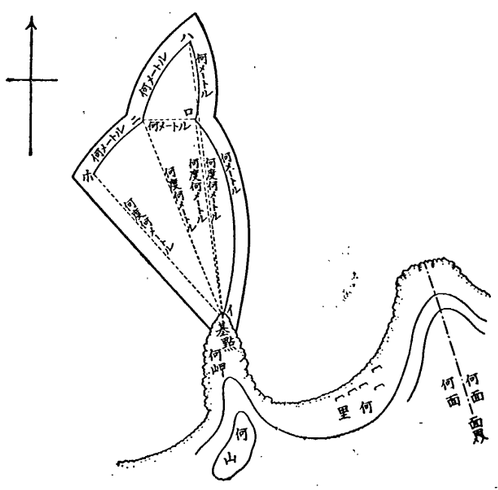
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置

何道何郡何面何里地先

一　基點　何面何里何岬北端何岩

一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域

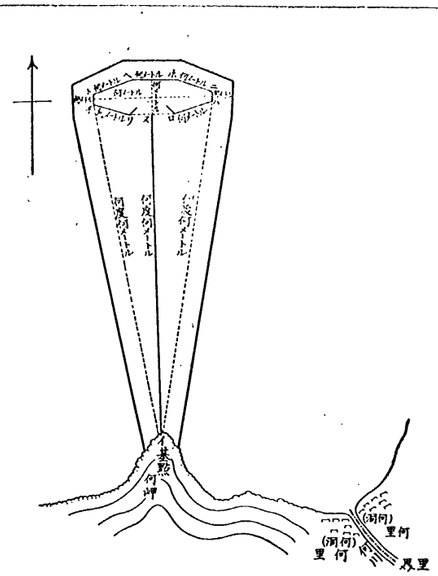
左圖ニ於テ（イ）、（ロ）、（ハ）、（ニ）、（ホ）ノ漁網ノ設置線及（イ）（ホ）ヲ連結シタル線ニ依リ圍マレタル水面竝ニ其ノ周圍何メートル以内ノ水面


何メートル
何メートル
何度何メートル
何度何メートル
何メートル
何メートル
何メートル
何メートル
何メートル
何メートル
何メートル

（二二）角刺漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類竝ニ漁業及漁具ノ名稱
　定置漁業、角刺漁業
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
　何道何郡何面何里地先
一　基點　何面何里何［illegible］ノ區域
　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
　左圖ニ於テ（イ）、（ロ）、（ハ）、（ニ）、（ホ）、（ヘ）、（ト）、（チ）ノ漁網ノ設置線、（イ）（ト）（チ）ヲ連結シタル線及（イ）（ト）（チ）ヲ連結シタル線ニ依リ圍マレタル水面竝ニ其ノ周圍何メートル以内ノ水面

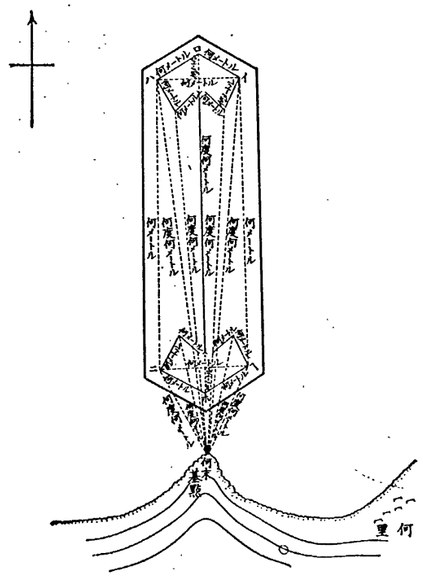


出願人氏名㊞

（二三）桝網漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類竝ニ漁業及漁具ノ名稱
　定置漁業、桝網漁業、遮網
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
　何道何郡何面何里地先
一　基點　何面何里何郡落西北突角何末突端岩石
　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
　左圖ニ於テ（イ）、（ロ）、（ハ）ノ漁網ノ設置線、（ハ）（ニ）（ホ）（ヘ）ノ漁網ノ設置線及（ヘ）（イ）（ト）（チ）連結シタル線ニ依リ圍マレタル水面竝ニ其ノ周圍何メートル以内ノ水面

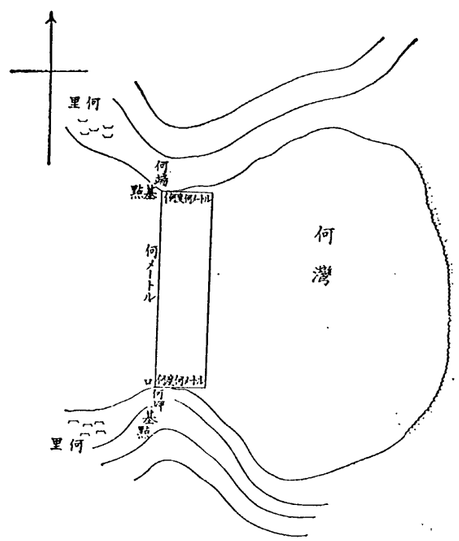


出願人氏名㊞

（四）建干網漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類竝ニ漁業及漁具ノ名稱
　定置漁業、建干網漁業、建干網
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
　何道何郡何面何里地先
一　基點
　イ　何面何里東南何端突角
　ロ　何面何里東北何岬突角
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
　左圖ニ於テ（イ）、（ロ）ノ漁網ヲ設置シタル水面及其ノ前面何メートル以内ノ水面

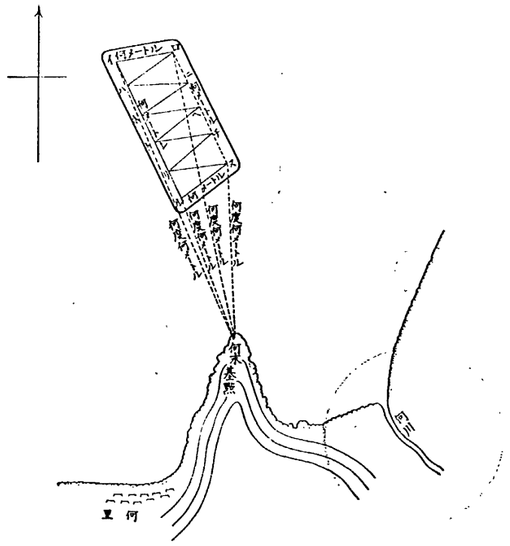


出願人氏名㊞

（五）囊張網漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類竝ニ漁業及漁具ノ名稱
　定置漁業、囊張網漁業、柱木網
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
　何道何郡何面何里地先
一　基點　何面何里何末突角岩石
　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
　左圖ニ於テ（イ）、（ロ）、（ヌ）、（ル）、（イ）ノ各點ヲ順次ニ連結シタル線内ノ水面及其ノ周圍何メートル以内ノ水面



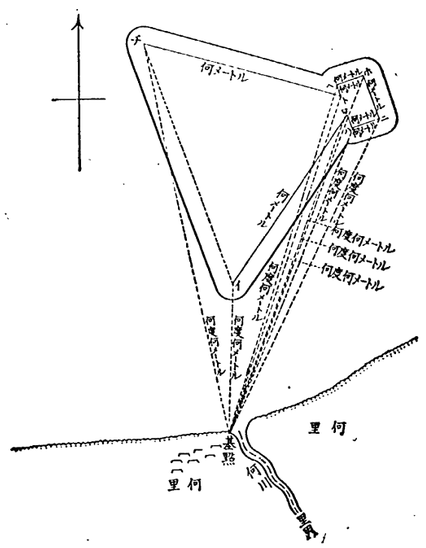
出願人氏名㊞

（六）　魚箭漁業ノ例

第三號　定所集魚漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類竝ニ漁業及漁具ノ名稱
定所集魚漁業、漁箭
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
何道何郡何面何里地先
一　基點　何面ト何面トノ面界ナル何川ノ吐出口西岸
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
左圖ニ於テ(イ)、(ロ)、(ハ)、(ニ)、(ホ)、(ヘ)、(ト)、(チ)ノ漁具ノ設置線及(イ)(ト)(チ)(イ)ヲ連結シタル線ニ依リ圍マレタル水面竝ニ其ノ周圍何メートル以内ノ水面

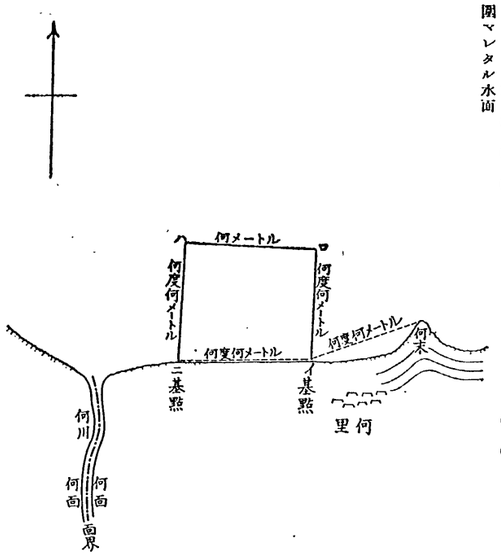


出願人氏名㊞

第四號　定所曳網漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類竝ニ漁業及漁具ノ名稱
定所曳網漁業、地曳網漁業、地曳網
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
何道何郡何面何里地先
一　基點
イ　何面何里東北方何米突角ヨリ何度何メートルノ處
ニ　イ基點ヨリ何度何メートルノ處
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
左圖ニ於テ(イ)、(ロ)、(ハ)、(ニ)ノ各點ヲ順次ニ連結シタル線及(イ)、(ニ)ノ海岸線ニ依リ圍マレタル水面

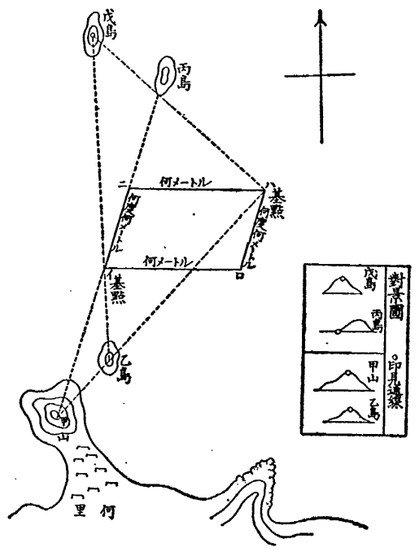


出願人氏名㊞

第五號　定所敷網漁業ノ例（山見法ニ依ル場合）

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類竝ニ漁業及漁具ノ名稱
定所敷網漁業、敷網漁業、敷網
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
何道何郡何面何里地先
一　基點
イ　戊島頂點及乙島頂點見通線ト甲山頂點及丙島頂點見通線トノ交叉點
ハ　戊島頂點及丙島南鼻ノ見通線ト甲山頂點及乙島頂點見通線トノ交叉點
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
左圖ニ於テ(イ)、(ロ)、(ハ)、(ニ)、(イ)ノ各點ヲ順次ニ連結シタル線ニ依リ圍マレタル水面

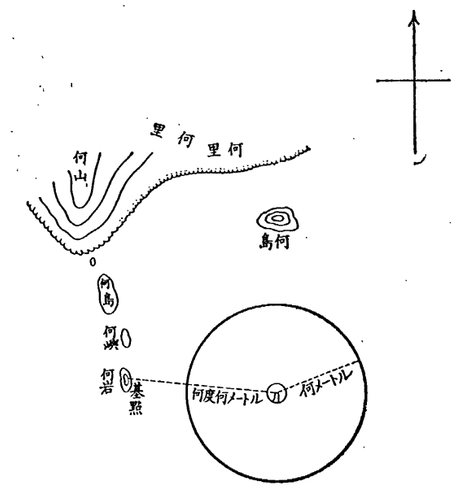


出願人氏名㊞

第三號　定所集魚漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類及名稱竝ニ裝置ノ名稱
定所集魚漁業、漬漁業、しいら漬
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
何道何郡何面何里沖合
一　基點　何面何里何岩頂點
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
裝置敷設區域ノ中心(イ)ノ周圍何メートル以内ノ水面



出願人氏名㊞

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第六號　專用漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類　專用漁業

一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置

何道何郡何面何里地先ニ

基點

イ　何里ト何里トノ里界ナル何末突角岩石

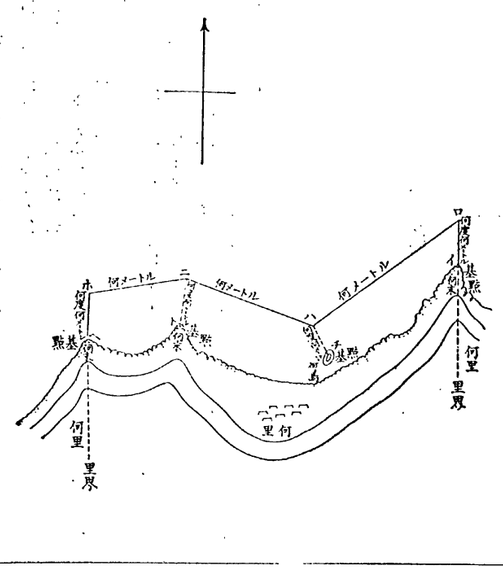
チ　何里何隈頂點

ト　何里ト何末突角岩石

ヘ　何里ト何里トノ里界ナル何末突角岩石

一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域

左圖ニ於テ(イ)、(ロ)、(ハ)、(ニ)、(ホ)、(ヘ)ノ各點ヲ順次ニ連結シタル線及(イ)、(ヘ)ノ海岸線ニ依リ圍マレタル水面



出願人　何漁業組合㊞

（昭和八年十二月總告第六百三十七號ヲ昭和九年三月一日ヨリ施行）

●漁業監督官吏ニ關スル規程

昭和四年十二月
總令第百十一號

漁業監督官吏ニ關スル規程左ノ通定ム

第一條　朝鮮漁業令第四十條ノ規定ニ依リ左ニ揭ゲル者ヲ漁業監督官吏ニ指定ス

一　朝鮮總督府及道府郡島ニ於テ水產ニ關スル事務又ハ技術ニ從事スル官吏

二　道府郡島ニ於テ水產ニ關スル事務又ハ技術ニ從事スル朝鮮地方特遞職員

第二條　前條ノ漁業監督官吏ノ携帶スベキ證票ハ朝鮮總督府ノ官吏ニ付テハ朝鮮總督、其ノ他ノ者ニ付テハ道知事之ヲ交付ス

第三條　第一條ノ漁業監督官吏ノ携帶スベキ證票ハ別記樣式ニ依ルベシ

第四條　朝鮮漁業令第四十條ノ臨檢竝ニ同令第四十一條第二項ノ搜索、搜索ニ必要ナル處分、差押ニ關シテハ朝鮮間接國稅犯則者處分令施行規則第六條乃至第八條及第十二條乃至第十四條ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令ハ朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年朝鮮總督府告示第二百四十九號（漁業令第十五條ニ依ル漁業監督官吏ノ指定）ハ之ヲ廢止ス

別記樣式

漁業監督官吏證票

表

第　號

漁業監督官吏證票

官職
印

官（職）　氏　名

用紙厚紙、縱十センチメートル
橫七センチメートル

裏面

割
印

年　月　日交付

●朝鮮漁業令施行規則ニ依ル鑑定人、事實參考人及利害關係人旅費手當支給規程

昭和四年十二月
總令第百十三號

朝鮮漁業令施行規則第六十一條ノ規定ニ依ル鑑定人、事實參考人及利害關係人旅費手當支給規程左ノ通定ム

朝鮮漁業令施行規則第六十一條ノ規定ニ依ル鑑定人、事實參考人及利害關係人旅費手當支給規程

第一條　朝鮮漁業令施行規則第六十一條ノ規定ニ依リ鑑定人、事實參考人及利害關係人ニ支給スル旅費及手當ハ左ノ範圍内ニ於テ其ノ都度朝鮮總督又ハ道知事之ヲ定ム

旅費

汽車賃及船賃　鐵道又ハ汽船ヲ通ズル水路ニ在リテハ一等以下ノ汽車賃又ハ船賃ニシテ朝鮮總督又ハ道知事ノ相當ト認ムルモノ、汽船ヲ通ゼザル水路ニ在リテハ一海里五錢

車馬賃　一里三十錢以上七十錢以下

手當　一日六十錢以上六圓以下

第二條　朝鮮漁業令施行規則第六十一條第二項ノ規定ニ依リ利害關係人ニ支給スル旅費及手當ハ朝鮮總督又ハ道知事ニ於テ呼出期間ノ長短、旅行行程ノ遠近等ヲ參酌シ前條ノ規定ニ準ジ之ヲ定ム

附　則

本令ハ朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮漁業登錄規則

昭和四年十二月
總令第百八號
改正　昭和六年一一第一四五號

朝鮮漁業登錄規則左ノ通定ム

朝鮮漁業登錄規則

第一章　總　則
第二章　登錄ニ關スル帳簿
第三章　登錄手續
第一節　通　則
第二節　職權ニ依ル登錄手續
第三節　申請ニ依ル登錄手續
第一款　申請人
第二款　申請書類
第三款　申請書ノ記載事項
第四款　登錄稅
第五款　登錄手續
第四節　囑託ニ依ル登錄手續
第四章　滅失漁業權原簿回復登錄手續
附　則

朝鮮漁業登錄規則

第一章　總　則

第一條　朝鮮總督ノ免許ニ依リテ生ズル漁業權及之ヲ目的トスル權利竝ニ入漁ニ關スル事項ニ付テハ朝鮮總督、道知事ノ免許ニ依リテ生ズル漁業權及之ヲ目的トスル權利ニ關スル事項ニ付テハ道知事登錄ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲ス官廳ヲ登錄官廳ト謂フ

第二條　假登錄ハ左ニ揭ゲル場合ニ於テ之ヲ爲スベシ

一　登錄ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具ハラザルトキ

二　漁業權竝ニ之ヲ目的トスル先取特權、抵當權及賃借權ノ設定、移轉、變更及消滅ノ請求權（始期附、停止條件附其ノ他特ニ於テ確定スベキモノヲ含ム）ヲ保全セントスルトキ

第三條　廢告登錄ハ登錄原因ノ無效又ハ取消ニ因ル登錄ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタル場合ニ於テ之ヲ爲スベシ但シ登錄原因ノ取消ニ因ル訴ニ付テハ其ノ取消ヲ以テ準ジ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル

第四條　左ニ揭ゲル事項ニ付登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限リ附記ニ依リテノミ之ヲ爲スベシ

一　先取特權、抵當權及賃借權ノ變更

二　登錄ノ更正（漁業權登錄簿及信託登錄簿ノ表示ニ關シタル登錄ノ更正ヲ除ク）

三　一部抹消登錄ノ回復

第五條　左ニ揭ゲル事項ノ登錄ハ附記ニ依リテノミ之ヲ爲スベシ

一　登錄名義人ノ表示ノ變更及代表者ノ變更

二　先取特權及抵當權ノ移轉及其ノ處分ノ制限竝ニ順位ノ變更ニ因ル先取特權及抵當權ノ變更

第六條　同一漁業權ニ關シ登錄ヲ爲シタル權利ノ順位ハ法令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外登錄ノ前後ニ依ル

登錄ノ前後ハ登錄用紙中同區ニ爲シタル登錄ニ付テハ順位番號ノ順位ニ依リ別區ニ爲シタル登錄ニ付テハ受付番號ノ順位ニ依ル

假登錄ヲ爲シタルモノニ付本登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ順位ハ假登錄ノ順位ニ依ル

附記登錄ノ順位ハ主登錄ノ順位ニ依リ附記登錄間ノ順位ハ其ノ前後ニ依ル

第七條　詐狀又ハ强迫ニ因リテ登錄ノ申請ヲ妨ゲタル第三者ハ登錄ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ズ

他人ノ爲登錄ヲ申請スル義務アル者ハ其ノ登錄ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ズ但シ其ノ登錄ノ原因カ自己ノ登錄ノ原因ノ後ニ發生シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　登錄官廳ニ變更ヲ生ジタル場合ニ於テハ壽登錄官廳ハ其ノ漁業權及之ヲ目的トスル權利竝ニ入漁ニ關スル登錄カ漁業權登錄簿、漁場圍綴込帳、漁業權共有者名簿、入漁登錄簿又ハ信託登錄簿ノ一册又ハ數册ノ全部ナルトキハ其ノ一册又ハ數册及其ノ關係書類ヲ、一册ノ一部ナルトキハ其ノ部分ノ謄本及其ノ關係書類又ハ其ノ謄本ヲ新登錄官廳ニ移送スベシ

第二章　登錄ニ關スル帳簿

第九條　漁業權原簿ト稱スルハ左ニ揭ゲル書類ヲ謂フ

一　漁業權登錄簿

二　漁場圍綴込帳

三　漁業權共有者名簿

四　入漁登錄簿

五　信託登錄簿

漁業權登錄簿ハ專用漁業ノ漁業權ニ付テハ第一號樣式、其ノ他ノ漁業ノ漁業權ニ付テハ第二號樣式、漁業權共有者名簿ハ第三號樣式、入漁登錄簿ハ第四號樣式、信託登錄簿ハ第五號樣式ニ依リ之ヲ調製スベシ

漁業權登錄簿及漁業權共有者名簿ハ一漁業權ニ付一用紙ヲ、入漁登錄簿ハ入漁者一人ニ付一用紙ヲ、信託登錄簿ハ一漁業權及一信託ニ付一用紙ヲ備フベシ

漁場圍綴込帳ニハ漁場圍ヲ免許ノ番號ノ順序ニ綴込ミ丁數ヲ附スベシ

第十條　登錄官廳ハ第六號樣式ニ依リ登錄受付簿ヲ調製スベシ

登錄受付簿ニ於ケル受付番號ハ每年之ヲ更新スベシ

第十一條　登錄官廳ニハ漁業權原簿及登錄受付簿ノ外左ニ揭ゲル帳簿ヲ備フベシ

一　見出帳

二　代表者名簿

三　登錄申請書、囑託書其ノ他關係書類綴込帳

四　申請却下原議綴込帳

五　謄本抄本交付閱覽申請事件簿

六　謄本抄本交付閱覽申請書綴込帳

七　通知簿

八　漁業權原簿謄本綴込帳

前項第三號乃至第六號ノ帳簿ハ一年每ニ別冊トシ之ヲ綴合シ分冊スルコトヲ妨ゲズ

第十二條　漁業權登錄簿ノ免許番號欄ニハ免許ノ番號ヲ記載スベシ

表示ノ變更ニ付登錄ヲ爲ス場合ニハ漁業權ニ付登錄ヲ爲ス場合（以下單ニ漁業令ト稱ス）第十一條ノ規定

入漁登錄番號欄ニハ入漁登錄簿ニ登錄ヲ爲タル順序ヲ記載シ免許番號欄ニハ專用漁業ノ漁業權ノ免許ノ番號ヲ記載スベシ

第十四條ノ二　信託登錄簿ノ免許番號欄ニハ信託財産ニ屬スル漁業權又ハ信託財産ニ屬スル權利ノ目的タル漁業權ノ免許ノ番號ヲ記載スベシ

表示欄ニハ信託財産ノ表示ヲ爲シ且其ノ變更ニ付記載スベシ

乙區番號欄ニハ表示欄ニ登錄事項ヲ記載スベシ

第十五條　假登錄ハ登錄用紙中相當區事項欄ニ之ヲ記載スベシ

假登錄ヲ爲シタルトキハ事項欄ノミニ假登錄ヲ爲シタル旨ヲ記載シ其ノ左側ニ本登錄ヲ爲シ得ベキ相當ノ條白ヲ存シタル上順位番號欄及事項欄ニ縱線ヲ劃スベシ

假登錄ヲ爲シタル後本登錄ノ申請アリタルトキハ假登錄ノ左側ノ條白ニ其ノ登錄ヲ爲スベシ假登錄ノ抹消ノ申請アリタルトキ亦同シ

第二十四條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名及住所ハ代表者ニ付テノミ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ共有者全員ノ氏名及住所ハ漁業權共有者名簿ニ之ヲ記載スベシ

第二十五條　漁業權共有者名簿ニ前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十八條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十二條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十三條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十六條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十八條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十一條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十五條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十六條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十七條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十八條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十九條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十一條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十二條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十三條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十四條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十六條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十八條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十九條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十一條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十二條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十四條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十六條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十八條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十九條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十一條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十二條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十三條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十四條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十六條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十七條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十八條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十九條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名ノ外持分ヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ヲ記載シ且前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分ノ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄

シタルトキハ甲漁業權ノ登錄用紙中相當區事項欄ニ其ノ權利ノ表示ヲ爲シ且分割許可ノ旨及其ノ年月日竝ニ分割ニ因リテ第何册何丁ニ移シタル旨ヲ記載シ原漁業權ノ登錄用紙ニ於ケル其ノ權利又ハ入漁ニ關スル登錄ヲ抹消スベシ

第一項ノ場合ニ於テ乙漁業權ニ對シ登錄名義人カ登錄上入漁ノ慣行ナキトキ又ハ權利若ハ入漁ノ慣行ノ消滅ヲ證スル書面ヲ差出シタルトキハ其ノ權利又ハ入漁ニ關スル登錄ヲ抹消スベシ此ノ場合ニ於テハ乙漁業權ノ登錄用紙中其ノ權利又ハ入漁ニ關スル登錄ヲ移スコトヲ要セズ

前項ノ場合ニ於テ甲漁業權ニ對シ登錄名義人カ登錄上入漁ノ慣行ナキトキ又ハ權利若ハ入漁ノ慣行ノ消滅ヲ證スル書面ヲ差出シタルトキハ乙漁業權ノ登錄用紙中相當區事項欄ニ原漁業權ノ登錄用紙ヨリ其ノ權利又ハ入漁ニ關スル登錄ヲ移スコトヲ要セズ

第四十五條　第四十一條第一項又ハ前條ノ場合ニ於テ其ノ漁業權ノ登錄用紙ニ登錄アルトキハ前二條ノ規定ニ依リ權利又ハ入漁ニ關スル登錄ヲ抹消シタル旨ヲ其ノ漁業權ノ登錄用紙ニ記載スベシ

第四十六條　第四十二條第一項ノ場合ニ於テ分割許可ノ旨及其ノ年月日竝ニ分割ニ因リテ第何册何丁ニ移シタル旨ヲ記載シ原漁業權ノ登錄用紙ニ於ケル其ノ權利又ハ入漁ニ關スル登錄ヲ抹消スベシ

第四十七條　第四十二條第一項ノ場合ニ於テ分割許可前ノ漁業權ノ登錄用紙ニ登錄アルトキハ前二條ノ規定ニ依リ權利又ハ入漁ニ關スル登錄ヲ抹消シタル旨ヲ其ノ漁業權ノ登錄用紙ニ記載スベシ

第四十八條　第四十二條第一項ノ場合ニ於テ分割許可前ノ漁業權ノ登錄用紙ニ登錄アルトキハ第四十五條ノ規定ニ依リ權利又ハ入漁ニ關スル登錄ヲ抹消シタル旨ヲ其ノ漁業權ノ登錄用紙ニ記載スベシ

第四十九條　第四十二條第一項ノ場合ニ於テ分割許可ノ旨及其ノ年月日竝ニ分割ニ因リテ第何册何丁ニ移シタル旨ヲ其ノ漁業權ノ登錄用紙ニ記載シタルトキハ第四十五條ノ規定ニ依リ權利又ハ入漁ニ關スル登錄ヲ抹消シタル旨ヲ其ノ漁業權ノ登錄用紙ニ記載スベシ

第五十條　漁業權ノ消滅ノ登錄ヲ爲スニハ漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ノ原因及其ノ日竝ニ漁業權ノ消滅ノ登錄ヲ爲スヲ以テ足ル

第五十一條　漁業權原簿ノ登錄用紙ヲ閉鎖スベシ

第五十二條　先取特權又ハ抵當權ノ登錄アル漁業權ニ付漁業令第十二條第四號又ハ第十三條第一項ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ノ取消アリタル場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ漁業權原簿ノ謄本ヲ他ノ登錄官廳ニ移送シタルトキハ前登錄用紙ノ漁業令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ鏡寶ノ靖求アリタル場合ニ於テハ漁業權ハ鏡寶ノ日ノ翌圍内ニ於テハ仍存續スル旨及鏡落ノ決定確定シタルトキハ漁業ノ免許ノ取消ハ其ノ效力ヲ生ゼザリシモノト看做ス旨ヲ記載スベシ

漁業令第二十四條ノ規定ニ依リ爲シタル鏡寶ニ因ル漁業權移轉ノ登錄ノ囑託アリタル場合ニ於テ第百七條ノ規定ニ依リ移轉ノ登錄ヲ爲シタルトキハ職權ヲ以テ漁業權登錄簿ノ前登錄用紙ノ甲區事項欄ニ新登錄用紙ノ登錄用紙ヲ閉鎖スベシ旨ヲ記載シ漁業權原簿ノ登錄ヲ移シタル旨ヲ記載スベシ

先取特權者又ハ抵當權者漁業令第二十四條第一項ニ規定スル期間内ニ鏡寶ノ請求ヲ爲サザルトキ又ハ鏡寶申立ノ登錄アリタル場合ニ於テ其ノ登錄抹消ノ囑託アリタルトキハ其ノ旨ヲ登錄シタル後職權ヲ以テ第一項ノ記載ヲ抹消シ漁業權原簿ノ登錄用紙ヲ閉鎖スベシ

第五十二條　漁業令第二十七條第二項又ハ第二十九條第二項ノ規定ニ依ル制限若ハ停止又ハ其ノ變更、解除若ハ取消ノ登錄ニ付テハ第四十條及第四十條ノ二ノ規定ヲ準用ス

漁業令第二十七條第二項又ハ第二十九條第二項ノ規定ニ依ル入漁ノ禁止ノ登錄ヲ爲スニハ漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ノ原因及其ノ日竝ニ入漁慣行ノ消滅ヲ登錄スル旨ヲ記載シ且入漁慣行ノ消滅ヲ證スル書面ヲ差出シタルトキハ甲漁業權ノ登錄用紙中相當區事項欄ニ其ノ權利ノ表示ヲ爲シ且分割許可ノ旨及其ノ年月日竝ニ分割ニ因リテ第何册何丁ニ移シタル旨ヲ記載シ原漁業權ノ登錄用紙ニ於ケル其ノ權利又ハ入漁ニ關スル登錄ヲ抹消スベシ

第五十三條　前條第一項ノ場合ニ於テハ乙漁業權ノ登錄用紙中相當區事項欄ニ原漁業權ノ登錄用紙ヨリ漁業權其ノ他ノ權利及入漁ニ關スル登錄ヲ轉寫シ且漁業權以外ノ權利ニ關スル登錄中ニ甲漁業權ト共ニ其ノ權利又ハ入漁ニ關スル登錄ヲ抹消スベシ

前三項ノ手續ヲ爲シタルトキハ乙漁業權ノ漁業權登錄簿ノ甲區事項欄中漁業權ノ設定登錄ノ末尾ニ乙漁業權ノ漁業權共有者名簿ノ册數及丁數ヲ記載シ原漁業權共有者名簿ノ册數及丁數ヲ朱抹スベシ

第二項ノ場合ニ於テ分割ニ因リ各漁業權カ各一人ニ歸屬シタルトキハ前三條ノ手續ヲ爲スノ外原漁業權ノ登錄用紙ヲ各相當欄ニ記載シタル事項ヲ記載シ

原漁業權ノ登錄用紙ヨリ乙漁業權ノ登錄用紙ニ漁業權ノ權利ノ表示ヲ爲シ且分割許可ノ旨及其ノ年月日竝ニ分割ニ因リテ第何册何丁ニ移シタル旨ヲ記載シ

第五十四條　漁業權ノ登錄ヲ爲スニハ漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ノ原因及其ノ日竝ニ入漁慣行ノ消滅ヲ登錄スル旨ヲ記載シ且入漁登錄簿ノ登錄用紙ヲ閉鎖スベシ

第五十五條　第三十七條第一號乃至第三號、第五十三號若ハ第六號ニ規定スル事項ノ登錄ヲ完了シタルトキ又ハ朝鮮漁業令第十九條第二項ノ認可ニ依リ第三十七條第四號ニ規定スル事項ノ登錄ヲ完了シタルトキハ其ノ處分ノ指令書ニ登錄年月日及登錄濟ノ旨ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シ之ニ漁業ノ免許又ハ漁業權ノ變更ノ許可ノ場合ニ在リテハ漁場圖一通ヲ添附シテ奥印シ漁業權者又ハ入漁者ニ交付スベシ

前項ノ事項ヲ除クノ外第三十七條ニ規定スル事項ノ登錄ヲ完了シタルトキハ登錄濟ノ旨ヲ登錄名義人ニ通知スベシ

第五十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第五十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第五十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第五十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第六十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第六十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第六十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第六十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第六十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第六十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第六十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第六十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第六十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第六十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第七十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第七十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第七十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第七十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第七十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第七十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第七十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第七十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第七十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第七十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第八十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第八十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第八十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第八十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第八十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第八十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第八十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第八十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第八十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第八十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第九十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第九十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第九十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第九十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第九十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第九十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第九十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第九十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第九十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第九十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百二十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百二十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百二十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百二十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百二十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百二十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百二十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百二十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百二十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百二十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百三十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百三十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百三十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百三十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百三十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百三十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百三十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百三十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百三十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百三十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百四十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百四十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百四十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百四十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百四十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百四十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百四十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百四十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百四十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百四十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百五十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百五十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百五十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百五十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百五十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百五十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百五十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百五十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百五十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百五十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百六十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百六十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百六十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百六十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百六十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百六十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百六十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百六十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百六十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百六十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百七十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百七十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百七十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百七十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百七十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百七十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百七十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百七十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百七十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百七十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百八十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百八十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百八十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百八十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百八十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百八十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百八十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百八十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百八十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百八十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百九十條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百九十一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百九十二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百九十三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百九十四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百九十五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百九十六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百九十七條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百九十八條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第百九十九條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第二百條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第二百一條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第二百二條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第二百三條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第二百四條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第二百五條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六十二條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外登錄權利者及登錄義務者ヨリ之ヲ爲スベシ

第二百六條　登錄ノ申請ハ第五十七條乃至第六

第五十九條　登錄シタル權利カ或者ノ死亡又ハ或法人ノ解散ニ因リテ消滅スルコトヲ登錄シタル場合ニ於テ申請書ニ其ノ死亡ヲ證スル戸籍ノ謄本若ハ抄本其ノ他之ニ相當スル書面又ハ法人ノ解散ヲ證スル書面ヲ添附スルトキハ登錄權利者ノミニテ登錄ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第六十條　登錄權利者カ登錄義務者ノ住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ因リ之ト共ニ登錄抹消ノ申請ヲ爲スコト能ハザルトキハ登錄官廳ノ所在地ヲ管轄スル裁判所ニ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ謄本ヲ添附シ登錄權利者ノミニテ登錄ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ債權證書竝ニ債權金額及最後ノ二年分ノ定期金ノ受取證書ヲ添附シタルトキハ登錄權利者ノミニテ先取特權又ハ抵當權ニ關スル登錄ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第六十一條　假登錄ノ假登錄義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書ヲ添附シテ假登錄權利者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第六十二條　假登錄ノ抹消ハ假登錄名義人ヨリ之カ申請ヲ爲スヘシ

申請書ニ假登錄名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本若ハ和解若ハ認諾ノ調書ノ謄本ヲ添附シタルトキハ登錄上利害ノ關係ヲ有スル者ヨリ假登錄ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第二款　申請書類

第六十三條　登錄ヲ申請スルニハ登錄申請人又ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留郵便ニ依リ申請書ヲ登錄官廳ニ差出スヘシ

書留郵便ニ依リ申請書ヲ差出ス場合ニ於テハ郵便物ノ表面ニ漁業ニ關スル登錄申請ナルコトヲ朱書スヘシ

第六十四條　同一登錄ニ付數筆ノ土地ニ關スル登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ左ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ

一　委託者受託者ノ氏名及住所

二　信託ノ目的

三　受益者ノ氏名及住所又ハ資格

前項ニ揭ケル事項ノ外漁業權ヲ目的トスル權利ヲ信託シタルトキハ其ノ權利ヲ表示シ信託財產ノ管理方法、信託終了ノ事由其ノ他信託行爲ヲ以テ定メタル事項アルトキハ之ヲ記載シ倘信託行爲ヲ以テ信託管理人ヲ指定シタルトキハ其ノ氏名及住所ヲ記載スヘシ

第六十五條　登錄原因ニ買戻ノ特約其ノ他登錄ノ目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定アルトキハ申請書ニ其ノ事項ヲ記載スヘシ

第六十六條　登錄權利者カ多數アル場合ニ於テ登錄原因ニ持分ノ定アルトキ又ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第二百五十六條第一項但書ノ規定ニ依ル定アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ一部ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條　登錄權利者カ登錄義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第一項第四號ノ書面カ減失シタルトキハ其ノ登錄義務者ノ本人ナルコトヲ證スル府尹、邑面長又ハ市町村長ノ證明書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第六十八條　登錄ヲ申請スルニハ登錄申請人又ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留郵便ニ依リ申請書ニ其ノ事實ヲ證スル戸籍ノ謄本若ハ抄本又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ他ノ登錄官廳ニ登錄ヲ申請スルトキハ申請書ニ前項ノ受領證ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ同一ノ登錄原因ニ因ル漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ處分ノ制限ノ登錄ヲ嘱託スル場合ニ之ヲ準用ス

第六十九條　抹消シタル登錄ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第七十條　申請書ニハ左ニ揭ケル書類ヲ添附スヘシ

一　登錄原因ヲ證スル書面

二　登錄原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面

三　代理人（法人又ハ法人ニ非ザル社團ノ代表者ヲ含ム）ニ依リ登錄ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面

四　登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證前項第一號ノ書面カ初ヨリ存在セザルトキ又ハ之ヲ添附スルコト能ハザルトキ若ハ第五項ノ規定ニ依リ之ヲ添附セザルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ且申請書ノ副本ヲ添附スヘシ

第七十一條　申請書ニハ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求セントスル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第三款　申請手續

第七十二條　申請書ニハ登錄原因ニ辨濟時期ノ定アルトキ、利息ノ定アルトキ又ハ其ノ發生時期若ハ支拂時期ノ定アルトキハ之ヲ記載スヘシ

第七十三條　抵當權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ且登錄原因ニ辨濟時期ノ定アルトキ、利息ノ定アルトキ、其ノ發生時期若ハ支拂時期ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ又ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第三百七十七條但書ノ規定ニ依リ別段ノ定アルトキハ之ヲ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テ先順位ノ抵當權ノ登錄アルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第一項ノ申請書ニハ抵當權ノ設定者カ債務者ニ非ザルトキハ債務者ノ表示ヲ爲スヘシ

第七十七條　抵當權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ抵當權カ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スヘシ

第七十八條　一定ノ金額ヲ目的トセザル債權ノ擔保タル先取特權ノ保存又ハ抵當權ノ設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載スヘシ

第七十九條　債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ依ル先取特權若ハ抵當權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スヘシ

第八十條　先取特權ノ保存若ハ移轉又ハ抵當權ノ設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ課稅標準ノ價格ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ競賣、強制管理ノ申立、假差押若ハ假處分又ハ抵當ノ債權ノ差押其ノ他滯納處分以外ノ原因ニ因ル權利ノ處分ノ制限ノ登錄ヲ嘱託スル場合ニ之ヲ準用ス

第八十一條　賃借權ノ設定又ハ賃借權ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ賃借ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ賃借ノ支拂時期ノ定アルトキハ其ノ旨ヲ記載スヘシ

賃借權ノ移轉又ハ轉貸ヲ承諾セラレタルトキハ之ヲ記載シ賃借ヲ爲ス者カ處分ノ能力又ハ權限ヲ有セザル者ナルトキハ其ノ旨ヲ記載スヘシ

賃借權ノ移轉又ハ轉貸ヲ承諾シタル旨ヲ登錄アラザル場合ニ於テ賃借權ノ移轉又ハ轉貸ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ賃貸人ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第八十二條　入漁權行使保存ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ左ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ

一　入漁スヘキ漁業權ノ免許ノ番號

入漁スヘキ水面ノ區域

三　入漁スヘキ漁業ノ方法其ノ他漁船漁具又ハ從業者ノ數若ハ資格ニ付慣行アルトキハ其ノ事項

四　入漁スヘキ採捕物ノ種類

入漁スヘキ時期

六　前各號ニ揭ケルモノノ外權利義務ニ關スル慣行アルトキハ其ノ事項

第八十三條　登錄申請書ノ提出ヲ代理人ニ委任シタル場合ニ於テハ登錄官廳ハ登錄申請書ニ其ノ代理人ノ氏名ヲ記載スヘシ

第八十四條　登錄ハ登錄官廳ノ管轄ニ屬スル事件ニ付登錄原因ニ因リ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第二百五十六條但書ノ規定ニ依ル定アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スヘシ

第八十五條　登錄原因ノ辨濟ニ因リ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ辨濟ノ日ヲ記載スヘシ

第八十六條　登錄ハ登錄原因ノ發生ノ日ヨリ之ヲ爲スヘシ

第八十七條　登錄ハ申請ノ受付ノ順序ニ依リ之ヲ爲スヘシ但シ同一ノ漁業權ニ關シ同時ニ數箇ノ申請アリタルトキハ同一ノ受付番號ヲ附スヘシ

第八十八條　左ニ揭ケル場合ニ於テハ登錄ノ申請ヲ却下スヘシ

一　登錄名義人ノ表示ノ變更ノ登錄ヲ申請スルトキ

第六十六條ノ二　受託者更迭ノ場合ニ於テ漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ移轉ノ登錄ヲ申請スルトキハ申請書ニ其ノ更迭ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財產ニ屬シタル漁業權又ハ漁業權ヲ目的トスル權利ノ信託ノ登錄ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第六十四條ノ三　信託財產ニ屬スル漁業權又ハ漁業權ヲ目的トスル權利ヲ移轉ニ因リ信託財產ニ屬セザルニ至リタル場合ニ於テ爲スヘキ信託ノ登錄抹消ノ登錄申請ハ移轉ノ登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第六十九條　抹消シタル登錄ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第七十一條　申請書ニハ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求セントスル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ト共ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第三款　申請手續

第七十二條　申請書ニハ左ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ

一　登錄原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面

二　代理人（法人又ハ法人ニ非ザル社團ノ代表者ヲ含ム）ニ依リ登錄ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面

四　登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證前項第一號ノ書面カ初ヨリ存在セザルトキ又ハ之ヲ添附スルコト能ハザルトキ若ハ第五項ノ規定ニ依リ之ヲ添附セザルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ且申請書ノ副本ヲ添附スヘシ

第七十三條　申請書ニハ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求セントスル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第三款　申請手續

第七十四條　申請書ニハ左ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ

一　登錄原因ヲ證スル書面

二　登錄原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面

三　代理人（法人又ハ法人ニ非ザル社團ノ代表者ヲ含ム）ニ依リ登錄ヲ申請スルトキ

第六十六條ノ二　受託者更迭ノ場合ニ於テ漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ移轉ノ登錄ヲ申請スルトキハ申請書ニ其ノ更迭ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財產ニ屬シタル漁業權又ハ漁業權ヲ目的トスル權利ノ信託ノ登錄ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第六十四條ノ三　信託財產ニ屬スル漁業權又ハ漁業權ヲ目的トスル權利ヲ移轉ニ因リ信託財產ニ屬セザルニ至リタル場合ニ於テ爲スヘキ信託ノ登錄抹消ノ登錄申請ハ移轉ノ登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第六十九條　抹消シタル登錄ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第七十一條　申請書ニハ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求セントスル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第三款　申請手續

第七十二條　申請書ニハ左ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ

一　登錄原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキ

二　代理人（法人又ハ法人ニ非ザル社團ノ代表者ヲ含ム）ニ依リ登錄ヲ申請スルトキ

四　登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證前項第一號ノ書面カ初ヨリ存在セザルトキ又ハ之ヲ添附スルコト能ハザルトキ若ハ第五項ノ規定ニ依リ之ヲ添附セザルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ且申請書ノ副本ヲ添附スヘシ

第七十三條　申請書ニハ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求セントスル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第三款　申請手續

第七十四條　申請書ニハ左ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ

一　登錄原因ヲ證スル書面

二　登錄原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面

三　代理人（法人又ハ法人ニ非ザル社團ノ代表者ヲ含ム）ニ依リ登錄ヲ申請スルトキ

第六十六條ノ二　受託者更迭ノ場合ニ於テ漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ移轉ノ登錄ヲ申請スルトキハ申請書ニ其ノ更迭ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財產ニ屬シタル漁業權又ハ漁業權ヲ目的トスル權利ノ信託ノ登錄ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第六十四條ノ三　信託財產ニ屬スル漁業權又ハ漁業權ヲ目的トスル權利ヲ移轉ニ因リ信託財產ニ屬セザルニ至リタル場合ニ於テ爲スヘキ信託ノ登錄抹消ノ登錄申請ハ移轉ノ登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第六十九條　抹消シタル登錄ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第七十一條　申請書ニハ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求セントスル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第三款　申請手續

第七十四條　申請書ニハ左ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ

一　登錄原因ヲ證スル書面

二　登錄原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキ

第六十六條ノ二　受託者更迭ノ場合ニ於テ漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ更迭ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財產ニ屬シタル漁業權又ハ漁業權ヲ目的トスル權利ノ信託ノ登錄ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第六十四條ノ三　信託財產ニ屬スル漁業權又ハ漁業權ヲ目的トスル權利ヲ移轉ニ因リ信託財產ニ屬セザルニ至リタル場合ニ於テ爲スヘキ信託ノ登錄抹消ノ登錄申請ハ移轉ノ登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第六十九條　抹消シタル登錄ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第七十一條　申請書ニハ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求セントスル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第三款　申請手續

第七十四條　申請書ニハ左ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ

一　登錄原因ヲ證スル書面

二　登錄原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキ

其ノ氏名及住所

七　登錄官廳ノ表示

第七十二條　債權者カ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權者ノ氏名、住所及代位ノ原因ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ第五十七條ノ三及第五十七條ノ五第二項ノ規定ニ依リ登錄ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十三條　登錄申請書カ數葉ニ渉ルトキハ登錄權利者又ハ登錄義務者カ多數ナルトキハ各其ノ一人ニ於テ契印ヲ爲スヘシ但シ前項ノ契印ナキモノニ付テハ擅當職員契印ヲ爲スヘシ

第七十四條　登錄ハ登錄官廳ノ管轄ニ屬スル數箇ノ漁業權ニ關シ同一ノ登錄原因ニ因ル先取特權ノ保存、抵當權ノ設定又ハ先取特權若ハ抵當權ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ最初ニ登錄ヲ申請スル登錄官廳ニ登錄稅ノ全額ヲ納付スヘシ

前項ノ規定ニ從ヒ登錄稅ヲ納附シタルトキハ登錄官廳ハ登錄ヲ申請スヘキ登錄官廳ノ數ニ應シ登錄稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但シ二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スヘシ

第四款　登錄稅

第八十四條　

申請ノ理由ヲ附シテ之ヲ却下スベシ
一　事件ガ其ノ登錄官廳ノ管轄ニ屬セザルトキ
二　事件ガ登錄スベキモノニ非ザルトキ
三　申請書ガ本令ノ規定ニ適合セザルトキ
四　申請書ニ揭ゲル漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ表示ガ漁業權原簿ノ登錄ト符合セザルトキ
五　第六十六條第二號ノ場合ヲ除クノ外申請書ニ揭ゲル登錄義務者ノ表示ガ漁業權原簿ノ登錄ト符合セザルトキ
六　申請人ガ登錄名義人ナル場合ニ於テ氏名及住所ノ變更ノ登錄申請ノ場合ヲ除クノ外其ノ日附、登錄ノ目的其ノ他申請書ニ揭ゲル事項ニシテ漁業權ノ表示ニ關スルモノ竝ニ登錄ヲ爲スニハ申請書ノ受付年月日、受付番號又ハ信託財產ノ表示ノ登錄ヲ爲スニハ申請書ノ受付年月日受付番號、信託ノ目的タル漁業ノ免許ノ番號又ハ信託ノ目的タル漁業權ヲ目的トスル權利ノ順位番號及權利ノ種類竝ニ登錄ヲ爲ス旨ヲ記載シ尙其ノ末尾ニ漁業權登錄簿ノ册數及丁數ヲ記載スベシ

第九十一條　漁業權原簿ノ事項欄ニ登錄ヲ爲スニハ申請書ノ受付年月日及受付番號、登錄原因及其ノ日竝ニ登錄濟ノ旨ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄義務者ニ還付スベシ

信託登錄簿ノ表示欄ニ信託財產ノ表示ノ登錄ヲ爲スニハ申請書ノ受付年月日受付番號、信託ノ目的タル漁業ノ免許ノ番號又ハ信託ノ目的タル漁業權ヲ目的トスル權利ノ順位番號及權利ノ種類竝ニ登錄ヲ爲ス旨ヲ記載シ尙其ノ末尾ニ漁業權登錄簿ノ册數及丁數ヲ記載スベシ

第九十二條　第七十二條第一項、第九十二條第一項及第九十七條第四項ノ規定ハ前條ノ登錄ニ之ヲ準用ス

第百四條　豫告登錄ニ關スル第三條ニ揭ゲル訴ヲ受理シタル裁判所ヨリ職權ヲ以テ遲滯ナク囑託書ニ訴狀ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ之ヲ登錄官廳ニ囑託スベシ

第百五條　第三條ニ揭ゲル訴ノ提起アリタル場合ニ於テ訴ヲ却下シタル裁判若ハ之ヲ提起シタル者ニ對シ敗訴ヲ言渡シタル裁判ガ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄若ハ認諾アリタルトキハ第一審裁判所ノ遲滯ナク囑託書ニ裁判ノ謄本若ハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄、認諾若ハ和解ヲ證スル裁判所書記ノ書面ヲ添附シテ豫告登錄ノ抹消ヲ登錄官廳ニ囑託スベシ

第百六條　裁判所ガ信託管理人ヲ選任シ又ハ解任シタルトキハ遲滯ナク囑託書ニ登錄原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ其ノ登錄ヲ登錄官廳ニ囑託スベシ主務官廳ガ信託管理人ヲ選任シタルトキ亦同ジ

第百七條　前條ノ規定ハ裁判所又ハ主務官廳ガ受託者ヲ解任シタル場合ニ之ヲ準用ス

第百八條　第百五條ノ四　裁判所ガ信託財產ノ管理方法ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク囑託書ニ登錄原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ其ノ登錄ヲ登錄官廳ニ囑託スベシ

前項ノ規定ハ主務官廳ガ信託ノ條項ヲ變更シタル場合ニ之ヲ準用ス

第百九條　第百五條ノ五　第百五條ノ三ノ場合ニ於テ受託者ノ解任ニ付登錄ヲ爲シタルトキハ登錄官廳ハ遲滯ナク左ニ揭ゲル事項及登錄ノ回復ヲ申請スベキ旨ヲ公告スベシ

一　滅失ノ事由
二　滅失ノ年月日
三　滅失シタル書類ノ種類
四　登錄ノ回復ヲ申請スベキ期限
五　其ノ他必要ナル事項

登錄官廳ハ前項ノ公告ヲ爲ス外其ノ所在地又ハ所在地ノ屬スル道ノ區域內ニ於テ發

效ニ登錄ヲ爲ス旨ヲ記載スベシ

第九十一條ノ二　漁業權登錄簿ニ信託ニ因ル漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ移轉ノ登錄ヲ爲シタルトキハ登錄ノ末尾ニ信託登錄簿ノ册數及丁數ヲ記載スベシ

第九十一條ノ三　受託者更迭シタル場合ニ於テ漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ移轉ノ登錄ヲ爲シタルトキハ登錄官廳ハ職權ヲ以テ信託登錄簿ノ登錄ヲ爲スベシ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第五十條第二項ノ場合ニ於テ變更ノ登錄ヲ爲シタルトキ亦同ジ

第九十二條　第七十二條第一項ノ申請アリタル場合ニ於テ漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ移轉ノ登錄ヲ爲スニハ第九十條第一項及第九十一條ノ規定ニ依ルノ外債權者ノ氏名、住所及代位原因ヲ記載スベシ

前項ノ規定ハ第五十七條ノ三又ハ第五十七條ノ二第二項ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第九十三條　入漁慣行ノ保存ノ登錄ニ關シテハ第九十一條ノ記載事項中入漁慣行ノ表示ハ入漁登錄簿ニ之ヲ記載スベシ

入漁慣行ノ表示ニ付登錄ノ更正又ハ變更ノ登錄アリタルトキハ入漁登錄簿ノ備考欄ニ漁業權登錄簿ニ爲シタル登錄ノ順位番號、册數及丁數ヲ記載スベシ

第九十四條　一箇ノ債權ヲ擔保スル爲數箇ノ漁業權ヲ目的トスル先取特權ノ保存又ハ抵當權ノ設定ノ登錄ヲ申請シタル場合ニ於テハ其ノ一箇ノ漁業權ニ付先取特權ノ保存又ハ抵當權ノ設定ノ登錄ヲ爲ストキハ其ノ漁業權ノ登錄用紙中相當區事項欄ニ他ノ漁業權ノ免許ノ番號ヲ記載シ其ノ漁業權ト共ニ先取特權又ハ抵當權ノ目的タル旨ヲ記載スベシ

第九十五條　追加抵當權設定ノ登錄ヲ爲シタルトキハ同一債權ニ依リ抵當權ノ目的タル他ノ漁業權ノ登錄用紙中同區事項欄ニ追加抵當權ノ目的タル漁業權ノ免許ノ番號ヲ記載シ其ノ漁業權ノ登錄用紙ニ前項ノ規定ニ準ジ登錄ヲ爲スベシ

第九十六條　登錄ヲ完了シタルトキハ登錄原因ヲ證スル書面又ハ申請書ノ副本ニ免許ノ番號、申請書ノ受付年月日、受付番號、順位番號、登錄年月日及登錄濟ノ旨ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄權利者又ハ登錄名義人ニ還付シ尙慣行ノ保存ニ關スル登錄ニ付テハ倘入漁登錄番號ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄權利者又ハ登錄名義人ニ還付シ申請書ニ添附シタル登錄濟證又ハ第六十五條第十項ノ書面ニハ申請書ノ受付年月日、受付番號、順位番號、登錄原因及其ノ日附、登錄權利者ノ氏名及住所、登錄年月日竝ニ登錄濟ノ旨ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄義務者ニ還付スベシ

登錄名義人多數ニシテ其ノ一部ガ登錄義務者ナルトキハ前項ノ登錄義務者ニ還付スベキ書面ニハ前項ノ規定スル事項ノ外登錄義務者ノ氏名及住所ヲ記載スベシ

前二項ノ場合ニ於テ登錄權利者又ハ登錄義務者ノ氏名及住所ノ記載ニ付テハ代表者ノ定アルモノハ其ノ氏名及住所ノミヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ノミヲ記載スベシ

第九十七條　第七十二條第一項ノ申請ニ依リ登錄ヲ完了シタル場合ニ於テ代位ノ原因ヲ證スル書面ニ第一項ノ規定ニ準ジテ記載ヲ爲シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シ第一項ノ規定ニ依リ登錄ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第九十八條　登錄ヲ完了シタルトキハ登錄原因及其ノ日附、登錄權利者ノ氏名及住所、登錄年月日竝ニ登錄濟ノ旨ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄義務者ニ還付スベシ

第九十九條　囑託ニ依リ登錄ヲ爲シタルトキハ登錄官廳ハ職權ヲ以テ登錄ノ順位番號、登錄原因及其ノ日附、登錄權利者ノ氏名及住所ヲ記載シ登錄濟ノ旨ヲ記載スベシ

第百條　左ニ揭ゲル事項ニ關スル登錄ニ付テハ官公署ヨリ遲滯ナク囑託書ニ登錄原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登錄官廳ニ囑託スベシ

一　處分ノ制限又ハ其ノ解除
二　公賣處分ニ因ル漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ移轉

第百一條　假登錄ハ第五十六條又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ申請スル場合ヲ除クノ外假登錄權利者ノ申請ニ依リ裁判所ヨリ囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添附シテ之ヲ登錄官廳ニ囑託スベシ

前項ノ假處分命令ハ假登錄權利者ガ假登錄ノ原因ヲ疏明シタルトキハ裁判所之ヲ發スベシ

第一項ノ申請ヲ却下シタル決定ニ對シテハ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ卽時抗告ニ付テハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第百二條　競賣開始ノ登錄又ハ滯納處分ニ因ル差押ノ登錄ヲ囑託スル場合ニ於テ必要アルトキハ官公署ハ職權ヲ以テ登錄名義人又ハ相續人其ノ他ノ包括承繼人ニ代ハリ登錄名義人ノ表示ノ變更又ハ相續其ノ他ノ包括承繼ニ因ル權利移轉ノ登錄ヲ登錄官廳ニ囑

託スベシ

第百三條　第二十九條第三項、第六十五條第三項、第七十二條第一項、第九十二條第一項及第九十七條第四項ノ規定ハ前條ノ登錄ニ之ヲ準用ス

第百四條　豫告登錄ニ關スル第三條ニ揭ゲル訴ヲ受理シタル裁判所ヨリ職權ヲ以テ遲滯ナク囑託書ニ訴狀ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ之ヲ登錄官廳ニ囑託スベシ

第百五條　第三條ニ揭ゲル訴ノ提起アリタル場合ニ於テ訴ヲ却下シタル裁判若ハ之ヲ提起シタル者ニ對シ敗訴ヲ言渡シタル裁判ガ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄若ハ認諾アリタルトキハ第一審裁判所ノ遲滯ナク囑託書ニ裁判ノ謄本若ハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄、認諾若ハ和解ヲ證スル裁判所書記ノ書面ヲ添附シテ豫告登錄ノ抹消ヲ登錄官廳ニ囑託スベシ

第百六條　裁判所ガ信託管理人ヲ選任シ又ハ解任シタルトキハ遲滯ナク囑託書ニ登錄原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ其ノ登錄ヲ登錄官廳ニ囑託スベシ主務官廳ガ信託管理人ヲ選任シタルトキ亦同ジ

第百七條　前條ノ規定ハ裁判所又ハ主務官廳ガ受託者ヲ解任シタル場合ニ之ヲ準用ス

第百八條　第百五條ノ四　裁判所ガ信託財產ノ管理方法ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク囑託書ニ登錄原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ其ノ登錄ヲ登錄官廳ニ囑託スベシ

前項ノ規定ハ主務官廳ガ信託ノ條項ヲ變更シタル場合ニ之ヲ準用ス

第百九條　第百五條ノ五　第百五條ノ三ノ場合ニ於テ受託者ノ解任ニ付登錄ヲ爲シタルトキハ登錄官廳ハ遲滯ナク左ニ揭ゲル事項及登錄ノ回復ヲ申請スベキ旨ヲ公告スベシ

一　滅失ノ事由
二　滅失ノ年月日
三　滅失シタル書類ノ種類
四　登錄ノ回復ヲ申請スベキ期限
五　其ノ他必要ナル事項

登錄官廳ハ前項ノ公告ヲ爲ス外其ノ所在地又ハ所在地ノ屬スル道ノ區域內ニ於テ發行スル日刊ノ新聞紙ノ一二、日刊ノ新聞紙ノ發行ナキ道ニ在リテハ隣接セル一ノ道ノ區域內ニ於テ發行スル日刊ノ新聞紙ノ一ニ登錄ノ回復ヲ申請スベキ期間竝ニ前項第一號乃至第三號ノ事項ヲ揭載スベシ

第百十二條　登錄回復ノ申請ハ登錄權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第百十二條ノ二　受益者又ハ受託者ハ受託者ニ代位シテ登錄回復ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第百十三條　登錄回復ノ申請書ニハ原登錄ノ順位番號申請書ノ受付年月日、申請書ノ受付番號及登錄濟證ヲ添附スベシ

第七十二條第一項若ハ前條ノ場合、朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第八條第二項ノ規定ニ依リ信託管理人ヨリ申請スル場合又ハ滅失紛失、其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ登錄濟證ヲ添附スルコト能ハザル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ記載シタル書面及漁業權原簿ノ謄本、抄本其ノ他證憑ヲ爲スベキ書面ヲ申請書ニ添附スベシ

第百十四條　登錄回復ノ申請アリタル場合ニ於テハ假漁業權原簿ニ漁業權原簿ト稱スルハ左ニ揭ゲル書類ヲ謂フ

一　假漁業權登錄
二　假漁場開設認許
三　假漁業權共有者名簿
四　假設入漁登錄簿
五　假設信託登錄簿

假漁業權原簿ニ付テハ第九條第二項乃至第四項ノ規定ヲ準用ス

第百十五條　假漁業權原簿ニ登錄ヲ爲スニハ第十二條乃至第十四條ノ規定ニ依ル登錄ヲ爲スニハ第十二條乃至第十四條ノ二ノ規定ニ準ジ滅失前ノ登錄ト同樣ノ登錄ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ假設漁業權登錄簿、假設漁業權共有者名簿若ハ假設信託登錄簿ノ表示欄若ハ事項欄又ハ假設漁場開設認許ニ登錄ヲ爲シタルトキハ共ノ登錄ヲ爲シタル旨ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄權利者又ハ登錄名義人ニ還付シ倘入漁登錄番號ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄權利者又ハ登錄名義人ニ還付シ申請書ニ添附シタル登錄濟證又ハ第六十五條第十項ノ書面ニハ申請書ノ受付年月日、受付番號、順位番號、登錄原因及其ノ日附、登錄權利者ノ氏名及住所、登錄年月日竝ニ登錄濟ノ旨ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄義務者ニ還付スベシ

登錄名義人多數ニシテ其ノ一部ガ登錄義務者ナルトキハ前項ノ登錄義務者ニ還付スベキ書面ニハ前項ノ規定スル事項ノ外登錄義務者ノ氏名及住所ヲ記載スベシ

前二項ノ場合ニ於テ登錄權利者又ハ登錄義務者ノ氏名及住所ノ記載ニ付テハ代表者ノ定アルモノハ其ノ氏名及住所ノミヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ノミヲ記載スベシ

第百十六條　登錄ヲ完了シタルトキハ登錄原因ヲ證スル書面又ハ申請書ノ副本ニ免許ノ番號、申請書ノ受付年月日、受付番號、順位番號、登錄年月日及登錄濟ノ旨ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄權利者又ハ登錄名義人ニ還付シ尙倘入漁登錄番號ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄權利者又ハ登錄名義人ニ還付シ申請書ニ添附シタル登錄濟證又ハ第六十五條第十項ノ書面ニハ申請書ノ受付年月日、受付番號、順位番號、登錄原因及其ノ日附、登錄權利者ノ氏名及住所、登錄年月日竝ニ登錄濟ノ旨ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄義務者ニ還付スベシ

登錄名義人多數ニシテ其ノ一部ガ登錄義務者ナルトキハ前項ノ登錄義務者ニ還付スベキ書面ニハ前項ノ規定スル事項ノ外登錄義務者ノ氏名及住所ヲ記載スベシ

前二項ノ場合ニ於テ登錄權利者又ハ登錄義務者ノ氏名及住所ノ記載ニ付テハ代表者ノ定アルモノハ其ノ氏名及住所ノミヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ノミヲ記載スベシ

第百十七條　第百十條ノ規定ニ依リ定メタル期間內ニ滅失シタル漁業權原簿ニ登錄シタル漁業權若ハ之ヲ目的トスル權利又ハ入漁ノ慣行ニ付新ニ登錄ノ申請アリタルトキハ第三章ノ規定ニ準ジ假設漁業權原簿ニ其ノ登錄ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テ順位番號欄ニ記載スベキ順位番號ハ新登錄ノミノ順序ニ從ヒ新ナル番號ヲ附シ之ニ新登錄ナル文字ヲ冠スベシ

前項ノ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ登錄濟證ニ假設漁業權原簿ニ登錄シタル旨ヲ記載スベシ

第百十八條　前條ノ規定ニ依リ新ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ登錄ガ第八十八條第一號、第二號又ハ第四號乃至第六號ニ該當スルモノナルトキハ登錄官廳ハ遲滯ナク職權ヲ以テ第二十八條ノ規定ニ準ジ抹消ノ登錄ヲ爲シ登錄權利者又ハ登錄

第二號樣式

支廳	第　欄號番許免	號	第　欄號番許免	錄及登記簿ノ種類ノ名稱	第　欄號番許免	第　欄號番許免	第　欄號番許免	摘要

支廳	區部	番號順位欄	表示欄	摘要
	甲區	番號順位欄	非表示欄	
	乙區	番號順位欄	非表示欄	
	丙區	番號順位欄	非表示欄	
	丁區	番號順位欄	非表示欄	

第三號樣式

摘要欄	區部	番號順位欄	非表示欄	備考欄
	甲區	番號順位欄	非表示欄	
	乙區	番號順位欄	非表示欄	
	丙區	番號順位欄	非表示欄	
	丁區	番號順位欄	非表示欄	

第一號樣式

第　欄號番許免	號	第　欄號番許免	錄及登記簿ノ種類ノ名稱	第　欄號番許免	第　欄號番許免	第　欄號番許免	摘要

支廳	區部	番號順位欄	表示欄	摘要
	甲區	番號順位欄	非表示欄	
	乙區	番號順位欄	非表示欄	
	丙區	番號順位欄	非表示欄	
	丁區	番號順位欄	非表示欄	

第二號樣式

摘要欄	區部	番號順位欄	非表示欄	備考欄
	甲區	番號順位欄	非表示欄	
	乙區	番號順位欄	非表示欄	
	丙區	番號順位欄	非表示欄	
	丁區	番號順位欄	非表示欄	

第四號樣式

表示

入漁スベキ水面ノ區域	入漁スベキ漁業ノ方法	入漁ノ時期	入漁スベキ漁業者ノ資格及其數	入番漁號登錄欄 第　號	免許番號欄 第　號

表示欄

其ノ他ノ權利義務	備考欄

第六號樣式

受付年月日	受付番號	登錄ノ目的	申請人ノ氏名又ハ名稱	備考
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			

受付年月日	受付番號	登錄ノ目的	申請人ノ氏名又ハ名稱	備考
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			

●朝鮮漁業登錄規則ニ依リ登錄官廳ニ差出スベキ漁業ニ關スル登錄申請書ノ調製心得及書式

昭和五年四月
總督府令第百八十五號

朝鮮漁業登錄規則ニ依リ登錄官廳ニ差出スベキ漁業ニ關スル登錄申請書ノ調製心得及書式ヲ定メ昭和五年五月一日ヨリ左ノ通定ム

甲　調製心得

乙　書式

第一號　漁業權（持分）移轉ノ登錄申請書

（一）相續ニ因ル移轉ノ例
（二）相續ニ因ル移轉ニ付代位申請ノ例
（三）法人ノ合併ニ因ル移轉ノ例
（四）賣買ニ因ル移轉ノ例
（五）共有ノ例
（六）現物出資ニ因ル移轉ノ例
（七）贈與（遺贈）ニ因ル移轉ノ例
（八）判決ニ因ル移轉ノ例
第二號　持分ヲ處分シ又ハ擔保ニ供スルニ付共有者ニ對スル同意ノ催告願末書
第三號　先取特權保存ノ登錄申請書
（一）漁業權保存又ハ賣買ノ先取特權保存ノ例
（二）漁場工事ノ先取特權保存ノ例
第四號　先取特權移轉ノ登錄申請書
第五號　先取特權變更ノ登錄申請書
第六號　先取特權抹消ノ登錄申請書
（一）全部抹消ノ例
（イ）債務辨濟ニ因ル抹消ノ例
（ロ）權利ノ拋棄ニ因ル抹消ノ例
一部抹消ノ例
（二）
第七號　抵當權設定ノ登錄申請書
第八號　根抵當權設定ノ登錄申請書
第九號　委任狀
第十號　抵當權移轉ノ登錄申請書
（一）相續ニ因ル移轉ノ例
（二）會社合併ニ因ル移轉ノ例
（三）讓渡ニ因ル移轉ノ例
（四）債權（一部）代位辨濟ニ因ル移轉ノ例
（五）債權（一部）轉付命令ニ因ル移轉ノ例
（六）讓渡ニ因ル移轉ノ例
第十一號　抵當權變更ノ登錄申請書
（一）契約事項ノ變更ニ因ル變更ノ例
（二）順位ノ變更ニ因ル變更ノ例
（三）抵當權拋棄ニ因ル變更ノ例
第十二號　抵當權抹消ノ登錄申請書
（一）全部抹消ノ例
（イ）債務ノ辨濟ニ因ル抹消ノ例
（ロ）抵當權ノ拋棄又ハ債務ノ免除ニ因ル抹消ノ例
（二）一部抹消ノ例
第十三號　賃借權設定ノ登錄申請書
第十四號　漁業權轉貸ノ登錄申請書
第十五號　賃借權移轉ノ登錄申請書
第十六號　賃借權變更ノ登錄申請書
第十七號　賃借權抹消ノ登錄申請書
第十八號　入漁慣行保存ノ登錄申請書
第十九號　入漁慣行抹消ノ登錄申請書
（一）入漁意思ノ拋棄ニ因ル抹消ノ例
（二）入漁者ノ死亡又ハ解散ニ因ル抹消ノ例
（三）入漁ノ拒絕又ハ入漁慣行ノ中斷ニ因ル抹消ノ例
第二十號　假登錄申請書（假登錄義務者ノ承諾アル場合）
漁業權移轉ノ假登錄申請ノ例
第二十一號　假登錄抹消ノ登錄申請書
漁業權移轉ノ假登錄抹消ノ登錄申請書
第二十二號　登錄名義人表示ノ變更ノ登錄申請書
第二十三號　登錄ノ錯誤（遺漏）ニ因ル更正ノ登錄申請書
第二十四號　登錄回復ノ登錄申請書
（一）承諾ニ因ル回復登錄申請ノ例
（二）判決ニ因ル回復登錄申請ノ例
（三）漁業權原簿ノ滅失ニ因ル回復登錄申請ノ例
第二十五號　漁業登錄囑託書
（一）滯納處分ニ因ル漁業權差押ノ登錄

第五號樣式

表示

順位番號欄	表示欄	順位番號欄	事項欄	順位番號欄	事項欄	順位番號欄	事項欄	順位番號欄	事項欄

順位番號欄	事項欄	順位番號欄	事項欄	順位番號欄	事項欄	順位番號欄	事項欄	順位番號欄	事項欄

屬託ノ例

(二)(三)　公資庫分ニ因ル漁業權移轉ノ登錄屬託ノ例

(二)　滯納處分ニ因ル差押ノ解除登錄囑託ノ例

第二十六號　漁業權原簿ノ謄本ノ交付請求書

第二十七號　漁業權原簿ノ抄本ノ交付請求書

甲

調製心得

一　申請書ハ各漁業權ニ付申請セントスル事件毎ニ之ヲ調製スベシ但シ同一登錄官廳ノ管轄ニ屬スル數箇ノ漁業權ニ關シ先取特權ノ保存、抵當權ノ設定又ハ先取特權若ハ抵當權ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ登錄原因及登錄ノ目的ガ同一ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二　申請書ニ金錢其ノ他ノ物ノ數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹、貳、參、拾ノ文字ヲ用フベシ

申請書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ズ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ尚讀ミ得ベキ樣字體ヲ存スベシ

三　申請人ガ漁業組合其ノ他ノ法人又ハ法人ニ非ザル社團ナルトキハ申請書ニハ其ノ名稱ヲ記載スルノ外代表者記名捺印スベシ

四　登錄原因ヲ證スル書面ニハ印紙稅令第二條竝ニ印紙稅法第四條第六條及第九條ノ規定ニ依リ印紙稅ヲ納ムベシ

五　登錄稅ハ朝鮮登錄稅令第六條及朝鮮登錄稅令施行規則第一條ノ規定ニ依リ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ此ノ場合ニ於テハ貼附印紙ヲ印章又ハ署名ヲ以テ消スベカラズ

朝鮮登錄稅令施行規則第二條ノ規定ニ依リ現金ヲ以テ登錄稅ヲ納ムルトキハ其ノ領收證書ヲ申請書ニ添附スベシ

乙　書式

第一號　漁業權(持分)移轉ノ登錄申請書

(一)　相續ニ因ル移轉ノ例

漁業權(持分)移轉登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號

一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日家督相續(遺產相續)

一　登錄ノ目的　漁業權(持分)ノ移轉

一　各相續人ノ相續分　何某　何分ノ何

一　添附書類

登錄原因ヲ證スル書面(戶籍及除籍)ノ謄本(各)一通

(何某ノ相續分ヲ證スル書面　各一通)

(何某ノ相續ノ拋棄ヲ證スル書面　各一通)

右登錄申請ス

年　月　日

住　所

亡何某家督相續人　登錄申請人　氏　名　㊞

住　所

(注意)

一　遺產相續ニ付數人ニ於テ漁業權ノ相續ヲ爲シタル場合ニ於テハ各登錄申請人ノ氏名ノ上ニ其ノ各持分ヲ記載シ漁業權ノ持分ノ相續ヲ爲シタル場合ニ於テハ登錄ノ目的ノ次ニ各相續人ノ相續分ヲ、各登錄申請人ノ氏名ノ上ニ漁業權ノ各持分ヲ記載スベシ

二　遺產相續ニ付相續ノ拋棄ヲ爲シタル者又ハ相續權ナキ者アルトキハ之ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スベシ

三　遺產相續ニ付相續人ノ關係ガ戶籍ノ謄本ノミニテ不明ナルトキハ除籍ノ謄本ヲモ申請書ニ添附スベシ

四　朝鮮漁業登錄規則(以下注意事項中ニ於テハ單ニ漁業登錄規則ト稱ス)第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條、第六十五條乃至第六十七條、第七十四條及第八十三條參照

(二)　相續ニ因ル移轉ニ付代位申請ノ例

漁業權移轉登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號

一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日家督相續

一　登錄ノ目的　漁業ノ移轉

一　代位ノ原因

何年何月何日金錢貸借契約ニ基ク債權者何道何郡何面何里何番地何某ノ債務者何道何郡何面何里何番地何某ニ對スル債權ノ保全

一　添附書類

登錄原因ヲ證スベキ書面初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本　一通

戶籍ノ謄本　一通

金錢借用證書　一通

右登錄申請ス

年　月　日

住　所

亡何某家督相續人　氏　名

右代位申請人

住　所

債權者　氏　名　㊞

朝鮮總督(道知事)宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

(注意)

一　債權者ガ民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登錄ヲ申請スル場合ニハ左ノ申請書ニ債權者ノ氏名、住所及代位ノ原因ヲ記載シ尚代位原因ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

二　參照條文前例ニ同ジ

(三)　法人ノ合併ニ因ル移轉ノ例

漁業權移轉登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號

一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日漁業組合(會社)合併

一　登錄ノ目的　漁業權ノ移轉

一　合併ニ因リ消滅シタル法人ノ名稱及住所　何道何郡何面何里何番地何漁業組合

(何會社)

一　添附書類

漁業組合合併認可ノ指令書(登錄原因ヲ證スル書面ヲ添附セザルニ付申請書ノ副本)　(何々)　一通

登錄申請人ノ代表者ノ權限ヲ證スル書面　一通

右登錄申請ス

年　月　日

住　所　登錄申請人　何漁業組合

組合長　氏　名　㊞

理事　氏　名　㊞

住　所　登錄申請人　何會社

代表者　氏　名　㊞

朝鮮總督(道知事)宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

(注意)

一　登錄原因ヲ證スル書面ガ登錄官廳タル行政官廳ノ許可又ハ認可ノ指令書ナルトキハ之ヲ添附スルコトヲ要セズ

一　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條、第六十五條、第六十六條、第七十一條、第七十二條及第八十三條參照

(四)　賣買ニ因ル移轉ノ例

漁業權(持分)移轉登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號

一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日賣買

一　登錄ノ目的　漁業權(持分)ノ移轉

一　特約　何年何月何日ヲ期限トスル買戻ノ特約アリ(契約ノ日ヨリ何年間不分割特約アリ)

一　添附書類

賣渡證書　一通

登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證(登錄義務者ノ本人ナルコトヲ證スル面長ノ證明書)　一通

(登錄原因ヲ證スル書面及登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證ハ何漁業免許第何號漁業權移轉登錄申請書ニ添附セリ)

(共有者ノ同意書(同意書催告顚末書)　一通)

(戶籍ノ謄本　一通)

右登錄申請ス

年　月　日

住　所　賣渡人　氏　名　㊞

住　所　買受人　氏　名　㊞

(買受人亡何某家督相續人)

朝鮮總督(道知事)宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

(注意)

一　漁業權又ハ其ノ持分ヲ移轉シタル場合ニ於テ買戻ノ特約アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スベシ

二　登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證ガ滅失シタルトキハ其ノ登錄名義人又ハ登錄義務者ノ本人ナルコトヲ證スル府尹、面長又ハ市町村長ノ證明書ヲ添附スベシ

三　同一登錄官廳ニ數箇ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ登錄原因ヲ證スル書面又ハ登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證ガ一箇ヨリ存セザルトキ他ノ登錄申請書ニ之ヲ添附シタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ申請書ニ記載スベシ

四　漁業權ノ持分ヲ移轉シタルトキハ其ノ共有者ノ同意ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スベシ共有者ノ住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ因リ之ガ同意ヲ求ムルコト能ハザル爲朝鮮漁業令第二十二條第一項ノ規定ニ依リ同意ノ催告ヲ爲シ同條第二項ノ期間內ニ異議ノ申立ナカリシトキハ第二號樣式ニ依ル同意催告顚末書ヲ添附スベシ

五　申請人ガ登錄權利者又ハ登錄義務者ノ相續人ナル場合ニ於テハ其ノ相續ヲ證スル戶籍ノ謄本若ハ抄本又ハ之ヲ證スルニ足ルベキ書面ヲ申請書ニ添附スベシ

六　朝鮮漁業令第十九條第二項、第二十一條、第二十二條、漁業登錄規則第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條、第六十五條乃至第六十七條、第七十一條及第八十三條參照

（五）　共有ノ例

漁業権共有登録申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登録原因及其ノ日附　何年何月何日契約（何某ノ有スル漁業権ノ持分ノ何分ノ何ノ賣買）
一　登録ノ目的　漁業権ノ共有
一　各共有者ノ持分　何某　何分ノ何
　　何某　何分ノ何
　　何某　何分ノ何
一　特約　契約ノ日ヨリ何年間不分割ノ特約アリ
一　添附書類
　漁業権共有契約證書（漁業権ノ持分ノ一部讓渡契約證書）一通
　登録義務者ノ權利ニ關スル登録濟證（共有者ノ同意書（同意届告願末書））一通

右登録申請ス

年　月　日

住　所
登録義務者　氏　名　㊞
住　所
登録權利者　氏　名　㊞

朝鮮總督（道知事）ノ宛

一　登録稅　何程

收入印紙

（注　意）

一　漁業権ヲ共有ト爲シタル場合ニ於テ民法第二百五十六條第一項但書ノ規定ニ依ル不分割ノ特約アルトキハ之ヲ申請書ニ記載スベシ
二　前例注意一乃至五參照
三　參照條文前例ニ同ジ
（六）　現物出資ニ因ル移轉ノ例

漁業権移轉登録申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登録原因及其ノ日附　何年何月何日現物出資
一　登録ノ目的　漁業権ノ移轉
一　添附書類
　現物出資提供證　一通
　登録權利者ノ代表者ノ權限ヲ證スル商業登録簿ノ謄本　一通
一　登録義務者ノ權利ニ關スル登録濟證　一通

右登録申請ス

年　月　日

住　所
登録義務者　氏　名　㊞
住　所
登録權利者　氏　名　㊞

朝鮮總督（道知事）ノ宛

一　登録稅　何程

收入印紙

（注　意）

一　第四例注意二、三及五參照
二　參照條文第四例ニ同ジ
（七）　贈與（遺贈）ニ因ル移轉ノ例

漁業権移轉登録申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登録原因及其ノ日附　何年何月何日贈與（遺贈）
一　登録ノ目的　漁業ノ移轉
一　添附書類
　贈與證書　一通
　（公正證書（裁判所ノ檢認調書ノ謄本））一通
　登録義務者ノ權利ニ關スル登録濟證　一通
　（戶籍ノ謄本　一通）

右登録申請ス

年　月　日

住　所
贈與者　氏　名　㊞
住　所
受贈者　氏　名　㊞
住　所
遺贈者亡　氏　名　㊞
住　所
右遺贈義務者　氏　名　㊞
住　所
受遺者　氏　名　㊞

朝鮮總督（道知事）ノ宛

一　登録稅　何程

收入印紙

（注　意）

一　遺言書ガ公正證書ナルトキハ其ノ公正證書ヲ、其ノ他ノ書面ナルトキハ裁判所ノ檢認調書ノ謄本ヲ申請書ニ添附スベシ
二　第四例注意二、三及五參照
三　參照條文第四例ニ同ジ
（八）　判決又ハ裁判上ノ和解若ハ認諾ニ因ル移轉ノ例

漁業権移轉登録申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登録原因及其ノ日附　何年何月何日賣買（何法院ノ漁業権移轉ノ登録手續ヲ命ズル確定判決）
一　登録ノ目的　漁業権ノ移轉
一　登録義務者ノ氏名及住所
一　何道何郡何面何里何番地　何某
一　添附書類
　裁判（和解調書）（認諾調書）ノ謄本　一通
　（判決確定證明書　一通）

右登録申請ス

年　月　日

住　所
讓受人　氏　名　㊞

朝鮮總督（道知事）宛

一　登録稅　何程

收入印紙

（注　意）

一　第四例注意五參照
二　漁業登録規則第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條、第六十五條乃至第六十七條、第七十一條及第八十三條參照
三　持分ノ處分ノ又ハ擔保ニ供スルニ付共有者ニ對スル同意ノ催告類末書

同意催告類末書

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　催告ヲ受ケタル共有者ノ住所及氏名
一　何道何郡何面何里何番地　何某
一　催告ノ事由
　共有者何某ノ住所（居所）ノ相續人（ノ）不明ノ爲前記漁業権ノ持分ノ賣買ニ付同意ヲ求ムルコト能ハザルニ因ル
一　催告ノ旨趣末
　朝鮮漁業令施行規則第三十九條ノ規定ニ依リ何道何府何新聞社ノ發行ニ係ル何新聞ニ何年何月何日公告ヲ爲シタルモ何年何月何日迄ニ異議ノ申立ナシ

前記ノ通相違ナシ

年　月　日

住　所
同意催告者　氏　名　㊞

第三號　先取特権保存ノ登録申請書

（一）　漁業権保存又ハ賣買ノ先取特権保存ノ例

先取特権保存登録申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登録原因及其ノ日附　何年何月何日漁業権ノ保存費支出（漁業権ノ賣買）
一　登録ノ目的　漁業権保存（賣買）ノ先取特権ノ保存
一　債権額　保存費（未拂賣買代金）何圓
一　登録原因ニ定メアル事項
　滯済時期　何年何月何日
　（利息　年何分）
　（利息發生時期　何年何月何日）
　（利息支拂時期　毎月末日）
（一）　先取特権ノ目的タル他ノ漁業権ノ免許ノ番號何漁業免許第何號、何漁業免許第何號
一　添附書類
　登録原因ヲ證スル書面初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本（漁業権賣買契約書）一通
　登録義務者ノ權利ニ關スル登録濟證　一通
　（登録稅ノ受領證　一通）

右登録申請ス

年　月　日

住　所
債務者　氏　名　㊞
住　所
先取特権者　氏　名　㊞

朝鮮總督（道知事）宛

一　課稅標準價格　何圓
一　登録稅　何程

收入印紙

（注　意）

一　漁業権保存ノ先取特権ノ保存ノ登録申請ハ保存行爲完了後直ニ、漁業権賣買ノ先取特権ノ保存ノ登録申請ハ賣買契約ト同時ニ之ヲ爲スベシ
二　同一登録官廳ノ管轄ニ屬スル數箇ノ漁業権ニ關シ先取特権ノ保存又ハ移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ登録ノ原因カ同一ナルトキニ限リ一申請書ヲ以テ申請スルコトヲ得
三　登録原因ニ辨済時期ノ定アルトキ利息ノ定アルトキ又ハ其ノ發生時期若ハ支拂時

期ノ定アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スベシ

四　一箇ノ債権ヲ擔保スル爲數箇ノ登錄官廳ノ管轄ニ屬スル數箇ノ漁業權ヲ目的トスル先取特權ノ保存ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ各登錄官廳ニ差出スベキ申請書ニ同一先取特權ノ目的タル他ノ漁業權ノ免許ノ番號ヲ記載スベシ

五　數箇ノ登錄官廳ノ管轄ニ關スル數箇ノ漁業權ニ關シ同一ノ登錄原因ニ因ル先取特權ノ保存又ハ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ最初ニ登錄ヲ申請スル登錄官廳ニ登錄稅ノ全額ヲ納付シ交付ヲ受ケタル受領證ハ他ノ登錄官廳ニ登錄ヲ申請スルトキ申請書ニ之ヲ添附スベシ

六　同一ノ債權ノ爲ニ先取特權、質權又ハ抵當權ニ關シ種類ヲ異ニスル二以上ノ登記又ハ登錄ヲ受ケル場合ニ於テ既ニ登記所又ハ登錄官廳ニ於テ登記又ハ登錄ヲ受ケタルトキハ申請書ニ其ノ登記所又ハ登錄官廳ノ交付シタル登錄稅ノ受領證ヲ添附スベシ

七　第一號第四例注意二及五參照

八　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條乃至第六十七條、第七十一條、第七十二條、第七十五條、第七十八條、第八十條、第八十三條乃至第八十五條、朝鮮登錄稅令第五條、第五條ノ三及朝鮮登錄稅令施行規則第三條ノ二參照

(二)　漁場工事ノ先取特權保存ノ例

先取特權保存登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日工事請負契約
一　登錄ノ目的　漁場工事ノ先取特權ノ保存
一　工事費用ノ豫算額　何圓
一　登錄原因ニ定メアル事項
一　辨濟時期　工事竣成引渡ト同時
一　添附書類
　工事請負契約書　一通
　登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通

右登錄申請ス

年　月　日

住　所
債務者　氏　　名　㊞

住　所
先取特權者　氏　　名　㊞

朝鮮總督(道知事)ノ宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

(注意)

一　漁場工事ノ先取特權ノ保存ノ登錄申請ハ工事ヲ初ムル前ニ之ヲ爲スベシ

二　第一號第四例注意二及五並ニ前例注意一及三乃至六參照

第四號　先取特權移轉ノ登錄申請書

先取特權移轉登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日家督相續
一　登錄ノ目的　先取特權ノ移轉
一　移轉シタル先取特權
一　何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番先取特權
　添附書類
一　登錄原因ヲ證スル書面初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本　一通
　戶籍抄本　一通

右登錄申請ス

年　月　日

住　所
亡何某家督相續人
登錄申請人　氏　　名　㊞

朝鮮總督(道知事)ノ宛

一　課稅標準價格　何圓
一　登錄稅　何程

收入印紙

(注意)

一　前號第一例注意一及五參照

二　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條乃至第六十五條、第六十七條、第七十一條、第七十二條、第七十四條、第七十九條、第八十條、第八十三條、第八十四條及朝鮮登錄稅令第五條參照

第五號　先取特權變更ノ登錄申請書

先取特權變更登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日債務ノ一部辨濟
一　登錄ノ目的　先取特權ノ變更
一　變更スベキ事項
　何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番先取特權保存ノ登錄事項中債權額何圓ヲ何圓ニ變更
　添附書類
一　債務辨濟金受取證書　一通
　登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通

右登錄申請ス

年　月　日

住　所

朝鮮總督(道知事)宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

(注意)

一　第一號第四例注意二、三及五參照

二　漁業登錄規則第一條、第四條、第五十六條、第五十七條、第六十三條、第六十五條、第六十七條、第七十一條、第七十二條及第八十三條參照

第六號　先取特權抹消ノ登錄申請書

(一)　全部抹消ノ例

(イ)　債務ノ辨濟ニ因ル抹消ノ例

先取特權抹消登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日債務辨濟
一　登錄ノ目的　先取特權ノ抹消
　抹消スベキ登錄
　何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番先取特權
　添附書類
一　債務辨濟金受取證書(債權證書竝ニ債權金額及最後ノ二年分ノ定期金ノ受取證書)(各)一通
　(登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通)
　(除權判決ノ謄本　一通)

右登錄申請ス

年　月　日

住　所
先取特權者　氏　　名　㊞

住　所
債務者(登錄申請人)氏　　名　㊞

朝鮮總督(道知事)宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

(注意)

一　漁業權ヲ目的トスル權利ノ拋棄ニ因ル登錄ノ抹消ニ付申請書ニ登錄名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本又ハ和解若ハ認諾ノ調書ノ謄本ヲ添附シタルトキハ登錄上利害ノ關係ヲ有スル者ヨリ之ガ申請ヲ爲スコトヲ得

二　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第五十八條、第六十三條、第六十五條、第六十七條、第七十一條及第八十三條參照

(二)　一部抹消ノ例

先取特權一部抹消登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日先取特權
一　部抹消契約
一　登錄ノ目的　先取特權ノ一部抹消
　抹消スベキ登錄
　何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番先取特權保存ノ登錄事項中利息年何分、利息發生時期何年何月何日、利息支拂時期毎月末日
一　添附書類
　先取特權一部抹消契約證書　一通
　登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

右登録申請ス
年　月　日

住所　先取特権者　氏　名㊞
住所　債務者　氏　名㊞

朝鮮總督（道知事）宛
登録税　何程

収入印紙

（注意）
一　第一例(イ)注意一及二参照
二　漁業登録規則第七十條ノ規定ヲ除クノ外参照文第一例ニ同ジ

第七號　抵當權設定ノ登録申請書

抵當權設定登録申請
一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
　登録原因及其ノ日附　何年何月何日金錢（何々）貸借抵當權設定契約（追加抵當權設定契約）
一　登録ノ目的　抵當權ノ設定（何年何月何日受付第何號ヲ以テ何漁業免許第何號漁業權ニ對シテ設定シタル順位何番抵當權ニ關スル追加抵當權設定）
一　債權額（債權ノ價格）　何圓
一　登録原因ニ定メアル事項
　辯濟時期　何年何月何日
　利息　年何割（無利息）
　利息發生時期　何年何月何日
　利息支拂時期　毎年何月何日
　債權ニ附シタル條件　利息ノ支拂ヲ怠リタルトキハ債務者ハ期限ノ利益ヲ失フ
（一）同一抵當權ノ目的タル他ノ漁業權ノ免許ノ番號
　何漁業免許第何號（何漁業免許第何號）
（二）先順位ノ登録
　一番及二番ノ抵當權ノ登録アリ）
（二）債務者ノ氏名及住所
　何道何郡何面何里何番地　何某
一　添附書類
　抵當權設定契約證書（追加抵當權設定契約證書）　一通
　登録義務者ノ權利ニ關スル登録濟證　一通

右登録申請ス
年　月　日

住所　抵當權設定者　氏　名㊞
住所　抵當權者　氏　名㊞

朝鮮總督（道知事）宛
登録税　何程

収入印紙

（注意）
一　同一登録官廳ノ管轄ニ屬スル數箇ノ漁業權ニ關スル抵當權ノ設定又ハ移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ登録ノ原因カ同一ナルトキニ限リ一申請書ヲ以テ申請スルコトヲ得
二　一定ノ金額ヲ目的トセザル債權ノ擔保タル抵當權ノ設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ債權ノ價格ヲ記載スベシ
三　登録原因ニ辨濟時期ノ定アルトキ、利息ノ定アルトキ、其ノ發生時期若ハ支拂時期ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ又ハ民法第三百七十條但書ノ規定ニ依ル別段ノ定アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スベシ
四　一箇ノ債權ヲ擔保スル爲數箇ノ漁業權ヲ目的トスル抵當權ノ設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ各申請書ニ同一抵當權ノ目的タル他ノ漁業權ノ免許ノ番號ヲ記載スベシ
五　目的タル漁業權ニ付先順位ノ抵當權ノ登録アルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スベシ
六　抵當權ノ設定者カ債務者ニ非ザルトキハ申請書ニ債務者ノ表示ヲ爲スベシ
七　數箇ノ登録官廳ノ管轄ニ屬スル數箇ノ漁業權ニ關シ同一ノ登録原因ニ因ル抵當權ノ設定又ハ移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ最初ニ登録ヲ申請スル登録官廳ニ登録税ノ全額ヲ納付シ爻付ヲ受ケタル受領證ハ他ノ登録官廳ニ登録ヲ申請スルトキ申請書ニ之ヲ添附スベシ
八　第一號第四例注意二、三及五竝ニ第三號第一例注意六参照
九　漁業登録規則第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條乃至第六十五條、第六十七條、第七十一條、第七十三條、第七十六條、第七十八條、第八十條、第八十三條乃至第八十五條、朝鮮登録税令第五條及朝鮮登録税令施行規則第三條ノ二参照

第八號　根抵當權設定ノ登録申請書

根抵當權設定登録申請
一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
　登録原因及其ノ日附
　何年何月何日小切手ノ支拂ニ因ル當座貸越ニ對スル根抵當權設定契約
一　登録ノ目的　根抵當權ノ設定
一　債權最高限度額　何圓
　登録原因ニ定アル事項
　契約期間　何年何月何日ヨリ何年何月何日迄
　利息　元金百圓ニ付日歩何錢

利息支拂期日　毎月何日
一　添附書類
　根抵當權設定契約證書　一通
　登録權利者ノ代表者ノ權限ヲ證スル書面　一通
（委任狀　一通）
登録義務者ノ權利ニ關スル登録濟證　一通

右登録申請ス
年　月　日

住所　根抵當權設定者　氏　名㊞
住所　根抵當權者　株式會社何々銀行
所　右取締役　氏　名㊞
（住所　右代理人　氏　名㊞）

朝鮮總督（道知事）宛
課税標準價格　何圓
一　登録税　何程

収入印紙

（注意）
一　「登録原因」中ニハ取引ノ方法ヲモ記載スベシ
二　債權額ハ其ノ最高限度額ヲ記載スベシ
三　代理人（法人又ハ法人ニ非ザル社團ノ代表者ヲ含ム）ニ依リ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ委任狀（代表者ノ權限ヲ證スル書面）ヲ添附スベシ
四、前例注意一及三乃至九参照
五　参照條文前號ニ同ジ

第九號　委任狀

委任狀

収入印紙

何道何郡何面何里何番地何某ニ左記漁業ニ關スル登録申請ニ係ル一切ノ行爲ヲ委任ス但シ復代理人ヲ選任スルコトヲ許諾ス

年　月　日

住所
株式會社何々銀行取締役
氏　名㊞

記

一　根抵當權ノ目的タル漁業權ノ免許ノ番號　何漁業免許第何號

登録原因及其ノ日附　何年何月何日小切手ノ支拂ニ因ル當座貸越ニ對スル根抵當權設定契約

第十號　抵當權移轉ノ登録申請書

（一）相續ニ因ル移轉ノ例

抵當權移轉登録申請
一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登録原因及其ノ日附　何年何月何日家督相續（遺産相續）
一　登録ノ目的　抵當權ノ移轉
一　移轉シタル抵當權
　何年何月何日受付第何號ヲ以テ登録ニ係ル順位何番抵當權但シ右抵當權ハ債權ト共ニ移轉ス
一　添附書類
　登録原因ヲ證スル書面（初メヨリ字在セザルニ付申請書ノ副本　一通
　戸籍（戸籍及除籍）ノ謄本　一通

右登録申請ス
年　月　日

住所
亡何某家督（遺産）相續人
登録申請人　氏　名㊞

朝鮮總督（道知事）宛
登録税　何程

収入印紙

（注意）
一　抵當權移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ抵當權ガ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スベシ
二　第一號第一例注意一乃至三竝ニ第七號注意一及八参照
三　漁業登録規則第一條、第五條、第五十六條、第五十七條、第六十三條乃至第六十五條、第六十七條、第七十一條、第七十二條、第七十四條、第七十七條、第八十三條及第八十四條参照
（二）法人ノ合併ニ因ル移轉ノ例

抵當權移轉登録申請
　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登録原因及其ノ日附　何年何月何日合社合併

一　登錄ノ目的（抵當權ノ移轉）
一　移轉シタル抵當權
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權但シ右抵當權ハ債權ト共ニ移轉ス
一　合併ニ因リ消滅シタル會社ノ名稱及住所
何道何府何町何番地　何會社
一　添附書類
會社ノ合併ニ關スル社員總會ノ決議錄ノ謄本　一通
登錄申請人ノ代表者ノ權限ヲ證スル書面　一通
右登錄申請ス
年　月　日
住所
登錄申請人　名稱
住所
右代表者　氏　名㊞
朝鮮總督（道知事）ノ宛
一　登錄稅　何程
收入印紙

（注意）
一　會社ノ合併ニ因ル抵當權ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ合併ニ因リ消滅シタル會社ノ名稱及住所ヲ記載スベシ
二　第七號注意一及八竝ニ前例注意一參照
三　漁業登錄規則第六十七條及第七十四條ヲ除クノ外參照條文前例ニ同ジ

（三）　債權（一部）讓渡ニ因ル移轉ノ例

抵當權（一部）移轉登錄申請
一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日債權（一部）讓渡
一　登錄ノ目的　抵當權ノ（一部）移轉
一　何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權但シ右抵當權ハ債權ト共ニ移轉ス
（一）　讓渡ノ目的タル債權額　何圓
一　添附書類
債權（一部）讓渡證書　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
右登錄申請ス
年　月　日
住所
讓渡人　氏　名㊞
住所
讓受人　氏　名㊞
朝鮮總督（道知事）ノ宛
一　登錄稅　何程
收入印紙

（注意）
一　債權ノ一部ノ讓渡ニ依ル抵當權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ合併ニ因ル抵當權移轉ノ例ニ準ジ債權ノ一部ノ讓渡ニ依ル抵當權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡ノ目的タル債權額ヲ記載スベシ
二　第一號第四例注意二、三及五、第七號注意一及八竝ニ本號第一例注意一參照
三　漁業登錄規則第一條、第五條、第五十六條、第六十三條乃至第六十七條第七十一條乃至第七十三條、第七十七條、第七十九條、第八十三條及第八十四條參照

（四）　債權（一部）代位辨濟ニ因ル移轉ノ例

抵當權（一部）移轉登錄申請
一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日債權（一部）代位辨濟
一　登錄ノ目的　抵當權ノ（一部）移轉
一　何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權但シ右抵當權ハ債權ト共ニ移轉ス
（一）　代位辨濟ノ目的タル債權額　何圓
一　添附書類
債務（一部）辨濟金受取證書　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
（債權者ノ代位ヲ承諾シタルコトヲ證スル書面　一通）
右登錄申請ス
年　月　日
住所
抵當權者　氏　名㊞
住所
代位辨濟者　氏　名㊞
朝鮮總督（道知事）ノ宛
一　登錄稅　何程
收入印紙

（注意）
一　債權ノ一部ノ代位辨濟ニ依ル抵當權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スベシ
二　民法第四百九十九條ノ規定ニ依ル任意ノ代位ニ因ル場合ハ債權者ノ代位ヲ承諾シタルコトヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スベシ

三　第一號第四例注意二、三及五、第七號一及八竝ニ本號第一例注意一參照
四　參照條文前例ニ同ジ

（五）　債權轉付命令ニ因ル移轉ノ例

抵當權移轉登錄申請
一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日債權轉付命令
一　登錄ノ目的　抵當權ノ移轉
一　移轉シタル抵當權
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權但シ右抵當權ハ債權ト共ニ移轉ス
一　添附書類
債權轉付命令正本　一通
（登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通）
右登錄申請ス
年　月　日
（住所　登錄義務者　氏　名㊞）
住所
登錄權利者　氏　名㊞
朝鮮總督（道知事）宛
一　登錄稅　何程
收入印紙

（注意）
一　轉付命令ニ債務者ニ抵當權移轉ノ登錄ノ申請ヲ命ズル記載アルトキハ登錄權利者ノミヨリ申請スルコトヲ得
二　第一號第四例注意二、第七號注意二及八竝ニ本號第一例注意一參照
三　漁業登錄規則第七十三條ノ規定ヲ除クノ外參照條文第三例ニ同ジ

（六）　讓渡ニ因ル移轉ノ例

抵當權移轉登錄申請
一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日抵當權讓渡
一　登錄ノ目的　抵當權ノ移轉
一　移轉シタル抵當權
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權但シ抵當權ノミヲ移轉ス
一　添附書類
抵當權讓渡證書　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
右登錄申請ス
年　月　日
住所
抵當權讓渡人　氏　名㊞
住所
抵當權者　氏　名㊞
朝鮮總督（道知事）宛
一　登錄稅　何程
收入印紙

（注意）
一　同一債務者ニ對スル他ノ債權者ノ利益ノ爲ニ非ザレバ抵當權ノミヲ讓渡スルコトヲ得ズ
二　第一號第四例注意二、三及五、第七號注意一及八竝ニ本號第一例注意一參照
三　參照條文第三例ニ同ジ

第十一號　抵當權變更ノ登錄申請書
契約事項ノ變更ニ因ル變更ノ例

抵當權變更登錄申請
一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日抵當權變更契約（債務一部辨濟）
一　登錄ノ目的　抵當權ノ變更
一　變更スベキ事項
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權設定ノ登錄事項中辨濟時期何年何月何日トアルヲ何年何月何日利息年何割トアルヲ年何割トス（債權額何圓トアルヲ何圓トス）
一　添附書類
抵當權變更契約證書（債務一部辨濟金受取證書）　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄辨濟證　一通
（登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書（裁判ノ謄本及判決確定證明書）　一通）
右登錄申請ス
年　月　日
住所
抵當權設定者　氏　名㊞
住所
抵當權者　氏　名㊞
朝鮮總督（道知事）宛
一　登錄稅　何程
收入印紙

（注　意）
一　登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者ナキトキ又ハ申請書ニ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書若ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限リ附記ニ依リ登錄ヲ爲シ其ノ他ノ場合ニ於テハ主登錄ヲ爲スモノトス
二　債權額ヲ增加スル場合ハ抵當權ノ變更ニアラズ其ノ增加額ニ對シ新規ニ抵當權ノ設定登錄ヲ爲スベシ
三　第一號第四例注意二、三及五參照
四　漁業登錄規則第一條、第四條、第五十六條、第五十七條、第六十三條、第六十五條乃至第六十七條、第七十一條及第八十三條參照
（二）　順位ノ變更ニ因ル變更ノ例

抵當權變更登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日抵當權順位讓渡契約（抵當權順位拋棄）
一　登錄ノ目的　抵當權ノ變更
一　變更スベキ事項
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權ノ順位ヲ何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權者ニ讓渡（順位何番抵當權者ノ利益ノ爲ニ拋棄）
一　添附書類
抵當權順位讓渡證書（抵當權順位拋棄證書）　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
右登錄申請ス
年　月　日
住　所
讓渡人（拋棄者）　氏　　名　㊞
住　所
讓受人（拋棄ノ利益ヲ受クル者）　氏　　名　㊞
朝鮮總督（道知事）殿

收入印紙
登錄稅　何程

（注　意）
一　同一ノ債務者ニ對スル他ノ抵當權者ノ利益ノ爲ニ非ザレバ其ノ順位ヲ讓渡シ又ハ之ヲ拋棄スルコトヲ得ズ
二　第一號第四例注意二、三及五參照
三　參照條文第一例ニ同ジ

第十二號　抵當權抹消ノ登錄申請書

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日債務辨濟
一　登錄ノ目的　抵當權ノ抹消
一　抹消スベキ登錄
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權
一　添附書類
債務辨濟金受取證書　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
右登錄申請ス
年　月　日

抵當權變更登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日抵當權順位拋棄契約
一　登錄ノ目的　抵當權ノ變更
一　變更スベキ事項
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權ヲ何道何郡何面何里何番地何某ノ利益ノ爲ニ拋棄ス
一　添附書類
抵當權拋棄契約書　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
右登錄申請ス
年　月　日
住　所
抵當權拋棄者　氏　　名　㊞
住　所
朝鮮總督（道知事）殿　拋棄ノ利益ヲ受クル者　氏　　名　㊞

收入印紙
登錄稅　何程

（注　意）
一　第一號第四例注意二、三及五並ニ第六號第一例（イ）注意一參照
二　漁業登錄規則第六十條參照其ノ他參照條文前號第一例ニ同ジ
（ロ）　抵當權ノ拋棄又ハ債務ノ免除ニ因ル抹消ノ例

抵當權抹消登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日抵當權拋棄（債務免除）
一　登錄ノ目的　抵當權ノ抹消
一　抹消スベキ登錄
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權
一　添附書類
登錄原因ヲ證スル書面（初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本（抵當權拋棄證書）（債務免除證書））　一通
（登錄名義人ノ承諾書（裁判ノ謄本及判決確定證明書）（和解調書ノ謄本）（認諾調書ノ謄本）　一通
右登錄申請ス
年　月　日
住　所
登錄申請人　氏　　名　㊞
朝鮮總督（道知事）殿

收入印紙
登錄稅　何程

（注　意）
一　第六號第一例（ロ）注意一參照
二　漁業登錄規則第一條、第五十六條乃至第五十八條、第六十三條、第六十五條乃至第六十八條、第七十一條及第八十三條參照
（二）　一部抹消ノ例

抵當權一部抹消登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日抵當權一部抹消契約
一　登錄ノ目的　抵當權ノ一部抹消
一　抹消スベキ登錄
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權設定登錄事項中利息年何割、利息發生時期何年何月何日、利息支拂時期毎年何月何日
一　添附書類
抵當權一部抹消契約證書　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
右登錄申請ス
年　月　日
住　所
抵當權者　氏　　名　㊞
住　所
抵當權設定者　氏　　名　㊞
朝鮮總督（道知事）殿

收入印紙
登錄稅　何程

（注　意）
一　第一號第四例注意二、三及五並ニ第六號第一例（ロ）注意一參照
二　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條、第六十五條乃至第六十八條、第七十二條及第八十三條參照

第十三號　貸借權設定ノ登錄申請書

貸借權設定登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日貸借契約
一　登錄ノ目的　貸借權ノ設定
一　借賃　壹年（何々）何圓
一　登錄原因ニ定メアル事項
存續期間　何年
借賃支拂時期　毎年何月何日
特約　權利ノ移轉及轉貸ヲ承諾ス（貸借人ノ承諾ヲ得ズシテ貸借人壹年間漁業ヲ爲サザルトキハ貸借權ハ消滅ス）（貸借人死亡シタルトキハ貸借權ハ消滅ス）
（一）　處分ノ能力（權限）貸借權設定者ハ處分ノ能力（權限）ヲ有セズ）
一　添附書類
貸借契約書　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
右登錄申請ス

年　月　日

住　所
貸借權設定者　氏　　名㊞
住　所
貸借權者　氏　　名㊞

朝鮮總督（道知事）宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

（注　意）

一　登錄原因ニ存續期間若ハ借賃ノ支拂時期ノ定アルトキ又ハ貸借權ノ移轉若ハ轉貸ヲ承諾セラレタルトキハ之ヲ記載シ賃借ヲ爲ス者カ處分ノ能力又ハ權限ヲ有セザル者ナルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スベシ

二　登錄原因ニ登錄ノ目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定アルトキハ申請書ニ其ノ事項ヲ記載スベシ

三　第一號第四例注意二、三及五參照

四　漁業登錄規則第七十三條及第八十一條參照其ノ他參照條文前例ニ同ジ

第十四號　漁業權轉貸ノ登錄申請書

漁業權轉貸登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日漁業權轉貸契約
一　登錄ノ目的　貸借シタル漁業權ノ轉貸
一　借賃　壹年（何々）何圓
一　登錄原因ニ定メアル事項
一　存續期間　何年
借賃支拂時期　每年何月何日
一　添附書類
漁業權轉貸契約書　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
（貸借人ノ承諾書　一通）

右登錄申請ス

年　月　日

住　所
轉貸人　氏　　名㊞
住　所
轉借人　氏　　名㊞

朝鮮總督（道知事）宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

（注　意）

一　貸借權ノ移轉ヲ承諾シタル旨ノ登錄アラザル場合ニ於テハ申請書ニ貸借人ノ承諾書ヲ添附スベシ

二　第一號第四例注意二、三及五參照

三　漁業登錄規則第七十三條ノ規定ヲ除クノ外參照條文第十三號ニ同ジ

第十六號　貸借權變更ノ登錄申請書

貸借權變更登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日貸借權變更契約
一　登錄ノ目的　貸借權ノ變更

收入印紙

（注　意）

一　第一號第四例注意二、三及五參照

二　漁業登錄規則第一條、第四條、第五十六條、第五十七條、第六十三條、第六十五條乃至第六十七條、第七十一條、第七十二條及第八十三條參照

第十七號　貸借權抹消ノ登錄申請書

貸借權抹消登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日存續期間滿了（貸借契約解除）
一　登錄ノ目的　貸借權ノ抹消
一　添附書類
登錄原因ヲ證スル書面初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本（貸借權契約解除證書）一通
（戶籍ノ抄本　一通）
（登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通）
（除權判決ノ謄本　一通）

右登錄申請ス

年　月　日

（住　所
貸借權者　氏　　名㊞）
住　所
貸借權設定者　氏　　名㊞
右貸借權ノ抹消ヲ承諾ス
（住　所
轉借人　氏　　名㊞）

朝鮮總督（道知事）宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

（注　意）

一　登錄シタル權利カ或者ノ死亡ニ因リテ消滅スルコトヲ登錄シタル場合ニ於テ申請書ニ其ノ死亡ヲ證スル戶籍ノ謄本又ハ抄本其ノ他之ニ相當スル書面ヲ添附スルトキハ登錄權利者ノミニテ登錄ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

二　登錄抹消ノ申請ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ謄本ヲ添附シ登錄權利者ノミニテ登錄ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

三　登錄ノ抹消ニ付登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本及判決確定證明書ヲ添附スベシ此ノ場合ニ於テ承諾ヲ爲シタル第三者ヲシテ申請書ニ承諾ノ旨ヲ記載シテ署名捺印セシメ承諾書ニ代フルコトヲ得

四　第一號第四例注意二、三及五參照

五　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第五十七條、第五十九條、第六十條第一項第二項、第六十三條、第六十五條乃至第六十八條、第七十二條、第七十三條參照

第十八號　入漁慣行保存ノ登錄申請書

入漁慣行保存登錄申請

一　入漁スベキ漁業權ノ免許ノ番號　專用漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月以降ノ入漁慣行（從來ノ入漁慣行ニ因ルモノニシテ日附不明）
一　登錄ノ目的　入漁慣行ノ保存
一　入漁スベキ水面ノ區域
專用漁業ノ漁場全部（何處ヨリ何處ヲ見通シタル線以東ノ漁場）
一　入漁スベキ漁業ノ方法（竝ニ漁船、漁具、從業者ノ數及資格ニ關スル慣行）
何　々
一　入漁スベキ採捕物ノ種類　何　々
一　入漁スベキ時期　何月何日ヨリ何月何日迄
一　其ノ他ノ權利義務ニ關スル慣行
何　々
一　添附書類
登錄原因ヲ證スル書面初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本（朝鮮漁業令第六十六條ノ規定ニ依ル裁定書ノ謄本）　一通
（登錄義務者ノ代表者ノ權限ヲ證スル漁業組合登記簿ノ謄本　一通）
右登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通

右登錄申請ス

年　月　日

朝鮮總督宛

住所　漁業權者　何漁業組合
　　組合長　氏　名　㊞
　　理事　氏
住所　入漁者　氏　名　㊞

（注意）
一　朝鮮漁業令第六十六條ノ規定ニ依ル裁定ニ基ク登錄ハ登錄權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得
二　第一號第四例注意二、三及五參照
三　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條、第六十五條、第七十一條、第八十二條及第八十三條參照

第十九號　入漁慣行抹消ノ登錄申請書
（一）　入漁愈思ノ抛棄ニ因ル抹消ノ例

入漁慣行抹消登錄申請

一　入漁シタル漁業權ノ免許ノ番號　專用漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日入漁愈思ノ抛棄
一　登錄ノ目的　入漁慣行ノ抹消
一　抹消スベキ登錄
　何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番入漁慣行
一　添附書類
　登錄原因ヲ證スル書面初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本ハ入漁愈思抛棄證書）一通
（登錄名義人ノ承諾書（裁判ノ謄本及判決確定證明書）（和解調書ノ謄本）（認諾調書ノ謄本）一通）
右登錄申請ス

年　月　日

住所　登錄申請人　氏　名　㊞

朝鮮總督宛

登錄稅　何程

收入印紙

（注意）
一　申請書ニ登錄名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本若ハ和解若ハ認諾ノ調書ノ謄本ヲ添附シタルトキハ登錄上利害ノ關係ヲ有スル者ヨリ申請ヲ爲スコトヲ得
二　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第六十三條、第六十五條、第七十一條及第八十三條參照

（二）　入漁者ノ死亡又ハ解散ニ因ル抹消ノ例

入漁慣行抹消登錄申請

一　入漁シタル漁業權ノ免許ノ番號　專用漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日入漁者ノ死亡（解散）
一　登錄ノ目的　入漁慣行ノ抹消
一　抹消スベキ登錄
　何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番入漁慣行
一　添附書類
　登錄原因ヲ證スル書面初メヨリ存在セザル（登錄原因ヲ證スル書面ヲ添附セザル）ニ付申請書ノ副本　一通
　戸籍ノ抄本（漁業組合登記簿ノ謄本）　一通
右登錄申請ス

年　月　日

住所　亡何某家督相續人（何漁業組合清算人）
　登錄申請人　氏　名　㊞

朝鮮總督宛

登錄稅　何程

收入印紙

（注意）
一　登錄原因ヲ證スル書面ガ登錄官廳タル行政官廳ノ認可ノ指令書ナルトキハ之ヲ添附スルコトヲ要セズ此ノ場合ニ於テハ申請書ニ之ヲ添附セザル旨ヲ記載シ且申請書ノ副本ヲ添附スベシ
二　法人ノ解散ニ因ル場合ニ於テハ其ノ解散シタル法人ノ登記簿ノ謄本ヲ添附スベシ
三　登錄名義人ノ死亡又ハ解散ニ因リ入漁慣行消滅シタル場合ニ於テ其ノ死亡ヲ證スル戸籍ノ謄本若ハ抄本其ノ他之ニ相當スル書面又ハ解散ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附シタルトキハ登錄上利害ノ關係ヲ有スル者ヨリ之ガ申請ヲ爲スコトヲ得
四　漁業登錄規則第六十七條參照其ノ他參照條文前例ニ同ジ

（三）　入漁ノ拒絶又ハ入漁慣行ノ中斷ニ因ル抹消ノ例

入漁慣行抹消登錄申請

一　入漁シタル漁業權ノ免許ノ番號　專用漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日入漁拒絶（入漁慣行中斷）
一　登錄ノ目的　入漁慣行ノ抹消
一　抹消スベキ登錄
　何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番入漁慣行
一　添附書類

登錄原因ヲ證スル書面初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本（裁判ノ謄本）（和解調書）（認諾調書）（朝鮮漁業令第六十六條ノ規定ニ依ル裁定）一通
登錄權利者ノ代表者ノ權限ヲ證スル漁業組合登記簿ノ謄本　一通
（登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通）
右登錄申請ス

年　月　日

住所　入漁者　氏　名　㊞
住所　漁業權者　何漁業組合
　組合長　氏　名　㊞
　理事　氏

朝鮮總督宛

登錄稅　何程

收入印紙

（注意）
一　入漁ノ拒絶又ハ入漁慣行ノ中斷ニ因ル入漁慣行ノ抹消登錄申請ニ付登錄義務者ガ之ニ同意セザルトキハ判決、裁判上ノ和解若ハ認諾又ハ朝鮮漁業令第六十六條ノ規定ニ依ル裁定ニ因リ登錄權利者ノミニテ申請スルコトヲ得
二　第一號第四例注意二及五參照
三　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第五十七條、第六十條、第六十三條、第六十五條、第七十一條及第八十三條參照

第二十號　假登錄申請書（假登錄義務者ノ承諾アル場合）
漁業權移轉ノ假登錄申請ノ例

漁業權移轉假登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日買賣豫約ノ解除
一　登錄ノ目的　漁業權移轉請求權保全ノ假登錄
一　抹消スベキ登錄
　何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番漁業權移轉請求權保全ノ假登錄
一　添附書類
　登錄原因ヲ證スル書面初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本（漁業權買豫約解約證書）一通
（假登錄名義人ノ承諾書（裁判ノ謄本及判決確定證明書）（和解調書ノ謄本）（認諾調書ノ謄本）一通）
右登錄申請ス

年　月　日

住所　登錄申請人　氏　名　㊞

朝鮮總督（道知事）宛

登錄稅　何程

收入印紙

（注意）
一　假登錄名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本若ハ和解若ハ認諾ノ調書ノ謄本ヲ申請書ニ添附シタルトキハ登錄上利害ノ關係ヲ有スル者ヨリ申請スルコトヲ得
二　第一號第四例注意三及五參照
三　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第五十九條、第六十二條、第六十三條、第六十五條乃至第六十七條、第七十一條及第八十三條參照

第二十二號　登錄名義人表示ノ變更ノ登錄申請書

登錄名義人表示變更登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日轉居
一　登錄ノ目的　登錄名義人表示ノ變更
一　變更シタル事項
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番漁業權取得ノ登錄事項中漁業權者何某ノ住所ヲ何道何郡何面何里何番地ニ變更
一　添附書類
登錄原因ヲ證スル書面初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本　一通
府尹（面長）ノ證明書（戸籍ノ抄本）　一通

右登錄申請ス

年　月　日

住　所
登錄申請人　氏　　名㊞

朝鮮總督（道知事）ノ宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

（注　意）
一　漁業登錄規則第一條、第五條、第五十六條、第五十八條、第六十三條、第六十五條、第六十七條、第七十一條及第八十三條參照
二　第一號第四例注意二及三參照
三　漁業登錄規則第一條、第四條、第五十六條、第六十三條、第六十五條乃至第六十七條、第七十一條及第八十三條參照
（二）　承諾ニ因ル回復登錄申請ノ例

第二十四條　登錄回復ノ登錄申請書

抵當權設定登錄回復（一部回復）登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日登錄ノ錯誤（遺漏）
一　登錄ノ目的　登錄ノ更正
一　更正スベキ事項
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番抵當權設定ノ登錄事項中債權額何圓ヲ何圓ニ更正（利息年何割ヲ遺漏シタルニ付更正）（漁業權設定ノ登錄事項中漁業權者ノ氏名何某ヲ何某ニ更正）
一　添附書類
登錄原因ヲ證スル書面初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本　一通
抵當權設定契約證書（戸籍ノ抄本）　一通
（登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通）

右登錄申請ス

年　月　日

住　所
抵當權設定者　氏　　名㊞
住　所
抵當權者　氏　　名㊞

（注　意）
一　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第六十三條、第六十五條、第六十七條、第七十一條及第八十三條參照
二　登錄名義人ノ表示ノ變更ハ登錄名義人ヨリ之ガ申請ヲ爲スベシ
三　錯誤又ハ遺漏ニ依ル登錄ニ關スル登錄原因ヲ證スル書面アルトキハ申請書ニ之ヲ添附スベシ
四　登錄ノ錯誤又ハ遺漏ガ登錄官廳ノ過誤ニ出デタルトキハ其ノ更正ノ登錄ニ付テハ登錄稅ヲ要セズ
五　漁業登錄規則第一條、第四條、第五十六條、第六十三條、第六十五條乃至第六十七條、第七十一條、第七十二條及第八十三條竝ニ朝鮮登錄稅令第七條ノ二參照

第二十四條　登錄回復ノ登錄申請書

（二）　承諾ニ因ル回復登錄申請ノ例

抵當權設定登錄回復（一部回復）登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日抵當權抹消（一部抹消）契約ノ取消承諾
一　登錄ノ目的　抵當權設定登錄ノ回復（一部回復）
一　回復スベキ登錄
何年何月何日受付第何號順位何番ノ登錄ヲ以テ抹消ニ係ル抵當權設定登錄（抵當權設定ノ登錄事項中利息年何割）
一　添附書類
抵當權設定登錄回復承諾書　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
（登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書　一通）

右登錄申請ス

年　月　日

住　所
登錄義務者　氏　　名㊞
住　所
登錄權利者　氏　　名㊞

朝鮮總督（道知事）ノ宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

（注　意）
一　登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本及判決確定證明書ヲ添附スベシ
二　第一號第四例注意二、三及五參照
三　漁業登錄規則第一條、第四條、第五十六條、第六十三條、第六十五條乃至第六十七條、第七十一條及第八十三條參照

（二）　判決又ハ裁判上ノ和解若ハ認諾ニ因ル回復登錄申請ノ例

抵當權設定登錄回復（一部回復）登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日何法院ノ登錄ノ回復（一部回復）ヲ命ズル確定判決（何法院ニ於ケル登錄回復ノ和解）（何法院ニ於ケル登錄回復請求ノ認諾）
一　登錄ノ目的　抵當權設定登錄ノ回復（一部回復）
一　回復スベキ登錄
何年何月何日受付第何號順位何番ノ登錄ヲ以テ抹消ニ係ル抵當權設定登錄（抵當權設定ノ登錄事項中利息年何割）
一　登錄義務者ノ氏名及住所
何道何郡何面何里何番地何某
一　添附書類
裁判（和解調書）（認諾調書）ノ謄本　一通
（判決確定證明書　一通）
（法定代理人ノ權限ヲ證スル書面　一通）

右登錄申請ス

年　月　日

住　所
登錄申請人　氏　　名（㊞）
（住　所
右法定代理人　氏　　名㊞）

朝鮮總督（道知事）ノ宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

（注　意）
一　債權者ガ民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登錄ヲ申請スル場合又ハ滅失、紛失其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ登錄濟證ヲ添附スルコト能ハザル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ記載シタル書面及漁業權原簿ノ謄本、抄本其ノ他證憑トナルベキ書面ヲ申請書ニ添附スベシ
二　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第六十三條、第六十五條、第六十七條、第七十一條、第八十三條、第百十條乃至第百十三條、第二百二十一條及第百二十三條參照

第二十五號　漁業登錄囑託書

（一）　滯納處分ニ因ル漁業權差押ノ登錄囑託ノ例

漁業登錄囑託

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日國稅滯納處分ノ爲ノ差押
一　登錄ノ目的　漁業權ノ處分ノ制限
一　漁業權者ノ氏名及住所
何道何郡何面何里何番地　何某
一　添附書類
差押調書　一通

右登錄囑託ス

年　月　日

道　知　事　名　職印

朝鮮總督（道知事）宛

（注　意）
一　漁業登錄規則第一條、第六十三條、第七十一條、第九十九條及第百條參照

（二）　公賣處分ニ因ル漁業權移轉ノ登錄囑託ノ例

漁業登錄囑託

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日公賣處分
一　登錄ノ目的　漁業權ノ移轉

一　登錄權利者ノ氏名及住所
一　何道何郡何面何里何番地　何某
一　登錄義務者ノ氏名及住所
一　何道何郡何面何里何番地　何某
一　添附書類
　公賣決定通知書　一通
　公賣代金領收書　一通
右登錄囑託ス

年　月　日

道知事名　職印

朝鮮總督（道知事）宛

收入印紙

一　登錄稅　何程

（注　意）
一　參照條文前例ニ同ジ
二　滯納處分ニ因ル差押ノ解除登錄囑託ノ例

漁業登錄囑託

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附
　何年何月何日國稅徵收令施行規則第二十六條第何號ニ依ル差押解除
一　登錄ノ目的　漁業權ノ處分ノ制限ノ抹消
一　漁業權者ノ氏名及住所
一　何道何郡何面何里何番地　何某
一　差押解除調書　一通
一　添附書類
右登錄囑託ス

年　月　日

道知事名　職印

朝鮮總督（道知事）宛

（注　意）
一　參照條文第一例ニ同ジ

第二十六條　漁業權原簿ノ謄本ノ交付請求書

漁業權原簿謄本交付請求

何漁業免許第何號漁業權
右漁業權原簿ノ謄本何通交付相成リタク手數料何圓添附請求ス

年　月　日

住所
請求者　氏
名　㊞

朝鮮總督（道知事）宛

（注　意）
一　參照條文前例ニ同ジ

第二十七號　漁業登錄規則第十六條參照

收入印紙　收入印紙　何程貼附

朝鮮總督（道知事）宛

住所
請求者　氏
名　㊞

漁業權原簿抄本交付請求

何漁業權免許第何號漁業權
一　請求ノ範圍　漁業權登錄簿（漁業權共有者名簿）（漁場圖綴込帳）（入漁登錄簿）ノ謄本、抄本
右漁業權原簿ノ抄本何通交付相成リタク手數料何圓添附請求ス

年　月　日

住所
請求者　氏
名　㊞

朝鮮總督（道知事）宛

收入印紙　收入印紙　何程貼附

（注　意）
一　參照條文前例ニ同ジ

●朝鮮總督府水產試驗場分析及鑑定規則

昭和七年十一月
總令第百十五號

朝鮮總督府水產試驗場分析及鑑定規則左ノ通定ム

朝鮮總督府水產試驗場分析及鑑定規則

第一條　朝鮮總督府水產試驗場（以下單ニ水產試驗場ト稱ス）ニ水產物及水產用物料ノ分析又ハ鑑定ノ依賴ヲ爲サントスル者ハ第一號樣式ノ依賴書ヲ差出スベシ

第二條　前條ノ依賴アリタルトキハ朝鮮總督府水產試驗場長（以下單ニ水產試驗場長ト稱ス）ハ分析又ハ鑑定ノ爲必要ナル分量ヲ定メ現品ヲ差出サシム

第三條　第一條ノ規定ニ依リ分析又ハ鑑定ノ依賴ヲ爲サントスル者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムベシ

一　定性分析
　每一件一成分一圓、一成分ヲ增ス每ニ五十錢ヲ加フ
二　定量分析
　每一件一成分二圓、一成分ヲ增ス每ニ一圓ヲ加フ
三　鑑定
　其ノ都度水產試驗場長之ヲ定ム

第四條　水產試驗場長ニ於テ分析若ハ鑑定ノ必要ナシト認ムルトキ又ハ分析若ハ鑑定ヲ爲スコト能ハズト認ムルトキハ依賴ニ應ゼズ又ハ手數料ノ全部又ハ一部ヲ還付スルコトヲ得

第五條　分析又ハ鑑定ノ結果ニ付テハ其ノ成績書ヲ依賴者ニ交付ス

第六條　分析又ハ鑑定ノ依賴ヲ爲ス者前條ノ成績書ノ謄本ノ交付ヲ請求セントスルトキハ第二號樣式ノ願書ヲ差出スベシ

前項ノ請求ヲ爲ストキハ謄本一件每ニ二十錢ノ手數料ト外國語ニ依ル謄本ノ請求ヲ爲ストキハ一件每ニ五十錢以上五圓以下ノ範圍內ニ於テ水產試驗場長ノ定ムル手數料ヲ納ムベシ

第七條　手數料ハ收入印紙ヲ依賴書又ハ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ

收入印紙ノ消印ハ水產試驗場ニ於テ之ヲ押捺ス

第八條　分析又ハ鑑定ノ爲差出シタル現品ハ之ヲ返還セズ但シ差出ノ際殘ノ申出アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テ現品還付ニ要スル費用ハ依賴者ノ負擔トス

第九條　本令ノ手數料ハ官廳ノ請求ニ係ルモノニ付テハ之ヲ徵收セズ公共團體其ノ他營利ヲ目的トセザル法人又ハ組合ノ依賴ニ係ルモノニ付テハ之ヲ半減ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

分析（鑑定）依賴書

收入印紙　貼附シタル收入印紙ノ額

一　供試品名
二　產地又ハ製造地名及製造者名
三　製造方法（製品ニ限ル）
四　定性又ハ定量スベキ物質名（鑑定ノ項目）

右分析（鑑定）及依賴候也

年　月　日

住所又ハ營業所
依賴者　氏名又ハ名稱㊞

朝鮮總督府水產試驗場長　宛

第二號樣式

分析（鑑定）成績書複本下付願

收入印紙　貼附シタル收入印紙ノ額

何年何月何日第何號

品名　何種

右成績書複本（英文）何通下付相成度及依賴候也

年　月　日

住所又ハ營業所
依賴者　氏名又ハ名稱㊞

朝鮮總督府水產試驗場長　宛

第二款　水產製品及水產物

●水產製品檢查規則

大正七年五月
總令第五十六號

水產製品檢查規則左ノ通定ム

（昭和七年總令第百十五號、大正九年六月五號、一二年九月一〇號、一三年一二月七號、一三年一〇月六號、一四年一二月一八日號、昭和二年四月三八號、四年五月四日號、五年一〇月九日號、六年六月七日號、七年七月八日號、八年一〇月一三號、九年六月四號、一二年一月七號、一二年三月一八號ニ依リ改正）

第一條　本令ニ於テ水產製品ト稱スルハ左ノ食用乾製品、食用罐詰品、肥料、海藻及魚油ヲ謂フ

食用乾製品

海參、鰒魚、乾蝦、乾玉筋魚、鮨、乾鰈、乾鮑、乾牡蠣、淡菜、乾蟶、乾竹蟶、乾北寄貝、乾烏貝、乾貝柱、乾海苔（在來式製品ヲ除ク）

食用罐詰品

鮑罐詰、鮪罐詰、鯵罐詰、蝦罐詰、蟹罐詰、貝柱罐詰、北寄貝罐詰、馥罐詰、蟶罐罐詰、鯖トマト漬罐詰

肥料

鰯搾粕、鰯粉末肥料、鰊搾粕、大刀魚搾粕、鱈荒粕、干鰛、干鰯、干鰊、鰊卵其ノ他ノ水產肥料

海藻

石花菜、海藿、銀杏草、榎草、小凝草、硬草、於期菜

魚油

鰯油

第二條　營利ノ目的ヲ以テ水產製品ヲ輸出又ハ移出セントスル者ハ本令ニ依リ稅關ノ檢查ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依リ檢查ヲ受クベキ場合ニ於テ鰯油、鰯搾粕、鰯粉末肥料、蟹罐詰又ハ鯖トマト漬罐詰ニ付テハ其ノ製造ヲ爲ス者ノ組織スル水產組合（以下單ニ水產組合ト稱ス）若ハ漁業組合聯合會ニ販賣ヲ委託シタルモノヲ除ク）ニ在リテハ名稱、事務所ノ所在地及代表者ノ氏名）並ニ道ノ檢查ニ合格シタルモノニ在リテハ其ノ旨ヲ記載シタル第一號樣式ノ檢查請求書ヲ檢查所ニ差出スベシ

輸出セントスル水產製品ノ檢查ニ付テハ輸出申告書ニ前項ノ事項及檢查ヲ請求スル旨ヲ記載シ檢查請求書ニ代フルコトヲ得

檢查ヲ受ケントスル者代理人ナルトキハ檢查請求書ニ其ノ權限ヲ證スル書類ヲ添附スベシ

鰯油、鰯搾粕、鰯粉末肥料、蟹罐詰又ハ鯖トマト漬罐詰ニ付テハ其ノ製造ヲ爲ス者ノ組織スル水產組合（以下單ニ水產組合ト稱ス）若ハ漁業組合聯合會ニ販賣ヲ委託シタルモノヲ又ハ水產組合若ハ漁業組合聯合會ヨリ買受ケタルモノニ限リ檢查ヲ請求スルコトヲ得

包裝ヲ爲サザル鰯油ニ付テハ前項ノ規定ニ依ルノ外稅關長ノ許可ヲ受ケ設置シタル貯油槽ニ收容シタルモノニ限リ第一項ノ檢查ヲ請求スルコトヲ得

第三條　前條ノ檢查ヲ行フ檢查所ノ名稱及位置ハ別ニ之ヲ告示ス

特別ノ事由アル場合ニ於テ檢查ヲ受ケントスル者ノ請求アルトキハ現品所在地ニ就キ檢查ヲ行フコトヲ得

第四條　檢查ヲ受ケントスル者ハ水產製品ノ品名、個數、數量、價格、生產地、仕向地及製造人ノ氏名、住所（法人ニ在リテハ名稱、事務所ノ所在地及代表者ノ氏名）並ニ道ノ檢查ニ合格シタルモノニ在リテハ其ノ旨ヲ記載シタル第一號樣式ノ檢查請求書ヲ檢查所ニ差出スベシ

輸出セントスル水產製品ノ檢查ニ付テハ輸出申告書ニ前項ノ事項及檢查ヲ請求スル旨ヲ記載シ檢查請求書ニ其ノ權限ヲ證スル書類ヲ添附スベシ

鰯油、鰯搾粕、鰯粉末肥料、蟹罐詰又ハ鯖トマト漬罐詰ニ付テハ其ノ檢查ヲ受ケントスル者ハ水產製品ノ該當スルモノタルコトヲ證スル書面ヲ提出スベシ但シ稅關ニ於テ水產組合又ハ漁業組合聯合會ノ受託販賣ニ係ルモノナルコトヲ認定スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二條第三項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ貯油槽ノ設置場所及構造竝ニ一年間ノ檢查請求見込數量ヲ記載シタル申請書ヲ檢查所ヲ經由シテ稅關長ニ差出スベシ

第五條　檢查ヲ受ケントスル者ハ左ノ檢查手數料ヲ納ムベシ

一　鯛油　石油罐入　一箇ニ付三錢
石油罐ニ筒　同　六錢
箱入　ドラム罐又ハ洋樽入　同　三十錢

二　皮胃蝦（特別小箱入）、乾海苔（小包、郵便ヲ以テスルモノ）、乾蝦（同上）、乾蛤（同上）、淡菜（同上）、乾鳥貝（同上）、乾柱（同上）、靖具（同上）、肥料（鯖粕及鯖粉末ニ限ル）　一箇ニ付五錢

三　乾海苔ニシテ道ノ檢査ニ合格シタルモノニ付第十四條ノ二第一項但書ノ規定ニ該當スルモノヲ除ク）、鯖粕、吠入鯖詰、鯖増粕及鯖粉末　一箇ニ付二錢

四　前各號ニ該當セザルモノ　一箇一付十錢

包裝ヲ爲サザルモノ
一　鯛油　一噸又ハ其ノ端數ニ付一圓八十錢

包裝ヲ爲サザル鯛油ニシテ合格品ノミヲ混合シタルモノナルコトヲ稅關ニ於テ認定シタルモノノ檢査手數料ハ一噸又ハ其ノ端數ニ付十錢ト

檢査手數料ハ收入印紙ヲ檢査請求書又ハ輸出申告書ニ貼附シ納ムベシ

第五條ノ二　前條第二項ノ認定ヲ受ケントスル者ハ第三號樣式ノ認定請求書ヲ檢査所ニ差出シ混合ニ付稅關官吏ノ認定ヲ求ムベシ

第六條　檢査ハ品質、結束、重量、製縅、容量、包裝竝第八條及第九條ノ規定ニ依リ表示スベキ事項ニ付之ヲ行ヒ合格不合格ヲ定ム

第七條　檢査ノ標準ハ品質、結束、重量及製縅ニ付テハ第一號表ニ、容量及包裝ニ付テハ第二號表ニ依ル但シ容量及包裝ニ付テハ特別ノ事由アル場合ニ限リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ右ノ標準ニ依リ檢査ノ標準ニ適合セサルトキハ不合格品ニ不正ノ手段ヲ施シタルトキ

二　不正ノ手段ニ依リ檢査ニ合格シタルトキ又ハ合格品ニ不正ノ手段ヲ施シタルトキ

第十八條　檢査ヲ行ヒタル生産製品（鯖縅詰ノ輸出合格品ヲ除ク）ニハ其ノ包裝ニ檢査證印ヲ押捺シ且合格品ニハ等級證印及大小別證印ヲ押捺シテ封印ヲ施ス但シ道ノ檢査ニ合格シタル乾海苔ニ在リテハ第十一條第三項但書ノ規定ニ依リ等級ヲ附スルモノヲ除クノ外等級證印ハ之ヲ押捺セズ

食用罐詰品（鯖縅詰ノ輸出合格品ヲ除ク）ニシテ檢査ニ合格シタルモノニハ其ノ包裝ニ檢査等級證印及封印ヲ押捺シ且タラバ蟹ノ肩肉以外ノモノノ罐詰ノフエヤー合格品及等外品竝ニタラバ蟹ノ肩肉罐詰ノB級合格品及等外品ニハ一罐毎ニ檢査等級證印ヲ押捺ス

タラバ蟹罐詰、毛蟹罐詰及鮭罐詰ノ輸出合格品竝ニ鯖トマト漬罐詰ノ合格品ニ付テハ合格證ニ檢査濟ノ文字ヲ朱書シ且其ノ他ノ氷産製品ノ合格品（タラバ蟹罐詰及鯖罐詰ノ移出合格品ヲ除ク）ニハ檢査請求人又ハ其ノ合格品ニ付直接利害ノ關係ヲ有スル者ノ請求ニ依リ合格證ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ合格證ハ請求ニ依リ分割シテ交付スルコトヲ得

檢査ニ合格シタル魚油ニシテ包裝ヲ爲シタルモノニ付テハ其ノ包裝ニ檢査濟ヲ朱印ヲ施シ包裝ヲ爲サザルモノニ付テハ其ノ貯油槽及容器ニ封印ヲ施ス

第十五條ノ規定ニ依リ再檢査ヲ行ヒ檢査ノ標準ニ適合シタルモノニ付テハ其ノ包裝（包裝ヲ爲サザル魚油ニ在リテハ貯油槽及容器）ニ再檢査ノ規定ニ依ル場合ニ於テモ亦同シ

第十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ稅關ノ檢査ヲ取消スコトヲ得

一　第十五條ノ規定ニ依リ再檢査ヲ行ヒタル場合ニ於テ檢査ノ標準ニ適合セサルトキ

二　第十條第二項、第三項又ハ第十六條ノ規定ニ違反シタル者

三　不正ノ認定ヲ受ケタル者

四　檢査濟ノ水産製品又ハ其ノ容器、包裝、檢査證印、等級證印、檢査等級證印、大小別證印、封印、檢査票若ハ合格證ニ不正ノ手段ヲ施シタル者

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二十四條　再檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者又ハ第十九條、第二十條、第二十二條若ハ第二十二條ノ二ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ大正七年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

海藻檢査規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前海藻檢査規則ニ依リ檢査ヲ受ケタルモノニシテ本令施行ノ日以後ニ於テ輸出セムトスルモノハ本令ニ依ル檢査請求書ヲ差出シタルモノト看做ス

本令ニ依リ檢査スヘキモノニシテ本令施行前輸出申告ヲ爲シタルモノハ本令ニ依ル檢査請求書ヲ差出シタルモノト看做ス

附　則（大正九年七月一日ヨリ之ヲ施行ス）

本令ハ大正九年七月總令第八十五號）

附　則（大正十三年十月總令第六十一號）

本令ハ大正十三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和二年四月總令第三十八號）

本令ハ昭和二年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ當分ノ內滿洲ニ輸出スル乾蝦ニ限リ之ヲ適用セズ

第十一條ノ規定ハ當分ノ內海參、鰻鯰、乾鮑、乾鳥貝、乾貝柱、木産肥料、鰯搾粕、鰊搾粕、魚粉、鰮搾粕、鰮荒搾粕、干鰯、干鮑、干鰮、鰮卵ノ除ク）、銀杏草、礫草、小凝草、硬草及於期菜ニ之ヲ適用セズ

（包裝ヲ爲サザル魚油ニ在リテハ貯油槽及容器）ニ再檢査ノ封印ヲ施ス

第十六條ノ規定ニ依リ更ニ檢査ヲ行ヒタルトキハ證印ノ消印ヲ押捺シ、合格證ヲ破棄若ハ相當訂正シ又ハ檢査票ヲ破棄ス

前項ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ檢査ヲ取消シタル場合ニ之ヲ準用ス

前各項ノ證印、消印、封印、檢査票及合格證ハ第二號樣式ニ依ル

第十九條　前條ノ規定ニ依ル證印ヲ押捺シタル包裝材料ハ其ノ印影ヲ抹消スル非ザレバ更ニ水産製品ノ輸出又ハ移出ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第二十條　檢査ヲ受ケントスル者ハ檢査ニ立會ヒ且檢査請求品ノ取扱ニ付テハ檢査官吏ノ指揮ニ從フベシ

前項ノ規定ハ第十五條ノ規定ニ依ル再檢査ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條　檢査ノ決定ニ對シテハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第二十二條　輸出又ハ移出セントスル水産品ノ包裝ニハ檢査證印、等級證印、檢査等級證印、檢査票又ハ檢査票ニ類似シタル標識、記號其ノ他ノ標記ヲ附スルコトヲ得ズ

第二十二條ノ二　タラバ蟹縅詰若ハ毛蟹縅詰ノ輸出合格品又ハ鯖トマト漬縅詰ノ合格品ニ檢査證券、貨物引換證其ノ他ノ出荷ヲ證明シ得ベキ書面ヲ添附シテ合格證ヲ稅關ニ提出シタル旨荷證明ヲ受クベシ其ノ他ノ水産製品ニシテ合格證ノ交付ヲ受ケタルモノヲ輸出又ハ移出シタルトキ亦同シ

第二十二條ノ三　商標紙ノ貼附又ハ貼替其ノ他已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テハ檢査官吏ノ指揮ニ從ヒ合格品ヲ開裝スルコトヲ得

第二十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ六月以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金若ハ科料ニ處ス

一　第二條ノ規定ニ依ル檢査ヲ受ケズシテ水産製品ヲ輸出又ハ移出シタル者

前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ稅關ヲ經由シテ之ヲ申請スベシ

第八條　檢査ヲ受ケントスル食用罐詰品ノ罐蓋ニハ朝鮮水産物罐詰製造營業取締規則ニ依ル營業許可番號ヲ打出シ又ハ印刷シ罐又ハ罐ノ票紙ニハ內容物ノ品名及正味量ヲ表示スベシ

蟹罐詰ノ罐蓋ニハタラバ蟹、毛蟹又ハズワイ蟹ノ種別ヲ第四號樣式ニ依リ打出シ又ハ印刷シ且タラバ蟹ノ肩肉罐詰ニ在リテハ直徑ニミリメートル以上ノ突起ヲ打出スベシ

第九條　檢査ヲ受ケントスル水産製品（魚油ヲ除ク）ノ包裝ニハ其ノ品名及原産地名ヲ表示スベシ

前項ノ外乾海苔ニ在リテハ一箱ノ枚數及例ノ種類ヲ、食用罐詰品ニ在リテハ一箱ノ罐數及一罐ノ內容物ノ正味量ヲ表示シ尙タラバ蟹ノ肩肉罐詰ニ在リテハ肩肉タルコトヲ表示スベキ文字ヲ、輸出向鯖ノ味附罐詰ニ在リテハ製造方法又ハ調味方法ヲ、輸出向鯖ノ水煮罐詰ニ在リテハ BOILED ナル文字ヲ表示スベシ

檢査ヲ受ケントスル魚油ニシテ石油罐入ノモノニ在リテハ其ノ口金ニ品名、原産地名及製造人ノ氏名（法人ニ在リテハ一定ノ記號ヲ表示シ、其ノ他ノ包裝ヲ爲シタルモノニ在リテハ一定ノ紙票ニ品名、原産地名及製造人ノ氏名又ハ一定ノ記號ヲ表示シ之ヲ其ノ包裝ニ附スベシ

第九條ノ二　第八條竝ニ前條第一項及第二項ノ表示ハ蟹罐詰及鯖縅詰ヲ除クノ外特別ノ事由アル場合ニ限リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケシテ省略スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ稅關ヲ經由シテ之ヲ申請スベシ

第九條ノ三　他人ノ製造シタル水産製品ニ自己ヲ製造人トシテ表示スル者ハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ製造人ト看做ス

第十條　第七條ニ規定スル標準ニ適合セズ又ハ第九條ノ規定ニ違反スルモノニ在リテハ稅關ニ於テ合格品ノ內容物ニ付異狀アリト認ムルトキハ再檢査ヲ行フコトヲ得

第十五條　稅關ニ於テ合格品ノ內容物ニ付異狀アリト認ムルトキハ再檢査ヲ行フコトヲ得

第十六條　合格品ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ更ニ檢査ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ

一　包裝ニ異狀ヲ呈シタルモノ

二　檢査證印、等級證印、檢査等級證印、大小別證印、封印、檢査票又ハ合格證ノ改竄若ハ破棄セラレタルモノ又ハ其ノ識別シ難キニ至リタルモノ

三　檢査（再檢査ヲ除ク）後食用罐詰品及魚油ニ在リテハ二月、肥料ニ在リテハ四月、火入乾海苔、食用罐詰品及海藻ニ在リテハ六月ヲ經過シタルモノ

四　道ノ檢査ニ合格シタル乾海苔ニシテ其ノ檢査後火入品ニ在リテハ六月、其ノ他ノモノニ在リテハ二月ヲ經過シタルモノ（第十四條ノ二第一項但書ノ規定ニ該當スルモノニシテ稅關ノ檢査ニ合格シタルモノヲ除ク）

五　第十三條第一項ニ規定スル事項ニ付テハ前項ノ規定ニ違反スルモノ

第十三條　檢査ヲ受ケントスル者ハ檢査ニ合格シタル旨ノ證印ヲ押捺シタル包裝ニ檢査濟ノ朱印ヲ施シ且檢査票ヲ貼附スベシ

第十四條　檢査ヲ受ケントスル者ハ檢査ニ合格シタル旨ノ證印ヲ押捺シタル包裝ニ檢査濟ノ朱印ヲ施シ且檢査票ヲ貼附シタル後ニ非ザレバ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ

第十四條ノ二　乾海苔ニシテ道ノ檢査ニ合格シタル旨ノ證印ヲ押捺シ又ハ檢査濟ノ朱印ヲ施シ且檢査票ヲ貼附シタル後ニ非ザレバ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ

前項ノ規定ハ檢査ニ合格シタル乾海苔ニシテ檢査後第十四條ノ二第一項但書ノ規定ニ該當スルモノニ付テハ之ヲ適用セズ但シ腐滅、汚損其ノ他ノ事由ニ因リ道ノ檢査ニ於テ附シタル檢査證印、等級證印、封印若ハ大小別ノ表示ノ識別シ難キニ至リタルモノ又ハ道ノ檢査（再檢査ヲ除ク）後火入乾海苔ニ在リテハ六月、其ノ他ノ乾海苔ニ在リテハ二箇月ヲ經過シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第十二條　檢査ハ請求ノ順序ニ從ヒ之ヲ行フ但シ第三條第二項ノ規定ニ依ル檢査ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　檢査ハ包裝及第九條ノ規定ニ依リ表示スベキ事項ニ付テハ包裝一箇毎ニ之ヲ行フ

一　食用乾製品、肥料又海藻ニ在リテハ包裝三十箇迄毎ニ三箇以上、魚油ニ在リテハ包裝五十箇迄毎ニ五箇以上ノ割合ヲ以テ其ノ內容物ニ付抽出檢査ヲ行フ

二　食用罐詰品ニ在リテハ包裝三十箇（鯖トマト漬罐詰ニ限リ包裝六十箇）迄毎ニ一罐以上五罐以下ノ割合ヲ以テ其ノ抽出品ニ付縅ヲ開キ一罐毎ニ其ノ內容物ニ付檢査ヲ行フ

第十四條　前條第二項ノ場合ニ於テ抽出品ノ全部ガ檢査ノ標準ニ適合シ且第八條ノ規定ニ違反セザルトキハ檢査請求品ノ全部ヲ檢査ノ標準ニ適合シ且第八條ノ規定ニ違反セザルモノト看做シ抽出品中檢査ノ標準ニ適合セザルモノ又ハ第八條ノ規定ニ違反スルモノアルトキハ檢査請求品ノ全部ヲ檢査ノ標準ニ適合セザルモノト看做ス

第九條　檢査ヲ受ケントスル者ハ檢査ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ稅關ヲ經由シテ之ヲ申請スベシ

第八條　檢査ヲ受ケントスル食用罐詰品ノ罐蓋ニハ朝鮮水産物罐詰製造營業取締規則ニ依ル營業許可番號ヲ打出シ又ハ印刷シ罐又ハ罐ノ票紙ニハ內容物ノ品名及正味量ヲ表示スベシ

蟹罐詰ノ罐蓋ニハタラバ蟹、毛蟹又ハズワイ蟹ノ種別ヲ第四號樣式ニ依リ打出シ又ハ印刷シ且タラバ蟹ノ肩肉罐詰ニ在リテハ直徑ニミリメートル以上ノ突起ヲ打出スベシ

第九條　檢査ヲ受ケントスル水産製品（魚油ヲ除ク）ノ包裝ニハ其ノ品名及原産地名ヲ表示スベシ

前項ノ外乾海苔ニ在リテハ一箱ノ枚數及例ノ種類ヲ、食用罐詰品ニ在リテハ一箱ノ罐數及一罐ノ內容物ノ正味量ヲ表示シ尙タラバ蟹ノ肩肉罐詰ニ在リテハ肩肉タルコトヲ表示スベキ文字ヲ、輸出向鯖ノ味附罐詰ニ在リテハ製造方法又ハ調味方法ヲ、輸出向鯖ノ水煮罐詰ニ在リテハ BOILED ナル文字ヲ表示スベシ

檢査ヲ受ケントスル魚油ニシテ石油罐入ノモノニ在リテハ其ノ口金ニ品名、原産地名及製造人ノ氏名（法人ニ在リテハ一定ノ記號ヲ表示シ、其ノ他ノ包裝ヲ爲シタルモノニ在リテハ一定ノ紙票ニ品名、原産地名及製造人ノ氏名又ハ一定ノ記號ヲ表示シ之ヲ其ノ包裝ニ附スベシ

第九條ノ二　第八條竝ニ前條第一項及第二項ノ表示ハ蟹罐詰及鯖縅詰ヲ除クノ外特別ノ事由アル場合ニ限リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケシテ省略スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ稅關ヲ經由シテ之ヲ申請スベシ

第九條ノ三　他人ノ製造シタル水産製品ニ自己ヲ製造人トシテ表示スル者ハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ製造人ト看做ス

第十條　第七條ニ規定スル標準ニ適合セズ又ハ第九條ノ規定ニ違反スルモノニ在リテハ稅關ニ於テ合格品ノ內容物ニ付異狀アリト認ムルトキハ再檢査ヲ行フコトヲ得

第十五條　稅關ニ於テ合格品ノ內容物ニ付異狀アリト認ムルトキハ再檢査ヲ行フコトヲ得

第十六條　合格品ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ更ニ檢査ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ

一　包裝ニ異狀ヲ呈シタルモノ

二　檢査證印、等級證印、檢査等級證印、大小別證印、封印、檢査票又ハ合格證ノ改竄若ハ破棄セラレタルモノ又ハ其ノ識別シ難キニ至リタルモノ

三　檢査（再檢査ヲ除ク）後食用罐詰品及魚油ニ在リテハ二月、肥料ニ在リテハ四月、火入乾海苔、食用罐詰品及海藻ニ在リテハ六月ヲ經過シタルモノ

四　道ノ檢査ニ合格シタル乾海苔ニシテ其ノ檢査後火入品ニ在リテハ六月、其ノ他ノモノニ在リテハ二月ヲ經過シタルモノ（第十四條ノ二第一項但書ノ規定ニ該當スルモノニシテ稅關ノ檢査ニ合格シタルモノヲ除ク）

五　第十三條第一項ニ規定スル事項ニ付テハ前項ノ規定ニ違反スルモノ又ハ第八條ノ規定ニ違反スルモノアルトキハ檢査請求品ノ全部ヲ檢査ノ標準ニ適合セザルモノト看做ス

第十三條　檢査ヲ受ケントスル者ハ檢査ニ合格シタル旨ノ證印ヲ押捺シタル包裝ニ檢査濟ノ朱印ヲ施シ且檢査票ヲ貼附スベシ

第十四條　檢査ヲ受ケントスル者ハ檢査ニ合格シタル旨ノ證印ヲ押捺シタル包裝ニ檢査濟ノ朱印ヲ施シ且檢査票ヲ貼附シタル後ニ非ザレバ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ

第十四條ノ二　乾海苔ニシテ道ノ檢査ニ合格シタル旨ノ證印ヲ押捺シ又ハ檢査濟ノ朱印ヲ施シ且檢査票ヲ貼附シタル後ニ非ザレバ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ

前項ノ規定ハ檢査ニ合格シタル乾海苔ニシテ檢査後第十四條ノ二第一項但書ノ規定ニ該當スルモノニ付テハ之ヲ適用セズ但シ腐滅、汚損其ノ他ノ事由ニ因リ道ノ檢査ニ於テ附シタル檢査證印、等級證印、封印若ハ大小別ノ表示ノ識別シ難キニ至リタルモノ又ハ道ノ檢査（再檢査ヲ除ク）後火入乾海苔ニ在リテハ六月、其ノ他ノ乾海苔ニ在リテハ二箇月ヲ經過シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第十二條　檢査ハ請求ノ順序ニ從ヒ之ヲ行フ但シ第三條第二項ノ規定ニ依ル檢査ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　檢査ハ包裝及第九條ノ規定ニ依リ表示スベキ事項ニ付テハ包裝一箇毎ニ之ヲ行フ

一　食用乾製品、肥料又海藻ニ在リテハ包裝三十箇迄毎ニ三箇以上、魚油ニ在リテハ包裝五十箇迄毎ニ五箇以上ノ割合ヲ以テ其ノ內容物ニ付抽出檢査ヲ行フ

二　食用罐詰品ニ在リテハ包裝三十箇（鯖トマト漬罐詰ニ限リ包裝六十箇）迄毎ニ一罐以上五罐以下ノ割合ヲ以テ其ノ抽出品ニ付縅ヲ開キ一罐毎ニ其ノ內容物ニ付檢査ヲ行フ

第十四條　前條第二項ノ場合ニ於テ抽出品ノ全部ガ檢査ノ標準ニ適合シ且第八條ノ規定ニ違反セザルトキハ檢査請求品ノ全部ヲ檢査ノ標準ニ適合シ且第八條ノ規定ニ違反セザルモノト看做シ抽出品中檢査ノ標準ニ適合セザルモノ又ハ第八條ノ規定ニ違反スルモノアルトキハ檢査請求品ノ全部ヲ檢査ノ標準ニ適合セザルモノト看做ス

第二節　水產製品及水產物

一　食用乾製品

魚類

品名	品名	產地	摘要
鰹節	鰹節	土佐、紀伊、駿河、伊豆、相模、安房、上總、常陸、陸前、陸中、陸奥、薩摩、大隅、日向、琉球	鰹節ハ鰹ノ肉ヲ煮熟シテ骨ヲ去リ乾燥シタルモノニシテ其製法ハ先ツ鰹ヲ三枚ニ卸シ骨ヲ去リ肉ヲ煮熟シ更ニ之ヲ乾燥シ又ハ燻製トシ其ノ表面ニ生ズル黴ヲ削リ去リ

第十六章　水産製品及水産物

第四章　漁業

第一款　水産製品及水産物

品名	容器	油				魚	油	抄製	小型樽	小流笊、笊、網	花、花茶、茶、茶漬	笹包	容器	魚	油	抄製	及抄製	小型樽	小流笊、笊、網	花、花茶、茶、茶漬	笹包
名	種類	種類				名		海藻	容器	形狀	重量		種類	種類				容器	形狀	重量	
材料	百斤ニ付キ二十斤乃至百斤	百斤ニ付キ十八斤乃至二十斤	百斤ニ付キ十五斤乃至十八斤	百斤ニ付キ十斤乃至十五斤	百斤ニ付キ十斤以下	材料	百斤ニ付キ十五斤乃至二十斤	百斤ニ付キ十斤乃至十五斤	百斤ニ付キ十斤以下	百斤ニ付キ十斤乃至二十斤	百斤ニ付キ十斤乃至十五斤	百斤ニ付キ十斤以下	材料	百斤ニ付キ十五斤乃至二十斤	百斤ニ付キ十斤乃至十五斤	百斤ニ付キ十斤以下	百斤ニ付キ十斤乃至二十斤	百斤ニ付キ十斤乃至十五斤	百斤ニ付キ十斤以下	百斤ニ付キ十斤乃至二十斤	百斤ニ付キ十斤乃至十五斤
製法	荷造方法	鯖ハ新鮮ナルヲ撰ビ頭ヲ去リ腹ヲ割キ内臓ヲ除キ水洗シテ血液ヲ去リ水気ヲ拭ヒ去リ皮ヲ上ニシテ背骨ニ沿ヒ左右ニ開キ骨ヲ去リ更ニ水洗シテ水気ヲ拭ヒ去リ三枚ニ卸シ中骨ヲ抜キ去リ皮ヲ下ニシテ一枚毎ニ重ネ上ヨリ食塩ヲ振リ掛ケ一昼夜ヲ経テ取出シ水洗シテ水気ヲ拭ヒ去リ一枚毎ニ食塩ヲ振リ掛ケ桶ニ詰メ重石ヲ掛ケ置キ二週間

	乾鰛			乾牡蠣			燻製		乾蝦	乾竹鯖	乾北寄貝	乾鳥貝	乾貝柱
	中		小	大	中	小	大	中					
形態ノ大小	同三三ミリメートル以上	同三三ミリメートル以下二三ミリメートル以上	小	六〇〇グラム以内六〇粒数ノモノ	大五〇粒数ノ同二五〇箇以内ノモノ	中以上四〇箇以内小同四〇一箇以上ノモノ	大一〇箇以内	中上九〇箇以内小（同二〇箇以上）					
原料	鯖ニ在リテハ背骨ノ長サ四糎以上ノモノニ在リテハ体長同上	鯖ニ在リテハ背骨ノ長サ四糎以下三糎以上ノモノニ在リテハ体長同上	鯖ニ在リテハ背骨ノ長サ三糎以下ノモノ	原料良ク形整ヒ色澤及乾燥優ニシテ異種ノ魚肉ヲ混入セス	原料良ク形整ヒ色澤及乾燥優ニシテ異種ノ魚肉ヲ混入セス	原料良ク形整ヒ色澤及乾燥優ニシテ異種ノ魚肉ヲ混入セス	原料良ク形整ヒ色澤及乾燥優ニシテ異種ノ魚肉ヲ混入セス	原料良ク形整ヒ色澤及乾燥優ニシテ異種ノ魚肉ヲ混入セス	原料良ク形整ヒ色澤及乾燥優ニシテ異種ノ魚肉ヲ混入セス	原料良ク形整ヒ色澤及乾燥優ニシテ異種ノ魚肉ヲ混入セス	原料良ク形整ヒ色澤及乾燥優ニシテ異種ノ魚肉ヲ混入セス	原料良ク形整ヒ色澤及乾燥優ニシテ異種ノ魚肉ヲ混入セス	原料良ク形整ヒ色澤及乾燥優ニシテ異種ノ魚肉ヲ混入セス
一等	同右	同右	同右	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ一ヲ超エサルモノ	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ一ヲ超エサルモノ	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ一ヲ超エサルモノ	同右	同右	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ一ヲ超エサルモノ	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ一ヲ超エサルモノ	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ一ヲ超エサルモノ	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ一ヲ超エサルモノ	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ一ヲ超エサルモノ
二等	同右	同右	同右	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ三ヲ超エサルモノ	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ三ヲ超エサルモノ	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ三ヲ超エサルモノ	同右	同右	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ三ヲ超エサルモノ	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ三ヲ超エサルモノ	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ三ヲ超エサルモノ	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ三ヲ超エサルモノ	爽雑物及肉片ノ混入百分ノ三ヲ超エサルモノ
等外	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ

	搾粕肥料		煮干肥料	其ノ他ノ水産肥料	晒海藻	其ノ他ノ海藻	石花菜及海藻	晒海藻	海藻ノ抄製品（乾海苔及乾燥物ヲ除ク）	鯨油
	鯨搾粕	其ノ他同右								
原料	原料良ク色澤及乾燥優ニシテ異種ノ魚肉ヲ混入セサルモノ	同右	原料良ク色澤及乾燥優ニシテ異種ノ魚肉ヲ混入セス他ノ爽雑物極メテ少キモノ	原料良ク色澤及乾燥優ニシテ異種ノ原料（雑魚）其ノ他ノ爽雑物ヲ混入セサルモノ	原料良ク色澤及乾燥優ニシテ晒白ノ爽雑物ヲ混入セス程度同ジク爽雑物ナキモノ	原料良ク色澤及乾燥優ニシテ晒白ノ爽雑物ヲ混入セス程度同ジク爽雑物ナキモノ	原料良ク色澤及乾燥優ニシテ爽雑物ヲ混入セス	原料良ク色澤及乾燥優ニシテ爽雑物ヲ混入セス	原料抄製白色澤及乾燥優良ニシテ爽雑物ナキモノ	原料良ク色澤及乾燥優ニシテ酸価百分ノ十ヲ超エス臭気及味良ニシテ酸価百分ノ十以上ニシテ他ノ爽雑物ヲ混入セサルモノ
一等	異種ノ魚肉（雑魚）ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉（雑魚）ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚体（雑魚）ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚体（雑魚）ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	産地及採取ノ季節ニ付テハ同上其ノ他ノ爽雑物百分ノ一ヲ超エサルモノ	産地及採取ノ季節ニ付テハ同上其ノ他ノ爽雑物百分ノ三（模様ニ吸リ百分ノ五）ヲ超エサルモノ	産地及採取ノ季節ニ付テハ同上其ノ他ノ爽雑物百分ノ一ヲ超エサルモノ	産地及採取ノ季節ニ付テハ同上其ノ他ノ爽雑物百分ノ一ヲ超エサルモノ	香味、肉質、色澤、肉ノ締リ及煮熟ノ程度同ジク爽雑物ナキモノ	香味、肉質、色澤、肉ノ締リ及煮熟ノ程度良ニシテ他ノ爽雑物ヲ混入セサルモノ
二等	異種ノ魚肉（雑魚）ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉（雑魚）ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚体（雑魚）ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚体（雑魚）ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	産地及採取ノ季節ニ付テハ同上其ノ他ノ爽雑物百分ノ二ヲ超エサルモノ	産地及採取ノ季節ニ付テハ同上其ノ他ノ爽雑物百分ノ五ヲ超エサルモノ	産地及採取ノ季節ニ付テハ同上其ノ他ノ爽雑物百分ノ二ヲ超エサルモノ	産地及採取ノ季節ニ付テハ同上其ノ他ノ爽雑物百分ノ二ヲ超エサルモノ	香味、肉質、色澤、肉ノ締リ及煮熟ノ程度稍劣ルモ爽雑物ナキモノ	香味、肉質、色澤、肉ノ締リ及煮熟ノ程度稍劣ルモ他ノ爽雑物ヲ混入セサルモノ
等外	異種ノ魚肉（雑魚）ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚肉（雑魚）ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚体（雑魚）ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	異種ノ魚体（雑魚）ヲ混入シ其ノ他ノ爽雑物二等ニ次グモノ	産地及採取ノ季節ニ付テハ同上其ノ他ノ爽雑物百分ノ一ヲ超エサルモノ	産地及採取ノ季節ニ付テハ同上其ノ他ノ爽雑物百分ノ五ヲ超エサルモノ	産地及採取ノ季節ニ付テハ同上其ノ他ノ爽雑物百分ノ二ヲ超エサルモノ	産地及採取ノ季節ニ付テハ同上其ノ他ノ爽雑物百分ノ二ヲ超エサルモノ	香味、肉質、色澤、肉ノ締リ及煮熟ノ程度稍劣ルモ他ノ爽雑物ヲ混入セサルモノ	香味、肉質、色澤、肉ノ締リ及煮熟ノ程度稍劣ルモ他ノ爽雑物ヲ混入セサルモノ

	檢出合格				移出合格				檢出合格				移出合格			
名稱	タラバ蟹水煮纏詰（崩肉）				タラバ蟹水煮纏詰（崩肉以外ノモノ）				毛蟹水煮纏詰、ズワイ蟹水煮纏詰				鰛トマト漬纏詰			
	A		B		A		B		A		B					
原料	内容ノ香味及色澤良ク且ツ黒変ナク程度極メテ少キモノ		内容ノ香味及色澤良ク且ツ黒変又ハ青斑ナキカ又ハ其ノ程度少キモノ		内容ノ香、味、肉質、色澤ニシテ黒変ナク程度良好ニシテ青斑ナキカ又ハ其ノ程度極メテ少キモノ		内容ノ香、味、肉質、色澤ニシテ黒変又ハ青斑ナキカ又ハ其ノ程度少キモノ		同右		同右		香味、肉質、色澤、肉ノ締リ及煮熟ノ程度良ニシテ注加量適当ナルモノ			
一等	内容ノ香味及色澤良ク且ツ黒変ナク程度極メテ少キモノ		内容ノ香味又ハ色澤良ク且ツ黒変又ハ青斑ナキカ又ハ其ノ程度少キモノ		内容ノ香、味、肉質、色澤ニシテ黒変ナク程度良好ニシテ青斑ナキカ又ハ其ノ程度極メテ少キモノ		内容ノ香味又ハ色澤良ク且ツ黒変又ハ青斑ナキカ又ハ其ノ程度少キモノ		同右		同右		香味、肉質、色澤、肉ノ締リ及煮熟ノ程度良ニシテ注加量適当ナルモノ			
二等	内容ノ香味及色澤良ク且ツ黒変ナク程度極メテ少キモノ		内容ノ香味又ハ色澤良ク且ツ黒変又ハ青斑ナキカ又ハ其ノ程度少キモノ		内容ノ香、味、肉質、色澤ニシテ黒変ナク程度良好ニシテ青斑ナキカ又ハ其ノ程度極メテ少キモノ		内容ノ香味又ハ色澤良ク且ツ黒変又ハ青斑ナキカ又ハ其ノ程度少キモノ		同右		同右		香味、肉質、色澤、肉ノ締リ及煮熟ノ程度良ニシテ注加量適当ナルモノ			
等外	内容ノ香味及色澤稍劣ルモ黒変ナク青斑ナキカ又ハ其ノ程度少キモノ		内容ノ香味又ハ色澤稍劣レルモ黒変又ハ青斑ナキカ又ハ其ノ程度稍多キモノ		内容ノ香、味、肉質、色澤稍劣ルモ黒変ナク青斑ナキカ又ハ其ノ程度稍多キモノ		内容ノ香味又ハ色澤稍劣レルモ黒変又ハ青斑ナキカ又ハ其ノ程度稍多キモノ		同右		同右		香味、肉質、色澤、肉ノ締リ及煮熟ノ程度稍劣ルモ他ノ爽雑物ヲ混入セサルモノ			

	乾海鼠			鮑煮熟水			其ノ他ノ水煮纏詰	蝦味噌附纏詰			其ノ他ノ味附纏詰
形態ノ大小	大（二〇個以内）	中（三〇個以内）	小（三〇個以上）	大（一纏ノ肉量二〇匁以上ノモノ）	中（一纏ノ肉量一五匁以上二〇匁未満ノモノ）	小（一纏ノ肉量一五匁未満ノモノ）		大（一纏ノ肉量八〇匁以上ノモノ）	中（一纏ノ肉量三〇匁以上八〇匁未満ノモノ）	小（一纏ノ肉量三〇匁未満ノモノ）	
原料	原料良ク形態完全ニシテ異物ヲ混入セス	原料良ク形態完全ニシテ異物ヲ混入セス	原料良ク形態完全ニシテ異物ヲ混入セス	原料良ク形態完全ニシテ異物ヲ混入セス	原料良ク形態完全ニシテ異物ヲ混入セス	原料良ク形態完全ニシテ異物ヲ混入セス	原料良ク形態完全ニシテ異物ヲ混入セス	原料良ク形態完全ニシテ異物ヲ混入セス	原料良ク形態完全ニシテ異物ヲ混入セス	原料良ク形態完全ニシテ異物ヲ混入セス	原料良ク形態完全ニシテ異物ヲ混入セス
一等	内臓異物ノ除去、性質反応及有害物其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	内臓異物ノ除去、性質反応及有害物其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	内臓異物ノ除去、性質反応及有害物其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	内臓異物ノ除去、性質反応及有害物其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	内臓異物ノ除去、性質反応及有害物其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	内臓異物ノ除去、性質反応及有害物其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ
二等	有害物及肉量ニ付テハ同上其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	有害物及肉量ニ付テハ同上其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	有害物及肉量ニ付テハ同上其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	有害物及肉量ニ付テハ同上其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	有害物及肉量ニ付テハ同上其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	有害物及肉量ニ付テハ同上其ノ他ノ事項一等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項二等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項二等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項二等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項二等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項二等ニ次グモノ
等外	有害物ニ付テハ同上其ノ他ノ事項二等ニ次グモノ	有害物ニ付テハ同上其ノ他ノ事項二等ニ次グモノ	有害物ニ付テハ同上其ノ他ノ事項二等ニ次グモノ	有害物ニ付テハ同上其ノ他ノ事項二等ニ次グモノ	有害物ニ付テハ同上其ノ他ノ事項二等ニ次グモノ	有害物ニ付テハ同上其ノ他ノ事項二等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項三等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項三等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項三等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項三等ニ次グモノ	形態及結束ニ付テハ同上其ノ他ノ事項三等ニ次グモノ

第一號樣式

番號……

水産製品檢査請求書

下記水産製品檢査規則第四條ノ規定ニ依リ水産製品ノ檢査及成績ニ付檢査相成度此段請求候也

檢査請求年月日……

收入印紙貼付欄

向地	生産地	製造人住所氏名	箇数	包装種類	包装記號	品名	数量	価格	檢査数量	檢査手数料	檢査成績	備考
1								円				
2												
3												
4												
5										計		

檢査請求者住所氏名　印

檢査年月日　檢査員　檢査印

用紙寸法　縦七寸　横一尺二寸

注意

一　各檢査ノ品名中品質ノ種類ヲ分チタルモノニ在リテハ各檢査ノ「道」ノ欄ニ區別シテ記載スベシ

二　乾海苔ニシテ道ノ檢査ニ合格シタルモノノ「包裝記號」ノ欄ノ次ニ「檢査成績」ノ欄ヲ設ケ之ニ「合格」ト記載スベシ

三　請求ハ檢査ノ成績内ニハ記入スベカラズ

第二號樣式
一　檢查證印

精製詰ノ
各出合格品

長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

二　等級證印

合格品

直徑三寸
肉幅三分

不合格品

一等

直徑三寸
肉幅三分

同上

二等

同上

三等

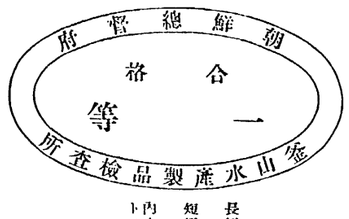
直徑三寸
肉幅三分

四等

同上

三　檢查等級證印
食用罐詰品（蟹水產罐詰及罐出品ヲ除ク）

一等



長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

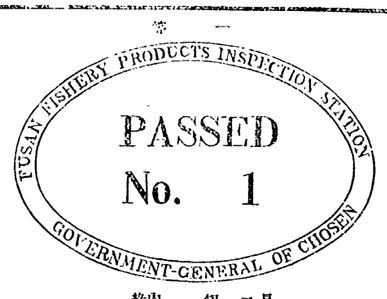
二等

同上

三等

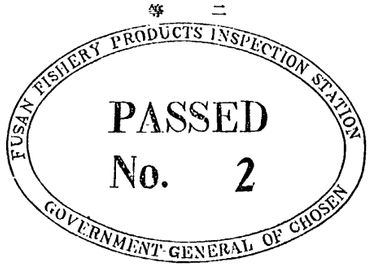
長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

一等



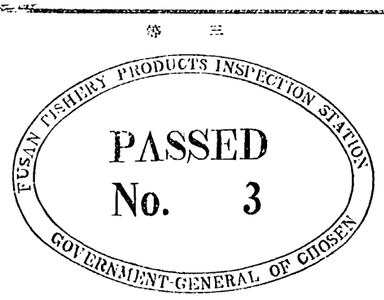
長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

二等



同上

三等



長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

（食用罐詰品（蟹水產罐詰以外ノ輸出品ニ限ル）

フアンシー

長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

タラバ蟹水產罐詰（肩肉以外ノモノ）ノ輸出合格品

フエヤー（箱ニ押捺スルモノ）

長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

フエヤー（繰ニ押捺スルモノ）

FAIR

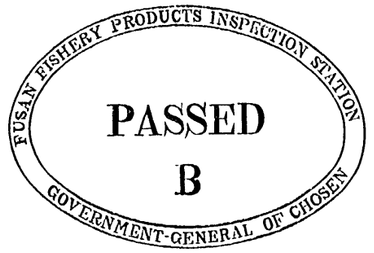
タラバ蟹水煮罐詰（肩肉）、毛蟹水煮罐詰、ズワイ蟹水煮罐詰ノ檢出合格品

A

長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

B

（箱ニ押捺スルモノ）



長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

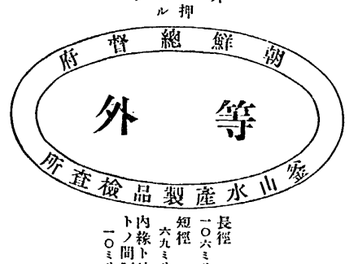
B

（罐ニ押捺スルモノ但シタラバ蟹水煮罐詰（肩肉）ニ限ル）

P. B.

タラバ蟹水煮罐詰ノ移出合格品

等外（箱ニ押捺スルモノ）



長徑　一〇六ミリメートル
短徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

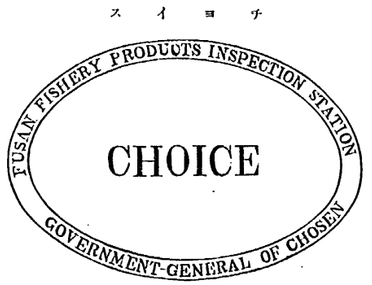
同上（罐ニ押捺スルモノ）

NE

各邊ノ長　一二ミリメートル

鯖トマト漬罐詰

チヨイス



長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

スタンダード

長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト內緣トノ間隔　一〇ミリメートル

四　大小別證印

食用罐詰品（輸出品ヲ除ク）

大	大	直徑一五ミリメートル　肉幅二ミリメートル
中	中	同上
小	小	同上

食用罐詰品（輸出品ニ限ル）

大	L	直徑一五ミリメートル　肉幅二ミリメートル
中	M	同上
小	S	同上

其ノ他ノ水產製品

大	大	直徑九〇ミリメートル　肉幅九ミリメートル
中	中	同上
小	小	同上

五　消印

各片ノ長サ三寸　肉幅三分

六　封印

食用罐詰品（輸出品ヲ除ク）

長徑　六〇ミリメートル
短徑　三〇ミリメートル

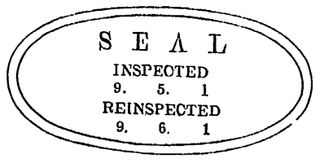
同上再檢查品

同上

食用罐詰品（輸出品ニ限ル）

長徑　六〇ミリメートル
短徑　三〇ミリメートル

同上再檢查品



同上

食用乾製品、肥料及海藻

三三ミリメートル角

同上再検査品

包装ヲ爲シタル魚油

直徑八分

同上檢査品

直徑同上

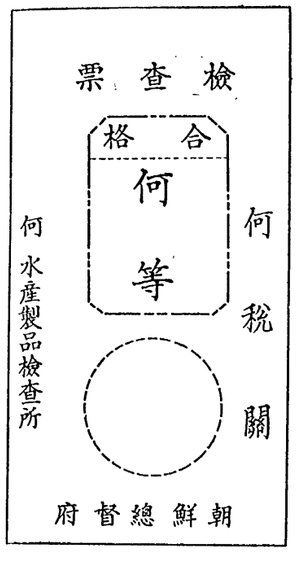
包裝ヲ爲サザル魚油

直徑八分，再檢査品

直徑同上

七　檢査票

縦　三寸三分
横　一寸七分



合格證表

（表面）

檢査番號	檢査數量	檢査ノ區別	檢査ノ種類	檢査ノ方法	檢査ノ結果	檢査ノ年月日	檢査ノ場所	檢査員ノ氏名及捺印
第十六號ノ檢査番號ニ記載ノ通リ	第十六號ノ檢査數量ニ同ジ	第十六號ノ檢査ノ區別ニ同ジ	第十六號ノ檢査ノ種類ニ同ジ	第十六號ノ檢査ノ方法ニ同ジ	合格	第十六號ノ檢査ノ年月日ニ同ジ	第十六號ノ檢査ノ場所ニ同ジ	第十六號ノ檢査員ノ氏名及捺印ニ同ジ
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

檢査番號　檢査數量　檢査ノ區別　檢査ノ種類　檢査ノ方法　檢査ノ結果　檢査ノ年月日　檢査ノ場所　檢査員ノ氏名及捺印

（裏面）

檢査番號	出荷年月日	出荷地	積載船舶名	仕向地	等級數	數量	檢査所名及認定捺印
第十六號ノ檢査番號ニ記載ノ通リ	第十六號ノ出荷年月日ニ同ジ	第十六號ノ出荷地ニ同ジ	第十六號ノ積載船舶名ニ同ジ	第十六號ノ仕向地ニ同ジ	第十六號ノ等級數ニ同ジ	第十六號ノ數量ニ同ジ	第十六號ノ檢査所名及認定捺印ニ同ジ
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

檢査年月日　出荷年月日　出荷地　積載船舶名　仕向地　等級數　數量　檢査所名及認定捺印

出荷證明

用紙寸法　縦　二三センチメートル
　　横　一五センチメートル

備考

一　乾海苔、海苔、乾藻、乾蝦、乾鮑、淡菜、乾鳥貝及乾貝柱合格品中小包郵便ト爲スモノニ在リテハ檢査證印、等級證印ハ直徑一寸五分肉幅一分五厘トス

二　檢査證印、等級證印、檢査等級證印、大小別證印及消印ノ肉色ハ紫色トス但シ蟹水煮繰詰ノ檢査等級證印ノ肉色ハタラバ蟹繰詰ノ脚肉以外ノモノニ在リテハフアンシー赤色、フエヤー、青色、等外ハ黒色、脚肉ニ在リテハA、ハ紫色、B、ハ褐色、等外ハ黒色、毛蟹繰詰ニ在リテハ橙色、ズワイ蟹繰詰ニ在リテハ褐色、味附繰詰ニ在リテハ緑色トシ鯖繰詰檢出合格品ノ檢査證印ノ肉色ハ水煮繰詰ニ在リテハ褐色、味附繰詰ニ在リテハ青色トス

三　封印ノ數字ハ檢査又ハ再檢査ヲ行ヒタル年月日及檢査又ハ再檢査ノ番號ヲ表示スルモノトス

四　魚油ノ合格品ニ附スベキ檢査票ノ紙色ハ一等黄色二等青色三等紅色四等褐色トシ文字ハ黒色トス

五　檢査證印、檢査等級證印及封印ノ水産製品檢査所名ハ檢査又ハ再檢査ヲ行ヒタル水産製品檢査所名ヲ表示スルモノトス

六　大小別證印中食用鯑詰ニ關スルモノハ檢査等級證印ノ内緑内塩所ニ押捺スルモノトス

七　檢査票

第三號樣式

番號	水産製品檢査規則第五條第二項ノ認定請求書
下記ノ魚油ノ混合ニ付水産製品檢査規則第五條第二項ノ認定相受度此段及請求候也	
請求年月日	

品名	包裝種類及ヘ檢査番號	檢査年月日	等級	個數	容量

摘要	認定	認定官吏氏名捺印
認定年月日		

一　包裝ヲ爲シタル魚油ノ種類ヲ包裝ヲ爲サザルモノニ在リテハ檢査番號ニ記入スベシ
二　檢査番號ハ各檢査年月日ノ等級別ニ區別シテ之ヲ記入スベシ
三　檢査所ニ於テハ混合認定ヲ受ケントスル時ハ檢査豫定年月日ヲ當該欄ニ記入スベシ
四　鯑繰詰ニハ請求人記入スベカラズ
五　鯑繰詰ニハ混合ニ於テ認定又ハ他必要事項ヲ記入スベシ

第四號樣式

●水産製品檢査所ノ名稱及位置

大正十三年十二月
總督府令第二百七十八號

名稱	位置
仁川稅關仁川水産製品檢査所	京畿道仁川府
仁川稅關元山水産製品檢査所	咸鏡南道元山府
仁川稅關城津水産製品檢査所	咸鏡北道城津郡城津面
仁川稅關漁大津水産製品檢査所	咸鏡北道鏡城郡漁郎面
仁川稅關清津水産製品檢査所	咸鏡北道清津府
仁川稅關雄基水産製品檢査所	咸鏡北道慶興郡雄基面
仁川稅關新浦水産製品檢査所	咸鏡南道北青郡新浦面
仁川稅關長箇水産製品檢査所	江原道高城郡新北面
仁川稅關注文津水産製品檢査所	江原道江陵郡新里面
仁川稅關西水羅水産製品檢査所	咸鏡北道慶興郡鹿西面
仁川稅關速湖水産製品檢査所	咸鏡南道利原郡南面
仁川稅關三陟水産製品檢査所	江原道三陟郡三陟面
仁川稅關竹邊水産製品檢査所	江原道蔚珍郡蔚珍面
仁川稅關群山水産製品檢査所	全羅北道群山府
仁川稅關龍湖島水産製品檢査所	黄海道甕津郡東南面
釜山稅關釜山水産製品檢査所	慶尚南道釜山府
釜山稅關甘浦水産製品檢査所	慶尚北道慶州郡陽北面
釜山稅關浦項水産製品檢査所	慶尚北道迎日郡浦項面
釜山稅關統營水産製品檢査所	慶尚南道統營郡統營面
釜山稅關麗水水産製品檢査所	全羅南道麗水郡麗水面
釜山稅關木津水産製品檢査所	全羅南道木浦府
釜山稅關濟州水産製品檢査所	全羅南道濟州島濟州面
釜山稅關莞島水産製品檢査所	全羅南道莞島郡郡内面
釜山稅關蟇陵島水産製品檢査所	慶尚北道蟇陵島南面

C字ノ短徑一二ミリメートル　毛蟹水煮繰詰　タラバ蟹水煮繰詰　T

同上　ズワイ蟹水煮繰詰　K

同上　D

水産製品檢査所ノ名稱及位置左ノ通定ム

敬正　明治四十年府第一二三號、四年五第一六號、九號、五年五第二四號、六年五第一六號、六年七第二〇七號、七年五第二八五號、八年五第二三八號

釜山税関出張所
新義州税関新義州水産製品検査所
新義州税関鎮南浦水産製品検査所

備考

一　釜山税関慶尚南道巨済島水産製品検査所、釜山税関慶尚南道釜山水産製品検査所、仁川税関西水羅水産製品検査所、仁川税関竹邊水産製品検査所、仁川税関群山水産製品検査所及仁川税関龍湖島水産製品検査所ニ在リテハ所轄税関長ノ定ムル期間ニ限リ検査ヲ行フ

二　罐詰ノ検査ハ當分ノ内釜山税関釜山水産製品検査所ニ限リ之ヲ行フ

（昭和四年五月總告第百六十九號ハ昭和四年七月一日ヨリ施行）
（昭和七年五月總告第二百八十五號ハ昭和七年六月一日ヨリ施行）

❺朝鮮水産物罐詰製造營業取締規則

昭和五年九月
總令第七十九號
改正　昭和六年七月六日、一〇年第八四

朝鮮水産物罐詰製造營業取締規則左ノ通定ム

第一條　水産物ノ罐詰ノ製造ヲ營業トシテ爲サンスル者ハ製造工場毎ニ左ニ掲グル事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請シ許可ヲ受クベシ

一　主タル事務所ノ所在地及名稱若ハ�號竝ニ代表者ノ住所及氏名）
二　製造セントスル罐詰ノ種類
三　製造ノ時期
四　製造工場ノ名稱
五　製造工場ノ位置
六　製造工場ノ敷地ノ面積及建物ノ坪數
七　製造工場ノ建築仕様及設備ノ概要
八　主ナル機械ノ名稱、員數及各其ノ最高能力
九　用水ノ性質及分量
十　製造原料ノ蒐集方法、製造工程及一年間ノ種類別製造豫定數量
十一　許可ヲ受ケントスル期間
十二　水産物以外ノ罐詰ノ製造ヲモ爲サントスルモノニ在リテハ其ノ蒐集方法、製造工程及一年間ノ種類、原料ノ蒐集方法、製造工程及一年間ノ種類別製造豫定數量

前項ノ規定ニ依リ申請書ニハ製造工場ノ建物、機械其ノ他ノ設備ノ配置圖及製造工場ノ場所附近ノ見取圖ヲ添附スベシ

第二條　前條第一項ノ許可ノ期間ハ許可ノ日ヨリ十年以内ニ於テ許可ノ際朝鮮總督之ヲ定ム

第三條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ第一條第一項及同項第二號ノ事項ノ變更ノ許可ヲ爲スニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ許可シタル營業ヲ制限シ、停止シ又ハ營業ノ許可ヲ取消スコトヲ得

一　造石又ハ本令ニ依リテ爲スヲ處分若ハ其ノ制限、條件ニ違反シタルトキ
二　本令又ハ本令ニ依リテ爲ス處分若ハ其總督ノ許可シタル營業ヲ制限シ、停止シ又
前項ノ規定ニ依リ申請書ニハ製造工場ノ建物、機械其ノ他ノ設備ノ配置圖及製造工場ノ場所附近ノ見取圖ヲ添附スベシ

第二條　前條第一項ノ許可ノ期間ハ許可ノ日ヨリ十年以内ニ於テ許可ノ際朝鮮總督之ヲ定ム

第三條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ第一條第一項及同項第二號ノ事項ノ變更ノ許可ヲ爲スニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ許可シタル營業ヲ制限シ、停止シ又ハ營業ノ許可ヲ取消スコトヲ得

一　本令又ハ本令ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ制限、條件ニ違反シタルトキ
二　朝鮮總督ノ水産動植物ノ蕃殖保護其ノ他公益上必要アリト認ムルトキ亦前項ニ同ジ

第五條　第一條第一項ノ許可ヲ受ケタル者引續キ二年以上營業ヲ爲サザルトキハ朝鮮總督ハ其ノ營業ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第六條　製造工場ノ構造及設備ハ左ノ各號ニ依ルベシ

一　場屋内ノ採光及換氣充分ナルコト
二　原料ノ處理場及鹽ノ肉詰場ノ床ハ「コンクリート」打又ハ石其ノ他ノ不滲透質ノ材料ヲ以テ水密ト爲スコト
三　水道又ハ揚水「ポンプ」ヲ設クルコト
四　工場内外ノ排水ヲ完全ニスルコト
五　工場ヨリ相當ノ距離ヲ存スル場所ニ廢棄物ノ處置ヲ爲スニ適當ナル設備ヲ設クルコト

第七條　罐詰ニ使用スル罐ハ「チャーコール」、「プライム、コークス」又ハ之ニ相當スル良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量九十封度以上ヲ有シ内面ノ塗法完全ナルモノ、其ノ他ノモノニ在リテハ錆ナキ良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量八十五封度以上ノモノヲ使用スベシ

第八條　罐ノ蓋ニハ禁薬許可ノ番號ヲ刻印ニ依リ表示スベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ限リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ之ヲ省略スルコトヲ得

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ第一條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ニ申請シ許可ヲ受クベシ

一　第一條第一項第二號、第五號又ハ第八號ノ事項ヲ變更セントスルトキ
二　一定ノ期間休業ヲ爲サントスルトキ

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ第一條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　第一條第一項第一號、第三號、第四號、第六號、第七號、第九號、第十號又ハ第十二號ノ事項ヲ變更シタルトキ
二　罐詰ニ使用スル罐ハ「チャーコール」、「プライム、コークス」又ハ之ニ相當スル良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量九十封度以上ヲ有シ内面ノ塗法完全ナルモノ、其ノ他ノモノニ在リテハ錆ナキ良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量八十五封度以上ノモノヲ使用スベシ

第八條　罐ノ蓋ニハ禁薬許可ノ番號ヲ刻印ニ依リ表示スベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ限リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ之ヲ省略スルコトヲ得

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ第一條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ニ申請シ許可ヲ受クベシ

一　第一條第一項第二號、第五號又ハ第八號ノ事項ヲ變更セントスルトキ
二　一定ノ期間休業ヲ爲サントスルトキ

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ第一條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　第一條第一項第一號、第三號、第四號、第六號、第七號、第九號、第十號又ハ第十二號ノ事項ヲ變更シタルトキ
二　罐詰ニ使用スル罐ハ「チャーコール」、「プライム、コークス」又ハ之ニ相當スル良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量九十封度以上ヲ有シ内面ノ塗法完全ナルモノ、其ノ他ノモノニ在リテハ錆ナキ良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量八十五封度以上ノモノヲ使用スベシ

第十一條　罐詰ノ製造工場ニ在リテハ前項ノ規定ニ依ル外原動機、汽罐、高熱寒暖計ヲ有スル加壓殺菌釜竝ニ巻締機及「エキゾースト、ボックス」又ハ「パキューム、シーマー」ヲ備附クベシ

第十二條　罐詰ニ在リテハ「チャーコール」、「プライム、コークス」又ハ之ニ相當スル良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量九十封度以上ヲ有シ内面ノ塗法完全ナルモノ、其ノ他ノモノニ在リテハ錆ナキ良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量八十五封度以上ノモノヲ使用スベシ

第十三條　罐詰ノ製造ニ在リテハ「チャーコール」、「プライム、コークス」又ハ之ニ相當スル良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量九十封度以上ヲ有シ内面ノ塗法完全ナルモノ、其ノ他ノモノニ在リテハ錆ナキ良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量八十五封度以上ノモノヲ使用スベシ

第十四條　罐詰ノ製造ニ在リテハ「チャーコール」、「プライム、コークス」又ハ之ニ相當スル良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量九十封度以上ヲ有シ内面ノ塗法完全ナルモノ、其ノ他ノモノニ在リテハ錆ナキ良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量八十五封度以上ノモノヲ使用スベシ

第十五條　罐詰ノ製造ニ在リテハ「チャーコール」、「プライム、コークス」又ハ之ニ相當スル良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量九十封度以上ヲ有シ内面ノ塗法完全ナルモノ、其ノ他ノモノニ在リテハ錆ナキ良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量八十五封度以上ノモノヲ使用スベシ

第十六條　罐詰ノ製造ニ在リテハ「チャーコール」、「プライム、コークス」又ハ之ニ相當スル良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量九十封度以上ヲ有シ内面ノ塗法完全ナルモノ、其ノ他ノモノニ在リテハ錆ナキ良質ノ鉄力板ニシテ一箱ノ重量八十五封度以上ノモノヲ使用スベシ

第十七條　本令ノ罰則ヲ營業者ノ業務ニ關シ之ニ適用スベキ場合ニ於テ營業者法人ノトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第一條第一項ノ營業ヲ爲ス者其ノ營業ヲ繼續セントスルトキハ本令施行ノ日ヨリ一月以内ニ第一條ノ規定ニ準ジ許可ノ申請ヲ爲スベシ

本令施行ノ際現ニ前項ノ營業ヲ爲ス者ハ前項ノ期間仍ホ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得前項ノ規定ニ依リ許可ノ申請ヲ爲シタル者ニ付前項ノ期間經過後其ノ申請ノ許否アル迄ノ間亦同ジ

本令施行ノ際現ニ第一條第一項ノ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業ヲ繼續スルモノニ對シテハ本令施行ノ日ヨリ第六條ノ規定ニ在リテハ一年間、第八條ノ規定ニ在リテハ六月間ハ之ヲ適用セズ

本令ハ當分ノ内たらばがに、すわいがに又ハけがにノ塩詰製造營業ニ之ヲ準用ス

❺水産物冷藏奬勵補助規則

昭和二年八月
總令第七十九號

水産物冷藏奬勵補助規則左ノ通定ム

第一條　水産物冷藏奬勵補助ハ規則

水産物冷藏用氷ノ製氷工場又ハ貯氷庫（冷藏室ヲ有スル製氷工場又ハ貯氷庫ヲ含ム）ノ新設又ハ增設ヲ爲ス者ニ對シテハ水産物ノ冷藏ヲ奬勵スル爲本令ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條　補助金ノ額ハ工事費豫算額ノ三分ノ一以内ト但シ漁業組合ノ施設ニ對シテハ工事費精算額ノ二分ノ一以内トス

第三條　補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ氏名、住所及職業（法人ニ在リテハ名稱、主タル事務所ノ所在地竝ニ代表者ノ氏名）ヲ記載シタル申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ前年度三月末日迄ニ朝鮮總督ニ之ヲ提出スベシ

一　製氷工場又ハ貯氷庫ノ工事計畫書（第一樣號式）及工事仕樣書
二　製氷工場又ハ貯氷庫ノ工事着目竝見書（第二號樣式）

第四條　朝鮮總督前條ノ規定ニ依ル申請ニ依リ補助金ヲ交付スベキモノト認メタルトキハ補助金ノ交付ヲ受クベキ旨ノ通知ヲ爲スノ指令書ヲ交付ス

第五條　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者ニ付死亡又ハ法人ノ合併アリタル場合ニ於テハ補助金ノ交付ヲ受クベキ權利又ハ相續人又ハ合併後存續法人ニ於テ承繼シタル者ニ付テハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ノ氏名、住所又ハ職業（法人ニ在リテハ名稱、主タル事務所ノ所在地、營業ノ種類又ハ代表者ノ氏名）ニ變更アリタルトキ

第六條　補助金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ製氷工場又ハ貯氷庫ノ所有者又ハ貸付ヲ受ケタル者ハ工事ニ着手後遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七條　前二條ノ規定ニ依ル權利ノ承繼アリタル場合ニ於テハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ヲ以テ補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者ト看做ス

第八條　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル製氷工場又ハ貯氷庫ノ工事計畫又ハ工事仕樣ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第九條　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ノ工事ヲ中止セシメ又ハ補助金ノ交付ヲ取消シ既ニ交付シタル補助金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

一　本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ
二　補助金ノ交付ニ關シ不正ノ行爲アリタルトキ
三　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者ノ工事竣功ノ見込ナキニ至リタルトキ

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者ニ對シ補助金ノ全部又ハ一部ヲ交付セザルコトヲ得

一　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者ニ於テ本令又ハ補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
二　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者ノ工事場若ハ貯氷庫ヲ譲渡若ハ貸付シ又ハ其ノ使用ノ目的ヲ變更シ若ハ其ノ設備ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十二條　製氷工場又ハ貯氷庫ノ所有權ヲ承繼シタル者ハ之ヲ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ト看做ス

第十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　補助金ノ交付ヲ受ケタル者ノ氏名、住所又ハ職業（法人ニ在リテハ名稱、主タル事務所ノ所在地、營業ノ種類又ハ代表者ノ氏名）ニ變更アリタルトキ
二　製氷工場又ハ貯氷庫ノ所有者又ハ貸付ヲ受ケタル者ノ變更アリタルトキ
三　製氷工場又ハ貯氷庫ガ火災其ノ他ノ災害又ハ事變ニ因リ使用スルコト能ハザルニ至リタルトキ

第十四條　補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ毎年業年度終了後三月以内ニ事業報告書（第三號樣式）ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十五條　朝鮮總督ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ何時ニテモ其ノ事業ニ關シ報告ヲ爲サシメ帳簿、物件又ハ業務執行ノ狀況ヲ檢査シ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十六條　補助金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ製氷工場若ハ貯氷庫ノ貸付ヲ受ケタル者本令、本令ニ基キテ爲ス命令又ハ補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキハ朝鮮總督ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ補助金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

第十七條　第十一條及第十三條乃至前條ノ規定ハ補助金交付ノ日ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ之ヲ適用セズ

第十八條　第十三條乃至第十五條及前條ノ規定ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ノ製氷工場又ハ貯氷庫ノ貸付ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三條中前年度三月末日トアルハ昭和二年度ニ限リ昭和二年九月末日迄トス

第一號樣式

製氷工場工事計畫書

一　建設ノ場所
二　製氷工場及附屬建物ノ敷地坪數及建物坪數
三　外部建築材料ノ種類
四　製氷室、機械室、貯氷室、事務室等ノ各坪數
五　製氷機械及附屬機械、原動機及製氷裝置ノ要綱
六　工事着手豫定年月日及工事竣功豫定年月日
七　工事費豫算明細書

備考

一　製氷機械及附屬機械、原動機及製氷裝置ノ要綱ニハ機械ノ製作所名、個數、種類及様式、製氷能力、氷鎚數、馬力其ノ他機械ノ重要部分ニ關スル必要ナル事項ヲ記載スベシ

二　工事費豫算明細書ニハ建物ニ在リテハ製氷室、機械室、貯氷室、附屬室毎ニ基礎及床工事費、周壁及天井工事費、階上及屋根工事費、雜工事費ニ區分シ製氷設備ニ在リテハ製氷機、原動機、製氷裝置、用水設備毎ニ機械費、基礎工事費、据附費ニ區分シ各其ノ內譯金額（算出ノ基礎ヲ明記スルコト）ヲ記載スベシ

三　本計畫書ニハ左ノ圖面ヲ添附スベシ

（イ）製氷工場ノ位置圖（平面圖、縮尺、里程、鐵道等ト工場トノ關係ヲ示スベシ）

（ロ）建物圖（平面圖、縮尺、製氷室、貯氷室、附屬室毎ニ基礎及床工事費、周壁及天井工事費、屋根工事費、雜工事費ニ區分シ各其ノ內譯金額（算出ノ基礎ヲ明記スルコト）ヲ記載スベシ

二　本計畫書ニハ左ノ圖面ヲ添附スベシ

（イ）貯氷庫ノ位置圖（貯氷庫ト鉄道トノ關係ヲ示スベシ）

（ロ）建物圖（平面圖、縮尺、基礎、小屋伏、排水裝置、防熱設四重面）

三　增設ノ場合ニ於テハ現在、增設ノ部分ニ區別シテ記載スベシ

第二號樣式　製氷工場事業日誌見書

一　事業計畫ノ概要（製氷工場ノ新設又ハ增設ニ關スル事項、氷販賣區域、氷販賣數量及貯氷庫ノ容量ニ關スル事項、鮮魚蔬菜用氷ノ販賣數量及鉄道運賃ニ關スル事項、氷販賣ノ方法ニ關スル事項、第一年ノ製氷見込數量、氷販賣ノ見込數量及貯氷庫ノ容量ニ關スル事項、其ノ他參考ノ爲必要ナル事項）

二　製氷期間

三　事業費豫支豫算

貯氷庫事業日誌見書

一　事業計畫ノ概要（貯氷庫ノ新設又ハ增設ニ關スル事項、氷販賣區域ニ關スル事項、氷販賣數量及貯藏品ノ種類及貯藏又ハ貯氷ノ方法）

二　貯藏品ノ種類及貯藏又ハ貯氷ノ方法

三　事業費收支豫算

第三號樣式　製氷工場事業報告書

一　所有者及貸付ヲ受ケタル者ノ氏名又ハ名稱

二　製氷工場所在ノ場所

三　事業概要

四　製氷數量

五　貯藏品又ハ氷藏品ノ種類別數量

六　貯藏品保管料（種類別、期間別、季節別）

七　事業收支決算

第三款　水産會

●朝鮮水産會令

大正十二年一月
制令第一號
改正　昭和八年法律第二八號

朝鮮水産會令明治四十四年法律第三十號第一條第二項ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮水産會令

第一條　水産會ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外水産會法ニ依ル但シ同法第七條乃至第十條、第二十條第二項及第三項、第二十六條乃至第三十二條竝第三十七條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

水産會法中郡市水産會トアルハ道水産會ト、

第二條　水産會ハ道水産會及朝鮮水産會トス

水産會ノ地區ハ道水産會ニ在リテハ道、朝鮮水産會ニ在リテハ朝鮮ノ區域ニ依ル

第三條　水産會ノ名稱ニハ道水産會又ハ朝鮮水産會ナル文字ヲ用ヰルヘシ

本令ニ依リ設立シタル水産會ニ非サレハ其ノ名稱中ニ前項ニ揭ケル文字ヲ用ヰルコトヲ得ス

第四條　水産會ハ道水産會ニ在リテハ別ニ朝鮮總督ノ定ムル者ヲ除ケノ外其ノ地區內ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ノ業ヲ營ム者及其ノ地區內ニ於ケル漁業權ヲ有スル者、朝鮮水産會ニ在リテハ道水産會ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條　水産會ハ經費又ハ過怠金ノ徵收ヲ府邑面ニ囑託スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ水産會ハ府邑面ノ徵收シタル金額ノ百分ノ五ヲ其ノ府邑面ニ交付スヘシ

避ケヘカラサル災害ニ因リ府邑面ニ於テ既收ノ前項ニ規定スル經費又ハ過怠金ヲ失ヒタルトキハ水産會ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ府邑面ニ對シ其ノ納入ノ義務ヲ免除スヘシ

第六條　經費又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立及裁決ヲ爲スコトヲ得

第七條　水産會ハ郡市水産會、道府縣水産會及帝國水産會ノ地區ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ノ業ヲ營ム者及其ノ地區內ニ於ケル漁業權ヲ有スル者ニ對シ經費ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第八條　水産會ノ地區ハ郡市水産會ニ在リテハ府邑面ノ區域ニ依リ道府縣ニ在リテハ道府縣ノ區域ニ依リ帝國水産會ニ在リテハ內地ノ區域ニ依ル

第九條　水産會ノ名稱ニハ郡若ハ市水産會、道、府若ハ郡水産會又ハ帝國水産會ナル文字ヲ用ヰルヘシ但シ郡市水産會ノ地區カ郡ノ區域ニ依ラサルトキハ其ノ名稱中ニ郡又ハ市ノ文字ヲ用ヰサルコトヲ得

本法ニ依リ設立シタル水産會ニ非サレハ其ノ名稱中ニ前項ニ揭ケル文字ヲ用ヰルコトヲ得ス

第十條　水産會ハ郡市水産會ニ在リテハ命令ヲ以テ規定シタル者ヲ除ケノ外其ノ地區內ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ノ業ヲ營ム者及其ノ地區內ニ於ケル漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者、道府縣水産會ニ在リテハ其ノ地區內ノ郡市水産會、帝國水産會ニ在リテハ道府縣水産會ヲ以テ之ヲ組織ス

第十一條　水産會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ地區內ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ命令則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ申請スヘシ

郡市水産會ノ設立ニ關シ前項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者ノ員數ノ計算ニ付テハ漁業權又ハ入漁權ノ共有ノ場合ニ於テハ漁業權者又ハ入漁權者ノ之ヲ一人ト看做シ、一人ニシテ前條ニ揭ケル二以上ノ資格ヲ有スル者ハ之ヲ一人トス

第十二條　生産會ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時ヲ以テ成立ス

第十三條　水産會成立シタルトキハ其ノ地區內ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ之ニ加入シタルモノト看做ス但シ特別ノ事由ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總代會又ハ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第二十四條　水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ委員會ヲ置クコトヲ得

左ニ揭ケル者ヲ以テ委員トス

過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第二十條　會則ノ變更ハ總代會又ハ總會ニ於テ之ヲ組織スル總代會又ハ總會ノ會員タルノ資格ヲ有スル者半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

郡市水産會ノ會則ノ變更カ地區ノ增減ニ關シ前項ノ規定ニ依ル議決ノ外新ニ編入又ハ削除セラルヘキ區域內ノ會員タル資格ヲ有スル者又ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

前項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者又ハ會員ノ員數ノ計算ニ付テハ第十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

第二十一條　水産會ニ左ノ役員ヲ置ク

副會長　一人又ハ二人

評議員　數人

役員ハ郡市水産會ニ在リテハ總代會ニ於テ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アル場合ヲ除ケノ外郡市、道府縣水産會ニ在リテハ道府縣ノ區域ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ノ業ヲ營ム者及其ノ地區內ニ於ケル漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者、道府縣水産會ニ在リテハ其ノ地區內ノ郡市水産會、帝國水産會ニ在リテハ道府縣水産會ヲ以テ之ヲ組織ス

第十四條　水産會ハ郡市水産會ニ在リテハ命令ヲ以テ規定シタル者ヲ除ケノ外其ノ地區內ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ノ業ヲ營ム者及其ノ地區內ニ於ケル漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者、道府縣水産會ニ在リテハ其ノ地區內ノ郡市水産會、帝國水産會ニ在リテハ道府縣水産會ヲ以テ之ヲ組織ス

第十五條　水産會ハ命則ノ定ムル所ニ依リ議員定數ノ五分ノ一ヲ超エサル特別議員ヲ置クコトヲ得

行政官廳ハ水産會ノ特別議員ヲ命スルコトヲ得但シ其ノ員數ハ議員定數ノ五分ノ一ヲ超エルコトヲ得ス

第十六條　左ニ揭ケル事項ハ總代會又ハ總會ノ議決ヲ經ヘシ

一　經費ノ分賦收入方法

二　豫算ヲ以テ定メタルモノヲ除ケノ外新ニ義務ヲ負ヒ又ハ權利ヲ失フヘキ行爲

三　事業報告及收支決算ノ承認

四　基金ノ造成、管理及處分

五　不動産ニ關スル權利ノ得喪及變更

六　命則ノ變更

七　役員及特別議員ノ選任及解任

八　訴願、訴訟及和解

九　前項第一號、第二號、第四號及第七號ニ揭ケル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第十七條　總代會又ハ總會ハ會長之ヲ招集スル但シ第一回ノ總代會又ハ總會ハ水産會成立シタルトキ遲滯ナク設立申請者之ヲ招集スヘシ

議員又ハ特別議員ハ議員及特別議員ノ總數ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總代會又ハ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

會長正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後十四日以內ニ總代會又ハ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

第十八條　議員及特別議員ハ總代會又ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス

第十九條　總代會及總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ケノ外出席者ノ議決權ノ

申請ヲ爲スコトヲ得

第七條　經費及過怠金ノ督促、滯納處分、還徵、還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

前項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ府邑面ノ徵收金ニ次クモノトス

第八條　水産會ハ命則ノ定ムル所ニ依リ使用料及手數料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手數料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九條　水産會解散ヲ爲サムトスルトキハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

前項ニ規定スル會員ノ員數ノ計算ニ付テハ水産會法第十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正十二年二月總令第二十六號ニ依リ大正十二年四月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際現ニ存スル朝鮮水産組合各道支部ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ認可ヲ受ケタルヲ本令ニ依ル道水産會ト爲スコトヲ得

●水産會法

大正十年四月
法律第六十號
改正　昭和八年五月第五六號

廢帝國議會ノ協賛ヲ經タル水産會法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

水産會法

第一條　水産會ハ水産業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條　水産會ハ法人トス

第三條　水産會ハ普利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條　政府ハ其ノ定ムル條件ヲ具備スル水産會ニ豫算ノ範圍內ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第五條　水産會ハ水産業ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得

水産會ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

第六條　行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ水産會ニ對シ水産業ニ關スル報告書ノ提出及水産業ニ關スル事項ノ調査ヲ命スルコトヲ得

第七條　本會會ハ郡市水産會、道府縣水産會及帝國水産會ノ地區內ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ノ業ヲ營ム者及其ノ地區內ニ於ケル漁業權ヲ有スル者ニ對シ經費ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第八條　水産會ノ地區ハ郡市水産會ニ在リテハ府邑面ノ區域ニ依リ道府縣ニ在リテハ道府縣ノ區域ニ依リ帝國水産會ニ在リテハ內地ノ區域ニ依ル

第九條　水産會ノ名稱ニハ郡若ハ市水産會、道、府若ハ郡水産會又ハ帝國水産會ナル文字ヲ用ヰルヘシ但シ郡市水産會ノ地區カ郡ノ區域ニ依ラサルトキハ其ノ名稱中ニ郡又ハ市ノ文字ヲ用ヰサルコトヲ得

本法ニ依リ設立シタル水産會ニ非サレハ其ノ名稱中ニ前項ニ揭ケル文字ヲ用ヰルコトヲ得ス

第十條　水産會ハ郡市水産會ニ在リテハ命令ヲ以テ規定シタル者ヲ除ケノ外其ノ地區內ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ノ業ヲ營ム者及其ノ地區內ニ於ケル漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者、道府縣水産會ニ在リテハ其ノ地區內ノ郡市水産會、帝國水産會ニ在リテハ道府縣水産會ヲ以テ之ヲ組織ス

第十一條　水産會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ地區內ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ命則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ申請スヘシ

郡市水産會ノ設立ニ關シ前項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者ノ員數ノ計算ニ付テハ漁業權又ハ入漁權ノ共有ノ場合ニ於テハ漁業權者又ハ入漁權者ノ之ヲ一人ト看做シ、一人ニシテ前條ニ揭ケル二以上ノ資格ヲ有スル者ハ之ヲ一人トス

第十二條　生産會ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時ヲ以テ成立ス

第十三條　水産會成立シタルトキハ其ノ地區內ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ之ニ加入シタルモノト看做ス但シ特別ノ事由ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總代會又ハ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第十四條　郡市水産會ニ總代會、其ノ他ノ水産會ニ總會ヲ置ク

第十五條　總代會及總會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會員ノ選任シタル議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス

總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル前項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ府邑面ノ徵收金ニ次クモノトス

第十六條　水産會ハ命則ノ定ムル所ニ依リ使用料及手數料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手數料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十七條　水産會解散ヲ爲サムトスルトキハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

前項ニ規定スル會員ノ員數ノ計算ニ付テハ水産會法第十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正十二年二月總令第二十六號ニ依リ大正十二年四月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際現ニ存スル朝鮮水産組合各道支部ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ認可ヲ受ケタルヲ本令ニ依ル道水産會ト爲スコトヲ得

會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第三十條　水産會解散ノ場合併若ハ分割ヲ爲サムトスルトキハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ其ノ事由ヲ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得且本法施行ノ際現ニ存スル水産組合及水産組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ本法ニ依ル水産會ト爲スコトヲ得

●朝鮮水産會令施行規則

大正十二年二月
總令第二十七號

改正　昭和一〇年一二月第一五一號

朝鮮水産會令施行規則左ノ通定ム

第一條　左ニ揭ク者ハ道水産會ノ會員ヨリ之ヲ除外ス

一　國及公共團體
二　鹽業者
三　小資ヲ主タル目的トスル製造業者及販賣業者
四　水産物ノ保管ヲ主タル目的トセサル保管業者

前項ニ揭ク者ノ外道知事ニ於テ特ニ道水産會ノ會員ヨリ除外スルノ必要アリト認ムル者アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第二條　水産會ニ在リテハ會員タル資格ヲ有スル者三十人以上、朝鮮水産會ニ在リテハ二以上ノ道水産會發起人ヨリ會員タル資格ヲ有スル者ニ事業ノ概目、創立費用及收支ノ概算竝經費分賦收入方法ノ概要ヲ通知シ設立ノ同意ヲ求ムヘシ

第三條　發起人創立總會ヲ招集セムトスルトキハ朝鮮水産會ニ在リテハ少クトモ三十日前ニ、道水産會ニ在リテハ少クトモ二十日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ會員ニ通知スヘシ

第四條　創立總會ノ議事ハ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ議定スルコトヲ得ス

道水産會ノ創立總會ニ在リテハ會員タル資格ヲ有スル者ハ他ノ會員タル資格ヲ有スル者ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

第十五條ノ規定ハ創立總會ニ付之ヲ準用ス

第十五條　水産會ノ負擔ニ歸スヘキ創立費用及其ノ償却方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ヘシ

第六條　創立總會終了シタルトキハ發起人ハ遲滯ナク設立認可申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

前項ノ申請書ニハ會則、設立ニ付法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面、創立費用ノ明細書及議事錄ノ謄本ヲ添附スヘシ

第七條　會則ニハ朝鮮水産會又ハ本會ニ規定スルモノノ外左ニ揭ク事項ヲ記載スヘシ

一　目的
二　名稱
三　主タル事務所ノ所在地
四　役員ノ定數及任期ニ關スル規定
五　議員ノ任期、選任及解任ニ關スル規定
六　會議ニ關スル規定
七　會計ニ關スル規定

第八條　水産會成立シタルトキハ朝鮮總督ハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地及認可ノ年月日ヲ告示スヘシ其ノ告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

第九條　水産會ノ議員ノ定數ハ會則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ但シ道水産會ニ在リテハ二十人、朝鮮水産會ニ在リテハ三十五人ヲ超ユルコトヲ得ス

第十條　道水産會ノ議員ハ會員中ヨリ道知事ノ任命シタル選舉人ノ投票ニ依リ之ヲ選任スル但シ選舉人ノ定數ハ議員定數ノ三倍ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ選舉人ノ住所氏名及職業ハ少クトモ投票期日三十日前ニ道知事之ヲ公示スヘシ

朝鮮水産會ノ議員ハ道水産會ノ總代會ニ於テ其ノ會員中ヨリ之ヲ選任ス

第十一條　道水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會員ヲ業種及區域ニ分チ各別ニ所定ノ議員ヲ選任セシムルコトヲ得

二準スヘキモノトス

副會長

會則ニ定メタル方法ニ依リ選任シタル者

第二十五條　委員會ハ仲裁判斷其ノ他會則ニ定ムル事項ニ關シ審議決定ス

第二十六條　水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

郡市水産會ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ其ノ會長ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分シ此ノ場合ニ於テ水産會ハ其ノ徵收金額ノ百分四ヲ市町村ニ交付スヘシ

市町村カ前項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セス又ハ九十日以内ニ之ヲ完了セサルトキハ會長ハ地方長官ノ認可ヲ得テ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制第百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前二項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次キ其ノ時效ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　帝國水産會ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ朝鮮、樺太、關東州又ハ外國ニ於テ設立シタル水産會ニ準スル法人其ノ他ノ團體ヲ會員ト爲スコトヲ得

第二十八條　行政官廳ハ水産會ニ對シ事實ニ關スル報告ヲ爲サシメ業務ノ執行又ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ會則、收支豫算又ハ經費ノ分賦及收入ノ方法ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　行政官廳ハ水産會ノ總代會、總會若ハ委員會ノ決議又ハ役員若ハ委員ノ行爲ニシテ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員若ハ委員ヲ解任シ、議員ノ改選ヲ命シ水産會ノ事業ヲ停止シ又ハ水産會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第三十條　水産會解散又ハ合併若ハ分割ヲ爲サムトスルトキハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ其ノ事由ヲ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得且本法施行ノ際現ニ存スル水産組合及水産組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ本法ニ依ル水産會ト爲スコトヲ得

第三十一條　水産會ハ債權者ノ同意ヲ得又ハ異議アル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ若ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ水産會ノ解散、合併若ハ分割ヲ爲シ又ハ地區ノ增減ニ關スル會則ノ變更ヲ爲スコトヲ得ス

第三十二條　合併後存續スル水産會又ハ合併ニ因リテ設立シタル水産會ハ合併ニ因リテ消滅シタル水産會ノ權利義務ヲ承繼ス

分割ニ因リテ設立シタル水産會ハ第三十條ノ規定ニ依リテ定メタル限度ニ於テ從前ノ水産會ノ權利義務ヲ承繼ス

第三十三條　水産會ノ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ尚存續スルモノト看做ス

第三十四條　水産會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ其ノ清算人ト爲シ會則ニ別段ノ定アルトキ又ハ總代會若ハ總會ニ於テ選任シタル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ行政官廳ハ清算人ヲ選任ス清算人ノ職務ニ付テハ同シ

第三十五條　清算人ハ水産會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

清算ノ方法及財産處分ニ付テハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第三十六條　行政官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ清算ノ方法及財産處分ノ變更ヲ命シ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三十七條　本法ニ於テ郡市町村トアルハ郡制市制町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ之ヲ準用ス

第四章　漁業

第一款　水産會

第一條　本法ニ於テ水産會ト稱スルハ朝鮮水産會及道水産會ヲ謂フ

朝鮮水産會ハ朝鮮總督ノ、道水産會ハ道知事ノ監督ニ屬ス

第二條　水産會ハ法人トス

第三條　水産會ハ其ノ地區内ニ住所ヲ有スル者ニ對シ會則ヲ以テ會員タルヘキ資格ヲ定ムヘシ

第四條　水産會ハ會則ヲ以テ會員ニ對シ賦課金ヲ徵收スルコトヲ得

第五條　水産會ハ會則ヲ以テ會員ニ對シ過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第六條　水産會ハ會則ヲ以テ會員ニ對シ其ノ業務ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ其ノ業務ニ關シ檢査ヲ爲スコトヲ得

第七條　水産會ハ會則ヲ以テ會員ニ對シ其ノ業務ニ關シ必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第八條　水産會ハ會則ヲ以テ會員ニ對シ其ノ業務ニ關シ必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第九條　水産會ハ會則ヲ以テ會員ニ對シ其ノ業務ニ關シ必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十條　水産會ハ會則ヲ以テ會員ニ對シ其ノ業務ニ關シ必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十一條　水産會ハ會則ヲ以テ會員ニ對シ其ノ業務ニ關シ必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十二條　水産會ノ議員ノ選任ニ關スル事務ハ會長之ヲ管理ス但シ第一回ノ選任ニ付テハ設立申請者中ノ一人之ヲ管理ス

前項但書ノ規定ニ依ル管理者ハ設立申請者ノ互選ニ依リ之ヲ定メ行政官廳ニ屆出ツヘシ

第十三條　總代會又ハ總會ヲ招集セムトスルトキハ朝鮮水産會ニ在リテハ少クトモ三十日前ニ、道水産會ニ在リテハ少クトモ二十日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ議員及特別議員ニ通知スヘシ

前項ノ期間ハ會則ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ得

第十四條　總代會又ハ總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ會則ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　總代會又ハ總會ノ議長ハ議事錄ヲ作リ左ニ揭ク事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名スヘシ

一　開會ノ日時及場所
二　議員及特別議員ノ定數
三　出席者ノ員數
四　議事ノ要領
五　議決シタル事項及賛否ノ數

第十六條　水産會ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第十七條　收支豫算及經費分賦收入方法ノ認可申請書ハ少クトモ每事業年度開始三十日前ニ之ヲ差出スヘシ但シ初年度ニ在リテハ總代會又ハ總會ノ議決ヲ經タル後遲滯ナク之ヲ差出スヘシ

第十八條　事業報告及收支決算ハ每事業年度經過後一年内ニ總代會又ハ總會ノ承認ヲ受ケ遲滯ナク之ヲ行政官廳ニ差出スヘシ

第十九條　朝鮮水産會令ニ於テ依ルコトヲ定メタル水産會法（以下單ニ水産會法ト稱ス）第二十一條第三項ノ規定ニ依ル役員選任ノ認可申請書ニハ履歷書及會員又ハ議員ニ非サル者ヨリ選任シタル事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第二十條　水産會ニハ會則ノ定ムル所ニ依リ主事、技師、水産製品檢査員其ノ他ノ職員ヲ置クコトヲ得

主事及技師ノ命免ハ之ヲ行政官廳ニ屆出ツヨリ十四日内ニ行政官廳ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

第二十一條　道水産會ハ總代會ノ決議ヲ經テ會員ノ製造ニ係ル水産製品ノ檢査ニ關スル規程ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規程ニハ檢査ノ方法、檢査手數料竝製品ニ附スヘキ水産會ノ證票及檢査證ニ關スル事項ヲ規定スヘシ

第一項ノ規程ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘシ

第二十二條　經費ヲ徵收セムトスルトキハ會長ハ納入義務者ニ對シ納金額、納期限及納付ノ場所ヲ記載シタル納入告知書ヲ發スヘシ

第二十三條　經費ヲ滯納シタル者アルトキハ會長ハ更ニ期限ヲ指定シテ其ノ納入ヲ催告スルコトヲ得

第二十四條　經費又ハ過怠金ノ徵收ヲ府面ニ囑託セムトスルトキハ會長ハ各納入義務者ノ納金額及納期限ヲ記載シタル書面ヲ府面ニ交付スヘシ

第二十五條　第二十二條及第二十三條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ囑託ヲ受ケタル府面ニ之ヲ準用ス

第二十六條　朝鮮水産會令第五條第二項ニ依リ收入金納入義務ノ免除ヲ受ケムトスルトキハ府面ハ其ノ事由ヲ詳具シ道水産會ニ其ノ請求ヲ爲スヘシ道水産會ニ於テ正當ノ事由ナクシテ其ノ免除ヲ爲ササルトキハ府面ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十四日内ニ朝鮮總督ノ裁決ヲ請スルコトヲ得

第二十七條　經費及過怠金ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ納入告知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ六十日内ニ會長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ニ對シ會長ノ爲シタル決定ニ不服アル者ハ其ノ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日内ニ行政官廳ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

第二十八條　會則ノ施行又ハ事業ノ執行ニ關スル規定ヲ設ケ又ハ之ヲ改廢セムトスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受ケヘシ

第二十九條　水産會ハ左ニ揭ク場合ニ於テ選舉ヲ行ヒ又ハ委員ヲ選任シ又ハ解任シタルトキ

一　議員タル者確定シタルトキ
二　議員、議員、特別議員又ハ委員死亡シ又ハ任期滿了ニ因リ退任シタルトキ
三　役員、議員、特別議員又ハ委員ノ氏名又ハ住所ニ變更アリタルトキ
四　役員、議員、特別議員又ハ委員ノ選舉又ハ選任ノ效力ニ付異議ノ申立アリタルトキ

第三十條　朝鮮水産會令又ハ本令ニ於テ行政官廳ト稱スル場合ハ朝鮮水産會ニ在リテハ朝鮮總督、道水産會ニ在リテハ道知事トス但シ水産會ノ設立及解散、會則ノ變更竝役員ノ選任及解任ニ關スル事項ニ在リテハ朝鮮總督トシ道水産會ニ關スル事項ニ在リテハ道知事トス

第三十一條　朝鮮水産會令及本令ノ規定ニ依リ道知事ニ於テ處分シタル事項ハ其ノ都度之ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第三十二條　第二十一條ニ規定スル水産會ノ證票若ハ檢査證ヲ不正ニ使用シタル者又ハ僞造若ハ變造ノ證票若ハ檢査證ヲ使用シタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ朝鮮水産會令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮水産組合竝道ノ支部ヲ道水産會ト爲サムトスルトキハ支部長ハ會則ヲ定メ其ノ區域内ニ於テ漁業權ヲ有スル者ヲ除クノ外道水産會ノ會員タル資格ヲ有スル者三分ノ一以上ノ同意ヲ得本令施行後六十日内ニ朝鮮總督ノ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ會則、設立ニ付法定ノ同意アルコトヲ證スル書面及初年度經費收支豫算ヲ添附スヘシ

第二項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者ノ員數ハ道知事ノ認定ニ依ル

第二項ノ規定ニ依リ設立シタル道水産會ニ在リテハ第十二條ニ規定スル第一回ノ議員選任ニ關スル事務ハ支部長之ヲ管理ス

第五章　狩獵

●狩獵規則

明治四十四年四月
總令第四十六條

改正　大正元年九月第一九號、四年九月第九九號
一四年第八四號、昭和二年八第八四號

狩獵規則左ノ通定ム

狩獵規則

第一條　野生鳥獸ハ左ニ揭クルモノヲ除クノ外銃器、網、繩細、撲又ハ麾ヲ使用シテ之ヲ捕獲スルコトヲ得ス

鴛鴦（オシドリ）、鶴（タンチョウ）、黃道眉（ノガン）、千鳥（チドリ）、尾長鳥（カケス）、鷲（ワシ）、鷹（タカ）、鵰（オオワシ）、雁（ガン）、鴨（カモ）、櫻鳥（サクラドリ）、鶉（ウズラ）、鵠（虎鵠（トラシギ）、黑鵠（クロシギ）、紫鴨（マガモ）、鴛鴦（オシドリ）除ク）、鷸（シギ）、鷺（サギ）、鷗（カモメ）、鸕鷀（ウミウ）、秧鷄（クイナ）、花鷄（ハナドリ）、蒿雀（ホオジロ）、雉（キジ）、鷄（ニワトリ）、螺嘴（タシギ）、鴨（カモ）、鵲（カササギ）、雀（スズメ）、鳧（ケリ）、豹（ヒョウ）、虎（トラ）、栗鼠（リス）、狼（チシャムケモノ）、牡鹿（オジカ）、黑貂（クロテン）、豯（ヤマネコ）、貂（テン）除ク）、猴（サル）、狐（キツネ）、貉（タヌキ）

鶴ハ之ヲ捕獲スルコトヲ得ス

野生鳥類ノ巢、卵又ハ雛ハ之ヲ採取スルコトヲ得ス

第二條　道知事ハ鳥獸ノ蕃殖保護ノ爲必要アリト認ムルトキハ區域ヲ定メ鳥獸ノ捕獲ヲ禁止スルコトヲ得

左ノ場所ニ於テハ鳥獸ヲ捕獲スルコトヲ得ス

一　公園
二　社寺、陵、園、廟又ハ祠ノ境内

三　公道

第三條　爆發物、劇藥、毒藥、銃砲、陷穽又ハ危險ナル器ヲ以テ鳥獣ヲ捕獲スルコトヲ得ス

第四條　日出前、日沒後又ハ市街其ノ他人家稠密ノ場所、衆人群集ノ場所ニ於テ又ハ銃丸ノ達スヘキ虞アル人畜、建物、汽車、電車若ハ艦船ニ向テ銃猟ヲ爲スコトヲ得ス

第五條　棚、柵、圍障若ハ作物植付アル他人ノ占有地ニ於テハ占有者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ鳥獣ヲ捕獲スルコトヲ得ス

第六條　學術研究又ハ有害鳥獣除ノ爲其ノ他特別ノ事由ニ依リ野生鳥獣ノ集、卵若クハ雛ヲ採取スル必要アルトキハ道知事ハ道内ニ限リ第一條乃至第四條及第七條ノ規定竝第八條ノ二ノ期間ニ拘ラス特ニ之ヲ許可シ又ハ地域ヲ定メ第一條乃至第四條及第八條ノ二ノ制限又ハ禁止ヲ解除スルコトヲ得

道知事前項ノ規定ニ依リ許可シタルトキハ許可證ヲ下付ス

許可證ハ他人ヲシテ之ヲ使用セシムルコトヲ得ス

第六條ノ二　前條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ左ノ各號ニ掲クル事項ヲ記載シ捕獲又ハ採取セムトスル地ヲ管轄スル道知事ニ之ヲ提出スヘシ

一　本籍、住所（朝鮮内ニ住所ヲ有セサル者ニ在リテハ住所ノ外寄留住所以下同シ）氏名、職業及生年月日

二　目的、期間、地域及方法

三　捕獲スヘキ野生鳥獣又ハ採取スヘキ野生鳥類ノ集、卵若ハ雛ノ名稱及員數

四　第一條乃至第四條ノ規定又ハ第八條ノ二ノ期間ニ依リ難キ場合ニ於テハ其ノ事由

五　第三條ノ規定ニ依リ難キ事由アル場合ニ於テハ危害豫防ノ方法

第七條　銃器、網、綱繩、撰又ハ麑ヲ使用シテ鳥獣ヲ捕獲セムトスル者ハ道知事ニ願出テ免狀ヲ受ケヘシ但シ陸軍軍人ニシテ軍務ノ爲銃器ヲ使用スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第八條ノ三　第七條第一項ノ規定ニ依リ免狀ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ左ノ各號ニ掲クル事項ヲ記載シ住所地（朝鮮内ニ住所ヲ有セサル者ニ在リテハ假住所以下同シ）ヲ管轄スル道知事ニ之ヲ提出スヘシ

一　本籍、住所、氏名、職業及生年月日

二　免狀ノ種類

三　特別免狀ヲ受ケムトスル者ニ在リテハ捕獲セムトスル野生獣類ノ名稱

乙種又ハ特別免狀ヲ受ケムトスル者ニ在リテハ前項ノ願書ニ寫眞（半身、無帽紙、大サ凡ソ縦二寸横一寸三分）一葉ヲ添付スヘシ

第八條ノ四　免狀ハ第一號樣式ニ依リ之ヲ下付ス

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ免狀ヲ受クルコトヲ得ス

一　十七歳未滿ノ者

二　白痴瘋癲者

三　第十五條第一項第一號乃至第五號又ハ第七號ノ處罰ヲ受ケ滿一年ヲ經過セサル者

第十條　第八條ニ規定スル免狀ヲ受クル者ハ左ノ免許手數料ヲ納付スヘシ

甲種免狀　金七圓

乙種免狀　金二十圓

特別免狀　金七十圓

第十一條　免狀又ハ許可證ハ出獵ノ際之ヲ携帶スヘシ

警察官吏又ハ森林官吏ハ免狀若ハ許可證、捕獲シタル野生鳥獣又ハ採取シタル野生鳥類ノ集、卵若ハ雛ヲ檢查スルコトヲ得

第十一條ノ二　免狀又ハ許可證ヲ受ケタル者住所又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ十日以内ニ其ノ旨道知事ニ届出テ住所又ハ氏名ノ書換ヲ請求スヘシ

前項ノ場合ニ於テ新住所地カ他ノ道知事ノ管轄ニ屬スルトキハ十日以内ニ免狀ノ種類、免狀又ハ許可證ノ番號及之ヲ下付シタル道知事名並本籍、住所、氏名、職業及生年月日ヲ其ノ地ヲ管轄スル道知事ニ届出テ前項ノ書換ヲ請求スヘシ

第十一條ノ三　免狀又ハ許可證ヲ受ケタル者之ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク之ヲ下付シタル道知事ニ届出ツヘシ

第十二條　免狀又ハ許可證ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ之ヲ下付シタル道知事ニ其ノ再下付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ免狀ノ再下付ヲ受ケムトスル者ハ手數料金一圓ヲ納付スヘシ

第十三條　手數料ハ收入印紙ヲ以テ納付スヘシ

第十三條ノ二　免狀及許可證カ其ノ效力ヲ失ヒタルトキハ十日以内ニ之ヲ下付シタル道知事ニ返納スヘシ

前項ノ規定ニ依リ許可證ヲ返納スル場合ニ於テハ捕獲シタル野生鳥獣又ハ採取シタル野生鳥獣ノ集、卵若ハ雛ノ種類及員數ヲ届出ツヘシ

第十四條　野生鳥類又ハ其ノ剝製品若ハ羽毛ノ輸出又ハ移出ノ際ヲ爲サムトスル者ハ道知事ノ許可ヲ受クヘシ

第十四條ノ二　本令ニ違反シテ捕獲シタル獣又ハ採取シタル鳥類ノ巢、卵若ハ雛ハ之ヲ讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得ス

第十四條ノ三　道知事ニ提出スヘキ書類ハ住所地ヲ管轄スル警察署ヲ經由スヘシ

第十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス但シ第三號ノ場合ニ在リテハ告訴ヲ待テ之ヲ處斷ス

一　第一條、第二條第二項、第三條、第四條、第八條ノ二第一項及第二項但書ニ違反シタル者

二　第二條第一項ノ禁止區域ニ於テ鳥獣ヲ捕獲シタル者

三　第五條ニ違反シタル者

四　免狀又ハ許可證ヲ有セスシテ銃器、網、綱繩、撰又ハ麑ヲ使用シテ鳥獣ヲ捕獲シタル者

五　不實ノ申告ヲ爲シテ免狀又ハ許可證ヲ受ケタル者

六　第十四條ノ二ニ違反シタル者

七　第十四條ノ二ニ違反シタル者

前項第一號乃至第五號又ハ第七號ノ所爲ハ未遂罪ヲ罰ス

第一項第一號乃至第五號又ハ第七號ノ處罰ヲ受ケタル者ノ免狀又ハ許可證ハ其ノ效力ヲ失フ

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス

一　第六條第三項、第七條第二項、第十一條第一項、第十一條ノ二又ハ第十三條ノ二第一項ニ違反シタル者

二　第十一條第二項ノ檢查ヲ拒ミタル者

三　第十一條ノ三又ハ第十三條ノ二第二項ノ届出ヲ爲ササル者又ハ虚僞ノ届出ヲ爲シタル者

附則

本令ハ明治四十四年五月一日ヨリ施行ス

附則（大正十四年九月總令第八十四號）

本令ハ大正十四年九月十五日ヨリ之ヲ施行ス

但シ免許手數料額ニ關スル改正規定ハ大正十四年十月十五日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リ受ケタル免狀ハ本令ニ依リ受ケタル免狀ト看做ス

附則（昭和二年八月總令第八十四號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年警務總監部令第十號ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ效力ヲ有スル許可證又ハ免狀ハ本令ニ依リ之ヲ下付シタルモノト看做ス

第一樣式（用紙厚紙二折）

甲種　赤色紙

乙種　青色紙

特別　白色紙

表面倫廓ヲ唐草模樣トス

甲種及乙種免狀ノ表面ニハ「捕獲セムトスル野生獣類名」ノ欄ヲ除ク

表

番號	捕獲セムトスル野生獣類名
本籍	
住所	
職業	
氏名	
生年月日	
有效期間	自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日

印　甲種　乙種（特別）免狀

二寸五分

三寸五分

裏

昭和　年　月　日

「何」道　印

注意事項

捕獲シ得ヘキ鳥獣

鳩、鵐、黄道眉、千鳥、尾長鳥、鴛鴦、鴨、鴛鴦（冠鴨除ク）、鶫、鶺鴒、鶸、櫂鳥、鵜（虎鵜、黒鵜除ク）、鷺、鷸、鴫、鶉、鷓鴣、鶴、鵠、鳧、雁、鴈、鷗、鷭、鷦鷯、啄木鳥、鶯、雀、燕、鶫、鶇、鶲、鶸、鶺鴒、鶫、鶇、鶲、鶸、鶺鴒、鶫、鶇、鶲、鶸、鶺鴒

第二號樣式（第七號）

狩獵免狀再交付願

番號	免狀ノ種類	住所	氏名	年月日	許可條件	備考

第十六種　産業　第五章　狩獵

年月日	免狀ノ種類	受入高	下付高	破棄高	現在高	備考

注意

一　本帳簿ハ免狀ノ種類別ニ各口座ヲ設ケ整理スルコト

二　受入高及下付高欄ニハ一日間ニ受拂ヲ爲シタル合計數ヲ記載スルコト

三　破棄高欄ニハ書損其ノ他汚損等ニ依リ破棄シタル數ヲ記載シ且備考欄ニ其ノ事由ヲ明記シ置クコト

第五號樣式（手續第九條）

狩獵免狀受渡及本年度所要概算高報告

昭和　年　月　日　「何」警察署

免狀ノ種類	越高	受入高	下付高	破棄高	殘高	本年度使用見込高	請求高
甲種							
乙種							

注意

一　越高欄ニハ前年度ノ狩獵終期後ノ五月一日ニ於ケル現在高ヲ記載スルコト

二　受入高欄ニハ前年五月一日ヨリ其ノ年四月三十日迄ノ間ニ受入タル數ヲ記載スルコト

三　下付高欄ニハ前號ノ期間内ニ下付シタル數ヲ記載スルコト

四　破棄高欄ニハ書損、汚損其ノ他ノ事由ニ因リ使用ニ堪ヘズシテ破棄シタル數ヲ記載スルコト（返納ヲ受ケ破棄シタルモノヲ含マズ）

五　殘高欄ニハ越高ト受入高トヲ合算シタル數ヨリ下付高ト破棄高トヲ合算シタル數ヲ差引キタル殘高ヲ記載スルコト

六　本年度使用見込高欄ニハ其ノ年五月一日ヨリ翌年四月三十日迄ノ下付見込數ヲ記載スルコト

七　請求高欄ニハ其ノ年度使用見込高ヨリ前年度殘高ヲ差引キタル不足見込數ヲ記載スルコト

●明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

明治四十五年六月勅令第百三十五號

朕明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

明治四十五年六月十五日

内閣總理大臣　侯爵　桂　太郎

樞密院議長　伯爵　伊東巳代治

明治四十五年法律第二十一號

帝國ノ海岸ヨリ三海里ヲ超エサル前項ノ海面ニ於テハ朕ノ許可ヲ受ケタル者ノ外之ヲ獵獲スルコトヲ得ス

第二條　朕ハ帝國ノ海岸ヨリ三海里ヲ超エサル範圍内ニ於ケル朕ノ獵獲ヲ帝國ノ海岸ヨリ三海里ヲ超エサル範圍内ニ於ケル帝國臣民ノ獵獲ニ專屬スル旨ヲ宣言スルコトヲ得

第三條　朕ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ニ關スル證書ヲ携帶スルニ非サレハ朕ノ獵獲ヲ爲スコトヲ得ス

第四條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第五條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第六條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第七條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第八條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第九條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第十條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第十一條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第十二條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第十三條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第十四條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第十五條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第十六條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第十七條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

第十八條　朕ノ獵獲ヲ爲ス者ハ其ノ獵獲ニ關シ地方廳ノ檢査ヲ受ケ其ノ證印ヲ受クヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮産業組合令

大正十五年一月
制令第二號

朝鮮産業組合令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮産業組合令

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ産業組合ト稱スルハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲左ニ揭ケル事項ノ全部又ハ一部ヲ目的トシテ設立スル社團法人ヲ謂フ

一　組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セシムル之ヲ買却スルコト

二　産業若ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ又ハ加工シ若ハ加工セシテ組合員ニ賣却シ又ハ産業若ハ經濟ニ必要ナル物ヲ

生産シ組合員ニ音附スルコト

三　組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト

第二條　産業組合ノ組合員ハ組合ノ區域内ニ居住スル者ニ限ル

第三條　産業組合ノ住所ハ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條　産業組合ノ名稱中ニハ産業組合ナル文字ヲ用フヘシ

産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得ス

第五條　産業組合ニハ本令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條　本令ニ規定スルモノノ外産業組合ノ業務ノ取締ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二章　設立

第七條　産業組合ヲ設立セムトスル者ハ定款ヲ作リ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

第八條　定款ニハ本令ニ規定アルモノノ外左ノ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ

一　名稱

二　目的

三　區域

四　主タル事務所ノ所在地

五　出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

六　第一回拂込ノ金額

七　剩餘金處分ニ關スル規定

八　準備金ノ積立及其ノ積立ノ方法

九　組合員タル資格ニ關スル規定

十　組合員ノ加入及脫退ニ關スル規定

十一　組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定

十二　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

第九條　産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得

第十條　出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ

出資一口ノ金額ノ最高限ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ理事之ヲ代理シ又スルトキハ其ノ發務ヲ行フ

第二十八條　組合長及理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ業務ヲ執行ス

第二十九條　民法第四十四條第一項、第五十四條、第五十五條、第六十條及第六十一條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス

第三十條　監事ハ其ノ他ノ役員又ハ組合ノ職員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十一條　民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

第三十二條　組合長及理事ハ總會ノ招集ニ關スル事務ヲ行フ

組合長ハ第三十二條第一項ノ規定ニ依ル請求アリタル日ヨリ二週間内ニ正當ノ事由ナクシテ總會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ監事ハ其ノ總會ヲ招集スヘシ

第三十三條　組合カ組合長又ハ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合長又ハ理事ト之ニ付亦同シ

第三十四條　第二十四條ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合ニ評議員ヲ置クコトヲ得

第二十八條　組合長及理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ業務ヲ執行ス

第二十九條　民法第四十四條第一項、第五十四條、第五十五條、第六十條及第六十一條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス

第三十條　監事ハ其ノ他ノ役員又ハ組合ノ職員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十一條　民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

第三十二條　組合長及理事ハ總會ノ招集ニ關スル事務ヲ行フ

組合長ハ第三十二條第一項ノ規定ニ依ル請求アリタル日ヨリ二週間内ニ正當ノ事由ナクシテ總會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ監事ハ其ノ總會ヲ招集スヘシ

第三十三條　組合カ組合長又ハ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合長又ハ理事ト之ニ付亦同シ

第三十四條　第二十四條ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合ニ評議員ヲ置クコトヲ得

評議員ハ評議員會ヲ組織ス

評議員會ハ定款ニ定ムル事項ヲ決議ス

評議員會ノ招集、決議ノ方法其ノ他評議員會ニ關スル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第三十五條　總會ノ決議ハ本令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第三十六條　組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

代理人ハ組合員又ハ同居ノ親族ナルコトヲ要ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十七條　組合長ハ定時總會ノ會日ヨリ少クトモ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ揭ク書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第三十八條　組合長ハ前條第一項ニ揭ク書類及監事ノ意見書ヲ定時總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

組合長ハ前項ノ承認ヲ得タルトキハ二週間內ニ其ノ書類ヲ道知事ニ提出シ且貸借對照表ヲ公告スヘシ

第三十九條　產業組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第四十條　民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ產業組合ニ之ヲ準用ス

第四十一條　定款ノ變更ハ總會ノ決議ヲ經朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條　產業組合ハ定款ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　各組合員ノ氏名及住所

二　各組合員ノ出資口數

三　出資各口ニ付拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日

四　出資各口ノ取得ノ年月日

組合員及組合ノ債權者ハ第一項ニ揭ク書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第四十三條　產業組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間內ニ財產目錄及貸借對照表ヲ作ルヘシ

產業組合ハ前項ノ期間內ニ其ノ債權者ニ對シ異議アルトキハ一定ノ期間內ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ之ヲ定款ニ定メサル場合ニ於テハ理事ハ組合員ニ對シ除名ノ決議ヲ爲シタル旨ヲ通知スルヲ以テ足ル

第四十四條　債權者カ前條第二項ノ期間內ニ出資ノ減少ニ對シ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ノ減少ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十五條　組合員カ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ其ノ拂込ミタル出資ノ減少ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ組合員カ出資ノ拂込ニ充ツヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘキ剩餘金ニ付テハ適用セス

前項ノ配當スヘキ剩餘金ノ計算ニ付テハ計算上不便ナル拂込金ノ端數金額ハ之ヲ切捨ツルコトヲ得

第四十六條　產業組合ハ損失ヲ塡補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第四十五條ノ規定ハ剩餘金ノ配當ニ關スル制限ハ朝鮮總督ノ之ヲ定ムル準用ス

第四十七條　產業組合ハ定款ヲ以テ定ムル準備金ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第四十八條　產業組合ハ組合員ノ持分ヲ取得スルコトヲ得ス

第五章　加入及脫退

第四十九條　新ニ組合員ト爲リタル者ハ持分ノ讓受ニ依ル場合ヲ除クノ外定款ノ定ムル所ニ依リ遲滯ナク第一回ノ出資拂込ヲ爲スヘシ

第五十條　組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脫退スルコトヲ得但シ三月前ニ其ノ豫告ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ一年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十一條　組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脫退ス

一　死亡

二　破產

三　禁治產

四　除名

五十二條　除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ之ヲ定款ニ定メサル場合ニ於テハ理事ハ組合員ニ對シ除名ノ決議ヲ爲シタル旨ヲ通知スルヲ以テ足ル

第五十三條　脫退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ拂戻ノ請求權ハ二年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第五十四條　脫退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脫退シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財產ニ依リテ之ヲ定ム但シ定款ノ定ムル所ニ依リ脫退當時ノ財產ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十五條　持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財產ヲ以テ組合ノ債務ヲ完濟スルニ足ラサルトキハ脫退シタル組合員ハ出資額ヲ限度トシテ其ノ負擔ニ歸スヘキ金額ヲ拂込ムヘシ

第五十六條　脫退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完濟スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第六章　監督

第五十七條　產業組合ハ朝鮮總督及道知事之ヲ監督ス

第五十八條　監督官廳ハ何時ニテモ產業組合ヲシテ其ノ業務及財產ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ之ヲ檢查スルコトヲ得

監督官廳ハ產業組合ノ業務又ハ財產ノ狀況ニ依リ組合ニ對シ財產ノ供託ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

道知事必要アリト認ムルトキハ府尹、郡守又ハ島司ヲシテ第一項ニ規定スル監督權ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得

第五十九條　組合長及理事ノ闕ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ道知事ハ假ニ組合長又ハ理事ヲ選任スルコトヲ得

第六十條　產業組合ハ本令、本令ニ基キテ發スル命令若ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、定款ニ違反シタルトキ、公益ヲ害スル虞アルトキ又ハ組合ノ事業ノ繼續困難ナルトキハ監督官廳ハ總會ノ決議ヲ取消シ、組合長、理事若ハ監事ノ改選ヲ命シ又ハ組合ノ事業ヲ停止スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ハ組合ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第七章　解散

第六十一條　產業組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一　定款ニ定ムル存立時期ノ滿了又ハ事由ノ發生

二　總會ノ決議

三　合併

四　組合員ノ缺亡

五　破產

六　前條第二項ノ命令

第六十二條　解散及合併ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス

前項ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第六十三條　產業組合カ解散シタルトキハ合併及破產ノ場合ヲ除クノ外二週間內ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十四條　合併ニ因リテ組合ヲ設立スル場合ニ於テハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十二條第一項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル選任ニ之ヲ準用ス

第六十五條　第四十三條及第四十四條ノ規定ハ產業組合ノ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十六條　產業組合カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間內ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ合併後存續スル組合ニ在リテハ變更ノ登記ヲ爲シ合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ在リテハ解散ノ登記ヲ爲シ合併ニ因リテ設立シタル組合ニ在リテハ第十二條第一項ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十三條ノ規定ハ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條　合併ニ因リテ設立スル場合ニ於テハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十二條第一項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル選任ニ之ヲ準用ス

第六十八條　產業組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一　總會ノ決議

二　破產

三　前條第二項ノ命令

第六十九條　產業組合ハ合併及破產ノ

定スル報告ヲ爲ササルトキ
八　公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ
九　清算ノ場合ニ於テ第七十條乃至第七十二條、民法第七十九條若ハ同法第八十一條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ債權申立期間滿了前ニ債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シタルトキ
十　監督官廳ノ檢査ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シ又ハ當該官吏ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚僞ノ陳述ヲ爲シタルトキ
十一　監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ
第九十六條　非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス
附　則
本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム
（大正十五年一月總令第五號ヲ以テ大正十五年三月一日ヨリ施行）

●朝鮮産業組合令施行規則

大正十五年一月
總令第四號

朝鮮産業組合令施行規則左ノ通定ム
朝鮮産業組合令施行規則
第一條　産業組合ニ關スル事務ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク道知事ニ屆出ツヘシ
組合設立ニ關スル費用ハ組合成立ノ後組合ノ負擔ヲ以テ支辨スヘシ
第二條　組合カ主タル事務所以外ノ事務所ヲ設置セムトスルトキハ其ノ名稱、位置及業務ノ種類ヲ定メ道知事ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更シ又ハ事務所ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ
前項ノ規定ニ依リ設置シタル事務所ニ於テ業務ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク道知事ニ屆出ツヘシ
第三條　組合ノ出資一口ノ金額ハ五十圓ヲ超ユルコトヲ得ス
第四條　組合ノ第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス
第五條　組合ノ準備金ノ額ハ出資總額ノ十下ルコトヲ得ス
第六條　組合ノ剩餘金ノ配當ハ特分ノ全部若ハ一部又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額若ハ事業ノ分量ニ對スル外之ヲ爲スコトヲ得ス
持分ノ全部又ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ準ハ年七分ヲ超エルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ道知事ノ認可ヲ受ケ年一割迄之ヲ增加スルコトヲ得
第七條　組合カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徴收シ又ハ新ニ出資口數ヲ增加スル者ヨリ增口金ヲ徴收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脫退シタル組合員ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ
第八條　組合ノ業務上ノ信裕金ハ一時國債證券若ハ地方債證券ヲ買入レ、郵便貯金ト爲シ又ハ朝鮮總督ノ指定スル銀行若ハ金融組合若ハ金融組合聯合會ニ預入ヲ爲スノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス
第九條　組合ノ事業年度ハ暦年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス
第十條　組合ノ役員ハ定款ノ規定又ハ總會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス
第十一條　組合ノ清算人ハ每月清算事務報告書及貸借對照表ヲ調製シ翌月十日迄ニ道知事ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ認可申請書ニハ借入金額、利率、期限償還方法及借入先ヲ記載スヘシ
第十二條　左ノ場合ニ於テハ組合ハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ
一　業務、給與、服務及懲戒ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
二　每事業年度ノ業務上ノ計畫及經費豫算ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
三　準備金其ノ他ノ積立金ヲ使用セムトスルトキ
四　國債證券又ハ地方債證券ヲ買入レ又ハ之ヲ資却セムトスルトキ
第二十八條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ
一　業務用ノ土地若ハ建物ヲ取得シ又ハ業務用建物ヲ新築、改築若ハ移築セムトスルトキ
二　財産目錄ニ揭ケル財産ノ價額ヲ增加セムトスルトキ
第二十九條　聯合會ハ每年一回以上所屬組合ニ就キ業務ノ調査ヲ爲スヘシ
前項ノ調査ヲ爲シタルトキハ其ノ調査ノ要旨ヲ記載シ解散當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附シ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ
第二十二條　合併ノ認可申請書ニハ合併契約書、財産目錄、貸借對照表及合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款並朝鮮産業組合令第六十四條第一項ノ場合ニ於テハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
第二十三條　組合ノ清算人ハ朝鮮産業組合令第七十條ノ規定ニ依リ總會ノ承認ヲ得タルトキハ財産目錄及貸借對照表ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ
第二十四條　組合ノ清算人ハ每月清算事務報告書及貸借對照表ヲ調製シ翌月十日迄ニ朝鮮總督ニ差出スヘシ
第二十五條　産業組合聯合會ノ出資以下聯合會ノ出資一口ノ金額ハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス
第二十六條　組合ノ加入ヲ承諾シタルトキハ聯合會ハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ
第二十七條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ
一　業務、給與、服務及懲戒ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
二　每事業年度ノ業務上ノ計畫及經費豫算ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
三　準備金其ノ他ノ積立金ヲ使用セムトスルトキ
四　國債證券又ハ地方債證券ヲ買入レ又ハ之ヲ資却セムトスルトキ
第二十八條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ
一　業務用ノ土地若ハ建物ヲ取得シ又ハ業務用建物ヲ新築、改築若ハ移築セムトスルトキ
二　財産目錄ニ揭ケル財産ノ價額ヲ增加セムトスルトキ
第二十九條　聯合會ハ每年一回以上所屬組合ニ就キ業務ノ調査ヲ爲スヘシ
前項ノ調査ヲ爲シタルトキハ其ノ調査ノ要旨ヲ記載シ解散當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附シ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ
第二十二條　合併ノ認可申請書ニハ合併契約書、財産目錄、貸借對照表及合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款並朝鮮産業組合令第六十四條第一項ノ場合ニ於テハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
第二十三條　組合ノ清算人ハ朝鮮産業組合令第七十條ノ規定ニ依リ總會ノ承認ヲ得タルトキハ財産目錄及貸借對照表ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ
第二十四條　組合ノ清算人ハ每月清算事務報告書及貸借對照表ヲ調製シ翌月十日迄ニ朝鮮總督ニ差出スヘシ
第二十五條　産業組合聯合會ノ出資以下聯合會ノ出資一口ノ金額ハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス
第二十六條　組合ノ加入ヲ承諾シタルトキハ聯合會ハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ
第二十七條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ
一　業務、給與、服務及懲戒ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
二　每事業年度ノ業務上ノ計畫及經費豫算ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
三　準備金其ノ他ノ積立金ヲ使用セムトスルトキ
四　國債證券又ハ地方債證券ヲ買入レ又ハ之ヲ資却セムトスルトキ
第二十八條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ
一　業務用ノ土地若ハ建物ヲ取得シ又ハ業務用建物ヲ新築、改築若ハ移築セムトスルトキ
二　財産目錄ニ揭ケル財産ノ價額ヲ增加セムトスルトキ
第二十九條　聯合會ハ每年一回以上所屬組合ニ就キ業務ノ調査ヲ爲スヘシ
前項ノ調査ヲ爲シタルトキハ其ノ調査ノ要旨ヲ記載シ解散當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附シ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ

領ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ
第三十條　所屬組合カ法令又ハ定款ニ違反シ其ノ他道知事又ハ朝鮮總督ノ處分ヲ必要トスル場合ニ於テハ聯合會ハ其ノ事由ヲ道知事又ハ朝鮮總督ニ具申スヘシ
第三十一條　本令又ハ朝鮮産業組合令ニ依リ朝鮮總督又ハ道知事ニ提出スル書類ニシテ總會ノ決議ヲ經ヘキ事項ニ係ルモノハ其ノ決議錄ヲ添附スヘシ
定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經ヘキ事項ニ係ルモノニ亦同シ
第三十二條　第一條、第四條乃至第十一條、第十三條乃至第十八條及第二十條乃至第二十四條ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第一條、第六條、第十一條、第十三條乃至第十五條及第二十二條中道知事トアルハ朝鮮總督トス
附　則
本令ハ朝鮮産業組合令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮重要物産同業組合令

大正四年七月
制令第三號

朝鮮重要物産同業組合令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス
朝鮮重要物産同業組合令
第一條　重要物産ノ生産、製造又ハ販賣ニ關スル業ヲ營ム者ハ其ノ生産、製造又ハ販賣上ノ弊害ヲ矯正シ共同ノ利益ヲ增進スル爲同種ノ業ヲ營ム者又ハ之ニ密接ノ關係ヲ有スル業ヲ營ム者相集リ同業組合ヲ設置スルコトヲ得
重要物産及密接ノ關係ヲ有スルモノノ種類ハ朝鮮總督ノ認定ニ依ル
第二條　同業組合ハ法人トス
同業組合ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス
第三條　同業組合ヲ設置セムトスルトキハ組合員タルヘキ者五人以上發起人トシテ定款ヲ作リ地區及業ノ種類ヲ定メ其ノ地區內ニ於テ其ノ業ヲ營ム者三分ノ二以上ノ同意ヲ得ヲ要ス
定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一　名稱
二　地區
三　事務所ノ位置
四　業務用ノ土地若ハ建物ヲ取得シ又ハ業務用建物ヲ新築、改築若ハ移築セムトスルトキ
五　國債證券又ハ地方債證券ヲ買入レ又ハ之ヲ資却セムトスルトキ
六　財産目錄ニ揭ケル財産ノ價額ヲ增加セムトスルトキ
七　清算ノ場合ニ於テ第七十條乃至第七十二條、民法第七十九條若ハ同法第八十一條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ債權申立期間滿了前ニ債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シタルトキ
十　監督官廳ノ檢査ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シ又ハ當該官吏ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚僞ノ陳述ヲ爲シタルトキ
十一　監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ
第九十六條　非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス
附　則
本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム
（大正十五年一月總令第五號ヲ以テ大正十五年三月一日ヨリ施行）

●朝鮮産業組合令施行規則

大正十五年一月
總令第四號

朝鮮産業組合令施行規則左ノ通定ム
朝鮮産業組合令施行規則
第一條　産業組合ニ關スル事務ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク道知事ニ屆出ツヘシ
組合設立ニ關スル費用ハ組合成立ノ後組合ノ負擔ヲ以テ支辨スヘシ
第二條　組合カ主タル事務所以外ノ事務所ヲ設置セムトスルトキハ其ノ名稱、位置及業務ノ種類ヲ定メ道知事ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更シ又ハ事務所ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ
前項ノ規定ニ依リ設置シタル事務所ニ於テ業務ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク道知事ニ屆出ツヘシ
第三條　組合ノ出資一口ノ金額ハ五十圓ヲ超ユルコトヲ得ス
第四條　組合ノ第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス
第五條　組合ノ準備金ノ額ハ出資總額ノ十下ルコトヲ得ス
第六條　組合ノ剩餘金ノ配當ハ特分ノ全部若ハ一部又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額若ハ事業ノ分量ニ對スル外之ヲ爲スコトヲ得ス
持分ノ全部又ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ準ハ年七分ヲ超エルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ道知事ノ認可ヲ受ケ年一割迄之ヲ增加スルコトヲ得
第七條　組合カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徴收シ又ハ新ニ出資口數ヲ增加スル者ヨリ增口金ヲ徴收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脫退シタル組合員ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ
第八條　組合ノ業務上ノ信裕金ハ一時國債證券若ハ地方債證券ヲ買入レ、郵便貯金ト爲シ又ハ朝鮮總督ノ指定スル銀行若ハ金融組合若ハ金融組合聯合會ニ預入ヲ爲スノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス
第九條　組合ノ事業年度ハ暦年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス
第十條　組合ノ役員ハ定款ノ規定又ハ總會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス
第十一條　組合ノ清算人ハ每月清算事務報告書及貸借對照表ヲ調製シ翌月十日迄ニ道知事ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ認可申請書ニハ借入金額、利率、期限償還方法及借入先ヲ記載スヘシ
第十二條　左ノ場合ニ於テハ組合ハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ
一　業務、給與、服務及懲戒ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
二　每事業年度ノ業務上ノ計畫及經費豫算ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
三　準備金其ノ他ノ積立金ヲ使用セムトスルトキ
四　國債證券又ハ地方債證券ヲ買入レ又ハ之ヲ資却セムトスルトキ
第十三條　組合ノ清算人ハ朝鮮産業組合令第七十條ノ規定ニ依リ總會ノ承認ヲ得タルトキハ財産目錄及貸借對照表ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ
第十四條　組合ノ清算人ハ每月清算事務報告書及貸借對照表ヲ調製シ翌月十日迄ニ朝鮮總督ニ差出スヘシ
第十五條　産業組合聯合會ノ出資以下聯合會ノ出資一口ノ金額ハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス
第十六條　組合ノ加入ヲ承諾シタルトキハ聯合會ハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ
第十七條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ
一　業務、給與、服務及懲戒ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
二　每事業年度ノ業務上ノ計畫及經費豫算ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
三　準備金其ノ他ノ積立金ヲ使用セムトスルトキ
四　國債證券又ハ地方債證券ヲ買入レ又ハ之ヲ資却セムトスルトキ
第十八條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ
一　業務用ノ土地若ハ建物ヲ取得シ又ハ業務用建物ヲ新築、改築若ハ移築セムトスルトキ
二　財産目錄ニ揭ケル財産ノ價額ヲ增加セムトスルトキ
第十九條　聯合會ハ每年一回以上所屬組合ニ就キ業務ノ調査ヲ爲スヘシ
前項ノ調査ヲ爲シタルトキハ其ノ調査ノ要旨ヲ記載シ解散當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附シ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ
第二十二條　合併ノ認可申請書ニハ合併契約書、財産目錄、貸借對照表及合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款並朝鮮産業組合令第六十四條第一項ノ場合ニ於テハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
第二十三條　組合ノ清算人ハ朝鮮産業組合令第七十條ノ規定ニ依リ總會ノ承認ヲ得タルトキハ財産目錄及貸借對照表ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ
第二十四條　組合ノ清算人ハ每月清算事務報告書及貸借對照表ヲ調製シ翌月十日迄ニ朝鮮總督ニ差出スヘシ
第二十五條　産業組合聯合會ノ出資以下聯合會ノ出資一口ノ金額ハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス
第二十六條　組合ノ加入ヲ承諾シタルトキハ聯合會ハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ
第二十七條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ但シ業務ノ種類ヲ異ニスル者同業組合ヲ設置セムトスルトキ又ハ業種毎ニ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス
第四條　同業組合ハ設置ノ認可ヲ受ケタルトキ成立ス
第五條　同業組合ノ地區內ニ於ケル同業者ハ其ノ組合員トス但シ特別ノ事由ニ因リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス
第六條　同業組合ニ左ノ役員ヲ設ク
組合長　一人
組合副長　一人又ハ數人
評議員　數人
役員ハ組合員中ヨリ之ヲ選任スヘシ但シ組合長又ハ組合副長ハ特別ノ事由アル場合ニ限リ組合員ニ非サル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得
役員ノ選任及解任ノ方法ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
役員ノ選任又ハ解任ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ
同業組合ハ役員ノ選任ヲ朝鮮總督ニ申請スルコトヲ得
同業組合設置ノ認可後役員ノ就職前ニ於テハ同業組合ノ必要ナル事務ハ發起人之ヲ行フ
第七條　組合長ハ同業組合ヲ代表シ同業組合一切ノ事務ヲ擔任ス
組合副長ハ組合長ヲ輔佐シ組合長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理シ組合副長數人アル場合ニ於テハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合長ノ代理順序ニ依リ組合長ノ職務ヲ代理ス
評議員ハ組合長ノ諮問ニ應シ又ハ業務ノ執行及財產ノ狀況ヲ監査ス
組合副長又ハ評議員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得
第八條　同業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ生產、製造又ハ販賣ニ係ル物品ノ檢查ヲ爲スコトヲ得
朝鮮總督必要ト認ムルトキハ同業組合ニ對シ前項ノ檢查ヲ命スルコトヲ得
同業組合ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ物品檢查ノ手數料ヲ徵收スルコトヲ得
第九條　同業組合ハ前條ノ檢查ニ從事セシムル爲ニ檢查員ヲ置クコトヲ得
第六條第四項及第五項ノ規定ハ檢查員ニ之ヲ準用ス
第十條　同業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ請求ニ因リ物品ノ加工ヲ爲シ又ハ物品ノ販賣若ハ原料品ノ購入ヲ斡介スルコトヲ得
第十一條　同業組合ハ其ノ組合員、役員又ハ檢查員ニシテ定款ニ違反スル行爲アリタル者ニ對シ定款ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課シ其ノ所有ニ關スル違反物品ヲ沒收スルコトヲ得
第十二條　同業組合ノ經費ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員之ヲ負擔ス
第十三條　同業組合ノ經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ
第十四條　組合費、手數料又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得
第十五條　同業組合定款ノ變更ヲ爲シ又ハ解散、合併若ハ分割ヲ爲サムトスルトキハ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ分割ノ場合ニ於テハ分割後ノ各組合ノ組合員タルヘキ者ニ付其ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス
同業組合地區ノ擴張又ハ業ノ種類ノ增加ヲ爲サムトスルトキハ定款變更ノ手續ニ依ルノ外新ニ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
第十六條　同業組合合併シタルトキハ合併ニ因リテ解散シタル同業組合ノ權利義務ハ合併後存續スル同業組合又ハ合併ニ因リ設置セル同業組合之ヲ承認ス
第十七條　同業組合分割シタルトキハ其ノ定ムル所ニ從ヒ分割ニ因リテ設置シタル同業組合又ハ其ノ權利義務ノ一部ヲ承繼ス
第十八條　同業組合解散シタルトキハ合併又ハ分割ノ場合ヲ除クノ外清算ヲ爲スヘシ
第二十條　同業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員ヲ置クヘシ
評議員ハ組合長及副組合長ノ諮問ニ應シ又ハ業務ノ執行及財產ノ狀況ヲ監査ス
第二十一條　同業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得
第二十二條　同業組合聯合會ヲ設置セムトスルトキハ之ヲ組織スル組合ノ組合員ノ十分ノ一以上ノ同業組合ヲ以テ定款ヲ作リ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ
第二十三條　朝鮮總督必要ト認ムルトキハ同業組合聯合會ヲ設置セムトスルトキハ之ヲ組織スル組合ノ組合員ノ十分ノ一以上ノ同業組合ヲ以テ定款ヲ作リ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ
第二十四條　同業組合聯合會ニ左ノ役員ヲ置ク
會　長　一人
副會長　一人又ハ數人
評議員　數人
第二十五條　同業組合ニ關スル規定ハ第一條、第三條、第五條、第六條第一項及第十五條第二項ノ規定ヲ除クノ外之ヲ同業組合聯合會ニ準用ス但シ第六條第二項及第八條第一項中組合員トアルハ同業組合聯合會ヲ組織スル組合ノ組合員第十條及第十一條中組合員トアルハ同業組合聯合會ヲ組織スル組合又ハ其ノ組合員トス
第二十六條　同業組合又ハ同業組合聯合會ノ設置ノ認可ヲ受ケタル者ハ其ノ名稱ニ同業組合又ハ同業組合聯合會ノ文字ヲ用フルコトヲ得ス
第二十七條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ其ノ事由ヲ記載シ解散當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附シ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ
第二十八條　同業組合聯合會ニ關スル規定ハ第二十二條、第二十三條、第二十五條、第六條第一項及第十五條第二項ノ規定ヲ除クノ外之ヲ同業組合聯合會ニ準用ス但シ第六條第二項及第八條第一項中組合員トアルハ同業組合聯合會ヲ組織スル組合ノ組合員第十條及第十一條中組合員トアルハ同業組合聯合會ヲ組織スル組合又ハ其ノ組合員トス
第二十九條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得
第三十條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得
第三十一條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲特別賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第三十二條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第三十三條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第三十四條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第三十五條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第三十六條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第三十七條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第三十八條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第三十九條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第四十條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第四十一條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第四十二條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第四十三條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第四十四條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第四十五條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第四十六條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第四十七條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第四十八條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第四十九條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第五十條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第五十一條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第五十二條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第五十三條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第五十四條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第五十五條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第五十六條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第五十七條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第五十八條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第五十九條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第六十條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第六十一條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第六十二條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第六十三條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ組合員又ハ其ノ組合員タリシ者ニ對シ組合ノ負擔ニ屬スル債務ヲ辨償セシムル爲賦課金ヲ徵收スルコトヲ得
第六十四條　同業組合又ハ同業組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ

改正　大正十四年第六四號

●朝鮮重要物産同業組合令施行規則

大正四年八月
總令第八十一號

朝鮮重要物産同業組合令施行規則左ノ通定ム

第一條　重要物産同業組合設置ノ認可申請書ニハ定款ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　目的及事務
二　名稱及事務所ノ所在地
三　地區及業ノ種類
四　組合ノ權利義務ニ關スル規定
五　役員ノ定數、權限、任期、選任及解任ニ關スル規定
六　會計ニ關スル規定
七　決議ノ方法ニ關スル規定
八　朝鮮重要物産同業組合令第八條又ハ第十條ニ規定スル事業ヲ爲サムトスルトキハ之ニ關スル規定

第二條　同業組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　目的及事務
二　名稱及事務所ノ所在地
三　地區及業ノ種類
四　組合ノ權利義務ニ關スル規定
五　役員ノ定數、權限、任期、選任及解任ニ關スル規定
六　會計ニ關スル規定
七　決議ノ方法ニ關スル規定
八　朝鮮重要物産同業組合令第八條又ハ第十條ニ規定スル事業ヲ爲サムトスルトキハ之ニ關スル規定
九　朝鮮重要物産同業組合令第十條ニ規定スル事業ヲ爲サムトスルトキハ之ニ關スル規定

第三條　朝鮮重要物産同業組合令ニ依リ設置スル同業組合ノ名稱ニハ同業組合ナル文字ヲ用ウヘシ

第四條　同業組合設置ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク組合員ノ集會ヲ開キ其ノ執行シタル事務ヲ報告シ且創立費ノ承認ヲ求ムヘシ

前項ノ集會ニ於テハ役員ノ選任ヲ行ヒ經費ノ豫算及其ノ徵收方法ノ決議ヲ爲スヘシ

發起人第一項ノ承認ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ヲ經テ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第五條　役員又ハ檢査員選任ノ認可申請書ニハ重任ノ場合ヲ除クノ外履歷書、其ノ解任ノ認可申請書ニハ理由書ヲ添附スヘシ

役員又ハ檢査員ノ退任アリタルトキハ遲滯ナク其ノ事由及氏名ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第六條　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ認可申請書ニハ同業組合ノ會計年度開始一月前ニ之ヲ差出スヘシ但シ設置ノ年度ニ於テハ第四條第二項ノ決議後七日內ニ差出スヘシ

經費ノ收支決算ハ會計年度經過後三月內ニ之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

同業組合ノ事業成績ハ前項ノ期間內ニ地方長官ヲ經テ之ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第七條　定款變更又ハ解散ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　理由書
二　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

第八條　合併又ハ分割ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　財產目錄及貸借對照表
二　合併若ハ分割ニ因リテ設立スル同業組合又ハ合併若ハ分割後存續スル同業組合ノ定款、一年度經費ノ豫算額、其ノ徵收ノ豫定方法及組合員ノ數ヲ記載シタル書面但シ業種毎ニ其ノ數ヲ記載スヘシ
三　合併又ハ分割ノ場合ニ於テハ權利義務ノ分割ノ方法ヲ記載シタル書面

第九條　組合設置ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條　同業組合解散シタルトキハ組合長及組合副長ヲ以テ其ノ清算人ト爲シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ニ依ル清算人ハ其ノ氏名及住所ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第一項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ地方長官之ヲ選任ス

第十一條　清算人ノ行爲法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ行爲ヲ停止シ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第十二條　清算結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク其ノ結果ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第十三條　左ノ事項ハ朝鮮總督ノ之ヲ告示ス

一　同業組合ノ設置
二　同業組合ノ地區又ハ業ノ種類ノ變更
三　同業組合ノ解散、合併又ハ分割

第十四條　同業組合聯合會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　第二條第一號、第二號及第五號乃至第九號ニ掲ケタル事項
二　聯合會ヲ組織スル場合ノ名稱及其ノ權利義務ニ關スル規定

第十五條　同業組合聯合會設置ノ認可申請書ニハ定款ノ外創立費豫算、一年度經費ノ豫定額及其ノ徵收ノ豫定方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十六條　左ノ事項ハ地方長官之ヲ處理スヘシ但シ第三號ノ朝鮮總督ノ檢査ニ關スル事項ハ事宜ニ依リ朝鮮總督之ヲ行フ

一　役員又ハ檢査員ノ選任ニ關スル事項
二　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ認可ニ關スル事項
三　朝鮮重要物産同業組合令第十九條第一項ノ規定ニ依ル業務ニ關スル報告及業務又ハ財產狀況ノ檢査ニ關スル事項但シ本令第六條第三項ノ規定ニ依ル事業成績報告ヲ除ク

第十七條　本令ニ規定スル地方長官ノ職權ハ同業組合ノ地區カ二道以上ニ亙ル場合ニ於テハ朝鮮總督之ヲ行フ

第十八條　第三條乃至第十三條、第十六條及第十七條ノ規定ハ之ヲ同業組合聯合會ニ準用ス

第十九條　朝鮮重要物產同業組合令ニ依リ同業組合又ハ同業組合聯合會ニ非スシテ其ノ名稱中同業組合又ハ同業組合聯合會ナル文字ヲ用ヰタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令施行ノ際現ニ存スル重要物產ニ關スル同業組合又ハ同業組合聯合會ニシテ官廳ノ認可ヲ受ケ設置シタルモノハ本令施行ノ日ヨリ三月內ニ第三條又ハ第十二條ノ規定ニ準シ定款ヲ作リ其ノ認可ヲ朝鮮總督ニ申請スルコトヲ得

前項ノ認可アリタルトキハ其ノ同業組合又ハ同業組合聯合會ハ本令ニ依リ設置シタルモノト看做ス

●朝鮮重要物產同業組合令施行期日

大正四年八月
總令第八十號

朝鮮重要物產同業組合令ハ大正四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮重要物產同業組合令施行規則

大正四年八月
總令第八十一號

朝鮮重要物產同業組合令施行規則左ノ通定ム

第一條　重要物產同業組合設置ノ認可申請書ニハ定款ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　設立理由書
二　規約並ニ組合員タルヘキ漁業者ノ同意書及組合員タルヘキ漁業者ノ數ヲ證スル書面
三　經營豫算書
四　地區タルヘキ區域及其ノ附近ノ連絡及其ノ名稱並ニ鐵道、道路及航路ヲ表示シ且地區內ニ於ケル交通ノ狀況及漁港ノ狀態ヲ記載スヘシ
五　地區內居住者戶口表（第一號樣式）、地區內居住漁業者ノ漁業狀態表（第二號樣式）、最近三年間ニ於ケル地區內居住漁業者ノ漁獲高表（第三號樣式）及漁獲物ノ處理販賣狀況ヲ記載シタル書面
六　設立後取得セントスル漁業權ノ種類及件數

第二條　組合ノ規約ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ

一　目的
二　名稱
三　地區及組合員タルヘキ資格（組合員タル資格ニ付テハ一部ノ漁業者ヲ以テ組合員トスルモノニ限ル）
四　主タル事務所ノ所在地
五　役員ニ關スル事項
六　會議ニ關スル事項
七　會計及財產ニ關スル事項
八　組合ノ取得シ又ハ借リテ受ケタル漁業權ノ行使ニ關スル事項
九　共同施設事業ノ執行ニ關スル事項
十　違約者ノ處分ニ關スル事項

第三條　組合ニハ總代會ヲ置ク

第四條　組合ニ總代會ヲ置ケハ前條ノ規定ヲ除クノ外組合ニ關スル規定ハ總代會ニ之ヲ準用ス

第五條　組合ノ規約ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ

一　目的
二　名稱
三　地區及組合員タルヘキ資格（組合員タル資格ニ付テハ一部ノ漁業者ヲ以テ組合員トスルモノニ限ル）
四　主タル事務所ノ所在地
五　役員ニ關スル事項
六　會議ニ關スル事項
七　會計及財產ニ關スル事項
八　組合ノ取得シ又ハ借リテ受ケタル漁業權ノ行使ニ關スル事項
九　共同施設事業ノ執行ニ關スル事項
十　違約者ノ處分ニ關スル事項

第六條　組合ニ總代會ヲ置クトキハ其ノ同業組合聯合會ニ關スル規定ハ總代會ニ之ヲ準用ス

第七條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

朝鮮重要物產同業組合令施行規則第二項ノ規定ニ依ル同業組合又ハ同業組合聯合會設置ノ認可申請書ニハ定款ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　同業組合又ハ同業組合聯合會ノ會計年度ニ於ケル經費ノ收支決算ハ會計年度經過後三月內ニ之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

二　財產目錄及貸借對照表

三　合併又ハ分割ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　理由書
二　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面
三　分割ノ場合ニ於テハ權利義務ノ分割ノ方法ヲ記載シタル書面

第四條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　組合ニ總代會ヲ置ケハ其ノ議決ヲ以テ組合ノ重要ナル事項ヲ決定スヘシ但シ定款ヲ以テ總代會ニ委任シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

偽造若ハ變造ノ證票若ハ檢査證ヲ使用シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條　同業組合又ハ同業組合聯合會ノ役員若ハ檢査員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ其ノ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第二十八條　前條第一項ニ揭ケル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十九條　朝鮮總督ハ本令ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令施行ノ際現ニ存スル重要物産ニ關スル同業組合又ハ同業組合聯合會ニシテ官廳ノ認可ヲ受ケ設置シタルモノハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ第三條又ハ第二十二條ノ規定ニ準シ定款ヲ作リ其ノ認可ヲ朝鮮總督ニ申請スルコトヲ得

前項ノ認可アリタルトキハ其ノ同業組合又ハ同業組合聯合會ハ本令ニ依リ設置シタルモノト看做ス

●朝鮮重要物産同業組合令施行期日

大正四年八月
總令第八十號

朝鮮重要物産同業組合令ハ大正四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮重要物産同業組合令施行規則

大正四年八月
總令第八十一號

朝鮮重要物産同業組合令施行規則左ノ通定ム

第一條　重要物産同業組合設置ノ認可申請書ニハ定款ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　組合員タルヘキ者ノ數ヲ記載シタル書面但シ業ノ種類ニ依リ組合員ヲ異ニスルトキハ其ノ種類ニ付キ各別ニ之ヲ作ルヘシ

二　組合員タルヘキ者ノ數ヲ記載シタル書面但シ業ノ種類ニ依リ組合員ヲ異ニスルトキハ其ノ種類ニ付キ各別ニ之ヲ作ルヘシ

三　於テハ業種毎ニ其ノ數ヲ記載スヘシ

創立費豫算、一年度經費ノ豫算額及其ノ徵收ノ豫定方法ヲ記載シタル書面

四　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

第二條　同業組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　目的及事業

二　名稱及事務所ノ所在地

三　地區及業ノ種類

四　組合ノ權利義務ニ關スル規定

五　役員ノ定數、權限、任期、選任及解任ニ關スル規定

六　會計ニ關スル規定

七　定款違反者ノ處分ニ關スル規定

八　決議ノ方法ニ關スル規定

九　朝鮮重要物産同業組合令第八條又ハ第十條ニ規定スル事業ヲ爲サムトスルトキハ之ニ關スル規定

第三條　朝鮮重要物産同業組合令ニ依リ設置スル同業組合ノ名稱ニハ同業組合ナル文字ヲ用ウヘシ

第四條　同業組合設置ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク組合員タルヘキ漁業者ノ數ヲ證スル書面

前項ノ場合ニ於テハ役員ノ選任ヲ行ヒ經費ノ豫算及其ノ徵收方法ノ決議ヲ爲スヘシ

發起人第一項ノ承認ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ヲ經テ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第五條　役員又ハ檢査員選任ノ認可申請書ニハ選任ノ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

役員又ハ檢査員ノ退任アリタルトキハ遲滯ナク其ノ事由及氏名ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第六條　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ認可申請書ハ同業組合ノ會計年度開始一月前ニ之ヲ差出スヘシ但シ設置ノ年度ニ於テハ第四條第二項ノ決議後七日内ニ差出スヘシ

經費ノ收支決算ハ會計年度經過後三月内ニ之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

同業組合ノ事業成績ハ前項ノ期間内ニ地方長官ヲ經テ之ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第七條　定款變更又ハ解散ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　理由書

二　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

第八條　合併又ハ分割ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　理由書

二　財産目錄及貸借對照表

三　合併若ハ分割ニ因リテ設置スル同業組合又ハ合併若ハ分割後存續スル同業組合ノ定款、一年度經費ノ豫算額、其ノ徵收ノ豫定方法及組合員ノ數ヲ記載シタル書面但シ業ノ種類ニ以上ヲ包含スル場合ニ於テハ業種毎ニ其ノ數ヲ記載スヘシ

四　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

五　分割ノ場合ニ於テハ權利義務ノ分割ノ方法ヲ記載シタル書面

第九條　第四條ノ規定ハ合併又ハ分割ニ因ル組合設置ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條　同業組合解散ノ場合ニハ組合長及前項但書ニ依ル清算人ハ其ノ氏名及住所ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第一項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ地方長官之ヲ選任ス

第十一條　清算人ノ行爲法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ行爲ヲ停止シ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第十二條　清算結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク其ノ結果ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第十三條　左ノ事項ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

一　同業組合ノ設置

二　同業組合ノ地區又ハ業ノ種類ノ變更

三　同業組合ノ解散、合併又ハ分割

第十四條　同業組合聯合會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

第二條第一號、第二號及第五號乃至第九號ニ揭ケル事項

聯合會ヲ組織スル場合ノ名稱及其ノ區域

二　利義務ニ關スル規定

三　加入脫退ニ關スル規定

第十五條　同業組合聯合會設置ノ認可申請書ニハ定款ノ外創立費豫算、一年度經費豫算額及其ノ徵收方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十六條　左ノ事項ハ地方長官之ヲ處理スヘシ但シ第三號ノ報告及檢査ニ關スル事項ニ付テハ朝鮮總督之ヲ行フ

一　役員又ハ檢査員ノ選任ニ關スル事項

二　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ變更

三、朝鮮重要物産同業組合令第十九條第一項ノ規定ニ依ル業務ニ關スル報告及檢査

務又ハ財産狀況ノ檢査ニ關スル事項

シ本令第六條第三項ノ規定ニ依ル業務成績報告ヲ除ク

第十七條　本令ニ規定スル地方長官ノ職權ハ同業組合ノ地區カ二道以上ニ亙ル場合ニ於テハ朝鮮總督之ヲ行フ

第十八條　第三條乃至第十三條、第十六條ニ規定スル事項ノ外創立費豫算、一年度經費豫算額及其ノ徵收方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十九條　朝鮮重要物産同業組合令ニ依ル業組合又ハ同業組合聯合會ニ非ラシテ其ノ名稱中同業組合又ハ同業組合聯合會ナル字ヲ用ヰタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令ハ朝鮮重要物産同業組合令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

朝鮮重要物産同業組合令施行規則

改正　大正一四年七月六四號

朝鮮重要物産同業組合令施行規則左ノ通定ム

第一條　重要物産同業組合設置ノ認可申請書ニハ定款ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　組合員タルヘキ者ノ數ヲ記載シタル書面但シ業ノ種類ニ以上ヲ包含スル場合ニ於テハ業種毎ニ其ノ數ヲ記載スヘシ

二　創立費豫算、一年度經費ノ豫算額及其ノ徵收ノ豫定方法ヲ記載シタル書面

三　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

第二條　同業組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　目的及事業

二　名稱及事務所ノ所在地

三　地區及業ノ種類

四　組合ノ權利義務ニ關スル規定

五　役員ノ定數、權限、任期、選任及解任ニ關スル規定

六　會計ニ關スル規定

七　定款違反者ノ處分ニ關スル規定

八　決議ノ方法ニ關スル規定

九　朝鮮重要物産同業組合令第八條又ハ第十條ニ規定スル事業ヲ爲サムトスルトキハ之ニ關スル規定

第三條　朝鮮重要物産同業組合令ニ依リ設置スル同業組合ノ名稱ニハ同業組合ナル文字ヲ用ウヘシ

第四條　同業組合設置ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク組合員タルヘキ漁業者ノ數ヲ證スル書面

前項ノ場合ニ於テハ役員ノ選任ヲ行ヒ經費ノ豫算及其ノ徵收方法ノ決議ヲ爲スヘシ

發起人第一項ノ承認ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ヲ經テ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第五條　役員又ハ檢査員選任ノ認可申請書ニハ選任ノ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

役員又ハ檢査員ノ退任アリタルトキハ遲滯ナク其ノ事由及氏名ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第六條　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ認可申請書ニハ同業組合ノ會計年度開始一月前ニ之ヲ差出スヘシ但シ設置ノ年度ニ於テハ第四條第二項ノ決議後七日内ニ差出スヘシ

經費ノ收支決算ハ會計年度經過後三月内ニ之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

同業組合ノ事業成績ハ前項ノ期間内ニ地方長官ヲ經テ之ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第七條　定款變更又ハ解散ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　理由書

二　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

第八條　合併又ハ分割ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　理由書

二　財産目錄及貸借對照表

三　合併若ハ分割ニ因リテ設置スル同業組合又ハ合併若ハ分割後存續スル同業組合ノ定款、一年度經費ノ豫算額、其ノ徵收ノ豫定方法及組合員ノ數ヲ記載シタル書面但シ業ノ種類ニ以上ヲ包含スル場合ニ於テハ業種毎ニ其ノ數ヲ記載スヘシ

四　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

五　分割ノ場合ニ於テハ權利義務ノ分割ノ方法ヲ記載シタル書面

第九條　第四條ノ規定ハ合併又ハ分割ニ因ル組合設置ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條　同業組合解散ノ場合ニハ組合長及前項但書ニ依ル清算人ハ其ノ氏名及住所ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第一項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ地方長官之ヲ選任ス

第十一條　清算人ノ行爲法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ行爲ヲ停止シ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第十二條　清算結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク其ノ結果ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第十三條　左ノ事項ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

一　同業組合ノ設置

二　同業組合ノ地區又ハ業ノ種類ノ變更

三　同業組合ノ解散、合併又ハ分割

第十四條　同業組合聯合會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

第二條第一號、第二號及第五號乃至第九號ニ揭ケル事項

聯合會ヲ組織スル場合ノ名稱及其ノ區域

二　利義務ニ關スル規定

三　加入脫退ニ關スル規定

第十五條　同業組合聯合會設置ノ認可申請書ニハ定款ノ外創立費豫算、一年度經費豫算額及其ノ徵收方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十六條　左ノ事項ハ地方長官之ヲ處理スヘシ但シ第三號ノ報告及檢査ニ關スル事項ニ付テハ朝鮮總督之ヲ行フ

一　役員又ハ檢査員ノ選任ニ關スル事項

二　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ變更

三、朝鮮重要物産同業組合令第十九條第一項ノ規定ニ依ル業務ニ關スル報告及檢査

務又ハ財産狀況ノ檢査ニ關スル事項

シ本令第六條第三項ノ規定ニ依ル業務成績報告ヲ除ク

第十七條　本令ニ規定スル地方長官ノ職權ハ同業組合ノ地區カ二道以上ニ亙ル場合ニ於テハ朝鮮總督之ヲ行フ

第十八條　第三條乃至第十三條、第十六條ニ規定スル事項ノ外創立費豫算、一年度經費豫算額及其ノ徵收方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十九條　朝鮮重要物産同業組合令ニ依ル業組合又ハ同業組合聯合會ニ非ラシテ其ノ名稱中同業組合又ハ同業組合聯合會ナル字ヲ用ヰタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令ハ朝鮮重要物産同業組合令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮重要物産同業組合令施行規則ニ依ル同業組合聯合會設置ノ認可申請書ニハ定款ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　組合員タルヘキ者ノ數ヲ記載シタル書面但シ業ノ種類ニ以上ヲ包含スル場合ニ於テハ業種毎ニ其ノ數ヲ記載スヘシ

二　創立費豫算、一年度經費ノ豫算額及其ノ徵收方法ヲ記載シタル書面

三　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

第二條　同業組合聯合會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　目的及事業

二　名稱及事務所ノ所在地

三　地區及業ノ種類

四　組合ノ權利義務ニ關スル規定

五　役員ノ定數、權限、任期、選任及解任ニ關スル規定

六　會計ニ關スル規定

七　定款違反者ノ處分ニ關スル規定

八　決議ノ方法ニ關スル規定

九　朝鮮重要物産同業組合令第八條又ハ第十條ニ規定スル事業ヲ爲サムトスルトキハ之ニ關スル規定

第三條　朝鮮重要物産同業組合聯合會ニ依リ設置スル同業組合聯合會ノ名稱ニハ同業組合聯合會ナル文字ヲ用ウヘシ

第四條　同業組合聯合會設置ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク組合員タルヘキ漁業者ノ數ヲ證スル書面

前項ノ場合ニ於テハ役員ノ選任ヲ行ヒ經費ノ豫算及其ノ徵收方法ノ決議ヲ爲スヘシ

發起人第一項ノ承認ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ヲ經テ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第五條　役員又ハ檢査員選任ノ認可申請書ニハ選任ノ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

役員又ハ檢査員ノ退任アリタルトキハ遲滯ナク其ノ事由及氏名ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第六條　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ認可申請書ニハ同業組合聯合會ノ會計年度開始一月前ニ之ヲ差出スヘシ但シ設置ノ年度ニ於テハ第四條第二項ノ決議後七日内ニ差出スヘシ

經費ノ收支決算ハ會計年度經過後三月内ニ之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

同業組合聯合會ノ事業成績ハ前項ノ期間内ニ地方長官ヲ經テ之ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第七條　定款變更又ハ解散ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　理由書

二　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

第八條　合併又ハ分割ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　理由書

二　財産目錄及貸借對照表

三　合併若ハ分割ニ因リテ設置スル同業組合又ハ合併若ハ分割後存續スル同業組合ノ定款、一年度經費ノ豫算額、其ノ徵收ノ豫定方法及組合員ノ數ヲ記載シタル書面但シ業ノ種類ニ以上ヲ包含スル場合ニ於テハ業種毎ニ其ノ數ヲ記載スヘシ

四　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

五　分割ノ場合ニ於テハ權利義務ノ分割ノ方法ヲ記載シタル書面

第九條　第四條ノ規定ハ合併又ハ分割ニ因ル組合設置ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條　同業組合聯合會解散ノ場合ニハ組合長及前項但書ニ依ル清算人ハ其ノ氏名及住所ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第一項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ地方長官之ヲ選任ス

第十一條　清算人ノ行爲法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ行爲ヲ停止シ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第十二條　清算結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク其ノ結果ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第十三條　左ノ事項ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

一　同業組合聯合會ノ設置

二　同業組合聯合會ノ地區又ハ業ノ種類ノ變更

三　同業組合聯合會ノ解散、合併又ハ分割

第十四條　同業組合聯合會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

第二條第一號、第二號及第五號乃至第九號ニ揭ケル事項

聯合會ヲ組織スル場合ノ名稱及其ノ區域

二　利義務ニ關スル規定

三　加入脫退ニ關スル規定

第十五條　同業組合聯合會設置ノ認可申請書ニハ定款ノ外創立費豫算、一年度經費豫算額及其ノ徵收方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十六條　左ノ事項ハ地方長官之ヲ處理スヘシ但シ第三號ノ報告及檢査ニ關スル事項ニ付テハ朝鮮總督之ヲ行フ

一　役員又ハ檢査員ノ選任ニ關スル事項

二　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ變更

三、朝鮮重要物産同業組合令第十九條第一項ノ規定ニ依ル業務ニ關スル報告及檢査

務又ハ財産狀況ノ檢査ニ關スル事項

シ本令第六條第三項ノ規定ニ依ル業務成績報告ヲ除ク

第十七條　本令ニ規定スル地方長官ノ職權ハ同業組合聯合會ノ地區カ二道以上ニ亙ル場合ニ於テハ朝鮮總督之ヲ行フ

第十八條　第三條乃至第十三條、第十六條ニ規定スル事項ノ外創立費豫算、一年度經費豫算額及其ノ徵收方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十九條　朝鮮重要物産同業組合令ニ依ル業組合又ハ同業組合聯合會ニ非ラシテ其ノ名稱中同業組合又ハ同業組合聯合會ナル字ヲ用ヰタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令ハ朝鮮重要物産同業組合令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮重要物産同業組合令施行規則ニ依ル同業組合聯合會設置ノ認可申請書ニハ定款ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　組合員タルヘキ者ノ數ヲ記載シタル書面但シ業ノ種類ニ以上ヲ包含スル場合ニ於テハ業種毎ニ其ノ數ヲ記載スヘシ

二　創立費豫算、一年度經費ノ豫算額及其ノ徵收方法ヲ記載シタル書面

三　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

第二條　同業組合聯合會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　目的及事業

二　名稱及事務所ノ所在地

三　地區及業ノ種類

四　組合ノ權利義務ニ關スル規定

五　役員ノ定數、權限、任期、選任及解任ニ關スル規定

六　會計ニ關スル規定

七　定款違反者ノ處分ニ關スル規定

八　決議ノ方法ニ關スル規定

九　朝鮮重要物産同業組合令第八條又ハ第十條ニ規定スル事業ヲ爲サムトスルトキハ之ニ關スル規定

第三條　朝鮮重要物産同業組合聯合會ニ依リ設置スル同業組合聯合會ノ名稱ニハ同業組合聯合會ナル文字ヲ用ウヘシ

第四條　同業組合聯合會設置ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク組合員タルヘキ漁業者ノ數ヲ證スル書面

前項ノ場合ニ於テハ役員ノ選任ヲ行ヒ經費ノ豫算及其ノ徵收方法ノ決議ヲ爲スヘシ

發起人第一項ノ承認ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ヲ經テ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第五條　役員又ハ檢査員選任ノ認可申請書ニハ選任ノ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

役員又ハ檢査員ノ退任アリタルトキハ遲滯ナク其ノ事由及氏名ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第六條　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ認可申請書ニハ同業組合聯合會ノ會計年度開始一月前ニ之ヲ差出スヘシ但シ設置ノ年度ニ於テハ第四條第二項ノ決議後七日内ニ差出スヘシ

經費ノ收支決算ハ會計年度經過後三月内ニ之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

同業組合聯合會ノ事業成績ハ前項ノ期間内ニ地方長官ヲ經テ之ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第七條　定款變更又ハ解散ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　理由書

二　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

第八條　合併又ハ分割ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　理由書

二　財産目錄及貸借對照表

三　合併若ハ分割ニ因リテ設置スル同業組合又ハ合併若ハ分割後存續スル同業組合ノ定款、一年度經費ノ豫算額、其ノ徵收ノ豫定方法及組合員ノ數ヲ記載シタル書面但シ業ノ種類ニ以上ヲ包含スル場合ニ於テハ業種毎ニ其ノ數ヲ記載スヘシ

四　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

五　分割ノ場合ニ於テハ權利義務ノ分割ノ方法ヲ記載シタル書面

第九條　第四條ノ規定ハ合併又ハ分割ニ因ル組合設置ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條　同業組合聯合會解散ノ場合ニハ組合長及前項但書ニ依ル清算人ハ其ノ氏名及住所ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第一項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ地方長官之ヲ選任ス

第十一條　清算人ノ行爲法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ行爲ヲ停止シ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第十二條　清算結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク其ノ結果ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第十三條　左ノ事項ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

一　同業組合聯合會ノ設置

二　同業組合聯合會ノ地區又ハ業ノ種類ノ變更

三　同業組合聯合會ノ解散、合併又ハ分割

第十四條　同業組合聯合會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

第二條第一號、第二號及第五號乃至第九號ニ揭ケル事項

聯合會ヲ組織スル場合ノ名稱及其ノ區域

二　利義務ニ關スル規定

三　加入脫退ニ關スル規定

第十五條　同業組合聯合會設置ノ認可申請書ニハ定款ノ外創立費豫算、一年度經費豫算額及其ノ徵收方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十六條　左ノ事項ハ地方長官之ヲ處理スヘシ但シ第三號ノ報告及檢査ニ關スル事項ニ付テハ朝鮮總督之ヲ行フ

一　役員又ハ檢査員ノ選任ニ關スル事項

二　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ變更

三、朝鮮重要物産同業組合令第十九條第一項ノ規定ニ依ル業務ニ關スル報告及檢査

務又ハ財産狀況ノ檢査ニ關スル事項

シ本令第六條第三項ノ規定ニ依ル業務成績報告ヲ除ク

第十七條　本令ニ規定スル地方長官ノ職權ハ同業組合聯合會ノ地區カ二道以上ニ亙ル場合ニ於テハ朝鮮總督之ヲ行フ

第十八條　第三條乃至第十三條、第十六條ニ規定スル事項ノ外創立費豫算、一年度經費豫算額及其ノ徵收方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十九條　朝鮮重要物産同業組合令ニ依ル業組合又ハ同業組合聯合會ニ非ラシテ其ノ名稱中同業組合又ハ同業組合聯合會ナル字ヲ用ヰタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令ハ朝鮮重要物産同業組合令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮漁業組合規則

昭和四年十二月
總令第百十四號

改正　昭和八年二第三五號

朝鮮漁業組合規則左ノ通定ム

朝鮮漁業組合規則

第一章　總　則

第一條　漁業組合ノ名稱中ニハ漁業組合ナル文字ヲ、漁業組合聯合會ノ名稱中ニハ漁業組合聯合會ナル文字ヲ用フヘシ

漁業組合ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ漁業組合聯合會ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ漁業組合聯合會ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ漁業組合聯合會

第二十二條　組合ハ不動産、積立金等ヲ以テ基本財産トスルヲ要ス但シ其ノ期間前項ニ月ヲ下ルコトヲ得ズ

組合ハ毎事業年度ノ剰餘金ノ十分ノ三以上ヲ基本財産ニ編入スベシ

基本財産ハ天災其ノ他已ムコトヲ得ザル事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ費消スルコトヲ得ズ

第六章　組合ノ合併、分割、解散及清算

第二十三條　組合ガ合併又ハ分割ヲ爲シタルトキハ合併後存續スル組合又ハ合併若ハ分割ニ因リテ設立シタル組合ハ合併又ハ分割ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十四條　組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一　總代會ノ決議

合併又ハ分割

三　組合員ノ缺亡

四　破產

五　朝鮮總督ノ解散ノ處分

第二十五條　組合ガ其ノ債務ヲ完濟スルコト能ハザルニ至リタルトキハ裁判所ハ組合長及理事若ハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破產ノ宣告ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テハ其ノ清算ヲ結了スル目的ノ範圍內ニ於テハ其ノ清算ヲ結了スルニ至ル迄組合ハ仍存續スルモノト看做ス

第二十六條　組合ガ解散シタルトキハ合併、分割又ハ破產ノ場合ヲ除クノ外組合長及理事ハ直ニ破產宣告ヲ爲スベシ

第二十七條　組合ガ解散シタルトキハ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ其ノ清算ヲ結了スルニ至ル迄組合ハ仍存續スルモノト看做ス

第二十八條　清算人ノ職務ハ左ノ如シ

一　現務ノ結了

二　債權ノ取立及債務ノ辨濟

三　殘餘財產ノ處分

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲ニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　清算人ハ其ノ就職ノ日ヨリ二月以內ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間內ニ其ノ請求ヲ申出ヲ爲スベキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但シ其ノ期間前項ノ公告ニハ債權者ハ期間內ニ申出ヲ爲サザルトキハ其ノ債權ハ清算ヨリ除斥セラルベキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但シ清算人ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ズ

清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其ノ申出ヲ催告スルコトヲ要ス

第三十條　清算人ハ前項第一項ノ規定ニ依ル債權申出ノ期間經過シタルトキハ遲滯ナク財產目錄及貸借對照表ヲ調製シ殘餘財產ノ處分方法ヲ定メ總代會ヲ招集シテ之ニ提出シ財產目錄及貸借對照表ニ付テハ其ノ承認ヲ求メ殘餘財產ノ處分方法ニ付テハ其ノ議決ヲ經ベシ

第三十一條　清算人ハ組合ノ債務ヲ完濟シ又ハ殘餘財產ヲ處分スルコトヲ得ズ

第三十二條　第二十九條第一項ニ規定スル債權申出ノ期間經過後ニ於テ申出デタル債權者ハ組合ノ債務完濟ノ後未ダ處分ヲ爲サザル財產ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十三條　清算人ハ組合ノ財產ガ其ノ債務ヲ完濟スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ直ニ破產宣告ノ請求ヲ爲シ且其ノ旨ヲ公告スベシ

清算人ハ破產管財人ニ其ノ事務ヲ引渡シタルトキハ其ノ任務ヲ終リタルモノトス

清算人ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破產管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第三十四條　第二十九條第一項又ハ前條第一項ノ規定ニ依ル公告ハ組合ノ主タル事務所ノ所在地ノ屬スル區域內ニ於テ發行スル日刊ノ新聞紙ノ一ニ、日刊ノ新聞紙ノ發行ナキ區ニ在リテハ組合ノ主タル事務所ノ所在地ニ最近キ區域內ニ於テ發行スル日刊ノ新聞紙ノ一ニ掲載シテ之ヲ爲スベシ

第三十五條　清算人ハ清算結了後遲滯ナク清算報告書ヲ調製シ總代會ヲ招集シ之ニ提出シテ承認ヲ求ムベシ

第七章　組合ノ登記

第三十六條　本令ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ズ

第三十七條　登記ニ付テハ組合ノ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方法院又ハ其ノ支廳若ハ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第三十八條　登記所ニ漁業組合登記簿ヲ備フ

第三十九條　本令ニ依リ登記ヲ爲スベキ事項ニシテ行政官廳ノ認可ヲ要スルモノノ登記ノ期間ハ認可ノ指令書ノ到達シタル時ヨリ之ヲ起算ス

前項ノ規定ハ登記ノ期間ニ付之ヲ準用ス

第四十條　登記ノ申請ハ裁判所ノ嘱託ニ因リテ登記ヲ爲ス場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ從ヒ之ヲ爲スベシ

一　登記ノ申請書ニハ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シ申請人又ハ其ノ代理人之ニ記名捺印スベシ

二　登記ノ目的及事由

三　組合ノ名稱及主タル事務所

四　代理人ニ依リテ申請ヲ爲ストキハ其ノ氏名及住所

五　登記所ノ表示

第四十一條　組合ヲ設立シタルトキハ二週間以內ニ左ニ揭ゲル事項ノ登記ヲ爲スベシ

一　第五條第一號乃至第三號ニ揭ゲル事項

二　主タル事務所

設立認可ノ年月日

三　組合長、理事及監事ノ氏名及住所

四　前項ノ規定ニ依ル登記ノ申請書ニハ規約ヲ添附スベシ

第四十二條　前條第一項第一號、第二號及第四號ノ事項ニ變更アリタルトキハ二週間以內ニ其ノ登記ヲ爲スベシ

前項ノ場合ニ於テ主タル事務所ノ所在地ノ變更ニ付テハ舊所在地ト新所在地トニ於テ移轉ノ登記ヲ、新所在地ニ於テハ前條第一項ニ揭ゲル事項ノ登記ヲ爲スベシ

第一項ノ規定ニ依ル登記ノ申請書ニハ其ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第四十三條　組合ガ解散シタルトキハ清算人ハ二週間以內ニ左ニ揭ゲル事項ノ登記ヲ爲スベシ

一　解散ノ原因

二　解散ノ年月日

三　清算人ノ氏名及住所

組合ガ朝鮮總督ノ處分ニ因リテ解散シタル場合ニ於テハ前項第一號及第二號ノ事項ノ登記ニ付テハ朝鮮總督ノ囑託ニ依リ登記所之ヲ爲スベシ

第一項第三號ノ事項ニ變更アリタルトキハ二週間以內ニ其ノ登記ヲ爲スベシ

第四十四條　組合ガ合併又ハ分割ヲ爲シタルトキハ二週間以內ニ左ノ登記ヲ爲スベシ

一　合併又ハ分割ニ因リテ消滅シタル組合ニ在リテハ解散ノ登記（前條第一項第三號ノ事項ヲ除ク）

二　合併又ハ分割ニ因リテ設立シタル組合ニ在リテハ設立ノ登記

前項第二號ノ登記ハ權利義務ヲ承繼シタル組合ニ於テ之ヲ爲スベシ

第四十五條　前四條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲スベキ事項ニシテ行政官廳ノ認可ヲ要スルモノニ付テハ登記ノ申請書ニ其ノ認可ノ指令書又ハ行政官廳ノ認證アル其ノ謄本ヲ添附シ且其ノ除自ニ其ノ認可ノ指令書ノ到達シタル年月日ヲ記載スベシ

前項ノ規定ハ道知事ノ任免スル組合ノ役員ノ登記ノ申請ニ付之ヲ準用ス

第四十六條　清算結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク其ノ登記ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依ル登記ノ申請書ニハ第三十五條ノ規定ニ依リ總代會ノ承認ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第四十七條　組合ニ關シ登記シタル事項ハ裁判所ノ遲滯ナク之ヲ公告スベシ

第四十八條　行政區劃、府邑面內ノ都落ノ區域又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ登記所ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ登記所ノ登記簿ノ記載ヲ變更スベシ

第四十九條　朝鮮民事令ニ於テ採ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第百四十一條乃至第百四十八條ノ二、第百五十一條乃至第百五十一條ノ四、第百五十一條ノ六及第百五十四條乃至第百五十七條ノ規定ハ組合ノ登記ニ之ヲ準用スル外朝鮮漁業令又ハ本令ト

第八章　聯合會

第五十條　聯合會ノ地區ハ道ノ區域ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ要ス

第五十一條　聯合會ニハ總會ヲ設立スルトキハ其ノ設立セントスル組合ハ共同シテ聯合會ノ規約ヲ定メ設立認可ヲ申請セヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

前項ノ申請書ニハ左ニ揭ゲル書類ヲ添附スベシ

一　設立理由書

二　規約及設立ニ關スル總代會ノ決議錄ノ謄本

三　初年度及次年度ニ於ケル事業計畫書及經費豫算書

第五十二條　聯合會ニハ總會ヲ置ク

聯合會ノ總會ハ議長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

議員ハ所屬組合及特別議員トス

特別議員ハ道知事之ヲ命ズ

特別議員ノ任期ハ曆年ニ從ヒ四年トス

特別議員ノ數ハ所屬組合ノ數ノ三分ノ一以內トス但シ五人ヲ超ユルコトヲ得ズ

前項ノ規定ハ所屬組合ノ減少ニ依リ特別議員ノ數カ所屬組合ノ數ノ三分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキノ之ヲ適用セズ

本令中別段ノ規定アルモノヲ除クノ外聯合會ノ總會ニ關スル事項ハ規約中ニ之ヲ定ムベシ

第五十三條　組合ノ聯合會ヘノ加入及聯合會ノ脫退ニ付テハ聯合會ノ總會ノ議決ヲ經ベシ

第五十四條　聯合會ニハ左ノ役員ヲ置ク

一　會長一人

理事

監事　三人以上

第五十五條　理事長及理事ハ朝鮮總督之ヲ任免シ其ノ給料ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

監事ハ總會ニ於テ所屬組合ノ役員中ヨリ之ヲ選任スベシ

第五十六條　理事長ハ聯合會ノ業務ヲ執行シ聯合會ヲ代表ス

理事長ハ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外總會ノ議長ト爲ル

理事ハ理事長ヲ補佐シ理事長事故アルトキハ之ヲ代理シ關員ノ場合ハ其ノ職務ヲ行フ

監事ハ聯合會ノ財產及業務執行ノ狀況ヲ監査ス

第五十七條　第五條、第十六條、第十七條及第十九條乃至第四十九條ノ規定ハ聯合會ニ、第七條乃至第十二條及第十三條第二項乃至第四項ノ規定ハ聯合會ノ總會ニ之ヲ準用ス

第九章　組合及聯合會ノ監督

第五十八條　組合及聯合會竝ニ其ノ清算ハ朝鮮總督及道知事之ヲ監督ス

第五十九條　朝鮮總督又ハ道知事ハ何時ニテモ組合又ハ聯合會ノ業務及財產ニ關シ報告書ヲ徵シ又ハ其ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル組合ニ關スル道知事ノ職權ハ其ノ一部ヲ府尹、郡守又ハ島司ニ委任スルコトヲ得

第六十條　朝鮮總督又ハ道知事ハ組合又ハ聯合會ノ業務及財產ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　清算人又ハ道知事ノ任免スル理事以外ノ組合ノ理事ハ役員ト爲ル

其ノ職務ヲ行フノ者ナキトキハ道知事ハ其ノ職務ヲ行フ者ヲ任命スルコトヲ得

第六十二條　第七條第四號、第八號、第十一號及第五十三條ニ揭ゲル事項ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依リ組合ノ地區ノ擴張又ハ縮小ニ關スル規約ノ變更ノ認可ヲ申請セントスル場合ニ於テハ其ノ擴張ニ在リテハ擴張スル區域內ニ居住スル組合員タルベキ漁業者、其ノ縮小ニ在リテハ縮小スル區域及縮小後存續スル組合ノ區域每ニ其ノ區域內ニ居住スル組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得申請書ニ其ノ同意書及其ノ組合員タルベキ漁業者又ハ組合員ノ數ヲ證スル府尹、邑長又ハ面長ノ證明書ヲ添附スベシ

前項ノ規定ハ組合ノ組合員タルベキ資格ニ關スル規約ノ變更及組合ノ分割ノ認可ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條　左ニ揭ゲル事項ニ付テハ道知事ノ認可ヲ受クベシ

一　第七條第一號乃至第三號、第七號及第九號ニ揭ゲル事項

二　組合若ハ聯合會ノ役員ノ選任及解任

三　組合又ハ聯合會ノ殘餘財產ノ處分方法

第六十四條　前二條ノ規定ニ依ル認可ヲ申請書ニハ組合ノ總代會又ハ聯合會ノ總會ノ決議錄ノ謄本ヲ添附スベシ

第六十五條　左ニ揭ゲル事項ハ府尹、邑長、面內ノ部落ノ區域又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第六十六條　左ニ揭ゲル場合ニ於テハ遲滯ナク道知事ニ屆出ヅベシ

一　組合又ハ聯合會ノ役員ノ氏名又ハ住所ニ變更アリタルトキ

二　組合又ハ聯合會ノ役員死亡シ又ハ任期滿了ニ因リ退任シタルトキ

三　通常議員タル者確定シタルトキ

四　組合ノ總代會又ハ聯合會ノ總會ニ於テ第二十一條又ハ第五十七條ノ規定ニ依リ決算ヲ承認シタルトキ

五　組合又ハ聯合會ノ清算結了シタルトキ

第十章　罰則

第六十七條　第一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第六十八條　組合又ハ聯合會ノ行爲ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ役員ヲ三百圓以下ノ過料ニ處ス

一、本令ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二、監督官廳ニ對シ不實ノ申告ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

三、本令ニ依ル監督官廳ノ命令ニ從ハズ又ハ其ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタルトキ

四、本令ニ依ル認可ノ申請、屆出、通知又ハ書類ノ提出ヲ怠リタルトキ

五、文書帳簿ニ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ故意ニ必要ノ事項ヲ記載セザルトキ

六、本令ニ依ル總代會又ハ總會ノ招集ヲ怠リタルトキ

七、監事ノ監査ヲ妨ゲタルトキ

八、本令ニ違反シテ殘餘財産ノ處分ヲ爲シタルトキ

九、本令ニ違反シテ殘餘財産ノ處分ヲ爲シタルトキ

十、清算ノ場合ニ於テ債權申出期間滿了前ニ債務者ニ對シ辨濟ヲ爲シタルトキ

十一、本令ニ依ル催告又ハ公告ヲ怠リタルトキ

附　則

第六十九條　本令ハ朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

地區內居住者戶口表

（昭和　年　月　日現在）

| 部落 | 漁業者 | | |

キハ此ノ限ニ在ラズ

第四節　借付金

第二十五條　組合ハ組合員ノ漁業其ノ他經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ除クノ外之ヲ借付スルコトヲ得

第二十六條　資金ノ借付ハ委託販賣ヲ行フ組合ニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ因リ道知事ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル組合ノ借付ニ關シテハ第二十八條第二項及第三十一條ノ規定ニ準ズ

第二十七條　資金ノ貸付ヲ行フ組合ハ組合員ノ信用狀態ヲ調査シ信用程度表（第六號樣式）ヲ備フベシ

第二十八條　借付ケタル資金ハ一組合員ニ付五百圓ヲ超エルコトヲ得但シ特別ノ事由ニ因リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

借付ケタル資金ハ前項ノ規定ニ依ル外貸付ヲ受ケントスル者ノ委託販賣ニ附スベキ物ノ年額ノ十分ノ三ヲ超エルコトヲ得ズ

第二十九條　借付ケタル資金ハ前條ノ規定ノ範圍内ニ於テ其ノ用途ヲ開酌シ保證貨ニ在リテハ信用程度表ニ基キ之ヲ定メ擔保貨ニ在リテハ擔保物件評價額ノ十分ノ八以内ニ於テ之ヲ定ムベシ

第三十條　借付ケタル漁獲物及其ノ製品ノ全部又ハ大部分ヲ組合ノ委託販賣ニ附シ且販賣ノ都度其ノ販賣代金ノ一割以上ヲ借付金ノ償還ニ充當シ又ハ借付金償還準備金トシテ組合ノ指定スル方法ニ依リ積立ツル組合員ニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第三十一條　借付期間ハ一年ヲ超エルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル用途ニ充ツル場合ニ於テハ三年以内ヲ爲スコトヲ得

一　漁船ノ建造、購入若ハ大修繕又ハ水産物ノ製造設備ニ要スル資金

二　水産動植物ノ養殖設備ニ要スル資金

三　前各號ノ資金ニ充テタル舊債（組合ニ對スル債務ヲ除ク）ノ償還ニ要スル資金

已ムコトヲ得ザル事由ノ生ジタル場合ニ於テハ其ノ他必要ノ都度印章ヲ照合スベシ

第三十八條　借付金ノ利率ハ元金百圓ニ付日歩五錢ヲ超エルコトヲ得ズ借付金ノ利率ニ關シ必要ナル事項ハ規約中ニ之ヲ定ムベシ

第三十九條　借付金ノ利子ハ日割ヲ以テ計算シ每月之ヲ徵收スベシ但シ年賦償還ノ方法ニ依リ借付ケシタルモノ又ハ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十條　借付金及其ノ利子ニ對スル延滯利子ハ借付金ノ利率ニ依リ規約中ニ之ヲ定ムベシ

第四十一條　借付ケタル資金ヲ使用シタルトキ又ハ組合員タル資格ヲ喪失シタルトキハ組合ハ償還期限前ト雖借付金ノ償還ヲ請求スベシ

第四十二條　借付ケタル資金ノ全部又ハ一部ヲ償還セントスルトキハ組合ノ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第五節　預リ金

第四十三條　組合ハ組合員ノ漁業其ノ他經濟ノ發達ニ必要ナル貸付資金ニ充ツル目的ヲ以テスル場合ヲ除クノ外組合員ヨリ預リ金ヲナスコトヲ得ズ

第四十四條　預リ金ハ定期預リ金及貯蓄預リ金（貯蓄銀行令第一條第一項第一號及第二號ニ該當スル預リ金）ヲ除クノ外之ヲ取扱フコトヲ得ズ

第四十五條　定期預リ金ハ金額二十圓以上ニシテ期間六月以上ノモノニ限ルベシ

第四十六條　貯蓄預リ金ノ一回ノ最低額ハ五十錢ト爲スベシ

第四十七條　預リ金ノ利率、利子ノ計算方法及利子元加ニ關スル事項ハ組合ノ規程中ニ之ヲ定ムベシ

第四十八條　組合ハ預リ金ノ拂戻準備金トシテ預リ金總額ノ十分ノ二以上ヲ備ヘ置クベシ

前項ノ拂戻準備金ハ國債證券若ハ地方債證券ヲ買入レ又ハ確實ナル銀行、聯合會若ハ金融組合聯合會ニ預ケ入ルベシ

第四十九條　定期預リ金ヲ除ク外貸付ケタル資金ノ貸付ニ關シ必要ナル事項ハ規約中ニ之ヲ定ムベシ

第五節　解散

第五十條　組合ハ總會ノ決議其ノ他左ノ事由ニ因リ解散ス

一　存立時期ノ滿了

二　組合ノ目的タル事業ノ成功又ハ成功ノ不能

三　組合員ノ四分ノ三以上ノ同意

四　組合員ノ數ノ七人未滿ニ至リタル事

五　合併又ハ破產

六　組合ノ目的タル事業ノ全部ノ禁止

第五十一條　組合ハ總會ノ決議其ノ他左ノ事由ニ因リ解散ス

一　組合員ノ數ノ二十人未滿ニ至リタル事

二　組合ノ目的タル事業ノ全部ノ不能

三　組合ノ目的タル事業ノ全部ノ成功

第五十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ除名ヲ爲スコトヲ得

第五十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ脫退ヲ認ムルコトヲ得

第五十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ加入ヲ認ムルコトヲ得

第五十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第五十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第五十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第五十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第五十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第六十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第六十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第六十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第六十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第六十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第六十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第六十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第六十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第六十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第六十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第七十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第七十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第七十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第七十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第七十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第七十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第七十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第七十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第七十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第七十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第八十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第八十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第八十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第八十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第八十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第八十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第八十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第八十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第八十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第八十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第九十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第九十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第九十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第九十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第九十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第九十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第九十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第九十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第九十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第九十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百二十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百二十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百二十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百二十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百二十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百二十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百二十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百二十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百二十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百二十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百三十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百三十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百三十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百三十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百三十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百三十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百三十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百三十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百三十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百三十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百四十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百四十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百四十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百四十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百四十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百四十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百四十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百四十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百四十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百四十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百五十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百五十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百五十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百五十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百五十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百五十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百五十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百五十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百五十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百五十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百六十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百六十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百六十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百六十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百六十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百六十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百六十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百六十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百六十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百六十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百七十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百七十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百七十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百七十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百七十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百七十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百七十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百七十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百七十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百七十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百八十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百八十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百八十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百八十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百八十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百八十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百八十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百八十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百八十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百八十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百九十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百九十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百九十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百九十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百九十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百九十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百九十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百九十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第百九十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第百九十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百二十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百二十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百二十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百二十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百二十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百二十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百二十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百二十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百二十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百二十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百三十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百三十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百三十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百三十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百三十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百三十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百三十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百三十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百三十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百三十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百四十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百四十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百四十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百四十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百四十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百四十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百四十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百四十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百四十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百四十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百五十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百五十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百五十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百五十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百五十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百五十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百五十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百五十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百五十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百五十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百六十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百六十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百六十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百六十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百六十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百六十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百六十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百六十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百六十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百六十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百七十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百七十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百七十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百七十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百七十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百七十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百七十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百七十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百七十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百七十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百八十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百八十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百八十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百八十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百八十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百八十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百八十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百八十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百八十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百八十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百九十條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百九十一條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百九十二條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百九十三條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百九十四條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百九十五條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百九十六條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百九十七條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第二百九十八條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ增加ヲ認ムルコトヲ得

第二百九十九條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數ノ減少ヲ認ムルコトヲ得

第三百條　組合ハ總會ノ決議ニ依リ組合員ノ出資口數

月當日可	額認可	使途	借入先	月當日入	組借入	組償還	未償還	組	期限	組	終高	現金
	圓				圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
計												

備考

一　運用額ノ欄ノ「期限」トハ貸付金ノ貸付期限、立替金ノ仲買人ニ對スル猶豫期限ヲ謂フ

二　本表ニハ前渡金ヲ受ケタル物品及共同購入ヲ爲シタル物品ニシテ現ニ保管中ニ屬スルモノノ保管ノ概況ヲ明記スベシ

三　延滯未償還組合ハ其ノ延滯ト爲ルニ至リタル理由ノ詳細ヲ附記スベシ

第一號樣式

起債又ハ起債償還報告表

漁業組合起債表　昭和　年　月　日　組合名								
起債認可年月日	借入年月日	起債ノ目的	借入金額	借入先	利率	償還期限	利子支拂期日	摘要

備考　「償還期限及利子支拂期日」ハ年賦償還ニ在リテハ年次表ニ其ノ償還元金、利子、償還期日ヲ記載シ別表トシテ添附スベシ

漁業組合起債償還表　昭和　年　月　日　組合名							
起債認可年月日	借入年月日	償還確定期日	償還年月日	元金償還額	利子支拂額	計	摘要

第二號樣式ノ二

資金貸付又ハ貸付金回收報告表

資金貸付表　昭和　年　月　日							
貸付先ノ起債認可ノ年月日	貸付年月日	貸付金ノ使途	貸付金額	貸付先	利率	貸付期限	利子受入期日	摘要
			圓					

備考　「貸付期限」及「利子受入期日」ハ年賦回收ニ在リテハ年次表ニ其ノ回收元金、利子、回收期日ヲ記載シ別表トシテ添附スベシ

貸付金回收表　昭和　年　月　日							
貸付先ノ起債認可ノ年月日	貸付年月日	貸付先	回收確定年月日	回收元金回收額	利子受入額	計	摘要
				圓	圓	圓	

第三號樣式

組合員名簿

本拂地								
居住地	何郡　何町　何村　何番地							
漁業ノ種類		職業	專業		氏名			
			兼業					
					生年月日			
非取組合員ノ年月日及事由			非拂組合員ノ年月日及事由					
摘要	摘							
	要							

第四號樣式

役員、職員及議員名簿

本拂地					
居住地					
職名	組合長（當配）（通常議員）		氏名		
年就任又ハ當選月日		年任期滿月日		年退任又ハ解任月日	
摘要	摘				
	要				

負債額	計	其ノ他	漁業雜	漁具	漁船	建物	土地	種別	數量	時價	圓
出收			出支			一年平均收入支出					
差入			計			計	其ノ他	漁獲高			
領收			他								
程度	特別	信用	信用程度額			得點總數	技作勞能及資產	種別	得點數	查定種別	
預備	信用						甲	信用			
			四	四	點	點	乙	人員			
							丙				

備考

一　項ハ一年平均收入支出ヲ表ハスベシ

二　「信用狀態」ノ程度ハ信用程度額ヲ以テ主ナル點トシ其ノ他ノ點ヲ參酌シテ定ムル點數ヲ記入スベシ

三　「信用程度額」ハ組合ニ於テ缺損ヲ補フ爲メ負擔スル組合員ノ負擔ヲ除キタル組合ノ資產ニシテ現ニ保有スル資產ノ價額ヲ謂フ

四　「信用狀態」ノ資產ノ價額ハ一點ヲ金十圓トスベシ

五　「信用程度額」ハ組合ニ於テ二十點ヲ作動勞及技能ハ十點トシ各人ノ得點數ニ應ジ配當スベシ

六　「信用狀態」ノ資產ノ價額ハ一點ヲ金十圓トスベシ

七　「信用程度額」ハ組合ニ於テ二十點ヲ作動勞及技能ハ十點トシ各人ノ得點數ニ應ジ配當スベシ

第五號樣式

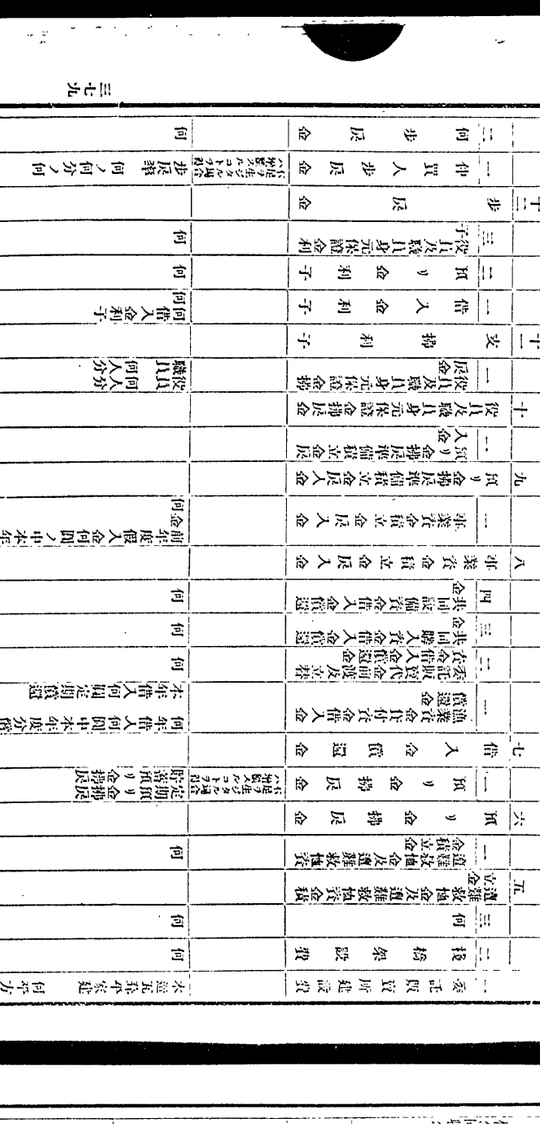
規約違反者處分簿

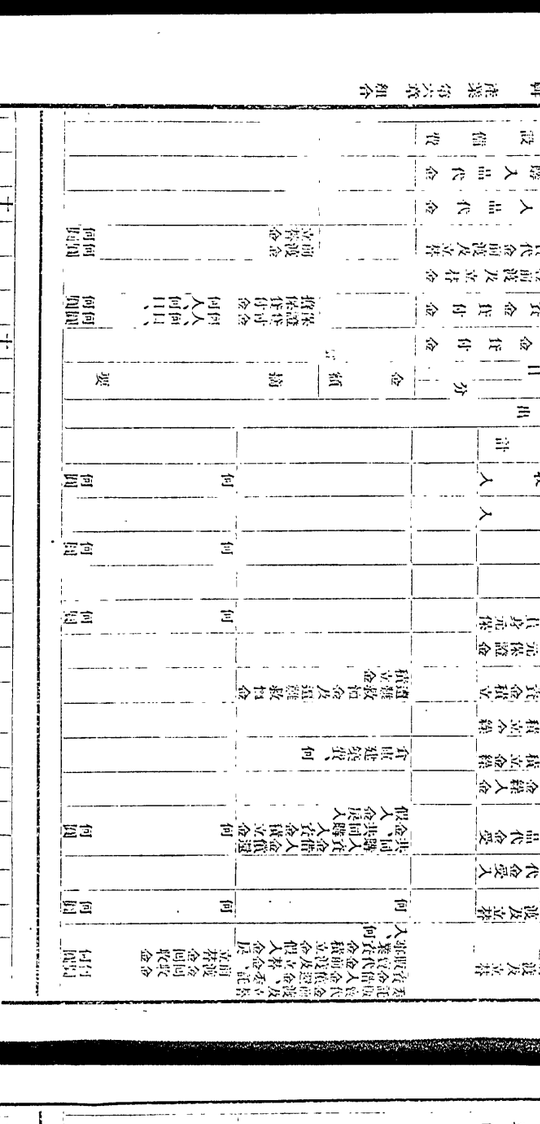
年月日	違反事項	處分ノ類別	住所	氏名

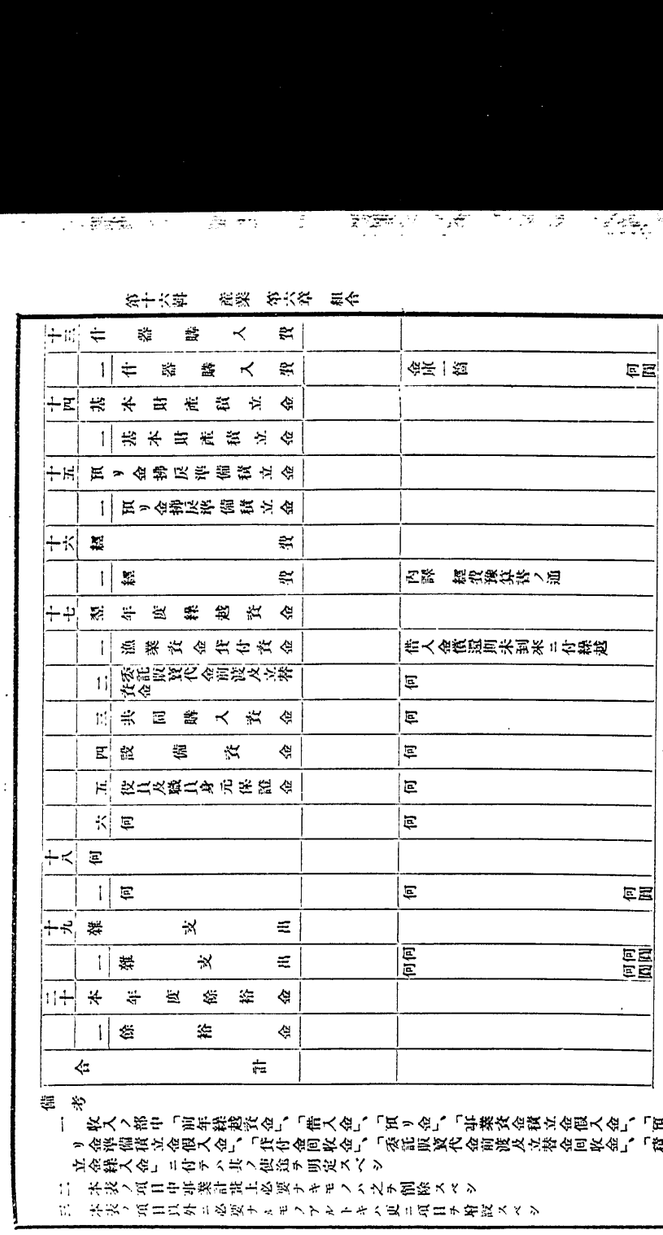
備考　本表ニハ役員、職員及議員ニ對スル處分ノ外ニ各別ニ記載スベシ

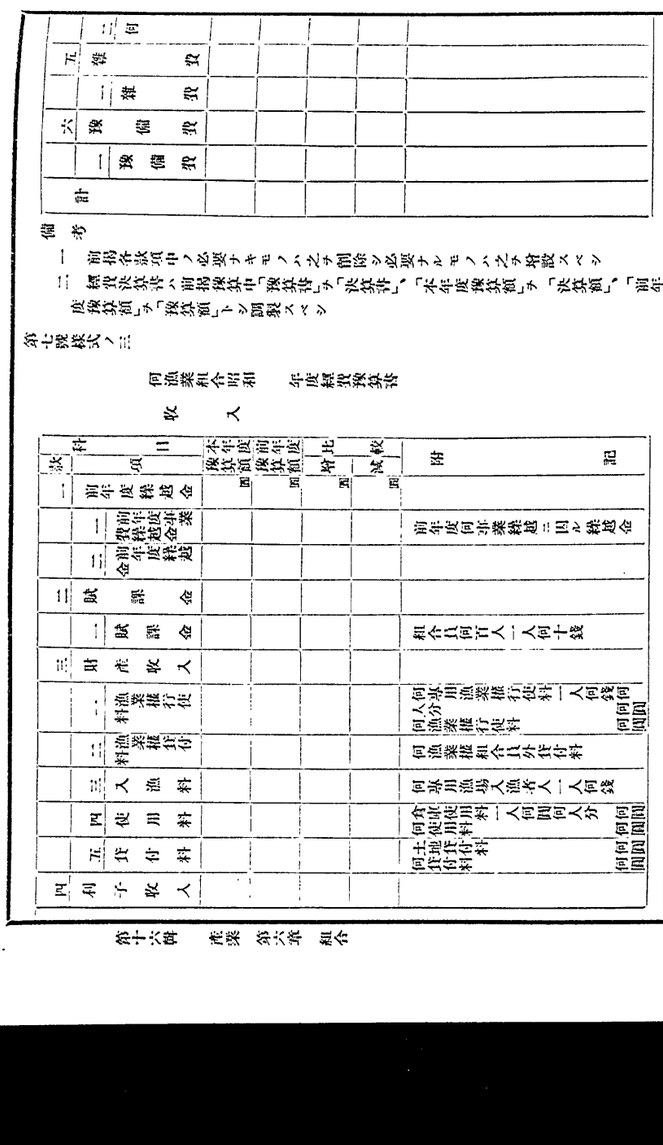
第六號樣式

| 組合員信用程度表　昭和　年度 | | | | | | | | | | | |









漁業資金積立金組入金勘定

貸付資金＝借入
前渡及立替資金＝借入
共同購入資金＝借入

貸付金勘定

過年度損保保険貸付金
過年度保證保険貸付金
本年度損保保険貸付金
本年度保證保険貸付金

委託販売勘定

荷主
仲買人
受託販売
積荷
前渡金

共同購入勘定

購入申込金
購入

金融組合等合勘定

金融組合等合掛資金

預ケ金勘定

定期預金
常陸銀行預金
郵便貯金

未決算勘定

仮受金
仮払金

損益勘定

事業資金積立金繰入
救恤資金積立金繰入
臨時雇人給料
漁業傭人賃金
共同購入資金

月計表

昭和　年　月　日

何漁業組合

借方			元丁	科目	貸方		
金額	残高				残高	金額	
				正味財産勘定			
				本年繰越正味財産			
				当期資金積立金			
				救恤資金積立金			
				臨時雇人賃金積立金			
				一般正味財産			
				前年度繰越			
				当年度増減			
				所有物勘定			
				漁業具			
				土地			
				建物			
				工作物			
				定期預金			
				郵便貯金			
				債権勘定			
				貸付金			
				前渡及立替資金			
				共同購入資金			
				漁業傭人賃金			
				一時借入金			

借入金勘定

貸付資金借入金
前渡及立替資金借入金
共同購入資金借入金
漁業傭人賃金
一時借入金

借方			元丁	科目	貸方		
金額	残高				残高	金額	
円	円			資本金	円	円	
				積立金			
				救恤資金積立金			
				臨時雇人賃金積立金			
				繰越金			
				当期増減			
				負債			
				借入金			
				救恤資金積立金繰入			
				臨時雇人賃金積立金繰入			
				未払金			
				預り金			
				仮受金			
				損益			
				漁業収益			
				漁業費用			
				当期増減			

備考

一　資本金ノ増減ハ定款変更ノ手続ヲ経テ行フモノトス

二　借入金ハ一時借入金ト臨時雇人賃金積立金繰入トヲ区別シ記入スルモノトス

三　借入金ハ一年以内ニ返済スルモノト一年以上ニ亘ルモノトヲ区別シ記入スルモノトス

四　借入金ハ貸主ノ住所氏名ヲ記入スルモノトス

五　漁業具ハ漁船、漁具、漁網、漁船具、漁業用器具等ヲ記入スルモノトス

六　漁業具ハ新造又ハ購入ノ年月日ヲ記入スルモノトス

七　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

八　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

九　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

十　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

十一　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

十二　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

十三　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

十四　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

十五　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

十六　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

十七　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

十八　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

十九　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

二十　漁業具ハ毎年一回以上実地ニ調査シ其ノ現在高ヲ記入スルモノトス

種別	数量	単位	備考
船舶		隻	
漁具		統	
漁網		反	
漁船具		個	
漁業用器具		個	
漁業用機械		台	
漁業用建物		棟	
漁業用倉庫		棟	
漁業用桟橋		箇所	
漁業用道路		箇所	
漁業用水路		箇所	
漁業用堤防		箇所	
漁業用護岸		箇所	
漁業用防波堤		箇所	
漁業用灯台		基	
漁業用標識		基	
漁業用信号所		箇所	
漁業用無線電信所		箇所	
漁業用無線電話所		箇所	
漁業用気象観測所		箇所	
漁業用潮汐観測所		箇所	
漁業用水産試験場		箇所	
漁業用水産講習所		箇所	
漁業用水産学校		箇所	
漁業用水産研究所		箇所	
漁業用水産博物館		箇所	
漁業用水族館		箇所	
漁業用養魚場		箇所	
漁業用孵化場		箇所	
漁業用種苗放流場		箇所	
漁業用人工魚礁		箇所	
漁業用保護水面		箇所	
漁業用禁漁区		箇所	
漁業用禁漁期		箇所	
漁業用制限区域		箇所	
漁業用制限期間		箇所	
漁業用制限漁具		箇所	
漁業用制限漁法		箇所	
漁業用制限漁獲物		箇所	
漁業用制限漁獲高		箇所	
漁業用制限漁獲金額		箇所	
漁業用制限漁獲数量		箇所	
漁業用制限漁獲重量		箇所	
漁業用制限漁獲容積		箇所	
漁業用制限漁獲面積		箇所	
漁業用制限漁獲体積		箇所	
漁業用制限漁獲個数		箇所	
漁業用制限漁獲尾数		箇所	
漁業用制限漁獲匹数		箇所	
漁業用制限漁獲頭数		箇所	
漁業用制限漁獲羽数		箇所	
漁業用制限漁獲巻数		箇所	
漁業用制限漁獲冊数		箇所	
漁業用制限漁獲枚数		箇所	
漁業用制限漁獲本数		箇所	
漁業用制限漁獲口数		箇所	
漁業用制限漁獲件数		箇所	
漁業用制限漁獲回数		箇所	
漁業用制限漁獲度数		箇所	
漁業用制限漁獲率		箇所	
漁業用制限漁獲比率		箇所	
漁業用制限漁獲割合		箇所	
漁業用制限漁獲歩合		箇所	
漁業用制限漁獲分合		箇所	
漁業用制限漁獲厘合		箇所	
漁業用制限漁獲毛合		箇所	
漁業用制限漁獲糸合		箇所	
漁業用制限漁獲忽合		箇所	
漁業用制限漁獲微合		箇所	
漁業用制限漁獲纖合		箇所	
漁業用制限漁獲沙合		箇所	
漁業用制限漁獲塵合		箇所	
漁業用制限漁獲埃合		箇所	
漁業用制限漁獲渺合		箇所	
漁業用制限漁獲漠合		箇所	
漁業用制限漁獲模糊合		箇所	
漁業用制限漁獲曖昧合		箇所	
漁業用制限漁獲不明合		箇所	
漁業用制限漁獲未詳合		箇所	
漁業用制限漁獲其他合		箇所	
漁業用制限漁獲雑合		箇所	
漁業用制限漁獲諸合		箇所	
漁業用制限漁獲各種合		箇所	
漁業用制限漁獲一切合		箇所	
漁業用制限漁獲総合		箇所	
漁業用制限漁獲全部合		箇所	
漁業用制限漁獲残余合		箇所	
漁業用制限漁獲繰越合		箇所	
漁業用制限漁獲翌年度合		箇所	
漁業用制限漁獲次年度合		箇所	
漁業用制限漁獲来年度合		箇所	
漁業用制限漁獲将来合		箇所	
漁業用制限漁獲未来合		箇所	
漁業用制限漁獲永遠合		箇所	
漁業用制限漁獲無限合		箇所	
漁業用制限漁獲絶対合		箇所	
漁業用制限漁獲相対合		箇所	
漁業用制限漁獲比較合		箇所	
漁業用制限漁獲差引合		箇所	
漁業用制限漁獲増減合		箇所	
漁業用制限漁獲損益合		箇所	
漁業用制限漁獲利益合		箇所	
漁業用制限漁獲損失合		箇所	
漁業用制限漁獲純益合		箇所	
漁業用制限漁獲総益合		箇所	
漁業用制限漁獲差益合		箇所	
漁業用制限漁獲差損合		箇所	
漁業用制限漁獲差額合		箇所	
漁業用制限漁獲差金合		箇所	
漁業用制限漁獲差引残合		箇所	
漁業用制限漁獲差引増合		箇所	
漁業用制限漁獲差引減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引純合		箇所	
漁業用制限漁獲差引総合		箇所	
漁業用制限漁獲差引全部合		箇所	
漁業用制限漁獲差引残余合		箇所	
漁業用制限漁獲差引繰越合		箇所	
漁業用制限漁獲差引翌年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引次年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引来年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引将来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引未来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引永遠合		箇所	
漁業用制限漁獲差引無限合		箇所	
漁業用制限漁獲差引絶対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引相対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引比較合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引合		箇所	
漁業用制限漁獲差引増減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引損益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引利益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引損失合		箇所	
漁業用制限漁獲差引純益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引総益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差額合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差金合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引残合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引増合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引純合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引総合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引全部合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引残余合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引繰越合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引翌年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引次年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引来年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引将来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引未来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引永遠合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引無限合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引絶対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引相対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引比較合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引増減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引損益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引利益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引損失合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引純益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引総益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差額合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差金合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引残合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引増合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引純合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引総合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引全部合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引残余合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引繰越合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引翌年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引次年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引来年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引将来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引未来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引永遠合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引無限合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引絶対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引相対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引比較合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引増減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引損益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引利益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引損失合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引純益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引総益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差額合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差金合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引残合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引増合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引純合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引総合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引全部合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引残余合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引繰越合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引翌年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引次年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引来年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引将来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引未来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引永遠合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引無限合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引絶対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引相対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引比較合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引増減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引損益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引利益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引損失合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引純益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引総益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差額合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差金合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引残合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引増合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引純合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引総合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引全部合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引残余合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引繰越合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引翌年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引次年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引来年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引将来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引未来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引永遠合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引無限合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引絶対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引相対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引比較合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引増減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引損益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引利益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引損失合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引純益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引総益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差額合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差金合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引残合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引増合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引純合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引総合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引全部合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引残余合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引繰越合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引翌年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引次年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引来年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引将来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引未来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引永遠合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引無限合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引絶対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引相対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引比較合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引増減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引損益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引利益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引損失合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引純益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引総益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差額合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差金合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引残合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引増合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引純合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引総合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引全部合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引残余合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引繰越合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引翌年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引次年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引来年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引将来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引未来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引永遠合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引無限合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引絶対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引相対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引比較合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引増減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引損益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引利益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引損失合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引純益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引総益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差額合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差金合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引残合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引増合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引純合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引総合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引全部合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引残余合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引繰越合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引翌年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引次年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引来年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引将来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引未来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引永遠合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引無限合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引絶対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引相対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引比較合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引増減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引損益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引利益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引損失合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引純益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引総益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差額合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差金合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引残合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引増合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引純合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引総合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引全部合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引残余合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引繰越合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引翌年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引次年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引来年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引将来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引未来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引永遠合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引無限合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引絶対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引相対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引比較合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引増減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引損益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引利益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引損失合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引純益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引総益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差額合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差金合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引残合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引増合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引損合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引益合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引純合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引総合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引全部合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引残余合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引繰越合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引翌年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引次年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引来年度合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引将来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引未来合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引永遠合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引無限合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引絶対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引相対合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引比較合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引増減合		箇所	
漁業用制限漁獲差引差引差引差引差引差引差引差引差引差引損益合		箇所	
漁

第十號樣式ノ二　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			仕入		
売上原価			売上		
売上総利益			売上総利益		
販売費			受取利息		
給料			受取割引		
広告料			受取手数料		
支払利息			受取家賃		
割引料			雑収入		
雑損					
営業利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ二　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ三　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ四　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ五　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ六　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ七　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ八　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ九　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ十　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ十一　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ十二　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ十三　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ十四　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ十五　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ十六　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ十七　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ十八　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ十九　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ二十　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ二十一　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ二十二　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ二十三　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ二十四　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ二十五　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ二十六　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
受取手形			借入金		
売掛金			資本金		
有価証券			前期繰越利益		
繰越商品			売上		
仕入			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		
割引料					
雑損					
当期利益					
計			計		

第十號樣式ノ二十七　（附箋用紙）

仕借対照表

（昭和　年　月現在）

借方	金額	摘要	貸方	金額	摘要
仕入			売上		
当期製品製造原価			当期製品売上原価		
販売費			受取利息		
給料			受取手数料		
広告料			受取家賃		
支払利息			雑収入		

五　組合ノ共有スルル漁業權

| 漁業ノ種類 | 本年度漁獲ヲ受ケタル組合員ノ住所氏名 | 組合ノ共有スル漁業權 | | |

保證貸付金

計	

十五　借入金

種別	借入先	前年度末現在	本年度借入額	期限内償還額	期間後償還額	未償還額	支拂利子	摘要
			円	円	円	円	円	
計								

十六　遭難救恤

遭難種類	救恤件數	救恤金額	摘要
	件	円	
計			

十七　損益

利益		損失	
項目	金額	項目	金額
	円		円
計		計	

十八　未決算勘定

假受金（未拂金）

種別	前年度末現在	本年度受入	本年度拂出	本年度末現在
	円	円	円	円
計				

假拂金（未收金）

種別	前年度末現在	本年度支拂	本年度受入	本年度末現在
	円	円	円	円
計				

二十　總會又ハ總代會ノ決議事項

二十一　其ノ他參考トナルベキ事項

第十二號樣式

昭和　年度剩餘金處分案

本年度總益金	円
本年度總損金	円
差引	円
內一般正味財產ニ編入スベキモノ	円
內譯	円
機械	円
船渠	円
何	円
本年度剩餘金トシテ處分スベキモノ	円
前年度繰越金	円
計	円

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

基本財產積立金	円（百分ノ何）
事業資金積立金	円（百分ノ何）
遭難救恤資金積立金	円（百分ノ何）
次年度繰越金	円

右ノ通

昭和　年　月　日

何漁業組合

組合長　氏　名印

理事　氏　名印

十九　違約者處分

種別	件數	人員	摘要
	件	人	
計			

昭和　年度決算ニ依ル貸借對照表、財產目錄、事業報告及剩餘金處分案ヲ監査シ其ノ正確ナルヲ認ム

昭和　年　月　日

監事　氏　名印

第十二號樣式ノ二

昭和　年度剩餘金處分案

本年度總收入	円
本年度總支出	円
差引	円
內事業資金トシテ翌年度ヘ繰越スベキモノ	円
本年度剩餘金トシテ處分スベキモノ	円

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

基本財產積立金	円（百分ノ何）
事業資金積立金	円（百分ノ何）
遭難救恤資金積立金	円（百分ノ何）
次年度繰越金	円

右ノ通

昭和　年　月　日

何漁業組合

組合長　氏　名印

理事　氏　名印

第十三號樣式

昭和　年度豫算差引簿

款何	項何	月	日	豫算額（收入額（支出額））	差額	摘要
				円	円	

備考　豫算ノ項毎ニ口座ヲ設クベシ

第十三號樣式ノ二

基本財產臺帳

備考

一　本簿ハ第十四號乃至第十九號樣式ニ準ジ調製スベシ

二　本簿ハ一冊トシ各種類毎ニ口座ヲ設クベシ

第十四號樣式

漁業權臺帳

種別		摘要	頁
免許番號			
漁業ノ種類			
漁業及漁具ノ名稱			
漁場ノ位置及區域			
漁業ノ方法			
採藻物又ハ養殖物ノ種類			
漁業ノ時期			
存續ノ期間			
禁藻物又ハ養殖物ノ見込年額			
制限又ハ條件			
免許ノ年月日			
備考			

年	月	日	摘要	頁	借方	貸方	殘額
					円	円	円

備考　漁業権ハ一件毎ニ一用紙ニ記載スベシ

第十五號様式

土　地　臺　帳

所在及地番								
地目及面積								
年月日		摘要	法定地価	評価 増価	減価	価額		
			圓	圓	圓	圓		

備考　土地ハ一筆毎ニ一用紙ニ記載スベシ

第十六號様式

建　物　臺　帳

名稱及用途									
所在地									
構造									
年月日		摘要	棟数	総建坪	建坪	評価 増価	減価	価額	
						圓	圓	圓	

備考　一　建物ハ事務所、倉庫等ニ分チ附屬建具モ併セ一件毎ニ一用紙ニ記載スベシ
　　二　構造ハ建方、葺方、造方等ヲ記載スベシ

第十七號様式

船　舶　臺　帳

船名	
船種	
積量及馬力	
長サ及肩幅	
用途	

年月日	摘要	評価 増価	減価	価額
		圓	圓	圓

備考　一　船舶ハ附屬船具モ併セ一隻毎ニ一用紙ニ記載スベシ
　　二　積量ニ依リ難ヘザルモノニ在リテハ長サ及肩幅モ記載スベシ

第十八號様式

工　作　物　臺　帳

名稱及用稱								
所在地								
構造								
年月日	摘要	数量	単価	評価 増価	減価	価額		
			圓	圓	圓	圓		

備考　工作物ハ桟橋、貯蔵タンク等ニ分チ附屬設備モ併セ一件毎ニ一用紙ニ記載スベシ

第十九號様式

積　立　金　臺　帳

種類								
保管方法								
通帳番號								
年月日	摘要			積立額	支出額	現在額		
				圓	圓	圓		

備考　積立金ハ種類毎ニ口座ヲ設クベシ

第二十號様式

備　品　臺　帳

品名								
年月日		摘要	数量	単価	価額			
				圓	圓			

備考　品名毎ニ口座ヲ設クベシ

第二十號様式ノ二

什　器　臺　帳

品名								
年月日		摘要	数量	単価	価額	評価 増価	減価	価額
				圓	圓	圓	圓	圓

備考　品名毎ニ口座ヲ設クベシ

第二十一號様式

徴　収　簿

告知書番號	告知年月日		収納月日		金額	氏名	摘要
					圓		

備考　本簿ハ納費賦課金、漁業料、入漁料等科目毎ニ各別冊ノ帳簿ヲ備フベシ但シ合冊ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ口座ヲ設クベシ

第二十二號様式

日　記　帳

借方　　年月日　　貸方

振替摘要	摘要	元丁	振替金額	現金収入	合計	振替摘要	摘要	元丁	振替金額	現金支出	合計
			圓	圓	圓				圓	圓	圓

第二十三號様式

總　勘　定　元　帳

年月日	摘要	日記帳丁数	借方	貸方	借或ハ貸	残高
			圓	圓		圓

備考　本簿ノ口座ハ第九號様式ニ依ル月計表ノ科目毎ニ區分スベシ但シ損益勘定ニ屬スルモノハ殊算ノ科目毎ニ區分スベシ

第二十四號様式

委託販賣前渡金臺帳

荷主氏名					
年月日	摘要	前渡額	受入額	残高	
		圓	圓	圓	

備考　一　本簿ハ組合員毎ニ口座ヲ設クベシ
　　二　利子ヲ徴スル場合ニ於テハ適宜欄ヲ設ケ記載スベシ

第二十五號様式

委　託　販　資　臺　帳

荷主氏名	

年月日	販賣價額	控除金額 手數料	貯金	貸付金回收準備金	前渡金	計	拂渡スキ金額	拂渡額	殘額	摘要
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	

備考　本簿ハ荷主毎ニ口座ヲ設クベシ

第二十六號樣式

委託販賣拂金臺帳

仲買人氏名	
貸越限度	
猶豫期限	
保證又ハ擔保ノ種類	

年月日	摘要	販賣額	受入額	殘額
		圓	圓	圓

備考　一　本簿ハ仲買人毎ニ口座ヲ設クベシ
二　延滯金ニ付利子ヲ徵スル場合ニ於テハ適宜欄ヲ設ケ記載スベシ

第二十七號樣式

借入金臺帳

起債ノ目的		借入年月日	
借入先		償還期日	
利率		償還方法	
認可年月日		擔保	

月日	摘要	借入額	償還額	現在額	利子 計算期間	利子 金額	利子 支拂額	利子 殘額	償還方法 期	償還方法 期日	償還方法 元金	償還方法 利子	償還方法 計
		圓	圓	圓		圓	圓	圓			圓	圓	圓

備考　本簿ハ起債一件毎ニ記載スベシ

第二十八號樣式

住付金臺帳

借主氏名		住所		保證人 氏名	住所	利子 日數	利子 積數	利子 金額	借用程度 特別借用程度	利子 收納額	利子未收入額	擔保物 品名	擔保物 數量	擔保物 評價額	摘要
年月日	證書番號	貸付額	回收額	現在貸付額	期限	利率									
		圓	圓	圓				圓						圓	

第二十八號樣式

借主氏名		住所		保證人 氏名	住所	利子 日數	利子 積數	利子 金額	借用程度 特別借用程度	利子 收納額	利子未收入額	擔保物 品名	擔保物 數量	擔保物 評價額	摘要
年月日	證書番號	貸付額	回收額	現在貸付額	期限	利率									
		圓	圓	圓				圓						圓	

備考　本簿ハ保證貸、擔保貸ニ區分シ各別冊ト爲スベシ但シ各市ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ口座ヲ設クベシ

第二十九號樣式

貯蓄預リ金臺帳

預入者氏名	

年月日	摘要	預金額	拂戻額	現在額	日數	積數
		圓	圓	圓		

備考　本簿ハ預入者毎ニ口座ヲ設クベシ

第三十號樣式

定期預リ金臺帳

預入者氏名	

年月日	證書番號	期間	滿期日	利率	預金額	積數	利子額	支拂年月日	摘要
					圓		圓		

備考　本簿ハ預入者毎ニ口座ヲ設クベシ

第三十一號樣式

共同購入品臺帳

品名	

年月日	摘要	仕入先	引渡人	購入 數量	購入 價額	引渡 數量	引渡 價額	現在 數量	現在 價額	手數料額
					圓		圓		圓	圓

備考　本簿ハ品名毎ニ口座ヲ設クベシ

第三十二號樣式

入金傳票

年　月　日　何漁業組合

摘要	金額	理事
	圓	出納
		記帳
合計		

備考　一　本票ハ總テ現金受入ノ際調製スベシ
二　本票ハ之ヲ使用セザルコトヲ得

第三十三號樣式

出金傳票

年　月　日　何漁業組合

摘要	金額	理事
	圓	出納
		記帳
合計		

備考　一　本票ハ總テ現金ヲ支拂フ際調製スベシ
二　本票ハ之ヲ使用セザルコトヲ得

第三十四號樣式

振替傳票

年　月　日　何漁業組合

理事		主任		記帳	

借方 科目	借方 金額	摘要	貸方 科目	貸方 金額
	圓			圓
差引現金出			差引現金入	
合計			合計	

備考　本傳票ハ之ヲ使用セザルコトヲ得

第三十五號樣式

（貨付金回收準備金臺帳）

組合員共同貯金臺帳

氏名	
通帳番號	

月日	摘要	受入額	拂出額	殘額
		圓	圓	圓

備考　本簿ハ組合員毎ニ口座ヲ設クベシ

第三十六號樣式

保證積立金臺帳

氏名	

月日	摘要	積立額	拂戻額	殘額
		圓	圓	圓

備考　一　本簿ハ積立人毎ニ口座ヲ設クベシ
二　本簿ハ理事ノ身元保證金及仲買人ノ保證金等ヲ記載スベシ

●朝鮮漁業組合令施行規則ノ指定ニ関スル件 …… 三九五
●朝鮮漁業組合令施行規則 …… 三九四

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
附　則（大正十四年七月總令第七十四號）
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第五條ノ期限ハ本年度ニ限リ八月三十一日迄トス
附　則（昭和四年五月總令第四十一號）
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第三條ノ二ノ規定ニ依ル補助金交付ノ申請期日ハ昭和四年二限リ六月三十日迄トス
附　則（昭和五年五月總令第四十一號）
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和四年度ニ於テ補助ヲ受ケタル漁業組合ノ爲ス第七條ノ報告ニシテ昭和四年度ノ補助ニ關スルモノニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル
附　則（昭和六年五月總令第五十六號）
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第五條第二項ノ規定ニ依ル補助金交付ノ申請期日ハ昭和六年二限リ六月三十日迄トス
附　則（昭和八年五月總令第五十八號）
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
昭和八年二限リ朝鮮漁業組合補助規則ニ定ムル補助金交付ノ申請期限ヲ六月三十日迄トス
附　則（昭和十年三月總令第四十六號）
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第五條ノ二ニ規定スル補助金交付ノ申請期限ハ昭和九年度ニ限リ三月二十五日迄トス

●朝鮮水産組合規則

昭和四年十二月
總令第百十七號
改正　昭和五年八月總令第六五號、六年四月第一四號、九年一二月第一九號

朝鮮水産組合規則左ノ通定ム

第一章　總則

第一條　水産組合ノ名稱中ニハ水産組合ナル文字ヲ、水産組合聯合會ノ名稱中ニハ水産組合聯合會ナル文字ヲ用フベシ
水産組合ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ水産組合タルコトヲ示スベキ文字ヲ、水産組合聯合會ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ水産組合聯合會タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第二條　水産組合ハ以下單ニ組合ト稱ス）又ハ水産組合聯合會（以下單ニ聯合會ト稱ス）ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第三條　行政區劃、府邑面内ノ部落ノ區域又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ組合ノ規約ニ記載シタル行政區劃、府邑面内ノ部落ノ區域又ハ其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス

第二章　組合ノ設立

第四條　組合ヲ設立セントスルトキハ組合ノ地區タルベキ區域内ニ居住スル組合員タル資格ヲ有スル者五人以上發起人トシ規約ヲ定メ組合員タル資格ヲ有スル者ノ業種毎ニ其ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ設立認可ノ申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

一　設立理由書
二　規約並ニ組合員タル資格ヲ有スル者ノ業種毎ノ同意書及組合員タル資格ヲ有スル者ノ業種毎ノ數ヲ證スル道知事、府尹、郡守、島司又ハ邑面長ノ證明書
三　初年度ニ於ケル事業ノ計畫書（事業計畫ノ大要並ニ經費ノ豫算及賦課徵收方法
四　組合員タル資格ヲ有スル者ノ數（地區ガ數府邑面ニ跨ル場合ハ府邑面毎ニ組合員タル資格ヲ有スル者ノ業種別ニ依リ記載スベシ）及最近三年間ニ於ケル漁獲高、製造高又ハ取扱高（漁獲高ニ在リテハ漁業別ノ魚種別數量價額、製造高ニ在リテハ種類別數量價額、取扱高ニ在リテハ取引ニ付テハ種類別販賣數量價額、保管ニ付テハ種類別保管數量ヲ記載スベシ）

第五條　組合ノ規約ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　目的
二　名稱
三　地區及組合員タル資格
四　主タル事務所ノ所在地
五　役員ニ關スル事項
六　會議ニ關スル事項
七　會計及財產ニ關スル事項
八　事業ノ執行ニ關スル事項
九　造約者ノ處分ニ關スル事項

第三章　組合ノ會議

第六條　組合ニハ總代會ヲ置ク
總代會ハ議長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス
朝鮮總督ノ指定スル組合ノ總代會ノ議員ハ通常議員及特別議員トス
前項ノ規定ニ依ル指定アリタルトキハ指定ノ際現ニ其ノ職ニ在ル議員ハ之ヲ通常議員トス

第三條　組合ニハ總代會ヲ置ク
總代會ハ議長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス
朝鮮總督ノ指定スル組合ノ總代會ノ議員ハ通常議員及特別議員トス
前項ノ規定ニ依ル指定アリタルトキハ指定ノ際現ニ其ノ職ニ在ル議員ハ之ヲ通常議員トス

第三條ノ二　規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外組合長之ヲ招集ス
總代會ハ少クトモ毎年一回之ヲ招集スベシ

第四條　第四條ノ二ノ補助金ノ交付ヲ申請スル場合ニ在リテハ事業計畫書及經費豫算書、第四條ノ三ノ補助金ノ交付ヲ申請スル場合ニ在リテハ事業計畫書、經費豫算書、施設ヲ必要トスル理由、施設ノ設計ノ詳細及施設費内譯書

第六條　第四條ノ規定ニ依リ補助金交付ノ指令ヲ受ケタル漁業組合及第四條ノ三ノ規定ニ依リ補助金交付ノ指令ヲ受ケタル漁業組合聯合會施設事業ニ著手シタルトキハ其ノ期日及完了豫定期日ヲ具シ遲滯ナク左ノ事項ヲ詳具シ道知事ヲ經テ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

一　經費決算書
二　財產目錄及借對照表
三　事業報告書及剩餘金處分書
四　補助ヲ受ケタル施設事業ノ實施成績

第八條　左ノ各號ノ一ニ該當スト認ムルトキハ朝鮮總督ハ補助金ヲ受クルモノニ對シ補助金ノ全部若ハ一部ノ交付ヲ停止若ハ廢止シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命スルコトヲヘシ

一　組合又ハ聯合會解散シタルトキ
二　組合又ハ聯合會決合又ハ補助金交付ノ條件ニ違背シタルトキ
三　組合又ハ聯合會事業ノ目的ヲ達スルコト能ハサルトキ
四　補助金額決定ノ基礎ト爲リタル事項ニ著シキ異動ヲ生シタルトキ

第八條　總代會ハ本令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外組合長之ヲ招集ス
總代會ハ少クトモ毎年一回之ヲ招集スベシ
監事ガ組合ノ財產又ハ業務執行ノ狀況ニ付報告ヲ爲ス爲總代會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組合長ハ遲滯ナク之ヲ招集スベシ

第九條　總代會ヲ招集セントスルトキハ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ定メ規約ノ定ムル所ニ依リ議員ニ通知ヲ發スベシ
總代會ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ通知ヲ發シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ規約ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十條　總代會ハ議員ノ定數ノ半數以上、第六條第三項ノ規定ニ依リ指定スル組合ニ在リテハ通常議員ノ半數以上及特別議員ノ數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ但シ同一事項ニ付再度招集シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
議員ハ總代會ニ於テ各一箇ノ議決權ヲ有ス
總代會ノ議事ハ出席シタル議員ノ過半數ノ同意ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十一條　第七條第四號、第六號、第八號及第九號ニ掲グル事項ノ議決ハ議員ノ定數ノ三分ノ二以上、第六條第三項ノ規定ニ依リ指定スル組合ニ在リテハ通常議員ノ定數ノ三分ノ二以上及特別議員ノ數ノ三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第十二條　總代會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕易ナルモノニ付テハ會議ヲ開カズ書面ヲ以テ議員ノ意見ヲ聽キ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ之ヲ總代會ノ決議ト看做スコトヲ得但シ議員中ヨリ總代會ノ議決ヲ經ベキ旨ノ申出アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　總代會成立セザルトキ、招集ニ應ゼザルトキ、會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキハ組合長ハ朝鮮總督ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事件ヲ處分スルコトヲ得朝鮮漁業令第五十八條ノ規定ニ依リ決議ノ取消アリタルトキ亦同ジ

第十四條　組合員ノ少數ナル組合ニ在リテハ規約ノ定ムル所ニ依リ總代會ヲ設ケズ組合員ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
組合員ハ代理人ヲ以テ總會ニ於ケル議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ組合員ハ之ヲ出席者ト看做ス
代理人ハ組合員、同居ノ戸主若ハ家族又ハ營業使用人ナルコトヲ要ス
代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スベシ

第四章　組合ノ役員

本令中總代會ニ關スル規定ハ第十二條ノ規定ヲ除クノ外組合ノ總會ニ之ヲ準用ス

第十五條　組合ニハ左ニ掲グル役員ヲ置クベシ但シ必要アル場合ニ於テハ二人以上ノ理事ヲ置クコトヲ得

組合長　一人
副組合長　一人
理事　二人以上
監事　三人以上

第十六條　役員ハ總代會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任スベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ組合員ニ非ザル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得
組合設立當時ノ役員ハ規約中ニ之ヲ定ムベシ

第十七條　役員ハ其ノ組合ノ他ノ役員又ハ職員ヲ兼ヌルコトヲ得ズ

第十八條　組合長、副組合長及理事ノ任期ハ三年トシ監事ノ任期ハ二年トス
補闕ニ依リ就任シタル監事ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十九條　組合ガ解散シタルトキハ清算ノ人ト爲ル但シ總代會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
組合長ハ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外總代會ノ議長トナリ事務ヲ總理ス
組合長ニ事故アルトキハ組合長ヲ代理シ副組合長ノ場合ハ組合長ノ職務ヲ行フ
二人以上ノ理事アル場合ニ於テハ組合長ヲ代理シ又ハ組合長ノ職務ヲ行フ理事ノ順位ハ規約中ニ之ヲ定ムベシ
監事ハ組合ノ財產及業務執行ノ狀況ヲ監査ス

第五章　組合ノ會計及財產ノ管理

第二十條　組合ノ事業年度ハ一年トシ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル但シ規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　組合ノ經費ノ豫算及賦課徵收方法ハ事業年度毎ニ之ヲ定メ遲クモ年度開始一月前ニ認可ノ申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

第二十二條　組合長ハ毎事業年度終了後經費決算書及事業報告書ヲ調製シ監事ノ監査ヲ受ケ次ノ總代會ニ之ヲ提出シ其ノ承認ヲ求ムベシ

第六章　組合ノ合併、分割、解散及清算

第二十三條　組合ガ合併又ハ分割ヲ爲シタルトキハ合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十四條　組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス
一　總代會ノ決議
二　合併又ハ分割
三　組合員ノ缺亡
四　朝鮮總督ノ解散ノ處分

第二十五條　組合ガ解散シタルトキハ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ其ノ清算ヲ結了スルニ至ル迄組合ハ仍存續スルモノト看做ス

第二十六條　組合ガ解散シタルトキハ合併又ハ分割ノ場合ヲ除クノ外組合長ハ其ノ清算人ト爲ル但シ總代會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十九條　組合ハ組合長ノ業務ヲ執行シ組合ヲ代表ス
組合長ハ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外總代會ノ議長トナリ事務ヲ總理ス
組合長ニ事故アルトキハ組合長ヲ代理シ副組合長ノ場合ハ組合長ノ職務ヲ行フ
二人以上ノ理事アル場合ニ於テハ組合長ヲ代理シ又ハ組合長ノ職務ヲ行フ理事ノ順位ハ規約中ニ之ヲ定ムベシ
監事ハ組合ノ財產及業務執行ノ狀況ヲ監査ス

第六章　組合ノ會計及財產ノ管理

第二十條　組合ノ事業年度ハ一年トシ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル但シ規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　組合ノ經費ノ豫算及賦課徵收方法ハ事業年度毎ニ之ヲ定メ遲クモ年度開始一月前ニ認可ノ申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

第二十二條　組合長ハ毎事業年度終了後經費決算書及事業報告書ヲ調製シ監事ノ監査ヲ受ケ次ノ總代會ニ之ヲ提出シ其ノ承認ヲ求ムベシ

第七章　組合ノ合併、分割、解散及清算

第二十三條　組合ガ合併又ハ分割ヲ爲シタルトキハ合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十四條　組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス
一　總代會ノ決議
二　合併又ハ分割
三　組合員ノ缺亡
四　朝鮮總督ノ解散ノ處分

第二十五條　組合ガ解散シタルトキハ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ其ノ清算ヲ結了スルニ至ル迄組合ハ仍存續スルモノト看做ス

第二十六條　組合ガ解散シタルトキハ合併又ハ分割ノ場合ヲ除クノ外組合長ハ其ノ清算人ト爲ル但シ總代會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條　清算人ハ解散シタル組合ノ役員トス
第二十七條　清算人ノ職務ハ左ノ如シ
一　現務ノ結了
二　債權ノ取立及債務ノ辨濟
三　殘餘財產ノ處分
清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲ニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　清算人ハ其ノ就職ノ日ヨリ二月以内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其ノ請求ノ申出ヲ爲スベキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ズ
前項ノ公告ニハ債權者ガ期間内ニ申出ヲ爲サザルトキハ其ノ債權ハ清算ヨリ除斥セラルベキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但シ清算人ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ズ
清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其ノ申出ヲ催告スルコトヲ要ス
第一項ノ規定ニ依ル公告ハ組合ノ主タル事務所ノ所在地ノ屬スル道ノ區域内ニ於テ發行スル日刊ノ新聞紙ノ一ニ、日刊ノ新聞紙ノ發行ナキ道ニ在リテハ組合ノ主タル事務所ノ所在地ニ最近キ道ノ區域内ニ於テ發行スル日刊ノ新聞紙ノ一ニ掲載シテ之ヲ爲スベシ

第二十九條　清算人ハ前條第一項ノ規定ニ依ル債權申出ノ期間經過シタルトキハ遲滯ナク財產目錄ヲ調製シ殘餘財產ノ處分方法ヲ定メ總代會ヲ招集シテ之ニ提出シ財產目錄ニ付テハ其ノ承認ヲ求メ殘餘財產ノ處分方法ニ付テハ其ノ議決ヲ經ベシ

第三十條　清算人ハ組合ノ債務ヲ完濟シ若ハ完濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非ザレバ殘餘財產ヲ處分シ又ハ清算ヲ結了スルコトヲ得ズ

第三十一條　第二十八條第一項ニ規定スル債權申出ノ期間經過後ニ於テ申出デタル債權者ハ組合ノ債務完濟後未ダ處分ヲ爲サザル財產ニ對シノミ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十二條　清算人ハ清算結了後遲滯ナク清算報告書ヲ調製シ總代會ヲ招集シ之ニ提出シテ承認ヲ求ムベシ

第七章　聯合會
第三十三條　聯合會ヲ設立セントスルトキハ其ノ設立センストスル組合ハ共同シテ聯合會ノ規約ヲ定メ設立認可ノ申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ
前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
一　設立理由書
二　規約及設立ニ關スル組合ノ總代會ノ決議錄ノ謄本
三　初年度ニ於ケル事業ノ計畫書（事業計畫ノ大要竝ニ經費ノ豫算及賦課徵收方法ノ豫定書）
第三十四條　聯合會ニハ總會ヲ置ク
聯合會ノ總會ハ組合ノ代表者ヲ以テ之ヲ組織ス
本令中別段ノ規定アルモノヲ除クノ外聯合會ノ總會ニ關スル準用ノ規約中ニ之ヲ定ムベシ
第三十五條　組合ノ聯合會ヘノ加入及聯合會ヨリノ脫退ニ付テハ聯合會ノ總會ノ議決ヲ經ベシ
第三十六條　聯合會ニハ左ノ役員ヲ置クベシ
理事長　一人
理事　三人以上
監事　二人以上
第三十七條　役員ハ聯合會ノ總會ニ於テ之ヲ選任スベシ
第三十八條　第五條、第十六條第二項及第十七條乃至第三十二條ノ規定ハ聯合會ニ、第七條乃至第十三條ノ規定ハ聯合會ノ總會ニ之ヲ準用ス但シ組合長トアルハ理事長トス
第八章　組合及聯合會ノ監督
第三十九條　組合及聯合會竝ニ其ノ清算ハ朝鮮總督及道知事之ヲ監督ス但シ組合又ハ聯合會ニシテ其ノ地區ガ二以上ノ道ノ區域ニ跨ルモノニ付テハ朝鮮總督之ヲ監督ス此ノ場合ニ於テハ第四十四條及第四十七條中道知事トアルハ朝鮮總督トス
第四十條　朝鮮總督又ハ道知事ハ何時ニテモ組合又ハ聯合會ノ業務及財產ニ關シ報告書ヲ徵シ又ハ其ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得
第四十一條　朝鮮總督又ハ道知事ハ組合又ハ聯合會ノ業務及財產ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得
第四十二條　組合長、理事長又ハ清算人ハ其ノ場合ニ於テ其ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ道知事ハ其ノ職務ヲ行フ者ヲ任命スルコトヲ得
第四十三條　第七條第四號、第六號及第十五條ニ掲グル事項ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ
前項ノ規定ニ依リ組合ノ地區ノ擴張又ハ縮小ニ關スル規約ノ變更ノ認可ヲ申請セントスル場合ニ於テハ其ノ擴張ニ在リテハ擴張スル區域內ニ居住スル組合員タル資格ヲ有スル者ノ業種每ニ、其ノ縮小ニ在リテハ縮小スル區域及縮小後存續スル組合ノ區域ニ依リ其ノ區域內ニ居住スル組合員ノ業種每ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ得申請書ニ其ノ同意書及其ノ組合員タル資格ヲ有スル者又ハ組合員ノ業種別ノ數ヲ證スル府尹、郡守、島司又ハ邑面長ノ證明書ヲ添附スベシ
前項ノ規約ノ變更及組合ノ分割ノ認可ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス
第四十四條　左ニ掲グル事項ニ付テハ道知事ノ認可ヲ受クベシ
一　第七條第一號乃至第三號及第七號ニ掲グル事項
二　組合若ハ聯合會ノ役員又ハ第六條第三項ノ指定ナキ組合ノ總代會ノ議員若ハ通常議員ノ選任及解任
三　組合又ハ聯合會ノ殘餘財產ノ處分方法
第四十五條　前二條ノ規定ニ依ル認可ノ申請書ニハ組合ノ總代會又ハ聯合會ノ總會ノ決議錄ノ謄本ヲ添附スベシ
第四十六條　行政區劃、府邑面內ノ部落ノ區域又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ
第四十七條　左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滯ナク道知事ニ屆出ヅベシ
一　組合又ハ聯合會ノ役員ノ氏名又ハ住所ニ變更アリタルトキ
二　組合又ハ聯合會ノ役員死亡シ又ハ任期滿了ニ因リ退任シタルトキ
三　組合ノ總代會又ハ聯合會ノ總會ニ於テ第二十二條又ハ第三十八條ノ規定ニ依リ經費決算書及事業報告書ヲ承認シタルトキ
四　組合又ハ聯合會ノ清算結了シタルトキ
第四十八條　第一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第四十九條　前項ノ規定ニ依リ組合ノ地區ノ擴張又ハ縮小ニ關スル規約ノ變更ノ認可ヲ申請セントスル場合ニ於テハ其ノ擴張ニ在リテハ擴張スル區域內ニ居住スル組合員タル資格ヲ有スル者ノ業種每ニ、其ノ縮小ニ在リテハ縮小スル區域及縮小後存續スル組合ノ區域ニ依リ其ノ區域內ニ居住スル組合員ノ業種每ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ得申請書ニ其ノ同意書及其ノ組合員タル資格ヲ有スル者又ハ組合員ノ業種別ノ數ヲ證スル府尹、郡守、島司又ハ邑面長ノ證明書ヲ添附スベシ
前項ノ規約ノ變更及組合ノ分割ノ認可ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス
第四十四條　左ニ掲グル事項ニ付テハ道知事ノ認可ヲ受クベシ
一　第七條第一號乃至第三號及第七號ニ掲グル事項
二　組合若ハ聯合會ノ役員又ハ第六條第三項ノ指定ナキ組合ノ總代會ノ議員若ハ通常議員ノ選任及解任
三　組合又ハ聯合會ノ殘餘財產ノ處分方法
第四十五條　前二條ノ規定ニ依ル認可ノ申請書ニハ組合ノ總代會又ハ聯合會ノ總會ノ決議錄ノ謄本ヲ添附スベシ
第四十六條　行政區劃、府邑面內ノ部落ノ區域又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ
第四十七條　左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滯ナク道知事ニ屆出ヅベシ
一　組合又ハ聯合會ノ役員又ハ第六條第三項ノ指定ナキ組合ノ總代會ノ議員若ハ通常議員ノ選任及解任
二　組合又ハ聯合會ノ業務及財產ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得
第四十二條　組合長、理事長又ハ清算人ハ其ノ場合ニ於テ其ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ道知事ハ其ノ職務ヲ行フ者ヲ任命スルコトヲ得
第四十三條　第七條第四號、第六號及第十五條ニ掲グル事項ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ
前項ノ規定ニ依リ組合ノ地區ノ擴張又ハ縮小ニ關スル規約ノ變更ノ認可ヲ申請セントスル場合ニ於テハ其ノ擴張ニ在リテハ擴張スル區域內ニ居住スル組合員タル資格ヲ有スル者ノ業種每ニ、其ノ縮小ニ在リテハ縮小スル區域及縮小後存續スル組合ノ區域ニ依リ其ノ區域內ニ居住スル組合員ノ業種每ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ得申請書ニ其ノ同意書及其ノ組合員タル資格ヲ有スル者又ハ組合員ノ業種別ノ數ヲ證スル府尹、郡守、島司又ハ邑面長ノ證明書ヲ添附スベシ
前項ノ規約ノ變更及組合ノ分割ノ認可ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス
第四十四條　左ニ掲グル事項ニ付テハ道知事ノ認可ヲ受クベシ
一　第七條第一號乃至第三號及第七號ニ掲グル事項
二　組合若ハ聯合會ノ役員又ハ第六條第三項ノ指定ナキ組合ノ總代會ノ議員若ハ通常議員ノ選任及解任
三　組合又ハ聯合會ノ殘餘財產ノ處分方法
第四十五條　前二條ノ規定ニ依ル認可ノ申請書ニハ組合ノ總代會又ハ聯合會ノ總會ノ決議錄ノ謄本ヲ添附スベシ
第四十六條　行政區劃、府邑面內ノ部落ノ區域又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ
第四十七條　左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滯ナク道知事ニ屆出ヅベシ
一　組合又ハ聯合會ノ役員又ハ第六條第三項ノ指定ナキ組合ノ總代會ノ議員若ハ通常議員ノ選任及解任
二　組合又ハ聯合會ノ役員死亡シ又ハ任期滿了ニ因リ退任シタルトキ
三　組合ノ總代會又ハ聯合會ノ總會ニ於テ第二十二條又ハ第三十八條ノ規定ニ依リ經費決算書及事業報告書ヲ承認シタルトキ
四　組合又ハ聯合會ノ清算結了シタルトキ
第四十八條　第一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第四十九條　前項ノ規定ニ依リ組合ノ地區ノ擴張又ハ縮小ニ關スル規約ノ變更ノ認可ヲ申請セントスル場合ニ於テハ其ノ擴張ニ在リテハ擴張スル區域內ニ居住スル組合員タル資格ヲ有スル者ノ業種每ニ、其ノ縮小ニ在リテハ縮小スル區域及縮小後存續スル組合ノ區域ニ依リ其ノ區域內ニ居住スル組合員ノ業種每ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ得申請書ニ其ノ同意書及其ノ組合員タル資格ヲ有スル者又ハ組合員ノ業種別ノ數ヲ證スル府尹、郡守、島司又ハ邑面長ノ證明書ヲ添附スベシ
前項ノ規約ノ變更及組合ノ分割ノ認可ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス
第四十四條　左ニ掲グル事項ニ付テハ道知事ノ認可ヲ受クベシ
一　第七條第一號乃至第三號及第七號ニ掲グル事項
二　組合若ハ聯合會ノ役員又ハ第六條第三項ノ指定ナキ組合ノ總代會ノ議員若ハ通常議員ノ選任及解任
三　組合又ハ聯合會ノ殘餘財產ノ處分方法
第四十五條　前二條ノ規定ニ依ル認可ノ申請書ニハ組合ノ總代會又ハ聯合會ノ總會ノ決議錄ノ謄本ヲ添附スベシ
第四十六條　行政區劃、府邑面內ノ部落ノ區域又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ
第四十七條　左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滯ナク道知事ニ屆出ヅベシ
一　組合又ハ聯合會ノ役員又ハ第六條第三項ノ指定ナキ組合ノ總代會ノ議員若ハ通常議員ノ選任及解任
二　組合又ハ聯合會ノ役員死亡シ又ハ任期滿了ニ因リ退任シタルトキ
三　組合ノ總代會又ハ聯合會ノ總會ニ於テ第二十二條又ハ第三十八條ノ規定ニ依リ經費決算書及事業報告書ヲ承認シタルトキ
四　組合又ハ聯合會ノ清算結了シタルトキ
第四十八條　第一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第四十九章　罰則
第四十九條　第一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第五十條　第三十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第五十一條　第三十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第五十二條　第三十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第五十三條　第三十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第五十四條　第三十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第五十五條　第三十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第五十六條　第四十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第五十七條　第四十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第五十八條　第四十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第五十九條　第四十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第六十條　第四十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第六十一條　第四十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第六十二條　第四十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第六十三條　第四十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第六十四條　第四十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第六十五條　第四十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第六十六條　第五十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第六十七條　第五十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第六十八條　第五十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第六十九條　第五十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第七十條　第五十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第七十一條　第五十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第七十二條　第五十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第七十三條　第五十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第七十四條　第五十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第七十五條　第五十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第七十六條　第六十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第七十七條　第六十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第七十八條　第六十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第七十九條　第六十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第八十條　第六十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第八十一條　第六十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第八十二條　第六十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第八十三條　第六十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第八十四條　第六十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第八十五條　第六十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第八十六條　第七十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第八十七條　第七十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第八十八條　第七十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第八十九條　第七十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第九十條　第七十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第九十一條　第七十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第九十二條　第七十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第九十三條　第七十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第九十四條　第七十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第九十五條　第七十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第九十六條　第八十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第九十七條　第八十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第九十八條　第八十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第九十九條　第八十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百條　第八十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百一條　第八十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百二條　第八十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百三條　第八十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百四條　第八十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百五條　第八十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百六條　第九十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百七條　第九十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百八條　第九十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百九條　第九十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百十條　第九十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百十一條　第九十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百十二條　第九十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百十三條　第九十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百十四條　第九十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百十五條　第九十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百十六條　第百條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百十七條　第百一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百十八條　第百二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百十九條　第百三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百二十條　第百四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百二十一條　第百五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百二十二條　第百六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百二十三條　第百七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百二十四條　第百八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百二十五條　第百九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百二十六條　第百十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百二十七條　第百十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百二十八條　第百十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百二十九條　第百十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百三十條　第百十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百三十一條　第百十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百三十二條　第百十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百三十三條　第百十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百三十四條　第百十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百三十五條　第百十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百三十六條　第百二十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百三十七條　第百二十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百三十八條　第百二十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百三十九條　第百二十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百四十條　第百二十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百四十一條　第百二十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百四十二條　第百二十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百四十三條　第百二十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百四十四條　第百二十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百四十五條　第百二十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百四十六條　第百三十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百四十七條　第百三十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百四十八條　第百三十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百四十九條　第百三十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百五十條　第百三十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百五十一條　第百三十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百五十二條　第百三十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百五十三條　第百三十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百五十四條　第百三十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百五十五條　第百三十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百五十六條　第百四十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百五十七條　第百四十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百五十八條　第百四十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百五十九條　第百四十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百六十條　第百四十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百六十一條　第百四十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百六十二條　第百四十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百六十三條　第百四十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百六十四條　第百四十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百六十五條　第百四十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百六十六條　第百五十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百六十七條　第百五十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百六十八條　第百五十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百六十九條　第百五十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百七十條　第百五十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百七十一條　第百五十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百七十二條　第百五十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百七十三條　第百五十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百七十四條　第百五十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百七十五條　第百五十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百七十六條　第百六十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百七十七條　第百六十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百七十八條　第百六十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百七十九條　第百六十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百八十條　第百六十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百八十一條　第百六十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百八十二條　第百六十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百八十三條　第百六十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百八十四條　第百六十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百八十五條　第百六十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百八十六條　第百七十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百八十七條　第百七十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百八十八條　第百七十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百八十九條　第百七十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百九十條　第百七十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百九十一條　第百七十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百九十二條　第百七十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百九十三條　第百七十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百九十四條　第百七十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百九十五條　第百七十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百九十六條　第百八十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百九十七條　第百八十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百九十八條　第百八十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第百九十九條　第百八十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百條　第百八十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百一條　第百八十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百二條　第百八十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百三條　第百八十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百四條　第百八十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百五條　第百八十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百六條　第百九十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百七條　第百九十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百八條　第百九十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百九條　第百九十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百十條　第百九十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百十一條　第百九十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百十二條　第百九十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百十三條　第百九十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百十四條　第百九十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百十五條　第百九十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百十六條　第二百條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百十七條　第二百一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百十八條　第二百二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百十九條　第二百三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百二十條　第二百四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百二十一條　第二百五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百二十二條　第二百六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百二十三條　第二百七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百二十四條　第二百八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百二十五條　第二百九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百二十六條　第二百十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百二十七條　第二百十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百二十八條　第二百十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百二十九條　第二百十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百三十條　第二百十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百三十一條　第二百十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百三十二條　第二百十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百三十三條　第二百十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百三十四條　第二百十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百三十五條　第二百十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百三十六條　第二百二十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百三十七條　第二百二十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百三十八條　第二百二十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百三十九條　第二百二十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百四十條　第二百二十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百四十一條　第二百二十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百四十二條　第二百二十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百四十三條　第二百二十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百四十四條　第二百二十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百四十五條　第二百二十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百四十六條　第二百三十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百四十七條　第二百三十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百四十八條　第二百三十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百四十九條　第二百三十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百五十條　第二百三十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百五十一條　第二百三十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百五十二條　第二百三十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百五十三條　第二百三十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百五十四條　第二百三十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百五十五條　第二百三十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百五十六條　第二百四十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百五十七條　第二百四十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百五十八條　第二百四十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百五十九條　第二百四十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百六十條　第二百四十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百六十一條　第二百四十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百六十二條　第二百四十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百六十三條　第二百四十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百六十四條　第二百四十八條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス
第二百六十五條　第二百四十九條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下

第十條　契員總會ノ決議ハ本令又ハ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル契員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第十一條　主事及副主事ノ選任ハ總契員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

前項ノ規定ハ規約ノ變更竝ニ契ノ合併及解散ニ關スル決議ニ之ヲ準用ス

第十二條　契員ノ議決權ハ平等トス

第十三條　契員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

代理人ハ同居ノ戸主又ハ家族ナルコトヲ要ス

第十四條　殖産契ト或ル契員トノ關係ニ付決議ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ契員ハ議決權ヲ有セズ

第十五條　殖産契ハ合併又ハ解散ノ決議ヲ爲シタルトキハ財産目錄及貸借對照表竝ニ關スル契約書及合併後存續スル殖産契又ハ合併ニ因リテ設立スル殖産契ノ規約ヲ具シ道知事ノ認可ヲ受クベシ

第十六條　殖産契ハ合併ノ決議ノ認可アリタルトキハ二週間以內ニ財産目錄及貸借對照表ヲ作ルベシ

殖産契ハ前項ノ期間內ニ其ノ債權者ニ對シ異議アルトキハ一定ノ期間內ニ之ヲ述ブベキ旨ヲ規約ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スベシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ズ

第十七條　債權者ガ前條第二項ノ期間內ニ合併ニ對シ異議ヲ述ベザリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者ガ異議ヲ述ベタルトキハ殖産契ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非ザレバ合併ヲ爲スコトヲ得ズ

第十八條　合併後存續スル殖産契又ハ合併ニ因リテ設立シタル殖産契ハ合併ニ因リテ消滅シタル殖産契ノ權利義務ヲ承繼ス

第十九條　殖産契ガ合併シタルトキハ二週間以內ニ事務所ノ所在地ニ於テ合併後存續スル殖産契ニ在リテハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル殖産契ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一　規約ニ定メタル存立時期ノ滿了又ハ解散ノ事由ノ發生

二　合併

三　契員ノ缺亡

四　破産

五　殖産契ハ第十七條ノ解散命令

六　殖産契前條第一號、第二號又ハ第四號ノ事由ニ因リ解散シタルトキハ二週間以內ニ事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スベシ

第二十二條　解散シタル殖産契債務ヲ完濟シ殘餘ノ財産アルトキハ規約ノ定ムル所ニ依リ之ヲ處分スルモノトス

第二十三條　殖産契解散シタルトキハ合併又ハ破産ノ場合ヲ除ク外第二十四條乃至第三十一條ノ規定ニ依リ清算ヲ爲スコトヲ要ス

第二十四條　殖産契ノ清算ハ道知事ノ監督ニ屬ス

道知事ハ清算事務及財産ノ狀況ヲ檢査シ財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十五條　清算人ハ道知事之ヲ免ス

第二十六條　清算人ハ就職後二週間以內ニ事務所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名及住所ノ登記ヲ爲スベシ

前項ノ登記事項ニ變更アリタルトキハ清算人ハ二週間以內ニ事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スベシ

第二十七條　清算人ハ就職後遲滯ナク殖産契ノ財產ノ狀況ヲ調査シ財產目錄及貸借對照表ヲ作リ契員總會ヲ招集シ之ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第二十八條　清算人ハ殖産契ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非ザレバ殖産契ノ財產ヲ分配スルコトヲ得ズ

第二十九條　清算人ハ前條ノ手續ヲ終リタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ契員總會ヲ招集シ之ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第三十條　清算結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スベシ

清算人ハ清算ノ顚末ヲ道知事ニ報告スベシ

第三十一條　第十條、第十二條及第十三條竝ニ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第七十三條及第七十八條乃至第八十一條ノ規定ハ殖産契ノ清算ニ之ヲ準用ス

第三十二條　殖産契ノ登記ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方法院又ハ其ノ支廳若ハ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第三十三條　設立ノ登記ニ付登記スベキ事項左ノ如シ

一　目的

二　名稱

三　地區

四　事務所

五　屬スル金融組合又ハ產業組合ノ名稱

六　設立認可ノ年月日

七　主事及副主事ノ氏名及住所

八　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

前項ノ登記ノ申請書ニハ規約ヲ添附スベシ

第三十四條　前條第一項ノ登記事項ニ變更アリタルトキハ二週間以內ニ事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スベシ

登記事項變更ノ登記ノ申請書ニハ其ノ變更アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第三十五條　殖産契ノ解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且契員總會ノ決議ヲ因リテ解散シタル場合ニ在リテハ契員總會ノ決議錄、合併ニ因リテ解散シタル場合ニ在リテハ契員總會ノ決議錄竝ニ第十六條第二項及第十七條ノ規定ニ依ル手續ヲ爲シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第三十六條　殖産契ガ殖産契令第十七條ノ解散命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ道知事ノ囑託ニ因リテ登記ヲ爲スベシ

第三十七條　殖産契ニ關シ登記シタル事項ハ裁判所適當ナルノ之ヲ公告スベシ

第三十八條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第百四十一條乃至第百四十九條、第百五十條乃至第百五十四條乃至第百五十六條、第百五十八條乃至第百六十條及第百六十二條乃至第百六十四條乃至第百六十七條乃至第百七十八條乃至第百七十九條ノ規定ハ殖産契ノ登記ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和十年十二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

第七章　移住　拓殖

●農地移住奬勵補助規則

昭和十年五月
總令第七十八號

農地移住奬勵補助規則左ノ通定ム

農地移住奬勵補助規則

第一條　土地ノ耕作ニ從事スル目的ヲ以テ移住スル者ヲ招致シ其ノ旅費、住宅費、農具費其ノ他直接移住ニ必要ナル費用ノ全部又ハ一部ヲ給與シタル者ニ對シテハ本令ノ定ムル所ニ依リ每年度豫算ノ範圍內ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條　補助金ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ交付ス

一　全羅北道、全羅南道、慶尙北道又ハ慶尙南道ヨリ黃海道、平安南道、平安北道、咸鏡南道又ハ咸鏡北道ニ移住者ヲ招致シタル場合ニ於テハ移住者一戶ニ付百圓以內

二　前號ニ該當セザル移住者ニシテ朝鮮土地改良令ニ依リ土地改良ヲ施行スル土地ノ耕作ニ從事スルモノヲ招致シタル場合ニ於テハ移住者一戶ニ付五十圓以內

特別ノ事情アル場合ニ於テハ前項各號ノ制限ニ依ラザルコトアルモ

第三條　移住者十戶ニ達セザルトキ、補助金ヲ交付セズ但シ前條第一項第一號ニ該當スル移住者ノミヲ招致スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ移住者ト看做サズ

一　帝國外ヨリ移住スル者

二　單身移住スル者其ノ他定住ノ見込ナキ者

三　農業ニ經驗ナキ者

四　前住地ヨリ一里未滿ノ地ニ移住スル者

第五條　補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ豫メ移住者招致計畫書（樣式第一號）ヲ朝鮮總督ニ提出シ其ノ承認ヲ受クベシ移住者招致計畫書ヲ變更セントスルトキハ亦同シ

第六條　前條ノ承認ヲ受ケタル者每年豫定ノ移住者ヲ招致シタルトキハ翌年一月三十一日迄ニ補助金交付申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ朝鮮總督ニ之ヲ提出スベシ

一　移住者調書（樣式第二號）

二　給與シタル移住費ニ對スル移住者ノ領收書

三　移住地ノ府尹又ハ邑面長ノ移住證明書

四　第二條第一項第一號ニ該當スル移住者ニ付テハ前住地ノ府尹又ハ邑面長ノ退去證明書

第七條　朝鮮總督ハ第五條ノ承認ヲ受ケタル者ニ對シ移住者ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ書類物件ノ檢査ヲ爲サシムルコトアルベシ

第八條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ補助金ノ返納ヲ命ズルコトアルベシ

一　前條ノ規定ニ依ル檢査ヲ拒ミ又ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタルトキ

二　詐僞其ノ他不正ノ手段ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ

附　則

本令ハ昭和十年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

土地改良施行地移住奬勵補助規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前土地改良施行地移住奬勵補助規則ニ依リ爲シタル處分及之ニ附シタル條件ハ本令ニ依リ爲シタル處分及之ニ附シタル條件ト看做ス

本令施行前土地改良施行地移住奬勵補助規則ニ依リ爲シタル申請其ノ他ノ手續ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

●東洋拓殖株式會社法

明治四十一年八月
法律第六十三號
改正　明治四十三年四月第四九號、大正六年七月第二三號、昭和三年五月第七號

朝鮮總督ノ協贊ヲ經タル東洋拓殖株式會社法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

東洋拓殖株式會社法

第一章　總　則

第一條　東洋拓殖株式會社ハ朝鮮及外國ニ於ケル拓殖資金ノ供給其ノ他拓殖事業ノ經營ヲ目的トスル株式會社トシ其ノ本店ヲ東京ニ置ク

第二條　東洋拓殖株式會社ノ資本ハ一千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ增加スルコトヲ得

第三條　東洋拓殖株式會社ノ株式ハ總テ記名式トシ日本人ニ限リ之ヲ所有スルコトヲ得

第四條　東洋拓殖株式會社ノ資本增加ハ株金全額ノ拂込アルコトヲ要ス

第四條ノ二　東洋拓殖株式會社ノ定款變更ハ資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五條　東洋拓殖株式會社ノ存立時期ハ設立登記ノ日ヨリ百年トス但シ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ之ヲ延長スルコトヲ得

第六條　東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ之ヲ延長スルコトヲ得

第二章　役　員

第七條　東洋拓殖株式會社ニ總裁一人、理事三人以上、監事二人以上ヲ置ク

第八條　總裁ハ東洋拓殖株式會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

總裁事故アルトキハ理事中一人其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ總裁ヲ補助シ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監查ス

第九條　總裁ハ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ五年ト主總會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ選舉シ政府其ノ中ヨリ之ヲ命ジ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ三十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第十條　總裁及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス但シ政府ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三章　營　業

第十一條　東洋拓殖株式會社ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一　拓殖ノ爲必要ナル資金ノ供給

二　拓殖ノ爲必要ナル農業、水利事業及土地ノ取得、經營、處分

三　拓殖ノ爲必要ナル移住民ノ募集及分配

四　移住民ノ爲必要ナル建築物ノ築造、賣買及貸借

五　移住民又ハ農業者ニ對シ拓殖ノ爲必要ナル物品ノ供給及其ノ生產シタル物品ノ分配

六　委託ニ因ル土地ノ經營及管理

七　其ノ他拓殖ノ爲必要ナル事業ノ經營

前項第七號ノ事業ヲ經營シ又ハ外國ニ於テ前項第一號乃至第六號ノ事業ヲ營マムトスルトキハ其ノ事業及地域ニ付豫メ政府ノ認可ヲ受クベシ

第十二條　政府ハ必要ト認ムルトキハ前條第一項第一號以外ノ業務ニ使用スル資金ノ類ヲ制限スルコトヲ得

第十三條　第十一條第一項第一號ノ資金供給ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フヘシ

一　移住民ニ對シ二十五年以內ノ年賦償還又ハ五年以內ノ定期償還ノ方法ニ依ル移住費ノ貸付

二　生產者ニ對シ其ノ生產物ヲ擔保トスル一年以內ノ貸付

三　三十年以內ノ年賦償還又ハ五年以內ノ定期償還ノ方法ニ依ル不動產、鑛業權其ノ他不動產上ノ權利ヲ擔保トスル貸付

四　公共團體又ハ特別ノ法令ニ依リ組織シタル產業ニ關スル組合ニ對シ三十年以

内ノ年賦償還又ハ五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ル無擔保貸付

五　農業者二十人以上連帶シテ償務ヲ負フ者ニ對シ五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ル無擔保貸付

六　移民取扱業其ノ他拓殖事業ヲ營ムコトヲ目的トスル會社ノ株券又ハ債權ノ應募、引受

七　移民取扱業其ノ他拓殖事業ヲ營ムコトヲ目的トスル會社ノ株券又ハ債券ヲ質トスル五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ル貸付

八　法令ノ規定ニ依リ設定シタル財團其ノ他確實ナル物件ヲ擔保トスル三十年以内ノ年賦償還又ハ五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ル貸付

前項第二號ノ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ手形割引ノ方法ニ依ルコトヲ得

第十三條　東洋拓殖株式會社ハ定期預リ金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ定期預リ金ハ前條第一項第二號又ハ第七號ノ貸付ニ充ツル場合ヲ除クノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十四條　不動産ヲ擔保トスル貸付金額ハ東洋拓殖株式會社ニ於テ鑑定シタル價格ノ三分ノ二以内トス

第十五條　不動産ヲ擔保トスル貸付ニ付テハ第一順位ノ擔保ナルコトヲ要ス但シ將債ヲル場合ニ於テ東洋拓殖株式會社ヨリ借入ス新債ヲ以テ舊債ヲ償還スル效果ニ依リ新債ノ第一順位ノ擔保ト爲ルコトヲ得ヘキトハ此ノ限ニ在ラス

第十六條　貸付金ノ年賦償還ニ付テハ五年以内ノ据置年限ヲ定ムヘシ

第十七條　年賦金ハ元金ト利子トヲ併セテ之ヲ計算シ各年ヲ通シテ一定平等ノ償還額ヲ定ムヘシ但シ据置年限間ノ利子ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十八條　年賦償還ノ方法ヲ以テ借入ヲ爲シタル債務者ハ償還期限前ニ借用金ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ東洋拓殖株式會社ハ定款ニ於テ定ムル所ノ率ニ依リ相當ノ手數料ヲ要求スルコトヲ得

第十九條　左ノ場合ニ於テハ償還期限前ト雖貸付金全部ノ償還ヲ要求スルコトヲ得

一　債務者カ貸付ノ目的ニ反シテ貸付金ヲ使用シタルトキ

二　債務者カ年賦金ノ拂込ヲ遲延シ催告ヲ受クルモ尙拂込ヲ爲ササルトキ

三　擔保タル不動産ノ全部又ハ一部カ公用ノ爲收用セラルルトキ但シ債務者ニ於テ收用補償金ヲ供託シ又ハ相當ノ不動産ヲ以テ增擔保トスルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項第三號ノ場合ニ於テ其ノ收用カ一部ニ止マルトキハ償還ノ要求モ其ノ割合ニ應スヘキモノトス

第二十條　擔保物ノ價格減少シ貸付金償還殘額ニ對シ第十四條ノ割合ニ不足ヲ生シタルトキハ增擔保ヲ要求シ又ハ其ノ不足ニ相當スル貸付金額ノ償還ヲ要求スルコトヲ得

債務者前項ノ要求ニ應セサルトキハ償還期限前ト雖貸付金全部ノ償還ヲ要求スルコトヲ得

第二十一條　替業上ノ餘裕金ハ一時國債證券若ハ政府ノ認可ヲ受ケタル有價證券ヲ買入レ又ハ政府若ハ政府ノ指定シタル銀行ニ預ケ金ヲ爲スノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス

第二十二條　東洋拓殖株式會社ハ替業上必要アルトキハ政府ノ認可ヲ受ケ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二十二條ノ二　東洋拓殖株式會社ハ日本勤業銀行ノ代理店タルコトヲ得

東洋拓殖株式會社ハ日本勤業銀行ノ貸付ヲ代理シタル場合ニ於テハ日本勤業銀行ニ對シ債務者ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第四章　東洋拓殖債券

第二十三條　東洋拓殖株式會社ハ拂込資本額ノ十倍ヲ限リ東洋拓殖債券ヲ發行スルコトヲ得

東洋拓殖債券ヲル發行スル場合ニ於テハ商法第百九十九條ノ規定ヲ適用セス

第二十四條　東洋拓殖債券ヲ發行スルトキハ政府ノ認可ヲ受ケタル有價證券ヲ以テ擔保ヲ供スルコトヲ得

第二十五條　東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ發行ヲ停止シ又ハ發行シタル債券ヲ回收スルコトヲ得

第二十六條　東洋拓殖債券ハ金額拂込ノ後ハ無記名式トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名式ト爲スコトヲ得

第二十七條　東洋拓殖株式會社ノ所有者ハ東洋拓殖株式會社ノ社債ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ト辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

第二十八條　東洋拓殖株式會社ハ社債借換ノ爲一時第二十三條ノ制限ニ依ラス東洋拓殖債券ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ發行後一月以内ニ其ノ社債總額ニ相當スル舊東洋拓殖債券ヲ償還スヘシ

第二十九條　東洋拓殖債券ノ據置年限ハ五年以内トシ其ノ償還期限ハ三十年以内トス

第三十條　東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ東洋拓殖債券ノ買入銷却ヲ爲スコトヲ得

第五章　準備金

第三十一條　東洋拓殖株式會社ハ每營業期ニ準備金トシテ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立テ且利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第六章　政府ノ監督及補助

第三十二條　政府ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス

第三十三條　政府ハ東洋拓殖株式會社監理官ヲ設キ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監視セシム

東洋拓殖株式會社監理官ハ何時ニテモ東洋拓殖株式會社ノ金庫帳簿及諸般ノ文書物件ヲ檢査スルコトヲ得

東洋拓殖株式會社監理官ハ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ東洋拓殖株式會社ニ命シテ替業上諸般ノ計算及景況ヲ報告セシムルコトヲ得

東洋拓殖株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第三十四條　政府ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第三十五條　東洋拓殖株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルモノト認ムルトキハ政府ハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解職スルコトヲ得東洋拓殖株式會社ノ役員ニ於テ監督官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキ亦同シ

第三十六條　東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ利益金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條　東洋拓殖株式會社ニ於テ移住規則其ノ他ノ規定ヲ定ムルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第三十八條　東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ得

第三十九條　政府ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第三十五條　東洋拓殖株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルモノト認ムルトキハ政府ハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解職スルコトヲ得東洋拓殖株式會社ノ役員ニ於テ監督官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキ亦同シ

第三十六條　東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ利益金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條　東洋拓殖株式會社ニ於テハ移住規則其ノ他ノ規定ヲ定ムルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第三十八條　東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ得

第三十九條　政府ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

場合ニ於テハ每回其ノ金額、條件竝發行及償還ノ方法ヲ定メ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第二十五條　東洋拓殖債券ハ金額拂込ノ後ハ無記名式トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名式ト爲スコトヲ得

第二十六條　東洋拓殖債券ノ所有者ハ東洋拓殖株式會社ノ社債ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ト辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

第二十七條　東洋拓殖株式會社ハ社債借換ノ爲一時第二十三條ノ制限ニ依ラス東洋拓殖債券ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ發行後一月以内ニ其ノ社債總額ニ相當スル舊東洋拓殖債券ヲ償還スヘシ

第二十八條　東洋拓殖債券ノ據置年限ハ五年以内トシ其ノ償還期限ハ三十年以内トス

第二十九條　東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ東洋拓殖債券ノ買入銷却ヲ爲スコトヲ得

第三十條　東洋拓殖株式會社ハ每營業期ニ準備金トシテ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立テ且利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第三十一條　東洋拓殖株式會社ハ每營業期ニ準備金トシテ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立テ且利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第三十二條　政府ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス

第三十三條　政府ハ東洋拓殖株式會社監理官ヲ設キ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監視セシム

東洋拓殖株式會社監理官ハ何時ニテモ東洋拓殖株式會社ノ金庫帳簿及諸般ノ文書物件ヲ檢査スルコトヲ得

東洋拓殖株式會社監理官ハ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ東洋拓殖株式會社ニ命シテ替業上諸般ノ計算及景況ヲ報告セシムルコトヲ得

東洋拓殖株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第三十四條　政府ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第三十五條　東洋拓殖株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルモノト認ムルトキハ政府ハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解職スルコトヲ得東洋拓殖株式會社ノ役員ニ於テ監督官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキ亦同シ

第三十六條　東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ利益金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條　東洋拓殖株式會社ニ於テハ移住規則其ノ他ノ規定ヲ定ムルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第三十八條　東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ得

第三十九條　政府ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第四十條　利益配當カ拂込資本額ニ對シ年一割ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ハ前項ノ償還ヲ特別積立金トスヘシ

第四十條ノ二　政府ノ所有スル株式ニ對シテハ昭和二年度以降昭和六年度迄ノ每營業期ノ利益配當ニ限リ政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對スル配當ノ割合ヨリ年五分ヲ低下シタル割合ヲ以テ配當ヲ爲スコトヲ得

第七章　雜則

第四十一條　東洋拓殖株式會社ニ於テ左ノ罪犯アルトキハ總裁若ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ又ハ代理スル理事ヲ百圓以下二千圓以下ノ過料ニ處ス其ノ罪犯理事ノ分擔業務ニ係ルトキハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同シ

一　本法ニ於テ政府ノ認可ヲ受クヘキ場合ニ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

二　第十一條ノ規定ニ依ラス業務ヲ營ミタルトキ

三　第十二條又ハ第三十四條ノ規定ニ基キ發シタル命令ニ違反シタルトキ

三ノ二　第十三條、第十四條乃至第十七條ノ規定ニ違反シ資金ヲ供給シタルトキ

三ノ三　第十三條ノ二第二項ノ規定ニ違反シ預リ金ヲ使用シタルトキ

四　第二十一條ノ規定ニ違反シ營業上ノ餘裕金ヲ使用シタルトキ

五　第二十三條ノ規定ニ違反シ東洋拓殖債券ヲ發行シタルトキ但シ第二十八條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

六　第二十八條ノ規定ニ違反シ東洋拓殖債券ノ償還ヲ爲ササルトキ

七　第三十一條、第四十條又ハ第四十條ノ二ノ規定ニ違反シ利益金ヲ處分シタルトキ

第四十二條　東洋拓殖株式會社ノ總裁又ハ理事第十條ノ規定ニ違反シタルトキハ二十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第四十三條　前二條ニ規定セル過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

附　則

第四十四條　政府ハ設立委員ヲ命シ韓國政府ノ命シタル設立委員ト共同シテ東洋拓殖株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第四十五條　設立委員ハ定款ヲ作リ政府ノ認可ヲ受ケタル後株主ヲ募集スヘシ

第四十六條　設立委員ハ株主ノ募集終リタルトキハ株式申込書ヲ政府ニ差出シ東洋拓殖株式會社設立ノ認可ヲ申請スヘシ

第四十七條　設立認可アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク各株ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

前項ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

第四十八條　創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ東洋拓殖株式會社總裁ニ引渡スヘシ

第四十九條　第一期ノ理事及監事ハ株主總會ノ選擧ニ依ラス之ヲ任命ス其ノ他ノ條件ニ付テハ第九條ノ例ニ依リ但シ第九條ノ任期滿了後最近ノ定時株主總會會日迄留任スルコトヲ得

附　則（大正六年七月法律第二十三號）

本法ハ大正六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際現ニ理事タル者ノ任期ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

●鮮滿拓殖株式會社令

昭和十一年六月

制令第七號

鮮滿拓殖株式會社令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

鮮滿拓殖株式會社令

第一章　總則

第一條　鮮滿拓殖株式會社ハ西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル拓殖事業ノ經營及滿洲國ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル拓殖事業ニ對スル資金ノ供給ヲ爲スヲ目的トスル株式會社トシ其ノ本社ヲ京城ニ置ク

第二條　鮮滿拓殖株式會社ノ資本ハ二千萬圓トス但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ增加スルコトヲ得

第三條　鮮滿拓殖株式會社ハ株金全額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ增加スルコトヲ得

第四條　鮮滿拓殖株式會社ノ株券ハ記名式トシ帝國臣民、帝國法令ニ依リ設立シタル法人、滿洲國人又ハ滿洲國法令ニ依リ設立シタル法人ニ限リ之ヲ所有スルコトヲ得

第五條　鮮滿拓殖株式會社會ノ存立期間ハ設立登記ノ日ヨリ三十年トス但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ延長スルコトヲ得

第二章　役員

第六條　鮮滿拓殖株式會社ニ總裁一人、理事三人以上及監事二人以上ヲ置ク

第七條　總裁ハ鮮滿拓殖株式會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

總裁事故アルトキハ定款ノ定ムル所ニ從ヒ理事中一人其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ五十株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ選擧シ朝鮮總督其ノ中ヨリ之ヲ命ジ其ノ任期ハ四年トス

監事ハ三十株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第八條　總裁ハ朝鮮總督之ヲ命ジ其ノ任期ヲ五年トス

第九條　總裁及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三章　替業

第十條　鮮滿拓殖株式會社ハ左ノ業務ヲ替ムルモノトス

一　西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル土地ノ取得、經營及處分

二　西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル資金ノ貸付

三　西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル建築物ノ築造、賣買及貸借

四　西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル土地ノ委託ニ依ル經營及管理

五　其ノ他西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル事業

滿洲國ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル拓殖事業ヲ替ムコトヲ目的トスル會社ノ株式ノ引受及事業資金ノ貸付

前項第五號又ハ第六號ノ業務ヲ替マントスルトキハ株式申込書ヲ政府ニ差出シ東洋拓殖株式會社設立ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條　前條第一項第一號ノ土地ノ處分ノ方法及同項第二號ノ資金ノ貸付ノ方法ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條　替業上ノ餘裕金ハ國債證券、地方債證券若ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル有價證券ノ應募、引受若ハ買入ヲ爲スノ外之ヲ朝鮮總督ノ指定シタル銀行ニ預入ヲ爲スノ外之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第四章　鮮滿拓殖債券

第十三條　鮮滿拓殖株式會社ハ拂込ミタル株金額ノ三倍ヲ限リ鮮滿拓殖債券ヲ發行スルコトヲ得

鮮滿拓殖債券ヲ發行スル場合ニ於テハ朝鮮人移住者ノ爲必要ナル拓殖事業ノ經營ニ充ツル爲ノ外之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第十四條　鮮滿拓殖債券ヲ發行セントスルトキハ每回其ノ金額、條件竝ニ發行及償還ノ方法ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條　鮮滿拓殖債券ハ券面金額十圓以上トシ無記名式利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名式トスルコトヲ得

第十六條　券面金額二十圓以下ノ鮮滿拓殖債券ヲ發行スル場合ニ於テハ券面ノ方法ニ依ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ券面ノ方法ニ依ル

前項ノ場合ニ於テハ社債申込證ヲ作ルコトヲ要セズ

第一項ノ規定ニ依リ發行スル鮮滿拓殖債券ニハ商號並ニ朝鮮民事令ニ於テ社債ニ付定メタル商法第百七十三條第二號及第四號乃至第六號ニ揭ゲル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ社債申込證ニ記載シタル社債總額ニ達セザルトキト雖モ社債ヲ成立セシムル旨ヲ社債申込證ニ記載シタルトキハ其ノ應募總額ヲ以テ社債總額トス

第十四條　鮮滿拓殖債券ヲ發行セントスルトキハ每回其ノ金額、條件竝ニ發行及償還ノ方法ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條　鮮滿拓殖債券ハ券面金額十圓以上トシ無記名式利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名式トスルコトヲ得

第十六條　券面金額二十圓以下ノ鮮滿拓殖債券ヲ發行スル場合ニ於テハ券面ノ方法ニ依ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ券面ノ方法ニ依ル

前項ノ場合ニ於テハ社債申込證ヲ作ルコトヲ要セズ

第一項ノ規定ニ依リ發行スル鮮滿拓殖債券ニハ商號並ニ朝鮮民事令ニ於テ社債ニ付定メタル商法第百七十三條第二號及第四號乃至第六號ニ揭ゲル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第二

第三十五條　朝鮮總督ハ設立委員ヲ命ジ鮮滿拓殖株式會社ノ金庫、帳簿及諸般ノ文書物件ヲ檢査スルコトヲ得

鮮滿拓殖株式會社監理官ハ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ鮮滿拓殖株式會社ニ命ジ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十六條　鮮滿拓殖株式會社監理官ハ株主總會其ノ他日並ニ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第百二十六條第二項第二號、第四號及第五號ニ規定スル事項ヲ記載スベシ

第三十七條　株式申込證ニハ定款認可ノ年月及第三十六條第二項第二號、第四號ニ規定スル事項ヲ記載スベシ

第三十八條　設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ朝鮮總督ニ提出シ其ノ檢査ヲ受クベシ

第三十九條　設立委員ハ前條ノ檢査ヲ受ケタル後遲滯ナク各株ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

前項ノ拂込ハリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スベシ

第四十條　創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ鮮滿拓殖株式會社總裁ニ引渡スベシ

第四十一條　設立初度ノ理事ハ五十株以上ヲ有スル株主中ヨリ、設立初度ノ監事ハ三十株以上ヲ有スル株主中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ジ任期ハ理事ニ在リテハ四年、監事ニ在リテハ二年トス

第四十二條　朝鮮總督ハ鮮滿拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス

第四十三條　鮮滿拓殖株式會社ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ解任スルコトヲ得

第六章　罰則

第四十四條　鮮滿拓殖株式會社ノ役員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル理事ヲ百圓以上二千圓以下ノ過料ニ處スル理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ理事ヲ過料ニ處スルコトヲ亦同ジ

一　本令ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二　第十條第一項ノ規定ニ依ラズシテ業務ヲ營ミタルトキ

三　第十二條ノ規定ニ違反シ營業上ノ餘裕金ヲ使用シタルトキ

四　第十三條第一項ノ規定ニ違反シ鮮滿拓殖債券ヲ發行シタルトキ

五　第二十條ノ規定ニ違反シ鮮滿拓殖債券ノ償還ヲ爲サザルトキ

六　第二十七條ノ規定ニ基キテ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

第四十五條　鮮滿拓殖株式會社ノ總裁又ハ理事第十條ノ規定ニ違反シタルトキハ二十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第四十六條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附　則

第四十七條　本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和十一年六月總令第四十五號ヲ以テ昭和十一年六月十八日ヨリ施行）

第八章　勧業

第一款　商工奨勵館

●朝鮮總督府商工勵奨館規則

昭和四年十二月
總督令第四百六十七號

朝鮮總督府商工奨勵館規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮總督府商工奨勵館ハ商品ノ改良及販路ノ擴張ヲ圖ル爲左ニ掲グル業務ヲ行フ

一　商品ノ見本及參考品ノ蒐集及陳列

二　商品ノ試賣

三　商品及商取引ニ關スル各種ノ調査及紹介

四　商工業ニ關スル圖書其ノ他ノ刊行物ノ發行、蒐集及供覽

五　商品ノ意匠及圖案ニ關スル調査及研究

六　鮮内重要物産ニ關スル技術上ノ研究

七　産業發達上適切ナル諸集會ノ開催

八　其ノ他商品ノ改良及販路ノ擴張ニ關スル施設

第二條　本館ノ陳列品ハ參考品及賣品ノ二種トス

見本又ハ參考トシテ本館ニ於テ購入シ又ハ當業者其ノ他ヨリ出品又ハ寄贈シタル陳列品ヲ參考品トス

當業者ヨリ販賣ノ爲出品シタル陳列品ヲ賣品トス

第三條　本館ハ祭日、祝日及朝鮮總督府始政紀念日ノ翌日、月曜日並ニ十二月二十五日ヨリ翌年一月三日迄休館スル外毎日左ノ通開閉ス但シ時宜ニ依リ開閉時限ヲ變更シ、臨時開館若ハ休館シ又ハ一時觀覽若ハ關覽ヲ停止スルコトアルベシ此ノ場合ニ於テハ其ノ都度之ヲ公示ス

三月一日ヨリ六月三十日迄
午前九時開館　午後五時閉館

七月一日ヨリ八月三十一日迄
午前八時開館　午後三時閉館

九月一日ヨリ十月三十一日迄
午前九時開館　午後五時閉館

十一月一日ヨリ翌年二月末日迄
午前十時開館　午後四時閉館

閉館中ト雖官公署、學校、團體等ヨリ請メ申込アルトキハ特ニ觀覽又ハ關覽ヲ許可スルコトアルベシ

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノノ外出品又ハ寄贈ハ之ヲ受諾セズ

一　朝鮮内ノ生産品ニシテ現ニ取引大ナル

出期間内ニ於ケル鮮滿拓殖債券ノ賣上總額

第十七條　資本ノ方法ニ依リ鮮滿拓殖債券ヲ發行セントスルトキハ資本拂込ノ期間及朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第二百三十二條第二項第一號乃至第三號ニ掲グル事項ヲ公告スベシ

第十八條　鮮滿拓殖債券ノ所有者ハ鮮滿拓殖株式會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

第十九條　鮮滿拓殖債券ノ消滅時效ハ元金ニ在リテハ十五年、利子ニ在リテハ五年ヲ以テ完成ス

第二十條　鮮滿拓殖株式會社ハ社債借替ノ爲一時第十三條第一項ノ制限ニ依ラズ鮮滿拓殖債券ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ發行後一月以内ニ其ノ社債總額ニ相當スル舊鮮滿拓殖債券ヲ償還スベシ

第二十一條　鮮滿拓殖株式會社ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ鮮滿拓殖債券ノ買入償却ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　鮮滿拓殖債券ノ模造ニ關シテハ朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル通貨及證券僞造取締法ヲ準用ス

第五章　監督

第二十三條　朝鮮總督ハ鮮滿拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス

第二十四條　鮮滿拓殖株式會社借入金ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第二十五條　定款ノ變更、合併及解散ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十六條　鮮滿拓殖株式會社ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ利益金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十七條　朝鮮總督ハ鮮滿拓殖株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　朝鮮總督ハ鮮滿拓殖株式會社監理官ヲ置キ鮮滿拓殖株式會社ノ業務ヲ監視セシム

第二十九條　鮮滿拓殖株式會社監理官ハ何時ニテモ鮮滿拓殖株式會社ノ金庫、帳簿及諸般ノ文書物件ヲ檢査スルコトヲ得

鮮滿拓殖株式會社監理官ハ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ鮮滿拓殖株式會社ニ命ジ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

鮮滿拓殖株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第三十條　朝鮮總督ハ鮮滿拓殖株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲シタル處分若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第六章　罰則

第三十一條　鮮滿拓殖株式會社左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル理事ヲ百圓以下二千圓以下ノ過料ニ處スル理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ理事ヲ過料ニ處スルコトヲ亦同ジ

一　本令ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二　第十條第一項ノ規定ニ依ラズシテ業務ヲ營ミタルトキ

三　第十二條ノ規定ニ違反シ營業上ノ餘裕金ヲ使用シタルトキ

四　第十三條第一項ノ規定ニ違反シ鮮滿拓殖債券ヲ發行シタルトキ

五　第二十條ノ規定ニ違反シ鮮滿拓殖債券ノ償還ヲ爲サザルトキ

六　第二十七條ノ規定ニ基キテ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

第三十二條　鮮滿拓殖株式會社ノ總裁又ハ理事第十條ノ規定ニ違反シタルトキハ二十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第三十三條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附　則

第三十四條　本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和十一年六月總令第四十五號ヲ以テ昭和十一年六月十八日ヨリ施行）

二　朝鮮内ノ生産品ニシテ取引未ダ大ナラザルモ前途發達ノ見込アルモノ

三　朝鮮外ノ生産品ニシテ鮮内ノ生産發達ニ資スベキモノ

四　其ノ他本館ニ於テ必要アリト認ムルモノ

第五條　出品又ハ寄贈受諾書到達ノ上出品者又ハ寄贈者ニ於テ入記目錄ヲ添ヘ之ヲ本館ニ送付スベシ但シ出品者又ハ寄贈者ニ於テ現品ヲ持參スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノノ出品又ハ寄贈ハ之ヲ拒絶スルコトアルベシ

一　危險アリト認ムルモノ

二　腐敗ノ虞アリト認ムルモノ

三　風俗又ハ秩序ヲ紊ルノ虞アリト認ムルモノ

四　衛生上有害ト認ムルモノ

五　他ノ物品ニ妨害ヲ與フル虞アリト認ムルモノ

六　種類、性質、容積等ノ關係上本館ノ陳列ニ適セズト認ムルモノ

第七條　出品人ハ生産者、製造業者又ハ卸賣商人ナルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　出品ノ荷造及運送ニ要スル費用ハ出品人ノ負擔トス但シ返送ニ要スル費用ハ時宜ニ依リ本館ニ於テ支辨スルコトアルベシ

第九條　寄贈品ノ荷造及運送ニ要スル費用ハ本館ノ負擔トス

寄贈者ハ荷造及運送ニ要スル費用（不明ノ向ハ其ノ見込額）ヲ見込書摘要欄ニ記載スベシ

第十條　出品ノ原證及寄贈品ノ領收證ハ第二號樣式ニ依ル到著通知書ヲ以テ之ニ代フ

第十一條　陳列ハ無料トス但シ出品ノ容器、裝飾等ニ付本館ノ承認ヲ受ケ特別ノ裝置ヲ爲ス場合ニ於テハ之ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトアルベシ

前項ノ場合ニ於テ出品人之ニ應セザルトキ又ハ緊急ヲ要スルトキハ本館ニ於テ適宜之ヲ處分ス

第十五條　出品ニ關シ天災事變、盜難其ノ他避クベカラザル事由ニ因リテ生ジタル損害ニ付テハ之ガ賠償ノ責ニ任ゼズ

第三章　觀覽

第十六條　本館ノ觀覽時間ハ第三條ノ開館時間内トス

第十七條　本館ノ觀覽ハ無料トス

第十八條　猥褻、凶痴、酔狂其ノ他秩序風俗ヲ紊ルノ虞アリト認ムル者ニ對シテハ觀覽ヲ拒絶ス

第十九條　觀覽者ハ左ノ各號ノ規定ヲ遵守スベシ

一　館員ノ許諾ナクシテ陳列品ニ手ヲ觸ルコトヲ得ズ

二　館員ノ許諾ヲ得ルニ非ザレバ陳列品ヲ撮影又ハ模寫スルコトヲ得ズ

三　危險ナル物品ヲ攜帶スルコトヲ得ズ

四　館内ニ於テ喫煙、喧噪又ハ雜沓スベカラズ

五　喫煙ハ指定ノ場所以外ニ於テ之ヲ爲スベカラズ

六　陳列品ニ關シ說明又ハ紹介ヲ求メントスルトキハ館員ニ申出ヅベシ

第二十條　館内ノ秩序及館員ノ注意ニ從フベシ

第四章　賣捌

第二十一條　陳列品ニハ賣品ノ表示ヲ爲スベシ

第二十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二十三條　賣品ノ賣捌ハ現金ニ限ル

第二十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第三十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第三十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第三十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第三十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第三十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第三十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第三十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第三十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第三十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第三十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第四十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第四十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第四十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第四十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第四十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第四十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第四十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第四十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第四十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第四十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第五十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第五十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第五十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第五十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第五十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第五十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第五十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第五十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第五十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第五十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第六十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第六十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第六十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第六十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第六十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第六十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第六十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第六十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第六十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第六十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第七十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第七十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第七十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第七十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第七十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第七十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第七十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第七十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第七十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第七十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第八十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第八十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第八十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第八十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第八十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第八十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第八十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第八十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第八十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第八十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第九十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第九十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第九十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第九十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第九十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第九十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第九十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第九十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第九十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第九十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百二十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百二十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百二十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百二十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百二十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百二十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百二十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百二十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百二十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百二十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百三十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百三十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百三十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百三十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百三十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百三十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百三十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百三十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百三十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百三十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百四十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百四十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百四十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百四十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百四十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百四十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百四十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百四十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百四十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百四十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百五十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百五十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百五十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百五十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百五十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百五十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百五十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百五十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百五十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百五十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百六十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百六十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百六十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百六十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百六十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百六十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百六十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百六十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百六十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百六十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百七十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百七十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百七十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百七十三條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百七十四條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百七十五條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百七十六條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百七十七條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百七十八條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百七十九條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百八十條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百八十一條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百八十二條　賣品ノ賣捌ハ本館ニ於テ之ヲ爲ス

第二百八

出品寄贈申込書

昭和　年　月　日

住所
申込人

左記出品寄贈致度此段及申込候也

朝鮮總督府商工奨勵館　御中

番號	品名	形狀地質又ハ模様	員數	單位(一箇又ハ一組)價格 小賣價格	卸賣價格	摘要

裏面

解說（解說多岐ニ渉ルトキハ別紙ト爲スヲ妨ゲズ）

一　品名
一　商號商標及製造人
一　製造所販賣所代理販賣店ノ位置
一　品質及用途
一　箇年製産額、數量　價額
一　箇年販賣額
一　主ナル販路
一　開業年月
一　其ノ他參考事項

（注意）一　價額ハ國稅、運賃、販賣手數料其ノ他諸掛ヲ計上シ京城ニ於テ卸賣及小賣シ得ベキモノタルヲ要ス
一　價額ハ徒ラニ低廉ニ失シ將來販路等ニ惡影響ナキ樣注意スベシ披露廣告等ノ爲割引販賣ヲ爲サントスルモノハ其ノ理由及歩合ヲ摘要欄ニ記スベシ

取扱者認印

（第二號樣式）

出品寄贈品到著通知書

昭和　年　月　日

殿

朝鮮總督府商工奨勵館

左記出品寄贈品　年　月　日到著致候ニ付及通牒候也

番號	品名	數量	單價	價額	事故	摘要

第二款　奨勵

●製鐵業奨勵法ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件

大正十五年四月
勅令第五十九號

於製鐵業奨勵法ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

製鐵業奨勵法ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件

第一條　一ノ場所ニ於テ一年三萬五千瓲以上ノ製銑能力及一年三萬五千瓲以上ノ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ以テ替ム製鐵事業ハ土地收用法第二條ノ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業トシ同法ヲ適用スル一定ノ期間內ニ前條ニ規定スル設備ヲ新設シタル製鐵事業者ニハ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ十五年間其ノ設備ヲ以テ替ム製鐵事業ニ付所得稅及營業收益稅ヲ免除ス

前項ノ製鐵事業者其ノ設備完成前其ノ設備ノ一部ヲ以テ製鐵事業ヲ替ム場合ニ於テモ其ノ事業ニ付營業稅、營業收益稅及所得稅ヲ免除スル但シ前項ノ規定ニ依リ期間內ニ設備ヲ完成セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二條　主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間內ニ前條ニ規定スル設備ヲ新設シタル製鐵事業者ニハ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ十五年間其ノ設備ヲ以テ替ム製鐵事業ニ付所得稅及營業收益稅ヲ免除ス

前項ノ製鐵事業者其ノ設備完成前其ノ設備ノ一部ヲ以テ製鐵事業ヲ替ム場合ニ於テモ其ノ事業ニ付營業稅、營業收益稅及所得稅ヲ免除スル但シ前項ノ規定ニ依リ期間內ニ設備ヲ完成セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三條　第一條ノ規定ニ該當セサル設備ヲ以テ製鐵事業ヲ營ム者主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間內ニ第一條ノ規定ニ該當スル至ルヘキ設備ヲ增設シタルトキハ其ノ增設シタル設備ヲ以テ營ム製鐵事業ニ付前條ノ規定ヲ準用ス

第一條ニ規定スル設備ヲ以テ製鐵事業ヲ營ム者作業上必要ナル場合ニ於テ主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間內ニ其ノ場所ニ於テ製銑又ハ製鋼ノ設備ヲ增設シタルトキ亦前項ニ同シ

第四條　主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間內ニ一ノ場所ニ於テ一年五千二百五十瓲以上ノ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ新設シタル鍛鋼品製造事業者ニ付テハ第二條ノ規定ヲ準用ス

主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間內ニ一ノ場所ニ於テ一年二千五百瓲以上ノ製銑能力又ハ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ新設シタル低燐銑製造事業者、坩堝製鋼事業者及電氣製鐵事業者ニ付前項ニ同シ

第五條　第一條乃至前條ニ規定スル製鐵事業ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　製鐵ノ事業ヲ繼續スル者又ハ其ノ事業ヲ繼續スルモノト認ムヘキ事實アル者ハ前事業者カ本法ニ依リ所得稅及營業收益稅ヲ免除セラルヘキ期間內ニ在ルトキハ其ノ期間ヲ繼承ス

國カ前項ノ前事業者ナル場合ニ於テ其ノ事業ニ付第二條乃至第四條ノ製鐵事業ニ相當スルモノナルトキハ之ヲ本法ニ依リ營業稅、營業收益稅及所得稅ノ免除ヲ受クル製鐵事業ト雖モ北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ本法ニ依リ（第二條第三項但書ノ場合ヲ含ム）所得稅及營業收益稅ヲ免除セラルル製鐵非業者ニハ第二條第三項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル所得稅及營業收益稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ免除セラルル事業ニ屬スル資本金額、從業者、營業用ノ作物若ハ物件、使用動力又ハ收入ヲ標準シテ課稅スルコトヲ得ス但シ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノニシテ特別ノ事情ニ基キ主務官廳ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　帝國內ニ於テ製造シタル鋼材カ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用セラレタル場合ニ於テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ鋼材ヲ製造者ニ對シ奨勵金ヲ交付スルコトヲ得

第十條　詐欺ノ行爲ヲ以テ前條ノ奨勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ金額ヲ償還セシム

前項ノ規定ニ依ル償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

第十一條　第一條ニ規定スル製鐵事業ノ爲必要ナル器具、機械其ノ他ノ材料ヲ主務官廳ノ認可ヲ受ケ輸入スルトキハ本法施行ノ日ヨリ十五年間命令ノ定ムル所ニ依リ輸入稅ヲ免除ス

第十二條　本法ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年四月勅令第五十七號ヲ以テ大正十五年四月十日ヨリ施行）

本法施行ノ際現ニ土地收用法ノ適用ヲ受ケ又ハ輸入稅ノ免除ヲ受クルコトヲ得ヘキ製鐵事業ニシテ第一條ノ規定ニ該當セサルモノニ付テハ本法施行後十年間仍從前ノ例ニ依ル

●製鐵業奨勵法施行令

大正十五年四月
勅令第五十八號
改正　昭和七年六月第八四號、九年一月第一號、一二年六月第一〇六號

第一條　製鐵業奨勵法第一條乃至第四條ニ規定スル製鐵事業ハ銑鐵、鋼鐵、壓延鋼材（軌條及纖目板ヲ含ム）鍛鋼製品若ハ鑄鋼製品ノ素材又ハ商工大臣ノ指定シタル副生物ノ製造ニ關スル事業トス

第一條　製鐵業奨勵法第一條乃至第三條ニ規定スル製鐵事業ハ製銑ニ在リテハ一ノ爐ニ付一日ノ製銑量百瓲以上ノ能力ヲ有スル設備ヲ有スルモノ、製鋼ニ在リテハ一ノ爐ニ付二同ノ製鋼量平爐ニ在リテハ二十五瓲以上、轉爐ニ在リテハ五瓲以上ノ能力ヲ有スル設備ヲ有スルモノトス

製鐵業奨勵法第四條第二項ノ低燐銑鐵製造事業ハ燐ノ標準含有量萬分ノ三以下ノ銑鐵ノ製造事業トス

第二條　製鐵業奨勵法第二條乃至第四條ノ期間ハ製鐵能力一年三萬五千瓲未滿ノ場合ニ在リテハ二年以內、十萬瓲未滿ノ場合ニ在リテハ三年以內、十萬瓲未滿ノ場合ニ在リテハ五年以內、二十萬瓲以上ノ場合ニ在リテハ七年以內ニ於テ商工大臣之ヲ定ム

前二項ノ製鐵事業ヨリ生スル所得又ハ純益カ法人ニ在リテハ各事業年度、個人ニ在リテハ各年ノ資本金額ニ對シ年ノ百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前二項ノ規定ヲ適用セス但シ所得稅法第十九條又ハ營業收益稅第八條ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

前項ノ資本金額ノ計算方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　第一條ノ規定ニ該當セサル設備ヲ以テ製鐵事業ヲ營ム者主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間內ニ第一條ノ規定ニ該當スル至ルヘキ設備ヲ增設シタルトキハ其ノ增設シタル設備ヲ以テ營ム製鐵事業ニ付前條ノ規定ヲ準用ス

第一條ニ規定スル設備ヲ以テ製鐵事業ヲ營ム者作業上必要ナル場合ニ於テ主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間內ニ其ノ場所ニ於テ製銑又ハ製鋼ノ設備ヲ增設シタルトキ亦前項ニ同シ

第四條　主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間內ニ一ノ場所ニ於テ一年五千二百五十瓲以上ノ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ新設シタル鍛鋼品製造事業者ニ付テハ第二條ノ規定ヲ準用ス

主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間內ニ一ノ場所ニ於テ一年二千五百瓲以上ノ製銑能力又ハ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ新設シタル低燐銑製造事業者、坩堝製鋼事業者及電氣製鐵事業者ニ付前項ニ同シ

第五條　第一條乃至前條ニ規定スル製鐵事業ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　製鐵ノ事業ヲ繼續スル者又ハ其ノ事業ヲ繼續スルモノト認ムヘキ事實アル者ハ前事業者カ本法ニ依リ所得稅及營業收益稅ヲ免除セラルヘキ期間內ニ在ルトキハ其ノ期間ヲ繼承ス

國カ前項ノ前事業者ナル場合ニ於テ其ノ事業ニ付第二條乃至第四條ノ製鐵事業ニ相當スルモノナルトキハ之ヲ本法ニ依リ營業稅、營業收益稅及所得稅ノ免除ヲ受クル製鐵業ト雖モ北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ本法ニ依リ（第二條第三項但書ノ場合ヲ含ム）所得稅及營業收益稅ヲ免除セラルル製鐵非業者ニハ第二條第三項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル所得稅及營業收益稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ免除セラルル事業ニ屬スル資本金額、從業者、營業用ノ作物若ハ物件、使用動力又ハ收入ヲ標準シテ課稅スルコトヲ得ス但シ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノニシテ特別ノ事情ニ基キ主務官廳ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　帝國內ニ於テ製造シタル鋼材カ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用セラレタル場合ニ於テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ鋼材ヲ製造者ニ對シ奨勵金ヲ交付スルコトヲ得

第十條　詐欺ノ行爲ヲ以テ前條ノ奨勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ金額ヲ償還セシム

前項ノ規定ニ依ル償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

第十一條　第一條ニ規定スル製鐵事業ノ爲必要ナル器具、機械其ノ他ノ材料ヲ主務官廳ノ認可ヲ受ケ輸入スルトキハ本法施行ノ日ヨリ十五年間命令ノ定ムル所ニ依リ輸入稅ヲ免除ス

第十二條　本法ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年四月勅令第五十七號ヲ以テ大正十五年四月十日ヨリ施行）

本法施行ノ際現ニ土地收用法ノ適用ヲ受ケ又ハ輸入稅ノ免除ヲ受クルコトヲ得ヘキ製鐵事業ニシテ第一條ノ規定ニ該當セサルモノニ付テハ本法施行後十年間仍從前ノ例ニ依ル

本法施行ノ際現ニ營業稅及所得稅ノ免除ヲ受ケ又ハ營業收益稅ノ免除ヲ受クル製鐵事業ト雖モ本法施行ノ日ヨリ十年間ハ其ノ免除ヲ繼續ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際現ニ營業稅及所得稅ノ免除ヲ受ケ又ハ營業收益稅ノ免除ヲ受クル製鐵事業ト雖モ本法施行ノ日ヨリ十年間ハ其ノ免除ヲ繼續ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和九年一月勅令第九號ヲ以テ昭和九年二月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十一年五月法律第三十二號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條第三項及第七條ノ改正規定ハ法人ニ付テハ本法施行ノ日以後終了スル事業年度分ヨリ之ヲ適用ス

大正九年法律第十二號第七條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第七條ノ二　前條ノ規定ニ該當スル製造業者カ製鐵業奨勵法ニ定ムル能力ヲ有スル設備ヲ以テ替ム製鐵事業ヲ繼續スルモノト認ムヘキ事實アル者又ハ其ノ事業ヲ繼續スルモノト認ムヘキ事實アル者ハ之ヲ所得稅法施行地ニ在ル製鐵事業ト看做シ製鐵業奨勵法第二條第三項ノ金額ヲ計算ス

（昭和十一年六月勅令第百五號ヲ以テ昭和十一年六月十五日ヨリ施行）

●昭和八年法律第四十八號製鐵業奨勵法中改正法律ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件

昭和九年一月
勅令第十一號

於昭和八年法律第四十八號製鐵業奨勵法中改正法律ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

昭和八年法律第四十八號附則第二項及第三項ハ之ヲ朝鮮ニ施行ス

附　則

本令ハ昭和八年法律第四十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●製鐵業奨勵法施行令

大正十五年四月
勅令第五十八號
改正　昭和七年六月第八四號、九年一月第一號、一二年六月第一〇六號

於製鐵業奨勵法施行令改正ノ件裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

製鐵業奨勵法施行令

第一條　製鐵業奨勵法第一條乃至第四條ニ規定スル製鐵事業ハ銑鐵、鋼鐵、壓延鋼材（軌條及纖目板ヲ含ム）鍛鋼製品若ハ鑄鋼製品ノ素材又ハ商工大臣ノ指定シタル副生物ノ製造ニ關スル事業トス

第一條　製鐵業奨勵法第一條乃至第三條ニ規定スル製鐵事業ハ製銑ニ在リテハ一ノ爐ニ付一日ノ製銑量百瓲以上ノ能力ヲ有スル設備ヲ有スルモノ、製鋼ニ在リテハ一ノ爐ニ付二同ノ製鋼量平爐ニ在リテハ二十五瓲以上、轉爐ニ在リテハ五瓲以上ノ能力ヲ有スル設備ヲ有スルモノトス

製鐵業奨勵法第四條第二項ノ低燐銑鐵製造事業ハ燐ノ標準含有量萬分ノ三以下ノ銑鐵ノ製造事業トス

第二條　製鐵業奨勵法第二條乃至第四條ノ期間ハ製鐵能力一年三萬五千瓲未滿ノ場合ニ在リテハ二年以內、十萬瓲未滿ノ場合ニ在リテハ三年以內、十萬瓲未滿ノ場合ニ在リテハ五年以內、二十萬瓲以上ノ場合ニ在リテハ七年以內ニ於テ商工大臣之ヲ定ム

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ハ所得税法第二十四條又ハ第二十五條ノ規定ニ依リ所得ヲ申告スルトキ製鐵業奨勵法第二條ノ規定ニ依リ計算シタル免除ヲ受ケル所得及資本金額ノ明細書ヲ添附シ其ノ旨前項ノ場合ニ於テ所得税ノ免除ヲ受ケル製鐵事業ヨリ生スル所得ト其ノ他ノ所得トヲ有スルトキハ之ヲ區別シタル計算書ヲ添附スヘシ

第六條ノ三　營業收益税ノ免除ヲ受ケントスル者ハ營業收益税法第十一條又ハ第廿二條ノ規定ニ依リ純益金額ヲ申告スルトキ製鐵業奨勵法第二條ノ規定ニ依リ計算シタル免除ヲ受ケル純益及資本金額ノ明細書ヲ添附シ其ノ旨所轄税務署ニ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テ營業收益税ノ免除ヲ受ケル製鐵事業ヨリ生スル純益ト其ノ他ノ純益トヲ有スルトキハ之ヲ區別シタル計算書ヲ添附スヘシ

第七條　製鐵業奨勵法第九條ノ奨勵金ハ左ニ掲クル鋼材ニシテ本令施行後ノ製造ニ係リ其ノ製造者又ハ其ノ製造者ヨリノ之ヲ讓受ケタル者カ鐵鋼船ノ建造又ハ修繕ニ使用シタルモノニ付之ヲ交付スル但シ國ノ工場ニ於テ製造セラレタル鋼材ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一　鋼塊及鋼片（鍛造用モノヲ除ク）

二　條及竿（テー形、アングル形等ノ形狀ヲ有スルモノ及タービンブレーディングヲ含ム）

三　板

四　筒及管（鑄タルモノヲ除ク）

前項第一號ニ掲クル鋼材ヲ其ノ製造者カ加工シテ讓渡シタルトキハ其ノ素材タル鋼材ニ付奨勵金ヲ交付ス

第八條　前條ノ奨勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ其ノ者カ鋼材ヲ鐵鋼船ノ建造又ハ修繕ニ使用セムトスル場合ニ在リテハ其ノ使用ノ前、其ノ他ノ場合ニ在リテハ鋼材引渡ノ前ニ其ノ鋼材ノ種類、數量、用途、製造時期及製造工場ヲ記載シタル届書ヲ商工大臣ニ提出スヘシ

第九條　第七條ノ奨勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ其ノ製造ニ係リ其ノ製造者又ハ其ノ製造者ヨリノ之ヲ讓受ケタル者カ鐵鋼船ノ建造又ハ修繕ニ使用シタルモノニ付之ヲ交付スル但シ製鐵業奨勵法第二條ノ規定ニ依リ計算シタル免除ヲ受ケル純益及資本金額ノ明細書ヲ添附シ其ノ旨所轄税務署ニ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テ營業收益税ノ免除ヲ受ケル製鐵事業ヨリ生スル純益ト其ノ他ノ純益トヲ有スルトキハ之ヲ區別シタル計算書ヲ添附スヘシ

第十條　第七條ノ奨勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ其ノ製造ニ係リ其ノ製造者又ハ其ノ製造者ヨリノ之ヲ讓受ケタル鋼材ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　輸入税ノ免除ヲ受ケントスル者ハ其ノ製造者カ加工シテ讓渡シタルトキハ其ノ素材タル鋼材ニ付奨勵金ヲ交付ス

第八條　前條ノ奨勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ其ノ者カ鋼材ヲ鐵鋼船ノ建造又ハ修繕ニ使用セムトスル場合ニ在リテハ其ノ使用ノ前、其ノ他ノ場合ニ在リテハ鋼材引渡ノ前ニ其ノ鋼材ノ種類、數量、用途、製造時期及製造工場ヲ記載シタル届書ヲ商工大臣ニ提出スヘシ

第九條　第七條ノ奨勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ其ノ製造ニ係リ其ノ製造者又ハ其ノ製造者ヨリノ之ヲ讓受ケタル者カ鐵鋼船ノ建造又ハ修繕ニ使用シタルモノニ付之ヲ交付スル但シ製鐵業奨勵法第二條ノ規定ニ依リ計算シタル免除ヲ受ケル純益及資本金額ノ明細書ヲ添附シ其ノ旨所轄税務署ニ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テ營業收益税ノ免除ヲ受ケル製鐵事業ヨリ生スル純益ト其ノ他ノ所得トヲ有スルトキハ之ヲ區別シタル計算書ヲ添附スヘシ

第十一條　輸入税ノ免除ヲ受ケントスル者ハ其ノ製造者カ加工シテ讓渡シタルトキハ其ノ素材タル鋼材ニ付奨勵金ヲ交付ス

第十二條　輸入税ノ免除ヲ受ケントスル者ハ輸入申告ヲ爲ス場合ニ於テ商工大臣ノ輸入認可書ヲ添附スヘシ

前項ノ輸入申告ハ製鐵事業者ノ名ヲ以テスルコトヲ要ス

第十三條　輸入税ノ免除ヲ受ケタル物ヲ目的タル用途ニ供セサルトキハ其ノ輸入税ヲ追徴ス但シ其ノ物ヲ製鐵業奨勵法ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受クルコトヲ得ヘキ他ノ用途ニ使用セムトスル場合ニ於テ商工大臣ノ認可ヲ受ケ且ツ輸入税ニ相當スル金額ヲ納付シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　商工大臣必要ト認ムルトキハ所得税及營業收益税ノ免除ヲ受ケントスル者ニ對シ製鐵事業ニ關スル書類又ハ製鐵原料若ハ製品ノ試料ノ提出ヲ命シ又ハ當該官吏ヲシテ製鐵事業ニ關スル設備、帳簿其ノ他ノ物件ノ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得輸入税ノ免除ヲ受ケ又ハ受ケントスル者ニ對シ亦同シ商工大臣必要ト認ムルトキハ奨勵金ノ交付ヲ受ケ又ハ受ケントスル者ニ對シ前項ノ書類又ハ試料ノ提出ヲ命シ當該官吏ヲシテ前項ノ檢査ヲ爲サシメ其ノ他必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十五條　敎税官吏又ハ税關官吏必要ト認ムルトキハ前條第一項ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第十六條、第二條、第八條乃至第十條及第十四條中商工大臣トアルハ製鐵業奨勵法ヲ朝鮮ニ施行スル範圍ニ於テハ朝鮮總督トス

附　則

本令ハ大正十五年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

製鐵業奨勵法附則第二項ニ規定スル製鐵事業ニ付テハ第一條第一項第一號乃至第五號及第八號ニ掲クル事項ヲ豫メ朝鮮總督ニ届出スヘシ

前項ノ事業報告書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一　營業概況

二　設備概況

三　各製鐵所ノ作業聯絡ノ方法（作業順序ノ概略ヲ記載スヘシ）

四　各製鐵所間ノ作業聯絡ノ方法（作業順序ノ概略ヲ記載スヘシ）

五　熔銑ノ供給豫定額及其ノ熔銑ヲ使用シテ製造スル鋼鐵ノ生産豫定額

六　熔銑ノ供給スル製鐵所ニ於ケル銑鐵生産豫定額及其ノ原料取得ノ計畫

七　各製鐵所間ニ於ケル繼續シテ熔銑ヲ供給スルコトヲ目的トスル契約

前二項ノ規定ニ依リ届出タル事項ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第四條　製鐵業奨勵法第八條ノ奨勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ製鐵業奨勵法施行令第六條ノ區別ニ從ヒ奨勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ製鐵業奨勵法施行令第三條ノ交付ヲ受ケントスル者ハ第一條第一項第一號乃至第五號及第八號ニ掲クル事項ヲ豫メ朝鮮總督ニ届出ツヘシ但シ製鐵業奨勵法施行令第三條ノ交付ヲ受ケントスル者ハ此ノ限ニ在ラス

一　各製鐵所ノ名稱及位置

二　各製鐵所ノ事業資金ノ總額及其ノ出資方法

三　各製鐵所設備ノ概要及設計圖

四　各製鐵所間ノ作業聯絡ノ方法（作業順序ノ概略ヲ記載スヘシ）

五　熔銑ノ供給豫定額及其ノ熔銑ヲ使用シテ製造スル鋼鐵ノ生産豫定額

六　熔銑ノ供給スル製鐵所ニ於ケル銑鐵生産豫定額及其ノ原料取得ノ計畫

七　各製鐵所間ニ於ケル繼續シテ熔銑ヲ供給スルコトヲ目的トスル契約

前二項ノ規定ニ依リ届出タル事項ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第四條　製鐵業奨勵法第八條ノ奨勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ製鐵業奨勵法施行令第六條ノ區別ニ從ヒ奨勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ製鐵業奨勵法施行令第三條ノ交付ヲ受ケントスル者ハ第一條第一項第一號乃至第五號及第八號ニ掲クル事項ヲ豫メ朝鮮總督ニ届出ツヘシ但シ製鐵業奨勵法施行令第三條ノ交付ヲ受ケントスル者ハ此ノ限ニ在ラス

一　各製鐵所ノ名稱及位置

二　各製鐵所ノ事業資金ノ總額及其ノ出資方法

三　各製鐵所設備ノ概要及設計圖

四　各製鐵所間ノ作業聯絡ノ方法（作業順序ノ概略ヲ記載スヘシ）

五　熔銑ノ供給豫定額及其ノ熔銑ヲ使用シテ製造スル鋼鐵ノ生産豫定額

六　熔銑ノ供給スル製鐵所ニ於ケル銑鐵生産豫定額及其ノ原料取得ノ計畫

七　各製鐵所間ニ於ケル繼續シテ熔銑ヲ供給スルコトヲ目的トスル契約

前二項ノ規定ニ依リ届出タル事項ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第十條　奨勵金ノ交付ヲ受ケ又ハ受ケントスル者ハ其ノ製鐵事業ニ付毎年一月三十一日迄ニ其ノ前年ノ事業報告書ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ

前項ノ事業報告書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一　營業概況

二　設備概況

（一）敷地面積

（二）工場建物ノ棟數及建坪

（三）銑鐵、鋼鐵及鋼材ノ製造ノ設備及能力

（四）原動機ノ種類、用途數及實馬力

（五）輸送設備

（六）其ノ他主要ナル設備

三　作業概況（主要ナル設備ニ記載スヘシ）

（一）操業開始ノ時期

（二）操業日數

（三）勞働者數及其ノ延工數

（四）生産額（生産物別ニ記載スヘシ）

（五）主要ナル原料及燃料ノ使用額（主要ナル原料及燃料ノ使用額ニ記載スヘシ）

附　則

本令ハ大正十五年四月十日ヨリ之ヲ適用ス

第七條ノ管海官廳ノ承認ヲ受ケヘキ事項ニ付テハ大正十五年五月十四日迄ハ仍從前ノ例ニ依ル

第九章　特許　意匠　商標

第一款　特許

●特許法等ヲ朝鮮ニ施行スル件

係ル第七條ノ鋼材ニシテ第八條第一項ノ使用又ハ引渡カ本令施行前ナルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依リ、本令施行後ナルモノニ付テハ本令ノ規定ニ準シ奨勵金ヲ交付ス

附　則（昭和七年六月勅令第八十四號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十條第一項第二號又ハ第三號ニ該當スル鋼材ニシテ本令施行前第八條第一項ノ使用又ハ引渡アリタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和九年一月勅令第十一號）

本令ハ昭和八年法律第四十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和八年法律第四十八號附則第二項ニ規定スル銑鉄ノ奨勵金ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第十條第一項各號ノ一ニ該當スル鋼材ニシテ本令施行前第八條第一項ノ使用又ハ引渡アリタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和十一年六月勅令第百六號）

本令ハ昭和十一年法律第三十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●製鐵業奨勵法施行規則

大正十五年五月
總令第四十五號

製鐵業奨勵法施行規則左ノ通改正ス

製鐵業奨勵法施行規則

第一條　製鐵業奨勵法第八條第二條ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ工事著手前左ニ掲クル事項ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ

一　製鐵所ノ名稱及位置

二　事業資金ノ總額及其ノ出資方法

三　設備ノ概要及設計圖

四　生産豫定額（種類別ニ記載スヘシ）

五　生産豫定額ノ種類、數量、用途、製造時期及製造工場

六　工事ノ著手及完成ノ時期

七　工事計畫ノ概要及其ノ豫算（年度別ヲ示スヘシ）

八　原料取得ノ計畫

前項ノ申請書ニハ工事施行仕様書及製鐵事業者法人タルトキハ其ノ定款ヲ添附スヘシ

第二條　製鐵業奨勵法第八條第二號ノ認可ヲ受ケタル者其ノ設備ヲ完成シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第三條　製鐵業奨勵法第八條第一號ノ奨勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一條第一項第一號乃至第五號及第八號ニ掲クル事項ヲ豫メ朝鮮總督ニ届出ツヘシ但シ製鐵業奨勵法施行令第三條ノ交付ヲ受ケントスル者ハ此ノ限ニ在ラス

一　各製鐵所ノ名稱及位置

二　各製鐵所ノ事業資金ノ總額及其ノ出資方法

三　各製鐵所設備ノ概要及設計圖

四　各製鐵所間ノ作業聯絡ノ方法（作業順序ノ概略ヲ記載スヘシ）

五　熔銑ノ供給豫定額及其ノ熔銑ヲ使用シテ製造スル鋼鐵ノ生産豫定額

六　熔銑ノ供給スル製鐵所ニ於ケル銑鐵生産豫定額及其ノ原料取得ノ計畫

七　各製鐵所間ニ於ケル繼續シテ熔銑ヲ供給スルコトヲ目的トスル契約

前二項ノ規定ニ依リ届出タル事項ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第四條　製鐵業奨勵法第八條ノ奨勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ製鐵業奨勵法施行令第六條ノ區別ニ從ヒ奨勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ製鐵業奨勵法施行令第三條ノ交付ヲ受ケント

明治四十三年八月
勅令第三百三十五號

朕特許法等ヲ朝鮮ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

左ニ揭ク法律ハ之ヲ朝鮮ニ施行ス

一　特許法
二　意匠法
三　實用新案法
四　商標法
五　著作權法
附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●特許法

大正十年四月
法律第九十六號

改正　昭和四年四月第四七號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル特許法改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

特許法

第一章　總則

第一條　新規ナル工業的發明ヲ爲シタル者ハ其ノ發明ニ付特許ヲ受クルコトヲ得

第二條　特許權者又ハ特許出願者ハ其ノ發明ノ改良又ハ擴張ニ係ル新規ノ發明ニ付獨立ノ特許ヲ受クルコトヲ得

第三條　左ニ揭ク發明ニ付テハ之ヲ特許セス

一　飮食物又ハ嗜好物
二　醫藥又ハ其ノ調合法
三　化學方法ニ依リ製造スヘキ物質
四　秩序若ハ風俗ヲ紊リ又ハ衞生ヲ害スルノ虞アルモノ

第四條　本法ニ於テ發明ノ新規ト稱スルハ發明カ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトナキヲ謂フ

一　特許出願前帝國內ニ於テ公然知レ又ハ公然用ヰラレタルモノ
二　特許出願前帝國內ニ頒布セラレタル刊行物ニ容易ニ實施スルコトヲ得ヘキ程度

第五條　特許ヲ受クルノ權利ヲ有スル者カ試驗ノ爲其ノ者ノ發明ヲ前條各號ノ一ニ該當スルニ至ラシメタル場合ニ於テ其ノ日ヨリ六月以內ニ其ノ者カ特許ヲ出願シタルトキハ其ノ者ノ發明ハ之ヲ新規ナルモノト看做ス

特許ヲ受クルノ權利ヲ有スル者ノ意ニ反シテ其ノ者ノ發明ヲ前條各號ノ一ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テ其ノ日ヨリ六月以內ニ其ノ者カ特許ヲ出願シタルトキ亦前項ニ同シ

第六條　特許ヲ受クルノ權利ヲ有スル者カ政府ノ開設シ、道府縣若ハ之ニ準スヘキモノノ開設シ若ハ政府ノ認可ヲ得テ開設スル博覽會又ハ工業所有權保護同盟條約國ノ版圖內ニ開設スル官設若ハ官許ノ萬國博覽會ニ出品ノ爲其ノ者ノ發明ヲ第四條各號ノ一ニ該當スルニ至シメタル場合ニ於テ其ノ開會ノ日ヨリ六月以內ニ其ノ者カ特許ヲ出願シタルトキハ其ノ者ノ發明ハ之ヲ新規ナルモノト看做ス

前項ニ揭ク萬國博覽會ヲ除ク外外國ノ版圖內ニ開設スル官設又ハ官許ノ博覽會ニ出品スル發明ニ付保護ヲ與フルノ必要アルトキハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條　特許出願人ハ一發明毎ニ之ヲ爲スヘシ但シ二以上ノ發明カ牽連シテ利用上一發明ヲ爲スモノト認メ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　同一發明ニ付テハ最先ノ出願者ニ限リ特許ス但シ同日ノ各別ノ出願者アルトキハ出願者ノ協議ニ依リ特許シ協議調ハサルトキハ共ニ特許セス

第九條　二以上ノ發明ヲ包含スル特許出願ヲ二以上ノ出願ト爲シタルトキハ各出願ハ最初出願ノ時ニ於テ之ヲ爲シタルモノト看做ス

追加ノ特許出願ヲ獨立ノ特許出願ニ、獨立ノ特許出願ヲ追加ノ特許出願ニ變更シタルトキ亦前項ニ同シ

第十條　特許出願カ特許ヲ受クルノ權利ノ承繼人ニ非サル者又ハ特許ヲ受クルノ權利ヲ冒認シタル者ノ爲シタル特許出願ハ其ノ特許ヲ受クルノ權利ヲ有スル者カ其ノ發明ヲ以テ特許出願ヲ爲シタル後ハ之ヲ特許セス

特許ヲ受クルノ權利ヲ有スル者カ其ノ發明ヲ以テ特許出願ヲ爲シタル後ハ其ノ發明ニ付特許ヲ受クルノ權利ヲ有スル者カ其ノ發明ヲ以テ特許出願ヲ爲シタル後ハ之ヲ特許セス

前二項ノ規定ハ特許出願カ取下、放棄又ハ却下セラレタル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條　特許カ特許ヲ受クルノ權利ノ承繼人ニ非サル者又ハ特許ヲ受クルノ權利ヲ冒認シタル者ノ受ケタルモノナルニ因リ其ノ特許ヲ無效トスル審決確定シ又ハ判決アリタル場合ニ於テ其ノ特許ノ出願ノ後ニ爲シタル正當權利者ノ出願ハ其ノ無效ト爲リタル特許ノ出願ノ時ニ於テ之ヲ爲シタルモノト看做スノ外特許ノ出願公告ノ日ヨリ五年ヲ經過シタル後ノ出願又ハ其ノ審決確定シ若ハ判決アリタル日ヨリ三十日ヲ經過シタル後ノ出願ニ係ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　特許ヲ受クルノ權利ハ之ヲ移轉スルコトヲ得但シ擔保ニ供スルコトヲ得ス

特許ヲ受クルノ權利カ共有ニ係ル場合ニ於テハ各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得ス

特許ヲ受クルノ權利ノ承繼ハ承繼人カ特許出願前ニ在リテハ特許ヲ出願シ特許出願後ニ在リテハ出願人名義ノ變更ヲ屆出ツルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス但シ同日ノ出願又ハ屆出ニ係ルトキハ關係者ノ協議ニ依リ協議調ハサルトキハ共ニ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十三條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル法定又ハ指定ノ期間ノ計算ハ左ノ規定ニ依ル

一　期間ノ初日ハ之ヲ算入セス但シ其ノ期間カ午前零時ヨリ始ルトキハ此ノ限ニ在ラス

二　期間ヲ定ムルニ月又ハ年ヲ以テシタルトキハ暦ニ從テ月又ハ年ノ始ヨリ期間ヲ起算セサルトキハ其ノ期間ハ最後ノ月又ハ年ニ於テ其ノ起算日ニ應當スル日ノ前日ヲ以テ滿了スル但シ最後ノ月ニ應當日ナキトキハ其ノ月ノ末日ヲ以テ滿了ス

特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ニ付テノ法定又ハ指定ノ期間ノ末日カ日曜日又ハ一般ノ祝祭日ニ當ルヘキトキハ其ノ日ノ翌日ヲ以テ其ノ期間ノ末日トス

第十四條　特許ヲ受クルノ權利ヲ有スル者ノ業務ノ範圍ニ屬シ且其ノ發明ヲ爲スニ至リタル行爲ニ屬スル場合ノモノニ付テハ其ノ者ノ特許ヲ受ケタルトキハ其ノ者ノ發明ニ付テハ其ノ者ノ特許ヲ受ケタルトキハ其ノ發明ニ付實施權ヲ有ス

被用者、法人ノ役員又ハ公務員ハ前項ノ發明ニ付テノ特許ヲ受クルノ權利又ハ特許權ヲ承繼セシメタル場合ニ於テ相當ノ補償金ヲ受クルノ權利ヲ有ス

使用者、法人又ハ職務ヲ執行セシメタル者ニ於テ其ノ發明ニ付特許ヲ受ケ又ハ特許權ヲ承繼セシメタルトキハ其ノ者ノ特許ヲ受ケタルトキニ付實施權ヲ有ス

使用者、法人又ハ職務ヲ執行セシメタル者ニ於テ其ノ發明ニ付特許ヲ受クルノ權利ヲ承繼セシメタル場合ニ於テ相當ノ補償金ヲ受クルノ權利ヲ有ス

使用者、法人又ハ職務ヲ執行セシメタル者ニ於テ其ノ發明ニ付特許ヲ受ケ又ハ特許權ヲ承繼セシメタルトキハ其ノ者ノ特許ヲ受ケタルトキニ付實施權ヲ有ス

被用者、法人又ハ職務ヲ執行セシメタル者ノ業務ノ範圍ニ屬シ且其ノ發明ヲ爲スニ至リタル行爲ニ付テハ其ノ者ノ特許ヲ受ケタルトキ又ハ其ノ者ノ特許ヲ受ケタルトキニ付實施權ヲ有ス

前項ニ揭ク萬國博覽會ヲ除ク外外國ノ版圖內ニ開設スル官設又ハ官許ノ博覽會ニ出品スル發明ニ付保護ヲ與フルノ必要アルトキハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條　特許ヲ受クルノ權利ハ之ヲ移轉スルコトヲ得但シ擔保ニ供スルコトヲ得ス

特許ヲ受クルノ權利ハ之ヲ共有スルコトヲ得但シ各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得ス

特許ヲ受クルノ權利ノ承繼ハ承繼人カ特許出願前ニ在リテハ特許ヲ出願シ特許出願後ニ在リテハ出願人名義ノ變更ヲ屆出ツルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス但シ同日ノ出願又ハ屆出ニ係ルトキハ關係者ノ協議ニ依リ協議調ハサルトキハ共ニ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十六條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル法定又ハ指定ノ期間ノ計算ハ左ノ規定ニ依ル

一　期間ノ初日ハ之ヲ算入セス但シ其ノ期間カ午前零時ヨリ始ルトキハ此ノ限ニ在ラス

二　期間ヲ定ムルニ月又ハ年ヲ以テシタルトキハ暦ニ從テ月又ハ年ノ始ヨリ期間ヲ起算セサルトキハ其ノ期間ハ最後ノ月又ハ年ニ於テ其ノ起算日ニ應當スル日ノ前日ヲ以テ滿了スル但シ最後ノ月ニ應當日ナキトキハ其ノ月ノ末日ヲ以テ滿了ス

特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ニ付テノ法定又ハ指定ノ期間ノ末日カ日曜日又ハ一般ノ祝祭日ニ當ルヘキトキハ其ノ日ノ翌日ヲ以テ其ノ期間ノ末日トス

第十七條　特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者又ハ之ヲ爲ス代理人ノ能力ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者又ハ之ヲ爲ス代理人カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ其ノ手續ヲ爲スニ付テハ日本ニ住所又ハ居所ヲ有スル代理人ヲ以テ其ノ手續ヲ爲サシムルニ非サレハ其ノ手續ヲ爲シ又ハ其ノ手續ヲ爲サシムルニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス

第十八條　特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者又ハ之ヲ爲ス代理人カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ其ノ手續ヲ爲スニ付テハ日本ニ住所又ハ居所ヲ有スル代理人ヲ以テ特許局ニ對抗スルコトヲ得

第十九條　特許局ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者又ハ之ヲ爲ス代理人カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ其ノ手續ヲ爲スニ付テハ日本ニ住所又ハ居所ヲ有スル代理人ヲ以テ特許局ニ對抗スルコトヲ得

第二十條　特許局ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者又ハ之ヲ爲ス代理人カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ其ノ手續ヲ爲スニ付テハ日本ニ住所又ハ居所ヲ有スル代理人ヲ以テ特許局ニ對抗スルコトヲ得

第二十一條　特許局ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者又ハ之ヲ爲ス代理人カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ其ノ手續ヲ爲スニ付テハ日本ニ住所又ハ居所ヲ有スル代理人ヲ以テ特許局ニ對抗スルコトヲ得

第二十二條　特許局ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者又ハ之ヲ爲ス代理人カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ其ノ手續ヲ爲スニ付テハ日本ニ住所又ハ居所ヲ有スル代理人ヲ以テ特許局ニ對抗スルコトヲ得

第二十三條　特許局ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者又ハ之ヲ爲ス代理人カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ其ノ手續ヲ爲スニ付テハ日本ニ住所又ハ居所ヲ有スル代理人ヲ以テ特許局ニ對抗スルコトヲ得

第二十四條　特許局ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者又ハ之ヲ爲ス代理人カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ其ノ手續ヲ爲スニ付テハ日本ニ住所又ハ居所ヲ有スル代理人ヲ以テ特許局ニ對抗スルコトヲ得

第二十五條　特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者又ハ之ヲ爲ス代理人カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ其ノ手續ヲ爲スニ付テハ日本ニ住所又ハ居所ヲ有スル代理人ヲ以テ特許局ニ對抗スルコトヲ得

第二十六條　特許局ニ係ル審判ニ關スル手續ニ付テハ本法ニ特別ノ規定アルモノノ外民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

第二十七條　特許局ニ係ル審判ニ關スル手續ニ付テハ本法ニ特別ノ規定アルモノノ外特許局長官之ヲ指揮ス

第二十八條　特許局ニ係ル審判ニ關スル手續ニ付テハ本法ニ特別ノ規定アルモノノ外特許局長官之ヲ指揮ス

第二十九條　特許局ニ係ル審判ニ關スル手續ニ付テハ本法ニ特別ノ規定アルモノノ外特許局長官之ヲ指揮ス

第三十條　特許局ニ係ル審判ニ關スル手續ニ付テハ本法ニ特別ノ規定アルモノノ外特許局長官之ヲ指揮ス

第三十一條　特許局ニ係ル審判ニ關スル手續ニ付テハ本法ニ特別ノ規定アルモノノ外特許局長官之ヲ指揮ス

第三十二條　特許局ニ係ル審判ニ關スル手續ニ付テハ本法ニ特別ノ規定アルモノノ外特許局長官之ヲ指揮ス

第三十三條　特許局ニ係ル審判ニ關スル手續ニ付テハ本法ニ特別ノ規定アルモノノ外特許局長官之ヲ指揮ス

第三十四條　特許權ハ登錄ニ依リ發生ス

第三十五條　特許權者ハ物ノ發明ニ付テハ其ノ物ノ生産、使用、賣渡又ハ賃貸ノ爲ノ申出ヲ爲シ又ハ其ノ物ヲ賣渡シ又ハ賃貸スル旨ノ廣告ヲ爲スノ外其ノ發明ノ實施ヲ他人ニ許諾スルコトヲ得

第三十六條　特許權者ハ特許發明ノ實施ヲ他人ニ許諾シタルトキハ其ノ旨ヲ登錄スルニ非サレハ其ノ效力ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十七條　特許權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ效力ヲ及ホサス

一　研究又ハ試驗ノ爲ニスル特許發明ノ實施

二　單ニ帝國內ヲ通過スルニ過キサル運輸

三　特許出願ノ際ヨリ帝國內ニ在ル物

第三十八條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第三十九條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第四十條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第四十一條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第四十二條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第四十三條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第四十四條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第四十五條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第四十六條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第四十七條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第四十八條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第四十九條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第五十條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第五十一條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第五十二條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第五十三條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第五十四條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第五十五條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第五十六條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第五十七條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第五十八條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第五十九條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第六十條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第六十一條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第六十二條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第六十三條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第六十四條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第六十五條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第六十六條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第六十七條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第六十八條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第六十九條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第七十條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第七十一條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第七十二條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第七十三條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第七十四條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第七十五條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第七十六條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第七十七條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第七十八條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第七十九條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第八十條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第八十一條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第八十二條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第八十三條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第八十四條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第八十五條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第八十六條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第八十七條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第八十八條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第八十九條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第九十條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第九十一條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第九十二條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第九十三條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第九十四條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第九十五條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第九十六條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第九十七條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第九十八條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第九十九條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第百條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第百一條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第百二條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第百三條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ事業ヲ爲サントスル者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スヘキコトヲ裁定スヘキ旨ヲ特許局長官ニ請求スルコトヲ得

第百四條　特許權者ハ特許發明ノ實施ニ付テハ其ノ發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又

第十六條 第十七條 第十八條 第十九條 特許 意匠 商標 第一款 特許 第二款 特許 第三款 特許 第四款 特許 第五款 特許 第六款 特許 第七款 特許 第八款 特許 第九款 特許 第十款 特許 第十一款 特許 第十二款 特許 第十三款 特許 第十四款 特許 第十五款 特許

●特許法施行令

勅令第四百十二號
改正 明治四十二年勅令第二百六十二號
大正十年勅令第二百九十一號

第一條 特許廳ノ事務ハ農商務大臣之ヲ管理ス

第二條 特許廳ニ左ノ官ヲ置ク

長官 勅任

部長 奏任

審査官 奏任

事務官 奏任

第三條 長官ハ特許廳ノ事務ヲ統理シ所属ノ官吏ヲ指揮監督ス

部長ハ長官ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス

審査官ハ特許ニ関スル審査ニ従事ス

事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第四條 特許廳ニ審判官ヲ置キ審判ニ関スル事務ヲ掌ラシム

審判官ハ勅任トス

第五條 審判官ハ三人以上ノ合議体ヲ以テ審判ヲ行フ

審判官ハ前項ノ合議体ヲ以テ審判ヲ行フヘキ場合ニ於テ特ニ必要アリト認ムルトキハ其ノ合議体ノ数ヲ増スコトヲ得

第六條 特許廳ニ審判長ヲ置キ審判官ヲシテ之ニ当ラシム

審判長ハ奏任トス

第七條 審判官ハ特許廳ノ技師又ハ事務官ヲシテ之ニ充ツ

第八條 特許廳ニ審判書記ヲ置キ審判官ヲシテ之ニ当ラシム

審判書記ハ奏任トス

第九條 特許廳ニ技師又ハ事務官ヲシテ審判官ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クコトヲ得

第十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ勅任トス

第十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第三十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第三十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第三十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第三十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第三十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第三十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第三十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第三十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第三十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第三十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第四十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第四十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第四十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第四十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第四十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第四十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第四十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第四十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第四十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第四十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第五十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第五十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第五十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第五十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第五十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第五十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第五十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第五十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第五十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第五十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第六十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第六十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第六十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第六十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第六十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第六十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第六十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第六十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第六十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第六十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第七十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第七十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第七十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第七十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第七十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第七十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第七十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第七十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第七十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第七十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第八十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第八十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第八十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第八十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第八十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第八十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第八十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第八十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第八十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第八十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第九十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第九十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第九十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第九十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第九十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第九十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第九十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第九十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第九十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第九十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百二十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百二十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百二十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百二十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百二十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百二十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百二十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百二十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百二十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百二十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百三十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百三十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百三十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百三十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百三十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百三十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百三十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百三十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百三十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百三十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百四十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百四十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百四十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百四十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百四十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百四十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百四十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百四十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百四十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百四十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百五十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百五十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百五十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百五十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百五十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百五十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百五十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百五十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百五十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百五十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百六十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百六十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百六十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百六十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百六十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百六十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百六十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百六十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百六十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百六十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百七十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百七十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百七十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百七十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百七十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百七十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百七十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百七十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百七十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百七十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百八十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百八十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百八十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百八十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百八十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百八十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百八十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百八十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百八十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百八十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百九十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百九十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百九十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百九十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百九十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百九十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百九十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百九十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百九十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第百九十九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百九條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百十條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百十一條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百十二條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百十三條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百十四條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百十五條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百十六條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百十七條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メテ之ヲ奏任トス

第二百十八條 特許廳ニ審判官ノ定員ヲ超エテ臨時ニ審判官ヲ置クトキハ其ノ員数ヲ定メ

キ場合ヲ除キ審判及抗告審判ノ費用並ニ出訴ノ費用ニ關スル各事當者、參加人及參加申請人ノ負擔及其ノ額ニ付之ヲ準用ス但シ民事訴訟法第百四條第二項ノ規定ニ依リ準用スル同法第百條第二項及第三項ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

第十九條　特許異議、特許法第五十三條ノ許可ノ付テノ許可異議又ハ此等ノ異議ノ參加ニ關シ生シタル證據調ノ費用ノ負擔ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第二十條　前二條ノ費用ノ額ニ付テハ民事訴訟費用法ヲ準用ス

第二十一條　第十八條及前條ノ規定ハ再審ノ費用ニ付之ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十二年勅令第二百七十三號、明治四十二年勅令第二百九十八號、同年勅令第二百九十九號及同年勅令第三百一號ハ之ヲ廢止ス

附　則（昭和四年九月勅令第二百九十號）

本令ハ昭和四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●特許法施行規則

大正十年十二月
農商務省令第三十三號
（改正　大正一一年一二第三〇號、昭和四年九月商工省令第八號）

特許法施行規則左ノ通定ム

第一章　總則

第一條　特許局ニ對シテ爲ス出願、請求其ノ他ノ手續ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

書面ハ一件毎ニ一通ヲ作リ之ニ差出人ノ住所又ハ居所及差出ノ年月日ヲ記載シ差出人ノ記名捺印スヘシ

第二條　書面ハ日本語ヲ以テ之ヲ認ムヘシ

委任狀、國籍證明書其ノ他ノ書類ニシテ外國語ヲ以テ認メタルモノニハ其ノ譯文ヲ添附スヘシ

第三條　特許局ニ書面ヲ差出ス者ハ相手方ニ送付スル爲必要ナル員數ノ副本ヲ差出スヘシ但シ相手方數人アル場合ニ於テ特許法第二十一條但書ノ代表者アルトキハ其ノ代表者ノ數ニ應スル副本ヲ差出スヲ以テ足ル

第四條　特許ヲ受クルノ權利ヲ承繼シタル者カ出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ承繼人タルコトヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

第四條ノ二　出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者カ其ノ手續ヲ爲スニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スル場合ニ於テハ之ヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

第五條　代理人カ出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

第六條　特許法第十七條又ハ第二十一條第二項ニ規定スル屆出ヲ爲ス者ハ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

第七條　外國人カ出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ國籍ヲ證スル書面及萬國工業所有權保護同盟條約國又ハ帝國ト特許ニ關シ相互保護ヲ約セシ國以外ノ國ノ臣民又ハ人民タル場合ニ在リテハ尚同盟國中ノ一國ノ版圖內ニ住所又ハ現實且眞誠ナル工業的若ハ商業的營業所ヲ有スルコトヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

前項ノ外國人カ法人ナルトキハ其ノ法人タルコトヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

第八條　前五條ノ規定ニ依リ差出スヘキ證明書ハ同時ニ數箇ノ出願、請求其ノ他ノ手續ニ付之ヲ差出シ其ノ他ノ手續ニ付テハ其ノ旨ヲ表示シテ其ノ差出ヲ省略スルコトヲ得

第九條　他ノ事件ニ付特許局ニ對シ既ニ證明書ヲ差出シタル者ハ前六條ノ場合ニ於テ其ノ事項ニ變更ナキトキハ其ノ證本ヲ以テ證明書ニ代フルコトヲ得但シ特許局長官必要ト認ムルトキハ證明書ノ差出ヲ命スルコトヲ得

第十條　特許局ニ對シ特許權又ハ特許出願後其ノ出願ニ關シ書類其ノ他ノ物件ヲ差出ス者ハ之ニ其ノ特許番號又ハ願書番號及發明ノ名稱ト提出ノ年月日トヲ表示シ差出ヲ爲スヘシ

第十一條　特許局ニ對シテ爲シタル出願、請求其ノ他ノ手續カ特許法若ハ本則ニ定メタル方式ニ違背シタル場合、其ノ手續ニ付代理權ヲ證スル書面ヲ差出サス若ハ成規ノ手數料ヲ納付セサル場合又ハ特許局ニ差出シタル書類、雛形若ハ見本カ不明瞭若ハ不完備ナル場合ニ於テハ特許局長官ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外期間ヲ指定シテ其ノ訂正又ハ補充ヲ命スルコトヲ得但シ其ノ要旨ヲ變更スルモノハ此ノ限ニ在ラス

特許局ニ書類、雛形又ハ見本ヲ差出シタル者ハ特許法第七十五條第五項ノ命ニ依ル場合ヲ除クノ外出願ニ關スル書類、雛形又ハ見本ヲ訂正シ又ハ補充スルコトヲ得

第十二條　前條ノ規定ノ適用ニ關シテハ獨立ノ特許出願ニ變更シ又ハ明細書ニ記載シタル事項ノ範圍內ニ於テ特許請求ノ範圍ヲ變更シ又ハ其ノ要旨ヲ變更スルモノト看做ス

第十三條　審査、審判、抗告審判又ハ再審ニ關シ審判長又ハ審査官必要ト認ムルトキハ當事者、特許異議申立人又ハ參加人ニ對シ期間ヲ指定シテ雛形又ハ見本ノ差出ヲ命スルコトヲ得

第十四條　特許局ニ差出シタル雛形又ハ見本ノ還付ヲ受ケムトスル者ハ其ノ差出ノ際其ノ旨ヲ申出ツヘシ

前項ノ雛形若ハ見本又ハ特許局ニ差出シタル證據物件ハ特許局ヨリ還付ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日內ニ其ノ受取ノ手續ヲ爲スヘシ

差出人カ第一項ノ申出又ハ前項ノ手續ヲ爲ノ名稱ヲ表示シ審判、抗告審判又ハ再審ノ請求後其ノ請求ニ關シ書類其ノ他ノ物件ヲ差出ス者ハ之ニ審判番號又ハ抗告審判番號ヲ表示スヘシ

第十一條　特許局ニ對シテ爲シタル出願、請求其ノ他ノ手續カ特許法若ハ本則ニ定メタル方式ニ違背シタル場合、其ノ手續ニ付代理權ヲ證スル書面ヲ差出サス若ハ成規ノ手數料ヲ納付セサル場合又ハ特許局ニ差出シタル書類、雛形若ハ見本カ不明瞭若ハ不完備ナル場合ニ於テハ特許局長官ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外期間ヲ指定シテ其ノ訂正又ハ補充ヲ命スルコトヲ得但シ其ノ要旨ヲ變更スルモノハ此ノ限ニ在ラス

特許局ニ書類、雛形又ハ見本ヲ差出シタル者ハ特許法第七十五條第五項ノ命ニ依ル場合ヲ除クノ外出願ニ關スル書類、雛形又ハ見本ヲ訂正シ又ハ補充スルコトヲ得

第十二條　前條ノ規定ノ適用ニ關シテハ獨立ノ特許出願ニ變更シ又ハ明細書ニ記載シタル事項ノ範圍內ニ於テ特許請求ノ範圍ヲ變更シ又ハ其ノ要旨ヲ變更スルモノト看做ス

第十三條　審査、審判、抗告審判又ハ再審ニ關シ審判長又ハ審査官必要ト認ムルトキハ當事者、特許異議申立人又ハ參加人ニ對シ期間ヲ指定シテ雛形又ハ見本ノ差出ヲ命スルコトヲ得

第十四條　特許局ニ差出シタル雛形又ハ見本ノ還付ヲ受ケムトスル者ハ其ノ差出ノ際其ノ旨ヲ申出ツヘシ

前項ノ雛形若ハ見本又ハ特許局ニ差出シタル證據物件ハ特許局ヨリ還付ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日內ニ其ノ受取ノ手續ヲ爲スヘシ

ササルトキハ特許局長官ハ其ノ雛形若ハ見本又ハ證據物件ヲ處分スルコトヲ得

第十五條　特許局長官、審判長又ハ審査官ハ請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ特許法又ハ本則ニ依リ其ノ指定シタル期日又ハ期間ヲ變更スルコトヲ得

第十六條　特許法第二十四條第二項ニ規定スル請求ヲ爲ス者ハ請求書ニ障礙ノ事實竝其ノ發生及消除ノ年月日ヲ記載シ且之ヲ疏明シ同時ニ其ノ證據ヲ提出スヘシ

第十七條　特許願書又ハ差出スヘキ期日若ハ期間ノ定アル書類若ハ物件ノ郵便ニ依ル差出ハ郵便物受領證ニ依リテ差出シタル日時ヲ證シタル場合ニ在リテハ其ノ日時ニ於テ、其ノ他ノ場合ニ在リテハ消印記號ニ記載シタル日時ニ於テ其ノ效力ヲ生ス

前項ノ郵便物ニシテ郵便物受領證ニ依リテ其ノ差出シタル日時ヲ證スルコト能ハサルモノ又ハ消印記號ナキカ若ハ其ノ不明ナルモノハ特許局カ之ヲ受領シタル日時ニ於テ差出ノ效力ヲ生ス

第十八條　前條ノ郵便物ヲ除クノ外書類又ハ物件ノ差出ハ特許局カ之ヲ受領シタル日時ニ於テ其ノ效力ヲ生ス

第十九條　審査、審判、抗告審判又ハ再審ニ關スル書類ニシテ法令ニ送達スヘシトノ規定アルモノ、期日若ハ期間ヲ指定セルモノ又ハ送達ニ依リ期間ノ進行ヲ始ムルモノヲ除クノ外郵便ニ依リ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外郵便ニ依リ又ハ特許局ノ使丁ヲ以テ之ヲ送達ス

民事訴訟法第百六十五條乃至第百六十八條及第百七十六條ノ規定ハ送達ヲ受クヘキ者ノ住所、居所其ノ他送達ヲ爲スヘキ場所ノ知レサル場合又ハ前條ノ規定ニ依リ送達ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ公示送達ヲ爲スコトヲ得

公示送達ニ關スル書類ハ何時ニテモ送達ヲ受クヘキ者ニ交付スヘキ旨ヲ官報及特許公報ニ公告シ且特許局ノ揭示揭示シテ之ヲ爲ス

公示送達ハ公報公告ノ日ヨリ二十日ヲ經過スルニ依リテ其ノ效力ヲ生ス

同一事件ニ付同一人ニ對シテ爲ス公示送達ニ付テハ最初ノ場合ニ於テハ特許局ノ揭示板ニ揭示シタル日ニ於テ其ノ效力ヲ生スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ日ヨリ二十日ヲ經過シタル日ニ於テ其ノ效力ヲ生ス

第二十條　出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ當事者カ死亡シタルトキハ特許局長官又ハ審判長ハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ相續人、相續財產管理人其ノ他法令ニ依リ手續ヲ續行スヘキ者カ其ノ手續ヲ受繼クマテ之ヲ中斷ス

第二十一條　出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ當事者カ法定代理人ヲ失ヒタルトキハ特許局長官又ハ審判長ハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ本人又ハ代理人カ其ノ手續ヲ受繼クマテ之ヲ中斷ス

第二十二條　出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ當事者カ死亡シタルトキハ特許局長官又ハ審判長ハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ相續人カ其ノ手續ヲ受繼クマテ之ヲ中斷ス

第二十三條　特許局長官又ハ審判長ハ特許法第二十八條ノ規定ニ依リ承繼人ニ對シ手續ヲ續行セムトスルトキハ其ノ旨ヲ相手方ニ通知スヘシ

第二十四條　出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ當事者カ死亡シタルトキハ特許局長官又ハ審判長ハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ期間ヲ指定シテ受繼ヲ續行スヘキ者カ其ノ手續ヲ受繼クマテ之ヲ中斷ス

前項ノ期間內ニ受繼ナキトキハ特許局長官又ハ審判長ハ期間滿了ノ日ニ於テ其ノ受繼アリタルモノト看做スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ特許ヲ各當事者ニ通知スヘシ

第二十四條ノ二　出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ當事者カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ特許ヲ受クルノ權利又ハ特許權若ハ之ニ關スル權利カ破產財團ニ屬スルトキハ其ノ手續ハ破產管財人カ之ヲ受繼又ハ破產手續ノ解止アルマテ之ヲ中斷ス

第二十五條　出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ當事者カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ特許ヲ受クルノ權利又ハ特許權若ハ之ニ關スル權利カ破產財團ニ屬スルトキハ破產管財人カ之ヲ受繼又ハ破產手續ノ解止アルマテ之ヲ中斷ス

第二十六條　出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ當事者カ法定期間內ニ其ノ手續ヲ受繼クマテ之ヲ中斷ス

第二十七條　出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ當事者カ法定代理人ヲ失ヒタル場合ニ於テ其ノ代理權ヲ有スル者カ其ノ手續ヲ受繼クマテ之ヲ中斷ス

第二十八條　削除

第二十九條　出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ當事者カ死亡シ又ハ能力ヲ失ヒタルトキハ特許局長官又ハ審判長ハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ本人又ハ代理人カ其ノ手續ヲ受繼クマテ之ヲ中斷ス

第三十條　出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ當事者カ不定期間ノ障礙ニ因リ手續ヲ續行スルコト能ハサルトキハ特許局長官又ハ審判長ハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ其ノ障礙ノ止ムマテ其ノ手續ヲ中止スルコトヲ得

第三十條ノ二　前二條ノ規定ニ依リ手續ヲ中止シタルトキハ特許局長官又ハ審判長ハ其ノ障礙ノ止ミタル旨ヲ各當事者ニ通知スヘシ

第三十一條　出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ手續ヲ受繼クマテ之ヲ中斷ス

當事者カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ特許ヲ受クルノ權利又ハ特許權若ハ之ニ關スル權利カ破產財團ニ屬スルトキハ其ノ手續ハ破產管財人カ之ヲ受繼又ハ破產手續ノ解止アルマテ之ヲ中斷ス

第三十二條　中斷又ハ中止シタル出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ手續ノ受繼ハ其ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ特許局ニ差出シテ之ヲ爲スヘシ

前項ノ受繼ハアリタルトキハ特許局長官又ハ審判長ハ其ノ旨ヲ相手方ニ通知スヘシ

第三十三條　中斷又ハ中止シタル出願、審判、抗告審判又ハ再審ノ手續ヲ受繼クヘキ者カ其ノ受繼ヲ怠リタルトキハ特許局長官又ハ審判長ハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ期間ヲ指定シテ受繼ヲ命スヘシ

第三十四條　特許局ニ差出シタル書類ノ謄本若ハ證本又ハ書類ノ閱覽若ハ謄寫ヲ求メムトスル者ハ其ノ旨ヲ申出ツヘシ

第三十五條　書類ノ謄本ニハ其ノ末尾ニ原本ト相違ナキコトヲ認證スル旨ヲ記載シ特許局官吏之ニ記名捺印スヘシ

書類ノ謄本ノ交付ヲ申請スル者カ其ノ書類ヲ差出シタルトキハ之ヲ用キテ謄本ヲ作成スルコトヲ得

第三十六條　特許局長官必要ト認ムルトキハ特許權者又ハ特許法第四十一條ノ規定ニ依ル實施權者ニ對シ特許發明實施ノ狀況ノ報告ヲ命スルコトヲ得

第三十六條ノ二　關東州內ニ住所又ハ居所ヲ有スル者ハ帝國內ニ住所又ハ居所ヲ有スル代理人ニ依ラシテ出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲シ且特許權及特許ニ關スル權利ヲ主張スルコトヲ得

第三十七條　特許ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ明細書及必要ナル圖面ヲ添ヘタル特許局ニ差出スヘシ

前項ノ書類及圖面ニハ各其ノ副本一通ヲ添附スヘシ爾後差出スヘキ書類及圖面ニ付亦

同シ
出願人發明者ニ非サル場合ニ於テハ願書ニ
發明者ノ氏名及住所ヲモ記載スヘシ
第三十七條ノ二　出願人カ特許ヲ受クルノ權利ノ信託ヲ受託者ナル場合ニ於テハ願書ニ倘特許登錄令第六十條第一項ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ
前項ノ規定ハ信託ノ受託者カ出願人名義變更ノ届ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
第三十八條　明細書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一　發明ノ名稱
二　發明ノ性質及目的ノ要領
三　圖面ノ略解
四　發明ノ詳細ナル說明
五　發明相互ノ關係
六　特許請求ノ範圍
發明ノ名稱ハ其ノ發明ノ內容ヲ簡明ニ表示スヘシ
發明ノ性質及目的ノ要領ニハ其ノ發明ノ特徵及直接ノ效果ヲ簡明ニ記載スヘシ
發明ノ詳細ナル說明ニハ其ノ發明ノ構成、作用、效果及實施ノ態樣ヲ記載スヘシ
發明相互ノ關係ニハ追加ノ特許出願ニ在リテハ其ノ原發明ノ改良又ハ擴張ノ態樣ヲ、他ノ特許發明又ハ登錄實用新案ヲ實施スルニ非サレハ實施スルコト能ハサル發明ノ特許出願ニ在リテハ其ノ實施ノ態樣ヲ、特許法第七條但書ノ規定ニ依ル特許出願ニ在リテハ各發明ノ牽連スル態樣ヲ記載スヘシ
特許請求ノ範圍ニハ發明ノ構成ニ缺クヘカラサル事項ノミヲ一項ニ記載スヘシ但シ發明實施ノ態樣ヲ別項ニ附記スルコトヲ妨クス此ノ場合ニ於テハ其ノ附記タル旨ヲ明示スヘシ
特許法第七條但書ノ規定ニ依リ特許出願ヲ爲ス場合ニ於テハ權利ヲ請求スル各發明ニ付亦前項ニ同シ
第三十九條　數人共同シテ特許ヲ出願シ又ハ特許法第十二條第三項ニ規定スル名義變更ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テ出願人又ハ届出人ノ權利ニ付持分ノ定アルトキハ、特許法第四十四條若ハ民法第二百五十六條第一項但書ノ契約アルトキハ願書又ハ届書ニ其ノ旨ヲ記載シ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ差出スヘシ
第四十條　特許出願ニ付條約ニ依ル優先權ヲ主張セムトスル者ハ願書ニ最初ニ出願シタル條約國ノ認證ニ係ル出願年月日ヲ記載シタル書面、發明ノ明細書及圖面ノ謄本又ハ其ノ政府ノ發行シタル公報若ハ特許證ヲ添附スヘシ
第四十一條　特許法第六條第一項ノ規定ノ適用ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ博覽會開會ノ年月日及出品ノ年月日ヲ證スル書面竝其ノ出品シタル發明ニ關スル說明書及必要ナル圖面ヲ添附スヘシ
第四十二條　特許局長官特許願書ヲ受理シタルトキハ之ニ通知スヘシ
第四十三條　特許法第八條但書又ハ第十二條第三項但書ノ場合ニ於テハ特許局長官ハ相當ノ期間ヲ指定シ其ノ期間内ニ協議ニ依リ權利者ヲ定メ之ヲ届出シ又ハ届出サルトキハ其ノ旨ヲ出願人又ハ關係人ニ通知スヘシ
前項ノ期間内ニ届出ナキトキハ特許局長官ハ協議不調ニ付キ其旨ヲ出願人ニ通知スヘシ
第四十四條　二以上ノ發明ヲ包含スル特許出願ヲ二以上ノ出願ニ付テ出願ヲ訂正シ又ハ一發明ニ付テハ出願ヲ訂正シ同時ニ他ノ各發明ニ付新ナル出願ヲ爲スヘシ
第四十五條　特許法第七十三條第五項ニ規定スル出願公告ノ決定ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一　願書番號
二　發明ノ名稱
三　出願人、特許異議申立人及參加人竝此等ノ代理人ノ氏名又ハ名稱
四　決定ノ主文及理由
五　決定ノ年月日
第四十六條　特許法第七十三條第五項ニ規定スル出願公告ノ決定アルマテノ間ニ於テ特許出願ノ一部ニ付特許ヲ爲スコトヲ得
前項ノ特許ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ出願公告ノ決定ニ記載スヘシ
第四十七條　特許異議申立人及參加人竝此等ノ代理人ノ氏名又ハ名稱ニ變更アリタルトキハ其ノ旨ヲ特許局長官ニ届出ツヘシ
第四十八條　特許異議申立人及參加人ハ其ノ住所又ハ居所ニ變更アリタルトキハ其ノ旨ヲ特許局長官ニ届出ツヘシ
第四十九條　特許法第七十三條第五項ニ規定スル出願公告ノ決定アリタルトキハ特許局長官ハ其ノ旨ヲ出願人及特許異議申立人ニ通知スヘシ
第五十條　特許法第七十三條第五項ニ規定スル出願公告ノ決定アリタルトキハ特許局長官ハ其ノ旨ヲ出願人及參加人ニ通知スヘシ
第五十一條　特許法第七十三條第五項ニ規定スル出願公告ノ決定アリタルトキハ特許局長官ハ其ノ旨ヲ出願人及參加人ニ通知スヘシ
第五十二條　特許法第七十三條第五項ニ規定スル出願公告ノ決定アリタルトキハ特許局長官ハ其ノ旨ヲ出願人及參加人ニ通知スヘシ
第五十三條　特許法第四十九條ニ規定スル審判ノ請求書ニハ第五十一條ニ揭ケル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シ倘補償金額ノ計算ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ
一　實施ヲ要スル特許發明ノ特許番號及名稱
二　實施セラルヘキ特許發明ノ實施ノ範圍
新案ノ特許番號又ハ登錄番號及名稱竝其ノ特許又ハ登錄ノ年月日
第五十四條　特許法第五十三條ノ審判ヲ請求スル場合ニ於テハ請求書ニ訂正シタル明細書又ハ圖面ヲ添附スヘシ
第三十七條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
特許法第五十三條第二項ノ審判ヲ請求スル場合ニ於テハ追加ノ特許權アルトキハ請求書ニ倘其ノ追加ノ特許權ノ特許番號及附隨スヘキ特許權ヲ表示スヘシ
第五十五條　特許局長官審判又ハ抗告審判ノ請求書ヲ受理シタルトキハ之ニ番號ヲ附シ其ノ事件ニ付指定シタル審判官ニ變更アリタルトキ亦同シ
第五十六條　審判又ハ抗告審判ノ請求書、答辯書其ノ他審判又ハ抗告審判ニ關シ特許局ニ差出スヘキ書面ニハ必要ナル證據方法ヲ記載シ證據物件アルトキハ之ヲ添附スヘシ
前項ノ證據物件カ書面ナル場合ニ在リテハ倘其ノ副面又ハ雛形若ハ見本ヲ特許局及相手方ノ數ニ應シテ差出スヘシ但シ雛形又ハ見本ヲ差出ス場合ニ於テハ之ニ其ノ圖面一通ヲ、其ノ圖面ヲ銅製スルコト能ハサルトキハ說明書ヲ添附スヘシ
第五十七條　口頭審理ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ其ノ特許局長官ハ審判又ハ抗告審判ニ關シ之ヲ準用ス
第五十八條　共有ニ係ル特許權ニ付特許權者ニ對シ審判又ハ抗告審判ヲ請求スル場合ニ於テハ其ノ共有者ノ全員ヲ以テ被請求人ト爲スヘシ
第五十三條　特許法第四十九條ニ規定スル審判ノ請求書ニハ第五十一條ニ揭ケル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シ倘補償金額ノ計算ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ
一　實施ヲ要スル特許發明ノ特許番號及名稱
二　實施セラルヘキ特許發明ノ實施ノ範圍
新案ノ特許番號又ハ登錄番號及名稱竝其ノ特許又ハ登錄ノ年月日
第五十四條　特許法第五十三條ノ審判ヲ請求スル場合ニ於テハ請求書ニ訂正シタル明細書又ハ圖面ヲ添附スヘシ
第三十七條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
特許法第五十三條第二項ノ審判ヲ請求スル場合ニ於テハ追加ノ特許權アルトキハ請求書ニ倘其ノ追加ノ特許權ノ特許番號及附隨スヘキ特許權ヲ表示スヘシ
第五十五條　特許局長官審判又ハ抗告審判ノ請求書ヲ受理シタルトキハ之ニ番號ヲ附シ其ノ事件ニ付指定シタル審判官ニ變更アリタルトキ亦同シ
第五十六條　審判又ハ抗告審判ノ請求書、答辯書其ノ他審判又ハ抗告審判ニ關シ特許局ニ差出スヘキ書面ニハ必要ナル證據方法ヲ記載シ證據物件アルトキハ之ヲ添附スヘシ
前項ノ證據物件カ書面ナル場合ニ在リテハ倘其ノ副面又ハ雛形若ハ見本ヲ特許局及相手方ノ數ニ應シテ差出スヘシ但シ雛形又ハ見本ヲ差出ス場合ニ於テハ之ニ其ノ圖面一通ヲ、其ノ圖面ヲ銅製スルコト能ハサルトキハ說明書ヲ添附スヘシ
第五十七條　口頭審理ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ其ノ特許局長官ハ審判又ハ抗告審判ニ關シ之ヲ準用ス
第五十八條　共有ニ係ル特許權ニ付特許權者ニ對シ審判又ハ抗告審判ヲ請求スル場合ニ於テハ其ノ共有者ノ全員ヲ以テ被請求人ト爲スヘシ

シタル書面ヲ特許局ニ差出スヘシ
第五十九條　口頭審理ニ於テハ日本語ヲ用ヰヘシ
第六十條　口頭審理ニ於テハ特許局長官又ハ其ノ指定シタル審判官ノ作リタル審判調書ヲ作リ審判長及之ヲ作リタル官吏之ニ記名捺印スヘシ
第六十一條　審判又ハ抗告審判ノ請求ノ取下アリタルトキハ特許局長官ハ其ノ旨ヲ相手方ニ通知スヘシ出訴前出訴權ノ拋棄アリタル場合亦同シ
第六十二條　審決又ハ決定アリタルトキハ特許局長官ハ其ノ謄本ヲ當事者、特許異議申立人、參加人及參加申請人ニ送達スヘシ
第六十三條　審決ニハ左ノ事項ヲ記載シ審判官之ニ記名捺印スヘシ
一　審判番號又ハ抗告審判番號
二　當事者、參加人及代理人ノ氏名名稱及住所又ハ居所
三　審判事件又ハ抗告審判事件ノ表示
四　當事者及參加人ノ申立及理由ノ要領
五　審決ノ主文及理由
六　審決ノ年月日
查定ニ對スル抗告審判ノ審決ニハ倘出願公告ノ年月日ヲ記載スヘシ
特許法第五十三條第二項ノ許可ノ審決ニ於テ追加ノ特許權アルトキハ其ノ追加ノ特許權ノ特許番號及附隨スヘキ特許權ヲ主文中ニ表示スヘシ
第六十四條　參加ノ許否決定ニハ左ノ事項ヲ記載シ審判官之ニ記名捺印スヘシ
一　審判番號又ハ抗告審判番號
二　當事者及代理人ノ氏名名稱
三　參加申請人及代理人ノ氏名名稱及住所又ハ居所
四　決定ノ主文及理由
五　決定ノ年月日
第六十五條　削除
第六十六條　特許カ特許ヲ受クルノ權利ノ承繼人ニ非サル者又ハ特許ヲ受クルノ權利ヲ置認シタル者ノ受クタルモノナルニ因リ其ノ特許ヲ無效トスル審決又ハ判決アリタルトキハ、特許局長官ハ職權ヲ以テ其ノ旨ヲ特許原簿ニ登錄シ本證ヲ下付ス

特許第何號
特許證
國籍(外國人ノ場合)
住所(居所)　氏　名(名稱)
發明者　何縣何誰
發明ノ名稱　何々
出願公告　年月日
前記發明ハ特許スヘキモノト確定シタリ仍テ特許原簿ニ登錄シ本證ヲ下付ス
年　月　日
特許局長官　氏　名印

第二號書式
特許第何號(原特許番號)
特許證(追加ノ特許證)
國籍(外國人ノ場合)
住所(居所)　氏　名(名稱)
發明者　何縣何誰
發明ノ名稱　何々
存續期間　自年月日　至年月日

第三號書式
特許第何號(原特許番號)ノ一(二、三)
特許證(追加ノ特許證)
國籍(外國人ノ場合)
住所(居所)　氏　名(名稱)
發明者　何縣何誰
發明ノ名稱　何々
存續期間　自年月日　至年月日
第何號特許ニ係ル前記發明ニ付特許法第五十三條第二項ノ規定ニ依リ何箇ノ特許權ト爲スコトヲ許可スヘキモノト確定シタリ仍テ特許原簿ニ登錄シ本證ヲ下付ス

第三年分ノ特許料、同條第三項ノ特許料又ハ同條第六項ノ規定ニ依リ正當權利者ノ納付スヘキ特許料ハ特許スヘシトノ查定若ハ審決確定シ又ハ判決ノ送達アリタル日ヨリ三十日
二　削除
三　特許法第六十五條第五項ノ特許料ハ特可ノ審決確定シ又ハ判決ノ送達アリタル日ヨリ三十日
四　追加ノ特許權カ獨立ノ特許權ト爲リタル場合ニ於テ特許法第六十五條第六項ノ規定ニ依リ納付スヘキ特許料ハ獨立ノ特許權ト爲リタル日ヨリ三十日
前項ノ期間ハ三十日内ヲ限リ請求ニ依リ之ヲ延長スルコトヲ得
第七十五條　特許料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スヘシ
第七十六條　特許法第六十六條第二項ノ規定ニ依リ特許料ノ納付ノ猶豫又ハ減免ヲ請求スル者ハ請求書ニ所轄市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ヲ添附シ之ヲ特許局ニ差出スヘシ
前項ノ證明書ニハ請求人ノ職業、財產及納稅額ヲ記載スヘシ
第七十七條　特許證主特許料ヲ納付セサルトキハ特許局長官ハ其ノ旨ヲ特許權ニ關シ登錄シタル權利ヲ消滅シタル者ノ全員ニ通知スヘシ
附　則
第七十八條　本則ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス
第七十九條　特許法施行細則ハ之ヲ廢止ス
第八十條　特許法第百三十八條ノ規定ニ依リ爲スヘキ處理ニ付テハ仍特許法施行細則ニ依ル
附　則(大正十一年十二月勅令第三十號)
本令ハ信託法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
附　則(昭和四年九月商令第六號)
本令ハ昭和四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
別記
第一號書式

年　月　日
特許局長官　氏　　名印

第四號書式
特許第何號
追加ノ特許證
國籍（外國人ノ場合）
住所（居所）
氏　　名（名稱）
發明者　何縣何誰
發明ノ名稱　何々
原特許權特許第何號
原特許權ノ存續期間　自年月日　至年月日
前記發明ハ追加ノ特許トシテ特許スヘキモノト確定シタリ仍テ特許原簿ニ登錄シ本證チ下付ス
年　月　日
特許局長官　氏　　名印

第五號書式
特許第何號（原特許番號）
特許證（追加ノ特許證）
國籍（外國人ノ場合）
住所（居所）
氏　　名（名稱）
發明者　何縣何誰
發明ノ名稱　何々
延長ノ期間　自年月日　至年月日
前記特許權（追加ノ特許權）ノ存續期間延長ノ許可アリタリ仍テ特許原簿ニ登錄シ本證チ下付ス
年　月　日
特許局長官　氏　　名印

●特許登錄令

大正十年十二月
勅令第四百六十一號

改正　大正一一年一二勅五一七號

廢特許登錄令改正ノ件チ裁可シ玆ニ之チ公布セシム

特許登錄令

第一章　總則

第一條　特許ニ關スル登錄ハ左ニ揭ケル事項ニ付之チ爲ス
一　特許權及實施權竝之チ目的トスル質權ノ設定、保存、移轉、變更、消滅、處分ノ制限又ハ特許法第四十條ノ制限
二　特許ノ效力、特許法第五十三條ノ許可ノ效力又ハ特許權ノ範圍ニ關スル確定審決又ハ判決
三　特許法第十六條第三項ニ規定スル代理人ノ選任若ハ變更又ハ代理權若ハ其ノ變更消滅

第二條　假登錄ハ左ノ場合ニ於テ之チ爲ス
一　登錄ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具備セサルトキ
二　前條第一號ニ揭ケル權利ノ設定、移轉、變更又ハ消滅ノ請求權チ保全セムトスルトキ但シ其ノ請求權ハ始期附又ハ停止條件附ナルコト其ノ他將來ニ於テ確定スヘキモノナルコトチ妨ケス

第三條　豫告登錄ハ左ノ場合ニ於テ之チ爲ス
一　登錄原因ノ無效又ハ取消ニ依ル登錄ノ抹消又ハ同復ノ訴ノ提起アリタルトキ但シ登錄原因ノ取消ニ依ル訴ニ付テハ其ノ取消チ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトチ得ヘキ場合ニ限ル
二　特許ノ效力、特許法第五十三條ノ許可ノ效力、特許權ノ範圍若ハ實施權ノ取得ニ關スル審判若ハ再審ノ請求アリタルトキ、實施權許與ノ請求アリタルトキ又ハ、特許若ハ實施權許與ノ取消ノ請求アリタルトキ

第四條　左ニ揭ケル事項ノ登錄ハ附記ニ依リテ之チ爲ス
登錄名義人ノ表示ノ變更又ハ更正
一　質權ノ移轉
二　一部抹消登錄ノ回復
三　一部抹消登錄ノ回復
第五條　左ニ揭ケル事項ノ登錄ハ登錄上利害關係チ有スル第三者ナルトキ又ハ登錄ノ申請書ニ登錄上利害關係チ有スル第三者ノ承諾書若ハ其ノ者ニ對抗スルコトチ得ヘキ裁判ノ謄本チ添附シタルトキニ限リ附記ニ依リテ之チ爲ス
前項ノ規定ハ處分ノ制限ノ登錄チ囑託スル場合ニ之チ準用ス
第二十六條　登錄ノ申請書ニハ左ノ書面チ添附スヘシ
一　創除
二　承諾チ要スルトキハ之チ證スル書面
三　登錄原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾チ要スルトキハ之チ證スル書面
四　申請人カ外國人ナル場合ニ在リテハ其ノ國籍チ證スル書面及萬國工業所有權保護同盟條約國チ申請スル場合ニ於テハ第一項第六號ノ書面チ添附スルコトチ要セス
登錄原因チ證スル書面
五　申請人カ外國法人ナル場合ニ在リテハ其ノ法人タルコトチ證スル書面
六　代理人又ハ代表者ニ依リテ登錄チ申請スルトキハ其ノ權限チ證スル書面
特許法第十六條第三項ノ規定ニ依リ登錄チ受クヘキ代理人又ハ同法第十七條若ハ第二十一條第一項但書ノ規定ニ依リ届出テタル代理人若ハ代表者カ其ノ權限内ニ於テ登錄チ申請スル場合ニ於テハ第一項第六號ノ書面チ添附スルコトチ要セス
登錄原因チ證スル書面ハ第一項第三號乃至第五號ノ書面チ以テ之ニ代フルコトチ得
第二十七條　債權者カ民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登錄チ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨チ記載シ且前條第一項第六號ノ書面チ添附スヘシ
第二十八條　登錄原因ニ登錄外目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定アルトキハ申請書ニ之チ記載スヘシ
第二十九條　登錄權利者カ多數ナル場合ニ於テ登錄原因ニ持分ノ定アルトキハ申請書ニ之チ記載スヘシ特許權又ハ之ニ關スル權利ノ一部移轉ノ登錄チ申請スル場合亦同シ
前項ノ場合ニ於テ特許法第四十四條第二項ノ同意、同法第四十七條ノ契約又ハ民法第二百五十六條第一項但書ノ契約アルトキハ申請書ニ之チ記載スヘシ
第三十條　抹消シタル登錄ノ回復チ申請スル場合ニ於テ登錄上利害關係チ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ其ノ者ニ對抗スルコトチ得ヘキ裁判ノ謄本チ添附スヘシ
第三十一條　左ノ場合ニ於テハ其ノ事實チ證スル戸籍若ハ登記簿ノ謄本若ハ抄本又ハ之ニ準スヘキ書面チ申請書ニ添附スヘシ
一　登錄原因カ相續其ノ他ノ一般承繼ナルトキ
二　申請人カ登錄權利者又ハ登錄義務者ノ相續人其ノ他ノ一般承繼人ナルトキ
三　登錄名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登錄チ申請スルトキ
第三十二條　數個ノ申請ニ依リ登錄チ申請スル場合ニ於テ第二十六條第一項第一號乃至第五號又ハ前條ノ書面カ一通ナルトキハ一ノ申請書ニ之チ添附シ他ノ申請書ニハ其ノ旨チ記載スヘシ
第三十三條　登錄チ完了シタル後其ノ登錄ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトチ發見シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨チ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スヘシ
前項ノ通知ハ第二十七條ノ場合ニ於テハ債權者ニ對シテモ亦之チ爲スヘシ
前二項ノ規定ニ依ル通知ハ登錄權利者、登錄義務者又ハ債權者カ多數ナル場合ニ於テ其ノ代表者ナルトキハ其ノ一人ニ對スル通知チ以テ之ニ代フルコトチ得
第三十四條　削除
第三十五條　削除
第三十六條　左ノ場合ニ於テハ登錄ノ申請ハ之チ却下ス
一　事件カ登錄スヘキモノニ非サルトキ
二　申請權方式ニ適合セサルトキ
三　第二十四條第一號ノ事件カ特許原簿ト符合セサルトキ
四　第三十一條第二號ニ規定スル書面チ添附スル場合チ除クノ外申請書ニ揭ケル登錄義務者ノ表示カ特許原簿ト符合セサルトキ
五　申請人カ登錄名義人ナル場合ニ於テ其ノ表示カ特許原簿ト符合セサルトキ
六　代理人又ハ代表者ノ表示カ特許原簿又ハ屆出ト符合セサルトキ
七　申請書ニ揭ケル事項カ登錄原因チ證スル書面ト符合セサルトキ
八　申請書ニ必要ナル書面チ添附セサルトキ
九　登錄稅チ納付セサルトキ
前項ノ規定ニ依ル却下ニハ理由チ附スヘシ
第三十七條　行政區劃又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ特許原簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其ノ名稱ハ之チ變更シタルモノト看做ス大字若ハ字又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキ亦同シ
第三十八條　登錄チ完了シタル後其ノ登錄ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトチ發見シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨チ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スヘシ
前項ノ通知ハ第二十七條ノ場合ニ於テハ債權者ニ對シテモ亦之チ爲スヘシ
前二項ノ規定ニ依ル通知ハ登錄權利者、登錄義務者又ハ債權者カ多數ナル場合ニ於テハ其ノ代表者ナルトキハ其ノ一人ニ對スル通知チ以テ之ニ代フルコトチ得
第三十九條　前條ノ場合ニ於テ登錄ノ錯誤又ハ遺漏カ特許局ノミノ過誤ニ出テタルトキハ登錄上利害關係チ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者チシテ申請書ニ記名捺印セシメ其ノ書面ノ外代位原因チ證スル書面ヲ添附スヘシ但シ前條第一項各號ニ揭ケル書面ノ外代位原因チ證スル書面ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第四十條　削除
第四十一條　削除
第四十二條　削除
第四十三條　削除
第四十四條　削除
第四十五條　削除
第四十六條　削除
第四十七條　削除
第四十八條　削除
第四十九條　削除
第五十條　削除
第五十一條　削除
第五十二條　削除
第五十三條　削除
第五十四條　削除
第五十五條　削除
第五十六條　削除
第五十七條　削除
第五十八條　削除
第五十九條　削除
第六十條　削除
第六十一條　削除
第六十二條　削除
第六十三條　削除
第六十四條　削除
第六十五條　削除
第六十六條　削除
第六十七條　削除
第六十八條　削除
第六十九條　削除
第七十條　削除
第七十一條　削除
第七十二條　削除
第七十三條　削除
第七十四條　削除
第七十五條　削除
第七十六條　削除
第七十七條　削除
第七十八條　削除
第七十九條　削除
第八十條　削除
第八十一條　削除
第八十二條　削除
第八十三條　削除
第八十四條　削除
第八十五條　削除
第八十六條　削除
第八十七條　削除
第八十八條　削除
第八十九條　削除
第九十條　削除
第九十一條　削除
第九十二條　削除
第九十三條　削除
第九十四條　削除
第九十五條　削除
第九十六條　削除
第九十七條　削除
第九十八條　削除
第九十九條　削除
第百條　削除
第百一條　削除
第百二條　削除
第百三條　削除
第百四條　削除
第百五條　削除
第百六條　削除
第百七條　削除
第百八條　削除
第百九條　削除
第百十條　削除
第百十一條　削除
第百十二條　削除
第百十三條　削除
第百十四條　削除
第百十五條　削除
第百十六條　削除
第百十七條　削除
第百十八條　削除
第百十九條　削除
第百二十條　削除
第百二十一條　削除
第百二十二條　削除
第百二十三條　削除
第百二十四條　削除
第百二十五條　削除
第百二十六條　削除
第百二十七條　削除
第百二十八條　削除
第百二十九條　削除
第百三十條　削除
第百三十一條　削除
第百三十二條　削除
第百三十三條　削除
第百三十四條　削除
第百三十五條　削除
第百三十六條　削除
第百三十七條　削除
第百三十八條　削除
第百三十九條　削除
第百四十條　削除
第百四十一條　削除
第百四十二條　削除
第百四十三條　削除
第百四十四條　削除
第百四十五條　削除
第百四十六條　削除
第百四十七條　削除
第百四十八條　削除
第百四十九條　削除
第百五十條　削除
第百五十一條　削除
第百五十二條　削除
第百五十三條　削除
第百五十四條　削除
第百五十五條　削除
第百五十六條　削除
第百五十七條　削除
第百五十八條　削除
第百五十九條　削除
第百六十條　削除
第百六十一條　削除
第百六十二條　削除
第百六十三條　削除
第百六十四條　削除
第百六十五條　削除
第百六十六條　削除
第百六十七條　削除
第百六十八條　削除
第百六十九條　削除
第百七十條　削除
第百七十一條　削除
第百七十二條　削除
第百七十三條　削除
第百七十四條　削除
第百七十五條　削除
第百七十六條　削除
第百七十七條　削除
第百七十八條　削除
第百七十九條　削除
第百八十條　削除
第百八十一條　削除
第百八十二條　削除
第百八十三條　削除
第百八十四條　削除
第百八十五條　削除
第百八十六條　削除
第百八十七條　削除
第百八十八條　削除
第百八十九條　削除
第百九十條　削除
第百九十一條　削除
第百九十二條　削除
第百九十三條　削除
第百九十四條　削除
第百九十五條　削除
第百九十六條　削除
第百九十七條　削除
第百九十八條　削除
第百九十九條　削除
第二百條　削除

前項ノ即時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定チ準用ス
第二十一條　官廳又ハ公署ハ其ノ爲シタル處分ニ基ク處分ノ制限ノ登錄又ハ其ノ抹消登錄チ遲滯ナク特許局ニ囑託スヘシ公賣其ノ他法令ノ規定ニ依ル處分ニ基ク權利移轉ノ登錄ニ付亦同シ
前項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ當該官廳又ハ公署ハ登錄名義人ノ表示ノ變更若ハ更正又ハ相續其ノ他ノ一般承繼ニ依ル權利移轉ノ登錄チ特許局ニ囑託スヘシ
第二十二條　特許法第四十條ノ規定ニ依リ政府ニ於テ特許權チ收用シ又ハ特許發明チ實施スル場合ニ於テハ主務官廳ハ特許權移轉ノ登錄又ハ實施權設定ノ登錄チ特許局ニ囑託スヘシ
前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之チ準用ス
第二十三條　第三條第一號ニ揭ケル訴チ受理シタル裁判所ハ遲滯ナク囑託書ニ訴狀ノ謄本又ハ抄本チ添附シテ其ノ豫告登錄チ特許局ニ囑託スヘシ
第三條第二號ニ揭ケル請求アリタルトキハ豫告チ以テ其ノ豫告登錄チ爲ス
第二十四條　登錄ノ申請書ハ一件毎ニ一通チ作リ之ニ左ニ揭ケル事項チ記載シ申請人記名捺印スヘシ
一　特許番號及發明ノ名稱竝登錄ノ目的カ特許權以外ノ權利ニ關スル場合ニ於テハ尙其ノ權利ノ表示
二　申請人ノ氏名名稱及住所又ハ居所竝代理人ニ依リテ申請スル場合ニ於テハ尙其ノ氏名名稱及住所又ハ居所
申請人カ外國人ナル場合ニ在リテハ其ノ國籍及萬國工業所有權保護同盟條約國又ハ帝國ト特許ニ關シ相互保護チ約セシ國以外ノ國ノ臣民又ハ人民ナル場合ニ在リテハ尙同盟國中ノ一國ノ版圖内ニ於ケル住所又ハ現實且眞誠ナル工業的若ハ商業的營業所
四　登錄原因及其ノ日附
五　登錄ノ目的

六　年月日
第二十五條　敕許ノ特許權、實用新案權若ハ意匠權チ以テ目的トスル質權ノ設定ノ登錄ノ申請スル場合ニ於テハ其ノ登錄ノ申請ハ之チ却下ス
一　事件カ登錄スヘキモノニ非サルトキ
二　申請權方式ニ適合セサルトキ
三　第二十四條第一號ノ事件カ特許原簿ト符合セサルトキ
四　第三十一條第二號ニ規定スル書面チ添附スル場合チ除クノ外申請書ニ揭ケル登錄義務者ノ表示カ特許原簿ト符合セサルトキ
五　申請人カ登錄名義人ナル場合ニ於テ其ノ表示カ特許原簿ト符合セサルトキ
六　代理人又ハ代表者ノ表示カ特許原簿又ハ屆出ト符合セサルトキ
七　申請書ニ揭ケル事項カ登錄原因チ證スル書面ト符合セサルトキ
八　申請書ニ必要ナル書面チ添附セサルトキ
九　登錄稅チ納付セサルトキ
前項ノ規定ニ依ル却下ニハ理由チ附スヘシ
第三十二條　登錄チ完了シタル後其ノ登錄ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトチ發見シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨チ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スヘシ
前項ノ通知ハ第二十七條ノ場合ニ於テハ債權者ニ對シテモ亦之チ爲スヘシ
前二項ノ規定ニ依ル通知ハ登錄權利者、登錄義務者又ハ債權者カ多數ナル場合ニ於テハ其ノ代表者ナルトキハ其ノ一人ニ對スル通知チ以テ之ニ代フルコトチ得
第三十三條　前條ノ場合ニ於テ登錄ノ錯誤又ハ遺漏カ特許局ノミノ過誤ニ出テタルトキハ登錄上利害關係チ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者チシテ申請書ニ記名捺印セシメ其ノ書面ノ外代位原因チ證スル書面チ添附スヘシ但シ前條第一項各號ニ揭ケル書面ノ外代位原因チ證スル書面ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第三十四條　削除
第三十五條　削除
第三十六條　左ノ場合ニ於テハ登錄ノ申請ハ之チ却下ス
一　事件カ登錄スヘキモノニ非サルトキ
二　申請權方式ニ適合セサルトキ
三　第二十四條第一號ノ事件カ特許原簿ト符合セサルトキ
四　第三十一條第二號ニ規定スル書面チ添附スル場合チ除クノ外申請書ニ揭ケル登錄義務者ノ表示カ特許原簿ト符合セサルトキ
五　申請人カ登錄名義人ナル場合ニ於テ其ノ表示カ特許原簿ト符合セサルトキ
六　代理人又ハ代表者ノ表示カ特許原簿又ハ屆出ト符合セサルトキ
七　申請書ニ揭ケル事項カ登錄原因チ證スル書面ト符合セサルトキ
八　申請書ニ必要ナル書面チ添附セサルトキ
九　登錄稅チ納付セサルトキ
前項ノ規定ニ依ル却下ニハ理由チ附スヘシ
第三十七條　行政區劃又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ特許原簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其ノ名稱ハ之チ變更シタルモノト看做ス大字若ハ字又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキ亦同シ
第三十八條　登錄チ完了シタル後其ノ登錄ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトチ發見シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨チ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スヘシ
前項ノ通知ハ第二十七條ノ場合ニ於テハ債權者ニ對シテモ亦之チ爲スヘシ
前二項ノ規定ニ依ル通知ハ登錄權利者、登錄義務者又ハ債權者カ多數ナル場合ニ於テハ其ノ代表者ナルトキハ其ノ一人ニ對スル通知チ以テ之ニ代フルコトチ得
第三十九條　前條ノ場合ニ於テ登錄ノ錯誤又ハ遺漏カ特許局ノミノ過誤ニ出テタルトキハ登錄上利害關係チ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者チシテ申請書ニ記名捺印セシメ其ノ書面ノ外代位原因チ證スル書面ヲ添附スヘシ但シ前條第一項各號ニ揭ケル書面ノ外代位原因チ證スル書面ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スヘシ

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十條　特許權又ハ之ニ關スル權利ニシテ工場財團又ハ之ニ準スヘキモノニ屬スルコトノ登錄アルモノニ付變更、制限又ハ消滅アリタルトキハ特許局ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ管轄登記所又ハ之ニ準スヘキモノニ通知スヘシ

第二節　特許權及實施權ニ關スル登錄手續

第四十一條　特許權移轉ノ登錄又ハ特許權ノ登錄名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ追加ノ特許權又ハ特許法第四十九條ノ規定ニ依ル實施權アルトキハ同時ニ其ノ追加ノ特許權又ハ實施權ニ付テモ同一ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ同一ノ申請書ヲ以テ登錄ヲ申請スルコトヲ得

第四十二條　特許權ノ制限附移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ支拂時期ノ定アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

第四十三條　實施權設定、保存又ハ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ範圍若ハ制限ヲ記載シ尚登錄原因ニ報酬若ハ其ノ支拂時期ノ定アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

第四十四條　特許權ノ登錄又ハ特許權ノ登錄名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ變更若ハ更正ノ承諾アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

實施權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ特許發明實施ノ事業ト共ニ移轉スルトキハ申請書ニ之ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第四十五條　質權設定、移轉又ハ變更ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ範圍若ハ制限ヲ記載スヘシ

第四十六條　特許權ノ質權ニ關スル登錄手續

第四十七條　質權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權ノ目的タル權利及債權額ヲ記載シ尚登錄原因ニ存續期間、辨濟期、利息、遲約金若ハ賠償額ニ關スル定若ハ民法第三百四十六條但書ノ規定ニ依ル定アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

特許發明實施ノ事業ト共ニ移轉スルトキハ申請書ニ之ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第四十八條　質權ニ關スル登錄手續

第四十九條　質權ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ範圍若ハ制限ヲ記載シ尚登錄原因ニ存續期間、辨濟期、利息、遲約金若ハ賠償額ニ關スル定若ハ民法第三百四十六條但書ノ規定ニ依ル定アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

第五十條　質權ニ關スル登錄手續

第五十一條　質權ニ關スル登錄手續

第五十二條　質權ニ關スル登錄手續

第五十三條　質權ニ關スル登錄手續

第五十四條　質權ニ關スル登錄手續

第五十五條　質權ニ關スル登錄手續

第五十六條　質權ニ關スル登錄手續

第五十七條　質權ニ關スル登錄手續

第五十八條　質權ニ關スル登錄手續

第五十九條　質權ニ關スル登錄手續

第六十條　質權ニ關スル登錄手續

第六十一條　質權ニ關スル登錄手續

第六十二條　前條ノ規定ハ裁判所又ハ主務官廳カ受託者ヲ解任シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條　裁判所カ信託財產ノ管理方法ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク特許信託原簿ノ記載ヲ特許局ニ嘱託スヘシ

前項ノ規定ハ主務官廳カ信託ノ條項ヲ變更シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十四條　第五十八條又ハ第五十九條ノ場合ニ於テ特許原簿ノ登錄ヲ爲シタルトキハ特許局ハ驗權ヲ以テ特許信託原簿ノ登錄ヲ爲スヘシ

第六十五條　第五十八條、第五十九條及第六十一條乃至第六十三條ノ場合ヲ除クノ外第六十條第一項ニ揭ケル事項ノ變更ニ關スル特許信託原簿ノ登錄ハ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

受益者又ハ委託者ハ受託者ニ代位シテ前項ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第六十六條　第六十二條ニ規定スル登錄ヲ爲シタルトキハ特許局ハ驗權ヲ以テ特許原簿ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第六十七條　信託財產ニ屬スル特許權又ハ之ニ關スル權利ヲ移轉ニ依リ信託財產ニ屬セシメタルトキハ特許局ハ驗權ヲ以テ特許原簿ノ登錄ヲ抹消ノ申請ハ移轉ノ登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ハ特許信託財產ニ屬スル特許權又ハ之ニ關スル權利ヲ移轉ニ依リ信託財產ニ屬セシメタル場合ニ於テ爲スヘキ信託登錄抹消ノ申請ハ移轉ノ登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第六十八條　第四十一條ノ規定ハ特許權ノ信託ノ登錄若ハ其ノ抹消又ハ第六十五條第一項ニ揭ケル事項ノ變更ノ登錄ニ之ヲ準用ス

第六十九條　第四十一條ノ規定ハ特許權ノ信託ノ登錄ニ關スル處分ノ制限ニ之ヲ準用ス

第三節　異議及訴願

第七十條　異議ノ決定ニ不服アル者ハ農商務大臣ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得

附　則

第七十一條　本令ハ大正十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十二條　舊特許原簿ハ之ヲ本令ニ依ル特許原簿ト看做ス

第七十三條　舊令ニ依リ爲シタル登錄ニ關スル處分及手續ハ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第七十四條　特許法第百三十八條第一項ノ規定ニ依ル處理ニ關スル登錄ニ付テハ仍舊令ニ依ル

第七十五條　本令施行ノ際現ニ繫屬スル登錄ニ關スル處分及手續ニ付テハ仍舊令ニ依ル

第七十六條　舊特許法第三十五條ノ規定ニ依ル實施權ノ保存ノ登錄ニ付テハ仍舊令ニ依ル

附　則（大正十一年十二月勅令第五百十七號）

本令ハ信託法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●特許登錄令施行規則

大正十年十二月
農商務省令第三十九號

改正　大正一二・二・二八第二六號、昭和二年四
商令第四號

特許登錄令施行規則左ノ通改正ス

特許登錄令施行規則

第一章　登錄ニ關スル帳簿

第一條　特許原簿ハ第一號樣式ニ、特許信託原簿ハ第一號ノ二樣式ニ依リ之ヲ作ルヘシ

第二條　特許原簿ハ一特許權ニ付一用紙ヲ備フ

特許信託原簿ハ信託財產ニ屬スル特許權又ハ之ニ關スル權利ニ付各一用紙ヲ備フ

第三條　受付簿ハ第二號樣式ニ依リ毎年之ヲ作ルヘシ

第四條　特許原簿ノ特許番號欄ニハ特許番號ヲ記載ス

表題部ノ表示欄ニハ特許權ノ表示ヲ爲シ並其ノ變更、消滅、特許法第四十條ノ制限及特許ノ效力、特許法第五十三條ノ訴訟ノ確定若ハ和解ノ趣旨ヲ記載ス

第五條　登錄申請書ニ添附セル特許權又ハ之ニ關スル權利ニ關スル證書ハ之ヲ編綴シ其ノ目錄ヲ作ルヘシ

第二章　申請及嘱託手續

第六條　登錄申請書ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ニ綴目ヲ契印スヘシ

前項ノ契印ナキモノニ付テハ登錄官吏ニ於テ契印スヘシ

第七條　異議ノ決定ニ不服アル者ハ農商務大臣ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得

附　則

本令ハ大正十一年十二月勅令第五百十七號）

本令ハ信託法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●特許登錄令施行規則

大正十年十二月
農商務省令第三十九號

改正　大正一二・二・二八第二六號、昭和二年四
商令第四號

特許登錄令施行規則左ノ通改正ス

特許登錄令施行規則

第一章　登錄ニ關スル帳簿

第一條　特許原簿ハ第一號樣式ニ、特許信託原簿ハ第一號ノ二樣式ニ依リ之ヲ作ルヘシ

第二條　特許原簿ハ一特許權ニ付一用紙ヲ備フ

特許信託原簿ハ信託財產ニ屬スル特許權又ハ之ニ關スル權利ニ付各一用紙ヲ備フ

第三條　受付簿ハ第二號樣式ニ依リ毎年之ヲ作ルヘシ

第四條　特許原簿ノ特許番號欄ニハ特許番號ヲ記載ス

表題部ノ表示欄ニハ特許權ノ表示ヲ爲シ並其ノ變更、消滅、特許法第四十條ノ制限及特許ノ效力、特許法第五十三條ノ訴訟ノ確定若ハ和解ノ趣旨ヲ記載ス

第五條　登錄申請書ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ニ綴目ヲ契印スヘシ

前項ノ契印ナキモノニ付テハ登錄官吏ニ於テ契印スヘシ

第六條　特許登錄令第二十七條但書ノ場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ登錄義務者ノ承諾書又ハ其ノ者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第七條　質權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ順位ノ質權ノ登錄アルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第八條　登錄稅法第十一條第三號又ハ第六號ニ規定スル事項ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ課稅標準ノ價格ヲ記載スヘシ

第八條ノ二　登錄稅法施行規則第四條第一項ノ規定ニ依リ登錄稅ヲ徵收スル場合ニ於テ登錄官吏又ハ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第九條　表示欄ニハ登錄ヲ爲ストキハ表示番號ニ關スル事項ヲ記載シ其ノ左側ニ附記スヘシ

第十條　附記ニ依ル登錄ノ番號ヲ記載スルニハ主登錄ノ番號ノ左側ニ附記シ其ノ左側ニ附記ノ順序ニ依リ附記何號ト記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ主登錄ノ番號ノ左側ニ前項ノ附記ノ番號ヲ記載スヘシ

第十一條　特許原簿又ハ特許信託原簿ニ住所ヲ記載スヘキ場合ニ於テ住所ナキ者ニ付テハ居所ヲ記載スヘシ

第十二條　異議ノ決定又ハ訴願ノ裁決ニ依リ登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ相當欄ニ原因及其ノ日附ヲ記載スヘシ

第十三條　變更又ハ更正ノ登錄ヲ爲シタルトキハ變更又ハ更正アリタル登錄事項ヲ朱抹スヘシ

第十四條　抹消ノ登錄ヲ爲スニハ其ノ原因、日附及抹消ヲ爲ス旨ヲ記載シタル後抹消スヘキ登錄ヲ朱抹スヘシ

質權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權カ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スヘシ

第四十五條　一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タル質權ノ設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ債權ノ價額ヲ記載スヘシ

第四十六條　債權ノ一部辨濟ノ場合ニ於テ依リ質權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ辨濟又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スヘシ

第四十七條　未登錄ノ制限附移轉ノ特許權若ハ未登錄ノ質施權又ハ之ヲ目的トスル質權又ハ之ニ關スル登錄ハ之ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十八條　受託者更迭ノ場合ニ於テ特許權又ハ之ニ關スル權利ノ移轉ノ登錄ヲ申請スルニハ申請書ニ其ノ更迭ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ信託法第五十條第二項ノ場合ニ於テ爲スヘキ變更ノ登錄ヲ申請スルニハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第五十九條　受託者ノ任務カ死亡、破產、禁治產、準禁治產又ハ裁判所若ハ主務官廳ノ解任命令ニ依リテ終了シタルトキハ前條ノ登錄ハ新受託者又ハ他ノ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得受託者タル法人ノ任務カ解散ニ依リテ終了シタルトキ亦同シ

第六十條　信託ノ登錄ヲ申請書ニハ第二十四條ニ揭ケル事項ノ外左ニ揭ケル事項ヲ記載スヘシ

一　委託者、受託者及受益者ノ氏名、名稱及住所又ハ居所並信託管理人アル場合ニ於テハ尚其ノ氏名、名稱及住所又ハ居所

二　信託ノ目的

三　信託財產ノ管理方法

四　信託終了ノ事由

五　其ノ他信託ノ條項

前項ニ揭ケル事項ハ驗權ヲ以テ特許信託原簿ニ之ヲ登錄スヘシ

第六十一條　裁判所カ信託管理人ヲ選任シ又ハ解任シタルトキハ遲滯ナク特許信託原簿ノ登錄ヲ特許局ニ嘱託スヘシ主務官廳カ信託管理人ヲ選任シタルトキ亦同シ

申請書ニ尚登錄ノ目的タル特許權又ハ之ニ關スル權利カ信託財產ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第五十七條　信託ノ登錄ノ申請ハ信託ニ依ル特許權移轉ノ登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ記載スヘシ信託ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ債權ノ價額ヲ記載スヘシ

第五十六條　信託ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ範圍若ハ制限ヲ記載シ尚登錄原因ニ報酬若ハ其ノ支拂時期ノ定アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

第五十五條　特許權移轉ノ登錄又ハ特許權ノ登錄名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ變更若ハ更正ノ承諾アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

第五十四條　特許權又ハ之ニ關スル權利ニシテ工場財團又ハ之ニ準スヘキモノニ屬スルコトノ登錄アルモノニ付變更、制限又ハ消滅アリタルトキハ特許局ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ管轄登記所又ハ之ニ準スヘキモノニ通知スヘシ

第二節　特許權及實施權ニ關スル登錄手續

第五十三條　第三條第一號ノ豫告登錄アリタル特許權ノ登錄名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第五十二條　登錄上利害關係アル第三者アルトキハ同時ニ其ノ追加ノ特許權又ハ實施權アルトキハ同一ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ同一ノ申請書ヲ以テ登錄ヲ申請スルコトヲ得

第五十一條　假登錄ノ抹消ハ假登錄名義人ノ承諾書又ハ其ノ者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シ單獨ニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第五十條　假登錄ノ抹消ハ假登錄名義人ノ承諾書又ハ其ノ者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シ單獨ニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第四十九條　未登錄ノ特許權若ハ未登錄ノ質施權又ハ之ヲ目的トスル質權ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十八條　特許權又ハ之ニ關スル權利ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十七條　特許權又ハ之ニ關スル權利ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十六條　特許權又ハ之ニ關スル權利ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十五條　特許權又ハ之ニ關スル權利ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十四條　特許權又ハ之ニ關スル權利ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十三條　特許權又ハ之ニ關スル權利ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十二條　特許權又ハ之ニ關スル權利ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十一條　特許權又ハ之ニ關スル權利ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第二節　特許權及實施權ニ關スル登錄手續

第四十條　特許權又ハ之ニ關スル權利ニシテ工場財團又ハ之ニ準スヘキモノニ屬スルコトノ登錄アルモノニ付變更、制限又ハ消滅アリタルトキハ特許局ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ管轄登記所又ハ之ニ準スヘキモノニ通知スヘシ

第四十一條　特許權移轉ノ登錄又ハ特許權ノ登錄名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十二條　特許權ノ制限附移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ支拂時期ノ定アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

第四十三條　實施權設定、保存又ハ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ範圍若ハ制限ヲ記載シ尚登錄原因ニ報酬若ハ其ノ支拂時期ノ定アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

第四十四條　特許權ノ登錄又ハ特許權ノ登錄名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ變更若ハ更正ノ承諾アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

實施權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ特許發明實施ノ事業ト共ニ移轉スルトキハ申請書ニ之ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第四十五條　質權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權ノ目的タル權利及債權額ヲ記載シ尚登錄原因ニ存續期間、辨濟期、利息、遲約金若ハ賠償額ニ關スル定若ハ民法第三百四十六條但書ノ規定ニ依ル定アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

第四十六條　質權ニ關スル登錄手續

第四十七條　質權ニ關スル登錄手續

第四十八條　質權ニ關スル登錄手續

第四十九條　質權ニ關スル登錄手續

第五十條　質權ニ關スル登錄手續

第五十一條　質權ニ關スル登錄手續

第五十二條　質權ニ關スル登錄手續

第五十三條　質權ニ關スル登錄手續

第五十四條　質權ニ關スル登錄手續

第五十五條　質權ニ關スル登錄手續

第五十六條　質權ニ關スル登錄手續

第五十七條　質權ニ關スル登錄手續

第五十八條　質權ニ關スル登錄手續

第五十九條　質權ニ關スル登錄手續

第六十條　質權ニ關スル登錄手續

第六十一條　質權ニ關スル登錄手續

第六十二條　前條ノ規定ハ裁判所又ハ主務官廳カ受託者ヲ解任シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條　裁判所カ信託財產ノ管理方法ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク特許信託原簿ノ記載ヲ特許局ニ嘱託スヘシ

前項ノ規定ハ主務官廳カ信託ノ條項ヲ變更シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十四條　第五十八條又ハ第五十九條ノ場合ニ於テ特許原簿ノ登錄ヲ爲シタルトキハ特許局ハ驗權ヲ以テ特許原簿ノ登錄ヲ爲スヘシ

第六十五條　第五十八條、第五十九條及第六十一條乃至第六十三條ノ場合ヲ除クノ外第六十條第一項ニ揭ケル事項ノ變更ニ關スル特許信託原簿ノ登錄ハ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

受益者又ハ委託者ハ受託者ニ代位シテ前項ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第六十六條　第六十二條ニ規定スル登錄ヲ爲シタルトキハ特許局ハ驗權ヲ以テ特許原簿ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第六十七條　信託財產ニ屬スル特許權又ハ之ニ關スル權利ヲ移轉ニ依リ信託財產ニ屬セシメタルトキハ特許局ハ驗權ヲ以テ特許原簿ノ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テ爲スヘキ信託登錄抹消ノ申請ハ移轉ノ登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ハ特許信託財產ニ屬スル特許權又ハ之ニ關スル權利ヲ移轉ニ依リ信託財產ニ屬セシメタル場合ニ於テ爲スヘキ信託登錄抹消ノ申請ハ移轉ノ登錄ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第六十八條　第四十一條ノ規定ハ特許權ノ信託ノ登錄若ハ其ノ抹消又ハ第六十五條第一項ニ揭ケル事項ノ變更ノ登錄ニ之ヲ準用ス

第六十九條　第四十一條ノ規定ハ特許權ノ信託ノ登錄ニ關スル處分ノ制限ニ之ヲ準用ス

第三節　異議及訴願

第七十條　異議ノ決定ニ不服アル者ハ農商務大臣ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得

附　則

第七十一條　本令ハ大正十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十二條　舊特許原簿ハ之ヲ本令ニ依ル特許原簿ト看做ス

第七十三條　舊令ニ依リ爲シタル登錄ニ關スル處分及手續ハ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第七十四條　特許法第百三十八條第一項ノ規定ニ依ル處理ニ關スル登錄ニ付テハ仍舊令ニ依ル

第七十五條　本令施行ノ際現ニ繫屬スル登錄ニ關スル處分及手續ニ付テハ仍舊令ニ依ル

第七十六條　舊特許法第三十五條ノ規定ニ依ル實施權ノ保存ノ登錄ニ付テハ仍舊令ニ依ル

附　則（大正十一年十二月勅令第五百十七號）

本令ハ信託法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●特許登錄令施行規則

大正十年十二月
農商務省令第三十九號

改正　大正一二・二・二八第二六號、昭和二年四
商令第四號

特許登錄令施行規則左ノ通改正ス

特許登錄令施行規則

第一章　登錄ニ關スル帳簿

第一條　特許原簿ハ第一號樣式ニ、特許信託原簿ハ第一號ノ二樣式ニ依リ之ヲ作ルヘシ

第二條　特許原簿ハ一特許權ニ付一用紙ヲ備フ

特許信託原簿ハ信託財產ニ屬スル特許權又ハ之ニ關スル權利ニ付各一用紙ヲ備フ

第三條　受付簿ハ第二號樣式ニ依リ毎年之ヲ作ルヘシ

第四條　特許原簿ノ特許番號欄ニハ特許番號ヲ記載ス

表題部ノ表示欄ニハ特許權ノ表示ヲ爲シ並其ノ變更、消滅、特許法第四十條ノ制限及特許ノ效力、特許法第五十三條ノ訴訟ノ確定若ハ和解ノ趣旨ヲ記載ス

第五條　登錄申請書ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ニ綴目ヲ契印スヘシ

前項ノ契印ナキモノニ付テハ登錄官吏ニ於テ契印スヘシ

第六條　特許登錄令第二十七條但書ノ場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ登錄義務者ノ承諾書又ハ其ノ者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シ單獨ニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第七條　質權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ順位ノ質權ノ登錄アルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第八條　登錄稅法第十一條第三號又ハ第六號ニ規定スル事項ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ課稅標準ノ價格ヲ記載スヘシ

第八條ノ二　登錄稅法施行規則第四條第一項ノ規定ニ依リ登錄稅ヲ徵收スル場合ニ於テ登錄官吏又ハ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第九條　表示欄ニハ登錄ヲ爲ストキハ表示番號ニ關スル事項ヲ記載シ其ノ左側ニ登錄ヲ爲ストキハ順位番號欄ニ番號ヲ記載スヘシ

第十條　附記ニ依ル登錄ノ番號ヲ記載スルニハ主登錄ノ番號ノ左側ニ附記シ其ノ左側ニ附記ノ順序ニ依リ附記何號ト記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ主登錄ノ番號ノ左側ニ前項ノ附記ノ番號ヲ記載スヘシ

第十一條　特許原簿又ハ特許信託原簿ニ住所ヲ記載スヘキ場合ニ於テ住所ナキ者ニ付テハ居所ヲ記載スヘシ

第十二條　異議ノ決定又ハ訴願ノ裁決ニ依リ登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ相當欄ニ原因及其ノ日附ヲ記載スヘシ

第十三條　變更又ハ更正ノ登錄ヲ爲シタルトキハ變更又ハ更正アリタル登錄事項ヲ朱抹スヘシ

第十四條　抹消ノ登錄ヲ爲スニハ其ノ原因、日附及抹消ヲ爲ス旨ヲ記載シタル後抹消スヘキ登錄ヲ朱抹スヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

前項ノ場合ニ於テ抹消ニ係ル權利ヲ目的トスル第三者ノ權利ニ關スル登錄アルトキハ當該登錄ノ權利ニ關スル登錄アルトキハ其ノ第三者ノ權利ノ表示ヲ爲シ何權利ノ登錄ヲ抹消スルニ依リテ其ノ抹消ヲ爲ス旨ヲ記載シ其ノ登錄ヲ朱抹スヘシ

特許權ニ付抹消ノ登錄ヲ爲シタルトキハ其ノ追加ノ特許權カ附隨スル特許權ノ登錄用紙中當該追加ノ特許權ノ特許番號ヲ朱抹スヘシ

第十五條　回復ノ登錄ヲ爲スニハ其ノ原因、日附及回復ヲ爲ス旨ヲ記載シタル後抹消ニ係ル登錄ト同一ノ登錄ヲ爲スヘシ

第十六條　表示欄、事項欄又ハ代理人欄ニ登錄ヲ爲シタルトキハ其ノ末尾ニ登錄年月日ヲ記載シ登錄官吏之ニ捺印スヘシ

第十七條　表示欄ニ登錄ヲ爲シタルトキハ表示番號欄及表示欄ニ線ヲ劃シ事項欄ニ登錄ヲ爲シタルトキハ順位番號欄及事項欄ニ縱線ヲ劃シ餘白ヲ分界スヘシ

代理人欄、追加特許番號欄又ハ特許料金欄ニ登錄又ハ記載ヲ爲シタルトキハ同欄ニ縱線ヲ劃シ餘白ヲ分界スヘシ

第十七條ノ二　特許原簿ノ登錄用紙中同一事項欄ニ同一順位ヲ以テ設定又ハ移轉ノ登錄ト信託ノ登錄トヲ爲シタルトキハ事項欄ニ縱線ヲ劃シテ其ノ各登錄ヲ分界スヘシ

第十七條ノ三　特許原簿ニ信託ノ登錄ヲ爲シタルトキハ特許信託番號ヲ記載スヘシ

第十八條　登錄用紙中或欄カ登錄又ハ記載ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新ニ登錄用紙ヲ起シ特許番號欄又ハ特許信託番號欄ニ前用紙ノ特許番號又ハ特許信託番號ヲ轉寫シ其ノ左側ニ「第二」ノ文字ヲ記載シ且前用紙ヲ綴綴セル特許原簿又ハ特許信託原簿ノ册數、丁數及其ノ繼續用紙ナル旨ヲ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ前用紙中特許番號又ハ特許信託番號ノ左側ニ「第一」ノ文字ヲ記載シ且前用紙ニ續綴セル特許原簿又ハ特許信託原簿ノ册數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ登錄又ハ記載スヘキ事項ハ仍其ノ欄ニ登錄

第十九條　前條ノ規定ハ第三項以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第二節　職權ニ依ル登錄手續

第二十條　職權ニ依ル登錄ハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ但シ特許權ノ設定、特許法第五十三條第二項ノ許可ニ依リ乙特許權ト共ニ確定審決若ハ判決又ハ前項ノ場合ニ於テ特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ

特許料ノ納付ノ期限又ハ免許ノ處分アリタル場合ニ於テ其ノ處分ノ順序ヲ以テ料金納付ノ順序ト看做ス

第二十一條　特許權設定ノ登錄ヲ爲スニハ特許番號欄ニ特許番號ヲ記載シ表示欄ニ出願日附、出願番號、特許發明ノ名稱、査定若ハ審決確定シ又ハ判決アリタル旨及其ノ日附並特許法第十一條ノ規定ニ依リ特許權ヲ設定シタル場合ニ在リテハ尚其ノ旨、無效ヲ爲シタル特許ノ特許番號、其ノ登錄ノ日附及其ノ出願公告アリタルモノニ付テハ其ノ日附ヲ記載シ甲區事項欄ニ特許權者ノ氏名名稱及住所並特許法施行規則第三十九條ニ掲ケル事項アル場合ニ在リテハ尚其ノ事項ヲ記載スヘシ

第二十二條　追加ノ特許權設定ノ登錄ヲ爲スニハ前條ノ規定ニ依ルノ外表示欄ニ原特許權ノ特許番號、其ノ登錄ノ日附、其ノ出願公告アリタルモノニ付テハ其ノ日附及其ノ追加ノ特許ナル旨ヲ記載スヘシ

前項ノ登錄ヲ爲シタルトキハ原特許權ノ登錄用紙中追加特許番號ニ關スル事項ヲ朱抹スヘシ

第二十三條　追加ノ特許權存續期間延長ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ出願日附、願書番號、許可アリタル旨、其ノ日附及延長ノ期間並制限ヲ附シタルトキハ其ノ事項ヲ記載スヘシ

第二十四條　特許權存續期間延長ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ出願日附、願書番號、許可アリタル旨、其ノ日附及延長ノ期間並制限ヲ附シタルトキハ其ノ事項ヲ記載スヘシ

第二十五條　特許法第四十條ノ規定ニ依リ乙特許權ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ出願日附、出願番號、特許發明ノ名稱、査定若ハ審決確定又ハ判決アリタル旨及其ノ日附並特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ但シ特許權ノ設定、特許法第五十三條第二項ノ許可ニ依リ乙特許權ト共ニ確定審決若ハ判決又ハ前項ノ場合ニ於テ特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ

第二十六條　特許法第五十三條第一項ノ許可ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ審判、抗告審判又ハ判決ノ確定審決又ハ判決ノ旨及其ノ日附並特許發明ノ名稱ヲ記載シ其ノ審決確定シ又ハ判決アリタル旨及其ノ日附並特許發明ノ名稱ヲ記載シ且甲區事項欄ニ原特許ノ登錄用紙中登錄セラレタル特許權其ノ他ノ權利ニ關スル事項ヲ轉寫シ審判、抗告審判又ハ判決ノ番號、許可ノ審決確定シ又ハ判決アリタル旨及其ノ日附並特許發明ノ名稱ニ變更アリタル場合ニ在リテハ尚其ノ名稱ヲ記載シ相當區事項欄ニ原特許ノ登錄用紙中登錄セラレタル特許權其ノ他ノ權利ニ關スル事項ヲ轉寫シ審判、抗告審判又ハ判決ノ番號、許可ノ審決確定シ又ハ判決アリタル旨及其ノ日附並特許發明ノ名稱ニ變更アリタル場合ニ於テハ其ノ變更ノ事由ヲ記載シ且甲區以外ノ相當區事項欄ニ轉寫シタル權利ノ目的ノタル旨ヲ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テ前用紙中特許番號又ハ特許信託番號ノ左側ニ「第一」ノ文字ヲ記載シ且前用紙ニ續綴セル特許原簿又ハ特許信託原簿ノ册數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

第二十七條　特許法第五十三條第二項ノ規定ニ依リ特許權ヲ甲又ハ乙ノ特許權ト爲シタルトキハ特許番號欄ニ甲又ハ乙ノ特許權ト爲シタル旨ヲ記載スヘシ

第二十八條　前條ノ規定ニ依リ乙特許權ノ登錄用紙中表示欄ニ審判、抗告審判又ハ判決ノ確定審決若ハ判決ノ旨及其ノ日附ヲ記載スヘキ事項ハ仍其ノ欄ニ登錄

第十九條　前條ノ規定ハ第三項以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第二節　職權ニ依ル登錄手續

第二十條　職權ニ依ル登錄ハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ但シ特許權ノ設定、特許法第五十三條第二項ノ許可ニ依リ乙特許權ト共ニ確定審決若ハ判決又ハ前項ノ場合ニ於テ特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ

第二十一條　職權ニ依ル登錄ハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ但シ特許權ノ設定、特許法第五十三條第二項ノ許可ニ依リ乙特許權ト共ニ確定審決若ハ判決又ハ前項ノ場合ニ於テ特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ

第二十二條　特許權設定ノ登錄ヲ爲スニハ特許番號欄ニ特許番號ヲ記載シ表示欄ニ出願日附、出願番號、特許發明ノ名稱、査定若ハ審決確定シ又ハ判決アリタル旨及其ノ日附並特許法第十一條ノ規定ニ依リ特許權ヲ設定シタル場合ニ在リテハ尚其ノ旨、無效ヲ爲シタル特許ノ特許番號、其ノ登錄ノ日附及其ノ出願公告アリタルモノニ付テハ其ノ日附ヲ記載シ甲區事項欄ニ特許權者ノ氏名名稱及住所並特許法施行規則第三十九條ニ掲ケル事項アル場合ニ在リテハ尚其ノ事項ヲ記載スヘシ

第二十三條　追加ノ特許權設定ノ登錄ヲ爲スニハ前條ノ規定ニ依ルノ外表示欄ニ原特許權ノ特許番號、其ノ登錄ノ日附、其ノ出願公告アリタルモノニ付テハ其ノ日附及其ノ追加ノ特許ナル旨ヲ記載スヘシ

前項ノ登錄ヲ爲シタルトキハ原特許權ノ登錄用紙中追加特許番號ニ關スル事項ヲ朱抹スヘシ

第二十四條　特許權存續期間延長ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ出願日附、願書番號、許可アリタル旨、其ノ日附及延長ノ期間並制限ヲ附シタルトキハ其ノ事項ヲ記載スヘシ

第二十五條　特許法第四十條ノ規定ニ依リ乙特許權ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ出願日附、出願番號、特許發明ノ名稱、査定若ハ審決確定シ又ハ判決アリタル旨及其ノ日附並特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ但シ特許權ノ設定、特許法第五十三條第二項ノ許可ニ依リ乙特許權ト共ニ確定審決若ハ判決又ハ前項ノ場合ニ於テ特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ

第二十六條　特許法第五十三條第一項ノ許可ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ審判、抗告審判又ハ判決ノ確定審決又ハ判決アリタル旨及其ノ日附並特許發明ノ名稱ヲ記載シ其ノ審決確定シ又ハ判決アリタル旨及其ノ日附並特許發明ノ名稱ニ變更アリタル場合ニ於テハ其ノ變更ノ事由ヲ記載シ且甲區事項欄ニ原特許ノ登錄用紙中登錄セラレタル特許權其ノ他ノ權利ニ關スル事項ヲ轉寫シ審判、抗告審判又ハ判決ノ番號、許可ノ審決確定シ又ハ判決アリタル旨及其ノ日附並特許發明ノ名稱ニ變更アリタル場合ニ於テハ其ノ變更ノ事由ヲ記載シ且甲區以外ノ相當區事項欄ニ轉寫シタル權利ノ目的ノタル旨ヲ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テ前用紙中特許番號又ハ特許信託番號ノ左側ニ「第一」ノ文字ヲ記載シ且前用紙ニ續綴セル特許原簿又ハ特許信託原簿ノ册數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

第二十七條　特許法第五十三條第二項ノ規定ニ依リ特許權ヲ甲又ハ乙ノ特許權ト爲シタルトキハ特許番號欄ニ甲又ハ乙ノ特許權ト爲シタル旨ヲ記載スヘシ

第二十八條　前條ノ規定ニ依リ乙特許權ノ登錄用紙中表示欄ニ審判、抗告審判又ハ判決ノ確定審決若ハ判決又ハ前項ノ場合ニ於テ特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ但シ特許權ノ設定、特許法第五十三條第二項ノ許可ニ依リ乙特許權ト共ニ確定審決若ハ判決又ハ前項ノ場合ニ於テ特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ

第二十九條　第二十一條乃至第二十三條ノ規定ニ依リ記載シタル事項ハ之ヲ朱抹シ第二十九條第二項第三項及第三十一條但書ノ規定ニ依リ朱抹シタル事項ニシテ消滅ニ係ラサルモノハ之ヲ相當欄ニ回復シ且乙特許權タリシ部分ノミニ關スル旨ヲ記載シ第二十九條第一項第三項及第三十一條但書ノ規定ニ依リ乙特許權ノ登錄用紙ニ轉寫セサリシ事項ハ之ヲ相當欄ニ表示シ且許可ノ無效ニ依リ甲特許權タリシ部分ノミニ關スルモノト爲リタル旨ヲ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テ甲特許權ノ登錄用紙中許可ノ登錄後ニ爲シタル登錄アルトキハ相當欄ニ其ノ事項ノ表示ヲ爲シ且甲特許權タリシ部分ノミニ付登錄アリタルモノナル旨ヲ記載シ乙特許權ノ登錄用紙中許可ノ登錄後ニ爲シタル登錄アルトキハ甲特許權ノ登錄用紙中相當欄ニ之ヲ移シ且許可ノ無效ノ審決確定シ又ハ判決アリタル旨、其ノ日附及乙特許權タリシ部分ノミニ付登錄アリタルモノナル旨ヲ記載スヘシ

第三十條　特許權存續期間延長ノ登錄ヲ爲スニハ前項ノ場合ニ於テ甲特許權ノ登錄用紙中追加特許番號ニ關スル事項ヲ朱抹シ且乙特許權タリシ部分ノミニ關スル事項ヲ相當欄ニ表示シ且許可ノ無效ニ依リ甲特許權タリシ部分ノミニ關スルモノト爲リタル旨ヲ記載スヘシ

第三十一條　追加ノ特許權存續期間延長ノ登錄ヲ爲スニハ前條ノ規定ニ依ルノ外表示欄ニ原特許權ノ特許番號、其ノ登錄ノ日附及其ノ追加ノ特許ナル旨ヲ記載スヘシ

前項ノ登錄ヲ爲シタルトキハ原特許權ノ登錄用紙中追加特許番號ニ關スル事項ヲ朱抹スヘシ

第三十二條　特許權ノ移轉ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ出願日附、出願番號、特許發明ノ名稱、査定若ハ審決確定シ又ハ判決アリタル旨及其ノ日附並特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ但シ特許權ノ設定、特許法第五十三條第二項ノ許可ニ依リ乙特許權ト共ニ確定審決若ハ判決又ハ前項ノ場合ニ於テ特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ

第三十三條　特許權ノ信託ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ出願日附、出願番號、特許發明ノ名稱、査定若ハ審決確定シ又ハ判決アリタル旨及其ノ日附並特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ但シ特許權ノ設定、特許法第五十三條第二項ノ許可ニ依リ乙特許權ト共ニ確定審決若ハ判決又ハ前項ノ場合ニ於テ特許料ノ納付ノ期限ノ日前ノ日ニ特許權ノ消滅シタルトキハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ

第三十四條　信託財産ニ屬スル特許ヲ受クルノ權利ニ付第二十一條又ハ第二十二條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ同一順位ヲ以テ信託ノ登錄ヲ爲スヘシ

第三十五條　特許ノ效力、特許法第五十三條ノ規定審決又ハ判決ノ確定ニ依リ特許權ヲ三以上ノ特許權ト爲シタル場合ノ登錄ニ付之ヲ準用ス

第三十六條　特許ノ效力又ハ特許權ノ範圍ニ關スル確定審決又ハ判決ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ審判、抗告審判又ハ判決ノ番號、審決確定又ハ判決アリタル旨、其ノ日附及確定審決又ハ判決ノ要旨ヲ記載シ再審ノ確定審決又ハ判決ノ登錄ヲ爲ス場合ニ在リテハ尚之ニ反スル確定審決又ハ判決ノ登錄ヲ抹消スヘシ

第三十七條　特許法第四十一條ノ規定ニ依ル實施權ノ許與ノ登錄ヲ爲スニハ實施セラルヘキ發明ノ特許權ノ登錄用紙中丙區事項欄ニ庶分又ハ訴願ノ裁決ノ年月日、實施權ノ範圍、補償金額及其ノ支拂時期竝實施權者ノ氏名名稱及住所ヲ記載スヘシ

第三十八條　前條ノ規定ハ特許法第四十九條ノ規定ニ依ル實施權設定ノ登錄ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ登錄ヲ爲ストキハ實施ヲ要スル發明ノ特許權ノ登錄用紙中丙區事項欄ニ前條ノ揭ケル事項ノ外實施セラルヘキ發明ノ特許權ノ特許番號及其ノ特許權カ實施權ノ目的タル旨ヲ記載スヘシ

第三十六條ノ特許カ無效ト爲リ又ハ拋棄ニ依ル場合ヲ除クノ外特許權カ消滅シタルトキハ其ノ特許權ノ登錄ヲ抹消スヘシ

第三十七條　特許法第五十三條ノ許可カ無效ト爲リタルトキハ其ノ特許權ノ登錄ヲ抹消スヘシ

第三十八條　特許法第五十三條第二項ノ許可カ無效ト爲リタルトキハ其ノ登錄ヲ朱抹シ甲特許權ノ登錄用紙中其ノ登錄ヲ朱抹シ

テハ甲特許權ノ登錄用紙中追加ノ特許權ノ特許番號ヲ朱抹シ甲特許權ノミニ對スルモノト爲リタル場合ニ在リテハ乙特許權ノ登錄用紙ニ之ヲ轉寫スルコトヲ要セス

前項ノ場合ニ於テハ當該追加ノ特許權ノ登錄用紙ニ其ノ原特許權ノ變更ノ登錄ヲ爲スヘシ

第三十二條　前五條ノ規定ハ特許法第五十三條第二項ノ許可ニ依リ特許權ヲ三以上ノ特許權ト爲シタル場合ノ登錄ニ付之ヲ準用ス

第三十三條　特許ノ效力、特許法第五十三條ノ許可ノ效力又ハ特許權ノ範圍ニ關スル確定審決又ハ判決ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ審判、抗告審判又ハ判決ノ番號、審決確定又ハ判決アリタル旨、其ノ日附及確定審決又ハ判決ノ要旨ヲ記載シ再審ノ確定審決又ハ判決ノ登錄ヲ爲ス場合ニ在リテハ尚之ニ反スル確定審決又ハ判決ノ登錄ヲ抹消スヘシ

第三十四條　特許法第四十一條ノ規定ニ依ル實施權ノ許與ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ審判、抗告審判又ハ判決ノ確定審決又ハ判決アリタル旨、其ノ日附及確定審決又ハ判決ノ要旨ヲ記載シ且甲特許權ノ登錄用紙中丙區事項欄ニ庶分又ハ訴願ノ裁決ノ年月日、實施權ノ範圍、補償金額及其ノ支拂時期竝實施權者ノ氏名名稱及住所ヲ記載スヘシ

第三十五條　前條ノ規定ハ特許法第四十九條ノ規定ニ依ル實施權設定ノ登錄ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ登錄ヲ爲スニハ實施ヲ要スル發明ノ特許權ノ登錄用紙中丙區事項欄ニ前條ノ揭ケル事項ノ外實施セラルヘキ發明ノ特許權ノ特許番號及其ノ特許權カ實施權ノ目的タル旨ヲ記載スヘシ

第三十六條　特許カ無效ト爲リ又ハ拋棄ニ依ル場合ヲ除クノ外特許權カ消滅シタルトキハ其ノ特許權ノ登錄ヲ抹消スヘシ

第三十七條　特許法第五十三條ノ許可カ無效ト爲リタルトキハ其ノ特許權ノ登錄ヲ抹消スヘシ

第三十八條　特許法第五十三條第二項ノ許可カ無效ト爲リタルトキハ其ノ登錄ヲ朱抹シ甲特許權ノ登錄用紙中其ノ登錄ヲ朱抹スヘシ

トスル登録ノ登録アルトキハ倘其ノ登録チ抹消スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ権利ノ信託ノ登録アルトキハ倘其ノ登録チ抹消スヘシ

第五十四條　特許登録令第二十二條ニ規定スル特許権移轉ノ登録ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ特許権以外ノ権利ニ關スル登録又ハ其ノ特許権若ハ之ニ關スル権利ノ信託ノ登録アルトキハ其ノ登録チ抹消スヘシ

第五十四條ノ二　第四十四條ノ二ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之チ準用ス

第五十五條　假登録チ爲シタル場合ニ於テハ本登録ノ申請アリタルトキハ假登録ノ左側ノ餘白ニ其ノ登録チ爲スヘシ假登録ノ抹消ノ申請アリタルトキ亦同シ

第五十六條　假登録チ爲シタル後本登録ノ申請アリタルトキハ假登録ノ左側ノ餘白ニ其ノ登録チ爲スヘシ假登録ノ抹消ノ申請アリタルトキ亦同シ

第五十七條　假登録チ爲シタル後本登録ノ申請アリタルトキハ假登録ノ左側ノ餘白ニ其ノ登録チ爲スヘシ假登録ノ抹消ノ申請アリタルトキ亦同シ

第五十八條　特許登録令第三條第一號ニ依ル豫告登録ハ登録用紙中相當區事項欄ニ之チ爲スヘシ

第五十九條　登録チ完了シタルトキハ登録原因チ證スル書面ニ特許番號、申請書受付ノ年月日、受付番號、順位番號、登録年月日及登録濟ノ旨チ記載シ特許局ノ印チ押捺シ且登録権利者ニ還付スヘシ但シ申請書ニ登録原因チ證スル書面チ添附スルコト能ハサルモノ又登録チ爲シタル場合ニ於テハ登録権利者又ハ第二項ニ規定スル債權者、受益者若ハ委託者ニ登録原因チ證スル書面ニ記載スヘキ事項登録ノ原因及其ノ日附並登録ノ目的チ通知スヘシ

特許登録令第二十七條、第五十六條又ハ第六十五條第二項ニ規定スル申請ニ依リ登録チ完了シタルトキハ前項ノ規定ニ依リ登録権利者ニ還付スヘキ書面ハ之チ債權者又ハ受益者若ハ委託者ニ還付スヘシ此ノ場合ニ於テハ登録権利者ニ前項但書ニ揭ケル事項及債權者又ハ受益者若ハ委託者ノ氏名名稱チ通知スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ登録義務者ニ特許番號、登録権利者ノ氏名名稱、登録ノ原因及其ノ日附、登録ノ目的、登録年月日並登録濟ノ旨チ通知スヘシ但シ登録義務者カ共有者ノ一人ナル場合ニ於テハ倘他ノ共有者ニ其ノ旨チ通知スヘシ

第六十條　削除

第六十一條　削除

第六十二條　特許登録令第四十七條第二項ニ規定スル登録チ完了シタルトキハ特許権又ハ之ノ專用スル権利ノ表示、登録原因、其ノ日附、登録権利者ノ氏名名稱及住所、登録ノ目的及登録濟ノ旨チ特許権者、制限附移轉ノ特許権者及特許権以外ノ權利者ニ通知スヘシ

第六十二ノ二　特許登録令第五十五條、第五十八條、第五十九條、第六十五條第一項又ハ第六十七條ニ規定スル申請ニ依リ登録チ爲シタルトキハ前條ニ揭ケル事項チ受益者ニ通知スヘシ

附　則

第六十三條　本則ハ大正十一年一月十一日ヨリ之チ施行ス

第六十四條　特許登録令第五十九條乃至第六十一條ノ規定ニ依リ舊特許登録令ニ依ル場合ニ於ケル登録手續ニ付テハ仍舊則ニ依ル

第六十五條　舊特許登録令附則第二項ニ規定スル舊特許原簿ニ登録セラレタル權利ニ關シ登録チ爲ス場合ニ於テハ新特許原簿中相當欄ニ舊特許原簿ノ登録チ移シ且其ノ末尾ニ舊特許原簿第何册第何丁ヨリ移シタル旨チ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ舊特許原簿中相當欄ニ新特許原簿第何册第何丁ニ移シタル旨チ記載シ且其ノ登録チ朱抹スヘシ

附　則（大正十一年十二月農令第二十九號）

本令ハ信託法施行ノ日ヨリ之チ施行ス

第一號樣式

特許番號	表題部 甲區 乙區 丙區 丁區												代理人	特許料	金額
	表示番號	表示欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄			

●辨理士法施行令

大五十年十二月
勅令第四百六十六號

改正　昭和八年七月一日勅令第二〇〇號

辨理士法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

辨理士法施行令

第一章　辨理士試驗

第一條　辨理士試驗ハ毎年一回東京ニ於テ之ヲ行フ其ノ期日及場所ハ商工大臣之ヲ定メ豫メ官報ヲ以テ公告ス

第二條　辨理士試驗ハ辨理士試驗委員之ヲ行フ

辨理士試驗委員ハ委員長一人常任委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

前項ノ外必要アルトキハ試驗施行毎ニ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條　委員長、常任委員及臨時委員ハ特許局高等官、司法省高等官及辨理士ノ中ヨリ商工大臣之ヲ命ス

第四條　委員長ハ常任委員及臨時委員ヲ監督シ試驗ニ關スル一切ノ事務ヲ總理ス

第五條　辨理士法第五條又ハ第二十六條ノ規定ニ該當スル者ハ試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第六條　試驗ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ第八條第二項ノ規定ニ依リ選擇シタル科目ヲ記載シ履歷書ヲ添附シ之ヲ委員長ニ差出スヘシ

第七條　試驗ヲ受ケムトスル者ハ手數料トシテ十圓ヲ納付スヘシ

手數料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

受ケサルトキト雖之ヲ還付セス

第八條　試驗ハ筆記及口述トシ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　特許、實用新案、意匠及商標ニ關スル法令及條約類

二　民法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法及國際私法

三　應用理學及應用化學

筆記試驗ハ受驗者ノ選擇ニ依リ前項第一號及第三號ノ科目ニ付之ヲ行フ

口述試驗ハ第一項第一號ノ科目ニ付之ヲ行フ

第九條　不正ノ方法ニ依リ試驗ヲ受ケムトシタル者ハ其ノ試驗ヲ受ケルコトヲ得ス試驗合格決定後發覺シタルトキハ其ノ合格ヲ無效トス

第十條　試驗合格者ヲ定ムル方法ハ辨理士試驗委員ノ議定スル所ニ依ル

第十一條　試驗合格者ニハ合格證書ヲ授與ス

第十二條　試驗合格者ノ氏名ハ官報ヲ以テ之ヲ公告ス

第二章　辨理士ノ登錄

第十三條　辨理士ノ登錄ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ氏名、住所及事務所ヲ記載シ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附シ之ヲ特許局長官ニ差出スヘシ

第十四條　登錄料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

第十五條　特許局長官ハ辨理士ノ登錄ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ登錄ヲ拒否シタルトキハ申請人ニ之ヲ通知スヘシ

前項ノ規定ニ依ル登錄ノ拒否ノ通知ニハ理由ヲ附スヘシ

第十六條　登錄ノ拒否ノ通知ヲ受ケタル者其ノ拒否ニ對シ不服アルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第十七條　特許局長官ハ辨理士登錄簿ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　登錄ノ年月日

二　氏名及住所

三　事務所

四　辨理士會加入及脫退ノ年月日

五　懲戒

第十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ特許局長官ハ辨理士ノ登錄ヲ抹消スヘシ

一　登錄抹消ノ申請アリタルトキ

二　死亡シタルトキ

三　辨理士タル資格ヲ具ヘサルカ又ハ具ヘサルニ至リタルトキ

第十九條　特許局長官ハ前條第三號ノ規定ニ依リ登錄ヲ抹消シタルトキハ登錄ヲ抹消セラレタル者ニ之ヲ通知スヘシ

第二十條　前條ノ通知ヲ受ケタル者登錄ノ抹消ニ對シ不服アルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第二十一條　特許局長官ハ辨理士ノ登錄又ハ其ノ抹消若ハ回復ヲ爲シタルトキハ官報、意匠公報及商標公報ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第二十二條　辨理士ハ其ノ氏名、住所又ハ事務所ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ特許局長官ニ屆出ツヘシ

辨理士死亡シタルトキハ其ノ相續人又ハ親族ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ特許局長官ニ屆出ツヘシ

第三章　辨理士會

第二十三條　辨理士會ハ毎年定期總會ヲ開ク

辨理士會ハ必要アル場合ニ於テハ臨時總會ヲ開クコトヲ得

總會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ付議決ス

第二十四條　辨理士會ニ左ノ役員ヲ置ク

一　理事　若干人

二　常議員　若干人

理事ハ會則ノ定ムル所ニ依リ辨理士會ヲ代表シ會務ヲ執行ス

常議員ハ會務執行ノ狀況ヲ監査シ會則ノ定ムル事項ニ付審議ス

理事及常議員ハ總會ニ於テ會員中ヨリ之ヲ選任ス

第二十五條　辨理士會ハ商工大臣又ハ特許局長官ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

辨理士會ハ商工大臣又ハ特許局長官ニ建議スルコトヲ得

第二十六條　辨理士會ハ左ノ事項ヲ遲滯ナク特許局長官ニ報告スヘシ

一　會員ノ加入及脫退

二　役員ノ選任及解任

三　總會ノ決議

四　特許局長官ニ於テ報告ヲ求メタル事項

第二十七條　商工大臣ハ總會ノ決議又ハ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ又ハ役員ノ改選ヲ命スルコトヲ得

第四章　辨理士懲戒委員會

第二十八條　辨理士懲戒委員會ハ委員長一人委員四人ヲ以テ之ヲ組織ス

委員會ニ豫備委員四人ヲ置ク

委員長ハ特許局長官ヲ以テ之ニ充ツ

委員及豫備委員ハ內各二人ハ特許局高等官ノ中ヨリ、其ノ他ノ委員及豫備委員ハ辨理士ノ中ヨリ商工大臣之ヲ命ス

第二十九條　委員會ノ議事ハ過半數ニ依リ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ委員長之ヲ決ス

第三十條　委員長事故アルトキ、缺クルトキ又ハ委員長ヲ代理スル者アルトキハ委員長ノ指名シタル豫備委員之ヲ代理ス

第三十一條　委員及豫備委員ノ任期ハ三年トス但シ補闕ノ爲命セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第三十二條　委員會ニ書記三人ヲ置ク

書記ハ特許局判任官ノ中ヨリ商工大臣之ヲ命ス

書記ハ上司ノ命ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第三十三條　辨理士法第十九條ノ規定ニ依ル申告ニ關シ證據ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三十四條　委員會ノ招集アリタルトキハ委員長ハ懲戒スヘキ行爲及證據ヲ示シテ其ノ冒ヲ本人ニ通知シ且期間ヲ指定シテ之ニ辨明ノ機會ヲ與フヘシ

第三十五條　委員會ハ必要アリト認ムルトキハ口頭審理ノ期日ヲ定メ本人ノ出頭ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ本人ハ他人ヲシテ辯護セシメ又ハ代理人ヲ出頭セシムルコトヲ得

第三十六條　辨理士會カ辨理士法第十九條ノ規定ニ依ル申告ヲ爲シタル場合ニ於テハ委員會ハ前期ノ期日ヲ辨理士會ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ辨理士會ハ其ノ代表者

テシテ口頭審理ニ出頭シテ議論ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十七條　委員長、委員及豫備委員ハ自己又ハ其ノ親族ニ關スル事件ノ會議ニ干與スルコトヲ得ス

第三十八條　委員會ノ審理手續ハ委員會之ヲ定ム

第三十九條　委員會議決ヲ爲シタルトキハ委員長ハ直ニ其ノ旨ヲ商工大臣ニ報告スヘシ

附　則

第四十條　本令ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

特別辨理士試驗規則ハ之ヲ廢止ス

第四十一條　商工大臣ハ辨理士會ノ設立ニ關スル事務ヲ行ハシムル爲本令施行後三十日以內ニ設立總會ヲ招集スヘシ

第四十二條　設立ニ關スル事務ハ設立委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第四十三條　設立委員ハ選任ノ日ヨリ六十日以內ニ設立總會ヲ招集スヘシ

第四十四條　設立總會ニ於テハ辨理士會ノ會則ヲ議定シ役員ヲ選任スヘシ

第四十五條　設立總會ノ議事ハ出席シタル辨理士ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

附　則（昭和八年七月勅令第二百號）

本令ハ昭和八年法律第十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●韓國特許辨理士令ニ依ル登錄ハ特許辨理士令ニ依ル登錄ト看做スノ件

明治四十三年八月
勅令第三百三十九號

第四十二條　設立ニ關スル事務ハ設立委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第四十三條　設立委員ハ選任ノ日ヨリ六十日以內ニ設立總會ヲ招集スヘシ

第四十四條　設立總會ニ於テハ辨理士會ノ會則ヲ議定シ役員ヲ選任スヘシ

第四十五條　設立總會ノ議事ハ出席シタル辨理士ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

附　則（昭和八年七月勅令第二百號）

本令ハ昭和八年法律第十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●韓國特許辨理士令ニ依ル登錄ハ特許辨理士令ニ依ル登錄ト看做スノ件

明治四十三年八月
勅令第三百三十九號

朝鮮ニ於ケル特許辨理士ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

韓國特許辨理士令ニ依ル登錄ハ特許辨理士令ニ依ル登錄ト看做ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法ヲ朝鮮及臺灣ニ施行ノ件

大正六年九月
勅令第百四十三號

朝鮮及臺灣ニ工業所有權戰時法施行等ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　工業所有權戰時法ハ朝鮮及臺灣ニ之ヲ施行ス

第二條　帝國臣民カ工業所有權戰時法第五條ノ規定ニ依リ帝國ニ於テ享有スル專用權ノ效力ハ關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外外國ニ在ル帝國臣民ニ及フモノトス

第三條　工業所有權戰時法中ノ罰ニ關スル規定ハ關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外外國ニ在ル帝國臣民ニ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法

大正六年七月
法律第二十一號

朝鮮帝國議會ノ協贊ヲ經タル工業所有權戰時法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

工業所有權戰時法

第一條　工業所有權ニ關スル敵國人ノ出願又ハ請求ニ付テハ戰時中特許又ハ登錄ヲ停止ス

前項ノ出願又ハ請求ニ依ル發明、意匠又ハ考案カ戰時中左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ出願又ハ請求ニ付テハ特許又ハ登錄ヲ爲サス

一　帝國內ニ於テ公然知ラレ又ハ公然用ヰラレタルモノ

二　容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ帝國內ニ頒分セラレタル刊行物ニ記載セラレタルモノ

第二條　敵國人ハ戰時中工業所有權ニ關シ帝國內ニ於テ對抗スルコトヲ得ス

第三條　戰時中ニ發生シタル特許權ニ對シテハ敵國人ノ萬國工業所有權保護同盟條約第四條ノ優先權ヲ主張スルコトヲ得ス

第四條　時局ノ關係ニ於テ軍事上又ハ公益上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ敵國人ニ屬スル特許又ハ商標ノ登錄ヲ取消スコトヲ得

第五條　敵國人ニ屬スル特許發明ハ免許ヲ受ケタル者之ヲ專用スルコトヲ得

前條ノ規定ニ依リ取消サレタル特許發明ニ付亦同シ

前項ノ規定ニ依ル專用權ノ存續期間ハ當該特許權ノ殘期間ノ範圍內ニ於テ定メタル期間トス

專有權ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　第四條ノ規定ニ依リ登錄ヲ取消サレタル商標ト同一又ハ類似ノ商標ニシテ同一商品ニ使用スヘキモノハ之ヲ登錄セス

第七條　敵國人ニ非サル者ノ出願、請求若ハ出訴又ハ特許權若ハ商標權ニシテ其ノ利益カ主トシテ敵國人ニ歸スルモノニ付テハ前六條ノ規定ヲ準用ス

第八條　戰時終了ノ際ニ於ケル必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條　本法ニ依ル專用權ヲ侵害シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

●工業所有權戰時法施行期日

大正六年九月
勅令第百四十號

朝鮮工業所有權戰時法施行期日ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

工業所有權戰時法ハ大正六年九月十五日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法施行令

大正六年九月
勅令第百四十一號

朝鮮工業所有權戰時法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

工業所有權戰時法施行令

第一條　工業所有權ニ關スル敵國人ノ出願又ハ請求ニ付テハ戰時中特許又ハ登錄ヲ停止ス

第二條　專用ノ免許ニ同時ニ免許ヲ爲シ又ハ既ニ爲シタル免許ノ趣旨ニ反セサルトキニ限リ數人ニ對シ各別ニ之ヲ爲スコトヲ得

第三條　專用權ノ登錄ニ依リ發生ス

第四條　專用權ノ讓渡ハ農商務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第五條　專用權ノ讓渡、變更、處分ノ制限、取消若ハ拋棄ニ依ル消滅又ハ專用免許ノ條件ノ附加若ハ變更ハ登錄スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

專用權ヲ目的トスル質權ノ設定、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅ニ付亦前項ニ同シ

第六條　專用ノ免許ヲ申請スル者ハ一件毎ニ手數料五十圓ヲ納付スヘシ

第七條　專用權者ハ農商務大臣カ第一條第三項ノ調査委員ノ審査ヲ經テ定メタル標準ニ依リ專用料ヲ納付スヘシ

前項ノ標準ハ當該特許發明ノ實施ニ依リ生產物ノ價額ノ百分ノ三乃至十ノ範圍內ニ於テ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ之ニ依ラサルコトヲ得

第八條　農商務大臣ハ何時ニテモ專用權者ヲシテ其ノ事業若ハ財產ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ其ノ事業若ハ財產ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

第九條　前三條ノ規定ハ國ノ專用ニ付之ヲ適用セス

第十條　專用權者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農商務大臣ハ專用ノ免許ヲ取消スコト

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第三條　專用免許ノ申請カ繫屬スル場合ニ於テ當該特許發明ニ付專用免許ノ申請ヲ爲サムトスル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日内ニ限リ其ノ申請ノ公告ニ關シ意見書ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ得

第四條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日内ニ限リ其ノ申請ノ詳否ニ關シ意見書ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ得

第五條　專用免許ノ申請アリタル特許局長ハ其ノ旨ヲ當該特許權ノ專用權者ニ通知スヘシ

第六條　左ノ場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ官報及公報ニ公告スヘシ

一　特許又ハ商標登錄取消ノ處分アリタルトキ

二　專用免許ノ申請アリタルトキ

三　專用免許ノ申請ニ付詳否ノ處分アリタルトキ

四　專用權ノ消滅シタルトキ

第七條　專用權者ハ毎年二月末日迄ニ前年ニ於ケル當該特許發明ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ但シ別ニ事業期ヲ定メタル場合ニ於テハ其ノ事業期終了後二月内ニ之ヲ差出スヘシ

法人ニ在リテハ前項ノ書類ニ事業報告書ヲ添附スヘシ

第八條　專用料額ノ決定アリタルトキハ特許局長ハ之ヲ專用權者ニ通知スヘシ

專用權者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日内ニ收入印紙ヲ以テ特許局ニ專用料ヲ納付スヘシ

第九條　專用權者其ノ事業許可ヲ變更シタルトキ又ハ其ノ事業ヲ休止シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第十條　專用權讓渡ノ認可ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ原因ヲ證スル書面、發明實施ノ事業ト共ニスル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スル書面、發明實施ノ事業ト共ニセサル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ疏明スル書面及譲受人ニ關シ第一條各號ニ定メタル書面ヲ添附スヘシ

第十一條　專用權消滅シタルトキハ專用權者ハ其ノ消滅ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ添付シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第十二條　敵國人ニ非サル者ノ出願又ハ請求ニ付戰時中特許又ハ登錄ヲ停止スル場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ出願人又ハ請求人ニ通知スヘシ

第十三條　敵國人ニ非サル者ニ關スル特許又ハ商標ノ登錄カ工業所有權戰時法第四條ノ規定ニ依リ取消サレタル場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ特許權者又ハ商標權者ニ通知スヘシ

前項ノ規定ハ敵國人ニ非サル者ニ關スル特許發明ニ付專用ヲ免許シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條　工業所有權戰時法施行令又ハ本則ノ規定ニ依リ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ特許局長ヲ經由スヘシ

附　則

本則ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法登錄令

大正六年九月
勅令第百四十二號

工業所有權戰時法登錄令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

工業所有權戰時法登錄令

第一條　左ニ揭クル事項ニ關スル登錄ニ本令ニ依ル

一　專用免許ノ申請、專用權ノ設定、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅

二　特許權ノ存續期間滿了シタルトキ、專用權ノ抛棄又ハ專用免許ノ取消アリタルトキ其ノ他專用權ノ消滅シタルトキ

三　相續ニ因ル專用權ノ移轉ノ届出アリタルトキ

四　職務ニ因ル專用權ノ變更アリタルトキ

五　專用免許ノ終伸ノ附加、變更又ハ除去アリタルトキ

六　專用權ノ存續期間滿了シタルトキ、專用權抛棄ノ届出又ハ專用免許ノ取消アリタルトキ其ノ他專用權ノ消滅シタルトキ

第二條　特許局ハ專用權ノ消滅シタルトキ又ハ特許局長ニ於テ當該特許發明ニ付專用免許ノ申請ヲ爲サムトスル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日内ニ其ノ登錄ヲ爲スヘシ

第三條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日内ニ限リ其ノ申請ノ詳否ニ關シ意見書ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ得

第四條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日内ニ之ヲ爲スヘシ

第五條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ官報ニ公告スヘシ

第六條　專用權者ハ每年二月末日迄ニ前年ニ於ケル當該特許發明ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ但シ別ニ事業期ヲ定メタル場合ニ於テハ其ノ事業期終了後二月内ニ之ヲ差出スヘシ

法人ニ在リテハ前項ノ書類ニ事業報告書ヲ添附スヘシ

第七條　專用權者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日内ニ收入印紙ヲ以テ特許局ニ專用料ヲ納付スヘシ

第八條　專用權者其ノ事業許可ヲ變更シタルトキ又ハ其ノ事業ヲ休止シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第九條　專用權讓渡ノ認可ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ原因ヲ證スル書面、發明實施ノ事業ト共ニスル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スル書面、發明實施ノ事業ト共ニセサル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ疏明スル書面及譲受人ニ關シ第一條各號ニ定メタル書面ヲ添附スヘシ

第十條　專用權消滅シタルトキハ專用權者ハ其ノ消滅ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第十一條　專用權消滅シタルトキハ專用權者ハ其ノ消滅ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ添付シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第十二條　敵國人ニ非サル者ノ出願又ハ請求ニ付戰時中特許又ハ登錄ヲ停止スル場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ出願人又ハ請求人ニ通知スヘシ

第十三條　敵國人ニ非サル者ニ關スル特許又ハ商標ノ登錄カ工業所有權戰時法第四條ノ規定ニ依リ取消サレタル場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ特許權者又ハ商標權者ニ通知スヘシ

前項ノ規定ハ敵國人ニ非サル者ニ關スル特許發明ニ付專用ヲ免許シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條　工業所有權戰時法施行令又ハ本則ノ規定ニ依リ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ特許局長ヲ經由スヘシ

附　則

本則ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法施行規則

大正六年九月
農商務省令第二十二號

工業所有權戰時法施行規則左ノ通定ム

工業所有權戰時法施行規則

第一條　專用ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ左ノ書面ヲ添附シ農商務大臣ニ申請書ヲ差出スヘシ

一　資力、經驗其ノ他當該特許發明ノ實施ニ適當ナル資格ヲ有スルコトヲ疏明スル書面

二　事業計畫書及收支豫算書

三　申請人カ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スルトキハ其ノ關係ヲ證スルニ足ル書面

四　法人ニ在リテハ定款並最近ノ財産目錄及貸借對照表

第二條　專用免許申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當該特許發明ノ特許番號、名稱、特許ノ年月日及特許權者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　專用セムトスル期間

三　事業期ヲ定メタルトキハ其ノ事業期

四　當該特許發明ノ專用ヲ必要トスル理由

專用免許申請ノ手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼付シ之ヲ納付スヘシ

前項ノ認可アリタルトキハ讓渡人ハ遲滯ナク認可ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

相續ニ因ル專用權ノ移轉アリタル場合ニ於テ其ノ原因ヲ證スル書面ヲ添附シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出カヘシ

專用料ノ納付ヲ怠リタルトキ

五　第八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス、不正ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ妨ケタルトキ

農商務大臣ハ上必要ト認ムルトキハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法施行規則

大正六年九月
農商務省令第二十二號

工業所有權戰時法施行規則左ノ通定ム

工業所有權戰時法施行規則

第一條　專用ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ左ノ書面ヲ添附シ農商務大臣ニ申請書ヲ差出スヘシ

一　資力、經驗其ノ他當該特許發明ノ實施ニ適當ナル資格ヲ有スルコトヲ疏明スル書面

二　事業計畫書及收支豫算書

三　申請人カ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スルトキハ其ノ關係ヲ證スルニ足ル書面

四　法人ニ在リテハ定款並最近ノ財産目錄及貸借對照表

第二條　專用免許申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當該特許發明ノ特許番號、名稱、特許ノ年月日及特許權者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　專用セムトスル期間

三　事業期ヲ定メタルトキハ其ノ事業期

四　當該特許發明ノ專用ヲ必要トスル理由

專用免許申請ノ手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼付シ之ヲ納付スヘシ

前項ノ認可アリタルトキハ讓渡人ハ遲滯ナク認可ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

相續ニ因ル專用權ノ移轉アリタル場合ニ於テハ其ノ原因ヲ證スル書面ヲ添附シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出カヘシ

專用料ノ納付ヲ怠リタルトキ

五　第八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス、不正ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ妨ケタルトキ

農商務大臣ハ上必要ト認ムルトキハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法登錄令

大正六年九月
勅令第百四十二號

工業所有權戰時法登錄令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

工業所有權戰時法登錄令

第一條　左ニ揭クル事項ニ關スル登錄ニ本令ニ依ル

一　專用免許ノ申請、專用權ノ設定、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅

二　特許權ノ存續期間滿了シタルトキ、專用權ノ抛棄又ハ專用免許ノ取消アリタルトキ其ノ他專用權ノ消滅シタルトキ

三　相續ニ因ル專用權ノ移轉ノ届出アリタルトキ

四　職務ニ因ル專用權ノ變更アリタルトキ

五　專用免許ノ終伸ノ附加、變更又ハ除去アリタルトキ

六　專用權ノ存續期間滿了シタルトキ、專用權抛棄ノ届出又ハ專用免許ノ取消アリタルトキ其ノ他專用權ノ消滅シタルトキ

第二條　特許局ハ專用權ノ消滅シタルトキ又ハ特許局長ニ於テ當該特許發明ニ付專用免許ノ申請ヲ爲サムトスル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日内ニ其ノ登錄ヲ爲スヘシ

第三條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日内ニ限リ其ノ申請ノ詳否ニ關シ意見書ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ得

第四條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日内ニ之ヲ爲スヘシ

第五條　專用免許ノ申請アリタル特許局長ハ其ノ旨ヲ官報ニ公告スヘシ

第六條　專用權者ハ每年二月末日迄ニ前年ニ於ケル當該特許發明ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ但シ別ニ事業期ヲ定メタル場合ニ於テハ其ノ事業期終了後二月内ニ之ヲ差出スヘシ

法人ニ在リテハ前項ノ書類ニ事業報告書ヲ添附スヘシ

第七條　專用權者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日内ニ收入印紙ヲ以テ特許局ニ專用料ヲ納付スヘシ

第八條　專用權者其ノ事業許可ヲ變更シタルトキ又ハ其ノ事業ヲ休止シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第九條　專用權讓渡ノ認可ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ原因ヲ證スル書面、發明實施ノ事業ト共ニスル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スル書面、發明實施ノ事業ト共ニセサル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ疏明スル書面及譲受人ニ關シ第一條各號ニ定メタル書面ヲ添附スヘシ

第十條　專用權消滅シタルトキハ專用權者ハ其ノ消滅ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第十一條　專用權消滅シタルトキハ專用權者ハ其ノ消滅ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ添付シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第十二條　敵國人ニ非サル者ノ出願又ハ請求ニ付戰時中特許又ハ登錄ヲ停止スル場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ出願人又ハ請求人ニ通知スヘシ

第十三條　敵國人ニ非サル者ニ關スル特許又ハ商標ノ登錄カ工業所有權戰時法第四條ノ規定ニ依リ取消サレタル場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ特許權者又ハ商標權者ニ通知スヘシ

前項ノ規定ハ敵國人ニ非サル者ニ關スル特許發明ニ付專用ヲ免許シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條　工業所有權戰時法施行令又ハ本則ノ規定ニ依リ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ特許局長ヲ經由スヘシ

附　則

本則ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法施行規則

大正六年九月
農商務令第二十三號

工業所有權戰時法施行規則左ノ通定ム

工業所有權戰時法施行規則

第一條　工業所有權戰時法登錄令ニ依ル特許ノ取消ニ關シテハ特許原簿ノ表示欄ニ之ヲ記載シ特許證書ニ其ノ旨ヲ附記ス

特許權ト其ノ他ノ行爲トハ特許法ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ニ準ス

第二條　特許又ハ專用權ノ消滅シタルトキハ特許局長ハ特許原簿ニ其ノ登錄ヲ爲スヘシ

第三條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テハ特許局長ハ特許原簿ニ其ノ登錄ヲ爲スヘシ

第四條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日内ニ限リ其ノ申請ノ詳否ニ關シ意見書ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ得

第五條　第三條ノ規定ニ依ル登錄ノ專用免許ノ申請ノ却下又ハ取下アリタルトキハ特許局長之ヲ抹消スヘシ

第六條　工業所有權戰時法ニ依ル商標ノ登錄ノ取消ニ關シテハ本令中特許ノ取消ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條　工業所有權戰時法ニ關スル登錄ニ付本令ニ規定ナキモノニ付テハ特許登錄令ヲ準用ス

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法登錄令施行規則

大正六年九月
農商務令第二十三號

工業所有權戰時法登錄令施行規則左ノ通定ム

工業所有權戰時法登錄令施行規則

第一條　工業所有權戰時法登錄令ニ依ル特許ノ取消ニ關スル事項ハ特許原簿ノ表示欄ニ之ヲ記載シ專用免許ノ申請、專用權ノ設定、移轉、變更、處分ノ制限若ハ消滅又ハ專用免許ノ取消ニ關スル事項ハ特許原簿ニ之ヲ記載シ特許證書ニ其ノ旨ヲ附記ス

第二條　特許又ハ專用權ノ消滅シタルトキハ特許局長ハ特許原簿ニ其ノ登錄ヲ爲スヘシ

第三條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テハ特許局長ハ特許原簿ニ其ノ登錄ヲ爲スヘシ

第四條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日内ニ限リ其ノ申請ノ詳否ニ關シ意見書ヲ農商務大臣ニ提出カヘシ

第五條　專用免許ノ申請アリタル特許局長ハ其ノ旨ヲ官報及公報ニ公告スヘシ

第六條　專用權者ハ每年二月末日迄ニ前年ニ於ケル當該特許發明ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ但シ別ニ事業期ヲ定メタル場合ニ於テハ其ノ事業期終了後二月内ニ之ヲ差出スヘシ

法人ニ在リテハ前項ノ書類ニ事業報告書ヲ添附スヘシ

第七條　專用權者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日内ニ收入印紙ヲ以テ特許局ニ專用料ヲ納付スヘシ

第八條　專用權者其ノ事業許可ヲ變更シタルトキ又ハ其ノ事業ヲ休止シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第九條　專用權讓渡ノ認可ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ原因ヲ證スル書面、發明實施ノ事業ト共ニスル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スル書面、發明實施ノ事業ト共ニセサル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ疏明スル書面及譲受人ニ關シ第一條各號ニ定メタル書面ヲ添附スヘシ

第十條　專用權消滅シタルトキハ專用權者ハ其ノ消滅ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第十一條　專用權消滅シタルトキハ專用權者ハ其ノ消滅ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ添付シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第十二條　敵國人ニ非サル者ノ出願又ハ請求ニ付戰時中特許又ハ登錄ヲ停止スル場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ出願人又ハ請求人ニ通知スヘシ

第十三條　敵國人ニ非サル者ニ關スル特許又ハ商標ノ登錄カ工業所有權戰時法第四條ノ規定ニ依リ取消サレタル場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ特許權者又ハ商標權者ニ通知スヘシ

前項ノ規定ハ敵國人ニ非サル者ニ關スル特許發明ニ付專用ヲ免許シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條　工業所有權戰時法施行令又ハ本則ノ規定ニ依リ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ特許局長ヲ經由スヘシ

附　則

本則ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法施行規則

大正六年九月
農商務省令第二十二號

工業所有權戰時法施行規則左ノ通定ム

工業所有權戰時法施行規則

第一條　專用ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ左ノ書面ヲ添附シ農商務大臣ニ申請書ヲ差出スヘシ

一　資力、經驗其ノ他當該特許發明ノ實施ニ適當ナル資格ヲ有スルコトヲ疏明スル書面

二　事業計畫書及收支豫算書

三　申請人カ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スルトキハ其ノ關係ヲ證スルニ足ル書面

四　法人ニ在リテハ定款並最近ノ財産目錄及貸借對照表

第二條　專用免許申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當該特許發明ノ特許番號、名稱、特許ノ年月日及特許權者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　專用セムトスル期間

三　事業期ヲ定メタルトキハ其ノ事業期

四　當該特許發明ノ專用ヲ必要トスル理由

專用免許申請ノ手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼付シ之ヲ納付スヘシ

前項ノ認可アリタルトキハ讓渡人ハ遲滯ナク認可ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

相續ニ因ル專用權ノ移轉アリタル場合ニ於テハ其ノ原因ヲ證スル書面ヲ添附シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出カヘシ

專用料ノ納付ヲ怠リタルトキ

五　第八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス、不正ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ妨ケタルトキ

農商務大臣ハ上必要ト認ムルトキハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法施行規則

大正六年九月
農商務省令第二十二號

工業所有權戰時法施行規則左ノ通定ム

工業所有權戰時法施行規則

第一條　專用ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ左ノ書面ヲ添附シ農商務大臣ニ申請書ヲ差出スヘシ

一　資力、經驗其ノ他當該特許發明ノ實施ニ適當ナル資格ヲ有スルコトヲ疏明スル書面

二　事業計畫書及收支豫算書

三　申請人カ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スルトキハ其ノ關係ヲ證スルニ足ル書面

四　法人ニ在リテハ定款並最近ノ財産目錄及貸借對照表

第二條　專用免許申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當該特許發明ノ特許番號、名稱、特許ノ年月日及特許權者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　專用セムトスル期間

三　事業期ヲ定メタルトキハ其ノ事業期

四　當該特許發明ノ專用ヲ必要トスル理由

專用免許申請ノ手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼付シ之ヲ納付スヘシ

前項ノ認可アリタルトキハ讓渡人ハ遲滯ナク認可ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

相續ニ因ル專用權ノ移轉アリタル場合ニ於テハ其ノ原因ヲ證スル書面ヲ添附シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出カヘシ

專用料ノ納付ヲ怠リタルトキ

五　第八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス、不正ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ妨ケタルトキ

農商務大臣ハ上必要ト認ムルトキハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

目的トスル實權ノ設定、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅ニ關シ第一條各號ニ定メタル書面ヲ添附シ農商務大臣ニ申請書ヲ差出スヘシ

第三條　特許ノ取消アリタルトキハ原因及其ノ年月日ヲ記載シ特許權ノ表示、表示番號及特許番號ヲ朱抹スヘシ

第四條　專用免許申請ノ登錄ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、受附番號、申請者ノ氏名又ハ名稱及住所並申請ノ要旨ヲ記載スヘシ

第五條　專用權設定ノ登錄ヲ爲スニハ專用權者ノ氏名又ハ名稱及住所、免許アリタル旨及其ノ日附、專用ノ期間、條件ヲ附シタルトキハ其ノ條件並專用料ノ標準ヲ記載スヘシ

第六條　讓渡ニ因ル專用權移轉ノ登錄ヲ爲スニハ讓渡認可申請書受附ノ年月日、受附番號、專用權ノ表示、登錄權利者ノ氏名又ハ名稱及住所、原因、其ノ日附並登錄ノ目的ヲ記載スヘシ

相續ニ因ル專用權移轉ノ登錄ヲ爲スニハ届書受附ノ年月日、受附番號、專用權ノ表示、登錄權利者ノ氏名又ハ名稱及住所、原因、其ノ日附並登錄ノ目的ヲ記載スヘシ

第七條　專用權ノ變更又ハ專用免許ノ條件ノ附加、變更若ハ除去ノ登錄ヲ爲スニハ專用權ノ表示、原因、其ノ日附、變更セラレタル事項又ハ附加、變更若ハ除去セラレタル條件ヲ記載シタル後變更又ハ除去シタル登錄ヲ朱抹スヘシ

第八條　專用權消滅ノ登錄ヲ爲スニハ專用權者ノ氏名又ハ名稱及住所、原因及其ノ日附ヲ記載シ專用權ノ登錄ヲ朱抹スヘシ

抛棄ニ因ル專用權消滅ノ登錄ヲ爲スニハ前項ニ記載シタル事項ノ外届書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ

第九條　商標ノ登錄ニ關シテハ本則中特許ノ取消ニ關スル規定及明治四十二年勅令第二百九十六號商標ノ登錄ニ關スル件施行規則第八條ノ規定ヲ準用ス

第十條　工業所有權戰時法登錄令ニ依ル登錄ニ關シテハ本則ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク

一　正當ノ事由ナクシテ專用權發生ノ日ヨリ三月内ニ當該特許發明ノ實施ノ準備ニ著手セサルトキ

二　當該特許發明ヲ適當ニ實施セサルトキ

三　專用免許ノ條件ニ違反シタルトキ

四　專用料ノ納付ヲ怠リタルトキ

五　第八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス、不正ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ妨ケタルトキ

農商務大臣ハ上必要ト認ムルトキハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法施行規則

大正六年九月
勅令第百四十二號

工業所有權戰時法施行規則左ノ通定ム

工業所有權戰時法施行規則

第一條　專用ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ左ノ書面ヲ添附シ農商務大臣ニ申請書ヲ差出スヘシ

一　資力、經驗其ノ他當該特許發明ノ實施ニ適當ナル資格ヲ有スルコトヲ疏明スル書面

二　事業計畫書及收支豫算書

三　申請人カ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スルトキハ其ノ關係ヲ證スルニ足ル書面

四　法人ニ在リテハ定款並最近ノ財産目錄及貸借對照表

第二條　專用免許申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當該特許發明ノ特許番號、名稱、特許ノ年月日及特許權者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　專用セムトスル期間

三　事業期ヲ定メタルトキハ其ノ事業期

四　當該特許發明ノ專用ヲ必要トスル理由

專用免許申請ノ手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼付シ之ヲ納付スヘシ

前項ノ認可アリタルトキハ讓渡人ハ遲滯ナク認可ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

相續ニ因ル專用權ノ移轉アリタル場合ニ於テハ其ノ原因ヲ證スル書面ヲ添附シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出カヘシ

專用料ノ納付ヲ怠リタルトキ

五　第八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス、不正ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ妨ケタルトキ

農商務大臣ハ上必要ト認ムルトキハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法施行規則

大正六年九月
農商務省令第二十二號

工業所有權戰時法施行規則左ノ通定ム

工業所有權戰時法施行規則

第一條　專用ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ左ノ書面ヲ添附シ農商務大臣ニ申請書ヲ差出スヘシ

一　資力、經驗其ノ他當該特許發明ノ實施ニ適當ナル資格ヲ有スルコトヲ疏明スル書面

二　事業計畫書及收支豫算書

三　申請人カ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スルトキハ其ノ關係ヲ證スルニ足ル書面

四　法人ニ在リテハ定款並最近ノ財産目錄及貸借對照表

第二條　專用免許申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當該特許發明ノ特許番號、名稱、特許ノ年月日及特許權者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　專用セムトスル期間

三　事業期ヲ定メタルトキハ其ノ事業期

四　當該特許發明ノ專用ヲ必要トスル理由

專用免許申請ノ手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼付シ之ヲ納付スヘシ

前項ノ認可アリタルトキハ讓渡人ハ遲滯ナク認可ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

相續ニ因ル專用權ノ移轉アリタル場合ニ於テハ其ノ原因ヲ證スル書面ヲ添附シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出カヘシ

專用料ノ納付ヲ怠リタルトキ

五　第八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス、不正ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ妨ケタルトキ

農商務大臣ハ上必要ト認ムルトキハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法施行規則

大正六年九月
農商務省令第二十二號

工業所有權戰時法施行規則左ノ通定ム

工業所有權戰時法施行規則

第一條　專用ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ左ノ書面ヲ添附シ農商務大臣ニ申請書ヲ差出スヘシ

一　資力、經驗其ノ他當該特許發明ノ實施ニ適當ナル資格ヲ有スルコトヲ疏明スル書面

二　事業計畫書及收支豫算書

三　申請人カ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スルトキハ其ノ關係ヲ證スルニ足ル書面

四　法人ニ在リテハ定款並最近ノ財産目錄及貸借對照表

第二條　專用免許申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當該特許發明ノ特許番號、名稱、特許ノ年月日及特許權者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　專用セムトスル期間

三　事業期ヲ定メタルトキハ其ノ事業期

四　當該特許發明ノ專用ヲ必要トスル理由

專用免許申請ノ手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼付シ之ヲ納付スヘシ

前項ノ認可アリタルトキハ讓渡人ハ遲滯ナク認可ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

相續ニ因ル專用權ノ移轉アリタル場合ニ於テハ其ノ原因ヲ證スル書面ヲ添附シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出カヘシ

專用料ノ納付ヲ怠リタルトキ

五　第八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス、不正ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ妨ケタルトキ

農商務大臣ハ上必要ト認ムルトキハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法施行規則

大正六年九月
農商務省令第二十二號

工業所有權戰時法施行規則左ノ通定ム

工業所有權戰時法施行規則

第一條　專用ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ左ノ書面ヲ添附シ農商務大臣ニ申請書ヲ差出スヘシ

一　資力、經驗其ノ他當該特許發明ノ實施ニ適當ナル資格ヲ有スルコトヲ疏明スル書面

二　事業計畫書及收支豫算書

三　申請人カ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スルトキハ其ノ關係ヲ證スルニ足ル書面

四　法人ニ在リテハ定款並最近ノ財産目錄及貸借對照表

第二條　專用免許申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當該特許發明ノ特許番號、名稱、特許ノ年月日及特許權者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　專用セムトスル期間

三　事業期ヲ定メタルトキハ其ノ事業期

四　當該特許發明ノ專用ヲ必要トスル理由

專用免許申請ノ手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼付シ之ヲ納付スヘシ

前項ノ認可アリタルトキハ讓渡人ハ遲滯ナク認可ノ日ニ至ル迄ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

相續ニ因ル專用權ノ移轉アリタル場合ニ於テハ其ノ原因ヲ證スル書面ヲ添附シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出カヘシ

專用料ノ納付ヲ怠リタルトキ

五　第八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス、不正ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ妨ケタルトキ

農商務大臣ハ上必要ト認ムルトキハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

ニ關スル權利ニ關シ新ニ登錄ヲ爲スヘキトキハ第六條ノ規定ニ準シ假設特許原簿ニ其ノ登錄ヲ爲スヘシ

減失シタル實用新案原簿ノ回復ニ關スル件左ノ通定ム

減失シタル實用新案原簿ノ回復ニ關スル手續ニ付テハ減失特許原簿回復規則ヲ準用ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●減失シタル意匠原簿ノ回復ニ關スル件

大正十二年十月
農令臨第八號

減失シタル意匠原簿ノ回復ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　減失シタル意匠原簿ノ回復ヲ申請スル者ハ申請書ニ其ノ意匠ヲ現スヘキ物品及其ノ類別ヲ記載シ關面三通ヲ添附スヘシ

第二條　意匠權ニ關スル登錄ノ回復ヲ申請スル者ハ申請書ニ其ノ意匠ヲ現スヘキ物品及其ノ類別ヲ記載シ關面三通ヲ添附スヘシ

第三條　登錄回復ノ手續ニ付テハ本令ニ規定スルモノノ外意匠登錄規則ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●減失シタル商標原簿ノ回復ニ關スル件

大正十二年十月
農令臨第九號

減失シタル商標原簿ノ回復ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　減失シタル商標原簿ノ回復ヲ申請スル者ハ申請書ニ其ノ商標ヲ使用スヘキ商品及其ノ類別ヲ記載シ關面三通ヲ添附スヘシ

第二條　商標權ニ關スル登錄ノ回復ヲ申請スル者ハ申請書ニ其ノ商標ヲ使用スヘキ商品及其ノ類別ヲ記載シ關面三通ヲ添附スヘシ

第三條　前條ノ申請書ニハ一商標毎ニ其ノ商標見本五通ヲ添附シ商標ニ施スヘキ色ヲ限定シテ登錄ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ色ヲ記載シ著色シタル商標見本五通ヲ添附スヘシ

第四條　外國登錄商標トシテ登錄ヲ受ケタル商標權ニ關スル登錄ノ回復ニ付テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ本國ノ登錄證又ハ其ノ商標及指定商品カ本國ノ登錄ニ係ルモノナルコト竝本國ノ登錄年月日ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第五條　商標法第二十七條又ハ第三十三條ノ團體標章ノ登錄ノ回復ヲ申請スル場合ニハ申請書ニ特許局長官ノ認可シタル定款ヲ添附スヘシ

第六條　登錄回復ノ手續ニ付テハ本令ニ規定シタルモノノ外大正十年勅令第四百六十四號及商標登錄規則ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二款　意匠

●意匠法

大正十年四月
法律第九十八號
改正　昭和四年四月第四九號、八年三月第一〇號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル意匠法改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

意匠法

第一條　物品ニ關シ形狀、模樣若ハ色彩又ハ其ノ結合ニ係ル新規ノ意匠ノ工業的考案ヲ爲シタル者ハ其ノ物品ノ意匠ニ付意匠ノ登錄ヲ受クルコトヲ得

第二條　左ニ揭クル意匠ニ付テハ之ヲ登錄セス

一　菊花御紋章ト同一又ハ類似ノ形狀又ハ模樣ヲ有スルモノ

二　秩序又ハ風俗ヲ素ルノ虞アルモノ

三　世人ヲ欺瞞スルノ虞アルモノ

第三條　本法ニ於テ意匠ノ新規ト稱スルハ意匠カ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトナキヲ謂フ

一　登錄出願前帝國内ニ於テ公然知レ若ハ公然用キラレタルモノ又ハ之ニ類似スルモノ

六　受付年月日及受付番號

七　最近ニ納付シタル特許料及其ノ納付ノ年月日

第四條　登錄回復ノ申請書ニハ特許證、登錄濟證、特許權存續期間延長許可決定書又ハ專用免許ニ關スル指令書及特許料ノ領收書ヲ添附スヘシ

滅失、紛失其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ前項ノ書類ヲ添附スルコト能ハサル場合ニハ其ノ事由ヲ記載シタル書面及登錄通知書特許原簿ノ謄本又ハ抄本、特許公報其ノ他證憑トナルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第五條　登錄ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テハ其ノ目的カ特許權ニ關スルトキハ特許發明ノ明細書及圖面ヲ差出スヘシ

明細書及圖面ハ特許局備付ノ特許發明ノ明細書及圖面ヲ援用スル旨ヲ申請書ニ表示シテ其ノ添附ヲ省略スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ特許原簿ニ其ノ旨ヲ記載シ且其ノ援用セラレタル特許發明明細書ハ特許原簿ノ一部トシテ之ヲ保存スヘシ

第六條　第一條ノ規定ニ依ル登錄回復ノ申請アリタル場合ニ於テ登錄ヲ爲ストキハ登錄用紙中特許番號欄ニ特許番號ヲ記載シ表示欄ニ前登錄ノ番號ヲ、相當區順位番號欄ニ前登錄ノ順位番號ヲ、事項欄ニ前登錄ノ事項ヲ記載スヘシ

第七條　滅失シタル特許原簿ニ特許登錄令第三條第二號ノ請求ニ基ク幾告登錄アリタルコト明カナルニ至リタルトキハ職權ヲ以テ其ノ登錄ノ回復ヲ爲ス

第八條　登錄ノ回復ニ際シ特許登錄令第十一條第二項ノ規定ニ依リ特許原簿ノ一部若ハ倣サレタル審決ノ原本又ハ判決ノ際本ハ特許公報中審決又ハ判決ノ記載セラレタルモノヲ以テ之ニ代フルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ記載シタル特許公報ハ特許原簿ノ一部トシテ之ヲ保存スヘシ

第九條　同一又ハ類似ノ意匠ニ付テハ最先ノ出願者ニ限リ登錄ス但シ同日ノ各別ノ出願者アルトキハ出願者ノ協議ニ依リ登錄ヲ協議ヲ爲サルトキハ共ニ登錄セス

第十條　意匠登錄出願者カ其ノ實用新案登錄出願ヲ其ノ出願ニ係ル意匠ニ付テノ意匠登錄出願ニ變更シタルトキハ其ノ意匠登錄出願ハ實用新案登錄出願ノ時ニ於テ之ヲ爲シタルモノト看做シ但シ實用新案登錄出願ニ付登錄スヘカラストノ査定ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ最初ノ査定ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　假設特許原簿ノ登錄ヲ特許原簿ニ移シタルトキハ登錄權利者ニ對シ本登錄濟證ヲ與フヘキ旨ヲ通知シ若シ同役又ハ登錄權利者カ本登錄濟證ノ下付ヲ申請スル場合ニ於テハ假設特許原簿ニ於ケル登錄ノ登錄濟證ヲ提出スヘシ

第十二條　登錄回復ノ手續ニ付テハ本則ニ規定スルモノノ外特許登錄令及特許登錄令施行規則ニ依ル

第十三條　通知ニ依リテ爲シタル登錄ノ回復手續ニ付テハ申請ニ依ル登錄回復ニ關スル規定ヲ準用ス

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●減失シタル實用新案原簿ノ回復ニ關スル件

大正十二年十月
農令臨第七號

減失シタル實用新案原簿ノ回復ニ關スル件左ノ通定ム

減失シタル實用新案原簿ノ回復ニ關スル手續ニ付テハ減失特許原簿回復規則ヲ準用ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●減失シタル意匠原簿ノ回復ニ關スル件

大正十二年十月
農令臨第八號

減失シタル意匠原簿ノ回復ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　減失シタル意匠原簿ノ回復ヲ申請スル者ハ申請書ニ其ノ意匠ヲ現スヘキ物品及其ノ類別ヲ記載シ關面三通ヲ添附スヘシ

第二條　意匠權ニ關スル登錄ノ回復ヲ申請スル者ハ申請書ニ其ノ意匠ヲ現スヘキ物品及其ノ類別ヲ記載シ關面三通ヲ添附スヘシ

第三條　登錄回復ノ手續ニ付テハ本令ニ規定スルモノノ外意匠登錄規則ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●減失シタル商標原簿ノ回復ニ關スル件

大正十二年十月
農令臨第九號

減失シタル商標原簿ノ回復ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　減失シタル商標原簿ノ回復ヲ申請スル者ハ申請書ニ其ノ商標ヲ使用スヘキ商品及其ノ類別ヲ記載シ關面三通ヲ添附スヘシ

第二條　商標權ニ關スル登錄ノ回復ヲ申請スル者ハ申請書ニ其ノ商標ヲ使用スヘキ商品及其ノ類別ヲ記載シ關面三通ヲ添附スヘシ

第三條　前條ノ申請書ニハ一商標毎ニ其ノ商標見本五通ヲ添附シ商標ニ施スヘキ色ヲ限定シテ登錄ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ色ヲ記載シ著色シタル商標見本五通ヲ添附スヘシ

第四條　外國登錄商標トシテ登錄ヲ受ケタル商標權ニ關スル登錄ノ回復ニ付テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ本國ノ登錄證又ハ其ノ商標及指定商品カ本國ノ登錄ニ係ルモノナルコト竝本國ノ登錄年月日ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第五條　商標法第二十七條又ハ第三十三條ノ團體標章ノ登錄ノ回復ヲ申請スル場合ニハ申請書ニ特許局長官ノ認可シタル定款ヲ添附スヘシ

第六條　登錄回復ノ手續ニ付テハ本令ニ規定シタルモノノ外大正十年勅令第四百六十四號及商標登錄規則ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二款　意匠

●意匠法

大正十年四月
法律第九十八號
改正　昭和四年四月第四九號、八年三月第一〇號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル意匠法改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

意匠法

第一條　物品ニ關シ形狀、模樣若ハ色彩又ハ其ノ結合ニ係ル新規ノ意匠ノ工業的考案ヲ爲シタル者ハ其ノ物品ノ意匠ニ付意匠ノ登錄ヲ受クルコトヲ得

第二條　左ニ揭クル意匠ニ付テハ之ヲ登錄セス

一　菊花御紋章ト同一又ハ類似ノ形狀又ハ模樣ヲ有スルモノ

二　秩序又ハ風俗ヲ素ルノ虞アルモノ

三　世人ヲ欺瞞スルノ虞アルモノ

第三條　本法ニ於テ意匠ノ新規ト稱スルハ意匠カ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトナキヲ謂フ

一　登錄出願前帝國内ニ於テ公然知レ若ハ公然用キラレタルモノ又ハ之ニ類似スルモノ

目的タル意匠範圍内ニ於テ實施權ヲ有スル者

第十條　登錄ノ無效審判請求ノ登錄前善意ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ帝國内ニ於テ其ノ意匠實施ノ事業ヲ爲シ又ハ準備ヲ爲シタル者ハ其ノ意匠範圍内ニ於テ其ノ登錄意匠ニ付通常實施權ヲ有ス

一　同一又ハ類似ノ意匠ニ對スル二以上ノ登錄中其ノ一カ無效ト爲リタル場合ニ於ケル登錄ヲ受ケタル原意匠權者

二　登錄ヲ無效トシ同一又ハ類似ノ意匠ニ付正當權利者ノ爲ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ於ケル登錄ヲ受ケタル原意匠權者

三　前二號ニ揭クル場合ニ於テ其ノ無效ト爲リタル意匠權ニ付實施權ヲ得テ其ノ登錄ヲ受ケタル者但シ實施權ヲ登錄ナキモノ

第十五條　第一項ノ效力ヲ有スル場合ハ登錄アルヲ要セス

意匠登錄出願ノ日前又ハ之ト同日ノ出願ニ係リ其ノ意匠權ト抵觸スル實用新案權ノ存續期間滿了シタル場合ニ於テ其ノ實用新案權ニ付實施權ヲ得テ登錄ヲ受ケタル者ハ其ノ登錄意匠ニ付原實施權ノ範圍内ニ於テ實施權ヲ有ス但シ原實施權ノ範圍内ニ於テ實施權ヲ有スル實用新案權ニ付原實施權ノ範圍内ニ於テ實施權ヲ有スル者ニ對シテモ其ノ效力ヲ有セス

第十六條　意匠權ハ之ヲ登錄シタルトキハ其ノ意匠權ヲ附後取得シタル者及其ノ意匠權ヲ目的トスル爾後設定ノ質權ヲ有スル者ニ對シテモ其ノ效力ヲ生ス

第十七條　登錄意匠ノ實施權ニ之ヲ登錄シタルトキハ其ノ意匠權ヲ目的トスル爾後設定ノ質權ヲ有スル者ニ對シテモ其ノ效力ヲ生ス

第十八條　特許局ニ意匠原簿ヲ備ヘ意匠權及實施權竝之ヲ目的トスル質權ノ設定保存、移轉、變更、消滅、處分ノ制限其ノ他法令ニ定ムル事項ヲ登錄スヘシ

登錄ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條　登錄スヘシトノ決定若ハ審決確定スル又ハ判決アリタルトキハ之ヲ意匠原簿ニ登錄ス意匠登錄證ヲ下付ス

第十九條ノ二　特許局ハ意匠公報ヲ發行シ本法ニ規定スル事項其ノ他登錄意匠ニ關スル必要ナル事項ヲ之ニ記載スヘシ但シ第六條ノ規定ニ依ル請求ニ依リ秘密ニスヘキ登錄意匠ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十條　意匠ノ登錄ヲ受ケタル者又ハ登錄證主ハ登錄料トシテ每件左ノ金額ヲ納付スヘシ

一　第一年乃至第三年　每年　三圓

二　第四年乃至第十年　每年　五圓

自己ノ登錄意匠ニ類似スル意匠ノ登錄ヲ受

ル者ハ其ノ登録ヲ受ケル時登録料トシテ毎件一時ニ三圓ヲ納付スヘシ

第十六條ノ規定ニ依ル分割シテ移轉セラルル意匠權ノ登録ヲ受ケル者又ハ登録證主ハ其ノ意匠權ニ付原意匠權ノ當該年分ヨリノ登録料ヲ納付スヘシ

第二十一條　意匠登録ノ出願アリタルトキハ審査官ヲシテ之ヲ審査セシム

第二十二條　審判ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ規定スルモノノ外左ニ掲クル事項ニ付之ヲ請求スルコトヲ得

一　第十七條ノ規定ニ依ル登録ノ無效

二　意匠權ノ範圍ノ確認

前項第一號ノ無效ノ審判ハ利害關係人及審査官ニ限リ之ヲ請求スルコトヲ得但シ審査官ハ第四條ノ規定ニ違反シ又ハ第十七條第一項第三號ニ該當ストノ理由ニ依ル無效ノ審判ヲ請求スルコトヲ得ス

第一項第二號ノ確認ノ審判ハ利害關係人ニ限リ之ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條　審判ニ於テハ補償金額ニ付テモ亦之ヲ審決スヘシ

第二十四條　査定又ハ審判ノ審決ヲ受ケタル者不服アルトキハ其ノ査定又ハ審決ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ抗告審判ヲ請求スルコトヲ得但シ前條ノ規定ニ依ル補償金額ノ審決及第二十五條ノ規定ニ依リ準用スル特許法第百十九條第一項ノ規定ニ依ル費用ノ審決ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　特許法第六條、第十條乃至第十四條、第十六條乃至第三十條、第三十二條、第三十三條、第三十六條、第四十四條、第四十五條、第四十七條、第四十八條、第五十一條、第五十五條乃至第五十八條、第五十九條、第六十四條、第六十五條第一項、第六十六條第一項、第六十七條乃至第六十九條、第七十一條、第七十二條、第八十條乃至第八十三條、第八十六條乃至第百五條、第百七條、第百十條乃至第百十三條、第百十五條乃至第百二十八條ノ規定ハ意匠ニ關シ之ヲ準用ス

第二十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　他人ノ登録意匠ニ係ル物品ト同一ノ物品ヲ業トシテ製作、作用、販賣又ハ擴布シタル者

二　他人ノ登録意匠ニ係ル物品ト類似ノ物品ヲ業トシテ製作、作用、販賣又ハ擴布シタル者

三　他人ノ登録意匠ニ係ル物品ト同一又ハ類似ノ物品ヲ業トシテ輸入又ハ移入シタル者

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第二十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　詐偽ノ行爲ヲ以テ意匠ノ登録ヲ受ケ又ハ審決若ハ判決ヲ受ケタル者

二　登録意匠ニ係ラサル物品又ハ其ノ物品ノ容器包裝ノ類ニ意匠登録標記ヲ附シ又ハ意匠標記ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者

三　登録意匠ニ係ル物品ノ容器包裝ノ類ニ意匠登録標記ヲ附シ又ハ意匠登録標記ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者

四　登録意匠ニ係ラサル物品ヲ製作若ハ使用セシムル爲又ハ販賣若ハ擴布スル爲廣告、看板、引札ノ類ニ其ノ物品カ登録意匠ニ係ルコトヲ表示シ又ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者

第二十八條　第二十六條第一項ニ掲クル行爲ヲ組成シタル物又ハ其ノ行爲ヨリ生シタル物ヲシテ前法第十九條ノ規定ニ依リ沒收スルコトヲ得ヘキモノニ付判決言渡前被害者ノ請求アリタルトキハ其ノ物ヲ沒收シ之ヲ被害者ニ交付スルノ言渡ヲ爲スヘシ

被害者ニ交付スルノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ物ノ價額ヲ超過スル損害ノ額ニ限リ賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　法律ニ依リ宣誓シタル證人、鑑定人又ハ通事特許局又ハ其ノ囑託ヲ受ケタル裁判所若ハ官廳ニ對シ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處シ

前項ノ罪ヲ犯シタル者事件ノ査定又ハ審決ヲ爲ス前ニ自白シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第三十條　特許局職員又ハ其ノ職ニ在リタル者故ナク其ノ職務上知得シタル意匠登録出願中ノ考案又ハ意匠登録出願者ノ事業上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條ノ二　第二十五條ノ規定ニ依リ準用スル民事訴訟法第二百六十七條第二項又ハ第三百三十六條ノ規定ニ依リ宣誓ヲ爲シタル者カ特許局ニ對シ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第三十一條　特許局ヨリ證人、鑑定人又ハ通事トシテ呼出サレタル者正當ノ理由ナクシテ呼出ニ應セス又ハ第十七條第一項第三號ニ該當ストノ理由ニ依ル無效ノ審判ヲ請求スルコトヲ得ス

第一項第二號ノ確認ノ審判ハ利害關係人ニ限リ之ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條　審判ニ於テハ補償金額ニ付テモ亦之ヲ審決スヘシ

第二十四條　査定又ハ審判ノ審決ヲ受ケタル者不服アルトキハ其ノ査定又ハ審決ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ抗告審判ヲ請求スルコトヲ得但シ前條ノ規定ニ依ル補償金額ノ審決及第二十五條ノ規定ニ依リ準用スル特許法第百十九條第一項ノ規定ニ依ル費用ノ審決ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　特許法第六條、第十條乃至第十四條、第十六條乃至第三十條、第三十二條、第三十三條、第三十六條、第四十四條、第四十五條、第四十七條、第四十八條、第五十一條、第五十五條乃至第五十八條、第五十九條、第六十四條、第六十五條第一項、第六十六條第一項、第六十七條乃至第六十九條、第七十一條、第七十二條、第八十條乃至第八十三條、第八十六條乃至第百五條、第百七條、第百十條乃至第百十三條、第百十五條乃至第百二十八條ノ規定ハ意匠ニ關シ之ヲ準用ス

第二十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　他人ノ登録意匠ニ係ル物品ト同一ノ物品ヲ業トシテ製作、作用、販賣又ハ擴布シタル者

二　他人ノ登録意匠ニ係ル物品ト類似ノ物品ヲ業トシテ製作、作用、販賣又ハ擴布シタル者

三　他人ノ登録意匠ニ係ル物品ト同一又ハ類似ノ物品ヲ業トシテ輸入又ハ移入シタル者

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第二十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　詐偽ノ行爲ヲ以テ意匠ノ登録ヲ受ケ又ハ審決若ハ判決ヲ受ケタル者

二　登録意匠ニ係ラサル物品又ハ其ノ物品ノ容器包裝ノ類ニ意匠登録標記ヲ附シ又ハ意匠登録標記ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者

三　登録意匠ニ係ル物品ノ容器包裝ノ類ニ意匠登録標記ヲ附シ又ハ意匠登録標記ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者

四　登録意匠ニ係ラサル物品ヲ製作若ハ使用セシムル爲又ハ販賣若ハ擴布スル爲廣告、看板、引札ノ類ニ其ノ物品カ登録意匠ニ係ルコトヲ表示シ又ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者

第二十八條　第二十六條第一項ニ掲クル行爲ヲ組成シタル物又ハ其ノ行爲ヨリ生シタル物ヲシテ前法第十九條ノ規定ニ依リ沒收スルコトヲ得ヘキモノニ付判決言渡前被害者ノ請求アリタルトキハ其ノ物ヲ沒收シ之ヲ被害者ニ交付スルノ言渡ヲ爲スヘシ

被害者ニ交付スルノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ物ノ價額ヲ超過スル損害ノ額ニ限リ賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　法律ニ依リ宣誓シタル證人、鑑定人又ハ通事特許局又ハ其ノ囑託ヲ受ケタル裁判所若ハ官廳ニ對シ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處シ

前項ノ罪ヲ犯シタル者事件ノ査定又ハ審決ヲ爲ス前ニ自白シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第三十條　特許局職員又ハ其ノ職ニ在リタル者故ナク其ノ職務上知得シタル意匠登録出願中ノ考案又ハ意匠登録出願者ノ事業上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條ノ二　第二十五條ノ規定ニ依リ準用スル民事訴訟法第二百六十七條第二項又ハ第三百三十六條ノ規定ニ依リ宣誓ヲ爲シタル者カ特許局ニ對シ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第三十一條　特許局ヨリ證人、鑑定人又ハ通事トシテ呼出サレタル者正當ノ理由ナクシテ呼出ニ應セス又ハ第十七條第一項第三號ニ該當ストノ理由ニ依ル無效ノ審判ヲ請求スルコトヲ得ス

第一項第二號ノ確認ノ審判ハ利害關係人ニ限リ之ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條　審判ニ於テハ補償金額ニ付テモ亦之ヲ審決スヘシ

第二十四條　査定又ハ審判ノ審決ヲ受ケタル者不服アルトキハ其ノ査定又ハ審決ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ抗告審判ヲ請求スルコトヲ得但シ前條ノ規定ニ依ル補償金額ノ審決及第二十五條ノ規定ニ依リ準用スル特許法第百十九條第一項ノ規定ニ依ル費用ノ審決ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　特許法第六條、第十條乃至第十四條、第十六條乃至第三十條、第三十二條、第三十三條、第三十六條、第四十四條、第四十五條、第四十七條、第四十八條、第五十一條、第五十五條乃至第五十八條、第五十九條、第六十四條、第六十五條第一項、第六十六條第一項、第六十七條乃至第六十九條、第七十一條、第七十二條、第八十條乃至第八十三條、第八十六條乃至第百五條、第百七條、第百十條乃至第百十三條、第百十五條乃至第百二十八條ノ規定ハ意匠ニ關シ之ヲ準用ス

本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

本法施行前從前ノ規定ニ依リ過料ニ處スヘキ行爲ヲ爲シタル者ニシテ本法施行ノ際未タ其ノ裁判ヲ受ケサルモノハ本法ニ於テ過料ニ處スヘキ場合ニ限リ本法ニ依リ處罰ス但シ過料ノ額ハ從前ノ規定ノ過料ノ額ヲ超ユルコトヲ得ス

附　則（昭和八年三月法律第十號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和八年勅令第九十九號ヲ以テ昭和八年八月一日ヨリ施行）

●意匠法施行規則

大正十年十二月
農商令第三十五號
改正　大正二年二月三十日、昭和四年九月第八號

意匠法施行規則左ノ通定ム

第一條　意匠ノ登録ヲ受ケムトスル者ハ第十條ニ定ムル類別毎ニ願書ヲ作リ之ニ圖面四通及必要ナル說明書ヲ添ヘ特許局ニ差出スヘシ但シ圖面ノ中二通ハ登録ヲ受クル際之ヲ差出スコトヲ妨ケス

願書ニハ意匠ノ名稱及登録請求ノ範圍ヲ記載シ自己ノ登録意匠又ハ出願中ノ意匠ニ類似スル意匠ノ登録出願ノ場合ニ在リテハ倘之ト類似スル意匠ノ登録出願ニハ意匠カ物品ノ形式、模樣若ハ色彩又ハ其ノ結合ノ執レニ係ルカヲ記載スヘシ

第一項ノ圖面ハ紙面ニ貼附シタル雛形、見本又ハ寫眞ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第二條　出願人ハ意匠ノ登録出願ニ於テ錯誤ニ因リ二以上ノ類別ニ互ル二以上ノ物品ヲ指定シタルトキハ願書ヲ訂正シ之ヲ二以上ノ出願ト爲スコトヲ得

第三條　意匠法第七條ノ規定ニ依リ實用新案登録出願ヲ意匠登録出願ニ變更セムトスル者ハ新ナル出願ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ願書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テ實用新案登録出願ニ付差出シタル圖面カ變更セサルモノナルトキハ其ノ圖面ヲ以テ第一條第一項ニ規定スル圖面ニ充ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第一條第二項ノ規定ニ依ル手數料ノ納付ヲ要セス

第四條　意匠法第六條ノ規定ニ依リ意匠ヲ秘密ニセムコトヲ請求スル者ハ其ノ登録出願ノ際圖面其ノ他ノ物件ヲ寄封シ「秘密意匠」ト朱書シ之ヲ特許局ニ差出スヘシ

第五條　前條ノ規定ニ依リ寄封シタル物件ハ意匠權者ノ承諾アリタル場合及其ノ意匠ニ關スル審査、審判、抗告審判若ハ再審ノ利害關係人又ハ裁判所ヨリ請求アリタル場合ヲ除クノ外意匠權者以外ノ者ニ之ヲ示スコトヲ得ス

第六條　特許局長官ハ秘密ニスヘキ登録意匠ニ付利害關係人カ登録意匠ナルコトヲ認識スルニ足ルヘキモノヲ差出シテ請求スル場合ニ限リ其ノ登録ノ存否、登録番號、登録ノ年月日、意匠ヲ現スヘキ物品竝意匠權者ノ氏名若稱及住所又ハ居所ヲ其ノ者ニ示スコトヲ得

第七條　意匠登録證ハ別記樣式ニ依リ之ヲ作リ圖面ヲ添附スヘシ

第八條　意匠登録ノ標記ニハ「登録意匠」ノ文字及其ノ登録番號ヲ表示スヘシ

第九條　意匠法第二十條第一項ノ第一年乃至第三年分ノ登録料、同條第二項ノ登録料又ハ意匠法第二十五條ノ規定ニ依リ準用スル特許法第六十五條第六項ノ登録料ノ規定ニ依リ正當權利者ノ納付スヘキ登録料ヲ登録スヘシ

第十條　意匠登録證ハ左ノ樣式ニ依リ之ヲ作リ登録出願ノ年月日ヨリ三十日内ニ之ヲ納付スヘシ

第十一條　意匠登録證ヲ亡失シタル者ハ登録證ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得

第十二條　本則ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

第十三條　意匠法施行細則ハ之ヲ廢止ス

第十四條　意匠法第三十五條ノ規定ニ依リ爲スヘキ處理ニ付テハ仍意匠法施行細則ニ依ル

附　則（大正十一年十二月農令第三十二號）

本令ハ信託法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年九月商令第八號）

本令ハ昭和四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

別記

第一號樣式

登録第何號

意匠登録證

國籍（外國人ノ場合）

住所（居所）　氏　名（名稱）

意匠ノ名稱

登録請求ノ範圍

何々

何々

何々

前記意匠ハ登録スヘキ物品

年　月　日　特許局長官　氏　名　印

第二號樣式

類似意匠登録第何號

類似意匠登録證

國籍（外國人ノ場合）

住所（居所）　氏　名（名稱）

第三號樣式

紙入、貨幣入、名刺入、煙草入、煙管、煙管筒、手提鞄等

第四類　傘、杖及鞭

第五類　化粧用品及衛生具

第六類　家具、室内及屋外ノ裝飾品

棚、簞笥、机、椅子、卓子、寢臺、額、屏風、衝立、暖爐、火鉢、花瓶、旒幕

第七類　飲食器及庖厨具

膳、椀、皿、鉢、杯、菓子器、箸、茶器、珈琲具、鐵瓶、土瓶、鍋、ストーブ、バケツ、手桶等

第八類　數物

緞通、油畫、花毬等

第九類　文房具

硯、筆筒、文鎭、水滴、印材、肉池、硯箱、筆架、インキ壺、ペン軸」等

第十類　燈器

燭臺、手燭、燈籠、洋燈、五斯燈、電燈、提燈、燈蓋、火屋等

第十一類　時計及計器

懷中時計、置時計、掛時計、羅針器、寒暖計、晴雨計、度量衡器等

第十二類　建築物ノ附屬品

障子、襖、扉、欄間、襖引手、釘隱、欄等

第十三類　他類ニ屬セサル織物、編物、組物及其ノ製品

紗、手巾、車被、レース」、羽絨紐、帶締紐、時計紐、飾總等

第十四類　冠物

帽子、頭巾、笠等

第十五類　履物及其ノ附屬品

下駄、草履、靴、鼻緒、爪掛等

第十六類　扇及團扇

第十七類　樂器、玩具及遊戲具

第十八類　菓子及其ノ他ノ食用品

第十九類　容器及包装

境、紙袋、紙製ノ紹牌等

第二十類　車輛及其ノ附屬品

人力車、自轉車、自動車、タイヤー」、鎖車等

第二十一類　紙、皮革及他類ニ屬セサル其ノ製品

紋紙、紋革、模革紙、模紙、壁紙、表紙、色紙、短册、書簡箋、書簡筒等

第二十二類　他類ニ屬セサル金屬製品及石材製品

第二十三類　他類ニ屬セサル木、竹、骨、角、齒牙、甲殻類ノ製品

第二十四類　他類ニ屬セサル物品

（別記様式）

	帯広	第一区	第二区	第三区	第四区
帯広税務署		帯広税務署	帯広税務署	帯広税務署	帯広税務署
表示欄	帯広税務署

寳又ハ擴布シタル者
四　登錄實用新案ニ係ラサル物品ヲ製作若ハ使用セシムル爲又ハ販賣若ハ擴布スル爲摸倣若ハ看板、引札ノ類ニ其ノ物品カ登錄實用新案ニ關シ爲スヘキ事項ノ代理業ヲ營ミタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條　第二十七條第一項ニ揭ケル行爲ヲ組成シタル物又ハ行爲ヨリ生シタル物ニシテ刑法第十九條ノ規定ニ依リ沒收スルコトヲ得ヘキモノニ付判決言渡前被害者ノ請求アリタルトキハ其ノ物ヲ沒收シ之ヲ除ク外本法ニ依リ爲シタルモノト看做ス舊法ニ依リ實用新案ニ關シ爲シタル出願、請求其ノ他ノ手續ニ付亦前項ニ同シ

第三十條　本法施行ノ際現ニ繫屬スル實用新案登錄ノ出願ノ處理ニ付テハ仍舊法ニ依ル

本法施行前發途ヲ受ケタル審決ニ對スル不服申立ノ期間ニ付テハ仍舊法ニ依ル補償金額ニ對スル不服ノ申立ノ期間ニ付亦同シ

第三十一條　本法施行前發生シタル實用新案權ニ關シテハ舊特許法第二十九條第二號ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有シ第八條ノ規定ハ之ヲ適用セス

第三十二條　實用新案ノ登錄ニ關シ舊法第十一條ノ規定及同條ノ規定ニ基キ準用スル舊特許法ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有シ第八條ノ規定ハ之ヲ適用セス

第三十三條　舊法ニ依ル實用新案ノ登錄ニ關シテハ本法施行後ニ登錄ヲ爲サレタル場合ト雖舊法第十一條ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有シ同條ノ規定ノ適用ノ範圍内ニ於テ同條ニ揭ケル舊法ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有シ登錄カ同條ノ規定ニ該當スル場合ニ限リ審判ニ依リ之ヲ無效ト爲スヘシ

第三十四條　前條ノ規定ニ依ル無效ノ審判ハ本法施行前爲サレタル實用新案ノ登錄ニ關シテハ本法施行ノ日ヨリ三年ヲ經過シタルトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

附　則（昭和四年四月法律第四十八號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年九月勅令第二百八十九號ヲ以テ昭和四年十月一日ヨリ施行）

本法ハ本法施行前ニ生シタル事項ニモ之ヲ適用スル但シ從前ノ規定ニ依リ生シタル效力ヲ妨ケス

第二十六條ノ規定ニ依リ準用スル特許法第十七條ノ二ノ改正規定ハ本法施行前同條ニ揭ケル事由ヲ生シタル委任代理ニシテ本法施行前ノ代理權消滅ノ登錄ヲ受ケサリシモノ又ハ其ノ屆出ヲ爲ササリシモノニモ之ヲ適用ス

本法施行前抗告事件ニ付決定ヲ受ケタル者ハ仍從前ノ規定ニ依リ更ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

本法ニ依リ新ニ期間ヲ定メタル手續ニシテ本法施行ノ際爲スヘキモノニ付テハ其ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

本法施行前從前ノ規定ニ依リ過料ニ處スヘキ行爲ヲ爲シタル者ニシテ本法施行ノ際未タ其ノ裁判ヲ受ケサルモノハ本法ニ於テ過料ニ處スヘキ場合ニ限リ本法ニ依リ處罰ス但シ過料ノ額ハ從前ノ規定ノ過料ノ額ヲ超ユルコトヲ得ス

●實用新案法施行規則

大正十年十二月
農商令第三十四號
（改正　大正十一年二月第二一號、昭和四年九月第七號）

實用新案法施行規則左ノ通改正ス

實用新案法施行規則

第一條　實用新案ノ登錄ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ圖面及說明書ヲ添ヘ之ヲ特許局ニ差出スヘシ

第二條　說明書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　實用新案ノ名稱
二　圖面ノ略解
三　實用新案ノ性質、作用及效果ノ要領
四　考案相互ノ關係
五　登錄請求ノ範圍

考案相互ノ關係ニハ他ノ特許發明、登錄實用新案又ハ登錄意匠ノ實施スルニ非サレハ實施スルコト能ハサル實用新案ノ登錄出願ニ付其ノ實施ノ態樣ヲ記載スヘシ

登錄請求ノ範圍ニハ實用新案カ物品ノ形狀、構造又ハ組合ニ付テモ亦之ヲ記載スヘシ

第三條　實用新案法第五條ノ規定ニ依リ特許出願又ハ意匠登錄出願ヲ實用新案登錄出願ニ變更セムトスル者ハ新ナル出願ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ願書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テ特許出願又ハ意匠登錄出願ニ付差出シタル圖面カ變更ヲ要セサルモノナルトキハ第一條ニ規定スル圖面ノ提出ヲ省略スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ願書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四條　實用新案登錄證ハ別記樣式ニ依リ之ヲ作リ圖面及說明書ヲ添附スヘシ

第五條　實用新案登錄ノ標記ニハ「登錄新案」ノ文字及其ノ登錄番號ヲ表示スヘシ

第六條　實用新案法第二十條ノ第一年乃至第三年分ノ登錄料又ハ實用新案法第十六條ノ規定ニ依リ準用スル特許法第六十五條第六項ノ規定ニ依リ正當權利者ノ納付スヘキ登錄料ハ登錄スヘシトノ查定若ハ審決確定シタル旨ノ送達アリタル日ヨリ三十日内ニ之ヲ納付スヘシ

第七條　特許法施行規則第一條乃至第三十六條ノ二、第三十七條第二項第三項、第三十九條乃至第四十三條、第四十五條乃至第五十三條、第五十五條乃至第六十九條、第七十一條、第七十二條、第七十四條第二項、第七十五條乃至第七十七條ノ規定ハ實用新案ニ關シ之ヲ準用ス

附　則

第八條　本則ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

第九條　實用新案法第三十六條ノ規定ニ依リ爲スヘキ處理ニ付テハ仍從前ニ依ル

附　則（大正十一年十二月農商令第三十一號）

本令ハ信託法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年九月商令第七號）

本令ハ昭和四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

別　記

第一號樣式

登錄第何號

實用新案登錄證

圖籍（外國人ノ場合）

住所（居所）　氏　　名（名稱）

考案者　何縣何誰

實用新案ノ名稱　何々

前記實用新案ハ登錄スヘキモノト確定シタリ仍テ實用新案原簿ニ登錄シ本證ヲ下付ス

年　月　日

特許局長官　氏　　名印

第二號樣式

登錄第何號

實用新案登錄證

圖籍（外國人ノ場合）

住所（居所）　氏　　名（名稱）

考案者　何縣何誰

實用新案ノ名稱　何々

前記實用新案ハ登錄スヘキモノト確定シタリ仍テ實用新案原簿ニ登錄シ本證ヲ下付ス

年　月　日

特許局長官　氏　　名印

第二號樣式

登錄第何號

實用新案登錄證

圖籍（外國人ノ場合）

住所（居所）　氏　　名（名稱）

考案者　何縣何誰

實用新案ノ名稱　何々

存續期間　自年月日
至年月日

第何號登錄ニ係ル前記實用新案ノ說明書（圖面）ニ付實用新案法第十四條ノ規定ニ依リ訂正ヲ許可スヘキモノト確定シタリ仍テ實用新案原簿ニ登錄シ本證ヲ下付ス

年　月　日

特許局長官　氏　　名印

●實用新案ノ登錄ニ關スル件

大正十年十二月
農商令第四十號

實用新案ノ登錄ニ關スル件左ノ通定ム

實用新案ニ關スル登錄ニ付テハ特許登錄令施行規則ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

●軍事上秘密ヲ要スル實用新案竝實用新案ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件

勅令第四百六十二號
大正十年十二月

陸軍上秘密ヲ要スル實用新案竝實用新案ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

第一條　軍事上秘密ヲ要スル實用新案ニ付テハ特許法施行令第一章ヲ準用ス

第二條　實用新案ニ關スル審判、抗告審判、出訴及再審竝登錄異議、實用新案法第十四條ノ許可ニ付テノ訴訟費用ニ付テハ特許法施行令第三章ヲ準用ス

第三條　實用新案ニ關スル登錄ニ付テハ特許登錄令ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年勅令第二百九十七號ハ之ヲ廢止ス

第四款　商標

●商標法

大正十年四月
法律第九十九號
（改正　昭和四年四月第五〇號、九年三第一五號）

陸帝國議會ノ協賛ヲ經タル商標法改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

商標法

第一條　自己ノ生產、製造、加工、選擇、證明、取扱又ハ販賣ノ營業ニ係ル商品ナルコトヲ表彰スル爲商標ヲ專用セムトスル者ハ商標ノ登錄ヲ受クルコトヲ得

登錄ヲ受クルコトヲ得ヘキ商標ハ文字、圖形若ハ記號又ハ其ノ結合ニシテ特別顯著ナルモノナルコトヲ要ス

商標ハ之ヲ施スヘキ色ヲ限定シテ登錄ヲ受クルコトヲ得

第二條　左ニ揭ケル商標ニ付テハ之ヲ登錄セス

一　菊花御紋章ト同一又ハ類似ノ圓形ヲ有スルモノ

二　國旗、軍旗、勳章、褒章、記章又ハ外國ノ國旗ト同一又ハ類似ノモノ

二ノ二　工業所有權保護同盟條約國ノ國ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章（國旗ヲ除ク）ニシテ主務大臣ノ指定スルモノト同一又ハ類似ノモノ

三　白地ニ赤十字ノ記章又ハ赤十字若ハ「ジュネヴァ」十字ノ稱號若ハ文字ト同一又ハ類似ノモノ

三ノ二　工業所有權保護同盟條約國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章又ハ記號ニシテ主務大臣ノ指定スルモノト同一又ハ類似ニシテ同一又ハ類似ノ商品ニ使用スルモノ

四　秩序又ハ風俗ヲ紊ルノ虞アルモノ

五　他人ノ肖像、氏名名稱又ハ商號ヲ有スルモノ但シ其ノ他人ノ承諾ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

六　同一又ハ類似ノ商品ニ慣用スル標章ト同一又ハ類似ノモノ

七　政府ノ開設シ、道府縣若ハ之ニ準スヘキモノノ開設シ若ハ政府ノ認可ヲ得テ開設スル博覽會又ハ外國ニ於ケル官設若ハ許可ヲ得タル博覽會ノ賞牌、賞狀又ハ褒狀ヲ受領シタル者カ其ノ商標ノ一部トシテ其ノ圖形ヲ使用セムトスルトキハ此ノ限ニ在ラス

八　取引者又ハ需要者ノ間ニ廣ク認識セラルル他人ノ標章ト同一又ハ類似ニシテ同一又ハ類似ノ商品ニ使用スルモノ

九　他人ノ登錄商標ト同一又ハ類似ニシテ同一又ハ類似ノ商品ニ使用スルモノ

十　登錄失效ノ日ヨリ一年ヲ經過セサル他人ノ商標ト同一又ハ類似ニシテ同一又ハ類似ノ商品ニ使用スルモノ、但シ其ノ他人ノ商標カ登錄失效前一年以上使用セサリシモノナル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第六條ヘ內國法人又ハ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ニ對スル訴訟ニ關シテハ其ノ日本國ニ於ケル代表者ニ對シテ訴訟ヲ爲スコトヲ得

第七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ハ其ノ日本國ニ於ケル營業ニ關シ裁判上又ハ裁判外ノ一切ノ行爲ニ付キ法人ヲ代表ス

第八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第四十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第四十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第四十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第四十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第四十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第四十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第四十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第四十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第四十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第四十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第五十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第五十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第五十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第五十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第五十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第五十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第五十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第五十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第五十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第五十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第六十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第六十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第六十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第六十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第六十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第六十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第六十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第六十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第六十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第六十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第七十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第七十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第七十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第七十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第七十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第七十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第七十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第七十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第七十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第七十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第九十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第九十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第九十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第九十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第九十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第九十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第九十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第九十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第九十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第九十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百二十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百二十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百二十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百二十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百二十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百二十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百二十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百二十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百二十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百二十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百三十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百三十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百三十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百三十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百三十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百三十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百三十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百三十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百三十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百三十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百四十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百四十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百四十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百四十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百四十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百四十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百四十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百四十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百四十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百四十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百五十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百五十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百五十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百五十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百五十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百五十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百五十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百五十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百五十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百五十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百六十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百六十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百六十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百六十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百六十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百六十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百六十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百六十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百六十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百六十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百七十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百七十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百七十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百七十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百七十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百七十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百七十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百七十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百七十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百七十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百八十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百八十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百八十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百八十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百八十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百八十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百八十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百八十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百八十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百八十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百九十條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百九十一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百九十二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百九十三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百九十四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百九十五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百九十六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百九十七條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百九十八條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第百九十九條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二百條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二百一條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二百二條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二百三條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二百四條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二百五條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二百六條ヘ外國法人ノ日本國ニ於ケル代表者ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ登記シタルトキニ限リ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二百七條ヘ外國

第五十六類　肥料
　干鰯、鯡粕、油粕、肉粉、骨粉、血粉、鉱滓、酸肥料、調合肥料、硫酸安母尼亞等
第五十七類　木竹材、籐、木皮、竹皮及経木ノ類
第五十八類　他類ニ屬セサル木、竹、籐、木皮、竹皮類ノ製品、其ノ漆塗品及蒔絵品ノ類
　指物、挽物、曲物、桶物、組物、補、経木眞田等
第五十九類　骨、角、商牙及甲殻ノ類、他類ニ屬セサル其ノ製品及其ノ模造品、他類ニ屬セサル「エボナイト」製品及「ガタペルチヤ」ノ硬質製品竝「セルロイド」及他類ニ屬セサル其ノ製品
第六十類　藁、草及他類ニ屬セサル其ノ製品
　麥桿、麥表、莚、蓙、筵、簀、麥桿眞田等
第六十一類　傘、洋傘、杖、靴、下駄、草履、畳表、畳緒、爪掛等
第六十二類　帽子及圍帽ノ類
第六十三類　燈器及其ノ各部
　洋燈、燭臺、提燈、火屋、燈蓋、瓦斯「バーナー」、瓦斯「マントル」、燭心等
第六十四類　頭飾品、洲梨具及「リボン」ノ類、造花竝刺子類
　櫛、笄、簪、「ヘヤピン」、「ヘヤネット」、手絡、根掛、髪止、船形、元結、髷、附髷、入毛、髪芯、髪掛「リボン」、裝飾「リボン」、歯刷子、化粧刷毛、塵取刷子等
第六十五類　玩具及運動遊戯具
　鞠、碁、將棊、人形、獨樂、弓、球突具、押絵、骨牌、野球具、庭球具、卓球具、撃剣柔道具等
第六十六類　圖畫、寫眞及印刷物類
　書繪、新聞紙、雜誌、「アルバム」等
第六十七類　煙料
　線香、炷香、煉香、粉末香、蚊除線香、蚊除炷香、蚊除粉末香等
第六十八類　他類ニ屬セサル研磨料
　砥粉、磨渋、鏡出布、燒出紙、研磨布、研磨紙等
第六十九類　電氣機械器具及其ノ各部竝電氣絶縁材料
　發電機、電動機、廻轉變流機、整流機、周波數變換機、電信機、電話機、變壓機、電氣開閉器、電流制限器、電流制御器、抵抗器、電熱器、電氣扇風機、電鈴、眞空球、電氣醫療器、電氣測定器、電池、蓄電器、自然電燈、弧光燈、携中電燈、被覆電線、電氣絶縁用板、電氣機械器具用炭素、電氣絶縁用紙、電氣絶縁用護謨製品、電氣絶縁用混和物等
第七十類　他類ニ屬セサル商品
　第十六條、特許法施行規則第一條乃至第三條、第五條乃至第三十六條ノ二、第三十七條ノ二、第三十九條乃至第四十三條、第四十六條乃至第四十八條、第五十條乃至第五十二條、第五十五條乃至第六十五條、第六十七條、第六十八條乃至第六十九條、第七十四條第二項及第七十五條ノ規定ハ商標ニ關シ之ヲ準用ス
　第十七條　本則ハ商標法第二十六條ノ標章又ハ同法第二十七條若ハ第三十三條ノ團體標章ニ關シ之ヲ準用ス
　附　則
第十八條　本則ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス
第十九條　商標法施行細則ハ之ヲ廢止ス
第二十條　商標法第四十一條ノ規定ニ依リ爲スヘキ處理ニ付テハ仍商標法施行細則ニ依ル
第二十一條　舊商標法ニ依リ發生シタル商標權又ハ標章權ニ付テハ其ノ商標又ハ標章ヲ使用スヘキ商品ノ類別ハ仍從前ノ例ニ依ル
　附　則（大正十一年十二月農商第三十三號）
本令ハ信託法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
　附　則（昭和四年九月商令第九號）
本令ハ昭和四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●商標登録規則

大正十年十二月
農商令第四十二號

商標登録規則左ノ通定ム

第一條　商標ニ關スル登録ニ付テハ特許登録令施行規則ヲ準用ス
第二條　商標原簿ハ別記樣式ニ依リ之ヲ作ルヘシ
第三條　商標原簿ノ聯合商標登録番號欄ニハ其ノ登録商標ニ聯合スヘキ商標ノ登録番號ヲ記載ス
第四條　商標權設定ノ登録ヲ爲スニハ第一條ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ノ外表示欄ニ商標ヲ使用スル商品ノ類別及商品竝外國ノ登録商標ナル場合ニ在リテハ尚其ノ旨ヲ記載スヘシ
第五條　聯合ノ商標權設定ノ登録ヲ爲スニハ前條ニ規定スル事項ノ外表示欄ニ聯合ノ商標ナル旨ヲ記載シ其ノ登録用紙中聯合商標登録番號欄ニ他ノ聯合ノ登録商標ノ登録番號ヲ記載スヘシ
第六條　商標權存續期間更新ノ登録ヲ爲スニハ表示欄ニ出願日竝、願書番號、査定若ハ審決確定シ又ハ判決アリタル旨及其ノ日附竝商標ヲ使用スル商品ニ變更アリタル場合ニ在リテハ尚其ノ商品ヲ記載スヘシ
第七條　聯合ノ商標權設定ノ登録アリタル後其ノ一ノ商標權ノ消滅ノ登録ヲ爲シタルトキハ他ノ聯合ノ商標權ノ登録用紙中聯合商標登録番號欄ノ番號ヲ朱抹スヘシ
第八條　商標權ノ分割移轉ノ登録ヲ爲スニハ特許登録令施行規則第二十七條乃至第三十二條ノ規定ニ準シ其ノ登録ヲ爲スヘシ但シ各登録用紙中表示欄ニ爲スヘキ商標權ノ表示ハ第四條ノ規定ニ準シ之ヲ爲シ尚移轉シタル商標權ノ登録用紙中聯合商標欄ニ登録番號ヲ記載スヘシ
第九條　商品ノ一部ニ係ル營業ノ廢止ニ依ル商標權ノ一部抹消ノ登録ヲ爲スニハ表示欄ニ變更ノ登録ヲ爲スヘシ
第十條　本則ハ商標法第二十六條ノ標章又ハ同法第二十七條若ハ第三十三條ノ團體標章ニ關スル登録ニ付之ヲ準用ス
　附　則
本則ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十二年農商務省令第四十八號ハ之ヲ廢止ス

●商標ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登録ニ關スル件

大正十年十二月
勅令第四百六十四號

於商標ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登録ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

第一條　本令施行ノ際現ニ商標ニ關スル審判、抗告審判、出訴及再審竝登録異議及其ノ參加ニ關スル費用ニ付テハ特許法施行令第三章ヲ準用ス
第二條　商標ニ關スル登録ニ付テハ特許登録令ヲ準用ス
第三條　商標權移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ移轉ニ係ル商品ヲ記載スヘシ
　聯合ノ商標ノ一商標權ノ移轉ノ登録又ハ其ノ商標權ノ登録名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ同時ニ他ノ商標權ニ付テモ同一ノ登録ヲ申請スヘシ
　前項ノ場合ニ於テハ同一ノ申請書ヲ以テ登録ヲ申請スルコトヲ得
第四條　營業ノ廢止ニ依ル商標權ノ登録ノ抹消ハ登録名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得
　商標法第五條ノ規定ニ依リ指定シタル商品ノ一部ニ係ル營業ノ廢止ニ依ル登録ノ一部抹消ノ場合ニ於テハ申請書ニ其ノ營業ノ廢止ニ依ル商品ヲ記載スヘシ
第五條　本令ハ商標法第二十六條ノ標章又ハ同法第二十七條若ハ第三十三條ノ團體標章ニ關スル登録ニ付之ヲ準用ス
　附　則
本令ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十二年勅令第二百九十六號ハ之ヲ廢止ス

●商標法ヲ朝鮮ニ施行スルコトニ關スル件

明治四十三年八月
勅令第三百三十七號

朝鮮ニ於ケル特許權、意匠權、商標權及著作權ノ保護ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

第一條　帝國臣民カ帝國ニ於テ享有スル特許權、意匠權、商標權、實用新案權及著作權ノ效力ハ朝鮮ニ於テ之ヲ行使スルコトヲ得
　外國人カ帝國ニ於テ享有スル特許權、意匠權、商標權、實用新案權及著作權ノ效力ハ朝鮮ニ於テ之ヲ行使スルコトヲ得
第二條　特許法、意匠法、商標法、實用新案法及著作權法中ノ罰ニ關スル規定ハ關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ在ル帝國臣民ニ對シ之ヲ適用ス
　本令ハ明治四十四年五月二十八日ヨリ之ヲ施行ス

第十章　度量衡

●朝鮮度量衡令

大正十五年二月
制令第六號

朝鮮度量衡令明治四十四年法律第三十號第二條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ左ニ之ヲ公布ス

第一條　朝鮮度量衡令

第一條　度量ハメートル、衡ハキログラムヲ以テ基本トス
　メートル及キログラムノ純粹ノ水ノ氷ノ温度ニ於ケル國際メートル原器ノ示ス所ノ長トス
第二條　メートルハメートル條約ニ依リ帝國ニ交付セラレタルメートル原器ニ依リ、キログラムハメートル條約ニ依リ帝國ニ交付セラレタルキログラム原器ニ依リ之ヲ現示ス
第三條　朝鮮總督ハ前條ノ原器ニ依リ製作シタル檢定原器ヲ以テ前條ノ原器ニ代用ス
　檢定原器ヲ朝鮮總督之ヲ保管ス
第四條　度量衡ノ名稱命位ヲ定ムルコト左ノ如シ

度	
	ミクロン
	ミリメートル
	センチメートル
	メートル
	デシメートル
	メートルノ百萬分ノ一
	メートルノ千分ノ一
	メートルノ百分ノ一
	メートルノ十分ノ一

（別記樣式）

登録番號	表示番號	表題部	順位番號	申請事項欄	代理人欄	聯合商標登録番號欄

メートル	一
キロメートル	千メートル
面積	
平方ミリメートル	平方メートル百萬分ノ一
平方センチメートル	平方メートル一萬分ノ一
平方デシメートル	平方メートル一百分ノ一
平方メートル	平方メートル一百分ノ一
平方キロメートル	百萬平方メートル
量	
立方センチメートル	立方メートル一百萬分ノ一
立方デシメートル	立方メートル一千分ノ一
立方メートル	
衡	
ミリグラム	キログラム一百萬分ノ一
グラム	キログラム一千分ノ一
キログラム	
トン	千キログラム

前項ニ規定スル度量衡又ハ其ノ倍數若ハ分數ニ依ル度量衡ニシテ土地又ハ液體ノ計量其ノ他特殊ノ場合ニ用フルモノノ名稱命位ニ關シテハ朝鮮總督之ヲ定ム

第五條　温度、密度、壓力、工率其ノ他ノ狀態及能率ノ計量ノ單位ニシテ度量衡ニ非サル他ノ單位ニ依リテ定ムルモノヲ以テ不正ノ度量衡ノ計量ヲ爲シ又ハ液體ノ計量ヲ爲シ又ハ其ノ名稱命位ニ關シテハ朝鮮總督之ヲ定ム

第六條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ラサル度量衡又ハ計量ノ單位ハ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外取引上又ハ證明上之ヲ用フルコトヲ得ス

第七條　度量衡器ノ製作又ハ販賣ハ政府ニ專屬ス

政府ハ特ニ指定スル者ニ度量衡器ノ販賣ヲ委託スルコトヲ得

第八條　度量衡器ノ修理、輸入又ハ移入ハ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外政府又ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第九條　政府ノ製作、修覆、輸入又ハ移入シタル度量衡器ニハ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外證印ヲ附ス

第十條　政府以外ノ者度量衡器ノ修覆、輸入又ハ移入ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督ノ定メタル場合ヲ除クノ外政府ノ檢定ヲ受クヘシ

政府ノ檢定ニ合格シタル度量衡器ニハ檢定證印ヲ附ス

第十一條　度量衡法ニ依ル檢定證印アル度量衡器ノ輸入又ハ移入ヲ爲ス場合ニハ前二條ノ規定ハ之ヲ適用セス但シ朝鮮總督ノ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　度量衡器ニ非サルモノ及左ノ各號ノ一ニ該當スル度量衡器ハ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外取引上又ハ證明上ニ於ケル度量衡ノ計量ニ之ヲ使用シ又ハ使用ニ供スル爲之ヲ所持スルコトヲ得ス

一　第九條ノ證印又ハ檢定證印ナキモノ、修覆ヲ爲シタル後其ノ檢定ヲ受ケス又ハ檢定ニ合格セサルモノ

二　變造シタルモノ

三　朝鮮總督ノ定ムル公差以上ノ差狂ヲ生シタルモノ

四　朝鮮總督ノ定ムル構造ヲ具備セサルモノ

五　度量衡法ニ依ル檢定證印又ハ同法ニ依ル檢定ハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ檢定證印又ハ檢定ト看做ス

第十三條　度量衡ニ依ル正味量ノ表記アル商品ニシテ其ノ表記正味量カ實量ヲ超過スルモノハ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ販賣シ又ハ販賣ノ爲之ヲ所持スルコトヲ得ス

商品ノ度量衡ニ依ル量目ノ表記ハ正味量ノ表記ニ非サルコト明ナル場合ヲ除クノ外之ヲ度量衡ニ依ル正味量ノ表記ト看做ス

第十四條　度量衡器ノ委託販賣、修覆、檢入、檢定、取締及使用ノ制限竝度量衡ノ計量ノ取締ニ關シテハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十五條　當該官吏度量衡器ノ取締又ハ度量衡ノ計量ノ取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ店舖、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢スルコトヲ得

當該官吏臨檢ノ際度量衡ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ捜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、捜索及差押ニ關シテハ朝鮮間接國稅犯則者處分令ヲ準用ス

第十六條　當該官吏ハ第十二條第一項各號ノ一ニ該當スルモノヲ破毀シ、其ノ證印ヲ除去シ若ハ消印ヲ附シ又ハ第十三條第一項ニ該當スルモノノ正味量ノ表記ヲ更正シ若ハ消去シ其ノ他取締上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條　度量衡器ノ委託販賣ノ指定又ハ第八條ノ許可ヲ受クヘキ者本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ又ハ當該官廳ノ命ニ從ハサルトキハ朝鮮總督ハ其ノ指定又ハ許可ヲ取消スコトヲ得

第十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第十二條第一項又ハ第十三條第一項ノ規定ニ違反シタル者

二　度量衡ノ計量ヲ僞ハルノ目的ヲ以テ不正ニ度量衡器ヲ使用シタル者

第十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　私ニ度量衡器ノ製作又ハ變造ヲ爲シタル者

二　委託販賣ノ指定ヲ受ケシテ度量衡器ノ販賣ヲ爲シタル者

三　第八條ノ規定ニ違反シタル者

第二十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第六條ノ規定ニ違反シタル者

二　當該官吏ノ訊問ニ對シ答辯ヲ拒ミ若ハ虚僞ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタル者

第二十一條　度量衡器ノ委託販賣ノ指定若ハ第八條ノ許可ヲ受ケタル者、業務上取引者ハ證明ノ爲度量衡器ヲ使用スル者又ハ度量衡ニ依ル正味量ノ表記アル商品ヲ販賣スル者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十二條　度量衡器ノ委託販賣ノ指定若ハ第八條ノ許可ヲ受ケタル者、業務上取引若ハ證明ノ爲度量衡器ヲ使用スル者又ハ度量衡ニ依ル正味量ノ表記アル商品ヲ販賣スル者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　前二條ノ場合ニ於テハ懲役ノ刑ヲ科スルコトヲ得ス

第二十四條　第七條乃至第十二條、第十四條乃至前條ノ規定ハ朝鮮總督ノ指定スル計量器ニ之ヲ準用ス

第二十五條　法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル場合ニ於テハ明治三十三年法律第五十二號ニ依ル

第二十六條　本令中罰則ニ關スル規定ハ公務所ニ之ヲ適用セス

附　則

第二十七條　本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正十五年三月總令第二十二號ヲ以テ大正十五年四月一日ヨリ施行）

第二十八條　隆熙三年法律第二十六號度量衡法及明治四十二年統監府令第二十三號ハ之ヲ廢止ス

第二十九條　從來慣用ノ度量衡ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ當分ノ內仍之ヲ用フルコトヲ得

第三十條　從前ノ規定ニ依リ附シタル證印又ハ檢印ハ之ヲ第九條ノ證印又ハ檢定證印ト看做ス

第三十一條　從前ノ規定ニ依ル度量衡器委託販賣者ニシテ本令施行ノ際現ニ其ノ業ヲ營ム者ハ朝鮮總督ノ定ムル期間之ヲ第七條第二項ノ規定ニ依ル指定ヲ受ケタル者ト看做ス

第三十二條　從前ノ規定ニ依リ度量衡器ノ修理ノ特許ヲ受ケ本令施行ノ際現ニ其ノ業ヲ營ム者ハ朝鮮總督ノ定ムル期間之ヲ第八條ノ規定ニ依ル修覆ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第三十三條　從前ノ規定ニ依リ度量衡器ノ移入販賣ニ付特許ヲ受ケ本令施行ノ際現ニ其ノ業ヲ營ム者ハ本令施行ノ際販賣ノ爲所持スル度量衡器ニ限リ朝鮮總督ノ定ムル期間仍其ノ販賣ヲ繼續スルコトヲ得第二十四條ノ規定ニ依ル計量器ノ指定ノ際其ノ計量器ノ販賣ノ業ヲ營ム者カ販賣ノ爲所持スル計量器ニ付亦同シ

●朝鮮度量衡令施行規則

大正十五年三月
總令第二十五號
（改正　昭和五年一一第九二號、八年一〇第一一號、九年四第一號）

朝鮮度量衡令施行規則左ノ通定ム

朝鮮度量衡令施行規則

第一條　土地又ハ液體ノ計量其ノ他特殊ノ場合ニ用フル度量衡ニ付テハ朝鮮度量衡令第四條第一項ノ規定ニ依ルノ外尚其ノ名稱命位ヲ定ムルコト左ノ如シ

度	
土地又ハ水面ノ面積	
アール	百平方メートル
ヘクタール	百アール
海面ニ於ケル長	
海里	千八百五十二メートル
量	
液體、五斯體、粒狀物又ハ粉狀物ノ量	
ミリリットル	
デシリットル	リットルノ千分ノ一
リットル	
ヘクトリットル	立方デシメートルノ十分ノ一
キロリットル	百リットル
	千リットル

船舶ノ積量	三百五十三分ノ千立方メートル
衡	
貴石ノ重量	二百ミリグラム
カラット	

第二條　朝鮮度量衡令第五條ノ規定ニ依リ計量ノ單位ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　力ノ單位ハメガダインヲ用フルコト

メガダインハ一キログラムノ質量ノ物體ニ働クトキ一秒ニ付毎秒十メートルノ速度ノ增加ヲ與フル力ヲ謂フ

力ノ單位ニハ重量キログラムヲ用フルコトヲ得一重量キログラムハ之ヲ〇・九八メガダイントス

二　壓力ノ單位ハバールトス

バールハ一メガダインノ力ヲ一平方センチメートルノ面積ニ受クル壓力ヲ謂フ

壓力ノ單位ニハ平方センチメートルニ付重量キログラムヲ用フルコトヲ得平方センチメートルニ付一重量キログラムハ之ヲ〇・九八バールトス

バールハ之ヲ氣壓ト稱スルコトヲ得

三　仕事ノ單位ハジュールトス

ジュールハ一メガダインノ力ニ抵抗シテ十センチメートルノ長ケ物體ヲ動カスト キ爲サルル仕事ヲ謂フ

仕事ノ單位ニハキログラムメートルヲ用フルコトヲ得一キログラムメートルハ之ヲ九・八ジュールトス

四　工率ノ單位ハキロワットトス

工率ノ單位ハ一秒ニ付千ジュールノ工率ヲ謂フ

五　密度ノ單位ハ一氣壓ニ於テ四度ノ溫度ヲ有スル純粹ノ水ノ密度トス

六　溫度ノ單位ハ度トス

度ハ一定ノ體積ヲ保タシメツツ一定質量ノ完全瓦斯ノ溫度ヲ融解シツツアル純粹ノ水ノ氷ノ溶度ヨリ一・〇一三三氣壓ニ於テ沸騰スル純粹ノ水ノ蒸氣ノ溫度迄變セシムル間ニ於テ生スル壓力ノ增加ノ百分ノ一ノ壓力ヲ其ノ完全瓦斯ニ生スル溫度ノ一ト定ム

第三條　朝鮮度量衡令第四條第一項ニ規定スル度量衡中其ノ名稱ノ略字ヲ定ムルコト左ノ如シ

度		
ミクロン		μ
ミリメートル	又ハ粍	mm
センチメートル	又ハ糎	cm
デシメートル		dm
メートル	又ハ米	m
キロメートル	又ハ粁	km
アール		a
ヘクタール		ha
海里		浬
量		
立方センチメートル	又ハ竓	ml
ミリリットル		cc
デシリットル	又ハ吩	dl
リットル	又ハ立	l
ヘクトリットル	又ハ竓	hl
キロリットル	又ハ竕	kl
衡		
ミリグラム	又ハ竰	mg
グラム	又ハ瓦	g
キログラム	又ハ瓧	kg
トン	又ハ噸	t
カラット		ct

計量器ニ表記スヘキ計量ノ單位ノ名稱ハ其ノ種類ニ從ヒ左ノ略字ヲ用フルコトヲ得

力		
重量キログラム	KG.W	（衡ノ名稱ト混同ノ虞アル場合ニ於テハKGヲ用フルコトヲ得）
重量グラム	G.W	（衡ノ名稱ト混同ノ虞アル場合ニ於テハGヲ用フルコトヲ得）
壓力		
バール又ハ氣壓ミリバール	Bar	
又ハ	Atm	
平方センチメートルニ付重量キログラム	KG.Pr.□cm	

仕事　ジュール J
温度　変叉ハ摂℃（第二種氏度ニ依ル目盛（ケルコトヲ記スル場合ニ於テハCヲ用フルコトヲ得）
氏度

前項ニ掲ケル以外ノ略字ト雖慣行ノモノハ之ヲ用フルコトヲ得

生絲繊度検定器ニ表記スヘキ生絲繊度ノ名稱ハD ノ略字ヲ用フルコトヲ得

第六條　酒精ト水トノ混合液及純蔗糖ノ水溶液ノ含有成分ノ百分率ヲ密度ニ依リ表ハス場合ニ於テハ其ノ百分率ニ相當スル密度ノ値ハ第一表及第二表ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

第七條　朝鮮度量衡令第二十四條ノ計量器左ノ如シ

一　晴雨計以外ノ計臙器
二　浮秤
三　物體ノ影臙ニ依ル温度計
四　生絲繊度検定器
五　乳脂計

第八條　第二條及第三條ノ規定ニ依ル單位ニ依リ計量スヘキ狀態又ハ能率ニ關シテハ前項又ハ能率ニ關シテハ計量ノ單位ヲ用フルコトヲ得

第九條　晴雨計、浮秤ニ非サル密度計量器及物體ノ影臙ニ依ラサル温度計ハ取引又ハ證明上ニ於ケル壓力、密度又ハ温度ノ計量ニ之ヲ使用シ又ハ使用ニ供スルヲ爲所持スルコトヲ得

第十條　輸出又ハ輸入ニ係ル商品ニ關シテハ第一條乃至第三條又ハ朝鮮度量衡令第四條第一項ノ規定ニ依ラサル度量衡又ハ計量ノ單位ト雖之ヲ用フルコトヲ得但シ輸入ニ依リ計量スヘキ狀態又ハ能率ニ關シテハ前項但書ノ規程ハ輸入ニ係ル商品ヲ更ニ輸出スル目的ヲ以テ販賣スル場合ニハ之ヲ適用セス

第十一條　政府ノ販賣スル度量衡器及計量器ノ種類、名稱及價格ハ之ヲ告示ス

第十二條　度量衡器又ハ計量器ノ委託販賣ノ指定ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スヘシ

一　販賣所ノ位置
二　販賣目論見書
三　履歴書
四　戸籍謄本

第十三條　政府度量衡器又ハ計量器ノ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ委託販賣者（以下單ニ委託販賣者ト稱スル）ニ對シ第三表ニ依ル保證金ノ納付ヲ命スヘシ

政府必要アリト認ムルトキハ保證金ノ增額ヲ命シ又ハ保證人ヲ立テシムルコトヲ得

第三十一條　修覆者ハ政府ノ販賣シタル鉦、增錘及分銅ヲ販賣スル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ定ムル規定ニ依リ輸入又ハ移入ノ許可ヲ受ケントスル者ハ其ノ修覆料ノ一割以上ヲ手數料トシテ依賴者ニ請求スルコトヲ得

第二十條　委託販賣ノ委託ノ期間ハ五年トス

第二十一條　委託販賣者ハ委託販賣ノ位置ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第二十二條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ休止セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第二十三條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ受ケタル後ニ於テ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スヘシ

一　輸入又ハ移入ノ許可ヲ受ケントスル者ハ
二　輸入又ハ移入ノ目的
三　製作者ノ氏名又ハ名稱及用途
四　度量衡法ニ依ル檢定證印ノ有無
五　通關セントスル稅關名

前項ノ申請書ニ付テハ明治四十三年朝鮮總督府令第五號ヲ適用セス

第二十四條　委託販賣者ハ第二十二條ノ二　度量衡器若ハ計量器ヲ分解シテ輸入若ハ移入シタル場合又ハ同法ニ依ル檢定證印アル一ミリグラム以下ノ重量ヲ感ス天秤ヲ輸入若ハ移入シタル場合ニ於テハ更ニ政府ノ檢定ヲ受クヘシ

第二十五條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ委託販賣者ト稱スル）ニ對シ第三表ニ依ル保證金ノ納付ヲ命スヘシ

政府必要アリト認ムルトキハ保證金ノ增額ヲ命シ又ハ保證人ヲ立テシムルコトヲ得

第二十六條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ休止セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第二十七條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ委託證ヲ下付ス

第二十八條　委託販賣者ハ委託販賣所ノ位置ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第二十九條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ休止セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三十條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク其ノ事由及許可證ヲ具シ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十一條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク其ノ事由及許可證ヲ具シ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十二條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十三條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十四條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十五條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十六條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十七條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十八條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十九條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十一條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十二條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十三條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十四條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十五條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十六條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十七條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十八條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十九條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十一條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十二條　修覆者ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十三條　委託販賣者ハ桿秤ノ緒紐又ハ錘ノ修覆ノ業ヲ營マントスル者ハ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ其ノ業ヲ廢止シタルトキ亦同シ

第一項ノ業ヲ營ム者ハ秤架及十ミリグラム乃至二十キログラムノ分銅ヲ備附クヘシ

第三十二條　委託販賣者ハ政府ノ販賣シタル鉦、增錘及分銅ヲ販賣スル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ定ムル規定ニ依リ輸入又ハ移入ノ許可ヲ受ケントスル者ハ其ノ修覆料ノ一割以上ヲ手數料トシテ依賴者ニ請求スルコトヲ得

第三十三條　委託販賣者ハ桿秤ノ緒紐又ハ錘ノ修覆ノ業ヲ營マントスル者ハ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ其ノ業ヲ廢止シタルトキ亦同シ

第一項ノ業ヲ營ム者ハ秤架及十ミリグラム乃至二十キログラムノ分銅ヲ備附クヘシ

第三十四條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ委託販賣者ト稱スル）ニ對シ第三表ニ依ル保證金ノ納付ヲ命スヘシ

政府必要アリト認ムルトキハ保證金ノ增額ヲ命シ又ハ保證人ヲ立テシムルコトヲ得

第三十五條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ休止セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三十六條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十七條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ委託證ヲ下付ス

第三十八條　委託販賣者ハ委託販賣所ノ位置ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三十九條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ休止セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第四十條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十一條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十二條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十三條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十四條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十五條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十六條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十七條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十八條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十九條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十一條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十二條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十三條　委託販賣者ハ桿秤ノ緒紐又ハ錘ノ修覆ノ業ヲ營マントスル者ハ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ其ノ業ヲ廢止シタルトキ亦同シ

第一項ノ業ヲ營ム者ハ秤架及十ミリグラム乃至二十キログラムノ分銅ヲ備附クヘシ

第三十六條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ委託販賣者ト稱スル）ニ對シ第三表ニ依ル保證金ノ納付ヲ命スヘシ

政府必要アリト認ムルトキハ保證金ノ增額ヲ命シ又ハ保證人ヲ立テシムルコトヲ得

第三十七條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ休止セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三十八條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十九條　委託販賣者ハ委託販賣所ノ位置ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第四十條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ休止セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第四十一條　委託販賣者ハ委託販賣ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十二條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十三條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十四條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十五條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十六條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十七條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十八條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第四十九條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十一條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十二條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十三條　委託販賣者ハ委託販賣ノ指定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第五十四條　第一種取締ニ於テ朝鮮度量衡令第十二條各號ノ一ニ該當セサルモノハ之ヲ合格トシ様式第三號ニ依ル檢査濟印ヲ附ス

檢査濟印ハ度量衡器又ハ計量器ノ見易キ部分ニ之ヲ附ス

第五十五條　朝鮮度量衡令第十二條第四號ノ公差ハ第五表ノ公差ノ二分ノ三ト但シ自働桿秤及計臙器ニ在リテハ第五表ノ公差ノ二倍トス

第五十六條　朝鮮度量衡令第十二條第五號ノ構造ハ左ノ各號ノ一ニ該當セサルモノナルコトヲ要ス

第三十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ度量衡器又ハ計量器ノ檢定ヲ受クルコトヲ要ス但シ第二號ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘシ

一　桿秤ノ緒紐又ハ錘ハ絲ヲ修覆シタルトキ

二　水量メートルニシテ檢定ノ有效期間内ニ在ルモノヲ修覆シタルトキ

三　特殊ノ種類又ハ構造ノ度量衡器又ハ計量器ニシテ朝鮮總督ノ指定スルモノヲ檢入、移入又ハ修覆シタルトキ

四　取引又ハ證明以外ノ用ニ供スル度量衡器又ハ計量器ヲ輸入、移入又ハ修覆シタルトキ

前項第一號乃至第三號ノ場合ニ該當スル度量衡器及計量器ハ檢定ヲ受ケサルモノト雖之ヲ取引上又ハ證明上ニ於ケル度量衡ノ計量ニ使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持スルコトヲ得

第三十七條ノ二　前條第一項但書ノ規定ニ依リ可ヲ受ケシタル者ハ水量メートルノ種類、物質、箇數及認可ヲ受ケシタル事由ヲ記載シタル申請書ヲ差出スヘシ

朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ前項ノ申請ニ付水量メートルノ標本、修復材料其ノ他必要ナル物件又ハ書類ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

前條第一項但書ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケタル者認可ノ條件ニ違背シタルトキハ朝鮮總督ニ申請スルコトヲ得

第三十七條ノ三　第三十七條第一項第二號ノ修覆ノ範圍ハ左ノ各號ノ一ヲ除キタルモノトス

一　翼車式ニ在リテハ翼車、内匣、目盛盤及外函ノ取換又ハ内匣ノ流入孔ノ修覆

二　圓盤式ニ在リテハ圓盤、計量室、目盛盤及外函ノ取換

三　「ウオルトマン」式ニ在リテハ「スクルー」、「スクルー」管、目盛盤及外函ノ取換

第三十七條ノ四　第三十七條第一項第二號ノ場合ニ於テハ第三十五條第一號ノ標準ニ依リ檢査ヲ行ヒ且之カ成績ヲ記錄シ證リヘル前項ノ檢査ニ合格セサル水量メートルハ之ヲ取引上又ハ證明上ニ於ケル度量衡ノ計量ニ使用スルコトヲ得ス

第三十八條　證印又ハ檢査證印アル度量衡器又ハ計量器ニシテ檢定ニ合格セサルトキハ其ノ證印若ハ檢定證印ヲ除去シ又ハ消印ヲ附ス

第三十九條　度量衡器又ハ計量器ヲ所有又ハ所持スル者ハ何人ト雖其ノ檢定ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ申請者ヲシテ檢定ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第四十條　度量衡器又ハ計量器ニシテ土地又ハ建物等ニ取附ケラレタル場合其ノ他特殊ノ事由アル場合ニ於テ度量衡器又ハ計量器ノ所在地ニ於テ檢定ヲ受ケムトスル者ハ其ノ所在地、種類、箇數及其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スヘシ

第四十一條　證印又ハ檢定證印ヲ附スヘキ部分ハ左ノ如シ但シ之ニ依リ難キトキハ便宜ノ部分ニ之ヲ附ス

一　度量衡器

甲　目盛ノ各段ノ一端又ハ裏面（管狀麻製ノモノハ麻ノ部分）及分隔シ得ル構造ノモノニ在リテハ其ノ各部分ノ中央部

乙　量器及化學用量器

イ　桝及化學用量器

全量ヲ表記シタル場合ハ金屬製桝又ハ木製桝ニシテ注口ヲ附シタルモノニ在リテハ其ノ注口

ロ　斗概　切口

ハ　瓦斯メートル

ニ　桿秤

直點ノ俗又ハ桿ノ末端又ハ皿附ノモノニ在リテハ其ノ皿

ホ　自働秤

目盛盤又ハ其ノ線及桿カ外部ニ現レタルモノニ在リテハ其ノ桿

ヘ　分銅、錘及增錘

上面又ハ側面

二　計量器

甲　計臙器

「アルドン」管又ハ波狀板ヲ用ヒタルモノニ在リテハ其ノ上部又ハ側面ノ金屬片ノ部分、連通管ノモノニ在リテハ目盛面ノ上部

乙　浮秤

胴部又ハ目盛面ノ上部

丙　温度計

板附ノモノニ在リテハ目盛板及管ノ上部、板附以上ノモノニ在リテハ目盛面ノ上部

丁　生絲繊度檢定器

檢尺器ニ在リテハ絲枠ノ絲受ノ部分及回轉器ノ目盛盤檢位衝ニ在リテハ目盛面

戊　乳脂計

目盛面ノ上部

第四十二條　朝鮮度量衡令第九條ノ證印、檢定證印及消印ハ様式第一號ニ依ル

第四十三條　有效期限ヲ表示スル證印ハ瓦斯メートルニ在リテハ前條ノ證印ノ下ニ、水量メートルニ在リテハ其ノ裏面ノ様式第二號ニ依リ年月ノ數字ヲ附記スルモノトス

第四十四條　水銀温度計ニハ證印ヲ附シタル數字ヲ附記ス

第四十五條　衡器ノ檢定ノ場合ニ於テ證印又ハ檢定證印ヲ附シタル板狀分銅、錘、增錘ニハ更ニ檢定證印ヲ附セサルコトアルヘシ

第四十六條　木製桝ハ穀用桝ニ非サレハ之ヲ穀類ノ計量ニ、液用桝ニ非サレハ之ヲ液類ノ計量ニ使用スルコトヲ得ス

第四十七條　十リットル以上ノ穀類ヲ計量スル場合ニハ全量十リットル未滿ノ桝ヲ使用スルコトヲ得ス

第四十八條　桝ヲ以テ穀類ヲ計量スル場合ニ於テハ圓壔形斗概ヲ使用スルコトヲ要ス

第四十九條　水平ヲ定ムル裝置アル秤又ハ檢位衡ハ其ノ臺ヲ水平ト爲ス二非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第五十條　直點又ハ標點ヲ調整スル裝置アル秤又ハ檢位衡ハ直點又ハ標點ヲ調整シタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス但シ天秤ハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條　度量衡器又ハ計量器ノ取締ハ之ヲ分チテ第一種取締及第二種取締トス

第一種取締ハ製作又ハ修覆ノ場所ニ於テ使用ニ供スル爲所持スル度量衡器又ハ計量器ニ付檢査ヲ行フヲ謂ヒ第二種取締ハ其ノ他ノ取締ヲ謂フ

第五十二條　度量衡器若ハ計量器ノ取締又ハ度量衡ノ計量ノ取締ハ道知事之ヲ行フ

朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ官吏ヲシテ度量衡器若ハ計量器ノ取締又ハ度量衡ノ計量ノ取締ヲ執行セシムルコトアルヘシ

第五十三條　道知事第一種取締ヲ執行スル場合ハ兩域チ定ノ度量衡器又ハ計量器ノ使用者ニ對シ豫メ日時及場所ヲ指定シテ檢査ヲ受ケシメ度量衡器又ハ計量器ノ提出ヲ命スヘシ此ノ場合ニ於テハ豫メ區域又ハ場所ヲ告示スヘシ

前項ノ規定ハ度量衡器又ハ計量器ニシテ公務所ニ於テ使用スルモノ、土地若ハ建物ニ取附ケ使用スルモノ、運搬シ難キモノ又ハ道知事ノ特ニ指定スルモノニハ之ヲ適用セス

第五十四條　第一種取締ニ於テ朝鮮度量衡令第十二條各號ノ一ニ該當セサルモノハ之ヲ合格トシ様式第三號ニ依ル檢査濟印ヲ附ス

檢査濟印ハ度量衡器又ハ計量器ノ見易キ部分ニ之ヲ附ス

第五十五條　朝鮮度量衡令第十二條第四號ノ公差ハ第五表ノ公差ノ二分ノ三ト但シ自働桿秤及計臙器ニ在リテハ第五表ノ公差ノ二倍トス

第五十六條　朝鮮度量衡令第十二條第五號ノ構造ハ左ノ各號ノ一ニ該當セサルモノナルコトヲ要ス

一　度量衡器又ハ計量器ニシテ其ノ要部ヲ毀損、磨滅又ハ腐蝕シタルモノ

二　度量衡器又ハ計量器ニシテ證印、記號其ノ他表起ノ文字又ハ目盛ノ識別シ難キニ至リタルモノ

三　度量衡器ニシテ其ノ分離シ得ヘキ部分若ハ標點ヲ調整スル裝置ノ運動シ易キニ至リタルモノ又ハ其ノ用ヲ爲ササルモノ

四　固定シアリシ部分ヲ變更シタルモノ

五　度器ニシテ其ノ爲ノ角度ノ基ヲ生スルニ至リタルモノ又ハ副枝ノ緩形シタルモノ、其ノ目線ニ緊著シタル材料若ハ鎖帶ニ緩ミヲ生シタルモノ、其ノ目線ノ缺損シタルモノ又ハ全量ノ目盛ニ達セサルモノヲ除ク）又ハ金屬製枡ノ縁ノ歪レタルモノ

六　材料ヲ剝合セ又ハ縁合セテ作リタル度器及連接部ヲ分離シ得サル構造ノ疊尺ニシテ其ノ目盛アル部分ニ於ケル材料又ハ連接部分ノ離ヲ生シ且材料又ハ連接部分ノ離ヲ生シタルモノ

七　麻製巻尺ニシテ目盛アル部分ノ切斷シ易キニ至リタルモノ

八　度器ニシテ其ノ目盛アル部分ノ缺損シ又ハ甚シク割レタルモノ

九　曲リ尺又ハ挌ヲ度ルニ用フル直尺ニシテ其ノ角度ノ著シク差ヲ生スルニ至リタルモノ

十　枡ニシテ其ノ目線若ハ内面カ著シク磨滅シ若ハ又リヲ生シ又ハ内面ニ於ケル液類ノ計量ニ使用スル枡ニシテ漏水スルニ至リタルモノ又ハ材料ヲ二重トシタル金屬製枡ニシテ其ノ内面漏水スルニ至リタルモノ

十一　斗概ニシテ反リ又ハ著シク凹凸ヲ生シタルモノ

十二　磨滅シ若ハ反リヲ生シ又ハ内面ニ於ケル液類ノ計量ニ使用スル枡ニシテ漏水スルニ至リタルモノ又ハ材料ヲ二重トシタル金屬製枡ニシテ其ノ内面漏水スルニ至リタルモノ

十三　斗概ニシテ反リ又ハ著シク凹凸ヲ生シタルモノ

十四　化學用量器ニシテ重要ナル缺損アルモノ

十五　秤又ハ檢位衡ニシテ桿ヲ桂掲シタルモノ

第十六條　秤又ハ檢位衡ニシテ其ノ刃、刃受（承）、支軸、刃鞘若ハ桿ニ於ケル金具カ著脫シ又ハ刃若ハ桿ニ於ケル金具カ移動シ易キニ至リタルモノ

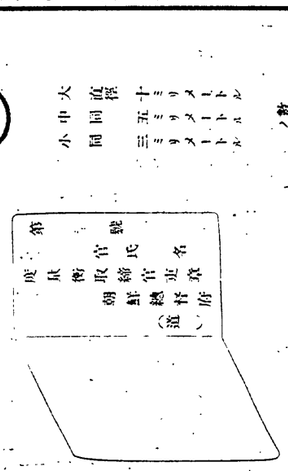
十七　秤又ハ檢位衡ニシテ調子玉又ハ直點若ハ標點ヲ調整スル裝置ノ運動シ易キニ至リタルモノ又ハ其ノ用ヲ爲ササルモノ

十八　調子玉又ハ直點若ハ標點ヲ調整スル裝置ヲ有スル秤ニシテ其ノ喪盛ケノ歩合又ハ鍾ヲ直點ニ懸ケタル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依リ指定シタル秤量ノ公差ノ二分ノ一以内ニ在リテハ掛量ノ公差ノ二分ノ一以内、其ノ他ノモノニ在リテハ掛

様式第三號

検査済印

様式第四號



第二表　酒精ト水トノ混合液（攝氏十五度ニ於ケル酒精百分度ノ百分率ニ依ル）

百分率	度	百分率	度
〇	〇・九九一	五〇	〇・九三一
一	〇・九九七六	五一	〇・九三〇八
二	〇・九九六二	五二	〇・九二八五
三	〇・九九四七	五三	〇・九二六二
四	〇・九九三三	五四	〇・九二三八
五	〇・九九一九	五五	〇・九二一五
六	〇・九八〇六	五六	〇・九一九二
七	〇・九八九二	五七	〇・九一六八
八	〇・九八七八	五八	〇・九一四五
九	〇・九八六四	五九	〇・九一二一
一〇	〇・九八五一	六〇	〇・九〇九八
一一	〇・九八三七	六一	〇・九〇七四
一二	〇・九八二三	六二	〇・九〇五一
一三	〇・九八〇九	六三	〇・九〇二七
一四	〇・九七九六	六四	〇・九〇〇三
一五	〇・九七八二	六五	〇・八九七九
一六	〇・九七六八	六六	〇・八九五五
一七	〇・九七五四	六七	〇・八九三一
一八	〇・九七四〇	六八	〇・八九〇七
一九	〇・九七二六	六九	〇・八八八三
二〇	〇・九七一二	七〇	〇・八八五九
二一	〇・九六九八	七一	〇・八八三五
二二	〇・九六八四	七二	〇・八八一一
二三	〇・九六七〇	七三	〇・八七八七
二四	〇・九六五六	七四	〇・八七六三
二五	〇・九六四二	七五	〇・八七三九
二六	〇・九六二八	七六	〇・八七一五
二七	〇・九六一四	七七	〇・八六九一
二八	〇・九六〇〇	七八	〇・八六六七
二九	〇・九五八六	七九	〇・八六四三
三〇	〇・九五七二	八〇	〇・八六一九
三一	〇・九五五八	八一	〇・八五九五
三二	〇・九五四四	八二	〇・八五七一
三三	〇・九五三〇	八三	〇・八五四七
三四	〇・九五一六	八四	〇・八五二三
三五	〇・九五〇二	八五	〇・八四九九
三六	〇・九四八八	八六	〇・八四七五
三七	〇・九四七四	八七	〇・八四五一
三八	〇・九四六〇	八八	〇・八四二七
三九	〇・九四四六	八九	〇・八四〇三
四〇	〇・九四三二	九〇	〇・八三七九
四一	〇・九四一八	九一	〇・八三五五
四二	〇・九四〇四	九二	〇・八三三一
四三	〇・九三九〇	九三	〇・八三〇七
四四	〇・九三七六	九四	〇・八二八三
四五	〇・九三六二	九五	〇・八二五九
四六	〇・九三四八	九六	〇・八二三五
四七	〇・九三三四	九七	〇・八二一一
四八	〇・九三二〇	九八	〇・八一八七
四九	〇・九三〇六	九九	〇・八一六三
五〇	〇・九二九二	一〇〇	〇・八一三九

第二表　純酒精ノ水溶液（攝氏十五度ニ於ケル酒精百分率ノ百分度ニ依ル）

百分率	度	百分率	度
〇	一・〇〇〇〇	五〇	〇・九三一
一	一・〇〇二六	五一	〇・九二八五
二	一・〇〇五一	五二	〇・九二六〇
三	一・〇〇七七	五三	〇・九二三五
四	一・〇一〇二	五四	〇・九二一〇
五	一・〇一二八	五五	〇・九一八五
六	一・〇一五三	五六	〇・九一六〇
七	一・〇一七八	五七	〇・九一三五
八	一・〇二〇四	五八	〇・九一一〇
九	一・〇二二九	五九	〇・九〇八五
一〇	一・〇二五四	六〇	〇・九〇六〇
一一	一・〇二八〇	六一	〇・九〇三五
一二	一・〇三〇五	六二	〇・九〇一〇
一三	一・〇三三〇	六三	〇・八九八五
一四	一・〇三五六	六四	〇・八九六〇
一五	一・〇三八一	六五	〇・八九三五
一六	一・〇四〇六	六六	〇・八九一〇
一七	一・〇四三二	六七	〇・八八八五
一八	一・〇四五七	六八	〇・八八六〇
一九	一・〇四八二	六九	〇・八八三五
二〇	一・〇五〇八	七〇	〇・八八一〇
二一	一・〇五三三	七一	〇・八七八五
二二	一・〇五五八	七二	〇・八七六〇
二三	一・〇五八四	七三	〇・八七三五
二四	一・〇六〇九	七四	〇・八七一〇
二五	一・〇六三四	七五	〇・八六八五
二六	一・〇六六〇	七六	〇・八六六〇
二七	一・〇六八五	七七	〇・八六三五
二八	一・〇七一〇	七八	〇・八六一〇
二九	一・〇七三六	七九	〇・八五八五
三〇	一・〇七六一	八〇	〇・八五六〇
三一	一・〇七八六	八一	〇・八五三五
三二	一・〇八一二	八二	〇・八五一〇
三三	一・〇八三七	八三	〇・八四八五
三四	一・〇八六二	八四	〇・八四六〇
三五	一・〇八八八	八五	〇・八四三五
三六	一・〇九一三	八六	〇・八四一〇
三七	一・〇九三八	八七	〇・八三八五
三八	一・〇九六四	八八	〇・八三六〇
三九	一・〇九八九	八九	〇・八三三五
四〇	一・一〇一四	九〇	〇・八三一〇
四一	一・一〇四〇	九一	〇・八二八五
四二	一・一〇六五	九二	〇・八二六〇
四三	一・一〇九〇	九三	〇・八二三五
四四	一・一一一六	九四	〇・八二一〇
四五	一・一一四一	九五	〇・八一八五
四六	一・一一六六	九六	〇・八一六〇
四七	一・一一九二	九七	〇・八一三五
四八	一・一二一七	九八	〇・八一一〇
四九	一・一二四二	九九	〇・八〇八五
五〇	一・一二六八	一〇〇	〇・八〇六〇

第二表　純酒精ノ水溶液（攝氏十五度ニ於ケル酒精百分率ノ百分度ニ依ル）

百分率	度	百分率	度
〇	一・〇〇〇〇	五〇	〇・九三一
一	一・〇〇二六	五一	〇・九二八五
二	一・〇〇五一	五二	〇・九二六〇
三	一・〇〇七七	五三	〇・九二三五
四	一・〇一〇二	五四	〇・九二一〇
五	一・〇一二八	五五	〇・九一八五
六	一・〇一五三	五六	〇・九一六〇
七	一・〇一七八	五七	〇・九一三五
八	一・〇二〇四	五八	〇・九一一〇
九	一・〇二二九	五九	〇・九〇八五
一〇	一・〇二五四	六〇	〇・九〇六〇
一一	一・〇二八〇	六一	〇・九〇三五
一二	一・〇三〇五	六二	〇・九〇一〇
一三	一・〇三三〇	六三	〇・八九八五
一四	一・〇三五六	六四	〇・八九六〇
一五	一・〇三八一	六五	〇・八九三五
一六	一・〇四〇六	六六	〇・八九一〇
一七	一・〇四三二	六七	〇・八八八五
一八	一・〇四五七	六八	〇・八八六〇
一九	一・〇四八二	六九	〇・八八三五
二〇	一・〇五〇八	七〇	〇・八八一〇
二一	一・〇五三三	七一	〇・八七八五
二二	一・〇五五八	七二	〇・八七六〇
二三	一・〇五八四	七三	〇・八七三五
二四	一・〇六〇九	七四	〇・八七一〇
二五	一・〇六三四	七五	〇・八六八五
二六	一・〇六六〇	七六	〇・八六六〇
二七	一・〇六八五	七七	〇・八六三五
二八	一・〇七一〇	七八	〇・八六一〇
二九	一・〇七三六	七九	〇・八五八五
三〇	一・〇七六一	八〇	〇・八五六〇
三一	一・〇七八六	八一	〇・八五三五
三二	一・〇八一二	八二	〇・八五一〇
三三	一・〇八三七	八三	〇・八四八五
三四	一・〇八六二	八四	〇・八四六〇
三五	一・〇八八八	八五	〇・八四三五
三六	一・〇九一三	八六	〇・八四一〇
三七	一・〇九三八	八七	〇・八三八五
三八	一・〇九六四	八八	〇・八三六〇
三九	一・〇九八九	八九	〇・八三三五
四〇	一・一〇一四	九〇	〇・八三一〇
四一	一・一〇四〇	九一	〇・八二八五
四二	一・一〇六五	九二	〇・八二六〇
四三	一・一〇九〇	九三	〇・八二三五
四四	一・一一一六	九四	〇・八二一〇
四五	一・一一四一	九五	〇・八一八五
四六	一・一一六六	九六	〇・八一六〇
四七	一・一一九二	九七	〇・八一三五
四八	一・一二一七	九八	〇・八一一〇
四九	一・一二四二	九九	〇・八〇八五
五〇	一・一二六八	一〇〇	〇・八〇六〇

第二表　純酒精ノ水溶液（攝氏十五度ニ於ケル酒精百分率ノ百分度ニ依ル）

百分率	度	百分率	度
〇	一・〇〇〇〇	五〇	〇・九三一
一	一・〇〇二六	五一	〇・九二八五
二	一・〇〇五一	五二	〇・九二六〇
三	一・〇〇七七	五三	〇・九二三五
四	一・〇一〇二	五四	〇・九二一〇
五	一・〇一二八	五五	〇・九一八五
六	一・〇一五三	五六	〇・九一六〇
七	一・〇一七八	五七	〇・九一三五
八	一・〇二〇四	五八	〇・九一一〇
九	一・〇二二九	五九	〇・九〇八五
一〇	一・〇二五四	六〇	〇・九〇六〇
一一	一・〇二八〇	六一	〇・九〇三五
一二	一・〇三〇五	六二	〇・九〇一〇
一三	一・〇三三〇	六三	〇・八九八五
一四	一・〇三五六	六四	〇・八九六〇
一五	一・〇三八一	六五	〇・八九三五
一六	一・〇四〇六	六六	〇・八九一〇
一七	一・〇四三二	六七	〇・八八八五
一八	一・〇四五七	六八	〇・八八六〇
一九	一・〇四八二	六九	〇・八八三五
二〇	一・〇五〇八	七〇	〇・八八一〇
二一	一・〇五三三	七一	〇・八七八五
二二	一・〇五五八	七二	〇・八七六〇
二三	一・〇五八四	七三	〇・八七三五
二四	一・〇六〇九	七四	〇・八七一〇
二五	一・〇六三四	七五	〇・八六八五
二六	一・〇六六〇	七六	〇・八六六〇
二七	一・〇六八五	七七	〇・八六三五
二八	一・〇七一〇	七八	〇・八六一〇
二九	一・〇七三六	七九	〇・八五八五
三〇	一・〇七六一	八〇	〇・八五六〇
三一	一・〇七八六	八一	〇・八五三五
三二	一・〇八一二	八二	〇・八五一〇
三三	一・〇八三七	八三	〇・八四八五
三四	一・〇八六二	八四	〇・八四六〇
三五	一・〇八八八	八五	〇・八四三五
三六	一・〇九一三	八六	〇・八四一〇
三七	一・〇九三八	八七	〇・八三八五
三八	一・〇九六四	八八	〇・八三六〇
三九	一・〇九八九	八九	〇・八三三五
四〇	一・一〇一四	九〇	〇・八三一〇
四一	一・一〇四〇	九一	〇・八二八五
四二	一・一〇六五	九二	〇・八二六〇
四三	一・一〇九〇	九三	〇・八二三五
四四	一・一一一六	九四	〇・八二一〇
四五	一・一一四一	九五	〇・八一八五
四六	一・一一六六	九六	〇・八一六〇
四七	一・一一九二	九七	〇・八一三五
四八	一・一二一七	九八	〇・八一一〇
四九	一・一二四二	九九	〇・八〇八五
五〇	一・一二六八	一〇〇	〇・八〇六〇

第三表

一年販賣高	保證金額	一年販賣高	保證金額
三百圓以下ノモノ	一〇圓	五千圓以下ノモノ	一、五九〇圓
五百圓以下ノモノ	一七〇	六千圓以下ノモノ	一、八五〇
千圓以下ノモノ	三三〇	七千圓以下ノモノ	二、一〇〇
二千圓以下ノモノ	六七〇	八千圓以下ノモノ	二、三四〇
三千圓以下ノモノ	一、〇〇〇	九千圓以下ノモノ	二、五五〇
四千圓以下ノモノ	一、三三〇	一萬圓以下ノモノ	二、七五〇

第十六條　度量衡取締規則　第十條ノ注意

一年販賣高	保證金額
一萬圓以下ノモノ	二、九四〇圓
一萬二千圓以下ノモノ	三、一三〇
一萬四千圓以下ノモノ	三、三二〇
一萬六千圓以下ノモノ	三、五一〇
一萬八千圓以下ノモノ	三、七〇〇
二萬圓以下ノモノ	三、八九〇
二萬二千圓以下ノモノ	四、〇八〇
二萬四千圓以下ノモノ	四、二七〇
二萬六千圓以下ノモノ	四、四六〇
二萬八千圓以下ノモノ	四、六五〇
三萬圓以下ノモノ	四、八四〇

第四表　度量衡器

種類	全長ノ公差	度器ノ公差
尺度超一尺五寸ノ尺	全長ノ公差	度器ノ公差
尺度一尺五寸以下一尺一寸ノ尺	全長ノ公差	度器ノ公差
尺度一尺一寸以下八寸ノ尺	全長ノ公差	度器ノ公差
尺度八寸以下ノ尺	全長ノ公差	度器ノ公差
曲尺	全長ノ公差	度器ノ公差
曲尺ノ尺盛	全長ノ公差	度器ノ公差
巻尺	全長ノ公差	度器ノ公差
鎖	全長ノ公差	度器ノ公差
縄尺	全長ノ公差	度器ノ公差

第五表　度量衡器及計量器ノ公差

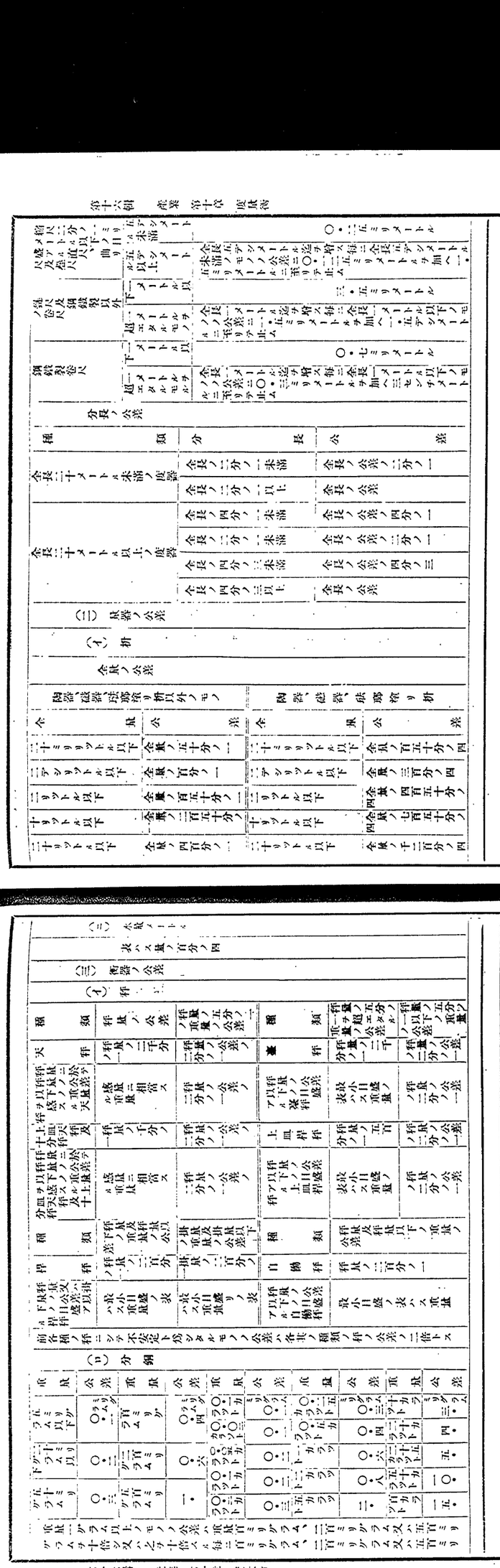
種類	全長ノ公差	度器ノ公差
尺度超一尺五寸ノ尺及一尺五寸以下一尺一寸ノ尺	全長ノ公差	度器ノ公差
尺度一尺一寸以下八寸ノ尺及八寸以下ノ尺	全長ノ公差	度器ノ公差
曲尺	全長ノ公差	度器ノ公差
曲尺ノ尺盛	全長ノ公差	度器ノ公差
巻尺	全長ノ公差	度器ノ公差
鎖	全長ノ公差	度器ノ公差
縄尺	全長ノ公差	度器ノ公差

備考

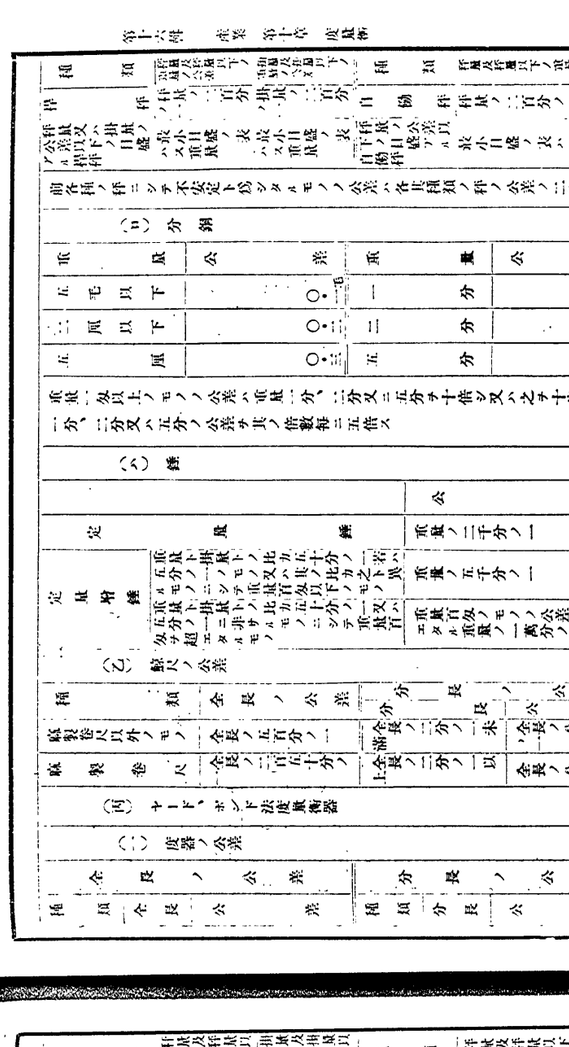
一　第一年ノ販賣高ハ姿託販賣指定ノ場合ニ於テハ一萬圓ヲ超ユル毎ニ保證金二千四百圓ヲ加フ

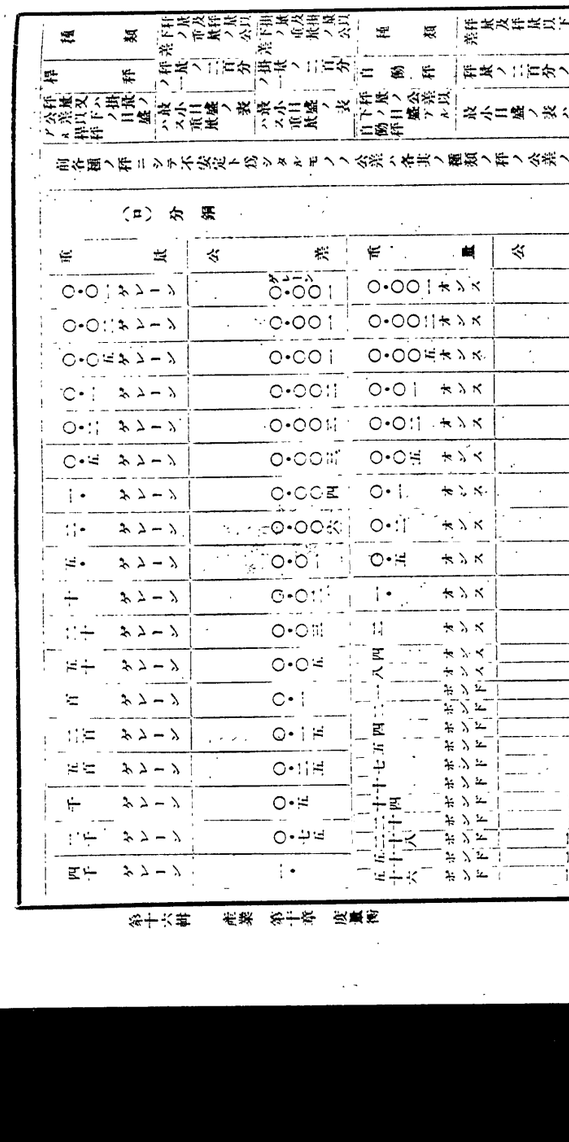
二　第二十條ニ規定スル販賣報告ノ期日ニ遅延シ又ハ報告ヲ怠リタル者ニ對シテハ保證金ノ全額ヲ沒收ス

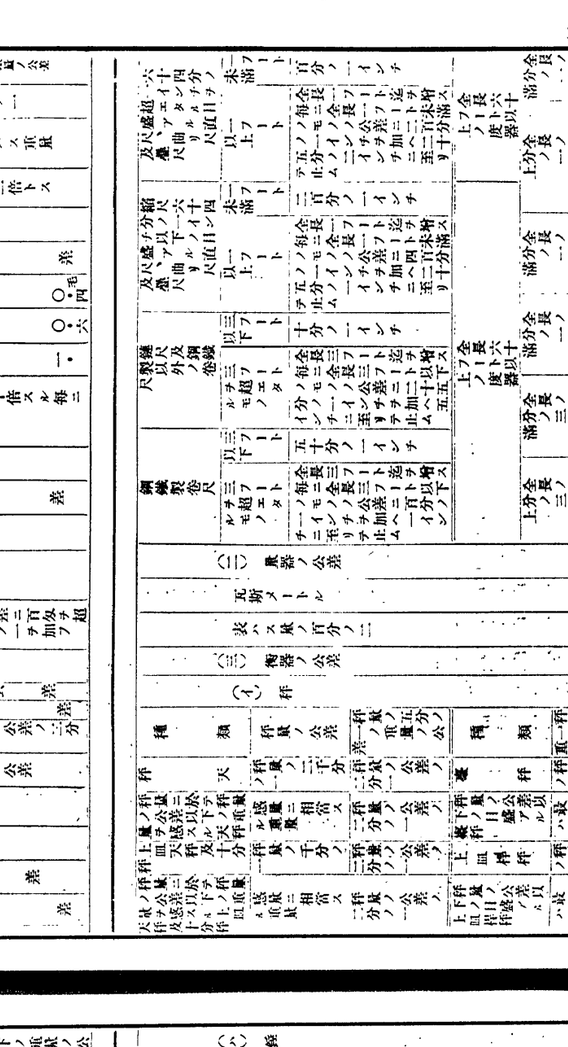
三　第二十條ニ規定スル販賣報告ノ期日ニ遅延シ又ハ報告ヲ怠リタル者ニ對シテハ保證金ノ全額ヲ沒收ス

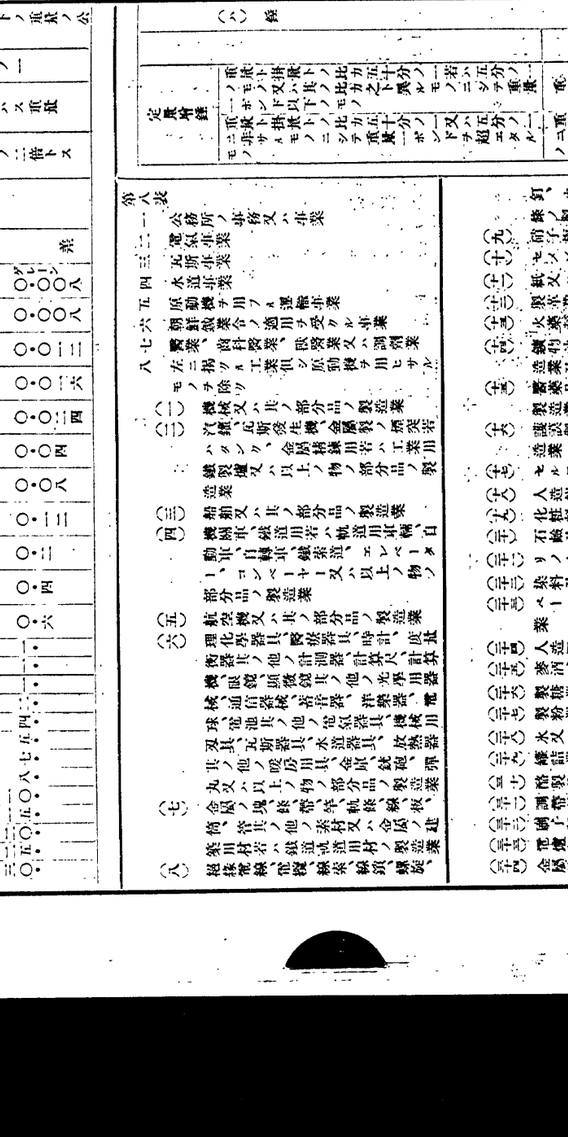


| 全長六十尺未滿ノ度器 | | |









●度量衡器及計量器構造規則

大正十五年五月
總令第四十三號
（改正　昭和五年二月第九三號）

度量衡器及計量器構造規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮度量衡令施行規則第三十五條第一號ノ度量衡器又ハ計量器ノ構造ハ本令ニ依ル

第二條　度器又ハ桝ノ目盛ハ度又ハ量ノ名稱ノ一倍、二倍、五倍又ハ其ノ倍數ノ二分ノ一、十分ノ一、百分ノ一若ハ千分ノ一ト爲スヘシ但シ縮尺ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

秤ノ目盛ハ衡ノ名稱ノ一倍、二倍、五倍又ハ其ノ倍數ノ十分ノ一、十倍若ハ百倍ト爲スヘシ但シ本令施行前ニ製作シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三條　度量衡器又ハ計量器ニハ損傷ナク且損傷及伸縮シ難キ材料ヲ用フヘシ

第四條　度量衡器又ハ計量器ニ爲ス目盛及表記ハ容易ニ消滅セサル方法ニ依リ明瞭ニ之ヲ附スヘシ

第五條　度量衡器又ハ計量器ノ檢定證印ヲ附スヘキ部分ハ附印ニ妨ナキ構造ト爲シ若シ其ノ部分カ附印シ難キ物質ナルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ部分ニ容易ニ損壞セサル方法ニ依リ金屬片ヲ緊著スヘシ

第六條　修正シタル度量衡器又ハ計量器ハ朝鮮度量衡令施行規則第二十九條第二項ノ規定ニ依リ屆出テタル記號又ハ同條第三項ノ規定ニ依ル命令ニ依リ變更シタル記號ヲ表記スヘシ但シ板狀分銅、錘及桿錘ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七條　度量衡器ノ構造ハ第二條乃至前條ノ外左ノ各號ニ依ルヘシ

度器

一　度器ノ材料ハ曲リ尺ニ在リテハ彈性アル玻璃、象牙、骨、セルロイド、又ハ彈性アル竹、木若ハ金屬、卷尺ニ在リテハ鋼鐵、樞又ハ竹、鏈尺ニ在リテハ鋼鐵ヲ用フヘシ

二　木製又ハ竹製ノ度器ノ厚サハ其ノ最モ厚キ部分ニ於テ疊尺、卷尺及縮尺ニ在リテハ一・五ミリメートル以上、其ノ他ノモノニ在リテハ六ミリメートル以上、全長五デシメートル以上ノモノハ二ミリメートル以上、全長一メートル以上ノモノハ三ミリメートル以上ト爲スヘシ

三　裡ヲ度ニ用フル直尺ノ木枝、副枝、曲リ尺及直角形ノ縮尺ノ角度ハ之ヲ直角形ト爲スヘシ

四　麻製卷尺ハ其ノ全長五メートルヲ超エタルモノニ在リテハ五メートルニ付二キログラムノ重量ヲ以テ張力ヲ加フルモ十ミリメートル以上ノ伸張ヲ生セサル構造ト爲スヘシ

五　分離シ得サル構造ノ疊尺又ハ連接直形ノ縮尺ノ連接部ハ容易ニ緩ミ難キ構造ト爲スヘシ

六　鏈尺及繰狀ノ卷尺ノ目盛又ハ目盛ノ標識ハ離脫セサル方法ニ依リ金屬片ヲ附著シテ之ヲ爲スヘシ

七　縮尺ニハ其ノ目盛ノ表示スル值ヲ其ノ目盛ニ、縮尺以外ノ度器ニハ其ノ全長ヲ其ノ目盛ノ各段ノ目盛ノ表示スル值ヲ同シ各段ノ目盛ノ一端ニ表記スヘシ但シ各段ノ目盛ノ表示スル值カ同一ナルトキ又ハ其ノ全長カ同一ナルトキハ其ノ中央部一箇所ニ表記スルコトヲ得

八　分離シ得ヘキ構造ノ度器ニハ番號ヲ附スヘシ其ノ目盛ノ各段ノ番號ノ各部分同一ナルコトヲ要ス

量器

桝及斗概

一　桝ノ材料ニハ金屬、陶器、磁器、玻璃、檜、樫、紅松、羅洋松又ハ鏡子松ヲ用フヘシ但シ木製液用桝ニシテ漆捨ニ非サルモノニ在リテハ檜ノ柾目板ノ外之ヲ用フルコトヲ得ス

斗概ノ材料ニハ櫻又ハ桺ノ如キ堅キ木材ヲ用フヘシ

二　木製液用桝ノ材料ハ滲類ノ浸透シ難キモノヲ用フヘシ

三　玻璃製桝ノ材料ニハ溫度ノ變化ニ依リ容易ニ破損シ難キモノヲ用フヘシ但シ材料ノ觀定シ得ルモノヲ用フヘシ

四　木製桝ノ材料ノ厚サハ全量五リットル以上ノモノニ在リテハ十五ミリメートル以上、全量二リットル又ハ一リットルノモノニ在リテハ七ミリメートル以上、全量五デシリットル以下ノモノニ在リテハ五ミリメートル以上ト爲スヘシ

五　木製桝ノ木材ハ同種ノモノヲ用フヘシ

六　木製桝ノ底ハ厚サ一ミリメートル以上ノ金屬製桝ノ厚サハ一リットル以上ノ金屬製桝ノ厚サハ一ミリメートル以上ト爲スヘシ但シ材料ヲ二重ト爲ス場合ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

七　桝ノ形狀ハ圓壔形ト爲スヘシ但シ陶器、磁器又ハ玻璃製ノモノハ圓錐形ト爲スコトヲ得

八　桝ノ目盛ハ度又ハ量ノ名稱ノ一倍、二倍、五倍又ハ其ノ倍數ノ二分ノ一、十分ノ一、百分ノ一若ハ千分ノ一ト爲スヘシ但シ縮尺ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

度器ノ材料ハ曲リ尺ニ在リテハ彈性アル竹、木若ハ金屬、卷尺ニ在リテハ鋼鐵、樞又ハ竹、鏈尺ニ在リテハ鋼鐵ヲ用フヘシ

二　木製又ハ竹製ノ度器ノ厚サハ其ノ最モ厚キ部分ニ於テ疊尺、卷尺及縮尺ニ在リテハ一・五ミリメートル以上、其ノ他ノモノニ在リテハ六ミリメートル以上、全長一メートル以上ノモノハ三ミリメートル以上ト爲スヘシ

三　裡ヲ度ニ用フル直尺ノ木枝、副枝、曲リ尺及直角形ノ縮尺ノ角度ハ之ヲ直角形ト爲スヘシ

四　麻製卷尺ハ其ノ全長五メートルヲ超エタルモノニ在リテハ五メートルニ付二キログラムノ重量ヲ以テ張力ヲ加フルモ十ミリメートル以上ノ伸張ヲ生セサル構造ト爲スヘシ

五　分離シ得サル構造ノ疊尺又ハ連接直形ノ縮尺ノ連接部ハ容易ニ緩ミ難キ構造ト爲スヘシ

六　鏈尺及繰狀ノ卷尺ノ目盛又ハ目盛ノ標識ハ離脫セサル方法ニ依リ金屬片ヲ附著シテ之ヲ爲スヘシ

七　縮尺ニハ其ノ目盛ノ表示スル值ヲ其ノ目盛ニ、縮尺以外ノ度器ニハ其ノ全長ヲ其ノ目盛ノ各段ノ目盛ノ一端ニ表記スヘシ但シ各段ノ目盛ノ表示スル值カ同一ナルトキ又ハ其ノ全長カ同一ナルトキハ其ノ中央部一箇所ニ表記スルコトヲ得

八　分離シ得ヘキ構造ノ度器ニハ番號ヲ附スヘシ其ノ目盛ノ各段ノ番號ノ各部分同一ナルコトヲ要ス

量器

桝及斗概

一　桝ノ材料ニハ金屬、陶器、磁器、玻璃、檜、樫、紅松、羅洋松又ハ鏡子松ヲ用フヘシ但シ木製液用桝ニシテ漆捨ニ非サルモノニ在リテハ檜ノ柾目板ノ外之ヲ用フルコトヲ得ス

斗概ノ材料ニハ櫻又ハ桺ノ如キ堅キ木材ヲ用フヘシ

二　木製液用桝ノ材料ハ滲類ノ浸透シ難キモノヲ用フヘシ

三　玻璃製桝ノ材料ニハ溫度ノ變化ニ依リ容易ニ破損シ難キモノヲ用フヘシ但シ材料ノ觀定シ得ルモノヲ用フヘシ

四　木製桝ノ材料ハ滲類ノ浸透シ難キモノヲ用フヘシ但シ木製液用桝ニシテ漆捨ニ非サルモノニ在リテハ檜ノ柾目板ノ外之ヲ用フルコトヲ得ス

斗概ノ材料ニハ櫻又ハ桺ノ如キ堅キ木材ヲ用フヘシ

五　木製桝ノ木材ハ同種ノモノヲ用フヘシ

六　木製桝ノ底ハ厚サ一ミリメートル以上ノ金屬製桝ノ厚サハ一リットル以上ノ金屬製桝ノ厚サハ一ミリメートル以上ト爲スヘシ但シ材料ヲ二重ト爲ス場合ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

七　桝ノ形狀ハ圓壔形ト爲スヘシ但シ陶器、磁器又ハ玻璃製ノモノハ圓錐形ト爲スコトヲ得

八　桝ノ目盛ハ度又ハ量ノ名稱ノ一倍、二倍、五倍又ハ其ノ倍數ノ二分ノ一、十分ノ一、百分ノ一若ハ千分ノ一ト爲スヘシ但シ縮尺ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

秤ノ目盛ハ衡ノ名稱ノ一倍、二倍、五倍又ハ其ノ倍數ノ十分ノ一、十倍若ハ百倍ト爲スヘシ但シ本令施行前ニ製作シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三條　度量衡器又ハ計量器ニハ損傷ナク且損傷及伸縮シ難キ材料ヲ用フヘシ

第四條　度量衡器又ハ計量器ニ爲ス目盛及表記ハ容易ニ消滅セサル方法ニ依リ明瞭ニ之ヲ附スヘシ

第五條　度量衡器又ハ計量器ノ檢定證印ヲ附スヘキ部分ハ附印ニ妨ナキ構造ト爲シ若シ其ノ部分カ附印シ難キ物質ナルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ部分ニ容易ニ損壞セサル方法ニ依リ金屬片ヲ緊著スヘシ

第六條　修正シタル度量衡器又ハ計量器ニハ朝鮮度量衡令施行規則第二十九條第二項ノ規定ニ依リ屆出テタル記號又ハ同條第三項ノ規定ニ依ル命令ニ依リ變更シタル記號ヲ表記スヘシ但シ板狀分銅、錘及桿錘ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七條　度量衡器ノ構造ハ第二條乃至前條ノ外左ノ各號ニ依ルヘシ

度器

一　度器ノ材料ハ曲リ尺ニ在リテハ彈性アル玻璃、象牙、骨、セルロイド、又

リメートル以上ノ場所ニ、排出管ニ於ケル目盛ハ其ノ管ノ兩端ヨリ三十三ミリメートル以上ノ場所ニ之ヲ附スヘシ

十五　全量及全量以外ノ目盛アル「ピペツト」及「ピューレット」ノ最高ノ目盛ハ管ノ上端ヨリ五十ミリメートル以上、最低ノ目盛ハ「ピペツト」ニ在リテハ其ノ尖端ヨリ、「ピューレット」ニ在リテハ其ノ排栓ノ連接部ヨリ各三十ミリメートル以上ノ場所ニ之ヲ附スヘシ

十七　「メスシリンドル」ノ容ハ其ノ全量ヲ表示スル目盛ノ位置ニ於テ其ノ深サノ四分ノ一以下ノモノト爲スヘシ

十八　化學用量器ニハ外側ニ其ノ全量ヲ表記スヘシ

十九　「メスシリンドル」ニハ measy linder ノ文字ヲ表起スヘシ

瓦斯メートル

一　瓦斯メートルハ乾式又ハ濕式ト爲スヘシ

二　瓦斯メートルノ外函ハ金屬製ト爲シ其ノ外部ヨリ容易ニ内部ノ機械又ハ其ノ作用ヲ變更シ得サルモノト爲スヘシ

三　瓦斯メートルニ一定ノ壓力ノ瓦斯ヲ通過セシメ其ノ排出スル瓦斯ニ點火シタル場合ニ其ノ火焔ニ煽リヲ生セサルモノト爲スヘシ

四　瓦斯メートルニハ左ノ事項ヲ表記スヘシ

イ　入口又ハ出口ヲ表示スル標識又ハ符號及番號

ロ　計量器ノ容量ト使用ノ時間ニ依ル瓦斯ノ計量ニ使用スルモノニハ其ノ旨表示

五　瓦斯メートルニハ其ノ大サノ種別ヲ表示スル爲慣行ニ依リ燈数又ハ一時間ノ瓦斯ノ通過量ヲ表記スルコトヲ得

六　乾式瓦斯メートルハ前各號ノ外左ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

イ　計量鐘ノ伸縮ヲ爲ス部分ニハ揮發シ難キ油ヲ滲布シタル柔軟ナル革ニシテ容易ニ漏洩若ハ硬化セサルモノ又ハ之ト同等以上ノ耐力ヲ保チ得ヘキ材料ヲ用フヘシ

ロ　「フラツグロッド」ト「フラツグ」又ハ「リンク」ト取附ケ部分ハ嵌メ込ミト爲シ且鑞及鍍ヲ以テ緊著シテ離脫シ難キ構造又ハ之ト同等以上ノ耐力ヲ保チ得ヘキ構造ト爲スヘシ

七　濕式瓦斯メートルハ前各號（第六號ヲ除ク）ノ外左ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

イ　水面調整裝置ヲ附スヘシ

ロ　据附方ニ依リ計量ニ差ヲ生スルモノニハ水平ヲ定ムル裝置ヲ附スヘシ

八　前金瓦斯メートルハ前各號ニ依ルノ外之ニ投入スル貨幣ノ種類ト通過瓦斯量トヲ表記シ且其ノ表記ニ相當スル瓦斯量ヲ通過スル構造ノモノト爲スヘシ

一　水量メートルハ一平方センチメートルニ付十七キログラム五ノ水壓ニ耐フルモノト爲スヘシ

二　左ノ種類ノ水量メートルハ各少クトモ左ノ流速ニ於テ其ノ器差檢定公差ヲ超エサルモノト爲スヘシ

三　水量メートルノ外函ノ接續部分ハ容易ニ分離シ得サルモノト爲スヘシ但シ濕式以外ノ水量メートルノ表示盤ノ蓋ノ部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

四　圓盤式ノ水量メートルニ在リテハ其ノ入口ニ廔除ヲ附スヘシ

五　口徑二十五ミリメートルヲ超ユル水量メートルニ副管ヲ設ケ之ニ口徑小ナル水量メートルヲ附シタル場合ニ於テハ本管ニハ自働瓣ヲ附スヘシ

六　水量メートルニハ左ノ事項ヲ表記スヘシ

イ　入口又ハ出口ヲ表示スル標識又ハ符號

ロ　番號

ハ　口徑

衡器

一　秤ハ安定ノモノト爲スヘシ但シ皿天秤若ハ臺秤ニシテ秤量五十キログラム以上ノモノ又ハ自働秤ニ在リテハ不安定ノモノト爲スコトヲ得

二　秤ノ桿及之ニ附屬スル槓杆ニハ强硬ナル金屬ヲ用フヘシ但シ桿秤ニ在リテハ慳又ハ件ヲ用フルコトヲ得

三　秤ノ刃、刃受、承軸、關節及刃釜ハ之ニ負フ重量ノ大小及秤ノ秤量ノ大小ニ應シテ適當ナル硬度ヲ有スル鋼鐵又ハ石ヲ、其ノ他秤カ作用ヲ爲ストキ摩擦ヲ生スル恐要部分ニハ硬キ金屬ヲ用フヘシ

四　緒紐ノ材料ニハ金屬、革又ハ强靱ナル相絲、麻若ハ綿絲ヲ用フヘシ

五　「アルミニユーム」、「マンガル」白銅、眞鍮、青銅、銅、鐵又ハ玻璃ヲ用フヘシ但シ重量二百グラム未滿ノモノニハ鐵ヲ用フルコトヲ得

六　秤ニ在リテハ掛量ノ公差ノ二分ノ一以内ノ重量ヲ加減シテ其ノ眼ミカー致シ若ハ桿カ水平ト爲リ又ハ其ノ指針カ直點若ハ標點ヲ指スモ妨ナシ

十六　調子玉アル秤ノ支點ハ之ヲ一箇ト爲スヘシ

十七　天秤、秤量ノ千分ノ一未滿ノ目盛アル桿秤、上皿桿秤竝安定ト爲シタル臺秤及目働秤ニハ水平ヲ定ムル裝置ヲ爲スヘシ但シ懸重シテ使用スル構造ノ秤又ハ土地若ハ建物等ニ取附ケ使用シ又ハ其ノ臺ヲ傾斜スルモ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ公差以上ノ器差ヲ生セサル構造ノ臺秤ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十八　十分秤ハ其ノ兩臂ノ比ヲ十分ノ一又ハ百分ノ一ト爲スヘシ

十九　桿秤ノ支點ハ之ヲ二箇以下ト爲シ其ノ二箇ノ場合ニ在リテハ桿ノ表裏ニ之ヲ設ケ其ノ双受ハ支點毎ニ之ヲ附スヘシ

二十　桿秤ノ刃及双受ハ其ノ桿ト上下各四十五度ニ挿ルモ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ公差以上ノ器差ヲ生セサル構造ト爲スヘシ

種類	秤量	秤量ト錘ノ重量トノ比
金屬製桿秤	三十キログラム以上	二十分ノ一
	五百グラム以上五十キログラム以下	五十分ノ一
	五十グラム以上	十分ノ一
骨製桿秤	十グラム以上二十グラム以下取替付	五分ノ一
	一グラム以上一グラム以下取替付	二分ノ一
木製桿秤	—	二十分ノ一
臺附桿秤	—	五分ノ一

二十一　秤ノ最小目盛間ノ距離ハ臺秤ニ在リテハ之ヲ一・五ミリメートル以上、上皿桿秤及秤量五百グラム乃至五十キログラムノ臺秤ニ在リテハ之ヲ一ミリメートル以上、五百グラム以下ノ桿秤ニ在リテハ之ヲ〇・五ミリメートル以上ト爲スヘシ

二十二　分銅、錘、增錘及增錘臺ニハ其ノ重量ヲ齊整スル爲容易ニ脫出セサル方法ニ依リ金屬ヲ填充スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ填充物ノ重量ハ增錘臺ヲ除クノ外重量ノ二十分ノ一ヲ超エサルコトヲ要ス

二十三　前號ニ依ル填充物ノ穿口ハ容易ニ凝脫シ又ハ捻戻シ得サル方法ニ依リ之ヲ緊塞スヘシ

二十四　分銅、錘、增錘又ハ增錘臺ニ證印ヲ附シ若ハ填充物ノ穿口ヲ緊塞スル爲シタル彙限ノ面ハ其ノ周圍ノ面ヨリ降起セシメサルコトヲ要ス

二十五　桿秤ハ定量錘若ハ定量增錘附ノモノト爲シ秤量ト其ノ錘又ハ增錘ノ重量トノ比ハ左表ニ依ルヘシ但シ金屬製桿秤ニシテ秤量五十グラム未滿ノモノニハ此ノ限ニ在ラス

種類	秤量	秤量ト錘ノ重量トノ比
金屬製桿秤	三十キログラム以上	二十分ノ一
	五百グラム以上五十キログラム以下	五十分ノ一
	五十グラム以上	十分ノ一
骨製桿秤	十グラム以上二十グラム以下取替付	五分ノ一
	一グラム以上一グラム以下取替付	二分ノ一
木製桿秤	—	二十分ノ一
臺附桿秤	—	五分ノ一

二十六　定量增錘ノ重量ト掛量トノ比ハ臺秤ニ附屬セシムルモノニ在リテハ五分ノ一ト爲スヘシ但シ特殊ノ事由アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

分ノ一、百分ノ一、五十分ノ一上皿桿秤

二十七　增錘ニハ掛量ト其ノ上面ニ表記シ倘定量增錘ニハ重量ト掛量トノ比ヲ附記スヘシ

二十八　安定ト爲シタル秤ハ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ公差ニ相當スル重量ヲ感シ臺秤及上皿桿秤ニ在リテハ桿ノ末端ニ於テ上下各二ミリメートル以上桿ニ在リテハ其ノ勾配三十分ノ一以上、度表アルモノ又ハ自働秤ニ在リテハ其ノ指針カ標點ノ左右又ハ上下ニ於テ最小目盛ノ各二分ノ一以上、度表ナクシテ脫ミノ設ケアル天秤、上皿天秤、又ハ十分秤ニ在リテハ其ノ脫ミ又ハ指針カ一・五ミリメートル以上ノ移動ヲ其ノ靜止體ニ於テ認メ得ル構造ト爲スヘシ

二十九　不安定ト爲シタル秤ハ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ公差ニ相當スル重量ヲ感シ其ノ桿カ桿休メ迄移動シテ定著スル構造ト爲スヘシ

三十　秤ニハ定量錘、定量增錘、分銅及桿秤ヲ除クノ外其ノ桿ニ番號ヲ附スヘシ但シ天秤、上皿天秤、十分秤及自働秤ニハ支柱又ハ臺若ハ目盛盤ニ之ヲ附スルコトヲ得

三十一　天秤及上皿天秤ニハ其ノ秤量及感量ヲ臺ノ上面若ハ側面又ハ支柱ニ表記スヘシ

三十二　臺秤ニハ其ノ秤量ヲ臺ノ上面ニ表記スヘシ

三十三　上皿桿秤ニハ秤量ヲ其ノ桿ニ、盛止量ヲ其ノ量ヲ表示スル目盛ニ、桿秤ニハ盛出量、秤量及掛量ヲ其ノ量ヲ表示スル目盛ニ、自働秤ニハ秤量ヲ其ノ量ヲ表示スル目盛又ハ其ノ臺ニ之ヲ附記スルコトヲ得

三十四　臺秤又ハ上皿桿秤ニシテ定量增錘附ノモノニハ增錘ノ重量ト掛量トノ比ヲ桿ニ表記スヘシ

三十五　桿秤ノ錘ニハ其ノ附屬スル秤ノ秤量ヲ其ノ側面ニ表記スヘシ

三十六　十分秤ニハ兩竹ノ比、秤量及感量ヲ支柱又ハ臺ニ表記スヘシ

三十七　分銅ニハ重量ヲ其ノ上面又ハ側面ニ表記スヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ文字ハ重量五ミリグラム以下ノモノニ在リテハ1:2:2:5ト省略スルコトヲ得但シ左ノ重量及形狀ニ依ルモノニ在リテハ重量ノ表記ヲ要セス

五ミリグラム　六角形
二ミリグラム　三角形
一ミリグラム　四角形
〇・〇二グラット　圓形
〇・〇一カラット　三角形

三十八　桿ヨリ分離シ得ヘキ錘、增錘、增錘臺及皿ニハ桿ト同一ノ番號ヲ表記スヘシ但シ定量錘及定量增錘ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八條　計量器ノ構造ハ第三條乃至第六條ノ外左ノ各號ニ依ルヘシ

計量器

一　「アルドン」管又ハ波狀板ヲ用ヒタル計量器ニハ檢定證印ヲ附スル爲其ノ上部又ハ側面ニ針金及金屬片ヲ附スヘシ

二　「アルドン」管又ハ波狀板ヲ用ヒタル計量器ハ容易ニ內部ノ機械又ハ作用ヲ變更シ得サル構造ト爲スヘシ但シ前號ノ金屬片ニ檢定證印ヲ附スルニ依リ封緘シ得ルモノト此ノ限ニ在ラス

三　浮秤

浮秤ノ目盛ハ其ノ浮秤カ十五度ノ溫度ヲ有スル場合ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ但シ特殊ノ事由アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

浮秤ノ目盛ハ水際ノ上緣ニ於テ之ヲ視定スル方法ヲ表記スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

浮秤ノ目盛間ノ距離ハ五ミリメートル以下ト爲スヘシ但シ特殊ノ事由アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

四　牛乳ノ衛度ヲ計量スルニ用フル浮秤ニ

種類　流　遠

日徑十三ミリメートル以下　一時間ニ付百八十リットル

日徑十六ミリメートル以下　一時間ニ付二百二十リットル

日徑十六ミリメートル以下　一時間ニ付三百リットル

スヘシ但シ重量五百ミリグラム以下ノモノ及玻璃製ノモノニ在リテハ之ヲ板狀ト爲スコトヲ得

七　桿、槓杆又ハ臺ニ嵌入スル刃及承軸ハ容易ニ離脫又ハ移動セサル構造ト爲スヘシ

八　刃ハ凹ナク刃受ノ面ハ平滑ナルコトヲ要ス

九　刃受ヲ圓形ト爲ス場合ニ在リテハ緻目ナキ構造ト爲スヘシ

十　目盛アル秤ニハ直點又ハ標點一箇以上其ノ桿上又ハ見易キ位置ニ表示スヘシ但シ秤量五百キログラム以上ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十一　安定ト爲シタル秤ニハ桿ノ位置又ハ感量ヲ視定スル爲度表若ハ脫ミヲ設クヘシ但シ桿休メアルモノ又ハ桿秤ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十二　安定ト爲シタル秤ニハ調子玉又ハ直點若ハ標點ヲ調整スル裝置ヲ附スヘシ但シ秤量噸ノ千分ノ一以上ノ目盛アル桿秤及刃受ヲ懸垂シテ使用スル構造ノ天秤ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十三　調子玉又ハ直點若ハ標點ヲ調整スル裝置ハ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ秤量ノ公差ノ二倍以上ヲ加減シ得ル構造ト爲スヘシ

十四　調子玉又ハ直點若ハ標點ヲ調整スル裝置ハ遊動セサル構造ト爲スヘシ

十五　安定ト爲シタル秤ニシテ調子玉又ハ直點若ハ標點ヲ調整スル裝置ヲ有スルモノハ其ノ空懸ケ又ハ錘ヲ直點ニ懸ケタル場合ニ於テ其ノ脫ミカ一致シ若ハ其ノ桿カ水平ト爲リ又ハ其ノ指針カ直點若ハ標點ヲ指スモ妨ナシ

六　水量メートルノ外函ノ接續部分ハ容易ニ分離シ得サルモノト爲スヘシ但シ濕式以外ノ水量メートルノ表示盤ノ蓋ノ部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

四　圓盤式ノ水量メートルニ在リテハ其ノ入口ニ廔除ヲ附スヘシ

五　口徑二十五ミリメートルヲ超ユル水量メートルニ副管ヲ設ケ之ニ口徑小ナル水量メートルヲ附シタル場合ニ於テハ本管ニハ自働瓣ヲ附スヘシ

六　水量メートルニハ左ノ事項ヲ表記スヘシ

イ　入口又ハ出口ヲ表示スル標識又ハ符號

ロ　番號

ハ　口徑

衡器

一　秤ハ安定ノモノト爲スヘシ但シ皿天秤若ハ臺秤ニシテ秤量五十キログラム以上ノモノ又ハ自働秤ニ在リテハ不安定ノモノト爲スコトヲ得

二　秤ノ桿及之ニ附屬スル槓杆ニハ强硬ナル金屬ヲ用フヘシ但シ桿秤ニ在リテハ慳又ハ件ヲ用フルコトヲ得

三　秤ノ刃、刃受、承軸、關節及刃釜ハ之ニ負フ重量ノ大小及秤ノ秤量ノ大小ニ應シテ適當ナル硬度ヲ有スル鋼鐵又ハ石ヲ、其ノ他秤カ作用ヲ爲ストキ摩擦ヲ生スル恐要部分ニハ硬キ金屬ヲ用フヘシ

四　緒紐ノ材料ニハ金屬、革又ハ强靱ナル相絲、麻若ハ綿絲ヲ用フヘシ

五　「アルミニユーム」、「マンガル」白銅、眞鍮、青銅、銅、鐵又ハ玻璃ヲ用フヘシ但シ重量二百グラム未滿ノモノニハ鐵ヲ用フルコトヲ得

六　秤ニ在リテハ掛量ノ公差ノ二分ノ一以内ノ重量ヲ加減シテ其ノ眼ミカー致シ若ハ桿カ水平ト爲リ又ハ其ノ指針カ直點若ハ標點ヲ指スモ妨ナシ

十六　調子玉アル秤ノ支點ハ之ヲ一箇ト爲スヘシ

十七　天秤、秤量ノ千分ノ一未滿ノ目盛アル桿秤、上皿桿秤竝安定ト爲シタル臺秤及目働秤ニハ水平ヲ定ムル裝置ヲ爲スヘシ但シ懸重シテ使用スル構造ノ秤又ハ土地若ハ建物等ニ取附ケ使用シ又ハ其ノ臺ヲ傾斜スルモ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ公差以上ノ器差ヲ生セサル構造ノ臺秤ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十八　十分秤ハ其ノ兩臂ノ比ヲ十分ノ一又ハ百分ノ一ト爲スヘシ

十九　桿秤ノ支點ハ之ヲ二箇以下ト爲シ其ノ二箇ノ場合ニ在リテハ桿ノ表裏ニ之ヲ設ケ其ノ双受ハ支點毎ニ之ヲ附スヘシ

二十　桿秤ノ刃及双受ハ其ノ桿ト上下各四十五度ニ挿ルモ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ公差以上ノ器差ヲ生セサル構造ト爲スヘシ

種類	秤量	秤量ト錘ノ重量トノ比
金屬製桿秤	三十キログラム以上	二十分ノ一
	五百グラム以上五十キログラム以下	五十分ノ一
	五十グラム以上	十分ノ一
骨製桿秤	十グラム以上二十グラム以下取替付	五分ノ一
	一グラム以上一グラム以下取替付	二分ノ一
木製桿秤	—	二十分ノ一
臺附桿秤	—	五分ノ一

二十一　秤ノ最小目盛間ノ距離ハ臺秤ニ在リテハ之ヲ一・五ミリメートル以上、上皿桿秤及秤量五百グラム乃至五十キログラムノ臺秤ニ在リテハ之ヲ一ミリメートル以上、五百グラム以下ノ桿秤ニ在リテハ之ヲ〇・五ミリメートル以上ト爲スヘシ

二十二　分銅、錘、增錘及增錘臺ニハ其ノ重量ヲ齊整スル爲容易ニ脫出セサル方法ニ依リ金屬ヲ填充スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ填充物ノ重量ハ增錘臺ヲ除クノ外重量ノ二十分ノ一ヲ超エサルコトヲ要ス

二十三　前號ニ依ル填充物ノ穿口ハ容易ニ凝脫シ又ハ捻戻シ得サル方法ニ依リ之ヲ緊塞スヘシ

二十四　分銅、錘、增錘又ハ增錘臺ニ證印ヲ附シ若ハ填充物ノ穿口ヲ緊塞スル爲シタル彙限ノ面ハ其ノ周圍ノ面ヨリ降起セシメサルコトヲ要ス

二十五　桿秤ハ定量錘若ハ定量增錘附ノモノト爲シ秤量ト其ノ錘又ハ增錘ノ重量トノ比ハ左表ニ依ルヘシ但シ金屬製桿秤ニシテ秤量五十グラム未滿ノモノニハ此ノ限ニ在ラス

種類	秤量	秤量ト錘ノ重量トノ比
金屬製桿秤	三十キログラム以上	二十分ノ一
	五百グラム以上五十キログラム以下	五十分ノ一
	五十グラム以上	十分ノ一
骨製桿秤	十グラム以上二十グラム以下取替付	五分ノ一
	一グラム以上一グラム以下取替付	二分ノ一
木製桿秤	—	二十分ノ一
臺附桿秤	—	五分ノ一

二十六　定量增錘ノ重量ト掛量トノ比ハ臺秤ニ附屬セシムルモノニ在リテハ五分ノ一ト爲スヘシ但シ特殊ノ事由アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

分ノ一、百分ノ一、五十分ノ一上皿桿秤

二十七　增錘ニハ掛量ト其ノ上面ニ表記シ倘定量增錘ニハ重量ト掛量トノ比ヲ附記スヘシ

二十八　安定ト爲シタル秤ハ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ公差ニ相當スル重量ヲ感シ臺秤及上皿桿秤ニ在リテハ桿ノ末端ニ於テ上下各二ミリメートル以上桿ニ在リテハ其ノ勾配三十分ノ一以上、度表アルモノ又ハ自働秤ニ在リテハ其ノ指針カ標點ノ左右又ハ上下ニ於テ最小目盛ノ各二分ノ一以上、度表ナクシテ脫ミノ設ケアル天秤、上皿天秤、又ハ十分秤ニ在リテハ其ノ脫ミ又ハ指針カ一・五ミリメートル以上ノ移動ヲ其ノ靜止體ニ於テ認メ得ル構造ト爲スヘシ

二十九　不安定ト爲シタル秤ハ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ公差ニ相當スル重量ヲ感シ其ノ桿カ桿休メ迄移動シテ定著スル構造ト爲スヘシ

三十　秤ニハ定量錘、定量增錘、分銅及桿秤ヲ除クノ外其ノ桿ニ番號ヲ附スヘシ但シ天秤、上皿天秤、十分秤及自働秤ニハ支柱又ハ臺若ハ目盛盤ニ之ヲ附スルコトヲ得

三十一　天秤及上皿天秤ニハ其ノ秤量及感量ヲ臺ノ上面若ハ側面又ハ支柱ニ表記スヘシ

三十二　臺秤ニハ其ノ秤量ヲ臺ノ上面ニ表記スヘシ

三十三　上皿桿秤ニハ秤量ヲ其ノ桿ニ、盛止量ヲ其ノ量ヲ表示スル目盛ニ、桿秤ニハ盛出量、秤量及掛量ヲ其ノ量ヲ表示スル目盛ニ、自働秤ニハ秤量ヲ其ノ量ヲ表示スル目盛又ハ其ノ臺ニ之ヲ附記スルコトヲ得

三十四　臺秤又ハ上皿桿秤ニシテ定量增錘附ノモノニハ增錘ノ重量ト掛量トノ比ヲ桿ニ表記スヘシ

三十五　桿秤ノ錘ニハ其ノ附屬スル秤ノ秤量ヲ其ノ側面ニ表記スヘシ

三十六　十分秤ニハ兩竹ノ比、秤量及感量ヲ支柱又ハ臺ニ表記スヘシ

三十七　分銅ニハ重量ヲ其ノ上面又ハ側面ニ表記スヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ文字ハ重量五ミリグラム以下ノモノニ在リテハ1:2:2:5ト省略スルコトヲ得但シ左ノ重量及形狀ニ依ルモノニ在リテハ重量ノ表記ヲ要セス

五ミリグラム　六角形
二ミリグラム　三角形
一ミリグラム　四角形
〇・〇二グラット　圓形
〇・〇一カラット　三角形

三十八　桿ヨリ分離シ得ヘキ錘、增錘、增錘臺及皿ニハ桿ト同一ノ番號ヲ表記スヘシ但シ定量錘及定量增錘ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八條　計量器ノ構造ハ第三條乃至第六條ノ外左ノ各號ニ依ルヘシ

計量器

一　「アルドン」管又ハ波狀板ヲ用ヒタル計量器ニハ檢定證印ヲ附スル爲其ノ上部又ハ側面ニ針金及金屬片ヲ附スヘシ

二　「アルドン」管又ハ波狀板ヲ用ヒタル計量器ハ容易ニ內部ノ機械又ハ作用ヲ變更シ得サル構造ト爲スヘシ但シ前號ノ金屬片ニ檢定證印ヲ附スルニ依リ封緘シ得ルモノト此ノ限ニ在ラス

三　浮秤

浮秤ノ目盛ハ其ノ浮秤カ十五度ノ溫度ヲ有スル場合ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ但シ特殊ノ事由アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

浮秤ノ目盛ハ水際ノ上緣ニ於テ之ヲ視定スル方法ヲ表記スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

浮秤ノ目盛間ノ距離ハ五ミリメートル以下ト爲スヘシ但シ特殊ノ事由アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

四　牛乳ノ衛度ヲ計量スルニ用フル浮秤ニ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ハ牛乳ノ密度ヨリ一ヲ減シテ千倍シタル日盛ヲ以テスルコトヲ得

五　浮秤ニハ其ノ用途又ハ日盛ノ種類ヲ表記スヘシ但シ密度ノ値ノ日盛ヲ以テスルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

温度計

一　温度計ニ用フル硝子ハ零点降下又ハ経年変化ヲ生シ難キモノタルヘシ

二　温度計ノ目盛間ノ距離ハ五ミリメートル以下トスヘシ但シ特殊ノ事由アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

三　温度計ノ目盛ノ値ハ目盛ノ位置並其ノ温度ヲ保タシメタル場合ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ温度ヲ保タシムヘキ部分ヲ表示スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

四　精温計ニハ少クトモ三十五度乃至四十二度ノ目盛ヲ附スヘシ

五　板附温度計ノ管ハ移動シ又ハ容易ニ取リ外シ得サルモノトス且其ノ上端ノ部分ハ外部ヨリ見易キ構造トスヘシ

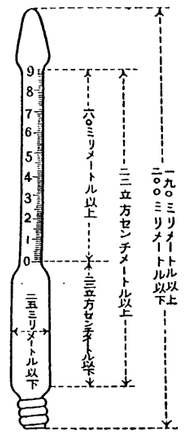
六　乾湿計ニ於ケル各温度計ノ示度ノ差ハ〇・五度ヲ超エサルモノトスヘシ

七　温度計ニハ単位ノ種類ヲ表記スヘシ

牛乳濃度検定器

一　検尺器ノ棒枠ノ周囲ハ正六角形ヲ保チ得ルモノトシ其ノ周ノ長ハ一、一二五メートルトスヘシ

二　検尺器ノ回転器ニハ棒枠ノ一回ノ計量ニ於ケル回転数ヲ表記スヘシ



三　検位衡ニハ之ニ適応スヘキ検尺器ニ於ケル回転数ヲ表記スヘシ

四　第七條衡器ノ規定中第一號但書ヲ除クノ外自働秤ニ關スル規定ハ検位衡ニ之ヲ準用ス

五　機度分銅ノ形狀ハ之ヲ圓壔形又ハ板狀トスヘシ

六　機度分銅ニハ其ノ重量ヲ機度ノ名稱ニ依リ上面又ハ側面ニ表記スヘシ但シ左ノ機度及形狀ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

〇・一機度六角形
〇・〇五機度五角形
〇・〇二機度四角形
〇・〇一機度楕圓形

七　第七條衡器ノ規定中第六號及第三十七號ヲ除クノ外分銅ニ關スル規定ハ機度分銅ニ之ヲ準用ス

乳脂計

一　乳脂計ノ容量ハ其ノ乳脂計カ十五度ノ温度ヲ有スル場合ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

二　乳脂計ニ用フル硝子ハ硬質ノモノタルヘシ

三　乳脂計ノ目盛ノ数ハ九十トスヘシ其ノ最小目盛間ノ容量ハ〇・〇一二五立方センチメートルトスヘシ

四　乳脂計ノ構造ハ前各號ノ外尚左ノ圖面ニ依ルヘシ

附　則

本令ハ発布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮度量衡令施行規則第三十四條ニ依リ道知事ヲシテ検定ヲ行ハシムル度量衡器

大正十五年四月
總令第三十三號

朝鮮度量衡令施行規則第三十四條ノ規定ニ依リ道知事ヲシテ検定ヲ行ハシムル度量衡器左ノ通定ム

一　臺秤
一　上皿桿秤

一　桿秤
一　上皿天秤
一　天秤
一　分銅、錘、增錘
一　自働秤

附　則

本令ハ発布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●度量衡器及計量器ノ種類名稱及價格

昭和十一年五月
總告第三百三十一號

昭和八年朝鮮總督府告示第四百六十一號（度量衡器及計量器ノ種類、名稱及價格）昭和十一年六月五日ヨリ左ノ通改正ス

番號	名稱	品質構造	全長	目盛	價格
一	直尺	表裏一尺五寸ステンレス製	一尺五寸	一耗目盛（五糎）五耗目盛（一寸二厘目附）一耗目盛（一寸）	二一〇
二 同	同	裏一尺ステンレス製	一尺	一耗目盛（五糎）五耗目盛（一寸二厘目附）一耗目盛（一寸）	一八〇
三 同	同	鋼鐵製	三十糎	一耗目盛（五糎）五耗目盛（一寸二厘目附）一耗目盛（一寸）	一四〇
四 同	同	同	二十糎	一耗目盛（五糎）五耗目盛（一寸二厘目附）一耗目盛（一寸）	一〇〇
五 同	同	同	十五糎	一耗目盛（五糎）五耗目盛（一寸二厘目附）一耗目盛（一寸）	七〇
六 同	同	同	十糎	一耗目盛（五糎）五耗目盛（一寸二厘目附）一耗目盛（一寸）	五〇
七 同	同	同	六糎	一耗目盛（五糎）五耗目盛（一寸二厘目附）一耗目盛（一寸）	四〇
八 同	同	同	三糎	一耗目盛（五糎）五耗目盛（一寸二厘目附）一耗目盛（一寸）	三〇
九 同	同	同	二糎	一耗目盛（五糎）五耗目盛（一寸二厘目附）一耗目盛（一寸）	二〇

一〇 同	竹製錘附	十糎	一耗目盛兩目盛	一一〇	鯨一尺
一一 同	竹製棹	一耗目盛片目盛	一耗目盛片目盛	一四〇	鯨一分目盛兩目盛
一二 同	竹製棹	三十糎	一耗目盛兩目盛	一九〇	竹一尺
一三 同	同	三十糎	二耗目盛五糎一耗目盛片目盛	九七〇	竹一尺
一四 同	同	四十糎	一耗目盛兩目盛	一九〇	竹一尺
一五 同	同	五十糎	一耗目盛五糎一耗目盛兩目盛	二〇〇	竹一尺
一六 同	同	五十糎	二耗目盛五糎一耗目盛兩目盛	二〇〇	竹一尺
一七 同	竹製錘附	二十糎六寸六分	一耗目盛五厘目盛	一〇〇	竹一尺
一八 同	竹製錘附	二十糎	一耗目盛兩目盛	一一〇	竹一尺
一九 同	竹製	三十糎	一耗目盛五厘目盛	一四〇	竹一尺
二〇 同	竹製特製品	一尺五厘目盛	1/2耗目盛（一寸二厘目附）	五二〇	竹一尺
二一 同	竹製	六十糎	一耗目盛	二〇〇	竹一尺
二二 同	竹製	一尺三寸五厘目盛	米二耗目盛（十糎一耗目附）	五五〇	竹一尺
二三 同	同	三十五糎	二耗目盛一尺鯨一分目盛	一一〇	竹一尺
二四 同	同	五十糎	一耗目盛	一七〇	竹一尺
二五 同	同	一尺三寸三分	鯨一分目盛	二二〇	竹一尺
二六 同	竹製棹入	六寸	五厘目盛（一寸1/5分目附）1/10分目附）片目盛	〇六〇	竹一尺
二七 同	竹製	一尺	一分目盛片目盛	〇五〇	竹一尺
二八 同	竹製棹入	一尺五厘目盛	片目盛	一一〇	竹一尺
二九 同	竹製棹	二尺	一分目盛片目盛	一五〇	竹一尺
三〇 同	竹製金具附（締子用）	一尺	一分目盛兩目盛	四八〇	竹一尺
三一 同	竹製	三尺	一分目盛兩目盛	三七〇	竹一尺
三二 同	竹製	三尺五寸	一分目盛兩目盛	五九〇	竹一尺
三三 同	竹製	七尺	一分目盛兩目盛	一三〇	竹一尺
三四 同	竹製（疊用）	三尺五寸	一分目盛兩目盛	六五〇	竹一尺
三五 同	同	七尺	一分目盛兩目盛	一四〇	竹一尺
三六 同	竹製	鴈一100粍目盛		一六二	竹一尺
三六 同	竹製	三十六吋1/16吋目盛		二一〇	竹一尺
三七 同	竹製	鯨一尺	一分目盛片目盛	一二〇	竹一尺
三八 同	竹製	三十糎	一耗目盛片目盛	一九〇	竹一尺
三九 同	竹製	四十糎	一耗目盛片目盛	二一〇	竹一尺
四〇 挾	鋼鐵製特製品	九十糎一尺	一分目盛	一九〇〇	竹一尺
四一 同	鋼鐵製普通品	九十糎一尺	一分目盛	九七〇	竹一尺
四二 同	木製	七十五糎	五耗目盛一耗目盛	二二〇	竹一尺
四三 同	木製多々綵式	七十五糎	五耗目盛一耗目盛	二二〇	竹一尺
四四 同	木製折疊式	六十糎一尺	一分目盛	二一〇	竹一尺
四五 同	木製（廣田式）	六十糎	一分目盛	二一〇	竹一尺
四六 同	木製多々綵式	七十五糎	一分目盛	二八〇	竹一尺
四七 同	木製折疊式	七十五糎二尺五寸	一分目盛	二八〇	竹一尺
四八 同	木製（廣田式）	七十五糎二尺五寸	一分目盛	二八〇	竹一尺
四九 同	木製（酒造用）	三尺	一分目盛片目盛	三七〇	竹一尺
五〇 同	引掛尺	六尺	一分目盛五分目盛	二〇〇	竹一尺
五一 同	木製	二尺五寸	一分目盛五分目盛	一七〇	竹一尺
五二 同	木製（酒造用）	三尺	一分目盛片目盛	一九〇	竹一尺
五三 同	木製（廣田式）	六十糎	一分目盛	一一〇	竹一尺
五四 輪	木製折疊式	六十糎一尺	一分目盛	三八〇	竹一尺
五五 同	木製（廣田式）	六十糎	一分目盛	四六〇	竹一尺
五六 同	木製	七十五糎二尺五寸	一分目盛	五三〇	竹一尺
五七 同	木製	七十五糎二尺五寸	一分目盛	四三〇	竹一尺
五八 棒	木製（酒造用）	三尺	一分目盛片目盛	二〇〇	竹一尺
五九 同	掛尺	六尺	一分目盛五分目盛	三七〇	竹一尺
六〇 同	木製	二尺五寸	一分目盛五分目盛	一七〇	竹一尺
六一 同	木製	三尺	一分目盛五分目盛	一九〇	竹一尺
六二 同	木製	五尺	一分目盛一寸目盛	三八五	竹一尺
六三 同	木製	六尺	一分目盛五分目盛	二〇〇	竹一尺
六四 測	木製	来二十糎目盛		一二〇	竹一尺
六五 竿	木製	来二十糎目盛		一六〇	竹一尺
六六 同	木製	来二十糎目盛		二九〇	竹一尺
六七 同	木製	鯨一尺	一分目盛片目盛	一二〇	竹一尺

番號	名稱	價格
一	碼	一圓
二	碼	一圓
三	碼	一圓
四	碼	一圓
五	碼	一圓
六	碼	一圓
七	碼	一圓
八	碼	一圓
九	碼	一圓
十	碼	一圓
十一	碼	一圓
十二	碼	一圓
十三	碼	一圓
十四	碼	一圓
十五	碼	一圓
十六	碼	一圓
十七	碼	一圓
十八	碼	一圓
十九	碼	一圓
二十	碼	一圓
二十一	碼	一圓
二十二	碼	一圓
二十三	碼	一圓
二十四	碼	一圓
二十五	碼	一圓
二十六	碼	一圓
二十七	碼	一圓
二十八	碼	一圓
二十九	碼	一圓
三十	碼	一圓
三十一	碼	一圓
三十二	碼	一圓
三十三	碼	一圓
三十四	碼	一圓
三十五	碼	一圓
三十六	碼	一圓
三十七	碼	一圓
三十八	碼	一圓
三十九	碼	一圓
四十	碼	一圓
四十一	碼	一圓
四十二	碼	一圓
四十三	碼	一圓
四十四	碼	一圓
四十五	碼	一圓
四十六	碼	一圓
四十七	碼	一圓
四十八	碼	一圓
四十九	碼	一圓
五十	碼	一圓
五十一	碼	一圓
五十二	碼	一圓
五十三	碼	一圓
五十四	碼	一圓
五十五	碼	一圓
五十六	碼	一圓
五十七	碼	一圓
五十八	碼	一圓
五十九	碼	一圓
六十	碼	一圓
六十一	碼	一圓
六十二	碼	一圓
六十三	碼	一圓
六十四	碼	一圓
六十五	碼	一圓
六十六	碼	一圓
六十七	碼	一圓
六十八	碼	一圓
六十九	碼	一圓
七十	碼	一圓
七十一	碼	一圓
七十二	碼	一圓
七十三	碼	一圓
七十四	碼	一圓
七十五	碼	一圓
七十六	碼	一圓
七十七	碼	一圓
七十八	碼	一圓
七十九	碼	一圓
八十	碼	一圓
八十一	碼	一圓
八十二	碼	一圓
八十三	碼	一圓
八十四	碼	一圓
八十五	碼	一圓
八十六	碼	一圓
八十七	碼	一圓
八十八	碼	一圓
八十九	碼	一圓
九十	碼	一圓
九十一	碼	一圓
九十二	碼	一圓
九十三	碼	一圓
九十四	碼	一圓
九十五	碼	一圓
九十六	碼	一圓
九十七	碼	一圓
九十八	碼	一圓
九十九	碼	一圓
一百	碼	一圓

番號	名稱	價格
一	呎	一圓
二	呎	一圓
三	呎	一圓
四	呎	一圓
五	呎	一圓
六	呎	一圓
七	呎	一圓
八	呎	一圓
九	呎	一圓
十	呎	一圓
十一	呎	一圓
十二	呎	一圓
十三	呎	一圓
十四	呎	一圓
十五	呎	一圓
十六	呎	一圓
十七	呎	一圓
十八	呎	一圓
十九	呎	一圓
二十	呎	一圓
二十一	呎	一圓
二十二	呎	一圓
二十三	呎	一圓
二十四	呎	一圓
二十五	呎	一圓
二十六	呎	一圓
二十七	呎	一圓
二十八	呎	一圓
二十九	呎	一圓
三十	呎	一圓
三十一	呎	一圓
三十二	呎	一圓
三十三	呎	一圓
三十四	呎	一圓
三十五	呎	一圓
三十六	呎	一圓
三十七	呎	一圓
三十八	呎	一圓
三十九	呎	一圓
四十	呎	一圓
四十一	呎	一圓
四十二	呎	一圓
四十三	呎	一圓
四十四	呎	一圓
四十五	呎	一圓
四十六	呎	一圓
四十七	呎	一圓
四十八	呎	一圓
四十九	呎	一圓
五十	呎	一圓
五十一	呎	一圓
五十二	呎	一圓
五十三	呎	一圓
五十四	呎	一圓
五十五	呎	一圓
五十六	呎	一圓
五十七	呎	一圓
五十八	呎	一圓
五十九	呎	一圓
六十	呎	一圓
六十一	呎	一圓
六十二	呎	一圓
六十三	呎	一圓
六十四	呎	一圓
六十五	呎	一圓
六十六	呎	一圓
六十七	呎	一圓
六十八	呎	一圓
六十九	呎	一圓
七十	呎	一圓
七十一	呎	一圓
七十二	呎	一圓
七十三	呎	一圓
七十四	呎	一圓
七十五	呎	一圓
七十六	呎	一圓
七十七	呎	一圓
七十八	呎	一圓
七十九	呎	一圓
八十	呎	一圓
八十一	呎	一圓
八十二	呎	一圓
八十三	呎	一圓
八十四	呎	一圓
八十五	呎	一圓
八十六	呎	一圓
八十七	呎	一圓
八十八	呎	一圓
八十九	呎	一圓
九十	呎	一圓
九十一	呎	一圓
九十二	呎	一圓
九十三	呎	一圓
九十四	呎	一圓
九十五	呎	一圓
九十六	呎	一圓
九十七	呎	一圓
九十八	呎	一圓
九十九	呎	一圓
一百	呎	一圓

番號	名稱	價格
一	寸	一圓
二	寸	一圓
三	寸	一圓
四	寸	一圓
五	寸	一圓
六	寸	一圓
七	寸	一圓
八	寸	一圓
九	寸	一圓
十	寸	一圓
十一	寸	一圓
十二	寸	一圓
十三	寸	一圓
十四	寸	一圓
十五	寸	一圓
十六	寸	一圓
十七	寸	一圓
十八	寸	一圓
十九	寸	一圓
二十	寸	一圓
二十一	寸	一圓
二十二	寸	一圓
二十三	寸	一圓
二十四	寸	一圓
二十五	寸	一圓
二十六	寸	一圓
二十七	寸	一圓
二十八	寸	一圓
二十九	寸	一圓
三十	寸	一圓
三十一	寸	一圓
三十二	寸	一圓
三十三	寸	一圓
三十四	寸	一圓
三十五	寸	一圓
三十六	寸	一圓
三十七	寸	一圓
三十八	寸	一圓
三十九	寸	一圓
四十	寸	一圓
四十一	寸	一圓
四十二	寸	一圓
四十三	寸	一圓
四十四	寸	一圓
四十五	寸	一圓
四十六	寸	一圓
四十七	寸	一圓
四十八	寸	一圓
四十九	寸	一圓
五十	寸	一圓
五十一	寸	一圓
五十二	寸	一圓
五十三	寸	一圓
五十四	寸	一圓
五十五	寸	一圓
五十六	寸	一圓
五十七	寸	一圓
五十八	寸	一圓
五十九	寸	一圓
六十	寸	一圓
六十一	寸	一圓
六十二	寸	一圓
六十三	寸	一圓
六十四	寸	一圓
六十五	寸	一圓
六十六	寸	一圓
六十七	寸	一圓
六十八	寸	一圓
六十九	寸	一圓
七十	寸	一圓
七十一	寸	一圓
七十二	寸	一圓
七十三	寸	一圓
七十四	寸	一圓
七十五	寸	一圓
七十六	寸	一圓
七十七	寸	一圓
七十八	寸	一圓
七十九	寸	一圓
八十	寸	一圓
八十一	寸	一圓
八十二	寸	一圓
八十三	寸	一圓
八十四	寸	一圓
八十五	寸	一圓
八十六	寸	一圓
八十七	寸	一圓
八十八	寸	一圓
八十九	寸	一圓
九十	寸	一圓
九十一	寸	一圓
九十二	寸	一圓
九十三	寸	一圓
九十四	寸	一圓
九十五	寸	一圓
九十六	寸	一圓
九十七	寸	一圓
九十八	寸	一圓
九十九	寸	一圓
一百	寸	一圓

番號	名稱	價格
一	分	一圓
二	分	一圓
三	分	一圓
四	分	一圓
五	分	一圓
六	分	一圓
七	分	一圓
八	分	一圓
九	分	一圓
十	分	一圓
十一	分	一圓
十二	分	一圓
十三	分	一圓
十四	分	一圓
十五	分	一圓
十六	分	一圓
十七	分	一圓
十八	分	一圓
十九	分	一圓
二十	分	一圓
二十一	分	一圓
二十二	分	一圓
二十三	分	一圓
二十四	分	一圓
二十五	分	一圓
二十六	分	一圓
二十七	分	一圓
二十八	分	一圓
二十九	分	一圓
三十	分	一圓
三十一	分	一圓
三十二	分	一圓
三十三	分	一圓
三十四	分	一圓
三十五	分	一圓
三十六	分	一圓
三十七	分	一圓
三十八	分	一圓
三十九	分	一圓
四十	分	一圓
四十一	分	一圓
四十二	分	一圓
四十三	分	一圓
四十四	分	一圓
四十五	分	一圓
四十六	分	一圓
四十七	分	一圓
四十八	分	一圓
四十九	分	一圓
五十	分	一圓
五十一	分	一圓
五十二	分	一圓
五十三	分	一圓
五十四	分	一圓
五十五	分	一圓
五十六	分	一圓
五十七	分	一圓
五十八	分	一圓
五十九	分	一圓
六十	分	一圓
六十一	分	一圓
六十二	分	一圓
六十三	分	一圓
六十四	分	一圓
六十五	分	一圓
六十六	分	一圓
六十七	分	一圓
六十八	分	一圓
六十九	分	一圓
七十	分	一圓
七十一	分	一圓
七十二	分	一圓
七十三	分	一圓
七十四	分	一圓
七十五	分	一圓
七十六	分	一圓
七十七	分	一圓
七十八	分	一圓
七十九	分	一圓
八十	分	一圓
八十一	分	一圓
八十二	分	一圓
八十三	分	一圓
八十四	分	一圓
八十五	分	一圓
八十六	分	一圓
八十七	分	一圓
八十八	分	一圓
八十九	分	一圓
九十	分	一圓
九十一	分	一圓
九十二	分	一圓
九十三	分	一圓
九十四	分	一圓
九十五	分	一圓
九十六	分	一圓
九十七	分	一圓
九十八	分	一圓
九十九	分	一圓
一百	分	一圓

番號	名稱	價格
一	厘	一圓
二	厘	一圓
三	厘	一圓
四	厘	一圓
五	厘	一圓
六	厘	一圓
七	厘	一圓
八	厘	一圓
九	厘	一圓
十	厘	一圓
十一	厘	一圓
十二	厘	一圓
十三	厘	一圓
十四	厘	一圓
十五	厘	一圓
十六	厘	一圓
十七	厘	一圓
十八	厘	一圓
十九	厘	一圓
二十	厘	一圓
二十一	厘	一圓
二十二	厘	一圓
二十三	厘	一圓
二十四	厘	一圓
二十五	厘	一圓
二十六	厘	一圓
二十七	厘	一圓
二十八	厘	一圓
二十九	厘	一圓
三十	厘	一圓
三十一	厘	一圓
三十二	厘	一圓
三十三	厘	一圓
三十四	厘	一圓
三十五	厘	一圓
三十六	厘	一圓
三十七	厘	一圓
三十八	厘	一圓
三十九	厘	一圓
四十	厘	一圓
四十一	厘	一圓
四十二	厘	一圓
四十三	厘	一圓
四十四	厘	一圓
四十五	厘	一圓
四十六	厘	一圓
四十七	厘	一圓
四十八	厘	一圓
四十九	厘	一圓
五十	厘	一圓
五十一	厘	一圓
五十二	厘	一圓
五十三	厘	一圓
五十四	厘	一圓
五十五	厘	一圓
五十六	厘	一圓
五十七	厘	一圓
五十八	厘	一圓
五十九	厘	一圓
六十	厘	一圓
六十一	厘	一圓
六十二	厘	一圓
六十三	厘	一圓
六十四	厘	一圓
六十五	厘	一圓
六十六	厘	一圓
六十七	厘	一圓
六十八	厘	一圓
六十九	厘	一圓
七十	厘	一圓
七十一	厘	一圓
七十二	厘	一圓
七十三	厘	一圓
七十四	厘	一圓
七十五	厘	一圓
七十六	厘	一圓
七十七	厘	一圓
七十八	厘	一圓
七十九	厘	一圓
八十	厘	一圓
八十一	厘	一圓
八十二	厘	一圓
八十三	厘	一圓
八十四	厘	一圓
八十五	厘	一圓
八十六	厘	一圓
八十七	厘	一圓
八十八	厘	一圓
八十九	厘	一圓
九十	厘	一圓
九十一	厘	一圓
九十二	厘	一圓
九十三	厘	一圓
九十四	厘	一圓
九十五	厘	一圓
九十六	厘	一圓
九十七	厘	一圓
九十八	厘	一圓
九十九	厘	一圓
一百	厘	一圓

四	四	四	四	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

同 疾 同 同 同

番號	名稱	品質構造	全長	目盛	價格
一	縮尺六組オフセット六本附箱入	製	三十糎メートル割	1/100—1/600	五四八〇
二	同	竹オフセット二本附箱入	同	1/10—1/60	五一〇
三	同	同	同	1/1.200	一四五
四	同	同	同	1/1.250	一五五
五	同	同	同	1/1.200 合	一五五
六	同	同	同	1/1.200	一五五
七	同	同	同	1/1.200	一九〇
八	同	同	同	1/1.250	一五五
九	同	竹オフセット一本附箱入	同	1/1.500	一二〇
一〇	同	同	同	1/1.250	一三〇
一一	同	同	同	1/1.200	一三〇
一二	同	同	同	1/1.200	一三〇
一三	同	同	同	1/1.200	一三〇
一四	同	同	同	1/1.200	一五五
一五	竹箱	製 四十二糎半メートル割	一尺四寸間	1/1.200	一三〇
一六	同	同	一尺五寸八分間	1/1.200	一三〇
一七	竹オフセット二本附箱入	製 四十二糎半メートル割	一尺四寸間	1/1.200	一三〇
一八	竹オフセット一本附箱入	製 四十二糎半メートル割	一尺四寸間	1/3.000	一三〇
一九	竹六組オフセット六本附箱入	製	一尺二寸	1/10 1/100 1/600 合 1/60	四一四五
二〇	同	同	同	1/10	一四五
二一	竹オフセット一本附箱入	製	一尺二寸	1/1.200	一五五
二二	同	同	同	1/1.200	一五五
二三	同	同	同	1/1.200	一六五
二四	同	同	同	1/1.200	一九〇
二五	同	同	同	1/1.250	一五五
二六	竹六組オフセット六本附箱入	製	一尺二寸間	1/1.000 1/6.000 1/600 合	六六〇
二七	同	同	同	1/1.200 1/6.000 合	六五
二八	竹オフセット一本附箱入	製	一尺二寸	1/1.200	一五〇
二九	同	同	同	1/1.000	一七〇
三〇	竹オフセット二本附箱入	製	一尺二寸	1/6.000	一九〇
三一	竹オフセット一本附箱入	製	一尺二寸	1/1.200	一七〇
三二	同	同	同	1/3.000	一三〇
三三	同	同	同	1/6.000	一五〇
三四	同	竹製箱入	一尺二寸	1/1.200	一五〇

番號	名稱	品質構造	全長	目盛	價格
三五	竹六組オフセット六本附箱入	製	三十糎メートル割	1/10—1/60	五二〇
三六	木製竹張	十糎メートル割	1/5	八〇	
三七	同	同	三十糎同	1/5	二〇〇
三八	雛形尺竹	製鯨尺割	1/200 片日盛	〇八	
三九	同	鯨	七寸同	1/200 兩日盛	一〇
四〇	三角スオフセット一本附サック入	製	三十糎メートル割	1/10—1/50	三八五
四一	同	同	三十糎同	1/10—1/60	三八五
四二	同	同	三十糎同	1/100—1/600	三九〇
四三	同	同	一尺同	1/10—1/60	四〇五
四四	同	同	一尺二寸間	1/1.000—1/6.000	四六〇
四五	同	同	一呎同	1/10—1/60	四二〇

番號	名稱	品質構造	全長	目盛	價格
一	折	紅壇形製	十立	1/10—1/60	五〇〇
二	同	松製	二十立	1/10—1/60	八〇〇
三	同	同	五升	1/10—1/60	五〇〇
四	同	壇形液用	五升	1/10—1/60	五〇〇
五	同	製	一斗	1/10—1/60	八〇〇
六	同	排	四升	1/10—1/60	六〇〇
七	同	壇形液	四勺	1/10—1/60	四〇〇
八	同	製用	五升	1/10—1/60	六〇〇
九	同	紅方形	七勺	1/10—1/60	五一〇
一〇	同	松形製用	五勺	1/10—1/60	五二〇
一一	同	製	五合	1/10—1/60	一三〇
一二	同	製	一合	1/10—1/60	一〇〇

番號	名稱	品質構造	全長	目盛	價格
一三	同	方形液用栖附製	五合	1/10—1/60	五〇〇
一四	同	漆塗製	一合	1/10—1/60	五〇〇
一五	同	檜製	五合	1/10—1/60	八〇〇
一六	同	同	一升	1/10—1/60	八〇〇
一七	同	方形液用栖附製	一合	1/10—1/60	五〇〇
一八	同	製	一升	1/10—1/60	八〇〇
一九	同	檜形液用	一升	1/10—1/60	八〇〇
二〇	同	製	一斗	1/10—1/60	一三〇〇
二一	同	檜形液	一斗	1/10—1/60	一五〇〇
二二	同	製用	一斗	1/10—1/60	一八〇〇
二三	同	檜形液用	一斗	1/10—1/60	二一〇〇
二四	同	製	一斗	1/10—1/60	二四〇〇
二五	同	檜形液用	一斗	1/10—1/60	二六〇〇
二六	同	製	一斗	1/10—1/60	二九〇〇
二七	同	檜形液用	一斗	1/10—1/60	三二〇〇
二八	同	製	一斗	1/10—1/60	三五〇〇
二九	同	檜形液用	一斗	1/10—1/60	三八〇〇
三〇	同	製	一斗	1/10—1/60	四一〇〇
三一	同	檜形液用	一斗	1/10—1/60	四四〇〇
三二	同	製	一斗	1/10—1/60	四七〇〇
三三	同	檜形液用	一斗	1/10—1/60	五〇〇〇
三四	同	製	一斗	1/10—1/60	五三〇〇
三五	同	檜形液用	一斗	1/10—1/60	五六〇〇
三六	同	製	一斗	1/10—1/60	五九〇〇
三七	同	檜形液用	一斗	1/10—1/60	六二〇〇
三八	同	製	一斗	1/10—1/60	六五〇〇
三九	同	檜形液用	一斗	1/10—1/60	六八〇〇
四〇	同	製	一斗	1/10—1/60	七一〇〇
四一	同	檜形液用	一斗	1/10—1/60	七四〇〇

番號	名稱	品質構造	全長	目盛	價格
一	竹六組オフセット六本附箱入	製	三十糎メートル割	1/100—1/600	五四八〇
二	竹オフセット二本附箱入	同	同	1/10—1/60	五一〇
三	同	同	同	1/1.200	一四五
四	同	同	同	1/1.250	一五五
五	同	同	同	1/1.200 合	一五五
六	同	同	同	1/1.200	一五五
七	同	同	同	1/1.200	一九〇
八	同	同	同	1/1.250	一五五
九	同	竹オフセット一本附箱入	製	1/1.500	一二〇
一〇	同	同	同	1/1.250	一三〇
一一	同	同	同	1/1.200	一三〇
一二	同	同	同	1/1.200	一三〇
一三	同	同	同	1/1.200	一三〇
一四	同	同	同	1/1.200	一五五
一五	竹箱	製 四十二糎半メートル割	一尺四寸間	1/1.200	一三〇
一六	同	同	一尺五寸八分間	1/1.200	一三〇
一七	竹オフセット二本附箱入	製 四十二糎半メートル割	一尺四寸間	1/1.200	一三〇
一八	竹オフセット一本附箱入	製 四十二糎半メートル割	一尺四寸間	1/3.000	一三〇
一九	竹六組オフセット六本附箱入	製	一尺二寸	1/10 1/100 1/600 合 1/60	四一四五
二〇	同	同	同	1/10	一四五
二一	竹オフセット一本附箱入	製	一尺二寸	1/1.200	一五五
二二	同	同	同	1/1.200	一五五
二三	同	同	同	1/1.200	一六五
二四	同	同	同	1/1.200	一九〇
二五	同	同	同	1/1.250	一五五
二六	竹六組オフセット六本附箱入	製	一尺二寸間	1/1.000 1/6.000 1/600 合	六六〇
二七	同	同	同	1/1.200 1/6.000 合	六五
二八	竹オフセット一本附箱入	製	一尺二寸	1/1.200	一五〇
二九	同	同	同	1/1.000	一七〇
三〇	竹オフセット二本附箱入	製	一尺二寸	1/6.000	一九〇
三一	竹オフセット一本附箱入	製	一尺二寸	1/1.200	一七〇
三二	同	同	同	1/3.000	一三〇
三三	同	同	同	1/6.000	一五〇
三四	同	竹製箱入	一尺二寸	1/1.200	一五〇

化學用量器

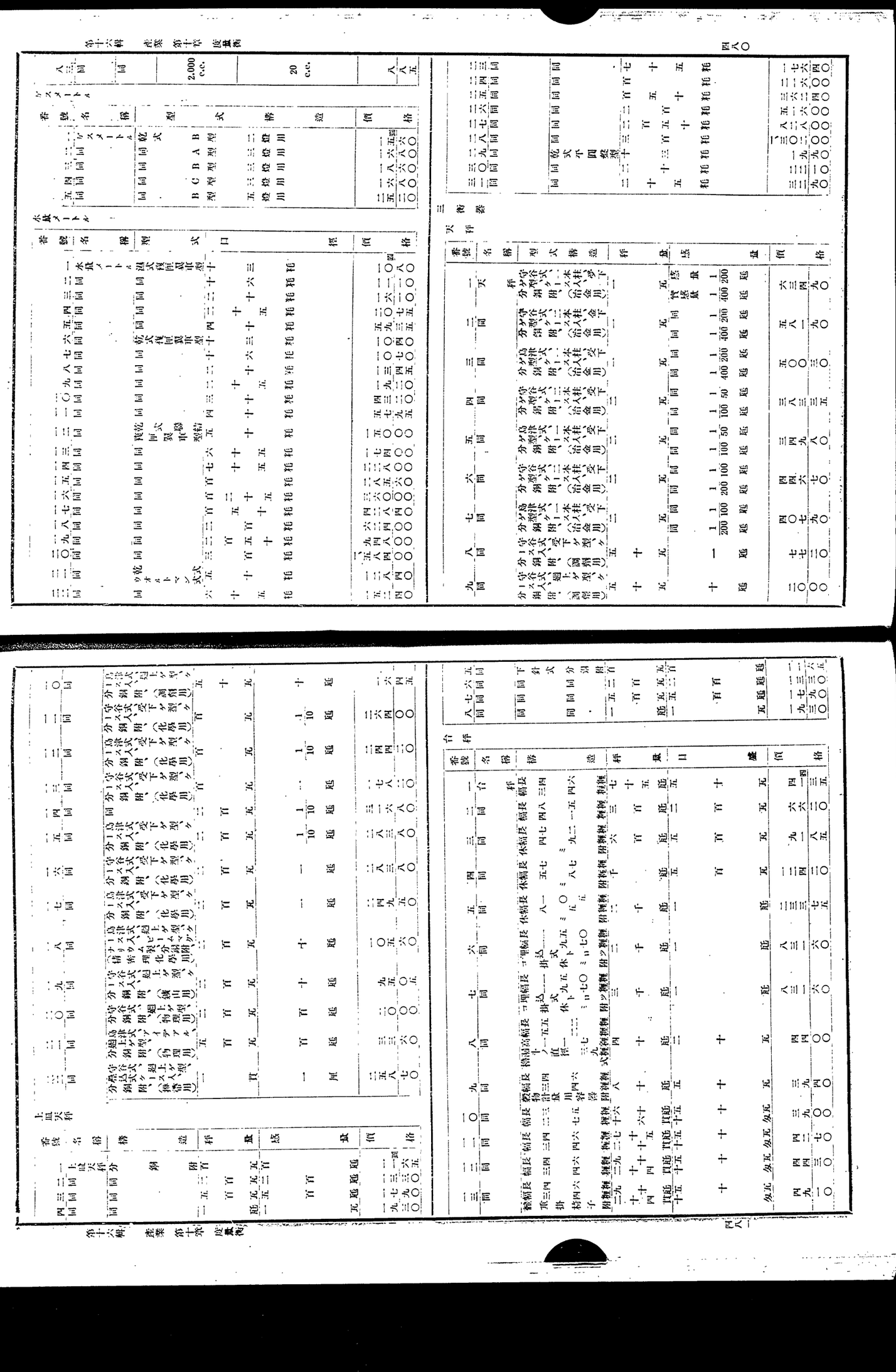
番號	名稱	品質構造	全量	目盛	價格
三同	同	同	50 c.c.		
二同	同	受出兩用	25 c.c.		
一	メスフラスコ	同	10 c.c.		圓 二一五
二	同	同	25 c.c.		一八〇
三	同	同	50 c.c.		一六〇

斗概

番號	名稱	品質構造	價格
四同	同	同	
三同	同	木製板狀 大小	一四三
二同	同	木製圓壺形 大	四一二
一	斗概	木製圓壺形 小	五七

番號	名稱	品質構造	全量	目盛	價格
五七同	同	同	1 c.c.		
五六同	同	同	2 c.c.		
五五同	同	同	5 c.c.		
五四同	同	同	10 c.c.		
五三同	同	同	15 c.c.		
五二同	同	同	20 c.c.		
五一同	青筋入活栓附	同	25 c.c.		
五〇同	同	同	50 c.c.		
四九同	同	同	100 c.c.		
四八同	同	同	200 c.c.		
四七同	同	同	250 c.c.		
四六同	ゴム管附	同	500 c.c.		
四五同	同	同	1.000 c.c.		
四四同	同	同	2.000 c.c.		
四三同	同	同	5.000 c.c.		
四二同	同	同	10.000 c.c.		
四一	ビュレット	活栓附	10 c.c.	1/10 c.c.	
四〇同	同	同	20 c.c.	1/10 c.c.	
三九同	同	同	25 c.c.	1/10 c.c.	
三八同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	
三七同	同	同	100 c.c.	1/10 c.c.	
三六同	同	同	200 c.c.	1/10 c.c.	
三五同	同	同	250 c.c.	1/10 c.c.	
三四同	同	同	500 c.c.	1/10 c.c.	
三三同	同	同	1.000 c.c.	1/10 c.c.	
三二同	同	同	2.000 c.c.	1/10 c.c.	
三一同	同	同	5.000 c.c.	1/10 c.c.	
三〇同	同	同	10.000 c.c.	1/10 c.c.	
二九同	同	同	20.000 c.c.	1/10 c.c.	
二八	ホールピペット	同	1 c.c.	1/10 c.c.	
五五同	同	同	100 c.c.	1/5 c.c.	
五四同	同	同	75 c.c.	1/5 c.c.	
五三同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	
五二同	同	同	25 c.c.	1/10 c.c.	
五一同	青筋入活栓附	同	10 c.c.	1/10 c.c.	
五〇同	同	同	100 c.c.	1/5 c.c.	
四九同	同	同	75 c.c.	1/5 c.c.	
四八同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	
四七同	同	同	25 c.c.	1/10 c.c.	
四六同	ゴム管附	同	10 c.c.	1/10 c.c.	
四五同	同	同	100 c.c.	1/5 c.c.	
四四同	同	同	75 c.c.	1/5 c.c.	
四三同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	
四二同	同	同	25 c.c.	1/10 c.c.	
四一	ビュレット	活栓附	10 c.c.	1/10 c.c.	
四〇同	同	同	200 c.c.	1/10 c.c.	
三九同	同	同	150 c.c.	1/10 c.c.	
三八同	同	同	125 c.c.	1/10 c.c.	
三七同	同	同	100 c.c.	1/10 c.c.	
三六同	同	同	75 c.c.	1/10 c.c.	
三五同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	
三四同	同	同	25 c.c.	1/10 c.c.	
三三同	同	同	20 c.c.	1/10 c.c.	
三二同	同	同	15 c.c.	1/10 c.c.	
三一同	同	同	10 c.c.	1/10 c.c.	
三〇同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	
二九同	同	同	2 c.c.	1/10 c.c.	
二八	ヘンペットピペット	同	1 c.c.	1/100 c.c.	
五七同	同	同	100 c.c.	1/5 c.c.	
五六同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	
五五同	同	同	25 c.c.	1/10 c.c.	
五四同	同	同	10 c.c.	1/10 c.c.	
五三同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	
五二同	同	同	2 c.c.	1/20 c.c.	
五一同	同	同	1 c.c.	1/50 c.c.	
五〇同	同	同	0.5 c.c.	1/100 c.c.	
四九同	同	同	0.2 c.c.	1/100 c.c.	
四八同	同	同	0.1 c.c.	1/100 c.c.	
四七同	同	同	0.05 c.c.	1/100 c.c.	
四六同	同	同	0.02 c.c.	1/100 c.c.	
四五同	同	同	0.01 c.c.	1/100 c.c.	
四四同	同	同	0.005 c.c.	1/100 c.c.	
四三同	同	同	0.002 c.c.	1/100 c.c.	
四二同	同	同	0.001 c.c.	1/100 c.c.	
五七同	玻璃製栓附燃焼管	同	1 c.c.	1/100 c.c.	
五六同	玻璃製栓附燃焼管	同	2 c.c.	1/100 c.c.	
五五同	玻璃製栓附燃焼管	同	5 c.c.	1/100 c.c.	
五四同	玻璃製栓附燃焼管	同	10 c.c.	1/100 c.c.	
五三	コップ	玻璃製	2 立	1/5 立	
五二同	同	同	200 c.c.	1/5 c.c.	
五一同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	
五〇同	同	同	20 c.c.	1/10 c.c.	
四九同	同	同	10 c.c.	1/10 c.c.	
四八同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	
四七同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	
四六同	同	同	2 c.c.	1/10 c.c.	
四五	圓壺	玻璃製	1 c.c.	1/10 c.c.	
四四同	同	同	20 c.c.	1/10 c.c.	
四三同	同	同	10 c.c.	1/10 c.c.	
四二同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	

番號	名稱	品質構造	全量	目盛	價格
五六同	青筋入ゴム管附	同	10 c.c.	1/10 c.c.	圓 二五五
五五同	同	同	25 c.c.	1/10 c.c.	四三五
五四同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	六〇五
五三同	同	同	100 c.c.	1/10 c.c.	一〇〇〇
五二同	同	同	200 c.c.	1/10 c.c.	二〇〇〇
五一同	同	同	250 c.c.	1/10 c.c.	二六〇〇
五〇同	同	同	500 c.c.	1/10 c.c.	三八〇〇
四九同	同	同	1.000 c.c.	1/10 c.c.	五一〇〇
四八同	同	同	2.000 c.c.	1/10 c.c.	六二〇〇
四七同	同	同	5.000 c.c.	1/10 c.c.	八四〇〇
四六同	同	同	10.000 c.c.	1/10 c.c.	一二五〇〇
四五	圓壺	玻璃製	10 c.c.	1/10 c.c.	一〇〇〇
四四同	同	同	20 c.c.	1/10 c.c.	一六〇〇
四三同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	二六〇〇
四二同	同	同	100 c.c.	1/10 c.c.	三八〇〇
四一	圓壺	玻璃製	200 c.c.	1/10 c.c.	五一〇〇
四〇同	同	同	250 c.c.	1/10 c.c.	六二〇〇
三九同	同	同	500 c.c.	1/10 c.c.	八四〇〇
三八同	同	同	1.000 c.c.	1/10 c.c.	一二五〇〇
三七同	同	同	2.000 c.c.	1/10 c.c.	一六〇〇〇
三六同	同	同	5.000 c.c.	1/10 c.c.	二四〇〇〇
三五同	同	同	10.000 c.c.	1/10 c.c.	三〇〇〇〇
三四同	同	同	20.000 c.c.	1/10 c.c.	四〇〇〇〇
三三同	同	同	25.000 c.c.	1/10 c.c.	四八〇〇〇
三二同	同	同	50.000 c.c.	1/10 c.c.	六〇〇〇〇
三一同	同	同	100.000 c.c.	1/10 c.c.	八〇〇〇〇
三〇同	同	同	200.000 c.c.	1/10 c.c.	一二〇〇〇〇
二九同	同	同	250.000 c.c.	1/10 c.c.	一四〇〇〇〇
二八	ヘンペットピペット	同	1 c.c.	1/100 c.c.	一〇〇〇
五七同	同	同	100 c.c.	1/5 c.c.	七〇〇
五六同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	四〇〇
五五同	同	同	25 c.c.	1/10 c.c.	二五〇
五四同	同	同	10 c.c.	1/10 c.c.	一一〇
五三同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	八五
五二同	同	同	2 c.c.	1/20 c.c.	六五
五一同	同	同	1 c.c.	1/50 c.c.	五〇
五〇同	同	同	0.5 c.c.	1/100 c.c.	四〇
四九同	同	同	0.2 c.c.	1/100 c.c.	三〇
四八同	同	同	0.1 c.c.	1/100 c.c.	二五
四七同	同	同	0.05 c.c.	1/100 c.c.	二〇
四六同	同	同	0.02 c.c.	1/100 c.c.	一五
四五同	同	同	0.01 c.c.	1/100 c.c.	一〇
四四同	同	同	0.005 c.c.	1/100 c.c.	八
四三同	同	同	0.002 c.c.	1/100 c.c.	六
四二同	同	同	0.001 c.c.	1/100 c.c.	五
五七同	玻璃製栓附燃焼管	同	1 c.c.	1/100 c.c.	一〇〇
五六同	玻璃製栓附燃焼管	同	2 c.c.	1/100 c.c.	一五〇
五五同	玻璃製栓附燃焼管	同	5 c.c.	1/100 c.c.	二五〇
五四同	玻璃製栓附燃焼管	同	10 c.c.	1/100 c.c.	三〇〇
五三	コップ	玻璃製	2 立	1/5 立	三一
五二同	同	同	200 c.c.	1/5 c.c.	二二
五一同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	二五
五〇同	同	同	20 c.c.	1/10 c.c.	二〇
四九同	同	同	10 c.c.	1/10 c.c.	三八
四八同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	一〇〇
四七同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	二〇〇
四六同	同	同	2 c.c.	1/10 c.c.	一〇五
四五	圓壺	玻璃製	1 c.c.	1/10 c.c.	六二
四四同	同	同	20 c.c.	1/10 c.c.	五一
四三同	同	同	10 c.c.	1/10 c.c.	四〇
四二同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	三三
四一	圓壺	玻璃製	2 立	1/5 立	二七
四〇同	同	同	200 c.c.	1/5 c.c.	一一〇
三九同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	六四
三八同	同	同	100 c.c.	1/10 c.c.	一〇〇
三七同	同	同	200 c.c.	1/10 c.c.	一六〇
三六同	同	同	250 c.c.	1/10 c.c.	二〇〇
三五同	同	同	500 c.c.	1/10 c.c.	三〇〇
三四同	同	同	1.000 c.c.	1/10 c.c.	四五〇
三三同	同	同	2.000 c.c.	1/10 c.c.	六五〇
三二同	同	同	5.000 c.c.	1/10 c.c.	九四〇
三一同	同	同	10.000 c.c.	1/10 c.c.	一三五〇
三〇同	同	同	20.000 c.c.	1/10 c.c.	一九〇〇
二九同	同	同	25.000 c.c.	1/10 c.c.	二三〇〇
二八	ヘンペットピペット	同	1 c.c.	1/100 c.c.	一一〇
五七同	同	同	100 c.c.	1/5 c.c.	七〇〇
五六同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	六〇〇
五五同	同	同	25 c.c.	1/10 c.c.	四三五
五四同	同	同	10 c.c.	1/10 c.c.	二七〇
五三同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	一七〇
五二同	同	同	2 c.c.	1/20 c.c.	一〇五
五一同	同	同	1 c.c.	1/50 c.c.	七五
五〇同	同	同	0.5 c.c.	1/100 c.c.	五五
四九同	同	同	0.2 c.c.	1/100 c.c.	四〇
四八同	同	同	0.1 c.c.	1/100 c.c.	三〇
四七同	同	同	0.05 c.c.	1/100 c.c.	二五
四六同	同	同	0.02 c.c.	1/100 c.c.	二〇
四五同	同	同	0.01 c.c.	1/100 c.c.	一五
四四同	同	同	0.005 c.c.	1/100 c.c.	一〇
四三同	同	同	0.002 c.c.	1/100 c.c.	八
四二同	同	同	0.001 c.c.	1/100 c.c.	五
五七同	玻璃製栓附燃焼管	同	1 c.c.	1/100 c.c.	一〇〇
五六同	玻璃製栓附燃焼管	同	2 c.c.	1/100 c.c.	一五〇
五五同	玻璃製栓附燃焼管	同	5 c.c.	1/100 c.c.	二五〇
五四同	玻璃製栓附燃焼管	同	10 c.c.	1/100 c.c.	三〇〇
五三	コップ	玻璃製	2 立	1/5 立	三一
五二同	同	同	200 c.c.	1/5 c.c.	二二
五一同	同	同	50 c.c.	1/10 c.c.	二五
五〇同	同	同	20 c.c.	1/10 c.c.	二〇
四九同	同	同	10 c.c.	1/10 c.c.	三八
四八同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	一〇〇
四七同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	二〇〇
四六同	同	同	2 c.c.	1/10 c.c.	一〇五
四五	圓壺	玻璃製	1 c.c.	1/10 c.c.	六二
四四同	同	同	20 c.c.	1/10 c.c.	五一
四三同	同	同	10 c.c.	1/10 c.c.	四〇
四二同	同	同	5 c.c.	1/10 c.c.	三三



番號	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四
名稱	上同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	容器物計盛川谷器	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	附十七七五一	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦十五瓦尺五瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦五瓦五瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一	四二
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五	五六
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	七一	七二	七三	七四	七五	七六	七七	七八	七九	八〇	八一	八二	八三	八四
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	八五	八六	八七	八八	八九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	九九	一〇〇	一〇一	一〇二	一〇三	一〇四	一〇五	一〇六	一〇七	一〇八	一〇九	一一〇	一一一	一一二
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	一一三	一一四	一一五	一一六	一一七	一一八	一一九	一二〇	一二一	一二二	一二三	一二四	一二五	一二六
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	一二七	一二八	一二九	一三〇	一三一	一三二	一三三	一三四	一三五	一三六	一三七	一三八	一三九	一四〇
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	一四一	一四二	一四三	一四四	一四五	一四六	一四七	一四八	一四九	一五〇	一五一	一五二	一五三	一五四
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	一五五	一五六	一五七	一五八	一五九	一六〇	一六一	一六二	一六三	一六四	一六五	一六六	一六七	一六八
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	一六九	一七〇	一七一	一七二	一七三	一七四	一七五	一七六	一七七	一七八	一七九	一八〇	一八一	一八二
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	一八三	一八四	一八五	一八六	一八七	一八八	一八九	一九〇	一九一	一九二	一九三	一九四	一九五	一九六
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	一九七	一九八	一九九	二〇〇	二〇一	二〇二	二〇三	二〇四	二〇五	二〇六	二〇七	二〇八	二〇九	二一〇
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	二一一	二一二	二一三	二一四	二一五	二一六	二一七	二一八	二一九	二二〇	二二一	二二二	二二三	二二四
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	二二五	二二六	二二七	二二八	二二九	二三〇	二三一	二三二	二三三	二三四	二三五	二三六	二三七	二三八
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	二三九	二四〇	二四一	二四二	二四三	二四四	二四五	二四六	二四七	二四八	二四九	二五〇	二五一	二五二
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	二五三	二五四	二五五	二五六	二五七	二五八	二五九	二六〇	二六一	二六二	二六三	二六四	二六五	二六六
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	二六七	二六八	二六九	二七〇	二七一	二七二	二七三	二七四	二七五	二七六	二七七	二七八	二七九	二八〇
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	二八一	二八二	二八三	二八四	二八五	二八六	二八七	二八八	二八九	二九〇	二九一	二九二	二九三	二九四
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	二九五	二九六	二九七	二九八	二九九	三〇〇	三〇一	三〇二	三〇三	三〇四	三〇五	三〇六	三〇七	三〇八
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	三〇九	三一〇	三一一	三一二	三一三	三一四	三一五	三一六	三一七	三一八	三一九	三二〇	三二一	三二二
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

番號	三二三	三二四	三二五	三二六	三二七	三二八	三二九	三三〇	三三一	三三二	三三三	三三四	三三五	三三六
名稱	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上照標準														
標準	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
基目	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
盛價	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
格	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五	九六六二〇五

| 番號 | 三三七 |

同 同 同

| | | |

| | | |

| | | |

番號	名稱	品質構造	目盛	價格
一九四	同	同	6″ × 30″ × 30lb 2″ 11b	六三〇
一九三	同	同	150%m × 76cm × 2KG 5cm 0.1KG	六三〇
一九二	同	同	150%m × 76cm × 2KG 5cm 0.1KG	一一九〇
一九一	同	同	5″ × 30″ × 30lb 2″ 11b	五六〇
一九〇	同	同	125%m × × 2KG 5cm 0.1KG	六〇
一八九	同	同	125%m × 76cm × 2KG 5cm 0.1KG	一〇五五
一八八	同	同	4″ × 30″ × 30lb 2″ 11b	五〇五
一七一	眞空計	同	75%m × 76cm × 2cm	七九〇
一七〇	同	同	100%m × 10KG 0.5KG	一三八五
一六九	同	同	125%m 20KG 0.5KG	一五一〇
一六八	同	同	200%m 20KG 0.2KG	二七七〇
一六七	同	同	175%m 20KG 0.5KG	一八九〇
一六六	同	同	100%m 12KG 0.2KG	一三八五
一六五	同	同	100%m 12KG 0.2KG	一二六〇
一六四	同	同	100%m 8KG 0.2KG	一三八五
一六三	同	同	200%m 20KG 0.5KG	二三九五
一六二	蒸氣壓力計	同	125%m 9KG 0.2KG	一三二〇
一六一	同	同	100%m 10KG 0.5KG	二六四五
一六〇	同	同	100%m 15KG 0.5KG	一三八五
一五九	同	同	75%m 10KG 0.5KG	一二六〇
一五八	同	同	120%m 16KG 0.2KG	二七七〇
一五七	同	同	100%m 12KG 0.2KG	一三八五
一五六	同	眞鍮製	100%m × 12KG 0.2KG	一二六〇

番號	名稱	品質構造	目盛	價格
一	ホーメー氏重液計（鐶メートル）	眞鍮製	20cm 0 — 30 1°	八〇
二	同（特油メートル）	同	20cm 0 — 30 1°	九〇
三	同（酷メートル）シリンドル附	同	11cm 0 — 17 1°	一六〇
四	同（波メートル）	同	24cm 0 — 8 1° 5	一〇五
五	同（雨メートル）	同	21cm 0 — 3 1° 10	一〇
六	同（砂糖メートル）	同	24cm 0 — 30 1°	一〇
七	同（酸メートル）	同	27cm 0 — 70 1°	一〇
八	同（改良精油メートル）	同	30cm 10 — 27 1° 5	二六〇
九	同（味淋メートル）	同	21cm 0 — 25 1° 2	一〇
一〇	同（醋酸メートル）	同	25cm 0 — 20 1° 2	一二〇
一一	同（灰汁メートル）	同	21cm 0 — 10 1° 5	一一〇
一二	同	同	27cm 0 — 60 1° 5	一三〇
一三	同	同	25cm 0 — 12 1° 10	一九〇
一四	ボーメー氏輕液計（酒メートル）	同	21cm 10 — 13 1° 10	一一〇
一五	同（石油メートル）	同	26cm 10 — 70 1°	一一〇
一六	ボーメー氏重輕液計（YO式改良酒メートル）	同	19cm −30° — 20° 1°	二八〇
一七	ボーメー氏輕液比重	同	26cm 0.700 10 — 1.000 70 1°	一〇〇
一八	ボーメー氏重液比重	同	20cm 1.000 0 — 2.000 70 ボーメ 1° 重比 1° 5	一〇〇
一九	同	同	28cm 1.530 50 — 1.710 60 比重 1° 2 ボーメ 1° 5	一〇〇
二〇	酒精計	同	19cm 0 — 30 1°	一三〇
二一	同	同	19cm 30 — 60 1°	一三〇
二二	同	同	19cm 60 — 100 1°	一四〇
一八七	同	同	100%m × 76cm × 2%m 5cm 0.1KG	五〇五
一八六	聯成計	同	100%m × 76cm × 2%m 5cm 0.1KG	九二五
一八五	同	同	° 7″ 30″ 1″	七〇〇五
一八四	同	同	175%m 76cm 2cm	七〇〇五
一八三	同	同	175%m 76cm 2cm	一五八五
一八二	同	同	6″ 30″ 1″	六〇〇五
一八一	同	同	100%m 76cm 2cm	六〇〇五
一八〇	同	同	150%m 76cm 2cm	一一九〇
一七九	同	同	5″ 30″ 1″	五三五五
一七八	同	同	125%m 76cm 2cm	五三五五
一七七	同	同	125%m 76cm 2cm	一〇五〇
一七六	同	同	4″ 30″ 1″	四八五五
一七五	同	同	100%m 76cm 2cm	四八五五
一七四	同	同	100%m 76cm 2cm	九二五五
一七三	同	同	3″ 30″ 1″	四三五五
一七二	同	同	75%m × 76cm 1cm	四三五五

番號	名稱	品質	型式	構造	目盛	價格
一一〇	温度計	寒暖計	棒型	硝子管	攝氏	一圓
一一一	同	同	同	同	同	一圓五十錢
一一二	同	同	同	同	同	二圓
一一三	同	同	同	同	同	二圓五十錢
一一四	同	同	同	同	同	三圓
一一五	同	同	同	同	同	三圓五十錢
一一六	同	同	同	同	同	四圓
一一七	同	同	同	同	同	四圓五十錢
一一八	同	同	同	同	同	五圓
一一九	同	同	同	同	同	五圓五十錢
一二〇	同	同	同	同	同	六圓
一二一	同	同	同	同	同	六圓五十錢
一二二	同	同	同	同	同	七圓
一二三	同	同	同	同	同	七圓五十錢
一二四	同	同	同	同	同	八圓
一二五	同	同	同	同	同	八圓五十錢
一二六	同	同	同	同	同	九圓
一二七	同	同	同	同	同	九圓五十錢
一二八	同	同	同	同	同	十圓
一二九	同	同	同	同	同	十圓五十錢
一三〇	同	同	同	同	同	十一圓
一三一	同	同	同	同	同	十一圓五十錢
一三二	同	同	同	同	同	十二圓
一三三	同	同	同	同	同	十二圓五十錢
一三四	同	同	同	同	同	十三圓
一三五	同	同	同	同	同	十三圓五十錢
一三六	同	同	同	同	同	十四圓
一三七	同	同	同	同	同	十四圓五十錢
一三八	同	同	同	同	同	十五圓
一三九	同	同	同	同	同	十五圓五十錢
一四〇	同	同	同	同	同	十六圓
一四一	同	同	同	同	同	十六圓五十錢
一四二	同	同	同	同	同	十七圓
一四三	同	同	同	同	同	十七圓五十錢
一四四	同	同	同	同	同	十八圓
一四五	同	同	同	同	同	十八圓五十錢
一四六	同	同	同	同	同	十九圓
一四七	同	同	同	同	同	十九圓五十錢
一四八	同	同	同	同	同	二十圓
一四九	同	同	同	同	同	二十圓五十錢
一五〇	同	同	同	同	同	二十一圓
一五一	同	同	同	同	同	二十一圓五十錢
一五二	同	同	同	同	同	二十二圓
一五三	同	同	同	同	同	二十二圓五十錢
一五四	同	同	同	同	同	二十三圓
一五五	同	同	同	同	同	二十三圓五十錢
一五六	同	同	同	同	同	二十四圓
一五七	同	同	同	同	同	二十四圓五十錢
一五八	同	同	同	同	同	二十五圓
一五九	同	同	同	同	同	二十五圓五十錢
一六〇	同	同	同	同	同	二十六圓
一六一	同	同	同	同	同	二十六圓五十錢
一六二	同	同	同	同	同	二十七圓
一六三	同	同	同	同	同	二十七圓五十錢
一六四	同	同	同	同	同	二十八圓
一六五	同	同	同	同	同	二十八圓五十錢
一六六	同	同	同	同	同	二十九圓
一六七	同	同	同	同	同	二十九圓五十錢
一六八	同	同	同	同	同	三十圓
一六九	同	同	同	同	同	三十圓五十錢
一七〇	同	同	同	同	同	三十一圓
一七一	同	同	同	同	同	三十一圓五十錢
一七二	同	同	同	同	同	三十二圓
一七三	同	同	同	同	同	三十二圓五十錢
一七四	同	同	同	同	同	三十三圓
一七五	同	同	同	同	同	三十三圓五十錢
一七六	同	同	同	同	同	三十四圓
一七七	同	同	同	同	同	三十四圓五十錢
一七八	同	同	同	同	同	三十五圓
一七九	同	同	同	同	同	三十五圓五十錢
一八〇	同	同	同	同	同	三十六圓
一八一	同	同	同	同	同	三十六圓五十錢
一八二	同	同	同	同	同	三十七圓
一八三	同	同	同	同	同	三十七圓五十錢
一八四	同	同	同	同	同	三十八圓
一八五	同	同	同	同	同	三十八圓五十錢
一八六	同	同	同	同	同	三十九圓
一八七	同	同	同	同	同	三十九圓五十錢
一八八	同	同	同	同	同	四十圓
一八九	同	同	同	同	同	四十圓五十錢
一九〇	同	同	同	同	同	四十一圓
一九一	同	同	同	同	同	四十一圓五十錢
一九二	同	同	同	同	同	四十二圓
一九三	同	同	同	同	同	四十二圓五十錢
一九四	同	同	同	同	同	四十三圓
一九五	同	同	同	同	同	四十三圓五十錢
一九六	同	同	同	同	同	四十四圓
一九七	同	同	同	同	同	四十四圓五十錢
一九八	同	同	同	同	同	四十五圓
一九九	同	同	同	同	同	四十五圓五十錢
二〇〇	同	同	同	同	同	四十六圓
二〇一	同	同	同	同	同	四十六圓五十錢
二〇二	同	同	同	同	同	四十七圓
二〇三	同	同	同	同	同	四十七圓五十錢
二〇四	同	同	同	同	同	四十八圓
二〇五	同	同	同	同	同	四十八圓五十錢
二〇六	同	同	同	同	同	四十九圓
二〇七	同	同	同	同	同	四十九圓五十錢
二〇八	同	同	同	同	同	五十圓
二〇九	同	同	同	同	同	五十圓五十錢
二一〇	同	同	同	同	同	五十一圓
二一一	同	同	同	同	同	五十一圓五十錢
二一二	同	同	同	同	同	五十二圓
二一三	同	同	同	同	同	五十二圓五十錢
二一四	同	同	同	同	同	五十三圓
二一五	同	同	同	同	同	五十三圓五十錢
二一六	同	同	同	同	同	五十四圓
二一七	同	同	同	同	同	五十四圓五十錢
二一八	同	同	同	同	同	五十五圓
二一九	同	同	同	同	同	五十五圓五十錢
二二〇	同	同	同	同	同	五十六圓
二二一	同	同	同	同	同	五十六圓五十錢
二二二	同	同	同	同	同	五十七圓
二二三	同	同	同	同	同	五十七圓五十錢
二二四	同	同	同	同	同	五十八圓
二二五	同	同	同	同	同	五十八圓五十錢
二二六	同	同	同	同	同	五十九圓
二二七	同	同	同	同	同	五十九圓五十錢
二二八	同	同	同	同	同	六十圓
二二九	同	同	同	同	同	六十圓五十錢
二三〇	同	同	同	同	同	六十一圓
二三一	同	同	同	同	同	六十一圓五十錢
二三二	同	同	同	同	同	六十二圓
二三三	同	同	同	同	同	六十二圓五十錢
二三四	同	同	同	同	同	六十三圓
二三五	同	同	同	同	同	六十三圓五十錢
二三六	同	同	同	同	同	六十四圓
二三七	同	同	同	同	同	六十四圓五十錢
二三八	同	同	同	同	同	六十五圓
二三九	同	同	同	同	同	六十五圓五十錢
二四〇	同	同	同	同	同	六十六圓
二四一	同	同	同	同	同	六十六圓五十錢
二四二	同	同	同	同	同	六十七圓
二四三	同	同	同	同	同	六十七圓五十錢
二四四	同	同	同	同	同	六十八圓
二四五	同	同	同	同	同	六十八圓五十錢
二四六	同	同	同	同	同	六十九圓
二四七	同	同	同	同	同	六十九圓五十錢
二四八	同	同	同	同	同	七十圓
二四九	同	同	同	同	同	七十圓五十錢
二五〇	同	同	同	同	同	七十一圓
二五一	同	同	同	同	同	七十一圓五十錢
二五二	同	同	同	同	同	七十二圓
二五三	同	同	同	同	同	七十二圓五十錢
二五四	同	同	同	同	同	七十三圓
二五五	同	同	同	同	同	七十三圓五十錢
二五六	同	同	同	同	同	七十四圓
二五七	同	同	同	同	同	七十四圓五十錢
二五八	同	同	同	同	同	七十五圓
二五九	同	同	同	同	同	七十五圓五十錢
二六〇	同	同	同	同	同	七十六圓
二六一	同	同	同	同	同	七十六圓五十錢
二六二	同	同	同	同	同	七十七圓
二六三	同	同	同	同	同	七十七圓五十錢
二六四	同	同	同	同	同	七十八圓
二六五	同	同	同	同	同	七十八圓五十錢
二六六	同	同	同	同	同	七十九圓
二六七	同	同	同	同	同	七十九圓五十錢
二六八	同	同	同	同	同	八十圓
二六九	同	同	同	同	同	八十圓五十錢
二七〇	同	同	同	同	同	八十一圓
二七一	同	同	同	同	同	八十一圓五十錢
二七二	同	同	同	同	同	八十二圓
二七三	同	同	同	同	同	八十二圓五十錢
二七四	同	同	同	同	同	八十三圓
二七五	同	同	同	同	同	八十三圓五十錢
二七六	同	同	同	同	同	八十四圓
二七七	同	同	同	同	同	八十四圓五十錢
二七八	同	同	同	同	同	八十五圓
二七九	同	同	同	同	同	八十五圓五十錢
二八〇	同	同	同	同	同	八十六圓
二八一	同	同	同	同	同	八十六圓五十錢
二八二	同	同	同	同	同	八十七圓
二八三	同	同	同	同	同	八十七圓五十錢
二八四	同	同	同	同	同	八十八圓
二八五	同	同	同	同	同	八十八圓五十錢
二八六	同	同	同	同	同	八十九圓
二八七	同	同	同	同	同	八十九圓五十錢
二八八	同	同	同	同	同	九十圓
二八九	同	同	同	同	同	九十圓五十錢
二九〇	同	同	同	同	同	九十一圓
二九一	同	同	同	同	同	九十一圓五十錢
二九二	同	同	同	同	同	九十二圓
二九三	同	同	同	同	同	九十二圓五十錢
二九四	同	同	同	同	同	九十三圓
二九五	同	同	同	同	同	九十三圓五十錢
二九六	同	同	同	同	同	九十四圓
二九七	同	同	同	同	同	九十四圓五十錢
二九八	同	同	同	同	同	九十五圓
二九九	同	同	同	同	同	九十五圓五十錢
三〇〇	同	同	同	同	同	九十六圓
三〇一	同	同	同	同	同	九十六圓五十錢
三〇二	同	同	同	同	同	九十七圓
三〇三	同	同	同	同	同	九十七圓五十錢
三〇四	同	同	同	同	同	九十八圓
三〇五	同	同	同	同	同	九十八圓五十錢
三〇六	同	同	同	同	同	九十九圓
三〇七	同	同	同	同	同	九十九圓五十錢
三〇八	同	同	同	同	同	百圓

六一	六〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

同	同	同	同	同	ア ル コ ー ル	同	同	同	同	同	同
同	同	同	白〔酸〕蘭地川	洋〔酒〕列銀川	二十五年製造川出	金	金	銅〔海枠水〕川入	金	白鉛〔含鉄曲〕川出	
90cm	75cm	60cm	45cm	20cm	22cm	33cm	21cm	24cm	25cm	26cm	21cm
F C	F C	F C	F C	F C	F C	F C	F C	F C	F C	F C	F C
20°	0° 20°	−20° −20°	−30° −20°	−30° −20°	−30° 20°	−7° 30°	1° −40°	−40° −40°	−40° −40°	−40° −40°	40° 6°
120° 50°	120° 50°	120° 50°	120° 50°	120 50	110° 44°	250° 120°	120° 50°	120° 50°	220° 100°	120° 50°	110° 40°
F C	F C	F C	F C	F C	F C	F C	F C	F C	F C	F C	F C
2°	2° 1°	2° 1°	2° 1°	2° 2°	1° 1°	2° 1°	2° 1°	2° 1°	2° 2°	2° 1°	2° 1°

一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
九〇	九〇	三〇	八六	三七	九五	一〇	三〇	五〇	六〇	三〇	九〇

七六	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五	六四	六三
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	水	苛	同	蘇
												ア		
												ル		
												コ		
												ー		
7	同	同	氏ル	1		立		琲			木	1	升同	木
ス			サ	ス				ン				ス	滴	
氏			ー	氏				ス			醸造川入	氏	入川	〔筒〕
型			型 F	型				氏型				型	型	〔段〕

31cm	30cm	30cm	30cm	30cm	33cm	30cm	30cm	30cm	30cm	30cm	15cm	30cm	30cm	32 cm
F	F	F	F	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	6°	0°	−30°	−30°	0°	−40°	−40°	−50°
500°	400°	300°	212°	400°	360°	300°	250°	200°	150°	100°	50°	50°	100°	100°	50°
F	F	F	F	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
2°	2°	1°	1°	1°	1°	1°	1°	1°	1°	1°	1°	1°	1°	1°

九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三ツ矢サイダー	鉄	一地鏡中ノ川中九十一〕拼	錠〔地中剪川〕拼	九地鏡中ノ川中八十一〕拼	金	〔地中ノ川ケルス〕拼	〔酸造川〕								
31cm	30cm	30cm	31cm	33cm	39cm	42cm	36cm	30cm	30cm	28cm	20cm	30cm	33cm	34cm	33cm
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	F	F	F
0°	−20°	−20°	−20°	−20°	0°	−20°	−20°	0°	0°	−15°	−20°	0°	0°	0°	0°
80°	50°	50°	100°	100°	50	240°	140°	100°	150°	50°	50°	50°	800°	700°	600
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	F	F	F
1°	1° 1/2	1°	1°	1°	1°	1° 1/2	1° 1/2	1° 1/2	1° 1/2	1° 1/2	1° 1/2	1° 1/2	2°	2°	2°

一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八〇	四〇	四〇	九〇	八〇	五	五	四〇	四〇	四〇	七〇	三〇	二〇	九〇	五〇	七〇

〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	〇〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三
同	同	同	炭酸計高炭低炭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

同	同	同	同	同	水	同同	エ テ ル 銀	同	同	同	同	同	同	同	同
															〔三段変ノ川中九十〕
													升同	木	
												7	缶詰		
												1	酒		
												ス	又		
												氏	入		
													川		
												型	段人		

七八	七九	八〇	八一	八二	八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	九〇	九一	九二	九三
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

76cm	44cm	36cm	30cm	30cm	15cm	30cm	30cm	30cm	30cm	30cm	23cm	24cm	36cm	37cm	38cm
C	F	C	C	C	C	C	C	C	C	C	F	C	C	C	C
1°	0°	−40°	−40°	100°	0°	0°	−40°	−40°	−50°	−40°	120°	50°	−20°	−20°	−45°
100°	50°	100°	200°	100°	50°	40°	50°	50°	50°	50°	120°	50°	50°	50°	45°
C	C	C	F	C	C	C	C	C	C	C	F	C	C	C	C
1°	2°	1°	1°	2°	1°	1°	1°	1°	1°	1°	2°	1°	1°	1°	1°

九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

九五	九六	二	五	九	八	八	四	六	五	八	八	二	一	二	三
九〇	九〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇	〇	〇	〇	五	五

一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六〇	五〇	四〇	三〇	二〇	一〇	〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇	四〇	三〇	二〇	一〇

一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一
九〇	三〇	四〇	五〇	四〇	九〇	〇〇	三〇	二〇	九〇	八〇	五〇	四〇	六〇	二〇	九〇

番號	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇
種類	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
名稱	尺	磬	和田式	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
品型	曲尺	金屬製	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造者	大工	佛具師	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
價格	一〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
備考	一尺ニ付	一個ニ付	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

番號	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇
種類	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
名稱	曲尺	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
品型	鐵製	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製造者	大工	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
價格	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
備考	一尺ニ付	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

政府ニ於ケル販賣スル度量衡ノ修理及材料

器

種類	量	容積	面積	重量
一	一勺	一勺	一平方糎	一瓦
二	二勺	二勺	二平方糎	二瓦
三	三勺	三勺	三平方糎	三瓦
四	四勺	四勺	四平方糎	四瓦
五	五勺	五勺	五平方糎	五瓦
六	六勺	六勺	六平方糎	六瓦
七	七勺	七勺	七平方糎	七瓦
八	八勺	八勺	八平方糎	八瓦
九	九勺	九勺	九平方糎	九瓦
一合	一合	一合	一平方粍	十瓦
二合	二合	二合	二平方粍	二十瓦
三合	三合	三合	三平方粍	三十瓦
四合	四合	四合	四平方粍	四十瓦
五合	五合	五合	五平方粍	五十瓦
六合	六合	六合	六平方粍	六十瓦
七合	七合	七合	七平方粍	七十瓦
八合	八合	八合	八平方粍	八十瓦
九合	九合	九合	九平方粍	九十瓦
一升	一升	一升	一平方糎	一百瓦
二升	二升	二升	二平方糎	二百瓦
三升	三升	三升	三平方糎	三百瓦
四升	四升	四升	四平方糎	四百瓦
五升	五升	五升	五平方糎	五百瓦
六升	六升	六升	六平方糎	六百瓦
七升	七升	七升	七平方糎	七百瓦
八升	八升	八升	八平方糎	八百瓦
九升	九升	九升	九平方糎	九百瓦
一斗	一斗	一斗	一平方粎	一千瓦
二斗	二斗	二斗	二平方粎	二千瓦
三斗	三斗	三斗	三平方粎	三千瓦
四斗	四斗	四斗	四平方粎	四千瓦
五斗	五斗	五斗	五平方粎	五千瓦
六斗	六斗	六斗	六平方粎	六千瓦
七斗	七斗	七斗	七平方粎	七千瓦
八斗	八斗	八斗	八平方粎	八千瓦
九斗	九斗	九斗	九平方粎	九千瓦
一石	一石	一石	一平方粁	一万瓦
二石	二石	二石	二平方粁	二万瓦
三石	三石	三石	三平方粁	三万瓦
四石	四石	四石	四平方粁	四万瓦
五石	五石	五石	五平方粁	五万瓦
六石	六石	六石	六平方粁	六万瓦
七石	七石	七石	七平方粁	七万瓦
八石	八石	八石	八平方粁	八万瓦
九石	九石	九石	九平方粁	九万瓦
一斛	一斛	一斛	一平方粍	十万瓦

衡

種類	天秤及上皿	棹秤	台秤	特種秤
一	一瓦	一瓦	一瓦	一瓦
二	二瓦	二瓦	二瓦	二瓦
三	三瓦	三瓦	三瓦	三瓦
四	四瓦	四瓦	四瓦	四瓦
五	五瓦	五瓦	五瓦	五瓦
六	六瓦	六瓦	六瓦	六瓦
七	七瓦	七瓦	七瓦	七瓦
八	八瓦	八瓦	八瓦	八瓦
九	九瓦	九瓦	九瓦	九瓦
一斤	一斤	一斤	一斤	十斤
二斤	二斤	二斤	二斤	二十斤
三斤	三斤	三斤	三斤	三十斤
四斤	四斤	四斤	四斤	四十斤
五斤	五斤	五斤	五斤	五十斤
六斤	六斤	六斤	六斤	六十斤
七斤	七斤	七斤	七斤	七十斤
八斤	八斤	八斤	八斤	八十斤
九斤	九斤	九斤	九斤	九十斤
一貫	一貫	一貫	一貫	百斤

度

種類	巻尺	折尺	間竿	間縄
一	一米	一寸	一間	一間
二	二米	二寸	二間	二間
三	三米	三寸	三間	三間
四	四米	四寸	四間	四間
五	五米	五寸	五間	五間
六	六米	六寸	六間	六間
七	七米	七寸	七間	七間
八	八米	八寸	八間	八間
九	九米	九寸	九間	九間
一〇	一〇米	一尺	一〇間	一〇間
二〇	二〇米	二尺	二〇間	二〇間
三〇	三〇米	三尺	三〇間	三〇間
四〇	四〇米	四尺	四〇間	四〇間
五〇	五〇米	五尺	五〇間	五〇間
六〇	六〇米	六尺	六〇間	六〇間
七〇	七〇米	七尺	七〇間	七〇間
八〇	八〇米	八尺	八〇間	八〇間
九〇	九〇米	九尺	九〇間	九〇間
一〇〇	一〇〇米	一〇尺	一〇〇間	一〇〇間

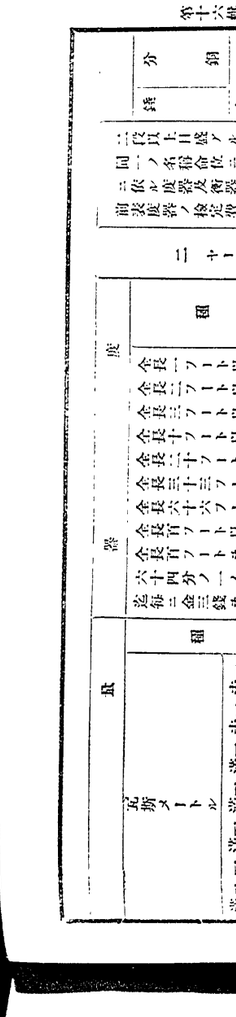
用

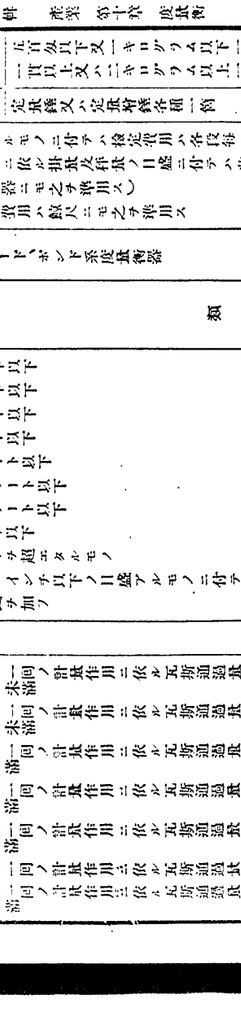
種類	動	重	軽	金
一	一瓦	一瓦	一瓦	一瓦
二	二瓦	二瓦	二瓦	二瓦
三	三瓦	三瓦	三瓦	三瓦
四	四瓦	四瓦	四瓦	四瓦
五	五瓦	五瓦	五瓦	五瓦
六	六瓦	六瓦	六瓦	六瓦
七	七瓦	七瓦	七瓦	七瓦
八	八瓦	八瓦	八瓦	八瓦
九	九瓦	九瓦	九瓦	九瓦
一〇	一〇瓦	一〇瓦	一〇瓦	一〇瓦
二〇	二〇瓦	二〇瓦	二〇瓦	二〇瓦
三〇	三〇瓦	三〇瓦	三〇瓦	三〇瓦
四〇	四〇瓦	四〇瓦	四〇瓦	四〇瓦
五〇	五〇瓦	五〇瓦	五〇瓦	五〇瓦
六〇	六〇瓦	六〇瓦	六〇瓦	六〇瓦
七〇	七〇瓦	七〇瓦	七〇瓦	七〇瓦
八〇	八〇瓦	八〇瓦	八〇瓦	八〇瓦
九〇	九〇瓦	九〇瓦	九〇瓦	九〇瓦
一〇〇	一〇〇瓦	一〇〇瓦	一〇〇瓦	一〇〇瓦

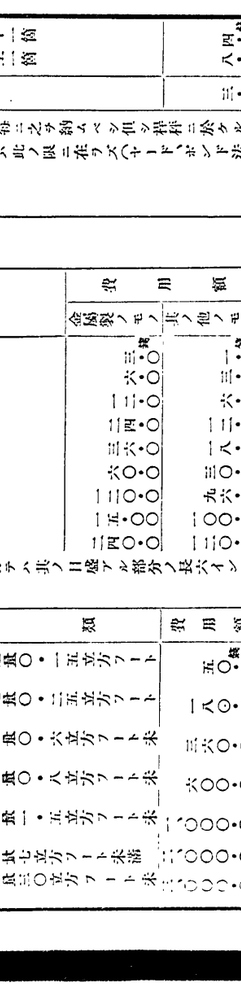
器

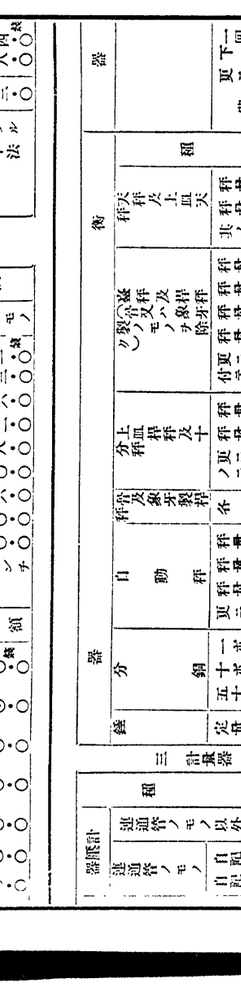
種類	度
一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一米以下ノモノ
二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一米ヲ超エ二米以下ノモノ
三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二米ヲ超エ三米以下ノモノ
四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ三米ヲ超エ四米以下ノモノ
五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ四米ヲ超エ五米以下ノモノ
六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五米ヲ超エ十米以下ノモノ
七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十米ヲ超エ二十米以下ノモノ
八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十米ヲ超エ五十米以下ノモノ
九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十米ヲ超エ百米以下ノモノ
一〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百米ヲ超エ二百米以下ノモノ
一一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百米ヲ超エ五百米以下ノモノ
一二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百米ヲ超エ千米以下ノモノ
一三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千米ヲ超エ二千米以下ノモノ
一四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千米ヲ超エ五千米以下ノモノ
一五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千米ヲ超エ一万米以下ノモノ
一六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一万米ヲ超エ二万米以下ノモノ
一七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二万米ヲ超エ五万米以下ノモノ
一八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五万米ヲ超エ十万米以下ノモノ
一九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十万米ヲ超エ二十万米以下ノモノ
二〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十万米ヲ超エ五十万米以下ノモノ
二一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十万米ヲ超エ百万米以下ノモノ
二二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百万米ヲ超エ二百万米以下ノモノ
二三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百万米ヲ超エ五百万米以下ノモノ
二四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百万米ヲ超エ千万米以下ノモノ
二五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千万米ヲ超エ二千万米以下ノモノ
二六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千万米ヲ超エ五千万米以下ノモノ
二七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千万米ヲ超エ一億米以下ノモノ
二八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一億米ヲ超エ二億米以下ノモノ
二九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二億米ヲ超エ五億米以下ノモノ
三〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五億米ヲ超エ十億米以下ノモノ
三一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十億米ヲ超エ二十億米以下ノモノ
三二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十億米ヲ超エ五十億米以下ノモノ
三三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十億米ヲ超エ百億米以下ノモノ
三四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百億米ヲ超エ二百億米以下ノモノ
三五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百億米ヲ超エ五百億米以下ノモノ
三六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百億米ヲ超エ千億米以下ノモノ
三七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千億米ヲ超エ二千億米以下ノモノ
三八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千億米ヲ超エ五千億米以下ノモノ
三九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千億米ヲ超エ一兆米以下ノモノ
四〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一兆米ヲ超エ二兆米以下ノモノ
四一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二兆米ヲ超エ五兆米以下ノモノ
四二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五兆米ヲ超エ十兆米以下ノモノ
四三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十兆米ヲ超エ二十兆米以下ノモノ
四四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十兆米ヲ超エ五十兆米以下ノモノ
四五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十兆米ヲ超エ百兆米以下ノモノ
四六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百兆米ヲ超エ二百兆米以下ノモノ
四七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百兆米ヲ超エ五百兆米以下ノモノ
四八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百兆米ヲ超エ千兆米以下ノモノ
四九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千兆米ヲ超エ二千兆米以下ノモノ
五〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千兆米ヲ超エ五千兆米以下ノモノ
五一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千兆米ヲ超エ一京米以下ノモノ
五二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一京米ヲ超エ二京米以下ノモノ
五三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二京米ヲ超エ五京米以下ノモノ
五四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五京米ヲ超エ十京米以下ノモノ
五五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十京米ヲ超エ二十京米以下ノモノ
五六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十京米ヲ超エ五十京米以下ノモノ
五七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十京米ヲ超エ百京米以下ノモノ
五八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百京米ヲ超エ二百京米以下ノモノ
五九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百京米ヲ超エ五百京米以下ノモノ
六〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百京米ヲ超エ千京米以下ノモノ
六一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千京米ヲ超エ二千京米以下ノモノ
六二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千京米ヲ超エ五千京米以下ノモノ
六三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千京米ヲ超エ一垓米以下ノモノ
六四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一垓米ヲ超エ二垓米以下ノモノ
六五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二垓米ヲ超エ五垓米以下ノモノ
六六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五垓米ヲ超エ十垓米以下ノモノ
六七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十垓米ヲ超エ二十垓米以下ノモノ
六八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十垓米ヲ超エ五十垓米以下ノモノ
六九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十垓米ヲ超エ百垓米以下ノモノ
七〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百垓米ヲ超エ二百垓米以下ノモノ
七一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百垓米ヲ超エ五百垓米以下ノモノ
七二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百垓米ヲ超エ千垓米以下ノモノ
七三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千垓米ヲ超エ二千垓米以下ノモノ
七四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千垓米ヲ超エ五千垓米以下ノモノ
七五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千垓米ヲ超エ一杼米以下ノモノ
七六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一杼米ヲ超エ二杼米以下ノモノ
七七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二杼米ヲ超エ五杼米以下ノモノ
七八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五杼米ヲ超エ十杼米以下ノモノ
七九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十杼米ヲ超エ二十杼米以下ノモノ
八〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十杼米ヲ超エ五十杼米以下ノモノ
八一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十杼米ヲ超エ百杼米以下ノモノ
八二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百杼米ヲ超エ二百杼米以下ノモノ
八三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百杼米ヲ超エ五百杼米以下ノモノ
八四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百杼米ヲ超エ千杼米以下ノモノ
八五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千杼米ヲ超エ二千杼米以下ノモノ
八六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千杼米ヲ超エ五千杼米以下ノモノ
八七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千杼米ヲ超エ一穣米以下ノモノ
八八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一穣米ヲ超エ二穣米以下ノモノ
八九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二穣米ヲ超エ五穣米以下ノモノ
九〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五穣米ヲ超エ十穣米以下ノモノ
九一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十穣米ヲ超エ二十穣米以下ノモノ
九二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十穣米ヲ超エ五十穣米以下ノモノ
九三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十穣米ヲ超エ百穣米以下ノモノ
九四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百穣米ヲ超エ二百穣米以下ノモノ
九五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百穣米ヲ超エ五百穣米以下ノモノ
九六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百穣米ヲ超エ千穣米以下ノモノ
九七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千穣米ヲ超エ二千穣米以下ノモノ
九八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千穣米ヲ超エ五千穣米以下ノモノ
九九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千穣米ヲ超エ一溝米以下ノモノ
一〇〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一溝米ヲ超エ二溝米以下ノモノ
一〇一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二溝米ヲ超エ五溝米以下ノモノ
一〇二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五溝米ヲ超エ十溝米以下ノモノ
一〇三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十溝米ヲ超エ二十溝米以下ノモノ
一〇四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十溝米ヲ超エ五十溝米以下ノモノ
一〇五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十溝米ヲ超エ百溝米以下ノモノ
一〇六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百溝米ヲ超エ二百溝米以下ノモノ
一〇七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百溝米ヲ超エ五百溝米以下ノモノ
一〇八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百溝米ヲ超エ千溝米以下ノモノ
一〇九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千溝米ヲ超エ二千溝米以下ノモノ
一一〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千溝米ヲ超エ五千溝米以下ノモノ
一一一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千溝米ヲ超エ一澗米以下ノモノ
一一二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一澗米ヲ超エ二澗米以下ノモノ
一一三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二澗米ヲ超エ五澗米以下ノモノ
一一四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五澗米ヲ超エ十澗米以下ノモノ
一一五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十澗米ヲ超エ二十澗米以下ノモノ
一一六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十澗米ヲ超エ五十澗米以下ノモノ
一一七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十澗米ヲ超エ百澗米以下ノモノ
一一八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百澗米ヲ超エ二百澗米以下ノモノ
一一九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百澗米ヲ超エ五百澗米以下ノモノ
一二〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百澗米ヲ超エ千澗米以下ノモノ
一二一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千澗米ヲ超エ二千澗米以下ノモノ
一二二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千澗米ヲ超エ五千澗米以下ノモノ
一二三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千澗米ヲ超エ一正米以下ノモノ
一二四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一正米ヲ超エ二正米以下ノモノ
一二五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二正米ヲ超エ五正米以下ノモノ
一二六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五正米ヲ超エ十正米以下ノモノ
一二七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十正米ヲ超エ二十正米以下ノモノ
一二八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十正米ヲ超エ五十正米以下ノモノ
一二九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十正米ヲ超エ百正米以下ノモノ
一三〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百正米ヲ超エ二百正米以下ノモノ
一三一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百正米ヲ超エ五百正米以下ノモノ
一三二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百正米ヲ超エ千正米以下ノモノ
一三三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千正米ヲ超エ二千正米以下ノモノ
一三四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千正米ヲ超エ五千正米以下ノモノ
一三五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千正米ヲ超エ一載米以下ノモノ
一三六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一載米ヲ超エ二載米以下ノモノ
一三七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二載米ヲ超エ五載米以下ノモノ
一三八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五載米ヲ超エ十載米以下ノモノ
一三九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十載米ヲ超エ二十載米以下ノモノ
一四〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十載米ヲ超エ五十載米以下ノモノ
一四一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十載米ヲ超エ百載米以下ノモノ
一四二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百載米ヲ超エ二百載米以下ノモノ
一四三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百載米ヲ超エ五百載米以下ノモノ
一四四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百載米ヲ超エ千載米以下ノモノ
一四五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千載米ヲ超エ二千載米以下ノモノ
一四六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千載米ヲ超エ五千載米以下ノモノ
一四七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千載米ヲ超エ一極米以下ノモノ
一四八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一極米ヲ超エ二極米以下ノモノ
一四九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二極米ヲ超エ五極米以下ノモノ
一五〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五極米ヲ超エ十極米以下ノモノ
一五一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十極米ヲ超エ二十極米以下ノモノ
一五二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十極米ヲ超エ五十極米以下ノモノ
一五三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十極米ヲ超エ百極米以下ノモノ
一五四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百極米ヲ超エ二百極米以下ノモノ
一五五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百極米ヲ超エ五百極米以下ノモノ
一五六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百極米ヲ超エ千極米以下ノモノ
一五七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千極米ヲ超エ二千極米以下ノモノ
一五八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千極米ヲ超エ五千極米以下ノモノ
一五九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千極米ヲ超エ一恒河沙米以下ノモノ
一六〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一恒河沙米ヲ超エ二恒河沙米以下ノモノ
一六一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二恒河沙米ヲ超エ五恒河沙米以下ノモノ
一六二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五恒河沙米ヲ超エ十恒河沙米以下ノモノ
一六三	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ十恒河沙米ヲ超エ二十恒河沙米以下ノモノ
一六四	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二十恒河沙米ヲ超エ五十恒河沙米以下ノモノ
一六五	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五十恒河沙米ヲ超エ百恒河沙米以下ノモノ
一六六	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ百恒河沙米ヲ超エ二百恒河沙米以下ノモノ
一六七	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二百恒河沙米ヲ超エ五百恒河沙米以下ノモノ
一六八	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五百恒河沙米ヲ超エ千恒河沙米以下ノモノ
一六九	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ千恒河沙米ヲ超エ二千恒河沙米以下ノモノ
一七〇	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ二千恒河沙米ヲ超エ五千恒河沙米以下ノモノ
一七一	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ五千恒河沙米ヲ超エ一阿僧祇米以下ノモノ
一七二	一分一厘以下ノ目盛アル金属製巻尺及鋼製巻尺ニシテ長サ一阿僧祇米ヲ超エ二阿僧祇

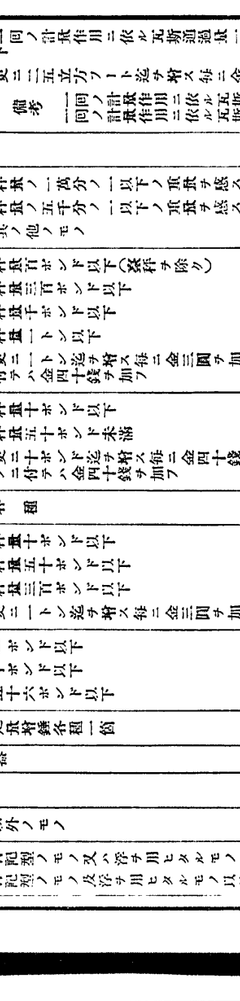
二　ヤードポンド系度量衡器

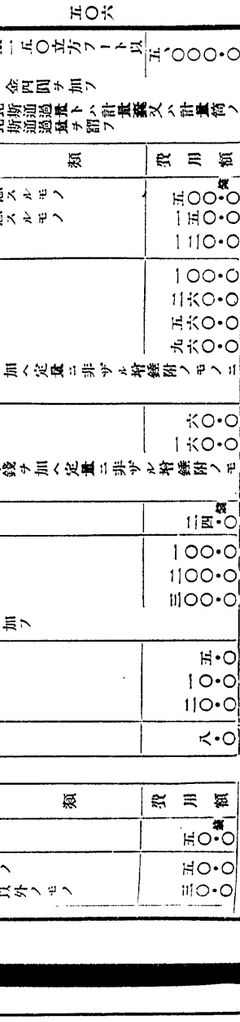


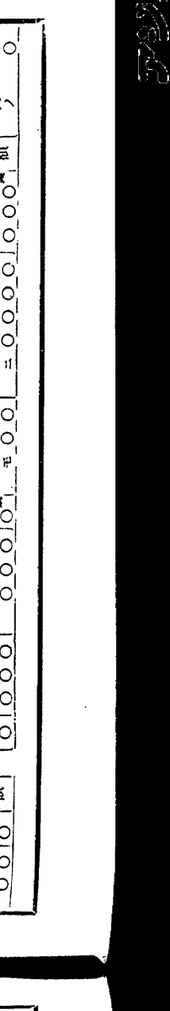




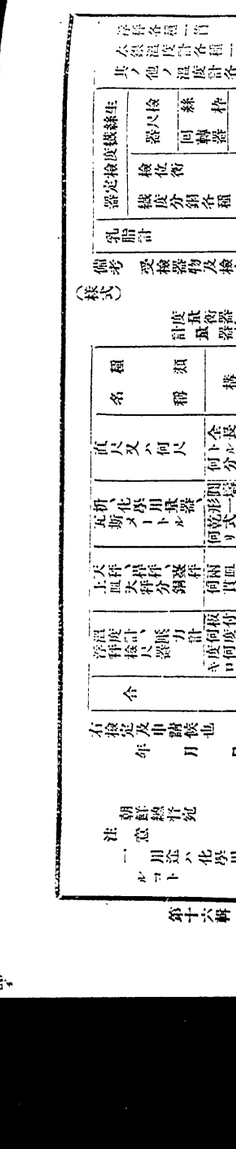


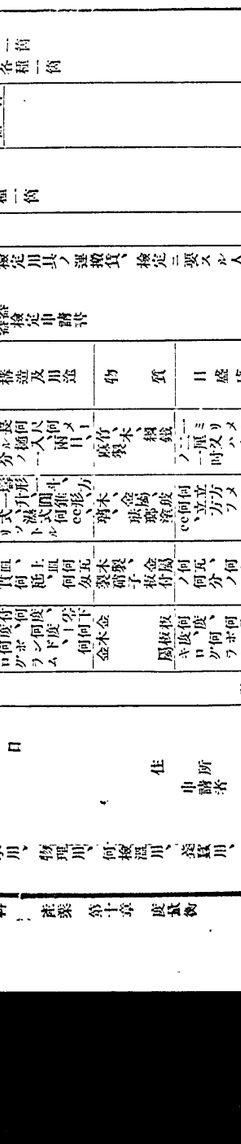


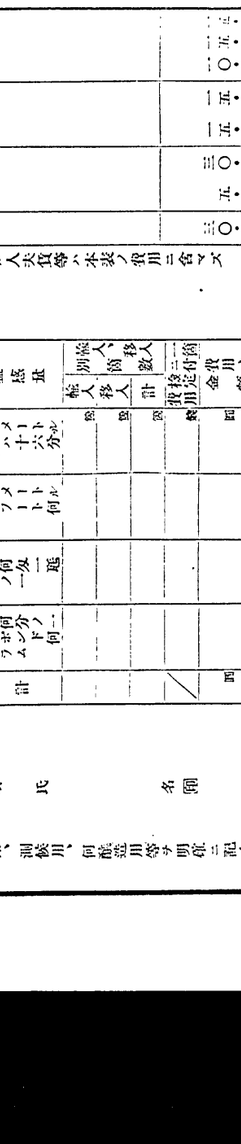


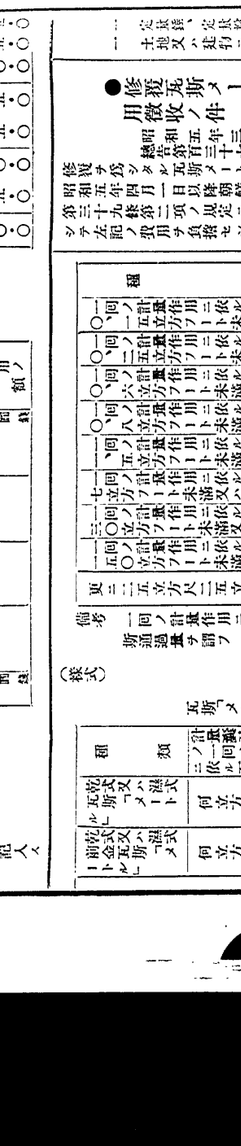


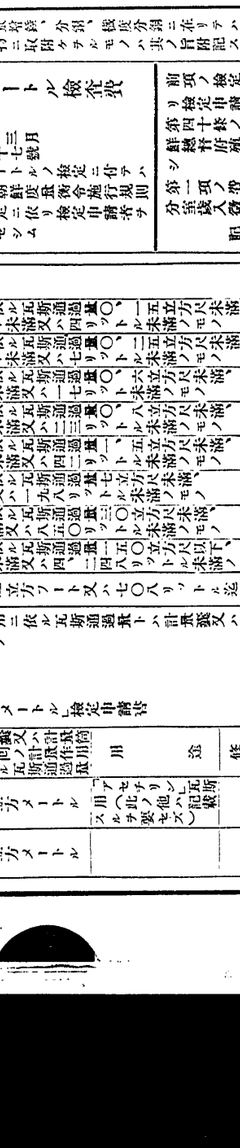
三　計量器

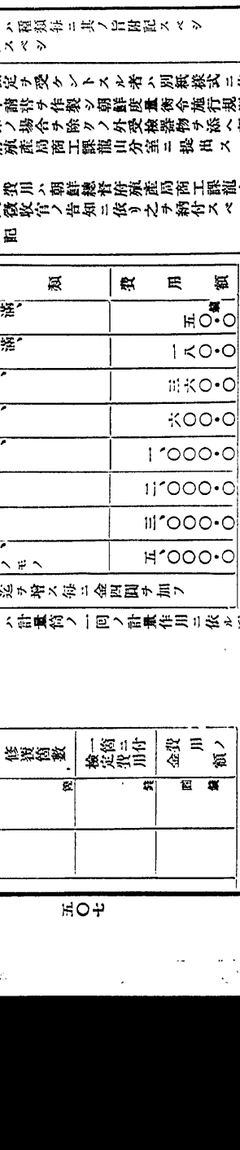












第十七輯

交通電氣

附瓦斯

合計				

右檢定及申請候也

年　月　日　　住所

申請者　氏名　㊞

朝鮮總督殿

㊟水量メートルノ檢定費用ニ關スル件

昭和五年十一月
總督第四百二十五號

水量メートルノ檢定ニ付テハ昭和五年十一月一日以降朝鮮度量衡令施行規則第三十九條第二項ノ規定ニ依リ檢定申請書ヲシテ左記ノ費用ヲ負擔セシム

朝鮮度量衡令施行規則第四十條ノ規定ニ依ル檢定申請者ハ前項ノ檢定費用ノ外檢定官吏ノ旅費其ノ他檢定ニ必要ナル費用ヲ負擔スベシ

檢定申請者ハ別紙樣式ニ依リ檢定申請書ヲ作製シ朝鮮度量衡令施行規則第四十條ノ場合ヲ除クノ外受檢器物ヲ添ヘ之ヲ朝鮮總督府殖産局商工課龍山分室ニ提出スベシ

第一項及第二項ノ費用ハ朝鮮總督府殖産局商工課分室歲入徵收官ノ告知ニ依リ之ヲ納付スベシ

記

種類	費用額
口徑十三ミリメートル以下	三〇・〇圓
口徑十六ミリメートル以下	五〇・〇
口徑二十ミリメートル以下	一〇〇・〇
口徑二十五ミリメートル以下	二〇〇・〇
口徑二十五ミリメートルヲ超エタルモノ	二五〇・〇

（別紙）

（樣式）

水量メートル檢定申請書

種類	口徑	檢定申請事由別箇數					一箇ノ費用	費用額
		修繕	檢入	移入	使用中ノモノ	何々	計	
何式水量メートル	何ミリメートル	箇	箇	箇	箇	箇	箇	圓
合計								

右檢定及申請候也

年　月　日

住所（營業所）

申請者氏名又ハ名稱　　印

朝鮮總督殿

第十七輯　交通　電氣

附瓦斯

第一章　通信

第一款　內國郵便

○朝鮮ニ施行スル法律ニ關スル件（明治四三、九、勅令四一二）……一
○**郵便法**（明治三三、三、法律五四）……一
○郵便規則（明治四四、二、總令九）……三
○郵便禁制品（大正一五、三、總告五五）……九
○郵便切手其ノ他郵便料金ヲ表彰スヘキ證票ニ關スル件（明治四四、一〇、總令一三〇）……九
○鐵道船舶郵便法（明治三三、三、法律五六）……九
○鐵道船舶郵便規則（明治四四、二、總令一〇）……一〇
○通常郵便物市內特別取扱規則（明治四四、二、總令一一）……一一
○速達郵便規則（明治四四、三、總令三二）……一一
○速達郵便物ノ取扱地域（昭和一一、三、總告二二六）……一三
○訴訟、準訴訟停、差例及差押書類郵便規則（昭和四、一〇、總令九〇）……一三
○特許差例及差押書類特別取扱郵便規則（大正一〇、二、一、選令五三）……一三
○郵便物包裝規則（明治四四、二、總令一三）……一三
○年賀特別郵便規則（明治四二、一二、統令六七）……一四
○第三種郵便物認可規則（明治四一、九、統令三五）……一四
○郵便私書箱使用規則（大正九、八、總令一〇七）……一四
○私設郵便函規則（昭和一〇、七、總令九〇）……一四
○郵便切手類記號規則（明治四四、二、總令一四）……一五
○通信日附印押捺省略ノ件（昭和六、三、總告九六）……一五

○東亞郵便物ニ關スル件（明治三七、二、勅令一九）……一九
○軍事郵便規則（大正三、九、總令一三四）……一九
○滿洲方面ト朝鮮トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件（昭和六、一一、總令一四六）……二六
○上海及揚子江方面ト朝鮮トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件（昭和七、二、總令一八）……二六
○航空郵便規則（昭和四、三、總令二九）……二六
○朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル件（昭和四、五、法律六六）……二七
○郵便切手類及收入印紙賣捌規則（昭和五、三、總令二一）……二七
○郵便電信電話等ニ關スル料金ノ徵收竝ニ勅令（大正五、八、勅令二〇〇）……二九
○郵便法第五十五條ノ三ノ規定ニ依ル官沒ニ關スル件（大正五、七、總令五九）……二九
○郵便物ニ徵收ヲ附加スルコトヲ得ルノ件（大正八、九、總告二五〇）……二九
○郵便物ノ取扱ヲ爲サス郵便官署及其ノ取扱事務ノ範圍（昭和五、七、總告二九三）……二九
○通信日附印ノ形式（大正一〇、一、二、總告二八〇）……三〇
○請願ニ依ル通信施設ニ關スル件（大正一二、一、總令二一五）……三〇
○請願通信施設規則（大正一二、一、勅令二一六）……三一
○約束郵便取扱承認規則（大正一二、一、總令三五）……三一
○郵便物特殊取扱ノ範圍（昭和一一、一、選令三）……三一
○朝鮮ト內地、樺太、南洋群島及滿洲間郵便規則（明治四三、一二、總令六三）……三二

第二款　外國郵便

○萬國郵便條約ノ施行規則（昭和九、一二、選告三二四七）……三三
○價格表記ノ書狀及箱物ニ關スル約定ノ施行規則（昭和九、一二、選告三二四八）……四二
○小包郵便物ニ關スル約定ノ施行規則（昭和九、一二、選告三二四九）……八一
○郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ於テ購入及保管スヘキ證券ノ種類（大正一三、九、總告一九五）……一〇五
○郵便振替ニ關スル約定ノ施行規則（昭和九、一二、選告三二五一）……一一三
○外國郵便、外國郵便爲替及外國電信ノ取扱ニ關スル件（明治四四、四、總令四二）……一一〇
○外國郵便規則（大正一〇、一二、選令五六）……一一〇
○課金別納外國郵便物引受郵便局（大正一一、一、總告一六）……一一九
○外國小包郵便ニ關スル料金（昭和七、八、總告四四九）……一一九
○日滿兩國間ノ郵便物、郵便爲替及電報ノ取扱ニ關スル件（昭和七、九、選令三四）……一一九
○日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定（昭和一一、一、選告四三）……一二〇
○日本國及「カナダ」間郵便爲替交換ニ關スル約定ノ施行規則（昭和一一、二、選告二六四）……一二五

第三款　郵便爲替

○郵便爲替法（明治三三、三、法律五五）……一三〇
○郵便爲替規則（明治四四、三、總令二七）……一三〇
○郵便爲替特別取扱規則（昭和七、五、總令四七）……一三八
○俘虜郵便爲替規則（大正三、一一、總令一六四）……一三八
○外國郵便爲替規則（大正一四、九、選令六五）……一三八
○外國郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便官署及其ノ取扱事務ノ範圍（昭和五、七、總告二九三）……一三八
○日滿郵便爲替規則（昭和一一、一、選令三）……一三八
○滿洲駐屯部隊ノ軍人又ハ軍屬ニ宛テタル郵便爲替證書、郵便貯金拂戾證書及郵便振替貯金拂出證書ノ有效期間ニ關スル件（昭和八、七、總令七三）……一四二

第四款　郵便貯金

○郵便貯金法（明治三八、二、法律二三）……一四九
○郵便貯金規則（明治四四、三、總令三一）……一五〇
○郵便貯金ノ局待拂取扱開始（明治四一、九、統告一四八）……一五三
○郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ於テ購入及保管スヘキ證券ノ種類（大正一三、九、總告一九五）……一五三

○郵便貯金規則ニ依リ郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル證券ノ種類（大正八、一二、總告三五六）……一七七
○郵便貯金利子割合ノ件（明治三八、五、勅令一六六）……一七七
○郵便振替貯金規則（明治四二、一二、統令六九）……一七七
○郵便振替貯金事務ニ關スル郵便物宛名記載方（昭和二、九、總告三一〇）……一七九
○郵便振替貯金ノ當座勘定日振替ヲ請求シ得ル銀行（昭和三、五、總告一九八）……一七九
○郵便振替貯金ノ局待拂取扱方（昭和二、九、總告三一一）……一七九
○集金郵便振替貯金拂込規則（明治四四、九、總令一〇二）……一八一
○道義人救納郵便振替貯金特別取扱規則（大正元、八、總令二）……一八二
○府公金受拂郵便振替貯金特別取扱規則（大正七、七、總令七〇）……一八二
○國債募集、賞典及元利金支拂郵便振替貯金特別取扱規則（大正八、一二、總令一九三）……一八六
○郵便振替貯金小切手拂込規則第一條ニ依ル指定銀行及指定受入郵便局所（大正二、一二、總令一〇七）……一八八
○郵便振替貯金ノ加入ニ基本預金ノ拂込ヲ要セザル者（昭和六、六、總告三三七）……一九一
○行賞賜金ニ對シ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳交付ノ件（明治三九、八、勅令二一二）……一九六
○大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金交付ニ關スル件（大正四、一一、勅令二〇四）……一九六
○大正三、四年臨時事件ニ關スル一時賜金保管ノ件（大正五、三、總令一四）……一九六
○外國郵便振替規則（昭和六、三、遞令二一）……一九六

第五款　內國電信

○電信法（明治三三、三、法律五九）……二〇九
○電報規則（大正一四、一〇、總令九三）……二一〇
○電報規則ニ於ケル市內地域（明治四三、一
○無線方位測定規則（昭和一〇、三、總令四〇）……二〇三
○電報ノ別途視違又ハ船舶配達ヲ缺サザル地域（昭和八、九、總告四一〇）……二〇三
○汽車中ニ在ル者ニ宛タル電報ノ交付取扱ニ關スル件（明治四五、四、總告二〇九）……二〇三
○電報規則第四條第二項ニ依リ局報ヲ發送シ得ル場合（明治四五、二、總告二〇）……二〇四
○電報規則第十八條ニ規定スル普通辭ニ使用スル國語（昭和四、一〇、總告三五八）……二〇五
○年賀電報規則（昭和九、一二、總令一一〇）……二〇五
○無線電信法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル件（大正四、一〇、勅令一八六）……二〇七
○無線電信法（大正四、六、法律二六）……二〇七
○無線電報規則（大正一四、一〇、總令九七）……二〇七
○氣象通知電報規則（大正五、一一、總令一〇二）……二〇九
○氣象通知電報記載方式及符號（昭和一〇、一一、總告六六八）……二一〇
○電報料金後納規則（明治三九、一〇、統令四〇）……二一八
○時間外電報ノ取扱ヲ爲サザル件（大正八、九、總令一四八）……二一九
○朝鮮電信線電話線建設令（大正七、七、制令一六）……二一九
○電信線電話線建設條例（明治二三、八、法律五八）……二一九
○無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信取締官署（昭和四、一二、總告五〇三）……二一九
○私設無線電信無線電話規則ニ依ル無線通信監視局（昭和一〇、三、總告一四二）……二二〇
○海難報ニ關スル事務ヲ取扱フ電信局所（昭和六、六、總告三三六）……二二〇
○水底電線路區域（明治四〇、四、統告六一）……二二〇
○無線電信機ヲ裝備スル電信局所ノ呼出符號（大正二、三、總告九七）……二二一
○軍用電氣通信法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件（昭和九、一〇、勅令三一〇）……二二一
○軍用電氣通信法（昭和九、三、法律三九）……二二一
○軍用電氣通信ヲ公衆通信ノ用ニ供スルノ件（昭和九、一〇、勅令三一二）……二二三
○軍用電氣通信ノ線路ノ建設等ニ關スル件（昭和九、一〇、陸海令一）……二二三

第六款　外國電信

○外國電報規則（昭和八、一二、遞令五六）……二二三
○日滿電報規則（昭和八、八、遞令三五）……二二五
○國際放送電報規則（昭和一〇、一二、遞令五一）……二二六
○外國無線電報規則（昭和八、一二、遞令五七）……二二七
○外國電報賀無線電報規則（昭和八、一二、遞令五〇）……二二七
○日滿無線電報規則（昭和八、八、遞令三六）……二二七

第七款　電話

○電話規則（大正八、六、總令一一六）……二二九
○電話加入區域竝ニ土地ノ區別（昭和五、四、總告一七二）……二三六
○電話架設料（昭和五、四、總告一七二）……二三五
○官廳用電信電話規則（明治四四、一一、總令一四〇）……二三四
○私設電信電話規則（明治四四、一一、總令一三九）……二三四
○帶備電話施設ニ關シ寄附ヲ受クルノ件（明治四二、五、勅令一二三）……二三六
○郵便、電信、電話ニ關スル滯納料金徵收規則（明治四五、三、總令九）……二三七
○電信電話建築官吏及料金滯納者財產差押官吏證票（明治三九、七、逓告六五）……二三八
○豫約新聞通話規則（大正一二、九、總令一〇三）……二三八
○內鮮電話通話規則（昭和八、一、總令一）……二三九
○電話ニ依ル災報知ニ關スル件（昭和一〇、七、總告三九七）……二三九
○時事、音樂其ノ他ノ事項ヲ放送シ又ハ之ヲ聽取スル爲施設スル私設無線電話ニ關スル件（大正一三、九、總令四八）……二三九
○放送用私設無線電話規則（大正一二、一二、遞令九八）……二三九
○朝鮮ニ於ケル聽取無線電話施設者カ聽取契約ヲ爲スベキ放送局（大正一五、一二、總告三八〇）……二六一
○聽取無線電話施設許可願書（昭和七、四、總

○私設ノ電信電話、無線電信又ハ無線電話ノ表記文字（昭和一〇、一二、總令一一一）……二六二
○私設ノ電信、電話、無線電信又ハ無線電話ノ技術者ニ對スル證票（昭和一〇、一二、總令一一二）……二六二
○携帶電話ノ取扱（昭和一〇、一二、總令一一三）……二六三
○電信電話ノ料金（昭和一〇、一二、總令一一四）……二六三
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一一五）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一一六）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一一七）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一一八）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一一九）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一二〇）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一二一）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一二二）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一二三）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一二四）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一二五）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一二六）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一二七）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一二八）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一二九）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一三〇）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一三一）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一三二）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一三三）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一三四）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一三五）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一三六）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一三七）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一三八）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一三九）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一四〇）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一四一）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一四二）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一四三）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一四四）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一四五）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一四六）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一四七）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一四八）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一四九）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一五〇）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一五一）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一五二）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一五三）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一五四）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一五五）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一五六）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一五七）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一五八）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一五九）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一六〇）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一六一）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一六二）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一六三）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一六四）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一六五）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一六六）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一六七）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一六八）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一六九）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一七〇）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一七一）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一七二）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一七三）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一七四）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一七五）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一七六）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一七七）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一七八）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一七九）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一八〇）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一八一）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一八二）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一八三）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一八四）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一八五）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一八六）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一八七）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一八八）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一八九）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一九〇）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一九一）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一九二）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一九三）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一九四）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一九五）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一九六）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一九七）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一九八）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令一九九）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令二〇〇）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令二〇一）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令二〇二）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令二〇三）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令二〇四）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令二〇五）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令二〇六）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令二〇七）……二六四
○電信電話ノ料金ニ關スル件（昭和一〇、一二、總令二〇八）……二六四

第二章　運輸

第一款　道路橋梁

○道路規則（大正四、一〇、總令一一一）……二六五
○道路規則第六條第一項但書ノ府指定（大正四、一〇、總告二七七）……二六五
○道路規則第六條第一項但書ニ依リ府指定（大正七、七、總告一八一）……二六五
○一等道路及二等道路表（明治四四、七、總告二三六）……二六八
○市街地ニ於ケル元標竝一、二等道路表（大正三、四、總告一三五）……二六九
○清州外十市街地ニ於ケル元標位置竝一、二等道路表（大正三、一二、總告五七一）……二七〇
○道路取締規則（大正二、五、總令五三）……二七〇
○交通機關ノ整備ニ關シ朝鮮總督ノ意見ヲ聽クベキ事項（大正六、一、總令六）……二七〇
○道路取締規則施行細則（明治四四、一〇、總令一一五）……二七〇
○鴨綠江橋梁歩道ニ依ル輸出入貨物ノ取締ニ關スル件（明治四四、一〇、總令一二九）……二七〇
○道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定（大正六、三、總告六二）……二七一
○道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル橋梁ノ管理廳指定（大正六、三、總告六三）……二七一
○道界ニ於ケル三等道路ヲ接續スル橋梁ノ管理廳指定（大正六、三、總告六四）……二七二
○朝鮮自動車運送事業規則（昭和九、一二、總令一三〇）……二七二
○朝鮮自動車取締規則（昭和九、一二、總令一三一）……二七二
○朝鮮自動車取締規則第五十一條第二項ノ規

○道路規則第八條ノ二ノ規定ニ依ル渡船場及渡船ノ管理廳指定（昭和九、九、總告四八三）……二七三
○携帶ヲ於ケル三等道路ヲ接續スル渡船場及渡船ノ管理廳指定（昭和一〇、六、總告三六二）……二七三
○境界ニ於ケル三等道路ノ橋梁管理廳指定（昭和九、九、總告一五五）……二七四
○重貨物ノ重量標示ニ關スル件（昭和五、九、總令八〇）……二七四

第二款　自動車交通事業

○朝鮮自動車交通事業令（昭和八、九、制令一九）……二七四
○自動車交通事業法（昭和六、四、法律五二）……二七四
○朝鮮自動車交通事業令施行規則（昭和九、一二、總令一二）……二七七
○朝鮮自動車交通事業令取扱手續（昭和一〇、四、總訓一五）……二七七
○朝鮮自動車交通事業令職權委任規則（昭和九、一二、總令一二）……二七八
○朝鮮自動車運輸事業基準規則（昭和九、一二、總令一二四）……二七八
○朝鮮自動車運輸事業令計規程（昭和九、一二、總令一二五）……二七八
○朝鮮自動車運輸規程（昭和九、一二、總令一二六）……二七八
○朝鮮自動車運輸事業營業報告書樣式（昭和九、一二、總告六三三）……二七九
○朝鮮自動車運輸事業統計報告書樣式（昭和九、一二、總告六四四）……二七九
○朝鮮旅客自動車設備規程（昭和九、一二、總令一二七）……二七八
○朝鮮自動車運輸事業自動車登錄規程（昭和九、一二、總令一二八）……二七八
○朝鮮自動車道構造規程（昭和九、一二、總令一二九）……二七九
○朝鮮自動車運送事業規則（昭和九、一二、總令一三〇）……二八〇
○朝鮮自動車取締規則（昭和九、一二、總令一三一）……二八一

第六款　船員　水先人

第七款　船舶檢査及取締

第八款　海上衝突豫防

第五款　船舶

第四款　軌道

第三款　鐵道

第六款　船員　水先人

第七款　船舶檢査及取締

第八款　海上衝突豫防

第五款　船舶

第四款　軌道

第三款　鐵道

第九款　船舶信號及通報

○朝鮮ニ船舶港ヲ有スル日本船舶ノ信號ニ關スル件（昭和八、九、總令一〇四）……六五五
○朝鮮ニ船舶港ヲ有スル日本船舶ノ國際信號旗ノ寸法ニ關スル件（昭和九、一、總令八）……六五六
○朝鮮船舶通報規程（大正四、三、總令二三）……六五六
○朝鮮船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ燈臺（大正四、三、總告六九）……六五六

第十款　航路標識

○朝鮮航路標識規則（大正七、一〇、總令一〇〇）……六五六
○鴨綠江ニ出入スル船舶ノ注意事項（昭和八、一、總告二二）……六五六
○朝鮮西岸大同江、鎭南浦及漢江ニ於ケル各航路ヲ航行スル船舶ノ注意事項（大正二、一二、總告四二）……六五六

第十一款　航行及港灣

○商法施行法第百二十二條ニ依リ潮川、港灣及沿岸小航海ノ範圍ニ關スル件（昭和一〇、二、總令三五）……六五六
○鴨綠江及豆滿江沿岸ニ於ケル外國船舶ノ出入及運送ニ關スル件（大正一二、一、總令一二）……六五六
○漢江ニ於ケル舟筏ノ航行禁止區域（昭和七、一〇、總告五七五）……六五六
○船舶法第一條等ノ日本船舶ノ不開港出入ニ關スル件（大正一二、三、總令六三）……六五六
○稅關機搖、繫船壁及船渠使用規則（大正一一、四、總令四七）……六五六
○稅關所屬曳船使用規則（大正七、五、總令四八）……六五六
○清津漁港管理規則（昭和一〇、一二、總令一四三）……六五六

第十二款　航空

○航空法（大正一〇、四、法律五四）……六五〇
○航空法施行規則（昭和二、五、遞令八）……六五二
○航空法施行ニ關スル件（昭和二、六、總令一〇四）……六五二
○航空法特例（昭和二、六、總令五七）……六五八
○航空機檢査規則（昭和二、五、遞令九）……六五八
○航空機乘員試驗規則（昭和二、五、遞令一〇）……六五八
○航空機乘員體格檢査規則（昭和二、五、遞令一一）……六五八
○三等飛行機操縱士免許規則（昭和二、五、遞令一二）……六五八
○航空日誌ノ樣式及航空機乘員手帖ノ書式（昭和二、六、總令二〇二）……六五八
○飛行場ノ使用ニ關スル件（昭和四、五、總令三九）……六五九
○飛行場使用規程（昭和四、四、遞令一〇）……六五九
○朝鮮航空獎勵規則（昭和一〇、一、總令一）……六五九

第十三款　開港

○開港取締規則（大正四、七、總令七二）……六六〇
○開港ニ於ケル港界表示ノ爲立標及浮標設置ノ件（大正五、二、總告一九）……六六一
○朝鮮電氣事業令施行規則（昭和七、一二、制令一七）……六六一
○朝鮮電氣工作物規程（昭和八、一〇、總令一八）……六六二
○朝鮮自家用電氣工作物施設規則（昭和八、一〇、總令一九）……六六二
○朝鮮電氣工作物施設狀況報告書樣式及其ノ調製方法（昭和八、一〇、總告五二七）……六六三
○朝鮮電氣工作物規程ニ依ル遞信局ノ管理ニ屬スル通信事業用工作物ノ承諾及立會請求ニ關スル件（昭和八、一〇、總告五二八）……六六三
○朝鮮電氣事業令等ノ規定ニ依ル檢査吏員ノ携帶證票（昭和八、一〇、總告五二六）……六六三
○瓦斯事業取締規則（大正九、六、總令九〇）……六六三
○朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル標準光度及標準光束（昭和八、一〇、總告五二三）……六六七
○朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル標旗及標燈（昭和八、一〇、總告五二四）……六七〇
○朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル電氣事業報告書樣式及其ノ調製方法（昭和八、一〇、總告五二五）……六七〇
○朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル發電及送電豫定計畫資料樣式及其ノ調製方法（昭和八、一〇、總告五二七）……六七四
○朝鮮自家用電氣工作物施設規則ニ依ル電氣工作物施設狀況報告書樣式及其ノ調製方法（昭和八、一〇、總告五二九）……六七四
○朝鮮電氣工作物規程ニ依ル遞信局ノ管理ニ屬スル通信事業用工作物ノ承諾及立會請求ニ關スル件（昭和八、一〇、總告五二八）……六七五
○朝鮮電氣事業令等ノ規定ニ依ル檢査吏員ノ携帶證票（昭和八、一〇、總告五二六）……六七五
○瓦斯事業取締規則（大正九、六、總令九〇）……六七五

第十七輯　交通　電氣　附瓦斯

第一章　通信

第一款　內國郵便

●朝鮮ニ施行スル法律ニ關スル件

明治四十三年九月勅令第四百十二號

朕朝鮮ニ施行スル法律ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

左ニ揭ル法律ハ之ヲ朝鮮ニ施行ス

一　會計法
一　郵便爲替法
一　鐵道船舶郵便法
一　明治二十三年法律第二十一號
一　電信法
一　郵便貯金法
一　逃亡犯罪人引渡條例
一　外國艦船乘組員ノ逮捕留置ニ關スル規則法

附則

本令ハ明治四十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便法

明治三十三年三月
法律第五十四號
（改正、朝鮮ニ施行ノ件ニ關スル件中改正、明治四十三年法律第七號、大正五年法律第一七號、朝鮮ニ施行ノ件ニ關スル件中改正、大正五年法律第三一號）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル郵便法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

郵便法

第一條　郵便ハ政府之ヲ管掌ス

第二條　何人ト雖信書ノ送達ヲ營業ト爲スコトヲ得ス

運送營業者、其ノ代表者又ハ代理人其ノ他ノ從業者ハ其ノ運送方法ニ依リ他人ノ爲ニ信書ノ送達ヲ爲スコトヲ得ス但シ貨物ニ添附スル無封ノ添狀又ハ送狀ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　運送營業者ハ郵便官署ノ要求アルトキハ其ノ運送方法ニ依リ郵便物ノ運送ヲ拒ムコトヲ得ス此ノ場合ニ於テ郵便官署ハ相當ノ運送料金ヲ支給ス

第四條　職務執行中ノ郵便遞送人郵便集配人及郵便專用車馬等ハ道路ニ障碍アリテ通行シ難キ場合ニ於テ垣壁又ハ欄柵ナキ宅地田畑其ノ他ノ場所ヲ通行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ郵便官署ハ被害者ノ請求ニ因リ其ノ損害ノ賠償ヲ爲スヘシ

第五條　職務執行中ノ郵便遞送人郵便集配人及郵便專用車馬等ニ對シテハ渡津、運河、道路、橋梁其ノ他ノ場所ニ於ケル通行錢ヲ請求スルコトヲ得ス

職務執行中ノ郵便遞送人郵便集配人ハ何時ニテモ渡津ノ出船ヲ求ムルコトヲ得

第六條　職務執行中ノ郵便遞送人郵便集配人及郵便專用舟車馬等ニ對シテハ渡津、運河、道路、橋梁其ノ他ノ場所ニ於ケル通行錢ヲ請求スルコトヲ得ス

職務執行中ノ郵便遞送人郵便集配人ハ何時ニテモ渡津ノ出船ヲ求ムルコトヲ得

第七條　郵便專用ノ物件及現ニ郵便ノ用ニ供スル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

郵便專用ノ物件ハ何等ノ賦課ヲ受クルコトナシ

郵便物及其ノ取扱ニ必要ナル物件ハ海損ヲ分擔セス

第八條　郵便官署ハ郵便物ノ遞送中又ハ其ノ發送ノ準備完了ノ後ニ限リ其ノ差押ヲ拒ムコトヲ得

第九條　郵便物檢疫ヲ受ケヘキ場合ニ於テハ他ノ物件ニ先チテ直ニ檢疫ヲ受ク

第十條　郵便取扱ニ關シ無能力者ノ郵便官署ニ對シテ爲シタル行爲ハ能力者ノ爲シタルモノト看做ス

第十一條　郵便ニ依リ取立金ハ拂渡其ノ他ノ處分ニ關シテハ之ヲ郵便爲替ニ準ス

第十二條　郵便物ハ通常郵便物及小包郵便物トス

第十三條　通常郵便物ノ種類及料金ハ左ノ如シ但シ命令ヲ以テ定ムル所ニ依リ其ノ料金ヲ低減スルコトヲ得

第一種　書狀　金三錢（重量十五グラム又ハ其ノ端數ヲ增ス毎ニ金二錢）

第二種　郵便葉書　金二錢（二枚以上ヲ連綴シタルモノ一枚ニ付金一錢五厘）

第三種　每冊（同一ノ題號ヲ有シ定期ニ發行スル刊行物ニシテ重量二百匁以下ノモノ）金五厘（重量百匁ヲ超ユル毎ニ金五厘ヲ增ス但シ第七種ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス）

第四種　農產物種子、苗木、印刷物、業務用書類、帳簿、雜誌、學術上ノ標本　金二錢（重量百匁ヲ超ユル毎ニ金二錢ヲ增ス但シ第七種ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス）

第五種　農產物種子、苗木、印刷物、業務用書類、帳簿、雜誌、學術上ノ標本　金一錢（重量百匁ヲ超ユル毎ニ金一錢ヲ增ス但シ第七種ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス）

前項各種ニ該當セサル物件及該當スルモ封緘シタルモノハ第一種郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス

異種ノ郵便物ヲ合裝シタルモノハ其ノ種類中ノ最高料金ヲ納付スヘキ郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲シ但シ第二種郵便物ヲ他種ノ郵便物ト合裝スルトキハ第一種郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス

郵便業書ノ表面又ハ第三種乃至第五種ノ郵便物ニ通信文ヲ記載シタルモノハ特ニ命令ヲ以テ規定シタル場合ヲ除クノ外第一種郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス

第十九條　小包郵便物ノ料金竝郵便物ノ特殊取扱ニ關スル料金ハ命令ヲ以テ定ムル所ニ依ル

第二十條　信書ハ小包郵便物ト雖又ハ小包郵便物ニ合裝スルコトヲ得ス但シ無封ノ添狀又ハ送狀ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　第三種郵便物ト雖スヘキ定期刊行物ハ主務官署ノ認可ヲ受ケタルモノニ限ル

第二十二條　郵便禁制品ノ種類及郵便物ノ容積、重量、包裝等ニ關スル制限ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第二十三條　受取人ハ郵便料ヲ完納シタル郵便物ノ受取ヲ拒ムコトヲ得ス

差出人ハ郵便料ヲ完納シタル郵便物ノ受取ヲ拒ムコトヲ得

第二十四條　郵便ニ關スル既納及過納ノ料金

スシテ之ヲ交付シタルトキ

賠償金額ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第三十四條　郵便物交付ノ際外部ニ破損ノ痕跡ナク且重量ニ堪易ナキトキハ損害ナキモノト看做ス

第三十五條　第三十三條ノ場合ニ纏左ノ事項ニ該當スルトキハ損害賠償ノ限ニ在ラス

一　差出人又ハ受取人ノ過失ニ因リタルトキ

二　不可抗力ニ因リタルトキ

三　其ノ郵便物ノ性質又ハ瑕疵ニ因リタルトキ

第三十六條　郵便物ノ差出人又ハ受取人ハ其ノ郵便物ニ關スル郵便官署ニ賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十七條　第三十三條ニ依ル損害賠償ハ差出人又ハ其ノ承諾ヲ得タル受取人之ヲ請求スルコトヲ得

第三十八條　本法ニ依ル損害賠償又ハ報酬ノ請求權ハ主務大臣ノ指定シタル郵便官署ニ對シ左ノ期間内之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

一　第四條ニ依ル賠償及第五條ニ依ル報酬ハ其ノ事實アリタル日ヨリ三箇月

二　第三十三條ニ依ル賠償ハ郵便物差出ノ日ヨリ一箇年

第三十九條　郵便官署ノ損害賠償又ハ報酬ニ關スル決定ニ對シ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四十條　郵便官署ニ於テ損害賠償ヲ爲シタル後其ノ郵便物ヲ發見シタルトキハ之ヲ其ノ賠償受領者ニ通知スヘシ此ノ場合ニ於テ賠償受領者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ賠償金ノ全部又ハ一部ヲ返付シテ其ノ郵便物ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第四十一條　第二條ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役及千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ金銀物品ヲ收得シタルトキハ之ヲ沒收ス既ニ消費又ハ讓渡シタルトキハ其ノ價格ヲ追徵ス

第四十二條　何人ト雖第三條ノ場合ニ於テ郵便物ノ運送ヲ拒ミ又ハ其ノ運送ヲ爲ササル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條　第四條ノ場合ニ於テ通行ヲ拒ミ又ハ第五條ノ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ助力ヲ拒ミ又ハ第六條ノ場合ニ於テ通行ヲ妨ケタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第四十四條　郵便官署ノ取扱中ニ係ル信書ノ秘密ヲ侵シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十五條　削除

第四十六條　郵便禁制品ヲ郵便物トシテ差出シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ其ノ物件ヲ沒收ス

第四十七條　不法ニ郵便ニ關スル料金ヲ免レ又ハ他人ヲシテ之ヲ免レシメタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

郵便官署ノ取扱中ニ係ル信書ノ秘密ヲ侵シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十八條　行使ノ目的ヲ以テ帝國政府若ハ郵便聯合條約國政府ノ發行スル郵便切手其ノ他郵便料金ヲ表彰スヘキ證票ヲ僞造シ又ハ變造シ又ハ其ノ使用ノ痕跡ヲ除去シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

僞造、變造シ若ハ使用ノ痕跡ヲ除去シタル郵便切手其ノ他郵便料金ヲ表彰スヘキ證票ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ輸入シ、人ニ交付シ若ハ其ノ交付ヲ受ケタル者ハ前項ニ同シ

第四十九條　削除

第五十條　削除

第五十一條　削除

第五十二條　郵便官署ノ取扱中ニ係ル郵便物ニ關シテハ郵便條例及小包郵便法ヲ適用ス

附　則（大正五年三月法律第十七號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正五年七月勅令第百八十四號ヲ以テ同年八月一日ヨリ施行）

本法施行前ニ差出シタル郵便物、郵便ニ依ル取立金又ハ本法施行前ニ生シタル損害賠償ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

刑法施行法第二十六條第十號ハ之ヲ削ル

附　則（昭和六年三月法律第四號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和六年五月勅令第八十七號ヲ以テ昭和六年八月一日ヨリ施行）

●郵便規則

明治四十四年二月勅令第九號

改正　明治四四年九勅一〇一號、四五年三勅八號、四五年三勅七六號、大正三年六勅六〇號、二年七勅七二號、三年三勅一一號、三年一勅一六七號、三年一勅一七七號、五年三勅三五號、五年七勅五八號、六年五勅二五號、六年七勅三六號、七年四勅三五號、八年四勅五五號、八年七勅九〇號、八年九勅一〇〇號、八年一〇勅一七七號、九年三勅六六號、九年七勅九〇號、九年九勅一〇〇號、十年一勅一一號、十年三勅三一號、十年三勅三四號、十一年一勅一三〇號、十一年三勅九〇號、十一年五勅一六號、十二年一勅一八號、十四年九勅一二號、十四年一勅一五號、十四年四勅二二號、十四年五勅一二號、十四年六勅一八號、十四年七勅二六號、十四年九勅二九號、十五年四勅二五號、十五年七勅八號、十五年九勅一〇號、十五年一〇勅一一號、十五年一一勅一二號、十五年一二勅一三號、十五年一二勅一四號、十五年一二勅一五號、十五年一二勅一六號、十五年一二勅一七號、十五年一二勅一八號、十五年一二勅一九號、十五年一二勅二〇號、十五年一二勅二一號、十五年一二勅二二號、十五年一二勅二三號、十五年一二勅二四號、十五年一二勅二五號、十五年一二勅二六號、十五年一二勅二七號、十五年一二勅二八號、十五年一二勅二九號、十五年一二勅三〇號、十五年一二勅三一號、十五年一二勅三二號、十五年一二勅三三號、十五年一二勅三四號、十五年一二勅三五號、十五年一二勅三六號、十五年一二勅三七號、十五年一二勅三八號、十五年一二勅三九號、十五年一二勅四〇號、十五年一二勅四一號、十五年一二勅四二號、十五年一二勅四三號、十五年一二勅四四號、十五年一二勅四五號、十五年一二勅四六號、十五年一二勅四七號、十五年一二勅四八號、十五年一二勅四九號、十五年一二勅五〇號、十五年一二勅五一號、十五年一二勅五二號、十五年一二勅五三號、十五年一二勅五四號、十五年一二勅五五號、十五年一二勅五六號、十五年一二勅五七號、十五年一二勅五八號、十五年一二勅五九號、十五年一二勅六〇號、十五年一二勅六一號、十五年一二勅六二號、十五年一二勅六三號、十五年一二勅六四號、十五年一二勅六五號、十五年一二勅六六號、十五年一二勅六七號、十五年一二勅六八號、十五年一二勅六九號、十五年一二勅七〇號、十五年一二勅七一號、十五年一二勅七二號、十五年一二勅七三號、十五年一二勅七四號、十五年一二勅七五號、十五年一二勅七六號、十五年一二勅七七號、十五年一二勅七八號、十五年一二勅七九號、十五年一二勅八〇號、十五年一二勅八一號、十五年一二勅八二號、十五年一二勅八三號、十五年一二勅八四號、十五年一二勅八五號、十五年一二勅八六號、十五年一二勅八七號、十五年一二勅八八號、十五年一二勅八九號、十五年一二勅九〇號、十五年一二勅九一號、十五年一二勅九二號、十五年一二勅九三號、十五年一二勅九四號、十五年一二勅九五號、十五年一二勅九六號、十五年一二勅九七號、十五年一二勅九八號、十五年一二勅九九號、十五年一二勅一〇〇號、十五年一二勅一〇一號、十五年一二勅一〇二號、十五年一二勅一〇三號、十五年一二勅一〇四號、十五年一二勅一〇五號、十五年一二勅一〇六號、十五年一二勅一〇七號、十五年一二勅一〇八號、十五年一二勅一〇九號、十五年一二勅一一〇號、十五年一二勅一一一號、十五年一二勅一一二號、十五年一二勅一一三號、十五年一二勅一一四號、十五年一二勅一一五號、十五年一二勅一一六號、十五年一二勅一一七號、十五年一二勅一一八號、十五年一二勅一一九號、十五年一二勅一二〇號、十五年一二勅一二一號、十五年一二勅一二二號、十五年一二勅一二三號、十五年一二勅一二四號、十五年一二勅一二五號、十五年一二勅一二六號、十五年一二勅一二七號、十五年一二勅一二八號、十五年一二勅一二九號、十五年一二勅一三〇號、十五年一二勅一三一號、十五年一二勅一三二號、十五年一二勅一三三號、十五年一二勅一三四號、十五年一二勅一三五號、十五年一二勅一三六號、十五年一二勅一三七號、十五年一二勅一三八號、十五年一二勅一三九號、十五年一二勅一四〇號、十五年一二勅一四一號、十五年一二勅一四二號、十五年一二勅一四三號、十五年一二勅一四四號、十五年一二勅一四五號、十五年一二勅一四六號、十五年一二勅一四七號、十五年一二勅一四八號、十五年一二勅一四九號、十五年一二勅一五〇號、十五年一二勅一五一號、十五年一二勅一五二號、十五年一二勅一五三號、十五年一二勅一五四號、十五年一二勅一五五號、十五年一二勅一五六號、十五年一二勅一五七號、十五年一二勅一五八號、十五年一二勅一五九號、十五年一二勅一六〇號、十五年一二勅一六一號、十五年一二勅一六二號、十五年一二勅一六三號、十五年一二勅一六四號、十五年一二勅一六五號、十五年一二勅一六六號、十五年一二勅一六七號、十五年一二勅一六八號、十五年一二勅一六九號、十五年一二勅一七〇號、十五年一二勅一七一號、十五年一二勅一七二號、十五年一二勅一七三號、十五年一二勅一七四號、十五年一二勅一七五號、十五年一二勅一七六號、十五年一二勅一七七號、十五年一二勅一七八號、十五年一二勅一七九號、十五年一二勅一八〇號、十五年一二勅一八一號、十五年一二勅一八二號、十五年一二勅一八三號、十五年一二勅一八四號、十五年一二勅一八五號、十五年一二勅一八六號、十五年一二勅一八七號、十五年一二勅一八八號、十五年一二勅一八九號、十五年一二勅一九〇號、十五年一二勅一九一號、十五年一二勅一九二號、十五年一二勅一九三號、十五年一二勅一九四號、十五年一二勅一九五號、十五年一二勅一九六號、十五年一二勅一九七號、十五年一二勅一九八號、十五年一二勅一九九號、十五年一二勅二〇〇號、十五年一二勅二〇一號、十五年一二勅二〇二號、十五年一二勅二〇三號、十五年一二勅二〇四號、十五年一二勅二〇五號、十五年一二勅二〇六號、十五年一二勅二〇七號、十五年一二勅二〇八號、十五年一二勅二〇九號、十五年一二勅二一〇號、十五年一二勅二一一號、十五年一二勅二一二號、十五年一二勅二一三號、十五年一二勅二一四號、十五年一二勅二一五號、十五年一二勅二一六號、十五年一二勅二一七號、十五年一二勅二一八號、十五年一二勅二一九號、十五年一二勅二二〇號、十五年一二勅二二一號、十五年一二勅二二二號、十五年一二勅二二三號、十五年一二勅二二四號、十五年一二勅二二五號、十五年一二勅二二六號、十五年一二勅二二七號、十五年一二勅二二八號、十五年一二勅二二九號、十五年一二勅二三〇號、十五年一二勅二三一號、十五年一二勅二三二號、十五年一二勅二三三號、十五年一二勅二三四號、十五年一二勅二三五號、十五年一二勅二三六號、十五年一二勅二三七號、十五年一二勅二三八號、十五年一二勅二三九號、十五年一二勅二四〇號、十五年一二勅二四一號、十五年一二勅二四二號、十五年一二勅二四三號、十五年一二勅二四四號、十五年一二勅二四五號、十五年一二勅二四六號、十五年一二勅二四七號、十五年一二勅二四八號、十五年一二勅二四九號、十五年一二勅二五〇號、十五年一二勅二五一號、十五年一二勅二五二號、十五年一二勅二五三號、十五年一二勅二五四號、十五年一二勅二五五號、十五年一二勅二五六號、十五年一二勅二五七號、十五年一二勅二五八號、十五年一二勅二五九號、十五年一二勅二六〇號、十五年一二勅二六一號、十五年一二勅二六二號、十五年一二勅二六三號、十五年一二勅二六四號、十五年一二勅二六五號、十五年一二勅二六六號、十五年一二勅二六七號、十五年一二勅二六八號、十五年一二勅二六九號、十五年一二勅二七〇號、十五年一二勅二七一號、十五年一二勅二七二號、十五年一二勅二七三號、十五年一二勅二七四號、十五年一二勅二七五號、十五年一二勅二七六號、十五年一二勅二七七號、十五年一二勅二七八號、十五年一二勅二七九號、十五年一二勅二八〇號、十五年一二勅二八一號、十五年一二勅二八二號、十五年一二勅二八三號、十五年一二勅二八四號、十五年一二勅二八五號、十五年一二勅二八六號、十五年一二勅二八七號、十五年一二勅二八八號、十五年一二勅二八九號、十五年一二勅二九〇號、十五年一二勅二九一號、十五年一二勅二九二號、十五年一二勅二九三號、十五年一二勅二九四號、十五年一二勅二九五號、十五年一二勅二九六號、十五年一二勅二九七號、十五年一二勅二九八號、十五年一二勅二九九號、十五年一二勅三〇〇號、十五年一二勅三〇一號、十五年一二勅三〇二號、十五年一二勅三〇三號、十五年一二勅三〇四號、十五年一二勅三〇五號、十五年一二勅三〇六號、十五年一二勅三〇七號、十五年一二勅三〇八號、十五年一二勅三〇九號、十五年一二勅三一〇號、十五年一二勅三一一號、十五年一二勅三一二號、十五年一二勅三一三號、十五年一二勅三一四號、十五年一二勅三一五號、十五年一二勅三一六號、十五年一二勅三一七號、十五年一二勅三一八號、十五年一二勅三一九號、十五年一二勅三二〇號、十五年一二勅三二一號、十五年一二勅三二二號、十五年一二勅三二三號、十五年一二勅三二四號、十五年一二勅三二五號、十五年一二勅三二六號、十五年一二勅三二七號、十五年一二勅三二八號、十五年一二勅三二九號、十五年一二勅三三〇號、十五年一二勅三三一號、十五年一二勅三三二號、十五年一二勅三三三號、十五年一二勅三三四號、十五年一二勅三三五號、十五年一二勅三三六號、十五年一二勅三三七號、十五年一二勅三三八號、十五年一二勅三三九號、十五年一二勅三四〇號、十五年一二勅三四一號、十五年一二勅三四二號、十五年一二勅三四三號、十五年一二勅三四四號、十五年一二勅三四五號、十五年一二勅三四六號、十五年一二勅三四七號、十五年一二勅三四八號、十五年一二勅三四九號、十五年一二勅三五〇號、十五年一二勅三五一號、十五年一二勅三五二號、十五年一二勅三五三號、十五年一二勅三五四號、十五年一二勅三五五號、十五年一二勅三五六號、十五年一二勅三五七號、十五年一二勅三五八號、十五年一二勅三五九號、十五年一二勅三六〇號、十五年一二勅三六一號、十五年一二勅三六二號、十五年一二勅三六三號、十五年一二勅三六四號、十五年一二勅三六五號、十五年一二勅三六六號、十五年一二勅三六七號、十五年一二勅三六八號、十五年一二勅三六九號、十五年一二勅三七〇號、十五年一二勅三七一號、十五年一二勅三七二號、十五年一二勅三七三號、十五年一二勅三七四號、十五年一二勅三七五號、十五年一二勅三七六號、十五年一二勅三七七號、十五年一二勅三七八號、十五年一二勅三七九號、十五年一二勅三八〇號、十五年一二勅三八一號、十五年一二勅三八二號、十五年一二勅三八三號、十五年一二勅三八四號、十五年一二勅三八五號、十五年一二勅三八六號、十五年一二勅三八七號、十五年一二勅三八八號、十五年一二勅三八九號、十五年一二勅三九〇號、十五年一二勅三九一號、十五年一二勅三九二號、十五年一二勅三九三號、十五年一二勅三九四號、十五年一二勅三九五號、十五年一二勅三九六號、十五年一二勅三九七號、十五年一二勅三九八號、十五年一二勅三九九號、十五年一二勅四〇〇號、十五年一二勅四〇一號、十五年一二勅四〇二號、十五年一二勅四〇三號、十五年一二勅四〇四號、十五年一二勅四〇五號、十五年一二勅四〇六號、十五年一二勅四〇七號、十五年一二勅四〇八號、十五年一二勅四〇九號、十五年一二勅四一〇號、十五年一二勅四一一號、十五年一二勅四一二號、十五年一二勅四一三號、十五年一二勅四一四號、十五年一二勅四一五號、十五年一二勅四一六號、十五年一二勅四一七號、十五年一二勅四一八號、十五年一二勅四一九號、十五年一二勅四二〇號、十五年一二勅四二一號、十五年一二勅四二二號、十五年一二勅四二三號、十五年一二勅四二四號、十五年一二勅四二五號、十五年一二勅四二六號、十五年一二勅四二七號、十五年一二勅四二八號、十五年一二勅四二九號、十五年一二勅四三〇號、十五年一二勅四三一號、十五年一二勅四三二號、十五年一二勅四三三號、十五年一二勅四三四號、十五年一二勅四三五號、十五年一二勅四三六號、十五年一二勅四三七號、十五年一二勅四三八號、十五年一二勅四三九號、十五年一二勅四四〇號、十五年一二勅四四一號、十五年一二勅四四二號、十五年一二勅四四三號、十五年一二勅四四四號、十五年一二勅四四五號、十五年一二勅四四六號、十五年一二勅四四七號、十五年一二勅四四八號、十五年一二勅四四九號、十五年一二勅四五〇號、十五年一二勅四五一號、十五年一二勅四五二號、十五年一二勅四五三號、十五年一二勅四五四號、十五年一二勅四五五號、十五年一二勅四五六號、十五年一二勅四五七號、十五年一二勅四五八號、十五年一二勅四五九號、十五年一二勅四六〇號、十五年一二勅四六一號、十五年一二勅四六二號、十五年一二勅四六三號、十五年一二勅四六四號、十五年一二勅四六五號、十五年一二勅四六六號、十五年一二勅四六七號、十五年一二勅四六八號、十五年一二勅四六九號、十五年一二勅四七〇號、十五年一二勅四七一號、十五年一二勅四七二號、十五年一二勅四七三號、十五年一二勅四七四號、十五年一二勅四七五號、十五年一二勅四七六號、十五年一二勅四七七號、十五年一二勅四七八號、十五年一二勅四七九號、十五年一二勅四八〇號、十五年一二勅四八一號、十五年一二勅四八二號、十五年一二勅四八三號、十五年一二勅四八四號、十五年一二勅四八五號、十五年一二勅四八六號、十五年一二勅四八七號、十五年一二勅四八八號、十五年一二勅四八九號、十五年一二勅四九〇號、十五年一二勅四九一號、十五年一二勅四九二號、十五年一二勅四九三號、十五年一二勅四九四號、十五年一二勅四九五號、十五年一二勅四九六號、十五年一二勅四九七號、十五年一二勅四九八號、十五年一二勅四九九號、十五年一二勅五〇〇號、十五年一二勅五〇一號、十五年一二勅五〇二號、十五年一二勅五〇三號、十五年一二勅五〇四號、十五年一二勅五〇五號、十五年一二勅五〇六號、十五年一二勅五〇七號、十五年一二勅五〇八號、十五年一二勅五〇九號、十五年一二勅五一〇號、十五年一二勅五一一號、十五年一二勅五一二號、十五年一二勅五一三號、十五年一二勅五一四號、十五年一二勅五一五號、十五年一二勅五一六號、十五年一二勅五一七號、十五年一二勅五一八號、十五年一二勅五一九號、十五年一二勅五二〇號、十五年一二勅五二一號、十五年一二勅五二二號、十五年一二勅五二三號、十五年一二勅五二四號、十五年一二勅五二五號、十五年一二勅五二六號、十五年一二勅五二七號、十五年一二勅五二八號、十五年一二勅五二九號、十五年一二勅五三〇號、十五年一二勅五三一號、十五年一二勅五三二號、十五年一二勅五三三號、十五年一二勅五三四號、十五年一二勅五三五號、十五年一二勅五三六號、十五年一二勅五三七號、十五年一二勅五三八號、十五年一二勅五三九號、十五年一二勅五四〇號、十五年一二勅五四一號、十五年一二勅五四二號、十五年一二勅五四三號、十五年一二勅五四四號、十五年一二勅五四五號、十五年一二勅五四六號、十五年一二勅五四七號、十五年一二勅五四八號、十五年一二勅五四九號、十五年一二勅五五〇號、十五年一二勅五五一號、十五年一二勅五五二號、十五年一二勅五五三號、十五年一二勅五五四號、十五年一二勅五五五號、十五年一二勅五五六號、十五年一二勅五五七號、十五年一二勅五五八號、十五年一二勅五五九號、十五年一二勅五六〇號、十五年一二勅五六一號、十五年一二勅五六二號、十五年一二勅五六三號、十五年一二勅五六四號、十五年一二勅五六五號、十五年一二勅五六六號、十五年一二勅五六七號、十五年一二勅五六八號、十五年一二勅五六九號、十五年一二勅五七〇號、十五年一二勅五七一號、十五年一二勅五七二號、十五年一二勅五七三號、十五年一二勅五七四號、十五年一二勅五七五號、十五年一二勅五七六號、十五年一二勅五七七號、十五年一二勅五七八號、十五年一二勅五七九號、十五年一二勅五八〇號、十五年一二勅五八一號、十五年一二勅五八二號、十五年一二勅五八三號、十五年一二勅五八四號、十五年一二勅五八五號、十五年一二勅五八六號、十五年一二勅五八七號、十五年一二勅五八八號、十五年一二勅五八九號、十五年一二勅五九〇號、十五年一二勅五九一號、十五年一二勅五九二號、十五年一二勅五九三號、十五年一二勅五九四號、十五年一二勅五九五號、十五年一二勅五九六號、十五年一二勅五九七號、十五年一二勅五九八號、十五年一二勅五九九號、十五年一二勅六〇〇號、十五年一二勅六〇一號、十五年一二勅六〇二號、十五年一二勅六〇三號、十五年一二勅六〇四號、十五年一二勅六〇五號、十五年一二勅六〇六號、十五年一二勅六〇七號、十五年一二勅六〇八號、十五年一二勅六〇九號、十五年一二勅六一〇號、十五年一二勅六一一號、十五年一二勅六一二號、十五年一二勅六一三號、十五年一二勅六一四號、十五年一二勅六一五號、十五年一二勅六一六號、十五年一二勅六一七號、十五年一二勅六一八號、十五年一二勅六一九號、十五年一二勅六二〇號、十五年一二勅六二一號、十五年一二勅六二二號、十五年一二勅六二三號、十五年一二勅六二四號、十五年一二勅六二五號、十五年一二勅六二六號、十五年一二勅六二七號、十五年一二勅六二八號、十五年一二勅六二九號、十五年一二勅六三〇號、十五年一二勅六三一號、十五年一二勅六三二號、十五年一二勅六三三號、十五年一二勅六三四號、十五年一二勅六三五號、十五年一二勅六三六號、十五年一二勅六三七號、十五年一二勅六三八號、十五年一二勅六三九號、十五年一二勅六四〇號、十五年一二勅六四一號、十五年一二勅六四二號、十五年一二勅六四三號、十五年一二勅六四四號、十五年一二勅六四五號、十五年一二勅六四六號、十五年一二勅六四七號、十五年一二勅六四八號、十五年一二勅六四九號、十五年一二勅六五〇號、十五年一二勅六五一號、十五年一二勅六五二號、十五年一二勅六五三號、十五年一二勅六五四號、十五年一二勅六五五號、十五年一二勅六五六號、十五年一二勅六五七號、十五年一二勅六五八號、十五年一二勅六五九號、十五年一二勅六六〇號、十五年一二勅六六一號、十五年一二勅六六二號、十五年一二勅六六三號、十五年一二勅六六四號、十五年一二勅六六五號、十五年一二勅六六六號、十五年一二勅六六七號、十五年一二勅六六八號、十五年一二勅六六九號、十五年一二勅六七〇號、十五年一二勅六七一號、十五年一二勅六七二號、十五年一二勅六七三號、十五年一二勅六七四號、十五年一二勅六七五號、十五年一二勅六七六號、十五年一二勅六七七號、十五年一二勅六七八號、十五年一二勅六七九號、十五年一二勅六八〇號、十五年一二勅六八一號、十五年一二勅六八二號、十五年一二勅六八三號、十五年一二勅六八四號、十五年一二勅六八五號、十五年一二勅六八六號、十五年一二勅六八七號、十五年一二勅六八八號、十五年一二勅六八九號、十五年一二勅六九〇號、十五年一二勅六九一號、十五年一二勅六九二號、十五年一二勅六九三號、十五年一二勅六九四號、十五年一二勅六九五號、十五年一二勅六九六號、十五年一二勅六九七號、十五年一二勅六九八號、十五年一二勅六九九號、十五年一二勅七〇〇號、十五年一二勅七〇一號、十五年一二勅七〇二號、十五年一二勅七〇三號、十五年一二勅七〇四號、十五年一二勅七〇五號、十五年一二勅七〇六號、十五年一二勅七〇七號、十五年一二勅七〇八號、十五年一二勅七〇九號、十五年一二勅七一〇號、十五年一二勅七一一號、十五年一二勅七一二號、十五年一二勅七一三號、十五年一二勅七一四號、十五年一二勅七一五號、十五年一二勅七一六號、十五年一二勅七一七號、十五年一二勅七一八號、十五年一二勅七一九號、十五年一二勅七二〇號、十五年一二勅七二一號、十五年一二勅七二二號、十五年一二勅七二三號、十五年一二勅七二四號、十五年一二勅七二五號、十五年一二勅七二六號、十五年一二勅七二七號、十五年一二勅七二八號、十五年一二勅七二九號、十五年一二勅七三〇號、十五年一二勅七三一號、十五年一二勅七三二號、十五年一二勅七三三號、十五年一二勅七三四號、十五年一二勅七三五號、十五年一二勅七三六號、十五年一二勅七三七號、十五年一二勅七三八號、十五年一二勅七三九號、十五年一二勅七四〇號、十五年一二勅七四一號、十五年一二勅七四二號、十五年一二勅七四三號、十五年一二勅七四四號、十五年一二勅七四五號、十五年一二勅七四六號、十五年一二勅七四七號、十五年一二勅七四八號、十五年一二勅七四九號、十五年一二勅七五〇號、十五年一二勅七五一號、十五年一二勅七五二號、十五年一二勅七五三號、十五年一二勅七五四號、十五年一二勅七五五號、十五年一二勅七五六號、十五年一二勅七五七號、十五年一二勅七五八號、十五年一二勅七五九號、十五年一二勅七六〇號、十五年一二勅七六一號、十五年一二勅七六二號、十五年一二勅七六三號、十五年一二勅七六四號、十五年一二勅七六五號、十五年一二勅七六六號、十五年一二勅七六七號、十五年一二勅七六八號、十五年一二勅七六九號、十五年一二勅七七〇號、十五年一二勅七七一號、十五年一二勅七七二號、十五年一二勅七七三號、十五年一二勅七七四號、十五年一二勅七七五號、十五年一二勅七七六號、十五年一二勅七七七號、十五年一二勅七七八號、十五年一二勅七七九號、十五年一二勅七八〇號、十五年一二勅七八一號、十五年一二勅七八二號、十五年一二勅七八三號、十五年一二勅七八四號、十五年一二勅七八五號、十五年一二勅七八六號、十五年一二勅七八七號、十五年一二勅七八八號、十五年一二勅七八九號、十五年一二勅七九〇號、十五年一二勅七九一號、十五年一二勅七九二號、十五年一二勅七九三號、十五年一二勅七九四號、十五年一二勅七九五號、十五年一二勅七九六號、十五年一二勅七九七號、十五年一二勅七九八號、十五年一二勅七九九號、十五年一二勅八〇〇號、十五年一二勅八〇一號、十五年一二勅八〇二號、十五年一二勅八〇三號、十五年一二勅八〇四號、十五年一二勅八〇五號、十五年一二勅八〇六號、十五年一二勅八〇七號、十五年一二勅八〇八號、十五年一二勅八〇九號、十五年一二勅八一〇號、十五年一二勅八一一號、十五年一二勅八一二號、十五年一二勅八一三號、十五年一二勅八一四號、十五年一二勅八一五號、十五年一二勅八一六號、十五年一二勅八一七號、十五年一二勅八一八號、十五年一二勅八一九號、十五年一二勅八二〇號、十五年一二勅八二一號、十五年一二勅八二二號、十五年一二勅八二三號、十五年一二勅八二四號、十五年一二勅八二五號、十五年一二勅八二六號、十五年一二勅八二七號、十五年一二勅八二八號、十五年一二勅八二九號、十五年一二勅八三〇號、十五年一二勅八三一號、十五年一二勅八三二號、十五年一二勅八三三號、十五年一二勅八三四號、十五年一二勅八三五號、十五年一二勅八三六號、十五年一二勅八三七號、十五年一二勅八三八號、十五年一二勅八三九號、十五年一二勅八四〇號、十五年一二勅八四一號、十五年一二勅八四二號、十五年一二勅八四三號、十五年一二勅八四四號、十五年一二勅八四五號、十五年一二勅八四六號、十五年一二勅八四七號、十五年一二勅八四八號、十五年一二勅八四九號、十五年一二勅八五〇號、十五年一二勅八五一號、十五年一二勅八五二號、十五年一二勅八五三號、十五年一二勅八五四號、十五年一二勅八五五號、十五年一二勅八五六號、十五年一二勅八五七號、十五年一二勅八五八號、十五年一二勅八五九號、十五年一二勅八六〇號、十五年一二勅八六一號、十五年一二勅八六二號、十五年一二勅八六三號、十五年一二勅八六四號、十五年一二勅八六五號、十五年一二勅八六六號、十五年一二勅八六七號、十五年一二勅八六八號、十五年一二勅八六九號、十五年一二勅八七〇號、十五年一二勅八七一號、十五年一二勅八七二號、十五年一二勅八七三號、十五年一二勅八七四號、十五年一二勅八七五號、十五年一二勅八七六號、十五年一二勅八七七號、十五年一二勅八七八號、十五年一二勅八七九號、十五年一二勅八八〇號、十五年一二勅八八一號、十五年一二勅八八二號、十五年一二勅八八三號、十五年一二勅八八四號、十五年一二勅八八五號、十五年一二勅八八六號、十五年一二勅八八七號、十五年一二勅八八八號、十五年一二勅八八九號、十五年一二勅八九〇號、十五年一二勅八九一號、十五年一二勅八九二號、十五年一二勅八九三號、十五年一二勅八九四號、十五年一二勅八九五號、十五年一二勅八九六號、十五年一二勅八九七號、十五年一二勅八九八號、十五年一二勅八九九號、十五年一二勅九〇〇號、十五年一二勅九〇一號、十五年一二勅九〇二號、十五年一二勅九〇三號、十五年一二勅九〇四號、十五年一二勅九〇五號、十五年一二勅九〇六號、十五年一二勅九〇七號、十五年一二勅九〇八號、十五年一二勅九〇九號、十五年一二勅九一〇號、十五年一二勅九一一號、十五年一二勅九一二號、十五年一二勅九一三號、十五年一二勅九一四號、十五年一二勅九一五號、十五年一二勅九一六號、十五年一二勅九一七號、十五年一二勅九一八號、十五年一二勅九一九號、十五年一二勅九二〇號、十五年一二勅九二一號、十五年一二勅九二二號、十五年一二勅九二三號、十五年一二勅九二四號、十五年一二勅九二五號、十五年一二勅九二六號、十五年一二勅九二七號、十五年一二勅九二八號、十五年一二勅九二九號、十五年一二勅九三〇號、十五年一二勅九三一號、十五年一二勅九三二號、十五年一二勅九三三號、十五年一二勅九三四號、十五年一二勅九三五號、十五年一二勅九三六號、十五年一二勅九三七號、十五年一二勅九三八號、十五年一二勅九三九號、十五年一二勅九四〇號、十五年一二勅九四一號、十五年一二勅九四二號、十五年一二勅九四三號、十五年一二勅九四四號、十五年一二勅九四五號、十五年一二勅九四六號、十五年一二勅九四七號、十五年一二勅九四八號、十五年一二勅九四九號、十五年一二勅九五〇號、十五年一二勅九五一號、十五年一二勅九五二號、十五年一二勅九五三號、十五年一二勅九五四號、十五年一二勅九五五號、十五年一二勅九五六號、十五年一二勅九五七號、十五年一二勅九五八號、十五年一二勅九五九號、十五年一二勅九六〇號、十五年一二勅九六一號、十五年一二勅九六二號、十五年一二勅九六三號、十五年一二勅九六四號、十五年一二勅九六五號、十五年一二勅九六六號、十五年一二勅九六七號、十五年一二勅九六八號、十五年一二勅九六九號、十五年一二勅九七〇號、十五年一二勅九七一號、十五年一二勅九七二號、十五年一二勅九七三號、十五年一二勅九七四號、十五年一二勅九七五號、十五年一二勅九七六號、十五年一二勅九七七號、十五年一二勅九七八號、十五年一二勅九七九號、十五年一二勅九八〇號、十五年一二勅九八一號、十五年一二勅九八二號、十五年一二勅九八三號、十五年一二勅九八四號、十五年一二勅九八五號、十五年一二勅九八六號、十五年一二勅九八七號、十五年一二勅九八八號、十五年一二勅九八九號、十五年一二勅九九〇號、十五年一二勅九九一號、十五年一二勅九九二號、十五年一二勅九九三號、十五年一二勅九九四號、十五年一二勅九九五號、十五年一二勅九九六號、十五年一二勅九九七號、十五年一二勅九九八號、十五年一二勅九九九號、十五年一二勅一〇〇〇號、十五年一二勅一〇〇一號、十五年一二勅一〇〇二號、十五年一二勅一〇〇三號、十五年一二勅一〇〇四號、十五年一二勅一〇〇五號、十五年一二勅一〇〇六號、十五年一二勅一〇〇七號、十五年一二勅一〇〇八號、十五年一二勅一〇〇九號、十五年一二勅一〇一〇號、十五年一二勅一〇一一號、十五年一二勅一〇一二號、十五年一二勅一〇一三號、十五年一二勅一〇一四號、十五年一二勅一〇一五號、十五年一二勅一〇一六號、十五年一二勅一〇一七號、十五年一二勅一〇一八號、十五年一二勅一〇一九號、十五年一二勅一〇二〇號、十五年一二勅一〇二一號、十五年一二勅一〇二二號、十五年一二勅一〇二三號、十五年一二勅一〇二四號、十五年一二勅一〇二五號、十五年一二勅一〇二六號、十五年一二勅一〇二七號、十五年一二勅一〇二八號、十五年一二勅一〇二九號、十五年一二勅一〇三〇號、十五年一二勅一〇三一號、十五年一二勅一〇三二號、十五年一二勅一〇三三號、十五年一二勅一〇三四號、十五年一二勅一〇三五號、十五年一二勅一〇三六號、十五年一二勅一〇三七號、十五年一二勅一〇三八號、十五年一二勅一〇三九號、十五年一二勅一〇四〇號、十五年一二勅一〇四一號、十五年一二勅一〇四二號、十五年一二勅一〇四三號、十五年一二勅一〇四四號、十五年一二勅一〇四五號、十五年一二勅一〇四六號、十五年一二勅一〇四七號、十五年一二勅一〇四八號、十五年一二勅一〇四九號、十五年一二勅一〇五〇號、十五年一二勅一〇五一號、十五年一二勅一〇五二號、十五年一二勅一〇五三號、十五年一二勅一〇五四號、十五年一二勅一〇五五號、十五年一二勅一〇五六號、十五年一二勅一〇五七號、十五年一二勅一〇五八號、十五年一二勅一〇五九號、十五年一二勅一〇六〇號、十五年一二勅一〇六一號、十五年一二勅一〇六二號、十五年一二勅一〇六三號、十五年一二勅一〇六四號、十五年一二勅一〇六五號、十五年一二勅一〇六六號、十五年一二勅一〇六七號、十五年一二勅一〇六八號、十五年一二勅一〇六九號、十五年一二勅一〇七〇號、十五年一二勅一〇七一號、十五年一二勅一〇七二號、十五年一二勅一〇七三號、十五年一二勅一〇七四號、十五年一二勅一〇七五號、十五年一二勅一〇七六號、十五年一二勅一〇七七號、十五年一二勅一〇七八號、十五年一二勅一〇七九號、十五年一二勅一〇八〇號、十五年一二勅一〇八一號、十五年一二勅一〇八二號、十五年一二勅一〇八三號、十五年一二勅一〇八四號、十五年一二勅一〇八五號、十五年一二勅一〇八六號、十五年一二勅一〇八七號、十五年一二勅一〇八八號、十五年一二勅一〇八九號、十五年一二勅一〇九〇號、十五年一二勅一〇九一號、十五年一二勅一〇九二號、十五年一二勅一〇九三號、十五年一二勅一〇九四號、十五年一二勅一〇九五號、十五年一二勅一〇九六號、十五年一二勅一〇九七號、十五年一二勅一〇九八號、十五年一二勅一〇九九號、十五年一二

第二十條　郵便物ニ對スル料金ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

第二十一條　郵便切手ハ之ヲ再用スルコトヲ得ス

第二十二條　郵便切手ハ之ヲ賣渡スノ際ニ於テ消印ヲ爲スヘシ

第二十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第二十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第二十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第二十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第二十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第二十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第二十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第三十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第三十一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第三十二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第三十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第三十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第三十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第三十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第三十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第三十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第三十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第四十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第四十一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第四十二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第四十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第四十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第四十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第四十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第四十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第四十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第四十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第五十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第五十一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第五十二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第五十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第五十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第五十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第五十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第五十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第五十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第五十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第六十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第六十一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第六十二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第六十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第六十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第六十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第六十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第六十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第六十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第六十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第七十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第七十一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第七十二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第七十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第七十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第七十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第七十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第七十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第七十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第七十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第八十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第八十一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第八十二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第八十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第八十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第八十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第八十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第八十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第八十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第八十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第九十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第九十一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第九十二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第九十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第九十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第九十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第九十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第九十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第九十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第九十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百十一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百十二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百二十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百二十一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百二十二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百二十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百二十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百二十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百二十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百二十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百二十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百二十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百三十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百三十一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百三十二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百三十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百三十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百三十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百三十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百三十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百三十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百三十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百四十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百四十一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百四十二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百四十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百四十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百四十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百四十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百四十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百四十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百四十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百五十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百五十一條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百五十二條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百五十三條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百五十四條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百五十五條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百五十六條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百五十七條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百五十八條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百五十九條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

第百六十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納ムル郵便物ニシテ郵便切手ノ消印ヲ爲サヽルモノハ其郵便物ニ對スル料金ヲ納メサルモノト看做ス

差出人ニ交付スヘキ受領證ニ其ノ引受時刻ヲ記入シテ之ヲ證明ス

第四十五條　配達郵便官署ニ於テ引受時刻證明郵便物ノ配達ヲ了シタルトキハ直ニ之ヲ差出人ニ通知ス

第六節　別配達

第四十六條　書留又ハ價格表記ノ郵便物ハ別配達ト爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ別配達料ニ關スル距離不明ナルトキハ別配達料ノ最少額以上ヲ納付スヘシ但シ此ノ場合ニ於テ其ノ料金ニ不足アルトキハ其ノ不足額ヲ郵便物ノ受取人ヨリ徵收ス受取人之ヲ納付セサルトキハ差出人ヨリ徵收ス受取人ニシテ鮮船料ヲ納付セサルトキ亦同シ

郵便物ノ受取人ハ一定ノ期間ヲ限リ書留又ハ價格表記郵便物ノ別配達ヲ配達郵便官署ニ請求スルコトヲ得但シ之ヲ爲ス事務ニ差支アルトキハ拒絕スルコトアルヘシ

前項ノ別配達料金ハ配達ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス

別配達ノ請求ヲ爲シタル受取人ハ何時ニテモ其ノ請求ヲ取消スコトヲ得

第四十七條　別配達ノ郵便物ハ通常ノ配達時刻ニ揭ラス直ニ特使ヲ以テ之ヲ配達ス

別配達ノ郵便物ニシテ配達ノ際受取人不在其ノ他ノ事故ニ依リ交付スルコト能ハサルトキハ別配達ノ效力ヲ失フ

第七節　配達證明

第四十八條　書留又ハ價格表記ノ郵便物ハ配達證明ヲ爲スコトヲ得

第四十九條　配達郵便官署ニ於テ配達證明郵便物ノ配達ヲ了シタルトキハ其ノ配達ノ證明ヲ差出人ニ送付ス

第五十九條ノ二　差出人ハ書留又ハ價格表記ノ郵便物ニ於テ該郵便物差出後一年以内ニ於テ該郵便物ノ受領證ヲ提出シ之カ配達證明ヲ引受郵便官署ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲ストキハ金六錢ヲ納付スヘシ

第五十九條ノ三　引受郵便官署ニ於テ郵便物差出後配達證明ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ配達ノ濟否ヲ差出人ニ通知ス

第八節　內容證明

第五十條　封緘シタル書留通常郵便物ニシテ其ノ內容カ日本字、數字又ハ漢字ヲ以テ明瞭ニ記載シタル文書ナルトキハ內容證明ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ他ノ物件ヲ封入スルコトヲ得ス

前項ノ文書ニハ亞剌比亞數字又ハ簡單ナル記號ヲ混記スルコトヲ得

第五十條ノ二　二箇以上ノ內容證明郵便物ニシテ其ノ內容文書カ名宛人宿所氏名ノミヲ異ニスルモノハ其ノ名宛人宿所氏名カ各封皮記載ノモノト一致スル場合ニ限リ之ヲ同文ノモノトシテ差出スコトヲ得

第五十一條　內容證明ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ其ノ郵便物ニ內容文書ノ謄本二通ヲ添ヘ差出スヘシ

內容文書ノ同文ナル二箇以上ノ郵便物ニ付テモ亦前項ニ同シ

前各項ノ場合ニ於テ差出人認證謄本ノ交付ヲ要セサルトキハ謄本一通ヲ差出スコトヲ得

第五十二條　內容證明郵便物ハ其ノ謄本ニ照シ之ヲ檢査シ相違ナキトキハ原本及謄本ノ各通ニ差出年月日及其ノ郵便物內容證明ノ旨並郵便官署名ヲ記入シ且一通ノ認證謄本ト原本及他ノ一通ノ認證謄本ハ通信日附印ヲ以テ割印ヲ施シ原本ハ立帶ノ上差出人ヲシテ之ヲ封緘シテ差出サシメ認證謄本ノ一通ハ之ヲ差出人ニ交付シ一通ハ郵便官署ノ文書トシテ二年間之ヲ保存ス

第五十三條　內容證明郵便物ハ差出後二年內ニ於テ內容文書ノ謄本ニ該郵便物ノ受領證ヲ添ヘ提出シ之カ內容檢查ノ證明ヲ請求スル者アルトキハ郵便官署ニ保存スル認證謄本ニ照シ之ヲ檢查シ相違ナキトキハ前條ニ準シ相當證明ノ上之ヲ申請者ニ交付ス

前項ノ請求ヲ爲ストキハ謄本一通毎ニ同文ノ非サル內容證明料ト同一割合ニ依ル料金額ヲ納付スヘシ

第五十四條　郵便官署ニ保存スル認證謄本ヲ閱覽セムトスルトキハ該郵便物差出後二年內ニ於テ該郵便物ノ受領證ヲ提出シ之ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲スト雖モ金五錢ヲ納付スヘシ但シ前條ノ請求ヲ爲スト同時ニ閱覽セムトスルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十五條　削除

第五十一條及第五十三條ノ謄本ニハ差出人及受取人ノ宿所氏名ヲ附記スヘシ但シ其ノ宿所氏名カ內容文書ニ記載ノモノト同一ナル場合ハ之カ附記ヲ省略スルコトヲ得

二箇以上同文ノ謄本ハ受取人、宿所、氏名ヲ連記シ若ハ別ニ之ヲ記載シテ添附スヘシ但シ第五十三條ノ場合ニ於テ二箇以上同文ノモノニ付受取人ヲ異ニスルモノ毎ニ各別ノ謄本ヲ作製シ之カ證明ヲ求ムルトキハ其ノ各通ニ之ヲ記載スヘシ

前各項ニ依ル差出人及受取人、宿所、氏名ノ記載ハ料金徵收上謄本ノ枚數ニ算入セス

第五十七條　謄本ハ一行二十字、一枚二十六行以內ト雖モ文字ヲ改竄スルコトヲ得ス文字訂正、挿入又ハ削除シタルトキハ其ノ字數及箇所ヲ欄外又ハ末尾ノ餘白ニ記載シ得正又ハ削除シタル文字ハ尙明ニ通讀シ得ヘキヤウ字體ヲ存スヘシ但シ文字ノ訂正又ハ挿入ハ之カ爲ニ謄本一枚ノ制限字數ヲ超過スルコトヲ得ス

第五十八條　第五十條ノ二ノ場合ニ於テハ其ノ內容文書ノ名宛人宿所氏名ハ之ヲ謄本ニ記載スルコトヲ得ス

第五十九條　內容證明郵便物ニ關シテハ名宛變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第九節　代金引換

第六十條　書留又ハ價格表記ノ郵便物ニシテ代金引換ノ請求アリタルモノニ限リ私製ノ受領證ヲ以テ之ニ代ヘ其ノ受領證ニ差出人ノ署名ヲ爲サシメ且代金引換郵便官署ニ委託スルコトヲ得

代金引換郵便ニ依ル金額ノ制限ハ金千圓トシ錢位未滿ノ端數ヲ付スルコトヲ得ス

第六十一條　代金引換郵便物ハ到著郵便官署ニ留置キ其ノ旨ヲ受取人ニ通知シ受取人ノ出頭アリタル時代金ト引換ニ之ヲ交付ス其ノ留置期間ハ十日間トス

前項通知書發送後受取人ハ代金引換郵便物ニ對シ其ノ轉送ヲ請求スルコトヲ得ス

第一項留置ニ關シテハ第三十八條第二項及第百七條ノ規定ヲ準用ス

第六十二條　取立郵便官署ニ於テ代金引換郵便物ノ代金ヲ受取ムルトキハ別ニムル所ニ從ヒ之ヲ差出人ニ送付ス

第六十三條　書留ヲ內容ト爲ス代金引換郵便物ノ差出人ハ該郵便物カ到著郵便官署ニ到著ノ日ヨリ三日以內ニ引換ヲ了スルコト能ハサルトキハ之カ返付ヲ受ケヘキコトヲ豫メ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ該郵便物ノ表面ニ「書留植留置三日」ト記載スヘシ

第六十四條　郵便振替貯金加入者ハ別ニ定ムル所ニ從ヒ其ノ口座ニ引換代金ノ振替拂込ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郵便物ニ「何番口座拂込」ト記入スヘシ

第六十五條　代金引換郵便物ノ差出人代金引換ノ取消ヲ爲サムトスルトキハ第百四條郵便物取戻ノ請求ニ關スル料金又代金引換金額ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ同條郵便物名宛變更ノ請求ニ關スル料金又ハ同條郵便物ノ旨並郵便官署名ヲ記入シ且一通ノ認證謄本ヲ前納シテ之ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第百四條第二項但書ヲ準用ス

第六十六條　左ノ證書又ハ證券ハ郵便區市內ニ限リ集金郵便トシテ之ヲ引換ニ現金ノ取立ヲ郵便官署ニ委託スルコトヲ得

一　證書　現金受領證　無記名公債券、社債券又ハ其ノ利札

二　證券　貨物引換證、船荷證券又ハ之ニ準スヘキモノ

集金郵便ニ依ル金額ノ制限ハ證書ニ在リテハ一口ニ付金三圓以上金五十圓以內、證券ニ在リテハ一口ニ付金三圓以上金千圓以內トス但シ證位未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得

第六十六條ノ二　證書ニハ現金取立ノ事由及第六十一條　代金引換郵便物ハ到著郵便官署ニ留置キ其ノ旨ヲ受取人ニ通知シ受取人ノ出頭アリタル時代金ト引換ニ之ヲ交付ス其ノ留置期間ハ十日間トス

前項通知書發送後受取人ハ代金引換郵便物ニ對シ其ノ轉送ヲ請求スルコトヲ得ス

第一項留置ニ關シテハ第三十八條第二項及第百七條ノ規定ヲ準用ス

第六十二條　取立郵便官署ニ於テ代金引換郵便物ノ代金ヲ受取ムルトキハ別ニムル所ニ從ヒ之ヲ差出人ニ送付ス

第六十三條　書留ヲ內容ト爲ス代金引換郵便物ノ差出人ハ該郵便物カ到著郵便官署ニ到著ノ日ヨリ三日以內ニ引換ヲ了スルコト能ハサルトキハ之カ返付ヲ受ケヘキコトヲ豫メ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ該郵便物ノ表面ニ「書留植留置三日」ト記載スヘシ

第六十四條　郵便振替貯金加入者ハ別ニ定ムル所ニ從ヒ其ノ口座ニ引換代金ノ振替拂込ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郵便物ニ「何番口座拂込」ト記入スヘシ

第六十五條　代金引換郵便物ノ差出人代金引換ノ取消ヲ爲サムトスルトキハ第百四條郵便物取戻ノ請求ニ關スル料金又代金引換金額ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ同條郵便物名宛變更ノ請求ニ關スル料金又ハ同條郵便物ノ旨並郵便官署名ヲ記入シ且一通ノ認證謄本ヲ前納シテ之ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第百四條第二項但書ヲ準用ス

第六十六條　左ノ證書又ハ證券ハ郵便區市內ニ限リ集金郵便トシテ之ヲ引換ニ現金ノ取立ヲ郵便官署ニ委託スルコトヲ得

一　證書　現金受領證　無記名公債券、社債券又ハ其ノ

二　證券　利札　貨物引換證、船荷證券又ハ之ニ準スヘキモノ

集金郵便ニ依ル金額ノ制限ハ證書ニ在リテハ一口ニ付金三圓以上金五十圓以內、證券ニ在リテハ一口ニ付金三圓以上金千圓以內トス但シ證位未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得

證書ノ效力ニ關スル事項ニ限リ之ヲ附記スルコトヲ得

第六十七條　集金郵便ハ二通以上ノ證書又ハ證券ヲ以テ一日ニ爲スコトヲ得但シ同一ノ委託者ニ屬シ同一ノ支拂人ヨリ同時ニ取立テ得ヘキ證券ハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條　集金郵便ニ關スル料金ハ左ノ如シ

一　集金委託料一口ニ付	金六錢
二　集金證證證書一通ニ付	金十五錢
三　集金留置通知料一口ニ付	金三錢

第六十九條　集金郵便ノ委託ヲ爲サムトスル者ハ集金郵便委託書ト共ニ現金ヲ取立ノヘキ證書又ハ證券ヲ郵便官署ニ差出シ郵便官署ヨリ其ノ證書又ハ證券ノ受領證ヲ受取ルヘシ

第六十九條ノ二　集金郵便委託書ハ所定ノ樣式ニ適合シ且紙質良好ノモノニ限リ私製ノモノヲ用ユルコトヲ得

私製ノ委託書用紙ハ適當ノ切取線ヲ施シ證書ヲ連續セシムルコトヲ得

第七十條　一定ノ期日ニ取立ツヘキ證書又ハ證券ハ支拂人所在地ニ達スヘキ日數ヲ除キ該期日ヨリ早クモ十日遲クモ三日以前ニ之ヲ委託スヘシ

第七十一條　委託者左ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ委託書ニ其ノ旨ヲ記入シテ差出スヘシ

一　證書又ハ證券ニシテ第一回ノ取立ニ際シ其ノ金額ヲ取立ツルコト能ハサル場合ニ於テ直ニ之ヲ還付スルコト

二　證書又ハ證券ヲ差出人指定ノ取立郵便官署ニ留置キ支拂人ノ出頭ヲ待テ其ノ取立ヲ爲スコト

三　前號ニ依リ集金郵便ノ到著ヲ支拂人ニ通知スルコト

前項第二號ニ依ル證書又ハ證券ノ留置期間ハ取立期間ト同一トス

第七十二條　集金郵便ノ取立期間ハ該證書又ハ證券取立郵便官署ニ到著ノ日ヨリ十日トシ第七十一條第一項第二號ニ該當スルモノヲ除クノ外一定ノ期日ニ取立ツヘキモノハ其ノ期日ニ、其ノ他ノモノハ成ルヘク遲クモ取立郵便官署ニ於テ支拂人ノ居宅ニ就キ該證書又ハ證券ヲ以テ包裝ノ儘紙ヲ用フルトキハ其ノ幅六センチメートル以上ノ宛所ハ成ルヘク左ノ例ニ依リ明瞭ニ縱書スヘシ

何　道　何（配達郵便局所名）局所區內
何都何百何個何番地
某

第八十五條　約束郵便物ハ郵便官署ノ指示ニ從ヒ其ノ麁狹又ハ名稱及箇數等ヲ記載シタル郵便送票ヲ添ヘ之ヲ豫メ承認ヲ受ケタル差出郵便官署ニ差出スヘシ但シ當該郵便官署ニ於テ必要アリト認メタルトキハ其ノ差出場所ヲ指定スルコトアルヘシ

第八十六條　郵便官署ハ差出人ヲシテ約束郵便物發送上必要ナル區域毎ニ之ヲ結束シテ差出サシムルコトアルヘシ

第八十七條　郵便官署ハ必要ニ應シ差出人ニ對シ約束郵便物ノ見本ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第十三節　郵便私書函

第八十八條　郵便私書函ヲ使用セムトスル者ハ別ニ定ムル所ニ依リ當該郵便官署ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ私書函ヲ使用セシムルコトアルヘシ

第八十九條　郵便私書函ヲ使用セムトスル者ハ別ニ定ムル所ニ依リ當該郵便官署ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ私書函ヲ使用セシムルコトアルヘシ

第九十條　郵便私書函ヲ使用スル者ハ別ニ定ムル所ニ從ヒ使用料ヲ納付スヘシ

第九十一條　郵便私書函ノ使用料ハ一箇年ニ付金十圓トス

第九十二條　郵便私書函ノ使用者ハ別ニ定ムル所ニ從ヒ其ノ使用ヲ廢止スルコトヲ得

第九十三條　郵便私書函ノ使用者ハ別ニ定ムル所ニ從ヒ其ノ使用ヲ廢止スルコトヲ得

第九十四條　約束郵便物ハ特殊ノ包裝ヲ要スルモノノ外強質ナル白色又ハ淡色ノ紙ヲ以テ包裝シ帶紙ヲ用フルトキハ其ノ幅六センチメートル以上ノ宛所ハ成ルヘク左ノ例ニ依リ明瞭ニ縱書スヘシ

何　道　何（配達郵便局所名）局所區內
何都何百何個何番地
某

第八十五條　約束郵便物ハ郵便官署ノ指示ニ從ヒ其ノ麁狹又ハ名稱及箇數等ヲ記載シタル郵便送票ヲ添ヘ之ヲ豫メ承認ヲ受ケタル差出郵便官署ニ差出スヘシ但シ當該郵便官署ニ於テ必要アリト認メタルトキハ其ノ差出場所ヲ指定スルコトアルヘシ

第八十六條　郵便官署ハ差出人ヲシテ約束郵便物發送上必要ナル區域毎ニ之ヲ結束シテ差出サシムルコトアルヘシ

第八十七條　郵便官署ハ必要ニ應シ差出人ニ對シ約束郵便物ノ見本ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第十三節　郵便私書函

第八十八條　郵便私書函ヲ使用セムトスル者ハ別ニ定ムル所ニ依リ當該郵便官署ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ私書函ヲ使用セシムルコトアルヘシ

第八十九條　郵便私書函ヲ使用セムトスル者ハ別ニ定ムル所ニ從ヒ使用料ヲ納付スヘシ

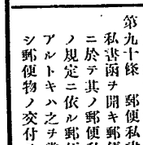
第九十條　郵便私書函ノ使用料ハ一箇年ニ付金十圓トス

第九十一條　郵便私書函ノ使用者ハ別ニ定ムル所ニ從ヒ其ノ使用ヲ廢止スルコトヲ得

第九十二條　郵便私書函ノ使用者ハ別ニ定ムル所ニ從ヒ其ノ使用ヲ廢止スルコトヲ得

第九十三條　郵便私書函ノ使用者ハ別ニ定ムル所ニ從ヒ其ノ使用ヲ廢止スルコトヲ得

第九十四條　約束郵便物ハ特殊ノ包裝ヲ要スルモノノ外強質ナル白色又ハ淡色ノ紙ヲ以テ包裝シ帶紙ヲ用フルトキハ其ノ幅六センチメートル以上ノ宛所ハ成ルヘク左ノ例ニ依リ明瞭ニ縱書スヘシ



直徑凡三センチメートル上部ニ燕形ノ如ク差出郵便局所名ヲ記入ス

第七十二條　委託者ハ未タ取立ヲ了セサル集金郵便ヲ取消シ該證書若ハ證券ノ還付ヲ請求スルコトヲ得

集金郵便ノ取消ニ關シテハ郵便物取戻ノ規定ヲ準用ス

第十一節　切手別納郵便

第七十八條　種類及料金額同一ノ通常郵便物ヲ同時ニ五十箇以上差出ストキハ切手別納郵便ト爲スコトヲ得

第七十九條　切手別納郵便物ハ通知ヲ要セサル留置ト爲ス外他ノ特殊取扱ト爲スコトヲ得ス

第八十條　切手別納郵便物ハ郵便切手ヲ貼附セス郵便物ニ料金相當ノ郵便切手ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

前項ノ郵便物ニハ其ノ表面ニ差出人ニ於テ左記雛形ノ印章ヲ押捺スヘシ

直徑凡三センチメートル上部ニ燕形ノ如ク差出郵便局所名ヲ記入ス

第十二節　約束郵便

第八十一條　定期刊行物、書籍及印刷物ハ別ニ定ムル所ニ依リ豫メ郵便官署ノ承認ヲ受ケ約束郵便ト爲スコトヲ得

第八十二條　約束郵便物ハ通知ヲ要セサル留置ト爲スモノヲ除クノ外他ノ特殊取扱ト爲スコトヲ得ス

約束郵便物ニハ郵便切手ヲ貼付セス差出人ニ於テ其ノ表面ニ左記雛形ノ印章ヲ捺押スヘシ

前項ノ郵便物ノ料金ハ毎月分ヲ翌月二十日迄ニ約束郵便ノ承認ヲ受ケタル郵便官署ノ指示ニ從ヒ通貨ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

第十四節　閉鎖配達

第九十條ノ二　郵便物ノ受取人ハ書留及價格表記以外ノ料金完納ノ通常郵便物ニ限リ其ノ閉鎖配達ヲ配達郵便官署ニ請求スルコトヲ得但シ之カ爲事務ニ差支アルトキハ拒絕スルコトアルヘシ

閉鎖配達ニ要スル費及其ノ附屬品ハ郵便官署ノ指示スル所ニ從ヒ受取人ニ於テ之ヲ提供スヘシ

第九十條ノ三　閉鎖配達ノ郵便物ハ嚢ニ納メ之ニ鍵ヲ施シ配達ス

閉鎖配達郵便物受取人ヲ肩書シタル書留及價格表記以外ノ料金完納ノ通常郵便物ハ前項ノ嚢ニ納メ配達スルコトアルヘシ

第九十條ノ四　郵便物ノ閉鎖配達料ハ四月一日ヨリ九月三十日迄及十月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ノ二期ニ分チ每期分ヲ當該期ノ前月中ニ納付スヘシ但シ閉鎖配達ノ開始カ期間ノ中途ナルトキハ其ノ期間ノ料金ハ月割額ヲ以テ之ヲ前納スヘシ

第九十條ノ五　閉鎖配達ヲ廢止セムトスルトキハ廢止ノ前日迄ニ其ノ旨配達郵便官署ニ屆出ツヘシ

第三章　郵便物ノ差出

第九十一條　普通郵便ニ依ル通常郵便物及書留又ハ價格表記ニ非サル留置通常郵便物ハ之ヲ郵便函ニ差入ルヘシ但シ私設郵便函ニ差入ルコトヲ得ス

小包郵便物、特殊ノ取扱ヲ要スル通常郵便物及前項ノ郵便物ニシテ容積大ナルカ又ハ嵩數多キカ爲郵便函ニ差入ルコト能ハサルモノハ之ヲ郵便官署ニ差出スヘシ

第九十二條　郵便官署ニ於テ郵便物ノ引受ヲ爲スハ郵便取扱時間中ニ限ル但シ特ニ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九十三條　郵便物ノ重量ハ其ノ郵便物ニ貼用シタル郵便切手ノ重量ヲモ合算スル但シ價格表記郵便物ニ使用スル政府發行ノ封皮ニシテ其ノ表面ニ印刷シアル封皮ノ量ヲ算入セス

第九十四條　郵便料金ノ徵收ニ關シ左ノ場合ハ同一郵便區ト看做ス

一　同一府内ニ數箇ノ郵便官署アルトキ其ノ郵便官署ノ各郵便區相互間

二　連接セル郵便區市内相互間

第九十五條　郵便物別配達料ニ關スル距離ハ郵便官署ノ定ムル所ニ依ル

第四章　郵便物ノ配達

第九十六條　郵便區ヲ分チテ市内及市外トス

郵便區市内ハ郵便物ノ集配非務ヲ取扱フ郵便官署ノ所在地ニシテ朝鮮總督府遞信局長ノ指定スル地域トシ郵便區市外ハ郵便區市内ヲ除キタル地域トス

第九十七條　深山孤島其ノ他交通困難ノ場所ニシテ通常ノ方法ニ依リ配達シ難キ地ニ居住スル者ニ宛タル郵便物ハ到着郵便官署ニ留置キ受取人ノ出頭ヲ待テ之ヲ交付ス差出人ニ郵便物ヲ還付ス場合亦同シ

前項ノ留置期間ハ六十日トス

第九十八條　削除

第九十九條　二人以上ニ宛テタル郵便物ハ其ノ內ノ一人ニ配達ス

第百條　正當受取人ニ非サル者ニシテ郵便物ノ配達ヲ受ケタル者ハ速ニ其ノ事由及居所、氏名ヲ記載シタル附箋ヲ爲シ料金ヲ納付スルコトナク再ヒ郵便ニ差出スカ又ハ郵便官署ニ申告スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ郵便物ヲ誤テ開披シタルトキハ之ヲ封緘シ又ハ相當ノ手當ヲ爲シ第一項ノ申告書ハ無料郵便物トシテ之ヲ差出スコトヲ得

郵便物ヲ差出人ニ還付スヘキ場合亦前三項ニ準ス

第百一條　郵便官署カ郵便物ノ配達又ハ還付ヲ受ケタル者ニ就キ其ノ郵便物ノ封皮若ハ書留ノ交付ヲ求メ又ハ其ノ郵便物ノ受授ニ關スル狀況ヲ探問スルトキハ之ヲ拒ムヘカラス

第百二條　正當ノ申出ナクシテ第百條ノ手續ヲ爲サス又ハ前條ノ要求ニ應セサル者ハ科料ニ處ス

第五章　郵便物ノ轉送及還付

一　同一府内ニ數箇ノ郵便官署アルトキ其ノ郵便官署ノ各郵便區相互間

二　連接セル郵便區市内相互間

第九十五條　郵便物別配達料ニ關スル距離ハ郵便官署ノ定ムル所ニ依ル

第四章　郵便物ノ配達

第九十六條　郵便區ヲ分チテ市内及市外トス

郵便區市内ハ郵便物ノ集配非務ヲ取扱フ郵便官署ノ所在地ニシテ朝鮮總督府遞信局長ノ指定スル地域トシ郵便區市外ハ郵便區市内ヲ除キタル地域トス

第九十七條　深山孤島其ノ他交通困難ノ場所ニシテ通常ノ方法ニ依リ配達シ難キ地ニ居住スル者ニ宛タル郵便物ハ到着郵便官署ニ留置キ受取人ノ出頭ヲ待テ之ヲ交付ス差出人ニ郵便物ヲ還付ス場合亦同シ

前項ノ留置期間ハ六十日トス

第九十八條　削除

第九十九條　二人以上ニ宛テタル郵便物ハ其ノ內ノ一人ニ配達ス

第百條　正當受取人ニ非サル者ニシテ郵便物ノ配達ヲ受ケタル者ハ速ニ其ノ事由及居所、氏名ヲ記載シタル附箋ヲ爲シ料金ヲ納付スルコトナク再ヒ郵便ニ差出スカ又ハ郵便官署ニ申告スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ郵便物ヲ誤テ開披シタルトキハ之ヲ封緘シ又ハ相當ノ手當ヲ爲シ第一項ノ申告書ハ無料郵便物トシテ之ヲ差出スコトヲ得

郵便物ヲ差出人ニ還付スヘキ場合亦前三項ニ準ス

第百一條　郵便官署カ郵便物ノ配達又ハ還付ヲ受ケタル者ニ就キ其ノ郵便物ノ封皮若ハ書留ノ交付ヲ求メ又ハ其ノ郵便物ノ受授ニ關スル狀況ヲ探問スルトキハ之ヲ拒ムヘカラス

第百二條　正當ノ申出ナクシテ第百條ノ手續ヲ爲サス又ハ前條ノ要求ニ應セサル者ハ科料ニ處ス

第五章　郵便物ノ轉送及還付

第百三條　郵便物ノ轉送及還付ハ別ニ料金ヲ徵收セス但シ第三十一條但書ノ小包郵便物ニシテ料金增加ヲ要スル區域ニ轉送還付スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四條　郵便物ノ差出人ハ未タ配達ヲ了セサル郵便物ノ名宛變更又ハ取戻ヲ請求スルコトヲ得但シ之カ爲事務ニ差支アルトキハ拒絕スルコトアルヘシ

閉鎖配達ノ郵便物ハ嚢ニ納メ之ニ鍵ヲ施シ配達ス

第百五條　郵便物ノ受取人ハ轉送先分明ナルトキハ之ヲ其ノ移轉先ヘ轉送スヘシ郵便物ヲ差出人ニ還付スヘキ場合ニ於テ差出人他ニ移轉シタルトキハ亦同シ

第百六條　郵便物ノ受取人ハ移轉シ其ノ移轉先ヲ明ナルトキハ之ヲ其ノ移轉先ヘ轉送スヘシ郵便物ヲ差出人ニ還付スヘキ場合ニ於テ差出人他ニ移轉シタルトキハ亦同シ

第三十一條但書ノ小包郵便物ノ受取人料金增加ヲ要スル區域ニ移轉シタルトキハ前項ノ規定ニ依ラス差出人又ハ受取人ヨリ其ノ轉送ヲ請求シタルトキニ限リ之ヲ轉送ス

第百六條　郵便物ノ受取人他ニ移轉シタルトキハ其ノ配達先ニ於テ配達ヲ受クルノ際受取人ノ所在地ヲ集配人ニ明示シ前條ノ轉送ヲ求ムルコトヲ得

普通通常郵便物ハ其ノ配達ヲ受ケタル後該郵便物ニ轉送先ヲ記載シタル附箋ヲ爲シ其ノ配達ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ料金ノ納付ヲ要スルコトナク再ヒ郵便ニ差出スコトヲ得其ノ期限經過後郵便ニ差出シタルトキハ新ニ差出シタルモノト看做ス

郵便物ヲ差出人ニ還付スヘキ場合ニ於テ差出人他ニ移轉シタルトキ亦前二項ニ準ス

第百七條　郵便物ノ受取人所在不明ナルトキ、郵便料不納ナルニ依リ受取人其ノ受取ヲ拒ミタルトキ又ハ留置期間ヲ經過シ若ハ其ノ期間内ニ還ヘ受取人ニ於テ成規ニ依リ受取ノ手續ヲ爲ササル旨申出テタルトキハ配達シ能ハサル郵便物トシテ直ニ之ニ差出人ニ還付ス

前項ノ外第三十一條但書ノ小包郵便物ノ受取人料金增加ヲ要スル區域ニ移轉シタル場合ニ於テ第三十二條ニ依リ差出人ヨリ豫メ其ノ轉送若ハ棄却ノ請求ヲ爲サス又ハ第三十三條ニ依リ受取人ヨリ轉送ノ請求ナキトキハ直ニ之ヲ差出人ニ還付スヘシ轉送ノ請求ニ依リテ配達ヲ遂ケル能ハサル場合亦同シ

第六章　損害賠償及報酬

第百八條　郵便物ニ關スル損害及郵便法第四條ニ依ル損害ノ賠償竝郵便法第五條ニ依ル報酬ハ郵便官署ニ之ヲ請求スヘシ

第百九條　郵便物ノ配達又ハ還付ノ際郵便物ニシテ其ノ非カ證明セシムルニ於テ郵便法第三十四條ニ依リ損害ヲシテ省慮ストキハ其ノ非由ヲ記載シタル調書ヲ添附スヘシ

前項ノ郵便物ニシテ損害ノ申立ヲ爲シタルトキハ申立人ニ於テ其ノ非由ヲ記載シタル調書ヲ作製シ之ヲ損害賠償ノ請求權ヲ有スル者ニ交付ス

第百十條　前條第二項ノ場合ニ於テ申立人ヨリ金ヲ爲ササルトキ其ノ申立人ニ受取人ナルトキハ郵便物ニ直ニ差出人ニ還付ス申立人差出人ナル場合ニ於テハ郵便法第十四條ニ依リ還付シ能ハサル郵便物トシテ之ヲ取扱フ

第百十一條　郵便物ニ關スル損害ノ賠償ヲ請求スル者ハ其ノ種別、品名、個數、實價、請求金額其ノ他必要ナル事項及之ヲ請求スル事由ヲ記載シタル請求書ヲ差出シ第百九條ノ場合ニ於ケル損害賠償ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ前項ノ調書ヲ添附スヘシ

郵便法第四條ニ依リ損害ヲ賠償スル郵便物ニ關シ第三者ニ對スル權利ヲ讓受ケタル者ハ其ノ讓受ヲ證スル書類ヲ添附スヘシ

第百十一條　郵便物ノ紛失、棄損又ハ內容ノ一部ヲ缺キタルトキハ郵便官署ハ其ノ郵便物ノ發送ヨリ受取ニ至ル迄ノ間ニ於ケル取扱ノ實況ヲ調査シ其ノ結果ヲ請求者ニ通知スヘシ

第百十二條　損害賠償及報酬ノ請求ハ郵便官署ニ於テ之ヲ受ケタルトキハ郵便官署ハ其ノ請求ノ當否及金額ヲ審査シ其ノ決定ヲ請求人ニ通知ス

第百十三條　損害賠償ノ請求ヲ爲シタル者其ノ請求ヲ取消シタル場合ニ於テ郵便官署ハ此ノ限ニ在ラス

第百十四條　郵便法第三十三條ニ依ル郵便物損害賠償ノ金額ハ左ノ割合ニ依ル

一　書留通常郵便物亡失ノトキハ一箇ニ付金十圓

二　小包郵便物ノ損害賠償額

亡失ノトキハ　重量五百グラム迄ハ一圓六十錢、一キログラム迄ハ二圓四十錢、一キログラム以上ハ一キログラム又ハ其ノ端數ヲ超過スル每ニ一圓四十錢ヲ加フ

毀損ノトキハ　總重量ニ對スル減重量ノ割合ニ依リ重量五百グラム迄ハ八十錢以內、一キログラム迄ハ一圓二十錢以內、一キログラム以上ハ一キログラム又ハ其ノ端數ヲ超過スル每ニ七十錢以內ヲ加フ

三　價格表記郵便物全部亡失又ハ毀損ノトキハ表記金額ノ全額、一部亡失又ハ毀損ノトキハ其ノ表記金額ト殘有價格トノ差額

四　集金郵便ニ依ル證券ノ亡失又ニ失效ノトキハ其ノ實損額但シ取立金額ヲ超過スルコトヲ得ス

五　代金引換郵便物ノ取立命ノ取立ヲ爲サスシテ之ヲ交付シタルトキハ其ノ實損額

附　則

本令ハ明治四十四年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年朝鮮總督府令第六十四號ハ之ヲ廢止ス

附　則（明治四十四年九月總令第百一號）

本令ハ大正十四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年遞信省令第九十四號ヲ以テ發行シタル郵便葉書ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス）

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ差出シタル現金取立郵便物ニ關シテハ從前ノ規定ニ依ル

附　則（大正五年七月總令第五十八號）

本令ハ大正五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ差出シタル郵便物及郵便ニ依ル取立金ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（大正九年八月總令第百六號）

本令ハ大正九年八月十六日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正九年八月總令第百三十五號）

本令ハ大正九年八月二十九日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十二年三月總令第三十四號）

本令ハ大正十二年三月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ引受ケタル郵便物ノ取扱ニ關シテハ其ノ取扱ヲ完了スル迄從前ノ例ニ依ル但シ留置郵便物ノ留置期間ハ此ノ限ニ在ラス

本令施行前ニ約束郵便ノ承認ヲ受ケタル者ハ其ノ差出郵便官署カ本令施行ノ日ヨリ約束郵便物ノ取扱ヲ爲ササルニ至リタル場合ニ於テモ仍大正十二年四月十日迄從前ノ差出郵便官署ニ差出スコトヲ得

附　則（大正十二年十一月總令第百三十號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

私製葉書製式規則ハ之ヲ廢止ス

從前ノ規定ニ依ル郵便葉書ニ關シテハ當分ノ內仍從前ノ例ニ依ル

附　則（大正十三年十二月總令第九十號）

本令ハ大正十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前約束郵便ノ承認ヲ受ケタル無封ノ書狀ニ關シテハ大正十四年三月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ル

附　則（大正十四年三月總令第十六號）

本令ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十四年四月總令第五十一號）

本令ハ大正十四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條　鐵道運送業者ハ郵便取扱ノ爲郵便官署ノ要求アルトキハ鐵道用地及停車場建物ノ一部ヲ供シ又ハ建物ノ建築若ハ改築ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ郵便官署ノ支給ス

第三條　鐵道運送業者ハ郵便官署ノ要求アルトキハ定期列車每ニ郵便車トシテ列車定數ノ總容積ノ五分ノ一迄ハ其ノ列車ノ一部ヲ供給シ又ハ郵便官署ノ交付ニ係ル同一容積以內ノ郵便車ヲ驗結スヘシ

船舶運送業者ハ郵便官署ノ要求アルトキハ其ノ船舶ニ相當ノ郵便船室ヲ供給スヘシ

第四條　船舶運送業者ノ郵便官署ノ交付ニ係ル郵便車ヲ保管スヘシ

第五條　便船車又ハ郵便船室ニハ郵便物郵便取扱具及其ノ監視員ノ外搭載スルコトヲ得ス

第六條　鐵道運送業者又ハ船舶運送業者ハ郵便官署ノ要求ニ應シ郵便車又ハ郵便船室ニ郵便物ノ取扱ニ必要ナル設備及維持ヲ爲スヘシ

鐵道運送業者ノ郵便官署ノ交付ニ係ル郵便車ヲ保管スヘシ

第七條　鐵道運送業者ハ列車仕立扉ニ於テ指定ノ郵便車ノ外臨時容積ノ增加ヲ要シ又ハ臨時郵便車ノ驗結ヲ要スル爲其ノ列車出發時刻三十分前迄ニ郵便官署ノ要求アルトキハ他ノ郵便車ヲ驗結シ又ハ通常客車ヲ其ノ代用ニ供スヘシ

第八條　鐵道運送業者ハ郵便官署ニ於テ郵便車ニ依ラサル郵便物ノ運送ヲ要求シタルトキハ特ニ指定シタル場合ヲ除クノ外旅客列車ニ依リ運送スル貨物ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ運送スヘシ

第九條　鐵道運送業者列車ノ發着時刻ヲ變更スルトキハ七日以前ニ之ヲ郵便官署ニ報告スヘシ但シ天災其ノ他避ケ難キ事故ノ爲發着時刻ノ變更ヲ決定シタルトキハ直ニ報告スヘシ

第十條　郵便車ノ使用料金ハ其ノ供給スル容

二ニ依ル報酬ヲ請求スル者ハ其ノ請求金額及之ヲ請求スル事由ヲ記載シタル請求書ヲ差出スヘシ

第百十二條　損害賠償及報酬ノ請求ヲ受ケタルトキハ郵便官署ハ其ノ請求ノ當否及金額ヲ審査シ其ノ決定ヲ請求人ニ通知ス

第百十三條　損害賠償ノ請求ヲ爲シタル者其ノ請求ヲ取消シタル場合ニ於テ郵便官署ハ此ノ限ニ在ラス

第百十四條　郵便法第三十三條ニ依ル郵便物損害賠償ノ金額ハ左ノ割合ニ依ル

一　書留通常郵便物亡失ノトキハ一箇ニ付金十圓

二　小包郵便物ノ損害賠償額

亡失ノトキハ　重量五百グラム迄ハ一圓六十錢、一キログラム迄ハ二圓四十錢、一キログラム以上ハ一キログラム又ハ其ノ端數ヲ超過スル每ニ一圓四十錢ヲ加フ

毀損ノトキハ　總重量ニ對スル減重量ノ割合ニ依リ重量五百グラム迄ハ八十錢以內、一キログラム迄ハ一圓二十錢以內、一キログラム以上ハ一キログラム又ハ其ノ端數ヲ超過スル每ニ七十錢以內ヲ加フ

三　價格表記郵便物全部亡失又ハ毀損ノトキハ表記金額ノ全額、一部亡失又ハ毀損ノトキハ其ノ表記金額ト殘有價格トノ差額

四　集金郵便ニ依ル證券ノ亡失又ニ失效ノトキハ其ノ實損額但シ取立金額ヲ超過スルコトヲ得ス

五　代金引換郵便物ノ取立命ノ取立ヲ爲サスシテ之ヲ交付シタルトキハ其ノ實損額

附　則

本令ハ明治四十四年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年朝鮮總督府令第六十四號ハ之ヲ廢止ス

附　則（明治四十四年九月總令第百一號）

本令ハ大正十四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年遞信省令第九十四號ヲ以テ發行シタル郵便葉書ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス）

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ引受ケタル郵便物ノ發送ヲ完了スル迄從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス）

本令ハ昭和六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ差出シタル郵便物ノ發送ヲ完了スル迄從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和八年二月總令第二十一號）

本令ハ昭和八年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年七月總令第八十七號）

本令ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前引受ケタル郵便物ハ仍從前ノ規定ニ依リ之ヲ取扱フ

附　則（昭和八年二月總令第二十一號）

本令ハ昭和八年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年七月總令第八十七號）

本令ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年七月總令第八十七號）

本令ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便禁制品

大正十五年三月
總令第五十五號ノ郵便禁制品ハ大正十二年遞信省告示第二號ニ依ル

●郵便切手其ノ他郵便料金ヲ表彰スヘキ證票ニ關スル件

明治四十四年十月
總令第百三十四號

郵便切手其ノ他郵便料金ヲ表彰スヘキ證票ニ關シテハ特ニ定ムルモノヲ除ノ外遞信省令及告示ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●鐵道船舶郵便法

明治三十三年三月
法律第五十六號
改正　大正五年三月第二八號、八年四月第五五號
昭和六年三月第五號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル鐵道船舶郵便法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

鐵道船舶郵便法

第一條　本法ニ於テ鐵道運送業者ト稱スルハ地方鐵道法ニ依リ鐵道ヲ以テ運送營業ヲ爲ス者ヲ謂ヒ船舶運送業者ト稱スルハ商法ニ依リ船舶ヲ以テ運送營業ヲ爲ス者ヲ謂フ

第二條　鐵道運送業者ハ郵便取扱ノ爲郵便官

五條ニ違反シタル鐵道運送業者及船舶運送業者亦同シ

第十六條　第十三條ニ依ル送達ヲ爲ササル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條　鐵道運送業者又ハ船舶運送業者カ其ノ取扱中ニ係ル郵便物ヲ過失ニ因リ亡失又ハ毀損シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條　第九條又ハ第十一條ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

第十九條　鐵道運送業者又ハ船舶運送業者ノ代表者又ハ代理人其ノ他ノ從業者カ第十四條乃至第十八條ニ該當スル行爲ヲ爲シタルトキハ各本條ノ刑ニ處ス

第二十條　軌道條例ニ依リ運送營業ヲ爲ス者ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第二十一條　鐵道又ハ航路若ハ船舶ニ關シ政府ヨリ補助ヲ受ケタル鐵道運送營業者又ハ船舶運送業者ニ對シ特別ノ命令アルトキハ其ノ命令ニ依ル

附　則

本法ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正五年三月法律第十八號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正五年七月勅令第百八十五號ヲ以テ五年八月一日ヨリ施行）

第七條　第六條第一項及第二項ニ違反シタル者又ハ正當ノ理由ナクシテ第八條ノ要求ニ應セサル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條　第四條第一項ノ規定ニ依リ運送ヲ拒ミタル者又ハ第五條ノ規定ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九條　第三條ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條　第二條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條　第一條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則（昭和六年三月法律第五號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和六年五月勅令第百八十九號ヲ以テ同年八月一日ヨリ施行）

●鐵道船舶郵便規則

明治四十四年二月
總令第十號

改正　大正五年七月勅令第百六十四號、一〇年五月第八九號
昭和六年三月第八八號

鐵道船舶郵便規則左ノ通定ム

第一條　鐵道船舶郵便ハ本法ニ依リ運送スヘキ郵便物ニ付之ヲ爲ス

第二條　運送業者ノ郵便物運送及授受ニ關スル取扱方法竝運送業者ニ交付スヘキ金額ノ仕拂方法ハ郵便官署ノ指定スル所ニ依ル

第三條　郵便物ヲ運送スヘキ區域、度數、時刻、列車竝郵便車定又ハ郵便船室ノ容積及郵便物ノ受渡局ハ郵便官署ノ指定スル所ニ依ル

第四條　鐵道船舶郵便法第五條ニ依リ郵便車室又ハ郵便船室ニ搭乘スヘキ郵便物取扱員及其ノ監視員ハ制服ヲ著シ又ハ搭乘證ヲ携帶スヘシ

鐵道監査員、鐵道係員又ハ船員ハ其ノ職務執行上必要アル場合ニ限リ郵便車室又ハ郵便船室内ニ出入スルコトヲ得

第五條　鐵道船舶郵便法第六條ニ依リ郵便官署ノ要求ニ應シ必要ナル設備及維持ヲ爲サムトスルトキハ運送業者ハ豫メ工事仕樣書竝經費豫算書ヲ提出シテ其ノ承認ヲ受クヘシ

第六條　郵便物ヲ運送スル船舶ニシテ發著日時ヲ定メタルモノ其ノ日時ヲ變更スルトキハ船舶運送業者ハ五日前ニ之ヲ當該郵便官署ニ報告スヘシ但シ災害其ノ他避クヘカラサル事故ノ爲發著日時ノ變更ヲ決定シタルトキハ直ニ報告スヘシ

第七條　一列車又ハ一船ニ於ケル郵便車室又ハ郵便船室ハ郵便官署ノ許可ヲ受クルニ非サレハ二箇月以上ニ分離スルコトヲ得ス

第八條　郵便車室及郵便船室ノ位置ハ特ニ郵便官署ノ指定ナキトキト雖常ニ之ヲ一定スヘシ但シ正當ノ理由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　郵便車室及郵便船室ノ容積ト稱スルハ各其ノ區劃障壁ノ內容積ヲ謂フ

郵便車室ノ容積ハ床板面ヨリ屋根板（天井ノ天ノ非ノ側ト相接スル線迄ノ高サニ依リ算定ス

第十條　郵便官署ヨリ郵便車室ヲ交付シタル場合ニ於テ鐵道船舶郵便法第十條ニ依リ鐵道運送業者ニ交付スヘキ金額ハ同法第十條第一項ノ容積ニ應スル最高料金ノ九割五分ヲ以內トス

船舶運送業者ニ交付スヘキ運送費ハ其ノ供給スル容積ニ應シ左ノ割合ニ依ル

一海里毎ニ　十錢
三立方メートル迄

三錢五厘以內
六立方メートル迄

四錢九厘以內
九立方メートル迄

六錢三厘以內
十二立方メートル迄

七錢九厘以內
十五立方メートル迄

九錢八厘以內
十八立方メートル迄

十一錢八厘以內
二十一立方メートル迄

十三錢八厘以內
二十四立方メートル迄

十六錢以內
二十七立方メートル迄

一海里毎ニ　十八錢三厘以內
三十立方メートル迄

一海里毎ニ　二十錢八厘以內
三十立方メートル迄

二十錢九厘以內
三十三立方メートル迄

一海里毎ニ　二十二錢八厘以內
三十六立方メートル迄

二十四錢八厘以內
三十九立方メートル迄

一海里毎ニ　二十六錢八厘以內
四十二立方メートル迄

二十八錢八厘以內
四十五立方メートル迄

一海里毎ニ　三十錢八厘以內
四十八立方メートル迄

三十二錢八厘以內
五十一立方メートル迄

一海里毎ニ　三十四錢八厘以內
五十四立方メートル迄

三十六錢八厘以內
五十七立方メートル迄

一海里毎ニ　三十八錢八厘以內
六十立方メートル迄

四十錢八厘以內

第十一條　船舶運送業者ノ郵便物運送及授受ニ關スル取扱方法竝運送業者ニ交付スヘキ金額ノ仕拂方法ハ郵便官署ノ指定スル所ニ依ル

第十二條　船舶運送業者ニ交付スヘキ運送料金ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十三條　郵便物搭載列車天災事變ノ爲其ノ進行ヲ停止シタルトキ又ハ郵便物搭載船舶航行中天災事變ニ因リ郵便物ヲ陸揚シタルトキハ鐵道運送業者又ハ船舶運送業者ハ郵便取扱員ノ在ラサル場合ニ限リ直ニ該郵便物ヲ附近郵便官署ニ送達スヘシ其ノ送達ニ要スル費用ハ之ヲ支給ス

第十四條　第三條ノ要求ニ應セサル者又ハ正當ノ理由ナクシテ第二條若ハ第七條ノ要求ニ應セサル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條　第六條第一項及第二項ニ違反シタル者又ハ正當ノ理由ナクシテ第八條ノ要求ニ應セサル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條　運送業者ノ郵便物運送及授受ニ關スル取扱方法竝運送業者ニ交付スヘキ金額ノ仕拂方法ハ郵便官署ノ指定スル所ニ依ル

第三條　郵便物ヲ運送スヘキ區域、度數、時刻、列車竝郵便車定又ハ郵便船室ノ容積及郵便物ノ受渡局ハ郵便官署ノ指定スル所ニ依ル

第四條　鐵道船舶郵便法第五條ニ依リ郵便車室又ハ郵便船室ニ搭乘スヘキ郵便物取扱員及其ノ監視員ハ制服ヲ著シ又ハ搭乘證ヲ携帶スヘシ

鐵道監査員、鐵道係員又ハ船員ハ其ノ職務執行上必要アル場合ニ限リ郵便車室又ハ郵便船室内ニ出入スルコトヲ得

第五條　鐵道船舶郵便法第六條ニ依リ郵便官署ノ要求ニ應シ必要ナル設備及維持ヲ爲サムトスルトキハ運送業者ハ豫メ工事仕樣書竝經費豫算書ヲ提出シテ其ノ承認ヲ受クヘシ

第六條　郵便物ヲ運送スル船舶ニシテ發著日時ヲ定メタルモノ其ノ日時ヲ變更スルトキハ船舶運送業者ハ五日前ニ之ヲ當該郵便官署ニ報告スヘシ但シ災害其ノ他避クヘカラサル事故ノ爲發著日時ノ變更ヲ決定シタルトキハ直ニ報告スヘシ

第七條　一列車又ハ一船ニ於ケル郵便車室又ハ郵便船室ハ郵便官署ノ許可ヲ受クルニ非サレハ二箇月以上ニ分離スルコトヲ得ス

第八條　郵便車室及郵便船室ノ位置ハ特ニ郵便官署ノ指定ナキトキト雖常ニ之ヲ一定スヘシ但シ正當ノ理由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　郵便車室及郵便船室ノ容積ト稱スルハ各其ノ區劃障壁ノ內容積ヲ謂フ

郵便車室ノ容積ハ床板面ヨリ屋根板（天井ノ天ノ非ノ側ト相接スル線迄ノ高サニ依リ算定ス

第十條　郵便官署ヨリ郵便車室ヲ交付シタル場合ニ於テ鐵道船舶郵便法第十條ニ依リ鐵道運送業者ニ交付スヘキ金額ハ同法第十條第一項ノ容積ニ應スル最高料金ノ九割五分ヲ以內トス

船舶運送業者ニ交付スヘキ運送費ハ其ノ供給スル容積ニ應シ左ノ割合ニ依ル

一海里毎ニ　十錢
三立方メートル迄

三錢五厘以內
六立方メートル迄

四錢九厘以內
九立方メートル迄

六錢三厘以內
十二立方メートル迄

七錢九厘以內
十五立方メートル迄

九錢八厘以內
十八立方メートル迄

十一錢八厘以內
二十一立方メートル迄

十三錢八厘以內
二十四立方メートル迄

十六錢以內
二十七立方メートル迄

一海里毎ニ　十八錢三厘以內
三十立方メートル迄

一海里毎ニ　二十錢八厘以內
三十立方メートル迄

二十錢九厘以內
三十三立方メートル迄

一海里毎ニ　二十二錢八厘以內
三十六立方メートル迄

二十四錢八厘以內
三十九立方メートル迄

一海里毎ニ　二十六錢八厘以內
四十二立方メートル迄

二十八錢八厘以內
四十五立方メートル迄

一海里毎ニ　三十錢八厘以內
四十八立方メートル迄

三十二錢八厘以內
五十一立方メートル迄

一海里毎ニ　三十四錢八厘以內
五十四立方メートル迄

三十六錢八厘以內
五十七立方メートル迄

一海里毎ニ　三十八錢八厘以內
六十立方メートル迄

四十錢八厘以內

第十一條　船舶運送業者ノ郵便物運送及授受ニ關スル取扱方法竝運送業者ニ交付スヘキ金額ノ仕拂方法ハ郵便官署ノ指定スル所ニ依ル

八立方メートル迄　一キロメートル毎ニ　十割
十立方メートル迄　一キロメートル毎ニ　二十割
十四立方メートル迄　一キロメートル毎ニ　二十割
二十立方メートル迄　一キロメートル毎ニ　三十割
二十八立方メートル迄　一キロメートル毎ニ　五十割
二十八立方メートルヲ超過シタルトキハ全容積ニ對シ三立方メートル迄ニ付一キロメートル毎ニ六割以內

郵便車ノ容積ハ各列車ニ於ケル郵便車總容積ヲ以テ之ヲ算定ス其ノ容積ノ算定方法ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

郵便車ニ依ラスシテ郵便物ヲ運送セシムル場合ニ於ケル運送料金ハ當該鐵道運送業者カ其ノ運送方法ニ付定メタル普通貨物運賃ノ最低額ノ半額以內トス

郵便官署ヨリ郵便車ヲ交付シタル場合ニ於テ鐵道運送業者ニ支給スヘキ金額ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十一條　船舶運送業者ハ船舶ニ搭載シタル郵便物ヲ其ノ目的地ニ於テ他ノ貨物ニ先チ陸揚スヘシ天災事變ノ爲航海ノ途中ニ於テ積替若ハ陸揚スルトキ亦同シ

第十二條　船舶運送業者ニ交付スヘキ運送料金ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十三條　郵便物搭載列車天災事變ノ爲其ノ進行ヲ停止シタルトキ又ハ郵便物搭載船舶航行中天災事變ニ因リ郵便物ヲ陸揚シタルトキハ鐵道運送業者又ハ船舶運送業者ハ郵便取扱員ノ在ラサル場合ニ限リ直ニ該郵便物ヲ附近郵便官署ニ送達スヘシ其ノ送達ニ要スル費用ハ之ヲ支給ス

第十四條　第三條ノ要求ニ應セサル者又ハ正當ノ理由ナクシテ第二條若ハ第七條ノ要求ニ應セサル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條　第六條第一項及第二項ニ違反シタル者又ハ正當ノ理由ナクシテ第八條ノ要求ニ應セサル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條　市內特別取扱郵便物ノ引受事務ヲ取扱フ郵便官署ハ之ヲ告示ス

第九條　市內特別取扱郵便物ニシテ約束郵便ニ依ラサルモノハ郵便物ニ料金相當ノ郵便切手ヲ添ヘシメ之ヲ差出スヘシ

第十條　削除

第十一條　市內特別取扱郵便物ニシテ第一條ノ區域內ニ於テ配達ヲ了シ能ハサルモノハ之ヲ差出人ニ還付ス

第十二條　市內特別取扱トシテ差出シタル郵便物中內容ノ異ナリタルモノアルトキハ之ヲ差出人ニ還付シ其ノ郵便物ノ全部ニ對シ更ニ差出人ヨリ一般郵便料金ノ二倍ニ對スル不足額ヲ徵收ス

第十三條　市內特別取扱郵便物ハ十二月二十五日ヨリ翌年一月七日迄之カ引受ヲ爲サス

第十四條　本令ニ定ムルモノノ外市內特別取扱郵便物ニ關シテハ一般ノ規定ニ依ル

附　則

本令ハ明治四十四年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十三年十二月總令第九十二號）

本令ハ大正十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年七月總令第八十九號）

本令ハ昭和六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●速達郵便規則

明治四十四年三月
總令第三十一號

改正　昭和四年三月第七號、六年七月第九〇號
八年一月第一二號、一〇年一月第一三八號、一二年三月第二四號

速達郵便規則左ノ通定ム

速達郵便規則

第一條　特定ノ地域ニ發著スル料金完納ノ郵便物ハ本令ノ定ムル所ニ依リ速達郵便トス

第二條　郵便物ノ速達取扱ニ要スル料金ハ左ノ如シ

一　速達取扱料　一箇ニ付　七錢
二　居宅引受取扱料　一箇ニ付　三錢

速達郵便取扱地域ハ別ニ之ヲ告示ス

第二條ノ二　速達郵便物ノ配達時間ハ午前六時ヨリ午後十二時迄トス

速達郵便物差出人ハ前項ノ時間外ニ於テモ之カ配達ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郵便物表面「速達」ノ文字ノ下ニ「夜間配達」ノ文字ヲ明瞭ニ朱記スヘシ

第七條　集配事務ヲ取扱ハサル郵便官署ニ差出シタル速達郵便物ハ通常ノ方法ニ依リ所轄郵便官署ニ之ヲ集荷ノ上前二條ノ取扱ヲ爲ス

第八條　速達通常郵便物及同一郵便區市內（京城、光化門、西大門、龍山、京城往來、京城清涼及永登浦ノ各郵便局所郵便區市內ハ之ヲ通シテ同一郵便市內トス）ニ發著スル速達小包郵便物ノ差出人ハ電話其ノ他適宜ノ方法ニ依リ豫メ其ノ郵便物ノ種類、數量、引渡時刻等ヲ其ノ地集配事務所

便規則第三十條ノ規定ニ拘ラス之ヲ普通取扱ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル小包郵便物ニハ其ノ表面看易キ場所ニ「普通小包」ノ文字ヲ明瞭ニ朱記スヘシ

第三條　前條第一項ノ規定ニ依ル小包郵便物ノ料金ハ左ノ如シ

一　同一郵便區市內相互間　十錢
二　其ノ他
一　五百グラム迄　十五錢
二　一キログラム迄　二十錢
三　二キログラム迄　二十五錢
四　三キログラム迄　三十錢
五　四キログラム迄　三十五錢
六　五キログラム迄　四十錢

（重量三十五グラム迄ハ一箇ニ付十五グラム又ハ其ノ端數毎ニ一錢ヲ加フ）
（重量三十五グラム迄ハ一箇ニ付十五グラム又ハ其ノ端數毎ニ一錢ヲ加フ）
（重量七十五グラム迄ハ一箇ニ付三十五グラム又ハ其ノ端數毎ニ一錢ヲ加フ）
（重量百グラム迄ハ一箇ニ付四十グラム又ハ其ノ端數毎ニ一錢ヲ加フ）
（重量百グラム迄ハ一箇ニ付四十グラム又ハ其ノ端數毎ニ一錢ヲ加フ）

第三種郵便物ニ付

一　有封同文書（二箇以上ノ有封同文書ヲ一括シタルモノ又ハ其ノ端數毎ニ一錢ヲ加フ）
二　無封同文書（重量二十五グラム迄ハ一箇ニ付三十五グラム又ハ其ノ端數毎ニ一錢ヲ加フ）

第四種郵便物ニ付

一　百グラム迄　五錢
二　二百グラム迄　十錢
三　三百グラム迄　十五錢
四　四百グラム迄　二十錢
五　五百グラム迄　二十五錢
六　六百グラム迄　三十錢

第二條　市內特別取扱郵便物ノ料金ハ左ノ如シ

一　有封同文書（二箇以上ノ有封同文書ヲ一括シタルモノ又ハ其ノ端數毎ニ一錢ヲ加フ）
二　無封同文書（重量二十五グラム迄ハ一箇ニ付三十五グラム又ハ其ノ端數毎ニ一錢ヲ加フ）

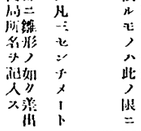
第三種郵便物ニ付

一　百グラム迄　十錢
二　二百グラム迄　二十錢
三　三百グラム迄　三十錢
四　四百グラム迄　四十錢
五　五百グラム迄　五十錢
六　六百グラム迄　六十錢

第四種郵便物ニ付

一　同一郵便區市內相互間　十錢
二　其ノ他

一　五百グラム迄
二　一キログラム迄
三　二キログラム迄
四　三キログラム迄
五　四キログラム迄
六　五キログラム迄



直徑凡三センチメートル
上部ニ鍼形ノ如ク差出
郵便局所名ヲ記入ス

ハ差出人ノ請求ニ依リ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付ス

第十三條　本令ニ定ムルモノノ外遠達郵便物ノ取扱ニ關シテハ一般ノ規定ニ依ル

附　則

第十四條　本令ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十五條　通常郵便物遠達規則ハ之ヲ廢止ス

附　則（昭和四年三月總令第二十七號）

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年七月總令第九十號）

本令ハ昭和六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和八年十月總令第百二十四號）

本令ハ昭和八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年十月總令第百二十八號）

本令ハ昭和十年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十一年三月總令第二十六號）

本令ハ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●速達郵便物ノ取扱地域

昭和十一年三月
遞信省第二百二十六號

昭和十一年四月一日ヨリ速達郵便物ノ取扱地域左ノ通定ム

昭和十年朝鮮總督府告示第六百十號ハ昭和十一年三月三十一日限リ之ヲ廢止ス

京城、光化門、西大門、龍山、京城往十里、京城清凉、永登浦、仁川ノ各郵便局所郵便區市內及其ノ相互間

釜山及平壤ノ各郵便局郵便區市內

●訴訟、爭訟調停、審判及審査書類郵便規則

昭和四年十月
總令第九十號

訴訟、爭訟調停、審判及審査書類郵便規則左ノ通定ム

訴訟、爭訟調停、審判及審査書類郵便規則

第一條　特許審判及審査書類特別取扱郵便規則ハ之ヲ廢止ス

特許法、實用新案法、意匠法又ハ商標法ノ規定ニ依リ送達セムトスルトキハ本令ノ定ムル所ニ依リ特別取扱ト爲スコトヲ得

一　審判書類　審判、抗告審判又ハ再審ニ關スルモノ

二　審査書類　審査ニ關スル書類ニシテ法令ニ依リ送達スルモノ、期日若ハ期間ヲ指定セルモノ又ハ送達ニ依リ期間ノ進行ヲ始ムルモノ

第二條　本令ニ依リ特別取扱ヲ受ケムトスル審判及審査書類ハ書留通常郵便トシテ差出スヘシ

非サレハ差出スコトヲ得ス

第三條　審査及審査書類郵便物特別取扱料金ハ左ノ如シ

審判書類　一箇ニ付五錢

審査書類　一箇ニ付三錢

前項ノ料金ハ前納ニ限ル

第四條　審判及審査書類郵便物ニハ其ノ表面ニ赤易キ場所ニ「審判書類」又ハ「審査書類」ト記載シ差出月日及受取人氏名ヲ記載シ且審判又ハ審査書類ノ送付簿ヲ添ヘ之ヲ郵便官署ニ差出スヘシ但シ審判書類郵便物ニハ其ノ送達ニ必要ナル送達書用紙及送達告知書用紙ヲ添付スヘシ

郵便官署ニ於テ前項ノ郵便物ヲ引受ケタルトキハ郵便規則第四十五條第一項ノ規定ニ依ル受領證ニ代ヘ審判又ハ審査書類送付簿ニ受領印ヲ押捺シ之ヲ差出人ニ還付ス

第五條　審判書類郵便物ノ配達ニ關シテハ郵便規則第四十五條第二項ノ規定ニ依ラス受取人ヨリ受領證ヲ徵シ之ヲ差出人ニ還付ス

第六條　民事訴訟法第百四十四條第一項第三號及第百四十九條及第百五十一條第一項第二號ノ規定ハ審判書類郵便物ノ配達ニ關シ之ヲ準用ス

第七條　審査書類郵便物ハ配達證明郵便規則左ノ通定ム

第一條　特許審判及審査書類特別取扱郵便規則ハ特許法、實用新案法、意匠法及商標法ニ依ル左ノ書類ヲ郵便ニ依リ送達セムトスルトキハ本令ノ定ムル所ニ依リ特別取扱ト爲スコトヲ得

一　審判書類　審判、抗告審判又ハ再審ニ關スルモノ

二　審査書類　審査ニ關スル書類ニシテ法令ニ依リ送達スルモノ、期日若ハ期間ヲ指定セルモノ又ハ送達ニ依リ期間ノ進行ヲ始ムルモノ

第二條　本令ニ依リ特別取扱ヲ受ケムトスル審判及審査書類ハ書留通常郵便トシテ差出スヘシ

非サレハ差出スコトヲ得ス

第三條　審査及審査書類郵便物特別取扱料金ハ左ノ如シ

審判書類　一箇ニ付五錢

審査書類　一箇ニ付三錢

前項ノ料金ハ前納ニ限ル

第四條　審判及審査書類郵便物ニハ其ノ表面ニ赤易キ場所ニ「審判書類」又ハ「審査書類」ト記載シ差出月日及受取人氏名ヲ記載シ且審判又ハ審査書類ノ送付簿ヲ添ヘ之ヲ郵便官署ニ差出スヘシ但シ審判書類郵便物ニハ其ノ送達ニ必要ナル送達書用紙及送達告知書用紙ヲ添付スヘシ

郵便官署ニ於テ前項ノ郵便物ヲ引受ケタルトキハ郵便規則第四十五條第一項ノ規定ニ依ル受領證ニ代ヘ審判又ハ審査書類送付簿ニ受領印ヲ押捺シ之ヲ差出人ニ還付ス

第五條　審判書類郵便物ノ配達ニ關シテハ郵便規則第四十五條第二項ノ規定ニ依ラス受取人ヨリ受領證ヲ徵シ之ヲ差出人ニ還付ス

第六條　民事訴訟法第百四十四條第一項第三號及第百四十九條及第百五十一條第一項第二號ノ規定ハ審判書類郵便物ノ配達ニ關シ之ヲ準用ス

第七條　審査書類郵便物ハ配達證明郵便規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮民事令、朝鮮刑事令、明治四十三年制令第十一號、朝鮮海員懲戒令、陸軍軍法會議法、海軍軍法會議法、特許法、實用新案法、意匠法又ハ商標法ノ規定ニ依リ訴訟書類、爭訟調停書類、審判書類又ハ審査書類ヲ郵便ニ依リ送達セムトスルトキハ本令ノ定ムル所ニ依リ特別取扱ト爲スコトヲ得

第二條　本令ニ依リ特別取扱ヲ受ケムトスルトキハ訴訟書類、爭訟調停書類、審判書類又ハ審査書類ヲ書留通常郵便物トシテ差出シ普通及書留郵便料金ノ外一箇ニ付五錢ノ特別取扱料金ヲ前納スヘシ

第三條　訴訟書類、爭訟調停書類、審判書類又ハ審査書類ノ郵便物ニハ其ノ表面ニ各「訴訟書類」、「爭訟調停書類」、「審判書類」又ハ「審査書類」ト記載スヘシ但シ「書留」ノ文字ハ之ヲ省略スルコトヲ得

前項ノ郵便物ニハ其ノ裏面ニ送達ニ必要ナル事項ヲ記載シタル郵便送達報告書用紙ヲ貼附スヘシ

第四條　特許法、實用新案法、意匠法又ハ商標法ノ規定ニ依ル審判書類又ハ審査書類ノ郵便物ノ送達ニ關シテハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民事訴訟法第百六十九條及第百七十一條ノ規定ヲ準用ス

第五條　訴訟書類、爭訟調停書類、審判書類又ハ審査書類ノ郵便物ノ送達ヲ爲シタルトキハ郵便送達報告書ハ書留通常郵便ニ依リ之ヲ差出人ニ送付ス

第六條　本令ニ定ムルモノノ外ハ一般ノ規定ニ依ル

附　則

本令ハ大正十年十二月遞令第五十三號特許審判及審査書類特別取扱郵便規則左ノ通定ム

第一條　特許審判及審査書類特別取扱郵便規則ハ特許法、實用新案法、意匠法及商標法ニ依ル左ノ書類ヲ郵便ニ依リ送達セムトスルトキハ本令ノ定ムル所ニ依リ特別取扱ト爲スコトヲ得

一　審判書類　審判、抗告審判又ハ再審ニ關スルモノ

二　審査書類　審査ニ關スル書類ニシテ法令ニ依リ送達スルモノ、期日若ハ期間ヲ指定セルモノ又ハ送達ニ依リ期間ノ進行ヲ始ムルモノ

第二條　本令ニ依リ特別取扱ヲ受ケムトスル審判及審査書類ハ書留通常郵便トシテ差出スヘシ

非サレハ差出スコトヲ得ス

第三條　審査及審査書類郵便物特別取扱料金ハ左ノ如シ

審判書類　一箇ニ付五錢

審査書類　一箇ニ付三錢

前項ノ料金ハ前納ニ限ル

第四條　審判及審査書類郵便物ニハ其ノ表面ニ赤易キ場所ニ「審判書類」又ハ「審査書類」ト記載シ差出月日及受取人氏名ヲ記載シ且審判又ハ審査書類ノ送付簿ヲ添ヘ之ヲ郵便官署ニ差出スヘシ但シ審判書類郵便物ニハ其ノ送達ニ必要ナル送達書用紙及送達告知書用紙ヲ添付スヘシ

郵便官署ニ於テ前項ノ郵便物ヲ引受ケタルトキハ郵便規則第四十五條第一項ノ規定ニ依ル受領證ニ代ヘ審判又ハ審査書類送付簿ニ受領印ヲ押捺シ之ヲ差出人ニ還付ス

第五條　審判書類郵便物ノ配達ニ關シテハ郵便規則第四十五條第二項ノ規定ニ依ラス受取人ヨリ受領證ヲ徵シ之ヲ差出人ニ還付ス

第六條　民事訴訟法第百四十四條第一項第三號及第百四十九條及第百五十一條第一項第二號ノ規定ハ審判書類郵便物ノ配達ニ關シ之ヲ準用ス

第七條　審査書類郵便物ハ配達證明郵便規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮民事令、朝鮮刑事令、明治四十三年制令第十一號、朝鮮海員懲戒令、陸軍軍法會議法、海軍軍法會議法、特許法、實用新案法、意匠法又ハ商標法ノ規定ニ依リ訴訟書類、爭訟調停書類、審判書類又ハ審査書類ヲ郵便ニ依リ送達セムトスルトキハ本令ノ定ムル所ニ依リ特別取扱ト爲スコトヲ得

第二條　本令ニ依リ特別取扱ヲ受ケムトスルトキハ訴訟書類、爭訟調停書類、審判書類又ハ審査書類ヲ書留通常郵便物トシテ差出シ普通及書留郵便料金ノ外一箇ニ付五錢ノ特別取扱料金ヲ前納スヘシ

第三條　訴訟書類、爭訟調停書類、審判書類又ハ審査書類ノ郵便物ニハ其ノ表面ニ各「訴訟書類」、「爭訟調停書類」、「審判書類」又ハ「審査書類」ト記載スヘシ但シ「書留」ノ文字ハ之ヲ省略スルコトヲ得

前項ノ郵便物ニハ其ノ裏面ニ送達ニ必要ナル事項ヲ記載シタル郵便送達報告書用紙ヲ貼附スヘシ

第四條　特許法、實用新案法、意匠法又ハ商標法ノ規定ニ依ル審判書類又ハ審査書類ノ郵便物ノ送達ニ關シテハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民事訴訟法第百六十九條及第百七十一條ノ規定ヲ準用ス

第五條　訴訟書類、爭訟調停書類、審判書類又ハ審査書類ノ郵便物ノ送達ヲ爲シタルトキハ郵便送達報告書ハ書留通常郵便ニ依リ之ヲ差出人ニ送付ス

第六條　本令ニ定ムルモノノ外ハ一般ノ規定ニ依ル

附　則

本令ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

特許審判及審査書類特別取扱郵便規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル第一號審判書類ハ本令ニ依ル審判書類特別取扱郵便規則ヨリ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル第一號審判書類ハ本令ニ依ル審判書類特別取扱郵便規則ヨリ之ヲ廢止ス

第八條　本令ニ定ムル事項ノ外ハ一般ノ規定ニ依ル

附　則

本令ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

特許審判及審査書類特別取扱郵便規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル第一號審判書類ハ本令ニ依ル審判書類特別取扱郵便規則ヨリ之ヲ廢止ス

●郵便物包裝規則

明治四十四年二月
總令第十三號

改正　大正四年八月第九二號、大正六年一二月第一九六號

郵便物包裝規則左ノ通定ム

郵便物包裝規則

第一條　郵便物ノ包裝ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　郵便物ハ其ノ逃逸、紛失、破壞及汚損ノ性質等ニ應シ摩擦、壓迫、動搖、乾燥、湿濕等ニ耐エ內容ヲ保護シ且他ニ損傷ヲ與ヘサル樣適當ニ之ヲ包裝スヘシ

第三條　無封書狀、定期刊行物、書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、書、畫、圖ハ開封ト爲シ又ハ帶紙若ハ紐等ヲ以テ結束シ商品見本及雛形、博物學上ノ標本、農產物種子、內容ヲ檢查シ得ヘキ樣包裝スヘシ但シ貴重品ノ內容ヲ檢查シ得ヘキ樣包裝スヘシ但シ貴重品郵便官署ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　小包郵便物ハ强靱ナル紙若ハ布ノ類ヲ以テ之ヲ包ミ又ハ箱若ハ籠ニ入レ毀損セサル樣包裝スヘシ但シ品質形狀ニ依リ其儘第二條ノ目的ヲ達シ得ヘキモノハ適當ニ之ヲ結束シ其ノ他ノ包裝ヲ省略スルコトヲ妨ケス

同一ノ取扱ヲ爲ス但シ受取人法律上ノ理由ナクシテ受取ヲ拒ミ又ハ郵便物配達證ニ受領證印ヲ拒ミタルトキハ該郵便物ヲ宛所ニ差戻キ其ノ事由ヲ郵便物配達證明書ニ記入ス

第八條　本令ニ定ムル事項ノ外ハ一般ノ規定ニ依ル

附　則

本令ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

特許審判及審査書類特別取扱郵便規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル第一號審判書類ハ本令ニ依ル審判書類特別取扱郵便規則ヨリ之ヲ廢止ス

●郵便物包裝規則

明治四十四年二月
總令第十三號

改正　大正四年八月第九二號、大正六年一二月第一九六號

郵便物包裝規則

第一條　郵便物ノ包裝ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　郵便物ハ其ノ逃逸、紛失、破壞及汚損ノ性質等ニ應シ摩擦、壓迫、動搖、乾燥、湿濕等ニ耐エ內容ヲ保護シ且他ニ損傷ヲ與ヘサル樣適當ニ之ヲ包裝スヘシ但シ貴重品郵便官署ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　無封書狀、定期刊行物、書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、書、畫、圖ハ開封ト爲シ又ハ帶紙若ハ紐等ヲ以テ結束シ商品見本及雛形、博物學上ノ標本、農產物種子、內容ヲ檢查シ得ヘキ樣包裝スヘシ但シ貴重品郵便官署ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　小包郵便物ハ强靱ナル紙若ハ布ノ類ヲ以テ之ヲ包ミ又ハ箱若ハ籠ニ入レ毀損セサル樣包裝スヘシ但シ品質形狀ニ依リ其ノ內容ヲ檢查シ得ヘキモノハ適當ニ之ヲ結束シ其ノ他ノ包裝ヲ省略スルコトヲ妨ケス

同一ノ取扱ヲ爲ス但シ受取人法律上ノ理由ナクシテ受取ヲ拒ミ又ハ郵便物配達證ニ受領證印ヲ拒ミタルトキハ該郵便物ヲ宛所ニ差戻キ其ノ事由ヲ郵便物配達證明書ニ記入ス

第八條　本令ニ定ムル事項ノ外ハ一般ノ規定ニ依ル

附　則

本令ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

特許審判及審査書類特別取扱郵便規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル第一號審判書類ハ本令ニ依ル審判書類特別取扱郵便規則ヨリ之ヲ廢止ス

●郵便物包裝規則

明治四十四年二月
總令第十三號

改正　大正四年八月第九二號、大正六年一二月第一九六號

郵便物包裝規則

第一條　郵便物ノ包裝ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　郵便物ハ其ノ逃逸、紛失、破壞及汚損ノ性質等ニ應シ摩擦、壓迫、動搖、乾燥、湿濕等ニ耐エ內容ヲ保護シ且他ニ損傷ヲ與ヘサル樣適當ニ之ヲ包裝スヘシ但シ貴重品郵便官署ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　無封書狀、定期刊行物、書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、書、畫、圖ハ開封ト爲シ又ハ帶紙若ハ紐等ヲ以テ結束シ商品見本及雛形、博物學上ノ標本、農產物種子、內容ヲ檢查シ得ヘキ樣包裝スヘシ但シ貴重品郵便官署ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　小包郵便物ハ强靱ナル紙若ハ布ノ類ヲ以テ之ヲ包ミ又ハ箱若ハ籠ニ入レ毀損セサル樣包裝スヘシ但シ品質形狀ニ依リ其ノ內容ヲ檢查シ得ヘキモノハ適當ニ之ヲ結束シ其ノ他ノ包裝ヲ省略スルコトヲ妨ケス

第五條　流動體又ハ煽燄若ハ潮解シ又ハ他物ヲ汚損スヘキ虞アル物件ハ之ヲ堅固ナル物件ニ入レ密封シ更ニ之ヲ堅固ナル箱ニ納ムルコト

第六條　生活スル病原菌及病原菌含有ノ疑アル檢查材料ハ官公署、官ノ許可ヲ受ケタル細菌檢查所、醫師、獸醫又ハ特別ノ規定ニ依リ弊察官署ノ許可ヲ受ケタル者ニ限リ前各條ニ依ル外左ノ各號ノ包裝ヲ爲シ郵便物トシテ之ヲ差出スコトヲ得但シ爆發性又ハ發火性ノ藥品ハ此ノ限ニ在ラス

一　藥品ノ種類ニ應シ一定ノ容器ニ藏メ內容品ノ漏出ヲ除クニ足ルヘキ裝置ヲ爲スコト

二　前號ノ容器ハ外部ノ壓力ニ耐ユル樣堅固ナル箱ニ納ムルコト

三　內容ノ動搖ヲ防ク爲容器ト外箱トノ間隙ニ綿又ハ之ニ代ルヘキモノヲ填充スルコト

四　二種以上ノ藥品ヲ合裝セサルコト

第七條　生活スル病原菌及病原菌含有ノ疑アル檢查材料ハ官公署、官ノ許可ヲ受ケタル細菌檢查所、醫師、獸醫又ハ特別ノ規定ニ依リ弊察官署ノ許可ヲ受ケタル者ニ限リ前各條ニ依ル外左ノ各號ノ包裝ヲ爲シ郵便物トシテ之ヲ差出スコトヲ得但シ爆發性又ハ發火性ノ藥品ハ此ノ限ニ在ラス

一　藥品ノ種類ニ應シ一定ノ容器ニ藏メ內容品ノ漏出ヲ除クニ足ルヘキ裝置ヲ爲スコト

二　前號ノ容器ハ外部ノ壓力ニ耐ユル樣堅固ナル箱ニ納ムルコト

三　內容ノ動搖ヲ防ク爲容器ト外箱トノ間隙ニ綿又ハ之ニ代ルヘキモノヲ填充スルコト

四　二種以上ノ藥品ヲ合裝セサルコト

第八條　危險性ノ藥品ハ官公署、軍隊、海軍艦艇、軍衙、醫師、齒科醫、獸醫、藥劑師、製藥者若ハ藥種商又ハ弊察官署ノ許可ヲ受ケタル者ニ限リ前各條ニ依ル外左ノ各號ノ包裝ヲ爲シ郵便物トシテ之ヲ差出スコトヲ得但シ爆發性又ハ發火性ノ藥品ハ此ノ限ニ在ラス

一　容器ノ種類ニ應シ一定ノ容器ニ藏メ內容品ノ漏出ヲ防ク爲容器ト外箱トノ間隙ニ綿又ハ之ニ代ルヘキモノヲ填充スルコト

二　前號ノ容器ハ外部ノ壓力ニ耐ユル樣堅固ナル箱ニ納ムルコト

三　內容ノ動搖ヲ防ク爲容器ト外箱トノ間隙ニ綿又ハ之ニ代ルヘキモノヲ填充スルコト

四　二種以上ノ藥品ヲ合裝セサルコト

第九條　流動體又ハ煽燄若ハ潮解シ又ハ他物ヲ汚損スヘキ虞アル物件ハ之ヲ堅固ナル物件ニ入レ密封シ更ニ之ヲ堅固ナル箱ニ入レ樹脂又ハ錫鑞ヲ以テ密閉シ更ニ之ヲ適當ノ箱ニ藏ムヘシ

容器ニ煽燄又ハ潮解セサルモ煽燄若ハ潮解シ又ハ他物ヲ汚損スヘキ虞アル物件ハ防水布又ハ澁紙ノ類ヲ以テ適當ニ之ヲ包裝スヘシ

第九條ノ二　「セルロイド」及其ノ製作品ハ一箇毎ニ紙包トシ尙各箇ノ動搖摩擦ヲ防ク足ルヘキ裝置ヲ爲シタル上堅固ナル木製又ハ金屬製ノ箱ニ藏ムヘシ

前項ノ郵便物ニハ其ノ表面看易キ場所ニ「セルロイド」ト朱書スヘシ

第十條　危險性ノ藥品ハ官公署、軍隊、海軍艦艇、軍衙、醫師、齒科醫、獸醫、藥劑師、製藥者若ハ藥種商又ハ弊察官署ノ許可ヲ受ケタル者ニ限リ前各條ニ依ル外左ノ各號ノ包裝ヲ爲シ郵便物トシテ之ヲ差出スコトヲ得但シ爆發性又ハ發火性ノ藥品ハ此ノ限ニ在ラス

一　容器ノ種類ニ應シ一定ノ容器ニ藏メ內容品ノ漏出ヲ防ク爲容器ト外箱トノ間隙ニ綿又ハ之ニ代ルヘキモノヲ填充スルコト

二　前號ノ容器ハ外部ノ壓力ニ耐ユル樣堅固ナル箱ニ納ムルコト

三　內容ノ動搖ヲ防ク爲容器ト外箱トノ間隙ニ綿又ハ之ニ代ルヘキモノヲ填充スルコト

四　二種以上ノ藥品ヲ合裝セサルコト

第十一條　生活スル病原菌及病原菌含有ノ疑アル檢查材料ハ官公署、官ノ許可ヲ受ケタル細菌檢查所、醫師、獸醫又ハ特別ノ規定ニ依リ弊察官署ノ許可ヲ受ケタル者ニ限リ前各條ニ依ル外左ノ各號ノ包裝ヲ爲シ郵便物トシテ之ヲ差出スコトヲ得但シ爆發性又ハ發火性ノ藥品ハ此ノ限ニ在ラス

一　少許ノ分量ヲ一定ノ硝子壜、硝子管又ハ竹筒ニ納メ護謨栓ヲ施シ蓋帽ヲ以テ該栓ヲ固定シ又ハ管口ヲ溶閉シ內容ノ漏出ヲ防クコト

二　前號ノ容器ハ外部ノ壓力ニ耐ユル樣綿其ノ他ノ柔軟ナル物體ヲ以テ之ヲ被包シ鐵製其ノ他金屬製ノ鑵又ハ竹筒ニ入レ密封シ更ニ之ヲ堅固ナル箱ニ藏ムルコト

三　內容ノ動搖ヲ防キ且破損セサル樣ノ液體ヲ吸收セシムル爲前號ノ鑵又ハ竹筒ト箱トノ間隙ニ適當ノ綿又ハ之ニ代ルヘキモノヲ填充スルコト

第十二條　第十條及第十一條ノ郵便物ニハ其ノ表面看易キ場所ニ「危險物」ト朱書シ且差出人ノ資格ヲ記載スヘシ

●年賀特別郵便規則

明治四十二年十二月
統令第六十七號

改正　大正二〇年一二第一四七號、昭和三年一一第七三號

年賀特別郵便規則左ノ通定ム

年賀特別郵便規則

第一條　年賀郵便物ハ本規則ノ定ムル所ニ依リ特別取扱ト爲スコトヲ得

第二條　特別取扱ト爲ス年賀郵便物ハ料金完納ノ普通通常郵便物及切手別納郵便物ニシテ左ニ掲ケルモノニ限ル

一　第一種郵便物

二　第二種郵便物

三　第四種郵便物ノ內名刺

第三條　特別取扱ト爲ス年賀郵便物ノ引受期間ハ毎年十二月二十日ヨリ二十九日迄トス但シ灘島其ノ他交通不便ノ地ニ在リテハ特ニ十二月十日ヨリ引受ヲ開始スルコトアルヘシ

第四條　特別取扱ヲ受ケムトスル年賀郵便物ハ普通通常郵便物、切手別納郵便物ノ種別毎ニ一束ト爲シ年賀郵便ト記載シタル附札ヲ爲シ郵便官署ニ差出スヘシ但シ普通通常郵便物ニシテ其ノ數量少キモノハ之ヲ封筒ニ納メ年賀郵便ト表記シテ郵便函ニ投入スルコトヲ得

第五條　本規則ニ依リ差出シタル年賀郵便物ハ翌年一月一日引受ノモノト看做シ當日最先便ヨリ配達ヲ開始ス

第六條　本規則ニ定ムル事項ノ外一般ノ規定ニ依ル

附　則

本規則ハ明治四十二年十二月十日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和三年十一月總令第七十二號）

本令ハ昭和三年十二月十日ヨリ之ヲ施行ス

●第三種郵便物認可規則

明治四十一年九月
統令第三十五號

第三種郵便物認可規則左ノ通定ム

第三種郵便物認可規則

第一條　第三種郵便物ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ本規則ノ定ムル所ニ依リ發行地所在郵便局所經由當該管理事務分掌郵便局（出張所ヲ含ム）ヲ經テ

局ニ申請シ其ノ認可ヲ受クヘシ

第七條　第三條及前條第一項及第三項ノ申請人ハ左ニ依リ手數料ヲ納ムヘシ

一　新ニ第三種郵便物ノ認可ヲ受ケムトスルトキ又ハ第三條中ノ二事項以上變更ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ金五圓

二　第三條中ノ一事項ニ對シ變更ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ金五圓

前項ノ手數料ハ郵便切手用ヰ申請書ニ貼付スヘシ若認可セサルトキハ之ヲ還付ス

第八條　第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物及其ノ臨時增刊ニシテ左記各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ認可ヲ取消スヘシ

一　第二條各號ノ條件ヲ缺キタルトキ

二　第五條見本ノ差出ヲ怠リタルトキ

三　第六條ノ手續ヲ怠リタルトキ

四　第四條第二項ニ依リ認可ヲ失ヒタルモノ又ハ之ヲ繼承シタリト認メタル定期刊行物ニ對シテハ情狀ニ依リ再認可ヲ與ヘサルコトアルヘシ

附　則

第十條　本規則ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十一條　本規則施行前ヨリ第三種郵便物ノ認可ヲ受ケ現ニ發行スル定期刊行物ハ本規則ニ依リ認可シタルモノト看做ス

●郵便私書函使用規則

大正九年八月
總令第百七號
改正　大正十二年三第三六號

郵便私書函使用規則ノ通定ム

第一條　郵便私書函ハ集配事務ヲ取扱フ郵便官署ニ之ヲ設置ス

前項ノ郵便私書函ヲ使用セムトスル者ハ居所、職業及氏名ヲ記載シタル申請書ヲ當該郵便官署ニ差出シ其ノ許可ヲ受クヘシ

第二條　郵便私書函ハ二人以上ノ名義ヲ以テ一箇ヲ使用スルコトヲ得ス

第三條　郵便私書函使用ノ期間ハ一箇年ヲ以テ定ムルモ其ノ期間ハ當該年ノ十二月三十一日ヲ以テ終了スルモノトス

第四條　郵便私書函使用ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ函ヲ使用スル權利ヲ他人ニ讓渡シ又ハ轉貸スルコトヲ得ス

第五條　郵便私書函使用ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ函ヲ使用スル權利ヲ抛棄スルトキハ其ノ旨ヲ郵便官署ニ屆出ツヘシ

第六條　郵便私書函使用者ハ其ノ函ノ鍵ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ其ノ旨當該郵便官署ニ屆出ツヘシ

郵便私書函使用者ノ資ニ歸スヘキ事由ニ因リ郵便私書函ヲ毀損シ又ハ鍵ヲ亡失若ハ毀損シタルトキハ相當費用ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

附　則

本令ハ大正九年八月十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年綠監府令第三十三號ハ之ヲ廢止ス

從來ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ現ニ郵便私書函ヲ使用スル者ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

本令施行前ニ納付シタル郵便私書函使用料ニシテ本令ニ依ル郵便私書函使用料ニ比シ不足アルモノハ之ヲ追徵セス

附　則（大正十二年三月總令第三十六號）

本令ハ大正十二年三月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前集配事務ヲ取扱ハサル郵便官署ニ設置シタル郵便私書函ハ大正十二年四月十日迄之ヲ使用ヲ繼續スルコトヲ得

●私設郵便函規則

昭和十年七月
總令第九十號

私設郵便函規則ヲ通定ム

第一條　郵便函ハ本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ私設スルコトヲ得

第二條　郵便函ヲ私設セントスル者ハ左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ設置場所ヲ表示シタル圖面ヲ添ヘ朝鮮總督府遞信局長（以下單ニ遞信局長ト稱ス）ニ差出シ其ノ許可ヲ受クヘシ

一　設置場所

二　私設ヲ必要トスル理由

三　期節ヲ限リ私設セントスルモノニ在リテハ其ノ期間

四　私設セントスル郵便函ニ差入ルヘキ郵便物ノ一日平均見込數量

前項ノ許可ヲ受クタル後同項第一號又ハ第三號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ遞信局長ノ許可ヲ受クヘシ

第三條　前條第一項ノ規定ニ依リ郵便函私設ノ許可ヲ受クタル者（以下單ニ私設者ト稱ス）ハ遞信局長ノ指示ニ從ヒ其ノ負擔ニ於テ郵便函ヲ設置シ其ノ維持ヲ爲スヘシ

郵便函ノ鎖前ハ別ニ之ヲ交付ス

第四條　私設者ノ設置スル郵便函（以下單ニ私設郵便函ト稱ス）ノ制式ハ官設ノ郵便函ノ制式ト同一ト雖シ遞信局長ノ許可ヲ受クタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前記個書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ其ノ構造ヲ表示シタル圖面ヲ添ヘ之ヲ遞信局長ニ差出スヘシ

第五條　私設郵便函ニハ「私設」ノ文字ヲ表記スヘシ

第六條　私設者ハ私設郵便函ノ設置ヲ了シタルトキハ設置場所ノ郵便集配ヲ受持ツ郵便局所（以下單ニ受持局所ト稱ス）ニ之ヲ屆出ツヘシ

第七條　私設郵便函ノ郵便物ノ取集ハ其ノ受持局所ノ規定數及時刻ニ依ル

但シ私設者ノ申請ニ依リ取集回數ヲ減シ又ハ時刻ヲ限リ取集ヲ爲サザルコトアルヘシ

第八條　私設者ハ私設郵便函ニ付左ノ各號ニ依ル料金ヲ納付スヘシ但シ郵便物取集上特殊ノ事由アルトキハ遞信局長ニ於テ之ヲ增減スルコトアルヘシ

一　一日ノ取集回數三回以內年額金十二圓

同四回以上六回以內　同金二十四圓

同七回以上　同金三十圓

二　一日ノ取集延行程百メートル迄毎ニ年額金一圓二十錢

第九條　前條第一項ノ規定ニ依リ納付スヘキ私設郵便函ノ料金ハ取集回數又ハ取集延行程ニ異動ノ生シタル場合ト雖モ第十條ニ規定スル期間中ニ在リテハ之ヲ增減セズ

第十條　私設郵便函ノ料金ハ四月一日ヨリ九月三十日迄及十月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ノ二期ニ年額十二分シ每期分ヲ當該期ノ前月一日ヨリ十日迄ニ受持局所ニ之ヲ納付スヘシ

取集開始ノ日カ前項ノ期間中ニ屆スルトキハ其ノ期ノ料金ハ月割ニ依リ取集開始ノ前日迄ニ之ヲ納付スヘシ

期節ヲ限リ私設スルモノノ料金ハ月割ニ依リ取集開始ノ前日迄ニ之ヲ納付スヘシ

第十一條　私設郵便函ニ關スル既納ノ料金ハ不可抗力其ノ他ノ事由ニ因リ郵便物ノ取集ヲ爲サザル場合ニ於テモ之ヲ還付セズ但シ私設ヲ廢止シタルトキハ廢止ノ日ヨリ三十日以內ニ私設者ヨリ料金還付ノ請求アリタル場合ニ限リ廢止ノ翌月ヨリノ料金ヲ月割ニ依リ郵便切手ヲ以テ還付ス

第十二條　私設郵便函ノ鎖前ヲ亡失又ハ毀損者ノ故意又ハ過失ニ因ルモノナルトキハ相當價格ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十三條　私設者其ノ名義ヲ變更セントスルトキハ當事者ノ連署シタル申請書ヲ遞信局長ニ差出シ其ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ申請書ニハ第三條ニ依リ調製シタル前項ノ申請書ニ依リ取集回數ヲ減シ又ハ時刻ヲ限リ取集ヲ爲サントスル旨ヲ記載シ其ノ鎖ヲ添附スヘシ

第十四條　私設者ハ私設郵便函ヲ廢止セントスルトキハ其ノ旨ヲ遞信局長ニ屆出ツヘシ

第十五條　私設者本令ニ違反シタルトキ又ハ遞信局長特ニ必要アリト認メタル場合ニハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第十六條　私設郵便函ヲ廢止シ又ハ其ノ私設許可ヲ取消サレタルトキハ私設者ハ直ニ私設郵便函ヲ撤去シ鎖前ハ之ヲ受持局所ニ返納スヘシ

私設者前項ノ規定ニ依リ私設郵便函ヲ撤去セザルトキハ其ノ負擔ニ於テ之ヲ撤去シ其ノ他必要ナル處置ヲ爲スコトアルヘシ

第十七條　二人以上共同シテ私設郵便函ニ關スル申請又ハ屆出ヲ爲ストキハ一人ノ代表者ヲ定ムヘシ但シ其ノ責任ハ連帶トス

前項ノ代表者ヲ變更セントスルトキハ新舊代表者連署ノ上遞信局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

第十八條　本令ニ依リ遞信局長ニ差出スヘキ書類ハ總テ受持局所ヲ經由スヘシ

第十九條　本令ハ官廳ノ設置スル郵便函ニ付之ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便切手類記號規則

明治四十四年二月
總令第十四號

改正　昭和六年七第二號

郵便切手類記號規則ヲ通定ム

郵便切手類記號規則左ノ通定ム

第一條　郵便切手類ニ穿孔又ハ打出ヲ施シ使用セムトスル者ハ左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ郵便官署ニ差出スヘシ

一　申請者ノ住所、氏名及職業

二　使用郵便官署名（郵便切手類ニ穿孔又ハ打出ヲ施シ使用セムトスル者ハ受持局所ノ名稱及郵便ノ種類）

第二條　穿孔又ハ打出ハ左ノ各號ノ條件ヲ具備シタルモノニ限ル

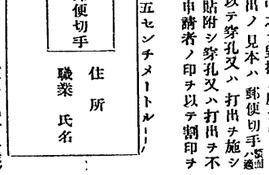
一　五字以內ノ文字又ハ簡單ナル模樣ナルコト

二　針孔又ハ打出ハ成ルヘク小ニシテ機械ニ依リ鮮明ニ施シタルモノナルコト

三　字畫等ハ成ルヘク簡單ナルコト

四　穿孔又ハ打出ノ爲郵便切手類ノ原形ヲ失ヒ又ハ取扱中之カ毀損ノ虞ナキコト

第三條　穿孔又ハ打出ノ見本ハ郵便切手類見本帳ニ貼用シ實物ヲ以テ穿孔又ハ打出ヲ施シ左ノ見本票ニ之ヲ貼附シ穿孔又ハ打出ヲ不明ナラシメサル樣申請者ノ印ヲ以テ割印ヲ施スヘシ



附　則（昭和六年七月總令第九十二號）

本令ハ昭和六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●通信日附印押捺省略ノ件

昭和六年三月
總告第九十六號

通信日附印押捺省略ノ件

自今約束郵便物、切手別納郵便物及市內特別取扱郵便物ニハ引受通信日附印ヲ、速達、留置（留置通知ノ指定アルモノヲ除ク）及航空ノ通常郵便物以外ノ郵便物並ニ價格表記通常郵便物以外ノ外國郵便物ニハ到著通信日附印ヲ押捺セズ但シ郵便官署ノ取扱上必要アル場合ニ於テハ之ヲ押捺スルコトアルヘシ

大正十三年朝鮮總督府告示第二百九十一號ハ之ヲ廢止ス

●軍事郵便物ニ關スル件

明治三十七年二月
勅令第十九號

軍事郵便物ニ關スル件

脫兌ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條ニ依リ軍事郵便物ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

第一條　軍事郵便ノ取扱ヲ開始シタル場合ニ於テハ左ニ揭クルモノヲ軍事郵便物ト爲スコトヲ得

一　戰時又ハ事變ニ際シ戰地若ハ之ニ准スヘキ地ニ在リ又ハ該地ニ派遣スル軍隊、軍艦、水雷艇、軍衙、軍人又ハ軍屬ヨリ發スル郵便物

表示シタル圖面ヲ添ヘ朝鮮總督府遞信局長（以下單ニ遞信局長ト稱ス）ニ差出シ其ノ許可ヲ受クヘシ

一　設置場所

二　私設ヲ必要トスル理由

三　期節ヲ限リ私設セントスルモノニ在リテハ其ノ期間

四　私設セントスル郵便函ニ差入ルヘキ郵便物ノ一日平均見込數量

前項ノ許可ヲ受クタル後同項第一號又ハ第三號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ遞信局長ノ許可ヲ受クヘシ

第三條　前條第一項ノ規定ニ依リ郵便函私設ノ許可ヲ受クタル者（以下單ニ私設者ト稱ス）ハ遞信局長ノ指示ニ從ヒ其ノ負擔ニ於テ郵便函ヲ設置シ其ノ維持ヲ爲スヘシ

郵便函ノ鎖前ハ別ニ之ヲ交付ス

第四條　私設者ノ設置スル郵便函（以下單ニ私設郵便函ト稱ス）ノ制式ハ官設ノ郵便函ノ制式ト同一ト雖シ遞信局長ノ許可ヲ受クタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前記個書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ其ノ構造ヲ表示シタル圖面ヲ添ヘ之ヲ遞信局長ニ差出スヘシ

第五條　私設郵便函ニハ「私設」ノ文字ヲ表記スヘシ

第六條　私設者ハ私設郵便函ノ設置ヲ了シタルトキハ設置場所ノ郵便集配ヲ受持ツ郵便局所（以下單ニ受持局所ト稱ス）ニ之ヲ屆出ツヘシ

第七條　私設郵便函ノ郵便物ノ取集ハ其ノ受持局所ノ規定數及時刻ニ依ル

但シ私設者ノ申請ニ依リ取集回數ヲ減シ又ハ時刻ヲ限リ取集ヲ爲サザルコトアルヘシ

第八條　私設者ハ私設郵便函ニ付左ノ各號ニ依ル料金ヲ納付スヘシ但シ郵便物取集上特殊ノ事由アルトキハ遞信局長ニ於テ之ヲ增減スルコトアルヘシ

一　一日ノ取集回數三回以內年額金十二圓

同四回以上六回以內　同金二十四圓

同七回以上　同金三十圓

二　一日ノ取集延行程百メートル迄毎ニ年額金一圓二十錢

第九條　前條第一項ノ規定ニ依リ納付スヘキ私設郵便函ノ料金ハ取集回數又ハ取集延行程ニ異動ノ生シタル場合ト雖モ第十條ニ規定スル期間中ニ在リテハ之ヲ增減セズ

第十條　私設郵便函ノ料金ハ四月一日ヨリ九月三十日迄及十月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ノ二期ニ年額十二分シ每期分ヲ當該期ノ前月一日ヨリ十日迄ニ受持局所ニ之ヲ納付スヘシ

取集開始ノ日カ前項ノ期間中ニ屆スルトキハ其ノ期ノ料金ハ月割ニ依リ取集開始ノ前日迄ニ之ヲ納付スヘシ

期節ヲ限リ私設スルモノノ料金ハ月割ニ依リ取集開始ノ前日迄ニ之ヲ納付スヘシ

第十一條　私設郵便函ニ關スル既納ノ料金ハ不可抗力其ノ他ノ事由ニ因リ郵便物ノ取集ヲ爲サザル場合ニ於テモ之ヲ還付セズ但シ私設ヲ廢止シタルトキハ廢止ノ日ヨリ三十日以內ニ私設者ヨリ料金還付ノ請求アリタル場合ニ限リ廢止ノ翌月ヨリノ料金ヲ月割ニ依リ郵便切手ヲ以テ還付ス

第十二條　私設郵便函ノ鎖前ヲ亡失又ハ毀損者ノ故意又ハ過失ニ因ルモノナルトキハ相當價格ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十三條　私設者其ノ名義ヲ變更セントスルトキハ當事者ノ連署シタル申請書ヲ遞信局長ニ差出シ其ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ申請書ニハ第三條ニ依リ調製シタル前項ノ申請書ニ依リ取集回數ヲ減シ又ハ時刻ヲ限リ取集ヲ爲サントスル旨ヲ記載シ其ノ鎖ヲ添附スヘシ

第十四條　私設者ハ私設郵便函ヲ廢止セントスルトキハ其ノ旨ヲ遞信局長ニ屆出ツヘシ

第十五條　私設者本令ニ違反シタルトキ又ハ遞信局長特ニ必要アリト認メタル場合ニハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第十六條　私設郵便函ヲ廢止シ又ハ其ノ私設許可ヲ取消サレタルトキハ私設者ハ直ニ私設郵便函ヲ撤去シ鎖前ハ之ヲ受持局所ニ返納スヘシ

私設者前項ノ規定ニ依リ私設郵便函ヲ撤去セザルトキハ其ノ負擔ニ於テ之ヲ撤去シ其ノ他必要ナル處置ヲ爲スコトアルヘシ

第十七條　二人以上共同シテ私設郵便函ニ關スル申請又ハ屆出ヲ爲ストキハ一人ノ代表者ヲ定ムヘシ但シ其ノ責任ハ連帶トス

前項ノ代表者ヲ變更セントスルトキハ新舊代表者連署ノ上遞信局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

第十八條　本令ニ依リ遞信局長ニ差出スヘキ書類ハ總テ受持局所ヲ經由スヘシ

第十九條　本令ハ官廳ノ設置スル郵便函ニ付之ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便切手類記號規則

明治四十四年二月
總令第十四號

改正　昭和六年七第二號

郵便切手類記號規則ヲ通定ム

郵便切手類記號規則左ノ通定ム

第一條　郵便切手類ニ穿孔又ハ打出ヲ施シ使用セムトスル者ハ左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ郵便官署ニ差出スヘシ

一　申請者ノ住所、氏名及職業

二　使用郵便官署名（郵便切手類ニ穿孔又ハ打出ヲ施シ使用セムトスル者ハ受持局所ノ名稱及郵便ノ種類）

第二條　穿孔又ハ打出ハ左ノ各號ノ條件ヲ具備シタルモノニ限ル

一　五字以內ノ文字又ハ簡單ナル模樣ナルコト

二　針孔又ハ打出ハ成ルヘク小ニシテ機械ニ依リ鮮明ニ施シタルモノナルコト

三　字畫等ハ成ルヘク簡單ナルコト

四　穿孔又ハ打出ノ爲郵便切手類ノ原形ヲ失ヒ又ハ取扱中之カ毀損ノ虞ナキコト

第三條　穿孔又ハ打出ノ見本ハ郵便切手類見本帳ニ貼用シ實物ヲ以テ穿孔又ハ打出ヲ施シ左ノ見本票ニ之ヲ貼附シ穿孔又ハ打出ヲ不明ナラシメサル樣申請者ノ印ヲ以テ割印ヲ施スヘシ

附　則（昭和六年七月總令第九十二號）

本令ハ昭和六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●通信日附印押捺省略ノ件

昭和六年三月
總告第九十六號

通信日附印押捺省略ノ件

自今約束郵便物、切手別納郵便物及市內特別取扱郵便物ニハ引受通信日附印ヲ、速達、留置（留置通知ノ指定アルモノヲ除ク）及航空ノ通常郵便物以外ノ郵便物並ニ價格表記通常郵便物以外ノ外國郵便物ニハ到著通信日附印ヲ押捺セズ但シ郵便官署ノ取扱上必要アル場合ニ於テハ之ヲ押捺スルコトアルヘシ

大正十三年朝鮮總督府告示第二百九十一號ハ之ヲ廢止ス

●軍事郵便物ニ關スル件

明治三十七年二月
勅令第十九號

軍事郵便物ニ關スル件

脫兌ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條ニ依リ軍事郵便物ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

第一條　軍事郵便ノ取扱ヲ開始シタル場合ニ於テハ左ニ揭クルモノヲ軍事郵便物ト爲スコトヲ得

一　戰時又ハ事變ニ際シ戰地若ハ之ニ准スヘキ地ニ在リ又ハ該地ニ派遣スル軍隊、軍艦、水雷艇、軍衙、軍人又ハ軍屬ヨリ發スル郵便物

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

二　戰時又ハ事變ニ際シ戰地又ハ之ニ準スヘキ地ニ在ル者ニシテ當該軍衙ノ許可ヲ得タル者ヨリ發スル郵便物

三　前二號ニ揭ケル者ニ宛テ發スル郵便物

第二條　前條第一號及第二號ニ依ル軍事郵便物ハ其ノ料金ヲ免除ス

第三條　第一條第二號ニ依ル軍事郵便物ハ料金完納ノモノニ限ル其ノ料金未納又ハ不足ノモノハ差出人ニ還付シ不納額ノ二倍ヲ徵收ス

第四條　軍事郵便物ニ關シテハ命令ヲ以テ制限ヲ設ケルコトヲ得

第五條　軍事郵便物取扱ニ關スル損害賠償ハ命令ヲ以テ之ヲ制限スルコトヲ得

第六條　條約ニ依リテ取扱フ郵便物ニハ第二條乃至第五條ヲ適用セス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十七年勅令第六十七號ハ之ヲ廢止ス

（明治三十七年三月帝國議會承諾）

●軍事郵便規則

大正三年九月
總令第百三十四號

改正　大正六年二月第八號、六年一〇月第二二號
昭和六年八月第一〇三號

軍事郵便規則左ノ通定ム

第一條　軍事郵便ニ關シ本規則ニ定メタルモノノ外ハ普通郵便ニ關スル規定ヲ準用ス

第二條　軍事郵便ハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ軍事郵便ノ四字ヲ記載シ尙公用ニ屬スルモノハ公用ノ二字ヲ朱書スヘシ

第三條　戰地若ハ之ニ準スヘキ地ニ在リ又ハ該地ニ派遣スル軍隊、軍艦、水雷艇、軍衙、軍人、軍屬ニ宛テ又ハ該地ニ在ル者ニシテ當該軍衙ノ許可ヲ得タル者ニ宛テ發スル軍事郵便物ハ左ノ種類ニ限ル

一　書狀

二　通常郵便物

第四條　軍事郵便物ニ關シテハ命令ヲ以テ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第五條　軍事郵便物取扱ニ關スル損害賠償ハ命令ヲ以テ之ヲ制限スルコトヲ得

第六條　條約ニ依リテ取扱フ郵便物ニハ第二條乃至第五條ヲ適用セス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年一〇月一日陸軍省令第十二號ヲ以テ軍事郵便規則ヲ定メ同日ヨリ施行ス

大正六年二月陸軍省令第八號

軍事郵便規則（大正三年陸軍省令第十二號）ノ一部ヲ改正ス

大正六年二月一日ヨリ施行ス

大正六年一〇月陸軍省令第二二號

軍事郵便規則（大正三年陸軍省令第十二號）ノ一部ヲ改正ス

大正六年一〇月一日ヨリ施行ス

昭和六年八月陸軍省令第一〇三號

軍事郵便規則（大正三年陸軍省令第十二號）ノ一部ヲ改正ス

昭和六年八月一日ヨリ施行ス

●軍事郵便規則

大正三年九月
總令第百三十四號

改正　大正六年二月第八號、六年一〇月第二二號
昭和六年八月第一〇三號

軍事郵便規則左ノ通定ム

第一條　軍事郵便ニ關シ本規則ニ定メタルモノノ外ハ普通郵便ニ關スル規定ヲ準用ス

第二條　軍事郵便ハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ軍事郵便ノ四字ヲ記載シ尙公用ニ屬スルモノハ公用ノ二字ヲ朱書スヘシ

第三條　戰地若ハ之ニ準スヘキ地ニ在リ又ハ該地ニ派遣スル軍隊、軍艦、水雷艇、軍衙、軍人、軍屬ニ宛テ又ハ該地ニ在ル者ニシテ當該軍衙ノ許可ヲ得タル者ニ宛テ發スル軍事郵便物ハ左ノ種類ニ限ル

一　書狀

二　通常郵便物

第四條　軍事郵便物ニ關シテハ命令ヲ以テ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第五條　軍事郵便物取扱ニ關スル損害賠償ハ命令ヲ以テ之ヲ制限スルコトヲ得

第六條　條約ニ依リテ取扱フ郵便物ニハ第二條乃至第五條ヲ適用セス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●上海及揚子江方面ト朝鮮トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件

昭和七年二月
總令第十八號

上海及揚子江方面ト朝鮮トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　上海及揚子江方面ト朝鮮トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關シテハ朝鮮ト內地、臺灣、樺太、南洋群島及滿洲間郵便規則ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●滿洲方面ト朝鮮トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件

昭和六年十一月
總令第百四十六號

滿洲方面ト朝鮮トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件左ノ通定ム

滿洲方面ト朝鮮トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關シテハ朝鮮ト內地、臺灣、樺太、南洋群島及滿洲間郵便規則ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●航空郵便規則

昭和四年三月
總令二十五號

改正　昭和五年九月第九號、五年一〇月第一〇號、八年一〇月第三五號、九年一二月第一一三號、九年一二月第一一四號

航空郵便規則左ノ通定ム

第一條　郵便物ハ本令ノ定ムル所ニ依リ航空取扱ヲ爲スコトヲ得

第二條　航空取扱ヲ爲ス郵便物（以下單ニ航空郵便物ト稱ス）ハ別ニ告示スル航空郵便線路ニ依リ遞送シ遞達郵便取扱地域及航空郵便受託局郵便區市內ニ達スルモノニ付テハ特ニ定ムル速達方法ニ依リ之ヲ配達ス

第三條　航空郵便物ト雖航空郵便線路ニ依ルトキハ遲達ト認メラルル場合ニ於テハ通常ノ方法ニ依リ之ヲ遞送スルコトアルヘシ

第四條　航空取扱ヲ爲スコトヲ得ル郵便物ノ種類及其ノ取扱ニ要スル附加料金ハ左ノ如シ

有封書狀	重量十五グラム又ハ其ノ端數毎ニ	十五錢
無封書狀	重量三十五グラム又ハ其ノ端數毎ニ	十五錢
通常葉書	往復葉書	往信返信各別ニ	八錢 十五錢
第三種乃至第五種	重量七十五グラム又ハ其ノ端數毎ニ	二十五錢
	重量一キログラム迄	一圓
	重量一キログラム超ユル部分ニ付テハ五百グラム又ハ其ノ端數毎ニ	五十錢

第五條　航空小包郵便物ノ重量ハ二キログラムヲ超過スベカラズ

第六條　航空郵便物ニハ其ノ表面ニ「航空」ト朱記又ハ之ヲ記載シタル票符ヲ貼附スベシ

第七條　航空郵便物ハ郵便官報ニ之ヲ掲出スベシ但シ書留又ハ價格表記ニ非ザル郵便物ニ限リ之ヲ航空郵便專用ノ郵便函ニ差入ルルコトヲ得

第八條　航空郵便專用ノ郵便函ニ差入レタル航空郵便物ニシテ料金完納セザルモノハ「航空」ノ表示ヲ抹消シ航空取扱ニ發ラザルモノトシテ種類相當ノ取扱ヲ爲スト雖既納料金額カ成規ノ航空取扱附加料金ニ達スルモノニ限リ航空取扱ヲ爲シ不足料金ハ郵便料未納又ハ不足ノ例ニ依リ之ヲ徵收ス

第九條　航空郵便物ニシテ其ノ名宛地ノ郵便官署ニ於テ配達又ハ交付シ能ハザルモノハ通常ノ方法ニ依リ之ヲ轉送又ハ還付ス

第十條　左ニ揭ケル航空郵便物ノ航空取扱附加料金ハ別ニ配達料ノ例ニ依リ之ヲ還付ス

一　郵便官署ノ過失ニ因リ普通郵便ニ依リ差シ得ベキ時刻ヨリ遲レテ受取人ニ到著シタルモノ

二　航空郵便線路ニ依リ遞送セザリシモノ

但シ第二條ニ定ムル速達方法ニ依リ配達シタルモノヲ除ク

第十一條　無料郵便物ハ航空郵便ノ事務ニ關シ郵便官署相互間ニ發受スルモノノ外ハ航空取扱ヲ爲スコトヲ得ズ

三

朝鮮（新義州ヲ除ク）ヨリ關東廳（大連ヲ除ク）管內（大連ヲ除ク）ニ宛テタルモノ	通常郵便物	第一種	有封書狀	重量十五グラム又ハ其ノ端數毎ニ	二十錢
			無封書狀	重量三十五グラム又ハ其ノ端數毎ニ	二十錢
		第二種	通常葉書	往復葉書	封緘葉書	往信返信各別ニ	四錢
		第三種乃至第五種	重量七十五グラム又ハ其ノ端數毎ニ	二十錢
			重量一キログラム迄	一圓
			重量一キログラム超ユル部分ニ付テハ五百グラム又ハ其ノ端數毎ニ	五十錢
	小包郵便物		重量十五グラム又ハ其ノ端數毎ニ	二十錢
			重量一キログラム迄	三十錢
			重量一キログラム超ユル部分ニ付テハ五百グラム又ハ其ノ端數毎ニ	十五錢

第十二條　本令ニ定ムル事項ノ外ハ一般ノ規定ニ依ル

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮內地間航空郵便物ノ取扱開始期日ハ別ニ之ヲ告示ス

附　則（昭和四年六月總令第五十九號）

本令ハ昭和四年六月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和五年十月總令第八十九號）

本令ハ昭和五年十月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年七月總令第九十一號）

本令ハ昭和六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和八年十月總令第百二十三號）

本令ハ昭和八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和八年十二月總令第百四十二號）

本令ハ昭和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年三月總令第三十六號）

本令ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル件

昭和四年五月
法律第六十六號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關シ郵便物ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ無料トス

第七條　郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌ヲ爲サントスル者ハ郵便局ノ郵便區內ニ在ル者ニ在リテハ當該郵便局長ニ、郵便區內ノ郵便區內ニ在ル者ニ在リテハ其ノ區域ノ朝鮮總督府遞信局（以下單ニ遞信局ト稱ス）ノ管理事務ヲ分掌スル郵便局長（以下單ニ分掌局長ト稱ス）ニ、鐵道列車食堂內又ハ船舶內ニ於テ賣捌ヲ爲サントスル者ニ在リテハ其ノ朝鮮內ニ於ケル發地若ハ終著地又ハ其ノ船舶港ヲ郵便區ト為ス郵便局所ノ所轄分掌局長ノ許可ヲ受クベシ

第八條　前條第一項ノ規定ニ依リ郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌ノ許可ヲ受ケタル者（以下單ニ賣捌人ト稱ス）ハ其ノ賣捌所ニ附錄第二號樣式ノ標札又ハ標ヲ掲出スベシ但シ鐵道停車場構內、鐵道列車食堂內、船舶內等ノ賣捌所ニシテ其ノ構造上所定ノ標札又ハ標ヲ掲出シ難キモノハ所轄分掌局長ノ承認ヲ得テ適宜之ヲ變更スルコトヲ得

第九條　賣捌人其ノ住所又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ直ニ賣捌ノ許可ヲ受ケタル郵便局長又ハ分掌局長ニ其ノ旨届出ヅベシ

第十條　賣捌人廢業シタルトキハ三十日前迄ニ賣捌ノ許可ヲ受ケタル郵便局長又ハ分掌局長ニ申請シ其ノ許可ヲ受ケベシ但シ他ノ郵便局所ノ區內ニ移轉スルコトヲ得ズ

第十一條　賣捌人郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌ヲ廢止セントスルトキハ三十日前迄ニ賣捌ノ許可ヲ受ケタル郵便局長又ハ分掌局長ニ其ノ旨届出ヅベシ

賣捌人自ラ前項ノ届出ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ家族又ハ親族ニ於テ前項ノ届出ヲ爲スコトヲ得

賣捌人逃亡シ、行衞不明トナリ又ハ死亡シタルトキハ其ノ家族又ハ親族ニ於テ遲滯ナク其ノ旨届出ヅベシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第十二條　郵便切手類ノ賣捌人ハ其ノ賣捌所ニ郵便函ノ設置ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十三條　郵便切手類ノ賣捌人ハ其ノ賣捌所又ハ其ノ附近ニ設置シアル郵便函ヲ保護スベシ

郵便函水夫、森林其ノ他ノ事故ニ罹リタルトキハ遠ニ所轄郵便局所ニ其ノ旨報告スベシ

第十四條　第十九條ニ規定スル場合ヲ除クノ外郵便切手類及收入印紙ハ定價ヲ以テ之ヲ賣捌クベシ

第十五條　郵便切手類及收入印紙ニシテ毀損汚斑シタルモノ又ハ效用ヲ闕クノ虞アルモノハ之ヲ賣捌クコトヲ得ズ

第十六條　郵便切手類及收入印紙ハ郵便、電信、電話官署ニ在リテハ午前八時ヨリ午後八時迄、賣捌所ニ在リテハ午前七時ヨリ午後十時迄之ヲ賣捌ヲ爲スベシ

郵便、電信、電話官署ニ於テ時間ニ拘ラズ取扱ヲ爲スベキ郵便物、電報又ハ電話ニ要スル郵便切手ハ前項ニ規定スル賣捌時間ニ拘ラズ當該事務ヲ取扱フ官署ニ於テ之ガ賣捌ヲ爲スベシ

賣捌人土地ノ狀況其ノ他ノ事由ニ因リ第一項ニ規定スル賣捌時間ヲ變更セントスルトキハ賣捌ノ許可ヲ受ケタル郵便局長又ハ分掌局長ノ承認ヲ受クベシ

第十七條　郵便、電信、電話官署及賣捌所ニ於テハ其ノ賣捌クベキ郵便切手類又ハ收入印紙ノ相當種類及員數ヲ常ニ備ヘ置クベシ

第十八條　郵便集配事務ヲ取扱フ郵便所ニ於テハ其ノ賣捌クベキ郵便切手類及收入印紙ヲ分掌局長ノ指定スル郵便切手類及收入印紙ヨリ買受クベシ

郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所又ニ郵便取扱所、電信電話取扱所及賣捌人ハ其ノ賣捌クベキ郵便切手類又ハ收入印紙ヲ其ノ郵便集配事務ヲ受持ツ郵便局所ヨリ買受クベシ但シ鐵道列車食堂內及船舶內ノ賣捌人ニ在リテハ其ノ賣捌ヲ許可シタル分掌局長、郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所ニアル郵便區內ノ賣捌人ニ在リテハ分掌局長ノ指定シタル郵便局ヨリ買受クベシ

第十九條　郵便切手類及收入印紙ニシテ毀損汚斑シタルモノ又ハ效用ヲ闕クノ虞アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

二　郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所、郵便取扱所及電信電話取扱所ニ對シテハ郵便切手類又ハ收入印紙ハ千分ノ四十、收入印紙ハ千分ノ三十五

三　賣捌人ニ對シテハ郵便切手類ハ千分ノ三十五、收入印紙ハ千分ノ三十

第二十條　郵便切手類及收入印紙ハ破產ノ宣告又ハ國稅徵收令ニ依リ財產ヲ公賣ニ付スルトキ及罰鍰、沒收ノ裁判ニ依リ監獄、懲罰ノ用ニ充ツルトキニ限リ定價ニ對シ百分ノ十ノ割引ヲ以テ還信局ニ於テ之ヲ買戻スコトアルベシ但シ毀損汚斑シタルモノ又ハ效用ヲ闕ク虞アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第二十一條　郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所及賣捌人ガ買受ケタル郵便切手類又ハ收入印紙ニシテ其ノ賣捌ヲ廢止シタルモノ、賣捌ニ適セザルモノ、故意若ハ重大ナル過失ニ因ラズシテ毀損汚斑シ又ハ效用ヲ闕ク虞アルニ至リタルモノハ之ガ交換ヲ郵便局ニ請求スルコトヲ得但シ郵便切手類ト收入印紙トハ相互ニ之ガ交換ヲ請求スルコトヲ得ズ

郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所若ハ賣捌所ノ廢止又ハ郵便所長、郵便取扱所長、電信電話取扱所長ノ退職若ハ死亡ノ場合ニ於テ殘存スル郵便切手類又ハ收入印紙ハ定價ニ對シ第十九條ノ規定ニ依ル割引率ニ相當スル金額ヲ控除シタル價格ニ依リ之ガ買戻ヲ還信局ニ請求スルコトヲ得

第二十二條　賣捌人ハ買受ケタル郵便切手類又ハ收入印紙ヲ他ニ賣渡スコトヲ得ズ

第二十三條　郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所又ハ賣捌人ニ於テ郵便切手類又ハ收入印紙ノ買受ヲ爲サントスルトキハ附錄第三號樣式ノ買受請求書ヲ作製シ代金ト共ニ之ヲ其ノ買受ヲ爲スベキ郵便局所ニ差出スベシ

郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所及賣捌人ニ於テ其ノ郵便切手類又ハ收入印紙ノ買受ヲ委託スルコトヲ得

第二十四條　郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所又ハ賣捌人ノ郵便切手類又ハ收入印紙ヲ買受クル回數ハ所轄分掌局長之ヲ制限スルコトヲ得

第二十五條　買受ヲ爲ス郵便局所ヨリ遠隔ノ地ニ在ル郵便取扱所、電信電話取扱所及賣捌人ハ豫メ買受ヲ爲ス郵便局所ノ承認ヲ經テ其ノ郵便局所ノ通信夫ニ郵便切手類又ハ收入印紙ノ買受ヲ委託スルコトヲ得

第二十五條ノ二　郵便所ノ郵便區內ニ在ル郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌申請人又ハ賣捌人ヨリ本令ニ依リ分掌局長ニ差出ス書類ハ所轄郵便所長ヲ經由スベシ

第二十六條　賣捌所ノ位置若ハ賣捌人ヲ不適當ト認ムルトキ又ハ賣捌人本令ニ違反シタルトキハ其ノ許可ヲ爲シタル郵便局長又ハ分掌局長ニ於テ其ノ賣捌ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

第二十七條　第四條、第五條、第十四條若ハ第十五條ノ規定ニ違反シ又ハ第七條第一項ノ許可ヲ受ケズシテ賣捌ヲ爲シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　本令ニ違反シ定價ニ滿チザル價格ヲ以テ郵便切手類又ハ收入印紙ヲ賣渡シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號樣式

「何」郵便局長（又ハ何々）　氏名印

郵便切手類（收入印紙）賣受請求書

種類	數量	額面金額	賣受代金
切手（印紙）		圓	圓
葉書		圓	圓
五厘		圓	圓
一錢五厘通常		圓	圓
一錢		圓	圓
三錢封紙		圓	圓
二錢		圓	圓
小計		圓	圓
三錢		圓	圓
封皮		圓	圓
何		圓	圓
小計		圓	圓
何		圓	圓
封緘紙		圓	圓
何		圓	圓
小計		圓	圓
何		圓	圓
返信切手		圓	圓
何		圓	圓
小計		圓	圓
計		圓	圓

備考

一　郵便切手類ト收入印紙トハ各別ノ請求書ニ之ヲ認ムベシ

二　買受代金割引計算ノ關係上厘位未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ其ノ端數ハ小計欄ニ於テ之ヲ切捨ツベシ

附錄第二號樣式

「何」年　月　日

「何」郵便局長殿

備考　鐵道停車場構內、鐵道列車食堂內等ニ於テ賣捌ヲ爲サントスルトキハ當該停車場又ハ列車等ノ管理者ノ承諾ヲ受ケ其ノ旨ヲ附記スベシ

附錄第三號樣式

（甲）　標札

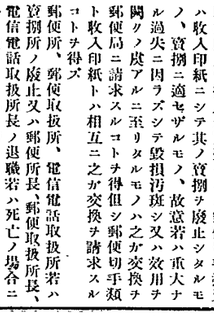
一　寸法ハ竪四十五センチメートル、横十五センチメートル

二　材料ハ木板又ハ白色ノペンキ塗若ハ琺瑯引ト爲シタル鐵葉類トシ文字ハ黑色トス但シ地ヲ黑色トシ文字ヲ金色ト爲スコトヲ得

三　收入印紙ノミヲ賣捌クモノハ「郵便切手」ノ文字ヲ省ク

四　土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ文字ニ諺文ノ傍副ヲ附スルコトヲ得

（乙）　目標



一　寸法ハ竪二十五センチメートル、横三十七センチメートルトス

二　材料ハ木板又ハ鐵葉類トシ地色ハ赤色ペンキ塗又ハ琺瑯引トシ文字ハ白色トス

三　收入印紙ノミヲ賣捌クモノハ「郵便切手」ノ文字ヲ省ク

指定スル郵便局所ヨリ之ヲ賣受クベシ

天災事變其ノ他非常急速ノ場合ニ於テハ前各項ノ規定ニ拘ラズ臨時他ノ郵便局所ヨリ其ノ買受ヲ爲スコトヲ得

第十九條　郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所及賣捌人ニ賣渡スル郵便切手類及收入印紙ニ付テハ定價ニ對シ左ノ各號ノ割合ニ依リ割引ヲ爲スベシ

一　郵便集配事務ヲ取扱フ郵便所ニ對シテハ郵便切手類ハ千分ノ五十、收入印紙ハ千分ノ四十

二　郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所、郵便取扱所及電信電話取扱所ニ對シテハ郵便切手類ハ千分ノ四十、收入印紙ハ千分ノ三十五

三　賣捌人ニ對シテハ郵便切手類ハ千分ノ三十五、收入印紙ハ千分ノ三十

第二十條　郵便切手類及收入印紙ハ破產ノ宣告又ハ國稅徵收令ニ依リ財產ヲ公賣ニ付スルトキ及罰鍰、沒收ノ裁判ニ依リ監獄、懲罰ノ用ニ充ツルトキニ限リ定價ニ對シ百分ノ十ノ割引ヲ以テ還信局ニ於テ之ヲ買戻スコトアルベシ但シ毀損汚斑シタルモノ又ハ效用ヲ闕ク虞アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第二十一條　郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所及賣捌人ガ買受ケタル郵便切手類又ハ收入印紙ニシテ其ノ賣捌ヲ廢止シタルモノ、賣捌ニ適セザルモノ、故意若ハ重大ナル過失ニ因ラズシテ毀損汚斑シ又ハ效用ヲ闕ク虞アルニ至リタルモノハ之ガ交換ヲ郵便局ニ請求スルコトヲ得但シ郵便切手類ト收入印紙トハ相互ニ之ガ交換ヲ請求スルコトヲ得ズ

郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所若ハ賣捌所ノ廢止又ハ郵便所長、郵便取扱所長、電信電話取扱所長ノ退職若ハ死亡ノ場合ニ於テ殘存スル郵便切手類又ハ收入印紙ハ定價ニ對シ第十九條ノ規定ニ依ル割引率ニ相當スル金額ヲ控除シタル價格ニ依リ之ガ買戻ヲ還信局ニ請求スルコトヲ得

第二十二條　賣捌人ハ買受ケタル郵便切手類又ハ收入印紙ヲ他ニ賣渡スコトヲ得ズ

第二十三條　郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所又ハ賣捌人ニ於テ郵便切手類又ハ收入印紙ノ買受ヲ爲サントスルトキハ附錄第三號樣式ノ買受請求書ヲ作製シ代金ト共ニ之ヲ其ノ買受ヲ爲スベキ郵便局所ニ差出スベシ

郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所及賣捌人ノ郵便切手類又ハ收入印紙ノ買受ヲ委託スルコトヲ得

第二十四條　郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所又ハ賣捌人ノ郵便切手類又ハ收入印紙ヲ買受クル回數ハ所轄分掌局長之ヲ制限スルコトヲ得

第二十五條　買受ヲ爲ス郵便局所ヨリ遠隔ノ地ニ在ル郵便取扱所、電信電話取扱所及賣捌人ハ豫メ買受ヲ爲ス郵便局所ノ承認ヲ經テ其ノ郵便局所ノ通信夫ニ郵便切手類又ハ收入印紙ノ買受ヲ委託スルコトヲ得

第二十五條ノ二　郵便所ノ郵便區內ニ在ル郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌申請人又ハ賣捌人ヨリ本令ニ依リ分掌局長ニ差出ス書類ハ所轄郵便所長ヲ經由スベシ

第二十六條　賣捌所ノ位置若ハ賣捌人ヲ不適當ト認ムルトキ又ハ賣捌人本令ニ違反シタルトキハ其ノ許可ヲ爲シタル郵便局長又ハ分掌局長ニ於テ其ノ賣捌ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

第二十七條　第四條、第五條、第十四條若ハ第十五條ノ規定ニ違反シ又ハ第七條第一項ノ許可ヲ受ケズシテ賣捌ヲ爲シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　本令ニ違反シ定價ニ滿チザル價格ヲ以テ郵便切手類又ハ收入印紙ヲ賣渡シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號樣式

「何」郵便局長（又ハ何々）　氏名印

郵便切手類（收入印紙）賣受請求書

種類	數量	額面金額	賣受代金
切手（印紙）		圓	圓
葉書		圓	圓
五厘		圓	圓
一錢五厘通常		圓	圓
一錢		圓	圓
三錢封紙		圓	圓
二錢		圓	圓
小計		圓	圓
三錢		圓	圓
封皮		圓	圓
何		圓	圓
小計		圓	圓
何		圓	圓
封緘紙		圓	圓
何		圓	圓
小計		圓	圓
何		圓	圓
返信切手		圓	圓
何		圓	圓
小計		圓	圓
計		圓	圓

備考

一　郵便切手類ト收入印紙トハ各別ノ請求書ニ之ヲ認ムベシ

二　買受代金割引計算ノ關係上厘位未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ其ノ端數ハ小計欄ニ於テ之ヲ切捨ツベシ

●郵便電信電話等ニ關スル料金ノ徵收嘱託ノ件

大正五年八月
勅令第二百號

改正　大正一二年勅令第一九二號

朕郵便電信電話等ニ關スル料金ノ徵收嘱託ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

內地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州及南洋群島ニ於ケル郵便、電信及電話官署ハ相互ニ郵便電信、電話、無線電信及無線電話ニ關スル料金ノ徵收ヲ嘱託スルコトヲ得

前項ノ嘱託ニ依リ生ジタル費用ハ嘱託ヲ受ケタル官署ノ支辨トス

●郵便法第五十五條ノ三ノ規定ニ依ル官沒ニ關スル件

大正五年七月
總令第五十九號

郵便法第五十五條ノ三ノ規定ニ依ル官沒ハ通信局長官又ハ選信局管理事務分掌郵便局長ニ於テ命令書ヲ交付シテ之ヲ爲スヘシ

附則

本令ハ大正五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便物ニ徽號ヲ附記スルコトヲ得ルノ件

大正八年九月
總令第二百五十號

陸軍召集令又ハ海軍召集令ニ依ル充員召集、臨時召集及國民兵召集ノ實施ニ關シ關係官公署ヨリ發スル郵便物及召集通報ニヨリ應召員ヘ召集通報ノ爲發スル郵便物ハ其ノ表面ニ由形ヘ若ハ波形ノ徽號ヲ附記スルコトヲ得

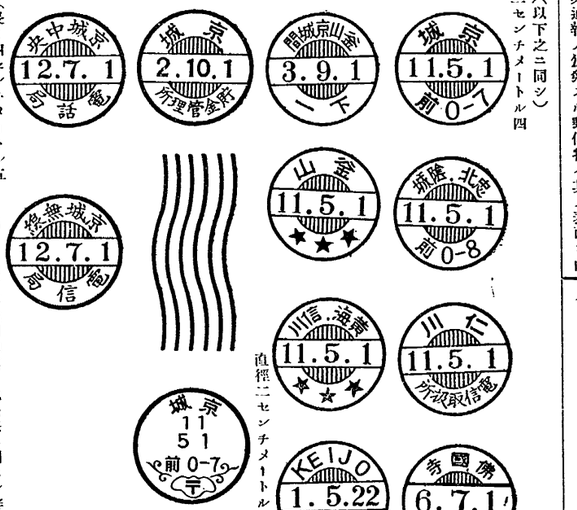
●通信日附印ノ形式

大正十年十二月
總令第二百八十號

改正　大正一二年七第一九八號、一三年七第一四四號、昭和二年九第三一二號、三年八第三二四號、六年七第三〇〇號、六年一二第三三三號、一〇年一二第七三三號

朝鮮總督府遞信官署ニ於テ通信事務ニ使用スル通信日附印ハ別ニ告示スルモノヲ除クノ外其ノ形式左ノ通定ム

明治四十三年統監府告示第十二號ハ之ヲ廢止ス

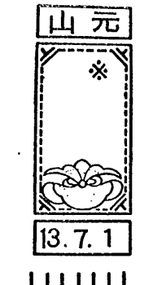


直徑二センチメートル

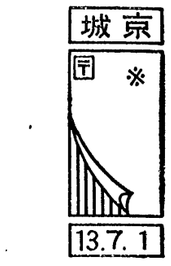
寸法（以下之ニ同シ）

直徑二センチメートル四

寸法（長：四センチメートル五※印欄ニハ通信事業周知其ノ他公益ニ關スル辭句ヲ挿入スルモノトス　幅：一センチメートル五）

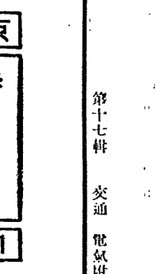


寸法
縦　三センチメートル
横　二センチメートル

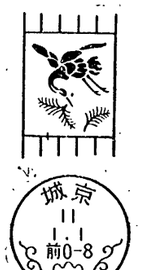


寸法
縦　三センチメートル半
横　二センチメートル

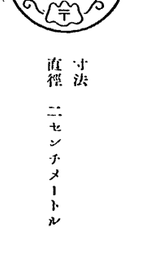
寸法
縦　三センチメートル半
横　二センチメートル



寸法
縦　三センチメートル
横　二センチメートル



寸法
縦　三センチメートル半
横　二センチメートル四



寸法
縦　三センチメートル半
横　二センチメートル

局所ノ前年度ニ於ケル電信又ハ電話ノ取入料金ニ付左記各號ニ依リ算出シタル額（百圓ノ端數ハ切捨テ）ヲ指定シタル維持費額ニ達セサル場合ニ限リ其ノ不足額ヲ徴收ス

一　電信ニ關スル施設
　電信電話取扱所新設及電信事務開始（電報配達事務ヲ取扱フモノヲ含ム）ノ料金額ノ全額
同　上（電報配達事務ヲ取扱ハサルモノヲ含ム）料金額ノ十分ノ八
二　電報配達事務開始　料金額ノ十分ノ二
三　電話ニ關スル施設
　電信電話取扱所新設及電話通話事務開始（電話呼出事務ヲ取扱フモノヲ含ム）　料金額ノ全額
　公衆電話所新設
　電信電話取扱所新設及電話通話事務開始（電話呼出事務ヲ取扱ハサルモノヲ含ム）　料金額ノ十分ノ八
　電話呼出事務開始　料金額ノ十分ノ二

前項ノ料金額ハ電信ノ施設ニ付テハ別使配達料、艀船配達料及外國郵送料ヲ除キタル內國電報料金額及外國電報ノ內國料金額ニ、電話ノ施設ニ付テハ通話料、呼出料及通知料ニ依ル

期節ヲ限リ施設シタルモノノ維持費ハ前各項ニ依リ施設期間ノ日割計算ヲ以テ徴收ス

第十二條　維持費ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外一會計年度毎ニ左ノ區別ニ從ヒ遞信局長ノ指定スル所ニ依リ之ヲ納付スヘシ

一　郵便ニ關スル施設ノ維持費ハ年額ヲ四分シ左ノ期間內ニ之ヲ納ムヘシ

第一期分　四月一日ヨリ同三十日迄
第二期分　七月一日ヨリ同三十一日迄
第三期分　十月一日ヨリ同三十一日迄
第四期分　一月一日ヨリ同三十一日迄

二　電信電話ニ關スル施設ノ維持費ハ四月一日ヨリ六月三十日迄ニ之ヲ納ムヘシ

施設開始ノ日カ會計年度ノ中途ナルトキハ當該年度ノ維持費ハ日割計算トシ前項ノ規定ニ拘ラス開始ノ日ヨリ起算シ十五日以內ニ之ヲ納付スヘシ

第十三條　第七條ノ保證金ヲ納付シタル者前條ノ期日迄ニ維持費ヲ納付セサルトキハ保

第二條　施設ノ爲要スル創設費及維持費ハ請願者ニ於テ負擔シ之ヲ國庫ニ納付スヘシ

第三條　前條ノ創設費及維持費ノ額及負擔ニ關スル規程ハ內地ニ在リテハ遞信大臣、朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督之ヲ定ム

附　則

本令ハ大正四年十二月五日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十六年勅令第四十一號ハ之ヲ廢止ス

附　則（昭和九年八月勅令第二百五十二號）

本令ハ昭和九年八月二十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ受理シタル請願ニ依ル電信電話施設ノ創設費ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

●請願通信施設規則

大正十二年一月
總令第十一號
改正　昭和三年六月第二一號、三年一〇月六八號、五年四月二八號、六年二月六號、九年八月八四號

請願通信施設規則左ノ通定ム

請願通信施設規則

第一條　大正四年勅令第二百十五號ニ依リ施設スヘキ事項左ノ如シ

一　郵便所新設
一ノ二　郵便取扱所新設
二　郵便集配所新設
三　電信電話取扱所新設
四　公衆電話所新設
五　郵便集配事務開始
六　電信事務開始
七　電報配達事務開始
八　電話通話事務開始
九　電話呼出事務開始

第二條　施設ヲ請願セムトスル者ハ左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

一　施設事項
二　施設ヲ必要トスル地名
三　施設ヲ必要トスル理由
四　期節ヲ限リ施設ヲ要スルモノハ其ノ期間
五　前條第一號ノ事項ニ對シテハ郵便集配事務第三號ノ事項ニ對シテハ電報配達事務第六號ノ事項ニ對シテハ電話呼出事務開始ノ要否
六　船舶ニ施設スルモノハ其ノ船舶ノ定繫港

第三條　請願ノ土地ノ狀況其ノ他ノ事由ニ依リ之ヲ受理セサルコトアルヘシ

第四條　請願ヲ受理シタルトキハ其ノ通知ト共ニ創設費及維持費ノ額ヲ記載シタル指令書ヲ請願者ニ交付ス

請願者ハ前項ノ指令書到達ノ日ヨリ起算シ六十日內ニ請書ヲ差出スヘシ

第五條　創設費ハ朝鮮總督府遞信局長（以下單ニ遞信局長ト稱ス）ノ指示スル所ニ依リ指令書ニ記載スル額ヲ納付スヘシ

第六條　維持費ノ額ハ年額ヲ以テ之ヲ定ム

第七條　朝鮮總督ニ於テ必要トスルトキハ指令書ニ記載スル維持費ノ額ニ相當スル金額ノ範圍內ニ於テ保證金ヲ納付セシムルコトアルヘシ

前項ノ保證金ハ現金又ハ國債ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

第八條　請願者第四條第二項ノ請書ヲ差出サルトキ、第五條ノ創設費ヲ納付セサルトキ又ハ前條ノ保證金ヲ指定ノ期日迄ニ納付セサルトキハ請願ハ之ヲ受理セサリシモノト看做ス

第九條　削除

第十條　施設開始前其ノ工事ヲ廢止シタルトキハ其ノ理由ノ如何ヲ問ハス當該工事ノ爲ニ支出シタル經費又ハ設備シタル物件ノ撤去ノ爲ニ支出シタル經費ハ之ヲ請願者ノ負擔トス

前項ノ經費ハ第五條ノ規定ニ依リ納付シタル創設費ヲ以テ之ニ充テ不足アルトキハ其ノ額ヲ徴收シ殘額アルトキハ請願者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十一條　施設ノ場合ニ於テ當該施設工事ノ爲ニ使用シ又ハ購入シタル物件ニシテ殘存スルモノハ請願者ニ之ヲ交付スルコトアルヘシ

第十二條　施設ノ維持費ハ請願者ニ於テ負擔シ之ヲ國庫ニ納付スヘシ

第十三條　前條ノ負擔ニ關スル施設ノ維持費ハ指定シタル維持費額ヲ、其ノ翌年度以後ニ在リテハ當該

第十四條　維持費ハ施設開始ノ翌年度ヨリ起算シ五年經過後ハ之ヲ減免スルコトアルヘシ

第十五條　府、邑又ハ面ノ請願ニ依ル電信又ハ電話ニ關スル施設ニ付テハ別ニ定ムル所ニ依ル

第十六條　請願者其ノ地位ヲ他人ニシテ承繼セシメムトスルトキハ當事者連署ノ申請書ヲ遞信局長ニ差出シ承認ヲ受クヘシ

相續其ノ他ノ原因ニ依リ請願者ノ地位ヲ承繼シタルモノハ其ノ事實ヲ證明スル書類ヲ添ヘ十五日內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ

第十七條　本令ニ依ル施設ハ其ノ開始後之ヲ廢止シ又ハ變更スルコトアルヘシ但シ請願ニ依リ之ヲ廢止セス

前項ノ規定ニ依リ施設ヲ廢止シ又ハ變更シタルトキハ當該年度ノ維持費ハ日割計算トシ其ノ翌日ヨリ之ヲ免除シ又ハ其ノ一部ヲ還付スヘシ

第十八條　二人以上共同シテ請願シタル者ハ代表者一人ヲ定ムヘシ但シ府、邑又ハ面ノ

證金ヲ以テ其ノ維持費ニ充當ス

第十四條　維持費ハ施設開始ノ翌年度ヨリ起算シ五年經過後ハ之ヲ減免スルコトアルヘシ

第十五條　府、邑又ハ面ノ請願ニ依ル電信又ハ電話ニ關スル施設ノ維持費ニシテ第十一條ニ依リ二年度間引續キ之ヲ徴收ヲ要セサルトキハ其ノ翌年度以後維持費ヲ免除スルコトアルヘシ

第十六條　請願者其ノ地位ヲ他人ニシテ承繼セシメムトスルトキハ當事者連署ノ申請書ヲ遞信局長ニ差出シ承認ヲ受クヘシ

相續其ノ他ノ原因ニ依リ請願者ノ地位ヲ承繼シタルモノハ其ノ事實ヲ證明スル書類ヲ添ヘ十五日內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ

第十七條　本令ニ依ル施設ハ其ノ開始後之ヲ廢止シ又ハ變更スルコトアルヘシ但シ請願ニ依リ之ヲ廢止セス

前項ノ規定ニ依リ施設ヲ廢止シ又ハ變更シタルトキハ當該年度ノ維持費ハ日割計算トシ其ノ翌日ヨリ之ヲ免除シ又ハ其ノ一部ヲ還付スヘシ

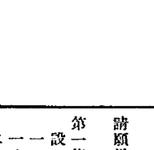
第十八條　二人以上共同シテ請願シタル者ハ代表者一人ヲ定ムヘシ但シ府、邑又ハ面ノ共同シテ請願スルモノニ在リテハ其ノ施設地ノ府、邑又ハ面ヲ代表者トス

電信又ハ電話ニ關スル施設ノ維持費ハ施設ヲ開始シタル年度ニ在リテハ指定シタル維持費額ヲ、其ノ翌年度以後ニ在リテハ當該

●請願ニ依ル通信施設ニ關スル件

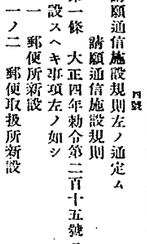
大正四年十二月
勅令第二百十五號
改正　大正一二年一勅三一號、九年八勅三六六

局所名ハ其ノ局所ニ依リ年月日及時刻ハ其ノ使用日時ニ依リ孰レモ變更スルモノトス（昭和六年七月總督第三百七十號ハ昭和六年八月一日ヨリ施行）

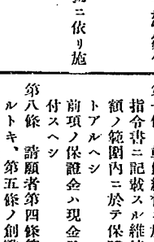


寸法
縦　三センチメートル半
横　二センチメートル

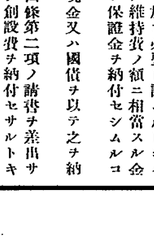
寸法
縦　三センチメートル半
横　二センチメートル四



寸法
縦　三センチメートル半
横　二センチメートル



寸法
縦　三センチメートル半
横　二センチメートル四



寸法
縦　三センチメートル半
横　二センチメートル四

寸法
縦　三センチメートル半
横　二センチメートル四

脫請願ニ依ル通信施設ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　內地及朝鮮ニ於テハ政府ハ請願ニ依リ郵便官署、電信官署、電話官署ヲ新設シ又ハ郵便、電信、電話、無線電信ノ事務ノ取扱ヲ開始スルコトヲ得

●約束郵便取扱承認規則

大正十二年三月
總令第三十五號
改正　大正一三年一二勅九一號、昭和三年三勅九七號

約束郵便取扱承認規則左ノ通定ム

第一條　郵便規則第八十一條ニ規定スル約束郵便ノ取扱承認ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　約束郵便ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申込書ヲ其ノ郵便官署ニ差出サムトスル郵便官署ヲ經由シ當該約束郵便料金ノ歳入徵收事務ヲ分掌スル官吏ヲ經テ郵便官署ニ差出シ其ノ承認ヲ受ケルヘシ

一　約束郵便ヲ爲スニ依リ郵便料ノ低減ヲ受ケヘキモノハ其ノ事由
二　差出圖（數料金ノ異ナルモノアルトキハ各別ニ之ヲ作ル）及毎回ノ差出個數（數料金ノ異ナルモノハ各別ニ其ノ概算ヲ示ス）
三　差出郵便官署名（郵便事務ヲ取扱ハサル所ニ差出スモノハ其ノ旨）
四　差出人ノ住所氏名

約束郵便取扱ノ承認ヲ爲シタル郵便官署ハ第一條ノ申込書ニ依リ其ノ事項ヲ調査シ承認ヲ與ヘサルトキハ其ノ事由ヲ申込人ニ通知スヘシ

第三條　約束郵便ノ取扱ヲ爲ス郵便官署ハ其ノ施設地ノ府、邑又ハ面ノ請願ニ關シ意見ヲ附シ遞信局長ニ送付スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年八月總令第八十四號）

本令ハ昭和九年八月二十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ受理シタル請願ニ依ル電信電話施設ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第十九條　本令ニ依リ提出スル書類ハ府、邑又ハ面ニ在リテハ道知事ノ他ニ在リテハ其ノ施設地ノ所轄管理事務郵便局長ヲ經由スヘシ

道知事ハ府、邑又ハ面ノ請願ニ關シ意見ヲ附シ遞信局長ニ送付スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年八月總令第八十四號）

本令ハ昭和九年八月二十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ受理シタル請願ニ依ル電信電話施設ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第十一條　第六條乃至第八條ニ依リ約束郵便ノ取扱承認ノ效力ヲ失ヒタルトキハ第五條ニ依ル擔保ハ之ヲ差出人ニ還付ス但シ料金證明ノ準貨アリタルトキハ該擔保ハ料金ニ充テタル殘額ヲ還付シ其ノ全額ヲ以テ料金ニ充テタルトキハ之ヲ還付シ不足額ハ之ヲ追徵ス

附　則

本令ハ大正十二年三月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

約束郵便物取扱規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ擔保トシテ國債以外ノ有價證券ヲ提供セル者ハ大正十五年三月三十一日迄ニ擔保其ノ有價證券ヲ以テ擔保ト爲スコトヲ得

約束郵便取扱規則ニ依リ承認ヲ受ケタル約束郵便物ハ本令ニ依リ承認ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（大正十三年十二月總令第九十一號）

本令ハ大正十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便物特殊取扱ノ範圍

昭和十年十二月
總告第七百五十九號

昭和十一年一月一日ヨリ郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所ニ於テハ約束郵便物及切手別納郵便物ノ引受ヲ爲サズ

大正十三年朝鮮總督府告示百六十一號ハ昭和十年十二月三十一日限リ之ヲ廢止ス

●朝鮮ト內地、臺灣、樺太、南洋群島及滿洲間郵便規則

明治四十三年十二月
總令第六十三號

改正　明治四四年九號、一〇三號、四五年五號、一
〇一號、大正二年三號、三年一二號、二年九號、五六
號、三年七號、一〇號、三年一二號、一六年一〇號、
四年一〇號、一七年一〇五號、六年一二號、七年四
號、一〇號、一七年一〇號、八年二號、九年一九
號、八年四號、五六號、八年五號、九年三號、九年
五號、八〇號、九年八號、一三號、九年一〇號、
一五號、一〇年三號、九號、一一年一二號、一二
號、一二年三號、二七號、一三年一號、二號、一
二號、一四年一號、二號、一五年一號、二號、一
六年一號、二號、一七年一號、二號、一八年一號、
二號、一九年一號、二號、二〇年一號、二號、二
一年一號、二號、二二年一號、二號、二三年一
號、二號、二四年一號、二號、二五年一號、二
號、二六年一號、二號、二七年一號、二號、二八
年一號、二號、二九年一號、二號、三〇年一號、
二號、三一年一號、二號、三二年一號、二號、三
三年一號、二號、三四年一號、二號、三五年一
號、二號、三六年一號、二號、三七年一號、二
號、三八年一號、二號、三九年一號、二號、四〇
年一號、二號、四一年一號、二號、四二年一號、
二號、四三年一號、二號、四四年一號、二號、四
五年一號、二號、四六年一號、二號、四七年一
號、二號、四八年一號、二號、四九年一號、二
號、五〇年一號、二號、五一年一號、二號、五二
年一號、二號、五三年一號、二號、五四年一號、
二號、五五年一號、二號、五六年一號、二號、五
七年一號、二號、五八年一號、二號、五九年一
號、二號、六〇年一號、二號、六一年一號、二
號、六二年一號、二號、六三年一號、二號、六四
年一號、二號、六五年一號、二號、六六年一號、
二號、六七年一號、二號、六八年一號、二號、六
九年一號、二號、七〇年一號、二號、七一年一
號、二號、七二年一號、二號、七三年一號、二
號、七四年一號、二號、七五年一號、二號、七六
年一號、二號、七七年一號、二號、七八年一
號、二號、七九年一號、二號、八〇年一號、二
號、八一年一號、二號、八二年一號、二號、八三
年一號、二號、八四年一號、二號、八五年一
號、二號、八六年一號、二號、八七年一號、二
號、八八年一號、二號、八九年一號、二號、九〇
年一號、二號、九一年一號、二號、九二年一
號、二號、九三年一號、二號、九四年一號、二
號、九五年一號、二號、九六年一號、二號、九七
年一號、二號、九八年一號、二號、九九年一
號、二號、一〇〇年一號、二號、一〇一年一
號、二號、一〇二年一號、二號、一〇三年一
號、二號、一〇四年一號、二號、一〇五年一
號、二號、一〇六年一號、二號、一〇七年一
號、二號、一〇八年一號、二號、一〇九年一
號、二號、一一〇年一號、二號、一一一年一
號、二號、一一二年一號、二號、一一三年一
號、二號、一一四年一號、二號、一一五年一
號、二號、一一六年一號、二號、一一七年一
號、二號、一一八年一號、二號、一一九年一
號、二號、一二〇年一號、二號、一二一年一
號、二號、一二二年一號、二號、一二三年一
號、二號、一二四年一號、二號、一二五年一
號、二號、一二六年一號、二號、一二七年一
號、二號、一二八年一號、二號、一二九年一
號、二號、一三〇年一號、二號、一三一年一
號、二號、一三二年一號、二號、一三三年一
號、二號、一三四年一號、二號、一三五年一
號、二號、一三六年一號、二號、一三七年一
號、二號、一三八年一號、二號、一三九年一
號、二號、一四〇年一號、二號、一四一年一
號、二號、一四二年一號、二號、一四三年一
號、二號、一四四年一號、二號、一四五年一
號、二號、一四六年一號、二號、一四七年一
號、二號、一四八年一號、二號、一四九年一
號、二號、一五〇年一號、二號、一五一年一
號、二號、一五二年一號、二號、一五三年一
號、二號、一五四年一號、二號、一五五年一
號、二號、一五六年一號、二號、一五七年一
號、二號、一五八年一號、二號、一五九年一
號、二號、一六〇年一號、二號、一六一年一
號、二號、一六二年一號、二號、一六三年一
號、二號、一六四年一號、二號、一六五年一
號、二號、一六六年一號、二號、一六七年一
號、二號、一六八年一號、二號、一六九年一
號、二號、一七〇年一號、二號、一七一年一
號、二號、一七二年一號、二號、一七三年一
號、二號、一七四年一號、二號、一七五年一
號、二號、一七六年一號、二號、一七七年一
號、二號、一七八年一號、二號、一七九年一
號、二號、一八〇年一號、二號、一八一年一
號、二號、一八二年一號、二號、一八三年一
號、二號、一八四年一號、二號、一八五年一
號、二號、一八六年一號、二號、一八七年一
號、二號、一八八年一號、二號、一八九年一
號、二號、一九〇年一號、二號、一九一年一
號、二號、一九二年一號、二號、一九三年一
號、二號、一九四年一號、二號、一九五年一
號、二號、一九六年一號、二號、一九七年一
號、二號、一九八年一號、二號、一九九年一
號、二號、二〇〇年一號、二號、二〇一年一
號、二號、二〇二年一號、二號、二〇三年一
號、二號、二〇四年一號、二號、二〇五年一
號、二號、二〇六年一號、二號、二〇七年一
號、二號、二〇八年一號、二號、二〇九年一
號、二號、二一〇年一號、二號、二一一年一
號、二號、二一二年一號、二號、二一三年一
號、二號、二一四年一號、二號、二一五年一
號、二號、二一六年一號、二號、二一七年一
號、二號、二一八年一號、二號、二一九年一
號、二號、二二〇年一號、二號、二二一年一
號、二號、二二二年一號、二號、二二三年一
號、二號、二二四年一號、二號、二二五年一
號、二號、二二六年一號、二號、二二七年一
號、二號、二二八年一號、二號、二二九年一
號、二號、二三〇年一號、二號、二三一年一
號、二號、二三二年一號、二號、二三三年一
號、二號、二三四年一號、二號、二三五年一
號、二號、二三六年一號、二號、二三七年一
號、二號、二三八年一號、二號、二三九年一
號、二號、二四〇年一號、二號、二四一年一
號、二號、二四二年一號、二號、二四三年一
號、二號、二四四年一號、二號、二四五年一
號、二號、二四六年一號、二號、二四七年一
號、二號、二四八年一號、二號、二四九年一
號、二號、二五〇年一號、二號、二五一年一
號、二號、二五二年一號、二號、二五三年一
號、二號、二五四年一號、二號、二五五年一
號、二號、二五六年一號、二號、二五七年一
號、二號、二五八年一號、二號、二五九年一
號、二號、二六〇年一號、二號、二六一年一
號、二號、二六二年一號、二號、二六三年一
號、二號、二六四年一號、二號、二六五年一
號、二號、二六六年一號、二號、二六七年一
號、二號、二六八年一號、二號、二六九年一
號、二號、二七〇年一號、二號、二七一年一
號、二號、二七二年一號、二號、二七三年一
號、二號、二七四年一號、二號、二七五年一
號、二號、二七六年一號、二號、二七七年一
號、二號、二七八年一號、二號、二七九年一
號、二號、二八〇年一號、二號、二八一年一
號、二號、二八二年一號、二號、二八三年一
號、二號、二八四年一號、二號、二八五年一
號、二號、二八六年一號、二號、二八七年一
號、二號、二八八年一號、二號、二八九年一
號、二號、二九〇年一號、二號、二九一年一
號、二號、二九二年一號、二號、二九三年一
號、二號、二九四年一號、二號、二九五年一
號、二號、二九六年一號、二號、二九七年一
號、二號、二九八年一號、二號、二九九年一
號、二號、三〇〇年一號、二號、三〇一年一
號、二號、三〇二年一號、二號、三〇三年一
號、二號、三〇四年一號、二號、三〇五年一
號、二號、三〇六年一號、二號、三〇七年一
號、二號、三〇八年一號、二號、三〇九年一
號、二號、三一〇年一號、二號、三一一年一
號、二號、三一二年一號、二號、三一三年一
號、二號、三一四年一號、二號、三一五年一
號、二號、三一六年一號、二號、三一七年一
號、二號、三一八年一號、二號、三一九年一
號、二號、三二〇年一號、二號、三二一年一
號、二號、三二二年一號、二號、三二三年一
號、二號、三二四年一號、二號、三二五年一
號、二號、三二六年一號、二號、三二七年一
號、二號、三二八年一號、二號、三二九年一
號、二號、三三〇年一號、二號、三三一年一
號、二號、三三二年一號、二號、三三三年一
號、二號、三三四年一號、二號、三三五年一
號、二號、三三六年一號、二號、三三七年一
號、二號、三三八年一號、二號、三三九年一
號、二號、三四〇年一號、二號、三四一年一
號、二號、三四二年一號、二號、三四三年一
號、二號、三四四年一號、二號、三四五年一
號、二號、三四六年一號、二號、三四七年一
號、二號、三四八年一號、二號、三四九年一
號、二號、三五〇年一號、二號、三五一年一
號、二號、三五二年一號、二號、三五三年一
號、二號、三五四年一號、二號、三五五年一
號、二號、三五六年一號、二號、三五七年一
號、二號、三五八年一號、二號、三五九年一
號、二號、三六〇年一號、二號、三六一年一
號、二號、三六二年一號、二號、三六三年一
號、二號、三六四年一號、二號、三六五年一
號、二號、三六六年一號、二號、三六七年一
號、二號、三六八年一號、二號、三六九年一
號、二號、三七〇年一號、二號、三七一年一
號、二號、三七二年一號、二號、三七三年一
號、二號、三七四年一號、二號、三七五年一
號、二號、三七六年一號、二號、三七七年一
號、二號、三七八年一號、二號、三七九年一
號、二號、三八〇年一號、二號、三八一年一
號、二號、三八二年一號、二號、三八三年一
號、二號、三八四年一號、二號、三八五年一
號、二號、三八六年一號、二號、三八七年一
號、二號、三八八年一號、二號、三八九年一
號、二號、三九〇年一號、二號、三九一年一
號、二號、三九二年一號、二號、三九三年一
號、二號、三九四年一號、二號、三九五年一
號、二號、三九六年一號、二號、三九七年一
號、二號、三九八年一號、二號、三九九年一
號、二號、四〇〇年一號、二號、四〇一年一
號、二號、四〇二年一號、二號、四〇三年一
號、二號、四〇四年一號、二號、四〇五年一
號、二號、四〇六年一號、二號、四〇七年一
號、二號、四〇八年一號、二號、四〇九年一
號、二號、四一〇年一號、二號、四一一年一
號、二號、四一二年一號、二號、四一三年一
號、二號、四一四年一號、二號、四一五年一
號、二號、四一六年一號、二號、四一七年一
號、二號、四一八年一號、二號、四一九年一
號、二號、四二〇年一號、二號、四二一年一
號、二號、四二二年一號、二號、四二三年一
號、二號、四二四年一號、二號、四二五年一
號、二號、四二六年一號、二號、四二七年一
號、二號、四二八年一號、二號、四二九年一
號、二號、四三〇年一號、二號、四三一年一
號、二號、四三二年一號、二號、四三三年一
號、二號、四三四年一號、二號、四三五年一
號、二號、四三六年一號、二號、四三七年一
號、二號、四三八年一號、二號、四三九年一
號、二號、四四〇年一號、二號、四四一年一
號、二號、四四二年一號、二號、四四三年一
號、二號、四四四年一號、二號、四四五年一
號、二號、四四六年一號、二號、四四七年一
號、二號、四四八年一號、二號、四四九年一
號、二號、四五〇年一號、二號、四五一年一
號、二號、四五二年一號、二號、四五三年一
號、二號、四五四年一號、二號、四五五年一
號、二號、四五六年一號、二號、四五七年一
號、二號、四五八年一號、二號、四五九年一
號、二號、四六〇年一號、二號、四六一年一
號、二號、四六二年一號、二號、四六三年一
號、二號、四六四年一號、二號、四六五年一
號、二號、四六六年一號、二號、四六七年一
號、二號、四六八年一號、二號、四六九年一
號、二號、四七〇年一號、二號、四七一年一
號、二號、四七二年一號、二號、四七三年一
號、二號、四七四年一號、二號、四七五年一
號、二號、四七六年一號、二號、四七七年一
號、二號、四七八年一號、二號、四七九年一
號、二號、四八〇年一號、二號、四八一年一
號、二號、四八二年一號、二號、四八三年一
號、二號、四八四年一號、二號、四八五年一
號、二號、四八六年一號、二號、四八七年一
號、二號、四八八年一號、二號、四八九年一
號、二號、四九〇年一號、二號、四九一年一
號、二號、四九二年一號、二號、四九三年一
號、二號、四九四年一號、二號、四九五年一
號、二號、四九六年一號、二號、四九七年一
號、二號、四九八年一號、二號、四九九年一
號、二號、五〇〇年一號、二號、五〇一年一
號、二號、五〇二年一號、二號、五〇三年一
號、二號、五〇四年一號、二號、五〇五年一
號、二號、五〇六年一號、二號、五〇七年一
號、二號、五〇八年一號、二號、五〇九年一
號、二號、五一〇年一號、二號、五一一年一
號、二號、五一二年一號、二號、五一三年一
號、二號、五一四年一號、二號、五一五年一
號、二號、五一六年一號、二號、五一七年一
號、二號、五一八年一號、二號、五一九年一
號、二號、五二〇年一號、二號、五二一年一
號、二號、五二二年一號、二號、五二三年一
號、二號、五二四年一號、二號、五二五年一
號、二號、五二六年一號、二號、五二七年一
號、二號、五二八年一號、二號、五二九年一
號、二號、五三〇年一號、二號、五三一年一
號、二號、五三二年一號、二號、五三三年一
號、二號、五三四年一號、二號、五三五年一
號、二號、五三六年一號、二號、五三七年一
號、二號、五三八年一號、二號、五三九年一
號、二號、五四〇年一號、二號、五四一年一
號、二號、五四二年一號、二號、五四三年一
號、二號、五四四年一號、二號、五四五年一
號、二號、五四六年一號、二號、五四七年一
號、二號、五四八年一號、二號、五四九年一
號、二號、五五〇年一號、二號、五五一年一
號、二號、五五二年一號、二號、五五三年一
號、二號、五五四年一號、二號、五五五年一
號、二號、五五六年一號、二號、五五七年一
號、二號、五五八年一號、二號、五五九年一
號、二號、五六〇年一號、二號、五六一年一
號、二號、五六二年一號、二號、五六三年一
號、二號、五六四年一號、二號、五六五年一
號、二號、五六六年一號、二號、五六七年一
號、二號、五六八年一號、二號、五六九年一
號、二號、五七〇年一號、二號、五七一年一
號、二號、五七二年一號、二號、五七三年一
號、二號、五七四年一號、二號、五七五年一
號、二號、五七六年一號、二號、五七七年一
號、二號、五七八年一號、二號、五七九年一
號、二號、五八〇年一號、二號、五八一年一
號、二號、五八二年一號、二號、五八三年一
號、二號、五八四年一號、二號、五八五年一
號、二號、五八六年一號、二號、五八七年一
號、二號、五八八年一號、二號、五八九年一
號、二號、五九〇年一號、二號、五九一年一
號、二號、五九二年一號、二號、五九三年一
號、二號、五九四年一號、二號、五九五年一
號、二號、五九六年一號、二號、五九七年一
號、二號、五九八年一號、二號、五九九年一
號、二號、六〇〇年一號、二號、六〇一年一
號、二號、六〇二年一號、二號、六〇三年一
號、二號、六〇四年一號、二號、六〇五年一
號、二號、六〇六年一號、二號、六〇七年一
號、二號、六〇八年一號、二號、六〇九年一
號、二號、六一〇年一號、二號、六一一年一
號、二號、六一二年一號、二號、六一三年一
號、二號、六一四年一號、二號、六一五年一
號、二號、六一六年一號、二號、六一七年一
號、二號、六一八年一號、二號、六一九年一
號、二號、六二〇年一號、二號、六二一年一
號、二號、六二二年一號、二號、六二三年一
號、二號、六二四年一號、二號、六二五年一
號、二號、六二六年一號、二號、六二七年一
號、二號、六二八年一號、二號、六二九年一
號、二號、六三〇年一號、二號、六三一年一
號、二號、六三二年一號、二號、六三三年一
號、二號、六三四年一號、二號、六三五年一
號、二號、六三六年一號、二號、六三七年一
號、二號、六三八年一號、二號、六三九年一
號、二號、六四〇年一號、二號、六四一年一
號、二號、六四二年一號、二號、六四三年一
號、二號、六四四年一號、二號、六四五年一
號、二號、六四六年一號、二號、六四七年一
號、二號、六四八年一號、二號、六四九年一
號、二號、六五〇年一號、二號、六五一年一
號、二號、六五二年一號、二號、六五三年一
號、二號、六五四年一號、二號、六五五年一
號、二號、六五六年一號、二號、六五七年一
號、二號、六五八年一號、二號、六五九年一
號、二號、六六〇年一號、二號、六六一年一
號、二號、六六二年一號、二號、六六三年一
號、二號、六六四年一號、二號、六六五年一
號、二號、六六六年一號、二號、六六七年一
號、二號、六六八年一號、二號、六六九年一
號、二號、六七〇年一號、二號、六七一年一
號、二號、六七二年一號、二號、六七三年一
號、二號、六七四年一號、二號、六七五年一
號、二號、六七六年一號、二號、六七七年一
號、二號、六七八年一號、二號、六七九年一
號、二號、六八〇年一號、二號、六八一年一
號、二號、六八二年一號、二號、六八三年一
號、二號、六八四年一號、二號、六八五年一
號、二號、六八六年一號、二號、六八七年一
號、二號、六八八年一號、二號、六八九年一
號、二號、六九〇年一號、二號、六九一年一
號、二號、六九二年一號、二號、六九三年一
號、二號、六九四年一號、二號、六九五年一
號、二號、六九六年一號、二號、六九七年一
號、二號、六九八年一號、二號、六九九年一
號、二號、七〇〇年一號、二號、七〇一年一
號、二號、七〇二年一號、二號、七〇三年一
號、二號、七〇四年一號、二號、七〇五年一
號、二號、七〇六年一號、二號、七〇七年一
號、二號、七〇八年一號、二號、七〇九年一
號、二號、七一〇年一號、二號、七一一年一
號、二號、七一二年一號、二號、七一三年一
號、二號、七一四年一號、二號、七一五年一
號、二號、七一六年一號、二號、七一七年一
號、二號、七一八年一號、二號、七一九年一
號、二號、七二〇年一號、二號、七二一年一
號、二號、七二二年一號、二號、七二三年一
號、二號、七二四年一號、二號、七二五年一
號、二號、七二六年一號、二號、七二七年一
號、二號、七二八年一號、二號、七二九年一
號、二號、七三〇年一號、二號、七三一年一
號、二號、七三二年一號、二號、七三三年一
號、二號、七三四年一號、二號、七三五年一
號、二號、七三六年一號、二號、七三七年一
號、二號、七三八年一號、二號、七三九年一
號、二號、七四〇年一號、二號、七四一年一
號、二號、七四二年一號、二號、七四三年一
號、二號、七四四年一號、二號、七四五年一
號、二號、七四六年一號、二號、七四七年一
號、二號、七四八年一號、二號、七四九年一
號、二號、七五〇年一號、二號、七五一年一
號、二號、七五二年一號、二號、七五三年一
號、二號、七五四年一號、二號、七五五年一
號、二號、七五六年一號、二號、七五七年一
號、二號、七五八年一號、二號、七五九年一
號、二號、七六〇年一號、二號、七六一年一
號、二號、七六二年一號、二號、七六三年一
號、二號、七六四年一號、二號、七六五年一
號、二號、七六六年一號、二號、七六七年一
號、二號、七六八年一號、二號、七六九年一
號、二號、七七〇年一號、二號、七七一年一
號、二號、七七二年一號、二號、七七三年一
號、二號、七七四年一號、二號、七七五年一
號、二號、七七六年一號、二號、七七七年一
號、二號、七七八年一號、二號、七七九年一
號、二號、七八〇年一號、二號、七八一年一
號、二號、七八二年一號、二號、七八三年一
號、二號、七八四年一號、二號、七八五年一
號、二號、七八六年一號、二號、七八七年一
號、二號、七八八年一號、二號、七八九年一
號、二號、七九〇年一號、二號、七九一年一
號、二號、七九二年一號、二號、七九三年一
號、二號、七九四年一號、二號、七九五年一
號、二號、七九六年一號、二號、七九七年一
號、二號、七九八年一號、二號、七九九年一
號、二號、八〇〇年一號、二號、八〇一年一
號、二號、八〇二年一號、二號、八〇三年一
號、二號、八〇四年一號、二號、八〇五年一
號、二號、八〇六年一號、二號、八〇七年一
號、二號、八〇八年一號、二號、八〇九年一
號、二號、八一〇年一號、二號、八一一年一
號、二號、八一二年一號、二號、八一三年一
號、二號、八一四年一號、二號、八一五年一
號、二號、八一六年一號、二號、八一七年一
號、二號、八一八年一號、二號、八一九年一
號、二號、八二〇年一號、二號、八二一年一
號、二號、八二二年一號、二號、八二三年一
號、二號、八二四年一號、二號、八二五年一
號、二號、八二六年一號、二號、八二七年一
號、二號、八二八年一號、二號、八二九年一
號、二號、八三〇年一號、二號、八三一年一
號、二號、八三二年一號、二號、八三三年一
號、二號、八三四年一號、二號、八三五年一
號、二號、八三六年一號、二號、八三七年一
號、二號、八三八年一號、二號、八三九年一
號、二號、八四〇年一號、二號、八四一年一
號、二號、八四二年一號、二號、八四三年一
號、二號、八四四年一號、二號、八四五年一
號、二號、八四六年一號、二號、八四七年一
號、二號、八四八年一號、二號、八四九年一
號、二號、八五〇年一號、二號、八五一年一
號、二號、八五二年一號、二號、八五三年一
號、二號、八五四年一號、二號、八五五年一
號、二號、八五六年一號、二號、八五七年一
號、二號、八五八年一號、二號、八五九年一
號、二號、八六〇年一號、二號、八六一年一
號、二號、八六二年一號、二號、八六三年一
號、二號、八六四年一號、二號、八六五年一
號、二號、八六六年一號、二號、八六七年一
號、二號、八六八年一號、二號、八六九年一
號、二號、八七〇年一號、二號、八七一年一
號、二號、八七二年一號、二號、八七三年一
號、二號、八七四年一號、二號、八七五年一
號、二號、八七六年一號、二號、八七七年一
號、二號、八七八年一號、二號、八七九年一
號、二號、八八〇年一號、二號、八八一年一
號、二號、八八二年一號、二號、八八三年一
號、二號、八八四年一號、二號、八八五年一
號、二號、八八六年一號、二號、八八七年一
號、二號、八八八年一號、二號、八八九年一
號、二號、八九〇年一號、二號、八九一年一
號、二號、八九二年一號、二號、八九三年一
號、二號、八九四年一號、二號、八九五年一
號、二號、八九六年一號、二號、八九七年一
號、二號、八九八年一號、二號、八九九年一
號、二號、九〇〇年一號、二號、九〇一年一
號、二號、九〇二年一號、二號、九〇三年一
號、二號、九〇四年一號、二號、九〇五年一
號、二號、九〇六年一號、二號、九〇七年一
號、二號、九〇八年一號、二號、九〇九年一
號、二號、九一〇年一號、二號、九一一年一
號、二號、九一二年一號、二號、九一三年一
號、二號、九一四年一號、二號、九一五年一
號、二號、九一六年一號、二號、九一七年一
號、二號、九一八年一號、二號、九一九年一
號、二號、九二〇年一號、二號、九二一年一
號、二號、九二二年一號、二號、九二三年一
號、二號、九二四年一號、二號、九二五年一
號、二號、九二六年一號、二號、九二七年一
號、二號、九二八年一號、二號、九二九年一
號、二號、九三〇年一號、二號、九三一年一
號、二號、九三二年一號、二號、九三三年一
號、二號、九三四年一號、二號、九三五年一
號、二號、九三六年一號、二號、九三七年一
號、二號、九三八年一號、二號、九三九年一
號、二號、九四〇年一號、二號、九四一年一
號、二號、九四二年一號、二號、九四三年一
號、二號、九四四年一號、二號、九四五年一
號、二號、九四六年一號、二號、九四七年一
號、二號、九四八年一號、二號、九四九年一
號、二號、九五〇年一號、二號、九五一年一
號、二號、九五二年一號、二號、九五三年一
號、二號、九五四年一號、二號、九五五年一
號、二號、九五六年一號、二號、九五七年一
號、二號、九五八年一號、二號、九五九年一
號、二號、九六〇年一號、二號、九六一年一
號、二號、九六二年一號、二號、九六三年一
號、二號、九六四年一號、二號、九六五年一
號、二號、九六六年一號、二號、九六七年一
號、二號、九六八年一號、二號、九六九年一
號、二號、九七〇年一號、二號、九七一年一
號、二號、九七二年一號、二號、九七三年一
號、二號、九七四年一號、二號、九七五年一
號、二號、九七六年一號、二號、九七七年一
號、二號、九七八年一號、二號、九七九年一
號、二號、九八〇年一號、二號、九八一年一
號、二號、九八二年一號、二號、九八三年一
號、二號、九八四年一號、二號、九八五年一
號、二號、九八六年一號、二號、九八七年一
號、二號、九八八年一號、二號、九八九年一
號、二號、九九〇年一號、二號、九九一年一
號、二號、九九二年一號、二號、九九三年一
號、二號、九九四年一號、二號、九九五年一
號、二號、九九六年一號、二號、九九七年一
號、二號、九九八年一號、二號、九九九年一
號、二號、一〇〇〇年一號、二號、一〇〇一年一
號、二號、一〇〇二年一號、二號、一〇〇三年一
號、二號、一〇〇四年一號、二號、一〇〇五年一
號、二號、一〇〇六年一號、二號、一〇〇七年一
號、二號、一〇〇八年一號、二號、一〇〇九年一
號、二號、一〇一〇年一號、二號、一〇一一年一
號、二號、一〇一二年一號、二號、一〇一三年一
號、二號、一〇一四年一號、二號、一〇一五年一
號、二號、一〇一六年一號、二號、一〇一七年一
號、二號、一〇一八年一號、二號、一〇一九年一
號、二號、一〇二〇年一號、二號、一〇二一年一
號、二號、一〇二二年一號、二號、一〇二三年一
號、二號、一〇二四年一號、二號、一〇二五年一
號、二號、一〇二六年一號、二號、一〇二七年一
號、二號、一〇二八年一號、二號、一〇二九年一
號、二號、一〇三〇年一號、二號、一〇三一年一
號、二號、一〇三二年一號、二號、一〇三三年一
號、二號、一〇三四年一號、二號、一〇三五年一
號、二號、一〇三六年一號、二號、一〇三七年一
號、二號、一〇三八年一號、二號、一〇三九年一
號、二號、一〇四〇年一號、二號、一〇四一年一
號、二號、一〇四二年一號、二號、一〇四三年一
號、二號、一〇四四年一號、二號、一〇四五年一
號、二號、一〇四六年一號、二號、一〇四七年一
號、二號、一〇四八年一號、二號、一〇四九年一
號、二號、一〇五〇年一號、二號、一〇五一年一
號、二號、一〇五二年一號、二號、一〇五三年一
號、二號、一〇五四年一號、二號、一〇五五年一
號、二號、一〇五六年一號、二號、一〇五七年一
號、二號、一〇五八年一號、二號、一〇五九年一
號、二號、一〇六〇年一號、二號、一〇六一年一
號、二號、一〇六二年一號、二號、一〇六三年一
號、二號、一〇六四年一號、二號、一〇六五年一
號、二號、一〇六六年一號、二號、一〇六七年一
號、二號、一〇六八年一號、二號、一〇六九年一
號、二號、一〇七〇年一號、二號、一〇七一年一
號、二號、一〇七二年一號、二號、一〇七三年一
號、二號、一〇七四年一號、二號、一〇七五年一
號、二號、一〇七六年一號、二號、一〇七七年一
號、二號、一〇七八年一號、二號、一〇七九年一
號、二號、一〇八〇年一號、二號、一〇八一年一
號、二號、一〇八二年一號、二號、一〇八三年一
號、二號、一〇八四年一號、二號、一〇八五年一
號、二號、一〇八六年一號、二號、一〇八七年一
號、二號、一〇八八年一號、二號、一〇八九年一
號、二號、一〇九〇年一號、二號、一〇九一年一
號、二號、一〇九二年一號、二號、一〇九三年一
號、二號、一〇九四年一號、二號、一〇九五年一
號、二號、一〇九六年一號、二號、一〇九七年一
號、二號、一〇九八年一號、二號、一〇九九年一
號、二號、一一〇〇年一號、二號、一一〇一年一
號、二號、一一〇二年一號、二號、一一〇三年一
號、二號、一一〇四年一號、二號、一一〇五年一
號、二號、一一〇六年一號、二號、一一〇七年一
號、二號、一一〇八年一號、二號、一一〇九年一
號、二號、一一一〇年一號、二號、一一一一年一
號、二號、一一一二年一號、二號、一一一三年一
號、二號、一一一四年一號、二號、一一一五年一
號、二號、一一一六年一號、二號、一一一七年一
號、二號、一一一八年一號、二號、一一一九年一
號、二號、一一二〇年一號、二號、一一二一年一
號、二號、一一二二年一號、二號、一一二三年一
號、二號、一一二四年一號、二號、一一二五年一
號、二號、一一二六年一號、二號、一一二七年一
號、二號、一一二八年一號、二號、一一二九年一
號、二號、一一三〇年一號、二號、一一三一年一
號、二號、一一三二年一號、二號、一一三三年一
號、二號、一一三四年一號、二號、一一三五年一
號、二號、一一三六年一號、二號、一一三七年一
號、二號、一一三八年一號、二號、一一三九年一
號、二號、一一四〇年一號、二號、一一四一年一
號、二號、一一四二年一號、二號、一一四三年一
號、二號、一一四四年一號、二號、一一四五年一
號、二號、一一四六年一號、二號、一一四七年一
號、二號、一一四八年一號、二號、一一四九年一
號、二號、一一五〇年一號、二號、一一五一年一
號、二號、一一五二年一號、二號、一一五三年一
號、二號、一一五四年一號、二號、一一五五年一
號、二號、一一五六年一號、二號、一一五七年一
號、二號、一一五八年一號、二號、一一五九年一
號、二號、一一六〇年一號、二號、一一六一年一
號、二號、一一六二年一號、二號、一一六三年一
號、二號、一一六四年一號、二號、一一六五年一
號、二號、一一六六年一號、二號、一一六七年一
號、二號、一一六八年一號、二號、一一六九年一
號、二號、一一七〇年一號、二號、一一七一年一
號、二號、一一七二年一號、二號、一一七三年一
號、二號、一一七四年一號、二號、一一七五年一
號、二號、一一七六年一號、二號、一一七七年一
號、二號、一一七八年一號、二號、一一七九年一
號、二號、一一八〇年一號、二號、一一八一年一
號、二號、一一八二年一號、二號、一一八三年一
號、二號、一一八四年一號、二號、一一八五年一
號、二號、一一八六年一號、二號、一一八七年一
號、二號、一一八八年一號、二號、一一八九年一
號、二號、一一九〇年一號、二號、一一九一年一
號、二號、一一九二年一號、二號、一一九三年一
號、二號、一一九四年一號、二號、一一九五年一
號、二號、一一九六年一號、二號、一一九七年一
號、二號、一一九八年一號、二號、一一九九年一
號、二號、一二〇〇年一號、二號、一二〇一年一
號、二號、一二〇二年一號、二號、一二〇三年一
號、二號、一二〇四年一號、二號、一二〇五年一
號、二號、一二〇六年一號、二號、一二〇七年一
號、二號、一二〇八年一號、二號、一二〇九年一
號、二號、一二一〇年一號、二號、一二一一年一
號、二號、一二一二年一號、二號、一二一三年一
號、二號、一二一四年一號、二號、一二一五年一
號、二號、一二一六年一號、二號、一二一七年一
號、二號、一二一八年一號、二號、一二一九年一
號、二號、一二二〇年一號、二號、一二二一年一
號、二號、一二二二年一號、二號、一二二三年一
號、二號、一二二四年一號、二號、一二二五年一
號、二號、一二二六年一號、二號、一二二七年一
號、二號、一二二八年一號、二號、一二二九年一
號、二號、一二三〇年一號、二號、一二三一年一
號、二號、一二三二年一號、二號、一二三三年一
號、二號、一二三四年一號、二號、一二三五年一
號、二號、一二三六年一號、二號、一二三七年一
號、二號、一二三八年一號、二號、一二三九年一
號、二號、一二四〇年一號、二號、一二四一年一
號、二號、一二四二年一號、二號、一二四三年一
號、二號、一二四四年一號、二號、一二四五年一
號、二號、一二四六年一號、二號、一二四七年一
號、二號、一二四八年一號、二號、一二四九年一
號、二號、一二五〇年一號、二號、一二五一年一
號、二號、一二五二年一號、二號、一二五三年一
號、二號、一二五四年一號、二號、一二五五年一
號、二號、一二五六年一號、二號、一二五七年一
號、二號、一二五八年一號、二號、一二五九年一
號、二號、一二六〇年一號、二號、一二六一年一
號、二號、一二六二年一號、二號、一二六三年一
號、二號、一二六四年一號、二號、一二六五年一
號、二號、一二六六年一號、二號、一二六七年一
號、二號、一二六八年一號、二號、一二六九年一
號、二號、一二七〇年一號、二號、一二七一年一
號、二號、一二七二年一號、二號、一二七三年一
號、二號、一二七四年一號、二號、一二七五年一
號、二號、一二七六年一號、二號、一二七七年一
號、二號、一二七八年一號、二號、一二七九年一
號、二號、一二八〇年一號、二號、一二八一年一
號、二號、一二八二年一號、二號、一二八三年一
號、二號、一二八四年一號、二號、一二八五年一
號、二號、一二八六年一號、二號、一二八七年一
號、二號、一二八八年一號、二號、一二八九年一
號、二號、一二九〇年一號、二號、一二九一年一
號、二號、一二九二年一號、二號、一二九三年一
號、二號、一二九四年一號、二號、一二九五年一
號、二號、一二九六年一號、二號、一二九七年一
號、二號、一二九八年一號、二號、一二九九年一
號、二號、一三〇〇年一號、二號、一三〇一年一
號、二號、一三〇二年一號、二號、一三〇三年一
號、二號、一三〇四年一號、二號、一三〇五年一
號、二號、一三〇六年一號、二號、一三〇七年一
號、二號、一三〇八年一號、二號、一三〇九年一
號、二號、一三一〇年一號、二號、一三一一年一
號、二號、一三一二年一號、二號、一三一三年一
號、二號、一三一四年一號、二號、一三一五年一
號、二號、一三一六年一號、二號、一三一七年一
號、二號、一三一八年一號、二號、一三一九年一
號、二號、一三二〇年一號、二號、一三二一年一
號、二號、一三二二年一號、二號、一三二三年一
號、二號、一三二四年一號、二號、一三二五年一
號、二號、一三二六年一號、二號、一三二七年一
號、二號、一三二八年一號、二號、一三二九年一
號、二號、一三三〇年一號、二號、一三三一年一
號、二號、一三三二年一號、二號、一三三三年一
號、二號、一三三四年一號、二號、一三三五年一
號、二號、一三三六年一號、二號、一三三七年一
號、二號、一三三八年一號、二號、一三三九年一
號、二號、一三四〇年一號、二號、一三四一年一
號、二號、一三四二年一號、二號、一三四三年一
號、二號、一三四四年一號、二號、一三四五年一
號、二號、一三四六年一號、二號、一三四七年一
號、二號、一三四八年一號、二號、一三四九年一
號、二號、一三五〇年一號、二號、一三五一年一
號、二號、一三五二年一號、二號、一三五三年一
號、二號、一三五四年一號、二號、一三五五年一
號、二號、一三五六年一號、二號、一三五七年一
號、二號、一三五八年一號、二號、一三五九年一
號、二號、一三六〇年一號、二號、一三六一年一
號、二號、一三六二年一號、二號、一三六三年一
號、二號、一三六四年一號、二號、一三六五年一
號、二號、一三六六年一號、二號、一三六七年一
號、二號、一三六八年一號、二號、一三六九年一
號、二號、一三七〇年一號、二號、一三七一年一
號、二號、一三七二年一號、二號、一三七三年一
號、二號、一三七四年一號、二號、一三七五年一
號、二號、一三七六年一號、二號、一三七七年一
號、二號、一三七八年一號、二號、一三七九年一
號、二號、一三八〇年一號、二號、一三八一年一
號、二號、一三八二年一號、二號、一三八三年一
號、二號、一三八四年一

第七編　繼越料ニ關スル規定
第一章　統計ノ執行　繼越料ノ統計　第百六十二條　統計期間中ノ閉鎖ノ作成及表示　第百六十三條　閉鎖ノ行嚢數及重量ノ檢査　第百六十四條　閉鎖ノ表ノ作成　繼越ニ依リ交換スル閉鎖ノ目錄　第百六十五條　軍艦ト交換スル閉鎖　第百六十六條　繼越狀　第百六十七條　特殊業務　第二章　計算、清算　第百六十八條　繼越料ノ計算書　第百六十九條　年次總差引計算書、總理局ノ開與　第百七十條　繼越料ノ清算　第八編　諸種ノ規定　單一章　第百七十一條　返信切手券　第百七十二條　本人渡　第百七十三條　軍艦ト交換スル閉鎖　第百七十四條　課金別納狀、稅關ノ費用等ノ差引計算　第百七十五條　公衆用式紙　第百七十六條　書類保存期間　第百七十七條　電信名宛　第百七十八條　總理局　第九編　總則　單一章　第百七十九條　大會議及小會議　第百八十條　通報、條規修正ノ請求　第百八十一條　發行　第百八十二條　年報　第百八十三條　總理局ノ公用語　第百八十四條　返信切手券、本人渡　第百八十五條　計算書ノ作成　第百八十六條　總差引計算表　第百八十七條　支拂　第百八十八條　總理局ニ宛ツベキ通報　第百八十九條　統計　第百九十條　總理局ノ經費　第百九十一條　最終規定

第百七條　但裝及名宛

郵政廳ハ公衆ニ對シ左ノ事項ヲ勸奬スルコトヲ要ス

(イ) 名宛ハ「コアテン」文字ニテ長側ニ沿ヒ業務上ノ記載及票符ノ爲必要ナル條白ヲ存シ從ツ樣ニナス記ムルコト

(ロ) 名宛ハ搜索スルコトナク郵便物ヲ送達シ且之ヲ名宛人ニ交付シ得ル樣正確且完全ニナス旨指示スルコト

(ハ) 郵便切手又ハ料金前納ノ印影ハ表記面ノ上部右隅ニ之ヲ附スルコト

(ニ) 差出人ノ氏名及住所ハ裏面ニ又ハ名宛ヲ不明瞭ナラシメズ又業務上ノ記載又ハ票符ノ貼附ヲ妨ゲザル樣表面左側ニ之ヲ指示スルコト

(ホ) 各種郵便物ニ付長サ十センチメートル、幅七センチメートルヲ下ラザル寸尺ノ封皮ヲ使用スルコト

(ヘ) 郵便物ハ之ヲ堅固ニ包裝スルコト、遠隔セル國ニ宛テダルモノハ特ニ堅固ニ包裝スルコト

(ト) 低料ニテ發送スル郵便物ニ關シテハ「Papiers d' affaires」、「Imprimés」、「Echantillon」、「Petit paquet」等ノ如キ記載ニ依リ其ノ屬スル種類ヲ指示スルコト

二　各種郵便物ニシテ其ノ名宛面ノ全部又ハ一部ガ數字ノ區劃ニ分割セラレタルモノハ之ヲ許サズ

三　郵便切手ニ非ザル切手類、慈善貼票其ノ他ノ貼票ニシテ郵便切手ト混同シ易キモノハ表記面ニ之ヲ貼附スルコトヲ得ズ料金前納ノ印影ト混同セラルルコトアルベキ印影ニ付亦同ジ

四　郵便料免除ニテ發送スル郵便業務上ノ通常郵便物ハ表面ニ「Service des postes」ナル記事又ハ類似ノ記載ヲ有スルコトヲ要ス

第百八條　留置郵便物

留置郵便物ノ名宛ニハ名宛人ノ氏名ヲ指示スルコトヲ要ス頭文字、數字、名ノミ、假リ名又ハ何等ノ約束記號ノ使用ヲ許サズ

第百九條　窓アル封皮ニ依ル郵便物

窓アル封皮ニ依ル郵便物ハ左ノ二ニテ之ヲ造ス

(イ) 窓ハ最長ノ寸尺ニ竝行シ名宛人ノ名宛カ同一ノ方向ニ現ハレ且附印ノ押捺ヲ妨ゲザル樣配置セラルルコトヲ要ス

(ロ) 窓ノ透明部ハ燈火ニ依ル名宛ヲ完全ニ讀ミ得ルモノナルコトヲ要シ且文字ノ記入ヲ妨ゲザルコトヲ要ス窓アル封皮ニシテ其ノ透明ノ部分ガ燈火ヲ反射スルモノハ之ヲ許サズ

(ハ) 名宛人ノ氏名及居所ノミガ窓ニ現ハルルコトヲ要ス封皮ノ包有品ハ移動ノ爲名宛ノ全部又ハ一部ガ隱蔽セラレザル樣之ヲ折疊ムコトヲ要ス

(ニ) 名宛ハ棒メテ讀ミ易キ樣「インキ」又ハ「タイプライター」ニテ之ヲ指示スルコトヲ要ス名宛ヲ鉛筆又ハ暈寫用鉛筆ニテ記載シタル郵便物ハ之ヲ許サズ

二　全部透明ナル封皮又ハ開キタル窓アル封皮ニ依ル郵便物ハ之ヲ許サズ

第百十條　稅關檢査

稅關檢査ニ付スベキ郵便物ニハ表面ニ附ク一葉雛形ニ適合スル絲色ノ票符ヲ貼附スルコトヲ要ス小形包裝物ニ關シテハ該票符ノ貼附ハ總テノ場合ニ於テ之ヲ必要トセズ

第百十一條　返信郵便物

返信郵便物ニ付規定スル條件ヲ具備セザル郵便業書ハ第百十四條　往復郵便業書ノ部ニ於テ第一ニ揭ゲタル「Carte postale avec réponse payée」ヲ以テ之ヲ取扱フ

二　返信部ノ名宛ハ郵便物ノ內部ニ存在スルコトヲ要ス

三　返信部ノ名宛ハ其ノ氏名及居所ヲ返信部ノ表面ニ指示スルコトヲ得

四　差出人ハ其ノ返信部ノ裏面ニ名宛人ニ於テ記入スベキ間合事項ヲ印刷スルコトヲ得

五　業書發行國ノ郵便切手ニ依ル返信部ノ料金前納ハ往復郵便業書ノ兩部ガ接續ノ儘差出國ヨリ到著シ且返信部ガ郵便ニ依リ到著シタル國ヨリ該差出國ニ宛テ差立テラルルトキニ限リ效力ヲ有ス

此ノ種ノ郵便物ニ付規定スル條件ヲ具備セザル郵便業書ハ普通郵便物ニシテ之ヲ取扱フ

第百十四條　往復郵便業書

一　往復郵便業書ハ表面ニ佛蘭西語ニテ第一部ニハ「Carte postale avec réponse payée」ヲ、第二部ニハ「Carte postale-réponse」ヲ題字トシテ表示スルコトヲ要ス該兩部ハ又各自通常郵便業書ニ付定ムル他ノ條件ヲ具備スル外部ニ確ト結束シ又ハ容易ニ分離シ得ル樣ニ之ヲ折合スベク何等ノ方法ヲ問ハズ之ヲ封緘スルコトヲ得ズ

二　返信部ノ名宛ハ郵便物ノ內部ニ存在スルコトヲ要ス

三　差出人ハ其ノ氏名及居所ヲ返信部ノ表面ニ指示スルコトヲ得

四　差出人ハ又返信部ノ裏面ニ名宛人ニ於テ記入スベキ間合事項ヲ印刷スルコトヲ得

五　業書發行國ノ郵便切手ニ依ル返信部ノ料金前納ハ往復郵便業書ノ兩部ガ接續ノ儘差出國ヨリ到著シ且返信部ガ郵便ニ依リ到著シタル國ヨリ該差出國ニ宛テ差立テラルルトキニ限リ效力ヲ有ス

第百十五條　返信郵便物ノ交換

一　返信郵便物ノ交換ハ左ノ二ニ依ル

(イ) 名宛ニ依リ名宛地ニ之ヲ棄送ス

(ロ) 差出國郵政廳ハ其ノ差立ツル閉鎖ノ經由スベキ線路ヲ指定スル權能ヲ有シ但シ該線路ノ使用ガ媒介郵政廳ニ對シ特別ノ費用ヲ負擔セシメザル場合ニ限リ同一ノ留保ノ下ニ選送ニ關與スル郵政廳ハ開鎖ニテ同廳ニ選送セラルル郵便物百ニ差出人ノ記入シタル經由線路ヲ考慮スルコトヲ要ス

(ハ) 或線路ニ屬スル特別ノ費用トシテ追加料金ヲ徵收スル權能ヲ行使スル郵政廳ハ料金ノ未納又ハ不足ノ通常郵便物ヲ該線路ニ依リ選送セザル自由ヲ有ス

第百四條　遠隔セル國

一　遠達ノ陸路又ハ海路ニ依リ相互間ノ選送期間ガ十日ヲ超ユル國及相互間ノ選送便ノ平均回數ガ一月二回未滿ノ國ハ之ヲ遠隔セル國ト看做ス

二　而積極メテ大ナルカ又ハ其ノ內國交通線路發達セザル國ハ該事情ノ爲重大ナル影響ヲ受クル間題ニ付テハ條約及約定ニ規定スル期間ニ關シ之ヲ遠隔セル國ト看做ス

三　總理局ハ第一項及第二項ニ定ムル國ノ表ヲ作成ス

第百五條　相當額ノ決定

一　郵政廳ハ瑞西國郵政廳ト協議ヲ遂ゲ條約及約定ニ規定スル諸料金ノ相當額ヲ定ムル瑞西國郵政廳ハ總理局ノ媒介ニ依リ之ヲ通知ス相當額ノ變更ノ場合ニモ同一ノ手續ニ從フ

相當額又ハ相當額ノ變更ハ月ノ第一日ニシテ總理局ノ通知ヨリ早クトモ十五日ノ後ニ非ザレバ之ヲ實施スルコトヲ得ズ

總理局ハ各國ニ付第一節ニ記載スル諸料金ノ相當額ヲ指示シ且場合ニ依リ條約ノ最終議定書第二條ニ依リ實施セル料金ノ引上又ハ引下ノ百分率ヲ通報スル表ヲ作成ス

二　補充ヨリ生ズル金額ノ端數ハ之ヲ徵收ヲ爲スト郵政廳ニ於テ之ヲ全數ト爲スコトヲ得之ガ爲加算スベキ額ハ五「サンチーム」ヲ超ユル端數ヲ切手ニ混同シ易キ各種ノ切手ニ付テハ兩ニ限リ之ヲ許ス

五　此ノ種ノ郵便物ニ付規定スル條件ヲ具備セザル郵便業書ハ普通郵便物ニシテ之ヲ取扱フ

第百十四條　往復郵便業書

一　往復郵便業書ハ表面ニ佛蘭西語ニテ第一部ニハ「Carte postale avec réponse payée」ヲ、第二部ニハ「Carte postale-réponse」ヲ題字トシテ表示スルコトヲ要ス該兩部ハ又各自通常郵便業書ニ付定ムル他ノ條件ヲ具備スル外部ニ確ト結束シ又ハ容易ニ分離シ得ル樣ニ之ヲ折合スベク何等ノ方法ヲ問ハズ之ヲ封緘スルコトヲ得ズ

二　返信部ノ名宛ハ郵便物ノ內部ニ存在スルコトヲ要ス

三　差出人ハ其ノ氏名及居所ヲ返信部ノ表面ニ指示スルコトヲ得

四　差出人ハ又返信部ノ裏面ニ名宛人ニ於テ記入スベキ間合事項ヲ印刷スルコトヲ得

五　業書發行國ノ郵便切手ニ依ル返信部ノ料金前納ハ往復郵便業書ノ兩部ガ接續ノ儘差出國ヨリ到著シ且返信部ガ郵便ニ依リ到著シタル國ヨリ該差出國ニ宛テ差立テラルルトキニ限リ效力ヲ有ス

第百十五條　返信郵便物ノ交換

一　返信郵便物ノ交換ハ左ノ二ニ依ル

(イ) 名宛ニ依リ名宛地ニ之ヲ棄送ス

(ロ) 差出國郵政廳ハ其ノ差立ツル閉鎖ノ經由スベキ線路ヲ指定スル權能ヲ有シ但シ該線路ノ使用ガ媒介郵政廳ニ對シ特別ノ費用ヲ負擔セシメザル場合ニ限リ同一ノ留保ノ下ニ選送ニ關與スル郵政廳ハ開鎖ニテ同廳ニ選送セラルル郵便物百ニ差出人ノ記入シタル經由線路ヲ考慮スルコトヲ要ス

(ハ) 或線路ニ屬スル特別ノ費用トシテ追加料金ヲ徵收スル權能ヲ行使スル郵政廳ハ料金ノ未納又ハ不足ノ通常郵便物ヲ該線路ニ依リ選送セザル自由ヲ有ス

第百四條　遠隔セル國

一　遠達ノ陸路又ハ海路ニ依リ相互間ノ選送期間ガ十日ヲ超ユル國及相互間ノ選送便ノ平均回數ガ一月二回未滿ノ國ハ之ヲ遠隔セル國ト看做ス

二　而積極メテ大ナルカ又ハ其ノ內國交通線路發達セザル國ハ該事情ノ爲重大ナル影響ヲ受クル間題ニ付テハ條約及約定ニ規定スル期間ニ關シ之ヲ遠隔セル國ト看做ス

三　總理局ハ第一項及第二項ニ定ムル國ノ表ヲ作成ス

第百五條　相當額ノ決定

一　郵政廳ハ瑞西國郵政廳ト協議ヲ遂ゲ條約及約定ニ規定スル諸料金ノ相當額ヲ定ムル瑞西國郵政廳ハ總理局ノ媒介ニ依リ之ヲ通知ス相當額ノ變更ノ場合ニモ同一ノ手續ニ從フ

相當額又ハ相當額ノ變更ハ月ノ第一日ニシテ總理局ノ通知ヨリ早クトモ十五日ノ後ニ非ザレバ之ヲ實施スルコトヲ得ズ

總理局ハ各國ニ付第一節ニ記載スル諸料金ノ相當額ヲ指示シ且場合ニ依リ條約ノ最終議定書第二條ニ依リ實施セル料金ノ引上又ハ引下ノ百分率ヲ通報スル表ヲ作成ス

二　補充ヨリ生ズル金額ノ端數ハ之ヲ徵收ヲ爲スト郵政廳ニ於テ之ヲ全數ト爲スコトヲ得之ガ爲加算スベキ額ハ五「サンチーム」ヲ超ユル端數ヲ切手ニ混同シ易キ各種ノ切手ニ付テハ兩ニ限リ之ヲ許ス

五　此ノ種ノ郵便物ニ付規定スル條件ヲ具備セザル郵便業書ハ普通郵便物ニシテ之ヲ取扱フ

第百十四條　往復郵便業書

一　往復郵便業書ハ表面ニ佛蘭西語ニテ第一部ニハ「Carte postale avec réponse payée」ヲ、第二部ニハ「Carte postale-réponse」ヲ題字トシテ表示スルコトヲ要ス該兩部ハ又各自通常郵便業書ニ付定ムル他ノ條件ヲ具備スル外部ニ確ト結束シ又ハ容易ニ分離シ得ル樣ニ之ヲ折合スベク何等ノ方法ヲ問ハズ之ヲ封緘スルコトヲ得ズ

二　返信部ノ名宛ハ郵便物ノ內部ニ存在スルコトヲ要ス

三　差出人ハ其ノ氏名及居所ヲ返信部ノ表面ニ指示スルコトヲ得

四　差出人ハ又返信部ノ裏面ニ名宛人ニ於テ記入スベキ間合事項ヲ印刷スルコトヲ得

五　業書發行國ノ郵便切手ニ依ル返信部ノ料金前納ハ往復郵便業書ノ兩部ガ接續ノ儘差出國ヨリ到著シ且返信部ガ郵便ニ依リ到著シタル國ヨリ該差出國ニ宛テ差立テラルルトキニ限リ效力ヲ有ス

第百十五條　返信郵便物ノ交換

一　返信郵便物ノ交換ハ左ノ二ニ依ル

(イ) 名宛ニ依リ名宛地ニ之ヲ棄送ス

(ロ) 差出國郵政廳ハ其ノ差立ツル閉鎖ノ經由スベキ線路ヲ指定スル權能ヲ有シ但シ該線路ノ使用ガ媒介郵政廳ニ對シ特別ノ費用ヲ負擔セシメザル場合ニ限リ同一ノ留保ノ下ニ選送ニ關與スル郵政廳ハ開鎖ニテ同廳ニ選送セラルル郵便物百ニ差出人ノ記入シタル經由線路ヲ考慮スルコトヲ要ス

(ハ) 或線路ニ屬スル特別ノ費用トシテ追加料金ヲ徵收スル權能ヲ行使スル郵政廳ハ料金ノ未納又ハ不足ノ通常郵便物ヲ該線路ニ依リ選送セザル自由ヲ有ス

第百四條　遠隔セル國

一　遠達ノ陸路又ハ海路ニ依リ相互間ノ選送期間ガ十日ヲ超ユル國及相互間ノ選送便ノ平均回數ガ一月二回未滿ノ國ハ之ヲ遠隔セル國ト看做ス

二　而積極メテ大ナルカ又ハ其ノ內國交通線路發達セザル國ハ該事情ノ爲重大ナル影響ヲ受クル間題ニ付テハ條約及約定ニ規定スル期間ニ關シ之ヲ遠隔セル國ト看做ス

三　總理局ハ第一項及第二項ニ定ムル國ノ表ヲ作成ス

第百五條　相當額ノ決定

一　郵政廳ハ瑞西國郵政廳ト協議ヲ遂ゲ條約及約定ニ規定スル諸料金ノ相當額ヲ定ムル瑞西國郵政廳ハ總理局ノ媒介ニ依リ之ヲ通知ス相當額ノ變更ノ場合ニモ同一ノ手續ニ從フ

相當額又ハ相當額ノ變更ハ月ノ第一日ニシテ總理局ノ通知ヨリ早クトモ十五日ノ後ニ非ザレバ之ヲ實施スルコトヲ得ズ

總理局ハ各國ニ付第一節ニ記載スル諸料金ノ相當額ヲ指示シ且場合ニ依リ條約ノ最終議定書第二條ニ依リ實施セル料金ノ引上又ハ引下ノ百分率ヲ通報スル表ヲ作成ス

二　補充ヨリ生ズル金額ノ端數ハ之ヲ徵收ヲ爲スト郵政廳ニ於テ之ヲ全數ト爲スコトヲ得之ガ爲加算スベキ額ハ五「サンチーム」ヲ超

第百九十一條　最終規定

第百九十二條　施行規則ノ實施及存續期間

附錄

C第一號乃至第三十一號式紙

萬國郵便條約ノ施行規則

閉鎖ノ行嚢數及重量ノ檢査

閉鎖ノ表ノ作成

繼越ニ依リ交換スル閉鎖ノ目錄

軍艦ト交換スル閉鎖

繼越狀

特殊業務

計算、清算

繼越料ノ計算書

年次總差引計算書、總理局ノ開與

繼越料ノ清算

返信切手券

本人渡

軍艦ト交換スル閉鎖

課金別納狀、稅關ノ費用等ノ差引計算

公衆用式紙

書類保存期間

電信名宛

總理局

第一編　總則

單一章

第百一條　閉鎖繼越及閉鎖繼越

郵政廳ハ交通ノ需要及業務ノ便宜ニ從ヒ其ノ一廳又ハ數廳ノ媒介ニ依リ閉嚢及開嚢ノ通常郵便物ヲ相互ニ差立ツルコトヲ得但シ通常郵便ニ關シ直接ノ媒介郵政廳ヘノ選送ハ閉嚢ノ作成ヲ要ス

第百二條　閉嚢交換

一　閉嚢通常郵便物ノ交換ハ關係郵政廳同ニ協議ヲ遂ゲ之ヲ定ム

媒介郵政廳ノ一ヨリ開嚢通常郵便物ノ箇數カ其ノ業務運行ヲ妨ゲル事實ニ基キ請求アルトキハ何時ニテモ閉嚢ヲ作成スル義務アルモノトス

二　閉嚢カ郵政廳ノ媒介ニ依リ差立テラルベキトキハ適當ノ時期ニ該郵政廳ニ發告スルコトヲ要ス

三　二郵政廳ノ間ニ他ノ一國又ハ數國ノ媒介ニ依リ施設スル閉嚢交換義務ニ變更アル場合ニハ其ノ變更ヲ生ゼシメタル郵政廳ハ此等諸國ノ郵政廳ニ之ヲ通知ス

第百三條　通常郵便物ノ送達

一　各郵政廳ハ他ノ郵政廳ヨリ交付セラレタル閉嚢及開嚢ノ通常郵便物ヲ自廳ノ郵便物ニ付使用スル最速達ノ線路ニ依リ送達スル義務アルモノトス

一便カ數箇ノ行嚢ヨリ成ルトキハ該行嚢ハ成ルベク之ヲ取纏メ且同一ノ遞送便ニ依リ差立ツルコトヲ要ス

誤送ノ各種郵便物ハ遲滯ナク最速達ノ線路ニ依リ名宛地ニ之ヲ棄送ス

二　差出國郵政廳ハ其ノ差立ツル閉鎖ノ經由スベキ線路ヲ指定スル權能ヲ有シ但シ該線路ノ使用ガ媒介郵政廳ニ對シ特別ノ費用ヲ負擔セシメザル場合ニ限リ同一ノ留保ノ下ニ選送ニ關與スル郵政廳ハ開鎖ニテ同廳ニ選送セラルル郵便物百ニ差出人ノ記入シタル經由線路ヲ考慮スルコトヲ要ス

三　或線路ニ屬スル特別ノ費用トシテ追加料金ヲ徵收スル權能ヲ行使スル郵政廳ハ料金ノ未納又ハ不足ノ通常郵便物ヲ該線路ニ依リ選送セザル自由ヲ有ス

第百四條　遠隔セル國

一　遠達ノ陸路又ハ海路ニ依リ相互間ノ選送期間ガ十日ヲ超ユル國及相互間ノ選送便ノ平均回數ガ一月二回未滿ノ國ハ之ヲ遠隔セル國ト看做ス

二　而積極メテ大ナルカ又ハ其ノ內國交通線路發達セザル國ハ該事情ノ爲重大ナル影響ヲ受クル間題ニ付テハ條約及約定ニ規定スル期間ニ關シ之ヲ遠隔セル國ト看做ス

三　總理局ハ第一項及第二項ニ定ムル國ノ表ヲ作成ス

第百五條　相當額ノ決定

一　郵政廳ハ瑞西國郵政廳ト協議ヲ遂ゲ條約及約定ニ規定スル諸料金ノ相當額ヲ定ムル瑞西國郵政廳ハ總理局ノ媒介ニ依リ之ヲ通知ス相當額ノ變更ノ場合ニモ同一ノ手續ニ從フ

相當額又ハ相當額ノ變更ハ月ノ第一日ニシテ總理局ノ通知ヨリ早クトモ十五日ノ後ニ非ザレバ之ヲ實施スルコトヲ得ズ

第百四條　遠隔セル國

一　遠達ノ陸路又ハ海路ニ依リ相互間ノ選送期間ガ十日ヲ超ユル國及相互間ノ選送便ノ平均回數ガ一月二回未滿ノ國ハ之ヲ遠隔セル國ト看做ス

二　而積極メテ大ナルカ又ハ其ノ內國交通線路發達セザル國ハ該事情ノ爲重大ナル影響ヲ受クル間題ニ付テハ條約及約定ニ規定スル期間ニ關シ之ヲ遠隔セル國ト看做ス

三　總理局ハ第一項及第二項ニ定ムル國ノ表ヲ作成ス

第百五條　相當額ノ決定

一　郵政廳ハ瑞西國郵政廳ト協議ヲ遂ゲ條約及約定ニ規定スル諸料金ノ相當額ヲ定ムル瑞西國郵政廳ハ總理局ノ媒介ニ依リ之ヲ通知ス相當額ノ變更ノ場合ニモ同一ノ手續ニ從フ

相當額又ハ相當額ノ變更ハ月ノ第一日ニシテ總理局ノ通知ヨリ早クトモ十五日ノ後ニ非ザレバ之ヲ實施スルコトヲ得ズ

第百三條　通常郵便業書

一　郵便業書ハ板紙ニテ又ハ取扱ニ妨ナキ樣十分耐力アル紙ニテ之ヲ製造スルコトヲ要ス

第百十三條　通常郵便業書

一　郵便業書ハ板紙ニテ又ハ取扱ニ妨ナキ樣十分耐力アル紙ニテ之ヲ製造スルコトヲ要ス

第百九條　窓アル封皮ニ依ル郵便物

窓アル封皮ニ依ル郵便物ハ左ノ二ニテ之ヲ造ス

(イ) 窓ハ最長ノ寸尺ニ竝行シ名宛人ノ名宛カ同一ノ方向ニ現ハレ且附印ノ押捺ヲ妨ゲザル樣配置セラルルコトヲ要ス

(ロ) 窓ノ透明部ハ燈火ニ依ル名宛ヲ完全ニ讀ミ得ルモノナルコトヲ要シ且文字ノ記入ヲ妨ゲザルコトヲ要ス窓アル封皮ニシテ其ノ透明ノ部分ガ燈火ヲ反射スルモノハ之ヲ許サズ

(ハ) 名宛人ノ氏名及居所ノミガ窓ニ現ハルルコトヲ要ス封皮ノ包有品ハ移動ノ爲名宛ノ全部又ハ一部ガ隱蔽セラレザル樣之ヲ折疊ムコトヲ要ス

(ニ) 名宛ハ棒メテ讀ミ易キ樣「インキ」又ハ「タイプライター」ニテ之ヲ指示スルコトヲ要ス名宛ヲ鉛筆又ハ暈寫用鉛筆ニテ記載シタル郵便物ハ之ヲ許サズ

二　全部透明ナル封皮又ハ開キタル窓アル封皮ニ依ル郵便物ハ之ヲ許サズ

第百十條　稅關檢査

稅關檢査ニ付スベキ郵便物ニハ表面ニ附ク一葉雛形ニ適合スル絲色ノ票符ヲ貼附スルコトヲ要ス小形包裝物ニ關シテハ該票符ノ貼附ハ總テノ場合ニ於テ之ヲ必要トセズ

第百十一條　返信郵便物

返信郵便物ニ付規定スル條件ヲ具備セザル郵便業書ハ普通郵便物ニシテ之ヲ取扱フ

二　返信部ノ名宛ハ郵便物ノ內部ニ存在スルコトヲ要ス

三　差出人ハ其ノ氏名及居所ヲ返信部ノ表面ニ指示スルコトヲ得

四　差出人ハ又返信部ノ裏面ニ名宛人ニ於テ記入スベキ間合事項ヲ印刷スルコトヲ得

五　業書發行國ノ郵便切手ニ依ル返信部ノ料金前納ハ往復郵便業書ノ兩部ガ接續ノ儘差出國ヨリ到著シ且返信部ガ郵便ニ依リ到著シタル國ヨリ該差出國ニ宛テ差立テラルルトキニ限リ效力ヲ有ス

第百十五條　返信郵便物ノ交換

一　返信郵便物ノ交換ハ左ノ二ニ依ル

(イ) 名宛ニ依リ名宛地ニ之ヲ棄送ス

(ロ) 差出國郵政廳ハ其ノ差立ツル閉鎖ノ經由スベキ線路ヲ指定スル權能ヲ有シ但シ該線路ノ使用ガ媒介郵政廳ニ對シ特別ノ費用ヲ負擔セシメザル場合ニ限リ同一ノ留保ノ下ニ選送ニ關與スル郵政廳ハ開鎖ニテ同廳ニ選送セラルル郵便物百ニ差出人ノ記入シタル經由線路ヲ考慮スルコトヲ要ス

(ハ) 或線路ニ屬スル特別ノ費用トシテ追加料金ヲ徵收スル權能ヲ行使スル郵政廳ハ料金ノ未納又ハ不足ノ通常郵便物ヲ該線路ニ依リ選送セザル自由ヲ有ス

第百四條　遠隔セル國

一　遠達ノ陸路又ハ海路ニ依リ相互間ノ選送期間ガ十日ヲ超ユル國及相互間ノ選送便ノ平均回數ガ一月二回未滿ノ國ハ之ヲ遠隔セル國ト看做ス

二　而積極メテ大ナルカ又ハ其ノ內國交通線路發達セザル國ハ該事情ノ爲重大ナル影響ヲ受クル間題ニ付テハ條約及約定ニ規定スル期間ニ關シ之ヲ遠隔セル國ト看做ス

三　總理局ハ第一項及第二項ニ定ムル國ノ表ヲ作成ス

第百五條　相當額ノ決定

一　郵政廳ハ瑞西國郵政廳ト協議ヲ遂ゲ條約及約定ニ規定スル諸料金ノ相當額ヲ定ムル瑞西國郵政廳ハ總理局ノ媒介ニ依リ之ヲ通知ス相當額ノ變更ノ場合ニモ同一ノ手續ニ從フ

相當額又ハ相當額ノ變更ハ月ノ第一日ニシテ總理局ノ通知ヨリ早クトモ十五日ノ後ニ非ザレバ之ヲ實施スルコトヲ得ズ

第百三條　通常郵便業書

一　郵便業書ハ板紙ニテ又ハ取扱ニ妨ナキ樣十分耐力アル紙ニテ之ヲ製造スルコトヲ要ス

第百十三條　通常郵便業書

一　郵便業書ハ板紙ニテ又ハ取扱ニ妨ナキ樣十分耐力アル紙ニテ之ヲ製造スルコトヲ要ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第百十七條　印刷物類似ノ物品
準項又ハ「タイプライター」ニテ書寫シタル原紙ノコト「ポリグラフィー」、「グロモグラフィー」等ノ機械的方法ニ依リ複寫物ハ差出郵政廳ノ内國規則ニ規定スル條件ニ於テ且同一ノ複寫物ヲ包有スル郵便物少クトモ二十箇ヲ差出ス場合ニハ之ヲ印刷物ノ該複寫物ニ用シタル消印濟郵便切手ヲ有スルコトヲ得

第百十八條　印刷物、記載シ得ル事項

一　印刷物タル總テノ郵便物ノ外部及内部ニ左ノ事項ヲ許ス

(イ)　差出人及名宛人ノ氏名、身分、職業、商號及居所、差出人ノ發送日附、署名、電話番號、電報略號名宛、電信暗號書名、郵便振替口座及銀行口座、裂造標、商標、逐次番號、價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル總テノ他ノ記載。重量、大小、寸尺及供給シ得ル數量ニ關スル指示並ニ商品ノ生產地及性質ヲ明示スル爲必要ナル指示ハ手書又ハ機械的方法ニテ見本郵便物ノ内部又ハ外部ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十一條　見本、郵便物ノ包裝

一　商品見本ハ開閉シ得ル袋、箱又ハ封皮ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス

二　脂肪體、染料又ハ非染料ノ乾燥粉末、生キタル蜜蜂、水蛭及蠶種ハ左ノ方法ニ依リ包裝セラルルトキハ商品見本トシテ之ヲ送送スルコトヲ許ス

(イ)　玻璃器其ノ他脆弱ナル物質ハ、液體、油、及液化シ易キ物ハ密閉シ得ル袋、箱又ハ封皮ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス

第百二十二條　見本ノ送送

一　見本ハ差出人ノ名宛人ノ氏名、身分、職業、商號及居所、差出人ノ發送日附、署名、電話番號、電報略號名宛、電信暗號書名、郵便振替口座及銀行口座、裂造標、商標、逐次番號、價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル總テノ他ノ記載ノ外、見本ノ性質ヲ明示スル爲必要ナル指示ヲ附スルコトヲ得

二　見本ハ左ノ條件ヲ具備スルトキハ郵便ノ料金率ニテ之ヲ送送ス

(イ)　船舶ノ發著ニ關スル通知書ニハ發著ノ日時竝ニ船舶名及發著港地名

(ロ)　旅行通知書ニハ旅行者ノ氏名、通過ノ豫定地名及日時竝ニ宿泊地

(ハ)　書店發賣刊行物、書籍、新聞紙、刻版物及樂譜ニ關スル注文書及獎勵申込書ニハ注文又ハ申込ノ刊行物及其ノ部數、該刊行物ノ價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル記載、支拂方法、版、著者及發行者ノ氏名、目錄番號竝ニ「broché」、「cartonné」又ハ「relié」ナル語

(ニ)　勸業書、印刷シタル名刺竝ニ「クリスマス」及新年ノ「カード」ニハ五語ヲ超エザル讃辭又ハ五字ヲ超エザル約束的略字ヲ以テ發表ニ關スル通知ヲ附スルコトヲ得

(ホ)　印刷ノ試刷ニハ校正、方式及印刷ニ關スル變更及追加ヲ示ス爲必要ナル通信ヲ附スルコトヲ得

(ヘ)　業務用書類ハ其ノ形態及包裝ニ關シテハ印刷物ニ付下記第百十九條ニ定ムル規定ニ從フ

第百十六條　印刷物

一　新聞紙、定期刊行物、書籍、冊子、樂譜、名刺、試刷物、刻版物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、骨像畫、畫、圖、地圖、裁斷用雛形、目錄、目論見書、廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ルモノ竝ニ一般ニ活版、刻版、石版及「オートグラフィー」ニ依リ又ハ謄寫器、印判（文字ヲ移動シ得ルト否トヲ問ハズ）及「タイプライター」ヲ除キ容易ニ認知シ得ベキ其ノ他ノ機械的方法ニ依リ紙又ハ紙ニ類似ノ他ノ物質、羊皮紙若ハ板紙ニ印刷シ又ハ寫出シタル物ノ之ヲ印刷物ト看做ス

約束語ヲ構成シ得ベキ各種ノ記號ヲ有スル印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

二　活動寫眞ノ「フィルム」、蓄音機用「レコード」及自働樂器用穿孔樂譜ハ印刷物ノ料金率ニテ之ヲ許サズ

三　名刺、試刷物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、骨像畫、畫、圖、地圖、裁斷用雛形、目錄、目論見書、廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ルモノ竝ニ一般ニ活版、刻版、石版及「オートグラフィー」ニ依リ又ハ謄寫器、印判（文字ヲ移動シ得ルト否トヲ問ハズ）及「タイプライター」ヲ除キ容易ニ認知シ得ベキ其ノ他ノ機械的方法ニ依リ紙又ハ紙ニ類似ノ他ノ物質、羊皮紙若ハ板紙ニ印刷シ又ハ寫出シタル物ノ之ヲ印刷物ト看做ス

約束語ヲ構成シ得ベキ各種ノ記號ヲ有スル印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

二　活動寫眞ノ「フィルム」、蓄音機用「レコード」及自働樂器用穿孔樂譜ハ印刷物ノ料金率ニテ之ヲ許サズ

印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

三　名刺、試刷物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、骨像畫、畫、圖、地圖、裁斷用雛形、目錄、目論見書、廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ルモノ竝ニ一般ニ活版、刻版、石版及「オートグラフィー」ニ依リ又ハ謄寫器、印判（文字ヲ移動シ得ルト否トヲ問ハズ）及「タイプライター」ヲ除キ容易ニ認知シ得ベキ其ノ他ノ機械的方法ニ依リ紙又ハ紙ニ類似ノ他ノ物質、羊皮紙若ハ板紙ニ印刷シ又ハ寫出シタル物ノ之ヲ印刷物ト看做ス

約束語ヲ構成シ得ベキ各種ノ記號ヲ有スル印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

四　「カルト・ポスタル」ナル題字又ハ他ノ語ニテ之ニ相當スル題字ヲ有スル「カード」ハ印刷物ニ適用スベキ一般ノ條件ヲ具備スルトキハ印刷物ノ料金率ニテ之ヲ許ス該條件ヲ具備セザルモノハ郵便葉書トシテ又ハ第百十三條第五項ノ規定ヲ適用シ隨意書狀トシテ之ヲ取扱フ

第百十七條　印刷物類似ノ物品
準項又ハ「タイプライター」ニテ書寫シタル原紙ノコト「ポリグラフィー」、「グロモグラフィー」等ノ機械的方法ニ依ル複寫物ハ差出郵政廳ノ内國規則ニ規定スル條件ニ於テ且同一ノ複寫物ヲ包有スル郵便物少クトモ二十箇ヲ差出ス場合ニハ之ヲ印刷物ノ該複寫物ニ用シタル消印濟郵便切手ヲ有スルコトヲ得ル

第百十八條　印刷物、記載シ得ル事項

一　印刷物タル總テノ郵便物ノ外部及内部ニ左ノ事項ヲ許ス

(イ)　差出人及名宛人ノ氏名、身分、職業、商號及居所、差出人ノ發送日附、署名、電話番號、電報略號名宛、電信暗號書名、郵便振替口座及銀行口座、裂造標、商標、逐次番號、價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル總テノ他ノ記載。重量、大小、寸尺及供給シ得ル數量ニ關スル指示並ニ商品ノ生產地及性質ヲ明示スル爲必要ナル指示ハ手書又ハ機械的方法ニテ見本郵便物ノ内部又ハ外部ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十一條　見本、郵便物ノ包裝

一　商品見本ハ開閉シ得ル袋、箱又ハ封皮ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス

二　脂肪體、染料又ハ非染料ノ乾燥粉末、生キタル蜜蜂、水蛭及蠶種ハ左ノ方法ニ依リ包裝セラルルトキハ商品見本トシテ之ヲ送送スルコトヲ許ス

(イ)　玻璃器其ノ他脆弱ナル物質ハ、液體、油、及液化シ易キ物ハ密閉シ得ル袋、箱又ハ封皮ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス

第百二十二條　見本ノ送送

一　見本ハ差出人ノ名宛人ノ氏名、身分、職業、商號及居所、差出人ノ發送日附、署名、電話番號、電報略號名宛、電信暗號書名、郵便振替口座及銀行口座、裂造標、商標、逐次番號、價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル總テノ他ノ記載ノ外、見本ノ性質ヲ明示スル爲必要ナル指示ヲ附スルコトヲ得

二　見本ハ左ノ條件ヲ具備スルトキハ郵便ノ料金率ニテ之ヲ送送ス

(イ)　船舶ノ發著ニ關スル通知書ニハ發著ノ日時竝ニ船舶名及發著港地名

(ロ)　旅行通知書ニハ旅行者ノ氏名、通過ノ豫定地名及日時竝ニ宿泊地

(ハ)　書店發賣刊行物、書籍、新聞紙、刻版物及樂譜ニ關スル注文書及獎勵申込書ニハ注文又ハ申込ノ刊行物及其ノ部數、該刊行物ノ價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル記載、支拂方法、版、著者及發行者ノ氏名、目錄番號竝ニ「broché」、「cartonné」又ハ「relié」ナル語

(ニ)　勸業書、印刷シタル名刺竝ニ「クリスマス」及新年ノ「カード」ニハ五語ヲ超エザル讃辭又ハ五字ヲ超エザル約束的略字ヲ以テ發表スル通知ヲ附スルコトヲ得

(ホ)　印刷ノ試刷ニハ校正、方式及印刷ニ關スル變更及追加ヲ示ス爲必要ナル通信ヲ附スルコトヲ得

(ヘ)　業務用書類ハ其ノ形態及包裝ニ關シテハ印刷物ニ付下記第百十九條ニ定ムル規定ニ從フ

第百十六條　印刷物

一　新聞紙、定期刊行物、書籍、冊子、樂譜、名刺、試刷物、刻版物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、骨像畫、畫、圖、地圖、裁斷用雛形、目錄、目論見書、廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ルモノ竝ニ一般ニ活版、刻版、石版及「オートグラフィー」ニ依リ又ハ謄寫器、印判（文字ヲ移動シ得ルト否トヲ問ハズ）及「タイプライター」ヲ除キ容易ニ認知シ得ベキ其ノ他ノ機械的方法ニ依リ紙又ハ紙ニ類似ノ他ノ物質、羊皮紙若ハ板紙ニ印刷シ又ハ寫出シタル物ノ之ヲ印刷物ト看做ス

約束語ヲ構成シ得ベキ各種ノ記號ヲ有スル印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

二　活動寫眞ノ「フィルム」、蓄音機用「レコード」及自働樂器用穿孔樂譜ハ印刷物ノ料金率ニテ之ヲ許サズ

印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

三　名刺、試刷物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、骨像畫、畫、圖、地圖、裁斷用雛形、目錄、目論見書、廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ルモノ竝ニ一般ニ活版、刻版、石版及「オートグラフィー」ニ依リ又ハ謄寫器、印判（文字ヲ移動シ得ルト否トヲ問ハズ）及「タイプライター」ヲ除キ容易ニ認知シ得ベキ其ノ他ノ機械的方法ニ依リ紙又ハ紙ニ類似ノ他ノ物質、羊皮紙若ハ板紙ニ印刷シ又ハ寫出シタル物ノ之ヲ印刷物ト看做ス

約束語ヲ構成シ得ベキ各種ノ記號ヲ有スル印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

四　「カルト・ポスタル」ナル題字又ハ他ノ語ニテ之ニ相當スル題字ヲ有スル「カード」ハ印刷物ニ適用スベキ一般ノ條件ヲ具備スルトキハ印刷物ノ料金率ニテ之ヲ許ス該條件ヲ具備セザルモノハ郵便葉書トシテ又ハ第百十三條第五項ノ規定ヲ適用シ隨意書狀トシテ之ヲ取扱フ

謝辭、弔詞其ノ他儀禮上ノ式辭

(ホ)　印刷ノ試刷ニハ校正、方式及印刷ニ關スル變更及追加ヲ示ス爲必要ナル通信ヲ附スルコトヲ得ル事項ヘ

A-renvoi à notre lettre du……. M……

Notre référence……

Références du client……

古キ日附ノ通信ハ其ノ原初ノ料金前納ニ使用シタル消印濟郵便切手ヲ有スルコトヲ得

(ヘ)　業務用書類ハ其ノ形態及包裝ニ關シテハ印刷物ニ付下記第百十九條ニ定ムル規定ニ從フ

第百十六條　印刷物

一　新聞紙定期刊行物、書籍、冊子、樂譜、名刺、試刷物、刻版物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、骨像畫、畫、圖、地圖、裁斷用雛形、目錄、目論見書、廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ルモノ竝ニ一般ニ活版、刻版、石版及「オートグラフィー」ニ依リ又ハ謄寫器、印判（文字ヲ移動シ得ルト否トヲ問ハズ）及「タイプライター」ヲ除キ容易ニ認知シ得ベキ其ノ他ノ機械的方法ニ依リ紙又ハ紙ニ類似ノ他ノ物質、羊皮紙若ハ板紙ニ印刷シ又ハ寫出シタル物ノ之ヲ印刷物ト看做ス

約束語ヲ構成シ得ベキ各種ノ記號ヲ有スル印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

二　活動寫眞ノ「フィルム」、蓄音機用「レコード」及自働樂器用穿孔樂譜ハ印刷物ノ料金率ニテ之ヲ許サズ

三　名刺、試刷物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、骨像畫、畫、圖、地圖、裁斷用雛形、目錄、目論見書、廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ルモノ竝ニ一般ニ活版、刻版、石版及「オートグラフィー」ニ依リ又ハ謄寫器、印判（文字ヲ移動シ得ルト否トヲ問ハズ）及「タイプライター」ヲ除キ容易ニ認知シ得ベキ其ノ他ノ機械的方法ニ依リ紙又ハ紙ニ類似ノ他ノ物質、羊皮紙若ハ板紙ニ印刷シ又ハ寫出シタル物ノ之ヲ印刷物ト看做ス

約束語ヲ構成シ得ベキ各種ノ記號ヲ有スル印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

四　「カルト・ポスタル」ナル題字又ハ他ノ語ニテ之ニ相當スル題字ヲ有スル「カード」ハ印刷物ニ適用スベキ一般ノ條件ヲ具備スルトキハ印刷物ノ料金率ニテ之ヲ許ス該條件ヲ具備セザルモノハ郵便葉書トシテ又ハ第百十三條第五項ノ規定ヲ適用シ隨意書狀トシテ之ヲ取扱フ

(ト)　生キタル蜜蜂及水蛭ハ總テノ危害ヲ避ケ得ル樣造リタル箱ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス

三　一般ノ規定ニ從ヒ包裝スルトキハ腐敗ノ虞アル物品ハ例外トシテ寄閉シタル包裝ニ依ルコトヲ許スト雖此ノ場合ニ於テハ關係郵政廳ハ其ノ指定スル數箇ノ郵便物ヲ開披スル權ヲ又ハ他ノ指定スル數箇ノ郵便物ヲ開披スル方法ニ依リ包有品ノ檢查ヲ容易ナラシムルコトヲ差出人又ハ名宛人ニ要求スルコトヲ得

四　木片、金屬片等ノ如キ單一ノ物品ニシテ商慣習上包裝セザルモノニ付テハ包裝ヲ要セズ

五　名宛人ノ名宛ハ成ルベク包裝又ハ物品自體ニ之ヲ指示スルコトヲ要ス包裝又ハ物品ニ名宛及業務上ノ指示ヲ記入シ又ハ郵便切手ヲ貼附シ得ザルトキハ票札（成ルベク羊皮紙製）ヲ用ヒ確ト之ヲ結附スルコトヲ要ス押印ノ爲郵便物ヲ破壞スル虞アルトキ亦同シ

第百二十二條　見本頒布ノ物品

印刷原版、單獨ノ鍵、裁取リタル生花、博物學上ノ物品（乾燥シタル動植物、地質學上ノ標本等）、製法及包裝方法ニ依リ危害ヲ除キタル血清管及病理學上ノ物品ハ見本ノ料金率ニテ之ヲ許ス該物品ハ公認ノ試驗所等ヨリ一般ノ利益ノ爲發送スル血清管及痘苗管ヲ除キ商業ノ目的ヲ以テ發送スルコトヲ得ズ其ノ包裝ハ商品見本ニ關スル一般ノ規定ニ從フコトヲ要ス

第百二十三條　合裝郵便物

一　異ナル種類ノ通常郵便物ヲ單一郵便物トシテ合裝スルコトハ左ノ留保ノ下ニ業務用書類、印刷物（盲人用點字印刷物ヲ除ク）及商品見本ニ依リ各物品ハ夫レ其ノ物品ニ適用スベキ重量最高キ種類ニ對スル料金ヲ其ノ總重量ニ付課スルモノトス

第百二十四條　小形包裝物

一　小形包裝物ハ包裝ニ關シテハ商品見本ニ付定ムル規定ニ從フ

二　小形包裝物ニハ必要ノ記載ニ止ル無封ノ案内書及差出人ノ居所氏名ヲ附記シタル郵便物ノ表記ノ寫一通ヲ挿入スルコトヲ許ス

三　差出人ノ居所氏名ハ郵便物ノ外部ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第三編　書留郵便物、到達證

單一章

第百二十五條　書留郵便物

一　書留郵便物ハ表面ニ「Recommandé」ナル語ヲ附シ且之ニ適當ナル色ノ票符ヲ貼附スルコトヲ要ス

二　差出人ハ郵便物ノ表面ニ「Recommandé」ナル語ニ代ヘ「Assuré」ナル語ヲ附シ且之ニ適當ナル色ノ票符ヲ貼附スルコトヲ要ス

第百二十六條　書留郵便物ニ封シテハ其ノ形態、封緘又ハ名宛ノ記載ニ付何等特別ノ條件ヲ要セズ

二　郵便物ニ封シテハ其ノ形態、封緘又ハ名宛ノ記載ニ付何等特別ノ條件ヲ要セズ

三　書留郵便物ニハ差出人ノ名宛ヲ有シ且郵便物ノ名宛國ノ郵便切手ヲ以テ返送用トシテ料金ヲ前納セル一枚ノ「カード」、封皮又ハ帶紙

第百十九條　印刷物、郵便物ノ包裝

印刷物ニハ之ヲ帶紙ニテ纏ヒ、軸ニ卷キ、板紙ニテ挾ミ、開キタル箱ニ納メ、開封ノ封皮（場合ニ依リ開閉容易ニシテ何等ノ危險ヲ伴ハザル止メ金ヲ有スルモノ）ニ入レ又ハ解キ易キ絲ニテ結縛スルコトヲ要ス

二　「カード」ノ形態及耐力ヲ有スル印刷物ハ帶紙、封皮又ハ絲ヲ用ヒズ露出ノ儘之ヲ發送スルコトヲ得遞送途中展開セザル樣折合シタル印刷物ニ付テモ同一ノ發送方法ヲ許ス

三　「カード」ノ形態ニテ發送スル印刷物（低減料金ノ利益ヲ享受スル郵便綺葉書ヲ含ム）ハ第百十三條第三項ノ規定ニ從フ

四　總テノ場合ニ於テ郵便物ノ外部ニハ左ノ事項ヲ許ス

第百二十條　見本、記載シ得ル事項

差出人及名宛人ノ氏名、身分、職業、商號及居所。差出人ノ發送日附、署名、電話番號、電報略號名宛、電信暗號書名、郵便振替口座及銀行口座、裂造標、商標、逐次番號、價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル總テノ他ノ記載。重量、大小、寸尺及供給シ得ル數量ニ關スル指示並ニ商品ノ生產地及性質ヲ明示スル爲必要ナル指示ハ手書又ハ機械的方法ニテ見本郵便物ノ内部又ハ外部ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十一條　見本、郵便物ノ包裝

一　商品見本ハ開閉シ得ル袋、箱又ハ封皮ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス

二　脂肪體、染料又ハ非染料ノ乾燥粉末、生キタル蜜蜂、水蛭及蠶種ハ左ノ方法ニ依リ包裝セラルルトキハ商品見本トシテ之ヲ送送スルコトヲ許ス

(イ)　玻璃器其ノ他脆弱ナル物質ハ、液體、油、及液化シ易キ物ハ密閉シ得ル袋、箱又ハ封皮ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス

第百二十二條　見本ノ送送

一　見本ハ差出人ノ名宛人ノ氏名、身分、職業、商號及居所、差出人ノ發送日附、署名、電話番號、電報略號名宛、電信暗號書名、郵便振替口座及銀行口座、裂造標、商標、逐次番號、價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル總テノ他ノ記載ノ外、見本ノ性質ヲ明示スル爲必要ナル指示ヲ附スルコトヲ得

二　見本ハ左ノ條件ヲ具備スルトキハ郵便ノ料金率ニテ之ヲ送送ス

(イ)　船舶ノ發著ニ關スル通知書ニハ發著ノ日時竝ニ船舶名及發著港地名

(ロ)　旅行通知書ニハ旅行者ノ氏名、通過ノ豫定地名及日時竝ニ宿泊地

(ハ)　書店發賣刊行物、書籍、新聞紙、刻版物及樂譜ニ關スル注文書及獎勵申込書ニハ注文又ハ申込ノ刊行物及其ノ部數、該刊行物ノ價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル記載、支拂方法、版、著者及發行者ノ氏名、目錄番號竝ニ「broché」、「cartonné」又ハ「relié」ナル語

(ニ)　勸業書、印刷シタル名刺竝ニ「クリスマス」及新年ノ「カード」ニハ五語ヲ超エザル讃辭又ハ五字ヲ超エザル約束的略字ヲ以テ發表スル通知ヲ附スルコトヲ得

(ホ)　印刷ノ試刷ニハ校正、方式及印刷ニ關スル變更及追加ヲ示ス爲必要ナル通信ヲ附スルコトヲ得

(ヘ)　業務用書類ハ其ノ形態及包裝ニ關シテハ印刷物ニ付下記第百十九條ニ定ムル規定ニ從フ

第百十六條　印刷物

一　新聞紙定期刊行物、書籍、冊子、樂譜、名刺、試刷物、刻版物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、骨像畫、畫、圖、地圖、裁斷用雛形、目錄、目論見書、廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ルモノ竝ニ一般ニ活版、刻版、石版及「オートグラフィー」ニ依リ又ハ謄寫器、印判（文字ヲ移動シ得ルト否トヲ問ハズ）及「タイプライター」ヲ除キ容易ニ認知シ得ベキ其ノ他ノ機械的方法ニ依リ紙又ハ紙ニ類似ノ他ノ物質、羊皮紙若ハ板紙ニ印刷シ又ハ寫出シタル物ノ之ヲ印刷物ト看做ス

約束語ヲ構成シ得ベキ各種ノ記號ヲ有スル印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

二　活動寫眞ノ「フィルム」、蓄音機用「レコード」及自働樂器用穿孔樂譜ハ印刷物ノ料金率ニテ之ヲ許サズ

三　名刺、試刷物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、骨像畫、畫、圖、地圖、裁斷用雛形、目錄、目論見書、廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ルモノ竝ニ一般ニ活版、刻版、石版及「オートグラフィー」ニ依リ又ハ謄寫器、印判（文字ヲ移動シ得ルト否トヲ問ハズ）及「タイプライター」ヲ除キ容易ニ認知シ得ベキ其ノ他ノ機械的方法ニ依リ紙又ハ紙ニ類似ノ他ノ物質、羊皮紙若ハ板紙ニ印刷シ又ハ寫出シタル物ノ之ヲ印刷物ト看做ス

約束語ヲ構成シ得ベキ各種ノ記號ヲ有スル印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

四　「カルト・ポスタル」ナル題字又ハ他ノ語ニテ之ニ相當スル題字ヲ有スル「カード」ハ印刷物ニ適用スベキ一般ノ條件ヲ具備スルトキハ印刷物ノ料金率ニテ之ヲ許ス該條件ヲ具備セザルモノハ郵便葉書トシテ又ハ第百十三條第五項ノ規定ヲ適用シ隨意書狀トシテ之ヲ取扱フ

(ト)　生キタル蜜蜂及水蛭ハ總テノ危害ヲ避ケ得ル樣造リタル箱ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス

三　一般ノ規定ニ從ヒ包裝スルトキハ腐敗ノ虞アル物品ハ例外トシテ寄閉シタル包裝ニ依ルコトヲ許スト雖此ノ場合ニ於テハ關係郵政廳ハ其ノ指定スル數箇ノ郵便物ヲ開披スル權ヲ又ハ他ノ指定スル數箇ノ郵便物ヲ開披スル方法ニ依リ包有品ノ檢查ヲ容易ナラシムルコトヲ差出人又ハ名宛人ニ要求スルコトヲ得

四　木片、金屬片等ノ如キ單一ノ物品ニシテ商慣習上包裝セザルモノニ付テハ包裝ヲ要セズ

五　名宛人ノ名宛ハ成ルベク包裝又ハ物品自體ニ之ヲ指示スルコトヲ要ス包裝又ハ物品ニ名宛及業務上ノ指示ヲ記入シ又ハ郵便切手ヲ貼附シ得ザルトキハ票札（成ルベク羊皮紙製）ヲ用ヒ確ト之ヲ結附スルコトヲ要ス押印ノ爲郵便物ヲ破壞スル虞アルトキ亦同シ

第百二十二條　見本頒布ノ物品

印刷原版、單獨ノ鍵、裁取リタル生花、博物學上ノ物品（乾燥シタル動植物、地質學上ノ標本等）、製法及包裝方法ニ依リ危害ヲ除キタル血清管及病理學上ノ物品ハ見本ノ料金率ニテ之ヲ許ス該物品ハ公認ノ試驗所等ヨリ一般ノ利益ノ爲發送スル血清管及痘苗管ヲ除キ商業ノ目的ヲ以テ發送スルコトヲ得ズ其ノ包裝ハ商品見本ニ關スル一般ノ規定ニ從フコトヲ要ス

第百二十三條　合裝郵便物

一　異ナル種類ノ通常郵便物ヲ單一郵便物トシテ合裝スルコトハ左ノ留保ノ下ニ業務用書類、印刷物（盲人用點字印刷物ヲ除ク）及商品見本ニ關スル一般ノ規定ニ從ヒ之ヲ合裝スルコトヲ得ズ其ノ包裝ハ商品見本ニ關スル一般ノ規定ニ從フコトヲ要ス

第百二十四條　小形包裝物

一　小形包裝物ハ包裝ニ關シテハ商品見本ニ付定ムル規定ニ從フ

二　小形包裝物ニハ必要ノ記載ニ止ル無封ノ案内書及差出人ノ居所氏名ヲ附記シタル郵便物ノ表記ノ寫一通ヲ挿入スルコトヲ許ス

三　差出人ノ居所氏名ハ郵便物ノ外部ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第三編　書留郵便物、到達證

單一章

第百二十五條　書留郵便物

一　書留郵便物ハ表面ニ「Recommandé」ナル語ヲ附シ且之ニ適當ナル色ノ票符ヲ貼附スルコトヲ要ス

二　差出人ハ郵便物ノ表面ニ「Recommandé」ナル語ニ代ヘ「Assuré」ナル語ヲ附シ且之ニ適當ナル色ノ票符ヲ貼附スルコトヲ要ス

第百二十六條　書留郵便物ニ封シテハ其ノ形態、封緘又ハ名宛ノ記載ニ付何等特別ノ條件ヲ要セズ

二　郵便物ニ封シテハ其ノ形態、封緘又ハ名宛ノ記載ニ付何等特別ノ條件ヲ要セズ

三　書留郵便物ニハ差出人ノ名宛ヲ有シ且郵便物ノ名宛國ノ郵便切手ヲ以テ返送用トシテ料金ヲ前納セル一枚ノ「カード」、封皮又ハ帶紙

第百十九條　印刷物、郵便物ノ包裝

印刷物ニハ之ヲ帶紙ニテ纏ヒ、軸ニ卷キ、板紙ニテ挾ミ、開キタル箱ニ納メ、開封ノ封皮（場合ニ依リ開閉容易ニシテ何等ノ危險ヲ伴ハザル止メ金ヲ有スルモノ）ニ入レ又ハ解キ易キ絲ニテ結縛スルコトヲ要ス

二　「カード」ノ形態及耐力ヲ有スル印刷物ハ帶紙、封皮又ハ絲ヲ用ヒズ露出ノ儘之ヲ發送スルコトヲ得遞送途中展開セザル樣折合シタル印刷物ニ付テモ同一ノ發送方法ヲ許ス

三　「カード」ノ形態ニテ發送スル印刷物（低減料金ノ利益ヲ享受スル郵便綺葉書ヲ含ム）ハ第百十三條第三項ノ規定ニ從フ

四　總テノ場合ニ於テ郵便物ノ外部及内部ニ左ノ事項ヲ許ス

第百二十條　見本、記載シ得ル事項

差出人及名宛人ノ氏名、身分、職業、商號及居所、差出人ノ發送日附、署名、電話番號、電報略號名宛、電信暗號書名、郵便振替口座及銀行口座、裂造標、商標、逐次番號、價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル總テノ他ノ記載ノ外、見本ノ性質ヲ明示スル爲必要ナル指示ヲ附スルコトヲ得

第百二十一條　見本、郵便物ノ包裝

一　商品見本ハ開閉シ得ル袋、箱又ハ封皮ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス

二　脂肪體、染料又ハ非染料ノ乾燥粉末、生キタル蜜蜂、水蛭及蠶種ハ左ノ方法ニ依リ包裝セラルルトキハ商品見本トシテ之ヲ送送スルコトヲ許ス

(イ)　玻璃器其ノ他脆弱ナル物質ハ、液體、油、及液化シ易キ物ハ密閉シ得ル袋、箱又ハ封皮ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス

第百二十二條　見本ノ送送

一　見本ハ差出人ノ名宛人ノ氏名、身分、職業、商號及居所、差出人ノ發送日附、署名、電話番號、電報略號名宛、電信暗號書名、郵便振替口座及銀行口座、裂造標、商標、逐次番號、價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル總テノ他ノ記載ノ外、見本ノ性質ヲ明示スル爲必要ナル指示ヲ附スルコトヲ得

二　見本ハ左ノ條件ヲ具備スルトキハ郵便ノ料金率ニテ之ヲ送送ス

(イ)　船舶ノ發著ニ關スル通知書ニハ發著ノ日時竝ニ船舶名及發著港地名

(ロ)　旅行通知書ニハ旅行者ノ氏名、通過ノ豫定地名及日時竝ニ宿泊地

(ハ)　書店發賣刊行物、書籍、新聞紙、刻版物及樂譜ニ關スル注文書及獎勵申込書ニハ注文又ハ申込ノ刊行物及其ノ部數、該刊行物ノ價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル記載、支拂方法、版、著者及發行者ノ氏名、目錄番號竝ニ「broché」、「cartonné」又ハ「relié」ナル語

(ニ)　勸業書、印刷シタル名刺竝ニ「クリスマス」及新年ノ「カード」ニハ五語ヲ超エザル讃辭又ハ五字ヲ超エザル約束的略字ヲ以テ發表スル通知ヲ附スルコトヲ得

(ホ)　印刷ノ試刷ニハ校正、方式及印刷ニ關スル變更及追加ヲ示ス爲必要ナル通信ヲ附スルコトヲ得ル事項ヘ

A-renvoi à notre lettre du……. M……

Notre référence……

Références du client……

古キ日附ノ通信ハ其ノ原初ノ料金前納ニ使用シタル消印濟郵便切手ヲ有スルコトヲ得

(ヘ)　業務用書類ハ其ノ形態及包裝ニ關シテハ印刷物ニ付下記第百十九條ニ定ムル規定ニ從フ

第百十六條　印刷物

一　新聞紙定期刊行物、書籍、冊子、樂譜、名刺、試刷物、刻版物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、骨像畫、畫、圖、地圖、裁斷用雛形、目錄、目論見書、廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ルモノ竝ニ一般ニ活版、刻版、石版及「オートグラフィー」ニ依リ又ハ謄寫器、印判（文字ヲ移動シ得ルト否トヲ問ハズ）及「タイプライター」ヲ除キ容易ニ認知シ得ベキ其ノ他ノ機械的方法ニ依リ紙又ハ紙ニ類似ノ他ノ物質、羊皮紙若ハ板紙ニ印刷シ又ハ寫出シタル物ノ之ヲ印刷物ト看做ス

約束語ヲ構成シ得ベキ各種ノ記號ヲ有スル印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

二　活動寫眞ノ「フィルム」、蓄音機用「レコード」及自働樂器用穿孔樂譜ハ印刷物ノ料金率ニテ之ヲ許サズ

印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

三　名刺、試刷物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、骨像畫、畫、圖、地圖、裁斷用雛形、目錄、目論見書、廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ルモノ竝ニ一般

郵便物ニ記載ノ代金引換金額ノ指示ト爲替證書ニ記載ノ金額ノ指示ノ相違スル場合ニハ最尤モ名宛郵政廳ハ右確認ヲ待ツコトナク自己ノ責任ニテ電信ニ依ル請求ニ對シ措置ヲ執ルコトヲ得

第百三十一條　代金引換爲替

下記第百三十二條ニ規定スル場合ヲ除クノ外各代金引換郵便物ニハ附錄(C第八號雛形ニ適合スル耐力アル鮮綠色ノ板紙製ノ代金引換爲替證書式紙ヲ添附スル該式紙ニハ原則トシテ郵便物ノ差出人ヲ爲替ノ受取人トシテ指示スルコトヲ要ス差出郵政廳ハ受取人ノ規則ヲ詳ストキハ差出人ハ該爲替證書面ノ自己ノ名宛ノ箇所ニ差出國ニ於テ有スル郵便振替口座ノ加入者及普通並ニ口座所管局ヲ記載スル能ハ其ノ業務ヨリ發スル郵便物ニ關スル爲替ヲ要スル郵便物ノ差出局又ハ自廳ノ他ノ局ニ宛テ爲替證書ハ其ノ國係スル郵便物ニ確ト之ヲ結附ス

第百三十一條　郵便物ノ名宛國ニ於ケル郵便振替口座ヘノ拂込

取立テタル金額ヲ名宛國ニ於ケル郵便振替口座ニ拂込ムベキ各郵便物ニハ反對ノ協定アルニ非ザレバ該國ノ內國業務ニ於テ規定スル式紙ニ適合スル拂込票ヲ添附ス該票ニハ受入口座ノ如ク記入スベキヲ要スル他ノ總テノ指示ヲ式ノ如ク記入スルコトヲ要ス但シ受入金額ハ代金引換金額取立後名宛郵政廳ニ於テ之ヲ記入ス拂込票ニ通知券アルトキハ差出人ハ其ノ氏名及居所並ニ必要ト認ムル其ノ他ノ指示ヲ該通知券ニ記載ス

拂込票ハ之ヲ郵便物ニ確ト結附ス

第百三十二條　代金引換金額ノ換算

反對ノ協定アルニ非ザレバ郵便物差出國ノ貨幣ニテ表示セラレタル代金引換金額ハ名宛國郵政廳ニ於テ郵便物ノ差出地及郵便振替口座所在地ノ貨幣ニ之ヲ換算ス

第百三十三條　代金引換金額ノ指示ト爲替證書ノ相違

代金引換金額ノ指示ト爲替證書ノ指示ト相違スル場合ニハ最尤モ名宛郵政廳ハ右確認ヲ待ツコトナク自己ノ責任ニテ電信ニ依ル請求ニ對シ措置ヲ執ルコトヲ得

第百三十四條　代金引換爲替

下記第百三十五條ニ規定スル場合ヲ除クノ外各代金引換郵便物ニハ附錄(C第八號雛形ニ適合スル耐力アル鮮綠色ノ板紙製ノ代金引換爲替證書式紙ヲ添附スル該式紙ニハ原則トシテ郵便物ノ差出人ヲ爲替ノ受取人トシテ指示スルコトヲ要ス差出郵政廳ハ受取人ノ規則ヲ詳ストキハ差出人ハ該爲替證書面ノ自己ノ名宛ノ箇所ニ差出國ニ於テ有スル郵便振替口座ノ加入者及普通並ニ口座所管局ヲ記載スル能ハ其ノ業務ヨリ發スル郵便物ニ關スル爲替ヲ要スル郵便物ノ差出局又ハ自廳ノ他ノ局ニ宛テ爲替證書ハ其ノ國係スル郵便物ニハ確ト之ヲ結附ス

第百三十五條　代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ發行

代金引換爲替證書ハ新名宛國ニ於ケル郵便振替口座ヘノ拂込ヲ爲ス能ハ代金引換金額ヲ取立テタル後直ニ代金引換爲替證書ノ「Indications de service」ノ部ニ記入ヲ爲シ自局ノ日附印ヲ押捺シタル上該爲替證書ヲ無料ニテ指示セラレタル名宛ニ返送ス

差出郵政廳ニ對シ正確ナル代金引換金額ニ關スル通報ノ請求ヲ爲シタルトキハ同答ヲ受領スル迄爲替證書ノ發送ヲ延期ス

貨幣ニ於ケル換算ノ結果ニ端數ヲ生ジタルトキハ之ヲ切捨テ又ハ切上ゲテ換算ス

第百三十六條　代金引換金額ノ換算ノ基礎

代金引換金額ハ名宛國ニ於ケル郵便振替口座ニ記入スベキ代金引換郵便物ノ拂込票ハ該國ノ郵便振替口座ニ關スル內國制度ニ從ヒ之ヲ取扱フ

第百三十七條　代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ名宛國ニ於ケル換算

名宛局又ハ名宛郵政廳ノ指定シタル他ノ各局ハ代金引換金額ヲ取立テテル後直ニ代金引換爲替證書ノ「Indications de service」ノ部ニ記入ヲ爲シ自局ノ日附印ヲ押捺シタル上該爲替證書ヲ無料ニテ指示セラレタル名宛ニ返送ス

名宛局又ハ名宛郵政廳ノ指定シタル他ノ各局ハ代金引換金額ヲ取立テテル後直ニ代金引換爲替證書ノ「Indications de service」ノ部ニ記入ヲ爲シ自局ノ日附印ヲ押捺シタル上該爲替證書ヲ無料ニテ指示セラレタル名宛ニ返送ス

差出郵政廳ニ對シ正確ナル代金引換金額ニ關スル通報ノ請求ヲ爲シタルトキハ同答ヲ受領スル迄爲替證書ノ發送ヲ延期ス

第百三十八條　代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ取消

代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ取消ハ代金引換金額ヲ取立テテル後ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得ス

第百三十九條　代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ紛失

代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ紛失ノ場合ニ於テハ郵便物ノ差出國ニ於テ有スル郵便振替口座ノ加入者及普通並ニ口座所管局ヲ記載スル能ハ其ノ業務ヨリ發スル郵便物ニ關スル爲替ヲ要スル郵便物ノ差出局又ハ自廳ノ他ノ局ニ宛テ爲替證書ハ其ノ國係スル郵便物ニハ確ト之ヲ結附ス

第百四十條　代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ取消

代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ取消ハ代金引換金額ヲ取立テテル後ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得ス

第百四十一條　代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ訂正

代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ訂正ハ代金引換金額ノ訂正ニ關スル場合ヲ除クノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

第百四十二條　代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ送付

代金引換爲替證書又ハ拂込票ハ差出國ニ於テ有スル郵便振替口座ノ加入者ニ非ザレバ該國ノ內國業務ニ於テ規定スル式紙ニ適合スル拂込票ヲ添附スル該票ニハ受入口座ノ如ク記入スベキヲ要スル他ノ總テノ指示ヲ式ノ如ク記入スルコトヲ要ス但シ受入金額ハ代金引換金額取立後名宛郵政廳ニ於テ之ヲ記入ス拂込票ニ通知券アルトキハ差出人ハ其ノ氏名及居所並ニ必要ト認ムル其ノ他ノ指示ヲ該通知券ニ記載ス

拂込票ハ之ヲ郵便物ニ確ト結附ス

第百四十三條　代金引換金額ノ換算

反對ノ協定アルニ非ザレバ郵便物差出國ノ貨幣ニテ表示セラレタル代金引換金額ハ名宛國郵政廳ニ於テ郵便物ノ差出地及郵便振替口座所在地ノ貨幣ニ之ヲ換算ス

第百四十四條　代金引換金額ノ引下

代金引換金額ノ郵便物ニ對スル引下ハ差出局ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十五條　代金引換金額ノ取消又ハ引下ノ請求ハ下記第百四十八條第一項ニ定ムル撤容ヲ添附シ且頭部ニ色鉛筆ニテ字下線ヲ引キタル「Confirmation de la demande télé-graphique du」ナル記事ヲ有スル郵便ニ依ル請求ヲ以テ第一便ニテ之ヲ確認スルコトヲ要ス

有ノ場合ニ於テ名宛局ハ電報ヲ受取タルトキハ單ニ郵便物ヲ留置キ請求ニ應ズル爲メ不用トナリタル拂込票式紙ノ郵便物ノ名宛郵政廳ニ於テ之ヲ毀棄ス

二　代金引換郵便物ニ關スル式紙ニシテ停ノ理由ヲ問ハズ差出元ニ返送セラルルモノハ返送ヲ爲ス郵政廳ニ於テ之ヲ抹消スルコトヲ要ス

三　代金引換郵便物ニ關スル式紙ガ代金引換金額ノ取立前紛失シ、亡失又ハ毀損シタルトキハ名宛局ハ場合ニ從ヒC第八號式紙又ハ拂込票式紙ニ依リ其ノ副本ヲ作成又ハ未拂ノ

第百三十九條　轉送

代金引換書留郵便物ハ新名宛國ガ差出國トノ間ニ此ノ種郵便物ノ業務ヲ施行スルトキハ之ヲ轉送スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郵便物ニ添附シタル代金引換爲替證書ニ依リ新代金引換爲替證書式紙ヲ添附スルコトヲ要ス

電信ニ依ル請求ニ關スルトキハ代金引換爲替證書ハ下記第百三十八條ニ定ムル條件ニテ名宛局ニ於テ之ヲ取換フルコトヲ要ス

第百三十六條　轉送

代金引換書留郵便物ハ新名宛國ガ差出國トノ間ニ此ノ種郵便物ノ業務ヲ施行スルトキハ之ヲ轉送スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郵便物ニ添附シタル代金引換爲替證書式紙ヲ添附スルコトヲ要ス

電信ニ依ル請求ニ關スルトキハ代金引換爲替證書ハ下記第百三十八條ニ定ムル條件ニテ名宛局ニ於テ之ヲ取換フルコトヲ要ス

第百三十七條　轉送

代金引換書留郵便物ハ新名宛國ガ差出國トノ間ニ此ノ種郵便物ノ業務ヲ施行スルトキハ之ヲ轉送スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郵便物ニ添附シタル代金引換爲替證書式紙ヲ添附スルコトヲ要ス

電信ニ依ル請求ニ關スルトキハ代金引換爲替證書ハ下記第百三十八條ニ定ムル條件ニテ名宛局ニ於テ之ヲ取換フルコトヲ要ス

第百三十八條　轉送

代金引換郵便物ハ新名宛國ガ差出國トノ間ニ此ノ種郵便物ノ業務ヲ施行スルトキハ之ヲ轉送スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郵便物ニ添附シタル代金引換爲替證書式紙ヲ添附スルコトヲ要ス

電信ニ依ル請求ニ關スルトキハ代金引換爲替證書ハ下記第百三十八條ニ定ムル條件ニテ名宛局ニ於テ之ヲ取換フルコトヲ要ス

第百三十八條　轉送

代金引換書留郵便物ハ新名宛國ガ差出國トノ間ニ此ノ種郵便物ノ業務ヲ施行スルトキハ之ヲ轉送スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郵便物ニ添附シタル代金引換爲替證書式紙ヲ添附スルコトヲ要ス

電信ニ依ル請求ニ關スルトキハ代金引換爲替證書ハ下記第百三十八條ニ定ムル條件ニテ名宛局ニ於テ之ヲ取換フルコトヲ要ス

第百三十八條　轉送

代金引換

ノ表記ハ印刷指示及色ニ付テハ通常郵便物ニ準ス

四　郵便物ノ荷造又ハ容積カ一箇ヲ超ユル行嚢ノ使用ヲ必要トスルトキハ成ルベク左ノ郵便物ニ對シ別箇ノ行嚢ヲ使用スルモノトス

一　書狀及郵便葉書

(イ)　其ノ他ノ物品、場合ニ依リ小形包裝物ニ付テモ亦別箇ノ行嚢ヲ使用スルコトヲ要ス該行嚢ノ票札ニハ「Petits paquets」ナル記載ヲ爲ス

第百五十五條第二項ニ規定スル方法ニ依リ書狀目錄ヲ有スル書留郵便物ノ包裏物又ハ行嚢ノ書狀行嚢ノ一又ハ特別ノ行嚢ニ之ヲ納入ス外裝行嚢ノ總テ場合ニ朱色ノ票札ヲ有スルコトヲ要ス書留郵便物ノ行嚢カ一箇ヲ超ユル行嚢ノ使用ヲ必要トスルトキハ成ルベク左ノ郵便物ニ對シ別箇ノ行嚢ヲ使用スルモノトス

(ロ)　書狀及郵便葉書ノミヲ包有スル行嚢ニ付テハ白色

(ハ)　其ノ他ノ物品、場合ニ依リ小形包裝物ニ付テモ亦別箇ノ行嚢ヲ使用スルコトヲ要ス該行嚢ノ票札ニハ「Petits paquets」ナル記載ヲ爲ス

第百五十五條第二項ニ規定スル方法ニ依リ書狀目錄ヲ有スル書留郵便物ノ包裏物又ハ行嚢ノ一又ハ特別ノ行嚢ニ之ヲ納入ス外裝行嚢ノ總テ場合ニ朱色ノ票札ヲ有スルコトヲ要ス書留郵便物ノ行嚢カ一箇ヲ超ユル行嚢ノ使用ヲ必要トスルトキハ成ルベク左ノ郵便物ニ對シ別箇ノ行嚢ヲ使用スルモノトス

(イ)　書狀及郵便葉書ノミヲ包有スル行嚢ニ付テハ白色

(ロ

四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ碇泊地ニ在ラザルトキハ該郵便物ヲ收容スル軍艦ノ碇泊地ニ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ碇泊地ニ領事館ナキトキハ其ノ軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

二十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

二十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

二十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

二十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

二十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

二十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

二十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

二十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

二十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

二十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

三十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

三十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

三十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

三十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

三十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

三十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

三十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

三十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

三十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

三十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

四十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

四十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

四十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

四十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

四十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

四十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

四十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

四十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

四十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

四十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

五十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

五十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

五十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

五十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

五十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

五十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

五十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

五十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

五十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

五十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

六十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

六十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

六十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

六十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

六十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

六十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

六十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

六十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

六十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

六十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

七十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

七十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

七十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

七十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

七十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

七十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

七十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

七十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

七十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

七十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

八十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

八十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

八十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

八十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

八十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

八十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

八十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

八十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

八十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

八十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

九十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

九十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

九十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

九十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

九十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

九十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

九十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

九十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

九十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

九十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百二十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百二十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百二十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百二十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百二十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百二十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百二十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百二十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百二十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百二十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百三十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百三十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百三十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百三十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百三十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百三十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百三十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百三十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百三十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百三十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百四十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百四十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百四十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百四十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百四十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百四十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百四十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百四十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百四十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百四十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百五十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百五十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百五十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百五十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百五十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百五十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百五十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百五十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百五十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百五十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百六十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百六十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百六十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百六十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百六十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百六十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百六十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百六十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百六十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百六十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百七十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百七十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百七十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百七十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百七十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百七十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百七十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百七十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百七十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百七十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百八十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百八十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百八十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百八十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百八十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百八十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百八十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百八十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百八十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百八十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百九十　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百九十一　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百九十二　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百九十三　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百九十四　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百九十五　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百九十六　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百九十七　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百九十八　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館ニ之ヲ寄託スルコトヲ得

百九十九　軍艦郵便物ヲ收容スル軍艦ノ艦長ハ其ノ郵便物ヲ最モ近キ地ニ在ル領事館

ド」自由國、朝鮮、諸威國、「ポルトガル」國、西部「アフリカ」ノ「ポルトガル」國殖民地、東部「アフリカ」ノ「ポルトガル」國殖民地、「アジア」及「オセアニア」ノ「ポルトガル」國殖民地

五等

「アルゼンチン」共和國、「アルバニア」國、「エストニア」國、「オーストリア」國、「コロンビア」共和國、「コスタ、リカ」共和國、「サルヴァドル」共和國、「ジョージア」國、「スイス」、「スエーデン」、「セルビア」國、「ダンチッヒ」自由市、「チリ」國、「ドミニカ」共和國、「ニカラグア」國、「ハイチ」共和國、「パナマ」共和國、「ハンガリー」國、「ブルガリア」國、「ペルシア」國、「ペルー」國、「ポルトガル」國、「ポリヴィア」國、「ホンデュラス」共和國、「ラトヴィア」國、「リベリア」國、「ルクセンブルグ」國、「ルーマニア」國、「ロシア」國（西班牙地帶ヲ除ク）、「ロンコ」國（西班牙地帶）、「ロンコ」國（西班牙地帶）、「ヴェネズエラ」合衆國

六等

「アフガニスタン」國、「アルバニア」國、「ボリヴィア」國、「コスタ、リカ」共和國、「キューバ」共和國、「ダンチッヒ」自由市、「ドミニカ」共和國、「エクアドル」國、「エティオピア」國、「グァテマラ」國、「ハイチ」共和國、「ホンデュラス」共和國、「リスブニア」國、「ルクセンブルグ」國、「パナマ」共和國、「パラグァイ」國、「ニカラグア」國、「サルヴァドル」共和國及「スリナム」、「ザール」河地方、「ヴェネズエラ」合衆國

七等

「フィリッピン」諸島、「サウディ、アラビア」王國、白耳義國「コンゴー」殖民地、西班牙國殖民地全體、「イラーク」國、「アイスランド」國、伊太利國殖民地全體、朝鮮ヲ除ク日本國屬地全體、佛蘭西國委任統治ノ下ニ在ル東方諸國（「シリア」國及「レバノン」國）、「リベリア」共和國、「サン、マリノ」共和國、「ヴァティカン」市、「イエメン」國

最終規定

第百九十二條　施行規則ノ實施及存續期間

本施行規則ハ萬國郵便條約實施ノ日ヨリ之ヲ施行スベシ

本規則ハ關係締約郵政廳間ニ協議ヲ遂ゲ之ヲ改訂スルニ非ザレバ右締約下同ノ存續期間ヲ有スベシ

千九百三十四年三月二十日「カイロ」ニ於テ之ヲ作成ス

「アフガニスタン」國

南「アフリカ」聯邦

エム、エッチ、ジェー、レントン代理エフ、ジー、ダブリュー、テイラー

エフ、ジー、ダブリュー、テイラー

「アルバニア」國

ペー、ナッス

國逸國

カー、オルト

カー、チーグレル

ドクトル、ヴェー、セーバス

「アメリカ」合衆國

ジョン、イー、ラミエル

ジョージ、エフ、スミス代理ジョン、イー、ラミエル

「フィリッピン」諸島ヲ除ク「アメリカ」合衆國屬島全體

ジョン、イー、ラミエル

ジョージ、エフ、スミス代理ジョン、イー、ラミエル

「フィリッピン」諸島

「サウディ、アラビア」王國

ファウザン、エル・サベク

「アルゼンティン」共和國

エレエ、エレエ、トゥラ

「オーストラリア」聯邦

アーチデール、パークヒル代理エム、ハリー

エム、ピー、ハリー

奧地利國

ドクトル、ルドルフ、クーン

白耳義國

オー、ジョッカールト

エー、モンス

白耳義國「コンゴー」殖民地

ジェー、トンドラー

「ボリヴィア」國

エルネスト、カセレス

エドムンド、デ、ラ、フエンテ代理エルネスト、カセレス

「ブラジル」國

セー、エメ、デ、フィゲイレド

ジョージ、サンチェス、ペレス

「ブルガリア」國

イー、カザロフ

「カナダ」

アーサー、ソーゲ代理イー、ジェー、アンダーウッド

エッチ、ポーリュー代理イー、ジェー、アンダーウッド

イー、ジェー、アンダーウッド

「チリ」國

エレエ、スアレス、バロス

中華民國

胡世澤

張歆海

黃乃楓

「コロンビア」共和國

エー、サルドウア、ペー

政府ノ承認ヲ條件トス

ペー、マルティネス、テー

「キューバ」共和國

アルフレド、アッシール

丁抹國

シェー、モンドルプ

アルネ、クロッグ

「ダンチッヒ」自由市

ルイス、アレハンドロ、アギラール

「エジプト」國

エム、シアラ

イー、マッギアー

エス、エー、ガルワッシュ

「エクアドル」國

エー、エレ、アンドラーデ

西班牙國

アロンソ、カーロ

アー、ラモス

西班牙國殖民地全體

デメトリオ、ベレダ

「エストニア」國

ゲー、エー、エフ、アルアレヒト

「エティオピア」國

アラムー、テー

「フィンランド」國

ゲー、エー、エフ、アルアレヒト

佛蘭西國

エム、ルボン

エル、ジァントン

ペー、グランシモン

アー、カバンヌ

デュセール

「アルジェリー」

エー、エゲナン

印度支那ノ佛蘭西國殖民地及保護領

ニコラ

其ノ他ノ佛蘭西國殖民地全體

ジー、カサニァック

「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」聯合王國

エフ、エッチ、ウィリアムソン

ダブリュー、ジー、ギルバート

ディー、オー、ラムレー

希臘國

ヴェー、デンドラミス

ジー、ラクニダキス

「グァテマラ」國

ヴィクトル、ドゥラン、エメ

「ハイティ」共和國

「ホンデュラス」共和國

ドクトル、トクシメイ

「ハンガリー」國

ガブリエル、パロン、サライ

シァルル、ド、フォルステール

英領印度

ピー、エヌ、ムケルジ

エス、シー、グプタ

エム、アル、ハサン

「イラーク」國

ドーグラス、グアリュー、カンプレー

ジェー、シォール

「アイルランド」自由國

ピー、エス、オーヘイシァータイ

エス、エス、ヒュイルセアル

「アイスランド」國

ツェー、モンドルプ

アルネ、クロッグ

伊太利國

ヒエトロ、トスティ

カルディ、ミケレ

伊太利國殖民地全體

クレティ、ドナート

日本國

關正雄

張間利春

景山準吉

朝鮮

關正雄

川面隆三

其ノ他ノ日本國屬地全體

張間利春

藤川洋

「ライヴィア」國

ドクトル、ラインホルト、フレレ

エル、ルーレ

佛蘭西國委任統治ノ下ニ在ル東方諸國（「シリア」國及「レバノン」國）

シァンファレッリ

エル、ベルノ

「リベリア」共和國

「ルクセンブルゲ」國

「モロッコ」國（西班牙地帶ヲ除ク）

アッシュ、デュテイユ

「モロッコ」國（西班牙地帶）

アー、ラモス

「メキシコ」國

ペー、マルティネス、テイ

「ニカラグア」國

ヴィクトル、ドゥラン、エメ

諸威國

クラウス、ヘルシング

オスカル、ホンメ

「ニュー、ジーランド」

ジー、マックナマラ

「パナマ」共和國

エー、サルドゥア、ペー

「パラグァイ」國

エレエ、エレエ、トゥラ

和蘭國

ドインステー

ファン、ヨール

「サルヴァドル」共和國

「ザール」河地方

瑞典國

ベルグ

アリル

ホーヘウォーニング

「ペルー」國

エルネスト、カセレス

エドムンド、デ、ラ、フエンテ代理エルネスト、カセレス

「ペルシァ」國

エス、アー、ラッド

エール、アーサメンド

「ポーランド」國

エール、スタルジンスキー

ドクトル、アラヒエル

ルネ、マシアルスキー

「ポルトガル」國

アー、デクー、エレエ、ヴェース、ヒント

アー、セー、ピアンチ

西部「アフリカ」ノ「ポルトガル」國殖民地

エルネスト、シュリオ、ナヴァロ

東部「アフリカ」、「アジア」及「オセアニア」ノ「ポルトガル」國殖民地

マリオ、コレーア、バラダ、ダ、クルス

「ルーマニア」國

イラリウ、マネアメ

セー、ステファネスク

「サン、マリノ」共和國

クレティ、ドナート

「サルヴァドル」共和國

「ザール」河地方

瑞典國

ベルグ

アリル

ホーヘウォーニング

「ペルー」國

エルネスト、カセレス

エドムンド、デ、ラ、フエンテ代理エルネスト、カセレス

「ペルシァ」國

エス、アー、ラッド

エール、アーサメンド

「ポーランド」國

エール、スタルジンスキー

ドクトル、アラヒエル

ルネ、マシアルスキー

「ポルトガル」國

アー、デクー、エレエ、ヴェース、ヒント

アー、セー、ピアンチ

西部「アフリカ」ノ「ポルトガル」國殖民地

エルネスト、シュリオ、ナヴァロ

東部「アフリカ」、「アジア」及「オセアニア」ノ「ポルトガル」國殖民地

マリオ、コレーア、バラダ、ダ、クルス

「ルーマニア」國

イラリウ、マネアメ

セー、ステファネスク

「サン、マリノ」共和國

クレティ、ドナート

「サルヴァドル」共和國

「ザール」河地方

瑞典國

アンデルス、エルネ

グンナル、ラーゲル

アルヴィド、ピルト

瑞西聯邦

ドクトル、ラインホルト、フレレ

エル、ルーレ

「チェッコスロヴァキア」國

ヴラッフ、クチエラ

ヨセフ、ラダ

「テュニス」國

アッシュ、デュテイユ

「トルコ」國

エスフ、アリフィ

エム、サキン

「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦

ドクトル、ユージェース、ヒルシュヘルド

ドクトル、エス、ラポポルト

アッシュ、セレブリアコヴァ

「ウルグァイ」東方共和國

アルトゥロ、セー、マサネス

「ヴァティカン」市

モンシニョーレ、ジュヒッペ、マッツォリ

「ヴェネズエラ」合衆國

ルイス、アレハンドロ、アギラール

「イエメン」國

「ユーゴースラヴィア」主國

コスタ、プラタノヴィッチ

C 3 (Recto)
(Règl., art. 111, § 2)

COUPON

Timbre du bureau d'origine

L'expéditeur d _____ *)

N° _____

avec valeur déclarée de _____

déposé _____ à _____

pour M _____

à _____

a payé les droits indiqués au verso.

PAYS D'ORIGINE _____

BULLETIN
D'AFFRANCHISSEMENT

Timbre du bureau d'origine

L _____ *) N° _____ de _____ avec valeur déclarée de Fr. _____, expédié _____ par _____

à _____

à l'adresse de _____

_____

à _____
(*Lieu de destination*) (*Rue et numéro*)

doit être remis franc _____ de tous droits

_____
(*Signature de l'expéditeur*)

A renvoyer au bureau d _____

(Indiquer le nom du bureau chargé du recouvrement des frais ou, le cas échéant, celui du bureau auquel la formule doit être renvoyée.)

*) Indiquer la nature de l'objet.

(Dimensions : 105×148 mm., couleur jaune)

(Doit être imprimé en sens inverse du recto) **C 3** (Verso)

DÉTAIL DES DROITS DUS
(dans la monnaie du pays destinataire)

Droit de commission		
Droits de douane		
Droit de dédouanement		
Autres frais		
Total		

soit*) _____

Timbre du bureau recouvrant

*) Dans la monnais du pays d'origine de l'envoi.

TOTAL DES FRAIS DÉBOURSÉS
(Voir le détail sur le coupon)

en chiffres arabes

(dans la monnaie du pays de destination de l'envoi)

Timbre du bureau qui a fait l'avance des frais

en chiffres arabes

soit

(à convertir par l'Administration d'origine de l'envoi)

Date de l'avance	N° du registre	Bureau qui a fait l'avance	Signature de l'agent

Registre d'arrivée

N° _____

Converti par (Signature de l'agent)

Timbre du bureau recouvrant

C 1
(Règl., art. 110, § 1, 1er al.)

税關
DOUANE

(職權ヲ以テ開披スルコトヲ得)
(peut être ouvert d'office)

別箇ノ告知書ナキ場合ニ限リ記入スベシ
該告知書アルトキハ切離スベシ
A remplir seulement en cas d'absence de déclaration séparée ; sinon à détacher

物品ノ種類
Nature de la marchandise _____

_____

純重量
Poids net _____

價格
Valeur _____

_____

(Dimensions : 44×62 mm., couleur verte)

C 2
(Règl., art. 110, § 1, 2e al.)

差立地
LIEU D'EXPÉDITION

名宛地
LIEU DE DESTINATION

_____郵政廳
ADMINISTRATION DES POSTES d _____

稅關告知書
DÉCLARATION EN DOUANE

M _____
(名宛人ノ氏名及居所)
(*Nom et adresse du destinataire*)

郵便物 ENVOIS 箇數 Nombre 1	種類 Espèce 2	包有品ノ表示 DESIGNATION DU CONTENU 3	價格 Valeur 使用スル貨幣單位ヲ正條ニ指示スベシ avec indication précise de l'unité monétaire employée 4	重量 POIDS 全體 Brut グラム Grammes 5	正味 Net グラム Grammes 6	備考 OBSERVATIONS 7
物品ノ原產國又ハ製造國 Pays d'origine ou de fabrication de la marchandise :						

千九百___年___月___日_____ニ於テ
_____, le _____ 19___

差出人
L'expéditeur : _____

(Dimensions : 125×176 ou 148×210 mm.)

C 5 (Recto)
(Règl., art. 126, § 2)

郵 政 廳
ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

(差出局ニ於テ記入スベシ)
(A remplir par le bureau d'origine)

書留郵便物
Envoi recommandé (_____) [1] [2]

書狀 Lettre
箱物 Boîte
小包 Colis
表記金額 avec valeur déclarée de _____ [2]

郵便爲替(金額)
Mandat de poste de _____ [2]

差出(振出)郵便局名
déposé·· au bureau de poste d _____

年月日 番號
le _____ 19__ sous le No _____

差出人氏名
expédié par M _____

名宛人氏名
et adressé à M _____

居所
à _____

括弧内ニハ郵便物ノ種類(書狀、印刷物等)ヲ指示スベシ
1) Indiquer dans la parenthèse la nature de l'envoi (lettre, imprimé, etc.)
不用ノ事項ヲ抹消スベシ
2) Biffer les indications inutiles.

到達證
拂渡通知書
AVIS DE {RÉCEPTION / PAYEMENT} [2]

本書返送局印
Timbre du bureau renvoyant l'avis

(差出人ハ其ノ完全ナル居所氏名ヲ下段ニ記入スベシ)
(A remplir par l'expéditeur qui mentionnera ci-dessous son adresse complète.)

M _____

_____

à _____

(太キ文字ニテ地名)
(*Lieu de destination, en gros caractères*)

(町名番地)
(*Rue et numéro*)

(國名)
(*Pays de destination*)

通信事務
Service des postes

(Dimensions : 105×148 mm., couleur rouge clair.)

C 5 (Verso)

下記ハ表記ノ {郵便物 / 爲替} カ正ニ {交付セラ / 支拂ハ} レタルコトヲ表明ス
Le soussigné déclare que {l'envoi / le mandat} mentionné d'autre part

{交付 / 支拂} 年 月 日
a été dûment {livré / payé} le _____ 19____

名宛局印
Timbre du bureau destinataire

署名
Signature[1]

名宛人
du destinataire :

名宛局員
de l'agent du bureau destinataire :

本書ハ名宛人又ハ名宛國ノ規則カ必要トスルトキハ名宛局員之ニ署名シ第一便ニ依リ差出人ニ之ヲ直接返送スルコトヲ要ス

1) Cet avis doit être signé par le destinataire ou, si les règlements du pays de destination le comportent, par l'agent du bureau destinataire et renvoyé par le premier courrier directement à l'expéditeur.

C 4
(Règl., art. 125, § 3)

R　LAUSANNE 1
No 460

(Dimensions : 13×37 mm.)

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

C 8 (Recto)
(Règl., art. 130, 1er al.)

通　知　券
COUPON
(爲替證書ノ名宛人ニ於テ之ヲ切離スコトヲ得)
(Peut être détaché par le destinataire du mandat)

振出局印
Timbre du bureau d'émission

代金引換金額
「アラビア」數字ニテ記入スベシ
Montant du remboursement en chiffres arabes

郵便物番號
pour l'envoi No

差出年月日
déposé le 19

差出地
à

差出人
par M

名宛人氏名
à l'adresse de

居所
à

代金引換郵便物ノ名宛國
Pays de destination de l'envoi grevé de remboursement

通常郵便物業務
Service des objets de correspondance

國際代金引換爲替證書
MANDAT DE REMBOURSEMENT INTERNATIONAL

金額
de la somme de
(「アラビア」數字ニテ記入スベシ)
(en chiffres arabes)

(單位以上ハ「ラテン」文字ニテ完記スベシ)
(les unités en toutes lettres et en caractères latins)

郵便物番號
Pour l'envoi No

差出年月日
expédié le 19

爲替名宛人
Payable à M

名宛地
Lieu de destination

郵名番地
Rue et numéro

名宛國
Pays de destination

事務用記事
INDICATIONS DE SERVICE 1)

振出 番號 Numéro / 日附 Date / 局 Bureau / 國 Pays — d'émission

拂込金額
Somme versée
(代金引換郵便物名宛國ノ貨幣ニテ記入スベシ)
(Monnaie du pays destinataire de l'envoi grevé de remboursement)

振出局印
Timbre du bureau d'émission

爲替當務者署名
Signature de l'agent qui a dressé la mandat :

代金引換金額ノ取立後郵便物名宛郵政當ニ於テ記入スベキ事項
1) Indications à remplir par l'Administration destinataire de l'envoi après encaissement du montant du remboursement.

(Dimensions : 114×162 ou 105×148 mm., couleur vert clair)

C 8 (Verso)

(裏　書　ノ　場　所)
(Cadre réservé aux endossements, s'il y a lieu)

名宛人ノ受領證
QUITTANCE DU DESTINATAIRE

表記ノ金額受領候也
Reçu la somme indiquée d'autre part

地名
Lieu

年　月　日
Le 19

名宛人署名
Signature du destinataire :

到著番號
Registre d'arrivée

第　號
No

拂渡局印
Timbre de bureau payeur

C 6
(Règl., art 192, 1er al.)

REMBOURSEMENT

(Dimensions: hauteur 18 mm., base 37 mm., couleur orange)

C 7
(Règl., art. 129, 2e al.)

LAUSANNE 1
R
No 460
Remboursement

(Le triangle en couleur orange)

アジア経済研究所 Japan External Trade Organization
http://www.ide.go.jp

C 10 (Recto)

(Règl., art. 146, § 1)

配達局ニ於テ開披スルコトヲ得
Peut être ouvert par le bureau distributeur
徴收スベキ料金額
Montant des taxes à percevoir . . . . . .

日附印
Timbre à date

通信事務
SERVICE DES POSTES

M _____
(名宛人氏名又ハ船舶、旅行取扱所等ノ名)
(Nom du destinataire ou nom du navire, de l'agent du bureau de voyage, etc.)
氣附
Aux soins de _____

(町名及番地)
(Rue et numéro)

(名宛局)
(Bureau de destination)
(名宛國)
(Pays de destination)

(Dimensions : 162×229 mm.)

C 10 (Verso)

開封ノ儘郵便局ニ差出スベシ
A présenter ouvert au bureau de poste

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

C 9
(Règl., art. 140, § 1)

COMPTE PARTICULIER

des mandats de remboursement payés par l'Administration d _____
pour le compte de l'Administration d _____
pendant le mois d _____ 19 . .

No d'ordre	Numéro d'émission	Date d'émission	Bureau d'émission	Montant des mandats	Observations
1	2	3	4	5	6
			Total . . .		
			A déduire ½% du total		
			A déduire Quote-part fixe		
			A déduire (. . . par mandat)		
			Reste au profit de l'Administration d		

(Dimensions : 210×297 mm.)

C 11 (Verso)

電信ニ依ル請求
DEMANDE PAR VOIE TÉLÉGRAPHIQUE
(電報料ハ請求人ノ負擔トス)
(Télégramme aux frais du réclamant)

取戻ノ請求
I. DEMANDE DE RETRAIT [1]

千九百＿＿年＿＿月＿＿日＿＿＿

C 12 (Recto)
(Règl., art. 150, § 1)

郵政廳
ADMINISTRATION DES POSTES

d _____

_____ bd

BUREAU d _____

請求書發送局印
Timbre du bureau expéditeur de la demande

不著普通郵便物取調請求書
RÉCLAMATION D'UN ENVOI ORDINAIRE NON PARVENU

請求人(差出人又ハ名宛人)ノ爲スベキ通報
I. RENSEIGNEMENTS À FOURNIR PAR LE RÉCLAMANT (EXPÉDITEUR OU DESTINATAIRE)

問 Demandes 1	答 Réponses 2
a) 郵便物ノ種類(書狀、郵便葉書、業務用書類、新聞紙其ノ他ノ印刷物、見本又ハ小形包裝物) Nature de l'envoi (*lettre, carte postale, papiers d'affaires, journal ou autre imprimé, échantillon ou petit paquet*).	
b) 郵便物ニ記載シタル名宛 Adresse portée sur l'envoi.	
c) 名宛人ノ正確ナル名宛如何 Quelle est l'adresse exacte du destinataire ?	
d) 郵便物ノ容積ハ大ナリシヤ L'envoi était-il volumineux ?	
e) 郵便物ノ包有品如何.(成ルベク正確完全ニ記載スルコト) Que renfermait-il ? (*Signalement aussi exact et complet que possible*).	
f) 郵便ニ差出シタル正確又ハ概略ノ日附 Date précise ou approximative du dépôt à la poste.	
g) 差出人ノ住所氏名 Nom et domicile de l'expéditeur.	
h) 取調效果アリタル場合ニハ差出人又ハ名宛人ノ何レニ請求郵便物ヲ送付スベキヤ l'expéditeur ou du destinataire, doit-on faire parvenir l'envoi réclamé ?	

差出人ノ爲スベキ通報
II. RENSEIGNEMENTS À FOURNIR PAR L'EXPÉDITEUR

i) 郵便物ハ料金前納ナリシヤ且前納ノ場合ニハ貼附シタル郵便切手ノ額如何 L'envoi était-il affranchi et, dans l'affirmative, quelle était la valeur des timbres-poste apposés ?	
j) 郵便物差出日時 Date et heure du dépôt à la poste.	
k) 窓口ニ差出シタルヤ又ハ郵便函ニ投入シタルヤ後段ノ場合ニハ何處ノ函ナリシヤ Le dépôt a-t-il eu lieu au guichet ou à la boîte ? Dans ce dernier cas, a quelle boîte ?	
l) 差出人自身差出シタルヤ又ハ他人ニ托シ差出シタルヤ後段ノ場合ニハ何人ニ托シタルヤ Le dépôt a-t-il été effectué par l'expéditeur lui-même ou par un tiers ? Dans ce dernier cas, par quelle personne ?	

差出局ノ特別通報
m) Renseignements particuliers du bureau d'origine. _____

本式紙ハ _____ ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス
La présente formule doit être renvoyée à _____

(Dimensions : 210×297 mm.)

C 12 (Verso)

不著普通郵便物取調請求ノ場合ニ名宛人ノ爲スベキ通報
III. RENSEIGNEMENTS À FOURNIR PAR LE DESTINATAIRE EN CAS DE RECLAMATION D'UN ENVOI ORDINAIRE NON PARVENU

問 Demandes 1	答 Réponses 2
n) 郵便物ハ名宛人ニ到達シタルヤ L'envoi est-il parvenu au destinataire ?	
o) 通常郵便物ハ通例郵便局ニ於テ受取ルヤ又ハ住所ニ配達セラルルヤ Les correspondance sont-elles d'ordinaire retirées au bureau de poste ou distribuées à domicile ?	
p) 前段ノ場合ニハ何人ニ受取ヲ托スルヤ A qui sont-elles confiées dans le premier cas ?	
q) 後段ノ場合ニハ直接ニ名宛人ニ又ハ其ノ使用人ニ交付セラルルヤ又ハ受函ニ差入レラルルヤ此ノ場合ニハ其ノ函ヲ良ク閉鎖シ且定刻ニ開函スル Dans le second cas, sont-elles remises directement au destinataire ou à une personne attachée à son service, ou bien déposées dans une boîte particulière ? Le cas échéant, cette boîte est-elle bien fermée et régulièrement levée ?	
r) 通常郵便物ノ亡失ハ從前屢々發生シタルヤ若然ラバ其ノ亡失シタル通常郵便物ハ何國發ノモノナリシカヲ指示スルコト La perte de correspondances s'est-elle déjà produite souvent ? Dans l'affirmative, indiquer la provenance des correspondances perdues.	
s) 名宛局ノ特別通報 Renseignements particuliers du bureau de destination.	

本式紙ハ _____ ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス
La présente formule doit être renvoyée à _____

C 13 (Verso)

表面記載ノ取調ニ依リ郵便物ノ踪跡ヲ證明シ得ザル場合ニ限リ記入スベキ部
A REMPLIR SEULEMENT DANS LE CAS OU LE SORT DE L'ENVOI N'A PU ÊTRE ÉTABLI PAR LES RECHERCHES PRÉVUES AU RECTO.

差出業務ニ於テ記入スベキ部 — A remplir dans le service d'origine.

表記ノ郵便物ハ千九百＿＿年＿＿月＿＿日＿＿交換局發
L'envoi désigné d'autre part a été inséré dans la dépêche du bureau d'échange d＿＿＿＿
＿＿＿＿交換局宛閉嚢(第＿＿＿＿次便)ニ挿入シタリ
du＿＿＿＿19＿＿(—e envoi) pour le bureau d'échange d＿＿＿＿
上記郵便物ハ 書狀日錄第五部又ハ特別日錄 ノ第＿＿行ニ記入シタリ
差立日錄
局印 Timbre du bureau
Il a été inscrit sous le No＿＿ du tableau V de la feuille d'avis ou de la liste spéciale. / de la feuille d'envoi.

署名
Signature :

表記ノ郵便物ハ千九百＿＿年＿＿月＿＿日＿＿交換局發
L'envoi désigné d'autre part a été inséré dans la dépêche du bureau d'échange d＿＿＿＿
＿＿＿＿交換局宛閉嚢(第＿＿＿＿次便)ニ挿入シタリ
du＿＿＿＿19＿＿(—e envoi) pour le bureau d'échange d＿＿＿＿
上記郵便物ハ 書狀日錄第五部又ハ特別日錄 ノ第＿＿行ニ記入シタリ
差立日錄
局印 Timbre du bureau
Il a été inscrit sous le No＿＿ du tableau V de la feuille d'avis ou de la liste spéciale. / de la feuille d'envoi.

署名
Signature :

媒介業務ニ於テ記入スベキ部 — A remplir dans les services intermédiaires.

表記ノ郵便物ハ千九百＿＿年＿＿月＿＿日＿＿交換局發
L'envoi désigné d'autre part a été inséré dans la dépêche du bureau d'échange d＿＿＿＿
＿＿＿＿交換局宛閉嚢(第＿＿＿＿次便)ニ挿入シタリ
du＿＿＿＿19＿＿(—e envoi) pour le bureau d'échange d＿＿＿＿
上記郵便物ハ 書狀日錄第五部又ハ特別日錄 ノ第＿＿行ニ記入シタリ
差立日錄
局印 Timbre du bureau
Il a été inscrit sous le No＿＿ du tableau V de la feuille d'avis ou de la liste spéciale. / de la feuille d'envoi.

署名
Signature :

表記ノ郵便物ハ千九百＿＿年＿＿月＿＿日＿＿交換局發
L'envoi désigné d'autre part a été inséré dans la dépêche du bureau d'échange d＿＿＿＿
＿＿＿＿交換局宛閉嚢(第＿＿＿＿次便)ニ挿入シタリ
du＿＿＿＿19＿＿(—e envoi) pour le bureau d'echange d＿＿＿＿
上記郵便物ハ 書狀日錄第五部又ハ特別日錄 ノ第＿＿行ニ記入シタリ
差立日錄
局印 Timbre du bureau
Il a été inscrit sous le No＿＿ du tableau V de la feuille d'avis ou de la liste spéciale. / de la feuille d'envoi.

署名
Signature :

RÉPONSE DÉFINITIVE

名宛郵政廳又ハ場合ニ依リ取調請求郵便物ヲ次ノ郵政廳ニ正當ニ遞送シタルコトヲ立證シ得ザル媒介郵政廳ノ確答
de l'Administration destinataire ou, le cas échéant, d'Administration intermédiaire qui ne peut établir la transmission régulière de l'envoi réclamé à l'Administration suivante.

C 13 (Recto)
(Règl., art. 151, § 1)

＿＿＿＿ 郵政廳
ADMINISTRATION DES POSTES
d＿＿＿＿

＿＿＿＿局
BUREAU d＿＿＿＿

差出局印 Timbre du bureau d'origine

取調請求書
RÉCLAMATION

差出業務ニ於テ記入スベキ部 — A remplir dans le service d'origine

書留郵便物 d'un envoi recommandé (＿＿＿＿) 代金引換 (a) remboursement (＿＿＿＿)
又ハ ＿＿＿＿ノ價格表記 書狀 / 箱物 ou d'une lettre / boîte avec valeur déclarée de (＿＿＿＿) 代金引換 (b) remboursement (＿＿＿＿)
包有品 contenant (＿＿＿＿) (c)
差出人 déposé-par M＿＿＿＿ 差出年月日 le＿＿＿＿19＿＿
番號 sous le No＿＿＿＿ 引受局名 au bureau d＿＿＿＿ 名宛人 à l'adresse suivante :
＿＿＿＿
＿＿＿＿
到達證ヲ請求シタリ et faisant l'objet d'une demande d'avis de réception (d)

名宛業務ニ於テ記入スベキ部 — A remplir dans le service de destination

配達ノ場合 en cas de distribution

下名ハ前記郵便物ガ千九百＿＿年＿＿月＿＿日權利者ニ正ニ交付セラレタルコトヲ表明ス
Le soussigné déclare qui l'envoi susmentionné a été dûment livré à l'ayant droit le＿＿19＿＿
代金引換額ハ千九百＿＿年＿＿月＿＿日爲替證書第＿＿號ニ依リ郵便物ノ差出人ニ送付セラレタリ
Le montant du remboursement a été transmis à l'expéditeur de l'envoi par le mandat No＿＿ le＿＿19＿＿
代金引換金額ハ千九百＿＿年＿＿月＿＿日爲替證書第＿＿號ニ依リ＿＿貯金局ニ送付セラレタリ
Le montant du remboursement a été transmis au bureau de chèques postaux d＿＿＿＿ par le mandat No＿＿＿＿ le＿＿19＿＿
代金引換額ハ千九百＿＿年＿＿月＿＿日郵便振替口座ニ拂込マレタリ
Le montant du remboursement a été mis en compte courant postale le＿＿＿＿19＿＿

配達局印 Timbre du bureau distributeur
配達局長 Le Chef du bureau distributeur :

配達セザル場合 en cas de non-distribution

下名ハ前記郵便物ガ
Le soussigné déclare qui l'envoi susmentionné＿＿＿＿
尙＿＿＿＿局ニ保管セラレアルコト
est encore en instance au bureau d＿＿＿＿
千九百＿＿年＿＿月＿＿日差出局ニ返送セラレタルコト
a été renvoyé au bureau d'origine le＿＿＿＿19＿＿
千九百＿＿年＿＿月＿＿日＿＿ニ轉送セラレタルコト
a été réexpédié le＿＿19＿＿ à＿＿＿＿(f)
名宛局ニ到達セザルコトヲ表明ス名宛人ノ申立書添附ス
n'est pas parvenu au bureau de destination. La déclaration du destinataire est ci-jointe.

配達局印 Timbre du bureau distributeur
配達局長 Le Chef du bureau distributeur :

書狀、印刷物、見本等
(a) Lettre, imprimé, échantillon, etc.
價格表記金額
(b) Montant de la valeur déclarée.
成ルベク包有品ノ細項ヲ記載スベシ
(c) Description du contenu, autant que possible.
差出人ニ於テ記入スベキ部其ノ記入ナキトキハ差出局ニ於テ記入スベキ部、名宛ハ正確完全ニ記入スベシ
(d) Cadre à remplir par l'expéditeur ou, à défaut, par le bureau d'origine; mentionner l'adresse exacte et complète.
場合ニ依リ抹消スベシ
(e) Briffez, le cas échéant.
名宛ハ正確完全ニ指示スベシ
(f) Indiquer l'adresse exacte et complète.

(Dimensions : 210×297 mm.)

ADMINISTRATION DES POSTES

d _____

C 15
(Règl., art. 153, lettre *b*)

Timbre du bureau de destination

PROCÈS-VERBAL

dressé à _____ par application de l'article 81 de la Convention de l'Union postale universelle et de l'article 153 de son Règlement.

Emploi d'un timbre-poste frauduleux ou d'une empreinte contrefaite de machine à affranchir

L'an mil neuf cent _____, le _____ 19____

Nous soussigné, _____ des postes à _____, agissant en vertu de l'article 81 de la Convention de l'Union postale universelle et de l'article 153 de son Règlement et assistant à la vérification d— _____ [1]) expédié _____ le _____ 19____ d _____ à l'adresse de M _____ à _____, pesant _____ et affranchi _____ à raison de _____, avons constaté que cet envoi était revêtu [2]) {d'un timbre-poste présumé frauduleux, / d'une empreinte contrefaite de machine à affranchir,} ce qui constitue la contravention prévue par l'article 81 de la Convention.

Le destinataire nous a déclaré [2]) {que l'expéditeur est M [3]) _____ / que l'expéditeur lui est inconnu, / qu'il refusait de faire connaître l'expéditeur.}

En conséquence,

[2]) {nous lui avons remis _____ / nous avons saisi _____}

à l'effet 1 _____ transmettre à l'Administration des postes d _____

De quoi nous avons dressé le présent procès-verbal en simple expédition pour qu'il y soit donné suite conformément à l'article 81 de la Convention et à l'article 153 du Règlement susmentionnés.

Signature du destinataire ou de son fondé de pouvoir: _____

Signature de l'agent du bureau de destination: _____

1) Nature de l'envoi (lettre, papiers d'affaires, imprimé, échantillon, etc.).

2) Biffer, suivant le cas, l'une ou l'autre de ces indications.

3) Nom et adresse du contrevenant (s'il habite une grande ville, indiquer la rue et le numéro de la maison).

(Dimensions: 148×210 ou 210×297 mm.)

ADMINISTRATION DES POSTES

d _____

BUREAU d _____

C 14
(Règl., art. 153, lettre *a*)

Timbre de bureau expéditeur

AVIS DE L'ENVOI

sous recommandation d'office, de l'objet de correspondance décrit ci-après paraissant revêtu d'un timbre-poste frauduleux ou d'une empreinte contrefaite de machine à affranchir.

Nature de l'objet	Bureau d'origine et date d'expédition	Copie textuelle de l'adresse	Indication de l'irrégularité présumée	Observations
1	2	3	4	5

Le Chef du bureau: _____

(Dimensions: 148×210 mm.)

C 17
(Règl. art. 154 § 2, lettre c)

PAYS D'ORIGINE

PAYS DE DESTINATION

LISTE SPÉCIALE No_____

Timbre du bureau expéditeur

Timbre du bureau destinataire

des envois recommandés de la dépêche No_____ (____e envoi)

d _____ pour _____

No. d'ordre 1	Bureau d'origine 2	Numéro d'ordre de l'envoi 3	Observations 4	No. d'ordre 1	Bureau d'origine 2	Numéro d'ordre de l'envoi 3	Observations 4
1				31			
2				32			
3				33			
4				34			
5				35			
6				36			
7				37			
8				38			
9				39			
10				40			
11				41			
12				42			
13				43			
14				44			
15				45			
16				46			
17				47			
18				48			
19				49			
20				50			
21				51			
22				52			
23				53			
24				54			
25				55			
26				56			
27				57			
28				58			
29				59			
30				60			

L'agent du bureau d'échange expéditeur:

L'agent du bureau d'échange destinataire:

(Dimensions: 210×297 mm.)

C 16
(Règl., art. 154, § 1)

PAYS D'ORIGINE

PAYS DE DESTINATION

Timbre du bureau expéditeur

FEUILLE D'AVIS

Timbre du bureau destinataire

Dépêche (____e envoi) du bureau d'échange d _____

pour le bureau d'échange d _____

expédiée le _____ 19____, à _____ h. _____ m.

I. Envois ordinaires

par exprès [1]) par avion [1])

[1]) Souligner la mention valable.

II. Numéro de la dépêche et nombre des sacs

Numéro d'ordre de la dépêche _____

Paquebot _____

Via _____

Nombre des sacs composant la dépêche (y compris les sacs contenant les sacs vides renvoyés) _____

III. Récapitulation des envois inscrits

	Nombre
Sacs / Paquets } contenant des envois recommandés	
Listes spéciales d'objets recommandés	
Total des envois recommandés	
Sacs / Paquets } contenant des envois avec valeur déclarée	
Feuilles d'envoi d'objets avec valeur déclarée	
Total des envois avec valeur déclarée	

IV. Indications de service

	Nombre
Sacs utilisés pour la confection de la dépêche appartenant à l'Administration expéditrice, y compris les sacs pour les objets recommandés.	
Sacs en retour appartenant à l'Administration destinataire	

V. Liste des envois recommandés

(S'il n'y a pas d'objets recommandés porter la mention "Néant")

No d'ordre 1	Bureau d'origine 2	No d'ordre de l'envoi 3	Observations 4
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

VI. Dépêches closes insérées dans la présente dépêche

Bureau d'origine 1	Bureau de destination 2	Nombre des sacs ou paquets 3

L'agent du bureau d'echange expéditeur:

L'agent du bureau d'échange destinataire:

(Dimensions: 210×297 mm.)

C 19
(Régl., art. 163, § 1)

PAYS D'ORIGINE

PAYS DE DESTINATION

FEUILLE D'AVIS

Timbre du bureau expéditeur

Timbre du bureau destinataire

Dépêche (__e envoi) bureau d'échange d _____

pour le bureau d'échange d _____

expédiée le ..... 19__, à ____h. ____m.

Transit en dépêches closes	Description des sacs	Nombre de sacs dont le poids brut ne dépasse pas 5 kg (sacs légers)	dépasse 5 kg sans excéder 15 kg (sacs moyens)	dépasse 15 kg sans excéder 30 kg (sacs lourds)
	L. C.			
	A. C.			

Nombre de sacs exempts de frais de transit _____

I.—Envois ordinaires
par exprès [1]) par avion [1])
[1]) souligner la mention valable.

II.—Numéro de la dépêche et nombre des sacs

Numéro d'ordre de la dépêche _____
Paquebot _____
Via _____
Nombre des sacs composant la dépêche (y compris les sacs contenant les sacs vides renvoyés) _____

III.—Récapitulation des envois inscrits

	Nombre
Sacs / Paquets } contenant des envois recommandés	
Listes spéciales d'objets recommandés ..	
Total des envois recommandés	
dont—"A. O." et—, "Exempt" dans les sacs "ad hoc" [1])	
Sacs / Paquets } contenant des envois avec valeur déclarée	
Feuilles d'envoi d'objets avec valeur déclarée	
Total des envois avec valeur déclarée ..	

[1]) Ne remplir qui lorsque les envois recommandés "(A.O." et "Exempt" (art 75 de la Convention) ont été insérés dans les sacs "ad hoc" (art. 162, § 2, du Règlement de la Convention).

V.—Liste des envois recommandés
(S'il n'y a pas d'objets recommandés, porter la mention "Néant")

	No d'ordre 1	Bureau d'origine 2	No d'ordre de l'envoi 3	Observations 4
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			

IV.—Indications de service

	Nombre
Sacs utilisés pour la confection de la dépêche appartenant à l'Administration expéditrice y compris les sacs pour les objets recommandés	
Sacs en retour appartenant à l'Administration destinataire	

VI.—Dépêches closes insérées dans la Présente dépêche

Bureau d'origine 1	Bureau de destination 2	Nombre des sacs ou paquets 3

L'agent du bureau d'échange expéditeur: _____

L'agent du bureau d'échange destinataire: _____

(Dimensions: 210×297 mm.)

C 18
(Règl., art. 159, § 1)
CORRESPONDANCE AVEC L'ADMINISTRATION
d _____

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

BUREAU d _____

BULLETIN DE VÉRIFICATION

Timbre du bureau expéditeur du bulletin

Timbre du bureau destinataire du bulletin

pour la constatation et la rectification des erreurs et irrégularités de toute nature reconnues dans la dépêche
No _____
du bureau d'échange d _____
pour le bureau d'échange d _____

____e expédition du _____19__, à ____h. ____.

ERREURS OU IRRÉGULARITÉS DIVERSES

(Manque de la dépêche, manque d'envois recommandés ou de la feuille d'avis, dépêche spoliée, sac déchiré ou en mauvais état, etc.)

_____, le _____ 19__

Les agents du bureau d'échange destinataire de la dépêche: _____

_____, le _____ 19__

Vu et accepté:
Le Chef du bureau d'échange expéditeur de la dépêche: _____

(Dimensions: 148×210 mm.)

アジア経済研究センター
Japan External Trade Organization

ADMINISTRATION DES POSTES

d _____

BUREAU d _____

C 21
(Règl., art. 164, § 1)

Administration expéditrice : _____

Administration destinataire : _____

TRANSIT EN DÉPÊCHES CLOSES

Dépêches du bureau d'échange d _____

pour le bureau d'échange d _____

expédiées par l'intermédiaire d _____

et par des paquebots d _____

Date	Première dépêche expédiée à ——— h. du ———						Deuxième dépêche expédiée à ——— h. du ———					
	Lettres et cartes postales			Autres objets			Lettres et cartes postales			Autres objets		
	Nombre de sacs						Nombre de sacs					
	jusqu'à 5 kg	de plus de 5 jusqu'à 15 kg	de plus de 15 kg	jusqu'à 5 kg	de plus de 5 jusqu'à 15 kg	de plus de 15 kg	jusqu'à 5 kg	de plus de 5 jusqu'à 15 kg	de plus de 15 kg	jusqu'à 5 kg	de plus de 5 jusqu'à 15 kg	de plus de 15 kg
	Sacs légers	Sacs moyens	Sacs lourds	Sacs légers	Sacs moyens	Sacs lourds	Sacs légers	Sacs moyens	Sacs lourds	Sacs légers	Sacs moyens	Sacs lourds
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
Tataux												

——————, le ——————19——

Le Chef du bureau d'échange destinataire :

——————, le ——————19——

Vu et accepté :
Le Chef du bureau d'échange expéditeur :

(Dimensions : 210×297 mm.)

ADMINISTRATION DES POSTES

d _____

BUREAU d _____

C 20
(Règl., art. 163, § 2)

STATISTIQUE DE TRANSIT
BULLETIN DE VÉRIFICATION

Timbre du bureau expéditeur

pour la constatation et la rectification des erreurs et irrégularités reconnues dans la dépêche

du bureau d'échange d _____

pour le bureau d'échange d _____

——e expédition du ——————19——à——h.——

Timbre du bureau destinataire

	Nombre de sacs	
	d'après la déclaration du bureau expéditeur	d'après la constatation du bureau destinataire
	1	2
Transit en dépêches closes :		
a) L. C. Sacs légers		
Sacs moyens		
Sacs lourds		
b) A. O. Sacs légers		
Sacs moyens		
Sacs lourds		
c) Sacs exempts de tous frais de transit		

OBSERVATIONS

Prière de renvoyer ce bulletin après examen et acceptation au bureau de poste d _____

——————, le ——————19——

Les agents du bureau d'échange destinataire :

——————, le ——————19——

Vu et accepté :
Le Chef du bureau d'échange expéditeur :

(Dimensions : 210×297 mm.)

C 23

(Règl., art. 167, § 1)

Avis. — A transporter à découvert simultanément avec la dépêche à laquelle ce bulletin se rapporte et à remplir avant la remise.

Administration expédirice: _____ Administration destinataire: _____

BULLETIN DE TRANSIT DES DÉPÊCHES

Bureau d'origine: _____ Bureau de destination: _____

Date de l'expédition: _____ No de la dépêche: _____ Nombre de sacs: _____

Attention! Chaque Administration ne dispose que d'une seule ligne pour les indications concernant le transit territorial et d'une seule autre ligne pour le transit maritime éventuel.

Les renseignements concernant le transit doivent être indiqués successivement par le bureau d'echange d'entrée et le bureau d'échange de sortie de chaque Administration participant au transport des dépêches, à l'exclusion de tout autre bureau intermédiaire, en commençant par le premier bureau d'échange étranger. Le dernier bureau d'échange intermédiaire doit transmettre le bulletin directement au bureau de destination qui le renvoie au bureau d'origine joint au relevé C 21 respectif.

1	Date d'arrivée 2	Timbre du bureau d'échange d'entrée 3	Date expédition 4	Timbre du bureau d'échange de sortie 5	Services utilisés (En cas de transit territorial, indiquer T. t., et la route suivie. En cas de transit maritime, indiquer T. m., la route suivie et le nom et la nationalité du paquebot) 6	Pays auquel revient le transit 7
Premier parcours ...						
Deuxième parcours ...						
Troisième parcours ...						
Quatrième parcours ...						
Cinquième parcours ...						
Sixième parcours ...						
Septième parcours ...						
Huitième parcours ...						
Neuvième parcours ...						
Dixième parcours ...						

(Dimensions: 210×297 mm., couleur verte)

ADMINISTRATION EXPÉDITRICE

C 22

(Règl., art. 165, § 1)

LISTE DES DÉPÊCHES CLOSES

expédiées par l'intermédiaire de l'Administration d _____

pendant la période de statisque du _____

Bureau		Date d'expédition	Voie de transmission	Observations
expéditeur 1	destinataire 2	3	4	5

(Dimensions: 210×297 mm.)

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

C 24
(Règl., art. 169, § 4)

TRANSIT EN DÉPÊCHES CLOSES

Compte des sommes dues à l'Administration d _____ pour le transport des dépêches closes expédiées par l'Administration d _____ en transit par les services _____ pendant l'année 19____

Bureau d'origine	Bureau de destination	Dépêches expédiées pendant la période de la statistique — Lettres et cartes postales — Nombre de sacs du poids moyen de 3 kg	12 kg	24 kg	Poids totaux	Prix de transit par kg	Avoir de	Autres objets — Nombre de sacs du poids moyen de 3 kg	12 kg	24 kg	Poids totaux	Prix de transit par kg	Avoir de	Observations
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					kg	Fr. c.	Fr. c.				kg	c.	Fr. c.	
Total des lettres et des cartes postales								Total des autres objets						
Report du total des lettres et des cartes postales														
Total														
Multiplié par 26 (ou 13) / A déduire 10%														
Total à reporter au relevé (Formule C 25)														

_____ le _____ 19____

_____, le _____ 19____

Vu et accepté :

(Dimensions : 210×297 mm.)

C 25
(Règl., art. 170, § 2)

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

FRAIS DE TRANSIT ORDINAIRES

RELEVÉ

indiquant les montants totaux des comptes particuliers réciproques entre les Administrations des postes d _____ et d _____

Sommes dues pour chacune des années sur la base de la statistique d _____	Avoir de l'Administration d _____	d _____
1	2	3
	Fr.	Fr.
Dépêches closes		
Envois d _____		
Envois d _____		
Totaux		
Déduction		
Solde au crédit de l'Administration d _____		

_____, le _____ 19____

Signature :

(Dimensions : 148×210 ou 210×297 mm.)

C 26
(Règl., art. 172, § 1)

COUPON-RÉPONSE INTERNATIONAL

a)_____

b)_____

c)

(Dessin)

Timbre du bureau d'origine

Timbre du bureau d'échange

d) Ce coupon est échangeable dans tous les pays de l'Union contre un timbre-poste ou des timbres-poste représentant le montant de l'affranchissement d'une lettre ordinaire de port simple à destination de l'étranger.

(Nom du pays d'émission)

a) Traduction de l'en-tête dans la langue du pays d'émission.

b) Cet espace est occupé par une traduction du texte *d*) dans la langue du pays d'émission.

c) Prix de vente dans le pays d'émission.

d) Cette explication est répétée au verso dans les langues de plusieurs pays.

(Dimensions : 74×105 mm.)

C 27
(Règl., art. 172, § 5)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

COUPONS-RÉPONSE

RELEVÉ

des coupons échangés dans les relations réciproques entre les Administrations d_____
et d_____ pendant_____ 19____

1	2	3	
	Nombre	Valeur calculée à 35 c. par unité	
		Fr.	c.
Coupons émis par_____ et échangés contre des timbres-poste d_____			
Coupons émis par_____ et échangés contre des timbres-poste d_____			
Solde au {crédit / débit} de l'Administration d_____			

_____, le_____ 19____

(Dimensions : 148×210 mm.)

C 29

(Règl., art. 175, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES

d_____

COMPTE

des frais de douane, etc., payés par l'Administration d _____

pour le compte de l'Administration d _____

Mois d _____ 19____.

Numéro d'ordre 1	Date des avances 2	Numéro du bulletin d'affranchissement 3	BUREAU qui a fait l'avance 4	Montant de chaque bulletin d'affranchissement 5		Observations 6
			TOTAL			

(Dimensions : 210×297 mm.)

C 28

(Règl., art. 173, § 2)

4

SIGNALEMENT [1]

Date de naissance : _____

Lieu de naissance : _____

Taille : _____

Cheveux : _____

Yeux : _____

Teint : _____

Marques particulières : _____

[1]) Les indications du signalement doivent, le cas échéant, porter une traduction interlinéaire en langue française.

1

UNION POSTALE UNIVERSELLE
ADMINISTRATION DES POSTES

d_____

CARTE D'IDENTITÉ

1. Cette carte est reconnue comme pièce justificative d'identité pour les opérations postales.
2. Les cartes d'identité sont délivrées exclusivement par le service des postes. Elles sont valables pendant trois ans. Toutefois si, pendant cette période, la physionomie du titulaire s'est modifiée au point de ne plus répondre à la photographie ou au signalement, la carte doit être renouvelée.
3. Les Administrations des postes ne sont pas responsables des conséquences que peuvent entraîner la perte, la soustraction ou l'emploi frauduleux de la présente carte.

(Dimensions : 105×148 mm.)

2

Photographie

Timbre-poste

(La moitié sur la photographie)

Signature du titulaire :

3

CARTE D'IDENTITÉ

No_____

valable jusqu'au _____ 19____

Titulaire { Nom : _____
Prénoms : _____
Profession : _____
Domicile : _____

Délivrée par le bureau ou le service

d_____

le _____ 19____

Le Chef de service :

Timbre à date ou sceau officiel.

I. GÉNÉRALITÉS

Colonne			Colonne		
	Année _____		5	Nombre d'habitants par bureau de poste	_____
1	Pays _____		6	Nombre, par habitant, des lettres et cartes postales soumises à la taxe dans le service intérieur et des mêmes objets pour l'étranger	_____
2	Superficie en kilomètres carrés	_____			
3	Nombre d'habitants	_____	7	Nombre, par habitant, des autres objets de correspondance soumis à la taxe dans le service intérieur et des mêmes objets pour l'étranger.	_____
4	Nombre de kilomètres carrés par bureau de poste	_____			

II. ORGANISATION DES POSTES

Colonne			Colonne		
	Nombre des bureaux de poste :			Nombre des fonctionnaires, employés, etc. :	
8	à l'intérieur	_____	14	Service de l'Administration centrale et des Administrations régionales	_____
	a) Bureaux chargés de la réception et de la distribution des envois postaux de toute nature	_____	15	Service des bureaux de poste...	_____
			16	Total du personnel	_____
	b) Bureaux dont les attributions de réception et de distribution d'envois postaux sont restreintes ...	_____	17	Nombre des entrepreneurs du transport des malles	_____
			18	Nombre des relais de la poste aux chevaux de l'Etat et privés	_____
	c) Bureaux ambulants (Nombre de services fonctionnant tant à l'aller qu'au retour)	_____	19	Nombre des chevaux de trait, etc., de l'Etat et privés (Services gratuits et services subventionnés)	_____
9	à l'étranger	_____	20	Nombre des voitures (à l'exception des automobiles) et des traîneaux de l'Etat et privés (Services gratuits et services subventionnés)	_____
10	Total des bureaux de poste ...	_____			
11	Nombre des Administrations des postes régionales	_____	21	Nombre des automobiles et des motocyclettes de l'Etat et privés (Services gratuits et services subventionnés)	_____
12	Nombre des boîtes aux lettres à l'usage du public	_____			
13	Nombre des machines à affranchir en usage	_____	22	Nombre des vélocipèdes (tricycles et bicycles)	_____

C 30

(Règl., art. 190 § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES D _____

TABLEAU STATISTIQUE

DU SERVICE POSTAL EN _____

ANNÉE 19____

(Dimensions : 210×297 ou 420×594 mm.)

III. SERVICE POSTAL (*suite*)

Recouvrements:	Service intérieur		Service international					
			Réception		Expédition		Transit	
	Colonne		Colonne		Colonne		Colonne	
Nombre	48		84		118		—	—
Valeurs à encaisser (Francs)	49		85		—	—	—	—
Non encaissés (Nombre)	50		86		—	—	—	—
Chèques et virements postaux:								
Nombre de comptes	51		—	—	—	—	—	—
Opérations (versements, remboursements et virements — Service intérieur)—Nombre	52		—	—	—	—	—	—
Montant (Francs)	53		—	—	—	—	—	—
Virements dans le service international—Nombre	—	—	87		119		—	—
Montant (Francs)	—	—	88		120		—	—
Journaux et écrits périodiques servis par abonnement:								
Nombre des abonnements	54		89		121		—	—
Nombre des numéros	55		90		122		—	—
Nombre des voyageurs transportés	56		—	—	—	—	—	—
Nombre des dépêches closes en transit	—	—	—	—	—	—	141	

IV. CORRESPONDANCES-REBUT. Service intérieur

	Colonne	Correspondances ordinaires et recommandées tombées en rebut (Nombre)	Colonne	Correspondances en rebut qui ont pu être remises en distribution ou renvoyées aux expéditeurs	Colonne	Correspondances restées en souffrance
Lettres et cartes postales ordinaires et recommandées	142		144		146	
Papiers d'affaires, imprimés, échantillons et petits paquets ordinaires et recommandés	143		145		147	

IV. CORRESPONDANCES-REBUT. Service international

	Colonne	Correspondances de l'intérieur pour l'étranger qui sont rentrées au bureau des rebuts.	Colonne	Correspondances en rebut renvoyées de l'étranger et qui ont pu être placées.	Colonne	Correspondances renvoyées de l'étranger qui sont restées en souffrance.	Colonne	Correspondances de l'étranger tombées en rebut et renvoyées au pays d'origine.
Lettres et cartes postales ordinaires et recommandées	148		150		152		154	
Papiers d'affaires, imprimés, échantillons et petits paquets ordinaires et recommandés	149		151		153		155	

III. SERVICE POSTAL

Objets de la poste aux lettres ordinaires et recommandés:	Service intérieur	Service international					
		Réception		Expédition		Transit	
Envois soumis à la taxe (Nombre):	Colonne	Colonne		Colonne		Colonne	
Lettres affranchies	23	57		91		123*)	
„ non affranchies	24	58		92		124*)	
Cartes postales (simples et avec réponse payée)	25	59		93		125*)	
Papiers d'affaires	26	60		94		126*)	
Imprimés	27	61		95		127*)	
Echantillons de marchandises	28	62		96		128*)	
Petits paquets	29	63		97		129*)	
Envois admis à la franchise de port (Nombre)	30	64		98		130*)	
Totaux des envois inscrits aux colonnes 23 à 30, 57 à 64, 91 à 98 et 123 à 130 (Nombre)	31	65		99		131*)	
Envois recommandés trouvés parmi les correspondances inscrites aux colonnes 31, 65, 99 et 131 (Nombre)	32	66		100		132*)	
Envois "par avion" trouvés parmi les correspondances inscrites aux colonnes 31, 65, 99 et 131 (Nombre)	33	67		101		133*)	
Lettres et boîtes avec valeur déclarée:							
Nombre	34	68		102		134*)	
Valeur (Francs)	35	69		103		135*)	
Envois "par avion" trouvés parmi les envois inscrits aux colonnes 34, 68, 102 et 134 (Nombre)	36	70		104		136*)	
Colis:							
Colis ordinaires (Nombre)	37	71		105		137*)	
Colis avec valeur déclarée:							
Nombre	38	72		106		138*)	
Valeur (Francs)	39	73		107		139*)	
Colis "par avion" trouvés parmi les envois inscrits aux colonnes 37, 71, 105, 137 et 38, 72, 106, 138 (Nombre)	40	74		108		140*)	
Remboursements:							
Objets de correspondance (Nombre)	41	75		109		—	—
Montant des remboursements (Francs)	42	76		110		—	—
Colis (Nombre)	43	77		111		—	—
Montant des remboursements (Francs)	44	78		112		—	—
Remboursements non recouvrés (Nombre)	45	79		113		—	—
Mandats de poste:							
Nombre	46	80		114		—	—
Valeur (Francs)	47	81		115		—	—
Bons postaux de voyage:							
Nombre	—	82		116		—	—
Valeur (Francs)	—	83		117		—	—

*) Les chiffres à indiquer dans les colonnes 123 à 140 ne doivent se rapporter qu'au transit à découvert.

C 31
(Règl., art. 190, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES d_____

TABLEAU STATISTIQUE

DU

SERVICE INTERNATIONAL (EXPÉDITION)

POUR L'ANNÉE 19 ____

(Dimensions : 210×297 ou 420×594 mm.)

V. RÉSULTAT FINANCIER

Colonne	Recettes	Francs	Colonne	Dépenses	Francs
156	Produit de la vente des timbres-poste et autres formules d'affranchissement		161	Traitements et émoluments : *a*) des fonctionnaires et employés	
157	Recettes effectuées en numéraire (y compris les machines à affranchir)			*b*) des facteurs et autres agents subalternes	
158	Taxes perçues pour le transport des voyageurs et pour surpoids de bagages et autres recettes diverses		162	Achat et entretien des bâtiments et du matériel des postes, frais de location, de chauffage et d'éclairage, fournitures de bureau et autres menus frais ..	
159	Bonifications reçues des Administrations étrangères		163	Frais de transport par les voies ferrées, pavées, macadamisées, maritimes, fluviales et aériennes (y compris les frais de construction et d'entretien des voitures postales ainsi que les subventions aux entrepreneurs de relais de poste)	
160	TOTAL DES RECETTES		164	Indemnités pour perte et avarie d'envois postaux	
			165	Subventions aux compagnies de navigation	
			166	Bonifications payées aux Administrations étrangères	
			167	Autres dépenses diverses	
			168	TOTAL DES DÉPENSES	
			—	TOTAL DES RECETTES	
			169	Excédent des recettes	
			170	Excédent des dépenses	

Pays	Objets de la poste aux lettres ordinaires et recommandés: Envois soumis à la taxe: Lettres affranchies	Lettres non affranchies	Cartes postales simples et avec réponse payée	Papiers d'affaires	Imprimés	Echantillons de marchandises	Petits paquets	Envois admis à la franchise de port	Totaux des envois inscrits aux colonnes 2—9	Envois recommandés trouvés parmi les correspondances inscrites aux colonnes 2—9	Envois "par avion" trouvés parmi les correspondances inscrites aux colonnes 2—9	Lettres et boîtes avec valeur déclarée: Nombre	Valeur	Envois "par avion" trouvés parmi les envois inscrits à la colonne 13	Colis: Nombre ordinaires	avec valeur déclarée: Nombre	Valeur	"Colis" par avion" trouvés parmi les envois inscrits aux colonnes 16 et 17	Remboursements: Objets de correspondance	Montant des remboursements	Colis: Nombre	Montant des remboursements	Mandats de poste: Nombre	Valeur	Bons postaux de voyage: Nombre	Valeur	Recouvrements	Virements postaux: Nombre	Montant	Journaux, etc., servis par abonnement
1	Nombre 2	Nombre 3	Nombre 4	Nombre 5	Nombre 6	Nombre 7	Nombre 8	Nombre 9	Nombre 10	Nombre 11	Nombre 12	Nombre 13	Fr. 14	Nombre 15	Nombre 16	Nombre 17	Francs 18	Nombre 19	Nombre 20	Francs 21	Nombre 22	Francs 23	Nombre 24	Francs 25	Nombre 26	Francs 27	Nombre 28	Nombre 29	Francs 30	Nombre des numéros 31
I. EUROPE																													
II. AFRIQUE																													
III. AMÉRIQUE																													
IV. ASIE																													
V. AUSTRALIE et OCÉANIE																													
TOTAUX																													

マリヤ、コレーア、パラダ、パ、グルス（附錄）

「ホーマニア」國
イツリヨ、マネアメ
セー、ステファネスク
「サン、マリノ」共和國
クレティ、ドナート
「サール」河地方
遲羅國
瑞典國
アンデルス、エルネ
グンナル、ラーゲル
アルヴィド、ピルト
瑞西聯邦
ドクトル、ラインホルト、フレレ
ル、ルーレ
「チエツコスロヴァキア」國
ワツラフ、クチエラ
ヨセフ、ラダ
「テュニス」國
アッシュ、デュテイユ
「トルコ」國
エスフ、アリフィ
エム、サキン
「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦
ドクトル、エージエーヌ、ヒルシュヘルド
ドクトル、エス、ラポポルト
アッシュ、セレブリアコヴア
「ヴァティカン」市
モンシニヨーレ、ジュセツペ、マツツオリ
「ヴェネズエラ」合衆國
ルイス、アレハンドロ、アギラール
「イエメン」國
「ユーゴースラヴィア」王國
コスタ、ズラタノヴイッチ

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

VD 1
(Règl., art. 101)

Echange de lettres et boites avec valeur déclarée entre pays non limitrophes.

TABLEAU indiquant les pays pour lesquels l'Administration des postes d _____ est à même de servir d'intermédiaire.

Numéro d'ordre	Pays de destination	Voies de transmission	Désignation des pays intermédiaires et des services maritimes à employer	Limite de la déclaration de valeur	Admission des boites avec valeur déclarée	Nombre de déclarations en douane à joindre aux boites	Observations
1	2	3	4	5	6	7	8

(Dimensions : 210×297 mm.)

VD 2
(Règl., art. 107, § 2)

V | Amsterdam | No 732

(Dimensions : 13×37 mm., couleur rouge)

VD 3
(Règl., art. 108, § 1)

PAYS D'ORIGINE

PAYS DE DESTINATION

FEUILLE D'ENVOI
DES LETTRES ET BOÎTES AVEC VALEUR DÉCLARÉE
expédiées par le bureau d'échange d _____
au bureau d'échange d _____

Timbre du bureau expéditeur

Timbre du bureau destinataire

Départ (_____e envoi) du _____19___, à _____h._____m.

Numéro d'ordre	Bureau d'origine	Numéro d'ordre de l'envoi	Lieu de destination	Montant des valeurs déclarées	Observations
1	2	3	4	5	6
1					
2					
3					
4					
5					
—					
—					
—					
21					

Les agents du bureau expéditeur :

Les agents du bureau destinataire :

(Dimensions : 148×210 ou 210×297 mm.)

㊄小包郵便物ニ關スル約定ノ施行規則

昭和九年十二月遞信省第三千二百四十九號

昭和九年十二月條約第八號「カイロ」締結小包郵便物ニ關スル約定ノ施行規則左ノ如シ

小包郵便物ニ關スル約定ノ施行規則

目次

第一章　總則　第一條―第一條　送達
第二章　送達方法　第二條―第十條
第三章　代金引換小包　第十一條―第十五條
第四章　票符　第十六條―第二十一條
第五章　運送小包　第二十二條―第二十八條
第六章　差立及到著ノ際ニ於ケル措置　第二十九條―第三十七條
第七章　小包ノ交換　第三十八條―第四十四條
第八章　計算、清算　第四十五條―第五十四條
附錄　第百三條

第一章　總則

第一條　送達

各郵政廳ハ其ノ領域ヲ經由シテ差立ツルヲ他ノ郵政廳ヨリ交付セラレタル小包ヲ自廳ノ小包ニ付使用スル線路及方法ニ依リ送達スル義務アルモノトス

一線路ノ停止ノ場合ニハ該線路ヲ經由スルコトヲ要スル繼越小包ハ使用シ得ル最有利ナル線路ニ依リ之ヲ送達ス

二　繼越ハ小包ノ差出又ハ名宛ノ郵政廳ガ約定ニ加入シ居ラザルトキト雖モ約定及施行規則ニ定ムル條件ニ於テ之ヲ行フコトヲ要ス

三　一又ハ數多ノ媒介領域ノ介在スル諸國間ノ關係ニ於テハ小包ハ關係郵政廳ノ協定スル線路ヲ經由スルコトヲ要ス

四　誤送ノ小包ハ再發送郵政廳ノ使用シ得ル最直通ノ線路ニ依リ其ノ正當名宛地ニ之ヲ再發送ス

第二條　送達方法

一　隣接國間又ハ直接ノ海路業務ニ依リ互ニ連絡アル諸國間ノ小包ノ交換ハ關係郵政廳ノ指定スル郵便局及地點ニ於テ之ヲ行フ

二　反對ノ協定アルニ非ザレバ非隣接國間ノ小包ノ送達ハ開發ニテ之ヲ行フ

關係郵政廳ハ直接ノ小包目錄ヲ添ヘ閉鎖シタル行嚢、嚢又ハ汽車室ニ依ル交換ヲ開設スルヲ爲協定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該郵政廳ハ協議ヲ遂ゲ必要ナル手續ヲ定ム

三　尤モ小包ノ箇數ガ媒介郵政廳ノ業務運行ヲ妨グル旨同廳ヨリ申出アルトキハ閉鎖シタル納器ヲ作成スル義務アルモノトス

第三條　郵政廳ニ爲スベキ通報

第百二條乃至第百十七條　省略

第百十八條　重量ノ指示
第百十九條　詐狀表記
第五章　運送小包
第百二十條　票符
第百二十一條　遲送及通關、計算
第百二十二條　差立及到著ノ際ニ於ケル措置
第百二十三條　送次番號及差出地
第百二十四條　日附印ノ押捺及重量ノ指示
第百二十五條　別配達小包
第百二十六條　課金別納狀ノ返送、前拂課金ノ取立
第百二十七條　再發送
第百二十八條　不能配達、不能配達通知書
第百二十九條　不能配達、差出人ノ囘示
第百三十條　不能配達ト爲リタル小包ノ返送
第百三十一條　賣却、毀棄
第百三十二條　取戻、名宛變更
第百三十三條　取調請求
第百三十四條　他國ニ於テ差出サレタル小包ニ關スル取調請求
第六章　差立及到著ノ際ニ於ケル措置

下ニ署名スル者ハ千九百三十四年三月二十日「カイロ」ニ於テ締結シタル萬國郵便條約第四條ニ依リ小包郵便物ニ關スル約定ノ施行ヲ保障スル爲各其ノ郵政廳ノ名ニ於テ協議ヲ遂ゲ左ノ手續ヲ定メタリ

第一章　總則

第一條　送達

一　各郵政廳ハ其ノ領域ヲ經由シテ差立ツルヲ他ノ郵政廳ヨリ交付セラレタル小包ヲ自廳ノ小包ニ付使用スル線路及方法ニ依リ送達スル義務アルモノトス

一線路ノ停止ノ場合ニハ該線路ヲ經由スルコトヲ要スル繼越小包ハ使用シ得ル最有利ナル線路ニ依リ之ヲ送達ス

二　繼越ハ小包ノ差出又ハ名宛ノ郵政廳ガ約定ニ加入シ居ラザルトキト雖モ約定及施行規則ニ定ムル條件ニ於テ之ヲ行フコトヲ要ス

三　一又ハ數多ノ媒介領域ノ介在スル諸國間ノ關係ニ於テハ小包ハ關係郵政廳ノ協定スル線路ヲ經由スルコトヲ要ス

四　誤送ノ小包ハ再發送郵政廳ノ使用シ得ル最直通ノ線路ニ依リ其ノ正當名宛地ニ之ヲ再發送ス

第二條　送達方法

一　隣接國間又ハ直接ノ海路業務ニ依リ互ニ連絡アル諸國間ノ小包ノ交換ハ關係郵政廳ノ指定スル郵便局及地點ニ於テ之ヲ行フ

二　反對ノ協定アルニ非ザレバ非隣接國間ノ小包ノ送達ハ開發ニテ之ヲ行フ

關係郵政廳ハ直接ノ小包目錄ヲ添ヘ閉鎖シタル行嚢、嚢又ハ汽車室ニ依ル交換ヲ開設スルヲ爲協定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該郵政廳ハ協議ヲ遂ゲ必要ナル手續ヲ定ム

三　尤モ小包ノ箇數ガ媒介郵政廳ノ業務運行ヲ妨グル旨同廳ヨリ申出アルトキハ閉鎖シタル納器ヲ作成スル義務アルモノトス

第三條　郵政廳ニ爲スベキ通報

(イ)　各郵政廳ハ其ノ關係郵政廳ヨリ受取リタルCP第一號雛形ニ適合スル表ヲ以テ小包ノ交換ニ關スル事項ヲ相互ニ通知ス

第四條　運送線路及料金

各郵政廳ハ其ノ關係郵政廳ヨリ受取リタルCP第一號表ニ依リ媒介運送ガ爲サルル條件ニ從ヒ其ノ小包ノ運送ニ付使用スベキ線路及差出人ヨリ徵收スベキ料金ヲ決定ス

第二章　總テノ小包ニ適用スル規定

第五條　小包ノ點檢

容積、重量又ハ寸尺ノ正確ナル算定ニ關シテハ明瞭ナル誤謬アルニ非ザレバ差立局ノ見解ヲ優越スルモノト看做スコトヲ要ス

第六條　小包ノ包裝

遲送ヲ防ス爲ニハ各小包ニハ左ノ條件ヲ必要トス

(イ)　「ラテン」文字ニテ名宛人及差出人ノ正確ナル居所氏名ヲ有スルコト鉛筆ノモノハ之ヲ許サズ但シ豫メ濕シタル地ニ謄寫用鉛筆ニテ居所氏名ヲ記載シタル小包ハ之ヲ引受ク居所氏名ハ之ヲ小包自體ニ又ハ離脫セザル樣小包ニ確ト結附シタル票札ニ記載スルコトヲ要ス差出人ノ居所氏名ヲ附記シタル表記ノ寫一通ヲ成ルベク郵便物ニ挿入スベシ

(ロ)　包有品ノ重量及性質竝ニ遲送ノ期間ニ相應スル方法ニ依リ之ヲ包裝シ且閉鎖スルコトヲ要ス

包裝及閉鎖ノ方法ニ依リ之ヲ包有品ガ壓力ニ依リ又ハ取扱中ニ毀損セザル樣且侵害ノ明瞭ナル痕跡ヲ留ムルニ非ザレバ包有品ヲ害スルコト能ハザル樣十分有效ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ嵌込ミ又ハ結合シ得ル物品ニシテ封緘又ハ封蠟ヲ有スル强靱ナル絲ヲ以テ分離セザル單一ノ小包ヲ構成スル樣結縛シ得ルモノハ包裝ヲ施サザルモノトス

之ヲ引受ク商慣習上包裝セザル木片、金屬片等ノ如キ單一ナル物品ヨリ成ル小包ニ付テモ亦包裝ヲ要セズ

郵便吏員ヲ傷害シ又ハ他ノ郵便物ヲ毀損スベキ物品ハ總テ危險ヲ防止スル樣之ヲ包裝スルコトヲ要ス

(ハ)　差出人ノ同形ナル特別ノ印影又ハ記號

第十七章 交通 電氣 鐵道 瓦斯

三

(ハ) 送リ状ノ書キ方

(イ) 送リ状ハ荷物ノ種類、個数、目方、荷造リノ種類、荷物ノ送リ先ノ住所、氏名、荷物ノ受取人ノ住所、氏名、荷物ノ価格、運賃ノ額、荷物ノ引渡シ方法、荷物ノ到着期日ナドヲ書キ記シテ荷物ニ添ヘテ送ルモノデアル

(ロ) 送リ状ノ書キ方ハ荷物ノ種類ニヨリ多少異ルガ普通ノ荷物ノ送リ状ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

送リ状

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ到着期日 明後日

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

一 荷物ノ送リ主ノ住所、氏名 大阪市東区本町弐丁目拾番地 鈴木次郎

右ノ通リ荷物ヲ送リ候ニ付キ宜シク御取計ヒ被下度候也

明治四十五年四月十日

鈴木次郎

(ニ) 荷物ノ受取リ方

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ハ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(ホ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ハ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(ヘ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ト) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(チ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(リ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(ヌ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ル) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(ヲ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ワ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(カ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ヨ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(タ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(レ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(ソ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ツ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(ネ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ナ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(ラ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ム) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(ウ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ヰ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(ノ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(オ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(ク) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ヤ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(マ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ケ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(フ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(コ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(エ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(テ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(ア) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(サ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(キ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ユ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ到着通知書ノ書キ方ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物到着通知書

一 荷物ノ種類 書籍

一 荷物ノ個数 三個

一 荷物ノ目方 総目方 十五瓩

一 荷物ノ荷造リ方 木箱入リ

一 荷物ノ価格 金五拾円

一 運賃 金壱円弐拾銭

一 荷物ノ引渡シ方法 駅渡シ

一 荷物ノ受取人ノ住所、氏名 東京市神田区錦町三丁目拾番地 山田太郎

右ノ荷物ハ本日貴殿ヨリ送リ状ヲ以テ御送リ申シ越シ候ニ付キ荷物ヲ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取リ次第速カニ荷物ヲ受取リニ来ラレ度候也

明治四十五年四月十日

東京市神田区錦町三丁目拾番地

山田太郎殿

大阪市東区本町弐丁目拾番地

鈴木次郎

(メ) 荷物ノ受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ例ヘテ見ルト次ノ如クデアル

(例)

荷物受取リ方ニ関スル注意

荷物ノ受取リ方ニハ荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ト荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合トガアル

(イ) 荷物ノ到着ノ通知ヲ受ケテカラ受取リニ行ク場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ロ) 荷物ノ到着ト同時ニ受取ル場合ニハ荷物ノ受取リ方ニ関スル注意ヲ書キ記シタ荷物ノ到着通知書ヲ受取ルノデアル

(ミ) 荷物ノ到着通知書ノ書キ方

荷物ノ

地ノ指示ノ側ニ貼附ス

第百三十三條　課金別納狀ノ返送、前拂課金ノ取立

一　差出人ノ計算ニ於テ開被其ノ他ノ費用ノ前拂ヲ爲シタル局ハ名宛人ニ課金別納小包ヲ交付シタル後課金別納狀ノ裏面各欄ニ相當記入ヲ爲シ之ヲ證擁書類ト共ニ封書トシテ在中品ヲ指示スルコトナク小包ノ差出局ニ送付ス

尤モ各郵政廳ハ特ニ指定シタル局ヲシテ費用ヲ記入シタル課金別納狀ノ返送ヲ爲サシメ又別納狀ヲ特定ノ局ニ送付スルコトヲ請求スル棟利ヲ有スル別納狀ノ返送セラルベキ局ノ名稱ハ總テノ場合ニ於テ小包ノ差出局ニハ別納狀ノ表面ニ之ヲ記入ス

二　「Franc de droits」ナル題字ヲ有スル小包ガ課金別納狀ナル名宛業務ニ到著スルトキハ通關ヲ擔當スル局ハ別納狀ノ副本ヲ作成シ之ニ差出國名及成ルベク小包ノ差出日附ヲ記載スル課金別納狀ガ小包ノ交付後亡失シタルトキハ同一ノ條件ニ於テ副本ヲ作成ス

三　何等ノ理由ヲ問ハズ差出元ニ返送スル小包ニ關スル課金別納狀ハ名宛郵政廳ニ於テ旨ヲ通知スルコトヲ請求シタルトキハ名宛郵政廳ハ別錄CP第九號雛形ニ適合スル不能配達通知書ニ相當記入シタル上之ヲ書留郵便ニテ差立郵政廳ニ送付スル該通知書ニハ課金別納狀ヲ受取リタルトキハ差出郵政廳ハ該費用ノ金額ヲ相手國ニ宛ツル郵便振替ノ貨幣ニ換算スル結果ノ之ヲ式紙ノ本券及側部ノ通知券ニ指示ス費用ノ額ヲ取立テタル後差出局ハ差出人ニ別納狀ノ通知券及場合ニ依リ證據書類ヲ交付ス

第百三十四條　再發送

一　課金ニ因リ再發送スル小包ニハ再發送郵政廳ニ於テ關稅其ノ他ノ課金ヲ課スルコトヲ得ズ

右郵政廳ガ小包ヲ最後ニ送達シタル郵政廳ニ返送スルトキハ其ノ受取リタル剩當金ヲ該廳ニ返還シ且第三者ニ送付セラレルトキハ送狀ノ之ノ他ノ場合ニ於テハ差押ヘラレタル小包又ハ發損、盜取其ノ他總テ同種ノ原因ニ因リ送達ヲ爲サザリシトキハ其ノ旨ヲ差出郵政廳ニ通知ス

第五章　運達小包

第百二十八條　票符

運達小包及關係送狀ハ極メテ明瞭ニ「Urgent」ト指示シタル票符ヲ有スルコトヲ要ス

第百二十九條　選送及通關、計算

運達小包ノ交換ニ關與スル郵政廳ハ該小包ノ急遽且成ルベク直通ノ選送ヲ施行スル爲協定ス又同廳ハ通關ヲ運ナラシムル樣處置ヲ執ル右郵政廳ハ又協議ヲ遂ゲ計算ノ爲必要ナル手續ヲ定ム

第六章　差立及到著ノ際ニ於ケル措置

第百三十條　逐次番號及差出地

各小包及關係送狀ニテ附與CP第八號雛形ニ適合シ逐次番號及差出局名ヲ明瞭ニ指示スル票符ヲ貼附スルコトヲ要ス本規定ハ第百二十五條第一節ニ規定スルCP第七號票符ノ貼附シタル價格表記小包ニハ之ヲ適用セズ

同一差出局ハ同時ニ二組以上ノ票符ヲ使用スルコトヲ得ズ但シ組別ニ記號ヲ附スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十一條　日附印ノ押捺及重量ノ指示

一　送狀ニハ差出局ニ於テ表記面ニ差出地及差出日附ヲ指示スル印章ヲ押捺ス

二　各非價格表記小包ノキログラム二於ケル重量ハ差出局ニ於テ送狀中之ガ爲ニ設ケタル筒所ニ記載スルコトヲ要スキログラムノ端數ハ之ヲ切上ゲ半キログラムニテ整除シ得ベキ數トス

第百三十二條　別配達小包

別配達小包及關係送狀ニハ「Urgent」ナル語ヲ赤書スル濃赤色ノ印刷票符ヲ成ルベク名宛人ノ居所ニ近キ差出郵政廳ニ於テ之ヲ貼附スル小包ニ付テモ差出郵政廳ニ通知スル爲亦之ヲ作成スルコトヲ要ス

尤モ有手續ニ不可抗力ノ場合又ハ選送途中驗權ニ依リ掩留セラレタル（稅關庫分、事故ニ因ル選送停止等）小包ノ個數ガ多數ナル爲通知書ノ發送事實上不可能ナルトキハ義務的ニ非ズ

三　不能配達通知書ハ原則トシテ名宛局及差出局間ニ之ヲ交換スル外各郵政廳ハ其ノ業務ニ關スル通知書ガ其ノ中央郵政廳又ハ特ニ指定スル局ニ送付セラルルコトヲ請求スルコトヲ得差出人ヘノ通知ハ差出郵政廳之ヲ爲スト雖差出人ヘノ交換ハ總テノ關係局ニ於テ成ルベク速ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

四　通知書ヲ發セラレタル小包ガ差出人ノ回示受領前引取ラレ又ハ再發送セラレタルトキハ差出局ノ其ノ旨差出人ニ通告スルコトヲ要ス通知書ヲ送狀ノ裏面ニ指定シタル第三者ニ送付シタルトキハ該通告ハ之ヲ該第三者ニ宛ツルコトヲ要ス代金引換小包ニシテ既ニCP第六號ノ替證書ガ差出人ニ送付セラレタルモノニ關スルトキハ差出人ニ通告スルコトヲ要セズ

五　名宛郵政廳又ハ媒介郵政廳ガ差出人ノ際送狀ノ裏面及小包ノ名宛面ニ記載セラレタル指示又ハ不能配達通知書ニ對スル回示ヲ遵守セザリシトキハ該郵政廳ハ遲送料（送達及返送）及取消サレザリシ其ノ他ノ課金アルトキハ該課金ヲ負擔スベキモノトス但シ差出人ガ小包差出ノ際又ハ不能配達通知書ニ對スル回答ノ際不能配達ノ場合小包ヲ直ニ又ハ拋棄スルコトヲ指示シタルトキハ差出人ノ負擔シタル費用ハ差出人ノ負擔トス

第百三十六條　不能配達、差出人ノ回示

第百三十五條ノ規定ニ依リ送付セラレタル不能配達通知書ニ對スル回答ノ際不能配達ノ場合小包ヲ直ニ又ハ拋棄スルコトヲ指示シタルトキハ差出人ノ負擔シタル費用ハ差出人ニ支拂セタル費用ハ差出人ノ負擔トス

第百三十七條　不能配達通知書ヲ以テ第一便ニテ之ヲ確認スルコトヲ要ス

右ノ場合ニ於テ名宛局ハ電報ヲ受取リタルトキハ單ニ郵便物ヲ留置キ請求ニ應ズル爲郵便物ヲ直ニ又ハ拋棄スルコトヲ得

尤モ名宛郵政廳ハ右確認ヲ待ツコトナク自廳ノ責任ニテ電信ニ依ル名宛變更ノ請求ニ對シ措置ヲ執ルコトヲ得

第百四十條　取調請求

一　小包ニ關スル各取調請求ハ附錄CP第五號式紙ニ之ヲ記入スル該式紙ニハ成ルベク小包ノ表記ノ模寫ヲ添附スル

二　差出人ニ小包ヲ返送スル爲ハ小包面及送狀ニ「inconnu」、「refusé」、「décédé」等不能配達ノ原因ヲ佛蘭西語ニテ簡明ニ指示スルコトヲ要ス該指示ハ手書、印章ノ押捺又ハ票符ノ貼附ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得各郵政廳ハ不能配達ノ原因ノ自國語ニ於ケル翻譯其ノ他便宜ナリト認ムル指示ヲ附記スル權能ヲ有ス返送小包ニ關係スル原送狀ハ該小包ト共ニ差出元ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス

三　差出人ニ返送スベキ小包ニ付テハ小包目錄ニ記入ヲ爲シ「Observations」ノ欄ニ「Rebus」ト附記ス該小包ノ名宛人ノ居所變更ニ因リ再發送スル小包ト同樣ニ之ヲ取扱フ

第百三十八條　資却、毀棄

一　約定第二十四條ノ規定ニ依リ小包ヲ資却又ハ毀棄ニ關シ又ハ發藥シタルトキハ資却又ハ毀棄ニ關スル調書ヲ作成シ該調書ノ寫一通ハ送狀ヲ添ヘ差出局ニ之ヲ送付ス

二　資却ニ因リテ得タル金額ハ先ヅ其ノ小包ニ賦課セラレタル費用ニ之ヲ充當ス場合ニ依リ過剩額ハ差出人ニ交付スル爲差出局ニ之ヲ送付ス送付ノ費用ハ差出人ノ負擔トス

第百三十九條　取戻、名宛變更

條約ノ施行規則第百四十八條及第百四十九條ノ規定ニ依リ請求ノ取戻又ハ名宛變更ニ關スルトキハ該請求ハ條約ノ施行規則第百四十八條第一項ニ定ムル樣寫ヲ添附シ且頭部ニ色鉛筆ニテ字下線ヲ引キタル「Confirmation de la demande rétiphique du…」ナル記事ヲ有スル郵便ニ依ル請求ヲ以テ第一便ニテ之ヲ確認スルコトヲ要ス

右ノ場合ニ於テ名宛局ハ電報ヲ受取リタルトキハ單ニ郵便物ヲ留置キ請求ニ應ズル爲郵便物ヲ直ニ又ハ拋棄スルコトヲ指示シタルトキハ差出人ノ負擔シタル費用ハ差出人ノ負擔トス

第百四十一條　取調請求

一　小包ニ關スル各取調請求ハ附錄CP第五號式紙ニ適合スル式紙ニ之ヲ記入スル該式紙ニハ成ルベク小包ノ表記ノ模寫ヲ添附スルコトヲ要ス

取調請求書ヲ代金引換小包ニ關スルモノトキハ前掲ノ名宛人若ハ他ノ人ニ交付スル爲他ノ名宛地ニ轉送スルコト

(一)　代金引換小包ヲ指示シタル代金引換金額ヲ徵收シテ他ノ人ニ交付スルコト又ハ該小包ヲ代金引換金額ヲ徵收スルコトヲ若ハ當初指示シタル金額ヨリ低キ金額ノ支拂ト引換ニ原初ノ名宛人又ハ他ノ人ニ交付スルコト此ノ場合ニ於テハ第百九條ノ規定ニ依リ課金別納狀ヲ作成スルコトヲ要ス

(二)　小包ヲ直ニ自己ニ返送スルコト

(三)　自己ノ危險負擔ニテ小包ヲ資却スルコト又ハ小包ヲ拋棄シタルモノトシテ取扱フコト

差出人ノ請求（第百八條第一項(ホ)）ニ從ヒ不能配達通知書ヲ宛テラレタル第三者ハ差出人ト同一ノ請求ヲ爲スコトヲ得尙第三者ハ小包ヲ直ニ差出人ニ返送スルコトヲ請求スルコトヲ得

右ニ規定スルモノノ外如何ナル請求モ之ヲ許サズ

二　差出人又ハ第百八條第一項(ホ)ノ適用ニ依リ不能配達通知書ヲ宛テラレタル第三者ノ回示受領後ハ該回示ノミ有效ニシテ執行セラルベキモノトス

第百三十七條　不能配達通知書ヲ以テ返送ヲ爲シタルトキハ名宛郵政廳ハ新通知書ヲ作成スルコトヲ得差出人又ハ第三者ガ約定第二十二條第四項ニ規定スル料金ノ支拂ヲ拒絕シタルトキ亦同ジ差出人又ハ第三者ガ不能配達通知書ニ回答ヲ爲サザルトキハ小包ハ同項ニ定ムル期間滿了シタルトキヲ之ヲ差出人ニ返送ス

用ヲ償フニ足ラザルトキハ再發送郵政廳ハ小包ヲ交付スル郵政廳ニ送達ニ要スル遲送料ヲ割當テ次ニ再發送郵政廳ハ最後ニ課送小包ヲ遲送シタル交換局ニ對シ貸方ト爲リ未拂ナル金額ヲ回收ス該回收ノ理由ハ點檢ノ上之ヲ差出局ニ通知ス

二　小包ガ郵便業務ノ責ニ歸スベキ過誤ニ因リ誤テ受發送セラレタル爲之ヲ差出國ニ返送スルコトヲ要スルトキハ小包ヲ返還スル郵政廳ハ該小包ヲ自廳ニ交付シタル郵政廳ニ對シ自廳ニ支拂ハルベキ金額ヲ自廳ノ貸方ニ記入シ小包ヲ受取リタル剩當金ヲ支拂フ

三　名宛人ノ居所變更又ハ差出人ノ貴ニ歸スベキ過誤ニ因リ再發送スル小包ニ付テハ配達郵政廳ニ於テ再發送ノ遲送ニ關與シタル諸郵政廳ニ歸スル取得額並ニ約定第四十六條、第四十七條及第四十八條ニ規定スル其ノ他ノ諸料金ノ合計額ヲ名宛人ニ負擔セシム

再發送郵政廳ハ媒介郵政廳又ハ新名宛郵政廳ニ對シ自廳ニ支拂ハルベキ金額ヲ自廳ノ貸方ニ記入再發送國及新名宛國ヲ隣接セザル場合ニ於テハ再發送小包ヲ受取リタル第一媒介郵政廳ハ該小包ヲ交付スル郵政廳ニ對シ自廳ニ支拂ハルベキ額及再發送郵政廳ニ歸屬スル額ヲ自廳ノ貸方ニ記入ス小包ヲ交付セラレタル郵政廳モ亦媒介郵政廳ニ過キザルトキハ自廳ノ貸方ニ記入ス小包ノ最後ノ發送ニ關與シタル郵政廳ハ其ノ他便宜ナリト認ムル關係スル原送狀ハ該小包ト共ニ差出元ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス

四　通知書ヲ發セラレタル小包ガ差出人ノ回示受領前引取ラレ又ハ再發送セラレタルトキハ差出局ノ其ノ旨差出人ニ通告スルコトヲ要ス通知書ヲ送狀ノ裏面ニ指定シタル第三者ニ送付シタルトキハ該通告ハ之ヲ該第三者ニ宛ツルコトヲ要ス代金引換小包ニシテ既ニCP第六號ノ替證書ガ差出人ニ送付セラレタルモノニ關スルトキハ差出人ニ通告スルコトヲ要セズ

五　名宛郵政廳又ハ媒介郵政廳ガ差出人ノ際送狀ノ裏面及小包ノ名宛面ニ記載セラレタル指示又ハ不能配達通知書ニ對スル回示ヲ遵守セザリシトキハ該郵政廳ハ遲送料（送達及返送）及取消サレザリシ其ノ他ノ課金アルトキハ該課金ヲ負擔スベキモノトス但シ差出人ガ小包差出ノ際又ハ不能配達通知書ニ對スル回答ノ際不能配達ノ場合小包ヲ直ニ又ハ拋棄スルコトヲ指示シタルトキハ差出人ノ負擔シタル費用ハ差出人ノ負擔トス

第百三十六條　不能配達、差出人ノ回示

第百三十五條ノ規定ニ依リ送付セラレタル不能配達通知書ニ對スル回答ノ際不能配達ノ場合小包ヲ直ニ又ハ拋棄スルコトヲ指示シタルトキハ差出人ノ負擔シタル費用ハ差出人ノ負擔トス

第百三十七條　不能配達通知書ヲ以テ第一便ニテ之ヲ確認スルコトヲ要ス

右ノ場合ニ於テ名宛局ハ電報ヲ受取リタルトキハ單ニ郵便物ヲ留置キ請求ニ應ズル爲郵便物ヲ直ニ又ハ拋棄スルコトヲ得

尤モ名宛郵政廳ハ右確認ヲ待ツコトナク自廳ノ責任ニテ電信ニ依ル名宛變更ノ請求ニ對シ措置ヲ執ルコトヲ得

第百四十條　取調請求

一　小包ニ關スル各取調請求ハ附錄CP第五號式紙ニ之ヲ記入スル該式紙ニハ成ルベク小包ノ表記ノ模寫ヲ添附スル

取調請求書ヲ代金引換小包ニ關スルモノトキハ前掲ノ名宛人若ハ他ノ人ニ交付スル爲他ノ名宛地ニ轉送スルコト

(一)　代金引換小包ヲ指示シタル代金引換金額ヲ徵收シテ他ノ人ニ交付スルコト又ハ該小包ヲ代金引換金額ヲ徵收スルコトヲ若ハ當初指示シタル金額ヨリ低キ金額ノ支拂ト引換ニ原初ノ名宛人又ハ他ノ人ニ交付スルコト此ノ場合ニ於テハ第百九條ノ規定ニ依リ課金別納狀ヲ作成スルコトヲ要ス

(二)　小包ヲ直ニ自己ニ返送スルコト

(三)　自己ノ危險負擔ニテ小包ヲ資却スルコト又ハ小包ヲ拋棄シタルモノトシテ取扱フコト

差出人ノ請求（第百八條第一項(ホ)）ニ從ヒ不能配達通知書ヲ宛テラレタル第三者ハ差出人ト同一ノ請求ヲ爲スコトヲ得尙第三者ハ小包ヲ直ニ差出人ニ返送スルコトヲ請求スルコトヲ得

右ニ規定スルモノノ外如何ナル請求モ之ヲ許サズ

二　差出人又ハ第百八條第一項(ホ)ノ適用ニ依リ不能配達通知書ヲ宛テラレタル第三者ノ回示受領後ハ該回示ノミ有效ニシテ執行セラルベキモノトス

第百三十七條　不能配達通知書ヲ以テ返送ヲ爲シタルトキハ名宛郵政廳ハ新通知書ヲ作成スルコトヲ得差出人又ハ第三者ガ約定第二十二條第四項ニ規定スル料金ノ支拂ヲ拒絕シタルトキ亦同ジ差出人又ハ第三者ガ不能配達通知書ニ回答ヲ爲サザルトキハ小包ハ同項ニ定ムル期間滿了シタルトキヲ之ヲ差出人ニ返送ス

成ルベク遲滯船名ヲ記載ス

第百四十三條　閉鎖ニ依ル小包ノ送

閉鎖ニ依ル小包ノ送達ノ場合ニハ納器（行嚢、籃、框等）ハ左ノ事項ヲ除キ條約ノ施行規則第百五十七條第二項ニ於テ書狀行嚢ニ付規定スル方法ニ依リ之ヲ閉鎖シ之ニ記號及票札ヲ附スルコトヲ要ス

（イ）票札ハ黄土色トシ各納器ニ包有スル小包ノ箇數ヲ之ニ記載スルコトヲ要ス

（ロ）行嚢以外ノ納器ニ付テハ包有品ガ十分別閉鎖方法ヲ採用スルコトヲ得反對ノ協定アルニ非ザレバ該納器ハ逐次希望ニ依リ原初ノ包裝ヲ保存シテ新ニ包裝シタル後小包ヲ送達スルコトヲ要ス

（ハ）毀損ガ郵便物ノ包有品ヲ窺取セラレタルガ如キ程度ノモノナルトキハ郵便局ハ先ヅ驗機ヲ以テ小包ヲ開披シ其ノ包有品ヲ點檢スルコトヲ要ス

右ノレノ場合ニ於テモ小包ノ重量ヲ新包裝ノ前後ニ檢査シ之ヲ小包ノ包裝自體ニ指示スルコトヲ要ス該指示ノ次ニ「Rembalé……」ト記載シ日附印ヲ押捺シ且再裝ヲ爲シタル吏員之ニ署名ス

六　名宛人ガ又送達ノ場合ニハ差出人ガ小包ノ交付ヲ受クルニ當リ留保ヲ爲ストキハ小包ヲ交付スル局ハ直ニ立會檢査調書ヲ作成シ之ニ連署シ左ノ事項ヲ指示スルコトヲ要ス

（イ）小包ノ外裝狀態

（ロ）小包ノ總重量

（ハ）包有品ノ正確ナル目錄

調書ノ一通ハ之ヲ關係者ニ交付シ他ノ一通ハ關係CP第五號式紙ニ之ヲ添附ス

第百四十六條　空納器ノ返送

納器ハ空虚ノ儘最近便ニテ其ノ所屬郵政廳ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス該返送ハ無料ニテ且成ルベク送達ニ經由シタル線路ニ依リ之ヲ爲ス

返送郵政廳ハ其ノ小包目錄ニ箇數及場合ニ依リ包及之ニ添附セル證書ノ書類ノ點檢ヲ爲ス該點檢ハ成ルベク當ニ受授者立會ノ上之ヲ行フ

二　名宛交換局ニ於テ小包目錄ニ誤謬又ハ遺漏アルコトヲ發見スルトキハ直ニ原初ノ記入ヲ認知シ得ル樣補脩セル指示ヲ抹消シ必要ナル訂正ヲ爲ス該訂正ハ更ニ二名共同シテ之ヲ爲ス明瞭ナル誤謬ヲキ限リ訂正ハ原告知ニ比シ優越ノ效力ヲ有ス

倘名宛局ハ附錄CP第十三號雛形ニ適合スル點檢狀二通ヲ作成シ遲滯ナク差立交換局ニ之ヲ送付ス

三　點檢狀ヲ名宛テラレタル局ハ之ヲ檢査シ且場合ニ依リ其ノ意見ヲ記載シタル後成ルベク速ニ返送ス但シ同局ハ寫ヲ保管ス

返送セラレタル點檢狀ハ之ヲ關係小包目錄ニ添附スル小包目錄ニ爲サレタル訂正ニシテ證據書類ヲ以テ證明セラレザルモノハ之ヲ無效ト看做ス

尤モ右點檢狀ガ其ノ發送ノ日附ヨリ起算シ二月ノ期間內ニ差出郵政廳ニ返送セラレザルトキハ反對ノ證據アル迄之ヲ名宛テラレタル局ニ於テ正當ニ承認シタルモノト看做ス

右期間ハ遠隔セル國トノ關係ニ於テハ四月トス

四　點檢ノ際何等カノ造例ガ確證セラルルモ約定第十六條及第十七條ノ適用アル場合ヲ除クノ外如何ナル場合ニモ小包ヲ差出元ニ返送スルノ理由ト爲スコトヲ得ズ

五　點檢狀及其ノ副本ハ書留郵便ニテ之ヲ送付ス

第百四十五條　郵政廳ノ責任ヲ生セシムル造例ノ確證

一　郵政廳ノ責任ヲ生セシムル性質ノ不足、異狀其ノ他ノ違例ノ確證ニ付テハ第百四十四條ノ規定ヲ適用ス

二　尙必要ナル場合ニハ差立交換局ハ電報ニ依リ通知ヲ受クルコトヲ得其ノ費用ハ電報ヲ發スル郵政廳ノ負擔トス

三　名宛交換局ガ點檢後ノ第一便ニテ誤謬又ハ諸般ノ違例ヲ證明スル點檢狀ヲ差立交換局ニ送付セザリシトキハ反對ノ證據アル迄

包ノ箇數ヲ之ニ記載スルコトヲ要ス

第百四十四條　交換局ニ於ケル小包ノ郵便物ノ點檢

小包目錄ヲ受取リタルモノト看做ス

四　小包ヲ受取リタルモノト看做ス

價格表記ノ小包ニ關スルトキハ尙調書ヲ作成シ之ヲ差立交換局ノ屬スル國ノ中央郵政廳ニ書留郵便ニテ送付ス直接交換業務ニ依リ開嚢ニテ遞送スル小包ニ關スル場合ヲ除クノ外該調書ニハ成ルベク小包ヲ包有シタル納器ヲ閉鎖シタル絲、封蠟又ハ封鈴ヲ添附ス同時ニ調書ノ副本ヲ名宛交換局ノ屬スル中央郵政廳又ハ同廳ノ指定スル他ノ監督機關ニ送付ス

五　名宛交換局ハ第一項及第四項ノ規定ノ適用ヲ妨グルコトナク場合ニ依リ原初ノ包裝ヲ成ルベク保存シテ新ニ包裝シタル後小包ヲ送達スルコトヲ要ス

毀損ガ郵便物ノ包有品ヲ竊取セラレタルガ如キ程度ノモノナルトキハ郵便局ハ先ヅ驗機ヲ以テ小包ヲ開披シ其ノ包有品ヲ點檢スルコトヲ要ス

右ノレノ場合ニ於テモ小包ノ重量ヲ新包裝ノ前後ニ檢査シ之ヲ小包ノ包裝自體ニ指示スルコトヲ要ス該指示ノ次ニ「Remballé……」ト記載シ日附印ヲ押捺シ且再裝ヲ爲シタル吏員之ニ署名ス

六　名宛人ガ又送達ノ場合ニハ差出人ガ小包ノ交付ヲ受クルニ當リ留保ヲ爲ストキハ小包ヲ交付スル局ハ直ニ立會檢査調書ヲ作成シ之ニ連署シ左ノ事項ヲ指示スルコトヲ要ス

（イ）小包ノ外裝狀態

（ロ）小包ノ總重量

（ハ）包有品ノ正確ナル目錄

調書ノ一通ハ之ヲ關係者ニ交付シ他ノ一通ハ關係CP第五號式紙ニ之ヲ添附ス

第百四十六條　空納器ノ返送

納器ハ空虚ノ儘最近便ニテ其ノ所屬郵政廳ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス該返送ハ無料ニテ且成ルベク送達ニ經由シタル線路ニ依リ之ヲ爲ス

返送郵政廳ハ其ノ小包目錄ニ箇數及場合ニ依リ包及之ニ添附セル證書ノ書類ノ點檢ヲ爲ス該點檢ハ成ルベク當ニ受授者立會ノ上之ヲ行フ

二　名宛交換局ニ於テ小包目錄ニ誤謬又ハ遺漏アルコトヲ發見スルトキハ直ニ原初ノ記入ヲ認知シ得ル樣補脩セル指示ヲ抹消シ必要ナル訂正ヲ爲ス該訂正ハ更ニ二名共同シテ之ヲ爲ス明瞭ナル誤謬ヲキ限リ訂正ハ原告知ニ比シ優越ノ效力ヲ有ス

倘名宛局ハ附錄CP第十三號雛形ニ適合スル點檢狀二通ヲ作成シ遲滯ナク差立交換局ニ之ヲ送付ス

三　點檢狀ヲ名宛テラレタル局ハ之ヲ檢査シ且場合ニ依リ其ノ意見ヲ記載シタル後成ルベク速ニ返送ス但シ同局ハ寫ヲ保管ス

返送セラレタル點檢狀ハ之ヲ關係小包目錄ニ添附スル小包目錄ニ爲サレタル訂正ニシテ證據書類ヲ以テ證明セラレザルモノハ之ヲ無效ト看做ス

尤モ右點檢狀ガ其ノ發送ノ日附ヨリ起算シ二月ノ期間內ニ差出郵政廳ニ返送セラレザルトキハ反對ノ證據アル迄之ヲ名宛テラレタル局ニ於テ正當ニ承認シタルモノト看做ス

右期間ハ遠隔セル國トノ關係ニ於テハ四月トス

四　點檢ノ際何等カノ造例ガ確證セラルルモ約定第十六條及第十七條ノ適用アル場合ヲ除クノ外如何ナル場合ニモ小包ヲ差出元ニ返送スルノ理由ト爲スコトヲ得ズ

五　點檢狀及其ノ副本ハ書留郵便ニテ之ヲ送付ス

第百四十五條　郵政廳ノ責任ヲ生セシムル造例ノ確證

一　郵政廳ノ責任ヲ生セシムル性質ノ不足、異狀其ノ他ノ違例ノ確證ニ付テハ第百四十四條ノ規定ヲ適用ス

二　尙必要ナル場合ニハ差立交換局ハ電報ニ依リ通知ヲ受クルコトヲ得其ノ費用ハ電報ヲ發スル郵政廳ノ負擔トス

三　名宛交換局ガ點檢後ノ第一便ニテ誤謬又ハ諸般ノ違例ヲ證明スル點檢狀ヲ差立交換局ニ送付セザリシトキハ反對ノ證據アル迄

合ニ於テ成ルベク短期間內ニ且遲クトモ取調請求書ノ日附ヨリ起算シ六月ノ期間內ニ取調請求小包ノ差出郵政廳ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス該期間ハ遠隔セル國トノ關係ニ於テハ九月トス

六　嫌介郵政廳ハ次ノ郵政廳ニCP第五號式紙ヲ送付スル都度發送CP第十號雛形ニ適合スル式紙ニ依リ差出郵政廳ニ之ニ關シ通知ヲ爲スベキモノトス

第百四十一條　他國ニ於テ差出サレタル小包ニ關スル取調請求

約定第二十七條第三項ニ規定スル場合ニ於テハCP第五號取調請求ノ式紙ハ差出郵政廳ニ之ヲ送付スル該式紙ニハ場合ニ依リ差出ノ受領證ヲ添附スルコトヲ要ス

差出郵政廳ハ約定第二十七條第二項ニ規定スル期間內ニ右式紙ノ送付ヲ受クベキモノトス

第七章　小包ノ交換

第百四十二條　小包目錄

一　小包ニ付テハ差立交換局ニ於テ附錄CP第十一號雛形ニ適合スル小包目錄ニ該式紙所定ノ細項ニ從ヒ記入ヲ爲シ但シ關係郵政廳ハ割當金ノ差引計算ニ關シ小包目錄ニ普通小包ニ付一括記入ヲ爲ス協定スルコトヲ得送狀、代金引換送狀竝證書式紙、我國告知書及場合ニ依リ其ノ他ノ必要書類（第百四十二、原産地證明書、健康證明書等）竝ニ課金別納狀及到達證ハ之ヲ小包目錄ニ結附ス

嫌介交換局ハ小包目錄ニ添附シタル書類ヲ點檢スル義務ナシ

二　俘虜小包ニ付テハ小包目錄ニ記入ヲ爲スベシ但シ代金引換小包ニ非ザレバ割當金ノ指示ヲ爲サズ

三　海路ニ依ル關係ニ於テハ反對ノ協定アルニ非ザレバ差立交換局ハ小包目錄ニ各差出局及各名宛局ニ付一年間ノ逐次番號ヲ附スルコトヲ要ス該一年ノ最終番號ハ翌年ノ最初ノ小包目錄ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス定期ニ行ハレザル海路ニ依ル關係ニ於テハ番號ノ下ニ

一　小包目錄ヲ受取ルトキハ名宛交換局ハ小包及之ニ添附セル證書ノ書類ノ點檢ヲ爲ス該點檢ハ成ルベク當ニ受授者立會ノ上之ヲ行フ

二　名宛交換局ニ於テ小包目錄ニ誤謬又ハ遺漏アルコトヲ發見スルトキハ直ニ原初ノ記入ヲ認知シ得ル樣補脩セル指示ヲ抹消シ必要ナル訂正ヲ爲ス該訂正ハ更ニ二名共同シテ之ヲ爲ス明瞭ナル誤謬ヲキ限リ訂正ハ原告知ニ比シ優越ノ效力ヲ有ス

倘名宛局ハ附錄CP第十三號雛形ニ適合スル點檢狀二通ヲ作成シ遲滯ナク差立交換局ニ之ヲ送付ス

三　點檢狀ヲ名宛テラレタル局ハ之ヲ檢査シ且場合ニ依リ其ノ意見ヲ記載シタル後成ルベク速ニ返送ス但シ同局ハ寫ヲ保管ス

返送セラレタル點檢狀ハ之ヲ關係小包目錄ニ添附スル小包目錄ニ爲サレタル訂正ニシテ證據書類ヲ以テ證明セラレザルモノハ之ヲ無效ト看做ス

尤モ右點檢狀ガ其ノ發送ノ日附ヨリ起算シ二月ノ期間內ニ差出郵政廳ニ返送セラレザルトキハ反對ノ證據アル迄之ヲ名宛テラレタル局ニ於テ正當ニ承認シタルモノト看做ス

右期間ハ遠隔セル國トノ關係ニ於テハ四月トス

四　點檢ノ際何等カノ造例ガ確證セラルルモ約定第十六條及第十七條ノ適用アル場合ヲ除クノ外如何ナル場合ニモ小包ヲ差出元ニ返送スルノ理由ト爲スコトヲ得ズ

五　點檢狀及其ノ副本ハ書留郵便ニテ之ヲ送付ス

第百四十五條　郵政廳ノ責任ヲ生セシムル造例ノ確證

一　郵政廳ノ責任ヲ生セシムル性質ノ不足、異狀其ノ他ノ違例ノ確證ニ付テハ第百四十四條ノ規定ヲ適用ス

二　尙必要ナル場合ニハ差立交換局ハ電報ニ依リ通知ヲ受クルコトヲ得其ノ費用ハ電報ヲ發スル郵政廳ノ負擔トス

三　名宛交換局ガ點檢後ノ第一便ニテ誤謬又ハ諸般ノ違例ヲ證明スル點檢狀ヲ差立交換局ニ送付セザリシトキハ反對ノ證據アル迄

リ返送納替ノ逐次番號ヲ記載スルコトヲ要ス同廳ハ返送シタルコトヲ證明シ得ザル納器ニ付賃伍チ有ス

第八章　計算、清算

第百四十七條　割當金ノ差引計算

一　各郵政廳ハ毎月自廳ノ交換局ヲシテ同一郵政廳ヨリ受取リタル總テノ郵便物ニ關シ小包目錄中自廳ノ貨方及借方ニ記入シタル總額ニ付附錄CP第十四號雛形ニ適合スル貨借表ヲ作成セシム

二　CP第十四號貨借表ハ附錄CP第十五號雛形ニ適合スル計算書ニ之ヲ約記ス

三　CP第十五號計算書ニハCP第十四號貨借表ヲ添附シ需表ノ爲其ノ關係スル月ノ翌月中ニ之ヲ差立郵政廳ニ送付ス遠隔セル國ニ關シテハ關係スル月ノ最後ノ月錄ガ名宛郵政廳ニ到著スルヲ俟テ之ヲ爲ス

合計額ハ之ヲ訂正スベカラズ指摘ヲ得ベキ誤謬ニ付テハ差額計算書ヲ作成スルコトヲ要ス該差額計算書ハ之ヲ受クタル郵政廳ニ於テ次ノCP第十五號月次計算書ニ其ノ額ヲ合算ス

四　CP第十五號計算書ハ需表承認ノ後遲クトモ其ノ關係スル期間後第二月ノ滿了迄ニ之ヲ關係郵政廳ニ返送ス該期間ハ遠隔セル關ノ關係ニ於テハ四月トスCP第十五號計算書ハ貨方郵政廳ノ作成スル三月每ノ總計算書ニ之ヲ約記ス但シ該計算書ハ關係郵政廳ニ協議ヲ遂ゲ半年又ハ一年每ニ之ヲ作成スルコトヲ得

第百四十八條　清算

一　總計算書ノ差引ヨリ生ズル差額ハ條約ノ施行規則第百七十一條ニ規定スル方法ニテ借方郵政廳ヨリ貨方郵政廳ニ之ヲ支拂フ

二　總計算書ノ作成、發送及差額支拂ハ成ルベク速ニ且遲クトモ計算書ノ關係スル期間ノ滿了後三月ノ期間內ニ之ヲ爲スコトヲ要ス該期間ハ遠隔セル國トノ關係ニ於テハ六月トス

三　當時他ノ一郵政廳ニ對シ月額三萬金「フランス」ヲ超ユル金額ヲ貸越ス各郵政廳ハ其ノ借樞額ノ四分ノ三ニ達スル迄每月內金ヲ

計算書ヲ作成セズ

ムル條件ニ於テノミ之ヲ爲ス

四　差引計算ニ付テハ特別ノ清算ヲ爲ス但シ各郵政廳ハ該計算ヲ郵便爲替ノ計算書又ハ小包郵便物ノCP第十五號若ハCP第十六號ノ計算書ニ組入ルコトヲ請求スルコトヲ得

諸種ノ規定

第百五十一條　公衆用式紙

條約第三十一條第二項ノ規定ノ適用上左ノ式紙ハ之ヲ公衆用ノ式紙ト看做ス

CP第二號（送狀）

CP第三號（稅關告知書）

CP第四號（課金別納狀）

CP第五號（取調請求書）

CP第六號（代金引換爲替證書）

CP第九號（不能配達通知書）

第百五十二條　書類保存期間

小包業務ニ關スル書類（送狀ヲ含ム）ハ少クトモ二年間之ヲ保存スルコトヲ要ス

第百五十三條　總理局ニ宛ツベキ通報

一　郵政廳ハ約定實施ノ少クトモ三月前總理局ノ媒介ニ依リ他ノ郵政廳ニ左ノ通報ヲ爲スコトヲ要ス

（イ）左ノ事項ニ關スル郵政廳ノ決定

一　重量ノ制限

二　價格表記

三　取扱困難ノ小包

四　代金引換

五　別配達小包及遠達小包

六　課金別納小包

七　單ニ一通ノ送狀ヲ添附シ且一通ノ稅關告知書ニ記載シ得ル小包ノ箇數

八　海路ニ依リ遲送スル小包郵便物ノ寸尺及容積

九　自國宛小包及纖越小包ニ付要スル稅關告知書ノ枚數竝ニ該告知書ヲ認ムルニ用ヒ得ル語

（ロ）特別計算書ニハ課金別納狀ヲ添附シ通ク自國ノ郵便規則ニ依リ郵便ニ依ル遲送ガ許サルル生キタル動物ノ表

（ハ）小包ヲ總テノ地方ニ宛ツルコトヲ許スコトノ通知、反對ノ場合ニ於テハ連絡アル地方ノ表

（ニ）其ノ業務ニ於テ適用スル總テノ料金及條成料金

（ホ）各自ノ業務ニ於ケル稅關其ノ他ノ規定竝ニ小包ノ輸入及繼越ヲ規律スル禁止又ハ制限ニ關スル必要アル總テノ通報

（ヘ）小包ノ遲送ニ適用スル其ノ法律又ハ規則ノ規定ノ獨逸語、英語、西班牙語又ハ佛蘭西語ニ於ケル抜萃

二　CP第十六號特別計算書ニハ金額受領ノ旨ヲ記載シタル拂渡濟代金引換爲替證書ヲ添附シ振出局ノ「アルファベット」順ニ且該局ノ原簿ニ記入シタル番號ニ爲替證書ニ付記入ヲ爲ス計算書ヲ作成シタル郵政廳ノ指定第五十條第一節ニ依リ自廳ノ貨高ノ合計額ヨリ相手郵政廳ニ歸屬スル料金額ヲ控除ス

三　CP第十六號計算書ノ差額ハ成ルベク之ヲ同一期間ニ付作成スル郵便爲替ノ月次計算書ノ差額ニ加算ス該計算書ノ審査及清算ハ郵便爲替ノ約定及施行規則ノ規定ニ從ヒ之ヲ爲ス

第百五十條　課金別納狀、稅關ノ費用等ノ差引計算

一　各郵政廳カ他ノ郵政廳ノ計算ニ於テ支拂フベキ稅關ノ費用等ニ關スル差引計算ハ借方郵政廳ニ於テ貨方ノ貨幣ニテ作成スル附錄CP第十七號雛形ニ適合スル月次特別計算書ニ依リ之ヲ爲ス課金別納狀ハ費用ノ前拂ヲ爲シタル局ノ「アルファベット」順ニ依リ且該狀ニ附シタル番號順ニ依リ之ヲ記入ス

二　特別計算書ニハ課金別納狀ヲ添附シ通ク自國ノ郵便規則ニ依リ郵便ニ依ル遲送ガ許サルル生キタル動物ノ表

（イ）小包ヲ總テノ地方ニ宛ツルコトヲ許スコトノ通知、反對ノ場合ニ於テハ連絡アル地方ノ表

（ロ）其ノ業務ニ於テ適用スル總テノ料金及條成料金

（ハ）各自ノ業務ニ於ケル稅關其ノ他ノ規定竝ニ小包ノ輸入及繼越ヲ規律スル禁止又ハ制限ニ關スル必要アル總テノ通報

（ニ）小包ノ遲送ニ適用スル其ノ法律又ハ規則ノ規定ノ獨逸語、英語、西班牙語又ハ佛蘭西語ニ於ケル抜萃

二　CP第十六號特別計算書ニハ金額受領ノ旨ヲ記載シタル拂渡濟代金引換爲替證書ヲ添附シ振出局ノ「アルファベット」順ニ且該局ノ原簿ニ記入シタル番號ニ爲替證書ニ付記入ヲ爲ス計算書ヲ作成シタル郵政廳ノ指定第五十條第一節ニ依リ自廳ノ貨高ノ合計額ヨリ相手郵政廳ニ歸屬スル料金額ヲ控除ス

三　CP第十六號計算書ノ差額ハ成ルベク之ヲ同一期間ニ付作成スル郵便爲替ノ月次計算書ノ差額ニ加算ス該計算書ノ審査及清算ハ郵便爲替ノ約定及施行規則ノ規定ニ從ヒ之ヲ爲ス

第百五十條　課金別納狀、稅關ノ費用等ノ差引計算

一　各郵政廳カ他ノ郵政廳ノ計算ニ於テ支拂フベキ稅關ノ費用等ニ關スル差引計算ハ借方郵政廳ニ於テ貨方ノ貨幣ニテ作成スル附錄CP第十七號雛形ニ適合スル月次特別計算書ニ依リ之ヲ爲ス課金別納狀ハ費用ノ前拂ヲ爲シタル局ノ「アルファベット」順ニ依リ且該狀ニ附シタル番號順ニ依リ之ヲ記入ス

二　特別計算書ニハ課金別納狀ヲ添附シ通ク自國ノ郵便規則ニ依リ郵便ニ依ル遲送ガ許サルル生キタル動物ノ表

ADMINISTRATION DES POSTES

d_____

CP 1

(Règl., art. 103)

ÉCHANGE DE COLIS POSTAUX

ENTRE PAYS NON LIMITROPHES

Tableau indiquant les conditions auxquelles l'Administration des postes d_____ accepte à découvert les colis postaux à destination des pays pour lesquels il est à même de servir d'intermédiaire.

No d'ordre	Pays de destination	Voies de transmission	Désignation des pays intermédiaires et des services maritimes à employer	Limites de la déclaration de valeur	Coupures de poids	Taxes à bonifier à l'Administration d_____		Décomposition des sommes figurant dans la colonne 7						Nombre de déclarations en douane	Observations
						Taxe au poids	Droit d'assurance par 300 Fr.	Quotes-parts							
								1 kg	5 kg	10 kg	15 kg	20 kg			
								a	b	c	d	e			
1	2	3	4	5	kg	7	8	9						10	11
						Fr. c.	Centimes								

(Dimensions : 210×297 mm.)

CP 2 (Recto)
(Règl., art. 108, § 1)

通知券
COUPON

在留人ニ於テ此ノ券ヲ切離スコトヲ得
Peut être détaché par le destinataire

発出局印
Timbre du bureau d'origine

発出人ノ氏名及居所
Nom et domicile de l'expéditeur:

送 状 番 號
Numéros d'ordre

発 出 国
Pays d'origine

実価価格
Valeur déclarée

(英佛以上ノ文字ニテ記入スベシ)
(Les unités en toutes lettres)

Application des timbres-poste

金フラン
Francs

(アラビア数字ニテ記入スベシ)
(en chiffres arabes)

Indication de la taxe perçue

送 状
BULLETIN D'EXPÉDITION

包数
Colis

種類ノ表示
Nature de l'emballage

(英佛以上ノ文字ニテ記入スベシ)
(Les unités en toutes lettres)

(アラビア数字ニテ記入スベシ)
(En chiffres arabes)

税関ノ表示
Mentions en douane

証明書ノ有無
Certificats ou factures

代金引換ノ金額
Montant du remboursement

(英佛以上ノ文字ニテ記入スベシ)
(Les unités en toutes lettres)

(アラビア数字ニテ記入スベシ)
(En chiffres arabes)

右発人
A

(仕向局名)
(*Lieu de destination*)

(宛名番地)
(*Rue et numéro*)

(仕向国名)
(*Pays de destination*)

荷	札	送	達
個数 Colis	種類 Espèce	重量 Poids	価格 Valeur
	Voie	経路 Acheminement	
関税 Droits de douane 1)	交換局 Bureau d'échange		

税関ノ封印ヲ施スベキ場合ニ於テハ此ノ欄ニ其ノ旨ヲ記入スベキ事
1) Cadre à remplir par le bureau d'entrée ou par le service de la douane du pays de destination

(Dimensions : 148×210 ou 162×229 mm., couleur blanche.)

CP 2 (Verso)

発出人ニ与フベキ注意ノ摘要
INSTRUCTIONS A DONNER PAR L'EXPÉDITEUR

L'expéditeur est tenu d'indiquer, dans le cadre ci-dessus et sur le colis, la manière dont il doit être disposé de son envoi en cas de non-livraison. Les instructions ci-dessous sont seules admises. Elles peuvent être inscrites à l'encre, soit au crayon.

Si l'expéditeur ne fait pas usage de la faculté ci-dessus, le présent bulletin ne peut avoir lieu, je demande:

(a) que le colis soit renvoyé immédiatement ou à l'expiration d'un délai de.....jours après l'arrivée au bureau de destination;

(b) que le colis soit réexpédié au même destinataire dans une autre localité;
= 変更ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ新住所ヲ明記スベキ事 (1)

(c) que le colis soit remis ou réexpédié à (1)

(d) que le colis soit signalé comme tombé en rebut;

(e) que l'avis de non-remise soit adressé à (2);

(f) que le colis soit vendu à mes risques et périls ou traité comme abandonné.

(Signature de l'expéditeur)
(発出人ノ署名)

(1) 新名宛人ノ氏名ヲ指示シ且場合ニ依リ代金引換額ヲ指定スルコトヲ欠カサルヘシ
Indiquer le nom du nouveau destinataire et mentionner éventuellement si le colis doit être livré sans perception du montant du remboursement ou contre payement d'une somme inférieure au montant primitif.

(2) Indiquer éventuellement le nom et l'adresse d'une tierce personne dans le pays de destination.

小包ガ標準セラレザルコトヲ希望スル発出人ハ該欄及小包面ニ其ノ旨ヲ記載スルコト
L'expéditeur qui désire que le colis ne soit pas réexpédié doit l'indiquer par une annotation au recto du bulletin d'expédition et sur le colis.

受 領 証
RÉCÉPISSÉ DU DESTINATAIRE

下名ハ本状ノ表面ニ記載セル小包ヲ受取リタルコトヲ茲ニ証ス
Le soussigné déclare avoir reçu, le colis désigné au recto du présent bulletin.

Les colis désignés

千九百——年——月——日——ニ於テ
A——, le——19——

(署名)
(*Signature*)

CP 3
(Règl., art. 108, § 1)

発 送 地
LIEU D'EXPÉDITION

名 宛 地
LIEU DE DESTINATION

郵 政 廳
Administration des Postes d

又ハ
ou

鐵 道 廳
Administration des Chemins de fer d

稅 關 告 知 書
DÉCLARATION EN DOUANE

M
(名宛人ノ氏名及住所)
(*Nom et adresse du destinataire*)

郵便物 ENVOIS 箇數 Nombre 1	種類 Espèce 2	包有品ノ表示 DESIGNATION DU CONTENU 3	價格 VALEUR 使用スル貨幣單位ヲ正確ニ指示スベシ avec indication précise de l'unité monétaire employée 4	重量 POIDS 粂體 Brut グラム Grammes 5	正味 Net グラム Grammes 6	備考 OBSERVATIONS 7

物品ノ原産物又ハ製造國
Pays d'origine ou de fabrication de la marchandise:

千九百——年——月——日——ニ於テ
——, le——19——

発出人
L'expéditeur:

(Dimensions : 125×176 ou 148×210 mm.)

郵 政 廳
ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

CP 5
(Règl., art. 111, § 1, et 140, § 1)

差出局印
Timbre du bureau d'origine

小包郵便物又ハ不著代金引換爲替證書ノ取調請求書
RÉCLAMATION D'UN COLIS POSTAL
OU D'UN MANDAT DE REMBOURSEMENT NON PARVENU

局
BUREAU d _____

差出業務ニ於テ記入スベキ部
A remplir par le service d'origine

差 出 局
Bureau de dépôt : _____
差出日附
Date du dépôt : _____ 19____
外裝ノ正確ナル記述
Description très exacte de l'extérieur : _____
通次番號
No d'ordre : _____
名宛人ノ居所氏名(成ルベク正確ニ)
Adresse du destinataire (*aussi exactement que possible*) : _____
正確ナル包有品名
Contenu exact : _____
重 量
Poids : _____
價格ノ表記
Déclaration de valeur : _____
代金引換
Remboursement : _____
到達許ノ請求
Demande d'un avis de réception : _____
(請求シタル場合ニハ「A.R.」ナル文字ヲ附記スルコト) (*Dans le cas affirmatif, ajouter les lettres A.R.*)
差出人ノ氏名及居所
Nom es adresse de l'expéditeur : _____
送達、千九百____年____月____日小包日錄第____行ニ記入____交換局ヨリ____交換局ニ差立タリ
Acheminement : expédié le _____ 19____ par le bureau d'échange d _____ au bureau d'échange d _____ sous le No _____ de la feuille de route.
日附千九百____年____月____日　署 名
Date _____ 19____ Signature : _____

名宛業務ニ於テ記入スベキ部
A remplir par le service de destination

郵 政 廳
Administration des postes d _____
前記ノ小包ハ千九百____年____月____日_____ニ交付シタリ
Le colis decrit ci-dessus a été remis le _____ 19____ à _____
日附千九百____年____月____日　署 名
Date _____ 19____ Signature : _____

前記ノ小包ハ
Le colis / mandat décrit ci-dessus _____ [1]

代金引換金額ヲ千九百____年____月____日口座ニ記入シタリ
Le montant du remboursement a été mis en compte le _____ 19____
日附千九百____年____月____日　署 名
Date _____ 19____ Signature : _____

媒介業務ニ於テ記入スベキ部
A remplir par les services intermédiaires

郵 政 廳
Administration des postes d _____
千九百____年____月____日小包日錄第____行ニ記入____交換局ヨリ____交換局ニ繼送シタリ
Réacheminé le _____ 19____ par le bureau d'échange d _____ au bureau d'échange d _____, sous le No _____ de la feuille de route.
日附千九百____年____月____日　署 名
Date _____ 19____ Signature : _____

郵 政 廳
Administration des postes d _____
千九百____年____月____日小包日錄第____行ニ記入____交換局ヨリ____交換局ニ繼送シタリ
Réacheminé le _____ 19____ par le bureau d'échange d _____ au bureau d'échange d _____, sous le No _____ de la feuille de route.
日附千九百____年____月____日　署 名
Date _____ 19____ Signature : _____

郵 政 廳
Administration des postes d _____
千九百____年____月____日小包日錄第____行ニ記入____交換局ヨリ____交換局ニ繼送シタリ
Réacheminé le _____ 19____ par le bureau d'échange d _____ au bureau d'échange d _____, sous le No _____ de la feuille de route.
日附千九百____年____月____日　署 名
Date _____ 19____ Signature : _____

確 答
RÉPONSE DÉFINITIVE [2]

場合ニ依リ名宛人ノ申立書ヲ添附スベシ　名宛郵政廳又ハ場合ニ依リ取調請求郵便物ヲ次ノ郵政
1) Ajouter, le cas échéant, la déclaration du destinataire. 2) De l'Administration destinataire ou, le cas échéant, de l'Ad-
廳ニ正當ニ遞送シタルコトヲ立證シ能ハザル媒介郵政廳ニ於テ記入スベシ
ministration intermédiaire qui ne peut établir la transmission régulière de l'envoi réclamé à l'Administration suivante.

(Dimensions : 210×297 mm.)

CP 4 (Recto)
(Règl., art. 109, § 2)

差出局印
Timbre du bureau d'origine

通知券
COUPON

差出局印
Timbre du bureau d'origine

下記____ノ差出人ハ裏面ニ指示スル課金ヲ支拂ヒタリ
L'expéditeur d _____ *)

番號
No _____

表記金額
avec valeur déclarée de _____

差出地
déposé _____ à _____

名宛人氏名
pour M _____

居所
à _____

a payé les droits indiqués au verso.

差 出 國
PAYS D'ORIGINE _____

課金別納票
BULLETIN D'AFFRANCHISSEMENT

下記____ハ課金別納ニテ之ヲ交付スルコトヲ要ス
番號
L _____ *) No _____ de _____ avec valeur

表記金額「フラン」　差出人氏名
déclarée de Fr. _____ , expédié _____ par _____

居所
à _____

名宛人氏名
à l'adresse de _____

居所
à _____

(名宛地)　(町名番地)
(*Lieu de destination*)　(*Rue et numéro*)
doit être remis franc ____ de tous droits

(差出人ノ署名)
(*Signature de l'expéditeur*)

返送スベキ局
A renvoyer au bureau d _____
(費用ノ取立ヲ擔當スル局名又ハ場合ニ依リ本式紙ノ返送ヲ受クベキ局名ヲ指示スベシ)
(Indiquer le nom du bureau chargé du recouvrement des frais ou, le cas échéant, celui du bureau auquel la formule doit être renvoyée.)

*) 郵便物ノ種類ヲ指示スベシ
*) Indiquer la nature de l'objet.

(Dimensions : 105×148 mm., couleur jaune)

(表面ト逆ノ方向ニ印刷スルコトヲ要ス)
(Doit être imprimé en sens inverse du recto)

PC 4 (Verso)

課金ノ詳細
DÉTAIL DES DROITS DUS
(名宛國ノ貨幣ニテ)
(dans la monnaie du pays destinataire)

手數料 Droit de commission ...		
關稅 Droits de douane		
通關料 Droit de dédouanement...		
其ノ他ノ費用 Autres frais		
合計 Total		

換算額
soit*) _____

取立局印
Timbre du bureau recouvrant

*) 郵便物ノ差出國ノ貨幣ニテ記入スベシ
*) Dans la monnaie du pays d'origine de l'envoi.

前拂課金總額
TOTAL DES FRAIS DÉBOURSÉS
(詳細ハ通知券參照)
(Voir le détail sur le coupon)
(郵便物ノ名宛國ノ貨幣ニ於ケル金額ヲ「アラビア」數字ニテ記入スベシ)
en chiffres arabes

(dans la monnaie du pays de destination du l'envoi)

(郵便物ノ差出郵政廳ニ於テ換算シタル金額ヲ「アラビア」數字ニテ記入スベシ)
en chiffres arabes
soit

(à convertir par l'Administration d'origine de l'envoi)

前拂局印
Timbre du bureau qui a fait l'avance des frais

前拂日附 Date de l'avance	登記番號 No du registre	前拂局 Bureau qui a fait l'avance	吏員ノ署名 Signature de l'agent
到著登記 Registre d'arrivée 第 號 No _____		換算シタル吏員ノ署名 Converti par (Signature de l'agent)	取立局印 Timbre du bureau recouvrant

C P 7

(Règl., art. 125, 1er al.)

V 475 BRESLAU 1	V 475 BRESLAU 1

(Dimensions : 37×52 mm., couleur rouge)

C P 8

(Règl., art. 130)

475 BRESLAU 1	475 BRESLAU 1

(Dimensions : 36×52 mm.)

C P 6 (Recto)

(Règl., art. 114)

通知券
COUPON
(爲替證書ノ名宛人ニ於テ之ヲ切離スコトヲ得)
(Peut être détaché par le destinataire du mandat)

代金引換金額
Montant du remboursement
「アラビア」數字ニテ記入スベシ
en chiffres arabes

小包番號
pour le colis No

差出年月日
déposé le 19

差出地
à

差出人
par M

名宛人氏名
à l'adresse de

居所
à

代金引換小包ノ名宛國
Pays de destination du colis grevé de remboursement :

小包郵便業務
Service des colis postaux

國際代金引換爲替證書
MANDAT DE REMBOURSEMENT INTERNATIONAL

金額
de la somme de
(「アラビア」數字ニテ記入スベシ)
en chiffres arabes

(單位以上ハ「ラテン」文字ニテ完記スベシ)
(les unités en toutes lettres et en caractères latins)

小包郵便物番號　差出年月日
Pour le colis postal No　expédié le 19

爲替名宛人
Payable à M

名宛地
Lieu de destination

町名番地
Rue et numéro

名宛國
Pays de destination

事務用記事
INDICATIONS DE SERVICE (1)

振出 d'émission
番號 Numéro
日附 Date
局 Bureau
國 Pays

拂込金額
Somme versée
(小包名宛國ノ貨幣ニテ記入スベシ)
(Monnaie du pays destinataire du colis)

振出局印
Timbre du bureau d'émission

爲替當務者署名
Signature de l'agent qui a dressé le mandat :

(1) 代金引換金額ノ取立後小包ノ名宛郵政廳ニ於テ記入スベキ事項
Indication à remplir par l'Administration destinataire du colis après encaissement du montant du remboursement.

(Dimensions des mandats「114×162 mm.」ou des bulletins d'expédition「148×210 ou 162×229 mm.」, couleur blanche)

C P 6 (Verso)

(裏書ノ場所)
(Cadre réservé aux endossements, s'il y a lieu)

名宛人ノ受領證
QUITTANCE DU DESTINATAIRE

表記ノ金額受領候也
Reçu la somme indiquée d'autre part

地名
Lieu

年月日
Le 19

名宛人署名
Signature du destinataire :

到著番號
Registre d'arrivée
第 拂
N°

拂渡局印
Timbre du bureau payeur

ADMINISTRATION DES POSTES

d

BUREAU D'ÉCHANGE

d

CP 10
(Règl., art. 140, § 6)

AVIS DE RÉEXPÉDITION

D'UNE FORMULE CP 5 (ARTICLE 140, § 6, DU RÈGLEMENT DE L'ARRANGEMENT CONCERNANT LES COLIS POSTAUX).

La réclamation No.____ concernant le __ colis désigné ci-après :

déposé __ le _____ 19__ à _____ par _____

à l'adresse de _____ à _____ No d'ordre _____,

valeur déclarée _____ montant du remboursement _____

a été réexpédiée ce jour à _____ à _____ avec les renseignements suivants :

Le ____ colis $\frac{a}{ont}$ été réacheminé ____ le _____ 19__ sous le No ____ de la feuille de route No ____ au bureau d'échange d _____ qui $\frac{l'a}{les\ a}$ reçu ____ _____ sans faire d'observation.

Nota. — Si la réclamation reste sans réponse dans le délai voulu, prière d'en adresser un duplicata au service d _____ en y indiquant les renseignements précités. L'affaire peut être considérée comme terminée pour notre service.

Signature :

(La formule sera pliée en deux pour permettre l'envoi à découvert.)

(Dimensions : 148×210 mm.)

PAYS D'ORIGINE

Numéro d'ordre de la feuille de route ____
Nom du navire :

CP 11
(Règl., art. 142, § 1)
PAYS DE DESTINATION

Timbre du bureau expéditeur

Timbre du bureau destinataire

FEUILLE DE ROUTE

des colis postaux expédiés par le bureau d'échange d _____
au bureau d'échange d _____

Départ (____ e envoi) du _____ 19____, à ____ h. ____ m.

NUMERO d'ordre (1)	NUMERO du colis (1)	Nombre de colis	BUREAU d'origine	BUREAU de (1) destination	(2) Poids de chaque colis avec valeur déclarée	Valeur déclarée Francs	TAXES ET DROITS DUS par l'Administration expéditrice à l'Administration correspondante Fr.	TAXES ET DROITS DUS c.	TAXES ET DROITS DUS par l'Administration correspondante l'Administration expéditrice Fr.	TAXES ET DROITS DUS c.	Montant du remboursement	Observations
1	2	3	4	5	6	7	8		9		10	11
TOTAUX												

L'agent du bureau expéditeur : L'agent du bureau destinataire :

(1) Ne pas remplir dans le cas où les colis sont adressés au même bureau que les feuilles de route.
(2) En cas de besoin, cette colonne peut également servir à l'indication du poids des colis ordinaires.

(Dimensions : 148×210 ou 210×297 ou 297×420 mm.)

CP 9 (Recto)
(Règl., art. 135, § 1)

郵政局
ADMINISTRATION DES POSTES

d _____

小包郵便業務
Service des colis postaux

不能配達通知書
AVIS DE NON-REMISE

局
BUREAU d _____
別紙送狀ニ記載スル_____號發第_____貨小包ハ次ノ事由ニ因リ當局ニ滯留中ナリ
Le ____ colis dont ci-joint ____ bulletin ____ d'expédition No ____ originaire ____ d ____ se trouve ____ en souffrance à mon bureau pour le motif suivant (1) :

小包ハ名宛人ニ渡シ又ハ引渡シタリ
a) Le ____ colis ____ été refusé ____ par le destinataire.
第____號小包ハ請求ナシ
b) Le ____ colis No ____ pas été réclamé ____
名宛人ハ不明不在出發死亡
c) Le destinataire est inconnu, absent, parti, décédé.
名宛不充分
d) L'adresse est insuffisante.
小包ノ名宛ハ送狀ノ名宛ニ符合セズ
e) L'adresse d ____ colis n'est pas conforme à celle du bulletin.
名宛人ハ { 關稅 / les frais de douane. / 代金引換金額 / les remboursement. / 小包ニ課セラレタル其ノ他ノ費用 / les autres frais dont le ____ colis $\frac{est}{sont}$ grevé ____ } ノ支拂ヲ拒絕ス
f) Le destinataire refuse de payer
小包ニハ合計(通知書作成國ノ貨幣ニテ表示スベシ)_____ノ關稅其ノ他ノ費用ヲ課セラレタリ
g) Le ____ colis $\frac{est}{sont}$ grevé ____ des droits de douane et autres frais s'élevant au total à _____
保管ノ延長ニ伴ヒ此ノ金額ハ_____ノ割合ニテ附加スベシ (*à indiquer dans la monnaie du pays qui dresse l'acis*)
Pour prolongation de magasinage, cette somme sera majorée à raison de _____
名宛人ノ輸入許可ヲ有セズ
h) Le destinataire n'a pas d'autorisation d'importation.
差出人又ハ下記ノ者ニ其旨示ヲ請求セラレタシ由____月ノ期間内ニ何等ノ回示ガ到著セザルトキハ小包ハ差出人ノ費用ニテ差出元ニ返送セラルベキコトヲ差出人又ハ下記ノ者ニ通知セラレタシ____ l'expéditeur
Prière de demander les instructions de la personne désignée ci-après et de lui faire connaître que, si ces instructions ne me parviennent pas dans un délai de ____ mois, le ____ colis ser ____ renvoyé ____ à l'origine sous suite des frais.
注意　回示ガ到著セザル限リ局ハ場合ニ依リ其ノ後小包ヲ源初ノ名宛人若ハ送狀ノ裏面ニ指示セラレタル他ノ名宛人ニ交付スルカ又ハ新名宛ニ之ヲ轉送スルコトヲ得
Nota. — Tant que les instructions ne sont pas parvenues, le bureau est autorisé à procéder, le cas échéant, ultérieurement, soit à la livraison du colis au destinataire primitif ou à un autre destinataire indiqué éventuellement sur le verso du bulletin d'expédition, soit à sa réexpédition à une nouvelle adresse.

局印
Timbre du bureau

回示ヲ請求セラルベキ人ノ氏名及居所
Nom et adresse de la personne à qui les instruction doivent être demandées :

署名
Signature :

不用ノ分ハ塗抹スルコト
(1) Biffer les indications dont il n'est pas fait usage.

(Dimensions : 148×210 mm.)

CP 9 (Verso)

回答
RÉPONSE

小包ハ下ノ如ク取扱ハレタシ
Le ____ colis doi ____ être (1) :
原初ノ名宛人ニ向ヒ回示スルコト
a) présenté ____ encore une fois au destinataire primitif.
_____ノ代金引換金額{ヲ取立ツルコトナク / ノ支拂ト引換ニ}____町____番地(原初ノ名宛人又ハ他ノ人)氏ニ交付轉送スルコト
b) $\frac{remis}{réexpédié}$ à M ____ à ____ rue ____ No ____
(*destinataire primitif ou une autre personne*)
{ sans perception / contre payement (2) } du montant du remboursement de ____
小包ニ課セラレタル關稅其ノ他ノ費用ヲ徵收スルコトナク____區____番地(原初ノ名宛人又ハ他ノ人)氏ニ交付轉送スルコト
c) $\frac{remis}{réexpédié}$ à M ____ à ____ rue ____ No ____
(*destinatrire primitif ou une autre personne*)
sans perception des droits de douane ou des autres frais dont le ____ colis $\frac{est}{sont}$ grevé ____ (3).
直ニ差出局ニ返送スルコト
d) immédiatement renvoyé ____ au bureau d'origine.
差出人ノ危險負擔ニテ資却スルコト
e) rendu ____ aux risques et périls de l'expéditeur.
增差シタルモノトシテ取扱フコト
f) traité ____ comme abandonné ____.
關係人ガ同人ニ宛テラレタル回示ノ請求ニ對シ回答セザルニ因リ小包ハ當初ノ原所濟ノシタルトキハ之ヲ差出局ニ返送セラレタシ
L'intéressé n'ayont pas répondu aux demandes d'instruction qui lui ont été adressées, le ____ colis doi ____ être renvoyé ____ au bureau d'origine à l'expiration du délai réglementaire.

局印
Timbre du bureau

署名
Signature : _____

不用ノ分ハ塗抹スルコト
(1) Biffer les indications dont il n'est pas fait usage.
代金引換金額ヲ減額スルトキハ差出局ハ郵便代金引換取扱規則第百十九條ノ規定ニ依リ作成スル)ヲ回答ニ添附スルコトヲ要ス
(2) Le bureau d'origine doit ajouter à la réponse un nouveau mandat de remboursement (établi conformément aux prescriptions de l'article 119 du Règlement), si le montant du remboursement est réduit.
差出局ハ施行規則第百九條ノ規定ニ依リ作成スル課金別納狀ヲ回答ニ添附スルコトヲ要ス
(3) Le bureau d'origine doit ajouter à la réponse un bulletin d'affranchissement établi conformément aux prescriptions de l'article 109 du Règlement.

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ADMINISTRATION DES POSTES

d_____

BUREAU d _____ SERVICE DES COLIS POSTAUX

CP 13
(Règl., art. 144, § 2)

Timbre du bureau expéditeur du bulletin

Timbre du bureau destinataire du bulletin

BULLETIN DE VÉRIFICATION

pour la constatation et la rectification des erreurs et errégularités de toute nature reconnues dans l'envoi des colis décrits sur la feuille de route No_____ du bureau d'échange d_____ par le bureau d'échange d_____ e expédition du_____ 19_____ à _____ h._____

MANQUE DE COLIS

NUMÉRO d'ordre (1)	NUMÉRO du colis (2)	Lieu d'origine (3)	ADRESSE (aussi exacte que possible) (4)	Montant du port bonifié (5)	Vérification du bureau destinataire (6)	Observations (7)

AVARIE DE COLIS

NUMÉRO d'ordre (1)	NUMÉRO du colis (2)	Lieu d'origine (3)	ADRESSE de l'expéditeur (4)	ADRESSE du destinataire (5)	Contenu (6)	Poids constaté (7)	Valeur déclarée (8)	Indication du récipient (panier, sac, etc.) (9)

Description et cause apparente de l'avarie ou autres observations.

IRRÉGULARITÉS
(manque de feuille de route, insuffisance d'emballage ou de fermeture, etc.)

ERREURS

NUMÉRO d'ordre (1)	NUMÉRO du colis (2)	Lieu d'origine (3)	Nom et adresse du destinataire (4)	Poids (5)	Montant du port bonifié (6)	Rectification du bureau destinataire (7)
Total			Total vérifié			

_____, le_____ 19____

Les agents du bureau d'échange destinataire de la dépêche:

_____, le_____ 19____

Vu et accepté:
Le Chef du bureau d'échange expéditeur de la dépêche:

(Dimensions: 148×210 mm.)

CP 12
(Règl., art. 143, § 5)

PAYS D'ORIGINE

PAYS DE TRANSIT

Numéro d'ordre de la feuille de route:____
Nom du navire:

Timbre du bureau expéditeur

Timbre du bureau de transit

FEUILLE DE ROUTE

pour la bonification des quotes-parts dues pour le transit des colis expédiés en récipients clos au bureau d_____
(*Indiquer le nom du bureau de destination de la dépêche*)
par l'intermédiaire du bureau d'échange d_____
Départ (_____ e envoi) du _____ 19____, à ____ h.____ m.

_____ récipients renfermant _____ colis sans déclaration de valeur
_____ „ „ _____ „ avec „ „ „
_____ „ vides _____
_____ Total des récipients _____ Total des colis

BONIFICATIONS:	Fr.	c.
Taxes de transport ... ... _____ colis à ____ c. =		
_____ „ à ____ c. =		
_____ „ à ____ c. =		
_____ „ à ____ c. =		
_____ „ à ____ c. =		
_____ „ à ____ c. =		
Total des colis _____		
Droits d'assurance pour colis avec valeur déclarée: Nombre de fractions indivisibles de 300 fr. ____ à ____ c. =		
Total		

L'agent du bureau expéditeur:

L'agent du bureau de transit:

(Dimensions: 148×210 mm.)

CP 14
(Règl., art. 147, § 1)
CORRESPONDANCE
AVEC L'ADMINISTRATION
d_____

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____
BUREAU d _____

ETAT MENSUEL

des sommes que se doivent réciproquement l'Administration d_____
et l'Administration d _____, à titre de frais pour les colis postaux livrés par les bureaux
d'échange dépendant de la première Administration au bureau d'échange d_____
Mois d_____ 19____

Date des feuilles de route	I. Avoir de l'Administration destinataire (Colonne 8 de la formule CP 11)							II. Avoir de l'Administration expéditrice (Colonne 9 de la formule CP 11)							Observations
	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	Envoi du bureau d	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.		
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
———															
31															
Total par bureau d'échange corresp.															
Total général de chaque Avoir															

Timbre du bureau d'échange destinataire

Le Chef du bureau d'échange destinataire :

_____

(Dimensions : 210×297 ou 105×297 mm.)

CP 15
(Règl., art. 147, § 2)
CORRESPONDANCE
AVEC L'ADMINISTRATION
d_____

ADMINISTRATION DES POSTES

COMPTE

récapitulatif des états mensuels des feuilles de route de colis postaux adressés par les bureaux d'échange d_____ aux bureaux d'échange d_____
Mois d_____ 19____

Numéro d'ordre	Bureau d'échange destinataire	Montant des sommes dues d'après chaque état mensuel à l'Administration destinataire	Montant des sommes dues d'après chaque état mensuel à l'Administration expéditrice	OBSERVATIONS
1	2	3	3	5
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
	Totaux			
	Solde au crédit de l'Administration d____			

(Dimensions : 210×297 mm.)

CP 16
(Règl., art. 149, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

COMPTE PARTICULIER

des mandats de remboursement payés par l'Administration d_____
pour le compte de l'Administration d_____
pendant le mois d_____ 19____

No d'ordre	Numéro d'émission	Date d'émission	Bureau d'émission	Montant des mandats	Observations
1	2	3	4	5	6
			TOTAL...		
			A déduire : ½% du total...		
			A déduire : Quote-part fixe (...par mandat)		
			Reste au profit de l'Administration d		

(Dimensions : 210×297 mm.)

㊽郵便爲替ニ關スル約定ノ施行規則

昭和九年十二月
遞告第三千二百五十號

昭和九年十二月十一日ニ「ストックホルム」ニ於テ締結シタル萬國郵便條約第四條ニ依リ郵便爲替ニ關スル約定ノ施行ヲ保障スル爲各其ノ郵政廳ノ名ニ於テ協議ヲ遂ゲ左ノ手續ヲ定メタリ

第一章　振出、送達、拂渡

第一節　爲替證書式紙

第一條　爲替證書ノ記載事項、私用通信文

第二條　爲替證書ノ記載事項ハ「アラビア」數字及「ラテン」文字ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

假令證明ヲ爲スモ塗抹シ又ハ改竄スルコトヲ得ズ

貨幣單位ノ端數金額ハ數字ノミヲ以テ之ヲ記入スルコトヲ得但シ端數金額ヲ表示スル數字ニシテ十位ナキモノニ付テハ其ノ前ニ零ヲ附スルコトヲ要ス

鉛筆ヲ以テスル記入ハ之ヲ許サズ但シ事務用記事ハ謄寫用鉛筆ヲ以テ之ヲ記入スルコトヲ得

二　爲替證書ノ名宛ハ權利者ヲ明瞭ニ限定スル樣受取人ヲ表示スルコトヲ要ス

略稱又ハ電信名宛ハ之ヲ許サズ

三　爲替證書ニハ式紙ノ內容ニ記ムル事項ノ外他ノ事項ヲ記入スルコトヲ禁ズ但シ差出人ハ通知票ニ爲替ノ受取人ニ宛ツル私用通信文ヲ附記スル權利ヲ有ス

四　業務用爲替證書ニハ其ノ表面ニ「Service des postes」又ハ之ニ類似スル記載ヲ爲スコトヲ要ス

第三條　爲替證書ノ送達

爲替證書ハ反對ノ協定アルニ非ザレバ露出ノ儘之ヲ送達ス該證書ハ條約ノ施行規則第百五十七條第一項ニ定ムル方法ニ依リ之ヲ行濟ニ納ム

第百四條　電信爲替

一　電信爲替ハ振出郵便局ニ於テ之ヲ認メ且名宛郵便局ニ宛ツルモノトス

電信爲替ハ反對ノ協定アルニ非ザレバ佛蘭西語ヲ以テ之ヲ作成シ且左ノ如ク記ムル（電信業務上ノ指定、必要トスル場合ニ限ル）

（拂渡濟通知書、必要トスル場合ニ限ル）

Mandat（振出番號）

（名宛郵便局名）

（差出人氏名）

（送付金額）

（受取人、其ノ居所及成ルベク其ノ住所ノ正確ナル表示）

（私用通信文、必要トスル場合ニ限ル）

電報ノ記載事項ハ常ニ右ノ順序ニ依ルコトヲ要ス

二　電信業務上ノ指定ハ文字ヲ以テ之ヲ完記スルカ又ハ同業務ニ於テ認ムル略號ヲ以テ之ヲ表示ス

三　電信業務ノ施設ナキ地ノ郵便局又ハ二以上ノ郵便局ノ所在地ニ於ケル電信業務非取扱郵便局ヨリ電信爲替ヲ振出ストキハ振出局名ヲ振出番號ノ直後ニ左ノ如ク指示スルコトヲ要ス

「Mandat 404 de……pour……」

名宛郵便局ノ所在地ニ電信局ナキトキハ電信爲替ニハ名宛郵便局及同局ヲ受持ツ電信局ヲ指示スルコトヲ要ス

名宛地ニ於ケル電信局ノ存否ニ付疑アル場合又ハ受持電信局ヲ指示シ能ハザルトキハ爲替電報ニ地方區劃名、名宛國名、此ノ二事項又ハ爲替電報ノ送達ニ十分ナリト認ムル其ノ他一切ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

送付金額ハ數字ニテ之ヲ表示シ且貨幣單位（「フラン」、「ライヒスマルク」等）以上ハ名宛國貨幣ヲ以テ文字ニテ之ヲ完記スルコトヲ要ス

五　受取人女ナルトキハ姓ト共ニ名ヲ記載スルトキト雖モ其ノ前ニ「Madame」又ハ「Mademoiselle」ノ文字ヲ附スルコトヲ要ス但シ權利者ヲ明瞭ニ限定スルニ足ルベキ身分、稱號、官職又ハ職業ノ記載ト重複スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

差出人及受取人ハ略號又ハ暗號ヲ以テ之ヲ表示スルコトヲ得ズ

六　受取人ノ居所ノ地名カ名宛郵便局名ト同一ナル場合ニ於テハ其ノ地名ノ指示ヲ省略スルコトヲ得

「Poste restante」又ハ「Télégraphie restant」ノ指定アル爲替電報ニ付テハ電報ノ額表ニ記載シタル當該業務上ノ指定ヲ以テ足リ受取人ノ氏名ノ次ニ「Poste restante」又ハ「Télégraphie restant」ノ記載ヲ要セズ

七　一部ノ反覆（關係局間ニ於ケル固有名詞及數ノ僞送上ノ反覆）ハ必ズ之ヲ爲ス

八　振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

九　名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替證書ニ綴附ス

十　郵政廳ハ郵便局ノ設置アル地ノ電信局ヲシテ電信爲替金ヲ差出人ヨリ受領シ又ハ宛所ニ於テ之ガ拂渡ヲ爲サシムル權能ヲ有ス

第百五條　拂渡濟通知書

一　通常爲替證書ニシテ差出人カ拂渡濟通知書ヲ請求スルモノハ表面頂部ニ「Avis de payement」ナル極メテ明瞭ナル記載ヲ爲スコトヲ要ス

二　條約ノ施行規則第百二十六條及第百二十七條ノ到達證ニ關スル規定ハ拂渡濟通知書ニ之ヲ適用ス但シ拂渡濟通知書ヲ爲替金拂込後請求スルトキハ條約ニ規定スルC第十三號式紙ヲ使用セズ約定ノMP第三號式紙ヲ使用ス

郵政廳ハ其ノ內國制度カ振出郵政廳ノ添附セル式紙ノ使用ヲ許サザルトキハ自廳業務ノ拂渡濟通知書ヲ作成スルコトヲ得

三　電信爲替ノ拂渡濟通知書ハ名宛郵政廳ニ於テ之ヲ作成スル同廳ハ拂渡後振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク直ニ拂渡濟通知書ヲ振出局ニ送付ス

第百六條　別配達爲替

目次
第一章　振出、送達、拂渡
第一節　爲替證書式紙
第二節　爲替證書ノ記載事項、私用通信文
第三節　爲替證書ノ送達
第四節　電信爲替
第五節　拂渡濟通知書
第六節　別配達爲替
第二章　諸種ノ手續
第七節　事故爲替
第八節　蹤跡不明、亡失又ハ毀損ノ爲替證書
第九節　日附認證
第十節　取戻、名宛變更
第十一節　轉送
第十二節　拂渡不能ノ爲替
第十三節　取調請求書
第十四節　他國ニ於テ振出シタル爲替ノ取調請求書
第三章　計算
第十五節　月次計算書
第十六節　總計算書
第十七節　決濟、內拂
第四章　通報、式紙
第十八節　總理局及郵政廳ニ宛ツベキ通報
第十九節　公衆用式紙
最終規定
第百二十條　規則ノ實施及存積期間
附錄
MP第一號乃至MP第五號式紙
郵便爲替ニ關スル約定ノ施行規則

CP 17
(Règl., art. 150, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

COMPTE

des frais de douane, etc., payés par l'Administration d_____
pour le compte de l'Administration d_____
Mois d_____ 19____

Numéro d'ordre	Date des avances	Numéro du bulletin d'affranchissement	BUREAU qui a fait l'avance	Montant de chaque bulletin d'affranchissement	Observations
1	2	3	4	5	6

以テ配達スベキ通常爲替ニ之ヲ適用ス

第二章　諸種ノ手續

第百七條　事故爲替

通常爲替證書ニシテ左ノ事由ニ因リ拂渡ヲ爲スコトヲ得ザルモノハ受取人ニ於テ事故ノ通知ヲ受ケ下記第二項ノ規定ノ適用ヲ請求スルニ非ザレバ事故ノ訂正ノ爲之ヲ封皮ニ納メ成ルベク這ニ報出局ニ返送ス

(イ)　受取人ノ氏名又ハ住所ノ不正確、不完全又ハ脫脫ナルニ因ルトキ

(ロ)　氏名又ハ金額ノ相違又ハ改竄

(ハ)　記入事項ノ瑕疵ナルトキ

(ニ)　局印、署名其ノ他事務用記事ノ脫漏

(ホ)　關係郵政廳ニ於テ拂渡ニ付認メタル貨幣以外ノ貨幣ニ依ル拂渡金額ノ記載

(ヘ)　成規ニ依ノザル式紙ノ使用

尤モ這隔セル國ト內國トノ關係ニ於テ名宛郵政廳ニ於テ拂渡ニ適用スル割合ニ依リ換算ヲ爲シ得ルトキハ報出郵政廳ニ直ニ通知スルヲ條件トシ名宛郵政廳ハ認メタル貨幣以外ノ貨幣ヲ以テ金額ヲ記載シタル爲替ノ拂渡ヲ爲スコトヲ得換算ノ過誤ヨリ生ズル危險ハ換算ヲ爲シタル郵政廳ノ負擔トス

二　通常爲替ノ受取人電信ニ依ル事故ノ訂正ヲ希望シ且其ノ一切ノ費用ヲ支拂フベキ旨ヲ申出ヅルトキハ課金事務用ヲ以テ拂渡ニ於テハ爲替證書ハ名宛局ニ於テ之ヲ保管シ同局ハ訂正電報受領ノ上事故ノ訂正ヲ爲シ爲替證書ニ該電報ヲ添附ス

訂正電報ガ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ電報料金ハ之ヲ據利者ニ還付スルコトヲ要ス

三　電信爲替ニシテ不完全又ハ不正確ナル名宛ノ爲替ノ裏ニ受取人ノ貰ニ歸スベカラザル其ノ他ノ事由ニ因リ拂渡ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テハ爲替證書ニ依リ又ハ拂渡濟爲替ノ月次計算書ヨリノ控除ニ依リ當該金額ヲ原爲替證書ヲ發行シタル郵政廳ノ處分ニ委ス

第百十三條　取調請求書

通常爲替又ハ電信爲替ニ關スル取調請求書ハ附錄M.P第三號雛形ニ適合スル式紙ヲ以テ之ヲ作成シ原則トシテ振出局ヨリ直接名宛局ニ送付ス

同一差出人ノ請求ニ依リ同一受取人ニ宛テ同時ニ振出シタル數口ノ爲替ニ付テハ單ニ一枚ノ式紙ヲ使用スルコトヲ得

二　名宛局ニ於テ取調請求アリタル爲替證書ノ綜跡ニ關シ確定的通報ヲ爲シ得ルトキハ調査ノ結果ニ從ヒ記入シタル取調請求書ヲ該請求ヲ受理シタル局ニ返送ス調査不結果ナルカ又ハ拂渡ニ關シ異議ノ申立アリタル場合ニハ該請求書ハ之ニ爲替金ヲ受領セザル旨ヲ證明シタル受取人ノ申立書ヲ成ルベク添附シ名宛國郵政廳ヲ經テ振出國郵政廳ニ之ヲ送付ス

三　各郵政廳ハ自廳ノ業務ニ關スル取調請求書ヲ其ノ中央廳又ハ特ニ指定シタル局ニ送付スルコトヲ總理局宛通知ニ依リ請求スルコトヲ得

第百十四條　他國ニ於テ振出シタル爲替ノ取調請求書

約定第二十二條第三項ニ規定スル場合ニ於テハM.P第三號ノ取調請求書ヲ振出郵政廳ニ送付ス該請求書ハ之ニ受領證ヲ添附スルコトヲ要ス

振出郵政廳ハ約定第二十二條及第二十三條ニ規定スル期間內ニ該請求書ヲ受領スルコトヲ要ス

第三章　計算

第百十五條　月次計算書

一　各郵政廳ハ每月末ニ他ノ各郵政廳每ニ附錄M.P第四號雛形ニ適合スル月次計算書ヲ作成シ之ニ自廳所屬局ガ前月中相手郵政廳ノ計算ニ於テ拂渡シタル總テノ爲替ヲ成ルベク年月日順及振出局名ノ「アルファベット」順ニ集記ス

二　郵政廳ハ自廳所屬局ニ於テ拂渡シタル爲替ニ付約定第二十九條第一項ニ依リ自廳ニ歸屬セシムベキ期間、留置、日附認證、取調請求及拂渡認可書ニ對シ料金ヲ徵收スルトキハ其ノ料金

三　自國ニ於テ爲替ヲ裏書ニ依リ移轉シ得ルヤ否ニ關スル決定

四　自廳ニ於テ使用スル爲替證書ノ式紙一枚

(イ)　爲替證書ニ記載スベキ一ヨリ千ニ至ル數ノ自國ノ公用語ニ依ル緩方

(ロ)　自廳ニ於テ爲替ノ交換ニ付媒介ニ任ジ得ル約定非參加國名表

(ハ)　自廳ニ於テ徵收スル料金ノ振出爲替證書面ヘノ指示方法

(ニ)　自廳ニ於テ定ムル爲替ノ振出及拂渡ノ期間

(ホ)　自國ニ於テ適用スル料金表

(ヘ)　自國ニ於テ制ニ於ケル期間ノ經過ニ依リ拂渡ノ請求ナキ爲替ノ金額ヲ國庫ニ確實ニ歸屬セシムベキ期間

(ト)　自國ニ於テ居宅拂、留置、日附認證、取調請求及拂渡認可書ニ對シ料金ヲ徵收スルトキハ其ノ料金

(チ)　自國ニ於テ爲替ヲ裏書ニ依リ移轉シ得ルヤ否ニ關スル決定

(リ)　自廳ニ於テ使用スル爲替證書ノ式紙一枚

(ヌ)　爲替證書ニ記載スベキ一ヨリ千二至ル數ノ自國ノ公用語ニ依ル緩方

(ル)　自廳ニ於テ爲替ノ交換ニ付媒介ニ任ジ得ル約定非參加國名表

(ヲ)　自廳ニ於テ徵收スル料金ノ振出爲替證書面ヘノ指示方法

二　總計算書ハ其ノ關係スル月ノ經過後二月ノ期間內ニ之ヲ泰定スルコトヲ要ス該期間ハ遠隔セル國トノ關係ニ於テハ之ヲ四月トス

郵政廳ハ三月、六月又ハ一年每ニ總計算書ヲ作成スル爲協定スルコトヲ得

第百十七條　決濟、內拂

一　總計算書ノ差額又ハ月次計算書ノ總額ハ反對ノ協定アルニ非ザレバ貨方國ノ首府又ハ商業地宛ノ小切手又ハ一覽拂手形ヲ以テ該國ノ貨幣ニテ且同國ノ何等ノ損失ヲ與ルコトナクシテ之ヲ決濟ス支拂ノ費用ハ借方郵政廳ノ負擔ニ屬ス

二　支拂ハ總計算書ノ受領後、又總計算書ヲ作成セザルトキハ月次計算書ノ受領後遲クトモ十五日ニ之ヲ爲スコトヲ要ス該期間ハ遠隔セル國ニ對シテハ之ヲ一月トス

三　郵政廳ガ支拂フベキ金額ニ付意見一致セザルトキハ決濟ハ異議アル部分ニ對シテハ之ヲ延期スルコトヲ得該部分ニ關シテハ借方郵政廳ハ異議ノ理由ヲ遲クトモ前節ニ規定スル期間內ニ貸方郵政廳ニ通知スベキモノトス

四　各郵政廳ニシテ他ノ郵政廳ニ對シ二萬金「フラン」ヲ超ユル金額ニ付債權ヲ有スルモノハ計算結了前ト雖モ其ノ貸高ノ四分ノ三ヲ限度トシ內拂又ハ假拂ヲ請求スル權利ヲ有ス該請求ニ對シテハ八日ノ期間內ニ支拂ヲ爲スコトヲ要ス該期間ヲ經過スルモ支拂ヲ拒キ場合ニハ約定第三十一條ノ規定ヲ適用ス

第四章　通報、式紙

第百十八條　總理局及郵政廳ニ宛ツベキ通報

一　郵政廳ハ約定實施ノ少クトモ三月前ニ總理局ノ媒介ニ依リ他ノ郵政廳ニ左ノ事項ヲ通報スルコトヲ要ス

(イ)　約定ニ基キ自廳ニ於テ爲替ヲ交換スル國名表

(ロ)　爲替ノ受拂取扱局名表又ハ總テノ所屬局ガ本業務ヲ取扱フ旨ノ通知

(ハ)　電信爲替ノ交換ニ參加スルトキハ其ノ條約實施ノ日

二　總計算書ハ其ノ關係スル月ノ經過後二月ノ期間內ニ之ヲ泰定スルコトヲ要ス該期間ハ遠隔セル國トノ關係ニ於テハ之ヲ四月トス

郵政廳ハ三月、六月又ハ一年每ニ總計算書ヲ作成スル爲協定スルコトヲ得

第百十七條　決濟、內拂

一　總計算書ノ差額又ハ月次計算書ノ總額ハ反對ノ協定アルニ非ザレバ貨方國ノ首府又ハ商業地宛ノ小切手又ハ一覽拂手形ヲ以テ該國ノ貨幣ニテ且同國ノ何等ノ損失ヲ與ルコトナクシテ之ヲ決濟ス支拂ノ費用ハ借方郵政廳ノ負擔ニ屬ス

二　支拂ハ總計算書ノ受領後、又總計算書ヲ作成セザルトキハ月次計算書ノ受領後遲クトモ十五日ニ之ヲ爲スコトヲ要ス該期間ハ遠隔セル國ニ對シテハ之ヲ一月トス

三　郵政廳ガ支拂フベキ金額ニ付意見一致セザルトキハ決濟ハ異議アル部分ニ對シテハ之ヲ延期スルコトヲ得該部分ニ關シテハ借方郵政廳ハ異議ノ理由ヲ遲クトモ前節ニ規定スル期間內ニ貸方郵政廳ニ通知スベキモノトス

四　各郵政廳ニシテ他ノ郵政廳ニ對シ二萬金「フラン」ヲ超ユル金額ニ付債權ヲ有スルモノハ計算結了前ト雖モ其ノ貸高ノ四分ノ三ヲ限度トシ內拂又ハ假拂ヲ請求スル權利ヲ有ス該請求ニ對シテハ八日ノ期間內ニ支拂ヲ爲スコトヲ要ス該期間ヲ經過スルモ支拂ヲ拒キ場合ニハ約定第三十一條ノ規定ヲ適用ス

第四章　通報、式紙

第百十八條　總理局及郵政廳ニ宛ツベキ通報

一　郵政廳ハ約定實施ノ少クトモ三月前ニ總理局ノ媒介ニ依リ他ノ郵政廳ニ左ノ事項ヲ通報スルコトヲ要ス

(イ)　約定ニ基キ自廳ニ於テ爲替ヲ交換スル國名表

(ロ)　爲替ノ受拂取扱局名表又ハ總テノ所屬局ガ本業務ヲ取扱フ旨ノ通知

(ハ)　電信爲替ノ交換ニ參加スルトキハ其ノ條約實施ノ日

務報ニ依ル事故ノ訂正ヲ請ス

電信爲替ニシテ事故ノ訂正ヲ爲ス場合ニモ之ヲ通常爲替ニ依リ訂正セラレザルモノニ付テハ通常爲替ニ付定メタル方式ニ依リ事故ノ訂正ヲ爲ス

四　電信爲替ニシテ振出通知書ノミ到着シ電報不着ナルモノハ單ニ報出通知書ノ到着ニ依リ之ガ拂渡ヲ爲スコトヲ得ズ先ヅ電信事務報ヲ以テ電報ヲ請求スベキモノトス報出通知書ガ第一便ニテ名宛局ニ到着セザルトキハ約ノ施行規則第百十八號雛形ニ適合スル簡裁狀ヲ以テ之ヲ請求ス

第百八條　踪跡不明、亡失又ハ毀損ノ爲替證書

一　踪跡不明、亡失又ハ毀損ノ爲替證書ハ差出人又ハ受取人ノ請求ニ因リ拂渡認可書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得拂渡認可書ハ報出郵政廳ニ於テ名宛郵政廳ト協議ヲ遂ゲ爲替ノ拂渡、拂戻又ハ轉送ナカランコトヲ確認シタル後之ヲ發行ス

三　通常爲替ヲ電信ニ依リ轉送スル場合ニハ轉送局ハ爲替料金及爲替料ヲ控除シ其ノ殘額ニ付電信爲替ノ振出ヲ爲ス該爲替料ハ原爲替金額ヨリ電報料金ヲ控除シタル殘額ニ付之ヲ計算ス

新名宛國ノ貨幣ヘノ換算ハ第一項ニ規定スル條件ニテ之ヲ爲ス

原爲替證書ハ轉送局ニ於テ之ニ「Mexpédition de la taxe de……sous déduction de la taxe de……」ノ記事ヲ附シタル後金額受領ノ旨ヲ記載シ之ヲ拂渡濟爲替證書トシテ計理ス

原爲替證書ノ通知票ハ名宛人ニ送付スル爲之ヲ振出通知書ニ添附ス

四　電信爲替ノ電信ニ依リ轉送ハ第三項ニ定ムル條件ニテ且振出通知書ヲ待ツノ要ナク之ヲ爲ス

五　第三項及第四項ノ規定ハ締約國振出ノ通常爲替又ハ電信爲替ヲ振出國ト爲替ノ交換ヲ保持セザル他ノ締約國又ハ約定非參加國ニ轉送スル場合ニ之ヲ適用ス非參加國振出ノ爲替ヲ約定ノ署名國ニ轉送スル場合ニ付亦同ジ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

「アルバニア」國　ベー、ナッス
獨逸國　カー、オルト　カー、チーゲレル　ドクトル、ヴェー、セーバス
「サルヴァドル」「アラビア」主國　ファウザン、エル・サベク
「アルヒンティン」共和國　エレヱ、エレヱ、トゥラ
墺地利國　ドクトル、ルドルフ、クーン
白耳義國　オー、シオツカールト　エー、モンス
「ボリヴィア」國　エルネスト、カセレス　エドムンド、デラ、フエンテ代理エルネスト、カセレス
「ブルガリア」國　イー、カザロフ
「チリ」國　エレヱ、スアレス、バロス
中華民國　胡世澤　張歆海　黃乃裳
「コロンビア」共和國　エー、サルドゥア、バー
「キューバ」共和國　アルフレド、アッシール　丁抹國　ツエー、モンドルプ　アルネ、クロッグ
「ダンチツヒ」自由市　エール、スタルジンスキー
「ドミニカ」共和國　ルイス、アレハンドロ、アギラール
「エジプト」國　エム、シアララ　イー、マソギアー　エス、エー、ゲルソンシ

西班牙國　アロンソ、カーロ　アー、ラモス
西班牙國殖民地全體　テメトリオ、ベレガ
「エストニア」國　ゲー、エー、エフ、アルプレヒト
「エチオピア」國　アラムー、テー
「フインランド」國　ゲー、エー、エフ、アルプレヒト
佛蘭西國　エム、ルボン　エル、ジアントン　ベー、ゲランシモン　アー、カバンヌ　デュッセール
「アルジエリー」　エー、エナン
印度支那ノ佛蘭西國殖民地及保護領　ニコラ
其ノ他ノ佛蘭西國殖民地全體　ジー、カサニァック
希臘國　ゲエー、デンドラミス
ジー、ラクニガキス
「ホンデュラス」共和國　ドクトル、トクシメイ
「ハンガリー」國　シアルル、ド、フオルステール
「アイスランド」國　ツエー、モンドルプ　アルネ、クロッグ
伊太利國　ヒエトロ、トスティ　ガルディ、ミケレ
伊太利國殖民地全體　クレティ、ドナート
日本國　關正雄　張間利春　登山洋吉

朝鮮　關正雄　川面隆三
其ノ他ノ日本國屬地全體　張間利春　藤川洋
「ラトヴィア」國　エル、ルーレ
佛蘭西國委任統治ノ下ニ在ル東方諸國（シリア「國及「レバノン」國）　シアンファレソリ　エル、ベルノ
「リベリア」共和國　「リスアニア」　「ルクセンブルグ」國　「モロッコ」國（西班牙地帶ヲ除ク）　アッシュ、デュティエ
「モロッコ」國（西班牙地帶）　アー、ラモス
「ニカラグア」國　ヴィクトル、ドゥラン、エメ
諸國國　クラウス、ヘルシング　オスカル、ホンメ
「パナマ」共和國　エー、サルドゥア、バー
「パラグアイ」國　エレヱ、エレヱ、トゥラ
和蘭國　ドインステー　ファン、ゴール
「キュラサオ」及「スリナム」　ホーヘウォーニング
蘭領印度　ベルク　ブリル　ホーヘウォーニング
「ペルー」國　エルネスト、カセレス　エドムンド、デラ、フエンテ代理エルネスト、カセレス
「ペルシア」國　エス、アー、ラッド　エール、アーサメンド
「ポーランド」國　エール、スタルジンスキー
「ポルトガル」國　アー、テ、クー、エレヱ、ヴェース、ピント　アー、セー、ピアンチ
西部「アフリカ」ノ「ポルトガル」國殖民地　エルネスト、ジュリオ、ナヴァロ
東部「アフリカ」ノ「ポルトガル」國殖民地及「オセアニア」ノ「ポルトガル」國殖民地　マリオ、コレーア、バラダ、ダ、クルス
「ルーマニア」國　イラリウ、マネアメ　セー、ステファネスク
「サン、マリノ」共和國　クレティ、ドナート
「サルヴァドル」共和國　「ザール」河地方　退縮國
瑞典國　アンデルス、エルネ　グンナル、ラーゲル　アルヴィド、ビルト
瑞西聯邦　エル、ルーレ
「チエッコスロヴァキア」國　リツラッフ、クチェラ　ヨセフ、ラダ
「テュニス」國　アッシュ、デュティエ
「トルコ」國　ユスフ、アリフィ　エム、サキン
「ウルグアイ」東方共和國　アルトゥロ、セー、マサネス
「ヴァティカン」市　モンシニョーレ、ジウセッペ、マッツオリ
「ヴェネズエラ」合衆國　ルイス、アレハンドロ、アギラール
「イエメン」國　「ユーゴースラヴィア」王國　コスタ、ズッタノヴィッチ

（表面）
MP 第一號 (Recto)
（規則第百一條）
(Règl., art. 101)

通知票
COUPON
（受取人ニ於テ之ヲ切離スコトヲ得）
(Peut être détaché par le destinataire)

爲替金額
（アラビア數字ニテ記入スルコト）
Montant du mandat en chiffres arabes

差出人ノ署所
l'ésignation de l'expéditeur

振出局印
Timbre du bureau d'origine

千九百　年　月　日
Le 19

郵政局
ADMINISTRATION DES POSTES

d

換算割合
Cours du change:
拂渡金額
Somme payée: 1)

國際郵便爲替證書
MANDAT DE POSTE INTERNATIONAL

金額
de la somme de
（アラビア數字ニテ記入スルコト）
(en chiffres arabes)
（單位以上ハラテン文字ニテ記スルコト）
(les unités en toutes lettres et en caractères latins)

受取人
Payable à M 殿
名宛地
Lieu de destination:
町名番地
Rue et numéro:
名宛國
Pays de destination:

郵便切手ノ貼附又ハ現金ノ拂込ヲ表示スル指示
Application des timbres-poste ou indication de la taxe perçue.

振出局印
Timbre du bureau d'origine

事務用記事
INDICATIONS DE SERVICE

振出番號 Numéro
振出日附 Date
振出局 Bureau
(Visas)

爲替證務者署名
Signature de l'agent qui a dressé le mandat

拂込金額
Somme versée
（振出國貨幣）
(Monnaie du pays d'origine)

名宛郵政庁ニ於テ換算ヲ爲ストキ記入スベキ事項
1) Indications à remplir par l'Administration destinataire, lorsqu'elle opère elle-même la conversion.

（寸尺　105×148 ミリメートル又ハ 114×162 ミリメートル）
(Dimensions: 105×148 ou 114×162 mm.)
（表面ト類似シテ印刷スルコトヲ要ス）
(Doit être imprimé en sens inverse du recto.)

（裏面）
MP 第一號 (Verso)

（裏書ノ場所）
(Cadre réservé aux endossements, s'il y a lieu)

受取人ノ受領證
QUITTANCE DU DESTINATAIRE

表記ノ金額受領候也
Reçu la somme indiquée d'autre part,

地名
Lieu: , le 千九百　年　月　日 19

受取人署名
Signature du destinataire:

到着番號
REGISTRE D'ARRIVÉE
第　號
No

拂渡局印
Timbre du bureau payeur

M P 第三號

（規則第百五條第二項及第百十三條第一項）
(Règl., art. 105, § 2, et 113, § 1)

郵 政 廳
ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

局
BUREAU d _____
第　　號
N° _____

爲替取調請求書
RÉCLAMATION D'UN MANDAT

（振出局ニ於ケル記入欄）
(*A remplir par le bureau d'origine*)

請求人ノ住所氏名
Nom et domicile du réclamant : _____

振出局
Bureau d'émission : _____

振出日附
Date d'émission : _____

振出番號
Numéro d'ordre : _____

金額
Montant : _____

受取人ノ氏名
Nom du destinataire : _____

受取人ノ完全ナル居所
Adresse complète du destinataire : _____

名宛局
Bureau de destination : _____

備考
Renseignements complémentaires : _____

爲替證書紛失ノ場合ニ於テハ左ノ一ヲ選ビ
Si le mandat a été égaré, le montant doit être payé

a) 原受取人ニ
a) au destinataire primitif [1];

b) 差出人ニ
b) à l'expéditeur [1].

千九百　年　月　日ニ於テ
_____, le _____ 19__.

署名
Signature :

振出局印
Timbre du bureau d'origine

（名宛局ニ於ケル記入欄）
(*A remplir par le bureau destinataire*) [1]

左欄記載ノ爲替證書ハ
Le mandat décrit ci-contre

年　月　日受取人ニ正ニ拂渡
a été dûment payé au destinataire

濟
le _____ 19__

局ニ於テ處理中
est encore en instance au bureau

d _____

千九百　年　月　日振出局ニ返送濟
a été renvoyé au bureau d'origine le

_____ 19__

千九百　年　月　日　ニ轉送濟
a été réexpédié le _____ 19__

à _____

局ニ未著
n'est pas parvenu au bureau

d _____ [2]

千九百　年　月　日　ニ於テ
_____, le _____ 19__

署名
Signature :

名宛局印
Timbre du bureau de destination

不要ノ記事ハ抹消スルコト
1) Biffer les indications inutiles.
受取人ノ申立書ヲ添附スルコト
2) Ajouter la déclaration du destinataire.

（寸尺　148×210 ミリメートル又ハ 210×297 ミリメートル）
(Dimensions : 148×210 ou 210×297 mm.)

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

AVIS D'ÉMISSION D'UN MANDAT TÉLÉGRAPHIQUE

déposé au bureau d _____

le _____ *pour le bureau* d _____ (*Pays*)

Numéro du mandat 2	Nom, prénoms, qualité et domicile du destinataire 3	Montant du mandat 4
		En monnaie du pays de destination [1]
		En monnaie du pays d'origine

A _____, le _____ 19__

Timbre du bureau d'origine

Bureau de poste :
(*Signature*)

Timbre du bureau de destination

1) Le montant ne peut pas être payé sur le vu de cet avis d'émission, mais seulement sur celui de télégramme auquel cet avis se rapporte.

(Dimensions : 105×148 mm. Papier blanc ordinaire)

M P 第二號

(Règl., art. 104, § 8)

M P 第四號 (Recto)
(Règl., art. 115, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES

19____
MOIS

d_____ d_____

COMPTE MENSUEL

DES

MANDATS DE POSTE INTERNATIONAUX

EMIS PAR LES BUREAUX DE POSTE

d_____

ET PAYÉS PAR LES BUREAUX DE POSTE

d_____

PENDANT LE MOIS DÉSIGNÉ CI-DESSUS

Cahier N° _____

(Dimensions : 210×297 mm.)

M P 第四號 (Verso)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

Année 19____
Mois d_____

Numéro d'ordre des mandats payés	Date de l'émission		Bureau d'émission	Numéro d'émission	Mandats taxés	Mandats en franchise de taxe	Montant du débit de l'Administration d_____
	Année	Mois					
1	2	3	4	5	6	7	8

Mandats taxés _____
Droit de 1/4% sur les mandats taxés _____
Quote-part fixe _____
Mandats en franchise de taxe _____

Total général des sommes dues par l'Administration d _____
à l'Administration d _____

Certifié le présent compte du mois d _____ 19____
conforme au total des _____ mandats ci-annexés.
Fait à _____, le _____ 19____ Le Chef d _____

M P 第五號
(Règl., art. 116, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

COMPTE GÉNÉRAL
DES
MANDATS DE POSTE ÉCHANGÉS

entre _____
et _____
pendant _____ 19____

Période	Avoir de l'Administration d_____		Avoir de l'Administration d_____	
	Mandats	Droits	Mandats	Droits
1	2	3	4	5
Totaux				
Conversion au taux de:				
Balance				

Acomptes _____ _____
Solde _____ _____
au crédit / débit de l'Administration d _____

Détail des acomptes : Dressé à _____
Dates : Montants : le _____ 19____
_____ _____
_____ _____ (*Signature*)
_____ _____ Vu et accepté :
_____ _____

(Dimensions : 210×297 mm.)

㉔郵便振替ニ關スル約定ノ施行規則

昭和九年十二月
遞信省第三千二百五十一號

昭和九年十二月條約第十號「カイロ」締結郵便振替ニ關スル約定ノ施行規則左ノ如シ

郵便振替ニ關スル約定ノ施行規則

目次

第一章　拂出、送達、受入
第一條　振替通知書
第二條　振替目錄
第三章　計算
第四章　諸種ノ手續
第五條　電信振替
第六條　振替請求ノ處理不能
第七條　取調請求書
第八條　振替ノ取消
第九條　振替請求ノ處理不能
第十條　取調請求書
第十一條　差引計算
第十二條　差額ノ支拂
第十三條　總理局及郵政廳ニ宛ツベキ通報
第十四條　公衆用式紙
第十五條　外國ノ郵便振替口座開設請求
最終規定
第十六條　規則ノ實施及存續期間
附錄
VP第一號乃至VP第九號式紙

郵便振替ニ關スル約定ノ施行規則

下ニ署名スル者ハ千九百三十四年三月二十日「カイロ」ニ於テ締結シタル萬國郵便條約第四條ニ依リ郵便振替ニ關スル約定ノ施行ヲ保障スル爲各其ノ郵便廳ノ名ニ於テ協議ヲ遂ゲ左ノ手續ヲ定メタリ

第一章　拂出、送達、受入

第一條　振替通知書

一　振替ノ通知ハ拂出口座ノ加入者又ハ該口座所管局ニ於テ附錄VP第一號雛形ニ適合スル式紙ニ之ヲ認ムルコトヲ要ス

尤モ郵政廳ハ其ノ內國業務ノ式紙ヲ利用スルコトヲ得

二　振替金額ガ拂出國貨幣ヲ以テ表示シアルトキハ振替請求書受付局又ハ交換局ニ於テ換算ヲ爲シ振宛國貨幣ニ於ケル振替金額ヲ赤インキニテ通知書ニ記入ス

三　振替通知書ニハ拂出局ノ日附印ヲ押捺スルコトヲ要ス

第二條　振替目錄

一　振替目錄ハ交換局ニ於テ附錄VP第二號雛形ニ適合スル式紙ヲ以テ之ヲ作成ス目錄ニハ振替一日毎ニ式紙ノ文言ニ認ムル總テノ記事ノ記載アルコトヲ要ス

電信振替ノ目錄ニハ其ノ頭部ニ棒メテ明瞭ナル文字ヲ以テ爲ス「Virements télégraphiques」ナル記事ノ記載アルコトヲ要ス

二　各目錄ニハ之ヲ作成シタル交換局ノ局印ヲ押捺ス

三　同一日ニ同一交換局ニ宛テ數通ノ目錄ヲ作成スルトキハ之ニ毎日更新スル逐次番號ヲ附ス

第三條　送狀

同一交換局ニ宛テタル各目錄ノ合計ハ附錄VP第三號雛形ニ適合スル送狀ノ總計ハ之ヲ文字ヲ以テ完記スルカ又ハ小切手用安全機ニ依リ數字ヲ以テ印刷スルコトヲ要ス

送狀ニハ之ヲ作成シタル交換局ノ局印ヲ押捺シ且署名ノ資格アル一名又ハ數名ノ吏員之ニ署名ス各送狀ニハ交換局毎ニ毎月更新スル逐次番號ヲ附ス

月末ニ發送スル最終ノ送狀ニハ「Dernière lettre d'envoi No.……」ナル記事ノ記載アルコトヲ要ス交換局ガ休日ヲ除キ月ノ末日ニ於テ拂出局ニ宛ツル振替ヲ有セザルトキト雖モ亦「Dernière lettre d'envoi No.……」ト指示シ且振替ナキ旨ヲ記載シタル送狀ヲ該局ニ送付スルコトヲ要ス

第百四條　振替請求書類ノ送達

送狀、振替目錄及振替通知書ハ一括封裝シ放モ利便ナル方法ニ依リ無料ニテ振宛交換局ニ宛テ之ヲ發送ス該郵便物ハ之ヲ書留トスルコトヲ得

第百五條　電信振替

一　電信振替ハ拂出郵便振替局ニ於テ之ヲ認メ且直接振宛口座所管局ニ宛ツルモノトス電信振替ハ反對ノ協定アルニ非ザレバ佛蘭西語ヲ以テ之ヲ作成シ且左ノ如ク認ム（電信業務上ノ指定、必要トスル場合ニ限ル）

Virement（拂出番號）
、、、、、、（振宛振替局名）
、、、、、、（拂出人ノ氏名又ハ表示）
、、、、、、（拂出人ノ口座番號）
、、、、、、（拂出人ノ口座ノ所管振替局名）
、、、、、、（振替金額）
、、、、、、（振宛人ノ氏名又ハ表示）
（私用通信文、必要トスル場合ニ限ル）

電報ノ記載事項ハ常ニ右ノ順序ニ依ルコトヲ要ス

二　電信業務上ノ指定ハ文字ヲ以テ之ヲ完記スルカ又ハ同業務ニ於テ認ムル略號ヲ以テ之ヲ表示ス

三　郵政廳ハ各電信振替ノ拂出番號及金額ノ全部又ハ一部ノ記事ニ對スル暗號ニ付協定スルコトヲ得

四　振替金額ハ數字ヲ以テ之ヲ表示シ且貨幣單位（「フラン」、「ライヒスマルク」等）以上ハ振宛國貨幣ヲ以テ文字ニテ之ヲ完記スルコトヲ要ス

五　拂出人ノ氏名及振宛口座ノ名義ハ略號又ハ暗號ヲ以テ之ヲ表示スルコトヲ得ズ

六　一部ノ反復（關係局間ニ於ケル固有名詞及數ノ傳送上ノ反復）ハ必ズ之ヲ爲ス

七　振宛振替局ハ確認ノ爲ノ振替目錄ノ受領ヲ待ツコトナク受入登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百六條　振替ノ受入

一　送狀、振替目錄及振替通知書在中ノ包東物交換局ニ到著シタルトキハ同局ハ之ガ檢査ノ手續ヲ爲スト何等カノ事故又ハ脫漏アルコトヲ確認シタル場合ニハ同局ハ附錄VP第四號雛形ニ適合スル書狀ニ依リ其ノ旨ヲ拂出交換局ニ通知スル拂出交換局ハ最近便ニ依リ回答ヲ爲シ且場合ニ依リ不足ヲル書類ノ副本ヲ送付スルコトヲ要ス

二　振替通知書面ニ記入シタル金額ト振替目錄面ノ該金額ノ記入トノ間ニ相違アルコトヲ確認シタルトキハ振宛交換局ハ少額ノ金額ニ對シ振宛人ノ振替口座ニ受入登記ヲ爲スコトヲ得

振替通知書又ハ場合ニ依リ振替目錄及送狀ハ之ヲ赤インキニテ相當訂正シ且訂正ノ通知ハVP第四號ノ書狀ニ依リ相手交換局ニ之ヲ爲ス

三　電信振替ニシテ振宛人ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ因リ受入登記ヲ爲スコト能ハザルモノニ付テハ登記不能ノ事由ヲ記載シタル電信事務報ヲ拂出局ニ宛テ發送ス拂出振替局ハ事故ガ業務上ノ過誤ニ起因スルモノナルカ否ヲ審査シ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ直ニ電信事務報ニ依リ之ヲ訂正シ然ラザル場合ニ於テハ拂出人ニ照會ノ後場合ニ依リ訂正ハ郵便ニ依リ之ヲ爲ス但シ拂出人ニ於テ之ガ訂正ヲ希望シ且其ノ費用ヲ支拂フベキ旨申出ヅルトキハ訂正ハ課金事務報ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

電信振替ニシテ事故ガ相當期間內ニ訂正セラレザルモノハ下記第百九條ニ定ムル規定ニ依リ之ヲ取消ス

第百七條　式紙ノ記載事項

振替業務ノ式紙ノ記入ハ「ラテン」文字及「アラビア」數字ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

謄寫用鉛筆又ハ普通ノ鉛筆ヲ以テスル記入ハ之ヲ許サズ但シ署名ハ謄寫用鉛筆ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第二章　諸種ノ手續

第百八條　振替ノ取消

振替請求ノ取消ノ請求ハ拂出口座ノ加入者ニ於テ書面ニ依リ之ヲ爲シ且一筆拂手形ニ付テハ總テノ書狀ニ依リ直ニ拂出口座所管局ニ通知ス電信ニ依ル請求ノ場合ニハ該通知ヲ爲スニハ確認書狀ノ到著ヲ待ツコトヲ要セズ

四　第一項ニ定ムル條件以外ノ條件ニテ作成シ且送達スル取消請求ハ之ヲ認メズ

第百九條　振替請求ノ處理不能

理由ノ如何ヲ問ハズ振替請求ニ付口座ニ受入登記ヲ爲シ得ザルトキハ其ノ記入アル日錄ヲ求書ヲ作成シ之ヲ自國ノ關係交換局ニ送達ス該交換局ハ振宛國ノ媒介交換局ニ當該振替ノ送達ヲ爲シタル要項ヲ請求書ニ記入シ之ヲ該媒介交換局ニ送付ス請求書ノ送達ハ書留書狀ヲ以テ之ヲ爲ス

㈣　請求ヲ電信ニ依リ爲スベキトキハ附錄VP第六號雛形ニ適合スル課金事務報ハ拂出局又ハ拂出國ノ交換局ヨリ直接振宛及送狀ノ關係記入車頭ハ之ヲ取消シタル儘トス

最初處理不能トナリタル振替請求ヲ再ビ振宛交換局ニ送達スルトキハ拂出交換局ハ新ナル請求トシテ之ヲ取扱フコトヲ要ス最初ノ目錄及送狀ノ關係記入車頭ハ之ヲ取消シタル儘トス

尤モ締約國郵政廳ハ處理不能ノ振替ヲ振替日錄ニ拂出國郵政廳ノ貸方トシテ記入又ハ他ノ方法ニ依リ計算スル爲協定スルコトヲ得場合ニ依リ換算ハ普通ノ振替ノ如ク當日ノ相場ニテ之ヲ爲シ振替通知書ニハ說明書ヲ附ス

第百十條　取調請求書

振替請求ノ處理ニ關スル取調請求ニ付テハ拂出口座所管振替局ニ於テ附錄VP第七號雛形ニ適合スル式紙ヲ以テ請求書ノ作成ヲ爲スコト振宛局ニ於テ請求書ハ場合ニ依リ拂出國交換局及振宛國交換局ヲ經テ振宛口座所管振替局ニ之ヲ送達ス

第三章　計算

第百十一條　差引計算

日締差引計算書ハ附錄VP第八號雛形ニ適合スル式紙ヲ以テ之ヲ作成ス

右計算書ハ成ルベク速ニ相手郵政廳ニ之ヲ送達ス

第百十二條　差額ノ支拂

一　郵便振替ニ付支拂フベキ金額ハ仔細國ノ首府又ハ商業地宛ノ小切手又ハ一筆拂手形ヲ以テ該國ノ貨幣ニテ且同國ニ何等ノ損失ヲ與フルコトナク之ヲ決濟ス支拂ノ費用ハ借越郵政廳ノ負擔ニ歸ス

二　各郵政廳ハ普通ノ條件ニ依リ他ノ郵政廳ニ對シ振宛人ノ振替口座ニ受入登記ヲ爲シ得ザルトキハ其ノ記入アル日錄ヲ求書ヲ作成シ之ヲ自國ノ關係交換局ニ送達ス該交換局ハ振宛國ノ媒介交換局ニ當該振替ノ送達ヲ爲シタル要項ヲ請求書ニ記入シ之ヲ該媒介交換局ニ送付ス請求書ノ送達ハ書留書狀ヲ以テ之ヲ爲ス

㈤　請求ヲ電信ニ依リ爲スベキトキハ附錄VP第六號雛形ニ適合スル課金事務報ハ拂出局又ハ拂出國ノ交換局ヨリ直接振宛及送狀ノ關係記入車頭ハ之ヲ取消シタル儘トス

確認スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ兩國ノ交換局ヲ經由スベキVP第五號式紙ニハ頭部ニ色鉛筆ニテ字下線ヲ引キタル左ノ記事ヲ附ス

「Confirmation de la demande télégraphique expédiée le……par le bureau de chèques postaux a……à l'adresse du bureau de chèques postaux a……」

振替請求ノ取消ハ下記第百九條ニ定ムル規定ニ依リ之ヲ爲ス但シ取消ヲ電信ニ依リ請求シタルモノナルトキハ振宛局ハ單ニ振替請求ヲ留置キ取消請求ニ應ズル爲郵便ニ依ル確認ヲ待ツモノトス

三　郵便又ハ電信ニ依リ送達スル取消請求ガ振宛局ニ還著シ振替ヲ取消スコト能ハザルトキハ該局ハ其ノ旨ヲ書狀ニ依リ直ニ拂出口座所管局ニ通知ス電信ニ依ル請求ノ場合ニハ該通知ヲ爲スニハ確認書狀ノ到著ヲ待ツコトヲ要セズ

四　第一項ニ定ムル條件以外ノ條件ニテ作成シ且送達スル取消請求ハ之ヲ認メズ

第百九條　振替請求ノ處理不能

理由ノ如何ヲ問ハズ振替請求ニ付口座ニ受入登記ヲ爲シ得ザルトキハ其ノ記入アル日錄ヲ求書ヲ作成シ之ヲ自國ノ關係交換局ニ送達ス該交換局ハ振宛國ノ媒介交換局ニ當該振替ノ送達ヲ爲シタル要項ヲ請求書ニ記入シ之ヲ該媒介交換局ニ送付ス請求書ノ送達ハ書留書狀ヲ以テ之ヲ爲ス

㈥　請求ヲ電信ニ依リ爲スベキトキハ附錄VP第六號雛形ニ適合スル課金事務報ハ拂出局又ハ拂出國ノ交換局ヨリ直接振宛及送狀ノ關係記入車頭ハ之ヲ取消シタル儘トス

尤モ締約國郵政廳ハ處理不能ノ振替ヲ振替日錄ニ拂出國郵政廳ノ貸方トシテ記入又ハ他ノ方法ニ依リ計算スル爲協定スルコトヲ得場合ニ依リ換算ハ普通ノ振替ノ如ク當日ノ相場ニテ之ヲ爲シ振替通知書ニハ說明書ヲ附ス

第百十條　取調請求書

振替請求ノ處理ニ關スル取調請求ニ付テハ拂出口座所管振替局ニ於テ附錄VP第七號雛形ニ適合スル式紙ヲ以テ請求書ノ作成ヲ爲スコト振宛局ニ於テ請求書ハ場合ニ依リ拂出國交換局及振宛國交換局ヲ經テ振宛口座所管振替局ニ之ヲ送達ス

第三章　計算

第百十一條　差引計算

日締差引計算書ハ附錄VP第八號雛形ニ適合スル式紙ヲ以テ之ヲ作成ス

右計算書ハ成ルベク速ニ相手郵政廳ニ之ヲ送達ス

第百十二條　差額ノ支拂

一　郵便振替ニ付支拂フベキ金額ハ仔細國ノ首府又ハ商業地宛ノ小切手又ハ一筆拂手形ヲ以テ該國ノ貨幣ニテ且同國ニ何等ノ損失ヲ與フルコトナク之ヲ決濟ス支拂ノ費用ハ借越郵政廳ノ負擔ニ歸ス

二　各郵政廳ハ普通ノ條件ニ依リ他ノ郵政廳ニ對シ振宛人ノ振替口座ニ受入登記ヲ爲シ得ザルトキハ其ノ記入アル日錄ヲ求書ヲ作成シ之ヲ自國ノ關係交換局ニ送達ス該交換局ハ振宛國ノ媒介交換局ニ當該振替ノ送達ヲ爲シタル要項ヲ請求書ニ記入シ之ヲ該媒介交換局ニ送付ス請求書ノ送達ハ書留書狀ヲ以テ之ヲ爲ス

㈦　請求ヲ電信ニ依リ爲スベキトキハ附錄VP第六號雛形ニ適合スル課金事務報ハ拂出局又ハ拂出國ノ交換局ヨリ直接振宛及送狀ノ關係記入車頭ハ之ヲ取消シタル儘トス

確認スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ兩國ノ交換局ヲ經由スベキVP第五號式紙ニハ頭部ニ色鉛筆ニテ字下線ヲ引キタル左ノ記事ヲ附ス

「Confirmation de la demande télégraphique expédiée le……par le bureau de chèques postaux a……à l'adresse du bureau de chèques postaux a……」

振替請求ノ取消ハ下記第百九條ニ定ムル規定ニ依リ之ヲ爲ス但シ取消ヲ電信ニ依リ請求シタルモノナルトキハ振宛局ハ單ニ振替請求ヲ留置キ取消請求ニ應ズル爲郵便ニ依ル確認ヲ待ツモノトス

三　郵便又ハ電信ニ依リ送達スル取消請求ガ振宛局ニ還著シ振替ヲ取消スコト能ハザルトキハ該局ハ其ノ旨ヲ書狀ニ依リ直ニ拂出口座所管局ニ通知ス電信ニ依ル請求ノ場合ニハ該通知ヲ爲スニハ確認書狀ノ到著ヲ待ツコトヲ要セズ

四　第一項ニ定ムル條件以外ノ條件ニテ作成シ且送達スル取消請求ハ之ヲ認メズ

第百九條　振替請求ノ處理不能

理由ノ如何ヲ問ハズ振替請求ニ付口座ニ受入登記ヲ爲シ得ザルトキハ其ノ記入アル日錄ヲ求書ヲ作成シ之ヲ自國ノ關係交換局ニ送達ス該交換局ハ振宛國ノ媒介交換局ニ當該振替ノ送達ヲ爲シタル要項ヲ請求書ニ記入シ之ヲ該媒介交換局ニ送付ス請求書ノ送達ハ書留書狀ヲ以テ之ヲ爲ス

㈧　請求ヲ電信ニ依リ爲スベキトキハ附錄VP第六號雛形ニ適合スル課金事務報ハ拂出局又ハ拂出國ノ交換局ヨリ直接振宛及送狀ノ關係記入車頭ハ之ヲ取消シタル儘トス

確認スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ兩國ノ交換局ヲ經由スベキVP第五號式紙ニハ頭部ニ色鉛筆ニテ字下線ヲ引キタル左ノ記事ヲ附ス

「Confirmation de la demande télégraphique expédiée le……par le bureau de chèques postaux a……à l'adresse du bureau de chèques postaux a……」

振替請求ノ取消ハ下記第百九條ニ定ムル規定ニ依リ之ヲ爲ス但シ取消ヲ電信ニ依リ請求シタルモノナルトキハ振宛局ハ單ニ振替請求ヲ留置キ取消請求ニ應ズル爲郵便ニ依ル確認ヲ待ツモノトス

三　郵便又ハ電信ニ依リ送達スル取消請求ガ振宛局ニ還著シ振替ヲ取消スコト能ハザルトキハ該局ハ其ノ旨ヲ書狀ニ依リ直ニ拂出口座所管局ニ通知ス電信ニ依ル請求ノ場合ニハ該通知ヲ爲スニハ確認書狀ノ到著ヲ待ツコトヲ要セズ

四　第一項ニ定ムル條件以外ノ條件ニテ作成シ且送達スル取消請求ハ之ヲ認メズ

第百十條　振替請求ノ處理不能

理由ノ如何ヲ問ハズ振替請求ニ付口座ニ受入登記ヲ爲シ得ザルトキハ其ノ記入アル日錄ヲ求書ヲ作成シ之ヲ自國ノ關係交換局ニ送達ス該交換局ハ振宛國ノ媒介交換局ニ當該振替ノ送達ヲ爲シタル要項ヲ請求書ニ記入シ之ヲ該媒介交換局ニ送付ス請求書ノ送達ハ書留書狀ヲ以テ之ヲ爲ス

㈨　請求ヲ電信ニ依リ爲スベキトキハ附錄VP第六號雛形ニ適合スル課金事務報ハ拂出局又ハ拂出國ノ交換局ヨリ直接振宛及送狀ノ關係記入車頭ハ之ヲ取消シタル儘トス

確認スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ兩國ノ交換局ヲ經由スベキVP第五號式紙ニハ頭部ニ色鉛筆ニテ字下線ヲ引キタル左ノ記事ヲ附ス

「Confirmation de la demande télégraphique expédiée le……par le bureau de chèques postaux a……à l'adresse du bureau de chèques postaux a……」

振替請求ノ取消ハ下記第百九條ニ定ムル規定ニ依リ之ヲ爲ス但シ取消ヲ電信ニ依リ請求シタルモノナルトキハ振宛局ハ單ニ振替請求ヲ留置キ取消請求ニ應ズル爲郵便ニ依ル確認ヲ待ツモノトス

三　郵便又ハ電信ニ依リ送達スル取消請求ガ振宛局ニ還著シ振替ヲ取消スコト能ハザルトキハ該局ハ其ノ旨ヲ書狀ニ依リ直ニ拂出口座所管局ニ通知ス電信ニ依ル請求ノ場合ニハ該通知ヲ爲スニハ確認書狀ノ到著ヲ待ツコトヲ要セズ

四　第一項ニ定ムル條件以外ノ條件ニテ作成シ且送達スル取消請求ハ之ヲ認メズ

第百十條　振替請求ノ處理不能

理由ノ如何ヲ問ハズ振替請求ニ付口座ニ受入登記ヲ爲シ得ザルトキハ其ノ記入アル日錄ヲ求書ヲ作成シ之ヲ自國ノ關係交換局ニ送達ス該交換局ハ振宛國ノ媒介交換局ニ當該振替ノ送達ヲ爲シタル要項ヲ請求書ニ記入シ之ヲ該媒介交換局ニ送付ス請求書ノ送達ハ書留書狀ヲ以テ之ヲ爲ス

㈩　請求ヲ電信ニ依リ爲スベキトキハ附錄VP第六號雛形ニ適合スル課金事務報ハ拂出局又ハ拂出國ノ交換局ヨリ直接振宛及送狀ノ關係記入車頭ハ之ヲ取消シタル儘トス

確認スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ兩國ノ交換局ヲ經由スベキVP第五號式紙ニハ頭部ニ色鉛筆ニテ字下線ヲ引キタル左ノ記事ヲ附ス

「Confirmation de la demande télégraphique expédiée le……par le bureau de chèques postaux a……à l'adresse du bureau de chèques postaux a……」

振替請求ノ取消ハ下記第百九條ニ定ムル規定ニ依リ之ヲ爲ス但シ取消ヲ電信ニ依リ請求シタルモノナルトキハ振宛局ハ單ニ振替請求ヲ留置キ取消請求ニ應ズル爲郵便ニ依ル確認ヲ待ツモノトス

三　郵便又ハ電信ニ依リ送達スル取消請求ガ振宛局ニ還著シ振替ヲ取消スコト能ハザルトキハ該局ハ其ノ旨ヲ書狀ニ依リ直ニ拂出口座所管局ニ通知ス電信ニ依ル請求ノ場合ニハ該通知ヲ爲スニハ確認書狀ノ到著ヲ待ツコトヲ要セズ

四　第一項ニ定ムル條件以外ノ條件ニテ作成シ且送達スル取消請求ハ之ヲ認メズ

第百十條　振替請求ノ處理不能

理由ノ如何ヲ問ハズ振替請求ニ付口座ニ受入登記ヲ爲シ得ザルトキハ其ノ記入アル日錄ヲ求書ヲ作成シ之ヲ自國ノ關係交換局ニ送達ス該交換局ハ振宛國ノ媒介交換局ニ當該振替ノ送達ヲ爲シタル要項ヲ請求書ニ記入シ之ヲ該媒介交換局ニ送付ス請求書ノ送達ハ書留書狀ヲ以テ之ヲ爲ス

二　郵便振替ニ關スル約定ノ施行規則ニ定ムル場合ノ外振宛局ハ振替請求ヲ拒絶スルコトヲ得ズ

第百十三條　總理局及郵政廳ニ宛ツベキ通報

一　郵政廳ハ場合ニ依リ他ノ郵政廳ニ總理局ノ媒介ニ依リ電信振替ノ交換ニ參加スル旨ヲ通報スルコトヲ要ス

二　郵政廳ハ交換局使用ノ局印ノ印影ノ見本及各交換局ニ於テ送狀ニ署名スル資格ヲ有スル吏員ノ署名ノ見本ヲ業務上必要ナル部數直接相互ニ送付ス

爾後新署名ヲ通知シ又ハ既ニ通知シタル署名中或ルモノヲ變更スベキトキハ權限ヲ有スル吏員全部ノ署名ノ見本ヲ有スル新署名表ヲ相手郵政廳ニ遲滯スルコトヲ要ス但シ既ニ送付シタル署名中或ルモノヲ廢スルニ過ギザルトキハ現行ノ表ニ於テ單ニ之ヲ抹消セシメ同表ハ繼續シテ之ヲ使用セシム

三　特ニ請求アルトキハ郵政廳ハ自廳ニ於テ振替請求ニ付定メタル換算割合ヲ相互ニ通報ス

第百十四條　公衆用式紙

條約第三十一條第二項ノ規定ノ適用ニ付テハ左ノ式紙ハ之ヲ公衆用ノ式紙トス

VP第一號（振替通知書）

第百一條ニ定ムル條件ニテ振替通知書トシテ利用スル內國業務ノ式紙ニハ右規定ヲ適用セズ

第百十五條　外國ノ郵便振替口座開設ノ請求

一　外國ノ郵便振替口座開設ノ請求書ハ請求

V P 第一號

（規則第百一條第一項）

（Règl., art. 101, § 1）

振 替 通 知 書

AVIS DE VIREMENT

（振宛人ニ送付スベキモノ）

（*à transmettre au bénéficiaire*）

ハ第　　號口座ノ加入者

doivent être inscrits sur ordre du

titulaire du compte N°

ノ請求ニ因リ

au crédit du compte N°

第　　號口座ニ受入ノ記ヲ要シ候也

拂出郵便振替局印

Timbre du bureau des chèques postaux d'origine

通信文ハ裏面

Communications au verso

（寸尺 74×105 ミリメートル）

（Dimensions : 74×105 mm.）

V P 第二號

（Règl., art. 102, § 1）

ADMINISTRATION DES POSTES

d

Bureau des chèques postaux

d

LISTE DE VIREMENTS N°

annexes

pour le bureau des chèques postaux d

N° d'ordre des virements 1	Bénéficiaire		Tireur	Montant 5
	Compte 2	Nom et lieu du domicile 3	Compte 4	
	N°		N°	
	à		à	
	N°		N°	
	à		à	
	N°		N°	
	à		à	
	N°		N°	
	à		à	
	N°		N°	
	à		à	
	N°		N°	
	à		à	
	N°		N°	
	à		à	
	N°		N°	
	à		à	
	N°		N°	
	à		à	
	N°		N°	
	à		à	
	N°		N°	
	à		à	
			TOTAL	

Timbre (en relief) du bureau des chèques postaux d'échange

（Dimensions : 176×250 ou 210×297 mm.）

V P 第三號
(Règl., art. 103, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

Bureau des chèques postaux
d _____

LETTRE D'ENVOI N° _____

___ _____ listes

Le bureau des chèques postaux d _____ est prié de vouloir bien effectuer les virements figurant aux listes ci-jointes, lesquelles s'élèvent respectivement aux montants ci-après :

Numéro d'ordre des listes	Montant
1	2
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
Total	

Arrêté à la somme de _____
(en toutes lettres)

Timbre (en relief) du bureau des chèques postaux d'échange

dont l'Administration des postes d _____ doit être débitée.

_____, le _____ 19____

Signatures :

_____

(Dimensions : 148×210 mm.)

V P 第四號
(Règl., art. 106, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

Bureau des chèques postaux
d _____

_____ annexes

RECTIFICATION À LA LETTRE D'ENVOI N° _____

en date du _____ du bureau des chèques postaux d _____

Le total de la lettre d'envoi ci-dessus désignée a dû être rectifié à _____
(en toutes lettres)

a) parce que le / les virement—ci-après n'a / n'ont pu être exécuté__ [1]).

N° de la liste	N° d'inscription sur la liste	Bénéficiaire		Tireur		Montant	Motif
		Bureau des chèques et N° du compte	Nom et lieu du domicile	Bureau des chèques et N° du compte	Nom et lieu du domicile		
1	2	3	4	5	6	7	8

b) pour la raison indiquée ci-après : [1])

_____

_____

Timbre (en relief) du bureau des chèques postaux d'échange

_____, le _____ 19____

Signatures :

_____

1) Biffer l'indication inutile.

(Dimensions : 148×210 mm.)

V P 第五號
(Règl., art. 108, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

Bureau des chèques postaux
d _____

DEMANDE D'ANNULATION D'UN ORDRE DE VIREMENT

Demande par voie postale

Prière d'annuler le virement désigné ci-après et de nous renvoyer l'avis correspondant :

A remplir par le bureau des chèques postaux d'origine

Bureau des chèques postaux, N° du compte, nom et lieu de domicile du tireur :

_____

Montant : _____
(en chiffres, en monnaie du pays de destination)

Bureau des chèques postaux, N° du compte, nom et lieu de domicile du bénéficiaire :

_____

A remplir par le bureau des chèques postaux d'échange

L'avis de virement a été expédié le _____ 19____ par lettre d'envoi

N° _____ et inscrit dans la liste de virements N° _____ sous le N° d'ordre _____

Timbre du bureau des chèques postaux d'échange

Signature :

_____

(Dimensions : 148×210 mm.)

V P 第六號
(Règl., art. 108, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

DEMANDE D'ANNULATION D'UN ORDRE DE VIREMENT

Demande par voie télégraphique

Annuler virement _____

_____
(Bureau des chèques postaux, N° du compte, nom et lieu de domicile du tireur)

_____
(Montant en chiffres, en monnaie du pays de destination)

_____
(Bureau des chèques postaux, N° du compte nom et lieu de domicile du bénéficiaire)

Chèques postaux

(Sans signature)

(Dimensions : 148×210 mm.)

V P 第七號
(Règl., art. 110)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

Bureau des chèques postaux
d_____

RÉCLAMATION CONCERNANT UN ORDRE DE VIREMENT NON EXÉCUTÉ

A remplir par le bureau des chèques d'origine.

Nom, lieu de domicile et numéro du compte du tireur : _____

Montant du virement : _____
(*en chiffres, en monnaie du pays de destination*)

Date du débit : _____ 19__

Nom, lieu de domicile et N° du compte du bénéficiaire : _____

Buaeau des chèques détenteur du compte courant à créditer : _____

A remplir par le bureau des chèques d'origine.

Le virement désigné ci-dessus a été transmis le _____ 19__ au bureau d'échange d _____
(*voir bordereau N°* _____)
Signature :

A remplir par le bureau d'échange de l'Administration d'origine.

Le virement désigné ci-dessus a été décrit sous le N° _____ de la liste N° _____ transmise le _____ 19__ au bureau d'échange d _____
Signature :

A remplir par le bureau d'échange de l'Administration destinataire.

Le virement désigné ci-dessus a été transmis le _____ 19__ au bureau des chèques d _____
(*voir bordereau N°* _____)
Signature :

A remplir par le bureau des chèques détenteur du compte à créditer.

Le virement désigné ci-dessus a été _____
Signature :

(Dimensions : 148×210 mm.)

V P 第八號
(Règl., art. 111, 1er al.)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

DÉCOMPTE

des listes de virements échangées le _____
entre _____

I. Récapitulation des virements

Virements :

a) à destination d _____ 1		Bureaux d'échange 2		*b*) en provenance d _____ 3	
Total I *a*				Total I *b*	

II. Calcul du cours moyen entre les cours de la bourse d _____ et celle d _____ de la veille (derniers cours notés)

Il a été noté pour des traites à courte échéance				Cours de parité	Cours de décompte
le 1	à la bourse 2	pour 100 3	dour 100 4	5	6
__/__	d ____ sur ____	____,__	____	100= ____,__	100= ____,__
__/__	d ____ sur ____	____	____,__	100= ____,__	100= ____,__

III. Différence d'après I en convertissant la somme la plus faible dans la monnaie de la somme la plus forte suivant le cours de décompte II.

1		2	
Total I *a*		Total I *b*	
à déduire le total I *b*		à déduire le total I *a*	
Débit de l'Administration des postes d		Créance de l'Administration des postes d	

_____, le _____ 19__ _____

Le décompte ci-dessus est reconnu exact et accepté: _____

_____, le _____ 19__ _____

(Dimensions : 210×297 mm.)

V P 第九號 (Recto)
(Règl., art. 115, § 2)

ATTENTION! NE PAS FAIRE USAGE D'ABRÉVIATIONS, SAUF DANS LE CAS OÙ LE REQUÉRANT EN IMPOSERAIT UNE DANS LA DÉSIGNATION DE SON COMPTE.

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____, le _____ 19__

Bureau des chèques postaux
d_____

_____annexe_____

ATTESTATION

I. Désignation du compte courant demandé :

Le requérant est [1]) — Les requérants sont [1])

Le requérant vient de s'installer [2]) — est sous-locataire [2])

1) Biffer les indication inutiles et désigner le ou les requérants d'une manière plus détaillée sur les lignes en pointillé, par exemple :
particulier, gens mariés,
établissement commercial ou industriel non inscrit au registre du commerce, société non commerciale non inscrite au registre des sociétés, firme enregistrée (en indiquant la nature de la firme, par exemple: société commerciale en nom collectif, société en commandite simple, société en commandite par actions, société anonyme par actions, société à responsabilité limitée, etc.) inscrite au registre du commerce, sous le N°.... —, société coopérative enregistrée—inscrite au registre des coopératives, sous le N°...., société non commerciale enregistrée, —inscrite au registre des sociétés non commerciales enregistrées, sous le N°.... —, administration, etc.
2) Biffer les indications inutiles.

(Dimensions : 210×297 mm.)

V P 第九號 (Verso)

II. Nom[1]) et désignatson détaillée des personnes[2]) qui sont fondées de représenter légalement le requérant d'après le registre du commerce, le registre des coopératives, le registre des sociétés non commerciales, d'après le contrat de société, d'après les statuts, etc.:

1° _____
2° _____
3° _____
4° _____
5° _____
6° _____
7° _____
8° _____
9° _____
10° _____

Les personnes indiquées sous les Nos _____ [3]) peuvent signer seules.
Dans la procuration des personnes énumérées ci-dessus, figurent les restrictions suivantes [3]) :

III. La demande d'ouverture d'un compte courant postal à _____

a été vérifiée par nous conformément aux règlements qui sont en vigueur dans notre pays pour l'ouverture d'un compte courant postal.
Il ressort du résultat de cet examen que nous n'hésiterions pas, le cas échéant, à faire ouvrir dans notre service un compte courant en faveur du requérant sous la désignation indiquée ci-dessus [3]).
Un compte est déjà tenu chez nous sous cette désignation. Le requérant a le droit de signer; sa signature est conforme à celle que nous possédons ici[3]).

Timbre (en relief) du bureau des chèques postaux

Signatures du bureau des chèques poptaux :

1) Biffer les indications sous II, lorsque le requérant est un particulier.
2) Par exemple, titulaire, sociétaire fondé de pouvoir, gérant, porteur de procuration, porteur de procuration collective, directeur, membre du comité directeur, éditeur, etc.
3) Biffer les indications inutiles.

●外國郵便、外國郵便爲替及外國電信ノ取扱ニ關スル件

明治四十四年四月
總令第四十二號

改正　大正二年第三九號、一三年七號、一四年四號
一號、昭和六年三第三號、一〇年四號五八號

朝鮮内ニ於テ外國郵便、外國郵便爲替、外國郵便振替、外國電信及外國電話ノ取扱ニ關シテハ特ニ規定スルモノヲ除クノ外總テ遞信省令及告示ノ定ムルトコロニ依リ但シ同省令及告示中無集配二等郵便局トアルハ郵便集配事務ヲ取扱ハサル郵便局、無集配三等郵便局トアルハ郵便集配事務ヲ取扱ハサル郵便所トス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年朝鮮總督府令第三十號ハ之ヲ廢止ス

附　則（大正十二年三月總令第三十九號）

本令ハ大正十二年三月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年三月總令第二十三號）

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國郵便規則

大正十年十二月
遞令第五十六號

改正　大正一一年九第五七號、一二年一第二號、一三年六第三五號、一四年一第二號、一三年六第三五號、一四年三第七號、一三年一二第四三號、一四年三第一五號、第一九號、一四年四第二〇號、一四年九第六四號、一五年一第一號、一五年九第三二號、昭和二年七第二五號、三年一第六一號、四年四第二三號、四年六第二六號、四年一一第四四號、第四九號、五年六第二七號、五年一〇第四三號、六年七第二八號、六年一一第三〇號、七年八第三八號、七年一一第四二號、八年一第二號、八年一二第四五號、九年一二第七三號、一〇年二第四號、一〇年一二第四四號

外國郵便規則左ノ通定ム

目次

第一章　郵便物
第一節　總則
第二節　通常郵便物
第三節　小包郵便物
第二章　特殊取扱
第一節　總則
第二節　到達證、配達證明及踪跡取調
第三節　別配達
第四節　留置及留置通知
第五節　代金引換
第六節　價格表記
第七節　課金別納
第八節　本人票
第九節　締切豫告
第三章　差出及配達
第四章　轉送及返送
第五章　通關
第六章　損害賠償及報酬
附　則

外國郵便規則

第一章　郵便物

第一節　總則

第一條　郵便ニ關スル條約ニ依リ外國（關東廳ノ管轄ニ屬スル關東州ヲ除ク）ニ宛テ又ハ外國ヨリ發スル郵便物ハ外國郵便物ト總稱シ郵便官署ニ於テ之ヲ取扱フ但シ特ニ之ヲ取扱ハサルコトヲ告示シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二條　削除

第三條　左記ノ物品ヲ外國郵便禁制品トス

一　内國郵便禁制品

二　法令ニ依リ輸出入ヲ禁スル物品

三　阿片、「モルヒネ」、「コカイン」其ノ他ノ麻醉劑（注射器其ノ他ノ用具ヲ含ム）

第四條　外國郵便物ノ寸尺、容積又ハ重量ノ制限ヲ超過シ其ノ他成規ニ違反シテ差出シタル郵便物ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ差出人ニ還付ス此ノ場合ニ於テハ特ニ因リ損害賠償ヲ爲スヘキ場合ニ於ケル郵便物ニ關スル料金但シ郵便物ニ關スル料金ニ於ケル料金

六　業務ノ非常停止ニ因リ還付スル郵便物ニ關スル料金

七　特ニ條約ニ規定スル場合ニ於ケル料金

第九條　前條ノ料金還付ノ請求ハ第一號乃至第四號ノ二及第七號ニ付テハ料金納付ノ日ヨリ起算シ六月内ニ、第五號ニ付テハ損害賠償決定ノ日ヨリ起算シ又第六號ニ付テハ郵便物還付ノ日ヨリ起算シ三十日内ニ其ノ料金ヲ納付シタル郵便官署ニ之ヲ爲スヘシ

第十條　料金納付ノ際郵便切手ハ別ニ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ郵便物ニ貼附スルコトヲ要ス

第十一條　外國郵便ニ關スル料金納付ノ爲ニ用ヰタル郵便切手其ノ他郵便料金ヲ表彰スヘキ證票ハ別ニ規定アル場合ヲ除クノ外郵便官署ニ於テ目附印ヲ以テ之ヲ消印ス

第十二條　返信切手券ノ賣價ハ本邦ト滿洲國トノ關係ニ於テ使用スルモノニ在リテハ一枚ニ付四錢、其ノ他ノモノニ在リテハ一枚ニ付十五錢トス

返信切手券ニハ賣捌ノ際日附印ヲ押捺ス返信切手券ノ引換請求ノ際該切手券ト其ノ引換ニ依リテ料金ヲ納付スヘキ通常郵便物トヲ同時ニ差出スコトヲ郵便官署ヨリ要求アリタル場合引換請求者ニ於テ之カ要求ニ應セサルトキハ右切手券ノ引換ヲ拒絶スルコトアルヘシ

第十三條　外國宛郵便物ノ名宛人名宛國ニ於テ一般ニ通用スル語ヲ以テ明瞭ニ記載スヘシ

第十四條　外國來郵便物ニ爆發性、發火性又ハ危險性ノ物品ヲ包有スルコトヲ發見シタルトキハ常該郵便官署ニ於テ其ノ物品ヲ毀棄スルコトヲ得

第十五條　外國郵便物ニシテ「セルロイド」及其ノ製品ヲ包有スルモノト包裝ニ付テハ郵便物包裝規則第九條ノ二ノ規定ヲ準用ス包裝方ニ付外國ニ於テ特別ノ條件ヲ必要トスル場合ハ前項ニ依ルノ外別ニ告示スル所ニ依ル

第十六條　滿洲國宛通常郵便ノ料金左ノ如シ

一　書狀	郵便規則第十四條ノ二ノ條件ヲ具ヘルモノ	重量百匁ヲ超ユル百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	三錢
	郵便規則第十四條ノ二ノ條件ヲ具ヘサルモノ	重量十匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	二錢
二　郵便葉書	通常葉書		一錢五厘
	往復葉書		三錢
三　書籍、印刷物、官眞、書類、圖畫	郵便規則第十九條ノ二ノ條件ヲ具ヘルモノ	重量百匁ヲ超ユル百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
	第三種郵便物トシテ認可ヲ受ケタル盲人用點字ノ定期刊行物	重量百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	二錢
	第三種郵便物トシテ認可ヲ受ケタル盲人用點字ノ定期刊行物以外ノモノ	重量百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
	郵便規則第二十四條ノ一ノ條件ヲ具ヘル盲人用點字ノ書籍、印刷物	重量三百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
	郵便規則第二十四條ノ一ノ條件ヲ具ヘサル盲人用點字ノ書籍、印刷物	重量一キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	一錢五厘
四　商品見本及雛形、博物學上ノ標本、農產物種子		重量百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	二錢
五　商品見本		重量百匁ヲ超ユル百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
六　價格表記書狀			五厘

第十六條ノ二　中華民國宛通常郵便物ノ料金左ノ如シ

一　書狀	全部印刷シタル無封ノ書狀、盲人用點字ノ無封ノ書狀	重量十五グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	三錢
		重量十五グラムヲ超ユル十五グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	二錢
二　郵便葉書	通常葉書		一錢五厘
	往復葉書		三錢
三　印刷物	郵便規則第十九條ノ二ノ條件ヲ具ヘルモノ	重量百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
	盲人用點字ノ印刷物	重量百匁ヲ超ユル百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
四　業務用書類		重量百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
五　商品見本		重量百匁ヲ超ユル百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
六　價格表記書狀			五厘
七　價格表記箱物		重量百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
		重量百匁ヲ超ユル百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	八錢
第十六條ノ三　外國民國宛通常郵便物ノ料金左ノ如シ			
一　書狀		重量十匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	三錢
		重量十匁ヲ超ユル十匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	二錢
二　郵便葉書	通常葉書		一錢五厘
	往復葉書		三錢
三　印刷物	郵便規則第十九條ノ二ノ條件ヲ具ヘルモノ	重量百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
	盲人用點字ノ印刷物	重量百匁ヲ超ユル百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
四　業務用書類		重量百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
五　商品見本		重量百匁ヲ超ユル百匁毎又ハ其ノ端數毎ニ	五厘
六　小形包裝物		重量二百五十グラムヲ超ユル二百五十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	四錢
		重量五百グラムヲ超ユル五百グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	八錢
		重量一キログラムヲ超ユル一キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	十六錢
		重量二キログラムヲ超ユル二キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	三十二錢
		重量三キログラムヲ超ユル三キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	四十八錢
		重量四キログラムヲ超ユル四キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	六十四錢
		重量五キログラムヲ超ユル五キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	八十錢
		重量六キログラムヲ超ユル六キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	九十六錢
		重量七キログラムヲ超ユル七キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	百十二錢
		重量八キログラムヲ超ユル八キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	百二十八錢
		重量九キログラムヲ超ユル九キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	百四十四錢
		重量十キログラムヲ超ユル十キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	百六十錢
		重量十一キログラムヲ超ユル十一キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	百七十六錢
		重量十二キログラムヲ超ユル十二キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	百九十二錢
		重量十三キログラムヲ超ユル十三キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	二百八錢
		重量十四キログラムヲ超ユル十四キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	二百二十四錢
		重量十五キログラムヲ超ユル十五キログラム毎又ハ其ノ端數毎ニ	二百四十錢

七　價格表記書狀　別ニ告示ス

八　價格表記箱物
　重量二十グラム迄　二十六錢
　二十グラム超過ス　六錢
　ルニ十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ
　重量二百五十グラム迄　五十六錢
　二百五十グラム超過ス　八錢
　又ハ其ノ端數毎ニ

第十六條ノ四　滿洲國宛特殊取扱通常郵便物ノ料金ハ之ヲ前納スヘシ但シ官署並通常郵便物ニシテ他ノ特殊取扱ト爲ササルモノノ料金及別ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　中華民國宛通常郵便物ノ寸尺及重量ノ制限ハ聯合ノ條約及約定ニ依ル

第十八條　外國發本邦宛通常郵便物ノ料金及其ノ佛貨ニ於ケル相當額ハ之ヲ告示ス

第十九條　書狀トハ全部又ハ一部ヲ筆書シタルト印刷シタルトニ拘ラス現實的且對人的通信ヲ記載シタル文書ニシテ郵便葉書ニ依ラサルモノヲ云フ

第二十條　第十六條乃至第十六條ノ三ノ各號ニ該當セサル物品及該當スルモ封緘シタルモノハ書狀ト同一ノ取扱ヲ爲ス

第二十一條　名宛人又ハ名宛人ト住居ヲ共ニスル人以外ノ人ニ宛テタル現實的且對人的通信ノ性質ヲ有スル書類ヲ包有スル書狀ハ單ニ一通ノ書狀ト看做シ之ヲ取扱フ

前項ノ取扱ト異ナル取扱ヲ爲ス名宛國ハ之ヲ告示ス

第二十二條　郵便葉書ニシテ其ノ料額印面ノ汚斑シタルモノハ料金未納ノモノトシテ之ヲ取扱フ

第二十二條ノ二　筆頭又ハ「タイプライター」ニテ書寫シタル原紙ヲ機械的方法ニ依リ同一ノ複寫物ヲ包有スル郵便物ハ二十箇以上ヲ同時ニ同一郵便官署ニ差出ス場合ニ限リ印刷物トシテ之ヲ取扱フ

第二十三條　軍艦閉鎖ヲ交換スル郵便官署及帝國ノ艦隊又ハ軍艦トノ通信ハ特定ノ指定ヲ受ケタル軍艦又ハ軍艦閉鎖ニ納ムル郵便物ハ特殊取扱トシテ之ヲ取扱フ

第二十四條　軍艦閉鎖ニ納ムル郵便物ニ限リ此ノ郵便物ニハ名宛面ニ「軍艦郵便」ノ文字ヲ記載スヘシ

前項ノ郵便物ニハ料金其ノ他ニ關シ內國郵便ノ規定ヲ準用ス

第三節　小包郵便物

第二十五條　外國小包郵便物ノ名宛國、運送線路及料金ハ之ヲ告示ス

第二十六條　聯合ノ約定ニ依ル小包郵便物ハ一キログラム迄ノモノ、一キログラム超過シ五キログラム迄ノモノ及五キログラム超過シ十キログラム迄ノモノニ限リ之ヲ取扱フ

前項ノ小包郵便物ハ一面ノ寸尺一メートル二五ヲ限トシ其ノ容積ハ一キログラム迄ノモノ及一キログラム超過シ五キログラム迄ノモノニ付テハ六十立方デシメートル又五キログラム超過シ十キログラム迄ノモノニ付テハ八十立方デシメートルヲ超過スルモノニ付テハ取扱ヲ爲サス

第二十七條　生キタル動物ハ之ヲ滿洲國トノ條約、聯合ノ約定又ハ中華民國若ハ「ソヴイエト」社會主義共和國聯邦トノ約定ニ依ル小包郵便ト爲スコトヲ得但シ蜜蜂、水蛭及蠶ハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條　聯合ノ約定ニ依リ取扱困難ノ小包及遠達小包郵便物ハ之ヲ取扱ハス

第二十八條ノ二　滿洲國宛小包郵便物ニハ其ノ名宛面ニ小包ナル文字ヲ記載シ且其ノ送票ニ包有品ノ品名、數量及價格ヲ明細ニ記載スヘシ

第二十九條　滿洲國以外ノ外國宛小包郵便物ニハ其ノ名宛面ニ「小包」ナル文字及第二十五條ニ依ル運送線路ヲ記載スヘシ此ノ運送線路ハ送狀アルモノニ在リテハ其ノ相當欄ニモ亦之ヲ記入スヘシ

第三十條　聯合ノ約定ニ依リ同約定加入國又ハ「アラヴイア」國ニ宛テ差出ス小包郵便物及「メキシコ」國トノ條約又ハ中華民國、「ソヴイエト」社會主義共和國聯邦、海峽殖民地若ハ「カナダ」トノ約定ニ依リ「メキシコ」國、中華民國、「ソヴイエト」社會主義共和國聯邦、海峽殖民地又ハ「カナダ」ニ宛テ差出ス小包郵便物ニハ送狀ノ通知券ニ其ノ小包郵便物ニ關スル通信文ヲ記載スルコトヲ得

第二章　特殊取扱

第一節　總則

第三十一條　滿洲國宛郵便物ノ特殊取扱ニ付一箇毎ニ要スル料金左ノ如シ

一　書留	十錢
二　配達證明	三錢
三　航空	六錢
四　別ニ配達	別ニ告示ス
五　留置	二十八錢
六　留置通知	三十錢
七　內容證明	十五錢
八　代金引換	十錢
九　價格表記	二十錢
十　到達證	十錢
十一　配達證明	五錢
十二　航空	十錢
十三　別ニ配達	別ニ告示ス
十四　留置	十六錢
十五　留置通知	十錢
十六　引受時刻證明	十錢

一　書留

二　配達證明

三　航空

四　別ニ配達

五　留置通知

六　引受時刻證明

七　內容證明

八　代金引換

九　價格表記

十　到達證

二　到達證料

（中華民國宛ノモノ及聯合ノ約定加入國以外ノ外國宛ノモノ）　二十錢

（聯合ノ約定加入國宛ノモノ）　三十二錢

（中華民國宛通常郵便物）　八錢

（及代金引換金額二圓毎又ハ其ノ端數毎ニ）　二十錢

（其ノ他）　及代金引換金額又ハ其ノ端數毎ニ一錢

（中華民國宛ノモノハ表記金額百二十圓毎又ハ其ノ端數毎ニ）　十錢

（其ノ他ノ外國宛ノモノハ表記金額三百「フラン」毎又ハ其ノ端數毎ニ）　二十錢

（小包郵便物）　別ニ告示ス

（外國ニ差立準備著手前）　十錢

（外國ニ差立準備著手後）　書留書狀第一通分ノ料金ニ相當スル金額

前項ノ代金引換料ニ關シ外國貨幣ヲ以テ表示シタル代金引換金額ヲ換算スルトキハ當日ノ外國郵便爲替ノ到着ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合ニ依ル

第三十二條　左記ノ郵便物ニ付テハ差出人ニ於テ各其ノ下記ノ指定ヲ名宛面ニ記載スヘシ送狀アル小包郵便物ニ在リテハ送狀ニモ亦之ヲ記入スヘシ

一　書留郵便物
二　利達證請求郵便物
三　配達證明郵便物
四　航空郵便物
五　別配達郵便物
六　留置郵便物
七　留置通知郵便物
八　引受時刻證明郵便物

九　內容證明郵便物

十　代金引換郵便物
十一　價格表記郵便物
十二　課金別納郵便物

十三　關稅ヲ課セラルヘキ物品ヲ包有スル通常郵便物

差出人航空郵便物ニ付航空路ノ一部ノミノ航空運送ヲ請求スルトキハ郵便物ノ名宛面ニ航空運送ヲ爲スヘキ區間ヲ記載スヘシ

滿洲國及中華民國宛代金引換郵便物ノ名宛面ニハ前二項ノ指定ノ外赤色ノ橫線二條ヲ畫スヘシ

第二節　到達證、配達證明及踪跡取調

第三十三條　到達證ノ請求アル外國來郵便物ニ付テハ名宛人ニ於テ到達證ニ受領證印ヲ爲スヘシ但シコトヲ得サル事由ニ因リ名宛人ノ受領證印ヲ求ムルコト能ハサルトキハ配達郵便官署其ノ配達ヲ證明ス

第三十三條ノ二　配達證明郵便物ニ付テハ郵便規則第四十二條乃至第四十三條ノ規定ヲ準用ス

第三十四條　本邦發滿洲國以外ノ外國宛郵便物ノ差出後一年內ニ限リ其ノ踪跡取調ヲ請求スルコトヲ得

滿洲國以外ノ外國發本邦宛郵便物又ハ外國相互間發著郵便物ニ付テハ聯合ノ約定加入國、滿洲國、中華民國及「ソヴイエト」社會主義共和國聯邦ニ對スル踪跡取調ノ請求ハ郵便物差出後一年內ニ關係取調請求書カ郵便物ノ差出郵政廳ニ到著スル見込アル場合ニ限リ差出人又ハ名宛人ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テ該郵便物ニ付引受ノ證トシテ受領證ヲ交付セラレタルモノナルトキハ其ノ受領證ヲ提出スヘシ

第三十五條　郵便物ノ踪跡取調ニ付郵便物一箇毎ニ要スル料金左ノ如シ但シ到達證ノ請求アリタルモノニ付テハ何等ノ料金ヲ徵收セス

通常郵便物	
（本邦ト中華民國トノ間ニ發著スルモノ）	六錢
（其ノ他ノモノ）	二十錢
本邦ト中華民國トノ聯合ノ約定及「ソヴイエト」社會主義共和國聯邦發著スルモノ）	六錢
小包郵便物	
（本邦ト中華民國トノ條約及約定又ハ滿洲國、中華民國及「ソヴイエト」社會主義共和國聯邦ニ發著スルモノ）	二十錢
（諸島宛書留小包郵便物ヲ除ク）	
（「フィリッピン」諸島宛書留小包郵便物ヲ除ク）	十錢

第三十五條ノ二　書留若ハ價格表記通常郵便物發著スルモノハ本邦ト滿洲國トノ間ニ又ハ聯合ノ約定加入國、中華民國及「ソヴイエト」社會主義共和國聯邦發著小包郵便物ノ差出人又ハ名宛人ハ第三十四條ノ期間經過後ニ於テ該郵便物ニ關スル單ナル通報ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ハ之ニ關スル照會カ郵便物差出後二年ノ內ニ關係郵政廳ニ到著スル見込アル期間內ニ限リ之ヲ受理ス

本條ノ請求ニ關スル手續及料金ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第三十五條ノ三　代金引換小包郵便物ニ對スル代金引換ト爲替ノ取調請求ニ付テハ小包郵便物ノ踪跡取調ニ關スル前三條ノ規定ヲ準用ス

第二節ノ二　航空郵便

第三十五條ノ四　外國ノ航空郵便業務ニ依ル外國宛航空郵便物ノ名宛國及運送線路ハ之ヲ告示ス

第三十五條ノ五　本邦發料金不足ノ航空通常郵便物ニシテ其ノ既納料金額カ成規ノ航空料金ニ達セサルモノニ付テハ航空取扱ヲ爲サス

第三十五條ノ六　外國小包郵便物ハ本邦及滿洲國間ニ發著スルモノヲ除クノ外航空郵便業務ニ依リ之ヲ運送ス

第三十五條ノ七　外國航空郵便物ニ關シテハ航空郵便規則第二條、第三條及第六條ノ規定ヲ準用ス但シ重量二キログラム迄ノ小包郵便物ハ普通ノ方法ニ依リ之ヲ配達ス

第三節　別ニ配達

第三十六條　別ニ配達郵便物ニシテ配達ノ際名宛人不在其ノ他ノ事由ニ因リ交付スルコト能ハサルモノハ別ニ配達ノ效力ナシ

第三十九條　外國來別ニ配達郵便物ニ付テハ郵便規則第四十三條ノ規定ヲ準用ス

第三十九條　本邦發滿洲國以外ノ外國宛郵便物ノ差出後一年內ニ限リ其ノ踪跡取調ヲ請求スルコトヲ得

滿洲國以外ノ外國宛郵便物又ハ外國相互間發著郵便物ニ付テハ聯合ノ約定加入國、滿洲國、中華民國及「ソヴイエト」社會主義共和國聯邦ニ對スル踪跡取調ノ請求ハ郵便物差出後一年內ニ關係取調請求書カ郵便物ノ差出郵政廳ニ到著スル見込アル場合ニ限リ差出人又ハ名宛人ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テ該郵便物ニ付引受ノ證トシテ受領證ヲ交付セラレタルモノナルトキハ其ノ受領證ヲ提出スヘシ

第三十五條　郵便物ノ踪跡取調ニ付郵便物一箇毎ニ要スル料金左ノ如シ但シ到達證ノ請求アリタルモノニ付テハ何等ノ料金ヲ徵收セス

通常郵便物	
（本邦ト中華民國トノ間ニ發著スルモノ）	六錢
（其ノ他ノモノ）	二十錢
本邦ト中華民國トノ聯合ノ約定及「ソヴイエト」社會主義共和國聯邦發著スルモノ）	六錢
小包郵便物	
（本邦ト中華民國トノ條約及約定又ハ滿洲國、中華民國及「ソヴイエト」社會主義共和國聯邦ニ發著スルモノ）	二十錢
（諸島宛書留小包郵便物ヲ除ク）	
（「フィリッピン」諸島宛書留小包郵便物ヲ除ク）	十錢

第三十五條ノ二　書留若ハ價格表記通常郵便物發著スルモノハ本邦ト滿洲國トノ間ニ又ハ聯合ノ約定加入國、中華民國及「ソヴイエト」社會主義共和國聯邦發著小包郵便物ノ差出人又ハ名宛人ハ第三十四條ノ期間經過後ニ於テ該郵便物ニ關スル單ナル通報ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ハ之ニ關スル照會カ郵便物差出後二年ノ內ニ關係郵政廳ニ到著スル見込アル期間內ニ限リ之ヲ受理ス

本條ノ請求ニ關スル手續及料金ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第三十五條ノ三　代金引換小包郵便物ニ對スル代金引換ト爲替ノ取調請求ニ付テハ小包郵便物ノ踪跡取調ニ關スル前三條ノ規定ヲ準用ス

第二節ノ二　航空郵便

第三十五條ノ四　外國ノ航空郵便業務ニ依ル外國宛航空郵便物ノ名宛國及運送線路ハ之ヲ告示ス

第三十五條ノ五　本邦發料金不足ノ航空通常郵便物ニシテ其ノ既納料金額カ成規ノ航空料金ニ達セサルモノニ付テハ航空取扱ヲ爲サス

第三十五條ノ六　外國小包郵便物ハ本邦及滿洲國間ニ發著スルモノヲ除クノ外航空郵便業務ニ依リ之ヲ運送ス

第三十五條ノ七　外國航空郵便物ニ關シテハ航空郵便規則第二條、第三條及第六條ノ規定ヲ準用ス但シ重量二キログラム迄ノ小包郵便物ハ普通ノ方法ニ依リ之ヲ配達ス

第三節　別ニ配達

第三十六條　別ニ配達郵便物ニシテ配達ノ際名宛人不在其ノ他ノ事由ニ因リ交付スルコト能ハサルモノハ別ニ配達ノ效力ナシ

第三十九條　外國來別ニ配達郵便物ニ付テハ郵便規則第四十二條乃至第四十三條ノ規定ヲ準用ス

第三十九條　本邦發滿洲國以外ノ外國宛郵便物ノ差出後一年內ニ限リ其ノ踪跡取調ヲ請求スルコトヲ得

第十七輯　交通　電氣附瓦斯　第一章　通信　第二款　外國郵便

一　郵便物

（通常郵便物）

（配達郵便官署ヨリ陸上八キロメートル迄ノ內四キロメートル毎又ハ其ノ端數毎ニ）　二十五錢

（舟船ニ依ル場合ハ別ニ舟船料ノ實費額）

（聯合ノ約定加入國、滿洲國、中華民國ニ）

ヴイエト」社會主義共和國聯邦又ハ「ラウトレ」國ノ發ノモノ

二　小包郵便物

配達郵便官署ヨリ隣上八キロメートル迄		十錢
其ノ他ノ外國	八キロメートルヲ超過スル四キロメートル毎又ハ其ノ端數毎ニ	二十五錢
航船ニ依ル場合ハ別ニ航船料ノ實費額		

前項ノ場合ニ於テハ郵便規則第七十二條ノ二ノ規定ヲ準用ス

第四節　留置及留置通知

第四十條　外國郵便物ハ別ニ告示スル場合ヲ除クノ外之ヲ留置ト爲スコトヲ得

留置郵便物ハ郵便官署ニ留置キ名宛人ノ出頭ヲ待テ之ヲ交付ス

第四十一條　外國來留置郵便物ノ留置期間ハ三十日トス但シ經船乘組人、旅行者等ニ宛テタル郵便物ニシテ交付ノ見込アルモノニ付テハ其ノ期間ハ三十日以内ヲ延長ス

代金引換又ハ稅付ノモノニ在リテハ其ノ代金引換又ハ稅金納付ノ期間ヲ以テ留置期間トス

第四十二條　滿洲國以外ノ外國來留置小包郵便物ニシテ保管開始ノ日ヨリ起算シ七日ヲ經過シテ交付スルモノニ付テハ此ノ期間ヲ經過スル一日ニ付郵便物一箇毎ニ名宛人ヨリ保管料五錢ヲ徵收ス

前項ノ保管開始ノ月日ハ郵便物ニ之ヲ表示ス

第四十三條ノ二　留置通知郵便物ニ付テハ第四十條及第四十一條竝郵便規則第四十條ノ一ノ規定ヲ準用ス

第四節ノ二　引受時刻證明及內容證明

第四十四條ノ三　引受時刻證明郵便物ニ付テハ郵便規則第四十一條ノ一乃至第四十一條ノ三ノ規定ヲ準用ス

第四十五條　外國宛代金引換郵便物ノ代金引換又ハ代金引換金額ノ低減ニ關スル請求料金左ノ如シ

一　引受郵便官署ニ於ケル發送準備著手後郵便物一箇毎ニ		五錢
二　郵便ニ依ル請求	滿洲國宛郵便物一箇毎ニ	八錢
	其ノ他ノ外國宛郵便物一箇毎ニ	十錢
三　電信ニ依ル請求	外國ニ差立準備著手前	二十五錢
	外國ニ差立準備著手後	書留書狀第一通分ノ料金ニ相當スル金額

前項ノ請求ニシテ同一差出人ニ依リ同一名宛人ニ宛テ同一郵便官署ニ同時ニ差出サレタル數箇ノ郵便物ニ付テハ單ニ一箇分ノ料金ヲ徵收スル差立準備著手後ニ於テ爲ス滿洲國以外ノ外國宛郵便物ニ關スル電信ニ依ル請求料金ハ當該郵便物ノ全體ノ要綱ヲ包有スル電報ノ料金實費額及書留書狀第一通分ノ料金ニ相當スル金額トス

第五十一條　外國來代金引換通常郵便物ノ名宛人カ差出國ト代金引換通常郵便物ノ交換ヲ爲ス他國ニ移轉シタルトキハ尙代金引換トシテ之ヲ轉送

第六節　價格表記郵便物

第五十二條　價格表記郵便物ノ名宛國ハ之ヲ告示ス

第五十三條　聯合ノ約定ニ依ル價格表記郵便物ノ表記金額制限左ノ如シ

一　通常郵便物	一萬「フラン」	
二　小包郵便物	三千「フラン」	

第五十三條ノ二　滿洲國宛價格表記書狀ノ包裝ニ付テハ郵便物包裝規則第六條及第七條ノ規定ヲ準用ス

第五十三條ノ三　中華民國宛價格表記書狀ハ郵便物包裝規則第六條ニ依リ之ヲ封緘スルコトヲ得

第五十三條ノ四　外國宛價格表記郵便物ノ表記金額制限ハ之ヲ告示ス

第五十四條　聯合ノ約定ニ依ル價格表記郵便物及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦、英國、香港又ハ海峽殖民地トノ約定ニ依ル價格表記小包郵便物ノ表記金額ヲ「フラン」ニ換算スルトキハ三十八錢七厘ニ付一「フラン」ノ割合ニ依ル

第七節　課金別納

第五十五條　別ニ告示スル國ニ宛ツル書留ノ書狀、印刷物、商品見本若ハ小形包裝物及價格表記ノ書狀若ハ箱物竝小包郵便物ニシテ差出人名宛國ニ於テ賦課ニ關スル金部ヲ負擔セムトスルトキハ郵便物差出ノ際引受郵便官署ニ請求スルコトヲ得小包郵便物ニ付テハ差出後ト雖名宛人ニ交付セラレサル間亦同シ

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ引受郵便官署ニ於テ指定スル保證金ヲ納付スルコトヲ要ス但シ場合ニ依リテハ免除シ又ハ別ニ保證人竝署ノ保證書ヲ差出サシムルコトアルヘシ

第五十六條　削除

第五十七條　名宛國ヨリ課金別納郵便物ニ對シ賦課シタル課金ヲ通知シ來リタルトキハ遞信大臣ノ指定スル郵便官署ニ於テ同金額ヲチ其ノ到著日ノ外國郵便爲替ノ賣出ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合ニ依リ帝國貨幣ニ換算シ之ヲ差出人ニ通知ス

第五十八條　差出人前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ通知書ノ日附ヨリ起算シ二十日内ニ引

受郵便官署ニ於ケル記念ノ消算ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テハ郵便規則第七十二條ノ二ノ規定ヲ準用ス

第四節　留置及留置通知

第四十條　外國郵便物ハ別ニ告示スル場合ヲ除クノ外之ヲ留置ト爲スコトヲ得

留置郵便物ハ郵便官署ニ留置キ名宛人ノ出頭ヲ待テ之ヲ交付ス

第四十一條　外國來留置郵便物ノ留置期間ハ三十日トス但シ經船乘組人、旅行者等ニ宛テタル郵便物ニシテ交付ノ見込アルモノニ付テハ其ノ期間ハ三十日以内ヲ延長ス

代金引換又ハ稅付ノモノニ在リテハ其ノ代金引換又ハ稅金納付ノ期間ヲ以テ留置期間トス

第四十二條　滿洲國以外ノ外國來留置小包郵便物ニシテ保管開始ノ日ヨリ起算シ七日ヲ經過シテ交付スルモノニ付テハ此ノ期間ヲ經過スル一日ニ付郵便物一箇毎ニ名宛人ヨリ保管料五錢ヲ徵收ス

前項ノ保管開始ノ月日ハ郵便物ニ之ヲ表示ス

第四十三條ノ二　留置通知郵便物ニ付テハ第四十條及第四十一條竝郵便規則第四十條ノ一ノ規定ヲ準用ス

第四節ノ二　引受時刻證明及內容證明

第四十四條ノ三　引受時刻證明郵便物ニ付テハ郵便規則第四十一條ノ一乃至第四十一條ノ三ノ規定ヲ準用ス

第五十條　外國宛代金引換郵便物ノ代金引換又ハ代金引換金額ノ低減ニ關スル請求料金左ノ如シ

一　引受郵便官署ニ於ケル發送準備著手後郵便物一箇毎ニ		五錢
二　郵便ニ依ル請求	滿洲國宛郵便物一箇毎ニ	八錢
	其ノ他ノ外國宛郵便物一箇毎ニ	十錢
三　電信ニ依ル請求	外國ニ差立準備著手前	二十五錢
	外國ニ差立準備著手後	書留書狀第一通分ノ料金ニ相當スル金額

前項ノ請求ニシテ同一差出人ニ依リ同一名宛人ニ宛テ同一郵便官署ニ同時ニ差出サレタル數箇ノ郵便物ニ付テハ單ニ一箇分ノ料金ヲ徵收スル差立準備著手後ニ於テ爲ス滿洲國以外ノ外國宛郵便物ニ關スル電信ニ依ル請求料金ハ當該郵便物ノ全體ノ要綱ヲ包有スル電報ノ料金實費額及書留書狀第一通分ノ料金ニ相當スル金額トス

第五十一條　外國來代金引換通常郵便物ノ名宛人カ差出國ト代金引換通常郵便物ノ交換ヲ爲ス他國ニ移轉シタルトキハ尙代金引換トシテ之ヲ轉送

第六節　價格表記郵便物

第五十二條　價格表記郵便物ノ名宛國ハ之ヲ告示ス

第五十三條　聯合ノ約定ニ依ル價格表記郵便物ノ表記金額制限左ノ如シ

一　通常郵便物	一萬「フラン」	
二　小包郵便物	三千「フラン」	

第五十三條ノ二　滿洲國宛價格表記書狀ノ包裝ニ付テハ郵便物包裝規則第六條及第七條ノ規定ヲ準用ス

第五十三條ノ三　中華民國宛價格表記書狀ハ郵便物包裝規則第六條ニ依リ之ヲ封緘スルコトヲ得

第五十三條ノ四　外國宛價格表記郵便物ノ表記金額制限ハ之ヲ告示ス

第五十四條　聯合ノ約定ニ依ル價格表記郵便物及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦、英國、香港又ハ海峽殖民地トノ約定ニ依ル價格表記小包郵便物ノ表記金額ヲ「フラン」ニ換算スルトキハ三十八錢七厘ニ付一「フラン」ノ割合ニ依ル

第七節　課金別納

第五十五條　別ニ告示スル國ニ宛ツル書留ノ書狀、印刷物、商品見本若ハ小形包裝物及價格表記ノ書狀若ハ箱物竝小包郵便物ニシテ差出人名宛國ニ於テ賦課ニ關スル金部ヲ負擔セムトスルトキハ郵便物差出ノ際引受郵便官署ニ請求スルコトヲ得小包郵便物ニ付テハ差出後ト雖名宛人ニ交付セラレサル間亦同シ

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ引受郵便官署ニ於テ指定スル保證金ヲ納付スルコトヲ要ス但シ場合ニ依リテハ免除シ又ハ別ニ保證人竝署ノ保證書ヲ差出サシムルコトアルヘシ

第五十六條　削除

第五十七條　名宛國ヨリ課金別納郵便物ニ對シ賦課シタル課金ヲ通知シ來リタルトキハ遞信大臣ノ指定スル郵便官署ニ於テ同金額ヲチ其ノ到著日ノ外國郵便爲替ノ賣出ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合ニ依リ帝國貨幣ニ換算シ之ヲ差出人ニ通知ス

第五十八條　差出人前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ通知書ノ日附ヨリ起算シ二十日内ニ引

前項ノ請求ヲ爲ストキハ最近撮影シタル名刺寫貳枚及戶籍抄本、寄留抄本若ハ留證明書ヲ提出スヘシ但シ有效ナル本人票ヲ寫眞ヲ除クノ外之ヲ提出ヲ要セス

前項ノ規定ニ拘ラス請求者ハ郵便官署ニ足ルヘキ必要書類ヲ呈示スルコトヲ證明スルトキハ其ノ本人タルコトヲ證明スル書類ヲ提出スルコトヲ要セス

第六十二條　本人票ノ有效期間中更新又ハ換ノ請求ヲ爲ストキハ前條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ請求ヲ爲スニ付テハ郵便官署ニ於テ其ノ受領證ヲ呈示シ能ハサルトキハ差出人ニ於テ當該郵便物ノ差出ノ際郵便官署ニ於テ交付シタル本人票ノ有效期間ハ其ノ發行ノ日ヨリ起算シ三年トス

第六十三條　本人票ノ效力ニ付テノ郵便官署ノ認定スル所ニ依ル

締切豫告

第九節　締切豫告

第六十四條　常時外國郵便物ノ締切日時ヲ告ケ受ケムトスル者ハ別ニ告示スル郵便官署ニ之カ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲ストキハ左ノ料金ヲ納付スヘシ

東京中央、大阪中央、神戶中央及橫濱郵便局

昨月一月又ハ其ノ未滿ニ付		一回
其ノ他ノ各郵便局	同	五錢

第六十五條　前條ノ締切豫告ハ普通郵便ノ之カ請求者ニ送付スル但シ郵便官署ニ於テ豫告シ得サルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三章　差出及配達

第六十六條　外國郵便物ノ差出ニ關シテハ郵便規則第六十九條乃至第七十一條ノ規定ヲ準用ス

第六十七條　外國郵便物ノ配達ニ關シテハ郵便規則第七十三條乃至第七十七條ノ規定ヲ準用ス

第六十八條　書留若ハ價格表記通常郵便物又ハ小包郵便物ノ受取人ニ宛テ又ハ之ヲ屆書シタル外國普通通常郵便物ハ內國郵便物ト共ニ郵便規則第六十八條ノ二ノ適用ニ關シテハ郵便物ト看做ス

第七十條　別ニ定ムル規定ニ依リ郵便私書函使用ノ許可ヲ受ケタルモノニ宛テタル外國郵便物ニ付テハ郵便規則第六十七條乃至第六十七條ノ三ノ規定ヲ準用ス

第七十一條　郵便規則第六十八條ニ依ル閲覽ノ請求ヲ爲ストキハ本人ニ於テ其ノ受領證ヲ呈示シ能ハサルトキハ差出人ニ於テ當該郵便物ノ差出ノ際郵便官署ニ請求スルコトヲ得

但シ差出後ノ請求ニ付テハ該郵便物ノ受領證ヲ呈示スルコトヲ要ス受領證ヲ呈示シ能ハサルトキハ差出人ニ於テ當該郵便物ノ差出ノ事項ヲ請求スルコトヲ要ス

前項ノ請求事項ハ米國宛小包ニ付テハ郵便物ノ名宛面ニ其ノ他ノ小包ニ付テハ郵便物ノ名宛面及關係送狀ノ裏面ニ之ヲ記入スヘシ

「アラウィト」國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦宛小包郵便物ニ付テハ差出ノ際郵便物ノ名宛面及關係送狀ノ裏面ニ聯合ノ約定ノ規定スル所ニ從ヒ該郵便物カ不能配達ト爲リタル場合ニ於ケル處分方ヲ指示スヘシ

滿洲國宛小包郵便物ニ付テハ差出ノ際郵便物自體ニ前項ノ規定ニ依ル處分方ヲ記載スヘシ郵便物自體ニ記載スルコト能ハサルトキハ票札ニ記載シテ之ヲ郵便物ニ結附スヘシ

第六十九條　外國宛書留若ハ價格表記通常郵便物又ハ小包郵便物ノ差出人ハ該郵便物差出ノ際又ハ差出後二年內ニ於テ其ノ受領證ノ謄本ヲ引受郵便官署ニ請求スルコトヲ得但シ差出後ノ請求ニ付テハ該郵便物ノ受領證ヲ呈示スルコトヲ要ス受領證ヲ呈示シ能ハサルトキハ差出人ニ於テ當該郵便物ノ差出ノ事項ヲ請求スルコトヲ要ス

前項ノ請求ニ付テハ郵便官署ニ於テ其ノ受領證ヲ呈示シ能ハサルトキハ差出人ニ於テ當該郵便物ノ差出ノ際郵便官署ニ於テ交付シタル本人票ノ有效期間ハ其ノ發行ノ日ヨリ起算シ三年トス

第七十條　別ニ定ムル規定ニ依リ郵便私書函使用ノ許可ヲ受ケタルモノニ宛テタル外國郵便物ニ付テハ郵便規則第六十七條乃至第六十七條ノ三ノ規定ヲ準用ス

第七十一條　郵便規則第六十八條ニ依ル閲覽ノ請求ヲ爲ストキハ本人ニ於テ其ノ受領證ヲ呈示シ能ハサルトキハ差出人ニ於テ當該郵便物ノ差出ノ際郵便官署ニ於テ交付シタル本人票ノ有效期間ハ其ノ發行ノ日ヨリ起算シ三年トス

第七十二條　削除

第七十三條　滿洲國以外ノ外國來小包郵便物ニ付テハ郵便規則第六十三條ノ規定ヲ準用ス

第四十二條ノ規定ヲ準用ス

第四章　轉送及返送

第七十四條　外國宛郵便物ノ取戻又ハ名宛變更ニ關スル請求書ヲ郵ツヘキ外國官署ハ之ヲ告示ス

第七十五條　外國宛郵便物ノ取戻ノ請求ニ付テハ代金引換取消ノ請求ニ要スル料金ト同額ノ料金又ハ名宛變更ノ請求ニ付テハ代金引換金額低減ノ請求ニ要スル料金ト同額ノ料金ヲ徵收ス但シ差立準備著手後ニ於テ爲ス滿洲國以外ノ外國宛郵便物ニ關スル電信ニ依ル請求料金左ノ如シ

取戻ノ場合	價格表記ニ非サル郵便物	電報料金實費額
名宛變更ノ場合	價格表記ニ非サル郵便物	電報料金實費額及書留書狀第一通分ノ料金ニ相當スル金額

第七十六條　削除

第七十七條　外國來郵便物ノ轉送及返送ニ關シテハ郵便規則第八十條及第八十一條ノ規定ヲ準用ス但シ同第八十一條第二項ノ期間ハ三十日トス

差出人カ郵便物ノ表記面及送狀アルモノニ在リテハ送狀ニ轉送ヲ禁ス旨ヲ記載シタル場合ハ該郵便物ハ之ヲ轉送セス

第七十八條　滿洲國ト之ノ條約、聯合ノ約定又ハ中華民國、「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦、海峽殖民地若ハ香港トノ約定ニ依ル外國來小包郵便物ノ帝國內ノ他ノ郵便區內又ハ關東廳管內ヘノ轉送又ハ返送ハ差出人又ハ名宛人ノ請求アル場合ニ限リ之ヲ取扱フ

前項ノ郵便物又ハ日滿小包郵便物ニ對スルモノト同額ノ料金ヲ差出人又ハ名宛人ニ於テ納付スルコトヲ要ス但シ同一郵便區內ニ於ケル轉送又ハ返送ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

重量六キログラム迄ノ超過スル小包郵便物ニ付テハ前項ノ料金ハ超過重量一キログラム每又ハ其ノ端數每ニ場合ニ從ヒ內國書留小包郵便料金ニ十二錢又ハ日滿小包郵便料金

直徑凡三センチメートル

第五十九條ノ三　年賀郵便物ハ滿洲國及中華民國ヘ宛テ差出スコトヲ得該郵便物ニ付テハ年賀特別郵便規則ヲ準用ス

第六十條　本人票

第六十條　縣合ノ條約ニ依ル本人票ノ業務ノ施行スル國ハ之ヲ告ケス

第六十一條　本人票ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ別ニ告示スル郵便官署ニ出頭シ四十錢ヲ納付シテ之カ請求ヲ爲スコトヲ得

聯合ノ約定加入國、中華民國、「アラウィト」國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦發小包郵便物ヲ不能配達ト爲リタル場合ノ處分方ニ關スル郵便官署ノ照會ニ對シ差出人ノ指定シタル第三者同答ヲ爲ストキハ郵便物一箇又ハ同一ノ不能配達通知書ニ記載スル數箇ニ付六錢ヲ納付スヘシ

第八十二條　來國トノ條約ニ依ル小包郵便物ニシテ來國又ハ「フィリッピン」諸島ヨリ轉送又ハ返送セラレタルモノニ付テハ所定ノ料金ヲ場合ニ從ヒ名宛人又ハ差出人ヨリ徵收ス

第八十三條　外國來小包郵便物ニ關スル第四十二條及第七十三條ノ保管料及第八十五條ノ通關料ハ郵便物ヲ外國ニ轉送又ハ返送スル場合ト雖之ヲ取消ササルモノトス但シ來國又ハ「フィリッピン」諸島ニ轉送又ハ返送スル小包郵便物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十四條　削除

第五章　通關

第八十五條　滿洲國以外ノ外國來小形包裝物、價格表記箱物及小包郵便物ニ付テハ名宛人ヨリ郵便物一箇毎ニ通關料十錢ヲ徵收ス

滿洲國以外ノ外國來印刷物及商品見本ニシテ稅關檢査ニ付スヘキモノニ付亦同シ

第八十六條　外國來印刷物、商品見本、小形包裝物、價格表記箱物及小包郵便物ニ付テハ郵便規則第四十二條及第七十三條ノ保管料及第八十五條ノ通關料ハ郵便物ヲ外國ニ轉送又ハ返送スル場合ト雖之ヲ取消ササルモノトス但シ來國又ハ「フィリッピン」諸島ニ轉送又ハ返送スル小包郵便物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十四條　削除

第五章　通關

第八十五條　滿洲國以外ノ外國來小形包裝物、價格表記箱物及小包郵便物ニ付テハ名宛人ヨリ郵便物一箇毎ニ通關料十錢ヲ徵收ス

滿洲國以外ノ外國來印刷物及商品見本ニシテ稅關檢査ニ付スヘキモノニ付亦同シ

第八十六條　外國來印刷物、商品見本、小形包裝物、價格表記箱物及小包郵便物ニ關スル第四十二條及第七十三條ノ保管料及第八十五條ノ通關料ハ郵便物ヲ外國ニ轉送又ハ返送スル場合ト雖之ヲ取消ササルモノトス但シ來國又ハ「フィリッピン」諸島ヨリ轉送又ハ返送セラレタルモノニ付テハ所定ノ料金ヲ場合ニ從ヒ名宛人又ハ差出人ヨリ徵收ス

第八十七條　前條第二項ノ場合ニ於ヲ郵便物留置期間ノ經過ハ郵便官署ヘノ申出ヨリ異議ノ判定ノ確定、訴願ノ裁決又ハ訴訟ノ判決迄之ヲ停止ス但シ條約ニ留置期間ヲ定ムルモノニ付テハ其ノ最高限ヲ超ユルコトナシ

第八十八條　外國來印刷物、商品見本、小形包裝物、價格表記箱物又ハ小包郵便物ノ名宛人郵便物受領前之ヲ積戻シ、再輸出スル爲免稅ノ取扱ヲ受ケ又ハ保稅地域ニ搬入セムコトヲ稅關ニ申請スルトキハ同時ニ其ノ旨ヲ關係郵便官署ニ屆出ヘシ

前項ノ屆出ヲ爲ストキハ第八十五條ノ料金ノ外郵便物一箇毎ニ十錢ヲ納付スヘシ

第八十九條　外國來印刷物、商品見本、小形包裝物、價格表記箱物又ハ小包郵便物ノ名宛人ハ第八十九條及第八十六條ニ依リ留置期間經過後ト雖該郵便物ノ返送又ハ轉送前ナルトキハ之カ交付ヲ請求スルコトヲ得

第九十條　削除

第六章　損害賠償及報酬

第九十一條　價格表記通常郵便物又ハ小包郵便物ノ交付又ハ證付ノ際名宛人又ハ差出人ニ於テ郵便物ニ損害アリト申立ツルトキハ郵便官署ニ於テ七日ノ期間内ニ申立人ヲ立會ハシメ之ヲ開被シテ損害ノ有無ヲ檢査シ損害ナシト認ムルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル調書ト共ニ郵便物ヲ申立人ニ交付スヘシ損害アリト認ムルトキハ損害調書ヲ作成シテ申立人ニ交付シ郵便物ハ之ヲ郵便官署ニ留置クヘシ但シ申立人ニ於テ損害調書ヲ承認シ賠償請求ヲ留保シテ郵便物ノ交付ヲ請求スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ依リ郵便物ヲ保管スル場合ニ於テハ第四十二條及第七十三條ノ保管料ヲ徵收セス

第九十二條　前條ノ場合ニ於テ申立人立會ヲ爲ササルトキハ郵便物ハ其ノ申立人名宛人ナル場合ニハ配達シ能ハサルモノトシテ之ヲ取扱ヒ申立人差出人ナル場合ニハ還付シ能ハサルモノトシテ之ヲ取扱フ

第九十三條　書留通常郵便物ハ小包郵便物ノ亡失若ハ毀損ニ關シ損害ノ賠償ヲ請求スル者差出人ナルトキハ引受郵便官署ニ又名宛人ナルキハ配達郵便官署ニ對シ差出人及差出人ノ居所氏名、差出月日、包有品ノ名稱、數量及實價並請求金額ヲ記載シタル請求書ヲ差出スヘシ第九十一條ノ場合ニ於テ損害賠償ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ謄書ヲ添附スルコトヲ要ス

外國宛代金引換郵便物ノ代金引換金額ノ全部又ハ一部ノ不取立ニ關スル損害賠償ノ請求ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第九十四條　代金引換郵便物ノ代金引換金額ノ不取立ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ其ノ實損額トス

第九十五條　損害賠償ノ責任及其ノ金額ハ還信ニ於テ之ヲ審査シ其ノ決定ヲ請求人ニ通知ス

第九十一條　ニ依リ郵便物ヲ郵便官署ニ留置クル場合ニ於テ損害賠償ノ請求ニ對シ決定ヲ與ヘタルトキ又ハ損害賠償ノ請求ヲ爲シタル者其ノ請求ヲ取消シタルトキハ郵便物ハ之ヲ請求人ニ交付ス

第九十六條　來國若ハ「メキシコ」國トノ條約又ハ滿洲聯邦若ハ「カナダ」トノ約定ニ依ル小包郵便物ニシテ帝國ニ於テ引受ケタルモノヲ帝國郵便業務中ニ於テ亡失又ハ毀損セシメタル場合ノ賠償責任及其ノ金額ニ付テハ內國郵便官署ニ留置ク小包郵便物ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十七條　郵便法第四條ニ依ル損害ノ賠償之ヲ施行期日ハ別ニ之ヲ定ム

明治四十年九月遞信省令第四十二號外國郵便規則及同年同月遞信省令第四十五號ハ之ヲ廢止ス

附　則（大正十二年二月遞令第二十五

二十三錢ヲ加ヘタル額ニ依ル

前二項ノ料金ニシテ未納ノ小包郵便物ヲ外國ニ轉送又ハ返送スル場合ト雖之ヲ取消ササルモノトス

第七十八條ノ二　內國小包郵便物ノ滿洲國ヘノ轉送又ハ返送ハ差出人又ハ名宛人ノ請求アル場合ニ限リ之ヲ取扱フ

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ第二十八條ノ二ニ定ムル事項ヲ關係郵便官署ニ通知スヘシ

第七十九條　外國來郵便物ニシテ名宛人ニ交付スルコト能ハサルモノハ外國ニ返送スルニ先チ其ノ名宛ヲ公示ス但シ公示スルモ交付ノ見込アラサルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ依リ公示シタル通常郵便物ハ公示ノ日ヨリ起算シ十日間之ヲ保管ス

第八十條　普通通常郵便物ニシテ不能配達ト爲リタル價格ナキ印刷物ハ殘メ差出人ニ於テ返送ヲ要求シタルモノヲ除クノ外不能配達ト爲リタル日ヨリ起算シ三十日間保管シ尙交付ヲ請求スル者ナキトキハ之ヲ棄却ス

第八十條ノ二　滿洲國若ハ「メキシコ」國トノ條約、聯合ノ約定又ハ中華民國、「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦、英國、海峽殖民地、香港、「カナダ」若ハ濠洲聯邦トノ約定ニ依ル小包郵便物（代金引換ノモノヲ除ク）ニシテ名宛人ニ交付スルコト能ハサルモノハ外國ニ返送スルニ先チ其ノ配達郵便官署ニ到著シタル日ヨリ起算シ三十日間之ヲ保管ス但シ保管スルモ交付ノ見込アラサルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ郵便物ノ外國ニ於ケル保管期間ハ別ニ之ヲ告示ス

第八十一條　聯合ノ約定加入國、中華民國、「アラウィト」國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦宛小包郵便物ノ差出人郵便官署ハ照會ニ依リ不能配達小包郵便物ノ轉送、返送其ノ他ノ處分方ヲ請求スルトキハ郵便物一箇又ハ同一ノ不能配達通知書ニ付キ六錢其ノ他ノ諸國宛ノモノニ付テハ二十錢ヲ納付スヘシ

第八十二條　滿洲國若ハ「メキシコ」國トノ條約、聯合ノ約定又ハ中華民國、「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦、英國、海峽殖民地、香港、「カナダ」若ハ濠洲聯邦トノ約定ニ依ル小包郵便物（代金引換ノモノヲ除ク）ニシテ名宛人ニ交付スルコト能ハサルモノハ外國ニ返送スルニ先チ其ノ名宛ヲ公示ス但シ公示スルモ交付ノ見込アラサルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ依リ公示シタル通常郵便物ハ公示ノ日ヨリ起算シ十日間之ヲ保管ス

第八十條　普通通常郵便物ニシテ不能配達ト爲リタル價格ナキ印刷物ハ殘メ差出人ニ於テ返送ヲ要求シタルモノヲ除クノ外不能配達ト爲リタル日ヨリ起算シ三十日間保管シ尙交付ヲ請求スル者ナキトキハ之ヲ棄却ス

第八十一條　聯合ノ約定加入國、中華民國、「アラウィト」國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦宛小包郵便物ノ差出人郵便官署ハ照會ニ依リ不能配達小包郵便物ノ轉送、返送其ノ他ノ處分方ヲ請求スルトキハ郵便物一箇又ハ同一ノ不能配達通知書ニ付キ六錢其ノ他ノ諸國宛ノモノニ付テハ二十錢ヲ納付スヘシ

第八十二條　滿洲國若ハ「メキシコ」國トノ條約、聯合ノ約定又ハ中華民國、「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦、英國、海峽殖民地、香港、「カナダ」若ハ濠洲聯邦トノ約定ニ依ル小包郵便物ニシテ名宛人ニ交付スルコト能ハサルモノハ外國ニ返送スルニ先チ其ノ名宛ヲ公示ス但シ公示スルモ交付ノ見込アラサルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ依リ公示シタル通常郵便物ハ公示ノ日ヨリ起算シ十日間之ヲ保管ス

第八十條　普通通常郵便物ニシテ不能配達ト爲リタル價格ナキ印刷物ハ殘メ差出人ニ於テ返送ヲ要求シタルモノヲ除クノ外不能配達ト爲リタル日ヨリ起算シ三十日間保管シ尙交付ヲ請求スル者ナキトキハ之ヲ棄却ス

第八十七條　前條第二項ノ場合ニ於ヲ郵便物留置期間ノ經過ハ郵便官署ヘノ申出ヨリ異議ノ判定ノ確定、訴願ノ裁決又ハ訴訟ノ判決迄之ヲ停止ス但シ條約ニ留置期間ヲ定ムルモノニ付テハ其ノ最高限ヲ超ユルコトナシ

第八十八條　外國來印刷物、商品見本、小形包裝物、價格表記箱物又ハ小包郵便物ノ名宛人郵便物受領前之ヲ積戻シ、再輸出スル爲免稅ノ取扱ヲ受ケ又ハ保稅地域ニ搬入セムコトヲ稅關ニ申請スルトキハ同時ニ其ノ旨ヲ關係郵便官署ニ屆出ヘシ

前項ノ屆出ヲ爲ストキハ第八十五條ノ料金ノ外郵便物一箇毎ニ十錢ヲ納付スヘシ

第八十九條　外國來印刷物、商品見本、小形包裝物、價格表記箱物又ハ小包郵便物ノ名宛人ハ第八十九條及第八十六條ニ依リ留置期間經過後ト雖該郵便物ノ返送又ハ轉送前ナルトキハ之カ交付ヲ請求スルコトヲ得

第九十條　削除

第六章　損害賠償及報酬

第九十一條　價格表記通常郵便物又ハ小包郵便物ノ交付又ハ證付ノ際名宛人又ハ差出人ニ於テ郵便物ニ損害アリト申立ツルトキハ郵便官署ニ於テ七日ノ期間内ニ申立人ヲ立會ハシメ之ヲ開被シテ損害ノ有無ヲ檢査シ損害ナシト認ムルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル調書ト共ニ郵便物ヲ申立人ニ交付スヘシ損害アリト認ムルトキハ損害調書ヲ作成シテ申立人ニ交付シ郵便物ハ之ヲ郵便官署ニ留置クヘシ但シ申立人ニ於テ損害調書ヲ承認シ賠償請求ヲ留保シテ郵便物ノ交付ヲ請求スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ依リ郵便物ヲ保管スル場合ニ於テハ第四十二條及第七十三條ノ保管料ヲ徵收セス

第九十二條　前條ノ場合ニ於テ申立人立會ヲ爲ササルトキハ郵便物ハ其ノ申立人名宛人ナル場合ニハ配達シ能ハサルモノトシテ之ヲ取扱ヒ申立人差出人ナル場合ニハ還付シ能ハサルモノトシテ之ヲ取扱フ

第九十三條　書留通常郵便物ハ小包郵便物ノ亡失若ハ毀損ニ關シ損害ノ賠償ヲ請求スル者差出人ナルトキハ引受郵便官署ニ又名宛人ナルキハ配達郵便官署ニ對シ差出人及差出人ノ居所氏名、差出月日、包有品ノ名稱、數量及實價並請求金額ヲ記載シタル請求書ヲ差出スヘシ第九十一條ノ場合ニ於テ損害賠償ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ謄書ヲ添附スルコトヲ要ス

外國宛代金引換郵便物ノ代金引換金額ノ全部又ハ一部ノ不取立ニ關スル損害賠償ノ請求ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第九十四條　代金引換郵便物ノ代金引換金額ノ不取立ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ其ノ實損額トス

第九十五條　損害賠償ノ責任及其ノ金額ハ還信ニ於テ之ヲ審査シ其ノ決定ヲ請求人ニ通知ス

第九十一條　ニ依リ郵便物ヲ郵便官署ニ留置クル場合ニ於テ損害賠償ノ請求ニ對シ決定ヲ與ヘタルトキ又ハ損害賠償ノ請求ヲ爲シタル者其ノ請求ヲ取消シタルトキハ郵便物ハ之ヲ請求人ニ交付ス

第九十六條　來國若ハ「メキシコ」國トノ條約又ハ滿洲聯邦若ハ「カナダ」トノ約定ニ依ル小包郵便物ニシテ帝國ニ於テ引受ケタルモノヲ帝國郵便業務中ニ於テ亡失又ハ毀損セシメタル場合ノ賠償責任及其ノ金額ニ付テハ內國郵便官署ニ留置ク小包郵便物ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十七條　郵便法第四條ニ依ル損害ノ賠償之ヲ施行期日ハ別ニ之ヲ定ム

明治四十年九月遞信省令第四十二號外國郵便規則及同年同月遞信省令第四十五號ハ之ヲ廢止ス

附　則（大正十二年二月遞令第二十五

本令ハ大正十二年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十二年三月遞令第四十三號）

本令ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス（大正十三年九月遞令第三十七號ハ大正十三年九月五日ヨリ施行）

附　則（大正十三年十二月遞令第六十六號）

本令ハ大正十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ引受ケタル郵便物ノ取扱ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

（大正十四年三月遞令第十五號ハ大正十四年四月一日ヨリ施行）

（大正十四年三月遞令第十六號ハ大正十四年四月一日ヨリ施行）

（大正十四年六月遞令第四十號ハ大正十四年七月一日ヨリ施行）

附　則（大正十四年九月遞令第六十四號）

本令ハ大正十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス（大正十五年一月遞令第一號ハ大正十五年二月一日ヨリ施行）

附　則（昭和二年十二月遞令第六十一號）

本令ハ昭和三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四年六月遞令第二十六號ハ昭和四年六月二十一日ヨリ施行）

（昭和四年十二月遞令第四十四號ハ昭和四年十二月十日ヨリ施行）

（昭和四年十一月遞令第四十九號ハ昭和四年十二月一日ヨリ施行）

附　則（昭和五年六月遞令第二十七號）

本令ハ昭和五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年七月遞令第二十八號）

本令ハ昭和六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和七年八月遞令第二十八號ハ昭和七年八月二十三日ヨリ施行）

（昭和七年十一月遞令第四十七號ハ昭和七年十一月三日ヨリ施行）

（昭和八年十月遞令第四十三號ハ昭和八年十一月一日ヨリ施行）

（昭和八年十二月遞令第五十二號ハ昭和九年一月一日ヨリ施行）

附　則（昭和九年十二月遞令第七十五號）

本令ハ昭和十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス（昭和十年十月遞令第三十三號ハ昭和十年十月八日ヨリ施行）

附　則（昭和十一年一月遞令第四號）

本令ハ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●課金別納外國郵便物引受郵便局

大正十一年一月　遞告第十六號　改正　昭和五年七月第二八八號

課金別納外國郵便物ハ左記郵便局ニ限リ之カ引受ヲ爲ス

京城郵便局　大邱郵便局　釜山郵便局

仁川郵便局　平壤郵便局　元山郵便局

清津郵便局

●外國小包郵便ニ關スル料金

昭和七年八月　遞告第四百四十九號　改正　昭和九年十二月第五一號

外國小包郵便ニ關スル料金ハ昭和五年遞信省告示第千六百六十九號ニ依ル外聯合ノ約定、香港トノ約定、海峽殖民地トノ約定及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦トノ約定ニ依ル小包郵便物ニシテ內地經由遞送ヲ要スルモノニ付テハ昭和七年八月二十三日ヨリ郵便物一箇毎ニ左ノ郵便料及ト價格表記ノモノニ在リテハ價格表記料ヲ加徵ス

昭和二年朝鮮總督府告示第四百九十四號ハ昭和七年八月二十二日限リ之ヲ廢止ス

一　聯合ノ約定ニ依ル小包郵便物

第一種郵便料

一キログラム迄ノモノ　二十六錢

一キログラムヲ超エ五キログラム迄ノモノ　四十錢

五キログラムヲ超ユルモノ　七十錢

香港トノ約定及海峽殖民地トノ約定ニ依ル小包郵便物

一キログラム五迄ノモノ　四十錢

一キログラムヲ超エ三キログラム迄ノモノ　五十錢

三キログラムヲ超ユルモノ　六十錢

「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦トノ約定ニ依ル小包郵便物

一キログラム迄ノモノ　四十二錢

一キログラムヲ超エ五キログラム迄ノモノ　五十錢

二　價格表記料

表記金額三百「フラン」迄毎ニ　六　錢

（昭和九年十二月總告第六百五十一號ハ昭和十年一月一日ヨリ施行）

●日滿兩國間ノ郵便物、郵便爲替及電報ノ取扱ニ關スル件

昭和七年九月　遞令第三十四號

本邦ト中華民國トノ間ニ發著スル郵便物、郵便爲替及電報ノ取扱ニ關スル省令及告示中「中華民國」トアルハ滿洲國ニ適用シ得ヘキ限リ之ヲ「中華民國、滿洲國ニ」改ム

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定

昭和十一年一月　遞告第四十三號

昭和十年十二月條約第十號日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定左ノ如シ

日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定

目次

第一編　郵便物ニ關スル規定

第一章　通則

第一條　郵便物ノ交換及繼越

第二條　託送郵便物

第三條　式紙及用語

第四條　特殊取扱

第五條　責任

第六條　無料郵便物

第七條　通知事項

第八條　萬國郵便聯合ノ規定ノ準用

第二章　通常郵便物

第九條　種類竝ニ重量及寸尺ノ制限

第十條　特別記號ヲ有スル郵便物

第十一條　返信切手券

第十二條　年賀郵便物ノ配達

第十三條　繼越料及託送料ノ計算及清算

第三章　小包郵便物

第十四條　重量、寸尺及容積ノ制限

第十五條　郵便料及軟得分

第十六條　小包ノ送票及處分豫告

第十七條　轉送及返送

第十八條　第三國發著小包

第十九條　小包ノ還送

第二十條　還送料等ノ計算

第二十一條　還送料等ノ清算

第四章　航空郵便

第二十二條　航空料

第二十三條　航空還送料

第二十四條　航空還送料ノ計算及清算

第二十五條　例外規定

第二編　郵便爲替ニ關スル規定

第一章　振出

第二十六條　振出ノ手續

第二十七條　金額ノ制限

第二十八條　料金

第二十九條　小爲替ノ受取人及拂渡局ノ指定

第三十條　拂渡濟通知

第三十一條　通常爲替證書ノ證書送達

第三十二條　電信爲替ノ至急電報ニ依ル取扱、留置及特使ニ依ル配達

第三十三條　振出ノ通知

第三十四條　爲替證書ノ送達

第三十五條　振出請求書ノ誤記訂正

第二章　拂渡
第三十六條　拂渡ノ手續
第三十七條　爲替證書ノ有效期間
第三十八條　再度爲替證書
第三十九條　假拂
第四十條　拂渡停止
第四十一條　拂渡局ノ變更
第四十二條　小爲替ノ指定ノ變更及取消
第三章　拂戻
第四十三條　拂戻
第四十四條　拂戻局ノ變更
第四章　轉送、媒介
第四十五條　爲替ノ轉送
第四十六條　爲替ノ媒介
第五章　拂渡不能ノ爲替、拂渡済否取調、爲替金ノ國庫歸屬、責任ノ歸屬
第四十七條　拂渡不能ノ爲替
第四十八條　拂渡済否取調
第四十九條　爲替金ノ國庫歸屬
第五十條　責任ノ歸屬
第六章　計算及清算
第五十一條　爲替金ノ計算及清算
第五十二條　收得分ノ計算及清算
第七章　諸種ノ規定
第五十四條　無料爲替
第五十五條　式紙
第五十六條　通知事項
最終規定
署名議定書
附錄　式紙雛形

日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約
日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約第四條ニ基キ兩締約國郵政廳間ニ左ノ通協定シタリ
第一編　郵便物ニ關スル規定
第一章　通則
第一條　郵便物ノ交換及繼越
兩國業務間ニ發著スル郵便物ノ交換及繼越郵便物ノ受授ハ其ノ交換局ノ間ニ之ヲ爲ス

第二條　託送郵便物
一　兩國ノ一方ノ業務ニ託送スル地方ノ內國郵便物ニ付テハ本協定中兩國業務間ニ交換スル郵便物ノ選送及責任ニ關スル規定ヲ準用ス
二　前項ノ郵便物ハ地方的協議ニ從ヒ郵便局、列車乘換ノ郵便車員又ハ船舶若ハ航空機ノ責任ア乘組員相互間ニ之ヲ受授ス
第三條　式紙及用語
一　兩國業務間ニ使用スル式紙ハ別段ノ協定ヲ爲シタル場合ノ外日本國業務ヨリ滿洲國業務ニ宛ツルモノニ在リテハ漢文ノ對譯ヲ附シタル日本文ノモノ、滿洲國業務ヨリ日本國業務ニ宛ツルモノニ在リテハ日本文ノ對譯ヲ附シタル漢文ノモノトス
二　兩國業務間ニ發受スル文書ハ別段ノ協定ヲ爲シタル場合ノ外日本國業務ヨリ滿洲國業務ニ宛ツルモノニ在リテハ日本語ヲ用ヒ、滿洲國業務ヨリ日本國業務ニ宛ツルモノニ在リテハ成ルベク日本語ヲ用フ
第四條　特殊取扱
一　特殊取扱ハ左ノ十一種トス
書留　内容證明　引受時刻證明　通常郵便物ニ限ル　別配達　配達證明　價格表記　代金引換　留置　通知　航空　課金別納
二　別配達ノ請求アル小包郵便物ニ付差出國郵政廳ニ於テ差出人ヨリ徵收スル特別料金ハ小包一箇ニ付三十錢（三角）トス名宛國郵政廳ノ收得分トス
三　價格表記ノ金額ハ日本國通貨ヲ以テ之ヲ表示シ其ノ最高限ヲ千圓トス
價格表記書狀ノ封皮及封緘ニ付テハ各自ノ內國郵便物ニ關スル規定ヲ準用ス
代金引換ハ郵便物ニ付テハ本協定中兩國業務間ニ交換スル郵便物ノ選送及責任ニ關スル規定ヲ準用ス
二　前項ノ郵便物ハ地方的協議ニ從ヒ郵便局、列車乘換ノ郵便車員又ハ船舶若ハ航空機ノ責任ア乘組員相互間ニ之ヲ受授ス
第三條　式紙及用語
一　兩國業務間ニ使用スル式紙ハ別段ノ協定ヲ爲シタル場合ノ外日本國業務ヨリ滿洲國業務ニ宛ツルモノニ在リテハ漢文ノ對譯ヲ附シタル日本文ノモノ、滿洲國業務ヨリ日本國業務ニ宛ツルモノニ在リテハ日本文ノ對譯ヲ附シタル漢文ノモノトス
二　兩國業務間ニ發受スル文書ハ別段ノ協定ヲ爲シタル場合ノ外日本國業務ヨリ滿洲國業務ニ宛ツルモノニ在リテハ日本語ヲ用ヒ、滿洲國業務ヨリ日本國業務ニ宛ツルモノニ在リテハ成ルベク日本語ヲ用フ
第四條　特殊取扱
一　特殊取扱ハ左ノ十一種トス
書留　内容證明　引受時刻證明　通常郵便物ニ限ル　別配達　配達證明　價格表記　代金引換　留置　通知　航空　課金別納
二　別配達ノ請求アル小包郵便物ニ付差出國郵政廳ニ於テ差出人ヨリ徵收スル特別料金ハ小包一箇ニ付三十錢（三角）トス名宛國郵政廳ノ收得分トス
三　價格表記ノ金額ハ日本國通貨ヲ以テ之ヲ表示シ其ノ最高限ヲ千圓トス
價格表記書狀ノ封皮及封緘ニ付テハ各自ノ內國郵便物ニ關スル規定ヲ準用ス
代金引換ハ郵便物ニ付テハ本協定中兩國業務間ニ交換スル郵便物ノ選送及責任ニ關スル規定ヲ準用ス
二　前項ノ郵便物ハ地方的協議ニ從ヒ郵便局、列車乘換ノ郵便車員又ハ船舶若ハ航空機ノ責任ア乘組員相互間ニ之ヲ受授ス
第三條　式紙及用語
一　兩國業務間ニ使用スル式紙ハ別段ノ協定ヲ爲シタル場合ノ外日本國業務ヨリ滿洲國業務ニ宛ツルモノニ在リテハ漢文ノ對譯ヲ附シタル日本文ノモノ、滿洲國業務ヨリ日本國業務ニ宛ツルモノニ在リテハ日本文ノ對譯ヲ附シタル漢文ノモノトス
二　兩國業務間ニ發受スル文書ハ別段ノ協定ヲ爲シタル場合ノ外日本國業務ヨリ滿洲國業務ニ宛ツルモノニ在リテハ日本語ヲ用ヒ、滿洲國業務ヨリ日本國業務ニ宛ツルモノニ在リテハ成ルベク日本語ヲ用フ
第四條　特殊取扱
一　特殊取扱ハ左ノ十一種トス
書留　内容證明　引受時刻證明　通常郵便物ニ限ル　別配達　配達證明　價格表記　代金引換　留置　通知　航空　課金別納
二　別配達ノ請求アル小包郵便物ニ付差出國郵政廳ニ於テ差出人ヨリ徵收スル特別料金ハ小包一箇ニ付三十錢（三角）トス名宛國郵政廳ノ收得分トス
三　價格表記ノ金額ハ日本國通貨ヲ以テ之ヲ表示シ其ノ最高限ヲ千圓トス
價格表記書狀ノ封皮及封緘ニ付テハ各自ノ內國郵便物ニ關スル規定ヲ準用ス
代金引換ハ郵便物ニ付テハ本協定中兩國業務間ニ交換スル郵便物ノ代金引換ニ關スル規定ヲ準用ス
代金引換郵便物ノ差出人ヨリ徵收スル代金引換金額ハ一箇ニ付五錢（五分）トシ其ノ半額ヲ名宛國郵政廳ノ收得分トス收得分ノ計算書ニ之ヲ記入ス
代金引換郵便物ノ取立金ハ兩國間ニ交換スル通常郵便爲替ニ關スル規定ニ依リ之ヲ郵便物差出人ニ送付ス
第五條　責任
締約國郵政廳ハ左ノ場合ニ限リ萬國郵便聯合ノ規定ニ依リ郵便物ノ損害ヲ賠償スル但シ書留通常郵便物亡失ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ郵便物一箇ニ付日本國通貨十圓トス
一　書留通常郵便物ヲ亡失シタルトキ
二　價格表記通常郵便物又ハ小包郵便物ヲ亡失又ハ毀損シタルトキ
三　代金引換郵便物ノ取立金ノ取立ヲ爲サズシテ之ヲ交付シタルトキ
第六條　無料郵便物
一　郵便、郵便振替及郵便貯金ノ事務ニ關スル通常郵便物ハ左ニ揭ゲルモノ限リ之ヲ無料トス但シ公衆ヨリ發スル特殊取扱ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
(一)　郵政廳又ハ郵便局ヨリ發スルモノ
(二)　損害賠償又ハ料金還付ノ請求ヲ爲ス爲郵政廳又ハ郵便局ニ宛テ發スルモノ
(三)　業務上ノ必要ニ基キ郵政廳又ハ郵便局ノ依賴ニ依リ郵政廳又ハ郵便局ニ宛テ發スルモノ
(四)　郵政廳又ハ郵便局ニ對シ注意ヲ促ス爲郵政廳又ハ郵便局ニ宛テ發スルモノ
二　無料郵便物ノ名宛面ニハ「通信事務」又ハ「郵務公事」ト朱記スベシ
第七條　通知事項
兩國郵政廳ハ他方ノ郵政廳ニ左ノ事項ニ付通知ヲ爲ス爲第二號及第三號ニ付テハ當該物件ノ見本ヲ送付スルモノトス
一　內國及國際郵便諸料金
二　郵便切手其ノ他料金ヲ表示スベキ證票、返信切手券及料金納付ノ特別記號
三　價格表記狀ノ封皮及封緘
四　交換局
五　特殊取扱ヲ爲ス郵便局ノ名稱及取扱ノ範圍
六　他方ノ郵政廳ノ郵便物ノ選送ニ使用シ得ル主ナル定期ノ鐵道、船舶、航空機其ノ他ノ乘務ノ種類及運行
七　輸入又ハ流布ヲ禁ズル物品
八　自國ニ於テ繼越シ得ル郵便物ニ關スル條件
第八條　萬國郵便聯合ノ規定ノ準用
本協定ヲ以テ明瞭ニ規定セザル事項ニ付テハ萬國郵便聯合ノ規定ヲ準用ス
第二章　通常郵便物
第九條　種類竝ニ重量及寸尺ノ制限
通常郵便物ノ種類竝ニ重量及寸尺ノ制限ハ左表ノ通トス

種類	重量（キログラム）位	寸尺（センチメートル）位
書狀	二	長サ、幅及厚サヲ合シ九〇（但シ一面ノ最大寸尺六〇ヲ超ユルコトヲ得ズ）ヲ超エザルモノ
書狀ニ同ジ		長サ一面ノ最大寸尺八〇ヲ超エルコトヲ得ズ（但シ一面ノ最大寸尺ハ一〇〇ヲ超エザルモノ）
書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、雜誌	二	長サ一面ノ最大寸尺ハ一五〇乃至一〇〇・五幅ハ一五乃至一〇〇・五

商品見本及雛形、博物學上ノ標本、麁造物種子

各別ニ差出スモノ（業務用書類ヲ除ク）ハ三個シ迄

書狀ニ同ジ

〇・五

第十條　特別記號ヲ有スル郵便物
郵便切手ノ代リニ差出國郵政廳ノ認ムル「約束郵便」、「立券報紙」、「切手別納」等ノ料金納付ノ特別記號ヲ有スル郵便物ハ之ヲ正當ニ料金ヲ納付シタルモノト看做ス
第十一條　返信切手券
一　返信切手券ノ賣價ハ發行郵政廳ノ業務ヲ發シ他方ニ宛ツル普通書狀第一通分ノ料金ノ五割增以內ニ於テ發行郵政廳之ヲ定ム
二　郵便切手引換ヘタル返信切手券ノ兩國郵政廳間ニ於ケル清算ニ付テハ返信切手券ノ價格ヲ一枚ニ付日本國通貨三錢トス
三　郵便切手引換ヘタル返信切手券ニ付テハ其ノ引換ヲ爲シタル年ノ分ヲ取纏メ翌年三月中ニ兩國郵政廳間ニ差引計算ヲ爲ス
第十二條　年賀郵便物ノ配達
十二月三十一日以前ニ名宛局ニ到著シタル「年賀郵便」又ハ「賀年郵件」ナル票札ヲ有スル別箇ノ行囊ニ納メタル郵便物ハ到著日附印ヲ押捺スルコトナク一月一日ヨリ後テ之ヲ配達ス
第十三條　繼越料及託送料ノ計算及清算
一　兩國業務間ニ發著スル郵便物ノ陸路ノ繼越料ノ計算ニ付テハ日本國業務ヲ通ジ一郵政廳ノ業務ト看做ス
二　兩國ノ一方ノ業務ニ託送スル他方ノ內國郵便物ニ付關係運送事業ニ支拂フ運送料ヲ基礎トシテ兩國郵政廳間ニ別ニ之ヲ協定ス
三　繼越料及託送料ハ每年九月一日ヨリ十四日間ニ行フ精算ノ結果ニ基キ翌年中ニ之ヲ清算ス

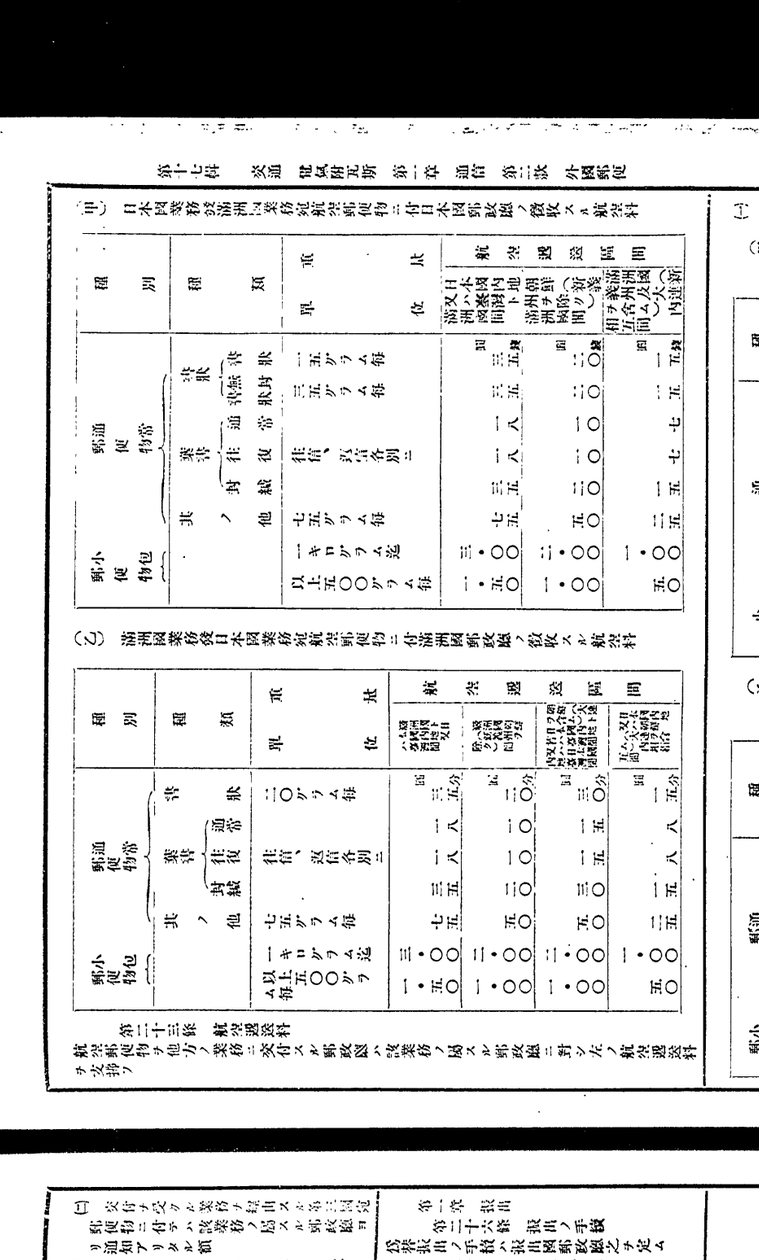
第十四條　重量、寸尺及容積ノ制限
一　小包ノ重量ノ制限ハ十キログラムトス
二　小包ノ寸尺ノ制限ハ一面一メートル二五トシ且容積ノ制限ハ五キログラム迄ノモノニ付テハ六十立方デシメートル、十キログラム迄ノモノニ付テハ八十立方デシメートルトス但シ鐵道又ハ船舶ノ連絡アル滿洲國業務內各地宛小包ノ寸尺ノ制限ハ一面一メートル二五トシ且容積ノ制限ハ二百十六立方デシメートルトス
第十五條　郵便料及收得分
一　小包ノ差出人ヨリ徵收スル郵便料ハ左ノ如シ但シ關東州業務ト滿洲國業務トノ間ニ交換スル小包ノ料金ハ地方的協議ヲ以テ之ヲ定ム

小包ノ重量	料金
一キログラム迄	十五錢（四角五分）
二キログラム迄	二十錢（六角）
三キログラム迄	二十五錢（七角五分）
四キログラム迄	三十錢（九角）
五キログラム迄	三十五錢（一圓四分五厘）
六キログラム迄	四十錢（一圓二十分）
七キログラム迄	四十五錢（一圓三十五分）
八キログラム迄	五十錢（一圓五十分）
九キログラム迄	五十五錢（一圓六十五分）
十キログラム迄	六十錢（一圓八十分）

二　兩國業務ノ一方ヲ經由シテ第三國トノ間ニ發著スル小包ノ收得分其ノ他ノ細項ヲ記入シタル目錄ヲ添ヘ別箇ノ行囊ニ之ヲ締切リ遞送ス
第二十條　遞送料等ノ計算
一　差出國郵政廳ハ每年六月及十一月ノ最初ノ二十八日間ニ其ノ交換局ヨリ差立ツル小包ニ付重量級別ノ箇數ヲ調査シ一箇ニ對スル平均料金ヲ算出ス
二　差出國郵政廳ハ前項ノ平均料金ノ半額ニ箇數ヲ乘ジタル額ヲ名宛國郵政廳ニ支拂フベキ遞送料トシ年次計算書ヲ作成シテ名宛國郵政廳ニ送附シ且容積ノ超過ニ對スル追加料金ヲ算出シ兩國間ニ於テ折半ス
三　兩國業務間ニ發著スル小包ノ價格表記料ハ兩國郵政廳間ニ之ガ計算ヲ爲サズ
四　兩國ノ一方ノ業務ニ託送スル他方ノ內國小包ノ託送料ニ付テハ第十三條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス
五　第三國發著小包ニ關スル遞送料等ニ付テハ每月兩國郵政廳ノ交換局間ニ交換シタル小包目錄ニ記載ノ收得分ニ基キ關係名宛交換局ニ於テ月次計算書ヲ作成シテ相手國交換局ノ承查承認ヲ受クルモノトス
六　前項ノ月次計算書ノ額ハ貨越郵政廳ニ於テ之ヲ年次總計算書ニ集記ス
第二十一條　遞送料ノ清算
一　兩國業務間ニ發著スル小包ノ遞送料等ノ年次差引計算書ハ每年末日ノ橫濱正金銀行東京支店建爲替資相場ト買相場ト仲値ニ基キ貨越郵政廳ニ於テ自國貨幣ニ依リ之ヲ作成シテ借越郵政廳ニ送付ス
二　前項ノ計算書ノ差額ハ借越郵政廳ニ於テ貨越國ノ首府宛一覽拂手形ヲ以テ貨越郵政廳ニ之ヲ支拂フ

第四章　航空郵便
第二十二條　航空料
航空郵便物ノ差出人ヨリ發收スル航空料ハ左ノ如シ

(一)　小包ノ引受局名、引受番號及重量
(二)　包有品ノ品名、數量及價格
(三)　價格表記金額
小包料金ニ相當スル郵便切手ハ送票ニ之ヲ貼附ス
第十七條　轉送及返送
一　兩國業務間ニ發著スル小包ノ一方ヨリ他方ヘノ轉送又ハ返送ニ付テハ名宛人又ハ差出人ヨリ第十五條第一項ニ定ムル郵便料ヲ追加徵收ス價格表記料ニ付亦同シ
二　兩國ノ各自ノ業務內ニ於ケル小包ノ轉送ニ付テハ當該國ノ定ムル料金ヲ名宛人ヨリ徵收スルコトヲ得該料金ハ小包ヲ更ニ差出國又ハ第三國ニ轉送又ハ返送スル場合ト雖モ之ヲ取消サズ
三　兩國業務間ニ發著スル小包ハ第三國ニ轉送又ハ返送スルコトヲ得此ノ場合ニハ轉送又ハ返送ヲ爲ス第三國ト小包交換條件ヲ具備スルコトヲ要ス
三　兩國ノ內國小包ハ兩國業務ノ一方ヨリ他方ニ之ヲ轉送又ハ返送スルコトヲ得此ノ場合ニハ第一項ニ依ル外兩國間ノ小包交換條件ヲ具備スルコトヲ要ス
第十八條　第三國發著小包
兩國業務ノ一方ニ於テ差出シ他方ヲ經テ送付スル第三國宛小包、第三國ニ於テ差出シ兩國業務ノ一方ヨリ經テ送付スル他方宛小包及第三國ニ於テ差出シ兩國ノ業務ヲ經テ送付スル他第三國宛小包ハ兩國郵政廳間ノ小包交換條件及媒介郵政廳ト第三國郵政廳トノ間ノ小包交換條件ヲ具備スルコトヲ要ス
第十九條　小包ノ遞送
一　兩國業務間ニ發著スル小包ニシテ特殊取扱ヲ爲シタルモノハ其ノ細項（收得分ヲ除ク）ヲ記入シタル目錄ヲ添ヘ、其ノ他ノ小包ハ一括記入ヲ爲シタル目錄ヲ添ヘ各別ノ行囊ニ之ヲ締切リ遞送ス



為替證書ノ有效期間ヲ經過シタルトキ又ハ為替證書ヲ亡失、毀損若ハ汚瀆シタルトキハ差定シタル受取人ノ宿所氏名又ハ拂渡局ノ變更又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第三章　拂戻

第四十三條　拂戻

通常為替若ハ電信為替ノ差出人又ハ小為替ニシテ證書ノ有效期間經過、亡失、毀損若ハ汚瀆ニ係ルモノノ差出人ハ為替金ノ拂戻ヲ振出局ニ請求スルコトヲ得

振出局ハ有效期間内ノ證書ニ依リ通常為替及電信為替ニ對シ為替金ノ拂戻ヲ為シタルトキハ其ノ旨ヲ拂渡局ニ通報ス但シ證書亡失、毀損又ハ汚瀆ノモノニ係ルトキハ拂渡局ニ就キ拂渡ヲ為シ拂渡局ニ於テ拂渡シタル為替ノ受取人宿所ヲ他方ニ變更シタル場合亦同シ

前條ノ轉送ハ新為替ヲ以テ之ヲ為シ該為替ノ受取人宿所ヲ第三國ヨリ振出シタル為替ノ受取人宿所ヲ他方ニ變更シタル場合ニ關スル料金ハ送付スベキ金額ヨリ之ヲ控除發收ス但シ前節後段ノ轉送ニシテ兩國ト同樣ノ形式及方法ニ依リ為替ノ直接交換ヲ保持スル國ヨリ振出シタル為替ノ郵便ニ依ル轉送ナルトキハ該轉送ハ原為替ヲ以テ之ヲ為シ轉送ニ付何等ノ料金ヲ徵收セズ

第一節後段ノ轉送ハ小為替ヲ以テ之ヲ為スコトヲ得ズ通常為替ヲ以テ轉送ヲ為ス場合ニ於テハ證書ハ郵便局ニ於テ之ヲ受取人ニ送達ス

振出國ニ於テ為替ノ轉送ヲ為シタルトキハ其ノ旨ヲ拂渡局ニ通報ス

拂渡國ニ於テ新為替ヲ以テ為替ノ轉送ヲ為シタルトキハ兩國郵政廳間ノ計算ニ付テハ原為替ハ拂渡ヲ為シタルモノト看做ス

二　各國郵政廳ハ内國為替ニシテ本協定ニ規定スル為替ト同樣ノ形式及方法ニ依リ取扱ハルルモノニ付テハ差出人又ハ受取人ノ請求ニ依リ拂渡局若ハ拂戻局ノ變更又ハ指定ノ變更若ハ取消ノ方法ニ依リ相手國ニ轉送スルコトヲ得

前節ノ轉送ニ付テハ第四十一條第二項及第三項竝ニ前條ノ規定ヲ準用スル此ノ場合ニ於テハ為替金額ハ兩國間所定ノ通貨ヲ以テ之ヲ表示ス

前二節ノ規定ニ依リ拂戻局ヲ變更シタル為替ノ拂戻ニ付テハ前項第五節ノ規定ヲ準用ス

第四十六條　為替ノ媒介

為替ノ媒介ニ付テハ前條第一項第二節本文及第五節ノ規定ヲ準用ス

第四十七條　拂渡不能ノ為替、拂渡濟否取調、責任ノ歸屬

為替金ノ國庫歸屬、責任ノ歸屬

第四十七條　拂渡不能ノ為替

一　通常為替及電信為替ニシテ證書ノ有效期間内ニ拂渡ノ請求ナキモノニ付テハ代金引換郵便物ノ取立金ニ對スル通常為替ヲ除クノ外拂渡局ハ振出國ノ為替管理廳ニ返付ス

二　第三十一條ノ取扱ニ係ル通常為替證書ニシテ受取人ニ送達スルコト能ハザルモノハ拂渡局ニ於テ之ヲ差出人ニ返付ス電信為替證書ニシテ受取人ニ送達スルコト能ハザルモノ又ハ留置ニ係ル電信為替證書ニシテ保管開始ノ日ヨリ七日ノ期間内ニ受取人ヨリ交付ノ請求ナキモノ亦同シ

第四十八條　拂渡濟否取調

為替ノ差出人ハ為替差出後為替金拂渡濟否取調ヲ請求スルコトヲ得

第四十九條　為替金ノ國庫歸屬

為替證書ノ有效期間滿了ノ日ヨリ三年ノ期間内ニ再度為替證書ノ交付又ハ為替金拂戻ノ請求ヲ為サザルトキハ為替金ハ振出國ニ歸屬ス但シ代金引換郵便物ノ取立金タル為替金ハ拂

送付ス代金引換郵便物ノ取立金ニ對スル通常為替ニ在リテハ郵便物ノ到著通知書ヲ振出請求書ト看做ス

二　電信為替ノ振出局ハ左ニ記載スル順序ニ依リ為替ノ細項ヲ和文電報ヲ以テ拂渡局ニ通知ス但シ振出局ニ於テ電信事務ヲ取扱フトキハ振出局名ノ通報ヲ省略ス

(一)　特殊ノ取扱ノ指定
(二)　為替ノ記號番號
(三)　為替金額
(四)　受取人ノ宿所氏名
(五)　差出人ノ氏名
(六)　振出局名

第三十四條　為替證書ノ送達

為替證書ハ證書送達又ハ留置ノ請求アルモノ及代金引換郵便物ノ取立金ニ對スルモノヲ除リノ外通常為替及小為替ニ在リテハ差出人ニ於テ、電信為替ニ在リテハ拂渡國ノ郵便局ニ於テ之ヲ受取人ニ送達ス

第三十五條　振出請求書ノ誤記訂正

通常為替及電信為替ノ差出人振出請求書ニ自己又ハ受取人ノ宿所氏名等ヲ誤記シタルトキハ拂渡局ニ訂正事項ヲ通知スルコトヲ振出局ニ請求スルコトヲ得

振出局ニ於テ前項ノ請求ニ應シタル場合ト雖モ拂渡局ニ於テ既ニ為替金ヲ拂渡シタルトキハ其ノ旨ヲ差出人ニ通知ス

第二章　拂渡

第三十六條　拂渡ノ手續

為替拂渡ノ手續ハ拂渡國郵政廳之ヲ定ム

第三十七條　為替證書ノ有效期間

為替證書ノ有效期間ハ證書發行ノ日ヨリ六十日トス

前項ノ期間ハ南洋群島トノ關係ニ於テハ證書發行ノ日ヨリ百二十日トス

通常為替及電信為替ニ在リテハ千島トノ關係ニ於テハ毎年十二月一日ヨリ翌年四月三十日ニ至ル期間ハ之ヲ為替證書ノ有效期間ニ算入セズ

拂渡局ニ於テ為替金ノ拂渡ヲ遲延シタル為替ハ過シタル日數ニ付亦前項ニ同シ

第三十八條　再度為替證書

為替證書ノ有效期間ヲ經過シタルトキ又ハ為替證書ヲ亡失、毀損若ハ汚瀆シタルトキハ差定シタル受取人又ハ受取人ニ於テ再度為替證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

為替證書ノ有效期間經過、毀損又ハ汚瀆ニ因ル再度為替證書ノ交付ノ請求ニ付テハ請求人シテ證書ノ有效期間經過、亡失、毀損若ハ汚瀆ニ係ルモノノ差出人ハ為替金ノ拂戻ヲ振出局ニ請求スルコトヲ得

振出局ハ有效期間内ノ證書ニ依リ通常為替及電信為替ニ對シ為替金ノ拂戻ヲ為シタルトキハ其ノ旨ヲ拂渡局ニ通報ス但シ證書亡失、毀損又ハ汚瀆ノモノニ係ルトキハ拂渡局ニ就キ拂渡ヲ為シ拂渡局ニ於テ拂渡シタル為替ノ受取人宿所ヲ他方ニ變更シタル場合亦同シ

前條ノ轉送ハ新為替ヲ以テ之ヲ為シ該為替ノ受取人宿所ヲ第三國ヨリ振出シタル為替ノ受取人宿所ヲ他方ニ變更シタル場合ニ於テ該國ト為替ノ交換アルトキハ差出人又ハ受取人ニ於テ為替ノ轉送ヲ請求スルコトヲ得兩國ノ一方ニ宛テ第三國ヨリ振出シタル為替ノ轉送ヲ請求スルコトヲ得ル場合ニ於テ該國ト為替ノ交換アルトキハ差出人又ハ受取人ニ於テ為替ノ轉送ヲ請求スルコトヲ得兩國ノ一方ニ宛テ第三國ヨリ振出シタル為替ノ轉送ヲ請求スルコトヲ得ル場合ニ於テ該國ト為替ノ交換アルトキハ差出人又ハ受取人ニ於テ為替ノ轉送ヲ請求スルコトヲ得

第四十五條　為替ノ轉送

為替ノ受取人宿所ヲ第三國ニ變更シタルトキハ差出人又ハ振出國ノ郵政廳ハ為替ノ轉送ヲ請求スルコトヲ得

第四十六條　為替ノ轉送、媒介

為替ノ轉送ハ為替ノ媒介ニ付テハ前條第一項第二節本文及第五節ノ規定ヲ準用ス

第四十七條　拂渡不能ノ為替、拂渡濟否取調、責任ノ歸屬

為替金ノ國庫歸屬、責任ノ歸屬

第四十七條　拂渡不能ノ為替

一　通常為替及電信為替ニシテ證書ノ有效期間内ニ拂渡ノ請求ナキモノニ付テハ代金引換郵便物ノ取立金ニ對スル通常為替ヲ除クノ外拂渡局ハ振出請求書人ノ宿所ニ宛テ第三國ヨリ振出シタル為替ノ受取人ニ送達スルコト能ハザルモノハ拂渡局ニ於テ之ヲ差出人ニ返付ス電信為替證書ニシテ受取人ニ送達スルコト能ハザルモノ又ハ留置ニ係ル電信為替證書ニシテ保管開始ノ日ヨリ七日ノ期間内ニ受取人ヨリ交付ノ請求ナキモノ亦同シ

第四十八條　拂渡濟否取調

為替ノ差出人ハ為替差出後為替金拂渡濟否取調ヲ請求スルコトヲ得

第四十九條　為替金ノ國庫歸屬

為替證書ノ有效期間滿了ノ日ヨリ三年ノ期間内ニ再度為替證書ノ交付又ハ為替金拂戻ノ請求ヲ為サザルトキハ為替金ハ振出國ニ歸屬ス但シ代金引換郵便物ノ取立金タル為替金ハ拂

渡國ニ歸屬ス

第五十條　責任ノ歸屬

據利ヲ有セザル者ニ為替金ヲ交付シタル為生ジタル損害ハ過失アリタル郵政廳之ヲ負擔ス

電信為替ニ關スル損害ニシテ電信業務ノ過失ニ起因スルモノハ過失ノ生ジタル國ノ郵政廳之ヲ負擔ス

前二項ノ場合ニ於テ過失アリタル郵政廳又ハ過失ノ生ジタル國ヲ決定スルコト能ハザルトキハ兩國郵政廳平等ニ其ノ損害ヲ負擔ス

第一項及前項ノ規定ハ虛僞ノ為替證書ニ對スル拂渡又ハ重複ノ拂渡ニ因リ生ジタル損害ノ負擔ニ付之ヲ準用ス

第六章　計算及清算

第五十一條　料金ノ割當

一　各國郵政廳ハ自國ニ於テ徵收シタル為替料ノ一部ヲ相手國郵政廳ノ收得分トシテ之ニ割當ツ

前節ニ規定スル割當ノ金額ハ通常為替及小為替ニ在リテハ拂渡濟為替證書ノ金額ノ千分ノ一ト同額トシ電信為替ニ在リテハ拂渡濟為替證書ノ金額ノ千分ノ三ト同額トス但シ代金引換郵便物ノ取立金ニ對スル通常為替ニ付テハ電信為替ニ於ケルト同率トス

二　各國郵政廳ハ自國ニ於テ徵收シタル第二十八條第四項ノ航空料ノ内通常葉書ノ航空逓送料ニ相當スル金額ヲ相手國郵政廳ノ收得分トシテ之ニ割當ツ

第五十二條　為替金ノ計算及清算

一　滿洲國郵政廳ハ日本國ニ於テ振出シ滿洲國ニ於テ拂渡シタル為替證書ヲ為替ノ種類別ニ其ノ振出局ニ依リ日本内地（樺太、南洋群島ヲ含ム）朝鮮、臺灣及關東州ノ各管區別ニ區分シ其ノ各ニ合計票ヲ附シ當該管理廳ニ毎日送付ス

二　日本國ニ於ケル各管理廳ハ滿洲國ニ於テ振出シ日本國ニ於テ拂渡シタル為替證書ニ為替ノ種類別ニ合計票ヲ附シ之ヲ滿洲國郵政廳ニ毎日送付ス

三　振出國郵政廳ハ前二項ノ規定ニ依リ自國ニ送付ヲ受ケタル拂渡濟為替證書ノ金額ヲ毎週一回定期ニ集計シ其ノ總額ヲ一覽拂手形ヲ以テ遲滯ナク拂渡國郵政廳ニ支拂フ

第五十三條　收得分ノ計算及清算

一　各國郵政廳ハ前年中ニ拂渡サレタル為替ニ對スル第五十一條第一項ノ收得分ヲ一覽拂手形ヲ以テ毎年二月迄ニ相手國郵政廳ニ支拂フ

第五十一條第二項ノ收得分ハ通常郵便物ノ航空逓送料ニ關スル計算書ニ之ヲ包含ス

第七章　諸種ノ規定

第五十四條　無料為替

郵便、郵便為替及郵便振替ニ關シ兩國郵政廳間ニ發受スル通常為替ハ之ヲ無料トシ且第二十七條ノ規定ニ拘ラズ其ノ為替金額ニ制限ヲ附セズ

前項ノ為替證書ニハ「無料」ノ文字ヲ朱書ス

第五十五條　式紙

通常為替證書ハ附錄様第一號雛形ニ、電信為替證書ハ附錄様第二號雛形ニ、小為替證書ハ附錄様第三號雛形ニ、再度為替證書ハ附錄様第四號雛形ニ、通常為替振出請求書ハ附錄様第五號雛形ニ依ル式紙ヲ以テ之ヲ作成ス

第五十六條　通知事項

各國郵政廳ハ相手國郵政廳ニ左ノ事項ニ付通知ヲ為ス尚第八號ニ付テハ當該物件ノ見本ヲ送付スルモノトス

一　換算割合
二　為替料以外ノ為替ニ關スル料金
三　線引ニ依ル譲渡ノ許否
四　為替電報又ハ電信為替證書ノ特使ニ依ル配達ノ取扱ノ有無
五　再度為替證書ヲ發行スル官署
六　自國ト為替ノ交換アル第三國ノ國名
七　第四十五條第二項ニ定ムル内國為替ノ轉送ノ許否

八　為替證書式紙、為替金受領證書式紙、再度為替證書式紙、再度小為替證書式紙、通常為替振出請求書式紙及為替封皮

九　為替取扱郵便局ノ名稱、取扱事務ノ種類、受持區域及所轄電信局名

附錄

為替第一號

通常為替證書

記號番號	
拂渡日附印	一金
振出局名	
受取人記名印	拂渡局名
振出日附印	

用紙寸法　横約一四・九糎　縦約一三・八糎

紙質　適宜ノ證券用紙

三年保存

為替第二號

電信為替證書

發受日附印	一金
拂渡日附印	右金額成規ノ手續ヲ履行シ可拂渡候也
記號番號	
振出局名	
受取人記名印	拂渡局所名

用紙番號

用紙寸法　横約一四・九糎　縦約一三・八糎

紙質　適宜ノ證券用紙

三年保存

最終規定

一　本業務協定ノ正文ハ日本文及漢文トシ日本文本文ト漢文本文トノ間ニ解釋ヲ異ニシタルトキハ日本文本文ニ依リ之ヲ決ス

二　本業務協定ハ日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約實施ノ日ヨリ之ヲ實施スル但シ內容證明及課金別納ニ關シテハ別ニ其ノ實施期日ヲ協定ス

昭和十年十二月二十六日卽チ康德二年十二月二十六日新京ニ於テ本書二通ヲ作成シ之ニ署名調印ス

大日本帝國遞信大臣ニ代リ
大日本帝國遞信省郵務局長　久埜　茂㊞

滿洲帝國交通部大臣　李紹庚㊞

署名議定書

本日卽ノ日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定ニ署名スルニ當リ下名ヘ哲行的措置トシテ左ノ通協定シタリ

日本國ノ南滿洲鐵道附屬地帶郵便業務ト滿洲國ノ郵便業務トノ間ノ關係ハ關東州ノ郵便業務ト滿洲國ノ郵便業務トノ間ノ關係ト同一條件ニ依リ支配セラルベシ

昭和十年十二月二十六日卽チ康德二年十二月二十六日新京ニ於テ

大日本帝國遞信大臣ニ代リ
大日本帝國遞信省郵務局長　久埜　茂㊞

滿洲帝國交通部大臣　李紹庚㊞

●日本國及「カナダ」間郵便爲替交換ニ關スル約定ノ施行規則

昭和十一年二月
遞告第二百六十四號

昭和十一年二條約第一號日本國及「カナダ」間郵便爲替交換ニ關スル約定ノ施行規則左ノ如シ

第一條　交換局

日本國及「カナダ」間郵便爲替交換ニ關スル約定ノ施行規則

下ニ署名スル者ハ昭和十年八月二十四日東京ニ於テ及千九百三十五年十二月二十日「オッタワ」ニ於テ署名セラレタル日本國及「カナダ」間郵便爲替交換ニ關スル約定第十六條ニ依リ左ノ如ク協定シタリ

第一條　交換局

日本ニ於テハ在東京貯金局チ又「カナダ」ニ於テハ「ヴァンクーヴァー」郵便局チ以テ交換局ト指定ス

第二條　最高額

爲替一口ノ振出最高額ハ「カナダ」貨幣百弗又ハ其ノ日本貨幣ニ於ケル相當額トス

第三條　振出ノ通知

一　爲替ノ振出ノ通知ハ日本ニ於テハ附錄甲雛形ニ適合スル目錄チ以テ又「カナダ」ニ於テハ附錄乙雛形ニ適合スル目錄及關係爲替ノ證擄書チ以テ之チ爲スベシ

目錄ニハ逐次番號チ又目錄ニ記載シタル爲替ニハ國際番號チ附スベク此等番號ハ每年第一號ヨリ始ムベシ

二　目錄又ハ證擄書ノ記載ハ「アラビア」數字及「ラテン」文ニテ之チ爲スベシ

差出人及受取人ノ氏名又ハ商社名若ハ會社名竝ニ受取人ノ居所ハ正確且完全ニ之チ記載スベシ

三　「カナダ」ニ於テ目錄ニ添附スベキ爲替ノ證擄書ニハ左ノ記載チ爲スコトチ要ス

爲替ノ國際番號、振出局名、振出月日、振出番號、兩國貨幣ニ於ケル爲替ノ金額、受取人ノ居所氏名及差出人ノ氏名

差出人カ日本字又ハ漢字チ了解スル場合ニ在リテハ之チ日本字又ハ漢字ニテ補助式紙ニ記載スルコトチ得該補助式紙ハ第二項ニ依リ作成スル式紙ニ添ヘチ送付スベシ

四　差出人カ爲替差出ノ際約定第八條ノ規定ニ依リ拂渡濟通知チ請求シタル爲替ニ付テハ目錄ノ相當欄ニ「A・P」ナル記號チ附スベシ

五　目錄ハ通知スベキ爲替アル場合ニ限リ之チ送付ス

六　目錄又ハ證擄書カ名宛交換局ニ到著セザル場合ニ於テハ差立交換局ハ場合ニ依リ關係目錄又ハ證擄書ノ確證複本チ遲滯ナク名宛交換局ニ送付スベシ

第四條　拂渡ノ停延

目錄又ハ證擄書ニ名宛交換局ニ於テ訂正シ難キ誤謬アリテ差立交換局ニ照會チ爲シタルトキハ之ニ對スル回答ノ到著スル迄關係爲替ノ拂渡チ停延スルコトチ得

第五條　拂渡濟通知書

拂渡濟通知ノ請求アリタルトキハ振出國ニ於テ附錄丙號雛形ニ適合シ又ハ類似スル式紙ニ關係爲替ノ細目チ記入シタル上之チ拂渡國ニ送付ス爲替差出ノ際爲サレタル請求ニ付テハ式紙ハ該爲替チ記載シタル目錄ニ之チ添附スベシ

拂渡ニ關スル細目チ記入シタル拂渡濟通知書ハ拂渡國ヨリ直接差出人ニ送付スベシ

第六條　誤謬ノ訂正

差出人ノ氏名又ハ受取人ノ居所氏名ノ訂正ハ各郵政廳ヨリ他方ノ郵政廳ニ對シ之チ請求スルコトチ要ス

第七條　爲替ノ返還

名宛郵政廳ハ約定第九條及第十條ノ規定ニ依リ差出人ニ拂戻スベキ爲替チ附錄丁號雛形ニ適合スル明細書チ以テ每便振出郵政廳ニ返還スベシ此等爲替ノ金額ハ名宛國ノ貨幣ニテ之チ表示スベシ

第八條　取調請求

爲替ノ取調ニ關スル照復ハ兩郵政廳チ經テ之チ爲ス

第九條　計算

各郵政廳ハ月ノ終了後成ルベク速ニ附錄戊號雛形ニ適合スル式紙ニ依リ爲替ノ月次ノ計算書二通チ作成シ其ノ借高ニ對スル名宛國向一覽拂爲替手形又ハ小切手チ添ヘ之チ名宛郵政廳ニ送付スベシ

名宛郵政廳ニ於テ前項ニ規定スル計算書其ノ他ノ書類チ受領シタルトキハ計算書ノ一通ニ計算チ承認スル旨及貸高ノ支拂チ受ケタル旨チ記載シタル上之チ返送スベシ

計算書ノ總テノ誤謬又ハ脫漏ハ之チ最近ノ計算書ニ於テ更正ス

第十條　通信及通告

各郵政廳ハ約定實施ノ少クトモ一月前ニ他ノ郵政廳ニ左ノ諸件チ通信シ又ハ通告スルコトチ要ス

(イ)　爲替ノ受拂取扱局名表又ハ總テノ所屬局カ本業務チ取扱フ旨ノ通知書

(ロ)　自廳ニ於テ爲替ニ關シ徵收スル諸料金

(ハ)　拂渡及拂戻ノ請求ナキ爲替ノ金額チ國庫ニ歸屬セシムベキ自國法制上ノ期間

郵政廳ハ其ノ決定スル換算割合及該割合ノ爾後ノ變更チ相互ニ通信スルコトチ要ス

第十一條　規則ノ實施

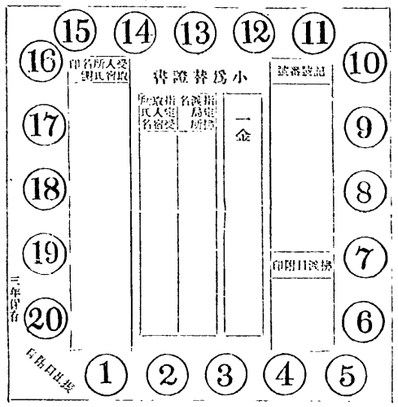
本規則ハ郵便爲替交換ニ關スル約定實施ノ日ヨリ之チ施行スベシ

本規則ハ兩締約國郵政廳間ノ協議チ以テ之チ改締スルニ非ザレバ右約定ト同一ノ存續期間チ有スベシ

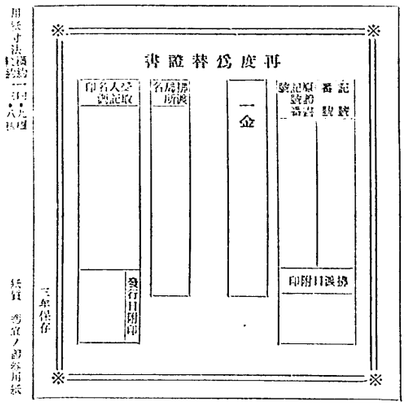
本書二通チ作成シ昭和十年八月二十四日東京ニ於テ及千九百三十五年十二月二十日「オッタワ」ニ於テ之ニ署名ス

日本國遞信大臣　床次竹二郎
ジェー、シー、エリオット
「カナダ」郵政大臣

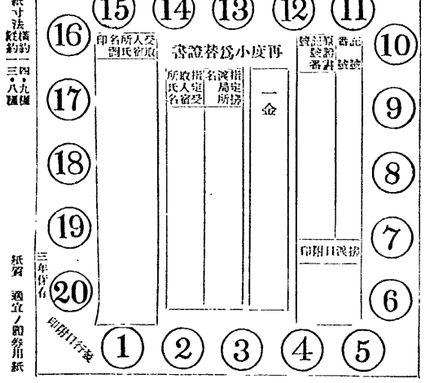
替第三號



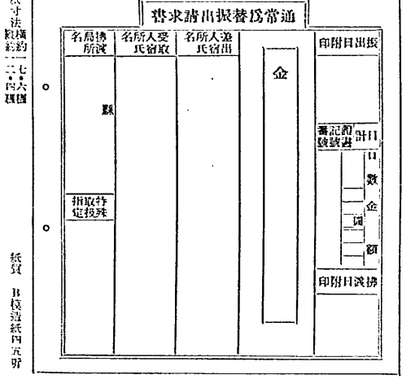
替第四號



替第五號



替第六號



丙　號　雛　形　（表　面）

……郵政廳

郵便爲替金 ……

振出局名 ……

……年……月……日番號 ……

差出人氏名 ……

受取人氏名 ……

受取人居所 ……

拂渡濟通知書

通知書發送局印

宛名 ……

……

……

名宛地 ……

……

……

通信事務

（裏　面）

表面記載ノ爲替ハ……年……月……日正ニ拂渡ヲ了シタリ

拂渡局印

署名 1)

受取人　　拂渡局當務者

1) 此ノ通知書ハ受取人又ハ名宛國ノ規則ニ定ムル所ニ依リ拂渡局當務者ニ於テ之ニ署名シ最近便ヲ以テ差出人ニ直接返送スルコトヲ要ス

甲　號　雛　形

日本遞信省　局印

目錄第……號

第……葉　向爲替目錄

國際番號	振出月日	振出番號	振出局名	差出人ノ氏名	受取人ノ氏名	受取人ノ居所	拂込金額 圓	拂込金額 錢	爲替金額 圓	爲替金額 錢	拂渡通知濟	內國爲替ノ番	拂渡局名	備考
						合計								

……年……月……日……ニ於テ作成ス

（署　名）

乙　號　雛　形

局印　「カナダ」

向爲替目錄

目錄第……號

第……葉

國際番號	金額 英	金額 仙	名國貨ニ於ケル金額 弗	名國貨ニ於ケル金額 錢	拂渡通知濟	內國爲替ノ番	拂渡局名	備考
合計								

……年……月……日……ニ於テ作成ス

（署　名）

戊號樣形

局印

……年……月中日本ト「カナダ」トノ間ニ交換シタル

郵便爲替ノ總計算書

日錄番號	日錄日附	……貨幣ニ於ケル日錄ノ金額

日錄ノ合計

拂戻爲替ノ金額 ……

失效〃 ……

差引ノベキ額 …… ……

殘額

上記金額ノ千分ノ四ノ手數料 ……

……ノ貸高

……ノ支拂ヒタル額 { 日附 金額 / 合計 ……

……ノ貸タル差額

本計算書決済ノ爲替手形小切手第……號同封ス

……年……月……日……ニ於テ

……

（署名）

上記計算書ヲ承認シ併セテ上記爲替手形小切手第……號ヲ正ニ受領ス

……年……月……日……ニ於テ

……

（署名）

丁號樣形

局印

……郵政廳

明細書第……號

第……葉

返還爲替ノ明細書

日錄ノ番號	日錄ノ日附	爲替ノ國際番號	名宛國貨幣ニ於ケル爲替金額		返還事由	備考

第三款　郵便爲替

❶郵便爲替法

趣旨

沿革

種類

爲替ノ引受

爲替ノ支拂

爲替ノ取組

爲替ノ取消

爲替ノ組戻

爲替ノ振出

爲替ノ裏書

爲替ノ引渡

爲替ノ呈示

爲替ノ拒絶

爲替ノ時效

爲替ノ利息

爲替ノ手數料

爲替ノ通知

爲替ノ謝絶

爲替ノ證書

爲替ノ抹消

爲替ノ訴訟

爲替ノ消滅

❷郵便爲替規則

趣旨

沿革

爲替ノ種類

爲替ノ引受

爲替ノ支拂

爲替ノ取組

爲替ノ取消

爲替ノ組戻

爲替ノ振出

爲替ノ裏書

爲替ノ呈示

爲替ノ拒絶

爲替ノ時效

爲替ノ利息

爲替ノ手數料

爲替ノ通知

爲替ノ謝絶

爲替ノ證書

爲替ノ抹消

爲替ノ訴訟

爲替ノ消滅

第　条　郵便為替ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第　条　郵便為替ハ郵便局ニ於テ為替金ヲ受取ルヘキ者ヲ指定シテ之ニ為替金ヲ支払フヘキ郵便局ニ対シ為替金ヲ送付スル方法ニ依リ為替金ヲ送付スルモノトス

第　条　為替金ヲ送付スル郵便局ハ為替金ヲ受取ルヘキ者ヲ指定シテ

●郵便爲替規則

第一條　郵便爲替ハ左ノ國ニ限リ之ヲ取扱フ

英領印度　英領「ボルネオ」　英領「ホンコン」　英領「ストレーツ」　英領「セイロン」　英領「ニュージーランド」　英領「ケープ」　英領「ナタール」　英領「モーリシヤス」　英領「ウエストインデス」　英領「ブリチシコロンビア」　英領「ビクトリア」　英領「ニューサウスウエールス」　英領「クイーンスランド」　英領「サウスオーストラリア」　英領「タスマニア」　英領「ウエストオーストラリア」　英領「ニュージーランド」　英領「ケープ」　英領「ナタール」　英領「モーリシヤス」　英領「ウエストインデス」　英領「ブリチシコロンビア」　英領「ビクトリア」　英領「ニューサウスウエールス」　英領「クイーンスランド」　英領「サウスオーストラリア」　英領「タスマニア」　英領「ウエストオーストラリア」

第二條　郵便爲替ハ左ノ金額ヲ超ユルコトヲ得ス

英領印度ニ對スル郵便爲替ハ百「ルピー」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「ボルネオ」ニ對スル郵便爲替ハ百「ドル」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「ホンコン」ニ對スル郵便爲替ハ百「ドル」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「ストレーツ」ニ對スル郵便爲替ハ百「ドル」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「セイロン」ニ對スル郵便爲替ハ百「ルピー」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「ニュージーランド」ニ對スル郵便爲替ハ二十「ポンド」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「ケープ」ニ對スル郵便爲替ハ二十「ポンド」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「ナタール」ニ對スル郵便爲替ハ二十「ポンド」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「モーリシヤス」ニ對スル郵便爲替ハ二十「ポンド」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「ウエストインデス」ニ對スル郵便爲替ハ二十「ポンド」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「ブリチシコロンビア」ニ對スル郵便爲替ハ二十「ポンド」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「ビクトリア」ニ對スル郵便爲替ハ二十「ポンド」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「ニューサウスウエールス」ニ對スル郵便爲替ハ二十「ポンド」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「クイーンスランド」ニ對スル郵便爲替ハ二十「ポンド」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「サウスオーストラリア」ニ對スル郵便爲替ハ二十「ポンド」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「タスマニア」ニ對スル郵便爲替ハ二十「ポンド」ヲ超ユルコトヲ得ス

英領「ウエストオーストラリア」ニ對スル郵便爲替ハ二十「ポンド

第三百二十七條　郵便物ノ送達ニ關シテハ本節ノ規定ノ外萬國郵便聯合ニ關スル條約ノ定ムル所ニ從フ

第三百二十八條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ノ外何人ト雖モ之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百二十九條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキハ之ヲ賠償スル責ニ任ス

第三百三十條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百三十一條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百三十二條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百三十三條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百三十四條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百三十五條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百三十六條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百三十七條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百三十八條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百三十九條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百四十條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百四十一條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百四十二條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百四十三條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百四十四條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百四十五條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百四十六條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百四十七條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百四十八條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百四十九條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百五十條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百五十一條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百五十二條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百五十三條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百五十四條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百五十五條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百五十六條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百五十七條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百五十八條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百五十九條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百六十條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百六十一條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百六十二條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百六十三條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百六十四條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百六十五條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百六十六條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百六十七條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百六十八條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百六十九條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百七十條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百七十一條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百七十二條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百七十三條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百七十四條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百七十五條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百七十六條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百七十七條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百七十八條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百七十九條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百八十條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百八十一條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百八十二條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百八十三條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百八十四條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百八十五條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百八十六條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百八十七條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百八十八條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百八十九條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百九十條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百九十一條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百九十二條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百九十三條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百九十四條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百九十五條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百九十六條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百九十七條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百九十八條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百九十九條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

第四百條　郵便物ノ送達ニ關シテハ郵便官吏ハ其職務ヲ行フニ當リ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキト雖モ國ハ之ヲ賠償スル責ニ任セス

ハ單ニ拂戻ヲ爲シ得ヘキ旨ヲ通知ス

第六十七條　第五十一條ノ二ノ規定ヲ除クノ外第六章ノ規定ハ外國郵便爲替ノ爲替金ノ拂戻ニ之ヲ準用ス

第十一章　拂渡郵便官署又ハ拂戻郵便官署ノ變更

第六十八條　外國郵便爲替ノ受取人又ハ差出人ハ拂渡郵便官署又ハ拂戻郵便官署ノ變更ヲ請求スルコトヲ得

第六十九條　郵便爲替規則第三十五條、同第三十六條及同第三十八條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十二章　外國ニ於テ振出シタル郵便爲替ノ取扱請求

第七十條　第六十條ノ二、聯合ノ約定又ハ中華民國トノ約定ニ依リ外國ニ於テ本邦又ハ外國ニ宛テ振出シタル郵便爲替ノ差出人又ハ受取人ニ前項ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ郵便官署ニ於テ署否取調請求書用紙ノ交付ヲ受ケ相當事項ヲ記入シ署否取調請求ノ料金及當該爲替ニ對シ振出國ニ於テ差出人ニ交付シタル受領證ト共ニ之ヲ郵便官署ニ差出スヘシ

本條ノ署否取調請求ハ署否取調請求書ヲ當該爲替振出ノ日ノ翌日ヨリ起算シ一年ノ期間内ニ振出國郵政廳ニ送達シ得ル場合ニ限リ之ヲ受理ス

郵便官署第二項ノ請求書ヲ受理シタルトキハ之ニ對シ受領證書ヲ交付ス

第七十一條　本條ノ署否取調請求書ヲ當該爲替振出ノ日ノ翌日ヨリ起算シ一年ノ期間内ニ振出國郵政廳ニ送達シ得ル場合ニ限リ之ヲ受理ス

郵便官署第二項ノ請求書ヲ受理シタルトキハ之ニ對シ受領證書ヲ交付ス

第二十七條第三項及第二十九條ノ規定ハ本條ノ署否取調請求ニ之ヲ準用ス

第七十二條　日滿郵便爲替ハ日滿通常爲替、日滿電信爲替及日滿小爲替ノ三種トス

第二條　日滿郵便爲替ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外內國郵便爲替ニ關スル規定ヲ準用ス

第三條　滿洲國ノ日滿郵便爲替取扱局及其ノ取扱事務ノ種類ハ之ヲ告示ス

第四條　日滿電信爲替ノ料金ハ關東州又ハ南滿洲鐵道附屬地ニ在ル郵便局所ト取組ム內國電信爲替ノ料金ニ依ル

第五條　日滿郵便爲替ニ付テハ滿洲國ニ於テ銀行ニ對シ讓渡ス目的ヲ以テ線引ヲ爲スコトヲ得ズ

第六條　日滿郵便爲替ニ付テハ郵便爲替規則第一條ニ規定スル料金ノ外左ニ記載シタル料金ハ之ヲ證付ス

一　航空郵便ニ依ル外國郵便爲替ノ取扱手數料

二　外國郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便官署及其ノ取扱事務ノ範圍

昭和十一年一月
遞令第三號

第一章　日滿郵便爲替規則

日滿郵便爲替規則左ノ通定ム

第一條　日滿郵便爲替規則ニ關スル條約ニ依リ本邦ト滿洲國間ニ關東局管內ヲ含ト滿洲國トノ間ニ交換スル郵便爲替ハ之ヲ日滿郵便爲替ト稱ス

日滿郵便爲替ハ日滿通常爲替、日滿電信爲替及日滿小爲替ノ三種トス

第二條　日滿郵便爲替ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外內國郵便爲替ニ關スル規定ヲ準用ス

第三條　滿洲國ノ日滿郵便爲替取扱局及其ノ取扱事務ノ種類ハ之ヲ告示ス

第四條　日滿電信爲替ノ料金ハ關東州又ハ南滿洲鐵道附屬地ニ在ル郵便局所ト取組ム內國電信爲替ノ料金ニ依ル

第五條　日滿郵便爲替ニ付テハ滿洲國ニ於テ銀行ニ對シ讓渡ス目的ヲ以テ線引ヲ爲スコトヲ得ズ

第六條　日滿郵便爲替ニ付テハ郵便爲替規則第一條ニ規定スル料金ノ外左ニ記載シタル料金ヲ加算ス

一　航空郵便ニ依ル外國郵便爲替ノ取扱手數料

京城郵便局　仁川郵便局　外國通常爲替及外國電信爲替ノ受拂事務

群山郵便局　木浦郵便局　釜山郵便局　平壤郵便局　新義州郵便局　元山郵便局　清津郵便局　大邱郵便局　鎭南浦郵便局

二　外國通常爲替及外國電信爲替ノ受拂事務ヲ取扱フ郵便所

前號以外ノ郵便局及郵便集配事務ヲ取扱フ郵便所

三　支那トノ約定ニ依ル外國通常爲替ノ受拂事務

郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所

第二章　外國郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便官署及其ノ取扱事務ノ範圍

昭和五年七月
總告第二百九十三號

外國郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便官署及其ノ取扱事務ノ範圍左ノ通定メ昭和五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年　朝鮮總督府　告示第二百六十四號
（外國郵便爲替ヲ取扱フ郵便局所ニ關スル件）
及同第二百六十五號（郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所ニ於ケル外國郵便爲替ノ取扱事務ノ範圍ニ關スル件）ハ之ヲ廢止ス

第三章　外國郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便官署及其ノ取扱事務ノ範圍

昭和五年七月
總告第二百九十四號

外國郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便官署及其ノ取扱事務ノ範圍左ノ通定メ昭和五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年　朝鮮總督府　告示第二百六十五號
（外國郵便爲替ヲ取扱フ郵便局所ニ關スル件）
及同第二百六十六號（郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所ニ於ケル外國郵便爲替ノ取扱事務ノ範圍ニ關スル件）ハ之ヲ廢止ス

第四章　郵便貯金

●郵便貯金法

明治三十八年二月
法律第二十三號
改正　大正九年八月三日第一六二號
同　十一年四月五日第四五號

第一條　郵便貯金ハ政府之ヲ管掌ス

第二條　郵便貯金ノ預入ハ郵便貯金通帳ニ依リ之ヲ爲ス但シ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　一人ノ郵便貯金制限額ハ左ノ如シ

一　一度ノ預入額　十錢以上　二千圓以下

二　貯金總額　一千圓以下

一度ノ預入額ノ端數ハ錢位ヲ限トス

第四條　左ニ揭ケル預入金ニ付テハ前條第一項第二號ノ制限ヲ適用セス

一　公共團體、社寺、學校又ハ督利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ預入金

二　産業組合又ハ産業組合中央金庫ノ預入金

四　振替計算ノ爲ニスル預入金

第五條　郵便貯金通帳ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外一人一册ヲ限トス

前項ノ規定ニ違反シ二册以上ノ通帳ヲ以テ貯金ノ預入ヲ爲シタル者アルトキハ最初ノ通帳、通帳ノ日附同一ナルトキハ貯金ノ最多額ナルモノニ記入シタル貯金ノ外利子ヲ付セス

前項ニ依リ利子ヲ付スヘカラサル貯金ニ付既ニ拂戻シタル利子アルトキハ現ニ存在スル貯金ヨリ之ヲ控除シ又ハ別ニ之ヲ追徵ス

第六條　郵便貯金額第三條第一項第二號ノ制限ヲ超過シタル場合ニ於テ郵便貯金預ケ人之ヲ其ノ制限以內ニ減額セサルトキハ郵便官署ハ其ノ制限以內ニ減額スルニ必要ナル限度ニ於テ貯金ノ一部ヲ以テ國債證券ヲ購入シ之ヲ保管スヘシ

第七條　郵便切手及支拂期ノ開始セル證券ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便貯金ニ預入スルコトヲ得

第八條　郵便貯金ノ利子ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條　郵便官署ハ郵便貯金預ケ人ノ請求ニ因リ其ノ貯金ノ一部ヲ以テ國債證券其ノ他ノ證券ヲ購入保管シ又ハ之ヲ資却スルコトヲ得此ノ證券ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　郵便貯金拂出ニ關スル證書ノ有效期間ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條　郵便貯金ニ關シ無能力者ノ郵便官署ニ對シテ爲シタル行爲ハ能力者ノ爲シタルモノト看做ス

第十二條　郵便貯金及保管ニ係ル證券ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第十三條　成規ノ手續ヲ經テ郵便貯金ヲ拂出シ又ハ保管ニ係ル證券ヲ交付シタルトキハ正當ノ拂出又ハ交付ヲ爲シタルモノト看做ス

第十四條　郵便官署ハ郵便貯金ニ關スル取扱ニ遲延ニ因リ生シタル損害ニ付賠償ノ責ニ任セス

第十五條　郵便官署ハ郵便貯金預ケ人ノ眞僞ヲ調査スル爲預ケ人ヲシテ必要ナル證明ヲ爲サシムルコトヲ得

第十六條　郵便官署ハ必要ナル場合ニ於テ郵便貯金通帳ヲ檢閱スルコトヲ得

第十七條　郵便貯金ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

第十八條　十年間郵便貯金ノ預入及拂出ナク且利子記入又ハ檢閱ヲ爲ニスル通帳ノ提出ナキ場合ニ於テハ郵便官署ハ其ノ預ケ入ニ對シ郵便貯金通帳ノ提出又ハ預入金處分ヲ爲スヘキ旨ヲ催告シ其ノ催告ノ日ヨリ六十日內ニ通帳ヲ提出セス又ハ預入金ノ處分ヲ申出サルトキハ其ノ郵便貯金及保管ニ係ル證券ハ國庫ノ所有ニ歸ス

郵便貯金通帳ヲ提出シタル者ニ對シテハ其ノ通帳ニ拂戻ノ記載ヲ爲シ且之ヲ呈示スヘシ

第六十四條　第六十條ノ二ノ規定ハ爲替證書又ハ拂戻請求ニ之ヲ準用ス

第六十五條　爲替證書又ハ拂戻請求ニ於ケル爲替金ノ拂戻ノ場合ニ於ケル爲替金ノ拂戻請求ニ之ヲ準用ス殿損又ハ汚斑ノ爲替證書又ハ拂戻認可書ハ之ヲ拂戻請求書ニ添附スヘシ

前項拂戻ノ請求ニ對シテハ爲替一日每ニ十錢ノ料金ヲ徵收ス

第六十六條　前二條ノ爲替金ノ拂戻ノ請求アリタルトキハ其ノ爲替金未タ拂渡サレス且拂戻サレサルヘキコトヲ確認シタル上振出郵便官署ヨリ書留郵便ニ依リ拂戻認可書ヲ差出人ニ送達スル外香港又ハ「フイリツピン」群島トノ條約ニ依ル外國郵便爲替ノ差出人當該爲替證書ヲ所持スルモノナルトキ

第六十七條　外國郵便爲替ノ受取人其ノ宿所ヲ本邦ト外國通常爲替又ハ外國電信爲替ノ交換ヲ保持スル第三國ニ移轉シタルトキハ差出人又ハ受取人ニ於テ該爲替ヲ該國宛通常爲替又ハ電信爲替ニ組替ヘ轉送スルコトヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲サントスル者ハ必要ノ事項ヲ記載シタル轉送請求書ヲ郵便局所ニ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ爲替證書アルトキハ之ヲ轉送請求書ニ添附スヘシ

轉送ノ爲替ノ拂渡、拂戻及轉送ナカリシコトヲ確認シタル後之ヲ爲ス

日滿小爲替證書亡失ノ場合ニ於テハ其ノ發行ノ日ヨリ百二十日ヲ經過シタル後ニ非ザレバ轉送ヲ爲サズ但シ保證人ヲ立テ請求スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

外國郵便爲替規則第四十七條及第四十八條ノ規定ハ本條ノ請求ニ之ヲ準用ス

第六十八條　日滿郵便爲替ノ受取人其ノ宿所ヲ本邦ト外國通常爲替又ハ外國電信爲替ノ交換ヲ保持スル第三國ニ移轉シタルトキハ差出人又ハ受取人ニ於テ該爲替ヲ該國宛通常爲替又ハ電信爲替ニ組替ヘ轉送スルコトヲ請求スルコトヲ得

第六十九條　前條ノ請求ヲ爲サントスル者ハ必要ノ事項ヲ記載シタル轉送請求書ヲ郵便局所ニ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ爲替證書アルトキハ之ヲ轉送請求書ニ添附スヘシ

轉送ノ爲替ノ拂渡、拂戻及轉送ナカリシコトヲ確認シタル後之ヲ爲ス

日滿小爲替證書亡失ノ場合ニ於テハ其ノ發行ノ日ヨリ百二十日ヲ經過シタル後ニ非ザレバ轉送ヲ爲サズ但シ保證人ヲ立テ請求スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

外國郵便爲替規則第四十七條及第四十八條ノ規定ハ本條ノ請求ニ之ヲ準用ス

第七十條　第六十八條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十一條　本令ハ大正十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二年四月遞令第六號ハ昭和二年四月十一日ヨリ之ヲ施行ス）

附　則（昭和五年六月遞令第二十六號）

本令ハ昭和五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和六年七月遞令第三十號ハ同年八月一日ヨリ施行）

（昭和七年七月遞令第二十五號ハ昭和七年八月一日ヨリ施行）

（昭和八年十二月遞令第五十五號ハ昭和九年一月一日ヨリ施行）

（昭和九年十二月遞令第七十六號ハ昭和十年一月一日ヨリ施行）

（昭和十年七月遞令第二十一號ハ昭和十年八月一日ヨリ施行）

（昭和十一年二月遞令第七號ハ昭和十一年三月一日ヨリ施行）

●外國郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便官署及其ノ取扱事務ノ範圍

昭和五年七月
總告第二百九十三號

外國郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便官署及其ノ取扱事務ノ範圍左ノ通定メ昭和五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年　朝鮮總督府　告示第二百六十四號
（外國郵便爲替ヲ取扱フ郵便局所ニ關スル件）
及同第二百六十五號（郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所ニ於ケル外國郵便爲替ノ取扱事務ノ範圍ニ關スル件）ハ之ヲ廢止ス

第四款　郵便貯金

●郵便貯金法

明治三十八年二月
法律第二十三號
改正　大正九年八月三日第一六二號
同　十一年四月五日第四五號

第一條　郵便貯金ハ政府之ヲ管掌ス

第二條　郵便貯金ノ預入ハ郵便貯金通帳ニ依リ之ヲ爲ス但シ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　一人ノ郵便貯金制限額ハ左ノ如シ

一　一度ノ預入額　十錢以上　二千圓以下

二　貯金總額　一千圓以下

一度ノ預入額ノ端數ハ錢位ヲ限トス

第四條　左ニ揭ケル預入金ニ付テハ前條第一項第二號ノ制限ヲ適用セス

一　公共團體、社寺、學校又ハ督利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ預入金

二　産業組合又ハ産業組合中央金庫ノ預入金

四　振替計算ノ爲ニスル預入金

第五條　郵便貯金通帳ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外一人一册ヲ限トス

前項ノ規定ニ違反シ二册以上ノ通帳ヲ以テ貯金ノ預入ヲ爲シタル者アルトキハ最初ノ通帳、通帳ノ日附同一ナルトキハ貯金ノ最多額ナルモノニ記入シタル貯金ノ外利子ヲ付セス

前項ニ依リ利子ヲ付スヘカラサル貯金ニ付既ニ拂戻シタル利子アルトキハ現ニ存在スル貯金ヨリ之ヲ控除シ又ハ別ニ之ヲ追徵ス

第六條　郵便貯金額第三條第一項第二號ノ制限ヲ超過シタル場合ニ於テ郵便貯金預ケ人之ヲ其ノ制限以內ニ減額セサルトキハ郵便官署ハ其ノ制限以內ニ減額スルニ必要ナル限度ニ於テ貯金ノ一部ヲ以テ國債證券ヲ購入シ之ヲ保管スヘシ

第七條　郵便切手及支拂期ノ開始セル證券ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便貯金ニ預入スルコトヲ得

第八條　郵便貯金ノ利子ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條　郵便官署ハ郵便貯金預ケ人ノ請求ニ因リ其ノ貯金ノ一部ヲ以テ國債證券其ノ他ノ證券ヲ購入保管シ又ハ之ヲ資却スルコトヲ得此ノ證券ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　郵便貯金拂出ニ關スル證書ノ有效期間ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條　郵便貯金ニ關シ無能力者ノ郵便官署ニ對シテ爲シタル行爲ハ能力者ノ爲シタルモノト看做ス

第十二條　郵便貯金及保管ニ係ル證券ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第十三條　成規ノ手續ヲ經テ郵便貯金ヲ拂出シ又ハ保管ニ係ル證券ヲ交付シタルトキハ正當ノ拂出又ハ交付ヲ爲シタルモノト看做ス

第十四條　郵便官署ハ郵便貯金ニ關スル取扱ニ遲延ニ因リ生シタル損害ニ付賠償ノ責ニ任セス

第十五條　郵便官署ハ郵便貯金預ケ人ノ眞僞ヲ調査スル爲預ケ人ヲシテ必要ナル證明ヲ爲サシムルコトヲ得

第十六條　郵便官署ハ必要ナル場合ニ於テ郵便貯金通帳ヲ檢閱スルコトヲ得

第十七條　郵便貯金ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

第十八條　十年間郵便貯金ノ預入及拂出ナク且利子記入又ハ檢閱ヲ爲ニスル通帳ノ提出ナキ場合ニ於テハ郵便官署ハ其ノ預ケ入ニ對シ郵便貯金通帳ノ提出又ハ預入金處分ヲ爲スヘキ旨ヲ催告シ其ノ催告ノ日ヨリ六十日內ニ通帳ヲ提出セス又ハ預入金ノ處分ヲ申出サルトキハ其ノ郵便貯金及保管ニ係ル證券ハ國庫ノ所有ニ歸ス

郵便貯金ニ關シ無能力者ノ郵便官署ニ對シテ爲シタル行爲ハ能力者ノ爲シタルモノト看做ス

第十九條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治三十八年五月勅令第百六十四號ヲ以テ明治三十八年七月一日ヨリ施行）

郵便貯金ニ關シ無能力者ノ郵便官署ニ對シテ爲シタル行爲ハ能力者ノ爲シタルモノト看做ス

第二十條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條　郵便貯金ノ預入ハ郵便貯金通帳ニ依リ之ヲ爲ス但シ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　一人ノ郵便貯金制限額ハ左ノ如シ

一　一度ノ預入額　十錢以上　二千圓以下

二　貯金總額　一千圓以下

一度ノ預入額ノ端數ハ錢位ヲ限トス

第四條　左ニ揭ケル預入金ニ付テハ前條第一項第二號ノ制限ヲ適用セス

一　公共團體、社寺、學校又ハ督利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ預入金

二　産業組合又ハ産業組合中央金庫ノ預入金

四　振替計算ノ爲ニスル預入金

第五條　郵便貯金通帳ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外一人一册ヲ限トス

前項ノ規定ニ違反シ二册以上ノ通帳ヲ以テ貯金ノ預入ヲ爲シタル者アルトキハ最初ノ通帳、通帳ノ日附同一ナルトキハ貯金ノ最多額ナルモノニ記入シタル貯金ノ外利子ヲ付セス

前項ニ依リ利子ヲ付スヘカラサル貯金ニ付既ニ拂戻シタル利子アルトキハ現ニ存在スル貯金ヨリ之ヲ控除シ又ハ別ニ之ヲ追徵ス

第六條　郵便貯金額第三條第一項第二號ノ制限ヲ超過シタル場合ニ於テ郵便貯金預ケ人之ヲ其ノ制限以內ニ減額セサルトキハ郵便官署ハ其ノ制限以內ニ減額スルニ必要ナル限度ニ於テ貯金ノ一部ヲ以テ國債證券ヲ購入シ之ヲ保管スヘシ

第七條　郵便切手及支拂期ノ開始セル證券ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便貯金ニ預入スルコトヲ得

第八條　郵便貯金ノ利子ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條　郵便官署ハ郵便貯金預ケ人ノ請求ニ因リ其ノ貯金ノ一部ヲ以テ國債證券其ノ他ノ證券ヲ購入保管シ又ハ之ヲ資却スルコトヲ得此ノ證券ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　郵便貯金拂出ニ關スル證書ノ有效期間ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條　郵便貯金ニ關シ無能力者ノ郵便官署ニ對シテ爲シタル行爲ハ能力者ノ爲シタルモノト看做ス

第十二條　郵便貯金及保管ニ係ル證券ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第十三條　成規ノ手續ヲ經テ郵便貯金ヲ拂出シ又ハ保管ニ係ル證券ヲ交付シタルトキハ正當ノ拂出又ハ交付ヲ爲シタルモノト看做ス

第十四條　郵便官署ハ郵便貯金ニ關スル取扱ニ遲延ニ因リ生シタル損害ニ付賠償ノ責ニ任セス

第十五條　郵便官署ハ郵便貯金預ケ人ノ眞僞ヲ調査スル爲預ケ人ヲシテ必要ナル證明ヲ爲サシムルコトヲ得

第十六條　郵便官署ハ必要ナル場合ニ於テ郵便貯金通帳ヲ檢閱スルコトヲ得

第十七條　郵便貯金ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

第十八條　十年間郵便貯金ノ預入及拂出ナク且利子記入又ハ檢閱ヲ爲ニスル通帳ノ提出ナキ場合ニ於テハ郵便官署ハ其ノ預ケ入ニ對シ郵便貯金通帳ノ提出又ハ預入金處分ヲ爲スヘキ旨ヲ催告シ其ノ催告ノ日ヨリ六十日內ニ通帳ヲ提出セス又ハ預入金ノ處分ヲ申出サルトキハ其ノ郵便貯金及保管ニ係ル證券ハ國庫ノ所有ニ歸ス

郵便貯金通帳ヲ提出シタル者ニ對シテハ其ノ通帳ニ拂戻ノ記載ヲ爲シ且之ヲ呈示スヘシ

第六十四條　第六十條ノ二ノ規定ハ爲替證書又ハ拂戻請求ニ之ヲ準用ス

第六十五條　爲替證書又ハ拂戻請求ニ於ケル爲替金ノ拂戻ノ場合ニ於ケル爲替金ノ拂戻請求ニ之ヲ準用ス殿損又ハ汚斑ノ爲替證書又ハ拂戻認可書ハ之ヲ拂戻請求書ニ添附スヘシ

前項拂戻ノ請求ニ對シテハ爲替一日每ニ十錢ノ料金ヲ徵收ス

第六十六條　前二條ノ爲替金ノ拂戻ノ請求アリタルトキハ其ノ爲替金未タ拂渡サレス且拂戻サレサルヘキコトヲ確認シタル上振出郵便官署ヨリ書留郵便ニ依リ拂戻認可書ヲ差出人ニ送達スル外香港又ハ「フイリツピン」群島トノ條約ニ依ル外國郵便爲替ノ差出人當該爲替證書ヲ所持スルモノナルトキ

第六十七條　外國郵便爲替ノ受取人其ノ宿所ヲ本邦ト外國通常爲替又ハ外國電信爲替ノ交換ヲ保持スル第三國ニ移轉シタルトキハ差出人又ハ受取人ニ於テ該爲替ヲ該國宛通常爲替又ハ電信爲替ニ組替ヘ轉送スルコトヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲サントスル者ハ必要ノ事項ヲ記載シタル轉送請求書ヲ郵便局所ニ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ爲替證書アルトキハ之ヲ轉送請求書ニ添附スヘシ

轉送ノ爲替ノ拂渡、拂戻及轉送ナカリシコトヲ確認シタル後之ヲ爲ス

日滿小爲替證書亡失ノ場合ニ於テハ其ノ發行ノ日ヨリ百二十日ヲ經過シタル後ニ非ザレバ轉送ヲ爲サズ但シ保證人ヲ立テ請求スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

外國郵便爲替規則第四十七條及第四十八條ノ規定ハ本條ノ請求ニ之ヲ準用ス

第六十八條　日滿郵便爲替ノ受取人其ノ宿所ヲ本邦ト外國通常爲替又ハ外國電信爲替ノ交換ヲ保持スル第三國ニ移轉シタルトキハ差出人又ハ受取人ニ於テ該爲替ヲ該國宛通常爲替又ハ電信爲替ニ組替ヘ轉送スルコトヲ請求スルコトヲ得

第六十九條　前條ノ請求ヲ爲サントスル者ハ必要ノ事項ヲ記載シタル轉送請求書ヲ郵便局所ニ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ爲替證書アルトキハ之ヲ轉送請求書ニ添附スヘシ

轉送ノ爲替ノ拂渡、拂戻及轉送ナカリシコトヲ確認シタル後之ヲ爲ス

日滿小爲替證書亡失ノ場合ニ於テハ其ノ發行ノ日ヨリ百二十日ヲ經過シタル後ニ非ザレバ轉送ヲ爲サズ但シ保證人ヲ立テ請求スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

外國郵便爲替規則第四十七條及第四十八條ノ規定ハ本條ノ請求ニ之ヲ準用ス

第七十條　第六十八條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十一條　本令ハ大正十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二年四月遞令第六號ハ昭和二年四月十一日ヨリ之ヲ施行ス）

附　則（昭和五年六月遞令第二十六號）

本令ハ昭和五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和六年七月遞令第三十號ハ同年八月一日ヨリ施行）

（昭和七年七月遞令第二十五號ハ昭和七年八月一日ヨリ施行）

（昭和八年十二月遞令第五十五號ハ昭和九年一月一日ヨリ施行）

（昭和九年十二月遞令第七十六號ハ昭和十年一月一日ヨリ施行）

（昭和十年七月遞令第二十一號ハ昭和十年八月一日ヨリ施行）

（昭和十一年二月遞令第七號ハ昭和十一年三月一日ヨリ施行）

●外國郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便官署及其ノ取扱事務ノ範圍

昭和五年七月
總告第二百九十三號

外國郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便官署及其ノ取扱事務ノ範圍左ノ通定メ昭和五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年　朝鮮總督府　告示第二百六十四號
（外國郵便爲替ヲ取扱フ郵便局所ニ關スル件）
及同第二百六十五號（郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所ニ於ケル外國郵便爲替ノ取扱事務ノ範圍ニ關スル件）ハ之ヲ廢止ス

本法施行前又ハ本法施行後一年内ニ第十八條第一項ノ期間ヲ經過シ又ハ經過スヘキ郵便貯金ニ付テハ本法施行ノ際郵便官署ニ於テ其ノ預ケ入ニ對シ郵便貯金通帳ノ提出又ハ預入金ノ處分ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スヘシ其ノ催告ノ日ヨリ一年内ニ通帳ヲ提出セス又ハ預入金ノ處分ヲ申出サルトキハ更ニ其ノ旨ヲ公告シ尚一年内ニ之ニ應スルノ者ナキトキハ其ノ貯金及保管ニ係ル國庫證券ハ國庫ノ所有ニ歸ス

本法施行前發行シタル拂戻證書ノ有效期間ハ本法施行ノ日ヨリ六十日トス

附則(大正九年八月法律第三十三號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正九年九月勅令第三百八十二號ヲ以テ大正九年十月一日ヨリ施行)

附　則(大正十二年四月法律第四十五號)

本法ハ産業組合中央金庫法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便貯金規則

明治四十四年三月
勅令第三十一號

改正　明治四十四年四月第三八號、四五年四第八六號、大正五年一第三三號、二年二第一〇號、四年三第三〇號、五年五第四二號、五年六第四五號、五年七第六一號、七年二第九號、七年四第二八號、七年五第三七號、八年八第一三〇號、九年一第一七號、一〇年三第三九號、一一年九第一二號、一二年一第一號、一四年三第三號、一五年五第四〇號、二年八第六六號、四年二第七號、昭和三年七第九二號、二年九第六二號、四年四第三三號、六年四第五二號、八年九第九五號、一〇年一第四號

郵便貯金規則左ノ通定ム

郵便貯金規則目次

第一章　總則
第一節　通則
第二節　貯金利子
第三節　通帳及證券保管證檢閲竝ニ證券現在高取調
第二章　貯金預ケ入
第一節　通則
第二節　特殊拂戻
第三節　證券購入保管及賣却
第三章　貯金拂戻
第一節　通常拂戻
第二節　證書拂戻
第三節　局所外預入
第四節　再度通帳、再度證券保管證及繼續證券保管通帳
第五節　讓渡及相續
第四章　證券購入保管及賣却
第一節　通則
第二節　證券購入及保管
第三節　證券交付及賣却
第五章　特別貯金
第一節　規約貯金
第二節　據證貯金
第三節　共同貯金
第四節　海外貯金

郵便貯金規則

第一章　總則

第一條　郵便貯金ハ特ニ告示シタル場合ヲ除クノ外何レノ郵便局所ニ於テモ之ヲ取扱フ

第二條　貯金預ケ入ハ左ノ場合ニ限リ二冊以上ノ通帳ヲ所持スルコトヲ得

一　公共團體、社寺、學校又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ニシテ目的ノ異ナル貯金ヲ爲ストキ

二　規約貯金ノ預ケ入ニシテ異ナル組合ニ加入スルトキ

三　據證貯金ノ預ケ入ニシテ據證期間異ナル貯金ヲ爲ストキ

四　共同貯金ノ總代人ニシテ目的ノ異ナル貯金ヲ爲ストキ

五　通常貯金、規約貯金、據證貯金中二種以上ノ貯金ヲ爲ストキ

六　通常貯金、規約貯金若ハ據證貯金ノ預ケ入カ共同貯金ノ總代人トナルトキ又ハ共同貯金ノ總代人カ通常貯金、規約貯金預ケ入其ノ加印者ヲ廢シタルトキハ前項ノ例ニ準シ其ノ届出ヲ爲スヘシ

第三條　貯金通帳ニハ預ケ入ニ於テ其ノ表紙ノ除ク外ニ貯金ノ目的ヲ表示スヘキ簡單ナル文詞竝ニ郵便貯金ノ受入及拂出ハ直ニ貯金管理所、貯金局、同支局、(臺灣總督府逓信局及大連貯金管理所ニ於テハ四章ノ規定ヲ準用ス但シ證券賠入保管料金ハ預ケ入ノ貯金ヨリ控除ス)ニ於テ之ヲ記載スヘシ

第四條　郵便貯金ハ貯金原簿ニ登記シタル貯金ニ付テノミ之ヲ拂出スヘシ

第五條　一人ノ郵便貯金總額制限ヲ超過シタルトキハ郵便官署ハ其ノ旨ヲ預ケ入ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ發シタル後三十日以内ニ預ケ入ヨリ減額ノ請求ナキトキハ貯金原簿所管廳ハ郵便貯金法第六條ノ手續ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テハ第四章ノ規定ヲ準用ス但シ證券賠入保管料金ハ預ケ入ノ貯金ヨリ控除ス

第六條　公共團體、社寺、學校又ハ各種ノ法人若ハ團體ニ於テハ其ノ名簿ヲ記名調印ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ名簿ヲ記載シ其ノ印ヲ押捺スルカ又ハ其ノ代表者、管理者ニ於テ相當肩書ヲ附シ記名調印スヘシ

第七條　代人ニ於テ本令ニ規定スル各種ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ本人ノ委任狀ヲ差出シ代人タルコトヲ證明シ且記名調印ヲ要スル書類ニハ代人タルノ肩書ヲ附シ記名調印スヘシ

前項ノ委任狀ハ本人ニ於テ當該書類ニ委任文ヲ記載シ記名調印シ之ヲ作製スルコトヲ得

第八條　貯金預ケ入ハ一名ヲ限リ加印者ヲ設クルコトヲ得

加印者ヲ設ケタル貯金預ケ入本令ノ定ムル所ニ依リ記名調印ヲ要スル場合ニ於テハ加印者モ亦當該書類ニ其ノ肩書ヲ附シ記名調印スヘシ

第九條　貯金預ケ入加印者ヲ變更シタルトキハ其ノ肩書ニ預ケ入及新舊加印者連署シ且新加印者ノ印鑑ヲ添ヘ之ヲ郵便局所ニ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ貯金預ケ入カ其ノ加印者ヲ廢シタルトキハ前項ノ例ニ準シ其ノ届出ヲ爲スヘシ但シ加印者印章變更ノ場合ニ於テハ其ノ肩書ニ預ケ入ノ連署ヲ要ス

第十五條　貯金預ケ入及其ノ他ノ關係人ニ於テ其ノ氏名ヲ改メ又ハ貯金預ケ人住所ヲ移轉シタルトキハ其ノ肩書ニ記名調印之ヲ貯金原簿所管廳ニ送付シ又ハ郵便局所ニ差出スヘシ

前項ノ肩書ヲ貯金原簿所管廳ニ送付スル場合ハ之ヲ無料郵便ト爲スコトヲ得

第十六條　貯金預ケ入ノ住所ヲ他ノ貯金原簿所管廳ノ所管區域内ニ移轉シタルトキハ當該原簿所管廳ニ預ケ入原簿ノ移轉ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ貯金通帳ヲ郵便局所ニ差出スヘシ又ハ受領證ヲ受取ルヘシ

代印者又ハ加印者印章ヲ變更シタルトキハ前項ノ例ニ依リ其ノ届出ヲ爲スヘシ但シ加印者印章變更ノ場合ニ於テハ其ノ肩書ニ預ケ入ノ連署ヲ要ス

第十二條　貯金預ケ入代印者ヲ變更シタルトキハ其ノ肩書ニ新舊代印者連署シ且新代印者ノ印鑑ヲ添ヘ之ヲ郵便局所ニ差出スヘシ

第十三條　貯金預ケ入代印者ヲ廢シタルトキハ其ノ肩書ニ預ケ入及代印者連署シ且預ケ入ノ印鑑ヲ添ヘ之ヲ郵便局所ニ差出スヘシ

第十四條　貯金預ケ入印章ヲ變更シタルトキハ其ノ肩書ニ印鑑ヲ添ヘ之ヲ郵便局所ニ差出シ且通帳ヲ呈示スヘシ但通帳ヲ呈示シ能ハサル場合ニ於テ正當ト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　貯金預ケ入ハ其ノ加印者ヲ廢シタルトキハ前項ノ例ニ準シ其ノ肩書ヲ爲スヘシ

第十八條　貯金預ケ入ハ左ノ場合ニ於テハ貯金原簿所管廳ニ於テ通帳受領證ト引換ニ又ハ書留郵便ニ依リ之ヲ請求スルコトヲ得

一　公共團體、社寺、學校又ハ各種ノ法人若ハ團體ニ於テハ其ノ代表者、管理者ニ異動アリタルトキ

二　上ノ通帳ヲ所持スルコトヲ得

三　貯金預ケ入ノ請求ニ對シ郵便局所ノ過失ニ因リ其ノ取扱ヲ爲ササリシ場合ニ於ケル貶納ノ料金

前項ノ料金ハ納付後九十日ヲ經過スルトキハ之カ還付ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十四條　貯金預ケ入ノ請求ニ對シ郵便局所ノ過失ニ因リ其ノ取扱ヲ爲ササリシ場合ニ於ケル貶納ノ料金

前項ノ料金ハ納付後九十日ヲ經過スルトキハ之カ還付ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十四條　京城貯金管理所(現在廃止ス)所管ノ通帳所持ノ貯金預ケ入ハ該通帳ヲ以テ朝鮮總督府郵便官署以外ノ郵便官署ニ於テ各其ノ規定ニ從ヒ預入又ハ拂戻ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ朝鮮文ノ郵便貯金通帳ヲ所持スルモノニ限リ朝鮮内ニ於テ普通ノ郵便貯金通帳ト引換ニ貯金預ケ入ノ請求ニ對シテハ第四項朝鮮貯金通帳ノ引換ニ關シテハ第四節中通帳條項ヲ準用ス

第二節　貯金利子

第二十五條　郵便貯金ハ其ノ預入ノ月ヨリ其ノ拂戻請求ヲ爲シタル前月迄、拂戻證書ヲ發行シタル場合ニ於テハ其ノ發行ノ月迄ニ利子ヲ附ス但シ十六日以後ノ預入ニ係ルモノニ對シテハ預入ノ月ノ利子ヲ附セス

第二十五條ノ二　前條ノ場合ニ於テ預入金中十錢未滿ノ端數ニ對シテハ利子ヲ附セス

第二十六條　貯金ノ利子ハ毎年三月三十一日、九月三十日ニ之ヲ元金ニ加ヘ其ノ總額ニ對シ四月ヨリ更ニ利子ヲ附シ又其ノ十錢未滿ノ端數ニ對シテハ利子ヲ附セス

第二十六條ノ二　貯金預ケ入ノ請求ニ依リ預入原簿ノ移轉ヲ爲シタル場合ニ於テ新舊原簿所管廳ニ於テハ移轉當月以降ノ新原簿所管廳ニ於ケル利子ノ割合ニ依ル

前項ノ規定ハ同一原簿所管廳内ニ於テ利子ノ割合ヲ異ニスル原簿相互間ニ移轉ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條　貯金預ケ入ニ元加利子ノ記入ヲ爲シ郵便局所ニ於テ通帳受領證ト引換ニ又ハ書留郵便ニ依リ之ヲ預ケ入ニ返付ス

第三節　通帳及證券保管證檢閲竝ニ證券現在高取調

第二十九條　貯金預ケ入ハ何時ニテモ所持ノ貯金通帳、證券保管證又ハ證券保管通帳ヲ郵便局所ニ差出シ貯金通帳ニ對シテハ貯金原簿所管廳、證券保管證又ハ證券保管通帳ニ對シテハ貯金局ノ檢閲ヲ請求スルコトヲ得

第三十條　貯金原簿所管廳ニ於テ貯金通帳ヲ貯金局ニ於テ證券保管證又ハ證券保管通帳ヲ檢閲セムトスルトキハ貯金預ケ入ニ其ノ旨ヲ通告ス

第三十一條　貯金預ケ入前項ノ通告ヲ受ケタルトキハ其ノ通告書ニ指示セル方法ニ依リ通帳又ハ證券保管證ヲ郵便局所ニ差出シ又ハ郵便局所ニ限リ本令ノ手續ニ依ラス貯金ノ拂戻其ノ他ノ取扱ヲ爲ス

前項非常取扱ニ關スル必要ナル事項ハ當該郵便局所ニ之ヲ掲示ス

第三十二條　郵便貯金ニ關スル料金ニシテ左ニ記載シタルモノハ其ノ納付人ノ請求ニ依リ郵便局所ニ於テ又貯金原簿所管廳ニ納付シタルモノハ當該郵便局ニ於テ貯金預ケ入ノ請求ニ依リ郵便局所ニ於テ之ヲ納付人所在ノ最寄郵便局所ニ於テ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付ス

一　郵便局所ノ過失ニ因リ過納又ハ誤納セシメタル料金

二　貯金預ケ入ノ指定ニ係ル證券ヲ購入シ又ハ保管セシメタル場合ニ於ケル證券購入特金

三　得サリシ場合ニ於ケル證券購入特金

貯金預ケ入ノ請求ニ對シ郵便局所ノ過失ニ因リ其ノ取扱ヲ爲ササリシ場合ニ於ケル貶納ノ料金

前項ノ料金ハ納付後九十日ヲ經過スルトキハ之カ還付ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十四條　京城貯金管理所(現在廃止ス)所管ノ通帳所持ノ貯金預ケ入ハ該通帳ヲ以テ朝鮮總督府郵便官署以外ノ郵便官署ニ於テ各其ノ規定ニ從ヒ預入又ハ拂戻ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ朝鮮文ノ郵便貯金通帳ヲ所持スルモノニ限リ朝鮮内ニ於テ普通ノ郵便貯金通帳ト引換ニ貯金預ケ入ノ請求ニ對シテハ第四項朝鮮貯金通帳ノ引換ニ關シテハ第四節中通帳條項ヲ準用ス

第二節　貯金利子

第二十五條　郵便貯金ハ其ノ預入ノ月ヨリ其ノ拂戻請求ヲ爲シタル前月迄、拂戻證書ヲ發行シタル場合ニ於テハ其ノ發行ノ月迄ニ利子ヲ附ス但シ十六日以後ノ預入ニ係ルモノニ對シテハ預入ノ月ノ利子ヲ附セス

第二十五條ノ二　前條ノ場合ニ於テ預入金中十錢未滿ノ端數ニ對シテハ利子ヲ附セス

第二十六條　貯金ノ利子ハ毎年三月三十一日、九月三十日ニ之ヲ元金ニ加ヘ其ノ總額ニ對シ四月ヨリ更ニ利子ヲ附シ又其ノ十錢未滿ノ端數ニ對シテハ利子ヲ附セス

第二十六條ノ二　貯金預ケ入ノ請求ニ依リ預入原簿ノ移轉ヲ爲シタル場合ニ於テハ新舊原簿所管廳ニ於テハ移轉當月以降ノ新原簿所管廳ニ於ケル利子ノ割合ニ依ル

前項ノ規定ハ同一原簿所管廳内ニ於テ利子ノ割合ヲ異ニスル原簿相互間ニ移轉ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條　貯金預ケ入ニ元加利子ノ記入ヲ爲シ郵便局所ニ於テ通帳受領證ト引換ニ又ハ書留郵便ニ依リ之ヲ預ケ入ニ返付ス

第三節　通帳及證券保管證檢閲竝ニ證券現在高取調

第二十九條　貯金預ケ入ハ何時ニテモ所持ノ貯金通帳、證券保管證又ハ證券保管通帳ヲ郵便局所ニ差出シ貯金通帳ニ對シテハ貯金原簿所管廳、證券保管證又ハ證券保管通帳ニ對シテハ貯金局ノ檢閲ヲ請求スルコトヲ得

第三十條　貯金原簿所管廳ニ於テ貯金通帳ヲ貯金局ニ於テ證券保管證又ハ證券保管通帳ヲ檢閲セムトスルトキハ貯金預ケ入ニ其ノ旨ヲ通告ス

第三十一條　貯金預ケ入前項ノ通告ヲ受ケタルトキハ其ノ通告書ニ指示セル方法ニ依リ通帳又ハ證券保管證ヲ郵便局所ニ差出シ又ハ郵便局所ニ限リ本令ノ手續ニ依ラス貯金ノ拂戻其ノ他ノ取扱ヲ爲ス

前項非常取扱ニ關スル必要ナル事項ハ當該郵便局所ニ之ヲ掲示ス

第三十二條　郵便貯金ニ關スル料金ニシテ左ニ記載シタルモノハ其ノ納付人ノ請求ニ依リ郵便局所ニ於テ又貯金原簿所管廳ニ納付シタルモノハ當該郵便局ニ於テ貯金預ケ入ノ請求ニ依リ郵便局所ニ於テ之ヲ納付人所在ノ最寄郵便局所ニ於テ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付ス

一　郵便局所ノ過失ニ因リ過納又ハ誤納セシメタル料金

二　貯金預ケ入ノ指定ニ係ル證券ヲ購入シ又ハ保管セシメタル場合ニ於ケル證券購入特金

第三條　貯金若ハ據證貯金ヲ爲ストキ

貯金通帳ニハ預ケ入ニ於テ其ノ表紙ノ除ク外ニ貯金ノ目的ヲ表示スヘキ簡單ナル文詞竝ニ郵便貯金ノ受入及拂出ハ直ニ貯金管理所、貯金局、同支局、(臺灣總督府逓信局及大連貯金管理所ニ於テハ四章ノ規定ヲ準用ス但シ證券賠入保管料金ハ預ケ入ノ貯金ヨリ控除ス)ニ於テ之ヲ記載スヘシ

第四條　郵便貯金ハ貯金原簿ニ登記シタル貯金ニ付テノミ之ヲ拂出スヘシ

第五條　一人ノ郵便貯金總額制限ヲ超過シタルトキハ郵便官署ハ其ノ旨ヲ預ケ入ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ發シタル後三十日以内ニ預ケ入ヨリ減額ノ請求ナキトキハ貯金原簿所管廳ハ郵便貯金法第六條ノ手續ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テハ第四章ノ規定ヲ準用ス但シ證券賠入保管料金ハ預ケ入ノ貯金ヨリ控除ス

第六條　公共團體、社寺、學校又ハ各種ノ法人若ハ團體ニ於テハ其ノ名簿ヲ記名調印ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ名簿ヲ記載シ其ノ印ヲ押捺スルカ又ハ其ノ代表者、管理者ニ於テ相當肩書ヲ附シ記名調印スヘシ

第七條　代人ニ於テ本令ニ規定スル各種ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ本人ノ委任狀ヲ差出シ代人タルコトヲ證明シ且記名調印ヲ要スル書類ニハ代人タルノ肩書ヲ附シ記名調印スヘシ

前項ノ委任狀ハ本人ニ於テ當該書類ニ委任文ヲ記載シ記名調印シ之ヲ作製スルコトヲ得

第八條　貯金預ケ入ハ一名ヲ限リ加印者ヲ設クルコトヲ得

加印者ヲ設ケタル貯金預ケ入本令ノ定ムル所ニ依リ記名調印ヲ要スル場合ニ於テハ加印者モ亦當該書類ニ其ノ肩書ヲ附シ記名調印スヘシ

第九條　貯金預ケ入加印者ヲ變更シタルトキハ其ノ肩書ニ預ケ入及新舊加印者連署シ且新加印者ノ印鑑ヲ添ヘ之ヲ郵便局所ニ差出スヘシ

三　遺言ニ依リ譲受ケタルトキハ相當證明
アル遺言書謄本
第四十條　貯金譲受人貯金ノ轉記ヲ請求セムトスルトキハ其ノ請求書ニ遺言ノ場合ヲ除クノ外譲受人及譲渡人連署シ且自己名義ノ通帳及譲受ニ係ル通帳竝前條各號ノ書類ヲ添ヘ之ヲ郵便局所ニ差出シ通帳受領證ヲ受取ルヘシ
第四十一條　貯金原簿所管廳ニ於テ前二條ノ請求ニ依リ貯金ノ名義書換又ハ轉記ヲ了シタルトキハ通帳ハ郵便局所ニ於テ通帳受領證ト引換ニ又ハ書留郵便ニ依リ之ヲ請求人ニ返付ス
第四十二條　貯金ノ譲渡人反對ノ申出ヲ爲サヌトキハ當該貯金ニ關スル證券モ亦譲渡ヲ爲シタルモノト看做ス
第四十三條　死亡ニ因ル家督相續人又ハ遺産相續人、被相續人ノ貯金ノ名義書換若ハ轉記ヲ請求セムトスルトキハ其ノ請求書ニ家督相續ノ場合ニ在リテハ戸籍ノ謄本若ハ抄本、遺産相續ノ場合ニ在リテハ戸籍ノ謄本ヲ添ヘ名義書換ノ場合ハ貯印證ヲ添ヘ通帳ヲ添ヘ其ニ之ヲ郵便局所ニ差出シ通帳受領證ヲ受取ルヘシ但シ郵便局所ニ於テ必要ト認ムルトキハ相當保證人ヲ立テシムルコトアルヘシ
死亡以外ノ原因ニ依ル家督相續人前項ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ第三十九條及第四十條ノ例ニ依ルヘシ
第四十一條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ適用ス
第四十三條ノ二　第三十八條乃至第四十條及第四十三條第一項第二項ノ規定ハ保管ニ係ル證券ノ譲渡又ハ相續ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ名義書換又ハ轉記ヲ了シタル證券保管證又ハ證券保管通帳ハ貯金局ニ於テ之ヲ請求人ニ返付ス
第二章　貯金預入
第一節　通常預入
第四十四條　新ニ貯金預入ヲ爲サムトスル者ハ郵便局所ニ於テ交付スル用紙ニ依リ貯金ノ金額、住所及氏名ヲ記載シ且署名シ又ハ記名捺印シテ之ヲ貯金局ニ送付スヘシ
前項ノ用紙ニハ貯金ノ種類ヲ記載スヘシ
第四十五條　貯金預入ヲ爲サムトスル者ハ貯金通帳ヲ添ヘテ之ヲ郵便局所ニ提出スヘシ但シ貯金局ニ於テ通帳ヲ交付セサル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第四十六條　貯金預入ヲ爲サムトスル者ハ貯金ノ金額ヲ現金ヲ以テ之ヲ郵便局所ニ差出スヘシ但シ貯金局ニ於テ振替貯金ノ預入ヲ爲サムトスル場合ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス
第四十七條　貯金預入ヲ爲サムトスル者ハ貯金ノ金額ヲ現金ヲ以テ之ヲ郵便局所ニ差出シ通帳ニ預入金額、預入年月日其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ主務者調印シ且日附印ヲ押捺シテ之ヲ證明ス
第二節　郵便切手預入
第四十八條　郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル郵便切手ハ左ノ五種トス
一　五厘郵便切手
二　一錢郵便切手
三　一錢五厘郵便切手
四　二錢郵便切手
五　三錢郵便切手
第四十九條　郵便切手ニ依リ貯金ノ預入ヲ爲サムトスル者ハ郵便局所ノ交付スル郵便切手貯金褒紙ニ同一種類ノ郵便切手ヲ共ニ相當欄全部ニ貼付シ郵便局所ニ差出シ通帳ニ其ノ記入ヲ受クヘシ
第五十二條　郵便切手貯金褒紙ハ之ヲ私製スルコトヲ得但シ郵便官署發行ノモノハ樣式、寸法等ヲ異ニスルモノナルトキハ除メ其ノ紙質、寸法竝ニ印刷ニスヘキ文字、欄割又ハ繪柄等ニ關スル見本ヲ朝鮮總督府遞信局ニ差出シ其ノ認可ヲ受クヘシ
前項但書ニ依リ發行スル褒紙ニハ其ノ省略キ筒所ニ「何年何月何日朝鮮總督府遞信局認可」ノ文字ヲ表示スヘシ
第五十三條　郵便切手ニ依リ貯金ノ預入ハ一人ニ付同一月内一回ヲ超ユルコトヲ得ス
前項ノ規定ニ違反シタル者アルトキハ其ノ制限超過額ヲ無效トシ其ノ消印シタル郵便切手ニ對シテハ之ヲ代償ヲ爲サス
第三節　證券預入
第五十四條　郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル證券ノ種類ハ別ニ之ヲ告示ス
前項ノ證券ニシテ割增金附ノモノナルトキハ割增金モ共ニ預入スルコトヲ得
郵便貯金ニ預入スル證券ニシテ所得稅又ハ資本利子稅ヲ課セラルルモノハ其ノ所得稅額又ハ資本利子稅額ヲ控除シタル殘額ヲ以テ貯金預入額トス
第五十五條　證券ニ依リ貯金ノ預入ヲ爲サムトスル者ハ證券ヲ郵便局所ニ差出シ通帳ニ其ノ記入ヲ受ケヘシ但シ證券ニ支拂期ノ明記ナキモノハ預ケ入ニ於テ其ノ支拂期ノ開始セルモノナルコトヲ證明スヘシ
第五十五條ノ二　郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル證券ニシテ無效其ノ他ノ事由ニ依リ之ヲ現金ニ引換フルコトヲ得サルモノナルトキハ其ノ預入ヲ取消シ當該證券ハ之ヲ預ケ入ニ返付ス
第四節　局所外預入
第五十六條　一定ノ場所及日時ニ於テ貯金ノ預入ヲ爲ス者多數アルトキハ郵便局所ハ其ノ預ケ入ノ請求ニ依リ吏員ヲ派出シ之カ取扱ヲ爲スコトアルヘシ
第五十七條　郵便局所ノ郵便區市外ニ在ル貯金預ケ入ハ當該郵便局所ノ郵便集配人ニ依リ預入ヲ爲スコトヲ得但シ證券ニ依ル預入ハ此ノ限ニ在ラス
郵便集配人ニ於テ貯金ノ取扱ヲ爲スヘキ場所及日時ハ所轄郵便局所長ノ掲示スル所ニ依ル

ヲ調製シ之ニ料金相當ノ郵便切手ヲ貼附シ郵便局所ニ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ通帳又ハ證券保管證アルトキハ之ヲ添ヘ其ノ受領證ヲ受取ルヘシ
貯金預ケ入貯金通帳條自ナキニ至リタル爲再度通帳ノ交付ヲ請求セムトスルトキハ貯金通帳ヲ郵便局所ニ差出シ其ノ受領證ヲ受取ルヘシ
第三十五條　貯金原簿所管廳又ハ貯金局ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ貯金預ケ人ノ原簿又ハ證券保管原簿ニ依リ再度貯金通帳、再度證券保管證又ハ再度證券保管通帳ヲ發行シ再度貯金通帳ハ郵便局所ニ於テ前條ノ受領證ト引換ニ又ハ書留郵便ニ依リ之ヲ請求人ニ交付シ再度證券保管證又ハ再度證券保管通帳ハ貯金局ニ於テ之ヲ請求人ニ送付ス
第三十六條　再度通帳又ハ再度證券保管證ヲ發行シタルトキハ原通帳又ハ原證券保管證ハ無效トス
第五節　譲渡及相續
第三十七條　郵便貯金及保管ニ係ル證券ハ左ノ場合ニ限リ之ヲ譲渡スコトヲ得
一　公共團體、社寺、學校又ハ各利子目的トセサル法人若ハ團體ニ譲渡ス場合
二　親族ニ譲渡ス場合
三　遺言ニ依リ譲渡ス場合
第三十八條　貯金ノ譲受人ハ遠ニ貯金ノ名義書換ヲ貯金原簿所管廳ニ請求スヘシ
前項ノ場合ニ於テ譲受人カ既ニ自己名義ノ通帳ヲ所持スルトキハ其ノ通帳ニ譲受ニ係ル貯金ノ轉記ヲ請求スヘシ
第三十九條　貯金譲受人ハ貯金ノ名義書換ヲ請求セムトスルトキハ其ノ請求書ニ遺言ノ場合ヲ除クノ外譲受人及譲渡人連署シ且譲受人ノ印鑑及左ノ書類ヲ添ヘ通帳ヲ共ニ之ヲ郵便局所ニ差出シ通帳受領證ヲ受取ルヘシ
一　法人若ハ團體ニ於テハ其ノ取締メ前項ノ手續ヲ爲サヌトキハ多數アルトキハ取締メ前項ノ手續ヲ爲サヌトキハ其ノ代表者ノ資格ヲ證スル書類
二　法人若ハ團體ニ於テハ其ノ取締メ又ハ代表者ノ資格ヲ證スル書類ニ付テハ其ノ原本若ハ抄本

五　拂渡資金缺乏ノトキ
拂戻金ノ拂渡ヲ停延スルトキハ當該郵便局所ニ於テ拂戻請求書ニ其ノ事由及拂戻日數ヲ記載證印シ之ヲ請求人ニ返付ス
第六十九條　郵便局所ハ拂戻請求書ト金額符合セサル場合ニ於テハ其ノ少ナキ金額ヲ限度トシ又拂渡官署缺乏ノ場合ニ於テハ其ノ拂渡シ得ル金額ヲ限度トシ拂戻請求書ト符合セサル場合ニ於テ拂戻證書ニ記載シタル金額ノ拂渡ヲ受ケルヘシ但シ拂戻證書ト拂戻請求書ト金額符合セサル場合ニ於テ拂戻證書ニ記載シタル金額ノ拂渡ヲ受ケルヘシ但シ拂戻證書ト拂戻請求書ト金額符合セサル場合ニ於テ拂戻證書ニ記載シタル金額ノ拂渡ヲ停延シ且拂戻證書ヲ呈示シテ之ニ假拂金ノ記入ヲ受ケヘシ但シ拂戻證書ト拂戻請求書ト金額符合セサル場合ニ於テハ其ノ拂渡シ得ル金額ヲ限度トシ拂戻請求人ノ請求ニ依リ拂戻金ノ假拂ヲ爲ス
第七十條　貯金拂戻請求書ニ依リ拂戻金ノ假拂ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ニ依リ拂戻金ノ假拂ヲ受ケルトキハ其ノ受領證ヲ差出シ且拂戻證書ヲ呈示シテ之ニ假拂金ノ記入ヲ受ケヘシ但シ拂戻證書ト拂戻請求書ト金額符合セサル場合ニ於テハ其ノ少キ金額ヲ限度トシ假拂ヲ爲ス
第七十一條　郵便局所ハ拂戻金ノ拂渡ヲ停延シタル場合ニ於テ其ノ事故解明シ又ハ貴金充實シテ拂渡ニ差支ナキニ至リタルトキ若ハ停延期間ノ延長ヲ要スルトキハ其ノ旨ヲ請求人ニ通知ス
第七十二條　郵便局所ニ於テ拂戻金ノ拂渡ヲ停延シタル爲メ經過シタル日數ハ拂戻證書ノ有效期間ニ算入セス
第七十三條　貯金預ケ入拂渡郵便局所ノ變更ヲ請求セムトスルトキハ通帳ノ記號番號、拂戻金額、原拂渡郵便局所名等ヲ記載シタル變更請求書ヲ郵便局所ニ差出スヘシ
拂渡郵便局所ハ拂戻證書ヲ拂戻請求書ニ對シテハ其ノ旨ヲ請求人ニ通知ス
第七十四條　貯金預ケ人ハ左ノ場合ニ於テ郵便官署ニ再度拂戻證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
一　拂戻證書ヲ亡失シタルトキ
二　拂戻證書ヲ毀損汚斑シテ不判明トナリタルトキ
三　拂戻證書有效期間ヲ經過シタルトキ
再度拂戻證書ノ請求ニ對シテハ證書一枚ニ付料金五錢ヲ徵收ス
第七十五條　貯金預ケ人再度拂戻證書ノ交付ヲ請求セムトスルトキハ通帳記號番號、拂戻金額、拂渡郵便局所ニ差出スヘシ
第八十條　貯金預ケ人ハ貯金原簿所管廳ニ於テ第三十二條第一項ニ依リ現在高證明ノ旨ヲ表示シタル金額ニ付テハ何レノ郵便局所ニ於テモ其ノ印時拂戻請求スルコトヲ得通帳ニ預入金額ニ就キ拂戻ヲ請求スル場合亦同シ
前項ノ場合ニ於テ貯金預ケ人當該郵便局所ニ對シ拂戻請求ノ日時及金額ニ付相當豫告ヲ爲スニ非サレハ郵便局所ハ其ノ金額ヲ削減シ又ハ其ノ請求ニ應セサルコトアルヘシ
第八十條ノ二　前條第一項ノ規定ニ該當セサル場合ト雖貯金預ケ人ニ於テ正當ノ本人タル

第
其一條　爲替貯金ノ預入ハ郵便貯金ノ預入ニ準ジ爲替貯金ノ拂渡ハ郵便貯金ノ拂渡ニ準ジ爲替貯金ノ預入ニ關シ郵便貯金ニ關スル規定ヲ準用ス

第
其二條　爲替貯金ノ預入ハ爲替貯金ノ預入ニ關スル規定ニ依リ爲替貯金ノ預入ヲ爲ス者ニ對シ爲替貯金ノ預入ヲ證スル爲替貯金預入證書ヲ交付ス

爲替貯金ノ預入ヲ爲ス者ハ爲替貯金預入證書ニ爲替貯金ノ預入ヲ爲ス旨ヲ記載シ之ニ署名シ又ハ記名捺印シテ之ヲ郵便局ニ差出スヘシ

爲替貯金ノ預入ヲ爲ス者ハ爲替貯金預入證書ニ記載シタル金額ニ相當スル金額ヲ郵便局ニ納付スヘシ

爲替貯金ノ預入ヲ爲ス者ハ爲替貯金預入證書ニ記載シタル金額ニ相當スル金額ヲ郵便局ニ納付シタル後爲替貯金ノ預入ヲ爲ス旨ヲ爲替貯金ノ通帳ニ記載シ之ニ爲替貯金ノ預入ヲ爲ス旨ヲ記載シタル爲替貯金預入證書ヲ交付ス

爲替貯金ノ預入ヲ爲ス者ハ爲替貯金預入證書ニ爲替貯金ノ預入ヲ爲ス旨ヲ爲替貯金ノ通帳ニ記載シタル後

第四節　海外貯金

第百三十六條　帝國郵便局所ノ設置ナキ外國ニ在留スル本邦人ニシテ郵便貯金ノ預入ヲ爲サムトスルトキハ適宜ノ用紙ニ本籍、現住所、氏名及初度預入金額ヲ記載シ自己ノ印章ヲ鮮明ニ押捺シ之ヲ管理所ニ送付スルコトヲ得

郵便局所ニ於テ第五十一條ニ依リ貯金預ケ入ニ交付スヘキ郵便切手貯金臺紙ハ當分ノ内從來發行ニ係ルモノヲ使用スルモ其ノ使用ニ關シテハ從來ノ例ニ依ル

第百三十六條ノ二　海外在留本邦人ハ其ノ貯金ヲ海外貯金ニ組替ノ請求ヲ爲スコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ貯金通帳記載番號、氏名、現住所、本籍及海外貯金組替ノ旨ヲ記載シタル請求書ニ自己ノ印章ヲ鮮明ニ押捺シ之ニ貯金通帳及證券保管通帳ヲ添ヘ管理所ニ送付スヘシ但シ當分ノ内從來ノ通帳ニ交付ヲ請求スヘシ但シ當分ノ内從來ノ通帳ニ特別ノ徽號ヲ附シ據置貯金通帳ノ交付ニ代フルコトヲアルヘシ

附　則（昭和二年七月總令第七十二號）

本令ハ昭和二年七月一日以後預入又ハ移替ヲ爲シタル分ヨリ之ヲ適用ス

附　則（昭和二年九月總令第九十二號）

本令ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年二月總令第七號）

本令ハ昭和四年二月十一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年四月總令第三十二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從來ノ據置貯金預ケ入ハ原簿所管廳ノ通告ニ基キ通帳ト郵便局所ニ差出シ據置貯金通帳ノ交付ヲ請求スヘシ但シ當分ノ内從來ノ通帳ニ特別ノ徽號ヲ附シ據置貯金通帳ノ交付ニ代フ

本令ハ明治四十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前郵便局所ニ於テ共同貯金ノ取扱ヲ承認シタルモノハ本令ニ依リ其ノ取扱ヲ承認シタルモノト看做ス

附　則（大正十一年九月總令第百二十二號）

本令ハ大正十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

從來ノ據置貯金預ケ入ハ原簿所管廳ノ通告ニ基キ通帳ト郵便局所ニ差出シ據置貯金通帳ノ交付ヲ請求スヘシ但シ當分ノ内從來ノ通帳ニ特別ノ徽號ヲ附シ據置貯金通帳ノ交付ニ代フルコトヲアルヘシ

附　則（昭和二年七月總令第七十二號）

本令ハ昭和二年七月一日以後預入又ハ移替ヲ爲シタル分ヨリ之ヲ適用ス

附　則（昭和二年九月總令第九十二號）

本令ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年二月總令第七號）

本令ハ昭和四年二月十一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年四月總令第三十二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從來ノ據置貯金預ケ入ハ原簿所管廳ノ通告ニ基キ通帳ト郵便局所ニ差出シ據置貯金通帳ノ交付ヲ請求スヘシ但シ當分ノ内從來ノ通帳ニ特別ノ徽號ヲ附シ據置貯金通帳ノ交付ニ代フルコトヲアルヘシ

第百四十五條　本令ハ明治四十四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

四十二年統監府令第二號ハ之ヲ廢止ス

第百四十六條　從來發行ニ係ル郵便切手貯金證紙ハ當分ノ内其ノ儘之ヲ使用スルコトヲ得

郵便局所ニ於テ第五十一條ニ依リ貯金預ケ人ニ交付スヘキ郵便切手貯金臺紙ハ當分ノ内從來發行ニ係ルモノヲ使用スル外尚在留國ノ文字ヲ以テ記載スルノ外尚在留國ノ文字ヲ以テ明瞭ニ附記スヘシ

第百三十六條ノ二　海外在留本邦人ハ其ノ貯金ヲ海外貯金ニ組替ノ請求ヲ爲スコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ貯金通帳記載番號、氏名、現住所、本籍及海外貯金組替ノ旨ヲ記載シタル請求書ニ自己ノ印章ヲ鮮明ニ押捺シ之ニ貯金通帳及證券保管通帳ヲ添ヘ管理所ニ送付スヘシ但シ當分ノ内從來ノ通帳ニ特別ノ徽號ヲ附シ據置貯金通帳ノ交付ニ代フルコトヲアルヘシ

管理所ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ貯金預ケ人原簿ヲ新設シ之ニ其ノ組替金額ヲ登記ス

第百三十七條　海外貯金ノ預ケ入再度以後ノ預入ヲ爲サムトスルトキハ其ノ預入金ヲ爲替ニ依リ管理所ニ送付スヘシ

第百三十八條　管理所ニ於テ第百三十六條及前條ニ依リ送付ヲ受ケタル爲替金ハ郵便貯金ニ振替郵便局ニ於テ之ヲ拂渡ス

第百三十九條　海外貯金ノ預ケ入貯金拂戻ヲ受ケムトスルトキハ適宜ノ用紙ニ本籍、現住所、氏名及拂戻金高ヲ記載シ且印章ヲ鮮明ニ押捺シ之ヲ管理所ニ送付スヘシ但シ預ケ入ノ現住所及氏名ハ邦文ヲ以テ記載スルノ外尚在留國ノ文字ヲ以テ附記スヘシ

第百四十條　海外貯金ノ預ケ入ハ外國ニ在留スル間ハ貯金ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ス

第百四十一條　海外貯金ノ預ケ入ハ左ノ場合ニ於テハ貯金ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ス

一　貯金ノ預入又ハ組替ヲ爲シタルトキ

二　貯金ノ拂戻其ノ他ノ拂出ヲ爲シタルトキ

三　貯金ノ利子元加シタルトキ

四　證券償還金、證券利子又ハ年金恩給等ノ貯金ヲ貯金ニ組入レタルトキ

五　證券ノ購入、保管、賣却、交付又ハ償還ノ事務ヲ爲シタルトキ

前項第五號ノ證券記載番號ノ貯金局ヨリ管理所ヲ經テ之ヲ預ケ入ニ通知ス

第百四十二條　海外貯金預ケ入其ノ貯金ニ關シ各種ノ請求又ハ屆出ヲ爲サムトスルトキハ適宜ノ用紙ニ依リ請求書又ハ屆書ヲ調製シ之ヲ管理所ニ送付スヘシ

海外貯金預ケ入ヨリ請求ニ係ル證券ノ購入、保管及賣却ニ關スル料金並證券ノ交付及前條ノ通知ノ爲ニ要スル郵便料金ハ預ケ入ノ貯金ヨリ控除ス

第百四十三條　海外貯金預ケ入歿國シタルトキハ遺ニ郵便局所ニ於テ交付スル用紙ニ依リ通帳又ハ證券保管證交付請求書ヲ調製シ之ヲ郵便局所ニ差出シ貯金通帳、證券保管證又ハ證券保管通帳ノ交付ヲ請求スヘシ

管理所又ハ貯金局ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ通帳又ハ證券保管證ヲ發行シ之ヲ郵便局所ニ送付シ其ノ旨ヲ請求人ニ通知ス

第百四十四條　請求人前條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ通知書ニ受領證印シ之ヲ指定ノ郵便局所ニ差出シ且正當預ケ人タルコトヲ證明シタル上通帳又ハ證券保管證ノ交付ヲ受ク

第三十一條　郵便物ノ送達ニ關シ必要ナル細則ハ逓信大臣之ヲ定ム

第三十二條　郵便物ノ送達ニ關シ郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ重禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ二年以下ノ重禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十四條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十五條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十六條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十七條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十八條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十九條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十一條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十二條　郵便官吏ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十三條　郵便官吏ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シ其職務ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十四條

トキハ普通拂出書用紙ニ金額、振替拂込ヲ受クヘキ加入者ノ口座番號及氏名等ヲ記載シ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第四十條　口座所管廳ニ於テ振替請求ニ係ル拂出書ノ送付ヲ受クヘキトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

第四十一條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第四十二條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ヲ受ケタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上拂出通知票ト共ニ之ヲ當該加入者ノ口座ニ振替ヘタル旨ヲ通知スヘシ

第四十三條　前條ノ拂出證書ニ對シテハ別ニ定ムル所ニ從ヒ當該指定銀行ニ對シ振替ノ方法ニ依リ之カ支拂ヲ爲ス

指定銀行ニ於テ前項ニ依リ支拂ヲ受ケタルトキハ之ヲ當該各銀行ノ當座勘定口ニ振替受入ルルモノトス

第四十四條　第三十五條乃至第三十七條ノ規定ハ振替取消ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四節　現金拂

第四十五條　加入者自己ノ口座ノ貯金ヲ拂出シテ之ヲ受領シ若ハ他人ヲシテ指定シテ之カ拂渡ヲ受ケシメムトスルトキハ普通拂出書用紙ニ金額、受取人ノ住所氏名及拂渡郵便局所名ヲ記載シ且金額欄ノ下部餘白ニ「戻入」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

第四十六條　口座所管廳ニ於テ前條拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第四十七條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第四十八條　拂渡郵便局所ニ於テ指定受取人所在不明又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ拂出證書ノ送達ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ證書ヲ發行シタル口座所管廳ヲ經テ之ヲ拂出請求加入者ニ送達ス

加入者前項ニ依リ口座所管廳ヨリ送達ヲ受ケタル拂出證書ニ對シ現金ヲ受領セムトスルトキハ其ノ拂出證書ニ受取人ヨリ返付ヲ受ケタル拂出證書ニ對シ現金ヲ受領セムトスルトキハ其ノ相當ノ部ニ署名捺印シ之ヲ所在ノ郵便局所ニ差出シ且拂出書用紙又ハ最近ニ送付ヲ受ケタル受拂通知票ヲ呈示シ正當加入者タルコトヲ證明スヘシ

第四十九條　現金拂ヲ請求シタル加入者ハ振替貯金拂出證書ノ現金拂渡前ニ於テ其ノ拂出ヲ取消シ又ハ拂渡ノ停止ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ口座所管廳ニ於テ拂出請求ヲ受ケタル旨ヲ拂渡郵便局所ニ通知スヘシ

第五十條　加入者拂出金戻入ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル請求書ニ拂出證書ヲ添ヘ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ提出スルカ又ハ拂込書ノ金額ノ下部餘白ニ「戻入」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ提出スルカ又ハ之ヲ拂込ノ口座ニ振替ヘタル旨ヲ記載シタル拂込通知票ヲ添ヘ郵便局所ニ差出スヘシ

第五十一條　前條ノ請求アリタルトキハ拂渡郵便局所ハ拂渡ヲ停止シ且拂出金額、證書番號及受取人氏名ヲ記載シタル戻入請求書ヲ所屬ノ口座所管廳ニ提出スルカ又ハ之ヲ拂込ノ口座ニ振替ヘタル旨ヲ記載シタル拂込通知票ヲ添ヘ郵便局所ニ差出スヘシ

第五十二條　口座所管廳ニ於テ前條ノ請求アリタルトキハ拂渡郵便局所ニ對シ拂渡停止ノ請求ヲ爲シ且拂出證書ニ對シ拂渡ノ停止ヲ爲スヘシ

第五十三條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡ヲ停止シタル拂出證書ニ對シテハ別ニ定ムル所ニ從ヒ當該指定銀行ニ對シ振替ノ方法ニ依リ之カ支拂ヲ爲ス

指定銀行ニ於テ前項ニ依リ支拂ヲ受ケタルトキハ之ヲ當該各銀行ノ當座勘定口ニ振替受入ルルモノトス

第五十四條　第三十五條乃至第三十七條ノ規定ハ振替取消ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四節　現金拂

第五十五條　加入者自己ノ口座ノ貯金ヲ拂出シテ之ヲ受領シ若ハ他人ヲシテ指定シテ之カ拂渡ヲ受ケシメムトスルトキハ普通拂出書用紙ニ金額、受取人ノ住所氏名及拂渡郵便局所名ヲ記載シ且金額欄ノ下部餘白ニ「現金拂」ノ文字ヲ附記シ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第五十六條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第五十七條　加入者自己ノ口座ノ貯金ヲ拂出シテ之ヲ受領シ若ハ他人ヲシテ指定シテ之カ拂渡ヲ受ケシメムトスルトキハ普通拂出書用紙ニ金額、受取人ノ住所氏名及拂渡郵便局所名ヲ記載シ且金額欄ノ下部餘白ニ「現金拂」ノ文字ヲ附記シ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

第五十八條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第五十九條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第六十條　加入者拂出金戻入ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル請求書ニ拂出證書ヲ添ヘ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ提出スルカ又ハ拂込書ノ金額ノ下部餘白ニ「戻入」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ受取人ノ住所氏名ノ記載ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第六十一條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル請求書ニ拂出證書ヲ添ヘ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ提出スルカ又ハ拂込書ノ金額ノ下部餘白ニ「戻入」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ提出スルカ又ハ之ヲ拂込ノ口座ニ振替ヘタル旨ヲ記載シタル拂込通知票ヲ添ヘ郵便局所ニ差出スヘシ

第六十二條　口座所管廳ニ於テ前條ノ請求アリタルトキハ拂渡郵便局所ニ對シ拂渡停止ノ請求ヲ爲シ且拂出證書ニ對シ拂渡ノ停止ヲ爲スヘシ

第六十三條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡ヲ停止シタル拂出證書ニ對シテハ別ニ定ムル所ニ從ヒ當該指定銀行ニ對シ振替ノ方法ニ依リ之カ支拂ヲ爲ス

指定銀行ニ於テ前項ニ依リ支拂ヲ受ケタルトキハ之ヲ當該各銀行ノ當座勘定口ニ振替受入ルルモノトス

第六十四條　第三十五條乃至第三十七條ノ規定ハ振替取消ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四節　現金拂

第六十五條　加入者自己ノ口座ノ貯金ヲ拂出シテ之ヲ受領シ若ハ他人ヲシテ指定シテ之カ拂渡ヲ受ケシメムトスルトキハ普通拂出書用紙ニ金額、受取人ノ住所氏名及拂渡郵便局所名ヲ記載シ且金額欄ノ下部餘白ニ「現金拂」ノ文字ヲ附記シ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第六十六條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第六十七條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第六十八條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第六十九條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第七十條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第七十一條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第七十二條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第七十三條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第七十四條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第七十五條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第七十六條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第七十七條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第七十八條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第七十九條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第八十條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第八十一條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第八十二條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第八十三條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第八十四條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第八十五條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第八十六條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第八十七條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第八十八條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第八十九條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第九十條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第九十一條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第九十二條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第九十三條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第九十四條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第九十五條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第九十六條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第九十七條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第九十八條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第九十九條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第百條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第百一條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第百二條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第百三條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第百四條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第百五條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第百六條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第百七條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第百八條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第百九條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第百十條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

加入者ニ送付ス

第百十一條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第百十二條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第百十三條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書ノ送付ヲ受クタルトキハ當該印鑑票ニ就キ氏名及印影ノ正當ナルコトヲ認メ其加入者ノ口座ヨリ貯金拂出ノ手續ヲ爲シ更ニ指定加入者ノ口座ニ之ヲ受入レ拂出通知票ハ當日ノ受拂通知書ト共ニ之ヲ拂込ヲ受クヘカラス

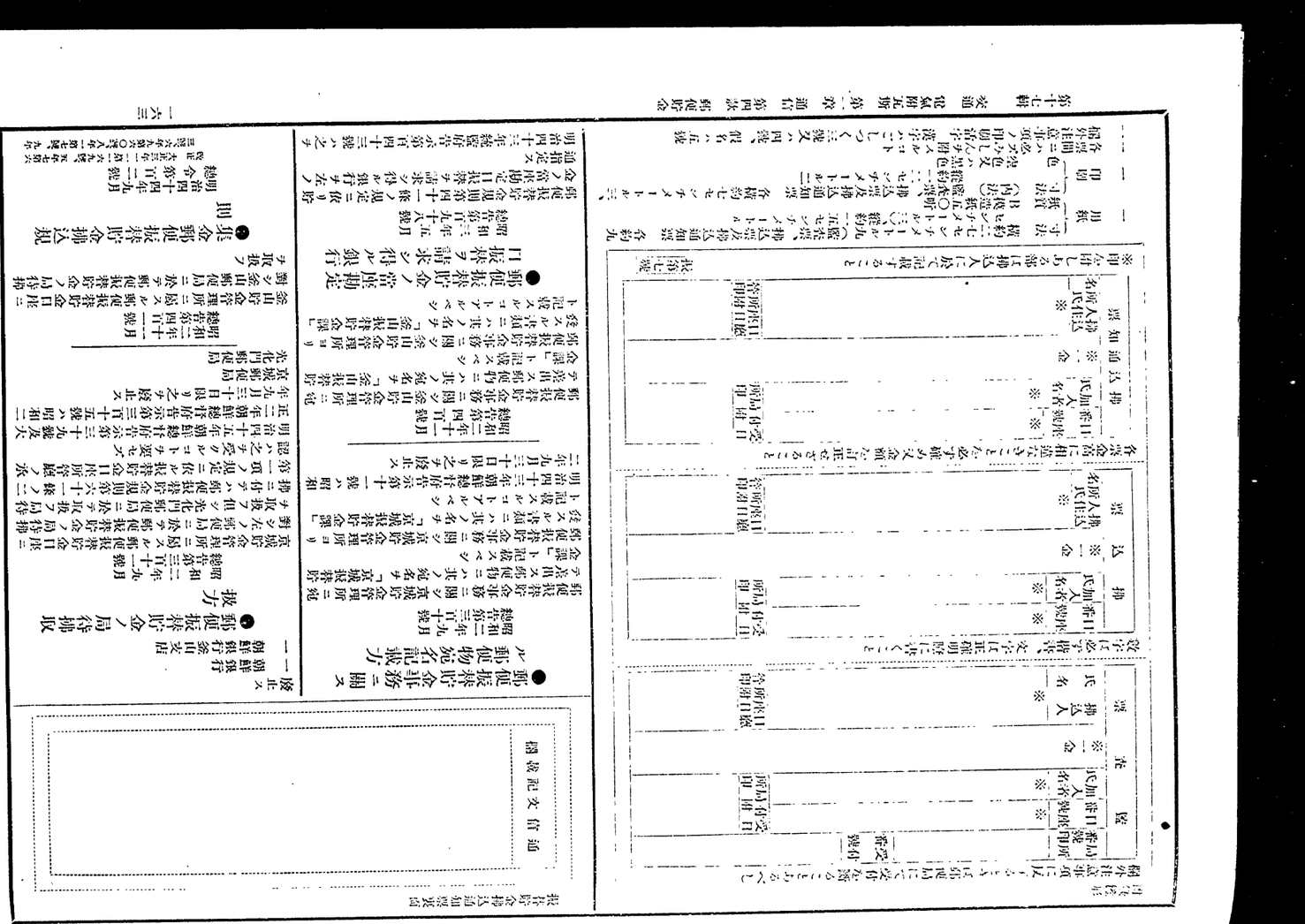
加入者ニ送付ス

第百十四條　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ハ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ其ノ貯金ノ振替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ普通拂出書ノ指定受取人欄ニ相手銀行ノ名稱及「當座勘定口」ノ文字ヲ記載シ署名捺印ノ上第三十九條ノ例ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

第百十五條　口座所管廳ニ於テ前條ノ拂出書ノ送付ヲ受クタルトキハ第四十條ノ例ニ依リ貯金拂出ノ手續ヲ爲シタル上振替貯金拂出證書ヲ發行シ當該拂出通知票ト共ニ之ヲ拂渡郵便局所ニ送付スヘシ

第百十六條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡停止ノ請求書ニ署名捺印ノ上無料普通郵便ニ依リ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項拂渡停止ノ請求ニ對シテハ拂出證書



第十七輯　特別送達郵便規則　特別送達郵便規則施行細則　特別送達郵便規則施行手続　郵便振替貯金規則　郵便振替貯金規則施行細則　郵便振替貯金規則施行手続　郵便貯金規則　郵便貯金規則施行細則　郵便貯金規則施行手続　郵便為替規則　郵便為替規則施行細則　郵便為替規則施行手続　郵便切手類売捌所規則　郵便切手類売捌所規則施行細則　郵便切手類売捌所規則施行手続　郵便物運送契約規則　郵便物運送契約規則施行細則　郵便物運送契約規則施行手続　郵便物運送契約書　郵便物運送契約書施行細則　郵便物運送契約書施行手続　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則施行細則　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則施行手続　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則施行細則　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則施行手続　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則施行細則　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則施行手続　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則施行細則　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則施行手続　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則ニ依ル特約ニ関スル規則施行細則　郵便物運送契約書ノ特約ニ関スル規則ニ依ル

第一讀會ニ於テ本案ニ對シ質問ノ通告ヲ爲シタル者ハ其ノ質問ヲ終ルヲ待チ討論ニ入ルヘシ

第十二條　質問ハ簡潔ニシテ且ツ要領ヲ得ルモノニ限ルヘシ

質問ハ之ヲ文書ヲ以テ豫メ議長ニ通告スルヲ要ス

第十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

質問ハ之ヲ許可シタル順序ニ從ヒ之ヲ爲サシムヘシ

第十四條　質問ハ簡潔ヲ要シ且ツ其ノ範圍ヲ超エ又ハ議事ノ進行ヲ妨ケ若ハ議場ノ秩序ヲ紊ルヘキ言語ヲ用ヰルコトヲ得ス

第十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第三十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第三十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第三十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第三十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第三十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第三十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第三十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第三十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第三十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第三十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第四十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第四十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第四十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第四十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第四十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第四十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第四十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第四十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第四十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第四十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第五十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第五十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第五十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第五十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第五十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第五十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第五十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第五十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第五十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第五十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第六十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第六十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第六十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第六十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第六十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第六十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第六十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第六十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第六十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第六十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第七十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第七十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第七十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第七十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第七十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第七十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第七十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第七十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第七十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第七十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第八十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第八十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第八十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第八十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第八十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第八十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第八十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第八十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第八十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第八十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第九十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第九十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第九十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第九十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第九十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第九十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第九十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第九十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第九十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第九十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百二十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百二十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百二十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百二十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百二十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百二十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百二十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百二十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百二十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百二十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百三十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百三十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百三十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百三十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百三十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百三十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百三十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百三十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百三十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百三十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百四十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百四十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百四十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百四十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百四十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百四十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百四十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百四十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百四十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百四十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百五十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百五十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百五十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百五十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百五十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百五十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百五十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百五十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百五十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百五十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百六十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百六十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百六十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百六十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百六十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百六十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百六十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百六十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百六十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百六十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百七十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百七十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百七十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百七十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百七十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百七十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百七十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百七十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百七十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百七十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百八十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百八十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百八十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百八十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百八十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百八十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百八十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百八十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百八十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百八十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百九十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百九十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百九十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百九十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百九十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百九十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百九十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第百九十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第百九十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第百九十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百二十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百二十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百二十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百二十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百二十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百二十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百二十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百二十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百二十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百二十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百三十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百三十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百三十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百三十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百三十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百三十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百三十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百三十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百三十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百三十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百四十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百四十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百四十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百四十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百四十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百四十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百四十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百四十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百四十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百四十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百五十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百五十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百五十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百五十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百五十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百五十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百五十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百五十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百五十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百五十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百六十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百六十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百六十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百六十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百六十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百六十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百六十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百六十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百六十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百六十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百七十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百七十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百七十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百七十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百七十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百七十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百七十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百七十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百七十八條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百七十九條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百八十條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百八十一條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百八十二條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百八十三條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百八十四條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ得ス

第二百八十五條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第二百八十六條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二百八十七條　質問ハ議長ニ於テ之ヲ許可シタル後ニ非サレハ之ヲ中止スルコトヲ

●大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金交付ニ關スル件

大正四年十一月
勅令第二百四號
改正　大正九年三百四十六號

朕大正三、四年戰役ニ關スル一時賜金ノ交付ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ交付シ其ノ公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ保管スル公債證書ニ付テハ郵便貯金ニ關スル決ノ定ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正三、四年臨時事件ニ關スル一時賜金保管ノ件

大正五年三月
總令第十四號
改正　大正九年四月第六〇號

大正三、四年臨時事件ニ關スル一時賜金ニシテ特別證券保管通帳ニ依ラシテ下賜セラレタル公債證書ヲ其ノ受給者ヨリ郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ保管ヲ請求スル場合ニ於テハ當分ノ內其ノ保管料金ヲ徵收セス

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ其ノ下賜ニ關スル辭令書ノ呈示、市區町村長若ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ノ提出又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ郵便官署ニ對シ其ノ受給者タルコトヲ證明スヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●外國郵便振替規則

昭和六年三月
遞令第二號

改正　昭和九年一二第七號

外國郵便振替規則左ノ通定ム

第一章　總則

第一條　郵便振替ニ關スル約定ニ依リ本邦ノ郵便振替貯金口座ト外國ノ郵便振替口座トノ間ニ爲ス預金ノ振替ハ之ヲ外國郵便振替ト稱ス

第二條　本邦ト外國郵便振替ノ交換ヲ爲ス國ハ別ニ之ヲ告示ス

第三條　外國郵便振替ハ外國郵便振替交換局ヲ經テ之ヲ交換ス

本邦ニ於ケル外國郵便振替交換局ハ貯金局トシ外國郵便振替局ハ郵便振替貯金口座所管廳トス

外國ニ於ケル外國郵便振替交換局及外國郵便振替局ハ別ニ之ヲ告示ス

第四條　振替拂出ノ料金ハ一口ニ付振替金額八十圓迄ハ八錢、八十圓ヲ超エルトキハ其ノ超過額十圓迄毎ニ一錢ヲ加ヘタル金額トス

前項ノ料金ハ當該加入者ノ貯金ヨリ控除徵收ス

第五條　外國郵便振替ニ關スル各種ノ料金ニシテ左ニ記載シタルモノハ納付人ノ請求ニ依リ郵便切手ヲ以テ納付ニ係ルモノナルトキハ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付シ加入者ノ貯金ヨリ控除徵收ニ係ルモノナルトキハ現金ヲ以テ之ヲ還付ス

一　業務上ノ過失ニ因リ徵收シタル料金
二　各種ノ請求ニ對シ業務上ノ過失ニ因リ其ノ取扱ヲ爲サザリシ場合ニ於ケル當該料金
三　業務上ノ過失ニ因リ取調請求ヲ爲スニ至リタル場合ニ於ケル取調請求ノ料金

前項料金還付ノ請求ハ料金納付ノ日ヨリ第一號ノ料金ニ付テハ九十日內ニ、第二號及第三號ノ料金ニ付テハ一年內ニ其ノ料金ヲ納付シタル郵便官署ニ之ヲ爲スヘシ

第六條　外國郵便振替ハ之ヲ外國郵便振替貯金規則ノ定ムル所ニ依ル

第二章　振替金額

第七條　外國郵便振替ノ金額ニ最高制限ヲ附スル場合ハ別ニ之ヲ告示ス

第八條　外國郵便振替ノ金額ハ一錢位未滿ノ端數ヲ捨スルコトヲ得ス

第九條　外國郵便振替ノ金額ハ外國郵便振替交換局相互間ニ於テハ振宛國貨幣ヲ以テ之ヲ通知スル但シ別ニ告示シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條　加入者振替ヲ請求スル場合ニ於テ拂出書ニ記載スル振替金額ハ之ヲ本邦貨幣又ハ前條ノ外國貨幣ヲ以テ表示スヘシ

第十一條　前條ノ金額ハ口座所管廳ニ於テ拂出書受入ノ日ノ外國貨幣換算割合ニ依リ換算ス

第十二條　外國ヨリノ振替金額ニシテ外國貨幣ヲ以テ表示シタルモノハ貯金局ニ於テ當該振替到著ノ日ノ外國貨幣換算割合ニ依リ之ヲ本邦貨幣ニ換算ス

第十三條　前二條ノ換算ノ場合ニ於テ錢位未滿又ハ外國貨幣單位ノ百分ノ一位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ切捨ツ

第十四條　第十一條及第十二條ノ外國貨幣換算割合ハ特ニ口座所管廳ニ掲示スル場合ヲ除クノ外別ニ告示スル所ニ依ル

第三章　拂出

第十五條　加入者自己ノ口座ノ貯金ヲ拂出シ之ヲ外國ノ郵便振替口座ニ振替ヘシトスルトキハ普通拂出書用紙ニ振替金額竝ニ振宛人ノ口座番號及住所氏名ヲ記載シ署名捺印スル上之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ加入者ハ拂出書ニ於ケル自己ノ住所氏名ヲ「ラテン」文字ヲ以テ複記シ且振宛人ノ住所氏名ヲ拂込口座加入者氏名指定欄ニ「ラテン」文字ヲ以テ記載スヘシ

第一項ノ拂出書ハ之ヲ無料普通通常郵便物トシテ差出スコトヲ得

第十六條　口座所管廳ニ於テ前條拂出書ノ送付ヲ受ケタルトキハ當該口座ノ貯金ヨリ拂出ヲ爲シ振宛國ノ郵便振替口座ニ振替ノ手續ヲ爲ス

第十七條　貯金局ニ於テハ拂出書ノ拂出通知金ハ其ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ交付シ其ノ公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ交付スルコトヲ得

第二條　前條ニ依リ預リタル郵便貯金及保管シタル公債證書ノ交付竝其ノ他郵便貯金ニ關スル規則ヲ準用ス

第四章　取消及戻入

第十八條　加入者ハ自己ノ口座番號、振替請求日附、振替金額、關係拂出書用紙番號竝ニ外國ニ取消通知ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ通知方法（郵便又ハ電信）ヲ明ニシ郵便又ハ電信ニ依リ所屬ノ口座所管廳ニ振替ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

第十九條　加入者ハ相當事項ヲ記載シタル外國郵便振替取消請求書ニ料金トシテ一口ニ付郵便ニ依ルモノハ三錢、電信ニ依ルモノハ四十錢ニ相當スル郵便切手ヲ添ヘ郵便局ニ前條ノ取消請求ヲ依託スルコトヲ得

第二十條　口座所管廳前二條ノ取消請求ノ受ケタル場合ニ於テ當該振替ヲ貯金局ニ通知ケタル場合ニ於テモ亦之ヲ取消シ通知後ナルトキハ貯金局ニ取消ノ通知ヲ爲ス

前項後段ノ場合ニ於ケル取消通知ハ郵便ニ依ルモノナルトキハ二十六錢、電信ニ依ルモノナルトキハ相當外國電報料ノ外ニ二十六錢ノ料金ヲ加入者ノ貯金ヨリ控除徵收ス

第二十一條　取消請求ニ因リ郵便振替ノ返送ヲ受ケタルトキハ振替金額ヲ加入者ノ口座ニ戻入ス

前項ノ場合ニ於テ外國ヨリ返送ヲ受ケタル郵便振替ハ之ヲ廢棄ス

第二十二條　第二十一條ノ規定ハ口座ニ受入登記不能ノ爲外國ヨリ返送ヲ受ケタル郵便振替ニ之ヲ準用ス

第五章　取調請求

第二十四條　加入者振替請求ノ處理ニ關シ取調ヲ請求セントスルトキハ自己ノ口座番號及氏名、振替請求日附、振替金額、關係拂出書用紙番號、振宛人ノ口座番號及住所氏名竝ニ取調請求ノ由ヲ記載シタル取調請求書ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項ノ請求書ハ之ヲ無料普通通常郵便物トシテ差出スコトヲ得

取調請求ノ料金ハ二十錢トシ當該加入者ノ貯金ヨリ之ヲ控除徵收ス

取調ヲ請求シ得ル期間ハ振替請求ノ日ヨリ一年トス

第二十四條　加入者ノ二　加入者ハ前條第四項ノ期間經過後ニ於テ振替請求ノ處理ニ關シ單ナル通報ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ハ之ニ關スル郵便官署ノ振替請求後一年內ニ振宛國郵政廳ニ到著スル見込アル期間內ニ限リ之ヲ受理ス

第九條　政府ハ電信又ハ電話ノ用ニ供スル爲鐵道用地及停車場建物ノ使用料及建築改築ノ費用ハ請求ニ因リ政府之ヲ支給ス

第十條　政府カ鐵道用地內ニ電信線又ハ電話線ヲ設シタルトキハ使用料ヲ支給セス

第十一條　電信若ハ電話專用ノ物件又ハ現ニ其ノ用ニ供スル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

前項專用ノ物件ハ何等ノ賦課ヲ受クルコトナシ

第十二條　電信又ハ電話取扱ニ關シ電信官署又ハ電話官署ニ對シテ無能力者ノ爲シタル行爲ハ能力者ノ爲シタルモノト看做ス

第十三條　電報ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除ノ外其ノ宛所ニ配達ス

第十四條　電報ハ命令ヲ以テ定ムル場合ニ限リ發信人ノ請求ニ因リ其ノ受達ヲ停止スルヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルトキハ主務大臣ノ指定シタル電信官署又ハ電話官署ニ於テ之ヲ停止スルコトヲ得

第六條　職務執行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配達人及配達用舟車馬等ハ道路ニ障碍アリテ通行ノ難キ場合ニ於テ塔壁又ハ欄柵ナキ宅地田畑其ノ他ノ場所ヲ通行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ被害者ノ請求ニ因リ其ノ損害ノ賠償ヲ爲スヘシ

第七條　職務執行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配達人及配達用舟車馬等ハ故ニ遭遇シタル場合ニ於テ電信又ハ電話ノ工夫配達人若ハ吏員ヨリ助力ヲ求メラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス此ノ場合ニ於テハ政府ハ助力者ノ請求ニ因リ相當ノ報酬ヲ爲スヘシ

第八條　職務執行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配達人及配達用舟車馬等ニ關シテハ渡津、運河、道路、橋梁其ノ他ノ場所ニ於ケル通行錢ヲ請求スルコトヲ得ス

前項ノ工夫及配達人ハ何時ニテモ渡津ノ出舟ヲ求ムルコトヲ得

第九條　政府ハ電信又ハ電話ノ用ニ供スル爲鐵道用地及停車場建物ノ使用料及建築改築ノ費用ハ請求ニ因リ政府之ヲ支給ス

第十條　政府カ鐵道用地內ニ電信線又ハ電話線ヲ設シタルトキハ使用料ヲ支給セス

第十一條　電信若ハ電話專用ノ物件又ハ現ニ其ノ用ニ供スル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

前項專用ノ物件ハ何等ノ賦課ヲ受クルコトナシ

第十二條　電信又ハ電話取扱ニ關シ電信官署又ハ電話官署ニ對シテ無能力者ノ爲シタル行爲ハ能力者ノ爲シタルモノト看做ス

第十三條　電報ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除ノ外其ノ宛所ニ配達ス

第十四條　電報ハ命令ヲ以テ定ムル場合ニ限リ發信人ノ請求ニ因リ其ノ受達ヲ停止スルヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルトキハ主務大臣ノ指定シタル電信官署又ハ電話官署ニ於テ之ヲ停止スルコトヲ得

第六條　外國郵便振替ハ之ヲ外國郵便振替貯金規則ノ定ムル所ニ依ル

第二章　振替金額

第七條　外國郵便振替ノ金額ニ最高制限ヲ附スル場合ハ別ニ之ヲ告示ス

第八條　外國郵便振替ノ金額ハ一錢位未滿ノ端數ヲ捨スルコトヲ得ス

第九條　外國郵便振替ノ金額ハ外國郵便振替交換局相互間ニ於テハ振宛國貨幣ヲ以テ之ヲ通知スル但シ別ニ告示シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條　加入者振替ヲ請求スル場合ニ於テハ拂出書ニ記載スル振替金額ハ之ヲ本邦貨幣又ハ前條ノ外國貨幣ヲ以テ表示スヘシ

第十一條　前條ノ金額ハ口座所管廳ニ於テ拂出書受入ノ日ノ外國貨幣換算割合ニ依リ換算ス

第十二條　外國ヨリノ振替金額ニシテ外國貨幣ヲ以テ表示シタルモノハ貯金局ニ於テ當該振替到著ノ日ノ外國貨幣換算割合ニ依リ之ヲ本邦貨幣ニ換算ス

第十三條　前二條ノ換算ノ場合ニ於テ錢位未滿又ハ外國貨幣單位ノ百分ノ一位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ切捨ツ

第十四條　第十一條及第十二條ノ外國貨幣換算割合ハ特ニ口座所管廳ニ掲示スル場合ヲ除クノ外別ニ告示スル所ニ依ル

第三章　拂出

第十五條　加入者自己ノ口座ノ貯金ヲ拂出シ之ヲ外國ノ郵便振替口座ニ振替ヘシトスルトキハ普通拂出書用紙ニ振替金額竝ニ振宛人ノ口座番號及住所氏名ヲ記載シ署名捺印スル上之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ加入者ハ拂出書ニ於ケル自己ノ住所氏名ヲ「ラテン」文字ヲ以テ複記シ且振宛人ノ住所氏名ヲ拂込口座加入者氏名指定欄ニ「ラテン」文字ヲ以テ記載スヘシ

第一項ノ拂出書ハ之ヲ無料普通通常郵便物トシテ差出スコトヲ得

第十六條　口座所管廳ニ於テ前條拂出書ノ送付ヲ受ケタルトキハ當該口座ノ貯金ヨリ拂出ヲ爲シ振宛國ノ郵便振替口座ニ振替ノ手續ヲ爲ス

第十七條　貯金局ニ於テハ拂出書ノ拂出通知金ハ其ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ交付シ其ノ公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ交付スルコトヲ得

第二條　前條ニ依リ預リタル郵便貯金及保管シタル公債證書ノ交付竝其ノ他郵便貯金ニ關スル規則ヲ準用ス

第四章　取消及戻入

第十八條　加入者ハ自己ノ口座番號、振替請求日附、振替金額、關係拂出書用紙番號竝ニ外國ニ取消通知ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ通知方法（郵便又ハ電信）ヲ明ニシ郵便又ハ電信ニ依リ所屬ノ口座所管廳ニ振替ノ取消ヲ請求スルコトヲ得

第十九條　加入者ハ相當事項ヲ記載シタル外國郵便振替取消請求書ニ料金トシテ一口ニ付郵便ニ依ルモノハ三錢、電信ニ依ルモノハ四十錢ニ相當スル郵便切手ヲ添ヘ郵便局ニ前條ノ取消請求ヲ依託スルコトヲ得

第二十條　口座所管廳前二條ノ取消請求ノ受ケタル場合ニ於テ當該振替ヲ貯金局ニ通知ケタル場合ニ於テモ亦之ヲ取消シ通知後ナルトキハ貯金局ニ取消ノ通知ヲ爲ス

前項後段ノ場合ニ於ケル取消通知ハ郵便ニ依ルモノナルトキハ二十六錢、電信ニ依ルモノナルトキハ相當外國電報料ノ外ニ二十六錢ノ料金ヲ加入者ノ貯金ヨリ控除徵收ス

第二十一條　取消請求ニ因リ郵便振替ノ返送ヲ受ケタル場合ニ於テハ振替金額ヲ加入者ノ口座ニ戻入ス

前項ノ場合ニ於テ外國ヨリ返送ヲ受ケタル郵便振替ハ之ヲ廢棄ス

第二十二條　第二十一條ノ規定ハ口座ニ受入登記不能ノ爲外國ヨリ返送ヲ受ケタル郵便振替ニ之ヲ準用ス

第五章　取調請求

第二十四條　加入者振替請求ノ處理ニ關シ取調ヲ請求セントスルトキハ自己ノ口座番號及氏名、振替請求日附、振替金額、關係拂出書用紙番號、振宛人ノ口座番號及住所氏名竝ニ取調請求ノ由ヲ記載シタル取調請求書ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項ノ請求書ハ之ヲ無料普通通常郵便物トシテ差出スコトヲ得

取調請求ノ料金ハ二十錢トシ當該加入者ノ貯金ヨリ之ヲ控除徵收ス

取調ヲ請求シ得ル期間ハ振替請求ノ日ヨリ一年トス

第二十四條ノ二　加入者ハ前條第四項ノ期間經過後ニ於テ振替請求ノ處理ニ關シ單ナル通報ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ハ之ニ關スル郵便官署ノ振替請求後一年內ニ振宛國郵政廳ニ到著スル見込アル期間內ニ限リ之ヲ受理ス

第九條　政府ハ電信又ハ電話ノ用ニ供スル爲鐵道用地及停車場建物ノ使用料及建築改築ノ費用ハ請求ニ因リ政府之ヲ支給ス

第十條　政府カ鐵道用地內ニ電信線又ハ電話線ヲ設シタルトキハ使用料ヲ支給セス

第十一條　電信若ハ電話專用ノ物件又ハ現ニ其ノ用ニ供スル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

前項專用ノ物件ハ何等ノ賦課ヲ受クルコトナシ

第十二條　電信又ハ電話取扱ニ關シ電信官署又ハ電話官署ニ對シテ無能力者ノ爲シタル行爲ハ能力者ノ爲シタルモノト看做ス

第十三條　電報ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除ノ外其ノ宛所ニ配達ス

第十四條　電報ハ命令ヲ以テ定ムル場合ニ限リ發信人ノ請求ニ因リ其ノ受達ヲ停止スルヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルトキハ主務大臣ノ指定シタル電信官署又ハ電話官署ニ於テ之ヲ停止スル

電信又ハ郵便ノ通信ニ関シ相互ニ便宜ヲ図ル電信ノ為ニ一国又ハ数国ノ間ニ設ケラレタル電信線ヲ謂フ

例　本

第一章　総則

第一条　電信ニ関スル事項ハ本章ノ規定ニ依ル

第二条　電信ニ関スル事務ハ逓信大臣之ヲ管理ス

第三条　電信ニ関スル事務ハ逓信大臣ノ指揮ニ従ヒ逓信官吏之ヲ取扱フ

第四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第四十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第四十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第四十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第四十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第四十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第四十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第四十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第四十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第四十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第四十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第五十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第五十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第五十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第五十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第五十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第五十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第五十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第五十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第五十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第五十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第六十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第六十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第六十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第六十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第六十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第六十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第六十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第六十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第六十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第六十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第七十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第七十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第七十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第七十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第七十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第七十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第七十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第七十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第七十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第七十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第八十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第八十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第八十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第八十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第八十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第八十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第八十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第八十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第八十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第八十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第九十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第九十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第九十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第九十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第九十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第九十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第九十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第九十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第九十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第九十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百二十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百二十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百二十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百二十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百二十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百二十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百二十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百二十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百二十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百二十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百三十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百三十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百三十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百三十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百三十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百三十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百三十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百三十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百三十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百三十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百四十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百四十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百四十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百四十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百四十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百四十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百四十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百四十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百四十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百四十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百五十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百五十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百五十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百五十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百五十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百五十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百五十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百五十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百五十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百五十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百六十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百六十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百六十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百六十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百六十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百六十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百六十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百六十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百六十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百六十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百七十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百七十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百七十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百七十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百七十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百七十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百七十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百七十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百七十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百七十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百八十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百八十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百八十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百八十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百八十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百八十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百八十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百八十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百八十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百八十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百九十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百九十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百九十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百九十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百九十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百九十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百九十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百九十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百九十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第百九十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百二十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百二十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百二十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百二十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百二十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百二十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百二十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百二十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百二十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百二十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百三十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百三十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百三十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百三十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百三十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百三十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百三十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百三十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百三十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百三十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百四十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百四十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百四十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百四十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百四十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百四十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百四十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百四十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百四十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百四十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百五十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百五十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百五十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百五十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百五十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百五十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百五十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百五十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百五十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百五十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百六十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百六十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百六十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百六十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百六十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百六十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百六十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百六十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百六十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百六十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百七十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百七十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百七十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百七十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百七十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百七十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百七十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百七十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百七十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百七十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百八十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百八十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百八十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百八十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百八十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百八十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百八十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百八十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百八十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百八十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百九十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百九十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百九十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百九十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百九十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百九十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百九十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百九十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百九十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二百九十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百二十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百二十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百二十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百二十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百二十四条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百二十五条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百二十六条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百二十七条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百二十八条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百二十九条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百三十条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百三十一条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百三十二条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百三十三条　電信ニ関スル事務ハ逓信官吏ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第三百三十

時刻
二　列車ノ行先（経路別若ハ方向別ヲ以テ又ハ下車スヘキ駅名
三　客車ノ等級
和文電報及誘文電報ノ名宛中不必要ト認ムルモノアルトキハ電信官署ニ於テ之ヲ抹消スルコトアルヘシ
第十三條　電報ノ受信人名ハ宛所カ同一ナル場合ニ限リ之ヲ連記スルコトヲ得但シ配達日時指定電報ノ受信人名ハ之ヲ連記スルコトヲ得ス
第十四條　電報ノ名宛ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ記載スルコトヲ得
一　第百十五條ノ二ノ規定ニ依リ電話ヲ以テ送達ヲ乞ヘル電報又ハ第百四十六條ノ規定ニ依リ電話ヲ以テ電報ノ送達ヲ受クルコトヲ請求シタル者ニ宛テタル電報ニ付テハ當該電話所屬電話官署名（他ニ同シ又ハ相當ノモノアルトキハ其ノ略號）及受信人名（他ニ同シ又ハ相當ノモノアルトキハ其ノ略號）
二　第百五十三條ノ規定ニ依リ略號ノ登記ヲ受ケタル者ニ宛テタル電報ニ付テハ當該略號登記電信官署名（他ニ同シ又ハ相當ノモノアルトキハ其ノ略號）及受信人名（他ニ同シ又ハ相當ノモノアルトキハ其ノ略號）
三　第百五十八條ノ規定ニ依リ著信電信官署ニ於テ電報ノ交付ヲ受クルコトヲ請求シタル者ニ宛テタル電報ニ付テハ當該著信電信官署名（他ニ同シ又ハ相當ノモノアルトキハ其ノ略號）及受信人名
四　電報送受ノ爲施設シタル電信又ハ電話ノ施設者ニ宛テタル電報ニ付テハ電信官署ニ於テ特定シタル名稱
五　郵便私書函使用者ニ宛テタル電報ニ付テハ當該郵便私書函設置郵便官署名（他ニ同シ又ハ相當ノモノアルトキハ其ノ略號）及受信人名
前項第二號ノ略號ハ電報ノ宛所トシテ之ヲ使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ略號ニ「方」、「氣付」又ハ之ニ相當スル文字ヲ附記スヘシ
第十五條　特殊ノ取扱ヲ受ケムトスル電報ハ指定ニ使用スヘキ略號左ノ如シ

指定事項	和文略號	欧文略號
至急	ウナ	URP
返信料前納	ムニ	TCP
照會電報受信報知	ツソ	PPF
郵便受信報知	ツヲ	PPS
追送	チフ	RFT
再送	ムヨ	TMS
同文	フラ	SSX
時間外	タラ	NSM
翌朝配達	ヨナ	MRT
留置	マツ	TRX
別便配達	マナ	XRB
受信人拂	ハホ	BDB
船舶配達	ハナ	BRT
船舶配達	ムチ	TFW
受信人拂	ムチ	WTC
電話送達	ヤカ	CLM
局待	ヤム	MAC
親展	ヨイ	

第十六條　發信人ノ記載シタル指定略號判明セサルモノハ指定ナキ電報トシテ之ヲ取扱フ
略號ヲ以テ記載スヘキ指定事項ヲ普通語ヲ以テ記載シタルモノハ電信官署ニ於テ之ヲ略號ニ改ム
第十七條　電報ニ使用スル普通語及祕辭ノ三種トス
第十八條　普通辭トハ和文電報ニ在リテハ日本語、朝鮮語又ハ別ニ告示スル國語ニシテ其ノ意味ノ通解シ易キモノヲ謂フ
左ニ揭クルモノハ之ヲ普通辭ト看做ス
一　電報新書又ハ中國電報新編ニ依リ記載シタル數字ノ集合
二　商標又ハ記號トシテ使用シタル文字若ハ數字ノ孤立若ハ文字ト數字トノ集合
三　第百五十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ受ケタル略號
第十九條　隱語トハ普通辭ニ使用シ得ル國語ヲ通俗ノ難キ意味ニ使用シタルモノヲ謂フ但シ歐文電報ニ使用シタルモノニ在リテハ五字ヲ超エサルモノナルコトヲ要ス
普通辭ニ使用シ得サル語ト雖モ前項但書ノ要件ヲ備フルモノハ之ヲ隱語ト看做ス
第二十條　祕辭トハ文字又ハ數字ノ孤立若ハ集合ニシテ前二條ノ規定ニ該當セサルモノヲ謂フ
第二十一條　歐文電報ニ使用スル語辭ニハ文字ト數字トヲ混用スルコトヲ得但シ指定略號、順序數、居所ノ地番號、商標及記號（第十八條第二項第二號ニ規定スルモノニ限ル）ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第二十一條　濁點及半濁點ハ文字ニ附スル場合ヲ除クノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス
第二十二條　削除
第二十三條　日本語及朝鮮語ノ歐文電報ハ十五字ヲ超エテ之ヲ聯記シ又ハ一語句ノ中間ニ於テ之ヲ分割記載スルコトヲ得但シ名詞ハ之ニ附屬スル助詞ト共ニ字數ニ拘ラス之ヲ一聯綴トシテ記載スルコトヲ得
二以上ノ名詞ヲ聯結シタルモノ又ハ名詞ニ他ノ語句ヲ附加シタルモノト雖普通一名詞トシテ使用セラルルモノハ前項但書ノ例ニ依リ記載スルコトヲ得
第二十四條　日本語及朝鮮語ノ歐文電報中ニ外國語又ハ數字ヲ混用スルトキハ其ノ外國語又ハ數字ヲ日本語又ハ朝鮮語ト聯記スルコトヲ得
第二十五條　本文ナキ電報ハ之ヲ受付ケス
第二十六條　發信人其ノ居所氏名ヲ受信人ニ知ラシメムトスルトキハ電報本文ノ末尾ニ前項第二號ノ略號ハ電報ノ宛所トシテ之ヲ使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ略號ニ「方」、「氣付」又ハ之ニ相當スル文字ヲ附記スヘシ
第十五條　特殊ノ取扱ヲ受ケムトスル電報ハ指定ニ使用スヘキ略號左ノ如シ

指定事項	和文略號	欧文略號
至急	ウナ	URP
返信料前納	ムニ	TCP
照會電報受信報知	ツソ	PPC
郵便受信報知	ツヲ	PPF
追送	チフ	RFT
再送	ムヨ	TMS
同文	フラ	SSX
時間外	タラ	NSM
翌朝配達	ヨナ	MRT
留置	マツ	TRX
別便配達	マナ	XRB
受信人拂	ハホ	BDB
船舶配達	ハナ	BRT
船舶配達	ムチ	TFW
受信人拂	ムチ	WTC
電話送達	ヤム	CLM
局待	ヤカ	MAC
親展	ヨイ	

第十六條　發信人ノ記載シタル指定略號判明セサルモノハ指定ナキ電報トシテ之ヲ取扱フ
略號ヲ以テ記載スヘキ指定事項ヲ普通語ヲ以テ記載シタルモノハ電信官署ニ於テ之ヲ改ム
第十七條　電報ニ使用スル普通辭及祕辭ノ三種トス
第十八條　普通辭トハ和文電報ニ在リテハ日本語、朝鮮語又ハ別ニ告示スル國語ニシテ其ノ意味ノ通解シ易キモノヲ謂フ
左ニ揭クルモノハ之ヲ普通辭ト看做ス
一　電報新書又ハ中國電報新編ニ依リ記載シタル數字ノ集合
二　商標又ハ記號トシテ使用シタル文字若ハ數字ノ孤立若ハ文字ト數字トノ集合
三　第百五十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ受ケタル略號
第十九條　隱語トハ普通辭ニ使用シ得ル國語ヲ通俗ノ難キ意味ニ使用シタルモノヲ謂フ但シ歐文電報ニ使用シタルモノニ在リテハ五字ヲ超エサルモノナルコトヲ要ス
普通辭ニ使用シ得サル語ト雖モ前項但書ノ要件ヲ備フルモノハ之ヲ隱語ト看做ス
第二十條　祕辭トハ文字又ハ數字ノ孤立若ハ集合ニシテ前二條ノ規定ニ該當セサルモノヲ謂フ
第二十一條　歐文電報ニ使用スル語辭ニハ文字ト數字トヲ混用スルコトヲ得但シ指定略號、順序數、居所ノ地番號、商標及記號（第十八條第二項第二號ニ規定スルモノニ限ル）ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第二十一條　濁點及半濁點ハ文字ニ附スル場合ヲ除クノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス
第二十二條　削除
第二十三條　日本語及朝鮮語ノ歐文電報ハ十五字ヲ超エテ之ヲ聯記シ又ハ一語句ノ中間ニ於テ之ヲ分割記載スルコトヲ得但シ名詞ハ之ニ附屬スル助詞ト共ニ字數ニ拘ラス之ヲ一聯綴トシテ記載スルコトヲ得
二以上ノ名詞ヲ聯結シタルモノ又ハ名詞ニ他ノ語句ヲ附加シタルモノト雖普通一名詞トシテ使用セラルルモノハ前項但書ノ例ニ依リ記載スルコトヲ得
第二十四條　日本語及朝鮮語ノ歐文電報中ニ外國語又ハ數字ヲ混用スルトキハ其ノ外國語又ハ數字ヲ日本語又ハ朝鮮語ト聯記スルコトヲ得
第二十五條　本文ナキ電報ハ之ヲ受付ケス
第二十六條　發信人其ノ居所氏名ヲ受信人ニ知ラシメムトスルトキハ電報本文ノ末尾ニ

第二十七條　發信人ノ電報頼信紙ニ記載シタル文字其ノ他ヲ加除訂正シタルトキハ電信官署ハ相當ノ發明ヲ爲サシムルコトアルヘシ
第二十八條　發信人ハ其ノ居所氏名ヲ電報紙第二條ノ發信人ノ記載スヘシ但シ其ノ記載ヲ省略シ又ハ他人ノ氏名ヲ記載スルモノト雖電信官署ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ受付ケルコトアルヘシ
第三章　字數及語數ノ計算
第二十九條　電報中字數又ハ語數ニ算入スルモノ左ノ如シ
一　本文
二　歐文電報ノ名宛但シ第十四條ノ規定ニ依リ附記シタル地名ヲ除ク
三　指定
第三十條　和文電報及誘文電報中ノ記號ハ其ノ一箇ヲ文字一字ニ計算ス但シ括弧ハ之ヲ文字二字ニ計算ス
濁點又ハ半濁點ヲ附シタル文字ハ之ヲ二字ニ計算ス
誘文電報中指定ノ文字又ハ數字ハ其ノ一箇ヲ一字ニ計算ス
第三十一條　歐文電報中ノ普通辭ハ十五字ヲ超エサルモノハ之ヲ一語ニ計算シ十五字ヲ超エサルモノハ十五字毎ニ之ヲ一語ニ計算ス
第三十二條　歐文電報中數字ノ孤立シタルモノ又ハ其ノ集合五字ヲ超エサルモノハ五字ヲ一字ニ計算シ五字ヲ超エルモノハ五字迄毎ニ之ヲ一語ニ計算ス
歐文電報中商標又ハ記號トシテ使用シタル文字及文字ト數字トノ集合ハ前項ノ例ニ依リ之ヲ計算ス第百五十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ受ケタル略號ニシテ文字ノ集合ヲ以テ構成シタルモノ亦同シ
第三十三條　歐文電報中ノ文字ヲ以テ記載シタル祕辭ハ數字ノ例ニ依リ之ヲ計算ス
第三十四條　削除
第三十五條　第二十三條及第二十四條ノ規定ニ違反シテ記載シタル語辭ハ數字ノ例ニ依リ之ヲ計算ス
第三十六條　歐文電報中第十八條ニ規定シタル國語ヲ其ノ用法ニ反シテ聯結又ハ省略シタルトキハ正當ノ綴字ニ依リ其ノ語數ヲ計

算ス
地名、人名、船名、航空機名其ノ他之ニ類スル名稱、文字ヲ以テ記載シタル數目及第十八條ニ規定シタル國語ノ聯結語ニシテ他人ノ記載シタル所ニ從ヒ其ノ語數ヲ計算ス
第三十七條　歐文電報中ノ左ノ文字及記號ハ其ノ一字又ハ一箇ヲ數字一字ニ計算ス
一　顚序數又ハ居所ノ地番號ヲ示ス爲ニ數字ニ附記シタル文字
二　商標、祕辭又ハ數字ノ集合中ニ使用シタル終點、讀點及斜線
第三十八條　歐文電報中ニ使用シタル終點、讀點、括弧及斜線ハ各之ヲ一語ニ計算ス但シ終點及讀點ハ發信人ニ於テ特ニ其ノ送信ヲ請求スルモノニ限リ之ヲ計算ス
第三十九條　歐文電報ノ各指定略號之ニ記載シタル數字ハ之ヲ一語ニ計算ス
第四章　料金
第四十條　電報料ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ如シ但シ終點、讀點及括弧ハ料金ヲ徵セス

	和文電報			誘文電報			欧文電報		
一市内ノモノ	官報	十五錢		官報	十五錢		和文五十字（欧文十語）以内	二十錢	
	私報	三十錢		私報	三十錢		和文十字超ユルトキハ欧文五十字（欧文十語）以内ヲ增ス毎ニ	三十錢	
朝鮮ト内地、臺灣、樺太及南洋ヤップ島相互間ノモノ	官報	三十錢		官報	三十錢		和文五十字（欧文十語）以内	三十錢	
	私報	四十錢		私報	四十錢		和文十字超ユルトキハ欧文五十字（欧文十語）以内ヲ增ス毎ニ	四十五錢	
前各號以外ノモノ	官報	三十錢		官報	三十錢		和文五十字（欧文十語）以内	三十錢	
	私報	五十錢		私報	五十錢		和文十字超ユルトキハ欧文五十字（欧文十語）以内ヲ增ス毎ニ	五十錢	

和文電報
十五字以内　十五錢
十五字ヲ超ユルトキハ五字以内ヲ增ス毎ニ　三錢
七字以内　十五錢
七字ヲ超ユルトキハ二字以内ヲ增ス毎ニ　三錢
五語以内　十五錢
五語ヲ超ユルトキハ一語ヲ增ス毎ニ　三錢

誘文電報
七字以内　十五錢
七字ヲ超ユルトキハ二字以内ヲ增ス毎ニ　三錢
五語以内　十五錢
五語ヲ超ユルトキハ一語ヲ增ス毎ニ　三錢

欧文電報
五語以内　四百八十圓
五語ヲ超ユルトキハ一語ヲ增ス毎ニ　十錢
二十錢　十五錢

第四十一條　電報ノ特殊取扱料ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ如シ

至急料	官報　電報料ニ同シ
照校料	私報　電報料ノ四分ノ一
電報受信報知料	和文誘文　電報料ノ一倍
郵便受信報知料	欧文　五語ニ相當スル電報料ニ同シ
同文料	十五字ニ相當スル電報料ニ同シ
時間外料	七字ニ相當スル電報料ニ同シ
別便配達料	別ニ告示スル場合ヲ除クノ外著信電信官署ヨリ八キロメートル以内ニ二十五錢ヲ超エ十錢ヲ加フ但シ島嶼ニ配達スルモノハ距離ニ拘ラス三十錢トシ配達實費之ヲ超エルトキハ其ノ實費額ニ依ル

第四十二條　新聞電報ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外三十錢トシ其ノ配達實費之ヲ超エルトキハ其ノ實費額ニ依ル（別ニ告示スル場合ヲ除クノ外第三十一條、第三十二條、第三十五條乃至第三十八條ノ例ニ依リ其ノ語數ヲ計算ス但シ電信官署名、電話官署名及郵便官署名ハ各之ヲ一語ニ計算ス）

新聞電報料	
一　朝鮮内ノモノ	和文五十字（欧文十語）以内　二十錢
二　朝鮮ト内地、臺灣、樺太及南洋ヤップ島相互間ノモノ	和文五十字（欧文十語）以内ヲ超ユルトキハ和文十字（欧文一語）ヲ增ス毎ニ　三十錢
至急料	原信本文ノ字數又ハ語數ニ依リ和文五十字（欧文十語）以内ヲ超ユルトキハ和文十字（欧文一語）ヲ增ス毎ニ　十五錢
同文料	和文五十字（欧文十語）以内ヲ超ユルトキハ和文十字（欧文一語）ヲ增ス毎ニ　十錢
一　朝鮮内ノモノ	一豫約ニ付年額　和文五百字（欧文百語）以内　四百八十圓
二　朝鮮ト内地相互間ノモノ	和文千字（欧文二百語）以内　八百四十圓
	和文千五百字（欧文三百語）以内　一千二百圓
二　朝鮮ト内地相互間ノモノ	和文五百字（欧文百語）以内　七百二十圓
	和文千字（欧文二百語）以内　一千二百六十圓
	和文千五百字（欧文三百語）以内　一千八百圓
豫約同文料	豫約新聞電報料ノ半額ニ同シ

第四十三條　局報ハ無料トス但シ別ニ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス
第四十四條　電報ニ關スル料金ニ錢位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ切捨ツ
第四十五條　電報ニ關スル料金ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外發信ノ際郵便切手ヲ電報紙ニ貼附シテ之ヲ納付スヘシ
第四十五條ノ二　同時ニ十通以上差出ス電報ノ料金ハ各通ノ料金ノ合計額ニ相當スル郵便切手又ハ通貨（分掌歲入徵收官吏ヲ置ク電信官署ニ差出ス場合ニ限ル）ヲ以テ發信ノ際別ニ之ヲ納付スルコトヲ得
第四十六條　受信人ニ於テ追納ヲ要スル電報ニ關スル料金ヲ追納セサルトキ又ハ受信人ニ於テ料金ノ追納ヲ要スル電報ヲ配達若ハ交付シ得サルトキハ其ノ追納スヘキ料金ハ發信人ヨリ之ヲ徵收ス
第四十七條　電報ニ關スル料金ヲ追納スヘキ發信人又ハ受信人二名以上アルトキハ各發信人又ハ受信人連帶シテ料金納付ノ責ニ任スルモノトシ其ノ內一名ヨリ之ヲ徵收ス
第四十八條　電報ニ關スル料金ハ別ニ定ムル

第十七類　電氣通信　第一章　通信　第五節　陸上無線電信

定ニ依リ計算シタル原信ノ字数又ハ語数ニ相當スル電報料（第百四十六條ノ規定ニ依リ加算シタル料金ヲ含ム）ヲ納付シ其ノ他ノ各通ニ付テハ一通毎ニ同文料ヲ納付スヘシ但シ其ノ他ノ各通ニ付各宛料ヲ課スルモノアルトキハ之ヲ原信ノ電報料ニ併算ス

同文電報ノ料金ニ充ツル郵便切手ハ總テ一括シテ之ヲ原信ニ貼附スヘシ但シ第四十五條ノ二ノ規定ニ依リ別ニ料金ヲ納付スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スルトキハ原信ニノミ各相當指定シ其ノ他ノ特殊取扱ヲ要スルトキハ一通毎ニ相當指定スヘシ

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルトキハ前條ニ規定スル料金ノ外原信ニ付テノミ至急料、照校料又ハ時間外料ヲ納付スヘシ

第八節　削除

第百五條乃至第百七條　削除

第九節　時間外

第百八條　電報取扱時間外ニ差出ス電報ニ付テハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ時間外ト指定スヘシ但シ電報取扱時間ニ拘ラス取扱フヘキ電報ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十節　夜間配達

第百九條　午前零時後電報取扱時間開始前ニ著信電信官署ニ到著スル電報取扱時間ノ開始ヲ待タス直ニ配達ヲ要スル電報ニ付テハ夜間配達ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ夜間配達ト指定スヘシ但シ電報取扱時間ニ拘ラス取扱フヘキ電報ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十節ノ二　翌朝配達

第百九條ノ二　發信人ノ指示スル時刻後ニ著信電信官署ニ到著シタル場合當該著信電信官署ノ開始ヲ待チテ配達ヲ要スル電報ニ付テハ翌朝配達ト指定スルコトヲ得但シ發信人ノ指示スル時刻ハ發信電信官署ニ於テ發信人ノ納付シタル料金ニ相當スル時刻ヨリ後ノ時刻ニシテ翌朝配達ヲ爲シ得ル時刻ニ限ル

第十一節　別使配達

第百十條　電報ノ配達區域外ニ宛テタル電報ニシテ別使ヲ以テ配達ヲ要スルモノニ付テハ別使配達ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ別使配達ト指定スヘシ但シ受信人ヨリ別使配達料ノ徴收ヲ要スル電報ニ付テハ別使配達受信人拂ト指定スヘシ

電報ノ宛所著信電信官署ヨリ八キロメートルヲ超ユル場合又ハ島嶼ニシテ別使配達料ノ差額又ハ配達ニ要スル實費額ヲ豫定シ之ニ相當スル別使配達料ヲ納付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ納付金額ヲ指定略號ニ附記スヘシ

發信人ノ納付シタル別使配達料カ實際ノ距離ニ依リ計算シタル別使配達料又ハ別使配達ニ要スル實費ニ滿タサル場合ニ於ケル其ノ不足額及別使配達料受信人拂電報ノ別使配達料ノ受信人ニ於テ之ヲ追納スヘシ

第百十三條　受信人ノ別使配達電報ヲ別使配達ニ要スル實費ニ滿タサル場合ニ於テ其ノ不足額ヲ追徴スヘシ

第十二節　船舶配達

第百十四條　艦船ニ宛テタル電報ニシテ船舶配達ヲ以テ配達ヲ要スル電報ニ付テハ船舶配達ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ船舶配達ト指定スヘシ但シ受信人ヨリ船舶配達料ノ徴收ヲ要スル電報ニ付テハ船舶配達受信人拂ト指定スヘシ

第百十五條　艦船ニ宛テタル電報ニシテ別使配達及船舶配達ヲ要スル場合ニ於テ發信人其ノ一方ノミヲ指定シタルトキト雖之ヲ配達シ其ノ不足料金ハ受信人ヨリ之ヲ追徴ス

第十三節ノ二　電話加入者ニ宛テタル電報ニシテ第百十六條ニ規定スル電信官署ヨリ電話ニ依リ送達ヲ要スルモノニ付テハ電話送達ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ電話送達ト指定スヘシ

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルトキハ前條ニ規定スル料金ノ外原信ニ付テノミ至急料、照校料又ハ時間外料ヲ納付スヘシ

第十四節　局待

第百十六條　發信電信官署ニ在リテ返信ヲ待ツコトヲ受信人ニ知ラシムルコトヲ要スル電報ニ付テハ局待ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ局待ト指定スヘシ

第十五節　親展

第百十七條　受信人以外ノ者ノ披見ヲ憚ル電報ニ付テハ親展ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ親展ト指定スヘシ

第十六節　配達日時指定

第百十八條　朝鮮内ノ同一電信官署ニ著シ又ハ一市内ニ配達スル場合當該著信電信官署ニ到著シタル時ヨリ起算シテ二時間以上同文ノ電報ニシテ發信人ノ指定シタル配達日時（時刻又ハ電報ノ種別ヲ以テ之ヲ指定スル場合ヲ含ム）ヲ經過シテ到著シタル電報ニ付テハ其ノ配達ヲ拒ムコトヲ得

第百十九條ノ二　配達日時指定電報ハ左ノ時迄ニ著信電信官署ニ到著シタル場合ニ於テノミ指定ノ日時ニ配達ス

一　同一電信官署ノ電報配達區域内ニ發受スルモノ　指定配達日時ノ二時間前

二　一市内ニ發受スルモノ　十四時間前

三　電信官署ニ受信人名簿ノ提出シアルモノ　前

四　前各號ニ該當セサルモノ　指定配達日時ノ二十六時間前

第百二十條　前條ノ規定ニ依リ差出シタル電報ハ指定配達日時ニ於テ受付タタルモノト看做シ其ノ日時ヨリ配達ヲ開始ス

第百二十條ノ二　配達日時指定電報ニハ第百十九條ノ規定ニ依ル指定ヲ除クノ外他ノ指定ヲ爲スコトヲ得ス

第百二十一條、第百二條及第百三條ノ規定ハ配達日時指定ニ差出日時、指定配達日時及一括通數ヲ電報賴信紙ノ餘白ニ記載スヘシ

第百十九條　發信人ノ豫メ著信電信官署ニ受信人名簿ノ提出シタル其ノ官署ニ前條ノ規定ニ依リ取扱ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ發信電信官署ニ前條ノ規定ニ不足額及船舶配達料受信人拂電報ノ船舶配達料ハ受信人ニ於テ之ヲ追納スヘシ

第百十五條　艦船ニ宛テタル電報ニシテ別使配達及船舶配達ヲ要スル場合ニ於テ發信人前條ニ依リ別使配達及船舶配達ヲ指定シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百十六條　電信官署ハ電話加入者ニ宛テタル電報ニシテ第百十三條ノ規定ニ依リ電話ニ依リ送達スヘキモノト認ムルモノニ付テハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百十七條　發信人ハ前條ノ通知ヲ受ケタル後ト雖尚電話送達ヲ請求スルコトヲ得

第百十八條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達スルヲ不適當ト認ムルトキハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百十九條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達シタルモノハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百二十條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達シタルモノハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百二十一條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達シタルモノハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百二十二條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達シタルモノハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百二十三條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達シタルモノハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百二十四條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達シタルモノハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百二十五條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達シタルモノハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百二十六條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達シタルモノハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百二十七條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達シタルモノハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百二十八條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達シタルモノハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百二十九條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達シタルモノハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百三十條　電話送達ヲ請求シタル電報ニシテ著信電信官署ニ於テ電話ニ依リ送達シタルモノハ其ノ旨ヲ發信人ニ通知スヘシ

用ス

第百三十條ノ四　第百四十六條ノ規定ハ配達日時指定電報ニ之ヲ適用セス

第八章　新聞電報

第一節　通則

第百二十一條　新聞紙ニ掲載ノ目的ヲ以テ發スル電報ニシテ別ニ定ムル規定ニ依リ認可ヲ受ケタル者ニ宛ツルモノハ新聞電報トス

第百二十二條　新聞電報ハ和文ニ在リテハ日本語、歐文ニ在リテハ日本語又ハ英吉利語ノ普通辭ヲ以テ之ヲ記載スヘシ但シ通信ノ纖續、始終、番號若ハ其ノ種別ヲ示ス語辭又ハ之ニ該當スル略字ハ之ヲ普通辭ト看做ス

第百二十三條　新聞電報ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ得ス

一　廣告

二　私信

第百二十四條　新聞電報ノ名宛ハ新聞電報發信證票ニ記載シタル略名ヲ以テ之ヲ記載スヘシ

第百二十五條　新聞電報ハ電報取扱時間ニ拘ラス之ヲ取扱フ

第百二十六條　發信人新聞電報ヲ差出ストキハ其ノ郵便局ニ於テ發信證票ヲ提示スヘシ

第百二十七條　受信人ハ著信電信官署ニ新聞電報ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ第百二十條ノ規定ニ依リ受信人ト看做シ之ニ電報ヲ交付ス

第百二十八條　新聞電報ニシテ差出シタル電報ニ付テハ第百二十三條ノ規定ニ依リ新聞電報ノ字數又ハ語數ニ達セサルトキ

第百三十四條ノ規定ニ依リ豫約新聞電報ノ字數又ハ語數ニ達セサルトキ

第百三十五條　豫約新聞電報ノ豫約字數又ハ豫約語數ヲ超過シタル字數又ハ語數ニ對シテハ一般新聞電報ノ料金ヲ課ス

第百三十六條　豫約新聞電報ノ豫約字數又ハ豫約語數ニ對スル料金ハ年額ヲ四分シ左ノ期別ニ從ヒ毎期分ヲ其ノ期ノ初月十日迄ニ納付スヘシ但シ豫約取扱ノ開始ヲ期ノ中途ニ於テ豫約取扱ノ認可ヲ取消シ若ハ豫約字數、豫約語數ヲ減少シタル場合ニ於テハ其ノ減少シタル豫約字數又ハ豫約語數ニ對スル料金ハ其ノ期ノ翌期ノ初月十日迄ニ之ヲ納付スヘシ

一　豫約取扱ノ認可ヲ取消サレタルトキ

二　豫約取扱ノ認可ヲ取消サレタルトキ但シ新聞電報認可規則第十七條ニ規定スル場合ヲ除ク

三　豫約取扱ヲ廢メタルトキ

四　豫約新聞電報ノ受信人數減少シタルトキ

第百四十三條　前條第一號乃至第三號ノ內一ニ該當スル場合ニ於テ豫約取扱認可後一年ニ滿タサルトキハ之ヲ滿ツル迄ノ料金ヲ一時ニ徵收ス此ノ場合ニ於テ其ノ認可後豫約字數又ハ豫約語數ニ依リ之ヲ計算ス

第百四十四條　料金納付責任者第百三十六條又ハ第百三十七條ニ規定スル期日迄ニ豫約新聞電報ノ料金ヲ納付セサルトキハ其ノ滯納ノ期間豫約新聞電報ノ取扱ヲ停止ス

第百四十五條　第四十八條、第六十二條及第七章第一節ノ規定ハ豫約新聞電報ニ之ヲ適用セス但シ第四十八條第四號ニ揭ケル場合ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百四十六條　電線託送

第百四十七條　電話加入者ハ當該電信官署又ハ別ニ告示スル電信官署ニ、電話規則第三十九條ノ規定ニ依ル發受用電話施設者（第百十七條ノ二第一項ニ規定スル電話加入者ヲ含ム）ハ當該電信官署ニ左ノ事項ヲ記載シタル賻料請求書ヲ差出シ其ノ使用ニ屬スル電話ニ依リ電報ヲ賻信シ又ハ電報ヲ送達ヲ受クルコトヲ得

一　發信又ハ受信ノ別

二　電話番號

三　電話機設置場所

四　受信人居所氏名及略號ノ登記ヲ受ケタルモノハ其ノ略號（第百十八條ノ二第一項ニ規定スル略號ヲ含ム）

五　開始年月日

前項ニ依リ電報ヲ送達シタルトキハ之ヲ配達シタルモノト看做ス

第百四十七條　電話加入者及發受用電話施設者ノ使用ニ屬スル電話又ハ電報送受ノ爲施

定ニ依リ計算シタル原信ノ字数又ハ語数ニ相當スル電報料（第百四十六條ノ二ノ規定ニ依リ減額シタルトキハ其ノ減額シタル電報料）ヲ納付シ其ノ他ノ各通ニ付テハ一通毎ニ同文料ヲ納付スシ但シ其ノ他ノ各通ニ付名宛料ヲ課スルモノアルトキハ之ヲ原信ノ電報料ニ併算ス同文電報ノ料金ニ充ツル郵便切手ハ總テ一括シテ之ヲ原信ニ貼附スヘシ但シ第四十五條ノ二ノ規定ニ依リ別ニ料金ヲ納付スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スルトキハ原信ニノミ各相當指定シ其ノ他ノ特殊取扱ヲ要スルトキハ一通毎ニ相當指定スヘシ

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルトキハ前條ニ規定スル料金ノ外原信ニ付テノミ至急料、照校料又ハ時間外料ヲ納付スヘシ

第八節　削除

第百五條乃至第百七條　削除

第九節　時間外

第百八條　電報取扱時間外ニ差出ス電報ニ付テハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ時間外ト指定スヘシ但シ電報取扱時間ニ拘ラス取扱フヘキ電報ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百九條　午前零時後電報取扱時間開始前ニ著信電信官署ニ到著スル電報ニ付テハ夜間配達ヲ要スル電報ニ付テハ夜間配達ト指定スヘシ但シ夜間配達ヲ要セサル電報ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十節　夜間配達

第百十條　午前零時後電報取扱時間開始前ニ著信電信官署ニ到著スル電報ニ付テハ日本語、歐文ニ在リテハ日本語、歐文ニ在リテハ日本語又ハ英吉利語ノ普通辭ヲ以テ之ヲ記載スヘシ但シ通信ノ繼續、始終、番號若ハ其ノ種別ヲ示ス語辭又ハ之ニ該當スル略字ハ之ヲ普通辭ニ看做ス

第百十一條　新聞紙ニ掲載ノ目的ヲ以テ發スル電報ニシテ別ニ定ムル規定ニ依リ認可ヲ受ケタル者ニ宛ツルモノハ新聞電報トス

第百十二條　新聞電報ハ和文ニ在リテハ日本語、歐文ニ在リテハ日本語又ハ英吉利語ノ普通辭ヲ以テ之ヲ記載スヘシ但シ通信ノ繼續、始終、番號若ハ其ノ種別ヲ示ス語辭又ハ之ニ該當スル略字ハ之ヲ普通辭ニ看做ス

第百十三條　新聞電報ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ得ス

一　廣告

二　私信

第百十四條　新聞電報ノ名宛ハ新聞電報發信證票ニ記載シタル略名ヲ以テ之ヲ記載スヘシ

第百十五條　新聞電報ハ電報取扱時間ニ拘ラス之ヲ取扱フ

第百十六條　發信人新聞電報ヲ差出ストキハ其ノ都度新聞電報發信證票ヲ提示スヘシ

第百十七條　受信人ハ著信電信官署ニ新聞電報受信證票ヲ提示シテ新聞電報ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ新聞電報ニハ受信人ト看做シ之ニ電報ヲ交付ス

第百十八條　新聞電報トシテ差出シタル電報ニシテ第百二十二條及第百二十三條ノ規定ニ違反スルモノアルトキハ一般私報ノ例ニ依リ料金ヲ計算シ不足額ハ受信人ヨリ之ヲ徵收スル但シ其ノ電報豫約取扱ニ係ルモノナルトキハ料金全額ヲ料金納付責任者ニ通知ス

第百十九條　第七章（第一遮後號及第百四十六條ノ規定ハ新聞電報ニ之ヲ適用セス

第二節　豫約取扱

第百二十條　豫約新聞電報ニ付テハ其ノ電報ノ發信ヲ開始スヘキ日ヨリ十五日以内ニ之ヲ納付スヘシ

第百二十一條　豫約新聞電報ノ豫約字數又ハ語數ハ一日ヨリ六月三十日迄

一日ヨリ九月三十日迄

二日ヨリ十二月三十一日迄

三日ヨリ三月三十一日迄

四日ヨリ六月三十日迄

豫約新聞電報ノ豫約字數又ハ語數ニ對シ一般新聞電報ノ料金ヲ課ス

第百二十二條　豫約新聞電報ノ豫約字數又ハ語數ヲ超過シタル字數又ハ語數ニ對シ一般新聞電報ノ料金ヲ課ス

前項ノ超過字數又ハ語數ハ豫約字數又ハ語數ヲ制限シ其ノ送信ヲ遲延シ又ハ其ノ取扱ヲ爲ササルコトアルヘシ

第百二十三條　豫約新聞電報ノ豫約字數又ハ語數ハ豫約期間ヲ通シ一定ノ字數又ハ語數ヲ以テ之ヲ豫約ス

豫約期間ヲ通シ一定ノ字數又ハ語數ヲ以テ豫約スル場合ニ於テハ豫約期間ヲ通シ豫約字數又ハ豫約語數ヲ超過スルモ豫約字數又ハ豫約語數ヲ超過セサルモノニ付テハ豫約字數又ハ豫約語數ヲ超過シタル字數又ハ豫約語數ニ對シ一般新聞電報ノ料金ヲ課ス

第百二十四條　艦船ニ宛テタル電報ニシテ艦船ニ以テ配達ヲ要スルモノニ付テハ艦船配達ト指定スヘシ但シ豫約取扱ノ開始カ期ノ中途ニ於テ豫約取扱ノ開始カ期ノ中途ニ於テ豫約取扱ノ開始カ期ノ中途ニ於テ

設シタル電信若ハ電話ニ依リ電報ヲ頼信スル者ハ電報託送料トシテ一通毎ニ三錢ヲ納付スベシ但シ公衆通信ノ用ニ供スル陸軍軍用無線電信所ニ於テ陸軍軍用電報ヲ頼信スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十七條ノ二　電信官署ニ於テ必要アリト認ムルトキハ託送電報ノ發信人ニ對シ保證金ヲ納付セシムルコトアルヘシ其ノ保證金額及納付期日ハ電信官署ニ於テ之ヲ指定ス

前項ノ保證金ハ國債ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

託送電報ノ發信人電報ニ關スル料金ヲ納付セサルトキハ第一項ニ依リ納付シタル保證金ヲ以テ之ニ充テ尚足ラサルトキハ其ノ不足額ヲ追徵ス

保證金ハ電報託送ヲ爲ササルニ至リタルトキト雖電報ニ關スル料金ヲ納付シタル後ニ非サレハ之ヲ還付セス

第百四十八條　電報取扱時間外ニ於テハ電報取扱時間ニ拘ラス取扱フヘキ電報ニ非サレハ電報託送ニ依リ之ヲ頼信スルコトヲ得ス

第百四十九條　託送電報ノ發信人又ハ受信人ハ毎月分ノ電報ニ關スル料金ヲ發受電信官署ノ通知スル所ニ依リ翌月二十日迄ニ納付スヘシ但シ錢人從收官吏ヲ置ケル郵便局ニ納付スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百五十條　第百四十六條ノ規定ニ依ル請求ヲ爲シタル電話加入者及發受用電話設者電線託送ニ依リ電報ヲ頼信セス又ハ其ノ送達ヲ受ケサルコト一年以上ニ亙リタルトキハ電線託送ヲ變更シタルトキ又ハ加入名義ヲ變更シタルトキハ其ノ旨發受電信官署ニ屆出ツヘシ

第二條　年賀電報ノ受付期間ハ毎年十二月二十五日ヨリ翌年一月六日迄トス

第三條　年賀電報ノ料金ハ別段ノ定アルモノヲ除クノ外左ノ如シ

一	朝鮮内ノモノ	但シ一市内ノモノハ十五錢	同文料金三十錢
二	朝鮮ト内地、樺太、南洋群島間ノモノ		四十錢
三	陸地經船間ノモノ	但シ經船託送發受所ヨリ發スルモノハ五十五錢	十五錢
		但シ經船託送發受所ヨリ發スルモノハ三十錢	四十五錢
			八十錢

第四條　年賀電報ノ發信人ハ電報頼信紙ノ本文欄ニ其ノ選定シタル新年祝賀文又ハ其ノ略號及發信人ノ氏名ヲ受信人ニ知ラシメントスル場合ニ限リ）ヲ記載シ且其ノ本文欄ノ餘白ニ「年賀電報」ト表示スヘシ

第五條　年賀電報ニ付テハ特殊取扱（同文ノ取扱ヲ除ク）及著信託送ノ取扱ヲ爲サス

第六條　十二月三十一日迄ニ受付ケタル年賀電報ハ翌年一月一日ノ電報取扱時間開始ノ時刻ニ之ヲ受付ケタルモノトシテ取扱フ

第七條　年賀電報ハ其ノ本文ニ指示セラレタル新年祝賀文及發信人名（發信人名ノ記載ハ同文ノ場合ニ限ル）ヲ特殊ノ電報送達紙ニ記載シテ之ヲ配達ス

第八條　年賀電報ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外內國電報ニ關スル規定ニ依ル

附錄　新年祝賀文例

略號　文　例

イ　謹ミテ新年ヲ賀ス

ロ　謹ミテ新年ノ御祝詞ヲ申上ゲマス

ハ　明ケマシテ御目出度ウ御座イマス

ニ　新玉ノ年ノ始ノ御祥芽出度ク御祝ヒ申上ゲマス

ホ　謹ミテ新年ヲ賀シ御慶家ノ萬福ヲ祈ル

ヘ　謹ミテ新年ヲ賀シ平素ノ御無音ヲ謝ス

ト　謹ミテ新年ヲ賀シ倍賀ノ御愛顧ヲ願フ

チ　新年御芽出度ウ御座イマス相變ラズ御引立テヲ願ヒマス

リ　謹ミテ年頭ノ御挨拶ヲ由上ゲ益々御繁榮ヲ祈ル

ヌ　謹ミテ新年ヲ賀ス早々賀詞ヲ賜ハリ難有存ジマス

ル　洋上ヨリ遙ニ故國ノ新年ヲ賀ス

ヲ　謹ミテ新年ヲ賀シ御安著ヲ待ツ

ワ　謹ミテ新年ヲ賀シ一路御平安ヲ祈ル

カ　新年御芽出度ウ御座イマス當方皆無事御安心下サイ

㊽無線電信法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

大正四年十月勅令第百八十六號

朕無線電信法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

無線電信法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル件

第一條　無線電信及無線電話ハ政府之ヲ管掌スヘシ

第二條　左ニ揭ケル無線電信又ハ無線電話ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケサレハ之ヲ私設スルコトヲ得

一　施設スルモノ

同一人ノ特定事業ニ用ヰル船舶相互間ニ於テ其ノ事業ノ用ニ供スル目的ヲ以テ船舶ニ施設スルモノ

二　電報送受ノ爲電信官署トノ間ニ施設者ノ專用ニ供スル目的ヲ以テ電信、電話、無線電信又ハ無線電話ニ依ル公衆通信ノ連絡ナキ陸地又ハ船舶ニ施設スルモノ

三　電信、電話、無線電信又ハ無線電話ニ依ル公衆通信ノ連絡ナク前號ノ規定ニ依ル不適當ト認ムル陸地相互間又ハ陸地船舶間ニ於テ同一人ノ特定事業ニ用ヰル目的ヲ以テ施設スルモノ

四　電信、電話、無線電信又ハ無線電話ニ依ル公衆通信ノ連絡ナク前號ノ規定ニ依ル不適當ト認ムル陸地相互間又ハ陸地船舶間ニ於テ同一人ノ特定事業ニ用ヰル目的ヲ以テ施設スルモノ

五　無線電信又ハ無線電話ニ關スル實驗ニ專用スル目的ヲ以テ施設スルモノ

六　前各號ノ外主務大臣ニ於テ特ニ施設ノ必要アリト認メタルモノ

第三條　私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ機器、其ノ裝置及運用ニ關スル制限竝私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ通信ニ從事スル者ノ資格及配置ニ付テハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條　私設ノ無線電信及無線電話ハ其ノ施設ノ目的以外ニ使用スルコトヲ得但シ命令ノ定ムル所ニ依リ船舶遭難通信、氣象通信、報時通信其ノ他主務大臣ニ於テ公益上必要ト認ムル通信ニ限リ之ヲ使用スルコトヲ妨クス

第五條　外國船舶ニ裝置シタル無線電信又ハ無線電話ハ第二條ノ規定ニ依リ施設シタルモノヲ除クノ外之ヲ使用スルコトヲ得但シ船舶遭難通信及航行中電信官署又ハ電話官署トノ通信ニ使用スルコトヲ妨クス

第六條　主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ私設ノ無線電信又ハ無線電話ヲ公衆通信又ハ軍事上必要ト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ無線電信、無線電話又ハ無線電話ノ使用ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第七條　私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ施設者ノ本法、本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ主務大臣ハ其ノ無線電信、無線電話ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ使用ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第八條　私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ施設者其ノ機器工作物ヲ撤去スルコトヲ要ス私設ノ無線電信又ハ無線電話ヲ廢止シタルトキ亦同シ

第九條　私設ノ無線電信、無線電話又ハ外國船舶ニ施設シタル無線電信、無線電話ハ船舶遭難通信ノ取扱ヲ依賴ヲ受ケタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十條　無線電信、無線電話又ハ無線電話ニ非ス

第十一條　私設ノ無線電信、無線電話又ハ外國船舶ニ施設シタル無線電信、無線電話ハ船舶遭難通信ノ取扱ヲ依賴ヲ受ケタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條　無線電信又ハ無線電話ハ船舶遭難通信ノ取扱ヲ妨害シタル者ハ前項ニ同シ

第十三條　無線電信、無線電話ニ依ル公衆通信若ハ軍事上必要ナル通信ヲ障碍シ又ハ之ヲ障碍スヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條　第十六條乃至第二十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十五條　本法ニ基キテ爲ス當該吏員ノ職務ノ執行ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シタル者又ハ第十三條若ハ第十四條ノ二ノ規定ニ依リ檢査ノ際當該官吏ノ詢問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十六條　第十四條、第十五條ノ罪ハ其ノ業務ノ執行ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シタル者ニ對シ又ハ其ノ業務ニ從事スル者ニ對シテモ亦同シ

第十七條　私設ノ無線電信又ハ無線電話ヲ其ノ施設ノ目的以外ニ使用シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

公益ヲ害スル目的ヲ以テ無線電信又ハ無線電話ニ依リ虛僞ノ通信ヲ發シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

船舶遭難ノ事實ナキニ拘ラス無線電信又ハ無線電話ニ依リ船舶遭難通信ヲ發シタル者ハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

無線電信又ハ無線電話ノ事務ニ從事スル者第一項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金、第二項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ十年以下ノ懲役、第三項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

第十八條　第五條ノ規定ニ違反シタル者又ハ本法ニ依ル無線電信、無線電話ノ使用ノ制限停止、設備變更若ハ除却撤去ノ命ニ從ハサル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條　第六條ノ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ無線電信、無線電話ノ使用ヲ拒ミ又ハ第十四條ノ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ船舶ノ使用ヲ拒ミ若ハ特殊ノ供給設備ヲ爲ササル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條　電信官署又ハ無線電話ノ通信ノ秘密ヲ漏泄シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第二十一條　不法ニ無線電信、無線電話ニ關スル決定ニ對シ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十二條　本法ハ航空機ニ施設スル無線電信及無線電話ニ關シ之ヲ準用ス

第二十三條　本法ノ適用ニ付テハ航空機ハ之ヲ船舶ト看做ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正四

上最便宜ノ位置ニ在ル無線電信又ハ無線電話ニ通報スヘシ

前項ノ場合ニ於テ特定ノ事項ノ通報ヲ求メラレタルトキハ前項ノ規定ニ依ラス直ニ其ノ通報ヲ爲スコトヲ要ス

第十三條　主務大臣ハ不法ニ無線電信又ハ無線電話ヲ施設シタル者アリト認メタルトキハ當該官吏ヲシテ其ノ施設ノ場所ニ立入リ機器工作物ノ檢查、機器附屬具ノ除却其ノ他相當ノ措置ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條ノ二　主務大臣ハ私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ機器、其ノ裝置又ハ運用ニ關シ必要ト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ其ノ施設ノ場所ニ立入リ機器工作物及關係書類ノ檢查ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條ノ三　前二條ノ規定ニ依リ當該官吏無線電信又ハ無線電話ノ施設ノ場所ニ立入ル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帶スヘシ

第十四條　政府ハ公衆通信ノ用ニ依スル無線電信又ハ無線電話ノ施設ノ爲船舶ノ一部ヲ使用シ必要アルトキハ特殊ノ供給又ハ設備ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ相當ノ使用料及特殊ノ供給ニ關シ必要ノ事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條　公衆通信ノ用ニ供スル無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信ニシテ無線電信、無線電話、郵便、貯金ノ事務又ハ船舶遭難、航行ノ安全、報時、氣象報告ニ關スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ無料トス

第十六條　許可ナクシテ無線電信、無線電話ヲ施設シ若ハ許可ナクシテ施設シタル無線電信、無線電話ヲ使用シタル者又ハ許可ヲ取消サレ又ハ之ノ遅延セシメタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條　無線電信、無線電話ノ事務ニ從事スル者正當ノ事由ナクシテ公衆通信若ハ軍事上必要ナル通信ノ取扱ヲ爲ササルトキハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

無線電信又ハ無線電話ノ事務ニ從事スル者前項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條　無線電信又ハ無線電話ノ事務ニ從事スル者電信官署ノ取扱中ニ係ル無線電信ニ依ル電報ヲ正當ノ事由ナクシテ開披、毀損、隱匿若ハ放棄シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ通信ノ秘密ヲ漏泄シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第二十一條　不法ニ無線電信又ハ無線電話ニ依リ公衆通信若ハ軍事上必要ナル通信ヲ障碍シ又ハ之ヲ障碍スヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條　無線電信、無線電話ニ依ル公衆通信若ハ軍事上必要ナル通信ヲ障碍シ又ハ之ヲ障碍スヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條　第二十一條、第二十三條、第二十四條及第二十五條ノ規定ハ公衆通信又ハ軍事上必要ナル通信ノ用ニ供スル無線電信又ハ無線電話ニ之ヲ準用ス

第二十五條　無線電信、無線電話ニ依ル公衆通信若ハ軍事上必要ナル通信ヲ障碍シ又ハ之ヲ障碍スヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條　第十六條乃至第二十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二十七條　本法ニ基キテ爲ス當該吏員ノ職務ノ執行ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シタル者又ハ第十三條若ハ第十四條ノ二ノ規定ニ依リ檢查ノ際當該官吏ノ詢問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　第十四條、第十五條ノ罪ハ其ノ業務ノ執行ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シタル者ニ對シ又ハ其ノ業務ニ從事スル者ニ對シテモ亦同シ

第二十九條　私設ノ無線電信、無線電話又ハ外國船舶ニ施設シタル無線電信、無線電話ハ船舶遭難通信ノ取扱ヲ依賴ヲ受ケタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十條　無線電信又ハ無線電話ハ船舶遭難通信ノ取扱ヲ妨害シタル者ハ前項ニ同シ

第三十一條　無線電信、無線電話ニ依ル公衆通信若ハ軍事上必要ナル通信ヲ障碍シ又ハ之ヲ障碍スヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條　第二十四條、第二十五條ノ規定ハ公衆通信又ハ軍事上必要ナル通信ノ用ニ供スル無線電信又ハ無線電話ニ之ヲ準用ス

第三十三條　第十六條乃至第二十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三十四條　第二十七條、第二十八條ノ罪ハ其ノ業務ノ執行ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シタル者又ハ第二十九條若ハ第三十條ノ二ノ規定ニ依リ檢查ノ際當該官吏ノ詢問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十五條　第二十九條、第三十條ノ罪ハ其ノ業務ノ執行ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シタル者又ハ第二十九條若ハ第三十條ノ二ノ規定ニ依リ檢查ノ際當該官吏ノ詢問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十六條　第二十七條、第二十八條ノ罪ハ其ノ業務ニ從事スル者ニ對シテモ亦同シ

第三十七條　私設ノ無線電信、無線電話ニ依ル公衆通信又ハ軍事上必要ナル通信ヲ障碍シ又ハ之ヲ障碍スヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條　第二十四條、第二十五條ノ規定ハ公衆通信又ハ軍事上必要ナル通信ノ用ニ供スル無線電信又ハ無線電話ニ之ヲ準用ス

第三十九條　第十六條乃至第二十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四十條　第二十七條、第二十八條ノ罪ハ其ノ業務ノ執行ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シタル者又ハ第二十九條若ハ第三十條ノ二ノ規定ニ依リ檢查ノ際當該官吏ノ詢問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

年十月勅令第百八十五號ヲ以テ同年十一月一日ヨリ施行）

附　則（大正十年四月法律第六十二號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和二年勅令第二十六號ヲ以テ同年六月一日ヨリ施行）

附　則（昭和四年四月法律第四十五號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年十二月勅令第三百四十五號ヲ以テ昭和五年一月一日ヨリ施行）

●無線電報規則

大正十四年十月
總令第九十七號

改正　昭和二年七月第八九號、二年十二月第一三四號、六年七月一〇一號、七年九月第八九號、八年十二月第一四四號、一〇年三月第四一號

無線電報規則左ノ通改正ス

無線電報規則

目　次

第一章　總則
第二章　艦船又ハ航空機發著無線電報
第三章　陸地間無線電報
第四章　料金
附　則

無線電報規則

第一章　總　則

第一條　無線電報トハ無線電信又ハ無線電話ニ依リ送受スヘキ電報ヲ謂フ

第二條　本令ニ於テ海岸局トハ艦船トノ間ニ、航空局トハ航空機トノ間ニ無線電信又ハ無線電話ニ依リ通信ヲ爲ス陸上電信官署、船舶局トハ船舶內電信官署、航空機局トハ航空機內電信官署、固定局トハ陸地間ニ於テ無線電信又ハ無線電話ニ依リ通信ヲ爲ス電信官署、託送發受所トノ電信官署トノ間ニ無線電報ヲ送受スル目的ヲ以テ施設シタル官廳用若ハ私設ノ無線電信又ハ無線電話及軍用無線電報若ハ海軍官憲ノ承認ヲ經タル無線電報ヲ電信官署トノ間ニ送受スルコトヲ朝鮮總督ニ於テ承認シタル軍用ノ無線電信又ハ無線電話ヲ謂フ

本令ニ於テ陸上局トハ海岸局及航空局、移動局トハ船舶局及航空機局、無線局トハ陸上局、移動局及固定局ヲ謂フ

無線局及託送發受所ノ名稱及呼出符號ハ之ヲ告示ス

第三條　艦船又ハ航空機發著無線電報ハ電報取扱時間ニ拘ラズ之ヲ取扱フ但シ電報取扱時間外ニ於テ企ク電報ノ取扱ヲ爲ササル電信官署ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第四條　船舶局ニ於テハ其ノ船舶休航中又ハ碇泊中、航空機局ニ於テハ其ノ航空機休航中又ハ著陸若ハ著水中無線電報ノ取扱ヲ爲ササルコトアルヘシ

第五條　船舶又ハ航空機ノ遭難ニ際シ其ノ船舶又ハ航空機ノ名稱（航空機ニ在リテハ登錄記號トス登錄記號ノ外ニ名稱ヲ附スルモノハ該名稱ヲ含ム以下同シ）、遭難ノ位置、狀況其ノ他救助ニ必要ナル事項ヲ通報スル無線電報ハ無線局ニ於テ他ノ通信ヲ中止シ最先順位ヲ以テ之ヲ取扱フ

第六條　前條ノ規定ニ依ル無線電報ハ之ヲ局報トシテ爲スコトヲ得但シ有線電信系ヲ傳送ヲ要スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七條　船舶又ハ航空機ノ航行上ノ危險發滅其ノ他海上又ハ空中ニ於ケル生命財產ノ保全ニ必要ナル事項ヲ通報スル無線電報ニシテ緊急ノ性質ヲ有スルモノト認ムルモノハ前二條ノ規定ニ準シ之ヲ取扱フ

第八條　無線局ト海軍託送發受所トノ間ノ通信方法ハ別ニ告示スル海軍無線電報取扱規約ニ依ル

前項ノ規約ハ無線局ト海軍託送發受所以外ノ託送發受所トノ間ノ通信方法ニ關シ之ヲ準用ス

第九條　本令ニ規定ナキ事項ハ內國電報ニ關スル規定ニ依ル

第二章　艦船又ハ航空機發著無線電報

第十條　艦船又ハ航空機著無線電報ニシテ陸上局ヲ經由スヘキモノノ宛所中ニハ該局名ヲ記載シ括弧ヲ以テ之ヲ區劃スヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ陸上局名ハ歐文電報ニ於テモ前項ノ陸上局ニ於テ送信シ得サル場合他ノ陸上局ヲ經由シテ送信シ得ルトキハ該局ヲ經由セシメ無線電信又ハ無線電話ニ依ラサルモ陸上電信官署ヨリ配達シ得ルトキハ該局ヲ經由シテ送信スルコトアルヘシ

第十一條　艦船又ハ航空機ノ遭難ニ際シ其ノ船舶又ハ航空機ノ名稱（航空機ニ在リテハ登錄記號トス登錄記號ノ外ニ名稱ヲ附スルモノハ該名稱ヲ含ム以下同シ）、遭難ノ位置、狀況其ノ他救助ニ必要ナル事項ヲ通報スル無線電報ハ無線局ニ於テ他ノ通信ヲ中止シ最先順位ヲ以テ之ヲ取扱フ

第十二條　艦船又ハ航空機發著無線電報ニ付テハ原信ニノミ之ヲ記入スヘシ

艦船又ハ航空機著無線電報ノ發信人陸上局ニ於テ必要アリト認ムルトキハ發信人ニ對シ陸上局又ハ移動局ニ於テ其ノ通知ヲ受ケル迄託送發受所ニ無線電報ノ取扱ヲ爲ササルコトアルヘシ

第十三條　發信人ノ前條ノ規定ニ依ル保管期間ヲ延長セントスルトキハ該期間滿了前其ノ旨ヲ發信電信官署ニ請求スヘシ順次更ニ保管期間ヲ延長セントスルトキ亦同シ此ノ場合ニ於テ日數ヲ指定セサルトキハ延長期間前項ニ規定スル請求ヲ爲ストキハ陸上局ニ對スル通知ニ要スル電報ノ料金ト引換ニ發信官報ナルトキハ一般私報又ハ新聞電報ナルトキハ一般私報ノ料金ト同額ノ料金ヲ納付スヘシ

第十四條　返信料ヲ前納スル艦船又ハ航空機發著無線電報ノ指定略號ニハ前納料金額ヲ附記スヘシ但シ其ノ前納料金額カ八十錢ナルトキハ之カ附記ヲ要セス

艦船又ハ航空機託送發受所著返信料前納無線電報ニ對シ陸上局又ハ移動局ニ於テ返信料前納證書ヲ發行シタルトキハ該無線電報發信ノ際證書ヲ發行月日、番號及前納料金額ヲ該託送發受所ニ通知ス

前項ノ通知ヲ受ケル託送發受所ハ無線電報發信ノ際證書ヲ發行局ニ證書番號ヲ通知シテ該證書ヲ使用スルコトヲ得但シ前項ノ通知ノ日ヨリ三日以內ニ其ノ使用ナキトキハ該證書ハ當該託送發受所ノ施設者ニ之ヲ送付ス

第十五條　艦船又ハ航空機發著無線電報ニ關スル弊害、改正又ハ停止ニシテ返信ヲ要スルモノハ陸上電信官署間ニ限リ其ノ取扱ヲ爲ス

第十六條　艦船又ハ航空機發著無線電報ハ陸上電信官署間ニ限リ至急、再送及受信報知ノ取扱ヲ爲ス

受信報知ヲ要スル艦船又ハ航空機著無線電報ノ發信人ニハ陸上局ニ於テ該電報ヲ送信シタル日時ヲ通知ス

第十七條　艦船又ハ航空機發著無線電報ニ付テハ追尾、翌朝配達及配達日時指定ノ取扱ヲ爲サス

第十八條　航行中ノ船舶內ニ公示ノ目的ヲ以テ發スル船舶局著無線電報ニシテ發信人ニ於テ所轄管理事務分掌郵便局長ノ認可ヲ受ケ一定ノ電信官署ニ差出スモノハ新聞電報トシテ之ヲ取扱フ但シ發信又ハ受信ノ際證信證票又ハ受信證票ノ提示ヲ要セス且該電報ノ豫約ノ取扱ヲ爲サス

第十九條　前條ノ規定ニ依ル新聞無線電報ニシテ同一海岸局ヲ經由シ二箇以上ノ船舶局ニ著スルモノハ陸上電信官署間ニ限リ同文電報トシテ爲スコトヲ得但シ同文ノ略號ニ代フルニ左ノ略號ヲ以テスヘシ

和文略號　歐文略號

SM　ラヨ

前項ノ同文電報ニ付テハ第十條第二項及第三項ノ規定ヲ適用セス但シ該電報ノ全部カ同一海岸局ヲ經由シテ傳送シ得ル場合又ハ同一陸上電信官署ヨリ配達シ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條　艦船又ハ航空機發著無線電報ノ送受ハ對手局所在ノ電信官署ト無線電信又ハ無線電話ニ依リ直接ニ之ヲ行フ

第二十一條　船舶又ハ航空機託送發受所ノ施設者ニ於テ第三十一條ニ規定スル料金又ハ私設無線電信無線電話規則第四條ニ規定スル料金ヲ納付セサルトキハ電信官署ニ於テ當該託送發受所トノ間ノ無線電報送受ヲ停止スルコトアルヘシ

第三章　陸地間無線電報

第二十二條　固定局間傳送ヲ要スル無線電報ニシテ別ニ告示スル所ニ依リ無線電報ト指定シテ差出スヘキモノニハ指定事項トシテ左ノ略號ヲ記入スヘシ

和文略號　歐文略號

ナイ　RA

通常料同文料

官報及私報

和文
- 十五字以內　五錢
- 十五字ヲ超エルトキハ五字以內ヲ增ス每ニ　同
- 五字以內ヲ增ス每ニ　二錢

歐文
- 十五語以內　二十錢
- 十五語ヲ超エルトキハ一語ヲ增ス每ニ　同

新聞電報

和文
- 五十字以內　二十五錢
- 五十字ヲ超エルトキハ五十字以內ヲ增ス每ニ　二十錢

歐文
- 十語以內　二十五錢
- 十語ヲ超エルトキハ十語以內ヲ增ス每ニ　二十錢

原信本文ノ字數ニ依リ
- 第二通以下各通ニ付五十字以內　十五錢
- 五十字ヲ超エルトキハ五十字以內ヲ增ス每ニ　十錢

原信本文ノ語數ニ依リ
- 第二通以下各通ニ付十語以內　十五錢
- 十語ヲ超エルトキハ十語以內ヲ增ス每ニ　十錢

和文電報ニ連記シタル第二以下ノ受信人名又ハ遂送シタル追尾電報若ハ再送電報ノ第二以下ノ居所ニ付テハ一名宛每ニ五錢ヲ附課ス

第二十三條　有線電信系上傳送ヲ要スル無線電報ニハ前條ニ規定スル料金ノ外有線電報料ヲ課ス但シ艦船又ハ航空機發著無線電報ニ付テハ有線電信系上ノ傳送地域ニ掛ラス朝鮮內（同內地ニ發著スル電報ノ料金ト同額ノ有線電報料ヲ課ス

第二十四條　固定局間傳送ヲ要スル無線電報ノ種類取扱期間其ノ他ノ事項ニ付特ニ制限スル場合ハ別ニ之ヲ告示ス

第二十五條　第二十一條ノ規定ハ陸上託送發受所發著無線電報ニ之ヲ準用ス

第四章　料　金

第二十六條　無線電報ニハ無線局ニ於ケル無線電信又ハ無線電話ニ依ル送信、受信又ハ中繼ノ各取扱ニ付左ノ無線電報料ヲ課ス但シ固定局間傳送上ノ料金ハ第三十條ノ二ノ規定ニ依ル場合及其ノ特定料金ヲ告示シタル場合ヲ除クノ外之ヲ課セス

船舶局ニ於ケル送信	二十五錢
船舶局ニ於ケル受信	五錢
航空局ニ於ケル送信	二十五錢
航空局ニ於ケル受信	五錢
移動局ニ於ケル送信	同
移動局ニ於ケル受信	同

第二十七條　有線電信系上傳送ヲ要スル無線電報ニハ前條ニ規定スル料金ノ外有線電報料ヲ課ス但シ艦船又ハ航空機發著無線電報ニ付テハ有線電信系上ノ傳送地域ニ掛ラス朝鮮內（同內地ニ發著スル電報ノ料金ト同額ノ有線電報料ヲ課ス

第二十八條　固定局間ヲ經由スル陸上局ニ於テ該固定局ヲ對手局トシテ爲ス託送發受所トノ間ニ於テ告示シタル特定料金ヲ課スル無線電報ニ付テハ前條ノ規定ニ依ル料金ノ外該固定局ヲ經由スル陸上局ニ於ケル其ノ送受ニ關シ無線電報料ヲ課セス

第二十九條　別ニ告示スル電信官署ト海軍託送發受所トノ間ニ送受スル海軍用無線電報ニ限リ其ノ送受ニ關シ無線電報料ヲ課セス

第二十九條ノ二　別ニ告示スル電信官署ト朝鮮ニ於ケル陸軍託送發受所トノ間ニ送受スル陸軍用無線電報ニ限リ其ノ送受ニ關シ無線電報料ヲ課セス

第三十條　無線電報ニ付無線電報料ヲ課セサル場合ニ於テ有線電信系上傳送ヲ要セサルモノニ付テハ其ノ無線局ニ於ケル取扱ヲ有線電信系上ノ取扱ト看做シ第二十七條ニ規定スル有線電報料ヲ課ス

第三十條ノ二　朝鮮ト南洋群島（ヤップ島ヲ除ク）トノ間ニ發著スル無線電報ニ付テハ內地ト南洋群島トノ間ノ固定局間傳送ハ之ヲ有線電信系上ノ取扱上看做シ朝鮮ト南洋ヤップ島トノ間ニ發著スル電報ノ料金ト同額ノ有線電報料ヲ課ス

內地ト南洋群島トノ間ノ固定局間傳送ヲ要スル艦船又ハ航空機發著無線電報ニ付テハ該固定局間傳送ハ之ヲ有線電信系上ノ取扱ト看做シ第二十七條但書ノ規定ニ依ル有線電報料ヲ課ス

第三十一條　託送發受所ヨリ發スル無線電報ノ料金ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ徵收ス

一　海軍託送發受所ヨリ發スルモノ

イ　海軍用無線電報ノ料金ハ別ニ定ムル所ニ依リ海軍省ヨリ之ヲ徵收ス

ロ　海軍官廳ノ承認ヲ經タル無線電報ノ料金ハ追徵ノ例ニ依リ郵便切手ヲ以テ發信人ヨリ之ヲ徵收ス但シ他ノ海軍託送發受所ニ著スルモノニ付テハ發信人ヨリ徵收ス

二　主務官廳ニ於テ料金額ヲ調定シテ託送發受所ノ施設者ニ通知シ該施設者ヨリ一般ニ入徵收ノ例ニ依リ通貨ヲ以テ徵收ス但シ料金徵收上必要アルトキハ郵便切手ヲ以テ納付セシメ又ハ主務官廳ノ指定スル場所ニ於テ料金納付代理人ヲ定メ屆出テシムルコトアルヘシ

託送發受所ノ施設者ニ於テ前項ノ料金ヲ納付スヘキ日ハ主務官廳ヨリ該施設者又ハ料金納付代理人ニ調定料金額ノ通知ヲ發シタル日トス

第三十二條　託送發受所著無線電報ニ付發信人ヨリ追徵ヲ要スル料金ハ前條ノ例ニ依リ託送發受所ノ施設者ヨリ之ヲ徵收ス但シ海軍託送發受所著海軍官廳ノ承認ヲ經タル無線電報ニ付發信人ヨリ追徵ヲ要スル料金ハ發信人ヨリ之ヲ追徵ス

第三十三條　第十條第二項及第三項ノ規定ニ依リ料金ニ不足ヲ生シタルトキハ受信人ヨリ之ヲ追徵ス同文電報ナルトキハ之ヲ各通ニ平分ス

有線電信系ノ障碍又ハ通信輻輳ニ際シ無線局ニ於テ一般電報ヲ臨機傳送シタル場合ニ於テハ其ノ傳送ヲ有線電信系上ノ傳送ト看做シ無線電報料ハ之ヲ追徵セス

第三十四條　左ノ料金ハ之ヲ還付スル但シ他ノ料金ニ充當シタル金額ハ此ノ限ニ在ラス

一　無線電信又ハ無線電話ニ依ル送受ヲ爲ササリシトキハ其ノ部分ノ無線電報料

二　有線電信系上傳送ヲ爲ササリシトキハ其ノ部分ノ有線電報料

第二十三條ノ規定ニ依リ所定ノ固定局間傳送ニ代フルニ他ノ固定局間又ハ有線電信系上ノ傳送ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ傳送之ヲ爲ササリシトキハ之ヲ所定ノ固定局間傳送ト看做シ無線電報料ハ之ヲ還付セス

第三十五條　移動局ニ納付シタル無線電報ニ關スル料金還付ノ請求ハ何レノ電信官署ニ

●無線電報取扱規則第二條ノ規定ニ依リ無線局及船舶局ニ受ケシムル無線電報ノ種別

種別	摘要
官署線電報	無線電報ヲ送受シテ陸軍用ニ供スル官署ノ電報
無料ノ無線電報	無線電報取扱規則第八條ノ規定ニ依リ無料ニ取扱フ電報
有料ノ無線電報	無線電報取扱規則第八條ノ規定ニ依リ有料ニ取扱フ電報

●無線電報取扱規則第八條ノ規定ニ依リ海軍用無線電報取扱ノ特例

昭和三年一月一日ヨリ施行ノ分ニ限リ無線電報取扱規則第八條ノ規定ニ依リ海軍用無線電報ニ關シ特ニ取扱フ事項ハ左ノ如シ

一　海軍用無線電報ハ發信局ニ於テ發信者ノ署名ヲ省略ス

二　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ署名ヲ省略ス

三　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

四　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

五　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

六　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

七　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

八　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

九　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

十　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

●無線電報取扱規則第八條ノ規定ニ依リ海軍用無線電報取扱ノ特例

昭和三年一月一日ヨリ施行ノ分ニ限リ無線電報取扱規則第八條ノ規定ニ依リ海軍用無線電報ニ關シ特ニ取扱フ事項ハ左ノ如シ

一　海軍用無線電報ハ發信局ニ於テ發信者ノ署名ヲ省略ス

二　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

三　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

四　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

五　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

六　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

七　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

八　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

九　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

十　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

●無線電報取扱規則第八條ノ規定ニ依リ海軍用無線電報取扱ノ特例

昭和三年一月一日ヨリ施行ノ分ニ限リ無線電報取扱規則第八條ノ規定ニ依リ海軍用無線電報ニ關シ特ニ取扱フ事項ハ左ノ如シ

一　海軍用無線電報ハ發信局ニ於テ發信者ノ署名ヲ省略ス

二　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

三　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

四　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

五　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

六　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

七　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

八　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

九　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

十　海軍用無線電報ハ受信局ニ於テ受信者ノ住所ヲ省略ス

ルトキ必ズ上官ニ報告スルコト

第十五条　呼出ニ対シ自局ヲ通知シ又ハ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ通信ヲ開始スルコト但シ通信ヲ開始スル方向ニ航行スル船舶ニ対シテハ此ノ限ニアラス

第十六条　通信ヲ開始スルニ当リテハ呼出ヲ三回以内ニ止ムヘシ但シ呼出ヲ受ケタル船舶ニ対シテハ此ノ限ニアラス

第十七条　通信ヲ開始スルニ当リテハ呼出ヲ受ケタル船舶ニ対シ自局ノ名称ヲ通知スヘシ

第十八条　通信ヲ開始スルニ当リテハ呼出ヲ受ケタル船舶ニ対シ自局ノ名称ヲ通知スヘシ

第十九条　通信ヲ開始スルニ当リテハ呼出ヲ受ケタル船舶ニ対シ自局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二十条　通信ヲ開始スルニ当リテハ呼出ヲ受ケタル船舶ニ対シ自局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第三十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第三十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第三十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第三十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第三十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第三十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第三十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第三十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第三十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第三十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第四十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第四十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第四十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第四十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第四十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第四十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第四十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第四十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第四十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第四十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第五十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第五十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第五十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第五十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第五十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第五十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第五十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第五十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第五十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第五十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第六十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第六十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第六十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第六十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第六十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第六十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第六十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第六十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第六十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第六十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第七十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第七十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第七十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第七十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第七十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第七十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第七十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第七十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第七十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第七十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第八十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第八十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第八十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第八十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第八十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第八十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第八十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第八十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第八十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第八十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第九十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第九十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第九十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第九十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第九十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第九十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第九十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第九十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第九十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第九十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百二十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百二十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百二十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百二十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百二十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百二十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百二十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百二十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百二十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百二十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百三十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百三十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百三十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百三十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百三十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百三十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百三十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百三十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百三十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百三十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百四十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百四十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百四十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百四十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百四十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百四十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百四十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百四十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百四十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百四十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百五十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百五十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百五十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百五十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百五十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百五十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百五十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百五十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百五十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百五十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百六十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百六十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百六十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百六十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百六十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百六十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百六十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百六十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百六十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百六十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百七十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百七十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百七十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百七十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百七十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百七十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百七十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百七十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百七十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百七十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百八十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百八十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百八十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百八十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百八十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百八十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百八十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百八十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百八十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百八十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百九十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百九十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百九十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百九十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百九十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百九十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百九十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百九十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百九十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第百九十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百二十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百二十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百二十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百二十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百二十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百二十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百二十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百二十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百二十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百二十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百三十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百三十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百三十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百三十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百三十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百三十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百三十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百三十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百三十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百三十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百四十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百四十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百四十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百四十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百四十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百四十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百四十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百四十七条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百四十八条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百四十九条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百五十条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百五十一条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百五十二条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

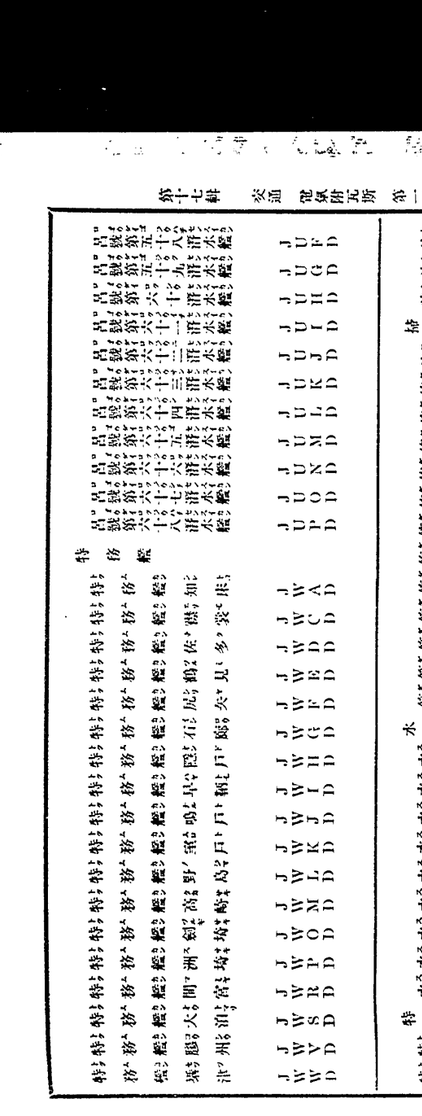
第二百五十三条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百五十四条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百五十五条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百五十六条　船舶無線電信ヲ陸上ノ無線電信局ニ対シテ使用スルトキハ其ノ局ノ名称ヲ通知スヘシ

第二百五十七条　船舶無線電信ヲ陸上



無線電信法第二十八條ノ三ノ規定ニ依リ費用補償ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　無線電信法第二十八條ノ三ノ規定ニ依リ政府ノ補償スベキ費用ノ支給ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　前條ノ費用ヲ請求セントスル者ハ工事竣功ノ日ヨリ三月内ニ其ノ内譯ヲ明記シタル請求書ヲ朝鮮總督府遞信局長ニ提出スベシ

第三條　朝鮮總督府遞信局長前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ當否及金額ヲ審査シ之ガ決定ヲ請求者ニ通知ス

第四條　設備ノ變更又ハ特殊ノ設備左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ之ニ要シタル經費ハ第一條ノ費用中ニ之ヲ包含セシメズ政府ノ命ズル所ニ從ヒテ爲シタル場合ヲ除クノ外通信障碍ヲ除去スルコト能ハザリシトキ

一　修繕其ノ他當該設備ノ保存上必要ナル處置ニ屬スルトキ

附　則

本令ハ昭和四年法律第四十五號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和五年二月一日ヨリ施行）

●新聞電報認可規則

大正十四年十月
總令第九十四號
改正　昭和二年八月第八一號、七年九月第八八號、八年九月第二三號

新聞電報認可規則左ノ通定ム

新聞電報認可規則

第一條　電報規則第百二十一條及第百三十條ニ規定スル新聞電報ノ取扱又ハ新聞電報ノ豫約ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ本令ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督府遞信局長（以下遞信局長又ハ所轄管理事務分掌郵便局長（以下分掌局長ト稱ス）ニ認可ヲ受クヘシ

第二條　本令ニ依ル申請又ハ屆出ハ新聞社又ハ通信社ノ持主ノ名ヲ以テスヘシ其ノ持主異動ノ場合ハ新舊持主ノ連署ヲ以テ直ニ其旨遞信局長又ハ所轄分掌局長ニ屆出ツヘシ

前項ノ手續ヲ怠リタルトキハ新聞電報ノ取扱又ハ新聞電報ノ豫約取扱ノ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第三條　本令ニ依ル新聞電報ノ取扱又ハ新聞電報ノ豫約取扱ノ繼續ハ新聞社又ハ通信社ノ持主ニ異動ヲ生ジタルトキハ其ノ旨所轄分掌局ヲ經由シ遞信局長ニ屆出ツヘシ但シ電報規則第百三十六條ニ規定スル期ノ末日十五日前迄ニ之ヲ屆出ヲ怠リタルトキハ次期ノ豫約取扱ヲ繼續スルモノト看做ス

第十七條　電信回線其ノ他業務上已ムヲ得サル事由アルトキハ豫約取扱ノ認可ヲ取消シ、豫約字數若ハ豫約語數ヲ制限シ又ハ發信電信官署若ハ發信時刻ヲ變更スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨料金納付責任者ニ通知ス

第十八條　受信人其ノ住所ヲ移轉シタル爲著信電信官署ヲ異ニスルニ至リタルトキハ豫約取扱ノ認可ヲ取消スコトアルヘシ豫約同文新聞電報ノ受信人中其ノ住所ヲ移轉シタル爲著信電信官署ヲ異ニスルニ至リタル者アルトキハ繼續スルコトアルヘシ前項ノ規定ニ依リ豫約取扱ヲ繼續スル場合ニ於テ總代人其ノ住所ヲ移轉シタル爲著信電信官署ヲ異ニスルニ至リタルトキハ新ニ總代人ヲ定メ第十五條ノ規定ニ準シ屆出ツヘシ

第十九條　電報規則第百四十四條ノ規定ニ依ル取扱停止期間三十日以上ニ及ヒタルトキ又ハ其ノ停止度數一會計年度二回以上ニ及ヒタルトキハ豫約取扱ノ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第二十條　朝鮮ヨリ内地ニ發スル豫約新聞電報ニ付テハ發信人ヲ料金納付責任者トスヘシ

附　則

第二十一條　本令ハ大正十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十二條　新聞電報規則及大正十三年朝鮮總督府令第十二號ハ大正十四年十月三十一日限リ之ヲ廢止ス

第二十三條　舊令ニ依ル新聞電報ノ取扱ノ認可ヲ受ケタル者ハ第十一條第一項ニ揭ケル事項ヲ記載シ其ノ旨所轄分掌局ヲ經由シ遞信局長ニ屆出ツヘシ但シ電報規則第百三十六條ニ規定スル期ノ末日十五日前迄ニ之ヲ屆出ヲ怠リタルトキハ次期ノ豫約取扱ヲ繼續スルモノト看做ス

第二十四條　舊令ニ依リ朝鮮總督府遞信局長ニ屆出ツヘシ但シ電報規則ニ依リ豫約取扱ヲ繼續スル場合ハ此ノ限ニアラス

第二十五條　舊令ニ依リ豫約取扱ヲ繼續スル場合ニ於テハ其ノ旨料金納付責任者ニ通知ス

第二十六條　舊令ニ依リ豫約取扱ヲ繼續スル場合ニ於テハ其ノ旨及新聞電報ノ受信人名ニ對シ略名ヲ定メタル申請者ニ通知ス

同一府面内ニ二以上ノ電信官署アル場合ニ於テハ其ノ旨及豫約取扱ヲ繼續ス

ルモノニ限ル

第四條　無線電信法第二條第三號ノ規定ニ依リ當該電信官署ニ施設ヲ要スル私設無線電信無線電信無線電話ノ設備及維持ハ朝鮮總督逓信局之ヲ行フ

前項ノ私設無線電信無線電話ノ施設者ハ朝鮮總督府逓信局長（以下單ニ逓信局長ト稱スル）ノ指ポスル所ニ從ヒ其ノ設備ニ要スル物件ヲ供給シ、費用ヲ負擔シ及別ニ指定スル維持料ヲ納付スベシ

第五條　私設無線電信無線電話ヲ施設セントスル者ハ左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル願書及圖面（附錄第一號樣式）ヲ朝鮮總督ニ差出シ其ノ許可ヲ受クベシ

一　施設ノ目的（施設ヲ必要トスル事由ヲ附記スベシ）

二　機器裝備場所（船舶又ハ航空機ニ施設スルモノナルトキハ船舶ノ名稱又ハ航空機ノ登錄記號及其ノ名稱）

三　通信執務時間（實驗ヲ目的トスルモノナルトキハ實驗時間）

四　船舶又ハ航空機ニ施設スルモノナルトキハ當該船舶又ハ航空機ノ所屬、形狀及航行ニ關スル事項ノ概要竝ニ定繫港又ハ定發場（朝鮮ニ於ケル主ナル碇泊港又ハ離濟場ヲ定繫港又ハ定發場ト爲スベシ）

五　實驗ヲ目的トスルモノナルトキハ實驗ノ種類方法（實驗者ノ履歷書及身分證明書ヲ添附スベシ）

六　落成期限

七　朝鮮總督ニ於テ必要アリト認ムルトキハ前項ニ規定スル書類及圖面以外ノ書類又ハ圖面ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第六條　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

同條第一項第五號乃至第七號ノ事項ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク逓信局長ニ屆出ヅベシ

第七條　私設無線電信無線電話ノ電波ノ型式、使用周波數、呼出符號、呼出名稱及運用ニ關スル制限ハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ指定ス

第八條　私設無線電信無線電話ノ施設者ノ名義ヲ變更セントスルトキハ當事者ノ連署シタル願書ヲ朝鮮總督ニ差出シ其ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ場合ニ於テ相續其ノ他ノ事由ニ因リ當事者ノ連署シ得ザルトキハ相當證明書ヲ添附スベシ

第九條　私設無線電信無線電話ノ施設ヲ許可シタルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ告示ス告示シタル事項ニ異動アリタルトキ亦同ジ

一　施設ノ目的

二　機器裝備場所（船舶ナルトキハ船舶ノ名稱及定繫港、航空機ナルトキハ航空機ノ登錄記號及定發場）

三　呼出符號

四　空中線電力

五　使用電波ノ型式及周波數

七　通信執務時間（實驗ヲ目的トスルモノナルトキハ實驗時間）

第十條　私設無線電信無線電話ノ裝置工事落成シタルトキハ遲滯ナク逓信局長ニ屆出ヅベシ

第十一條　私設無線電信無線電話ハ第七十三條ノ規定ニ依ル檢定證書又ハ假檢定證書ノ交付ヲ受ケタル後ニ非ザレバ其ノ使用ヲ開始スルコトヲ得ズ

第十二條　私設無線電信無線電話ノ使用ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク逓信局長ニ屆出ヅベシ但シ無線電信法第二條第三號ノ規定ニ依リ施設シタルモノニ付テハ使用開始前七日迄ニ屆出ヅベシ

第十三條　前條ノ規定ニ依ル使用中止ノ屆出後又ハ第七十五條第一項ノ規定ニ依ル使用停止ノ後更ニ之ガ使用ヲ開始スルトキ亦前項ニ同ジ

第十四條　私設無線電信無線電話ヲ廢止セントスルトキハ七日前ニ其ノ旨ヲ逓信局長ニ屆出ヅベシ私設無線電信無線電話ノ使用ヲ中止セントスルトキ亦同ジ

第十五條　第五十二條乃至第五十四條、第五十八條乃至第六十二條、第六十五條、第六十八條乃至第七十二條及第七十四條ノ規定ハ朝鮮ニ定繫港又ハ定發場ヲ有セザル船舶又ハ朝鮮ニ定繫港又ハ定發場ヲ有セザル船舶ニ裝備シタル無線電信無線電話ニ、第二章乃至第六章ノ規定ハ朝鮮船舶安全令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法第十四條各號ニ揭ゲル船舶ニ裝備シタル無線電信ニ（無線電信無線電話ニ關スル條約竝ニ同條約附屬規則等ニ別段ノ規定アル事項ニ付テハ該規定ニ依ル）第五條乃至第十四條、第二章及第五章乃至第七章ノ規定ハ無線標識施設ニ之ヲ準用ス

第二章　機器及裝置

第十六條　私設無線電信無線電話ニ使用シ得ル電波ノ型式ハ特ニ許可又ハ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ五種トス

一　A一電波　振幅又ハ周波數ガ電信操作ニ依リ變化スル持續電波

二　A二電波　振幅又ハ周波數ガ電信操作ト結合シタル可聽周波數ノ周期的ノ法則ニ從ヒ變化スル持續電波

三　A三電波　振幅又ハ周波數ガ可聽波數ノ複雜ニシテ可變的ナル法則ニ從ヒ變化スル持續電波（例無線電話）

四　A四電波　振幅又ハ周波數ガ可聽周波數ヨリモ大ナル周波數ノ何レカノ法則ニ從ヒ變化スル持續電波（例電視）

振幅ガ最大ニ達シタル後漸次低減スル振動ノ逐次ノ列ヲ成ス對數減衰率〇・一六以下ノ減幅電波

五　B電波　前項第二號及第五號ノ電波ノ可聽波數ハ百周以上ナルコトヲ要ス

第十七條　私設無線電信無線電話ノ發射電波ハ出來得ル限リ必要ナラザル電波ヲ伴ハザルモノナルコトヲ要ス

第十八條　私設無線電信無線電話ニ使用スル電波ノ周波數（單位ハ一秒時ニ於ケルキロサイクルトス以下KCヲ以テ示ス）ハ成ルベク之ヲ正確且安定ニ維持スルコトヲ要ス

第十九條　私設無線電信無線電話ノ機器及其ノ裝置ハ電信、電話其ノ他ノ電線路ニ障碍ヲ及ボスベキ誘導ヲ生ゼズ且人畜又ハ物件ニ危害ヲ及ボスノ虞ナキモノナルコトヲ要ス

第二十條　私設無線電信無線電話ノ送信及受信裝置ハ周波數ノ變更及送信ヨリ受信ヘ又ハ受信ヨリ送信ヘノ切替ヲ敏速ニ行ヒ得ルモノナルコトヲ要ス

私設無線電話ニシテ公衆通信ノ用ニ供スルモノニ在リテハ同時送受話方式ナルコトヲ要ス

第二十一條　私設無線電信無線電話ノ空中線電力ハ所要通達距離ニ照シ最小ナルコトヲ要ス

第二十二條　私設無線電信無線電話ノ受信裝置ハ同調鋭敏ナルモノニシテ其ノ空中線ニ誘發スル高周波電流ガ他ノ無線電信無線電話ヲ妨害セザルモノナルコトヲ要ス

第二十三條　私設無線電信ノ機器ハ特ニ許可ヲ得タル場合ヲ除クノ外一分時ニ和文ニ付テハ八十五字以上、歐文ニ付テハ二十五語以上ヲ送受シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二十四條　私設無線電信ノ送信裝置ハB電波ヲ發射セザルモノナルコトヲ要ス但シ實驗用私設無線電信又ハ船舶ニ施設スル電源用變壓器入力三百ワット未滿ノ私設無線電信ニシテ特ニ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第二十五條　私設無線電信無線電話ノ送受信裝置ハ特ニ許可又ハ指定スル場合ヲ除クノ外別表第一號ノ區別ニ依ル電波ノ型式及周

波數ヲ送受シ得ルモノナルコトヲ要ス

船舶又ハ航空機ニ施設スル私設無線電信無線電信ノ送受信裝置ニ付テハ逓信局長ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外左ノ各號ノ條件ニ適合スル補助設備ヲ裝置スベシ

一　獨立ノ電源ヲ有スルコト

二　獨立ノ高電壓發生裝置ヲ有スルコト

三　連續シテ六時間以上使用シ得ルコト

四　送信裝置ハA二若ハB電波五〇〇KCノ周波數ニ於テ空中線電力五十ワット以上ナルカ又ハ畫間百五十キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルコト但シ無休止ノ聽守ヲ要セザルモノニ付テハ空中線電力二十五ワット以上ナルカ又ハ畫間九十五キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルモノナルコトヲ得

五　受信裝置ハA二又ハB電波五〇〇KCノ周波數ヲ受信シ得且鐵石檢波ノ方式ニ依リテモ受信シ得ルコト

六　前項ノ補助設備ハ最高滿載吃水線上成ルベク高ク船舶ノ上部安全ナル位置ニ之ヲ裝置スルコトヲ要ス

第三十二條　船舶ニ施設スル私設無線電信ニシテ前項ノ規定ニ依ルコトヲ得ザル特殊ノ事由アルモノハ逓信局長ノ認可ヲ得テ朝鮮ノ一般無線通信規則第十條ノ規定ニ依リ外國主管廳ニ於テ交付シタル第一級、第二級又ハ特別證明書ヲ所持スル者ヲシテ無線通信士資格檢定規則ニ規定スル第一級、第二級又ハ第三級ノ資格ヲ有スル者ヲ以テ外國ニ在ル航空機ニ施設シタル私設無線電信ニ付亦同ジ

第三十三條　船舶ニ施設シタル私設無線電信ニシテ通信執務時間第一種ニ屬スルモノニ付テハ空中線電力二十五ワット以上ナルカ又ハ畫間九十五キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルモノナルコトヲ得

受信裝置ハA二又ハB電波五〇〇KCノ周波數ヲ受信シ得且鐵石檢波ノ方式ニ依リテモ受信シ得ルコト

第三十四條　船舶ニ施設スル私設無線電信ニシテ通信執務時間第二種ニ屬スルモノニ付テハ空中線電力五十ワット以上ナルカ又ハ畫間百五十キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルモノナルコトヲ得

第三十五條　船舶ニ施設シタル私設無線電信ニシテ通信執務時間第三種ニ屬スルモノニ付テハ空中線電力十ワット以上ナルカ又ハ畫間百五十キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルコト但シ無休止ノ聽守ヲ要セザルモノニ付テハ空中線電力二十五ワット以上ナルカ又ハ畫間九十五キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルモノナルコトヲ得

第三十六條　船舶ニ施設スル私設無線電信ニシテ通信執務時間第四種ニ屬スルモノニ付テハ空中線電力十ワット以上ナルカ又ハ畫間五十キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルコト

四　受信裝置ハ真空管式ニシテ且鐵石檢波器ニ切替ヘ使用シ得ルコト

五　機器ハ機械的振動ニ堪ヘコト

六　操縱ノ爲送受信ニ妨害ヲ受ケザルコト

七　有效ナル蔽圍設備ヲ有スルコト

第三章　無線通信士

第三十六條　私設無線電話ノ通信ニ從事スル者ハ之ヲ無線通信士ニ資格檢定規則ニ依リ相當資格ヲ有スル者ナルコトヲ要ス但シ實驗用私設無線電信無線電話ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十七條　無線電信ノ主送信裝置ハA二若ハB電波五〇〇KCノ周波數ニ於テ空中線電力七十五ワット以上ナルカ又ハ畫間百九十キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルコト

二　連續シテ三時間以上使用シ得ルコト

三　送信裝置

別表第一號（第二十五條參照）

種別	設備	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ
		種別	運用時間	通信ノ相手方	通信ノ範圍	通信ノ順序	通信ノ優先順位
第一級	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第二級	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第三級	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第四級	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ

別表第二號（第二十五條參照）

種別	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ
	種別	運用時間	通信ノ相手方	通信ノ範圍	通信ノ順序	通信ノ優先順位
第一級	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第二級	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第三級	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第四級	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ

別表第三號（第二十五條參照）

種別	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ
	種別	運用時間	通信ノ相手方	通信ノ範圍	通信ノ順序	通信ノ優先順位
第一級	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第二級	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第三級	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第四級	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ

別表第四（第二十五條參照）

種別	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ
	種別	運用時間	通信ノ相手方	通信ノ範圍	通信ノ順序	通信ノ優先順位
第一級	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第二級	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第三級	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第四級	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ

別表第五（第二十五條參照）

種別	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ
	種別	運用時間	通信ノ相手方	通信ノ範圍	通信ノ順序	通信ノ優先順位
第一級	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第二級	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第三級	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第四級	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ

別表第六（第二十五條參照）

種別	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ
	種別	運用時間	通信ノ相手方	通信ノ範圍	通信ノ順序	通信ノ優先順位
第一級	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第二級	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第三級	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第四級	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ

別表第一號（第二十五條參照）

種別	設備ノ區分	無線電信又ハ無線電話ノ種別	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ運用時間	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ通信ノ相手方	無線電信又ハ無線電話ノ通信ノ範圍	無線電信又ハ無線電話ノ通信ノ順序	無線電信又ハ無線電話ノ通信ノ優先順位
第一級	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	A三	同	同	同	同	同
第二級	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	一、〇〇KC乃至二、〇〇KC	一三六(2)、五三	同	同	同	同
第三級	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	一、〇〇KC乃至二、〇〇KC	一三六(2)、五三	同	同	同	同
第四級	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	一、〇〇KC乃至二、〇〇KC	一三六(2)、五三	同	同	同	同

別表第二號（第二十五條參照）

種別	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ
	種別	運用時間	通信ノ相手方	通信ノ範圍	通信ノ順序	通信ノ優先順位
第一級	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	A一及A二又ハB	同	A二又ハB	同	同	同
第二級	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	一、〇〇KC乃至二、〇〇KC(2)	四二(1)、五三(3)	同	同	同	同

別表第三號（第二十五條參照）

種別	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ
	種別	運用時間	通信ノ相手方	通信ノ範圍	通信ノ順序	通信ノ優先順位
第一級	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第二級	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第三級	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第四級	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ

別表第四（第二十五條參照）

種別	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ
	種別	運用時間	通信ノ相手方	通信ノ範圍	通信ノ順序	通信ノ優先順位
第一級	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第二級	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第三級	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第四級	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ

別表第五（第二十五條參照）

種別	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ
	種別	運用時間	通信ノ相手方	通信ノ範圍	通信ノ順序	通信ノ優先順位
第一級	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第二級	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第三級	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第四級	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ

別表第六（第二十五條參照）

種別	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ	無線電信又ハ無線電話ノ
	種別	運用時間	通信ノ相手方	通信ノ範圍	通信ノ順序	通信ノ優先順位
第一級	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第一號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第二級	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第二號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第三級	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第三號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ
第四級	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ	第一條第一項第四號ニ掲ゲル船舶ニ設ケル無線電信又ハ無線電話ノ

(二)

通信ノ別		呼出及應答	通信ノ種類	電報相互間ニ於ケル通信ノ方式	施設者	所屬無線電信局	備考
其ノ他	A一	A	官衙電報ノ通信上必要ナル電話ノ通信	官衙相互間ニ特定業務ニ關スル通信ヲ行フトキ	KC	五六〇	
	A二	A			KC	五六〇(7)	
	A三	A			KC	五六〇	
	B	B			KC	五六〇	
	A一	A	官衙ノ通信ニ關スル通信ヲ行フトキ	官衙相互間ニ特定業務ニ關スル通信ヲ行フトキ	KC	五六〇	
	A二	A			KC	五六〇(7)	
	A三	A			KC	五六〇	
	B	B			KC	五六〇	
其ノ他	A一	A	官衙ノ通信上必要ナル電話ノ通信	官衙相互間ニ特定業務ニ關スル通信ヲ行フトキ	KC	五六〇	
	A二	A			KC	五六〇(7)	
	A三	A			KC	五六〇	
	B	B			KC	五六〇	

註

(1) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(2) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(3) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(4) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(5) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(6) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(7) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(一)

區別	通信ノ種類	施設者	通信ノ方式	備考
甲	船舶ノ安全ニ關スル通信	船舶局	スルコトヲ得	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス
乙	船舶ノ運航ニ關スル通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
丙	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
丁	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
戊	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
己	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
庚	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	

(二)

區別	通信ノ種類	施設者	通信ノ方式	備考
甲	船舶ノ安全ニ關スル通信	船舶局	スルコトヲ得	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス
乙	船舶ノ運航ニ關スル通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
丙	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
丁	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
戊	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
己	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
庚	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	

(三)

區別	種別	呼出及應答	通信ノ種類	施設者	通信ノ方式	備考
甲	A一	A	官衙電報ノ通信上必要ナル電話ノ通信	KC	五六〇	
乙	A二	A		KC	五六〇(7)	
丙	A三	A		KC	五六〇	
丁	B	B		KC	五六〇	
戊	A一	A	官衙ノ通信ニ關スル通信ヲ行フトキ	KC	五六〇	
己	A二	A		KC	五六〇(7)	
庚	A三	A		KC	五六〇	
辛	B	B		KC	五六〇	
其ノ他	A一	A	官衙ノ通信上必要ナル電話ノ通信	KC	五六〇	
	A二	A		KC	五六〇(7)	
	A三	A		KC	五六〇	
	B	B		KC	五六〇	

註

(1) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(2) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(3) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(4) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(5) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(6) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(7) 呼出及應答ノ通信ハ船舶局ト船舶局トノ間ノ通信ニ限ル

(一)

區別	通信ノ種類	施設者	通信ノ方式	備考
甲	船舶ノ安全ニ關スル通信	船舶局	スルコトヲ得	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス
乙	船舶ノ運航ニ關スル通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
丙	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
丁	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
戊	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
己	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	
庚	公衆通信	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス	

(二)

區別	種別	呼出及應答	通信ノ種類	施設者	通信ノ方式	備考
甲	A一	A	官衙電報ノ通信上必要ナル電話ノ通信	KC	五六〇	
乙	A二	A		KC	五六〇(7)	
丙	A三	A		KC	五六〇	
丁	B	B		KC	五六〇	
戊	A一	A	官衙ノ通信ニ關スル通信ヲ行フトキ	KC	五六〇	
己	A二	A		KC	五六〇(7)	
庚	A三	A		KC	五六〇	
辛	B	B		KC	五六〇	
其ノ他	A一	A	官衙ノ通信上必要ナル電話ノ通信	KC	五六〇	
	A二	A		KC	五六〇(7)	
	A三	A		KC	五六〇	
	B	B		KC	五六〇	

備考　歩調整合ノ為一分ニ付数字五個ヲ送ルノ割合ヲ以テ送信スルコト

附表第三(船舶局ノ部)

區別	通信ノ種類	呼出及應答	通信ノ方式	施設者	備考
甲	船舶ノ安全ニ關スル通信	船舶局ト船舶局トノ間	スルコトヲ得	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス
乙	船舶ノ運航ニ關スル通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
丙	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
丁	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
戊	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
己	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
庚	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		

(一)

區別	通信ノ種類	呼出及應答	通信ノ方式	施設者	備考
甲	船舶ノ安全ニ關スル通信	船舶局ト船舶局トノ間	スルコトヲ得	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス
乙	船舶ノ運航ニ關スル通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
丙	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
丁	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
戊	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
己	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
庚	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		

(二)

區別	種別	呼出及應答	通信ノ種類	施設者	通信ノ方式	備考
甲	A一	A	官衙電報ノ通信上必要ナル電話ノ通信	KC	五六〇	
乙	A二	A		KC	五六〇(7)	
丙	A三	A		KC	五六〇	
丁	B	B		KC	五六〇	
戊	A一	A	官衙ノ通信ニ關スル通信ヲ行フトキ	KC	五六〇	
己	A二	A		KC	五六〇(7)	
庚	A三	A		KC	五六〇	
辛	B	B		KC	五六〇	
其ノ他	A一	A	官衙ノ通信上必要ナル電話ノ通信	KC	五六〇	
	A二	A		KC	五六〇(7)	
	A三	A		KC	五六〇	
	B	B		KC	五六〇	

備考　歩調整合ノ為一分ニ付数字五個ヲ送ルノ割合ヲ以テ送信スルコト

附表第三(船舶局ノ部)

區別	通信ノ種類	呼出及應答	通信ノ方式	施設者	備考
甲	船舶ノ安全ニ關スル通信	船舶局ト船舶局トノ間	スルコトヲ得	船舶局	船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス
乙	船舶ノ運航ニ關スル通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
丙	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
丁	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
戊	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
己	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		
庚	公衆通信		船舶局ハ遭難通信ヲ受信シタルトキハ其ノ通信ヲ終了スルマデ他ノ通信ヲ行フコトヲ得ス		

區別	用途	周波數	電波ノ型	空中線ノ型	送信機ノ型	受信機ノ型	備考
甲	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
乙	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	八三一KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
丙	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	二一〇KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
丁	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
戊	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	六二〇KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
己	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	八三一KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
庚	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	一〇四一KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
辛	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	一二五〇KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
壬	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	一四一六KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
癸	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	一六二五KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一

（ロ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	二一〇KC

（ハ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ニ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ホ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ヘ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ト）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（チ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（リ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ヌ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ル）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ヲ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ワ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（カ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ヨ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（タ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（レ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ソ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ツ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ネ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ナ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ラ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ム）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ウ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ヰ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ノ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（オ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ク）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ヤ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（マ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ケ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（フ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（コ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（エ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（テ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ア）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（キ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ユ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（メ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ミ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（モ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（セ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ス）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ン）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

區別	用途	周波數	電波ノ型	空中線ノ型	送信機ノ型	受信機ノ型	備考
甲	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
乙	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	八三一KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
丙	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	二一〇KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
丁	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
戊	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	六二〇KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
己	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	八三一KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
庚	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	一〇四一KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
辛	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	一二五〇KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
壬	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	一四一六KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一
癸	遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	一六二五KC	A一又ハA二	垂直空中線	水晶制御真空管送信機	再生式受信機	一

（ロ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	二一〇KC

（ハ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ニ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ホ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ヘ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ト）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（チ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（リ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ヌ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ル）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ヲ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ワ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（カ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ヨ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（タ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（レ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ソ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ツ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ネ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ナ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ラ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ム）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ウ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ヰ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ノ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（オ）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

遭難通信、緊急通信、安全通信及呼出ニ使用スル周波數ノ電波	五〇〇KC
船舶ノ運航ニ關スル通信ニ使用スル周波數ノ電波	四一五KC、六二〇KC、八三一KC、一〇四一KC、一二五〇KC、一四一六KC、一六二五KC

（ク）無線電信又ハ無線電話ノ通信ハ左ノ周波數ノ電波ヲ使用スルコトヲ得

(ハ)　無線標識局又ハ陸上無線電信ニ於テ船舶無線電信ヨリノ呼出又ハ標識符號送信ノ請求ニ對スル應答其ノ他標識符號ノ送信

無線標識局ニ在リテハA一又ハA二電波二八五C乃至三一五C又ハK周波數帶ニ於テ當該無線標識局ニ割當テタル周波數、陸上無線電信ニ在リテハ當該陸上無線電信ニ於テ通常通信ニ使用スル電波

第四條　無線緯針局ニ關スル左ノ事項ハ別ニ之ヲ告示ス

一　名稱
二　呼出符號
三　位置（受信空中線及發射空中線第四號緯針局ノ發射空中線緯度ヲ以テ示ス）

線緯針局ナルトキハ主ノ地理的位置ヲ

四　船舶無線電信ト交信ヲ爲サザル無線緯針局（副無線緯針局）ナルトキハ副無線緯針局ニ於ケル方位測定ニ關シ船舶無線電信ト交信ヲ爲ス無線緯針局（主無線緯針局）ノ名稱及呼出符號

五　聽守電波ノ型式及周波數

六　測定電波ノ型式及周波數（船舶無線電信ニ於テ方位測定ニ供スル符號ノ送信ニ使用スベキ電波ノ型式及周波數）

七　方位通知電波ノ型式及周波數（無線緯針局ニ於テ船舶無線電信ニ對シ方位測定ノ結果ノ傳送ニ使用スベキ電波ノ型式及周波數）

八　通常方位測定區域（通常方位ノ測定ヲ爲シ得ベキ海上ニ於ケル區域ヲ方位及距離ヲ以テ示ス）

九　其ノ他必要ナル事項

第五條　無線標識、無線標識局及無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信ニ關スル左ノ事項ハ別ニ之ヲ告示ス

一　名稱
二　呼出符號
三　位置（發射空中線ノ地理的位置ヲ經緯度ヲ以テ示ス）
四　發射電波ノ型式及周波數
五　聽守電波ノ型式及周波數
六　標識符號
七　無線標識ニ於ケル標識符號ノ發射ニ關シ船舶無線電信ト交信ヲ爲ス連絡無線電信アルトキハ其ノ名稱及呼出符號
八　通常方位測定區域
九　其ノ他必要ナル事項

第六條　無線緯針局又ハ無線方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ニ於テ私設無線電信無線電話規則第六十條ノ規定ニ依發信ヲ認メタルトキハ其ノ名稱及呼出符號

第七條　本令中船舶無線電信ニ關スル規定ハ航空機無線電信ニ付之ヲ準用ス但シ使用電波ノ型式及周波數ハ左ノ區別ニ依ルベシ

區別	無線緯針局ニ於テ其ノ方位測定ノ結果ヲ通知スルトキ	無線緯針局ニ於テ其ノ方位測定ノ結果ノミヲ通知スルトキ
一　無線緯針局ニ於テ自局若ハ副無線緯針局ノ方位測定ノ結果ヲ通知スルトキ	貴船ノ眞方位ハ當局ヨリ、、、度ナリ	貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリノ眞船ノ眞方位ハ、、、度ナリ
二　主無線緯針局ニ於テ自局又ハ副無線緯針局ノ方位測定ノ結果ヲ通知スルトキ	貴船ノ眞方位ハ當局ヨリ、、、度ナリ	貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリ、、、度ナリ
三　主無線緯針局ニ於テ自局及副無線緯針局ノ方位測定ノ結果ヲ通知スルトキ	當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク當該船舶ノ位置ヲ通知スルトキ	貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリ當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク貴船ノ位置ハ緯度、、、、、、ナリ
四　線緯針局ニ於テ自局及副無線緯針局ニ於ケル方位測定ノ結果ニ基ク當該船舶ノ位置ヲ通知スルトキ	當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク當該船舶ノ位置ハ緯度、、、、、、ナリ	貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリ當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク貴船ノ位置ハ緯度、、、、、、ナリ

事項	略符號
貴船ノ眞方位ハ當局ヨリ、、、度ナリ	QTE
貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリ貴船ノ眞方位ハ、、、度ナリ	QTE
當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク貴船ノ位置ハ緯度、、、、、、ナリ	QTF

第八條　本令ニ規定ナキ事項ニ付テハ一般ノ無線電信通信方法ニ關スル規定ニ依ルベシ

第二章　無線緯針業務

第九條　船舶無線電信ニ於テ無線緯針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サントスルトキハ當該無線緯針局ニ對シ直接方位測定ノ請求ヲ爲スヲ要ス但シ船舶無線電信ニ於テ當該無線緯針局ノ測定電波ニ非ザル電波ヲ以テ方位測定ニ供スル符號ヲ送信セントスルトキハ當該無線緯針局ノ通常方位測定區域內ニ入リタルトキニ限リ各局ニ割當テタル周波數ノ內ニ於テ通常通信ニ使用スル電波ヲ以テ方位測定ヲ爲スヲ得

第十條　船舶無線電信ニ於テ主無線緯針局又ハ副無線緯針局ノミニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サントスルトキハ其ノ主無線緯針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲スヲ要ス但シ船舶無線電信ニ於テ當該無線緯針局ノ測定電波ニ非ザル電波ヲ以テ方位測定ニ供スル符號ヲ送信セントスルトキハ當該無線緯針局ノ通常方位測定區域內ニ入リタルトキニ限リ各局ニ割當テタル周波數ノ內ニ於テ通常通信ニ使用スル電波ヲ以テ方位測定ヲ爲スヲ得

別	當該無線緯針局ノ聽守電波
一　航空機無線電信ヨリ無線緯針局ニ對スル呼出及方位測定ノ請求	當該無線緯針局ノ聽守電波
二　航空機無線電信ニ於テ方位測定ニ供スル符號ノ送信其ノ他	A一又ハA二電波三三三KC 當該無線緯針局ニ割當テタル電波

第十一條　船舶無線電信ニ於テ主無線緯針局又ハ副無線緯針局ノミニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サントスルトキハ其ノ主無線緯針局ニ對シ直接方位測定ノ請求ヲ爲スヲ要ス但シ船舶無線電信ニ於テ當該無線緯針局ノ測定電波ニ非ザル電波ヲ以テ方位測定ニ供スル符號ヲ送信セントスルトキハ當該無線緯針局ノ通常方位測定區域內ニ入リタルトキニ限リ各局ニ割當テタル周波數ノ內ニ於テ通常通信ニ使用スル電波ヲ以テ方位測定ヲ爲スヲ得

別	當該無線緯針局ニ對シ直接方位測定ノ請求ヲ爲ストキ	當該無線緯針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲ストキ
一　當該無線緯針局ニ對シ直接方位測定ノ請求ヲ爲ストキ	當船ノ眞方位如何	當船ノ眞方位如何
二　主無線緯針局又ハ副無線緯針局ノミニ依ル方位測定ノ請求ヲ爲ストキ	、、、（呼出符號）ヨリノ當船ノ眞方位如何	QTE？
三　主無線緯針局及副無線緯針局ニ依ル方位測定ノ請求ヲ爲ストキ	貴局ノ宰領スル無線緯針局ヨリノ當船ノ眞方位如何	QTF？
四　主無線緯針局及副無線緯針局ニ依ル位置ノ測定ノ請求ヲ爲ストキ	貴局ノ宰領スル無線緯針局ノ爲シタル測定ニ基ク當船ノ位置ヲ示サレタ	QTF？

第十二條　船舶無線電信ニ於テ二以上ノ無線緯針局（同一主無線緯針局ノ宰領スル副無線緯針局ノ場合ヲ除ク）ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サントスルトキハ其ノ一括呼出シタル上同時ニ方位測定ヲ爲サシムベシ

第十三條　主無線緯針局ニ於テ船舶無線電信ヨリ方位測定ノ請求ヲ受ケタルトキハ自局限リ測定ヲ爲スベキ場合ヲ除ク外副無線緯針局ニ對シ方位測定ノ準備ヲ爲スベキ旨ヲ通知スベシ

副無線緯針局ニ於テ主無線緯針局ヨリ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ方位測定ノ準備ヲ完了シ其ノ旨ヲ主無線緯針局ニ通知スベシ

第十四條　無線緯針局ニ於テ方位測定ヲ爲サントスルトキハ其ノ結果ヲ直ニ主無線緯針局ニ通知スベシ

第十七條　無線緯針局ニ於テ方位測定ノ結果ヲ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ當該無線緯針局（方位測定ヲ爲シタル無線緯針局）所在地ノ地方標準時ニ依リ「〇〇〇一（午前〇時一分）ヨリ「二四〇〇（午後十二時）ニ至ル四位ノ數字ヲ以テ示ス方位測定時刻ヲ送信シ之ニ引續キ左ノ區別ニ從ヒ之ニ該當スル事項ノ略符號及「〇〇〇ヨリ「三五九ニ至ル三位ノ數字ヲ以テ示ス當該無線緯針局（方位測定ヲ爲シタル無線緯針局）ヨリノ眞方位又ハ緯度ヲ以テ

區別	略符號	備考
一　貴船ノ眞方位ハ當局ヨリ、、、度ナリ	QTE	
二　貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリ貴船ノ眞方位ハ、、、度ナリ	QTE	
三　當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク貴船ノ位置ハ緯度、、、、、、ナリ	QTF	

シタルトキハ其ノ結果ヲ直ニ主無線緯針局ニ通知スベシ

第十七條　無線緯針局ニ於テ方位測定ノ結果ヲ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ當該無線緯針局（方位測定ヲ爲シタル無線緯針局）所在地ノ地方標準時ニ依リ「〇〇〇一（午前〇時一分）ヨリ「二四〇〇（午後十二時）ニ至ル四位ノ數字ヲ以テ示ス方位測定時刻ヲ送信シ之ニ引續キ左ノ區別ニ從ヒ之ニ該當スル事項ノ略符號及「〇〇〇ヨリ「三五九ニ至ル三位ノ數字ヲ以テ示ス當該無線緯針局（方位測定ヲ爲シタル無線緯針局）ヨリノ眞方位又ハ緯度ヲ以テ

區別	略符號	備考
一　貴船ノ眞方位ハ當局ヨリ、、、度ナリ	QTE	
二　貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリ貴船ノ眞方位ハ、、、度ナリ	QTE	
三　當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク貴船ノ位置ハ緯度、、、、、、ナリ	QTF	

第十八條　主無線緯針局ト副無線緯針局トノ間ノ連絡ハ電信又ハ電話ノ連絡アル場合ノ外之ヲ取扱ハズ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ外眞方位ヲ示ス數字ノ前ニ之ヲ測定シタル無線緯針局ノ呼出符號ヲ送信スベシ

第十九條　船舶無線電信ニ於テ無線緯針局ヨリ方位測定ノ結果ノ通知ヲ受ケタルトキハ照校ノ爲當該無線緯針局ニ對シ方位測定時刻及方位又ハ位置ヲ示ス數字ヲ受信ノ順序ニ依リ送信スベシ

第二十條　無線緯針局ニ於テ前條ノ送信ニ誤リナキコトヲ認メタルトキハ解信符號ヨ――ヨヲ送信スベシ

第二十一條　主無線緯針局ト副無線緯針局トノ間ノ連絡ハ電信又ハ電話ノ連絡アル場合之ニ依リ其ノ連絡ナキ場合ハ無線電信又ハ無線電話ニ依リ之ヲ爲スベシ

第三章　無線標識業務

第二十二條　無線方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ニ於テ無線標識局ニ對シ標識符號ノ送信ヲ請求セントスルトキハ當該無線標識局ノ通常方位測定區域ニ入リタルトキニ限リ各局ニ割當テタル周波數ノ內ニ於テ通常通信ニ使用スル電波ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十三條　無線標識局ニ於テ船舶無線電信ヨリ標識符號ノ發射ノ請求ニ依リ標識符號ノ送信ヲ爲サントスルトキハ一分間標識符號ヲ其ノ長點ヲ稍長クシテ送信スベシ

第二十四條　無線標識局又ハ陸上無線電信ニ於テ船舶無線電信ニ對スル應答ニ際シ方位測定ニ供スル符號ヲ送信スベキ旨（可送符號ヨヲ送信スベシ）ヲ通知スベシ

第十二條ニ依リ一括呼出ヲ受ケタル無線緯針局ハ其ノ呼出符號ノアルファベット順ニ從ヒ前項ノ規定ニ依リ通知スベシ

第十五條　船舶無線電信ニ於テ無線緯針局ニ對シ方位測定ニ供スル符號ノ送信ヲ爲サントスルトキハ第二十二條ノ規定ニ準ジ其ノ請求ヲ受ケタル陸上無線電信ニ於テ標識符號ノ送信ヲ爲サントスルトキハ第二十三條ノ規定ニ準ジ船舶無線電信ニ於テ陸上無線電信ニ對シ標識符號ノ送信ヲ請求セントスルトキハ第二十二條ノ規定ニ準ジ其ノ請求ヲ受ケタル陸上無線電信ニ於テ濃霧等ニ際シ船舶無線電信ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲スヲ要ス但シ船舶無線電信ニ於テ濃霧等ニ際シ衝突ヲ豫防スル目的ヲ以テ其ノ附近ニ在ル船舶無線電信ニ對シ自己ノ所在ヲ知ラシメントスルトキハ附近船舶無線電信ニ於テル方位測定上必要ナル最少限度ノ電力ヲ以テ方位測定ニ供スル符號ヲ送信スルトキハ當該無線標識局及無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信左ノ通定ム

昭和十年四月　總告第二百五十八號

無線方位測定規則第五條ノ規定ニ依ル無線標識局及無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信左ノ通定ム

名稱	呼出符號	位置	標識符號送信ノ周波數帶（電波ノ型式及周波數）	標識符號	備考
京城無線電信局	JBB	北緯三七分二七秒三　東經一二六分四一秒	A二三九四KC B二五〇KC	JBB	聽守用
木浦無線電信局	JBH	北緯三四度二六分四九秒　東經一二六分一六秒	A二三九一KC	JBH	
濟州無線電信局	JBI	北緯三三度三分二六秒　東經一二六度一分二六秒	A二四六〇KC	JBI	
釜山無線電信局	JBT	北緯三五分二秒五　東經一二九度三分二六秒五	A二四三五KC	JBT	
鎭南浦無線電信局	JBL	北緯三九度一分二六秒　東經一二五度四分五秒	A二四三三KC	JBL	
清津無線電信局	JBJ	北緯四一度四分二九秒　東經一二九度四八分二九秒	A二四六〇KC	JBJ	
者良島無線電信局	JBM	北緯四二度五分一二秒　東經一三〇度三六分	A二三一五KC	JKM	豐漁ノ際ニ限リ使用ス
小靑島無線電信局	JSS	北緯三七度四分一四秒　東經一二六度五分四四秒	A二二九五KC	JSS	晝間二〇〇粁
木浦無線電信局	JBH	北緯三四度二六分四九秒　東經一二六度一六分一六秒	A二三九一KC	JBH	晝間一五〇粁
濟州無線電信局	JBI	北緯三三度三分二六秒　東經一二六度一分二六秒	A二四六〇KC	JBI	晝間一五〇粁
釜山無線電信局	JBT	北緯三五分二秒五　東經一二九度三分二六秒五	A二四三五KC	JBT	晝間一五〇粁
鎭南浦無線電信局	JBL	北緯三九度一分二六秒　東經一二五度四分五秒	A二四三三KC	JBL	晝間一五〇粁
清津無線電信局	JBJ	北緯四一度四分二九秒　東經一二九度四八分二九秒	A二四六〇KC	JBJ	晝間一五〇粁
者良島無線電信局	JKM	北緯四二度五分一二秒　東經一三〇度三六分	A二三一五KC	JKM	晝間一五〇粁
小靑島無線電信局	JSS	北緯三七度四分一四秒　東經一二六度五分四四秒	A二二九五KC	JSS	晝間二〇〇粁
無線標識局	M	北緯三四度二六分四九秒　東經一二六度一六分一六秒	A二三一〇KC	Y	晝間二五〇粁

(ニ)　無線標識ヨリ標識符號ノ發射

A一又ハA二電波一九四KC乃至三六五KCノ周波數帶ニ於テ當該無線標識局又ハ陸上無線電信ノ聽守電波

(ホ)　航空機無線電信ヨリ無線標識局又ハ陸上無線電信ニ對スル呼出及標識符號送信ノ請求

無線標識局ニ在リテハA一又ハA二電波一九四KC乃至三六五KCノ周波數帶ニ於テ當該無線標識局ニ割當テタル周波數、陸上無線電信ニ在リテハ當該陸上無線電信ニ於テ通常通信ニ使用スル電波ヲ以テ方位測定ノ請求ヲ爲サントスルトキハ一括呼出シタル上同時ニ方位測定ヲ爲サシムベシ

(ヘ)　無線標識局又ハ陸上無線電信ニ於テ航空機無線電信ヨリノ呼出又ハ標識符號送信ノ請求ニ對スル應答其ノ他標識符號ノ送信

無線標識局ニ在リテハA一又ハA二電波一九四KC乃至三六五KCノ周波數帶ニ於テ當該無線標識局ニ割當テタル周波數、陸上無線電信ニ在リテハ當該陸上無線電信ニ於テ通常通信ニ使用スル電波

第四條　無線緯針局ニ關スル左ノ事項ハ別ニ之ヲ告示ス

一　名稱
二　呼出符號
三　位置（發射空中線ノ地理的位置ヲ經緯度ヲ以テ示ス）
四　發射電波ノ型式及周波數
五　聽守電波ノ型式及周波數
六　標識符號
七　無線標識ニ於ケル標識符號ノ發射ニ關シ船舶無線電信ト交信ヲ爲ス連絡無線電信アルトキハ其ノ名稱及呼出符號
八　通常方位測定區域
九　其ノ他必要ナル事項

第六條　無線緯針局又ハ無線方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ニ於テ私設無線電信無線電話規則第六十條ノ規定ニ依發信ヲ認メタルトキハ其ノ名稱及呼出符號

第七條　本令中船舶無線電信ニ關スル規定ハ航空機無線電信ニ付之ヲ準用ス但シ使用電波ノ型式及周波數ハ左ノ區別ニ依ルベシ

區別	無線緯針局ニ於テ其ノ方位測定ノ結果ヲ通知スルトキ	無線緯針局ニ於テ其ノ方位測定ノ結果ノミヲ通知スルトキ
一　無線緯針局ニ於テ自局若ハ副無線緯針局ノ方位測定ノ結果ヲ通知スルトキ	貴船ノ眞方位ハ當局ヨリ、、、度ナリ	貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリノ眞船ノ眞方位ハ、、、度ナリ
二　主無線緯針局ニ於テ自局又ハ副無線緯針局ノ方位測定ノ結果ヲ通知スルトキ	貴船ノ眞方位ハ當局ヨリ、、、度ナリ	貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリ、、、度ナリ
三　主無線緯針局ニ於テ自局及副無線緯針局ノ方位測定ノ結果ヲ通知スルトキ	當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク當該船舶ノ位置ヲ通知スルトキ	貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリ當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク貴船ノ位置ハ緯度、、、、、、ナリ
四　線緯針局ニ於テ自局及副無線緯針局ニ於ケル方位測定ノ結果ニ基ク當該船舶ノ位置ヲ通知スルトキ	當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク當該船舶ノ位置ハ緯度、、、、、、ナリ	貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリ當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク貴船ノ位置ハ緯度、、、、、、ナリ

事項	略符號
當船ノ眞方位如何	QTE？
、、、（呼出符號）ヨリノ當船ノ眞方位如何	QTE？
貴局ノ宰領スル無線緯針局ヨリノ當船ノ眞方位如何	QTF？
貴局ノ宰領スル無線緯針局ノ爲シタル測定ニ基ク當船ノ位置ヲ示サレタ	QTF？

第八條　本令ニ規定ナキ事項ニ付テハ一般ノ無線電信通信方法ニ關スル規定ニ依ルベシ

第二章　無線緯針業務

第九條　船舶無線電信ニ於テ無線緯針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サントスルトキハ當該無線緯針局ニ對シ直接方位測定ノ請求ヲ爲スヲ要ス但シ船舶無線電信ニ於テ當該無線緯針局ノ測定電波ニ非ザル電波ヲ以テ方位測定ニ供スル符號ヲ送信セントスルトキハ當該無線緯針局ノ通常方位測定區域內ニ入リタルトキニ限リ各局ニ割當テタル周波數ノ內ニ於テ通常通信ニ使用スル電波ヲ以テ方位測定ヲ爲スヲ得

第十條　船舶無線電信ニ於テ主無線緯針局又ハ副無線緯針局ノミニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サントスルトキハ其ノ主無線緯針局ニ對シ直接方位測定ノ請求ヲ爲スヲ要ス但シ船舶無線電信ニ於テ當該無線緯針局ノ測定電波ニ非ザル電波ヲ以テ方位測定ニ供スル符號ヲ送信セントスルトキハ當該無線緯針局ノ通常方位測定區域內ニ入リタルトキニ限リ各局ニ割當テタル周波數ノ內ニ於テ通常通信ニ使用スル電波ヲ以テ方位測定ヲ爲スヲ得

別	當該無線緯針局ニ對シ直接方位測定ノ請求ヲ爲ストキ	當該無線緯針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲ストキ
一　當該無線緯針局ニ對シ直接方位測定ノ請求ヲ爲ストキ	當船ノ眞方位如何	當船ノ眞方位如何
二　主無線緯針局又ハ副無線緯針局ノミニ依ル方位測定ノ請求ヲ爲ストキ	、、、（呼出符號）ヨリノ當船ノ眞方位如何	QTE？
三　主無線緯針局及副無線緯針局ニ依ル方位測定ノ請求ヲ爲ストキ	貴局ノ宰領スル無線緯針局ヨリノ當船ノ眞方位如何	QTF？
四　主無線緯針局及副無線緯針局ニ依ル位置ノ測定ノ請求ヲ爲ストキ	貴局ノ宰領スル無線緯針局ノ爲シタル測定ニ基ク當船ノ位置ヲ示サレタ	QTF？

第十一條　船舶無線電信ニ於テ二以上ノ無線緯針局（同一主無線緯針局ノ宰領スル副無線緯針局ノ場合ヲ除ク）ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サントスルトキハ其ノ一括呼出シタル上同時ニ方位測定ヲ爲サシムベシ

第十三條　主無線緯針局ニ於テ船舶無線電信ヨリ方位測定ノ請求ヲ受ケタルトキハ自局限リ測定ヲ爲スベキ場合ヲ除ク外副無線緯針局ニ對シ方位測定ノ準備ヲ爲スベキ旨ヲ通知スベシ

副無線緯針局ニ於テ主無線緯針局ヨリ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ方位測定ノ準備ヲ完了シ其ノ旨ヲ主無線緯針局ニ通知スベシ

第十四條　無線緯針局ニ於テ方位測定ヲ爲サントスルトキハ其ノ結果ヲ直ニ主無線緯針局ニ通知スベシ

第十七條　無線緯針局ニ於テ方位測定ノ結果ヲ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ當該無線緯針局（方位測定ヲ爲シタル無線緯針局）所在地ノ地方標準時ニ依リ「〇〇〇一（午前〇時一分）ヨリ「二四〇〇（午後十二時）ニ至ル四位ノ數字ヲ以テ示ス方位測定時刻ヲ送信シ之ニ引續キ左ノ區別ニ從ヒ之ニ該當スル事項ノ略符號及「〇〇〇ヨリ「三五九ニ至ル三位ノ數字ヲ以テ示ス當該無線緯針局（方位測定ヲ爲シタル無線緯針局）ヨリノ眞方位又ハ緯度ヲ以テ

區別	略符號	備考
一　貴船ノ眞方位ハ當局ヨリ、、、度ナリ	QTE	
二　貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリ貴船ノ眞方位ハ、、、度ナリ	QTE	
三　當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク貴船ノ位置ハ緯度、、、、、、ナリ	QTF	

シタルトキハ其ノ結果ヲ直ニ主無線緯針局ニ通知スベシ

第十七條　無線緯針局ニ於テ方位測定ノ結果ヲ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ當該無線緯針局（方位測定ヲ爲シタル無線緯針局）所在地ノ地方標準時ニ依リ「〇〇〇一（午前〇時一分）ヨリ「二四〇〇（午後十二時）ニ至ル四位ノ數字ヲ以テ示ス方位測定時刻ヲ送信シ之ニ引續キ左ノ區別ニ從ヒ之ニ該當スル事項ノ略符號及「〇〇〇ヨリ「三五九ニ至ル三位ノ數字ヲ以テ示ス當該無線緯針局（方位測定ヲ爲シタル無線緯針局）ヨリノ眞方位又ハ緯度ヲ以テ

區別	略符號	備考
一　貴船ノ眞方位ハ當局ヨリ、、、度ナリ	QTE	
二　貴船ノ眞方位ハ、、、（呼出符號）ヨリ貴船ノ眞方位ハ、、、度ナリ	QTE	
三　當局ノ宰領スル無線緯針局ノ測定ニ基ク貴船ノ位置ハ緯度、、、、、、ナリ	QTF	

第十八條　主無線緯針局ト副無線緯針局トノ間ノ連絡ハ電信又ハ電話ノ連絡アル場合ノ外之ヲ取扱ハズ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ外眞方位ヲ示ス數字ノ前ニ之ヲ測定シタル無線緯針局ノ呼出符號ヲ送信スベシ

第十九條　船舶無線電信ニ於テ無線緯針局ヨリ方位測定ノ結果ノ通知ヲ受ケタルトキハ照校ノ爲當該無線緯針局ニ對シ方位測定時刻及方位又ハ位置ヲ示ス數字ヲ受信ノ順序ニ依リ送信スベシ

第二十條　無線緯針局ニ於テ前條ノ送信ニ誤リナキコトヲ認メタルトキハ解信符號ヨ――ヨヲ送信スベシ

第二十一條　主無線緯針局ト副無線緯針局トノ間ノ連絡ハ電信又ハ電話ノ連絡アル場合之ニ依リ其ノ連絡ナキ場合ハ無線電信又ハ無線電話ニ依リ之ヲ爲スベシ

第三章　無線標識業務

第二十二條　無線方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ニ於テ無線標識局ニ對シ標識符號ノ送信ヲ請求セントスルトキハ當該無線標識局ノ通常方位測定區域ニ入リタルトキニ限リ各局ニ割當テタル周波數ノ內ニ於テ通常通信ニ使用スル電波ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十三條　無線標識局ニ於テ船舶無線電信ヨリ標識符號ノ送信ヲ爲サントスルトキハ一分間標識符號ヲ其ノ長點ヲ稍長クシテ送信スベシ

第二十四條　無線標識局又ハ陸上無線電信ニ於テ船舶無線電信ニ對スル應答ニ際シ方位測定ニ供スル符號ヲ送信スベキ旨（可送符號ヨヲ送信スベシ）ヲ通知スベシ

第十二條ニ依リ一括呼出ヲ受ケタル無線緯針局ハ其ノ呼出符號ノアルファベット順ニ從ヒ前項ノ規定ニ依リ通知スベシ

第十五條　船舶無線電信ニ於テ無線緯針局ニ對シ方位測定ニ供スル符號ノ送信ヲ請求セントスルトキハ第二十二條ノ規定ニ準ジ其ノ請求ヲ受ケタル陸上無線電信ニ於テ濃霧等ニ際シ船舶無線電信ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サントスルトキハ第二十三條ノ規定ニ準ジ船舶無線電信ニ於テ陸上無線電信ニ對シ標識符號ノ送信ヲ請求セントスルトキハ第二十二條ノ規定ニ準ジ其ノ請求ヲ受ケタル陸上無線電信ニ於テ濃霧等ニ際シ衝突ヲ豫防スル目的ヲ以テ其ノ附近ニ在ル船舶無線電信ニ對シ自己ノ所在ヲ知ラシメントスルトキハ附近船舶無線電信ニ於テル方位測定上必要ナル最少限度ノ電力ヲ以テ方位測定ニ供スル符號ヲ送信スルトキハ當該無線標識局及無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信左ノ通定ム

昭和十年四月　總告第二百五十八號

無線方位測定規則第五條ノ規定ニ依ル無線標識局及無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信左ノ通定ム

名稱	呼出符號	位置	標識符號送信ノ周波數帶（電波ノ型式及周波數）	標識符號	備考
京城無線電信局	JBB	北緯三七分二七秒三　東經一二六分四一秒	A二三九四KC B二五〇KC	JBB	聽守用
木浦無線電信局	JBH	北緯三四度二六分四九秒　東經一二六度一六分一六秒	A二三九一KC	JBH	
濟州無線電信局	JBI	北緯三三度三分二六秒　東經一二六度一分二六秒	A二四六〇KC	JBI	
釜山無線電信局	JBT	北緯三五分二秒五　東經一二九度三分二六秒五	A二四三五KC	JBT	
鎭南浦無線電信局	JBL	北緯三九度一分二六秒　東經一二五度四分五秒	A二四三三KC	JBL	
清津無線電信局	JBJ	北緯四一度四分二九秒　東經一二九度四八分二九秒	A二四六〇KC	JBJ	
者良島無線電信局	JKM	北緯四二度五分一二秒　東經一三〇度三六分	A二三一五KC	JKM	豐漁ノ際ニ限リ使用ス
小靑島無線電信局	JSS	北緯三七度四分一四秒　東經一二六度五分四四秒	A二二九五KC	JSS	晝間二〇〇粁
無線標識局	M	北緯三四度二六分四九秒　東經一二六度一六分一六秒	A二三一〇KC	Y	晝間二五〇粁

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

備考
申請人氏名ニハ振假名ヲ附スベシ

（第三號樣式）　用紙美濃紙

履歷書

道府縣族籍　　氏　　名
　　生年月日

一　何年何月何日　學業　何學校何科ニ入學
一　何年何月何日　何學校何科修業又ハ卒業若ハ退校（卒業證書ノ謄本又ハ修業證明書別紙添附）
一　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃
一　何年何月何日　職務　何官廳（官職名記載）何會社ニ於テ何何ノ職務ニ從事（其ノ官廳（會社）ノ證明書別紙添附）
一　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃
一　何年何月何日　賞罰　何何
右ノ通相違無之候也
年　月　日

現住所
右　氏　名（印）

備考
無線電信、無線電話又ハ電信ニ關スル事項ハ詳細ニ之ヲ記入ヲ要ス

（第四號樣式）　用紙美濃紙
無線通信士資格檢定合格證書書換（再渡）申請書

收入印紙貼附

簿紙（何）　第（何）號（電話級又ハ繼守員級ト記載スベシ）

合格證書番號　第　號

右合格證書左記ノ事由ニ依リ書換（再渡）相受度無線通信士資格檢定規則第十一條ノ規定ニ依ル書類ヲ添ヘ申請ス
申請ノ事由（書換又ハ再渡ヲ要スル事由ヲ詳細記入スベシ）

年　月　日

道府縣族籍
申請人　氏　　名
　　生年月日

備考
申請人氏名ニハ振假名ヲ附スベシ

（第三號樣式）　用紙美濃紙

履歷書

道府縣族籍　　氏　　名
　　生年月日

一　何年何月何日　學業　何學校何科ニ入學
一　何年何月何日　何學校何科修業又ハ卒業若ハ退校（卒業證書ノ謄本又ハ修業證明書別紙添附）
一　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃
一　何年何月何日　職務　何官廳（官職名記載）何會社ニ於テ何何ノ職務ニ從事（其ノ官廳（會社）ノ證明書別紙添附）
一　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃
一　何年何月何日　賞罰　何何
右ノ通相違無之候也
年　月　日

現住所
右　氏　名（印）

備考
無線電信、無線電話又ハ電信ニ關スル事項ハ詳細ニ之ヲ記入ヲ要ス

（第四號樣式）　用紙美濃紙
無線通信士資格檢定合格證書書換（再渡）申請書

收入印紙貼附

簿紙（何）　第（何）號（電話級又ハ繼守員級ト記載スベシ）

合格證書番號　第　號

右合格證書左記ノ事由ニ依リ書換（再渡）相受度無線通信士資格檢定規則第十一條ノ規定ニ依ル書類ヲ添ヘ申請ス
申請ノ事由（書換又ハ再渡ヲ要スル事由ヲ詳細記入スベシ）

年　月　日

道府縣族籍
申請人　氏　　名
　　生年月日

●帝國領海內ニ在ル外國軍艦ノ無線電信無線電話ニ依ル通信ニ關スル件

昭和二年七月
勅令第二百二十六號

左ノ帝國領海內ニ在ル外國軍艦ノ無線電信無線電話ニ依ル通信ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　軍港若ハ要港ノ境域內又ハ軍港若ハ要港ノ境域ヨリ外方二十キロメートル以內ノ領域內ニ於テ外國軍艦（碇泊中ノモノヲ除ク）又ハ外國軍用航空機ガ無線電信又ハ無線電話ヲ送信セントスルトキハ豫メ其ノ使用セントスル送信機ノ型式、送信電力、電波長及通信時間ヲ具シテ當該鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス但シ遭難通信ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　前條ニ規定スル區域以外ノ領域內ニ於テ外國軍艦（碇泊中ノモノヲ除ク）又ハ外國軍用航空機ガ無線電信又ハ無線電話ヲ送信スル場合ニハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依ル

一　遭難通信ヲ爲ス場合ヲ除クノ外六百メートル及二千四百メートルノ電波長ヲ使用スルコトヲ得ズ

二　純粹ナル不減滅電波ヲ使用スル場合ヲ除クノ外長時間ニ亙リ連續送信ヲ爲スコトヲ得ズ

三　無線電信官署又ハ軍用無線電信所ヨリ送信停止ノ要求ヲ受ケタルトキハ直ニ送信ヲ停止スルコトヲ要ス

四　附近ニ帝國軍艦碇泊スルトキハ送信ニ付指揮官ト協議スベシ

附　則

本令ハ昭和二年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則

大正四年十二月
總令第百二十六號

改正　大正九年五月七日、一〇年三月三日

官廳用及私設電信電話竝私設無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則左ノ通定ム

官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則

第一條　官廳用電信電話規則、官廳用無線電信電話規則又ハ電信法第二條若ハ無線電信法第二條ニ依リ施設シタル電信又ハ電話ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ其ノ取扱所ノ名稱位置及電報取扱ニ關スル制限ハ別ニ之ヲ告示ス

第二條　官廳用及私設ノ電信電話又ハ無線電信電話ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ其ノ專用ノ通信ハ官廳用ノ電信電話又ハ無線電信電話ニ在リテハ公衆電報中ノ官報又ハ至急官報、私設ノ電信電話又ハ無線電信電話ニ在リテハ私報又ハ至急私報ト同一ノ順位ヲ以テ傳送スベシ但シ鐵道業ノ專用通信又ハ船舶航行ノ安全ニ必要ナル通信ナルトキハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外公衆通信ニ先ヲ傳送スルコトヲ得

第三條　官廳用電信電話規則第一條第四號、官廳用無線電信電話規則第一條第三號、電信法第二條第四號又ハ無線電信法第二條第三號ニ依リ施設シタル電信電話又ハ無線電信電話ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ其ノ期間電報ノ託送取扱ヲ爲スコト

本令ハ昭和二年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●帝國領海內ニ在ル外國軍艦ノ無線電信無線電話ニ依ル通信ニ關スル件

昭和二年七月
勅令第二百二十六號

左ノ帝國領海內ニ在ル外國軍艦ノ無線電信無線電話ニ依ル通信ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　軍港若ハ要港ノ境域內又ハ軍港若ハ要港ノ境域ヨリ外方二十キロメートル以內ノ領域內ニ於テ外國軍艦（碇泊中ノモノヲ除ク）又ハ外國軍用航空機ガ無線電信又ハ無線電話ヲ送信セントスルトキハ豫メ其ノ使用セントスル送信機ノ型式、送信電力、電波長及通信時間ヲ具シテ當該鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス但シ遭難通信ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　前條ニ規定スル區域以外ノ領域內ニ於テ外國軍艦（碇泊中ノモノヲ除ク）又ハ外國軍用航空機ガ無線電信又ハ無線電話ヲ送信スル場合ニハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依ル

一　遭難通信ヲ爲ス場合ヲ除クノ外六百メートル及二千四百メートルノ電波長ヲ使用スルコトヲ得ズ

二　純粹ナル不減滅電波ヲ使用スル場合ヲ除クノ外長時間ニ亙リ連續送信ヲ爲スコトヲ得ズ

三　無線電信官署又ハ軍用無線電信所ヨリ送信停止ノ要求ヲ受ケタルトキハ直ニ送信ヲ停止スルコトヲ要ス

四　附近ニ帝國軍艦碇泊スルトキハ送信ニ付指揮官ト協議スベシ

附　則

本令ハ昭和二年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則

大正四年十二月
總令第百二十六號

改正　大正九年五月七日、一〇年三月三日

官廳用及私設電信電話竝私設無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則左ノ通定ム

官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則

第一條　官廳用電信電話規則、官廳用無線電信電話規則又ハ電信法第二條若ハ無線電信法第二條ニ依リ施設シタル電信又ハ電話ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ其ノ取扱所ノ名稱位置及電報取扱ニ關スル制限ハ別ニ之ヲ告示ス

第二條　官廳用及私設ノ電信電話又ハ無線電信電話ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ其ノ專用ノ通信ハ官廳用ノ電信電話又ハ無線電信電話ニ在リテハ公衆電報中ノ官報又ハ至急官報、私設ノ電信電話又ハ無線電信電話ニ在リテハ私報又ハ至急私報ト同一ノ順位ヲ以テ傳送スベシ但シ鐵道業ノ專用通信又ハ船舶航行ノ安全ニ必要ナル通信ナルトキハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外公衆通信ニ先ヲ傳送スルコトヲ得

第三條　官廳用電信電話規則第一條第四號、官廳用無線電信電話規則第一條第三號、電信法第二條第四號又ハ無線電信法第二條第三號ニ依リ施設シタル電信電話又ハ無線電信電話ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ其ノ期間電報ノ託送取扱ヲ爲スコト

ヲ得ズ

第四條　前二條ニ依リ公衆通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ左ノ區別ニ從ヒ其ノ取扱料ヲ當該施設者ニ支給ス但シ鐵道所屬ノモノヲ除ク外當該施設者ノ請求ナキトキハ之ヲ支給セス同文電報ニ對シ支給スベキ第一號ノ取扱費額ハ其ノ半額トス

種別	符號	發信	著信
一　公衆電報（官報、私報及新聞電報ニ限ルモノニ同シ）	一箇月分	金六錢	金五錢
二　直配遠區內ヘノ配達又ハ汽車中ニ在ル受信人ヘノ交付	一通分	一通毎ニ金十五錢	一通毎ニ金六錢
三　公衆電報受取證書交付	一箇月分	一通毎ニ金八錢	一通毎ニ金六錢
四　公衆電報正寫交付	一通分	一通毎ニ金五錢	一通毎ニ金五錢
五　別便又ハ艀船配達	一通分	實費額	實費額

（電信又ハ電話ニ依ルモノ）
（無線電信又ハ電話ニ依ルモノ）

第五條　本令ニ依リ公衆通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ之ニ使用スル事業用物品ハ朝鮮總督府遞信局長官ニ於テ必要ナリト認ムルモノニ限リ管理事務分掌郵便局ヨリ當該施設者ニ交付ス

第六條　本令ニ依ル公衆通信ノ取扱ニ關シテハ前各條ニ定ムルモノノ外一般ノ規定ニ依ル

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年朝鮮總督府令第百四十一號官廳用及私設電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則ハ之ヲ廢止ス

●氣象通知電報規則

大正五年十二月
總令第百二號

改正　大正二年五月八日、昭和三年三月第一二四號、二年一月第一三三號、一〇年二月第二八號

氣象通知電報規則左ノ通定ム

氣象通知電報規則

第一條　氣象通知電報ハ公衆ノ請求ニ依リ朝鮮總督府觀測所（以下單ニ觀測所ト稱ス）、同支所、測候所又ハ中央氣象臺ニ於テ公示スル左ノ各號ノ事項ヲ和文ヲ以テ通知スルモノヲ謂フ但シ第七號ノ事項ハ測候所其ノ他氣象觀測ヲ爲ス官署ノ請求ニ限リ之ヲ取扱フ

一　全般天氣豫報
二　全般氣象特報
三　全般暴風警報
四　地方天氣豫報
五　地方暴風警報
六　地方氣象實況報
七　全般氣象實況報

第二條　氣象通知電報ノ本文記載方ハ符號及第六號ノ譯文ノ二種ニ分ツ但シ前條第三號及第六號ハ譯文、同條第七號ハ符號ノミヲ以テ之ヲ記載ス

第三條　削除

第四條　氣象通知電報記載方式及符號竝ニ地方天氣豫報、地方氣象特報及地方暴風警報ノ所管區域ハ別ニ之ヲ告示スル觀測所、同支所及測候所ノ所管ニ於テ該電報ノ交付ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前項ノ請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ヲ該電報ノ交付ヲ受クヘキ電信局所ニ差出スヘシ

第五條　氣象通知電報ノ受信開始後左ノ各號ノ場合ニ於テハ前條ノ例ニ準シ請求書ヲ現ニ配達又ハ交付ヲ受クル電信局所ニ差出スヘシ

一　本文記載方變更ノ要ヲ生シタルトキ
二　交付ヲ受クルノ要ヲ生シタルトキ
三　交付ヲ受クルノ要ナキニ至リタルトキ

第六條　氣象通知電報ノ受信開始ノ場合ニ於テハ其ノ月分ハ日割ヲ以テ計算ス

前項ノ料金ハ官廳ニ限リ之ヲ後納トシ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該局所ノ指示スル所ニ依リ其ノ料金ヲ納付スヘシ

前二項ノ料金ニシテ郵便局又ハ歲入ヲ徵收スル官吏ヲ置ク電信局ニ納付スヘキモノハ通貨ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

第七條　氣象通知電報ノ料金ハ左ノ如シ

種別	符號	一通分	一箇月分	一通分	一箇月分
全般天氣豫報	毎日一回分	二圓五十錢	十錢	毎日一回分	三圓三十五錢
全般氣象特報	毎日二回分	二圓五十錢	十錢	毎日二回分	六圓五十錢
全般暴風警報	五回	一圓	十錢	一圓三十錢	十三錢
地方天氣豫報		二圓五十錢	十錢	三圓三十五錢	十三錢
地方氣象特報		一圓	十錢	一圓三十錢	十三錢
地方暴風警報		—	—	—	十三錢
全般氣象實況報	毎日一回分	三十錢	一圓三十錢	—	—
一　毎日二回分		六十錢			

（地方天氣豫報又ハ地方暴風警報ナルトキハ其ノ所管觀測所、同支所名ヲ、全般氣象實況報及第一回報又ハ第二回報ノ區別及數ヲ附記スヘシ）

氣象通知電報ノ種類

一　別

第七條　氣象通知電報ノ受信ヲ開始セムトスルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ受信開始期日十日前迄ニ該電報ノ配達ヲ受クヘキ電信局所ニ差出スヘシ

一　公衆電報（官報、私報及新聞電報ニ限ルモノニ同シ）
二　直配遠區內ヘノ配達又ハ汽車中ニ在ル受信人ヘノ交付
三　公衆電報受取證書交付
四　公衆電報正寫交付
五　別便又ハ艀船配達

（電信又ハ電話ニ依ルモノ）
（無線電信又ハ電話ニ依ルモノ）

（發信）（著信）

一通毎ニ金六錢　一通毎ニ金五錢
一通毎ニ金五錢　一通毎ニ金六錢
一通毎ニ金十五錢　一通毎ニ金八錢
一通毎ニ金八錢　一通毎ニ金五錢
一通毎ニ金五錢　一通毎ニ金五錢

（發信、著信、中繼信）

第八條　氣象通知電報ノ受信開始後左ノ各號ノ場合ニ於テハ前條ノ例ニ準シ請求書ヲ現ニ配達又ハ交付ヲ受クル電信局所ニ差出スヘシ

一　本文記載方變更ノ要ヲ生シタルトキ
二　交付ヲ受クルノ要ヲ生シタルトキ

符號	風向ノ發射	天氣ノ發信
キ	北乃至東ノ風	雨
ク	東ノ風	小雨
ケ	〃	〃
コ	〃	雨
サ	〃	〃
シ	〃	〃
ス	〃	〃
セ	〃	〃
ソ	〃	〃
タ	〃	〃
チ	〃	〃
ツ	〃	〃
テ	〃	〃
ト	〃	〃

第二　天氣ノ發信（今般天氣發信）

符號	風ノ發信	天氣ノ發信
ア	北乃至東ノ風	雨
イ	東ノ風	小雨
ウ	〃	〃
エ	〃	雨
オ	〃	〃
カ	〃	〃
キ	〃	〃
ク	〃	〃
ケ	〃	〃
コ	〃	〃
サ	〃	〃
シ	〃	〃
ス	〃	〃
セ	〃	〃
ソ	〃	〃
タ	〃	〃
チ	〃	〃
ツ	〃	〃
テ	〃	〃
ト	〃	〃

（附表）

第一圖　（今般天氣發信）

符號	風ノ發信	天氣ノ發信
ア	北乃至東ノ風	雨
イ	東ノ風	小雨
ウ	〃	〃
エ	〃	雨
オ	〃	〃
カ	〃	〃
キ	〃	〃
ク	〃	〃
ケ	〃	〃
コ	〃	〃
サ	〃	〃
シ	〃	〃
ス	〃	〃
セ	〃	〃
ソ	〃	〃
タ	〃	〃
チ	〃	〃
ツ	〃	〃
テ	〃	〃
ト	〃	〃

第二圖　（今般天氣發信）

符號	風ノ發信	天氣ノ發信
ア	北乃至東ノ風	雨
イ	東ノ風	小雨
ウ	〃	〃
エ	〃	雨
オ	〃	〃
カ	〃	〃
キ	〃	〃
ク	〃	〃
ケ	〃	〃
コ	〃	〃
サ	〃	〃
シ	〃	〃
ス	〃	〃
セ	〃	〃
ソ	〃	〃
タ	〃	〃
チ	〃	〃
ツ	〃	〃
テ	〃	〃
ト	〃	〃

第三圖　（今般天氣發信）

符號	風ノ發信	天氣ノ發信
ア	北乃至東ノ風	雨
イ	東ノ風	小雨
ウ	〃	〃
エ	〃	雨
オ	〃	〃
カ	〃	〃
キ	〃	〃
ク	〃	〃
ケ	〃	〃
コ	〃	〃
サ	〃	〃
シ	〃	〃
ス	〃	〃
セ	〃	〃
ソ	〃	〃
タ	〃	〃
チ	〃	〃
ツ	〃	〃
テ	〃	〃
ト	〃	〃

第四圖　風向　（地方天氣豫報）

符號	風向	天氣
ア	北乃至東ノ風	雨
イ	東ノ風	小雨
ウ	〃	〃
エ	〃	雨
オ	〃	〃
カ	〃	〃
キ	〃	〃
ク	〃	〃
ケ	〃	〃
コ	〃	〃
サ	〃	〃
シ	〃	〃
ス	〃	〃
セ	〃	〃
ソ	〃	〃
タ	〃	〃
チ	〃	〃
ツ	〃	〃
テ	〃	〃
ト	〃	〃

第一圖　（今般天氣豫報）

符號	風向	天氣
ア	北乃至東ノ風	雨
イ	東ノ風	小雨
ウ	〃	〃
エ	〃	雨
オ	〃	〃
カ	〃	〃
キ	〃	〃
ク	〃	〃
ケ	〃	〃
コ	〃	〃
サ	〃	〃
シ	〃	〃
ス	〃	〃
セ	〃	〃
ソ	〃	〃
タ	〃	〃
チ	〃	〃
ツ	〃	〃
テ	〃	〃
ト	〃	〃

第二圖　（今般天氣豫報）

符號	風向	天氣
ア	北乃至東ノ風	雨
イ	東ノ風	小雨
ウ	〃	〃
エ	〃	雨
オ	〃	〃
カ	〃	〃
キ	〃	〃
ク	〃	〃
ケ	〃	〃
コ	〃	〃
サ	〃	〃
シ	〃	〃
ス	〃	〃
セ	〃	〃
ソ	〃	〃
タ	〃	〃
チ	〃	〃
ツ	〃	〃
テ	〃	〃
ト	〃	〃

第三圖　（今般天氣豫報）

符號	風向	天氣
ア	北乃至東ノ風	雨
イ	東ノ風	小雨
ウ	〃	〃
エ	〃	雨
オ	〃	〃
カ	〃	〃
キ	〃	〃
ク	〃	〃
ケ	〃	〃
コ	〃	〃
サ	〃	〃
シ	〃	〃
ス	〃	〃
セ	〃	〃
ソ	〃	〃
タ	〃	〃
チ	〃	〃
ツ	〃	〃
テ	〃	〃
ト	〃	〃

第四圖　風向　（地方天氣豫報）

符號	風向	天氣
ア	北乃至東ノ風	雨
イ	東ノ風	小雨
ウ	〃	〃
エ	〃	雨
オ	〃	〃
カ	〃	〃
キ	〃	〃
ク	〃	〃
ケ	〃	〃
コ	〃	〃
サ	〃	〃
シ	〃	〃
ス	〃	〃
セ	〃	〃
ソ	〃	〃
タ	〃	〃
チ	〃	〃
ツ	〃	〃
テ	〃	〃
ト	〃	〃

第一圖　（今般天氣豫報）

符號	風向	天氣
ア	北乃至東ノ風	雨
イ	東ノ風	小雨
ウ	〃	〃
エ	〃	雨
オ	〃	〃
カ	〃	〃
キ	〃	〃
ク	〃	〃
ケ	〃	〃
コ	〃	〃
サ	〃	〃
シ	〃	〃
ス	〃	〃
セ	〃	〃
ソ	〃	〃
タ	〃	〃
チ	〃	〃
ツ	〃	〃
テ	〃	〃
ト	〃	〃

第二圖　（今般天氣豫報）

符號	風向	天氣
ア	北乃至東ノ風	雨
イ	東ノ風	小雨
ウ	〃	〃
エ	〃	雨
オ	〃	〃
カ	〃	〃
キ	〃	〃
ク	〃	〃
ケ	〃	〃
コ	〃	〃
サ	〃	〃
シ	〃	〃
ス	〃	〃
セ	〃	〃
ソ	〃	〃
タ	〃	〃
チ	〃	〃
ツ	〃	〃
テ	〃	〃
ト	〃	〃

第三

（イ）

晴　一時曇

	符號	天氣
晴晴晴

（コ）

ケ	晴
ケ	後
ケ	曇
ケ	雨
ケ	雹
ケ	霰
ケ	及
ケ	晴
ケ	後
ケ	曇
ケ	時
ケ	々
ケ	雨
ヤ	又
モ	雹
メ	霰
ム	及
ミ	晴
マ	後
ホ	曇
ヘ	時
フ	々
ヒ	雨
ハ	又
ノ	雹
ネ	霰
ヌ	及
ネ	晴
ヌ	後
ス	曇
ル	時
ヲ	々
ワ	雨
カ	又
ヨ	雹
タ	霰
レ	及
ソ	晴
ツ	後
ネ	曇
ナ	時
ラ	々
ム	雨
ウ	又
ヰ	雹
ノ	霰
オ	及
ク	晴
ヤ	後
マ	曇
ケ	雨
フ	又
コ	雹
エ	霰
テ	及
ア	晴
サ	後
キ	曇
ユ	雨
メ	又
ミ	雹
シ	霰
ヱ	及
ヒ	晴
モ	後
セ	曇
ス	雨
ン	又
ウ	雹
ヰ	霰
ノ	及
オ	晴
ク	後
ヤ	曇
マ	雨
ケ	又
フ	雹
コ	霰
エ	及
テ	晴
ア	後
サ	曇
キ	雨
ユ	又
メ	雹
ミ	霰
シ	及
ヱ	晴
ヒ	後
モ	曇
セ	雨
ス	又
ン	雹

（ス）

ソ	晴
ツ	後
ネ	曇
ナ	雨
ラ	又
ム	雹
ウ	霰
ヰ	及
ノ	晴
オ	後
ク	曇
ヤ	雨
マ	又
ケ	雹
フ	霰
コ	及
エ	晴
テ	後
ア	曇
サ	雨
キ	又
ユ	雹
メ	霰
ミ	及
シ	晴
ヱ	後
ヒ	曇
モ	雨
セ	又
ス	雹
ン	霰
ウ	及
ヰ	晴
ノ	後
オ	曇
ク	雨
ヤ	又
マ	雹
ケ	霰
フ	及
コ	晴
エ	後
テ	曇
ア	雨
サ	又
キ	雹
ユ	霰
メ	及
ミ	晴
シ	後
ヱ	曇
ヒ	雨
モ	又
セ	雹
ス	霰
ン	及

（ソ）

ソ	晴
ツ	後
ネ	曇
ナ	雨
ラ	又
ム	雹
ウ	霰
ヰ	及
ノ	晴
オ	後
ク	曇
ヤ	雨
マ	又
ケ	雹
フ	霰
コ	及
エ	晴
テ	後
ア	曇
サ	雨
キ	又
ユ	雹
メ	霰
ミ	及
シ	晴
ヱ	後
ヒ	曇
モ	雨
セ	又
ス	雹
ン	霰
ウ	及
ヰ	晴
ノ	後
オ	曇
ク	雨
ヤ	又
マ	雹
ケ	霰
フ	及
コ	晴
エ	後
テ	曇
ア	雨
サ	又
キ	雹
ユ	霰
メ	及
ミ	晴
シ	後
ヱ	曇
ヒ	雨
モ	又
セ	雹
ス	霰
ン	及

（タ）

タ	晴
チ	後
ツ	曇
テ	雨
ネ	又
ト	雹
ナ	霰
ニ	及
ヌ	晴
ネ	後
ノ	曇
ハ	雨
ヒ	又
フ	雹
ヘ	霰
ホ	及
マ	晴
ミ	後
ム	曇
メ	雨
モ	又
ヤ	雹
ユ	霰
ヨ	及
ラ	晴
リ	後
ル	曇
レ	雨
ロ	又
ワ	雹
ヰ	霰
ノ	及
オ	晴
ク	後
ヤ	曇
マ	雨
ケ	又
フ	雹
コ	霰
エ	及
テ	晴
ア	後
サ	曇
キ	雨
ユ	又
メ	雹
ミ	霰
シ	及
ヱ	晴
ヒ	後
モ	曇
セ	雨
ス	又
ン	雹
ウ	霰
ヰ	及
ノ	晴
オ	後
ク	曇
ヤ	雨
マ	又
ケ	雹
フ	霰
コ	及
エ	晴
テ	後
ア	曇
サ	雨
キ	又
ユ	雹
メ	霰
ミ	及
シ	晴
ヱ	後
ヒ	曇
モ	雨
セ	又
ス	雹
ン	霰
ウ	及

（チ）

チ	晴
ツ	後
テ	曇
ネ	雨
ト	又
ナ	雹
ニ	霰
ヌ	及
ネ	晴
ノ	後
ハ	曇
ヒ	雨
フ	又
ヘ	雹
ホ	霰
マ	及
ミ	晴
ム	後
メ	曇
モ	雨
ヤ	又
ユ	雹
ヨ	霰
ラ	及
リ	晴
ル	後
レ	曇
ロ	雨
ワ	又
ヰ	雹
ノ	霰
オ	及
ク	晴
ヤ	後
マ	曇
ケ	雨
フ	又
コ	雹
エ	霰
テ	及
ア	晴
サ	後
キ	曇
ユ	雨
メ	又
ミ	雹
シ	霰
ヱ	及
ヒ	晴
モ	後
セ	曇
ス	雨
ン	又
ウ	雹
ヰ	霰
ノ	及
オ	晴
ク	後
ヤ	曇
マ	雨
ケ	又
フ	雹
コ	霰
エ	及
テ	晴
ア	後
サ	曇
キ	雨
ユ	又
メ	雹
ミ	霰
シ	及
ヱ	晴
ヒ	後
モ	曇
セ	雨
ス	又
ン	雹
ウ	霰
ヰ	及

（ツ）

ツ	晴
イ	後
ア	曇
〃	雨
〃	又
〃	雹
〃	霰
〃	及
〃	晴
〃	後
〃

(ト)

| | | |

（ヘ）

| | | |

（イ）雨後曇

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雨カ曇後晴
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 雲 雲 驟 雨 強 雲
ハ ハ サ 三 ク ナ 和 ガ
弱 稍 強 イ ル ル ナ
イ 強 イ ル ナ
ル ナ

（ロ）天氣良クナル

レ レ レ レ レ レ レ レ
ケ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雨カ曇後曇
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 風 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ ハ ク ナ 和 ガ
次 次 弱 稍 強 イ ル ア
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ハ）雨又ハ雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ晴後
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ニ）雨又ハ雪後曇

レ レ レ レ レ レ レ レ
ケ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雨カ雪後曇
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 風 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ホ）雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ晴後
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ヘ）雪後曇

レ レ レ レ レ レ レ レ
ケ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ曇後曇
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 風 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ト）雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ晴後
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（チ）雨又ハ雪後曇

レ レ レ レ レ レ レ レ
ケ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雨カ雪後曇
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 風 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（リ）雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ晴後
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ヌ）雨又ハ雪後曇

レ レ レ レ レ レ レ レ
ケ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雨カ雪後曇
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 風 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ル）雪後曇

レ レ レ レ レ レ レ レ
ケ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ曇後曇
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 風 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ヲ）雨又ハ雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雨カ雪後晴
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ワ）雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ晴後
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（カ）雨又ハ雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雨カ雪後晴
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 雲 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ヨ）雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ晴後
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（タ）雨又ハ雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雨カ雪後晴
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 雲 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（レ）雪後曇

レ レ レ レ レ レ レ レ
ケ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ曇後曇
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 風 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ソ）雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ晴後
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 雲 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ツ）雨又ハ雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雨カ雪後晴
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 雲 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ネ）雪後曇

レ レ レ レ レ レ レ レ
ケ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ曇後曇
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 風 風 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ナ）雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ晴後
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 雲 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ラ）雨又ハ雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雨カ雪後晴
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 雲 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ム）雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ晴後
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 雲 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ウ）雪後晴

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
コ ク キ カ オ エ ウ イ ア
雪カ晴後
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
風 風 雲 雲 雲 雲 雲 雲
ハ ハ ハ モ モ モ ク ク
次 次 弱 稍 強 強 イ ル
第 第 イ 強 イ
ニ 三 驟
風 ル
ギ
ル

（ヰ）

ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ
カ オ エ ウ イ ア
風 雨 雨 雨 雨 雨
強 カ カ カ 強 イ
シ 稍 稍 稍 イ
次 第 第 ニ
第 ニ 三 驟
ニ 三 ル
驟 ル
ル

（ノ）

ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ
カ オ エ ウ イ ア
風 雨 雨 雨 雨 雨
強 カ カ カ 強 イ
シ 稍 稍 稍 イ
次 第 第 ニ
第 ニ 三 驟
ニ 三 ル
驟 ル
ル

（オ）雪後晴

ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ
カ オ エ ウ イ ア
風 雪 雪 雪 雪 雪
強 カ カ カ 強 イ
シ 稍 稍 稍 イ
次 第 第 ニ
第 ニ 三 驟
ニ 三 ル
驟 ル
ル

（ク）雨又ハ雪後晴

ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ ヤ
カ オ エ ウ イ ア
風 雨 雨 雨 雨 雨
強 カ カ カ 強 イ
シ 稍 稍 稍 イ
次 第 第 ニ
第 ニ 三 驟
ニ 三 ル
驟 ル
ル

（ヤ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
メ ミ ナ ト テ ツ チ タ ツ セ ス シ ヤ
雨後晴
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
山 時 朝 朝 風 風 風 風 急 突 突 涼 蒸
ニ 々 方 方 ハ ハ ハ ハ ニ ク ク ナ ク
ハ 曇 ハ ハ ハ ハ ハ ハ ク ナ ナ ル ナ
弱 稍 強 次 次 弱 稍 強 突 ル ル ナ ル ル
イ 強 イ 第 第 イ 強 イ ナ ナ ル ナ
カ カ カ 深 風 寒
カ ル ル イ ギ ル
ル ル

（マ）雨後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
大 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ケ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（コ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（エ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ヒ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（フ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ヘ）雪後曇

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ト）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（チ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ル）雪後曇

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ワ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（カ）雨後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雨 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ヨ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（タ）雨後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雨 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（レ）雪後曇

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ソ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ツ）雨又ハ雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雨 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ネ）雪後曇

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ナ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ラ）雨又ハ雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雨 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ム）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ウ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
雪 小 小 雨 立 雨 雨
雨 雨 雨 後 ノ 後 後 晴
後 後 後 晴 來 天 天
天 天 晴 レ ソ 氣 氣
氣 氣 ハ ヤ ハ 當 海 沿 海 海
ハ ハ 良 ク ク 天 ハ 上 ア 上 ハ
良 良 分 ナ ル ル 氣 穩 ハ 波 錨
ク ナ 氣 ハ 當 海 沿 海 海 上
ナ ル ル 盛 ク ナ 穩 ル ガ 上 ハ
ル 雪 ハ 良 分 天 ハ ツ 波 錨 ガ
夜 ル 雪 ク ナ 氣 穩 ハ ガ 錨 ル
ニ ハ 夜 ル 當 ル 雪 高 カ
ハ 次 ニ 夜 ク 高 イ ル
天 第 ハ ニ ル
氣 ニ 次
良 弱 第
ク 稍 ニ
ナ 強 弱
ル イ 稍

（ヰ）

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
風 雨 雨 雨 雨 雨
強 カ カ カ 強 イ
シ 稍 稍 稍 イ
次 第 第 ニ
第 ニ 三 驟
ニ 三 ル
驟 ル
ル

（ノ）

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
風 雨 雨 雨 雨 雨
強 カ カ カ 強 イ
シ 稍 稍 稍 イ
次 第 第 ニ
第 ニ 三 驟
ニ 三 ル
驟 ル
ル

（オ）雪後晴

ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ ユ
ヤ モ メ ム ミ ヤ ホ ヘ フ モ ハ ノ ネ
風 雪 雪 雪 雪 雪
強 カ カ カ 強 イ
シ 稍 稍 稍 イ
次 第 第 ニ
第 ニ 三 驟
ニ 三 ル
驟 ル
ル

（ク）雨又ハ雪後晴

第八　風域（全般気象特報）

モ	メ	ム	ミ	マ	ホ	ヘ	フ	ヒ	ハ	ノ	ネ	メ	ニ	ナ
特報ヲ発スル注意ヲ要スル事項ヲ指令スル	モ	ツ	ツ	モ	風雨ハ峠ヲ越ス	風雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	風大雪雨風ハ峠ヲ越ス	暴風雨風雪（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	風雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	風雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	暴風雨風雪（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	風雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	風雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	風雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス
	モ	ツ	ツ	モ	雨ハ峠ヲ越ス	雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	大雪雨ハ峠ヲ越ス	雪雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	雪雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス	雨（又ハ雪）ハ峠ヲ越ス
	ヲ	ツ	ツ	モ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ

第十五　文　（全般暴風警報）

タ	ソ	セ	ス	シ	サ	コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア	符號	方向
北	北	北	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北			ア	北
西	西	西	西	西	西	南	南	東	東	東	東						東

メ	ム	ミ	マ	ホ	ヘ	フ	ヒ	ハ	ノ	ネ	ヌ	ニ	ナ	ト	テ	ツ	チ	符號	進行方向
北	北	北	北	北	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	ト	北
北	北	北	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西		西
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	西	西	西	西	西		
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	西	西	西	西		
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	西	西	西		
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	西	西		
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	西		
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北		
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		

ン	チ	エ	キ	ツ	ロ	レ	リ	ラ	ヨ	ユ	ヤ	モ	メ	ム	ミ	マ	ホ	ヘ	フ	ヒ	ハ	ノ	ネ	ヌ	ニ	ナ	ト	テ	ツ	チ	符號	進行方向
北	北	北	北	北	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	ト	北
北	北	北	北	北	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西		西
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	西	西		
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北

第十八　記事（地方気象報）

符號	記事
ア	暴風雨（又ハ暴風雪）ハ峠テ越ス
イ	猛烈ナ風ガ強ク
ウ	暴風雨（又ハ暴風雪）ハ峠テ越ス
エ	猛烈ナ風ガ（七中心四〇示ス低気圧以下）ガ襲来シ
オ	暴風雨（又ハ暴風雪）ハ峠テ越ス
カ	暴風雨（又ハ暴風雪）ハ峠テ越ス
キ	山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴風雨ハ上モ岸ハ暴風雪ニ変ル
ク	山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴風雨ハ上モ岸ハ暴風雪ニ変ル
ケ	山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴風雨ハ上モ岸ハ暴風雪ニ変ル
コ	山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴風雨ハ上モ岸ハ暴風雪ニ変ル
サ	山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴風雨ハ上モ岸ハ暴風雪ニ変ル
シ	山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴風雨ハ上モ岸ハ暴風雪ニ変ル
ス	山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴風雨ハ上モ岸ハ暴風雪ニ変ル
セ	山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴風雨ハ上モ岸ハ暴風雪ニ変ル
ソ	山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴風雨ハ上モ岸ハ暴風雪ニ変ル
タ	山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴山海沖海暴風雨ハ上モ岸ハ暴風雪ニ変ル

第十九　最大風速起時（地方暴風報）

符號	最大風速起時
ア	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
イ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
ウ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
エ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
オ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
カ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
キ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
ク	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
ケ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
コ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
サ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
シ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
ス	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
セ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
ソ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
タ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込

第二十　低気壓ノ位置（地方暴風報）

符號	位置
ア	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
イ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ウ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
エ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
オ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
カ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
キ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ク	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ケ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
コ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
サ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
シ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ス	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
セ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ソ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
タ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム

第二十一　低氣壓（颱風又ハ濃霧ノ進行方向）

符號	進行方向
ア	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
イ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ウ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
エ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
オ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
カ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
キ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ク	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ケ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
コ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
サ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
シ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ス	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
セ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ソ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
タ	低気圧ハ北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム

第二十二　低氣壓（地方気象報、地方気象報）

符號	區域	朝晨夕観測所ノ氣象報告	觀測所又ハ測候所ノ氣象報告
0	全区	小区域ニ当ル	仁川、京城、内地ノ各府県及ビ樺太ノ各郡ニ当ル
1	第一区	北海道ノ東部ニ当ル	北海道ノ東部ニ当ル
2	第二区	北海道ノ西部ニ当ル	北海道ノ西部ニ当ル
3	第三区	内地ノ北部ニ当ル	内地ノ北部ニ当ル
4	第四区	内地ノ南部ニ当ル	内地ノ南部ニ当ル

第二十三　低氣壓ノ進行方向（颱風又ハ濃霧ノ進行方向）

符號	進行方向
ア	低気圧ハ北東ニ進ム
イ	低気圧ハ北東ニ進ム
ウ	低気圧ハ北東ニ進ム
エ	低気圧ハ北東ニ進ム
オ	低気圧ハ北東ニ進ム
カ	低気圧ハ北東ニ進ム
キ	低気圧ハ北東ニ進ム
ク	低気圧ハ北東ニ進ム
ケ	低気圧ハ北東ニ進ム
コ	低気圧ハ北東ニ進ム
サ	低気圧ハ北東ニ進ム
シ	低気圧ハ北東ニ進ム
ス	低気圧ハ北東ニ進ム
セ	低気圧ハ北東ニ進ム
ソ	低気圧ハ北東ニ進ム
タ	低気圧ハ北東ニ進ム

第二十四　低氣壓（颱風又ハ濃霧ノ進行方向）

符號	進行方向
ア	低気圧ハ東北東ニ進ム
イ	低気圧ハ東北東ニ進ム
ウ	低気圧ハ東北東ニ進ム
エ	低気圧ハ東北東ニ進ム
オ	低気圧ハ東北東ニ進ム
カ	低気圧ハ東北東ニ進ム
キ	低気圧ハ東北東ニ進ム
ク	低気圧ハ東北東ニ進ム
ケ	低気圧ハ東北東ニ進ム
コ	低気圧ハ東北東ニ進ム
サ	低気圧ハ東北東ニ進ム
シ	低気圧ハ東北東ニ進ム
ス	低気圧ハ東北東ニ進ム
セ	低気圧ハ東北東ニ進ム
ソ	低気圧ハ東北東ニ進ム
タ	低気圧ハ東北東ニ進ム

第二十五　低氣壓ノ中心ノ位置（地方暴風報）

符號	位置
ア	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
イ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ウ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
エ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
オ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
カ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
キ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ク	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ケ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
コ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
サ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
シ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ス	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
セ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ソ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
タ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム

第二十六　低氣壓ノ中心ノ位置（地方暴風報）

符號	位置
ア	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
イ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ウ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
エ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
オ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
カ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
キ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ク	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ケ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
コ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
サ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
シ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ス	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
セ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
ソ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム
タ	北海道ノ西北西ニ在リテ発達シツヽ東北東ニ進ム

第二十七　交通電氣附元所

符號	交通電氣附元所
ア	各天津港港中心各都府
イ	各天津港港中心各都府
ウ	各天津港港中心各都府
エ	各天津港港中心各都府
オ	各天津港港中心各都府
カ	各天津港港中心各都府
キ	各天津港港中心各都府
ク	各天津港港中心各都府
ケ	各天津港港中心各都府
コ	各天津港港中心各都府
サ	各天津港港中心各都府
シ	各天津港港中心各都府
ス	各天津港港中心各都府
セ	各天津港港中心各都府
ソ	各天津港港中心各都府
タ	各天津港港中心各都府

第二十八　朝晨夕観測所ノ氣象報告

符號	朝晨夕観測所ノ氣象報告
ア	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
イ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
ウ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
エ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
オ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
カ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
キ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
ク	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
ケ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
コ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
サ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
シ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
ス	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
セ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
ソ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル
タ	仁川ノ天候ハ晴ノ0ニ当ル

第二十九　最大風速起時（地方暴風報）

符號	最大風速起時
ア	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
イ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
ウ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
エ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
オ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
カ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
キ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
ク	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
ケ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
コ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
サ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
シ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
ス	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
セ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
ソ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込
タ	風ノ最モ強カルハ今日午前中ニ見込

第二條　電報ハ左ノ種類ニ分ツ

一　普通電報

二　至急電報

三　夜間電報

四　昼夜間電報

五　年賀電報

六　特別扱電報

七　官報

第三條　普通電報ハ其ノ到達ノ順序ニ依リ之ヲ取扱フ

第四條　至急電報ハ普通電報ニ先チテ之ヲ取扱フ

第五條　夜間電報ハ午後十時ヨリ翌朝八時マテノ間ニ到達スヘキ様之ヲ取扱フ

第六條　昼夜間電報ハ午後六時ヨリ翌朝八時マテノ間ニ到達スヘキ様之ヲ取扱フ

第七條　年賀電報ハ元日ニ到達スヘキ様之ヲ取扱フ

第八條　特別扱電報ハ左ノ場合ニ限リ之ヲ取扱フ

一　緊急ノ事項ニ関スルモノ

二　新聞紙ノ通信ニ関スルモノ

三　官庁ノ命令ニ関スルモノ

四　其ノ他特別ノ事情アルモノ

第九條　官報ハ之ヲ取扱フ

第十條　電報ハ左ノ区別ニ依リ料金ヲ徴収ス

一　普通電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

二　至急電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金弐拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金弐拾銭ヲ加フ

三　夜間電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

四　昼夜間電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

五　年賀電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

六　特別扱電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金弐拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金弐拾銭ヲ加フ

七　官報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

第十一條　電報ハ左ノ種類ニ分ツ

一　普通電報

二　至急電報

三　夜間電報

四　昼夜間電報

五　年賀電報

六　特別扱電報

七　官報

第十二條　普通電報ハ其ノ到達ノ順序ニ依リ之ヲ取扱フ

第十三條　至急電報ハ普通電報ニ先チテ之ヲ取扱フ

第十四條　夜間電報ハ午後十時ヨリ翌朝八時マテノ間ニ到達スヘキ様之ヲ取扱フ

第十五條　昼夜間電報ハ午後六時ヨリ翌朝八時マテノ間ニ到達スヘキ様之ヲ取扱フ

第十六條　年賀電報ハ元日ニ到達スヘキ様之ヲ取扱フ

第十七條　特別扱電報ハ左ノ場合ニ限リ之ヲ取扱フ

一　緊急ノ事項ニ関スルモノ

二　新聞紙ノ通信ニ関スルモノ

三　官庁ノ命令ニ関スルモノ

四　其ノ他特別ノ事情アルモノ

第十八條　官報ハ之ヲ取扱フ

第十九條　電報ハ左ノ区別ニ依リ料金ヲ徴収ス

一　普通電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

二　至急電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金弐拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金弐拾銭ヲ加フ

三　夜間電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

四　昼夜間電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

五　年賀電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

六　特別扱電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金弐拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金弐拾銭ヲ加フ

七　官報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

第二十條　電報ハ前納ヲ要ス但シ官報ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　電報ハ前納ヲ要スル外左ノ場合ニ限リ後納ヲ許ス

一　官庁ノ命令ニ関スルモノ

二　新聞紙ノ通信ニ関スルモノ

三　其ノ他特別ノ事情アルモノ

第二十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第百條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二條　電報ハ左ノ種類ニ分ツ

一　普通電報

二　至急電報

三　夜間電報

四　昼夜間電報

五　年賀電報

六　特別扱電報

七　官報

第三條　普通電報ハ其ノ到達ノ順序ニ依リ之ヲ取扱フ

第四條　至急電報ハ普通電報ニ先チテ之ヲ取扱フ

第五條　夜間電報ハ午後十時ヨリ翌朝八時マテノ間ニ到達スヘキ様之ヲ取扱フ

第六條　昼夜間電報ハ午後六時ヨリ翌朝八時マテノ間ニ到達スヘキ様之ヲ取扱フ

第七條　年賀電報ハ元日ニ到達スヘキ様之ヲ取扱フ

第八條　特別扱電報ハ左ノ場合ニ限リ之ヲ取扱フ

一　緊急ノ事項ニ関スルモノ

二　新聞紙ノ通信ニ関スルモノ

三　官庁ノ命令ニ関スルモノ

四　其ノ他特別ノ事情アルモノ

第九條　官報ハ之ヲ取扱フ

第十條　電報ハ左ノ区別ニ依リ料金ヲ徴収ス

一　普通電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

二　至急電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金弐拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金弐拾銭ヲ加フ

三　夜間電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

四　昼夜間電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

五　年賀電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

六　特別扱電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金弐拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金弐拾銭ヲ加フ

七　官報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

第十一條　電報ハ左ノ種類ニ分ツ

一　普通電報

二　至急電報

三　夜間電報

四　昼夜間電報

五　年賀電報

六　特別扱電報

七　官報

第十二條　普通電報ハ其ノ到達ノ順序ニ依リ之ヲ取扱フ

第十三條　至急電報ハ普通電報ニ先チテ之ヲ取扱フ

第十四條　夜間電報ハ午後十時ヨリ翌朝八時マテノ間ニ到達スヘキ様之ヲ取扱フ

第十五條　昼夜間電報ハ午後六時ヨリ翌朝八時マテノ間ニ到達スヘキ様之ヲ取扱フ

第十六條　年賀電報ハ元日ニ到達スヘキ様之ヲ取扱フ

第十七條　特別扱電報ハ左ノ場合ニ限リ之ヲ取扱フ

一　緊急ノ事項ニ関スルモノ

二　新聞紙ノ通信ニ関スルモノ

三　官庁ノ命令ニ関スルモノ

四　其ノ他特別ノ事情アルモノ

第十八條　官報ハ之ヲ取扱フ

第十九條　電報ハ左ノ区別ニ依リ料金ヲ徴収ス

一　普通電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

二　至急電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金弐拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金弐拾銭ヲ加フ

三　夜間電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

四　昼夜間電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

五　年賀電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

六　特別扱電報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金弐拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金弐拾銭ヲ加フ

七　官報ハ一通ニ付キ其ノ通信文ノ長サ十語マテハ金拾銭トシ十語ヲ超ユル毎ニ金拾銭ヲ加フ

第二十條　電報ハ前納ヲ要ス但シ官報ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　電報ハ左ノ種類ニ分ツ

一　官庁ノ命令ニ関スルモノ

二　新聞紙ノ通信ニ関スルモノ

三　其ノ他特別ノ事情アルモノ

第二十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第二十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第三十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第四十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第五十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第六十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第七十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第八十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十一條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十二條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十三條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十四條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十五條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十六條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十七條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十八條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第九十九條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

第百條　後納ノ電報ニ付テハ其ノ料金ニ百分ノ五ヲ加フ

昭和五年一月一日ヨリ無線電信法第八條ノ二ノ規定ニ依ル電信官署及電話官署ニ私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ通信ニ關シテハ朝鮮總督府遞信局及私設無線電信無線電話規則第六十八條ノ規定ニ依ル無線通信監視局トシ其ノ他ノ無線電信又ハ無線電話ノ通信ニ關シテハ朝鮮總督府遞信局トス

（昭和十年三月總告第百四十一號ハ昭和十年三月十五日ヨリ施行）

●私設無線電信無線電話規則ニ依ル無線通信監視局

昭和十年三月

總告第百四十二號

昭和十年三月十五日ヨリ私設無線電信無線電話規則第六十八條ノ規定ニ依リ無線通信監視局ヲ左ノ通指定ス

昭和四年朝鮮總督府告示第五百四號ハ昭和十年三月十四日限リ之ヲ廢止ス

京城無線電信局
本浦無線電信局
釜山無線電信局
鎭南浦無線電信局
清津無線電信局

●海難報ニ關スル事務ヲ取扱フ電信局所

昭和十六年

總告第三百三十六號

昭和六年七月一日ヨリ朝鮮船舶通報規則第四條ノ二ノ規定ニ依リ海難報ニ關スル事務ヲ取扱フ電信局所ヲ左ノ通指定ス

位置	電信局所
京城府本町一丁目	京城無線電信局
釜山無線電信局	釜山府青鶴洞
木浦無線電信局	木浦府港町
鎭南浦無線電信局	鎭南浦府億興機里
清津無線電信局	清津府浦項洞

●水底電線路區域

明治四十年四月

逓告第六十一號

韓國平安北道義州郡光城面新義州ト清國安東縣間鴨綠江布設水底電線區域ハ陸揚柱ノ左右一粁ノ間ニ建設セル陸標ヨリ中流ニ至ル區間トス

（圖略）

明治四十二年三月

統告第二十二號

改正　明治四十三年八月第二七號、昭和七年一二月第九號

釜山絕影島間外一箇所ヘ左圖ノ通水底電線ヲ布設シ該線路區域ヲ左ノ通定ム

一　慶尙南道釜山府南濬町陸揚地ヨリ同府濠仙町陸揚柱ニ至ル間ハ左圖ノ通各陸揚地ニ建設シタル二本ノ陸標ヲ以テ指示スル直線ノ左右各六十米以內

二　削除

（圖略）

明治四十五年四月

總告第百九十號

水底電信線路若ハ水底電話線路ニシテ其ノ區域ヲ別ニ告示セサルモノハ左圖形式ノ標識ヲ建設シ其ノ見透直線內ヲ以テ之ヲ保護區域ト定ム

（圖略）

大正二年一月

總告第三號

南海島海峽外一箇所ヘ水底電線ヲ布設シ其ノ線路區域ヲ左ノ通定ム

一　慶尙南道南海郡碧川面鷺梁里ト慶尙南道昆陽郡金陽面鷺梁洞ト間ハ左圖ノ通陸揚地電線ノ左右各五十間ノ各從ニ建設シタル各二本ノ陸標ヲ以テ指定スル二條ノ直線以內

一　全羅南道突島郡鄭內面遠島ト全羅南道突島郡鄭內面元浦里ト間ハ左圖ノ通陸揚地電線ノ左右各四十間ノ位從ニ建設シタル各二本ノ陸標ヲ以テ指定スル二條ノ直線以內

（圖略）

大正二年十二月

總告第三百九十七號

珍島海峽外二箇所ヘ水底電線ヲ布設シ其ノ線路區域ヲ左ノ通定ム

一　全羅南道珍島郡古郡面碧波里ト同道海南郡黃山面玉洞里ト間ハ左圖ノ通陸揚地電線ノ左右一粁ノ間ニ建設シタル陸標ヨリ其ノ各見透線ノ沖合突叉點ニ至ル兩線以內

一　全羅南道突山郡斗南面斗里ト同道靈巖郡鹽內面餘捉里ト間ハ左圖ノ通陸揚地電線ノ左右ニ建設シタル陸標ヨリ其ノ各見透線ノ沖合突叉點ニ至ル兩線以內

一　全羅北道沃溝郡開井面龜岩里ト忠淸南道舒川郡馬東面水東里ト間ハ左圖ノ通陸揚地電線ノ左右ニ建設シタル各二本ノ陸標ヲ以テ指定スル二條ノ點線以內

（圖略）

大正四年六月

總告第百四十二號

線老島海峽外二箇所ヘ水底電線ヲ布設シ其ノ線路區域ヲ左ノ通定ム

一　全羅南道高興郡蓬萊面小桀里ト同面新錦里ト間ハ左圖ノ通陸揚地電線ノ左右各五十間ノ位從ニ建設シタル陸標ヲ以テ指示スル二條ノ直線以內

一　全羅南道高興郡蓬萊面牛山里ト同郡蓬萊面德興里ト間ハ左圖ノ通陸揚地電線ノ左右各五十間ノ位從ニ建設シタル陸標ヲ以テ指示スル二條ノ直線以內

一　全羅南道高興郡蓬萊面頭面牛山里ト同郡蓬萊面德興里ト間ハ左圖ノ通陸揚地電線ノ左右各五十間ノ位從ニ建設シタル陸標ヲ以テ指示スル二條ノ直線以內

（圖略）

大正八年四月

總告第八十九號

改正　大正八年九月二六〇號、九年四月二一號

慶尙南道東萊郡沙下面岩南里ヨリ山日縣豐浦郡豐西上村大字吉見下字申岡及長崎縣下縣郡小茂田村大字下ノ原ニ至ル水底電信線路ノ區域ヲ通指定ス

明治四十五年朝鮮總督府告示第二百九十六號及大正八年朝鮮總督府告示第十四號ハ之ヲ廢止ス

慶尙南道東萊郡沙下面岩南里ヨリ山日縣豐浦郡豐西上村大字吉見下字申岡及長崎縣下縣郡小茂田村大字下ノ原ニ至ル水底電信線路ノ區域ヲ通指定ス

明治四十五年朝鮮總督府告示第二百九十六號及大正八年朝鮮總督府告示第十四號ハ之ヲ廢止ス

慶尙南道東萊郡沙下面岩南里ヨリ山日縣豐浦郡豐西上村大字吉見下字申岡及長崎縣下縣郡小茂田村大字下ノ原ニ至ル水底電信線路ノ區域ヲ通指定ス

明治四十五年朝鮮總督府告示第二百九十六號及大正八年朝鮮總督府告示第十四號ハ之ヲ廢止ス

大正十年七月

總告第百五十一號

長崎縣西彼杵郡茂木村字小立石ヨリ關東州沙河口會星ヶ浦墨石礁ニ至ル水底電信線路ノ區域ヲ通指定ス

小立石陸揚地ノ沖合十三海里ヨリ三百海里迄ハ線條ノ左右各一海里以內夫ヨリ墨石礁陸揚地ヲ距ル六海里迄ハ線條ノ左右三海里以內

電信線布設位從左圖ノ如シ

（圖略）

大正十一年七月

總告第百八十六號

慶尙南道統營郡龍南面長坪里ト同道同郡沙等面德湖里トノ間見乃梁海峽ヘ左圖ノ通水底電信線ヲ布設シ線條ノ左右各五十間以內ヲ線路區域ト定ム

（圖略）

大正十三年九月

總告第百九十號

平安北道義州郡古津面樂元洞ト同道龍川郡楸下面立岩洞トノ間三橋川ヘ左圖ノ通水底電信線ヲ布設シ線條ノ左右各十五間以內ヲ線路區域ト定ム

（圖略）

昭和二年六月

總告第百八十四號

長崎縣下縣郡與良村大字豆酘字淺藻及同縣同郡竹敷村大字尾崎字糊木ヨリ朝鮮慶尙南道統營郡長木面農所里ニ至ル左圖水底電線ハ豆酘陸揚地ヨリ沖合二海里迄ハ線條ノ左右各二十間以內、尾崎陸揚地ヨリ沖合二海里迄ハ線條ノ左右各五十間以內、長木面陸揚地ヨリ同洞口嶼秀末計得岩見通シ線迄ハ各線條ノ左右各五十間以內、其ノ他ハ各線條ノ左右各百間以內ヲ以テ線路區域ト指定ス

（圖略）

昭和二年六月

總告第百八十五號

朝鮮慶尙南道統營郡巨濟島慶南、同昌原郡龜山面深里山間左圖水底電線ハ各線條ノ左右各五十間以內ヲ以テ線路區域ト指定ス

（圖略）

昭和四年四月

總告第百二十六號

慶尙南道金海郡下東面月村里ト同道梁山郡上西面曾山里ト間洛東江ニ左圖ノ通水底電線ヲ布設シ線條ノ左右各十五間以內ヲ線路區域ト定ム

（圖略）

昭和四年七月

總告第二百七十二號

平安南道龍岡郡多美面園田里ト黃海道安岳郡安谷面萬月里トノ間大同江ニ左圖ノ通水底電線ヲ布設シ線條ノ左右各三十間以內ヲ線路區域ト定ム

大正十一年朝鮮總督府告示第八十一號（大同江布設水底電線路區域ニ關スル件）ハ之ヲ廢止ス

（圖略）

昭和四年八月

總告第二百七十五號

咸鏡南道咸興郡洲西面西上里ト同郡咸興面上里トノ間城川江ニ左圖ノ通水底電線ヲ布設シ線條ノ左右各五十間以內ヲ線路區域ト定ム

（圖略）

昭和八年七月

總告第三百四十號

長崎縣下縣郡鷄知村大字尾崎字糊木、朝鮮慶尙南道東萊郡沙下面岩南里間ニ左圖ノ通水底電話線一條ヲ新設シ棚木陸揚地ヨリ沖合一海里迄及岩南陸揚地ヨリ沖合二海里迄ハ共ニ線條ノ左右各五十米以內其ノ他ハ線條ノ左右各三百米以內ヲ以テ線路區域ト指定ス

昭和八年十月

總告第四百九十三號

山口縣豐浦郡豐西村大字室津下字河原、朝鮮慶尙南道東萊郡龍湖間ニ左圖ノ通水底電線一條ヲ布設シ室津下陸揚地ヨリ沖合九百九米迄ハ線條ノ左右各三十六米以內龍湖陸揚地ヨリ沖合千二百七十三米迄ハ線條ノ左右各三十六米以內其ノ他ハ線條ノ左右各百八十二米以內ヲ以テ線路區域ト指定ス

昭和十年六月

總告第三百五十八號

島根縣八東郡千酌村大字千酌ヨリ朝鮮慶尙北道鬱陵島南面沙洞ヲ經テ咸鏡南道德源郡縣面蓮斗島里ニ至ル間ニ左圖ノ通布設シアル水底電線ノ線路區域ハ千酌、鬱陵島及縣面ノ各陸揚地ヨリ沖合七二〇米迄ハ線條ノ左右各五〇米以內、其ノ他ハ線條ノ左右各一八〇米以內ト定ム

昭和二年朝鮮總督府告示第百八十三號（島根縣千酌咸鏡南道蓮斗島里間布設水底電線路區域ニ關スル件）ハ之ヲ廢止ス

（圖略）

●無線電信機ヲ裝置スル電信局所ノ呼出符號

大正十二年三月

總告第九十七號

改正　大正一四年四月第一〇二號

局所名	符號
京城	JMAA
木浦	JMCA
濟州	JMPA

（大正十四年四月總告第百二號ハ同年五月一日ヨリ施行）

●軍用電氣通信法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

昭和九年十月

勅令第三百十號

陸軍用電氣通信法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和九年十月十日

內閣總理大臣　子爵　齋藤　實

樞密院議長　男爵　一木喜德郎

陸軍大臣　荒木貞夫

勅令第三百十號

陸軍用電氣通信法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

第一條　本法ニ於テ軍用電氣通信トハ軍用ノ電信、電話、無線電信及無線電話竝ニ高周波電流ヲ使用シ通報信號ヲ爲スモノヲ謂フ

第二條　軍用電氣通信ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣之ヲ管理ス

第三條　軍用電氣通信ハ要塞、軍港其ノ他軍事上特ニ必要ナル場所ニ之ヲ施設ス

第四條　軍用電氣通信ハ私設ノ電氣通信ニ之ヲ連接スルコトヲ得

軍用電氣通信ノ線路ノ電氣導體ハ私設ノ電氣通信又ハ電氣事業ノ線路ノ電氣導體ノ支持物ニ之ヲ添架スルコトヲ得

第五條　軍用電氣通信ノ線路ノ建設、保守又ハ測量ノ爲必要アルトキハ軍事官廳ハ他人ノ土地ニ立入リ又ハ之ニ測量標ヲ設置スルコトヲ得但シ日沒ヨリ日出迄ノ間ニ於テハ急迫ノ場合ニ非ザレバ占有者ノ意ニ反シテ邸宅又ハ構內ニ立入ルコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ依リ邸宅又ハ構內ニ立入ル場合ニハ占有者ニ豫メ之ヲ通知スベシ

第六條　軍用電氣通信ノ線路ハ必要アルトキハ何人ノ土地又ハ建造物ニ之ヲ建設スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ土地又ハ建造物ノ所有者其ノ他ノ權利者ニ豫メ之ヲ通知スベシ

前項ノ規定ニ依リ他人ノ土地又ハ建造物ニ軍用電氣通信ノ線路ノ建設又ハ通信ニ障碍アル竹木其ノ他ノ植物ハ已ムヲ得ザルモノニ限リ軍事官廳ハ其ノ伐除若ハ移植ヲ所有者其ノ他ノ權利者ニ對シ請求シ又ハ自ラ之ヲ伐除スルコトヲ得

第七條　軍用電氣通信ノ線路ノ建設又ハ通信ノ障碍アル竹木其ノ他ノ植物ハ已ムヲ得ザルモノニ限リ軍事官廳ハ其ノ伐除若ハ移植ヲ所有者其ノ他ノ權利者ニ對シ請求シ又ハ自ラ之ヲ伐除スルコトヲ得

第八條　第四條第二項ノ規定ニ依ル添架ノ爲電氣導體ノ支持物ニ現ニ生ジタル損害

二　第五條第一項ノ規定ニ依ル立入又ハ測量標設置ノ爲現ニ生ジタル損害

三　第六條第一項ノ規定ニ依ル線路建設ノ爲土地又ハ建造物ニ現ニ生ジタル損害

四　前條ノ規定ニ依リ伐除シタル植物ノ價額又ハ同條ノ規定ニ依ル植物ノ移植ノ費用

前項ノ規定ニ依ル補償金額ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣之ヲ決定ス

軍用電氣通信ノ線路ノ測量標ヲ毀棄又ハ汚穢シタル者亦前項ニ同ジ

第十七條　陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ指定シタル軍用ノ水底電氣通信線路ノ區域内ニ於テ船舶ヲ繫留シ、漁業採藻ヲ爲シ若ハ土砂ヲ掘鑿シ又ハ軍用ノ水底電氣通信線路ノ標識ニ舟筏ヲ繫ギ若ハ其ノ標識ヲ毀棄シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

軍用電氣通信ノ線路ノ建設等ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　軍用電氣通信法第五條第二項又ハ同法第六條第一項ノ規定ニ依ル通知ハ郡市若ハ區ノ區長ニ之ヲ爲スベシ但シ已ムヲ得ザル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　軍用電氣通信法第五條第二項ノ規定ニ依リ他人ノ邸宅又ハ構内ニ立入ルベキ者ハ陸軍又ハ海軍ノ制服ヲ着用セザルトキハ其ノ氏名、身分等ヲ記載シタル部隊（艦船）長ノ證明書ヲ携帶スベシ

第三條　軍用電氣通信法第六條第二項ニ規定スル使用料ハ當該土地又ハ建造物ノ所有者ニ對シ其ノ請求ニ依リ之ヲ支拂フ

第四條　前條ノ規定ニ依リ支拂フベキ使用料ハ建設シタル支持物一箇ニ付一年四錢トス但シ二本以上ノ脚ヲ有スル支持物ヲ建設シタル場合ニ於テハ當該支持物一箇ニ付一年四錢以内ノ增額ヲ爲スコトアルベシ

附　則

本令ハ昭和九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六款　外國電信

●外國電報規則

昭和八年十二月
遞令第五十六號

改正　昭和一〇年三月第一〇號、一〇年四月第一二號、一〇年三月第一〇號、一一年五月第一五號、一一年六月第一七號

第一章　總則

第二章　非法

第三章　料金

第四章　賴信

第五章　交付

第六章　電線託送

第七章　特別電報

第八章　新聞電報

第九章　低減料金ノ電報

第十章　和文電報

附　則

外國電報規則

第一章　總則

第一條　外國電報ト內國際電氣通信條約及同附屬電信規則（以下國際電信ト稱ス）又ハ特別ノ國際通信協定ニ依ル電報ヲ謂フ

第二條　外國電報ハ國際電氣通信條約及國際電信規則ニ依リノ外本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ取扱フ

第三條　國際電氣通信條約及國際電信規則ニ基キ外國主管廳ノ定ムル隨意規定事項及外國電報ノ取扱ニ關スル制限ニシテ必要アルモノハ之ヲ告示ス

第二章　非法

第四條　外國電報ニ使用スル文字ハ羅馬字ニ、數字ハ亞剌比亞數字又ハ羅馬字限ルノ外本法施行前ニ軍用電信法ノ規定ニ依リ之ヲ公衆通信ノ用ニ供シタル無線電信ニ使用シタル符號ヲ使用シタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ仍其ノ効力ヲ有ス

第五條　日本語ヲ普通語ノ外國電報ニ使用スルコトヲ得但シ指定ス

第六條　全部又ハ一部暗語ヲ以テ記載シタル私報ハ發信及著信ニ於テモ之ヲ取扱フ

第七條　國際電信規則第十七條第二項ニ規定シタル署名ノ證明ノ傳送ハ發信ニ於テ之ヲ取扱ハズ

第三章　料金

第八條　外國電報ノ料金ニ關シテハ特ニ定ムルモノヲ除クノ外其ノ基礎タル金「フラン」額ヲ告示ス

第九條　外國電報ノ料金ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外金「フラン」ノ邦貨相當額ヲ第二項ノ方法ニ依リ換算シ之ヲ定ム

一年ヲ四期ニ分チ一月一日、四月一日、七月一日及十月一日ニ初マル毎三月ヲ各一期トシ各期ニ適用スベキ一金「フラン」ノ邦貨相當額ハ各其ノ期中（最初ノ二月及最後ノ月ノ初ノ十五日間）ニ於ケル一佛關西

明治三十二年勅令第百八十七號ハ之ヲ廢止ス

●軍用電氣通信ノ線路ノ建設等ニ關スル件

昭和九年十月
陸海令第一號

軍用電氣通信ノ線路ノ建設等ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　軍用電氣通信法第五條第二項又ハ同法第六條第一項ノ規定ニ依ル通知ハ郡市若ハ區ノ區長ニ之ヲ爲スベシ但シ已ムヲ得ザル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　軍用電氣通信法第五條第二項ノ規定ニ依リ他人ノ邸宅又ハ構内ニ立入ルベキ者ハ陸軍又ハ海軍ノ制服ヲ着用セザルトキハ其ノ氏名、身分等ヲ記載シタル部隊（艦船）長ノ證明書ヲ携帶スベシ

第三條　軍用電氣通信法第六條第二項ニ規定スル使用料ハ當該土地又ハ建造物ノ所有者ニ對シ其ノ請求ニ依リ之ヲ支拂フ

第四條　前條ノ規定ニ依リ支拂フベキ使用料ハ建設シタル支持物一箇ニ付一年四錢トス但シ二本以上ノ脚ヲ有スル支持物ヲ建設シタル場合ニ於テハ當該支持物一箇ニ付一年四錢以内ノ增額ヲ爲スコトアルベシ

附　則

本令ハ昭和九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六款　外國電信

●外國電報規則

昭和八年十二月
遞令第五十六號

改正　昭和一〇年三月第一〇號、一〇年四月第一二號、一〇年三月第一〇號、一一年五月第一五號、一一年六月第一七號

第一章　總則

第一條　外國電報ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外電信官署（外國電報ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外電信官署ノ間ニ限ル）ニ之ヲ賴信スベシ

第二條　外國電報ハ電報取扱時間外ニ賴信官署ニ之ヲ爲スベシ

前項ノ場合ニ於テハ時間外料ヲ納付スベシ但シ左ノ電報ニ付テハ之ヲ納付スルコトヲ要セズ

一　航海中又ハ航空中ノ人命ノ安全ニ關スル電報

二　官報

三　局報

四　至急私報

五　新聞電報

第三條　電報規則第二十五條、第五十條第五十一條及第五十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第四條　外國電報ハ第五十條第二項ノ規定ニ依リ控除スベキ料金ハ五錢トス

第五條　來著外國電報ノ別便配達料ハ別ニ告示スル場合ヲ除クノ外一通ニ付一圓トス

第六條　外國電報ノ閱覽料ハ一通ニ付五錢トス

第七條　外國電報ノ寫眞謄本料ハ謄本一枚ニ付一圓トス

第八條　外國電報ノ受取證ハ發信人ノ請求ニ依リ電報一通毎ニ之ヲ交付ス其ノ料金ハ受取證一通ニ付五錢トス

第九條　受信人ノ請求スル反覆課金事務報ニ付テハ其ノ料金ノ假納ヲ要セズ

第十條　在上海帝國電信官署ニ納付スベキ外國電報ノ料金ハ墨銀ヲ以テ定メ之ヲ當該電信官署ニ掲示ス

第十一條　通常電報、一部至急私報、新聞電報及後廻新聞電報ノ一語ノ徵收料金ニ一錢未滿ノ端數ヲ生ズルトキハ之ヲ切捨ツ

第十二條　外國電報一通ノ料金ニ一錢ヲ未滿ノ端數ヲ生ズルトキハ之ヲ切捨ツ

第二十條　一、二等郵便局又ハ電信局（無人電信取扱所ヲ除ク）ニ納付スベキ外國電報ニ關スル料金ハ通貨ヲ以テ之ヲ納付スベシ但シ左ノ料金ハ此ノ限ニ在ラズ

一　追納スベキ料金

二　郵便課金事務報（電信課金事務ニ關シ對スル返信ヲ除ク）ノ料金

三　電報閱覽ノ料金

四　電報謄本ノ料金

五　電報受取證ノ料金

第二十一條　前條ニ掲ゲル局ニ外國電報ヲ賴信セントスル者ハ通貨ヲ以テ其ノ料金ヲ發信局ニ豫納スルコトヲ得

前項ノ豫納金ハ豫納一回ニ付百圓（邊額ニ付テハ百圓）ヲ下ルコトヲ得ズ

第二十二條　發信局ニ於テ新ニ前條ノ規定ニ依ル豫納金ヲ受領シタルトキハ其ノ金額ヲ記入シタル豫納金通帳ヲ發信人ニ交付ス再度以後ノ豫納ハ該通帳交付局ニ之ヲ爲シ通帳ニ其ノ金額ノ記入ヲ受クベシ

第二十三條　豫納金通帳ニ依リ外國電報ヲ發送セントスル者ハ通帳ト共ニ之ヲ該通帳交付局ニ差出シ徵收金額ノ記入ヲ受クベシ

第二十四條　豫納金通帳ヲ有スル者該通帳交付局ニ於テハ該豫納金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二十五條　豫納金通帳ニ關スル料金ヲ追納スル場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス但シ豫納金通帳ヲ返納スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條　豫納金通帳ヲ有スル者該通帳交付局ニ於テ豫納金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二十七條　返信料前納證券ハ一通ヲ以テ電報一通ノ料金ニ充テ又ハ數通ヲ以テ電報一通ノ料金ニ充ツルコトヲ得

第二十八條　返信料前納證券ノ再度發行ハ之ヲ請求スルコトヲ得ズ

第二十九條　來著外國電報ノ別便配達ハ特ニ告示スル地域ヲ除クノ外之ヲ取扱フ

第三十條　外國電報ハ電報規則第七十三條、第八十二條、第百十一條及第百十四條ノ規定ニ依リ之ヲ取扱フ

第三十一條　外國電報ノ電報取扱時間ハ賴信官署ニ之ヲ告示ス

第三十二條　電報規則第二十五條、第五十條第五十一條及第五十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三十三條　來著外國電報ノ無線交付ハ之ヲ取扱フ

第三十四條　來著外國電報ノ本人直渡ハ之ヲ取扱ハズ

第三十五條　「郵便局留置」又ハ「電信局留置」ナル課金指定ヲ有スル來著外國電報ニ對シテハ配達ヲ發收セズ

第三十六條　電報直配達區域外ニ宛テタル外國電報ニシテ配達方ノ指定アルモノノ受信人ハ發信官署ニ於テ別使ニ依リ其ノ電報ノ配達ヲ受クルコトヲ得但シ之ヲ受クルトキハ其ノ配達料ヲ納ムベシ

第三十七條　電報規則第六十一條乃至第六十五條、第六十七條、第百五十九條乃至第百六十三條、第百六十五條及第百六十七條乃至第百七十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二章　非法

第三十八條　電報規則第七十四條乃至第七十六條及第七十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三章　料金

第三十九條　外國電報ノ料金ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外金「フラン」ノ邦貨相當額ヲ第二項ノ方法ニ依リ換算シ之ヲ定ム

一年ヲ四期ニ分チ一月一日、四月一日、七月一日及十月一日ニ初マル毎三月ヲ各一期トシ各期ニ適用スベキ一金「フラン」ノ邦貨相當額ハ各其ノ期中（最初ノ二月及最後ノ月ノ初ノ十五日間）ニ於ケル一佛關西

前項ノ規定ニ依ル決定ニ對シ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九條　正當ノ事由ナクシテ第四條第一項ノ規定ニ依ル連接又ハ同條第二項ノ規定ニ依ル添架ヲ拒ミタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條　軍用電氣通信ニ依ル通信ノ祕密ヲ侵シ又ハ通信ノ祕密ヲ漏泄シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

軍用電氣通信ノ事務ニ從事シタル者其ノ職務ニ關シ知得タル通信ノ祕密ヲ漏泄シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前二項ノ規定ハ刑法第二編第三章外患ニ關スル罪、陸軍刑法第二編第一章叛亂ノ罪及海軍刑法第二編第一章叛亂ノ罪ニ關スル規定並ニ軍機保護法ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

第十一條　軍用電氣通信ノ事務ニ從事スル者軍用電氣通信ニ依ル電報ヲ正當ノ事由ナクシテ開披、發揚、隱匿若ハ放棄シ又ハ受取人ニ非ザル者ニ交付シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第二百五十八條ニ該當スル場合ハ刑法ノ例ニ依ル

第十二條　軍用電氣通信ノ事務ニ從事スル者正當ノ事由ナクシテ通信ノ取扱ヲ爲サズ又ハ遲延セシメタルトキ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條　軍用電氣通信ノ事務ニ從事スル者濫ニ通信ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條　軍用電氣通信ニ依ル通信ヲ妨害シ又ハ妨害スベキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條　軍用電氣通信ノ線路ノ建設、保守測量又ハ巡視ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條　軍用電氣通信ノ線路ノ電氣導體又ハ其ノ支持物ニ物品ヲ懸ケ若ハ投ヲ爲シ若ハ舟筏ヲ繫ギ又ハ之ヲ汚穢シタル者ハ科料ニ處ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第四章　賴信

第五章　交付

第六章　電線託送

第七章　特別電報

第八章　新聞電報

第九章　低減料金ノ電報

第十章　和文電報

附　則

外國電報規則

第一章　總則

第一條　外國電報ト內國際電氣通信條約及同附屬電信規則（以下國際電信ト稱ス）又ハ特別ノ國際通信協定ニ依ル電報ヲ謂フ

第二條　外國電報ハ國際電氣通信條約及國際電信規則ニ依リノ外本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ取扱フ

第三條　國際電氣通信條約及國際電信規則ニ基キ外國主管廳ノ定ムル隨意規定事項及外國電報ノ取扱ニ關スル制限ニシテ必要アルモノハ之ヲ告示ス

第二章　非法

第四條　外國電報ニ使用スル文字ハ羅馬字ニ、數字ハ亞剌比亞數字又ハ羅馬字限ルノ外本法施行前ニ軍用電信法ノ規定ニ依リ之ヲ公衆通信ノ用ニ供シタル無線電信ニ使用シタル符號ヲ使用シタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ仍其ノ効力ヲ有ス

第五條　日本語ヲ普通語ノ外國電報ニ使用スルコトヲ得但シ指定ス

第六條　全部又ハ一部暗語ヲ以テ記載シタル私報ハ發信及著信ニ於テモ之ヲ取扱フ

第七條　國際電信規則第十七條第二項ニ規定シタル署名ノ證明ノ傳送ハ發信ニ於テ之ヲ取扱ハズ

第三章　料金

第八條　外國電報ノ料金ニ關シテハ特ニ定ムルモノヲ除クノ外其ノ基礎タル金「フラン」額ヲ告示ス

第九條　外國電報ノ料金ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外金「フラン」ノ邦貨相當額ヲ第二項ノ方法ニ依リ換算シ之ヲ定ム

一年ヲ四期ニ分チ一月一日、四月一日、七月一日及十月一日ニ初マル毎三月ヲ各一期トシ各期ニ適用スベキ一金「フラン」ノ邦貨相當額ハ各其ノ期中（最初ノ二月及最後ノ月ノ初ノ十五日間）ニ於ケル一佛關西

第十條　外國電報ハ第五十條第二項ノ規定ニ依リ控除スベキ料金ハ五錢トス

第十一條　來著外國電報ノ別便配達料ハ別ニ告示スル場合ヲ除クノ外一通ニ付一圓トス

第十二條　外國電報ノ閱覽料ハ一通ニ付五錢トス

第十三條　外國電報ノ寫眞謄本料ハ謄本一枚ニ付一圓トス

第十四條　外國電報ノ受取證ハ發信人ノ請求ニ依リ電報一通毎ニ付五錢トス

第十五條　受信人ノ請求スル反覆課金事務報ニ付テハ其ノ料金ノ假納ヲ要セズ

第十六條　在上海帝國電信官署ニ納付スベキ外國電報ノ料金ハ墨銀ヲ以テ定メ之ヲ當該電信官署ニ掲示ス

第十七條　通常電報、一部至急私報、新聞電報及後廻新聞電報ノ一語ノ徵收料金ニ一錢未滿ノ端數ヲ生ズルトキハ之ヲ切捨ツ

第十八條　外國電報一通ノ料金ニ一錢ヲ未滿ノ端數ヲ生ズルトキハ之ヲ切捨ツ

第二十條　一、二等郵便局又ハ電信局（無人電信取扱所ヲ除ク）ニ納付スベキ外國電報ニ關スル料金ハ通貨ヲ以テ之ヲ納付スベシ但シ左ノ料金ハ此ノ限ニ在ラズ

一　追納スベキ料金

二　郵便課金事務報（電信課金事務ニ關シ對スル返信ヲ除ク）ノ料金

第五十條　新聞紙、定期刊行物又ハ通信社ノ通信ハ新聞電報ヲ發送セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ差出シ其ノ認可ヲ受クベシ

一　電報ヲ宛ツル新聞紙若ハ定期刊行物ノ發行所又ハ通信社ノ名稱及所在地

二　電報ニ用ウル名宛

三　電報ノ發著局名

四　申請者ノ住所氏名

前項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル後其ノ各號ノ事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第五十一條　前條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ與フルトキハ申請者ニ新聞電報發信證票ヲ交付ス

前條第二項ノ規定ニ依ル認可ヲ與フルトキハ先ニ交付シタル證票ト引換ニ新證票ヲ交付ス

第五十二條　新聞電報發信證票ノ效力ハ發行ノ日ヨリ起算シ一年トス

前項ノ規定ニ依ル期間經過後引續キ新聞電報ヲ發受セントスル者ハ期間經過前豫メ新證票ノ交付ヲ受クベシ

第五十三條　新聞電報發信證票ヲ汚損、毀損又ハ亡失シタルトキハ新證票ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第五十四條　通信員新聞電報ヲ發送セントスルトキハ發信局ニ其ノ證票ヲ呈示スベシ

第五十五條　新聞電報ノ受信人ハ之ヲ掲載シタル新聞紙又ハ定期刊行物一部ヲ直ニ著信局ニ差出スベシ

第五十六條　新聞電報ノ發信人又ハ受信人ハ特ニ告示スル電信官署ニ發著スルモノニ限リ遞信大臣ノ許可ヲ得テ料金受信人拂ノ取扱ヲ受クルコトヲ得但シ關係外國電信主管廳ニ於テ其ノ取扱ヲ爲サザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五十七條　發信人前條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケントスルトキハ第五十條第一項各號ノ事項及經過線路名ヲ記載シタル申請書ヲ差出スベシ

受信人前條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケントスルトキ亦左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出スベシ

一　電報ヲ發受スル通信員ノ住所氏名

二　電報ニ用ウル名宛

三　電報ノ發著局名

四　經過線路名

一月ノ受領電報見込語數及料金額

五　電報ヲ受クル新聞紙若ハ定期刊行物ノ發行所又ハ通信社ノ名稱及所在地

六　前條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル後前二項ノ申請書ニ記載シタル各號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ申請書ヲ差出シ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第五十八條　發信ニ關シ第五十六條ノ規定ニ依ル許可ヲ與フルトキハ料金受信人拂許可ノ旨ヲ記載シタル新聞電報發信證票ヲ申請者ニ交付ス

第五十一條第二項ノ規定ハ發信ニ關シ前條第三項ノ規定ニ依ル許可ヲ與フル場合ニ之ヲ準用ス

受信ニ關シ第六十五條又ハ前條第三項ノ規定ニ依ル許可ヲ與フルトキハ其ノ旨申請者ニ通知ス

第五十九條　受信人前條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ著信局ノ指示ニ從ヒ保證金ヲ納付スベシ

保證金額ハ三月分ノ受領電報見込料金額ヲ標準トシ著信局ニ於テ之ヲ定ム

保證金額ハ臨時之ヲ改定スルコトアルベシ

保證金ハ國債ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

受信ニ關スル料金受信人拂取扱ノ許可ハ第一項ノ保證金ノ納付ニ因リ其ノ效力ヲ生ズ

第六十條　料金受信人拂新聞電報ヲ頼信スルトキハ電報頼信紙用紙ニ「ヲヒフ」ト記載スベシ

第六十一條　受信人拂ノ新聞電報料金ハ一月分毎ニ計算シ受信人ニ之ヲ通知ス

受信人ハ前項通知ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ料金ヲ著信局ニ納付スベシ

第六十二條　受信人前條ノ期間内ニ料金ヲ納付セザルトキハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ尚不足アルトキハ之ヲ追徴ス

前項ノ規定ニ依リ生ジタル保證金ノ關額ハ直ニ之ヲ填補セシム

第六十三條　第五十九條第三項ノ場合ニ於テ保證金ノ追納ヲ爲サザルトキ又ハ前條第二項ノ場合ニ於テ保證金ノ填補ヲ爲サザルトキハ料金受信人拂ノ取扱ヲ停止シ又ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

第六十四條　新聞電報發信證票ヲ有スル者其ノ使用ヲ廢止スルトキ又ハ該證票無效トナリタルトキハ之ヲ返付スベシ

第九章　低減料金ノ電報

第六十五條　後廻電報ハ之ヲ取扱フ

第六十六條　書信電報ハ發信及著信ニ於テモ之ヲ取扱フ其ノ種類又發受ヲ得ル地名ハ別ニ之ヲ告示ス

第六十七條　書信電報ノ受付及交付ハ日曜日ニ於テモ之ヲ取扱フ

第六十八條　祝賀電報ハ任意本文ノモノニ限リ之ヲ取扱フ其ノ發受ヲ得ル地名ハ別ニ之ヲ告示ス

第六十九條　祝賀電報ノ料金ハ通常電報ノ料金ノ三分ノ一トス

第七十條　削除

第七十條ノ二　別ニ告示スル外國各地ニ發著スル私報ニシテ本文ニ復活祭祝賀文ノミヲ記載シタルモノハ之ヲ復活祭祝賀電報トシテ取扱フ

第七十條ノ三　復活祭祝賀電報ノ受付期間ハ別ニ之ヲ告示ス

第七十條ノ四　復活祭祝賀電報ニ付テハ前二條ノ規定ニ依ルノ外祝賀電報ニ關スル規定ヲ準用ス

第十章　和文電報

第七十一條　左ノ各號ニ掲グル電報ハ本章ノ定ムル所ニ依リ和文ヲ以テ之ヲ記載スルコトヲ得

一　在上海帝國電信官署ト其ノ他ノ帝國電信系トノ間ニ發著スル電報

二　佐世保青島間海底線ヲ經由シテ帝國電信系ト青島、四方又ハ沓口ニ於ケル中國電報局トノ間ニ發著スル電報

三　東京上海間無線電信連絡ヲ經由シテ帝國電信系ト上海ニ於ケル中國電報局トノ間ニ發著スル電報

第七十二條　電報料ハ左ノ區別ニ從ヒ一語ニ付キ左ノ通リ之ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	六錢
官報（歐文）	八錢
私報（和文）	十錢
私報（歐文）	十六錢
官報（和文）（祝賀電報）	二錢
私報（和文）（祝賀電報）	四錢
官報（歐文）（祝賀電報）	三錢
私報（歐文）（祝賀電報）	八錢

第七十三條　和文電報ノ料金ハ發信局ニ於テ之ヲ徵收ス

第七十四條　和文電報ノ料金ハ著信局ニ於テ之ヲ徵收ス

第七十五條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	三錢
私報（和文）	四錢
官報（歐文）	四錢
私報（歐文）	八錢

第七十六條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	二錢
私報（和文）	三錢
官報（歐文）	三錢
私報（歐文）	四錢

第七十七條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	二錢
官報（歐文）	二錢
私報（歐文）	三錢

第七十八條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	二錢
官報（歐文）	二錢
私報（歐文）	三錢

第七十九條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	二錢

第八十條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第八十一條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第八十二條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第八十三條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第八十四條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第八十五條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第八十六條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第八十七條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第八十八條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第八十九條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第九十條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第九十一條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第九十二條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第九十三條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第九十四條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第九十五條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第九十六條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第九十七條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第九十八條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第九十九條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百一條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百二條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百三條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百四條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百五條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百六條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百七條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百八條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百九條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百十條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百十一條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百十二條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百十三條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百十四條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百十五條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百十六條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百十七條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百十八條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百十九條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百二十條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百二十一條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百二十二條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百二十三條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百二十四條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百二十五條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百二十六條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百二十七條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百二十八條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百二十九條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百三十條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百三十一條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百三十二條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百三十三條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百三十四條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百三十五條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百三十六條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百三十七條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百三十八條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百三十九條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百四十條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百四十一條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百四十二條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百四十三條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百四十四條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百四十五條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百四十六條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百四十七條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百四十八條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百四十九條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百五十條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百五十一條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百五十二條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百五十三條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百五十四條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百五十五條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百五十六條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百五十七條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百五十八條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百五十九條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百六十條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百六十一條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百六十二條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百六十三條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百六十四條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百六十五條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百六十六條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百六十七條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一錢

第百六十八條　和文電報ニ付テハ第七十二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ徵收ス

	一語ニ付
官報（和文）	一錢
私報（和文）	一錢
官報（歐文）	一錢
私報（歐文）	一

一　本邦内地、臺灣、樺太又ハ南洋ヤップ島ト關東州、南滿洲鐵道附屬地又ハ滿洲國トノ間ニ發著スル電報

	一語ニ付	一豫約ニ付年額
百語以内	和文 七百二十圓	一豫約 和文 九百六十圓
二百語以内	歐文 一千二百六十圓	歐文 一千六百八十圓
三百語以内	和文 一千八百圓 歐文 二千四百圓	和文 二千四百圓 歐文 三千二百圓

二　朝鮮ト關東州、南滿洲鐵道附屬地又ハ滿洲國トノ間ニ發著スル電報

	一語ニ付	一豫約ニ付年額
百語以内	和文 四百八十圓 歐文 七百二十圓	一豫約 和文 七百二十圓 歐文 一千八百圓
二百語以内	歐文 一千二百六十圓	歐文 一千六百八十圓
三百語以内	和文 一千八百圓 歐文 二千四百圓	和文 二千四百圓 歐文 三千二百圓

豫約國交緊急料　豫約新聞電報料ノ二分ノ一

第十一條ノ二　發信人又ハ受信人ノ請求ニ依リ帝國（關東廳及南滿洲鐵道株式會社ヲ除ク）ト滿洲國トノ間ニ於テ交換セラルル電報、追尾電報又ハ再發電報ノ料金ハ一語ニ付六錢トス

第十一條ノ三　年賀電報ニハ語數ニ拘ラズ和文私報五語分ノ料金ヲ課ス但シ連記シタル第二以下ノ各受信人名ニ對シテハ一語分、同文電報ノ原信ヲ除ク各通ノ名宛ニ對シテハ二語分ノ料金ヲ附課ス

第十二條　日滿電報ニ付テハ翌朝配達、別便配達料受信人拂及船舶配達料受信人拂ノ取扱ヲ爲サズ

第十三條　在芝罘帝國電信官署ニ於テ電報直配達區域外ニ配達スル電報ニシテ配達方指定ナキモノハ受信人ヨリ豫メ船舶ニ依リ配達方請求ナキ限リ普通郵便ノ習慣ニ從ヒ取扱フモノトス

第十四條　帝國ニ於テ發行シタル新聞電報發信證票ハ關東州、南滿洲鐵道附屬地及滿洲國ニ於テ之ヲ使用スルコトヲ得

第十四條ノ二　新聞電報ノ發信人又ハ受信人ハ特ニ告示スル電信官署ニ發著スルモノニ限リ遞信大臣ノ許可ヲ得テ料金受信人拂ノ取扱ヲ受クルコトヲ得

第十四條ノ三　料金受信人拂新聞電報ニ付テハ外國電報規則第五十二條乃至第五十四條、第五十七條乃至第六十四條ノ規定ヲ準用ス但シ許可申請書ニハ綴道線路名ノ記載ヲ要セズ

第十五條　本令ハ昭和八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一遞信省令第百一號日華電報規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル電報ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第十六條　本令施行前前條ニ揭グル規則ニ依リ認可ヲ受ケタル新聞電報ノ取扱又ハ新聞電報ノ取扱ノ豫約取扱ハ本令ニ依リ新聞電報ノ取扱又ハ新聞電報ノ豫約取扱ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十七條　電報規則第百二十八條乃至第百四十三條ノ規定ハ發信人ニ於テ料金納付ノ責ヲ負フ豫約新聞電報ニ限リ之ヲ準用ス

電報規則第百四十四條乃至第百五十一條ノ規定ハ日滿電報ニ之ヲ準用ス

第十八條　本令ハ昭和九年三月遞信省令第三十七號）

附　則（昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●國際放送電報規則

昭和十年十二月
遞令第五十一號

國際放送電報規則左ノ通定ム

國際放送電報規則

第一條　國際放送電報ハ左ノ二種トス

一　對外放送電報

二　外國放送電報

第二條　對外放送電報ハ遞信大臣ノ許可ヲ受ケ設立シタル社團法人タル通信社ヨリ外國ニ情報ヲ頒布スル目的ヲ以テ特定ノ者ニ宛ツルコトナク無線電信ニ依リ放送セラルル爲一年ヲ通ジ毎日發スル電報ヲ謂フ

第三條　外國放送電報トハ外國無線電信局ノ放送スル情報ニシテ官廳又ハ遞信大臣ノ許可ヲ受ケ設立シタル社團法人タル通信社ニ於テ別ニ告示スル電信官署ヨリ受領スルモノヲ謂フ

第四條　對外放送電報ヲ發信セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出シテ遞信大臣ノ許可ヲ受ケベシ各號ノ事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一　情報ヲ頒布セントスル地方

二　情報ノ種類

三　電報ノ用語

四　電報ノ語數

五　放送ヲ希望スル時刻

第五條　前條ノ申請ヲ許可シタルトキハ對外放送電報ノ發信電信官署、放送電信官署、頒信時刻、放送時刻、發射ノ型式及周波數ヲ指定シ其ノ旨申請者ニ通知ス

第六條　遞信大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第四條ノ規定ニ依ル電報ノ語數ヲ制限シ又ハ前條ノ規定ニ依リ指定シタル事項ヲ變更スルコトアルベシ

第七條　電報頒信時刻ヲ經過シタル後ニ頒信シタル對外放送電報ハ之ガ取扱ヲ爲サザルコトアルベシ

第八條　廣告又ハ私信ト認ムル事項ヲ記載シタル電報ニ付テハ對外放送電報ノ取扱ヲ爲サズ

第九條　對外放送電報ノ實際語數ハ發信電信官署ニ於テ特ニ承認シタル場合ヲ除クノ外許可語數ヲ超過スルコトヲ得ズ

第十條　對外放送電報ノ料金ハ一月分毎ニ之ヲ計算シ發信電信官署ヨリ翌月ノ十日迄ニ發信人ニ通知ス

發信人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ月二十五日迄ニ其ノ料金ヲ發信電信官署ニ通貨ヲ以テ納付スベシ

第十一條　對外放送電報ノ料金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス

一　月ノ中途ニ於テ取扱ヲ開始若ハ廢止シ又ハ許可ヲ取消シタル場合

二　月ノ中途ニ於テ電報ノ語數ヲ第四條ノ規定ニ依リ變更シ若ハ第六條ノ規定ニ依リ制限シ又ハ電報ノ取扱ヲ第十二條若ハ第十九條ノ規定ニ依リ停止シタル場合

三　第二十條ノ規定ニ依リ對外放送電報ノ放送ヲ爲サザルコト引續キ三日以上ニ及ビタル場合

第十二條　對外放送電報ノ料金ヲ納付セザルトキハ滯納ノ期間之ガ取扱ヲ停止ス

前項ノ規定ニ依ル取扱停止期間三十日以上ニ及ビ又ハ其ノ停止度數一年三回以上ニ及ビタルトキハ對外放送電報取扱ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

第十三條　前條第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ取消シ又ハ第二十一條ノ規定ニ依リ發信ヲ廢止シタル場合ニ於テ許可後一年ニ滿ツル迄ノ期間ノ許可語數ニ對スル料金ヲ一時ニ徵收ス

第十四條　外國放送電報ヲ受領セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出シテ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

一　電報ヲ放送スル外國無線電信局ノ名稱、經營者名、呼出符號、發射ノ型式、周波數及放送時刻（グリニッヂ標準時）

二　電報ノ語數

三　受領セントスル電報ノ種類

四　受信人名

五　申請者ノ住所氏名

前項ノ許可ヲ受ケタル後其ノ各號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ旨遞信大臣ニ届出ヅベシ

第十五條　外國放送電報ニ對シテハ交付スル電報ノ語數ニ應ジ別ニ告示スル料金ヲ課ス

電報ノ語數ニ應ジ受信人ヨリ料金ヲ徵收ス

第十六條　第六條及第十條ノ規定ハ外國放送電報ニ之ヲ準用ス

第十七條　國際放送電報ニ對シテハ別ニ告示スル料金ヲ課ス

第十八條　國際放送電報ハ傳送上ノ誤謬ニ依リ目的ヲ達スルコトヲ得ザリシ場合ト雖其ノ電報料ヲ免除セズ

第十九條　遞信大臣ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキ又ハ業務上支障アルトキハ國際放送電報ノ取扱ヲ停止シ又ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

第二十條　國際放送電報ハ無線電信局ノ設備上已ムヲ得ズト認ムルトキハ其ノ取扱ヲ爲サザルコトアルベシ

第二十一條　對外放送電報ノ發信ヲ廢止シ又ハ外國放送電報ノ受領ヲ廢止セントスルトキハ其ノ旨遞信大臣ニ届出ヅベシ

第二十二條　國際放送電報ニ關シ本令ニ規定スル事項ノ外必要ナル事項ハ遞信大臣之ヲ定ム

附　則

本令ハ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國無線電報規則

昭和八年十二月
遞令第五十七號
改正　昭和一〇年一二第五二號

外國無線電報規則左ノ通定ム

外國無線電報規則目次

第一章　總則

第二章　一般無線電報

第三章　外國放送船舶無線電報

附　則

外國無線電報規則

第一章　總則

第一條　外國無線電報トハ國際電氣通信條約及同附屬無線通信規則（以下國際無線通信規則ト稱ス）ニ依ル無線電信ニ依リ放送セラルル爲一年ヲ通ジ毎日發スル電報ヲ謂フ

第二條　外國放送電報ハ遞信大臣ノ許可ヲ受ケ設立シタル社團法人タル通信社ヨリ外國ニ情報ヲ頒布スル目的ヲ以テ特定ノ者ニ宛ツルコトナク無線電信ニ依リ放送セラルル爲一年ヲ通ジ毎日發スル電報ヲ謂フ

第三條　外國放送電報トハ外國無線電信局ノ放送スル情報ニシテ官廳又ハ遞信大臣ノ許可ヲ受ケ設立シタル社團法人タル通信社ニ於テ別ニ告示スル電信官署ヨリ受領スルモノヲ謂フ

第四條　對外放送電報ヲ發信セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出シテ遞信大臣ノ許可ヲ受ケベシ各號ノ事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一　情報ヲ頒布セントスル地方

二　情報ノ種類

三　電報ノ用語

四　電報ノ語數

五　放送ヲ希望スル時刻

第五條　前條ノ申請ヲ許可シタルトキハ對外放送電報ノ發信電信官署、放送電信官署、頒信時刻、放送時刻、發射ノ型式及周波數ヲ指定シ其ノ旨申請者ニ通知ス

第六條　遞信大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第四條ノ規定ニ依ル電報ノ語數ヲ制限シ又ハ前條ノ規定ニ依リ指定シタル事項ヲ變更スルコトアルベシ

第七條　電報頒信時刻ヲ經過シタル後ニ頒信シタル對外放送電報ハ之ガ取扱ヲ爲サザルコトアルベシ

第八條　廣告又ハ私信ト認ムル事項ヲ記載シタル電報ニ付テハ對外放送電報ノ取扱ヲ爲サズ

第九條　對外放送電報ノ實際語數ハ發信電信官署ニ於テ特ニ承認シタル場合ヲ除クノ外許可語數ヲ超過スルコトヲ得ズ

第十條　對外放送電報ノ料金ハ一月分毎ニ之ヲ計算シ發信電信官署ヨリ翌月ノ十日迄ニ發信人ニ通知ス

發信人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ月二十五日迄ニ其ノ料金ヲ發信電信官署ニ通貨ヲ以テ納付スベシ

第十一條　對外放送電報ノ料金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス

一　月ノ中途ニ於テ取扱ヲ開始若ハ廢止シ又ハ許可ヲ取消シタル場合

二　月ノ中途ニ於テ電報ノ語數ヲ第四條ノ規定ニ依リ變更シ若ハ第六條ノ規定ニ依リ制限シ又ハ電報ノ取扱ヲ第十二條若ハ第十九條ノ規定ニ依リ停止シタル場合

三　第二十條ノ規定ニ依リ對外放送電報ノ放送ヲ爲サザルコト引續キ三日以上ニ及ビタル場合

第十二條　對外放送電報ノ料金ヲ納付セザルトキハ滯納ノ期間之ガ取扱ヲ停止ス

前項ノ規定ニ依ル取扱停止期間三十日以上ニ及ビ又ハ其ノ停止度數一年三回以上ニ及ビタルトキハ對外放送電報取扱ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

第十三條　前條第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ取消シ又ハ第二十一條ノ規定ニ依リ發信ヲ廢止シタル場合ニ於テ許可後一年ニ滿ツル迄ノ期間ノ許可語數ニ對スル料金ヲ一時ニ徵收ス

第十四條　外國放送電報ヲ受領セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出シテ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

一　電報ヲ放送スル外國無線電信局ノ名稱、經營者名、呼出符號、發射ノ型式、周波數及放送時刻（グリニッヂ標準時）

二　電報ノ語數

三　受領セントスル電報ノ種類

四　受信人名

五　申請者ノ住所氏名

前項ノ許可ヲ受ケタル後其ノ各號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ旨遞信大臣ニ届出ヅベシ

第十五條　外國放送電報ニ對シテハ交付スル

第二條　外國無線電報ハ國際電氣通信條約及國際無線通信規則ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ取扱フ

第三條　國際電氣通信條約及國際無線通信規則ニ基キ外國無線電報ノ取扱ニ關シ外國主管廳ノ定ムル制限ニシテ必要アルモノハ之ヲ告示ス

第四條　本令ニ規定ナキ事項ハ外國和文無線電報ニ付テハ外國和文電報、其ノ他ノモノニ付テハ一般外國電報ニ關スル規定（外國通信規則第五條ノ規定ヲ除ク）ニ依ル

第五條　帝國陸上局及帝國移動局ニ於テ課スル外國無線電報ノ陸上局料及移動局料ハ左ノ如シ

一　陸上局料　一語ニ付　二十四錢

二　移動局料　一語ニ付　十六錢

第六條　帝國政府陸上局ノ媒介ニ依ル外國無線電報ニシテ專ラ帝國電信系（國東州及南滿洲鐵道附屬地ニ在ル電信官署ヲ經由スルモノヲ謂フ）ニ依リ傳送スルモノノ一般ノ電氣通信線路系上ノ傳送ニ對スル料金（以下料ト稱ス）ハ一語ニ付六錢トス

第七條　帝國政府陸上局又ハ滿洲電信電話株式會社（以下滿洲會社ト稱ス）陸上局ノ媒介ニ依ル外國無線電報ニシテ專ラ帝國政府ノ電信系ニ在ル海岸局（帝國電信官署ヲ經由スルモノヲ謂フ）及滿洲會社ノ電信系ニ依リ傳送スルモノノ電信料ニ對シテハ日滿電報ノ電報料ヲ適用ス

第八條　外國陸上局及外國移動局ニ於テ課スル外國無線電報ノ陸上局料及移動局料竝ニ帝國移動局ニ於テ受付ケタル外國無線電報ニシテ外國陸上局ニ傳送スベキモノノ電信料ハ該陸上局及移動局ノ屬スル主管廳又ハ私企業ノ定ムル所ニ依ル

前項ノ料金ノ換算ニ適用スベキ外國貨幣ノ換算割合ハ別ニ之ヲ告示ス

第九條　外國無線電報ノ陸上局料、移動局料又ハ移動局ノ申繼料ノ一語ノ一錢未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ之ヲ切捨ツ

第十條　帝國電信署官署（帝國電信署官署ヲ除ク）ニ於テ放送スル電報ニシテ帝國船舶局ノ取扱フモノヲ謂フ

第十一條ノ二　發信人又ハ受信人ノ請求ニ依リ帝國（關東廳及南滿洲鐵道附屬地ヲ除ク）ト滿洲國トノ間ニ於テ交換セラルル電報、追尾電報又ハ再發電報ノ料金ハ一語ニ付六錢トス

第十一條ノ三　年賀電報ニハ語數ニ拘ラズ和文私報五語分ノ料金ヲ課ス但シ連記シタル第二以下ノ各受信人名ニ對シテハ一語分、同文電報ノ原信ヲ除ク各通ノ名宛ニ對シテハ二語分ノ料金ヲ附課ス

第十二條　日滿電報ニ付テハ翌朝配達、別便配達料受信人拂及船舶配達料受信人拂ノ取扱ヲ爲サズ

第十三條　在芝罘帝國電信官署ニ於テ電報直配達區域外ニ配達スル電報ニシテ配達方指定ナキモノハ受信人ヨリ豫メ船舶ニ依リ配達方請求ナキ限リ普通郵便ノ習慣ニ從ヒ取扱フモノトス

第十四條　帝國ニ於テ發行シタル新聞電報發信證票ハ關東州、南滿洲鐵道附屬地及滿洲國ニ於テ之ヲ使用スルコトヲ得

第十四條ノ二　新聞電報ノ發信人又ハ受信人ハ特ニ告示スル電信官署ニ發著スルモノニ限リ遞信大臣ノ許可ヲ得テ料金受信人拂ノ取扱ヲ受クルコトヲ得

第十四條ノ三　料金受信人拂新聞電報ニ付テハ外國電報規則第五十二條乃至第五十四條、第五十七條乃至第六十四條ノ規定ヲ準用ス但シ許可申請書ニハ綴道線路名ノ記載ヲ要セズ

第十五條　本令ハ昭和八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一遞信省令第百一號日華電報規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル電報ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第十六條　本令施行前前條ニ揭グル規則ニ依リ認可ヲ受ケタル新聞電報ノ取扱又ハ新聞電報ノ豫約取扱ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十七條　電報規則第百二十八條乃至第百四十三條ノ規定ハ發信人ニ於テ料金納付ノ責ヲ負フ豫約新聞電報ニ限リ之ヲ準用ス

電報規則第百四十四條乃至第百五十一條ノ規定ハ日滿電報ニ之ヲ準用ス

第十八條　本令ハ昭和九年三月遞信省令第三十七號）

附　則（昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス）

本令ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●國際放送電報規則

昭和十年十二月
遞令第五十一號

國際放送電報規則左ノ通定ム

國際放送電報規則

第一條　國際放送電報ハ左ノ二種トス

一　對外放送電報

二　外國放送電報

第二條　對外放送電報ハ遞信大臣ノ許可ヲ受ケ設立シタル社團法人タル通信社ヨリ外國ニ情報ヲ頒布スル目的ヲ以テ特定ノ者ニ宛ツルコトナク無線電信ニ依リ放送セラルル爲一年ヲ通ジ毎日發スル電報ヲ謂フ

第三條　外國放送電報トハ外國無線電信局ノ放送スル情報ニシテ官廳又ハ遞信大臣ノ許可ヲ受ケ設立シタル社團法人タル通信社ニ於テ別ニ告示スル電信官署ヨリ受領スルモノヲ謂フ

第四條　對外放送電報ヲ發信セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出シテ遞信大臣ノ許可ヲ受ケベシ各號ノ事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一　情報ヲ頒布セントスル地方

二　情報ノ種類

三　電報ノ用語

四　電報ノ語數

五　放送ヲ希望スル時刻

第五條　前條ノ申請ヲ許可シタルトキハ對外放送電報ノ發信電信官署、放送電信官署、頒信時刻、放送時刻、發射ノ型式及周波數ヲ指定シ其ノ旨申請者ニ通知ス

第六條　遞信大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第四條ノ規定ニ依ル電報ノ語數ヲ制限シ又ハ前條ノ規定ニ依リ指定シタル事項ヲ變更スルコトアルベシ

第七條　電報頒信時刻ヲ經過シタル後ニ頒信シタル對外放送電報ハ之ガ取扱ヲ爲サザルコトアルベシ

第八條　廣告又ハ私信ト認ムル事項ヲ記載シタル電報ニ付テハ對外放送電報ノ取扱ヲ爲サズ

第九條　對外放送電報ノ實際語數ハ發信電信官署ニ於テ特ニ承認シタル場合ヲ除クノ外許可語數ヲ超過スルコトヲ得ズ

第十條　對外放送電報ノ料金ハ一月分毎ニ之ヲ計算シ發信電信官署ヨリ翌月ノ十日迄ニ發信人ニ通知ス

發信人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ月二十五日迄ニ其ノ料金ヲ發信電信官署ニ通貨ヲ以テ納付スベシ

第十一條　對外放送電報ノ料金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス

一　月ノ中途ニ於テ取扱ヲ開始若ハ廢止シ又ハ許可ヲ取消シタル場合

二　月ノ中途ニ於テ電報ノ語數ヲ第四條ノ規定ニ依リ變更シ若ハ第六條ノ規定ニ依リ制限シ又ハ電報ノ取扱ヲ第十二條若ハ第十九條ノ規定ニ依リ停止シタル場合

三　第二十條ノ規定ニ依リ對外放送電報ノ放送ヲ爲サザルコト引續キ三日以上ニ及ビタル場合

第十二條　對外放送電報ノ料金ヲ納付セザルトキハ滯納ノ期間之ガ取扱ヲ停止ス

前項ノ規定ニ依ル取扱停止期間三十日以上ニ及ビ又ハ其ノ停止度數一年三回以上ニ及ビタルトキハ對外放送電報取扱ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

第十三條　前條第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ取消シ又ハ第二十一條ノ規定ニ依リ發信ヲ廢止シタル場合ニ於テ許可後一年ニ滿ツル迄ノ期間ノ許可語數ニ對スル料金ヲ一時ニ徵收ス

第十四條　外國放送電報ヲ受領セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出シテ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

一　電報ヲ放送スル外國無線電信局ノ名稱、經營者名、呼出符號、發射ノ型式、周波數及放送時刻（グリニッヂ標準時）

二　電報ノ語數

三　受領セントスル電報ノ種類

四　受信人名

五　申請者ノ住所氏名

前項ノ許可ヲ受ケタル後其ノ各號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ旨遞信大臣ニ届出ヅベシ

第十五條　外國放送電報ニ對シテハ交付スル

●外國祝賀無線電報規則

外國祝賀無線電報規則

昭和十一年二月一日 逓信省令第五号

昭和十一年十二月一日 逓信省告示第七百八十九号

昭和十一年十二月一日 逓信省告示第八百十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百二十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百二十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百二十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百二十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百二十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百二十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百二十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百二十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百二十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百二十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百三十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百三十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百三十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百三十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百三十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百三十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百三十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百三十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百三十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百三十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百四十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百四十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百四十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百四十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百四十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百四十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百四十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百四十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百四十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百四十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百五十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百五十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百五十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百五十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百五十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百五十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百五十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百五十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百五十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百五十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百六十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百六十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百六十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百六十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百六十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百六十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百六十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百六十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百六十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百六十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百七十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百七十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百七十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百七十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百七十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百七十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百七十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百七十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百七十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百七十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百八十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百八十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百八十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百八十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百八十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百八十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百八十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百八十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百八十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百八十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百九十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百九十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百九十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百九十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百九十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百九十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百九十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百九十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百九十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第二百九十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百二十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百二十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百二十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百二十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百二十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百二十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百二十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百二十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百二十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百二十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百三十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百三十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百三十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百三十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百三十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百三十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百三十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百三十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百三十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百三十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百四十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百四十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百四十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百四十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百四十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百四十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百四十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百四十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百四十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百四十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百五十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百五十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百五十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百五十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百五十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百五十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百五十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百五十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百五十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百五十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百六十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百六十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百六十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百六十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百六十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百六十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百六十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百六十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百六十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百六十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百七十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百七十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百七十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百七十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百七十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百七十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百七十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百七十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百七十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百七十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百八十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百八十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百八十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百八十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百八十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百八十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百八十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百八十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百八十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百八十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百九十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百九十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百九十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百九十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百九十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百九十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百九十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百九十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百九十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第三百九十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百二十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百二十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百二十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百二十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百二十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百二十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百二十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百二十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百二十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百二十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百三十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百三十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百三十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百三十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百三十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百三十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百三十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百三十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百三十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百三十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百四十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百四十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百四十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百四十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百四十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百四十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百四十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百四十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百四十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百四十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百五十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百五十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百五十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百五十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百五十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百五十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百五十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百五十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百五十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百五十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百六十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百六十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百六十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百六十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百六十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百六十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百六十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百六十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百六十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百六十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百七十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百七十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百七十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百七十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百七十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百七十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百七十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百七十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百七十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百七十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百八十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百八十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百八十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百八十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百八十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百八十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百八十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百八十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百八十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百八十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百九十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百九十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百九十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百九十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百九十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百九十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百九十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百九十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百九十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第四百九十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百二十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百二十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百二十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百二十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百二十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百二十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百二十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百二十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百二十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百二十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百三十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百三十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百三十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百三十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百三十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百三十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百三十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百三十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百三十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百三十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百四十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百四十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百四十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百四十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百四十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百四十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百四十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百四十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百四十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百四十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百五十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百五十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百五十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百五十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百五十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百五十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百五十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百五十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百五十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百五十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百六十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百六十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百六十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百六十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百六十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百六十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百六十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百六十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百六十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百六十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百七十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百七十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百七十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百七十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百七十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百七十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百七十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百七十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百七十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百七十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百八十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百八十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百八十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百八十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百八十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百八十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百八十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百八十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百八十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百八十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百九十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百九十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百九十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百九十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百九十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百九十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百九十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百九十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百九十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第五百九十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百二十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百二十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百二十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百二十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百二十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百二十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百二十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百二十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百二十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百二十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百三十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百三十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百三十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百三十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百三十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百三十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百三十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百三十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百三十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百三十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百四十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百四十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百四十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百四十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百四十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百四十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百四十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百四十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百四十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百四十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百五十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百五十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百五十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百五十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百五十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百五十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百五十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百五十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百五十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百五十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百六十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百六十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百六十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百六十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百六十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百六十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百六十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百六十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百六十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百六十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百七十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百七十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百七十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百七十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百七十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百七十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百七十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百七十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百七十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百七十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百八十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百八十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百八十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百八十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百八十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百八十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百八十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百八十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百八十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百八十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百九十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百九十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百九十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百九十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百九十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百九十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百九十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百九十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百九十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第六百九十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百二十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百二十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百二十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百二十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百二十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百二十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百二十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百二十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百二十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百二十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百三十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百三十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百三十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百三十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百三十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百三十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百三十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百三十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百三十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百三十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百四十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百四十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百四十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百四十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百四十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百四十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百四十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百四十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百四十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百四十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百五十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百五十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百五十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百五十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百五十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百五十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百五十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百五十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百五十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百五十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百六十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百六十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百六十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百六十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百六十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百六十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百六十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百六十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百六十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百六十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百七十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百七十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百七十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百七十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百七十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百七十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百七十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百七十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百七十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百七十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百八十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百八十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百八十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百八十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百八十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百八十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百八十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百八十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百八十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百八十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百九十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百九十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百九十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百九十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百九十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百九十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百九十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百九十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百九十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第七百九十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百二十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百二十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百二十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百二十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百二十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百二十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百二十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百二十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百二十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百二十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百三十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百三十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百三十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百三十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百三十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百三十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百三十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百三十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百三十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百三十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百四十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百四十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百四十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百四十三号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百四十四号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百四十五号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百四十六号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百四十七号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百四十八号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百四十九号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百五十号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百五十一号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八百五十二号

昭和十二年一月一日 逓信省告示第八

加入區域外ノ加入者ハ電話使用料ノ外毎加
使用料ヲ納ムヘシ
第十六條　加入申込者又ハ加入者其ノ名義ヲ
他人ノ名義ニ變更セムトスルトキハ當事者
ノ連署シタル請求書ヲ當該電話取扱局ニ
差出シ其ノ承認ヲ受クヘシ但シ第九條第一
項第三號ニ依リ至急開通ノ認可ヲ受ケタル
加入申込者ノ名義ヲ他人ノ名義ニ變更
スルコトヲ得ス
專用通話ノ申請又ハ請求ヲ爲シタル加入申
込者又ハ專用通話ヲ爲ス加入者ハ前項ノ請
求書ニ關係者ノ承諾書ヲ添附スヘシ
第一項ノ規定ニ依リ名義ヲ變更シタルトキ
ハ新名義人ハ舊名義人ニ屬スル當該加入申
込又ハ電話ニ關スル權利義務ヲ承繼ス
第十七條　第九條第一項第一號及第三號ニ依
リ開通シタル電話ハ左ノ場合ヲ除ク外開
通ノ日ヨリ起算シ一年ヲ經過スルニ非サレ
ハ其ノ名義ヲ他人ノ名義ニ變更スルコトヲ
得ス
一　第九條第一項第一號ニ依リ開通シタル
電話ハ逓信局長ノ認可ヲ受ケ官廳、公署
又ハ公益事業ノ用ニ供スル爲名義ノ變更
ヲ爲ストキ
二　第九條第一項第三號ニ依リ開通シタル
電話ハ逓信局長ニ於テ特ニ認可シタルト
キ
第十八條　加入申込者又ハ加入者ノ相續人ハ
相續ニ依リ其ノ加入申込又ハ加入ヲ繼承ス
前項ノ場合ニ於テハ相續人ハ相續ノ旨ヲ書
面ヲ以テ當該電話取扱局所ニ届出テ尚當該
電話取扱局ノ請求アルトキハ相續人タル
コトヲ證明スル書類ヲモ差出スヘシ
第十九條　電話機設置場所ヲ他ノ加入區域ト
ナリタルトキハ其ノ所屬ヲ變更ス但シ逓信
局長ニ於テ特別ノ事情アリト認ムル場合ハ
此ノ限ニ在ラス
加入區域變更ノ爲電話機設置場所ヲ加入區
域外トナリタルトキハ取消ノ請求ヲ爲ササ
ル加入申込及加入ニ限リ第五條ニ依リタル
モノトシテ之ヲ繼續セシム
第二十條　加入申込者加入申込ヲ取消サムト
スルトキハ請求書ヲ當該電話取扱局所ニ差
出スヘシ
加入者加入ヲ取消サムトスルトキハ第六十
九條ニ規定スル期間ノ末日ヨリ十五日前迄
ニ請求書ヲ當該電話取扱局所ニ差出スヘシ
第二十一條　電話開通ノ日ヨリ起算シ一年内
ニ加入ヲ取消シ又ハ加入ヨリ除名セラレタ
ル場合ニ於テ既納ノ電話使用料ノ總額カ一
般通話ヲ爲スモノノ電話使用料ノ年額ニ滿
タサルトキハ其ノ不足額ヲ納ムヘシ第十三
條ノ加入者電話開通ノ日ヨリ起算シ六月内
ニ加入ヲ取消シ又ハ加入ヨリ除名セラレ若
ハ加入期間ノ滿了シタル場合ニ於テ既納ノ
電話使用料ノ總額カ一般通話ヲ爲スモノノ
電話使用料年額ノ二分ノ一ニ滿タサルトキ
亦同シ
第二十二條　電話ヲ開通シタルトキハ當該電
話取扱局所ニ於テ一加入毎ニ一箇ノ電話番
號ヲ附スル但シ加入申込者ニシテ三加入以上
一箇所ニ於テ爲シタルトキハ請求ニ依リ其ノ電
話ニ共通ナル一箇ノ電話番號ヲ附スルコト
アルヘシ
第二十三條　三箇以上ノ電話ヲ有スル加入者
ノ請求アルトキハ之ニ共通ナル一箇ノ電話
番號ニ變更スルコトアルヘシ
共通電話番號ヲ有スル加入者ハ一加入毎ニ
電話番號ヲ附スルコトヲ請求スルコトヲ得
得
第二十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ
於テハ電話番號ヲ變更ス
一　第十九條ニ依リ所屬ノ變更アリタルト
キ
二　前號ノ場合ヲ除クノ外所屬電話取扱局
所ノ變更アリタルトキ
三　電話交換取扱上ノ必要アルトキ
四　共通電話番號ヲ附シタル電話カ二加入
以下ニ減少シタルトキ
第二十五條　加入者ニハ一加入毎ニ電話番號
表ヲ交付ス
電話番號表ニハ電話番號、加入者ノ氏名又
ハ稱號及電話機設置場所ヲ掲載ス
第二十六條　加入申込者又ハ加入者左ノ各號
ノ一ニ該當スル事項ヲ電話番號表ニ掲載セ
ントスルトキハ請求書ヲ當該電話取扱局所
ニ差出スヘシ其ノ掲載事項ヲ變更シ又ハ掲
載ヲ廢止セントスルトキ亦同シ
一　自己ノ名義ニ代フル電話機設置場所ノ
居住者ノ名義（一加入ニ對シ一名義ニ限
ル）
二　二箇所以上ニ掲載スル自己ノ氏名若ハ
稱號又ハ前號ノ名義
三　加入回線ニ接續スル私設ノ電話機ノ電
話番號又ハ其ノ電話機設置場所
第二十六條ノ二　加入申込者又ハ加入者前條
ノ規定ニ依ル請求ヲ爲シ電話番號表ニ掲載
セラレタルトキハ左ノ電話番號表掲載料ヲ
納ムヘシ
一　前條第一號ニ該當スルモノハ他人名義
ノ掲載料
二　前條第二號ニ該當スルモノハ重複掲載
ノ掲載料
三　前條第三號ニ該當スルモノハ接續電話
機設置場所ノ掲載料
第二十七條　加入者ノ使用スル電話機、附屬
物品及加入區域内ニ於ケル電話線路ハ特別
ノ規定アル場合ヲ除クノ外朝鮮總督府逓信
官署（以下單ニ逓信官署ト稱ス）之ヲ設備スル但シ加入者ハ當
該電話取扱局所ノ承認ヲ得テ自己ノ電話
機、附屬物品又ハ電話線ヲ使用スルコトヲ
得
前項但書ニ依リ自己ノ電話機、附屬物品又
ハ電話線ヲ使用シタル加入者ハ其ノ維持ヲ
爲スヘシ但シ逓信官署ニ於テ設備スルモノ
ト同一種類ノモノヲ使用スル場合ハ此ノ限
ニ在ラス
第二十八條　加入者ハ四名以内ノ間ニ於テ專
用通話ヲ爲スコトヲ得
電話機設置場所
二　電話機設置場所ヲ通話局所迄ノ距離
前項ノ申請書ニハ電話機設置場所ヨリ通話
局所迄ノ經過道路ヲ表示シタル圖面ヲ添附
スヘシ
第四十條　前條ノ申請者電話施設ノ認可ヲ受
ケタルトキハ電話機設置場所、電話機又ハ附
屬物品ノ移轉又ハ一時撤去ノ認可ヲ受ケタ
ルトキハ機械移轉料ヲ納ムヘシ
第四十一條　第三十九條ノ通話者ハ發受用電
話料ヲ納ムヘシ
第四十一條ノ二　第三十九條ノ規定ニ依リ施
設シタル電話ハ其ノ通話局所ニ於テ電話交
換業務ノ開始アリタルトキハ其ノ施設ノ認
可ハ其ノ效力ヲ失フ
前項ノ場合ニ於テ當該電話施設者電話交換
業務ノ開始ト同時ニ其ノ電話交換ニ加入ス
ルトキハ第二條ノ電話架設料ハ之ヲ免除
ス
前項ノ場合ニ於テ其ノ加入カ加入區域外ノ
加入ナルトキハ之ヲ第五條第一項ノ認可ヲ
受ケタル者ト看做ス但シ第三十四條第一項
及第三項ノ規定ノ之ヲ適用セス
第四十二條　第十六條第一項、第十八條、第二
十條、第二十五條第一項、第二十七條、第三
十條、第三十六條、第三十八條、第四十八條、
第五十四條、第六十七條、第七十條、第七十
二條、第七十八條、第七十九條及第八十四條
乃至第九十三條ノ規定ハ發受用電話ニ付之
ヲ準用ス
第四十三條　加入區域ヲ異ニスル加入者間ノ
通話（專用通話ヲ除ク）又ハ通話局所ノ電話機、公衆電
話所ノ電話機若ハ第三十九條ニ依リ施設シ
タル電話機ニ依ル通話ハ毎三分時ヲ以テ一
通話時トス但シ三分時ニ滿タサルモノハ之
ヲ一通話時ト看做ス
前項ノ通話ハ他ニ通話ノ請求ヲ爲ス者アル
場合ハ三通話時ヲ超エテ之ヲ繼續スルコト
ヲ得ス但シ豫約新聞通話規則ニ依ル通話
（以下單ニ豫約通話ト稱ス）ハ此ノ限ニ在ラス
電話取扱局所ハ豫約通話又ハ別ニ告示スル
通話區域ニ於テ時刻ヲ指定シテ加入者間ニ
於テ爲ス通話（以下單ニ定時通話ト稱ス）ノ
取扱上必要アル場合ニ於テハ通話ヲ一通話
時ニ止メ又ハ通話輻輳ノ場合ニ於テ多數ノ
通話ヲ請求スルモノアルトキハ其ノ請求ニ
應セサルコトアルヘシ
第一項ノ通話ノ請求ヲ爲ス者ハ通話料ヲ納
ムヘシ
第四十四條　前條ノ通話ノ順位ハ特別ノ規定
アル場合ヲ除クノ外左ノ順序ニ依リ、同一
順序ノ通話（豫約通話及定時通話ヲ除ク）ノ
順位ハ其ノ請求ノ順序ニ依ル
一　豫約通話
二　定時通話
三　至急通話
四　前各號以外ノ通話（以下單ニ普通通話
ト稱ス）
前項第三號又ハ第四號ノ通話順位ニ當ル者
通話ヲ爲ササルトキハ其ノ請求ハ之ヲ取消
シタルモノト看做ス
第四十五條　第四十三條ノ通話ヲ爲ス者他ノ
豫約通話又ハ定時通話以外ノ通話通知呼出
ニ先チ其ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ至急
通話ヲ請求スルコトヲ得
第四十五條ノ二　定時通話ヲ爲サントスル者
ハ前日午後六時ヨリ指定時刻ノ一時間前迄
當該電話取扱局所ニ之ヲ請求スヘシ
前項ノ請求アリタルトキハ其ノ旨對話者ニ
通告ス
第四十五條ノ三　電話取扱局所ニ於テ通話取
扱上必要アルトキハ定時通話ノ指定時刻ヲ
十五分間以内ニ於テ繰上ケ又ハ繰下ケ其ノ
取扱ヲ爲スコトアルヘシ
第四十五條ノ四　線路又ハ機械ノ障碍其ノ他
ノ事由ニ因リ定時通話ヲ開始シ得サルトキ
ハ其ノ請求ハ消滅ス此ノ場合ニ於テハ其ノ

五號ノ規定ニ依ル受話器ノ增設ハ一加入
ニ付一箇
三　同項第四號ノ規定ニ依ル電話機ノ增設
ハ一箇
第三十一條　加入者電話機及附屬物品ヲ移轉
シ若ハ一時撤去セムトスルトキハ請求書ヲ
當該電話取扱局所ニ差出スヘシ但シ加入區
域外ニ於テ他ノ郵宅内若ハ構内ニ又ハ加入
區域内ヨリ加入區域外ニ移轉セムトスルト
キハ請求書ヲ共ニ第五條ノ例ニ依リ申請書
ヲ差出シ逓信局長ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ請求ヲ爲ス加入者ハ機械移轉料ヲ納
ムヘシ但シ電話機設置ノ場所カ不可抗力ニ
因リ破壞又ハ燒失シタル爲同一郵宅内又ハ
構内ニ在ル立退場所ニ電話機移轉ノ請求ヲ
爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス
第三十二條　前條第一項ノ規定ハ加入申込者
電話機設置場所ヲ變更セムトスル場合ニ之
ヲ準用ス
第三十三條　加入申込者又ハ加入者加入電話
線ニ棧橋、塀壁等ニ定時繫留スル船舶内又
ハ同一ノ郵宅内若ハ構内ニ在ル自己ノ施設
ニ係ル電話機ヲ接續セムトスルトキハ左ノ
事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出シ逓信局長
ノ認可ヲ受クヘシ
一　加入電話番號又ハ加入申込發記順番
二　電話機及附屬物品ノ種別竝箇數
三　電話機設置場所
四　工事設計書（電話線、線條其ノ他附屬
機械仕様及電信用スル場合ニ於テハ電信用ニ關スル事項ヲ含ム）
五　信管ノ形式ニ於テ附屬スル場合ニ於テハ其ノ形式ヲ含ム）
機械類維持方法
六　取扱方法
七　船舶内ニ在ル電話機ヲ加入電話線ニ接
八　續スルモノニ在リテハ棧橋又ハ塀壁等ノ
所在地名及船舶ノ繫留時刻
前項各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ申
請書ヲ差出シ逓信局長ノ認可ヲ受クヘシ
第一項ノ申請書ニハ電話機ノ構造ヲ表示シ
タル圖面ヲ添附スヘシ
第三十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル電話線
路ハ加入申込者又ハ加入者ニ於テ逓信局長
ノ指示ニ從ヒ之ヲ建設スヘシ
一　第五條、第三十一條第一項但書及第三
十二條ニ依リ認可ヲ受ケタル場合ニ於ケ
ル加入區域外線路
二　第二十九條第二項ニ依リ認可ヲ受ケタ
ル場合ニ於ケル團體電話取扱局所相互間
ノ線路
前項ニ依リ建設シタル電話線路ノ回線方式
カ通話ノ必要ニ因リ變更ヲ要スル場合ニ於
テハ更ニ逓信局長ノ指示ニ從ヒ必要ナル設
備ヲ爲スヘシ
前二項ニ依リ建設シタル電話線路ハ政府ニ
之ヲ寄附シタルモノヲ除クノ外逓信局長ノ
指示ニ從ヒ加入者之ヲ維持スヘシ
第三十五條　電話取扱局所ハ更ニ其ノ所屬ヲ
變ス
第三十六條　電話取扱局所ハ加入者ノ使用ス
ル電話機、電話線及附屬物品ヲ撤去シ又ハ
移轉スル場合ニ於テ其ノ電話線、電話機及附
屬物品ノ裝置ノ爲建造物ノ變更ヲ要スル
ト認ムルトキハ其ノ變更ヲ爲スヘシ
前項ノ場合ニ於テハ其ノ變更ニ要スル費用
ハ加入者ノ負擔トス
第三十七條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與セントスルトキハ其ノ
讓渡又ハ貸與ノ相手方ニ關スル事項ヲ具シ
テ逓信局長ノ認可ヲ受クヘシ
第三十八條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第三十九條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第四十條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他人
ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手方
ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツヘシ
第四十一條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第四十二條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第四十三條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第四十四條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第四十五條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第四十六條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第四十七條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第四十八條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第四十九條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第五十條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第五十一條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第五十二條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第五十三條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第五十四條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第五十五條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第五十六條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第五十七條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第五十八條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第五十九條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第六十條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第六十一條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第六十二條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第六十三條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第六十四條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第六十五條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第六十六條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第六十七條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第六十八條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第六十九條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第七十條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第七十一條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第七十二條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第七十三條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第七十四條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第七十五條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第七十六條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第七十七條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第七十八條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第七十九條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第八十條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第八十一條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第八十二條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第八十三條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第八十四條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第八十五條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第八十六條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第八十七條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第八十八條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第八十九條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第九十條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第九十一條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第九十二條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第九十三條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第九十四條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第九十五條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第九十六條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第九十七條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第九十八條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第九十九條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ
第百條　加入者ハ電話機及附屬物品ヲ他
人ニ讓渡シ又ハ貸與シタルトキハ其ノ相手
方ニ關スル事項ヲ具シテ逓信局長ニ届出ツ
ヘシ

Japan Center for Asian Historical Records

八　發受用電話料

電話機　一箇年額　八十圓

電話線路　一箇粁ニ　加入區域外加入ノ附加使用料ト同額

前項第一號乃至第三號、第五號及第六號ノ土地ノ區別ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外左ノ標準ニ依リ之ヲ定メ別ニ告示ス

甲	地	加入者一萬以上
乙	地	加入者五千以上
丙	地	加入者二千以上
丁	地	加入者八百以上
戊	地	加入者五百以上
己	地	加入者二百以上
庚	地	加入者百以上
辛	地	加入者五十以上
壬	地	加入者五十未滿

第二條、第九條第二項及第四十條ノ規定ニ依ル電話架設料ハ別ニ之ヲ告示ス

同一加入區域以外ノ通話ノ通話料及呼出料ハ特ニ告示スル場合ヲ除クノ外左ノ標準ニ依リ算出シ通話區域ト共ニ通話局所前ニ之ヲ掲示ス其ノ通話區域ノ距離ハ遞信局長ノ定ムル所ニ依ル

通話區域	通話時毎ニ通話料	呼出料一回毎ニ
八キロメートル未滿	一十五錢	十五錢
十六キロメートル未滿	二十五錢	十五錢
三十二キロメートル未滿	三十五錢	二十錢
四十八キロメートル未滿	四十五錢	二十錢
六十四キロメートル未滿	五十錢	二十五錢
八十四キロメートル未滿	六十錢	三十錢
百四キロメートル未滿	七十錢	三十錢
百五十二キロメートル未滿	八十錢	四十錢
二百キロメートル未滿	九十錢	四十錢
二百四十八キロメートル未滿	一圓	四十錢
二百九十六キロメートル未滿	一圓十錢	四十錢
三百四十四キロメートル未滿	一圓二十錢	四十錢
三百九十二キロメートル未滿	一圓三十錢	四十錢
四百四十キロメートル未滿	一圓四十錢	四十錢
四百八十八キロメートル未滿	一圓五十錢	四十錢
五百三十六キロメートル未滿	一圓六十錢	四十錢
五百八十四キロメートル未滿	一圓七十錢	四十錢
六百三十二キロメートル未滿	一圓八十錢	四十錢
六百八十キロメートル未滿	一圓九十錢	四十錢
七百二十八キロメートル未滿	二圓	四十錢
七百七十六キロメートル未滿	二圓十錢	四十錢
八百二十四キロメートル未滿	二圓二十錢	四十錢
八百七十二キロメートル未滿	二圓三十錢	四十錢
九百二十キロメートル未滿	二圓四十錢	四十錢
九百六十八キロメートル未滿	二圓五十錢	四十錢
千二十六キロメートル未滿	二圓六十錢	四十錢
千百六十四キロメートル未滿	二圓七十錢	四十錢
千二百十二キロメートル未滿	二圓八十錢	四十錢
千二百六十キロメートル未滿	二圓九十錢	四十錢
千三百八キロメートル未滿	三圓	四十錢
千三百五十六キロメートル未滿	三圓十錢	四十錢
千四百キロメートル未滿	三圓二十錢	四十錢

第六十六條　加入區域變更ノ爲電話機設置場所カ加入區域外トナリタルトキ又ハ加入區域外線路ノ延長シタルトキハ加入區域變更ノ日ヨリ起算シ一年間加入區域外加入ノ附加使用料ヲ增加スヘキトキ又ハ第六十七條ノ規定ニ依リ電話機若ハ附屬物品ノ移轉又ハ一時撤去ノ請求ヲ爲シ工事著手前ニ於テ其ノ請求ヲ取消シタル場合ニ於ケル機械移轉料

加入者ノ故意過失又ハ第三十四條第三項ニ依リ加入者ニ於テ維持スル電話線路ノ障碍ニ因ルニ非スシテ電話不通十五日以上瓦リタル場合ニ於ケル電話使用料及附加使用料中不通日數ニ應シ一期分料金額ヲ當該期ノ日數ニ依リ日割ヲ以テ計算シタル金額

加入ヲ取消シ又ハ加入ヨリ除名セラレタル日ヨリ起算シ三十日内ニ滯納ノ金額ヲ納付セサルトキ又ハ一年三回以上通話ヲ停止セラレタルトキハ加入ヨリ除名スルコトアルヘシ

第九十二條　電話開通工事著手ノ際加入申込者ノ所在不明ナルトキ又ハ第二條ニ依リ加入申込者指定ノ期日迄ニ電話架設料ヲ納付セサルトキハ其ノ加入申込ハ之ヲ取消シタルモノト看做シ處理スルコトアルヘシ

第九十三條　第三十一條第一項但書及第三十二條ノ場合ニ於テ寄附ヲ條件トセル加入申込者若ハ加入者遞信局長ノ定ムル期日迄ニ物品及勞力若ハ線路ノ寄附ヲ爲ササルトキ又ハ加入者ノ家族又ハ同居者ノ名義ヲ以テ爲ス場合亦同シ

第九十四條　第二十九條、第四十三條、第四十七條、第六十五條第一項第七號ノ適用ニ付テハ加入區域外加入者ハ加入區域内加入者ト看做ス

加入者復舊工事ノ延期ヲ請求シタルトキハ其ノ日數ヲ算入セス

第八十五條　料金還付ノ請求ハ左ノ期間内ニ其ノ料金ヲ納付シタル電話取扱局所ニ之ヲ爲スヘシ

一　前條第一項第一號乃至第二號ノ二及第十一號ノ料金ハ不認可ノ通知又ハ取消ノ請求ヲ爲シタル日ヨリ起算シ六十日間

二　前條第一項第三號及第四號ノ場合ハ料金納付ノ日ヨリ起算シ五月間

三　前條第一項第五號乃至第九號ノ場合ハ料金納付ノ日ヨリ起算シ六十日間

四　前條第一項第十號ノ場合ハ其ノ取消認可ノ日ヨリ起算シ六十日間

第八十六條　加入者ハ報酬ヲ受ケ其ノ使用スル電話機ヲ他人ノ用ニ供シ又ハ報酬ヲ受クル者ニ之ヲ貸與スルコトヲ得ス

第八十七條　加入者ハ其ノ使用スル電話機ヲ設置シタル邸宅内又ハ構内ニ在ル電話線、電話機及附屬物品ヲ他人ノ線路機械等ヲ連絡スルコトヲ得ス

第八十八條　加入者ノ故意過失ニ因リ其ノ使用スル電話線、電話機及附屬物品ヲ亡失毀損シタルトキ又ハ前條ニ違反スルノ所爲ニ依リ復舊工事ヲ要スルトキハ加入者ニ於テ其ノ補充又ハ修繕ニ要スル費用ヲ辨償スヘシ

第八十九條　加入者ノ電話使用料、附加使用料、電話番號表掲載料、通話料、通話取消料、呼出料及通知料ヲ規定ノ期日迄ニ納付セサルトキ又ハ前條ニ依リ辨償スヘキ費用ヲ納付セサルトキハ其ノ納付ノ日迄通話ヲ停止ス

第九十條　加入者正當ノ事由ナクシテ第三十三條第三項若ハ第三十四條第三項ノ指示ニ從ハサルトキ、第三十六條ノ點檢ヲ拒ミタルトキ又ハ第八十七條第一項ニ違反シタルトキハ其ノ日數ヲ算入セス

第九十一條　加入者ノ納付スヘキ通話料、通話取消料、呼出料及通知料ハ之ヲ一月分取纏メ翌月二十日迄ニ當該電話取扱局所ニ納付スヘシ

第七十九條　加入者加入ヲ取消シ又ハ加入ヨリ除名セラレタル場合ニ於テ未納ノ料金アルトキハ當該電話取扱局所ノ指定スル期日迄ニ一時ニ之ヲ納付スヘシ

第八十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納付シタル者ハ納付ノ日ヨリ起算シ三日内ニ一通毎ニ三錢ヲ納付シテ其ノ納付料金額ヲ記載シタル受取證書ヲ請求スルコトヲ得

第八十一條　遞信局長ニ於テ必要ト認ムルトキハ通信事務ノ爲ニ使用スル電話ニ付テハ第六十五條ノ料金ヲ免除ス

第八十二條　加入者其ノ電話ニ支障アル場合ニ於テ公衆電話所ノ電話機又ハ通話局所ノ電話機ニ依リ其ノ修理ヲ當該電話取扱局所ニ請求スルトキハ其ノ通話料ヲ免除スル別ニ告示スル火災報知ノ通話ヲ公衆電話所ノ電話機又ハ通話局所ノ電話機ニ依リ爲ストキ亦同シ

第八十三條　第三十四條第三項ニ依リ加入者ニ於テ電話線路ヲ維持スル場合ニ於テハ遞信局長必要ト認ムルトキハ加入區域外加入又ハ專用通話ノ附加使用料ヲ低減シ又ハ徵收セサルコトアルヘシ

第八十四條　左ノ料金ハ納付人ノ請求ニ依リ通貨ヲ以テ納メタルモノハ通貨、郵便切手ヲ以テ納メタルモノハ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付ス其ノ未納ノ料金ハ之ヲ徵收セス

一　加入區域外加入ヲ認可セラレサリシ者又ハ第十九條第二項ノ場合ニ於テ加入申込ヲ取消シタル者ノ納付シタル加入登記料

一ノ二　加入申込後遞信局長ノ定ムル期間ヲ經過シ加入申込ヲ取消シタル者ノ納付シタル加入登記料

二　第三十一條ノ規定ニ依リ電話架設料ヲ納付シタル者ノ納付シタル電話架設料

第九十條　加入者正當ノ事由ナクシテ第三十三條第三項若ハ第三十四條第三項ノ指示ニ從ハサルトキ、第三十六條ノ點檢ヲ拒ミタルトキ又ハ第八十七條第一項ニ違反シタルトキハ其ノ日數ヲ算入セス

第九十一條　加入者ノ納付スヘキ通話料、通話取消料、呼出料及通知料ハ之ヲ一月分取纏メ翌月二十日迄ニ當該電話取扱局所ニ納付スヘシ

第七十九條　加入者加入ヲ取消シ又ハ加入ヨリ除名セラレタル場合ニ於テ未納ノ料金アルトキハ當該電話取扱局所ノ指定スル期日迄ニ一時ニ之ヲ納付スヘシ

第八十條　郵便切手ヲ以テ料金ヲ納付シタル者ハ納付ノ日ヨリ起算シ三日内ニ一通毎ニ三錢ヲ納付シテ其ノ納付料金額ヲ記載シタル受取證書ヲ請求スルコトヲ得

第八十一條　遞信局長ニ於テ必要ト認ムルトキハ通信事務ノ爲ニ使用スル電話ニ付テハ第六十五條ノ料金ヲ免除ス

第八十二條　加入者其ノ電話ニ支障アル場合ニ於テ公衆電話所ノ電話機又ハ通話局所ノ電話機ニ依リ其ノ修理ヲ當該電話取扱局所ニ請求スルトキハ其ノ通話料ヲ免除スル別ニ告示スル火災報知ノ通話ヲ公衆電話所ノ電話機又ハ通話局所ノ電話機ニ依リ爲ストキ亦同シ

第八十三條　第三十四條第三項ニ依リ加入者ニ於テ電話線路ヲ維持スル場合ニ於テハ遞信局長必要ト認ムルトキハ加入區域外加入又ハ專用通話ノ附加使用料ヲ低減シ又ハ徵收セサルコトアルヘシ

第八十四條　左ノ料金ハ納付人ノ請求ニ依リ通貨ヲ以テ納メタルモノハ通貨、郵便切手ヲ以テ納メタルモノハ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付ス其ノ未納ノ料金ハ之ヲ徵收セス

一　加入區域外加入ヲ認可セラレサリシ者又ハ第十九條第二項ノ場合ニ於テ加入申込ヲ取消シタル者ノ納付シタル加入登記料

一ノ二　加入申込後遞信局長ノ定ムル期間ヲ經過シ加入申込ヲ取消シタル者ノ納付シタル加入登記料

二　第三十一條ノ規定ニ依リ電話架設料ヲ納付シタル者ノ納付シタル電話架設料

機械移轉料

第三十一條又ハ第三十九條ノ規定ニ依リ電話機若ハ附屬物品ノ移轉又ハ一時撤去ノ請求ヲ爲シ工事著手前ニ於テ其ノ請求ヲ取消シタル場合ニ於ケル機械移轉料

加入者ノ故意過失又ハ第三十四條第三項ニ依リ加入者ニ於テ維持スル電話線路ノ障碍ニ因ルニ非スシテ電話不通十五日以上瓦リタル場合ニ於ケル電話使用料及附加使用料中不通日數ニ應シ一期分料金額ヲ當該期ノ日數ニ依リ日割ヲ以テ計算シタル金額

加入ヲ取消シ又ハ加入ヨリ除名セラレタル場合ニ於ケル前納電話使用料及附加使用料中納付セル料金ヲ控除シタル殘額

電話取扱局所ノ過失ニ因リ徵收シタル過納又ハ納入料金

電話取扱局所ノ過失ニ因リ呼出通知書ヲ配達セス又ハ之ヲ遲延シタル爲通話ヲ爲シ能ハサリシ場合ニ於ケル呼出料及解船配達ノ爲附加シタル料金

電話取扱局所ノ過失ニ因リ第五十九條若ハ第六十條ニ依リ通知ヲ爲ササリシ場合又ハ其ノ通知カ普通郵便ニ依リ送達スルヨリモ遲延シタル場合ニ於ケル通知料及解船配達ノ爲附加シタル料金

第九十一條　加入者第八十六條ニ違反シタルトキ、第八十九條ニ依リ通話ヲ停止セラレタル日ヨリ起算シ三十日内ニ滯納ノ金額ヲ納付セサルトキ又ハ一年三回以上通話ヲ停止セラレタルトキハ加入ヨリ除名スルコトアルヘシ

加入者第八十六條ニ違反シタルトキハ三十日内ノ期間通話ヲ停止スルコトアルヘシ

第九十一條　加入者第八十六條ニ違反シタルトキ、第八十九條ニ依リ通話ヲ停止セラレタル日ヨリ起算シ三十日内ニ滯納ノ金額ヲ納付セサルトキ又ハ一年三回以上通話ヲ停止セラレタルトキハ加入ヨリ除名スルコトアルヘシ

第九十二條　電話開通工事著手ノ際加入申込者ノ所在不明ナルトキ又ハ第二條ニ依リ加入申込者指定ノ期日迄ニ電話架設料ヲ納付セサルトキハ其ノ加入申込ハ之ヲ取消シタルモノト看做シ處理スルコトアルヘシ

第九十三條　第三十一條第一項但書及第三十二條ノ場合ニ於テ寄附ヲ條件トセル加入申込者若ハ加入者遞信局長ノ定ムル期日迄ニ物品及勞力若ハ線路ノ寄附ヲ爲ササルトキ又ハ加入者ノ家族又ハ同居者ノ名義ヲ以テ爲ス場合亦同シ

第九十四條　第二十九條、第四十三條、第四十七條、第六十五條第一項第七號ノ適用ニ付テハ加入區域外加入者ハ加入區域内加入者ト看做ス

附　則

第九十五條　本令ハ大正八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第九十六條　特設電話規則ハ之ヲ廢止ス

第九十七條　本令施行ノ際現ニ特設電話交換ヲ行フ地ニハ本令ニ依ル電話ヲ開始ス

本令施行ノ際特設電話加入者其ノ架設シタル電話線路、電話機及附屬物品ノ全部ヲ政府ニ寄附スルトキハ本令ニ依ル加入者ト看做ス

特設電話加入者ハ遞信局長ノ指示ニ從ヒ其ノ架設シタル電話線路ヲ撤去スヘシ但シ前項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

本令施行前特設電話ノ加入ヲ申請シタル者ハ本令施行ノ日ヨリ本令ニ依ル加入申込者ト看做ス

第九十八條　前條ニ依リ加入者ト看做サレタル者ノ本令施行ノ際現ニ有スル設備ニ對スル電話使用料及附加使用料ノ總額カ從前ノ電話交換料、附加交換料及電信電話維持費ニ關シ規則ニ依ル維持料ノ總額ヲ超ユル場合ニ於テハ本令施行ノ日ヨリ一年ヲ限リ其ノ超過額ニ相當スル金額ヲ其ノ料金ヨリ減額ス

第九十九條　削除

附　則（大正九年二月總令第十八號）

本令ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前受理シタル第二條ニ依ル加入申込及第三十九條ノ申請ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

附　則（大正九年三月總令第四十二號）

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十年五月總令第七十六號）

本令ハ大正十年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年四月總令第三十六號）

本令ハ昭和四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和五年四月總令第二十七號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ指定地ノ加入者ニシテ引續キ其ノ地ニ於テ電話加入者タル者（相續人及名義ノ變更ヲ受ケル者ヲ含ム）ヨリ徵收スヘキ電話使用料ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ三年間ニ限リ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和六年三月總令第二十七號）

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年十一月總令第百四十三號）

本令ハ昭和六年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年七月總令第八十八號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依リ設置シ又ハ設置工事施行中ノ加入電話ニシテ第三十條ノ二ノ規定ニ抵觸スルモノニ付テハ昭和十一年三月三十一日迄仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得但シ自働交換方式ニ依リ電話交換ヲ爲ス局所屬ノ加入電話及電話交換方式ヲ自働式ニ變更シタル場合ニ於ケル當該電話取扱局所屬ノ加入電話ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

●電話加入區域並ニ土地ノ區別

昭和五年四月
總告第百七十一號

改正　昭和五年九第三九一號、五年一〇第四〇七號、第四一四號、五年一二第四三七號、六年一第一號、六年二第一〇號、第一七號、六年三第一〇一號、六年四第一一三號、六年五第一二四號、六年六第一三八號、第一四一號、六年七第一四三號、六年八第一四九號、第一五〇號、六年九第一五五號、六年一〇第一六〇號、第一六一號、第一六四號、六年一一第一七〇號、第一七一號、第一七四號、六年一二第一七八號、第一八一號、第一八四號、七年一第一八六號、第一八八號、七年二第一九二號、第一九四號、七年三第一九六號、第一九八號、第二〇〇號、七年四第二〇二號、第二〇四號、第二〇五號、七年五第二〇八號、第二一〇號、第二一一號、七年六第二一三號、第二一四號、第二一五號、第二一六號、七年七第二一七號、第二一八號、第二一九號、七年八第二二〇號、第二二一號、第二二二號、七年九第二二三號、第二二四號、第二二五號、七年一〇第二二六號、第二二七號、第二二八號、第二二九號、七年一一第二三〇號、第二三一號、第二三二號、七年一二第二三三號、第二三四號、第二三五號、八年一第二三六號、第二三七號、八年二第二三八號、第二三九號、第二四〇號、第二四一號、第二四二號、八年三第二四三號、第二四四號、第二四五號、八年四第二四六號、第二四七號、第二四八號、第二四九號、八年五第二五〇號、第二五一號、第二五二號、八年六第二五三號、第二五四號、第二五五號、八年七第二五六號、第二五七號、第二五八號、第二五九號、八年八第二六〇號、第二六一號、第二六二號、八年九第二六三號、第二六四號、第二六五號、八年一〇第二六六號、第二六七號、第二六八號、第二六九號、八年一一第二七〇號、第二七一號、第二七二號、八年一二第二七三號、第二七四號、第二七五號、九年一第二七六號、第二七七號、九年二第二七八號、第二七九號、第二八〇號、九年三第二八一號、第二八二號、第二八三號、九年四第二八四號、第二八五號、第二八六號、九年五第二八七號、第二八八號、第二八九號、九年六第二九〇號、第二九一號、第二九二號、九年七第二九三號、第二九四號、第二九五號、九年八第二九六號、第二九七號、第二九八號、九年九第二九九號、第二九九號、第二九九號、

新泰仁	壬地	全羅北道	井邑郡	新泰仁面ノ内新泰仁里	
扶安	壬地	全羅北道	扶安郡	扶安面ノ内東中里、西外里、仙隆里（自二三九番地至三〇〇番地）	
富浦	壬地	全羅北道	扶安郡	乾先面ノ内富浦里、洞里高	
高敞	壬地	全羅北道	高敞郡	高敞面ノ内邑内里、校村里	
參禮	壬地	全羅北道	定州郡	參禮面ノ内參禮里、眉亭里	
錦山	壬地	全羅北道	錦山郡	錦山面ノ内中島里（錦川以北、後昆川以南ノ地）、上里（後昆川以南ノ地）、衙里（仁七番地、八番地、自一二番地至二五番地、自一三〇番地至五一番地、自一三二番地至一三五番地）、下玉里（一九七番地、自一九八番地至二〇一番地、自三二二番地至三九二番地）	
茂朱	壬地	全羅北道	茂朱郡	茂朱面ノ内邑内里	
木浦	戊地	全羅南道	木浦府	木浦府（山亭里ノ内自六三番地ヲ除ク）至六八番地ヲ除ク）	
光州	戊地	全羅南道	光州府	光州府（加山町、芝山町、芳林町、自雲町、山町、農城町及光川町ヲ除ク）麗水邑ノ内東町、西町、德忠里（自七七五番地ノ一）至七九八番地	
麗水	己地	全羅南道	麗水郡		
榮山浦	辛地	全羅南道	羅州郡	榮山面ノ内山亭里、二倉里、三榮里、榮山里（榮山江支流ヨリ東北ノ地ヲ除ク）	
羅州	辛地	全羅南道	羅州郡	羅州邑ノ内北門町、東院町、本町、南門町、月足町、大正町、西門町、錦城町、錦町、朴下里、鏡校里	
南平	壬地	全羅南道	羅州郡	南平面ノ内南平里	
松汀	辛地	全羅南道	光山郡	松汀面ノ内松汀里	
順天	庚地	全羅南道	順天郡	順天邑ノ内大手町、幸町、本町、榮町、金谷里、玉川里、楮田里、長泉里、東外里、梅谷里（衙谷里、豎德里（自二三五番地至二四三番地ノ一）、自二一〇番地至二一八番地、自二二〇番地至二二三番地）、生木里（自二一〇番地至二一七番地ノ一、自二一八番地至二二〇番地ノ二、自二二三番地至二二五番地ノ一、自二二五番地至二二七番地ノ二、自二二七番地至二二九番地ノ一、自二二九番地至二三一番地ノ二、自二三一番地至二三三番地）	
筏橋	辛地	全羅南道	寶城郡	筏橋面ノ内筏橋里、長佐里（筏橋ヨリ高興ニ通ズル道路沿線ノ内、筏橋ヨリ順天ニ通ズル道路沿線東北三百三十メートル以内ノ地）	
濟州	辛地	全羅南道	濟州島	濟州邑ノ内一徒里、二徒里、三徒里、健入里	
潭陽	辛地	全羅南道	潭陽郡	潭陽面ノ内潭州里、川邊里、紙砧里、谷谷里	
長興	辛地	全羅南道	長興郡	長興面ノ内東洞里、南洞里、岐陽里、汾陽里、南外里、市山里	
長城	辛地	全羅南道	長城郡	長城面ノ内月光里、鈴泉里、黃龍面ノ内明坪里	

雲光	辛地	全羅南道	雲光郡	雲光面ノ内武盛里、白鶴里、道東里、南川里、校村里、丹朱里	
成平	壬地	全羅南道	成平郡	成平面ノ内箕園里、成平里、内橋里	
康津	辛地	全羅南道	康津郡	康津面ノ内東城里、西城里、南城里	
靈巖	壬地	全羅南道	靈巖郡	靈巖面ノ内校洞里、西南里、東武里、驛里、南里、西里	
海南	壬地	全羅南道	海南郡	海南面ノ内大正町、水町、南外里、大和町、大正町、海里、古道里、和順面ノ内萬淵里、新基里、鶯巖里、校里、碧巖里、三川里、大里、鏡湖里、釋王寺里、鳳里、鳳湖里、鳳南里、鳳北里、鳳西里、鳳東里、鳳山里、鳳洞里、鳳凰里、鳳鳴里、鳳翔里、鳳翼里、鳳翼里、鳳翼

名稱	種別	所在地	開通年月日	備考
東京市	中央電話局	東京市麹町區有樂町一丁目	明治二十三年七月一日	
横濱	同	横濱市本町四丁目	明治二十三年七月一日	
神戸	同	神戸市元町通二丁目	明治二十三年七月一日	
大阪	同	大阪市東區北浜二丁目	明治二十三年七月一日	
長崎	同	長崎市榮町	明治二十三年七月一日	
函館	同	函館市末廣町	明治二十三年七月一日	
新潟	同	新潟市古町通七番町	明治二十三年七月一日	
敦賀	同	敦賀郡敦賀町	明治二十三年七月一日	
小樽	同	小樽市色内町	明治二十三年七月一日	
秋田	同	秋田市大町	明治二十三年七月一日	
青森	同	青森市新町	明治二十三年七月一日	
宮城	同	宮城郡仙臺町	明治二十三年七月一日	
山形	同	山形市七日町	明治二十三年七月一日	
福島	同	福島市本町	明治二十三年七月一日	
水戸	同	水戸市下市	明治二十三年七月一日	
千葉	同	千葉郡千葉町	明治二十三年七月一日	
甲府	同	甲府市丸の内	明治二十三年七月一日	
長野	同	長野市大字長野	明治二十三年七月一日	
岐阜	同	岐阜市大字岐阜	明治二十三年七月一日	
名古屋	同	名古屋市東區東外堀町	明治二十三年七月一日	
津	同	津市大字津	明治二十三年七月一日	
大津	同	滋賀縣滋賀郡大津町	明治二十三年七月一日	
京都	同	京都市上京區下立賣通堀川西入	明治二十三年七月一日	
奈良	同	奈良市大字奈良	明治二十三年七月一日	
和歌山	同	和歌山市大字和歌山	明治二十三年七月一日	
大阪	同	大阪市東區北浜五丁目	明治二十三年七月一日	
神戸	同	神戸市元町通二丁目	明治二十三年七月一日	
姫路	同	姫路市大字姫路	明治二十三年七月一日	
岡山	同	岡山市大字岡山	明治二十三年七月一日	
廣島	同	廣島市大字廣島	明治二十三年七月一日	
山口	同	山口縣山口市大字山口	明治二十三年七月一日	
松山	同	松山市大字松山	明治二十三年七月一日	
高知	同	高知市大字高知	明治二十三年七月一日	
福岡	同	福岡縣福岡市大字福岡	明治二十三年七月一日	
佐賀	同	佐賀縣佐賀郡佐賀町	明治二十三年七月一日	
長崎	同	長崎縣長崎市大字長崎	明治二十三年七月一日	
熊本	同	熊本縣熊本市大字熊本	明治二十三年七月一日	
大分	同	大分縣大分郡大分町	明治二十三年七月一日	
宮崎	同	宮崎縣宮崎郡宮崎町	明治二十三年七月一日	
鹿兒島	同	鹿兒島縣鹿兒島市大字鹿兒島	明治二十三年七月一日	
沖縄	同	沖縄縣那覇區泉崎村	明治二十三年七月一日	
札幌	同	北海道札幌區北二條西四丁目	明治二十三年七月一日	
函館	同	北海道函館區末廣町	明治二十三年七月一日	
根室	同	北海道根室郡根室町	明治二十三年七月一日	
釧路	同	北海道釧路郡釧路町	明治二十三年七月一日	
網走	同	北海道網走郡網走町	明治二十三年七月一日	
稚内	同	北海道宗谷郡稚内村	明治二十三年七月一日	
小樽	同	北海道小樽區色内町	明治二十三年七月一日	
室蘭	同	北海道室蘭區海岸町	明治二十三年七月一日	
岩内	同	北海道岩内郡岩内町	明治二十三年七月一日	
江差	同	北海道檜山郡江差町	明治二十三年七月一日	
松前	同	北海道松前郡松前町	明治二十三年七月一日	
青森	同	青森縣青森市大字青森	明治二十三年七月一日	
弘前	同	青森縣弘前市大字弘前	明治二十三年七月一日	
八戸	同	青森縣八戸市大字八戸	明治二十三年七月一日	
秋田	同	秋田縣秋田市大字秋田	明治二十三年七月一日	
能代	同	秋田縣山本郡能代町	明治二十三年七月一日	
酒田	同	山形縣東田川郡酒田町	明治二十三年七月一日	
鶴岡	同	山形縣西田川郡鶴岡町	明治二十三年七月一日	
米澤	同	山形縣米澤市大字米澤	明治二十三年七月一日	
山形	同	山形縣山形市大字山形	明治二十三年七月一日	
新庄	同	山形縣最上郡新庄町	明治二十三年七月一日	
仙臺	同	宮城縣仙臺市大字仙臺	明治二十三年七月一日	
石巻	同	宮城縣石巻	明治二十三年七月一日	
福島	同	福島縣福島市大字福島	明治二十三年七月一日	
若松	同	福島縣若松市大字若松	明治二十三年七月一日	
白河	同	福島縣白河町	明治二十三年七月一日	
平	同	福島縣磐城郡平町	明治二十三年七月一日	
水戸	同	茨城縣水戸市大字水戸	明治二十三年七月一日	
土浦	同	茨城縣土浦町	明治二十三年七月一日	
下館	同	茨城縣下館町	明治二十三年七月一日	
宇都宮	同	栃木縣宇都宮市大字宇都宮	明治二十三年七月一日	
足利	同	栃木縣足利郡足利町	明治二十三年七月一日	
佐野	同	栃木縣佐野町	明治二十三年七月一日	
前橋	同	群馬縣前橋區大字前橋	明治二十三年七月一日	
高崎	同	群馬縣高崎區大字高崎	明治二十三年七月一日	
桐生	同	群馬縣桐生區大字桐生	明治二十三年七月一日	
熊谷	同	埼玉縣熊谷町	明治二十三年七月一日	
川越	同	埼玉縣川越町	明治二十三年七月一日	
浦和	同	埼玉縣浦和區大字浦和	明治二十三年七月一日	
千葉	同	千葉縣千葉郡千葉町	明治二十三年七月一日	
銚子	同	千葉縣銚子區大字銚子	明治二十三年七月一日	
木更津	同	千葉縣木更津町	明治二十三年七月一日	
東京	同	東京府東京市麹町區有樂町一丁目	明治二十三年七月一日	
横濱	同	神奈川縣橫濱市本町四丁目	明治二十三年七月一日	
甲府	同	山梨縣甲府市大字甲府	明治二十三年七月一日	
長野	同	長野縣長野市大字長野	明治二十三年七月一日	
岐阜	同	岐阜縣岐阜市大字岐阜	明治二十三年七月一日	
名古屋	同	愛知縣名古屋市東區東外堀町	明治二十三年七月一日	
津	同	三重縣津市大字津	明治二十三年七月一日	
大津	同	滋賀縣滋賀郡大津町	明治二十三年七月一日	
京都	同	京都府京都市上京區下立賣通堀川西入	明治二十三年七月一日	
奈良	同	奈良縣奈良市大字奈良	明治二十三年七月一日	
和歌山	同	和歌山縣和歌山市大字和歌山	明治二十三年七月一日	
大阪	同	大阪府大阪市東區北浜五丁目	明治二十三年七月一日	
神戸	同	兵庫縣神戸市元町通二丁目	明治二十三年七月一日	
姫路	同	兵庫縣姫路市大字姫路	明治二十三年七月一日	
岡山	同	岡山縣岡山市大字岡山	明治二十三年七月一日	
廣島	同	廣島縣廣島市大字廣島	明治二十三年七月一日	
山口	同	山口縣山口市大字山口	明治二十三年七月一日	
松山	同	愛媛縣松山市大字松山	明治二十三年七月一日	
高知	同	高知縣高知市大字高知	明治二十三年七月一日	
福岡	同	福岡縣福岡市大字福岡	明治二十三年七月一日	
佐賀	同	佐賀縣佐賀郡佐賀町	明治二十三年七月一日	
長崎	同	長崎縣長崎市大字長崎	明治二十三年七月一日	
熊本	同	熊本縣熊本市大字熊本	明治二十三年七月一日	
大分	同	大分縣大分郡大分町	明治二十三年七月一日	
宮崎	同	宮崎縣宮崎郡宮崎町	明治二十三年七月一日	
鹿兒島	同	鹿兒島縣鹿兒島市大字鹿兒島	明治二十三年七月一日	
沖縄	同	沖縄縣那覇區泉崎村	明治二十三年七月一日	
札幌	同	北海道札幌區北二條西四丁目	明治二十三年七月一日	
函館	同	北海道函館區末廣町	明治二十三年七月一日	
根室	同	北海道根室郡根室町	明治二十三年七月一日	
釧路	同	北海道釧路郡釧路町	明治二十三年七月一日	
網走	同	北海道網走郡網走町	明治二十三年七月一日	
稚内	同	北海道宗谷郡稚内村	明治二十三年七月一日	
小樽	同	北海道小樽區色内町	明治二十三年七月一日	
室蘭	同	北海道室蘭區海岸町	明治二十三年七月一日	
岩内	同	北海道岩内郡岩内町	明治二十三年七月一日	
江差	同	北海道檜山郡江差町	明治二十三年七月一日	
松前	同	北海道松前郡松前町	明治二十三年七月一日	
青森	同	青森縣青森市大字青森	明治二十三年七月一日	
弘前	同	青森縣弘前市大字弘前	明治二十三年七月一日	
八戸	同	青森縣八戸市大字八戸	明治二十三年七月一日	
秋田	同	秋田縣秋田市大字秋田	明治二十三年七月一日	
能代	同	秋田縣山本郡能代町	明治二十三年七月一日	
酒田	同	山形縣東田川郡酒田町	明治二十三年七月一日	
鶴岡	同	山形縣西田川郡鶴岡町	明治二十三年七月一日	
米澤	同	山形縣米澤市大字米澤	明治二十三年七月一日	
山形	同	山形縣山形市大字山形	明治二十三年七月一日	
新庄	同	山形縣最上郡新庄町	明治二十三年七月一日	
仙臺	同	宮城縣仙臺市大字仙臺	明治二十三年七月一日	
石巻	同	宮城縣石巻	明治二十三年七月一日	
福島	同	福島縣福島市大字福島	明治二十三年七月一日	
若松	同	福島縣若松市大字若松	明治二十三年七月一日	
白河	同	福島縣白河町	明治二十三年七月一日	
平	同	福島縣磐城郡平町	明治二十三年七月一日	
水戸	同	茨城縣水戸市大字水戸	明治二十三年七月一日	
土浦	同	茨城縣土浦町	明治二十三年七月一日	
下館	同	茨城縣下館町	明治二十三年七月一日	
宇都宮	同	栃木縣宇都宮市大字宇都宮	明治二十三年七月一日	
足利	同	栃木縣足利郡足利町	明治二十三年七月一日	
佐野	同	栃木縣佐野町	明治二十三年七月一日	
前橋	同	群馬縣前橋區大字前橋	明治二十三年七月一日	
高崎	同	群馬縣高崎區大字高崎	明治二十三年七月一日	
桐生	同	群馬縣桐生區大字桐生	明治二十三年七月一日	
熊谷	同	埼玉縣熊谷町	明治二十三年七月一日	
川越	同	埼玉縣川越町	明治二十三年七月一日	
浦和	同	埼玉縣浦和區大字浦和	明治二十三年七月一日	
千葉	同	千葉縣千葉郡千葉町	明治二十三年七月一日	
銚子	同	千葉縣銚子區大字銚子	明治二十三年七月一日	
木更津	同	千葉縣木更津町	明治二十三年七月一日	

名稱	種別	所在地	開通年月日	備考
京都分	千地	平京都府	京都府下八ヶ所ニ分ル	
東京分	千地	平東京府	東京府下十ヶ所ニ分ル	
横濱分	千地	平神奈川縣	横濱市内ニ分ル	
神戸分	千地	平兵庫縣	神戸市内ニ分ル	
大阪分	千地	平大阪府	大阪市内ニ分ル	
長崎分	千地	平長崎縣	長崎市内ニ分ル	
函館分	千地	平北海道	函館市内ニ分ル	
新潟分	千地	平新潟縣	新潟市内ニ分ル	
敦賀分	千地	平福井縣	敦賀郡敦賀町内ニ分ル	
小樽分	千地	平北海道	小樽市内ニ分ル	
秋田分	千地	平秋田縣	秋田市内ニ分ル	
青森分	千地	平青森縣	青森市内ニ分ル	
宮城分	千地	平宮城縣	宮城郡仙臺町内ニ分ル	
山形分	千地	平山形縣	山形市内ニ分ル	
福島分	千地	平福島縣	福島市内ニ分ル	
水戸分	千地	平茨城縣	水戸市内ニ分ル	
千葉分	千地	平千葉縣	千葉郡千葉町内ニ分ル	
甲府分	千地	平山梨縣	甲府市内ニ分ル	
長野分	千地	平長野縣	長野市内ニ分ル	
岐阜分	千地	平岐阜縣	岐阜市内ニ分ル	
名古屋分	千地	平愛知縣	名古屋市内ニ分ル	
津分	千地	平三重縣	津市内ニ分ル	
大津分	千地	平滋賀縣	滋賀郡大津町内ニ分ル	
京都分	千地	平京都府	京都府下八ヶ所ニ分ル	
奈良分	千地	平奈良縣	奈良市内ニ分ル	
和歌山分	千地	平和歌山縣	和歌山市内ニ分ル	
大阪分	千地	平大阪府	大阪市内ニ分ル	
神戸分	千地	平兵庫縣	神戸市内ニ分ル	
姫路分	千地	平兵庫縣	姫路市内ニ分ル	
岡山分	千地	平岡山縣	岡山市内ニ分ル	
廣島分	千地	平廣島縣	廣島市内ニ分ル	
山口分	千地	平山口縣	山口市内ニ分ル	
松山分	千地	平愛媛縣	松山市内ニ分ル	
高知分	千地	平高知縣	高知市内ニ分ル	
福岡分	千地	平福岡縣	福岡市内ニ分ル	
佐賀分	千地	平佐賀縣	佐賀郡佐賀町内ニ分ル	
長崎分	千地	平長崎縣	長崎市内ニ分ル	
熊本分	千地	平熊本縣	熊本市内ニ分ル	
大分分	千地	平大分縣	大分郡大分町内ニ分ル	
宮崎分	千地	平宮崎縣	宮崎郡宮崎町内ニ分ル	
鹿兒島分	千地	平鹿兒島縣	鹿兒島市内ニ分ル	
沖縄分	千地	平沖縄縣	那覇區内ニ分ル	
札幌分	千地	平北海道	札幌市内ニ分ル	
函館分	千地	平北海道	函館市内ニ分ル	
根室分	千地	平北海道	根室郡根室町内ニ分ル	
釧路分	千地	平北海道	釧路郡釧路町内ニ分ル	
網走分	千地	平北海道	網走郡網走町内ニ分ル	
稚内分	千地	平北海道	宗谷郡稚内村内ニ分ル	
小樽分	千地	平北海道	小樽區内ニ分ル	
室蘭分	千地	平北海道	室蘭區内ニ分ル	
岩内分	千地	平北海道	岩内郡岩内町内ニ分ル	
江差分	千地	平北海道	檜山郡江差町内ニ分ル	
松前分	千地	平北海道	松前郡松前町内ニ分ル	
青森分	千地	平青森縣	青森市内ニ分ル	
弘前分	千地	平青森縣	弘前市内ニ分ル	
八戸分	千地	平青森縣	八戸市内ニ分ル	
秋田分	千地	平秋田縣	秋田市内ニ分ル	
能代分	千地	平秋田縣	山本郡能代町内ニ分ル	
酒田分	千地	平山形縣	東田川郡酒田町内ニ分ル	
鶴岡分	千地	平山形縣	西田川郡鶴岡町内ニ分ル	
米澤分	千地	平山形縣	米澤市内ニ分ル	
山形分	千地	平山形縣	山形市内ニ分ル	
新庄分	千地	平山形縣	最上郡新庄町内ニ分ル	
仙臺分	千地	平宮城縣	宮城郡仙臺町内ニ分ル	
石巻分	千地	平宮城縣	石巻内ニ分ル	
福島分	千地	平福島縣	福島市内ニ分ル	
若松分	千地	平福島縣	若松市内ニ分ル	
白河分	千地	平福島縣	白河町内ニ分ル	
平分	千地	平福島縣	磐城郡平町内ニ分ル	
水戸分	千地	平茨城縣	水戸市内ニ分ル	
土浦分	千地	平茨城縣	土浦町内ニ分ル	
下館分	千地	平茨城縣	下館町内ニ分ル	
宇都宮分	千地	平栃木縣	宇都宮市内ニ分ル	
足利分	千地	平栃木縣	足利郡足利町内ニ分ル	
佐野分	千地	平栃木縣	佐野町内ニ分ル	
前橋分	千地	平群馬縣	前橋區内ニ分ル	
高崎分	千地	平群馬縣	高崎區内ニ分ル	
桐生分	千地	平群馬縣	桐生區内ニ分ル	
熊谷分	千地	平埼玉縣	熊谷町内ニ分ル	
川越分	千地	平埼玉縣	川越町内ニ分ル	
浦和分	千地	平埼玉縣	浦和區内ニ分ル	
千葉分	千地	平千葉縣	千葉郡千葉町内ニ分ル	
銚子分	千地	平千葉縣	銚子區内ニ分ル	
木更津分	千地	平千葉縣	木更津町内ニ分ル	
東京分	千地	平東京府	東京府下十ヶ所ニ分ル	
横濱分	千地	平神奈川縣	横濱市内ニ分ル	
甲府分	千地	平山梨縣	甲府市内ニ分ル	
長野分	千地	平長野縣	長野市内ニ分ル	
岐阜分	千地	平岐阜縣	岐阜市内ニ分ル	
名古屋分	千地	平愛知縣	名古屋市内ニ分ル	
津分	千地	平三重縣	津市内ニ分ル	
大津分	千地	平滋賀縣	滋賀郡大津町内ニ分ル	
京都分	千地	平京都府	京都府下八ヶ所ニ分ル	
奈良分	千地	平奈良縣	奈良市内ニ分ル	
和歌山分	千地	平和歌山縣	和歌山市内ニ分ル	
大阪分	千地	平大阪府	大阪市内ニ分ル	
神戸分	千地	平兵庫縣	神戸市内ニ分ル	
姫路分	千地	平兵庫縣	姫路市内ニ分ル	
岡山分	千地	平岡山縣	岡山市内ニ分ル	
廣島分	千地	平廣島縣	廣島市内ニ分ル	
山口分	千地	平山口縣	山口市内ニ分ル	
松山分	千地	平愛媛縣	松山市内ニ分ル	
高知分	千地	平高知縣	高知市内ニ分ル	
福岡分	千地	平福岡縣	福岡市内ニ分ル	
佐賀分	千地	平佐賀縣	佐賀郡佐賀町内ニ分ル	
長崎分	千地	平長崎縣	長崎市内ニ分ル	
熊本分	千地	平熊本縣	熊本市内ニ分ル	
大分分	千地	平大分縣	大分郡大分町内ニ分ル	
宮崎分	千地	平宮崎縣	宮崎郡宮崎町内ニ分ル	
鹿兒島分	千地	平鹿兒島縣	鹿兒島市内ニ分ル	
沖縄分	千地	平沖縄縣	那覇區内ニ分ル	
札幌分	千地	平北海道	札幌市内ニ分ル	
函館分	千地	平北海道	函館市内ニ分ル	
根室分	千地	平北海道	根室郡根室町内ニ分ル	
釧路分	千地	平北海道	釧路郡釧路町内ニ分ル	
網走分	千地	平北海道	網走郡網走町内ニ分ル	
稚内分	千地	平北海道	宗谷郡稚内村内ニ分ル	
小樽分	千地	平北海道	小樽區内ニ分ル	
室蘭分	千地	平北海道	室蘭區内ニ分ル	
岩内分	千地	平北海道	岩内郡岩内町内ニ分ル	
江差分	千地	平北海道	檜山郡江差町内ニ分ル	
松前分	千地	平北海道	松前郡松前町内ニ分ル	
青森分	千地	平青森縣	青森市内ニ分ル	
弘前分	千地	平青森縣	弘前市内ニ分ル	
八戸分	千地	平青森縣	八戸市内ニ分ル	
秋田分	千地	平秋田縣	秋田市内ニ分ル	
能代分	千地	平秋田縣	山本郡能代町内ニ分ル	
酒田分	千地	平山形縣	東田川郡酒田町内ニ分ル	
鶴岡分	千地	平山形縣	西田川郡鶴岡町内ニ分ル	
米澤分	千地	平山形縣	米澤市内ニ分ル	
山形分	千地	平山形縣	山形市内ニ分ル	
新庄分	千地	平山形縣	最上郡新庄町内ニ分ル	
仙臺分	千地	平宮城縣	宮城郡仙臺町内ニ分ル	
石巻分	千地	平宮城縣	石巻内ニ分ル	
福島分	千地	平福島縣	福島市内ニ分ル	
若松分	千地	平福島縣	若松市内ニ分ル	
白河分	千地	平福島縣	白河町内ニ分ル	
平分	千地	平福島縣	磐城郡平町内ニ分ル	
水戸分	千地	平茨城縣	水戸市内ニ分ル	
土浦分	千地	平茨城縣	土浦町内ニ分ル	
下館分	千地	平茨城縣	下館町内ニ分ル	
宇都宮分	千地	平栃木縣	宇都宮市内ニ分ル	
足利分	千地	平栃木縣	足利郡足利町内ニ分ル	
佐野分	千地	平栃木縣	佐野町内ニ分ル	
前橋分	千地	平群馬縣	前橋區内ニ分ル	
高崎分	千地	平群馬縣	高崎區内ニ分ル	
桐生分	千地	平群馬縣	桐生區内ニ分ル	
熊谷分	千地	平埼玉縣	熊谷町内ニ分ル	
川越分	千地	平埼玉縣	川越町内ニ分ル	
浦和分	千地	平埼玉縣	浦和區内ニ分ル	
千葉分	千地	平千葉縣	千葉郡千葉町内ニ分ル	
銚子分	千地	平千葉縣	銚子區内ニ分ル	
木更津分	千地	平千葉縣	木更津町内ニ分ル	

電話架設料

規定スル呼出符號ハ還信局長ニ於テ必要アリト認ムル場合ニ限リ之ヲ指定ス

前項ニ規定スル私設ノ電信又ハ電話ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用セス

還信局長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第一項ニ規定スル私設ノ電信又ハ電話ニ使用スル電力及高周波電流發生裝置ヲ制限スルコトヲ得

第二十五條　電信又ハ電話ニ依ラサル信號ヲ以テ施設スル電線ニ關シテハ第十條乃至第十二條及第二十三條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ施設ヲ受クル爲電信官署ト同一ノ施設スル電線ニ關シテハ前項ノ外第三條乃至第九條、第十七條第二項、第二十一條及第二十二條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ施設ヲ爲シタル者ハ時機（屋內ノ線及附屬物ヲ含ム）一箇每ニ年額十五圓ヲ納ムヘシ但シ電信機又ハ電話機ニ限リ時裝置ヲ爲シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條ノ二　電線路ニ高周波電流ヲ通シテ爲ス通報信號ノ施設ニ付テハ第三條乃至第五條、第六條、第七條、第二項、第九條乃至第十六條及第十八條乃至第二十三條ノ規定ヲ準用ス

前項ニ規定スル通報信號ノ施設ニシテ一萬「サイクル」以上ノ高周波電流ヲ通スルモノニ付テハ前項ノ規定ニ依ルノ外第二十四條ノ二第三項ノ規定並ニ私設無線電信無線電話規則第五條、第七條、第十二條、第十七條及第七十七條ノ規定ヲ準用ス但シ私設無線電信無線電話規則第七條ニ規定スル呼出符號ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　維持料ノ納付、計算、減免及還付ニ關シテハ電信電話維持規則第四條乃至第七條ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和四年法律第四十五號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

前項ニ規定スル私設ノ電信又ハ電話ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用セス

還信局長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第一項ニ規定スル私設ノ電信又ハ電話ニ使用スル電力及高周波電流發生裝置ヲ制限スルコトヲ得

第二十五條　電信又ハ電話ニ依ラサル信號ヲ以テ施設スル電線ニ關シテハ第十條乃至第十二條及第二十三條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ施設ヲ受クル爲電信官署ト同一ノ施設スル電線ニ關シテハ前項ノ外第三條乃至第九條、第十七條第二項、第二十一條及第二十二條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ施設ヲ爲シタル者ハ時機（屋內ノ線及附屬物ヲ含ム）一箇每ニ年額十五圓ヲ納ムヘシ但シ電信機又ハ電話機ニ限リ時裝置ヲ爲シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條ノ二　電線路ニ高周波電流ヲ通シテ爲ス通報信號ノ施設ニ付テハ第三條乃至第五條、第六條、第七條、第二項、第九條乃至第十六條及第十八條乃至第二十三條ノ規定ヲ準用ス

前項ニ規定スル通報信號ノ施設ニシテ一萬「サイクル」以上ノ高周波電流ヲ通スルモノニ付テハ前項ノ規定ニ依ルノ外第二十四條ノ二第三項ノ規定並ニ私設無線電信無線電話規則第五條、第七條、第十二條、第十七條及第七十七條ノ規定ヲ準用ス但シ私設無線電信無線電話規則第七條ニ規定スル呼出符號ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　維持料ノ納付、計算、減免及還付ニ關シテハ電信電話維持規則第四條乃至第七條ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和四年法律第四十五號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

前

第二號樣式

寸　二

郵便電信電話料金滯納者ニ對スル差押官吏及料金領收證

郵便電信電話料金滯納者	第	號	
明治　年　月　日	差押官吏之證		氏名（何ノ府縣）

寸　三

●電信電話料金滯納者ニ對スル差押官吏及料金領收證書雛形

（雛形ハ縦ニ長クスヘシ）

寸　二

電信電話料金滯納者差押吏之證	第	號	
明治　年　月　日	差押官吏之證		氏名

（宿村領印）

寸　三

●滯電信電話料金滯納者ニ對スル差押官吏及料金領收證書雛形

（雛形ハ縦ニ長クスヘシ）

郵便電信電話料金滯納者差押吏之證	第	號	
明治　年　月　日	差押官吏之證		氏名（何ノ府縣）

（宿村領印）

●滯電信電話料金滯納者ニ對スル差押官吏及料金領收證書雛形

（雛形ハ縦ニ長クスヘシ）

寸　二

電信電話料金滯納者差押吏之證	第	號	
明治　年　月　日	差押官吏之證		氏名

（宿村領印）

寸　三

●滯電信電話料金滯納者ニ對スル差押官吏及料金領收證書雛形

（雛形ハ縦ニ長クスヘシ）

郵便電信電話料金滯納者差押吏之證	第	號	
明治　年　月　日	差押官吏之證		氏名（何ノ府縣）

（宿村領印）

●滯電信電話料金滯納者ニ對スル差押官吏及料金領收證書雛形

（雛形ハ縦ニ長クスヘシ）

寸　二

電信電話料金滯納者差押吏之證	第	號	
明治　年　月　日	差押官吏之證		氏名

（宿村領印）

寸　三

●滯電信電話料金滯納者ニ對スル差押官吏及料金領收證書雛形

（雛形ハ縦ニ長クスヘシ）

郵便電信電話料金滯納者差押吏之證	第	號	
明治　年　月　日	差押官吏之證		氏名（何ノ府縣）

（宿村領印）

第四條　工事設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　機器裝置場所

二　空中線電力

三　機器ノ種類

四　空中線及接地裝置

五　「スタヂオ」及「スタヂオ」外「マイクロフオン」設備

六　連絡線及中繼線設備

七　無線中繼設備

八　落成期限

第五條　放送無線電話ノ機器及其ノ裝置ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ各號ニ適合スルコトヲ要ス

一　電波ハ純粹ナル持續電波ニシテ音波ニ從ヒ具好ニ變調セラルルコト

二　受話音ハ明瞭ニシテ雜音ヲ伴ハサルコト

三　周波數（波長）ハ五百五十「キロサイクル」（五百四十五「メートル」）乃至一千五百「キロサイクル」（二百「メートル」）ノ範圍内ニシテ於テ選信大臣ノ指定シタルモノナルコト

四　周波數（波長）ニ變動ヲ生セサルモノナルコト

五　空中線電力ハ十「キロワット」以内タルコト

六　「スタヂオ」ノ構造ハ外部ヨリノ音響ヲ防遏シ放送ニ適スルコト

七　電信、電話、電燈又ハ電力ノ線路ニ障碍ヲ及ホスヘキ誘導ヲ生セサルコト

八　人畜又ハ物件ニ危害ヲ及ホス虞ナキコト

九　接地裝置ヲ爲ス場合ハ專用ノモノヲ設備スルコト

十　可聽電波五百「キロサイクル」（六百「メートル」）乃至三百三十三「キロサイクル」（九百「メートル」）ヲ受信シ得ル設備ヲ有スルコト

第六條　放送無線電話施設者ハ（以下第二ニ放送局ト称ス）左ノ場合ニ於テハ理由ヲ具シ選信大臣ノ許可ヲ受クヘシ

一　特ニ指定スル場合ヲ除クノ外各放送ノ開始及終了ノ標準該放送無線電話ノ呼出符號又ハ呼出名稱ヲ放送スルコト

二　公衆通信又ハ軍事通信ヲ取扱フ無線電信又ハ無線電話ヨリ放送ノ中止ヲ求メラレタルトキハ直ニ之ニ從フコト

三　選信大臣又ハ所轄選信局長ヨリ放送ニ關シ指示アリタルトキハ直ニ之ニ從フコト

第七條　選信大臣ニ於テ放送無線電話ヲ許可シタルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ告示ス其ノ異動ヲ生シタル場合ニ於テ亦同シ

一　施設者ノ名稱

二　施設ノ名稱

三　機器裝置場所

四　呼出符號

五　空中線電力

六　周波數（波長）

七　放送時刻

八　放送事項

九　放送區域

第七條ノ二　放送無線電話ノ裝置工事落成シタルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ告示ス其ノ異動ヲ生シタル場合ニ於テ亦同シ

一　施設者名

二　施設ノ名稱

三　呼出符號

四　空中線電力

五　周波數（波長）

六　放送時刻

七　放送事項

八　放送區域

第七條ノ三　選信大臣ニ於テ前條ノ規定ニ依リ機器裝置及其ノ裝置ヲ檢査セシメタル上檢定證書ヲ交付ス

第七條ノ四　放送施設者ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ各號ノ放送無線事業ニ關シ特別ノ施設ヲ命シ又ハ前項ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

一　技術主任者及機器取扱者

二　放送主任者及放送取扱者

三　放送従事者ヲ選任セムトスルトキハ其ノ經歷及技能ヲ證スル書類ヲ提出シ資格及選任ノ適否ニ關シ所轄選信局長ノ認可ヲ受クヘシ

放送従事者ヲ解任シタルトキハ其ノ都度之ヲ所轄選信局長ニ屆出ツヘシ

第七條ノ五　選信大臣ハ放送従事者カ其ノ職務ヲ行フニ不適當ナリト認ムルトキハ之カ解任ヲ命スルコトアルヘシ

第八條　放送無線電話ノ使用ヲ開始セムトスルトキハ其ノ期日七日前迄ニ選信大臣ニ屆出ツヘシ

第九條　放送施設者ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一　聽取無線電話ノ空中線裝置ハ電信、電話、電燈又ハ電力ノ線路ニ接近セス、人畜又ハ物件ニ危害ヲ及ホス虞ナク且其ノ接地裝置ハ引火ノ虞ナキコトヲ要ス

選信大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ聽取無線電話裝置ニ關シ其ノ施設者ニ對シ特別ノ施設ヲ命スルコトアルヘシ

第十五條　第十三條ニ規定スル施設許可願書ノ記載事項ヲ變更シタルトキハ許可書ノ番號及新舊ノ事項ヲ記載シタル屆書ヲ五日以内ニ所轄選信局長ニ差出スヘシ

前項ノ屆書機器裝置場所又ハ施設者ノ氏名ノ變更ニ關スルモノナルトキハ之ニ許可書ヲ添附スヘシ

第十五條ノ二　聽取無線電話ノ使用ヲ許可シタル左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ

一　聽取無線電話施設者前條ニ依リ機器裝置場所又ハ住所ノ變更届ヲ爲ササルコト

二　特ニ指定スル場合ヲ除クノ外連續三箇月以上聽取ノ實績ナキトキ

三　聽取契約ノ存續期間滿了シタルトキ

四　削除

五　時間別聽務別放送従事者氏名

六　削除

七　前各號ノ外後日參考トナルヘキ事項

前項ノ日誌ハ其ノ使用終了ノ翌月ヨリ起算シ十五月間之ヲ保存スルコトヲ要ス

第十三條　放送事項ノ聽取ヲ目的トスル私設無線電話（以下單ニ聽取無線電話ト称スル）ヲ施設セムトスル者ハ一郎宅内、一構内又ハ一移動體内ノ區別ニ依リ機器裝置場所毎ニ別ニ告示スル所ニ依ル施設許可願書ヲ聽取契約書ヲ差出シ所轄選信局長ノ許可ヲ受クヘシ

第十四條　聽取無線電話ノ受信機ハ電氣試驗所ノ型式試驗ニ依リ聽取無線電話用受信機トシテ其ノ型式證明ヲ受ケタルモノヲ又ハ左ノ各號ニ適合スルモノナルトキヲ要ス但シ所轄選信局長ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限リ第一號ニ依ラサルコトヲ得

一　周波數（波長）五百五十「キロサイクル」（五百四十五「メートル」）乃至一千五百「キロサイクル」（二百「メートル」）ノ範圍内ニ限リ受信シ得ルコト

二　空中線ヨリ電波ヲ發射セサルコト

聽取無線電話ノ空中線裝置ハ電信、電話、電燈又ハ電力ノ線路ニ接近セス、人畜又ハ物件ニ危害ヲ及ホス虞ナク且其ノ接地裝置ハ引火ノ虞ナキコトヲ要ス

選信大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ聽取無線電話裝置ニ關シ其ノ施設者ニ對シ特別ノ施設ヲ命スルコトアルヘシ

第十五條　第十三條ニ規定スル施設許可願書ノ記載事項ヲ變更シタルトキハ許可書ノ番號及新舊ノ事項ヲ記載シタル屆書ヲ五日以内ニ所轄選信局長ニ差出スヘシ

前項ノ屆書機器裝置場所又ハ施設者ノ氏名ノ變更ニ關スルモノナルトキハ之ニ許可書ヲ添附スヘシ

第十五條ノ二　聽取無線電話ノ使用ヲ許可シタル左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ

一　聽取無線電話施設者前條ニ依ル機器裝置場所又ハ住所ノ變更届ヲ爲ササルコト

六月以上ニ及ヒタルトキ

二　聽取無線電話施設者聽取契約ニ違反シタル爲放送施設者ヨリ該契約ヲ解除セラレタルトキ

放送施設者前項第二號ノ契約解除ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

第十六條　聽取無線電話施設者ハ許可書ヲ機器裝置場所ニ保管シ、受信機ヲ携帶使用スルトキハ必ス之ヲ携行スヘシ

許可書ヲ亡失シタルトキハ許可書ノ番號又ハ機器裝置場所ヲ記載シタル書面ヲ以テ直ニ其ノ再發ヲ所轄選信局長ニ申請スヘシ

第十七條　聽取無線電話施設者ハ許可書ヲ他人ニ貸與シ又ハ許可ヲ受ケスシテ聽取無線電話ヲ施設スルコトヲ得ス

第十八條　聽取無線電話ヲ廢止シタルトキハ廢止後五日以内ニ其ノ旨ヲ所轄選信局長ニ屆出テ同時ニ許可書ヲ返納スヘシ

聽取無線電話ノ許可ヲ取消サレタルトキハ直ニ許可書ヲ所轄選信局長ニ返納スヘシ

第十九條　私設無線電信無線電話規則第七條、第八條、第十一條、第十四條、第十六條、第十八條、第六十八條、第七十一條、第七十四條、第七十七條及第八十四條ノ規定ハ放送無線電話ニ、第八條、第十四條、第七十四條及第八十四條ノ規定ハ聽取無線電話ニ之ヲ準用ス但シ第八條中選信大臣トアルハ聽取無線電話ニ關シテハ之ヲ所轄選信局長トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前聽取無線電話施設ノ許可ヲ受ケタル者ノ納付スヘキ本會計年度分聽取施設特許料ハ仍從前ノ例ニ依ル

（大正十四年十二月選令第八十九號ハ大正十五年一月一日ヨリ施行）

附　則（昭和二年三月選令第四號）

本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和三年三月選令第二十四號）

本令ハ昭和三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年十二月選令第五十五號）

本令ハ昭和四年十二月選令第五十四號ハ昭和七年一月一日ヨリ施行）

（昭和六年十二月選令第五十四號ハ昭和七年一月一日ヨリ施行）

（昭和八年十二月選令第六十三號ハ昭和九年一月一日ヨリ施行）

●朝鮮ニ於ケル聽取無線電話施設者カ聽取契約ヲ爲スヘキ放送局

大正十五年十二月

總告第三百八十號

改正　昭和七年四月逓信省告示二〇七號

放送用私設無線電話規則第十三條ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル聽取無線電話施設者カ聽取契約ヲ爲スヘキ放送無線電話施設者ハ社團法人朝鮮放送協會トス

●聽取無線電話施設許可願書

昭和七年四月

總告第二百八號

放送用私設無線電話規則第十三條ノ規定ニ依リ聽取無線電話施設許可願書ハ左ノ樣式ニ依リ之ヲ記載スヘシ

聽取無線電話施設許可願		
施設者名		印
職業		
住所		
施設者		
機器裝置場所		
受信機ノ種類及箇數		
使用方法		

昭和　年　月　日

長局信逓督府總鮮朝

郵便切手貼附欄

備考　一　機器裝置場所ハ道府郡邑面洞里番地（何方又ハ何建何號室）等ヲ以テ之ヲ表示スヘシ（移動體ニ裝置スルモノハ其ノ名稱又ハ番號及平常ノ繫留、格納等ノ場所ヲ、携帶使用スルモノハ平常ノ保管場所ヲ記載スルモノトス）

二　受信機ノ種類及箇數欄ニハ鑛石式何箇又ハ眞空管式（何球附）何箇等ト表示スヘシ

三　使用方法欄ニハ受信機ヲ携帶使用スル者ニ限リ「携帶使用」ト記載スヘシ此ノ場合ニ於テハ前號ノ受信機ノ箇數ハ一箇ヲ超エルコトヲ得ザルモノトス

昭和四年朝鮮總督府告示第五百二號（私設ノ電信、電話、無線電信及無線電話ノ檢查吏員ニ携帶セシムル證票ニ關スル件）昭和十年四月一日ヨリ左ノ通改正ス

無線電信法第十三條ノ三ノ當該官吏及私設電信電話規則第十九條ノ吏員並ニ私設無線電信無線電話規則第六章ニ規定スル檢查官吏ニ携帶セシムル證票左ノ通定ム

第　號

年　月　日

私設ノ電信、電話、無線電信及無線電話ノ檢查吏員ニ關スル件

昭和十年三月

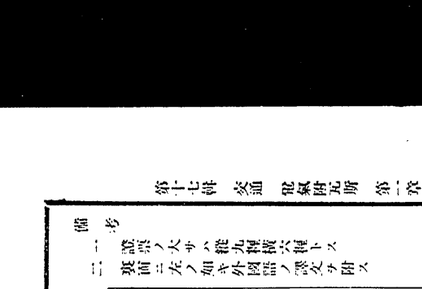
總告第百九十六號

私設電信、電話、無線電信、無線電話檢查吏員之證

朝鮮總督府

選信局印

官氏名



CERTIFICATE
for

*Mr.*_____

Government Wireless Inspector

COMMUNICATIONS BUREAU OF THE GOVERNMENT
GENERAL OF CHOSEN

二　軍事上重要ナル道路
三　經濟上特ニ重要ナル道路

第三條　二等道路ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付之ヲ定ム

一　隣接道廳所在地ヲ連絡スル道路
二　道廳所在地ヨリ道内ノ樞要ナル地點、港津又ハ鐵道停車場ニ達スル道路
三　道廳所在地ヨリ道内樞要ナル地點、港津、鐵道停車場又ハ道路相互ヲ連絡スル道路
四　道内樞要ナル地點、港津、鐵道停車場又ハ道路相互ヲ連絡スル道路
五　隣接道内樞要ナル地點、港津、鐵道停車場又ハ道路相互ヲ連絡スル道路

第四條　三等道路ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付道知事之ヲ定ム

一　隣接府廳又ハ郡廳所在地ヲ連結スル道路
二　府廳、郡廳又ハ島廳所在地ヨリ府郡島内樞要ナル地點、港津、鐵道停車場ニ達スル道路
三　府郡島内樞要ナル地點、港津、鐵道停車場又ハ道路相互ヲ連結スル道路
四　隣接府郡内樞要ナル地點、港津、鐵道停車場又ハ道路相互ヲ連結スル道路

第五條　等外道路ハ一等道路、二等道路及三等道路ニ屬セサル道路トス

第二章　道路ノ管理

第六條　一等道路及二等道路ハ朝鮮總督、三等道路ハ道知事、等外道路ハ府尹郡守又ハ島司之ヲ管理ス但シ朝鮮總督ノ指定シタル府ノ區劃内ノ道路ハ道路ノ等級ニ拘ラス府尹之ヲ管理ス

前項ノ場合ニ於テ道路ヲ接續スル渡船場及渡船ハ道路ノ一部ト看做ス

第七條　隣接道區劃ノ境界ニ在ル三等道路又ハ二等道路ヲ管理スヘキ行政廳ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

第八條　道内隣接府郡區劃ノ境界ニ在ル等外道路ヲ管理スヘキ行政廳ハ道知事之ヲ指定ス

第八條ノ二　第六條但書ノ規定ニ依リ指定シタル府ト隣接府郡區劃トノ境界ニ在ル一等道路、二等道路及三等道路ヲ管理スヘキ行政廳ハ朝鮮總督ト協議シテ之ヲ指定ス

第九條　道路ノ築造及維持修繕ハ當該道路ノ管理廳ニ於テ之ヲ施行ス但シ一等道路及二等道路ノ常時ノ維持修繕ハ第六條但書ニ依リ指定シタル府ノ區劃内ニ於ケルモノヲ除ク外道知事ニ於テ之ヲ施行スヘシ

第九條ノ二　隣接道區劃ノ境界ニ在ル一等道路及二等道路ニ付前條但書ノ規定ニ依リ常時ノ維持修繕ヲ施行スヘキ道知事ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

第十條　道路ハ管理廳以外ノ者ト雖管理廳ノ許可ヲ受ケ其ノ築造又ハ維持修繕ヲ爲スコトヲ得但シ朝鮮總督ノ管理スル道路ノ維持修繕ニ在リテハ道知事ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條　道路ノ築造又ハ維持修繕ニ關スル費用ハ道知事ニ於テ施行スル場合ニ在リテハ地方費、府尹郡守又ハ島司ニ於テ施行スル場合ニ在リテハ府又ハ關係部落ノ負擔トス

第十二條　行政廳ハ道路ノ築造又ハ維持修繕ヲ施行スル爲關係部落ニ對シ慣行ニ依リ夫役又ハ現品ヲ賦課スルコトヲ得

第十三條　道路管理廳ハ特ニ道路ヲ毀損スヘキ事業ノ經營者ヲシテ其ノ道路ノ維持修繕ヲ爲サシムルコトヲ得

第十四條　道路ノ使用料其ノ他道路ヨリ生スル收入ハ一等道路、二等道路及三等道路ニ在リテハ地方費、等外道路ニ在リテハ府又ハ關係部落ノ收入トス但シ第六條但書ニ依リ指定シタル府ノ區劃内ニ於ケル道路ニ在リテハ道路ノ等級ニ拘ラス府ノ收入トス

第十五條　道路ノ交通ニ對シテハ料金ヲ徴收スルコトヲ得ス但シ特別ノ設備ヲ爲シ橋錢又ハ渡錢ノ徴收ヲ許可セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

橋錢又ハ渡錢ノ徴收ヲ許可セラレタル者ハ其ノ徴收期間自己ノ費用ヲ以テ橋梁又ハ渡船場又ハ渡船ノ維持修繕ヲ施行スヘシ

第三章　道路ノ修築標準

第十六條　路面ノ有效幅員ハ左ノ制限ヲ下ルヘカラス

一　等道路　四間
二　等道路　三間
三　等道路　二間

第十七條　地形上已ムヲ得サル場合ニ於テ前條ノ制限ニ依リ難キトキハ一等道路ハ三間、二等道路ハ二間半迄其ノ幅員ヲ縮少スルコトヲ得但シ縮少區間ハ長六町毎ニ前條ノ幅員ヲ有スル道路二十間以上ヲ存置シ縮少區間トノ連絡ハ遲減幅員ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第十八條　道路ノ勾配ハ左ノ制限ヲ超ユヘカラス

一　等道路　三十分ノ一
二　等道路　二十五分ノ一
三　等道路　二十分ノ一

第十九條　地形上已ムヲ得サル場合ニ於テ前條ノ制限ニ依リ難キトキハ短距離ニ限リ一等道路又ハ二等道路ノ勾配ハ十五分ノ一、三等道路ノ勾配ハ十分ノ一迄ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ一等道路又ハ二等道路ニシテ勾配二十分ノ一ヨリ急ナルモノ、三等道路ニシテ勾配十五分ノ一ヨリ急ナルモノニ在リテハ成ヘク經長百間毎ニ百分ノ一ヨリ緩ナル勾配延長十間以上ヲ存置スヘシ

第二十條　道路曲線部ノ中心半徑ハ左ノ制限ヲ下ルヘカラス

一　等道路　八間
二　等道路　八間
三　等道路　六間

地形上已ムヲ得サル場合ニ於テハ一等道路又ハ二等道路ニ在リテモ中心半徑ヲ六間迄ニ短縮スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ幅員一間ヲ增築スヘシ

第二十一條　曲線部ノ中心半徑ハ坂路ノ勾配四分ノ一ヨリ急ナル場所ニ於テハ十間以上ト爲スヘシ

第二十二條　中心半徑二十間以下ノ背向曲線部間ニハ相當ノ長ヲ有スル直線道路ヲ存置スヘシ

第二十三條　道路用地ノ幅員ハ等外道路ヲ除ク外不地ニ於テハ第十六條ノ有效幅員ニ成ルヘク左右各一間半以上ヲ加ヘタルモノト爲スヘシ但シ掏割又ハ盛土等ノ場合ニ於テハ加工區域外端ヲ以テ地境界トス

第二十四條　路面ノ橫隣形狀ハ中心ヨリ左右兩端ニ向ヒ二十四分ノ一ノ勾配ヲ以テ低下シ中央ハ相當ノ弧形ト爲スヘシ

第二十五條　道路中央ノ高ハ側溝ノ最高水面ヨリ一尺以上ト爲スヘシ

第二十六條　道路ノ表面ハ必要ニ應シ成ヘク際實ナル割石又ハ砂利ヲ以テ築造スヘシ其ノ厚ハ中央ニ於テ五寸以上ト爲スヘシ但シ漸次之ヲ減シテ三寸以上ト爲スヘシ但シ三等道路及等外道路ニ在リテハ其ノ厚ヲ減スルコトヲ得

路面ヲ構成スル割石又ハ砂利ハ徑一寸五分以下ノモノヲ用ウヘシ

第二十七條　路面ノ築造ハ「ローラー」又ハ蛸木ニテ路床ヲ固メ相當ノ弧形ト爲シタル後數層ニ割石又ハ砂利ヲ撒布シ撒水ヲ施シ「ローラー」又ハ蛸木ニテ每層平均ニ締メ固ムヘシ

第二十八條　掏割傾斜面勾配ハ其ノ地質ニ從ヒ適宜ニ之ヲ定ムヘシ但シ地質不良ニシテ崩壞ノ虞アル場所ニ於テハ石垣、構工又ハ植芝等ヲ施スヘシ

掏割傾斜面ノ上部ニハ法肩ニ竝行シ壅溝ヲ設ケ雨水ヲ暗渠其ノ他ニ導クヘシ

第二十九條　盛土ノ傾斜面勾配ハ一割二分ヨリ緩ニシテ傾斜面凡ソ一尺毎ニ筋芝ヲ施スヘシ但シ石垣其ノ他土留工ヲ施ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

盛土ノ場合ニ於テハ地面ノ植物ヲ芟除シ全幅員ニ亙リテ埋立テ厚一尺以内ノ層毎ニ撞キ固ムヘシ

傾斜ノ土地ニ盛土ヲ爲ス場合ニ於テハ地面ヲ階段狀ニ掏鑿シタル後施工スヘシ

第三十條　橋梁ノ構造ハ面積一坪ニ付一等道路及二等道路ニ在リテハ四百貫、三等道路ニ在リテハ三百貫ノ等布活重ニ耐ユルモノトス

第三十一條　橋梁ノ有效幅員ハ路幅ト同一ニ爲スヘシ但シ已ムヲ得サル場合ニ在リテハ有效幅員ヲ一等道路ハ三間、二等道路ハ二間半、三等道路ハ一間半迄ト爲スコトヲ得

第三十二條　暗渠ノ長ハ其ノ敷設箇所ニ於ケル道路法敷ト同一ニ爲スヘシ

第三十三條　道路ノ兩側ニハ側溝ヲ設クヘシ側溝ノ深及底幅ハ各一尺五寸ヲ下ルヘカラス

坂路ノ側溝ハ地質ニ依リ階段狀石張、粗石張又ハ掛工等ヲ施シ勾配ノ緩和ヲ計ルヘシ

第三十四條　隧道ハ其ノ有效幅員ヲ一等道路及二等道路ニ在リテハ三間以上、三等道路ニ在リテハ二間以上ト爲スヘシ

第三十五條　隧道内ノ道路ハ適當ノ勾配ヲ付シ側溝ヲ設ケ下水ノ疎通ヲ充分ナラシムヘシ

第三十六條　隧道内ノ高ハ全路面ヨリ十三尺以上ト爲スヘシ

第三十七條　並樹ハ地方ノ狀態ニ依リ主トシテ日光ヲ厳遮シ又ハ路面ノ乾燥若ハ風雪ヲ防遮シ由由積雪深キ地方ニ在リテハ冬季路線ノ目標ト爲ル目的ヲ以テ植付クヘシ其ノ種類ハ氣候及土質ニ適シ營業適宜ニシテ交通又ハ路面ニ支障ナキモノヲ選フヘシ

第三十八條　並樹ハ道路ノ外側ニ在リテ路線ニ並行シ其ノ縱ノ距離ヲ四間以上トシ有效路面ノ端ヨリ二尺五寸以上、側溝ノ緣ヨリ二尺以上ノ間隔ヲ保チ兩側互ニ對立セシメスシテ之ヲ植付クヘシ

第三十九條　元標ハ朝鮮總督ノ指定シタル地點ニ之ヲ設クヘシ

里程標ヲ設クルトキハ其ノ道路ノ經過スル樞要ナル地點ヨリノ里程及其ノ所在地名ヲ之ニ記載スヘシ

第四十條　割石、砂利其ノ他道路修繕用材料採場ハ道路ニ沿ヒ有效路面以外ノ地區ニ設クヘシ

第四十一條　市街地内ノ道路ハ別ニ定ムル場合ヲ除クノ外本章ノ規定ニ準據スルモノトス

第四章　道路ノ維持修繕ノ標準

第四十二條　道路ノ常時ノ維持修繕ノ成ルヘク左ノ概目ニ依リ之ヲ施行スヘシ

一　路面ノ上面ハ凹凸ヲ生シ又ハ路面ノ割石若ハ砂利等ノ塡補
二　路面ノ排水、掃除、除雪及雜草ノ芟除
三　掏割及ハ盛土ノ傾斜面ノ維持修繕
四　橋梁ノ維持修繕
五　並樹ノ植栽及保護

第四十三條　道路ノ維持修繕ニ付テハ特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　日常ノ監視ヲ用到ニシ破損ヲ防止シ小破アルトキハ速ニ修繕ヲ加フルコト
二　路面ノ掃除並掏割又ハ盛土ノ傾斜面ニ植芝ヲ爲スコト
三　路面ノ凹所ハ泥土ヲ除キ割石又ハ砂利ヲ塡充シテ目潰ヲ撒布シ在來路面トノ結合ヲ能クスルコト
四　路面ニ砂利散ヲ施シタルトキハ其ノ固結セサル間ハ之ヲ掻均シ凹所ヲ生セシメサルコト
五　路面ニ使用スル割石又ハ砂利ハ粗大ナルモノヲ使用セサルコト
六　常ニ路面ノ弧形ヲ維持シ其ノ排水ヲ全カラシムルコト
七　路面ノ雜草ハ少クモ一年二回芟除シ且耳芝ニ於テ路面ノ排水ヲ停滯セシメサルコト
八　坂路ニ於ケル側溝ノ石張、掛工其ノ他ノ維持ニ努ムルコト
九　橋梁ハ其ノ橋面ニ雨雪ノ停滯セサル樣除雪ヲ爲スコト

第四十四條　天災其ノ他非常ノ場合ニ於ケル道路保全ノ處急防備ハ關係部落ニ於テ施行スヘシ

第四十五條　道路補修ノ用ニ供スル爲割石、砂利其ノ他修繕用材料採場ヲ設置シ農閑ヲ準備シ應急ノ手配ヲ爲シ置クヘシ

第四十六條　道路監視員ハ每月一回其ノ擔當區域内ニ於ケル維持修繕ノ狀況ヲ道知事ニ報告スヘシ

道知事ハ一等道路又ハ二等道路ノ修繕ニ關シ國費ニ依ル施行ヲ必要ト認ムルトキハ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スヘシ

第五十七條　道路管理廳公益上必要ト認ムルトキハ本令ノ規定ニ依リ與ヘタル許可ヲ取消シ又ハ其ノ條件ヲ變更シ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

附　則

本令ハ大正四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前道路範圍廳ニ於テ指定又ハ認可シタル道路ハ本令ニ依リ指定又ハ認可シタルモノト看做ス

本令施行前本令ニ規定スル行爲ニ付許可ヲ受ケタル者ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

京城府内ノ道路ノ築造ハ大正元年朝鮮總督府告示第七十八號京城市區改修擴定計畫路線ニ限リ當分ノ間朝鮮總督之ヲ施行ス

●道路規則第六條第一項但書ノ府指定

大正四年十月
總告第二百七十七號

道路規則第六條第一項但書ノ府ヲ左ノ通指定ス

一　京畿道京城府

●道路規則第六條第一項但書ノ府指定

大正七年七月
總告第百八十一號

道路規則第六條第一項但書ニ依リ府ヲ左ノ通指定シ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

一　京畿道
　全羅道
　慶尚北道
　慶尚南道
　平安南道
　咸鏡南道
　咸鏡北道
　忠清北道
　忠清南道
　黃海道
　江原道
　京城府
　仁川府
　群山府
　木浦府
　大邱府
　釜山府
　馬山府
　鎭南浦府
　平壤府
　新義州府
　元山府
　清津府

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第一款　道路種類

第一目　道路種別

第一節　道路種別及名稱

第一項　一等道

第一號　一等道路表

一等道路表ヲ分チ左ノ如シ

番號	起點	經過地	終點	備考
一	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道	慶尚南道釜山府	明治四十四年十一月一日指定
二	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道大邱府	同
三	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
四	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
五	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
六	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
七	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
八	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
九	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
十	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
十一	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
十二	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
十三	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
十四	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
十五	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
十六	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
十七	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
十八	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
十九	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
二十	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
二十一	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
二十二	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
二十三	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
二十四	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
二十五	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
二十六	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
二十七	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
二十八	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
二十九	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
三十	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
三十一	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
三十二	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
三十三	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
三十四	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
三十五	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
三十六	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
三十七	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
三十八	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
三十九	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
四十	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
四十一	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
四十二	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
四十三	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
四十四	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
四十五	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
四十六	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
四十七	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
四十八	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
四十九	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
五十	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
五十一	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
五十二	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
五十三	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
五十四	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
五十五	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
五十六	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
五十七	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
五十八	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
五十九	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
六十	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
六十一	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
六十二	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
六十三	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
六十四	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
六十五	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
六十六	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
六十七	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
六十八	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
六十九	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
七十	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
七十一	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
七十二	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
七十三	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
七十四	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
七十五	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
七十六	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
七十七	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
七十八	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
七十九	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
八十	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
八十一	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
八十二	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
八十三	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
八十四	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
八十五	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
八十六	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
八十七	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
八十八	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
八十九	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
九十	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
九十一	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
九十二	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
九十三	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
九十四	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
九十五	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
九十六	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
九十七	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
九十八	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
九十九	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同
百	京城府	京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道	慶尚北道慶州郡	同

ヲ經テ仝州ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ府廳ニ至ル道路

元標位置　大和町ト瑞氣通トノ交會點

大邱

一等道路　元標ヨリ瑞氣通ヲ經テ京城ニ向フ道路

一等道路　元標ヨリ大和町、南門通及七星門外ヲ經テ義州ニ向フ道路

一等道路　大和町ト鎭南浦トノ交會點ヨリ東門町ヲ經テ府廳ニ至ル道路

元標位置　大和町ト本町ト瑞氣通トノ交會點

一等道路　元標ヨリ大和町及錦町ヲ經テ京城ニ向フ道路

一等道路　元標ヨリ京町、東城町及鳳山町ヲ經テ釜山ニ向フ道路

一等道路　元標ヨリ本町、市場町及新町ヲ經テ天安ニ向フ道路

一等道路　元標ヨリ上町ヲ經テ大邱停車場ニ至ル道路

二等道路　大邱停車場前ヨリ幸町ヲ經テ慶州ニ向フ道路

二等道路　大邱停車場前通ト上町トノ交會點ヨリ東門町ヲ經テ府廳ニ至ル道路

元標位置　釜山停車場前

釜山

一等道路　元標ヨリ稅關棧橋上陸地點ニ至ル道路

一等道路　元標ヨリ榮町ヲ經テ京城ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ埋立新町、辨天町及富民橋ヲ經テ鎭海ニ向フ道路

元標位置　本町三丁目ト棧橋通トノ交會點

馬山

一等道路　元標ヨリ本町ヲ通過シ朝鮮銀行馬山出張所角ニテ左折シ京町一丁目、都町及新町ヲ經テ京城ニ向フ道路

元標位置　山城町二等

一等道路　元標ヨリ山城町ヲ經テ京城ニ向フ道路

一等道路　元標ヨリ山城町ヲ經テ木浦ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ錦町ヲ經テ洪州ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ兵營ニ至ル道路

元標位置　平壤

一等道路　元標ヨリ瑞氣通ヲ經テ京城ニ向フ道路

一等道路　元標ヨリ大和町、南門通及七星門外ヲ經テ義州ニ向フ道路

一等道路　大和町ト鎭南浦トノ交會點ヨリ鎭南浦ニ向フ道路

一等道路　元標ヨリ本町ヲ經テ平壤停車場ニ至ル道路

一等道路　元標ヨリ瑞氣通ヲ經テ旅團司令部ニ至ル道路

一等道路　平壤停車場ヨリ鎭道官舍用地ニ沿ヒ旅團司令部ニ至ル道路

二等道路　大和町角ヨリ道廳前通ヲ經テ道廳及府廳ニ至ル道路

元標位置　明峽通西四丁目角

一等道路　元標ヨリ四丁目通及城山町ヲ經テ平壤ニ向フ道路

一等道路　元標ヨリ稅關埠頭上陸地點ニ至ル道路

一等道路　大倉町角ヨリ鎭南浦停車場ニ至ル道路

二等道路　元標ヨリ四丁目通及柳町ヲ經テ慶興灣ニ向フ道路

元標位置　元山警察署附近角

元山

一等道路　元標ヨリ赤田橋及元山ヨリ經テ京城ニ向フ道路

一等道路　元標ヨリ本町通ヲ經テ稅關前ト陸地點ニ至ル道路

一等道路　元標ヨリ守備隊前ヲ經テ咸興ニ向フ道路

元標位置　敦島町郵便局角

清津

一等道路　元標ヨリ稅關前ト陸地點ニ至ル道路

一等道路　元標ヨリ明治町及蝟生町ヲ經テ羅南ニ向フ道路

●清州外十市街地ニ於ケル元標位置竝一、二等道路表

大正三年十二月
總督第五百七十二號
設定　大正二年七月二日ノ二、昭和九年二月五日ノ二、一〇年七月一日ノ二、一〇年九月一日ノ二、一〇年九月一日ノ二號

市街地名	道路等級	元標位置
清州	二等道路	本町五丁目ヲ經テ忠州ニ向フ道路
	二等道路	元標ヨリ西町及大橋町ヲ經テ公州ニ向フ道路
	一等道路	元標ヨリ本町ヲ經テ京城ニ向フ道路
	一等道路	元標ヨリ山城町ヲ經テ木浦ニ向フ道路
	二等道路	元標ヨリ錦町ヲ經テ洪州ニ向フ道路
	二等道路	元標ヨリ旭町二等
公州	一等道路	元標ヨリ山城町ヲ經テ京城ニ向フ道路
	一等道路	元標ヨリ山城町ヲ經テ木浦ニ向フ道路
	二等道路	元標ヨリ錦町ヲ經テ洪州ニ向フ道路
	二等道路	元標ヨリ本町及旭町ヲ經テ道廳ニ至ル道路
	一等道路	元標ヨリ榮町ヲ經テ天安ニ向フ道路
木浦	一等道路	元標ヨリ榮町ヲ經テ京城ニ向フ道路
	一等道路	元標ヨリ本町通ヲ經テ平壤ニ向フ道路
	一等道路	元標ヨリ本町ヲ經テ大邱ニ向フ道路
	一等道路	元標ヨリ本町ヲ經テ光州ニ向フ道路
	二等道路	元標ヨリ本町通ヲ經テ道廳ニ至ル道路
光州	一等道路	元標ヨリ本町ヲ經テ大邱ニ向フ道路
	一等道路	元標ヨリ本町ヲ經テ木浦ニ向フ道路
	一等道路	元標ヨリ本町通ヲ經テ光州停車場ニ至ル道路
	二等道路	元標ヨリ本町通ヲ經テ道廳ニ至ル道路
大田	一等道路	元標ヨリ本町通ヲ經テ光州停車場前、大正町ト旭町トノ境界及安ニ向フ道路

昭和町ヲ經テ安義ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ本町、光山町南町及鶴岡町ヲ經テ寶城及順天ニ向フ道路

二等道路　泉町、西町及月山町ノ交會點ニ於テ一等道路ヨリ分岐シ農城町ヲ經テ法聖浦ニ向フ道路

晋州

二等道路　元標ヨリ南江ヲ通過シ馬山ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ內城洞ヲ經テ右水營ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ平安洞ヲ經テ倉州ニ向フ道路

元標位置　北本町角

海州

二等道路　元標ヨリ北本町、南旭町及廣石町ヲ經テ京城ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ北幸町ヲ經テ裏津ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ西榮町ヲ經テ龍塘浦ニ向フ道路

元標位置　榮町四丁目角

新義州

二等道路　元標ヨリ眞砂町、若竹町及役町ヲ經テ義州ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ老松町及梅ヶ枝町ヲ經テ龍巖浦ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ榮町一丁目ヲ經テ新義州停車場ニ至ル道路

二等道路　榮町七丁目角ヨリ常盤町及本町ヲ經テ稅關棧橋上陸地點ニ至ル道路

元標位置　南門洞南門內

義州

一等道路　西部洞ニ於テ義州龍巖浦線ヨリ分岐シ京城ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ西部洞ヲ經テ龍巖浦ニ向フ道路、義州線ヨリ分岐シ安州ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ東部洞ヲ經テ惠山鎭ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ道廳ニ至ル道路

成興

一等道路　元標位置　舊南門跡

一等道路　元標ヨリ西陽里及上里ヲ經テ元山ニ向フ道路

一等道路　元標ヨリ練團里及東坪里ヲ經テ倉庫ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ申荷里、荷東里及東興里ヲ經テ西湖津ニ向フ道路

二等道路　元標ヨリ鄭校里及新昌里ヲ經テ道廳ニ至ル道路

●道路取締規則

大正二年五月
總令第五十三號
改正　大正三年七月六日ノ二、六年一〇月八日ノ二、九年四月四日ノ二、一〇年一〇月一二日ノ二

道路取締規則左ノ通定ム

道路取締規則

第一條　本令ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外公衆通行ノ用ニ供スル道路ニ適用ス

前項ノ道路ニハ附屬スル地物ヲ包含ス

第二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ願書ニ設計書及圖面ヲ添附シ警察署ヲ經テ朝鮮總督ノ管理スル道路ニ在リテハ道知事、其ノ他ノ道路ニ在リテハ當該道路管理廳ニ提出シ許可ヲ受クヘシ但シ第三條第一項第一號ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　道路ニ廣告標、便所其ノ他ノ建造物ヲ設置シ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ

二　道路ニ橋梁、暗渠、下水ヲ新設シ又ハ之ヲ變更シ其ノ他道路ニ加工ヲ爲サムトスルトキ

三　道路ニ樹木ヲ植栽シ又ハ之ヲ伐採セムトスルトキ

四　前各號ノ外繼續シテ道路ヲ占用セムトスルトキ

第三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ警察署ノ許可ヲ受クヘシ

一　前條各號ニ該當スル事項ニシテ輕微ナルモノナルトキ

二　道路ニ街燈、指導標又ハ碑表ヲ建設シ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ

三　道路ニ竹木、土石類ヲ假ニ堆積シ又ハ板圍、足代、支柱等ヲ設ケムトスルトキ

四　道路ニ於テ一時通行ヲ停止スル工事ヲ爲サムトスルトキ

五　道路ニ於テ演藝其ノ他ノ人寄ヲ爲サムトスルトキ

六　道路ニ露店ヲ出サムトスルトキ

七　道路ヲ掘鑿又ハ道路ノ維持ニ影響ヲ及ホスヘキ長大若ハ重量ノ物件ヲ牽引又ハ運搬セムトスルトキ

八　第一號乃至第四號及前條各號ノ場合以外ニ於テ路面ヲ掘鑿セムトスルトキ

市街ノ道路ニ於テハ前項ニ依ルノ外左ノ各號ノ一ニ該當スルトキ亦警察署ノ許可ヲ受クヘシ

一　道路ニ標旗、標燈、看板、日除ノ類ヲ突出セムトスルトキ但シ標旗、標燈、看板ハ地盤ヲ去リ高サ八尺以上ニ於テ二尺以內ヲ突出スルモノヲ除ク

二　道路ニ滑ヒヤスル場所ニ於テ建造物ノ新設、改築又ハ撤去ヲ爲サムトスルトキ

三　道路ニ於テ祭典、賣出又ハ廣告等ノ爲多人數行列ヲ爲シ若ハ神輿、屋臺、飾物等ヲ出シ又ハ幟杭其ノ他ノ工作物ヲ建設セムトスルトキ

第四條　道路ノ使用ニ對シテハ公益ノ爲スヘカラス

前項ノ使用料ハ前納ヲ指定ノ期間內ニ之ヲ納付セサルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

既納ノ使用料ハ官廳ノ都合ニ依リ許可ヲ取消シタル場合ヲ除クノ外還付セス

第五條　許可ヲ受ケ道路ヲ掘鑿シタル者ハ通行ニ危險ノ虞ナカラシムル爲適當ノ裝置ヲ爲シ夜間ハ標燈ヲ點スヘシ

前項ノ掘鑿ヲ爲シタル者道路ノ使用ヲ終リタルトキハ速ニ之ヲ原狀ニ復スヘシ

第六條　道路又ハ道路ニ沿ヒタル場所ニ於テ土地、工作物、樹木其ノ他ノ物件崩壞、顚仆、陷落等ノ虞アルトキハ速ニ修理、撤去其ノ他危險豫防ノ措置ヲ爲スヘシ

第七條　道路ニ於テ歩行者ハ左側、牛馬、諸車ハ道路中央部ノ左方ニ通行スヘシ但シ特ニ警察官ノ指示シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

道路ノ屈曲部ニ於テ右折ノトキハ大廻リヲ爲シ左折ノトキハ小廻リヲ爲スヘシ

第八條　橋上、急勾配若ハ屈曲險キ道路又ハ市街ノ道路ニ於テハ濫ニ車馬ヲ疾驅スヘカラス

第九條　歩道、車馬道ノ區別アル道路ニ於テ歩道ニハ小兒車、撒水車ヲ除クノ外濫ニ牛馬、諸車ヲ曳キ入レ、車馬道ニハ牛馬、諸車、除仗、行列等ヲ除クノ外濫ニ其ノ通行ヲ爲スヘカラス

第十條　道路ニ於テ多衆除仗、行列ヲ爲シテ通行スルトキハ適當ニ區分シ其ノ相互間ニ相當ノ距離ヲ保ツヘシ牛馬、諸車運行スルトキ亦同シ

第十一條　道路ニ於テ軍隊其ノ他ノ除仗、行列、郵便物、消防用、撒水用ノ車馬又ハ官者等ニ行逢ヒタルトキハ避譲スヘシ

第十二條　道路ニ於テ歩行者、牛馬、諸車行逢ヒタルトキハ互ニ左方ニ避クヘシ但シ實車ニ對シテハ空車之ニ避譲スヘシ

牛馬、諸車前者ヲ追越サムトスルトキハ其ノ右方ニ出ツヘシ

第十三條　警察官ニ於テ必要ト認メ道路ノ通行ヲ制止シタルトキハ其ノ通行ヲ停ムヘシ

第十四條　削除

第十五條　市街ノ道路ニ沿ヒタル軒先ニハ警察署ノ指示アリタル場合ニ於テ樋及庇樋ヲ設ケ雪積ノ吐口ニハ水吸ヲ設ケシム

第十六條　市街ノ道路ニ於テ隊落、飛散又ハ湯出ノ虞アルモノヲ運搬スルトキハ適當ノ裝置ヲ爲シ竹木其ノ他ノ物件ニシテ通行人ニ對シ危害ヲ及ホス虞アルモノヲ運搬スルトキハ危險豫防ノ裝置ヲ爲スヘシ

第十七條　市街ノ道路ニ於テ已ムヲ得ス一時車輛其ノ他物件ヲ置クトキハ交通ヲ妨害セサル爲路傍ニ置クトキハ警察署ニ屆出テ危險豫防ノ裝置ヲ爲シ標燈ヲ點スヘシ

第十八條　市街ノ道路ニ於テ牛馬ノ來引者ハ三尺以内ニ口綱ヲ把ルヘシ

第十九條　道路ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲スヘカラス

一　濫ニ軒其ノ他ノ物件ヲ道路ニ突出スルコト

二　牛馬其ノ他繫留ヲ要スル獸類ヲ放ツコト

三　塵芥、汚泥、汚木其ノ他ノ汚穢物ヲ投棄又ハ撒布スルコト

四　道路又ハ道路ニ沿ヒタル場所ニ於テ公安若ハ風俗ヲ紊リ又ハ風致ヲ害スルノ虞アル廣告、看板等ヲ出スコト

五　竝樹ヲ壓損スルコト

第二十條　市街ノ道路ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲スヘカラス

一　濫ニ火氣ヲ弄シ投石其ノ他危險ノ行爲ヲ爲スコト

二　保護者ノ伴ハスシテ五歳未滿ノ小兒ヲ歩行セシムルコト

三　警察官ノ制止ヲ肯セスシテ遊戲ヲ爲シ又ハ爲サシムルコト

四　濫ニ牛馬、諸車ヲ停メ又ハ並ヘ來クコト

五　乘馬ノ練習ヲ爲スコト

六　買壺ヲキ容器ヲ以テ屎尿其ノ他ノ汚穢物ヲ運搬スルコト

七　警察官ノ制止ヲ肯セスシテ放飛シ又ハ高聲ヲ發スルコト

第二十一條　道路ニ沿ヒタル居住者ハ地先道路ノ掃除、撒水及除雪ノ義務ヲ負擔スヘシ

前項ノ者道路ノ毀損其ノ他交通ノ妨害又ハ危險ノ箇所ヲ發見シタルトキハ警察官ニ屆出ツヘシ

第二十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ許可ヲ爲シタル官廳ハ許可ヲ取消シ又ハ其ノ條件ヲ變更シ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

一　法令ノ規定又ハ許可ノ條件ニ違反シタルトキ

二　公益上必要アリト認ムルトキ

第二十三條　第二條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

第三條　第五條乃至第二十一條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第二十二條ニ依リ發シタル官廳ノ命令ニ從ハサル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二十四條　本令ニ定ムルモノノ外道路ニ於ケル交通ノ取締ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

附　則

本令ハ大正二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正三年六月總令第九十二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

道路取締規則施行前第二條又ハ第三條ニ掲クル行爲ニ付許可ヲ受ケタルモノハ同規則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（大正十年十月總令第百四十二號）

本令ハ大正十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十年十月總令第百四十三號）

本令ハ大正十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●鴨綠江橋梁歩道取締規則

明治四十四年十月
總令第百二十八號
改正　大正二年一〇月一四日號

第一條　鴨綠江橋梁歩道取締規則左ノ通定ム

鴨綠江橋梁ヲ通行スル者ハ其ノ左側歩道ニ依リ徐行スヘシ

第二條　乘馬ニテ橋梁ヲ通行シ又ハ自動車、馬車、牛車若ハ荷車ハ橋梁ヲ通行スルコトヲ得シ但シ危害ノ虞ナキ場合ニ於テ特ニ警察官ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三條　牛馬ヲ牽キテ橋梁ヲ通行セムトスルトキハ口綱三尺以内ヲ把ルヘシ

第四條　開閉橋廻轉ノ際ニハ橋梁ヲ通行スルコトヲ得ス

列車橋梁通行ノ際ニハ牛馬ヲ通行セシムルコトヲ得ス

第五條　泥醉者又ハ保護者ノ伴ハサル七歳未滿ノ小兒、老衰者若ハ精神病者ハ橋梁ヲ通行シ又ハ通行セシムルコトヲ得ス

第六條　橋上ニ於テハ左ノ各號ノ一ニ該當スル所爲ヲ爲シ又ハ他人ヲシテ爲サシムルコトヲ得ス

一　佇立、彷徨又ハ遊戲ヲ爲スコト

二　瓦礫、糞芥其ノ他他人ニ害ヲ及ホスヘキ物件ヲ投棄スルコト

三　廣告其ノ他張リ札ヲ爲スコト

四　銃砲ヲ發射シ又ハ火藥其ノ他劇發スヘキ物件ヲ玩弄コト

五　長大ナル物件ヲ運搬スルコト但シ特ニ警察官ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク

六　前各號ノ外交通ヲ妨害シ又ハ橋梁ヲ毀壞若ハ汚損スルコト

第七條　前各條ノ外警察官署又ハ鐵道官署ハ危害豫防ノ爲必要アリト認ムルトキハ橋梁ノ通行ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

前項ノ禁止又ハ制限ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外橋梁ノ兩端ニ標示スヘシ

第八條　第一條乃至第六條ノ規定ニ違反シタル者ハ前條ノ規定ニ依リ命ジタル地先道路ノ掃除、撒水及除雪ノ義務ヲ負擔スヘシ

前項ノ者道路ノ毀損其ノ他交通ノ妨害又ハ危險ノ箇所ヲ發見シタルトキハ警察官ニ屆出ツヘシ

第二十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ許可ヲ爲シタル官廳ハ許可ヲ取消シ又ハ其ノ條件ヲ變更シ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

一　法令ノ規定又ハ許可ノ條件ニ違反シタルトキ

二　公益上必要アリト認ムルトキ

第二十三條　第二條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

第三條　第五條乃至第二十一條ノ規定ニ依リ發シタル官廳ノ命令ニ從ハサル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二十四條　本令ニ定ムルモノノ外道路ニ於ケル交通ノ取締ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

附　則

本令ハ大正二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正三年六月總令第九十二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

道路取締規則施行前第二條又ハ第三條ニ掲クル行爲ニ付許可ヲ受ケタルモノハ同規則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（大正十年十月總令第百四十二號）

本令ハ大正十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十年十月總令第百四十三號）

本令ハ大正十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●交通機關ノ整備ニ關シ警察官署ヘ訓令

大正元年十二月
總訓第二十號

朝鮮總督府警察官署
警察官憲ハ常ニ道路ノ保全ヲ監視シ其ノ築造及修繕ニ關シ地方廳ニ援助ヲ與ヘ以テ交通機關ノ整備ニ遺憾ナカラシメムコトヲ期スヘシ

●鴨綠江橋梁歩道取締規則

明治四十四年十月
總令第百二十八號
改正　大正二年一〇月一四日號

第一條　鴨綠江橋梁歩道取締規則左ノ通定ム

鴨綠江橋梁ヲ通行スル者ハ其ノ左側歩道ニ依リ徐行スヘシ

第二條　乘馬ニテ橋梁ヲ通行シ又ハ自動車、馬車、牛車若ハ荷車ハ橋梁ヲ通行スルコトヲ得シ但シ危害ノ虞ナキ場合ニ於テ特ニ警察官ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三條　牛馬ヲ牽キテ橋梁ヲ通行セムトスルトキハ口綱三尺以内ヲ把ルヘシ

第四條　開閉橋廻轉ノ際ニハ橋梁ヲ通行スルコトヲ得ス

列車橋梁通行ノ際ニハ牛馬ヲ通行セシムルコトヲ得ス

第五條　泥醉者又ハ保護者ノ伴ハサル七歳未滿ノ小兒、老衰者若ハ精神病者ハ橋梁ヲ通行シ又ハ通行セシムルコトヲ得ス

第六條　橋上ニ於テハ左ノ各號ノ一ニ該當スル所爲ヲ爲シ又ハ他人ヲシテ爲サシムルコトヲ得ス

一　佇立、彷徨又ハ遊戲ヲ爲スコト

二　瓦礫、糞芥其ノ他他人ニ害ヲ及ホスヘキ物件ヲ投棄スルコト

三　廣告其ノ他張リ札ヲ爲スコト

四　銃砲ヲ發射シ又ハ火藥其ノ他劇發スヘキ物件ヲ玩弄コト

五　長大ナル物件ヲ運搬スルコト但シ特ニ警察官ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク

六　前各號ノ外交通ヲ妨害シ又ハ橋梁ヲ毀壞若ハ汚損スルコト

第七條　前各條ノ外警察官署又ハ鐵道官署ハ危害豫防ノ爲必要アリト認ムルトキハ橋梁ノ通行ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

前項ノ禁止又ハ制限ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外橋梁ノ兩端ニ標示スヘシ

●圖們橋歩道取締規則

昭和八年十月
總令第百十五號

圖們橋歩道取締規則左ノ通定ム

圖們橋歩道取締規則

第一條　圖們橋歩道ニ於テハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ但シ警察官吏ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　荷車ヲ牽キテ通行スルコト

二　自動車、馬車又ハ馬ニ依リテ通行スルコト

三　銃砲ヲ發射シ又ハ火藥其ノ他ノ爆發物ヲ携帶又ハ運搬スルコト

四　長大又ハ重量ナル物件ヲ運搬スルコト

前項ニ揭グルモノノ外橋梁上ニ於テハ公衆ニ危害ヲ及ボシ、交通ヲ妨害シ又ハ橋梁ヲ毀損スル虞アル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第二條　警察官吏取締上必要アリト認ムルトキハ橋梁歩道ノ通行ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第三條　第一條ノ規定又ハ前條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ昭和八年十月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

●鴨綠江橋梁歩道ニ依ル輸出入貨物ノ取締ニ關スル件

明治四十四年十月
總令第百二十九號

第一條　鴨綠江橋梁歩道ニ依ル貨物ノ輸出入ハ當分ノ內日出ヨリ日沒迄ノ間ニ限ル但シ旅客ノ携帶品ハ此ノ限ニ在ラス

第二條　火藥其ノ他爆發物ハ該橋梁ニ依リ輸出入スルコトヲ得ス

附　則

本令ハ明治四十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定

大正六年三月
總督第六十二號

忠清北道報恩郡俗面沙灘里ト忠清南道大田郡岸面梧桐里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ忠清北道報恩郡守トス

大正六年五月
總督第百二十四號

平安南道江東郡三登面文明里ト黃海道蓬安郡公浦面大達里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道江東郡守トス

大正六年九月
總督第二百十八號

平安南道江東郡三登面鳳儀里ト黃海道蓬安郡公浦面大達里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道江東郡守トス

大正六年十一月
總督第二百四十九號

黃海道蓬安郡公浦面松山里ト平安南道江東郡三登面清灘里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ黃海道蓬安郡守トス

大正七年九月
總督第二百三號

黃海道蓬安郡公浦面芳花里ト平安南道江東郡三登面鳳儀里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ黃海道蓬安郡守トス

大正七年六月
總督第百五十六號

忠清北道忠州郡仰城面江泉里ト江原道原州郡富論面鼎山里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ忠清北道忠州郡守トス

大正七年四月
總督第八十八號

忠清南道大田郡ト忠清北道清州郡トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道江東郡守トス

大正七年五月
總督第百二十六號

黃海道蓬安郡公浦面芳花里ト平安南道江東郡三登面鳳儀里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ黃海道蓬安郡守トス

大正七年六月
總督第百五十六號

忠清北道忠州郡仰城面江泉里ト江原道原州郡富論面鼎山里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ忠清北道忠州郡守トス

大正七年七月
總督第二百十六號

平安南道龍岡郡多美面五花里ト黃海道黃州郡松林面五柳里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道龍岡郡守トス

大正七年二月
總督第二十六號

平安南道龍岡郡多美面五花里ト黃海道黃州郡松林面五柳里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道龍岡郡守トス

大正七年四月
總督第八十八號

黃海道黃州郡松林面陽峰里ト平安南道龍岡郡金池面貴石里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ金羅南道谷城郡守トス

大正七年十月
總督第二百五十三號

忠清南道大田郡九則面企灘里ト忠清北道清州郡賢都面老山里間（長沼津）

一　忠清南道大田郡北面濼湖里、忠清北道清州郡龍興面文德里間（黃湖津）

一　忠清南道大田郡北面濼湖里、忠清北道清州郡賢都面下石里間（美湖津）

大正七年六月
總督第百五十九號

忠清北道清州郡ト忠清南道大田郡トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ忠清北道清州郡守トス

記

一　忠清北道清州郡芙蓉面黔湖里及忠清南道大田郡北面梨城里トノ間

一　忠清北道清州郡芙蓉面黔湖里及忠清南道大田郡九則面企灘里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面黔湖里及忠清南道大田郡北面石峰里間（龍汀津）

一　忠清北道清州郡芙蓉面黔湖里及忠清南道大田郡北面石峰里間（新灘津）

一　忠清北道清州郡芙蓉面老山里、忠清南道大田郡北面石峰里間（龍汀津）

一　忠清北道清州郡賢都面下石里、忠清南道大田郡北面黃湖里間（角湖津）

一　忠清北道清州郡龍興面薪岱里、忠清南道大田郡北面黃湖里間（芝峯津）

大正七年八月
總督第百九十一號

平安南道龍岡郡ト黃海道安岳郡トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ平安南道龍岡郡守トス

記

一　平安南道龍岡郡多美面蘭麻里、黃海道安岳郡安谷面萬月里間

一　平安南道龍岡郡多美面大安里、黃海道安岳郡安谷面萬月里間

一　平安南道龍岡郡大代面大頭里、黃海道安岳郡西河面下頭里間

大正七年九月
總督第二百二十三號

金羅南道谷城郡谷城面新基里ト金羅北道南原郡金池面貴石里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ金羅南道谷城郡守トス

大正七年十月
總督第二百五十三號

忠清南道大田郡九則面企灘里ト忠清北道清州郡賢都面老山里間（長沼津）

一　忠清南道大田郡北面濼湖里、忠清北道清州郡龍興面文德里間（黃湖津）

一　忠清南道大田郡北面濼湖里、忠清北道清州郡賢都面下石里間（美湖津）

大正七年六月
總督第百五十九號

忠清北道清州郡ト忠清南道大田郡トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ忠清北道清州郡守トス

記

一　忠清北道清州郡芙蓉面黔湖里及忠清南道大田郡九則面企灘里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面黔湖里及忠清南道大田郡北面石峰里間（龍汀津）

一　忠清北道清州郡芙蓉面黔湖里及忠清南道大田郡北面石峰里間（新灘津）

一　忠清北道清州郡賢都面老山里、忠清南道大田郡北面石峰里間（龍汀津）

一　忠清北道清州郡賢都面下石里、忠清南道大田郡北面黃湖里間（角湖津）

一　忠清北道清州郡龍興面薪岱里、忠清南道大田郡北面黃湖里間（芝峯津）

大正七年八月
總督第百九十一號

平安南道龍岡郡ト黃海道安岳郡トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ平安南道龍岡郡守トス

記

一　平安南道龍岡郡多美面蘭麻里、黃海道安岳郡安谷面萬月里間

一　平安南道龍岡郡多美面大安里、黃海道安岳郡安谷面萬月里間

一　平安南道龍岡郡大代面大頭里、黃海道安岳郡西河面下頭里間

大正七年九月
總督第二百二十三號

金羅南道谷城郡谷城面新基里ト金羅北道南原郡金池面貴石里トノ道界ニ於ケル道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ金羅南道谷城郡守トス

大正七年十月
總督第二百五十三號

忠清南道大田郡九則面企灘里ト忠清北道清州

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

郡英彩面柴谷里ト之道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ患清南道大田郡守トス

大正七年十一月
總告第二百六十六號

慶尙南道河東郡ト全羅南道光陽郡トノ道界ニ於ケル記等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ慶尙南道河東郡守トス

記

一　慶尙南道河東郡岳陽面平沙里、全羅南道光陽郡多鴨面高士里間（新岩）

一　慶尙南道河東郡岳陽面美店里、全羅南道光陽郡多鴨面錦川里間（開峙）

慶尙南道河東郡河東面花心里、全羅南道光陽郡多鴨面道士里間（新村及嶝津）

一　慶尙南道河東郡河東面慶坪里、全羅南道光陽郡多鴨面新院里間（院洞）

一　慶尙南道河東郡古田面錢島里、全羅南道光陽郡津月面烏沙里間（新芳村）

大正七年十二月
總告第三百五號

平安南道中和郡ト黃海道黃州郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ平安南道中和郡守トス

記

一　平安南道中和郡海鴨面黃村里、黃海道黃州郡松林面陳峰里間

一　平安南道中和郡海鴨面岸谷里、黃海道黃州郡松林面馬山里間

大正八年二月
總告第二十二號

平安南道成川郡ト黃海道遂安郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ平安南道成川郡守トス

記

一　平安南道成川郡大谷面冰眞里、黃海道遂安郡水口面德岩里間

一　平安南道成川郡三興面寄壇里、黃海道遂安郡遂所面龍川里間

一　平安南道成川郡三興面昌平里、黃海道遂安郡遂所面龍川里間

大正九年九月
總告第二百二十號

京畿道開城郡ト黃海道延白郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黃海道延白郡守トス

記

一　京畿道開城郡西面錢浦里、黃海道延白郡雲山面江西里間

一　京畿道開城郡西面錢浦里、黃海道延白郡雲山面牛浦里間

一　京畿道開城郡北面二所里、黃海道延白郡雲山面石山里間

一　京畿道開城郡南面昌陵里、黃海道延白郡海月面碧瀾里間

大正十年六月
總告第百四十三號

黃海道延白郡ト京畿道開城郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黃海道延白郡守トス

記

一　黃海道安岳郡安谷面東波里、平安南道龍岡郡多美面閑田里間

一　黃海道安岳郡安谷面東波里、平安南道龍岡郡多美面東嶺里間

一　黃海道安岳郡安谷面上寺里、平安南道龍岡郡多美面東嶺里間

大正十三年十二月
總告第二百六十六號

患清南道燕岐郡東面禮粟里ト患清北道清州郡江外面西坪里間ノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船場及渡船ノ管理廳ハ患清南道燕岐郡守トス

大正十四年五月
總告第百六號

京畿道加平郡內面蓮田里ト江原道春川郡南山面芳荷里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ京畿道加平郡守トス

大正十四年十二月
總告第三百四十二號

黃海道金川郡西北面龍津里ト京畿道開城郡北面二所里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ黃海道金川郡守トス

大正十五年四月
總告第百八十號

大正十一年二月
總告第三十四號

患清南道舒川郡馬東面堂仙里ト全羅北道群山府濱町トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ全羅北道群山府尹トス

大正十一年十月
總告第二百三十七號

黃海道延白郡ト京畿道江華郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黃海道延白郡守トス

記

一　黃海道延白郡湖東面烽火里、京畿道江華郡華蓋面仁士里間

一　黃海道延白郡海城面海南里、京畿道江華郡水晶面西漢里間

大正十二年六月
總告第百八十四號

平安南道成川郡大谷面大谷里ト黃海道遂安郡水口面德岩里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道成川郡守トス

大正十三年十二月
總告第二百六十六號

患清南道燕岐郡東面禮粟里ト患清北道清州郡江外面西坪里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船場及渡船ノ管理廳ハ患清南道燕岐郡守トス

大正十四年五月
總告第百六號

京畿道加平郡內面蓮田里ト江原道春川郡南山面芳荷里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ京畿道加平郡守トス

大正十四年十二月
總告第三百四十二號

黃海道金川郡西北面龍津里ト京畿道開城郡北面二所里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ黃海道金川郡守トス

安郡公州面飛井里間

大正八年三月
總告第三十二號

京畿道振威郡玄德面權管里ト患清南道牙山郡雲仁面蒼龍里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ京畿道振威郡守トス

大正九年六月
總告第百七十七號

黃海道安岳郡ト平安南道龍岡郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黃海道安岳郡守トス

記

一　黃海道安岳郡安谷面東波里、平安南道龍岡郡多美面閑田里間

一　黃海道安岳郡安谷面東波里、平安南道龍岡郡多美面東嶺里間

一　黃海道安岳郡安谷面上寺里、平安南道龍岡郡多美面東嶺里間

大正九年九月
總告第二百二十號

京畿道開城郡ト黃海道延白郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黃海道延白郡守トス

記

一　京畿道開城郡西面錢浦里、黃海道延白郡雲山面江西里間

一　京畿道開城郡西面錢浦里、黃海道延白郡雲山面牛浦里間

一　京畿道開城郡北面二所里、黃海道延白郡雲山面石山里間

一　京畿道開城郡南面昌陵里、黃海道延白郡海月面碧瀾里間

大正十年六月
總告第百四十三號

黃海道延白郡ト京畿道開城郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黃海道延白郡守トス

記

一　黃海道安岳郡安谷面東波里、平安南道龍岡郡多美面閑田里間

一　黃海道安岳郡安谷面東波里、平安南道龍岡郡多美面東嶺里間

一　黃海道安岳郡安谷面上寺里、平安南道龍岡郡多美面東嶺里間

大正十年八月
總告第百七十三號

慶尙南道河東郡ト全羅南道光陽郡トノ道界ニ於ケル記等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ慶尙南道河東郡守トス

記

一　慶尙南道河東郡岳陽面平沙里、全羅南道光陽郡多鴨面高士里間（新岩）

一　慶尙南道河東郡岳陽面美店里、全羅南道光陽郡多鴨面錦川里間（開峙）

慶尙南道河東郡河東面花心里、全羅南道光陽郡多鴨面道士里間（新村及嶝津）

一　慶尙南道河東郡河東面慶坪里、全羅南道光陽郡多鴨面新院里間（院洞）

一　慶尙南道河東郡古田面錢島里、全羅南道光陽郡津月面烏沙里間（新芳村）

大正七年十二月
總告第三百五號

平安南道中和郡ト黃海道黃州郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ平安南道中和郡守トス

記

一　平安南道中和郡海鴨面黃村里、黃海道黃州郡松林面陳峰里間

一　平安南道中和郡海鴨面岸谷里、黃海道黃州郡松林面馬山里間

大正八年二月
總告第二十二號

平安南道成川郡ト黃海道遂安郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ平安南道成川郡守トス

記

一　平安南道成川郡大谷面冰眞里、黃海道遂安郡水口面德岩里間

一　平安南道成川郡三興面寄壇里、黃海道遂安郡遂所面龍川里間

一　平安南道成川郡三興面昌平里、黃海道遂安郡遂所面龍川

昭和十一年四月
總督第二百七十四號

京城府壽城町ト始興郡新東面莫室里ノ境界ニ在ル三等道路京城金良城線ヲ接續スル漢船及漢船場ノ管理廳ハ京城府ヘ下ス

●境界ニ於ケル三等道路ノ橋梁管理廳指定

昭和十一年三月
總督第百五十五號

元山府ト德源郡トノ境界ニ在ル三等道路元山支坪線中松濤橋ノ管理廳ハ咸鏡南道知事トス

●重貨物ノ重量標示ニ關スル件

昭和五年九月
總令第八十號

重貨物ノ重量標示ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　重貨物ニシテ重量千瓩以上ノモノ（包裝セザル木材、石炭、鐵材其ノ他之ニ類スルモノヲ除ク）ヲ發送セントスル者ハ發送前見易キ且容易ニ消滅セザル方法ヲ以テ其ノ重量ヲ表記スベシ但シ當該貨物ノ重量ヲ計量シ難キ場合ニ於テ其ノ重量千瓩以上ナリト推定セラルルトキハ推定重量ヲ表記スベシ此ノ場合ニ於テハ推定重量ナル旨ヲ明ボスベシ

第二條　貨物發送者前條ノ規定ニ違反シタルトキハ科料ニ處ス

第三條　貨物發送者未成年者若ハ禁治産者ナルトキ又ハ法人ナルトキハ之ニ適用スベキ個則ハ其ノ法定代理人又ハ法人ヲ代表スル者ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四條　貨物發送者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本令ニ違反スル所爲ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ者ノ屬スル法人ニ對シテモ本條ノ罰金刑ヲ科ス

附　則

本令ハ昭和五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二款　自動車交通事業

●朝鮮自動車交通事業令

昭和八年九月
制令第十九號

朝鮮自動車交通事業令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮自動車交通事業令

第一條　自動車交通事業ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外自動車交通事業法ニ依ル但シ同法第二十二條第五項、第三十一條第四項及第三十六條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

自動車交通事業法中主務大臣トアルハ朝鮮總督、慶尙、全羅南北道知事又ハ其ノ支廳、勅令トアルハ朝鮮總督府令、不動產登記法トアルハ朝鮮不動產登記令、鐵道抵當法トアルハ朝鮮鐵道抵當法、工場抵當法トアルハ朝鮮財團抵當令ニ於テ依ルコトヲ定メタル鐵道抵當法、工場抵當法トシ同法第三十五條中地方長官トアルハ鐵道局長又ハ道知事トス

第二條　自動車交通事業財團ノ所有者タル會社カ朝鮮外ニ本店ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ財團ノ登記又ハ强制執行ニ付テノ管轄裁判所ハ京城地方院トス

第三條　自動車交通事業法第二十二條第四項又ハ第三十一條第三項ノ規定ニ依ル裁定申請ニ關シ總督命令ヲ以テ必要ナル手續ヲ定ムルコトヲ得

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令施行ノ期日ヨリ自動車運輸事業ニ該當スル事業ニ付道知事ノ爲シタル事業經營ノ許可ハ之ヲ本令ニ依リ自動車運輸事業ノ免許ヲ看做ス

朝鮮總督ハ公益上必要アリト認ムルトキハ前項ノ自動車運輸事業ニ付新ニ免許ノ有效期間、運輸開始ノ認可申請期間又ハ事業ノ休止期間ヲ指定スルコトヲ得

（昭和九年十二月總令第百二十一號ヲ以テ昭和十年四月一日ヨリ施行）

●自動車交通事業法

昭和六年四月
法律第五十二號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル自動車交通事業法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一章　自動車運輸事業

第一條　本法ニ於テ自動車運輸事業トハ一般交通ノ用ニ供スル爲路線ヲ定メ定期ニ自動車ヲ運行シテ旅客又ハ物品ヲ運送スル事業ヲ謂フ

第二條　自動車運輸事業ノ路線ハ一般ノ道路、自動車道又ハ一般道行ノ用ニ供スル道路ニ依ルベシ

第三條　主務大臣ハ命令ヲ以テ自動車運輸事業ニ付路線ニ應ジテ使用スベキ自動車ノ輛數其ノ他事業ノ基準ヲ定ムルコトヲ得

第四條　自動車運輸事業ヲ經營セントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ運賃其ノ他ニ關スル事業計畫ヲ定メ主務大臣ノ免許ヲ受クベシ

主務大臣ハ前項ノ免許ヲ爲スニ當リ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ有效期間ヲ指定スルコトヲ得

第五條　主務大臣ハ自動車運輸事業者カ免許ノ有效期間滿了後仍引續キ其ノ事業ヲ經營セントスルヲ申請シタルトキハ當該路線ニ依ル自動車運輸事業ノ不必要其ノ他特別ノ事由ナキ限リ期間更新ノ免許ヲ爲スベシ

第六條　自動車運輸事業經營ノ免許ヲ受ケタル者ハ主務大臣ノ指定スル期間内ニ運輸開始ノ認可ヲ申請スベシ

第七條　第一項ノ專用自動車道ヲ開設シテ自動車運輸事業ヲ經營スル場合ニ在リテハ工事方法ヲ定メ前項ノ認可申請前主務大臣ノ指定スル期間内ニ工事施行ノ認可ヲ申請スベシ

天災其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ前二項ノ期間内ニ認可ヲ申請スルコト能ハザルトキハ申請ニ因リ主務大臣ハ期間ヲ伸長スルコトヲ得

第七條　自動車運輸事業者事業計畫又ハ專用自動車道ノ工事方法ヲ變更セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第八條　自動車運輸事業ノ自動車ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登錄ヲ受クルコトヲ要ス

第九條　自動車運輸事業ノ運輸、設備及會計ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ自動車運輸事業者ニ對シ左ニ揭ゲル事項ヲ命ズルコトヲ得

一　運賃其ノ他ニ關スル事業計畫又ハ專用自動車道ノ工事方法ヲ變更セシムルコト

二　路線ヲ延長又ハ變更セシムルコト但シ專用自動車道ノ延長及變更ハ此ノ限ニ在ラズ

三　他ノ運送事業者ト連絡運輸ヲ爲サシムルコト

四　全部又ハ一部ノ路線ヲ共通スル數人ノ自動車運輸事業者アル場合ニ共同經營ヲ爲サシムルコト

五　旅客又ハ物品ノ運送ニ關スル損害ニ付保險ニ付セシムルコト

六　前各號ノ外事業ノ改善ヲ爲サシムルコト

前項第三號及第四號ノ場合ニ於テ其ノ實施方法又ハ各事業者ノ負擔シ若ハ負擔スベキ金額ニ付協議調ハザルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第十一條　免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

前項ノ條件ハ公益上必要アルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得

前條第二項ノ規定ハ第一項ノ條件ニ於テ他ノ運送事業者ヨリ事業ノ讓渡又ハ共同經營、會社ノ合併等ヲ求メタルトキハ之ニ應ズベキコトヲ命ジタル場合ニ於ケル實施方法及收得又ハ負擔金額ニ之ヲ準用ス

第十二條　自動車運輸事業ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ズ

第十三條　自動車運輸事業ノ讓渡ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

會社ノ合併ニ因ル自動車運輸事業ノ承繼ニ付テハ合併前主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

自動車運輸事業者死亡シタルトキハ相續人ハ其ノ事業ヲ承繼ス

自動車運輸事業ヲ營ム會社ノ解散ノ決議又ハ總社員ノ同意ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十四條　左ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ自動車運輸事業經營ノ免許ノ全部若ハ一部ヲ取消シ又ハ事業ヲ承繼ス

一　法令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

二　法令ニ基キテ爲シタル處分又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲ス監督ニ關シ不正ノ行爲アリタルトキ

三　許可又ハ認可ヲ受ケタル事項ヲ故ナク實施セザルトキ

四　事業ノ經營不確實又ハ資產狀態ノ著シク不良ナル爲事業ヲ繼續スルニ適セズト認メタルトキ

五　公益ヲ害スル行爲アリタル場合ニ於テ主務大臣ハ自動車道又ハ通路ノ狀況ヲ自動車運行ニ適セザルニ至リタルトキ

第十五條　左ノ場合ニ於テハ自動車運輸事業經營ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

一　運輸開始ノ認可ヲ受ケタル者會社ノ資格ヲ喪失シタルトキ

二　事業經營ノ免許ヲ受ケタル者會社ノ資格ヲ喪失シタルトキ

三　運輸開始ノ認可申請期間内ニ認可ヲ申請セザルトキ

四　專用自動車道ノ工事施行ノ認可申請期間内ニ認可ヲ申請セザルトキ

五　運輸開始ノ認可ヲ受ケタル者會社ノ資格ヲ喪失シタルトキ

三　事業經營ノ免許ヲ受ケタル者會社ノ資格ヲ喪失シタルトキ又ハ一般自動車運輸事業ヲ營ム會社ノ解散ノ決議又ハ總社員ノ同意ヲ得タルトキ

起人ナルトキハ運輸開始ノ認可申請期間内（路線ノ全部又ハ一部ニ付專用自動車道ヲ開設スル場合ニ在リテハ工事施行ノ認可申請期間内）ニ會社設立ノ登記ヲ爲サザルトキ

四　專用自動車道ニ付工事施行ノ認可申請期間内ニ認可ヲ申請セザルトキ

五　專用自動車道ノ工事施行ノ認可ヲ受ケタル者正當ノ事由ナクシテ其ノ工事ヲ施行セザルトキ

六　事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケタルトキ

七　事業ヲ營ム會社解散シタルトキ

第十六條　自動車運輸事業ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二章　自動車道及自動車道事業

第十七條　本法ニ於テ自動車道トハ專ラ自動車ノ一般交通ノ用ニ供スル道路（一般自動車道）及自動車運輸事業ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二章　自動車道及自動車道事業

第十七條　本法ニ於テ自動車道トハ專ラ自動車ノ一般交通ノ用ニ供スル道路（一般自動車道）及自動車運輸事業ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條　自動車道事業經營ノ免許ヲ受ケタル者ハ工事方法ヲ定メ主務大臣ノ指定スル期間内ニ工事施行ノ認可ヲ申請スベシ

天災其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ前二項ノ期間内ニ認可ヲ申請スルコト能ハザルトキハ申請ニ因リ主務大臣ハ期間ヲ伸長スルコトヲ得

第十九條　自動車道事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登錄ヲ受クルコトヲ要ス

第二十條　自動車道事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲スベシ

第二十一條　自動車道事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ニ關スル帳簿ヲ備ヘ置キ且之ニ記載スベシ

第二十二條　自動車道事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ニ關スル書類ヲ保存スベシ

第二十三條　自動車道事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ニ關スル財產目錄、貸借對照表及損益計算書ヲ作成シ主務大臣ニ提出スベシ

第二十四條　自動車道事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ニ關スル財產ニ付減價償却ヲ爲スベシ

第二十五條　自動車道事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ニ關スル財產ニ付積立金ヲ爲スベシ

第二十六條　自動車道事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ニ關スル財產ニ付保險ヲ爲スベシ

第二十七條　自動車道事業者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外豫メ土地ノ占有者ニ其ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス

第一項ノ規定ニ依リ立入又ハ使用ニ因リテ生ジタル損害ハ立入又ハ使用ヲ爲サントスル者ニ於テ之ヲ補償スベシ

前項ノ補償ニ付協議調ハザルトキハ地方長官之ヲ裁定ス

前項ノ規定ニ依リ裁定申請費金額ニ不服アル者ハ裁定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十三條　一般自動車道ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル非ザレバ其ノ供用ヲ開始スルコトヲ得ズ

第二十四條　一般自動車道ノ構造、維持、修繕若ハ使用又ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十五條　主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ自動車道事業者ニ對シ左ニ揭グル事項ヲ命ズルコトヲ得

一　使用料金其ノ他ニ關スル事業計畫又ハ一般自動車道ノ工事方法ヲ變更セシムルコト

二　一般自動車道又ハ其ノ附屬物件ノ改善ヲ爲サシムルコト

第二十六條　免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

前項ノ條件ハ公益上必要アルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得

第二十七條　自動車道事業者ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ事業ニ屬スル一般自動車道ノ全部又ハ一部ノ供用ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ズ

第二十八條　自動車道事業ノ讓渡ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十九條　自動車道事業者ノ承繼ニ付テハ合併前主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

自動車道事業者死亡シタルトキハ相續人ハ其ノ事業ヲ承繼ス

會社ノ合併ニ因ル自動車道事業ノ承繼ニ付テハ合併前主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

總社員ノ同意ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十條　左ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ自動車道事業經營ノ免許ノ全部若ハ一部ヲ取消シ又ハ事業ヲ承繼ス

一　法令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

二　法令ニ基キテ爲シタル處分又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲ス監督ニ關シ不正ノ行爲アリタルトキ

三　主務大臣ノ指定スル期間内ニ工事ヲ竣功セズ其ノ他許可又ハ認可ヲ受ケタル事項ヲ故ナク實施セザルトキ

四　事業ノ經營不確實又ハ資產狀態ノ著シク不良其ノ他ノ爲事業ヲ繼續スルニ適セズト認メタルトキ

五　公益ヲ害スル行爲アリタル場合ニ於テ主務大臣ハ自動車道又ハ通路ノ狀況ヲ自動車運行ニ適セザルニ至リタルトキ

第三十一條　政府又ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ガ自動車道ニ接續シ若ハ接近シ又ハ之ヲ橫斷シテ一般ノ道路、自動車道、橋梁、河川、運河、溝渠、鐵道、索道等ヲ造設セントスルトキハ自動車道事業者又ハ自動車運輸事業者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

前項ノ場合ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ主務大臣ハ自動車道事業者又ハ自動車運輸事業者ニ對シ設備ノ共用又ハ變更ヲ命ズルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ其ノ實施方法及費用ノ負擔ニ付協議調ハザルトキハ申請ニ因リ關係主務大臣之ヲ裁定ス自動車道事業者又ハ

自動車運輸事業者ノ受ケタル損害ノ補償ニ付亦同ジ

第二十二條第五項ノ規定ハ前項ノ補償金額ニ之ヲ準用ス

第三十二條　一般自動車道以外ノ自動車ノ通行スル道路ヲ開設シテ使用料金ヲ徴收スル場合ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三章　共通規定

第三十三條　同一ノ一般自動車道ニ依ル自動車道事業及自動車運輸事業ノ兼營ノ場合ニ於ケル免許、許可及認可ニ關シテハ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第三十四條　主務大臣又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム、以下同ジ）ハ必要アリト認ムルトキハ自動車道事業者又ハ自動車運輸事業者ニ於テハ兩事業ニ關スルモノヲ合シテ一箇ノ自動車交通事業トシ、書類ヲ提出セシメ又ハ監査員ヲ派遣シテ事業ノ狀況ヲ監査セシムルコトヲ得

監査員ハ自動車運輸事業者若ハ自動車道事業者又ハ其ノ代表者若ハ其ノ他ノ從業者ニ說明ヲ求メ帳簿、書類及圖面ヲ檢閱スルコトヲ得

第三十五條　本法ニ規定スル主務大臣ノ職權ノ一部ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第三十六條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付主務大臣又ハ地方長官ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ爲スコトヲ得

第三十七條　國ニ於テ經營スル自動車運輸事業及自動車道事業ニ付テハ第一條乃至第三條、第九條（會計ニ關スル規定ヲ除ク）、第十七條、第二十二條、第二十四條及第五十四條乃至第五十七條ノ規定ニ限リ本法ヲ適用ス

國ニ於テ自動車運輸事業又ハ自動車道事業ヲ經營セントスルトキハ當該官廳ハ主務大臣ニ協議ヲ爲スベシ

國ニ於テ自動車運輸事業ヲ經營シタル場合ニ於テ其ノ事業ニ關スル債務ニ付テハ裁判所ハ其ノ旨ヲ主務大臣ニ通知スベシ

第五章　罰則

第五十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　免許ヲ受ケズシテ自動車運輸事業又ハ自動車道事業ヲ經營シタルトキ

二　認可ヲ受ケズシテ一般自動車道ノ供用ヲ開始シタルトキ

第五十一條　免許ヲ受ケタル者ノ名義ヲ利用シテ自動車運輸事業又ハ自動車道事業ヲ經營シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス名義ヲ利用セシメタル者亦同シ

第五十二條　自動車運輸事業者又ハ自動車道事業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ外本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケテ爲スベキ事項ヲ之ヲ受ケズシテ爲シタルトキ

二　免許、許可又ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

三　本法ニ基キテ爲シタル處分又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタルトキ

四　第八條ノ規定ニ依ル登錄ヲ受ケザル自動車ヲ自動車運輸事業ノ用ニ供シタルトキ又ハ自動車ニ付不實ノ事項ノ登錄ヲ申請シタルトキ

五　正當ノ事由ナクシテ一般自動車道ノ使用ヲ拒ミタルトキ

六　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リテ屆出又ハ報告ヲ爲スベキ事項ニ付虛僞ノ屆出又ハ報告ヲ爲シタルトキ

七　監査員ノ監査ヲ妨ゲタルトキ

第五十三條　自動車運輸事業者又ハ自動車道事業者ガ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法ノ罰則ノ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

自動車運輸事業者又ハ自動車道事業者ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザル場合ニ於テモ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

會社ノ代表者其ノ他ノ從業者會社ノ業務ニ關シ本法ニ違反シタルトキハ其ノ罰則ヲ會社ニ適用ス

第五十四條　自動車道若ハ其ノ標識ヲ損壞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ自動車道ニ於ケル特別設計ノモノヲ危險ヲ生ゼシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第五十五條　人ノ現在スル自動車運輸事業ノ自動車ヲ顚覆シ又ハ破壞シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ傷ニ致シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第一項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第五十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

第五十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第五十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

第五十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第六十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第六十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第六十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第六十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第六十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第六十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第六十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第六十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第六十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第六十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第七十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第七十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第七十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第七十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第七十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第七十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第七十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第七十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第七十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第七十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第八十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第八十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第八十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第八十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第八十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第八十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第八十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第八十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第八十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第八十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第九十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第九十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第九十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第九十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第九十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百二十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百二十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百二十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百二十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百二十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百三十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百三十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百三十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百三十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百三十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百三十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百三十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百三十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百三十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百三十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百四十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百四十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百四十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百四十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百四十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百四十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百四十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百四十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百四十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百四十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百五十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百五十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百五十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百五十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百五十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百五十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百五十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百五十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百五十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百五十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百六十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百六十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百六十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百六十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百六十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百七十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百七十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百七十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百七十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百七十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百七十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百七十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百七十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百七十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百七十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百八十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百八十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百八十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百八十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百八十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百八十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百八十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百八十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百八十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百八十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百九十條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百九十一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百九十二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百九十三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百九十四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百九十五條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百九十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百九十七條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第百九十八條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百九十九條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第二百條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百一條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第二百二條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第二百四條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車運輸事業ノ用ニ供スル自動車ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ破壞スル虞アル狀態ニ置キタル者ハ十年以下ノ懲役

及復路ノ別アルトキハ其ノ區間及方向

五　沿線ニ於ケル名所、舊蹟等

第六條　道知事ハ免許申請書ヲ受附クタルトキハ一般ノ道路（朝鮮總督ノ管理スルモノヲ除ク）及一般通行ノ用ニ供スル道路ノ管理者ニ對シ各年ノ期限ヲ指定シテ其ノ管理上意見ヲ徵スベシ

第七條　道知事ハ免許申請書ニ左ニ掲ゲル事項ニ關スル調査書ヲ添ヘ免許ノ許否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スベシ

一　申請者ノ資產及信用程度

二　事業ノ成否及效用

三　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ノ連絡（管理者ノ意見書ノ寫ヲ添附スルコト）

四　他ノ自動車道事業、自動車道事業、鐵道、軌道、索道等（未開業ノモノヲ含ム）ニ及ボス影響

五　附近ニ於ケル自動車運輸事業、自動車道事業、鐵道、軌道、索道等ノ出願アルトキハ其ノ名稱、區間、申請者、申請書ノ受附年月日等

六　其ノ他必要ト認ムル事項

第一條第二項ノ副本ニハ前項ノ規定ニ依ル調査書及意見書ノ寫ヲ添附スベシ

第八條　事業計畫ガ朝鮮自動車運輸事業基準規程ニ適合セザルトキハ免許ニ五年內ノ有效期間ヲ指定ス

第九條　事業計畫變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第十條　左ニ掲ゲル場合ニ於テハ自動車運輸事業者ハ其ノ事由及實施ノ年月日ヲ具シ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ノ工事ヲ二因リ停留所ノ位置ヲ一時變更スルトキ

二　待遲所ヲ新設シ、廢止シ又ハ其ノ位置ヲ變更スルトキ

三　往路及復路ノ別アル場合ニ於テ其ノ區間及方向ヲ變更スルトキ

前項ノ規定ニ依リ屆出ニハ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第十一條　自動車運輸事業者ハ祭典、記念日等ノ場合ニ於テハ片道運賃及往復運賃ニ限リ一回二週內ニシテ一年ヲ通シ六十日ヲ超エザル期間五割以內割引ヲ爲シタルトキハ其ノ事由、區間、期間、普通運賃、割引運賃及同年中ニ割引ヲ爲シタルコトアルトキハ其ノ回數及日數ヲ具シ其ノ都度免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第十二條　專用自動車道ノ工事施行ノ認可申請書ニハ左ニ掲ゲル書類ヲ添附スベシ

一　工事方法書

二　工事費豫算書（第二號樣式）

三　免許ヲ受ケタル者ノ會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社ノ登記簿ノ謄本

第十三條　前條第一號ノ工事方法書ニハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シ實測圖ヲ添附スベシ

一　工事ヲ執行スル區間ノ起點及終點ノ地名及地番並ニ中心線ノ延長

二　鋪裝及路床ノ構造並ニ路面ノ橫斷勾配

三　橋梁、隧道其ノ他ノ工作物ノ構造（主要ナルモノニ在リテハ耐力計算書及地質調査圖書ヲ添附スルコト）

四　排水設備

五　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡及交叉ノ方法並ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ方法（交叉ニ關スル協定ノ要領ヲ記載スルコト）

前項第二號乃至第五號ノ事項ニ付テハ構造寸法ヲ示ス設計圖ヲ添附スベシ

前項ノ設計圖ノ縮尺ハ一般圖ニ在リテハ二百分ノ一以上、詳細圖ニ在リテハ五十分ノ一以上（鋼橋ニ在リテハ十五分ノ一以上）ヲ爲スベシ但シ簡易ナル工作物ニ在リテハ定規圖ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第十四條　前條第一項ノ實測圖ハ左ノ三種トス

一　平面圖

縮尺ハ二千五百分ノ一以上トシ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

イ　起點及終點ノ地名及地番並ニ經過府邑面名及其ノ境界線

ロ　中心線ヨリ左右少クトモ各二十米以內ノ區域內ニ於ケル地形及地物

ハ　二十米毎（地形ニ依リ短縮スルコトヲ得）ノ測點及百米毎ノ遞加距離ヲ示シタル中心線

ニ　曲線ノ起點及終點並ニ半徑及交角

ホ　總幅員線、敷地境界線及自動車道行人橫斷必要ナル沿線土地ノ境界線

ヘ　橋梁、隧道其ノ他ノ主要ナル工作物ノ位置及名稱

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱並ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　停留所及待遲所ノ位置及名稱

リ　市街地ニ在リテハ縮尺五百分ノ一以上ノ平面圖ニ「イ」乃至「チ」ニ掲ゲル事項ヲ記載シ別ニ之ヲ添附スベシ

二　縱斷面圖

縮尺ハ橫ヲ平面圖、縱ヲ橫斷面圖ト同一トシ左ニ掲ゲル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號、測點間ノ距離及追加距離

ロ　測點毎ノ中心線ノ地面、施工基面、盛土ノ高サ及切土ノ深サ

ハ　勾配及其ノ延長

ニ　縱斷曲線ノ位置及延長

ホ　曲線ノ起點及終點並ニ半徑及方向

ヘ　橋梁、隧道其ノ他ノ工作物ノ位置及名稱（橋梁ニ在リテハ其ノ種類及材質並ニ徑間ノ長サ及數、隧道ニ在リテハ其ノ長サヲ明示スルコト）

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱並ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　停留所及待遲所ノ位置及名稱

三　橫斷面圖

縮尺ハ二百分ノ一以上トシ二十米毎（地形ニ依リ伸縮スルコトヲ得）ニ專用自動車道ノ數地境界線ヨリ左右少クトモ各五米以內ノ區間ノ橫斷面ヲ示シ左ニ掲ゲル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號

ロ　施工基面ノ幅

ハ　盛土及切土ノ斜面ノ勾配

ニ　敷地ノ境界及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界

第十五條　專用自動車道ノ全部ニ付工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十六條　朝鮮自動車交通事業令ニ於テ免許ヲ受ケタル自動車交通事業ニ付工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十七條　專用自動車道ノ全部又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡及交叉ノ方法並ニ該變更ニ關スル手續ヲ省略スルコトヲ得

第五條　第三條第一號ノ路線圖ハ縮尺五萬分ノ一以上ノ平面圖トシ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

一　路線

二　停留所ノ位置、名稱特ニ待遲所ヲ設クルトキハ其ノ位置

三　車庫ノ位置（構造ノ大要ヲ示ス圖面ヲ添附スルコト）

四　一般ノ道路（種類ヲ明示スルコト）、自動車道及一般通行ノ用ニ供スル通路ノ別並ニ其ノ種別毎ノ縱程及有效幅員、往路及復路ノ別アルトキハ其ノ區別

五　附近ニ於ケル名所、舊蹟等

第六條　道知事ハ免許申請書ヲ受附クタルトキハ一般ノ道路（朝鮮總督ノ管理スルモノヲ除ク）及一般通行ノ用ニ供スル道路ノ管理者ニ對シ各年ノ期限ヲ指定シテ其ノ管理上意見ヲ徵スベシ

第七條　道知事ハ免許申請書ニ左ニ掲ゲル事項ニ關スル調査書ヲ添ヘ免許ノ許否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スベシ

一　申請者ノ資產及信用程度

二　事業ノ成否及效用

三　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ノ連絡（管理者ノ意見書ノ寫ヲ添附スルコト）

四　他ノ自動車道事業、自動車道事業、鐵道、軌道、索道等（未開業ノモノヲ含ム）ニ及ボス影響

五　附近ニ於ケル自動車運輸事業、自動車道事業、鐵道、軌道、索道等ノ出願アルトキハ其ノ名稱、區間、申請者、申請書ノ受附年月日等

六　其ノ他必要ト認ムル事項

第一條第二項ノ副本ニハ前項ノ規定ニ依ル調査書及意見書ノ寫ヲ添附スベシ

第八條　事業計畫ガ朝鮮自動車運輸事業基準規程ニ適合セザルトキハ免許ニ五年內ノ有效期間ヲ指定ス

第九條　事業計畫變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第十條　左ニ掲ゲル場合ニ於テハ自動車運輸事業者ハ其ノ事由及實施ノ年月日ヲ具シ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ノ工事ヲ二因リ停留所ノ位置ヲ一時變更スルトキ

二　待遲所ヲ新設シ、廢止シ又ハ其ノ位置ヲ變更スルトキ

三　往路及復路ノ別アル場合ニ於テ其ノ區間及方向ヲ變更スルトキ

前項ノ規定ニ依リ屆出ニハ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第十一條　自動車運輸事業者ハ祭典、記念日等ノ場合ニ於テハ片道運賃及往復運賃ニ限リ一回二週內ニシテ一年ヲ通シ六十日ヲ超エザル期間五割以內割引ヲ爲シタルトキハ其ノ事由、區間、期間、普通運賃、割引運賃及同年中ニ割引ヲ爲シタルコトアルトキハ其ノ回數及日數ヲ具シ其ノ都度免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第十二條　專用自動車道ノ工事施行ノ認可申請書ニハ左ニ掲ゲル書類ヲ添附スベシ

一　工事方法書

二　工事費豫算書（第二號樣式）

三　免許ヲ受ケタル者ノ會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社ノ登記簿ノ謄本

第十三條　前條第一號ノ工事方法書ニハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シ實測圖ヲ添附スベシ

一　工事ヲ執行スル區間ノ起點及終點ノ地名及地番並ニ中心線ノ延長

二　鋪裝及路床ノ構造並ニ路面ノ橫斷勾配

三　橋梁、隧道其ノ他ノ工作物ノ構造（主要ナルモノニ在リテハ耐力計算書及地質調査圖書ヲ添附スルコト）

四　排水設備

五　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡及交叉ノ方法並ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ方法（交叉ニ關スル協定ノ要領ヲ記載スルコト）

前項第二號乃至第五號ノ事項ニ付テハ構造寸法ヲ示ス設計圖ヲ添附スベシ

前項ノ設計圖ノ縮尺ハ一般圖ニ在リテハ二百分ノ一以上、詳細圖ニ在リテハ五十分ノ一以上（鋼橋ニ在リテハ十五分ノ一以上）ヲ爲スベシ但シ簡易ナル工作物ニ在リテハ定規圖ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第十四條　前條第一項ノ實測圖ハ左ノ三種トス

一　平面圖

縮尺ハ二千五百分ノ一以上トシ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

イ　起點及終點ノ地名及地番並ニ經過府邑面名及其ノ境界線

ロ　中心線ヨリ左右少クトモ各二十米以內ノ區域內ニ於ケル地形及地物

ハ　二十米毎（地形ニ依リ短縮スルコトヲ得）ノ測點及百米毎ノ遞加距離ヲ示シタル中心線

ニ　曲線ノ起點及終點並ニ半徑及交角

ホ　總幅員線、敷地境界線及自動車道行人橫必要ナル沿線土地ノ境界線

ヘ　橋梁、隧道其ノ他ノ主要ナル工作物ノ位置及名稱

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱並ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　停留所及待遲所ノ位置及名稱

リ　市街地ニ在リテハ縮尺五百分ノ一以上ノ平面圖ニ「イ」乃至「チ」ニ掲ゲル事項ヲ記載シ別ニ之ヲ添附スベシ

二　縱斷面圖

縮尺ハ橫ヲ平面圖、縱ヲ橫斷面圖ト同一トシ左ニ掲ゲル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號、測點間ノ距離及追加距離

ロ　測點毎ノ中心線ノ地面、施工基面、盛土ノ高サ及切土ノ深サ

ハ　勾配及其ノ延長

ニ　縱斷曲線ノ位置及延長

ホ　曲線ノ起點及終點並ニ半徑及方向

ヘ　橋梁、隧道其ノ他ノ工作物ノ位置及名稱（橋梁ニ在リテハ其ノ種類及材質並ニ徑間ノ長サ及數、隧道ニ在リテハ其ノ長サヲ明示スルコト）

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱並ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　停留所及待遲所ノ位置及名稱

三　橫斷面圖

縮尺ハ二百分ノ一以上トシ二十米毎（地形ニ依リ伸縮スルコトヲ得）ニ專用自動車道ノ數地境界線ヨリ左右少クトモ各五米以內ノ區間ノ橫斷面ヲ示シ左ニ掲ゲル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號

ロ　施工基面ノ幅

ハ　盛土及切土ノ斜面ノ勾配

ニ　敷地ノ境界及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界

ホ　沿線土地ノ境界

第十五條　專用自動車道ノ全部ニ付工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十六條　朝鮮自動車交通事業令ニ於テ免許ヲ受ケタル自動車交通事業ニ付工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十七條　專用自動車道ノ全部又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡及交叉ノ方法並ニ該變更ニ關スル手續ヲ省略スルコトヲ得

第五條　第三條第一號ノ路線圖ハ縮尺五萬分ノ一以上ノ平面圖トシ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

一　路線

二　停留所ノ位置、名稱特ニ待遲所ヲ設クルトキハ其ノ位置

三　車庫ノ位置（構造ノ大要ヲ示ス圖面ヲ添附スルコト）

四　一般ノ道路（種類ヲ明示スルコト）、自動車道及一般通行ノ用ニ供スル通路ノ別並ニ其ノ種別毎ノ縱程及有效幅員、往路及復路ノ別アルトキハ其ノ區別

事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號

ロ　施工基面ノ幅

ハ　盛土及切土ノ斜面ノ勾配

ニ　敷地ノ境界及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界

ホ　沿線土地ノ境界

第十五條　專用自動車道ノ全部ニ付工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十六條　朝鮮自動車交通事業令ニ於テ免許ヲ受ケタル自動車交通事業ニ付工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十七條　專用自動車道ノ全部又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡及交叉ノ方法並ニ該變更ニ關スル手續ヲ省略スルコトヲ得

第五條　第三條第一號ノ路線圖ハ縮尺五萬分ノ一以上ノ平面圖トシ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

一　路線

二　停留所ノ位置、名稱特ニ待遲所ヲ設クルトキハ其ノ位置

三　車庫ノ位置（構造ノ大要ヲ示ス圖面ヲ添附スルコト）

四　一般ノ道路（種類ヲ明示スルコト）、自動車道及一般通行ノ用ニ供スル通路ノ別並ニ其ノ種別毎ノ縱程及有效幅員、往路及復路ノ別アルトキハ其ノ區別

大ナラシムルトキ

前項ノ規定ニ依リ屆出ニハ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第十九條　運輸開始ノ認可申請書ニハ免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ當該區間ニ專用自動車道ヲ開設スル場合ヲ除クノ外定款及會社ノ登記簿ノ謄本ヲ添附スベシ

當該區間ニ專用自動車道ヲ開設スル場合ニ於テ之ニ關連スル道路、橋梁、河川、運河等ノ工事竣功セザルトキハ運輸開始ノ認可ヲ申請スルコトヲ得ズ但シ當該管理廳ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

運輸ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第二十條　自動車運輸事業讓渡ノ許可申請書ニハ當事者連署シ左ニ掲ゲル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡ノ範圍及事由ヲ記載シタル書面（縮尺五萬分ノ一以上ノ路線圖ヲ添附スルコト）

二　讓渡契約書ノ謄本及讓渡價額說明書

三　讓渡ニ關スル道會、府會、邑會若ハ面協議會ノ決議書

四　事業ヲ承繼スル會社ニ付第一條第一項第四號ニ準ズル書類

前條第三項ノ規定ハ合併後存續スル會社ガ免許官廳ヨリ有效ナル場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條　自動車運輸事業者ノ死亡ニ因リ其ノ事業ヲ承繼シタル相續人ハ戶籍謄本ヲ具シ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第二十三條　自動車運輸事業休止ノ許可申請書ニハ休止セントスル路線事業種別、期間及事由ヲ記載スベシ

事業休止ノ期間中ニ事業ヲ再開シタルトキハ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第二十四條　自動車運輸事業廢止ノ許可申請書ニハ廢止セントスル路線、事業種別、期日及事由ヲ記載シ第二十條第一項第三號ニ準ズル書類ヲ添附スベシ

第二十五條　自動車運輸事業ヲ營ム會社ノ解散ノ決議又ハ總社員ノ同意ノ認可申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ株主總會ノ議事及決議ノ要領書、無限責任社員又ハ總社員ノ同意書ノ謄本ヲ添附スベシ

第二十六條　自動車運輸事業者他ノ運送營業者ト連絡運輸ヲ爲ストキハ左ニ掲ゲル事項ヲ具シ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　相手方ノ名稱及運送機關

二　連絡運輸ノ區域及取扱ノ範圍

三　運賃ノ割賦方法

四　連絡運輸開始ノ年月日

第十七條　自動車運輸事業者ノ共同經營ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條　自動車運輸事業ノ共同經營ヲ爲ストキハ左ニ掲ゲル事項ヲ具シ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　共同經營ヲ爲ス區間

二　共同經營ノ範圍及方法

三　收入ノ割賦及支出ノ分擔方法

四　共同經營開始ノ年月日

五　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

前項ノ規定ニ依リ屆出ニハ新舊ヲ對照シタル書類ヲ添附スベシ

第二十八條　自動車運輸事業經營ノ免許失效返納スベシ

第二十九條　自動車運輸事業者ハ每營業年度ノ經過後二月內ニ前年度ノ營業報告書及統計報告書ヲ調製シ鐵道局長及道知事ニ之ヲ提出スベシ

第三十條　左ニ掲ゲル場合ニ於テハ自動車運輸事業者ハ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人又ハ組合員ナル場合ニ於テ發起人又ハ組合員ガ加入シ又ハ脫退シタルトキ

二　自動車運輸事業承繼シタルトキ（死亡ニ因ル承繼ヲ除ク）

三　認可ヲ受ケタル路線、運賃又ハ運輸系統ノ變更ヲ實施シタルトキ

四　路線ノ起點及終點又ハ地番又ハ經過府邑面名ニ變更アリタルトキ

五　停留所ノ名稱ヲ變更シタルトキ

六　連絡運輸、通シ運送又ハ共同經營ヲ廢止シタルトキ

第二章　自動車交通事業

第三十一條　自動車運輸事業經營ノ免許申請書ニハ左ニ掲ゲル書類及圖面ヲ添附スベシ

一　事業計畫書

二　興業費概算書（第三號樣式）

三　事業收支概算書

四　申請者ガ道、府、邑又ハ面ナルトキハ道會、府會、邑會又ハ面協議會ノ決議要領書、但設會社ナルトキハ自動車道事業ヲ經營スルモノヲ除クノ外定款及登記簿ノ謄本並ニ最近ノ貸借對照表、會社ヲ設立セントスルモノナルトキハ定款ノ謄本、組合ナルトキハ組合契約書ノ謄本

ノ交通狀態竝ニ一般ノ道路ノ新設及改築ノ計畫

八　他ノ自動車事業、自動車運輸事業、鐵道、軌道、索道等（未開業ノモノヲ含ム）ニ及ボス影響

五　附近ニ於ケル自動車道事業、自動車運輸事業、鐵道、軌道、索道等ノ出願アルトキハ其ノ名稱、區間、申請者、申請者ノ受附年月日等

六　其ノ他必要ト認ムル事項

第三十一條　第二項ノ副本ニハ前項ノ規定ニ依ル調査書及意見書ノ寫ヲ添附スベシ

第三十六條　免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人又ハ組合員ナル場合ニ於テ發起人又ハ組合員カ加入シ又ハ脫退シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

第三十七條　事業計畫變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第三十八條　工事施行ノ認可申請書ニハ左ニ揭ゲル書類ヲ添附スベシ

一　工事方法書

二　工事費豫算書（第四號樣式）

三　免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社ノ登記簿ノ謄本

第三十九條　前條第一號ノ工事方法書ニハ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シ實測圖ヲ添附スベシ

一　工事ヲ執行スル區間ノ起點及終點ノ地名及地番竝ニ中心線ノ延長

二　最少荷重

三　有效幅員及路肩ノ幅員

四　施工基面高

五　縱斷勾配

六　盛土切土ノ斜面ノ勾配

七　鋪裝及路床ノ構造竝ニ路面ノ橫斷勾配

八　曲線ノ半徑

九　最短視距

十　屈曲部ノ兩端ニ於ケル緩和區間ノ延長

十一　橋梁、隧道其ノ他ノ工作物ノ構造（主要ナルモノニ在リテハ耐力計算書及地質調査圖書ヲ添附スルコト）

十二　排水設備

十三　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡及交叉ノ方法（交叉ニ關スル協定ノ要領ヲ記載スルコト）

十四　駐車場ノ位置、面積及構造

十五　通信、信號、標識、保安、照明等ノ設備

十六　給油所、使用料金徵收所、事務員駐在所等ノ位置

前項第六號ノ事項ニ付テハ橫斷定規圖ヲ、第七號、第八號及第十號乃至第十五號ノ事項ニ付テハ構造寸法ヲ示ス設計圖ヲ添附スベシ

前項ノ橫斷定規圖ノ縮尺ハ五十分ノ一以上トシ路面ノ橫斷勾配、盛土切土ノ斜面ノ勾配（高サ又ハ地質ニ應ズル斜面ノ勾配ヲ記載スルコト）竝ニ排水設備ノ位置及斷面ヲ記載スベシ

第二項ノ設計圖ノ縮尺ハ一般圖ニ在リテハ二百分ノ一以上、詳細圖ニ在リテハ五十分ノ一以上（鋼橋ニ在リテハ十五分ノ一以上）トス但シ簡易ナル工作物ニ在リテハ定規圖ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第四十條　前條第一項ノ實測圖ハ左ノ三種トス

一　平面圖

縮尺ハ二千五百分ノ一以上トシ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

イ　起點及終點ノ地名及地番竝ニ經過府邑面名及其ノ境界線

ロ　中心線ヨリ左右少クトモ各二十米以內ノ區域內ニ於ケル地形及地物

ハ　二十米毎（地形ニ依リ短縮スルコトヲ得）ノ測點及百米毎ノ遡加距離ヲ示シタル中心線

ニ　曲線ノ起點及終點竝ニ半徑及交角

ホ　總幅員線、敷地境界線及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界線

ヘ　橋梁、隧道其ノ他ノ主要ナル工作物ノ位置及名稱

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱竝ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　駐車場、給油所、使用料金徵收所、事務員駐在所等ノ位置

リ　通信、信號、標識、保安、照明等ノ設備ノ位置

市街地ニ在リテハ縮尺五百分ノ一以上ノ平面圖ニ「イ」乃至「リ」ニ揭ゲル事項ヲ記載シ別ニ之ヲ添附スベシ

二　縱斷面圖

縮尺ハ橫ヲ平面圖、縱ヲ橫斷面圖ト同一トシ左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號、測點間ノ距離及遡加距離

ロ　測點毎ノ中心線ノ地面、施工基面、盛土ノ高サ及切土ノ深サ

ハ　勾配及其ノ延長

ニ　縱斷曲線ノ位置及延長

ホ　曲線ノ起點及終點竝ニ半徑及方向

ヘ　橋梁、隧道其ノ他ノ工作物ノ位置及名稱（橋梁ニ在リテハ其ノ橫桁又ハ其ノ支柱ノ中心ヲ通ズル線ニ依リ、隧道ニ在リテハ其ノ長サヲ明示スルコト）

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱竝ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　橫斷面圖

縮尺ハ二百分ノ一以上トシ二十米毎（地形ニ依リ伸縮スルコトヲ得）ニ一般自動車道ノ敷地境界線ヨリ左右少クトモ各五米以內ノ區間ノ橫斷面ヲ示シ左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號

ロ　施工基面ノ幅

ハ　盛土及切土ノ斜面ノ勾配

ニ　屈曲部ニ於ケル路面ノ片勾配

ホ　敷地ノ境界及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界

第四十一條　一般自動車道ノ全部ニ付工事施行ノ認可ヲ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第四十二條　自動車交通事業法第十九條第二項及第二十條第二項ノ期間ノ伸長ノ申請書ニハ伸長ノ期間及事由ヲ記載スベシ

第四十三條　工事方法變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第四十四條　左ニ揭ゲル場合ニ於テハ自動車道事業者ハ其ノ事由及實施ノ年月日ヲ具シ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　施工基面高ノ變更ニシテ路端ノ高サヲ名稱（橋梁ニ在リテハ其ノ橫桁又ハ其ノ支柱ノ中心ヲ通ズル線ニ依リ、隧道ニ在リテハ其ノ長サヲ明示スルコト）

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱竝ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　橫斷面圖

縮尺ハ二百分ノ一以上トシ二十米毎（地形ニ依リ伸縮スルコトヲ得）ニ一般自動車道ノ敷地境界線ヨリ左右少クトモ各五米以內ノ區間ノ橫斷面ヲ示シ左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號

ロ　施工基面ノ幅

ハ　盛土及切土ノ斜面ノ勾配

ニ　屈曲部ニ於ケル路面ノ片勾配

ホ　敷地ノ境界及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界

第四十一條　一般自動車道ノ全部ニ付工事施行ノ認可ヲ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第四十二條　自動車交通事業法第十九條第二項及第二十條第二項ノ期間ノ伸長ノ申請書ニハ伸長ノ期間及事由ヲ記載スベシ

第四十三條　工事方法變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第四十四條　左ニ揭ゲル場合ニ於テハ自動車道事業者ハ其ノ事由及實施ノ年月日ヲ具シ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　施工基面高ノ變更ニシテ路端ノ高サヲ名稱（橋梁ニ在リテハ其ノ橫桁又ハ其ノ支柱ノ中心ヲ通ズル線ニ依リ、隧道ニ在リテハ其ノ長サヲ明示スルコト）

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱竝ニ鐵道、軌道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　橫斷面圖

縮尺ハ二百分ノ一以上トシ二十米毎（地形ニ依リ伸縮スルコトヲ得）ニ一般自動車道ノ敷地境界線ヨリ左右少クトモ各五米以內ノ區間ノ橫斷面ヲ示シ左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號

ロ　施工基面ノ幅

ハ　盛土及切土ノ斜面ノ勾配

ニ　屈曲部ニ於ケル路面ノ片勾配

ホ　敷地ノ境界及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界

第四十一條　一般自動車道ノ全部ニ付工事施行ノ認可ヲ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第四十二條　自動車交通事業法第十九條第二項及第二十條第二項ノ期間ノ伸長ノ申請書ニハ伸長ノ期間及事由ヲ記載スベシ

第四十三條　工事方法變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第四十四條　左ニ揭ゲル場合ニ於テハ自動車道事業者ハ其ノ事由及實施ノ年月日ヲ具シ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　施工基面高ノ變更ニシテ路端ノ高サヲ

名稱（橋梁ニ在リテハ其ノ橫桁又ハ其ノ支柱ノ中心ヲ通ズル線ニ依リ、隧道ニ在リテハ其ノ長サヲ明示スルコト）

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱竝ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　橫斷面圖

縮尺ハ二百分ノ一以上トシ二十米毎（地形ニ依リ伸縮スルコトヲ得）ニ一般自動車道ノ敷地境界線ヨリ左右少クトモ各五米以內ノ區間ノ橫斷面ヲ示シ左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號

ロ　施工基面ノ幅

ハ　盛土及切土ノ斜面ノ勾配

ニ　屈曲部ニ於ケル路面ノ片勾配

ホ　敷地ノ境界及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界

第四十一條　一般自動車道ノ全部ニ付工事施行ノ認可ヲ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第四十二條　自動車交通事業法第十九條第二項及第二十條第二項ノ期間ノ伸長ノ申請書ニハ伸長ノ期間及事由ヲ記載スベシ

第四十三條　工事方法變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第四十四條　左ニ揭ゲル場合ニ於テハ自動車道事業者ハ其ノ事由及實施ノ年月日ヲ具シ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　施工基面高ノ變更ニシテ路端ノ高サヲ

前項ノ規定ニ依ル書類ハ正副二通提出スベシ

第三十二條　前條第一項第一號ノ事業計畫書ニハ左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

一　一般自動車道ノ起點及終點ノ地名及地番竝ニ經過府邑面名

二　一般自動車道ノ延長及有效幅員

三　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡關係

四　一般自動車道ノ使用料金及使用方法

五　主タル事務所ノ所在地

第三十三條　第三十一條第一項第四號ノ一般自動車道豫測圖ハ縮尺五萬分ノ一以上ノ平面圖トシ一般自動車道ノ起點及終點、中心線、一杆每ノ遡加距離、經過府邑面名竝ニ地形及地物ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

第三十四條　第三十二條第四號ノ使用料金ハ乘用自動車、貨物自動車其ノ他ノ自動車ニ區別シ均一ニ制ニ在リテハ均一使用料金、區間制ニ在リテハ各區間ノ使用料金及料程、料制ニ在リテハ對料使用料金、自動車ノ重量、構造、裝置等ニ依リ使用料金ニ差等ヲ設クルモノニ在リテハ其ノ料金、乘車員數制又ハ積載重量制ヲ併用スルモノニ在リテハ一人又ハ單位重量ニ對スル使用料金ヲ記載スベシ

第三十五條　道知事免許申請書ヲ受附ケタルトキハ左ニ揭ゲル事項ニ關スル測量書ヲ添ヘ免許ノ許否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ送達スベシ

一　申請者ノ資產及信用程度

二　事業ノ成否及效用

三　附近ニ於ケル一般ノ道路、自動車道及ビ一般通行ノ用ニ供スル通路ノ現況、其ノ交通狀態竝ニ一般ノ道路ノ新設及改築ノ計畫

四　他ノ自動車事業、自動車運輸事業、鐵道、軌道、索道等（未開業ノモノヲ含ム）ニ及ボス影響

五　附近ニ於ケル自動車道事業、自動車運輸事業、鐵道、軌道、索道等ノ出願アルトキハ其ノ名稱、區間、申請者、申請者ノ受附年月日等

六　其ノ他必要ト認ムル事項

第三十一條　第二項ノ副本ニハ前項ノ規定ニ依ル調査書及意見書ノ寫ヲ添附スベシ

第三十六條　免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人又ハ組合員ナル場合ニ於テ發起人又ハ組合員カ加入シ又ハ脫退シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

第三十七條　事業計畫變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第三十八條　工事施行ノ認可申請書ニハ左ニ揭ゲル書類ヲ添附スベシ

一　工事方法書

二　工事費豫算書（第四號樣式）

三　免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社ノ登記簿ノ謄本

第三十九條　前條第一號ノ工事方法書ニハ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シ實測圖ヲ添附スベシ

一　工事ヲ執行スル區間ノ起點及終點ノ地名及地番竝ニ中心線ノ延長

二　最少荷重

三　有效幅員及路肩ノ幅員

四　施工基面高

五　縱斷勾配

六　盛土切土ノ斜面ノ勾配

七　鋪裝及路床ノ構造竝ニ路面ノ橫斷勾配

八　曲線ノ半徑

九　最短視距

十　屈曲部ノ兩端ニ於ケル緩和區間ノ延長

十一　橋梁、隧道其ノ他ノ工作物ノ構造（主要ナルモノニ在リテハ耐力計算書及地質調査圖書ヲ添附スルコト）

十二　排水設備

十三　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡及交叉ノ方法（交叉ニ關スル協定ノ要領ヲ記載スルコト）

十四　駐車場ノ位置、面積及構造

十五　通信、信號、標識、保安、照明等ノ設備

十六　給油所、使用料金徵收所、事務員駐在所等ノ位置

前項第六號ノ事項ニ付テハ橫斷定規圖ヲ、第七號、第八號及第十號乃至第十五號ノ事項ニ付テハ構造寸法ヲ示ス設計圖ヲ添附スベシ

前項ノ橫斷定規圖ノ縮尺ハ五十分ノ一以上トシ路面ノ橫斷勾配、盛土切土ノ斜面ノ勾配（高サ又ハ地質ニ應ズル斜面ノ勾配ヲ記載スルコト）竝ニ排水設備ノ位置及斷面ヲ記載スベシ

第二項ノ設計圖ノ縮尺ハ一般圖ニ在リテハ二百分ノ一以上、詳細圖ニ在リテハ五十分ノ一以上（鋼橋ニ在リテハ十五分ノ一以上）トス但シ簡易ナル工作物ニ在リテハ定規圖ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第四十條　前條第一項ノ實測圖ハ左ノ三種トス

一　平面圖

縮尺ハ二千五百分ノ一以上トシ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

イ　起點及終點ノ地名及地番竝ニ經過府邑面名及其ノ境界線

ロ　中心線ヨリ左右少クトモ各二十米以內ノ區域內ニ於ケル地形及地物

ハ　二十米毎（地形ニ依リ短縮スルコトヲ得）ノ測點及百米毎ノ遡加距離ヲ示シタル中心線

ニ　曲線ノ起點及終點竝ニ半徑及交角

ホ　總幅員線、敷地境界線及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界線

ヘ　橋梁、隧道其ノ他ノ主要ナル工作物ノ位置及名稱

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱竝ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　駐車場、給油所、使用料金徵收所、事務員駐在所等ノ位置

リ　通信、信號、標識、保安、照明等ノ設備ノ位置

市街地ニ在リテハ縮尺五百分ノ一以上ノ平面圖ニ「イ」乃至「リ」ニ揭ゲル事項ヲ記載シ別ニ之ヲ添附スベシ

二　縱斷面圖

縮尺ハ橫ヲ平面圖、縱ヲ橫斷面圖ト同一トシ左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號、測點間ノ距離及遡加距離

ロ　測點毎ノ中心線ノ地面、施工基面、盛土ノ高サ及切土ノ深サ

ハ　勾配及其ノ延長

ニ　縱斷曲線ノ位置及延長

ホ　曲線ノ起點及終點竝ニ半徑及方向

ヘ　橋梁、隧道其ノ他ノ工作物ノ位置及名稱（橋梁ニ在リテハ其ノ橫桁又ハ其ノ支柱ノ中心ヲ通ズル線ニ依リ、隧道ニ在リテハ其ノ長サヲ明示スルコト）

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱竝ニ鐵道、軌道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　橫斷面圖

縮尺ハ二百分ノ一以上トシ二十米毎（地形ニ依リ伸縮スルコトヲ得）ニ一般自動車道ノ敷地境界線ヨリ左右少クトモ各五米以內ノ區間ノ橫斷面ヲ示シ左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號

ロ　施工基面ノ幅

ハ　盛土及切土ノ斜面ノ勾配

ニ　屈曲部ニ於ケル路面ノ片勾配

ホ　敷地ノ境界及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界

第四十一條　一般自動車道ノ全部ニ付工事施行ノ認可ヲ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第四十二條　自動車交通事業法第十九條第二項及第二十條第二項ノ期間ノ伸長ノ申請書ニハ伸長ノ期間及事由ヲ記載スベシ

第四十三條　工事方法變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第四十四條　左ニ揭ゲル場合ニ於テハ自動車道事業者ハ其ノ事由及實施ノ年月日ヲ具シ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　施工基面高ノ變更ニシテ路端ノ高サヲ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

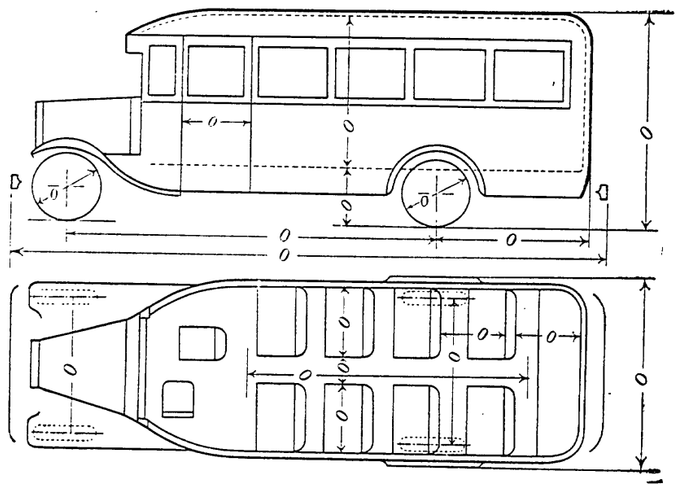
第一號様式　甲

車輛型式圖

道

旅客

事業者名



車	車名		車	型式		車輛最大寸法	長サ		
	型式			旅客定員	座席			幅	
	年式				立席			高サ	
	軸距			客室ノ高サ			最短廻轉半徑		
臺	機關	名稱		通路ノ幅員			車輛重量		
		型式		通路ノ長サ			輛數		
		年式		車體重量			記事		
		最大出力（毎分回轉數）		物品積載定量					

備考

1. 長サノ單位ハ粍、重量ノ單位ハ瓲ヲ以テ記載スベシ
2. 用紙ノ大サハ日本標準規格A列四番（縦210粍、横297粍）トス

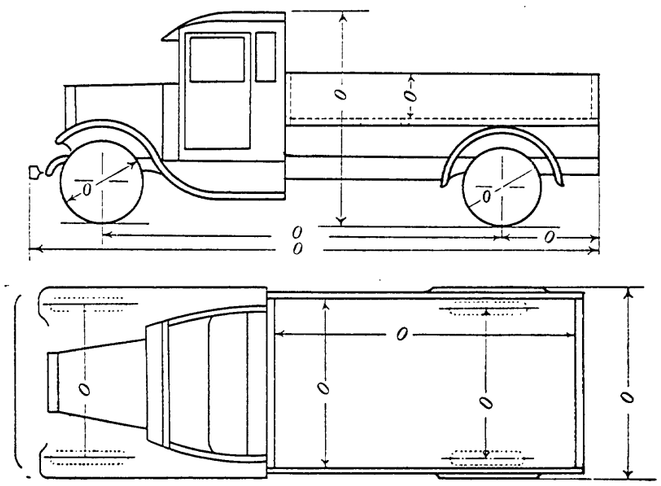
第一號様式　乙

車輛型式圖

道

物品

道事業者名



車	車名		車	積載定量		車輛重量	
	型式			積載面長		輛數	
	年式			積載面幅		記事	
	軸距			車體重量			
臺	機關	名稱		車輛最大寸法	長サ		
		型式			幅		
		年式			高サ		
		最大出力（毎分回轉數）		最短廻轉半徑			

備考

第一號様式甲ノ備考ニ同ジ

第二號樣式　　甘之壹

道路公園等災害復舊工事費査定書

新

工事名

項目	數量	單位	單價	金額	摘要
測量及監督費					
用地費					
永用自動車道用地	アール				
停留所及待避所用地	〃				
車庫及給油所用地	〃				
川筋付替用地	〃				
雜費					
土工費					
永用自動車道切土	立米				
永用自動車道盛土	〃				
停留所及待避所地突	〃				
車庫及給油所地築	〃				
川筋付替	〃				
路面費					
舖裝	平米				
排水設備	〃				
路肩	粁				
橋梁費					
何川橋梁外何箇所	米				
渡橋(徑間二米以下)	箇所				
隧道費	新				
何隧道外何箇所	米				
計					
一粁當					

延長

項目	數量	單位	平均單價	金額	摘要
永用自動車道用地	アール				
停留所及待避所用地	〃				
車庫及給油所用地	〃				
川筋付替用地	〃				
雜費					
永用自動車道切土	立米				
永用自動車道盛土	〃				
停留所及待避所地突	〃				
車庫及給油所地築	〃				
川筋付替	〃				
路面費					
舖裝	平米				
排水設備	〃				
路肩	粁				
橋梁費					
何川橋梁外何箇所	米				
渡橋(徑間二米以下)	箇所				
隧道費	新				
何隧道外何箇所	米				

工事名

第二號樣式　　甘之壹

道路公園等災害復舊工事費査定書

新

工事名

項目	數量	單位	單價	金額	摘要
測量及監督費					
用地費					
永用自動車道用地	アール				
停留所及待避所用地	〃				
車庫及給油所用地	〃				
川筋付替用地	〃				
雜費					
土工費					
永用自動車道切土	立米				
永用自動車道盛土	〃				
停留所及待避所地突	〃				
車庫及給油所地築	〃				
川筋付替	〃				
路面費					
舖裝	平米				
排水設備	〃				
路肩	粁				
橋梁費					
何川橋梁外何箇所	米				
渡橋(徑間二米以下)	箇所				
隧道費	新				
何隧道外何箇所	米				
計					
一粁當					

延長

項目	數量	單位	平均單價	金額	摘要
永用自動車道用地	アール				
停留所及待避所用地	〃				
車庫及給油所用地	〃				
川筋付替用地	〃				
雜費					
永用自動車道切土	立米				
永用自動車道盛土	〃				
停留所及待避所地突	〃				
車庫及給油所地築	〃				
川筋付替	〃				
路面費					
舖裝	平米				
排水設備	〃				
路肩	粁				
橋梁費					
何川橋梁外何箇所	米				
渡橋(徑間二米以下)	箇所				
隧道費	新				
何隧道外何箇所	米				

備考　創築費ニ付テハ其ノ出來方法ヲ摘要欄ニ明示スルコト

第四號樣式

間一般自動車道工事費豫算書

延長　粁　　事業者名

項	目	數量	平均單價	金額	合計	摘要
測量及監督費			圓	圓	圓	
用地、物件移轉其ノ他補償費		粁				
	用地費	平米				
	物件移轉費					
	補償費					
道路費						
	土工費					
	切土	立米				
	盛土	立米				
	何々					
	支壁費					
	鐵筋コンクリート支壁	平米				
	コンクリート支壁	平米				
	石造支壁	平米				
	何々					
	鋪裝費					
	何々鋪裝	平米				
	路床工	平米				
	路盤工	平米				
	溝橋費					
	コンクリート管	米				
	函形溝橋	米				
	側溝及街渠費	米				
	排水設備費	米				
	何々費					
	雜工事費					

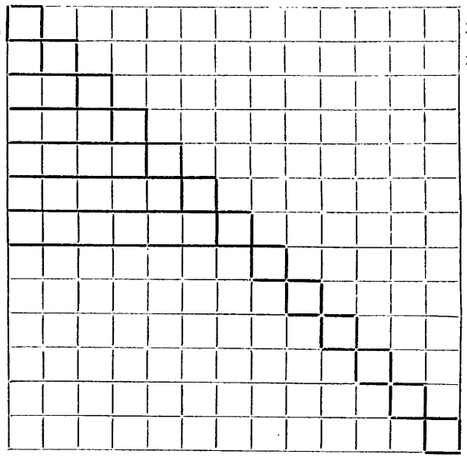
項	目	數量	平均單價	金額	合計	摘要
			圓	圓	圓	
	水路付替	米				
	踏切道	米				
	何々					
橋梁費						
	何々橋費	平米				
	何々費	平米				
隧道費						
	何々隧道費					
	何々費	米				
諸設備費		米				
	保安設備費					
	照明設備費					
	信號設備費					
	駐車場費					
	何々費	平米				
諸建物費						
	使用料金徵收所費					
	何々費	平米				
器具機械費						
何々費						
慈保費						
豫備費						
合計						
一粁當						

第三號表　　自動車運輸事業運賃及粁程表　　道No.

事業者

各停留所間運賃及粁程　　特種運賃及料金

運賃　粁程



備考　粁程ハ粁ヲ單位トシ小數點以下第一位迄ヲ揚ゲ第二位以下ハ四捨五入ノコト

第四號表　　道No.

自動車運輸事業車輛表

事業者

使用車輛		
常用	豫備	合計

番號	車名	年式	車體型式	旅客定員			積載定量	輛數	記事	番號	車名	年式	車體型式	旅客定員			積載定量	輛數	記事
				座席	立席	計								座席	立席	計			

第一號表　　自動車運輸事業免許路線表　　道No.

自動車運輸事業興業費

會社資本金

拂込資本金

營業年度

事業者

代表者

會社設立　年　月　日

住所

主タル營業所

事業種別	

番號	起點又ハ分岐點	主ナル經過地	終點	粁程	道路幅員米	免許年月日及同番號	承繼許可年月日及同番號	開業年月日及同報告番號	免許條件	記事

備考　1　「起點又ハ分岐點」及「終點」ハ地番迄記入ノコト(通稱アルトキハ之ヲ附記スルコト)
2　「粁程」ハ粁ヲ單位トシ「道路幅員」ハ米ヲ單位トシテ何レモ小數點以下第一位迄ヲ揚ゲ第二位以下ハ四捨五入ノコト
3　「免許年月日及同番號」「承繼年月日及同番號」「開業年月日及同報告番號」ハ當該事業者ニ係ルモノヲ記入スルコト

第二號表　　自動車運輸事業運轉系統表　　道No.

事業者

事業種別	

番號	起點停留所	主ナル經過停留所	終點停留所	粁程	最小運轉時分	發發終ノ時刻	通行回數又ハ運轉間隔	配置車輛 定員又ハ定量	配置車輛 輛數	車庫所在地	車庫所有者	運轉期間ノ定メアルモノハ其ノ期間	記事

備考
1　「粁程」ハ粁ヲ單位トシ小數點以下第一位迄ヲ揚ゲ第二位以下ハ四捨五入ノコト
2　「運行回數又ハ運轉間隔」ノ欄ニハ一日十五回以上ノモノハ運轉間隔ヲ一日十四回以下ノモノハ運行回數ヲ揚グルコト

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

㊁朝鮮自動車交通事業令職權委任規程

昭和九年十二月
總令第百二十三號

朝鮮自動車交通事業令職權委任規定左ノ通定ム

朝鮮自動車交通事業令職權委任規程

第一條　朝鮮自動車交通事業令ニ於テ依ルコトヲ定メタル自動車交通事業（以下單ニ自動車交通事業ト稱ス）第四條、第五條、第十條、第十二條、第十三條第一項、第二項第四項及第十四條ノ規定ニ依ル免許、許可其ノ他ノ處分ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル自動車運輸事業ニ關スルモノヲ除キ道知事之ヲ行フ

一　路線ノ總延長カ四十粁以上ニ亙ルモノ

二　路線カ二以上ノ道ニ亙ルモノ

三　路線カ京城、大邱、釜山及平壤ノ各府ノ府内ニ在ルモノ又ハ此等ノ各府ノ内外ニ亙ルモノ

四　當該路線ヨリ五粁（起點又ハ終點ヨリハ十粁）ノ範圍内ニ鐵道、軌道、索道、自動車道事業又ハ他ノ自動車運輸事業ノ路線（未開業及出願中ノモノヲ含ム）在ルモノ

五　鐵道、軌道、索道、自動車道事業又ハ他ノ自動車運輸事業（未開業及出願中ノモノヲ含ム）ト競爭ノ虞アルモノ

六　路線ノ全部又ハ一部カ自動車道ニ依ルモノ

第二條　臨時ノ必要ニ因リ三月内ノ期間ヲ限リ經營スル自動車運輸事業ニ關スル免許、許可、認可其ノ他ノ處分ハ道知事之ヲ行フ

第三條　自動車運輸事業ニ關スル職權ニシテ左ニ揭グル事項ハ道知事之ヲ行フ

一　運輸開始ノ認可及運輸開始認可申請期間ノ伸長

二　事業計畫變更ノ認可但シ第一條各號ノ一ニ該當スル自動車運輸事業ニ關スル左ニ揭グルモノヲ除ク

イ　路線ノ起點若ハ終點ノ變更又ハ經過地ノ重要ナル變更

ロ　運行回數又ハ運賃ノ變更

ハ　旅客座席定員又ハ輛數ノ減少ニシテ朝鮮自動車運輸事業基準規程ニ適合セザルニ至ルモノ

ニ　專用自動車道ノ工事方法ノ變更ノ認可ニシテ左ニ揭グルモノ

イ　市街地ニ在リテハ五十米以内、其ノ他ノ地ニ在リテハ百米以内ノ中心線ノ變更

ロ　有效幅員ノ輕易ナル擴張

ハ　鋪裝及路床ノ構造ノ改良又ハ之ニ基ク路面ノ橫斷勾配ノ變更

ニ　排水設備、高サ五米以下ノ支壁其ノ他簡易ナル工作物ノ構造及位置ノ變更

ホ　橋梁、隧道其ノ他主要ナル工作物ノ構造及位置ノ輕易ナル變更

ヘ　ノ廢止

ト　一般ノ道路、自動車道若ハ一般通行ノ用ニ供スル通路ト連絡若ハ交叉ノ位置又ハ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置ノ變更

四　事業ノ休止

第四條　第一條各號ノ一ニ該當スル自動車運輸事業ノ事業計畫ノ變更ニシテ前條第二號「イ」乃至「ハ」ニ揭グルモノ及同條第三號ニ揭グルモノノ認可ヲ除クノ外專用自動車道ノ工事方法ノ變更ノ認可ハ鐵道局長之ヲ行フ

第五條　自動車交通事業法第三十四條第一項ニ規定スル朝鮮總督ノ職權ニシテ自動車運輸事業ニ關スルモノハ鐵道局長之ヲ行フ

第六條　自動車事業ニ關スル職權ニシテ左ニ揭グル事項ハ道知事之ヲ行フ

一　工事竣功期同ノ伸長

二　供用開始ノ認可

三　工事方法變更ノ認可ニシテ左ニ揭グルモノ

イ　市街地ニ在リテハ五十米以内、其ノ他ノ地ニ在リテハ百米以内ノ中心線ノ變更

ロ　有效幅員ノ輕易ナル擴張

ハ　鋪裝及路床ノ構造ノ改良又ハ之ニ基ク路面ノ橫斷勾配ノ變更

ニ　排水設備、高サ五米以下ノ支壁其ノ他簡易ナル工作物ノ構造及位置ノ變更

ホ　橋梁、隧道其ノ他主要ナル工作物ノ構造及位置ノ變更

ヘ　橋梁、隧道其ノ他主要ナル工作物ノ構造及位置ノ輕易ナル變更

報告書雛形

●朝鮮自動車運輸事業報告書雛形

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ施行ス

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ

損益計算表

第二表　自　年　月　日至　年　月　日　名稱

収入 科目	金額	支出 科目	金額	損益
自動車運輸事業收入	圓	自動車運輸事業支出	圓	圓
運賃收入		營業費		
旅客收入		保存費		
物品收入		輸送費		
運輸雜收		總係費		
雜收入		諸稅		
		道路損傷負擔金		
		財產價額消却金		
		各事業關聯營業費分擔額		
		興業營業關聯費分擔額		
		雜支出		
		支拂利子		
		社債差損金		
		財產價額消却金		
		雜損		
其ノ他ノ自動車業收入		其ノ他ノ自動車業支出		
私設鐵道業收入		私設鐵道業支出		
軌道業收入		軌道業支出		
合計		合計		

備考

1　手荷物收入ハ之ヲ旅客收入ニ、手荷物以外ノ物品ハ旅客自動車ニテ運送シタルモノト雖モ其ノ收入ハ之ヲ物品收入ニ計上スベシ

2　運輸雜收及雜收入ノ主ナル內譯ハ之ヲ欄外ニ記載スベシ

3　保存費ニハ自動車道、車輛、諸建物等ニ係ル保存復舊ノ費用、朝鮮自動車運輸事業令計規程第三條第二項ノ場合ニ於テ興業費ヨリ控除スベキ金額等ヲ、輸送費ニハ運轉手、車掌、其ノ他ノ運輸從事員ノ給料及手當、燃料及油脂、停留所ニ於ケル客貨取扱、客貨誘致ノ爲ノ廣告ニ係ル費用等ヲ、總係費ニハ運輸營業上ノ諸費用ニシテ他ノ科目ニ屬セザルモノヲ計上スベキモノトス

4　輸送費ニ計上セラルル燃料ニ付テハ消費總量、平均單價及金額ヲ欄外ニ說明スベシ

5　各事業ニ於テ支拂利子及社債差損金ヲ分擔シタルトキハ其ノ金額ヲ欄外ニ記載シ其ノ計算方法ヲ說明スベシ

6　財產價額消却金ノ內容ハ之ヲ欄外ニ說明スベシ

7　雜損ノ主ナル內譯ハ之ヲ欄外ニ記載スベシ

利益金處分表

第三表　自　年　月　日至　年　月　日　名稱

収入 科目	金額	支出 科目	金額
前期繰越金	圓	法定準備金	圓
當期純益金		任意準備金	
		役員賞與金	
		優先株配當金	
		（年何割何分）	
		普通株配當金	
		（年何割何分）	
		後期繰越金	
合計		合計	

備考

1　優先株又ハ後配株ニ數種アルトキハ各種類毎ニ配當金ヲ記載スベシ

2　年度ノ中間ニ於テ株金ノ拂込アリタルトキハ其ノ期日及金額ヲ欄外ニ記載スベシ

何々間路線興業費明細表

名稱

第四表　自　年　月　日至　年　月　日

科目	前期末決算額	當期決算額	計	摘要
	圓	圓	圓	
車輛費				
器械場費				
諸建物費				
道路改良分擔金				
總係費				
自動車道費				
合計				

備考

1　區間ヲ分チテ整理スルトキハ各區間毎ニ本表ヲ調製スベシ

2　開業區間ト未開業區間トアルトキハ各區間別ニ本表ヲ調製スベシ但シ區別ニ區分スルコト能ハザルトキハ一定ノ標準ヲ設ケ合計金額ニ於テ區分シ之ヲ欄外ニ記載スベシ、尙合計ニ於テ區分シタルトキハ其ノ標準ヲ欄外ニ說明スベシ

3　諸建物費其ノ他ヲ各事業ニ分割計上シタルトキハ其ノ標準ヲ欄外ニ說明スベシ

4　自動車道費ニハ測量及監督費、用地費、土工費、路面費、橋梁費、伏樋費、隧道費、總係費等ノ目ヲ設ケテ記載スベシ

5　開業區間ニ當期決算額又ハ戻入額アルトキハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ說明スベシ

取締役、監査役及主ナル株主表

名稱

第五表　年　月　日現在

種別	氏名	所有株式數	摘要
取締役			
監査役			
主ナル株主			

備考

1　主ナル株主ハ株式總數ノ百分ノ五以上ヲ有スルモノヲ記載スベシ

2　所有株式數種アルトキハ種類別內譯ヲ摘要欄ニ記載スベシ

●朝鮮自動車運輸事業統計報告書樣式

朝鮮自動車運輸事業統計報告書樣式昭和十年一月ヨリ十二月ニ至ル

朝鮮自動車運輸事業統計報告書樣式

年上下ノ別　自動車運輸事業者名

道別　朝鮮總督府鐵道局

年年末現在

月日

自動車運輸事業統計報告書

路線表

名稱

第一表　　年　月　日現在

種別	區間	粁程 道路及通路	粁程 一般自動車道及專用自動車道	粁程 計	停留所數	摘要
		粁	粁	粁		
開業路線	何々間 旅客運送					
	〃〃〃 物品運送					
	〃〃〃 旅客及物品運送					
	計					
未開業路線	〃〃〃 旅客運送					
	〃〃〃 物品運送					
	〃〃〃 旅客及物品運送					
	計					
合計						

備考

1　旅客運送ト物品運送トノ種別ハ免許ヲ受ケタル事業ノ種別ニ依リ記載スベシ
2　區間ハ免許、運轉系統ノ如何ニ拘ラズ重複セザル樣記載スベシ
3　粁程ハ小數點以下二位ヲ四捨五入シ一位ニ止メテ計上スベシ
4　停留所數ハ開業路線ニ係ルモノノミヲ記載スベシ
5　本表ハ營業年度末日現在ヲ以テ作成記載スベシ第二表及第五表ニ付亦同ジ

車輛表

名稱

第二表　　年　月　日現在

種別	車名	輛數	旅客定員 座席	旅客定員 立席	旅客定員 計	積載定量	摘要
			人	人	人	瓲	
旅客自動車							
計							
貨物自動車							
計							
合造車							
計							
牽引車							
計							
附隨車							
計							
合計							

備考

1　本表ハ所有者ノ如何ニ拘ラズ現ニ事業ノ用ニ供スル車輛ニ付之ヲ作成スベシ
2　車名及輛數ハ旅客定員又ハ積載定量別ニ記載スベシ
3　瓦斯瓦以外ノ動力ヲ使用スルモノニ在リテハ之ヲ區別シ摘要欄ニ記載スベシ

運輸成績表

第三表　　自　年　月　日至　年　月　日　　名稱

種別	營業日數	使用延日車數	車輛走行粁	輸送數量 旅客	輸送數量 物品	運輸收入 旅客	運輸收入 物品	運輸收入 計	摘要
			粁	人	瓲	圓	圓	圓	
旅客運送									
物品運送									

備考

1　接續セザル線路ニ在リテハ其ノ路線毎ニ區分記載スベシ接續スル路線ト雖モ區間ヲ分ケ整理スルトキ亦同ジ
2　營業日數ハ營業休止ノ日數ヲ除キタルモノヲ記載スベシ
3　使用延日車數及車輛走行粁ハ自己路線ニ於テ營業上使用シタル車輛ニ付調査記載スベシ
4　輸送旅客人員ノ計算ハ次ノ方法ニ依ル
　イ　片道乘車ハ一券ヲ以テ一人トス
　ロ　往復乘車及廻遊乘車ハ一券ヲ以テ二人トス
　ハ　定期乘車ハ有效日數ニ二ヲ乘ジタルモノ
　ニ　團體及貸切乘車ハ運賃計算人員
　ホ　回數乘車ハ乘車シ得ベキ其ノ回數但シ區間制ニシテ乘車區數ニ應ジ乘車券ヲ使用シ得ルモノニ在リテハ適當ノ方法ニ依リ旅客人員ヲ推定算出シ其ノ方法ヲ說明スベシ此ノ場合普通乘車ニ於テ各區券ヲ發賣スルトキハ次ノ如キ算出方法ヅリ

$$\frac{\text{普通乘車總延區數}}{\text{普通乘車人員}} = \text{一人平均乘車區數}$$

$$\frac{\text{回數乘車總延區數}}{\text{一人平均乘車區數}} = \text{推定旅客人員}$$

例

$$\frac{100\text{枚}\times 1+80\text{枚}\times 2+70\text{枚}\times 3=470\ (\text{普通乘車總延區數})}{100\text{人}+80\text{人}+70\text{人}=250} = 1.88\cdots\cdots\text{一人平均乘車區數}$$

$$\frac{50\text{回券}\times 100\text{冊}+100\text{回券}\times 80\text{冊}=13,000\ (\text{回數乘車總延區數})}{1.88} = 6,915\cdots\cdots\text{推定旅客人員}$$

　ヘ　乘車券ヲ發賣セザルモノニ在リテハ推定ニ依リ旅客人員ヲ算出シ其ノ方法ヲ摘要欄ニ記載スベシ
　ト　定期、回數、廻遊、團體乘車券ニ對スル延人員及運賃ハ之ヲ摘要欄又ハ欄外ニ記載スベシ
5　輸送數量及運輸收入ハ乘車券發賣ノ日又ハ物品受託ノ日ノ屬スル營業年度ニ算入スベシ
6　物品數量ハ運賃計算重量ニ依リ計上スベシ
7　適數扱ノ物品ハ適當ナル方法ニ依リ之ヲ瓲ニ換算シテ計上スベシ

事故表

第四表　　自　年　月　日至　年　月　日　　名稱

種別＼死傷別	件數 死傷ヲ生ジタル場合	件數 死傷ヲ生ゼザル場合	旅客 死	旅客 傷	職員 死	職員 傷	公衆 死	公衆 傷	計 死	計 傷
	件	件	人	人	人	人	人	人	人	人
墜落										
衝突										
顚覆										
車輛火災										
轢死傷										
.....										
.....										
.....										
計										

備考

1　種別ノ欄合シタルトキハ主要ナルモノニ付記入スベシ
2　衝突ニハ汽車、電車、家屋、電柱等ニ衝突シタルモノヲ含ム

朝鮮旅客自動車規則

（大正十一年十二月朝鮮總督令第百四十九號）

第一章　通則

第一條　朝鮮ニ於テ旅客ノ運送ヲ爲ス自動車ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ於テ自動車ト稱スルハ原動機ニ依リ運轉スル車輛ニシテ軌條又ハ架線ニ依ラサルモノヲ謂フ

第三條　自動車ヲ以テ旅客ノ運送ヲ爲サントスル者ハ左ノ各號ニ掲クル事項ヲ具シ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ出願シ其ノ許可ヲ受クヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第四條　前條ノ許可ヲ受ケタル者（以下許可ヲ受ケタル者ト稱ス）ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第五條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第六條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第七條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第八條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第九條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第十條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第十一條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第十二條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第十三條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第十四條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第十五條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第十六條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第十七條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第十八條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第十九條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第二十條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第二十一條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第二十二條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第二十三條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第二十四條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第二十五條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第二十六條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第二十七條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第二十八條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第二十九條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第三十條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第三十一條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第三十二條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第三十三條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第三十四條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第三十五條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第三十六條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第三十七條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第三十八條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第三十九條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第四十條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第四十一條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第四十二條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第四十三條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運轉ニ關スル裝置ノ概要

八　自動車ノ車體ニ記載スヘキ事項

九　自動車ノ運轉ニ關スル取締ノ方法

十　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ選任及監督ノ方法

十一　自動車ノ運轉ニ從事スル者ノ制服ヲ定ムルトキハ其ノ制服

第四十四條　許可ヲ受ケタル者ハ其ノ營業ヲ爲サントスル地ノ所轄警察官署ヲ經由シテ道路運送取締ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲ス權限ヲ有スル官廳ニ營業ノ開始ヲ豫定スル日ノ十日前迄ニ左ノ事項ヲ屆出ツヘシ

一　營業ノ種類

二　營業ノ區域

三　營業ノ開始ノ期日

四　營業所ノ位置

五　自動車ノ種類、構造及原動機ノ馬力

六　自動車ノ數

七　自動車ノ運

第二十四條　曲線ノ半徑ハ百米以上ト雖スベシ但シ特殊ノ箇所ニ於テハ六十米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第二十五條　視距ハ八十米以上ト雖スベシ但シ特殊ノ箇所ニ於テハ六十米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第二十六條　曲線ノ半徑三百米以下ノ箇所ニ於テハ周曲部ノ內側ニ於テ有效幅員ヲ相當擴大シ路面ノ横斷勾配ハ十二分ノ一乃至六分ノ一ノ片勾配ト爲スベシ

第二十七條　第三條乃至第八條、第十條、第十二條、第十四條、第十五條、第十七條乃至第十九條及第二十二條ノ規定ハ專用自動車道ノ構造ニ付之ヲ準用ス

第二十八條　自動車運輸事業者ニムヲ得ザル事由ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ第二十四條乃至第二十六條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮自動車運送事業規則

昭和九年十二月
總令第百三十號

朝鮮自動車運送事業規則左ノ通定ム

第一條　自動車運輸事業ニ以外ノ自動車ニ依ル運送事業（以下單ニ自動車運送事業ト稱ス）ヲ經營セントスル者ハ左ニ揭グルモノヲ除ク外主タル事業地ヲ管轄スル道知事ノ免許ヲ受ケベシ

一　國ニ於テ經營スルモノ又ハ國ヨリ運送ノ委託ヲ受ケテ經營スルモノ

二　自己ノ專用ニ供スルモノ（運送業者ガ直接其ノ運送事業ノ用ニ供スルモノヽ特定ノ學校、工場等ガ有償ニテ其ノ學生、生徒、職工其ノ他ノ特定人ヲ運送スルモノ及道知事ノ指定スルモノヲ除ク）

三　物品販賣業者等ガ其ノ顧客ノ委託ヲ受ケ物品ヲ無償ニテ運送スルモノ

四　特定ノ學校、工場等ガ其ノ學生、生徒、職工其ノ他ノ特定人ヲ運送スルモノ（運送業者ガ直接其ノ運送事業ノ用ニ供スルモノヲ除ク）

第二條　自動車運輸事業ニ以外ノ自動車運送事業ヲ經營セントスル者ハ鐵道局長ノ免許ヲ受クベシ

前項ノ免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人又ハ組合員ガ加入シ又ハ脫退シタルトキ

事業ヲ開始シタルトキ

第三條　臨時ノ必要ニ因リ三月內ノ期間ヲ限リ前條各號ノ一ニ該當スル自動車運送事業ヲ經營セントスル者ハ事業地ヲ管轄スル道知事ノ免許ヲ受クベシ

第四條　路線ヲ定メ不定期ニ自動車ヲ運行シテ旅客ヲ運送スル自動車運送事業ハ左ニ揭グルモノヲ除ク外之ヲ經營スルコトヲ得ズ

一　不定期遊覽乘合自動車事業

二　特定ノ場所ニ出入スル公衆ヲ無償ニテ運送スルモノ

三　自己ノ專用ニ供スルモノ（運送業者ガ直接其ノ運送事業ノ用ニ供スルモノヲ除ク）

四　特定ノ學校、工場等ガ其ノ學生、生徒、職工其ノ他ノ特定人ヲ運送スルモノ

第五條　自動車運送事業經營ノ免許申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　申請者ノ本籍、住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地、代表者ノ住所氏名）及營業所

二　路線ヲ定ムルモノニ在リテハ起點、終點、停留所及延長（縮尺五萬分ノ一以上ノ路線圖ヲ添附スルコト）、路線ヲ定メザルモノニ在リテハ事業區域

三　自動車運送事業ノ種別（旅客運送、物品運送貸切自動車、不定期遊覽乘合自動車、不定期貨物自動車等ノ別ニ分チ自動車運送事業ヲ兼營スル者ハ其ノ種別）

四　運賃及運送ニ關スル料金

イ　運賃（均一制ニ在リテハ均一運賃、區間制ニ在リテハ各區間ノ運賃及料程、料制ニ在リテハ料程算出ノ方法）

ロ　運送ニ關スル料金（保管料金、集配料金等）

五　使用車輛ノ車名及輛數（旅客定員別又ハ物品積載定量別）

六　車庫ノ位置及其ノ構造ノ大要（圖面ヲ添附スルコト）

第六條　前條ノ免許申請書ニハ左ニ揭グル書類ヲ添附スベシ但シ第三條ノ規定ニ依ル免許申請書ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　事業計畫書（總額、內譯及出資方法ヲ明示スルコト）

二　事業收支概算書

三　申請者ガ道、府、邑又ハ前ナルトキハ道會、府會、邑會又ハ前協議會ノ決議要領書、既設會社ナルトキハ自動車運送事業ヲ經營スルモノヲ除クノ外定款及登記簿ノ謄本竝ニ最近ノ貸借對照表、會社ヲ設立セントスルモノナルトキハ定款ノ際ノ本、組合ナルトキハ組合契約書ノ際ノ本

四　路線ヲ定メ有償ニテ特定ノ學校、工場等ノ學生、生徒其ノ他ノ特定人ヲ運送スル事業（以下單ニ特定自動車運送事業ト稱ス）ノ申請者ニ在リテハ當該學校、工場等ヨリ委託ヲ受ケタルコトヲ證スル書面

五　申請者ニシテ他人ノ車庫ヲ貸借スルモノニ在リテハ申請書ニ車庫所有者ノ承認書又ハ貸借契約書ノ謄本

第七條　自動車運送事業ノ免許ヲ受ケタル者（以下單ニ自動車運送事業者ト稱ス）ノ事業ノ種別、營業所、路線、事業區域、運賃、使用車輛ノ輛數（旅客定員（八人以上ニ增加スル場合ニ限ル）又ハ車庫ノ位置ヲ變更セントスルトキハ免許官廳ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及路線又ハ車庫ノ位置ノ變更ニ在リテハ關係（路線關ニ在リテハ縮尺五萬分ノ一以上）ヲ添附スベシ

第五條第一號（營業所ヲ除ク）ニ規定スル事項（停留所ノ位置、運送ニ關スル料金、使用車輛ノ車名、旅客定員又ハ物品積載定量ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第八條　自動車運送事業者其ノ事業ヲ讓渡セントスルトキハ免許官廳ノ許可ヲ受クベシ

會社ノ合併ニ因ル事業ノ承繼ニ付テハ合併前免許官廳ノ許可ヲ受クベシ

自動車運送事業者死亡シタルトキハ相續人ハ其ノ事業ヲ承繼スルコトヲ得

第九條　前條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル許可申請書ニハ當事者連署シ左ニ揭グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡ノ範圍及事由ヲ記載シタル書面（路線ヲ定ムルモノニ在リテハ縮尺五萬分ノ一以上ノ路線圖ヲ添附スルコト）

二　讓渡又ハ合併ニ關スル契約書ノ際本及讓渡價額說明書

三　讓渡又ハ合併ニ關スル道會、府會、邑會若ハ面協議會、株主總會、無限責任社員、總社員又ハ組合員ノ決議書又ハ同意書ノ謄本

四　讓渡又ハ合併ニ因ル事業ノ承繼ニ關スル第三條第三號ニ準ズル書類

第十條　路線ヲ定メズシテ旅客ヲ運送スル自動車運送事業者ハ個別ニ運賃ヲ受ケ他ノ旅客ヲ同乘セシメ其ノ他自動車運輸事業ニ類似スル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

路線ヲ定メズシテ物品ヲ運送スル自動車運送事業者ハ主タル事業地ヲ管轄スル道知事ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ個別ニ運賃ヲ受ケ他ノ物品ヲ積載スルコトヲ得ズ

第十一條　自動車運送事業者旅客又ハ物品ノ直通運送ノ必要其ノ他ノ事由ニ依リ免許ヲ受ケタル路線又ハ事業區域外ニ於テ臨時ニ營業ヲ爲サントスルトキハ主タル事業地ヲ管轄スル道知事ノ許可ヲ受クベシ

第十二條　免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

前項ノ條件ハ公益上必要アルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得

免許官廳ハ第一條又ハ第二條ノ規定ニ依リ自動車運送事業ノ免許ヲ爲スニ當リ其ノ有效期間ヲ指定スルコトヲ得

第十三條　鐵道局長又ハ道知事ハ必要アリト認ムルトキハ自動車運送事業者ヲシテ事業上ノ報告ヲ爲サシメ、書類ヲ提出セシメ又ハ監査員ヲ派遣シテ事業ノ狀況ヲ監査セシムルコトヲ得

免許官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ免許狀ヲ返納スベシ

第十四條　朝鮮自動車交通事業令施行規則第二十六條、第二十七條及第三十條第六號ノ規定ハ第二條各號ノ自動車運送事業ニ、朝鮮旅客自動車設備規程及朝鮮自動車運輸規程第一條乃至第十九條ノ規定ハ不定期遊覽乘合自動車事業ニ、朝鮮旅客自動車設備規程ハ特定自動車運送事業ニ、朝鮮自動車運輸規程第二十條ノ規定ハ不定期貨物自動車運送事業ニ之ヲ準用ス

第十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人又ハ組合員ナル場合ニ於テ發起人又ハ組合員ガ加入シ又ハ脫退シタルトキ

事業ヲ開始シタルトキ

第七條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ實施シタルトキ

路線ノ起點及終點ノ地名及地番又ハ經過府邑面ニ變更アリタルトキ

事業ヲ休止シ又ハ廢止シタルトキ

事業ヲ承繼シタルトキ

事業ヲ讓ル會社解散シタルトキ

事業者死亡シタルトキ

第十六條　前條第五號乃至第八號ノ屆出ニ付テハ左ノ各號ニ依ルベシ

一　登記終了ノ屆書ニハ登記簿ノ謄本ヲ添附スルコト

二　被相續人ノ住所、氏名及死亡年月日竝ニ相續人ノ本籍、住所及氏名ヲ記載シ戶籍謄本ヲ添附スルコト

三　事業休止ノ屆書ニハ休止ノ事由及期間ヲ記載スルコト

四　事業ノ廢止又ハ會社ノ解散ノ屆書ニハ事業ノ廢止又ハ會社ノ解散ニ關スル第九條第三號ニ準ズル書類ヲ添附スルコト

第十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル自動車運送事業ノ經營ヲ開始シタルトキハ其ノ經營スル事業ニ付第一條又ハ第二條ノ規定ニ準ジ之ヲ免許官廳ニ屆出ヅベシ

一　國ヨリ運送ノ委託ヲ受ケテ經營スルモノ

二　特定ノ學校、工場等ガ無償ニテ其ノ學生、生徒、職工其ノ他ノ特定人ヲ運送スルモノ

三　第四條ノ規定ニ違反シタル者

四　免許ヲ受ケタル者ノ名義ヲ利用シテ自動車運送事業ヲ經營シタル者又ハ其ノ名義ヲ他人ニ利用セシメタル者

五　第十條第一項ノ規定ニ違反シタル者

第二十六條　自動車運送事業者ガ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本令ノ罰則ノ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

自動車運送事業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ其ノ罰則ヲ會社ニ適用ス

第二十七條　本令ニ規定スルモノノ外自動車運送事業ニ關シ必要ナル事項ハ道知事之ヲ定ム

附　則

第二十八條　本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十九條　本令施行ノ際現ニ本令ニ依リ新ニ免許ヲ受ケベキモノト爲リタル自動車運送事業ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ三月內ニ第一條又ハ第二條ノ規定ニ準ジ之ヲ免許ヲ申請スベシ

第三十條　本令施行ノ際現ニ第十七條各號ノ一ニ該當スル自動車運送事業ヲ經營スル者ハ本令施行ノ日ヨリ二月內ニ同條ノ規定ニ準ジ之ヲ屆出ヅベシ

第三十一條　本令施行ノ際現ニ及本令施行ノ日ヨリ三年內ニ不定期遊覽乘合自動車事業又ハ特定自動車運送事業ノ用ニ供スル自動

車ニ付テハ朝鮮旅客自動車設備規程附則第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第三十三條　鐵道局長又ハ道知事ハ公益上必要アリト認ムルトキハ第二十九條又ハ第三十條ノ自動車運送事業ニ付新ニ免許ニ有效期間若ハ事業區域ヲ指定シ又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

●朝鮮自動車取締規則

昭和九年十二月
總令第百三十一號

朝鮮自動車取締規則

第一章　總則

第一條　本令ハ道路ニ於テ運轉スル自動車ニ之ヲ適用ス

前項ニ於テ道路ト稱スルハ一般ノ道路、自動車道其ノ他一般通行ノ用ニ供スル道路ヲ謂ヒ自動車ト稱スルハ原動機ヲ用ヒ軌條ニ依ラズシテ運轉スル車輛ヲ謂フ

第二條　自動車ヲ分チテ普通自動車、特殊自動車及小型自動車ノ三種トス

前項ニ於テ普通自動車ト稱スルハ內燃原動機、蒸氣裝置及前車軸ノ兩車輪ニ依ル操向裝置ヲ具備シ主トシテ人又ハ貨物ヲ運搬スル構造ヲ有スル車輛重量（燃料油槽、燃料槽、潤滑油槽、冷却水槽其ノ他之ニ類スル容器ヲ充滿シタル狀態ニ於ケル自動車ノ重量以下之ニ同ジ）三百六十瓩以上ノ自動車ニシテ小型自動車ニ非ザルモノヲ謂ヒ特殊自動車ト稱スルハ普通自動車又ハ小型自動車ニ非ザル自動車ヲ謂ヒ小型自動車ト稱スルハ左ノ制限ヲ超エザル自動車ヲ謂フ

一　車輛ノ長サ二・八米、幅一・二米、高サ一・八米

二　內燃機關ヲ原動機トスルモノニシテ四行程式ヲ用フルモノニ在リテハ氣筒容積ノ合計七百五十立方糎、二行程式ヲ用フルモノニ在リテハ氣筒容積ノ合計五百立方糎

三　電動機ヲ原動機トスルモノニ在リテハ一時間定格出力三キロワット

第二十八條　特別ノ事由アルトキハ道知事ノ承認ヲ受ケ前條第一項ノ自動車以外ノ特殊自動車ハ第十二條第一號、第十四條乃至第十八條又ハ第四十一條第一項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第二十九條　道知事必要アリト認ムルトキハ專ラ危險物ヲ運搬スル自動車ニ付危害豫防上必要ナル構造裝置ヲ命ズルコトヲ得交通上特ニ危險ノ虞アル道路ヲ主タル運轉地トスル自動車ニ付亦同ジ

第三十條　車輛ノ外部ハ之ヲ溶色ニ塗リ又ハ消防自動車、郵便自動車及專ラ危險物ヲ運搬スル自動車ヲ除クノ外赤色ニ塗ルコトヲ得ズ

前項ニ規定スルモノノ外道知事必要アリト認ムルトキハ自動車ノ塗色ヲ制限スルコトヲ得

第三十一條　運轉者ハ自動車ノ構造裝置ニ付危險豫防上必要ナル注意ヲ爲スベシ

自動車ノ使用主ハ其ノ構造裝置ニ關シ警察官吏ヨリ注意ヲ受ケ又ハ危害豫防ニ關シ運轉者ヨリ告知ヲ受ケタルトキハ必要ナル措置ヲ爲スニ非ザレバ自動車ヲ使用スルコトヲ得ズ

第三章　車輛ノ檢查

第三十二條　自動車ハ車輛檢查ニ合格シ且車輛番號ノ指定ヲ受ケタルモノニ非ザレバ之ヲ運轉スルコトヲ得ズ但シ第四十九條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條　車輛檢查ハ自動車ノ使用ノ本ニ在リテハ道知事ノ指定スル官吏又ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ之ヲ行ハシム

二　機能確實且容易ニ操縱シ得ベキモノニシテ之ヲ作用セシメタル場合ニ於テ車輛ノ橫走、轉覆其ノ他危險ノ虞ナキモノタルコト

三　運轉者自動車ニ在ラザルトキ車輛ノ停止狀態ヲ保持シ得ベキ構造タルコト

第三十三條　車輛重量三百六十瓩以上ノ自動車ハ逆行裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第三十四條　タイヤハ護謨製ノモノタルコトヲ要ス

第三十五條　自動車ハ適當ナル警音器ヲ備フルコトヲ要ス

道知事ノ指定スル市街地ニ於テ運轉スル自動車ハ軟鋼ノ音響ヲ發スル警音器ヲ使用スベシ

前項ノ規定ハ消防自動車、救急自動車（專ラ人命救護ノ目的ヲ以テ當備セラレ且其ノ目的ノ爲必要ナル構造設備ヲ有スル自動車ニ付テハ之ヲ適用セズ

第三十六條　自動車ハ運轉者ノ見易キ箇所ニ速度計ヲ備ヘ且其ノ數字ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スル燈火ヲ備フルコトヲ要ス

第三十七條　前照燈ハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス

一　車輛ノ前面ノ兩側ニ各一箇ヲ備フルコト

二　前方五十米以內ニ於ケル交通上ノ障害物ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スルコト

三　主要光線ノ限界ハ前方二十五米以內ニ於テ地上一・二米ヲ超エザルコト

第三十八條　車輛ノ後面ニハ相當ノ光度ヲ有スル赤色ノ尾燈一箇以上及少クトモ二十五米ノ距離ニ於テ車輛番號ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スル燈火ヲ備フルコトヲ要ス

前項ノ燈火ハ運轉者ノ座席ヨリ消燈シ得ザル裝置ヲ設スコトヲ要ス

第三十九條　車室ニハ室內燈ヲ備フルコトヲ要ス

第四十條　車輛ノ外部ニハ制規ノ燈火以外ノ燈火ヲ備フルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依リ道知事ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十一條　尾燈、停止燈及方向指示器ノ燈火ノ外有色ノ燈火ヲ用フルコトヲ得ズ但シ他ノ法令又ハ前條但書ノ規定ニ依リタル燈火ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十二條　普通自動車ハ車輛ノ前面及後面ニ緩衝器ヲ備フルコトヲ要ス但シ特別ノ事由ニ依リ道知事ノ承認ヲ受ケタル自動車ノ車輛ノ後面ニハ之ヲ備ヘザルコトヲ得

第四十三條　普通自動車ハ前面硝子拂拭器ヲ備フルコトヲ要ス

第四十四條　道知事ノ指定スル市街地ヲ主タル運轉地トスル普通自動車ハ方向指示器、後窓鏡及停止燈ヲ備フルコトヲ要ス

第四十五條　道知事必要アリト認ムルトキハ特殊自動車又ハ小型自動車ニ指定シテ緩衝器、前面硝子拂拭器、方向指示器、後窓鏡又ハ停止燈ノ備附ヲ命ズルコトヲ得

第四十六條　自動車ニ依リ汚水、泥土等ヲ飛散スル虞アル場合ニ於テハ泥除ヲ裝置スベシ但シ特別ノ事由ニ依リ道知事ノ承認ヲ受ケタル自動車ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十七條　自動車轉車、側車附自動車轉又ハ自動三輪車ハ其ノ構造裝置ニ付第十二條第一號、第十七條第一號及第四十二條第一項ノ規定ニ拘ラズ左ノ各號ニ依ルコトヲ得

一　一系統ノ制動裝置ヲ備フルコト

二　前照燈一箇以上ヲ備フルコト

三　車輛番號ハ車輛ノ後面ニ標示スルコト

小型自動車タル前項ノ自動車ニシテ左ノ制限ヲ超エザルモノハ同項ノ規定ニ依ルノ外速度計ヲ備ヘザルコトヲ得

一　內燃機關ヲ原動機トスルモノニシテ四行程式ヲ用フルモノニ在リテハ氣筒容積

ノ合計四百五十立方糎、二行程式ヲ用フルモノニ在リテハ氣筒容積ノ合計三百立方糎

二　電動機ヲ原動機トスルモノニ在リテハ一時間定格出力三キロワット

第二十八條　特別ノ事由アルトキハ道知事ノ承認ヲ受ケ前條第一項ノ自動車以外ノ特殊自動車ハ第十二條第一號、第十四條乃至第十八條又ハ第四十一條第一項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第二十九條　道知事必要アリト認ムルトキハ專ラ危險物ヲ運搬スル自動車ニ付危害豫防上必要ナル構造裝置ヲ命ズルコトヲ得交通上特ニ危險ノ虞アル道路ヲ主タル運轉地トスル自動車ニ付亦同ジ

第三十條　車輛ノ外部ハ之ヲ溶色ニ塗リ又ハ消防自動車、郵便自動車及專ラ危險物ヲ運搬スル自動車ヲ除クノ外赤色ニ塗ルコトヲ得ズ

前項ニ規定スルモノノ外道知事必要アリト認ムルトキハ自動車ノ塗色ヲ制限スルコトヲ得

第三十一條　運轉者ハ自動車ノ構造裝置ニ付危險豫防上必要ナル注意ヲ爲スベシ

自動車ノ使用主ハ其ノ構造裝置ニ關シ警察官吏ヨリ注意ヲ受ケ又ハ危害豫防ニ關シ運轉者ヨリ告知ヲ受ケタルトキハ必要ナル措置ヲ爲スニ非ザレバ自動車ヲ使用スルコトヲ得ズ

第三章　車輛ノ檢查

第三十二條　自動車ハ車輛檢查ニ合格シ且車輛番號ノ指定ヲ受ケタルモノニ非ザレバ之ヲ運轉スルコトヲ得ズ但シ第四十九條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條　車輛檢查ハ自動車ノ使用ノ本ニ在リテハ道知事ノ指定スル官吏又ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ之ヲ行ハシム

二　機能確實且容易ニ操縱シ得ベキモノニシテ之ヲ作用セシメタル場合ニ於テ車輛ノ橫走、轉覆其ノ他危險ノ虞ナキモノタルコト

三　運轉者自動車ニ在ラザルトキ車輛ノ停止狀態ヲ保持シ得ベキ構造タルコト

第三十三條　車輛重量三百六十瓩以上ノ自動車ハ逆行裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第三十四條　タイヤハ護謨製ノモノタルコトヲ要ス

第三十五條　自動車ハ適當ナル警音器ヲ備フルコトヲ要ス

道知事ノ指定スル市街地ニ於テ運轉スル自動車ハ軟鋼ノ音響ヲ發スル警音器ヲ使用スベシ

前項ノ規定ハ消防自動車、救急自動車（專ラ人命救護ノ目的ヲ以テ當備セラレ且其ノ目的ノ爲必要ナル構造設備ヲ有スル自動車ニ付テハ之ヲ適用セズ

第三十六條　自動車ハ運轉者ノ見易キ箇所ニ速度計ヲ備ヘ且其ノ數字ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スル燈火ヲ備フルコトヲ要ス

第三十七條　前照燈ハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス

一　車輛ノ前面ノ兩側ニ各一箇ヲ備フルコト

二　前方五十米以內ニ於ケル交通上ノ障害物ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スルコト

三　主要光線ノ限界ハ前方二十五米以內ニ於テ地上一・二米ヲ超エザルコト

第三十八條　車輛ノ後面ニハ相當ノ光度ヲ有スル赤色ノ尾燈一箇以上及少クトモ二十五米ノ距離ニ於テ車輛番號ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スル燈火ヲ備フルコトヲ要ス

前項ノ燈火ハ運轉者ノ座席ヨリ消燈シ得ザル裝置ヲ設スコトヲ要ス

第三十九條　車室ニハ室內燈ヲ備フルコトヲ要ス

第四十條　車輛ノ外部ニハ制規ノ燈火以外ノ燈火ヲ備フルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依リ道知事ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十一條　尾燈、停止燈及方向指示器ノ燈火ノ外有色ノ燈火ヲ用フルコトヲ得ズ但シ他ノ法令又ハ前條但書ノ規定ニ依リタル燈火ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十二條　普通自動車ハ車輛ノ前面及後面ニ緩衝器ヲ備フルコトヲ要ス但シ特別ノ事由ニ依リ道知事ノ承認ヲ受ケタル自動車ノ車輛ノ後面ニハ之ヲ備ヘザルコトヲ得

第四十三條　普通自動車ハ前面硝子拂拭器ヲ備フルコトヲ要ス

第四十四條　道知事ノ指定スル市街地ヲ主タル運轉地トスル普通自動車ハ方向指示器、後窓鏡及停止燈ヲ備フルコトヲ要ス

第四十五條　道知事必要アリト認ムルトキハ特殊自動車又ハ小型自動車ニ指定シテ緩衝器、前面硝子拂拭器、方向指示器、後窓鏡又ハ停止燈ノ備附ヲ命ズルコトヲ得

第四十六條　自動車ニ依リ汚水、泥土等ヲ飛散スル虞アル場合ニ於テハ泥除ヲ裝置スベシ但シ特別ノ事由ニ依リ道知事ノ承認ヲ受ケタル自動車ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十七條　自動車轉車、側車附自動車轉又ハ自動三輪車ハ其ノ構造裝置ニ付第十二條第一號、第十七條第一號及第四十二條第一項ノ規定ニ拘ラズ左ノ各號ニ依ルコトヲ得

一　一系統ノ制動裝置ヲ備フルコト

二　前照燈一箇以上ヲ備フルコト

三　車輛番號ハ車輛ノ後面ニ標示スルコト

小型自動車タル前項ノ自動車ニシテ左ノ制限ヲ超エザルモノハ同項ノ規定ニ依ルノ外速度計ヲ備ヘザルコトヲ得

一　內燃機關ヲ原動機トスルモノニシテ四行程式ヲ用フルモノニ在リテハ氣筒容積

ノ合計四百五十立方糎、二行程式ヲ用フルモノニ在リテハ氣筒容積ノ合計三百立方糎

二　電動機ヲ原動機トスルモノニ在リテハ一時間定格出力三キロワット

第二十八條　特別ノ事由アルトキハ道知事ノ承認ヲ受ケ前條第一項ノ自動車以外ノ特殊自動車ハ第十二條第一號、第十四條乃至第十八條又ハ第四十一條第一項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第二十九條　道知事必要アリト認ムルトキハ專ラ危險物ヲ運搬スル自動車ニ付危害豫防上必要ナル構造裝置ヲ命ズルコトヲ得交通上特ニ危險ノ虞アル道路ヲ主タル運轉地トスル自動車ニ付亦同ジ

第三十條　車輛ノ外部ハ之ヲ溶色ニ塗リ又ハ消防自動車、郵便自動車及專ラ危險物ヲ運搬スル自動車ヲ除クノ外赤色ニ塗ルコトヲ得ズ

前項ニ規定スルモノノ外道知事必要アリト認ムルトキハ自動車ノ塗色ヲ制限スルコトヲ得

第三十一條　運轉者ハ自動車ノ構造裝置ニ付危險豫防上必要ナル注意ヲ爲スベシ

自動車ノ使用主ハ其ノ構造裝置ニ關シ警察官吏ヨリ注意ヲ受ケ又ハ危害豫防ニ關シ運轉者ヨリ告知ヲ受ケタルトキハ必要ナル措置ヲ爲スニ非ザレバ自動車ヲ使用スルコトヲ得ズ

第三章　車輛ノ檢查

第三十二條　自動車ハ車輛檢查ニ合格シ且車輛番號ノ指定ヲ受ケタルモノニ非ザレバ之ヲ運轉スルコトヲ得ズ但シ第四十九條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條　車輛檢查ハ自動車ノ使用ノ本ニ在リテハ道知事ノ指定スル官吏又ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ之ヲ行ハシム

二　機能確實且容易ニ操縱シ得ベキモノニシテ之ヲ作用セシメタル場合ニ於テ車輛ノ橫走、轉覆其ノ他危險ノ虞ナキモノタルコト

三　運轉者自動車ニ在ラザルトキ車輛ノ停止狀態ヲ保持シ得ベキ構造タルコト

第三十三條　車輛重量三百六十瓩以上ノ自動車ハ逆行裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第三十四條　タイヤハ護謨製ノモノタルコトヲ要ス

第三十五條　自動車ハ適當ナル警音器ヲ備フルコトヲ要ス

道知事ノ指定スル市街地ニ於テ運轉スル自動車ハ軟鋼ノ音響ヲ發スル警音器ヲ使用スベシ

前項ノ規定ハ消防自動車、救急自動車（專ラ人命救護ノ目的ヲ以テ當備セラレ且其ノ目的ノ爲必要ナル構造設備ヲ有スル自動車ニ付テハ之ヲ適用セズ

第三十六條　自動車ハ運轉者ノ見易キ箇所ニ速度計ヲ備ヘ且其ノ數字ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スル燈火ヲ備フルコトヲ要ス

第三十七條　前照燈ハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス

一　車輛ノ前面ノ兩側ニ各一箇ヲ備フルコト

二　前方五十米以內ニ於ケル交通上ノ障害物ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スルコト

三　主要光線ノ限界ハ前方二十五米以內ニ於テ地上一・二米ヲ超エザルコト

第三十八條　車輛ノ後面ニハ相當ノ光度ヲ有スル赤色ノ尾燈一箇以上及少クトモ二十五米ノ距離ニ於テ車輛番號ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スル燈火ヲ備フルコトヲ要ス

前項ノ燈火ハ運轉者ノ座席ヨリ消燈シ得ザル裝置ヲ設スコトヲ要ス

第三十九條　車室ニハ室內燈ヲ備フルコトヲ要ス

第四十條　車輛ノ外部ニハ制規ノ燈火以外ノ燈火ヲ備フルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依リ道知事ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十一條　尾燈、停止燈及方向指示器ノ燈火ノ外有色ノ燈火ヲ用フルコトヲ得ズ但シ他ノ法令又ハ前條但書ノ規定ニ依リタル燈火ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十二條　普通自動車ハ車輛ノ前面及後面ニ緩衝器ヲ備フルコトヲ要ス但シ特別ノ事由ニ依リ道知事ノ承認ヲ受ケタル自動車ノ車輛ノ後面ニハ之ヲ備ヘザルコトヲ得

第四十三條　普通自動車ハ前面硝子拂拭器ヲ備フルコトヲ要ス

第四十四條　道知事ノ指定スル市街地ヲ主タル運轉地トスル普通自動車ハ方向指示器、後窓鏡及停止燈ヲ備フルコトヲ要ス

第四十五條　道知事必要アリト認ムルトキハ特殊自動車又ハ小型自動車ニ指定シテ緩衝器、前面硝子拂拭器、方向指示器、後窓鏡又ハ停止燈ノ備附ヲ命ズルコトヲ得

第四十六條　自動車ニ依リ汚水、泥土等ヲ飛散スル虞アル場合ニ於テハ泥除ヲ裝置スベシ但シ特別ノ事由ニ依リ道知事ノ承認ヲ受ケタル自動車ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十七條　自動車轉車、側車附自動車轉又ハ自動三輪車ハ其ノ構造裝置ニ付第十二條第一號、第十七條第一號及第四十二條第一項ノ規定ニ拘ラズ左ノ各號ニ依ルコトヲ得

一　一系統ノ制動裝置ヲ備フルコト

二　前照燈一箇以上ヲ備フルコト

三　車輛番號ハ車輛ノ後面ニ標示スルコト

小型自動車タル前項ノ自動車ニシテ左ノ制限ヲ超エザルモノハ同項ノ規定ニ依ルノ外速度計ヲ備ヘザルコトヲ得

一　內燃機關ヲ原動機トスルモノニシテ四行程式ヲ用フルモノニ在リテハ氣筒容積

前項ノ規定ニ依ル廃分ニ依リ車輛檢査證ノ記載事項ニ變更ヲ生ズルトキハ自動車ノ使用主ハ十日内ニ其ノ主タル使用地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ車輛檢査證ニ變更事項ノ記入ヲ受クベシ

第四十五條　自動車ノ使用主ハ其ノ住所若ハ氏名又ハ車庫若ハ車輛檢場ノ所在地ニ變更アリタルトキハ十日内ニ第四條ニ規定スル區分ニ準ジ警察署長ニ其ノ旨ヲ届出テ車輛檢査證ニ變更事項ノ記入ヲ受クベシ

第四十六條　車輛檢査證ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ自動車ノ主タル使用地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ其ノ再交付ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シ車輛檢査證アルトキハ之ヲ添附スベシ

一　申請者ノ住所及氏名
二　自動車ノ種別及車輛番號
三　自動車ノ用途
四　亡失又ハ毀損ノ事由

第四十七條　警察署長第三十九條、第四十條、第四十四條第二項又ハ前條第一項ノ規定ニ依ル届書又ハ申請書ヲ受附ケタルトキハ第三號樣式ノ車輛檢査證證明書ヲ交付スルコトヲ得

第四十一條第一項ノ規定ハ前項ノ車輛檢査證證明書ニ付之ヲ準用ス

第一項ノ車輛檢査證證明書ハ車輛檢査證ノ交付ヲ受ケタルトキ遲滯ナク之ヲ返納スベシ

第四十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ自動車ノ使用主ハ遲滯ナク車輛檢査證ヲ返納スベシ

一　自動車ノ使用ヲ廢止シタルトキ
二　車輛檢査ノ有效期間滿了シタルトキ
三　第三條又ハ第四十四條第一項ノ規定ニ依リ自動車ノ使用ヲ禁止セラレタルトキ
四　亡失シタル車輛檢査證ヲ發見シタルトキ

第三條又ハ第四十四條第一項ノ規定ニ依リ自動車ノ使用ヲ停止ヲ命セラレタル場合ニ於テ自動車ノ使用主ハ自動車ノ使用ヲ遲滯ナク車輛檢査證ヲ第四條ニ規定スル期間滿了後仍引續キ當該自動車ヲ運輸ノ用ニ供セントスルトキハ之ヲ交付ヲ受クベシ

第四十九條　自動車ノ檢査、試運轉又ハ廻送ノ爲車輛ノ檢査ニ合格セズ又ハ車輛番號ノ指定ヲ受ケザル自動車ヲ一時運轉セントスル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ付テハ前條第一項ノ試驗ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

一　特殊免許ヲ受ケントスル者
二　朝鮮外ノ行政官廳ニ於テ與ヘタル免許ヲ有スル者
三　特殊免許ヲ有スル者ニシテ普通免許又ハ別種ノ特殊免許ヲ受ケントスル者
四　朝鮮總督ノ指定スル者ノ技術證明書ヲ有スル者

第五十條　運轉免許ヲ分チテ普通免許、特殊免許及小型免許ノ三種トス

普通免許ハ自動車及小型自動車ヲ、特殊免許ハ自動車ヲ、小型免許ハ小型自動車ヲ運轉スルコトヲ得

第五十一條　運轉免許ヲ分チテ普通免許、特殊免許及小型免許ノ三種トス

普通免許ハ自動車及小型自動車ヲ、特殊免許ハ自動車ヲ、小型免許ハ小型自動車ヲ運轉スルコトヲ得

第五十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ運轉免許ヲ受ケルコトヲ得ズ

一　運轉免許ヲ取消サレタル場合ニ於テ其ノ取消ノ日ヨリ起算シ二年ヲ經過セザル者
二　精神病者、癲癇者、唖者又ハ盲者
三　運轉免許又ハ假運轉免許ノ取消ヲ受ケ一年ヲ經過セザル者

第五十三條　運轉免許ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ具シ道知事ニ申請スベシ

一　申請者ノ本籍、住所、氏名及生年月日
二　運轉免許ノ種別
三　第五十五條第一項第二號又ハ第三號ニ該當スル者ニ在リテハ現ニ有スル運轉免許ノ種別免許番號及有效期限
四　兵役關係（徴集年度、役種、兵種、官等級及所屬ノ聯隊區、師團又ハ鎭守府名以下之ニ同ジ）

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ揭グル書類及寫眞（申請前六月内ニ撮影シタル脫帽正面、半身像、名刺版、無褒紙ノ寫眞ニシテ其ノ裏面ニ氏名及生年月日ヲ記載セルモノ以下之ニ同ジ）二葉ヲ添附スベシ但シ第五十五條第一項第二號又ハ第三號ニ該當スル者ニ在リテハ第二號ニ揭グル書類ハ之ヲ添附スルコトヲ要セズ

一　履歷書
二　戶籍抄本
三　第五十五條第一項第二號又ハ第三號ニ該當スル者ニ在リテハ運轉免許證ノ寫、同條第二項第二號又ハ第三號ニ該當スル者ニ在リテハ運轉免許證又ハ其ノ寫、同項第三號ニ該當スル者ニ在リテハ卒業證書ノ寫及在學中自動車ノ構造ニ關スル學科ヲ修得シタルコトノ證明書、同項第四號ニ該當スル者ニ在リテハ技術證明書ノ寫

第五十四條　普通免許及特殊免許ハ自動車ノ構造及取扱方法ノ要旨、自動車及交通ニ關スル取締法令竝自動車ノ運轉技能ニ關スル試驗ニ合格シタル者ニ對シ之ヲ與フ

前項ノ試驗ニ關シ必要ナル事項ハ道知事之ヲ定ム

第五十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ付テハ前條第一項ノ試驗ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得

一　現ニ運轉免許ヲ有スル者ニシテ運轉免許ノ有效期間滿了後仍引續キ當該自動車ヲ運轉セントスル者
二　普通免許ヲ有スル者ニシテ特殊免許ヲ受ケントスル者
三　特殊免許ヲ有スル者ニシテ普通免許又ハ別種ノ特殊免許ヲ受ケントスル者
四　朝鮮外ノ行政官廳ニ於テ與ヘタル運轉免許ヲ有スル者ニシテ其ノ免許ノ種別ニ該當スル者

第五十六條　運轉免許ヲ受ケントスル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ付テハ前條第一項ノ試驗ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

一　朝鮮外ノ行政官廳ニ於テ與ヘタル運轉免許ヲ有スル者ニシテ運轉免許ノ種別ニ該當スル者
二　自動車ノ種別及車輛番號
三　一時運轉許可證ノ交付ヲ受ケントスル者
四　一時運轉ノ目的
五　運轉經路
六　運轉日時
七　運轉者ノ住所、氏名及運轉免許ノ種別（第五十一條第一項ニ規定スル運轉免許ノ種類及特殊免許ニ在リテハ同條第二項ノ規定ニ定ムル種類以下之ニ同ジ）

警察署長前項ノ一時運轉ヲ許可シタルトキハ第四號樣式ノ一時運轉許可標板及第五號樣式ノ一時運轉許可證ヲ交付ス

第四十一條第一項ノ規定ハ前項ノ一時運轉許可標板ニ、第六十二條ノ規定ハ同項ノ一時運轉許可證ニ付之ヲ準用ス

第二項ノ一時運轉許可標板及一時運轉許可證ハ運轉終了後遲滯ナク之ヲ返納スベシ

第四章　運轉者及運轉免許

第五十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ運轉免許ヲ受ケルコトヲ得ズ

一　心身喪失者、聾者、唖者又ハ瞽者
二　癲癇、麻痺、精神病其ノ他ノ疾病ニ因リ自動車運轉ノ業務ニ適セザル者
三　アルコール中毒者
四　自動車運轉ノ業務ニ關シ重大ナル過失ヲ犯シ又ハ故意ニ人ヲ死傷ニ致シタル者ニシテ其ノ情狀ニ因リ自動車運轉ノ業務ニ適セザル者
五　自動車ノ運轉ニ關シ悪性アリト認メラルル者
六　運轉免許ヲ取消サレタル者ニシテ其ノ取消ノ日ヨリ起算シ二年ヲ經過セザル者
七　運轉免許ノ效力ヲ停止セラレタル者ニシテ其ノ停止ノ期間中ニ在ル者
八　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケザルニ至リタル日ヨリ起算シ二年ヲ經過セザル者
九　罰金ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケザルニ至リタル日ヨリ起算シ二年ヲ經過セザル者

第五十八條　運轉免許ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ具シ道知事ニ申請スベシ

一　申請者ノ本籍、住所、氏名及生年月日
二　運轉セントスル自動車ノ種別、車名、型式及車輛番號
三　運轉期間

第一項ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ道知事ハ自動車ヲ指定シ三月内ノ期間ヲ限リ假運轉免許ヲ與フルコトヲ得

道知事假運轉免許ヲ與ヘタルトキハ第七號樣式ノ假運轉免許證ヲ交付ス

第六十一條　運轉免許又ハ假運轉免許ヲ有スル者ハ兩者同種ノ運轉免許又ハ假運轉免許ヲ受クルニ非ザレバ自動車ヲ運轉スルコトヲ得ズ

第六十二條　運轉者ハ運轉中運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ携帶スベシ

第六十三條　運轉免許ヲ受ケタル者ハ運轉地ニ於テ自動車ヲ運轉セントスルトキハ左ニ揭グル事項ヲ具シ其ノ地ヲ管轄スル道知事ニ届出テ運轉免許證ニ主タル運轉地ノ記入ヲ受クベシ

一　届者ノ住所及氏名
二　運轉免許ノ種別及免許番號
三　主タル運轉地
四　他人ニ雇傭セラルルトキハ其ノ雇主ノ住所、職業及氏名

主タル運轉地ヲ管轄スル道知事運轉免許ヲ與ヘタル道知事ト異ルトキハ前項ノ規定ニ依ル届書ニ乘ヲ添附スベシ

第六十四條　運轉免許ヲ受ケタル者主タル運轉地ヲ變更シタルトキハ十日内ニ前條第一項各號ノ事項及變更ノ年月日ヲ具シ變更後ノ主タル運轉地ヲ管轄スル道知事ニ届出テ運轉免許證ニ運轉地變更ノ記入ヲ受クベシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　運轉免許ヲ受ケタル者ハ其ノ住所若ハ氏名又ハ兵役關係ニ變更アリタルトキハ十日内ニ第四條ニ規定スル區分ニ準ジ警察署長ニ其ノ旨ヲ届出テ運轉免許證ニ變更事項ノ記入ヲ受クベシ

第六十六條　運轉免許證ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於テ其ノ運轉ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ其ノ再交付ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シ運轉免許證アルトキハ之ヲ添附スベシ

一　申請者ノ住所及氏名
二　運轉免許ノ種別及免許番號
三　亡失又ハ毀損ノ事由

第六十七條　警察署長第六十三條、第六十四條又ハ前條ノ規定ニ依ル届書又ハ申請書ヲ受附ケタルトキハ第八號樣式ノ運轉免許證明書ヲ交付スルコトヲ得

第六十八條　運轉免許證證明書ニ付之ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シ寫眞二葉及運轉免許證アルトキハ之ヲ添附スベシ

一　申請者ノ住所及氏名
二　運轉免許ノ種別及免許證番號
三　亡失又ハ毀損ノ事由

第六十九條　警察署長第六十三條、第六十四條又ハ前條ノ規定ニ依ル届書又ハ申請書ヲ受附ケタルトキハ第九號樣式ノ運轉免許證證明書ヲ交付スルコトヲ得

第七十條　運轉者ハ運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ携帶シ且全車輪ヲ制動スル制動裝置ヲ有スル自動車ヲ運轉スルトキハ自動車ノ主タル運轉地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ其ノ再交付ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シ寫眞二葉ヲ添附スベシ

一　申請者ノ住所及氏名
二　運轉免許ノ種別及免許證番號
三　亡失又ハ毀損ノ事由

第七十一條　運轉者ハ運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ乘降若ハ貨物ノ積卸ノ爲、法令ノ規定若ハ交通上ノ標示指示ニ依リ又ハ交通上ノ危害豫防ノ爲一時自動車ヲ停止スルコトヲ謂ヒ駐車ト稱スルハ停車以外ノ場合ニ於テ自動車ヲ駐ムルコトヲ謂フ

停止時間五分以上ニ亙ル停車ハ之ヲ駐車ト看做ス

第七十二條　自動車ハ其ノ車輛ノ幅ノ二倍半以上ノ有效幅員ヲ有スル道路又ハ其ノ車輛ノ幅ノ一倍半以上ノ有效幅員ヲ有シ且適當ノ間隔毎ニ自動車相互ニ行違ヒ得ル場所ヲ有スル道路ニ非ザレバ之ヲ運轉スルコトヲ得ズ但シ停車ノ場合ニ於テ警察官吏ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ消防自動車、救急自動車及道知事ノ指定スル自動車（以下單ニ消防自動車ト稱ス）ニハ之ヲ適用セズ

第一項ニ規定スル道路ノ有效幅員ハ歩道及車馬道ノ區別アル道路ニ在リテハ車馬道ノ有效幅員トス

道知事必要アリト認ムルトキハ區域、時間若ハ自動車ヲ指定シ又ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ道路ヲ指定シテ自動車ノ運轉ヲ制限スルコトヲ得

第七十三條　自動車ノ最高速度ハ左ノ制限ニ依ルベシ

一　總重量二千五百瓩（乘車定員七人以下ノ乘用自動車ニ在リテハ三千瓩）未滿ノ自動車ニシテ全車輪ニ空氣入タイヤヲ使用シ且全車輪ヲ制動スル制動裝置ヲ有スル運轉免許及特殊免許ニ在リテハ十八歲未滿ノ者、小型免許ニ在リテハ十六歲未滿ノ者
二　精神病者、癲癇者、唖者又ハ盲者
三　運轉免許又ハ假運轉免許ノ取消ヲ受ケ一年ヲ經過セザル者
四　亡失又ハ毀損ノ事由

第七十四條　運轉者ハ運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ乘降若ハ貨物ノ積卸ノ爲、法令ノ規定若ハ交通上ノ標示指示ニ依リ又ハ交通上ノ危害豫防ノ爲一時自動車ヲ停止スルコトヲ謂ヒ駐車ト稱スルハ停車以外ノ場合ニ於テ自動車ヲ駐ムルコトヲ謂フ

停止時間五分以上ニ亙ル停車ハ之ヲ駐車ト看做ス

第七十五條　自動車ハ其ノ車輛ノ幅ノ二倍半以上ノ有效幅員ヲ有スル道路又ハ其ノ車輛ノ幅ノ一倍半以上ノ有效幅員ヲ有シ且適當ノ間隔毎ニ自動車相互ニ行違ヒ得ル場所ヲ有スル道路ニ非ザレバ之ヲ運轉スルコトヲ得ズ但シ停車ノ場合ニ於テ警察官吏ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ消防自動車、救急自動車及道知事ノ指定スル自動車（以下單ニ消防自動車ト稱ス）ニハ之ヲ適用セズ

第一項ニ規定スル道路ノ有效幅員ハ歩道及車馬道ノ區別アル道路ニ在リテハ車馬道ノ有效幅員トス

道知事必要アリト認ムルトキハ區域、時間若ハ自動車ヲ指定シ又ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ道路ヲ指定シテ自動車ノ運轉ヲ制限スルコトヲ得

第七十六條　自動車ノ最高速度ハ左ノ制限ニ依ルベシ

一　總重量二千五百瓩（乘車定員七人以下ノ乘用自動車ニ在リテハ三千瓩）未滿ノ自動車ニシテ全車輪ニ空氣入タイヤヲ使用シ且全車輪ヲ制動スル制動裝置ヲ有スル運轉免許及特殊免許ニ在リテハ十八歲未滿ノ者、小型免許ニ在リテハ十六歲未滿ノ者
二　精神病者、癲癇者、唖者又ハ盲者
三　運轉免許又ハ假運轉免許ノ取消ヲ受ケ一年ヲ經過セザル者
四　亡失又ハ毀損ノ事由

第七十七條　運轉者ハ自動車ノ方向ヲ轉換シ、徐行シ若ハ停止セントスルトキハ後續車輛ヲシテ追越サシメントスルトキハ後續車ヲシテ爲スベシ但シ方向指示器、停止燈ニ依ル信號ヲ以テ手信號ニ代フル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ手信號ハ左ニ揭グル方法ニ依ルベシ

一　左折セントスルトキ
左手ヲ開キ之ヲ左方車體外ニ水平ニ出シ又ハ右手ヲ開キ之ヲ右方車體外ニ擧ゲ
二　右折セントスルトキ
右手ヲ開キ之ヲ右方車體外ニ水平ニ出シ又ハ左手ヲ開キ之ヲ左方車體外ニ擧ゲ
三　徐行セントスルトキ
左手又ハ右手ヲ開キ車體外斜下ニ出シ

一　申請者ノ本籍又ハ國籍、居所又ハ滯在地、氏名及年齡
二　運轉セントスル自動車ノ種別、車名、型式及車輛番號
三　運轉期間

第一項ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ道知事ハ自動車ヲ指定シ三月内ノ期間ヲ限リ假運轉免許ヲ與フルコトヲ得

道知事假運轉免許ヲ與ヘタルトキハ第七號樣式ノ假運轉免許證ヲ交付ス

第六十一條　運轉免許又ハ假運轉免許ヲ有スル者ハ兩者同種ノ運轉免許又ハ假運轉免許ヲ受クルニ非ザレバ自動車ヲ運轉スルコトヲ得ズ

第六十二條　運轉者ハ運轉中運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ携帶スベシ

第六十三條　運轉免許ヲ受ケタル者ハ運轉地ニ於テ自動車ヲ運轉セントスルトキハ左ニ揭グル事項ヲ具シ其ノ地ヲ管轄スル道知事ニ届出テ運轉免許證ニ主タル運轉地ノ記入ヲ受クベシ

一　届者ノ住所及氏名
二　運轉免許ノ種別及免許番號
三　主タル運轉地
四　他人ニ雇傭セラルルトキハ其ノ雇主ノ住所、職業及氏名

主タル運轉地ヲ管轄スル道知事運轉免許ヲ與ヘタル道知事ト異ルトキハ前項ノ規定ニ依ル届書ニ乘ヲ添附スベシ

第六十四條　運轉免許ヲ受ケタル者主タル運轉地ヲ變更シタルトキハ十日内ニ前條第一項各號ノ事項及變更ノ年月日ヲ具シ變更後ノ主タル運轉地ヲ管轄スル道知事ニ届出テ運轉免許證ニ運轉地變更ノ記入ヲ受クベシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　運轉免許ヲ受ケタル者ハ其ノ住所若ハ氏名又ハ兵役關係ニ變更アリタルトキハ十日内ニ第四條ニ規定スル區分ニ準ジ警察署長ニ其ノ旨ヲ届出テ運轉免許證ニ變更事項ノ記入ヲ受クベシ

第六十六條　運轉免許證ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於テ其ノ運轉ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ其ノ再交付ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シ運轉免許證アルトキハ之ヲ添附スベシ

一　申請者ノ住所及氏名
二　運轉免許ノ種別及免許證番號
三　亡失又ハ毀損ノ事由

第六十七條　警察署長第六十三條、第六十四條又ハ前條ノ規定ニ依ル届書又ハ申請書ヲ受附ケタルトキハ第八號樣式ノ運轉免許證證明書ヲ交付スルコトヲ得

第六十八條　運轉免許證證明書ニ付之ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シ寫眞二葉及運轉免許證アルトキハ之ヲ添附スベシ

一　申請者ノ住所及氏名
二　運轉免許ノ種別及免許證番號
三　亡失又ハ毀損ノ事由

第六十九條　警察署長第六十三條、第六十四條又ハ前條ノ規定ニ依ル届書又ハ申請書ヲ受附ケタルトキハ第九號樣式ノ運轉免許證證明書ヲ交付スルコトヲ得

第七十條　運轉者ハ運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ携帶シ且全車輪ヲ制動スル制動裝置ヲ有スル自動車ヲ運轉スルトキハ自動車ノ主タル運轉地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ其ノ再交付ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シ寫眞二葉ヲ添附スベシ

一　申請者ノ住所及氏名
二　運轉免許ノ種別及免許證番號
三　亡失又ハ毀損ノ事由

第七十一條　運轉者ハ運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ乘降若ハ貨物ノ積卸ノ爲、法令ノ規定若ハ交通上ノ標示指示ニ依リ又ハ交通上ノ危害豫防ノ爲一時自動車ヲ停止スルコトヲ謂ヒ駐車ト稱スルハ停車以外ノ場合ニ於テ自動車ヲ駐ムルコトヲ謂フ

停止時間五分以上ニ亙ル停車ハ之ヲ駐車ト看做ス

第七十二條　自動車ハ其ノ車輛ノ幅ノ二倍半以上ノ有效幅員ヲ有スル道路又ハ其ノ車輛ノ幅ノ一倍半以上ノ有效幅員ヲ有シ且適當ノ間隔毎ニ自動車相互ニ行違ヒ得ル場所ヲ有スル道路ニ非ザレバ之ヲ運轉スルコトヲ得ズ但シ停車ノ場合ニ於テ警察官吏ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ消防自動車、救急自動車及道知事ノ指定スル自動車（以下單ニ消防自動車ト稱ス）ニハ之ヲ適用セズ

第一項ニ規定スル道路ノ有效幅員ハ歩道及車馬道ノ區別アル道路ニ在リテハ車馬道ノ有效幅員トス

道知事必要アリト認ムルトキハ區域、時間若ハ自動車ヲ指定シ又ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ道路ヲ指定シテ自動車ノ運轉ヲ制限スルコトヲ得

第七十三條　自動車ノ最高速度ハ左ノ制限ニ依ルベシ

一　總重量二千五百瓩（乘車定員七人以下ノ乘用自動車ニ在リテハ三千瓩）未滿ノ自動車ニシテ全車輪ニ空氣入タイヤヲ使用シ且全車輪ヲ制動スル制動裝置ヲ有スル運轉免許及特殊免許ニ在リテハ十八歲未滿ノ者、小型免許ニ在リテハ十六歲未滿ノ者
二　精神病者、癲癇者、唖者又ハ盲者
三　運轉免許又ハ假運轉免許ノ取消ヲ受ケ一年ヲ經過セザル者
四　亡失又ハ毀損ノ事由

第七十四條　運轉者ハ運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ乘降若ハ貨物ノ積卸ノ爲、法令ノ規定若ハ交通上ノ標示指示ニ依リ又ハ交通上ノ危害豫防ノ爲一時自動車ヲ停止スルコトヲ謂ヒ駐車ト稱スルハ停車以外ノ場合ニ於テ自動車ヲ駐ムルコトヲ謂フ

停止時間五分以上ニ亙ル停車ハ之ヲ駐車ト看做ス

第七十五條　自動車ハ其ノ車輛ノ幅ノ二倍半以上ノ有效幅員ヲ有スル道路又ハ其ノ車輛ノ幅ノ一倍半以上ノ有效幅員ヲ有シ且適當ノ間隔毎ニ自動車相互ニ行違ヒ得ル場所ヲ有スル道路ニ非ザレバ之ヲ運轉スルコトヲ得ズ但シ停車ノ場合ニ於テ警察官吏ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ消防自動車、救急自動車及道知事ノ指定スル自動車（以下單ニ消防自動車ト稱ス）ニハ之ヲ適用セズ

第一項ニ規定スル道路ノ有效幅員ハ歩道及車馬道ノ區別アル道路ニ在リテハ車馬道ノ有效幅員トス

道知事必要アリト認ムルトキハ區域、時間若ハ自動車ヲ指定シ又ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ道路ヲ指定シテ自動車ノ運轉ヲ制限スルコトヲ得

第七十六條　自動車ノ最高速度ハ左ノ制限ニ依ルベシ

一　總重量二千五百瓩（乘車定員七人以下ノ乘用自動車ニ在リテハ三千瓩）未滿ノ自動車ニシテ全車輪ニ空氣入タイヤヲ使用シ且全車輪ヲ制動スル制動裝置ヲ有スル運轉免許及特殊免許ニ在リテハ十八歲未滿ノ者、小型免許ニ在リテハ十六歲未滿ノ者
二　精神病者、癲癇者、唖者又ハ盲者
三　運轉免許又ハ假運轉免許ノ取消ヲ受ケ一年ヲ經過セザル者
四　亡失又ハ毀損ノ事由

第七十七條　運轉者ハ自動車ノ方向ヲ轉換シ、徐行シ若ハ停止セントスルトキハ後續車輛ヲシテ追越サシメントスルトキハ後續車ヲシテ爲スベシ但シ方向指示器、停止燈ニ依ル信號ヲ以テ手信號ニ代フル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ手信號ハ左ニ揭グル方法ニ依ルベシ

一　左折セントスルトキ
左手ヲ開キ之ヲ左方車體外ニ水平ニ出シ又ハ右手ヲ開キ之ヲ右方車體外ニ擧ゲ
二　右折セントスルトキ
右手ヲ開キ之ヲ右方車體外ニ水平ニ出シ又ハ左手ヲ開キ之ヲ左方車體外ニ擧ゲ
三　徐行セントスルトキ
左手又ハ右手ヲ開キ車體外斜下ニ出シ

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四　停止スントスルトキ
左手又ハ右手ヲ握リ車體外斜下ニ出ス
五　後續車輛ヲシテ追越サシメントスルトキ
右手ヲ開キ之ヲ右方車體外ニ出シテ之ヲ
前後水平ニ動カス
前項各號以外ノ場合ニ於ケル信號ニ關シテハ道路事ノ定ムル所ニ依ルベシ

第七十八條　異リタル方向ノ道路ヨリ交通整理ノ行ハレザル道路ノ交叉點ニ同時ニ入ラントスル自動車相互間ニ在リテハ左方ノ自動車ニ進路ヲ譲ルベシ但シ小道路ニ入ラントスル自動車ハ大道路ノ自動車ニ進路ヲ譲ルベシ

消防自動車ノ類ト他ノ自動車トノ相互間ニ在リテハ前項ノ規定ニ拘ラズ消防自動車ノ類ニ進路ヲ譲ルベシ

第七十九條　消防自動車ノ類接近シ來リタル場合ニ於テハ之ニ對シ他ノ自動車ハ道路ノ左側端ニ於テ行進フ自動車相互間ニ在リテハ坂路ノ下ヨリ上方ニ向ヒ運轉スル自動車ニ對シ他ノ自動車ハ道路ノ左側端ニ避譲スベシ

第八十條　急坂路、隘道又ハ幅員狹キ橋梁ニ於テハ他ノ自動車ヲ追越スベカラズ但シ消防自動車ノ類ヲ運轉スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十一條　運轉者ハ道路ノ交叉點、曲リ角、急坂路、隘道又ハ幅員狹キ橋梁ニ於テハ他ノ自動車ヲ追越スベカラズ但シ消防自動車ノ類ヲ運轉スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十二條　運轉者ハ鐵道又ハ軌道ノ踏切ヲ通過セントスル場合ニ於テハ一旦停車シ安全ナルコトヲ確認シタル後通過スベシ但シ警察官吏、信號人等ノ標示指示其ノ他ノ狀況ニ依リ安全ナルコトヲ確認シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八十三條　運轉者ハ停留中ノ電車ノ側方ヲ通過セントスル場合ニ於テハ其ノ後方ニ於テ一旦停止シ電車ノ發車シタル後進行スベシ但シ乘降ノ乘降終了シタル場合、安全地帶ノ設アル場合ハ電車ノ左方ニ自動車ト一・五米以上ノ間隔ヲ存スル場合ニ於テハ徐行スルコトヲ得

第八十四條　不適當ナル積載又ハ運轉ニ因リ車體ニ空氣入ヌイヤヲ使用シ運轉者ノ座席ヨリ運轉自動車及被牽引車ノ全車輛ヲ制動スルモノニ在リテハ毎時二十五粁、其ノ他ノモノニ在リテハ毎時十五粁以内タルコト

前項第二號ノ積荷ノ制限ヲ超エ分割スルコトヲ得ザル物件ヲ積載セントスル場合ニ於テハ出發地ヲ管轄スル警察署長ノ許可ヲ受クベシ

事故ニ因リ已ムヲ得ザル場合ニ於テハ第一項又ハ前項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ運轉者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ最寄警察官吏ニ申告スベシ

第九十七條　道知事必要アリト認ムルトキハ前條第二項ノ規定ニ拘ラズ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第七章　就業免許

第九十八條　運轉免許ヲ有スル者ト雖モ就業免許ヲ受クルニ非ザレバ一般公衆ノ乘用ニ供スル自動車ヲ運轉スルコトヲ得ズ

第九十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ就業免許ヲ受クルコトヲ得ズ

一　十八歳未滿ノ者
二　道知事ノ指定スル傳染性疾患ヲ有スル者
三　就業免許ノ取消ヲ受ケ一年ヲ經過セザル者

第百條　就業免許ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ具シ主タル就業地ヲ管轄スル道知事ニ申請スベシ

一　運轉者ノ本籍、住所、氏名及生年月日
二　運轉免許ノ種別及免許證番號
三　運轉免許ノ有效期限
四　他人ニ雇傭セラルルトキハ其ノ雇主ノ住所、職業及氏名

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ運轉免許證ノ寫及履歷書ヲ添附スベシ

第百一條　就業免許ヲ受ケントスル者小型免許ノミヲ有スルトキハ小型自動車ノ運轉技能ニ關シ試驗ヲ行フ

道知事必要アリト認ムルトキハ就業免許ヲ受ケントスル者ニ對シ主タル就業地ノ地理其ノ他ノ事項ニ關シ試驗ヲ行フコトヲ得

第百二條　道知事就業免許ヲ與ヘタルトキハ第十一號樣式ノ就業免許證ヲ交付ス

第百三條　就業免許ハ當該運轉免許ノ有效期間中其ノ效力ヲ有ス

第百四條　就業免許ヲ受ケタル者ハ運轉免許ニ變更アリタルトキハ十日內ニ左ニ掲ゲル事項ヲ具シ主タル就業地ヲ管轄スル道知事ニ届出デ就業免許證ニ變更事項ノ記入ヲ受クベシ

一　届者ノ住所及氏名
二　就業免許證番號
三　運轉免許ノ種別及免許證番號
四　運轉免許ノ有效期限

前項ノ規定ニ依ル届書ニハ運轉免許證ノ寫ヲ添附スベシ

第百五條　就業免許ヲ受ケタル者其ノ主タル就業地ヲ變更セントスルトキハ左ニ掲ゲル事項ヲ具シ變更後ノ主タル就業地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ就業免許證ニ主タル就業地變更ノ記入ヲ受クベシ

一　申請者ノ住所及氏名
二　就業免許證番號
三　變更前及變更後ノ主タル就業地

第百六條　就業免許ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ主タル就業地ヲ管轄スル道知事ニ其ノ旨ヲ届出デ就業免許證ヲ返納スベシ

一　運轉免許ヲ取消サレタルトキ
二　就業免許ヲ取消サレタルトキ
三　死亡シタル場合ニ於テ遲滯ナク就業免許證ヲ返納スベシ

第百七條　就業免許證ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ主タル就業地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ其ノ再交付ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シ就業免許證アルトキハ之ヲ添附スベシ

一　申請者ノ本籍、住所及氏名
二　就業免許證番號
三　運轉免許ノ種別及免許證番號
四　亡失又ハ毀損ノ事由

第百八條　警察署長第百四條又ハ前條ノ規定ニ依ル届書又ハ申請書ヲ受附ケタルトキハ第十二號樣式ノ就業免許證證明書ヲ交付スルコトヲ得

第百九條　第六十一條ノ規定ハ就業免許、第六十二條ノ規定ハ就業免許證、第六十七條第二項ノ規定ハ就業免許證證明書ニ付之ヲ準用ス

第百十條　就業免許ヲ受ケタル者第九十九條第二號ニ該當スルニ至リタルトキハ主タル就業地ヲ管轄スル道知事ニ其ノ旨ヲ届出デ就業免許證ヲ返納スベシ

第百十一條　就業免許ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ主タル就業地ヲ管轄スル道知事ハ就業免許ヲ取消又ハ停止スルコトヲ得

一　法令若ハ法令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ違反シタルトキ
二　故意又ハ過失ニ因リ自動車ニ依リ他人ヲ傷害シ又ハ物件ヲ損壞シタルトキ

第百十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遲滯ナク就業免許證ヲ返納スベシ

一　一般公衆ノ乘用ニ供スル自動車ノ運轉ヲ廢止シタルトキ
二　運轉免許ノ有效期間滿了シタルトキ
三　運轉免許ヲ取消サレタルトキ
四　就業免許ヲ取消サレタルトキ
五　亡失シタル就業免許證ヲ發見シタルトキ

就業免許ヲ受ケタル者死亡シ又ハ行衞不明トナリタルトキハ其ノ戸主、家族、同居人又ハ雇主ニ於テ遲滯ナク就業免許證ヲ返納スベシ

第六十九條又ハ前條ノ規定ニ依リ運轉免許又ハ就業免許ヲ停止セラレタルトキハ遲滯ナク就業免許證ヲ第四條ニ規定スル區分ニ準ジ警察署長ニ差出シ停止期間滿了シタルトキニ之ヲ交付ヲ受クベシ

第一項第二號、第三號又ハ前項ノ規定ハ就業免許ヲ受ケタル者二以上ノ運轉免許ヲ有スル場合ニ在リテハ運轉免許ノ全部ニ付有效期間滿了シ又ハ取消若ハ停止ヲ受ケタルトキニ之ヲ適用ス

第八章　手數料

第百十三條　車輛檢查、運轉免許試驗、運轉免許、就業免許試驗若ハ就業免許又ハ之ニ關スル證書ノ交付、書換若ハ再交付ヲ受ケントスル者ハ左ノ各號ノ區分ニ從ヒ手數料ヲ納付スベシ

一　第三十二條ノ規定ニ依ル車輛檢查手數料

普通自動車	一圓
特殊自動車	一圓
小型自動車	五十錢

二　第四十二條第一項ノ規定ニ依ル車輛檢查手數料

普通自動車	五十錢

運轉中甚シキ騷音ヲ發セシムベカラズ
警音器ハ交通安全ノ爲必要ナル限度ヲ超エ之ヲ使用スベカラズ
排出瓦斯ハ消音裝置ヲ經シテ排出セシムベカラズ但シ急坂路ニ於テ運轉上已ムヲ得ザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
自動車ノ乘用者ハ運轉者又ハ從業員カ前各項ノ規定ニ依リ措置ヲ爲スニ付之ヲ妨グルコトヲ得ズ

第六章　車輛ノ牽引

第九十六條　牽引自動車ニ依リ他ノ車輛ヲ牽引スルコトヲ得ズ

第九十七條　牽引自動車ニ依リ他ノ車輛ヲ牽引スル場合ニ於テハ左ノ制限ニ依ルベシ

一　被牽引車ハ牽引自動車ト連結シ長サ十二米、幅二・二米、高サ三米以內タルコト
二　積荷ハ牽引自動車ノ前方及被牽引車ノ後方一米ヲ輛ノ幅並ニ高サ地上三・五米ヲ超エテ之ヲ積載セザルコト
三　被牽引車ノ人ヲ乘車セシムルコト
四　被牽引車ニハ運轉者牽引自動車ニ在ラザルトキ停止狀態ヲ保持シ得ベキ制動裝置ヲ備ヘ第九十三條ノ規定ニ準ジ措置スルコト
五　被牽引車ニハ運轉者ノ座席ヨリ操縱スルコトヲ得ル制動裝置ヲ有スルモノヲ除クノ外制動裝置ノ操縱ヲ爲ス者ヲ乘車セシムルコト
六　制動裝置ハ牽引自動車ト被牽引車トヲ連結シタル場合ニ於テ機能確實且容易ニ操縱シ得ベキモノニシテ之ヲ作用セシメタルトキ車輛ノ橫ニ、轉復其ノ他危險ノ虞ナキモノタルコト
七　被牽引車ノ後面ニハ相當ノ光度ヲ有スル赤色ノ尾燈一箇以上ヲ備ヘ夜間之ヲ點燈スルコト
八　被牽引車ノ後面ノ見易キ箇所ニ牽引自動車ノ車輛番號ヲ標示シ少クトモ二十五米ノ距離ニ於テ之ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スル燈火ヲ以テ照射スルコト

九　前二號ニ規定スル燈火ハ運轉者ノ座席ヨリ之ヲ消燈シ得ザル裝置ト爲スコト
十　最高速度ハ牽引自動車及被牽引車ノ全

前二項ノ規定ニ依リ被害者又ハ其ノ同伴者ニ適合シテ自動車ノ運轉ヲ繼續シタル場合ニ於テハ運轉者ハ遲滯ナク前各項ノ事實ヲ最寄警察官吏ニ申告スベシ

自動車ノ乘用者ハ運轉者又ハ從業員カ前各項ノ規定ニ依リ措置ヲ爲スニ付之ヲ妨グルコトヲ得ズ

第六章　車輛ノ牽引

第九十六條　牽引自動車ニ依リ他ノ車輛ヲ牽引スルコトヲ得ズ

第九十七條　牽引自動車ニ依リ他ノ車輛ヲ牽引スル場合ニ於テハ左ノ制限ニ依ルベシ

一　被牽引車ハ牽引自動車ト連結シ長サ十二米、幅二・二米、高サ三米以內タルコト
二　積荷ハ牽引自動車ノ前方及被牽引車ノ後方一米ヲ輛ノ幅並ニ高サ地上三・五米ヲ超エテ之ヲ積載セザルコト
三　被牽引車ノ人ヲ乘車セシムルコト
四　被牽引車ニハ運轉者牽引自動車ニ在ラザルトキ停止狀態ヲ保持シ得ベキ制動裝置ヲ備ヘ第九十三條ノ規定ニ準ジ措置スルコト
五　被牽引車ニハ運轉者ノ座席ヨリ操縱スルコトヲ得ル制動裝置ヲ有スルモノヲ除クノ外制動裝置ノ操縱ヲ爲ス者ヲ乘車セシムルコト
六　制動裝置ハ牽引自動車ト被牽引車トヲ連結シタル場合ニ於テ機能確實且容易ニ操縱シ得ベキモノニシテ之ヲ作用セシメタルトキ車輛ノ橫ニ、轉復其ノ他危險ノ虞ナキモノタルコト
七　被牽引車ノ後面ニハ相當ノ光度ヲ有スル赤色ノ尾燈一箇以上ヲ備ヘ夜間之ヲ點燈スルコト
八　被牽引車ノ後面ノ見易キ箇所ニ牽引自動車ノ車輛番號ヲ標示シ少クトモ二十五米ノ距離ニ於テ之ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スル燈火ヲ以テ照射スルコト
九　前二號ニ規定スル燈火ハ運轉者ノ座席ヨリ之ヲ消燈シ得ザル裝置ト爲スコト
十　最高速度ハ牽引自動車及被牽引車ノ全

特殊自動車　五十錢
小型自動車　三十錢

三　第三十六條第一項又ハ第四十條第一項ノ規定ニ依ル車輛檢査證再交付手數料
　　三十錢
四　車輛檢査證再交付手數料　三十錢
五　運轉免許試驗手數料
　　普通免許　一圓五十錢
　　特殊免許　一圓五十錢

第五十五條第一項第一號ニ該當スル者
　　一圓
二　對スル運轉免許手數料　五十錢
六　小型運轉免許手數料　五十錢
七　運轉免許證再交付手數料　三十錢
八　第百一條第一項ノ規定ニ依ル就業免許試驗手數料　五十錢
九　就業免許手數料　五十錢
十　就業免許證再交付手數料　三十錢

第百十四條　前條ノ手數料ハ申請書又ハ屆書ニ收入印紙ヲ貼附シテ之ヲ納付スベシ
　　既納ノ手數料ハ之ヲ還付セズ

第百十五條　第百十三條第一號乃至第四號ノ規定ハ官廳又ハ公共團體ノ請求ニ係ルモノニ付テハ之ヲ適用セズ

第九章　罰則

第百十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ懲役、二百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

一　第三條又ハ第四十四條第一項ノ規定ニ依ル道知事ノ處分ニ違反シタル者
二　第三十二條、第四十二條第一項、第五十條、第九十五條第一項第二項第四項第五項又ハ第九十八條ノ規定ニ違反シタル者
三　詐欺其ノ他不正ノ行爲ヲ以テ車輛ノ檢査、運轉免許、假運轉免許又ハ就業免許ヲ受ケタル者
四　第六十九條又ハ第百十一條ノ規定ニ依ル運轉免許又ハ就業免許ノ停止ノ處分ニ違反シタル者

第百十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

一　第三十一條第二項、第四十一條、第四十七條第三項、第四十八條、第四十九條第四項、第六十二條、第七十條、第七十二條第二項、第七十六條、第七十八條第二項、第七十九條、第八十一條乃至第八十七條、第八十八條第一項第四項、第八十九條、第九十三條、第九十四條、第九十六條、第百五條第一項又ハ第百十二條第一項乃至第三項ノ規定ニ違反シタル者
二　第四十三條ノ規定ニ依ル檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又之ヲシテ受クルコトヲ怠リタル者
三　同種ノ運轉免許、假運轉免許又ハ就業免許ヲ重ネテ申請シタル者
四　第七十二條第四項又ハ第九十七條ノ規定ニ依ル道知事ノ命令又ハ處分ニ違反シタル者
五　第七十三條第一項第二項ニ規定スル最高速度ノ制限又ハ第七十三條第三項若ハ第七十五條ノ規定ニ依リ道知事ノ定メタル最高速度ノ制限ヲ超エテ自動車ヲ運轉シタル者

第百十八條　第三十九條第一項、第四十條第一項、第四十四條第二項、第四十五條、第六十三條、第七十九條第一項、第六十五條第一項、第九十一條第二項、第九十二條第一項、第百四條第一項若ハ第百六條ノ規定ニ依ル警察署長ノ處分ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第百十九條　第四十一條第一項ノ規定ニ違反ニ對スル罰則ハ車輛檢査證明書及一時運轉許可標板ニ、第四十七條第三項ノ規定ノ違反ニ對スル罰則ハ運轉免許證明書及就業免許證明書ニ、第六十二條ノ規定ノ違反ニ對スル罰則ハ一時運轉許可證、運轉免許證明書、就業免許證及就業免許證明書ニ付之ヲ準用ス

第百二十條　本令又ハ本又ニ基キテ發スル命令ニ依リ自動車ノ使用主ニ適用スベキ罰則ハ自動車ノ使用主法人ナルトキハ取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ定法代理人ニ之ヲ適用スル但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十一條　自動車ノ使用主ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルコトヲ得ズ

附則

第百二十二條　本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第百二十三條　自動車取締規則ハ之ヲ廢止ス

第百二十四條　本令施行前從前ノ規定ニ依リ交付シタル車輛檢查證ハ之ヲ本令ニ依リ交付シタルモノト看做ス但シ其ノ有效期間ハ本令施行ノ日ヨリ六月內トス

第百二十五條　本令施行ノ際現ニ使用スル自動車ニシテ從前ノ規定ニ依リ車輛檢查又ハ運轉免許ヲ要セザルモノノ使用及運轉ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ一年內ハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第百二十六條　本令施行ノ際現ニ使用スル自動車ノ構造裝置ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ六月內ハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第百二十七條　本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依ル運轉手免許ヲ有スル者ハ其ノ免許ノ有效期間中ニ限リ第五十一條ノ運轉免許ヲ受ケタル者ト看做ス

前項ニ規定スル者ニシテ道知事ノ定ムルモノハ其ノ定ムル所ニ依リ試驗ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依ル試驗ヲ受ケズ又ハ之ニ合格セザル者ニ對シテハ第一項ノ規定ニ拘ラズ道知事ハ其ノ運轉シ得ベキ自動車ノ種別ヲ制限スルコトヲ得

第百二十八條　本令施行ノ際現ニ一般公衆ノ乘用ニ供スル自動車ヲ運轉スル者ハ本令施行ノ日ヨリ三月內ニ本令ニ依リ就業免許ヲ受クベシ

前項ニ規定スル者ハ同項ノ期日迄仍從前ノ例ニ依リ當該自動車ノ運轉ヲ繼續スルコトヲ得

第百二十九條　第百二十四條及第百二十七條ニ規定スルモノヲ除クノ外從前ノ規定ニ依リ爲シタル許可其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第一號樣式

（表面）

第　號

印

道何　證查檢輛車

自動車

種別	
用途	
車名	
車輛番號	第　號
總重量	瓩
最大積載量	瓩
乘車定員	人
氣筒容積	立方糎
行程	糎
馬力	キロワット（一時間定格出力）
長サ	米
幅	米
高サ	米
機關番號	
登錄番號	

主タル使用地變更

出屆何道　更變日　月　年

印

（裏面）

檢查證交付

年　月　日

有效期間　自　年　月　日　至　年　月　日

使用者　所住　名氏

車輛ノ在所又ハ車庫ノ場地

備考

十六糎

二十糎

第二號式

第四十一條第一項ニ規定スル車輛番號

備考

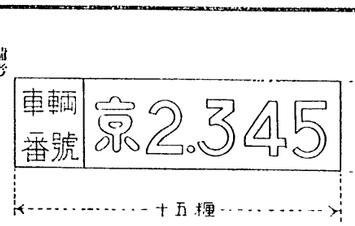
一　普通自動車ニ在リテハ黑地ニ白文字、特殊自動車ニ在リテハ淡青地ニ白文字、小型自動車ニ在リテハ白地ニ黑文字ト爲スコト

二　車輛番號ハ漢字ヲ以テ道名ノ頭字ヲ冠セシメ亞剌比亞數字ヲ以テ記載スルコト但シ他ノ道ト頭字ヲ同ジクスル道ニ在リテハ忠淸北道ヲ忠北、忠淸南道ヲ忠南ト記載スルノ例ニ依ルコト

三　文字ノ大サハ數字ハ普通自動車ニ在リテハ縱九糎、橫五糎、太サ一・二糎、間隔一糎トシ小型自動車ニ在リテハ縱八糎、橫四・五糎、太サ一糎、間隔一糎トシ何レモ千位ニハ其ノ直徑カ文字ノ太サニ等シキコンマヲ附シ漢字ハ之ニ準ズルコト

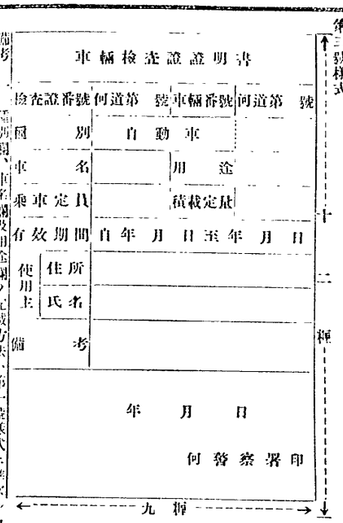
四　材料ハ金屬板ト爲スコト

第四十一條第二項ニ規定スル車輛番號



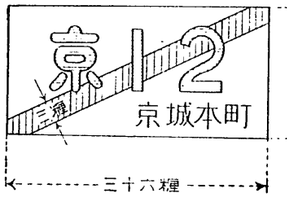
備考
一　黒地ニ白文字ト爲スコト
二　白文字ト爲スコト
三　斜線ハ赤色ト爲スコト
四　漂板ノ番號ノ記載方法ハ第二號樣式ニ準ズルコト但シ文字ノ大サハ適宜トス
五　漂板右下ノ部分ニ警察署ノ略名ヲ附記スルコト但シ其ノ文字ノ大サハ適宜トス
材料ハ金屬板又ハ厚板ト爲スコト

第三號樣式



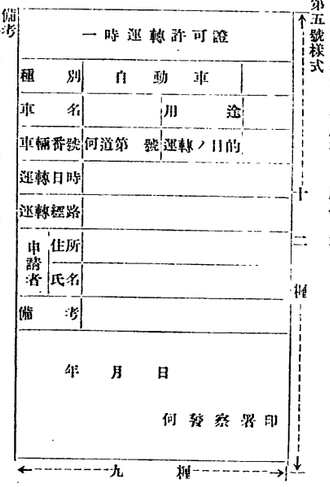
備考
種別欄、車名欄及用途欄ノ記載方法ハ第一號樣式ニ準ズルコト

第四號樣式



備考
一　地ニ黒文字ト爲スコト
二　斜線ハ赤色ト爲スコト
三　漂板ノ番號ノ記載方法ハ第二號樣式ニ準ズルコト但シ文字ノ大サハ適宜トス
四　漂板右下ノ部分ニ警察署ノ略名ヲ附記スルコト但シ其ノ文字ノ大サハ適宜トス
五　材料ハ金屬板又ハ厚板ト爲スコト

第五號樣式



備考
種別欄、車名欄及用途欄ノ記載方法ハ第一號樣式ニ準ズルコト
運轉ノ目的欄ニハ車輛ノ檢査、試運轉及遞送ノ別ヲ記入スルコト
車輛番號欄ニハ車輛ノ號アル場合ニ於テノミ之ヲ記載スルコト
用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

（頁十三第）

交付	年　月　日
地積證ヲ主タル	何道　號
所有者	住所 氏名 印
所有權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル	年　月　日
其ノ他必要ナル	

（頁十三第）

所在	
地番	
地目	
地積	
賃貸價格	
所有者	住所 氏名 印
所有權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル	年　月　日
其ノ他必要ナル	

（頁十四第）

所在	
地番	
地目	
地積	
賃貸價格	
所有者	住所 氏名 印
所有權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル	年　月　日
其ノ他必要ナル	

（頁十四第）

所在	
地番	
地目	
地積	
賃貸價格	
所有者	住所 氏名 印
所有權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル	年　月　日
其ノ他必要ナル	

（頁十五第）

備考	

（頁十五第）

備考	

（頁十六第）

同期效有	自　年　月　日 至　年　月　日
別冊許可	
許可年月日	

（頁十六第）

同期效有	自　年　月　日 至　年　月　日
別冊許可	
許可年月日	

（頁十七第）

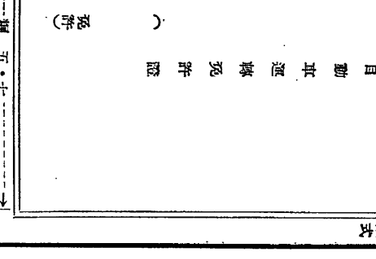
本籍	
住所	
氏名	何 印
動ノ所住	

（頁十七第）

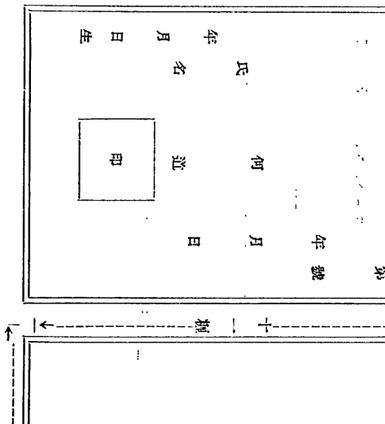
本籍	
住所	
氏名	何 印
動ノ所住	

（頁十八第）

（頁十八第）



（頁十九第）



（頁二十第）

備考	

（頁二十第）

備考	

備考

一　手帳形ト爲スコト

二　表紙ハ黒色ノ革製又ハ布製ニシテ金文字入ト爲スコト

三　用紙ハ洋紙トシ普通免許證ハ白色、特殊免許證ハ淡青色、小型免許證ハ桃色ト爲スコト

第七號樣式

（表　面）

第　　號

自動車運轉免許證假證

何道　印

注意事項

十四糎

十糎

（裏　面）

官庁行政許證 朝鮮外ノ運轉免許		
指定自動車	種別	自動車
	車名	
	車輛號番	何道第　號
備考		

寫眞　押出シスタンプ　年月日撮影

交付	年月	日
有效期間	自年月	日
	至年月	日
本籍又ハ國籍		
居所又ハ滯在地		
氏名		
年齡		

備考

一　種別欄及車名欄ノ記載方法ハ第一號樣式ニ準ズルコト

二　用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

第八號樣式

（表　面）

自動車運轉免許證明書

種別		
免許證番號	何道第　號	
有效期間	自年月日至年月日	
運轉者	本籍	
	住所	
	氏名	
	生年月日	年月日生
備考		

年　月　日

何警察署印

九糎　十二糎

（裏　面）

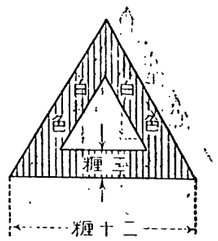
寫眞　割印

年　月　日撮影

備考

用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

第九號樣式



第十號樣式

自動車制限外積載許可票

車輛番號　何道第　號

一　許可事項

運轉經路

運轉日時

年　月　日

何警察署印

十五糎　十糎

備考

一　許可事項欄ニハ定員外乘車何名、定量外積荷何瓩、制限外長サ、幅、高サ何米等ト記載スルコト

二　用紙ハ白色洋紙其ノ他適當ナルモノヲ爲スコト

第十一號樣式

（表　面）

第　　號

自動車就業免許證

本籍
住所

何氏名
年　月　日生

交付年月日

何道印

九糎　十四糎

（裏　面）

運轉免許證ノ種別、番號及有效期限

免許何道第　號　年　月　日迄

就業地ノ異動

届出年月日

何道印

住所ノ異動

何道印

備考

備考

用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

第十二號樣式

自動車就業免許證明書

免許證番號	何道第　號	
運轉免許證ノ種別、番號及有效期限	免許何道第　號　年　月　日迄	
	免許何道第　號　年　月　日迄	
就業者	本籍	
	住所	
	氏名	
	生年月日	年　月　日生
備考		

年　月　日

何警察署印

九糎　十二糎

野戰重砲兵第七聯隊長
野戰重砲兵第八聯隊長
高射砲第一聯隊長
野砲兵聯隊内ニ在ル高射砲隊長
飛行聯隊長
氣球隊長
關東軍自動車隊長
騎兵旅團内ニ在ル裝甲自動車隊長
陸軍歩兵學校長
陸軍野戰砲兵學校長
陸軍重砲兵學校長
下志津陸軍飛行學校長
陸軍自動車學校長

第三款　鐵道

●鐵道、〔輕便鐵道〕及軌道ノ營業ニ關スル件

明治四十五年六月
制令第二十四號

改正　大正九年六月第九號

鐵道、〔輕便鐵道〕及軌道ノ營業ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第一條　鐵道ノ營業ニ關シテハ鐵道營業法ニ依ル但シ同法中地方鐵道業者トアルハ私設鐵道業者、地方鐵道係員トアルハ私設鐵道係員トス

第二條　削除

第三條　軌道ノ營業ニ關シテハ鐵道營業法第一條、第二條、第四條乃至第十四條、第二十四條、第二十五條、第二十七條、第三十條乃至第三十一條及第三十六條、第三十八條乃至第四十一條及第四十三條ノ規定ニ依ル但シ同法中鐵道トアルハ軌道、鐵道係員トアルハ軌道ノ係員トス

第四條　鐵道營業法中主務大臣ノ職務ニ屬スルモノハ朝鮮總督之ヲ行フ

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（明治四十五年六月朝鮮總督府令第九號）

●鐵道營業法

明治三十三年三月
法律第六十五號

改正　明治四十三年四月第五〇號、大正八年四月第五四號、同年九月第七四號、同十年三月第三八號

於帝國議會ノ協賛ヲ經タル鐵道營業法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

鐵道營業法

第一章　鐵道ノ設備及運送

第一條　鐵道ノ建設、車輛器具ノ構造及運轉ハ命令ヲ以テ定ムル規程ニ依ルヘシ

第二條　本法其ノ他特別ノ法令ニ規定スルモノノ外鐵道運送ニ關スル特別ノ事項ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依ル

鐵道運輸規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　運賃其ノ他ノ運送條件ハ關係停車場ニ公告シタル後ニ非サレハ之ヲ實施スルコトヲ得ス

運賃其ノ他ノ運送條件ノ加重ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ前項ノ公告ハ一月以上之ヲ爲スコトヲ要ス

第四條　傳染病患者ハ主務大臣ノ定ムル規程ニ依ルニ非サレハ乘車セシムルコトヲ得ス

附添人ナキ重病者ノ乘車ハ之ヲ拒絕スルコトヲ得

第五條　火藥其ノ他爆發質危險品ハ鐵道カ其ノ運送ヲ取扱ノ公告ヲ爲シタル場合ノ外其ノ運送ヲ拒絕スルコトヲ得

第六條　鐵道ハ左ノ事項ノ具備シタル場合ニ於テハ貨物ノ運送ヲ拒絕スルコトヲ得ス

一　荷送人カ法令其ノ他鐵道運送ニ關スル規定ヲ遵守スルトキ

二　貨物ノ運送ニ付特別ナル責務ノ條件ヲ荷送人ヨリ求メサルトキ

三　運送カ法令ノ規定又ハ公ノ秩序若ハ善良ノ風俗ニ反セサルトキ

四　貨物カ成規ニ依リ其ノ線路ニ於ケル運送ニ適スルトキ

五　天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ基因シタル運送上ノ支障ナキトキ

前項ノ規定ハ旅客運送ニ之ヲ準用ス

第七條　運送ニ付特別ノ設備ヲ要スル貨物ニ關シテハ鐵道ハ其ノ設備アル場合ニ限リ之ヲ引受クルノ義務ヲ負フ

第八條　鐵道ハ直ニ運送ヲ爲シ得ヘキ場合ニ限リ貨物ヲ受取ルヘキ義務ヲ負フ

第九條　貨物ハ運送ノ爲受取リタル順序ニ依リ之ヲ運送スルコトヲ要ス但シ運輸上正當ノ事由若ハ公益上ノ必要アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十條　鐵道ハ貨物ノ種類及性質ヲ明告スヘキコトヲ荷送人ニ求ムルコトヲ得若シ其ノ種類及性質ニ付疑アルトキハ荷送人ノ立會ヲ以テ之ヲ點檢スルコトヲ得

點檢ニ因リ貨物ノ種類及性質カ荷送人ノ明告シタル所ト異ナラサル場合ニ限リ鐵道ハ點檢ニ關スル費用ヲ負擔シ且之カ爲生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

前二項ノ規定ハ火藥其ノ他爆發質危險品ヲ成規ニ反シ手荷物中ニ收納シタル疑アル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條　旅客又ハ荷送人ハ手荷物又ハ運送品託送ノ際鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依リ表示料ヲ支拂ヒ要償額ヲ表示スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル表示額カ託送手荷物又ハ運送品ノ引渡期間末日ニ於ケル到達地ノ價格及引渡ヲ爲ス場合ニ於ケル旅客又ハ荷送人カ受クヘキ其ノ他ノ損害ノ合計額ヲ超ユルトキハ其ノ超過部分ニ付テハ其ノ表示ハ之ヲ無效トス

第十二條　要償額ノ表示アル託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因ル損害ニ付賠償ノ責ニ任スル場合ニ於テハ鐵道ハ表示額ヲ限度トシテ一切ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ス但シ此ノ場合ニ於テ鐵道ハ損害額カ左ノ額ニ達セサルコトヲ證明スルニ非サレハ左ノ額ノ支拂ヲ免ルルコトヲ得ス

一　全部滅失又ハ毀損ノ場合ニ於テハ表示額

二　一部滅失又ハ毀損ノ場合ニ於テハ引渡アリタル日（延著シタルトキハ引渡期間末日）ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リ計算シタル價格ノ減少割合ヲ表示額ニ乘シタル金額

第十三條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十六條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十八條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十一條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十七條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十二條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十四條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十五條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十七條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十八條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十九條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十一條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十二條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十五條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十六條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十七條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十九條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十一條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十二條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十三條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十四條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十五條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十六條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十七條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十九條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十一條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十二條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十三條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十四條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十五條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十六條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十七條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十八條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十九條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十一條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十二條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十三條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十四條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十五條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十六條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十七條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十八條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十九條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百條　鐵道ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル後ハ其ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ノ日ヨリ七日以内ニ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

託送手荷物、高價品又ハ動物ニ付テハ託送ノ際旅客又ハ荷送人カ要償額ノ表ボヲ爲ササル場合ニ於テハ鐵道ハ鐵道運輸規程ノ定ムル最高金額ヲ超エサル範圍内ニ於テ其ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任セス

前二項ノ賠償額ノ制限ハ託送手荷物又ハ運送品カ鐵道ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ滅失又ハ毀損シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第十二條　引渡期間滿了後託送手荷物又ハ運送品ノ引渡ヲ爲シタル場合ニ於テハ延著トス

引渡期間ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依ル

延著ニ因ル損害ニ付賠償ノ責ニ任スル場合ニ於テハ鐵道ハ左ノ額ヲ限度トシテ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依リ一切ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ス

一　要償額ノ表示アルトキハ其ノ表示額

二　要償額ノ表示ナキトキハ其ノ運賃額

前項ノ賠償額ノ制限ハ託送手荷物又ハ運送品カ鐵道ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ延著シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第十三條　鐵道カ引渡期間滿了後一月ヲ經過スルモ託送手荷物又ハ運送品ノ引渡ヲ爲ササル場合ニ於テハ旅客又ハ貨主ハ滅失ニ因ル損害ニ付賠償ノ責ニ任セス但シ其ノ引渡ヲ爲スヘキ旨ノ請求スルコトヲ得但シ鐵道ハ其ノ請求

及吸煙禁止ノ車内ニ於テ吸煙シタルトキ

二　婦人ノ爲ニ設ケタル待合室及車室等ニ男子妄ニ立入リタルトキ

第三十五條　鐵道係員ノ許諾ヲ受ケシテ車内、停車場其ノ他鐵道地内ニ於テ旅客又ハ公衆ニ對シ寄附ヲ請ヒ、物品ノ購買ヲ求メ、物品ヲ配付シ其ノ他演說勸誘等ノ所爲ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

第三十六條　車輛、停車場其ノ他鐵道地内ノ標識掲示ヲ汚穢、毀棄、撤去シ又ハ燈火ヲ滅シ又ハ其ノ用ヲ失ハシメタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

信號機ヲ改竄、毀棄、撤去シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第三十七條　停車場其ノ他鐵道地内ニ妄ニ立入リタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處ス

第三十八條　墓行勞道ヲ以テ鐵道係員ノ職務ノ執行ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第三十九條　車内、停車場其ノ他鐵道地内ニ於テ發砲シタル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十條　列車ニ向テ瓦石類ヲ投擲シタル者ハ科料ニ處ス

第四十一條　第四條ノ規定ニ違反シ傳染病患者ヲ乘車セシメタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス傳染病患者其ノ病症ヲ隱蔽シテ乘車シタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ途中下車セシメタルトキハ醫師ニ支拂ヒタル運賃ハ之ヲ還付セス

第四十二條　左ノ場合ニ於テ鐵道係員ハ旅客及公衆ヲ車外又ハ鐵道地外ニ退去セシムルコトヲ得

一　有效ノ乘車券ヲ所持セス又ハ檢査ヲ拒ミ運賃ノ支拂ヲ肯セサルトキ

二　第三十三條第三號ノ罪ヲ犯シ鐵道係員ノ制止ヲ肯セサルトキ又ハ第三十四條ノ罪ヲ犯シタルトキ

三　第三十五條、第三十七條ノ罪ヲ犯シタルトキ

四　其ノ他車内ニ於ケル秩序ヲ紊シ又ハ紊ス虞アリタルトキ

前項ノ場合ニ於テ既ニ支拂ヒタル運賃ハ之ヲ還付セス

第四十三條　削除

附　則

第四十四條　削除

第四十五條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治三十三年八月勅令第二百三十號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行）

鐵道略則、鐵道犯罪罰例、明治十六年七月第二十三號布告ハ之ヲ廢止ス

附　則（昭和四年三月法律第三十八號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和五年三月勅令第四十九號ヲ以テ昭和五年四月一日ヨリ施行）

●朝鮮國有鐵道建設規程

昭和三年十月
總令第九十八號

朝鮮國有鐵道建設規程左ノ通定ム

朝鮮國有鐵道建設規程

第一章　總則

第一條　朝鮮ニ於ケル國有鐵道ノ建設ハ本令ノ定ムル所ニ依リ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　特殊ノ設計ヲ必要トスルトキ

其ノ他已ムコトヲ得サル事由アルトキ

二　本線路ト列車ノ運轉ニ常用スル軌道ヲ謂ヒ側線トハ本線路ニ非サル軌道ヲ謂フ

第三條　軌間トハ軌條面ヨリ下方十六粍以内ニ於ケル軌條頭部内側間ノ最短距離ヲ謂フ

第四條　停車場トハ左ノ各號ニ掲ケルモノヲ謂フ

一　驛

列車ヲ停止シ旅客又ハ貨物ヲ取扱フ爲設ケラレタル場所

驛ニ非ズシテ列車ノ組成又ハ車輛ノ入換ヲ爲ス設ケラレタル場所

驛又ハ操車場ニ非ズシテ列車ノ停止、行違又ハ待避ヲ爲ス設ケラレタル場所

第五條　信號所トハ停車場ニ非ズシテ手動ノ

常置信號機ヲ取扱フ設ケラレタル場所ヲ謂フ

第六條　固定軸距トハ二以上ノ車輛ヲ有スル不撓性塞枠ニ於テ其ノ中心線ニ直角ニシテ特ニ設ケラレタル横動遊間ヲ有セサル車軸中最前位ニ在ルモノト最後位ニ在ルモノト中心間ノ水平距離ヲ謂フ

第七條　線路ハ其ノ施設ノ程度ニ依リ之ヲ甲乙丙ノ三種ニ區別ス

前項ノ線路ノ種別ハ鐵道局長之ヲ定ム

第八條　本令中ノ規定ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外瘠薄又ハ變形ノ場合ニ付テモ之ヲ適用ス

第二章　線路

第一節　軌間

第九條　軌間ハ一米四五トス

第十條　半徑八百米以下ノ曲線及轍叉器ノ尖端ニ於テハ前條ノ軌間ニ相當ノ擴度ヲ附スルコトヲ要ス但シ擴度ハ三十粍ヲ以テ最大限トス

前項ノ曲線ニ於ケル擴度ハ其ノ外側軌條ノ高度ニ伴ハシメ之ヲ遞減スルコトヲ要ス

第十一條　列車運轉ノ爲ニ生スル前二條ノ軌間ノ伸縮ハ左ノ範圍迄ハ之ヲ整齊セサルコトヲ得

一　曲線及轍叉ノ場合ニ於テハ增伸三粍

二　其ノ他ノ場合ニ於テハ增伸六粍、減縮三粍

第二節　建築限界

第十二條　建物其ノ他ノ建造物等ハ建築限界内ニ入ルコトヲ得ス但シ停車場内ニ於ケル給水、給炭、轉車、洗車等ノ諸設備及信號柱等ニシテ本線路ニ關セサルモノ又ハ車庫ノ門路及内部裝置等ハ特ニ百五十粍ノ距離迄、轉轍標識等ノ軌條面上ニ突出スル各部ハ特ニ二百二十五粍ノ距離迄、軌條面上一米一以上ノ部分ニ限リ建築限界内ニ入ルコトヲ得

建築限界ハ第一號圖ニ依ル

第十三條　建築限界ハ曲線ニ於テハ左ノ式ニ依リ算出シタル寸法以上ヲ擴大スルコトヲ要ス

W＝軌道中心線ノ各側ニ於テ擴大スベキ寸法（粍）

R＝曲線半徑（米）

前項ノ擴大寸法ハ緩和曲線ノ全長ニ於テ、緩和曲線ナキ場合ノ外側軌條ノ高度及擴度ニ伴ハシメ之ヲ遞減スルモオトス復心曲線又ハ接近セル同向二曲線ノ場合ニ於ケル擴大寸法ノ差ノ遞減モ亦之ニ準ス

第三節　軌道中心間隔

第十四條　軌道ノ中心間隔ハ停車場内ニ於テハ四米二五以上、停車場外ニ於テハ三米九五以上タルコトヲ要ス但シ停車場外ニ於テ三以上ノ軌道ヲ竝設スル場合ハ各隣接スル二中心間隔ノ一ハ四米二五以上トス

前項ノ中心間隔ハ曲線ニ於テハ建築限界ノ幅ヲ擴大寸法以上ノ擴大スルコトヲ要ス

第四節　曲線及勾配

第十五條　本線路ニ於ケル曲線ノ半徑ハ甲種線路ニ在リテハ四百米以上、乙種線路ニ在リテハ三百米以上、丙種線路ニ在リテハ二百米以上タルコトヲ要ス但シ其ノ分岐ニ附スル曲線ノ半徑ハ甲種線路ニ在リテハ三百三十米、丙種線路ニ在リテハ二百四十米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第十六條　側線及其ノ分岐ニ附帶スル曲線ノ半徑ハ百米以上タルコトヲ要ス但シ特別ノ場合ハ七十米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第十七條　甲種及乙種ノ本線路ニ在リテハ半徑千二百米以下ノ曲線ト丙種ノ本線路ニ在リテハ半徑八百米以下ノ曲線トノ直線ヲ以テ接續セサル場合ニ於テハ相當ノ緩和曲線ヲ挿入スルコトヲ要ス但シ緩和曲線ノ挿入ヲ要セサル曲線ノ半徑ハ甲種線路ニ在リテハ曲線外側軌條高度ノ六百倍、乙種線路ニ在リテハ同四百八十倍、丙種線路ニ在リテハ同四百倍ヲ以テ之ヲ得ズ

第十八條　本線路ニ於ケル反向曲線間ニハ緩和曲線又ハ外側軌條高度ノ遞減部ヲ除キ甲種線路ニ在リテハ五十米以上、乙種線路ニ

在リテハ三十米以上、丙種線路ニ在リテハ二十米以上ノ長ヲ有スル直線ヲ挿入スルコトヲ要ス

第十九條　停車場外ニ於ケル本線路ノ勾配ハ甲種線路ニ在リテハ千分ノ十、乙種線路ニ在リテハ千分ノ十五、丙種線路ニ在リテハ千分ノ二十五ヨリ急ナラザルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル場合ニ限リ甲種線路ニ在リテハ千分ノ二十五、丙種線路ニ在リテハ千分ノ四十ニ至ルコトヲ得

第二十條　停車場内ニ於ケル本線路及側線ノ勾配ハ算力操車線、貯炭線其ノ他特別ノ場合ヲ除クノ外千分ノ三ヨリ急ナラザルコトヲ要ス但シ相當ノ保安設備ヲ有スル場合ハ千分ノ十二至ルコトヲ得

第二十一條　隣接勾配ノ代數的差ハ甲種線路ニ在リテハ千分ノ四、乙種及丙種線路ニ在リテハ千分ノ五ヲ超ユル箇所ニハ相當ノ緩和曲線ヲ挿入スルコトヲ要ス

第二節　施工基面及軌道

第二十二條　築堤又ハ切取ニ於ケル本線路ノ施工基面ハ軌道中心ヨリ外緣迄甲種線路ニ在リテハ二米以上、乙種線路ニ在リテハ一米六以上、丙種線路ニ在リテハ一米一五以上タルコトヲ要ス

第二十三條　道床ノ厚ハ枕木下面ヨリ施工基面迄甲種線路ニ在リテハ二十七糎以上、乙種線路ニ在リテハ二十糎以上、丙種線路ニ在リテハ十二糎以上タルコトヲ通例トス

第二十四條　橫枕木ノ長ハ二米四以上タルコトヲ通例トス

第二十五條　直線ニ於ケル左右兩軌條ノ高ハ均シクスルコトヲ要ス

第三十六條　曲線ニ於テハ其ノ半徑及列車ノ速度ニ應ジ外側軌條ニ相當ノ高度ヲ附スルコトヲ要ス但シ分岐ニ附帶スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ高度ハ緩和曲線ノ全長ニ於テ、緩和曲線ナキ場合ハ高度ノ四百五十倍以上ノ長ニ於テ之ヲ遞減スルモオトス復心曲線又ハ相接近スル同向二曲線ノ場合ニ於テハ其ノ間ニ於ケル高度ノ差ヲ遞減スルモオトス

第三節　軌道及橋梁負擔力

第二十八條　本線路ノ軌道ハ第六十三條ニ規定スル最大重量ヲ有スル車輛ガ少クトモ一時間四十粁ノ速度ヲ以テ運轉スルニ堪フルモノタルコトヲ要ス但シ轉轍部其ノ他特ニ速度ヲ指定セル箇所ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條　本線路ニ於ケル橋梁ノ各部ハ第二號圖ニ依ル標準活重ニ堪フルモノタルコトヲ要ス

第七節　軌道及橋梁

第三十條　軌道ヲ曲線中ニ設ケル場合ノ曲線半徑ハ四百米以上タルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル場合ニ限リ三百米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第三十一條　交通頻繁ナル道路又ハ河川ニ架設スル橋梁ハ軌道中心ヨリ左右各二米以上軌道干ヲ蓋フコトヲ要ス

第八節　停車場

第三十二條　旅客ヲ取扱フ驛ニハ乘降場、待合所、便所等旅客ノ取扱ニ必要ナル設備ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條　地方ノ狀況ニ依リ特ニ前條ノ規定ニ依ラザル簡易ナル驛ヲ設クルコトヲ得

第三十四條　貨物ヲ取扱フ驛ニハ必要ニ應ジ積卸場、倉庫等相當ノ設備ヲ爲スコトヲ要ス

第三十五條　乘降場ヲ軌道ノ側ニ設ケル場合ハ軌道ノ終端ニハ車止ヲ設クルコトヲ要ス

第四節　停車場外ニ於ケル軌道中心間隔

第三十六條　列車又ハ車輛ノ停止又ハ留置サルル線路ノ接續箇所ニ於ケル軌道中心間隔ハ三米九五以上トス

第三十七條　車輛ガ本線路ニ逸出又ハ列車ノ過走スルノ虞アル箇所ニハ相當ノ保安設備ヲ爲スコトヲ要ス

第三十八條　停車場及信號所ニハ電氣通信ノ設備ヲ爲スコトヲ要ス但シ驛員ヲ常置セザ

備ヲ施フタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十節　常置信號機

第四十三條　停車場ニハ場内信號機ヲ設クルコトヲ要ス但シ閉塞區間ノ中間ニ在ル停車場ニシテ列車ノ進路ニ轉轍器ナキ場合又ハ轉轍器ノ常時鎖錠セラルル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十四條　停車場ニハ出發信號機ヲ設クルコトヲ通例トシ必要ニ應ジ入換信號機及誘導信號機ヲ設クルコトヲ要ス

第四十五條　停車場外ニ於テハ可動橋其ノ他特ニ防護ヲ要スル地點ニハ必要ニ應ジ掩護信號機ヲ設クルコトヲ要ス

第四十六條　場内信號機、出發信號機及掩護信號機ニ對シテハ必要ニ應ジ其ノ前方相當距離ニ遠方信號機ヲ設クルコトヲ要ス

第十一節　保安設備

第四十七條　相互關係ヲ有スル常置信號機、轉轍器及可動橋等ハ聯動裝置ヲ爲スコトヲ要ス但シ本線路ニ關セザルモノ及常時鎖錠器ニ依リテ此ノ限ニ在ラズ

第四十八條　軌道ノ終端ニハ車止ヲ設クルコトヲ要ス

第四十九條　列車又ハ車輛ノ停止又ハ留置サルル線路ニハ第三米九五以上ノ接觸限界標設置箇所ニ於ケル軌道中心間隔ハ三米九五以上トス

第五十條　車輛ガ本線路ニ逸出又ハ列車ノ過走スルノ虞アル箇所ニハ相當ノ保安設備ヲ爲スコトヲ要ス

第五十一條　停車場及信號所ニハ電氣通信ノ設備ヲ爲スコトヲ要ス但シ驛員ヲ常置セザ

ル停車場ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

第五十二條　交通頻繁ナル踏切道ニハ門扉其ノ他相當ノ保安設備ヲ爲スコトヲ要ス

第五十三條　人又ハ牛馬等ノ線路ニ踏入ル虞アル場所ニハ柵垣、堤塘又ハ薄壁等ヲ設クルコトヲ要ス

第五十四條　列車ヲ避クルニ困難ナル隧道又ハ橋梁等ニハ待避所ヲ設クルコトヲ要ス

待避所相互ノ距離ハ隧道ニ在リテハ四十米以内、橋梁ニ在リテハ八十米以内タルコトヲ通例トス

第十二節　線路諸標

第五十五條　線路ニハ左ノ諸標ヲ設クルコトヲ要ス

一　一粁毎ニ其ノ距離ヲ示ス標

二　勾配變更箇所ニハ其ノ勾配ヲ示ス標

三　列車速度ノ制限其ノ他運轉上特ニ注意ヲ要スル箇所ニハ之ヲ表示スル標

四　踏切道ニハ必要ニ應ジ通行人ノ注意ヲ惹クベキ標

前項第一號乃至第三號ノ標ハ之ヲ線路ノ同一側ニ設クルコトヲ要ス

第三章　車輛

第一節　車輛限界

第五十六條　車輛ハ直線軌道上正位ニ於テ車輛限界外ニ出ヅルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ニ揭グルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一　外輪（外輪ナキ場合ハ軲、以下同ジ）ノ幅以内ニ於ケル車輛ノ部分

二　停止中ニ限リ開閉スル車輛ノ扉類（開閉スルヲ場合ニ限ル）

三　排雪裝置、郵便又ハ通票授受器、操車機其ノ他ノ特殊ノ裝置（使用スル場合ニ限ル）

第五十七條　輪軸ノ配置及之ニ關スル車輛各部ノ構造ハ三十粍ノ撓度ヲ有スル半徑七十米ノ曲線ヲ通過シ得ルモノタルコトヲ要ス

第五十八條　固定軸距ハ四米八ヨリ大ナラザルコトヲ要ス

第五十九條　前二條ノ規定ハ曲線半徑ノ大ナル區間ヲ限リ運轉スル車輛ニ付テハ之ヲ適用セズ

第六十條　炭水車及客貨車ニ於ケル車輪ノ直徑ハ車輪一對ノ中心線ヨリ七百五十粍ノ距離ニ於ケル踏面ニ於テ度リ七百五十粍以上タルコトヲ要ス

第六十一條　外輪ノ幅ハ百三十粍以上百五十粍以下タルコトヲ要ス

外輪ノ厚ハ二十五粍以上タルコトヲ要ス

外輪一對ノ內面距離ハ千三百四十九粍以上千三百五十六粍以下タルコトヲ要ス

第六十二條　輪緣ノ高ハ車輪一對ノ中心線ヨリ七百二十五粍ノ距離ニ於ケル踏面ヨリ度リ二十五粍以上三十五粍以下タルコトヲ要ス

輪緣ノ厚ハ二十三粍以上タルコトヲ要ス

輪緣一對ノ外緣距離ハ第一項ノ踏面ヨリ十粍ノ下位ニ於テ車輪一對ノ中心線ヨリ度リタルモノノ二倍ガ千三百九十五粍以上千四百二十七粍以下タルコトヲ要ス

第三節　車重

第六十三條　機關車ノ車輪一對ノ軌條ニ對スル壓力ハ其ノ停止中ニ於テ甲種線路ニ在リテハ二十二噸以下、乙種線路ニ在リテハ十八噸以下、丙種線路ニ在リテハ十五噸以下タルコトヲ要ス

客貨車ノ車輪一對ノ軌條ニ對スル壓力ハ其ノ停止中ニ於テ十三噸以下タルコトヲ要ス

第六十四條　機關車ノ重量ハ之ヲ二重連シ客貨車ヲ連結運轉スル場合ニ於テ第二十九條ニ規定スル橋梁ノ堪ヘ得ルモノタルコトヲ要ス

第六十五條　客貨車ノ重量ハ兩端連結器ノ連結面間ノ距離一米ニ付平均四、五噸以下タルコトヲ要ス

第六十六條　前三條ニ規定スル限度ハ運轉區間又ハ連結位置ニ制限ヲ有スル車輛ニ付テハ軌道及橋梁ノ負擔力ノ範圍內ニ於テ之ヲ超過スルコトヲ得

第四節　連結器及制動機

第六十七條　車輛ニハ自動連結器ヲ備フルコトヲ要ス

自動連結器連結面ノ中心ノ高ハ車輛停止中ニ於テ軌條面上八百十五粍以上九百粍以下タルコトヲ要ス

第六十八條　車輛ニハ貫通空氣制動機又ハ制動管ヲ備フルコトヲ要ス

第六十九條　緩急車トシテ使用スル車輛及機關車ニハ貫通制動機ヲ作用セシメ得ル裝置ヲ爲スコトヲ要ス

第七十條　機關車、汽動車、客車及車掌車ニハ手用制動機ヲ備フルコトヲ要ス

第五節　機關車ノ裝置

第七十一條　機關車ニハ左ノ裝置ヲ爲スコトヲ要ス

一　二箇以上ノ水面計

二　二箇以上ノ給水器

三　二箇以上ノ安全辨

四　壓力計但シ目盛板ニハ實用最高壓力ヲ表示スルコトヲ要ス

五　煙突及灰箱ヨリ火粉ノ放出ヲ防グ設備

六　火室頂板ニ一箇以上ノ可熔栓

七　汽笛又ハ之ニ相當スル介圖ノ裝置

八　機關車全部ニ排障器

第六節　客貨車ノ裝置

第七十二條　客車ノ側面ニ在ル外開戶及引戶ニハ二重ノ閉鎖裝置ヲ爲スコトヲ要ス

第七十三條　旅客ノ使用スル室ニハ通風、點燈及必要ニ應ジ煖房ノ裝置ヲ爲スコトヲ要ス

第七十四條　第七十一條ノ規定ハ汽動車ニ付之ヲ準用ス

第七節　車輛ノ標記

第七十五條　機關車ニハ左ノ事項ヲ標記スルコトヲ要ス

一　國有鐵道ノ紋章

二　番號

第七十六條　客貨車ニハ左ノ事項ヲ標記スルコトヲ要ス

一　國有鐵道ノ紋章

二　記號、番號

三　自重

四　客車ニハ等級及旅客定員

五　手荷物車、郵便車及貨車ニハ積載荷重及積載容積

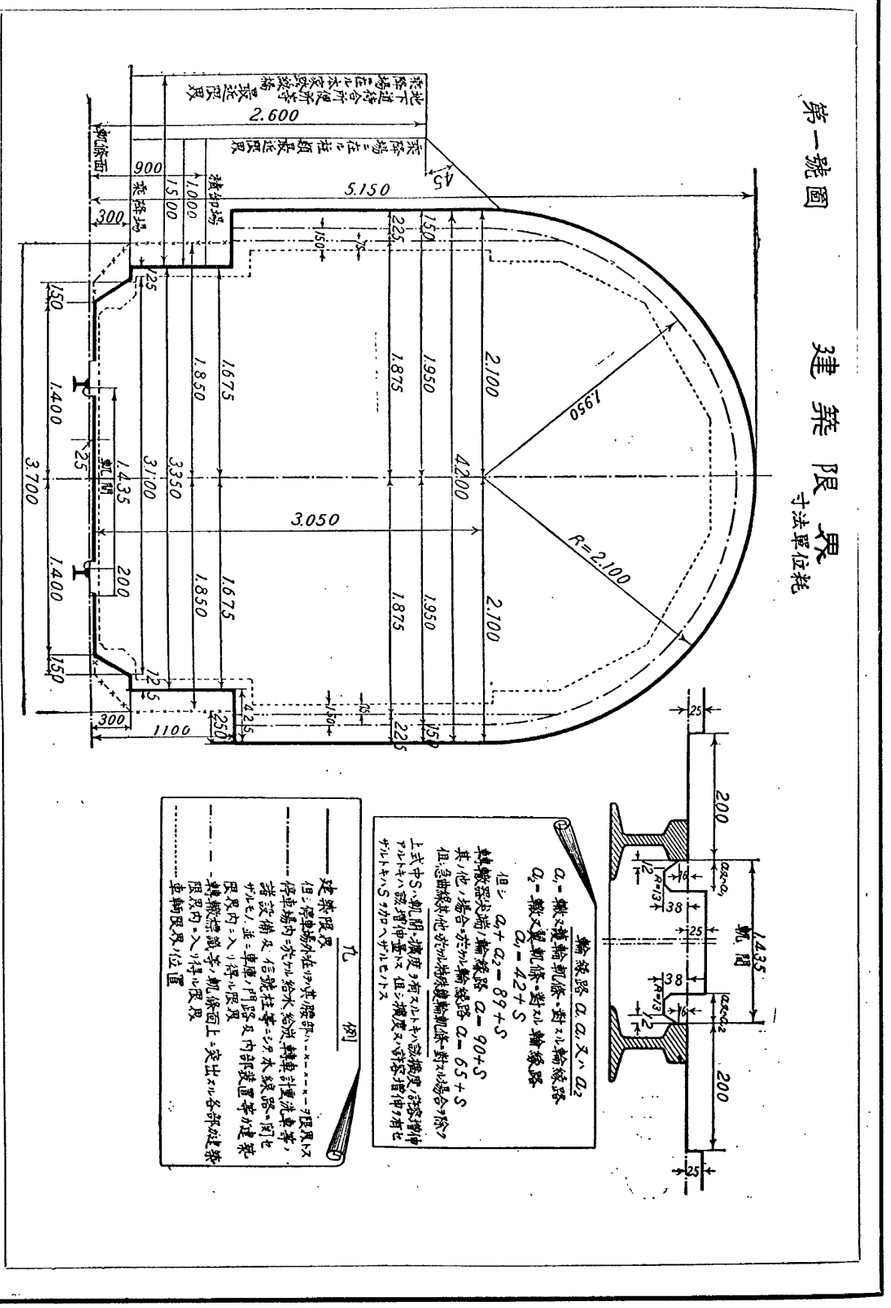
附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前工事ニ著手シ又ハ竣功シタル線路、建造物及車輛ニ付テハ當分ノ內仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第一號圖　建築限界

寸法單位粍


5,150
2,600
45°
900
1,000
1,500
300
225
150
25
1,675
1,850
3,350
3,100
1,435
200
1,400
3,700
3,050
4,200
2,100
1,950
1,875
R=2,100
0560
1100
軌間
1/2
1/20
1/13
38
18
200
150
125
100
35
215
250
輸軌器 a, a₁ 又ハ a₂
a₂ 輸ノ長軌條ノ裏ニ設ケル輸軌器
a₁ 輸ノ長軌條ノ裏ニ設ケル輸軌器
但シ a₁+a₂=89+S
輸軌器設置箇所 輸軌器 a₂=90+S
其ノ他ノ場合ニ於ケル輸軌器 a₂=65+S
但シ曲線其ノ他ニ於ケル特殊建築物ノ場合ニ於ケル輸軌器ノ裏ニ設ケル輸軌器ハ上式中Sノ數ヲ增減シ又ハ之ヲ廢止スルコトアルモ差支ナシ
S ハ軌間擴度ノ增減ニ相當スル增減數ヲ表ハス
凡例
建築限界
但シ停車場ノ柱ヤ荷扱場ノ上屋ノ如キ建築限界ニ關係ナキ建築物ハ之ヲ除ク
停車場ノ柱ヤ荷扱場ノ上屋ノ如キ建築限界ニ關係ナキ建築物ハ之ヲ除ク
信號機、轉轍器、轉轍器鎖錠裝置、信號機、轉轍器鎖錠裝置、信號機、轉轍器鎖錠裝置、信號機

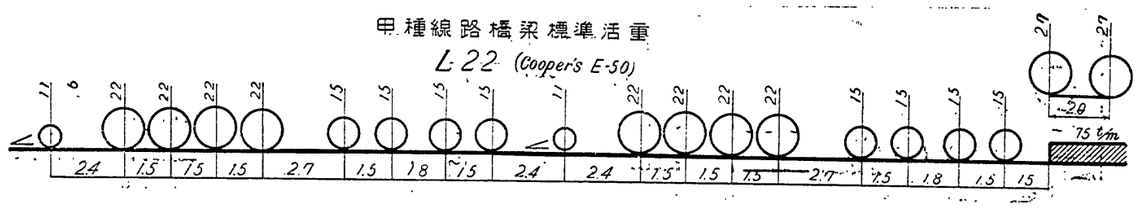
第二號圖

橋梁設計標準活重

荷重(軸重)單位𠛬　寸法單位米

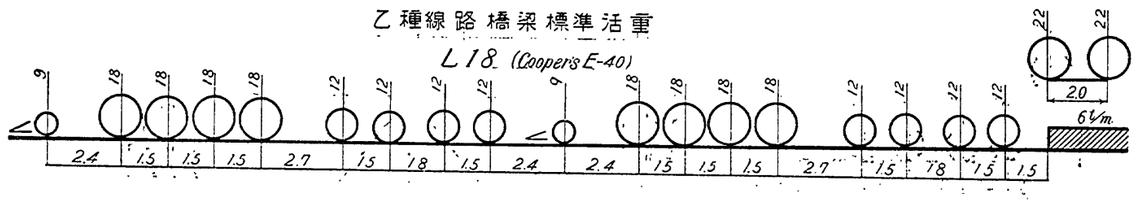
甲種線路橋梁標準活重

L 22 (Cooper's E-50)



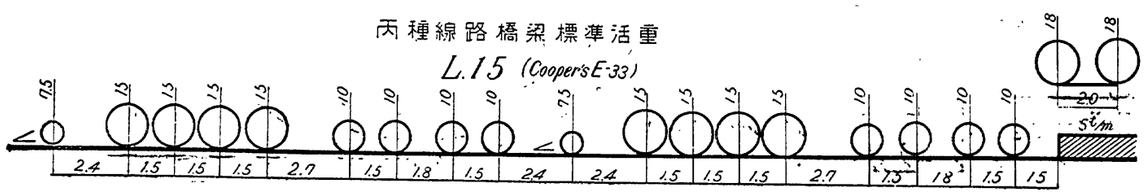
乙種線路橋梁標準活重

L 18 (Cooper's E-40)



丙種線路橋梁標準活重

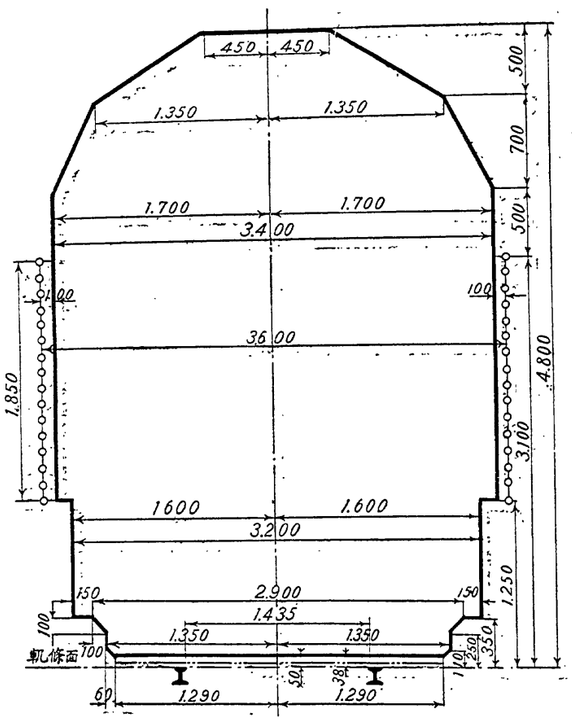
L 15 (Cooper's E-33)



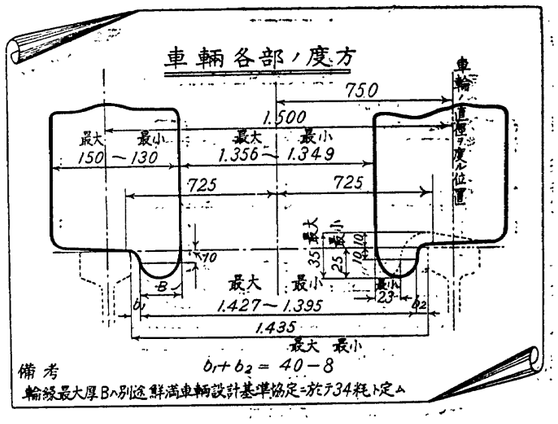
第三號圖

車輛限界

寸法單位粍



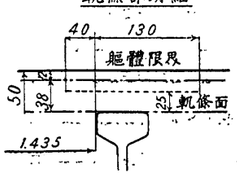
車輛各部ノ度方



備考　$b_1 + b_2 = 40 - 8$

輪緣最大厚Bハ別途鐵道車輛設計基準協定ニ於テ34粍ト定ム

車輛限界
軌條部明細



凡例

- 車輛軀體限界
- 列車標識ニ對スル限界
- 彈機ノ作用ニ依リ上下動ヲ爲サル部分ニ對スル限界
- 制輪子及撒砂管ニ對スル限界

●朝鮮私設鐵道建設規程

大正九年十一月
總令第百七十四號

（改正　大正一二年一二月九五號）

朝鮮私設鐵道建設規程左ノ通定ム

朝鮮私設鐵道建設規程

第一章　總則

第一條　私設鐵道ノ建設ハ本規程ノ定ムル所ニ依ルヘシ但シ特別ノ設計ヲ必要トスルモノニ在リテハ鐵道局長ノ許可ヲ受ケ本規程ニ依ラサルコトヲ得

鐵道局長ハ鐵道ノ狀況ニ依リ本規程ニ依ラサル特別ノ設計ヲ命スルコトヲ得

第二條　列車ノ運轉ニ常用スル線路ヲ本線路ト謂ヒ其ノ他ノ線路ヲ側線ト謂フ

第三條　旅客又ハ荷物ヲ取扱フ爲列車ヲ停止スル箇所ニシテ轉轍器ノ設備アルモノヲ停車場ト謂ヒ其ノ設備ナキモノヲ停留場ト謂フ

第二章　線路及建造物

第一節　軌間及軌條ノ高度

第四條　軌間ハ直線ニ於テ軌條頭ノ內側ヨリ內側迄ノ距離ニ依リ之ヲ測定ス

第五條　曲線ニ在リテハ轉轍器ニ附帶スル場合ヲ除クノ外軌間ニ相當ノ擴度ヲ附スヘシ但シ軌間ノ狂歪、軌條ノ磨損アリタル場合ニ於テモ左ノ寸法ヲ超エルコトヲ得ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋四分ノ一

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

第六條　直線ニ在リテハ兩軌條面ノ高ヲ均クスルコトヲ要ス但シ曲線ニ於ケル高度ヲ遞減スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

曲線ニ在リテハ轉轍器ニ附帶スル場合ヲ除クノ外外側軌條ニ相當ノ高度ヲ附シ曲線ニ接續スル直線又ハ緩和曲線ニ於テ左ノ區別ニ依リ之ヲ遞減スヘシ

一　軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ　高度ノ三百倍以上

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　三呎以上

第十九條　軌道及橋梁ノ各部ハ動荷重ニ耐フル負擔力ヲ有スルコトヲ要ス

第二十條　交通頻繁ナル道路又ハ通船頻繁ナル河川ニ架設スル橋梁ハ車輛ノ幅及其ノ兩側各六呎以上軌道面下ヲ蓋フコトヲ要ス

第六節　待避所

第二十一條　隧道橋梁其ノ他列車ヲ避クルニ困難ナル場所ニハ三百呎以內ノ距離ニ待避所ヲ設クルコトヲ要ス

第七節　踏切道

第二十二條　踏切道ト線路トノ交角ハ六十度ヨリ小ナルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ四十五度ニ至ルコトヲ得

交通頻繁ナル踏切道ニハ通行人ノ注意ヲ喚ヒヘキ警標ヲ設クルコトヲ要ス

交通頻繁ニシテ展望不良ナル踏切道ニハ門扉其ノ他相當ノ保安設備ヲ爲スヘシ

第八節　常置信號機

第二十三條　停車場外ニ於テ線路カ本線路ヨリ分岐スル箇所ニハ左ニ揭クル場合ヲ除クノ外常置信號機ヲ設ケ之ニ聯鎖スル轉轍器ト相互聯動セシムルコトヲ要ス

一　保安區間內ニ在ル分岐點ノ轉轍器ニシテ之ニ通過鎖錠器ヲ裝置シタルトキ

二　閉塞式ヲ施行スル單線ニ於ケル分岐點ノ轉轍器ニシテ之ニ轉轍標識ヲ設ケ轉轍器ヲ鎖錠シタルトキ

第二十四條　左ノ箇所ニハ特別ノ場合ヲ除クノ外常置信號機ヲ設クルコトヲ要ス但シ閉塞信號機ヲ設ケル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　單線ニ於テ列車ノ行違ヲ爲ス停車場又ハ信號所

二　複線ニ於ケル閉塞區間ノ境界點ニ在ル停車場、停留場又ハ信號所

第二十五條　場內信號機防護區域外二十鎖以上ノ距離ヨリ之ヲ展望スルコト能ハサルトキ其ノ前方ニ遠方信號機ヲ設クルコトヲ要ス

第九節　平面交叉

第二十六條　本線路ハ相當ノ保安設備アル停車場又ハ信號所外ニ於テ鐵道又ハ軌道ト平面交叉スルコトヲ得ス但シ鐵道又ハ軌道カ人力又ハ牛馬力ヲ動力トスル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十節　諸標

第二十七條　本線路ニハ左ノ諸標ヲ設クルコトヲ要ス

一　每半哩ノ距離ヲ示ス哩程標

二　六十分ノ一ヨリ急ナル勾配ノ始終點ニハ其ノ勾配ヲ示ス勾配標

第二十八條　本線路又ハ側線カ本線路ニ接續スル箇所ニハ車輛ノ停止區域ヲ示ス警標ヲ設クルコトヲ要ス

第三章　車輛

第一節　車輛定規

第三十七條　車輛定規ハ車輪ヲ除クノ外第一號、第二號及第三號ノ乙圖面ニ依ルヘシ

第三十八條　外方ニ開キタル車輛ノ扉ハ車輛定規ノ限界ヲ超エルコトヲ得但シ建築定規ノ範圍內ニ於テ三吋以上ノ遊間ヲ存スルコトヲ要ス

第三十九條　排障器、制輪子、撒砂管其ノ他ノ物ニシテ輪緣ノ幅外ニ出テサル部分及聯結器ノ下端ハ軌條面上一吋ノ高迄下ルコトヲ得

第四十條　彈機ノ作用ニ因リ上下動ヲ爲ササル部分ハ車輛定規ノ中心線ヨリ測リ左ノ幅內ニ於テ軌條面上二吋ノ高迄下ルコトヲ得

一　軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ　左右各四呎五吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　左右各二呎九吋

三　軌間三呎六吋ノモノニ在リテハ　左右各三呎四吋

第四十一條　排雪器ハ其ノ使用ニ際シ轉轍器、護輪軌條等アル箇所ヲ除クノ外之ヲ軌條頭ニ接觸セシムルコトヲ得

第四十二條　電氣機關車及電車ノ集電裝置ノ可動部分ハ車輛定規ノ限界ヲ超ユルコトヲ得

第四十三條　前六條ノ規定ハ輪緣其ノ他ノ磨損又ハ彈機ノ變形アリタル場合ニ於テモ之ヲ適用ス

第二節　輪軸距

第四十四條　車輪ノ固定輪軸距離ハ線路ノ最小曲線半徑ニ應シテ之ヲ定ムヘシ但シ左ノ寸法ヲ超エルコトヲ得ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　十五呎

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　十呎

第三節　車輪

第四十五條　車輪ノ直徑ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　七鎖以上

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　二鎖以上

三　軌間三呎六吋ノモノニ在リテハ　五鎖以上

第四十六條　車輪ノ踏面ハ新製ノ場合ニ於テ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第四十七條　車輪ノ輪緣ハ新製ノ場合ニ於テ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋半

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

第四十八條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第四十九條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第五十條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第五十一條　車輪ノ踏面ハ新製ノ場合ニ於テ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第五十二條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第五十三條　車輪ノ踏面ハ新製ノ場合ニ於テ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第五十四條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第五十五條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第五十六條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第五十七條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第五十八條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第五十九條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第六十條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第六十一條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第六十二條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第六十三條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第六十四條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第六十五條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第六十六條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第六十七條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第六十八條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第六十九條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第七十條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第七十一條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第七十二條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第七十三條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第七十四條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第七十五條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第七十六條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第七十七條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第七十八條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第七十九條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第八十條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第八十一條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第八十二條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第八十三條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第八十四條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第八十五條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第八十六條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第八十七條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第八十八條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第八十九條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第九十條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第九十一條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第九十二條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第九十三條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第九十四條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第九十五條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第九十六條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第九十七條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第九十八條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第九十九條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百一條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百二條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百三條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百四條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百五條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百六條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百七條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百八條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百九條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百十條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百十一條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百十二條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百十三條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百十四條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百十五條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百十六條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百十七條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百十八條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百十九條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百二十條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百二十一條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百二十二條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百二十三條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百二十四條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百二十五條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百二十六條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百二十七條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百二十八條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百二十九條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百三十條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百三十一條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百三十二條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百三十三條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百三十四條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百三十五條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百三十六條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百三十七條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百三十八條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百三十九條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百四十條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百四十一條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百四十二條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百四十三條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百四十四條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百四十五條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百四十六條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百四十七條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フルヲ要ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋

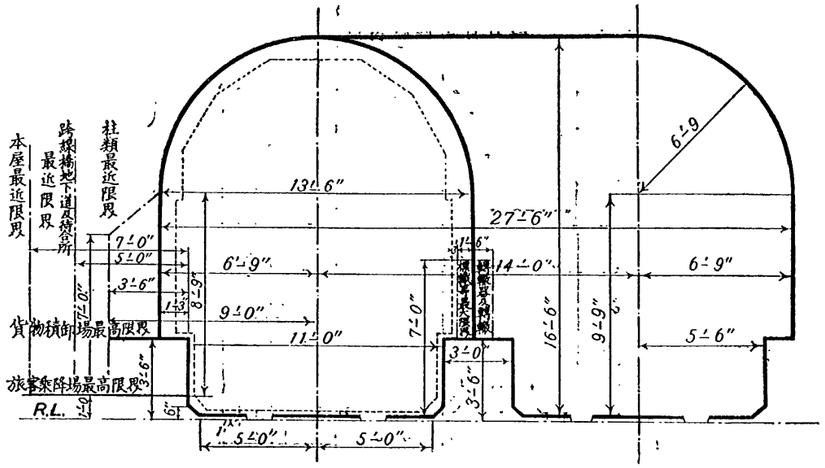
二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　半吋

第百四十八條　車輪ノ輪緣ハ左ノ寸法ヲ超エサル程度ニ磨耗シタルモノヲ取換フ

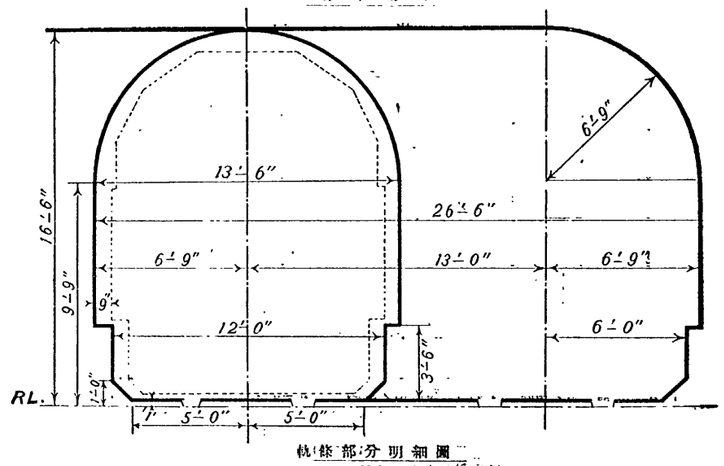
面圖甲號壹第

道鐵軌間四呎八吋半建築定規

呎六爲吋壹以尺縮

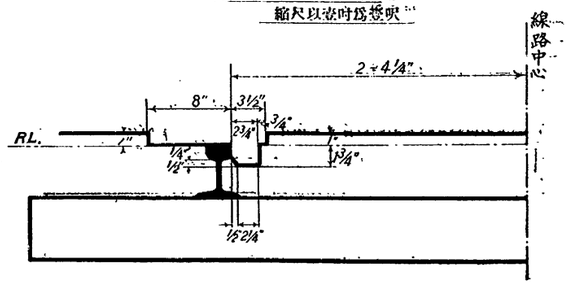


外場車停



軌鐵部分細圖

呎叁爲吋壹以尺縮



在リテハ一時十六分ノ七以下

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　一時十六分ノ五以下

軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　八分ノ七時以上

一時十六分ノ三以下

第四十六條　輪縁ノ厚ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

一　軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ　一時以上

八分ノ七時以上

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　八分ノ五時以上

三　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　四分ノ三時以上

第四十九條　車輪一對ノ中心線ヨリ輪縁外面迄ノ距離ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

一　軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ　二呎三吋二分ノ一以上

二呎三吋八分ノ七以下

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　一呎二吋八分ノ三以上

一呎二吋四分ノ三以下

三　軌間三呎六吋ノモノニ在リテハ　一呎八吋十六分ノ五以上

一呎八吋四分ノ三以下

第五十條　前二條ノ規定ハ輪縁ノ磨損シタル場合ニ於テモ之ヲ適用ス

第四節　緩衝器及聯結器

第五十一條　車輛ニハ彈性ノ緩衝器及聯結器ヲ備フルコトヲ要ス

軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ自働中央緩衝聯結器ヲ備ヘ其ノ中心ノ高ハ軌條面上

空車ノトキ二呎十一吋ヲ超ユルコトヲ得ス

滿載車ノトキ二呎八吋ヲ下ルコトヲ得ス

第五十二條　機關車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

一　汽罐ニハ獨立ニ其ノ用ヲ爲ス二箇以上ノ給水器ヲ備フルコト

二　汽罐内部ノ水位ヲ獨立ニ認知シ得ル箇以上ノ驗水器ヲ備ヘ其ノ一ハ機關手ノ位置ヨリ水位ヲ直ニ認メ得ルモノタルコト

三　二箇以上ノ安全弁ヲ備フルコト

四　火室ノ頂鈑ニ可溶栓ヲ備フルコト

五　驗壓器ヲ備ヘ其ノ指針盤ニ實用最高汽壓ヲ表示スルコト

六　汽罐ノ火室ニ在ル鋲桿ニハ其ノ頂上ニ在ルモノ及特別ノ裝置アルモノヲ除ク外其ノ毀損ヲ外部ヨリ發見シ得ヘキ設備ヲ爲スコト

七　汽笛ヲ備フルコト

八　前後ニ排障器ヲ備フルコト

九　煙樋及灰箱ニハ火粉止ノ設備ヲ爲スコト

十　他ノ制動機ノ設アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコト

第六節　客車及緩急車

第五十三條　客車内ノ面積ハ旅客定員一人ニ付平均三平方呎ヨリ小ナルコトヲ得ス但シ起立乘客ニ對スル相當ノ設備アル場合ニ在リテハ之ヲ二平方呎半迄縮小スルコトヲ得

第五十四條　客車内ニハ點燈ノ設備ヲ爲スヘシ

第五十五條　客車ノ側面ニ在ル外開キノ扉ニハ二箇ノ閉鎖器ヲ備フルコトヲ得ス

第五十六條　緩急車ニ他ノ制動機ノ設アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコトヲ要ス

第七節　汽動車、電氣機關車及電車

第五十七條　汽動車ニハ機關車及客車ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十八條　電氣機關車及電車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

一　特別ノ場合ヲ除クノ外前後ニ制御器ヲ設クルコト

二　自働遮斷器ヲ設クルコト

三　架空線式ノ場合ニ於テハ避雷器ヲ設クルコト

四　警鐘又ハ警笛ヲ備フルコト

五　前後ニ排障器ヲ備フルコト

六　他ノ制動機ノ設アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコト

第五十九條　汽動車及電車ニハ乘務員間ノ合圖器ヲ備フルコトヲ要ス

附　則

本令ハ大正九年制令第九號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依リ許可ヲ受クヘキ事項ニシテ舊規程ニ依リ許可ヲ受ケタル事項ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

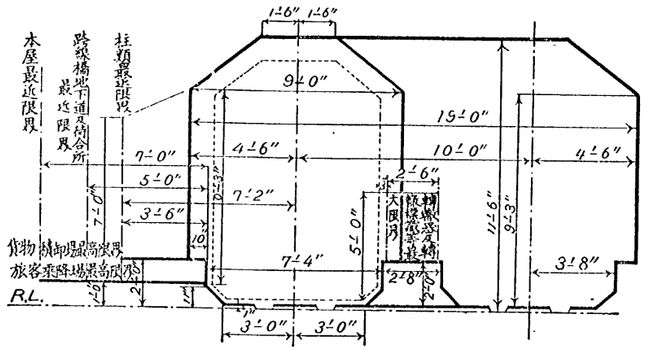
舊規程ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第貳號甲圖面

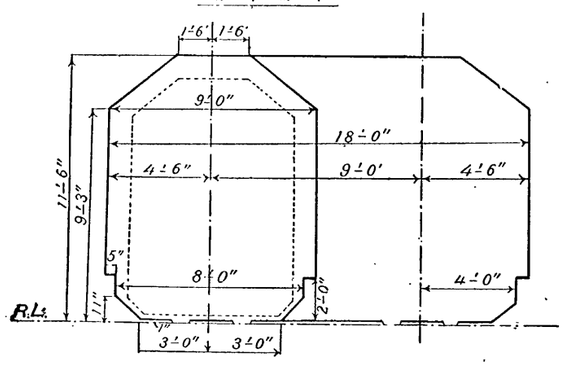
軌間貳呎六吋鐵道建築定規

縮尺貳吋壹呎

停車場內

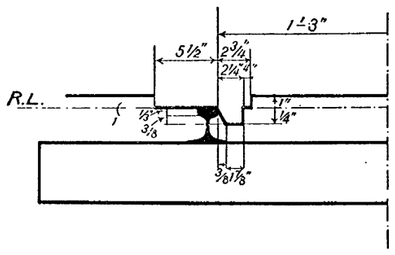


停車場外



軌條部分明細圖

縮尺以壹吋爲壹呎

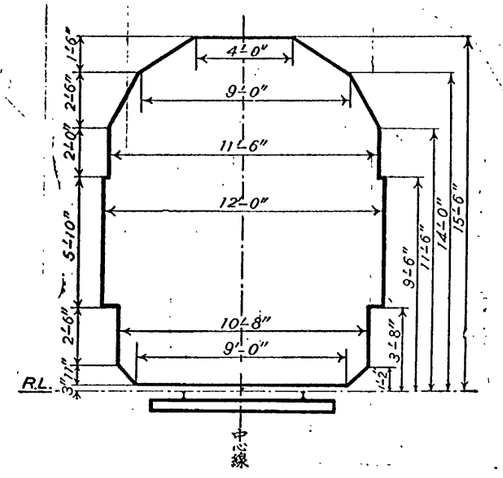


線路中心

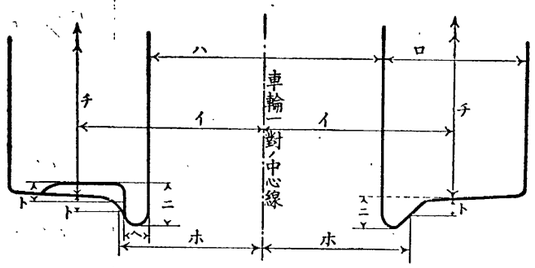
第壹號乙圖面

軌間四呎八吋半鐵道車輛定規

縮尺以壹吋爲六呎



輪鐵各部之度方



イ	車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣踏面迄ノ距離	2′−5¼″
ロ	輪緣ノ幅	5″以上　7″以下
ハ	車輪一對ノ輪緣內側距離（輪緣アルモノ／〃ナキモノ）	4′−5″以上　4′−5½″以下 4′−4⅛以上
ニ	輪緣ノ高サ	1″以上　1 7/16″以下
ホ	車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣外面迄ノ距離	2′−3½″以上　2′−3⅞″以下
ヘ	輪緣ノ厚サ	⅞″以上
ト	（イ）ナル距離ニ於ケル踏面ヨリ下位ニ度ル距離	新シキ時 ⅝″ 磨耗シタル時 ⅜″
チ	車輪ノ直徑　（導輪及從輪） （其他ノモノ）	2′−0″以上 2′−6″以上

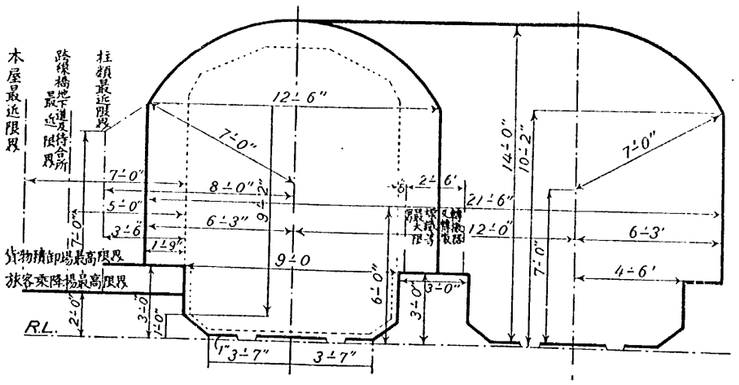
第參號甲圖面

軌間參呎六吋鐵道

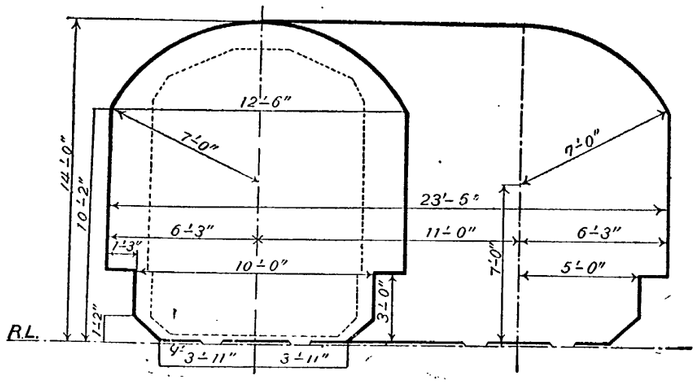
建築定規

縮尺以壹吋爲六呎

停車場內

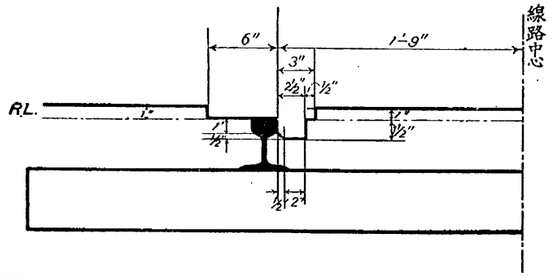


停車場外



軌條部分明細圖

縮尺以壹吋爲壹呎

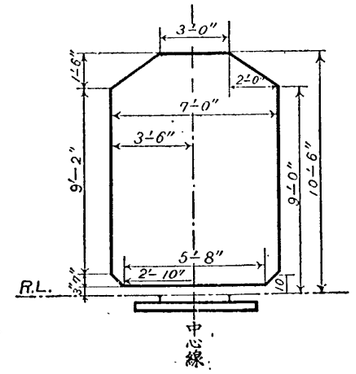


第弐號乙圖面

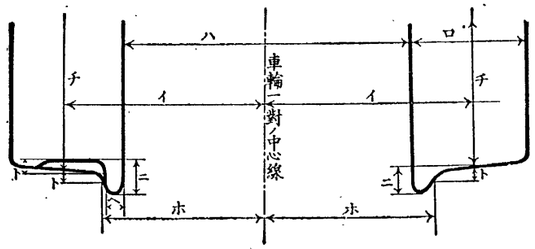
軌間弐呎六吋鐵道

車輛定規

縮尺以壹吋爲六呎



輪鐵各部之度方



イ　車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣踏面迄ノ距離	1′—$3\frac{3}{4}$″
ロ　輪鐵ノ幅	4″以上　$5\frac{1}{2}$″以下
ハ　車輪一對ノ輪鐵内側距離（輪緣アルモノ）（〃　ナキモノ）	2′—$3\frac{1}{4}$″以上　2′—$3\frac{3}{8}$″以下 2′—3″以上
ニ　輪緣ノ高サ	$\frac{7}{8}$″以上　$1\frac{3}{16}$″以下
ホ　車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣外面迄ノ距離 輪緣ノ厚サ	1′—$2\frac{1}{8}$″以上　1′—$2\frac{1}{4}$″以下
ヘ　輪緣ノ厚サ	$\frac{5}{8}$″以上
ト　（イ）ナル距離ニ於ケル踏面ヨリ下位ニ度ル距離	$\frac{3}{8}$″
チ　車輪ノ直徑	1′—6″以上

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

●朝鮮國有鐵道運轉規程

昭和二年八月
總令第八十二號

改正　昭和六年三月第二八號

朝鮮國有鐵道運轉規程左ノ通定ム

朝鮮國有鐵道運轉規程

第一編　總則

第一章　通則

第一條　朝鮮國有鐵道ニ於ケル運轉ハ本令ノ定ムル所ニ依リ之ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　試運轉ヲ爲ス場合ニシテ本令ニ依ルコト能ハザルトキ

二　其ノ他已ムコトヲ得ザル事由アルトキ

第二條　本令ニ於テ列車ト稱スルハ停車場外ノ本線路ヲ進行スルノ目的ヲ以テ仕立テタル車輛又ハ車輛列ヲ謂フ

第二章　線路

第一節　線路ノ保持

第三條　線路ハ所定ノ速度ヲ以テ列車又ハ車輛ヲ安全ニ運轉シ得ル狀態ニ之ヲ保持スルコトヲ要ス

本線路ノ一時前項ノ狀態ニ在ラザル場合ニ於テハ信號ヲ以テ之ヲ表示シ特ニ注意ヲ必要トスル箇所ハ之ヲ監視スルコトヲ要ス

第四條　本線路ハ毎日少クトモ一回之ヲ巡視スルコトヲ要ス

本線路ニ被害ノ虞アルトキハ之ヲ監視スルコトヲ要ス

第五條　新設線路、改築又ハ修繕ヲ爲シタル線路及一時使用ヲ休止シタル線路ハ之ヲ檢查シ試運轉ヲ爲シタル後ニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ但シ本線路ノ改築又ハ修繕ノ輕易ナル場合及側線ニ在リテハ試運轉ヲ省略スルコトヲ得

第二節　信號裝置、轉轍裝置及閉塞

第六條　信號裝置、轉轍裝置及閉塞裝置ハ完全ナル狀態ニ之ヲ保持スルコトヲ要ス

第七條　本線路ニ於ケル轉轍器ハ列車ガ之ニ對向シテ通過スルトキハ之ヲ鎖錠シ又ハ其ノ取柄ヲ支持スルコトヲ要ス

第八條　信號裝置、轉轍裝置及閉塞裝置ハ一年以內毎ニ一回其ノ各部ヲ檢查スルコトヲ要ス

第三節　踏切道及障碍物

第九條　交通頻繁ナル踏切道ニハ完全ナル保安施設ヲ爲シ又ハ看守人ヲ置キ列車又ハ車輛ノ通過前之ヲ閉ヂ其ノ通過後之ヲ開カシムベシ但シ夜間交通稀ナル際ハ此ノ限ニ在ラズ

第十條　建築限界內ニ物ヲ置クコトヲ得ズ但シ作業上必要ニシテ運轉ニ支障ナキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三章　車輛

第一節　車輛ノ保持

第十一條　車輛ハ安全ニ運轉シ得ル狀態ニ在ルニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第十二條　新製車輛及改造又ハ修繕ヲ爲シタル車輛ハ之ヲ檢查シ試運轉ヲ爲シタル後ニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ但シ改造又ハ修繕ガ輕易ナル場合ハ試運轉ヲ省略スルコトヲ得

蒸汽機關車又ハ汽動車ノ罐ニシテ新製ノモノ及重要ナル改造又ハ修繕ヲ爲シタルモノハ水壓試驗ヲ行フコトヲ要ス

第十三條　蒸汽機關車及汽動車ノ機關部ハ使用ノ狀況ニ應ジ相當ノ期間內毎ニ搾彈機、輪軸及纏衣ヲ取外シテ各部ノ檢查及罐ノ水壓試驗ヲ行ヒ試運轉ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ期間ハ三年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十四條　蒸汽機關車及汽動車ノ機關部ハ使用ノ狀況ニ應ジ適當ノ時期ニ機關部其ノ他要部ノ檢查ヲ行ヒ試運轉ヲ爲スコトヲ要ス

第十五條　前三條ノ水壓試驗ニ於テハ罐ノ最高使用壓力ニ其ノ三割五分以上ヲ增加シタル壓力ヲ使用シ五分間以上之ヲ持續セシムルコトヲ要ス

第十六條　蒸汽機關車及汽動車ノ汽笛及避雷ノ內部、吐出管、加減瓣並制動裝置ハ每年少クトモ一回之ヲ檢查スルコトヲ要ス

第十七條　蒸汽機關車及汽動車ノ火室ノ內部、安全鍁、給水器、給油器、計器及火粉止ハ每月少クトモ一回之ヲ檢查スルコトヲ要ス

第十八條　客車、貨車及動車ハ使用ノ狀況ニ應ジ相當ノ期間內毎ニ輪軸、搾彈機、連結裝置、緩衝裝置及制動裝置ヲ取外シ各部ヲ檢查スルコトヲ要ス

前項ノ期間ハ客車及動車ニ在リテハ一年半、貨車ニ在リテハ三年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十九條　機關車及動車ノ機關部ニハ第十三條、第十三條ノ二又ハ第十四條ノ規定ニ依リ、客車、貨車及動車ニハ第十八條ノ規定ニ依リ施行シタル最近檢查ノ年月日ヲ標記スルコトヲ要ス

第二節　列車ノ組成

第二十條　列車ヲ組成スル車輛ノ檢查

車輛ノ種類及運轉ノ狀況ニ應ジ相當ノ距離ヲ運轉スル毎ニ之ヲ檢查スルコトヲ要ス

第二十一條　列車ノ貫通制動機ハ列車ヲ組成シ又ハ其ノ組成ヲ變更シタル場合ニ於テ列車出發前之ヲ試驗スルコトヲ要ス

第三節　列車ノ組成

第二十二條　列車ノ最大車數ハ之ヲ組成スル車輛ノ凌挌及連結裝置ノ强度ニ應ジテ之ヲ定ムルコトヲ要ス

第二十三條　列車ヲ組成スル車輛ハ之ヲ相互ニ連結スルコトヲ要ス但シ下リ勾配ヲ有セザル線路ヲ運轉スル場合ニ於テ列車ノ後部補助機關車ガ途中ヨリ退行スルトキハ其ノ後部補助機關車ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條　列車ハ貫通制動機ヲ使用シ其ノ連結車數百ニ對シ八十以上ノ割合ノ制動裝置車輛ヲ備フルコトヲ要ス但シ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ期間內毎ニ煙管ヲ取外シテ內部ヲ檢查シ水壓試驗ヲ行フコトヲ要ス

第二編　運轉

第一章　運轉

第一節　列車ノ組成

第二十二條　列車ノ最大車數ハ之ヲ組成スル車輛ノ凌挌及連結裝置ノ强度ニ應ジテ之ヲ定ムルコトヲ要ス

第二十三條　列車ヲ組成スル車輛ハ之ヲ相互ニ連結スルコトヲ要ス但シ下リ勾配ヲ有セザル線路ヲ運轉スル場合ニ於テ列車ノ後部補助機關車ガ途中ヨリ退行スルトキハ其ノ後部補助機關車ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條　列車ハ貫通制動機ヲ使用シ其ノ連結車數百ニ對シ八十以上ノ割合ノ制動裝置車輛ヲ備フルコトヲ要ス但シ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ期間內毎ニ煙管ヲ取外シテ內部ヲ檢查シ水壓試驗ヲ行フコトヲ要ス

連結車數百ニ對スル制動車數

勾配／線路一哩	千分ノ四以下	千分ノ六	千分ノ八	千分ノ一〇	千分ノ一二	千分ノ一四	千分ノ一六	千分ノ一八	千分ノ二〇	千分ノ二二	千分ノ二四	千分ノ二六	千分ノ二八	千分ノ三〇
二五粁	六	六	六	七	九	一二	一五	一八	二一	二五	二八	三一	三四	三七
三〇粁	六	六	六	九	一一	一五	一八	二一	二五	二八	三一	三四	三七	四一
三五粁	六	六	七	一〇	一三	一六	一九	二二	二五	二八	三三	三六	四一	四四
四〇粁	六	六	九	一二	一五	一八	二一	二五	二八	三一	三五	三八	四二	四六
四五粁	六	八	一一	一五	一八	二一	二五	二八	三一	三五	三八	四二	四六	五〇
五〇粁	七	一〇	一四	一八	二二	二六	二九	三三	三六	四〇	四三	四六	五〇	五四
五五粁	一〇	一三	一七	二一	二四	二七	三一	三四	三七	四〇	四四	四七	五一	五四
六〇粁	一三	一六	二〇	二三	二七	三〇	三四	三八	四二	四六	四九	五二	五六	五九
六五粁	一六	二〇	二三	二七	三一	三四	三八	四二	四六	五〇	五四	五七	六〇	六四

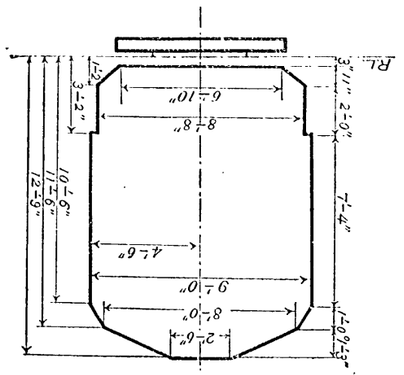
備考

一　本表ノ勾配ハ線路上一粁ヲ距テタル二點ヲ結ヘル直線ノ勾配トス

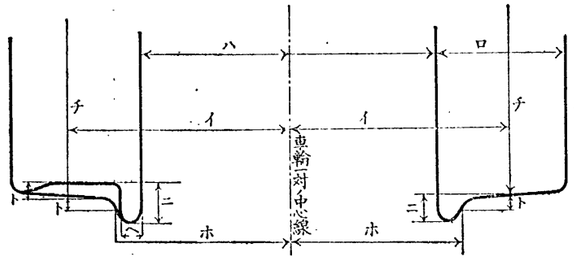
二　線路ノ勾配及列車ノ遠度ニシテ本表ニ揭ゲザルモノノ中間ニ在ル場合ニ於ケル制動車數ノ割合ハ挿入法ニ依リ算出ス

軌間四呎六吋參分ノ壹鐵道車輛定規　第參號乙圖

呎六爲時壹百分ノ壹縮尺



輪各部之度方



イ	車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣踏面迄ノ距離	1'-10"
ロ	輪緣ノ幅	4½"以上　6"以下
ハ	車輪一對ノ輪緣內側距離	(輪緣アルモノ) 3'-2⅞"以上　3'-3¼"以下 (〃ナキモノ) 3'-2½"以上
ニ	輪緣ノ高サ	1"以上　1"/13以下
ホ	車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣外面迄ノ距離	1'-8⅝"以上　1'-8¾"以下
ヘ	輪緣ノ厚サ	¾"以上
ト	(イ)ナル距離ニ於ケル踏面ヨリ下位ニ度ル距離	½"
チ	車輪ノ直徑	(導輪及從輪) 2'-0"以上 (其他ノモノ) 2'-6"以上

キ
場 乗降場ハ停車場ノ外旅客ノ乗降ノ為ニ設ケタル場所ヲ謂フ 三二
此ノ場合ニ於テハ貨物ノ積卸ノ為ニ設ケタル場所ヲ謂フ 三二
専用側線 専用側線ハ特定ノ者ノ専用ニ供スル側線ヲ謂フ 三二
電気運転 電気運転ハ電気ヲ動力トシテ車両ヲ運転スルコトヲ謂フ 三二
電車線 電車線ハ架空線又ハ第三軌条ヲ謂フ 三二
電車線路 電車線路ハ電車線ヲ支持スル為ノ工作物ヲ謂フ 三二
電車線路ノ支持物 電車線路ノ支持物ハ架空線ヲ支持スル為ノ工作物ヲ謂フ 三二
電車線路ノ支持物ノ建植 電車線路ノ支持物ノ建植ハ電車線路ノ支持物ヲ地ニ植立スルコトヲ謂フ 三二
電車線路ノ引留 電車線路ノ引留ハ電車線ヲ終端ニ於テ引留ムルコトヲ謂フ 三二
電車線路ノ分岐 電車線路ノ分岐ハ電車線ヲ分岐スルコトヲ謂フ 三二
電車線路ノ分岐ノ建植 電車線路ノ分岐ノ建植ハ電車線路ノ分岐ヲ地ニ植立スルコトヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通 電車線路ノ引通ハ電車線ヲ引通スコトヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通ノ建植 電車線路ノ引通ノ建植ハ電車線路ノ引通ヲ地ニ植立スルコトヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通ノ建植ノ場所 電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ハ電車線路ノ引通ノ建植ヲ為ス場所ヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更 電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ハ電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ヲ変更スルコトヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所 電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ハ電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ヲ為ス場所ヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植 電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ハ電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ヲ地ニ植立スルコトヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所 電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ハ電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ヲ地ニ植立スルコトヲ為ス場所ヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更 電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ハ電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ヲ変更スルコトヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所 電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ハ電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ヲ為ス場所ヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植 電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ハ電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ヲ地ニ植立スルコトヲ為ス場所ヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所 電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ハ電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ヲ地ニ植立スルコトヲ為ス場所ヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更 電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ハ電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ヲ地ニ植立スルコトヲ為ス場所ヲ謂フ 三二
電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所 電車線路ノ引通ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所ノ建植ノ場所ノ変更ノ場所

六　入換信號機　入換スベキ列車又ハ車輛ニ對スル之モノ

第九十二條　常置信號機ハ向テ之ヲ視ルトキ左腕又ハ燈色ヲ以テ左ノ方式ニ依リ信號ヲ現ホス

一　場内信號機、出發信號機、掩護信號機及入換信號機

(一)晝間　腕木平
　夜間　赤色燈
(二)晝間　腕下向四十五度
　夜間　綠色燈

二　遠方信號機

(一)晝間　腕木平
　注意信號
　夜間　橙黃色燈
(二)晝間　腕下向四十五度
　進行信號
　夜間　綠色燈

三　誘導信號機

進行信號(一)晝間　腕下向四十五度
　夜間　綠色燈

第九十三條　場内信號機、出發信號機、掩護信號機及入換信號機ハ停止信號ヲ、遠方信號機ハ注意信號ヲ現示スルヲ其ノ定位トシ誘導信號機ハ信號ヲ現示セザルヲ其ノ定位トス

第九十四條　常置信號機ノ腕ハ長方形トス但シ腕端ハ出發信號機ノ遠方信號機ニ在リテハ燕形、其ノ他ノ遠方信號機ニ在リテハ矢筈形トス

常置信號機ノ腕ノ表面ハ遠方信號機ニ在リテハ橙黃色、其ノ他ノ信號機ニ在リテハ赤色トシ腕端ニ近ク之ト竝行シテ遠方信號機ニ在リテハ白色線ヲ、其ノ他ノ信號機ニ在リテハ黑色線、其ノ他ノ信號機ニ在リテハ白色線ヲ劃ス

常置信號機ノ腕ノ背面ハ白色トシ腕端ニ近ク之ト竝行シテ黑色線ヲ劃ス

第九十五條　常設信號機ノ現示ヲ夜間後方ヨリ識別スル爲用フル背面光ハ左ノ方式ニ依ル

一　遠方信號機

　注意信號　大ナル白光
　進行信號　小ナル白光

二　其ノ他ノ信號機

　停止信號　大ナル白光

第九十六條　進行信號　小ナル白光

第九十六條　一柱ニ同種類ノ信號二以上ヲ現示スル場合ニ於テハ最高位ニ在ルモノヲ最左側ノ線路ニ以下順次右方ノ線路ニ對スルモノトス

第九十七條　遠方信號機ハ其ノ主體ノ信號機ニ停止信號ヲ現示スルトキハ注意信號ヲ現示スルヲ要ス

第九十八條　場内信號機ノ設アル停車場ニ於テハ之ヲ通過スベキ列車ニ對シメントスル場合ニ於テ出發信號機ノ設ナキトキハ場内信號機ニ停止信號ヲ現示スルコトヲ要ス但シ臨時信號機ノ設置ヲ豫メ通告セザル場合ニ於テハ停止信號現示箇所ノ外方、徐行信號機ニ在リテハ停止信號現示箇所ノ外方、徐行信號機ニ在リテハ注意信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用閉塞信號ヲ現示スルコトヲ要ス

第九十九條　列車ヲ通過シ又ハ通過セシムル場合ニ於テハ其ノ通過ノ都度誘導信號機ニ在リテハ停止信號ヲ現示セザルコトヲ、遠方信號機ニ在リテハ注意信號ヲ現示スルコトヲ、其ノ他ノ信號機ニ在リテハ停止信號ヲ現示スルコトヲ要ス

第百條　天候ノ狀態ニ依リ二百米ノ距離ヨリ信號ノ現示ヲ認識シ難キ場合ニ於テ場内信號機又ハ掩護信號機ヲ停止信號ヲ現示スルトキハ其ノ信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ列車ノ通過前信號用閉塞信號ヲ裝置スルコトヲ要ス第百一條ノ規定ニ依リ臨時信號機又ハ手信號ヲ停止信號ヲ現示スルトキ亦同ジ

第三節　臨時信號機

第百一條　線路ノ狀態カ一時平常運轉ヲ許サザル場合ニ於テ列車ノ停止ヲ要スル箇所又ハ其ノ徐行ヲ要スル區域ノ外方ニハ臨時信號機ヲ設置スルコトヲ要ス

第百二條　臨時信號機ノ種類及現示方式左ノ如シ

一　停止信號機

　停止信號(一)晝間　白色縁ノ赤色長方形板
　　夜間　赤色燈
(二)晝間　白色縁ノ赤色長方形板
　徐行信號
　夜間　白色縁ノ橙黃色圓板
　徐行信號
(一)晝間　白色縁ノ綠色圓板
　夜間　綠色燈
(二)晝間　綠色旗
　夜間　綠色燈

二　徐行信號機

　停止信號
　夜間　赤色燈
　晝間　赤色旗
　徐行信號
　夜間　綠色燈
　晝間　綠色旗

第百三條　臨時信號機ハ左ノ牧置ニ設置スルヲ要ス

停止信號機　支障箇所ノ外方二百米以上ノ地點

徐行信號機　始端

徐行解除信號機　終端

徐行區域ノ終端ニ徐行手信號ヲ、徐行區域ノ始端ニ徐行手信號ヲ現示シ且豫メ之ヲ通告セザルトキハ徐行手信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用閉塞信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用閉塞信號ヲ現示スルコトヲ要ス

第百四條　信號機ヲ場合ノ如何ニ拘ハラズ場合ニ於テ使用スル手信號ノ現示方式左ノ如シ

停止信號
　晝間　赤色旗
　但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ兩腕ヲ高ク擧ゲ又ハ綠色旗以外ノ物ヲ急激ニ振リテ之ニ代フルコトヲ得
　夜間　赤色燈
　但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ片腕ヲ高ク擧ゲテ之ニ代フルコトヲ得
進行信號
　晝間　綠色旗
　但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ片腕ヲ高ク擧ゲテ之ニ代フルコトヲ得
　夜間　綠色燈
　晝間　頭上ニ高ク交叉シタル赤色旗及綠色旗
　夜間　明滅スル綠色燈
徐行信號
　晝間　綠色旗ヲ上下ニ振ル
　但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ片腕ヲ上下ニ動カシテ之ニ代フルコトヲ得
　夜間　綠色燈ヲ上下ニ振ル
　但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ兩腕ヲ高ク擧ゲテ之ニ代フルコトヲ得

第百五條　線路ニ支障アル爲列車ヲ停止又ハ徐行セシメントスル場合臨時信號機ニ依ルコト能ハザルトキハ手信號ヲ以テ左ノ防護ヲ爲スベシ

一　停止信號機

　停止信號(一)晝間　白色縁ノ赤色長方形板
　　夜間　赤色燈
(二)晝間　白色縁ノ橙黃色圓板
　徐行信號
　夜間　綠色燈

二　徐行信號機

　徐行區域ノ始端ニ徐行手信號ヲ、徐行區域ノ終端ニ進行手信號ヲ現示シ且豫メ之ヲ通告セザルトキハ徐行手信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用閉塞信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用閉塞信號ヲ現示スルコトヲ要ス

第百六條　入換ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ主體ノ信號機ニ停止信號ヲ現示スルトキハ注意信號ヲ現示スルコトヲ要ス

停止信號機　支障箇所ノ外方二百米以上ノ地點

徐行區域ノ始端

徐行解除信號機

徐行區域ノ終端

臨時信號機ノ設置ヲ豫メ通告セザル場合ニ於テハ停止信號現示箇所ノ外方、徐行信號機ニ在リテハ停止信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用閉塞信號ヲ現示スルコトヲ要ス

第四節　手信號

第百七條　信號機ヲ場合ノ如何ニ拘ハラズ場合ニ於テ使用スル手信號ノ現示方式左ノ如シ

停止信號
　晝間　赤色旗
　但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ片腕ヲ高ク擧ゲ又ハ綠色旗以外ノ物ヲ急激ニ振リテ之ニ代フルコトヲ得
　夜間　赤色燈
　但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ綠色燈以外ノ燈ヲ急激ニ振リテ之ニ代フルコトヲ得
進行信號
　晝間　綠色旗
　但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ片腕ヲ高ク擧ゲテ之ニ代フルコトヲ得
　夜間　綠色燈
　晝間　頭上ニ高ク交叉シタル赤色旗及綠色旗
　夜間　明滅スル綠色燈
徐行信號
　晝間　綠色旗ヲ上下ニ振ル
　但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ片腕ヲ上下ニ動カシテ之ニ代フルコトヲ得
　夜間　綠色燈ヲ上下ニ振ル
　但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ兩腕ヲ高ク擧ゲテ之ニ代フルコトヲ得

第百八條　信號者ヨリ去レ

信號者ノ方ヘ來レ

第百九條　機關士ニ對スル列車ノ出發合圖ハ左ノ方式ニ依ル但シ鐵道局長ノ指定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　停止セシムル場合

　支障箇所ノ外方二百米以上ノ地點ニ停止手信號ヲ現示シ且豫メ之ヲ通告セザルトキハ停止手信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用閉塞信號ヲ現示スルコトヲ要ス

　列車故障ノ爲途中ニ停止シ又ハ停止セシムルコトヲ要スル場合ニ於テハ相當防護ノ手段ヲ爲スコトヲ要ス

二　徐行セシムル場合

　徐行區域ノ始端ニ徐行手信號ヲ、徐行區域ノ終端ニ進行手信號ヲ現示シ且豫メ之ヲ通告セザルトキハ徐行手信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用閉塞信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用閉塞信號ヲ現示スルコトヲ要ス

第百十條　入換ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ主體ノ信號機ニ停止信號ヲ現示スルトキハ注意信號ヲ現示スルコトヲ要ス

停止信號機　支障箇所ノ外方二百米以上ノ地點

徐行區域ノ始端

徐行解除信號機

徐行區域ノ終端

臨時信號機ノ設置ヲ豫メ通告セザル場合ニ於テハ停止信號現示箇所ノ外方、徐行信號機ニ在リテハ停止信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用閉塞信號ヲ現示スルコトヲ要ス

第百十一條　入換ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ主體ノ信號機ニ停止信號ヲ現示スルトキハ注意信號ヲ現示スルコトヲ要ス

停止信號機　支障箇所ノ外方二百米以上ノ地點

徐行區域ノ始端

徐行解除信號機

徐行區域ノ終端

臨時信號機ノ設置ヲ豫メ通告セザル場合ニ於テハ停止信號現示箇所ノ外方、徐行信號機ニ在リテハ停止信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用閉塞信號ヲ現示スルコトヲ要ス

第百十二條　掩護信號機ハ其ノ主體ノ信號機ニ停止信號ヲ現示スルトキハ注意信號ヲ現示スルコトヲ要ス

停止信號機　支障箇所ノ外方二百米以上ノ地點

徐行區域ノ始端

徐行解除信號機

徐行區域ノ終端

臨時信號機ノ設置ヲ豫メ通告セザル場合ニ於テハ停止信號現示箇所ノ外方、徐行信號機ニ在リテハ停止信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用閉塞信號ヲ現示スルコトヲ要ス

第百十三條　誘導信號機ハ信號ヲ現示セザルヲ其ノ定位トス

第百十四條　誘導信號機ノ腕ハ長方形トス

第百十五條　誘導信號機ノ腕ノ表面ハ白色トシ腕端ニ近ク之ト竝行シテ黑色線ヲ劃ス

第百十六條　誘導信號機ノ腕ノ背面ハ黑色トシ腕端ニ近ク之ト竝行シテ白色線ヲ劃ス

第百十七條　轉轍器定位ニ在ルトキ

　晝間　前方及後方ヘ白色ノ線ヲ劃シタル黑色圓板

　夜間　前方及後方ヘ白色燈

轉轍器反位ニ在ルトキ

　晝間　前方及後方ヘ中央ニ黑色線一條ヲ劃シタル橙黃色矢羽形板

　夜間　前方及後方ヘ赤色燈

第百十八條　脫線轉轍器ノ標識ハ左ノ方式ニ依ル

　晝間　白色ノ燈ヲ高ク擧ゲ

　夜間　綠色ノ燈ヲ高ク擧ゲ

第百十九條　車止ノ標識ハ左ノ方式ニ依ル

　晝間　前方及後方ヘ赤色燈

　夜間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

第百二十條　保線員ニ對シ直ニ線路ヲ檢査スベキコトヲ通告スル場合ニ於テ列車乘務者ノ爲ス合圖ハ左ノ方式ニ依ル

　晝間　帽又ハ其ノ他ノ物ヲ緩ニ振ル

　夜間　白色ノ燈火ヲ緩ニ振ル

第百二十一條　運轉ヲ始ムルトキ

列車ノ接近ヲ告グルトキ

其ノ他注意ヲ促ストキ

制動機ノ緊締ヲ促ストキ

制動機ノ緩解ヲ促ストキ

危險ヲ警告スルトキ又ハ列車ノ分離其ノ他ノ非常事故ヲ生ジタルトキ

保線係員ヲ招集スルトキ

列車防護ノ爲除ケ告グルトキ

短急氣笛二聲及長緩氣笛一聲

急氣笛各一聲

機關車二車以上ヲ連結スル列車退行セントスルトキ

短急氣笛二聲及適度氣笛一聲

第百二十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ氣笛合圖ヲ爲スコトヲ要ス

一　列車運轉ヲ始ムルトキ

二　列車分離其ノ他ノ非常事故ヲ生ジタルトキ

三　停車場ニ近ヅキタルトキ

第七節　標識

第百二十三條　列車ニハ列車標識ヲ掲グルコトヲ要ス

第百二十四條　列車ノ前部ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　標識ヲ掲グズ

夜間　前方及後方ヘ橙黃色燈

晝間　片腕ヲ高ク擧グ

夜間　綠色燈ヲ高ク擧グ

晝間　綠色旗ヲ高ク動カス

夜間　綠色燈ヲ高ク動カス

前項ノ出發合圖ハ必要ニ應ジ口頭通告ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百二十五條　保線員ニ對シ直ニ線路ヲ檢査スベキコトヲ通告スル場合ニ於テ列車乘務者ノ爲ス合圖ハ左ノ方式ニ依ル

　晝間　帽又ハ其ノ他ノ物ヲ緩ニ振ル

　夜間　白色ノ燈火ヲ緩ニ振ル

第百二十六條　運轉ヲ始ムルトキ

列車ノ接近ヲ告グルトキ

其ノ他注意ヲ促ストキ

制動機ノ緊締ヲ促ストキ

制動機ノ緩解ヲ促ストキ

危險ヲ警告スルトキ又ハ列車ノ分離其ノ他ノ非常事故ヲ生ジタルトキ

保線係員ヲ招集スルトキ

列車防護ノ爲除ケ告グルトキ

長緩氣笛及短急氣笛各一聲

長緩氣笛數聲

短急氣笛數聲

長緩氣笛數聲及短急氣笛各一聲

第百二十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ氣笛合圖ヲ爲スコトヲ要ス

一　列車運轉ヲ始ムルトキ

二　列車分離其ノ他ノ非常事故ヲ生ジタルトキ

短急氣笛二聲及適度氣笛一聲

第百二十八條　列車ノ前部ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　標識ヲ掲グズ

夜間　前方及後方ヘ橙黃色燈

第百二十九條　列車ノ後部ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百三十條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ橙黃色燈

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百三十一條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百三十二條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百三十三條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百三十四條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百三十五條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百三十六條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百三十七條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百三十八條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百三十九條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百四十條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百四十一條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百四十二條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百四十三條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百四十四條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百四十五條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百四十六條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百四十七條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百四十八條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百四十九條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百五十條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百五十一條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百五十二條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百五十三條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百五十四條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百五十五條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百五十六條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百五十七條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百五十八條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百五十九條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百六十條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百六十一條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百六十二條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百六十三條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百六十四條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百六十五條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百六十六條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百六十七條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百六十八條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百六十九條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百七十條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百七十一條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百七十二條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百七十三條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百七十四條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百七十五條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百七十六條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百七十七條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百七十八條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百七十九條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百八十條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百八十一條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百八十二條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百八十三條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百八十四條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百八十五條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百八十六條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百八十七條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百八十八條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百八十九條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百九十條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百九十一條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百九十二條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百九十三條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百九十四條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百九十五條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百九十六條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百九十七條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百九十八條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第百九十九條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百一條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百二條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百三條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百四條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百五條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百六條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百七條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百八條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百九條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百十條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百十一條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百十二條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百十三條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百十四條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百十五條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百十六條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百十七條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百十八條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百十九條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百二十條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百二十一條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百二十二條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百二十三條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百二十四條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百二十五條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百二十六條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百二十七條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百二十八條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百二十九條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百三十條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百三十一條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百三十二條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百三十三條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百三十四條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百三十五條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百三十六條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百三十七條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百三十八條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百三十九條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百四十條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百四十一條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百四十二條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百四十三條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第二百四十四條　機關車ニ掲グル標識ハ左ノ方式ニ依ル

晝間　前方及後方ヘ白色ノ綠色圓板

夜間　前方及後方ヘ白色燈

第十七條　蒸氣機關車及電氣機關車ニハ左ノ事項ヲ標記スヘシ

一　所屬鐵道ノ名稱又ハ徽章

二　番號

三　製造所ノ名稱及製造ノ年

四　第十一條第一號ノ規定ニ依リ施行シタル最近檢査ノ年月

客車、貨車、資動車及電車ニハ左ノ事項ヲ標記スヘシ

一　所屬鐵道ノ名稱又ハ徽章

二　番號

三　製造所ノ名稱及製造ノ年

四　等級、旅客定員、積載容積、積載重量及自重

五　第十一條第一號、第十三條第一號及第十四條ノ規定ニ依リ施行シタル最近檢査ノ年月

第十八條　動力車ニハ列車運轉中ニ生シタル標準勾配ニ一時間ニ付キ二十五分ノ一ヨリ急ナル場合又ハ平均遠度一時間三十哩ヲ超ユルトキニ於テ制動軸數ハ鐵道局長ノ認可ヲ受ケシ定メヘシ

第二十二條　制動機ハ其ノ制動力列車ニ對シ成ルヘク平等ニ働ク樣之ヲ配置スヘシ

第二十三條　列車ノ最後部（推進ノ場合ニハ最前部）ニハ手用制動機ノ裝置アル車輛ヲ連結スヘシ但シ最後部ノ車輛カ貨車ニシテ之ニ隣接スル車輛ニ手用制動機ノ裝置アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條　二輛以上ニ跨リ貨物ヲ積載シタル貨車ハ之ヲ旅客列車及混合列車ニ連結スルコトヲ得但シ特別ノ裝置ヲ施シタル貨車ニ積載スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　列車ニハ夜間前部ニ白色燈、後部ニ赤色燈及後部ノ兩側ニ前方白色後方赤色ヲ示ス側燈各一箇ヲ掲ケヘシ昔間ニ於テモ延長二分ノ一哩以上ノ隧道ヲ通過スルトキ亦同シ但シ動力車ニシテ單行運轉ヲ爲ス場合ニ於テハ側燈ヲ掲ケサルコトヲ得

第二十六條　停車場ニ於ケル車輛ノ入換ハ列車カ隣接ノ停車場ニ向ヒ出發シタル後ハ相當ノ防護ヲ爲スニ非サレハ列車ノ進入ニ支障ヲ及ホスノ慮アル線路ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二十七條　車輛ハ適當ニ制動セラレ得ル場合ヲ除クノ外動力車ヲ以テ之ヲ突放スルコトヲ得ス

第二十八條　旅客ノ乘込ミタル車輛又ハ動物若ハ爆發物ヲ積載シタル車輛ノ入換ヲ爲シ又ハ之ト他ノ車輛トノ聯結ヲ爲ス場合ニ於テハ解放ノ儘之ヲ爲スコトヲ得ス

第二十九條　車輛ノ入換ヲ爲ス場合ニ於ケル速度ハ一時間八哩ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十條　蒸氣機關車又ハ電氣機關車ヲ以テ夜間車輛ノ入換ヲ爲ス場合ハ其ノ前部及後部ニ白色燈ヲ掲クヘシ

第五節　列車運轉

第三十一條　列車カ隣接ノ停車場間ヲ運轉スルニ要スル標準勾配ニ一時間ニ付キ二十五分ノ一ヨリ急ナル場合又ハ平均遠度一時間三十哩ヲ超ユルトキニ於テハ

セサルトキハ一時間六哩ヲ超エサル速度ヲ以テ前方支障ナキ箇所迄徐行スルコトヲ得

第五十七條　閉塞信號機不良ノ場合ニ於テ列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキハ電氣通信ニ依リ前方ノ停車場、停留場又ハ信號所ノ承認ヲ受クヘシ

電氣通信ニ依ルコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ高ク舉ケ之ニ代フルコトヲ得

第三款　臨時信號機

第五十八條　臨時信號機ハ列車ノ停止又ハ徐行スヘキ區域ニ於テ注意信號ヲ現示スル臨時信號機ハ其ノ背面ヲ綠色トシ反對方向ニ無雜信號ヲ現示スルコトヲ得

第三節　手信號

第六十條　手信號ハ信號機ノ設ケナキトキ又ハ之ヲ使用スルコト能ハサルトキ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス

一　危害信號（列車停止スヘシ）

晝間　赤色圓板

夜間　赤色燈

二　注意信號（列車徐行スヘシ）

晝間　橙黃色圓板

夜間　橙黃色燈

三　無雜信號（列車停止スヘシ）

晝間　綠色圓板

夜間　綠色燈

第六十一條　一人ニテ同時ニ二箇以上ノ手信號ヲ現示スルコト

第四節　發雷信號

第六十二條　發雷信號ハ雷管ノ爆音ニ依リ信號ヲ現示ス

列車ハ發雷信號ノ現示アリタルトキハ停止スヘシ

第六十三條　發雷信號ハ左ノ場合ニ之ヲ使用スヘシ

一　煙霧風雪等ニ因リ相當距離ヨリ夜間ノ法式ニ依ル危害信號ノ現示ヲ確認シ難キトキ

二　事故其ノ他ノ事由ニ因リ列車途中ニ停止シ又ハ線路ヲ一時閉鎖シタルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ危害信號ノ現示アル場所ノ前方二十鎖以上ニ於テ雷管ヲ裝置スヘシ

第一項第二號ノ場合ニ於テハ停止列車又ハ閉塞線路ノ兩端ヨリ單線ニ在リテハ前後各二十鎖以上複線ニ在リテハ後方同距離以上ニ於テ雷管ヲ裝置スヘシ但シ最近ノ停車場、停留場又ハ信號所ニ其ノ旨ヲ通知シタルトキハ該方向ニ對シ雷管ノ裝置ヲ要セス

雷管ハ相當距離ヲ隔テ二箇以上ヲ軌條ニ裝置スヘシ

第五節　合圖

第六十四條　車輛ノ入換合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　前進スヘシ

晝間　綠色旗ヲ上下ニ振ル但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ上下ニ動カシ之ニ代フルコトヲ得

夜間　綠色燈ヲ上下ニ振ル

二　推進スヘシ

晝間　綠色旗ヲ左右ニ振ル但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ左右ニ動カシ之ニ代フルコトヲ得

夜間　綠色燈ヲ左右ニ振ル

三　停止スヘシ

晝間　赤色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ高ク舉ケ之ニ代フルコトヲ得

夜間　赤色燈ヲ提示ス

第六十五條　列車出發ノ際車掌ヨリ機關手又ハ運轉手ニ對シテ爲ス合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

晝間　片腕ヲ水平ニ伸ヘ手信號ヲ長聲ニ吹ク

夜間　綠色燈ヲ高ク圓形ニ動カシ手信號ヲ長聲ニ吹ク

第六十六條　保線係員、踏切番人等ニ向ヒ直ニ線路ヲ檢查スヘキ旨ヲ通告スル必要アル場合ニ於テ列車乘務員ノ爲ス合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

晝間　銜又ハ他ノ物體ヲ緩ニ振ル

夜間　白色燈ヲ緩ニ振ル

第六十七條　汽笛合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　列車カ運轉ヲ始メムトスルトキ其ノ他注意ヲ促ストキ　適度ノ汽笛一聲

二　列車ノ近ケルヲ停車場、停留場、信號所又ハ往來頻繁ナル踏切道ニ知ラシムルトキ　長緩汽笛一聲

三　制動機ノ緊締ヲ促ストキ　短急汽笛三聲

四　制動機ノ緩解ヲ促ストキ　適度ノ汽笛二聲

五　非常ノ事故ヲ報告シ又ハ保線係員ヲ招集スルトキ　短急汽笛數聲

第六節　標識

第六十八條　轉轍器標識ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　轉轍器

晝間　橙黃色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ上下ニ動カシ之ニ代フルコトヲ得

夜間　橙黃色燈ヲ提示ス

二　脫線轉轍器

晝間　綠色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ高ク舉ケ之ニ代フルコトヲ得

夜間　綠色燈ヲ提示ス

第六十九條　轉轍器標識ハ左ノ法式ニ依ルヘシ但シ閉塞信號機ヲ設置スル區間及全線ヲ通シ二箇以上ノ列車ヲ運轉スルコトナキ鐵道ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

一　複線ノ場合

閉塞器式

二　單線ノ場合

電氣通票器式、通票式又ハ票券式

第七十一條　列車保安ハ左ノ場合ニ限リ指導法ニ依ルコトヲ得

一　事故其ノ他ノ事由ニ因リ一時線路ヲ中隣シ又ハ複線ニ於テ一線ヲ一時閉塞シタルトキ

二　電氣通票器ノ破損又ハ喪失シタルトキ

三　電氣通票器ノ不良ナルトキ

四　通票ノ破損又ハ喪失シタルトキ

第七十二條　私設鐵道業者ハ列車保安ノ法式ヲ定メ鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第七十三條　閉塞器及電氣通票器ニ添裝スル電鈴及電話機ハ列車運轉ノ用ニ供スルノ外他ノ目的ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第二節　閉塞式

第一款　閉塞器式

第七十四條　閉塞器式ヲ施行スル閉塞區間ノ兩端ニハ閉塞器ヲ備フヘシ

第七十五條　閉塞器ハ閉塞區間ニ列車ノ有無ヲ表示スル腕又ハ燈ヲ備ヘ電鈴及電話機ヲ添裝スヘシ

第七十六條　閉塞器ノ表示ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　腕ノ位置ニ依ル場合

列車前方ニ進行ス

向テ左腕ノ位置水平

列車前方ヨリ進行シ來ル

向テ右腕ノ位置水平

閉塞區間ニ列車ナシ

腕ノ位置下向四十五度

燈ノ色ニ依ル場合

列車前方ニ進行ス

向テ左方　赤色燈

列車前方ヨリ進行シ來ル

向テ右方　赤色燈

閉塞區間ニ列車ナシ　白色燈

第七十七條　閉塞器ノ表示ハ針手ノ停車場又ハ信號所ノ閉塞擊ノ裝置ヲ以テ爲ス

列車前方ヨリ進行シ來ル

閉塞區間ニ列車ナシ

腕ノ位置水平

向テ左腕ノ位置水平

向テ右腕ノ位置水平

閉塞區間ニ列車ナシ

腕ノ位置下向四十五度

燈ノ色ニ依ル場合

列車前方ニ進行ス

向テ左方

列車前方ヨリ進行シ來ル

向テ右方

閉塞區間ニ列車ナシ

第七十八條　閉塞器ノ電鈴合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキ又ハ之カ承認ヲ與ヘムトスルトキ　二打

二　列車到著シタルトキ又ハ之カ應答　四打

三　通信ヲ爲サムトスルトキ又ハ之カ應答　三打

第七十九條　列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキハ閉塞器ニ依リ前方ノ停車場又ハ信號所ヨリ發送ノ承認ヲ受ケ且列車ノ乘務員ニ當該保安區間ノ通票ヲ確認スルニ非サレハ通券ヲ受領スルコトヲ得ス

第八十條　前條ノ承認ハ左ノ條件ヲ具備スルニ非サレハ之ヲ與フルコトヲ得ス

閉塞區間ニ列車ナキコト

二　承認ヲ與ヘムトスル列車ノ到著線路ニ支障ナキコト

車輛ノ入換ヲ爲ストキ及到著セムトスル列車カ汽動車又ハ電車ナルトキハ線路其ノ他ノ狀況ニ依リ前項第二號ノ條件ヲ具備セサルモ承認ヲ與フルコトヲ得

承認ハ閉塞器ノ表示ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第八十一條　閉塞器不良ノ場合ニ於テ列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキハ第五十七條ノ規定ヲ準用ス

第二款　電氣通票式

第八十二條　電氣通票器式ヲ施行スル閉塞區間ノ兩端ノ停車場又ハ信號所ニハ電氣通票器ヲ備フヘシ

電氣通票器ハ通票ヲ收容セラレタル通票ハ一箇ニ限リ取出スコトヲ得他ノ通票ハ取出サレタル通票ニ納入スルニ非サレハ之ヲ取出スコトヲ得サルコト

三　電氣通票器ニハ隣接閉塞區間ニ使用スル通票ヲ納入シ得サルコト

第八十三條　列車ハ當該閉塞區間ノ通票ヲ携帶スルニ非サレハ其ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ス

第八十四條　隣接閉塞區間ノ通票ハ其ノ形狀ヲ異ニスヘシ

第八十五條　列車ノ運轉ニ使用シタル通票ハ之ヲ電氣通票器ニ納入スルニ非サレハ他ノ列車ノ運轉ニ使用スルコトヲ得ス

第八十六條　第七十八條乃至第八十條ノ規定ハ電氣通票式ニ之ヲ準用ス

第三款　通票式

第八十七條　通票式ヲ施行スル區間ニハ通票一箇ヲ備フヘシ

第八十八條　通票ニハ當該閉塞區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記スヘシ

第八十九條　通票ハ各保安區間ニ一箇トス

通票ハ各保安區間ノ兩端ノ停車場又ハ信號所ニ之ヲ備フヘシ

第九十條　通票ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記スヘシ

隣接保安區間ノ通票ハ其ノ形狀ヲ異ニスヘシ

第九十一條　通票ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記スヘシ

隣接保安區間ノ通票ハ其ノ色ヲ異ニスヘシ

第九十二條　通票ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記載シ之ニテスルニ非サレハ閉ツコトヲ得サル通券ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第九十三條　通券ハ當該保安區間ノ通票又ハ隣接保安區間ノ通券ハ其ノ色ヲ異ニスヘシ

第九十四條　列車ハ當該保安區間ノ通票又ハ函ヨリ之ヲ取出スコトヲ得ス

通券ハ列車ニ授與スルトキニ非サレハ通券ヲ携帶スルニ非サレハ其ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ス

第九十五條　通券ハ同一保安區間ニ二箇以上ノ列車ヲ同一方向ニ運轉スル場合ニ於テ先發列車ニ限リ之ヲ使用スヘシ

第九十六條　通券ハ發行ノ月日、當該列車番號及通票ヲ携帶スヘキ列車番號ヲ記載シ之ヲ發行スヘシ

第九十七條　通券ヲ携帶スル列車ハ退行スルコトヲ得ス

第九十八條　通券ヲ列車ノ乘務員ニ交付スルトキハ當該保安區間ノ通票ヲ呈示スヘシ

列車ノ乘務員ハ當該保安區間ノ通票ヲ確認スルニ非サレハ通券ヲ受領スルコトヲ得ス

第九十九條　指導法ヲ施行スル場合ニ於テハ一區間一人ノ指導者ヲ定メ赤色ノ腕章ヲ附セシムヘシ

第百條　指導者ノ氏名及擔當區間ハ指導者ノ乘込前之ヲ關係係員ニ告知スヘシ

第百一條　指導者ハ指導券ヲ發行スルコトヲ得但シ通票式ヲ施行スル區間ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第百二條　閉塞器式及電氣通票器式ヲ施行スル區間竝閉塞信號機ヲ設置スル區間ニ於テハ電氣通信ヲ以テ前方ノ停車場又ハ信號所ノ承認ヲ受クルニ非サレハ指導者ハ列車ニ乘込ミ又ハ指導券ヲ發行スルコトヲ得ス

電氣通信ニ依ルコトヲ得サル場合ニハ第五十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第百三條　列車ハ指導者乘込ムカ又ハ指導券ヲ携帶スルニ非サレハ指導法ヲ施行スル區間ヲ運轉スルコトヲ得ス

第百四條　列車ノ乘務員ハ指導者ヨリ直接指導券ノ交付ヲ受クルニ非サレハ之ヲ受領スルコトヲ得ス

第百五條　指導法ヲ廢止セムトスル場合ニ於テハ指導法ニ依リ最終ニ運轉スル列車ニハ指導者ヲ乘込マシメ且廢止後ニ施行スル保安法式ヲ併用スヘシ

前項ノ場合ヲ除クノ外指導法ト他ノ保安法式トヲ併用スルコトヲ得ス

第百六條　第九十二條、第九十五條乃至第九十七條ノ規定ハ指導券ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正九年制令第九號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ニシテ舊令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタル事項ハ本令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

舊令ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

●朝鮮鐵道運輸規程

明治四十五年六月
總令第百十八號

改正　大正九年一二第一九九號、一一年三第三三號、一二年一二第一四六號、一三年九第七七號、一五年二第九一號、昭和五年二第一四號、七年第三一號

朝鮮鐵道運輸規程左ノ通定ム

朝鮮鐵道運輸規程

第一章　總則

第一條　鐵道運送ハ本令ノ定ムル所ニ依リ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ私設鐵道ハ鐵道局長ノ許可ヲ受ケ本令ニ依ラサルコトヲ得

鐵道局長ハ私設鐵道ノ狀況ニ依リ本令ニ依リサル特別ノ運送ヲ命スルコトヲ得

第二條　鐵道係員ハ運輸上ノ安全便益ヲ旨トシ旅客及公衆ニ對シ懇切ニ其ノ職務ヲ行フヘシ

第三條　旅客及公衆ハ鐵道係員ノ職務上ノ指圖ニ從フヘシ

第四條　主要ナル停車場ニハ車告簿ヲ備フヘシ

旅客、貨物ノ取扱ニ關シ鐵道ノ處置ニ不當ノ廉アリト認ムル者ハ前項ノ車告簿ニ記載シ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ抗告ヲ爲ス者ハ事實ヲ詳記シ其ノ住所ヲ記シ署名スルコトヲ要ス

鐵道ハ氏名住所ヲ明示シタル抗告ニ付テハ遲滯ナク辯明ヲ與フヘシ

第五條　停車場ニハ見易キ場所ニ其ノ名稱ヲ明示シ其ノ他旅客及貨物取扱ニ必要ナル標示ヲ爲スヘシ

第六條　削除

第七條　停車場ニハ旅客及貨物ノ運賃表、列車時刻表其ノ他運輸上必要ナル諸表及運輸ニ關スル規則等ヲ備置キ公衆ノ閱覽ニ供スヘシ

停車場ニハ旅客及貨物ノ運送ニ必要ナル事項及鐵道ノ取締ニ關スル法令其ノ他ノ條項ヲ摘要シテ之ヲ掲示スヘシ

鼓用ヲ失ヒタル諸掲示類ハ即時ニ之ヲ撤去スヘシ

第七條ノ二　停車場ニハ時計ヲ備付ケ正確ニ時刻ヲ齊正スヘシ

第七條ノ三　鐵道ハ乘車賃、手荷物運賃及監察官其ノ他ノ當該吏員ニ之ヲ乘車スルコト

第二章　旅客運送

第八條　削除

第九條　四年未滿ノ小兒ハ無賃滿四年以上十二年未滿ノ小兒ハ半賃ヲ以テ運送スヘシ

第十條　乘車券ニハ通用區間、通用期間、客車ノ等級、運賃額竝發行ノ日附ヲ記載スヘシ

特種及臨時發行ノ乘車券ニハ前項ノ記載事項ヲ省略スルコトヲ得

第十一條　停車場ニ於テハ少クトモ列車ノ出發時刻十五分前ニ乘車券ノ賣出ヲ開始スヘシ交通頻繁ナル停車場ニ於テハ少クトモ一時間前ニ之ヲ開始スヘシ

出札ハ列車出發時刻五分前迄ハ之ヲ停止スルコトヲ得ス

改札口ハ同一分前迄ハ之ヲ閉鎖スルコトヲ得ス

第十二條　旅客ハ乘車前乘車券ノ改鉗ヲ受クルコトヲ要ス但シ改札口ノ設備ナキ停車場ニ於テハ乘車後改鉗ヲ受クヘシ

第十三條　旅客ハ乘車券ヲ無效トスルコトアルヘシ

改鉗ナキ乘車券ハ改札前ニ在リテハ其ノ買受ノ乘車券ト交換シ又ハ之ヲ返還シテ運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

前條第一項但書ノ場合ニ於テハ旅客ハ乘車前ニ限リ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得

乘車券相當ノ座席ナキ場合ニ於テ鐵道係員カ優等車ニ一時便乘ノ取扱ヲ爲ササルトキハ旅客ハ選擇ニ依リ旅行ヲ止メ又ハ劣等車ニ移乘シテ運賃ノ全額又ハ差額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ直ニ鐵道係員ニ申告スルコトヲ要ス

前三項ノ場合ノ外旅客ハ乘車券ヲ返還シ運賃ノ拂戻ヲ受ケ又ハ劣等車ニ乘換ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

改札後ト雖座席ノ條裕アルトキハ旅客ハ何時ニテモ運賃差額ヲ支拂ヒ優等車ニ乘換ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第十四條　旅客ハ乘車券ノ通用期間内ニ於テ任意ノ停車場ニ途中下車ヲ爲シ當該停車場又ハ其ノ前途ノ停車場ヨリ他ノ列車ニ乘繼クコトヲ得但シ別段ノ定アル特種乘車券ニ依リ乘車ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　旅客カ途中下車ヲ爲シタルトキハ乘車券ニ係員ノ證明ヲ受ケ乘繼ノ際ハ之ヲ檢査ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ途中下車ニ付別段ノ定アル特種乘車券ニ對シ適用セス

第十六條　乘車券ハ其ノ通用區間中何レノ部分ニ付テモ之ヲ使用スルコトヲ得但シ特種ノ列車ニ付特別ノ定ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ私設鐵道ハ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ列車ノ運轉ヲ中斷シタルトキハ旅客ノ請求ニ因リ既ニ通過セル線路ニ相當スル運賃ヲ控除シ殘額ノ拂戻ヲ爲シ且出發停車場ニ無賃送還スヘシ

第十八條　列車遲延ノ爲相當ノ時間中ニ接續スル列車ニ乘車スルコトヲ得サルトキハ連絡乘車券ヲ有スル旅客ニ限リ其ノ請求ニ因リ無賃ニテ出發停車場（途中下車セルトキハ其ノ最近下車停車場ヨリ出發停車場トノ間ニ相當スル運賃ヲ控除シタル殘額）ヲ拂戻スヘシ但シ旅客カ次回ノ返リ列車ヲ以テ中斷ヲ復歸スルトキニ限ル

第十九條　事故ノ爲列車發着ノ遲延、運轉ノ中斷等アルトキハ關係停車場ニ遲滯ナク之ヲ揭示スヘシ

第二十條　旅客ハ乘車券指定ノ到着停車場ニ於テ乘車券ヲ鐵道係員ニ交付スヘシ

第二十一條　左ノ所爲ヲ爲シタル者ニ對シテハ其ノ乘車區間ニ相當スル旅客運賃及之ト同額以内ノ割增金ヲ請求スルコトヲ得

一　係員ノ承諾ヲ得スシテ乘車券ヲ所持セサルトキ

二　乘車スルコト

三　係員ノ承諾ヲ得ス乘車券面記載ノ區間外ヲ乘車スルコト

四　係員ノ承諾ヲ得ス乘車券面記載ノ等級ヨリ上級ノ車室ニ乘車スルコト

五　大人カ小兒用乘車券ヲ以テ乘車スルコト

六　學生、移民其ノ他ノ特定人ニ對スル割引乘車券ヲ以テ特定人以外ノ者乘車スルコト

七　乘車列車ヲ指定セラレタル乘車券ヲ以テ指定以外ノ列車ニ乘車スルコト

八　通用期間滿了、券面記載文字ノ改竄其ノ他ノ事由ニ因ル無效ノ乘車券ヲ以テ乘車スルコト

九　乘車券檢查ノ際其ノ呈示ヲ拒ミ又ハ其ノ取集ノ際及第六號ノ場合ニ於テハ旅客所持ノ乘車券ヲ回收シ既收ノ旅客運賃ノ之カ拂戻ヲ爲ササルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ乘車停車場不明ナルトキハ其ノ列車ノ始發停車場ヨリノ運賃及之ト同額以内ノ割增金、乘車等級不明ナルトキハ其ノ列車ノ最優等級ニ依ル運賃及之ト同額以内ノ割增金ヲ請求スルコトヲ得

第二十二條　鐵道係員ハ旅客ノ請求アルトキ又ハ必要ト認ムルトキハ座席ノ指定ヲ爲スヘシ

旅客乘車中座席ヲ離レ特ニ之ヲ占領カサルトキハ他人之ヲ占取スルモ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二十三條　旅客ハ列車出發ノ合圖アリタル後乘車スルコトヲ得ス

乘後レノ爲發行當日限通用乘車券ノ效用ヲ失ヒタルトキ遲滯ナク其ノ乘車券ヲ鐵道係員ニ提出シ冇效ノ證明ヲ受クルトキハ其ノ翌日内ニ限リ該乘車券ヲ以テ目的地ニ向ヒ發スル列車ニ乘車スルコトヲ得特ニ列車ヲ指定スル乘車券ノ通用期限ハ前項ノ規定ニ依リテ延長セラルルコトナシ

第二十四條　鐵道係員ハ列車カ停車場ニ到著スルトキ其ノ停車場ノ名稱、乘換アルトキ

客用臨小荷物運賃ノ正算支拂ヲ請求スルコトヲ得

第七條ノ四　本令ノ旅客列車ニハ混合列車ヲ含ム

第二章　旅客運送

第八條　削除

第九條　四年未滿ノ小兒ハ無賃滿四年以上十二年未滿ノ小兒ハ半賃ヲ以テ運送スヘシ

第十條　乘車券ニハ通用區間、通用期間、客車ノ等級、運賃額竝發行ノ日附ヲ記載スヘシ

特種及臨時發行ノ乘車券ニハ前項ノ記載事項ヲ省略スルコトヲ得

第十一條　停車場ニ於テハ少クトモ列車ノ出發時刻十五分前ニ乘車券ノ賣出ヲ開始スヘシ交通頻繁ナル停車場ニ於テハ少クトモ一時間前ニ之ヲ開始スヘシ

出札ハ列車出發時刻五分前迄ハ之ヲ停止スルコトヲ得ス

改札口ハ同一分前迄ハ之ヲ閉鎖スルコトヲ得ス

第十二條　旅客ハ乘車前乘車券ノ改鉗ヲ受クルコトヲ要ス但シ改札口ノ設備ナキ停車場ニ於テハ乘車後改鉗ヲ受クヘシ

第十三條　旅客ハ乘車券ヲ無效トスルコトアルヘシ

改鉗ナキ乘車券ハ改札前ニ在リテハ其ノ買受ノ乘車券ト交換シ又ハ之ヲ返還シテ運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

前條第一項但書ノ場合ニ於テハ旅客ハ乘車前ニ限リ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得

乘車券相當ノ座席ナキ場合ニ於テ鐵道係員カ優等車ニ一時便乘ノ取扱ヲ爲ササルトキハ旅客ハ選擇ニ依リ旅行ヲ止メ又ハ劣等車ニ移乘シテ運賃ノ全額又ハ差額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ直ニ鐵道係員ニ申告スルコトヲ要ス

前三項ノ場合ノ外旅客ハ乘車券ヲ返還シ運賃ノ拂戻ヲ受ケ又ハ劣等車ニ乘換ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

改札後ト雖座席ノ條裕アルトキハ旅客ハ何時ニテモ運賃差額ヲ支拂ヒ優等車ニ乘換ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第十四條　旅客ハ乘車券ノ通用期間内ニ於テ任意ノ停車場ニ途中下車ヲ爲シ當該停車場又ハ其ノ前途ノ停車場ヨリ他ノ列車ニ乘繼クコトヲ得但シ別段ノ定アル特種乘車券ニ依リ乘車ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　旅客カ途中下車ヲ爲シタルトキハ乘車券ニ係員ノ證明ヲ受ケ乘繼ノ際ハ之ヲ檢査ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ途中下車ニ付別段ノ定アル特種乘車券ニ對シ適用セス

第十六條　乘車券ハ其ノ通用區間中何レノ部分ニ付テモ之ヲ使用スルコトヲ得但シ特種ノ列車ニ付特別ノ定ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ私設鐵道ハ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ列車ノ運轉ヲ中斷シタルトキハ旅客ノ請求ニ因リ既ニ通過セル線路ニ相當スル運賃ヲ控除シ殘額ノ拂戻ヲ爲シ且出發停車場ニ無賃送還スヘシ

第十八條　列車遲延ノ爲相當ノ時間中ニ接續スル列車ニ乘車スルコトヲ得サルトキハ連絡乘車券ヲ有スル旅客ニ限リ其ノ請求ニ因リ無賃ニテ出發停車場（途中下車セルトキハ其ノ最近下車停車場ヨリ出發停車場トノ間ニ相當スル運賃ヲ控除シタル殘額）ヲ拂戻スヘシ但シ旅客カ次回ノ返リ列車ヲ以テ中斷ヲ復歸スルトキニ限ル

第十九條　事故ノ爲列車發着ノ遲延、運轉ノ中斷等アルトキハ關係停車場ニ遲滯ナク之ヲ揭示スヘシ

第二十條　旅客ハ乘車券指定ノ到着停車場ニ於テ乘車券ヲ鐵道係員ニ交付スヘシ

第二十一條　左ノ所爲ヲ爲シタル者ニ對シテハ其ノ乘車區間ニ相當スル旅客運賃及之ト同額以内ノ割增金ヲ請求スルコトヲ得

一　係員ノ承諾ヲ得スシテ乘車券ヲ所持セサルトキ

二　乘車スルコト

三　係員ノ承諾ヲ得ス乘車券面記載ノ區間外ヲ乘車スルコト

四　係員ノ承諾ヲ得ス乘車券面記載ノ等級ヨリ上級ノ車室ニ乘車スルコト

五　大人カ小兒用乘車券ヲ以テ乘車スルコト

六　學生、移民其ノ他ノ特定人ニ對スル割引乘車券ヲ以テ特定人以外ノ者乘車スルコト

七　乘車列車ヲ指定セラレタル乘車券ヲ以テ指定以外ノ列車ニ乘車スルコト

八　通用期間滿了、券面記載文字ノ改竄其ノ他ノ事由ニ因ル無效ノ乘車券ヲ以テ乘車スルコト

九　乘車券檢查ノ際其ノ呈示ヲ拒ミ又ハ其ノ取集ノ際及第六號ノ場合ニ於テハ旅客所持ノ乘車券ヲ回收シ既收ノ旅客運賃ノ之カ拂戻ヲ爲ササルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ乘車停車場不明ナルトキハ其ノ列車ノ始發停車場ヨリノ運賃及之ト同額以内ノ割增金、乘車等級不明ナルトキハ其ノ列車ノ最優等級ニ依ル運賃及之ト同額以内ノ割增金ヲ請求スルコトヲ得

第二十二條　鐵道係員ハ旅客ノ請求アルトキ又ハ必要ト認ムルトキハ座席ノ指定ヲ爲スヘシ

旅客乘車中座席ヲ離レ特ニ之ヲ占領カサルトキハ他人之ヲ占取スルモ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二十三條　旅客ハ列車出發ノ合圖アリタル後乘車スルコトヲ得ス

乘後レノ爲發行當日限通用乘車券ノ效用ヲ失ヒタルトキ遲滯ナク其ノ乘車券ヲ鐵道係員ニ提出シ冇效ノ證明ヲ受クルトキハ其ノ翌日内ニ限リ該乘車券ヲ以テ目的地ニ向ヒ發スル列車ニ乘車スルコトヲ得特ニ列車ヲ指定スル乘車券ノ通用期限ハ前項ノ規定ニ依リテ延長セラルルコトナシ

第二十四條　鐵道係員ハ列車カ停車場ニ到著スルトキ其ノ停車場ノ名稱、乘換アルトキ

ハ其ノ旨竝停車時間五分以上アルトキハ其ノ時間ヲ喚呼スヘシ

旅客ハ列車カ停車場外ニ於テ停止スルトキ例令長時間ニ渉ルト雖鐵道係員ノ許諾ヲ得ルニ非サレハ下車スルコトヲ得ス

第二十五條　旅客ハ左ノ行爲ヲ爲スヘカラス

一　同乘者ニ迷惑ヲ及ホス風體行爲ヲ爲スコト

二　腹體ヲ車外ニ出スコト

三　車内ノ器具裝飾ヲ汚損スルコト

四　搆寸ノ燃草、煙草ノ吸殼又ハ嗅唾等ヲ唾壺外ニ投スルコト

五　廣アル物品ヲ狹リ車外ニ投棄スルコト

第二十六條　旅客自ラ携帶シ得ル物品ト雖座席ヲ塞キ又ハ不潔、臭氣等ノ爲同乘者ニ迷惑及ホスモノハ客車内ニ持込ムコトヲ得ス

旅客自ラ客車内ニ携帶スル物品ハ自ラ保管ノ責ニ任スヘシ

第二十七條　動物ハ客車内ニ携帶スルコトヲ得ス

犬ハ鐵道ノ許諾ヲ得同乘者ノ苦情ナキトキニ限リ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第二十八條　旅客ハ火藥類其ノ他危害ヲ生スヘキ虞アル物品ヲ客車内ニ携帶スルコトヲ得ス

此ノ限ニ在ラス

第二十八條ノ二　傳染病患者ヲ乘車セシメムトスルトキハ豫メ申込ヲ爲シ鐵道ノ承諾ヲ受クルコトヲ要ス

第二十八條ノ三　鐵道ハ傳染病患者ノ運送ニ付列車ヲ指定シ其ノ他運送上旅客及公衆ノ安全ヲ保スルニ必要ナル事項ヲ指定スルコトヲ得

第二十八條ノ四　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ移送ノ許可ヲ得タルコトヲ證明スルニ非サレハ之ヲ乘車セシメルコトヲ得ス

第二十八條ノ五　傳染病患者ニハ附添人ヲ附スルコトヲ要ス

ハ私設鐵道ハ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

第二十九條　重量ニ依リ運賃ヲ定メサル特定品ハ小荷物トシテ之ヲ取扱フヘシ

前項物品ノ種類、運賃ハ之ヲ停車場ニ揭示スヘシ

第三十條　前條ノ物品ニ付請求アルトキハ第三十三條第二項ノ取扱ヲ爲スヘシ

第三十一條　手荷物ハ小荷物トシテ旅客列車ヲ以テ運送スルニ適スル荷物ハ小荷物トシテ旅客列車ヲ以テ運送スヘシ

第三十二條　行商人及呼賣商人ノ携帶スル商品ハ其ノ請求ニ因リ小荷物トシテ第三十三條第二項ノ取扱ヲ爲スヘシ

第三十三條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附著スヘカラス

第三十四條　左ノ物品ハ手小荷物トシテ之ヲ託送スルコトヲ得ス

一　火藥類其ノ他危害ヲ生スル虞アル物品

二　臭氣ヲ發シ又ハ不潔ナル物品

三　容積、重量過大ナル物品

第三十五條　手小荷物ノ託送ヲ受クルトキハ引換ノ符標又ハ受領證ヲ交付スヘシ

第三十六條　手小荷物引渡ノ際引換ノ符標ヲ所持セサル者ハ其ノ受取ヘキ權利アルコトヲ證明スルカ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ之ヲ引渡ヲ請求スルコトヲ得ス

第三十七條　旅客ハ同一列車ヲ以テ運送スル手荷物ニ限リ前項ノ取扱ヲ爲スヘシ

第三十八條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附著スヘカラス

第三十九條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附著スヘカラス

第四十條　削除

第四十一條　手小荷物ノ託送ヲ受クルトキハ引換ノ符標又ハ受領證ヲ交付スヘシ

第四十二條　手小荷物引渡ノ際引換ノ符標又ハ受領證ヲ交付スヘシ

第四十三條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第四十四條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第四十五條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第四十六條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第四十七條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第四十八條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第四十九條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第五十條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第五十一條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第五十二條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第五十三條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第五十四條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第五十五條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第五十六條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第五十七條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第五十八條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第五十九條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第六十條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第六十一條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第六十二條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第六十三條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第六十四條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第六十五條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第六十六條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第六十七條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第六十八條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第六十九條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第七十條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第七十一條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第七十二條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第七十三條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第七十四條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第七十五條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第七十六條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第七十七條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第七十八條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第七十九條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第八十條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第八十一條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第八十二條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第八十三條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第八十四條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第八十五條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第八十六條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第八十七條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第八十八條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第八十九條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第九十條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第九十一條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第九十二條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第九十三條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第九十四條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第九十五條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第九十六條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第九十七條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第九十八條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第九十九條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百一條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百二條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百三條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百四條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百五條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百六條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百七條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百八條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百九條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百十條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百十一條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百十二條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百十三條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百十四條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百十五條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百十六條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百十七條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百十八條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百十九條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百二十條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百二十一條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百二十二條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百二十三條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百二十四條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百二十五條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百二十六條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百二十七條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百二十八條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百二十九條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百三十條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百三十一條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百三十二條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百三十三條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百三十四條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百三十五條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百三十六條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百三十七條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百三十八條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百三十九條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百四十條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百四十一條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百四十二條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百四十三條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百四十四條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百四十五條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百四十六條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百四十七條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百四十八條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百四十九條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附スヘシ

第百五十條　

託発人ヨリ請求スルコトヲ得

第五章　貴重品運送

第五十七條　左ニ掲ケルモノヲ貴重品トス

一　金貨、銀貨、紙幣、銀行券、軍用手票、印紙、郵便切手及公債證書、官線省線券、株券、債券、商品券其ノ他ノ有價證券並ニ金、銀ノ地金其ノ他ノ貴金屬、イリジウム、タングステン其ノ他ノ稀金屬、金剛石、紅玉、緑柱玉、硬玉、眞珠其ノ他ノ寶玉石、象牙、鼈甲、珊瑚及其ノ各製品

二　美術品及骨董品

三　容器荷造ヲ加ヘ一瓶ノ價格四十圓ノ割合ヲ超ユル動物ヲ除ク

貴重品ト貴重品ニ非サルモノトヲ混セル場合ニ於ケル容器荷造ヲ加ヘ一瓶ノ價格四十圓ノ割合ヲ超エサルトキハ之ヲ貴重品ニ非サルモノト看做ス

第一項第三號及前項ノ場合ニ於ケル重量及價格ハ一荷造毎ニ之ヲ計算ス

第五十八條　貴重品ハ嚴重ニ包裝封印ノ列車出發時刻ヨリ少クトモ三十分前迄ニ託発ノ手續ヲ爲スヘシ

貴重品ヲ託発セムトスル者ハ運発狀ヲ差出スヘシ

第五十九條　貴重品ハ特ニ定メタル列車ニ限リ運発スルコトヲ得

前項ノ列車荷裝ハ停車場ニ掲示スルコトヲ要ス

第六十條　到着後二十四時間内ニ引取ヲ爲ササル貴重品ニ付テハ保管料ヲ請求スルコトヲ得

第六十一條　貴重品ノ運発ニ關シテハ本章ニ定ムルモノノ外旅客列車便ニ依ルモノハ第三章、貨物列車便ニ依ルモノハ第八章ノ規定ヲ準用ス

第六章　動物運発

第六十二條　手荷物車ヲ以テ運発スルニ適スル小動物ハ旅客列車ヲ以テ運発スヘシ

第六十三條　削除

第六十四條　旅客ノ携帶スル犬ヲ除クノ外小動物ハ荷扱ヒ場所ニ於テ運賃ヲ收メ「ニトログリセリン」若ハ「ニトロセルロース」ヲ含有セサルモノニ限リ之ヲ運発スルコトヲ得

第六十五條　小動物ヲ除クノ外動物ヲ託発セムトスル者ハ豫メ其ノ申込ヲ爲シ列車出發時刻ヨリ少クトモ一時間前迄ニ之ヲ停車場ニ發送スヘシ

第六十六條　動物ノ積卸ハ鐵道ノ請求アルトキハ荷主ニ於テ之ヲ負擔スヘシ

第六十七條　鐵道ハ動物ノ運発ニ付必要ト認ムルトキハ附添人ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ附添人ノ對シテハ乘車賃ヲ請求スルコトヲ得

附添人ノ乘車賃ハ三等旅客運賃ノ定額ヲ超過スルコトヲ得ス

第六十八條　動物ノ運発ニ關シテハ本章ニ定ムルモノノ外旅客列車便ニ依ルモノハ第三章、貨物列車便ニ依ルモノハ第八章ノ規定ヲ準用ス

第七章　火藥類運発

第六十九條　削除

第七十條　動物ノ運発ニ關シテハ本章ニ定ムルモノノ外旅客列車便ニ依ルモノハ第三章、貨物列車便ニ依ルモノハ第八章ノ規定ヲ準用ス

第七十一條　本章ニ於テ火藥類ト稱スルハ銃砲火藥類取締令施行規則第二十三條ニ規定スルモノヲ謂フ

第七十二條　火藥類ノ荷受人ハ少クトモ三十六時間前ニ發送停車場ニ託発ヲ申込ミ其ノ承諾ヲ求ムヘシ

火藥類ノ荷受人カ銃砲火藥類取締令ニ關スル法令ノ規定ニ依リ當該官廳ノ運搬許可證ヲ受ケヘキ場合ニ於テハ鐵道係員ハ其ノ許可證ヲ檢閲スヘシ

第七十三條　火藥類ハ銃砲火藥類取締令ニ關スル法令ニ規定スル容器ニ收納スヘシ但シ軍需ノ爲託発ニ係ルモノハ當該軍務所定ノ容器ニ收納セサルモノト雖モ之ヲ運発スルコトヲ得

火藥類ハ其ノ容器又ハ包裝ノ外部見易キ所ニ「火藥」、「爆藥」若ハ「火工品」ト朱記シ又ハ朱記シタル標札ヲ附シ且轉帳セシムヘカラサルモノニ在リテハ其ノ旨ヲ明記スヘシ

第七十四條　火藥類ノ授受ハ貨物掛又ハ驛長ノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

火藥類搬入ノ日時、場所及方法ニ關シテハ前項ノ係員ノ指示ニ從フヘシ其ノ搬出ノ日時及方法ニ付亦同シ

第七十五條　火藥類ノ積卸ハ荷主ノ負擔トス

ケタルトキハ鐵道ハ荷受人ニ對シ附添人ヲ要求スルコトヲ得

附添人ハ火藥類積載ノ貨車ニ乘込ムコトヲ得ス

附添人ニ付テハ第六十六條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第七十六條　火藥類ハ木製有蓋貨車ヲ以テ運発スヘシ但シ貨車ノ内部ニ鐵釘、鐵具等ノ突起シタルモノアルトキハ木板、革、布又ハ莚ノ類ヲ以テ之ヲ覆フヘシ

第七十七條　銃砲火藥類取締令施行規則第七十五條ノ規定ニ依リ各別棟ノ火藥類貯藏所ニ貯藏スヘキ火藥類ハ之ヲ同一車中ニ積載スルコトヲ得ス但シ火藥類ハ之ヲ同一車中ニ積載セサル雷管附又ハ爆管附火藥ヲ裝填セサル雷管附若ハ爆管附導火線、電氣導火線、導爆線、導爆薬（導内ノ火藥又ハ爆藥ヲ爆發ノ危險ナキニ至ル迄十分濕潤ノ上箱ヲ密閉シ該箱ノ上ニ濕藥ト明記シタルモノ）芳香系列ノ硝化物若ハ之ヲ主トスル混和物ニシテ起爆劑ヲ附セサルモノ硝酸「アンモン」若ハ過鹽素酸「アンモン」ヲ主トスル爆藥中「ニトログリセリン」若ハ「ニトロセルロース」ヲ含有セサルモノニシテ起爆劑ヲ附セサルモノ、硝酸「アンモン」ヲ主トスル爆藥中「ニトログリセリン」若ハ「ニトロセルロース」ヲ含有スルモノ其ノ含有總量百分ノ四以下ニシテ起爆劑ヲ附セサルモノ、煙火、信號焰管、信號用雷管、星火ヲ發スル榴彈（十二箇以下ヲ木製容器ニ收納シ磨擦、動搖又ハ衝突ヲ豫防シ得ル樣各箇ニ麻屑、紙屑ノ類ヲ填充シタルモノ）、火箭（六箇以下ヲ木製容器ニ收納シ磨擦、動搖又ハ衝突ヲ豫防シ得ル樣各箇ノ間ニ麻屑、紙屑ノ類ヲ填充シタルモノ）又ハ三十瓲以下ノ火藥若ハ六瓲以下ノ爆藥（起爆劑ヲ除ク）ニシテ左ノ條件ヲ具備スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　容器又ハ包裝ヲ安全堅牢ナラシメ且其ノ外部見易キ所ニ品名ヲ明記シタルトキ

二　他ノ貨物カ容易ニ燃燒シ又ハ爆發ノ誘因トナルヘキ虞ナキモノナルトキ

三　火藥類及混被貨物ノ重量ヲ合シテ貨車積載定量ノ三分ノ二ヲ超過セサルトキ

第七十八條　削除

第七十九條　火藥類ハ磨擦、動搖、衝突又ハ轉覆セサル樣緊密ニ積載スヘシ

第八十條　火藥類ノ積卸等ヲ爲ストキハ手鈎類ヲ用ヰ若ハ投下スルコトヲ得ス又衝動ヲ豫防シ得ル樣草、麻布若ハ毛布ノ類ヲ以テ其ノ經過スヘキ場所ヲ覆ヒタルトキノ外之ヲ轉覆スルコトヲ得ス

第八十一條　火藥類ノ積卸ヲ爲ス場所又ハ火藥類積載ノ貨車内ニ於テハ種子油ヲ燃料トシ硝子壁ヲ以テ完全ニ隔離シタル安全燈若ハ携帶電燈以外ノ燈火ヲ使用シ擦寸其ノ他發火ノ虞アル物品ヲ携帶シ又ハ喫煙スルコトヲ得ス

火藥類ノ積卸ヲ爲ス場所ニ於テ該證ノ紛失等ニ依リ之ト引換ニ貨物ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得サルトキハ鐵道ハ引渡請求人ニ於テ其ノ權利ヲ證明シ又ハ相當ノ擔保ヲ供シタルトキニ限リ貨物引渡ノ義務アルモノトス

第八十二條　火藥類ノ積卸ヲ爲ス場所ニ於テハ積載ノ火藥類ノ種類、數量及積載ノ場所ヲ明ニシ且積載ノ順序ニ從ヒ之ヲ爲スヘシ

第八十三條　火藥類ノ積卸ヲ爲ス場所ニ於テハ火藥類ノ積卸ニ關スル事務ニ從事スル者ノ外ハ何人ヲモ入ラシメサルヘシ

第八十四條　貨物引換證作成ノ地及年月日

一　第九十六條第二號乃至第八號、第十號及第十一號ニ掲ケル事項

二　第九十六條第二號ニ掲ケル事項

三　運発狀ノ受付番號

四　運賃、料金ノ額及其ノ受否

貨物引換證ニハ左ノ事項ヲ掲クヘシ

第百條　貨物引換證作成ノ地及年月日

一　第九十六條第二號乃至第八號、第十號及第十一號ニ掲ケル事項

二　運発狀ノ受付番號

三　運賃、料金ノ額及其ノ受否

四　居先、荷受人ノ氏名若ハ商號及住所

五　貨物ノ品名、重量又ハ容積又ハ包裝ノ外部見易キ所ニ「火藥」、「爆藥」若ハ「火工品」ト朱記シ又ハ朱記シタルモノニ在リテハ其ノ旨ヲ明記スヘシ

第九十七條　火藥類ヲ運発スル列車ニ時間以上停車ヲ要スルトキハ成ルヘク離隔シタル線路ニ火藥類ヲ積載シタル貨車ヲ移シ危險ノ虞ナキ場合ニ於テハ所轄警察署又ハ警察官吏ニ之ヲ屆出ツヘシ前條ノ規定ニ依ル停車ヲ到達停車場ニ到着前ニ解放シタル場合亦同シ

第九十八條　火藥類積載ノ貨車ヲ到達停車場ニ到達シタルトキハ直ニ之ヲ荷受人ニ通知スヘシ

荷受人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク火藥類ヲ停車場外ニ撤出スヘシ

荷受人カ火藥類積載ノ貨車到着後二時間内ニ其ノ火藥類ヲ停車場外ニ撤出セサルトキハ離隔シタル場所ニ移シ危險防止ノ處置ヲ爲シ且鐵道ハ所轄警察署又ハ警察官吏ニ之ヲ屆出ツヘシ

第九十九條　荷受人ハ貨物ノ性質ニ依リ運発中ノ減量又ハ毀損ヲ防クニ必要ナル荷造ヲ爲スヘシ

荷受人ハ荷物ノ各箇ニ品名、箇數、記號、宛名等ヲ明瞭ニ且ツ外面ニ表示スヘシ

第百二條　貨物運賃其ノ他運発ニ關スル料金之ヲ支拂フヘシ

運賃及料金ハ確定スルコトヲ得サルトキハ鐵道ハ概算拂ヲ請求スルコトヲ得

第百三條　削除

第百四條　貨物ノ性質上荷造ヲ爲ササルカ又ハ荷造不完全ニシテ散亂ノ虞アルトキハ一車ヲ使用スルニ非サレハ託発ノ需ニ應セサルコトヲ得

第百五條　一箇ノ重量三百瓲以上若ハ其ノ容量一立方米以上ノ貨物及二車以上跨ル長大ナル貨物又ハ車扱貨物ノ積卸ハ貨主ノ負擔トス

鐵道ハ前項貨物ノ積卸ニ付作業人ヲ指定スルコトヲ得

第百六條　貨主カ貨物積卸ヲ負擔スル場合ニ於テ鐵道ノ器具ヲ使用スルトキハ使用料ヲ請求スルコトヲ得

第百七條　錠鎖保護ヲ要スル入雨除ヲ避クル

内ニ在ラサルトキハ此ノ限ニ在ラス

火藥類ヲ取扱フ者ハ鐵釘等ヲ附シタル靴類ヲ穿ツコトヲ得ス

第八十四條　火藥類ハ銃砲火藥類取締令施行規則第四十二條第一項各號ノ規定ニ該當スル場合ヲ除クノ外日出前及日沒後ニ於テ發送、積卸、荷造又ハ荷解ヲ爲スコトヲ得ス

第八十五條　火藥類積載貨車ノ兩側面ニハ見易キ位置ニ白地ニ「火藥」ト朱記シタル標札ヲ附スヘシ

第八十六條　火藥類積載貨車ノ前後ニハ各一輛以上ノ空車ヲ驛結スヘシ但シ不燃貨物ヲ積載シタル無蓋貨車又ハ發火ノ虞ナク且燃燒シ易カラサル貨物ヲ積載シタル有蓋貨車ヲ以テ空車ニ代フルコトヲ得

第八十七條　火藥類積載ノ貨車ハ四輛以下ニ限リ他ノ貨物積載ノ貨車ト同一列車ニ之ヲ驛結スルコトヲ得

火藥類積載ノ貨車ハ旅客列車又ハ混合列車ニ驛結スルコトヲ得ス但シ其ノ火藥類ノ輸送上特別ノ事由アル場合ニ在リテハ火藥類積載ノ貨車一輛ニ限リ之ヲ混合列車ニ驛結スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ該貨車ハ旅客ヲ搭載スル車輛ト三輛以上隔離スルコトヲ要ス

第八十八條　火藥類積載ノ貨車ハ手用制動機ヲ使用スルコトヲ得ス但シ停車中ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第八十八條ノ二　鐵道ノ自用ニ供スル信號用雷管並第八十七條但書ニ規定スルモノヲ除クノ外火藥類ノ積載ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ各號ヲ具備シタル保證狀若ハ相當ノ擔保ヲ提供シテ貨物ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得

一　保證狀作成ノ地及年月日

二　第九十六條第二號乃至第八號、第十號及第十一號ニ掲ケタル事項

三　貨物運発通知書番號及作成ノ年月日

四　保證人ノ氏名又ハ商號、住所及捺印

五　運賃、料金ノ額

保證狀ニ依リ引渡ヲ爲ス場合ニ於テハ手數料ヲ請求スルコトヲ得

第九十條　運発ヲ引受ケタル貨物ニ付テハ荷受人ニ貨物運発通知書ヲ交付スヘシ

荷受人カ其ノ權利ヲ證明シ能ハサル場合ニ於テハ左ノ各號ヲ具備シタル保證狀若ハ相當ノ擔保ヲ提供シテ貨物ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得

一　保證狀作成ノ地及年月日

二　第九十六條第二號乃至第八號、第十號及第十一號ニ掲ケル事項

三　貨物運発通知書番號及作成ノ年月日

四　保證人ノ氏名又ハ商號、住所及捺印

五　運賃、料金ノ額

保證狀ニ依リ引渡ヲ爲ス場合ニ於テハ手數料ヲ請求スルコトヲ得

ノ必要アルモノ若ハ火氣ニ感シ易キ物品ハ有毒貨車ヲ以テ運送スヘシ但シ特約アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百八條　貨物カ到達停車場ニ到達シタルトキハ鐵道ハ遅滯ナク引取時間ヲ定メテ到達ノ通知ヲ發スヘシ但シ配達ヲ爲スヘキ貨物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

鐵道ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ前項ノ通知ヲ發スルコト能ハサルトキハ當該停車場ノ掲示ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百九條　貨物ノ滅失又ハ毀損アルトキハ運ニ調査ヲ遂ケ荷送人及荷受人ニ通知スヘシ

第百十條　削除

第百十一條　運送狀ニ記載シタル運送品ノ價格不相當ナリト認ムルトキハ相當ノ手續ニ依リ之カ訂正ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十二條　削除

第百十三條　削除

第百十四條　第百八條ノ引取時間内ニ引渡ニ應セサル貨物ニ付テハ鐵道ハ保管料ヲ請求スルコトヲ得

荷受人カ貨物ノ引渡ヲ受ケタル後其ノ引取ヲ爲ササルトキハ鐵道ハ貨物留置料ヲ請求スルコトヲ得ル

第百十五條　貨主カ貨物ノ積卸ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ鐵道ハ積管料ヲ請求スルコトヲ得

荷受人カ貨物ノ引渡ヲ受ケタル後其ノ引取ヲ爲ササルトキハ鐵道ハ貨物留置料ヲ請求シ又ハ荷受人ノ費用ヲ以テ荷卸ヲ爲スコトヲ得

第百十六條　貨車ノ準備ヲ爲シタル後貨物ノ託送ヲ取消シタルトキハ鐵道ハ違約金ヲ請求スルコトヲ得

第百十七條　荷受人カ貨物ノ引取ヲ拒ミ又ハ到達後十五日ヲ過クルモ引取ヲ爲ササルカ若ハ荷受人不明ナルトキハ相當期間ヲ定メ貨送人及荷受人ニ表告シテ催告スルコトヲ得

前項ノ期間ハ三十日ヲ下ルコトヲ得ス

第一項ノ期間内ニ於テ荷受人又ハ荷送人カ貨物ノ處分ヲ爲ササルトキハ時價ヲ以テ之ヲ不足アルトキハ之ヲ追徴シ剩餘アルトキハ之ヲ還付スヘシ

損敗シ易キ貨物ハ催告ヲ爲サスシテ前項ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第百十七條　鐵道ハ取扱ニ着支ナキトキハ荷送人又ハ運送品ノ引渡ヲ爲ササルトキハ時價ヲ以テ之ヲ到着驛若ハ荷受人ノ變更ヲ爲スヘシ

前項ノ取扱ヲ爲ストキハ鐵道ノ手數料及費用ヲ請求スルコトヲ得但シ鐵道ノ過失ニ因リ貨主カ前項ノ請求ヲ爲ス二至リタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十八條　第十七條ノ規定ハ貨物運送ニ之ヲ準用ス

第九章　鐵道ノ責任

第百十九條　要償額ノ表示ハ運送狀ヲ突付スルノ場合ニ於テハ運送狀ニ記載シ運送狀ヲ突付セサル場合ニ於テハ鐵道ノ定ムル樣式ニ依ル書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十七條ノ規定ハ前項ノ書面ニ付之ヲ準用ス

第百二十條　要償額ノ表示料ハ左ノ割合ヲ超ユルコトヲ得ス

一　託送手荷物、貴重品　表示額百圓迄毎ニ　七錢

二　動物　千圓迄ニ付テハ　三十錢

同　千圓ヲ超ユル額ニ付テハ　五十錢

三　其ノ他ノ運送品　四錢

前項ノ規定ハ一日ニ付十錢ヲ超エサル範圍内ニ於テ最低料金ヲ設定スルコトヲ妨ケス

前二項ノ規定ニ依ル表示料ハ停車場ニ之ヲ掲示スルコトヲ要ス

鐵道營業法第十一條第三項ノ規定ハ第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十一條　要償額ノ表示ナキ託送手荷物、貴重品若ハ動物ノ滅失又ハ毀損ニ因ルノ損害ニ付テハ鐵道ニ惡意又ハ重大ナル過失アル場合ヲ除クノ外左ノ金額ヲ超エ賠償ノ責ニ任セス

一　託送手荷物　旅客一人ニ付百五十圓

二　貴重品　一個又ハ一荷ニ付百五十圓

但シ一日百五十圓ヲ最高額トス

三　動物

牛、馬　一頭ニ付　百二十圓

豚、綿羊　同　三十圓

其ノ他ノ獸類　同　二十圓

其ノ他ノ動物　同　十圓

但シ一日五十圓ヲ最高額トス

第百二十二條　託送手荷物又ハ運送品ニ對スル引渡期間ハ左ノ各號ノ期間ヲ合算シタルモノトス

一　發送期間

二　輸送期間

三　接續期間

四　集配期間

發送期間ハ託送手荷物又ハ小荷物ニ於テハ運送ノ爲受取リタル日ト雖貨物ニ付テハ其ノ日及翌日トス

輸送期間ハ運賃計算ノ場合ニ於ケル輸送ノ徑路ニ由リ各鐵道毎ニ左ノ各號ノ通トス

一　託送手荷物及小荷物ニ付テハ四百粁迄毎ニ一日

二　貨物ニ付テハ百三十粁迄毎ニ一日

接續期間ハ貨物カ軌間ヲ異ニスル線路ヲ通シテ運送セラルル場合ニ於テ其ノ接續驛毎ニ各一日トス

集配期間ハ停車場外ニ於テ託送手荷物又ハ運送品ノ受取リ又ハ引渡ヲ爲ス場合ニハ其ノ各ニ付一日トス

鐵道ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ託送手荷物又ハ運送品ノ延着シタル場合ニハ其ノ遲延日數ヲ引渡期間ヨリ控除シ其ノ殘日數ニ付テハ其ノ遲延日數ニ對シ一日ニ付百圓ノ割合ヲ以テ計算シタル違約金ヲ支拂フヘキ金額ハ其ノ遲延ニ因ル損害ノ額ヲ超エサルモノトス

第百二十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ引渡ヲ爲シタル後ニ非サレハ其ノ滅失毀損又ハ延著ニ付損害賠償ノ請求ヲ受ケサルモノトス

第百二十四條　託送手荷物又ハ運送品ノ引渡アリタル場合ニ於テ其ノ滅失毀損又ハ延著カ鐵道ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リタルトキハ鐵道ハ第百二十三條ノ規定ニ拘ハラス其ノ損害賠償ノ責ニ任ス

第百二十五條　荷送人又ハ荷受人カ託送手荷物又ハ運送品ノ引渡アリタル場合ニ於テ其ノ引渡ヲ爲シタル後ニ至リ其ノ滅失毀損又ハ延著ヲ發見シ且其ノ通知ヲ發シタルトキハ其ノ滅失毀損又ハ延著ハ引渡ノ當時ニ發見シ且通知ヲ發シタルモノト看做ス

第百二十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ引渡期間經過後託送手荷物又ハ運送品ノ引渡アリタル場合ニ於テハ鐵道カ其ノ引渡ノ準備ヲ爲シ且到達ノ通知ヲ發シタルトキハ其ノ後ノ期間ニ付テハ鐵道ノ責ニ歸スヘキ事由アル場合ヲ除クノ外引渡期間ハ之ヲ超過セサリシモノト看做ス

第百二十三條　要償額ノ表示アル託送手荷物又ハ運送品ノ延著ニ因ル損害ニ付鐵道カ賠償ノ責ニ任スル場合ニ於テ支拂フヘキ金額ハ鐵道ニ惡意又ハ重大ナル過失アル場合ヲ除クノ外左ノ各號ニ依ル

一　請求者ニ於テ延著ニ因ル損害額ヲ證明シタル場合ニ於テハ表示額ヲ限度トシテ延著ノ期間一日迄毎ニ

前號以外ノ場合ニ於テハ運賃額ノ二分ノ一ヲ限度トシテ延著ノ期間一日迄毎ニ

運賃額ノ百分ノ五

前二項ノ場合ニ於ケル運賃額ハ當該託送手荷物又ハ運送品ノ運賃額、接續費及其ノ集配ノ爲受ケル金額ヲ合算シタル額トス

第一項第二號及第二項第二號ノ場合ニ於テ託送手荷物又ハ運送品ノ一部カ延著シ又ハ延著ノ期間ヲ異ニスルトキ鐵道ノ支拂フヘキ金額ハ延著シタル各部分ノ數量ニ付之ヲ計算ス

第百二十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品引渡ノ際滅失、毀損又ハ延著ヲ事由トシテ旅客又ハ貨主ノ請求アルトキハ其ノ遲延日數ヲ引渡期間ヨリ控除シ殘日數ニ付テハ其ノ遲延日數ニ對シ一日ニ付百圓ノ割合ヲ以テ計算シタル違約金ヲ支拂フヘキ金額ハ其ノ遲延ニ因ル損害ノ額ヲ超エサルモノト看做ス

ノ數量、狀態又ハ引渡ノ月日ニ付證明ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十五條　鐵道營業法第十三條第二項ノ規定ニ依リ留保アリタル場合ニ於テ留保者ノ請求アルトキハ鐵道ハ之カ證明ヲ爲スコトヲ要ス

鐵道營業法第十三條第二項ノ規定ニ依リ留保アリタル託送手荷物又ハ運送品ニ付其ノ到達、發見等ニ因リ引渡ヲ爲スコトヲ得ル旨ヲ通知シタルトキハ鐵道ハ賠償ヲ受ケタル者ニ對シ遲滯ナク其ノ旨ヲ通知スヘシ

第百二十六條　第二十一條、第五十七條及第百十九條乃至第百二十五條ノ規定ハ鐵道ニ於ケル軌道、自動車又ハ索道ニ依ル運送ニ付之ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正九年十二月總令第百九十九號）

本令ハ大正十年一月十日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十一年十一月總令第百四十六號）

本令ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十三年九月總令第五十七號）

本令ハ大正十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和五年二月總令第十四號）

本令ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年三月總令第三十一號）

本令ハ昭和七年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮私設鐵道係員職制

大正九年十一月

總令第百七十六號

改正　大正一五年二第九四號

朝鮮私設鐵道係員職制左ノ通定ム

朝鮮私設鐵道係員職制

第一章　總則

第一條　私設鐵道ノ係員職制ハ本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ但シ鐵道ノ狀況ニ依リ本令ニ依リ難キ場合ニ於テハ別ニ職制ヲ定メ鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

第二章　運輸係員

第二條　私設鐵道ニ左ノ運輸係員ヲ置ク

運輸長　驛長

助役　出札掛

改札掛　貨物掛

小荷物掛　操車掛

轉轍手　機關手

檢車手　機關助手

機關庫主任　機關手

掌車　驛夫

炭水夫

前項ノ係員ハ職務ノ狀況ニ依リ二以上ノ係員ノ職務ヲ兼メルコトヲ得

第三條　運輸長ハ鐵道ノ運轉、運送及車輛ノ修理、保管ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬係員ヲ監督ス

第四條　驛長ハ運輸長ノ指揮ヲ承ケ驛務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第五條　機關庫主任ハ機關手ヲ保持シ所屬係員ヲ監督ス

第六條　助役ハ驛長ヲ補佐シ又ハ之カ代理ヲ爲ス

第七條　改札掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ乘車券ノ檢查及取集ニ從事ス

第八條　貨物掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ貨物ノ受託、保管及引渡ニ從事ス

第九條　小荷物掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ手小荷物ノ受託、保管及引渡ニ從事ス

第十條　操車掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ入換及信號機ノ取扱ニ從事ス

第十一條　轉轍手ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ轉轍器ノ取扱ニ從事ス

第十二條　驛夫ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ掃除、荷物ノ積卸、運搬等ノ雜務ニ從事ス

第十三條　車掌ハ車內ノ秩序ヲ保持シ必要アルトキハ旅客ニ對シ相當ノ指圖及處分ヲ爲スコトヲ得

第十四條　機關庫主任ハ運轉長ノ指揮ヲ承ケ機關庫ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第十五條　機關手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車ノ運轉ニ從事ス但シ列車運轉中ニ在リテハ車掌、列車カ停車場ニ在ルトキハ驛長ノ指示ヲ受クヘシ

第十六條　機關助手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關手ヲ補助ス但シ機關車乘務中ニ在リテハ機關手ノ指示ヲ受クヘシ

第十七條　檢車手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ受ケ車輛ノ檢查及注油ニ從事ス

第十八條　機關夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車ノ掃除ニ從事ス

第十九條　炭水夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ受ケ機關車用燃料ノ搭載、給水等ノ雜務ニ從事ス

第三章　保線係員

第二十條　私設鐵道ニ左ノ保線係員ヲ置ク

保線長

保線手

線路工夫

第二十一條　保線長ハ線路及諸建造物ノ修理及保存ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十二條　保線手ハ保線長ノ指揮ヲ承ケ線路及諸建造物ノ修理及保存ニ從事シ所屬係員ヲ監督ス

第二十三條　線路工夫ハ保線手ノ指揮ヲ承ケ線路及諸建造物ノ看守、修理及保存ニ從事ス

第二十四條　踏切番ハ保線手ノ指揮ヲ承ケ踏切道ノ看守ニ從事スル傍ラ停車場構內路切道ノ看守ニ付テハ驛長ノ指示ヲ承クヘシ

第四章　電氣係員

第二十五條　電氣ヲ動力トスル私設鐵道ニ左ノ電氣係員ヲ置ク

電氣長

發電所主任

變電所主任

電路主任

電車庫主任

運轉手

電氣工夫

第二條第二項ノ規定ハ電氣係員ニ之ヲ準用ス

第二十六條　電氣長ハ電氣ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十七條　發電所主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ發電所ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十八條　變電所主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ變電所ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十九條　電路主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ電線路及之ニ附帶スル器機ノ修理及保存ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第三十條　電車庫主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ電車庫ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第三十一條　運轉手ハ電車庫主任ノ指揮ヲ承ケ電氣機關車及電車ノ運轉ニ從事ス

第十五條但書ノ規定ハ電氣工夫ノ電氣係員ニ之ヲ準用ス

第三十二條　電氣工夫ハ發電所主任、變電所主任又ハ電車庫主任ノ指揮ヲ承ケ發電所、變電所、電線路及電車庫ニ關スル事務ニ從事ス

第三十三條　電氣工夫ハ電路主任ノ指揮ヲ承ケ電線路及之ニ附帶スル器機ノ看守、修理及保存ニ從事ス

附　則

本令ハ大正九年制令第九號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（大正九年十一月十一日ヨリ施行）

本令ニ依リ届出ツヘキ事項ニシテ舊令ニ依リ届出ヲ爲シタルモノハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

●荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル鐵道運送品等ノ公告ニ關スル件

大正六年九月
總令第六十九號

荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル鐵道運送品ノ公告ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　鐵道營業法第十三條ノ二ノ規定ニ依リ荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル運送品ニ付爲ス公告ハ運送品ノ名稱種類箇數記號、發送停車場及到達停車場竝停車場ノ名稱及託送到達ノ日時等成ルヘク其ノ運送品ヲ知得スルニ足ルヘシト思料スル事項竝公告後六月内ニ其ノ權利者ノ申出ナキトキハ鐵道ニ於テ其ノ所有權ヲ取得スヘキ旨ヲ記シ三日以上之ヲ朝鮮總督府官報ニ掲載スルモノトス

第二條　鐵道ハ前條ノ公告ヲ爲ス前前條ト同一ノ事項ヲ記シ發送停車場、到達停車場及保管停車場ニ少クトモ七日以上之ヲ掲示シ仍必要ト認ムルトキハ發送停車場、到達停車場及保管停車場所在地又ハ其ノ附近ニ於テ發行スル新聞紙ヲ以テ三日以上公告スルコトヲ要ス

第三條　前二條ノ規定ハ鐵道營業法第十三條ノ二ニ規定スル託送手荷物及一時預リ品ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮總督ノ管理ニ屬スル鐵道ノ一部ノ業務ノ委託ニ關スル件

昭和八年　勅令第二百五十八號

朕朝鮮總督ノ管理ニ屬スル鐵道ノ一部ノ業務ノ委託ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

朝鮮總督ハ其ノ管理ニ屬スル鐵道ノ一部ノ建設、改良、保存及運輸竝ニ附帶ノ業務ヲ南滿洲鐵道株式會社ニ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ハ南滿洲鐵道株式會社ニ對シ委託業務ノ執行ニ關シ必要ナル命令若ハ處分ヲ爲シ又ハ官吏ヲシテ其ノ業務ヲ檢査セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國貨物鐵道運送手續

大正七年八月
總訓第四十二號

改正　大正八年一月第四二號、九年八月第三三號、一二年一月第二六號、二年九月第四六號、一四年一月第一六號、一五年九月第四六號、昭和二年一月第二八號、七年四月第三六號

外國貨物鐵道運送手續左ノ通改正ス

稅　關

外國貨物鐵道運送手續

第一章　通　則

第一條　朝鮮國有鐵道、朝鮮鐵道株式會社竝北線若ハ南線若ハ朝鮮國有鐵道ト朝鮮鐵道株式會社トノ連絡ニ依リ外國貨物ヲ運送スル場合ニ於テハ本手續ニ依リ取扱フヘシ

第二條　鐵道停車場構内ニ於テ外國貨物ヲ藏置スヘキ場所ハ稅關長ノ指定スヘシ

前項ノ藏置場ニ内國貨物ヲ藏置セムトスルトキハ稅關ノ承認ヲ受ケシムヘシ

第三條　稅關ニ於テ貨物又ハ貨車ニ封鎖ヲ施シタルトキハ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社ナシテ其ノ封鎖ノ安全ヲ保ツ適當ノ處置ヲ爲サシムヘシ

第四條　署驛ニ到達シタル外國貨物ハ日沒ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ到達シタルモノヲ除ケノ外直ニ之ヲ稅關構内又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入セシムヘシ

日沒ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ到達シタル外國貨物ハ稅關構内又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入ヲ爲シ得ヘキ時ニ至ル迄又ハ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社ノ承認ヲ受ケタル停車場構内ニ一定ノ場所之ヲ保管セシメ其ノ旨直ニ稅關ニ通知セシムヘシ

前項ノ貨物ニシテ稅關構内又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入シ得ルニ至リタルトキハ直ニ第一項ノ手續ヲ爲サシムヘシ

前三項ノ規定ニ依リ稅關構内又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入シタル貨物ハ之ヲ貨主ニ引渡シ若ハ保稅倉庫ニ庫入シ又ハ稅關ニ於テ之ヲ敎容スル迄稅關監視ノ下ニ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社ヲシテ之ヲ保管セシムヘシ

第五條　鐵道停車場構内ニ於ケル外國貨物ノ積卸又ハ運搬ヲ爲サムトスルトキハ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社ヲシテ稅關ニ通知セシメ其ノ引渡ヲ爲サムトスルトキハ稅關官吏ノ立會ヲ受ケシムヘシ

第五條ノ二　指定ノ陸路ニ由リ釜山ヨリ内地ニ又ハ内地ヨリ釜山ニ發送スル外國貨物ハ本令ノ適用ニ付テハ鐵道運送貨物ト看做シ發驛又ハ署驛ノ爲スヘキ事項ハ關釜連絡船船長ヲシテ之ヲ爲サシムヘシ

第六條　運送日錄ハ第七條及第十二條ノ場合ヲ除クノ外第一號樣式ニ依リ發驛ニ於テ二通ヲ作リ内一通ハ之ヲ稅關ニ提出セシメ他ノ一通ハ其ノ稅關ノ認印ヲ得テ貨物ト共ニ之ヲ署驛ニ送付セシムヘシ

貨物署驛ニ到達シタルトキハ署驛ニ於テ前項ノ日錄ト貨物トヲ對照シ其ノ照合ヲ認メタル後之ニ貨物到達ノ裏書ヲ爲シ稅關ニ提出セシムヘシ

第二章　鐵道連帶運送貨物

第一節　輸入手數未濟貨物

第七條　輸入手數未濟ノ鐵道連帶運送貨物ニシテ鐵道運送申告ノ代辨ヲ爲スモノニ對スル運送日錄ハ第二號樣式ニ依ラシムヘシ

第八條　前條ノ運送日錄ハ發驛ニ於テ三通ヲ作リ式ニ依リ運送申告ノ裏書ヲ爲シ之ヲ稅關ニ提出セシムヘシ

前項ノ運送日錄ニ記載シタル貨物ニ付運送免許ヲ爲シタルトキハ稅關ハ式ニ依リ其ノ目錄ニ裏書ヲ爲シ稅關ニ提出セシムヘシ

第九條　貨物署驛ニ到達シタルトキハ署驛ハシテ前條ニ依リ發驛ヨリ送付シタル運送日錄ト對照シ其ノ照合ヲ認メタルトキハ之ニ貨物到達ノ裏書ヲ爲シ稅關ニ提出セシムヘシ

第十條　前條ノ運送日錄ニ記載シタル貨物ノ全部ニ付符合ヲ認メタルトキハ稅關ハ其ノ日錄二通ノ内一通ニ運送濟ノ裏書ヲ爲シ之ヲ署驛ニ還付スヘシ但シ稅關ハ必要ニ應シ運送日錄ノ還付ニ代ヘテ貨物發送地ノ稅關ニ宛テタル運送濟通知書ヲ署驛ニ交付スルコトヲ得

前項ニ依リ還付又ハ交付ヲ爲シタル運送日錄又ハ運送濟通知書ハ署驛ヲシテ直ニ發驛ニ送付セシメ發驛ヲシテ之ヲ稅關ニ提出シ運送濟ノ證明ヲ爲サシムヘシ

第十一條　署驛ニ到達シタル貨物鐵道ト關釜連絡船只外ノ船舶ノ連帶運送ニ依リ内地ニ向ケ運送スルモノナルトキハ第九條ニ依リ署驛ヨリ提出スル運送日錄ハ船長ヲシテ式ニ依リ裏書ヲ爲サシメ海路運送申告及海路運送日錄ノ提出ニ代ヘシムヘシ

前項ノ海路運送申告ニ對シ発許ヲ爲シタルトキハ稅關ハ運送日錄ノ内一通ニ運送免許ノ裏書ヲ爲シ運送免狀トシテ之ヲ船長ニ交付スヘシ

第二節　輸出又ハ積戻手數濟貨物

第十二條　輸出手數濟又ハ積戻手數濟ノ鐵道連帶運送貨物運送ノ場合ハ發驛ヲシテ輸出免狀又ハ積戻免狀ヲ貨主ヨリ受取リ其ノ餘白又ハ裏面ハ驛長印ヲ押捺シテ運送日錄ニ代用セシメ稅關官吏ノ認可ヲ得テ貨物ト共ニ之ヲ署驛ニ送付セシムヘシ

第十三條　貨物署驛ニ到達シタルトキハ署驛ヲシテ前條ニ依リ發驛ヨリ送付シタル輸出免狀又ハ積戻免狀ノ餘白又ハ裏面ニ貨物到達ノ日時ヲ記入シ驛長印ヲ押捺シテ之ヲ稅關ニ提出セシムヘシ

第十四條　貨物國外ニ輸出セラレタルトキハ稅關ハ前條ノ輸出免狀又ハ積戻免狀ニ國外ニ搬出ノ月日ヲ記入シテ之ヲ署驛ニ還付シ發驛ヲ經テ之ヲ貨主ニ還付セシムヘシ

第十四條ノ二　署驛ニ到達シタル貨物鐵道ト關釜連絡船以外ノ船舶トノ連帶運送ニ依リ内地ニ向ケ海路運送スルモノナルトキハ前條ニ依リ署驛ヨリ提出スル輸出免狀又ハ積戻免狀ニ船長ヲシテ船名及仕向港ヲ記入シ署名捺印シテ海路運送申告及海路運送日錄ノ提出ニ代ヘシムヘシ

前項ノ海路運送申告ニ對シ発許ヲ爲シタルトキハ稅關ハ輸出免狀又ハ積戻免狀ニ海路運送免許ノ旨ヲ記入シ運送免狀トシテ之ヲ船長ニ交付スヘシ

第三章　補　則

第十四條ノ三　輸出手數濟又ハ積戻手數濟ノ貨物ヲ貨車ニ積載シタル儘國境ヲ通過セシメムトスルトキハ朝鮮ヨリ運送スル貨物ニ在リテハ發驛、内地ヨリ運送スル貨物ニ在リテハ釜山驛ヲシテ其ノ貨車ニ施封ノ爲稅關ノ必要ト認ムル裝置ヲ爲シ之ニ貨物積込ノ際立會セシメ稅關官吏ノ封印ヲ受ケ、貨車狩ニ第三號樣式ノ二ノ施封貨車積貨物目錄ニ通ヲ作製シ施封官吏ノ認印ヲ得テ一通之ヲ稅關ニ提出シ他ノ一通ハ稅關ノ認印ヲ得テ發驛ニ送付スルモノトス

前項ノ海路運送申告ニ對シ発許ヲ爲シタルトキハ稅關ハ輸出免狀又ハ積戻免狀ニ海路運送免許ノ旨ヲ記入シ運送免狀トシテ之ヲ船長ニ交付スヘシ

第十四條ノ三　輸出手數濟又ハ積戻手數濟ノ貨物ヲ貨車ニ積載シタル儘國境ヲ通過セシメムトスルトキハ朝鮮ヨリ運送スル貨物ニ在リテハ發驛、内地ヨリ運送スル貨物ニ在リテハ釜山驛ヲシテ其ノ貨車ニ施封ノ爲稅關ノ必要ト認ムル裝置ヲ爲シ之ニ貨物積込ノ際立會セシメ稅關官吏ノ封印ヲ受ケ、貨車狩ニ第三號樣式ノ二ノ施封貨車積貨物目錄ニ通ヲ作製シ施封官吏ノ認印ヲ得テ一通之ヲ稅關ニ提出シ他ノ一通ハ稅關ノ認印ヲ得テ發驛ニ送付スルモノトス

第十五條　前各條ノ規定ハ大正十二年制令第六號ニ依リ移入又ハ移出ノ手續ヲ爲スヘキ貨物ニシテ移入手數未濟ノモノ又ハ移出手數濟ノモノニ之ヲ準用ス

第十五條ノ二　内地、樺太又ハ南洋群島ニ於テ積出ヲ爲シタル輸出手數濟貨物ニシテ第十五條ノ移入手數未濟貨物ニ該當スルモノノ朝鮮ニ於ケル取扱ニ付テハ第十二條乃至第十四條ニ依ルノ外仍移入手數未濟貨物ノ運送ノ例ニ依ラシムヘシ

前項ノ貨物中第十四條ノ三ノ取扱ヲ受ケムトスルモノニ付テハ他ノ貨物ト區別シテ所定ノ運送日錄ヲ作製セシメ其ノ各通ニ施封貨車ノ數、番號及施封方法等ノ記入欄ヲ設ケタル補箋ヲ貼附セシメテ施封官吏之ニ記入ヲ爲シ第十四條ノ三ノ施封貨車積貨物目錄ノ之ヲ省略セシムルコトヲ得

第十六條　關釜連絡船船長ノ作リタル第十五條ノ移入手數未濟貨物及前條ノ貨物ノ運送目錄ハ式ニ依リ裏書ヲ爲シ又ハ稅關ノ認印ヲ得テ積荷目錄ノ提出ニ代ヘシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ運送目錄ハ貨物ノ陸揚ヲ爲スト同時ニ之ヲ發驛ニ送付セシメ發驛ヲシテ第八條第一號樣式ノ二ノ施封貨車積貨物目錄ニ通ヲ作リ一通ハ之ヲ稅關ニ提出セシメ他ノ一通ハ其ノ稅關ノ認印ヲ得テ發驛ニ送付セシムヘシ

第十七條　前條ノ目錄ニ記載ノ貨物中發驛ニ於テ積殘品ヲ生ジタルトキハ發驛ヲシテ第四號樣式ノ積殘品目錄二通ヲ作リ一通ハ之ヲ稅關ニ提出セシメ他ノ一通ハ其ノ稅關ノ認印ヲ得テ運送目錄ニ添附シ之ヲ署驛ニ送付セシムヘシ

前項ノ積殘品目錄ハ貨物ニ署驛ヲシテ第九條ニ依リ運送目錄提出ノ際之ヲ添附セシムヘシ

第十八條　前條ノ積殘品ニ付テハ第九條ニ準ジ署驛ヲシテ第五號樣式ノ追送目錄二通ヲ作リ一通ハ之ヲ稅關ニ提出セシメ他ノ一通ハ其ノ稅關ノ認印ヲ得テ之ヲ署驛ニ送付セシムヘシ

追送貨物署驛ニ到達シタルトキハ署驛ヲシテ前項ニ依リ發驛ヨリ送付シタル追送目錄ト對照シ其ノ照合ヲ認メタル後之ニ貨物到達ノ裏書ヲ爲シ稅關ニ提出セシムヘシ

第十九條　第十六條乃至前條ノ規定ハ朝鮮總督府鐵道局ト朝鮮鐵道株式會社トノ契約ニ依ル朝鮮國有鐵道ト朝鮮鐵道トノ連帶運送貨物ニ之ヲ準用ス

附　則（大正九年八月總訓第三十三號）

本令ハ大正九年八月二十九日ヨリ之ヲ施行ス

（大正十二年三月總訓第十六號ヲ以大正十二年四月一日ヨリ施行）

（大正十三年九月總訓第四十六號ヲ以大正十二年十月一日ヨリ施行）

附　則（昭和二年十一月總訓第二十八號）

本令ハ昭和二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

（第一號樣式）

裏面

發送地稅關　受付番號……　陸路運送目錄　到達地稅關　受付番號……

發驛……著驛……　發車時……

列車番號……

貨車番號	通運送書番號	仕出地	記號番號	包裝種類及箇數	品名	數量	人受荷	備考

本目錄ニ仍リ到達セル貨物ニ該當スル表記貨物ヲ提出ス

到達時……日

目錄提出年月日……

著驛長驛長捺印……

目錄ニ裏書ヲ爲シタル後其ノ一通ヲ稅關ニ留メ他ノ二通ハ之ヲ發驛ニ還付シテ著驛ニ送付セシムヘシ

第九條　貨物著驛ニ到達シタルトキハ著驛ヲシテ前條ニ依リ發驛ヨリ送付シタル運送目錄ト對照シ其ノ照合ヲ認メタルトキハ之ニ貨物到達ノ裏書ヲ爲シ稅關ニ提出セシムヘシ

第十條　前條ノ運送目錄ニ記載シタル貨物ノ全部ニ付符合ヲ認メタルトキハ稅關ハ其ノ目錄二通ノ内一通ニ運送濟ノ裏書ヲ爲シ之ヲ著驛ニ還付スヘシ但シ稅關ハ必要ニ應シ運送目錄ノ還付ニ代ヘテ貨物發送地ノ稅關ニ宛テタル運送濟通知書ヲ著驛ニ交付スルコトヲ得

前項ニ依リ還付又ハ交付ヲ爲シタル運送目錄又ハ運送濟通知書ハ著驛ヲシテ直ニ發驛ニ送付セシメ發驛ヲシテ之ヲ稅關ニ提出シ運送濟ノ證明ヲ爲サシムヘシ

第十一條　著驛ニ到達シタル貨物鐵道ト關釜連絡船只外ノ船舶ノ連帶運送ニ依リ内地ニ向ケ運送スルモノナルトキハ第九條ニ依リ著驛ヨリ提出スル運送目錄ハ船長ヲシテ式ニ依リ裏書ヲ爲サシメ海路運送申告及海路運送目錄ノ提出ニ代ヘシムヘシ

前項ノ海路運送申告ニ對シ発許ヲ爲シタルトキハ稅關ハ運送目錄ノ内一通ニ運送免許ノ裏書ヲ爲シ運送免狀トシテ之ヲ船長ニ交付スヘシ

第二節　輸出又ハ積戻手數濟貨物

第十二條　輸出手數濟又ハ積戻手數濟ノ鐵道連帶運送貨物運送ノ場合ハ發驛ヲシテ輸出免狀又ハ積戻免狀ヲ貨主ヨリ受取リ其ノ餘白又ハ裏面ハ驛長印ヲ押捺シテ運送目錄ニ代用セシメ稅關官吏ノ認可ヲ得テ貨物ト共ニ之ヲ著驛ニ送付セシムヘシ

第十三條　貨物著驛ニ到達シタルトキハ著驛ヲシテ前條ニ依リ發驛ヨリ送付シタル輸出免狀又ハ積戻免狀ノ餘白又ハ裏面ニ貨物到達ノ日時ヲ記入シ驛長印ヲ押捺シテ之ヲ稅關ニ提出セシムヘシ

日錄提出年月日……　發驛長驛長印捺……

（備考）

一　輪廓及用紙ノ寸法

輪廓ハ縦六寸四分横九寸三分紙幅ハ縦八寸八分横一尺一寸トス

二　紙質及用紙製式

紙質ハ八十斤模造紙及薄様トシ模造紙二葉ノ上ニ薄様二葉ヲ重ネタル三葉（各葉左端ニ前記ノ寸法ノ外適宜ノ綴代ヲ附シ打抜ヲ施スモノトス）ヲ以テ一組トシ表面様式ハ各葉ニ、裏面様式ハ一組毎ニ最下部ノ一葉ニ之ヲ印刷シ百組ヲ一冊ニ綴リ其ノ表紙ニハ二百五十斤模造紙ヲ用ヰ之ニ「陸路運送日錄用紙」ノ文字ヲ印刷スルモノトス

三　刷色ハ表紙ヲ除クノ外紫トス

日錄ノ作成及取扱方

日錄ノ作成ニハ炭酸紙ヲ使用シ其ノ薄様ノモノハ作成者ノ控用トシ他ハ第六條第一項ノ規定ニ依リ裏書様式ノ印刷ナキモノヲ稅關ニ提出シ他ノ一葉ヲ著驛ニ發付セシムルモノトス

（第二號様式）

運送申告年月日……　積荷目錄提出年月日……

鐵道連帶運送貨物運送日錄

發送地稅關	受付番號		到達地稅關	受付番號	
發驛	著驛		列車番號		
運送ノ目的			發車	日時	

貨車番號	運送通告番號	知	仕出地	記號番號	包裝種類及個數	類	品名	數量	價格	荷受人	備考
									圓		

（裏面）

（備考）

一　輪廓及用紙ノ寸法

第一號様式ニ同シ

二　紙質及用紙製式

紙質ハ八十斤模造紙及薄葉トシ模造紙各葉ノ上ニ薄葉一葉ツヽヲ重ネタル四葉（各葉左端ニ前記ノ寸法ノ外適宜ノ綴代ヲ附シ打抜ヲ施スモノトス）ヲ以テ一組トシ表面様式ハ各葉ニ、裏面様式ハ一組毎ニ最下部ノ一葉ニ之ヲ印刷シ百組ヲ一冊ニ綴リ其ノ表紙ニハ二百五十斤模造紙ヲ用ヰ之ニ「鐵道連帶運送貨物運送日錄用紙」ノ文字ヲ印刷スルモノトス

三　刷色ハ第一號様式ニ同シ

日錄ノ作成及取扱方

日錄ノ作成ニハ炭酸紙ヲ使用シ其ノ薄葉ノモノハ作成者ノ控用トシ他ハ第六條第一項ノ規定ニ依リ裏書様式ノ印刷ナキモノヲ稅關ニ提出シ他ノ一葉ヲ著驛ニ發付セシムルモノトス

（裏面）

表記貨物ハ本船積載貨物ノ内……驛ニ向ケ運送スヘキモノナルコトヲ申告ス

船名……入港日時……船長捺印……

表記貨物ノ運送ヲ申告ス

運送申告年月日……

發驛驛長捺印……

表記貨物當驛ニ到達セリ仍テ本日錄ヲ提出ス

到達日時……

日錄提出年月日……

著驛驛長捺印……

表記ノ貨物當驛ニ到達セリ更ニ……迄海路運送ヲ申告ス

到達日時……

著驛驛長捺印……

船名……

仕向港……

船長捺印……

運送免許年月日……

發送地稅關捺印……

表記貨物ノ運送濟ヲ認ム

年月日……

到達地稅關捺印……

海路運送免許年月日……

釜山稅關捺印……

第八條、第十條第一項、第十一條ノ二及第十六條第一項ノ規定ニ依ル驛長、船長又ハ稅關ノ裏書ハ裏面様式ノ印刷アル目錄ニ之ヲ轉シ薄葉ノ目錄ハ之ヲ發送地ノ稅關ニ留メ證クヘキモノトス

表面様式中運送車告年月日ハ發驛驛長ヲシテ記入セシメ積荷目錄提出年月日ハ關釜連格船船長ヲシテ第十六條第一項ノ規定ニ依リ稅關官吏ノ認印ヲ求メタル年月日ヲ記入セシムルモノトス

（第三號様式）削除

（第三號様式ノ二）

施封方法　稅關印

施封官吏印……

鐵道連帶運送貨車施封目錄

施封貨車番號　列車番號……

積込驛名……　發車日時……

運送通告書番號	知	發驛名	狀況發送出戻又ハ積換ノ番號	記號番號	包裝種類及個數	品名	數量	荷受人	備考

日錄提出年月日……　驛長捺印……

（備考）

一　輪廓及用紙ノ寸法

第一號様式ニ同シ

二　施封方法ノ記入ハ施封官吏之ヲ爲スヘキモノトス

（第四號様式）

發送地稅關　受付番號……　鐵道連帶運送貨物積殘品目錄　到達地稅關　受付番號……

發驛……著驛……

運送ノ目的……　發送地稅關　運送目錄受付番號……

運送通告書番號	知	仕出地	記號番號	包裝種類及個數	品名	數量	荷受人	備考

目錄提出年月日……　發驛驛長捺印……

（備考）

輪廓及用紙ノ寸法ハ第一號様式ニ同シ

（備考）

一　輪廓及用紙ノ寸法

輪廓ハ縦六寸四分横九寸三分紙幅ハ縦八寸八分横一尺一寸トス

二　紙質及用紙製式

紙質ハ八十斤模造紙及薄様トシ模造紙二葉ノ上ニ薄様二葉ヲ重ネタル三葉（各葉左端ニ前記ノ寸法ノ外適宜ノ綴代ヲ附シ打抜ヲ施スモノトス）ヲ以テ一組トシ表面様式ハ各葉ニ、裏面様式ハ一組毎ニ最下部ノ一葉ニ之ヲ印刷シ百組ヲ一冊ニ綴リ其ノ表紙ニハ二百五十斤模造紙ヲ用ヰ之ニ「陸路運送日錄用紙」ノ文字ヲ印刷スルモノトス

三　刷色ハ表紙ヲ除クノ外紫トス

日錄ノ作成及取扱方

日錄ノ作成ニハ炭酸紙ヲ使用シ其ノ薄様ノモノハ作成者ノ控用トシ他ハ第六條第一項ノ規定ニ依リ裏書様式ノ印刷ナキモノヲ稅關ニ提出シ他ノ一葉ヲ著驛ニ發付セシムルモノトス

（第二號様式）

運送申告年月日……　積荷目錄提出年月日……

鐵道連帶運送貨物運送日錄

發送地稅關	受付番號		到達地稅關	受付番號	
發驛	著驛		列車番號		
運送ノ目的			發車	日時	

貨車番號	運送通告番號	知	仕出地	記號番號	包裝種類及個數	類	品名	數量	價格	荷受人	備考
									圓		

（裏面）

（備考）

一　輪廓及用紙ノ寸法

第一號様式ニ同シ

二　紙質及用紙製式

紙質ハ八十斤模造紙及薄葉トシ模造紙各葉ノ上ニ薄葉一葉ツヽヲ重ネタル四葉（各葉左端ニ前記ノ寸法ノ外適宜ノ綴代ヲ附シ打抜ヲ施スモノトス）ヲ以テ一組トシ表面様式ハ各葉ニ、裏面様式ハ一組毎ニ最下部ノ一葉ニ之ヲ印刷シ百組ヲ一冊ニ綴リ其ノ表紙ニハ二百五十斤模造紙ヲ用ヰ之ニ「鐵道連帶運送貨物運送日錄用紙」ノ文字ヲ印刷スルモノトス

三　刷色ハ第一號様式ニ同シ

日錄ノ作成及取扱方

日錄ノ作成ニハ炭酸紙ヲ使用シ其ノ薄葉ノモノハ作成者ノ控用トシ他ハ第八條第一項ノ規定ニ依リ稅關ニ提出セシムルモノトス

（第四十七號）

（表面）

鐵道地受付番號……　鐵道運賃還付請求書

鐵路……驛

運送ノ目的……

發送地　驛　發送年月日……

發送人　住所又ハ居所……　氏名……

到達地　驛　到達年月日……

貨車　運送申込ノ通リ　貨車番號……

（裏面）

品名	荷造ノ種類	個數	重量	運賃	割増運賃	雑費	合計

（備考）

一、還付請求ハ發送人ヨリ發送地ノ驛ニ對シテ之ヲ爲スヘシ

二、還付請求ハ發送人ノ住所又ハ居所ヲ管轄スル地方裁判所ノ管轄ニ屬ス

三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

四十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

四十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

四十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

四十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

四十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

四十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

四十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

四十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

四十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

四十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

五十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

五十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

五十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

五十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

五十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

五十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

五十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

五十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

五十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

五十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

六十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

六十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

六十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

六十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

六十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

六十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

六十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

六十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

六十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

六十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

七十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

七十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

七十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

七十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

七十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

七十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

七十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

七十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

七十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

七十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

八十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

八十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

八十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

八十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

八十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

八十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

八十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

八十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

八十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

八十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

九十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

九十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

九十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

九十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

九十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

九十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

九十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

九十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

九十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

九十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百二十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百二十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百二十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百二十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百二十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百二十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百二十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百二十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百二十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百二十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百三十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百三十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百三十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百三十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百三十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百三十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百三十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百三十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百三十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百三十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百四十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百四十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百四十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百四十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百四十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百四十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百四十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百四十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百四十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百四十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百五十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百五十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百五十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百五十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百五十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百五十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百五十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百五十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百五十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百五十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百六十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百六十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百六十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百六十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百六十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百六十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百六十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百六十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百六十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百六十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百七十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百七十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百七十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百七十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百七十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百七十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百七十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百七十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百七十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百七十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百八十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百八十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百八十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百八十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百八十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百八十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百八十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百八十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百八十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百八十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百九十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百九十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百九十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百九十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百九十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百九十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百九十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百九十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

百九十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

百九十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百二十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百二十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百二十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百二十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百二十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百二十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百二十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百二十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百二十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百二十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百三十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百三十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百三十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百三十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百三十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百三十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百三十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百三十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百三十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百三十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百四十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百四十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百四十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百四十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百四十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百四十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百四十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百四十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百四十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百四十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百五十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百五十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百五十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百五十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百五十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百五十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百五十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百五十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百五十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百五十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百六十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百六十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百六十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百六十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百六十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百六十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百六十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百六十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百六十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百六十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百七十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百七十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百七十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百七十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百七十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百七十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百七十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百七十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百七十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百七十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百八十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百八十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百八十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百八十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百八十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百八十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百八十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百八十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百八十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百八十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百九十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百九十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百九十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百九十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百九十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百九十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百九十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百九十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

二百九十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

二百九十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三百、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三百一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三百二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三百三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三百四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三百五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三百六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三百七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三百八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三百九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三百十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三百十一、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三百十二、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三百十三、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三百十四、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三百十五、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三百十六、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三百十七、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三百十八、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三百十九、還付請求ハ貨車ノ到達ノ日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三百二十、還付請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

三百二十一、還付請求ハ貨車ノ

（昭和十年八月總督第四百六十五號ヲ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十年九月總督第五百十號ヲ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十年十月總督第六百三號ヲ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十年十二月總督第七百六號ヲ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年一月總督第三十四號ヲ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十一年四月總督第二百八十號ヲ同年六月一日ヨリ施行）

●朝鮮私設鐵道令

大正九年六月制令第八號

朝鮮私設鐵道令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮私設鐵道令

第一條　鐵道ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外地方鐵道法ニ供ル但シ同法中地方鐵道トアルハ私設鐵道、地方鐵道業者トアルハ私設鐵道業者、地方鐵道會社トアルハ私設鐵道會社、鐵道長官トアルハ朝鮮總督、大臣トアルハ朝鮮總督トス

私設鐵道業者カ運送營業ノ爲支線ヲ敷設スルトキハ公衆ノ用ニ供セサル場合ト雖本令ヲ適用ス

私人カ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二條　私設鐵道ノ軌間ハ四呎八吋半トス特別ノ場合ニ在リテハ二呎六吋又ハ三呎六吋トス

第三條　私設鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル爲其ノ資本ヲ增加スルコトヲ得但シ軌道會社ニ非サル會社カ兼業トシテ地方鐵道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　地方鐵道會社ハ株金全額拂込前ト雖監督官廳ノ認可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル爲其ノ資本ヲ增加スルコトヲ得但シ軌道會社ニ非サル會社カ兼業トシテ地方鐵道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　地方鐵道會社ハ株金ノ第一回拂込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得但シ兼業トシテ地方鐵道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　地方鐵道會社ハ株金ノ四分ノ一以上ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ募集スルコトヲ得

社債ノ額ハ鐵道抵當法ニ依ル債務ノ額ト併セテ總株金拂込額ヲ超ユルコトヲ得但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ヲ算入セス

第八條　鐵道及其ノ附屬物件ハ鐵道抵當法ニ依ル一非サレハ之ヲ擔保ト爲スコトヲ得

第九條　削除

第十條　地方鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得但シ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ免許ニ關スル權利義務ヲ承繼ス

第十一條　免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

第十二條　地方鐵道業ヲ營マムトスル者ハ左ノ書類及圖面ヲ提出シ主務大臣ノ免許ヲ受クルコトヲ得

一　事業目論見書
二　線路豫測圖
三　建設費概算書
四　運轉營業上ノ收支概算書

免許ニハ工事施行ノ認可ヲ申請スヘキ期限ヲ附ス

第十三條　免許ヲ受ケタル者ハ左ノ書類及圖面ヲ監督官廳ニ提出シ工事施行ノ認可ヲ受クヘシ

一　線路實測圖
二　工事方法書
三　建設費豫算書
四　免許ヲ受ケタル者カ會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社ノ設立發起顚末書

第十四條　地方鐵道業者ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限リ第十二條第二項又ハ前條第二項ノ規定ニ依リテ附セラレタル期限ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

第十五條　左ニ揭ケル土地ヲ以テ鐵道用地トス

一　線路用地
二　停車場、信號所、車庫及貨物庫等ノ建設ニ要スル土地
三　鐵道專用ニ供スル發電所、變電所及配電所等ノ建設ニ要スル土地
四　鐵道構內ニ職務上常住ヲ要スル鐵道係員ノ舍宅及運轉保線ノ職務ニ從事スル鐵道係員ノ駐在所等ノ建設ニ要スル土地
五　鐵道ニ要スル車輛、器具、機械ヲ修理製作スル工場及其ノ資材、器具、機械ヲ貯藏スル倉庫等ノ建設ニ要スル土地

第十六條　道路、橋梁、河川、運河及溝渠等ニ關スル工事ノ施設ハ所管行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十七條　政府又ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ於テ地方鐵道ニ接續シ若ハ之ヲ橫斷シテ鐵道若ハ軌道ヲ敷設シ又ハ地方鐵道ニ接近シ若ハ之ヲ橫斷シテ道路、橋梁、河川、運河及溝渠等ヲ造設スルトキハ地方鐵道業者ハ其ノ工事、運轉又ハ設備使用ノ停止ヲ命スルコトヲ得

監督官廳ハ地方鐵道業者又ハ其ノ役員若ハ使用人ニ說明ヲ求メ帳簿、書類及圖面ヲ檢閱スルコトヲ得

第十八條　地方鐵道業者ハ地方鐵道ノ監督事務ニ關シ往復スル吏員ニシテ監督官廳ノ發行スル證票ヲ携帶スル者ヲ無賃ニテ乘車セシムヘシ

第十九條　主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ地方鐵道業者ニ他ノ鐵道又ハ軌道トノ連絡運輸又ハ直通運輸ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ設備ノ共用又ハ變更、運輸ノ手續、運賃ノ割合及費用ノ負擔ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第二十條　地方鐵道業者ハ監督官廳ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ鐵道ノ讓渡又ハ譲受、賃貸又ハ運轉ノ管理ノ委託若ハ受託ヲ爲スコトヲ得

營業又ハ運轉ノ管理ノ委託ヲ受ケタル地方鐵道業者ハ其ノ管理ニ付監督官廳ニ對シ委託ヲ爲シタル者ト共ニ其ノ責ニ任ス

第二十一條　地方鐵道業者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ運輸營業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ス

地方鐵道會社ノ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十二條　主務大臣ハ地方鐵道ノ會計及運貨ノ割引ニ關シ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第二十三條　地方鐵道業者ハ法令ノ定ムル所ニ依リ平時及戰時ニ於テ鐵道ヲ軍用ニ供スル義務ヲ負フ

第二十四條　政府カ公益上ノ必要ニ因リ地方鐵道（工事中ノ線路ヲ含ム）ノ全部又ハ一部及其ノ附屬物件ヲ買收セムトスルトキハ地方鐵道業者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リテ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコトヲ得サルトキハ其ノ殘存線路及其ノ附屬物件ノ買收ヲ申請スルコトヲ得

第二十五條　買收價額ハ左ニ揭ケルモノトス

一　最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含ム開業線路ニ付テハ其ノ營業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル開業線建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ノ乘シタル額ヲ二十倍シタル金額

二　最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含マサル開業線路ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額

三　開始ニ至ラサル改良施設ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額

前項第一號ノ規定ニ依ル金額カ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額ニ達セサルトキハ其ノ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收價額トス

第二十六條　前條ノ規定ニ依リ社債ヲ募集スル場合ニ於テハ社債ノ總額ハ朝鮮財團抵當令ニ依ル債務ノ額ト令セテ總株金拂込額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ヲ算入セス

第二十七條　削除

第二十八條　削除

第二十九條　削除

第三十條　削除

第三十一條　買收價額ハ左ニ揭ケルモノトス

一　最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含ム開業線路ニ付テハ其ノ營業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル開業線建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ノ乘シタル額ヲ二十倍シタル金額

二　最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含マサル開業線路ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額

三　開始ニ至ラサル改良施設ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額

前項第一號ノ規定ニ依ル金額カ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收價額トス

第三十二條　前條ノ規定ニ於テ益金トハ營業收入ヨリ營業費及貸與金ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合トハ三年間ニ於ケル每營業年度末ノ開業線建設費ニ對スル益金ノ合計ヲ除シタル同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノヲ一年間ニ於ケル營業年度ノ數ヲ乘シタルモノヲ謂フ

建設費、營業收入及營業費ハ命令ノ定ムル所ニ依リテ算出シタル金額ニ依ル

第三十三條　政府ノ買收スル鐵道又ハ其ノ附屬物件ニ付買收ノ日ニ於テ補修ヲ要スルモノアルトキハ之ニ要スル金額ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シ買收價額ヨリ控除ス

最近ノ營業年度末迄ニ爲スヘキ補修ヲ其ノ營業年度末迄ニ爲ササリシトキハ前項ノ規定ニ依リ社債ヲ發行スル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ定款ニ記載シ且株式申込證ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　後配株ノ種類及其ノ各種ノ株式ノ數
二　後配株ノ利益配當ニ關スル事項
三　延長線ノ工事ノ大要殊ニ其ノ開業豫定時期

第六條ノ四　後配株ノ發行ニ依リテ得タル資金ハ當該線路延長ノ費用以外ニ之ヲ充ツルコトヲ得ス

會社カ後配株ヲ發行シタル場合ニ於テ定款又ハ株式申込證ニ記載シタル事項ニ付特ニ後配株主ニ不利益ナル變更ヲ爲サムトスルトキハ後配株主總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス但シ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テ裁判所ノ許可アルトキハ此ノ限ニ在ラス

後配株主總會ニハ株主總會ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條ノ五　商法第百九十七條但書、第二百十二條ノ三第二項、第二百十七條第一項第四號及第二百十八條第二項ノ規定ハ後配株ニ付之ヲ準用ス

第七條　地方鐵道會社ノ社債ハ總株金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ募集スルコトヲ得ス

社債ノ額ハ鐵道抵當法ニ依ル債務ノ額ト併セテ總株金拂込額ヲ超ユルコトヲ得但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ヲ算入セス

第八條　鐵道及其ノ附屬物件ハ鐵道抵當法ニ依ル一非サレハ之ヲ擔保ト爲スコトヲ得ス

第九條　削除

第十條　地方鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得但シ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ免許ニ關スル權利義務ヲ承繼ス

第十一條　免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

第十二條　地方鐵道業ヲ營マムトスル者ハ左ノ書類及圖面ヲ提出シ主務大臣ノ免許ヲ受クルコトヲ得

●朝鮮私設鐵道及大正九年制令第九號施行期日

大正九年十一月勅令第百七十一號

朝鮮私設鐵道令及大正九年制令第九號ハ大正九年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

●地方鐵道法

大正八年四月法律第五十二號

脫帝國議會ノ協賛ヲ經タル地方鐵道法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

地方鐵道法

第一條　本法ハ軌道法ニ規定スルモノヲ除クノ外道府縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人カ公衆ノ用ニ供スル爲敷設スル地方鐵道ニ之ヲ適用ス

地方鐵道業者カ運送營業ノ爲支線ヲ敷設スルトキハ公衆ノ用ニ供セサル場合ト雖本法ヲ適用ス

道府縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人カ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニシテ政府ノ鐵道又ハ地方鐵道ニ接續スルモノニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條　地方鐵道ハ人力又ハ馬力其ノ他之ニ類スルモノヲ以テ動力ト爲スコトヲ得ス

第三條　地方鐵道ノ軌間ハ三呎六吋トス特別ノ場合ニ在リテハ四呎八吋半又ハ二呎六吋トス

前項ノ軌間ノ制限ハ命令ヲ以テ定ムル特殊ノ地方鐵道ニ付テハ之ヲ適用セス

第四條　地方鐵道ハ之ヲ道路ニ敷設スルコトヲ得但シ已ムコトヲ得サル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條　地方鐵道會社ノ株金ノ第一回拂込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得但シ兼業トシテ地方鐵道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　地方鐵道會社ハ株金全額拂込前ト雖監督官廳ノ認可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル爲其ノ資本ヲ增加スルコトヲ得但シ軌道會社ニ非サル會社カ兼業トシテ地方鐵道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條ノ二　地方鐵道會社ハ線路延長ノ費用ニ充ツル爲其ノ資本ヲ增加スル場合ニ限リ監督官廳ノ認可ヲ受ケ利益配當ニ關シ一定ノ期間内普通株ニ劣ル株式（後配株）ヲ發行スルコトヲ得

第六條ノ三　後配株ヲ發行スル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ定款ニ記載シ且株式申込證ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　後配株ノ種類及其ノ各種ノ株式ノ數
二　後配株ノ利益配當ニ關スル事項
三　延長線ノ工事ノ大要殊ニ其ノ開業豫定時期

第六條ノ四　後配株ノ發行ニ依リテ得タル資金ハ當該線路延長ノ費用以外ニ之ヲ充ツルコトヲ得ス

會社カ後配株ヲ發行シタル場合ニ於テ定款又ハ株式申込證ニ記載シタル事項ニ付特ニ後配株主ニ不利益ナル變更ヲ爲サムトスルトキハ後配株主總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス但シ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テ裁判所ノ許可アルトキハ此ノ限ニ在ラス

後配株主總會ニハ株主總會ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條ノ五　商法第百九十七條但書、第二百十二條ノ三第二項、第二百十七條第一項第四號及第二百十八條第二項ノ規定ハ後配株ニ付之ヲ準用ス

第七條　地方鐵道會社ノ社債ハ總株金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ募集スルコトヲ得ス

社債ノ額ハ鐵道抵當法ニ依ル債務ノ額ト併セテ總株金拂込額ヲ超ユルコトヲ得但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ヲ算入セス

第八條　鐵道及其ノ附屬物件ハ鐵道抵當法ニ依ル一非サレハ之ヲ擔保ト爲スコトヲ得ス

第九條　削除

第十條　地方鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得但シ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ免許ニ關スル權利義務ヲ承繼ス

第十一條　免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

第十二條　地方鐵道業ヲ營マムトスル者ハ左ノ書類及圖面ヲ提出シ主務大臣ノ免許ヲ受ケ

得ヘキ場合ニ於テハ必要アリト認ムルトキハ其ノ工事、運轉又ハ設備使用ノ停止ヲ命スルコトヲ得

監督官廳ハ地方鐵道業者又ハ其ノ役員若ハ使用人ニ說明ヲ求メ帳簿、書類及圖面ヲ檢閱スルコトヲ得

第十八條　地方鐵道業者ハ地方鐵道ノ監督事務ニ關シ往復スル吏員ニシテ監督官廳ノ發行スル證票ヲ携帶スル者ヲ無賃ニテ乘車セシムヘシ

第十九條　主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ地方鐵道業者ニ他ノ鐵道又ハ軌道トノ連絡運輸又ハ直通運輸ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ設備ノ共用又ハ變更、運輸ノ手續、運賃ノ割合及費用ノ負擔ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第二十條　地方鐵道業者ハ監督官廳ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ鐵道ノ讓渡又ハ譲受、賃貸又ハ運轉ノ管理ノ委託若ハ受託ヲ爲スコトヲ得ス

營業又ハ運轉ノ管理ノ委託ヲ受ケタル地方鐵道業者ハ其ノ管理ニ付監督官廳ニ對シ委託ヲ爲シタル者ト共ニ其ノ責ニ任ス

第二十一條　地方鐵道業者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ運輸營業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ス

地方鐵道會社ノ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十二條　主務大臣ハ地方鐵道ノ會計及運貨ノ割引ニ關シ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第二十三條　地方鐵道業者ハ法令ノ定ムル所ニ依リ平時及戰時ニ於テ鐵道ヲ軍用ニ供スル義務ヲ負フ

第二十四條　政府カ公益上ノ必要ニ因リ地方鐵道（工事中ノ線路ヲ含ム）ノ全部又ハ一部及其ノ附屬物件ヲ買收セムトスルトキハ地方鐵道業者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リテ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコトヲ得サルトキハ其ノ殘存線路及其ノ附屬物件ノ買收ヲ申請スルコトヲ得

第二十五條　買收價額ハ左ニ揭ケルモノトス

一　最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含ム開業線路ニ付テハ其ノ營業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル開業線建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ノ乘シタル額ヲ二十倍シタル金額

二　最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含マサル開業線路ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額

三　開始ニ至ラサル改良施設ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額

前項第一號ノ規定ニ依ル金額カ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額ニ達セサルトキハ其ノ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收價額トス

第二十六條　前條ノ規定ニ依リ社債ヲ募集スル場合ニ於テハ社債ノ總額ハ朝鮮財團抵當令ニ依ル債務ノ額ト令セテ總株金拂込額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ヲ算入セス

第二十七條　削除

第二十八條　削除

第二十九條　削除

第三十條　削除

第三十一條　買收價額ハ左ニ揭ケルモノトス

一　最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含ム開業線路ニ付テハ其ノ營業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル開業線建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ノ乘シタル額ヲ二十倍シタル金額

二　最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含マサル開業線路ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額

三　開始ニ至ラサル改良施設ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額

前項第一號ノ規定ニ依ル金額カ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收價額トス

第三十二條　前條ノ規定ニ於テ益金トハ營業收入ヨリ營業費及貸與金ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合トハ三年間ニ於ケル每營業年度末ノ開業線建設費ニ對スル益金ノ合計ヲ除シタル同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノヲ一年間ニ於ケル營業年度ノ數ヲ乘シタルモノヲ謂フ

建設費、營業收入及營業費ハ命令ノ定ムル所ニ依リテ算出シタル金額ニ依ル

第三十三條　政府ノ買收スル鐵道又ハ其ノ附屬物件ニ付買收ノ日ニ於テ補修ヲ要スルモノアルトキハ之ニ要スル金額ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シ買收價額ヨリ控除ス

最近ノ營業年度末迄ニ爲スヘキ補修ヲ其ノ營業年度末迄ニ爲ササリシトキハ前項ノ規

定ニ依ルノ外之ニ要スル金額ヲ買收價額計算上ノ資産ニ加算ス

第三十四條　買收ヲ受ケヘキ地方鐵道業者カ會業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ會業ニ屬スル資産ヲ併セテ買收スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ買收價格ハ協定ニ依ル

第三十五條　買收代價ハ券面金額ニ依リ五十五年内ニ償還スヘキ五分利付國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス此ノ場合ニ於テ五十圓未滿ノ端數ハ之ヲ券面金額五十圓トス

第三十五條ノ二　政府ハ買收ノ日ヨリ買收代價交付ノ日ニ至ル迄買收代價トシテ交付スヘキ國債ノ利子ニ相當スル金額ヲ概算ヲ以テ從前ノ決算期毎ニ買收セラレタル者ニ交付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ交付シタル金額ハ清算中ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ株主ニ配當スルコトヲ得

第三十五條ノ三　第三十條第一項ノ規定ニ依リテ一部買收セラレタル殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ地方鐵道業者ハ未タ運轉開始ニ至ラサル殘存線路ニ付其ノ營業廢止ニ因リテ生スル損失ノ補償ヲ申請スルコトヲ得

第三十六條　政府ニ於テ地方鐵道ニ接近シ又ハ竝行シテ敷設シタル爲地方鐵道業者カ其ノ接近シ又ハ竝行スル區間ノ營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ政府ハ其ノ營業廢止ニ因リテ生スル損失ヲ補償スルコトヲ能ハサルニ至リタルトキ亦同シ

前項ノ規定ハ未タ運轉開始ニ至ラサル線路ニ付之ヲ準用ス

第三十六條ノ二　前二條ノ補償金額ハ第三十一條乃至第三十三條ノ規定ニ準シテ算出シタル金額ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シ國債證券面金額ニ換算シタル金額ヲ控除シタル殘額以内ニ於テ政府之ヲ定ム

未タ工事ニ著手セサル線路ニ對スル補償金額ハ測量其ノ他ノ費用ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シタル殘額ヲ時價ニ依リテ國債證券面金額ニ換算シタル金額以内ニ於テ政府之ヲ定ム

第三十七條　地方長官ハ免許申請書ニ左ノ事項ニ關スル調査書及免許ノ許否ニ關スル意見書ヲ附シ之ヲ進達スヘシ

一　申請者ノ資産及信用程度

二　事業ノ成否

三　事業ノ效用

四　他ノ鐵道又ハ軌道若ハ運河及ホス影響

五　他ノ鐵道又ハ軌道ノ競願アルトキハ其ノ鐵道又ハ軌道ノ名稱、區間及申請書ノ受附年月日

六　其ノ他必要ト認ムル事項

前條第一項但書ノ場合ニ於テハ免許申請書ヲ受附タル地方長官ハ關係地方長官ニ商議シ前項ノ調査書及意見書ヲ作製スヘシ

第三條　私設鐵道經營ノ免許申請書ニハ左ノ書類ヲ添附シ申請者又ハ其ノ代理人記名捺印スヘシ但シ代理權ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

一　會社ニ在リテハ組合契約書ノ謄本

二　會社ヲ設立セムトスルモノニ在リテハ定款ノ謄本

三　既設會社ニ在リテハ私設鐵道ノ營業目的トスルモノヲ除クノ外定款及登記謄本

第四條　起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　目的

二　商號又ハ名稱及主タル事務所ノ設置地

三　鐵道事業ニ要スル資金ノ總額及其ノ出資方法

四　線路ノ起終點及其ノ經過スヘキ上ナル地名竝線路ノ一部ヲ道路ニ敷設セムトスルトキハ其ノ區間、道路ノ種別及其ノ必要ナル事由

五　軌間

六　單線、複線ノ別

動力　（削除）

七　（削除）

第五條　線路豫測圖ハ左ノ二種トス

一　平面圖

縮尺ハ五萬分一以上トシ線路經過地ノ地名及地勢、停車場ノ位置及名稱竝一哩毎ニ哩程ヲ記シ方位ヲ示スヘシ

二　縱斷面圖

縮尺ハ距離ヲ五萬分一以上、高サヲ三千六百分一以上トシ中心線地面及施工基面ノ高低ヲ示シ隧道及橋梁ノ長、線路ノ勾配竝停車場ノ位置及名稱ヲ記スヘシ

第六條　建設費ノ概算書ハ第一號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第七條　運送營業上ノ收支概算書ハ第二號樣式ニ依リ之ヲ調製シ第三號樣式ニ依ル運轉數量表ヲ添附スヘシ

第八條　免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人又ハ組合ノ組合員ノ加入又ハ脫退ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケヘシ但シ死亡ニ因ル脫退ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ他ノ發起人又ハ合員ヨリ遲滯ナク之ヲ屆出ツヘシ

第九條　免許ヲ受ケタル後工事施行ノ認可ヲ受ケル前ニ於テ起業目論見書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘシ但シ商號又ハ名稱、主タル事務所ノ設置地及電力供給者ノ變更ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ遲滯ナク之ヲ屆出ツヘシ

第十條　二道以上ニ亙ル鐵道ノ工事施行ノ認可申請ヲ爲サムトスルトキハ其ノ關係部分ニ對スル書類及圖面ノ謄本ヲ調製シ起點所在地ノ地方長官ヲ經由スル地方長官ヲ除ク外之ヲ提出スヘシ

第十一條　線路實測圖ハ左ノ二種トス

一　平面圖

縮尺ハ一哩三十鎖以上トシ線路ノ左右各十鎖以内ノ地勢ヲ明ニシ其ノ他附近ノ市街、村落、社寺、名勝、舊蹟、公園、道路、鐵道、軌道、山岳、河川（削除）、（削除）、運河、港灣、要塞地等ヲ記シ道、府、郡、面ノ境界及方位ヲ示スヘシ

線路中心線ニハ半哩毎ニ哩程ヲ記シ曲線ノ半徑及緩和曲線ノ長ヲ明ニシ勾配ヲ示スヘシ

停車場、停留場及信號所ノ位置、名稱及中心哩程ヲ記スヘシ

二　縱斷面圖

縮尺ノ長ハ平面圖ト同一ニシテ高ハ一哩百五十呎以上トシ中心線地面及施工基面ノ高低竝築堤ノ高及切取ノ深サ十鎖毎ニ記シ隧道ノ長、橋梁（橋脚ノ高サヲ含ム）ノ徑間、徑間數及總長（兩端ノ距離）、桁ノ種類及材質、徑間、停車場、停留場及信號所ノ名稱及中心哩程、重要ナル踏切道竝線路ノ勾配ヲ記スヘシ

線路カ他ノ鐵道又ハ軌道ト交又、連絡又ハ接近スルトキハ其ノ鐵道又ハ軌道ノ前後各半哩間ノ中心線及高低ノ關係ヲ明ニスヘシ

線路カ市街地ヲ通過シ又ハ之ニ接近スルトキハ別ニ縮尺一哩三鎖ノ平面圖及縮尺長一哩三鎖高一哩三十呎ノ縱斷面圖ヲ添附スヘシ

第十二條　工事方法書ニハ左ノ實施設計ヲ記載スヘシ

一　軌間

二　單線、複線等ノ別及其ノ區間

三　軌道ノ中心間隔

四　建築定規及車輛定規（各部寸法、兩定規間ノ關係及建築定規ニ依リ明示スヘキ部分ノ明細ヲ記スヘシ）

五　最小曲線半徑

六　最急勾配

七　土工定規（第四號樣式ニ依リ明示スヘキ部分ノ明細ヲ記スヘシ）

（イ）線路施工基面ノ幅員（築堤ノ場合ニ於テハ法敷ヲ除ク）、勾配（築堤及切取ノ場合ニ於ケル小段ノ位置及幅員ヲ含ム）

（ロ）築堤及切取斜面ノ勾配

（ハ）用地ノ限界（築堤及切取ノ場合ニ於テハ法敷ノ外端ヨリ、柵又ハ溝ヲ設クルモノニ在リテハ其ノ柵又ハ溝ノ外側ヨリ、其ノ他ノ場合ニ於テハ境界ヲ標スル杭ノ位置ヨリ、何レモ一定ノ距離ヲ取リ、其ノ距離ノ終點ヲ連ネタル線ヲ以テ用地ノ限界トス）

八　橋梁、橋臺、橋脚（組石積、煉瓦積、混凝土積、木造等ノ別ヲ記載スルコト）

（イ）橋臺、橋脚

（ロ）基礎（構造ノ種類及基礎ノ深サヲ明ニスルコト）

（ハ）桁（構造ノ種類及桁ノ長ヲ明ニスルコト）

（ニ）拱（構造ノ種類及拱ノ徑間ヲ明ニスルコト）

（ホ）橋梁ノ所定勤荷重及桁ノ最大應力（第三號樣式ニ依リ明示スヘキ部分ノ明細ヲ記スヘシ）

（ヘ）重要ナル架橋河川ノ平水位、最高水位、架設後ニ於ケル最高水位及其ノ水位ト桁ノ下端トノ距離（架設地點ノ勾配及上流ニ於ケル流域面積ヲ以テ記載スルコト）

（イ）乃至（ニ）ニ付テハ各部ノ材質及構造寸法ヲ示ス設計圖竝ニ徑間配置圖ヲ添附スル橋梁ニ在リテハ徑間配置圖ヲ各橋梁毎ニ添附スヘシ但シ橋範設計ヲ定メタル適用スヘキ箇所ヲ示シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十　隧道

（イ）各其ノ地質ニ應スル施工斷面圖（拱、側壁、仰拱ノ厚サ及材質ヲ明ニスルコト）

（ロ）軌條、轍樁器、轍叉及枕木

（イ）軌條ノ重量（重量ノ異ナル軌條ノ用區間ヲ明示スルコト）

（ロ）軌條及附屬品ノ材質及形狀（附屬品ハ別ニ寸法圖ヲ添フルコト）

（ハ）轍樁器及轍叉ノ構造（轍叉ニ在リテハ轍叉ノ角度及轍叉ノ番數ヲ明ニスルコト）

（ニ）枕木ノ寸法及敷設間隔（軌條直下ノ枕木ノ寸法ヲ明記スルコト）

（ホ）建造物、配線、用地境界及實測中心哩程（本線ノ停車場、信號所、分岐線ノ連絡點、給水及給炭設備ノ位置、其ノ他必要ナル事項ヲ記入スヘシ）

（ヘ）道床（道床ノ種類及厚サヲ明ニスルコト）

（ト）排水（排水ノ種類及排水溝ノ位置ヲ明ニスルコト）

（チ）境界杭（境界杭ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

（リ）踏切道（踏切道ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

（ヌ）柵（柵ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

（ル）架道橋（架道橋ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

（ヲ）其ノ他ノ建造物

（ワ）電氣鐵道ニ在リテハ電氣ノ種類及電壓

（カ）電車線（電車線ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

（ヨ）動力發生所（動力發生所ノ位置及名稱ヲ明ニスルコト）

（タ）變電所（變電所ノ位置及名稱ヲ明ニスルコト）

（レ）饋電線（饋電線ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

（ソ）信號保安裝置（信號保安裝置ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

（ツ）通信線（通信線ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

（ネ）運轉保安裝置（運轉保安裝置ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

（ナ）車輛（車輛ノ種類及數ヲ明ニスルコト）

（ラ）運轉方法（運轉方法ノ概要ヲ明ニスルコト）

十一　軌條、轍樁器、轍叉及枕木

（イ）軌條ノ重量（重量ノ異ナル軌條ノ用區間ヲ明示スルコト）

（ロ）軌條及附屬品ノ材質及形狀（附屬品ハ別ニ寸法圖ヲ添フルコト）

（ハ）轍樁器及轍叉ノ構造（轍叉ニ在リテハ轍叉ノ角度及轍叉ノ番數ヲ明ニスルコト）

（ニ）枕木ノ寸法及敷設間隔（軌條直下ノ枕木ノ寸法ヲ明記スルコト）

十二　停車場、停留場及信號所

（イ）建造物、配線、用地境界及實測中心哩程（本線ノ停車場、信號所、分岐線ノ連絡點、給水及給炭設備ノ位置、其ノ他必要ナル事項ヲ記入スヘシ）

（ロ）軌道ト乘降場及貨物積卸場トノ關係（削除）

（ハ）聯動裝置（聯動裝置ヲ設クルモノニ在リテハ其ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

十三　他ノ鐵道又ハ軌道トノ交又方法（交又設備ヲ設クルモノニ在リテハ其ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

定ム

第三十五條及第三十五條ノ二ノ規定ハ前二項ノ補償金ノ支拂ニ付之ヲ準用ス

第三十六條ノ三　政府ニ於テ地方鐵道ニ接近シ又ハ竝行シテ敷設シタル爲地方鐵道ノ營業ニ著シキ影響ヲ及ホシタルトキハ政府ハ其ノ營業廢止ニ因リテ生スル損失ヲ補償スルコトヲ得

前項ノ補償金額ハ第三十一條乃至第三十三條ノ規定ニ準シテ算出シタル金額ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シタル殘額以内ニ於テ政府之ヲ定ム

第三十七條　地方長官ハ免許申請書ニ左ノ事項ニ關スル調査書及免許ノ許否ニ關スル意見書ヲ附シ之ヲ進達スヘシ

一　申請者ノ資産及信用程度

二　事業ノ成否

三　事業ノ效用

四　他ノ鐵道又ハ軌道若ハ運河及ホス影響

五　他ノ鐵道又ハ軌道ノ競願アルトキハ其ノ鐵道又ハ軌道ノ名稱、區間及申請書ノ受附年月日

六　其ノ他必要ト認ムル事項

前條第一項但書ノ場合ニ於テハ免許申請書ヲ受附タル地方長官ハ關係地方長官ニ商議シ前項ノ調査書及意見書ヲ作製スヘシ

第三條　私設鐵道經營ノ免許申請書ニハ左ノ書類ヲ添附シ申請者又ハ其ノ代理人記名捺印スヘシ但シ代理權ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

一　會社ニ在リテハ組合契約書ノ謄本

二　會社ヲ設立セムトスルモノニ在リテハ定款ノ謄本

三　既設會社ニ在リテハ私設鐵道ノ營業目的トスルモノヲ除クノ外定款及登記謄本

第四條　起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　目的

二　商號又ハ名稱及主タル事務所ノ設置地

三　鐵道事業ニ要スル資金ノ總額及其ノ出資方法

四　線路ノ起終點及其ノ經過スヘキ上ナル地名竝線路ノ一部ヲ道路ニ敷設セムトスルトキハ其ノ區間、道路ノ種別及其ノ必要ナル事由

五　軌間

六　單線、複線ノ別

動力　（削除）

七　（削除）

第五條　線路豫測圖ハ左ノ二種トス

一　平面圖

縮尺ハ五萬分一以上トシ線路經過地ノ地名及地勢、停車場ノ位置及名稱竝一哩毎ニ哩程ヲ記シ方位ヲ示スヘシ

二　縱斷面圖

縮尺ハ距離ヲ五萬分一以上、高サヲ三千六百分一以上トシ中心線地面及施工基面ノ高低ヲ示シ隧道及橋梁ノ長、線路ノ勾配竝停車場ノ位置及名稱ヲ記スヘシ

第六條　建設費ノ概算書ハ第一號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第七條　運送營業上ノ收支概算書ハ第二號樣式ニ依リ之ヲ調製シ第三號樣式ニ依ル運轉數量表ヲ添附スヘシ

第八條　免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人又ハ組合ノ組合員ノ加入又ハ脫退ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケヘシ但シ死亡ニ因ル脫退ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ他ノ發起人又ハ合員ヨリ遲滯ナク之ヲ屆出ツヘシ

第九條　免許ヲ受ケタル後工事施行ノ認可ヲ受ケル前ニ於テ起業目論見書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘシ但シ商號又ハ名稱、主タル事務所ノ設置地及電力供給者ノ變更ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ遲滯ナク之ヲ屆出ツヘシ

第十條　二道以上ニ亙ル鐵道ノ工事施行ノ認可申請ヲ爲サムトスルトキハ其ノ關係部分ニ對スル書類及圖面ノ謄本ヲ調製シ起點所在地ノ地方長官ヲ經由スル地方長官ヲ除ク外之ヲ提出スヘシ

第十一條　線路實測圖ハ左ノ二種トス

一　平面圖

縮尺ハ一哩三十鎖以上トシ線路ノ左右各十鎖以内ノ地勢ヲ明ニシ其ノ他附近ノ市街、村落、社寺、名勝、舊蹟、公園、道路、鐵道、軌道、山岳、河川（削除）、（削除）、運河、港灣、要塞地等ヲ記シ道、府、郡、面ノ境界及方位ヲ示スヘシ

線路中心線ニハ半哩毎ニ哩程ヲ記シ曲線ノ半徑及緩和曲線ノ長ヲ明ニシ勾配ヲ示スヘシ

停車場、停留場及信號所ノ位置、名稱及中心哩程ヲ記スヘシ

二　縱斷面圖

縮尺ノ長ハ平面圖ト同一ニシテ高ハ一哩百五十呎以上トシ中心線地面及施工基面ノ高低竝築堤ノ高及切取ノ深サ十鎖毎ニ記シ隧道ノ長、橋梁（橋脚ノ高サヲ含ム）ノ徑間、徑間數及總長（兩端ノ距離）、桁ノ種類及材質、徑間、停車場、停留場及信號所ノ名稱及中心哩程、重要ナル踏切道竝線路ノ勾配ヲ記スヘシ

線路カ他ノ鐵道又ハ軌道ト交又、連絡又ハ接近スルトキハ其ノ鐵道又ハ軌道ノ前後各半哩間ノ中心線及高低ノ關係ヲ明ニスヘシ

線路カ市街地ヲ通過シ又ハ之ニ接近スルトキハ別ニ縮尺一哩三鎖ノ平面圖及縮尺長一哩三鎖高一哩三十呎ノ縱斷面圖ヲ添附スヘシ

第十二條　工事方法書ニハ左ノ實施設計ヲ記載スヘシ

一　軌間

二　單線、複線等ノ別及其ノ區間

三　軌道ノ中心間隔

四　建築定規及車輛定規（各部寸法、兩定規間ノ關係及建築定規ニ依リ明示スヘキ部分ノ明細ヲ記スヘシ）

五　最小曲線半徑

六　最急勾配

七　土工定規（第四號樣式ニ依リ明示スヘキ部分ノ明細ヲ記スヘシ）

（イ）線路施工基面ノ幅員（築堤ノ場合ニ於テハ法敷ヲ除ク）、勾配（築堤及切取ノ場合ニ於ケル小段ノ位置及幅員ヲ含ム）

（ロ）築堤及切取斜面ノ勾配

（ハ）用地ノ限界（築堤及切取ノ場合ニ於テハ法敷ノ外端ヨリ、柵又ハ溝ヲ設クルモノニ在リテハ其ノ柵又ハ溝ノ外側ヨリ、其ノ他ノ場合ニ於テハ境界ヲ標スル杭ノ位置ヨリ、何レモ一定ノ距離ヲ取リ、其ノ距離ノ終點ヲ連ネタル線ヲ以テ用地ノ限界トス）

八　橋梁、橋臺、橋脚（組石積、煉瓦積、混凝土積、木造等ノ別ヲ記載スルコト）

（イ）橋臺、橋脚

（ロ）基礎（構造ノ種類及基礎ノ深サヲ明ニスルコト）

（ハ）桁（構造ノ種類及桁ノ長ヲ明ニスルコト）

（ニ）拱（構造ノ種類及拱ノ徑間ヲ明ニスルコト）

（ホ）橋梁ノ所定勤荷重及桁ノ最大應力（第三號樣式ニ依リ明示スヘキ部分ノ明細ヲ記スヘシ）

（ヘ）重要ナル架橋河川ノ平水位、最高水位、架設後ニ於ケル最高水位及其ノ水位ト桁ノ下端トノ距離（架設地點ノ勾配及上流ニ於ケル流域面積ヲ以テ記載スルコト）

（イ）乃至（ニ）ニ付テハ各部ノ材質及構造寸法ヲ示ス設計圖竝ニ徑間配置圖ヲ添附スル橋梁ニ在リテハ徑間配置圖ヲ各橋梁毎ニ添附スヘシ但シ橋範設計ヲ定メタル適用スヘキ箇所ヲ示シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十　隧道

（イ）各其ノ地質ニ應スル施工斷面圖（拱、側壁、仰拱ノ厚サ及材質ヲ明ニスルコト）

（ロ）軌條、轍樁器、轍叉及枕木

（イ）軌條ノ重量（重量ノ異ナル軌條ノ用區間ヲ明示スルコト）

（ロ）軌條及附屬品ノ材質及形狀（附屬品ハ別ニ寸法圖ヲ添フルコト）

（ハ）轍樁器及轍叉ノ構造（轍叉ニ在リテハ轍叉ノ角度及轍叉ノ番數ヲ明ニスルコト）

（ニ）枕木ノ寸法及敷設間隔（軌條直下ノ枕木ノ寸法ヲ明記スルコト）

十一　軌條、轍樁器、轍叉及枕木

（イ）軌條ノ重量（重量ノ異ナル軌條ノ用區間ヲ明示スルコト）

（ロ）軌條及附屬品ノ材質及形狀（附屬品ハ別ニ寸法圖ヲ添フルコト）

（ハ）轍樁器及轍叉ノ構造（轍叉ニ在リテハ轍叉ノ角度及轍叉ノ番數ヲ明ニスルコト）

（ニ）枕木ノ寸法及敷設間隔（軌條直下ノ枕木ノ寸法ヲ明記スルコト）

十二　停車場、停留場及信號所

（イ）建造物、配線、用地境界及實測中心哩程（本線ノ停車場、信號所、分岐線ノ連絡點、給水及給炭設備ノ位置、其ノ他必要ナル事項ヲ記入スヘシ）

（ロ）軌道ト乘降場及貨物積卸場トノ關係（削除）

（ハ）聯動裝置（聯動裝置ヲ設クルモノニ在リテハ其ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

十三　他ノ鐵道又ハ軌道トノ交又方法（交又設備ヲ設クルモノニ在リテハ其ノ種類及位置ヲ明ニスルコト）

第四十三條　輕便鐵道法ニ依リテ輕便鐵道抵當原簿ニ登錄セラレタル鐵道ニ接近シ又ハ竝行シテ敷設シタル爲地方鐵道ノ營業ニ著シキ影響ヲ及ホシタルトキハ政府ハ其ノ營業廢止ニ因リテ生スル損失ヲ補償スルコトヲ得

前項ノ補償金額ハ第三十一條乃至第三十三條ノ規定ニ準シテ算出シタル金額ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シタル殘額以内ニ於テ政府之ヲ定ム

第四十四條　輕便鐵道法ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十五條　鐵道又ハ專用鐵道ヲ地方鐵道ニ變更セムトスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

附　則（大正十年四月法律第三十八號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十年八月勅令第三百七十三號ヲ以テ同年八月十五日ヨリ施行）

附　則（昭和四年四月法律第六十二號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年十二月勅令第三百三十八號ヲ以テ同年十二月五日ヨリ施行）

●朝鮮私設鐵道令施行規則

大正九年十一月
總令第百七十二號

改正　大正一二年一二月九號、昭和三年七月一四號

朝鮮私設鐵道令施行規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮私設鐵道ノ免許、許可及認可申請書竝屆出書ハ鐵道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ但シ二道以上ニ亙リ敷設スル私設鐵道ニ在リテハ其ノ起點所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

第十四條第二項、第十七條乃至第二十二條、第二十四條乃至第二十八條、第三十條、第三十二條乃至第四十三條、第四十六條乃至第四十八條、第五十條ニ依リ提出スヘキ書類、第十六條ノ認可申請書ニシテ停車場ノ新設、廢止、線路及橋梁ノ重大ナル變更、洪水流盪地域ニ於ケル線路及橋梁ノ變更ニ關スルモノ竝第三十一條ノ許可申請書ニ關スルモノハ地方長官ヲ經由スルコトヲ要セス

又ハ指定ヲ受ケタルモノニ之ヲ適用セス

第四十三條　輕便鐵道法ニ依リテ輕便鐵道抵當原簿ニ登錄セラレタル事項ノ之ヲ鐵道抵當法ニ依リ鐵道抵當原簿ニ登錄セラレタルモノト看做シ輕便鐵道抵當原簿ハ鐵道抵當原簿ト看做ス

第四十四條　輕便鐵道法ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十五條　鐵道又ハ專用鐵道ヲ地方鐵道ニ變更セムトスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

附　則（大正十年四月法律第三十八號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十年八月勅令第三百七十三號ヲ以テ同年八月十五日ヨリ施行）

附　則（昭和四年四月法律第六十二號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年十二月勅令第三百三十八號ヲ以テ同年十二月五日ヨリ施行）

●朝鮮私設鐵道令施行規則

大正九年十一月
總令第百七十二號

改正　大正一二年一二月九號、昭和三年七月一四號

朝鮮私設鐵道令施行規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮私設鐵道ノ免許、許可及認可申請書竝屆出書ハ鐵道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ但シ二道以上ニ亙リ敷設スル私設鐵道ニ在リテハ其ノ起點所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

第十四條第二項、第十七條乃至第二十二條、第二十四條乃至第二十八條、第三十條、第三十二條乃至第四十三條、第四十六條乃至第四十八條、第五十條ニ依リ提出スヘキ書類、第十六條ノ認可申請書ニシテ停車場ノ新設、廢止、線路及橋梁ノ重大ナル變更、洪水流盪地域ニ於ケル線路及橋梁ノ變更ニ關スルモノ竝第三十一條ノ許可申請書ニ關スルモノハ地方長官ヲ經由スルコトヲ要セス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

一　架渡方法（架渡線ニ在リテハ其ノ關係、第四項ノ記載ニ準ジ其ノ要領ヲ記載スルコト）

二　軌條ノ接續方法（第四項ノ記載ニ準ジ其ノ要領ヲ記載スルコト）

三　轍叉ノ種類及其ノ番數

四　轍叉ノ番數ノ選定ニ關スル理由

五　電車線路

（イ）架空複線式

電線ノ種類、太サ及吊架方法（パンタグラフ式及集電靴式ニ在リテハ其ノ接觸面ノ狀態ヲ含ム）

第一種ノ別ヲ記載スルコト

支持物ノ種類及其ノ別（柱ニ在リテハ其ノ材質ヲ含ム）

植方法（中央線ニ在リテハ其ノ材質ヲ含ム）

支持物ノ種類及其ノ別（柱ニ在リテハ其ノ材質ヲ含ム）

植方法（中央線ニ在リテハ其ノ材質ヲ含ム）建

及其ノ基礎ノ種類（鐵筋コンクリート造ノモノニ在リテハ其ノ配合ヲ含ム）

柱間距離

一　建造物トノ關係上施設スヘキ設計

他ノ建造物トノ關係上施設スヘキ設計

（ロ）架空單線式

（イ）ニ掲ル事項

軌條ノ接續方法

補助線及軌條ボンドノ種類及其ノ太サ

（ハ）第三軌條式

敷設方法

第三軌條ノ重量及形狀

第三軌條及軌道軌條ノ接續方法

軌條ボンドノ種類及太サ

六　電氣機關車及電車

（イ）電動機ノ種類、個數、馬力數及電壓

（ロ）制御裝置ノ種類及個數

（ハ）集電裝置ノ種類及個數

鐵道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受クル場合ニ在リテハ前項ノ外向左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　供給電力ノ電氣方式、最大電壓、容量及受給時間

二　送電上ノ責任分界點、電氣工作物ノ所有權分界點

三　受電設備ノ大要

第十三條　他ノ鐵道又ハ軌道ト交叉又ハ連絡スル場合ニ於テハ交叉又ハ連絡ニ關スル協定書ノ謄本及鐵道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受クル場合ニ於テハ供給契約書ノ謄本ヲ工事方法書ニ添附スヘシ

第十四條　建設費豫算ハ第六號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

建設費豫算總額ノ變更ハ第七號樣式ニ依リ之ヲ訂出ツヘシ

第十五條　免許ヲ受クタル鐵道線路ノ全部ニ對シ工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコトヲ得ルトキハ其ノ理由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十六條　工事施行ノ認可ヲ受クタル後線路又ハ工事方法書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ第十一條及第十二條ノ規定ニ準シ線路實測圖及變更セムトスル事項ニ關スル工事方法書（既ニ提出シタルモノニ在リテハ變更ヲ要スル箇所ニ於ケル部分ニ限ル）ヲ提出スヘシ但シ第十七條ニ掲ケル事項ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ認可申請書ニハ工事豫算書ヲ添附シ工費支出ノ途ヲ明ニスヘシ但シ重要ナラサル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　線路及工事方法書ニ記載シタル事項ノ變更ニシテ左ニ掲ケルモノハ其ノ理由ヲ具シ新舊ヲ對照シ鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

一　線路中心線ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ左右各一鎖以內其ノ他ノ地ニ在リテハ各五鎖以內ナルトキ

二　曲線ノ半徑ヲ變更シテ之ヲ長カラシムルトキ又ハ軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ八鎖迄、其ノ他ノモノニ在リテハ十二鎖迄之ヲ短縮スルトキ

三　施工基面高低ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ二呎以內、其ノ他ノ地ニ在リテハ六呎以內ナルトキ

四　線路ノ勾配ヲ變更シテ之ヲ緩ナラシムルトキ又ハ電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ四十分ノ一迄、其ノ他ノモノニ在リテハ六十分ノ一迄之ヲ急ナラシムルトキ

五　線路ノ勾配二百分ノ一ヨリ急ナラサル箇所ニ於ケル停車場ノ中心哩程ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ一鎖以內、其ノ地ニ在リテハ五鎖以內ナルトキ

六　停車場、停留場及信號所ノ名稱變更

七　停留場及側線ノ設ケ若ハ信號所ノ新設又ハ位置變更

八　路切道ノ增減

九　二十呎以內ノ橋梁及五鎖以內ノ隧道ノ廢止竝認可ヲ得タル設計同一設計ニ依ル橋梁及隧道ノ新設又ハ伸縮

停車場、停留場及信號所ニ於ケル建造物及配線ノ伸縮增減（停車場ニ在リテハ其ノ中心哩程ニ變更ヲ來サス又停留場ニ在リテハ其ノ中心哩程ニ變更ヲ來サス且ツ從前ノ地積ヲ超エサル場合ニ限ル）竝ニ前項ニ掲ケル線路及工事方法書ニ掲ケル事項ノ變更ニシテ洪水氾濫地域ニ於ケル線路及橋梁ニ係ルモノニ付テハ前條ノ規定ヲ適用ス

第十八條　工事ニ著手シタルトキハ一週間以內ニ鐵道局長ニ之ヲ屆出テ毎年六月及十二月末日現在ニ依リ翌月十五日迄ニ第八號樣式ニ依ル工程表ヲ提出スヘシ

第十九條　車輛ニ關シテハ其ノ製作又ハ購入前設計ヲ定メ左ノ事項ヲ記載シ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ但シ朝鮮國有鐵道所屬ノ車輛又ハ既認可ノ車輛ニシテ改造ヲ加ヘサルモノヲ購入スル場合ニ於テハ前使用者名、舊形式稱號及番號ヲ記載シ左ノ事項ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

一　機關車（設計ヲ異ニスル毎ニ設計）

（イ）形式（自己ノ動力ニ依リ運轉スル車輛ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ロ）輛數

（ハ）重量（客車及郵便車ニ在リテハ其ノ乘客定員ヲ含ム）

（ニ）主要寸法（平面、前後及左右ノ軸距、車輪ノ直徑、車軸ノ中心ノ高、車體ノ長、幅及高並ニ運轉室ノ長、幅及高竝ニ車體ノ長、幅及高ヲ示スコト）

（ホ）定員

（ヘ）積載容積及積載重量（客車ニ在リテハ乘客ノ定員、荷物室ノ容積及積載重量、郵便車ニ在リテハ郵便物室ノ容積及積載重量ヲ記載スルコト）

（ト）主要寸法（平面、側面及前後左右ノ立面ニ關スル寸法ヲ示スコト）

（チ）豪枾ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（リ）トラックノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヌ）車輪車軸ノ構造（車輪車軸ノ圖面ニ依リ明示スルコト）

（ル）緩衝器、驅結器ノ種類及構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヲ）制動機ノ種類及裝置（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ワ）燃料槪ノ容積（立方呎ヲ以テ記載スルコト）及水槽容量（英ガロンヲ以テ記載スルコト）

（カ）特殊設計ニ係ル部分ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

二　客車及貨車

（イ）車種（客車ニ在リテハ用途ノ別ヲ含ム）、形式（自己ノ動力ニ依リ運轉スル車輛ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）、輛數及乘客定員

（ロ）車體ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ハ）車輪ノ直徑（側輪ノ有無、貫通軸ノ有無及各車軸ノ間隔ヲ含ム）

（ニ）車軸ノ材質及製作（鍛鋼ノ場合ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ホ）車軸ノ軸受（滑軸ノ場合ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ヘ）車體ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ト）車體ノ重量及乘客定員ノ一人ニ對スル重量

（チ）車體ノ塗色及文字

（リ）車體ノ內部裝飾及設備（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヌ）車體ノ暖房及照明ノ方法（暖房ニ關スル圖面ニ依リ明示スルコト）

（ル）車體ノ通風裝置（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヲ）車體ノ防寒及防暑ノ方法

（ワ）車體ノ防音及防振ノ方法

（カ）車體ノ防火ノ方法

（ヨ）特殊設計ニ係ル部分ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

三　汽動車（客車ニ在リテハ用途ノ別ヲ含ム）

四　電氣機關車及電車

（イ）第一號及第二號ニ掲ケル事項

（ロ）電動機ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）種類、個數、馬力數、商車ノ比（電氣機關車及機關車ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）及電壓

（ハ）制御器ノ種類、個數及裝置

（ニ）集電裝置ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）種類及個數

（ホ）車內電線接續（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヘ）汽機ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ト）豪枾ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（チ）驅結桿及併行桿ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（リ）トラックノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヌ）車輪車軸ノ構造（車輪車軸ノ圖面ニ依リ明示スルコト）

（ル）燈彈機ノ構造及裝置（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヲ）緩衝器、驅結器ノ種類及構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ワ）制動機ノ種類及裝置（圖面ニ依リ明示スルコト）

（カ）燃料槪ノ容積（立方呎ヲ以テ記載スルコト）及水槽容量（英ガロンヲ以テ記載スルコト）

（ヨ）汽笛ノ種類及裝置

（タ）特種設計ニ係ル部分ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

二　客車及貨車

（イ）車種（客車ニ在リテハ用途ノ別ヲ含ム）、形式（自己ノ動力ニ依リ運轉スル車輛ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）及輛數

（ロ）車體ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ハ）車輪ノ直徑（側輪ノ有無、貫通軸ノ有無及各車軸ノ間隔ヲ含ム）

（ニ）車軸ノ材質及製作（鍛鋼ノ場合ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ホ）車軸ノ軸受（滑軸ノ場合ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ヘ）車體ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ト）車體ノ重量及乘客定員ノ一人ニ對スル重量

（チ）車體ノ塗色及文字

（リ）車體ノ內部裝飾及設備（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヌ）車體ノ暖房及照明ノ方法（暖房ニ關スル圖面ニ依リ明示スルコト）

（ル）車體ノ通風裝置（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヲ）車體ノ防寒及防暑ノ方法

（ワ）車體ノ防音及防振ノ方法

（カ）車體ノ防火ノ方法

（ヨ）特殊設計ニ係ル部分ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ロ）輛數

（ハ）自重（空車ノ重量ヲ記載スルコト）

（ニ）定員（乘客車ニ在リテハ其ノ乘客定員ヲ記載スルコト）

（ホ）定員一人ニ對スル客室面積（算出ノ方法別ヲ添附スルコト）

（ヘ）積載容積及積載重量（客車ニ在リテハ乘客ノ定員、荷物室ノ容積及其ノ重量、郵便車ニ在リテハ郵便物室ノ容積及其ノ重量ヲ記載スルコト）

（ト）主要寸法（平面、側面及前後左右ノ立面ニ關スル寸法ヲ示スコト）

（チ）豪枾ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（リ）トラックノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヌ）車輪車軸ノ構造（車輪車軸ノ圖面ニ依リ明示スルコト）

（ル）緩衝器及驅結器ノ種類及構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヲ）制動機ノ種類及裝置（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ワ）緩衝器及驅結器ノ種類及構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（カ）燃料槪ノ容積（立方呎ヲ以テ記載スルコト）及水槽容量（英ガロンヲ以テ記載スルコト）

（ヨ）汽笛ノ種類及裝置

（タ）特種設計ニ係ル部分ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

二　客車及貨車

（イ）車種（客車ニ在リテハ用途ノ別ヲ含ム）、形式（自己ノ動力ニ依リ運轉スル車輛ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）及輛數

（ロ）車體ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ハ）車輪ノ直徑（側輪ノ有無、貫通軸ノ有無及各車軸ノ間隔ヲ含ム）

（ニ）車軸ノ材質及製作（鍛鋼ノ場合ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ホ）車軸ノ軸受（滑軸ノ場合ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ヘ）車體ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ト）車體ノ重量及乘客定員ノ一人ニ對スル重量

（チ）車體ノ塗色及文字

（リ）車體ノ內部裝飾及設備（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヌ）車體ノ暖房及照明ノ方法（暖房ニ關スル圖面ニ依リ明示スルコト）

（ル）車體ノ通風裝置（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヲ）車體ノ防寒及防暑ノ方法

（ワ）車體ノ防音及防振ノ方法

（カ）車體ノ防火ノ方法

（ヨ）特殊設計ニ係ル部分ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

十四　閉塞信號機（設置ヲ要スル場合ニ限リ之ヲ記載スルコト）

十五　車輛

（イ）機關車

一　形式（自己ノ動力ニ依リ運轉スル車輛ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

二　輛數

三　重量（客車及郵便車ニ在リテハ乘客定員ヲ含ム）

四　動輪一對ノ軌條面最大壓力（客車ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ロ）客車及貨車

一　車種（客車ニ在リテハ用途ノ別ヲ含ム）、形式（自己ノ動力ニ依リ運轉スル車輛ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）及輛數

二　輛數

三　自重（空車ノ重量ヲ記載スルコト）

四　定員

（ハ）汽動車

一　積載重量（英噸ヲ以テ記載スルコト）

十六　車輛修繕設備ノ大要

十七　特殊設計

電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ前項ノ外左ノ實施設計ヲ記載スヘシ

一　送電系統（自家發電所、蓄電所、配電所及電壓段階並ニ其ノ送電線ノ種別ヲ含ム）ニ關シ明示スルコト

二　電氣鐵道ノ方式（直流、交流、單相交流、三相交流又ハ其ノ他ノ方式ノ別及電壓ヲ記載スルコト）

三　發電所、變電所、蓄電所及配電所

（イ）所在地（河川ニ在リテハ其ノ流域ヲ含ム）及出力（水力ニ在リテハ有效落差ヲ含ム）

（ロ）出力最大ノ發電所ニ付テハ其ノ發電機ノ種別ヲ含ム）

（ハ）原動機、發電機、電動發電機、回轉變流機、周波數變換機、變壓器、蓄電池、昇壓機等ノ種類、個數（發電用原動機ニ付テハ馬力數ヲ含ム）、キロワット數（水銀整流器ニ付テハ陽極ノ數ヲ含ム）及ボルト數ヲ記載スルコト

四　送電線路及饋電線路（電壓段階毎ニ記載スルコト）

（イ）電氣方式（直流、交流又ハ單相交流ノ別ヲ記載スルコト）及電壓

（ロ）電線路ノ構造

一　電線ノ種類（相撚又ハ單一線ノ別ヲ含ム）及太サ

二　電線ノ支持物ノ種類（電柱、鐵塔又ハ鐵筋コンクリート柱ノ別ヲ含ム）及徑間

三　電線ノ弛度

四　電線ノ交叉又ハ接近ノ狀況

五　架渡方法（架渡線ニ在リテハ其ノ關係、第四項ノ記載ニ準ジ其ノ要領ヲ記載スルコト）

六　電車線路

（イ）架空複線式

電線ノ種類、太サ及吊架方法（パンタグラフ式及集電靴式ノ別ヲ含ム）

支持物ノ種類及其ノ別（柱ニ在リテハ其ノ材質ヲ含ム）

植方法（中央線ニ在リテハ其ノ材質ヲ含ム）

支持物ノ種類及其ノ別（柱ニ在リテハ其ノ材質ヲ含ム）

植方法（中央線ニ在リテハ其ノ材質ヲ含ム）建

及其ノ基礎ノ種類（鐵筋コンクリート造ノモノニ在リテハ其ノ配合ヲ含ム）

柱間距離

一　建造物トノ關係上施設スヘキ設計

他ノ建造物トノ關係上施設スヘキ設計

（ロ）架空單線式

（イ）ニ掲ル事項

軌條ノ接續方法

補助線及軌條ボンドノ種類及其ノ太サ

（ハ）第三軌條式

敷設方法

第三軌條ノ重量及形狀

第三軌條及軌道軌條ノ接續方法

軌條ボンドノ種類及太サ

六　電氣機關車及電車

（イ）電動機ノ種類、個數、馬力數及電壓

（ロ）制御裝置ノ種類及個數

（ハ）集電裝置ノ種類及個數

鐵道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受クル場合ニ在リテハ前項ノ外向左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　供給電力ノ電氣方式、最大電壓、容量及受給時間

二　送電上ノ責任分界點、電氣工作物ノ所有權分界點

三　受電設備ノ大要

第十三條　他ノ鐵道又ハ軌道ト交叉又ハ連絡スル場合ニ於テハ交叉又ハ連絡ニ關スル協定書ノ謄本及鐵道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受クル場合ニ於テハ供給契約書ノ謄本ヲ工事方法書ニ添附スヘシ

第十四條　建設費豫算ハ第六號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

建設費豫算總額ノ變更ハ第七號樣式ニ依リ之ヲ訂出ツヘシ

第十五條　免許ヲ受クタル鐵道線路ノ全部ニ對シ工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコトヲ得ルトキハ其ノ理由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十六條　工事施行ノ認可ヲ受クタル後線路又ハ工事方法書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ第十一條及第十二條ノ規定ニ準シ線路實測圖及變更セムトスル事項ニ關スル工事方法書（既ニ提出シタルモノニ在リテハ變更ヲ要スル箇所ニ於ケル部分ニ限ル）ヲ提出スヘシ但シ第十七條ニ掲ケル事項ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ認可申請書ニハ工事豫算書ヲ添附シ工費支出ノ途ヲ明ニスヘシ但シ重要ナラサル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　線路及工事方法書ニ記載シタル事項ノ變更ニシテ左ニ掲ケルモノハ其ノ理由ヲ具シ新舊ヲ對照シ鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

一　線路中心線ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ左右各一鎖以內其ノ他ノ地ニ在リテハ各五鎖以內ナルトキ

二　曲線ノ半徑ヲ變更シテ之ヲ長カラシムルトキ又ハ軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ八鎖迄、其ノ他ノモノニ在リテハ十二鎖迄之ヲ短縮スルトキ

三　施工基面高低ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ二呎以內、其ノ他ノ地ニ在リテハ六呎以內ナルトキ

四　線路ノ勾配ヲ變更シテ之ヲ緩ナラシムルトキ又ハ電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ四十分ノ一迄、其ノ他ノモノニ在リテハ六十分ノ一迄之ヲ急ナラシムルトキ

五　線路ノ勾配二百分ノ一ヨリ急ナラサル箇所ニ於ケル停車場ノ中心哩程ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ一鎖以內、其ノ地ニ在リテハ五鎖以內ナルトキ

六　停車場、停留場及信號所ノ名稱變更

七　停留場及側線ノ設ケ若ハ信號所ノ新設又ハ位置變更

八　路切道ノ增減

九　二十呎以內ノ橋梁及五鎖以內ノ隧道ノ廢止竝認可ヲ得タル設計同一設計ニ依ル橋梁及隧道ノ新設又ハ伸縮

停車場、停留場及信號所ニ於ケル建造物及配線ノ伸縮增減（停車場ニ在リテハ其ノ中心哩程ニ變更ヲ來サス又停留場ニ在リテハ其ノ中心哩程ニ變更ヲ來サス且ツ從前ノ地積ヲ超エサル場合ニ限ル）竝ニ前項ニ掲ケル線路及工事方法書ニ掲ケル事項ノ變更ニシテ洪水氾濫地域ニ於ケル線路及橋梁ニ係ルモノニ付テハ前條ノ規定ヲ適用ス

第十八條　工事ニ著手シタルトキハ一週間以內ニ鐵道局長ニ之ヲ屆出テ毎年六月及十二月末日現在ニ依リ翌月十五日迄ニ第八號樣式ニ依ル工程表ヲ提出スヘシ

第十九條　車輛ニ關シテハ其ノ製作又ハ購入前設計ヲ定メ左ノ事項ヲ記載シ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ但シ朝鮮國有鐵道所屬ノ車輛又ハ既認可ノ車輛ニシテ改造ヲ加ヘサルモノヲ購入スル場合ニ於テハ前使用者名、舊形式稱號及番號ヲ記載シ左ノ事項ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

一　機關車（設計ヲ異ニスル毎ニ設計）

（イ）形式（自己ノ動力ニ依リ運轉スル車輛ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ロ）輛數

（ハ）重量（客車及郵便車ニ在リテハ其ノ乘客定員ヲ含ム）

（ニ）主要寸法（平面、前後及左右ノ軸距、車輪ノ直徑、車軸ノ中心ノ高、車體ノ長、幅及高並ニ運轉室ノ長、幅及高竝ニ車體ノ長、幅及高ヲ示スコト）

（ホ）定員

（ヘ）積載容積及積載重量（客車ニ在リテハ乘客ノ定員、荷物室ノ容積及其ノ重量、郵便車ニ在リテハ郵便物室ノ容積及其ノ重量ヲ記載スルコト）

（ト）主要寸法（平面、側面及前後左右ノ立面ニ關スル寸法ヲ示スコト）

（チ）豪枾ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（リ）トラックノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヌ）車輪車軸ノ構造（車輪車軸ノ圖面ニ依リ明示スルコト）

（ル）緩衝器及驅結器ノ種類及構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヲ）制動機ノ種類及裝置（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ワ）緩衝器及驅結器ノ種類及構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（カ）燃料槪ノ容積（立方呎ヲ以テ記載スルコト）及水槽容量（英ガロンヲ以テ記載スルコト）

（ヨ）汽笛ノ種類及裝置

（タ）特種設計ニ係ル部分ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

二　客車及貨車

（イ）車種（客車ニ在リテハ用途ノ別ヲ含ム）、形式（自己ノ動力ニ依リ運轉スル車輛ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）及輛數

（ロ）車體ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ハ）車輪ノ直徑（側輪ノ有無、貫通軸ノ有無及各車軸ノ間隔ヲ含ム）

（ニ）車軸ノ材質及製作（鍛鋼ノ場合ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ホ）車軸ノ軸受（滑軸ノ場合ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ヘ）車體ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ト）車體ノ重量及乘客定員ノ一人ニ對スル重量

（チ）車體ノ塗色及文字

（リ）車體ノ內部裝飾及設備（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヌ）車體ノ暖房及照明ノ方法（暖房ニ關スル圖面ニ依リ明示スルコト）

（ル）車體ノ通風裝置（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヲ）車體ノ防寒及防暑ノ方法

（ワ）車體ノ防音及防振ノ方法

（カ）車體ノ防火ノ方法

（ヨ）特殊設計ニ係ル部分ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

三　汽動車（客車ニ在リテハ用途ノ別ヲ含ム）

四　電氣機關車及電車

（イ）第一號及第二號ニ掲ケル事項

（ロ）電動機ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）種類、個數、馬力數及電壓

（ハ）制御器ノ種類及個數

（ニ）集電裝置ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）種類及個數

（ホ）車內電線接續（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヘ）汽機ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ト）豪枾ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（チ）驅結桿及併行桿ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（リ）トラックノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヌ）車輪車軸ノ構造（車輪車軸ノ圖面ニ依リ明示スルコト）

（ル）燈彈機ノ構造及裝置（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヲ）緩衝器、驅結器ノ種類及構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ワ）制動機ノ種類及裝置（圖面ニ依リ明示スルコト）

（カ）燃料槪ノ容積（立方呎ヲ以テ記載スルコト）及水槽容量（英ガロンヲ以テ記載スルコト）

（ヨ）汽笛ノ種類及裝置

（タ）特種設計ニ係ル部分ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

二　客車及貨車

（イ）車種（客車ニ在リテハ用途ノ別ヲ含ム）、形式（自己ノ動力ニ依リ運轉スル車輛ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）及輛數

（ロ）車體ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ハ）車輪ノ直徑（側輪ノ有無、貫通軸ノ有無及各車軸ノ間隔ヲ含ム）

（ニ）車軸ノ材質及製作（鍛鋼ノ場合ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ホ）車軸ノ軸受（滑軸ノ場合ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ヘ）車體ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ト）車體ノ重量及乘客定員ノ一人ニ對スル重量

（チ）車體ノ塗色及文字

（リ）車體ノ內部裝飾及設備（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヌ）車體ノ暖房及照明ノ方法（暖房ニ關スル圖面ニ依リ明示スルコト）

（ル）車體ノ通風裝置（圖面ニ依リ明示スルコト）

（ヲ）車體ノ防寒及防暑ノ方法

（ワ）車體ノ防音及防振ノ方法

（カ）車體ノ防火ノ方法

（ヨ）特殊設計ニ係ル部分ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

十四　閉塞信號機（設置ヲ要スル場合ニ限リ之ヲ記載スルコト）

十五　車輛

（イ）機關車

一　形式（自己ノ動力ニ依リ運轉スル車輛ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

二　輛數

三　重量（客車及郵便車ニ在リテハ乘客定員ヲ含ム）

四　動輪一對ノ軌條面最大壓力（客車ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）

（ロ）客車及貨車

一　車種（客車ニ在リテハ用途ノ別ヲ含ム）、形式（自己ノ動力ニ依リ運轉スル車輛ニ在リテハ其ノ種別ヲ含ム）及輛數

二　輛數

三　自重（空車ノ重量ヲ記載スルコト）

四　定員

（ハ）汽動車

一　積載重量（英噸ヲ以テ記載スルコト）

十六　車輛修繕設備ノ大要

十七　特殊設計

電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ前項ノ外左ノ實施設計ヲ記載スヘシ

一　送電系統（自家發電所、蓄電所、配電所及電壓段階並ニ其ノ送電線ノ種別ヲ含ム）ニ關シ明示スルコト

二　電氣鐵道ノ方式（直流、交流、單相交流、三相交流又ハ其ノ他ノ方式ノ別及電壓ヲ記載スルコト）

三　發電所、變電所、蓄電所及配電所

（イ）所在地（河川ニ在リテハ其ノ流域ヲ含ム）及出力（水力ニ在リテハ有效落差ヲ含ム）

（ロ）出力最大ノ發電所ニ付テハ其ノ發電機ノ種別ヲ含ム）

（ハ）原動機、發電機、電動發電機、回轉變流機、周波數變換機、變壓器、蓄電池、昇壓機等ノ種類、個數（發電用原動機ニ付テハ馬力數ヲ含ム）、キロワット數（水銀整流器ニ付テハ陽極ノ數ヲ含ム）及ボルト數ヲ記載スルコト

四　送電線路及饋電線路（電壓段階毎ニ記載スルコト）

（イ）電氣方式（直流、交流又ハ單相交流ノ別ヲ記載スルコト）及電壓

（ロ）電線路ノ構造

一　電線ノ種類（相撚又ハ單一線ノ別ヲ含ム）及太サ

二　電線ノ支持物ノ種類（電柱、鐵塔又ハ鐵筋コンクリート柱ノ別ヲ含ム）及徑間

三　電線ノ弛度

四　電線ノ交叉又ハ接近ノ狀況

五　架渡方法（架渡線ニ在リテハ其ノ關係、第四項ノ記載ニ準ジ其ノ要領ヲ記載スルコト）

六　電車線路

（イ）架空複線式

電線ノ種類、太サ及吊架方法（パンタグラフ式及集電靴式ノ別ヲ含ム）

支持物ノ種類及其ノ別（柱ニ在リテハ其ノ材質ヲ含ム）

植方法（中央線ニ在リテハ其ノ材質ヲ含ム）

支持物ノ種類及其ノ別（柱ニ在リテハ其ノ材質ヲ含ム）

植方法（中央線ニ在リテハ其ノ材質ヲ含ム）建

及其ノ基礎ノ種類（鐵筋コンクリート造ノモノニ在リテハ其ノ配合ヲ含ム）

柱間距離

一　建造物トノ關係上施設スヘキ設計

他ノ建造物トノ關係上施設スヘキ設計

（ロ）架空單線式

（イ）ニ掲ル事項

軌條ノ接續方法

補助線及軌條ボンドノ種類及其ノ太サ

（ハ）第三軌條式

敷設方法

第三軌條ノ重量及形狀

第三軌條及軌道軌條ノ接續方法

軌條ボンドノ種類及太サ

六　電氣機關車及電車

（イ）電動機ノ種類、個數、馬力數及電壓

（ロ）制御裝置ノ種類及個數

（ハ）集電裝置ノ種類及個數

鐵道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受クル場合ニ在リテハ前項ノ外向左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　供給電力ノ電氣方式、最大電壓、容量及受給時間

二　送電上ノ責任分界點、電氣工作物ノ所有權分界點

三　受電設備ノ大要

第十三條　他ノ鐵道又ハ軌道ト交叉又ハ連絡スル場合ニ於テハ交叉又ハ連絡ニ關スル協定書ノ謄本及鐵道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受クル場合ニ於テハ供給契約書ノ謄本ヲ工事方法書ニ添附スヘシ

第十四條　建設費豫算ハ第六號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

建設費豫算總額ノ變更ハ第七號樣式ニ依リ之ヲ訂出ツヘシ

第十五條　免許ヲ受クタル鐵道線路ノ全部ニ對シ工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコトヲ得ルトキハ其ノ理由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十六條　工事施行ノ認可ヲ受クタル後線路又ハ工事方法書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ第十一條及第十二條ノ規定ニ準シ線路實測圖及變更セムトスル事項ニ關スル工事方法書（既ニ提出シタルモノニ在リテハ變更ヲ要スル箇所ニ於ケル部分ニ限ル）ヲ提出スヘシ但シ第十七條ニ掲ケル事項ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ認可申請書ニハ工事豫算書ヲ添附シ工費支出ノ途ヲ明ニスヘシ但シ重要ナラサル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　線路及工事方法書ニ記載シタル事項ノ變更ニシテ左ニ掲ケルモノハ其ノ理由ヲ具シ新舊ヲ對照シ鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

一　線路中心線ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ左右各一鎖以內其ノ他ノ地ニ在リテハ各五鎖以內ナルトキ

二　曲線ノ半徑ヲ變更シテ之ヲ長カラシムルトキ又ハ軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ八鎖迄、其ノ他ノモノニ在リテハ十二鎖迄之ヲ短縮スルトキ

三　施工基面高低ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ二呎以內、其ノ他ノ地ニ在リテハ六呎以內ナルトキ

四　線路ノ勾配ヲ變更シテ之ヲ緩ナラシムルトキ又ハ電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ四十分ノ一迄、其ノ他ノモノニ在リテハ六十分ノ一迄之ヲ急ナラシムルトキ

五　線路ノ勾配二百分ノ一ヨリ急ナラサル箇所ニ於ケル停車場ノ中心哩程ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ一鎖以內、其ノ地ニ在リテハ五鎖以內ナルトキ

六　停車場、停留場及信號所ノ名稱變更

七　停留場及側線ノ設ケ若ハ信號所ノ新設又ハ位置變更

八　路切道ノ增減

九　二十呎以內ノ橋梁及五鎖以內ノ隧道ノ廢止竝認可ヲ得タル設計同一設計ニ依ル橋梁及隧道ノ新設又ハ伸縮

停車場、停留場及信號所ニ於ケル建造物及配線ノ伸縮增減（停車場ニ在リテハ其ノ中心哩程ニ變更ヲ來サス又停留場ニ在リテハ其ノ中心哩程ニ變更ヲ來サス且ツ從前ノ地積ヲ超エサル場合ニ限ル）竝ニ前項ニ掲ケル線路及工事方法書ニ掲ケル事項ノ變更ニシテ洪水氾濫地域ニ於ケル線路及橋梁ニ係ルモノニ付テハ前條ノ規定ヲ適用ス

第十八條　工事ニ著手シタルトキハ一週間以內ニ鐵道局長ニ之ヲ屆出テ毎年六月及十二月末日現在ニ依リ翌月十五日迄ニ第八號樣式ニ依ル工程表ヲ提出スヘシ

第十九條　車輛ニ關シテハ其ノ製作又ハ購入前設計ヲ定メ左ノ事項ヲ記載シ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ但シ朝鮮國有鐵道所屬ノ車輛又ハ既認可ノ車輛ニシテ改造ヲ加ヘサルモノヲ購入スル場合ニ於テハ前使用者名、舊形式稱號及番號ヲ記載シ左ノ事項ノ記載ヲ省略スルコトヲ

第三十二條　車輛ノ譲渡又ハ貨渡ヲ爲サムトスルトキハ其ノ契約ノ要領ヲ記載シ認可ヲ受クヘシ但シ二月内ノ貨渡ハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條　旅客運賃ノ認可申請書ニハ哩制ニ在リテハ對哩運賃、區間制ニ在リテハ各區間ノ運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃ヲ記載シ各驛ノ實測換算中心哩程表（第十三號樣式）及營業哩程表（第十四號樣式）ヲ添附スヘシ

第三十四條　荷物運賃ノ認可申請書ニハ手荷物、小荷物及大貨物ヲ區別シ哩制ニ在リテハ對哩運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃並荷物ノ品種及等級ヲ記載シ計算方法（第十五號樣式ニ依ル場合ヲ除ク）ヲ附記スヘシ

大貨物ニ關シ別ニ營業哩程ヲ制定セムトスルトキハ其ノ增加割合ヲ前項ノ申請書ニ記載シ計算方法（第十五號樣式ニ依ル場合ヲ除ク）ヲ附記スヘシ

第三十五條　旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ變更後ニ於ケル收支豫算書ヲ添附シ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

第三十六條　前三條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運賃ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ記載シ各驛間ノ旅客運賃表（第十六號樣式）及大貨物營業哩程表（第十七號樣式）ヲ添附シ之ヲ局出スヘシ

第三十七條　現ニ營業中ノ線路ニ於テ新設シタル停車場又ハ停留場ニ係ル旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ認可ヲ受ケタル方法ト同一方法ニ依リ制定シタルトキハ實測換算中心哩程表、營業哩程表、各驛間ノ旅客運賃表及大貨物營業哩程表ヲ添附シ實施ノ月日ヲ鐵道局長ニ届出ツヘシ

前項ノ規定ハ停車場又ハ停留場ノ實測換算中心哩程ニ異動ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ營業哩程ニ變更ヲ生セサルトキハ營業哩程表、各驛間ノ旅客運賃表及大貨物營業哩程表ノ添附ヲ要セス

第三十八條　運輸ニ關スル料金ノ認可申請書ニハ其ノ種類及金額ヲ記載スヘシ

第三十九條　旅客列車及混合列車ノ發着時刻及度數ノ認可申請書ニハ發着時刻表（第十八號樣式）及運轉速度表（第十九號樣式）ヲ添附スヘシ

前項以外ノ事故ハ一月分ヲ取纒メ翌月十五日限リ第二十一號樣式ニ依リ之ヲ届出ツヘシ

第四十條　旅客列車及混合列車ノ發着時刻及度數ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ變更發着時刻表、新舊對照運行圖表及運轉速度表ヲ添附シ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ但シ度數ノ增減、各驛間ノ上下列車最小運轉時分ノ短縮又ハ行違驛ノ新設ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ變更ノ理由ヲ具シ變更發着時刻表及運行圖表竝新舊對照運行圖表ヲ添附シ實施ノ月日ヲ届出ツヘシ

第四十一條　前二條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル發着時刻及度數ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ記載シ發着時刻表及運行圖表ヲ添附シ之ヲ届出ツヘシ

第四十二條　貨物列車ノ發着時刻及度數ヲ定メタルトキハ發着時刻表、運行圖表及運轉速度表ヲ添附シ實施ノ月日ヲ鐵道局長ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第四十三條　天災地變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ一時旅客列車及混合列車ノ發着時刻及度數ヲ變更シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ發着時刻表ヲ添附シ遲滯ナク鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

第四十四條　會社解散ノ決議認可申請書ニハ其ノ理由ヲ具シ社員ノ同意書又ハ株主總會ノ議事及決議ノ要領書ヲ添附シ尚株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ同意書ノ謄本ヲモ添附スヘシ

第四十五條　第二十六條、第三十一條及前條ノ株主總會ノ議事及決議ノ要領書ニハ左ノ事項ヲ附記スヘシ

一　資本ノ總數

二　株式ノ總數

三　株上ノ總數

四　出席株主ノ總數

五　出席株主ノ有スル株式ノ總數

第四十六條　列車ノ衝突、脱線及顚覆、機關車ノ汽繻破裂、十二時間以上列車運轉不能其ノ他ノ重大ナル事故ハ即時電信、電話又ハ口頭ヲ以テ報告スルノ外五日内ニ第二十號樣式ニ依リ鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

前項以外ノ事故ハ一月分ヲ取纒メ翌月十五日限リ第二十一號樣式ニ依リ之ヲ届出ツヘシ

第四十七條　他ノ鐵道又ハ軌道ト連絡運輸又ハ直通運輸ヲ爲ストキハ左ノ事項ヲ記載シ契約書ノ謄本ヲ添附シ實施後一週間内ニ鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

一　運轉驛名

二　旅客及荷物ノ取扱方法

三　貸金割賦方法

四　共用停車場、倉庫等ニ關スル使用料其ノ他ノ事項

五　線路及車輛ノ使用料竝遲滯料ニ關スル事項

六　運輸上ノ責任負擔方法

七　運輸開始ノ年月日

第四十八條　私設鐵道業者ハ毎營業年度經過後二月内ニ營業報告書及統計報告書ヲ調製シ鐵道局長ニ之ヲ提出スヘシ

第四十九條　私設鐵道業者ハ商法ニ依ル登記ヲ爲シタルトキ又ハ定款ヲ變更シタルトキハ鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

第五十一條　免許失效シタルトキハ遲滯ナク免許狀ヲ返納スヘシ

附　則

本令ハ朝鮮私設鐵道令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮輕便鐵道令施行規則ハ之ヲ廢止ス

舊令ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

附　則（昭和三年七月總令第四十七號）

本令ハ昭和三年七月十日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

書算概費設建間

鐵道

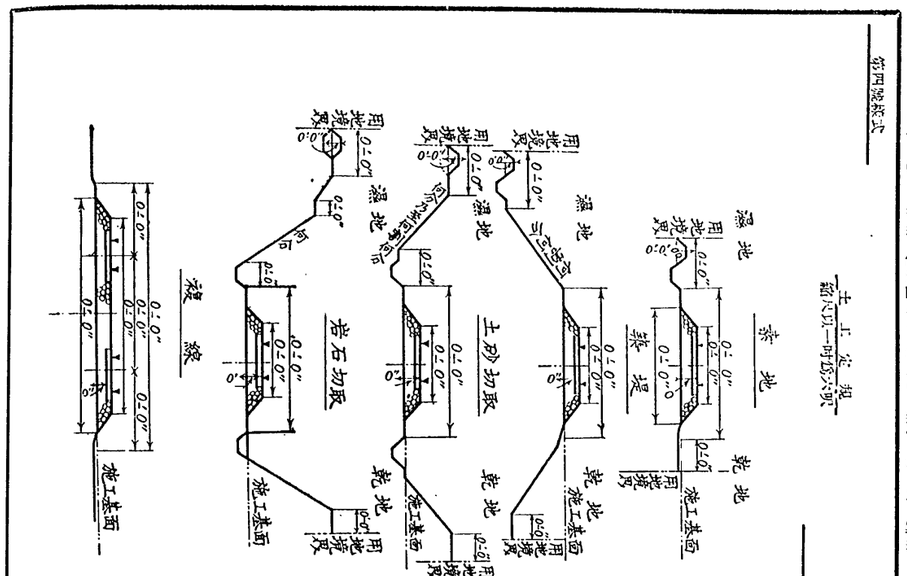
延長哩鎖

摘要	額金	價單	量數	項
	圓			哩
				哩
				哩

第四號樣式

土工定規
縮尺百分一呎六吋

鐵道


赤地
乾地
用地境界
0-0"
0-0"
0-0"
0-7"
0-0"
0-0"
0-0

第六號樣式

鐵道

工程表

延長　哩　鎖

年　月　日現在

摘要	總延長	前期末成工歩合	現在成工歩合	摘要
用地	坪			
土工	立方呎			
橋梁	延長呎			
隧道	〃			
軌道	哩鎖			
停車場	箇所			
電力給送所	箇所			
發電所	〃			
變電所	〃			

備考

1 總延長ニハ記載ノ單位箇呼ニ依リ實數ヲ記載スヘシ

2 前期末及現在成工歩合ノ欄ニハ假レモ總延長ノ數量ニ對スル六月又ハ十二月末日現在ノ成工數量ノ割合ヲ百分率ニテ記載スヘシ

3 摘要欄ニハ前號ノ理由其ノ工程並記載ノ數量等動シタルトキ又ハ工程遅捗セサルトキハ其ノ理由其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ摘記スヘシ

4 工事一部竣功開業シタル後ニ於テハ殘部未開業區間ニ對スルモノミヲ記載スヘシ

鐵道

主要材料表（機車）

摘要	名稱	材質摘要
汽罐部	鋼	
	内外火室各鈑	
	前後煙管鈑	
	スチームドーム	
	煙管	
	各種繫桿	
	繫鋼鐵手鈑	
	繫鋼鐵手日鈑	
機械部	鋼	
	鋼鑄	
	鋼鍛	
	クロッスヘッド	
	同上ガジョンピン	
	スライドバー	
	聯結桿	
	併行桿	
	ツアルヅギーヤ	
	ホヰールセンター	
	輪	
	車軸	
	クランクピン	
	搾頂機	
	案内桿	
	繰衝器	
	プレーキギーヤ	
	牽引鉤及桿	
	牽引頭繫	
	聯結器	
	同上ピン	
	緩衝器頭	
	緩衝器筒	
	緩衝器彈機	

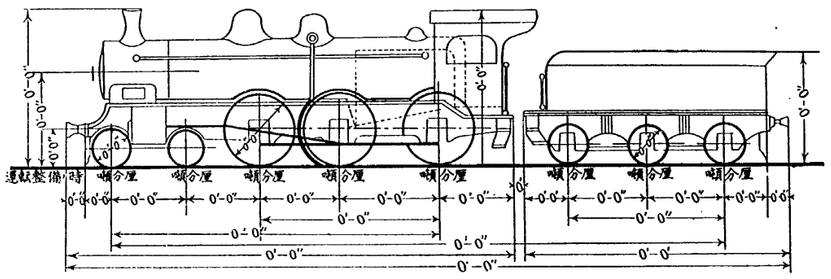
鐵道

表圖功竣輛車

車關機ーグンテ輪十結聯輪六

號番

形式號


0'-0"
0'-0"
0'-0"

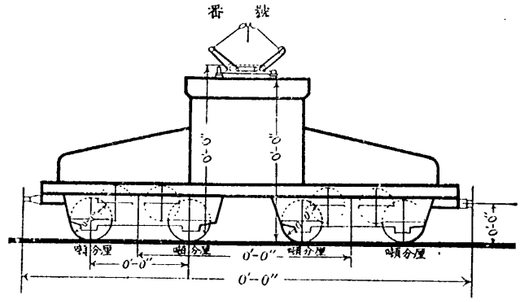
第十號様式ノ四

車輛竣功圖表

鐵道

形式稱號　電氣機關車

番號


0′-0″
0′-0″
0′-0″

第十一號樣式ノ二

電氣工作物功表（火力發電所）

發電所　　鐵道

機械器具其ノ他	數量其ノ他	摘要
出力 最大	出力 キロワット	
出力 平均	出力 〃	
出力 最大出力ノ繼續時間	時間	
使用河川名又ハ湖沼名		
貯水池 水	容量	
貯水池 貯水池使用セメントスル水量	〃	
貯水池 取入口及放水路閘等ノ設備ノ概要		
貯水池 有効落差	〃	
貯水池 有効落差算出方法		
水路 水路	長	
貯水池 容量	立方	
水車 種類		
水車 常用出力	馬力	
水車 回轉數（一分間＝付）	回	
水車 製造所名		
水車 製造年		
水車 水車ノ種類		
發電機 交流ノ種別		
發電機 定格	キロワット	
發電機 電壓	ボルト	
發電機 相數		
發電機 周波數	サイクル	
發電機 極數		
發電機 回轉數（一分間＝付）	回	
發電機 勵磁方法		
發電機 製造所名		
發電機 製造年		
勵磁機 定格	キロワット	
勵磁機 極數		
勵磁機 回轉數（一分間＝付）	回	
勵磁機 製造所名		
勵磁機 製造年		
變壓器 種別		
變壓器 定格	キロワット	
變壓器 電壓	ボルト	
變壓器 相數		
變壓器 周波數	サイクル	
變壓器 冷却方法		
變壓器 製造所名		
變壓器 製造年		
整流器 種別		
整流器 定格	キロワット	
整流器 電壓	ボルト	
整流器 相數		
整流器 周波數	サイクル	
整流器 冷却方法		
整流器 製造所名		
整流器 製造年		
蓄電池 種別		
蓄電池 容量	時率 アンペア	
蓄電池 製造所名		
蓄電池 製造年		
整流器又ハ蓄電池ノ一部ヲ自動車ニ積ミ移動セシムル場合		
備考		

備考

1 本表ハ交流ノ發電所ニ作製スヘシ

2 整流ヲ使用セサル場合ハ本表ノ整流器ノ項ヲ削除スヘシ

3 電氣工作物ノ變更ノ場合ニ於テ本表ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク其ノ變更ヲ記載スヘシ

4 原動機及發電機ノ種類ニ應シ本表ニ適宜ノ事項ヲ追加スヘシ

5 蓄電池ノ設備アルトキハ第十一號樣式ノ三ヲ併セ作製スヘシ

6 本表ハ發電所ノ配置ヲ明示スル平面圖及電氣的結線略圖ヲ添附スヘシ

第十一號樣式ノ三

電氣工作物功表（變電所）

變電所　　鐵道

機械器具其ノ他	數量其ノ他	摘要
出力 最大	出力 キロワット	
出力 平均	出力 〃	
出力 最大出力ノ繼續時間	時間	
變壓器 種別		
變壓器 定格	キロワット	
變壓器 電壓	ボルト	
變壓器 相數		
變壓器 周波數	サイクル	
變壓器 極數		
變壓器 回轉數（一分間＝付）	回	
變壓器 冷却方法		
變壓器 製造所名		
變壓器 製造年		
整流器 種別		
整流器 定格	キロワット	
整流器 電壓	ボルト	
整流器 相數		
整流器 周波數	サイクル	
整流器 冷却方法		
整流器 製造所名		
整流器 製造年		
蓄電池 種別		
蓄電池 容量	時率 アンペア	
蓄電池 製造所名		
蓄電池 製造年		
整流器又ハ蓄電池ノ一部ヲ自動車ニ積ミ移動セシムル場合		
備考		

備考

1 本表ハ交流ノ變電所ニ作製スヘシ

2 整流ヲ使用セサル場合ハ本表ノ整流器ノ項ヲ削除スヘシ

3 電氣工作物ノ變更ノ場合ニ於テ本表ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク其ノ變更ヲ記載スヘシ

4 原動機及發電機ノ種類ニ應シ本表ニ適宜ノ事項ヲ追加スヘシ

5 蓄電池ノ設備アルトキハ第十一號樣式ノ三ヲ併セ作製スヘシ

6 本表ハ變電所ノ配置ヲ明示スル平面圖及電氣的結線略圖ヲ添附スヘシ

第十一號樣式ノ四

電氣工作物功表（架電線路）

架電線路　　鐵道

構造其ノ他	數量其ノ他	摘要
電氣方式 交流ノ別		
電氣方式 相		
電氣方式 波形		
電氣方式 最大使用電壓	ボルト	
電線 種類		
電線 太サ		
電線 條數	條	
電線 長サ	哩	
電線 延長	〃	
電線 地表上ヨリ電線迄ノ平均高	呎	
電柱 木柱	本	
電柱 鐵柱	〃	
電柱 鐵筋混凝土柱	〃	
電柱 支柱	本	
電柱 支線	條	
電柱 支柱間距離	哩	
電柱 最大支柱間距離	〃	
電柱 最小支柱間距離	〃	
電柱 材質		
地中線 心線	種類	
地中線 太サ及數		
地中電線 條數	條	
地中電線 長	哩	
地中線路 暗渠線渠及直接埋		
地中線路 設備ノ別		
備考		

備考

1 第十一號樣式ノ一備考第一號乃至第三號及第六號ハ本表ニ之ヲ準用ス

2 回轉交流機ノ設備アルトキハ之ヲ交流作用ニ區別シ周波數變換機ノ設備アルトキハ之ヲ作製スヘシ

3 本表ニハ發電所ノ配置ヲ明示スル平面圖及發電所變電所並ニ架電線路ノ中心及標識地名ヲ明示スル縮尺約二千分ノ一ノ發電線路平面圖ヲ添附スヘシ

第十一號様式ノ五　電氣工事竣功表（軌道電線路及電車線路）

停車場間
停車場

鉄道

線路名	構造其ノ他	数量其ノ他	摘要
軌道電線路	電氣方法 直流交流ノ別		
	架空軌道電線路 電線 電壓 式類	ヴオルト	
	電線 太サ及線数	條 粁	
	電柱 平均柱間距離 材質	碼	
	心線電纜 太サ及線数		
	地中軌道電線路 電纜 長サ及線数	條 粁	
	直接埋設又ハ暗渠等ノ別		
電車線路	軌道電氣方式 直流交流ノ別		
	電車線ノ電壓	ヴオルト	
	架空單線式架空複線式等ノ別		
	架空電車線路 電線 材質及太サ	粁	
	長サ	粁	
	懸垂吊架ノ方式		
	電柱 平均柱間距離	碼	
	材質側柱及中央柱ノ別		
	軌條回路 下ボン線 種類及太サ		
	補助線 種類及太サ	粁	
	軌條ノ接續方法		
	第三軌條 軌條 形狀	封度	
	設置方法		
	下ボン線 種類及太サ		
	補助線 種類及太サ	粁	
	設置方法		

備考
1 本表ハ電氣方式又ハ電氣鐵道方式ノ異ナル毎ニ作製スヘシ
2 本表ハ電線路毎ニ作製スヘシ
3 懸線吊線式ニ在リテハカテナリー線ノ種類、形狀、太サ等ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
4 本表ニハ電線路構造圖及軌道電線路毎ニ架設哩程、線條數、太サ竝電車線ノ區劃及軌道電線トノ接續箇所ヲ明ニスル軌道電圖竝一覽圖ヲ添附スヘシ

第十二號様式　對哩運賃表　鉄道

營業哩程	運賃 三等	二等	一等

運賃計算ノ方法
三等運賃ハ營業哩程ニ　錢　厘ヲ乘ス
二等運賃ハ三等運賃ノ　割增
一等運賃ハ三等運賃ノ　割增
計算上生シタル厘位ハ之ヲ錢位ニ切上ク（切捨トス）

第十三號様式　實測換算中心哩程表　鉄道

驛名	哩程 哩	鎖	節	摘要
	0	3	20	
	0	71	23.5	
	2	54	0	
	5	11	63	
	6	49	98	

備考　用紙ノ大サハ「フールスカツプ」大版半切トス

第十四號様式　營業哩程表　鉄道

驛名	0.0 分	2.6	5.1	6.6
驛名	1.7	4.2	5.7	
驛名	2.5	4.0		
驛名	1.5			
驛名				

支線

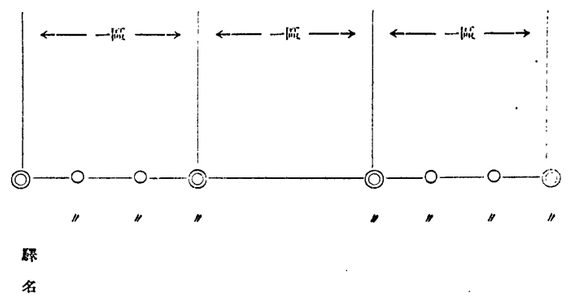
備考
1 營業哩程ハ厘以下ヲ分ニ換算シ厘位以下ヲ四捨五入シ分ニ止ムヘシ
2 起點驛ト他ノ各驛トノ營業哩程ハ第十二號様式所載各驛ノ實測換算中心哩程ヨリ起點驛ノ實測換算中心哩程ヲ控除シ殘餘ノ哩程ヲ換算スヘシ
3 起點驛ニ非サル各驛相互間ノ營業哩程ハ前號ノ營業哩程ヲ差引算出スヘシ（六哩六分ヨリ五哩一分ヲ控除シ一哩五分、二哩六分ヲ控除シ四哩、零哩九分ヲ控除シ二哩七分トシ又五哩一分ヨリ二哩六分ヲ控除シ二哩五分、零哩九分ヲ控除シ四哩二分トスルカ如シ）
4 支線ノ營業哩程ハ前各號ニ依リ算出シ支線各驛ト幹線各驛相互間ノ營業哩程ハ各驛ヨリ分岐點ニ至ル營業哩程ヲ合計シ順次記載スヘシ

第十五號様式　旅客運賃表　鉄道

驛名	哩 3	7	13	17
驛名	5	11	15	
驛名	7	10		
驛名	4			
驛名				

支線

備考
1 運賃表ハ各等別ニ調製スヘシ
2 區間制運賃ニ在リテハ下ノ例示ニ依リ運賃區間ノ驛名ヲ標示スヘシ



第十六號様式

大貨物營業哩程表

鐵道

驛名	2	4	8	10
驛名	3	7	9	
驛名	4	6		
驛名	3			
驛名				

（第　號）

備考

大貨物營業哩程ハ第十三號様式ニ依ル營業哩程表ノ各驛間營業哩程ヲ加算シ計算上生ジタル端數ノ取扱ヲ記明スヘシ

第十七號様式

營業時刻表

鐵道

下り列車	累算哩程	驛名	接続線	時分
1				
※混合				
午前午後				
11.20				
24	0.9		↑ 1.7	
25	2.6		2.5	
31	5.1		1.5	
×40	6.6		2.1	
42	8.7		2.4	
47	11.1↓		2.6	
48	13.7			
55	16.1		2.4	
12.02			午前混※2	
05			上り列車	
14				
14				
22				
28				

備考

1 哩程ハ總テ營業哩程ヲ以テ記載スヘシ

2 符號ヲ以テ列車ノ種別ヲ示ストキハ欄外ニ其ノ凡例（例※印ハ不定期列車ノ如キ）ヲ記載スヘシ

3 時刻ハ上段ヲ發、下段ヲ着（上り列車ハ其ノ反對）トスヘシ

4 通過列車ニハ發時刻ノミヲ記載シ發時刻ニハ×印ヲ附スヘシ

5 列車カ行違ヲ爲ス發發時刻ニハ×印ヲ附スヘシ

6 停車時間一分未滿ノ場合ハ發着共同一ノ時分ヲ記載シ欄外ニ「發着同時分ヲ記載セルモノハ發時刻何秒前ニ到着スルモノトス」ト記載スヘシ

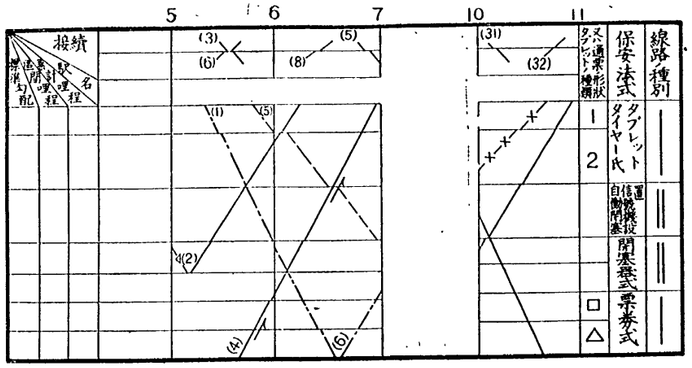
7 支線ノ時刻ハ別ニ記載スヘシ

8 接續列車ノ番號ニハ括弧ヲ附シ下り上り、又ハ發着時分ハ便宜ノ方法ニ依リ記載スヘシ

第十八號様式

列車運行圖表

鐵道



備考

1 驛名ニハ次ノ符號ヲ附スヘシ　聯絡停車場括弧、停留場◎、信號所×、貨物專用驛☒、機關庫所在驛△、

2 列車ハ次ノ符號ニ依リ區別スヘシ　急行旅客列車━━━、旅客列車┈┈┈、混合列車┈·┈·┈、貨物列車┈ ┈ ┈、電車┈ ┈、汽動車←┈←┈←、空客車廻送列車—□—□—、單行機關車—△—、驛ヲ通過スルトキ——

3 不定期列車ニハ其ノ線上ニ×ヲ附スヘシ但シ單行機關車ハ—▶—トスヘシ

4 列車番號ハ見易キ位置ニ括弧ノ附シ記載スヘシ

5 線路種別ハ單線━━━複線═══ノ區別ヲ示スヘシ但シ單線ノミナルトキハ線路種別ノ記入ヲ省略スヘシ

6 新舊對照運行圖表ハ本表ノ記載例ニ倣ヒ現行列車ヲ黑書、改正列車ヲ朱書スヘシ

第十九號様式

運轉速度表

鐵道

驛名	區間哩程	急行旅客列車 運轉時分	急行旅客列車 平均速度	旅客列車 運轉時分	旅客列車 平均速度	混合列車 運轉時分	混合列車 平均速度	貨物列車 運轉時分	貨物列車 平均速度	一一一 運轉時分	一一一 平均速度	標準勾配
	哩 分	分	哩 分									
	0.9	4	13.5									
	1.7	6	17.0									
	2.5	9	16.7									
	1.5	5	18.0									
	2.1	7	18.0									
	2.4	8	18.0									
全線	11.1	(3) 43	15.5									

備考

1 上り列車及下り列車ノ運轉速度異ルモノハ各別ニ記載スヘシ

2 同一種類ノ列車ニシテ同一區間ノ運轉時分異ナルトキハ最少時分ニ依リ作製スヘシ

3 全線ノ運轉時分及平均速度ハ各種類ノ列車中最少時分ヲ以テ運轉スルモノヲ記載シ其ノ列車番號ヲ示スヘシ

第二十號樣式（第壹號列形）

年　月　日

朝鮮總督府鐵道局長宛

鐵道代表者

事故届

事故ノ種類及原因	
發生日時分	
場所	
當該列車又ハ車輛	
現場ノ狀況及當時ノ處置	
當務者處分ノ有無	

備考

一　事故ノ種類ハ左ノ如ク區別シ之ヲ記載スヘシ

列車ノ衝突　衝突シタル列車又ハ車輛ノ種類及衝突ノ種別ヲ記載スヘシ

同上　列車ノ接觸　車輛ノ種類ヲ記載スヘシ

脫線　同上

顚覆　同上

傾倒　列車ノ種類ヲ記載スヘシ

列車ノ分離　同上

列車ノ異線進入　同上

車輛不良　車輛ノ種類及其ノ輛數ヲ記載スヘシ

車輛逸走　同上

線路障碍　天災事變ニ因リ列車運轉ニ支障ヲ及ホシタル事項ヲ記載スヘシ

列車妨害　故意ニ列車ノ運轉ヲ支障シタル一切ノ事項ヲ記載スヘシ

電氣設備ノ故障　列車ノ運轉ニ支障ヲ及ホシタル事項ヲ記載スヘシ

火災　車輛、建造物及沿線被害物ノ種類ヲ記載スヘシ

死傷　乘客、係員及公衆ニ區別シ記載スヘシ

二　場所ハ驛名又ハ起點ヨリノ哩程（何驛間）ヲ記載スヘシ

三　當該列車又ハ車輛ハ其ノ種類及番號ヲ記載スヘシ

四　現場ノ狀況及當時ノ處置ハ詳細ニ說明シ必要ニ依リ圖面ヲ添附スヘシ

五　當務者處分ノ有無ハ解職、減俸、譴責等ノ別ニ依リ記載スヘシ但シ處分未了ノ場合ハ其ノ旨ヲ附記シ處分結了ノ時ニ之ヲ追報スヘシ

第二十一號樣式（第壹號列形）

年　月　日

朝鮮總督府鐵道局長宛

鐵道代表者

月分事故届

事故ノ種類及原因	發生		當該列車又ハ車輛	現場ノ狀況及損害ノ程度	進行停止時間	當務者處分ノ有無
	日	時分	場所		分ノ類末	

備考　第二十號樣式備考ニ同シ

●朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條ノ規定ニ依ル營業收入及營業費計算方法

昭和二年十二月
總令第百八號

朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條ノ規定ニ依ル營業費計算方法左ノ通定ム

朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條ノ規定ニ依ル營業收入及營業費計算方法

第一條　營業收入ハ客車收入、貨車收入其ノ他運輸營業上及附帶事業上ノ諸收入トス

第二條　營業費ハ鐵道及其ノ附屬物件ノ保存復舊ノ費用、諸稅其ノ他運輸營業上及附帶事業上ノ諸費用トス

第三條　一都買收ノ場合ニ於ケル買收區間及殘存區間ノ營業收入及營業費ハ營業年度毎ニ各區間ニ付之ヲ計算ス

買收區間及殘存區間ニ跨ル營場收入及營業費ハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依リ營業年度毎ニ各區間ニ付之ヲ分割ス

一　乘車收入ハ買收區間及殘存區間ニ於ケル延人哩數ニ依ル百分率

二　貨車收入ハ買收區間及殘存區間ニ跨ル貨物ノ各區間ニ於ケル延噸哩數ニ依ル百分率

三　前二號ニ揭ケルモノ以外ノ收入ハ買收區間及殘存區間ニ於ケル他ノ收入總額ニ依ル百分率

四　營業費ハ買收區間及殘存區間ニ於ケル營業收入ニ依ル百分率

第四條　建設及營業ニ關係スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル建設費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

第五條　私設鐵道業者カ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於テ鐵道及他ノ事業ニ關係スル共通費、營業費又ハ營業收入ハ當該營業年度ニ於ケル鐵道及他ノ事業ノ興業及營業ニ關係スル費用又ハ營業收入ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

第六條　第四條ノ規定ハ私設鐵道業者カ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於ケル他ノ事業ノ興業及營業ニ關係スル費用ニ付之ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮私設鐵道買收ニ關スル件

昭和二年八月
制令第十三號

朝鮮私設鐵道買收ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第一條　左ニ揭ケル鐵道ヲ買收スル場合ニ於テ朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條第一項ノ金額カ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ公債時價ニ依リテ公債券面金額ニ換算シタル金額ヲ以テ買收價額トス

第二條　前條ノ鐵道中未タ運輸開始ニ至ラサル線路ノ買收價額ハ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ公債時價ニ依リテ公債券面金額ニ換算シタル金額ヲ以テ協定シタル金額トス

第三條　前二條ノ公債時價ハ既發行公債ノ時價ヲ參酌シ朝鮮總督大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮專用鐵道規程

大正九年十一月
總令第百七十三號
改正　大正一五年一二號九一號

朝鮮專用鐵道規程左ノ通定ム

朝鮮專用鐵道規程

第一條　本規程ハ私人カ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニ之ヲ適用スル但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　人力又ハ牛馬力ヲ使用スルモノ

二　工場內、鑛區內其ノ他之ニ類スル地域內ニ限リ敷設スルモノニシテ公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト直通セサルモノ

第二條　專用鐵道ヲ敷設セムトスル者ハ申請書ニ使用ノ目的ヲ記載シ鐵道ヲ敷設セムトスル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ左ノ書類及圖面ヲ提出シ朝鮮總督ノ免許ヲ受クヘシ

一　線路實測圖

二　工事方法書

三　建設費豫算書

四　他ノ鐵道又ハ軌道ト連絡又ハ直通ニ關スル協定書ノ際ノ

第三條　免許ニハ工事ノ著手及竣工ノ期限ヲ附ス

前項ノ期限ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限リ其ノ伸長ヲ鐵道局長ニ申請スルコトヲ得

第四條　工事ニ著手シタルトキハ、週間內ニ鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

第五條　免許ヲ受ケタル者ハ運輸、信號及列車保安ニ關スル規定ヲ定メ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更スルトキ亦同シ

第六條　專用鐵道ノ運轉ノ管理ノ委託ヲ爲サムトスルトキハ申請書ニ運轉ノ管理ノ委託ニ關スル協定書ヲ添附シ鐵道局長ノ許可ヲ受クヘシ

第七條　運轉ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

第八條　專用鐵道ヲ廢止セムトスルトキハ讓受人ト連署シ鐵道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

第九條　專用鐵道ハ鐵道局長ノ認可ヲ受クルニ非サレハ使用ノ目的ニ屬セサルモノノ運送ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第十條　鐵道局長ハ公益上必要アリト認ムルトキハ工事方法、運轉、信號又ハ列車保安方法ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十一條　免許ヲ受ケシテ專用鐵道ヲ敷設シ又ハ認可ヲ受ケシテ運轉ヲ開始シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條　本令ニ道地方費、府又ハ面ノ敷設スル專用鐵道ニ之ヲ準用ス但シ前條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　地方鐵道法第十一條、第十六條、第十七條、第十九條第二項第三號、同條第二項、第二十條、第二十三條、第二十五條、第三十七條第一項、第三十九條、第四十條朝鮮私設鐵道令施行規則第三條、第十一條乃至第十三條、第十六條、第十七條、第十九條、第二十條、第二十五條、第五十一條、朝鮮私設鐵道建設規程第二十條、第二十二條、第三十一條ノ規定ハ專用鐵道ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ朝鮮私設鐵道令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（大正九年十二月十日ヨリ施行）

明治四十五年朝鮮總督府令第百二十號ハ之ヲ廢止ス

本令ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ニシテ舊令ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受ケタルモノハ本令ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

舊令ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

●朝鮮專用鐵道規程

大正十年四月
法律第三十四號
改正　大正一二年五月第三號、一四年三月三日
（朝鮮ニ施行ノ件ハ昭和五年第七號、九年第二七號）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル朝鮮私設鐵道補助法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

朝鮮私設鐵道補助法

第一條　朝鮮總督ハ朝鮮ニ於テ公衆ノ用ニ供

スル爲總督スル私設鐵道ニ對シ該鐵道營業開始ノ日ヨリ十五年ヲ限リ補助金ヲ交付スルコトヲ得

朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ更ニ五年ヲ限リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得

第二條　前條ノ補助金ハ左ノ各號ニ依ル金額ヲ限度トス

一　前條第一項ノ期間中ハ每營業年度ニ於ケル建設費ニ對シ年六分ノ割合ニ相當スル金額但シ每營業年度ニ於ケル益金ヲ建設費ニ對シ年一分五厘ノ割合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス

二　前條第二項ノ期間中ハ每營業年度ニ於ケル建設費ニ對シ年五分ノ割合ニ相當スル金額但シ每營業年度ニ於ケル益金ヲ建設費ニ對シ年一分ノ割合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス

前條第一項ノ期間中ハ每營業年度ニ於ケル建設費ニ對シ年六分ノ割合ニ相當スル金額但シ每營業年度ニ於ケル益金ヲ建設費ニ對シ年一分ノ割合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス

第三條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ一區營者ノ經營スル鐵道ヲ數區ニ分ケ各區ニ付前二條ノ規定ニ準シ補助ヲ爲スコトヲ得

第四條　前二條ノ規定ニ依ル建設費及益金ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ算出シタル金額ニ依ル

第五條　補助金ノ年總額ハ最高五百萬圓トス

第六條　補助金ノ每年度ノ豫算殘額ハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第七條　補助ヲ受ケル鐵道ノ管理者カ法令、法令ニ基キテ爲ス命令、免許若ハ補助ニ附シタル條件ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督ハ其ノ補助ヲ停止シ又ハ廢止スルコトヲ得

第八條　削除

第九條　詐欺ニ因リテ補助金ヲ受ケタルトキハ法定ノ利息ヲ附シテ之ヲ償還セシム

第十條　前條ノ規定ニ依ル償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

◉朝鮮私設鐵道補助法施行規則

昭和十年一月
總令第二號

朝鮮私設鐵道補助法施行規則左ノ通改正ス

第一條　朝鮮私設鐵道補助法ニ依リ補助ヲ受ケントスル者ハ第一號樣式ノ建設費明細表及第二號樣式ノ一年間ノ營業收支計算表ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

第二條　朝鮮私設鐵道補助法第二條ノ建設費及益金ハ左ノ各號ニ依ル

一　建設費ハ當該私設鐵道ノ豫算及決算額ヲ基礎トシ朝鮮總督ノ査定シタル額

二　益金ハ營業收入ヨリ營業費ヲ控除シタル殘額但シ法定準備金ノ積立ヲ爲スベキ場合ニ於テハ其ノ殘額ノ二十分ノ一ハ之ヲ控除ス

前項第二號ノ營業收入ハ當該私設鐵道ノ客車收入、貨車收入及運輸雜收入ノ決算額トシ同號ノ營業費ハ當該私設鐵道ノ營業費豫算及決算額ヲ基礎トシ朝鮮總督ノ査定シタル額トス

第三條　社債及借入金ノ支出ハ固有資金ノ支出ノ後ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四條　建設費ニ對スル益金ノ割合ハ一年ノ日數ヲ以テ補助日數ヲ除シタルモノヲ建設費ニ乘ジタル額ト當該補助期間ノ益金トノ割合ニ依リ之ヲ定ム

前項ノ規定ハ建設費ニ對スル補助金ノ割合ノ算出ニ付之ヲ準用ス

第五條　補助期間カ營業年度ノ中間ニ於テ開始シ又ハ終了シタル場合ニ於テハ益金ハ當該營業年度ヲ通ジテ同一ノ割合ニ依リ生ジタルモノト看做ス

第六條　朝鮮私設鐵道補助法第三條ノ規定ニ依リ數區ニ分チ補助ヲ爲ス場合ニ於テハ建設費及損益金ハ各區別ニ之ヲ計算ス

前項ノ場合ニ於テ數區ニ關聯スル建設費、營業收入及營業費ノ決算額ハ左ノ各號ニ依リ各區ニ之ヲ分割ス

一　建設費ハ關聯各區ニ於ケル當該營業年度ノ建設費ノ決算額ノ割合ニ依ル百分率

二　客車收入ハ數區ニ跨ル旅客ノ各區ニ於ケル延人粁數ノ割合ニ依ル百分率

三　貨車收入ハ數區ニ跨ル貨物ノ各區ニ於ケル延噸粁數ノ割合ニ依ル百分率

四　運輸雜收入ハ各區ニ於ケル客車收入及貨車收入ノ決算額ノ割合ニ依ル百分率

五　營業費ハ各區ニ於ケル營業收入ノ決算額ノ割合ニ依ル百分率

第七條　前條ノ規定ハ同一區間內ニ於テ漸次營業ヲ開始シタル場合ニ於ケル當該營業年度ノ建設費及損益金ノ計算ニ付之ヲ準用ス

第八條　建設及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル建設費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

第九條　補助ヲ受ケル私設鐵道カ他ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ相互ニ關聯スル興業費、營業收入又ハ營業費ハ當該營業年度ニ於ケル興業費、營業收入又ハ營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

前項ノ場合ニ於テ興業及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル興業費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

第十條　朝鮮私設鐵道補助法ニ依リ補助ヲ受ケル者ハ每營業年度ノ事業豫定計畫書竝ニ第三號樣式乃至第十號樣式ノ建設費及營業收支ニ關スル豫算表ヲ年度開始六十日前迄ニ鐵道局長ニ提出シ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十一條　每營業年度ノ利益處分ハ豫メ鐵道局長ニ之ヲ屆出ヅベシ

前項ノ規定ニ依ル屆書ニハ貸借對照表、損益計算表竝ニ第十一號樣式乃至第二十二號樣式ノ建設費及營業收支ニ關スル豫算決算對照表ヲ添附スベシ

第十二條　借入金ヲ爲シタルトキハ其ノ借入先、金額、事由及條件ヲ具シ鐵道局長ニ屆出ヅベシ

第十三條　朝鮮總督ハ官吏ヲシテ株式總會其ノ他ノ會議ニ臨ミ意見ヲ述ベシムルコトヲ得

附　則

本令發布ノ際現ニ補助ヲ受ケル鐵道ニ付テハ會社設立登記ノ日ヨリ十五年ノ期間滿了ノ日ヲ含ム營業年度ノ末日迄ハ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

式樣號一第

表細明費費設建間々何　分何料何

項	目	數量	均價單平	金額	備考
費	車列建築	粁			
費	具建築用	粁			
費	地及地域建築	粁			
費	線路電	粁			
費	線路力電	粁			
費	所發電	所			
費	工雜及物建	平米			
費	機動機原	機			
費	機器氣電	機			
費	所變電	所			
費	工雜及物建	平米			
費	機器氣電	機			
費	輛車	輛			
費	車客(動電)(無蓋)(有蓋)(電氣)(機關車)	輛			
費	車貨(油ソリン)(無蓋)(有蓋)	輛			
〃	〃	〃			
費	係總	計二付合一粁			
費	料當給手旅、	所			
費	地用地、	所			
費	地用場、	所			
費	所用電、	所			
費	路車停、	所			
費	線電發、	所			
費	地土	平米			
費	取、	立米			
費	堤築	立米			
費	付築、	立米			
費	溝及道路付	平米			
費	及垣石留切	延長米			
費	梁橋	延長米			
費	橋、	延長米			
費	避假橋、	延長米			
費	所川用	所			
費	何、	箇所			
費	渠暗	箇所			
費	渠開	箇所			
費	水樋	箇所			
費	隧	箇所			
費	所及附	箇所			
費	何架下	箇所			
費	何	箇所			
費	道軌	粁			
費	道軌	粁			
費	場車停	所			
費	止、	所			
費	波	所			
費	機械	所			
費	場建物	所			
費	諸	所			
費	送運	粁			
費	選	平米			
費	及監督	決算			

第二號樣式

何々間營業收支計算表（其ノ一）

種別	備考
營業開始年月	
營業區間	
營業粁數	
營業延日粁	
旅客延人粁	
同上一日一粁平均	
貨物延噸粁	
同上一日一粁平均	
運輸收入	
同上一日一粁平均	
客車收入	
同上一日一粁平均	
貨車收入	
同上一日一粁平均	
運輸雜收	
同上一日一粁平均	
雜收入	
同上一日一粁平均	
合計	
同上一日一粁平均	
保存費	
同上一日一粁平均	
（汽）（電）車費	
同上一日一粁平均	
運輸費	
同上一日一粁平均	
何々	
同上一日一粁平均	
總係費	
同上一日一粁平均	
合計	
同上一日一粁平均	

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

同　上（其ノ二）

種別	金額	備考
營業收入		
營業費		
營業費ノ營業收入ニ對スル割合		
利益金		
利益ノ二十分ノ一		
差引益金		

營業收入ノ欄ニハ本表（其ノ一）ノ運輸收入額ヲ記載スベシ

第三號樣式

何々間建設費豫算表

自年月日至年月日

分何粁何

科目	總豫算額	當期豫算額	前期決算未見込額	殘額	備考
測量及監督費					
給料					
手當					
旅費、					
用地費					
用地					
用地					
線路					
停車場					
土工費					
切取					
築堤					
橋梁、					
何々費					
係					
總係費					
報酬					
給料					
手當					
旅費、					
各區間關聯建設費分擔額					
計					
各事業關聯興業費分擔額					
建設營業關聯費分擔額					
合計					

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

第四號樣式

各區間關聯建設費豫算表

自年月日至年月日

科目	前期同年決算額	前期豫算額	當期豫算額	備考
測量及監督費				
給料				
手當				
旅費、				
何々費				
係				
總係費				
報酬				
給料				
手當				
旅費、				
各事業關聯興業費分擔額				
建設營業關聯費分擔額				
合計				

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ
前期ニ比シ著シク增減アルトキハ其ノ理由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第五號様式

各事業關聯興業費豫算表

自　年　月　日至　年　月　日

科目		前年同期決算額	前期豫算額	當期豫算額	備考
測量及監督費					
	給料				
	手當				
	、				
何	、々				
總	、係費				
	報酬料				
	給				
	、計				

備考欄ニハ算出ノ基礎ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

前期ニ比シ著シク增減アルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第六號様式

各事業興業營業關聯費豫算表

本表ハ第五號様式ニ準ジ調製スベシ

第七號様式

建設營業關聯費豫算表

自　年　月　日至　年　月　日

科目		前年同期決算額	前期豫算額	當期豫算額	備考
測量及監督費					
	給料				
	手當				
	、				
何	、々				
總	、係費				
	報酬料				
	給				
	、計				
興業營業關聯費分擔額	合計				

備考欄ニハ算出ノ基礎ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

前期ニ比シ著シク增減アルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第八號様式

何々回營業收支豫算表

自　年　月　日至　年　月　日

科目		前年同期決算額	前期豫算額	當期豫算額	備考
運輸收入	旅客運賃				
	手荷物運賃				
	小荷物運賃				
	郵便物運賃				
	車扱貨物運賃				
	小口扱貨物運賃				
	倉庫保管料				
	荷物積卸手數料				
	鐵道用品賣拂代				
	雜收入				
	利子				
	手數料				
	割引交換券賣拂代				
	營業雜收入				
	不用品賣拂代				
	各區間關聯分擔額				
	計				
各事業關聯營業收入分擔額合計					
保存費					
監督費					
給料、手當、諸手當及賞與金					
建造物修繕費					
災害復舊費					
車輛（電氣）（汽車）監督費					
運轉費					
列車費					
車輛修繕費					
變電所費					
運輸監督費					
停車場費					
何々係費					
總係報酬料					
各區間關聯分擔額					
各事業關聯營業費分擔額合計					
建設各事業關聯營業費分擔額合計					

備考欄ニハ算出ノ基礎ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

前期ニ比シ著シク增減アルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第九號樣式

各事業關聯營業收入豫算表

自年月日至年月日

科目	前年同期決算額	前期豫算額	當期豫算額	備考
雜收入				
預金利子				
株券書換手數料				
、、、、				
何々				
、、、、				
合計				

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ
前期ニ比シ著シキ增減アルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第十號樣式

各事業關聯營業費豫算表

自年月日至年月日

科目	前年同期決算額	前期豫算額	當期豫算額	備考
總係費				
報酬				
、、				
何々				
、、				
合計				

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ
前期ニ比シ著シキ增減アルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第十一號樣式

何々間建設費豫算決算對照表

自年月日至年月日　何料何分

科目	總豫算額	當期分 豫算額	當期分 決算額	當期分 多過又ハ不足額	前期未決算額	當期未決算額	總決算多過又ハ不足額	備考

本表科目ハ第三號表ニ準ジ列記スベシ

第十二號樣式

何々關聯費豫算決算對照表

自年月日至年月日

科目	豫算額	決算額	豫算決算差引過不足額	備考

本表ハ各種關聯費別ニ調製シ各科目ハ第四號乃至第七號、第九號及第十號表ニ準ジ列記スベシ
豫算ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ
雜費等ノ科目ヲ以テ總括記載スルモノアルトキハ其ノ主ナルモノノ內譯及金額ヲ備考欄ニ記載スベシ

第十三號樣式

何々間營業收支豫算決算對照表

自年月日至年月日

科目	豫算額	決算額	豫算決算差引過不足額	備考

本表科目ハ第八號表ニ準ジ列記スベシ
豫算ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ
雜入及雜費等ノ科目ヲ以テ總括記載スルモノアルトキハ其ノ主ナルモノノ內譯及金額ヲ備考欄ニ記載スベシ

第十四號樣式

各區間關聯建設費分割表

自年月日至年月日

區間	建設費當期決算額	分割率（百分比例）	關聯建設費分擔額	各事業關聯興業費分擔額	建設營業關聯費分擔額	合計
何々間						
何々間						
合計						

第十五號樣式

各事業關聯興業費分割表

自年月日至年月日

事業種別	各事業專屬興業費當期決算額	分割率（百分比例）	關聯興業費分擔額	當期決算額合計
鐵道業				
何業				
何業				
合計				

各事業專屬興業費當期決算額中ニハ興業營業關聯費及建設營業關聯費ヲ含マズ

第十六號樣式

各事業興業營業關聯費分割表

自年月日至年月日

事業種別	各事業專屬興業費當期決算額	各事業專屬營業費當期決算額	各事業專屬營業關聯費當期決算額	合計	分割率（百分比例）	興業營業關聯費分擔額
鐵道業						
何業						
何業						
合計						

各事業專屬興業費當期決算額ハ第十五號表中當期決算額合計ノ金額ヲ記載スベシ
各事業專屬營業費當期決算額ハ第二十一號表中當期決算額合計ノ金額ヲ記載スベシ
各事業專屬興業營業關聯費當期決算額ハ第七號表ニ依ル建設營業關聯費決算額ノ合計金額ヨリ興業營業關聯費分擔額ヲ控除シタル金額ヲ記載スベシ
各事業專屬興業費、營業費及興業營業關聯費ノ當期決算額ハ前三項ニ該當セザルモノト雖モ總テ之ヲ各相當欄ニ計上スベシ

第十七號樣式

建設營業關聯費分割表

自年月日至年月日

科目	專屬費當期決算額	分割率（百分比例）	關聯費分擔額
建設費			
營業費			
合計			

第十八號樣式

營業收入區間分割表

自年月日至年月日

區間	粁數	客車收入 延人粁	客車收入 分割率（百分比例）	客車收入 分當額	貨車收入 延噸粁	貨車收入 分割率（百分比例）	貨車收入 分當額	運輸雜收 客貨車收入	運輸雜收 分割率（百分比例）	運輸雜收 分當額	合計
何々間											
何々間											
合計											

第十九號樣式

各事業關聯營業收入分割表

自年月日至年月日

事業種別	各事業專屬營業收入當期決算額	分割率（百分比例）	關聯營業收入分當額
鐵道業			
何業			
何業			
合計			

第二十號樣式

營業費區間分割表

自年月日至年月日

區間	營業粁	營業收入	分割率（百分比例）	分擔額
何々間				
何々間				
合計				

營業收入ハ第十八號表中合計欄ノ金額ヲ記載スベシ

第二十一號樣式

各事業關聯營業費分割表

自年月日至年月日

事業種別	各事業專屬營業費當期決算額	分割率（百分比例）	關聯營業費分擔額	當期決算額合計
鐵道業				
何業				
何業				
合計				

各事業專屬營業費當期決算額中ニハ興業營業關聯費及建設營業關聯費ヲ含マズ

●朝鮮私設鐵道令施行規則第四十八條ノ營業報告書及統計報告書竝第四十九條ノ鐵道運輸ノ樣式

（大正七年總督府令第二百七十五號）

（改正　大正八年府令第二百九十六號）

樣式ノ通定ム

朝鮮私設鐵道令施行規則第四十八條ノ營業報告書及統計報告書竝第四十九條ノ鐵道運輸ノ樣式左ノ通定ム

（營業報告書樣式）

朝鮮總督府鐵道局長殿

年　月　日　鐵道代表者名

年（半ケ）則至自年月日營業報告書

一　概況　本項ハ事業ノ概要ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於テ行政區畫ニ變動ヲ生ジタル事項及其ノ指令ノ要領、兼營ノ業務ニ關スル事項、株主總會ニ關スル事項、社債、借入金其ノ他會計ニ關係アル事項其ノ他營業ノ概要ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル建設改良及保存工事ニ分チ建設改良ニ付テハ當該期間ニ於ケル工事施行ノ概況、本項ハ工事ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル工事ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

二　工事　本項ハ工事ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ建設改良及保存工事ニ分チ建設改良ニ付テハ當該期間ニ於ケル工事施行ノ概況、工程及工事ノ現況ヲ記載シ繼續工事ニ係ルモノハ其ノ則同ニ於ケル進捗歩合及工事ノ現況ヲ記載シ保存工事ニ付テハ其ノ要ヲスルモノノ工程ヲ記載スヘシ

三　運轉　本項ハ運轉ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル營業日數、旅客及貨物ノ收入總額、一日一哩ノ平均收入、營業日數、旅客及貨物ノ數量竝運賃ノ收入ニ付前期及前前期ニ比較シタル增減ノ主因ヲ說明スヘシ

四　會計　本項ハ會計ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル株式ノ增減、株金ノ拂込、借入金、社債、其ノ他會計ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

五　他ノ業務ヲ營ム場合ニ於ケハ其ノ狀況ヲ記載スヘシ

六　營業報告書ニハ別表ヲ添ヘ前項ノ記載ニ關聯シ必要ト認ムル事項ヲ記載スヘシ

株式會社ニ在リテハ提出スヘキ營業報告書ニハ株主總會及當該期間ニ招集シタル臨時株主總會ノ議事要領ヲ添ヘ株主總會及當該期間ニ於ケル取締役會ノ決議ヲ證スル爲メ提出スヘキ書類ニハ其ノ謄本ヲ添ヘ株主總會及當該期間ニ於ケル取締役會ノ決議ヲ證スル爲メ提出スヘキ書類ニハ其ノ謄本ヲ添ヘ

（統計報告書樣式）

朝鮮總督府鐵道局長殿

年　月　日　鐵道代表者名

年（半ケ）則至自年月日統計報告書

一　概況　本項ハ事業ノ概要ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル株式ノ增減、株金ノ拂込、借入金、社債、其ノ他會計ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

二　工事　本項ハ工事ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ建設改良及保存工事ニ分チ建設改良ニ付テハ當該期間ニ於ケル工事施行ノ概況、工程及工事ノ現況ヲ記載シ繼續工事ニ係ルモノハ其ノ則同ニ於ケル進捗歩合及工事ノ現況ヲ記載シ保存工事ニ付テハ其ノ要ヲスルモノノ工程ヲ記載スヘシ

三　運轉　本項ハ運轉ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル營業日數、旅客及貨物ノ收入總額、一日一哩ノ平均收入、營業日數、旅客及貨物ノ數量竝運賃ノ收入ニ付前期及前前期ニ比較シタル增減ノ主因ヲ說明スヘシ

四　會計　本項ハ會計ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル株式ノ增減、株金ノ拂込、借入金、社債、其ノ他會計ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

五　他ノ業務ヲ營ム場合ニ於ケハ其ノ狀況ヲ記載スヘシ

六　營業報告書ニハ別表ヲ添ヘ前項ノ記載ニ關聯シ必要ト認ムル事項ヲ記載スヘシ

株式會社ニ在リテハ提出スヘキ營業報告書ニハ株主總會及當該期間ニ於ケル取締役會ノ決議ヲ證スル爲メ提出スヘキ書類ニハ其ノ謄本ヲ添ヘ

第一表

貸借對照表

年　月　日現在　鐵道

借方 科目	借方 金額	貸方 科目	貸方 金額
	圓		圓
拂込未濟資本金		資本金	
何何固定財產		特別資金	
〃		法定準備金	
何何業興業費		任意準備金	
假出金		社債金	
未收入金		鐵道財團抵當借入金	
預金		借入金	
貯藏物品		當座借越金	
假出物品		支拂手形	
有價證券		未拂金	
現金		未拂配當金	
		假受金	
		職員積立金	
		保證金	
		前期繰越金	
		當期純益金	
		政府補助金	
合計		合計	

備考
1　假出金、未收入金、預金、有價證券（額面又ハ拂込額ヲモ記入スヘシ）未拂金、假受金ハ其ノ內譯及性質ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スヘシ製造物品、機械場勘定、支店勘定等アルトキ亦同シ
2　株式ニ優先株、普通株及舊株、新株等ノ區別アルトキハ各金額ヲ欄外ニ記載スヘシ
3　拂込未濟資本ニ付テハ其ノ株數及各株ノ拂込未濟金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

第二表

損益計算表

自　年　月　日至　年　月　日　鐵道

收入 科目	收入 金額	支出 科目	支出 金額	損益
	圓		圓	圓
客車收入		保存費		
貨車收入		汽車費		
運輸雜收		運輸費		
計		總係費		
雜收入		諸稅		
合計		建設營業費分擔額		
何何業收入		計		
總計		鐵道業負擔諸利子		
		社債差損金		
		財產價額消却金		
		雜損		
		合計		
		何何業支出		
		總計		

備考　1　雜損ハ其ノ主ナル內譯金額ヲ欄外ニ說明スヘシ
2　各事業ニ於テ諸利子ヲ分擔シタルトキハ其ノ金額ヲ欄外ニ記載シ其ノ計算方法ヲ說明スヘシ
3　鐵道業負擔諸利子ハ其ノ內譯ヲ記載スヘシ
4　財產價額消却金ハ其ノ內容ヲ說明スヘシ

第三表

利益處分表

自　年　月　日至　年　月　日　鐵道

收入 科目	收入 金額	支出 科目	支出 金額
	圓		圓
前期繰越金		法定準備金	
當期純益金		任意準備金	
政府補助金		役員賞與金	
		優先株配當金（半何分何分）	
		普通株配當金（〃）	
		後期繰越金	
合計		合計	

備考　1　優先株又ハ普通株ニ數種アルトキハ各種類毎ニ配當金ヲ記載スヘシ
2　年度ノ中間ニ於テ株金ノ拂込アリタルトキハ其ノ期日及金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

第四表

營業收入明細表

自　年　月　日至　年　月　日　鐵道

科目	金額	摘要
	圓	
運輸收入		
客車收入		
旅客運賃		
手荷物運賃		
小荷物運賃		
郵便物運賃		
貨車收入		
小口扱運賃		
車扱運賃		
運輸雜收		
車輛使用料		
入場料		
保管料		
雜入		
雜收入		
預金利子		
株金延滯利子		
株券書替手數料		
物品賣拂代		
雜入		
計		
各事業關聯營業收入分當額		
合計		

備考
1　前期ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ說明スヘシ
2　雜入及物品賣拂代ハ其ノ主ナル內譯金額ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

第五表

営業費明細表

自　年　月　日至　年　月　日

鉄道

科目	金額	摘要	科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
	圓			圓			圓	
保存費			石炭費			給料		
監督費			― ― ―			旅費		
給料			修繕費			― ― ―		
旅費			機關車			何何		
― ― ―			客車			諸稅		
修繕費			貨車			國稅		
軌道			― ― ―			― ― ―		
橋梁			運轉費			― ― ―		
停車場			監督費			― ― ―		
諸建物			給料			― ― ―		
― ― ―			旅費			地方稅		
借地料			― ― ―			― ― ―		
何何			停車場費			― ― ―		
― ― ―			給料			― ― ―		
汽車費(電車費)			乘車券費			― ― ―		
監督費			― ― ―			計		
給料			何何			各事業關聯營業費分擔額		
旅費			― ―			建設營業關聯費分擔額		
― ― ―			總係費					
運轉費			本社費					
給料			報酬			合計		

備考

1 前期ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ說明スヘシ

2 雜費ハ其ノ主ナル內譯金額ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

3 汽車費（電車費）ハ二種以上ノ動力ヲ使用スル場合ハ各動力別ニ項ヲ設ケ區別記載スヘシ

第六表

建設營業關聯費明細表

自　年　月　日至　年　月　日

鉄道

科目	金額	摘要
	圓	
工事監督費		
給料		
旅費		
― ― ― ―		
總係費		
報酬		
旅費		
― ― ― ―		
何 何		
― ― ― ―		
合計		

備考

1 前期ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ說明スヘシ

2 雜費ハ其ノ主ナル內譯金額ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

3 建設營業關聯費ヲ建設費營業費ニ分割スルトキハ其ノ割合ヲ說明スヘシ

4 各事業關聯興業費、各事業興業營業關聯費、各區間關聯建設費、各事業關聯營業收入及各事業關聯營業費アルトキハ本表ニ準シ調製添附スヘシ

第七表

建設費豫算決算對照表

自　年　月　日至　年　月　日

鉄道

科目	豫算額	決算額 前期末決算額	決算額 當期決算額	決算額 計	摘要
	圓	圓	圓	圓	
測量及監督費					
用地費					
線路用地					
停車場用地					
川道付換用地					
發電所用地					
變電所用地					
諸手當					
雜費					
土工費					
線路切取					
線路築堤					
停車場地築					
川道付換					
路切道					
土留石垣					
橋梁費					
何川橋梁					
何川鉄橋					
何川外何箇所					
溝橋費					
開渠					
暗渠					

科目	豫算額	決算額 前期末決算額	決算額 當期決算額	決算額 計	摘要
	圓	圓	圓	圓	
伏樋費					
隧道費					
何隧道					
何隧道外何箇所					
軌道費					
軌條及附屬品					
轉轍器及轍叉					
枕木					
砂利					
敷設費					
雜費					
停車場費					
何驛					
何驛外何箇所					
停留場					
車輛費					
(蒸氣)(電氣)機關車					
(電動)(附隨)客車					
(電動)(附隨)貨車					
汽動車					
器械場費					
諸建物費					
運送費					

科目	豫算額	決算額 前期末決算額	決算額 當期決算額	決算額 計	摘要
	圓	圓	圓	圓	
建築列車費					
建築用具費					
柵垣及境界杭費					
通信線路費					
電力線路費					
送電線					
饋電線					
電車線					
電柱					
架線材料					
ボンド					
電氣信號					
工費					
發電所費					
變電所費					
總係費					
計					
各事業關聯興業費分擔額					
建設營業關聯費分擔額					
合計					

備考

1 本表ハ建設費豫算ヲ區別シタル區間毎ニ調製スヘシ

2 同一豫算ノ區間ニ開業線ト未開業線トアルトキハ各線別ニ其ノ合計金額ヲ欄外ニ記載スヘシ但シ正確ニ區分スルコト能ハサルトキハ一定ノ標準ヲ設ケ之ヲ區分說明スヘシ

3 當期決算又ハ戻入額アルトキハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ說明スヘシ但シ未開業區間ニ在リテハ說明ヲ要セス

第　表

鉄道　　年　月　日現在

種類	区間	哩	軌条	複線	計	停車場及停留場数	計算線側	摘要
		哩鎖	哩鎖	哩鎖	哩鎖		哩鎖	
国有	何何間							
〃	〃〃							
〃	〃〃							
国有（旅客専用線）								
〃	〃〃							
〃（貨物専用線）								
〃	〃〃							
工事施行認可線								
未成線	工事施行認可線							
〃	〃〃							
	計							

備考

1　停車場及停留場数ハ開業線ニ係ルモノノミヲ記載スヘシ

2　他ノ鉄道所属ノ停車場ヲ共同使用スルモノハ之ヲ来管スヘシ

3　他ノ鉄道線路ヲ共用シ又ハ借受使用スルモノアルトキハ開業線ノ欄ニ記載スヘシ

4　前期未現在ニ異動ノトキハ其ノ旨ヲ記載シ未表ヲ省略スルコトヲ得以下各表之ニ同シ

鉄道（会社名）

年月日現在

第　表

種類	区間	軌条	軌条重量	端方	軸数	摘要
蒸気機関車	テンダー機関車					
	計					
	タンク機関車					
	計					
	合計					
内燃機関車	四輪ガソリン					
	計					
総計						

備考

1　人換又ハ工事ニ要用スルモノ及修繕中若ハ認可ヲ得テ貸借中ノモノハ各別ニ容額ヲ附シ区別記載スヘシ

2　蒸気機関車ノ種重及ヒ各車運転装備ノトキニ於ケル重量ノ合計ヲ記載スヘシ

第十七種　交通　電気局処所　第二項　鉄道　第三款　運輸　第三款　鉄道

第　表

鉄道　　年　月　日現在

種類	区間	哩	軌条	複線	計	停車場及停留場数	計算線側	摘要
		哩鎖	哩鎖	哩鎖	哩鎖		哩鎖	
国有	何何間							
〃	〃〃							
〃	〃〃							
国有（旅客専用線）								
〃	〃〃							
〃（貨物専用線）								
〃	〃〃							
工事施行認可線								
未成線	工事施行認可線							
〃	〃〃							
	計							

備考

1　停車場及停留場数ハ開業線ニ係ルモノノミヲ記載スヘシ

2　他ノ鉄道所属ノ停車場ヲ共同使用スルモノハ之ヲ来管スヘシ

3　他ノ鉄道線路ヲ共用シ又ハ借受使用スルモノアルトキハ開業線ノ欄ニ記載スヘシ

4　前期未現在ニ異動ノトキハ其ノ旨ヲ記載シ未表ヲ省略スルコトヲ得以下各表之ニ同シ

鉄道（会社名）

年　月　日現在

第　表

種類	区間	軌条	軌条重量	端方	軸数	摘要
蒸気機関車	テンダー機関車					
	計					
	タンク機関車					
	計					
	合計					
内燃機関車	四輪ガソリン					
	計					
総計						

備考

1　人換又ハ工事ニ要用スルモノ及修繕中若ハ認可ヲ得テ貸借中ノモノハ各別ニ容額ヲ附シ区別記載スヘシ

2　蒸気機関車ノ種重及ヒ各車運転装備ノトキニ於ケル重量ノ合計ヲ記載スヘシ

第十七種　交通　電気局処所　第二項　鉄道　第三款　運輸　第三款　鉄道

第八表

鉄道　　年　月　日現在

種類	区間	哩	軌条	複線	計	停車場及停留場数	計算線側	摘要
		哩鎖	哩鎖	哩鎖	哩鎖		哩鎖	
国有	何何間							
〃	〃〃							
〃	〃〃							
国有（旅客専用線）								
〃	〃〃							
〃（貨物専用線）								
〃	〃〃							
工事施行認可線								
未成線	工事施行認可線							
〃	〃〃							
	計							

備考

1　停車場及停留場数ハ開業線ニ係ルモノノミヲ記載スヘシ

2　他ノ鉄道所属ノ停車場ヲ共同使用スルモノハ之ヲ来管スヘシ

3　他ノ鉄道線路ヲ共用シ又ハ借受使用スルモノアルトキハ開業線ノ欄ニ記載スヘシ

4　前期未現在ニ異動ノトキハ其ノ旨ヲ記載シ未表ヲ省略スルコトヲ得以下各表之ニ同シ

第二表

機関車車表　　年　月　日現在

種類	類別	輪数	軸数	動輪直径	気筒数	気筒径	行程	汽罐圧力	摘要
		輪数	軸数	動輪直径	気筒数	気筒径	行程	汽罐圧力	
蒸気機関車									
内燃機関車									

第九表

駅名	入口	給料月額	駅名	入口	給料月額	駅名	入口	給料月額
取締役社長	区	円	東	区	円	保線区	区	円
常務取締役	区		京	区		保線区	区	
取締役	区		駅	区		保線区	区	
監査役	区		長	区		保線区	区	
支配人	区		助役	区		保線区	区	
計			出札掛	区		保線区	区	
庶務課長	区		改札掛	区		保線区	区	
庶務課員	区		小荷物掛	区		保線区	区	
〃	区		操車掛	区		保線区	区	
〃	区		操車長	区		保線区	区	
〃	区		計			保線区	区	
会計課長	区		運転課長	区		保線区	区	
会計課員	区		運転課員	区		保線区	区	
〃	区		運転主任	区		保線区	区	
〃	区		機関車乗務員	区		保線区	区	
〃	区		〃	区		保線区	区	
計			〃	区		保線区	区	
運輸課長	区		〃	区		保線区	区	
運輸課員	区		〃	区		保線区	区	
〃	区		〃	区		保線区	区	
〃	区		〃	区		保線区	区	
〃	区		〃	区		保線区	区	
計			計			計		
電気課長	区		機関車乗務員	区		保線区	区	
電気課員	区		〃	区		保線区	区	
〃	区		〃	区		保線区	区	
〃	区		〃	区		保線区	区	
〃	区		〃	区		保線区	区	
計			計			計		
電気工夫	区		運転主任	区		保線区	区	
〃	区		書記	区		保線区	区	
〃	区		主任技術者	区		保線区	区	
〃	区		書記	区		保線区	区	
〃	区		技手	区		保線区	区	
計			技手	区		保線区	区	
電気課長	区		技手	区		保線区	区	
電気課員	区		技手	区		保線区	区	
〃	区		技手	区		保線区	区	
〃	区		技手	区		保線区	区	
〃	区		技手	区		保線区	区	
計			技手	区		保線区	区	
電気工夫	区		技手	区		保線区	区	
〃	区		技手	区		保線区	区	
〃	区		技手	区		保線区	区	
〃	区		技手	区		保線区	区	
〃	区		技手	区		保線区	区	
計			技手	区		保線区	区	
保線課長	区		技手	区		保線区	区	
保線課員	区		技手	区		保線区	区	
〃	区		技手	区		保線区	区	
〃	区		技手	区		保線区	区	
〃	区		技手	区		保線区	区	
計			技手	区		保線区	区	
保線工夫	区		技手	区		保線区	区	
〃

第五表

機關車、列車、客車及貨車走行哩表

自　年　月　日至　年　月　日　　鐵道

種別			哩程 自己線走行	哩程 他鐵道走行	哩程 計	摘要
機關車走行哩	列車牽引	蒸氣機關車				
		電氣機關車				
		汽動車				
		電車				
		計				
	補助	蒸氣機關車				
		電氣機關車				
		汽動車				
		電車				
		計				
	入換	蒸氣機關車				
		電氣機關車				
		汽動車				
		電車				
		計				
	單行	蒸氣機關車				
		電氣機關車				
		計				
	合計					
列車走行哩	旅客列車	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車牽引				
		電車牽引				
		計				
	貨物列車	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車牽引				
		電車牽引				
		計				
	混合列車	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車牽引				
		電車牽引				
		計				
	合計					
客車走行哩	旅客列車聯結	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車				
		汽動車牽引				
		電車				
		電車牽引				
		計				
	混合列車聯結	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車				
		汽動車牽引				
		電車				
		電車牽引				
		計				
	合計					
貨車走行哩	貨物列車聯結	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車牽引				
		電車				
		電車牽引				
		計				
	混合列車聯結	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車牽引				
		電車				
		電車牽引				
		計				
	合計					

備考

1　哩程ハ營業上運轉シタルモノヲ記載シ建築及保線用ニ係ルモノヲ算入スヘカラス

2　自己所屬ノ客車及貨車ニシテ他鐵道走行ノ列車聯結別走行哩程不明ナルモノハ單ニ合計ノミヲ記載シ牽引內譯ヲ省略スルコトヲ得

3　借入車ノ走行哩程ハ自己車輛走行中ニ計上スヘシ

第三表

客車表

年　月　日現在　　鐵道

種別		輛數	定員總數 一等	定員總數 二等	定員總數 三等	定員總數 計	手小荷物郵便室客積合計	摘要
			人	人	人	人	瓦	
ボギー車	一等客車 定員　人							
	二等客車 定員　人							
	二、三等合造車 定員　人							
	三等客車 定員　人							
	手小荷物緩急車							
	郵便車							
	‥ ‥ ‥ ‥ ‥							
	計							
四輪車	一等客車 定員　人							
	二等客車 定員　人							
	三等客車 定員　人							
	手小荷物緩急車							
	郵便車							
	‥ ‥ ‥ ‥ ‥							
	計							
合計								

備考

1　電車及汽動車ハ本表ニ準シ區別記載スヘシ

2　定員總數ハ客車定員ノ合計ヲ記載スヘシ

3　修繕中又ハ認可ヲ得テ貸借中ノモノハ各別ニ符號ヲ附シ區別記載スヘシ

第四表

貨車表

年　月　日現在　　鐵道

種別			輛數	積載總量 容積	積載總量 重量	摘要
				噸	噸	
有蓋貨車	ボギー車	貨物車 7噸積				
		家畜車				
		緩急車				
		‥ ‥ ‥				
		計				
	四輪車	‥ ‥ ‥				
		‥ ‥ ‥				
		‥ ‥ ‥				
		計				
無蓋貨車	ボギー車	材木車				
		鑛石車				
		‥ ‥ ‥				
		計				
	四輪車	‥ ‥ ‥				
		‥ ‥ ‥				
		‥ ‥ ‥				
		計				

備考　1　電車及汽動車ハ本表ニ準シ區別記載スヘシ

2　積載總量ハ各車ノ容積又ハ重量ノ合計ヲ記載スヘシ

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第八表

驛別運輸收入表

自　年　月　日至　年　月　日　　鐵道

區間	驛名	旅客	手小荷物	郵便物	貨物	運輸雜收	合計	摘要
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	
間	計							
間	計							
他鐵道扱ニシテ當會社所屬ノ分								
合	計							

備考

1 他ノ鐵道ト連帶運輸ヲ爲スモノニ在リテハ他ノ鐵道ニ屬スルモノヲ控除スヘシ

2 他ノ鐵道所屬ノ驛ヲ共同使用スル場合ニハ其ノ驛ニ於テ取扱ヒタルモノハ他ノ鐵道扱ニ算入セス其ノ驛名ヲ掲ケ區別記載スヘシ

3 區間制及均一制ノ乘車券ニシテ發著驛不明ノモノハ驛名ノ項ニ欄ヲ設ケ一括記載スヘシ

第九表

旅客(貨物)各驛相互發著表

自　年　月　日至　年　月　日　　鐵道

發驛名 ＼ 著驛名	朝鮮線（本線）	他會社線				（支線）		計
（本線）朝鮮線								
他會社線								
（支線）								
計								

備考

1 定期乘車ハ一日一往復トシ、回數乘車ハ其ノ回數、團體及貸切乘車ハ現乘車人員ニ依リ延人員ヲ乘車券發賣當月分ニ算入スヘシ

2 定期、回數及往復乘車券ニ對スル旅客人員ハ兩端驛ニ分記スヘシ

3 區間制及均一制ノ乘車券ニシテ發著驛不明ノモノニ付キテハ本表ヲ省略スルコトヲ得但シ一部不明ノ場合ニ於テハ判明セル分ノミニ付キ本表ヲ作製スヘシ

第六表

運轉用燃料、電力及油脂消費額表

自　年　月　日至　年　月　日　　鐵道

種別			數量	代價	摘要
燃料	蒸氣機關車	運轉用	石　瓲	圓	
		點火用	石　瓲		
		計			
	汽動車	運轉用	石　瓲		
		點火用	石　瓲		
		計			
電力	電氣		瓦	キロワット時	
油脂	蒸氣機關車用		噸　油		
			噸　油		
		計			
	汽動車用		噸　油		
			噸　油		
		計			
	電氣機關車用		噸　油		
			噸　油		
		計			
	電車用		噸　油		
			噸　油		
		計			
	客貨車用		噸　油		
			噸　油		
		計			

備考

1 數量及代價ハ營業上使用シタルモノ（點燈用油脂ヲ除ク）ノミヲ記載スヘシ

2 蒸氣機關車、汽動車、電氣機關車及電車ニ在リテハ自己所屬ノ車輛（借入車ヲ含ム）カ自己線路ヲ走行シタル場合ニ於テ消費シタルモノノミヲ記載シ他ノ鐵道所屬線路ヲ走行シタル場合ニ於ケルモノハ本表ニ準シ區別記載スヘシ

3 客貨車ニ在リテハ車輛所屬ヲ問ハス自己線路ヲ走行シタル場合ニ於ケルモノノミヲ記載スヘシ

第七表

旅客貨物數量及運輸收入月別表

自　年　月　日至　年　月　日　　鐵道

月	數量									運輸收入													摘要
	旅客				手小荷物			貨物		旅客				手小荷物			郵便物	貨物			運賃計算	合計	
	一等	二等	三等	計	手荷物（有賃）	小荷物	計	小口扱	車扱	一等	二等	三等	計	手荷物	小荷物	計		小口扱	車扱	計			
	人	人	人	人	斤	斤	斤	噸分	噸	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
計																							

備考

1 定期乘車ハ一日一往復トシ回數乘車ハ其ノ回數、團體及貸切乘車ハ現乘車人員ニ依リ延人員ヲ乘車券發賣當月分ニ算入シ該乘車券ノ券數、延人員及運賃ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

2 箇數又ハ頭數ヲ以テ取扱ヒタルモノハ之ヲ斤又ハ噸ニ換算スヘシ

3 斤又ハ貫ヲ以テ取扱ヒタルモノハ實重量ヲ噸ニ換算（千七百斤又ハ二百七十貫ヲ一噸ニ）スヘシ

4 車扱又ハ噸ヲ以テ取扱ヒタルモノハ賃金計算噸數ニ依リ之ヲ計上スヘシ

5 本表ノ運輸收入合計ハ營業報告書營業收入明細表ノ運輸收入ト一致スルモノトス

第一表ノ三(用地臺帳附屬合計簿様式)

用　地　臺　帳　ノ　三

道　　郡(府)　　面

年月日	地所名稱	増加 筆数	増加 面積	増加 價額	減少 筆数	減少 面積	減少 價額	記事	年月日	地所名稱	増加 筆数	増加 面積	増加 價額	減少 筆数	減少 面積	減少 價額	記事

備考
1 増加欄面積ニハ取得面積ヲ記載シ同欄ノ價額ニハ土地代價及諸手當ノ合計額ヲ記載スヘシ
2 減少欄面積ニハ取得面積ニ對スル喪失面積ヲ記載シ同欄價額ニハ土地代價ノミヲ記載スヘシ
3 毎期末ニ於ケル其ノ期内ノ増加及減少ノ各面積、價額ヲ地所名稱毎ニ合計シ更ニ地所名稱毎ノ累計ヲ各朱記スヘシ

第二表(橋梁臺帳様式)

圖面番號第　號　　橋　梁　臺　帳　　橋梁

種目		年月日現況	變更修理 年	月	日	變更修理理由	變更修理要旨	摘要
位置		哩鎖飾						
箇所		何線何哩鎖・何町村・何川・何谷・何運河・何道路線						
軌道數		單線、複線						
寸長(兩橋臺面間ノ距離)		呎　吋						
法	徑間ノ長及箇數	呎　吋　箇						
	拂軸ノ長	呎　吋						
角度及方向		直角又ハ斜角　度右又ハ左						
各徑間ノ桁ノ總重量		呎吋鐵桁、　噸　分　厘						
拂又ハ桁	材質	呎吋鋼桁、　呎吋木桁						
	形式	呎吋鋼鈑桁何式						
	製造年							
	製造者	會社　工場						
	所定動荷重	何噸何斤鋼鈑何國鋼重何臺鋼鈑及何國等各荷重標呎何度						
橋臺	材質							
	基礎工	杭打混凝土工						
橋脚	材質							
	基礎工	杭打混凝土工、煉瓦沈井工						
翼壁ノ材質及構造		間知石空積、煉瓦積						
橋梁上線路ノ勾配								
橋梁上線路		直線又ハ曲線半徑						
起工年月								
竣工年月								
建設費								
記事		工事中重大ナル事故其ノ他ノ必要ナル事項ヲ記載スヘシ						

備考
1 橋梁、溝橋、跨線道路橋及水道橋ヲ記載スヘシ
2 一箇ノ橋梁ニ二箇以上ノ鐵道線路ヲ敷設スルトキハ各所屬線ニ分割記載シ欄外橋梁名稱ノ下ニ「何線ト連絡」ノ旨ヲ附記スヘシ
3 橋臺ヲ異ニスル少許ノ距離ヲ有シ併列スルモノハ一箇ノ橋梁ト看做シ記載スヘシ

(鐵道臺帳様式)

第十表

旅客(貨物)發着通過及延哩表

自　年　月　日至　年　月　日　　鐵道

驛名		下り 發	下り 着	上り 發	上り 着	通過 下り	通過 上り	通過 計	驛間哩 哩	分	延人(噸)哩 下り	延人(噸)哩 上り	摘要
本線	他鐵道接												
	支線												
	計												
支線	本線												
	計												

備考
1 驛間哩ハ營業哩ヲ記載スヘシ
2 區間制ノ乘車券ニシテ發着驛不明ノモノニ付キテハ乘車延區間數、總區間數及下記算式ニ依リ計算シタル延人哩ヲ記載シ本表ヲ省略スルコトヲ得

乘車延區間數 / 總區間數 ×營業哩=延人哩

3 均一制ノ乘車券ニシテ發着驛不明ノモノニ付キテハ適當ナル方法ニ依リ延人哩ヲ算出シ其ノ計算方法ヲ附記スヘシ

第一表ノ一(用地臺帳裏面様式)

用　地　臺　帳　ノ　一

道　　郡(府)　　面

單洞	地番	原地目	面積 公簿	面積 實測	價額 上地代價	價額 諸手當	價額 合計	取得 方法	取得 年月日	登記 種別	登記 番號	登記 年月日	地種組替 地番	地種組替 年月日	原所有者 住所	原所有者 氏名	記事

備考
1 原地目欄ニハ土地臺帳ニ登錄ノ土地ハ公簿面ノ地目其ノ他ハ取得當時ノ地目ヲ記載スヘシ
2 面積欄ニハ一筆毎ニ歩又ハ坪ノ單位ヲ肩書シ土地臺帳登錄ノ面積ニ依リ取得シタルモノハ公簿面積ヲ其ノ他ノモノハ實測面積ヲ記載スヘシ
3 價額欄土地代價ニハ買收代價、收用補償交換ノ場合ニハ評價額、無償讓受ノ場合ニハ見積額ヲ記載シ諸手當ニハ地上物件ノ移轉費、補償費等ヲ記載スヘシ
4 取得欄方法ニハ買收、收用、有償讓受、交換、無償讓受等ヲ記載スヘシ
同欄年月日ニハ買收ハ土地賣渡證書記載ノ年月日、收用ハ收用審査會裁決ノ收用時期、讓受及交換ハ協定ノ年月日ヲ記載スヘシ
5 登記欄種別ニハ所有權ノ移轉又ハ保存ノ區別ヲ記載スヘシ
6 地種組替欄地所名稱ニハ鐵道線路敷地、鐵道用地ノ區別ヲ記載シ同欄年月日ニハ地種組替處理濟ノ年月日ヲ記載スヘシ
7 喪失欄原因ニハ有償讓渡、無償讓渡、賣渡、收民、交換等ノ區別ヲ記載スヘシ
同欄面積ニハ取得面積ニ對スル喪失面積ヲ記載スヘシ

第一表ノ二(用地臺帳表面様式)

用　地　臺　帳　ノ　二

喪失 年月日	原因	面積	上地代價	氏名	記事	年月日	原因	面積	上地代價	氏名	記事	年月日	原因	面積	上地代價	名氏	記事

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第四表ノ二(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ二(修繕表)

年月日	修繕又ハ改造箇所	箇数	方法	記事
何年何月何日	石炭焚ストーカーメカニカル・ストラッフラー	1	据付	
〃	左側後サイドロッドブラス	1	取替	
自何月何日	左側第二動輪輪縁	1	弛緩ニ付焼嵌直シ	何月何日修繕落成ニ付試運轉ヲ遂ネ何日何列車ニ充用ス
至何月何日	動輪輪縁	4	削正	成績良好、削正後ノ輪縁ノ厚$2\frac{3'}{16}$
	同上アクスルブラス(右前)	1	取替	
	同上	3	ホワイトメタル注入合	車軸ジョーナル、車軸箱其ノ他ヲ檢査ス各部異狀ヲ認メス
何月何日	右側シリンダー取付ボールト	2	取替	
何月何日	ファイヤーグレート	一式	ロクレニグレートニ改造	何年何月何日監第何號認可、何工場製作、何月何日落成取付、成績良好(製作圖面別紙)
〃	同上ドロップグレート	1	新設	

備考

1 本表ニハ工場及機關庫ニ於テ施行シタル機關車ノ改造、洗燒及主要ナル修繕竝ニ檢査成績ヲ記載スヘシ
2 改造工事ニシテ認可ヲ受ケタルモノハ其ノ年月日及番號ヲ朱記スヘシ
3 汽缸ノ一部ニ當金ヲ爲シタルトキ又ハ焊管、螺捍、鞍鉄等ノ取替ヲ爲シタルトキハ其ノ位置、形狀、寸法、材料ヲホス圖面ヲ添付シ焊管ニ在リテハ材料ノ新舊及材質ヲ記載スヘシ
4 特殊ノ蒸、重要ナル部分ノ破損、古疵及變態竝ニ機關車ノ改良、保存及取扱上參考トナルヘキ事項ヲ記事欄ニ記載シ必要ニ應シ圖面ヲ添付スヘシ
5 當時外部ヨリ點檢不能ノ部分及特ニ破損又ハ故障多キ箇所ヲ修繕又ハ檢査シタルトキハ其ノ狀況及修繕後ノ經過ヲ記事欄ニ記載スヘシ

第四表ノ三(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ三(運轉哩表)

年月	經過年月 最近大修繕後	經過年月 使用開始後	運轉哩 一月	運轉哩 最近大修繕後	運轉哩 使用開始後	記事
	年 月	年 月	哩	哩	哩	

第四表ノ四(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ四(一月檢査表)

檢査竣所 / 檢査年月日	火室	焔管	管鈑	可鎖栓	制動機	檢水器	給水器及附属活栓	火粉止裝置	記事

第四表ノ五(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ五(六月檢査表)

檢査年月日 / 檢査竣所	汽筒 直徑 最大 左	汽筒 直徑 最大 右	汽筒 直徑 最小 左	汽筒 直徑 最小 右	汽筒 鞲子及鞲子桿 左	汽筒 鞲子及鞲子桿 右	汽筒 クリアランス 左 前	汽筒 クリアランス 左 後	汽筒 クリアランス 右 前	汽筒 クリアランス 右 後	汽鑵 内部	汽鑵 揚動弁厚 左	汽鑵 揚動弁厚 右	壓力計	眞空管	安全辨 第一 噴出壓力	安全辨 第一 噴出壓力	安全辨 第二 噴出壓力	安全辨 第二 噴出壓力	節汽筒	蒸氣管	放汽管	記事

第三表(隧道臺帳樣式)

隧道臺帳

圖面番號第　號　　隧道

種目	年月日現況	變更修理 年月日	變更修理理由	變更修理要旨	摘要
位置	自里鎖節至哩鎖節				
箇所	何山、何ノ下、				
軌道數	單線、複線				
長	呎　吋				
隧道內線路ノ勾配					
隧道內線路	直線又ハ曲線半徑				
壁 拱ノ厚、長、材質	厚呎吋、長呎吋、　材質				
側壁ノ厚、長、材質	厚呎吋、長呎吋、　材質				
仰拱ノ厚、長、材質	厚呎吋、長呎吋、　材質				
排水渠ノ寸法、位置、材質	側溝ノ有無及材質				
待避所ノ寸法、位置	長呎吋・幅呎吋・深呎吋・左右ノ別及箇所數				
坑門ノ材質					
地質					
起工年月					
竣工年月					
建設費					
記事	工事中重大ナル事故其ノ他ノ必要ナル事項ヲ記載スヘシ				

第四表ノ一(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ一

形式番號　　第　號機關車

形式			車輪 導輪	直徑	輪鐵幅	輪緣厚高	車輪一對ノ輪鐵内側距離	記事	
最大寸法 長	呎吋		車輪 動輪	呎吋	吋	吋 吋	呎吋		
最大寸法 幅	〃〃		車輪 從輪	〃	〃	〃 〃	〃〃		
最大寸法 高	〃〃		車輪 炭水車輪	〃	〃	〃 〃	〃〃		
汽筒 直徑	吋			ジョーナルホヰールフイット					
汽筒 衝程	〃			徑	長	徑	長		
實用最高汽壓	封度吋		車輪 導輪 一位	吋	吋	吋	吋		
火床面積	平方呎		車輪 導輪 二位	〃	〃	〃	〃		
傳熱面積 火室	〃		車輪 動輪 一位	〃	〃	〃	〃		
傳熱面積 焔管	〃		車輪 動輪 二位	〃	〃	〃	〃		
傳熱面積 火室	〃		車輪 動輪 三位	〃	〃	〃	〃		
過熱面積	〃		車輪 動輪 四位	〃	〃	〃	〃		
焔管 大	徑長數		車輪 從輪	〃	〃	〃	〃		
焔管 小	〃〃〃		車輪 炭水車	〃	〃	〃	〃		
水槽容量	ガロン		制動機 種類	商					
燃料標準積	立方呎		制動機 制輪子 種類	制輪中心間距離	制輪中心ノ高	制輪ノ直徑	頭	徑	
機關車重量 空	噸			呎吋		呎吋		吋	
機關車重量 全	〃		緩衝器						
炭水車重量 空	〃		聯結器種類						
炭水車重量 全	〃		撥彈機						
車軸前上對ノ軌壓力 導輪 一位	〃		製造所名						
車軸前上對ノ軌壓力 導輪 二位	〃		製造年月						
車軸前上對ノ軌壓力 動輪 一位	〃		使用開始年月						
車軸前上對ノ軌壓力 動輪 二位	〃		代價						
車軸前上對ノ軌壓力 動輪 三位	〃		前所有者名						
車軸前上對ノ軌壓力 動輪 四位	〃		舊番號						
車軸前上對ノ軌壓力 從輪	〃								
牽引重量	噸								

備考

機關車ノ配置替、貸與、借入、讓受、讓渡其ノ他ノ移動ニ關スル事項ハ記事欄ニ記載スヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第六表ノ一（電氣機關車臺帳様式）

電氣機關車臺帳ノ一

形式番號　　第　　號電氣機關車

形式
最大寸法　長　幅　高
機關車重量
車輪一對ノ軸重　動輪　一位　二位
從輪　一位　二位　三位　四位
車輪　動輪　從輪
制動機　種類　制輪子箇數　シリンダー　徑　行程　能力　容積　壓搾機

呎吋　緩衝器
〃　連結器種類
〃　捻子箇數
噸　捻子徑
噸　車體製造者名
〃　トラック製造者名
〃　電動機種類
〃　製造者名　電壓　馬力數　箇數　重量
〃　電燈　箇數
〃　種類　箇數
〃　附屬機械器具
〃
〃
〃

第八表ノ一（客車臺帳様式）

客車臺帳ノ一

形式番號　　記號番號

| | | |

●外國ニ於ケル帝國鐵道ノ敷設ニ關スル作業

●朝鮮輕便鐵道令施行規則

第四款　軌道

二　橋梁及隧道ノ伸縮增減
三　停車場ニ於ケル諸建造物又ハ側線ノ伸縮增減
四　車幅ノ增減
五　車幅ノ改造

第十五條　線路ヲ變更シ又ハ停車場、停留場、驛務所、信號所ヲ新設、廢止シ若ハ其ノ位置ヲ變更セムトスルトキハ理由ヲ具シ認可ヲ受クヘシ但シ線路又ハ停車場、停留場、驛務所、信號所ノ位置ヲ變更セムトスル場合ニ在リテハ新舊對照圖面ヲ添附スヘシ

左記各號ニ該當スルモノハ前項ノ書類及圖面ヲ添附シ其ノ都度之ヲ屆出ツヘシ

一　線路中心線ノ異動カ實側平面圖ニ記ル最初ノ位置ヨリ左右各五鎖以内ニ在ルトキ
二　施工基面高低ノ變更カ實測縱面圖ニ記セル最初ノ位置ヨリ六呎以内ニ在ルトキ
線路ノ變更カ重要ナル道路、河川、港灣又ハ著名ノ建造物所在地ニ關係ヲ有スルトキ又ハ家屋其ノ他ノ建造物、河川若ハ道路トノ關係ニ異動ヲ生シ街衢ノ狀態ヲ變スルトキハ前項ノ規定ニ該當スル場合ト雖認可ヲ受クルコトヲ要ス

停車場、停留場、驛務所及信號所ノ名稱ヲ變更シタルトキハ其ノ都度之ヲ屆出ツヘシ

第十六條　工事ニ著手シタルトキハ遲滯ナク之ヲ屆出ツヘシ竣功ノ場合亦同シ

第十七條　輕便鐵道又ハ軌道カ運輸ヲ開始セムトスルトキハ認可ヲ受クヘシ

朝鮮總督ハ運輸開始ノ認可前ニ於テ六十日ヲ限リ假ニ運輸ノ認可ヲ爲スコトヲ得

第十八條　運輸開始後線路內ニ假設工事ヲ施行シタルトキハ其ノ理由、工事方法及使用期間ヲ記載シ圖面ヲ添附シ其ノ都度之ヲ屆出ツヘシ

第十九條　私設ノ輕便鐵道又ハ軌道ノ乘客、荷物ノ運貨、運轉度數、營業時間及列車發著時刻ハ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

朝鮮總督ハ公益上必要ト認ムルトキハ前項ニ揭ケタル事項ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第二十條　輕便鐵道又ハ軌道ハ許可ヲ受クルニ非サレハ全部若ハ一部ノ營業ヲ廢止シ又ハ營業ヲ休止スルコトヲ得ス

第二十一條　監督官廳ハ何時ニテモ所屬官吏ニ命シ輕便鐵道又ハ軌道ノ事業經營ノ實況ヲ檢査セシムルコトヲ得

第二十二條　私設ノ輕便鐵道又ハ軌道ノ事故ハ之ヲ屆出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ事故發生地ヲ管轄スル警察官署ニモ所屬官吏ヲシテ屆出ツヘシ

第二十三條　輕便鐵道又ハ軌道ハ每年決算期又ハ六月及十二月ノ現在ヲ以テ一月內ニ營業報告書ヲ提出スヘシ

第二十四條　輕便鐵道又ハ軌道ハ鐵道臺帳ニ調製シ之ヲ備置クヘシ

第二十五條　輕便鐵道又ハ軌道ハ鐵道統計ニ調製シ之ヲ提出スヘシ

第二十六條　會社ニ於テ會社又ハ商業ニ關スル登記ヲ爲シタルトキ又ハ定款ヲ變更シタルトキハ其ノ都度之ヲ屆出ツヘシ

第二十七條　私設ノ輕便鐵道又ハ軌道、他ノ鐵道、輕便鐵道又ハ軌道ト連絡運輸又ハ直通運輸ヲ爲ストキハ左ノ事項ヲ記載シ契約書ノ謄本ヲ添附シ實施後遲滯ナク之ヲ屆出ツヘシ

一　連帶關係
二　乘客及荷物取扱方法
三　運賃割賦方法
四　共用停車場、倉庫等ニ關スル使用料及其ノ他ノ事項
五　線路及車輛ノ使用料效遲滯料等ニ關スル事項
六　運輸上責任負擔方法
七　運輸開始ノ年月日

第二十八條　第一條、第七條、第八條及第十一條ノ許可又ハ認可ノ申請書ハ主タル事務所ノ所在地又ハ之ヲ設置セムトスル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ第十五條中停車場ノ新設、廢止又ハ其ノ位置ノ變更ニ關スル認可申請書亦同シ

前項ノ場合ヲ除クノ外朝鮮輕便鐵道令及本令ニ依リ朝鮮總督ニ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スルコトヲ要セス

第二十九條　地方長官ハ鐵務部長ニ商議シ前條第一項ノ申請書ニ意見ヲ附シテ進達スヘシ但シ事業カ他ノ管內ニ亙ルトキハ同時ニ關係地方長官ニ商議スヘシ

前項但書ノ場合ニ於テ關係地方長官ハ鐵務部長ニ商議シ意見書ヲ調製スヘシ

第三十條　鐵務部長ハ輕便鐵道又ハ軌道ニ關シ交通警察上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第三十一條　不實ノ申告ヲ爲シテ本令ニ依ル許可又ハ認可ヲ受ケタルトキハ之ヲ取消スコトアルヘシ

第三十二條　輕便鐵道又ハ軌道廢止ノ許可カ其ノ效力ヲ失ヒタルトキハ遲滯ナク許可狀ヲ返納スヘシ

第三十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　本令ニ依リ許可若ハ認可ヲ受クヘキ事項ヲ許可若ハ認可ヲ受ケスシテ爲シ又ハ許可若ハ認可ノ條件ニ違反シタル者
二　不實ノ申告ヲ爲シテ許可又ハ認可ヲ受ケタル者
三　第十九條第二項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第三十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　鐵道臺帳ヲ備置カス又ハ之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不實ノ記載ヲ爲シタル者
二　本令ニ依ル營業報告、鐵道統計、事故其ノ他ノ屆出及報告ヲ怠リ又ハ不實ノ屆出、報告ヲ爲シタル者

附　則

本令ハ朝鮮輕便鐵道令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮輕便鐵道令施行規則附屬第一號樣式

何何輕便鐵道（何々何何軌道）

敷設費用概算書

節　　鎖　　哩

項	數量	平均單價	金高	備考
費				
測量及監督費				
用地費	段			
土工費	坪			
橋梁費	延長呎			
隧道費	延長呎			
軌道費	哩			
電線路費	哩			
停車場費	箇所			
車輛費				
諸建物費				
發電所費				
……				
……				
總係費				
合計	哩		……	敷設費
一哩ニ付		……		
			……	營業資金
				總計

朝鮮輕便鐵道令施行規則附屬第二號樣式

何何輕便鐵道（又ハ何何軌道）

鐵道收支概算書

線路	建設費 合計	建設費 毎哩	貨物噸哩又ハ噸數 合計	貨物噸哩又ハ噸數 毎哩	旅客人哩又ハ人員 合計	旅客人哩又ハ人員 毎哩	貨物收入 合計	貨物收入 毎哩	旅客收入 合計	旅客收入 毎哩	營業費 合計	營業費 毎哩	鐵道 合計	從人ノ純資本ニ對スル割合	摘要

作運幅倫非ノ他業務道ノ開建設、

第十七冊　交通　電氣附瓦斯　第二章　運輸　第四款　軌道

第一節　軌道ノ開建設、

軌道ハ車輛ヲ運轉スル爲メ鐵製ノ軌條ヲ敷設シタル道路ヲ謂フ軌道ニハ鐵道軌道及ヒ特殊軌道ノ三種アリ鐵道ハ蒸氣機關車ヲ以テ旅客又ハ貨物ヲ運輸スルモノニシテ軌道ハ主トシテ市街ニ敷設セラレ電氣ヲ以テ運轉スルモノヲ謂フ特殊軌道ハ鐵道軌道ニ非サルモノヲ謂フ

第一款　鐵道

鐵道ハ其ノ敷設ノ場所ニ依リ本線支線及ヒ側線ニ區別ス本線ハ主トシテ旅客又ハ貨物ノ運輸ニ供スル線路ニシテ支線ハ本線ニ連絡シテ其ノ運輸ヲ補助スル線路ヲ謂フ側線ハ本線又ハ支線ニ連絡シテ車輛ノ留置又ハ運轉ノ便ニ供スル線路ヲ謂フ

鐵道ノ敷設ニ關シテハ鐵道敷設法ノ定ムル所ニ依リ豫メ主務大臣ノ認可ヲ受ケサルヘカラス

第十七章　交通　運輸　船舶　航路

第一節　総則

第一款　●船舶

第一條　船舶ト稱スルハ汽船、帆船、端舟其ノ他ノ水上運送ノ用ニ供スル船舶ヲ謂フ

第二條　船舶ハ日本ノ國籍ヲ有スルモノニ限リ之ヲ日本船舶ト稱ス

第三條　日本船舶ハ日本人ノ所有ニ屬スルモノニ限ル

日本人ノ所有ニ屬スルモノト雖モ左ノ場合ニ於テハ日本船舶ト看做サス

一　日本人ノ持分ノ合計カ船舶ノ過半ニ當ラサルトキ

二　日本人ノ持分ノ合計カ船舶ノ過半ニ當ルト雖モ其ノ者ノ居所カ日本ニ在ラサルトキ

三　日本人ノ持分ノ合計カ船舶ノ過半ニ當ルト雖モ其ノ者ノ居所カ日本ニ在ルモ其ノ者カ日本ノ國籍ヲ有セサルトキ

第四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ日本船舶ニ非サルモノニ譲渡シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ譲渡シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸スルコトヲ得ス

第七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第二十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第二十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第二十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第二十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第二十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第二十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第二十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第二十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第二十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第二十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第三十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第三十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第三十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第三十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第三十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第三十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第三十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第三十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第三十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第三十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第四十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第四十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第四十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第四十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第四十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第四十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第四十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第四十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第四十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第四十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第五十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第五十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第五十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第五十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第五十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第五十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第五十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第五十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第五十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第五十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第七十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第七十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第七十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第七十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第七十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第七十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第七十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第七十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第七十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第七十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第八十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第八十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第八十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第八十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第八十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第八十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第八十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第八十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第八十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第八十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第九十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第九十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第九十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第九十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第九十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第九十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第九十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第九十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第九十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第九十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百二十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百二十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百二十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百二十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百二十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百二十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百二十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百二十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百二十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百二十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百三十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百三十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百三十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百三十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百三十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百三十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百三十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百三十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百三十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百三十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百四十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百四十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百四十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百四十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百四十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百四十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百四十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百四十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百四十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百四十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百五十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百五十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百五十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百五十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百五十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百五十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百五十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百五十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百五十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百五十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百六十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百六十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百六十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百六十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百六十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百六十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百六十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百六十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百六十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百六十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百七十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百七十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百七十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百七十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百七十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百七十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百七十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百七十七條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百七十八條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百七十九條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百八十條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百八十一條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百八十二條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百八十三條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百八十四條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百八十五條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第百八十六條　日本船舶ハ日本ノ港ニ於テ之ヲ外國ニ航行スル船舶ニ非サルモノニ賃貸シ又ハ之ヲ抵當ト

ハ船長ヲ十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條　第七條ノ規定ニ從ヒテ日本ノ國旗ヲ揭ケサルトキハ船長ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條　第七條ニ定メタル事項ノ船舶ニ標示セサルトキ又ハ第八條乃至第十二條若クハ第十四條ノ規定ニ違反シタルトキハ船所有者ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　第二十二條（第二十三條、第二十五條及ヒ第二十六條ノ規定ハ船長ニ代ハリテ其職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

第二十九條　第二十二條（第二十三條、第二十五條及ヒ第二十六條ニ定メタル罪ニ付テハ刑法（數人共犯ノ例ヲ適用セス

第三十條　第二十七條ノ場合ニ於テ刑法（第七十八條乃至第八十條）ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ罪ヲ論スヘカラサルトキハ其法定代理人ヲ罰ス

第三十一條　第二十七條ノ規定ハ船舶管理人又ハ商事會社其他ノ法人ノ代表者若クハ清算人ニ之ヲ適用ス

第三十二條　管海官廳ノ事務ハ外國ニ在リテハ日本ノ領事又ハ貿易事務官之ヲ行フ

附　則

第三十三條　本法ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十四條　船舶ノ登記ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十九年法律第一號登記法中船舶ノ登記ニ關スル規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十五條　商法第五編ノ規定ハ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テセサルモ航海ノ用ニ供スル船舶ノ之ヲ準用ス但官廳又ハ公署ノ所有ニ屬スル船舶ニ付テハ此限ニ在ラス

第三十六條　明治三年五月二十七日布告商船規則、同十二年第五號布告、同年第十九號布告、同十四年第十二號布告其他ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ牴觸スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十七條　本法施行ノ際登簿船免狀又ハ船

其取得地ニ於テ假船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得

第十三條　第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條　外國ニ於テ交付スル假船舶國籍證書ノ有效期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ス日本ニ於テ交付スル假船舶國籍證書ノ有效期間ハ六箇月ヲ超ユルコトヲ得ス前二項ノ期間ヲ超ユルトキト雖モ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ船長ハ更ニ假船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得

第十八條　船舶力船籍港ニ到著シタルトキハ假船舶國籍證書ハ有效期間滿了前ト雖モ其效力ヲ失フ

第十九條　第十一條乃至第十四條ノ規定ハ假船舶國籍證書ニ之ヲ準用ス

第二十條　前十六條ノ規定ハ總噸數二十噸未滿又ハ積石數二百石未滿ノ船舶及ヒ端舟其他僅ニノミ運轉スル舟ニハ之ヲ適用セス

第二十一條　前條ニ揭ケタル舟舶ノ船籍及ヒ其積量ノ測度ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　日本船舶ニ非サシテ國籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ揭ケタルトキハ船長ヲ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收ス但捕獲ヲ避ケント欲スル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ揭ケタルトキハ此限ニ在ラス

日本船舶力國籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本ノ國旗ニ非サル旗章ヲ揭タルトキ亦前項ニ同シ

第二十三條　第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收ス

第二十四條　官吏ヲ欺キ船舶原簿ニ不實ノ登錄ヲ爲サシメタル者ハ二月以上三年以下ノ【重禁錮】ニ處シ【百圓以上千圓以下ノ罰金ヲ附加ス】

前項ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ刑法【未遂犯罰】ノ例ニ依リテ處斷ス

第二十五條　第六條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

●朝鮮船舶令施行規則

大正三年五月
總令第六十五號

改正　大正三年九月第二四一號、九年一〇月一
五四號、一〇年四月六日號、昭和七年六月第
五〇號七年一〇月一〇日號、第一〇九號

朝鮮船舶令施行規則左ノ通定ム

朝鮮船舶令施行規則

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ船舶ノ種類トハ汽船、帆船ノ別ヲ謂フ

機械力ヲ以テ運航スル裝置ヲ有スル船舶ハ蒸氣ヲ用ヰルト否トニ拘ラス之ヲ汽船ト看做ス

主トシテ帆ヲ以テ運航スル船舶ハ機關ヲ有スルモノト雖之ヲ帆船ト看做ス

第二條　漁撈船ニシテ推進器ヲ有セサルモノハ之ヲ船舶ト看做サス

第三條　船籍港ハ府、邑又ハ面ノ名稱ニ依リ行シ得ヘキ永面ニ於テ之ヲ定ムルモノニ限ル

第四條　左ノ場合ニ於テハ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ交付前ト雖モ管海官廳ノ認可ヲ受ケ船舶ヲ航行セシムルコトヲ得

一　積量ノ測度ヲ受ケムトスルトキ

二　正當ノ事由アルトキ

三　管海官廳ニ於テ前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ前項第一號ノ場合ヲ除クノ外第六號書式ノ航行認可書ヲ交付ス

第五條　左ノ場合ニ於テハ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ交付前ト雖船舶ニ國旗ヲ揭クルコトヲ得

一　稅日、祭日但シ外國ノ祝祭日ニ付テハ其ノ國ノ港ニ碇泊スル場合ニ限ル

二　前號ノ外觀意又ハ敬意ヲ表スルトキ

三　通水ノトキ

四　前條ノ規定ニ依リ船舶ヲ航行セシムルトキ

第六條　船舶ノ積量若ハ登錄ニ關スル事項又ハ其ノ標示ヲ照査スル爲必要アリト認ムルトキハ檢査官吏ハ何時ニテモ船舶ニ臨檢スルコトヲ得

第七條　本令ノ規定ニ依リ管海官廳ニ書類ヲ提出スヘキ場合ニ於テ代理人ヲ使用スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第二章　積量ノ測度

第八條　船舶法第四條ノ規定ニ依リ船舶ノ積

量ノ測度ヲ申請セムトスル者ハ第一號書式ノ申請書ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

管海官廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ前項ノ申請書ノ外造船地、造船者、造ノ年月及船舶ノ原名ヲ證スル書面ヲ提出セシムルコトヲ得

總噸數五百噸以上ニシテ旅客ヲ搭載セムトスル船舶ニ付テハ管海官廳ハ前項ノ書面ノ外倘船體中心線縱截面圖及各甲板平面圖ヲ提出セシムルコトヲ得

第八條ノ二　船舶法第九條ノ規定ニ依リ船舶ノ積量ノ改測ヲ申請セムトスル者ハ申請書ニ改測ヲ受ケムトスル部分及改測ノ爲檢査官吏ノ臨檢ヲ受ケムトスル場所ヲ記載シ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

前條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條　積量ノ測度又ハ改測ハ船舶檢査執行地ニ於テ之ヲ行フ但シ船舶ノ構造、航路ノ狀況又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ船舶ヲ檢査執行地迄航行セシムルコト能ハサル場合ニ於テ管海官廳ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

朝鮮外ノ地ニ於テ積量ノ測度又ハ改測ヲ行フ場所ハ當該官廳之ヲ指定ス

第十條　積量ノ測度又ハ改測ヲ申請スル者ハ測度又ハ改測ヲ受クルニ必要ナル準備ヲ爲スヘシ

第十一條　削除

第十二條　管海官廳ニ於テ積量ノ測度又ハ改測ノ申請ヲ受ケタルトキハ檢査官吏ヲシテ船舶ニ臨檢シ第二號書式ノ船舶件名書及所定ノ船舶積量測度表ヲ調製セシムヘシ

第十三條ノ二　管海官廳ハ積量ノ測度ヲ行ヒタル場合ニ在リテハ船舶件名書ノ謄本ヲ申請者ニ交付シ第八條第二項ノ規定ニ依リ提出シタル書面アルトキハ之ヲ還付スヘシ

管海官廳ハ積量ノ改測ヲ行ヒタル場合ニ於テ既ニ登錄シタル事項ニ變更アリト認メタルトキハ其ノ變更ニ係ル事項ヲ申請者ニ通知スヘシ

第十三條　船舶力朝鮮外ノ地ニ於テ積量ノ測

七　帆船ノ帆裝
八　上甲板梁上ニ於テ船首材ノ前面ヨリ船尾材ノ後面ニ至ル長
九　船體最廣部ニ於テ肋骨ノ外面ヨリ外面ニ至ル幅
十　長ノ中央ニ於テ龍骨ノ上面ヨリ上甲板梁ノ舷側ニ於ケル上面ニ至ル深
十一　總噸數
十二　總積量

船首樓ノ積量
船橋樓ノ積量
船尾樓ノ積量
甲板室ノ積量
艙口ノ超過積量
機關室ノ積量
其ノ他ノ場所ノ積量

十三　控除積量

船員常用室ノ積量
荷足水船ノ積量
帆船ノ帆庫ノ積量
其ノ他ノ場所ノ積量

十四　純積量
十五　純噸數
十六　機關ノ種類及數
十七　推進器ノ種類及數
十八　造船地
十九　造船者
二十　造ノ年月
二十一　原名
二十二　所有者ノ氏名又ハ名稱、住所及共有ナルトキハ各共有者ノ持分

長二十メートル未滿ノ船舶ニ在リテハ前項第一號乃至第十一號及第十四號乃至第二十二號ノ事項竝ニ左ノ事項ヲ登錄ス

一　總積量
二　控除積量

上甲板下ノ積量
上甲板上蔽圍シタル場所ノ積量

三　種類
四　船名
五　船籍港
六　船印

第十七條ノ三　削除

第十七條　船舶法第五條第一項ノ規定ニ依リ船舶ノ登錄ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ登記ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

第十七條ノ二　管海官廳ハ積量ノ測度ヲ行ヒタル場合ニ於テハ船舶積量測度表ヲ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ船舶件名書及船舶積量測度表ノ謄本ヲ受ケタル者第八條ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ該謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第十七條　船舶法第五條第一項ノ規定ニ依リ船舶ノ登錄ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ登記ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

第十七條ノ二　管海官廳ハ積量ノ測度ヲ行ヒタル場合ニ於テハ船舶積量測度表ヲ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ船舶件名書及船舶積量測度表ノ謄本ヲ受ケタル者第八條ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ該謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第十七條　船舶原簿ノ謄本ニハ現存スル登錄ノミヲ謄寫ス

乙管海官廳ハ第二項ノ規定ニ依リ移送ヲ受ケタル謄本ニ依リ其ノ船舶原簿ニ登錄ヲ移ス

第二十一條　船籍港甲管海官廳ノ管轄區域內ヨリ乙管海官廳ノ管轄區域內ニ轉屬シタルトキハ管海官廳ハ申請ヲ待タス前條第二項乃至第四項ノ手續ヲ爲ス

第二十二條　第十七條ノ二第一項第三號、第六號、第七號、第十六號又ハ第十七號ノ事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テ變更ノ登錄ヲ爲サムトスル者ハ變更ニ係ル新舊事項ヲ申請書ニ列記シ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

「アルハベット」四文字ヲ以テ之ヲ表示ス

信號符字ハ總噸數百噸以上ノ船舶ニ之ヲ點附ス總噸數百噸未滿ノ船舶ニ付テハ船舶所有者ノ申請ニ依リ信號符字ヲ點附シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

第十七條ノ四　信號符字ハ點附又ハ取消ハ之ヲ朝鮮總督府官報ニ告示ス

第十八條　船舶ノ名稱ヲ變更セムトスル者ハ其ノ事由ヲ記載シタル申請書ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

第十九條　管海官廳ニ於テ船舶ノ名稱ノ變更ヲ許可スルハ左ノ場合ニ限ル

一　所有者ノ氏名、名稱又ハ之ト同一ト認ムヘキ名稱ヲ有スル船舶ヲ取得シタルトキ

二　船舶ノ名稱ニ番號ヲ冠附シ又ハ冠附シタル番號ヲ變更若ハ削除スルトキ

三　所有者ニ於テ自己ノ行爲ニ因ルニ非スシテ船舶ノ名稱ノ爲ニ著シキ不便ヲ受クルトキ

第二十條　甲管海官廳ノ管轄區域內ニ定メタル船籍港ヲ乙管海官廳ノ管轄區域內ニ變更セムトスル場合ニハ甲管海官廳ニ變更ノ登錄ヲ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テ甲管海官廳ハ其ノ船舶ニ關スル船舶原簿ノ謄本及其ノ附屬書類ヲ乙管海官廳ニ移送シ該船舶ノ登錄用紙ヲ閉鎖ス

第二百四十一條　船舶ハ左ノ場合ニ於テハ之ヲ檢査スルコトヲ得

一　船舶ヲ新造シタルトキ

二　船舶ヲ改造シタルトキ

三　船舶ヲ讓受ケタルトキ

四　船舶ヲ賃貸シタルトキ

五　船舶ヲ賃借シタルトキ

六　船舶ヲ沈沒又ハ破損シタルトキ

七　船舶ヲ引揚ケタルトキ

八　船舶ヲ解體シタルトキ

九　船舶ヲ國籍ニ入レタルトキ

十　船舶ヲ國籍ヨリ除キタルトキ

十一　船舶ヲ航海ニ使用セントスルトキ

十二　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキ

十三　船舶ヲ航海ニ使用セサルトキ

十四　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキ

十五　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキ

十六　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキ

十七　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキ

第二百四十二條　船舶ヲ新造シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百四十三條　船舶ヲ改造シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ總噸數

三　船舶ノ主要ナル寸法

四　船舶ノ構造

五　船舶ノ推進器ノ種類

六　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百四十四條　船舶ヲ讓受ケタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百四十五條　船舶ヲ賃貸シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百四十六條　船舶ヲ賃借シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百四十七條　船舶ヲ沈沒又ハ破損シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百四十八條　船舶ヲ引揚ケタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百四十九條　船舶ヲ解體シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百五十條　船舶ヲ國籍ニ入レタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百五十一條　船舶ヲ國籍ヨリ除キタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百五十二條　船舶ヲ航海ニ使用セントスルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百五十三條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百五十四條　船舶ヲ航海ニ使用セサルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百五十五條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百五十六條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百五十七條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百五十八條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百五十九條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百六十條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百六十一條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百六十二條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百六十三條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百六十四條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百六十五條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百六十六條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百六十七條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百六十八條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百六十九條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百七十條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百七十一條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百七十二條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百七十三條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百七十四條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百七十五條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百七十六條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百七十七條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百七十八條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百七十九條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百八十條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百八十一條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百八十二條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百八十三條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百八十四條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百八十五條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百八十六條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百八十七條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百八十八條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百八十九條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百九十條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百九十一條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百九十二條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百九十三條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百九十四條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百九十五條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百九十六條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百九十七條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百九十八條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第二百九十九條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百一條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百二條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百三條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百四條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百五條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百六條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百七條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百八條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百九條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百十條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百十一條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百十二條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百十三條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百十四條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百十五條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百十六條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百十七條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百十八條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百十九條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百二十條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百二十一條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百二十二條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百二十三條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百二十四條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百二十五條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百二十六條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百二十七條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百二十八條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百二十九條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百三十條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百三十一條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百三十二條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百三十三條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百三十四條　船舶ヲ航海ニ使用シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百三十五條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造

六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百三十六條　船舶ヲ航海ニ使用スルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左ノ事項ヲ檢査ス

一　船舶ノ種類

二　船舶ノ名稱

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

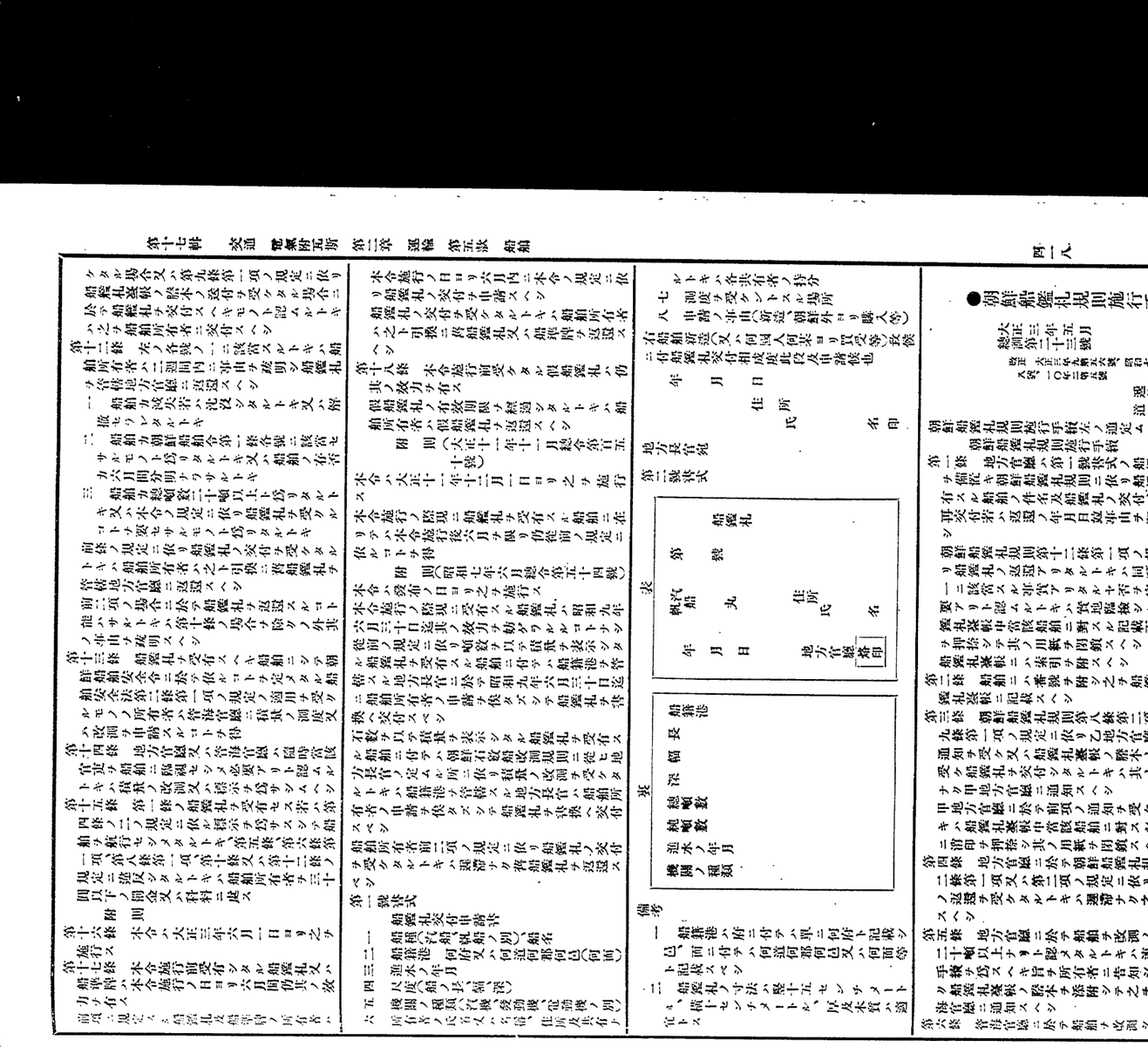
五　船舶ノ構造

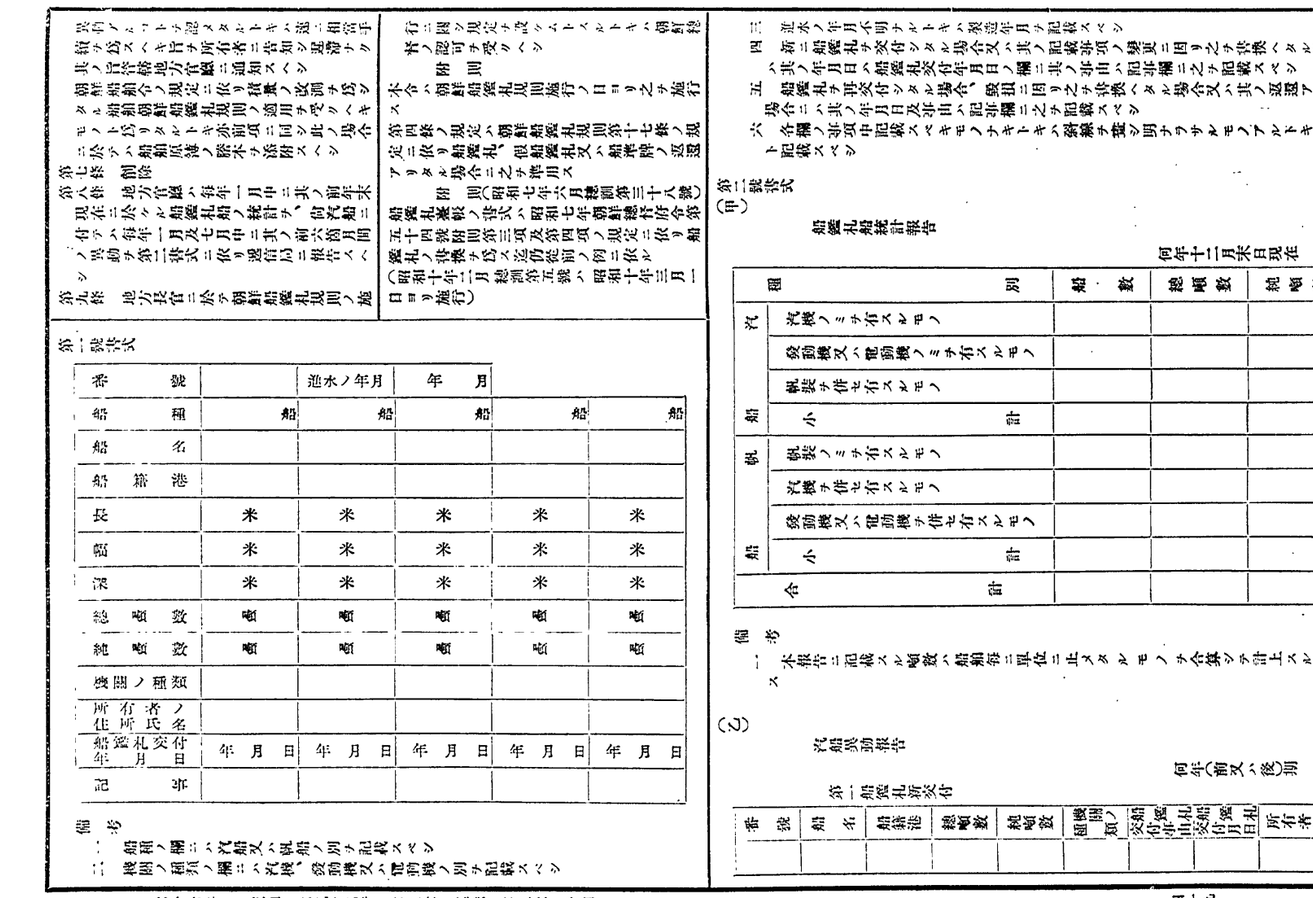
六　船舶ノ推進器ノ種類

七　船舶ノ航海ニ必要ナル設備

第三百三十七條　船舶ヲ航海ニ使用セサルニ至リタルトキハ其ノ船舶ニ關シ左

第五號　船舶　船舶檢查　船舶證書　船舶國籍　船舶登記　船舶檢查官吏　船舶檢查官吏ノ職務　船舶檢查官吏ノ權限　船舶檢查官吏ノ檢查　船舶檢查官吏ノ檢查ノ方法　船舶檢查官吏ノ檢查ノ場所　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外　船舶檢查官吏ノ檢查ノ時期ノ例外





ノ一ヲ乗シ各部分ヲ加フヘシ

三　分長點ノ深ヲ七等分シタルトキハ分深點ヨリ數ヘ第七分深點以上ノ部分ニ付テハ第一號ノ規定ヲ適用シ其下分深點間隔ノ部分ニ付テハ前號ノ規定ヲ準用シ各部分ヲ加フヘシ

第十三條　測度甲板下ノ積量ヲ算定スルニハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外船首ヨリ數ヘ偶數ニ當ル肋板横截面積ヲ船首ヨリ數ヘ偶數ニ當ル而積ハ四倍シ首尾兩端ヲ除キ奇數ニ當ル而積ハ二倍シ其ノ和ニ首尾兩端ニ當ル而積ヲ加ヘ之ニ分長點間隔ノ三分ノ一ヲ乗スヘシ

第十四條　船首尾船ヲ除キ二重底內底板又ハ肋板ノ高ニ階段アル船舶ノ測度甲板下ノ積量ヲ算定スルニハ各階段ニ從ヒ船體ヲ區分シ各區分毎ニ測度甲板ノ長ヲ測リ之ヲ第三條ノ測度甲板ノ長ニ充テ分長點ヲ定メ第五條ノ規定ニ依リ定メタル分深點ヲ以テ各區分ノ分深點ヲ定メ前條ノ規定ヲ適用シ各容積ヲ算定シ之ヲ加フヘシ但シ各區分毎ニ測リタル測度甲板ノ長カ九メートルヲ超エ十五メートル以下ナルトキハ之ヲ四等分シ、九メートル以下ナルトキハ之ヲ二等分シテ分長點ヲ定ムヘシ

第十五條　錨鏈溝ヲ有スル淺深船ノ測度甲板下ノ積量ヲ算定スルニハ錨鏈溝ノ末端隔壁ヲ境界トシテ船體ヲ區分シ各區分毎ニ前二條ニ規定スル方法ニ依リ算定シタル各容積ヲ加フヘシ

第十六條　舷端以下ノ積量ヲ算定スルニハ測度甲板下ノ積量ヲ算定スル方法ヲ準用スヘシ

第三章　測度甲板上ノ積量及舷端以上ノ積量

第十七條　測度甲板上各甲板間ノ積量ヲ算定スルニハ甲板間ノ高ノ中央ニ於テ中心線ニテ船首内張板ノ内面ヨリ船尾内張板ノ内面ニ至ル長ヲ測リ之ヲ測度甲板ノ長ノ等分數ニテ等分シ各分長點ノ高ノ中央ニ於テ內面ノ幅ヲ測リ之ヲ前條ノ規定ニ依リ同條第一號ノ規定ヲ適用スルハ機關室ノ積量ヲ算定スルニハ其ノ平均ノ長、幅及高又ハ深ヲ相乘スヘシ

第十四條　船舶積量測度法第六條第一項第二號但書ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ申請アリタル場合ニ於テ同項第一號ノ規定ヲ適用スルハ機關室ノ積量ヲ螺旋推進器ヲ備フル船舶ニ在リテハ總積量ノ百分ノ十三以下、外車ヲ備フル船舶ニ在リテハ總積量ノ百分ノ二十以下ニシテ特別ノ事由アル場合ニ限ル

第三十五條　水夫長倉庫ト稱スルハ甲板間諸器具、寢具、滑車類、繩梯用附屬具、救命具及索類ヲ藏置スル場所ヲ謂フ

第三十六條　純積量ノ算定ニ付總積量ヨリ控除スヘキ水夫長倉庫ノ積量ニ應シ左表ニ掲クル控除積量ヲ超エルトキハ之ヲ該積量ニ止ム但シ二百十三立方メートルヲ超エルコトヲ得ス

總積量	控除積量
四百立方メートル以上千四百立方メートル未滿	八立方メートル
千四百立方メートル以上千四百立方メートル未滿	總積量ノ百分ノ二
千四百立方メートル以上二千八百立方メートル未滿	二十八立方メートル
二千八百立方メートル以上	總積量ノ百分ノ一

第三十七條　無線電信機具、其ノ從事員室、飲料水蒸溜機、消防消毒用瓦斯發生機、「サーモタンク」及「コックアーダム」ニ供用セラルル場所ノ積量ハ純積量ノ算定ニ付總積量ヨリ之ヲ控除スヘシ

朝鮮總督ハ前項ニ掲クル場所ノ外船舶積量測度法第四條第七號ノ規定ニ依リ同條第一號乃至第六號ニ掲クルモノニ準スヘキモノヲ控除シタルモノヲ純積量トス

機關室ノ積量ヲ算定スルニハ車軸室ノ部分ヲ除キ上甲板下又ハ舷端以下ニ於ケル機關室ノ內法ノ平均ノ長、幅及深ヲ相乘ズベシ

第九條　形狀複雜ナル場所ノ積量ハ其ノ場所ヲ二箇以上ニ區分シ各區分毎ニ算定シタル容積ヲ加ヘ又ハ之ニ準ズル方法ニ依リ之ヲ算定スルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ノ朝鮮船舶積量測度令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年六月總令第五十一號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ申請ニ基ク船舶ノ積量ノ測度ハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

●朝鮮簡易船舶積量測度規程

昭和七年六月
總令第五十二號

朝鮮簡易船舶積量測度規程左ノ通定ム

第一條　長二十メートル未滿ノ船舶ノ積量ノ測度ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　船ノ長ト上甲板梁上ニ於テ船首材ノ前面ヨリ船尾材ノ後面ニ至ル水平距離ヲ謂フ

船ノ深ト船ノ長ノ中央ニ於テ龍骨ノ上面ヨリ上甲板梁ノ舷側ニ於ケル上面ニ至ル垂直距離ヲ謂フ

第三條　甲板ヲ備フル船舶ニ在リテハ舷側外板ノ上面ヲ上甲板梁ノ上面ト看做スベシ

低船首樓甲板、低船尾樓甲板又ハ之ニ準ズベキ甲板ヲ備フル船舶ニ在リテハ該甲板ノ部分ニ於テ之ト平行シテ上甲板ノ延長面ヲ假定シ之ヲ上甲板ト看做スベシ

前各項ニ規定スルモノノ外特殊ノ構造ヲ有スル船舶ニ在リテハ船ノ長、幅及深ハ其ノ構造ニ應ジ前條ノ規定ヲ準用シテ之ヲ定ムベシ

第四條　長、幅、深及高ヲ測定スルニハメートル以下單位トシ單位ト未滿ヲ四捨五入スベシ

第三位ハ之ヲ四捨五入スベシ容積及積量ヲ算定スルニハ單位下ハ之ヲ三位ニ止メ第四位ハ之ヲ四捨五入スベシ但シ總噸數及純噸數ヲ算定スルニハ單位下ハ之ヲ二位ニ止メ第三位ハ之ヲ四捨五入スベシ

第五條　甲板ヲ備フル船舶ニ在リテハ上甲板下ノ積量ニ上甲板ト截圍シタル場所ノ積量ヲ加ヘタルモノヲ總積量トス但シ左ニ揭グル場所ニシテ上甲板上ニ在ルモノノ積量ハ之ヲ總積量ニ算入セズ

一　機關室、操舵室、賄室及出入口室

二　採光通風ニ要スル場所及便所

三　長又ハ幅ガ一メートル未滿ナル暴露シタル船口

四　朝鮮總督ニ於テ船舶ノ安全、衛生又ハ利用上前各號ニ揭グルモノニ準ズベキモノト認ムル場所

甲板ヲ備ヘザル船舶ニ在リテハ舷端以下ノ積量ニ舷端以上截圍シタル場所ノ積量ヲ加ヘタルモノヲ總積量トス

第六條　船樓、甲板室、其ノ他上甲板上ノ場所ニシテ其ノ側壁又ハ端壁ニ幅九十一センチメートル以上、高二十二センチメートル以上ノ常設閉鎖裝置ヲ備ヘザル開口ヲ有スルモノノ之ニ前條ノ截圍シタル場所ト看做サズ但シ旅客ニ供用セラルル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條　上甲板下又ハ舷端以下ノ積量ハ船ノ長、幅及深ノ相乘積ニ船質ニ應ジ左ノ係數ヲ乘ジタルモノトス

鋼船	○・六二
木船	○・五五

上甲板上又ハ舷端以上截圍シタル場所ノ積量ヲ算定スルニハ各場所ノ內法ノ平均ノ長、幅及高ヲ相乘ジテ得タル容積ヲ加フベシ

第八條　總積量ヨリ推進機關ヲ有セザル船舶ニ在リテハ總積量ノ百分ノ二十ヲ控除シタルモノ、推進機關ヲ有スル船舶ニ在リテハ總積量ノ百分ノ三十ヲ控除シ且機關室ノ積量ノ一倍四分ノ三及總積量ノ百分ノ四十四點ノ間隔ノ三分ノ一及甲板間ノ平均ノ高ヲ乘スヘシ

第十八條　上甲板上及舷端以上截圍シタル場所ノ積量ヲ算定スルニハ左ノ規定ニ依リ測度甲板ノ長ノ二分ノ一以下ノ長ヲ有スル船樓、甲板室其ノ他截圍シタル場所ニ在リテハ高ノ中央ニテ前後及中央ニ於ケル內面ノ幅ヲ測リ中央ノ幅ト四倍ニ前後ノ幅ヲ加ヘタニ平均ノ長ノ六分ノ一ト平均ノ高トヲ乘スヘシ

二　測度甲板ノ長ノ二分ノ一ヲ超エル長ヲ有スル船樓、甲板室其ノ他截圍シタル場所ニ在リテハ其ノ長ヲ四等分シ前條ニ規定スル方法ヲ準用スヘシ

第十九條　船舶積量測度法第三條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ申請アリタル場合ニ於テ上甲板上ノ機關室ノ積量ノ全部又ハ一部ヲ總積量ニ算入スルハ結果ヲ生スル場合ニ限リ前項ノ機關室ノ積量ニハ上甲板上ニ在ル機關室圍壁及之ニ附屬スル截圍シタル場所ノ積量ヲモ包含ス

第一項ノ機關室ノ積量ノ一部ト稱スルハ機關室ノ一部ニシテ甲板又ハ甲板ノ延長面及圍壁ニ依リ區劃シタル場所ノ積量ヲ謂フ

第四章　總積量ニ算入セサル上甲板上ノ場所

第二十條　船樓、甲板室其ノ他ノ場所又ハ其ノ一部ニシテ其ノ側壁又ハ端壁ニ幅九十一センチメートル以上高百二十二センチメートル以上（梯材ヲ附スルトキハ其ノ高六十一センチメートル以下）ナル一箇以上ノ出入口ヲ有シ之ニ扉又ハ之ニ準スヘキ常設閉鎖裝置ヲ備ヘサルトキハ其ノ積量ヲ總積量ニ算入セス但シ旅客ニ供用セラルル場合又ハ出入口一箇ノミヲ有スル船樓ニシテ其ノ兩舷側ニ適當ノ排水口及排水孔ヲ備ヘサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　遮浪甲板上甲板下ノ間ノ場所ニシテ左ノ規定ニ適合スル部分ノ積量ハ之ヲ總積量ニ算入セス但シ旅客ニ供用セラルル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　遮浪甲板ニ長百二十二センチメートル以上幅同甲板ノ後部正舶口ノ幅ヨリ少カラサル常設閉鎖裝置ヲ備ヘサル甲板口ヲ有シ該口直下ノ兩舷側ニ適當ノ排水口ヲ設ケ且甲板間ニ於テ適當ノ間隔ニ徑九センチメートル以上ノ排水孔ヲ備フルコト

二　前號ノ甲板口ハ船尾ニ設クルトキハ其ノ後端ヲ船尾材ノ後面ヨリ船ノ長ノ二十分ノ一ヨリ少カラサル距離ニ、船首ニ設クルトキハ其ノ前端ヲ船首材ノ前面ヨリ船ノ長ノ五分ノ一ヨリ少カラサル距離ニ設クルコト

前項ノ船ノ長ト稱スルハ最喫水船上ニ於テ船首材ノ前面ヨリ船尾材ノ後面ニ至ル水平距離ヲ謂フ

三　第一號ノ甲板口ヲ船尾ニ設クルトキハ其ノ直下甲板間ニ於テ該口ヨリ船首ニ在ル横通隔壁ニハ前條ノ規定ニ依ル出入口二箇以上ヲ設クルコト

四　第一號ノ甲板口ノ縁材ノ高ハ甲板上平均三十センチメートルヲ超エサルコト又該口ノ周圍ニハ之ヲ水密ニ閉鎖シ得サル樣構ヲ設クルコト

第二十二條　賄室ト稱スルハ厨室及麵麭燒室ヲ謂フ

第二十三條　船口ノ積量カ總積量ニ算入スヘキ船口以外ノ場所ノ積量ノ千分ノ五以下ナルトキハ之ヲ總積量ニ算入セス

船口ノ積量カ總積量ニ算入スヘキ船口以外ノ場所ノ積量ノ千分ノ五ヲ超ユルトキハ其ノ超過積量ニ限リ之ヲ總積量ニ算入ス

第二十四條　飲料水蒸溜機、消防消毒用瓦斯發生機、サーモタンク、探海燈及燈塔ニ供用セラルル場所ノ積量ハ之ヲ總積量ニ算入セス

朝鮮總督ハ前項ニ揭クル場所ノ外船舶積量測度法第三條第一項第四號ノ規定ニ依リ同項第一號乃至第三號ニ揭クルモノニ準スヘキモノト認ムル場所ヲ指定スルコトアルヘシ

第五章　純積量ノ算定ニ付總積量ヨリ控除スヘキ場所ノ積量

第二十五條　純積量ノ算定ニ付總積量ヨリ控除スヘキ場所ノ積量ノ算定ニ付テハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外第十八條ノ規定ヲ準用ス

第二十六條　船具常用室ト稱スルハ船長ノ專用スル諸室、海具ノ專用スル庇室、食堂、食器室、飲食料倉庫、洗面室、浴室、病室、藥局、賄室及便所並以上各室ニ專屬スル通路及採光通風ニ要スル場所ヲ謂フ

第二十七條　海圖室ト稱スルハ海圖、信號器具其ノ他航海用器具ニ併用セラルル場所ヲ謂フ

第二十八條　荷足水船ト稱スルハ二重底水船ヲ除クノ外人孔ノミヲ備ヘ貨物、倉庫品及燃料ヲ積載スルニ適セサル構造ヲ有スル水船ヲ謂フ

第二十九條　荷足水船ノ積量ヲ算定スルニハ水船ノ頂板ノ長ヲ測リ其ノ長九メートル以下ナルトキハ之ヲ二等分シ九メートルヲ超ユルトキハ之ヲ第三條ノ測度甲板ノ長ニ充テ之ヲ等分シ又船ノ中央ニ近キ分長點ノ深ヲ測リ其ノ深五メートル以下ナルトキハ之ヲ二等分シ五メートルヲ超ユルトキハ之ヲ四等分シ第十二條及第十三條ノ規定ヲ準用スヘシ

第三十條　機關室ノ積量トハ機關室ノ冠頂下ノ場所ノ積量、冠頂上甲板下ノ間ノ場所ノ積量及車軸隧道ノ積量ヲ加ヘタルモノヲ謂フ

船舶所有者ノ申請ニ依リ上甲板上ノ機關室ノ積量ノ全部又ハ一部ヲ總積量ニ算入シタルトキハ之ヲ機關室ノ積量ニ算入ス

機關室ノ積量中船舶ノ推進ニ關係ナキ場所アルトキハ其ノ積量ハ之ヲ機關室ノ積量ヨリ除去スヘシ

第三十一條　機關室ノ冠頂下ノ場所、冠頂上甲板下ノ間ノ場所及車軸隧道ノ積量ヲ算定スルニハ平均ノ長、幅及高又ハ深ヲ相乘スヘシ

第三十二條　舵座推進器ヲ有シ車軸隧道ヲ設ケサル船舶ニ於テ車軸ニ供用セラルル場所ノ積量ヲ算定スルニハ中間軸ノ徑ノ三倍ヲ自乘シ之ニ機關室後端隔壁ヨリ船尾管前端ニ至ル長ヲ乘スヘシ

第三十三條　機關室內ノ船舶ノ推進ニ關係ナキ場所ノ積量ヲ算定スルニハ其ノ平均ノ長、幅及高又ハ深ヲ相乘スヘシ

第三十四條　船舶積量測度法第六條第一項第二號但書ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ申請アリタル場合ニ於テ同項第一號ノ規定ヲ適用スルハ機關室ノ積量ヲ螺旋推進器ヲ備フル船舶ニ在リテハ總積量ノ百分ノ十三以下、外車ヲ備フル船舶ニ在リテハ總積量ノ百分ノ二十以下ニシテ特別ノ事由アル場合ニ限ル

第三十五條　水夫長倉庫ト稱スルハ甲板間諸器具、寢具、滑車類、繩梯用附屬具、救命具及索類ヲ藏置スル場所ヲ謂フ

第三十六條　純積量ノ算定ニ付總積量ヨリ控除スヘキ水夫長倉庫ノ積量ニ應シ左表ニ揭クル控除積量ヲ超エルトキハ之ヲ該積量ニ止ム但シ二百十三立方メートルヲ超エルコトヲ得ス

總積量	控除積量
四百立方メートル以上千四百立方メートル未滿	八立方メートル
千四百立方メートル以上千四百立方メートル未滿	總積量ノ百分ノ二
千四百立方メートル以上二千八百立方メートル未滿	二十八立方メートル
二千八百立方メートル以上	總積量ノ百分ノ一

第三十七條　無線電信機具、其ノ從事員室、飲料水蒸溜機、消防消毒用瓦斯發生機、「サーモタンク」及「コックアーダム」ニ供用セラルル場所ノ積量ハ純積量ノ算定ニ付總積量ヨリ之ヲ控除スヘシ

朝鮮總督ハ前項ニ揭クル場所ノ外船舶積量測度法第四條第七號ノ規定ニ依リ同條第一號乃至第六號ニ揭クルモノニ準スヘキモノヲ控除シタルモノヲ純積量トス

機關室ノ積量ヲ算定スルニハ車軸室ノ部分ヲ除キ上甲板下又ハ舷端以下ニ於ケル機關室ノ內法ノ平均ノ長、幅及深ヲ相乘ズベシ

第九條　形狀複雜ナル場所ノ積量ハ其ノ場所ヲ二箇以上ニ區分シ各區分毎ニ算定シタル容積ヲ加ヘ又ハ之ニ準ズル方法ニ依リ之ヲ算定スルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ申請ニ基ク船舶ノ積量ノ測度ハ朝鮮船舶積量測度規程ニ依ルコトヲ得

●朝鮮船舶積量測度心得

大正三年九月
總訓第五十五號
改正　大正五年三第八號、昭和七年六第三七號
遞信官署

朝鮮船舶積量測度心得左ノ通定ム

朝鮮船舶積量測度心得

第一章　總則

第一條　本令ハ長二十メートル以上ノ船舶ノ積量ノ測度ニ關スル心得ヲ示スモノトス

第一條ノ二　船舶ノ積量ハ登記登錄ノ基礎トシ又ハ檢査ノ際ノ標準トシ其ノ測度ニ付テハ特ニ周密ナル注意ヲ以テ之カ精確ヲ期スヘシ

第二條　測度ニ當リ疑義ヲ生シタルトキハ其ノ詳細ヲ具シ必要ト認ムルトキハ圖ヲ添ヘ遞信局長ノ指揮ヲ受クヘシ

第三條　製造中ノ檢査ヲ行フ船舶ニ付テハ成ルヘク適當ナル時期ニ於テ部分測度ヲ行ヒ測度申請アリタル場合ノ參考ニ供スヘシ

第四條　管海官廳ニ於テハ豫メ標準距離ヲ設定シ時時測度用卷尺ノ之ト照合シ其ノ尺差ヲ檢定シテ之ヲ使用スヘシ

第八條　總積量ヨリ推進機關ヲ有セザル船舶ニ在リテハ總積量ノ百分ノ二十ヲ控除シタルモノ、推進機關ヲ有スル船舶ニ在リテハ總積量ノ百分ノ三十ヲ控除シ且機關室ノ積量ノ一倍四分ノ三及總積量ノ百分ノ四十四點ノ間隔ノ三分ノ一及甲板間ノ平均ノ高ヲ乘スヘシ

第十八條　上甲板上及舷端以上截圍シタル場所ノ積量ヲ算定スルニハ左ノ規定ニ依リ測度甲板ノ長ノ二分ノ一以下ノ長ヲ有スル船樓、甲板室其ノ他截圍シタル場所ニ在リテハ高ノ中央ニテ前後及中央ニ於ケル內面ノ幅ヲ測リ中央ノ幅ト四倍ニ前後ノ幅ヲ加ヘタニ平均ノ長ノ六分ノ一ト平均ノ高トヲ乘スヘシ

二　測度甲板ノ長ノ二分ノ一ヲ超エル長ヲ有スル船樓、甲板室其ノ他截圍シタル場所ニ在リテハ其ノ長ヲ四等分シ前條ニ規定スル方法ヲ準用スヘシ

第十九條　船舶積量測度法第三條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ申請アリタル場合ニ於テ上甲板上ノ機關室ノ積量ノ全部又ハ一部ヲ總積量ニ算入スルハ結果ヲ生スル場合ニ限リ前項ノ機關室ノ積量ニハ上甲板上ニ在ル機關室圍壁及之ニ附屬スル截圍シタル場所ノ積量ヲモ包含ス

第一項ノ機關室ノ積量ノ一部ト稱スルハ機關室ノ一部ニシテ甲板又ハ甲板ノ延長面及圍壁ニ依リ區劃シタル場所ノ積量ヲ謂フ

第四章　總積量ニ算入セサル上甲板上ノ場所

第二十條　船樓、甲板室其ノ他ノ場所又ハ其ノ一部ニシテ其ノ側壁又ハ端壁ニ幅九十一センチメートル以上高百二十二センチメートル以上（梯材ヲ附スルトキハ其ノ高六十一センチメートル以下）ナル一箇以上ノ出入口ヲ有シ之ニ扉又ハ之ニ準スヘキ常設閉鎖裝置ヲ備ヘサルトキハ其ノ積量ヲ總積量ニ算入ス但シ旅客ニ供用セラルル場合又ハ出入口一箇ノミヲ有スル船樓ニシテ其ノ兩舷側ニ適當ノ排水口及排水孔ヲ備ヘサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　遮浪甲板上甲板下ノ間ノ場所ニシテ左ノ規定ニ適合スル部分ノ積量ハ之ヲ總積量ニ算入セス但シ旅客ニ供用セラルル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　遮浪甲板ニ長百二十二センチメートル以上幅同甲板ノ後部正舶口ノ幅ヨリ少カラサル常設閉鎖裝置ヲ備ヘサル甲板口ヲ有シ該口直下ノ兩舷側ニ適當ノ排水口ヲ設ケ且甲板間ニ於テ適當ノ間隔ニ徑九センチメートル以上ノ排水孔ヲ備フルコト

二　前號ノ甲板口ハ船尾ニ設クルトキハ其ノ後端ヲ船尾材ノ後面ヨリ船ノ長ノ二十分ノ一ヨリ少カラサル距離ニ、船首ニ設クルトキハ其ノ前端ヲ船首材ノ前面ヨリ船ノ長ノ五分ノ一ヨリ少カラサル距離ニ設クルコト

前項ノ船ノ長ト稱スルハ最喫水船上ニ於テ船首材ノ前面ヨリ船尾材ノ後面ニ至ル水平距離ヲ謂フ

三　第一號ノ甲板口ヲ船尾ニ設クルトキハ其ノ直下甲板間ニ於テ該口ヨリ船首ニ在ル横通隔壁ニハ前條ノ規定ニ依ル出入口二箇以上ヲ設クルコト

四　第一號ノ甲板口ノ縁材ノ高ハ甲板上平均三十センチメートルヲ超エサルコト又該口ノ周圍ニハ之ヲ水密ニ閉鎖シ得サル樣構ヲ設クルコト

第二十二條　賄室ト稱スルハ厨室及麵麭燒室ヲ謂フ

第二十三條　船口ノ積量カ總積量ニ算入スヘキ船口以外ノ場所ノ積量ノ千分ノ五以下ナルトキハ之ヲ總積量ニ算入セス

船口ノ積量カ總積量ニ算入スヘキ船口以外ノ場所ノ積量ノ千分ノ五ヲ超ユルトキハ其ノ超過積量ニ限リ之ヲ總積量ニ算入ス

第二十四條　飲料水蒸溜機、消防消毒用瓦斯發生機、サーモタンク、探海燈及燈塔ニ供用セラルル場所ノ積量ハ之ヲ總積量ニ算入セス

朝鮮總督ハ前項ニ揭クル場所ノ外船舶積量測度法第三條第一項第四號ノ規定ニ依リ同項第一號乃至第三號ニ揭クルモノニ準スヘキモノト認ムル場所ヲ指定スルコトアルヘシ

第五章　純積量ノ算定ニ付總積量ヨリ控除スヘキ場所ノ積量

第二十五條　純積量ノ算定ニ付總積量ヨリ控除スヘキ場所ノ積量ノ算定ニ付テハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外第十八條ノ規定ヲ準用ス

第二十六條　船具常用室ト稱スルハ船長ノ專用スル諸室、海具ノ專用スル庇室、食堂、食器室、飲食料倉庫、洗面室、浴室、病室、藥局、賄室及便所並以上各室ニ專屬スル通路及採光通風ニ要スル場所ヲ謂フ

第二十七條　海圖室ト稱スルハ海圖、信號器具其ノ他航海用器具ニ併用セラルル場所ヲ謂フ

第二十八條　荷足水船ト稱スルハ二重底水船ヲ除クノ外人孔ノミヲ備ヘ貨物、倉庫品及燃料ヲ積載スルニ適セサル構造ヲ有スル水船ヲ謂フ

第二十九條　荷足水船ノ積量ヲ算定スルニハ水船ノ頂板ノ長ヲ測リ其ノ長九メートル以下ナルトキハ之ヲ二等分シ九メートルヲ超ユルトキハ之ヲ第三條ノ測度甲板ノ長ニ充テ之ヲ等分シ又船ノ中央ニ近キ分長點ノ深ヲ測リ其ノ深五メートル以下ナルトキハ之ヲ二等分シ五メートルヲ超ユルトキハ之ヲ四等分シ第十二條及第十三條ノ規定ヲ準用スヘシ

第三十條　機關室ノ積量トハ機關室ノ冠頂下ノ場所ノ積量、冠頂上甲板下ノ間ノ場所ノ積量及車軸隧道ノ積量ヲ加ヘタルモノヲ謂フ

船舶所有者ノ申請ニ依リ上甲板上ノ機關室ノ積量ノ全部又ハ一部ヲ總積量ニ算入シタルトキハ之ヲ機關室ノ積量ニ算入ス

機關室ノ積量中船舶ノ推進ニ關係ナキ場所アルトキハ其ノ積量ハ之ヲ機關室ノ積量ヨリ除去スヘシ

第三十一條　機關室ノ冠頂下ノ場所、冠頂上甲板下ノ間ノ場所及車軸隧道ノ積量ヲ算定スルニハ平均ノ長、幅及高又ハ深ヲ相乘スヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

於テ豎切スルトキハ該甲板ハ船舶積量測度法第二條ニ掲ル甲板ノ層數ニ加ヘス

第六條　低艙首尾樓甲板ヲ備フル船舶ニ在リテハ該船樓ノ部分ニ於テ該甲板ト平行シテ上甲板ノ延長面ヲ假定シ之ヲ船舶積量測度法第二條及第三條ニ掲ル上甲板ト看做ス

第七條　朝鮮船舶積量測度規程第二條ノ規定ニ依リ測度甲板ノ長ヲ測ルニハ左ノ各號ニ依ルヘシ

一　船首内張板及船尾内張板ト倚スルハ測度甲板ノ直下ニ於ケル内張板ヲ謂フ

二　甲板ヲ備フル船舶ニ在リテハ測度甲板上ニ於テ船首ヨリ船尾ニ至ル水平距離ヲ測リ得ルトキハ測度甲板上面ニ沿ヒ之ヲ距離ノ代リニ該距離ヲ採ルモ妨ナシ

甲板ヲ備ヘサル船舶ニ在リテモ前項ニ準シ取扱フヘシ

三　船尾ニ戸建ヲ有スル木製艇舶ニ在リテハ測度甲板ノ長ハ戸建ノ内面迄測ルヘシ

四　船首ニ於テ上甲板ニ傾斜アル木製帆船ニ在リテハ測度甲板ノ長ハ該甲板ノ下面ト船首材トノ交叉部ヲ標準トシテ測ルヘシ

第八條　船首尾船ニ於ケル分長點ノ深ハ船首尾隔壁ニ接スル二重底又ハ普通肋板ノ頂面ノ延長面迄測ルヘシ

第九條　鐵鋼船ノ船底内張板及舶内船側内張板ノ厚カ七・五センチメートルヲ超ヘルトキハ之ヲ七・五センチメートルト看做スヘシ

鐵鋼船ノ冷藏艙ニ設ケル内張板ニ付テモ前項ニ準シ取扱フヘシ

鐵鋼船ノ船底内張板下ノ横木ノ高ハ之ヲ内張板ノ厚ニ算入ス

第十條　木船ハ内張板ノ厚ハ實際ノ寸法ヲ採ルヘシ

木船ノ肋根材上ニ設ケタル横木ノ高ハ内張木船ノ厚ニ算入セス

船底ノ縦通材及彎曲部縦通材ノ内張板ノ一部ト看做シ船舶ノ幅ヲ測ルヘシ

第十一條　總積量ニ算入セサル上甲板上ノ場所

操舵機具（緊船機具、揚錨機具及副汽鑵、副汽機ニ供用セラルル場所トハ此等ノ機具機關ニ供用スル爲特ニ設ケタル室又ハ區畫アルトキハ該室又ハ該區畫ヲ、室及檢査官吏ニ於テ其ノ取扱ニ必要ナリト認ムル場所ヲ加ヘタルモノヲ謂フ

第二十九條　朝鮮船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル扉ニ準スヘキ常設閉鎖裝置トハ引戸及探止釘又ハ鈎形止釘ヲ以テ閉鎖シ得ル板戸ヲ謂フ

出入口ノ兩側ニ設ケタル堅溝形材ニ挿板ヲ爲セル裝置ハ之ヲ前項ノ常設閉鎖裝置ト看做サス

船樓、甲板室其ノ他ノ場所又ハ其ノ一部ニシテ出入口ノ一箇ヲ有スルモノト雖該出入口ノ面積カ特ニ大ニシテ出入口ニ箇以上ヲ有スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ム得ヘキ場合ノ取扱ニ付テハ關面ヲ添ヘ意見ヲ具シ遞信局長ノ指揮ヲ受クヘシ

第三十條　朝鮮船舶積量測度規程第二十一條ニ掲クル適當ノ排水口ハ高約五十一センチメートル幅約三十八センチメートルノモノトシテ甲板間ニ設ケル排水孔ノ間隔ハ約十メートルニ付各舷一箇ノ割合ヲ以テ部分ニ分每ニ各舷一箇以上ノ排水孔ヲ設クヘキモノトス

朝鮮船舶積量測度規程第二十條ニ掲ケル排水口ノ寸法及排水孔ノ間隔ニ付テモ亦前項ニ準ス

第三十一條　厨室ト稱スルハ「ガレー」ト「スカレリー」及流シ場ヲ謂フ

第三十二條　上甲板以上ニ在ル出入口ノミニ供用セラルル場所ハ之ヲ出入口室ノ一部ト看做シ其ノ積量ヲ總積量ニ算入セス

第三十三條　朝鮮船舶積量測度規程第二十三條ニ掲クル船舶ノ積量測度ニ於テハ左ノ場所ヲ總積量ニ算入セス

一　船員常用室ノ積量ニ算入セル倘シ旅客船ニ非サル船舶又ハ臨時旅客ヲ搭載シタル爲リタル船舶ニ於テ船員及旅客ニ併用スル場所ノ積量竝旅客船ニ臨時旅客ヲ搭載シタル場合ニ於テ船員及臨時旅客ニ併用スル場所ノ積量ハ之ヲ船員常用室ノ積量ニ算入ス

第四十條　船首尾水船ハ淡水船ノミニ用ヰラルル場合ト雖之ヲ荷足水船ト看做ス

第四十一條　朝鮮船舶積量測度規程第二十九條ノ規定ニ依リ船首尾水船ノ積量ヲ算定スル場合ニ於テ各分長點ノ深ハ船首尾隔壁ニ接スル二重底又ハ普通肋板ノ頂面ノ延長面迄測ルヘシ

第四十二條　機關室カ二室以上アル場合ニ於テハ各室間ノ通路機關室又ハ車軸隧道ヨリ上甲板ニ至ル通路ノ積量ハ之ヲ機關室ノ積量ニ算入ス

第四十三條　船舶積量測度決第四條ニ掲クル主噸筒トハ淦水棒出ニ供用セラルル蒸氣喞筒ヲ謂フ

第四十四條　主機關ト連絡シタル副汽鑵ニ供用セラルル場所ノ積量ハ之ヲ機關室ノ積量ニ算入ス

第四十五條　船舶積量測度規程第三十四條ニ掲クル機關室内ニ於ケル船舶ノ推進ニ關係ナキ場所トハ該室内ニ於テ主機關ト連絡セサル副汽鑵（發電機、製氷機、倉庫、工作場、操舵機、消防消毒用瓦斯發生機、依料水漢習機、船内送風機ニ供用セラルル場所又ハ特ニ構成シタル發備旋轉軸貫場ニシテ區畫アルトキハ該區畫ヲ、區畫ナキトキハ其ノ取扱ニ必要ナリト認ムル場所及檢査官吏ニ於テ其ノ實際占有スル場所ヲ加ヘタルモノヲ謂フ發陸ニ於テ特殊ノ船舶ニ於テ特殊ノ目的ニ供用セラルル機械ヲ据付ケタル場合亦同シ

第四十六條　石炭庫及燃料油庫ノ積量ハ機關室ノ積量ニ算入スヘカラス

第四十七條　朝鮮船舶積量測度規程第三十四條ニ掲クル船口ノ積量ト船口ノ基準甲板ニ在ル船口及戒炭口ノ積量ヲ加ヘタルモノヲ謂フ

第四章　總積量ニ算入セサル上甲板上ノ場所

第二十八條　操舵機具（緊船機具、揚錨機具及副汽鑵、副汽機ニ供用セラルル場所トハ此等ノ機具機關ニ供用スル爲特ニ設ケタル室又ハ區畫アルトキハ該室又ハ該區畫ヲ、室及檢査官吏ニ於テ其ノ取扱ニ必要ナリト認ムル場所ヲ加ヘタルモノヲ謂フ

第二十九條　朝鮮船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル扉ニ準スヘキ常設閉鎖裝置トハ引戸及探止釘又ハ鈎形止釘ヲ以テ閉鎖シ得ル板戸ヲ謂フ

出入口ノ兩側ニ設ケタル堅溝形材ニ挿板ヲ爲セル裝置ハ之ヲ前項ノ常設閉鎖裝置ト看做サス

船樓、甲板室其ノ他ノ場所又ハ其ノ一部ニシテ出入口ノ一箇ヲ有スルモノト雖該出入口ノ面積カ特ニ大ニシテ出入口ニ箇以上ヲ有スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ム得ヘキ場合ノ取扱ニ付テハ關面ヲ添ヘ意見ヲ具シ遞信局長ノ指揮ヲ受クヘシ

第三十條　朝鮮船舶積量測度規程第二十一條ニ掲クル適當ノ排水口ハ高約五十一センチメートル幅約三十八センチメートルノモノトシテ甲板間ニ設ケル排水孔ノ間隔ハ約十メートルニ付各舷一箇ノ割合ヲ以テ部分ニ分每ニ各舷一箇以上ノ排水孔ヲ設クヘキモノトス

朝鮮船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル排水口ノ寸法及排水孔ノ間隔ニ付テモ亦前項ニ準ス

第三十一條　厨室ト稱スルハ「ガレー」ト「スカレリー」及流シ場ヲ謂フ

第三十二條　上甲板以上ニ在ル出入口ノミニ供用セラルル場所ハ之ヲ出入口室ノ一部ト看做シ其ノ積量ヲ總積量ニ算入セス

第三十三條　朝鮮船舶積量測度規程第二十三條ニ掲クル船舶ノ積量測度ニ於テハ左ノ場所ヲ總積量ニ算入ス

一　船員常用室ノ積量ニ算入セル倘シ旅客船ニ非サル船舶又ハ臨時旅客ヲ搭載シタル爲リタル船舶ニ於テ船員及旅客ニ併用スル場所ノ積量竝旅客船ニ臨時旅客ヲ搭載シタル場合ニ於テ船員及臨時旅客ニ併用スル場所ノ積量ハ之ヲ船員常用室ノ積量ニ算入ス

第四十條　船首尾水船ハ淡水船ノミニ用ヰラルル場合ト雖之ヲ荷足水船ト看做ス

第四十一條　朝鮮船舶積量測度規程第二十九條ノ規定ニ依リ船首尾水船ノ積量ヲ算定スル場合ニ於テ各分長點ノ深ハ船首尾隔壁ニ接スル二重底又ハ普通肋板ノ頂面ノ延長面迄測ルヘシ

第四十二條　機關室カ二室以上アル場合ニ於テハ各室間ノ通路機關室又ハ車軸隧道ヨリ上甲板ニ至ル通路ノ積量ハ之ヲ機關室ノ積量ニ算入ス

第四十三條　船舶積量測度決第四條ニ掲クル主噸筒トハ淦水棒出ニ供用セラルル蒸氣喞筒ヲ謂フ

第四十四條　主機關ト連絡シタル副汽鑵ニ供用セラルル場所ノ積量ハ之ヲ機關室ノ積量ニ算入ス

第四十五條　船舶積量測度規程第三十四條ニ掲クル機關室内ニ於ケル船舶ノ推進ニ關係ナキ場所トハ該室内ニ於テ主機關ト連絡セサル副汽鑵（發電機、製氷機、倉庫、工作場、操舵機、消防消毒用瓦斯發生機、依料水漢習機、船内送風機ニ供用セラルル場所又ハ特ニ構成シタル發備旋轉軸貫場ニシテ區畫アルトキハ該區畫ヲ、區畫ナキトキハ其ノ取扱ニ必要ナリト認ムル場所及檢査官吏ニ於テ其ノ實際占有スル場所ヲ加ヘタルモノヲ謂フ發陸ニ於テ特殊ノ船舶ニ於テ特殊ノ目的ニ供用セラルル機械ヲ据付ケタル場合亦同シ

第四十六條　石炭庫及燃料油庫ノ積量ハ機關室ノ積量ニ算入スヘカラス

第四十七條　朝鮮船舶積量測度規程第三十四條ニ掲クル船口ノ積量ト船口ノ基準甲板ニ在ル船口及戒炭口ノ積量ヲ加ヘタルモノヲ謂フ

項ニ掲クル船側内張板ノ平均ノ厚ハ内張板及ハ「バツテン」ノ間隔カ三十センチメートル以下ナルトキハ其ノ厚ノ平均ヲ、三十センチメートルヲ超ユルトキハ其ノ厚ヲ全心距ニ等布シタルモノヲ採ルヘシ

第十二條　内張板及肋根材ノ上面迄其ノ幅ハ肋骨ノ内面迄測ルヘシ但シ肋骨ノ心距百二十センチメートルヲ超ユル木船ノ船舶積量測度法第三條及第四條ニ掲クル副汽機ト稱スルハ蒸氣喞筒及喞筒ト連結シタル汽機ヲ謂フ

第二十一條　朝鮮船舶積量測度規程第二十條及第二十一條ニ掲クル總積量ニ算入セサル場所及船具常用室トシテ純積量ヲ算定スル爲總積量ヨリ控除シタル場所ヲ謂フ

第二十二條　朝鮮船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル船舶ノ船底内張板及舶内船側内張板ノ厚カ七・五センチメートルヲ超ヘルトキハ之ヲ七・五センチメートルト看做スヘシ

鐵鋼船ノ冷藏艙ニ設ケル内張板ニ付テモ前項ニ準シ取扱フヘシ

鐵鋼船ノ船底内張板下ノ横木ノ高ハ之ヲ内張板ノ厚ニ算入ス

第十三條　木船ハ内張板ノ厚ハ實際ノ寸法ヲ採ルヘシ

木船ノ肋根材上ニ設ケタル横木ノ高ハ内張木船ノ厚ニ算入セス

船底ノ縦通材及彎曲部縦通材ノ内張板ノ一部ト看做シ船舶ノ幅ヲ測ルヘシ

第十四條　船首尾船ニ於ケル分長點ノ深ハ船首尾隔壁ニ接スル二重底又ハ普通肋板ノ頂面ノ延長面迄測ルヘシ

第十五條　鐵鋼船ノ船底内張板及舶内船側内張板ノ厚カ七・五センチメートルヲ超ヘルトキハ之ヲ七・五センチメートルト看做スヘシ

鐵鋼船ノ冷藏艙ニ設ケル内張板ニ付テモ前項ニ準シ取扱フヘシ

第十六條　二重底ヲ備フル船舶ニ在リテハ測度甲板上ニ於テ船首ヨリ船尾ニ至ル水平距離ヲ測リ得ルトキハ測度甲板上面ニ沿ヒ之ヲ距離ノ代リニ該距離ヲ採ルモ妨ナシ

甲板ヲ備ヘサル船舶ニ在リテモ前項ニ準シ取扱フヘシ

船尾ニ戸建ヲ有スル木製艇舶ニ在リテハ測度甲板ノ長ハ戸建ノ内面迄測ルヘシ

第十七條　船首ニ於テ上甲板ニ傾斜アル木製帆船ニ在リテハ測度甲板ノ長ハ該甲板ノ下面ト船首材トノ交叉部ヲ標準トシテ測ルヘシ

第十八條　船首尾船ニ於ケル分長點ノ深ハ船首尾隔壁ニ接スル二重底又ハ普通肋板ノ頂面ノ延長面迄測ルヘシ

第十九條　上甲板上厳圍シタル場所及縦積量ノ算定ニ付總積量ヨリ控除スヘキ場所ニシテ其ノ形狀積量トルモノニ在リテハ檢査官吏ハ計算上便宜ニシテ且積ノ結果ヲ得ヘシト認ムル場合ニ限リ先ツ全容積ヲ測リ之ヨリ算入スヘカラサル部分ノ容積ヲ減シ其ノ場所ノ容積ヲ算定スルモ妨ナシ

第二十條　船舶積量測度法第三條及第四條ニ掲クル副汽機ト稱スルハ蒸氣喞筒及喞筒ト連結シタル汽機ヲ謂フ

第二十一條　朝鮮船舶積量測度規程第二十條及第二十一條ニ掲クル總積量ニ算入セサル場所及船具常用室トシテ純積量ヲ算定スル爲總積量ヨリ控除シタル場所ヲ謂フ

第二十二條　朝鮮船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル船舶ノ船底内張板及舶内船側内張板ノ厚カ七・五センチメートルヲ超ヘルトキハ之ヲ七・五センチメートルト看做スヘシ

鐵鋼船ノ冷藏艙ニ設ケル内張板ニ付テモ前項ニ準シ取扱フヘシ

第二十三條　船舶積量測度規程第二十條及第二十一條ニ掲クル場所ニシテ旅客ニ供用セサル場所及船具常用室トシテ純積量ヲ算定スル爲總積量ヨリ控除シタル場所ヲ旅客ニ供用スルトキハ改測ノ申請ヲ爲サシムヘシ

第二十四條　分深點カ「ポツス」ノ位置ニ在ル場合ニ於テハ分深點ノ幅ハ「ポツス」ヲ標準トシテ取扱フヘシ

第二十五條　上甲板上及縦端以上厳圍シタル場所ニシテ二箇以上ノ室ヨリ成ルモノト雖相連續スル開壁ヲ有スルトキハ區畫室トシテ取扱ヒ其ノ長及幅ハ開壁ノ内面ヨリ内面迄測ルヘシ

第二十六條　朝鮮船舶積量測度規程第十八條ノ規定ニ依リ後端開形ナル船尾樓又ハ低船尾樓ノ積量ヲ算定スル場合ニ於テハ平均ノ長ハ高ノ中央ニ於テ中心線ニテ船樓ノ前端ノ幅ハ船尾ノ内面迄測リタルモノヲ、後端ノ幅ハ船尾端ノ幅ノ代リニ高ノ中央ニ於テ船尾材ノ前面ニテ測リタルモノヲ採ルヘシ

朝鮮船舶積量測度規程第十七條ノ規定ニ依リ後端開形ナル甲板間ノ積量ヲ算定スル場合ニ於テモ亦前項ニ準シ取扱フヘシ

前項ノ場合ニ於テ特ニ不適當ナリト認ムルトキハ檢査官吏ハ適當ノ方法ニ依リ後端ノ幅ヲ算定スヘシ

第二十七條　船樓端ニ於テ舷側ニ外板ヲ有スル突出部アルトキハ其ノ容積ハ之ヲ船樓ノ積量ニ加ヘ其ノ突出部ハ小ナルモノニ在リテハ其ノ容積ハ之ヲ船樓ノ積量ニ加ヘ大ナルモノニ在リテハ之ヲ甲板室ノ一部ト有スル普通肋板ヲ有スルモノト看做シ測度スヘシ

第二章　船舶積量測度規程第六條第二項ニ掲クル甲板ハ船舶積量測度法第二條ニ掲クル甲板ノ層數ニ加ヘス

第三章　船舶積量測度法第三條及第四條ニ掲クル副汽機ト稱スルハ蒸氣喞筒及喞筒ト連結シタル汽機ヲ謂フ

第四章　船舶積量測度規程第二十條及第二十一條ニ掲クル總積量ニ算入セサル場所及船具常用室トシテ純積量ヲ算定スル爲總積量ヨリ控除シタル場所ヲ謂フ

第五章　船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル扉ニ準スヘキ常設閉鎖裝置トハ引戸及探止釘又ハ鈎形止釘ヲ以テ閉鎖シ得ル板戸ヲ謂フ

出入口ノ兩側ニ設ケタル堅溝形材ニ挿板ヲ爲セル裝置ハ之ヲ前項ノ常設閉鎖裝置ト看做サス

船樓、甲板室其ノ他ノ場所又ハ其ノ一部ニシテ出入口ノ一箇ヲ有スルモノト雖該出入口ノ面積カ特ニ大ニシテ出入口ニ箇以上ヲ有スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ム得ヘキ場合ノ取扱ニ付テハ關面ヲ添ヘ意見ヲ具シ遞信局長ノ指揮ヲ受クヘシ

第六章　船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル排水口ノ寸法及排水孔ノ間隔ニ付テモ亦前項ニ準ス

第七章　船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル船舶ノ積量測度ニ於テハ左ノ場所ヲ總積量ニ算入セス

一　船員常用室ノ積量ニ算入セル倘シ旅客船ニ非サル船舶又ハ臨時旅客ヲ搭載シタル爲リタル船舶ニ於テ船員及旅客ニ併用スル場所ノ積量竝旅客船ニ臨時旅客ヲ搭載シタル場合ニ於テ船員及臨時旅客ニ併用スル場所ノ積量ハ之ヲ船員常用室ノ積量ニ算入ス

第八條　船首尾水船ハ淡水船ノミニ用ヰラルル場合ト雖之ヲ荷足水船ト看做ス

第九條　朝鮮船舶積量測度規程第二十九條ノ規定ニ依リ船首尾水船ノ積量ヲ算定スル場合ニ於テ各分長點ノ深ハ船首尾隔壁ニ接スル二重底又ハ普通肋板ノ頂面ノ延長面迄測ルヘシ

第十條　朝鮮船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル船舶ノ船底内張板及舶内船側内張板ノ厚カ七・五センチメートルヲ超ヘルトキハ之ヲ七・五センチメートルト看做スヘシ

鐵鋼船ノ冷藏艙ニ設ケル内張板ニ付テモ前項ニ準シ取扱フヘシ

第十一條　船舶積量測度規程第二十條及第二十一條ニ掲クル總積量ニ算入セサル場所及船具常用室トシテ純積量ヲ算定スル爲總積量ヨリ控除シタル場所ヲ旅客ニ供用スルトキハ改測ノ申請ヲ爲サシムヘシ

第十二條　船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル船舶ノ船底内張板及舶内船側内張板ノ厚カ七・五センチメートルヲ超ヘルトキハ之ヲ七・五センチメートルト看做スヘシ

鐵鋼船ノ冷藏艙ニ設ケル内張板ニ付テモ前項ニ準シ取扱フヘシ

第十三條　木船ハ内張板ノ厚ハ實際ノ寸法ヲ採ルヘシ

木船ノ肋根材上ニ設ケタル横木ノ高ハ内張木船ノ厚ニ算入セス

船底ノ縦通材及彎曲部縦通材ノ内張板ノ一部ト看做シ船舶ノ幅ヲ測ルヘシ

第十四條　船首尾船ニ於ケル分長點ノ深ハ船首尾隔壁ニ接スル二重底又ハ普通肋板ノ頂面ノ延長面迄測ルヘシ

第十五條　朝鮮船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル船舶ノ船底内張板及舶内船側内張板ノ厚カ七・五センチメートルヲ超ヘルトキハ之ヲ七・五センチメートルト看做スヘシ

鐵鋼船ノ冷藏艙ニ設ケル内張板ニ付テモ前項ニ準シ取扱フヘシ

第十六條　二重底ヲ備フル船舶ニ在リテハ測度甲板上ニ於テ船首ヨリ船尾ニ至ル水平距離ヲ測リ得ルトキハ測度甲板上面ニ沿ヒ之ヲ距離ノ代リニ該距離ヲ採ルモ妨ナシ

甲板ヲ備ヘサル船舶ニ在リテモ前項ニ準シ取扱フヘシ

船尾ニ戸建ヲ有スル木製艇舶ニ在リテハ測度甲板ノ長ハ戸建ノ内面迄測ルヘシ

第十七條　船首ニ於テ上甲板ニ傾斜アル木製帆船ニ在リテハ測度甲板ノ長ハ該甲板ノ下面ト船首材トノ交叉部ヲ標準トシテ測ルヘシ

第十八條　船首尾船ニ於ケル分長點ノ深ハ船首尾隔壁ニ接スル二重底又ハ普通肋板ノ頂面ノ延長面迄測ルヘシ

第十九條　上甲板上厳圍シタル場所及縦積量ノ算定ニ付總積量ヨリ控除スヘキ場所ニシテ其ノ形狀積量トルモノニ在リテハ檢査官吏ハ計算上便宜ニシテ且積ノ結果ヲ得ヘシト認ムル場合ニ限リ先ツ全容積ヲ測リ之ヨリ算入スヘカラサル部分ノ容積ヲ減シ其ノ場所ノ容積ヲ算定スルモ妨ナシ

第二十條　船舶積量測度法第三條及第四條ニ掲クル副汽機ト稱スルハ蒸氣喞筒及喞筒ト連結シタル汽機ヲ謂フ

第二十一條　朝鮮船舶積量測度規程第二十條及第二十一條ニ掲クル總積量ニ算入セサル場所及船具常用室トシテ純積量ヲ算定スル爲總積量ヨリ控除シタル場所ヲ謂フ

第二十二條　朝鮮船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル船舶ノ船底内張板及舶内船側内張板ノ厚カ七・五センチメートルヲ超ヘルトキハ之ヲ七・五センチメートルト看做スヘシ

鐵鋼船ノ冷藏艙ニ設ケル内張板ニ付テモ前項ニ準シ取扱フヘシ

第二十三條　船舶積量測度規程第二十條及第二十一條ニ掲クル場所ニシテ旅客ニ供用セサル場所及船具常用室トシテ純積量ヲ算定スル爲總積量ヨリ控除シタル場所ヲ旅客ニ供用スルトキハ改測ノ申請ヲ爲サシムヘシ

第二十四條　分深點カ「ポツス」ノ位置ニ在ル場合ニ於テハ分深點ノ幅ハ「ポツス」ヲ標準トシテ取扱フヘシ

第二十五條　上甲板上及縦端以上厳圍シタル場所ニシテ二箇以上ノ室ヨリ成ルモノト雖相連續スル開壁ヲ有スルトキハ區畫室トシテ取扱ヒ其ノ長及幅ハ開壁ノ内面ヨリ内面迄測ルヘシ

第二十六條　朝鮮船舶積量測度規程第十八條ノ規定ニ依リ後端開形ナル船尾樓又ハ低船尾樓ノ積量ヲ算定スル場合ニ於テハ平均ノ長ハ高ノ中央ニ於テ中心線ニテ船樓ノ前端ノ幅ハ船尾ノ内面迄測リタルモノヲ、後端ノ幅ハ船尾端ノ幅ノ代リニ高ノ中央ニ於テ船尾材ノ前面ニテ測リタルモノヲ採ルヘシ

朝鮮船舶積量測度規程第十七條ノ規定ニ依リ後端開形ナル甲板間ノ積量ヲ算定スル場合ニ於テモ亦前項ニ準シ取扱フヘシ

前項ノ場合ニ於テ特ニ不適當ナリト認ムルトキハ檢査官吏ハ適當ノ方法ニ依リ後端ノ幅ヲ算定スヘシ

第二十七條　船樓端ニ於テ舷側ニ外板ヲ有スル突出部アルトキハ其ノ容積ハ之ヲ船樓ノ積量ニ加ヘ其ノ突出部ハ小ナルモノニ在リテハ其ノ容積ハ之ヲ船樓ノ積量ニ加ヘ大ナルモノニ在リテハ之ヲ甲板室ノ一部ト有スル普通肋板ヲ有スルモノト看做シ測度スヘシ

第二章　船舶積量測度規程第六條第二項ニ掲クル甲板ハ船舶積量測度法第二條ニ掲クル甲板ノ層數ニ加ヘス

第六條　低艙首尾樓甲板ヲ備フル船舶ニ在リテハ該船樓ノ部分ニ於テ該甲板ト平行シテ上甲板ノ延長面ヲ假定シ之ヲ船舶積量測度法第二條及第三條ニ掲クル上甲板ト看做ス

第七條　朝鮮船舶積量測度規程第二條ノ規定ニ依リ測度甲板ノ長ヲ測ルニハ左ノ各號ニ依ルヘシ

一　船首内張板及船尾内張板ト倚スルハ測度甲板ノ直下ニ於ケル内張板ヲ謂フ

二　甲板ヲ備フル船舶ニ在リテハ測度甲板上ニ於テ船首ヨリ船尾ニ至ル水平距離ヲ測リ得ルトキハ測度甲板上面ニ沿ヒ之ヲ距離ノ代リニ該距離ヲ採ルモ妨ナシ

甲板ヲ備ヘサル船舶ニ在リテモ前項ニ準シ取扱フヘシ

三　船尾ニ戸建ヲ有スル木製艇舶ニ在リテハ測度甲板ノ長ハ戸建ノ内面迄測ルヘシ

四　船首ニ於テ上甲板ニ傾斜アル木製帆船ニ在リテハ測度甲板ノ長ハ該甲板ノ下面ト船首材トノ交叉部ヲ標準トシテ測ルヘシ

第八條　船首尾船ニ於ケル分長點ノ深ハ船首尾隔壁ニ接スル二重底又ハ普通肋板ノ頂面ノ延長面迄測ルヘシ

第九條　鐵鋼船ノ船底内張板及舶内船側内張板ノ厚カ七・五センチメートルヲ超ヘルトキハ之ヲ七・五センチメートルト看做スヘシ

鐵鋼船ノ冷藏艙ニ設ケル内張板ニ付テモ前項ニ準シ取扱フヘシ

第十條　木船ハ内張板ノ厚ハ實際ノ寸法ヲ採ルヘシ

木船ノ肋根材上ニ設ケタル横木ノ高ハ内張木船ノ厚ニ算入セス

船底ノ縦通材及彎曲部縦通材ノ内張板ノ一部ト看做シ船舶ノ幅ヲ測ルヘシ

第十一條　總積量ニ算入セサル上甲板上ノ場所

操舵機具（緊船機具、揚錨機具及副汽鑵、副汽機ニ供用セラルル場所トハ此等ノ機具機關ニ供用スル爲特ニ設ケタル室又ハ區畫アルトキハ該室又ハ該區畫ヲ、室及檢査官吏ニ於テ其ノ取扱ニ必要ナリト認ムル場所ヲ加ヘタルモノヲ謂フ

第二十九條　朝鮮船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル扉ニ準スヘキ常設閉鎖裝置トハ引戸及探止釘又ハ鈎形止釘ヲ以テ閉鎖シ得ル板戸ヲ謂フ

出入口ノ兩側ニ設ケタル堅溝形材ニ挿板ヲ爲セル裝置ハ之ヲ前項ノ常設閉鎖裝置ト看做サス

船樓、甲板室其ノ他ノ場所又ハ其ノ一部ニシテ出入口ノ一箇ヲ有スルモノト雖該出入口ノ面積カ特ニ大ニシテ出入口ニ箇以上ヲ有スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ム得ヘキ場合ノ取扱ニ付テハ關面ヲ添ヘ意見ヲ具シ遞信局長ノ指揮ヲ受クヘシ

第三十條　朝鮮船舶積量測度規程第二十一條ニ掲クル適當ノ排水口ハ高約五十一センチメートル幅約三十八センチメートルノモノトシテ甲板間ニ設ケル排水孔ノ間隔ハ約十メートルニ付各舷一箇ノ割合ヲ以テ部分ニ分每ニ各舷一箇以上ノ排水孔ヲ設クヘキモノトス

朝鮮船舶積量測度規程第二十條ニ掲クル排水口ノ寸法及排水孔ノ間隔ニ付テモ亦前項ニ準ス

第三十一條　厨室ト稱スルハ「ガレー」ト「スカレリー」及流シ場ヲ謂フ

第三十二條　上甲板以上ニ在ル出入口ノミニ供用セラルル場所ハ之ヲ出入口室ノ一部ト看做シ其ノ積量ヲ總積量ニ算入セス

第三十三條　朝鮮船舶積量測度規程第二十三條ニ掲クル船舶ノ積量測度ニ於テハ左ノ場所ヲ總積量ニ算入セス

一　船員常用室ノ積量ニ算入セル倘シ旅客船ニ非サル船舶又ハ臨時旅客ヲ搭載シタル爲リタル船舶ニ於テ船員及旅客ニ併用スル場所ノ積量竝旅客船ニ臨時旅客ヲ搭載シタル場合ニ於テ船員及臨時旅客ニ併用スル場所ノ積量ハ之ヲ船員常用室ノ積量ニ算入ス

第四十條　船首尾水船ハ淡水船ノミニ用ヰラルル場合ト雖之ヲ荷足水船ト看做ス

第四十一條　朝鮮船舶積量測度規程第二十九條ノ規定ニ依リ船首尾水船ノ積量ヲ算定スル場合ニ於テ各分長點ノ深ハ船首尾隔壁ニ接スル二重底又ハ普通肋板ノ頂面ノ延長面迄測ルヘシ

第四十二條　機關室カ二室以上アル場合ニ於テハ各室間ノ通路機關室又ハ車軸隧道ヨリ上甲板ニ至ル通路ノ積量ハ之ヲ機關室ノ積量ニ算入ス

第四十三條　船舶積量測度決第四條ニ掲クル主噸筒トハ淦水棒出ニ供用セラルル蒸氣喞筒ヲ謂フ

第四十四條　主機關ト連絡シタル副汽鑵ニ供用セラルル場所ノ積量ハ之ヲ機關室ノ積量ニ算入ス

第四十五條　船舶積量測度規程第三十四條ニ掲クル機關室内ニ於ケル船舶ノ推進ニ關係ナキ場所トハ該室内ニ於テ主機關ト連絡セサル副汽鑵（發電機、製氷機、倉庫、工作場、操舵機、消防消毒用瓦斯發生機、依料水漢習機、船内送風機ニ供用セラルル場所又ハ特ニ構成シタル發備旋轉軸貫場ニシテ區畫アルトキハ該區畫ヲ、區畫ナキトキハ其ノ取扱ニ必要ナリト認ムル場所及檢査官吏ニ於テ其ノ實際占有スル場所ヲ加ヘタルモノヲ謂フ發陸ニ於テ特殊ノ船舶ニ於テ特殊ノ目的ニ供用セラルル機械ヲ据付ケタル場合亦同シ

第四十六條　石炭庫及燃料油庫ノ積量ハ機關室ノ積量ニ算入スヘカラス

第四十七條　朝鮮船舶積量測度規程第三十四條ニ掲クル船口ノ積量ト船口ノ基準甲板ニ在ル船口及戒炭口ノ積量ヲ加ヘタルモノヲ謂フ

指揮ヲ受クヘシ

●船舶ノ建造又ハ修繕用物品ノ承認

大正十五年六月
總令第五十七號

船舶ノ建造又ハ修繕ノ爲使用スヘキ物品ノ承認ニ關シテハ大正十五年遞信省令第十五號船舶建造及修繕用物品承認規則ニ依ル

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船舶建造及修繕用物品承認規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前爲シタル船舶建造用物品承認申請ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本令施行前爲シタル船舶修繕用物品承認申請ハ本令ニ依リ之ヲ爲スルモノト看做ス

●船舶建造及修繕用物品承認規則

大正十五年四月
遞令第十二號

船舶建造及修繕用物品承認規則左ノ通改正ス

第一條　船舶建造及修繕用物品承認規則第一年勅令第二百三十九號及製鐵業奬勵法施行令ニ依リ定ムル管海官廳ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ承認申請書ヲ船ノ建造又ハ修繕ヲ爲ス者ノ大正十

二　工場ノ名稱及位置
三　船舶ノ製造番號及種類
四　船舶ノ建造ノ爲使用スヘキ物品ニシテ輸入稅ノ免除ヲ受ケタルモノ及奬勵金ノ交付ヲ受ケタルモノノ種類竝數量

五　竣工ノ年月日

前項第四號ノ物品中ニ鐵鋼材アル場合ニ於テハ船體ニ使用シタルトキハ船體構造圖、船體中心線縱截面ノ鐵鋼材配置圖、各甲板鐵鋼材配置圖、外板展開圖及支水隔壁構造圖、汽機ニ使用シタルトキハ汽機圖、汽罐ニ使用シタルトキハ當該罐裝品圖及第二條第二項ニ依リ添附シタル鐵鋼材全部ノ合計重量ニ關スル書類ノ記載ニ變更アリタルトキハ之ヲ訂正シタル書類各二通ヲ申請書ニ添附スヘシ但シ形狀及寸法ヲ同クスル船舶ニ付同一管海官廳ニ竣工承認申請ヲ爲シタルモノアルトキハ之ヲ添附セサルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨申請書ニ附記スヘシ

第五條　船舶修繕竣工承認申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所所在地
二　工場ノ名稱及位置
三　船舶ノ位置、名稱、種類、所有者及總噸數竝修繕ノ爲使用シタル物品ニシテ輸入稅ノ免除ヲ受ケタルモノ及奬勵金ノ交付ヲ受ケタルモノノ種類竝數量

五　竣工ノ年月日

船舶ノ修繕ニ該船舶ノ修繕用物品ト一定期間內ニ使用スヘキ船舶修繕用物品トヲ併セ使用シタルトキハ之ニ關スル各竣工承認申請書ニ同時ニ之ヲ提出スヘシ

第六條　承認申請書及承認更正申請書ニ物品ノ種類及數量ヲ記載スルニ當リテハ(一)船體用鐵鋼材(二)機關用鐵鋼材(三)艤裝品用鐵鋼材(四)機關、機關部分品、艤裝品及艤裝品部分品ニ四類別シ各鐵鋼材ニ付テハ更ニ(イ)塊(ロ)片(ハ)條及竿(ニ)板(ホ)筒及管ノ五種類ニ分チ各合計重量ヲ明ニスヘシ但シ奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスル塊又ハ片ニ在リテハ其ノ製造者ヨリ引取ラムトスルモノカ素材ナルトキハ其ノ素材ノ合計重量ヲ、鍛造品又ハ成品ナルトキハ其ノ鍛造品又ハ成品ノ合計重量ノ各別ニ明ニスヘシ

竣工承認申請書ニ鐵鋼材ノ種類及數量ヲ記載スルニ當リテハ前項ノ類別及種類ニ依ル外塊、片ニ付テハ各品名、箇數、使用重量（奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスルモノニ在リテハ其ノ製造者ヨリ引取リタルモノカ素材ナルトキハ其ノ素材ノ引取重量及使用重量竝其ノ鍛造後ノ鍛造品ノ重量、鍛造品若ハ成品ナルトキハ之ヲ明ニシタル上其ノ鍛造品又ハ完成品ノ重量）及用途ヲ條及竿、板、筒及管ニ付テハ各品名、形狀、寸法、箇數、使用重量及用途ヲ明ニスヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスル鋼材ニ付テハ其ノ鋼質及製造者ヲモ明ニスヘシ

第七條　管海官廳ハ何時ニテモ承認申請書、承認更正申請書、竣工承認申請書又ハ屆書ニ記載シタル事項若ハ添附シタル書類及圖面ノ補正ヲ命シ又ハ其ノ副本若ハ其ノ他ノ書類及圖面ノ提出ヲ命スルコトヲ得

管海官廳ハ調査上差支ナキトキハ申請書ニ添附スヘキ書類及圖面ノ添附ヲ省略セシメ又ハ其ノ記載ヲ簡約セシムルコトヲ得

第八條　承認申請、承認更正申請又ハ竣工承認申請ニ付其ノ調査及工事施行ノ監督ヲ他ノ管海官廳ニ囑託スルコトヲ得

前項ノ囑託ヲ爲シタルトキハ管海官廳ハ其ノ旨申請者ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル後申請者カ囑託事項ニ關シ提出スル承認更正申請書又ハ第十條ノ屆書ハ受託管海官廳ヲ經由スヘシ

第九條　管海官廳ハ承認申請、承認更正申請又ハ竣工承認申請ヲ正當ト認ムルトキハ申請者ニ承認書、承認更正書又ハ竣工承認書ヲ交付スヘシ

第十條　船舶ノ修繕竣工承認申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所所在地
二　工場ノ名稱及位置
三　船舶ノ位置、名稱、種類、所有者及總噸數竝修繕ノ爲使用シタル物品ニシテ輸入稅ノ免除ヲ受ケタルモノ及奬勵金ノ交付ヲ受ケタルモノノ種類竝數量

五　竣工ノ年月日

本令ハ大正十五年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ爲サレタル船舶建造用物品承認申請ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本令施行前ニ爲サレタル船舶修繕用物品承認申請ノ之ヲ本令ニ依リタルモノト看做ス

（第二號書式）

年　甲（又ハ乙若ハ乙特）第　號

船舶建造（又ハ修繕）用物品承認書

一　申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所所在地

二　第一船舶ノ建造（又ハ修繕）ノ爲使用シタル物品ニシテ輸入稅ノ免除ヲ受ケタルモノ及奬勵金ノ交付ヲ受ケタルモノノ種類竝數量

三　第一船舶ノ建造（又ハ修繕）ノ爲使用シタル物品ニシテ輸入稅ノ免除ヲ受ケタルモノ及奬勵金ノ交付ヲ受ケタルモノノ種類竝數量

四　船舶ノ建造（又ハ修繕）ノ爲使用シタル物品ニシテ輸入稅ノ免除ヲ受ケタルモノ及奬勵金ノ交付ヲ受ケタルモノノ種類竝數量

五　竣工ノ年月日

右申請者ノ申請ニ係ル物品ノ種類及數量ニ關シ第一船舶ノ建造（又ハ修繕）ニ使用セラレタルコトヲ承認ス

年　月　日　管海官廳名印

（第三號書式）

年　甲（又ハ乙若ハ乙特）第　號

船舶建造（又ハ修繕）用物品承認更正書

申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所所在地

右申請者ニ　年　月　日交付シタル　年甲（又ハ乙若ハ乙特）第　號船舶建造（又ハ修繕）用物品承認書中左ノ如ク更正ス

年　月　日　管海官廳名印

備考

番號ハ當該承認書ト同一ノモノヲ附スヘキモノトス

（第三號書式）

四　輸入稅ノ免除ヲ受ケムトスル物品又ハ奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスル鋼材ノ種類及數量

五　起工期日（又ハ著手期日）及竣工期日

右申請者ノ申請ニ係ル物品ノ種類及數量ニ相當スル物品ハ前記工場及期日（又ハ期間）ニ於テ建造（又ハ修繕）スル船舶ニ使用スルニ必要ナルコトヲ承認ス

年　月　日　管海官廳名印

備考

一　番號中ノ甲ハ船舶建造用物品承認書、乙ハ船舶修繕用物品承認書ニシテ一定期間內ニ於ケル船舶修繕用物品ニ關スルモノ乙特ハ船舶修繕用物品承認書ニシテ特定船舶ノ修繕用物品ニ關スルモノニ附スヘキモノトス

第四號中鐵鋼材ノ種類及數量ハ第六條第一項ニ依リ記載シ尙奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスルモノニハ鋼質及製造者名ヲモ參考ノ爲附記スヘキモノトス

二　第五號ハ船舶修繕用物品承認書ニシテ一定期間內ニ於ケル船舶修繕用物品ニ關スルモノニハ記載セサルモノトス

（第二號書式）

年　甲（又ハ乙若ハ乙特）第　號

船舶建造（又ハ修繕）用物品承認更正書

申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所所在地

右申請者ニ　年　月　日交付シタル　年甲（又ハ乙若ハ乙特）第　號船舶建造（又ハ修繕）用物品承認書中左ノ如ク更正ス

年　月　日　管海官廳名印

備考

番號ハ當該承認書ト同一ノモノヲ附スヘキモノトス

（第三號書式）

年　甲（又ハ乙若ハ乙特）第　號

船舶建造（又ハ修繕）竣工承認書

一　申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所所在地

二　船舶ノ製造番號及種類（又ハ位置、名稱及種類）

三　船舶ノ建造（又ハ修繕）ノ爲使用シタル物品ニシテ輸入稅ノ免除ヲ受ケタルモノ及奬勵金ノ交付ヲ受ケタルモノノ種類竝數量

四　船舶ノ建造（又ハ修繕）ノ爲使用シタル物品ニシテ輸入稅ノ免除ヲ受ケタルモノ及奬勵金ノ交付ヲ受ケタルモノノ種類竝數量

五　竣工ノ年月日

右申請者ノ申請ニ係ル物品ノ種類及數量ニ相當スル物品ハ前記工場及年月日ニ於テ竣工シタル船舶ノ建造（又ハ修繕）ニ使用セラレタルコトヲ承認ス

年　月　日　管海官廳名印

備考

一　番號ハ當該承認書ト同一ノモノヲ附スヘキモノトス

二　第四號中鐵鋼材ノ種類及數量ハ第六條第一項ニ依リ記載シ尙奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスルモノニハ鋼質及製造者名ヲモ參考ノ爲附記スヘキモノトス

三　第五號ハ船舶修繕用物品承認書ニシテ一定期間內ニ於ケル船舶修繕用物品ニ關スルモノニハ記載セサルモノトス

（第二號書式）

年　甲（又ハ乙若ハ乙特）第　號

船舶建造（又ハ修繕）用物品承認更正書

申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所所在地

右申請者ニ　年　月　日交付シタル　年甲（又ハ乙若ハ乙特）第　號船舶建造（又ハ修繕）用物品承認書中左ノ如ク更正ス

年　月　日　管海官廳名印

備考

番號ハ當該承認書ト同一ノモノヲ附スヘキモノトス

（第三號書式）

年　甲（又ハ乙若ハ乙特）第　號

船舶建造（又ハ修繕）竣工承認書

一　申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所所在地

第一　船舶建造（又ハ修繕竣工承認書申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所所在地

第二　積量ヲ測度セラルルコトナク船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ニ記載スル登簿噸數ヲ亞米利加合衆國ノ法律ニ於テ該船ノ登簿噸數ト同一ナリト認メラルヘシ但シ帝國ノ船舶積量測度規則ニ於テ省略又ハ控除ヲ許シタル部分ニシテ瑞典國ノ法令ニ於テ控除ヲ許サル部分ニシテ再測度ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ部分ノ測度ヲ受クルコトヲ得ヘシ

第三　削除

第四　削除

第五　瑞典及諾威國

瑞典國

帆船ハ其ノ積量ヲ測度セラルルコトナク船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ニ記載スル登簿噸數ヲ瑞典國船舶ノ登簿噸數ト同一ナリト認メラルヘシ

汽船ハ瑞典國政府ニ於テ其ノ控除スヘキ噸數ヲ定ムル爲國ノ法令ニ從ヒ機關室ノ部分測度ヲ行ヒ登簿噸數ヲ算定セラルヘシ

船舶所有者又ハ船長ハ帝國ノ船舶積量測度規則ニ於テ控除ヲ許ササル部分ニシテ瑞典國ノ法令ニ於テ控除ヲ許ス部分ニ付再測度ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ部分ノ測度ヲ受クルコトヲ得ヘシ

諾威國

積量ヲ測度セラルルコトナク船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ニ記載スル登簿噸數ヲ諾威國船舶ノ登簿噸數ト同一ナリト認メラルヘシ

第六　瑞典及諾威國

瑞典國

帆船ハ其ノ積量ヲ測度セラルルコトナク船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ニ記載スル登簿噸數ヲ瑞典國船舶ノ登簿噸數ト同一ナリト認メラルヘシ

汽船ハ瑞典國政府ニ於テ其ノ控除スヘキ噸數ヲ定ムル爲國ノ法令ニ從ヒ機關室ノ部分測度ヲ行ヒ登簿噸數ヲ算定セラルヘシ

船舶所有者又ハ船長ハ帝國ノ船舶積量測度規則ニ於テ控除ヲ許ササル部分ニシテ瑞典國ノ法令ニ於テ控除ヲ許ス部分ニ付再測度ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ部分ノ測度ヲ受クルコトヲ得ヘシ

諾威國

積量ヲ測度セラルルコトナク船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ニ記載スル登簿噸數ヲ諾威國船舶ノ登簿噸數ト同一ナリト認メラルヘシ

二　亞米利加合衆國

積量ヲ測度セラルルコトナク船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ニ記載スル登簿噸數ヲ亞米利加合衆國ノ法律ニ於テ該船ノ登簿噸數ト同一ナリト認メラルヘシ但シ帝國ノ船舶積量測度規則ニ於テ省略又ハ控除ヲ許ササルモノアルトキハ之ヲ該船ノ登簿噸數ニ加算セラルヘシ

第四　削除

第五　瑞典及諾威國

瑞典國

一　帆船ハ其ノ積量ヲ測度セラルルコトナク船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ニ記載スル登簿噸數ヲ瑞典國船舶ノ登簿噸數ト同一ナリト認メラルヘシ

汽船ハ瑞典國政府ニ於テ其ノ控除スヘキ噸數ヲ定ムル爲國ノ法令ニ從ヒ機關室ノ部分測度ヲ行ヒ登簿噸數ヲ算定セラルヘシ

諾威國

積量ヲ測度セラルルコトナク船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ニ記載スル登簿噸數ヲ諾威國船舶ノ登簿噸數ト同一ナリト認メラルヘシ

二　積量ヲ測度セラルルコトナク船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ニ記載スル登簿噸數ヲ諾威國船舶ノ登簿噸數ト同一ナリト認メラルヘシ

●朝鮮船舶安全令

昭和十年一月
制令　第二號

朝鮮船舶安全令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

年　月　日　管海官廳名印

備考

番號ハ當該承認書ト同一ノモノヲ附スヘキモノトス

（第三號書式）

第一條　朝鮮船舶ニ於ケル船舶ノ堪航性及人命ノ安全ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外船舶安全法ニ依ル但シ同法第二十七條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

船舶安全法中勅令トアルハ朝鮮總督府令、主務大臣トアルハ朝鮮總督、地方長官トアルハ道知事、日本船舶トアルハ朝鮮船舶ニ依ル日本船舶、道府縣市町村トアルハ道府邑面トス

第二條　朝鮮ノ船籍ヲ取得スル目的ヲ以テ內地、臺灣、樺太又ハ關東州ニ於テ製造スル船舶ノ製造者ノ前條ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法第六條第一項又ハ第二項ノ製造檢査ヲ受クルコトヲ得

第三條　本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

船舶安全法第二條第一項第十一號ニ關スル規定ニ付テハ朝鮮總督ノ定ムル日迄本令第一條ノ規定ヲ適用セズ

第四條　朝鮮船舶檢査令ハ之ヲ廢止ス

第五條　本令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法第二條第一項ノ規定ハ左ニ揭ゲル船舶ニハ當分ノ內之ヲ適用セズ

一　總噸數二十噸未滿ノ漁船

二　總噸數二十噸未滿ノ帆船

三　平水區域ノミヲ航行スル帆船

第六條　本令施行前生ジタル事項ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル但シ船級協會ノ認定其ノ他朝鮮總督ノ定ムル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第七條　朝鮮船舶檢査令ニ依リ船舶檢査證書若ハ假證書ヲ受有スル船舶又ハ之ヲ受有セズシテ航行ノ用ニ供スル船舶ノ檢査ニ關シテハ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依ル

一　航行期間滿了ノ爲朝鮮船舶檢査令ニ依リ船舶檢査證書若ハ假證書ヲ受有スル船舶又ハ之ヲ受有セズシテ航行ノ用ニ供スル船舶ノ檢査ニ關シテハ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依ル

一　航行期間滿了ノ爲朝鮮船舶檢査令ニ依リ船舶檢査證書若ハ假證書ヲ受有スル船舶又ハ之ヲ受有セズシテ航行ノ用ニ供シ得ザルニ至リタルトキ

二　朝鮮船舶檢査令ニ依リ船舶檢査證書又ハ假證書ヲ受有セズシテ航行ノ用ニ供シ得ザルニ至リタルトキ

前項ノ船舶ニシテ本令ニ依リ繼續シテ航行ノ用ニ供シ得ル旨ノ證書ヲ受有スルモノハ亞米利加合衆國、瑞典及諾威國ノ船舶ニシテ第一項ノ規定ニ該當スルニ至ル迄之ヲ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

メートル以上ノ船舶ノ製造者ハ第二條第一項ノ規定ノ適用アル船舶ニ付同條第一項第一號、第二號及第四號ニ揭ゲル事項、第三條ノ船舶ニ付滿載吃水線ニ關シ船舶ノ製造ニ着手シタル時ヨリ檢査(製造檢査)ヲ受クベシ但シ主務大臣ニ於テ已ムコトヲ得ズ又ハ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

本法施行地ニ於テ製造スル長サ三十メートル未滿ノ船舶ノ製造者ハ其ノ船舶ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ製造檢査ヲ受クルコトヲ得

本法施行地ニ於テ製造スル船舶用機關ノ製造者ハ備附クベキ船舶ノ特定部ト雖モ其ノ機關ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ檢査ヲ受クルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル檢査ニ合格シタル事項ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ檢査ヲ省略ス

第七條　第五條又ハ前條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル檢査ハ主務大臣ノ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外船舶ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳之ヲ行フ

第八條　主務大臣ノ認定シタル日本ノ船級協會(以下單ニ船級協會ト稱ス)ノ檢査ヲ受ケ船級ノ登錄ヲ爲シタル船舶ニシテ旅客船ニ非ザルモノハ其ノ船級ヲ有スル間第二條第一項第一號乃至第五號、第十號乃至第十二號ニ揭ゲル事項及滿載吃水線ニ關シ管海官廳ノ檢査ヲ受ケタル二合格シタルモノト看做ス

第九條　管海官廳ハ定期檢査ニ合格シタル船舶ニ對シテハ其ノ航行區域(漁船ニ付テハ從業制限)、最大搭載人員、制限資歷及滿載吃水線ノ位置ヲ定メ船舶檢査證書ヲ交付ス管海官廳ハ特殊船舶檢査ニ合格シタル船舶ニ對シテハ特殊船舶檢査證書ヲ交付ス

管海官廳ハ第六條ノ規定ニ依ル檢査ニ合格シタル船舶又ハ船舶用機關ニ對シテハ合格證明書ヲ交付ス

前條ノ船舶ニ付船級協會ノ定メタル制限ヲ超エテ航行スル場合ニ在リテハ船級協會ノ認定シタル範圍ニ於テ航行スル場合ニ在リテハ

第十條　船舶檢査證書ノ有效期間ハ四年ヲ超エザル期間ニシテ命令ヲ以テ定ムル小形船ニ付テハ四年以內ニ於テ管海官廳ノ定メタル期間トス

船舶檢査證書ハ其ノ有效期間滿了後五月迄ハ仍其ノ效力ヲ有ス

船舶檢査證書ノ中間檢査又ハ臨時檢査ニ合格セザル船舶ニ付テハ之ニ合格スル迄其ノ效力ヲ停止ス

第八條ノ船舶ノ受有スル船舶檢査證書ハ其ノ船舶カ當該船級ヲ登錄ヲ抹消セラレ又ハ旅客船ヲ爲リタルトキハ其ノ有效期間滿了ス

第十一條　船舶ニ付管海官廳ノ檢査ヲ受ケタル者檢査ニ對シ不服アルトキハ其ノ事由ヲ具シ主務大臣ニ再檢査ヲ申請スルコトヲ得

再檢査ヲ申請シタル者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ關係部分ノ原狀ヲ變更スルコトヲ得ズ

第十二條　管海官廳ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ當該官吏ヲシテ船舶ニ臨檢セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帶スベシ

管海官廳ハ本法ニ基ク命令ノ定ムルトキハ船舶ノ航行停止其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條　船舶乘組員二十人未滿ノ船舶ニ在リテハ其ノ二分ノ一以上、其ノ他ノ船舶ニ在リテハ乘組員十人以上カ命令ノ定ムル所ニ依リ當該船舶ノ堪航性又ハ居住設備衛生設備其ノ他ノ人命ノ安全ニ關スル設備ニ付重大ナル缺陷アル旨ヲ申立テタル場合ニ於テハ管海官廳官廳ハ其ノ事實ヲ調査シ必要アリト認ムルトキハ前條第二項ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十四條　日本船舶ニ非ザル船舶ニシテ左ニ揭ゲルモノニハ命令ヲ以テ本法ノ全部又ハ一部ヲ準用ス

一　本法施行地ノ各港間又ハ淸川港灣ノミヲ航行スル船舶

●船舶安全法

昭和八年三月
法律第十一號

改帝國議會ノ協賛ヲ經タル船舶安全法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

船舶安全法

第一條　日本船舶ハ本法ニ依リ其ノ堪航性ヲ保持シ且人命ノ安全ヲ保持スルニ必要ナル施設ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ航行ノ用ニ供スルコトヲ得ズ

第二條　船舶ハ左ニ揭ゲル事項ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　船體
二　機關
三　艤裝
四　排水設備
五　操舵、繫船及揚錨ノ設備
六　救命及消防ノ設備
七　居住設備
八　衞生設備
九　航海用具
十　危險物其ノ他ノ特殊貨物ノ積附設備
十一　荷役其ノ他ノ作業ノ設備
十二　電氣設備
十三　前各號ノ外主務大臣ニ於テ特ニ定ムル事項

前項ノ規定ハ左ニ揭ゲル船舶ニハ之ヲ適用セズ

一　總噸數五噸未滿ノ船舶
二　櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟其ノ他主務大臣ニ於テ特ニ定ムル船舶
三　總噸數百噸以上ノ漁船
四　前各號ノ外主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキ行フ檢査(臨時檢査)ニ依リ中間檢査ヲ受ケルコトヲ免除スルコトヲ得

第三條　遠洋區域ヲ航行スル船舶又ハ近海區域ヲ航行スル總噸數百五十噸以上ノ船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ滿載吃水線ヲ標示スル爲必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

本法施行地ニ於テ製造スル長サ三十メートル未滿ノ船舶ノ製造者ハ其ノ船舶ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ製造檢査ヲ受クルコトヲ得

本法施行地ニ於テ製造スル船舶用機關ノ製造者ハ備附クベキ船舶ノ特定部ト雖モ其ノ機關ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ檢査ヲ受クルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル檢査ニ合格シタル事項ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ檢査ヲ省略ス

第四條　左ニ揭ゲル船舶ハ無線電信法ニ依ル遠洋區域又ハ近海區域ヲ航行スル總噸數千六百噸以上ノ船舶

遠洋區域又ハ近海區域ヲ航行スル旅客船(十二人ヲ超ユル旅客定員ヲ有スル船舶)

第五條　船舶所有者ハ第二條第一項ノ規定ノ適用アル船舶ニ付同條第一項各號ニ揭ゲル事項、第三條ノ船舶ニ付無線電信ニ關シ命令ノ定ムル所ニ依リ左ノ區別ニ依ル檢査ヲ受クベシ

一　初メテ航行ノ用ニ供スルトキ又ハ第十條ニ規定スル有效期間滿了シタルトキ行フ精密ナル檢査(定期檢査)

二　定期檢査ト定期檢査ノ中間ニ於テ命令ノ定ムル時期ニ行フ簡易ナル檢査(中間檢査)

三　臨時ニ特殊ノ用途ニ使用スルトキ行フ檢査(特殊船檢査)

四　前各號ノ外主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキ行フ檢査(臨時檢査)

主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ中間檢査ヲ受クルコトヲ免除スルコトヲ得

第六條　本法施行地ニ於テ製造スル長サ三十メートル以上ノ船舶ノ製造者ハ第二條第一項ノ規定ノ適用アル船舶ニ付同條第一項第一號、第二號及第四號ニ揭ゲル事項ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ檢査ヲ受ケ合格シタル旨ノ證書ヲ交付スル迄ハ其ノ船舶ヲ航行ノ用ニ供スルコトヲ得ズ

前項ノ規定ハ左ニ揭ゲル船舶ニハ之ヲ適用セズ

一　總噸數五百噸未滿ノ船舶
二　櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟其ノ他主務大臣ニ於テ特ニ定ムル船舶
三　總噸數百噸以上ノ漁船
四　前各號ノ外主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキ行フ檢査(臨時檢査)ニ依リ中間檢査ヲ受クルコトヲ免除スルコトヲ得

第七條　第五條又ハ前條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル檢査ハ主務大臣ノ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外船舶ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳之ヲ行フ

第八條　主務大臣ノ認定シタル日本ノ船級協會(以下單ニ船級協會ト稱ス)ノ檢査ヲ受ケ船級ノ登錄ヲ爲シタル船舶ニシテ旅客船ニ非ザルモノハ其ノ船級ヲ有スル間第二條第一項第一號乃至第五號、第十號乃至第十二號ニ揭ゲル事項及滿載吃水線ニ關シ管海官廳ノ檢査ヲ受ケタルニ合格シタルモノト看做ス

第九條　管海官廳ハ定期檢査ニ合格シタル船舶ニ對シテハ其ノ航行區域(漁船ニ付テハ從業制限)、最大搭載人員、制限資歷及滿載吃水線ノ位置ヲ定メ船舶檢査證書ヲ交付ス

管海官廳ハ特殊船舶檢査ニ合格シタル船舶ニ對シテハ特殊船舶檢査證書ヲ交付ス

管海官廳ハ第六條ノ規定ニ依ル檢査ニ合格シタル船舶又ハ船舶用機關ニ對シテハ合格證明書ヲ交付ス

前條ノ船舶ニ付船級協會ノ定メタル制限ヲ超エテ航行スル場合ニ在リテハ船級協會ノ認定シタル範圍ニ於テ航行スル場合ニ在リテハ

第十條　船舶檢査證書ノ有效期間ハ四年ヲ超エザル期間ニシテ命令ヲ以テ定ムル小形船ニ付テハ四年以內ニ於テ管海官廳ノ定メタル期間トス

船舶檢査證書ハ其ノ有效期間滿了後五月迄ハ仍其ノ效力ヲ有ス

船舶檢査證書ノ中間檢査又ハ臨時檢査ニ合格セザル船舶ニ付テハ之ニ合格スル迄其ノ效力ヲ停止ス

第八條ノ船舶ノ受有スル船舶檢査證書ハ其ノ船舶カ當該船級ヲ登錄ヲ抹消セラレ又ハ旅客船ヲ爲リタルトキハ其ノ有效期間滿了ス

第十一條　船舶ニ付管海官廳ノ檢査ヲ受ケタル者檢査ニ對シ不服アルトキハ其ノ事由ヲ具シ主務大臣ニ再檢査ヲ申請スルコトヲ得

再檢査ヲ申請シタル者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ關係部分ノ原狀ヲ變更スルコトヲ得ズ

第十二條　管海官廳ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ當該官吏ヲシテ船舶ニ臨檢セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帶スベシ

管海官廳ハ本法ニ基ク命令ノ定ムルトキハ船舶ノ航行停止其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條　船舶乘組員二十人未滿ノ船舶ニ在リテハ其ノ二分ノ一以上、其ノ他ノ船舶ニ在リテハ乘組員十人以上カ命令ノ定ムル所ニ依リ當該船舶ノ堪航性又ハ居住設備衛生設備其ノ他ノ人命ノ安全ニ關スル設備ニ付重大ナル缺陷アル旨ヲ申立テタル場合ニ於テハ管海官廳官廳ハ其ノ事實ヲ調査シ必要アリト認ムルトキハ前條第二項ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十四條　日本船舶ニ非ザル船舶ニシテ左ニ揭ゲルモノニハ命令ヲ以テ本法ノ全部又ハ一部ヲ準用ス

一　本法施行地ノ各港間又ハ淸川港灣ノミヲ航行スル船舶

二　日本船舶ヲ所有シ得ル者ノ借入レタル船舶ニシテ本法施行地ト其ノ他ノ地トノ間ノ航行ニ從事スルモノ

三　前各號ノ外本法施行地ニ在ル船舶

第十五條　主務大臣ニ於テ前條第三號ニ揭ゲル船舶ノ所屬地ノ本法ニ該當スル法令ヲ相當ト認メタルトキハ之ニ基キタル船舶ノ堪航性又ハ人命ノ安全ニ關スル證書ハ本法ニ依リ交付シタル證書ト同一ノ效力ヲ有ス

前項ノ規定ハ本法ニ依リ交付シタル證書ノ效力ヲ認メザル國ニ屬スル船舶ニ付テハ之ヲ適用セズ

第十六條　船舶ノ堪航性及人命ノ安全ニ關シ條約ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第十七條　滿載吃水線ノ標示ヲ隱蔽、變更又ハ抹消シタル者ハ百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條　船舶所有者又ハ船長左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者及船長ヲ百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　船舶檢査證書ヲ受有セズシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シ又ハ特殊船檢査證書ヲ受有セズシテ船舶ヲ特殊船檢査證書ニ記載シタル條件ニ違反シテ船舶ヲ特殊ノ用途ニ使用シタルトキ

二　航行區域ヲ超エ又ハ從業制限ニ違反シテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シタルトキ

三　制限汽壓ヲ超エテ汽罐ヲ使用シタルトキ

四　最大搭載人員ヲ超エテ旅客其ノ他ノ者ヲ搭載シタルトキ

五　滿載吃水線ヲ超エテ載荷シタルトキ

六　無線電信ノ施設ヲ要スル船舶ヲ其ノ施設ナクシテ航行ノ用ニ供シタルトキ

七　中間檢査ヲ受ケベキ場合ニ於テ之ヲ受ケズシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シタルトキ

八　前各號ノ外船舶檢査證書ニ記載シタル條件ニ違反シテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シ又ハ特殊船檢査證書ニ記載シタル條件ニ違反シテ船舶ヲ特殊ノ用途ニ使用シタルトキ

九　管海官廳ノ許可ヲ受ケズシテ檢査ヲ受ケタル事項ニ變更ヲ爲シ又ハ其ノ事項ニ付檢査ヲ受ケズシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シタルトキ

第十九條　詐僞其ノ他不正ノ行爲ヲ以テ第九條ニ揭ゲル證書ヲ受有シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條　船舶所有者又ハ船長第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル檢査ニ關シ僞リ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條　正當ノ事由ナクシテ當該官吏ノ臨檢ヲ拒ミ、妨グ若ハ忌避シ又ハ其ノ職務ニ對シテ答辯ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條　船舶乘組員虛僞ノ申立ヲ爲シ管海官廳チシテ第十三條ノ規定ニ依ル調査ヲ爲サシメタルトキハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條　船級協會ノ職員第八條ニ揭ゲル船舶ニ付第二條第一項第一號乃至第五號、第十號乃至第十二號ニ揭ゲル事項又ハ滿載吃水線ニ關シ虛僞ノ檢査ヲ爲シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコトヲ能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第二十四條　船級協會ノ職員ニ前條ニ揭ゲル檢査ニ關シ賄賂ヲ收受シ、提供又ハ約束シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十五條　本法及本法ニ基ク命令ニ依リ船舶ノ檢査ニ關シテハ本船舶所有者ニ適用スベキ關則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ之ヲ適用シ國又ハ道府縣市町村其ノ他ノ公共團體ガ船舶所有者ナルトキハ之ヲ適用セズ

第二十六條　本法及本法ニ基ク命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテハ船舶管理人ヲ置キタルトキハ之ヲ船舶管理人ニ、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ之ヲ船舶借入人ニ適用シ又船長ニ關スル規定ハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ之ヲ適用ス

第二十七條　船舶ノ衝突豫防ニ關シ船舶ノ運轉ニ守スベキ船燈ノ表示、航法、信號其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ船舶ニハ海軍艦船ヲモ包含ス

第二十八條　危險物ノ運送禁止、遭難者救助、救命艇手、操練及操舵命令ニ關スル事項竝ニ危險及氣象ノ通報其ノ他船舶航行上ノ危險防止ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十九條　前二條ニ規定スル事項ヲ除クノ外地方長官ハ第二條第一項ノ規定ヲ適用セザル船舶ノ堪航性及人命ノ安全ニ關シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ必要ナル規則ヲ設クルコトヲ得

附　則

第三十條　本法施行ノ期日ハ第二條第一項第十一號ニ關スル規定、同條同項第十二號ニ關スル規定、第二十七條ノ規定竝ニ他ノ一般規定ニ付各別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和九年二月勅令第十二號ヲ以テ第二條第一項第十二號ニ關スル規定ハ昭和九年三月一日ヨリ施行)

第三十一條　船舶檢査法、船舶滿載吃水線法、船舶無線電信施設法及明治六年第二百九十二號布告ハ前項ノ一般規定施行ノ日ヨリ、海上衝突豫防法ハ第二十七條ノ規定ノ施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十二條　第二條第一項ノ規定ハ左ニ揭ゲル船舶ニハ當分ノ內之ヲ適用セズ

一　總噸數二十噸未滿ノ帆船

二　平水區域ノミヲ航行スル帆船

第三十三條　船舶滿載吃水線法ニ依リ滿載吃水線ノ標示ヲ要セザリシ船舶ニシテ本法ニ依リ其ノ標示ヲ要スルモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ滿載吃水線ニ關スル檢査ヲ受クルヲ迄ノ間標示ヲ要セズ

第三十四條　本法及本法ニ基ク命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶管理人ヲ置キタルトキハ之ヲ船舶管理人ニ、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ之ヲ船舶借入人ニ適用シ又船長ニ關スル規定ハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ之ヲ適用ス

第三十五條　船舶ノ衝突豫防ニ關シ船舶ノ運轉ニ守スベキ船燈ノ表示、航法、信號其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ船舶ニハ海軍艦船ヲモ包含ス

第三十六條　危險物ノ運送禁止、遭難者救助、救命艇手、操練及操舵命令ニ關スル事項竝ニ危險及氣象ノ通報其ノ他船舶航行上ノ危險防止ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十七條　前二條ニ規定スル事項ヲ除クノ外地方長官ハ第二條第一項ノ規定ヲ適用セザル船舶ノ堪航性及人命ノ安全ニ關シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ必要ナル規則ヲ設クルコトヲ得

附　則

第三十八條　本法施行ノ期日ハ第二條第一項第十一號ニ關スル規定、同條同項第十二號ニ關スル規定、第二十七條ノ規定竝ニ他ノ一般規定ニ付各別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和九年二月勅令第十二號ヲ以テ第二條第一項第十二號ニ關スル規定ハ昭和九年三月一日ヨリ施行)

第三十九條　船舶檢査法、船舶滿載吃水線法、船舶無線電信施設法及明治六年第二百九十二號布告ハ前項ノ一般規定施行ノ日ヨリ、海上衝突豫防法ハ第二十七條ノ規定ノ施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第四十條　第二條第一項ノ規定ハ左ニ揭ゲル船舶ニハ當分ノ內之ヲ適用セズ

一　總噸數二十噸未滿ノ帆船

二　平水區域ノミヲ航行スル帆船

第四十一條　船舶滿載吃水線法ニ依リ滿載吃水線ノ標示ヲ要セザリシ船舶ニシテ本法ニ依リ其ノ標示ヲ要スルモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ滿載吃水線ニ關スル檢査ヲ受クルヲ迄ノ間標示ヲ要セズ

第四十二條　本法及本法ニ基ク命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶管理人ヲ置キタルトキハ之ヲ船舶管理人ニ、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ之ヲ船舶借入人ニ適用シ又船長ニ關スル規定ハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ之ヲ適用ス

第四十三條　船舶ノ衝突豫防ニ關シ船舶ノ運轉ニ守スベキ船燈ノ表示、航法、信號其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ船舶ニハ海軍艦船ヲモ包含ス

第四十四條　危險物ノ運送禁止、遭難者救助、救命艇手、操練及操舵命令ニ關スル事項竝ニ危險及氣象ノ通報其ノ他船舶航行上ノ危險防止ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條　第十七條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ之ヲ施行ス

第四十六條　第十八條第一號ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第四十七條　第十八條第二號ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第四十八條　第十八條第三號ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第四十九條　第十八條第四號ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第五十條　第十八條第五號ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第五十一條　第十八條第六號ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第五十二條　第十八條第七號ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第五十三條　第十八條第八號ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第五十四條　第十八條第九號ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第五十五條　第十九條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ之ヲ施行ス

第五十六條　第二十條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第五十七條　第二十一條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第五十八條　第二十二條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第五十九條　第二十三條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第六十條　第二十四條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第六十一條　第二十五條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第六十二條　第二十六條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第六十三條　第二十七條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第六十四條　第二十八條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第六十五條　第二十九條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第六十六條　第三十條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第六十七條　第三十一條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第六十八條　第三十二條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第六十九條　第三十三條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第七十條　第三十四條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第七十一條　第三十五條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第七十二條　第三十六條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第七十三條　第三十七條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第七十四條　第三十八條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第七十五條　第三十九條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第七十六條　第四十條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第七十七條　第四十一條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第七十八條　第四十二條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第七十九條　第四十三條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第八十條　第四十四條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第八十一條　第四十五條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第八十二條　第四十六條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第八十三條　第四十七條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第八十四條　第四十八條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第八十五條　第四十九條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第八十六條　第五十條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第八十七條　第五十一條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第八十八條　第五十二條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第八十九條　第五十三條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第九十條　第五十四條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第九十一條　第五十五條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第九十二條　第五十六條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第九十三條　第五十七條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第九十四條　第五十八條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第九十五條　第五十九條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第九十六條　第六十條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第九十七條　第六十一條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第九十八條　第六十二條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第九十九條　第六十三條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百條　第六十四條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百一條　第六十五條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百二條　第六十六條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百三條　第六十七條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百四條　第六十八條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百五條　第六十九條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百六條　第七十條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百七條　第七十一條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百八條　第七十二條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百九條　第七十三條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百十條　第七十四條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百十一條　第七十五條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百十二條　第七十六條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百十三條　第七十七條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百十四條　第七十八條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百十五條　第七十九條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百十六條　第八十條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百十七條　第八十一條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百十八條　第八十二條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百十九條　第八十三條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百二十條　第八十四條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百二十一條　第八十五條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行ノ日迄ノ間ハ之ヲ適用セズ

第百二十二條　第八十六條ノ規定ハ本法施行ノ期日ヨリ第二條第一項ノ規定ノ施行

鮮總督、遞信省トアルハ朝鮮總督府遞信局、日本船トアルハ朝鮮船舶令ニ依ル日本船舶、船舶安全法トアルハ朝鮮船舶安全令ニ於テ夫レ夫レ依ルコトヲ定メタル船舶安全法、船舶安全法施行地トアルハ朝鮮、鋼船構造規程トアルハ朝鮮鋼船構造規程、木船構造規程トアルハ朝鮮木船構造規程、船舶機關規程トアルハ朝鮮船舶機關規程、船舶設備規程トアルハ朝鮮船舶設備規程、船舶滿載吃水線規程、漁船區域規程トアルハ朝鮮船舶區域規程、漁船特殊規則トアルハ朝鮮漁船特殊規則、漁船特殊規程トアルハ朝鮮漁船特殊規程トス

船舶安全法施行規則第四條第二項中移民保護法第一條ニ該當スル者トアルハ勞働ニ從フ目的ヲ以テ滿洲國又ハ中華民國以外ノ外國ニ渡航スル者及其ノ家族ニシテ之ト同行シ又ハ其ノ所在地ニ渡航スル者、同規則第十八條中平水區域又ハ瀨戶內（和歌山縣海草郡田倉埼ヨリ兵庫縣津名郡生石鼻ニ至ル線、兵庫縣三原郡門埼ヨリ德島縣板野郡孫埼ニ至ル線、愛媛縣西宇和郡佐田岬ヨリ大分縣北海部郡關埼ニ至ル線及福岡縣企救郡門司埼ヨリ山口縣豐浦郡甲山ニ至ル線內ノ區域）トアルハ平水區域、同規則第七十二條中第七十五條トアルハ朝鮮船舶安全令施行規則第七條、同規則第百三十五條第一項第三號中船法施行細則第四條第一項各號トアルハ朝鮮船舶令施行規則第四條第一項各號、同條第二項中同法トアルハ朝鮮船舶安全令、同規則第百八十四條第二項中船法施行細則第五十三條第一項トアルハ朝鮮船舶令施行規則第五十四條トス

第二條　平水區域ハ湖川港內及左ニ掲ゲル各區域トス

第一區　平安北道鐵山郡水運島登臺ヨリ眞方位二百九十五度ニ引キタル線並ニ同燈臺ヨリ同郡魚泳島、同郡大和島及同道定州郡外鵝島ヲ經テ平安南道安州郡法香山ニ至ル線內

第二區　平安南道龍岡郡螺佑峯ヨリ黃海道松禾郡姉妹島及同郡黑岩ヲ經テ同郡冷井埼ニ至ル線內

第三區　黃海道長淵郡長山串ヨリ同郡月乃島、同道甕津郡麻姑島、同郡麒麟島及同郡巡威島ヲ經テ同郡登山串ニ至ル線內

第四區　黃海道甕津郡獨巡項ヨリ同道海州郡大延平島北端、京畿道江華郡注文島、同道富川郡西晩島、同郡大舞衣島、同郡麗興島及同郡默島ヲ經テ忠清南道瑞山郡萬堡端ニ至ル線內

第五區　忠清南道保寧郡外長古島西端ヨリ眞方位三百五十一度ニ引キタル線及同島南端ヨリ同郡插矣島（揷州島）ヲ經テ同郡甲岩ニ至ル線內

第六區　忠清南道舒川郡冬柏亭岬ヨリ全羅北道沃溝郡飛鷹島ヲ經テ同道扶安郡水聖堂（水城堂）ニ至ル線內

第七區　全羅南道靈光郡佛甲川口ヨリ同郡猿背島、同道務安郡在遠島、同郡飛島、同郡薪島及同郡下台島ヲ經テ同道珍島郡珍島葉浦江口ニ至ル線並ニ同島東端ヨリ眞方位七十一度ニ引キタル線內

第八區　全羅南道海南郡海南角ヨリ同道莞島郡黑日島、同郡莞島、同郡生日島（由日島）、同郡平日島及同道高興郡居金島ヲ經テ同郡望芝角ニ至ル線內

第九區　全羅南道高興郡外羅老島西端ヨリ眞方位三百三十度ニ引キタル線、同島東部北端ヨリ同道麗水郡小橫干島ヲ經テ同郡突山島南端ニ至ル線、同島大端ヨリ慶尙南道南海郡南海島南突出部西端ニ至ル線、同島猿頂末ヨリ統營郡下島、同郡欲島及同郡比珍島ヲ經テ同郡瓦濟島望山角ニ至ル線、同島列天端ヨリ同道昌原郡加德島天秀埰末ニ至ル線並ニ同島鷹峰山ヨリ同道東萊郡凡島及同道釜山府牧ノ島ヲ經テ同府蝟頭末ニ至ル線內

第十區　慶尙南道晉南郡大島、同郡大和島及同道定州郡外鵝島ヲ經テ平安南道安州郡法香山ニ至ル線內

第十一區　慶尙北道迎日郡戊尼ヨリ同郡汝南岬ニ至ル線內

第十二區　江原道道川郡鶴龍端ヨリ咸鏡南道德源郡旋島ヲ經テ同道永興郡虎島大汇串（南角）ニ至ル線內

第十三區　咸鏡南道定平郡廣浦江口ヨリ同道咸州郡外洋島端ニ至ル線內

第十四區　咸鏡南道北青郡蓬萊台址ヨリ同郡大延平島北端、京畿道江華郡注文島、同道富川郡西晩島、同郡大舞衣島、同郡麗興島及同郡默島ヲ經テ忠清南道瑞山郡萬堡端ニ至ル線內

第十五區　咸鏡北道城津郡松五郎端ヨリ同郡檜津端ニ至ル線內

第十六區　咸鏡北道清津府高秣山端ヨリ眞方位二百六十三度ニ引キタル線內

第十七區　咸鏡北道慶興郡松木端ヨリ同郡大草島ヲ經テ同郡語於端ニ至ル線內

第十八區　咸鏡北道慶興郡鄂端ヨリ同郡赤島ヲ經テ同郡島浦端ニ至ル線內

第三條　治海區域ハ左ニ掲ゲル各區域トス

一　朝鮮本土、濟州島及鬱陵島ノ各海岸ヨリ二十海里以內ノ區域

二　平安北道龍川郡鴨綠江口ヨリ同郡馬鞍島ヲ經テ黃海道長淵郡長山串ニ至ル線內

三　黃海道甕津郡登山串ヨリ忠清南道瑞山郡西格列飛島及全羅北道沃溝郡於靑島ヲ經テ同道扶安郡水聖堂ニ至ル線內

四　全羅南道務安郡臨水半島頭堂ヨリ同郡茬子島、同郡大老鹿島、同郡扶南島、同郡紅島、同郡小黑山島、同道濟州島及同道旋水郡瓦文島ヲ經テ同道高興郡高興半島（興陽半島）南端ニ至ル線內

五　全羅南道旋水郡古突山半島南東端ヨリ長崎縣北松浦郡生月島北端ニ至ル線、福岡縣企救郡門司埼ヨリ山口縣豐浦郡甲山南道許山郡蔚埼ニ至ル線內

六　江原道高城郡水源端ヨリ咸鏡北道城津郡檜津端ニ至ル線內

第四條　管海官廳ハ臆斷又ハ漏ノ旅客船ニ付治海區域ノ航行區域ヲ定ムル場合ハ毎年十二月一日ヨリ翌年二月末日迄左ニ掲ゲル區間ヲ包含セシムルコトヲ得ズ

一　全羅南道濟州島西端ヨリ同島南岸ヲ經テ同島城山頭ニ至ル區間

二　江原道襄陽郡南涯端ヨリ同道高城郡水源端ニ至ル區間

第五條　朝鮮ト朝鮮外ノ各港間又ハ朝鮮外ノ各港間若ハ湖川港內ノミヲ航行スル船舶ノ航行區域ハ管海官廳ニ於テ第二條、第三條又ハ第一條ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法施行規則（以下單ニ船舶安全法施行規則ト稱ス）第二十八條ノ規定ニ準ジ之ヲ定ムルコトヲ得

第六條　內地、臺灣、樺太若ハ關東州ノ船籍又ハ外國ノ國籍ヲ取得スル目的ヲ以テ朝鮮ニ於テ製造セラルル船舶ニ付テハ製造檢査ヲ行ハズ

前項ノ船舶ガ其ノ製造中朝鮮ノ船籍ヲ取得スル目的ヲ以テ製造セラルルモノト認ムルトキハ管海官廳ハ當該船舶ニ付製造檢査ヲ行ハザルコトアルベシ

第七條　管海官廳ハ船舶檢査執行地外ニ於テ製造セラルル船舶ニ付テハ製造檢査ヲ行ハザルコトヲ得

第八條　船舶檢査執行地ニ於テハ急遽ノ檢査ヲ必要トスル場合ニ限リ休暇日ト雖モ檢査ヲ行フ

管海官廳ハ事務ノ都合ニ依リ船舶檢査執行地外ニ於テ平隊時ニ休暇日ニ檢査ヲ行フコトアルベシ

第九條　朝鮮ノ船籍ヲ取得スル目的ヲ以テ內地、臺灣、樺太又ハ關東州ニ於テ製造スル船舶ノ製造檢査ハ其ノ船舶ニ付定メタル船籍港ヲ管轄スル管海官廳ノ之ヲ行フ

第十條　管海官廳ハ船舶檢査ヲ他ノ管海官廳ニ囑託スルコトアルベシ

附　則

第十一條　本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十二條　昭和六年七月一日以後ニ龍骨ヲ据附ケ國際航海ニ從事スル外國船舶ヲ除ク外朝鮮船舶又ハ昭和七年七月一日以後ニ龍骨ヲ据附ケ國際航海ニ從事スル外國船舶ニシテ同條各號ニ掲ゲルモノニ付テハ其ノ構造、設備及滿載吃水線ニ關シ、昭和六年七月一日以後ニ龍骨ヲ据附ケ國際航海ニ從事スル外國船舶ニシテ同條各號ニ掲ゲルモノニ付テハ無線電信施設ニ關シ本令施行後三年ヲ限リ本令ニ付テハ其ノ構造、設備、滿載吃水線及無線電信施設ニ關シ本令施行後一年ヲ限リ本令ニ依ラザルコトヲ得

●朝鮮外國船舶安全規則

昭和十年二月
總令第二十一號
改正　昭和一〇年一二第一五二號

朝鮮外國船舶安全規則左ノ通定ム

朝鮮外國船舶安全規則

第一條　朝鮮船舶安全令第一條ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法（以下單ニ船舶安全法ト稱ス）第一條乃至第五條、第七條第一項、第八條、第九條第一項第二項第四項、第十條乃至第十二條、第十三條乃至第十六條及第二十一條ノ規定ハ外國船舶ニシテ同法第十四條ノ規定ニ依リ本船舶ニ非ザル船舶以下之ニ同ジ）ニシテ同法第十四條各號ニ掲ゲルモノニ之ヲ準用ス

第二條　船舶安全法第十三條及第二十二條ノ規定ハ外國船舶ニシテ同法第十四條第一號又ハ第二號ニ掲ゲルモノニ之ヲ準用ス

第三條　左ニ掲ゲル規定ヲ除ク外朝鮮船舶安全令施行規則ハ外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條各號ニ掲ゲルモノニ之ヲ準用ス

一　製造檢査ニ關スル規定

二　船舶用機關ノ檢査ニ關スル規定

三　朝鮮船舶安全令施行規則第一條ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法施行規則（以下單ニ船舶安全法施行規則ト稱ス）第百五十五條乃至第百七十六條

四　外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第三號ニ掲ゲルモノニ付テハ船舶安全法施行規則第五章ノ規定

第四條　外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第一號ニ依リ國際航海ニ從事スル船舶ニ非ザルモノニ付テハ船舶安全法施行規則第十五章ノ規定

第五條　外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第一號ニ掲ゲルモノニ付テハ船舶安全法施行規則第十六章ノ規定

船舶用機關ノ檢査ニ關スル規定ニ依ル

一　海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ニ加盟シタル國ニ屬スル船舶ニシテ同條約ノ規定ニ依ル安全證書、安全無線電信證書又ハ免除證書ヲ受有スルモノニ付テハ前項第一號ノ規定ニ拘ラズ朝鮮船舶積量測度ニ依リ之ヲ測度スルコトヲ得

二　國際滿載吃水線條約ニ加盟シタル國ニ屬スル船舶ニシテ同條約ノ規定ニ依ル國際滿載吃水線證書ヲ受有スルモノニ付テハ當該證書ヲ查閱シ管海官廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ船舶ノ現狀ガ證書ニ記載シタル條件ニ適反スルコトナキヤヲ確ムルニ必要ナル檢査ヲ行フ

滿載吃水線ヲ超エテ載荷シ居ラザルヤ

(イ)　滿載吃水線ガ證書ニ記載シタル位置ニ標示セラレ居ルヤ

(ロ)　乾舷ノ算定ニ影響アル艙體及船樓ノ構造ニ開口ノ保護、保護欄干、放水口及船具室區域ヘノ通行ノ爲ノ裝置及設備ガ人命ノ安全ヲ保持スルニ不適當ナル程度迄變更ヲ受ケ居ラザルヤ

三　前二號ニ該當セザル船舶ノ受クベキ檢査ニ付テハ中間檢査ニ關スル規定ヲ準用スル但シ管海官廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第一號ニ依ルコトヲ得

第十四條　國際航海ニ從事スル旅客船ニシテ朝鮮船舶安全令第七條第一項ニ掲ゲルモノハ同令ニ依リ檢査ヲ受ケル迄船舶安全法施行規則第百五十六條ノ規定ニ拘ラズ救命艇手適任證書ヲ受有スル船員ヲ乘組マシメザルコトヲ得

第十五條　朝鮮船舶檢査令ニ依リ定メラレタル船舶ト雖モ申請ニ依リ管海官廳ニ於テ行フ檢査ニ付テハ定期檢査ニ關スル規定ヲ準用ス

三　前二號ニ該當セザル船舶ノ受クベキ檢査ニ付テハ中間檢査ニ關スル規定ヲ準用スル但シ管海官廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第一號ニ依ルコトヲ得

第十四條　國際航海ニ從事スル旅客船ニシテ朝鮮船舶安全令第七條第一項ニ掲ゲルモノハ同令ニ依リ檢査ヲ受ケル迄船舶安全法施行規則第百五十六條ノ規定ニ拘ラズ救命艇手適任證書ヲ受有スル船員ヲ乘組マシメザルコトヲ得

第十五條　朝鮮船舶檢査令ニ依リ定メラレタル船舶ト雖モ申請ニ依リ管海官廳ニ於テ行フ檢査ニ付テハ定期檢査ニ關スル規定ヲ準用ス

二　前號ノ有效期間又ハ航行期間ガ滿了セザ

第四三三

第四三四

第三款 船舶

第三百四十一條 船舶ノ入港、出港、移動又ハ碇泊ニ關シ危險ノ虞アル場合ニ於テハ港長ハ船舶ノ種類、大小、吃水又ハ積載ノ危險物ノ種類ニ應シ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百四十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百四十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百四十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百四十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百四十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百四十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百四十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百四十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百五十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百五十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百五十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百五十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百五十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百五十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百五十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百五十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百五十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百五十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百六十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百六十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百六十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百六十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百六十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百六十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百六十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百六十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百六十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百六十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百七十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百七十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百七十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百七十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百七十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百七十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百七十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百七十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百七十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百七十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百八十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百八十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百八十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百八十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百八十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百八十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百八十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百八十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百八十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百八十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百九十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百九十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百九十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百九十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百九十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百九十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百九十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百九十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百九十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第三百九十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百二十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百二十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百二十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百二十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百二十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百二十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百二十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百二十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百二十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百二十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百三十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百三十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百三十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百三十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百三十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百三十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百三十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百三十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百三十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百三十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百四十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百四十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百四十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百四十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百四十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百四十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百四十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百四十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百四十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百四十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百五十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百五十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百五十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百五十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百五十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百五十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百五十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百五十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百五十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百五十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百六十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百六十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百六十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百六十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百六十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百六十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百六十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百六十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百六十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百六十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百七十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百七十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百七十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百七十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百七十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百七十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百七十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百七十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百七十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百七十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百八十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百八十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百八十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百八十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百八十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百八十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百八十六條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百八十七條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百八十八條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百八十九條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百九十條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百九十一條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百九十二條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百九十三條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百九十四條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ碇泊ヲ禁止シ若ハ碇泊ノ場所ヲ指定シ又ハ船舶ヲ移動セシムルコトヲ得

第四百九十五條 港長ハ港内ニ於テ船舶ノ航行ヲ制限シ又ハ其ノ

ヒモニ什ヂノ滑車ヲ経テ船首ニ導キ船首ニ於テ之ヲ操作スルモノトス

第九十九條　錨ヲ投ズルニハ先ヅ錨索ヲ延出シ錨ヲ水中ニ投ジ船ノ惰力ヲ減ジ錨ノ水底ニ達スルヲ待チテ錨索ヲ伸ベ錨ノ把駐力ニ依リ船ヲ停止セシムルヲ要ス

第百條　錨ヲ揚ゲントスルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲテ船ヲ錨ノ直上ニ引キ寄セ錨ヲ水底ヨリ離脱セシメ錨索ヲ船首ニ固定スルヲ要ス

第百一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百十條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百十一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百十二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百十三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百十四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百十五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百十六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百十七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百十八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百十九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百二十條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百二十一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百二十二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百二十三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百二十四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百二十五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百二十六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百二十七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百二十八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百二十九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百三十條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百三十一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百三十二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百三十三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百三十四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百三十五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百三十六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百三十七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百三十八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百三十九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百四十條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百四十一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百四十二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百四十三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百四十四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百四十五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百四十六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百四十七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百四十八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百四十九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百五十條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百五十一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百五十二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百五十三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百五十四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百五十五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百五十六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百五十七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百五十八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百五十九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百六十條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百六十一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百六十二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百六十三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百六十四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百六十五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百六十六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百六十七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百六十八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百六十九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百七十條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百七十一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百七十二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百七十三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百七十四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百七十五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百七十六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百七十七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百七十八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百七十九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百八十條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百八十一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百八十二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百八十三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百八十四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百八十五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百八十六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百八十七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百八十八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百八十九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百九十條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百九十一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百九十二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百九十三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百九十四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百九十五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百九十六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百九十七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百九十八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第百九十九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百十條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百十一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百十二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百十三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百十四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百十五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百十六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百十七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百十八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百十九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百二十條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百二十一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百二十二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百二十三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百二十四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百二十五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百二十六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百二十七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百二十八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百二十九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百三十條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百三十一條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百三十二條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百三十三條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百三十四條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百三十五條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百三十六條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百三十七條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百三十八條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨索ノ長サヲ調節スルニ必要ナル人員ヲ甲板ニ配置スルヲ要ス

第二百三十九條　錨ヲ揚ゲ又ハ投ジテ船ヲ操縦スルトキハ錨索ヲ巻キ揚ゲ又ハ伸ベ錨

三　第三種準備

第百五條　第一回定期檢査ニ於テハ當該船舶カ進水後四年未滿ナルトキハ第二種準備、四年以上ナルトキハ第三種準備ヲ爲スベシ但シ假造檢査ヲ受ケタル船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ準備ヲ輕減セシムルコトヲ得

製造檢査ヲ受ケタル船舶ノ第二回定期檢査又ハ第三種準備ヲ爲シテ定期檢査ヲ受ケタル船舶ノ次回定期檢査ニ於テハ第一種準備ヲ爲シテ定期檢査ヲ受ケタル船舶ノ次回定期檢査ニ於テハ第二種準備、第二種準備ヲ爲シテ定期檢査ヲ受ケタル船舶ノ次回定期檢査ニ於テハ第三種準備ヲ爲スベシ

進水後二十五年ヲ經過シタル船舶ノ定期檢査ニ於テハ管海官廳ハ前項ノ規定ニ拘ラズ第三種準備ヲ爲サシムルコトヲ得

第百六條　第一種準備ハ左ノ各號ニ依ルベシ

一　船體ノ內外部適當ノ場所ニ見場ヲ設クルコト

二　石炭及脚荷ヲ取出シ船體ニ固著セザル物品ハ成ルベク取片附ケ又檢水道覆板及通風路覆板ハ悉ク取除ケ泥箱ヲ開キ檢水幾ノ井除ヲ露出シ船體ノ內外部ヲ總テ除スルコト

三　主トシテ日本ト外國トノ間ヲ航行スル汽船ニ於テハ食料品其ノ他ノ雜品置場、庖廚、船艙等鼠ノ棲息スル場所ハ硫黃燻蒸其ノ他適當ノ方法ヲ以テ鼠ノ驅除ヲ行ヒ檢水道ハ海水ヲ以テ洗滌シ便所其ノ他不潔ナル場所ハ消毒藥液ヲ以テ消毒ヲ行ヒ飲料水槽ハ石灰乳ヲ以テ洗滌シ又ハ蒸氣ヲ通ジテ掃除スルコト

四　水槽及水槽ニ使用スル二重底ハ其ノ出入口ヲ開キテ水ヲ排出シ內部ヲ掃除シ檢査ニ支障ナカラシムルコト

五　人巢又ハ上架シタル船舶ハ舵ヲ扛巢又ハ取外シ舵針及壺金等ヲ檢査スルニ支障ナカラシメ且鋼船ニ在リテハ船底外部ニ附著セル海草、介殼等ヲ落シ又木船ニ在リテハ船底包板及毛紙ノ幾分ヲ取去リ外板ノ現狀、壞隙及固著釘ヲ檢査スルニ支障ナカラシムルコト

六　鋼船ニ於テハ首尾ヲ通ジテ中心線ノ兩側ニ於テ兩舷トモ船底內張板ヲ一條宛取除シ且首尾ヲ通ジテ兩舷トモ甲板間ノ內張板又ハ外板ヲ一條宛取除スルコト

木船ニ於テハ首尾ニ於テ兩舷トモ船舶ノ長サノ五分ノ一間內龍骨ト最下層梁トノ間ニ於テ內張板一條宛取除シ且舷內ニ防熱裝置ヲ施セル部分アルトキハ管海官廳ノ指示スル部分ニ於テ內張板ヲ取除シ內張板若ハ外板ヲ取除シ防熱裝置ヲ露出スルコト

七　木船ニ於テハ鐵釘又ハ鐵螺釘ヲ用ウルトキハ最下層梁ノ位置ニ於テ兩舷トモ鐵釘又ハ鐵螺釘ヲ六本以上宛抜取ルコト但シ該釘カ外板ヲ貫通セザルトキハ兩舷トモ該部ノ外板ヲ一板宛取除スコト

木船ニ於テハ木線部外板中管海官廳ノ指示スル部分ニ於テ木釘ヲ抜取ルコト但シ木釘ナキ部分ニ於テハ錐揉スルカ又ハ內張板若ハ外板ヲ取除スコト

八　木船ニ於テハ上部外板、舜曲部外板其ノ他ノ外板中管海官廳ノ指示スル部分ニ於テ木釘ヲ抜取ルコト但シ木釘ナキ部分ニ於テハ錐揉スルカ又ハ內張板若ハ外板ヲ取除スコト

鋼船ニ於テハ船體ノ第二回定期檢査ヲ受ケタル船舶ノ第二回定期檢査ニ於テハ第一種準備ヲ爲シテ定期檢査ヲ受ケタル船舶ノ次回定期檢査ニ於テハ第二種準備ヲ爲シテ定期檢査ヲ受ケタル船舶ノ次回定期檢査ニ於テハ第三種準備ヲ爲スベシ

第百七條　第二種準備ハ前條ノ外左ノ各號ニ依ルベシ

一　鋼船ニ於テハ船首尾ヲ通ジテ底部肋材ヲ檢査スルニ最モ適當ナル位置ニ於テ兩舷トモ內張板ヲ一條宛取除シ且首尾ヲ通ジテ兩舷トモ甲板間ノ內張板又ハ外板ヲ一條宛取除スルコト

二　木船ニ於テハ木線部外板中管海官廳ノ指示スル部分ニ於テ木釘ヲ抜取ルコト但シ木釘ナキ部分ニ於テハ錐揉スルカ又ハ內張板若ハ外板ヲ取除スコト

三　二重底ハ燃料油ヲ積載スルモノト雖モ其ノ出入口ヲ開キ油ヲ排出シテ內部ヲ掃除シ危險性瓦斯ヲ排除シ檢査ニ支障ナカラシムルコト

第百八條　第三種準備ハ前三條ノ外左ノ各號ニ依ルベシ

一　鋼船ニ於テハ船內內張板ノ大部分ヲ取除シ且船內ニ防熱裝置ヲ施セル部分アルトキハ管海官廳ノ指示スル部分ニ於テ內張板ヲ取離シ防熱部ノ一部ヲ鑿出スルコト

木船ニ於テハ首尾ニ於テ兩舷トモ船舶ノ長サノ五分ノ一間內張板ノ半數ヲ取離スコト

二　石炭庫內ノ內張板ヲ全部取離スコト

三　木船ニ於テハ首尾ニ於テ兩舷トモ上部外板ヲ一條宛取離スコト

四　船舶ニ於テハ船體內外ノ要部ヲ錆落スルコト

五　鋼船ニ於テハ梁上側板ヲ檢査スル爲其ノ上面ノ木甲板ヲ管海官廳ノ指示スル部分ニ於テ取離スコト

木船ニ於テハ梁端ヲ檢査スル爲梁厰材ニ接スル甲板ヲ管海官廳ノ指示スル部分ニ於テ取離スコト

六　鋼船ニ於テハ外板、肋板、隔壁、鋼甲板、二重底諸板其ノ他要部ニ於ケル鋼板ハ其ノ厚サヲ檢査スル爲之ニ試孔ヲ穿ツコト

七　深油槽ハ其ノ出入口ヲ開キ內部ヲ掃除シ危險性瓦斯ヲ排除シ檢査ニ支障ナカラシムルコト

木船ニ於テハ內張板ヲ全部取離スコト

八　復水裝置

(一)　復水器蓋ヲ開キ檢クコト

(二)　抽氣「ポンプ」及循環「ポンプ」ノ「バケット」又ハ扇車ヲ取出スコト

九　吸水、排水及冷却ノ裝置

(一)　最大吃水線以下ニ於テ船外ニ通ズル弁及「コック」ヲ開キ檢クコト

(二)　淦水「ポンプ」及冷却「ポンプ」ノ「プランヂャー」又ハ「ピストン」ヲ取出シ且弁匣ヲ開キ扇車「ポンプ」ナルトキハ扇車ヲ取出スコト

(三)　弁除箱及泥弁箱ヲ掃除スルコト

(四)　油、清水又ハ空氣ノ冷却器ヲ開キ檢クコト

十　潤滑油裝置

潤滑油「ポンプ」及其ノ弁匣竝ニ油漉器ヲ開キ檢クコト

十一　空氣壓縮機、氣槽及掃除空氣「ポンプ」

(一)　空氣壓縮機ノ「ピストン」ヲ取出シ且弁匣及冷却器蓋ヲ開キ檢クコト

(二)　氣槽ノ檢査孔ヲ開キ內部ヲ掃除スルコト

(三)　掃除空氣「ポンプ」ノ「ピストン」ヲ取出シ弁匣ヲ開キ檢クコト

十二　油槽

油ヲ排出シ入孔又ハ檢査孔ヲ開キ內部ヲ掃除スルコト

十三　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機

(一)　火床機ヲ取出スコト

(二)　煙室扉ヲ開キ檢クコト

(三)　安全弁、塞汽弁、給水制限弁及放水弁ノ弁匣ヲ開キ檢クコト

七　給水裝置

(一)　給水「ポンプ」ノ「プランヂャー」又ハ「ピストン」ヲ取出シ且弁匣ヲ開キ檢クコト

(二)　給水漉器及給水加熱器ヲ開キ檢クコト

八　復水裝置

(一)　復水器蓋ヲ開キ檢クコト

(二)　抽氣「ポンプ」及循環「ポンプ」ノ「バケット」又ハ扇車ヲ取出スコト

九　吸水、排水及冷却ノ裝置

(一)　最大吃水線以下ニ於テ船外ニ通ズル弁及「コック」ヲ開キ檢クコト

(二)　淦水「ポンプ」及冷却「ポンプ」ノ「プランヂャー」又ハ「ピストン」ヲ取出シ且弁匣ヲ開キ扇車「ポンプ」ナルトキハ扇車ヲ取出スコト

(三)　弁除箱及泥弁箱ヲ掃除スルコト

(四)　油、清水又ハ空氣ノ冷却器ヲ開キ檢クコト

十　潤滑油裝置

潤滑油「ポンプ」及其ノ弁匣竝ニ油漉器ヲ開キ檢クコト

十一　空氣壓縮機、氣槽及掃除空氣「ポンプ」

(一)　空氣壓縮機ノ「ピストン」ヲ取出シ且弁匣及冷却器蓋ヲ開キ檢クコト

(二)　氣槽ノ檢査孔ヲ開キ內部ヲ掃除スルコト

(三)　掃除空氣「ポンプ」ノ「ピストン」ヲ取出シ弁匣ヲ開キ檢クコト

十二　油槽

油ヲ排出シ入孔又ハ檢査孔ヲ開キ內部ヲ掃除スルコト

十三　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機

二　「タービン」汽機

「タービン」筒ノ上半ヲ扛舉シ「ローター」ヲ受金ノ上半ヲ取外シ且「ローター」ヲ回轉セシメ得ル樣爲シ置クコト

三　發動機

「クランク」軸ノ受金ノ上半、氣筒蓋及「クランク」栓ノ受金ヲ解放シ且「クランク」軸ヲ回轉セシメ得ル樣爲シ置クコト

四　推進器及推進軸系

定期檢査ニ準ジ準備ヲ爲スコト

五　減速裝置

各軸受金ノ上半ヲ取外シ且減速齒車ノ齒ヲ全般ニ亘リ檢査シ得ル樣爲シ置クコト

六　汽罐

定期檢査ニ準ジ準備ヲ爲スコト但シ管海官廳ニ於テ必要アリト認ムル場合ノ外火床棧ハ取外サザルモ妨ナシ

七　吸水及排水ノ裝置

最大吃水線以下ニ於テ船外ニ通ズル弁及「コック」竝ニ淦水「ポンプ」ノ蓋及弁匣又ハ扇車匣ノ上半ヲ開キ竝ニ弁除箱及泥箱ヲ掃除スルコト

八　潤滑油裝置

定期檢査ニ準ジ準備ヲ爲スコト但シ二重裝置ナルトキハ其ノ一方ニ付準備ヲ爲スニ止ムルモ妨ナシ

九　空氣壓縮機及掃除空氣「ポンプ」

空氣壓縮機及掃除空氣「ポンプ」ノ蓋竝ニ弁匣ヲ開キ檢クコト但シ二筒以上ヲ備フルトキハ一筒ニ付準備ヲ爲スニ止ムルモ妨ナシ

十　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機

主發動機ニ準ジ準備ヲ爲スコト

十一　機關備品

定期檢査ニ準ジ準備ヲ爲スコト

第百十三條　特殊船檢査及臨時檢査ニ於テハ管海官廳ノ指示スル所ニ依リ必要ナル準備ヲ爲スベシ

第百十四條　船舶用機關ノ出來上リ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

十四　水壓試驗

第八十八條ニ揭グル水壓試驗ノ準備ヲ爲スコト

十五　機關備品

適當ノ場所ニ整備シ置クコト

第百十條　設備及屬具ニ關スル定期檢査ノ準備ハ左ノ各號ニ依ルベシ

一　屬具中取離サザレバ檢査シ得ザルハノ之ヲ取離シ消防、操舵、操船、揚錨及揚貨ノ機具、手用淦水「ポンプ」竝ニ舷窗、通風器、載貨門、艙蓋門、船樓端ノ開口其ノ他ノ開口ノ閉鎖裝置ハ所屬具ヲ取離、信號器、救命器具其ノ他ノ航海用具ハ總テノ之ヲ適當ノ場所ニ陳列シ置クコト

二　繫船ハ所屬具ヲ備ヘ水上ニ浮ベ置クコト

三　帆船ノ帆類ハ所定ノ位置ニ取附ケシ得ベキ準備ヲ爲スコト

四　第八十九條ニ揭グル救力試驗ノ準備ヲ爲スコト

五　操舵機、揚錨機其ノ他ノ甲板補機ノ氣筒及軸受ヲ開キ檢クコト

六　應急用動力設備、點燈設備、水密戸開閉裝置及荷役設備ノ要部ヲ露ノ指示スル所ニ依リ解放スルコト

第百十一條　初メテ滿載吃水線ニ關スル受ケントスルトキハ管海官廳ノ指所ニ依リ船殼ノ傳造及現狀ノ檢査ニ準ジ準備ヲ爲スベシ

第百十二條　中間檢査ニ於テハ第百六條及第百十條第一號乃至第四號ニ揭グル準備ヲ爲スベシ

第百十三條　特殊船檢査及臨時檢査ニ於テハ管海官廳ノ指示スル所ニ依リ必要ナル準備ヲ爲スベシ

第百十四條　船舶用機關ノ出來上リ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

十四　水壓試驗

第八十八條ニ揭グル水壓試驗ノ準備ヲ爲スコト

十五　機關備品

適當ノ場所ニ整備シ置クコト

第百十條　設備及屬具ニ關スル定期檢査ノ準備ハ左ノ各號ニ依ルベシ

一　屬具中取離サザレバ檢査シ得ザルハノ之ヲ取離シ消防、操舵、操船、揚錨及揚貨ノ機具、手用淦水「ポンプ」竝ニ舷窗、通風器、載貨門、艙蓋門、船樓端ノ開口其ノ他ノ開口ノ閉鎖裝置ハ所屬具ヲ取離、信號器、救命器具其ノ他ノ航海用具ハ總テノ之ヲ適當ノ場所ニ陳列シ置クコト

二　繫船ハ所屬具ヲ備ヘ水上ニ浮ベ置クコト

三　帆船ノ帆類ハ所定ノ位置ニ取附ケシ得ベキ準備ヲ爲スコト

四　第八十九條ニ揭グル救力試驗ノ準備ヲ爲スコト

五　操舵機、揚錨機其ノ他ノ甲板補機ノ氣筒及軸受ヲ開キ檢クコト

六　應急用動力設備、點燈設備、水密戸開閉裝置及荷役設備ノ要部ヲ露ノ指示スル所ニ依リ解放スルコト

第百十一條　初メテ滿載吃水線ニ關スル受ケントスルトキハ管海官廳ノ指所ニ依リ船殼ノ傳造及現狀ノ檢査ニ準ジ準備ヲ爲スベシ

第百十二條　中間檢査ニ於テハ第百六條及第百十條第一號乃至第四號ニ揭グル準備ヲ爲スベシ

第百十三條　特殊船檢査及臨時檢査ニ於テハ管海官廳ノ指示スル所ニ依リ必要ナル準備ヲ爲スベシ

第百十四條　船舶用機關ノ出來上リ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

十六　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

十七　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

十八　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

十九　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

二十　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

二十一　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

二十二　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

二十三　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

二十四　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

二十五　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

二十六　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

二十七　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

二十八　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

二十九　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

三十　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

三十一　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

三十二　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

三十三　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

三十四　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

三十五　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

三十六　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

三十七　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

三十八　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

三十九　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

四十　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

四十一　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

四十二　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

四十三　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

四十四　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

四十五　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

四十六　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

四十七　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

四十八　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

四十九　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

五十　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

五十一　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

五十二　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

五十三　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

五十四　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

五十五　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

五十六　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

五十七　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

五十八　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

五十九　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

六十　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

六十一　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

六十二　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

六十三　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

六十四　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

六十五　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

六十六　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

六十七　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

六十八　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

六十九　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

七十　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

七十一　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

七十二　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

七十三　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

七十四　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

七十五　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

七十六　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

七十七　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

七十八　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

七十九　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

八十　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

八十一　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

八十二　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

八十三　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

八十四　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

八十五　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

八十六　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

八十七　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

八十八　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

八十九　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

九十　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

九十一　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

九十二　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

九十三　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

九十四　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

九十五　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

九十六　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

九十七　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

九十八　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

九十九　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百一　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百二　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百三　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百四　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百五　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百六　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百七　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百八　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百九　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百十　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百十一　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百十二　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百十三　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百十四　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百十五　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百十六　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百十七　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百十八　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百十九　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百二十　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百二十一　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百二十二　船舶ノ推進ニ關係アル補機及救命艇用發動機ノ檢査ニ於テハ第百九條ニ準ジ當該機關ノ檢査ニ必要ナル準備ヲ爲スベシ

百二十三　船舶ノ推

第百二十四條 船舶ヲ以テ郵便物ヲ運送スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百二十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國旗ヲ掲ケ且郵便物運送ノ標識ヲ附スヘシ

第百二十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百二十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百二十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百二十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百三十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百三十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百三十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百三十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百三十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百三十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百三十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百三十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百三十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百三十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百四十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百四十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百四十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百四十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百四十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百四十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百四十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百四十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百四十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百四十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百五十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百五十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百五十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百五十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百五十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百五十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百五十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百五十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百五十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百五十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百六十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百六十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百六十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百六十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百六十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百六十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百六十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百六十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百六十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百六十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百七十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百七十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百七十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百七十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百七十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百七十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百七十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百七十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百七十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百七十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百八十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百八十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百八十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百八十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百八十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百八十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百八十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百八十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百八十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百八十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百九十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百九十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百九十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百九十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百九十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百九十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百九十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百九十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百九十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第百九十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百二十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百二十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百二十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百二十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百二十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百二十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百二十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百二十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百二十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百二十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百三十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百三十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百三十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百三十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百三十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百三十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百三十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百三十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百三十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百三十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百四十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百四十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百四十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百四十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百四十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百四十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百四十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百四十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百四十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百四十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百五十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百五十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百五十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百五十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百五十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百五十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百五十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百五十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百五十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百五十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百六十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百六十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百六十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百六十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百六十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百六十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百六十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百六十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百六十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百六十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百七十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百七十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百七十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百七十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百七十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百七十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百七十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百七十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百七十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百七十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百八十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百八十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百八十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百八十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百八十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百八十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百八十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百八十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百八十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百八十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百九十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百九十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百九十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百九十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百九十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百九十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百九十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百九十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百九十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第二百九十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百二十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百二十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百二十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百二十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百二十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百二十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百二十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百二十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百二十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百二十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百三十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百三十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百三十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百三十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百三十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百三十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百三十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百三十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百三十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百三十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百四十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百四十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百四十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百四十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百四十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百四十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百四十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百四十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百四十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百四十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百五十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百五十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百五十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百五十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百五十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百五十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百五十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百五十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百五十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百五十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百六十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百六十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百六十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百六十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百六十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百六十五條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百六十六條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百六十七條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百六十八條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百六十九條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百七十條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百七十一條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百七十二條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百七十三條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百七十四條 郵便物ヲ運送スル船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便物ヲ運送スル義務ヲ負フ

第三百七十五條 郵便物ヲ運送ス

第百四十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ右舷又ハ左舷ノ何レニ於テ追越スヘキカヲ豫メ明ニ其ノ意ヲ表示スヘシ

第百四十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ安全ニ追越スコトヲ得ルマテ之ニ近寄ラサルヘシ

第百四十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百四十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百四十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百四十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百四十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百四十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百四十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百五十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百五十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百五十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百五十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百五十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百五十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百五十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百五十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百五十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百五十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百六十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百六十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百六十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百六十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百六十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百六十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百六十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百六十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百六十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百六十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百七十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百七十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百七十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百七十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百七十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百七十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百七十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百七十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百七十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百七十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百八十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百八十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百八十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百八十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百八十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百八十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百八十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百八十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百八十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百八十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百九十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百九十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百九十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百九十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百九十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百九十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百九十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百九十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第百九十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第百九十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百二十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百二十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百二十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百二十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百二十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百二十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百二十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百二十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百二十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百二十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百三十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百三十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百三十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百三十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百三十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百三十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百三十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百三十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百三十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百三十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百四十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百四十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百四十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百四十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百四十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百四十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百四十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百四十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百四十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百四十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百五十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百五十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百五十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百五十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百五十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百五十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百五十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百五十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百五十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百五十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百六十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百六十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百六十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百六十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百六十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百六十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百六十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百六十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百六十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百六十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百七十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百七十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百七十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百七十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百七十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百七十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百七十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百七十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百七十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百七十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百八十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百八十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百八十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百八十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百八十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百八十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百八十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百八十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百八十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百八十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百九十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百九十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百九十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百九十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百九十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百九十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百九十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百九十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第二百九十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第二百九十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百二十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百二十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百二十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百二十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百二十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百二十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百二十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百二十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百二十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百二十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百三十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百三十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百三十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百三十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百三十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百三十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百三十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百三十七條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百三十八條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百三十九條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百四十條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百四十一條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百四十二條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百四十三條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百四十四條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更スヘカラス

第三百四十五條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ針路ヲ變更スヘカラス

第三百四十六條　船舶ハ他ノ船舶ヲ追越ス場合ニ於テハ其ノ船舶ヲ追越シ終ルマテ其ノ速力ヲ變更

別表第二

船舶	航行区域	検査手数料
汽船	遠洋区域	一
	近海区域	二
	沿海区域	三
	平水区域	四
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー		五
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー以外ノ圧力容器		六
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器		七
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		八
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		九
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		十
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		十一
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		十二
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		十三
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		十四
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		十五
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		十六
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		十七
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		十八
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		十九
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		二十
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		二十一
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		二十二
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		二十三
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		二十四
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		二十五
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		二十六
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		二十七
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		二十八
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		二十九
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		三十
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		三十一
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		三十二
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		三十三
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		三十四
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		三十五
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		三十六
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		三十七
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		三十八
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		三十九
船舶安全法第六条第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル船舶ニ積ムボイラー及圧力容器以外ノ圧力容器ニシテ最高使用圧力ガ一平方センチメートルニ満タナイモノ		四十

別表第三

船舶	検査ノ種類	検査手数料
汽船	定期検査	一
	中間検査	二
	臨時検査	三
	定期検査ニ代ル検査	四
	中間検査ニ代ル検査	五
	臨時検査ニ代ル検査	六
	船舶安全法第六条第三項ノ規定ニ依ル検査	七
	船舶安全法第六条第四項ノ規定ニ依ル検査	八
	船舶安全法第六条第五項ノ規定ニ依ル検査	九
	船舶安全法第六条第六項ノ規定ニ依ル検査	十
	船舶安全法第六条第七項ノ規定ニ依ル検査	十一
	船舶安全法第六条第八項ノ規定ニ依ル検査	十二
	船舶安全法第六条第九項ノ規定ニ依ル検査	十三
	船舶安全法第六条第十項ノ規定ニ依ル検査	十四
	船舶安全法第六条第十一項ノ規定ニ依ル検査	十五
	船舶安全法第六条第十二項ノ規定ニ依ル検査	十六
	船舶安全法第六条第十三項ノ規定ニ依ル検査	十七
	船舶安全法第六条第十四項ノ規定ニ依ル検査	十八
	船舶安全法第六条第十五項ノ規定ニ依ル検査	十九
	船舶安全法第六条第十六項ノ規定ニ依ル検査	二十
	船舶安全法第六条第十七項ノ規定ニ依ル検査	二十一
	船舶安全法第六条第十八項ノ規定ニ依ル検査	二十二
	船舶安全法第六条第十九項ノ規定ニ依ル検査	二十三
	船舶安全法第六条第二十項ノ規定ニ依ル検査	二十四
	船舶安全法第六条第二十一項ノ規定ニ依ル検査	二十五
	船舶安全法第六条第二十二項ノ規定ニ依ル検査	二十六
	船舶安全法第六条第二十三項ノ規定ニ依ル検査	二十七
	船舶安全法第六条第二十四項ノ規定ニ依ル検査	二十八
	船舶安全法第六条第二十五項ノ規定ニ依ル検査	二十九
	船舶安全法第六条第二十六項ノ規定ニ依ル検査	三十
	船舶安全法第六条第二十七項ノ規定ニ依ル検査	三十一
	船舶安全法第六条第二十八項ノ規定ニ依ル検査	三十二
	船舶安全法第六条第二十九項ノ規定ニ依ル検査	三十三
	船舶安全法第六条第三十項ノ規定ニ依ル検査	三十四
	船舶安全法第六条第三十一項ノ規定ニ依ル検査	三十五
	船舶安全法第六条第三十二項ノ規定ニ依ル検査	三十六
	船舶安全法第六条第三十三項ノ規定ニ依ル検査	三十七
	船舶安全法第六条第三十四項ノ規定ニ依ル検査	三十八
	船舶安全法第六条第三十五項ノ規定ニ依ル検査	三十九
	船舶安全法第六条第三十六項ノ規定ニ依ル検査	四十

別表第四

船舶	検査ノ種類	検査手数料
汽船	定期検査	一
	中間検査	二
	臨時検査	三
	定期検査ニ代ル検査	四
	中間検査ニ代ル検査	五
	臨時検査ニ代ル検査	六
	船舶安全法第六条第三項ノ規定ニ依ル検査	七
	船舶安全法第六条第四項ノ規定ニ依ル検査	八
	船舶安全法第六条第五項ノ規定ニ依ル検査	九
	船舶安全法第六条第六項ノ規定ニ依ル検査	十
	船舶安全法第六条第七項ノ規定ニ依ル検査	十一
	船舶安全法第六条第八項ノ規定ニ依ル検査	十二
	船舶安全法第六条第九項ノ規定ニ依ル検査	十三
	船舶安全法第六条第十項ノ規定ニ依ル検査	十四
	船舶安全法第六条第十一項ノ規定ニ依ル検査	十五
	船舶安全法第六条第十二項ノ規定ニ依ル検査	十六
	船舶安全法第六条第十三項ノ規定ニ依ル検査	十七
	船舶安全法第六条第十四項ノ規定ニ依ル検査	十八
	船舶安全法第六条第十五項ノ規定ニ依ル検査	十九
	船舶安全法第六条第十六項ノ規定ニ依ル検査	二十
	船舶安全法第六条第十七項ノ規定ニ依ル検査	二十一
	船舶安全法第六条第十八項ノ規定ニ依ル検査	二十二
	船舶安全法第六条第十九項ノ規定ニ依ル検査	二十三
	船舶安全法第六条第二十項ノ規定ニ依ル検査	二十四
	船舶安全法第六条第二十一項ノ規定ニ依ル検査	二十五
	船舶安全法第六条第二十二項ノ規定ニ依ル検査	二十六
	船舶安全法第六条第二十三項ノ規定ニ依ル検査	二十七
	船舶安全法第六条第二十四項ノ規定ニ依ル検査	二十八
	船舶安全法第六条第二十五項ノ規定ニ依ル検査	二十九
	船舶安全法第六条第二十六項ノ規定ニ依ル検査	三十
	船舶安全法第六条第二十七項ノ規定ニ依ル検査	三十一
	船舶安全法第六条第二十八項ノ規定ニ依ル検査	三十二
	船舶安全法第六条第二十九項ノ規定ニ依ル検査	三十三
	船舶安全法第六条第三十項ノ規定ニ依ル検査	三十四
	船舶安全法第六条第三十一項ノ規定ニ依ル検査	三十五
	船舶安全法第六条第三十二項ノ規定ニ依ル検査	三十六
	船舶安全法第六条第三十三項ノ規定ニ依ル検査	三十七
	船舶安全法第六条第三十四項ノ規定ニ依ル検査	三十八
	船舶安全法第六条第三十五項ノ規定ニ依ル検査	三十九
	船舶安全法第六条第三十六項ノ規定ニ依ル検査	四十

| 船舶滿載吃水線指定證 | | |

第五號樣式ノ一（木材滿載船ニ吃川水線ヲ記ス可キ船舶ニ之ヲ準用ス）（縮寫四二七〇粍）

| | | |

第五號雛形（船舶安全法第五條第一項ノ船舶ニ備ヘ附ケル船舶檢査證書ノ雛形）

船舶檢査證書

年　月　日

船舶安全法第五條第一項ノ規定ニ依リ本船ハ左ノ條件ニ於テ航行ノ區域ニ從事スル船舶ニ關スル法律ニ定ムル船舶ニ該當スルコトヲ證ス

乘船	旅客	定員	人	船舶番號	第	號	所有者	
船舶ノ種類	船名			總噸數				
航行區域				主機關	種類		製造者	
					馬力			
船體	材料			製造年月日				
推進器	材料			製造者				
救命設備	定員ノ救命艇	舷側ニ備ヘ附ケタルモノ	隻	合計	隻	定員	人	
		其ノ他ノモノ	隻	合計	隻	定員	人	
	定員ノ救命浮器		個					
	定員ノ救命浮環		個					
無線電信								
無線電話								
航海用具	磁氣羅針儀		個					
	六分儀		個					
	晝間用信號燈		個					
	雙眼鏡		個					
	海圖		枚					
	航海用具箱		個					
消防設備	固定注水裝置							
	固定炭酸瓦斯裝置							
	固定泡沫裝置							
	固定蒸氣裝置							
	固定ハロゲン化水素裝置							
	固定粉末裝置							
	消火器		個					
	消防斧		個					
	防火被		個					
	消防ポンプ		個					
	消防ホース		本					
	消防ノズル		個					
	消防ポンプ用吸水口		個					
	消防ポンプ用吸水管		本					
	消防ポンプ用吸水口網		個					
	消防ポンプ用吸水管網		本					
救命艇	動力ノ設備アルモノ		隻					
	手漕ノモノ		隻					
救命浮器			個					
救命浮環			個					
救命胴衣			個					
救命索發射器			個					
救命索			本					
救命艇進水裝置								
救命艇格納裝置								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要セサル救命艇								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要セサル救命艇ノ定員			人					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要セサル救命艇ノ隻數			隻					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ定員			人					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ隻數			隻					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要セサル救命艇								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要セサル救命艇ノ定員			人					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要セサル救命艇ノ隻數			隻					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ定員			人					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ隻數			隻					

航海安全法第九條ノ規定ニ依リ本船ハ年　月　日ヨリ　年　月　日ニ至ル間航海ニ從事スルコトヲ得ス	檢査ノ場所	檢査ノ年月日	檢査ノ種別	檢査ヲ行ヒタル官吏ノ官職氏名	備考

船舶安全法第十條ノ規定ニ依リ本船ハ左ノ條件ニ於テ航行ノ區域ニ從事スル船舶ニ關スル法律ニ定ムル船舶ニ該當スルコトヲ證ス	乘船旅客定員	人	船舶番號	第　號	所有者
	船舶ノ種類	船名		總噸數	
	航行區域			主機關 種類	
				馬力	
	船體材料			製造年月日	
	推進器材料			製造者	

檢査ノ場所	檢査ノ年月日	檢査ノ種別	檢査ヲ行ヒタル官吏ノ官職氏名	備考

船舶檢査證書

年　月　日

船舶安全法第五條第一項ノ規定ニ依リ本船ハ左ノ條件ニ於テ航行ノ區域ニ從事スル船舶ニ關スル法律ニ定ムル船舶ニ該當スルコトヲ證ス

乘船	旅客	定員	人	船舶番號	第	號	所有者	
船舶ノ種類	船名			總噸數				
航行區域				主機關	種類		製造者	
					馬力			
船體	材料			製造年月日				
推進器	材料			製造者				
救命設備	定員ノ救命艇	舷側ニ備ヘ附ケタルモノ	隻	合計	隻	定員	人	
		其ノ他ノモノ	隻	合計	隻	定員	人	
	定員ノ救命浮器		個					
	定員ノ救命浮環		個					
無線電信								
無線電話								
航海用具	磁氣羅針儀		個					
	六分儀		個					
	晝間用信號燈		個					
	雙眼鏡		個					
	海圖		枚					
	航海用具箱		個					
消防設備	固定注水裝置							
	固定炭酸瓦斯裝置							
	固定泡沫裝置							
	固定蒸氣裝置							
	固定ハロゲン化水素裝置							
	固定粉末裝置							
	消火器		個					
	消防斧		個					
	防火被		個					
	消防ポンプ		個					
	消防ホース		本					
	消防ノズル		個					
	消防ポンプ用吸水口		個					
	消防ポンプ用吸水管		本					
	消防ポンプ用吸水口網		個					
	消防ポンプ用吸水管網		本					
救命艇	動力ノ設備アルモノ		隻					
	手漕ノモノ		隻					
救命浮器			個					
救命浮環			個					
救命胴衣			個					
救命索發射器			個					
救命索			本					
救命艇進水裝置								
救命艇格納裝置								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要セサル救命艇								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要セサル救命艇ノ定員			人					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要セサル救命艇ノ隻數			隻					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ定員			人					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ隻數			隻					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要セサル救命艇								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要セサル救命艇ノ定員			人					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要セサル救命艇ノ隻數			隻					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇								
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ定員			人					
救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ進水ニ關スル特別ノ設備ヲ要スル救命艇ノ隻數			隻					

航海安全法第九條ノ規定ニ依リ本船ハ年　月　日ヨリ　年　月　日ニ至ル間航海ニ從事スルコトヲ得ス	檢査ノ場所	檢査ノ年月日	檢査ノ種別	檢査ヲ行ヒタル官吏ノ官職氏名	備考

第七號書式ノ二（清酒吃水線ノ標ホセザル漁船ニ用ウルモノ）（竪二七糎横四〇糎）

漁船檢查證書

第　號

割印

船舶番號	船種船名	總噸數	機關 種類	機關 制限	從業制限	證書有效期間
第　號	船　丸	噸				自　年　月　日 至　年　月　日

所有者	信號字	船籍港	公稱馬力	乘組人員 船員	乘組人員 其ノ他ノ搭載者	乘組人員 合計	無線電信	端艇
				人	人	人	式	隻

船舶安全法第九條ニ依リ本證書ヲ交付ス

年　月　日

管海官廳印

第八號書式（竪二七糎横三三糎）

甲種特殊船檢查證書

第　號

割印

船舶名	船種	總噸數	航路	證書有效期間
船　丸		噸		自　年　月　日 至　年　月　日

所有者	搭載人員 總員	搭載人員 內譯
	人	

船舶安全法第九條ニ依リ本證書ヲ交付ス

年　月　日

管海官廳印

第九號書式（竪二七糎横三三糎）

乙種特殊船檢查證書

第　號

割印

船舶名	船種	總噸數	航路	證書有效期間
船　丸		噸		自　年　月　日 至　年　月　日

所有者	旅客 定員 總員	旅客 定員 內譯
	人	

船舶安全法第九條ニ依リ本證書ヲ交付ス

年　月　日

管海官廳印

第十號書式（竪二七糎横三三糎）

丙種特殊船檢查證書

第　號

割印

船舶名	船種	總噸數	航路	證書有效期間
船　丸		噸		自　年　月　日 至　年　月　日

所有者	甲板旅客 定員 總員	甲板旅客 定員 內譯
	人	

船舶安全法第九條ニ依リ本證書ヲ交付ス

年　月　日

管海官廳印

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第十一號書式（竪二七糎横三三糎）

第　號

漁船特殊檢査證書

割印

船種船名	船名	丸
總噸數	噸	
業務ノ種類	操業場所	自　年　月　日 至　年　月　日
所有者	仕立港	預定歸著港
搭載人員	總員	人
	内譯	

船舶安全法第九條ニ依リ本證書ヲ交付ス

年　月　日

管海官廳印

第十二號書式ノ一（船舶ニ用ヰルモノ）（竪二七糎横一九糎）

第　號

合格證明書

一　船舶ノ種類及鋼船又ハ木船ノ區別
一　製造番號
一　總噸數
一　船體ノ主要寸法
一　船舶ノ用途
一　機關ノ種類及數
一　製造者ノ住所及氏名又ハ名稱
一　檢査ノ成績

右ハ船舶安全法第六條ニ依ル船舶ノ製造檢査ニ合格シタルモノナルコトヲ證明ス　別紙ノ通

年　月　日

管海官廳印

第十二號書式ノ二（船舶用機關ニ）（竪二七糎横一九糎）

第　號

合格證明書

一　檢印及檢査番號
一　檢査品名及數
一　製造中檢査又ハ出來上リ檢査ノ區別
一　製造者ノ住所及氏名又ハ名稱
一　檢査ノ成績　別紙ノ通

右ハ船舶安全法第六條ニ依ル船舶用機關ノ檢査ニ合格シタルモノナルコトヲ證明ス

年　月　日

管海官廳印

第十三號書式（竪二七糎横一九糎）

第　號

回航認可證書

船舶所有者住所
氏名又ハ名稱

右所有（汽）船　丸ハ船舶安全法施行規則第　條第　號ニ該當スルニ因リ（旅客若ハ貨物ノ搭載ヲ許サレタルトキ又ハ之ヲ禁セラレタルトキハ其ノ旨ヲ記入ス）　ヨリ　ヲ經テ　迄航行スルコトヲ認可シ本證書ヲ交付ス

本證書ハ　年　月　日限リ其ノ效力ヲ失フ

年　月　日

管海官廳印

第十四號書式（竪八・五糎横六糎）

第　號

船舶檢査官吏之證

印

遞信省

●近海區域外ニシテ臨時旅客ヲ搭載シ得ル區域

昭和十年二月
總督第九十五號

朝鮮船舶安全令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法施行規則第五條ノ近海區域外ニシテ臨時旅客ヲ搭載シ得ル區域ハ昭和十年三月一日ヨリ北緯五十度以北、西經百六十度以西、北緯六十五度以南ノ區域ト定ム

●船舶檢査執行地ニ關スル件

昭和十年二月
總督第九十四號
改正　昭和一〇年一二月七〇號

朝鮮船舶安全令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法施行規則第七十三條ノ船舶檢査執行地ヲ昭和十年三月一日ヨリ左ノ通定ム

大正三年朝鮮總督府告示第百九十一號及大正五年朝鮮總督府告示第百九十一號ノ之ヲ廢止ス

檢査執行地

平安北道新義州府
同道龍川郡龍川面
平安南道鎭南浦府
京畿道仁川府
同道京城府
全羅南道木浦府
慶尚南道釜山府
咸鏡南道元山府
咸鏡北道淸津府
同道慶興郡羅津邑

（昭和十年十二月總督第七百五十號ハ昭和十一年一月一日ヨリ施行）

●朝鮮船舶機關規程

昭和九年二月
總令第二十二號
改正　昭和一〇年三月三〇號

朝鮮船舶機關規程左ノ通定ム

朝鮮船舶機關規程

第一條　船舶ノ機關ノ構造、材料及材料試驗ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外昭和九年遞信省令第十號船舶機關規程ニ依ル但シ同規程第四條第二項ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　試驗機ハ管海官廳ノ適當ト認メタルモノヲ用フベシ

附　則

本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前製造シ又ハ製造ニ著手シタル機關ノ構造若ハ寸法又ハ機關ニ關スル設備ニシテ管海官廳ニ於テ差支ナシト認メタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

●船舶機關規程

昭和九年二月
遞令第十號

船舶機關規程左ノ通定ム

船舶機關規程　目次

第一章　總則
第二章　材料及材料試驗
　第一節　試驗片
　第二節　展延鋼材
　第三節　鍛鋼材
　第四節　鑄鋼材
　第五節　管
　第六節　雜則
第三章　蒸汽機關ヲ備フル船舶ノ機關
　第一節　汽機
　第二節　筒形汽罐及直立汽罐
　第三節　水管汽罐及過熱器
　第四節　汽罐附屬品
　第五節　汽罐ニ關スル雜則
　第六節　給水裝置
　第七節　排水、吸水、循環水及潤滑油ニ關スル裝置
　第八節　管
　第九節　給水、排水其ノ他ノ裝置ノ水壓試驗

種類	引張試験				曲げ試験				打抜加工試験				備考
	試験片		降伏点又ハ耐力	伸率	試験片		曲げ角度		試験片				
	形	標点間ノ距離			形	厚サ			形	厚サ	孔ノ径	孔ノ中心ト縁トノ距離	
鋼板	第一号	二〇〇ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上	第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上	第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上	第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上	第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
棒鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上	第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上	第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上	第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上	第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
形鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上	第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上	第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上	第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上	第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ

第十七編　鉄道　第二章　通則　第三節　材料　四五八

種類	引張試験						曲げ試験				打抜加工試験				備考
	試験片			降伏点又ハ耐力	伸率		試験片		曲げ角度		試験片				
	形	標点間ノ距離	幅				形	厚サ			形	厚サ	孔ノ径	孔ノ中心ト縁トノ距離	
鋼板	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
棒鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
形鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ

第十七編　鉄道　第二章　通則　第三節　材料　四五九

種類	引張試験						曲げ試験				打抜加工試験				備考
	試験片			降伏点又ハ耐力	伸率		試験片		曲げ角度		試験片				
	形	標点間ノ距離	幅				形	厚サ			形	厚サ	孔ノ径	孔ノ中心ト縁トノ距離	
鋼板	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
棒鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
形鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ

第十七編　鉄道　第二章　通則　第三節　材料　四六〇

種類	引張試験						曲げ試験				打抜加工試験				備考
	試験片			降伏点又ハ耐力	伸率		試験片		曲げ角度		試験片				
	形	標点間ノ距離	幅				形	厚サ			形	厚サ	孔ノ径	孔ノ中心ト縁トノ距離	
鋼板	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
棒鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
形鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ

第十七編　鉄道　第二章　通則　第三節　材料　四六一

種類	引張試験						曲げ試験				打抜加工試験				備考
	試験片			降伏点又ハ耐力	伸率		試験片		曲げ角度		試験片				
	形	標点間ノ距離	幅				形	厚サ			形	厚サ	孔ノ径	孔ノ中心ト縁トノ距離	
鋼板	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
棒鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
形鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ

第十七編　鉄道　第二章　通則　第三節　材料　四六二

種類	引張試験						曲げ試験				打抜加工試験				備考
	試験片			降伏点又ハ耐力	伸率		試験片		曲げ角度		試験片				
	形	標点間ノ距離	幅				形	厚サ			形	厚サ	孔ノ径	孔ノ中心ト縁トノ距離	
鋼板	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
棒鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
形鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ

第十七編　鉄道　第二章　通則　第三節　材料　四六三

種類	引張試験						曲げ試験				打抜加工試験				備考
	試験片			降伏点又ハ耐力	伸率		試験片		曲げ角度		試験片				
	形	標点間ノ距離	幅				形	厚サ			形	厚サ	孔ノ径	孔ノ中心ト縁トノ距離	
鋼板	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
棒鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ三倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ四倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
形鋼	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ一・五倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル	二四キログラム以上	二〇パーセント以上		第一号	一四ミリメートル以下	一八〇度	内側ノ半径ハ厚サノ二倍	第一号	一四ミリメートル以下	二七ミリメートル	一八ミリメートル	孔ノ縁ニ亀裂ヲ生ジテハナラヌ
	第一号	二〇〇ミリメートル	二五ミリメートル

Copyright © 1923 Maruzen Co., Ltd. All rights reserved.

管孔ハ管ヲ緊密ニ取附ケ得ルモノトス

管孔ノ其ノ中心線ガ管板ニ垂直ナル様穿ツトキハ孔ノ管座ノ深サヲ一〇粍以上トシ斜ニ穿ツトキハ孔ノ管座ノ直徑ハ管ノ深サノ一・三粍以上トス

第七十五條　水管汽罐ノ水管ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P = \frac{1{,}400\,(T-b)}{D} - 28$$

P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓩ニテ）

T　ハ水管ノ厚サ（粍ニテ）

D　ハ水管ノ外徑（粍ニテ）

a　ハ定數ニシテ左表ニ依ル

水管ノ種類	a
火焔若ハ高熱瓦斯ノ通路ニ直面スル管集端列又ハ其ノ次ノ列ノ管ナルトキ	一・五
其ノ他ノ管ナルトキ	一・〇

水管ノ厚サハ八粍ヲ超ユルコトヲ得ズ

水管ノ擴張其ノ他ノ適當ナル方法ニ依リ之ヲ管板ニ緊密ニ取附ケ管端ハ管座ヨリ六粍以上突出セシムベシ

水管ハ脫出セザル様其ノ兩端ヲ固定スベシ單ニ其ノ端部ヲ喇叭形ニ擴張シテ固定シタル場合ニ於テハ端部ノ外徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノ以上トスベシ

$$D = 1.02\,d + 1.5$$

D　ハ水管端部ノ外徑（粍ニテ）

d　ハ水管ノ外徑（粍ニテ）

第七十六條　管寄其ノ他之ニ類似ノモノノ管ヲ取附ケザル平面部ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P = C \times \left(\frac{T-2.5}{B}\right)^2$$

P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓩ニテ）

T　ハ平面部ノ厚サ（粍ニテ）

B　ハ內側支點間ニ於テ測リタル平面部ノ徑（粍ニテ）

C　ハ定數ニシテ左表ニ依ル

銅鋼ナルトキ	四三〇
錫銅ナルトキ	四〇〇

管寄ノ管ヲ取附ケル平面部ノ厚サハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$T = 0.45\sqrt{d} + 6.5$$

T　ハ平面部ノ厚サ（粍ニテ）

d　ハ管孔ノ徑（粍ニテ）

過熱器ノ管寄其ノ他火焔ノ放射熱ニ暴露シ又ハ高熱瓦斯ノ衝撃ヲ受ケ且使用中內部ニ蒸汽ノミヲ有スル管寄ノ厚サハ前二項ニ依リ算定シタルモノノ一・二五倍ヨリ小ナルコトヲ得ズ

管寄ノ覗孔部ハ蓋ヲ有效ニ取附ケ得ル様機械仕上ト爲スベシ此ノ場合該部分ノ厚サハ第一項ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ二・五粍ヲ減ズルコトヲ得但シ八粍未滿トナルコトヲ得ズ

覗孔ノ蓋ハ堅牢ナル構造ト爲シ取外及取附作業ヲ繰返スモ安全ナル虞ナキコトヲ要シ蓋ヲ螺釘ニ依リ取附クル構造ト爲ストキハ該取附螺釘ノ折損シタル場合ニ於テモ危險ナキモノト爲スベシ

第四節　汽罐附屬品

第七十七條　汽罐ニ接續スル管ニハ鑢板ト接合スル部分ニ於テ接近シ易キ箇所ニ弁又ハ「コック」ヲ備フベシ

第七十八條　汽罐ニハ徑四〇粍以上ノ發條式安全弁二箇以上ヲ備ヘ汽罐ノ制限汽壓毎平方糎二〇瓩以下ナルトキハ其ノ合計面積ヲ左ノ算式ニ依リ算定シタル面積ヨリ小ナラザルモノト爲スベシ但シ安全弁ハ左ノ算式ニ依リ算定シタル面積ガ一九・五平方糎未滿ナルトキハ徑五〇粍以上ノモノ一箇、一二・五平方糎未滿ナルトキハ徑四〇粍以上ノモノ一箇ト爲スコトヲ得又先驅弁ヲ有スルモノノ一箇ト爲スコトヲ得又先驅弁ノ適當ニ之ヲ減ズルコトヲ得

$$A = K \times \frac{H}{H+1}$$

A　ハ安全弁ノ合計面積（平方糎）

K　ハ汽罐ノ受熱面積（平方米ニテ）ニシテ一面ガ火焔又ハ燃燒瓦斯ニ暴露シ反對ノ面ガ水ニ接觸スル部分ノ火焔又ハ燃燒瓦斯ニ暴露スル面ノ面積トスル但シ筒形汽罐又ハ直立汽罐ニ在リテハ定數ニシテ左表ニ依ル

筒形汽罐又ハ直立汽罐	機關室衛閉式强壓通風ヲ使用セズシテ石炭ノミヲ手焚スルモノ	六・一
	其ノ他ノモノ	七・三
水管汽罐	自然通風ニ依リ石炭ノミヲ手焚スルモノ	五・三
	其ノ他ノモノ	六・一

汽罐ノ制限汽壓ヲ低下シタル爲安全弁ノ面積ガ前項ノ規定ニ適合セザルモノト爲リタル場合ニ於テ安全弁ガ第八十條第二項ノ規定ニ適合スルモノナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ管海官廳ノ見込ニ依リ之ヲ合格ト爲スコトヲ得

第七十九條　安全弁ノ弁座ハ汽罐ニ直接取附ケ他ノ弁ニ共用スルコトヲ得ズ

安全弁ノ弁座ノ蒸汽並入路ノ横截面積ハ安全弁ノ合計面積ノ二分ノ一以上ト爲シ廢汽路及廢汽管ノ横截面積ハ安全弁ノ合計面積ノ一・一倍以上ト爲スベシ

廢汽路ニハ適當ナル排水裝置ヲ設クベシ

安全弁ニハ弁ヲ同時ニ弁徑ノ四分ノ一以上開キ得ル揚弁裝置ヲ設ケ其ノ把手ハ之ヲ適當ノ位置ニ導クベシ

安全弁發條ハ汽罐ノ制限汽壓ニ相當スル壓力ヲ加ヘタルトキ弁徑ノ四分ノ一以上短縮ノ更ニ之ヲ弁徑ノ四分ノ一壓縮スルモ原形ニ復スルモノナルコトヲ要ス

第八十條　安全弁ハ汽罐ノ制限汽壓ノ一・〇二倍以下ノ壓力ニ於テ自然ニ噴汽スル様調整スベシ

安全弁ハ寒汽弁ヲ閉ヂ充分ニ焚火水管汽罐ニ在リテハ數分間、其ノ他ノ汽罐ニ在リテハ一五分間以上噴汽セシムルモ汽壓ノ昇騰微汽罐ノ制限汽壓ノ十分ノ一ヲ超エザルモノナルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ汽罐ニ適當ナル水準ヲ維持セシムルニ必要ナル程度ヲ超エ給水ヲ爲スコトヲ得ズ

第八十一條　蒸汽過熱器ト汽罐トノ連絡ヲ遮斷シ得ル裝置アルトキハ蒸汽過熱器ニ適當ナル逃出弁ヲ備ヘ之ヲ容易ニ操縱シ得ル揚弁裝置ヲ設クベシ

第八十二條　汽罐ニハ左表ニ依リ罐內ノ水準面ヲ容易ニ知リ得ベキ裝置ヲ五ニ近接セザル位置ニ備ヘ且筒形汽罐及直立汽罐ニハ燃燒室頂部ノ高サヲ適當ニ標示スベシ

汽罐ノ種類	裝置ノ種類及數	摘要
直立汽罐	硝子示面計一箇及驗面「コック」一組	徑五粍未滿ノ汽罐ニ在リテハ中一箇ヲ驗面「コック」一組ヲ以テ代用スルコトヲ得
筒形片面汽罐	硝子示面計二箇	硝子示面計及驗面「コック」ハ夫々汽罐ノ各面ニ於テ他面ニ於ケルト反對ノ位置ニ取附クベシ但シ長サ四粍未滿ノ汽罐ニ於テハ鋼ノ兩面ニ近ク取附クベシ
筒形兩面汽罐	硝子示面計二箇及驗面「コック」二組	
水管汽罐	硝子示面計二箇	

前項ノ驗面「コック」ハ二箇ヲ具テ一組ト爲スベシ但シ徑二・五粍未滿ノ直立汽罐ニ在リテハ二箇ヲ以テ一組ト爲スコトヲ得

硝子示面計及驗面「コック」ハ成ルベク之ヲ汽罐ニ直接取附ケ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ適當ナル內徑及强力ヲ有スル筒ニ取附クベシ

前項ノ筒ハ成ルベク汽罐ニ近接シテ固定スルコトヲ要シ筒ヲ導管ニ依リ汽罐ニ連絡セシムル場合ニ於テハ筒ノ位置ガ不慮ニ變動セザル様取附ケ汽側ノ導管ハ凝結水ノ滯溜セザルモノトス

第八十三條　汽罐ニハ焚口面ノ見易キ位置ニ壓力計一箇ヲ備フベシ焚口ガ汽罐ノ兩面ニ在ル場合ニ於テハ各焚口面ニ之ヲ備フベシ

第八十四條　汽罐ニハ正副二組ノ給水制限弁ヲ備フベシ

第八十五條　汽罐ニハ適當ノ位置ニ檢驅弁又ハ檢驅「コック」ヲ備フベシ但シ調沼ノミヲ航行スル船舶ノ汽罐ニ在リテハ之ヲ備ヘザルコトヲ得

第八十六條　汽罐ノ放水弁又ハ放水「コック」ヨリ船外ニ通ズル放水管ハ內徑二〇粍以上ナルコトヲ要ス

二箇以上ノ汽罐ヲ備フル船舶ニ在リテ各汽罐ノ放水管ヲ一箇ノ共通管ニ接續セシムル場合ニ於テハ逆締不還弁ニ依リ各汽罐ノ連絡ヲ適當ニ爲シ得ル裝置ヲ爲スベシ

第五節　汽罐ノ移動セザル様ノ據附ケ

第八十七條　汽罐ニ取附ケタル弁又ハ「コック」ノ周圍ニハ相當ノ空積ヲ存スベシ

第八十八條　汽罐ハ之ヲ製造シタルトキ左ノ壓力ノ水壓試驗ヲ執行スベシ

一　汽罐ノ制限汽壓ガ毎平方糎七瓩以下ナルトキハ汽罐ノ制限汽壓ノ二倍ノ壓力ニ二瓩ヲ超ユル毎平方糎瓩ヲ加ヘタル壓力

二　汽罐ノ制限汽壓ガ毎平方糎七瓩ヲ超ユルトキハ其ノ一・五倍ノ毎平方糎瓩ノ壓力

第八十九條　汽罐ノ水壓試驗ヲ執行スベシ

一　汽罐ヲ組立テタル後

二　汽罐ヲ移動シタル後

三　汽罐ニ修理ヲ施シタル後

四　機關室ニ於ケル汽罐ノ水壓試驗ハ之ヲ汽罐ノ制限汽壓ノ一・五倍ノ壓力ニ汽罐ノ制限汽壓ガ毎平方糎七瓩以下ナルトキハ汽罐ノ制限汽壓ノ二倍ノ壓力ニ二瓩ヲ超ユル毎平方糎瓩ノ壓力ニ汽罐ノ制限氣壓ガ毎平方糎七瓩ヲ超ユルトキハ其ノ一・五倍ノ毎平方糎瓩ニ五瓩ヲ加ヘタル壓力

第九十條　蒸汽過熱器ハ之ヲ製造シタルトキ

射器ト爲スコトヲ得

第七節　排水、吸水、循環水及潤滑油ニ關スル裝置

第九十六條　正途水「ポンプ」ガ主機ニ依リ動作セラルルモノナルトキハ其ノ數ハ二箇トシ一箇ヲ使用中ト雖モ他ヲ解放シ得ル裝置ト爲スベシ但シ長サ五〇米未滿ノ船舶ノ機關ニ在リテハ一箇ト爲スコトヲ得

第九十七條　長サ四〇米以上ノ船舶又ハ長サ三〇米以上ノ旅客船ニ在リテハ前條ノ正途水「ポンプ」ノ外獨立ノ動力ニ依リ動作セラルル副途水「ポンプ」ヲ備ヘ之ヲ途水管系ニ接續セシムベシ但シ副給水「ポンプ」ヲ以テ充ツルコトヲ得之ニ充ツル場合ニ於テハ第九十四條第一項吸水管ト途水吸引管トハ別箇ノモノト爲スベシ

第九十八條　途水排水裝置左ノ各號ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　各途水「ポンプ」ハ手動、「ポンプ」ノミニテ莢支ナキ箇所ヲ除クノ外各船、機關室及軸路ヨリ吸水ヲ得ル配置ト爲スコト

二　各獨立動力「ポンプ」ハ通常ノ操作狀態ニ於テ途水管ノ最大摩ノ箇所ノ流遠カ毎分一・二米以上トナル吸水能力ヲ有スルコト

三　獨立動力「ポンプ」ガ船体ノ他ノ箇所ヨリ吸水中ト雖モ直接機關室ヨリ排水ヲ得ル裝置ト爲スコト

四　機關室ニ於ケル途水吸引管ハ之ヲ泥井箱ニ接續シ泥井箱ハ途水溜ニ通ズル成ルベク貫直ナル尾管及急遠ニ開閉ヲ得ル構造ノ蓋ヲ有シ且成ルベク機關室床上ノ近寄リ易キ場所ニ之ヲ設置スルコトヲ要シ且泥井ノ容積ハ船体ノ構造、及引管ノ配置其ノ他ニ依リ莢支ナシト認ムル箇所ニ限リ吸引管端ニ固シタル茶除箱ノ以テ泥井箱ニ代用シ得ルコト

五　各船及軸路ニ於ケル吸水管端ニハ吸水管ノ接合部ヲ取外サザルモ容易ニ掃除シ得ル構造ノ茶除箱ヲ備フルコト

茶除箱ノ各孔ノ徑ハ一〇粍以下ニシテ孔ノ總面積ハ吸水管ノ横截面積ノ二倍以上トスベシ

第九十九條　海水吸引管ノ內徑ハ機關室ニ流入シ若ハ一區畫ヨリ他區畫ニ流入スルコトヲ防止スル爲海水ヲ吸引シ得ル「ポンプ」ト途水管系トノ連絡ハ不還弁又ハ途水管系ト海水若ハ水槽トノ間ニ開閉シ得ザル「コック」ニ依リ之ヲ爲スベシ

途水配流箱ニ於ケル弁ハ總テ不還弁ト爲スベシ

途水吸引管ハ成ルベク船体ノ外板ニ近キ箇所ニ之ヲ取附ケベシ

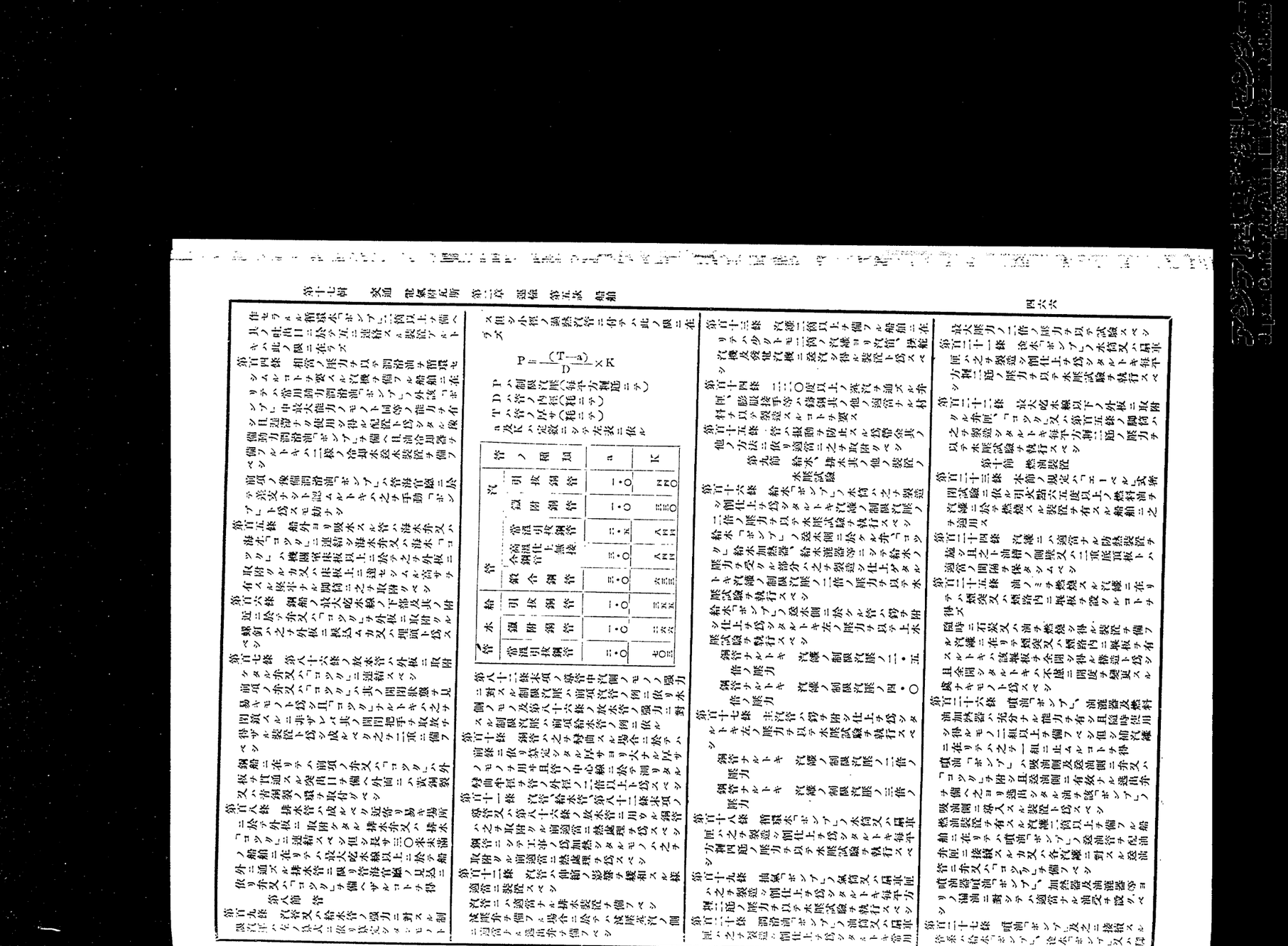
第百條　長サ四〇米以上ノ船舶又ハ長サ三〇米以上ノ旅客船ニ在リテハ海水ヲ吸引シテ甲板上ニ途水ヲ且同時ニ船体ノ前後部ニ配水シ得ル獨立動力「ポンプ」ヲ備フベシ但シ副給水「ポンプ」ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

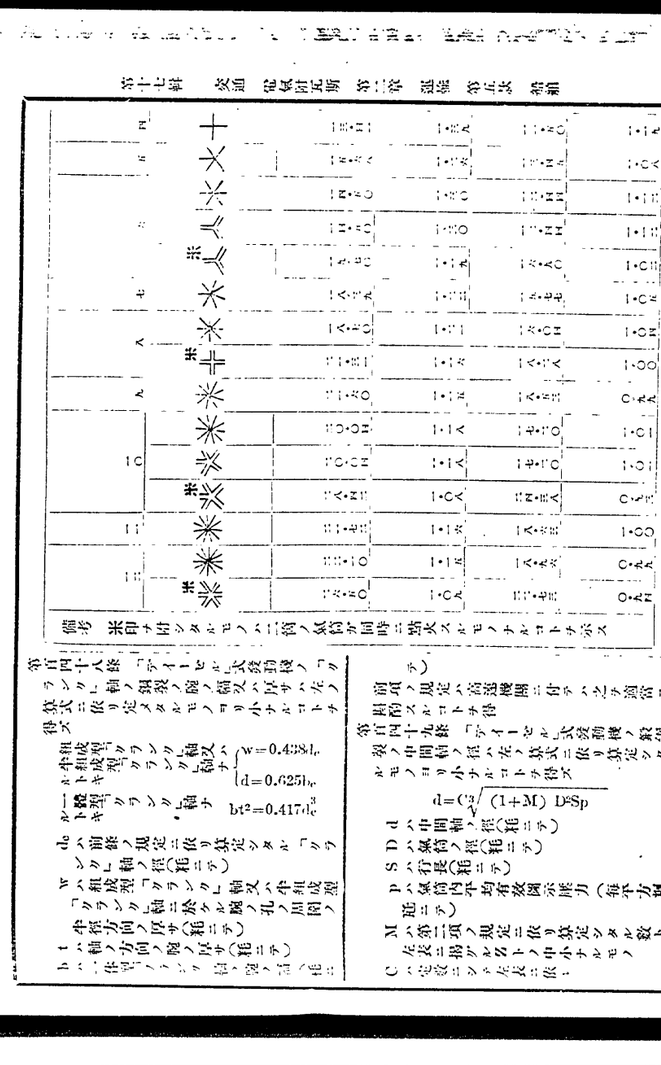
第百一條　海水又ハ水槽ノ水ガ船內又ハ機關室ニ流入シ若ハ一區畫ヨリ他區畫ニ流入スルコトヲ防止スル爲海水ヲ吸引シ得ル「ポンプ」ト途水管系ト海水若ハ水槽トノ連絡ハ不還弁又ハ途水管系ト海水若ハ水槽トノ間ニ同時ニ開閉シ得ザル「コック」ニ依リ之ヲ爲スベシ

途水配流箱ニ於ケル弁ハ總テ不還弁ト爲スベシ

第百二條　二重底又ハ水槽ヲ有スル船舶ハ獨立動力「ポンプ」ニ依リ二重底又ハ水槽ノ排水ニ適スル裝置ヲ備フベシ

第百三條　長サ四〇米以上ノ船舶又ハ長サ三〇米以上ノ旅客船ニ在リテハ循環水「ポンプ」ニ依ラズシテ海水ヲ復水器ニ送リ得ル裝置ヲモ備フベシ但シ獨立動力ニ依リ動





「ピストン」環	一組	氣筒四箇又ハ其ノ端數毎二組
噴油弁座、弁匣、弁棒及弁完備セルモノ	一箇	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎二箇
吸氣弁ノ他附屬品ノ弁完備セルモノ	一組	氣筒四箇又ハ其ノ端數毎二組
排氣弁座、弁匣、弁棒、發條、弁完備セルモノ	一組	氣筒四箇又ハ其ノ端數毎二組
廢氣弁座、弁匣、弁棒、發條、弁完備セルモノ	一組	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎二組
噴油管及接合金具	一揃	氣筒一箇毎同
「ピストン」冷却用伸縮嵌合管又ハ搖動管	一組	氣筒一箇毎同
主軸受螺釘及母螺	一組	氣筒一箇毎同
連接桿上下ノ栓受金	一揃	氣筒一箇毎同
連接桿上下ノ螺釘及母螺	一揃分	氣筒一箇毎同
接軸鍔螺釘及母螺	各種一組	氣筒一箇毎同
正副空氣壓縮機ノ緒筒ノ「ピストン」環	各形一組	氣筒一箇毎同
正副空氣壓縮機ノ吸入弁及排出弁竝ニ發條	各形半組	氣筒一箇毎同
結除空氣「ポンプ」弁及發條	一組	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎二箇同
噴油「ポンプ」ノ動作部	氣筒一箇毎又ハ其ノ端數毎二箇同	氣筒四箇又ハ其ノ端數毎二箇同
氣筒（氣筒蓋、「ピストン」等ノ冷却「ポンプ」扇車軸	一箇	氣筒一箇毎同
氣筒、氣筒蓋、「ピストン」等ノ冷却「ポンプ」弁及發條	各形二組	氣筒一箇毎同
潤滑油「ポンプ」弁及發條	一組	氣筒一箇毎同
移油「ポンプ」ノ弁及發條	一組	氣筒一箇毎同
檢「ポンプ」弁	一組	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎二箇同
燒球	氣筒一箇毎同	氣筒五箇以上ナルトキハ氣筒四箇分ニ止ムルコトヲ得
點火栓	氣筒一箇毎同	氣筒四箇又ハ其ノ端數毎二組
電池	常用ト同數同	上同　上同　上
電線	若干同	上常用ノ半數同　上
始動用燈	常用ノ外二箇同	上常用ノ外一箇
滑車及綱	二組	一組
螺旋切道具	一組同	上同　上
鑽孔器	一組同	上同　上
鞴	一箇同	上同　上
金敷	一箇同	上同　上
据附萬力	一箇同	上同　上
鋼板	各種若干同	上同　上
鋼棒	各種若干同	上同　上
螺釘及母螺	各種若干同	上同　上
機關室小道具	一揃同	上同　上
溫度計	二箇同	上一箇同　上

備考　發動機又ハ「ポンプ」ニシテ同形ノモノ二箇以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至點火栓ノ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前製造シ又ハ製造ニ著手シタル機關ノ構造若ハ寸法又ハ機關ニ關スル設備ニシテ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

●佛蘭西國ニ航行スル日本船舶ノ檢査ニ關スル件

大正十五年一月
總令第七號

佛蘭西國ニ航行スル日本船舶ノ檢査ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　佛蘭西國（其ノ殖民地及管治地域ヲ含ム）ニ航行セントスル日本船舶カ別種檢査證書ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ船所有者、船舶管理人、船舶借入人又ハ船長ヨリ附錄書式甲ニ依リ管海官廳ニ別種定期檢査ヲ申請スヘシ

前項ノ申請書ニハ船舶檢査手帖ヲ添附スヘシ

別種檢査證書ヲ受有スル船舶ハ其ノ證書ノ有效期間ト繼續シテ別種定期檢査ヲ申請スルコトヲ得

第二條　前條ノ申請アリタルトキハ管海官廳ハ檢査官吏ヲシテ當該船舶ヲ檢査セシメ第三條及第四條ノ規定ニ適合スト認メタルトキハ附錄書式乙ノ別種檢査證書ヲ交付スヘシ

別種檢査證書ハ船舶ノ航行期間滿了ノ日ヲ以テ其ノ有效期限トス但シ當該船舶カ船舶檢査法施行細則ノ規定ニ依リ同航認可證書ヲ受有スル場合ニ於テハ該證書ノ有效期間內仍之ヲ有效トス

第三條　旅客船ノ端艇及救命設備ハ左ノ各號ノ規定ニ適合スルコトヲ要ス

一　船舶檢査規程第四號表中當該船舶ノ總噸數ニ對シ定ムル所ヨリ一段下級ノ總噸數ニ對シ定ムル所ニ從ヒ端艇數ヲ有スルコトヲ要ス

二　端艇ハ各ニ備フルコトヲ要ス

三　端艇ハ各ニ左ノ端艇ノ數及容積カ第一號ニ依リ備フヘキ端艇ノ數及容積ニ足ラサルモ現ニ之ヲ備フル船舶ノ旅客定員及船員ノ總員數ヲ一人ノ容積〇・二八三立方「メートル」（一〇立方呎）ノ割合ヲ以テ搭載シ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

四　端艇ハ各ニ左ノ端艇ノ數及容積カ第一號ニ依リ備フヘキ端艇ノ數及容積ニ足ラサルモ現ニ之ヲ備フル船舶ノ旅客定員及船員ノ總員數ヲ一人ノ容積〇・二八三立方「メートル」（一〇立方呎）ノ割合ヲ以テ搭載シ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條　大正十五年一月二十九日以後ニ龍骨ヲ据附クル船舶ノ旅客室、船員室、病室等ハ左ノ各號ノ規定ニ適合スルコトヲ要ス

一　等及二等ノ旅客室ハ旅客一人ニ付長一・八三「メートル」（六呎）、幅五六「センチメートル」（一・八三呎）以上ノ寢臺一箇ヲ備フヘシ

船員常用室ハ便所ヲ除キ船員一人ニ付三・五立方「メートル」（一二三・六立方呎）以上ノ容積及一・五平方「メートル」（一六・一平方呎）以上ノ甲板面積ヲ要シ船員寢室ハ船員一人ニ付二・一五立方「メートル」（七五・九立方呎）以上ノ容積及一・一五平方「メートル」（一二・四立方呎）以上ノ甲板面積ヲ要シ船員寢室ニハ各人專用ノ寢臺ヲ備フヘシ

第三號ニ揭ケル船舶ニシテ船員ヲ含ミ百人ヲ超エル人員ヲ搭載スルモノニハ病室ヲ上甲板以上又ハ上甲板直下ノ甲板間ニ於テ成ルヘク旅客室及船員室ヨリ隔離シタル箇所ニ設ケ搭載人員二百人迄ハ四十人毎ニ一箇ノ病室用寢臺ヲ備ヘ二百人ヲ超エルトキハ超過人員六十人毎ニ病室用寢臺一箇ヲ增備スヘシ

病室附屬トシテ診療室ニ釜川シ得ヘキ藥局、浴室、便所及前號ノ病室用寢臺數ノ四分ノ一ヲ備フル隔離病室ヲ設ケヘシ

病室ハ收容人員一人ニ付四立方「メートル」（一四一・三立方呎）以上ノ容積ヲ要ス

九　病室ニハ規定數ノ二分ノ一以上ノ寢臺ヲ常設スヘシ

十　病室用寢臺ハ金屬製ニシテ長一・八三「メートル」（六呎）以上、幅六〇「センチメートル」（二呎）以上ノモノトシ之ヲ据附クルニハ其ノ兩側ニ幅一「メートル」（三・二八呎）以上ノ通路ヲ存スヘシ

又病室用寢臺ハ上下ニ重ネテ据附クルコトヲ得ス

十一　膳食庫及飲料水槽ハ內容物ノ腐敗、汚穢其ノ他使用上不都合ヲ生セサル樣適當ニ設備スヘシ

佛蘭西國ニ航行スル日本船舶ノ檢査ニ關スル件左ノ通定ム

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條　佛蘭西國（其ノ殖民地及管治地域ヲ含ム）ニ航行セントスル日本船舶カ別種檢査證書ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ船所有者、船舶管理人、船舶借入人又ハ船長ヨリ附錄書式甲ニ依リ管海官廳ニ別種定期檢査ヲ申請スヘシ

前項ノ申請書ニハ船舶檢査手帖ヲ添附スヘシ

別種檢査證書ヲ受有スル船舶ハ其ノ證書ノ有效期間ト繼續シテ別種定期檢査ヲ申請スルコトヲ得

第二條　前條ノ申請アリタルトキハ管海官廳ハ檢査官吏ヲシテ當該船舶ヲ檢査セシメ第三條及第四條ノ規定ニ適合スト認メタルトキハ附錄書式乙ノ別種檢査證書ヲ交付スヘシ

別種檢査證書ハ船舶ノ航行期間滿了ノ日ヲ以テ其ノ有效期限トス但シ當該船舶カ船舶檢査法施行細則ノ規定ニ依リ同航認可證書ヲ受有スル場合ニ於テハ該證書ノ有效期間內仍之ヲ有效トス

第三條　旅客船ノ端艇及救命設備ハ左ノ各號ノ規定ニ適合スルコトヲ要ス

一　船舶檢査規程第四號表中當該船舶ノ總噸數ニ對シ定ムル所ヨリ一段下級ノ總噸數ニ對シ定ムル所ニ從ヒ端艇數ヲ有スルコトヲ要ス

二　端艇ハ各ニ左ノ端艇ノ數及容積カ第一號ニ依リ備フヘキ端艇ノ數及容積ニ足ラサルモ現ニ之ヲ備フル船舶ノ旅客定員及船員ノ總員數ヲ一人ノ容積〇・二八三立方「メートル」（一〇立方呎）ノ割合ヲ以テ搭載シ得ルトキハ其ノ不足ハ端艇鉤ヲ有スルトキニ限リ之ヲ補充スルコトヲ要ス

三　端艇ハ各ニ左ノ端艇ノ數及容積カ第一號ニ依リ備フヘキ端艇ノ數及容積ニ足ラサルモ現ニ之ヲ備フル船舶ノ旅客定員及船員ノ總員數ヲ一人ノ容積〇・二八三立方「メートル」（一〇立方呎）ノ割合ヲ以テ搭載シ得ルトキハ其ノ不足ハ端艇鉤ヲ有スルトキニ限リ之ヲ補充スルコトヲ要ス

第一號ニ依リ備フヘキ端艇ノ數ヲ有スル船舶ニ現ニ之ヲ備フル船舶ノ旅客定員及船員ノ總員數ヲ一人ノ容積〇・二八三立方「メートル」（一〇立方呎）ノ割合ヲ以テ搭載シ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

四　端艇ハ各ニ左ノ端艇ノ數及容積カ第一號ニ依リ備フヘキ端艇ノ數及容積ニ足ラサルモ現ニ之ヲ備フル船舶ノ旅客定員及船員ノ總員數ヲ一人ノ容積〇・二八三立方「メートル」（一〇立方呎）ノ割合ヲ以テ搭載シ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一號ニ依リ備フヘキ端艇鉤ヲ有スル端艇ノ數及容積ノ二分ノ一以上ハ船舶檢査規程第五十八條ニ定ムル救命艇ト爲スコトヲ要シ其ノ他ノ端艇ハ同條ノ規定ニ對シ二分ノ一ノ浮泛力ヲ有スル救命艇又ハ二艘以內ヲ限リ普通端艇ト爲スコトヲ得

第四條　大正十五年一月二十九日以後ニ龍骨ヲ据附クル船舶ノ旅客室、船員室、病室等ハ左ノ各號ノ規定ニ適合スルコトヲ要ス

一　等及二等ノ旅客室ハ旅客一人ニ付三・五立方「メートル」（一二三・六立方呎）以上ノ容積ヲ要シ且旅客一人ニ付長一・八三「メートル」（六呎）、幅五六「センチメートル」（一・八三呎）以上ノ寢臺一箇ヲ備フヘシ

船員常用室ハ便所ヲ除キ船員一人ニ付三・五立方「メートル」（一二三・六立方呎）以上ノ容積及一・五平方「メートル」（一六・一平方呎）以上ノ甲板面積ヲ要シ船員寢室ハ船員一人ニ付二・一五立方「メートル」（七五・九立方呎）以上ノ容積及一・一五平方「メートル」（一二・四立方呎）以上ノ甲板面積ヲ要シ船員寢室ニハ各人專用ノ寢臺ヲ備フヘシ

第三號ニ揭ケル船舶ニシテ船員ヲ含ミ百人ヲ超エル人員ヲ搭載スルモノニハ病室ヲ上甲板以上又ハ上甲板直下ノ甲板間ニ於テ成ルヘク旅客室及船員室ヨリ隔離シタル箇所ニ設ケ搭載人員二百人迄ハ四十人毎ニ一箇ノ病室用寢臺ヲ備ヘ二百人ヲ超エルトキハ超過人員六十人毎ニ病室用寢臺一箇ヲ增備スヘシ

病室附屬トシテ診療室ニ釜川シ得ヘキ藥局、浴室、便所及前號ノ病室用寢臺數ノ四分ノ一ヲ備フル隔離病室ヲ設ケヘシ

病室ハ收容人員一人ニ付四立方「メートル」（一四一・三立方呎）以上ノ容積ヲ要ス

九　病室ニハ規定數ノ二分ノ一以上ノ寢臺ヲ常設スヘシ

十　病室用寢臺ハ金屬製ニシテ長一・八三「メートル」（六呎）以上、幅六〇「センチメートル」（二呎）以上ノモノトシ之ヲ据附クルニハ其ノ兩側ニ幅一「メートル」（三・二八呎）以上ノ通路ヲ存スヘシ

又病室用寢臺ハ上下ニ重ネテ据附クルコトヲ得ス

十一　膳食庫及飲料水槽ハ內容物ノ腐敗、汚穢其ノ他使用上不都合ヲ生セサル樣適當ニ設備スヘシ

第五條　別種檢査證書ヲ受有スル船舶カ其ノ證書ノ有效期間內ニ於テ非旅客船ヨリ旅客船ニ變更シタルトキ又ハ旅客船ノ端艇及救命設備若ハ大正十五年一月二十九日以後龍骨ヲ据附クタル船舶ノ旅客室、船員室、病室又ハ衞生設備ニ變更ヲ生シタルトキハ第一條ニ揭クル者ハ遲滯ナク附錄書式丙ニ依リ管海官廳ニ別種臨時檢査ヲ申請スヘシ

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ現ニ受有スル別種檢査證書及船舶檢査手帖ヲ添附スヘシ

第六條　前條ノ申請アリタルトキハ管海官廳ハ檢査官吏ヲシテ當該船舶ヲ檢査セシメ本令ノ規定ニ適合セスト認ムルトキハ別種檢査證書ヲ無效トシ之ヲ廢棄又ハ船舶カ非旅客船ヨリ旅客船ニ變更シタル場合ニ於テハ當該船舶ノ旅客定員及船員ノ總員數ヲ一人ノ容積〇・二八三立方「メートル」（一〇立方呎）ノ割合ヲ以テ搭載シ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七條　第五條ニ揭ケル場合ヲ除クノ外別種檢査證書ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ第一條ニ揭ケル者ハ遲滯ナク新旧事項ヲ具シ最寄管海官廳ニ其ノ書換ヲ申請スヘシ

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ船舶檢査手帖ヲ添附スヘシ

第八條　第一條ニ揭ケル者別種檢査證書ノ滅失又ハ毀損ニ因リ其ノ再交付ヲ受ケムトスルトキハ事由ヲ具シ別種檢査證書ノ交付ヲ受ケタル管海官廳ニ之ヲ申請スヘシ

第一條ニ揭ケル者別種檢査證書ノ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ再交付ヲ申請セサルトキハ其ノ滅失ノ旨ヲ最寄管海官廳ニ屆出ツヘシ

第九條　別種檢査證書カ無效又ハ不用トナリタルトキハ遲滯ナク最寄管海官廳ニ之ヲ返還スヘシ

第十條　大正十五年一月二十九日前ニ龍骨ヲ附据クタル船舶ニ在リテハ第一條ニ揭クル者ヨリ最寄管海官廳ニ申請シ其ノ事實ノ證明ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ船舶檢査手帖ヲ添附スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル證明書ハ附錄書式丁ニ依ル

附　則

本令ハ大正十四年遞信省令第八十六號ニ依ル但シ同令中船舶檢査法施行細則トアルハ朝鮮船舶檢査令施行規則、船舶檢査規程第四號表トアルハ朝鮮船舶檢査規程第四號表、船舶檢査規程第五十八條トアルハ朝鮮船舶檢査規程第六十二條、滿載吃水線トアルハ船舶滿載吃水線法ニ依リ標示シタル滿載吃水線、附錄書式甲、乙（備考欄ヲ除ク）及丙中大正十四年遞信省令第八十六號トアルハ大正十五年朝鮮總督府令第七號トス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年十二月
遞令第八十六號

第十一條　管海官廳ハ別種檢査證書又ハ前條ノ證明書ノ交付ヲ受ケムトスル船舶ノ龍骨第十四條　前二條ノ手數料ヲ納付スヘシ據附日ヲ認定スルニ當リ申請人ヲシテ必要ナル證憑ヲ提示セシムルコトアルヘシ

第十二條　本令ニ依ル檢査ノ申請人ハ申請ノ際別種檢定期檢査ニ在リテハ二十圓、別種臨時檢査ニ在リテハ十圓ノ檢査手數料ヲ管海官廳ニ納付スヘシ

檢査手數料ハ申請人ノ都合ニ依リ申請ヲ取下ケタル場合ト雖之ヲ返還セス

第十三條　別種檢査證書又ハ第十條ノ證明書ノ交付、書換又ハ再交付ノ申請人ハ申請ノ際證書一通ニ付四圓ノ手數料ヲ納付スヘシ

其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ手數料納付書ニ貼付シテ之ヲ納付スヘシ

手數料納付書ニ貼附シタル收入印紙ハ管海官廳ニ於テ消印ヲ爲スヘキモノトス但シ納付者ニ於テ自己ノ便宜上消印ヲ爲スヲ妨ケス

第十五條　本令ノ規定ニ依ル手數料ハ官廳又ハ公共團體ニ對シテハ之ヲ課セス

附錄

書式甲

別種定期檢査申請書

汽（帆）船何丸

右大正十四年十二月遞信省令第八十六號ニ依リ　年　月　日某所ニ於テ檢査ノ上別種檢査證書交付相成度此段申請候也

年　月　日

住所
船舶所有者（船舶管理人、船舶借入人又ハ船長）
何　某　印

管海官廳宛

備考　大正十五年一月二十九日前ニ龍骨ヲ据附ケタル船舶ニ在リテハ船名ノ下ニ其ノ旨ヲ記入スヘシ

書式乙

第　號

（竪二七・七センチメートル）
（横一八・一センチメートル）

（裏面ニ佛譯ヲ記載ス）

船舶番號		
船名	旅客船非旅客船ノ別	所有者
證書有效期限	龍骨据附日	大正十五年一月二十九日以後（前又ハ）

檢査

右大正十四年十二月遞信省令第八十六號ニ依リ檢査ヲ遂ケ同令ノ規定ニ適合スルヲ證ス

年　月　日

管海官廳名　印

書式丙

別種臨時檢査申請書

汽（帆）船何丸

右大正十四年十二月遞信省令第八十六號ニ依リ　年　月　日某所ニ於テ檢査相成度此段申請候也

年　月　日

住所
船舶所有者（船舶管理人、船舶借入人又ハ船長）
何　某　印

管海官廳宛

（竪二七・七センチメートル）
（横一八・一センチメートル）

（裏面ニ佛譯ヲ記載ス）

船舶番號	
船名	

右大正十五年一月二十九日前ニ龍骨ヲ据附ケタル船舶ニ在リテハ其ノ續航及救命設備カ大正十四年十二月遞信省令第八十六號第三條ノ規定ニ適合スルコトヲ證ス

年　月　日

管海官廳名　印

書式丁

第　號

龍骨据附日	證明書

右大正十五年一月二十九日前ニ龍骨ヲ据附ケタル船舶ニ在リテハ其ノ居住設備及衞生設備カ同令第四條ノ規定ニ適合スルコトヲ證ス

年　月　日

管海官廳名　印

備考　此ノ證書ハ旅客船ニ在リテハ其ノ續航及救命設備カ大正十四年十二月遞信省令第八十六號第三條ノ規定ニ適合スルコト又大正十五年一月二十九日以後龍骨ヲ据附ケタル船舶ニ在リテハ其ノ病室、旅客室及船員室竝此等ノ居住設備及衞生設備カ同令第四條ノ規定ニ適合スルコトヲ證明スルモノトス

●佛蘭西國ニ航行スル日本船舶ニ關スル注意事項

大正十五年一月
總督府令第十九號

大正十五年一月二十九日以後佛蘭西國政府ニ於テハ帝國政府ノ發給スル船舶檢査證書及船舶滿載吃水線證書ヲ承認スルコトト爲リタルニ付佛蘭西國又ハ其ノ殖民地若ハ管治地域ニ航行スル日本船舶ノ所有者、船長及其ノ他關係者ハ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　佛蘭西國（其ノ殖民地及管治地域ヲ含ム以下同シ）ニ航行スル日本船舶ニシテ船舶檢査證書、船舶滿載吃水線證書（船舶滿載吃水線法ニ依リ交付ヲ受ケタルモノヲ以下同シ）及大正十五年朝鮮總督府令第七號ニ依ル別種檢査證書ヲ受有スルモノハ佛蘭西國ニ於テ出港檢査ヲ行ハルルコトアル場合ヲ除クノ外何等檢査ヲ行ハルルコトナク又佛蘭西國法規ノ定ムル航海許可書及船舶滿載吃水線證書ヲ受有スルコトヲ要セサルモノトス

二　大正十五年一月二十九日前ニ龍骨ヲ据附ケタル非旅客船ハ船舶檢査證書及船舶滿載吃水線證書ヲ受有スルトキハ別種檢査證書ヲ受有スルモノトス

前項ノ船舶ニシテ船舶國籍證書ニ記載シタル進水年月ニ依リ當然大正十五年一月二十九日前ニ龍骨ヲ据附ケタルモノナルコトヲ證明シ難キ廉アルモノハ大正十五年朝鮮總督府令第七號ニ依ル龍骨据附日證明書ヲ受有スルヲ可トス

前號ノ船舶ニシテ船舶國籍證書ニ記載ル出港檢査ニ於テハ單ニ船舶檢査證書、船舶滿載吃水線證書又ハ別種檢査證書ヲ受有スルコトヲ確メ船舶カ大體ニ於テ耐航性ヲ有シ船員及旅客ノ爲危險ナキ狀態ニ於テ出港シ得ルヤ否ヲ認定セラルル程度ノ檢査ヲ行ハルルコトナク且如何ナル場合ニ於テモ日本ノ法規ニ定ムル以外ノ條件ヲ課セラルルコトナシ

佛蘭西國ニ於テ行ハルル出港檢査ハ如何ナル場合ニ於テモ船舶ノ發航ヲ遲延セシムルコトナク又出港時間ヲ正式ニ通告シタル後ハ來タ出港檢査ヲ行ハレサルトキト雖佛蘭西國ノ港ニ於テ旅客ヲ搭載スルト否トニ拘ラス定刻ニ出港シ何等法規違反ト爲ルコトナシ

日本船舶カ目的港ニ非サル佛蘭西國ノ港ニ入港スルモ商行爲ヲ爲サス又ハ單ニ炭水其ノ他航海必需品ノミヲ積入ルル場合ニ於テハ出港檢査ヲ行ハルルコトモノトス

三　大正十五年一月二十九日前ニ龍骨ヲ据附ケタル船舶ニ在リテハ船名ノ下ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

四　佛蘭西國船舶ノ檢査ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　佛蘭西國（其ノ殖民地及管治地域ヲ含ム以下同シ）ノ船舶ノ檢査ヲ行フ場合ニ於テ佛蘭西國政府ノ發給シタル航海許可書ヲ受有スル船舶ニ對シテハ大體ニ於テ耐航性ヲ有シ船員及旅客ニ危險ヲ及ホス虞ナシト認ムルトキハ該證書ノ目的トスル船體、機關及屬具ニ關スル照査ヲ行ハス且如何ナル場合ニ於テモ佛蘭西國ノ法規ニ定ムル以外ノ條件ヲ課セス

第二條　日本ノ港ニ於テ移住民若ハ三等旅客五十人以上又ハ移住民及三等旅客五十人以上ヲ搭載シテ近海航路外ノ港又ハ遞信大臣ノ定ムル地方ニ運送セムトスル佛蘭西國船舶ニ對シテハ前條ノ規定ニ拘ラス儲食、飲料水及衞生狀態ニ關スル檢査ハ之ヲ行フ

●佛蘭西國ニ航行スル日本船舶ニ關スル注意事項

大正十五年一月
總督府令第十九號

大正十五年一月二十九日以後佛蘭西國政府ニ於テハ帝國政府ノ發給スル船舶檢査證書及船舶滿載吃水線證書ヲ承認スルコトト爲リタルニ付佛蘭西國又ハ其ノ殖民地若ハ管治地域ニ航行スル日本船舶ノ所有者、船長及其ノ他關係者ハ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　佛蘭西國（其ノ殖民地及管治地域ヲ含ム以下同シ）ニ航行スル日本船舶ニシテ船舶檢査證書、船舶滿載吃水線證書（船舶滿載吃水線法ニ依リ交付ヲ受ケタルモノヲ以下同シ）及大正十五年朝鮮總督府令第七號ニ依ル別種檢査證書ヲ受有スルモノハ佛蘭西國ニ於テ出港檢査ヲ行ハルルコトアル場合ヲ除クノ外何等檢査ヲ行ハルルコトナク又佛蘭西國法規ノ定ムル航海許可書及船舶滿載吃水線證書ヲ受有スルコトヲ要セサルモノトス

二　大正十五年一月二十九日前ニ龍骨ヲ据附ケタル非旅客船ハ船舶檢査證書及船舶滿載吃水線證書ヲ受有スルトキハ別種檢査證書ヲ受有スルモノトス

前項ノ船舶ニシテ船舶國籍證書ニ記載シタル進水年月ニ依リ當然大正十五年一月二十九日前ニ龍骨ヲ据附ケタルモノナルコトヲ證明シ難キ廉アルモノハ大正十五年朝鮮總督府令第七號ニ依ル龍骨据附日證明書ヲ受有スルヲ可トス

前號ノ船舶ニシテ船舶國籍證書ニ記載ル出港檢査ニ於テハ單ニ船舶檢査證書、船舶滿載吃水線證書又ハ別種檢査證書ヲ受有スルコトヲ確メ船舶カ大體ニ於テ耐航性ヲ有シ船員及旅客ノ爲危險ナキ狀態ニ於テ出港シ得ルヤ否ヲ認定セラルル程度ノ檢査ヲ行ハルルコトナク且如何ナル場合ニ於テモ日本ノ法規ニ定ムル以外ノ條件ヲ課セラルルコトナシ

佛蘭西國ニ於テ行ハルル出港檢査ハ如何ナル場合ニ於テモ船舶ノ發航ヲ遲延セシムルコトナク又出港時間ヲ正式ニ通告シタル後ハ來タ出港檢査ヲ行ハレサルトキト雖佛蘭西國ノ港ニ於テ旅客ヲ搭載スルト否トニ拘ラス定刻ニ出港シ何等法規違反ト爲ルコトナシ

日本船舶カ目的港ニ非サル佛蘭西國ノ港ニ入港スルモ商行爲ヲ爲サス又ハ單ニ炭水其ノ他航海必需品ノミヲ積入ルル場合ニ於テハ出港檢査ヲ行ハルルコトモノトス

三　大正十五年一月二十九日前ニ龍骨ヲ据附ケタル船舶ニ在リテハ船名ノ下ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

四　佛蘭西國船舶ノ檢査ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　佛蘭西國（其ノ殖民地及管治地域ヲ含ム以下同シ）ノ船舶ノ檢査ヲ行フ場合ニ於テ佛蘭西國政府ノ發給シタル航海許可書ヲ受有スル船舶ニ對シテハ大體ニ於テ耐航性ヲ有シ船員及旅客ニ危險ヲ及ホス虞ナシト認ムルトキハ該證書ノ目的トスル船體、機關及屬具ニ關スル照査ヲ行ハス且如何ナル場合ニ於テモ佛蘭西國ノ法規ニ定ムル以外ノ條件ヲ課セス

第二條　日本ノ港ニ於テ移住民若ハ三等旅客五十人以上又ハ移住民及三等旅客五十人以上ヲ搭載シテ近海航路外ノ港又ハ遞信大臣ノ定ムル地方ニ運送セムトスル佛蘭西國船舶ニ對シテハ前條ノ規定ニ拘ラス儲食、飲料水及衞生狀態ニ關スル檢査ハ之ヲ行フ

●船舶檢査ニ關スル佛蘭西國船舶ノ檢査ニ關スル件

大正十五年一月
遞信省令第八號

佛蘭西國船舶ノ檢査ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　佛蘭西國（其ノ殖民地及管治地域ヲ含ム以下同シ）ノ船舶ノ檢査ヲ行フ場合ニ於テ佛蘭西國政府ノ發給シタル航海許可書ヲ受有スル船舶ニ對シテハ大體ニ於テ耐航性ヲ有シ船員及旅客ニ危險ヲ及ホス虞ナシト認ムルトキハ該證書ノ目的トスル船體、機關及屬具ニ關スル照査ヲ行ハス且如何ナル場合ニ於テモ佛蘭西國ノ法規ニ定ムル以外ノ條件ヲ課セス

第二條　日本ノ港ニ於テ移住民若ハ三等旅客五十人以上又ハ移住民及三等旅客五十人以上ヲ搭載シテ近海航路外ノ港又ハ遞信大臣ノ定ムル地方ニ運送セムトスル佛蘭西國船舶ニ對シテハ前條ノ規定ニ拘ラス儲食、飲料水及衞生狀態ニ關スル檢査ハ之ヲ行フ

●船舶檢査ニ關スル佛蘭西國船舶ノ檢査ニ關スル件

大正十五年一月
遞信省令第八號

佛蘭西國船舶ノ檢査ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　佛蘭西國（其ノ殖民地及管治地域ヲ含ム以下同シ）ノ船舶ノ檢査ヲ行フ場合ニ於テ佛蘭西國政府ノ發給シタル航海許可書ヲ受有スル船舶ニ對シテハ大體ニ於テ耐航性ヲ有シ船員及旅客ニ危險ヲ及ホス虞ナシト認ムルトキハ該證書ノ目的トスル船體、機關及屬具ニ關スル照査ヲ行ハス且如何ナル場合ニ於テモ佛蘭西國ノ法規ニ定ムル以外ノ條件ヲ課セス

第二條　日本ノ港ニ於テ移住民若ハ三等旅客五十人以上又ハ移住民及三等旅客五十人以上ヲ搭載シテ近海航路外ノ港又ハ遞信大臣ノ定ムル地方ニ運送セムトスル佛蘭西國船舶ニ對シテハ前條ノ規定ニ拘ラス儲食、飲料水及衞生狀態ニ關スル檢査ハ之ヲ行フ

●船舶檢査ニ關スル佛蘭西國船舶ノ檢査ニ關スル件

大正十四年十二月
遞信省令第八十七

朝鮮造船規程

總大正十一年四月一日　逓信大臣　男爵　山本達雄

第一章　船體

第一節　船體ノ構造

第一條　船體ハ堅牢ニシテ且航海ニ適スル構造ヲ有スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

第二條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スルモノナルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第三條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第四條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第五條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第六條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第七條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第八條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第九條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第十條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第十一條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第十二條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第十三條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第十四條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第十五條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第十六條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第十七條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第十八條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第十九條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第二十條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第二十一條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第二十二條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第二十三條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第二十四條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第二十五條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第二十六條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第二十七條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第二十八條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第二十九條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第三十條　船體ハ左ノ各號ニ適合スルモノニ非サレハ之ヲ造船ニ使用スルコトヲ得ス

一　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

二　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル材料ヲ使用シ且其ノ材料ニ適スル工作ヲ施シタルモノナルコト

三　船體ノ構造ハ船ノ用途ニ適スル堅牢ナル構造ヲ有スルコト

第二章　船體ノ構造ニ關スル特例

第三十一條　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シ其ノ他特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船舶ニ對シテハ本規程ノ一部ヲ適用セサルコトヲ得

第三章　船體ノ構造ニ關スル細則

第三十二條　本規程ニ適合スル船體ノ構造ニ關シ細則ヲ定メラレタル場合ニ於テハ其ノ細則ニ依ル

第四章　船體ノ檢査

第三十三條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第三十四條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第三十五條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第三十六條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第三十七條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第三十八條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第三十九條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第四十條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第四十一條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第四十二條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第四十三條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第四十四條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第四十五條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第四十六條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第四十七條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第四十八條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第四十九條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第五十條　船體ハ左ノ各號ニ掲クル檢査ヲ受ケ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　新造ノ船體

二　改造ノ船體

三　修理ノ船體

四　船體ノ構造ニ關シ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ特別ノ材料ヲ使用シタル船體

五　船體ノ構造ニ關シ特別ノ方法ニ依リ本規程ニ適合スルモノト認メラレタル船體

第二節　船舶

第六節　船舶

船舶ハ以テ水上ヲ航行スル運搬具ニシテ其ノ種類ニ依リ之ヲ分チテ左ノ六種トス

一　汽船　二　帆船　三　艀船　四　端舟　五　伝馬船　六　特種船

第一　汽船

汽船ハ蒸気機関ヲ以テ推進スル船舶ニシテ其ノ種類ニ依リ之ヲ分チテ左ノ四種トス

一　客船　二　貨物船　三　客貨船　四　曳船

第二　帆船

帆船ハ帆ヲ以テ推進スル船舶ニシテ其ノ種類ニ依リ之ヲ分チテ左ノ四種トス

一　客船　二　貨物船　三　客貨船　四　曳船

第三　艀船

艀船ハ自ラ推進スル能力ヲ有セス他ノ船舶ニ依リ推進セラルル船舶ニシテ其ノ種類ニ依リ之ヲ分チテ左ノ二種トス

一　客艀　二　貨物艀

第四　端舟

端舟ハ櫓又ハ櫂ヲ以テ推進スル船舶ニシテ其ノ種類ニ依リ之ヲ分チテ左ノ二種トス

一　客端舟　二　貨物端舟

第五　伝馬船

伝馬船ハ櫓又ハ櫂ヲ以テ推進スル船舶ニシテ其ノ種類ニ依リ之ヲ分チテ左ノ二種トス

一　客伝馬船　二　貨物伝馬船

第六　特種船

特種船ハ前各種ノ船舶ニ属セサル船舶ニシテ其ノ種類ニ依リ之ヲ分チテ左ノ二種トス

一　水先案内船　二　検疫船

第三節　船舶ノ検査

船舶ハ其ノ種類ニ依リ之ヲ検査シ其ノ堪航ノ状態ヲ確認スルコトヲ要ス

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第四節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第五節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第六節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第七節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第八節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第九節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第十節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第十一節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第十二節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第十三節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第十四節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第十五節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第十六節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第十七節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第十八節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第十九節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第二十節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第二十一節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第二十二節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第二十三節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第二十四節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第二十五節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第二十六節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第二十七節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第二十八節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第二十九節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第三十節　船舶ノ検査

船舶ノ検査ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス

一　定期検査　二　臨時検査　三　中間検査

第一　定期検査

定期検査ハ船舶ノ種類ニ依リ一定ノ期間ヲ以テ之ヲ行フ

第二　臨時検査

臨時検査ハ船舶ノ改造又ハ修繕ヲ為シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第三　中間検査

中間検査ハ定期検査ト定期検査トノ中間ニ於テ之ヲ行フ

第

川六十五合力海路区三十五尖端部ニ設ケラレタル信号燈ニシテ船舶ノ航行ニ関スル危険ノ有無ヲ示スモノヲ謂フ

第

ナセ四勅逸速ル船ヲ追フトキハ必ス汽笛ヲ以テ左ノ信号ヲ為スヘシ

一汽笛ヲ鳴ス

二汽笛ヲ鳴ス

三汽笛ヲ鳴ス

第

二二ザ十三条ニ掲ケタル場合ヲ除ク外十二時ヨリ翌朝六時マテノ間ニ於テ航行スル船舶ハ左ノ灯火ヲ掲ケサルヘカラス

一　檣燈

二　舷燈

三　船尾燈

第

ナセ四勅逸速ル船ヲ追フトキハ必ス汽笛ヲ以テ左ノ信号ヲ為スヘシ

一汽笛ヲ鳴ス

二汽笛ヲ鳴ス

三汽笛ヲ鳴ス

第

二二ザ十三条ニ掲ケタル場合ヲ除ク外十二時ヨリ翌朝六時マテノ間ニ於テ航行スル船舶ハ左ノ灯火ヲ掲ケサルヘカラス

一　檣燈

二　舷燈

三　船尾燈

第

川六十五合力海路区三十五尖端部ニ設ケラレタル信号燈ニシテ船舶ノ航行ニ関スル危険ノ有無ヲ示スモノヲ謂フ

第

ナセ四勅逸速ル船ヲ追フトキハ必ス汽笛ヲ以テ左ノ信号ヲ為スヘシ

一汽笛ヲ鳴ス

二汽笛ヲ鳴ス

三汽笛ヲ鳴ス

第

二二ザ十三条ニ掲ケタル場合ヲ除ク外十二時ヨリ翌朝六時マテノ間ニ於テ航行スル船舶ハ左ノ灯火ヲ掲ケサルヘカラス

一　檣燈

二　舷燈

三　船尾燈

第七

第三款　燈台及燈標

第三十八條　燈台ハ燈質、光力、光色、光達距離及塔形ニ依リ之ヲ識別シ得ヘキ様設備スヘシ

第三十九條　燈台ノ光力ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ニ応シ其ノ光達距離ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第四十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第四十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第四十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第四十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第四十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第四十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第四十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第四十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第四十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第四十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第五十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第五十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第五十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第五十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第五十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第五十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第五十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第五十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第五十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第五十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第六十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第六十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第六十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第六十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第六十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第六十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第六十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第六十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第六十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第六十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第七十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第七十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第七十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第七十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第七十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第七十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第七十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第七十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第七十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第七十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第八十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第八十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第八十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第八十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第八十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第八十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第八十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第八十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第八十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第八十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第九十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第九十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第九十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第九十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第九十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第九十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第九十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第九十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第九十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第九十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百二十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百二十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百二十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百二十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百二十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百二十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百二十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百二十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百二十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百二十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百三十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百三十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百三十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百三十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百三十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百三十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百三十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百三十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百三十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百三十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百四十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百四十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百四十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百四十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百四十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百四十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百四十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百四十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百四十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百四十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百五十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百五十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百五十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百五十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百五十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百五十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百五十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百五十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百五十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百五十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百六十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百六十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百六十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百六十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百六十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百六十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百六十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百六十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百六十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百六十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百七十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百七十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百七十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百七十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百七十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百七十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百七十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百七十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百七十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百七十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百八十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百八十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百八十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百八十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百八十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百八十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百八十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百八十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百八十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百八十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百九十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百九十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百九十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百九十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百九十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百九十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百九十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百九十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百九十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第百九十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百二十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百二十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百二十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百二十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百二十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百二十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百二十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百二十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百二十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百二十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百三十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百三十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百三十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百三十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百三十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百三十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百三十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百三十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百三十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百三十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百四十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百四十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百四十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百四十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百四十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百四十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百四十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百四十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百四十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百四十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百五十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百五十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百五十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百五十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百五十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百五十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百五十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百五十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百五十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百五十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百六十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百六十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百六十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百六十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百六十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百六十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百六十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百六十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百六十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百六十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百七十條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百七十一條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百七十二條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百七十三條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百七十四條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百七十五條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百七十六條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百七十七條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百七十八條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百七十九條　燈台ノ光達距離ハ燈台ノ位置ニ於ケル大気ノ透明度ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第二百八十條　燈台ノ光達距離ハ

海、コペルシヤ灣及紅海ヲ謂ヒ丙區域トハ南ハ南緯一度ノ線ニ依リ北ハ東經一三〇度以東ニ在リテハ北緯八度、東經一三〇度以東ニ在リテハ北緯二一度ノ線ニ依リ東ハ東經一八〇度ノ線ニ依リ西ハ大小「スンダ」列島及馬來半島ニ依リ限ラレタル區域ヲ謂ヒ丁區域トハ南ハ東經一三〇度以西ニ在リテハ北緯八度、東經一三〇度以東ニ在リテハ北緯二一度ノ線ニ依リ北ハ北緯五度（黃海及渤海ヲ含ム）ノ線ニ依リ東ハ東經一八〇度ノ線ニ依リ西ハ亞細亞ノ沿岸ニ依リ限ラレタル船舶安全法施行地外ノ區域ヲ謂フ

乙區域及丁區域ニ於テハ上甲板以外ノ暴露甲板ニ甲板旅客ヲ搭載スルコトヲ得ズ但シ特ニ限定セラレタル區域內ニ於テ甲板旅客ヲ運送スル場合ニ於テ管海官廳ニ於テ差支ナシト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テハ單位面積ヲ暴露甲板ニ對シ何レモ〇・八五平方メートルトシ甲板旅客ノ定員ヲ算定ス

第九十七條　管海官廳ハ航路、季節、船舶ノ大小、乾舷、復原力、救命設備又ハ旅客ニ關スル設備等ヲ考慮シ旅客定員ヲ第九十三條乃至前條ニ依リ算定シタルモノヨリ適當ニ減ズルコトヲ得

第三章　旅客ニ關スル設備

第九十八條　旅客室ニハ少クトモ寢、臺其ノ他旅客ノ坐臥ニ適スベキ敷物ヲ備フベシ

第九十九條　旅客室ニハ採光通風ノ爲相當ノ窓ヲ設クベシ

第百條　甲板間ニ旅客室ノ設アルトキハ甲板上ニ出入シ得ベキ出入口ヲ設クベシ

前項ノ出入口ハ天氣ノ如何ニ拘ラズ何時ニテモ甲板上ニ出入シ得ベキ裝置ヲ爲シ又其ノ梯子ハ旅客定員五十人未滿ナルトキハ幅六〇センチメートル以上、五十以上百人未滿ナルトキハ一〇〇センチメートル以上ノモノ、百以上若ハ幅一項及第二項ノ規定ニ適合セザルモ妨ナシ

第百一條　近海以上ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ上甲板下ニ於ケル雜居客室ニハ通風管ヲ備フベシ

前項ノ通風管ノ截面積ハ左ノ割合ヲ以テ定メタル總幅ニ達スル迄幅六〇センチメートル以上ノモノヲ備フベシ

百分ノ五乃至十ヲ增スベシ　百分ノ十ヲ超ユル毎ニ百分ノ一ヲ增スベシ

船樓內又ハ甲板室內ニ在ル上甲板口ヲ通ジ雜居客室ニ通風ヲ得ル場合、機械的通風ノ裝置アル場合又ハ雜居客室內ノ容積ニ餘剩アル場合又ハ雜居客室ト他室トノ間ノ流通ヲ得ル場合ニ於テハ管海官廳ノ見込ニ依リ通風管ノ截面ヲ適當ニ減少スルコトヲ得

臨時旅客ヲ搭載スル場所ニ對スル通風管ハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ第百二條　移民ヲ搭載スル移民船ノ上甲板下ニ於ケル雜居客室ニ對シテハ適當ナル機械的通風裝置ヲ設クベシ

第百三條　第九十六條第二項ニ揭グル甲、乙又ハ丁區域ニ付左ニ揭グル荒天手節ニ於テ甲板旅客ヲ搭載スルトキハ甲板旅客逃避ノ爲甲板旅客一人ニ對シ甲板面積一・一平方メートル容積二・〇五立方メートルノ割合ノ遮蔽場所ヲ甲板室內、船樓內又ハ甲板間ニ備フベシ但シ甲板旅客ヲ搭載スル部分ノ天幕ヲ二重ト爲ストキハ管海官廳ノ見込ニ依リ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

一　甲區域　四月十六日ヨリ十月三十一日

二　乙區域　五月一日ヨリ八月三十一日迄

三　丁區域　六月一日ヨリ十月十四日迄

第百四條　旅客船ニ於テハ高サ一メートル以上ノ艙口又ハ機關ヲ堅牢ニ取附クベシ但シ沿海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ在リテハ管海官廳ノ見込ニ依リ艙口ニ對シ何レモ〇・八五平方メートルトシ甲板旅客ノ定員ヲ算定スル場合ニ於テハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第百五條　旅客船ニハ適當ノ艙梯ヲ設ケ且堅牢ナル艙梯鉤ヲ備フベシ但シ沿海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ艙梯ニハ欄ヲ附シ且其ノ裏面ニ板又ハ帆布ヲ張ルベシ

第百六條　繫留地方ヲ航行スル船舶ニハ旅客及船員ニ對スル適當ノ防熱設備ヲ爲スベシ

第百七條　第七十九條第一項各號ニ揭グル旅客ヲ搭載スル場所ニハ天幕ヲ設備スベシ

第百八條　移民ヲ搭載スル移民船ニ於テハ雜居室內ニ旅客ノ手廻品ヲ格納スル物入ヲ設ケスル甲板室其ノ他類似ノ構造物ヲ備フル船舶ニ在リテハ其ノ長サト高サトヲ相乘ジタル積ノ二分ノ一

鋼製帆船ニ於テ艤裝數下ハ船樓ヲ有セザル場合ニ於テハ鋼船構造規程ニ依ル船ノ深サト幅トノ和ニ長サヲ乘ジタル數ヲ謂ヒ船樓ヲ有スル場合ニ於テハ該數ニ其ノ十五分ノ一ヲ加算シタルモノヲ謂フ

前項ノ長サ、幅、深サ及高サハ單位ヲメートルトシ單位以下第二位ニ止ム

第百二十四條　木船ニ於テ艤裝數下ハ船樓ヲ有セザル船舶ニ在リテハ上甲板下ノ積量立方メートルヲ謂ヒ船樓ヲ有スル船舶ニ在リテハ該積量立方メートルヲ二分ノ一ヲ加ヘタルモノヲ謂フ

第百二十五條　船舶ニハ其ノ艤裝數ニ應ジ第四號表又ハ第五號表ニ定ムル錨、錨鎖及索ヲ備フベシ

第百二十六條　大錨ノ合數ハ表ニ揭グルモノヨリ減少セザル限リ大錨二箇ヲ備フベキ船舶ニハ中一箇ハ百分ノ七・五以內又三箇ヲ備フベキ船舶ニハ中一箇ハ百分ノ十五以內、一箇ハ百分ノ七・五以內又各大錨ノ凱數ヲ相等シキモノト爲スモ妨ナシ

沿海以下ノ航行區域ヲ有スル汽船ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ之ヲ減ズルコトヲ得

第百二十七條　旅客船ニハ最大搭載人員五十人ニ對シ一箇ノ割合ヲ以テ大便所ヲ設クベシ

但シ最大搭載人員三百人以上ノ船舶、沿海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶又ハ臨時旅客ヲ搭載シテ其ノ航行豫定時間十二時間未滿ノ航海ヲ爲ス船舶ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ其ノ割合ヲ削減スルコトヲ得

第百二十八條　移民船ニハ上甲板上ノ場所又ハ上甲板直下ノ甲板間ノ場所ニ於テ成ルベク旅客室及船員室ヨリ隔離シタル箇所ニ病室ヲ設ケ最大搭載人員二百人迄ハ四十人毎ニ一箇、二百人ヲ超ユル人員ニ付テハ超過人員六十人毎ニ一箇ノ割合ヲ以テ寢臺ヲ備フベシ但シ甲板ノ上面ヨリ下層客席迄ノ高サ四〇センチメートル以上ニシテ其ノ間ノ場所ヲ物入ニ利用スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四章　船員室等

第百九條　船員室ノ定員ハ左ノ各號ノ計算法ニ依リ算出シタル員數ノ中小ナルモノトス

一　船員室ノ容積立方メートルヲ左表ニ揭グル單位面積ニテ除シタル數

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ船員室ニ付テハ寢臺ノ數、其ノ他ノ船舶ノ船員室ニ付テハ寢臺ノ數ニ其ノ寢臺ノ數ト寢臺外ノ座席ノ面積ニ平方メートルヲ左表ニ揭グル單位面積ニテ除シタル數トノ和、寢臺ヲ備ヘザルトキハ其ノ座席ノ面積ヲ左表ニ揭グル單位面積ニテ除シタル數

船舶ノ航行區域	單位容積（平方米）一人ニ付一・〇平方米以上ノ寢臺ヲ備フベシ	單位容積（立方米）二・七五
近海區域	一・一〇	二・〇五
沿海區域	〇・五五	一・一五
平水區域	〇・四五	—

備考

沿海ノ航行區域ヲ有シ最遠里程ヲ航行スル時間十二時間以上ヲ要スル船舶ノ船員室ノ定員ハ近海區域ニ對スル單位面積及單位容積ニ依リ算定スルモノトス

管海官廳ハ平水ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ前項ノ規定ヲ適用スルニ當リテハ適當ニ斟酌スルコトヲ得

第百十條　第八十條乃至第八十九條、第九十

一條及第九十二條ノ規定ハ船員室ニ之ヲ準用ス但シ第八十八條第二號ニ揭グル場所ハ之ヲ船員室ニ充ツルコトヲ得

第百十一條　船員室其ノ他船員ニ供用スル室ニハ錨鎖管ノ開口又ハ揚錨機、捲揚機其ノ他ノ機具ヲ設置スルコトヲ得ズ

第百十二條　船員室ニハ其ノ定員ニ相當スル押入又ハ戸棚ヲ設クベシ但シ平水ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ適當ニ之ヲ減ジ得

第百十三條　船員室ニハ釣床、寢臺又ハ船員ノ坐臥ニ適スル敷物ヲ備フベシ

第百十四條　船員室ニハ舷窓、甲板明取リ又ハ天窓ヲ設クベシ

上甲板下ノ雜居船員室ニハ適當ノ通風管ヲ設クベシ

前項ノ通風管ノ截面積ハ近海以上ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ付テハ船員室定員一人ニ付出口入口トモ各一六平方センチメートル、沿海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶又ハ臨時旅客ヲ搭載シテ其ノ航行豫定時間十二時間未滿ノ航海ヲ爲ス船舶ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ其ノ割合ヲ削減スルコトヲ得

第百十五條　船舶ニハ其ノ艤裝數ニ應ジ第四號表又ハ第五號表ニ定ムル錨、錨鎖及索ヲ備フベシ

第百十六條　大錨ノ合數ハ表ニ揭グルモノヨリ減少セザル限リ大錨二箇ヲ備フベキ船舶ニハ中一箇ハ百分ノ七・五以內又三箇ヲ備フベキ船舶ニハ中一箇ハ百分ノ十五以內、一箇ハ百分ノ七・五以內又各大錨ノ凱數ヲ相等シキモノト爲スモ妨ナシ

沿海以下ノ航行區域ヲ有スル汽船ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ適當ニ之ヲ減ジ得

第百十七條　旅客船ニハ最大搭載人員五十人ニ對シ一箇ノ割合ヲ以テ大便所ヲ設クベシ

但シ最大搭載人員三百人以上ノ船舶、沿海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶又ハ臨時旅客ヲ搭載シテ其ノ航行豫定時間十二時間未滿ノ航海ヲ爲ス船舶ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ其ノ割合ヲ削減スルコトヲ得

第百十八條　移民船ニハ上甲板上ノ場所又ハ上甲板直下ノ甲板間ノ場所ニ於テ成ルベク旅客室及船員室ヨリ隔離シタル箇所ニ病室ヲ設ケ最大搭載人員二百人迄ハ四十人毎ニ一箇、二百人ヲ超ユル人員ニ付テハ超過人員六十人毎ニ一箇ノ割合ヲ以テ寢臺ヲ備フベシ

第十七條　旅客船ニハ最大搭載人員五十人ニ對シ一箇ノ割合ヲ以テ大便所ヲ設クベシ

前項ノ通風管ノ截面積ハ近海以上ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ付テハ船員室定員一人ニ付出口入口トモ各一六平方センチメートル、沿海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶又ハ臨時旅客ヲ搭載シテ其ノ航行豫定時間十二時間未滿ノ航海ヲ爲ス船舶ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ其ノ割合ヲ削減スルコトヲ得

第百十九條　船舶ニハ其ノ艤裝數ニ應ジ第四號表又ハ第五號表ニ定ムル錨、錨鎖及索ヲ備フベシ

第百二十條　大錨ノ合數ハ表ニ揭グルモノヨリ減少セザル限リ大錨二箇ヲ備フベキ船舶ニハ中一箇ハ百分ノ七・五以內又三箇ヲ備フベキ船舶ニハ中一箇ハ百分ノ十五以內、一箇ハ百分ノ七・五以內又各大錨ノ凱數ヲ相等シキモノト爲スモ妨ナシ

沿海以下ノ航行區域ヲ有スル汽船ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ適當ニ之ヲ減ジ得

第百二十一條　錨、錨鎖及索

第百二十二條　錨、錨鎖及索ハ表ニ定ムル所ニ依ル

第百二十三條　錨ハ有鼻錨ノ形狀ヲ有スルモノニシテ其ノ重量ハ錨幹ノ重量ノ四分ノ一以上ナルコトヲ要ス

無鼻錨ノ錨柄ヲ除キタル重量ハ錨ノ全重量ノ五分ノ三以上ナルコトヲ要ス

第百二十四條　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶、近海ノ航行區域ヲ有スル汽船ニ備フル錨（錨鉤ヲ含ミタル重量七六・二キログラム以下ノモノヲ除ク）、錨鎖及鋼索ハ試驗規程ニ適合シタルモノナルコトヲ要ス

第百二十九條　近海以下ノ航行區域ヲ有スル帆船及總噸數五十噸未滿ノ汽船ニ在リテハ日本形錨ヲ代用スルモ妨ナシ

前項ノ規定ニ依リ代用シタル日本形錨ニ對シテハ相當ノ錨索ヲ以テ之ニ代用スルモ妨ナシ

日本形錨ノミヲ備フル帆船ノ錨、錨索及索ハ第五號表ニ代ヘ艤裝數ニ應ジ第六號表ニ定ムルモノヲ備フベシ

前項ノ船舶ニ備フル大錨索以外ノ錨索ノ長サハ第六號表ニ定ムル大錨索ノ長サニ等シクシ其ノ徑ハ其ノ錨重ニ應ジ第七號表ノ定ムル所ニ依ル

第百三十條　第四號表及第五號表ニ定ムル中錨ノ鎖又ハ鋼索ハ相當ノ大サノ麻索又ハ棕梠索ヲ以テ之ニ代用シ又同表中挽索ノ麻索ハ相當ノ大サノ棕梠索ヲ以テ之ニ代用スルモ妨ナシ

第百三十一條　錨鎖ハ衰耗ノ最モ甚シキ箇所ニ於ケル平均ノ徑ガ其ノ原徑ニ應ジ第八號表ニ定ムルモノ以下トナリタルトキハ之ヲ使用スベカラズ

第百三十二條　總噸數三十噸未滿ノ帆船、淺漑船、總噸數二十噸以上ノ旅客船ヲ除キタル平水ノ航行區域ヲ有スル船舶及湖川港內ノモノヲ航行スル船舶ニ付テハ錨數、錨量竝ニ錨鎖、大索等ノ徑及長サハ管海官廳ニ於テ適當ト認ムル程度迄之ヲ減ズルコトヲ得

第百三十三條　錨ハ常時使用セザルモノト雖モ取出シ易キ場所ニ備置クベシ

重量一五〇キログラム以上ノ錨ヲ備フル船舶ニハ適當ナル揚錨ノ設備ヲ爲スベシ

第二章　操舵設備

第百三十四條　長サ六〇メートルヲ超ユル汽船ニハ動力ニ依ル操舵裝置ヲ備フベシ

第百三十五條　手用操舵具ヲ常用スル船舶ニハ操舵索一揃ヲ備フベシ但シ平水ノ航行區域ヲ有スル船舶及總噸數五十噸未滿ノ船舶ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

第二節　航空法

第五款　船舶

ルモノハ此ノ限ニ在ラズ

五　管又ハ樋ノ内部ニ於テハ電線ニ接續點ヲ設ケザルコト

六　鐵製ノ管又ハ樋ハ酸化作用ヲ防止スル爲亞鉛鍍ヲ施スカ又ハ「エナメル」等ヲ以テ被覆スルコト

七　濕氣アル場所又ハ壁内ニ設置スル管又ハ樋ハ其ノ内部ニ濕氣ノ浸入スル事ヲ防ギ爲接手其ノ他ノ附屬品ニ適當ナル防濕裝置ヲ施スコト

第百九十八條　電纜又ハ鉛被電線ガ甲板又ハ水密隔壁ヲ貫通スル部分ニハ甲板管又ハ水密「グランド」ヲ備ヘ導又ハ水密ナラザル隔壁ヲ貫通スル部分ニハ鉛其ノ他ノ軟質非鐵物質ノ袋輪ヲ備フベシ

第百九十九條　電氣使用場所ニ於ケル電線ハ適當ニ分岐シ且分岐點ニ近キ適所ニ於テ各分岐回路ノ各極ニ開閉器及自働遮斷器ヲ裝設スベシ

前項ノ各分岐回路ヨリ更ニ分岐スル二線式電路ニ備フル開閉器及自働遮斷器ハ單極ニ之ヲ裝設スルコトヲ得

第二百條　汽機室及汽罐室内ノ配線ハ各獨立ノ分岐回路ト爲スベシ

第二百一條　橋燈、檣燈、兩色燈、三色燈及船尾燈ニ對シテハ燈毎ニ獨立ノ配線ト爲シ別箇ノ開閉器及自働遮斷器ニ依リ制御シ得ル裝置ト爲スベシ

前項ノ開閉器及自働遮斷器ハ航海燈檯上ニ之ヲ集合設置スベシ又船燈ガ電球ノ纖條ノ切斷其ノ他ノ原因ニ因リ減ジタル場合ニハ之ヲ自働的ニ表示スル設備ヲ爲スベシ

管海官廳ハ差支ナシト認ムル場合ニ於テハ前二項ノ規定ノ適用ヲ揭酌スルコトヲ得

第二百二條　應急送電裝置ヲ要スル船舶ニ在リテハ應急送電路ハ主電源ヨリ應急電源ニ急速ニ切換ヘ得ル裝置ト爲スベシ

第三章　特殊場所ニ於ケル設備

第二百三條　濕氣アル場所又ハ雨露ニ暴露スル場所ニ設置スル電氣設備ニハ適當ナル防濕又ハ防水裝置ヲ施スベシ

第二百四條　石炭庫其ノ他塵埃アル場所ニ於ケル電氣設備ハ左ノ各號ニ依ル

一　配線ハ鎧裝電纜又ハ金屬製管ニ藏メタル第四種電線ナルコト

二　開閉器、自働遮斷器其ノ他ノ器具ハ適當ナル防爆裝置ヲ有スルモノナルコト

三　電球承口ハ無鍵承口ナルコト

第二百五條　腐蝕性ノ瓦斯又ハ溶液ノ發散スル場所ニ於ケル電氣設備ニハ瓦斯若ハ溶液ノ爲侵サレザル樣適當ナル檜裝其ノ他ノ適當ナル防方法ヲ施スコトヲ要ス

第二百六條　爆發又ハ燃燒シ易キ危險ナル物質ヲ發生又ハ貯藏スル場所ニ於ケル電氣設備ハ左ノ各號ニ依ル

一　配線ハ鎧裝電纜又ハ金屬製線樋若ハ金屬製管ニ藏メタル第四種電線ナルコト

二　電線ハ接線ナルコト但シ短小ナル管若ハ樋内ニ藏ムルモノ又ハ徑二ミリメートル以下ノモノハ此ノ限ニ在ラズ

三　管又ハ樋ノ接續ハ電氣的ニ完全ニシテ且振動ニ依リ破損セザルモノナルコト

四　管又ハ樋ハ接地スルコト但シ短小ナル管又ハ樋ニシテ乾燥シタル場所ニ設置スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

三　電球承口ハ無鍵承口ナルコト

四　電球ニハ氣密ナル外球ヲ裝置シ且堅固ナル外裝ヲ施スコト

五　電動機ハ火花ヲ發スル部分ヲ有セザルモノ又ハ火花ヲ發スル部分ニ適當ナル保安裝置ヲ特ニ施シタルモノニ限リ之ヲ使用スルコト

六　電線ト機械又ハ器具トノ接續ハ電氣的ニ完全ニシテ且振動ニ因リ弛緩セザル樣堅固ニ取附ケタルモノナルコト

第二百七條　磁氣羅針儀ニ接近スル電氣設備ハ羅針儀ニ有害ナル影響ヲ及ボサザル樣設置スルコトヲ要ス

附　則

第二百八條　本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二百九條　本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル端艇及端艇鉤ハ本令ノ規定ニ適合セザルモノト雖モ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ引續キ當該船舶ニ備フル場合ニ限リ本令ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

前項ノ端艇ニ付テハ其ノ容積ハ船舶檢査規程ニ依リ算定シタル容積ヲ立方メートルニ換算シタルモノヲ以テ、其ノ定員ハ同規程ニ依リ算定シタルモノヲ以テ第五條又ハ第八條及第九條ノ規定ニ依リ算定シタル容積及定員ト看做ス

前二項ノ規定ハ昭和六年七月一日以後ニ龍骨ヲ据附ケタル國際航海ニ從事スル旅客船ニシテ近海以上ノ航行區域ヲ有スルモノニ付テハ之ヲ適用セズ

第二百十條　國際航海ニ從事スル旅客船ニシテ昭和六年六月三十日以前ニ龍骨ヲ据附ケタルモノニ付テハ第百九十八條ノ規定ニ拘ラズ其ノ船舶ニ備フル鎧、鎖及索ノ數、重量、徑又ハ長サニ付テハ仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

第二百十一條　本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル救命艇ニ代用セシムルコトヲ得

第二百十二條　國際航海ニ從事スル旅客船ニシテ近海以上ノ航行區域ヲ有スルモノヲ除キ本令施行前製造シタル船舶ニ付管海官廳ニ於テ本令ニ依リ救命設備ヲ備フルコト實際上困難ナリト認メタルトキハ近海以上ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ在リテハ本令施行後二年、其ノ他ノ船舶ニ在リテハ四年以内ニ於テ行フ最後ノ中間檢査又ハ定期檢査ノ時期迄其ノ設備ニ付仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

第二百十三條　本令施行ノ際現ニ存スル旅客室ニ付テハ左ニ揭グル事項ニ關シ仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

一　室ノ高サ、通路及梯子ノ幅竝ニ客席ト甲板又ハ上層客席トノ間ノ高サ

二　移民搭載場所トシテ使用スル旅客室ニ付テハ雜居客室ノ通風裝置及病室ノ設備

三　旅客定員ノ算定ニ用ウル單位容積及單位面積但シ旅客室ノ現狀其ノ他旅客定員ノ算定ニ關スル船舶ニ備フル場合ニ限リ本令ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

第二百十四條　前條第一號ノ規定ハ船員室及船員又ハ旅客ニ非ザル者ノ居室ニ之ヲ準用ス

第二百十五條　本令施行前製造シタル旅客船ノ舷墻又ハ欄欄ノ高サニ付テハ仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

第二百十六條　本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル錨、錨鎖及索ノ數、重量、徑又ハ長サニ付テハ仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル錨、錨鎖、鋼索、操舵鎖又ハ操舵鋼索ニ付テハ之ヲ引續キ當該船舶ニ備フル場合ニ限リ第百二十八條又ハ第百三十七條第二項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第二百十七條　本令施行後一年以内ニ新ニ船舶ニ備附ケル救命筏、救命浮器、救命索發射器、信號紅焰、火災警報裝置、防毒面、安全燈、移動式泡消火器、携帶用泡消火器及油信號燈ハ本令ノ規定ニ適合セザルモノト雖モ管海官廳ニ於テ適當ト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

第二百十八條　本令施行ノ際現ニ船舶ニ備ヘ又ハ前條ノ規定ニ依リ船舶ニ備ヘタル救命筏、救命浮器、救命索發射器、信號紅焰、火災警報裝置、防毒面、安全燈、移動式泡消火器、携帶用泡消火器及油信號燈ハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ引續キ當該船舶ニ備フル場合ニ限リ本令ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

第二百十九條　第百四十六條ノ規定ニ依ル無線方位測定機ハ昭和十二年九月十日ヲ限リ管海官廳ニ於テ其ノ備附ヲ猶豫スルコトヲ得

コト

第二章　配線工事

第百九十二條　配線ハ電纜、鉛被電線又ハ金屬製管、金屬製線樋若ハ木製線樋ニ藏メタル絕緣電線ナルコトヲ要ス

第百九十三條　配線ハ徑一・六ミリメートル以上ノ軟銅線ナルコトヲ要ス但シ使用場所又ハ工事ノ方法ニ依リ適當ニ之ヲ揭酌スルコトヲ得

第百九十四條　電纜ノ金屬被覆及鉛被電線ノ鉛被ハ接地スルコトヲ要ス

第百九十五條　他動的損傷ヲ受クル虞アル場所ニハ鎧裝電纜又ハ適當ナル保護裝置ヲ有スル鉛被電線ヲ使用スルコトヲ要ス

第百九十六條　木製線樋ヲ用ウル配線工事ハ乾燥セル場所ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ配線工事ハ左ノ各號ニ依ル

一　電線ハ第四種電線ナルコト

二　線樋内ニ於テハ電線ニ接續點ヲ設ケザルコト

三　線樋ハ乾燥シタル堅緻ナル木材ヲ以テ製作シ其ノ内外面ニ耐水性ノ塗料ヲ施スコト

第百九十七條　金屬製管又ハ金屬製線樋ヲ用ウル配線工事ハ左ノ各號ニ依ル

一　電線ハ第四種電線ナルコト

二　電線ハ撚線ナルコト但シ短小ナル管若ハ樋内ニ藏ムルモノ又ハ徑二ミリメートル以下ノモノハ此ノ限ニ在ラズ

三　管又ハ樋ノ接續ハ電氣的ニ完全ニシテ且振動ニ依リ破損セザルモノナルコト

四　管又ハ樋ハ接地スルコト但シ短小ナル管又ハ樋ニシテ乾燥シタル場所ニ設置スル場合ニハ此ノ限ニ在ラズ

三　電球承口ハ無鍵承口ナルコト

四　電球ニハ氣密ナル外球ヲ裝置シ且堅固ナル外裝ヲ施スベシ

五　電動機ハ火花ヲ發スル部分ヲ有セザルモノ又ハ火花ヲ發スル部分ニ適當ナル保安裝置ヲ施シタルモノニ限リ之ヲ使用スルコト

六　電線ト機械又ハ器具トノ接續ハ電氣的ニ完全ニシテ且振動ニ因リ弛緩セザル樣堅固ニ取附ケタルモノナルコト

第百九十八條　電纜又ハ鉛被電線ガ甲板又ハ水密隔壁ヲ貫通スル部分ニハ甲板管又ハ水密「グランド」ヲ備ヘ導又ハ水密ナラザル隔壁ヲ貫通スル部分ニハ鉛其ノ他ノ軟質非鐵物質ノ袋輪ヲ備フベシ

第百九十九條　電氣使用場所ニ於ケル電線ハ適當ニ分岐シ且分岐點ニ近キ適所ニ於テ各分岐回路ノ各極ニ開閉器及自働遮斷器ヲ裝設スベシ

前項ノ各分岐回路ヨリ更ニ分岐スル二線式電路ニ備フル開閉器及自働遮斷器ハ單極ニ之ヲ裝設スルコトヲ得

第二百條　汽機室及汽罐室内ノ配線ハ各獨立ノ分岐回路ト爲スベシ

第二百一條　橋燈、檣燈、兩色燈、三色燈及船尾燈ニ對シテハ燈毎ニ獨立ノ配線ト爲シ別箇ノ開閉器及自働遮斷器ニ依リ制御シ得ル裝置ト爲スベシ

前項ノ開閉器及自働遮斷器ハ航海燈檯上ニ之ヲ集合設置スベシ又船燈ガ電球ノ纖條ノ切斷其ノ他ノ原因ニ因リ減ジタル場合ニハ之ヲ自働的ニ表示スル設備ヲ爲スベシ

管海官廳ハ差支ナシト認ムル場合ニ於テハ前二項ノ規定ノ適用ヲ揭酌スルコトヲ得

第二百二條　應急送電裝置ヲ要スル船舶ニ在リテハ應急送電路ハ主電源ヨリ應急電源ニ急速ニ切換ヘ得ル裝置ト爲スベシ

第三章　特殊場所ニ於ケル設備

第二百三條　濕氣アル場所又ハ雨露ニ暴露スル場所ニ設置スル電氣設備ニハ適當ナル防濕又ハ防水裝置ヲ施スベシ

第二百四條　石炭庫其ノ他塵埃アル場所ニ於ケル電氣設備ハ左ノ各號ニ依ル

一　配線ハ鎧裝電纜又ハ金屬製管ニ藏メタル第四種電線ナルコト

二　開閉器、自働遮斷器其ノ他ノ器具ハ適當ナル防爆裝置ヲ有スルモノナルコト

三　電球承口ハ無鍵承口ナルコト

第二百五條　腐蝕性ノ瓦斯又ハ溶液ノ發散スル場所ニ於ケル電氣設備ニハ瓦斯若ハ溶液ノ爲侵サレザル樣適當ナル檜裝其ノ他ノ適當ナル防方法ヲ施スコトヲ要ス

第二百六條　爆發又ハ燃燒シ易キ危險ナル物質ヲ發生又ハ貯藏スル場所ニ於ケル電氣設備ハ左ノ各號ニ依ル

一　配線ハ鎧裝電纜又ハ金屬製線樋若ハ金屬製管ニ藏メタル第四種電線ナルコト

二　電線ハ撚線ナルコト但シ短小ナル管若ハ樋内ニ藏ムルモノ又ハ徑二ミリメートル以下ノモノハ此ノ限ニ在ラズ

三　管又ハ樋ノ接續ハ電氣的ニ完全ニシテ且振動ニ依リ破損セザルモノナルコト

四　管又ハ樋ハ接地スルコト但シ短小ナル管又ハ樋ニシテ乾燥シタル場所ニ設置スル場合ニハ此ノ限ニ在ラズ

五　管又ハ樋ノ内部ニ於テハ電線ニ接續點ヲ設ケザルコト

六　鐵製ノ管又ハ樋ハ酸化作用ヲ防止スル爲亞鉛鍍ヲ施スカ又ハ「エナメル」等ヲ以テ被覆スルコト

七　濕氣アル場所又ハ壁内ニ設置スル管又ハ樋ハ其ノ内部ニ濕氣ノ浸入スル事ヲ防ギ爲接手其ノ他ノ附屬品ニ適當ナル防濕裝置ヲ施スコト

第二百七條　磁氣羅針儀ニ接近スル電氣設備ハ羅針儀ニ有害ナル影響ヲ及ボサザル樣設置スルコトヲ要ス

附　則

第二百八條　本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二百九條　本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル端艇及端艇鉤ハ本令ノ規定ニ適合セザルモノト雖モ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ引續キ當該船舶ニ備フル場合ニ限リ本令ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

第二百十條　國際航海ニ從事スル旅客船ニシテ昭和六年六月三十日以前ニ龍骨ヲ据附ケタルモノニ付テハ第百九十八條ノ規定ニ拘ラズ其ノ船舶ニ備フル鎧、鎖及索ノ數、重量、徑又ハ長サニ付テハ仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

第二百十一條　本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル救命艇ニ代用セシムルコトヲ得

第二百十二條　國際航海ニ從事スル旅客船ニシテ近海以上ノ航行區域ヲ有スルモノヲ除キ本令施行前製造シタル船舶ニ付管海官廳ニ於テ本令ニ依リ救命設備ヲ備フルコト實際上困難ナリト認メタルトキハ近海以上ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ在リテハ本令施行後二年、其ノ他ノ船舶ニ在リテハ四年以内ニ於テ行フ最後ノ中間檢査又ハ定期檢査ノ時期迄其ノ設備ニ付仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

第二百十三條　本令施行ノ際現ニ存スル旅客室ニ付テハ左ニ揭グル事項ニ關シ仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

一　室ノ高サ、通路及梯子ノ幅竝ニ客席ト甲板又ハ上層客席トノ間ノ高サ

二　移民搭載場所トシテ使用スル旅客室ニ付テハ雜居客室ノ通風裝置及病室ノ設備

三　旅客定員ノ算定ニ用ウル單位容積及單位面積但シ旅客室ノ現狀其ノ他旅客定員ノ算定ニ關スル船舶ニ備フル場合ニ限リ本令ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

第二百十四條　前條第一號ノ規定ハ船員室及船員又ハ旅客ニ非ザル者ノ居室ニ之ヲ準用ス

第二百十五條　本令施行前製造シタル旅客船ノ舷墻又ハ欄欄ノ高サニ付テハ仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

第二百十六條　本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル錨、錨鎖及索ノ數、重量、徑又ハ長サニ付テハ仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル錨、錨鎖、鋼索、操舵鎖又ハ操舵鋼索ニ付テハ之ヲ引續キ當該船舶ニ備フル場合ニ限リ第百二十八條又ハ第百三十七條第二項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第二百十七條　本令施行後一年以内ニ新ニ船舶ニ備附ケル救命筏、救命浮器、救命索發射器、信號紅焰、火災警報裝置、防毒面、安全燈、移動式泡消火器、携帶用泡消火器及油信號燈ハ本令ノ規定ニ適合セザルモノト雖モ管海官廳ニ於テ適當ト認ムルモノニ限リ仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

第二百十八條　本令施行ノ際現ニ船舶ニ備ヘ又ハ前條ノ規定ニ依リ船舶ニ備ヘタル救命筏、救命浮器、救命索發射器、信號紅焰、火災警報裝置、防毒面、安全燈、移動式泡消火器、携帶用泡消火器及油信號燈ハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ引續キ當該船舶ニ備フル場合ニ限リ本令ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

第二百十九條　第百四十六條ノ規定ニ依ル無線方位測定機ハ昭和十二年九月十日ヲ限リ管海官廳ニ於テ其ノ備附ヲ猶豫スルコトヲ得

第一號表　端艇表

船ノ長サ（米）	端艇鉤ノ最小組數	救命艇ノ最小容積（立方米）						
		(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)	(ヘ)	(ト)
三一未滿	二	二	—	—	—	—	—	六
三一以上三七未滿	二	二	二	—	三八	一二	三三	九
三七	二	二	二	二	三五	一七	二八	一二
四三	二	二	二	二	四四	二四	三五	一七
四九	二	二	二	二	四四	二四	三五	一七
五三	三	三	二	二	五二	二九	四一	一九
五八	三	三	二	二	五二	二九	四一	一九
六三	四	四	二	二	六〇	三四	四七	二二
六七	四	四	二	二	六〇	三四	四七	二二
七〇	四	四	二	二	六〇	三四	四七	二二
七五	四	四	二	二	六八	三七	五三	二五
七八	四	四	二	二	六八	三七	五三	二五
八二	五	五	二	二	七六	四二	五九	二八
八七	五	五	二	二	七六	四二	五九	二八
九一	五	五	二	二	八四	四七	六五	三一
九六	六	六	二	二	八四	四七	六五	三一
一〇一未滿	六	六	二	二	九一	五一	七一	三四
一〇一以上一〇五未滿	六	六	二	二	九一	五一	七一	三四
一〇五以上	七	七	二	二	九九	五六	七七	三七

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第四號表

汽船、錨、鎖及大索表

船舶ノ種類	船鋼 エ延ヲ	船鋼 下以	船木 エ延ヲ	船木 下以	錨数 大	錨数 中	錨量（有鋼錨ハ其ノ量ヲ除ク） 錨 大 量単	錨 大 量合	錨大 鉄無 量単	錨大 鉄無 量合	錨 中 量単	鎖錨大 サ長 米	鎖錨大 径 粍	中錨用又鎖ハ索鋼 サ長 米	中錨用又鎖ハ索鋼 鎖 径 粍	中錨用又鎖ハ索鋼 索鋼 径 粍	索鋼ハ又索麻索 サ長 米	索鋼ハ又索麻索 麻索 径 粍	索鋼ハ又索麻索 索鋼 径 粍	索麻索 大 サ長 米	索麻索 大 数	索麻索 大 索麻 径 粍	索麻索 大 索鋼 径※ 粍	索麻索 小 数	索麻索 小 索麻 径 粍	索麻索 小 索鋼 径※ 粍
80 — 90	40	55	2	—	50	100	65	130	—	100	12	—	—	—	110	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
90 — 105	55	70	2	—	65	130	80	160	—	125	13	—	—	—	110	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
105 — 140	70	100	2	—	75	150	95	190	—	150	14	—	—	—	110	32	—	80	1	20	—	—	—	—	—	—
140 — 175	100	140	2	1	100	200	125	250	25	175	16	75	10	—	135	35	—	110	1	22	—	—	—	—	—	—
175 — 220	140	225	2	1	140	280	175	350	40	200	17	75	11	—	135	40	—	135	1	22	—	—	—	—	—	—
220 — 280	225	325	2	1	180	355	230	445	40	225	18	75	13	—	135	45	16	165	1	24	—	—	—	—	—	—
280 — 335	325	425	2	1	215	430	265	530	65	225	19	75	14	16	135	45	16	165	1	32	—	—	—	—	—	—
335 — 390	425	525	2	1	255	510	320	635	90	250	21	100	15	18	135	50	18	165	1	32	—	—	—	—	—	—
390 — 445	525	650	2	1	290	580	370	725	115	300	22	100	16	18	135	50	18	165	1	32	—	—	—	—	—	—
445 — 500	650	780	2	1	330	660	420	825	140	300	24	100	16	18	135	55	20	165	1	40	14	—	—	—	—	—
500 — 555	780	920	2	1	370	735	470	915	150	300	25	100	17	20	135	60	20	165	1	45	16	—	—	—	—	—
555 — 620	920	1075	3	1	420	1195	520	1485	180	300	27	100	18	22	135	60	20	165	1	45	16	—	—	—	—	—
620 — 685	1075	1230	3	1	510	1450	625	1805	205	350	29	100	19	22	135	65	22	165	1	45	16	—	—	—	—	—
685 — 750	1230	1415	3	1	595	1700	735	2120	215	350	30	100	20	24	135	70	22	165	1	50	18	—	—	—	—	—
750 — 825	1415	1645	3	1	685	1955	850	2440	240	375	32	100	21	24	135	70	22	165	1	50	18	1	32	—	—	—
825 — 900	1645	1925	3	1	775	2210	965	2755	265	375	34	125	22	26	165	75	24	165	1	50	18	1	40	14	—	—
900 — 985	1925	2240	3	1	865	2465	1080	3075	290	400	34	125	22	26	165	75	24※	165	1	50	18	1	40	14	—	—
985 — 1075	2240	2580	3	1	950	2720	1180	3390	305	400	36	125	23	28※	165	—	26	165	1	50	18	1	40	14	—	—
1075 — 1180	2580	2945	3	1	1040	2970	1295	3710	330	400	38	125	24	28	165	—	26	165	1	50	18	1	40	14	—	—
1180 — 1290	2945	3400	3	1	1145	3250	1425	4065	355	450	40	125	25	30	165	—	26	165	1	50	18	1	40	14	—	—
1290 — 1410	3400	3910	3	1	1245	3530	1550	4420	395	450	42	125	25	30	165	—	26	165	2	50	18	2	40	14	—	—
1410 — 1550	3910	4475	3	1	1345	3810	1675	4775	430	450	2	150	27	32	165	—	28	165	2	50	18	2	40	14	—	—
1550 — 1720	4475	5155	3	1	1450	4115	1805	5130	470	450	44	150	27	32	165	—	28	165	2	50	18	2	50	14	—	—
1720 — 1915	—		3	1	1575	4470	1970	5590	510	450	46	150	28	34	165	—	32	165	2	60	20	2	50	18	—	—
1915 — 2110	—		3	1	1700	4850	2135	6070	560	450	48	150	29	34	185	—	32	165	2	60	20	2	50	18	—	—
2110 — 2320	—		3	1	1830	5235	2285	6500	610	500	48	150	29	34	185	—	32	165	2	60	20	2	50	18	—	—
2320 — 2535	—		3	1	1980	5640	2475	7060	660	500	50	175	30	36	220	—	32	165	2	60	20	2	55	20	—	—
2535 — 2760	—		3	1	2135	6070	2665	7595	710	500	52	175	30	36	220	—	36	165	2	60	20	2	55	20	—	—
2760 — 2990	—		3	1	2255	6500	2860	8130	760	500	54	175	30	36	220	—	36	165	2	60	20	2	55	20	—	—
2990 — 3235	—		3	1	2440	6935	3050	8660	825	500	56	175	32	38	220	—	38	165	2	65	22	2	60	20	—	—
3235 — 3495	—		3	1	2590	7390	3240	9245	890	500	58	175	32	38	220	—	40↓	165	2	65	22	2	60	20	—	—
3495 — 3755	—		3	1	2770	7900	3455	9880	965	500	58	175	34	40	220	—	38↑	165	2	65	22	2	60	20	—	—
3755 — 4015	—		3	1	2945	8410	3685	10515	1040	550	60	225	34	40	240	—	40	185	2	65	22	2	65	22	—	—
4015 — 4275	—		3	1	3125	8915	3910	11150	1120	550	62	225	34	40↓	240	—	42	185	2	65	22	2	65	22	—	—
4275 — 4535	—		3	1	3300	9425	4130	11785	1195	550	64	225	36	38↑	240	—	44	185	2	65	22	2	65	22	—	—
4535 — 4795	—		3	1	3480	9920	4345	12420	1270	550	66	225	36	38	240	—	44	185	2	65	22	2	65	22	—	—
4795 — 5070	—		3	1	3655	10460	4570	13080	1345	550	66	225	36	38	240	—	44	185	2	65	22	2	65	22	—	—
5070 — 5350	—		3	1	3860	11020	4825	13770	1425	600	68	225	38	44	240	—	52	185	2	65	22	2	65	22	—	—
5350 — 5630	—		3	1	4065	11580	5080	14480	1500	600	70	225	38	44	240	—	52⊗	220	2	65	22	2	65	22	—	—
5630 — 5925	—		3	1	4240	12090	5310	15140	1575	600	70	225	40	44	240	—	52	220	2	65	22	2	65	22	—	—
5925 — 6225	—		3	1	4420	12600	5535	15800	1650	600	72	225	42	44	240	—	52	220	2	65	22	2	65	22	—	—
6225 — 6520	—		3	1	4620	13150	5765	16460	1730	600	74	275	42	48⊗	255	—	55	220	3	65	22	2	65	22	—	—
6520 — 6820	—		3	1	4800	13660	5995	17070	1805	600	76	275	44	48	255	—	55	220	3	65	22	2	65	22	—	—
6820 — 7135	—		3	1	4980	14170	6225	17730	1895	600	78	275	46	48	255	—	55	220	3	65	22	2	65	22	—	—
7135 — 7450	—		3	1	5155	14730	6450	18390	1980	600	80	275	46	48	255	—	58	220	3	65	22	3	65	22	—	—
7450 — 7785	—		3	1	5360	15290	6705	19100	2070	600	82	275	48	52	255	—	58	220	3	65	22	3	65	22	—	—
7785 — 8140	—		3	1	5560	15850	6960	19810	2160	600	82	275	48	52	255	—	58↓	220	3	65	22	3	65	22	—	—
8140 — 8510	—		3	1	5765	16460	7215	20530	2250	600	85	275	48	52	275	—	65↑	220	3	65	22	3	65	22	—	—
8510 — 8900	—		3	1	5995	17070	7495	21340	2335	600	85	275	50	52	275	—	65	220	3	65	22	3	65	22	—	—
8900 — 9310	—		3	1	6225	17730	7775	22150	2425	600	88	275	52	58	275	—	65⊗	220	3	65	22	3	65	22	—	—
9310 — 9755	—		3	1	6450	18390	8075	22960	2515	600	91	275	52	58↓	275	—	65↓	220	3	65	22	3	65	22	—	—

備考　表中ノ※印ハ鋼索ハ二十二本線六ツ撚柔軟鋼索ヲ、⊗印ハ鋼索ハ二十四本線六ツ撚特別柔軟鋼索ヲ又⊠印ハ鋼索ハ三十本線六ツ撚特別柔軟鋼索ヲ使用シタル場合ノ寸法トス

第六號表

船舶ノ噸數	錨	船	木	數	大	中	小	錨	大	重サ	中	重サ	小	重サ	径	大	長サ	径	中	長サ	径	小	長サ	径
噸	噸	噸	噸					噸	噸	瓦	噸	瓦	噸	瓦	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎
50—65	下同	40—55	下同	2	—	—	—	150	100	75	—	—	—	—	12	125	150	150	125	125	125	100	100	100
65—80				2	1	—	—	180	125	90	—	—	—	—	14	150	175	175	150	150	150	125	125	125
80—95		55—70		2	1	—	—	220	150	110	—	—	—	—	16	175	200	200	175	175	175	150	150	150
95—115		70—100		2	1	—	—	260	180	130	—	—	—	—	17	200	225	225	200	200	200	175	175	175
115—150		100—140		2	1	—	—	310	215	155	—	—	—	—	18	225	250	250	225	225	225	200	200	200
150—195		140—210		3	1	—	—	370	255	185	—	—	—	—	19	250	275	275	250	250	250	225	225	225
195—220		210—285		3	1	1	—	430	290	215	150	110	—	—	21	275	300	300	275	275	275	250	250	250
220—280		285—355		3	1	1	—	510	350	255	180	130	—	—	22	300	325	325	300	300	300	275	275	275
280—315		355—425		3	1	1	1	580	400	290	200	145	100	75	24	325	350	350	325	325	325	300	300	300
315—360		425—495		3	2	1	1	660	460	330	230	165	115	85	25	350	375	375	350	350	350	325	325	325
360—400		495—565		3	2	1	1	735	510	370	255	185	125	95	27	375	400	400	375	375	375	350	350	350
400—445		565—710		3	2	1	1	820	570	420	285	210	140	105	29	400	425	425	400	400	400	375	375	375
445—490		710—850		3	2	1	1	900	630	460	315	230	155	115	30	425	450	450	425	425	425	400	400	400
490—550		850—990		3	2	1	1	1010	710	510	355	255	175	130	32	450	475	475	450	450	450	425	425	425
550—605		990—1135		3	2	1	1	1110	780	560	390	280	195	140	34	475	500	500	475	475	475	450	450	450
605—660		1135—1275		3	2	1	1	1220	850	610	425	305	210	155	36	500	525	525	500	500	500	475	475	475
660—715		1275—1415		3	2	1	1	1320	930	660	460	330	230	165	38	525	550	550	525	525	525	500	500	500
715—780		1415—1700		3	2	1	1	1430	1000	715	500	360	250	180	40	550	575	575	550	550	550	525	525	525
780—855		1700—1985		3	2	1	1	1540	1080	770	540	385	270	195	42	575	600	600	575	575	575	550	550	550
855—940		1985—2275		3	2	1	1	1650	1160	825	580	415	290	210	44	600	625	625	600	600	600	575	575	575
940—1030		2275—2550		3	2	1	1	1760	1230	880	615	440	310	220	46	625	650	650	625	625	625	600	600	600
1030—1145		2550—2825		3	2	1	1	1870	1310	935	655	470	330	235	48	650	675	675	650	650	650	625	625	625
1145—1265		2825—3400		3	2	1	1	1980	1390	990	695	495	350	250	50	675	700	700	675	675	675	650	650	650
1265—1400		3400—3965		3	2	1	1	2090	1470	1045	735	525	370	265	52	700	725	725	700	700	700	675	675	675
1400—1560		3965—4535		3	2	1	1	2200	1540	1100	770	550	390	280	54	725	750	750	725	725	725	700	700	700
1560—1730		—		3	2	1	1	2310	1620	1155	810	580	410	295	56	750	775	775	750	750	750	725	725	725
1730—1905		—		3	2	1	1	2420	1700	1210	850	605	430	310	58	775	800	800	775	775	775	750	750	750
1905—2110		—		3	2	1	1	2530	1780	1265	890	635	450	325	60	800	825	825	800	800	800	775	775	775
2110—2340		—		3	2	1	1	2640	1860	1320	930	660	470	340	62	825	850	850	825	825	825	800	800	800
2340—2510		—		3	2	1	1	2750	1930	1375	965	690	490	355	64	850	875	875	850	850	850	825	825	825
2510—2840		—		3	2	1	1	2860	2010	1430	1005	715	510	370	66	875	900	900	875	875	875	850	850	850

備考	錨	索	大	索鋼ヘ又ハ鉄ノ場合						索鋼ヘ又ハ鉄ノ場合						索鋼ヘ又ハ麻索ノ場合					
	噸	索	径	数		索		径		数		索		径		数		索		径	
	噸	索	径	大	小	索	径	糎	糎	大	小	索	径	糎	糎	大	小	索	径	糎	糎
該表中※印ハ鋼索ヲ使用スル場合ノ寸法ヲ示ス	50—65	長サ	糎	2	1	鋼	糎	1.2	1.0	2	1	鋼	糎	1.2	1.0	2	1	麻	糎	3.6	3.0
	65—80	125	12	2	1	鋼	糎	1.4	1.2	2	1	鋼	糎	1.4	1.2	2	1	麻	糎	4.2	3.6
	80—95	150	14	2	1	鋼	糎	1.6	1.4	2	1	鋼	糎	1.6	1.4	2	1	麻	糎	4.8	4.2
	95—115	175	16	2	1	鋼	糎	1.8	1.6	2	1	鋼	糎	1.8	1.6	2	1	麻	糎	5.4	4.8
	115—150	200	17	2	1	鋼	糎	2.0	1.8	2	1	鋼	糎	2.0	1.8	2	1	麻	糎	6.0	5.4
	150—195	225	18	2	1	鋼	糎	2.2	2.0	2	1	鋼	糎	2.2	2.0	2	1	麻	糎	6.6	6.0
	195—220	250	21	2	1	鋼	糎	2.4	2.2	2	1	鋼	糎	2.4	2.2	2	1	麻	糎	7.2	6.6
	220—280	300	22	2	1	鋼	糎	2.6	2.4	2	1	鋼	糎	2.6	2.4	2	1	麻	糎	7.8	7.2
	280—315	325	24	2	1	鋼	糎	2.8	2.6	2	1	鋼	糎	2.8	2.6	2	1	麻	糎	8.4	7.8
	315—360	350	25	2	1	鋼	糎	3.0	2.8	2	1	鋼	糎	3.0	2.8	2	1	麻	糎	9.0	8.4
	360—400	375	27	2	1	鋼	糎	3.2	3.0	2	1	鋼	糎	3.2	3.0	2	1	麻	糎	9.6	9.0
	400—445	400	29	2	1	鋼	糎	3.4	3.2	2	1	鋼	糎	3.4	3.2	2	1	麻	糎	10.2	9.6
	445—490	425	30	2	1	鋼	糎	3.6	3.4	2	1	鋼	糎	3.6	3.4	2	1	麻	糎	10.8	10.2
	490—550	450	32	2	1	鋼	糎	3.8	3.6	2	1	鋼	糎	3.8	3.6	2	1	麻	糎	11.4	10.8
	550—605	475	34	2	1	鋼	糎	4.0	3.8	2	1	鋼	糎	4.0	3.8	2	1	麻	糎	12.0	11.4
	605—660	500	36	2	1	鋼	糎	4.2	4.0	2	1	鋼	糎	4.2	4.0	2	1	麻	糎	12.6	12.0
	660—715	525	38	2	1	鋼	糎	4.4	4.2	2	1	鋼	糎	4.4	4.2	2	1	麻	糎	13.2	12.6
	715—780	550	40	2	1	鋼	糎	4.6	4.4	2	1	鋼	糎	4.6	4.4	2	1	麻	糎	13.8	13.2
	780—855	575	42	2	1	鋼	糎	4.8	4.6	2	1	鋼	糎	4.8	4.6	2	1	麻	糎	14.4	13.8
	855—940	600	44	2	1	鋼	糎	5.0	4.8	2	1	鋼	糎	5.0	4.8	2	1	麻	糎	15.0	14.4
	940—1030	625	46	2	1	鋼	糎	5.2	5.0	2	1	鋼	糎	5.2	5.0	2	1	麻	糎	15.6	15.0
	1030—1145	650	48	2	1	鋼	糎	5.4	5.2	2	1	鋼	糎	5.4	5.2	2	1	麻	糎	16.2	15.6
	1145—1265	675	50	2	1	鋼	糎	5.6	5.4	2	1	鋼	糎	5.6	5.4	2	1	麻	糎	16.8	16.2
	1265—1400	700	52	2	1	鋼	糎	5.8	5.6	2	1	鋼	糎	5.8	5.6	2	1	麻	糎	17.4	16.8
	1400—1560	725	54	2	1	鋼	糎	6.0	5.8	2	1	鋼	糎	6.0	5.8	2	1	麻	糎	18.0	17.4
	1560—1730	750	56	2	1	鋼	糎	6.2	6.0	2	1	鋼	糎	6.2	6.0	2	1	麻	糎	18.6	18.0
	1730—1905	775	58	2	1	鋼	糎	6.4	6.2	2	1	鋼	糎	6.4	6.2	2	1	麻	糎	19.2	18.6
	1905—2110	800	60	2	1	鋼	糎	6.6	6.4	2	1	鋼	糎	6.6	6.4	2	1	麻	糎	19.8	19.2
	2110—2340	825	62	2	1	鋼	糎	6.8	6.6	2	1	鋼	糎	6.8	6.6	2	1	麻	糎	20.4	19.8
	2340—2510	850	64	2	1	鋼	糎	7.0	6.8	2	1	鋼	糎	7.0	6.8	2	1	麻	糎	21.0	20.4
	2510—2840	875	66	2	1	鋼	糎	7.2	7.0	2	1	鋼	糎	7.2	7.0	2	1	麻	糎	21.6	21.0

第六號表　日本形錨ヲ備フル帆船ノ錨、鎖索及大索表

船舶ノ噸數	錨數			錨鎖		大索		錨鎖（麻索又ハ鋼索）				大索（麻索）				錨鎖（麻索又ハ鋼索）				大索（麻索）			
	大錨	其ノ他	合計	合量	大錨	長サ	径	各ニルノ長サ	大錨ノ附鎖ヲ除ク	径	標索	長サ	径	大錨ノ附鎖ヲ除ク	径	標索	長サ	径	大錨ノ附鎖ヲ除ク	径	標索
噸				瓦	瓦	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎
40—55	2	1	3	75	205	24	32	55	110	28	—	165	20	24	32	55	110	28	—	165	20	24	32
55—70	2	2	4	95	320	28	40	65	110	32	—	165	20	28	40	65	110	32	—	165	20	28	40
70—100	2	2	4	115	395	32	45	75	110	35	—	165	20	32	45	75	110	35	—	165	20	32	45
100—140	2	3	5	130	565	35	45	80	135	35	—	165	22	35	45	80	135	35	—	165	22	35	45
140—210	2	3	5	170	750	45	60	90	135	40	14	165	24	45	60	90	135	40	14	165	24	45	60
210—285	2	4	6	205	1010	50	65	90	135	45	16	165	24	50	65	90	135	45	16	165	24	50	65
285—355	2	4	6	255	1240	55	75	110	135	45	16	165	24	55	75	110	135	45	16	165	24	55	75
355—425	2	4	6	300	1430	60	80	110	135	50	18	165	28	60	80	110	135	50	18	165	28	60	80
425—495	2	4	6	330	1610	65	—	125	135	55	18	165	32	65	—	125	135	55	18	165	32	65	—
495—565	2	4	6	360	1800	70	—	125	135	55	18	165	32	65	—	125	135	55	18	165	32	65	—

備考

※印鋼鎖索ハ十三本線六ツ撚鋼索ヲ使用シタル場合ノ寸法トス

第七號表　日本形錨ノ錨貫ト錨索對照表

錨貫	麻索径	標索径
瓦	糎	糎
30	18	24
40	20	28
50	20	28
60	22	30
70	24	32
80	24	32
90	26	35
100	28	40
110	30	40
120	32	45
130	35	45
140	40	55
150	40	55
160	40	55
170	45	60
180	45	60
190	45	60
200	50	65
210	50	65
220	50	65
230	52	70
240	52	70
250	55	75

第八號表　錨鎖衰耗限度表

原径	平均ノ径	原径	平均ノ径	原径	平均ノ径
糎	糎	糎	糎	糎	糎
9	8	26	23	56	50
10	9	27	24	58	52
11	10	28	25	60	53.5
12	11	29	26	62	55.5
13	11.5	30	27	64	57
14	12.5	32	28.5	66	59
15	13	34	30	68	61
16	14	36	32	70	62.5
17	15	38	34	72	64
18	16	40	36	74	66
19	17	42	37.5	76	68
20	18	44	39	78	70
21	19	46	41	80	71.5
22	19.5	48	43	82	73
23	20.5	50	44.5	85	76
24	21.5	52	46.5	88	78.5
25	22	54	48	91	81.5

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

●船舶信號規程

明治二十二年十二月勅令第百十四號

第一章　船舶信號

第一條　船舶ハ晝間左ノ信號ヲ掲ケ又ハ示スヘシ

一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケタル船舶ニ近寄ルトキ

二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケタル船舶ニ近寄ルトキ

三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケタル船舶ニ近寄ルトキ

四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

三十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

三十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

三十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

三十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

三十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

三十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

三十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

三十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

三十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

三十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

四十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

四十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

四十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

四十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

四十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

四十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

四十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

四十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

四十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

四十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

五十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

五十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

五十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

五十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

五十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

五十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

五十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

五十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

五十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

五十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

六十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

六十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

六十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

六十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

六十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

六十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

六十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

六十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

六十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

六十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

七十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

七十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

七十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

七十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

七十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

七十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

七十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

七十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

七十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

七十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

八十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

八十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

八十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

八十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

八十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

八十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

八十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

八十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

八十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

八十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

九十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

九十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

九十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

九十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

九十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

九十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

九十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

九十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

九十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

九十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百二十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百二十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百二十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百二十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百二十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百二十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百二十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百二十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百二十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百二十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百三十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百三十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百三十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百三十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百三十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百三十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百三十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百三十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百三十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百三十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百四十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百四十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百四十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百四十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百四十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百四十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百四十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百四十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百四十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百四十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百五十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百五十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百五十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百五十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百五十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百五十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百五十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百五十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百五十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百五十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百六十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百六十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百六十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百六十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百六十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百六十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百六十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百六十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百六十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百六十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百七十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百七十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百七十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百七十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百七十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百七十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百七十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百七十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百七十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百七十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百八十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百八十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百八十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百八十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百八十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百八十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百八十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百八十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百八十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百八十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百九十　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百九十一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百九十二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百九十三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百九十四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百九十五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百九十六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百九十七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百九十八　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

百九十九　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二百　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二百一　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二百二　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二百三　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二百四　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二百五　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二百六　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下ニ白色ノ圓形ヲ掲ケ又ハ示シタル船舶ニ近寄ルトキ

二百七　檣頭ニ紅色ノ圓形ヲ掲ケ其ノ下

$$\frac{72-\frac{M+2P_1}{V}}{P_1-P}$$

$$\frac{72-\frac{M+2P}{V}}{P}$$

$$\frac{3574-25L}{13}$$

$$\frac{58.2}{L-60}+0.18$$

$$\frac{30.3}{L-42}+0.18$$

$$A-\frac{(A-B)(C_8-23)}{100}$$

$$\frac{L^2}{650}$$

$$1-\frac{(1-B)(C_8-S)}{123-S}$$

$$l_1-\frac{(2\lambda-l_1)}{F_1}\frac{F_2}{}$$

$$\frac{F_1}{}$$

$$\frac{F_2}{}$$

ルモノヨリ更ニ和寄ナラシムルコトヲ得

第八十三條　管海官廳一定區域ノ航路ニ於テ臨時旅客又ハ甲板旅客ヲ運送スル船舶ニ付本令ノ規定ヲ適用スルコト實際上不可能ナリト認ムルトキハ當該航路及旅客ノ種類ヲ考慮シ適當ト認ムル程度迄之ヲ揭酌スルコトヲ得

附　則

第八十四條　本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八十五條　昭和六年六月三十日以前ニ龍骨ヲ据附ケ旅客船トシテ製造シタル船舶又ハ同日以前旅客船ニ變更シタル船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ其ノ本密區雖其ノ他ノ設備ヲ考慮シ實行不可能ニシテ且不適當ナリト認ムル限リ本令ニ依ラシメザルコトヲ得

●朝鮮木船構造規程

昭和十年二月
總令第二十五號

朝鮮木船構造規程左ノ通定ム

朝鮮木船構造規程

木船ノ船體ニ關シテハ昭和九年遞信省令第九號木船構造規程ニ依ル但シ同規程中船口覗布試驗規程トアルハ朝鮮船用晶試驗規程、艙口覗布試驗規程ニ於テ依ルコトヲ定メタル大正十一年遞信省令第六號艙口覗布試驗規程トス

附　則

本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル船舶及現ニ製造中ノ船舶ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

●木船構造規程

昭和九年二月
遞令第九號

木船構造規程左ノ通定ム

木船構造規程

目　次

第一章　總則
第二章　材料
第三章　龍骨、船首材、船尾材、舵柱、力材及船尾管胴材
第四章　肋骨
第五章　船首肘材及船尾肘材
第六章　內龍骨、側內厚板、側內龍骨及樽材
第七章　船釘、梁肘材、副梁肘材、梁受板、副梁受板、船側縱通材及內部腰板
第八章　梁及梁ノ配置
第九章　梁曲材
第十章　外板、艙壁及內張板
第十一章　甲板
第十二章　船首肘材及船尾肘材
第十三章　過當比例ノ船舶
第十四章　甲板口及船側口
第十五章　固著釘及固著法
第十六章　墩緊及船底包板
第十七章　機關室
第十八章　船樓及甲板室
第十九章　橋、帆架及斜橋
第二十章　通風間隙及淦水路
第二十一章　排水裝置及諸管
第二十二章　操舵機具及揚錨、揚貨、繫船等ノ裝置
第二十三章　油運搬船
第二十四章　附　則

木船構造規程

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ上甲板トハ最上層ノ甲板チ謂ヒ第二甲板トハ第二層ノ甲板チ謂フ

第二條　本令ニ於テ重甲板船トハ其ノ上甲板下ニ重量ノ貨物ヲ積載シ得ル船舶チ謂フ

本令ニ於テ輕甲板船トハ二層以上ノ甲板チ有シ其ノ第二甲板以上ニハ專ラ船具、旅客又ハ輕量ノ貨物チ搭載スルニ適スル構造輕裝ナル汽船ニシテ其ノ上甲板上ニハ船首樓、船尾樓又ハ全甲板面積ノ十分ノ一ヲ超ユル船橋樓若ハ甲板室チ設置スルニ適セザルモノヲ謂フ

木船構造規程

第一條　本令ニ於テ上甲板トハ最上層ノ甲板チ謂ヒ第二甲板トハ第二層ノ甲板チ謂フ

第二條　本令ニ於テ重甲板船トハ其ノ上甲板下ニ重量ノ貨物ヲ積載シ得ル船舶チ謂フ

本令ニ於テ輕甲板船トハ二層以上ノ甲板チ有シ其ノ第二甲板以上ニハ專ラ船具、旅客又ハ輕量ノ貨物チ搭載スルニ適スル構造輕裝ナル汽船ニシテ其ノ上甲板上ニハ船首樓、船尾樓又ハ全甲板面積ノ十分ノ一ヲ超ユル船橋樓若ハ甲板室チ設置スルニ適セザルモノヲ謂フ

第三條　本令ニ於テ船ノ長サトハ上甲板梁上ニ於テ船首材ノ前面ヨリ推進器孔チ有スル船舶ニ在リテハ舵柱ノ後面迄、之チ有セザル船舶ニ在リテハ船尾材ノ後面迄ノ水平距離チ謂フ但シ上部突出ノ船首材チ有スル船舶ニ付テハ該材下部ノ前面ニ沿ヒ延長シタル直線チ以テ船首材ノ前面トシ、外舷ト內舷トチ併有スル船舶ニ付テハ內舷前面チ以テ船首材ノ前面トシ又舵柱チ有セズ且舵チ船尾材ニ取附ケザル船舶ニ付テハ舵頭ノ中心チ以テ舵柱ノ後面トス

本令ニ於テ船ノ幅トハ船體最廣部ニ於テ肋骨ノ外面ヨリ外面迄ノ水平距離チ謂フ但シ舷端突出ノ肋骨チ有スル船舶ニ付テハ肋骨下部ノ外面ニ沿ヒ延長シタル直線チ肋骨ノ外面ト看做ス

本令ニ於テ船ノ深サトハ船ノ長サノ中央ニ於テ船首材ノ上面ヨリ上甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ垂直距離チ謂フ

第四條　本令ニ於テ第一數トハ重甲板船ニ在リテハ船ノ深サト幅ト二分ノ一トチ加ヘタル數チ謂ヒ輕甲板船ニ在リテハ船側ニ於ケル上甲板梁ノ上面トノ中央迄ノ深サト幅ノ二分ノ一トチ加ヘタル數チ謂フ

本令ニ於テ第二數トハ重甲板船ニ在リテハ船ノ長サト幅ト深サトチ相乘ジタル數チ謂ヒ輕甲板船ニ在リテハ長サト幅ト船側ニ於ケル上甲板梁ノ上面トノ中央迄ノ深サトチ相乘ジタル數チ謂フ

本條ノ長サ、幅及深サハメートルチ以テ單位トシ單位下二位ニ止メ第三位ハ四捨五入トス

第五條　本令ハ特ニ定アル場合チ除クノ外船ノ長サガ深サノ十倍チ超ユルコトナク且幅ノ六倍チ超エザル船舶ノ構造チ示シ又寸法及齒數ハ最小ノ限度ヲ、距離ハ最大ノ限度チ示シタルモノトス

第六條　船ノ長サ三〇メートル以上ノ船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ善支ナシト認ムル場合ノ外其ノ長サガ深サノ十三倍以上ト爲スコトヲ得ズ

第七條　肋骨ノ寸法及心距ハ第一數ニ依リ、船首材、龍骨、船尾材、舵柱、船尾縱翼材、船尾橫翼材、舵心材、舵針、螺番、內龍骨、側內厚板、側內龍骨、樽壁部縱通材、船側縱通材、內部腰板、梁受板、副梁受板、梁腰材、副梁腰材、船釘、木甲板、內張板、外板及固著釘等ノ寸法ハ第二數ニ依リ、梁、梁曲材、船首肘材及船尾肘材等ノ寸法ハ船ノ幅ニ依リ之チ定ムベシ

第八條　船體各部ノ工事ハ良好且有效ナルコトヲ要ス

第九條　本令ノ規定ニ該當セザル船體ノ構造竝ニ材料及其ノ寸法ハ管海官廳ニ於テ本令ニ定ムルモノト同一ノ效力チ有スト認ムルモノニ限リ本令ニ適合スルモノト看做ス

第十條　管海官廳ハ船舶ノ用途、航路ノ狀況又ハ載貨ノ種類ニ應ジ本令ノ規定ニ拘ラズ船體ノ構造及材料寸法チ適當ニ揭酌スルコトチ得

第十一條　第三級船及第四級船ノ船體ノ構造竝ニ材料及其ノ寸法ハ管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依リ但シ第百八條、第百十四條及第二十二章ニ規定スルモノニ在テハ此ノ限ニ在ラズ

第二章　材料

第十二條　船體ノ構造ニ使用スル木材ハ有害ナル節瘤其ノ他ノ缺點チ有セズシテ十分乾燥シタルモノナルコトチ要ス

第十三條　船體ノ構造ニ使用スル曲材ハ天然ノ屈曲材ニシテ木理ノ通リタルモノナルコトチ要ス

蒸曲ゲ木材ハ仕上後裂痕ナキモノナルコトチ要ス

第十四條　船體構造材料ノ等級ハ第一號表ニ依ル

本令ニ規定スル縱梁、梁柱、梁下縱通材、樁孔板竝ニ舷口ノ蓋板、縱材及舷口梁ノ寸法ハ乙材チ用キタルトキノ寸法トシ舷口緣材、副龍骨、副內龍骨及第百四條ニ規定スル添材內龍骨ノ寸法ハ甲材チ用キタルトキノ寸法トス

第十五條　別表ニ揭ゲル木材ハ第一號表ニ揭

ゲル同一等級ノ他ノ木材ヲ以テ代用スルコトヲ得

別表ニ揭ゲル木材ノ代リニ第一號表ニ揭ゲル他ノ等級ノ木材又ハ「チーク」若ハ赤樫チ用ウルトキハ左ノ各號ノ規定ニ依ル

一　甲材ノ代リニ乙材チ用ウルトキハ百分ノ十、丙材チ用ウルトキハ百分ノ二十又丁材チ用ウルトキハ百分ノ三十以上其ノ截面積チ別表ニ揭ゲルモノヨリ增スコトチ要ス

二　乙材ノ代リニ丙材チ用ウルトキハ百分ノ十又丁材チ用ウルトキハ百分ノ二十以上其ノ截面積チ別表ニ揭ゲルモノヨリ增スコトチ要ス

三　乙材ノ代リニ甲材チ用ウルトキハ百分ノ十以下其ノ截面積チ別表ニ揭ゲルモノヨリ減ズルコトチ得

四　「チーク」若ハ赤樫チ甲材ノ代リニ用ウルトキハ百分ノ十、乙材ノ代リニ用ウルトキハ百分ノ二十以下其ノ截面積チ別表ニ揭ゲルモノヨリ減ズルコトチ得

第十六條　第一級船ニ在リテハ本令ニ依リ甲材又ハ乙材チ使用スベキ場合ニ於テ丙材又ハ丁材チ使用スルコトチ得ズ

第十七條　鋼材ハ同一寸法ノ鐵材ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第十八條　本令ニ規定スル堅材トハ樫、栗、欅、楠、椋、赤櫟、椎、臘地又ハ之ニ類似ノ木材チ謂ヒ柔材トハ栂、樅、松、米松、檜、赤松、桂、姫子松、槻、赤身杉、檜、杉、蝦夷松、椴又ハ之ニ類似ノ木材チ謂フ

第三章　龍骨、船首材、船尾材、舵柱、力材、船尾管胴材、船尾橫翼材及船尾縱翼材及船尾管胴材

第十九條　龍骨、船首材、船尾材及舵柱ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第二十條　龍骨チ構成スル各材ノ長サハ船ノ首尾兩端ニ用ウルモノヲ除クノ外一〇・五メートル以上ナルコトチ要ス

前項ノ長サヨリ短キ材チ龍骨ニ使用スルトキハ其ノ下面ニ副龍骨チ附スベシ此ノ場合ニ於ケル龍骨ノ深サハ規定ノ深サノ三分ノ二以上、副龍骨ノ深サハ龍骨ノ規定ノ深サノ二分ノ一以上ト爲シ肋骨心距ヨリ大ナラザル心距ニ敲釘チ用キテ相互ニ緊著セシムベシ

前二項ノ規定ハ長サ三〇メートル未滿ノ船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ適當ニ之チ揭酌スルコトチ得

龍骨ニハ龍骨翼板チ受クルニ適當ナル溝チ穿チ且溝ノ上部ニハ適當ナル綠チ殘シ從クベシ

第二十一條　龍骨ノ接手ハ鉤形平水嵌接トス

龍骨ノ嵌接ハ其ノ長サチ用材ノ深サノ五倍以上、其ノ端末ノ深サチ用材ノ深サノ四分ノ一以上ト爲シ其ノ兩端ニ二箇宛、其ノ中間ニ三〇センチメートルノ心距ニ敲釘チ用キテ相互ニ緊著セシムベシ

龍骨ノ嵌接ニハ適當ノ位置ニ浸水チ防ガ爲水留栓チ打込ムベシ

龍骨ノ嵌接ハ副龍骨及龍骨翼板ノ嵌接ト一・五メートル以上相避距セシメ且橋根及舷口下適當ニ避距セシムベシ

第二十二條　船首材ノ寸法ハ滿載吃水線ヨリ上部ニ至ルニ從ヒ漸次減少シテ其ノ頂上ニ於ケル截面積ハ規定ノ截面積ノ四分ノ三ト爲スコトチ得

船首材ハ一材チ以テ作ルベシ但シ長サ三〇メートル以上ノ船ニシテ其ノ船首材ノ嵌接ノ長サチ用材ノ深サノ三倍半以上ト爲シ且適當ノ副船首材チ設ケル場合ニ於テハ二材チ以テ作ルコトチ得

船首材ト龍骨トノ嵌接ノ長サハ用材ノ深サノ四倍以上ト爲シ且前條ニ規定スル龍骨ノ嵌接ニ等シキ構造ト爲スベシ

船首材ノ下部ハ側ニセズシテ龍骨ニ衝接スルトキハ船ノ螺番及舵針ハ黃銅製ナルコトチ要シ且其ノ兩端チ龍曲材チ以テ船側ニ固著スベシ

第二十三條　車軸孔チ有セザル船尾材ハ眞直ナル一材チ以テ作リ其ノ上部チ上甲板梁ニ固著シ其ノ下部ニ於ケル龍骨トノ固著ハ前條第四項ノ規定ニ依ルベシ

前項ノ船尾材ノ寸法ハ舵頭管ノ下部ヨリ漸次減少シテ其ノ頂上ニ於ケル截面積ハ規定ノ截面積ノ四分ノ三ト爲スコトチ得

第二十四條　車軸孔チ有スル船尾材ハ眞直ナル一材チ以テ作リ其ノ上部チ上甲板梁又ハ第二甲板梁ニ固著シ其ノ下部ニ於ケル龍骨トノ固著ハ第二十二條第四項ノ規定ニ依ルベシ但シ第二數八〇〇未滿ノ船舶ニ在リテハ根曲材チ省略シ船尾材ト龍骨トチ直接緊著スルモ妨ナシ

前項ノ船尾材ノ車軸孔ノ各側ニ於テハ其ノ截面積チ船尾材ノ規定ノ截面積ノ五分ノ三以上ト爲シ其ノ厚サチ規定ノ厚サノ二分ノ一以上ト爲スベシ

第二十五條　舵柱ハ眞直ナル一材チ以テ作リ上甲板迄達セシメ其ノ下部ニ於テハ船尾材、龍骨ニ嵌込ミ且船尾材、龍骨及舵柱ニ跨ル黃銅製金具ヲ兩面ニ取附ケ三材ノ結合チ堅固ナラシムベシ但シ長サ三〇メートル未滿ノ船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ兩材又ハ三材チ使用スルコトチ得

龍骨チ船尾材ニ止ムルトキハ第三號表ニ揭ゲル龍骨ノ寸法ノ五分ノ一ヨリ小ナラザル厚サチ有スル黃銅製連結材チ設ケチ船尾材、龍骨及舵柱ニ堅牢ニ固著スベシ

第二十六條　船尾材ト舵柱トハ其ノ上部空間ニ堅材チ挿入シ其ノ兩面ニ第三號表ニ揭ゲル船尾縱翼材チ設ケチ緊著セシムベシ

船尾縱翼材ハ舵柱ノ接面ヨリ上部ニ至ルニ從ヒ其ノ截面積ノ規定ノモノヨリ三分ノ二ト爲スコトチ得

第二十七條　舵柱ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

舵心材ノ頂部ノ舵柄取附部ハ成ルベク角形ト爲シ且其ノ截面積チ適當ニ增加スベシ

舵心材ノ軸先部ノ長サハ舵心材ノ徑ノ二倍半ヨリ大ナルコトチ要ス

第二十八條　舵針及螽金ノ材料、寸法及螺番ノ數ハ第三號表ニ依ル

最上ノ螺番ハ成ルベク舵頭管ニ近ク之チ設クベシ

第二十九條　鋼又ハ黃銅ノ船底包板チ有スル船舶ノ螺番及舵針ハ黃銅製ナルコトチ要ス

第三十條　肋骨ハ天然ノ曲材チ以テ構成シ其ノ寸法及心距ハ第二號表ニ依ル

寸法ハ第三號表ニ依ルベシ但シ其ノ兩端ニ於ケル截面積ハ規定ノモノノ四分ノ三ト爲スコトチ得

第二十七條　船首材及船尾材ニハ外板チ受クルニ適當ナル溝チ穿ツベシ

第二十八條　船ノ首尾ニハ斜肋骨チ取附クルニ十分ナル高サ及長サチ有シ龍骨ノ厚サヨリ小ナラザル厚サチ有スル力材チ設クベシ

第二十九條　船尾管胴材ハ堅材チ以テ作リ其ノ寸法ハ船尾管ノ徑ノ二倍以上ト爲スベシ

船尾管胴材ハ成ルベク上下二材チ以テ構成シ孔ノ兩側ニ於テ三〇センチメートルチ超エザル心距ニ敲釘チ用キテ相互ニ緊著セシムベシ

船尾管胴材上部ニハ堅曲材チ設ケ船尾材及管胴材チ緊著スベシ

船尾管胴材ハ緊材チ以テ作リ其ノ寸法ハ船尾管ノ徑ノ少クトモ其ノ前後部ニ於テハ船尾管胴材及船尾材ノ孔面ニ密接セシムルコトチ要ス

第四章　舵

第三十條　舵心材ノ徑ハ第三號表ニ依ル

航海速力一時間ニ付十海里以上ノ汽船及船體ノ大サニ比シ特ニ大ナル舵チ有スル船舶ノ舵心材ハ適當ニ其ノ徑チ增加スベシ

第三十一條　舵心材ハ舵頭迄一材チ以テ作リ之チ以テ材ノ厚サト等シク其ノ後端ニ至ルニ從ヒ適當ニ其ノ厚サチ減ズルコトチ得

舵心材ノ頂部ノ舵柄取附部ハ成ルベク角形ト爲シ且其ノ截面積チ適當ニ增加スベシ

舵心材ノ軸先部ノ長サハ舵心材ノ徑ノ二倍半ヨリ大ナルコトチ要ス

第三十二條　舵針及螽金ノ材料、寸法及螺番ノ數ハ第三號表ニ依ル

最上ノ螺番ハ成ルベク舵頭管ニ近ク之チ設クベシ

第三十三條　鋼又ハ黃銅ノ船底包板チ有スル船舶ノ螺番及舵針ハ黃銅製ナルコトチ要ス

第五章　肋骨

第三十四條　肋骨ハ天然ノ曲材チ以テ構成シ其ノ寸法及心距ハ第二號表ニ依ル

肋骨ノ心距ハ肋骨ノ寸法ヲ規定ノ寸法ヨリ大ト爲ストキハ其ノ寸法ニ應ジ第二號表ニ揭グルモノヨリ大ト爲スコトヲ得

肋骨心距ガ第二號表ニ揭グル肋骨心距ノ一倍四分ノ一ヲ超ユルトキハ適當ノ斜帶板ヲ肋骨外面ニ取附クベシ

第三十五條　肋根材ヲ龍骨ノ上面ニ於テ累接シ長短肋配置ト爲ストキハ船ノ中央部ニ於テハ各肋根材ノ長サヲ船ノ幅ノ五分ノ二以上ト爲シ且累接ノ長サヲ船ノ幅ノ七分ノ一以上ト爲スベシ

第三十六條　肋根材及半肋根材ヲ以テ肋骨ヲ構成スルトキハ船ノ中央部ニ於テハ肋根材ノ長サヲ船ノ幅ノ四分ノ一以上、半肋根材ノ總長ヲ船ノ幅ノ五分ノ三以上ト爲スベシ

半肋根材ノ衝接ハ龍骨ノ中心線ヲ交互ニ五センチメートル以上左右ニ隔離セシムルコトヲ要ス

第三十七條　長肋根材ト短肋根材トヲ以テ肋骨ヲ構成スルトキハ船ノ中央部ニ於テハ長肋根材ノ長サヲ船ノ幅ノ二分ノ一以上、短肋根材ノ長サヲ船ノ幅ノ七分ノ一以上ト爲シ龍骨ノ上面ニ於テ相累接セシムベシ

第三十八條　二材合セ肋骨ノ肋材衝接ノ避距メ且衝接ノ中間ニ於テ心距四五センチメートル以内ニ木釘又ハ打込釘ヲ以テ固著セシムベシ

第三十九條　衝接又ハ嵌接シタル單材ヲ以テ肋骨ヲ構成スルトキハ船ノ中央部ニ於テハ肋根材ノ長サヲ船ノ幅ノ五分ノ三以上ト爲シ其ノ他ノ肋材ノ長サヲ船ノ幅ノ三分ノ一以上ト爲スベシ

第四十條　蒸曲材ヲ以テ肋骨ヲ構成スルトキハ第二號表ニ揭グルモノヨリ其ノ寸法ヲ減ズルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ肋骨ノ心距ヲ適當ニ減ズベシ

第四十一條　船ノ幅ガ深サノ三倍以上ナル船ニ於テハ中央部船ノ長サノ三分ノ二間ハ底部肋骨ノ寸法ヲ增加スベシ

船底彎曲部ノ彎曲半徑小ナル船ニ於テハ彎曲部肋骨ヲ適當ニ補强スベシ

第四十二條　斜肋骨ノ踵部ハ力材ニ植込ミ龍釘ヲ以テ堅牢ニ緊著セシムベシ

第四十三條　船首肋骨及艫鎖孔材ハ各一材ヲ以テ作リ其ノ厚サヲ肋骨ノ厚サノ二倍以上ト爲スベシ

船首材ヨリ艫鎖孔材ノ後方適當ナル距離迄船首肋材、艫鎖孔及肋骨ノ間隙ニハ壇材ヲ挿入スベシ

第四十四條　船尾肋材ハ其ノ心距ヲ頂部ニ於テ第二號表ニ揭グル心距以下、踵部ニ於テ二分ノ一以下ト爲シ其ノ截面積ヲ踵部ニ於テ規定ノ單材肋骨ノ頂材ノ截面積ノ一倍三分ノ一以上、頂部ニ於テ四分ノ三以上ト爲スベシ

船尾肋材ハ船尾縱梁材又ハ船尾橫梁材ニ植込ミ龍釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ

第六章　內龍骨、側內厚板、側內龍骨及彎曲部縱通材

第四十五條　內龍骨、側內厚板及側內龍骨ノ寸法竝ニ彎曲部縱通材ノ厚サハ第三號表ニ依ル

第四十六條　梁受板ハ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル但シ艙梁ニ設クルモノト爲スコトヲ要ス

第四十七條　副梁受板ハ第二數三七ヲ超ユル船艙ノ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第四十八條　梁受板ハ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル但シ艙梁ニ設クルモノト爲スコトヲ要ス

船首肋材ヨリ艫鎖孔材ノ後方適當ナル距離迄船首肋材、艫鎖孔及肋骨ノ間隙ニハ壇材ヲ挿入スベシ

第四十九條　船尾肋材ハ其ノ心距ヲ頂部ニ於テ第二號表ニ揭グル心距以下、踵部ニ於テ二分ノ一以下ト爲シ其ノ截面積ヲ踵部ニ於テ規定ノ單材肋骨ノ頂材ノ截面積ノ一倍三分ノ一以上、頂部ニ於テ四分ノ三以上ト爲スベシ

船尾肋材ハ船尾縱梁材又ハ船尾橫梁材ニ植込ミ龍釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ

第五十條　船尾肋材ハ其ノ心距ヲ頂部ニ於テ第二號表ニ揭グル心距以下、踵部ニ於テ二分ノ一以下ト爲シ其ノ截面積ヲ踵部ニ於テ規定ノ單材肋骨ノ頂材ノ截面積ノ一倍三分ノ一以上、頂部ニ於テ四分ノ三以上ト爲スベシ

船尾肋材ハ船尾縱梁材又ハ船尾橫梁材ニ植込ミ龍釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ

第六章　內龍骨、側內厚板、側內龍骨及彎曲部縱通材

第五十一條　內龍骨ハ船ノ長サノ中央ニ於テ最下層梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ深サガ三メートル以上ナル船舶ニ於テハ船ノ長サノ中央部二分ノ一間ハ上甲板梁一本竝ニ船梁ヲ設クベシ

前項ノ深サガ五メートル以上ナル船舶ニ付テハ船ノ首尾ヲ通ジ上甲板梁一本竝ニ船梁ヲ設クベシ

第五十二條　前條第一項ノ船舶ニ在リテハ船底肋材ヲ以テ之ヲ船側ニ固著セシムルノ外其ノ兩端ニハ橫梁曲材ヲ設ケ之ヲ船側及縱梁ニ固著セシムベシ但シ船ノ幅ノ四分ノ一以下ノ長サヲ有スル中梁ニ於テハ竪梁曲材ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第五十三條　船底肋材ハ其ノ心距ヲ頂部ニ於テ第二號表ニ揭グル心距以下、踵部ニ於テ二分ノ一以下ト爲シ其ノ截面積ヲ踵部ニ於テ規定ノ單材肋骨ノ頂材ノ截面積ノ一倍三分ノ一以上、頂部ニ於テ四分ノ三以上ト爲スベシ

船尾肋材ハ船尾縱梁材又ハ船尾橫梁材ニ植込ミ龍釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ

第六章　內龍骨、側內厚板、側內龍骨及彎曲部縱通材

第五十四條　船艙ハ船ノ長サ二〇メートル以上ノ船舶ニ之ヲ設クベシ但シ第二數四五〇未滿ノ船舶ニ於テハ梁厚材ノ幅ヲ第三號表ニ揭グルモノノ一倍半以上ト爲シ之ヲ船艙ニ兼用スルモ妨ナシ

第五十五條　船艙ノ厚サハ第三號表ニ依リ其ノ幅ハ外板及梁厚材ニ固著スルニ十分ナルモノト爲スコトヲ要ス

船艙ヲ貫キテ艙橋柱ヲ設クルトキハ船艙ハ二材ヲ以テ構成スルコトヲ得

第五十六條　梁厚材ハ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依但シ船梁ニ設クルモノハ同表ニ揭グル二段上級ノモノト爲スコトヲ要ス

梁ト接面ニ於ケル梁厚材ノ幅ハ第四號表ニ揭グル幅以上ナルコトヲ要ス

第五十七條　副梁厚材ハ第二數八〇〇以上ノ船舶ノ各層甲板梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依但シ船梁ニ設クルモノト爲スコトヲ要ス

第五十八條　梁受板ハ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依但シ船梁ニ設クルモノト爲スコトヲ要ス

第五十九條　副梁受板ハ第二數三七五ヲ超ユル船舶ノ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第六十條　船側縱通材ハ船ノ長サノ中央ニ於テ最下層梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ深サガ三メートル以上ナル船舶ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第六十一條　內部腰板ハ第二甲板梁又ハ船梁ノ厚サヲ以テ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第六十二條　船艙、梁厚材、副梁厚材、梁受板、副梁受板、船側縱通材及內部腰板ノ嵌接ノ長サハ用材ノ幅ノ三倍以上ト爲シ三箇以上ノ敲釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ但シ副梁厚材、副梁受板及內部腰板ノ嵌接ニ付テハ敲釘ノ代リニ打込釘ヲ用ウルコトヲ得

第七章　船艙、梁厚材、副梁厚材、梁受板、副梁受板、船側縱通材及內部腰板

第六十四條　船艙ハ船ノ長サ二〇メートル以上ノ船舶ニ之ヲ設クベシ但シ第二數四五〇未滿ノ船舶ニ於テハ梁厚材ノ幅ヲ第三號表ニ揭グルモノノ一倍半以上ト爲シ之ヲ船艙ニ兼用スルモ妨ナシ

第六十五條　船艙ノ厚サハ第三號表ニ依リ其ノ幅ハ外板及梁厚材ニ固著スルニ十分ナルモノト爲スコトヲ要ス

船艙ヲ貫キテ艙橋柱ヲ設クルトキハ船艙ハ二材ヲ以テ構成スルコトヲ得

第六十六條　梁厚材ハ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依但シ船梁ニ設クルモノハ同表ニ揭グル二段上級ノモノト爲スコトヲ要ス

梁ト接面ニ於ケル梁厚材ノ幅ハ第四號表ニ揭グル幅以上ナルコトヲ要ス

第六十七條　副梁厚材ハ第二數八〇〇以上ノ船舶ノ各層甲板梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第六十八條　梁受板ハ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依但シ船梁ニ設クルモノハ同表ニ揭グル二段上級ノモノト爲スコトヲ要ス

船艙ヲ貫キテ艙橋柱ヲ設クルトキハ船艙ハ二材ヲ以テ構成スルコトヲ得

第六十九條　船側縱通材ハ船ノ長サノ中央ニ於テ最下層梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ深サガ三メートル以上ナル船舶ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第七十條　內部腰板ハ第二甲板梁又ハ船梁ノ厚サヲ以テ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第七十一條　梁厚材、副梁厚材、梁受板、副梁受板、船側縱通材及內部腰板ノ嵌接ノ長サハ用材ノ幅ノ三倍以上ト爲シ三箇以上ノ敲釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ但シ副梁厚材、副梁受板及內部腰板ノ嵌接ニ付テハ敲釘ノ代リニ打込釘ヲ用ウルコトヲ得

第七十二條　甲板口ノ端梁ハ截面積ハ甲板梁ノ規定ノ截面積ニ左ノ係數ヲ乘ジタルモノト爲スベシ但シ機關室口ノ端梁ハ此ノ限ニ在ラズ

甲板口ノ長サ(米)	係數
二・五未滿	一・一
二・五以上三・五未滿	一・二
三・五以上四・五未滿	一・四

機關室口ノ端梁ハ堅材ナルコトヲ要ス

第七十三條　船ノ長サノ中央ニ於テ最下甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ深サガ四メートル以上五メートル未滿ナル船舶ニ於テハ船ノ長サノ中央部二分ノ一間ハ上甲板梁一本竝ニ船梁ヲ設クベシ

甲板口ノ長サ(米)	係數
二・五以上三・五未滿	一・〇
三・五以上四・五未滿	一・二

前項ノ深サガ五メートル以上ナル船舶ニ付テハ船ノ首尾ヲ通ジ上甲板梁一本竝ニ船梁ヲ設クベシ

第七十四條　前條第一項ノ船舶ニ在リテハ船底肋材ヲ以テ之ヲ船側ニ固著セシムルノ外其ノ兩端ニハ橫梁曲材ヲ設ケ之ヲ船側及縱梁ニ固著セシムベシ但シ船ノ幅ノ四分ノ一以下ノ長サヲ有スル中梁ニ於テハ竪梁曲材ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第七十五條　船梁ニハ梁毎ニ第四號表ニ揭グル三段上級ノ竪梁曲材ヲ取附クベシ

第七十六條　竪梁曲材ノ代リニ銅製肘板及山形材ヲ用ウルトキハ其ノ寸法ハ第四號表ニ依但シ梁腕及側腕ニ於ケル山形材ノ長サハ竪梁曲材ノ腕ノ長サト等シクスベシ

第七十七條　機孔前後ノ梁又ハ長サ二・五メートル未滿ノ船舶ニ於テハ總幅ヲ適當ニ減ズルコトヲ得

第七十八條　甲板口ノ兩側ニ設ケル中梁ハ竪梁曲材ヲ以テ之ヲ船側ニ固著セシムルノ外其ノ兩端ニハ橫梁曲材ヲ設ケ之ヲ船側及縱梁ニ固著セシムベシ但シ船ノ幅ノ四分ノ一以下ノ長サヲ有スル中梁ニ於テハ竪梁曲材ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第七十九條　船梁ニハ梁毎ニ第四號表ニ揭グル三段上級ノ竪梁曲材ヲ取附クベシ但シ船ノ幅五メートル未滿ノ船舶ニ付テハ第四號表ニ揭グル二段下級ノモノヲ竝ニスルコトヲ得

第八十條　梁柱ハ梁荷ニ之ヲ設クベシ但シ船ノ首尾ニ於テ上甲板ノ幅ガ船ノ幅ノ二分ノ一以下ナル部分ニ設クル梁ニハ之ヲ設クザルモ妨ナシ

上層梁ニ梁柱ヲ設クルトキハ下層ノ梁ニモ亦之ヲ設クベシ

第八十一條　甲板梁ハ規定ノ截面積以上ノ截面積ヲ有スル梁下縱通材ヲ設ケ且梁柱ノ截面積ヲ第八十三條ニ依ルモノノ一倍半ト爲ストキハ梁一本竝ニ梁柱ヲ省略スルコトヲ得

前項ノ梁下縱通材ノ接手ハ嵌接ト爲スコトヲ要シ其ノ長サハ用材ノ深サノ三倍以上ト爲スベシ

第八十二條　船ノ幅五メートル未滿ノ船舶ニ於テハ梁及之ニ附スル竪梁曲材ヲ以テ之ニ揭グル三段上級ノモノト爲ストキハ梁柱ヲ設ケザルモ妨ナシ

第八十三條　船內ニ於ケル木製梁柱ノ各邊ノ寸法ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$D=15(2l+2)$$

D＝各邊ノ寸法　ミリメートル

l＝梁柱ノ長サ　メートル

木製中實梁柱ノ徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$d=6(2l+1)$$

d＝徑　ミリメートル

l＝第一數

第八十四條　梁心距ガ規定ノモノヨリ大ナルトキハ梁柱ノ寸法ハ前條ノ規定ニ依ルモノヨリ適當ニ其ノ寸法ヲ增加スベシ

第八十五條　梁柱ガ木製ナルトキハ適當ナル金具ヲ以テ又鐵製ナルトキハ二箇以上ノ螺釘又ハ捻込釘ヲ以テ十分ニ其ノ兩端ヲ固著セシムベシ

第八十六條　甲板室、斜橋、揚錨機及揚貨機等ヲ支フル梁其ノ他必要ノ箇所ニハ特ニ梁

得

前項ニ揭グル各材ノ嵌接ハ適當ニ相互ニ避距セシムベシ

第八章　梁及梁ノ配置

第六十三條　甲板梁及舷梁ノ寸法ハ第四號表ニ依ル但シ輕甲板船ノ甲板梁ノ寸法ハ同表ニ揭グル二段下級ノモノト爲スコトヲ得

第六十四條　各層甲板梁ニハ梁毎ニ第四號表ニ揭グル竪梁曲材ヲ取附クベシ但シ船ノ幅五メートル未滿ノ船舶ニ付テハ第四號表ニ揭グル二段上級ノモノト爲スコトヲ得

第六十五條　船底彎曲部ニハ船ノ首尾ニ通ズル彎曲部縱通材ヲ設ケ其ノ各側ニ於ケル總幅ハ船ノ幅ノ六分ノ一以上ト爲スベシ但シ船ノ首尾ニ於テハ總幅ヲ適當ニ減ズルコトヲ得

第五十三條　側內厚板及彎曲部縱通材ノ嵌接ノ長サハ用材ノ幅ノ三倍以上ト爲シ成ルベク三箇以上ノ敲釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ

第七章　船艙、梁厚材、副梁厚材、梁受板、副梁受板、船側縱通材及內部腰板

第五十四條　船艙ハ船ノ長サ二〇メートル以上ノ船舶ニ之ヲ設クベシ但シ第二數四五〇未滿ノ船舶ニ於テハ梁厚材ノ幅ヲ第三號表ニ揭グルモノノ一倍半以上ト爲シ之ヲ船艙ニ兼用スルモ妨ナシ

第五十五條　船艙ノ厚サハ第三號表ニ依リ其ノ幅ハ外板及梁厚材ニ固著スルニ十分ナルモノト爲スコトヲ要ス

船艙ヲ貫キテ艙橋柱ヲ設クルトキハ船艙ハ二材ヲ以テ構成スルコトヲ得

第五十六條　梁厚材ハ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依但シ船梁ニ設クルモノハ同表ニ揭グル二段上級ノモノト爲スコトヲ要ス

梁ト接面ニ於ケル梁厚材ノ幅ハ第四號表ニ揭グル幅以上ナルコトヲ要ス

第五十七條　副梁厚材ハ第二數八〇〇以上ノ船舶ノ各層甲板梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第五十八條　梁受板ハ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依但シ船梁ニ設クルモノハ同表ニ揭グル二段上級ノモノト爲スコトヲ要ス

船艙ヲ貫キテ艙橋柱ヲ設クルトキハ船艙ハ二材ヲ以テ構成スルコトヲ得

第五十九條　副梁受板ハ第二數三七五ヲ超ユル船舶ノ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第六十條　船側縱通材ハ船ノ長サノ中央ニ於テ最下層梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ深サガ三メートル以上ナル船舶ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第六十一條　內部腰板ハ第二甲板梁又ハ船梁ノ厚サヲ以テ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第六十二條　船艙、梁厚材、副梁厚材、梁受板、副梁受板、船側縱通材及內部腰板ノ嵌接ノ長サハ用材ノ幅ノ三倍以上ト爲シ三箇以上ノ敲釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ但シ副梁厚材、副梁受板及內部腰板ノ嵌接ニ付テハ敲釘ノ代リニ打込釘ヲ用ウルコトヲ得

第

十八	十六	六	二	
倍	倍	倍	船	
超	以	以	對ノ長	
エルトキ	下エ	超	ス長サノ	
以超下エ	下	以超	ルサノ	
倍ヲ超ス	倍ヲ	下エ	合深	
以上ノ	以上ノ	下	船外	
深ヲ超ス	深ヲ超ス	百分ノ二十五	ノ部深腰	
船ノ	船ノ	百分ノ三十	船外ノ部	
深ヲ超ス	深ヲ超ス	百分ノ三十五	船外ノ部	

第

| 十 | 倍ヲ超ス以上 | 倍ヲ超ス以上 | 倍ヲ超ス以上

第百十九條　滿載吃水線ヲ標示スル船舶ノ上甲板下ニ設ケル舷窓ニシテ海水ニ於ケル最高滿載吃水線ヨリ一五センチメートル未滿ノ箇所ニ其ノ下緣ヲ有スルモノハ舷窓試驗規程ニ適合スル甲種舷窓又ハ之ト同等以上ノモノ又海水ニ於ケル最高滿載吃水線ヨリ一二センチメートル未滿ノ箇所ニ下面ノ最低點ヲ有スル甲板ノ下方ニ設ケル舷窓ハ同規程ニ適合スル乙種舷窓又ハ之ト同等以上ノモノナルコトヲ要ス

第百二十條　竪梁曲材ニ用ウル固著釘ノ徑ハ第四表ニ依リ其ノ他重要ナル部分ニ用ウル固著釘ノ徑ハ第五表ニ依ル但シ用材ノ寸法カ規定ノ寸法ヨリ大ナルトキハ固著釘ノ徑ヲ適當ニ增加スベシ

打込釘ノ徑ハ第五表ニ掲ゲル鉸釘ノ徑ヨリ三ミリメートル減ジタルモノトスコトヲ得

圓釘ノ代リニ角釘ヲ用ウルトキハ其ノ邊ハ圓釘ノ徑ノ十分ノ九トスベシ

鉸釘ヲ打込ムベキ釘孔ノ徑ハ釘徑ヨリ一・五ミリメートル以上小ナルモノトスベシ

鉸釘ハ總テ同金屬ノ座金ノ上ニテ鉸著セシムベシ

螺釘ハ鉸釘ノ代リニ之ヲ用ウルコトヲ得

第百二十一條　打込釘ノ長サハ固著スベキ材料ノ厚サニ應ジ成ルベク長キモノヲ用ウベシ

板ヲ肋骨又ハ梁等ニ固著スル打込釘ノ長サハ板ノ厚サノ二倍四分ノ一以上トスベシ

第百二十二條　木釘ヲ用ウルトキハ其ノ兩端之ヲ切開シテ楔止メトスベシ但シ外板及外部腰板ヲ固著スル木釘ノ外端ハ楔止ノ代リニ增築ヲ施スベシ

頭部ヲ三ミリメートル以上太メタル勾配木釘ヲ用ウルトキハ其ノ頭端ニ付テハ前項ノ施工ヲ爲スコトヲ要セズ

木釘ハ固著セラルル用材ノ厚サノ和ヨリ適當ニ長キモノヲ使用スベシ

木釘ヲ打込ムベキ孔ノ徑ハ釘徑ヨリ一ミリメートル以上小ナルモノトスベシ

第百二十三條　鋲又ハ黃銅ノ船底包板ヲ施スベキ外板等ノ固著釘ニ鋼又ハ亞鉛鍍鋼ヲ使用スルトキハ其ノ頭部ニ墳築ヲ卷附ケタルモノヲ用ウベシ

僅之ヲ打込ミ且其ノ頭部ヲ緊密ニ打込ミタル木栓等ヲ以テ保護スベシ

外板及甲板等水密ヲ要スル場所ニ使用スル鉸釘又ハ打込釘ニ付テハ前項ニ該當セザルモノト雖モ成ルベク前項ノ施工ヲ爲スベシ

第百二十四條　船ノ首尾ニ於ケル力材又ハ內龍骨ト船首材、船尾材又ハ龍骨トハ此等ヲ貫通スル鉸釘ヲ以テ四五センチメートル以內ノ心距ニ於テ固著セシムベシ但シ內龍骨ト力材トガ相累接スル箇所ニ於テハ鉸釘ハ內龍骨ヲ貫通セシムルコトヲ要ス

第百二十五條　舵心材ト舵材トハ四五センチメートル以內ノ心距ニ鉸釘ヲ以テ固著セシムベシ

第百二十六條　肋骨ハ打込釘ヲ以テ之ヲ龍骨ニ固著セシムベシ

第百二十七條　龍骨下ハ龍骨下ハ肋骨毎ニ肋骨ヲ貫通スル鉸釘ヲ以テ固著セシムベシ

第百二十八條　側內厚板ハ肋骨毎ニ鉸釘及打込釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ

第百二十九條　側內龍骨ハ肋骨毎ニ鉸釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ

第百三十條　彎曲部縱通材ハ其ノ幅一五センチメートル以下ナルトキハ肋骨毎ニ鉸釘ヲ以テ、幅一五センチメートルヲ超ユルトキハ肋骨毎ニ鉸釘及打込釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ但シ其ノ幅二〇センチメートルヲ超ユルトキハ肋骨毎ニ肋骨毎ニ鉸釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ但シ其ノ幅二〇センチメートルヲ超ユルトキハ肋骨毎ニ肋骨毎ニ鉸釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ

第百三十一條　船樓甲板ノ橫梁ハ其ノ兩端ニ於テ梁受板ノ鉸釘ハ外板迄貫通スルコトヲ要ス

第百三十二條　梁受材ノ固著ハ左ノ各號ノ規定ニ依ル

一　肋骨トノ固著　船鈑ニ肘用セザル梁受材ハ肋骨毎ニ梁受材、肋骨及外板ヲ貫通スル鉸釘ヲ以テ之ヲ固著セシムベシ但シ第二甲板又ハ船樓ニ於ケル梁受材ノ鉸釘ハ外板ヲ貫通セザルモノトスルコトヲ得

二　梁トノ固著　梁受材ハ梁毎ニ打込釘ヲ以テ之ヲ梁ニ固著セシムベシ

三　梁受板トノ固著　船鈑ニ肘用スル梁受材又ハ第二甲板若ハ船樓ノ梁受材ハ梁毎ニ梁及梁受板ヲ貫通スル鉸釘ヲ以テ之ヲ固著セシムベシ但シ第二數四五〇未滿ノ船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ適當ニ之ヲ省略スルコトヲ得

四　鉸側厚板トノ固著　船鈑ニ肘用スル梁受材ハ肋骨ノ間ニ於テ交互ニ鉸釘ト打込釘トヲ以テ之ヲ鉸側厚板ニ固著セシムベシ

五　鉸塔柱トノ固著　船鈑ニ肘用スル梁受材ヲ貫キテ鉸塔柱ヲ設ケルトキハ鉸塔柱毎ニ鉸釘ヲ以テ之ヲ緊著セシムベシ

第百三十三條　副梁受材ハ梁毎ニ鉸釘及打込釘ヲ以テ之ヲ梁ニ固著セシムベシ

第二數一、七五〇ヲ超ユル船舶ニ於テハ副梁受材ハ肋骨一本置ニ梁受材、肋骨及外板ヲ貫通スル鉸釘ヲ以テ之ヲ固著セシムベシ

第百三十四條　船鈑ハ肋骨ノ間ニ於テ交互ニ鉸釘ト打込釘トヲ以テ之ヲ鉸側厚板ニ固著セシムベシ

船鈑ハ梁毎ニ梁受材、梁及梁受板ヲ貫通スル鉸釘ヲ以テ之ヲ固著セシメ且梁ノ間ニ於テ打込釘ヲ以テ之ヲ梁受材ニ固著セシムベシ

船鈑ヲ貫キテ鉸塔柱ヲ設ケルトキハ船鈑ハ鉸塔柱毎ニ鉸釘ヲ以テ之ヲ緊著セシメ且船鈑ヲ二材合セト爲ストキハ鉸塔柱ノ間ニ於テモ鉸釘ヲ以テ之ヲ相互ニ緊著セシムルベシ但シ肋骨毎ニ肋材ヲ延長シテ鉸塔柱ト爲ス場合ニ於テ船鈑カ一材ヨリ成ルモノナルトキハ鉸塔柱毎ニ用ウル鉸釘ハ總テ外板迄貫通スルコトヲ要ス

横梁曲材ノ各腕ニ於ケル鉸釘ノ數ハ二箇以上ナルコトヲ要ス

第百三十八條　外板、外部腰板、龍骨裏板及鉸側厚板ハ其ノ幅二〇センチメートル以下ナルトキハ肋骨毎ニ二箇、幅二〇センチメートルヲ超エ二五センチメートル以下ナルトキハ肋骨毎ニ三箇、幅二五センチメートルヲ超エ三〇センチメートル以下ナルトキハ肋骨毎ニ四箇ノ固著釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ但シ肋骨單材ナルトキハ幅二五センチメートルヲ超ユル場合ト雖モ固著釘ノ數ヲ三箇ト爲スコトヲ得

三〇センチメートルヲ超ユル幅ヲ有スル龍骨裏板及鉸側厚板ニ在リテハ之ヲ肋骨毎ニ固著セシムベキ固著釘ノ總數ハ幅七・五センチメートル毎ニ及其ノ端數ニ付一箇ノ割合ヲ以テ之ヲ定ムベシ但シ肋骨單材ナルトキノ固著釘ノ總數ハ之ヨリ一箇ヲ減ズルコトヲ得

第百三十九條　鉸塔柱毎ニ用ウル鉸釘ハ鉸塔柱一本ニ付キ十分ナル長サヲ有スル打込釘ヲ以テ之ヲ二代用スルコトヲ得又鉸釘ガ二材合セナル場合ニ於テ鉸塔柱ノ心距ガ肋骨心距以下ナルトキハ鉸塔柱ノ間ニ於ケル鉸釘ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第百三十五條　船側縱通材ハ肋骨毎ニ鉸釘及打込釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ但シ第七十二條第一項又ハ第二項ニ適用シタル場合ノ船側縱通材ニ在リテハ肋骨毎ニ外板ヲ貫通スル鉸釘二箇ヲ以テ之ヲ固著セシムベシ

第百三十六條　內部腰板ハ肋骨毎ニ鉸釘及打込釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ

第百三十七條　竪梁曲材ニ用ウル鉸釘ノ心距ハ木製梁曲材ニ在リテハ二三センチメートル、鋼製梁曲材ニ在リテハ三〇センチメートル超ユルコトヲ得又鉸釘ノ數ハ側腕ニ於テハ咽喉部釘ヲ含ミ三箇以上、梁腕ニ於テハ二箇以上ナルコトヲ要ス

柔材ヲ以テ肋骨ヲ構成シタル船舶ニ於ケル竪梁曲材ノ側腕ニ用ウル鉸釘ハ總テ外板迄貫通セシムルコトヲ要ス

第百三十八條　外板、外部腰板、龍骨裏板及鉸側厚板ハ其ノ幅二〇センチメートル以下ナルトキハ肋骨毎ニ二箇、幅二〇センチメートルヲ超エ二五センチメートル以下ナルトキハ肋骨毎ニ三箇、幅二五センチメートルヲ超エ三〇センチメートル以下ナルトキハ肋骨毎ニ四箇ノ固著釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ但シ肋骨單材ナルトキハ幅二五センチメートルヲ超ユル場合ト雖モ固著釘ノ數ヲ三箇ト爲スコトヲ得

三〇センチメートルヲ超ユル幅ヲ有スル龍骨裏板及鉸側厚板ニ在リテハ之ヲ肋骨毎ニ固著セシムベキ固著釘ノ總數ハ幅七・五センチメートル毎ニ及其ノ端數ニ付一箇ノ割合ヲ以テ之ヲ定ムベシ但シ肋骨單材ナルトキノ固著釘ノ總數ハ之ヨリ一箇ヲ減ズルコトヲ得

第百四十條　第二數一、五〇〇ヲ超ユル船舶ノ中央部船底肋骨ノ長サノ五分ノ三間ニ於テハ龍骨裏板ヲ肋骨ノ間ニ於テ二肋骨心距以內ノ心距ニ鉸釘ヲ以テ之ヲ龍骨ニ固著セシムベシ

第百四十一條　木甲板ハ幅一五センチメートル以下ナルトキハ一箇以上、幅一五センチメートルヲ超ユルトキハ二箇以上ノ打込釘ヲ以テ之ヲ梁毎ニ固著セシムベシ

第百四十二條　船首肘材又ハ船尾肘材ハ其ノ咽喉部ヲ船首材又ハ船尾材ニ鉸釘ヲ以テ固著セシメ其ノ兩腕ハ四五センチメートル以內ノ心距ニ成ルベク肋骨ノ箇所ニ於テ外板迄貫通スル鉸釘ヲ以テ之ヲ固著セシムベシ

船首肘材又ハ船尾肘材ノ各腕ニ於ケル鉸釘ハ第百四十一條ノ規定ニ依ル

第百四十三條　斜帶板ハ板ノ厚サノ二倍以上ノ徑ヲ有スル鉸釘ヲ以テ之ヲ肋骨毎ニ固著セシムベシ

第百四十四條　甲板口ノ緣材ハ四五センチメートル以內ノ心距ニ鉸釘ヲ以テ端梁又ハ縱梁ニ固著セシムベシ

第十七章　墳築及船底包板

第百四十六條　墳築ヲ施シタル部分ハ射水又ハ澁水ニ依ル水密試驗ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十七條　船底ニハ滿載吃水線附近ノ所迄船底包板ヲ張詰ムベシ但シ適當ノ防腐劑ヲ塗布スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十八章　機關室

第百四十八條　機關室ノ前後ニハ少クトモ第二甲板ニ達スル隔壁ヲ設クベシ

第二數一、五〇〇ヲ超ユル船舶ニ付テハ前項ノ隔壁及石炭庫ノ圍壁ヲ鋼製ト爲スベシ

第百四十九條　機關室ノ甲板間ニ於ケル部分ノ周圍ニハ圍壁ヲ設ケ之ヲ暴露甲板迄達セシムベシ

第百五十條　機關ノ下部ニ於ケル內龍骨ハ成ルベク堅材ヲ使用シ且汽罐ノ下部ト內龍骨ノ上部トヲ三〇センチメートル以上隔離スルカ又ハ該部ニ適當ノ防熱工事ヲ施スベシ

第百五十一條　隔壁、圍壁其ノ他船體ノ部分カ木製ニシテ發動機又ハ汽罐ニ接近シ燃燒ノ虞アルモノナルトキハ之ニ金屬板ヲ張ルカ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ燃燒ヲ豫防シ且汽罐ニ接近スル場合ニハ防熱ノ爲金屬板ノ下ニ石綿若ハ毛氈ヲ敷クカ又ハ適當ノ間隔ヲ設ケ又ハ同等以上ノ效力アル方法ヲ施スベシ

第百五十二條　電動機船ノ蓄電池室ニハ通風ノ裝置ヲ爲シ其ノ床ハ鉛板ヲ以テ之ヲ覆フベシ

第百五十三條　機關室ニ付テハ第百十三條ニ依ル機關室口ノ補强ヲ爲スノ外機關ノ種類及馬力ニ應ジ肋骨及縱通材ニ適當ノ補强ヲ爲スベシ

第百五十三條　機關室ハ成ルベク長キ竪材ヲ以テ適當ニ構造シ肋骨毎ニ鉸釘ヲ以テ之ヲ固著スルノ外必要ニ應ジ肋骨ノ位置ニ於テ機關室ノ兩側ニ竪曲材ヲ取附ケ之ヲ竪牢ニ船底ニ固著セシムベシ

第百五十四條　第二數二、〇〇〇ヲ超ユル船舶ニ付テハ機關室ヨリ船尾管ニ達スル通行シ得ベキ軸路ヲ設クベシ但シ甲板ヨリ各軸受及船尾管ニ達シ得ベキ昇降路ヲ設クルトキハ軸路ハ通行シ得ザルモノナルモ妨ナシ

第十九章　船樓及甲板室

第百五十五條　輕甲板船ニ在リテハ甲板室又ハ船橋樓ノ高サハ二・一メートルヲ超ユルコトヲ得又船ノ首尾ニ於テ船ノ長サノ五分ノ一間ニハ甲板室ヲ設クルコトヲ得ズ

第百五十六條　船首樓、船橋樓及船尾樓ノ各隔ヲ設ケ又ハ甲板下ノ各材ノ截面積ノ四分ノ三以上ト爲スベシ

船首樓、船橋樓又ハ船尾樓ヲ設クルトキハ上甲板ニ於ケル肋骨間ノ空隙ハ船鈑ヲ以テ閉塞シ之ヲ水密ト爲スベシ

第百五十七條　低船首樓又ハ低船尾樓ノ各骨ノ寸法ハ上甲板以下ニ要スルモノニ等シクスベシ

低船首樓又ハ低船尾樓ヲ設クルトキハ上甲板ノ梁柱材及梁受板ヲ該船樓內ニ五肋骨心距以上延長スベシ但シ第二數四五〇未滿ナルトキハ四肋骨心距以上、第二數二五〇未滿ナルトキハ三肋骨心距以上、第二數一二五未滿ナルトキハ二肋骨心距以上之ヲ延長スルニ止ムルモ妨ナシ

低船首樓又ハ低船尾樓ヲ設クル船舶ニ付テハ上甲板ノ高サニ於テ船ノ首尾ヲ通ジ鉸側厚板ヲ設クベシ

第百五十八條　甲板室ハ堅牢ニ構造シ少クトモ其ノ四隅ハ甲板室頂部ヨリ梁下面迄貫通スル螺釘ヲ以テ之ヲ緊著セシムベシ

第二十章　橋、帆架及斜橋

第百五十九條　帆船ノ橋、帆架、斜橋等ノ寸法ハ左表ニ依ル

名稱	材料	徑
「シップ」、「バーク」及「ブリッグ」ノ前橋、正橋、前上橋及正上橋竝ニ「シップ」及「バーク」ノ後上橋	杉	長サ一メートルニ付三センチメートル
「バーケンタイン」、「ブリガンタイン」、「トップスルスクーナー」、「スクーナー」、「ラッカー」、「カッター」、「ケッチ」及「スループ」ノ橋	杉	長サ一メートル二付二センチメートル
「ヤード」、「ブーム」、「カフ」、「ジブブーム」及「フライインケジブブーム」	杉	長サ一メートルニ付五センチメートル

前項ノ橋ノ長サハ上橋ニ在リテハ上橋索具帶金ヨリ下部固定帶金迄、下橋ニ在リテハ

下橋索具帶金ヨリ内龍骨上面迄ノ長サトシ其ノ徑ハ上橋ニ在リテハ下橋上端部、下橋ニ在リテハ上甲板樑止部ニ於ケル徑ト爲スベシ

前二項ノ規定ハ一村橋ノ寸法ヲ定ムル場合ニ之ヲ準用スル但シ内龍骨ノ上面ヨリ下橋索具ヲ取附クル帶金迄ノ長サトシ其ノ上部上橋索具ヲ取附クル帶金迄ノ長サヲ上橋ノ長サトス

第百六十條　下橋ノ上端ノ徑ハ上橋ノ下端ノ徑ヨリ小ナルコトヲ得ズ

第二十一章　通風間隙及淦水路

第百六十一條　各層甲板梁ノ梁受板ノ直下ニハ通風ノ爲船ノ首尾ヲ通ジ間隙ヲ設クベシ

船首船又ハ船尾船ニ於テハ前項ノ間隙ノ外梁受板ト内龍骨トノ間ニ通風間隙ヲ設クベシ

第百六十二條　龍骨ノ兩側ニ於ケル肋骨ノ下面ニハ船ノ首尾ヲ通ジ適當ノ淦水路ヲ設クベシ但シ外板ノ縱緣上ニ之ヲ設クルコトヲ得ズ

第二十二章　排水裝置及諸管

第百六十三條　艙壁ニハ甲板上ノ水ヲ排除スル爲適當ナル排水口ヲ設クベシ

艤裝甲板上ニハ船外ニ通ズル適當ナル排水孔ヲ設クベシ

第百六十四條　第二甲板以下ノ甲板及艙圍セラレタル船樓内ノ上甲板ニハ適當ノ排水管ヲ設ケ之ヲ淦水道ニ導クベシ

第百六十五條　手動淦水「ポンプ」及測水管ハ各船ニ之ヲ設クベシ但シ管海官廳ノ見込ニ依リ手動淦水「ポンプ」ノ數ヲ減ジ又平水ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ限リ手動淦水「ポンプ」及測水管ヲ設ケザルコトヲ得

前項ノ手動淦水「ポンプ」ニハ滿載吃水線以上ノ高サニ於テ何時ニテモ近寄リ得ベキ場所ニ之ヲ裝置スベシ

第百六十六條　手動淦水「ポンプ」ノ吸水管ノ内徑ハ四センチメートル以上ニシテ船ノ大サニ應ジ適當ノモノト爲スベシ但シ一〇センチメートルヨリ大ナルコトヲ要セズ

手動淦水「ポンプ」ノ内徑ハ吸水管ノ内徑ノ二倍以上ト爲スベシ

淦水吸水管ノ端末ニハ適當ナル茶除箱ヲ設クベシ

第百六十七條　動力ニ依ル淦水「ポンプ」ヲ備フル船舶ニ付テハ各船ニ其ノ吸水管ヲ導キ各船ノ淦水ヲ排除シ得ベキ裝置ト爲スベシ

但シ第二數一、五〇〇以下ノ船舶ニ在リテハ管海官廳ノ見込ニ依リ淦水吸水管ヲ各船ニ導カザルモ妨ナシ

第百六十八條　船内又ハ石炭庫ヲ通過スル諸管ニハ貨物又ハ石炭ノ積載等ニ依リ破損セザル樣堅固ナル覆箱又ハ覆板ヲ設クベシ

汽管其ノ他高内壓力ヲ受クル諸管ハ船内又ハ石炭庫ヲ通過セシムルコトヲ得ズ但シ適當ノ圍壁又ハ隧道ヲ設クルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第百六十九條　滿載吃水線ヲ標示スル船舶ニ在リテハ滿載吃水線下ニ開口ヲ有スル各排泄管ニハ自働不還弁二箇ヲ備ヘ中一箇ハ何時ニテモ近寄リ得ル場所ニ之ヲ設クベシ但シ滿載吃水線以上ノ高サニ於ケル甲板上ノ何時ニテモ近寄リ得ベキ場所ヨリ弁ヲ閉ザ得ル裝置ト爲ストキハ自働不還弁ハ之ヲ一箇ト爲スコトヲ得

滿載吃水線下ニ於テ取附クル弁ハ鑄鐵製ナルコトヲ得ズ

第二十三章　操舵機具及揚錨、揚貨、繫船等ノ裝置

第百七十條　舵柄又ハ舵柄弧ニ對シテハ甲板上ニ堅牢ナル回轉止ヲ取附クベシ但シ舵柄又ハ舵柄弧ニ適當ノ制動裝置ヲ備フルカ又ハ操舵機ヲ直接舵柄弧ニ連結スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第百七十一條　舵柄又ハ舵柄ノ半徑ハ成ルベク第三號表ニ揭グル舵心材ノ徑ノ四倍以上ト爲スベシ

第百七十二條　舵柄ノ寸法ハ舵頭固定部ニ於テハ帶金ノ深サ及腕ノ幅ヲ第三號表ニ揭グル舵心材ノ徑ノ三分ノ一以上、腕ノ厚サヲ其ノ幅ノ二分ノ一以上ト爲シ腕ノ端末ニ於テハ舵頭部ニ於ケル寸法ノ三分ノ二ト爲スベシ

二箇ノ腕ヲ有スル舵柄弧ニ在リテハ各腕ノ寸法ヲ前項ニ依ルモノノ五分ノ四ト爲スベシ

第百七十三條　操舵鎖ノ徑ハ第三號表ニ揭グル舵心材ノ徑ノ百分ノ五以上ト爲シ操舵圓材ノ徑ハ操舵鎖ノ徑ノ一倍四分ノ一以上ト爲スベシ

第百七十四條　導鎖滑車ハ操舵鎖ヲ小角度ニ屈曲セシメザル樣之ヲ配置シ其ノ徑ハ操舵鎖ノ徑ノ十五倍以上ト爲シ其ノ車針ノ徑ハ操舵鎖ノ徑ノ一・七倍以上ト爲スベシ

第百七十五條　操舵、揚錨、揚貨、繫船等ノ諸機具、備鉤、繫鉤其ノ他ノ艤裝品ハ其ノ用途ニ應ジ之ヲ適當ニ構造スベシ但シ管海官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ適當ノ試驗ヲ執行スルコトヲ得

第二十四章　油運搬船

第百七十六條　本章ノ規定ハ船内ニ鋼製槽ヲ据附ケ油類ヲ積載スル船舶ニ之ヲ適用ス

第百七十七條　油槽ハ堅牢ナル臺上ニ据附ケ之ヲ支持スベシ

油槽ハ現場ニ於テ其ノ周圍及上下ヲ檢査シ得ベキ十分ナル餘地ヲ保ツ樣之ヲ据附クルカ又ハ船口ヨリ取出シ得ル寸法ノモノナルコトヲ要ス

第百七十八條　油槽ハ之ヲ堅牢ニ構造シ其ノ頂板上二・五メートルノ水高壓力ヲ以テ試驗ヲ行フモ變形又ハ漏洩セザルモノナルコトヲ要ス

第百七十九條　油槽ニハ適當ナル排氣管ヲ備ヘ之ヲ上甲板上適當ノ高サニ達セシメ其ノ開口ニハ取外シ得ベキ細目金網ヲ備フベシ

各槽ヲ連結スル油管ハ之ヲ堅牢ニ槽ニ取附ケ其ノ内徑ハ給油管ノ内徑以上ト爲スベシ

油槽ニハ其ノ大サニ應ジ適當ナル縱横ノ區壁ヲ設ケ且適當ノ高サヲ有スル膨脹圍壁ヲ設クベシ但シ特ニ小ナル油槽ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ膨脹圍壁ハ相連結シタル油槽ニ在リテハ其ノ中一箇ノミニ付之ヲ設クルモ妨ナシ

第百八十條　油槽ヲ据附ケタル船内、「ポンプ」室其ノ他瓦斯ノ發生スル場所ニハ有效ナル通風裝置ヲ設クベシ

油槽ヲ据附ケタル船内ニ於ケル通風間隙及淦水路ハ之ヲ他ノ船内ノモノト連絡ナキ構造ト爲スベシ

油槽ヲ据附ケタル船ニハ船内ノ淦水及漏油ヲ排除スルニ十分ナル「ポンプ」ヲ備フベシ

第百八十一條　油槽ヲ据附ケタル船内ニハ他ノ貨物ヲ搭載スルコトヲ得ズ

附　則

本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前製造又ハ製造ニ著手シタル船舶ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第一號表　材料

材料＼等級＼名稱	甲	乙	丙	丁
龍骨、副龍骨、船首材、副船首材	山毛欅、栗、欅、楠	山毛欅、栗、欅、楠、椎、鹽地、栓、樫、赤樅	山毛欅、栗、欅、楠、椎、鹽地、栓、樫、赤松、米松、桂、姫小松	山毛欅、栗、欅、楠、椎、鹽地、栓、樫、赤松、米松、桂、姫小松
船尾材、船尾骨、船尾肘材、舵柱、船樑、檜	山毛欅、栗、楠、櫻地、赤樅、椎、鹽地、松、樫、檜	山毛欅、栗、楠、櫻地、赤樅、椎、鹽地、松、樫、檜	山毛欅、栗、楠、櫻地、赤樅、椎、鹽地、松、樫、檜	山毛欅、栗、楠、櫻地、赤樅、椎、鹽地、松、樫、檜
舵心材	山毛欅、栗、楠、櫻、檜	山毛欅、栗、楠、櫻、檜	山毛欅、栗、楠、櫻、檜	山毛欅、栗、楠、櫻、檜
肋骨、船尾横梁材、船尾縱梁材	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠
肘材	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横
内龍骨、側内龍骨、副内龍骨、側内厚板、縱通材、船側縱通材	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横
梁肘材、副梁肘材、船樑	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横
梁受板、副梁受板、内部腰板	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横
船首尾肘材、梁曲材、根曲材	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横	山毛欅、栗、楠、櫻、檜、楠、栓、樫、赤樅、椎、鹽地、松、桂、姫小松、横
外板、外部腰板、樓、甲板	檜、樅、米松、杉	檜、樅、米松、杉	檜、樅、米松、杉	檜、樅、米松、杉
舷側厚板、龍骨翼板	檜、樅、楠	檜、樅、米松、杉	檜、樅、米松、杉	檜、樅、米松、杉
梁、梁桂、縱梁	檜、樅、楠	檜、樅、米松、杉	檜、樅、米松、杉	檜、樅、米松、杉
木甲板、橋孔板、樓、船口蓋板	檜、樅、山毛欅、樅、赤身杉	檜、樅、松、米松	檜、樅、松、米松	檜、樅、松、米松
甲板口緣材	檜、樅、山毛欅、栗、楠	檜、樅、山毛欅、栗、楠	檜、樅、山毛欅、栗、楠	檜、樅、山毛欅、栗、楠
内張板	楠、椎、鹽地	楠、椎、鹽地	楠、椎、鹽地	楠、椎、鹽地
船底包板	銅	黄銅	黄銅	亞鉛鍍鋼
舵針、舵蝶番	銅	—	—	—
鉚釘、螺釘、打込釘	銅、黄銅	亞鉛鍍鋼	鋼	—
木	釘桿、檜	檜、栗	—	—
檣、帆架、斜檣、檜	檜、樅	松、杉	—	—

第二號表　肋骨ノ截面

材料＼數一第	肋骨ノ心距	合材 肋材根	合材 彎曲部材	二材 頂材	單材 肋材根	單材 彎曲部材	單材 頂材
下以ヲ超ヲ	粍	角 粍	角 粍	角 粍	角 粍	角 粍	角 粍
3— 3.5	35	7.5	6.5	5	9.5	8.5	7
3.5 — 4	37	8.5	7.5	6	10.5	9.5	8
4 — 4.5	39	10	8.5	7	11.5	11	9
4.5— 5	41	11	10	8	14	12.5	10.5
5— 5.5	43	12.5	11	9	15.5	14	11.5
5.5 — 6	45	14	12	9.5	17.5	15.5	12.5
6— 6.5	47	15.5	13.5	10.5	19.5	17.5	14
6.5— 7	49	17	14.5	11	21.5	19	15
7— 7.5	51	18.5	16	12	23.5	21	16.5
7.5— 8	54	20	17	12.5	25.5	22.5	17.5
8— 8.5	56	21.5	18	13	27	24	18
8.5— 9	58	23	19	14	28.5	25.5	19.5
9— 9.5	60	24.5	20	15	30.5	27	21
9.5—10	62	26	21.5	16	32.5	28.5	22.5

第三表號　龍骨、龍骨外板、船首材、船尾材及舵柱、船尾骨材、船尾骨、船首骨、肘板、中心線桁、甲板、甲板ノ切缺、甲板ノ補強、甲板ノ開口、甲板ノ開口ノ補強、甲板ノ開口ノ蓋、甲板ノ昇降口、甲板ノ昇降口ノ蓋、甲板ノ通風口、甲板ノ通風口ノ蓋、甲板ノ舷窓、甲板ノ舷窓ノ蓋、甲板ノ排水口、甲板ノ排水口ノ蓋、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖、甲板ノ排水口ノ蓋ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖ノ鎖

事件 / 鉱業	金属鉱業	石炭鉱業	亜炭鉱業	石油鉱業	可燃性天然ガス鉱業	硫黄鉱業	硫化鉄鉱業	石綿鉱業	滑石鉱業	耐火粘土鉱業	重晶石鉱業	螢石鉱業	明礬石鉱業	黒鉛鉱業	石灰石鉱業	ドロマイト鉱業	苦灰石鉱業	珪石鉱業	長石鉱業	蛙目粘土鉱業	木節粘土鉱業	ろう石鉱業	陶石鉱業	珪藻土鉱業	雲母鉱業	砂鉄鉱業	砂金採取業	自然アスファルト鉱業	天然瀝青鉱業	石材業	砂利採取業	窯業	土石採取業
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一
十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二
十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三
十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四
十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五
十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六
十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七
十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八
十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九
二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十

事件 / 鉱業	金属鉱業	石炭鉱業	亜炭鉱業	石油鉱業	可燃性天然ガス鉱業	硫黄鉱業	硫化鉄鉱業	石綿鉱業	滑石鉱業	耐火粘土鉱業	重晶石鉱業	螢石鉱業	明礬石鉱業	黒鉛鉱業	石灰石鉱業	ドロマイト鉱業	苦灰石鉱業	珪石鉱業	長石鉱業	蛙目粘土鉱業	木節粘土鉱業	ろう石鉱業	陶石鉱業	珪藻土鉱業	雲母鉱業	砂鉄鉱業	砂金採取業	自然アスファルト鉱業	天然瀝青鉱業	石材業	砂利採取業	窯業	土石採取業
二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一
二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二
二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三
二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四
二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五
二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六
二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七
二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八
二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九
三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十

年齢	75— 125	125— 175	175— 250	250— 375	375— 500	500— 625	625— 750	750— 875	875—1,000	1,000—1,250	1,250—1,500	1,500—1,750	1,750—2,000
年	19	20	21	22	23	24	25	25	26	27	28	29	30
数	16	17	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	27
日	15	16	17	18	18	19	20	20	20	21	22	23	24
数	14	15	16	17	17	18	19	19	19	20	21	22	23
坑内	12	13	14	15	15	15	16	16	16	17	18	19	20
坑外	11	12	13	14	15	15	15	16	16	17	18	19	20
坑内	10	11	12	13	14	14	15	15	16	17	18	19	20
坑外	19	22	25	25	25	25	25	28	28	31	31	31	34
坑内	8	9	10	10	11	11	12	12	13	14	14	15	15
坑外	19	22	25	25	25	25	25	28	28	31	31	31	34
坑内	10	11	12	12	13	14	14	15	16	17	17	18	18
坑外	8	9	10	10	11	11	12	12	13	14	14	15	15
坑内	6	7	8	8	8	9	9	9	10	10	11	11	12
坑外	19	22	25	25	25	25	25	28	28	31	31	31	34
坑内	6	7	8	8	8	9	9	9	10	10	11	11	12
坑外	19	22	25	25	25	25	25	28	28	31	31	31	34
坑内	6	7	8	8	8	9	9	9	10	10	11	11	12
坑外	19	22	25	25	25	25	25	28	28	31	31	31	34
坑内	6	7	8	8	8	9	9	9	10	10	11	11	12
坑外	19	22	25	25	25	25	25	28	28	31	31	31	34
坑内	6	7	8	8	8	9	9	9	10	10	11	11	12
坑外	19	22	25	25	25	25	25	28	28	31	31	31	34
坑内	6	7	8	8	8	9	9	9	10	10	11	11	12
坑外	19	22	25	25	25	25	25	28	28	31	31	31	34
坑内	6	7	8	8	8	9	9	9	10	10	11	11	12
坑外	19	22	25	25	25	25	25	28	28	31	31	31	34
坑内	6	7	8	8	8	9	9	9	10	10	11	11	12

坑内掘進ノ場合ニ於テハ左ノ表ニ依リ坑外掘進ノ場合ニ於テハ其ノ二倍ノ数ヲ超エサル範囲ニ於テ之ヲ増減スルコトヲ得

年齢	75— 125	125— 175	175— 250	250— 375	375— 500	500— 625	625— 750	750— 875	875—1,000	1,000—1,250	1,250—1,500	1,500—1,750	1,750—2,000
年数	19	20	21	22	22	21	25	25	26	27	28	29	30
日数	16	17	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	27

年齢	75— 125	125— 175	175— 250	250— 375	375— 500	500— 625	625— 750	750— 875	875—1,000	1,000—1,250	1,250—1,500	1,500—1,750	1,750—2,000
年数	19	20	21	22	22	21	25	25	26	27	28	29	30
日数	16	17	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	27

差支ナシト認ムルトキハ之ヲ合格トス爲スコトヲ得但シ本令施行ノ日ヨリ三年ヲ經過シタル後ニ於テ新ニ漁船ニ備附ケル機關ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　本令施行ノ際現ニ存スル漁船又ハ現ニ製造中ノ漁船ニ付テハ漁船特殊規程第四條、第五條、第七條、第九條、第十二條、第十四條、第四十四條乃至第四十六條及第五十六條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第六條　本令施行ノ際現ニ存スル漁船ニシテ引續キ從前ノ業務ニ從事スルモノニ付テハ管海官廳ニ於テ本令ニ依リ救命設備、航海用具其ノ他ノ關具又ハ機關備品ヲ備フルコト困難ナリト認ムルトキハ本令施行後二年內ニ於テ行フ最後ノ中間檢査又ハ定期檢査ノ時期迄其ノ設備ニ付仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

第七條　本令施行ノ際現ニ存スル漁船ノ居室ニ付テハ漁船特殊規程第五十四條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第八條　本令施行ノ際現ニ漁船ニ備フル錨、錨鎖又ハ綱索ニ付テハ之ヲ引續キ當該漁船ニ備フル場合ニ限リ漁船特殊規程第六十三條ノ規定ニ依リザルコトヲ得

●漁船特殊規程

昭和九年二月
逓信、農商
令

漁船特殊規程左ノ通定ム

漁船特殊規程

目次

第一章　總則
第二章　船體
　第一節　通則
　第二節　木製漁船
　第三節　鋼製漁船
第三章　設備
第四章　機關
　附則

漁船特殊規程

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ動力漁船トハ推進機關ヲ有スル漁船ヲ謂ヒ第一種漁船、第二種漁船又ハ第三種漁船トハ各從業制限ニ於第一種、第二種又ハ第三種ノ漁船ヲ從業制限ニ關スル漁船ヲ謂ヒ運搬漁船トハ漁船特殊規則第五條第三號ニ揭グル業務ニ從事スル漁船ヲ謂フ

第二條　本令ニ該當セザル漁船ノ構造、材料及其ノ寸法竝ニ設備ト雖モ管海官廳ニ於テ本令ニ定ムルモノト同一效力ヲ有スト認ムル場合ニ於テハ之ヲ合格ト爲スベシ

第三條　漁船ノ構造、材料及其ノ寸法竝ニ設備ニ付テハ管海官廳ニ當該漁船ノ種類、大小、從業ノ期間等ヲ考慮シ適當ニ斟酌シテ之ヲ合格ト爲スコトヲ得

第四條　發動機ニ依リ推進スル長サ二一メートル以上ノ漁船ニシテ鰹若ハ鮪ノ竿釣漁業又ハ鮪、旗魚、鮫若ハ大餌ノ延繩漁業ニ從事スルモノニハ其ノ算式ニ依リ算定シタル分量ノ主機關用燃油ヲ容ルニ足ル燃油庫ヲ設備スベシ

D₂V₂C=ンヴ

D　ハ發動機ノ氣筒ノ徑(糎ニテ)
N　ハ發動機ノ氣筒ノ數
C　ハ常數ニシテ左表ニ係ル

船舶ノ長サ(米)	「ディーゼル」式單動發動機		「ディーゼル」式複動發動機又ハ「ヴルカン」式發動機	
	二衝程式	四衝程式	二衝程式	四衝程式
二以上　三未滿	七・三六	五・三六	四・九九	三・六四
三　〃　二五　〃	六・四〇	四・六八	四・三四	三・一二
二五　〃　三〇　〃	五・八一	四・二五	三・八一	二・七八
三〇　〃　三三　〃	五・三九	三・八八	三・五四	二・五九
三三　〃　四〇　〃	四・九〇	三・五八	三・二五	二・三七
四〇　〃　四五　〃	四・五二	三・二九	二・九三	二・一四
四五　〃　五〇　〃	四・二五	三・〇六	二・七三	一・九九
五〇　〃　五五　〃	三・九五	二・八四	二・五六	一・八六

第五條　主機關用燃油槽ヲ上甲板以上ノ場所ニ設クルトキハ其ノ容量ハ全燃油庫ノ容量ノ百分ノ十五ヲ超ユルコトヲ得ズ

第六條　甲板上ニ設クル燃油槽又ハ活魚槽ハ甲板ニ特ニ堅固ニ取附クベシ

第七條　運搬漁船及特殊漁船ヲ除クノ外漁船ノ艙側ニハ載貨門ヲ設クルコトヲ得ズ

第八條　動力漁船ニ非ザル漁船ニハ起倒シ得ベキ檣ヲ用ヰルコトヲ得ズ

第九條　艙壁ノ高サハ一〇センチメートルヲ超ユルコトヲ得ズ但シ各艙壁柱又ハ防撓材ノ間ニ於テ艙壁上部ニ十分ナル面積ノ無蓋開口ヲ設クルトキハ適當ニ艙壁ノ高サヲ增加スルコトヲ得

第十條　漁船ノ艙側ニ設クル釣窗又ハ張出甲板ハ十分ニ排水シ得ル構造ト爲スベシ

第十一條　石油發動機ヲ備フル漁船ノ機關室ニ於ケル隔壁其ノ他船體ノ部分木製ナルトキハ之ニ金屬板ヲ張リ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ燃燒ノ豫防ヲ爲スベシ

第十二條　艤裝ヲ上甲板又ハ船樓甲板ニ設クル船口、機關室口、艙口、出入口、天窓、通風器等ノ諸口及甲板口ヲ蔽圍スル甲板室ニ付テハ鋼材ノ甲板上ノ高サヲ左表ニ揭グルモノ以上ト爲スベシ但シ直接波浪ヲ受ケザル場所ニ於ケルモノ又ハ特殊ノ水密裝置ヲ備フルモノハ鋼材ノ高サヲ減ジ又ハ甲板上面ヲ平直ト爲スコトヲ得

漁船ノ種別	鋼材ノ甲板上ノ高サ(糎)
第一種漁船又ハ捕鯨船	一五
第二種漁船又ハ第三種ノ漁船(捕鯨船ヲ除ク)ニシテ長サ二五米未滿ノモノ	一二
第二種漁船又ハ第三種ノ漁船(捕鯨船ヲ除ク)ニシテ長サ二五米以上ノモノ	三〇

第十三條　船口ニハ堅牢ナル蓋板又ハ覆蓋ヲ備ヘ且之ヲ堅固ニ密閉シ得ベキ橫覆布及適當ノ締具ヲ備フベシ但シ管海官廳ニ於テ覆布同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノヲ備フルトキハ覆布ノ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

第十四條　艤裝ヲ上甲板又ハ船樓甲板ニ設クル機關室口ニ付テハ圍壁ノ甲板上面ヨリノ高サヲ左表ニ揭グルモノ以上ト爲スベシ

漁船ノ種別	機關室口圍壁ノ甲板上ノ高サ(糎)
第一種漁船又ハ捕鯨船	四五
第二種漁船又ハ第三種ノ漁船(捕鯨船ヲ除ク)ニシテ長サ二五米未滿ノモノ	六〇
第二種漁船又ハ第三種ノ漁船(捕鯨船ヲ除ク)ニシテ長サ二五米以上ノモノ	九〇

第十五條　艤裝甲板ノ機關室口圍壁ノ天窓、艤裝及覆布竝ニ適當ノ締具ヲ備フル外其ノ他水密トナルベキ裝置ヲ爲スベシ但シ管海官廳ニ於テ水密ト爲スベキ必要ナシト認ムルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條　前四條ノ規定ハ特殊漁船及總噸數百五十噸以上ノ運搬漁船ニハ之ヲ適用セズ前項ニ揭グル漁船ノ甲板口及甲板口ヲ蔽圍スル甲板室ノ縁材ノ高サ竝ニ機關室口圍壁ノ高サニ付テハ當該船舶ヲ第二級船ト看做シ木船構造規程又ハ造船規程及船舶滿載吃水線規程ノ規定ヲ適用ス

第二章　船體

第一節　通則

第十七條　第一種漁船又ハ長サ二五メートル未滿ノ漁船ニ在リテハ內龍骨ノ寸法ハ龍骨ノ規定ノ寸法ト雖ドモ龍骨ノ載面積ノ船ノ首尾兩端ニ於ケルモノヲ除ク外龍骨及內龍骨ノ規定ノ載面積ノ合計以上ナルトキハ內龍骨ヲ省略スルコトヲ得

第十八條　龍骨ノ載面積ハ船首材ト龍骨トノ嵌接ノ長サハ用材ノ深サノ三倍竝ニ規定ニ拘ラズ船心材頂部ノ鉛栓取附部ヲ內形ト爲ス場合ニ於テモ其ノ載面積ハ特ニ之ヲ增加セザルモ妨ナシ

第十九條　船首材ト龍骨トノ嵌接ノ長サハ用材ノ深サノ三倍竝ニ規定ニ拘ラズ船心材頂部ノ鉛栓取附部ヲ內形ト爲ス場合ニ於テモ其ノ載面積ハ特ニ之ヲ增加セザルモ妨ナシ

第二十條　船首材ト龍骨トノ嵌接ノ長サハ用材ノ深サノ三倍竝ニ規定ニ拘ラズ船心材頂部ノ鉛栓取附部ヲ內形ト爲ス場合ニ於テモ其ノ載面積ハ特ニ之ヲ增加セザルモ妨ナシ

第二十一條　二材合セ肋骨ノ肋材衝接ノ避距ハ船ノ幅ノ九分ノ一竝ニ減ズルコトヲ得

第二十二條　船ノ中央部ニ於ケル單材肋骨ノ肋根材ノ長サハ船ノ幅ノ二分ノ一竝ニ其ノ他ノ肋材ノ長サハ船ノ幅ノ四分ノ一竝ニ減ズルコトヲ得但シ衝接又ハ嵌接ノ數ハ五個以上ト爲スコトヲ得ズ

相隣接スル單材肋骨ノ衝接又ハ嵌接ノ離距ハ船ノ幅ノ九分ノ一竝ニ減ズルコトヲ得

第二十三條　船底ノ形狀尖ナル漁船ニ在リテハ肋根材ヲ中心線ノ兩側ニ止ムル場合ニ於テハ適當ナル副龍骨ヲ龍骨ノ上面ニ取附ケ其ノ上面ニ鐵製又ハ木製ノ根曲材ヲ附シ兩舷ノ肋根材ヲ連結スベシ此ノ場合ニ於テハ內龍骨及側內厚板ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二十四條　活魚艙ニ縱通隔壁ヲ設ケ該隔壁ノ下部ニ縱通材ヲ取附ケ之ヲ活魚艙ノ前後ニ二肋骨間延長シ活魚艙兩端ノ肋骨ノ寸法ヲ增シ且該部外板ノ厚サヲ增ストキハ其ノ部分ニ於テ肋骨ノ心距及外板ノ幅ヲ增加シ梁ノ寸法ヲ輕減シ且內龍骨、側內厚板及內張板ヲ省略スルコトヲ得

第二十五條　彎曲部縱通材ノ船ノ各側ニ於ケル總幅ハ船ノ幅ノ九分ノ一竝ニ減ズルコトヲ得

第二十六條　彎曲部角形ナル漁船ニ在リテハ其ノ部ニ外部彎曲部縱通材ヲ設ケ其ノ載面積ヲ六五平方センチメートル以上ト爲スベシ

第二十七條　梁脈材ノ載面積ハ本船構造規程ニ定ムルモノノ五分ノ四竝ニ減ズルコトヲ得

第二十八條　甲板梁ノ心距ガ規定ノ心距ヨリ小ナルトキハ其ノ割合ニ應シ梁ノ寸法ヲ減ズルコトヲ得

梁柱ノ數ヲ增ストキハ適當ニ梁ノ寸法ヲ減ズルコトヲ得

縱通隔壁アル場合ニ於テハ梁柱ハ其ノ取附ヲ適當ニ省略スルコトヲ得

第二十九條　幅五メートル未滿ノ漁船ニ於テハ甲板口ノ兩側ニ設クル半梁ハ本船構造規程第七十八條ノ規定ニ拘ラズ半梁一本竝ニ梁曲材ノ取附ヲ省略シ其ノ他ノ半梁ハ竪梁曲材ヲ以テ船側ニ固著シ其ノ他端ハ橫梁曲材ヲ以テ縱梁ニ固著セシムルコトヲ得

第三十條　幅五メートル未滿ノ漁船ニ於テ梁下縱通材ヲ設クルトキハ梁柱ハ甲板梁二本竝ニ設クルニ止ムルコトヲ得但シ甲板室、斜檣、揚錨機、揚貨機其ノ他ノ重量物ヲ支フル梁ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十一條　第二數七〇〇未滿ノ漁船ニ於テハ外部腰板ヲ設クルコトヲ要セズ

第三十二條　第二數二五〇未滿ノ漁船ニ於テハ外板ノ厚サヲ增シ且彎曲部縱通材ノ幅ヲ增ストキハ內張板ヲ設クルコトヲ要セズ

第三十三條　木船構造規程第百十八條第一項ノ規定ハ長サ四メートル未滿ノ機關室口ニハ之ヲ適用セズ

第三十四條　第二數三〇〇未滿ノ漁船ノ側內厚板ハ木船構造規程第百二十八條ノ規定ニ拘ラズ肋骨一本竝ニ敲釘及打込釘二箇ヲ以テ、其ノ他ノ肋骨ニハ打込釘二箇ヲ以テ固著セシムルコトヲ得

第三十五條　彎曲部縱通材ノ各材ノ幅一三センチメートル未滿ナルトキハ木船構造規程第百三十條ノ規定ニ拘ラズ肋骨一本竝ニ敲釘ヲ以テ、其ノ他ノ肋骨ニハ打込釘ヲ以テ固著セシムルコトヲ得

第三十六條　梁曲材ノ兩端ニ於ケル固著釘ノ總數ハ之ヲ五箇竝ニ減ズルコトヲ得

第三十七條　船ノ兩舷ニ於ケル肋骨ヲ構成シ且副肋材ヲ彎曲部ニ達セシムルニ止ムルコトヲ要セズ

第三十八條　外板ノ固著釘ノ數ハ外板ノ幅二二センチメートル未滿ナルトキハ肋骨每ニ三箇竝ニ減ズルコトヲ得

第三十九條　外部彎曲部縱通材ハ肋骨每ニ一箇以上ノ敲釘ヲ以テ固著セシムベシ

第四十條　動力漁船ニ在リテハ「ジアーム」「プライイングジアーム」及「アーム」ノ徑ハ長サ一メートルニ付一八ミリメートル竝ニ、「スクーナー」ノ「ガフ」ノ徑ハ長サ一メートルニ一六ミリメートル竝ニ減ズルコトヲ得

第三節　鋼製漁船

第四十一條　鋼製漁船ノ構造及材料ノ寸法ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外造船規程中重構船ノ規定ニ依ル

第四十二條　第一種漁船及第二種漁船ニハ第四十七條　特殊漁船ニハ最大搭載人員ヲ收容スベシ要スル端艇及之ニ對スル端艇釣ヲ備フベシ但シ管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ズト認ムル場合ニ於テハ他ノ揚卸裝置ヲ以テ端艇釣ニ代フルコトヲ得

第四十八條　前條ノ漁船ヲ除クノ外長サ二〇メートル以上二五メートル未滿ノ漁船ニハ容積二立方メートル以上ノ端艇ヲ、長サ二五メートル以上ノ漁船ニハ容積二・八三立方メートル以上ノ端艇ヲ備フベシ但シ端艇ノ容積ハ船ノ最大搭載人員ヲ收容スルニ必要ナル程度ニ止ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ備フベキ容積二・八三立方メートル以上ノ端艇ニ付テハ適當ノ揚卸裝置ヲ備フルコトヲ要ス

長サ二五メートル以上三〇メートル未滿ノ漁船ニ在リテハ救命浮器又ハ救命浮環ヲ以テ代用スルコトヲ得

第五十條　漁船ニハ左表ニ依リ救命浮環及救命胴衣ヲ備フベシ

漁船ノ種類	救命浮環	救命胴
第一種漁船	二	一
第二種及第三種漁船	四	二

第三章　設備

第四十七條　特殊漁船ニハ最大搭載人員ヲ收容スベシ要スル端艇及之ニ對スル端艇釣ヲ備フベシ但シ管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ズト認ムル場合ニ於テハ他ノ揚卸裝置ヲ以テ端艇釣ニ代フルコトヲ得

第四十八條　前條ノ漁船ヲ除クノ外長サ二〇メートル以上二五メートル未滿ノ漁船ニハ容積二立方メートル以上ノ端艇ヲ、長サ二五メートル以上ノ漁船ニハ容積二・八三立方メートル以上ノ端艇ヲ備フベシ但シ端艇ノ容積ハ船ノ最大搭載人員ヲ收容スルニ必要ナル程度ニ止ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ備フベキ容積二・八三立方メートル以上ノ端艇ニ付テハ適當ノ揚卸裝置ヲ備フルコトヲ要ス

長サ二五メートル以上三〇メートル未滿ノ漁船ニ在リテハ救命浮器又ハ救命浮環ヲ以テ代用スルコトヲ得

第四十九條　第二種漁船又ハ第三種漁船ニハ最大搭載人員ト同數ノ救命胴衣ヲ備フベシ但シ管海官廳ノ見込ニ依リ鰹竿釣又ハ鮪竿釣漁船ニ在リテハ最大搭載人員ノ四分ノ一竝ニ第二項ニ揭グル漁船ニ在リテハ最大搭載人員ノ二分ノ一竝ニ救命胴衣ノ數ヲ減ズルコトヲ得

第五十條　漁船ニハ左表ニ依リ救命浮環及救命胴ヲ備フベシ

漁船ノ種類	救命浮環	救命胴
第一種漁船	二	一
第二種及第三種漁船	四	二

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第五款　船舶

第二章　運航

第十七條　電氣關係規程

第二章　運航

第五款　船舶

（一）船舶ノ種類

第一種船舶　第一種船舶ハ第二種船舶ニ非サル船舶ニシテ第三種船舶ニ非サル船舶ヲ謂フ

第二種船舶　第二種船舶ハ第三種船舶ニ非サル船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル船舶ヲ謂フ

一　船體ノ長サ二十五米以上ニシテ總噸數二百噸以上ノ鋼船

二　船體ノ長サ二十五米以上ニシテ總噸數二百噸以上ノ木船

三　船體ノ長サ二十五米以上ニシテ總噸數二百噸以上ノ鋼船ニ曳カレ又ハ押サルル船舶

第三種船舶　第三種船舶ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル船舶ヲ謂フ

一　船體ノ長サ二十五米以上ニシテ總噸數二百噸以上ノ鋼船ニ曳カレ又ハ押サルル船舶

二　船體ノ長サ二十五米以上ニシテ總噸數二百噸以上ノ木船ニ曳カレ又ハ押サルル船舶

三　船體ノ長サ二十五米以上ニシテ總噸數二百噸以上ノ鋼船ニ曳カレ又ハ押サルル船舶

（二）船舶ノ檢査

第二種船舶ノ檢査　第二種船舶ハ第三種船舶ニ非サル船舶ニシテ第一種船舶ニ非サル船舶ヲ謂フ

第三種船舶ノ檢査　第三種船舶ハ第一種船舶ニ非サル船舶ヲ謂フ

第一種船舶ノ檢査　第一種船舶ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル船舶ヲ謂フ

一　船體ノ長サ二十五米以上ニシテ總噸數二百噸以上ノ鋼船

二　船體ノ長サ二十五米以上ニシテ總噸數二百噸以上ノ木船

三　船體ノ長サ二十五米以上ニシテ總噸數二百噸以上ノ鋼船ニ曳カレ又ハ押サルル船舶

第一種船舶ノ檢査　第一種船舶ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル船舶ヲ謂フ

一　船體ノ長サ二十五米以上ニシテ總噸數二百噸以上ノ鋼船

二　船體ノ長サ二十五米以上ニシテ總噸數二百噸以上ノ木船

三　船體ノ長サ二十五米以上ニシテ總噸數二百噸以上ノ鋼船ニ曳カレ又ハ押サルル船舶

（二）船舶ノ檢査

第二種船舶ノ檢査　第二種船舶ハ第三種船舶ニ非サル船舶ニシテ第一種船舶ニ非サル船舶ヲ謂フ

第三種船舶ノ檢査　第三種船舶ハ第一種船舶ニ非サル船舶ヲ謂フ

適量ノ大麥ヲ混用スベシ

三　骨附肴肉ノ可食分ハ六六%、骨附魚肉ノ可食分ハ五四%トス

四　肉類ハ同量ノ鹽乾肉又ハ燻肉ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

五　生野菜ハ管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ズト認ムル場合ニ限リ本表ノ量額ノ半量ヲ超エザル範圍内ニ於テ乾野菜ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ乾野菜二五グラムハ生野菜一〇〇グラムニ相當スルモノトス

六　北洋方面以外ニ出漁スル母船ニ付テハ管海官廳ニ於テ調味料ノ量額ヲ適當ニ增減スルコトヲ得

第三號表　屬具表

屬具名稱 ＼ 漁船ノ種類	第三種漁船 長サ五長サ五メートル以上未滿	第二種漁船 長サ二長サ二十メートル以上未滿	第一種漁船 動力ヲ有セザル漁船	摘要
號鏡	一	一	一	
時計	一	一	一	
雙眼鏡	一	一	一	
晴雨計	一	一	一	
海水用寒暖計	一	一	一	
手用測程具	一	一	一	
砂漏計	一	一	一	
測程機械	二	一	一	動力ヲ有セザル漁船及總噸數百噸未滿ノ運搬漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
手用測鉛	二	一	一	測鉛ノ重量ハ手用測鉛ニ在リテハ一二・二瓩以上深海測鉛ニ在リテハ一二・七瓩以上ナルコトヲ要ス
深海測鉛	一	一	一	測鉛ニ附スル線ノ長サハ手用測鉛ニ在リテハ四六メートル以上、深海測鉛ニ在リテハ二三〇メートル以上ナルコトヲ要ス
時辰儀	一	一	一	總噸數三十噸未滿ノ動力ヲ有セザル漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
六分儀	一	一	一	總噸數千噸未滿ノ母船及運搬漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
航海所	一	一	一	總噸數二百噸未滿ノ母船及運搬漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
羅針儀	二	一	一	總噸數二百噸未滿ノ母船及運搬漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
燈橋 常用	二	一	一	總噸數四十噸以上ノ動力漁船ニハ甲種燈ヲ備ヘ總噸數四十噸未滿ノ動力漁船ニハ甲種又ハ乙種燈ヲ備フベシ
燈橋 豫備	二	一	一	長サ四五・七メートル以上ナルキハ常用燈二箇ヲ備フベシ
燈舷 常用	一對	一對	一對	總噸數四十噸未滿ノ動力漁船ニハ甲種又ハ乙種兩色燈一箇ヲ以テ代用スルコトヲ得
燈舷 豫備	一對			豫備舷燈ハ油船燈ト爲スコトヲ要ス
燈尾	一	一	一	總噸數四十噸未滿ノ漁船ニ於テハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ヲ以テ代用スルコトヲ得
碇泊燈	二	一	一	碇泊燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ヲ要ス
漁業燈	一揃	一揃	一揃	長サ四五・七メートル以上ナルキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
黑球	二	二	一	總噸數四十噸未滿ノ動力漁船ニハ黑球ヲ備フルコトヲ要セズ
鎗中號角	一	一	一	黑球ハ直徑六一〇ミリメートルニシテ布其ノ他ノ保存ニ耐フベキ材料ヲ用ヒタルモノナルコトヲ要ス
火箭又ハ榴彈	六	二	一	總噸數四十噸未滿ノ動力漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
火箭又ハ榴彈	二	二	一	總噸數四十噸未滿ノ動力漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
火箭又ハ榴彈	二	二	一	總噸數千噸未滿ノ母船及運搬漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
火箭又ハ榴彈	二	二	一	總噸數二百噸未滿ノ母船及運搬漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
國旗	二	一	一	總噸數二百噸未滿ノ母船及總噸數百噸未滿ノ運搬漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

備考

一　動力ヲ有セザル漁船及總噸數百噸未滿ノ運搬漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

二　測鉛ノ重量ハ手用測鉛ニ在リテハ一二・二瓩以上深海測鉛ニ在リテハ一二・七瓩以上ナルコトヲ要ス

三　骨附肴肉ノ可食分ハ六六%、骨附魚肉ノ可食分ハ五四%トス

四　肉類ハ同量ノ鹽乾肉又ハ燻肉ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

五　生野菜ハ管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ズト認ムル場合ニ限リ本表ノ量額ノ半量ヲ超エザル範圍内ニ於テ乾野菜ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ乾野菜二五グラムハ生野菜一〇〇グラムニ相當スルモノトス

六　北洋方面以外ニ出漁スル母船ニ付テハ管海官廳ニ於テ調味料ノ量額ヲ適當ニ增減スルコトヲ得

國際信號旗	一組	一組	一組NC二	NC二族	NC二族	總噸數百噸未滿ノ漁船ニハNC二旗ノミヲ備フルモ妨ナシ但シNC二旗ノミヲ備フル漁船ト雖モ信號符字ノ點符アルモノハ其ノ符字ニ對スル信號旗ヲ備フベシ
國際通信書	一	一	一			總噸數百噸未滿ノ漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナク又無線電信裝置ヲ備ヘキ漁船ハ國際通信簿中電信篇ヲ備ヘザルモ妨ナシ
船名錄	一	一	一			總噸數百噸未滿ノ漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
海錨	一	一	一			總噸數二百噸以上ノ漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
信號燈	一	一	一			總噸數百五十噸以上ニシテ國際航海ヲ爲ス漁船ニ限リ之ヲ備フベシ
母船及「グランプル」軸受螺釘	各種一組					摘要
「ローター」軸受金及母螺	各形一組					
「ローター」軸受螺釘及母螺	各種一組					
「ローター」推力受「ターヒン」ニ付	各一組					「ターヒン」用ナルトキハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
「ローター」軸ノ汽密環及發條	各壞座毎ニ一組					
減速裝置ノ軸受及母螺	各種一組					
減速裝置軸受金	各形一組					
「ローター」軸受螺釘及母螺	各種一組					
接軸鍔螺釘及母螺	各種一組					
單環式推力軸推力受	片面分					
復水器管	總數ノ四十分ノ一但シ最少十本					
復水器管塡筒	總數ノ三十分ノ一但シ最少三十箇					
抽氣「ポンプ」桿	一箇					扇車「ポンプ」ナルトキハ桿ノ代リニ扇車軸ヲ備フベシ
抽氣「ポンプ」弁	一組同上					
循環水「ポンプ」桿	一箇					扇車「ポンプ」ナルトキハ桿ノ代リニ扇車軸ヲ備フベシ
循環水「ポンプ」弁	一組同上					
給水「ポンプ」弁	一組同上					
淦水「ポンプ」弁	一組同上					
潤滑油「ポンプ」弁及發條	一組同上					
逃出弁發條	各種一箇					
給水制限弁	一組同上					汽缶四箇以上ナルトキハ更ニ一組增備スベシ
安全弁發條各種ニ付	一箇					同形ニシテ相轉用シ得ルモノナルトキハ三箇ニ止ムルコトヲ得
火床	棧總數ノ五分ノ一					總數ノ十分ノ一但シ最少四箇
「ピストン」ニ嵌挿螺釘及母螺	六箇					汽缶四箇分ニ止ムルコトヲ得
「ピストン」環	各一組					
「ピストン」桿	各一組					同形ニシテ相轉用シ得ルモノハ之ヲ一組ニ止ムルコトヲ得
連接桿上下ノ螺釘及母螺	一桿分同上					
燃油裝置用噴油器各種ニ付	一箇同上					
微粉炭燃燒裝置用噴炭器	各種ニ付一箇同上					

第四號表

蒸汽機關ヲ備フル漁船ノ機關備品表

漁船ノ種別 ＼ 名稱	第二種漁船ト雖モ第一種汽船又ハ漁船特殊規則第五條ノ漁業ニ從事スル漁船	其ノ他ノ漁船	摘要
「ピストン」環	各一組		
「ピストン」桿	各一組		同形ニシテ相轉用シ得ルモノハ之ヲ一組ニ止ムルコトヲ得
「ピストン」ニ嵌挿螺釘及母螺	六箇	三箇	
連接桿上下ノ螺釘及母螺	一桿分	同上	

備考

漁業燈ヲ備フベキ漁船ノ種別及備フベキ漁業燈ノ種類竝ニ數ハ左ノ各號ニ依ル但シ各號ノ白燈ハ之ト同種以上ノ白燈ヲ碇泊燈トシテ備フルトキハ碇泊燈ヲ以テ兼用スルコトヲ得

(一)　甲板ヲ張詰メザル漁船ニシテ夜間漁業ニ從事スルニ當リ其ノ放出セル漁具ノ端ト本船トノ水平距離カ四五・七メートル以内ナルモノ

甲種、乙種、丙種又ハ丁種白燈一箇

(二)　甲板ヲ張詰メザル漁船ニシテ夜間漁業ニ從事スルニ當リ其ノ放出セル漁具ノ端ト本船トノ水平距離カ四五・七メートルヲ超エルモノ

甲種、乙種、丙種又ハ丁種白燈二箇

(三)　甲板ヲ張詰メタル漁船ニシテ夜間流網又ハ延繩ヲ用ヰテ漁業ニ從事スルモノ

(四)　夜間打瀨網、桁網其ノ他海底ニ曳ク漁具ヲ用ヰテ漁業ニ從事スルモノ

甲種白燈二箇

(五)　前號ノ漁船中夜間機關ヲ以テ推進シ漁具ヲ海底ニ曳クモノ

前號ノ白燈ノ外三色燈一箇

粉炭燃燒裝置用罐	一	組	—
炭具			
示面計硝子管	各錶ニ付四箇但シ最少六箇		
管擴器	一	箇同	上
管寒器	各罐ニ付二箇但シ最少四箇	四箇	中半數ハ汽罐前面ニ於テ直ニ使用シ得ルモノナルコトヲ要シ水管汽罐ニハ管寒栓ヲ上記ノ倍數備フベシ汽罐四箇分ニ止ムルコトヲ得
滑車及鋼	一	組	—
螺旋切道具	一	組	—
鑽孔器	一	箇	—
鑢	一	箇	—
金敷	一	箇	—
据附萬力	一	箇	—
鋼板	各種若干同		上
鋼棒	各種若干同		上
螺釘及母螺	各種若干同		上
機關室小道具	一	揃同	上
驗鹽器	二	箇一箇	
溫度計	二	箇一箇	

備考

汽機又ハ「ポンプ」ニシテ同形ノモノ二箇以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ「ピストン」環乃至逆流弁發條ハ之ヲ汽機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

第五號表

發動機ヲ備フル漁船ノ機關備品表

船舶ノ種別	其ノ他ノ漁船		
船舶ノ長サ	三〇米以上三〇米未滿	三〇米未滿三〇米以上三〇米未滿	
摘要	第二種漁船「トロール」汽船又ハ漁船特殊規則第五條第四號ニ掲グル業務ニ從事スル漁船		
氣筒「氣筒蓋「ピストン」發條	組同	上	—
等ノ冷却「ポンプ」弁及一			
潤滑油「ポンプ」ノ弁及發條	一組同	上同	上
移油「ポンプ」ノ弁及發條	一組	一組	—
淦水「ポンプ」弁	一組同	上同	上
燒球	氣筒一箇但シ汽船又ハ漁船ニ從事スル漁船ハ其ノ端數一箇	氣筒二箇又ハ其ノ端數同	上
點火	栓氣筒一箇每同	上同	上
電池	常用ト同數同	上常用ノ半數同	上
電線	若干同	上同	上
始動用燈	常用ノ外二箇同	上同	上常用ノ外一箇
滑車及鋼	一組同	上同	上
螺旋切道具	一組	一組	—
鑽孔器	一組	一組	—
鑢	一箇	—	—
金敷	一箇	—	—
据附萬力	一箇	一箇	—
鋼板	若干	—	—
鋼棒	若干	—	—
螺釘及母螺	各種若干同	上同	上
機關室小道具	一揃同	上同	上
溫度計	二箇一箇	—	—
間轉計	一箇同	上同	上

備考

發動機又ハ「ポンプ」ニシテ同形ノモノ二箇以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至栓ハ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

●海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ニ依ル證書ニ關スル件

昭和十年九月
總令第百八號

海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件左ノ通定ム

海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關シテハ昭和十年遞信省令第二十二號ニ依ル但シ同令中船舶安全法トアルハ朝鮮船舶安全令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法、船舶安全法施行規則トアルハ朝鮮船舶安全令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法施行規則、船舶設備規程トアルハ朝鮮船舶設備規程、船舶區畫規程トアルハ朝鮮船舶區畫規程、內地トアルハ朝鮮トス

附則

本令ハ昭和十年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行後直ニ本令ニ依リ難キ船舶ハ管海官廳ノ認可ヲ受ケ其ノ指定スル時期迄本令ノ安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有セザルコトヲ得

●海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件

昭和十年八月
遞令第二十二號

海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件左ノ通定ム

海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件

第一條　國際航海ニ從事スル船舶ハ內地各港間ヲ航行スル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依リ安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スルコトヲ要ス

第二條　第四條各號ニ揭グル船舶ヲ除クノ外海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ニ加盟シタル一國ト他ノ國トノ間ノ航海（以下甲種國際航海ト稱ス）ニ從事スル旅客船ハ最寄管海官廳ニ於テ安全證書（第一號書式）ノ交付ヲ受クベシ

第三條　第四條第三號ニ揭グル船舶ヲ除クノ外甲種國際航海ニ從事スル總噸數千六百噸以上ノ船舶ニシテ旅客船ニ非ザルモノハ最寄管海官廳ニ於テ安全無線電信證書（第二號書式）ノ交付ヲ受クベシ

第四條　左ノ各號ニ揭グル船舶ハ最寄管海官廳ニ於テ免除證書第三號書式ノ交付ヲ受クベシ

一　甲種國際航海ニ從事スル旅客船ニシテ沿海ノ航行區域ヲ有スルモノ

二　甲種國際航海ニ從事スル旅客船ニシテ臨時旅客又ハ甲板旅客ヲ搭載スル爲其ノ構造又ハ設備ニ付船舶區畫規程又ハ船舶設備規程ノ定ムル所ニ依リ其ノ一般規定ノ適用ヲ緩和セラレタルモノ

三　甲種國際航海ニ從事スル總噸數千六百噸以上ノ船舶又ハ總噸數千六百噸未滿ノ旅客船ニシテ船舶安全法施行規則第二十二條又ハ第二十三條ノ規定ニ依リ無線電信ヲ施設スルコトヲ免除セラレタルモノ

第五條　安全證書又ハ安全無線電信證書ヲ受有スル船舶臨時ニ第四條第二號ニ揭グル船舶ニ該當スルトキハ免除證書ヲ併セ受有スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ免除證書ヲ受有スル場合ニ於テハ當該船舶ガ第四條第二號ニ揭グル船舶ニ該當スル期間內安全證書又ハ安全無線電信證書ノ效力ヲ停止ス

第六條　國際滿載吃水線條約ニ加盟シタル一國ト他ノ國トノ間ノ航海（以下乙種國際航海ト稱ス）ニ從事スル總噸數百五十噸以上ノ船舶ニシテ船舶安全法第三條ノ規定ニ依リ滿載吃水線ヲ標示スルコトヲ要スルモノハ最寄管海官廳ニ於テ國際滿載吃水線證書（第四號書式）ノ交付ヲ受クベシ

第七條　第二條乃至第四條又ハ第六條ノ證書ハ船舶檢查證書ヲ受有スル船舶ニ非ザレバ其ノ交付ヲ受クルコトヲ得ズ

哉吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件

氣筒蓋（「ピストン」環乃至逆流弁發條ハ之ヲ汽機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得）ノ他附屬品ノ完備セルモノ	各形	一組	—
「ピストン」完備セルモノ	一	箇	上同
「ピストン」環	一	組同	上同
噴油弁	弁座、弁匣、發條、氣筒二箇又ハ其ノ端數同	毎ニ一組	上
噴油弁完備セルモノ	弁座、弁匣、發條、氣筒二箇又ハ其ノ端數同	毎ニ一組	上
噴油管及接合金具	一	揃同	上
「ピストン」冷却用伸縮接合管又ハ撓動管	一	組同	上
主軸受螺釘及母螺	一	氣筒分同	上
連接桿上下ノ螺釘及母螺	二	桿分同	上
連接桿上下ノ栓受金	二	桿分同	上
接軸錫螺釘及母螺	各種一	組同	上
始動弁及發條	一	組同	上
正副空氣壓縮機ノ「ピストン」環	各形一	組同	上
正副空氣壓縮機ノ吸入弁及排出弁竝ニ發條	各形一	組同	上
掃除空氣「ポンプ」弁及發條	一	組	—
燒球式發動機ノ掃除空氣弁	二	氣筒分同	上
噴油「ポンプ」ノ弁、弁座及發條	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎ニ一氣筒分	氣筒四箇又ハ其ノ端數同	上
氣筒、氣筒蓋「ピストン」等ノ冷却「ポンプ」ノ扇車軸	一	箇同	上

備考

長サ五〇メートル以上ノ船舶ニ使用シ得ル「デイーゼル」式發動機ニ限ル

中半數ハ汽罐前面ニ於テ直ニ使用シ得ルモノナルコトヲ要シ水管汽罐ニハ管寒栓ヲ上記ノ倍數備フベシ汽罐四箇分ニ止ムルコトヲ得

無空氣噴油「デイーゼル」式發動機ニ限ル

中數ハ弁、弁座及發條ノミニ止ムルコトヲ得

復動式ナルトキハ上記ノ倍數トス

第八條　第二條乃至第四條ノ證書ノ有效期間ハ一年以內ニ於テ管海官廳之ヲ定ム

第九條　安全證書、安全無線電信證書又ハ免除證書ノ有效期間滿了ノ際當該船舶ガ外國ニ在ルトキハ最寄帝國領事官ニ當該證書ノ有效期間ノ延長ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請アリタルトキハ帝國領事官ハ當該船舶ニ付其ノ航海ノ適否ヲ調査シ差支ナシト認ムルトキハ當該船舶ガ內地ニ歸航スル爲必要ナル場合ニ限リ五月ヲ超エザル期間內ニ於テ有效期間ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ證書ノ有效期間ヲ延長シタル場合ニ於テ當該船舶ガ內地ニ到達シタルトキハ其ノ有效期間ハ滿了シタルモノト看做ス

第十條　第六條ノ證書ノ有效期間ハ四年五月以內ニ於テ管海官廳之ヲ定ム

第十一條　管海官廳ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スル船舶ニシテ當該證書ノ有效期間滿了ノ國際滿載吃水線ヲ變更スルノ必要ナシト認ムルモノニ付テハ申請ニ依リ其ノ有效期間ヲ更新スルコトヲ得

第十二條　海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ニ加盟シタル外國ニ於テ同條約ニ依ル當該國ノ安全證書又ハ安全無線電信證書ノ交付ヲ受ケントスルトキハ船長ハ最寄帝國領事官ニ事由ヲ具シタル申請書ヲ提出スベシ

國際滿載吃水線條約ニ加盟シタル外國ニ於テ同條約ニ依ル當該國ノ國際滿載吃水線證書ノ交付ヲ受ケントスルトキ亦前項ニ同シ

第二條、第三條又ハ第六條ノ規定ニ依リ當該證書ヲ受有スル船舶ニハ之ヲ適用セズ

第十三條　左ニ揭グル場合ニ於テハ遲滯ナク安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ最寄管海官廳ニ返還スベシ

一　當該證書ノ有效期間滿了シタルトキ

二　安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スル船舶ガ當該證書ノ有效期間內ニ重リタルトキ但シ第五條ノ規定ニ依リ安全證書又ハ安全無線電信證書ヲ免除證書トヲ併セ受有スル場合ヲ除ク

第十四條　甲種國際航海ニ從事スル船舶ガ特定ノ航海ニ於テ其ノ搭載スル人員ニ相當スル數ノ救命設備ヲ減少セントスルトキハ事由ヲ具シ救命設備輕減認可書（第五條書式）ノ交付ヲ最寄管海官廳又ハ帝國領事官ニ申請スベシ

第十五條　前條ノ認可書ハ之ヲ安全證書ニ添附シ船舶ガ內地ニ到達シタルトキハ遲滯ナク最寄管海官廳ニ返還スベシ

第十六條　第二條ノ證書又ハ第三條ノ證書ノ交付申請書ニハ無線電信ノ通信員及聽守員ノ實在數ヲ附記シ船舶檢査證書又ハ其ノ寫及無線電信檢査證書又ハ無線電信假檢定證書ノ寫ヲ添附スベシ

第十七條　第四條ノ證書ノ交付申請書ニハ第四條第一號ニ揭グル船舶ニ付テハ船舶檢査證書又ハ其ノ寫ヲ、同條第二號ニ揭グル船舶ニ付テハ船舶檢査證書又ハ其ノ寫及特殊船舶檢査證書又ハ其ノ寫ヲ、同條第三號ニ揭グル船舶ニ付テハ船舶檢査證書又ハ其ノ寫及無線電信ノ施設ヲ免除セラレタルコトヲ證スル書類ヲ添附スベシ

第十八條　第六條ノ證書ノ交付申請書ニハ船舶檢査證書又ハ其ノ寫ヲ添附スベシ

第十九條　救命設備輕減認可書ノ交付申請書ニハ救命設備ヲ減少セントスル特定ノ航海又ハ其ノ區間、期間、搭載人員竝ニ減少セントスル救命設備ノ種類及數量ヲ附記シ且船舶檢査證書又ハ其ノ寫、特殊船舶檢査證書又ハ其ノ寫、安全證書及船舶檢査手帖ヲ添附スベシ

第二十條　船舶安全法施行規則第八條、第百二十五條第一項、第百二十六條、第百三十條、第百三十一條及第百四十條ノ規定ハ安全證書、安全無線電信證書、免除證書、國際滿載吃水線證書及救命設備輕減認可書ニ之ヲ準用ス

第二十一條　安全證書、安全無線電信證書、免除證書、國際滿載吃水線證書又ハ救命設備輕減認可書ノ交付、再交付、書換又ハ國際滿載吃水線證書ノ有效期間ノ更新ヲ受ケントスルトキハ左ノ手數料ヲ納付スベシ

一　安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書　五圓

二　救命設備輕減認可書　三圓

三　國際滿載吃水線證書ノ有效期間ノ更新　一圓

第二十二條　船舶安全法施行規則第百八十三條第一項及第百八十五條ノ規定ハ前條ノ手數料ニ之ヲ準用ス

手數料納付書ニハ船舶番號、船種、船名、船舶所有者名及安全證書、安全無線電信證書、免除證書、國際滿載吃水線證書又ハ救命設備輕減認可書ノ別ヲ記載シ國際滿載吃水線證書ノ有效期間ノ更新ニ付テハ其ノ旨ヲ附記スベシ

附　則

本令ハ昭和十年八月十一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行後直ニ本令ニ依リ難キ船舶ハ管海官廳ノ認可ヲ受ケ其ノ指定スル時期迄第一條ノ證書ヲ受有セザルコトヲ得

第一號書式

安　全　證　書

日本帝國

（公ノ印章）

海航國際對スルモノ

短國際航海

千九百二十九年海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ノ規定ニ依リ發行ス

船名	號番船舶	船籍港	總噸數

日本帝國政府ハ下ノ事項ヲ證明ス

一　本船ガ前記國際條約ノ規定ニ從ヒ正當ニ檢査セラレタルコト

二　檢査ノ結果本船ガ下ノ事項ニ關シ前記條約ノ規定ニ適合セルコト

（一）　船體、主及補助ノ汽罐竝ニ機關

（二）　水密區畫ノ配置及其ノ細目

（三）　下ノ區畫滿載吃水線

指定シ且船舶ノ長サノ中央ニ於テ船側ニ標示シタル區畫滿載吃水線（條約第五條）	乾舷	實際旅客ヲ搭載スル場所ガ他ノ用途ニ供用スルコトアルベキ下ノ場所ヲ含ム場合ヲ適用ス
C_1	……	……
C_2	……	……
C_3	……	……

（四）　全人員（船員及旅客）ノ爲ノ端艇、救命筏其ノ他ノ救命設備ヲ即チ

端艇	隻	人分
救命筏	箇	人分
救命浮器	箇	人分
救命浮環	箇	
救命胴衣	箇	
證明書ヲ有スル救命艇手	人	

（五）　無線電信設備

	條約第　條ノ規定　前記	實際ノ施設
聽守時間	……	……
永認自働警急機備附ノ有無	……	……
別箇ノ補助設備ノ有無	……	……
通信員ノ最小數	……	……
追加通信員又ハ聽守員	……	……
方位測定機備附ノ有無	……	……

三　本船ガ前記國際條約ノ規定ニ適用アル規定ニ適合セルコト

本證書ハ日本帝國政府ノ權限ノ下ニ之ヲ發行ス

本證書ハ　　年　　月　　日迄效力ヲ有ス

年　　月　　日　　ニ於テ發行ス

管海官廳印

第二號書式

安全無線電信證書

日本帝國

（公ノ印章）

千九百二十九年海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ノ規定ニ依リ發行ス

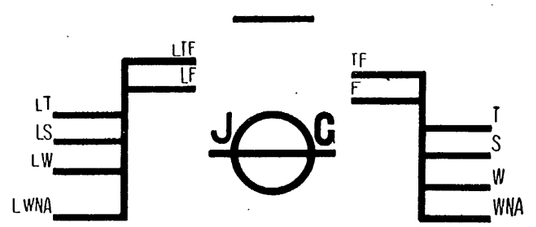
船名	船舶番號	船籍港	總噸數

日本帝國政府ハ本船ガ無線電信ニ關シ前記國際條約ノ規定ニ適合セルコトヲ證明ス

木材滿載吃水線

甲板線ヨリノ乾舷　　滿載吃水線

熱帶木材……(LT)　(S)ノ上方……
夏期木材……(LS)　(S)ノ上方……
冬期木材……(LW)　(S)ノ上方……
冬期北大西洋木材……(LWNA)　(S)ノ下方……
上記乾舷ニ付テノ淡水ニ對スル僚裕……
上記乾舷ヲ測ル基準タル甲板線ノ上縁ハ舷ニ於テ　甲板ノ上面ノ上方　ミリメートルトス



本證書ハ前記條約ニ從ヒ本船カ檢査セラレ且前記ノ乾舷及滿載吃水線カ指定セラレタルコトヲ證明ス
本證書ハ　年　月　日迄效力ヲ有ス
年　月　日　ニ於テ發行ス

管海官廳印

（國際滿載吃水線證書裏面）

條約ノ規定カ本船ニ依リ完全ニ遵守セラレタルヲ以テ本證書ハ　年　月　日迄之ヲ更新ス
年　月　日
場所……管海官廳印

第五號書式

救命設備輕減認可書

船名	船舶番號	船籍港	總噸數

本船ハ　ヨリ　ニ至ル航海間ニ於テ其ノ搭載スル船員及旅客ノ總數カ　人ヲ超エザル限リ救命設備ヲ次表ニ掲ゲル數量迄輕減スルコトヲ認可ス

端艇	隻	人分
救命筏	箇	人分
救命浮器	箇	人分
救命浮環	箇	
救命胴衣	箇	
證明書ヲ有スル救命艇手	人	

本船ハ上記ノ輕減ニ依リ千九百二十九年海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ノ規定ニ違反スルモノニ非ズ
本認可書ハ救命設備ニ關スル限リ船舶檢査證書及安全證書ニ代リテ效力ヲ有ス
本認可書ハ日本帝國政府ノ權限ノ下ニ之ヲ發行ス
本認可書ハ　年　月　日ヨリ　年　月　日迄效力ヲ有ス
年　月　日　ニ於テ發行ス

管海官廳印

	前記條約第　條ノ規定	實際ノ施設
聽守時間	……	……
承認自働警急機備附ノ有無	……	……
別箇ノ補助設備ノ有無	……	……
通信員ノ最小數	……	……
追加通信員又ハ聽守員	……	……

本證書ハ日本帝國政府ノ權限ノ下ニ之ヲ發行ス
本證書ハ　年　月　日迄效力ヲ有ス
年　月　日　ニ於テ發行ス

管海官廳印

第三號書式

免除證書

日本帝國

公ノ印章

千九百二十九年海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ノ規定ニ依リ發行ス

船名	船舶番號	船籍港	總噸數

日本帝國政府ハ前記國際條約第　條ニ依リ付與セラレタル權限ニ基キ本船ニ對シ前記條約ニ至ル航海ニ於テ　ノ規定ノ適用ヲ免除シタルコトヲ證明ス
本證書ハ日本帝國政府ノ權限ノ下ニ之ヲ發行ス
本證書ハ　年　月　日迄效力ヲ有ス
年　月　日　ニ於テ發行ス

管海官廳印

第四號書式

公ノ印章

國際滿載吃水線證書

千九百三十年ノ國際滿載吃水線條約ノ規定ニ依リ日本帝國政府ノ權限ノ下ニ發行ス

船名　船舶番號
船籍港
總噸數

甲板線ヨリノ乾舷　　滿載吃水線

熱帶……(T)　(S)ノ上方……
夏期……(S)　圓標ノ中心ヲ通過スル線ノ上緣
冬期……(W)　(S)ノ下方……
冬期北大西洋……(WNA)　(S)ノ下方……
上記乾舷ニ付テノ淡水ニ對スル僚裕……

●朝鮮船舶滿載吃水線規程

昭和十年二月
總令第二十三號

朝鮮船舶滿載吃水線規程左ノ通定ム

朝鮮船舶滿載吃水線規程

第一條　船舶ニ標示スベキ滿載吃水線ニ關シテハ昭和九年遞信省令第七號船舶滿載吃水線規程ニ依ル但シ同規程中船口覆布試驗規程トアルハ朝鮮船用品試驗規程ニ於テ依ルコトヲ定メタル昭和八年遞信省令第二十七號船口覆布試驗規程、艙窓試驗規程トアルハ朝鮮船用品試驗規程ニ於テ依ルコトヲ定メタル大正十一年遞信省令第六號艙窓試驗規程トス

附　則

第二條　本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條　昭和七年六月三十日以前ニ龍骨ヲ据附ケタル船舶ノ滿載吃水線ノ指定ニ付テハ左ノ各號ニ依ル

一　開口ノ保護、保護欄干、放水口及船具室區域ヘノ通路ニ關スル構造及設備ニ付第一條ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶滿載吃水線規程（以下單ニ船舶滿載吃水線規程ト稱ス）第六欄ノ規定ニ適合シ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ同欄ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

二　船舶滿載吃水線規程第百五十條ニ規定スル船樓ヲ有セザル汽船ト雖モ實質上同條ニ規定スル船樓ト略同一ノ效力アル船樓ヲ有シ且同規程第六編第六章ニ規定スル他ノ條件ヲ具備スルトキハ木材滿載吃水線ノ指定ヲ受ケ之ヲ標示スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ管海官廳ニ於テ該汽船ガ同規程第百五十條ノ規定ニ適合セザル程度ヲ考慮シ適當ニ其ノ乾舷ヲ增加ス

三　船舶滿載吃水線規程第百五十七條、第百五十八條及第百六十二條ノ規定ニ適合セザル船舶ト雖モ實質上同條ノ規定ニ依ル構造及設備ヲ有スル船舶ニ在リテハ船ノ長サ前項ノ規定ニ依ル長サト計算夏期滿載吃水線又ハ計畫海水滿載吃水線上ニ於ケル船ノ全長ノ百分ノ九十六ト中大ナルモノトス

船ノ長サハLヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第五條　本令ニ於テ船ノ幅トハL／中央ニ於テ鋼船ニ在リテハ肋骨ノ外面ヨリ外面迄、木船ニ在リテハ外板ノ外面ヨリ外面迄ノ最大幅ヲ謂フ

船ノ幅ハBヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第六條　本令ニ於テ船ノ深サトハL／中央ニ於テ鋼船ニ在リテハ龍骨ノ上面ヨリ、木船ニ在リテハ龍骨ノ滯ノ下緣ヨリ乾舷甲板梁船側ニ於ケル上面迄測リタル垂直距離ヲ謂フ但シ船體中央橫截面ノ下部ガ凹形ヲ成ス船ハ又ハ厚キ龍骨製板ヲ有スル木船ニ在リテハ船底外板ノ外面ノ扁平部ノ延長上龍骨ノ側面トノ交點ヨリ乾舷甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄測リタル垂直距離ヲ謂フ

L／中央ニ於ケル船底勾配ガ八分ノ一ヨリ大ナル鋼帆船ノ深サハ第百八條ノ規定ニ依ル船ノ深サハDヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第七條　本令ニ於テ乾舷用深サトハDニ乾舷甲板ノ梁上側板ノ厚サト左ノ算式ニ依リ算定シタル厚サトノ中大ナルモノヲ加ヘタルモノヲ謂フ

$$T(L-S)/L$$

Tハ船樓内及甲板口ノ部分ヲ除キタル乾舷甲板ノ平均ノ厚サニテ

Sハ船樓ノ長サノ和ニテ

乾舷用深サハD_0ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第八條　本令ニ於テ乾舷トハL／中央ニ於ケル乾舷甲板ノ上面ノ延長上外板ノ外面トノ交點ヨリ滿載吃水線迄測リタル垂直距離ヲ

第六欄　船舶ノ構造及設備

第一章　通則

第二章　乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル船口其ノ他ノ甲板口

第三章　乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル機關室口、通風筒及空氣管

第四章　乾舷甲板下ノ船側ニ於ケル開口

第五章　船樓端ノ隔壁、船具ノ保護裝置及放水口

第六章　木材滿載吃水線ノ指定ヲ受ケル汽船

第七章　艙口

附　則

船舶滿載吃水線規程

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ乾舷甲板トハ最上層ノ全通甲板ヲ謂フ但シ最上層ノ全通甲板ノ暴露部ニ常設閉鎖裝置ヲ備ヘザル開口ヲ有スル船舶ニ在リテハ該甲板ノ直下ノ全通甲板ヲ謂フ

船首ト船尾トノ間ニ於テ一部分ノ甲板ト他ノ部分ノ甲板トガ連續セザル船舶ニ付乾舷甲板ヲ定ムル場合ニ於テハ上方ノ甲板ノ部分ニ於テ之ト平行シテ下方ノ甲板ノ延長面ヲ假定シ該下方ノ甲板及其ノ延長面ヲ全通甲板ト看做ス

第二條　本令ニ於テ船樓トハ船側ヨリ船側ニ達シ上部ニ甲板ヲ有スル乾舷甲板上ノ構造物ヲ謂フ

本令ニ於テ船樓ノ長サトハ船樓ニ在リテハ其ノ平均ノ長サ、其ノ他ノ船樓ニ在リテハ船ノ長サヲ測ルニ關聯點ニ於ケル垂線ノ間ニ在ル部分ノ平均ノ長サヲ謂フ

第三條　本令ニ於テ甲板船トハ船樓ヲ有セザル船舶ヲ謂フ

第四條　本令ニ於テ船ノ長サトハ計畫夏期滿載吃水線又ハ計畫海水滿載吃水線上ニ於テ船首材ノ前面ヨリ舵柱ヲ有セザル船舶ニ在リテハ其ノ後面迄、舵柱ヲ有スル船舶ニ在リテハ舵頭ノ中心迄測リタル距離ヲ謂フ

遠洋鯨形船尾ヲ有スル船舶ニ在リテハ船ノ長サハ前項ノ規定ニ依ル長サト計畫夏期滿載吃水線又ハ計畫海水滿載吃水線上ニ於ケル船ノ全長ノ百分ノ九十六ト中大ナルモノトス

船ノ長サハLヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第五條　本令ニ於テ船ノ幅トハL／中央ニ於テ鋼船ニ在リテハ肋骨ノ外面ヨリ外面迄、木船ニ在リテハ外板ノ外面ヨリ外面迄ノ最大幅ヲ謂フ

船ノ幅ハBヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第六條　本令ニ於テ船ノ深サトハL／中央ニ於テ鋼船ニ在リテハ龍骨ノ上面ヨリ、木船ニ在リテハ龍骨ノ滯ノ下緣ヨリ乾舷甲板梁船側ニ於ケル上面迄測リタル垂直距離ヲ謂フ但シ船體中央橫截面ノ下部ガ凹形ヲ成ス船ハ又ハ厚キ龍骨製板ヲ有スル木船ニ在リテハ船底外板ノ外面ノ扁平部ノ延長上龍骨ノ側面トノ交點ヨリ乾舷甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄測リタル垂直距離ヲ謂フ

L／中央ニ於ケル船底勾配ガ八分ノ一ヨリ大ナル鋼帆船ノ深サハ第百八條ノ規定ニ依ル船ノ深サハDヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第七條　本令ニ於テ乾舷用深サトハDニ乾舷甲板ノ梁上側板ノ厚サト左ノ算式ニ依リ算定シタル厚サトノ中大ナルモノヲ加ヘタルモノヲ謂フ

$$T(L-S)/L$$

Tハ船樓内及甲板口ノ部分ヲ除キタル乾舷甲板ノ平均ノ厚サニテ

Sハ船樓ノ長サノ和ニテ

乾舷用深サハD_0ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第八條　本令ニ於テ乾舷トハL／中央ニ於ケル乾舷甲板ノ上面ノ延長上外板ノ外面トノ交點ヨリ滿載吃水線迄測リタル垂直距離ヲ

欄	區域	夏期季節	冬期季節
一	西經五十度ニ於ケル「グリーンランド」ノ海岸ヨリ南ヘ北緯四十五度迄、其ノ地點ヨリ北緯四十五度ニ沿ヒ西經十五度迄、其ノ地點ヨリ北ヘ北緯六十度迄及其ノ地點ヨリ北緯六十度ノ線ニ沿ヒ緒威國ノ西岸迄引キタル線及北緯十度ノ線ニ於ケル北亞米利加トノ歐羅巴トノ間ノ區域	十月十六日ヨリ 四月十五日迄	四月十六日ヨリ 十月十五日迄
二	前欄ニ揭ゲル區域ヲ除キタル北緯三十六度以北ノ大西洋及其ノ接續海（「バルティック」海ヲ含ム）	十一月一日ヨリ 三月三十一日迄	四月一日ヨリ 十月三十一日迄
三	地中海及黑海	十二月十六日ヨリ 三月十五日迄	三月十六日ヨリ 十二月十五日迄
四	北緯三十五度ト北緯五十度トノ間ノ日本海	十二月一日ヨリ 二月末日迄	三月一日ヨリ 三月三十一日迄
五	前欄ニ揭ゲル日本海ヲ除キ北緯三十五度以北ニ於ケル區域ニ屬スル亞細亞ト亞米利加トノ間ノ區域	十月十六日ヨリ 四月十五日迄	四月十六日ヨリ 十月十五日迄

欄	區域	熱帶季節	夏期季節
一	北大西洋ニ於テ北ハ「ユカタン」ニ於ケル「カトーシュ」岬ヨリキューバ」國ノ「サン・アントニオ」岬迄引キタル線、北緯二十度迄ノ「キューバ」國ノ南岸及北緯二十度ノ線ニ依リ、西ハ中央米利加ノ東岸及北緯二十度ノ線ニ依リ、南ハ南亞米利加ノ北岸及北緯十度ノ線ニ依リ、東ハ西經二十度ノ線ニ依リ限ラレタル區域	八月一日ヨリ 十一月一日ヨリ 七月十五日迄	五月二十日ヨリ 七月三十一日迄
二	北緯二十四度以南北緯八度以北ノ「アラビア」海ニシテ西北ハ東經五十九度ノ線、西南ハ東經四十五度ノ線ニ依リ限ラレタル區域	十月一日ヨリ 十二月二十日迄及 九月二十六日ヨリ 十月十五日迄	五月一日ヨリ 五月二十日迄及 十月十六日ヨリ 十二月十日迄
三	北緯二十四度以南北緯八度以北ノ「アラビア」海ニシテ西北ハ東經五十九度ノ線、西南ハ東經四十五度ノ線ニ依リ限ラレタル區域	十二月十六日ヨリ 四月十五日迄	四月十六日ヨリ 十二月十五日迄
四	北緯八度以北ノ「ベンガル」灣	十二月十六日ヨリ 四月十五日迄	四月十六日ヨリ 十二月十五日迄
五	北太平洋ニ於テ北ハ「カリフォルニア」、「メキシコ」國及北亞米利加ノ海岸ニ依リ、西ハ經度二百十度ノ線及北緯三十度ノ點ヨリ緯度方位線ニ依リ又南ハ北緯十三度ノ線ニ依リ限ラレタル區域 支那海ニ於テ西ハ北緯二十五度ノ線ニ依リ、南ハ北緯十三度ノ線ニ依リ限ラレタル區域	一月二十日ヨリ 四月三十日迄	五月一日ヨリ 一月二十日迄
六	北太平洋ニ於テハ北緯二十五度ノ線ニ依リ、西ハ經度百六十度ノ線ニ依リ、南ハ北緯十三度ノ線ニ依リ、東ハ西經百三十度ノ線ニ依リ限ラレタル區域	四月一日ヨリ 十月三十一日迄	十一月一日ヨリ 三月三十一日迄
七	南太平洋ニ於テハ北ハ南緯十一度ノ線ニ依リ、西ハ「オーストラリア」ノ東岸ニ依リ、南ハ南緯二十度ノ線ニ依リ又東ハ東經百七十度ノ線ニ依リ限ラレタル區域竝ニ南緯十一度以南ノ「カーペンタリア」灣	四月一日ヨリ 十一月三十日迄	十二月一日ヨリ 三月三十一日迄
八	南太平洋ニ於テハ北ハ南緯十一度ノ線ニ依リ、西ハ「オーストラリア」ノ東岸ニ依リ、南ハ南緯二十度ノ線ニ依リ又東ハ東經百七十度ノ線ニ依リ限ラレタル區域竝ニ南緯十一度以南ノ「カーペンタリア」灣	七月一日ヨリ 十月十日迄及 十二月一日ヨリ 二月末日迄	七月一日ヨリ 十二月一日迄

第十四條　本令ニ於テ南部季節冬期帶トハ南亞米利加ノ東岸ヨリ南緯四十度ノ線ニ沿ヒ西經五十六度迄、其ノ地點ヨリ羅盤方位線ニ沿ヒ西經百二十度ノ線ニ沿ヒ南緯三十度迄、其ノ地點ヨリ「オーストラリア」ノ南岸迄ノ地點ヨリ南緯三十四度西經五十度ノ點迄、其ノ地點ヨリ「タスマニア」ノ「リユル」岬迄、其ノ地點ヨリ「タスマニア」ノ北岸ニ沿ヒ利加ノ西岸迄、南緯三十度ニ於ケル南阿弗

備考

「ベルダン」ハ第一欄ニ揭ゲル區域ト第二欄ニ揭ゲル區域トノ限界線上ニ在ルモノト看做ス

「エッディストーン・ポイント」迄、其ノ地點ヨリ羅盤方位線ニ沿ヒ東經百七十度ニ於ケル「ニュージーランド」ノ「サウス」島ノ西岸迄、其ノ地點ヨリ「サウス」島ノ西岸、南岸及東岸ニ沿ヒ「ソーンダス」岬迄、其ノ地點ヨリ羅盤方位線ニ沿ヒ南緯三十三度西經百七十度ノ線ニ沿ヒ南亞米利加ノ西岸迄引キタル線ヨリ南方ノ海面ヲ謂フ（別紙附圖參照）

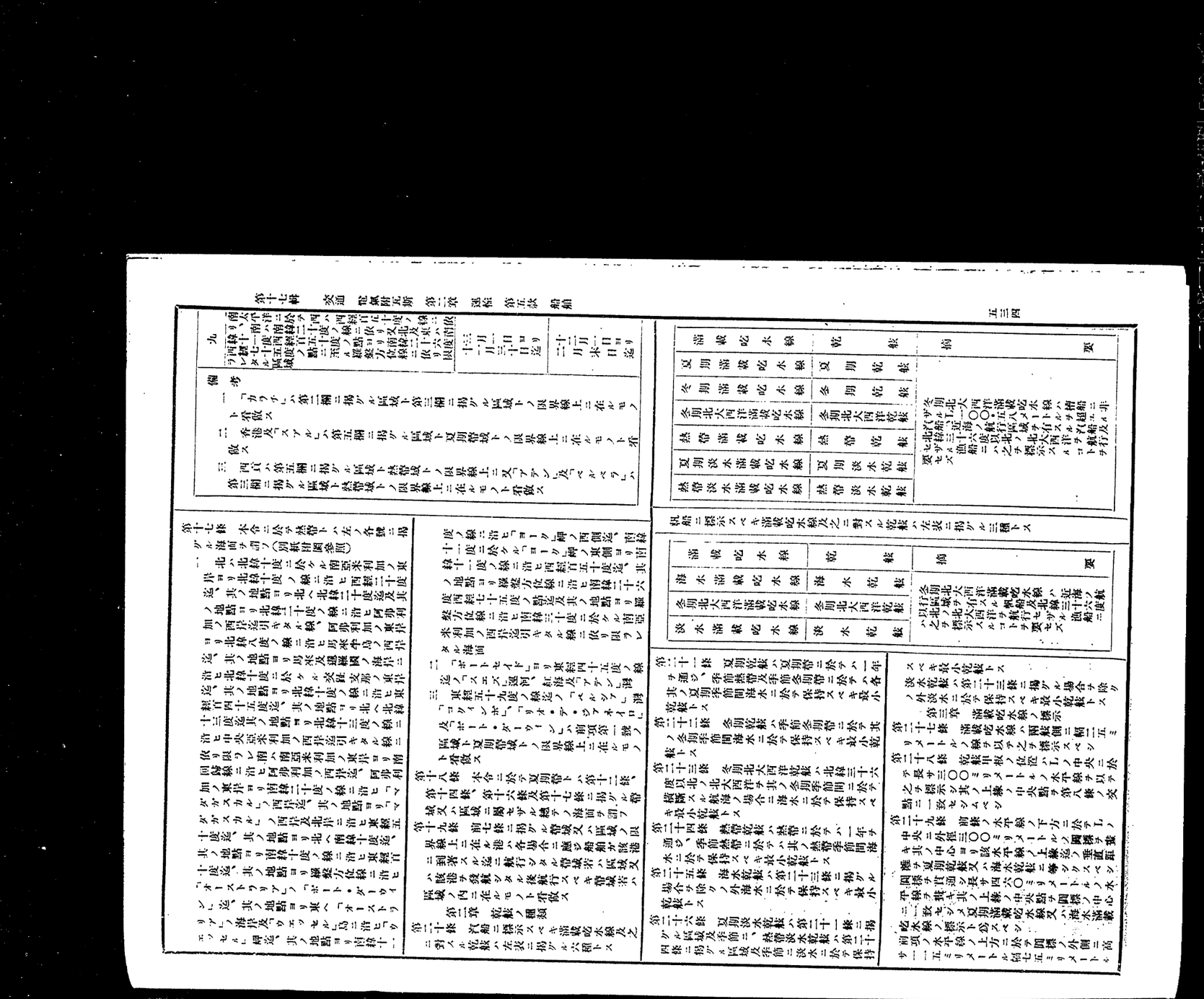
「ヴァルパライソ」、「ケープ・タウン」及「ダーバン」ハ本帶域ト夏期帶域トノ限界線上ニ在ルモノト看做ス

第十五條　本令ニ於テ南部季節冬期帶ニ於ケル冬期季節ハ四月十六日ヨリ十月十五日迄、其ノ期間ヲ謂ヒ、夏期季節ハ十月十六日ヨリ四月十五日迄ノ期間ヲ謂フ

第十六條　本令ニ於テ季節熱帶トハ左表ニ揭ゲル各區域內ノ海面ヲ謂ヒ、季節熱帶ニ於ケル熱帶季節又ハ夏期季節トハ其ノ區域ニ應ジ左表ニ揭ゲル期間ヲ謂フ（別紙附圖參照）

欄	區域	熱帶季節	夏期季節
一	北緯二十四度以南北緯八度以北ノ「アラビア」海ニシテ西北ハ東經五十九度ノ線、西南ハ東經四十五度ノ線ニ依リ限ラレタル區域	十月一日ヨリ 十二月二十日迄及 九月二十六日ヨリ 十月十五日迄	五月一日ヨリ 五月二十日迄及 十月十六日ヨリ 十二月十日迄
二	北緯八度以北ノ「ベンガル」灣	十二月十六日ヨリ 四月十五日迄	四月十六日ヨリ 十二月十五日迄
三	支那海ニ於テ西ハ北緯二十五度ノ線ニ依リ、東ハ香港ヨリ「ルソン」島迄ノ羅盤方位線竝ニ北緯十度迄ノ「ルソン」、「サマール」及「レイト」ノ諸島ノ西岸ニ依リ又南ハ北緯十度ノ線ニ依リ限ラレタル區域	十二月十六日ヨリ 三月十五日迄	三月十六日ヨリ 十二月十五日迄
四	北緯三十五度ト北緯五十度トノ間ノ日本海	十二月一日ヨリ 二月末日迄	三月一日ヨリ 三月三十一日迄
五	前欄ニ揭ゲル日本海ヲ除キ北緯三十五度以北ニ於ケル區域ニ屬スル亞細亞ト亞米利加トノ間ノ區域	十月十六日ヨリ 四月十五日迄	四月十六日ヨリ 十月十五日迄
六	北太平洋ニ於テハ北緯二十五度ノ線ニ依リ、西ハ經度百六十度ノ線ニ依リ、南ハ北緯十三度ノ線ニ依リ、東ハ西經百三十度ノ線ニ依リ限ラレタル區域	四月一日ヨリ 十月三十一日迄	十一月一日ヨリ 三月三十一日迄
七	北太平洋ニ於テ北及東ハ「カリフォルニア」、「メキシコ」國及北亞米利加ノ海岸ニ依リ、西ハ經度二百十度ノ線及北緯三十度ノ點ヨリ緯度方位線ニ依リ又南ハ北緯十三度ノ線ニ依リ限ラレタル區域 南太平洋ニ於テハ北ハ南緯十一度ノ線ニ依リ、西ハ「オーストラリア」ノ東岸ニ依リ、南ハ南緯二十度ノ線ニ依リ又東ハ東經百七十度ノ線ニ依リ限ラレタル區域竝ニ南緯十一度以南ノ「カーペンタリア」灣	七月一日ヨリ 十月十日迄及 十二月一日ヨリ 二月末日迄	七月一日ヨリ 十二月一日迄
八	南太平洋ニ於テハ北ハ南緯十一度ノ線ニ依リ、西ハ「オーストラリア」ノ東岸ニ依リ、南ハ南緯二十度ノ線ニ依リ又東ハ東經百七十度ノ線ニ依リ限ラレタル區域竝ニ南緯十一度以南ノ「カーペンタリア」灣	四月一日ヨリ 十一月三十日迄	十二月一日ヨリ 三月三十一日迄

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



備考	船体ノ種類	L	船体ノ種類	L
第一級閉鎖艙ノ船体ハ凡ソ此ノ程度ノモノトス	鉄製閉鎖艙船	1870	鉄製閉鎖艙船	1240
		1936		1265
		2001		1290
		2066		1315
第二級閉鎖艙ノ船体ハ凡ソ此ノ程度ノモノトス		2131		1340
		2196		1365
		2260		1390
		2324		1415
		2388		1440
		2451		1465
		2514		1490
		2576		1515
		2637		1540
		2698		1565
		2758		1590
		2816		1615
		2874		1640
		2931		1665
		2988		1690
		3044		1715
		3100		1740
		3154		1765
		3208		1790
		3261		1815
		3313		1840
		3364		1865
		3415		1890
		3465		1915
		3514		1940
		3562		1965
		3609		1990
		3656		2015
		3702		2040
		3748		2065
		3792		2090
		3836		2115
		3879		2140
		3922		2165
		3965		2190
		4008		2215

備考	船体ノ種類	L	船体ノ種類	L
	鉄製閉鎖艙船	200	鉄製閉鎖艙船	124.0
		221		126.5
		242		129.0
		262		131.5
		283		134.0
		304		136.5
		325		139.0
		346		141.5
		375		144.0
		403		146.5
		432		149.0
		462		151.5
		493		154.0
		525		156.5
		559		159.0
		594		161.5
		630		164.0
		668		166.5
		710		169.0
		745		171.5
		784		174.0
		825		176.5
		869		179.0
		913		181.5
		958		184.0
		1005		186.5
		1053		189.0
		1103		191.5
		1155		194.0
		1208		196.5
		1261		199.0
		1316		201.5
		1373		204.0
		1432		206.5
		1491		209.0
		1553		211.5
		1615		214.0
		1678		216.5
		1741		219.0
		1805		221.5

備考	船体ノ種類	L	船体ノ種類	L
	鉄製閉鎖艙船	200	鉄製閉鎖艙船	124.0
		221		126.5
		242		129.0
		262		131.5
		283		134.0
		304		136.5
		325		139.0
		349		141.5
		375		144.0
		403		146.5
		432		149.0
		462		151.5
		493		154.0
		525		156.5
		559		159.0
		594		161.5
		630		164.0
		668		166.5
		710		169.0
		745		171.5
		784		174.0
		825		176.5
		869		179.0
		913		181.5
		958		184.0
		1005		186.5
		1053		189.0
		1103		191.5
		1155		194.0
		1208		196.5
		1261		199.0
		1316		201.5
		1373		204.0
		1432		206.5
		1491		209.0
		1553		211.5
		1615		214.0
		1678		216.5
		1741		219.0
		1805		221.5

備考	船体ノ種類	L	船体ノ種類	L
	鉄製閉鎖艙船	200	鉄製閉鎖艙船	124.0
		221		126.5
		242		129.0
		262		131.5
		283		134.0
		304		136.5
		325		139.0
		349		141.5
		375		144.0
		403		146.5
		432		149.0
		462		151.5
		493		154.0
		525		156.5
		559		159.0
		594		161.5
		630		164.0
		668		166.5
		710		169.0
		745		171.5
		784		174.0
		825		176.5
		869		179.0
		913		181.5
		958		184.0
		1005		186.5
		1053		189.0
		1103		191.5
		1155		194.0
		1208		196.5
		1261		199.0
		1316		201.5
		1373		204.0
		1432		206.5
		1491		209.0
		1553		211.5
		1615		214.0
		1678		216.5
		1741		219.0
		1805		221.5

備考	船体ノ種類	L	船体ノ種類	L
	鉄製閉鎖艙船	200	鉄製閉鎖艙船	124.0
		221		126.5
		242		129.0
		262		131.5
		283		134.0
		304		136.5
		325		139.0
		349		141.5
		375		144.0
		403		146.5
		432		149.0
		462		151.5
		493		154.0
		525		156.5
		559		159.0
		594		161.5
		630		164.0
		668		166.5
		710		169.0
		745		171.5
		784		174.0
		825		176.5
		869		179.0
		913		181.5
		958		184.0
		1005		186.5
		1053		189.0
		1103		191.5
		1155		194.0
		1208		196.5
		1261		199.0
		1316		201.5
		1373		204.0
		1432		206.5
		1491		209.0
		1553		211.5
		1615		214.0
		1678		216.5
		1741		219.0
		1805		221.5

$\frac{508}{356+\frac{60.9}{L}}-24.4$ ミリメートル

二　L ガ八五・三メートル以上一二二メートル未滿ナルトキハ左ノ算式ニ依リ算定シタル高サ

$\frac{824+\frac{203}{L}}{39.7}-85.3$ ミリメートル

三　L ガ一二二メートル以上ナルトキハ一〇六七ミリメートル

船型	船首樓、船橋樓及船尾樓ヲ有スル汽船	船首樓及船橋樓ノミヲ有スル汽船	船首樓及船尾樓ノミヲ有スル汽船	船首樓ノミヲ有スル汽船	船橋樓及船尾樓ノミヲ有スル汽船	船橋樓ノミヲ有スル汽船	船尾樓ノミヲ有スル汽船
船首樓、船橋樓及船尾樓ノ有效ノ長サノ船ノ上Lトノ比	係數						
0.10	0	0	0	0	0	0	0
0.20	0.063	0.050	0.013	0.007	0	0	0
0.30	0.127	0.100	0.077	0.077	0.050	0.077	0.050
0.40	0.190	0.150	0.140	0.140	0.100	0.140	0.100
0.50	0.275	0.225	0.225	0.225	0.185	0.225	0.185
0.60	0.360	0.320	0.310	0.310	0.270	0.310	0.270
0.70	0.460	0.460	0.410	0.410	0.410	0.410	0.410
0.80	0.620	0.630	0.580	0.580	0.580	0.580	0.580
0.90	0.753	0.750	0.705	0.705	0.703	0.705	0.703
1.00	0.877	0.877	0.827	0.827	0.827	0.827	0.827
	1.000	1.000	0.950	0.950	0.950	0.950	9.950

備考

一　低船首樓及低船尾樓ハ夫々船首樓及船尾樓トシテ取扱フベシ

二　第一條第一項但書ノ船舶ハ當該閉鎖裝置ヲ備ヘザル甲板口ノ前端ヨリ後端迄ノ間ハ船樓ナキモノト看做ス

三　船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ揭ゲルモノノ中間ニ在ルトキハ插間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

四　船橋樓ト船樓トヲ有スル汽船ニ在リテハ船橋樓ノ有效ノ長サガLノ十分ノ二未滿ナルトキハ前甲部ノ船樓ノ標準ノ高サニ相當スル箇所ヲ通ル直線ヲ基準トシテ船弧ノ高サヲ測ルコトヲ得

第三章　深サ及梁矢ニ關スル修正

第六十七條　D_0 ガLノ十五分ノ一ヲ超ユル船ニ在リテハ左ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ヲ表定乾舷ニ加フベシ

$$2.104\left(D_0-\frac{L}{15}\right)L \quad ミリメートル$$

二　L ガ一一八・九メートル以上ナルトキ

$$249.9\left(D_0-\frac{L}{15}\right) \quad ミリメートル$$

第六十八條　中央部Lノ十分ノ六ニ亙ル截圍シタル船樓ノ有效ナル船舶、全通「トランク」ヲ有スル船舶又ハ開口ナキ隔壁ヲ有スル船樓ト「トランク」トガ連續シテ船首尾ニ全通スル船舶ニ於テD_0ガLノ十五分ノ一ヨリ小ナルトキハ前條ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ノ絕對値ヲ表定乾舷ヨリ減ズベシ但シ船樓又ハ「トランク」ノ高サガ其ノ標準ノ高サヨリ小ナルトキハ修正高ハ前條ノ算式ニ依リ算定シタルモノニ船樓又ハ「トランク」ノ實際ノ高サト其ノ標準ノ高サトノ比ヲ乘シタルモノトス

第六十九條　Lノ中央ニ於テD ノ下端ヨリ乾舷甲板ノ船側ニ於ケル上面迄ノ實際ノ深サガD_0ニ等シカラザル船舶ニ在リテハ左ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ヲ正負ノ符號ヲ附シタル儘表定乾舷ニ加フベシ

$$\frac{1000(D_1-D_0)}{L} \quad ミリメートル$$

D_1ハLノ中央ニ於テD ノ下端ヨリ乾舷甲板ノ船側ニ於ケル上面ノ實際ノ深サ　メートル

第七十條　Lノ中央ニ於ケル乾舷甲板ノ梁矢ガB ノ五十分ノ一ニ等シカラザル船ニ在リテハ梁矢ノ高サニ應ジ左ノ各號ノ算式ニ依リ算定シタル儘表定乾舷ニ加フベシ

一　$\frac{1}{4}(1-Y)(20B-E)$ ミリメートル

二　梁矢ガB ノ二十五分ノ一ヲ超ユルトキ

$$-5(1-Y)B \quad ミリメートル$$

Yハ截圍シタル船樓ノ長サノ和トLトノ比

BハLノ中央ニ於ケル乾舷甲板ノ梁矢　ミリメートル

第四章　舷弧ニ關スル修正

第七十一條　舷弧ノ高サLノ中央ニ於ケル舷弧上ノ點ヲ通過スル龍骨ニ平行ナル直線ヨリ垂直ニ之ヲ測ルモノトス但シ船尾吃水ガ船首吃水ヨリ大ナル狀態ヲ以テ航行スル場合ニ在リテハ龍骨ニ平行ナル直線ヨリ之ヲ測ルコトヲ得（第二十九條第四項參照）

第七十二條　平甲板船及分立船樓ヲ有スル船舶ニ在リテハ舷弧ノ高サハ乾舷甲板ニ於ケル之ヲ測ルベシ

船樓ヲ截圍シタル隔壁ニ開口ナキ場合又ハ隔壁ニ於ケル出入口ニ第一級閉鎖裝置ヲ備フル場合ニ於テハ該船樓ノ截圍シタル部分ニ於ケル乾舷甲板ノ舷弧ノ高サハ乾舷甲板ノ墓碑部ニ於ケル舷弧ノ延長線迄測ルコトヲ得但シ船樓甲板ガ乾舷甲板ノ墓碑部ト同等以上ノ舷弧ヲ有セザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第一條第一項但書ノ船舶ニ在リテハ舷弧ノ高サハ船樓甲板ニ於ケル之ヲ測ルベシ此ノ場合船樓ノ高サガ標準ノ高サヲ超ユルトキハLノ中央ニ於テ乾舷甲板ノ上面ヨリ船樓ノ標準ノ高サニ相當スル箇所ヲ通ル直線ヲ基準トシテ舷弧ノ高サヲ測ルコトヲ得

第七十三條　標準舷弧Lノ兩端點及其ノ六等分點ニ於テ夫々左表ニ揭ゲル高サヲ有スルモノトス

分長點ノ位置	舷弧ノ高サ（粍）
Lノ後端點	$0.833L+25.4$
Lノ後端ヨリLノ六分ノ一ニ相當スル點	$0.371L+11.3$
Lノ後端ヨリLノ三分ノ一ニ相當スル點	$0.0925L+2.825$
Lノ中央點	0
Lノ前端ヨリLノ三分ノ一ニ相當スル點	$0.185L+5.65$
Lノ前端ヨリLノ六分ノ一ニ相當スル點	$0.741L+22.6$
Lノ前端點	$1.660L+50.8$

第七十四條　舷弧ノ標準平均高又ハ其ノ前半部若ハ後半部ノ標準平均高ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$C(0.8231-+25.4)$ センチメートル

Cハ係數ニシテ左表ニ依ル

算定スベキ事項	C
舷弧ノ標準平均高	$\frac{1}{9}$
舷弧ノ標準平均高	$\frac{3}{28}$
舷弧ノ後半部ノ標準平均高	$\frac{1}{8}$

第七十五條　舷弧ノ平均高ハ第七十六條ニ規定スル場合ヲ除クノ外第七十三條ニ揭ゲル各分長點ニ於テ測リタル舷弧ノ高サニ分長點ノ位置ニ應ジ左表ニ揭ゲル係數ヲ乘ジタル積ノ和ヲ十八ニテ除シタルモノトLノ前半部又ハ後半部ニ於ケル第七十三條ニ揭ゲル各分長點ニ於テ測リタル舷弧ノ高サニ分長點ノ位置ニ應ジ左表ニ揭ゲル係數ヲ乘ジタル積ノ和ヲ十六ニテ除シタルモノトス

分長點ノ位置	舷弧ノ前半部ノ平均高ヲ算定スル場合ニ於ケル係數	舷弧ノ後半部ノ平均高ヲ算定スル場合ニ於ケル係數
Lノ後端點	1	1
Lノ後端ヨリLノ六分ノ一ニ相當スル點	4	—
Lノ後端ヨリLノ三分ノ一ニ相當スル點	2	—
Lノ中央點	4	5
Lノ前端ヨリLノ三分ノ一ニ相當スル點	2	5
Lノ前端ヨリLノ六分ノ一ニ相當スル點	4	15
Lノ前端點	1	4

第七十六條　舷弧ノ後半部ノ平均高ガ其ノ標準平均高ヨリ大ニシテ前半部ノ平均高ガ其ノ標準平均高ヨリ小ナルトキハ後半部ノ舷弧ノ標準舷弧ニ等シキモノト看做シ舷弧ノ前半部ノ平均高ヲ算定スベキ事項ニシテ左表ニ依ルモノハ其ノ算定ニ關シ同表ニ依ル

算定スベキ事項	C
舷弧ノ標準平均高	$\frac{1}{9}$
舷弧ノ標準平均高	$\frac{3}{28}$
舷弧ノ後半部ノ標準平均高	$\frac{1}{8}$

第七十七條　舷弧ノ前半部ノ平均高ガ其ノ標準平均高ヨリ大ニシテ後半部ノ平均高ガ其ノ標準平均高ノ百分ノ五十以下ナルトキハ前半部ノ舷弧ハ標準舷弧ニ等シキモノト看做シ又後半部ノ平均ガ其ノ標準平均高ノ百分ノ五十ヲ超エ百分ノ七十五未滿ナルトキハ前半部ノ舷弧ハ各分長點ニ於テ左ノ算式ニ依リ算定シタル高サヲ有スルモノト看做シ舷弧ノ平均高ヲ算定ス

$$S_0+\left(\frac{r-50}{25}\right)(S_f-S_0)$$

S_fハ前半部ノ當該分長點ニ於ケル舷弧ノ實際ノ高サ

S_0ハS_fヲ測リタル點ニ於ケル標準舷弧ノ高サ

rハ舷弧ノ後半部ノ平均高ト其ノ標準平均高トノ比ニテ百分率ヲ以テ表ハシタルモノ

第七十七條　舷弧ノ平均高ガ其ノ標準平均高ヨリ小ナル船舶ニ在リテハ左ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ヲ表定乾舷ニ加フベシ

$$(S_0-S_f)(7.5-5r_1) \quad ミリメートル$$

S_0ハ舷弧ノ標準平均高センチメートルテ

S_fハ舷弧ノ平均高センチメートルテ

r_1ハ船樓ノ長サノ和トLトノ比

Eハ截圍シタル船樓又ハ其ノ一部ニシテ中央部ノ十分ノ二ノ間ニ在ルモノノ長サ　メートルテ

第四章　舷弧ニ關スル修正

第七十一條　舷弧ノ高サLノ中央ニ於ケル舷弧上ノ點ヲ通過スル龍骨ニ平行ナル直線ヨリ垂直ニ之ヲ測ルモノトス但シ船尾吃水ガ船首吃水ヨリ大ナル狀態ヲ以テ航行スル場合ニ在リテハ龍骨ニ平行ナル直線ヨリ之ヲ測ルコトヲ得（第二十九條第四項參照）

第七十二條　平甲板船及分立船樓ヲ有スル船舶ニ在リテハ舷弧ノ高サハ乾舷甲板ニ於ケル之ヲ測ルベシ

船樓ヲ截圍シタル隔壁ニ開口ナキ場合又ハ隔壁ニ於ケル出入口ニ第一級閉鎖裝置ヲ備フル場合ニ於テハ該船樓ノ截圍シタル部分ニ於ケル乾舷甲板ノ舷弧ノ高サハ乾舷甲板ノ墓碑部ニ於ケル舷弧ノ延長線迄測ルコトヲ得但シ船樓甲板ガ乾舷甲板ノ墓碑部ト同等以上ノ舷弧ヲ有セザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第一條第一項但書ノ船舶ニ在リテハ舷弧ノ高サハ船樓甲板ニ於ケル之ヲ測ルベシ此ノ場合船樓ノ高サガ標準ノ高サヲ超ユルトキハLノ中央ニ於テ乾舷甲板ノ上面ヨリ船樓ノ標準ノ高サニ相當スル箇所ヲ通ル直線ヲ基準トシテ舷弧ノ高サヲ測ルコトヲ得

第七十三條　標準舷弧Lノ兩端點及其ノ六等分點ニ於テ夫々左表ニ揭ゲル高サヲ有スルモノトス

分長點ノ位置	舷弧ノ高サ（粍）
Lノ後端點	$0.833L+25.4$
Lノ後端ヨリLノ六分ノ一ニ相當スル點	$0.371L+11.3$
Lノ後端ヨリLノ三分ノ一ニ相當スル點	$0.0925L+2.825$
Lノ中央點	0
Lノ前端ヨリLノ三分ノ一ニ相當スル點	$0.185L+5.65$
Lノ前端ヨリLノ六分ノ一ニ相當スル點	$0.741L+22.6$
Lノ前端點	$1.660L+50.8$

第七十四條　舷弧ノ標準平均高又ハ其ノ前半部若ハ後半部ノ標準平均高ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$C(0.8231-+25.4)$ センチメートル

第八十條　中央部Lノ十分ノ六ニ亙ル截圍シタル船樓ノ有效ナル船舶、全通「トランク」ヲ有スル船舶又ハ開口ナキ隔壁ヲ有スル船樓ト「トランク」トガ連續シテ船首尾ニ全通スル船舶ニ於テD_0ガLノ十五分ノ一ヨリ小ナルトキハ前條ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ノ絕對値ヲ表定乾舷ヨリ減ズベシ但シ船樓又ハ「トランク」ノ高サガ其ノ標準ノ高サニ滿タザルトキハ修正高ハ前條ノ算式ニ依リ算定シタルモノニ船樓又ハ「トランク」ノ實際ノ高サト其ノ標準ノ高サトノ比ヲ乘シタルモノトス

第八十一條　Lノ中央ニ於ケル乾舷甲板ノ梁矢ガB ノ五十分ノ一ニ等シカラザル船ニ在リテハ梁矢ノ高サニ應ジ左ノ各號ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ヲ正負ノ符號ヲ附シタル儘表定乾舷ニ加フベシ

一　$\frac{1}{4}(1-Y)(20B-E)$ ミリメートル

二　梁矢ガB ノ二十五分ノ一ヲ超ユルトキ

$$-5(1-Y)B \quad ミリメートル$$

Yハ截圍シタル船樓ノ長サノ和トLトノ比

BハLノ中央ニ於ケル乾舷甲板ノ梁矢　ミリメートル

第八十二條　Lノ中央ニ於テD ノ下端ヨリ乾舷甲板ノ船側ニ於ケル上面迄ノ實際ノ深サガD_0ニ等シカラザル船舶ニ在リテハ左ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ヲ正負ノ符號ヲ附シタル儘表定乾舷ニ加フベシ

$$\frac{1000(D_1-D_0)}{L} \quad ミリメートル$$

D_1ハLノ中央ニ於テD ノ下端ヨリ乾舷甲板ノ船側ニ於ケル上面ノ實際ノ深サ　メートルテ

第八十三條　船內肋骨ノ截面ノ抵抗率ノ算定ニ付テハ左ノ各號ニ依ル

一　船內肋骨ガ正肋材及之ト同一寸法ノ副肋材ヲ以テ構造シタル肋骨ニ付前號ニ適用ス

二　船內肋骨ガ前號ニ揭ゲルモノニ該當セザル場合ニ於テハ船內肋骨ト同一ノ效力ヲ有シ正肋材及之ト同一寸法ノ副肋材ヲ以テ構造シタル肋骨ニ付前號ニ適用ス

三　鉸釘孔及螺釘孔ハ之ヲ無キモノト看做ス

四　寸法ノ單位ハミリメートルトス

第二章　標準強力

第八十四條　本章ニ於テ強力甲板マデノ深サトハLノ中央ニ於テ龍骨ノ上面ヨリ最下ニ在ル強力甲板ノ甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ垂直距離ヲ謂フ

第八十五條　第八十六條、第八十八條及第八十九條ノ規定ニ依リ製造セラレ每平方ミリメートルノ抗張力四一キログラム以上五〇キログラム以下ニシテ標點間ノ長サ二〇〇ミリメートルニ付伸長ノ割合百分ノ十六以上ナル鋼材ヲ以テ構造シタル鋼船ニ付之ヲ定メタルモノトス

第八十六條　標準縱抵抗率ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$\Sigma d\times B$$

dハ第二十五條第一項、第九十七條、第百一條又ハ第百九條ノ規定ニ依リ定メタル船體ノ形狀ニ基ク夏期乾舷又ハ海水乾舷ニ相當スル吃水メートルテニ應ジ定メタル係數ニシテ左表ニ依ル

BハLニ應ジ定メタル船舶ノ場合

$(2.5(S-D)$ ミリメートル

三　船舶ヲ有スル船舶ノ場合

四　面積ノ單位ハ平方ミリメートルトシ距

L	f	L	f
30	3777	108	19386
36	4193	114	21232
42	4892	120	23106
48	5621	126	25051
54	6533	132	27031
60	7470	138	29146
66	8669	144	31268
72	9920	150	33480
78	11253	156	35770
84	12774	162	38063
90	14335	168	40414
96	15897	174	42868
102	17615	180	45368

備考

Lが表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リfヲ算定ス

第八十七條　前條ノ標準縦抵抗率ハ左ノ各號ノ範圍内ニ在ル寸法ノ鋼船ヲ標準トシ之ヲ定メタルモノトス

一　Lハ一八二・八八メートル以下

二　BハL/十分ノ二一・五二メートルヲ加ヘタルモノ以上ニシテL/十分ノ二六・一〇メートルヲ加ヘタルモノ以下

三　L/十強力甲板迄ノ深サトノ比ハ一〇・〇〇以上ニシテハ一三・五〇以下

第八十八條　標準肋骨抵抗率ハ第八十九條ニ規定スル場合ヲ除クノ外左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$S(d-t)(f_1+f_2)$$

S　肋骨ノ心距メートル

d　ハ第三十五條第一項、第九十七條、第百一條又ハ第百九條ノ規定ニ依リ定メタル船體ノ形狀ニ基ク夏期乾舷

f₁　ハ二重底ヲ有スル船側ニ於ケル内底板ノ上面ト二重底縁板ノ外側ニ附スル肘板ノ上端トノ中央ヨリ、普通肋板ヲ有スル船側ニ於ケル肋板ノ上面ト船側ニ於ケル肋板ノ上端トノ中央ヨリ龍骨ノ上面迄ノ垂直距離メートル

f₂　ハKニ依ル係數ニシテ左表ニ依ル

K	f_2
0	0
1.5	1041
3.0	2084
4.5	4133
6.0	6217
7.5	9275
9.0	13358
10.5	18467
12.0	24600

備考

一　Kハ最下層梁ノ船側ニ於ケル上面ヨリ乾舷甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ垂直距離メートルニ船樣アル分ニ於テハ三・八一〇チ、船樣ナキ部分ニ於テハ二・二八六チ加ヘタルモノトス

二　Kガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リf₂ヲ算定ス

第八十九條　一層甲板船ニ於テ前條ノ規定ニ依ルIIガ五・四九メートル未滿ナルトキハ標準抵抗率ハ前條ニ依リ算定シタル抵抗率ニ左ノ算式ニ依リ算定シタル係數f₂ヲ乘ジタルモノトス

$$f_2=0.50+0.05\left(\frac{H}{0.305}-8\right)$$

第九十條　前二條ノ標準肋骨抵抗率ハ左ノ各號ノ範圍内ニ在ル寸法ノ鋼船ヲ標準トシ之ヲ定メタルモノトス

一　D_0ハ四・五七メートル以上ニシテ一八・二九メートル以下

二　BハL/十分ノ二一・五二メートルヲ加ヘタルモノ以上ニシテL/十分ノ二六・一〇メートルヲ加ヘタルモノ以下

三　L/十強力甲板迄ノ深サトノ比ハ一〇・〇以上ニシテ一三・五以下

四　肋骨ノ外面ヨリ之ニ最モ近キ梁柱列ノ中心線迄ノ水平距離ハ六・一〇メートル以下

第九十一條　第三章　強力ニ依ル吃水ノ算定

第九十二條　肋骨抵抗率ニ依ル吃水ハ各種船内肋骨ニ付各場合ニ應ジ左ノ各號ノ算式ニ依リ算定シタル吃水中最小ナルモノトス

一　一層甲板船ニ於テ第八十八條ノ規定ニ依ルII/五・四九メートル未滿ナル場合

$$\frac{S(f_1+f_2)}{f\times B}-t\quad\text{メートル}$$

二　前條ニ該當セザル場合

$$\frac{S(f_1+f_2)}{m}-t\quad\text{メートル}$$

Mハ縦抵抗率

fハ第八十六條ノ規定ニ依ル

mハ肋骨抵抗率

S、t、f_1、f_2及f_3ハ第八十八條及第八十九條ノ規定ニ依ル

第九十三條　第八十五條ニ掲グル規格ニ合格セザル材料ヲ以テ船體ノ要部ヲ構造シタル船舶ノ强力ニ依ル吃水ハ管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第四編　甲板積木材貨物ヲ運送スル汽船、艤船及木汽船ノ乾舷ニ關スル特別規定

第一章　甲板積木材貨物ヲ運送スル汽船

第九十四條　船舶ニ標示スル木材滿載吃水線ノ種類及之ニ對スル乾舷ハ左表ニ掲グル六種トス

記號	滿載吃水線ノ種類
LS	夏期木材滿載吃水線
LW	冬期木材滿載吃水線
LWNA	冬期北大西洋木材滿載吃水線
LT	熱帶木材滿載吃水線
LF	夏期淡水木材滿載吃水線
LTF	熱帶淡水木材滿載吃水線

前項ノ木材滿載吃水線ノ標示ニハ左表ニ掲グル記號ヲ附スベシ

滿載吃水線ノ種類	記號
夏期木材滿載吃水線	LS
冬期木材滿載吃水線	LW
冬期北大西洋木材滿載吃水線	LWNA
熱帶木材滿載吃水線	LT
夏期淡水木材滿載吃水線	LF
熱帶淡水木材滿載吃水線	LTF

第九十五條　前條ニ掲グル各種木材乾舷ハ船舶ガ第百條ノ規定ニ從ヒ甲板積木材貨物ヲ積附ケ運送スル場合ニ限リ夫々第二十一條乃至第二十四條又ハ第二十六條第一項ノ場合ニ於テ保持スベキ最小乾舷トス

第九十六條　海水ニ於ケル各種木材滿載吃水線ハ第二十九條第一項ニ掲グル圓標ノ中心ヨリ後方五四〇ミリメートルノ箇所ニ前緣ヲ有スル垂直線ノ後緣ヨリ後方ニ向フ長サ二五〇ミリメートル水平線ノ上緣ヲ以テ之ヲ標示シ又淡水ニ於ケル各種木材滿載吃水線ハ該垂直線ヨリ前方ニ向フ長サ二五〇ミリメートルノ水平線ノ上緣ヲ以テ之ヲ標示スベシ

第九十七條　夏期木材乾舷ハ第三十五條第一項及第二項ノ規定ヲ準用シテ之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ船樣ニ關スル修正高ハ第六十六條ノ表ニ掲グル船樣係數ノ代リニ總テノ船型ニ對シ左表ニ掲グル船樣係數ヲ用ヰテ之ヲ算定ス

船樣ノ有效ノ長サノ和トLトノ比	船樣係數
0	0.2000
0.10	0.3075
0.20	0.4150
0.30	0.5225
0.40	0.6300
0.50	0.6925
0.60	0.7550
0.70	0.8150
0.80	0.8750
0.90	0.9375
1.00	1.0000

備考

船樣ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リ船樣係數ヲ算定ス

第九十八條　冬期木材乾舷ハ夏期木材乾舷ニ之ニ相當スル吃水ノ三十六分ノ一ヲ加ヘタルモノトス

冬期北大西洋木材乾舷ハL一〇〇・五八メートル以下ノ汽船ニ在リテハ第三十九條ノ規定ニ依ル冬期北大西洋乾舷、L一〇〇・五八メートル以下ノ汽船ニ在リテハ第三十九條ノ規定ニ依ル冬期北大西洋乾舷ヨリ之ニ相當スル吃水ノ四十八分ノ一ヲ減ジタルモノトス

熱帶木材乾舷ハ夏期木材乾舷ヨリ之ニ相當スル吃水ノ四十八分ノ一ヲ減ジタルモノトス

第九十九條　夏期淡水木材乾舷又ハ熱帶淡水木材乾舷ヨリ第四十四條ノ規定ヲ準用シテ算定シタル修正高ヲ減ジタルモノトス

第四十五條ノ規定ハ冬期淡水木材乾舷及冬期北大西洋淡水木材乾舷ニ之ヲ準用ス

第百條　甲板積木材貨物ノ積附及積附設備ハ左ノ各號ニ適合スルコトヲ要ス

一　乾舷甲板下ノ場所ニ通ズル甲板口ニシテ甲板積木材貨物ニ蔽ハルルモノハ船口蓋、縦材、蓋板等ノ閉鎖裝置ヲ夫々所定ノ位置ニ配置シテ固クヲ閉ヂ且堅固ヲ以テ締附クベシ

二　甲板積木材貨物ヲ積載スル場所ニ在ル通風管ハ十分ニ之ヲ保護スベシ

三　船員室區域、機關室其ノ他船員ノ作業ニ使用スル場所ヘノ通行ニ十分ナル通路ヲ存スベシ該通路ニ當リ開口ノ附近ニ於テハ各開口ヨリ淡水ヌルコトヲ防グ爲隨時之ヲ閉ヂ且留メ得ル樣木材貨物ヲ積附クベシ又甲板積木材貨物ノ上面ハ歩行ニ適スル樣十分平坦ナラシメ且其ノ各側ニハ貨物ノ上方少クトモ一・二二メートルノ高サ迄竪ニ三〇センチメートル以内ノ間隔ニ配置セラレタル保護欄干又ハ保護索ヲ設クルコトヲ要ス

四　操舵裝置ハ木材貨物ニ依リ損傷セラレザル樣十分之ヲ保護シ且成ベク之ニ近寄リ易キ樣爲シ置クベシ

五　乾舷甲板上船樣又ハ甲板室ナキ部分ニハ少クトモ船樣標準ノ高サ等シキ船舶ガ冬期ニ於テ季節冬期帶域内ニ在ル場合ニ於テハ木材貨物ノ高サハ乾舷甲板上船舶ノ最大幅ノ三分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ズ

六　甲板積木材貨物ハ之ヲ寄ニ積附ケ縛リ且動カザル樣爲スベシ又其ノ積附方ハ船舶ノ航行及必要ナル操作ニ支障ナク且水分ノ吸收ニ依ル木材ノ重量ノ增加竝ニ燃料及食糧品ノ消費ニ依ル其ノ重量ノ減少其ノ他船内ニ於ケル重量ノ變更ヲ考慮ノ上航海ノ全道程ヲ通ジ復原性ノ十分ナル餘裕ヲ保持シ得ルモノナルコトヲ要ス

七　甲板積木材貨物ノ性質ニ依リ支杆ヲ要スル場合ニ於テハ適當ナル强力ヲ有スル木製又ハ金屬製ノ支杆ヲ以テ甲板積木材貨物ヲ支持スベシ支杆ノ間隔ハ三・〇五メートル以内トシ木材ノ長サ及性質ニ應ジ之ヲ適當ニ配置スベシ

支杆ハ梁上側板ニ固著シタル堅牢ナル山形材若ハ金屬製臺金又ハ同一效力ノ裝置ニ依リ之ヲ留ムルコトヲ要ス

八　甲板積木材貨物ハ三・〇五メートルヲ超エザル間隔毎ニ貨物ノ兩側ニ跨ル各別ノ縛索ニテ縛リ其ノ全長ニ亘リ十分ニ締附クベシ木材ノ長サ三・六メートル未滿ナルトキハ其ノ長サニ適應シテ縛索ノ間隔ヲ減ズルカ又ハ他ノ適當ナル方法ヲ講ズベシ

縛索ニハ徑一九ミリメートル以上ノ短環鎖又ハ之ト同等ノ强力ノ柔軟鋼索ヲ使用シ何時ニテモ近寄リ得ル箇所ニ於テ之ヲ滑動及緊螺ヲ取附クベシ尙練索ヲシテ鋼索ヲ用ヰルトキハ其ノ長サヲ調節スル爲短キ長環鎖ヲ取附ケ置クベシ

縛索ヲ一・五二メートル以内ノ間隔ニ配置スルトキハ其ノ寸法ヲ前項ニ掲グルモノヨリ適當ニ減ズルコトヲ得但シ鎖ヲ用ウルトキハ徑一二・七ミリメートル以上、索ヲ用ウルトキハ之ト同等以上ノ强力ヲ有スル寸法ノモノヲ要ス

九　縛索ヲ留ムニ必要ナル裝置ハ縛索ノ强力ニ相當スル强方ヲ有スルモノヲ要ス

十　船樣甲板ニ設クル支杆ハ其ノ間隔ヲ約三・〇五メートルトシ十分ナル强力ノ横縛索ヲ以テ之ヲ動カザル樣爲スベシ

第二章　艙船

第百一條　艙船ノ夏期乾舷ハ第百二條乃至第百四條ニ規定スル寧ヲ除クノ外第三十五條第一項及第二項ノ規定ニ依リ之ヲ定ム

第百二條　艙船ノ表定乾舷ヲ求ムルニハ第五十條ニ掲グル表ノ代リニ左表ヲ用ヰルモノトス

滿載吃水線　乾舷摘要

滿載吃水線	乾舷
夏期木材滿載吃水線	夏期木材乾舷
冬期木材滿載吃水線	冬期木材乾舷
冬期北大西洋木材滿載吃水線	冬期北大西洋木材乾舷ハ西洋ニ於ケル滿載吃水線ハ冬期木材乾舷ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ於ケル標示モノトスル
熱帶木材滿載吃水線	熱帶木材乾舷
夏期淡水木材滿載吃水線	夏期淡水木材乾舷
熱帶淡水木材滿載吃水線	熱帶淡水木材乾舷

乾舷 (粍)	L	乾舷 (粍)	L
1680	126.5	527	56.5
1732	129.0	560	59.0
1785	131.5	593	61.5
1839	134.0	626	64.0
1894	136.5	660	66.5
1948	139.0	695	69.0
2001	141.5	731	71.5
2053	144.0	767	74.0
2105	146.5	804	76.5
2155	149.0	842	79.0
2204	151.5	881	81.5
2253	154.0	921	84.0
2301	156.5	961	86.5
2348	159.0	1003	89.0
2394	161.5	1045	91.0
2440	164.0	1087	94.5
2484	166.5	1129	96.0
2528	169.0	1171	99.5
2572	171.5	1213	101.0
2613	174.0	1256	104.0
2653	176.5	1301	106.5
2693	179.0	1346	109.0
2732	181.5	1391	111.0
2771	184.0	1437	114.0
		1484	116.5
		1531	119.0
		1579	121.5
		1627	124.0

備考

Lが表ニ掲ゲルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リ乾舷ヲ算定ス

第百三條　槽船ニ在リテハ船樓ニ關スル修正高ノ算定ニ付テハ第六十六條ノ表ニ掲ゲル船樓係數ヲ用ウルモノトス

船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比	船樓係數
0	0
0.070	0.10
0.140	0.20
0.210	0.30
0.310	0.40
0.410	0.50
0.520	0.60
0.630	0.70
0.753	0.80
0.877	0.90
1.000	1.00

備考

船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲ゲルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

第百四條　舷弧ノ平均高ガ其ノ標準平均高ヨリ大ナル槽船ノ舷弧ニ關スル修正高ノ算定ニ付テハ第七十八條ニ掲ゲル算式ノ代リニ總テノ船型ニ對シ左ノ算式ヲ用ウルモノトス

$$(S-S_0)(7.5-7_1) \quad \text{ミリメートル}$$

Sハ舷弧ノ平均高センチメートルテ

S_0ハ舷弧ノ標準平均高センチメートルテ

l_1ハ船樓ノ長サノ和トLトノ比

第百五條　槽船ノ冬期北大西洋乾舷ハ冬期乾舷ニ船ノ長サ一〇メートルニ付八・三三ミリメートルノ割合ノ修正高ヲ加ヘタルモノトス

第三章　木汽船

第百六條　木汽船ノ夏期乾舷ハ第二編第一章ノ規定ニ依ル平甲板船ニ對スル表定乾舷ヲ必要ニ應ジ第六十七條ノ規定ニ依リ修正シタルモノニ船舶ノ構造ノ種類ニ應ジ左表ニ掲ゲル係數ヲ乘ジタルモノトス

構造ノ種類	係數
重甲板船	1.40
輕甲板船	2.00

管海官廳ハ船體ノ材料、構造、固著方、工事若ハ現狀ノ良否又ハ船齡ニ應ジ前項ノ係數ヲ適當ニ增減スルコトヲ得

第百七條　木汽船ノ夏期乾舷ハ前條ノ規定ニ依リ算定シタル夏期乾舷ニ左ノ數字ヲ加フベシ

L	加フベキ數字
未滿 90	50
90 以上 120 未滿	65
120 〃 150 〃	80
150 〃 180 〃	100
180 〃 210 〃	125
210 〃 240 〃	150
240 〃 270 〃	175
270 〃 300 〃	200
300 以上	225

第百八條　Lノ中央ニ於ケル船底勾配ガ八分ノ一ヨリ大ナル鋼船ニ在リテハDハ其ノ下端ガ第六條第一項ニ規定スル點ヨリ上方左ノ算式ニ依リ算定シタル高サニ相當スル箇所ニ在ルモノト看做シ之ヲ測ルコトヲ得

$$R=L\left(\frac{B}{2}-\frac{1}{8}\right)\times\frac{1}{2}$$

Rハ L ノ中央ニ於ケル船底勾配但シ其ノ勾配ガ二十四分ノ五ヲ超エルトキハ二十四分ノ五ヲ夏期乾舷ヨリ小ナルコトヲ得ズ但シ第二編ノ規定ヲ適用スルニ當リテハ船樓ニ關スル修正ハ管海官廳ニ於テ船樓ノ構造及其ノ閉鎖裝置ヲ適當ト認メタル場合ニ限リ之ヲ爲スモノトス

第五編　帆船ノ乾舷ニ關スル特別規定

第一章　鋼帆船

第百九條　鋼帆船ノ海水乾舷ハ第三十五條ノ規定ヲ準用シテ之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ表定乾舷ノ決定竝ニ船樣及D_0トLトノ比ニ關スル修正ニ付テハ第百十條乃至第百十二條ノ規定ニ依ル

第百十條　鋼帆船ノ表定乾舷ハ肥痩係數ガ〇・六二以下ナルトキハLニ應ジ左表ニ依リ求メタル乾舷トシ肥痩係數ガ〇・六二ヲ超エルトキハ該乾舷ニ左ノ算式ニ依リ算定シタル係數ヲ乘ジタルモノトス

$$\frac{C+0.62}{1.24}$$

Cハ肥痩係數但シ肥痩係數ガ〇・七二ヲ超エルトキハ〇・七二

乾舷 (粍)	L
228	24.0
265	26.5
304	29.0
345	31.5
387	34.0
431	36.5
475	39.0
520	41.5
565	44.0
612	46.5
660	49.0
710	51.5
760	54.0
810	56.5
860	59.0
910	61.5
962	64.0
1014	66.5
1067	69.0
1120	71.5
1174	74.0
1229	76.5
1284	79.0
1341	81.5
1399	84.0
1457	86.5
1515	89.0
1573	91.5
1632	94.0
1692	96.5
1752	99.0
1813	101.5

備考

Lが表ニ掲ゲルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リ乾舷ヲ算定ス

第百十一條　鋼帆船ニ在リテハ船樓ニ關スル修正高ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ算定ス

$$e\{76+8.336(L-24.4)\} \quad \text{ミリメートル}$$

Lハ二四・四メートル未滿ノ船舶ニ在リテハ二四・四、L一〇〇・五八メートルヲ超エル船舶ニ在リテハ一〇〇・五八

eハ船樓係數ニシテ左表ニ依ル

船種ノ有效ノ長サノ和トLトノ比 ＼ 船型	甲 船	乙 有效ノ長サガLノ十分ノ二以上ナル船橋樓ヲ有スル鋼帆船
	船橋樓係數	
0	0	0
0.070	0.070	0.10
0.147	0.130	0.20
0.220	0.170	0.30
0.320	0.235	0.40
0.420	0.300	0.50
0.560	0.475	0.60
0.700	0.700	0.70
0.800	0.800	0.80
0.900	0.900	0.90
1.000	1.000	1.00

備考

一、法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

二、有效ノ長サガLノ十分ノ二未滿ナル船橋樓ヲ有スル鋼帆船ニ在リテハ甲欄及乙欄ニ掲ゲル係數ノ間ニ挿間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

第百十二條　D_0がLノ十二分ノ一ヲ超エル鋼帆船ニ在リテハ左ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ヲ表定乾舷ニ加フベシ

$$1.093\times(D_0-\frac{L}{12})(76.20+L) \quad \text{ミリメートル}$$

第二章　木帆船

第百十三條　木帆船ノ海水乾舷ハ第百六條ノ規定ニ依リ算定シタル夏期乾舷ニ等シキモノトス

第百十四條　木帆船ノ海水乾舷ハ前條ノ規定ニ掲ゲル當該船ヲ鋼帆船ト看做シ本編第一章ノ規定ヲ適用シテ算定シタル海水乾舷ヨリ小ナルコトヲ得ズ但シ本編第一章ノ規定ヲ適用スルニ當リテハ船樓ニ關スル修正ハ管海官廳ニ於テ船樓ノ構造及其ノ閉鎖裝置ヲ適當ト認メタル場合ニ限リ之ヲ爲スモノトス

第六編　船舶ノ構造及設備

第一章　通則

第百十五條　第三十五條第一項又ハ第百九條ノ規定ニ依リ乾舷ノ指定ヲ受ケル鋼船、木材滿載吃水線ノ指定ヲ受ケル汽船及槽船ノ構造及設備ニ付テハ本編ノ規定ニ依ル

強力ニ依ル吃水、船舶所有者ノ豫定シタル吃水ノ限度等ニ依リ第三十五條第一項又ハ第百九條ノ規定ニ依ル乾舷ヨリ大ナル乾舷ノ指定ヲ受ケル鋼船ニ付テハ管海官廳ハ乾舷ノ增加ノ程度ニ應ジ本編第二章乃至第五章ノ規定ヲ適當ニ揭酌スルコトヲ得

第百十六條　木船ニ付テハ其ノ性質上適當ニシテ且實際上可能ナル範圍內ニ於テ前條ノ規定ニ準用ス

第百十七條　本編ノ規定ニ該當セザル構造又ハ設備ハ管海官廳ニ於テ本編ニ規定セルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本編ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

第二章　乾舷甲板及ビ船樓甲板ニ於ケル船口其ノ他ノ甲板口

第百十八條　乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル船口ノ種類及位置ハ左表ニ掲ゲルモノニ應ジ左表ニ掲ゲル甲板ノ高サ以上タルベシ

船口ノ種類	乾舷甲板又ハ船樓甲板ノ高サ (粍)
第一種	610
第二種	457
第三種	229

第一種

基露セル船樓甲板

船首ヨリL／四分ノ一ニ相當スル箇所ヨリ後方L／四分ノ一ニ相當スル箇所ニ至ノ場所

第二種

閉鎖裝置ノ效力ガ第一級閉鎖裝置ノ效力ニ及バザル船樓內ノ乾舷甲板

船首ヨリL／四分ノ一ニ相當スル箇所ヨリ後方ノ場所

閉鎖裝置ノ效力ガ第二級閉鎖裝置ノ效力及バザル船樓內

第三種

閉鎖裝置ノ效力ガ第二級閉鎖裝置ノ效力以上ナル船樓內

基露セル船樓甲板

第百十九條　船口ノ縁材ハ鋼材ヲ以テ堅牢ニ構造スルコトヲ要ス

第一種船口ノ縁材ニ在リテハ其ノ上緣ヨリ下方二五四ミリメートルニ相當スル箇所ヨリ低カラザル位置ニ橫防撓材ヲ取附ケ且船口ノ長サ又ハ幅ガ三・〇五メートルヲ超ユルトキハ該防撓材ヨリ甲板ニ達スルマデ支柱ヲ補强ノ爲メ一・〇五メートル以內ノ間隔ニ設ケ縁材ヲ以テ堅固ニ甲板ニ取附ケ且船口ノ長サ又ハ幅ガ一二・二メートルヲ超ユルトキハ該縁材ニ接シテ縱通材ヲ設ケ補强ノ爲メ一・〇五メートル以內ノ間隔ニ縱通材ヲ設ケ縁材ニ附ケ且船口ノ長サ又ハ幅ガ一二・二メートル以下ノ船ニ在リテハ左ニ掲ゲル甲板ニ依リ、第二種船口ニ在リテハ左ニ掲ゲル乙表ニ依リ補强方法ヲ適當ニ施スベシ

第百二十條　基露セル船口ニハ有效ナル蓋板ヲ備ヘ其ノ幅ハ六三ミリメートル以上ノ支材ヲ以テ之ヲ支フベシ船口蓋板ハ木製ヲ爲スヲ通例トス場合ニ依リ鐵製ヲ適當ト認メタル場合ニ限リ之ヲ爲スモノトス

第五編　帆船ノ乾舷ニ關スル特別規定

第一章　鋼帆船

第百八條　Lノ中央ニ於ケル船底勾配ガ八分ノ一ヨリ大ナル鋼帆船ニ在リテハDハ其ノ下端ガ第六條第一項ニ規定スル點ヨリ上方左ノ算式ニ依リ算定シタル高サニ相當スル箇所ニ在ルモノト看做シ之ヲ測ルコトヲ得

$$R=L\left(\frac{B}{2}-\frac{1}{8}\right)\times\frac{1}{2}$$

Rハ L ノ中央ニ於ケル船底勾配但シ其ノ勾配ガ二十四分ノ五ヲ超エルトキハ二十四分ノ五ヲ夏期乾舷ヨリ小ナルコトヲ得ズ但シ第二編ノ規定ヲ適用スルニ當リテハ船樓ニ關スル修正ハ管海官廳ニ於テ船樓ノ構造及其ノ閉鎖裝置ヲ適當ト認メタル場合ニ限リ之ヲ爲スモノトス

第百九條　鋼帆船ノ海水乾舷ハ第三十五條ノ規定ヲ準用シテ之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ表定乾舷ノ決定竝ニ船樣及D_0トLトノ比ニ關スル修正ニ付テハ第百十條乃至第百十二條ノ規定ニ依ル

第百十條　鋼帆船ノ表定乾舷ハ肥痩係數ガ〇・六二以下ナルトキハLニ應ジ左表ニ依リ求メタル乾舷トシ肥痩係數ガ〇・六二ヲ超エルトキハ該乾舷ニ左ノ算式ニ依リ算定シタル係數ヲ乘ジタルモノトス

$$\frac{C+0.62}{1.24}$$

Cハ肥痩係數但シ肥痩係數ガ〇・七二ヲ超エルトキハ〇・七二

乾舷 (粍)	L
228	24.0
265	26.5
304	29.0
345	31.5
387	34.0
431	36.5
475	39.0
520	41.5
565	44.0
612	46.5
660	49.0
710	51.5
760	54.0
810	56.5
860	59.0
910	61.5
962	64.0
1014	66.5
1067	69.0
1120	71.5
1174	74.0
1229	76.5
1284	79.0
1341	81.5
1399	84.0
1457	86.5
1515	89.0
1573	91.5
1632	94.0
1692	96.5
1752	99.0
1813	101.5

甲表

船ノ幅 (米)	梁口 縱材ヲ設ケザル船 キトルザク間ノ心距 (米) 1.22		梁口 縱材ヲ設ケタル船 キトルザク間ノ心距 (米) 1.52		梁口 縱材ヲ設ケタル船 キトルザク間ノ心距 (米) 1.83		梁口 縱材ヲ設ケタル船 キトルザク間ノ心距 (米) 2.44		梁口 縱材ヲ設ケタル船 キトルザク間ノ心距 (米) 3.05		球又ハ平板ノ上部ニ附スル下雨水部ノ二重山形材 (粍)
3.05	球板	(粍) サ深 230× サ厚 11.5	(粍) サ深 254× サ厚 12.5		(粍) サ深 280× サ厚 7.5		(粍) サ深 305× サ厚 8		(粍) サ深 356× サ厚 8.5	平板	75×75×10
3.66		280×12.5	305×12.5		305× 8		356× 8.5		432× 9		75×75×10
4.27		305×12.5	305× 8		356× 8.5		432× 9		508× 9.5		75×75×10.5
4.88	平板	305× 8	356× 8.5		406× 9		483× 9.5		559× 9.5		90×75×10.5
5.49		356× 8.5	406× 9		457× 9		533× 9.5		935×10		100×75×11
6.10		381× 8.5	457× 9		508× 9.5		610×10		711×10.5		100×75×11
6.71		406× 9	483× 9		559× 9.5		660×10.5		762×11		115×75×11.5
7.32		432× 9	508× 9.5		584×10		711×10.5		813×11		130×90×11.5
7.93		457× 9	533× 9.5		610×10		736×10.5		864×11.5		140×90×12
8.54		483× 9.5	559× 9.5		635×10		787×11		915×12		150×90×12.5
9.14		508× 9.5	584×10		660×10.5		813×11		965×12		150×90×13

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

縦材ノ長サ（米）　縦材縦板球形二附上球材重ス部板山ルニノ

縦材ノ長サ（米）	縦材縦板球形二附上球材重ス部板山ルニノ	縦材縦製木
	縦材縦板（米）距心ノ材縦	縦材縦製木（米）距心ノ材縦
	0.91 / 1.22 / 1.52	0.91 / 1.22 / 1.52
1.83	(粍) サ深 サ厚 130× 9.5 / (粍) サ深 サ厚 140× 8.5 / (粍) サ深 サ厚 150× 9 / (粍) 65×65× 9	(粍) サ深 幅 130×180 / (粍) サ深 幅 140×180 / (粍) サ深 幅 150×180
2.44	150× 9.5 / 180×10 / 190×10.5 / 65×65×9.5	150×180 / 165×180 / 180×180
3.05	180×11 / 200×11.5 / 230×12.5 / 65×65×10	180×180 / 190×180 / 200×180

縦材ノ長サ（米）　縦材縦形山球形ルニノ山材単附上形　縦材縦製木

縦材ノ長サ（米）	縦材縦形山球形ルニノ山材単附上形	縦材縦製木
	縦材（米）距心ノ材縦	縦材縦製木（米）距心ノ材縦
	0・91 / 1.22 / 1.52	0.91 / 1.22 / 1.52
1.83	(粍) 130×75× 8.5 / (粍) 140×75× 8.5 / (粍) 150×75× 9 / (粍) 65×65× 9	(粍) サ深 幅 130×130 / (粍) サ深 幅 140×130 / (粍) サ深 幅 150×130
2.44	150×75× 9.5 / 180×75×10 / 190×90×10.5 / 65×65× 9.5	150×130 / 165×150 / 180×150
3.05	180×75×11 / 200×90×11.5 / 230×90×12.5 / 65×65×10	180×150 / 190×150 / 200×180

縦材ノ長サ（米）　縦材縦板球形二附上球材重ス部板山ルニノ

縦材ノ長サ（米）	縦材縦板球形二附上球材重ス部板山ルニノ	縦材縦材木
	縦材（米）距心ノ材縦	縦材縦材木（米）距心ノ材縦
	0.91 / 1.22 / 1.52	0.91 / 1.22 / 1.52
1.83	(粍) サ深 サ厚 150× 9.0 / (粍) サ深 サ厚 165× 9.5 / (粍) サ深 サ厚 185× 9.5 / (粍) 65×65× 9	(粍) サ深 幅 140×180 / (粍) サ深 幅 150×180 / (粍) サ深 幅 165×180
2.44	180×10.5 / 200×11 / 230×11 / 65×65× 9.5	165×180 / 190×180 / 200×180
3.05	200×12.5 / 240×12.5 / 280×12.5 / 65×65×10	200×180 / 215×200 / 230×230

縦材ノ長サ（米）　縦材縦形山球形ルニノ山材単附上形　縦材縦製木

縦材ノ長サ（米）	縦材縦形山球形ルニノ山材単附上形	縦材縦製木
	縦材（米）距心ノ材縦	縦材縦製木（米）距心ノ材縦
	0.91 / 1.22 / 1.52	0.91 / 1.22 / 1.52
1.83	(粍) 150×75× 9.5 / (粍) 165×90× 9.5 / (粍) 180×90× 9.5 / (粍) 65×65× 9	(粍) サ深 幅 140×140 / (粍) サ深 幅 150×150 / (粍) サ深 幅 165×180
2.44	180×90×10.5 / 200×75×11 / 230×90×11 / 65×65× 9.5	165×165 / 190×180 / 200×180
3.05	200×90×12.5 / 240×90×12.5 / 280×90×12.5 / 65×65×10	200×180 / 215×200 / 230×230

表乙

船幅ノ（米）	船ノ梁ニ日キトルザク設テ材縦		船ノ梁ニ日キトルク設テ材縦			球板ノ又ハ平板上部ト下部ト兩ノ附ス山ルニ形材重
	梁ニ日船ノ距心（米）					
	1.22	1.52	1.83	2.44	3.05	
3.05	球板 (粍) サ深 サ厚 203×10	(粍) サ深 サ厚 254× 11	(粍) サ深 サ厚 241×11.5	(粍) サ深 サ厚 280×7.5	(粍) サ深 サ厚 292×23	(粍) 75×75×10
3.66	230×11	254×12.5	280×12.5	280× 7.5	330× 8.5	75×75×10
4.27	平板 254×12.5	292×12.5	280× 7.5	330× 8	381× 8.5	75×75×10.5
4.88	280× 7.5	280× 7.5	305× 8	381× 8.5	432× 9	90×75×10.5
5.49	280× 7.5	330× 8	386× 8.5	432× 9	483× 9.5	100×75×11
6.10	305× 8	330× 8.5	406× 9	483× 9.5	533× 9.5	100×75×11
6.71	318× 8	356× 8.5	432× 9	508× 9.5	584×10	115×75×11.5
7.32	330× 8.5	368× 8.5	457× 9	533× 9.5	635×10	130×90×11.5
7.93	344× 8.5	381× 8.5	483× 9.5	559× 9.5	660×10.5	140×90×12
8.54	356× 8.5	406× 9	508× 9.5	584×10	686×10.5	150×90×12.5
9.14	381× 8.5	432× 9	533× 5.9	610×10	711×10.5	150×90×13

備考

一　船口ノ幅、船口梁ノ心距又ハ縦材ノ長サ若ハ心距ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ船口梁又ハ縦材ノ寸法ハ挿間法ニ依リ之ヲ定ム

二　船口梁ノ深サハ其ノ長サノ中央ニ於テ上部山形材ヨリ梁ノ下緣迄測リタルモノ、縦材ノ深サハ船口蓋板ノ下面ヨリ縦材ノ下緣迄測リタルモノトス

三　L.カ三〇・五メートル以下ノ船船ニ在リテハ平板及山形材ヲ以テ構造シタル船口梁ノ深サハ船口ノ種類ニ應ジ前項ノ甲表又ハ乙表ニ掲グルモノノ十分ノ六、球板及山形材ヲ以テ構造シタル船口梁竝ニ球山形縦材ノ深サハ同表ニ掲グルモノノ十分ノ八ト爲シ平板、球板及球山形材ノ厚サハ其ノ深サニ對シ同表ニ掲グル厚サニ等シク又木製縦材ノ深サハ同表ニ掲グルモノノ十分ノ八ト爲スコトヲ得但シ平板、球板及球山形材ノ厚サハ七・五ミリメートルヨリ又中央木製縦材ノ幅ハ一六五ミリメートルヨリ小ナルコトヲ得ズ

四　L.カ三〇・五メートルヲ超エ六一メートル未滿ノ船船ニ在リテハ船口梁及縦材ノ寸法ハ船口ノ種類ニ應ジ第一項ニ依ルモノト前項ニ依ルモノトノ間ニ挿間法ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第百二十二條　船口梁ヲ構造スル球板ノ上部又ハ平板ノ上下兩部ニ附ス山形材ノ兩邊ノ幅相等シカラザルトキハ廣邊ヲ水平ニ竪ニベシ又上部ノ山形材ハ梁ノ全長ニ連續シテ通達セシメ縦材ヲ支フル爲之ヲ屈折セシムルコトヲ得

第百二十三條　船口梁及縦材ヲ支フル承金又ハ壺金ハ厚サ一二・五ミリメートル以上支面ノ幅七五ミリメートル以上ニシテ鋼製ノモノナルコトヲ要ス

第百二十四條　暴露セル船口ノ緣材ニハ其ノ外面ニ於テ六一〇ミリメートル以内ノ心距ニ幅六三ミリメートル以上ノ堅牢ナル帶金ヲ取附ケ且端末ノモノハ船口ノ各隅ヨリ一五〇ミリメートル以内ノ箇所ニ之ヲ竪ク

帶金及樋ハ船口ヲ閉鎖スル爲有效ノモノニシテ良好ナル狀態ニ在ルコトヲ要ス

第百二十五條　暴露セル各船口ニハ船口覆布試驗規程ニ依リ甲種覆布二枚以上ヲ備フベシ

第百二十六條　暴露セル船口ニハ蓋板ヲ締附ケル爲環附螺釘ヲ備フルカ又ハ其ノ他ノ裝置ヲ爲スベシ

船口ノ箇所ニ於ケル甲板ノ幅ノ百分ノ六十ヲ超エル幅ノ第一種船口ニ在リテハ特別ノ締附裝置ヲ備フベシ

第百二十七條　閉鎖裝置ノ效力ニ及ボザル船樓内ノ乾舷甲板ニ於ケル船口ニハ第百二十條乃至第百二十五條ニ規定スル閉鎖裝置ヲ備フベシ此ノ場合ニ於テハ船口梁及縦材ノ寸法及心距ニ付テハ第二種船口ニ對シテハ暴露セル第一種船口、第三種船口ニ對シテハ暴露セル第二種船口ニ關スル規定ニ依ル

第百二十八條　本章前各條ノ規定ハ載炭口ニ之ヲ準用ス

第百二十九條　船樓甲板ニハ平載炭孔ヲ設クルコトヲ得又特殊ノ航路ニ使用スル小形船ニ在リテハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ乾舷甲板ニモ之ヲ設クルコトヲ得

前項ノ平載炭孔ノ枠及蓋ハ鐵製又ハ鋼製ニシテ堅牢ナル構造ノモノナルコトヲ要シ又蓋ハ螺込止又ハ挿込止ノモノトシ螺番ニ依リ枠ニ取附クルカ又ハ鎖ヲ以テ枠ニ連結シ置クベシ

第百三十條　乾舷甲板ノ暴露部又ハ載圍シタル船樓ノ甲板ノ暴露部ニ於ケル昇降口室ハ堅牢ナル構造ノモノナルコトヲ要シ船首ヨリ上ノ四分ノ一以内ノ箇所ニ在ルトキハ之ヲ鋼製トシ鉸釘ヲ以テ鋼甲板ニ固著スルコトヲ要ス

前項ノ昇降口室ニ於ケル戸口ノ緣材ノ高サハ昇降口ノ位置ニ應ジ第百十八條ニ定ムル船口緣材ノ高サ以上トシ戸ハ堅牢ニシテ其ノ兩側ヨリ閉鎖定著シ得ルモノトス

チト要ス

第三章　乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル機關室口、通風筒及空氣管

第百三十一條　基露セル乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル機關室口ハ之ヲ適當ニ構造シ且堅牢ナル鋼製圍壁ヲ以テ蔽圍スルコトヲ要ス

乾舷甲板又ハ低船尾樓甲板上ノ機關室圍壁ニシテ他ノ建設物ニ依リ保護セラレザルモノハ特ニ其ノ強力ヲ十分ナラシムベシ

焚火室口、煙筒及通風筒ノ緣材ハ適當ニシテ且實際上可能ナル限リ基露甲板上高キ位置ニ之ヲ設ケ又焚火室口ニハ當設的ニ取附ケ得ル堅牢ナル鋼製蓋ヲ備フベシ

第百三十二條　閉鎖裝置ノ效力ニ及ボザル船樓內ノ乾舷甲板ニ於ケル機關室口ハ之ヲ適當ニ構造シ且鋼製圍壁ヲ以テ蔽圍スルコトヲ要ス

第百三十三條　前二條ノ機關室口圍壁ニ設クル戶口ノ緣材ノ高サハ左表ニ揭グルモノ以上ナルコトヲ要ス

機關室口圍壁ヲ設ケタル甲板ノ種類及位置	緣材ノ上面ヨリ甲板上ノ高サ（粍）
基露セル乾舷甲板	610
基露セル低船尾樓甲板	457
低船尾樓甲板以外ノ基露セル船樓甲板	229
閉鎖裝置ノ效力カ第一級閉鎖裝置ノ效力ニ及ボザル船樓ノ閉鎖裝置及效力カ第二級閉鎖裝置ノ效力ニ及ボザル船樓ノ閉鎖裝置ノ效力以上ナル船樓內	380

前項ノ戶口ニ設クル戶ハ堅牢ナル構造トシ常設的ニ圍壁ニ取附ケタルモノナルコトヲ要シ基露セル場所ニ設ケラルルトキハ之ヲ兩側ヨリ閉鎖定著シ得ルモノナルコトヲ要ス

第百三十四條　基露セル乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル通風筒ニシテ乾舷甲板下ノ場所又ハ閉鎖裝置ノ效力ヲ第一級閉鎖裝置ノ效力以上ナル船樓內ノ場所ニ通ズルモノニハ鋼製ノ堅牢ナル緣材ヲ備ヘ釘揑ノ四倍ノ心距ニ配置セラレタル鉸釘ニ依リ又ハ同一效力ノ方法ニ依リ之ヲ甲板ニ固著シ緣材ノ底部ニ當ル鋼甲板ノ甲板梁ノ間ニ於テ十分ニ之ヲ防撓スルコトヲ要ス

前項ノ通風筒ノ口ニハ有效ナル閉鎖裝置ヲ備フベシ

第百三十五條　前條ノ通風筒ノ緣材ノ高サハ通風筒ノ閉鎖裝置ガ一時的ノ覆ノナルトキハ基露セル乾舷甲板又ハ船首ヨリ上ノ四分ノ一ノ箇所迄ノ船樓甲板ニ在リテハ九一五ミリメートル以上、其ノ他ノ基露船樓甲板ニ在リテハ七六〇ミリメートル以上ナルコトヲ要ス

通風筒ノ緣材ノ其ノ高サガ九一五ミリメートヲ超ユルトキハ特別ニ之ヲ支持シ且固著セシムベシ

第百三十六條　脚荷水槽其ノ他ノ槽ニ通ズル空氣管ガ乾舷甲板又ハ船樓甲板ノ上方迄達スル場合ニ於テハ管ノ基露部ハ堅牢ナモノナルコトヲ要シ且管口ヲ閉鎖スル爲ナル設備ヲ爲スコトヲ要ス又「サウエル」ニ於テハ甲板ヨリ管口迄ノ高サハ乾舷甲板上ニ在リテハ九一五ミリメートル以上、低船尾樓甲板上ニ在リテハ七六〇ミリメートル以上、其ノ他ノ船樓甲板上ニ在リテハ四五七ミリメートル以上ト爲スベシ

第四章　乾舷甲板下ノ船側ニ於ケル開口

第百三十七條　乾舷甲板下ノ船側ニ於ケル乾舷甲板上ニ在リテハ船尾樓甲板又ハ船樓甲板ノ上ニ在ルモノヲ除クノ外鉸鎖ヲ以テ堅固ニ取附ケタル風雨密ナル戶ヲ備フベシ

第百三十八條　乾舷甲板下ノ場所ヨリ船側ヲ貫通スル各排出管ニハ自働不還弁二箇ヲ備ヘ中一箇ハ何時ニテモ近寄リ得ル場所ニ在リテ乾舷甲板上ノ場所ヨリ之ヲ閉ヂ得ル裝置ヲ有シ且該場所ニ弁ノ開閉ヲ示スニハ螺番ニ依リ取附ケタル內蓋ヲ備ヘ完全ニ水密トナル構造トナスベシ但シ雜居三等旅客ニ非ザル旅客又ハ船員ニ專用スル船樓內ノ容易ニ近寄リ得ル場所ニ設クル乾舷ノ內蓋ハ取外シ得ルモノトナスコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ內蓋ヲ常ニ乾舷ノ近クニ備置クカ又ハ裝置ヲ爲スベシ

第二項ノ乾舷ノ枠ハ黃銅、錆鋼其ノ他適當ナル金屬ヲ以テ堅牢ニ構造シタルモノナルコトヲ要シ之ヲ錆鐵製トナスベカラズ又螺番ノ軸釘及締附螺釘ハ黃銅製ナルコトヲ要ス

第五章　船樓端ノ隔壁、船員ノ保護裝置及放水口

第百四十一條　標準ノ高サヲ有スル船首樓、船橋樓又ハ船尾樓ノ暴露セル端ニ於ケル隔壁ハ其ノ厚サヲ左表ニ揭グルモノ以上トナシ同表ニ揭グル寸法ノ防撓材ヲ七六センチメートル以內ノ心距ニ堅ク取附ケ之ヲ防撓シタルモノナルコトヲ要ス

船橋樓ノ前端隔壁及上ノ十分ノ四以上ノ長サヲ有スル船尾樓ノ保護セラレザル隔壁		部分的ニ保護セラレタル船尾樓隔壁又ハ上ノ十分ノ四未滿ノ長サヲ有スル船尾樓ノ隔壁		船首樓及船橋ノ隔壁	
厚サ	板ノ厚サ	厚サ	板ノ厚サ	厚サ	板ノ厚サ
L	（粍）	L	（粍）	L	（粍）
48.75以下	6.0	48.75以下	7.5	61.00以下	9.5
122.00以上	9.5	122.00以上	11.0	115.80以上	11.0

防撓材ノ種類及寸法					
山形材			球形材		
L	形材（粍）	寸法	L	形材（粍）	寸法
45.70未滿	75×65×7.5	5.0	45.70未滿	140×75×7.5	7.5
45.70	90×65×8		45.70	150×75×8	
76.20	100×75×8.5		61.00	165×75×8.5	
106.70	115×75×9		76.20	180×75×9	
	130×75×9.5		91.45	190×75×9.5	
	140×75×10.5		106.70	205×75×10	
	150×75×11		121.90	215×75×10.5	
	165×90×11.5		137.15	230×75×11	
	180×90×12		152.04	240×90×11.5	
	180×90×12.5		167.65	255×90×12	
				256×90×12.5	
				280×90×13	

樓ノ後端隔壁	厚サ（粍）	寸法　山形材（粍）
	5.0	65×65×6.5
	7.5	75×65×7
		90×75×7.5
		100×75×8

備考

L ガ表ニ揭グルモノノ中間ニ在ルトキハ隔壁板ノ厚サ及防撓材ノ寸法ハ挿間法ニ依リ之ヲ定ム

第百四十二條　前條ノ規定ニ依リ船尾樓及船橋樓ノ前端隔壁ニ設ケタル防撓材ノ上下兩端ハ短山形材ヲ以テ之ヲ甲板ニ固著セシムルコトヲ要シ又船首樓及船橋樓ノ後端隔壁ニ於ケル防撓材ハ隔壁ノ緣山形材間ノ全距離ニ亙リ之ヲ取附クルコトヲ要ス

第百四十三條　平甲板船ノ乾舷甲板ニ設ケタル居住用ノ甲板室ノ周壁ハ前二條ニ規定スルモノト同等ノ強力ヲ有スル構造ト爲スベシ

第百四十四條　乾舷甲板及船樓甲板ノ暴露セル部分ニハ適當ノ保護綱ヲ又ハ緣塔ヲ設クベシ

各緣ニ於ケル緣塔ノ長サ（米）	
各緣ニ設クベキ放水口ノ全面積（平方米）	
0.726	4
0.787	6
0.846	8
0.909	10
0.970	12
1.031	14
1.092	16
1.153	18
1.220	20
緣塔ノ長サ一米ニ付ノ割合	20ヲ超ユルトキ 0.061平方米ノ割合

備考

緣塔ノ長サガ表ニ揭グルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リ放水口ノ面積ヲ算定ス

放水口ノ面積ハ緣弧ノ高サガ標準緣弧ノ高サヨリ小ナル船ニ在リテハ前項ニ規定スルモノヨリ適當ニ之ヲ增スコトヲ要シ又「サウエル」ノ長サガL ノ十分ノ七ヲ超ユルトキハ適當ニ之ヲ減ズルコトヲ得

第六十一條第一號ニ該當スル船樓內ニ於テハ常設閉鎖裝置ヲ備ヘザル甲板口ノ位置ニ適當ノ放水口ヲ設クベシ

第百四十七條　放水口ハ甲板上成ルベク低キ位置ニ之ヲ設クルコトヲ要シ其ノ下緣ハ緣山形材ノ上緣ヨリ高カラザル樣設クベシ

放水口ニハ約二三センチメートルノ間隔ニ橫ノ橫棒ヲ取附クベシ又戶ヲ取附ケタルトキハ梃寄ノ設ケヲ有スルモノト爲スベシ

第六章　槽船

第百五十條　本章ノ規定ハ木材滿載吃水線ノ指定ヲ受ケル汽船ニ之ヲ適用ス

第百五十一條　乾舷甲板ハ機關室圍壁ハ標準ノ高サ以上ノ高サノ蔽圍ヲ有スル船樓甲板ニ在リテハ之ヲ適當ニ構造シ且鋼製圍壁ヲ以テ蔽圍スルコトヲ要ス

第百五十二條　乾舷甲板又ハ其ノ端ニ於テ第百四十一條及第百四十二條ニ規定スル船樓前端隔壁ト同樣ノ構造ノ隔壁ヲ備ヘ之ニ設ケル出入口ニハ甲板上四五七ミリメートル以上ノ高サノ緣材ヲ設ケ且有效ナル閉鎖裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第百五十三條　船尾樓甲板又ハ其ノ端ニ於テ第百四十一條ニ規定スル船樓前端隔壁ト同樣ノ構造ノ隔壁ヲ備ヘ之ニ設ケル出入口ニハ甲板上四五七ミリメートル以上ノ高サノ緣材ヲ設ケ且有效ナル閉鎖裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第百五十四條　船尾樓甲板ハ機關室圍壁ハ標準ノ高サ以上ノ高サノ蔽圍ヲ有スル船樓甲板ニ在リテハ之ヲ適當ニ構造シ且鋼製圍壁ヲ以テ蔽圍スルコトヲ要ス

第百五十五條　乾舷甲板下ノ船側ニ於ケル乾舷甲板上ニ在リテハ船尾樓甲板又ハ船樓甲板ノ上ニ在ルモノヲ除クノ外鉸鎖ヲ以テ堅固ニ取附ケタル風雨密ナル戶又ハ蓋ヲ備フベシ此等戶又ハ蓋ハ之ヲ定著スル裝置ヲ有シ且十分ナル強力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第百五十六條　乾舷甲板下ノ場所ヨリ船側ヲ貫通スル各排出管ニハ自働不還弁二箇ヲ備ヘ中一箇ハ何時ニテモ近寄リ得ル場所ニ在リテ乾舷甲板上ノ場所ヨリ之ヲ閉ヂ得ル裝置ヲ有シ且該場所ニ弁ノ開閉ヲ示スニハ螺番ニ依リ取附ケタル內蓋ヲ備ヘ完全ニ水密トナル構造トナスベシ但シ雜居三等旅客ニ非ザル旅客又ハ船員ニ專用スル船樓內ノ容易ニ近寄リ得ル場所ニ設クル乾舷ノ內蓋ハ取外シ得ルモノトナスコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ內蓋ヲ常ニ乾舷ノ近クニ備置クカ又ハ裝置ヲ爲スベシ

第二項ノ乾舷ノ枠ハ黃銅、錆鋼其ノ他適當ナル金屬ヲ以テ堅牢ニ構造シタルモノナルコトヲ要シ之ヲ錆鐵製トナスベカラズ又螺番ノ軸釘及締附螺釘ハ黃銅製ナルコトヲ要ス

第五章　船樓端ノ隔壁、船員ノ保護裝置及放水口

第百四十一條　標準ノ高サヲ有スル船首樓、船橋樓又ハ船尾樓ノ暴露セル端ニ於ケル隔壁ハ其ノ厚サヲ左表ニ揭グルモノ以上トナシ同表ニ揭グル寸法ノ防撓材ヲ七六センチメートル以內ノ心距ニ堅ク取附ケ之ヲ防撓シタルモノナルコトヲ要ス

船橋樓ノ前端隔壁及上ノ十分ノ四以上ノ長サヲ有スル船尾樓ノ保護セラレザル隔壁		部分的ニ保護セラレタル船尾樓隔壁又ハ上ノ十分ノ四未滿ノ長サヲ有スル船尾樓ノ隔壁		船首樓及船橋ノ隔壁	
厚サ	板ノ厚サ	厚サ	板ノ厚サ	厚サ	板ノ厚サ
L	（粍）	L	（粍）	L	（粍）
48.75以下	6.0	48.75以下	7.5	61.00以下	9.5
122.00以上	9.5	122.00以上	11.0	115.80以上	11.0

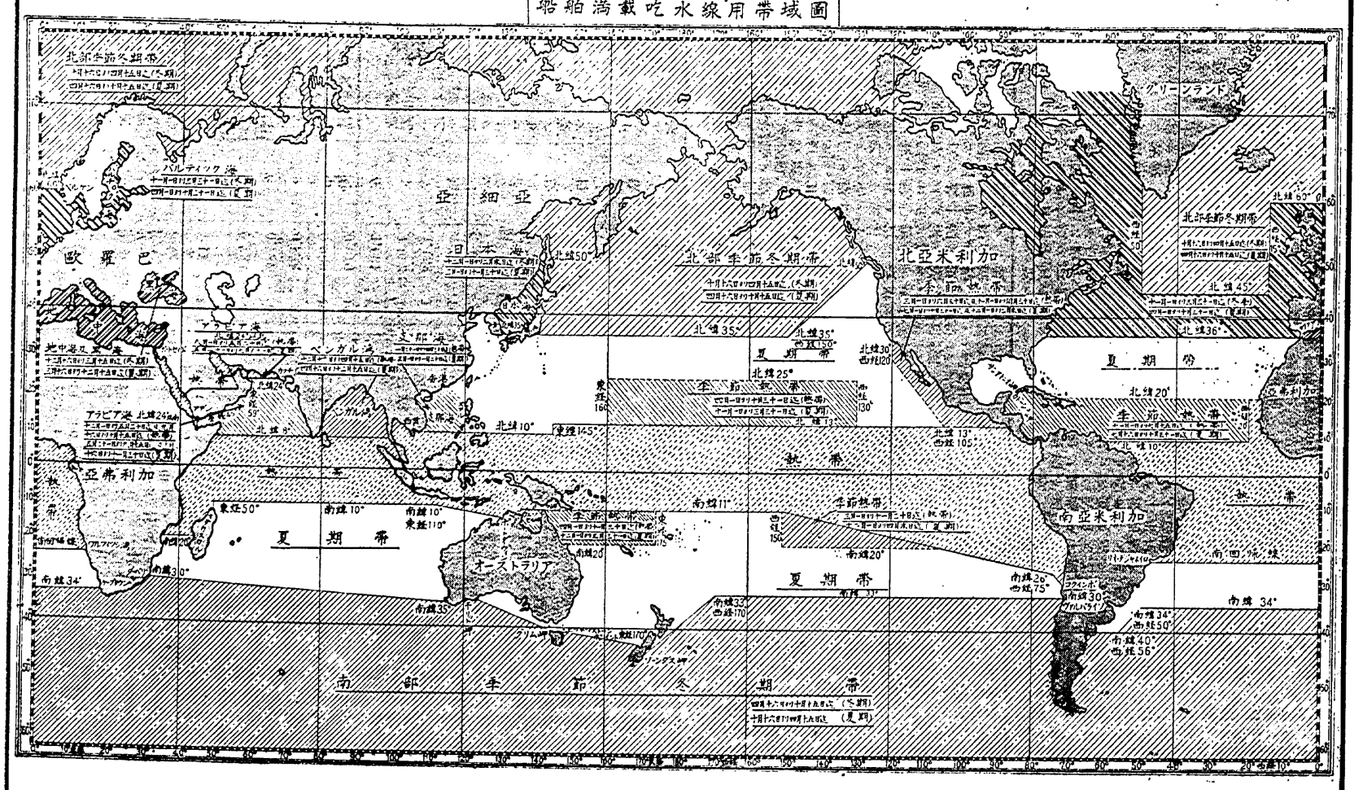
防撓材ノ種類及寸法					
山形材			球形材		
L	形材（粍）	寸法	L	形材（粍）	寸法
45.70未滿	75×65×7.5	5.0	45.70未滿	140×75×7.5	7.5
45.70	90×65×8		45.70	150×75×8	
76.20	100×75×8.5		61.00	165×75×8.5	
106.70	115×75×9		76.20	180×75×9	
	130×75×9.5		91.45	190×75×9.5	
	140×75×10.5		106.70	205×75×10	
	150×75×11		121.90	215×75×10.5	
	165×90×11.5		137.15	230×75×11	
	180×90×12		152.04	240×90×11.5	
	180×90×12.5		167.65	255×90×12	
				256×90×12.5	
				280×90×13	

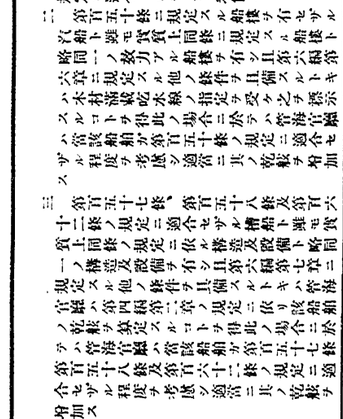
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

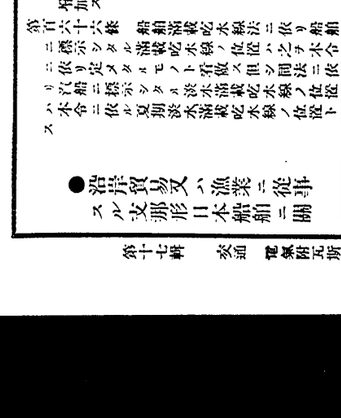
（別紙）

船舶滿載吃水線規程附圖

圖帶域用線水吃滿載船舶







英領北米屬地法令　第二卷　運輸　第五款　船舶

第十七章　船舶

●沿岸貿易及漁業ニ從事スル日本船ニ關スル件

第一條　本章ニ於テ日本船ト稱スルハ日本帝國臣民ノ所有ニ屬シ且日本帝國ノ法律ニ依リ日本船ト認メラレタル船舶ヲ謂フ

第二條　日本船ニシテ沿岸貿易又ハ漁業ニ從事セントスル者ハ其ノ船舶ニ付キ左ノ區別ニ從ヒ本邦ノ港ニ於テ登録ヲ受ケ且登録證書ヲ受ケタル後ニアラサレハ其ノ業ヲ營ムコトヲ得ス

一　沿岸貿易ニ從事スル船舶

二　漁業ニ從事スル船舶

第三條　前條ノ登録ヲ受ケントスル者ハ其ノ船舶ノ長サ、幅及深サヲ測量シ且其ノ船舶ノ構造ニ關シ左ノ事項ヲ具シ本邦ノ港ニ於テ登録ヲ受クヘシ

一　船名

二　船舶ノ種類

三　船舶ノ噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造ニ關スル詳細ノ事項

六　船舶ノ所有者ノ氏名及住所

七　船舶ノ所有者カ數人ナルトキハ其ノ持分

八　船舶ノ所有者カ會社ナルトキハ其ノ名稱及本店ノ所在地

九　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ノ氏名及住所

十　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

十一　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

第四條　前條ノ登録ヲ受ケントスル者ハ其ノ船舶ノ長サ、幅及深サヲ測量シ且其ノ船舶ノ構造ニ關シ左ノ事項ヲ具シ本邦ノ港ニ於テ登録ヲ受クヘシ

一　船名

二　船舶ノ種類

三　船舶ノ噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造ニ關スル詳細ノ事項

六　船舶ノ所有者ノ氏名及住所

七　船舶ノ所有者カ數人ナルトキハ其ノ持分

八　船舶ノ所有者カ會社ナルトキハ其ノ名稱及本店ノ所在地

九　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ノ氏名及住所

十　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

十一　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

第五條　前條ノ登録ヲ受ケントスル者ハ其ノ船舶ノ長サ、幅及深サヲ測量シ且其ノ船舶ノ構造ニ關シ左ノ事項ヲ具シ本邦ノ港ニ於テ登録ヲ受クヘシ

一　船名

二　船舶ノ種類

三　船舶ノ噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造ニ關スル詳細ノ事項

六　船舶ノ所有者ノ氏名及住所

七　船舶ノ所有者カ數人ナルトキハ其ノ持分

八　船舶ノ所有者カ會社ナルトキハ其ノ名稱及本店ノ所在地

九　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ノ氏名及住所

十　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

十一　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

第六條　前條ノ登録ヲ受ケントスル者ハ其ノ船舶ノ長サ、幅及深サヲ測量シ且其ノ船舶ノ構造ニ關シ左ノ事項ヲ具シ本邦ノ港ニ於テ登録ヲ受クヘシ

一　船名

二　船舶ノ種類

三　船舶ノ噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造ニ關スル詳細ノ事項

六　船舶ノ所有者ノ氏名及住所

七　船舶ノ所有者カ數人ナルトキハ其ノ持分

八　船舶ノ所有者カ會社ナルトキハ其ノ名稱及本店ノ所在地

九　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ノ氏名及住所

十　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

十一　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

第七條　前條ノ登録ヲ受ケントスル者ハ其ノ船舶ノ長サ、幅及深サヲ測量シ且其ノ船舶ノ構造ニ關シ左ノ事項ヲ具シ本邦ノ港ニ於テ登録ヲ受クヘシ

一　船名

二　船舶ノ種類

三　船舶ノ噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造ニ關スル詳細ノ事項

六　船舶ノ所有者ノ氏名及住所

七　船舶ノ所有者カ數人ナルトキハ其ノ持分

八　船舶ノ所有者カ會社ナルトキハ其ノ名稱及本店ノ所在地

九　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ノ氏名及住所

十　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

十一　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

第八條　前條ノ登録ヲ受ケントスル者ハ其ノ船舶ノ長サ、幅及深サヲ測量シ且其ノ船舶ノ構造ニ關シ左ノ事項ヲ具シ本邦ノ港ニ於テ登録ヲ受クヘシ

一　船名

二　船舶ノ種類

三　船舶ノ噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造ニ關スル詳細ノ事項

六　船舶ノ所有者ノ氏名及住所

七　船舶ノ所有者カ數人ナルトキハ其ノ持分

八　船舶ノ所有者カ會社ナルトキハ其ノ名稱及本店ノ所在地

九　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ノ氏名及住所

十　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

十一　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

第九條　前條ノ登録ヲ受ケントスル者ハ其ノ船舶ノ長サ、幅及深サヲ測量シ且其ノ船舶ノ構造ニ關シ左ノ事項ヲ具シ本邦ノ港ニ於テ登録ヲ受クヘシ

一　船名

二　船舶ノ種類

三　船舶ノ噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造ニ關スル詳細ノ事項

六　船舶ノ所有者ノ氏名及住所

七　船舶ノ所有者カ數人ナルトキハ其ノ持分

八　船舶ノ所有者カ會社ナルトキハ其ノ名稱及本店ノ所在地

九　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ノ氏名及住所

十　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

十一　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

第十條　前條ノ登録ヲ受ケントスル者ハ其ノ船舶ノ長サ、幅及深サヲ測量シ且其ノ船舶ノ構造ニ關シ左ノ事項ヲ具シ本邦ノ港ニ於テ登録ヲ受クヘシ

一　船名

二　船舶ノ種類

三　船舶ノ噸數

四　船舶ノ主要ナル寸法

五　船舶ノ構造ニ關スル詳細ノ事項

六　船舶ノ所有者ノ氏名及住所

七　船舶ノ所有者カ數人ナルトキハ其ノ持分

八　船舶ノ所有者カ會社ナルトキハ其ノ名稱及本店ノ所在地

九　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ノ氏名及住所

十　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

十一　船舶ノ所有者カ日本帝國臣民ニ非サルトキハ其ノ船舶ニ關シ日本帝國臣民ヲ代表スル者ニ對スル委任ノ範圍

書式

●巴拿馬及蘇士運河噸數證

越大英令正規則第十七號

明治三十七年十月一日

（第一號様式）

旗寸法

縦五

同三

白　赤

（第二號様式）

旗寸法

縦五

同三

白　青

（第三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四號様式）

縦五

同三

白　青

（第五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第六號様式）

縦五

同三

白　青

（第七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第八號様式）

縦五

同三

白　青

（第九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第十號様式）

縦五

同三

白　青

（第十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二十號様式）

縦五

同三

白　青

（第二十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第二十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第二十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第二十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第二十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三十號様式）

縦五

同三

白　青

（第三十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第三十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第三十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第三十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第三十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四十號様式）

縦五

同三

白　青

（第四十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第四十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第四十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第四十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第四十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第五十號様式）

縦五

同三

白　青

（第五十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第五十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第五十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第五十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第五十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第五十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第五十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第五十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第五十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第六十號様式）

縦五

同三

白　青

（第六十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第六十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第六十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第六十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第六十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第六十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第六十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第六十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第六十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第七十號様式）

縦五

同三

白　青

（第七十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第七十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第七十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第七十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第七十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第七十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第七十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第七十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第七十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第八十號様式）

縦五

同三

白　青

（第八十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第八十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第八十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第八十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第八十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第八十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第八十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第八十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第八十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第九十號様式）

縦五

同三

白　青

（第九十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第九十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第九十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第九十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第九十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第九十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第九十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第九十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第九十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百號様式）

縦五

同三

白　青

（第百一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百二號様式）

縦五

同三

白　青

（第百三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百四號様式）

縦五

同三

白　青

（第百五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百六號様式）

縦五

同三

白　青

（第百七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百八號様式）

縦五

同三

白　青

（第百九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百十號様式）

縦五

同三

白　青

（第百十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第百十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第百十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第百十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第百十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百二十號様式）

縦五

同三

白　青

（第百二十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百二十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第百二十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百二十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第百二十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百二十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第百二十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百二十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第百二十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百三十號様式）

縦五

同三

白　青

（第百三十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百三十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第百三十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百三十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第百三十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百三十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第百三十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百三十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第百三十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百四十號様式）

縦五

同三

白　青

（第百四十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百四十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第百四十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百四十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第百四十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百四十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第百四十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百四十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第百四十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百五十號様式）

縦五

同三

白　青

（第百五十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百五十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第百五十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百五十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第百五十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百五十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第百五十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百五十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第百五十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百六十號様式）

縦五

同三

白　青

（第百六十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百六十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第百六十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百六十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第百六十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百六十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第百六十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百六十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第百六十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百七十號様式）

縦五

同三

白　青

（第百七十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百七十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第百七十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百七十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第百七十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百七十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第百七十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百七十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第百七十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百八十號様式）

縦五

同三

白　青

（第百八十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百八十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第百八十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百八十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第百八十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百八十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第百八十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百八十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第百八十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百九十號様式）

縦五

同三

白　青

（第百九十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百九十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第百九十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百九十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第百九十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百九十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第百九十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第百九十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第百九十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百二號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百四號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百六號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百八號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百十號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百二十號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百二十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百二十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百二十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百二十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百二十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百二十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百二十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百二十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百二十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百三十號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百三十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百三十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百三十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百三十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百三十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百三十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百三十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百三十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百三十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百四十號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百四十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百四十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百四十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百四十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百四十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百四十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百四十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百四十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百四十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百五十號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百五十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百五十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百五十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百五十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百五十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百五十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百五十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百五十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百五十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百六十號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百六十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百六十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百六十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百六十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百六十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百六十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百六十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百六十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百六十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百七十號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百七十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百七十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百七十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百七十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百七十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百七十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百七十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百七十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百七十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百八十號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百八十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百八十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百八十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百八十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百八十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百八十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百八十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百八十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百八十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百九十號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百九十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百九十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百九十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百九十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百九十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百九十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百九十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第二百九十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第二百九十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百二號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百四號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百六號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百八號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百十號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百二十號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百二十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百二十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百二十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百二十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百二十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百二十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百二十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百二十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百二十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百三十號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百三十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百三十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百三十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百三十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百三十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百三十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百三十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百三十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百三十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百四十號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百四十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百四十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百四十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百四十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百四十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百四十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百四十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百四十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百四十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百五十號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百五十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百五十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百五十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百五十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百五十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百五十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百五十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百五十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百五十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百六十號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百六十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百六十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百六十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百六十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百六十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百六十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百六十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百六十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百六十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百七十號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百七十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百七十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百七十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百七十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百七十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百七十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百七十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百七十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百七十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百八十號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百八十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百八十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百八十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百八十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百八十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百八十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百八十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百八十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百八十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百九十號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百九十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百九十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百九十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百九十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百九十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百九十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百九十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第三百九十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第三百九十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百二號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百四號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百六號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百八號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百十號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百二十號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百二十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百二十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百二十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百二十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百二十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百二十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百二十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百二十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百二十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百三十號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百三十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百三十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百三十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百三十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百三十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百三十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百三十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百三十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百三十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百四十號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百四十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百四十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百四十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百四十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百四十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百四十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百四十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百四十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百四十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百五十號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百五十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百五十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百五十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百五十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百五十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百五十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百五十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百五十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百五十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百六十號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百六十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百六十二號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百六十三號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百六十四號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百六十五號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百六十六號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百六十七號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百六十八號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百六十九號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百七十號様式）

縦五

同三

白　青

（第四百七十一號様式）

縦五

同三

白　赤

（第四百七十二號

シ
噸數證書ノ紛失ニ因リ其ノ再交付ヲ申請セムトスルトキハ船舶所有者ハ其ノ事由ヲ記載シタル申請書ヲ管海官廳ニ提出スヘシ
管海官廳ニ於テ前二項ノ申請ヲ受ケタルトキハ巴拿馬運河噸數證書ニ在リテハ檢查官吏ヲシテ之ヲ測製セシメ、蘇士運河噸數證書ニ在リテハ管海官廳ノ之ヲ測製シ申請者ニ交付スヘシ
第六條　噸數證書カ不用ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ遲滯ナク之ヲ管海官廳ニ返還スヘシ
噸數證書カ滅失シタルトキハ船舶所有者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ管海官廳ニ屆出ツヘシ但シ前條第二項ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
第七條　噸數證書ニ記載シタル事項カ巴拿馬運河官憲又ハ蘇士運河會社ニ依リ變更セラレタルトキハ船舶所有者ハ當該船舶カ朝鮮ニ歸航シタル後遲滯ナク其ノ旨ヲ管海官廳ニ屆出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ屆出ト同時ニ噸數證書又ハ其ノ寫ヲ管海官廳ニ提出スヘシ
管海官廳ニ於テ前項ノ屆出ヲ受ケタルトキハ巴拿馬運河噸數證書又ハ其ノ寫ニ在リテハ檢查官吏ヲシテ之ヲ查閱セシメ、蘇士運河噸數證書又ハ其ノ寫ニ在リテハ管海官廳之ヲ查閱シ噸數證書ニ付テハ查閱後遲滯ナク船舶所有者ニ返還スヘシ
第八條　船舶ノ測度又ハ改測ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ當該管海官廳ニ船舶並千九百二年一月三日以後交付シタル公正積量證書ヲ有スル西洋形簡領印度船ハ朝鮮諸港ニ於テ其ノ積量ヲ測度スルコトナク其ノ證書ニ記載スル噸數ハ日本船舶ノ噸數ト同一ナリト看做ス
明治四十五年七月
總令第二百六十九號
船舶積量互認ノ件ニ關シ帝國政府ト和蘭國政府トノ間ニ取極ヲ爲シタルニ依リ明治四十五年七月一日以後朝鮮ニ船籍港ヲ有スル船舶ニシテ明治四十三年四月一日以後交付シタル船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船籍札ヲ有スルモノハ和蘭國及蘭領印度ニ於テ其ノ積量ヲ測度スルコトナク其ノ證書ニ記載スル噸數ヲ日本船舶ノ噸數ト同一ナリト看做ス
附　則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
大正十一年十月
總令第三百三十七號
丁抹國相當官憲ニ於テ千八百九十五年四月一日以後交付シタル船舶積量測度ニ關スル證書ヲ有スルトキハ朝鮮諸港ニ於テ積量ヲ測度スルコトナク其ノ證書ニ記載スル噸數ヲ日本船舶ノ噸數ト同一ナリト看做ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
大正十一年十月
總令第三百二十六號
船舶積量互認ノ件ニ關シ帝國政府ト丁抹國政府トノ間ニ取極ヲ爲シタルニ依リ大正十一年十月一日以後朝鮮ニ船籍港ヲ有スル船舶ニシテ大正三年十月一日以後交付シタル船舶國籍證書ニ記載スル噸數ハ

造反シタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條　船長第二條ノ規定ニ違反シタルトキハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第五條　船舶所有者ヨリ未成年者若ハ禁治産者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ於テハ其ノ者ニ適用スベキ罰則ハ其ノ法定代理人又ハ法人ノ代表者ニ之ヲ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六條　本令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテハ船舶管理人ニ、船舶借入ノ場合ニ在リテハ船舶借入人ニ之ヲ適用シ船長ニ關スル規定ハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者アル場合ニ於テハ其ノ者ニ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●船舶輸入許可規則

昭和八年六月
總令第六十號
改正　昭和八年九月第一〇〇號

船舶輸入許可規定左ノ通定ム

第一條　船舶ヲ輸入又ハ移入セントスル者ハ當分ノ內朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二條　前條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ當該船舶ニ付左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　種類及名稱
二　總噸數
三　機關ノ種類
四　製造年月
五　製造者ノ氏名又ハ名稱
六　使用ノ目的
七　輸入見込價格
八　輸入又ハ移入ノ豫定期日
九　船舶ノ所在地
十　其ノ他參考ニ必要ナル事項
十一　朝鮮總督ハ第一條ノ許可ヲ爲スニ當リ許可ヲ受ケタル者ニ對シ條件ヲ附スルコトアルベシ

第三條　朝鮮總督ハ第一條ノ許可ヲ爲スニ當リ許可ヲ受ケタル者ニ對シ條件ヲ附スルコトアルベシ

第四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者船舶ヲ輸入又ハ移入ノ上ハ遲滯ナク其ノ旨竝貿易約書竝ニ船舶ノ國籍ヲ證スル書類ヲ添附シ輸入又ハ移入ノ年月日ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第五條　本令ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ明治四十三年朝鮮總督府令第五號ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督府遞信局長ヲ經由スベシ

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　許可ヲ受ケズシテ船舶ヲ輸入又ハ移入シタル者

二　第二條ノ申請書ニ虛僞ノ事實ヲ記載シタル者

三　第三條ノ規定ニ依リ附シタル許可ノ條件ニ違反シタル者

四　第四條ノ規定ニ依リ屆出ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ屆出ヲ爲シタル者

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律

大正十三年七月
法律第一一號
改正　昭和六年三月

朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル等ノ件

大正十三年八月
勅令第百九十一號
改正　昭和六年五月九七號

朝鮮船員令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第一條　朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ船員ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外船員法ニ依ル但シ同法中日本ト稱スルハ朝鮮、主務大臣トアルハ朝鮮總督トス

第二條　外國ニ駐在スル外交官又ハ領事官カ法令ノ定ムル所ニ依リ日本臣民ヲ朝鮮ニ送還スヘキコトヲ命シタルトキハ船長ハ正當ノ理由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

送還費用ノ償還ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三條　內地ノ管海官廳ニ於テ交付シタル船員手帖ハ本令ニ依リ交付シタルモノト看做ス

附　則

本令ハ大正三年月六一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際船員ニシテ第三條ノ船員手帖ヲ有セサル者ハ本令施行ノ日ヨリ六月內ニ船員手帖ノ交付ヲ申請スヘシ

●船員法

明治三十二年三月
法律第四十七號

朝鮮船員法ノ協贊ヲ經タル船員法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

船員法

第一章　總則
第二章　船員手帖
第三章　船長
第四章　海員
第五章　紀律
第六章　罰則

附　則

船員法

第一章　總則

第一條　本法ハ日本船舶ノ船員ニ之ヲ適用ス但湖川、港灣ノミヲ航行スル船舶又ハ船舶法第二十條ニ揭ケタル船舶ノ船員ニ付テハ此限ニ在ラス

第二條　本法ニ於テ船員トハ船長及ヒ船員ヲ謂ヒ海員トハ船長以外ノ一切ノ乘組員ヲ謂フ

第二章　船員手帖

第三條　日本ニ於テ船員ト爲ラムト欲スル者ハ管海官廳ニ船員手帖ノ交付ヲ申請スルコトヲ要ス

申請人ハ戶籍謄本ノ書面其他ノ公正證書ニ依リテ左ノ事項ヲ證スルコトヲ要ス但申請人カ其本籍地又ハ寄留地ニ於テ申請ヲ爲ス場合ニ於テ其他ノ管海官廳カ戶籍謄本ノ職務ヲ行フトキハ此限ニ在ラス

一　氏名
二　本籍地
三　身分
四　出生ノ年月日

第四條　未成年者カ船員ト爲ルニハ其法定代理人ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

未成年者カ船員手帖ノ交付ヲ申請スルニハ前條第二項ニ揭ケタル事項ノ外前項ノ許可ヲ得タル旨ヲ證スルコトヲ要ス

第五條　船員ト爲ルコトヲ許サレタル未成年者ハ雇傭契約ニ關シテハ成年者ト同一ノ能力ヲ有ス

第六條　外國ニ於テ船員ト爲リタル者カ日本ニ到著シタルトキハ其到著ノ日ヨリ一箇月內ニ船員手帖ノ交付ヲ申請スルコトヲ要ス

第七條　船員手帖ニ記載シタル事項ニ付テハ第三條第二項ニ揭ケタルモノニ錯誤アリタルトキ又ハ同條第一號乃至第三號ニ揭ケタルモノニ變更ヲ生シタルトキハ海員ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一箇月內ニ管海官廳ニ船員手帖ノ訂正ヲ申請スルコトヲ要ス

船員カ日本ニ在ラサル間ニ於テ錯誤又ハ變更ノ事實ヲ知リタルトキハ前項ノ期間ハ其船員カ日本ニ到著シタル日ヨリ之ヲ起算ス

第八條　第三條第二項及ヒ第四條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條　船員手帖カ滅失シタルトキハ船員ハ遲滯ナク其事由ヲ申請スルコトヲ要ス

船員手帖カ毀損シタルトキハ船員ハ遲滯ナク其事實ヲ申請スルコトヲ要ス

第十條　船員カ日本ニ在ラサル間ニ於テ船員手帖カ滅失又ハ毀損シタルトキハ船員カ日本ニ到著シタル後遲滯ナク船員手帖ノ交付ヲ申請スルコトヲ要ス

第十一條　第三條第二項及ヒ第四條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス但原管海官廳ニ船員手帖ノ交付又ハ書換ヲ申請スルトキハ此限ニ在ラス

第十二條　船員カ廢業ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク船員手帖ヲ返還スルコトヲ要ス

船員カ死亡シタルトキハ其船員手帖ヲ保管スル者之ヲ返還スルコトヲ要ス

第三章　船長

第十三條　船長ハ海員ヲ指揮、監督シ及ヒ船中ニ在ル者ニ對シ其職務ヲ行フニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十四條　船長ハ管海官廳ノ命令ノアリタルトキハ商法第五百六十二條第一項ニ揭ケタル書類ヲ提出スルコトヲ要ス

第十五條　船舶カ港灣ヲ出入スルトキ、狹隘ナル水路ヲ通過スルトキ其他危險ノ慮アルトキハ船長ハ甲板ニ在リテ自ラ船舶ヲ指揮スルコトヲ要ス

第十六條　日本ト外國トノ間又ハ外國各港ノ間ヲ航行スル船舶カ外國ノ港ニ入港シ又ハ日本ニ到著シタルトキハ船長ハ二十四時間內ニ其港ノ管海官廳、若シ其港ニ管海官廳ナキトキハ其後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ出頭シテ其報告ヲ爲スコトヲ要ス

一　後定ノ航路ヲ變更シタルトキ
二　人命又ハ船舶ヲ救ヒタルトキ
三　衝突其他ノ海難ノ生シタルトキ
四　船舶カ捕獲セラレタルトキ

船中ニ於テ死亡シタル者アリタルトキ船舶カ豫定セサル港ニ寄港シタルトキ又ハ前項第二號乃至第五號ニ揭ケタル事由カ碇泊中ニ生シタルトキハ船長ハ其ノ港ノ管海官廳、若シ其港ニ管海官廳ナキトキハ其後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ出頭シテ其報告ヲ爲スコトヲ要ス

第十八條　前條第一項及ヒ第二項ノ場合ニ於テハ船長ハ報告書ヲ作リ其認證ヲ申請スルコトヲ要ス

第十九條　船舶ニ急迫ノ危險アルトキハ船長ハ人命、船舶及ヒ積荷ノ保健ニ必要ナル手段ヲ盡シ且旅客、海員其他船中ニ在ル者ヲ去ラシメタル後ニ非サレハ其指揮スル船舶ヲ去ルコトヲ得ス

第二十條　船舶カ衝突シタルトキハ船長ハ互ニ人命及ヒ船舶ノ保護ニ必要ナル手段ヲ盡シ且船舶ノ名稱、船籍港、發航港及ヒ到達港ヲ告ケルコトヲ要ス但自己ノ指揮スル船舶ニ急迫ノ危險アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　船長カ航海中救援ヲ求ムル船舶ヲ認メタルトキハ人命ヲ救フコトヲ要ス但自己ノ指揮スル船舶ニ急迫ノ危險アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條　海員カ船中ニ於テ死亡シタルトキハ船長ハ其船中ニ在ル遺產ヲ保管スルコトヲ要ス

第二十三條　外國ニ駐在スル日本ノ公使、領事又ハ貿易事務官カ法令ノ定ムル所ニ依リ日本臣民ヲ日本ニ送還スヘキコトヲ命シタルトキハ船長ハ正當ノ理由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

送還費ノ償還ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條　船長ハ其指揮セムトスル船舶ニ乘込ム前ニ其船員手帖ヲ管海官廳ニ提出シテ就職ノ認證ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ就職ノ認證ヲ得タル船長カ其職ヲ退キタルトキハ選滯ナク退職ノ認證ヲ申請スルコトヲ要ス

第二十五條　船長カ死亡シタルトキ、船舶ヲ去リタルトキ又ハ之ヲ指揮スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テ他人ヲ選任セサルトキハ運航ニ從事スル海員ハ其職掌ノ順位ニ從ヒテ船長ノ職務ヲ行フ

第四章　海員

第二十六條　海員ノ雇入若クハ雇止ヲ爲シ又ハ雇入契約ノ更新若クハ變更ヲ爲シタルトキハ管海官廳ニ海員名簿ヲ提出シテ公認ヲ申請スルコトヲ要ス

第二十七條　管海官廳カ公認ヲ爲スニハ海員名簿ニ記載シタル事項ニ付管海官廳ニ於テ必要ト認ムル事項ノ調査ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　管海官廳カ公認ヲ爲シタル場合ニ於テハ海員名簿ニ其旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第二十九條　公認アリタルトキハ海員ハ遲滯ナク其船員手帖ヲ管海官廳ニ提出シテ公認ノ認證ヲ申請スルコトヲ要ス

第三十條　海員ノ雇止ニ關シテハ前條ノ規定ヲ準用ス但雇止ノ事由カ管海官廳ニ其事由ヲ申立テ雇止ノ公認ヲ申請シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條　海員ハ雇入ノ日ヨリ雇止ノ日マテ其職務ヲ行フノ義務ヲ負フ

第三十二條　海員ハ雇入ノ日ヨリ雇止ノ日マテ船長ノ指揮ニ從フノ義務ヲ負フ

第三十三條　海員ハ雇入ノ日ヨリ雇止ノ日マテ船舶ニ乘組ム義務ヲ負フ

第三十四條　海員ハ雇入ノ日ヨリ雇止ノ日マテ船舶ニ乘組ム義務ヲ負フ

八　海員カ食料又ハ飲料ヲ濫費シタルトキ
九　海員カ船長ノ許可ヲ得スシテ酒類ヲ所持スルトキ又ハ毀燬シタルトキ
十　海員カ酩酊シテ事ヲ省セサルトキ
十一　其他海員カ船中ノ秩序ニ反スル行爲ニシテ情狀ノ重キモノ
第三十七條　懲戒ハ左ノ四種トス
一　譴責
二　減給
三　加役
四　上陸禁止
第三十八條　譴責ハ三日以下シ船中ノ一室ニ拘禁ス
上陸禁止ハ七日以下トス此期間ニハ船舶ノ碇泊日數ノミ算入ス
加役ハ七日以下シ當務時間外ニ於テ役務ニ服セシメ但一日ニ二時間ヲ超エルコトヲ得ス
減給ハ給料月額十分ノ一以下トス
第三十九條　前條第一項乃至第三項ノ期間ニハ初日ヲ算入ス
第四十條　懲戒ノ適用ハ行爲ノ輕重ニ從ヒ船長之ヲ定ム但二種以上ノ懲戒ヲ併科スルコトヲ得ス
第四十一條　海員カ兇器、爆發若クハ發火シ易キ物、劇藥其他ノ危險物又ハ酒類ヲ所持スルトキハ船長ニ於テ其物ヲ保管又ハ放棄スルコトヲ得
第四十二條　海員カ人身又ハ船舶ニ危害ヲ及ホスヘキ行爲ヲ爲サムトスルトキハ船長ハ必要ノ期間内其海員ノ身體ヲ拘束スルコトヲ得
第四十三條　船長ハ必要アルトキハ旅客其他船中ニ在ル者ニ對シテモ前二條ニ定メタル處分ヲ爲スコトヲ得
第四十四條　海員カ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乘込マサルトキ又ハ船長ノ許可ヲ得スシテ之ヲ去リタルトキハ船長ハ乘船ヲ強制スルコトヲ得
第四十五條　船長ノ命令ニ服從セサル者アル場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ船長ハ海軍ノ艦船、地方官廳又ハ管海官廳ニ援助ヲ求メムルコトヲ得
第六章　懲則
第四十六條　詐僞ノ所爲ヲ以テ船員手帖ノ交付ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ〔重禁錮〕ニ處シ〔二個以上二十個以下ノ罰金ヲ附加〕ス
詐僞ノ所爲ヲ以テ海員名簿ニ公認ヲ受ケ又ハ船員手帖ニ認證ヲ受ケタル者亦同シ
第四十七條　第七條、第九條、第十條、第十二條、第二十九條、第三十二條又ハ第三十五條ノ規定ニ反シ船員手帖ノ交付、訂正若クハ公認ノ認證ヲ申請シ又ハ船員手帖ヲ返還スルコトヲ怠リタル者ハ二個以上二十個以下ノ罰金ニ處ス
第四十八條　虚僞ノ船員名簿又ハ船員手帖ヲ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ〔重禁錮〕ニ處シ〔四個以上四十個以下ノ罰金ヲ附加〕ス
公認ヲ受ケタル海員名簿又ハ認證ヲ受ケタル船員手帖ヲ增減、變換シテ行使シタル者亦同シ
第四十九條・左ノ場合ニ於テハ船長ハ十一日以上六月以下ノ〔重禁錮〕ニ處シ又ハ三十個以上三百個以下ノ罰金ニ處ス
一　船長カ正當ノ理由ナクシテ商法第五百六十二條第一項第二號乃至第五號ニ揭ケタル書類ヲ船中ニ備ヘサルトキ又ハ之ヲ毀棄シタルトキ
二　船長カ第十四條ノ規定ニ反シテ書類ノ提出ヲ拒ミタルトキ
三　船長カ商法第五百六十二條第一項第二號乃至第五號ニ揭ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
四　船長カ第十七條第一項又ハ第二項ノ場合ニ於テ第五十條、左ノ場合ニ於テハ船長ヲ十一日以上五百個以下ノ罰金ニ處ス
一　船長カ商法第五百六十一條ノ檢査ヲ爲サシテ發航ヲ爲シタルトキ
二　船長カ船舶ヲ安全ニ碇泊セシメ且商法第五百六十三條ノ規定ニ從ヒ其ノ職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

當事者ノ一方カ出頭セサルトキハ管海官廳ハ相手方ノ申立ニ因リテ雇止ノ公認ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ海員名簿及ヒ船員手帖ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス
前二項ノ場合ニ於テハ管海官廳ハ海員名簿又ハ船員手帖ノ提出ヲ强制スルコトヲ得
第三十一條　船長ハ海員ノ雇入期間中其船員手帖ヲ保管スルコトヲ得
第三十二條　船員カ雇入期間中殿船シタルトキハ船長ハ遅滯ナク管海官廳ニ其海員ノ船員手帖ヲ返還スルコトヲ要ス
第三十三條　海員ハ雇止アリタル場合ニ於テハ船長ニ對シ其職務ノ執行又ハ品行ニ關スル證明書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
第三十四條　海員名簿又ハ船員手帖ヲ行使シタル者ハ二個以上二十個以下ノ罰金ニ處ス
第三十五條　船員カ雇入期間中殿船シタルトキハ船長ハ更ニ海員名簿又ハ船員手帖ヲ作リ之ヲ管海官廳ニ提出シテ公認ヲ申請スルコトヲ要ス
第二十七條及ヒ第二十八條ノ規定ハ海員名簿及ヒ船員手帖カ共ニ滅失又ハ毀損シタル場合ニ之ヲ準用ス但原管海官廳ニ公認ヲ申請スルトキハ此限ニ在ラス
第三十五條　海員ハ雇入期間中第九條又ハ第十條ノ規定ニ依リテ船員手帖ノ交付又ハ書換ヲ申請シタル場合ハ於テ其交付又ハ書換ニ定メタル手續ヲ爲スコトヲ要ス
第五章　紀律
第五十六條　左ノ場合ニ於テハ船長ハ海員ヲ懲戒スルコトヲ得
一　海員カ上長ニ對シテ登敎又ハ從順ノ道ヲ失ヒタルトキ
二　海員カ其職務ヲ怠リタルトキ
三　海員カ他ノ海員ノ職務執行ヲ妨ケタルトキ
四　海員カ船長ノ許可ヲ得スシテ船舶ヲ去リタルトキ又ハ船長カ指定シタル時マテニ歸船セサリシトキ
五　海員カ船長ノ許可ヲ得スシテ船舶ヲ去リタルトキ又ハ船長カ指定シタル時マテニ歸船セサリシトキ
六　海員カ船長ノ許可ヲ得スシテ點火又ハ焚火シタルトキ
七　海員カ船長ノ許可ヲ得スシテ端艇ヲ使用シタルトキ
三　船長カ第十五條ノ規定ニ反シテ甲板ニ在ラサルトキ
四　船長カ必要ナクシテ豫定ノ航路ヲ變更シタルトキ
第五十一條　船長カ第十六條第一項、第十七條第一項、第二項、第二十二條又ハ第三十一條ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
第五十二條　船長カ第十九條ノ規定ニ違反シタルトキハ二月以上五年以下ノ〔重禁錮〕ニ處ス
第五十三條　船長カ第二十條ノ規定ニ反シテ人命又ハ船舶ノ保護ニ必要ナル手段ヲ盡ササルトキハ一月以上三年以下ノ〔重禁錮〕ニ處シ又ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス
船長カ第二十條ノ規定ニ反シテ告知ヲ爲ササルトキハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス
第五十四條　船長カ第二十一條ノ規定ニ違反シタルトキハ十一日以上一年以下ノ〔重禁錮〕ニ處シ又ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス
第五十五條　船舶ニ急迫ノ危險アル場合ニ於テ海員カ船長ノ許可ヲ得スシテ其船舶ヲ去リタルトキハ十一日以上三年以下ノ〔重禁錮〕ニ處ス
第五十六條　第十九條又ハ第二十條ノ場合ニ於テ船長カ人命又ハ船舶ノ保護ニ必要ナル手段ヲ爲スニ當タリ海員カ上長ノ命令ニ服從セサルトキハ十一日以上二年以下ノ〔重禁錮〕ニ處シ又ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
第五十七條　船長カ第二十三條第一項ノ規定ニ反シテ送還ノ命令ヲ拒ミタルトキハ三十圓上三百圓以下ノ罰金ニ處ス
第五十八條　船舶所有者又ハ船長カ第二十六條ノ規定ニ違反シタルトキハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス
船舶法第三十條及ヒ第三十一條ノ規定ニ從ヒ其ノ職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

第五十九條　船長カ第三十三條ニ定メタル證明書ヲ交付セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス
第六十條　船長カ第三十四條第一項ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
第六十一條　船長カ雇入手續ノ終ハリタル後正當ノ理由ナクシテ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乘込マサルトキハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス
第六十二條　船長カ第五章ニ定メタル處分ヲ爲スニ當タリ海員ニ助力ヲ爲スヘキコトヲ命シタル場合ニ於テ海員カ其命令ニ服從セサルトキハ一日以上六月以下ノ〔輕禁錮〕ニ處シ又ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
第六十三條　船員、旅客其他船中ニ在リタル者カ本法ノ規定ニ依リ管海官廳ヨリ呼出ヲ受ケ又ハ書類ノ提出ヲ命セラレタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ之ニ應セサルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
第六十四條　海員カ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乘込マサルトキ又ハ船長ノ許可ヲ得スシテ之ヲ去リタルトキハ一日以上六月以下ノ〔重禁錮〕ニ處シ又ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
第六十五條　海員カ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乘込マサルトキ又ハ船長ノ許可ヲ得スシテ之ヲ去リタルトキハ船長ハ乘船ヲ強制スルコトヲ得
第六十六條　海員カ上長ニ對シテ脅迫ノ罪ヲ犯シタルトキハ刑法各本條ノ例ニ照シ一等ヲ加フ
刑法(第三百二十九條)ノ規定ハ前項ノ場合ニハ之ヲ適用セス
第六十七條　海員カ上長ニ對シテ(毆打創傷)ノ罪ヲ犯シタルトキハ刑法各本條ノ例ニ照シ一等ヲ加フ
第六十八條　船長カ旅客、海員其他船中ニ在ル者ニ對シテ其職權ヲ濫用シ又ハ虐待ヲ爲シタルトキハ十一日以上三月以下ノ〔重禁錮〕ニ處シ又ハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ罪ヲ犯シ因テ船舶ノ運航ヲ妨ケタルトキハ一等ヲ加ヘ船舶ヲ覆沒又ハ人ヲ死ニ致シタルトキハ〔重懲役〕ニ處ス
第六十九條　船舶ノ運航ヲ妨ケル目的ヲ以テ前條第一項ノ罪ヲ犯シタル者ハ〔重懲役〕ニ處シ因テ船舶ヲ覆沒又ハ人ヲ死ニ致シタルトキハ刑法(第百六十九條)ノ例ニ依リテ處斷ス
第七十條　海員カ上長ニ對シテ脅迫ノ罪ヲ犯シタルトキハ刑法各本條ノ例ニ照シ一等ヲ加フ
刑法(第三百二十九條)ノ規定ハ前項ノ場合ニハ之ヲ適用セス
第七十一條　船長カ旅客、海員其他船中ニ在ル者ニ對シテ其職權ヲ濫用シ又ハ虐待ヲ爲シタルトキハ十一日以上三月以下ノ〔重禁錮〕ニ處シ又ハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ罪ヲ犯シ因テ船舶ノ運航ヲ妨ケタルトキハ一等ヲ加ヘ船舶ヲ覆沒又ハ人ヲ死ニ致シタルトキハ〔重懲役〕ニ處ス
第七十二條　船員手帖
第五條　船員法第三條第一項又ハ第六條ニ依リ船員手帖ノ交付ヲ申請セムトスル者ハ第一號書式ノ申請書ヲ最寄管海官廳ニ提出スヘシ
前項ノ申請者ハ船員法第三條第二項ニ揭ケタル事項ヲ證スル戸籍又ハ民籍ノ謄本若ハ謄本其ノ他ノ公正證書ヲ申請書ニ添附スヘシ
第六條　未成年者ハ前條ノ規定ニ從フノ外左ノ事項ヲ記載シ法定代理人ノ署名捺印シタル書面ヲ申請書ニ添附スヘシ
一　未成年者ノ氏名及本籍地
二　船員ト爲ルコトヲ許シタル旨
三　船員ト爲ルコトヲ許シタル年月日
四　法定代理人ノ本籍地及住所
第七條　船員法第七條ニ依リ船員手帖ノ訂正ヲ申請セムトスル者ハ船員手帖ニ訂正ヲ要スル事項ヲ證スル戸籍又ハ民籍ノ謄本若ハ抄本其ノ他ノ公正證書ヲ添ヘ最寄管海官廳ニ提出スヘシ
第八條　船員法第九條又ハ第十條ニ依リ船員手帖ノ交付又ハ書換ヲ申請セムトスル者ハ第十二號書式ノ申請書ヲ最寄管海官廳ニ提出シ且書換ヲ申請スル場合ニハ船員手帖ヲ提出スヘシ
第五條第二項及第六條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ原管海官廳ニ船員手帖ノ交付又ハ書換ヲ申請スルトキハ此ノ限ニ在ラス
海員屆入期間中第一項ノ申請ヲ爲ス場合ニハ申請書ニ船長連署スルコトヲ要ス
第八條ノ二　船員カ汽船ニ乘組マムトスルトキハ船員手帖ニ新ニ撮影シタル自己ノ寫眞

●朝鮮船員令施行規則

大正三年五月
總令第七十五號
（改正　大正十二年二第四號・昭和五年五第百六號・昭和八年二第三八號）

朝鮮船員令施行規則左ノ通定ム

朝鮮船員令施行規則

第一章　總則

第一條　朝鮮船員令又ハ本令ノ規定ニ依ル申請ハ特ニ明文ヲ揭ケル場合ヲ除クノ外書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得
第二條　代理人ニ依リテ前條ノ申請ヲ爲ストキハ代理人ハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ管海官廳ニ提出スヘシ
第三條　船員法及本令中最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ト稱スルハ最初ニ到著シタル管海官廳アル港ノ管海官廳ヲ謂フ
第四條　本令第二章乃至第四章ノ事務ハ管海官廳ニ於テ當事者ノ申請ニ依リ理由アリト認ムルトキハ休暇日ト雖之ヲ行フコトアルヘシ

第二章　船員手帖

第五條　船員法第三條第一項又ハ第六條ニ依リ船員手帖ノ交付ヲ申請セムトスル者ハ第一號書式ノ申請書ヲ最寄管海官廳ニ提出スヘシ
前項ノ申請者ハ船員法第三條第二項ニ揭ケタル事項ヲ證スル戸籍又ハ民籍ノ謄本若ハ抄本其ノ他ノ公正證書ヲ添ヘ最寄管海官廳ニ提出スヘシ
第六條　船員法第九條又ハ第十條ニ依リ船員手帖ノ交付又ハ書換ヲ申請セムトスル者ハ第十二號書式ノ申請書ヲ最寄管海官廳ニ提出シ且書換ヲ申請スル場合ニハ船員手帖ヲ提出スヘシ
第五條第二項及第六條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ原管海官廳ニ船員手帖ノ交付又ハ書換ヲ申請スルトキハ此ノ限ニ在ラス
海員屆入期間中第一項ノ申請ヲ爲ス場合ニハ申請書ニ船長連署スルコトヲ要ス
第八條ノ二　船員カ汽船ニ乘組マムトスルトキハ船員手帖ニ新ニ撮影シタル自己ノ寫眞

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ハ船員ハ之ヲ最寄管海官廳ノ檢閱ニ供シタル後新船員手帖ノ交付ヲ申請スヘシ

第十二條　本章ニ規定スル申請ハ朝鮮ニ於ケル管海官廳ニ之ヲ爲スヘシ

第十三條　船員手帖ノ樣式ハ第二號書式ニ依ル

第十四條　船員手帖ヲ受有スル者カ之ヲ滅失又ハ毀損シ又ハ貼附ノ左ニ揭ケル事項ノ證明ヲ朝鮮總督府遞信局長官ニ申請スルコトヲ得

一　海員雇入ノ公認

二　海員雇止ノ公認

三　海員雇入契約更新ノ公認

四　海員雇入契約變更ノ公認

五　船長就職ノ認證

六　船員手帖ヲ受有スル者カ之ヲ滅失又ハ毀損シ又ハ貼附ノ左ニ揭ケル事項ノ證明ヲ朝鮮總督府遞信局長官ニ申請スルコトヲ得

一　海員雇入ノ公認

二　海員雇止ノ公認

三　海員雇入契約更新ノ公認

四　海員雇入契約變更ノ公認

五　船長就職ノ認證

前項ノ申請ヲ爲スニハ船員手帖ヲ交付シタル管海官廳ノ名稱、船員手帖ノ番號及證明ヲ受ケムトスル事項ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ但シ船長ノ事實ノ發生後遲滯ナク書式ニ從ヒ航海日誌ニ事實發生ノ年月日時、場所及顚末其ノ他關係ノ事項ヲ記載スヘシ

前項ニ依リ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船長ハ遲滯ナク之ヲ訂正スヘシ

第十六條　左ノ場合ニ於テハ船長ハ事實ノ發生後遲滯ナク書式ニ從ヒ航海日誌ニ事實發生ノ年月日時、場所及顚末其ノ他關係ノ事項ヲ記載スヘシ

一　豫定ノ航路ヲ變更シタルトキ

二　人命又ハ船舶ヲ救ヒタルトキ

三　衝突其ノ他ノ海難ニ罹リタルトキ

四　豫定セサル港ニ寄港シタルトキ

五　船舶ニ急迫ノ危險アリタルカ爲船長カ船舶ヲ去リタルトキ

六　海員ヲ懲戒シタルトキ

七　船員法第四十一條乃至第四十四條ニ依リ處分ヲ受ケタルトキ

八　船員法第四十五條ニ依リ援助ヲ求メタルトキ

第二十二條　海員船中ニ於テ死亡シタルトキハ船長ハ遲滯ナク上級海員二人以上ノ立會ヲ以テ其ノ遺產ヲ取調ヘ遺產目錄ヲ作ルヘシ

遺產目錄ニハ左ノ事項ヲ記載シ船長之ニ署名捺印シ遺產ノ取調ニ立會ヒタル海員之ニ連署スルコトヲ要ス

一　死亡シタル海員ノ氏名、本籍地、住所及死亡ノ年月日時

二　遺產ノ品名及各品ノ數量、若金錢ナルトキハ其ノ金額

三　遺產目錄ヲ作リタル年月日

第二十三條　前條ノ場合ニ於テ船長ハ遺產目錄ヲ作リタル海員ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナキ場合又ハ航行中之ヲ作リタル場合ニ在リテハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ遺產ヲ差出スヘキコトヲ得

第二十四條　朝鮮船員令第二條第一項ニ依リ日本臣民ヲ送還スヘキコトヲ命セラレタル船長カ外交官又ハ領事官ノ指定シタル港ニ到著シタルトキハ其ノ港ニ於ケル警察署（警察官吏及警察官ノ職務ヲ取扱フ官吏及憲兵分隊長ノ職務ヲ行フ憲兵伍長以下同シ）ニ送還ノ事由ヲ疏明シ被送還者ヲ引渡スヘシ

前項ニ依リ被送還者ヲ引渡シタル船長カ被送還者ヨリ送還費用ノ償還ヲ得サルトキハ被送還者ノ氏名、出生地、身分、本籍地、住所、扶養義務者ノ氏名、住所及送還ノ事實ヲ記載シタル書面ヲ作リ之ヲ被送還者ヲ引渡シタル警察署ニ提出シテ其ノ證明ヲ申請スルコトヲ得

第二十五條　船長カ就職ノ場合ニ在リテハ第九號書式、退職ノ場合ニ在リテハ第十號書式ニ依リ就職又ハ退職ノ年月日ヲ記載シ該海員ノ署名ヲ受ケタル船員名簿ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

第二十六條　船員法第十七條第一項又ハ第二項ノ報告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ書面及船員法第十八條ノ報告書ニハ左ノ事項ヲ記載シ船員之ニ署名捺印スヘシ

一　船舶ノ番號、種類、名稱及總噸數

二　船籍港

三　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及住所

四　船長ノ氏名、住所及海技免狀ノ種類及番號竝ニ機關ニ關スル事項ニ付テハ機關ノ種類、公稱馬力、機關長ノ氏名、住所及海技免狀ノ種類及番號

五　船舶ノ發航港及到達港竝報告スヘキ事實ノ發生シタル場所及年月日時

六　報告スヘキ事實ノ類別

第二十七條　報告書ノ認證ヲ爲シタル旨及認證ノ年月日ヲ報告書ニ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺スヿヲ以テ之ヲ認證ス

第十七條　船長ハ左ノ場合ニ於テハ遲滯ナク其ノ事由ヲ疏明シ最寄管海官廳ニ船員手帖ヲ提出スヘシ

一　船舶ノ沈沒、破壞、滅失又ハ修繕ノ爲解撤シタルトキ

二　船舶ノ國籍ヲ喪失シタルトキ

三　船舶ノ總噸數ニ增減ヲ生シタルトキ

四　船舶ノ種類ヲ變更シタルトキ

五　船舶ノ機關ニ變更ヲ生シタルトキ

六　船舶ノ公稱馬力ニ增減ヲ生シタルトキ

七　船舶ノ船籍港ヲ變更シタルトキ

八　船舶ノ名稱ヲ變更シタルトキ

九　船舶ニ於テ犯罪アリタルトキ

十　船舶ニ於テ出生アリタルトキ及死亡者アリタルトキ

十一　船舶ニ於テ死亡アリタルトキ及死亡者ノ遺產ヲ處分シタルトキ

十二　前各號ニ揭ケタル場合ノ外船舶ニ於テ異常ノ事件發生シタルトキ

第十七條　船長ハ旅客乘船シタルトキハ其ノ乘船後、下船シタルトキハ其ノ下船後遲滯ナク旅客名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載スヘシ

第十八條　本章ニ揭ケル書類ヲ記載スルニ當リ文字ヲ訂正、挿入又ハ削除シタルトキハ欄外ニ其ノ旨及字數ヲ記載シ船長之ニ認印シ訂正又ハ削除シタル文字ハ之ヲ讀ミ得ヘキ樣抹消スヘシ

他人ノ船員手帖ヲ保管スル者該船員手帖受有者ノ所在不分明ニシテ之ヲ本人ニ還付スルヿ能ハサルトキハ最寄管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

第十九條　管海官廳ニ於テ船員法第十六條第一項ニ依リ航海日誌ノ檢閱ヲ爲シタルトキハ之ニ檢閱ヲ爲シタル旨及檢閱ノ年月日ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ之ヲ船長ニ還付ス

第二十條　船員法第十七條第一項又ハ第二項ノ報告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ書面及船員法第十八條ノ報告書ニハ左ノ事項ヲ記載シ船員之ニ署名捺印スヘシ

一　船舶ノ番號、種類、名稱及總噸數

二　船籍港

三　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及住所

四　船長ノ氏名、住所及海技免狀ノ種類及番號竝ニ機關ニ關スル事項ニ付テハ機關ノ種類、公稱馬力、機關長ノ氏名、住所及海技免狀ノ種類及番號

五　船舶ノ發航港及到達港竝報告スヘキ事實ノ發生シタル場所及年月日時

六　報告スヘキ事實ノ類別

第二十一條　報告書ノ認證ヲ爲シタル旨及認證ノ年月日ヲ報告書ニ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺スヿヲ以テ之ヲ認證ス

（名利船舶又ハ手札ト稱スルモ亦同シ）ヲ添ヘ最寄管海官廳ニ差出スヘシ

管海官廳ニ於テハ船員手帖ニ前項ノ寫眞ヲ貼附シ年月日ヲ記載シタル後之ヲ當該受有者ニ還付ス

前二項ノ規定ハ船員手帖ニ貼附シタル寫眞カ減失若ハ毀損シ又ハ貼附ノ日ヨリ十年ヲ經過シタル場合ニ之ヲ準用ス

第九條　船員法第十二條又ハ第三十二條ニ依リ船員手帖ヲ返還セムトスル者ハ其ノ事由ヲ疏明シ最寄管海官廳ニ船員手帖ヲ提出スヘシ

第十條　本章ニ揭ケル書類ヲ記載スルニ當リ文字ヲ訂正、挿入又ハ削除シタルトキハ欄外ニ其ノ旨及字數ヲ記載シ船長之ニ認印シ訂正又ハ削除シタル文字ハ之ヲ讀ミ得ヘキ樣抹消スヘシ

他人ノ船員手帖ヲ保管スル者該船員手帖受有者ノ所在不分明ニシテ之ヲ本人ニ還付スルヿ能ハサルトキハ最寄管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

第十一條　船員手帖ヲ受有スル者カ之ヲ滅失又ハ毀損シ又ハ貼附ノ左ニ揭ケル事項ノ證明ヲ朝鮮總督府遞信局長官ニ申請スルコトヲ得

一　海員雇入ノ公認

二　海員雇止ノ公認

三　海員雇入契約更新ノ公認

四　海員雇入契約變更ノ公認

五　船長就職ノ認證

前項ノ申請ヲ爲スニハ船員手帖ヲ交付シタル管海官廳ノ名稱、船員手帖ノ番號及證明ヲ受ケムトスル事項ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ但シ船長ノ事實ノ發生後遲滯ナク書式ニ從ヒ航海日誌ニ事實發生ノ年月日時、場所及顚末其ノ他關係ノ事項ヲ記載スヘシ

前項ニ依リ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船長ハ遲滯ナク之ヲ訂正スヘシ

第十六條　左ノ場合ニ於テハ船長ハ事實ノ發生後遲滯ナク書式ニ從ヒ航海日誌ニ事實發生ノ年月日時、場所及顚末其ノ他關係ノ事項ヲ記載スヘシ

一　豫定ノ航路ヲ變更シタルトキ

二　人命又ハ船舶ヲ救ヒタルトキ

三　衝突其ノ他ノ海難ニ罹リタルトキ

四　豫定セサル港ニ寄港シタルトキ

五　船舶ニ急迫ノ危險アリタルカ爲船長カ船舶ヲ去リタルトキ

六　海員ヲ懲戒シタルトキ

七　船員法第四十一條乃至第四十四條ニ依リ處分ヲ受ケタルトキ

八　船員法第四十五條ニ依リ援助ヲ求メタルトキ

第十七條　船長ハ左ノ場合ニ於テハ遲滯ナク其ノ事由ヲ疏明シ最寄管海官廳ニ船員手帖ヲ提出スヘシ

一　船舶ノ沈沒、破壞、滅失又ハ修繕ノ爲解撤シタルトキ

二　船舶ノ國籍ヲ喪失シタルトキ

三　船舶ノ總噸數ニ增減ヲ生シタルトキ

四　船舶ノ種類ヲ變更シタルトキ

五　船舶ノ機關ニ變更ヲ生シタルトキ

六　船舶ノ公稱馬力ニ增減ヲ生シタルトキ

七　船舶ノ船籍港ヲ變更シタルトキ

八　船舶ノ名稱ヲ變更シタルトキ

九　船舶ニ於テ犯罪アリタルトキ

十　船舶ニ於テ出生アリタルトキ及死亡者アリタルトキ

十一　船舶ニ於テ死亡アリタルトキ及死亡者ノ遺產ヲ處分シタルトキ

十二　前各號ニ揭ケタル場合ノ外船舶ニ於テ異常ノ事件發生シタルトキ

第十七條　船長ハ旅客乘船シタルトキハ其ノ乘船後、下船シタルトキハ其ノ下船後遲滯ナク旅客名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載スヘシ

第十八條　本章ニ揭ケル書類ヲ記載スルニ當リ文字ヲ訂正、挿入又ハ削除シタルトキハ欄外ニ其ノ旨及字數ヲ記載シ船長之ニ認印シ訂正又ハ削除シタル文字ハ之ヲ讀ミ得ヘキ樣抹消スヘシ

他人ノ船員手帖ヲ保管スル者該船員手帖受有者ノ所在不分明ニシテ之ヲ本人ニ還付スルヿ能ハサルトキハ最寄管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

第十九條　管海官廳ニ於テ船員法第十六條第一項ニ依リ航海日誌ノ檢閱ヲ爲シタルトキハ之ニ檢閱ヲ爲シタル旨及檢閱ノ年月日ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ之ヲ船長ニ還付ス

第二十條　船員法第十七條第一項又ハ第二項ノ報告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ書面及船員法第十八條ノ報告書ニハ左ノ事項ヲ記載シ船員之ニ署名捺印スヘシ

一　船舶ノ番號、種類、名稱及總噸數

二　船籍港

三　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及住所

四　船長ノ氏名、住所及海技免狀ノ種類及番號竝ニ機關ニ關スル事項ニ付テハ機關ノ種類、公稱馬力、機關長ノ氏名、住所及海技免狀ノ種類及番號

五　船舶ノ發航港及到達港竝報告スヘキ事實ノ發生シタル場所及年月日時

六　報告スヘキ事實ノ類別

第二十一條　報告書ノ認證ヲ爲シタル旨及認證ノ年月日ヲ報告書ニ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺スヿヲ以テ之ヲ認證ス

第二十二條　船員法第十七條第一項又ハ第二項ノ報告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ書面及船員法第十八條ノ報告書ニハ左ノ事項ヲ記載シ船員之ニ署名捺印スヘシ

一　船舶ノ番號、種類、名稱及總噸數

二　船籍港

三　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及住所

四　船長ノ氏名、住所及海技免狀ノ種類及番號竝ニ機關ニ關スル事項ニ付テハ機關ノ種類、公稱馬力、機關長ノ氏名、住所及海技免狀ノ種類及番號

五　船舶ノ發航港及到達港竝報告スヘキ事實ノ發生シタル場所及年月日時

六　報告スヘキ事實ノ類別

第二十三條　船員法第十九條第一項ノ規定ハ前條ノ認證ニ之ヲ準用ス

第二十四條　船員法第二十條第一項ノ規定ニ依リ乘船若ハ下船ノ屆出又ハ退職認證ノ申請ヲ爲ササルトキハ第一項ノ期間ハ船員手帖交付ノ日又ハ最後乘船ノ屆若ハ最後就職認證ノ申請書ニ揭ケル乘船若ハ就職ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第十一條　船員手帖除白ナキニ至リタルトキ

海官廳ノ檢閱ニ供スヘシ

第二十六條　第二十一條ノ規定ハ前條ノ認證ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條　海員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇入者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第二十八條　海員名籍及前條第一號ノ書面ニ被雇者ノ氏名及之ニ關スル事項ヲ記載スルニハ左ノ順序ニ從フヘシ

第一　甲板部海員

第二　機關部海員

第三　事務部海員

同一ノ部ニ屬スル海員間ニ在リテハ上長ヲ先ニスヘシ

第二十九條　當事者代理人ニ依リテ海員雇入ノ公認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ理由ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第二十八條　海員名籍及前條第一號ノ書面ニ被雇者ノ氏名及之ニ關スル事項ヲ記載スルニハ左ノ順序ニ從フヘシ

第一　甲板部海員

第二　機關部海員

第三　事務部海員

同一ノ部ニ屬スル海員間ニ在リテハ上長ヲ先ニスヘシ

第二十九條　當事者代理人ニ依リテ海員雇入ノ公認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ理由ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第三十條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇入者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第三十一條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇入者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第三十二條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇入者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第三十三條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇入者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第三十四條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇入者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第三十五條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇入者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第三十六條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇入者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第三十七條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇入者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第三十八條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇入者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第三十九條　被雇者總員、船員法第二十七條第一項但書ノ場合ニ在リテハ出頭シタル當事者總員署名捺印シタルトキハ管海官廳ハ海員名簿ニ海員雇止ノ公認ヲ爲シタル年月日及當事者ノ一方出頭セシテ公認ヲ爲シタル場合ニ在リテハ其ノ事由ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ第三十六條第二號ノ書類ト共ニ之ヲ雇者ニ還付ス

第四十條　船員法第三十條第一項ニ依リ雇止公認ノ申請ヲ爲シタル者ハ其ノ申立ヲ確ムヘキ證憑アルトキハ之ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

第四十一條　管海官廳ニ於テ船員法第三十條第二項ニ依リ當事者雙方ヲ呼出シタルトキハ當事者ノ爭ニ關シ各申立ヲ爲サシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ申請者ノ相手方ハ其ノ申立ヲ確ムヘキ證憑アルトキハ之ヲ提出スヘシ

第四十二條　管海官廳ニ於テ前條ノ手續ヲ爲シタル後申請ヲ理由アリトシルトキハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項、海員雇止ノ公認ヲ爲シタル年月日及公認ノ年月日ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ之ヲ雇者ニ還付ス

第四十三條　海員雇入契約更新ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ更新ヲ爲シタル港ノ管海官廳其ノ港ニ管海官廳ナキトキハ又ハ航行中更新ヲ爲シタルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第五號書式ノ申請書

二　第二十七條第二號ノ書類

三　第三十六條第二號ノ書類

第四十四條　海員雇入契約變更ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第六號書式ノ申請書

二　契約ノ變更被雇者ノ職務ニ係ル場合ニ於テ被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第四十五條　第二十八條乃至第三十一條ノ規定ハ海員雇入契約ノ更新又ハ變更ノ公認ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條第二號乃至第四號ノ書類又ハ前條第二號ノ書類ニ之ヲ準用ス

第四十六條　海員雇入契約ノ更新又ハ變更ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第六號書式ノ申請書

二　契約ノ變更被雇者ノ職務ニ係ル場合ニ於テ被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第四十七條　海員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第四十八條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第四十九條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第五十條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第五十一條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第五十二條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第五十三條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第五十四條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第五十五條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

第五十六條　船員雇入ノ公認ヲ申請セムトスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第三號書式ノ申請書

二　被雇者海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ免狀

ノ謄本、毀損シタル船員手帖又ハ相當官廳ノ證明書ヲ管海官廳ノ檢閱ニ供スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ認證ノ申請ヲ爲シタルトキハ管海官廳ハ前項ノ書類ニ依リ新手帖ノ記載事項ヲ調査シ正當ト認ムルトキハ前條ノ手續ニ依リ且認證ノ事由ヲ記載シテ認證ヲ爲ス

第四十九條　船員法第三十四條第一項ニ依リ公認ヲ申請セムトスルトキハ左ノ書類ヲ添ヘ海員名簿ヲ作リタル港ノ管海官廳、其ノ港ニ管海官廳ナキトキ又ハ航行中之ヲ作リタルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一　第七號書式ノ申請書

二　第二十七條第二號ノ書類

三　被雇者ノ船員手帖現存スルトキハ其ノ手帖

前項ノ海員名簿ニハ現ニ雇入期間中ニ係ル海員ニ付テ書式ニ定ムル事項及原管海官廳ニ海員名簿ヲ提出スル場合ニ在リテハ被雇者總員ノ氏名、其ノ他ノ場合ニ在リテハ前項ニ依リ提出スル船員手帖ヲ受有スル被雇者ノ氏名ヲ之ニ記載スヘシ

第二十八條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十條　第二十九條及第三十條ノ規定ハ被雇者全部又ハ一部ノ船員手帖滅失又ハ毀損シタル場合ニ於テ前條ノ申請及公認ニ之ヲ準用ス但シ原管海官廳ニ前條ノ海員名簿ヲ提出スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條　船員法第三十四條第一項ノ申請ニ依リ公認ヲ爲シタルトキハ管海官廳ハ海員名簿ニ同項ノ公認ヲ爲シタルコト及公認ノ年月日ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ第四十九條第二號及第三號ノ書類ト共ニ之ヲ船長ニ還付ス

第五十二條　第二十七條、第三十二條乃至第三十四條、第三十六條、第三十七條、第四十三條、第四十四條、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第四十九條第二項ノ場合ニ於テ海員名簿又ハ船員手帖ニ記載ヲ爲スニ當リ文字ヲ訂正挿入又ハ削除シタルトキハ其ノ訂正又ハ削除シタル文字ハ之ヲ讀ミ得ヘキ樣抹消スヘシ此ノ場合ニハ管海官廳ニ於テ公認又ハ公認ノ認證ヲ爲スニ當リ之ニ認印スルニ非サレハ文字ノ訂正、挿入又ハ削除ノ效力ナキモノトス

第五十三條　管海官廳ハ年月日及管海官廳ノ名稱ヲ刻シタル印ヲ以テ第十九條、第二十一條、第二十六條、第三十一條、第三十九條、第四十二條、第四十八條第三項及第五十一條ノ年月日ノ記載及捺印ニ代フルコトヲ得

第五十四條　公認及公認ノ認證ハ管海官廳ニ於テ當事者ノ申請ニ依リ理由アリト認ムルトキハ管海官廳外ノ場所ニ於テ之ヲ行フコトアルヘシ

第五十四條ノ二　兵役法施行令第七十八條第二項ノ規定ニ依リ身體檢査ヲ受ケントスル船員ハ自ラ最寄管海官廳ニ出頭シ船員手帖ニ第十四號書式ニ依リ船長ノ證明シタル徵兵身體檢査ニ關スル乘船證明書ヲ添ヘ之ヲ提出スヘシ

管海官廳ニ於テハ前項ノ證明書ニ貼附シタル寫眞ノ左肩ニ官廳印ヲ押捺シ左ノ文例ニ依リ證明ノ奥書ヲ爲シタル後之ヲ當該申請者ニ還付ス

（奥書文例）

右證明ス

年　月　日

管海官廳名印

第五章　手數料

第五十五條　本令ニ依リ申請ヲ爲ス者ハ左ノ手數料ヲ納付スヘシ

一　船員手帖ノ交付又ハ書換　一部ニ付　二十錢

二　船員手帖ノ訂正（但シ行政區劃ノ變更ニ因ル場合ヲ除ク）　船員法第三條第二項ノ事項一箇ニ付　五錢

三　報告書ノ認證　一通ニ付　一圓

四　船長就職又ハ退職ノ認證　一圓

本令ハ昭和八年十一月總令第百二十八號）

本令ハ昭和八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

五　公認　被雇者一人ニ付　十錢

但シ船員法第三十四條ノ場合ニ於テハ被雇者一人ニ付　五錢

六　公認ノ認證　一件ニ付　五錢

七　海員雇入又ハ雇止ノ公認ノ證明　一件ニ付　十錢

八　海員雇入契約更新又ハ變更ノ公認ノ證明　一件ニ付　十錢

九　船長就職又ハ退職ノ認證ノ證明　一件ニ付　十錢

外國ニ於テ手數料ヲ納付スヘキトキハ其ノ額ハ左ノ規定ニ依ル

一　報告書ノ認證　一通ニ付　二圓

二　船長就職又ハ退職ノ認證　一件ニ付　四十錢

三　公認　被雇者一人ニ付　二十錢

但シ船員法第三十四條ノ場合ニ於テハ被雇者一人ニ付　十錢

四　公認ノ認證　一件ニ付　十錢

前二項ノ手數料ハ第四條又ハ前條ノ場合ニ於テハ前二項ニ定ムル額ノ二倍トス

第五十六條　前條ノ手數料ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外第八號書式ノ手數料納付書ニ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ貼付シテ之ヲ納付スヘシ

既納ノ手數料ハ之ヲ還付セス

第六章　罰則

第五十七條　第十五條、第二十二條第一項、第二十三條第一項、第二十四條第一項、第三十三條第二項又ハ第三十四條ニ違反シタル者、第二十三條第二項ノ命令ニ違反シテ管海官廳ニ還付ヲ差出ササル者又ハ第三十八條第二項ニ定メタル證明書ノ交付又ハ公認ノ通知ヲ爲ササル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第五十八條　船長カ朝鮮船員令第二條第一項ノ規定ニ違反シ送還ノ命令ヲ拒ミタルトキハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令ハ朝鮮船員令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十三年二月總令第四號）

本令ハ大正十三年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ汽船ニ乘組メル者ハ還滯ナク第八條ノ二第一項ノ例ニ準シ其ノ手續ヲ爲スヘシ

本令施行前交付ヲ受ケタル船員手帖ニ付テハ第十條ノ二第一項ニ定ムル期間ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

附　則（昭和五年五月總令第四十六號）

本令ハ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル船員手帖ニ付テハ當分ノ間仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

前項ノ船員手帖ヲ以テ雇入ノ公認ノ認證ヲ申請セントスル場合ニ於テハ機關ノ種類及公稱馬力ハ積量ノ欄ニ、手當ハ給料ノ欄ニ各其ノ旨ヲ明ニシテ之ヲ記載スヘシ

附　則（昭和八年十一月總令第百二十八號）

本令ハ昭和八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

備考

氏名ニハ片假名ヲ以テ傍訓ヲ附スヘシ

身分欄ニハ戶主家族ノ別、家族ナルトキハ戶主ノ氏名及戶主トノ續柄ヲ記載スヘシ

船員手帖ノ番號及同交付年月日欄ニ於テ記載スルモノナルニ付申請人ハ何等記載ヲ要セス

男女別欄ニハ男子ナルトキハ記入ニ及ハス

第二號書式

年　月　日交付

第　號

朝鮮

船員手帖

（管海官廳名印）

第一號書式（用紙美濃判）

船員手帖交付申請書

船員手帖ノ番號	氏名印
本籍地	
身分	男女別
船員手帖交付ノ年月日	出生ノ年月日

氏名	
本籍	
身分	
出生ノ年月日	

二

官廳記事

第五號書式（用紙美濃判）

第　號	船種	船名	更新年月日	更新地	則	回	海	丁	ノ	日
第　號	船種	船名	更新年月日	更新地	則	回	海	丁	ノ	日

年　月　日

（管）海　官　廳

海員雇入契約更新公認申請書

雇　（氏）　名　印

第　號	船種	船名	九	船籍港	
月雇入公認ノ年	姓名	船員手帳ノ番號	職務	給料又ハ手當	雇入期間
		第　號			
計　名					

第六號書式（用紙美濃判）

第　號	船種	船名	九	船籍港	
月雇入公認ノ年	姓名	船員手帳ノ番號	職務	給料又ハ手當	雇入期間
		第　號			
計　名					

第七號書式（用紙美濃判）

年　月　日

（管）海　官　廳

海員名簿謄本（要抄）中

雇　（氏）　名　印

番號	船種	船名	總噸數又ハ積噸數	乘組員數	船舶所有者ノ氏名又ハ名稱
第　號	船種	船名	九		
雇入年月日	姓名	船員手帳ノ番號	職務	給料	雇入期間
		第　號			
計　名					

第八號書式（用紙美濃判）

第　號	船種	船名	九	船籍港	
雇入年月日	姓名	船員手帳ノ番號	職務	給料又ハ手當	雇入期間
		第　號			
計　名					

第九號書式（用紙美濃判）

第　號	船種	船名	九	船籍港	
雇入年月日	姓名	船員手帳ノ番號	職務	給料又ハ手當	雇入期間
		第　號			
計　名					

第十號書式（用紙美濃判）

第　號	船種	船名	九	船籍港	
雇入年月日	姓名	船員手帳ノ番號	職務	給料又ハ手當	雇入期間
		第　號			
計　名					

第三號書式（用紙美濃判）

| 雇入契約更新公認申請書 | | | | |

備考
船員手帖滅失又ハ毀損シタル場合ニハ當該被雇者ノ氏名ノ上ニ〇ヲ附スヘシ

第八號書式
手數料納付書

印紙

一金　　也
但シ
右納付候也
年　月　日

（管海官廳名）　御中

（氏　名印）

手數料　收入印紙貼付

備考
船員手帖ノ訂正ヲ申請スル場合ニハ訂正事項何箇、報告書ノ認證ヲ申請スル場合ニハ報告書何通、公認ヲ申請スル場合ニハ被雇者何人ト金額ノ下ニ記載スヘシ

第九號書式（用紙美濃判）

年　月　日

（管海官廳名）御中

船　丸船長（氏　名印）

船長就職認證申請書

船舶番號	船種船名	船舶使用ノ目的	航路又ハ航行區域若ハ從業制限	總噸數	船舶所有者ノ氏名又ハ名稱
第　號	船　丸				

就職年月日　年　月　日　就職ノ地

船員手帖ノ番號　海技免狀種類　給　料　手　當

第　號

第十號書式（用紙美濃判）

年　月　日

（管海官廳名）御中

船長退職認證申請書

船　丸船長（氏　名印）

船舶番號	船種船名	退職年月日	退職ノ地
第　號	船　丸	年　月　日	

就職認證ノ年月日　官廳名　船員手帖ノ番號

年　月　日　第　號

第十一號書式（用紙美濃判）

船員手帖再交付（書換）申請書

船員手帖ノ番號　第　號　氏名　印

本籍地

身分　出生年月日

船員手帖ノ交付ノ年月日

原手帖交付管海官廳名、番號、滅失（毀損）ノ年月日、場所及事由

備考
氏名ニハ片假名ヲ以テ傍訓ヲ附スヘシ
身分欄ニハ戸主家族ノ別、家族ナルトキハ戸主ノ氏名及戸主トシ續柄ヲ記載スヘシ原手帖番號不明ノ場合ニ於テハ原手帖番號不明ト記載スヘシ又船員手帖滅失ノ事由ハ成ルヘク詳細ニ記載スルヲ要ス
朝鮮船員令施行規則第八條第三項ノ場合ニ於テハ船員手帖滅失（毀損）ノ事由ヲ記載シタル失行ニ當該船長ハ「右相違ナキコトヲ證明ス」ト記載シ署名捺印スヘシ
船員手帖ノ番號及同交付年月日欄ハ管海官廳ニ於テ記載スルモノナルニ付申請人ハ何等記載ヲ要ス

第十二號書式（用紙美濃判）

（管海官廳名）御中　年　月　日　（氏　名印）

乘船届

船舶番號	船種船名	船舶使用ノ目的	航路又ハ航行區域若ハ從業制限	總噸數又ハ積石數	種類	關係
第　號	船　丸				機關公稱馬力	

乘船年月日　年　月　日　乘船地

船員手帖番號　職務　海技免狀種類　給　料　手　當

船舶所有者ノ氏名又ハ名稱

第　號

備考
機關部員以外ノ者ニ在リテハ機關ノ種類ヲ記載ヲ省略スルコトヲ得

第十三號書式（用紙美濃判）

年　月　日

（管海官廳名）御中

下　船　届

船舶番號	船種船名	下船年月日	下船地
第　號	船　丸	年　月　日	

乘船年月日　船員手帖番號　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱

年　月　日　第　號

第十四號書式
徴兵身體檢査ニ關スル乘船證明書
船長ノ認印

寫眞

右者本船ニ乘船中ナルコトヲ證明ス

汽（帆）船　船　丸

年　月　日　船長　氏　名印

備考
寫眞ハ最近六月以内ニ撮影シタル名刺形又ハ手札形、單獨、半身、脫帽ノモノヲ使用スヘシ

氏名
本籍地
身分
出生ノ年月日
職務
船員手帖ノ番號

●朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局

大正三年六月
總令第二百二十九號
（改正　大正八年五月第二三三號、一一年二號、二〇號、一五年一〇月三〇五號）

左記郵便局ヲシテ大正三年六月十七日ヨリ朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行ハシム

全羅北道　群山郵便局
全羅南道　麗水郵便局
咸鏡北道　城津郵便局
雄基郵便局

●朝鮮船員令第二條ノ規定ニ依ル送還費用償還ノ件

大正三年五月
總令第七十六號

朝鮮船員令第二條ノ規定ニ依ル送還費用償還ノ件左ノ通定ム

第一條　朝鮮船員令第二條ノ規定ニ依リ日本臣民ヲ朝鮮ニ送還シタル船長ハ送還費用ヲ負擔スル者ニ對シ其ノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第二條　本令ニ於テ送還費用ト稱スルハ外交官又ハ領事官カ被送還者ヲ送還スルニ適當ナリト認メタル客室ノ等級ニ相當スル運賃ヲ謂フ

第三條　送還費用ハ被送還者ノ負擔トシ被送還者ヨリ償還ヲ得サルトキハ其ノ扶養義務者ノ負擔トス扶養義務者ニ對スル送還費用償還ノ請求ハ扶養義務者中ノ何人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ費用ノ償還ヲ爲シタル者ハ朝鮮民事令ノ規定ニ依リ扶養ノ義務ヲ履行スヘキ者ニ對シ求償ヲ爲スコトヲ妨ケス

第四條　前條第一項ノ規定ニ依リ送還費用ノ償還ヲ得サルトキハ當分ノ內國庫ニ於テ之ヲ負擔ス

前項ノ場合ニ於テ船長ハ送還費用ノ請求書ヲ朝鮮總督府ニ提出スヘシ

前項ノ請求書ニハ朝鮮船員令施行規則第二十四條第二項ノ書類ヲ添附スヘシ

附則

本令ハ朝鮮船員令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●商法第五百六十二條第一項ノ海員名簿、屬具目錄、航海日誌及旅客名簿ノ書式ニ關スル件

大正三年五月
總令第七十七號
（改正　昭和五年五月第一〇二號）

商法第五百六十二條第一項ノ海員名簿、屬具目錄、航海日誌及旅客名簿ノ書式ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　海員名簿ハ第一號書式、屬具目錄ハ第二號書式、航海日誌ハ第三號書式、旅客名簿ハ第四號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

前項ノ書類ハ書式ニ示ス順序ニ依リ之ヲ編綴シ且各頁ニ頁數ヲ附スヘシ但シ其ノ紙數ハ適宜トス

第二條　前條ノ書類ニハ書式ニ定メサル事項ヲ記載スルヲ欄ヲ設クルコトヲ得

朝鮮沿岸ノミヲ航行スル船舶ニ在リテハ航海日誌及旅客名簿ノ書式ニ定ムル事項ヲ省略スルコトヲ得

沿海區域ノミヲ航行スル船舶ニ在リテハ旅客名簿ヲ備ヘサルコトヲ得

前三項ノ場合ニ於テハ最寄管海官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第三條　第一條ノ書類ニハ各事項ニ付英譯ヲ附シ又ハ頁ノ上部ニ船舶ノ名稱及船舶所有者ノ氏名（名稱）等ヲ附記シ又ハ記載心得等ヲ掲クルコトヲ得

第一條ノ書類ハ書式ニ定ムル事項ノ位置ヲ變更シテ之ヲ調製スルコトヲ得但シ其ノ順序ヲ變更スルコトヲ得

附則

本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則（昭和五年五月總令第四十五號）

本令ハ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル海員名簿ニ付テハ當分ノ間仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

前項ノ海員名簿ヲ使用スル場合ニ於テハ第一號書式（一）中ノ機關ノ種類及箇數並ニ機關公稱馬力ハ適宜ノ場所ニ之ヲ記載シ同書式（二）及（八）中ノ手當ハ給料ノ欄ニ其ノ旨ヲ明ニシテ之ヲ記載スヘシ

附則（昭和十年二月總令第三十四號）

本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

航海日誌ハ當分ノ間第三號書式ニ示ス順序ニ依ラズシテ之ヲ編綴スルコトヲ得

簿ハ第四號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第一號書式

海　　船　　名　　簿									
番號	船籍								噸量
	港	積	航行區域又ハ從業制限						
	號	船	機關ノ種類及箇數						
		名	機關ノ公稱馬力						
		丸	船舶所有者（名稱）及住所						
			船長氏名及住所						

備考　(一)ハ書類ノ前付トス其ノ裏面ハ白紙トスヘシ(一)ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキ(一)ニ於テ之ヲ訂正スル餘白ナキ場合ニハ裏面ニ於テ之ヲ訂正スヘシ以下各號書式ノ(一)ニ付テモ亦同シ

船舶ノ種類ハ汽船又ハ帆船ノ別、漁船ニ在リテハ漁汽船又ハ漁帆船ノ別ニ依リ之ヲ記入スヘシ

積量トアル下ニハ總噸數及登簿噸數、石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ在リテハ積石數ヲ記入スヘシ其下各號書式ノ(一)ニ付テモ亦同シ

機關ノ種類及筒數トアル下ニハ汽機又ハ發動機ノ別及其ノ筒數ヲ記入スヘシ

(一)

官廳記事	

(二)

備考　行數ハ適宜トス以下各書式中行ヲ附シタルモノニ付テモ亦同シ

雇者署名捺印	雇入期間	航路	雇入ノ年月日	雇入ノ場所
	年月日			

番號	被雇者署名捺印ノ番號	船員手帖番號	住所	職務	給料一手當又ハ特別契約條項	公認
					飲食物又ハ其ノ代料ニ關スル記事	

(三)

第號	第號	第號	第號	第號
年月日	年月日	年月日	年月日	年月日

備考一　各事項中記載スヘキモノナキトキハ其ノ欄ニ斜線ヲ畫スヘシ

二　雇入期間ノ欄ニハ何箇月、一年又ハ一航海ト記載シ且一航海ト記載スル場合ニハ其ノ航路ヲ航路ノ欄ニ記載スヘシ

三　番號ノ欄ニハ雇入ノ公認ヲ受クル毎ニ順次被雇者ニ付一二三四五等ノ番號ヲ附シ之ヲ記載スヘシ

四　船員手帖ノ番號ノ欄ニハ手帖ヲ交付シタル管海官廳ノ所在地ヲ其ノ番號ニ冠附シ之ヲ記載スヘシ例ハ仁川ニ於テ交付シタル第一號ノ船員手帖ニハ仁川第一號ト記載スルカ如シ

五　給料又ハ手當ノ欄ニハ一箇月若干又ハ一航海若干等其ノ額ヲ記載スヘシ

六　(三)ヲ二頁以上連續シテ設クル場合ニハ最初ノ頁ヲ除クノ外雇者署名捺印ノ欄ヨリ雇入ノ場所ニ至ル迄ノ五欄ヲ設クコトヲ要セス

七　海員名簿ニ年月日又ハ金額ヲ記載シ又ハ雇入期間ヲ記載スルニハ一二三十ノ字ヲ用キスシテ壹弐參拾ノ字ヲ用ウヘシ

八　一等運轉士、二等運轉士、一等機關士又ハ二等機關士二名以上乘組ムトキハ其ノ順位(例ヘハ首席、次席、三席)ヲ職名ノ上部ニ附記スヘシ

(四)

番號	被雇者署名捺印	雇止ノ事由	雇止ノ年月日	雇止ノ場所	雇者署名捺印	公認
			年月日			年月日公認
			年月日			年月日公認
			年月日			年月日公認
			年月日			年月日公認
			年月日			年月日公認
			年月日			年月日公認
			年月日			年月日公認
			年月日			年月日公認
			年月日			年月日公認
			年月日			年月日公認

(五)

雇者署名捺印	雇入期間	航路	雇入ノ年月日	雇入ノ場所
	年月日			

番號	被雇者署名捺印	船員手帖番號	住所	職務	給料一手當	公認
						年月日公認
						年月日公認
						年月日公認
						年月日公認
						年月日公認
						年月日公認
						年月日公認
						年月日公認
						年月日公認
						年月日公認

(六)

雇者署名捺印	雇入期間	航路	雇入ノ年月日	雇入ノ場所
	年月日			

番號	被雇者署名捺印	船員手帖番號	住所	職務	給料一手當	公認
						年月日
						年月日
						年月日
						年月日
						年月日
						年月日
						年月日
						年月日
						年月日
						年月日

備考一　(六)ハ雇入公認ヲ受ケタル後海員ヲ補充又ハ追加シタルトキハ其ノ雇入公認ヲ受クル爲設クルモノトス本書式ハ同時ニ二名ノ海員ノ雇入ヲ爲ス場合ニ付テ之ヲ定メタルモ一名或ハ三名以上ノ海員ノ雇入公認ヲ受クル樣之ヲ調製スルコトヲ得

二　番號ハ海員補充ノ場合ニ在リテハ一ノ二又ハ二ノ二等ト記載スヘシ但先ニ雇入公認ヲ受ケタル際百ノ番號ヲ附シタル海員最後ノ者ナルトキハ百一ト記載スルカ如シ

第二號書式

(一)

屬具目錄

船舶番號
船籍港
最積量
航行區域又ハ從業制限
船舶所有者ノ氏名(名稱)及住所
船長氏名及住所

(二)

屬具名稱	數量	記事

（一）

第二號様式

番號	事	由
一	豫定ノ航路ヲ變更シタルコト	記載ヲ要シタル頁數

官	認	記	事

（二）

出　入　海　航

之　船

船　名船　籍　積　船　番
長　名船　所
氏　名有　名　㊞　住
及　及名　稱
住　住ノ　種
所　所氏　屬　港　號

（三）

十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二
航海日誌ノ記載ヲ怠リタルコト	發航準備ヲ爲サザリシコト	本船ノ堪航能力ニ付相當ノ注意ヲ爲サザリシコト	「コンパス」其ノ他航海ニ必要ナル諸器具ヲ備ヘザリシコト	航海ニ關スル諸帳簿ヲ備ヘザリシコト	非常ノ場合ニ於ケル救命艇其ノ他救助ノ設備ヲ爲サザリシコト	分船ノ他船ニ對スル注意ヲ怠リタルコト	船中ニ於テ出生アリタルコト	船中ニ於テ死亡者ノ發生シタルコト	船中ニ於テ犯罪アリタルコト	船員ニ對スル懲罰權ヲ濫用シタルコト	船員ノ雇入又ハ解雇ニ關スル法令ノ規定ニ違反シタルコト	船員ニ對スル給料ノ支拂ヲ怠リタルコト	船長ノ指揮ニ從ハザル船員ヲ懲戒シタルコト	豫定ノ航海ヲ變更シタルコト	衝突其ノ他ノ海難ニ際シ人命又ハ船舶ヲ救助スル爲ニ盡スヘキ手段ヲ盡サザリシコト	人命又ハ船舶ヲ救助スル爲ニ盡スヘキ手段ヲ盡サザリシコト

（四）

海員氏名	職務	記載ヲ爲シタルページ數

海員氏名	職務	記載ヲ爲シタルページ數

（五）

年	月	日	時	發生ノ場所	記載ノ年月日	記事

（六）

番號	名稱	數量	備考

備考　（四）ハ前表第六號、第七號、第九號乃至第十一號等ノ非項ニ該當シタル船員ニ付テ其ノ氏名職務等ヲ記載スヘシ

（七）

年	月	日	時	港	發	年	月	日	時	港	着	年	月	日	時	港	發	年	月	日	時	港	着

（一）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

（二）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

第四號書式

旅　客　名　簿

丸　　船

番號	旅客定員	合三三一		
船名	船長氏名	所有者名及住所	所有者名及住所	計

乘船港	年月日	下船港	年月日

等級	氏名	國籍	住所	年齢	等級	乘船港	年月日	下船港	年月日
				以上二十一年					
				以上十五歳					
				以上十歳					
				以上五歳					
				以上一歳					
				以上一年未滿					

（一）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

（二）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

第四號書式

旅　客　名　簿

丸　　船

番號	旅客定員	合三三一		
船名	船長氏名	所有者名及住所	所有者名及住所	計

乘船港	年月日	下船港	年月日

等級	氏名	國籍	住所	年齢	等級	乘船港	年月日	下船港	年月日
				以上二十一年					
				以上十五歳					
				以上十歳					
				以上五歳					
				以上一歳					
				以上一年未滿					

（一）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

（二）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

第四號書式

旅　客　名　簿

丸　　船

番號	旅客定員	合三三一		
船名	船長氏名	所有者名及住所	所有者名及住所	計

乘船港	年月日	下船港	年月日

等級	氏名	國籍	住所	年齢	等級	乘船港	年月日	下船港	年月日
				以上二十一年					
				以上十五歳					
				以上十歳					
				以上五歳					
				以上一歳					
				以上一年未滿					

（一）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

（二）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

第四號書式

旅　客　名　簿

丸　　船

番號	旅客定員	合三三一		
船名	船長氏名	所有者名及住所	所有者名及住所	計

乘船港	年月日	下船港	年月日

等級	氏名	國籍	住所	年齢	等級	乘船港	年月日	下船港	年月日
				以上二十一年					
				以上十五歳					
				以上十歳					
				以上五歳					
				以上一歳					
				以上一年未滿					

（一）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

（二）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

第四號書式

旅　客　名　簿

丸　　船

番號	旅客定員	合三三一		
船名	船長氏名	所有者名及住所	所有者名及住所	計

乘船港	年月日	下船港	年月日

等級	氏名	國籍	住所	年齢	等級	乘船港	年月日	下船港	年月日
				以上二十一年					
				以上十五歳					
				以上十歳					
				以上五歳					
				以上一歳					
				以上一年未滿					

（一）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

（二）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

第四號書式

旅　客　名　簿

丸　　船

番號	旅客定員	合三三一		
船名	船長氏名	所有者名及住所	所有者名及住所	計

乘船港	年月日	下船港	年月日

等級	氏名	國籍	住所	年齢	等級	乘船港	年月日	下船港	年月日
				以上二十一年					
				以上十五歳					
				以上十歳					
				以上五歳					
				以上一歳					
				以上一年未滿					

（一）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

（二）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

第四號書式

旅　客　名　簿

丸　　船

番號	旅客定員	合三三一		
船名	船長氏名	所有者名及住所	所有者名及住所	計

乘船港	年月日	下船港	年月日

等級	氏名	國籍	住所	年齢	等級	乘船港	年月日	下船港	年月日
				以上二十一年					
				以上十五歳					
				以上十歳					
				以上五歳					
				以上一歳					
				以上一年未滿					

（一）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

（二）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

第四號書式

旅　客　名　簿

丸　　船

番號	旅客定員	合三三一		
船名	船長氏名	所有者名及住所	所有者名及住所	計

乘船港	年月日	下船港	年月日

等級	氏名	國籍	住所	年齢	等級	乘船港	年月日	下船港	年月日
				以上二十一年					
				以上十五歳					
				以上十歳					
				以上五歳					
				以上一歳					
				以上一年未滿					

（一）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

（二）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

第四號書式

旅　客　名　簿

丸　　船

番號	旅客定員	合三三一		
船名	船長氏名	所有者名及住所	所有者名及住所	計

乘船港	年月日	下船港	年月日

等級	氏名	國籍	住所	年齢	等級	乘船港	年月日	下船港	年月日
				以上二十一年					
				以上十五歳					
				以上十歳					
				以上五歳					
				以上一歳					
				以上一年未滿					

（一）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

（二）

死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	死亡ノ原因	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級
年　月　日　時	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	已ニ乗船ノ上死亡ニ非ラザレバ其ノ旨	男女ノ別	本籍	氏名	等級

第四號書式

旅　客　名　簿

丸　　船

番號	旅客定員	合三三一		
船名	船長氏名	所有者名及住所	所有者名及住所	計

乘船港	年月日	下船港	年月日

等級	氏名	國籍	住所	年齢	等級	乘船港	年月日	下船港	年月日
				以上二十一年					
				以上十五歳					
				以上十歳					
				以上五歳					
				以上一歳					
				以上一年未滿					

●朝鮮船舶職員令

大正三年四月
制令第十號

改正　昭和五年勅令第二四四、九年二四一、一〇年一四三

朝鮮船舶職員令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮船舶職員令

第一條　朝鮮ニ船籍ヲ有スル日本船舶ノ職員ニ關シテハ本令ニ規定スルモノ及船舶職員法第九條ノ三ノ規定ヲ除クノ外船舶職員法ニ依ル但シ同法中船舶安全法トアルハ朝鮮船舶安全令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法、遞信大臣トアルハ朝鮮總督、地方長官トアルハ道知事トス

第二條　遞信大臣ノ授與シタル海技免狀ハ本令ニ依リ授與シタルモノト看做ス

第三條　朝鮮總督ニ於テ本令ニ依リ授與シタルモノト同等ト認メタルモノノ之ヲ本令ニ依リ授與シタルモノト看做ス

附　則

本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際海技免狀ヲ受有セシテ現ニ船舶職員ノ職務ヲ執ル二十歲以上ノ者ニハ試驗ヲ用ヰスシテ本令施行ノ日ヨリ三年ヲ限リ救力有スル相當ノ海技免狀ヲ授與スルコトヲ得

附　則（昭和五年四月制令第二號）

本令ハ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ船舶職員トシテ就職中ノ者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ本令施行後引續キ同一ノ船舶ニ於テ同一ノ職ヲ執ル期間內ニ限リ仍從前ノ例ニ依リ就職スルコトヲ得

附　則（昭和九年二月制令第一號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和九年二月勅令第七號ヲ以テ昭和九年三月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十年一月制令第三號）

本令ハ朝鮮船舶安全令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和九年制令第一號附則第二項及第三項ヲ以テ昭和九年制令第一號ノ施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス）

●船舶職員法

明治三十九年四月
法律第六十八號

改正　三八年勅六九四、昭和四年四月勅四六號

八年三一二號

樺帝國議會ノ協賛ヲ經タル船舶職員法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

船舶職員法

第一條　日本船舶ニハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外此ノ法律ノ規定ニ依リ船舶職員ヲ乘組マシムヘシ但シ船舶安全法第二條第一項ノ規定ヲ適用セサル船舶ハ此ノ限ニ在ラス

船舶職員ト稱スルハ船長、一等運轉士、二等運轉士、三等運轉士、機關長、一等機關士、二等機關士及三等機關士ヲ謂フ

第二條　海技免狀ヲ有スル者ニアラサレハ船舶職員タルコトヲ得ス

第三條　海技免狀ハ左ノ十三種トス

甲種船長
甲種一等運轉士
甲種二等運轉士
乙種船長
乙種一等運轉士
乙種二等運轉士
丙種船長
丙種運轉士
機關長
一等機關士
二等機關士
三等機關士

遞信大臣ハ海技免狀ノ效力ニ制限ヲ加ヘタルモノヲ授與スルコトヲ得

第四條　各船舶ニ乘組マシムヘキ船舶職員ノ定員及其ノ免狀ノ種類ハ第一號表ニ依ル

第一號表ニ定ムル免狀ハ命令ノ定ムル所ニ依リ他ノ種類ノ免狀ヲ以テ代用スルコトヲ得

第五條　海技免狀ハ遞信大臣ノ定ムル試驗規程ニ依リ船橋檢査官立會試驗ヲ受ケ合格シ且海技免狀原簿ニ登錄ヲ受ケタル者ニ授與ス

海軍艦船ニ乘組ミ運航若ハ機關運轉ニ從事シ又ハ船舶ノ運航若ハ機關ノ運轉ニ關スル學術ヲ教授スル學校ノ所定ノ課程及練習ヲ卒リ遞信大臣ニ於テ學術試驗ニ合格ヲ認ムル者ニハ學術試驗ヲ行ハシメテ相當ノ免狀ヲ授與スルコトヲ得

小形船舶ニ乘組ム船舶職員ノ有スヘキ海技免狀ハ遞信大臣ノ定ムル所ニ依リ學術試驗ヲ行ハシメテ之ヲ授與スルコトヲ得

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ船舶職員タルコトヲ得ス又前條ノ體格檢查及學術試驗ヲ受クルコトヲ得ス

一　六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二　六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

三　瘋癲、白痴、身體不具其ノ他精神又ハ身體ニ缺陷アリ執職ニ不適當ナル者

四　海技免狀ノ行使ヲ禁止セラレタル者

五　海技免狀ノ行使停止中ノ者

六　破產者ニシテ復權ヲ得サル者

遞信大臣ハ海技免狀受有者ニシテ前項第三號ニ該當スルノ疑アルモノニ就キ管海官廳ヲシテ體格檢查ヲ執行セシムルコトヲ得

第七條　左ニ揭ケル船舶ニ付テハ命令ヲ以テ其ノ職員ニ關シ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

一　外國各港間ノミヲ航行スル船舶

二　漁撈其ノ他特殊ノ目的ニ專用スル船舶

三　特殊ノ構造ヲ有スル船舶

第八條　此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ相當スル船舶職員ヲ乘組マシメサルトキハ船舶所有者、船舶共有ノ場合ニ於テハ船舶管理人、船舶賃借人又ハ五百噸以下ノ漁業ニ從事スル船舶ニ在リテハ船舶賃借人ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シテ船舶職員ト爲リタル者、海技免狀ノ行使ノ假停止若ハ差押中其ノ職務ヲ執リタル者又ハ海技免狀ヲ貸付シ之ヲ行使セシメタル者ノ罰亦前項ニ同シ

第九條　前條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ刑法併合罪ノ例ヲ用ヰス

前條第一項ノ罰則ハ船舶所有者、船舶管理人又ハ船舶借入人カ法人ナルトキハ其ノ代表者、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ船舶ノ管理ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九條ノ二　此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ日本船舶ニ非サル船舶ニシテ船舶安全法第十四條各號ニ揭クルモノニ準用スルコトヲ得

第九條ノ三　朝鮮總督ノ授與シタル海技免狀ニシテ遞信大臣ニ於テ第五條ノ規定ニ依リ授與シタルモノト同等ト認メタルモノハ之ヲ第五條ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ授與シタル海技免狀ト看做ス

第九條ノ四　地方長官ハ船舶安全法第二條第一項ノ規定ヲ適用セサル船舶ニ於テ船舶職員ニ該當スル職務ヲ執ル者ノ資格ニ關シ遞信大臣ノ認可ヲ受ケ必要ナル規則ヲ設クルコトヲ得

附　則

第十條　此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス

第十一條　明治十三年第二十八號布告及明治十四年第七十五號布告ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

第十二條　明治九年第八十二號布告、同年第九十四號布告及明治十四年第七十五號布告ハ於テハ船舶借入人ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

二依リ授與シタル免狀ハ第二號表ニ依リ各相當ノ免狀ト交換スヘシ其ノ交換ノ手續及時期ハ遞信大臣之ヲ定ム

前項ニ揭ケタル各種ノ舊免狀ハ新免狀ト交換スルマテ之ニ代用スルコトヲ得

第十三條　此ノ法律ハ施行ノ日ヨリ一箇年ヲ限リ積石數百五十石以上ノ帆船ニハ之ヲ適用セス

第十四條　遞信大臣ハ積石數百五十石以上ノ帆船ニ乘組ミ三箇年以來其ノ運航ヲ掌リ且此ノ法律施行ノ際現ニ船長ノ職ヲ執リ年齡二十歲以上ノ者ニハ此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年ヲ限リ試驗ヲ用ヰスシテ相當ノ海技免狀ヲ授與スルコトヲ得

第十五條　遞信大臣ハ第一號表中近海航船ニシテ容積噸數五百噸未滿ノ汽船及沿海航船ニシテ容積噸數二百噸以上ノ汽船ニハ此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年ヲ限リ二等機關士ノ免狀ヲ有スル者ニ機關長ノ職ヲ執ラシメ又一等機關士ヲ乘組マシメサルコトヲ得

附　則（昭和四年四月法律第四十六號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和五年五月勅令第二五號ヲ以テ昭和五年五月十日ヨリ施行）

本法施行ノ際現ニ船舶職員トシテ就職中ノ者ハ遞信大臣ノ定ムル所ニ依リ本法施行後引續キ同一ノ船舶ニ於テ同一ノ職ヲ執ル期間內ニ限リ仍從前ノ例ニ依リ就職スルコトヲ得

本法ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

附　則（昭和八年三月法律第十二號）

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和九年二月勅令第十八號ヲ以テ昭和九年三月一日ヨリ施行）

第一號表（其ノ一）　船長及運轉士定員表

航行區域	船舶種類	總噸數	船舶職員	免狀種類	定員
平水區域	汽船	五百噸未滿	船長	乙種二等運轉士免狀	一
		千五百噸未滿	船長	乙種一等運轉士免狀	一
		千五百噸以上	船長	乙種船長免狀	一
			一等運轉士	乙種一等運轉士免狀	一
		二百噸未滿	船長	乙種二等運轉士免狀	一
	帆船	千噸未滿	船長	乙種一等運轉士免狀	一
		千噸以上	船長	乙種船長免狀	一
			一等運轉士	乙種一等運轉士免狀	一
		二十噸以上	船長	丙種運轉士免狀	一

第一號表（其ノ二）　船長及運轉士定員表

航行區域	船舶種類	總噸數	船舶職員	免狀種類	定員
近海區域	汽船	五百噸未滿	船長	乙種一等運轉士免狀	一
			一等運轉士	乙種二等運轉士免狀	一
		千噸未滿	船長	乙種船長免狀	一
			一等運轉士	乙種一等運轉士免狀	一
			二等運轉士	乙種二等運轉士免狀	一
		二千噸未滿	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	甲種一等運轉士免狀	一
			二等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一
		五千噸未滿	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	甲種一等運轉士免狀	一
			二等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一
		五千噸以上	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	乙種船長免狀	一
			二等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一
			三等運轉士	乙種一等運轉士免狀	一
	帆船	二百噸未滿	船長	丙種運轉士免狀	一
		二百噸以上	一等運轉士	丙種運轉士免狀	一
遠洋區域	汽船	三千噸未滿ノ旅客船又ハ五千噸未滿ノ非旅客船	船長	乙種一等運轉士免狀	一
			一等運轉士	甲種一等運轉士免狀	一
			二等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一
		三千噸以上ノ旅客船又ハ五千噸以上ノ非旅客船	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	甲種一等運轉士免狀	一
			二等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一
			三等運轉士	甲種三等運轉士免狀	一
		二百噸未滿	船長	甲種一等運轉士免狀	一
			一等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一

第一條　朝鮮船舶職員令（昭和五年勅令第三百十四號）ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ本令ニ定ムル外朝鮮總督之ヲ定ム

●朝鮮船舶職員令施行規則

昭和五年十二月二十四日　朝鮮總督令第百十四號

朝鮮船舶職員令（以下令ト稱ス）ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ本令ニ定ムル外朝鮮總督之ヲ定ム

第二條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　朝鮮ニ在ル本店又ハ主タル事務所ヲ有スル會社ノ所有ニ屬スル船舶

二　朝鮮ニ住所ヲ有スル者ノ所有ニ屬スル船舶

三　朝鮮ニ在ル官廳ノ所有ニ屬スル船舶

第三條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第四條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第五條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第六條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第七條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第八條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第九條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第十條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第十一條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第十二條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第十三條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第十四條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第十五條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第十六條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第十七條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第十八條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第十九條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第二十條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第二十一條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第二十二條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第二十三條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第二十四條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第二十五條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第二十六條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第二十七條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第二十八條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第二十九條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第三十條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第三十一條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第三十二條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第三十三條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第三十四條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第三十五條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第三十六條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第三十七條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第三十八條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第三十九條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第四十條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第四十一條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第四十二條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第四十三條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第四十四條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第四十五條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第四十六條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第四十七條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第四十八條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第四十九條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第五十條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第五十一條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第五十二條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第五十三條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第五十四條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第五十五條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第五十六條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第五十七條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第五十八條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第五十九條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第六十條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第六十一條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第六十二條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第六十三條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第六十四條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第六十五條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第六十六條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第六十七條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第六十八條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第六十九條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第七十條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第七十一條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第七十二條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第七十三條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第七十四條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第七十五條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第七十六條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第七十七條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第七十八條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第七十九條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第八十條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第八十一條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第八十二條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第八十三條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第八十四條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第八十五條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第八十六條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第八十七條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客ヲ運送スル船舶

ハ　總噸數十噸以上ノ船舶ニ積載スル船舶

第八十八條　令第二條ノ朝鮮總督ノ定ムル船舶ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　總噸數二十噸以上ノ船舶

二　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ　發動機ヲ使用スル船舶

ロ　旅客

第十五條　避航ヲ要スル場合ニ於テ他船ノ動作ノミニ依リテ衝突ヲ避ケ得ルトキハ各船ハ左ノ規定ニ從フコトヲ要ス

一　二隻ノ汽船ガ互ニ反對ノ針路又ハ殆ト反對ノ針路ニ在ルトキハ各船ハ右ニ轉針スルコトヲ要ス

二　二隻ノ汽船ガ互ニ交叉ノ針路ニ在ルトキハ他船ヲ自船ノ右舷ニ見ル船ハ右ニ轉針スルコトヲ要ス

三　二隻ノ汽船ガ互ニ同一又ハ略ゝ同一ノ針路ニ在ルトキハ風位ニ關係ナク他船ヲ自船ノ右舷ニ見ル船ハ右ニ轉針スルコトヲ要ス

第十六條　避航ヲ要スル船舶ハ他船ヨリ遠ザカルヤウニ早目ニ動作ヲ執ルコトヲ要ス

第十七條　避航ヲ要スル船舶ハ他船ヲ右舷ニ見ル場合ニ於テ他船ノ方位ニ變化ナキトキハ衝突ノ危險アルモノト看做ス

第十八條　航路ノ右側ニ於テ航行スル汽船ハ他ノ汽船ノ安全ニ通航シ得ル航路ノ右側ニ於テ航行スル汽船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

帆船ハ他ノ帆船ニ對シ風位ニ關係ナク左ノ規定ニ從フ

一　二隻ノ帆船ガ互ニ反對ノ針路ニ在ルトキハ各船ハ風ヲ左ニ受ケ又ハ風ヲ船尾ニ受ケテ航行スル船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

二　二隻ノ帆船ガ互ニ同一ノ針路ニ在ルトキハ風ヲ左ニ受ケテ航行スル船ハ風ヲ右ニ受ケテ航行スル船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

三　二隻ノ帆船ガ互ニ同一ノ針路ニ在ルトキハ風ヲ同ジ舷ニ受ケテ航行スル船ハ風上ニ在ル船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第十九條　本章ノ規定ニ從ヒ一隻ノ船舶ガ他ノ船舶ヲ避ケサルヘカラサル場合ニ於テ其ノ動作ノミニ依リテ衝突ヲ避ケ得ルトキハ其ノ船舶ハ左ノ規定ニ從フコトヲ要ス

一　汽船ハ他ノ汽船ニ對シ右舷ニ見ル船ヲ避ケサルヘカラサル場合ニ於テ他ノ汽船ノ船尾ヲ通過スルトキハ左ニ轉針スルコトヲ得

二　汽船ハ他ノ汽船ニ對シ左舷ニ見ル船ヲ避ケサルヘカラサル場合ニ於テ他ノ汽船ノ船尾ヲ通過スルトキハ右ニ轉針スルコトヲ得

三　帆船ハ他ノ帆船ニ對シ風位ニ關係ナク左ノ規定ニ從フ

イ　風ヲ左ニ受ケテ航行スル船ハ風ヲ右ニ受ケテ航行スル船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

ロ　風ヲ同ジ舷ニ受ケテ航行スル船ハ風上ニ在ル船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

ハ　風ヲ船尾ニ受ケテ航行スル船ハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第二十條　本章ノ規定ニ從ヒ他ノ船舶ヲ避ケサルヘカラサル場合ニ於テ其ノ動作ノミニ依リテ衝突ヲ避ケ得ルトキハ其ノ船舶ハ左ノ規定ニ從フコトヲ要ス

一　他船ノ後方ヲ通過スルトキハ他船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

二　後續ノ汽船ハ前續ノ汽船ニ對シ其ノ後方ヲ通過スルトキハ他船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

三　不正ノ行爲ニ依リ他船ヲ避航セサルヘカラサル場合ニ於テ其ノ他船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

四　港ニ入ル船舶ハ港内ニ在ル船舶ノ運航ヲ妨ケサル爲メ港外ニ於テ停留シ又ハ徐行スルノ義務ヲ有ス

第二十一條　帆船ノ航路ヲ横切ル動力船ハ帆船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第二十二條　航路ノ外側ニ於テ航行スル動力船ハ航路ノ内側ニ於テ航行スル他ノ動力船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第二十三條　漁撈ニ從事スル船舶ハ他ノ船舶ニ對シ成ルヘク其ノ漁具ヲ避ケサルヘカラス

第二十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第二十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第二十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第二十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第二十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第二十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第三十條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第三十一條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第三十二條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第三十三條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第三十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第三十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第三十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第三十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第三十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第三十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第四十條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第四十一條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第四十二條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第四十三條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第四十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第四十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第四十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第四十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第四十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第四十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第五十條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第五十一條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第五十二條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第五十三條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第五十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第五十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第五十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第五十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第五十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第五十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第六十條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第六十一條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第六十二條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第六十三條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第六十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第六十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第六十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第六十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第六十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第六十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第七十條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第七十一條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第七十二條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第七十三條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第七十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第七十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第七十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第七十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第七十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第七十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第八十條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第八十一條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第八十二條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第八十三條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第八十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第八十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第八十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第八十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第八十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第八十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第九十條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第九十一條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第九十二條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第九十三條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第九十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第九十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第九十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第九十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第九十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第九十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百一條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百二條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百三條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百十條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百十一條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百十二條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百十三條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百二十條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百二十一條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百二十二條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百二十三條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百二十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百二十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百二十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百二十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百二十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百二十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百三十條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百三十一條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百三十二條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百三十三條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百三十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百三十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百三十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百三十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百三十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百三十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百四十條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百四十一條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百四十二條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百四十三條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百四十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百四十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百四十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百四十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百四十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百四十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百五十條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百五十一條　避航ヲ要スル場合ニ於テ他船ノ動作ノミニ依リテ衝突ヲ避ケ得ルトキハ各船ハ左ノ規定ニ從フコトヲ要ス

一　二隻ノ汽船ガ互ニ反對ノ針路又ハ殆ト反對ノ針路ニ在ルトキハ各船ハ右ニ轉針スルコトヲ要ス

二　二隻ノ汽船ガ互ニ交叉ノ針路ニ在ルトキハ他船ヲ自船ノ右舷ニ見ル船ハ右ニ轉針スルコトヲ要ス

三　二隻ノ汽船ガ互ニ同一又ハ略ゝ同一ノ針路ニ在ルトキハ風位ニ關係ナク他船ヲ自船ノ右舷ニ見ル船ハ右ニ轉針スルコトヲ要ス

第百五十二條　避航ヲ要スル船舶ハ他船ヨリ遠ザカルヤウニ早目ニ動作ヲ執ルコトヲ要ス

第百五十三條　本章ノ規定ニ從ヒ一隻ノ船舶ガ他ノ船舶ヲ避ケサルヘカラサル場合ニ於テ其ノ動作ノミニ依リテ衝突ヲ避ケ得ルトキハ其ノ船舶ハ左ノ規定ニ從フコトヲ要ス

一　他船ノ後方ヲ通過スルトキハ他船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

二　後續ノ汽船ハ前續ノ汽船ニ對シ其ノ後方ヲ通過スルトキハ他船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

三　不正ノ行爲ニ依リ他船ヲ避航セサルヘカラサル場合ニ於テ其ノ他船ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

四　港ニ入ル船舶ハ港内ニ在ル船舶ノ運航ヲ妨ケサル爲メ港外ニ於テ停留シ又ハ徐行スルノ義務ヲ有ス

第百五十四條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百五十五條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百五十六條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百五十七條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百五十八條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ長サ二百米ヲ超ユルトキハ他ノ船舶ニ對シ避航ノ義務ヲ有ス

第百五十九條　港内又ハ其ノ附近ニ於テ他ノ船舶ヲ曳航スル汽船ハ曳綱ノ

第二百二十一條　免狀ノ返納ヲ命ゼラレタル者ハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納スヘシ

前項ノ規定ニ依リ免狀ヲ返納スヘキ者ハ其ノ免狀ヲ亡失シタル場合ニ於テ其ノ亡失ノ日ヨリ十日以内ニ亡失ノ事由ヲ受ケタル官廳ニ申告スヘシ

第二百二十二條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百二十三條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ亡失シタル場合ニ於テ新免狀ノ交付ヲ受ケタル後亡失シタル免狀ヲ發見シタルトキハ之ヲ十日以内ニ返納スヘシ

第二百二十四條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ他人ニ貸與シ又ハ譲渡シテハナラス

第二百二十五條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百二十六條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百二十七條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百二十八條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百二十九條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百三十條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百三十一條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百三十二條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百三十三條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百三十四條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百三十五條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百三十六條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百三十七條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百三十八條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百三十九條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百四十條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百四十一條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百四十二條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百四十三條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百四十四條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百四十五條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百四十六條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百四十七條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百四十八條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百四十九條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百五十條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百五十一條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百五十二條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百五十三條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百五十四條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百五十五條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百五十六條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百五十七條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百五十八條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百五十九條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第二百六十條　免狀ヲ受ケタル者ハ其ノ免狀ヲ行使スルニ當リ其ノ免狀ヲ汚損シ又ハ其ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ免狀ヲ受ケタル官廳ニ之ヲ返納シ新免狀ノ交付ヲ受クヘシ

第三號表

（其ノ一）漁船船長及運轉士定員表

從業制限	船舶種類	總噸數	船舶職員	海技免狀	定員
第一種船	汽船	三十噸未滿	船長	小形船乙種二等運轉士免狀	一
		二百噸未滿	船長	沿岸乙種二等運轉士免狀	一
		五百噸未滿	船長	漁船乙種一等運轉士免狀	一
		五百噸以上	船長	漁汽船甲種一等運轉士免狀又ハ乙種船長免狀	一
			一等運轉士	漁船乙種一等運轉士免狀	一
	帆船	三十噸未滿	船長	小形船丙種運轉士免狀	一
		二百噸未滿	船長	沿岸丙種運轉士免狀	一
		二百噸以上	船長	丙種船長免狀	一
			一等運轉士	沿岸丙種運轉士免狀	一
第二種船	汽船	三十噸未滿	船長	小形船乙種二等運轉士免狀	一
		百噸未滿	船長	沿岸乙種二等運轉士免狀	一
		二百噸未滿	船長	漁船乙種一等運轉士免狀	一
		五百噸未滿	船長	漁汽船甲種一等運轉士免狀又ハ乙種船長免狀	一
			一等運轉士	沿岸乙種二等運轉士免狀	一
		千噸未滿	船長	漁汽船甲種一等運轉士免狀又ハ乙種船長免狀	一
			一等運轉士	漁船乙種一等運轉士免狀又ハ乙種船長免狀	一
	帆船	三十噸未滿	船長	小形船丙種運轉士免狀	一
		二百噸未滿	船長	沿岸丙種運轉士免狀	一
		二百噸以上	船長	丙種運轉士免狀	一
乙種船	帆船	三十噸未滿	船長	小形船丙種運轉士免狀	一
		二百噸未滿	船長	沿岸丙種運轉士免狀	一
		二百噸以上	船長	丙種船長免狀	一
			一等運轉士	沿岸丙種運轉士免狀	一
又ハ第三種船	汽船	二千噸未滿	一等運轉士	漁船乙種一等運轉士免狀	一
			二等運轉士	漁船乙種一等運轉士免狀	一
		五千噸未滿	船長	漁汽船甲種船長免狀	一
			一等運轉士	漁汽船甲種一等運轉士免狀又ハ乙種船長免狀	一
			二等運轉士	漁汽船甲種二等運轉士免狀	一
		五千噸以上	船長	漁汽船甲種船長免狀	一
			一等運轉士	漁汽船甲種一等運轉士免狀又ハ乙種船長免狀	一
			二等運轉士	漁汽船甲種二等運轉士免狀	一
			三等運轉士	漁船乙種一等運轉士免狀	一
	帆船	三十噸未滿	船長	小形船丙種運轉士免狀	一
		二百噸未滿	船長	沿岸丙種運轉士免狀	一
		二百噸以上	船長	丙種船長免狀	一
			一等運轉士	沿岸丙種運轉士免狀	一
第甲種船	汽船	五百噸未滿	船長	漁船甲種一等運轉士免狀	一
			一等運轉士	漁船甲種一等運轉士免狀	一
		五百噸以上	一等運轉士	漁船甲種一等運轉士免狀	一
			二等運轉士	漁船甲種二等運轉士免狀	一
第乙種船	汽船	千噸未滿	船長	漁汽船甲種二等運轉士免狀	一
			一等運轉士	漁船乙種一等運轉士免狀	一
		千噸未滿	一等運轉士	漁船乙種一等運轉士免狀又ハ乙種船長免狀	一
			二等運轉士	漁汽船甲種二等運轉士免狀	一
第二種船	汽船	三十噸未滿	船長	小形船乙種二等運轉士免狀	一
		百噸未滿	船長	沿岸乙種二等運轉士免狀	一
		二百噸未滿	船長	漁船乙種一等運轉士免狀	一
		五百噸未滿	船長	漁汽船甲種一等運轉士免狀又ハ乙種船長免狀	一
			一等運轉士	沿岸乙種二等運轉士免狀	一
		千噸未滿	船長	漁汽船甲種一等運轉士免狀又ハ乙種船長免狀	一
			一等運轉士	漁船乙種一等運轉士免狀又ハ乙種船長免狀	一
			二等運轉士	漁汽船甲種二等運轉士免狀	一
第三種船	帆船	二百噸未滿	船長	漁船甲種一等運轉士免狀又ハ乙種船長免狀	一
			一等運轉士	漁汽船甲種一等運轉士免狀	一

（其ノ二）漁船機關長及機關士定員表

從業制限	種別	公稱馬力	船舶職員	機關種類	海技免狀	定員
第一種船	機關長	五百馬力未滿	船長	漁船甲種一等運轉士免狀		一
			一等運轉士	漁船甲種一等運轉士免狀		一
		五百馬力以上	船長	漁船甲種船長免狀		一
			一等運轉士	漁船甲種一等運轉士免狀		一
			二等運轉士	漁船甲種二等運轉士免狀		一
第二種船	機關長	五十馬力未滿	機關長	發動機	小形發動機船三等機關士免狀	一
		百五十馬力未滿	機關長	發動機	沿岸發動機船三等機關士免狀	一
		三百五十馬力未滿	機關長	發動機	發動機船三等機關士免狀	一
				汽機	汽船三等機關士免狀	一
		千五百馬力未滿	機關長	汽機	近海汽船二等機關士免狀	一
				發動機	近海發動機船二等機關士免狀	一
		二千馬力未滿	機關長	汽機	近海汽船一等機關士免狀	一
				發動機	近海發動機船一等機關士免狀	一
	一種	二千馬力未滿	機關長	發動機	發動機船一等機關士免狀	一
				汽機	一等機關士免狀	一
			一等機關士	發動機	發動機船二等機關士免狀	一
				汽機	二等機關士免狀	一
	二種	二千馬力以上	機關長	發動機	發動機船機關長免狀	一
				汽機	機關長免狀	一
			一等機關士	發動機	發動機船一等機關士免狀	一
				汽機	一等機關士免狀	一
第三種船	機關長	五十馬力未滿	機關長	發動機	小形發動機船三等機關士免狀	一
		百五十馬力未滿	機關長	發動機	沿岸發動機船三等機關士免狀	一
		三百五十馬力未滿	機關長	發動機	發動機船三等機關士免狀	一
				汽機	汽船三等機關士免狀	一
		千五百馬力未滿	機關長	汽機	近海汽船二等機關士免狀	一
				發動機	近海發動機船二等機關士免狀	一
		二千馬力未滿	機關長	汽機	近海汽船一等機關士免狀	一
				發動機	近海發動機船一等機關士免狀	一
第四種船	機關長	四千馬力未滿	機關長	發動機	發動機船一等機關士免狀	一
				汽機	一等機關士免狀	一
			一等機關士	發動機	發動機船二等機關士免狀	一
				汽機	二等機關士免狀	一
乙種船	機關長	四千馬力以上	機關長	發動機	發動機船機關長免狀	一
				汽機	機關長免狀	一
			一等機關士	發動機	發動機船一等機關士免狀	一
				汽機	一等機關士免狀	一
			二等機關士	發動機	發動機船二等機關士免狀	一
				汽機	二等機關士免狀	一
			三等機關士	發動機	發動機船三等機關士免狀	一
				汽機	三等機關士免狀	一

| | | |

五　船舶ノ番號、種類及名稱
六　總噸數又ハ機關ノ種類、汽機若ハ發動機ノ別）及公稱馬力
七　航行區域
八　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱
右者昭和四年法律第四十六號附則第二項ニ依ル引續就職者ナルコトヲ證明相成度及申請候也

年　月　日

申請者　氏　名印
現住所

管海官廳宛

●船舶職員ノ代用海技免狀行使ノ特例ニ關スル件

大正十四年十二月
總令第百十二號

改正　昭和二〇年二勅三八號

船舶職員ノ代用海技免狀行使ノ特例ニ關スル件左ノ通定ム

大正九年朝鮮總督府令第十四號別表第一號表又ハ第三號表ニ依リ船舶ニ其ノ職員トシテ乘組ミ本令施行ノ際現ニ就職中ノ者ハ同一ノ船舶ニ於テ同一ノ職ヲ執ル期間内ニ限リ大正十四年朝鮮總督府令第五十八號ノ規定ニ拘ラス同別表ニ依リ引續キ就職スルコトヲ得本令施行後一時下船シ其ノ翌日ヨリ起算シ三十日以内ニ同一船舶ニ於テ同一ノ職ニ復スル者亦同シ

前項ノ規定ニ依リ船舶職員トシテ引續キ就職セムトスル者ハ大正十四年十二月三十一日迄ニ又復職セムトスル者ハ其ノ都度左ニ掲クル事項ヲ記載シタル書面二通ニ就退職ノ期日ヲ證スル船員手帳其ノ他ノ證憑（復職セムトスル者ニ在リテハ就職前出ノ證明書ヲモ合セ）ヲ添附シ管海官廳ニ届出テ其ノ旨證明ヲ受クヘシ

一　船舶番號、船種及船名
二　總噸數
三　航行區域
四　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱
五　船舶職名
六　海技免狀ノ種類及番號
七　就退職年月日（就職前出ニハ履歴）
八　届出ノ事由

第一項ノ規定ニ依リ就職又ハ復職シタル者下船シタルトキハ遅滯ナク管海官廳ニ其ノ旨届出ツヘシ

管海官廳ニ於テ航路ノ狀況其ノ他正當ノ事由ニ依リ第二項ニ定ムル期日迄ニ届出ヲ爲スコト能ハサリシモノト認ムル場合ニ限リ期日後ト雖届出ヲ受理スルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮船舶職員試驗規則

昭和五年四月
總令第三十九號

改正　昭和八年六月第六四號、九年二第一九號
一〇年二第三七號

朝鮮船舶職員試驗規則左ノ通改正ス

朝鮮船舶職員試驗規則

第一條　朝鮮船舶職員試驗ニ關シテハ本令ニ定ムルモノノ外昭和五年遞信省令第六號船舶職員試驗規程ニ依ル但シ同令第六條第一項、第七條乃至第九條及第二十條第三項ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

船舶職員試驗規程中遞信大臣トアルハ朝鮮總督、朝鮮トアルハ內地、市區町村長トアルハ府尹邑面長、明治三十八年三月遞信省令第二十號船舶職員法施行細則トアルハ大正三年朝鮮總督府令第七十九號朝鮮船舶職員令施行規則トシ別表學術試驗科目表中船員法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶法、船舶安全法トアルハ各朝鮮船員令、朝鮮船舶職員令、朝鮮船舶安全令トス

船舶職員試驗規程第二條、第四條及第二十八條乃至第三十一條中管海官廳又ハ所轄管海官廳トアルハ朝鮮總督府遞信局長トス

第一條ノ二　朝鮮總督ハ內地、臺灣樺太、關東州、南洋群島若ハ外國ノ港又ハ此等ノ各港間ヲ航行スル船舶ニ乘組ミタル履歷ハ船舶職員試驗規程別表ニ定ムル受驗履歷表ニ照ラシ之ヲ相當ノ履歷トシテ認定スルコトヲ得

第一條ノ三　朝鮮總督ハ內地、臺灣若ハ關東州ニ船籍港ヲ定ムル船舶又ハ外國船舶ニ乘組ミタル履歷ハ船舶職員試驗規程別表ニ定ムル受驗履歷表ニ照ラシ之ヲ相當ノ履歷トシテ認定スルコトヲ得

第二條　臺灣總督ノ授與シタル海技免狀又ハ朝鮮總督ノ適當ト認ムル外國政府ノ授與シタル海技免狀ヲ有シテ執職シタル履歷ハ朝鮮總督ノ授與シタル相當海技免狀ヲ有シテ執職シタルモノト看做ス

第三條　臺灣總督又ハ外國政府ノ授與シタル海技免狀ヲ有スル者ハ朝鮮總督ノ認定スル所ニ依リ相當試驗ヲ受クルコトヲ得

第四條　船舶職員試驗規程第十條ノ規定ニ該當スル者及臺灣總督ノ授與シタル海技免狀ヲ有スル者ニ對シテハ別ニ告示スル所ニ依リ筆記試驗ヲ免除ス

附　則

本令ハ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前受驗資格ニ適合シタル履歷ハ本令施行後二年ヲ限リ船舶職員試驗規程第四條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ本令ニ依ル相當試驗ノ受驗履歷ト看做ス

機關長又ハ機關士ノ試驗ヲ受ケントスル者ニシテ本令施行前滅失、沈沒其ノ他ノ事由ニ因リ機關ノ公稱馬力ヲ算定スルコト能ハザルニ至リタル船舶ニ乘組ミタリシ者ノ乘船履歷ハ本令施行前ノ試驗規則ノ定ムル所ニ依リ之ヲ本令ニ依ル相當試驗ノ乘船履歷ト認ムルコトヲ得相當試驗ナキモノニ付テハ管海官廳ノ認定スル所ニ依ル

本令施行後明和六年六月三十日迄學術試驗ハ船舶職員試驗規程第二十一條ノ規定ニ拘ラズ發動機船二等機關士試驗及二等機關士試驗ヲ除クノ外本令施行前ノ試驗規則ニ定ムル學術科目表ニ依リ之ヲ行フ

附　則（昭和九年二月總令第十九號）

本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

漁船ニ付テハ從前ノ規定ニ定ムル航洋船舶又ハ大航洋船舶ニ乘組ミタル履歷ハ各之ヲ本令ニ規定スル航洋船又ハ大航洋船ニ乘組ミタル履歷ト看做ス

近海二等機關士免狀ヲ受有スル者ハ從前ノ規定ニ定ムル乘船履歷ヲ以テ仍一等機關士試驗ヲ受クルコトヲ得

從前ノ規定ニ依ル近海二等機關士試驗ノ筆記試驗ニ合格シ口述試驗ニ合格セサリシ者ニ付テハ受驗者ノ選擇ニ依リ近海汽船二等機關士試驗又ハ近海發動機船二等機關士試驗ノ筆記試驗ニ合格シタルモノト看做ス

附　則（昭和十年二月總令第三十七號）

本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

漁船ニ付テハ從前ノ規定ニ定ムル大航洋船舶ニ乘組ミタル履歷ハ之ヲ本令ニ規定スル大航洋船ニ乘組ミタル履歷ト看做ス

昭和九年朝鮮總督府令第十九號附則第五項ヲ削ル

●船舶職員試驗規程

昭和五年三月
遞令第六號

改正　昭和六年一一第五二號、八年五第二五號
一四、九年二第二六號

船舶職員試驗規程左ノ通定ム

船舶職員試驗規程

第一章　總則

第一條　船舶職員試驗ハ左ノ三十七種トス

小形船丙種運轉士試驗
浩岸丙種運轉士試驗
丙種運轉士試驗
丙種船長試驗
小形船乙種二等運轉士試驗
湖川港乙種二等運轉士試驗
浩岸乙種二等運轉士試驗
乙種二等運轉士試驗
漁船乙種一等運轉士試驗
乙種一等運轉士試驗
乙種船長試驗
漁汽船甲種二等運轉士試驗
漁船甲種二等運轉士試驗
漁船甲種一等運轉士試驗
甲種二等運轉士試驗
甲種一等運轉士試驗
汽船甲種一等運轉士試驗
甲種船長試驗
漁汽船甲種船長試驗
漁船甲種船長試驗
汽船甲種船長試驗
甲種船長試驗
小形發動機船三等機關士試驗
湖川港汽船三等機關士試驗
浩岸發動機船三等機關士試驗
發動機船三等機關士試驗
汽船三等機關士試驗
三等機關士試驗
近海發動機船二等機關士試驗
發動機船二等機關士試驗
近海汽船二等機關士試驗
二等機關士試驗
發動機船一等機關士試驗
一等機關士試驗
發動機船機關長試驗
機關長試驗

第二條　試驗ハ別ニ告示スル場所及期日ニ於テ管海官廳定期ニ之ヲ行フ臨時ニ試驗ヲ行フ必要アル場合ニ於テハ其ノ場所及期日ヲ臨時公示ス

第三條　本令ニ規定スル乘船期間ヲ計算スルニハ乘船ノ翌日ヨリ之ヲ起算シ末日ハ終了月又ハ年ヲ以テ定ムル乘船期間ハ暦ニ從ヒテ之ヲ計算シ月又ハ年ノ始ヨリ起算セザルトキハ其ノ期間ハ最後ノ月又ハ年ニ於ケル起算日ニ應當スル日ノ前日ヲ以テ滿了ス但シ最後ノ月又ハ年ニ應當日ナキトキハ其ノ月ノ末日ヲ以テ滿了スルモノトス

乘船期間ヲ計算スルニハ一月ニ滿タザル乘船日數ハ之ヲ合算シ三十日ニ滿ツルトキ一月トシ又一年ニ滿タザル乘船月數ハ之ヲ合算シ十二月ニ滿ツルトキ一年トス

第二章　受驗資格

第四條　試驗ヲ受ケムトスル者ハ試驗開始期日ノ前日迄ニ年齡滿二十年ニ達シ試驗ノ種類ニ應シ別表受驗履歷表ニ定ムル履歷ノ一ヲ有スルコトヲ要ス

小形船丙種運轉士試驗、小形船乙種二等運轉士試驗及小形發動機船三等機關士試驗ヲ受ケムトスル者ハ前項ノ規定ニ拘ラス左ノ各號ノ一ニ該當シ且試驗ノ種類ニ應シ別表受驗履歷表ニ定ムル履歷ノ一ヲ有スルコトヲ要ス

一　所轄管海官廳ノ認可シタル講習會ニ於テ所定ノ講習ヲ卒リ講習ノ終了日迄ニ年齡滿二十年ニ達シタル者

二　別ニ告示スル水產學校、水產講習所其ノ他船舶ノ運航又ハ機關ノ運轉ニ關スル學術ヲ教授シ學校ヲ卒リ年齡滿二十年ニ達シタル者

同一ノ試驗ニ對シ規定ノ乘船期間ニ達セザル二以上ノ履歷ヲ有スルトキハ之ヲ其ノ一ニ通算スルコトヲ得但シ規定乘船期間ノ年數ヲ異ニスルモノヲ通算スル場合ニ在リテハ各規定乘船期間ノ年數ノ比例ニ依リ其ノ一方ニ換算シテ之ヲ通算スルモノトス

第五條　上級免狀ニ對スル受驗履歷ハ下級免狀ニ對スル受驗履歷、上級免狀ヲ有シテ執職シタル履歷ハ下級免狀ヲ有シテ執職シタル履歷又上級ノ職ヲ執リタル履歷ハ下級ノ職ヲ執リタル履歷トシテ之ヲ認ムルコトヲ得

總噸數百噸以上ノ機關ヲ有セザル縱帆裝造ノ近海以上ノ航行區域ヲ航行スル帆船ニ乘組ミタル期間ハ其ノ二分ノ一ノ期間橫帆裝造ノ近海以上ノ航行區域ヲ航行スル帆船ニ乘組ミタルモノトシテ之ヲ換算スルコトヲ得

機關長及機關士ノ試驗ニ在リテハ別表受驗履歷表ニ定ムル乘船期間ノ二分ノ一ニ達スル迄汽船（發動機船ヲ包含セズ）ニ乘組ミタル期間ハ發動機船ニ又發動機船ニ乘組ミタル期間ハ汽船（發動機船ヲ包含セズ）ニ乘組ミタルモノトシテ之ヲ換算スルコトヲ得

湖川港汽船三等機關士試驗、汽船三等機關士試驗及三等機關士試驗ニ對スル乘船履歷ニ付テハ火夫トシテ勤務シタル期間ハ其ノ二分ノ一ノ期間機關運轉ニ從事シタルモノトシテ之ヲ換算スルコトヲ得但シ換算シタル期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ズ

機關ヲ有スル帆船ニ乘組ミタル履歷ニ付テハ機關長及機關士ノ試驗ニ在リテハ其ノ乘船期間ノ二分ノ一ニ相當スル期間汽船（發動機船ヲ包含セズ）又ハ發動機船ニ乘組ミタルモノトシテ計算スル但シ此ノ場合ニ於テハ第三項ノ規定ヲ準用ス

第六條　遞信大臣ハ朝鮮、樺太、關東州、南洋群島若ハ外國ノ港又ハ此等ノ各港間ヲ航行スル船舶ニ乘組ミタル履歷ハ別表受驗履歷表ニ照シ之ヲ相當ノ履歷トシテ認定スルコトヲ得

上海漢口間ヲ航行スル汽船ニ乘組ミタル期間ハ別表受驗履歷表ニ定ムル乘船期間ノ二分ノ一ニ達スル迄沿海區域ヲ航行スル汽船ニ乘組ミタルモノト看做ス

第七條　遞信大臣ハ朝鮮若ハ關東州ニ船籍港ヲ定ムル船舶又ハ外國船舶ニ乘組ミタル履歷ハ別表受驗履歷表ニ照シ之ヲ相當ノ履歷トシテ認定スルコトヲ得

第八條　朝鮮總督ノ授與シタル海技免狀又ハ遞信大臣ノ適當ト認ムル外國政府ノ授與シタル海技免狀ヲ有シテ執職シタル履歷ハ遞信大臣ノ授與シタル相當海技免狀ヲ有シテ執職シタルモノト看做ス

第九條　朝鮮總督又ハ外國政府ノ授與シタル海技免狀ヲ有スル者ハ遞信大臣ノ認定スル所ニ依リ相當試驗ヲ受クルコトヲ得

第十條　別ニ告示スル學校ニ於テ航海又ハ機關ニ關スル課程及練習ヲ卒リタル者ハ其ノ乘船期間ヲ別表受驗履歷表ニ定ムル乘船期間ニ達セザルモ遞信大臣ノ認定スル所ニ依リ相當試驗ヲ受クルコトヲ得

第十一條　別表受驗履歷表第ノ二ニ定ムル工場履歷ハ別ニ告示スル機關工場ニ於テ汽機、汽罐若ハ發動機ノ製造又ハ修繕ニ從事シタルモノナルコトヲ要ス

前項ノ工場履歷ノ期間ハ當該試驗ニ付定メラレタル乘船履歷ノ最短期間ヲ超ユル期間ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

發動機船二等機關士試驗又ハ近海發動機船二等機關士試驗ノ受驗履歷トシテノ工場履歷ノ二分ノ一ニ達スル迄二等機關士

試驗又ハ近海汽船二等機關士試驗ノ受驗履歴トシテノ工場ニ勤務シタルモノト看做シ之ヲ換算スルコトヲ得

機關工場ニ於ケル勤務時間ノ計算ニ付テハ第三條ノ規定ヲ準用ス但シ缺勤日數ハ之ヲ控除スルモノトス

第十二條　左ニ揭グル履歴ハ之ヲ受驗履歴ト爲スコトヲ得ズ

一　倉庫船又ハ繫留船ニ乘組ミタル履歴

二　年齡十四年未滿ノ履歴

三　試驗開始期日ヨリ遡リ十年ヲ超ユル前ノ履歴

四　主トシテ船舶ノ運航又ハ機關ノ運轉ニ從事セザル職務ノ履歴

第三章　受驗申請

第十三條　試驗ヲ受ケムトスル者ハ定期試驗ニ在リテハ試驗開始期日十二日前迄ニ又臨時試驗ニ在リテハ試驗開始期日五日前迄ニ試驗ヲ行フ管海官廳ニ左ノ書類及手札形寫眞（最近撮影ニ係ル脫帽半身ノモノニ限ル）ヲ添附シ第一號書式ノ受驗申請書ヲ提出スベシ

一　戸籍謄本

二　船舶職員法第六條第一項第一號、第二號及第六號ニ該當セザルコトノ市區町村長其ノ他當該官公吏ノ證明書

三　第十條又ハ第二十條末項ニ該當スル者ニ在リテハ其ノ資格ヲ證スル證書ノ寫

四　海技免狀ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ外國人ニ在リテハ本國領事ノ證明書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第十四條　船舶職員法第五條第二項又ハ第三項ニ該當スル者ニシテ體格檢查ヲ受ケムトスル者ハ試驗ヲ行フ管海官廳ニ前條ノ書類及寫眞ヲ添附シ第二號書式ノ體格檢查申請書ヲ提出スベシ

第十五條　船舶職員法第五條第二項ニ該當スル者ニシテ體格檢查ヲ受ケムトスル者管海官廳ニ於テ體格檢查ヲ受クルコト能ハザルトキハ別表體格檢查標準表ニ依リ相當醫師ノ檢查ヲ以テ前條ノ書類ニ代フルコトヲ得

第十六條　第十三條又ハ第十四條ノ規定ニ依リ試驗ヲ受ケムトスル者ハ左ノ書類ヲ管海官廳ノ檢閱ニ供シ其ノ受驗資格ヲ證明スベシ

一　乘船履歴ニ付テハ船員手帳若ハ之ニ準ズベキモノ又ハ船員證明規則ニ依ル證明書

二　海軍艦船銃又ハ官公署ノ所屬船ニ乘組ミタル履歴ニ付テハ當該官公署ノ證明書

三　前各號ノ一ニ依リ難キ者ノ乘船履歷ニ付テハ船舶所有者又ハ船長ノ證明書

四　工場履歷ニ付テハ當該工場ノ證明書

五　第十三條第一項第三號又ハ第四號ノ書類ヲ提出スル場合ニ在リテハ其ノ正本

第十七條　二種以上ノ試驗ハ同時ニ之ヲ受ケルコトヲ得ズ

第四章　試驗ノ執行

第十八條　試驗ハ體格檢查及學術試驗トシ學術試驗ハ筆記試驗及口述試驗トス

體格檢查ニ合格シタル者ニ非ザレバ之ニ對シ學術試驗ヲ行ハズ但シ體格檢查ニ於テ甲種合格ニ該當シタル者ハ體格檢查ヲ受ケタル日ヨリ六月內ニ再ビ同一官廳ニ受驗申請ヲ爲シタルトキハ合格ノ標準同等ナル試驗ノ場合ニ限リ其ノ認定ニ依リ體格檢查ヲ省略スルコトヲ得

筆記試驗ニ合格シタル者ニ非ザレバ之ニ對シ口述試驗ヲ行ハズ

第十九條　治岸丙種運轉士試驗、湖川港乙種二等運轉士試驗、治岸乙種二等運轉士試驗、治岸發動機船三等機關士試驗及三等機關士試驗ハ筆記試驗ヲ行ハズ

第二十條　船長及運轉士試驗ニ於テ國語、英語、數學及物理力學ノ筆記試驗ニ合格シ其ノ他ノ學術試驗ニ合格セザリシ者同一官廳ニ同種以下ノ受驗申請ヲ爲シタルトキハ該科目ノ筆記試驗ヲ免除ス

筆記試驗ニ合格シ口述試驗ニ合格セザリシ者當該筆記試驗ニ合格シタル日ヨリ六月內ニ同一官廳ニ同種ノ受驗申請ヲ爲シタルトキハ前項ニ揭グル試驗科目ヲ除キ一回ヲ限リ當該筆記試驗ヲ免除ス

第十條ニ該當スル者及朝鮮總督ノ授與シタル海技免狀ヲ有スル者ニ對シテハ別ニ告示スル所ニ依リ筆記試驗ヲ免除ス

中學校ヲ卒業シタル者其ノ他專門學校ノ入學資格ヲ有スル者甲種二等運轉士試驗又ハ二等機關士試驗以下ノ試驗ヲ受クル場合ハ第一項ニ揭グル科目ノ試驗ヲ免除ス

第二十一條　體格檢查ハ別表體格檢查標準表ニ依リ學術試驗ハ別表學術試驗科目表ニ依リ之ヲ行フ

第二十二條　試驗執行中受驗者ニ付左ノ各號ノ一ニ該當スル事實アルコトヲ知リタルトキハ其ノ者ニ對シ試驗ヲ停止又ハ其ノ合格ヲ取消スコトヲ得

一　受驗資格ナキコト

二　受驗禁止中ナルコト

三　試驗ニ關シ不正ノ行爲アリタルコト

受驗者管海官廳ノ定ムル受驗心得ニ違背シタルトキハ其ノ者ニ對シ試驗ヲ停止又ハ其ノ合格ヲ取消スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ試驗ヲ停止シタルトキ又ハ試驗執行後第一項各號ノ一ニ該當スル事實アリタルコトヲ知リタルトキハ管海官廳ハ當該受驗者ノ試驗ノ全部又ハ一部ヲ無效ト爲スコトヲ得

第二十三條　試驗ニ合格シタルトキハ其ノ旨受驗者ニ通知又ハ揭示ヲ以テ之ニ代フルコトアルベシ

第二十四條　受驗資格ヲ詐リ其ノ他試驗ニ關シ不正ノ行爲アリタル者ニ付テハ管海官廳ハ六月以上五年以下ノ期間ヲ定メ受驗ヲ禁止スルコトヲ得

第五章　試驗手數料

第二十五條　試驗手數料ハ體格檢查手數料及學術試驗手數料トシ別表試驗手數料表ニ定ムル所ニ依ル

體格檢查手數料ハ受驗申請ノ際又學術試驗手數料ハ體格檢查ニ合格シタル際之ヲ納付スベシ但シ第十八條第二項但書ノ規定ニ依リ體格檢查ヲ省略スル場合ニ於テハ受驗申請ノ際學術試驗手數料ヲ納付スベシ

第二十六條　試驗手數料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ第三號書式ノ納付書ニ貼附シ之ヲ納付スベシ

前項ノ規定ニ依リ貼附シタル收入印紙ハ管海官廳ニ於テ消印ス

第二十七條　既納ノ試驗手數料ハ之ヲ還付セズ

第六章　講習會

第二十八條　船舶職員ノ養成ヲ目的トスル講習會ハ管海官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ開催スルコトヲ得ズ

前項ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ所轄管海官廳ニ提出スベシ

一　講習會開催ノ期日及場所

二　講習ノ目的タル試驗ノ種類

三　講師（履歷ヲ明カニスルコト）

四　講習ヲ受クル者ノ見込員數

五　講習ノ期間、科目及時間割

六　費用

前項各號ノ事項ハ所轄管海官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ變更スルコトヲ得ズ

第四條第二項ニ定ムル講習會開催ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ第二項ノ認可申請書ニ講習ヲ受クル者ノ申込書ヲ添附スベシ

前項ノ講習會ハ常時講習ヲ爲ス場合ト雖各講習ノ開始毎ニ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第二十九條　講習ヲ終了シタルトキハ講習會主催者ハ遲滯ナク講習會ニ關スル概況及會計ニ付所轄管海官廳ニ報告スベシ

當時講習ヲ爲ス者ニ在リテハ前條第四項ノ講習ヲ除クノ外毎年一回前項ノ報告ヲ爲スベシ

第三十條　第四條第二項ニ定ムル講習會ニ於テハ別表小形船試驗講習科目表ニ依リ講習ヲ爲スベシ

前項ノ講習ヲ終了シタルトキハ試驗ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ對シ修了證書ヲ交付スベシ

講習會主催者ハ前項ノ試驗ノ問題及成績表ヲ所轄管海官廳ニ提出スベシ

第三十一條　所轄管海官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ吏員ヲシテ講習會ニ臨檢セシメ關係書類ノ檢閱又ハ講習ノ監督ヲ爲サシムルコトヲ得

所轄管海官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ吏員ヲシテ講習會ニ臨檢セシメ關係書類ノ檢閱又ハ講習ノ監督ヲ爲サシムルコトヲ得

第一項ノ命ニ違背シ又ハ前項ノ檢閱若ハ監督ヲ拒ミタルトキハ講習會ノ認可ヲ取消スコトアルベシ

第七章　罰則

第三十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第十六條第三號又ハ第四號ニ揭グル履歷ニ關シ虛僞ノ證明書ヲ發給シ又ハ之ヲ行使シタル者

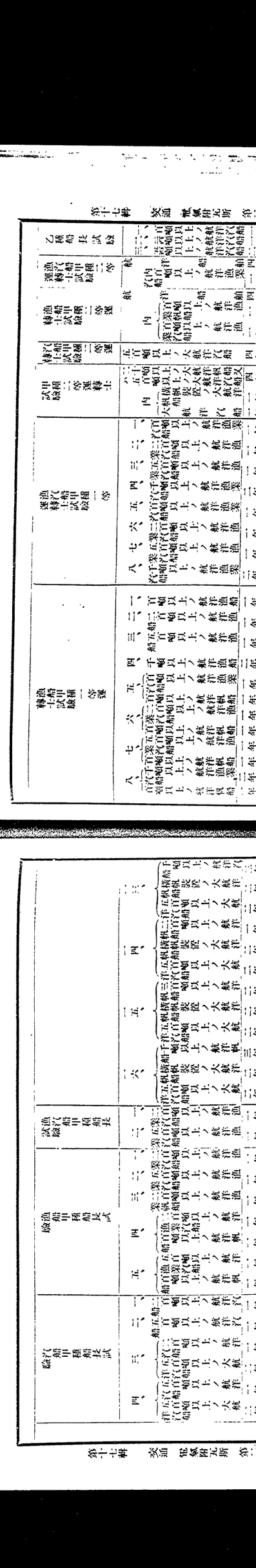
二　第二十八條第一項又ハ第三項ノ規定ニ違反シタル者

附　則

本令ハ昭和四年法律第四十六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和四年五月十日ヨリ施行）

大正十三年九遞信省令第四十號船舶職員試驗規程ハ之ヲ廢止ス

舊各種船舶職員試驗ニ合格シタル者ハ本令施行ノ日ニ於テ本令ニ依リ夫々相當ノ試驗ニ合格シタル者ト看做



湖川港汽船三等機士試驗	船一年以上	一機關運轉一年以上
汽船三等機士試驗	船一年六月以上	一機關運轉一年六月以上
三等機士試驗	一、三十馬力以上ノ發動機船一年以上	一機關運轉一年以上
	二、四十馬力以上ノ發動機船一年以上	一機關運轉一年以上
	三、五十馬力以上ノ發動機船一年以上	沿岸發動機船三等機關士免狀
	四、汽船一年以上	一機關運轉一年以上
近海發動機船二等機士試驗	一、六十馬力以上ノ發動機船一年以上	一機關運轉一年以上
	二、六十馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	發動機船三等機關士免狀
	三、二百馬力以上ノ發動機船二年以上	發動機船三等機關士免狀
	四、百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	發動機船三等機關士免狀
發動機船二等機士試驗	一、百馬力以上ノ航洋發動機船一年六月以上	一機關運轉一年六月以上
	二、百馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	發動機船三等機關士免狀
	三、二百馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	發動機船三等機關士免狀
	四、百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	發動機船三等機關士免狀
近海汽船二等機士試驗	一、百馬力以上ノ航洋汽船一年六月以上	一機關運轉一年六月以上
	二、六十馬力以上ノ航洋汽船一年以上	近海汽船三等機關士免狀
	三、二百馬力以上ノ航洋汽船二年以上	近海汽船三等機關士免狀
	四、百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	近海汽船三等機關士免狀
二等機士試驗	一、百馬力以上ノ航洋汽船二年以上	一機關運轉一年六月以上
	二、百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	二等機關士免狀
	三、二百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	二等機關士免狀
	四、百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	二等機關士免狀
發動機船二等機士試驗	一、百馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	發動機船二等機關士免狀
	二、百馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	發動機船二等機關士免狀
	三、二百馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	發動機船二等機關士免狀
	四、百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	發動機船二等機關士免狀
近海發動機船二等機士試驗	一、百五十馬力以上ノ航洋發動機船一年六月以上	一機關運轉一年六月以上
	二、百馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	發動機船三等機關士免狀
	三、二百馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	近海發動機船二等機關士免狀
	四、百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	近海發動機船二等機關士免狀
一等機士試驗	一、三百馬力以上ノ航洋汽船二年以上	一機關運轉一年六月以上
	二、四百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	一等機關士免狀
	三、四百馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	一等機關士免狀
	四、六百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	一等機關士免狀
發動機船機關長試驗	一、六百馬力以上ノ航洋發動機船二年以上	發動機船一等機關士免狀
	二、四百馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	發動機船一等機關士免狀
	三、四百馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	發動機船一等機關士免狀
	四、六百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	一等機關士免狀
機關長試驗	一、六百馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	機關長
	二、四百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	機關長
	三、四百馬力以上ノ航洋發動機船一年以上	機關長
	四、六百馬力以上ノ航洋汽船一年以上	機關長

備考

一　船舶ノ噸數ハ總噸數ヲ以テ示シ石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ハ十石ヲ以テ一噸ニ換算ス

二　漁船以外ノ船舶ニ付テハ航洋船舶トハ沿海以上ノ航行區域ヲ航行スルモノ、大航洋船舶トハ近海以上ノ航行區域ヲ航行スルモノヲ謂ヒ漁船ニ付テハ航洋船トハ總噸數五噸以上ノモノ、大航洋船トハ從業制限第二種又ハ第三種ノモノヲ謂フ

三　横帆裝漕ノ帆船ニハコトツプスル、スクーナーヒチ包含セザルモノトス

四　海技免狀ノ種類ノ細中ニ記載スル海技免狀ハ乘船期間中受有スベキ免狀ヲ指稱スルモノトス

五　海技免狀ノ種類中漁業帆船甲種二等運轉士免狀、帆船甲種二等運轉士免狀又ハ帆船甲種一等運轉士免狀、漁業帆船ニ限リタル甲種二等運轉士免狀、效力ヲ帆船ニ限リタル甲種二等運轉士免狀又ハ同甲種一等運轉士免狀ヲ指稱スルモノトス

六、其ノ二表中ノ汽船ニハ發動機船ヲ包含セズ

體格檢查標準表

檢查項目	甲種	乙種
眼	眼瞼下垂、顆粒性結膜炎、斜視、角膜、虹彩及水晶體病ナキモノ	上欄揭記ノ疾病アルモ輕症ニシテ執務上差支ナシト認メ得ルモノ
視力	兩眼共ニ〇、六號ヲ明視シ得ルモノ（五米ノ距離ニ於テ萬國視力表ニ依リ）	船長及運轉士ノ試驗ニ於テハ一眼〇、六號他眼ハ〇、四號ヲ明視シ得ルモノ　機關長及機關士ノ試驗ニ於テハ一眼〇、四號他眼ハ〇、三號ヲ明視シ得ルモノ
辨色	完全ナルモノ	紅綠盲及青黃盲ニ非ザル色弱ナルモノ
耳ノ現狀	內外聽道ノ疾病特ニ鼓膜穿孔耳漏、片耳又ハ兩耳聾ナキモノ	上欄揭記ノ疾病アルモ輕症ニシテ執務上差支ナシト認ムル得ルモノ
聽覺	兩耳共ニ六十糎以上ノ距離ニ於テ明ニ談中時計ノ秒時音ヲ聽取シ得ルモノ	兩耳共ニ三十糎以上ノ距離ニ於テ明ニ談中時計ノ秒時音ヲ聽取シ得ルモノ
體格	身體薄弱、胸廓扁平ニシテ勞役ニ從事シ又ハ航海ノ際動搖ノ甚シキ場所ニ於テ執務ニ支障ヲ來スノ虞アル程度ノ體格ニ非ザルモノ	上欄揭記ノ障碍アルモ輕微ニシテ執務上差支ナシト認メ得ルモノ
疾病	心臟元進、雜音ノ顯著ナルモノ、肺尖ノ疾患、心悸元進、雜音ノ顯著ナルモノ、肺浸潤、肺炎ノ後障碍、精神異常、言語障碍ヲ得ルモノ、吃音其ノ他著シキ疾病ナキモノ	上欄揭記ノ疾病アルモ輕症ニシテ執務上差支ナシト認メ得ルモノ

備考　機關長及機關士ノ試驗ニハ辨色檢查ヲ行ハズ

| | | |

申須知事項
丙種運轉士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目
一　數學
　算術
　歩合算迄
二　航海術
　航用器具ノ取扱及矯正
　六分儀、人工地平儀、測深機械、測程機械
　潮時算法
　推測ニ依ル船位、針路及航程ノ測定
　等緯航法、中分緯度航法、漸長緯度航法、流測航法、航海日誌算法
　天測ニ依ル船位ノ測定
　太陽子午線高度緯度法
　天測ニ依ル天象ノ眞方位及羅針自差ノ測定
　太陽出沒方位法
三　運用術
　運轉自由ヲ得ザル帆船ノ取扱
　短艇操習及防火演習
　假舵及救命筏ノ組立及用法
　海錨ノ組立及用法竝撒油鎭浪法
　海上氣象學
　日本近海ニ於ケル氣溫、氣壓、風、海水、海流、氷流及氷塊
　信號
　國際信號（國際通信書信號編）船舶通航信號、潮時信號
　湖川港乙種二等運轉士試驗
一　航海術
　試驗ヲ受ケムトスル區域ノ水路
　羅針儀ノ說明及用法
二　運用術
　舵、操舵機具、傳令器及推進器ノ說明
　船燈及救命具ノ取扱
　當直ニ關スル心得
　汽船ノ運用
　海蘇ノ場合ニ於ケル人命及船舶ノ救護
三　法規
　海上衝突豫防法
　船員法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶法、船舶安全法（滿載吃水線及無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規竝地方取締規則中須知事項
　乙種二等運轉士試驗
一　國語
　書取、作文、解釋
二　數學
　算術
　四則應用
三　航海術
　航用器具ノ取扱及矯正
　手用測深具、手用測程具、測程機械
　海圖ノ說明及用法
　航路標識ノ大要
　潮汐ノ大要
四　運用術
　船體要部ノ構造竝主要機具ノ取附及保存
　吃水ノ說明
　推進器及舵ノ作用
　船燈、信號火器及救命具ノ設備、取扱及保存
　當直ニ關スル心得
　各種ノ天候及場所ニ於ケル汽船ノ運用
　船舶具ノ破損其ノ他不慮ノ事變ニ對スル處置
　海難ノ場合ニ於ケル人命及船舶ノ救護
　短艇及防火ニ關スル心得
　曳船
　海上氣象學
　晴雨計及寒暖計ノ說明及用法
　日本近海ニ於ケル氣溫、氣壓、風、海水及海流ノ大要
　信號
　國際信號旗ノ說明及用法、海難ニ關スル信號、氣象信號
　貨客取扱
　旅客及客室ニ關スル心得
　甲板船側諸口ノ水密閉鎖
　各種貨物ノ船積及引渡
　救急醫術ノ大要
　日誌取扱
五　法規
　海上衝突豫防法
　商法海商編中船員ニ關スル規定
　船員法、船員最低年齡法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶法、船舶安全法（滿載吃水線及無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規竝地方取締規則中須知事項
　乙種一等運轉士試驗
一　數學
　算術
　歩合算迄
二　航海術
　航用器具ノ取扱及矯正
　六分儀、人工地平儀、測深機械、測程機械
　潮時算法
　推測ニ依ル船位、針路及航程ノ測定
　等緯航法、中分緯度航法、漸長緯度航法、流測航法、航海日誌算法
　天測ニ依ル船位ノ測定
　太陽子午線高度緯度法
　天測ニ依ル天象ノ眞方位及羅針自差ノ測定
　太陽出沒方位法
三　運用術
　運轉自由ヲ得ザル帆船ノ取扱
　短艇操習及防火演習
　假舵及救命筏ノ組立及用法
　海錨ノ組立及用法竝撒油鎭浪法
　海上氣象學
　日本近海ニ於ケル氣溫、氣壓、風、海水、海流、氷流及氷塊
　信號
　國際信號（國際通信書信號編）船舶通航信號、潮時信號
　湖川港乙種二等運轉士試驗
一　航海術
　試驗ヲ受ケムトスル區域ノ水路
　羅針儀ノ說明及用法
二　運用術
　舵、操舵機具、傳令器及推進器ノ說明
　船燈及救命具ノ取扱
　當直ニ關スル心得
　汽船ノ運用
　海蘇ノ場合ニ於ケル人命及船舶ノ救護
三　法規
　海上衝突豫防法
　船員法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶法、船舶安全法（滿載吃水線及無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規竝地方取締規則中須知事項
　乙種二等運轉士試驗
一　國語
　書取、作文、解釋
二　數學
　算術
　四則應用
三　航海術
　航用器具ノ取扱及矯正
　手用測深具、手用測程具、測程機械
　海圖ノ說明及用法
　航路標識ノ大要
　潮汐ノ大要
四　運用術
　船體要部ノ構造竝主要機具ノ取附及保存
　吃水ノ說明
　推進器及舵ノ作用
　船燈、信號火器及救命具ノ設備、取扱及保存
　當直ニ關スル心得
　各種ノ天候及場所ニ於ケル汽船ノ運用
　船舶具ノ破損其ノ他不慮ノ事變ニ對スル處置
　海難ノ場合ニ於ケル人命及船舶ノ救護
　短艇及防火ニ關スル心得
　曳船
　海上氣象學
　晴雨計及寒暖計ノ說明及用法
　日本近海ニ於ケル氣溫、氣壓、風、海水及海流ノ大要
　信號
　國際信號旗ノ說明及用法、海難ニ關スル信號、氣象信號
　貨客取扱
　旅客及客室ニ關スル心得
　甲板船側諸口ノ水密閉鎖
　各種貨物ノ船積及引渡
　救急醫術ノ大要
　日誌取扱
五　法規
　海上衝突豫防法
　商法海商編中船員ニ關スル規定
　船員法、船員最低年齡法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶法、船舶安全法（無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規竝現國、檢疫、開港及水路取

二　航海術
　術語解說
　航用器具ノ取扱
　三杆分度儀
　羅針儀ノ据付
　羅針自差分解竝羅針自差曲線圖ノ作成及用法
　天測ニ依ル船位ノ測定
　太陽近午緯度法、太陽時辰儀經度法、極星緯度法
　天測ニ依ル天象ノ眞方位及羅針自差ノ測定
　太陽高度方位法、太陽時辰方位法
三　運用術
　噸數ノ種別
　操舵ト回轉圈
　船舶洋上橫附
　運轉自由ヲ得ザル汽船ノ取扱
　假舵及救命筏ノ組立及用法
　海錨ノ組立及用法竝撒油鎭浪法
　海上氣象學
　日本近海ニ於ケル氷流及氷塊
　信號
　國際信號（國際通信書信號編）及電信編）
　氣象信號、船舶通航信號、潮時信號
　貨客取扱
　旅客及客室ニ關スル心得、甲板及船側諸口ノ水密閉鎖
　杠重裝卸竝圓材、鐵鎖、綱鋼索ノ支持力及保存
　各種貨物ノ船積及引渡
　救急醫術ノ大要
　日誌取扱
六　法規
　海上衝突豫防法
　商法海商編中船員ニ關スル規定
　船員法、船員最低年齡法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶安全法、海員懲戒法、船舶法及各附屬法規竝枕崗、檢疫、開港及水路取締ニ關スル規則中須知事項
　漁汽船甲種二等運轉士試驗、漁船甲種二等運轉士試驗及汽船甲種二等運轉士試驗
　漁汽船甲種二等運轉士試驗科目ハ國語、英語、數學竝運用術中橫帆裝置ノ帆船及貨客取扱ニ關スル事項ヲ、漁船甲種二等運轉士試驗科目ハ國語、英語、數學及運用術中貨客取扱ニ關スル事項ヲ又汽船甲種二等運轉士

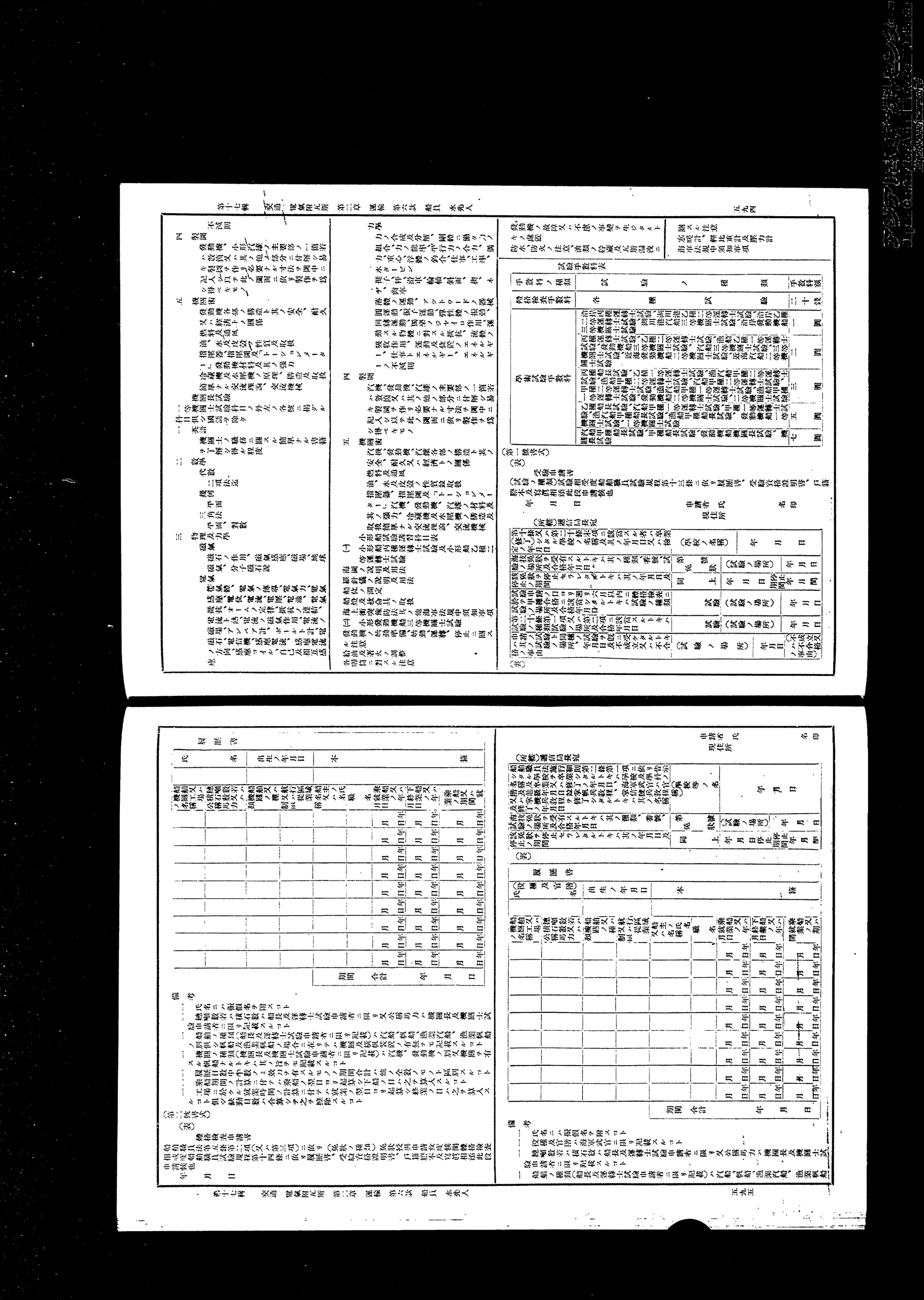
全螢
代數
二次方程式迄
幾何
平面（圓迄）
三角法
平面（銳角ノ三角函數、一般ノ角ノ三角函數、斜角三角形ノ角ト邊トノ關係、對數）
四　航海術
　術語解說
　磁氣
　音聲
　航用器具ノ取扱及矯正
　海圖ノ說明及用法
　航路標識ノ大要
　潮汐及潮時算法
　羅針儀ノ說明及用法
　羅針自差測定竝羅針自差表ノ作成及用法
　推測ニ依ル船位、針路及航程ノ測定
　物標距離測定法、等緯航法、中分緯度航法、漸長緯度航法、流測航法、
　航海日誌算法
　天測ニ依ル船位ノ測定
　太陽子午線高度緯度法、太陽近午緯度法、太陽時辰儀經度法
　天測ニ依ル天象ノ眞方位及羅針自差ノ測定
　太陽出沒方位法、太陽高度方位法、太陽時辰方位法、
　時辰儀造差ノ測定
　太陽高度、報時信號
五　運用術
　船體要部ノ構造竝主要機具ノ取附及配置
　桅檣、帆架、索具其ノ他屬具ノ取扱及保存
　錨、錨鎖、索具其ノ他屬具ノ取扱及保存
　吃水ノ說明
　推進器及舵ノ作用
　船燈、信號火器及救命具ノ設備、取扱及保存
　當直ニ關スル心得
　出入港準備作業
　帆ノ取扱
　各種ノ天候及場所ニ於ケル船舶ノ運用
　船具ノ破損其ノ他不慮ノ事變ニ對スル處置
　海難ノ場合ニ於ケル人命及船舶ノ救護
　短艇ノ艤裝、取扱及保存
　短艇操習及防火演習
　海上氣象學
　氣象學ノ大要
　信號
　國際信號（國際通信書信號編及電信編）氣象信號、船舶通航信號、潮時信號
　貨客取扱
　旅客及客室ニ關スル心得、甲板及船側諸口ノ水密閉鎖
　杠重裝卸竝圓材、鐵鎖、綱鋼索ノ支持力及保存
　各種貨物ノ船積及引渡
　救急醫術ノ大要
　日誌取扱
六　法規
　海上衝突豫防法
　商法海商編中船員ニ關スル規定
　船員法、船員最低年齡法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶安全法、海員懲戒法、船舶法及各附屬法規竝枕崗、檢疫、開港及水路取締ニ關スル規則中須知事項
　漁汽船甲種二等運轉士試驗、漁船甲種二等運轉士試驗及汽船甲種二等運轉士試驗
　漁汽船甲種二等運轉士試驗科目ハ國語、英語、數學竝運用術中橫帆裝置ノ帆船及貨客取扱ニ關スル事項ヲ、漁船甲種二等運轉士試驗科目ハ國語、英語、數學及運用術中貨客取扱ニ關スル事項ヲ又汽船甲種二等運轉士試驗科目ハ運用術中橫帆裝置ノ帆船ニ關スル事項ヲ甲種二等運轉士試驗科目ヨリ除キタルモノ
　甲種一等運轉士試驗
　甲種二等運轉士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目
一　英語
　船舶ノ修繕及荷役ニ關スル書類ヲ了解シ得ル程度
二　數學（算術ヲ除ク）
　代數
　比例迄
　幾何
　平面（比例迄）
　三角法
　平面
三　應用力學
　力ノ合成及分解、能率、偶力、運動、運動ノ法則、仕事、輔單機械、機械ノ效率、動力ノ傳達重心、水壓、浮力ノ中心、メタセンター、ジリム、シンプソン氏ノ法則、水ノ抵抗、船舶ニ使用スル材料ノ强弱
四　航海術
　羅針儀據附
　羅針自差分解竝羅針自差曲線圖ノ作成及用法
　索具
　天測ニ依ル船位ノ測定
　一定ノ時間ニ於テ子午線ヲ經過スベキ星ノ名及經過時ノ推算、恆星又ハ行星子午線高度緯度法、極星緯度法
五　運用術
　船舶ノ修繕及保存ノ大要
　下檣建設其ノ他開材ノ取扱
　復原力ト船舶ノ動搖
　操舵ト回轉圈
　假舵及救命筏ノ組立及用法
　海錨ノ組立及用法竝撒油鎭浪法
　曳船
　海上氣象學
　貿易風、信風、颶風、海流、氷流及氷

塊
貨物取扱
重量物ノ船積及引渡、貨物ノ船積及按配
漁汽船甲種一等運轉士試驗、漁船甲種一等運轉士試驗及汽船甲種一等運轉士試驗
漁汽船甲種一等運轉士試驗科目ハ國語、英語、數學竝運用術中橫帆裝置ノ帆船及汽船甲種一等運轉士試驗ニ關スル事項ヲ、漁船甲種一等運轉士試驗科目ハ運用術中橫帆裝置ノ帆船及貨客取扱ニ關スル事項ヲ、漁船甲種一等運轉士試驗科目ハ國語、英語、數學及運用術中貨客取扱ニ關スル事項ヲ又汽船甲種一等運轉士試驗科目ハ運用術中橫帆裝置ノ帆船及貨客取扱ニ關スル事項ヲ、漁船甲種一等運轉士試驗科目ハ國語、英語、數學及運用術中貨客取扱ニ關スル事項ヲ甲種一等運轉士試驗科目中ヨリ除キタルモノ
甲種船長試驗
甲種一等運轉士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目但シ甲種一等運轉士免狀又ハ汽船甲種一等運轉士免狀ヲ受有スル受驗者ニ對シテハ數學ヲ除ク
一　英語
簡單ナル契約書類及商事通信ヲ了解シ得ル程度
二　航海術
羅針儀矯正
大圈航法ノ大要及大圈圖用法
天測ニ依リ船位ノ測定
恆星又ハ行星ノ正午緯度法、恆星又ハ行星時辰儀經度法、太陰子午線高度緯度法、天體ノ推算高度ト實測高度及眞方位ト依ル經緯度法
天測ニ依ル天象ノ眞方位及羅針自差ノ測定
恆星又ハ行星時辰方位法
世界ニ於ケル主要航路
燃料消費ト速力トノ關係
三　運用術
噸數ノ種別
船舶洋上積附
運轉自由ヲ得ザル船舶ノ取扱
四　法規
商法海商編中船員ニ關スル規定
船員法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶安全法（滿載吃水線及無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規中須知事項

船舶經濟ノ大要
漁汽船甲種船長試驗、漁船甲種船長試驗及汽船甲種船長試驗
漁汽船甲種船長試驗科目ハ國語、英語、數學竝運用術中橫帆裝置ノ帆船及貨客取扱ニ關スル事項ヲ、漁船甲種船長試驗科目ハ國語、英語、數學及運用術中橫帆裝置ノ帆船及貨客取扱ニ關スル事項ヲ又汽船甲種船長試驗科目ハ運用術中橫帆裝置ノ帆船ニ關スル事項ヲ甲種船長試驗科目中ヨリ除キタルモノ
沿岸發動機船三等機關士試驗
機關術
各種ノ小形發動機ニ於ケル發動及取扱氣室、燃燒室、諸損及諸氣口ノ構造著火裝置
發動ノ遲滯其ノ他發動機ノ故障又ハ不慮ノ事變ヲ生ジタルトキノ處置
油類ノ貯藏、冗斯漏洩、防水及防火ニ關スル注意
寒暖計、輕比重計及壓力計ノ構造、效用及取扱
二　法規
船員法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶安全法（滿載吃水線及無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規中須知事項
湖川港汽船三等機關士試驗
機關術
汽機、汽鑵及附屬具ノ效用及取扱
停止及運轉中ノ汽機、汽鑵ニ對スル注意
汽機、汽鑵ニ故障又ハ不慮ノ事變ヲ生ジタルトキノ處置
防水及防火ノ注意
壓力計、眞空計、檢溫計、寒暖計ノ構造、效用及取扱
二　法規
船舶職員法、海員懲戒法、船舶安全法（滿載吃水線及無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規中須知事項
發動機船三等機關士試驗
機關術
發動機ノ要部及附屬具ノ構造並取扱其ノ他近海二等機關士試驗科目ニ依リ其ノ程度ヲ稍高メタルモノ
二　法規
船員法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶安全法（滿載吃水線及無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規中須知事項
三　機關術
汽機、汽鑵及附屬具ノ效用及取扱
停止及運轉中ノ汽機、汽鑵ニ對スル注意
汽機、汽鑵ニ故障又ハ不慮ノ事變ヲ生ジタルトキノ處置
防水及防火ノ注意
壓力計、眞空計、檢溫計、寒暖計ノ構造、效用及取扱
四　法規
船員法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶安全法（滿載吃水線及無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規中須知事項
湖川港汽船三等機關士試驗及汽船三等機關士試驗ノ全科目
近海發動機船二等機關士試驗
發動機船三等機關士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目
一　數學
算術（開方ヲ除ク）
二　機關術
各種發動機ノ種別、構造及取扱
燃料ノ種別、性質及貯藏
吸鈎、軸受其ノ他滑動部ニ於ケル摩擦及各部ノ調整、調速及反轉ノ裝置
小形汽鑵ノ取扱及應急處置
驗鹽計ノ構造及取扱
淦水及油艙ニ通ズル諸管ノ配置竝之ニ對スル注意
三　法規
商法海商編中船員ニ關スル規定
近海汽船二等機關士試驗
三等機關士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目
一　數學
算術（開方ヲ除ク）
二　物理學
物性
力、物質ノ基本性質、慣性ノ法則、重力、比重及衝度、壓力及張力萬有引力、物質ノ三態、分子力
彈性、彈性率、フックノ定律、表面張力、毛管現象、溶解、擴散、滲透、凝著及吸藏

液體及液體內ノ壓力、パスカルノ原理、水壓機、水準器、重力ヨリ生ズル壓力、側壓、連通器、アルキメジスノ原理、比重及其ノ測定比重瓶、浮秤
空氣ノ重サ大氣ノ壓力、トリチェリーノ實驗、氣壓計、空氣ノ浮力、ボイルノ法則、サイフォン、水ポンプ、空氣ポンプ、壓縮ポンプ、渦卷ポンプ
三　機關術
發電機、電動機ノ取扱
其ノ他近海發動機船二等機關士試驗科目ニ依リ其ノ程度ヲ稍高メタルモノ
二　等機關士試驗
近海二等機關士試驗科目
一　數學
算術
全體
代數
二次方程式迄
二　物理學
物性
力、物質ノ基本性質、慣性ノ法則、重力、比重及衝度、壓力及張力、萬有引力、物質ノ三態、分子力
彈性、彈性率、フックノ定律、表面張力、毛管現象、溶解、擴散、滲透、凝著及吸藏
液體及液體內ノ壓力、パスカルノ原理、水壓機、水準器、重力ヨリ生ズル壓力、側壓、連通器、アルキメジスノ原理、比重及其ノ測定比重瓶、浮秤、空氣ノ重サ大氣ノ壓力、トリチェリーノ實驗、氣壓計、空氣ノ浮力、ボイルノ法則、サイフォン、水ポンプ、空氣ポンプ、壓縮ポンプ、渦卷ポンプ
三　機關術
發電機、電動機、操舵機、揚錨機、揚貨機、蒸運器ノ構造及取扱
瓦斯ノ發生及爆發ニ對スル注意
液體燃料ノ積込、貯藏及取扱ニ對スル注意
二等機關士試驗
二等機關士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目
一　數學（算術ヲ除ク）
代數
比例迄
幾何
平面（圓迄）
二　物理學
運動及力
速度、等速度運動、不等速度運動、速度ノ組合及分解、相對運動、加速度運動ノ三法則運動量、力積、摩力、力ノ絕對單位、重力ノ生ズル加速度、力ノ重力單位、摩擦、回轉摩擦、簡單ナル形ノ重心、物體ノ釣合
熱
温度及熱、寒暖計、熱量及比熱、混合法、熱ノ傳導、對流、輻射、線膨脹、體膨脹、液體ノ膨脹、氣體ノ膨脹、氣體ノ温度、壓力及體積ノ關係、絕對温度、ゲルトンノ定律、氣體ノ密度ト壓力ノ關係
融解及凝固、融解ニ伴フ體積ノ變化、融解點ニ及ボス壓力ノ影響、復氷寒劑
氣化、沸騰、飽和蒸氣及過熱蒸氣、沸騰點ト壓力、球狀態、氣化熱、液化、温度、露點、湿度計
熱トエネルギー、熱ノ仕事當量ノ測定
三　機關術
各種燃料ノ種別及性質
各種發動機及附屬具ノ構造及取扱
各種發動機各部ニ於ケル故障及損傷ノ原因竝之ニ對スル處置、修繕及豫防、各種發動機ノ馬力
各種喞筒ノ構造及取扱

發電機、電動機ノ取扱
各種發動機ノ要部及附屬具ノ構造並取扱其ノ他近海二等機關士試驗科目ニ依リ其ノ程度ヲ稍高メタルモノ
發動機船二等機關士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目
一　數學（算術ヲ除ク）
代數
比例迄
幾何
平面（圓迄）
二　物理學
運動及力
速度、等速度運動、不等速度運動、速度ノ組合及分解、相對運動、加速度運動ノ三法則運動量、力積、摩力、力ノ絕對單位、重力ノ生ズル加速度、力ノ重力單位、摩擦、回轉摩擦、簡單ナル形ノ重心、物體ノ釣合
熱
温度及熱、寒暖計、熱量及比熱、混合法、熱ノ傳導、對流、輻射、線膨脹、體膨脹、液體ノ膨脹、氣體ノ膨脹、氣體ノ温度、壓力及體積ノ關係、絕對温度、ゲルトンノ定律、氣體ノ密度ト壓力ノ關係
融解及凝固、融解ニ伴フ體積ノ變化、融解點ニ及ボス壓力ノ影響、復氷寒劑
氣化、沸騰、飽和蒸氣及過熱蒸氣、沸騰點ト壓力、球狀態、氣化熱、液化、温度、露點、湿度計
熱トエネルギー、熱ノ仕事當量ノ測定
三　機關術
各種發動機及附屬具ノ構造及取扱
各種發動機各部ニ於ケル故障及損傷ノ原因竝之ニ對スル處置、修繕及豫防、各種發動機ノ馬力
各種喞筒ノ構造及取扱
石炭ノ自然燃燒、瓦斯ノ發生及爆發ニ對スル注意
液體燃料ノ積込、貯藏及取扱ニ對スル注意
發動機船機關長試驗
發動機船二等機關士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目但シ國語ヲ除ク
一　機關士ノ職務ニ關スル簡單ナル書籍ヲ了解シ得ル程度
二　數學
代數
二項法迄
幾何
平面
三角法
平面、對數
三　物理力學
磁氣
磁石磁力、磁氣感應、磁場、地球磁氣、分子磁石說
電氣
帶電體、電氣ノ傳導、電氣力、電氣感應、電位、電流、電壓、電池、電氣抵抗、オームノ定律、抵抗ノ連結、電流ト熱、電流ノ磁氣作用、電流ノ磁場、アンペア計、ボールト計、電磁石、電信機、感應電流、感應電流ノ方向、感應コイル、自己及相互感應
力學
力ノ合成及分解、剛體ニ働ク力ノ組合、力ノ能率、平行方ノ合力、偶力、重心、浮體ノ釣合、仕事、工率、水タービン
挺子、秤、滑車、輪軸、斜面、楔、ネヂ、螺車
落體ノ運動、アットワードノ器械、圓運動、振子運動、彈性體ノ振動、回轉運動、獨樂ノジャイロ作用、運動スル物體ニ對スル抵抗、液體ノ原理及之ニ對スル處置、修繕及豫防、各種發動機ノ馬力
各種喞筒ノ構造及取扱



ノ別但シ帆船及漁業帆船ノ場合ニ在リテハ機關及横帆裝置ノ有無ヲモ記載スルコト

一　機關ノ種類（機關長及機關士試驗由請者ニ限リ記載）ハ汽機、發動機ノ別又機關ヲ有スル帆船ナルトキハ其ノ旨ヲモ記載スルコト

一　履歷日數中半數ノミ效力ヲ有スルモノノ期間合計ハ他ノ全數ノモノト區別スルコト

乘船期間ノ計算ニ付テハ乘船ノ翌日ヨリ起算シ下船ノ日ハ之ヲ算入スルコト

一　工場ニ於ケル就業期間ノ計算ニ付テハ就業ノ翌日ヨリ起算シ終業ノ日ハ之ヲ算入スルコト但シ缺勤日數ハ合算シテ之ヲ控除スルコト

一　海軍武官ニ在リテハ離現役年月日ヲ附記スルコト

（第三號書式）

納付書

（試驗ノ種類）試驗申請候ニ付テハ體格檢查（又ハ學術試驗）手數料金　ニ相當スル收入印紙左ニ貼附ノ上納付候也

年　月　日

氏　名　印

（所轄）遞信局長殿

●船舶職員試驗ヲ行フ官廳及期日

大正十四年五月
總告第百二十號

官　廳

朝鮮總督府遞信局仁川海事出張所
朝鮮總督府遞信局釜山海事出張所

期　日

四月、十月
五月、十一月
各月十日（當日休暇日ナルトキハ順次之ヲ延期ス）ヨリ

●朝鮮船舶職員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員法ニ依リ學術試驗ニ合格スト認ムル者及其ノ者ニ授與スベキ海技免狀

昭和五年五月
總告第二百三十九號

改正　昭和六年三月第一五三號、第二〇〇號ノ八
年四第一六〇號、八年五第二一七號、八年九第四三一號、九年二第八〇號、二年一第一一號、二年五第二九五號

朝鮮船舶職員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員法第五條第二項ノ規定ニ依リ學術試驗ニ合格スト認ムル者及其ノ者ニ授與スベキ海技免狀左ノ如シ

一　東京高等商船學校又ハ神戸高等商船學校ノ航海科卒業者、甲種二等運轉士免狀

前項ノ海技免狀受有後ハ船舶職員試驗規程ニ定ムル受驗履歷ニ應シ

甲種一等運轉士免狀

二　合格スト認ムル者及其ノ者ニ授與スベキ海技免狀左ノ通定メ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ適用ス

朝鮮船舶職員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員法第五條第二項ノ規定ニ依リ學術試驗ニ合格スト認ムル者及其ノ者ニ授與スベキ海技免狀左ノ如シ

一　東京高等商船學校又ハ神戸高等商船學校ノ航海科卒業者、甲種二等運轉士免狀

前項ノ海技免狀受有後ハ船舶職員試驗規程ニ定ムル受驗履歷ニ應シ

甲種一等運轉士免狀

二　乙種二等運轉士免狀

三　元北海道廳立函館商船學校、三重縣立鳥羽商船學校、岡山縣立兒島商船學校、廣島縣立商船學校、山口縣立大島商船學校、香川縣立粟島航海學校、愛媛縣立弓削商船學校、元佐賀縣立佐賀商船學校（昭和七年四月一日以後ノ卒業者及元鹿兒島縣立商船學校ノ航海科卒業者ヲ含ム）

富山縣立商船學校ノ航海科全科又ハ朝鮮總督府遞信局海員養成所ノ本科航海科全科ノ航海科全科ヲ卒リ練習期間中一年以上總噸數二千噸以上ノ練習帆船ニ乘組ミタル者、甲種二等運轉士免狀

神戸高等商船學校附設甲種商船學校又ハ元島根縣立商船水產學校ノ航海科ヲ卒リ練習期間中一年以上總噸數二千噸以上ノ練習帆船ニ乘組ミタル者ハ本告示施行後七年間ヲ限リ甲種二等運轉士免狀

前號ニ揭グル學校ノ航海科全科ヲ卒リタル後遠洋區域又ハ近海區域ヲ航行スル總噸數千噸以上ノ船舶ニ乘組ミ一年以上運轉士トシテ執職シタル者、甲種二等運轉士免狀

五　元北海道廳立函館商船學校、三重縣立鳥羽商船學校、岡山縣立兒島商船學校、廣島縣立商船學校、山口縣立大島商船學校、香川縣立粟島航海學校、元佐賀縣立佐賀商船學校、鹿兒島縣立商船學校（昭和七年四月一日以後ノ卒業者ヲ含ム）ノ機關科全科又ハ朝鮮總督府遞信局海員養成所（昭和八年四月一日以後ノ入學者）ノ本科機關科全科卒業者、二等機關士免狀

六　神戸高等商船學校附設甲種商船學校ノ機關科全科又ハ朝鮮總督府遞信局海員養成所（昭和八年四月一日以後ノ入學者ヲ除ク）ノ本科機關科全科卒業者、二等機關士免狀

七　水產講習所ノ遠洋漁業科卒業者、漁船甲種二等運轉士免狀又ハ乘船履歷ニ從ヒ漁汽船甲種二等運轉士免狀

前項ノ海技免狀受有後ハ船舶職員試驗規程ニ定ムル受驗履歷ニ應シ

漁船乙種一等運轉士免狀又ハ乘船履歷ニ從ヒ漁汽船甲種一等運轉士免狀

八　元北海道帝國大學附屬水產專門部、水產講習所本科ノ漁撈科又ハ函館高等水產學校ノ漁撈科卒業者、漁船甲種二等運轉士免狀又ハ乘船履歷ニ從ヒ漁汽船甲種二等運轉士免狀

九　北海道廳立小樽水產學校ノ練習科又ハ千葉縣立安房水產學校ノ遠洋漁業科卒業者、漁船乙種一等運轉士免狀又ハ乘船履歷ニ從ヒ漁汽船甲種二等運轉士免狀

一〇　北海道廳立小樽水產學校、宮城縣水產學校、千葉縣立安房水產學校、靜岡縣立燒津水產學校本科、三重縣立志摩水產學校、島根縣立水產學校、（元島根縣立商船水產學校水產科卒業者及昭和八年四月一日以後所定ノ履歷ヲ有スルモノヲ含ム）元鹿兒島縣立商船水產學校水產科（昭和七年四月一日以後所定ノ履歷ヲ有スルモノヲ含ム）ノ本科航海科全科卒業者、二等運轉士免狀

沖繩縣立水產學校、岩手縣立水產學校（昭和七年三月以後ノ卒）、青森縣立水產學校（昭和七年三月以後ノ卒）若ハ鹿兒島縣立枕崎水產學校ノ漁撈科又ハ富山縣水產講習所ノ遠洋漁業科ノ卒業者、乙種二等運轉士試驗ヲ受クル場合

一一　海軍艦船艇ニ乘組ミタル者ハ左表ニ依ル

官階	海上勤務期間
大尉以上	大尉以上一年
中尉以上	中尉以上一年（又ハ少尉二年）
少尉以上	候補生以上二年
特務大尉 特務中尉 特務少尉 兵曹長	特務大尉 特務中尉 特務少尉 兵曹長 （掌帆兵教程又ハ掌信號兵教程修了者） 三等兵曹以上三年
一等兵曹	（掌帆兵教程又ハ掌信號兵教程修了者） 三等兵曹以上二年
二等兵曹（同上）	乙種二等運轉士免狀
三等兵曹（同上）	三等兵曹三年
機關大尉以上	機關大尉以上一年（機關長免狀又ハ乘船履歷ニ從ヒ發動機船機關長免狀）
機關中尉以上	機關中尉以上二年（一等機關士免狀又ハ乘船履歷ニ從ヒ發動機船機關士免狀）
機關少尉以上	機關少尉以上二年（二等機關士免狀又ハ乘船履歷ニ從ヒ發動機船機關士免狀）
機關特務大尉 機關特務中尉 機關特務少尉 機關兵曹長	三等機關兵曹以上三年（近海汽船二等機關士免狀又ハ乘船履歷ニ從ヒ近海發動機船二等機關士免狀但シ海軍機關學校選修科學生教程修了者ニ限リ二等機關士免狀又ハ乘船履歷ニ從ヒ發動機船二等機關士免狀）
一等機關兵曹	（掌機兵教程修了者） 三等機關兵曹以上 二年（三等機關兵曹以上三年六月以上機關士免狀）
二等機關兵曹（同上）	
三等機關兵曹（同上）	

前表ニ揭グル海技免狀受有後ハ船舶職員試驗規程ニ定ムル受驗履歷ニ應シ左ノ區別ニ依ル上級免狀

（イ）少尉以上ノ者ハ汽船甲種一等運轉士免狀又ハ汽船甲種船長免狀

（ロ）兵曹長又ハ特務少尉以上ノ者ハ乙種船長免狀但シ海軍兵學校選修科學生教程修了者ニ限リ汽船甲種一等運轉士免狀

（ハ）機關少尉以上ノ者ハ一等機關士免狀若シ發動機船一等機關士免狀又ハ機關長免狀若ハ乘船履歷ニ從ヒ發動機船一等機關長免狀

（ニ）機關長免狀又ハ機關特務少尉以上ノ者ハ一等機關士免狀又ハ乘船履歷ニ從ヒ發動機船一等機關士免狀若シ發動機船三等機關士免狀

前項第十一號ニ規定スル海技免狀ヲ授與セラルル者ノ申請ノ當時海軍武官タル者及雖現役後七年未滿ニシテ一等兵曹又ハ一等機關兵曹以下ノ官階ニ在リタル者ニ限リ此ノ場合有ニ該當スルモノナルコトノ證明ハ少尉又ハ機關少尉以上ノ者ニ在リテハ海軍省人事局長、兵曹長及特務大尉以下又ハ機關兵曹長及機關特務大尉以下ノ者ニ在リテハ所屬鎭守府人事部長ノ證明書ニ依ルモノトス

第一項第五號ニ規定スル學校（元鹿兒島縣立商船水產學校ヲ除ク）又ハ第六號ニ規定スル學校（朝鮮總督府遞信局海員養成所ヲ除ク）ノ機關科ノ所定ノ課程及練習ヲ卒リタル者本告示施行後一年以內ニ近海區域又ハ近海區域ヲ航行スル總噸數千噸以上ノ船舶ニ一年以上機關士トシテ執職シタルノ履歷ヲ有スルニ至リタルトキハ仍從前ノ例ニ依リ一等機關士免狀又ハ發動機船一等機關士免狀ヲ授與ス

（昭和八年四月總告第百六十一號ハ昭和八年四月一日ヨリ適用）

（昭和八年五月總告第二百四十七號ハ昭和八年五月十七日ヨリ適用）

（昭和九年二月總告第八十號ハ昭和九年三月一日ヨリ改正）

（昭和十一年一月總告第十一號ハ昭和十年十二月二十日ヨリ適用）

●朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員試驗規程ニ依リ試驗ヲ受クルコトヲ得ル者、其ノ試驗ノ種類等

昭和五年五月
總告第二百四十號

改正　昭和六年三月第一五四號、八年五第二一八號、八年九第四三二號、九年二第八〇號、二年一第一一號、二年五第二九六號

朝鮮船舶職員試驗規則第四條ノ規定ニ依リ船舶職員試驗規程第十條ノ規定ニ依リ試驗ヲ受クルコトヲ得ル者、其ノ試驗ノ種類及朝鮮船舶職員試驗規則第四條ノ規定ニ依リ筆記試驗ヲ免除スベキ場合左ノ通定メ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ適用ス

一　元北海道廳立函館商船學校、富山縣立商船學校、三重縣立鳥羽商船學校、神戶高等商船學校、岡山縣立兒島商船學校、廣島縣立商船學校、山口縣立大島商船學校、香川縣立粟島航海學校、元佐賀縣立佐賀商船學校（昭和七年四月一日以後ノ卒業者及元鹿兒島縣立商船學校ノ航海科卒業者ヲ含ム）ノ航海科全科ヲ卒リタル後遠洋區域又ハ近海區域ヲ航行スル總噸數千噸以上ノ船舶ニ一年以上運轉士トシテ執職シタル者、甲種二等運轉士免狀

羽商船學校、岡山縣立兒島商船學校、廣島縣立商船學校、山口縣立大島商船學校、香川縣立粟島航海學校、元佐賀縣立佐賀商船學校、鹿兒島縣立商船學校（昭和七年四月一日以後ノ卒業者ヲ含ム）ノ機關科全科又ハ朝鮮總督府遞信局海員養成所（昭和八年四月一日以後ノ入學者）ノ本科機關科全科卒業者、二等機關士免狀

五　元北海道廳立函館商船學校、三重縣立鳥羽商船學校、岡山縣立兒島商船學校、廣島縣立商船學校、山口縣立大島商船學校、香川縣立粟島航海學校、元佐賀縣立佐賀商船學校、鹿兒島縣立商船學校（昭和七年四月一日以後ノ卒業者ヲ含ム）ノ航海科全科又ハ朝鮮總督府遞信局海員養成所（昭和八年四月一日以後ノ入學者）ノ本科航海科全科卒業者、二等運轉士免狀

六　神戶高等商船學校附設甲種商船學校ノ機關科全科又ハ朝鮮總督府遞信局海員養成所（昭和八年四月一日以後ノ入學者ヲ除ク）ノ本科機關科全科卒業者、二等機關士免狀

七　北海道廳立小樽水產學校、宮城縣水產學校、千葉縣立安房水產學校、靜岡縣立燒津水產學校、三重縣立志摩水產學校、島根縣立水產學校（元島根縣立商船水產學校水產科卒業者及昭和八年四月一日以後所定ノ履歷ヲ有スルモノヲ含ム）元鹿兒島縣立商船水產學校水產科（昭和七年四月一日以後所定ノ履歷ヲ有スルモノヲ含ム）ノ本科航海科全科卒業者、二等運轉士免狀

二　神戶高等商船學校附設甲種商船學校ノ機關科全科又ハ朝鮮總督府遞信局海員養成所（昭和八年四月一日以後ノ入學者ヲ除ク）ノ本科機關科全科卒業者、二等機關士免狀

三　北海道廳立小樽水產學校ノ練習科又ハ千葉縣立安房水產學校ノ遠洋漁業科ノ卒業者、乙種二等運轉士試驗以下ノ試驗

四　北海道廳立小樽水產學校、宮城縣水產學校、千葉縣立安房水產學校、新潟縣立能生水產學校、靜岡縣立燒津水產學校、三重縣立志摩水產學校、島根縣立水產學校（元島根縣立商船水產學校水產科卒業者及昭和八年四月一日以後ノ所定ノ履歷ヲ有スルモノヲ含ム）元鹿兒島縣立商船水產學校水產科（昭和七年四月一日以後所定ノ履歷ヲ有スルモノヲ含ム）ノ本科航海科全科卒業者、二等運轉士免狀

沖繩縣立水產學校、岩手縣立水產學校（昭和七年三月以後ノ卒）、青森縣立水產學校（昭和七年三月以後ノ卒）若ハ鹿兒島縣立枕崎水產學校ノ漁撈科又ハ富山縣水產講習所ノ遠洋漁業科ノ卒業者、乙種二等運轉士試驗

五　前各號ニ揭グル者當該試驗ヲ受クル場合元北海道廳立函館商船學校、岡山縣立兒島商船學校、廣島縣立商船學校、山口縣立大島商船學校、香川縣立粟島航海學校、元佐賀縣立佐賀商船學校、鹿兒島縣立商船學校（昭和七年四月一日以後ノ卒業者及元鹿兒島縣立商船水產學校ノ航海科卒業者ヲ含ム）、三重縣立鳥羽商船學校（昭和七年四月一日以後ノ卒業者及元鹿兒島縣立商船水產學校ノ航海科卒業者ヲ含ム）、神戶高等商船學校附設甲種商船學校ノ機關科全科又ハ朝鮮總督府

逓信局海員養成所ノ本科機關科全科ヲ卒リタル者ニ等機關士免狀又ハ發動機船二等機關士免狀ヲ受ケタル場合ニ於テハ筆記試驗

（昭和八年四月總告第百六十一號ハ昭和八年四月一日ヨリ適用）

（昭和八年五月總告第二百四十八號ハ昭和八年五月十七日ヨリ適用）

（昭和九年二月總告第八十一號ハ昭和九年三月一日ヨリ改正）

（昭和十一年一月總告第十二號ハ昭和十年十二月二十日ヨリ適用）

●朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員試驗規程ニ依ル機關工場

昭和五年五月總告第二百四十一號

改正　昭和六年大藏三八號、八年一號七號、八年五號二一七號、九年二號八五號、一一年一號一〇號

朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員試驗規程第十一條第一項ノ規定ニ依ル機關工場左ノ通定メ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ適用ス

大正十四年朝鮮總督府告示第百二十二號ハ之ヲ廢止ス

本告示施行前大正十四年朝鮮總督府告示第百二十二號ニ掲ゲル機關工場中受驗履歷ニ等機關士試驗トシテノ工場ニ勤務シタル期間ハ二等機關士試驗、受驗履歷ニ等機關士試驗トシテノ工場ニ勤務シタル期間ハ近海發動機船二等機關士試驗、受驗履歷發動機船二等機關士試驗トシテノ工場ニ勤務シタル期間ハ近海發動機船二等機關士試驗ノ受驗履歷ニ該當スルモノトシテ之ヲ認ムル但シ昭和五年朝鮮總督府令第三十九號附則第二項ニ規定スル期間內ニ限リ仍從前ノ例ニ依ル

本告示ノ適用前元東京高等工業學校及元大阪高等工業學校ニ在リタル者ノ受驗履歷ハ仍從前ノ例ニ依ル（昭和八年二月總告第七號）

本告示前當該機關工場ニ勤務シタル者ノ受驗履歷ハ仍從前ノ例ニ依ル（昭和九年二月總告第八十五號）

本告示ノ適用前當該機關工場ニ勤務シタル者ノ受驗履歷ハ仍從前ノ例ニ依ル（昭和十一年一月總告第十號）

機關工場所在地	受驗履歷
函館船渠株式會社 株式會社東京石川島造船所 三菱重工業株式會社橫濱船渠 株式會社淺野造船所	函館市 東京市 橫濱市 同
橫須賀海軍工廠	橫須賀市
海軍工機學校（高等科機關術練習生又ハ高等科機關術練習生ヲ經テシタル者ニ限ル） 浦賀船渠株式會社浦賀工場 鎭鴨要港部工作部	同 神奈川縣三浦郡浦賀町 京都府加佐郡中舞鶴町
株式會社大阪鐵工所（築港工場） 株式會社藤永田造船所（築谷町本工場）同 三菱重工業株式會社神戶造船所 株式會社川崎造船所	大阪市 神戶市 同

二等機關士試驗

（昭和八年一月總告第七號ハ昭和七年十二月二十一日ヨリ適用）

（昭和八年五月總告第二百十七號ハ昭和八年四月二十一日ヨリ適用）

（昭和九年二月總告第八十五號ハ昭和九年三月一日ヨリ施行）

（昭和十一年一月總告第十號ハ昭和十年十二月二十日ヨリ適用）

●朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員試驗規程第四條

第二項ノ規定ニ依ル學校

昭和九年九月總告第四百六十七號

朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員試驗規程第四條第二項ノ規程ニ依ル學校左ノ通定メ昭和九年八月二十九日ヨリ之ヲ適用ス

學校所在地	試驗ノ種類
株式會社播磨造船所	兵庫縣赤穗郡相生町
株式會社大阪鐵工所因島工場	岡山縣兒島郡日比町
三菱重工業株式會社造船工場	吳市
吳海軍工廠	廣島縣御調郡土生町
三菱重工業株式會社長崎造船所	長崎市
佐世保海軍工廠	佐世保市
大連汽船株式會社船渠工場	大連市
株式會社神戶製鋼所	神戶市
株式會社橫濱工作所	橫濱市
株式會社倉田組鐵工所	同
海軍工機學校（航空術練習生又ハ高等科機關術練習生ヲ經テシタル者又ハ高等科機關術練習生ヲ經テシタル者ニ限ル） 株式會社宇品造船所 向島船渠株式會社 三菱重工業株式會社彥島造船所 基隆船渠株式會社 株式會社池貝鐵工所 株式會社新潟鐵工場所浦田工場 發動機製造株式會社 株式會社神戶發動機製造所 株式會社阪神鐵工所 日本發動機株式會社 木下鐵工所（木下吉左衛門） 株式會社林兼商店鐵工造船部	橫須賀市 廣島市 廣島縣御調郡向島東村 下關市 葛綠市 東京市 同 大阪市 神戶市 同 同 明石市 下關市

	試驗ノ種類
近海汽船二等機關士又ハ近海發動機船二等機關士（二等機關士）試驗	發動機船二等機關士試驗
近海發動機船二等機關士試驗	近海發動機船二等機關士試驗

朝鮮海員懲戒令

大正三年四月
制令第十一號

朝鮮海員懲戒令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮海員懲戒令

第一章　總則

第一條　海技免狀ヲ受有スル者其ノ職務ヲ行フニ當リ左ノ事項ニ該當スルトキハ海員審判所ノ裁決ヲ以テ懲戒ヲ加ヘシ

一　正當ノ理由ナクシテ船舶ヲ放棄シタルトキ

二　過失懈怠又ハ不當ノ所爲ニ因リ自他ノ船舶ヲ問ハス之ニ損害ヲ加ヘ又ハ之ヲ沈沒セシメタルトキ

三　過失懈怠又ハ不當ノ所爲ニ因リ人ヲ殺傷シタルトキ

四　海難ニ當リ船舶又ハ船客乘組員ヲ救助スルノ方法ヲ盡ササルトキ

五　海難ニ當リタル船舶アルコトヲ認メ正當ノ理由ナクシテ其ノ船舶又ハ船客乘組員ヲ救助スルノ方法ヲ盡ササルトキ

六　職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リタルトキ

七　亂酔粗暴其ノ他ノ失行アリタルトキ

第二條　懲戒ハ左ノ三種トス

一　免狀行使ノ停止

二　禁錮

三　譴責

第三條　前條懲戒ノ適用ハ所爲ノ輕重ニ從ヒ海員審判所之ヲ定ム

學校所在地　試驗ノ種類

栃賀公立水產學校	慶尙南道統營郡統營邑
龍岩浦公立水產學校	平安北道龍川郡龍川面
龍湖島公立水產實習學校	黃海道甕津郡東南面
蹇水公立水產學校（本科過撈） （科ニ限ル）	全羅南道蹇水郡蹇水邑
椎太公立本斗水產補習學校	椎太本斗郡本斗町

小形船丙種運轉士試驗又ハ小形船乙種二等運轉士試驗

第四條　免狀行使ノ停止ハ一月以上三月以下トス

第五條　海員審判所ハ左ノ原因アルトキヲ審判ヲ行ハス

一　裁決

二　時效

第一條各號ニ該當スル者ハ廢業ノ故ヲ以テ懲戒ヲ免ルコトヲ得ス

第六條　時效ノ期間ハ審判ヲ受クヘキ事件ノ生シタル日ヨリ五年トス

第七條　海員審判所ノ審判ニ關シ本令ニ規定ナキモノニ付テハ朝鮮刑事令ヲ準用ス

第二章　審判前ノ手續

第八條　海事官吏、地方官又ハ警察官吏若ハ其ノ職務ヲ行フ者審判ニ付スヘキ事實アリタルコトヲ知リタルトキハ直ニ其ノ事實ヲ詳記シ理事官ニ報告スヘシ

第九條　理事官審判ニ付スヘキ事實アリタルコトヲ知リタルトキハ證憑ヲ集取シ必要ニ應シ實地檢檢ヲ爲スコトヲ得

第十條　理事官ハ審判ノ開始ヲ海員審判所ニ申立ツヘシ

前項ノ申立ヲ爲ストキハ證憑其ノ他必要ノ書類ヲ添附スヘシ

第三章　審判

第十一條　海員審判所ハ理事官ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ審判ヲ開始スヘキヤ否ヤヲ決定ス其ノ職權ヲ以テスル場合ニ於テハ理事官ノ意見ヲ聽クヘシ

第十二條　海員審判所ハ理事官及被審人ニ之ヲ通知スヘシ

第十三條　下調ノ命ヲ受ケタル審判官ハ被審人ヲ呼出シテ之ヲ訊問スルコトヲ得

受命審判官ハ必要ナル證憑ヲ集取スヘシ

受命審判官ハ證人鑑定人ヲ呼出シ、通事ヲ命シ又ハ臨檢ヲ爲スコトヲ得

第十四條　被審人又ハ證人正當ノ理由ナクシテ受命審判官ノ呼出ニ應セサルトキハ受命審判官ハ引致狀ヲ發シテ之ヲ引致セシムルコトヲ得

引致狀ハ理事官ノ命令ニ因リ勾引狀執行ノ手續ヲ準用シテ之ヲ執行ス

第十五條　被審人逃走シ又ハ逃走ノ虞アルトキハ受命審判官ハ免狀行使ノ假停止ヲ爲シ又ハ之ヲ差押フルコトヲ得

第十六條　被審人又ハ證人疾病其ノ他正當ノ事故アリテ呼出ニ應スルコト能ハサルコトヲ疏明スルトキハ受命審判官ハ其ノ所在ニ就テ之ヲ訊問スルコトヲ得

第十七條　受命審判官下調ヲ終リタルトキハ調書及一切ノ證憑ヲ審判長ニ差出シ審判長ハ直ニ之ヲ理事官ニ送付スヘシ

理事官ハ三日內ニ意見ヲ附シ其ノ書類ヲ審判長ニ還付スヘシ

第十八條　海員審判所ハ下調ヲ十分ナリト思料スルトキハ審判ヲ繼續スルヤ否ヤヲ決定スヘシ

審判ヲ繼續スヘシト決定スルトキハ審判期日ヲ定メ被審人ヲ呼出スヘシ

審判ヲ繼續セント決定スルトキハ審判ヲ閉鎖スヘシ

第十九條　審判ハ之ヲ公開ス但シ安寧秩序又ハ風俗ヲ害スルノ虞アルトキハ海員審判所ノ決定ニ依リ其ノ公開ヲ停止ス

第二十條　第十三條乃至第十六條ノ規定ハ審判ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條　開廷中秩序ノ維持ハ審判長ニ屬ス

審判長ハ審判ヲ妨ルル者又ハ不當ノ言行ヲ爲ス者ヲ退廷セシムルコトヲ得

第二十二條　被審人又ハ證人ノ訊問ハ審判長之ヲ爲ス

審判官及理事官ハ審判長ニ告ケ被審人又ハ證人ヲ訊問スルコトヲ得

第二十三條　理事官ハ審判ニ立會ヒ其ノ意見ヲ述フルコトヲ得

第二十四條　被審人ハ補佐人ヲ用ウルコトヲ得但シ海員審判所ノ認許シタル者ニ限ル

第二十五條　海員審判所ハ呼出ヲ受ケタル被審人審判期日ニ出頭セサルトキハ闕席裁決ヲ爲スヘシ但シ被審人ノ疾病其ノ他ノ故障ニ因リ審判ヲ行フコト能ハサルトキハ決定ヲ以テ其ノ審判ヲ延期又ハ中止スルコトヲ得

第二十六條　刑事裁判手續中ハ被審人ニ對シ審判ヲ開始スルコトヲ得ス

被審人刑事訴追ヲ受クタルトキハ其ノ事件ノ判決確定又ハ審判ヲ中止スヘシ

第二十七條　理事官及被審人ハ本案ノ裁決ニ立會ヒ何時ニテモ審判ヲ行フヘカラサルノ旨ヲ爲スコトヲ得

海員審判所ハ職權ヲ以テ審判ヲ行フヘカラサルノ旨波ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　裁判ニハ其ノ理由及證憑ヲ明示スヘシ

第二十九條　裁決及裁決始末書ノ原本ハ海員審判所之ヲ保存スヘシ

第四章　執行處分

第三十條　懲戒ハ裁決言渡ノ後之ヲ執行ス

第三十一條　免狀行使ノ禁止ヲ言渡シタルトキハ海員審判所ニ於テ免狀ヲ取上ケ之ヲ朝鮮總督ニ送付スヘシ

免狀行使ノ停止ヲ言渡シタルトキハ海員審判所ニ於テ免狀ヲ取上ケ期間滿了ノ後之ヲ本人ニ還付スヘシ

免狀行使ノ禁止又ハ停止ヲ言渡サレタル者海員審判所ニ免狀ヲ差出ササルトキハ海員審判所ハ其ノ免狀ヲ無效トシ其ノ旨公示スヘシ

第五章　閒則

第三十二條　證人、鑑定人又ハ通事正當ノ理由ナクシテ海員審判所又ハ受命審判官ノ呼出ニ應セス又ハ其ノ義務ヲ盡ササルトキハ四十圓以下ノ閒金又ハ科料ニ處ス

第三十三條　證人虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキ又ハ鑑定人若ハ通譯虚偽ノ鑑定若ハ通譯ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者其ノ事件ノ裁決言渡前自首シタルトキハ其ノ刑ヲ免ス

附　則

本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●海技免狀ヲ受有スル者及水先人ノ懲戒免除ニ關スル件

昭和九年二月
勅令第二十三號

除海技免狀ヲ受有スル者及水先人ノ懲戒除ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

海技免狀ヲ受有スル者又ハ水先人ニシテ昭和九年二月十一日前ノ所爲ニ付海員審判所又ハ懲戒法ニ依ル懲戒ノ處分ヲ受ケタルモノニ對シテハ將來ニ向テ其ノ懲戒ヲ免除ス未タ處分ヲ受ケザルモノニ對シテハ懲戒ニ基ク既成ノ效果ハ免除ニ因リ變更セラルルコトナシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●海難其ノ他ノ事實屆出ニ關スル件

昭和十年十二月
總令第百五十三號

海難其ノ他ノ事實屆出ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　海技免狀ヲ受有スル者ヲ乘組マシメタル朝鮮船舶ハ其ノ船舶ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル非實アリタルトキハ當該船舶ノ船長若シ船長不在ナルトキハ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ於テ其ノ港又ハ其ノ後最初ニ到濟シタル港ヲ管轄スル管海官廳（朝鮮船員令ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局ヲ含ム）又ハ領事館ニ在リテハ領事館又ハ貿易事務館）ニ遲滯ナク其ノ旨ヲ屆出ヅベシ但シ朝鮮船員法第十七條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲シタルトキハ其ノ限ニ在ラズ

一　船舶ヲ放棄シタルトキ

二　船舶カ沈沒又ハ顚覆シタルトキ

三　船舶カ乘揚、接觸又ハ衝突シタルトキ

四　船舶カ捕獲セラレタルトキ

五　船内ニ於テ火災アリタルトキ

六　海難救助ヲ求ムル船舶ヲ認メタルトキ又ハ他ノ船舶ヨリ救助ヲ求メラレタルトキ

七　船舶機關ノ重部ヲ毀損シタルトキ

八　船舶搭載貨物ニ著シキ損害ヲ生ジタルトキ

九　船舶カ海難ニ罹リ其ノ他著シキ事故アリタルトキ

十　人ノ死傷アリタルトキ

十一　海技免狀ヲ受有スル者カ職務上ノ義務ニ違背シ職務ヲ怠リタルトキ

十二　海技免狀ヲ受有スル者ニ亂醉、粗暴其ノ他ノ失行アリタルトキ

第二條　前條各號ノ一ニ該當スル非實ヲ認知シタル者ハ遲滯ナク前條ノ官署ニ其ノ旨ヲ申告スベシ

第三條　船舶所有者、船舶管理人又ハ船舶借入人ハ海技免狀ヲ受有スル者ヲ乘組マシメタル朝鮮船舶ニ付テハ其ノ船舶ノ大正日本船舶ノ存否カ六月間明ナラザルトキハ遲滯ナク當該船舶ノ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ其ノ顚末ヲ屆出ヅベシ

第四條　第一條ノ規定ニ依ル屆出ハ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲シ屆出人之ニ署名捺印シ且印章ヲ以テ爲スコトヲ得

一　船舶ノ番號、種類名稱及總噸數

二　船籍港

三　船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

四　船舶ノ最大搭載人員（旅客、船員又ハ其ノ他ノ者ニ區別シテ記載スベシ）航行區域（漁船ニ在リテハ從業制限）船舶機關ノ種類及公稱馬力、船舶檢査證書ノ有效期間竝ニ船舶檢査證書ヲ交付シタル管海官廳名、機關長竝ニ事實發生ノ當時當直シタル海員ノ氏名、住所、氏名及出生ノ年月日、海技免狀ノ種類及番號竝ニ當該當直海員ノ職名

六　船舶ノ發航地、寄航地及到達地

七　事實發生ノ場所及日時竝ニ事實ノ類末風位、風力及潮流

八　事實ノ類末

前項ニ揭ゲル事項中屆出ノ事實ニ關係ナキモノハ適宜記載ヲ省略スルコトヲ得

第五條　第一條又ハ第三條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年朝鮮總督府令第八十二號ハ之ヲ廢止ス

●海難其ノ他ノ事實取調手續

昭和十年十二月
總訓第五十三號

遞信官署
警察官署

海難其ノ他ノ事實取調手續昭和十一年一月一日ヨリ左ノ通定ム

大正三年朝鮮總督府訓令第二十五號ハ之ヲ廢止ス

海難其ノ他ノ事實取調手續

第一條　管海官廳又ハ警察官署ニ於テ昭和十年朝鮮總督府令第百五十三號ノ規定ニ依ル屆出若ハ申告ヲ受ケタルトキ又ハ朝鮮海員懲戒令ニ依リ審判ニ付スベキ事實アリタルコトヲ知リタルトキハ直ニ當該船舶ニ乘組ミタル海技免狀受有者其ノ他ノ關係者ニ就キ海難事件ニ在リテハ左ニ揭ゲル事項、其ノ他ノ事件ニ在リテハ第一號乃至第六號及第十六號ノ事項ヲ取調ベタル上調書ヲ作成シ證據物アルトキハ之ヲ添ヘ朝鮮總督府海員審判所理事官ニ送付スベシ

被取調人ノ本籍、住所、氏名、職業及出生ノ年月日

二　船舶ノ番號、種類、名稱及總噸數竝ニ船舶機關ノ種類及公稱馬力

三　船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

四　船舶職員ノ本籍、住所、氏名及出生ノ年月日、海技免狀ノ種類及番號竝ニ當該當直海員ノ職名

六　船舶ノ發航地、寄航地及到達地

七　事實發生ノ場所及日時竝ニ事實ノ類末風位、風力、潮流

八　事實ノ類末

前項ニ揭ゲル事項中屆出ノ事實ニ關係ナキモノハ適宜記載ヲ省略スルコトヲ得

第五條　第一條又ハ第三條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●水先法

明治三十二年三月
法律第六十三號

除帝國議會ノ協賛ヲ經タル水先法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

水先法

第一條　水先人ニアラサル者ハ水先區ニ於テ船舶ノ水路嚮導スルコトヲ得ス

第二條　水先免狀ヲ有スルコトヲ要ス

第三條　水先免狀ハ左ノ條件ヲ具備スル者ニ授與ス

一　帝國臣民ナルコト

二　主務大臣ノ定ムル試驗規定ニ依リ試驗ニ合格シタルコト

三　水先人名簿ニ登錄セラレタルコト

四　業務ヲ營ムニ適當スル者ハ水先人タルコトヲ得

第四條　左ノ各號ニ該當スル者ハ水先人タルコトヲ得ス

一　滿二十三年ニ達セサル者及滿六十年以上ノ者

二　剝奪公權者

三　家資分散者及破産者

四　業務ヲ營ムニ不適當ナル者

五　水先免狀ノ行使ヲ禁止セラレタル者

第四條　水先人ハ左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス

一　公權ヲ行フコトヲ停止セラレタルトキ

二　水先免狀ノ行使ヲ停止若ハ停止セラレタルトキ

第五條　水先人ハ其ノ業務ニ從事スルトキハ水先免狀及水先法令ヲ携帶スヘシ

水先人ハ當該官吏若ハ公吏ノ命令ニ依リ又ハ水先人ヲ要招シタル船長ノ要求ニ依リ水先免狀又ハ水先法令ヲ開示スヘシ

第六條　水先人其ノ業務ニ從事スル爲水先船ニ乘込ミタルトキハ豊間ニ在リテハ水先旗ヲ揭揚シ夜間ニ在リテハ海上衝突豫防法第八條ノ規定ニ依ルヘシ

第七條　水先人ハ水先ヲ要招セムトスルトキハ船長ニ要招ニ應スヘシ

第八條　水先人ハ同時ニ二艘以上ノ船舶ノ水路ヲ嚮導スルコトヲ得ス

第九條　二人以上ノ水先人同時ニ要招ニ應シタルトキハ其ノ何レヲシテ水路ヲ嚮導セシムヘキカハ船長ノ選擇スル所ニ依ル

第十條　水先人水先船ヲ去リタルトキハ水先旗ヲ撤去スヘシ

第十一條　水先人ハ本船ヲ嚮導スヘキ船舶ニ乘込ミタルトキハ其ノ氏名及水先人タルコトヲ船長ニ告知シ且水先人ノ要求アリタルトキハ其ノ證明書類ヲ開示スヘシ

第十二條　水先人ハ同時ニ二艘以上ノ船舶ノ水路ヲ嚮導スルコトヲ得ス但シ船舶運航ノ自由ヲ得ス又ハ水先人ヲ得ル能ハサル爲其ノ船舶ハ水路ヲ嚮導スヘキ船舶ト曳綱ヲ聯結セラレタルトキハ此ノ限ニアラス

第十三條　水先人ハ水路ヲ嚮導シタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ヲ請求スル權利ヲ有ス

第十四條　水先人ハ水先案内料ヲ請求スル權利ヲ有スル前條但書ノ場合ニ於テハ水先人ハ各艘ノ船舶ニ付前項ノ權利ヲ有ス

第十五條　水先案内料ハ命令ヲ以テ定ムル額ヲ超過スルコトヲ得ス

第十六條　水先人ハ水先區ノ業務ヲ嚮導スヘキ船舶ニ之ヲ得ル能ハサルカ爲水先人ニアラサル者ヲシテ水路ヲ嚮導セシムルトキハ此ノ限ニアラス

第十七條　水先免狀ノ行使ヲ停止セラレタル者ハ其ノ停止ノ期間水先ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス

第十八條　主務大臣ハ水先人ニ對シテハ水先法第二十條ノ規定ヲ除クノ外同法ニ依ル外同法中海員懲戒法ニ依ル懲戒ヲ除クノ外同法ニ依ル懲戒ヲ設クルコトヲ得

水先人組合ハ規約ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十九條　水先人ハ其ノ業務ニ從事スルニ當リ左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テハ海員審判所ニ於テ裁決ヲ以テ之ヲ懲戒ス

一　過失、懈怠又ハ不當ノ行爲ニ因リ人ヲ死傷ニ致シタルトキ

二　業務ヲ怠リ又ハ業務上ノ義務ニ違反シ亂醉、粗暴其ノ他ノ失行アリタルトキ

三　水先人組合ニ關スル規定ニ依リ懲戒ニ付スヘキ事項ニ違反シタルトキ亦前項ニ同シ

四　約申命ノ規定ニ依リ懲戒ニ付スヘキ事項ニ違反シタルトキ亦前項ニ同シ

第二十條　前條ニ依リ審判ニ付スヘキ事件ノ管轄ハ其ノ水先人ノ住所ヲ管轄スル地方海員審判所ニ屬ス

前項ノ事件海員懲戒法ノ規定ニ依リ審判ニ付スヘキ事件ノ關聯スルトキハ前項ノ管轄ハ海員懲戒法ニ依ル事件ヲ管轄スル地方海員審判所ニ屬ス

第二十一條　水先人ノ懲戒ニ關シ此ノ法律ニ規定ナキモノニ付テハ海員懲戒法ノ規定ヲ準用ス

第二十二條　水先人其ノ業務ヲ怠リ因テ船舶ヲ毀損シ若ハ之ヲ沈沒セシメ又ハ人ヲ死傷ニ致シタルトキハ一月以上三年以下ノ〔重禁錮〕ニ處シ又ハ五十圓以上六百圓以下ノ罰金ニ處ス

水先人ニアラサル者水先區ニ於テ水路ヲ嚮導シ因テ船舶ヲ毀損シ若ハ之ヲ沈沒セシメ又ハ人ヲ死傷ニ致シタルトキ亦前項ニ同シ

第二十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二圓以上二百五十圓以下ノ罰金ニ處ス

一　水先人其ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス

第四條ノ規定ニ違反シテ水先人ヲ傭入レタル者

第二十四條　水先人ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス

一　公權ヲ行フコトヲ停止セラレタルトキ

二　水先免狀ノ行使ヲ停止セラレタルトキ

第二十五條　船長水先區ニ於テ水先人ニアラサル者ヲシテ水路ヲ嚮導スルコトヲ得ス但シ第四條ノ規定ニ違反シテ水先人ヲ傭入レタル場合ニ於テハ此ノ限ニアラス

第二十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ請求ヲ爲スヘシ

第二十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内ノ證明書ヲ交付スヘシ

第二十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第二十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第三十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第三十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第三十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第三十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第三十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第三十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第三十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第三十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第三十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第三十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第四十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第四十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第四十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第四十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第四十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第四十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第四十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第四十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第四十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第四十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第五十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第五十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第五十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第五十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第五十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第五十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第五十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第五十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第五十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第五十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第六十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第六十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第六十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第六十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第六十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第六十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第六十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第六十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第六十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第六十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第七十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第七十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第七十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第七十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第七十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第七十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第七十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第七十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第七十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第七十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第八十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第八十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第八十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第八十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第八十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第八十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第八十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第八十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第八十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第八十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第九十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第九十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第九十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第九十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第九十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第九十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第九十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第九十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第九十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第九十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百二十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百二十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百二十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百二十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百二十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百二十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百二十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百二十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百二十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百二十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百三十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百三十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百三十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百三十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百三十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百三十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百三十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百三十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百三十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百三十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百四十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百四十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百四十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百四十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百四十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百四十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百四十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百四十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百四十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百四十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百五十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百五十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百五十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百五十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百五十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百五十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百五十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百五十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百五十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百五十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百六十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百六十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百六十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百六十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百六十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百六十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百六十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百六十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百六十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百六十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百七十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百七十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百七十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百七十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百七十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百七十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百七十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百七十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百七十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百七十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百八十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百八十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百八十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百八十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百八十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百八十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百八十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百八十七條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百八十八條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百八十九條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百九十條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百九十一條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百九十二條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百九十三條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百九十四條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百九十五條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交付スヘシ

第百九十六條　水先人ハ水先案内ヲ終リタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ノ領收書ヲ交

第二十七條　此ノ法律中船長ニ關スル規定ハ船長ニ代ハリテ其ノ職務ヲ行フ者ニ亦之ヲ適用ス

附　則

第二十八條　此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十九條　明治十一年第三十七號布告ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十條　明治十一年第三十七號布告ニ依リテ授與シタル水先免狀ハ主務大臣ノ定ムル所ニ從ヒ此ノ法律ニ依リテ授與シタル水先免狀ト交換ス

前項ノ交換ヲ了スルマデハ舊水先免狀ニ該免狀ニ記載スル水先區中此ノ法律施行前ニ發生シ其ノ施行後ニ至リテ發覺シタルトキ前ニ發生シ其ノ施行後ニ至リテ發覺シタルトキ前項ノ行爲此ノ法律施行ノ際審問中ナルトキ

第三十三條　此ノ法律施行後五年間ヲ限リ主務大臣ハ第二條第一號ノ規定ニ拘ラス水先免狀ヲ授與シタルトキハ水先免狀ハ前項ノ期間滿了ノ後ト雖其ノ效力ヲ失フコトナシ

（明治三十二年七月二十九日勅令第三百五十六號ヲ以テ同年八月四日ヨリ施行）

●朝鮮水先令施行期日

大正四年十月

總令第百一號

朝鮮水先令施行規則

大正四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮水先令施行規則左ノ通定ム

朝鮮水先令施行規則

第一章　登錄及免狀

第一條　水先人試驗ニ合格シタル者ハ試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱、年月日及合格ノ年月日ヲ記載シタル證書ヲ添ヘ本籍、出生ノ年月日、氏名、族稱、住所ヲ具シ朝鮮總督府遞信局ニ登錄ヲ申請スヘシ

第二條　前條ノ申請ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　戸籍謄本

二　履歷書

三　試驗及合格證書

四　身體檢查書

五　水先人試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱、合格ノ年月日

六　前條第二號又ハ第三號ノ事項ニ變更アリタルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面

第三條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ第一條ノ申請ヲ正當ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ水先人名簿ニ登錄シ第三號書式ノ水先免狀ヲ申請人ニ授與ス

一　氏名

二　本籍

三　出生ノ年月日

四　水先人試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱、合格ノ年月日

五　前條第二號又ハ第三號ノ事項ニ變更アリタルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面

六　登錄ノ年月日

第四條　前條第二號又ハ第三號ノ事項ニ變更アリタルトキハ水先免狀ヲ有スル者ハ其ノ事實アリタル日ヨリ十日內ニ第三號書式ノ書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ水先免狀ノ書換ヲ申請スヘシ

前項ノ申請書ニハ登錄事項ノ變更ニ關スル戸籍ノ謄本若ハ抄本ヲ添附スヘシ

第五條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ前條ノ申請ヲ正當ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ水先人名簿ニ登錄シ第三號書式ノ水先免狀ヲ申請人ニ授與ス

一　氏名

二　本籍

三　出生ノ年月日

四　水先人試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱、合格ノ年月日

五　前條第二號又ハ第三號ノ事項ニ變更アリタルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面

六　登錄ノ年月日

第六條　水先免狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事實アリタル日ヨリ十日內ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ抹消ノ登錄ヲ申請スヘシ

一　水先免狀ヲ有スル者死亡シタルトキ

二　刑ノ執行ヲ受ケヘキ期間又ハ其ノ執行猶豫期間

三　判決言渡シタル裁判所ノ名稱、前項ニ依リ提出シタル水先免狀ハ朝鮮總督府遞信局之ヲ保管シ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受ケルコトナキニ至リタル後之ヲ還付ス

第七條　水先免狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ抹消ノ登錄ヲ申請スヘシ

一　死刑、無期又ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ處セラレタルトキ

二　家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキ

三　廢疾又ハ身體不具若ハ癲弱ニシテ業務ヲ替ユニ不適當ト認ムルトキ

四　朝鮮總督府海員審判所ニ於テ免狀行使ノ停止ヲ言渡サレタルトキ

五　第十一條ノ水先免狀滅失又ハ毀損ノ爲水先免狀ヲ受有スル者失踪ノ宣告ヲ受ケタルトキ

六　朝鮮水先人試驗規則ノ規定ニ依リ合格ノ效力ヲ失ヒタルトキ

七　水先免狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事實アリタル日ヨリ十日內ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ抹消ノ登錄ヲ申請スヘシ

一　水先人試驗ニ合格シタル者ハ試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱、合格ノ年月日又ハ其ノ事實アリタル日ヨリ十日內ニ第五號書式ノ書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ水先人名簿ニ登錄ヲ申請スヘシ

第八條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ前條ノ申請ヲ正當ト認メタルトキハ左ノ事項ヲ水先人名簿ニ登錄シ第三號書式ノ水先免狀ヲ申請人ニ授與ス

一　氏名

二　本籍

三　出生ノ年月日

四　水先人試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱、合格ノ年月日

五　前條第二號又ハ第三號ノ事項ニ變更アリタルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面

六　登錄ノ年月日

第九條　水先免狀ヲ有スル者登錄又ハ水先免狀ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク第四號書式ノ書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ登錄又ハ水先免狀ノ訂正ヲ申請スヘシ

前項ノ錯誤又ハ遺漏第三條第一項第二號乃至第四號ノ事項ニ關シ必要アリト認ムルトキハ水先人ノ證檢查ヲ執行ス

第十條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ登錄又ハ水先免狀ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シ又ハ其ノ事實ヲ知リタル日ヨリ十日內ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ管海官廳ニ提出シテ再交付ヲ申請スヘシ

第十一條　水先免狀滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事由ヲ朝鮮總督府遞信局ニ於テ前條ノ申請ヲ正當ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ水先人名簿ニ登錄シ第三號書式ノ水先免狀ヲ申請人ニ授與ス

一　氏名

二　本籍

三　出生ノ年月日

四　水先人試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱、合格ノ年月日

五　前條第二號又ハ第三號ノ事項ニ變更アリタルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面

六　登錄ノ年月日

第十二條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ前條ノ申請ヲ正當ト認ムルトキハ其ノ事由ヲ水先人名簿ニ登錄シ第三號書式ノ水先免狀ヲ申請人ニ交付ス

水先人前項ノ免狀ヲ受ケタルトキハ之ト引換ニ舊免狀ヲ朝鮮總督府遞信局ニ返還スヘシ但シ水先免狀滅失シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　行政區劃ノ變更アリタルトキハ水先免狀ヲ有スル者ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シ水先免狀ノ書換ヲ申請スルコトヲ得

第四條第二項及第五條ノ規定ハ前項ノ申請ニ之ヲ準用ス

第十四條　水先免狀ヲ有スル者六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキハ其ノ裁判確定後遲滯ナク本人又ハ該免狀ヲ保管スル者ヨリ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添ヘ水先免狀ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出スヘシ

一　罪名、刑名及裁判確定ノ年月日

二　刑ノ執行ヲ受ケヘキ期間又ハ其ノ執行猶豫期間

三　判決言渡シタル裁判所ノ名稱

前項ニ依リ提出シタル水先免狀ハ朝鮮總督府遞信局之ヲ保管シ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受ケルコトナキニ至リタル後之ヲ還付ス

第十五條　水先區ハ左ノ七區トス

一　平安北道鐵山半島南端ヨリ根島ヲ經テ大和島ニ引キタル線及大和島ヨリ眞方位西北西ニ引キタル線ヲ以テ境界トス

二　大同江水先區

平安南道貴林串ヨリ德島、西島及根島ヲ經テ黃海道沈邦崎ニ引キタル線ヲ以テ境界トス

第十一條　水先免狀滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事實ヲ知リタル日ヨリ十日內ニ第五號書式ノ書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ再交付ヲ申請スヘシ

第十二條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ前條ノ申請ヲ正當ト認ムルトキハ其ノ事由ヲ水先人名簿ニ登錄シ第三號書式ノ水先免狀ヲ申請人ニ交付ス

水先人前項ノ免狀ヲ受ケタルトキハ之ト引換ニ舊免狀ヲ朝鮮總督府遞信局ニ返還スヘシ但シ水先免狀滅失シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　行政區劃ノ變更アリタルトキハ水先免狀ヲ有スル者ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シ水先免狀ノ書換ヲ申請スルコトヲ得

第四條第二項及第五條ノ規定ハ前項ノ申請ニ之ヲ準用ス

第十四條　水先免狀ヲ有スル者六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事實ヲ知リタル日ヨリ十日內ニ第四號書式ノ書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ變更ノ登錄ヲ申請スヘシ

前項ノ申請書ニハ登錄事項ノ變更ニ關スル戸籍ノ謄本若ハ抄本ヲ添附スヘシ

第五條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ前條ノ申請ヲ正當ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ水先人名簿ニ登錄シ必要ノ場合ニハ水先免狀ヲ書換ヘノ上第三號書式ノ水先免狀ヲ申請人ニ交付ス

第六條　水先免狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事實アリタル日ヨリ十日內ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ抹消ノ登錄ヲ申請スヘシ

一　水先免狀ヲ有スル者死亡シタルトキ

二　刑ノ執行ヲ受ケヘキ期間又ハ其ノ執行猶豫期間

三　判決言渡シタル裁判所ノ名稱、前項ニ依リ提出シタル水先免狀ハ朝鮮總督府遞信局之ヲ保管シ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受ケルコトナキニ至リタル後之ヲ還付ス

第七條　水先免狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事實アリタル日ヨリ十日內ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ抹消ノ登錄ヲ申請スヘシ

一　死刑、無期又ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ處セラレタルトキ

二　家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキ

三　廢疾又ハ身體不具若ハ癲弱ニシテ業務ヲ替ユニ不適當ト認ムルトキ

四　朝鮮總督府海員審判所ニ於テ免狀行使ノ停止ヲ言渡サレタルトキ

五　第十一條ノ水先免狀滅失又ハ毀損ノ爲水先免狀ヲ受有スル者失踪ノ宣告ヲ受ケタルトキ

六　朝鮮水先人試驗規則ノ規定ニ依リ合格ノ效力ヲ失ヒタルトキ

七　水先免狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事實アリタル日ヨリ十日內ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ抹消ノ登錄ヲ申請スヘシ

一　水先人試驗ニ合格シタル者ハ試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱、合格ノ年月日又ハ其ノ事實アリタル日ヨリ十日內ニ第五號書式ノ書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ水先人名簿ニ登錄ヲ申請スヘシ

第八條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ前條ノ申請ヲ正當ト認メタルトキハ左ノ事項ヲ水先人名簿ニ登錄シ第三號書式ノ水先免狀ヲ申請人ニ授與ス

一　氏名

二　本籍

三　出生ノ年月日

四　水先人試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱、合格ノ年月日

五　前條第二號又ハ第三號ノ事項ニ變更アリタルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事由

六　登錄ノ年月日

第九條　水先免狀ヲ有スル者登錄又ハ水先免狀ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク第四號書式ノ書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ登錄又ハ水先免狀ノ訂正ヲ申請スヘシ

前項ノ錯誤又ハ遺漏第三條第一項第二號乃至第四號ノ事項ニ關シ必要アリト認ムルトキハ水先人ノ證檢查ヲ執行ス

第十條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ登錄又ハ水先免狀ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ訂正シ其ノ旨ヲ當該免狀ヲ受有スル者ニ通知ス

朝鮮總督府遞信局ニ於テ水先免狀ヲ有スル者ノ死亡シタルトキハ相續人又ハ現ニ該免狀ヲ保管スル者ニ於テ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

該當スル場合ヲ除クノ外水先免狀ヲ申請書ニ添ヘ之ヲ朝鮮總督府遞信局ニ返還スヘシ之ヲ返還スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具出スヘシ

朝鮮總督府遞信局ハ左ノ各號ノ場合ニ於テ抹消ノ登錄ヲ爲ス

一　前條ノ申請ニ正當ト認メタルトキ

二　抹消ノ登錄ヲ申請スヘキ場合ニ於テ規定ノ期間ニ之ヲ爲ササルトキ

三　詐欺ノ所爲ヲ以テ水先免狀ヲ受ケタルコトヲ知リタルトキ

四　朝鮮總督府海員審判所ニ於テ水先免狀ヲ無效ト爲シタルトキ

朝鮮總督府遞信局第一項第二號又ハ第三號ニ依リ抹消ノ登錄ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ當該免狀ヲ有スル者又ハ之ヲ保管スル者ニ通知ス

朝鮮總督府遞信局ニ於テ水先免狀ヲ有スル者失踪ノ宣告ヲ受ケタルトキハ其ノ事由ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ抹消ノ登錄ヲ申請スヘシ

第七條　朝鮮總督府遞信局ハ左ノ各號ノ場合ニ於テ抹消ノ登錄ヲ爲ス

一　前條ノ申請ニ正當ト認メタルトキ

二　抹消ノ登錄ヲ申請スヘキ場合ニ於テ規定ノ期間ニ之ヲ爲ササルトキ

三　詐欺ノ所爲ヲ以テ水先免狀ヲ受ケタルコトヲ知リタルトキ

四　朝鮮總督府海員審判所ニ於テ水先免狀ヲ無效ト爲シタルトキ

朝鮮總督府遞信局第一項第二號又ハ第三號ニ依リ抹消ノ登錄ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ當該免狀ヲ有スル者又ハ之ヲ保管スル者ニ通知ス

朝鮮總督府遞信局ニ於テ水先免狀ヲ有スル者死亡シタルトキハ其ノ事由ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ抹消ノ登錄ヲ申請スヘシ

第八條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ前條ノ申請ヲ正當ト認メタルトキハ左ノ事項ヲ水先人名簿ニ登錄シ第三號書式ノ水先免狀ヲ申請人ニ授與ス

一　氏名

二　本籍

三　出生ノ年月日

四　水先人試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱、合格ノ年月日

五　前條第二號又ハ第三號ノ事項ニ變更アリタルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事由

六　登錄ノ年月日

第九條　水先免狀ヲ有スル者登錄又ハ水先免狀ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク第四號書式ノ書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ登錄又ハ水先免狀ノ訂正ヲ申請スヘシ

前項ノ錯誤又ハ遺漏第三條第一項第二號乃至第四號ノ事項ニ關シ必要アリト認ムルトキハ水先人ノ證檢查ヲ執行ス

第十條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ登錄又ハ水先免狀ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ訂正シ其ノ旨ヲ當該免狀ヲ受有スル者ニ通知ス

朝鮮總督府遞信局ニ於テ水先免狀ヲ有スル者死亡シタルトキハ其ノ事由ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ抹消ノ登錄ヲ申請スヘシ

第十一條　水先免狀滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事實ヲ知リタル日ヨリ十日內ニ第五號書式ノ書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ再交付ヲ申請スヘシ

第十二條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ前條ノ申請ヲ正當ト認ムルトキハ其ノ事由ヲ水先人名簿ニ登錄シ第三號書式ノ水先免狀ヲ申請人ニ交付ス

水先人前項ノ免狀ヲ受ケタルトキハ之ト引換ニ舊免狀ヲ朝鮮總督府遞信局ニ返還スヘシ但シ水先免狀滅失シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　行政區劃ノ變更アリタルトキハ水先免狀ヲ有スル者ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シ水先免狀ノ書換ヲ申請スルコトヲ得

第四條第二項及第五條ノ規定ハ前項ノ申請ニ之ヲ準用ス

第十四條　水先免狀ヲ有スル者六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキハ其ノ事實アリタル日又ハ其ノ事實ヲ知リタル日ヨリ十日內ニ第四號書式ノ書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ變更ノ登錄ヲ申請スヘシ

前項ノ申請書ニハ登錄事項ノ變更ニ關スル戸籍ノ謄本若ハ抄本ヲ添附スヘシ

第五條　朝鮮總督府遞信局ニ於テ前條ノ申請ヲ正當ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ水先人名簿ニ登錄シ必要ノ場合ニハ水先免狀ヲ書換ヘノ上第三號書式ノ水先免狀ヲ申請人ニ交付ス

第六條　水先免狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事實アリタル日ヨリ十日內ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ抹消ノ登錄ヲ申請スヘシ

一　水先免狀ヲ有スル者死亡シタルトキ

二　刑ノ執行ヲ受ケヘキ期間又ハ其ノ執行猶豫期間

三　判決言渡シタル裁判所ノ名稱、前項ニ依リ提出シタル水先免狀ハ朝鮮總督府遞信局之ヲ保管シ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受ケルコトナキニ至リタル後之ヲ還付ス

第七條　水先免狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事實アリタル日ヨリ十日內ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ抹消ノ登錄ヲ申請スヘシ

一　死刑、無期又ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ處セラレタルトキ

二　家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキ

三　廢疾又ハ身體不具若ハ癲弱ニシテ業務ヲ替ユニ不適當ト認ムルトキ

四　朝鮮總督府海員審判所ニ於テ免狀行使ノ停止ヲ言渡サレタルトキ

五　第十一條ノ水先免狀滅失又ハ毀損ノ爲水先免狀ヲ受有スル者失踪ノ宣告ヲ受ケタルトキ

六　朝鮮水先人試驗規則ノ規定ニ依リ合格ノ效力ヲ失ヒタルトキ

七　水先免狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事實アリタル日ヨリ十日內ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ抹消ノ登錄ヲ申請スヘシ

一　水先人試驗ニ合格シタル者ハ試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱、合格ノ年月日又ハ其ノ事實アリタル日ヨリ十日內ニ第五號書式ノ書面ヲ朝鮮總督府遞信局ニ提出シテ水先人名簿ニ

人ヲ以テ組合員トス
二區以上ノ水先區ニ於テ免狀ヲ受有スル者ハ專屬水先區ノ組合員トス

第四十三條　朝鮮總督ハ水先人組合ヲ設ケシメムトスルトキハ當該水先區ノ水先人ノ內ヨリ創立委員ヲ命ス

第四十四條　創立委員ハ組合規約ヲ起草シテ之ヲ當該水先區ノ水先人ノ會議ニ付スヘシ
創立委員ハ會員ヨリ二週間前ニ各水先人ニ組合規約案ヲ添ヘ會日時及會場ヲ通知スヘシ

組合規約ハ當該水先區ノ水先人總員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ議決スルコトヲ得ス

水先人ハ代理人ヲ以テ意見ヲ表示スルコトヲ得

第四十五條　會議ノ通知ヲ受ケタル水先人會議ニ出席セス又ハ代理人ヲ出席セシメサルトキハ規約ノ成案ニ同意シタルモノト看做ス

第四十六條　組合規約ヲ議決シタルトキハ創立委員ハ遲滯ナク其ノ成案ヲ朝鮮總督ニ提出シ認可ヲ申請スヘシ

第四十七條　第四十四條第三項ノ場合ニ於テ意見數說ニ分レ定數ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ創立委員ハ各意見ヲ具シ朝鮮總督ノ裁決ヲ申請スヘシ

第四十八條　組合規約ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　組合ノ名稱
二　組合長其ノ他組合ノ役員ニ關スルコト
三　組合員ノ營業ニ關スルコト
四　組合ノ風紀秩序ニ關スルコト
五　組合ノ會計ニ關スルコト
六　組合ノ會議ニ關スルコト
七　水先修業生ノ資格等ニ關スルコト
八　前各號ノ外組合ノ處理ニ關シ必要アルコト

第四十九條　水先人組合ニハ組合長一人ヲ置クヘシ
水先人組合ニ組合副長其ノ他ノ役員ヲ置クコトヲ得

組合長其ノ他組合ノ役員ハ組合員之ヲ互選シ其ノ任期ハ三年內トス
組合長、組合副長ノ內一人ハ特別ノ事由アル場合ニ限リ朝鮮總督府遞信局長官ノ認可ヲ受ケ組合員ニ非サル者ヲ選任スルコトヲ得

第五十條　組合長ハ本令及組合規約ニ依リ其ノ職務ニ屬スル事務ヲ行フ
組合副長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ組合規約ノ定メル所ニ依リ其ノ職務ヲ代理ス

第五十一條　朝鮮總督ハ組合規約ヲ認可シタルトキハ其ノ旨ヲ創立委員ニ通達ス
創立委員ハ前項ノ通達ヲ受ケタル日ヨリ十日內ニ組合長其ノ他組合ノ役員ノ選舉ヲ行ヒ其ノ就任確定シタルトキハ遲滯ナク其ノ氏名ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ
創立委員ノ職務ハ前項ノ報告ヲ以テ終了トス

第五十二條　組合長ハ就任後遲滯ナク組合ノ事務所ヲ定メムヘシ
組合長ハ事務所ヲ定メタル日ヨリ三日內ニ其ノ所在地ヲ朝鮮總督府遞信局ニ屆出ツヘシ
之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第五十三條　組合規約ヲ變更セムトスルトキハ組合長ニ變更ヲ要スル事由ヲ具シ其ノ成案ヲ朝鮮總督ニ提出シ認可ヲ申請スヘシ

第五十四條　組合長其ノ他組合ノ役員交迭シタルトキハ組合長ハ其ノ事由ヲ具シ新任者ノ氏名ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ但シ組合長交迭ノ場合ニ在リテハ新組合長ノ連署ヲ要ス

第五十五條　組合長ハ每年一月前一年間ニ於ケル組合員ノ營業ニ關スル狀況及組合ノ會計ニ關スル事項ヲ朝鮮總督府遞信局ニ報告スヘシ

第五十六條　朝鮮總督ハ組合規約ノ改正ヲ命シ、水路標識ニ關スル事項ヲ組合ニ諮問シ、必要ト認ムルトキハ其ノ事項ヲ審議スル爲メ組合會議ヲ開クヘキコトヲ命シ又ハ當該官吏ヲシテ組合ノ會議ニ臨席セシムルコトアルヘシ

第五十七條　水先人第四十八條第三號又ハ第四號ニ依リ組合規約ニ記載シタル事項ニ違反シタルトキハ朝鮮總督府ノ裁決ヲ以テ懲戒ヲ加フ
水先人前項ノ所爲アリタルトキハ組合長ハ管海官廳ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第五十八條　前條第二項ノ申告ニハ證憑及事實參考ト爲ルヘキ資料ヲ提出スヘシ

第五十九條　本令ニ依リ申請ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納付スヘシ

一　第九條第一項ニ依リ水先免狀ノ訂正ヲ申請スル場合ニ於テ記載事項ノ錯誤又ハ遺漏ト免狀ヲ受有スル者ノ過失ニ出テタルトキ　一圓

二　第十一條ニ依リ水先免狀ノ再交付ヲ申請スルトキ　一圓

三　第十三條第一項ニ依リ水先免狀ノ書換ヲ申請スルトキ　一圓

四　第二十七條第一項ニ依リ水先船免狀ノ交付ヲ申請スルトキ　一圓

五　第二十九條第一項ニ依リ水先船免狀ノ書換ヲ申請スルトキ　一圓

六　第三十條第一項ニ依リ水先船免狀ノ再交付ヲ申請スルトキ　一圓

七　第三十七條ニ依リ水先法令書ノ再交付ヲ申請スルトキ　二圓

前項第一號乃至第三號ノ申請ニ付以上同時ニ爲シ又ハ第五號及第六號ノ申請ヲ同時ニ爲ストキハ免狀每ニ一件ニ對スル手數料ヲ納付スルヲ以テ足ル

第六十條　本令ニ於テ管海官廳ト稱スルハ水先人組合ノ事務所又ハ水先人ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ謂フ

第六十九條　本令ノ規定ニ依リ申請、屆出、報告若ハ書面ヲ提出シ又ハ水先免狀、水先法令書ヲ返還スルニハ管海官廳ヲ經由スヘシ

第七十條　第五十二條及六十三條ノ屆出又ハ第六十六條ノ報告ハ幹察官署ノ所在地ニ在リテハ當該官署ニモ之ヲ爲スヘシ

第十一章　罰則

第七十一條　第四條第一項、第六條第一項第二項、第九條第一項、第十一條、第十四條第二十五條、第二十六條、第二十三條、第三十條第一項、第二十九條第一項、第三十五條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第七十二條　第三十九條乃至第四十一條、第四十六條、第四十七條、第五十一條、第五十七條第二項、第五十八條乃至第六十三條第一項第二項、第六十一條乃至第六十四條乃至第六十七條、第七十條ニ違反シタル者第八條ノ證格檢査ノ執行ヲ拒ミタル者第五十六條ノ命令ニ從ハス若ハ當該官吏ノ臨席ヲ拒ミタル者又ハ本令ノ規定ニ依リ水先免狀、水先船免狀、水先法令書ヲ返還若ハ添附スヘキ場合ニ之ヲ怠リタル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ朝鮮水先令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮水先令附則第二項ニ依リ水先免狀ヲ受有セムトスル者ハ本令施行ノ日ヨリ三月內ニ申請スヘシ此ノ場合ニ於テハ第二條ノ規定ヲ準用ス

附　則（昭和五年五月總令第四十七號）

本令ハ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

第四號書式

水先人名簿變更登錄（訂正）申請書

一　水先免狀ノ番號
二　水先區ノ名稱
三　登錄ノ年月日
四　氏名（片假名ニテ傍訓ヲ附スヘシ）　新（朱書）　舊（朱書）
五　本籍　新（朱書）　舊（朱書）
六　出生ノ年月日

右年月日（變更、訂正ノ事由）ニ依リ前記朱書ノ通變更ニ付變更登錄（訂正）相成度戶籍謄本、（抄本）竝登錄稅（手數料）相添此段申請候也

年　月　日　　申請人　氏　名　印
現住所

第五號書式

朝鮮總督府遞信局宛

水先免狀再交付申請書

一　水先免狀ノ番號
二　水先區ノ名稱
三　登錄ノ年月日
四　氏名（片假名ニテ傍訓ヲ附スヘシ）
五　本籍
六　出生ノ年月日

右年月日（流失、遺失、紛失、毀損ノ事由）ニ付再交付相成度手數料相添此段申請候也

年　月　日　　申請人　氏　名　印
現住所

第六號書式

朝鮮總督府遞信局宛

種類名稱		長
水先船免狀		幅
船積	艤具ノ裝置	深
	噸數	

免狀ヲ受ケタル水先人（氏名）ノ申請ニ依リ此ノ免狀ヲ授與ス

年　月　日

管海官廳印

備考　水先船免狀ハ竪一尺一寸橫八寸トス

第七號書式

朝鮮總督府遞信局宛

第一號書式

水先人名簿登錄申請書

一　水先區ノ名稱
二　氏名（片假名ニテ傍訓ヲ附スヘシ）
三　本籍
四　出生ノ年月日
五　水先人試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱
右水先人名簿ニ登錄ノ上水先免狀授與相成度朝鮮水先令施行規則第一條ニ依リ登錄稅相添此段申請候也

年　月　日　　申請人　氏　名　印
現住所

第二號書式　削除

第三號書式　削除

第四號書式

水先人名簿變更登錄（訂正）申請書

一　水先免狀ノ番號
二　水先區ノ名稱
三　登錄ノ年月日
四　氏名（片假名ニテ傍訓ヲ附スヘシ）　新（朱書）　舊（朱書）
五　本籍　新（朱書）　舊（朱書）
六　出生ノ年月日

右年月日（變更、訂正ノ事由）ニ依リ前記朱書ノ通變更ニ付變更登錄（訂正）相成度戶籍謄本、（抄本）竝登錄稅（手數料）相添此段申請候也

年　月　日　　申請人　氏　名　印
現住所

第五號書式

朝鮮總督府遞信局宛

水先免狀再交付申請書

一　水先免狀ノ番號
二　水先區ノ名稱
三　登錄ノ年月日
四　氏名（片假名ニテ傍訓ヲ附スヘシ）
五　本籍
六　出生ノ年月日

右年月日（流失、遺失、紛失、毀損ノ事由）ニ付再交付相成度手數料相添此段申請候也

年　月　日　　申請人　氏　名　印
現住所

第六號書式

朝鮮總督府遞信局宛

種類名稱		長
水先船免狀		幅
船積	艤具ノ裝置	深
	噸數	

免狀ヲ受ケタル水先人（氏名）ノ申請ニ依リ此ノ免狀ヲ授與ス

年　月　日

管海官廳印

備考　水先船免狀ハ竪一尺一寸橫八寸トス

（別表）

水先區	航路	汽船水先案内料
東水道水先區境界線ヨリ多獅島錨地迄		
又ハ多獅島錨地ヨリ東水道水先區境界線迄		三五圓
東水道水先區境界線ヨリ龍岩浦錨地迄		
又ハ龍岩浦錨地ヨリ東水道水先區境界線迄		七五
東水道水先區境界線ヨリ三道浪頭錨地迄		
又ハ三道浪頭錨地ヨリ東水道水先區境界線迄		一〇〇
東水道水先區境界線ヨリ安東縣錨地迄		
又ハ安東縣錨地ヨリ東水道水先區境界線迄		一一〇
多獅島錨地ヨリ龍岩浦錨地迄		
又ハ龍岩浦錨地ヨリ多獅島錨地迄		五〇
多獅島錨地ヨリ三道浪頭錨地迄		
又ハ三道浪頭錨地ヨリ多獅島錨地迄		七〇
多獅島錨地ヨリ安東縣錨地迄		
又ハ安東縣錨地ヨリ多獅島錨地迄		八五
龍岩浦錨地ヨリ三道浪頭錨地迄		
又ハ三道浪頭錨地ヨリ龍岩浦錨地迄		三〇
龍岩浦錨地ヨリ安東縣錨地迄		
又ハ安東縣錨地ヨリ龍岩浦錨地迄		四〇
三道浪頭錨地ヨリ安東縣錨地迄		
又ハ安東縣錨地ヨリ三道浪頭錨地迄		二〇
鴨綠江		
西水道水先區境界線ヨリ大東溝錨地（獐島ヲ含ム）迄		
又ハ大東溝錨地ヨリ西水道水先區境界線迄		三五
西水道水先區境界線ヨリ龍岩浦錨地迄		
又ハ龍岩浦錨地ヨリ西水道水先區境界線迄		六五
西水道水先區境界線ヨリ三道浪頭錨地迄		
又ハ三道浪頭錨地ヨリ西水道水先區境界線迄		八五
西水道水先區境界線ヨリ安東縣錨地迄		
又ハ安東縣錨地ヨリ西水道水先區境界線迄		一〇〇
大東溝錨地ヨリ龍岩浦錨地迄		
又ハ龍岩浦錨地ヨリ大東溝錨地迄		三五
大東溝錨地ヨリ三道浪頭錨地迄		
又ハ三道浪頭錨地ヨリ大東溝錨地迄		五五
大東溝錨地ヨリ安東縣錨地迄		
又ハ安東縣錨地ヨリ大東溝錨地迄		七〇
水先區境界線ヨリ鎭西浦錨地ヨリ水先區境界線迄		
又ハ鎭西浦錨地ヨリ水先區境界線迄		五五
水先區境界線ヨリ葦二浦錨地迄		
又ハ葦二浦錨地ヨリ水先區境界線迄		八五
鎭西浦錨地ヨリ葦二浦錨地迄		
又ハ葦二浦錨地ヨリ鎭西浦錨地迄		四〇
大同江		
水先區境界線ヨリ保山錨地迄		
又ハ保山錨地ヨリ水先區境界線迄		一〇〇
鎭西浦錨地ヨリ保山錨地迄		
又ハ保山錨地ヨリ鎭西浦錨地迄		六〇
水先區南境界線ヨリ港内錨地迄		
又ハ港内錨地ヨリ水先區南境界線迄		七〇
群山港	水先區境界線ヨリ港内錨地迄	
又ハ港内錨地ヨリ水先區境界線迄		四〇
木浦港	北水道水先區境界線ヨリ港内錨地迄	
又ハ港内錨地ヨリ北水道水先區境界線若ハ南水道水先區境界線迄		五五
東水道水先區境界線ヨリ港内錨地迄		
又ハ港内錨地ヨリ東水道水先區境界線迄		七〇
釜山港	釜山港東口水先區境界線ヨリ港内錨地迄	
又ハ港内錨地ヨリ釜山港東口水先區境界線迄		三〇
釜山港西口水先區境界線ヨリ港内錨地迄		
又ハ港内錨地ヨリ西口水先區境界線迄		一五
元山港	水先區境界線ヨリ港内錨地迄	
又ハ港内錨地ヨリ水先區境界線迄		二五

備考

一　帆船水先案内料ハ當該航路ニ於ケル汽船水先案内料ニ其ノ百分ノ八十ヲ加ヘタル額トス但シ機關ヲ有スル帆船ニ在リテハ機關ヲ使用スルトキハ帆船水先案内料ノ範圍内ニ於テ船長ト協定スヘシ

二　鴨綠江水先區ニ於ケル帆船ノ水路繙導ニハ曳船ヲ使用スル但シ本表水先案内料ニハ曳船賃ヲ含マス

別記樣式

○

四尺五寸	
白	
赤	

一尺五寸　一尺五寸

●朝鮮水先令施行規則ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局

大正四年十一月
總督第二百八十二號

全羅北道群山郵便局ヲシテ大正四年十一月五日ヨリ群山水先區ニ於ケル朝鮮水先令施行規則ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行ハシム

●朝鮮水先人試驗規則

大正四年十月
總令第百三號
改正　大正二年一〇第六〇號、一四年五第八〇號、昭和五年五第一八五號

朝鮮水先人試驗規則左ノ通定ム

朝鮮水先人試驗規則

第一條　水先人試驗ハ朝鮮總督ノ定ムル場所及期日ニ於テ之ヲ行フ

試驗ヲ行フ管海官廳、試驗期日、水先區ノ名稱及水先人ノ員數ハ試驗期日三十日前迄ニ之ヲ告示ス

第二條　試驗ヲ受クルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限ル

一　二年以上總噸數七百噸以上ノ航洋船ニ乘組ミ船長ノ職ヲ執リ且六月以上試驗ヲ受ケムトスル水先區ニ於テ水先修業生トシテ實務ヲ練習シタルコト

二　二年以上總噸數七百噸以上ノ航洋船ニ乘組ミ船長ノ職ヲ執リタル者

第三條　試驗ヲ受ケムトスル者ハ履歷書ニ戶籍謄本ヲ添ヘ願書ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

第四條　削除

第五條　朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員試驗規程第三條、第二十一條（甲種機關科ニ關スル規定ニ限ル）、第二十二條乃至第二十四條、第二十六條及第二十七條ノ規定ハ水先人試驗ニ之ヲ準用ス

第六條　試驗ニ合格シタル者ニハ管海官廳ニ於テ水先人免許狀ヲ授與ス

第七條　本令ニ依リ水先人ノ免許ヲ受ケタル者ハ其ノ水先區ニ於テ水先業ヲ營ムヘシ

第八條　水先人ハ其ノ水先區ニ於ケル航路ニ關シ左ノ事項ヲ熟知スヘシ

一　航路標識、潮流、地勢、水路、港灣錨地及危險物ノ說明

二　船舶ノ標準及運航方法

三　羅針造差ノ檢定方法

四　船舶衝突ノ豫防、水路港灣ノ取締其ノ他水先人本分ノ職務ニ關スル法規

五　英語

筆記試驗及口述試驗ヲ併セ行フ場合ニハ筆記試驗ニ合格シタル者ニ非サレハ口述試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第九條　朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ定メタル船舶職員試驗規程第三條、第二十一條（機格檢查ニ關スル規定ニ限ル）、第二十二條乃至第二十四條、第二十六條及第二十七條ノ規定ハ水先人試驗ニ之ヲ準用ス

第十條　學術試驗ノ成績ハ試驗官更ニ於テ受驗人カ當該水先區ノ航海ニ從事シタル經歷ヲモ參酌シテ之ヲ定ム

附　則

本令ハ朝鮮水先令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十四年五月總令第六十號）

本令ハ大正十四年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和五年五月總令第四十八號）

本令ハ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

受驗申請書

何水先區水先人試驗相受度就テハ履歷書、受驗資格ニ關スル證明書及戶籍ノ謄本相添此段申請候也

年　月　日

申請人　氏　名　印

管海官廳宛

●朝鮮水夫適任證書交付規則

大正五年五月
總令第四十三號
改正　大正一〇年二八第二號、昭和一〇年三第三八號

朝鮮水夫適任證書交付規則左ノ通定ム

第一條　亞米利加合衆國諸港ニ出入セムトスル朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ船員ニシテ千九百十五年三月四日ノ亞米利加合衆國海員法ニ依ル水夫適任證書ヲ受有セムトスル者ハ其ノ交付ヲ管海官廳ニ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ハ亞米利加合衆國諸港ニ出入セムトスル朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ船員ト爲ラムトスル者ニ之ヲ準用ス

第二條　水夫適任證書ハ左ニ揭ケル資格ノ一ヲ有シ且體格檢查ニ合格シタル者ニ之ヲ交付ス

一　總噸數百噸以上ノ沿海以上ノ航行區域ヲ航行スル船舶ニ乘組ミ三年以上甲板部員トシテ執務シ年齡滿十九年以上ナルコト

二　沿海以上ノ航行區域ヲ航行スル船舶ニ乘組ミ一年以上甲板部員トシテ執務シ且船舶ノ運用ニ關スル試驗ニ合格シタルコト

遊覽船、捕鯨船又ハ無甲板漁船ニ乘組ミタル期間ハ前項第一號ノ期間ニ算入セス

第一項第二號ノ試驗ハ經針盤方位、船燈、霧笛信號、航路信號、機關傳令、繫索、繩艇ノ操方及操縱、航海用語並操舵ニ關スル要領ニ付之ヲ行フ

第三條　水夫適任證書ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ノ申請書ニ戶籍謄本ヲ添ヘ願書ヲ管海官廳ニ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ申請者ハ船員手帖又ハ之ニ準スヘキ證明書ヲ管海官廳ノ檢閱ニ供シ本籍地、出生年月日及乘船履歷ヲ證明スヘシ

第一號書式（表）

水夫適任證書交付申請書

水夫適任證書下付相受度候ニ付テハ履歷書相添ヘ此段及申請候也

年　月　日

申請人　氏　名　印

通知ヲ受ケヘキ場所

管海官廳宛

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第七款　船舶檢査及取締

●朝鮮船舶檢査規則

船舶檢査手續

第一條　船舶檢査ヲ受ケントスル者ハ檢査ノ種類ニ從ヒ左ノ區別ニ依リ檢査願書ヲ提出スヘシ

一　定期檢査ヲ受ケントスル者ハ檢査期日ノ十日前迄ニ

二　臨時檢査ヲ受ケントスル者ハ檢査期日ノ三日前迄ニ

三　船舶ヲ改造シ又ハ修繕シタル場合ニ於テ其ノ檢査ヲ受ケントスル者ハ工事ノ竣成ノ日ヨリ十日以内ニ

四　船舶ヲ譲渡シ又ハ譲受ケタル場合ニ於テ其ノ檢査ヲ受ケントスル者ハ譲渡又ハ譲受ノ日ヨリ十日以内ニ

五　船舶ヲ賃貸シ又ハ賃借シタル場合ニ於テ其ノ檢査ヲ受ケントスル者ハ賃貸又ハ賃借ノ日ヨリ十日以内ニ

六　船舶ヲ沈没又ハ滅失シタル場合ニ於テ其ノ檢査ヲ受ケントスル者ハ沈没又ハ滅失ノ日ヨリ十日以内ニ

七　船舶ヲ廃棄シタル場合ニ於テ其ノ檢査ヲ受ケントスル者ハ廃棄ノ日ヨリ十日以内ニ

第二條　檢査願書ニハ船舶ノ種類、名稱、噸數、馬力、建造地、建造年月、船質、船體、機關、汽罐、推進器、船舶設備、航海設備、救命設備、無線電信電話設備、航海區域、乗組員數、乗客定員、最大搭載人員、最大搭載貨物重量、最大搭載貨物容積、最大搭載燃料重量、最大搭載清水重量、最大搭載バラスト重量、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル各艙ノ容積、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル各艙ノ重量、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル各艙ノ重心ノ位置、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル喫水、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル乾舷、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル復原力ノ性能、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル動搖周期、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル傾斜試驗ノ結果、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル船舶ノ安定ニ關スル計算書、船舶ノ安定ニ關スル圖面、船舶ノ安定ニ關スル計算書ノ檢査ヲ受ケントスル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第三條　檢査願書ニハ左ノ圖面ヲ添附スヘシ

一　一般艤裝圖

二　船殻構造圖

三　船舶設備圖

四　航海設備圖

五　救命設備圖

六　無線電信電話設備圖

七　航海區域圖

八　乗組員數、乗客定員、最大搭載人員、最大搭載貨物重量、最大搭載貨物容積、最大搭載燃料重量、最大搭載清水重量、最大搭載バラスト重量、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル各艙ノ容積、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル各艙ノ重量、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル各艙ノ重心ノ位置、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル喫水、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル乾舷、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル復原力ノ性能、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル動搖周期、最大搭載貨物及燃料積付ノ場合ニ於ケル傾斜試驗ノ結果ヲ記載シタル圖面

九　船舶ヲ改造シ又ハ修繕シタル場合ニ於テハ改造又ハ修繕ノ部分ノ圖面

十　船舶ヲ賃貸シ又ハ賃借シタル場合ニ於テハ賃貸又ハ賃借ノ部分ノ圖面

第四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第四十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第四十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第四十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第四十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第四十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第四十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第四十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第四十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第四十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第四十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第五十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第五十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第五十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第五十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第五十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第五十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第五十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第五十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第五十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第五十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第六十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第六十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第六十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第六十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第六十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第六十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第六十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第六十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第六十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第六十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第七十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第七十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第七十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第七十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第七十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第七十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第七十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第七十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第七十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第七十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第八十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第八十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第八十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第八十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第八十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第八十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第八十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第八十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第八十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第八十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第九十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第九十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第九十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第九十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第九十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第九十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第九十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第九十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第九十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第九十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百二十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百二十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百二十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百二十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百二十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百二十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百二十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百二十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百二十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百二十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百三十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百三十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百三十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百三十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百三十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百三十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百三十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百三十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百三十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百三十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百四十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百四十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百四十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百四十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百四十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百四十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百四十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百四十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百四十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百四十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百五十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百五十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百五十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百五十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百五十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百五十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百五十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百五十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百五十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百五十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百六十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百六十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百六十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百六十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百六十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百六十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百六十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百六十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百六十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百六十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百七十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百七十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百七十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百七十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百七十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百七十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百七十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百七十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百七十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百七十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百八十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百八十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百八十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百八十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百八十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百八十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百八十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百八十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百八十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百八十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百九十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百九十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百九十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百九十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百九十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百九十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百九十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百九十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百九十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第百九十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百二十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百二十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百二十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百二十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百二十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百二十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百二十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百二十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百二十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百二十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百三十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百三十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百三十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百三十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百三十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百三十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百三十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百三十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百三十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百三十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百四十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百四十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百四十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百四十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百四十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百四十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百四十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百四十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百四十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百四十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百五十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百五十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百五十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百五十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百五十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百五十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百五十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百五十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百五十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百五十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百六十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百六十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百六十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百六十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百六十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百六十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百六十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百六十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百六十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百六十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百七十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百七十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百七十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百七十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百七十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百七十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百七十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百七十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百七十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百七十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百八十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百八十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百八十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百八十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百八十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百八十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百八十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百八十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百八十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百八十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百九十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百九十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百九十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百九十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百九十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百九十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百九十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百九十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百九十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第二百九十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百十三條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百十四條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百十五條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百十六條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百十七條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百十八條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百十九條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

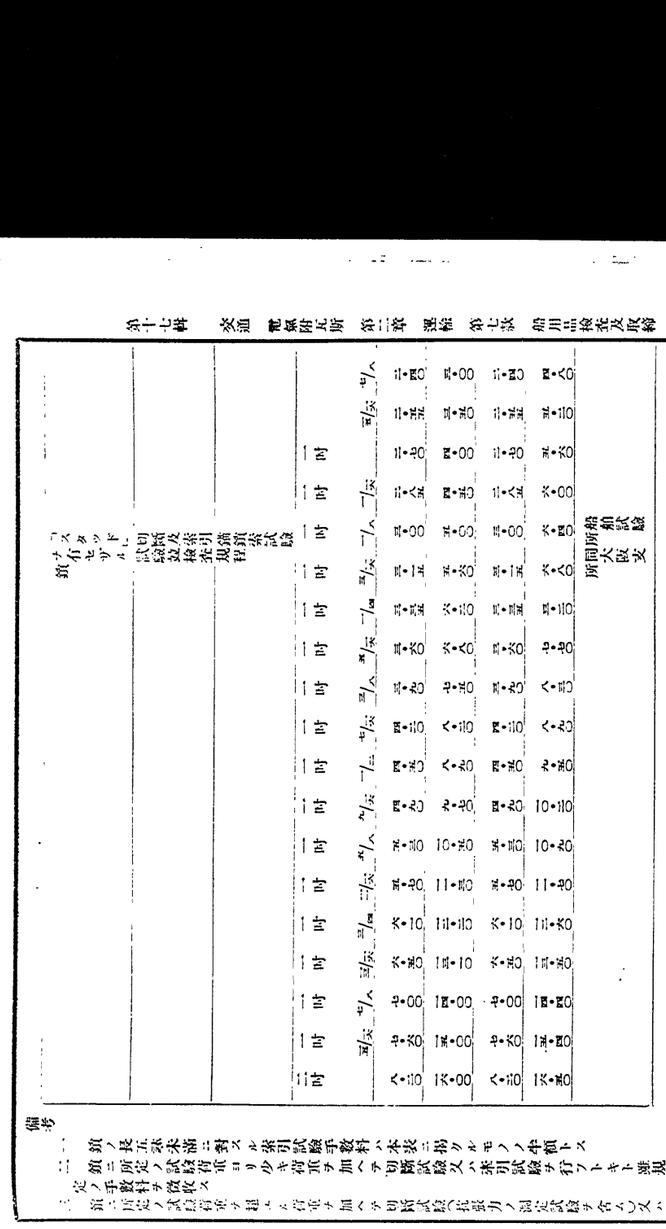
第三百二十條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百二十一條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

第三百二十二條　檢査願書ニハ船舶ノ安定ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

船用品檢查試驗細目	檢查所檢查試驗所檢查試驗	船舶試驗所試驗	備考
鍛鋼及鑄鋼	抗張試驗	抗張試驗	
鍛鋼及鑄鋼	屈曲試驗	屈曲試驗	
材料檢查	材料檢查	材料檢查	
鍛鋼及鑄鋼	機又ハ船體ノ規格ニ依リ造船材料ノ檢查ヲ爲ス場合ニ於テハ檢查官ニ於テ適當ト認ムル數ノ試驗ヲ行フモノトス	機又ハ船體ノ規格ニ依リ造船材料ノ檢查ヲ爲ス場合ニ於テハ檢查官ニ於テ適當ト認ムル數ノ試驗ヲ行フモノトス

品名	部面	鉛砂	鉛	品目	部分	器具	器數	命	數	其	發火	器
ノ其ノ他ノ同	數	收縮試驗	面	其ノ他ノ同				命			射命	
	種	試驗	效力試驗					效力試驗			器械同	
	效	試驗	試驗									
	力	試驗	試驗									
	試	試驗	試驗									
	驗	收縮試驗	收縮試驗									
	規程	規程面	規程面									
同				同				救命試驗	同	同	同	同



第二十一條 第二十條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第二十二條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第二十三條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第二十四條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第二十五條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第二十六條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第二十七條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第二十八條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第二十九條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第三十條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第三十一條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第三十二條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第三十三條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第三十四條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第三十五條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第三十六條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第三十七條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第三十八條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第三十九條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第四十條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第四十一條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第四十二條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第四十三條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第四十四條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第四十五條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第四十六條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第四十七條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第四十八條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第四十九條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第五十條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第五十一條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第五十二條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第五十三條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第五十四條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第五十五條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第五十六條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第五十七條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第五十八條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第五十九條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第六十條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第六十一條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第六十二條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第六十三條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第六十四條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第六十五條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第六十六條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第六十七條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第六十八條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第六十九條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第七十條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第七十一條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第七十二條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第七十三條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第七十四條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第七十五條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第七十六條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第七十七條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第七十八條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第七十九條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第八十條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第八十一條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第八十二條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第八十三條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第八十四條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第八十五條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第八十六條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第八十七條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第八十八條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第八十九條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第九十條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第九十一條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第九十二條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第九十三條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第九十四條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第九十五條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第九十六條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第九十七條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第九十八條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第九十九條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第百條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第百一條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第百二條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第百三條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第百四條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第百五條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

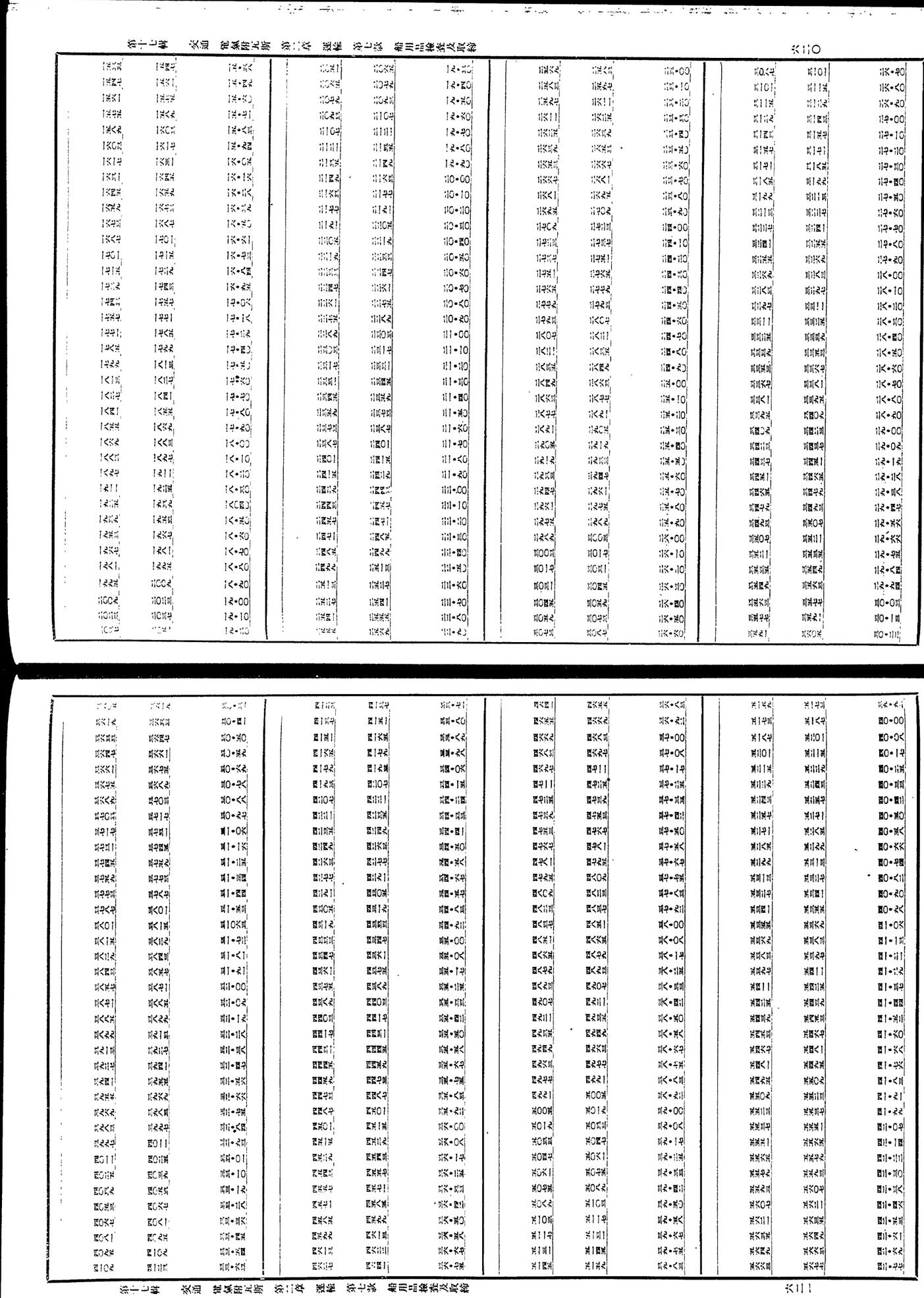
第百六條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第百七條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第百八條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第百九條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

第百十條 第二十條ノ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ所有者ハ檢查ヲ受クル場所ヲ管轄スル遞信局又ハ遞信管理所ニ檢查ヲ受ケントスル船舶ノ種類、船名、船舶ノ主ナル寸法、檢查ヲ受ケントスル場所及檢查ヲ受ケントスル年月日ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ



第二號表

鎖鎖試驗荷重及普通鎖寸法表

鎖鎖種別	普通鎖寸法ノ標準	鎖ノ相	普通鎖	荷重		普通鎖	荷重		鎖鎖種別	普通鎖寸法ノ標準	鎖ノ相	普通鎖	荷重		普通鎖	荷重	
				切斷試驗	糸引試驗		切斷試驗	糸引試驗					切斷試驗	糸引試驗		切斷試驗	糸引試驗
有スタッドリンク鎖	三吋	長	三吋	一噸	一噸	一吋	一噸	一噸	有スタッドリンク鎖	三吋	長	三吋	一噸	一噸	一吋	一噸	一噸
		幅	二吋			七/八吋					幅	二吋			七/八吋		
	二吋	長	二吋	一噸	一噸	一吋	一噸	一噸		二吋	長	二吋	一噸	一噸	一吋	一噸	一噸
		幅	一吋			五/八吋					幅	一吋			五/八吋		
無スタッドリンク鎖	三吋	長	三吋	一噸	一噸	一吋	一噸	一噸	無スタッドリンク鎖	三吋	長	三吋	一噸	一噸	一吋	一噸	一噸
		幅	二吋			七/八吋					幅	二吋			七/八吋		
	二吋	長	二吋	一噸	一噸	一吋	一噸	一噸		二吋	長	二吋	一噸	一噸	一吋	一噸	一噸
		幅	一吋			五/八吋					幅	一吋			五/八吋		

第三號表

| 川名 | 標準造機關車 | 種別 | 新製年月 | 製造所 | 製造番號 | 汽罐 | 汽罐壓力 | 汽罐直徑 | 汽罐管數 | 汽罐管長 | 汽罐管外徑 | 汽罐管厚 | 汽罐管材料 | 汽罐管製造法 | 汽罐管接手法 | 汽罐管穿孔法 | 汽罐管穿孔數 | 汽罐管穿孔間隔 | 汽罐管穿孔配置 | 汽罐管穿孔直徑

第七條　船燈各部ノ構造及寸法ニシテ本令ニ規定ナキモノニ付テハ當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第八條　本令ノ規定ニ該當セザル船燈ハ當該官吏ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力有ストト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第二章　油船燈

第一節　通則

第九條　燈籠ハ口金及燈筒ヲ裝著シタル油壺ヲ挿入シ得ルモノナルコトヲ要ス

煙筒ハ火口ノ直上ニ設クベシ

燈窓ニ堅ニ取附クル枠棒ハ火口ノ延長線上ニ置クコトヲ得ズ

第十條　船燈ハ無風高氣溫ノ場合ニ於テモ通氣十分ニシテ燈火カ不同ナク十分ニ燃照スル構造ノモノナルコトヲ要ス

船燈ハ風又ハ船舶ノ動搖等ニ依リ油煙ヲ生ズルコトナク又消火セザル樣通氣孔ノ大サ及配置ヲ適當ニシ且飛沫ノ浸入ニ依リ光度ニ影響ヲ及ボスコトナキ構造ノモノナルコトヲ要ス

第十一條　油壺ハ燈火カ信號燈及安全燈ニ在リテハ五時間以上、乙種兩色燈、丁種白燈及操舵目標燈ニ在リテハ八時間以上、其ノ他ノ船燈ニ在リテハ一六時間以上繼續シテ安全ニ燃照シ得ル油量ヲ貯ヘ得ルモノナルコトヲ要ス

油壺ノ形狀ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

油壺ノ口金ハ燈窓ニ堅ニ取附ケ得ル樣ニ造リ且油ノ動搖ヲ防ギ裝著ヲ確實ナラシムル構造ノモノナルコトヲ要ス

油壺ニハ氣孔ヲ有スル注油栓ヲ裝著シ且油壺ノ內部ニハ燈油ノ動搖ヲ防グ裝著ヲ設クベシ

第十二條　火口ノ形狀ハ一字形ニシテ第一表ニ揭グル幅ノ平燈心ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

口金ニハ燈心調整裝置ヲ附シ引火防具及氣孔ヲ裝著スベシ但シ種油用ノモノニ在リテハ引火防具及氣孔ヲ裝著スルコトヲ要セズ

第十三條　油壺及口金ノ挿入裝著ハ口金ヲ裝著シタル油壺ヲ燈籠ニ挿入スルトキ火口カ正規ノ位置ヲ外ニ止マリ庚ナキモノナルコトヲ要ス

第十四條　石油燈ニハ燈筒ヲ使用スベシ

燈筒ハ無色透明ナル良質ノ硝子ヲ以テ成ルベク薄ク且厚サニ不同ナク製造シ形狀及寸法ハ當該官吏ニ於テ適當ト認ムルモノナルコトヲ要ス

第十五條　反射鏡ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザル限リ大形ニ爲シ其ノ表面ハ燈火ノ最輝點ヲ中心トスル球面ノ一部ニシテ十分磨キタル後銀色鏡ヲ施シタルモノナルコトヲ要ス但シ乙種兩色燈及操舵目標燈ノ反射鏡ノ表面ハ圓筒形ニ爲スコトヲ得

第十六條　油船燈ニハ石油ヲ使用スベシ但シ丁種白燈及操舵目標燈ニハ種油ヲ使用スルコトヲ得

第十七條　油船燈各部ノ寸法ハ第一表ニ依ル

第十八條　水先燈ノ構造及寸法ハ本節ノ規定ニ依ルノ外當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第二節　檣燈

第十九條　燈窓ニハ甲種檣燈ニ在リテハ無色透鏡ヲ、乙種檣燈ニ在リテハ無色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第二十條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲スニ在ルコトヲ要ス

第二十一條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第二十二條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後甲種檣燈ニ在リテハ無色透鏡又ハ無色圓筒形硝子ヲ、乙種白燈及丙種白燈ニ在リテハ無色球形硝子ヲ、丁種白燈ニ在リテハ無色球形硝子ヲ裝著スベシ

第二十三條　檣燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第二十四條　檣燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第三節　舷燈

第二十五條　甲種舷燈ノ燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

乙種舷燈ノ燈窓ニハ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第二十六條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲スニ在ルコトヲ要ス

第二十七條　著色挿入硝子ノ挿入裝著ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル度ナク且左舷舷燈用ノ硝子ヲ右舷舷燈ニ、右舷舷燈用ノ硝子ヲ左舷舷燈ニ挿入シ得ザル構造ト爲スベシ

第二十八條　油壺ノ挿入裝著ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザル樣油壺ヲ左舷舷燈ニ挿入シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二十九條　火口ハ燈籠ノ側面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス方向ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第三十條　口金ハ背通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後甲種舷燈ニ在リテハ五燭光以上、乙種舷燈ニ在リテハ一〇燭光以上、丁種白燈及操舵目標燈ニ在リテハ一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第三十一條　舷燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第三十二條　舷燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第四節　船尾燈

第三十三條　船尾燈ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第三十四條　船尾燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第五節　操舵目標燈

第三十五條　操舵目標燈ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第三十六條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第三十七條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第三十八條　操舵目標燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第六節　紅燈

第三十九條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ紅色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第四十條　紅色挿入硝子ハ挿入スベシ

第四十一條　紅色挿入硝子ノ挿入裝著ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル庚ナキ構造ト爲スベシ

紅色挿入硝子ニハ金屬製ノ枠ヲ取附クベシ

第四十二條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ紅色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第四十三條　紅色挿入硝子ノ挿入裝著ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル庚ナキ構造ト爲スベシ

第四十四條　油壺ヲ燈底ヨリ挿入スル紅燈ニ在リテハ油壺ノ逸脫ヲ防止スルニ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第七節　三色燈

第四十五條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ左舷側ニ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷側ニ綠色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第四十六條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第四十七條　燈籠ハ前面ニ銀製ノ隔板ヲ有シ其ノ兩側ニ紅色及綠色ノ硝子ヲ挿入スベシ

第四十八條　燈籠ハ側面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス方向ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第四十九條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後一〇燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第五十條　油壺ヲ燈底ヨリ挿入スル紅燈ニ在リテハ油壺ノ逸脫ヲ防止スルニ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第八節　船尾燈

第五十一條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ左舷側ニ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷側ニ綠色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第五十二條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第五十三條　燈窓ノ前面ニハ燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム船燈ノ對稱面ト左右各二二・五度ノ角度ヲ爲ス平面內ニ中心面ヲ有スル隔障ヲ取附クベシ

第五十四條　船尾燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第九節　操舵目標燈

第五十五條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第五十六條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第五十七條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第五十八條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後一〇燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第五十九條　反射鏡ハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第十節　信號燈

第六十條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝著スベシ

第六十一條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第六十二條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第六十三條　信號燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第六十四條　操舵目標燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第十一節　安全燈

第六十五條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第六十六條　安全燈內部ニハ燈火ガ直接外氣ニ通ズル部分ニ二重ノ金網ヲ設クベシ前項ノ金網ハ徑〇・三二ミリメートル乃至〇・四〇ミリメートル針金ヲ使用シ一平方センチメートルニ付一四四以上ノ網目ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第六十七條　安全燈ノ鍵又ハ特殊ノ方法ニ依リ開放シ得ザル構造ト爲シ且結合部ヲ取附クベシ

第六十八條　油壺ヲ燈底ヨリ挿入スル白燈ニ在リテハ油壺ノ逸脫ヲ防止スルニ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第十二節　紅燈

第六十九條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ紅色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第七十條　紅色挿入硝子ハ二箇以上ノ硝子ヲ幅七ミリメートル以下ノ金屬枠ヲ以テ堅ニ接合シタル構造ト爲スコトヲ得

前項ノ硝子竪接合ノ金屬枠ハ火口ノ延長線ノ位置外ニ止マルコトヲ要ス

紅色挿入硝子ノ上緣及下緣ハ於ケル金屬枠ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

第七十一條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ中心ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第七十二條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第七十三條　信號燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第七十四條　遮光板ハ旋遠ニ開閉シ得ルモノニシテ滑動遮光板ニ在リテハ中央ヨリ兩側ニ開クモノナルコトヲ要ス

鍵盤ハ之ヲ押ヘ附クルニ必要ナル重量カ四五〇グラム以上九〇〇グラム以下ニシテ其ノ作動距離ハ一〇ミリメートルヲ標準トス

第十一節　安全燈

第七十五條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第七十六條　安全燈內部ニハ燈火ガ直接外氣ニ通ズル部分ニ二重ノ金網ヲ設クベシ前項ノ金網ハ徑〇・三二ミリメートル乃至〇・四〇ミリメートル針金ヲ使用シ一平方センチメートルニ付一四四以上ノ網目ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第七十七條　安全燈ノ鍵又ハ特殊ノ方法ニ依リ開放シ得ザル構造ト爲シ且結合部ヲ取附クベシ

第七十八條　安全燈ニハ之ヲ高サ一・五メートルノ箇所ニ水平ニ支持スル構造ヲ設クベシ

第七十九條　安全燈ハ之ヲ高サ一・五メートル異狀ナク支持セザルモノナルコトヲ要ス

第八十條　安全燈ハ可燃性混氣中ニテ滿火セザルモノナルコトヲ要ス

第八十一條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ五時間繼續燃照後一・五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第八十二條　安全燈ニハ燈窓外面ニ於テ上部燈胴トノ間ニ金屬製枠棒ヲ取附クベシ

第八十三條　燈籠ハ燈蓋ニ於テ開閉シ得ル構造ト爲スベシ

燈籠ハ電線ヲ挿入セル部分ヨリ飛沫ガ浸入セザル構造ト爲スベシ

第八十四條　電線ハ電氣工作物規程ニ依ル第一種絕緣電線ニシテ導體ノ直徑一ミリメートル以上ノ單線又ハ公稱斷面積〇・九平方ミリメートル以上ノ撚線又ハ之ト同一ノ自然的強綏力ヲ有スル撚線ヲ使用スルコト

第八十五條　電球水口ハ內徑二三ミリメートルノ挿入水口ニシテ上向ニ取附ケ且電球ガ一定ノ位置ヨリ移動セザル構造ト爲スベシ

電球水口ノ垂直軸ハ白燈、紅燈及安全燈ニ在リテハ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ、其ノ他ノ船燈ニ在リテハ燈窓硝子ノ垂直軸ノ後方九ミリメートルノ位置ニ在ルコトヲ要ス

電球水口取附盤ハ亞麻仁油ヲ以テ絕緣處理ヲ爲シタル滑材又ハ櫻材ナルコトヲ要ス

第七條　船燈各部ノ構造及寸法ニシテ本令ニ規定ナキモノニ付テハ當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第八條　本令ノ規定ニ該當セザル船燈ハ當該官吏ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力有ストト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第二章　油船燈

第一節　通則

第九條　燈籠ハ口金及燈筒ヲ裝著シタル油壺ヲ挿入シ得ルモノナルコトヲ要ス

煙筒ハ火口ノ直上ニ設クベシ

燈窓ニ堅ニ取附クル枠棒ハ火口ノ延長線上ニ置クコトヲ得ズ

第十條　船燈ハ無風高氣溫ノ場合ニ於テモ通氣十分ニシテ燈火カ不同ナク十分ニ燃照スル構造ノモノナルコトヲ要ス

船燈ハ風又ハ船舶ノ動搖等ニ依リ油煙ヲ生ズルコトナク又消火セザル樣通氣孔ノ大サ及配置ヲ適當ニシ且飛沫ノ浸入ニ依リ光度ニ影響ヲ及ボスコトナキ構造ノモノナルコトヲ要ス

第十一條　油壺ハ燈火カ信號燈及安全燈ニ在リテハ五時間以上、乙種兩色燈、丁種白燈及操舵目標燈ニ在リテハ八時間以上、其ノ他ノ船燈ニ在リテハ一六時間以上繼續シテ安全ニ燃照シ得ル油量ヲ貯ヘ得ルモノナルコトヲ要ス

油壺ノ形狀ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

油壺ニハ氣孔ヲ有スル注油栓ヲ裝著シ且油壺ノ內部ニハ燈油ノ動搖ヲ防グ裝著ヲ設クベシ

第十二條　火口ノ形狀ハ一字形ニシテ第一表ニ揭グル幅ノ平燈心ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

口金ニハ燈心調整裝置ヲ附シ引火防具及氣孔ヲ裝著スベシ但シ種油用ノモノニ在リテハ引火防具及氣孔ヲ裝著スルコトヲ要セズ

第十三條　油壺及口金ノ挿入裝著ハ口金ヲ裝著シタル油壺ヲ燈籠ニ挿入スルトキ火口カ正規ノ位置ヲ外ニ止マル庚ナキモノナルコトヲ要ス

第十四條　石油燈ニハ燈筒ヲ使用スベシ

燈筒ハ無色透明ナル良質ノ硝子ヲ以テ成ルベク薄ク且厚サニ不同ナク製造シ形狀及寸法ハ當該官吏ニ於テ適當ト認ムルモノナルコトヲ要ス

第十五條　反射鏡ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザル限リ大形ニ爲シ其ノ表面ハ燈火ノ最輝點ヲ中心トスル球面ノ一部ニシテ十分磨キタル後銀色鏡ヲ施シタルモノナルコトヲ要ス但シ乙種兩色燈及操舵目標燈ノ反射鏡ノ表面ハ圓筒形ニ爲スコトヲ得

第十六條　油船燈ニハ石油ヲ使用スベシ但シ丁種白燈及操舵目標燈ニハ種油ヲ使用スルコトヲ得

第十七條　油船燈各部ノ寸法ハ第一表ニ依ル

第十八條　水先燈ノ構造及寸法ハ本節ノ規定ニ依ルノ外當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第二節　檣燈

第十九條　燈窓ニハ甲種檣燈ニ在リテハ無色透鏡ヲ、乙種檣燈ニ在リテハ無色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第二十條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第二十一條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第二十二條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後甲種檣燈ニ在リテハ七燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二十三條　檣燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第二十四條　檣燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第三節　舷燈

第二十五條　甲種舷燈ノ燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

乙種舷燈ノ燈窓ニハ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第二十六條　燈窓硝子ノ各側部留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第二十七條　著色挿入硝子ノ挿入裝著ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル庚ナク且左舷舷燈用ノ硝子ヲ右舷舷燈ニ、右舷舷燈用ノ硝子ヲ左舷舷燈ニ挿入シ得ザル構造ト爲スベシ

第二十八條　油壺ノ挿入裝著ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザル樣油壺ヲ左舷舷燈ニ挿入シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二十九條　火口ハ燈籠ノ側面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス方向ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第三十條　口金ハ背通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後甲種舷燈ニ在リテハ五燭光以上、乙種舷燈ニ在リテハ一〇燭光以上、丁種白燈及操舵目標燈ニ在リテハ一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第三十一條　舷燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第三十二條　舷燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第四節　船尾燈

第三十三條　船尾燈ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第三十四條　船尾燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第五節　操舵目標燈

第三十五條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第三十六條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第三十七條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第三十八條　操舵目標燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第六節　紅燈

第三十九條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ紅色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第四十條　紅色挿入硝子ハ挿入スベシ

第四十一條　紅色挿入硝子ノ挿入裝著ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル庚ナキ構造ト爲スベシ

紅色挿入硝子ニハ金屬製ノ枠ヲ取附クベシ

第四十二條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ紅色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第四十三條　紅色挿入硝子ノ挿入裝著ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル庚ナキ構造ト爲スベシ

第四十四條　油壺ヲ燈底ヨリ挿入スル紅燈ニ在リテハ油壺ノ逸脫ヲ防止スルニ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第七節　三色燈

第四十五條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ左舷側ニ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷側ニ綠色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第四十六條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第四十七條　燈籠ハ前面ニ銀製ノ隔板ヲ有シ其ノ兩側ニ紅色及綠色ノ硝子ヲ挿入スベシ

第四十八條　燈籠ハ側面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス方向ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第四十九條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後一〇燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第五十條　油壺ヲ燈底ヨリ挿入スル紅燈ニ在リテハ油壺ノ逸脫ヲ防止スルニ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第八節　船尾燈

第五十一條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ左舷側ニ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷側ニ綠色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第五十二條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第五十三條　燈窓ノ前面ニハ燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム船燈ノ對稱面ト左右各二二・五度ノ角度ヲ爲ス平面內ニ中心面ヲ有スル隔障ヲ取附クベシ

第五十四條　船尾燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第九節　操舵目標燈

第五十五條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第五十六條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第五十七條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第五十八條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後一〇燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第五十九條　反射鏡ハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第十節　信號燈

第六十條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ紅色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第六十一條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第六十二條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第六十三條　信號燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第六十四條　操舵目標燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第十一節　安全燈

第六十五條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第六十六條　安全燈內部ニハ燈火ガ直接外氣ニ通ズル部分ニ二重ノ金網ヲ設クベシ前項ノ金網ハ徑〇・三二ミリメートル乃至〇・四〇ミリメートル針金ヲ使用シ一平方センチメートルニ付一四四以上ノ網目ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第六十七條　安全燈ノ鍵又ハ特殊ノ方法ニ依リ開放シ得ザル構造ト爲シ且結合部ヲ取附クベシ

第六十八條　油壺ヲ燈底ヨリ挿入スル白燈ニ在リテハ油壺ノ逸脫ヲ防止スルニ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第十二節　紅燈

第六十九條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝著シ其ノ內面ニ接シ紅色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第七十條　紅色挿入硝子ハ二箇以上ノ硝子ヲ幅七ミリメートル以下ノ金屬枠ヲ以テ堅ニ接合シタル構造ト爲スコトヲ得

前項ノ硝子竪接合ノ金屬枠ハ火口ノ延長線ノ位置外ニ止マルコトヲ要ス

紅色挿入硝子ノ上緣及下緣ハ於ケル金屬枠ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

第七十一條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ中心ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第七十二條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第七十三條　信號燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第七十四條　遮光板ハ旋遠ニ開閉シ得ルモノニシテ滑動遮光板ニ在リテハ中央ヨリ兩側ニ開クモノナルコトヲ要ス

鍵盤ハ之ヲ押ヘ附クルニ必要ナル重量カ四五〇グラム以上九〇〇グラム以下ニシテ其ノ作動距離ハ一〇ミリメートルヲ標準トス

第十一節　安全燈

第七十五條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝著スベシ

第七十六條　安全燈內部ニハ燈火ガ直接外氣ニ通ズル部分ニ二重ノ金網ヲ設クベシ前項ノ金網ハ徑〇・三二ミリメートル乃至〇・四〇ミリメートル針金ヲ使用シ一平方センチメートルニ付一四四以上ノ網目ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第七十七條　安全燈ノ鍵又ハ特殊ノ方法ニ依リ開放シ得ザル構造ト爲シ且結合部ヲ取附クベシ

第七十八條　安全燈ニハ之ヲ高サ一・五メートルノ箇所ニ水平ニ支持スル構造ヲ設クベシ

第七十九條　安全燈ハ之ヲ高サ一・五メートル異狀ナク支持セザルモノナルコトヲ要ス

第八十條　安全燈ハ可燃性混氣中ニテ滿火セザルモノナルコトヲ要ス

第八十一條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ五時間繼續燃照後一・五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第八十二條　安全燈ニハ燈窓外面ニ於テ上部燈胴トノ間ニ金屬製枠棒ヲ取附クベシ

第八十三條　燈籠ハ燈蓋ニ於テ開閉シ得ル構造ト爲スベシ

燈籠ハ電線ヲ挿入セル部分ヨリ飛沫ガ浸入セザル構造ト爲スベシ

第八十四條　電線ハ電氣工作物規程ニ依ル第一種絕緣電線ニシテ導體ノ直徑一ミリメートル以上ノ單線又ハ公稱斷面積〇・九平方ミリメートル以上ノ撚線又ハ之ト同一ノ自然的強綏力ヲ有スル撚線ヲ使用スルコト

第八十五條　電球水口ハ內徑二三ミリメートルノ挿入水口ニシテ上向ニ取附ケ且電球ガ一定ノ位置ヨリ移動セザル構造ト爲スベシ

電球水口ノ垂直軸ハ白燈、紅燈及安全燈ニ在リテハ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ、其ノ他ノ船燈ニ在リテハ燈窓硝子ノ垂直軸ノ後方九ミリメートルノ位置ニ在ルコトヲ要ス

電球水口取附盤ハ亞麻仁油ヲ以テ絕緣處理ヲ爲シタル滑材又ハ櫻材ナルコトヲ要ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第一表

油船燈寸法表

船燈種類	光達距離	射光角度	型種	燈窓硝子 種類	燈窓硝子 横截面角度	燈窓硝子 透鏡又ハ四筒形硝子横截面半徑（粍）	燈窓硝子 無色聚形硝子又ハ無色球形硝子ノ外徑（粍）	燈窓硝子 高サ（留金部ヲ含ム）（粍）	燈窓硝子 厚サ（透鏡ヲ除ク）（粍）	著色挿入硝子ノ厚サ（粍）	燈胴寸法 縁面ノ幅（粍）	燈胴寸法 側面ノ幅（粍）	燈胴寸法 上部燈胴ノ徑（粍）	燈胴寸法 下部燈胴ノ徑（粍）	燈胴寸法 高サ（粍）	燈胴寸法 板ノ厚サ（粍）	燈胴寸法 捲込針金ノ徑（粍）	燈胴寸法 扉板ノ厚サ（粍）	火口寸法 石油用 内輻（燈心ノ輻）（粍）	火口寸法 石油用 板ノ厚サ（粍）	火口寸法 種油用 内輻（燈心ノ輻）（粍）	火口寸法 種油用 板ノ厚サ（粍）
甲種檣燈	5海里以上	225°	第一種 第二種	無色透鏡 無色透鏡	230° 230°	115 95	—	180 165	— —	— —	300 230	300 230	— —	— —	340 3 0	0.60 0.60	3.20 3.20	0 90 0.60	32 32	0.45 0.45	— —	— —
乙種檣燈	3海里以上	225°	—	無色圓筒形硝子	230°	95	—	130	6	—	2 0	2 0	—	—	230	0.45	2. 0	0.45	25	0 45	—	—
甲種舷燈	2海里以上	112.5°	第一種 第二種	無色透鏡 無色透鏡	125° 125°	125 105	—	180 165	— —	3 3	260 210	260 210	— —	— —	340 330	0.60 0.60	3.20 3.20	0.90 0.60	32 32	0.45 0.45	— —	— —
乙種舷燈	1海里以上	112.5°	—	著色圓筒形硝子	125°	100	—	130	5	—	200	200	—	—	280	0.45	2.60	0.45	25	0.45	—	—
甲種兩色燈	1海里以上	左右舷 112.5°	—	著色圓筒形硝子	115°	100	—	130	5	—	220	220	—	—	280	0.45	2.60	0.45	25	0.45	—	—
乙種兩色燈	1海里以上	—	—	著色透鏡	—	—	—	122	—	—	100	100	—	—	190	0.40	2.00	0.40	15	0.35	—	—
甲種白燈	3海里以上	360°	第一種 第二種	無色透鏡 無色圓筒形硝子	360° 360°	95 95	—	165 165	— 6	— —	—	—	260 260	260 270	320 320	0.60 0.60	3.20 3.20	—	25 32	0.45 0.45	— —	— —
乙種白燈	2海里以上	360°	—	無色聚形硝子	360°	—	220	260	4	—	—	—	120	140	440	0.45	2.60	—	25	0.45	—	—
丙種白燈	1海里以上	360°	—	無色聚形硝子	360°	—	220	200	4	—	—	—	120	140	440	0.45	2.60	—	15	0.45	—	—
丁種白燈	—	360°	—	無色球形硝子	360°	—	200	160	4	—	—	—	80	110	260	0.40	2.00	—	15	0.35	25	0.40
江燈	2海里以上	360°	—	無色透鏡	360°	95	—	165	—	3	—	—	260	260	320	0.60	3.20	—	32	0.45	—	—
三色燈	2海里以上	左右舷 90° 中央 45°	第一種 第二種	無色透鏡 無色透鏡	220° 220°	115 95	—	180 165	—	3 3	300 230	300 230	—	—	340 330	0.60 0.60	3.20 3.20	0.90 0.60	32 32	0.45 0 45	—	—
船尾燈	2海里以上	135°	—	無色圓筒形硝子	140°	85	—	130	5	—	220	220	—	—	280	0.45	2.60	—	25	0.45	—	—
操舵目標燈	—	180°	—	無色圓筒形硝子	185°	65	—	100	3	—	160	160	—	—	190	0.40	2.00	—	15	0.35	25	0.40
信號燈	—	45°	—	無色透鏡	50°	95	—	165	—	—	230	230	—	—	280	0.45	2.60	—	15	0.35	—	—
安全燈	—	360°	—	無色圓筒形硝子	360°	25	—	60	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	徑 6	0 45	—	—

第二表

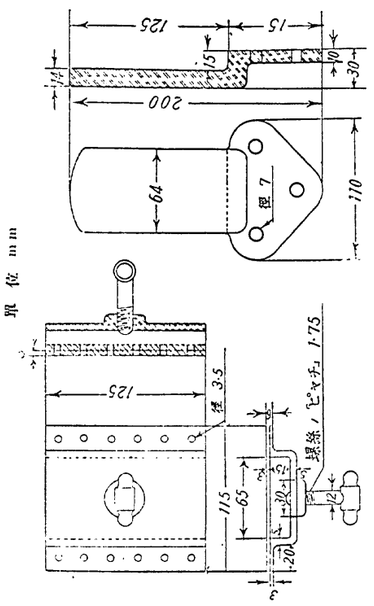
電氣船燈寸法表

船燈種類	光達距離	射光角度	型種	燈窓硝子 種類	燈窓硝子 横面ノ内径	燈窓硝子 横面ノ内径	燈窓硝子 高サ（冠金ヲ含ム）部ノ	燈窓硝子 厚サ	著色挿入硝子ノ厚サ	燈幅寸法 端面ノ幅	燈幅寸法 側面ノ幅	燈幅寸法 上部燈胴ノ径	燈幅寸法 下部燈胴ノ径	燈幅寸法 高サ	燈幅寸法 板ノ厚サ	燈幅寸法 巻込針金ノ径
					角度	半径										
						(粍)	(粍)	(粍)	(粍)	(粍)	(粍)	(粍)	(粍)	(粍)	(粍)	(粍)
甲種檣燈	5海里以上	225°	第一種	無色圓筒形硝子	230°	115	180	6	——	300	300	——	——	315	0.60	3.20
			第二種	無色圓筒形硝子	230°	95	165	6		230	230			310	0.60	3.20
乙種檣燈	3海里以上	225°	——	無色圓筒形硝子	230°	95	130	6	——	230	230	——	——	270	0.45	2.60
甲種舷燈	2海里以上	112.5°	第一種	無色圓筒形硝子	125°	125	180	6	3	260	260	——	——	315	0.60	3.20
			第二種	無色圓筒形硝子	125°	105	165	6	3	210	210			310	0.60	3.20
乙種舷燈	1海里以上	112.5°	——	著色圓筒形硝子	125°	100	130	5	——	200	200	——	——	270	0.45	2.60
甲種白燈	3海里以上	360°	——	無色圓筒形硝子	360°	95	165	6	——	——	——	260	260	310	0.60	3.20
乙種白燈	2海里以上	360°	——	無色圓筒形硝子	360°	95	165	6	——	——	——	260	260	310	0.60	3.20
紅燈	2海里以上	360°	——	無色圓筒形硝子	360°	95	165	6	3	——	——	260	260	310	0.60	3.20
三色燈	2海里以上	左右舷 90°	第一種	無色圓筒形硝子	230°	115	180	6	3	300	220	——	——	315	0.60	3.20
		中央 45°	第二種	無色圓筒形硝子	230°	95	165	6	3	230	230			310	0.60	3.20
船尾燈	2海里以上	135°	——	無色圓筒形硝子	140°	85	130	5	——	220	220	——	——	270	0.45	2.60
安全燈	——	360°	——	無色圓筒形硝子	360°	——	——	5	——	——	——	——	——	——	——	——

第一圖

垣及隔板ニ裏附クル突起金具

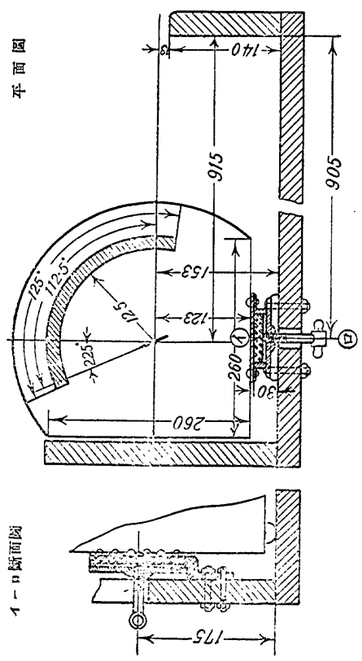
單位 m m



第二圖

甲種舷燈第一種用隔板(油船燈用)

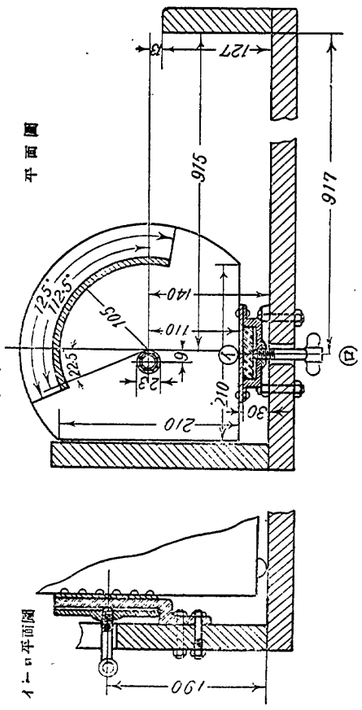
單位 m m



第三圖

甲種舷燈第二種用隔板(油船燈用)

單位 m m

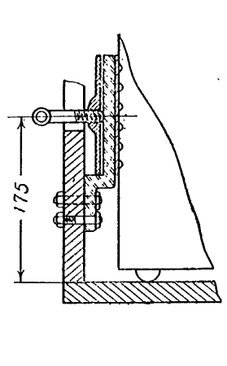


第　四　圖

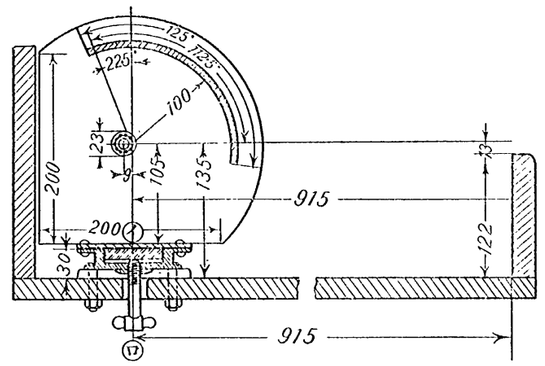
乙種鈑燈用隔板(油船燈用)

單位 m m

イーロ斷面圖



平面圖

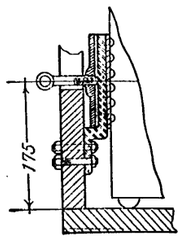


第　五　圖

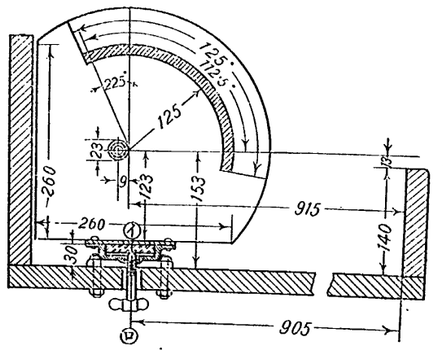
甲種鈑燈第一種用隔板(電氣船燈用)

單位 m m

イーロ斷面圖



平面圖

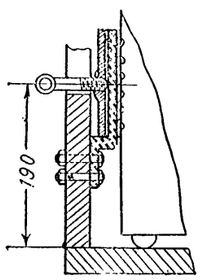


第　六　圖

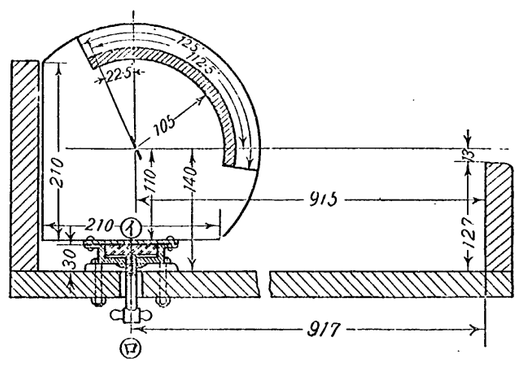
甲種鈑燈第二種用隔板(電氣船燈用)

單位 m m

イーロ斷面圖



平面圖

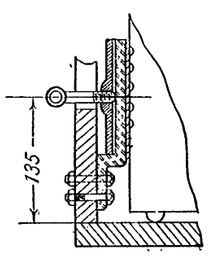


第　七　圖

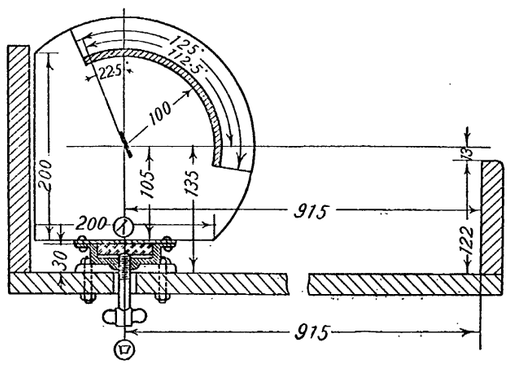
乙種鈑燈用隔板(電氣船燈用)

單位 m m

イーロ斷面圖



平面圖



●信號器試驗規程

昭和九年二月
遞令第二十號

信號器試驗規程左ノ通改正ス

信號器試驗規程

目次

第一章　總則
第二章　霧中號角
第三章　火箭
第四章　信號書娼及信號紅娼
附則

信號器試驗規程

第一章　總則
第二章　霧中號角
火箭
信號書娼
信號紅娼

第一章　信號器ヲ分チテ左ノ五種トス

第一條　本令ノ規定ニ該當セザル信號器ハ當該官吏ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第二章　霧中號角

第二條　霧中號角ハ手働ヲ以テ一海里以上ノ距離ニ達スル音響ヲ六秒時以上連續發聲シ得ルモノナルコトヲ要ス

第四條　霧中號角ノ構造及寸法ハ本章各條ノ規定ニ依ルノ外當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第五條　風室ハ良質ノ革及無節堅質ノ木材ヲ以テ製造シ革ト板トハ銅鉄ニテ固著スベシ

第六條　歇口ハ眞鍮其ノ他適當ノ材料ヲ以テ製造シ之ヲ風室ニ固著スベシ

第七條　喇叭管ハ厚サ〇・四ミリメートル以上ノ亜鉛板ヲ以テ製造シ之ニ眞鍮製螺込口ヲ附スベシ

喇叭管ノ接合ハ折曲抱合ト爲スベシ

第三章　信號書娼

第八條　信號書娼ハ昼間一海里以上ノ距離ニ於テ操縦シ易ク且安全ニ信號ヲ發スルモノナルコトヲ要ス

第九條　信號書娼ハ保存ニ堪ヘ點火ニ危險ナク且不時ニ發火セザル品質ノモノナルコトヲ要ス

第十條　信號書娼ハ取附位置ヲ異ニセル自發點火裝置及殘燼點火裝置ヲ納ム容ベシ

自發點火裝置ハ雷管式ニシテ之ニ長サ二メートル以上ノ導線ヲ引出シ附スベシ

殘燼點火裝置ハ之ニ點火シ始メ五秒時以上燃燒シ得ルモノナルコトヲ要ス

第十一條　信號書娼ハ打揚筒ハ破裂セザル構造ノモノナルコトヲ要ス

第十二條　信號書娼ハ之ヲ打揚桑ニ挿込ム爲徑三〇ミリメートル長サ四〇ミリメートルノ突起ヲ設クルコトヲ要ス

打揚桑ハ眞鍮ヲ以テ製造シタル內徑三一ミリメートル、深サ四〇ミリメートル以上、厚サ五ミリメートルノ圓筒ニシテ木甲板又ハ手揖ニ之ヲ取附クル爲ノ鍔ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第十三條　信號書娼ハ一箇毎ニ防濕塗料ヲ施シ且硫酸紙ヲ以テ包裝シ「アラビヤ」護謨ニテ密封スベシ

第四章　信號紅娼

第十四條　信號紅娼ハ保存ニ堪ヘ點火ニ危險ナク且不時ニ發火セザル品質ノモノナルコトヲ要ス

第十五條　信號紅娼ハ自發點火裝置及殘燼點火裝置ヲ納メ置クベシ

第十六條　信號紅娼ハ一二〇燭光以上ヲ有スル赤色ノ焔ヲ三分時以上連續發揚シ得ルモノナルコトヲ要ス

第十七條　信號紅娼ハ保存ニ堪ヘ點火ニ危險ナク且不時ニ發火セザル品質ノモノナルコトヲ要ス

第十八條　信號紅娼ハ一箇毎ニ防濕塗料ヲ施シ且硫酸紙ヲ以テ包裝シ「アラビヤ」護謨ニテ密封スベシ

第五章　信號書娼及信號紅娼

第一條　信號書娼ハ一二〇燭光以上ヲ有スル青色ノ焔ヲ、信號紅娼ハ一二〇燭光以上ヲ有スル紅色ノ焔ヲ三分時以上連續發揚シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二十條　信號書娼及信號紅娼ハ保存ニ堪ヘ點火ニ危險ナク且不時ニ發火セザル品質ノモノナルコトヲ要ス

第二十一條　信號書娼及信號紅娼ニハ自發點火裝置及殘燼點火裝置ヲ納メ置クベシ

第二十二條　信號書娼及信號紅娼ニハ自發點火裝置及殘燼點火裝置ヲ納メ置クベシ

第二十三條　信號書娼及信號紅娼ハ一箇毎ニ防濕塗料ヲ施シ且硫酸紙ヲ以テ包裝シ「アラビヤ」護謨ニテ密封スベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年六月遞信省令第二十號信號器試驗規程ハ之ヲ廢止ス

●救命器具試驗規程

昭和九年二月
遞令第二十一號

救命器具試驗規程左ノ通定ム

救命器具試驗規程

目次

第一章　總則
第二章　救命艇
第三章　救命浮器
第四章　救命浮環
第五章　救命胴衣
第六章　救命袋
第七章　救命索發射器
第八章　救命器具試驗規程
附則

第一章　總則

第一條　救命器具ヲ分チテ左ノ七種トス

一　救命艇
二　救命筏
三　救命浮器
四　救命浮環
五　救命胴衣
六　救命袋
七　救命索發射器

第二條　本令ノ規程ニ該當セザル救命器具ハ當該官吏ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第二章　救命艇

第一節　通則

第三條　救命艇ヲ分チテ左ノ五種トス

一　第一級甲型救命艇　內部浮体ノミヲ有シ固定舷側ヲ有スル無甲板救命艇

二　第一級乙型救命艇　內部浮体及外部浮体ヲ有シ固定舷側ヲ有スル無甲板救命艇

三　第二級甲型救命艇　內部浮体及外部浮体ヲ有シ舷側ノ上部ヲ疊込ミ得ル無甲板救命艇

四　第二級乙型救命艇　固定水密舷墻ヲ有スル有甲板救命艇

五　發動機附救命艇　第一級救命艇ニシテ發動機ヲ備フルモノ

第四條　救命艇ハ其ノ構造適當ニシテ海上ニ於テ十分ナル復原性ヲ有シ且人及艤裝品ヲ滿載シタルトキ十分ノ乾舷ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

救命艇ハ人及艤裝品ヲ滿載シテ之ヲ安全ニ水面ニ卸シ得ルニ十分ナル强力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第五條　救命艇ハ浮力ハ其ノ使用ニ先チ艇体ノ主要部分ニ付特別ノ操作ヲ要セズシテ得ラルヌモノナルコトヲ要ス

第六條　救命艇ノ重量ハ人及艤裝品ヲ滿載シタル場合ニ於テ操縦ニ支障ナキ限リ成ルベク輕キヲ要ス

救命艇ノ重量ハ人及艤裝品ヲ滿載シタル場合二〇、三〇〇キログラムヲ超ユルコトヲ得ズ

第七條　救命艇ノ容積ハ一、三五立方メートル未滿ナルコトヲ得ズ

第八條　第六條ノ規定ニ依リ算出シタル定員カ一〇〇人以上トナルベキ救命艇ハ發動機附救命艇ト爲スコトヲ要ス

第九條　救命艇ノ內部浮体ニハ左ノ各號ノ條件ニ適合スル金屬製水密空氣箱ヲ使用スベシ

一　空氣箱ハ厚サ〇・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板、黃銅板又ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亜鉛板、亜鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板ヲ使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートル超ユザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サ一〇〇センチメートルヲ超ユルモノナルトキハ補强ノ爲空氣箱內部ニ仕切板ヲ設クルコト

四　空氣箱ノ構成ス ル金屬板ノ纖目ハ幅一〇ミリメートル以上ノ二重折曲抱合ト爲シ良ク槌打シ且鐵附スルコト但シ繼部ノ纖目ハ折曲ト爲スモ妨ナキコト

五　空氣箱ヲ波形ノ金屬板ニテ構成スル場合ニハ纖目ニ於ケル波形ノ部分ニ裂痕ノ發生スルコトヲ防止スル爲空氣箱ヲ構成スルニ先チ板ヲ十分燒鈍スルコト

六　空氣箱ニハ之ニ木製ノ仕切板ヲ取附ケルヲ要ス

七　空氣箱ハ毎平方センチメートル〇・〇七キログラムノ空氣壓ヲ以テ試驗シ空氣ノ漏洩セザルモノナルコト

八　空氣箱ノ表面ニハ煮沸セル亜麻仁油又ハ良質ノ「ワニス」若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル塗料ヲ塗布スルコト

九　空氣箱ヲ取附クルニハ之ヲ鐵鋼部ニ接銅セシメザルコト

第十條　救命艇ニハ之ヲ容ルベキ定員ニ對シ左ノ艤裝品ヲ滿載シタル場合ニ於ケル艇ノ吃水線ヨリ上ニ在ラシムルモノナルコトヲ要ス

第十一條　第一級救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十二條　第一級甲型救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十三條　第一級乙型救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十四條　第二級甲型救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十五條　第二級乙型救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十六條　第二級甲型救命艇ノ長サノ中央ノ舷側ニ於ケル固定艇体ノ上面ヨリ測リタル乾舷ハ滿載狀態ニ於テ淡水中ニテ左表ニ揭グルモノヨリ小ナラザルコトヲ要ス

救命艇ノ長サ（米）	最小乾舷（粍）
七・九〇	二〇〇
八・五〇	二二五
九・一五	二五〇

備考

救命艇ノ長サカ表ニ揭グルモノニ該當セザルトキハ補間法ニ依リ最小乾舷ヲ求ムベシ

第十七條　第二級甲型木製救命艇ノ水密空氣箱ノ容積ハ定員一人ニ付四三立方デシメートル以上、「コルク」製外部浮体ノ容積ハ定員一人ニ付六立方デシメートル以上ナルコトヲ要ス

第十八條　第二級甲型金屬製救命艇ニ在リテハ其ノ浮力カ前條ノ規定ニ依ル第二級甲型木製救命艇ト同等トナル樣浮体ノ容積ヲ定メラルベシ

救命艇ノ深サ（粍）	最小乾舷（粍）
三一〇	七〇
四六〇	九五
六一〇	一三〇
七六〇	一六五

備考

一　救命艇ノ深サハ長サノ中央ニ於テ龍骨翼板ノ下面ヨリ舷側ニ於ケル甲板ノ上面迄ノ垂直距離トス

二　救命艇ノ深サガ表ニ揭グルモノニ該當セザルトキハ補間法ニ依リ最小乾舷ヲ求ムベシ

三　船首村及船尾村ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第二十條　發動機附救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第一級救命艇ニ關スル規定ニ適合シ且發動機、深照燈及無線電信設備竝ニ其ノ附屬物ノ重量ヲ此等ヲ除キタルトキ艇ノ追加收容シ得ベキ人員ノ重量トノ差ヲ補フニ足ル樣十分ニ浮体ノ容積ヲ增加スルコト

二　發動機及其ノ附屬物ハ荒天狀態ニ於テモ確實ニ操作シ得ル樣適當ニ之ヲ蔽圍スルコト

三　後退ノ爲ノ裝置ヲ備フルコト

四　速力ハ滿載狀態ニテ平水ニ於テ一時間ニ付六海里以上ナルコト

五　一〇人以上ノ定員ヲ有スル發動機附救命艇ニ在リテハ浮体ノ容積ヲ該當官吏ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ增加スルコト

第三節　第二級救命艇

第二十一條　第一級救命艇ノ容積及配置ニ關スル規定ハ第二級救命艇ニ之ヲ準用ス

第二十二條　第二級救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第一級救命艇ニ關スル規定ニ適合シ且發動機、深照燈及無線電信設備竝ニ其ノ附屬物ノ重量ヲ此等ヲ除キタルトキ艇ノ追加收容シ得ベキ人員ノ重量トノ差ヲ補フニ足ル樣十分ニ浮体ノ容積ヲ增加スルコト

二　發動機及其ノ附屬物ハ荒天狀態ニ於テモ確實ニ操作シ得ル樣適當ニ之ヲ蔽圍スルコト

三　後退ノ爲ノ裝置ヲ備フルコト

四　速力ハ滿載狀態ニテ平水ニ於テ一時間ニ付六海里以上ナルコト

五　一〇人以上ノ定員ヲ有スル發動機附救命艇ニ在リテハ浮体ノ容積ヲ該當官吏ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ增加スルコト

第四節　第一級救命艇

第二十三條　第一級救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第一級甲型救命艇ニ關スル規定ニ適合シ且發動機、深照燈及無線電信設備竝ニ其ノ附屬物ノ重量ヲ此等ヲ除キタルトキ艇ノ追加收容シ得ベキ人員ノ重量トノ差ヲ補フニ足ル樣十分ニ浮体ノ容積ヲ增加スルコト

二　發動機及其ノ附屬物ハ荒天狀態ニ於テモ確實ニ操作シ得ル樣適當ニ之ヲ蔽圍スルコト

三　後退ノ爲ノ裝置ヲ備フルコト

四　速力ハ滿載狀態ニテ平水ニ於テ一時間ニ付六海里以上ナルコト

五　一〇人以上ノ定員ヲ有スル發動機附救命艇ニ在リテハ浮体ノ容積ヲ該當官吏ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ增加スルコト

第五節　第二級救命艇

第二十四條　第二級救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第二級甲型救命艇ニ關スル規定ニ適合シ且發動機、深照燈及無線電信設備竝ニ其ノ附屬物ノ重量ヲ此等ヲ除キタルトキ艇ノ追加收容シ得ベキ人員ノ重量トノ差ヲ補フニ足ル樣十分ニ浮体ノ容積ヲ增加スルコト

二　發動機及其ノ附屬物ハ荒天狀態ニ於テモ確實ニ操作シ得ル樣適當ニ之ヲ蔽圍スルコト

三　後退ノ爲ノ裝置ヲ備フルコト

四　速力ハ滿載狀態ニテ平水ニ於テ一時間ニ付六海里以上ナルコト

五　一〇人以上ノ定員ヲ有スル發動機附救命艇ニ在リテハ浮体ノ容積ヲ該當官吏ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ增加スルコト

第六節　第一級救命艇

第二十五條　第一級救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第一級甲型救命艇ニ關スル規定ニ適合シ且發動機、深照燈及無線電信設備竝ニ其ノ附屬物ノ重量ヲ此等ヲ除キタルトキ艇ノ追加收容シ得ベキ人員ノ重量トノ差ヲ補フニ足ル樣十分ニ浮体ノ容積ヲ增加スルコト

二　發動機及其ノ附屬物ハ荒天狀態ニ於テモ確實ニ操作シ得ル樣適當ニ之ヲ蔽圍スルコト

三　後退ノ爲ノ裝置ヲ備フルコト

四　速力ハ滿載狀態ニテ平水ニ於テ一時間ニ付六海里以上ナルコト

五　一〇人以上ノ定員ヲ有スル發動機附救命艇ニ在リテハ浮体ノ容積ヲ該當官吏ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ增加スルコト

第七節　第二級救命艇

第二十六條　第二級救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第二級甲型救命艇ニ關スル規定ニ適合シ且發動機、深照燈及無線電信設備竝ニ其ノ附屬物ノ重量ヲ此等ヲ除キタルトキ艇ノ追加收容シ得ベキ人員ノ重量トノ差ヲ補フニ足ル樣十分ニ浮体ノ容積ヲ增加スルコト

二　發動機及其ノ附屬物ハ荒天狀態ニ於テモ確實ニ操作シ得ル樣適當ニ之ヲ蔽圍スルコト

三　後退ノ爲ノ裝置ヲ備フルコト

四　速力ハ滿載狀態ニテ平水ニ於テ一時間ニ付六海里以上ナルコト

五　一〇人以上ノ定員ヲ有スル發動機附救命艇ニ在リテハ浮体ノ容積ヲ該當官吏ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ增加スルコト

第八節　雜則

第二十七條　救命艇ニハ之ヲ容ルベキ定員ニ對シ左ノ艤裝品ヲ滿載シタル場合ニ於ケル艇ノ吃水線ヨリ上ニ在ラシムルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ〇・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板、黃銅板又ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亜鉛板、亜鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板ヲ使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートル超ユザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サ一〇〇センチメートルヲ超ユルモノナルトキハ補强ノ爲空氣箱內部ニ仕切板ヲ設クルコト

四　空氣箱ノ構成ス ル金屬板ノ纖目ハ幅一〇ミリメートル以上ノ二重折曲抱合ト爲シ良ク槌打シ且鐵附スルコト但シ繼部ノ纖目ハ折曲ト爲スモ妨ナキコト

五　空氣箱ヲ波形ノ金屬板ニテ構成スル場合ニハ纖目ニ於ケル波形ノ部分ニ裂痕ノ發生スルコトヲ防止スル爲空氣箱ヲ構成スルニ先チ板ヲ十分燒鈍スルコト

六　空氣箱ニハ之ニ木製ノ仕切板ヲ取附ケルヲ要ス

七　空氣箱ハ毎平方センチメートル〇・〇七キログラムノ空氣壓ヲ以テ試驗シ空氣ノ漏洩セザルモノナルコト

八　空氣箱ノ表面ニハ煮沸セル亜麻仁油又ハ良質ノ「ワニス」若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル塗料ヲ塗布スルコト

九　空氣箱ヲ取附クルニハ之ヲ鐵鋼部ニ接銅セシメザルコト

第十條　救命艇ハ之ヲ容ルベキ定員ニ對シ左ノ艤裝品ヲ滿載シタル場合ニ於ケル艇ノ吃水線ヨリ上ニ在ラシムルモノナルコトヲ要ス

第十一條　第一級救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十二條　第一級甲型救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十三條　第一級乙型救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十四條　第二級甲型救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十五條　第二級乙型救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十六條　第二級甲型救命艇ノ長サノ中央ノ舷側ニ於ケル固定艇体ノ上面ヨリ測リタル乾舷ハ滿載狀態ニ於テ淡水中ニテ左表ニ揭グルモノヨリ小ナラザルコトヲ要ス

救命艇ノ長サ（米）	最小乾舷（粍）
七・九〇	二〇〇
八・五〇	二二五
九・一五	二五〇

備考

救命艇ノ長サカ表ニ揭グルモノニ該當セザルトキハ補間法ニ依リ最小乾舷ヲ求ムベシ

第十七條　第二級甲型木製救命艇ノ水密空氣箱ノ容積ハ定員一人ニ付四三立方デシメートル以上、「コルク」製外部浮体ノ容積ハ定員一人ニ付六立方デシメートル以上ナルコトヲ要ス

第十八條　第二級甲型金屬製救命艇ニ在リテハ其ノ浮力カ前條ノ規定ニ依ル第二級甲型木製救命艇ト同等トナル樣浮体ノ容積ヲ定メラルベシ

救命艇ノ深サ（粍）	最小乾舷（粍）
三一〇	七〇
四六〇	九五
六一〇	一三〇
七六〇	一六五

備考

一　救命艇ノ深サハ長サノ中央ニ於テ龍骨翼板ノ下面ヨリ舷側ニ於ケル甲板ノ上面迄ノ垂直距離トス

二　救命艇ノ深サガ表ニ揭グルモノニ該當セザルトキハ補間法ニ依リ最小乾舷ヲ求ムベシ

三　船首村及船尾村ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第二十條　發動機附救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第一級救命艇ニ關スル規定ニ適合シ且發動機、深照燈及無線電信設備竝ニ其ノ附屬物ノ重量ヲ此等ヲ除キタルトキ艇ノ追加收容シ得ベキ人員ノ重量トノ差ヲ補フニ足ル樣十分ニ浮体ノ容積ヲ增加スルコト

二　發動機及其ノ附屬物ハ荒天狀態ニ於テモ確實ニ操作シ得ル樣適當ニ之ヲ蔽圍スルコト

三　後退ノ爲ノ裝置ヲ備フルコト

四　速力ハ滿載狀態ニテ平水ニ於テ一時間ニ付六海里以上ナルコト

五　一〇人以上ノ定員ヲ有スル發動機附救命艇ニ在リテハ浮体ノ容積ヲ該當官吏ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ增加スルコト

第三節　第二級救命艇

第二十一條　第一級救命艇ノ容積及配置ニ關スル規定ハ第二級救命艇ニ之ヲ準用ス

第二十二條　第二級救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第一級救命艇ニ關スル規定ニ適合シ且發動機、深照燈及無線電信設備竝ニ其ノ附屬物ノ重量ヲ此等ヲ除キタルトキ艇ノ追加收容シ得ベキ人員ノ重量トノ差ヲ補フニ足ル樣十分ニ浮体ノ容積ヲ增加スルコト

二　發動機及其ノ附屬物ハ荒天狀態ニ於テモ確實ニ操作シ得ル樣適當ニ之ヲ蔽圍スルコト

三　後退ノ爲ノ裝置ヲ備フルコト

四　速力ハ滿載狀態ニテ平水ニ於テ一時間ニ付六海里以上ナルコト

五　一〇人以上ノ定員ヲ有スル發動機附救命艇ニ在リテハ浮体ノ容積ヲ該當官吏ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ增加スルコト

第四節　第一級救命艇

第二十三條　第一級救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第一級甲型救命艇ニ關スル規定ニ適合シ且發動機、深照燈及無線電信設備竝ニ其ノ附屬物ノ重量ヲ此等ヲ除キタルトキ艇ノ追加收容シ得ベキ人員ノ重量トノ差ヲ補フニ足ル樣十分ニ浮体ノ容積ヲ增加スルコト

二　發動機及其ノ附屬物ハ荒天狀態ニ於テモ確實ニ操作シ得ル樣適當ニ之ヲ蔽圍スルコト

三　後退ノ爲ノ裝置ヲ備フルコト

四　速力ハ滿載狀態ニテ平水ニ於テ一時間ニ付六海里以上ナルコト

五　一〇人以上ノ定員ヲ有スル發動機附救命艇ニ在リテハ浮体ノ容積ヲ該當官吏ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ增加スルコト

第五節　第二級救命艇

第二十四條　第二級救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第二級甲型救命艇ニ關スル規定ニ適合シ且發動機、深照燈及無線電信設備竝ニ其ノ附屬物ノ重量ヲ此等ヲ除キタルトキ艇ノ追加收容シ得ベキ人員ノ重量トノ差ヲ補フニ足ル樣十分ニ浮体ノ容積ヲ增加スルコト

二　發動機及其ノ附屬物ハ荒天狀態ニ於テモ確實ニ操作シ得ル樣適當ニ之ヲ蔽圍スルコト

三　後退ノ爲ノ裝置ヲ備フルコト

四　速力ハ滿載狀態ニテ平水ニ於テ一時間ニ付六海里以上ナルコト

五　一〇人以上ノ定員ヲ有スル發動機附救命艇ニ在リテハ浮体ノ容積ヲ該當官吏ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ增加スルコト

第六節　第一級救命艇

第二十五條　第一級救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第一級甲型救命艇ニ關スル規定ニ適合シ且發動機、深照燈及無線電信設備竝ニ其ノ附屬物ノ重量ヲ此等ヲ除キタルトキ艇ノ追加收容シ得ベキ人員ノ重量トノ差ヲ補フニ足ル樣十分ニ浮体ノ容積ヲ增加スルコト

二　發動機及其ノ附屬物ハ荒天狀態ニ於テモ確實ニ操作シ得ル樣適當ニ之ヲ蔽圍スルコト

三　後退ノ爲ノ裝置ヲ備フルコト

四　速力ハ滿載狀態ニテ平水ニ於テ一時間ニ付六海里以上ナルコト

五　一〇人以上ノ定員ヲ有スル發動機附救命艇ニ在リテハ浮体ノ容積ヲ該當官吏ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ增加スルコト

第七節　第二級救命艇

第二十六條　第二級救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第二級甲型救命艇ニ關スル規定ニ適合シ且發動機、深照燈及無線電信設備竝ニ其ノ附屬物ノ重量ヲ此等ヲ除キタルトキ艇ノ追加收容シ得ベキ人員ノ重量トノ差ヲ補フニ足ル樣十分ニ浮体ノ容積ヲ增加スルコト

二　發動機及其ノ附屬物ハ荒天狀態ニ於テモ確實ニ操作シ得ル樣適當ニ之ヲ蔽圍スルコト

三　後退ノ爲ノ裝置ヲ備フルコト

四　速力ハ滿載狀態ニテ平水ニ於テ一時間ニ付六海里以上ナルコト

五　一〇人以上ノ定員ヲ有スル發動機附救命艇ニ在リテハ浮体ノ容積ヲ該當官吏ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ增加スルコト

第八節　雜則

第二十七條　救命艇ニハ之ヲ容ルベキ定員ニ對シ左ノ艤裝品ヲ滿載シタル場合ニ於ケル艇ノ吃水線ヨリ上ニ在ラシムルモノナルコトヲ要ス

第七章　救命索
第八章　救命索發射器
附則

救命器具試驗規程

第一條　救命器具ヲ分チテ左ノ七種トス

一　救命艇
二　救命筏
三　救命浮器
四　救命浮環
五　救命胴衣
六　救命袋
七　救命索發射器

第二條　本令ノ規程ニ該當セザル救命器具ハ當該官吏ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第二章　救命艇

第一節　通則

第三條　救命艇ヲ分チテ左ノ五種トス

一　第一級甲型救命艇　內部浮体ノミヲ有シ固定舷側ヲ有スル無甲板救命艇

二　第一級乙型救命艇　內部浮体及外部浮体ヲ有シ固定舷側ヲ有スル無甲板救命艇

三　第二級甲型救命艇　內部浮体及外部浮体ヲ有シ舷側ノ上部ヲ疊込ミ得ル無甲板救命艇

四　第二級乙型救命艇　固定水密舷墻ヲ有スル有甲板救命艇

五　發動機附救命艇　第一級救命艇ニシテ發動機ヲ備フルモノ

第四條　救命艇ハ其ノ構造適當ニシテ海上ニ於テ十分ナル復原性ヲ有シ且人及艤裝品ヲ滿載シタルトキ十分ノ乾舷ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

救命艇ハ人及艤裝品ヲ滿載シテ之ヲ安全ニ水面ニ卸シ得ルニ十分ナル强力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第五條　救命艇ハ浮力ハ其ノ使用ニ先チ艇体ノ主要部分ニ付特別ノ操作ヲ要セズシテ得ラルヌモノナルコトヲ要ス

第六條　救命艇ノ重量ハ人及艤裝品ヲ滿載シタル場合ニ於テ操縦ニ支障ナキ限リ成ルベク輕キヲ要ス

救命艇ノ重量ハ人及艤裝品ヲ滿載シタル場合二〇、三〇〇キログラムヲ超ユルコトヲ得ズ

第七條　救命艇ノ容積ハ一、三五立方メートル未滿ナルコトヲ得ズ

第八條　第六條ノ規定ニ依リ算出シタル定員カ一〇〇人以上トナルベキ救命艇ハ發動機附救命艇ト爲スコトヲ要ス

第九條　救命艇ノ內部浮体ニハ左ノ各號ノ條件ニ適合スル金屬製水密空氣箱ヲ使用スベシ

一　空氣箱ハ厚サ〇・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板、黃銅板又ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亜鉛板、亜鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板ヲ使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートル超ユザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サ一〇〇センチメートルヲ超ユルモノナルトキハ補强ノ爲空氣箱內部ニ仕切板ヲ設クルコト

四　空氣箱ノ構成ス ル金屬板ノ纖目ハ幅一〇ミリメートル以上ノ二重折曲抱合ト爲シ良ク槌打シ且鐵附スルコト但シ繼部ノ纖目ハ折曲ト爲スモ妨ナキコト

五　空氣箱ヲ波形ノ金屬板ニテ構成スル場合ニハ纖目ニ於ケル波形ノ部分ニ裂痕ノ發生スルコトヲ防止スル爲空氣箱ヲ構成スルニ先チ板ヲ十分燒鈍スルコト

六　空氣箱ニハ之ニ木製ノ仕切板ヲ取附ケルヲ要ス

七　空氣箱ハ毎平方センチメートル〇・〇七キログラムノ空氣壓ヲ以テ試驗シ空氣ノ漏洩セザルモノナルコト

八　空氣箱ノ表面ニハ煮沸セル亜麻仁油又ハ良質ノ「ワニス」若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル塗料ヲ塗布スルコト

九　空氣箱ヲ取附クルニハ之ヲ鐵鋼部ニ接銅セシメザルコト

第十條　救命艇ニハ之ヲ容ルベキ定員ニ對シ左ノ艤裝品ヲ滿載シタル場合ニ於ケル艇ノ吃水線ヨリ上ニ在ラシムルモノナルコトヲ要ス

第十一條　第一級救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十二條　第一級甲型救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十三條　第一級乙型救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十四條　第二級甲型救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十五條　第二級乙型救命艇ノ船首材及船尾材ニ於テ測リタル舷弧ノ高サノ平均カ艇ノ長サノ三%ヨリ小ナルトキハ最小乾舷ハ表ニ揭グルモノニ艇ノ長サノ三%ヲ加ヘタルモノト爲スベシ

第十六條　第二級甲型救命艇ノ長サノ中央ノ舷側ニ於ケル固定艇体ノ上面ヨリ測リタル乾舷ハ滿載狀態ニ於テ淡水中ニテ左表ニ揭グルモノヨリ小ナラザルコトヲ要ス

救命艇ノ長サ（米）	最小乾舷（粍）
七・九〇	二〇〇
八・五〇	二二五
九・一五	二五〇

備考

救命艇ノ長サカ表ニ揭グルモノニ該當セザルトキハ補間法ニ依リ最小乾舷ヲ求ムベシ

第十七條　第二級甲型木製救命艇ノ水密空氣箱ノ容積ハ定員一人ニ付四三立方デシメートル以上、「コルク」製外部浮体ノ容積ハ定員一人ニ付六立方デシメートル以上ナルコトヲ要ス

第十八條　第二級甲型金屬製救命艇ニ在リテハ其ノ浮力カ前條ノ規定ニ依ル第二級甲型木製救命艇ト同等トナル樣浮体ノ容積ヲ定メラルベシ

| 救命艇ノ深

ノ算式ニ依リ算定スベシ

$$容積=\frac{l}{12}(2A+2B+4C)$$

l ハ船首材ニ於ケル外板ノ内面ヨリ船尾ノ形狀尖形ナルトキハ船尾材ニ於ケル外板ノ内面迄、方形ナルトキハ船尾横板ノ内面迄測リタル救命艇ノ長サ　メートル

A、B及Cハ一ノ端ヨリ順次其ノ四分ノ一、二分ノ一及四分ノ三ノ箇所ニ於ケル艇体ノ横截面積　平方メートル

第二十二條　前條ノ横截面積A、B及Cハ夫々左ノ算式ニ依リ算定スベシ

$$A=\frac{h}{12}(a+4b+2c+d)$$

$$B=\frac{h}{12}(a+4c+2e+d)$$

$$C=\frac{h}{12}(a+4d+2e+d)$$

h ハ外板ノ内面ニ於テ龍骨ヨリ舷端迄測リタル當該横截面ノ深サ　メートル

a 及 e ハ h ノ兩端ニ於ケル外板ノ内面ヨリ内面迄ノ幅　メートル

b、c 及 d ハ h ノ一端ヨリ順次其ノ四分ノ一、二分ノ一及四分ノ三ノ箇所ニ於ケル外板ノ内面ヨリ内面迄ノ幅　メートル

前項ノ算式ニ依リ横截面ヲ算定スルニ當リテハ左ノ規定ニ依ルベシ

一　横截面積A又ハCノ算定ニ於テ當該横截面ニ於ケル舷弧ノ高サガ艇ノ長サノ一%ヲ超ユルトキハ超過部分ニ相當スル面積ハ之ヲ横截面積ニ算入スベカラズ

二　中央横截面積Bノ算定ニ於テ當該横截面ニ於ケル舷端迄ノ深サガ最大内法幅ノ四五%ヲ超ユルトキハ超過部ニ相當スル面積ハ之ヲ横截面積ニ算入スベカラズ

三　前號ノ場合ニ於テ當該横截面ニ於ケル舷端迄ノ深サガ中央横截面ノ最大内法幅ノ四五%ニ艇ノ長サノ一%ヲ加ヘタルモノヲ超ユルトキハ超過部分ニ相當スル面積ハ之ヲ横截面積ニ算入スベカラズ

第二十三條　發動機附救命艇ノ容積ハ第二十一條ノ規定ニ依ル容積ヨリ發動機、探照燈及無線電信設備並ニ其ノ附屬物ノ内ム容積ヲ控除シタルモノトス

第二十四條　第二級甲型救命艇ノ固定舷側内面積　平方メートルニテ又ハ第二級乙型救命艇甲板面積　平方メートルニテハ左ノ算式ニ依リ算定スベシ

$$L\text{ハ船首材ニ於ケル外板ノ外面ヨリ船尾材ニ於ケル外板ノ外面迄、方形ナルトキハ船尾横板ノ外面迄測リタル救命艇ノ長サ　メートル}$$

$$B\text{ハ艇体最廣部ニ於ケル外板ノ外面ヨリ外面迄測リタル救命艇ノ幅　メートル}$$

$$D\text{ハ艇ノ長サノ中央ニ於テ龍骨ニ於ケル外板ノ内面ヨリ舷端迄測リタル救命艇ノ深サ　メートル}$$

$$容積=L\times B\times D\times 0.65$$

$$固定舷側内面積=L\times(B-0.4D)$$

$$甲板面積=L\times(B-0.4D)\times 0.9$$

ハDガBノ四五%ヲ超ユルトキハDノ値ハBノ四五%ニ止ム

第二十五條　第一級救命艇ノ定員ハ其ノ容積ノ%ヲ超ユルトキハ超過部分ニ相當スル面積ノ之ヲ横截面積ニ算入スベカラズ

二　中央横截面積Bノ算定ニ於テ當該横截面ニ於ケル舷端迄ノ深サガ最大内法幅ノ四五%ヲ超ユルトキハ超過部ニ相當スル面積ハ之ヲ横截面積ニ算入スベカラズ

三　前號ノ場合ニ於テ當該横截面ニ於ケル舷端迄ノ深サガ中央横截面ノ最大内法幅ノ四五%ニ艇ノ長サノ一%ヲ加ヘタルモノヲ超ユルトキハ超過部分ニ相當スル面積ハ之ヲ横截面積ニ算入スベカラズ

第二十六條　第一級救命艇ノ定員ハ其ノ容積ノ%ヲ超ユルトキハ超過部分ニ相當スル面積ハ之ヲ横截面積ニ算入スベカラズ

二　中央横截面積Bノ算定ニ於テ當該横截面ニ於ケル舷端迄ノ深サガ最大内法幅ノ四五%ヲ超ユルトキハ超過部ニ相當スル面積ハ之ヲ横截面積ニ算入スベカラズ

三　前號ノ場合ニ於テ當該横截面ニ於ケル舷端迄ノ深サガ中央横截面ノ最大内法幅ノ四五%ニ艇ノ長サノ一%ヲ加ヘタルモノヲ超ユルトキハ超過部分ニ相當スル面積ハ之ヲ横截面積ニ算入スベカラズ

第二十七條　有甲板救命艇ニ在リテハ座席艤備ニ相當スル人員ガ前條ノ定員ヨリ大ナルトキハ當該官吏ノ實地試驗ノ上其ノ定員ヲ增加スルコトヲ得但シ甲板面積平方メートル毎ヲ○・二八ニテ除シテ得タル數ヲ超ユルコトヲ得ズ

前項ノ試驗ニ於テ四甲板救命艇ノ側部ニ於ケル甲板ノ高マリタル部分ハ之ヲ座席ニ充ツルコトヲ得

第二十八條　救命艇ノ定員ハ前二條ノ規定ニ拘ラズ必要ニ應ジ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ制限スベシ

一　前二條ノ規定ニ依ル定員ガ座席設備ニ相當スル人員ヨリ多キトキハ定員ヲ座席設備ニ相當スル人員ニ止ムベシ此ノ場合座席設備ニ相當スル人員ハ總員著席シタルトキ櫂ノ使用ヲ妨ゲザル樣之ヲ決定スベシ

二　第二級救命艇ニ在リテハ滿載狀態ニ於ケル乾舷ガ第十六條又ハ第十九條ニ規定スル乾舷ヨリ小ナルトキハ該規定ニ適合スル迄定員ヲ減少スベシ

三　漂流ニ二センチメートルヲ超ユル第一級救命艇ニ在リテハ第二十六條ニ依ル定員ニ一二センチメートル毎ノ實際ノ深サトノ比ヲ乘ジテ得タル人員迄定員ヲ減少スベシ但シ實地試驗ノ上減少ノ程度ヲ當該官吏ニ於テ差支ナシト認ムル限度ニ止ムルコトヲ得

第二十九條　銳尖ナル兩端ヲ有スル救命艇又ハ形狀著シク肥滿セル救命艇ノ定員ノ算定ハ當該官吏ノ適當ト認ムル方法ニ依ル

第三十條　救命艇ノ實地試驗ハ救命胴衣ヲ著用シタル大人ヲ搭載シテ之ヲ行フベシ

有甲板救命艇ノ乾舷ノ檢査ハ定員一人ニ付七五キログラムノ重量ヲ積載シテ之ヲ行フベシ

第七節　雜則

第三十一條　救命艇ニハ其ノ舷側ノ外周ニ沿ヒ長サ六一センチメートル毎ニ一箇ノ把縄部ヲ有スル把索ヲ取附クベシ

前項ノ把縄部ノ中央ハ救命艇ノ滿載吃水線ニ近キコトヲ要ス

第三十二條　救命艇ニハ明瞭且耐久的ノ文字ヲ以テ左ノ各號ノ標示ヲ爲スベシ

一　型式承認番號（型式承認ヲ受ケタルモノニ限ル）

二　製造番號

三　定員

四　重量

五　重量（滿載狀態ノ重量）

六　製造年月

七　製造者ノ氏名又ハ名稱

第三十三條　救命艇ノ定員ハ救命艇ノ甲板面積平方メートル數ヲ○・三七ニテ除シタル數及浮体ノ全容積立方デシメートル數ヲ八五ニテ除シタル數ノ中何レカ小ナルモノヲ超ユルコトヲ得ズ

第三十四條　救命艇ハ上下何レノ面ヲ上ニシテ浮ベタル場合ニ於テモ有效ニシテ定員一人ニ付七五キログラムノ割合ニ當ル重量ヲ積載シ得ルモノタルコトヲ要ス

第三章　救命艇

第三十五條　救命艇ノ定員ハ救命艇ノ甲板面積平方メートル數ヲ○・三七ニテ除シタル數及浮体ノ全容積立方デシメートル數ヲ八五ニテ除シタル數ノ中何レカ小ナルモノヲ超ユルコトヲ得ズ

第三十四條　救命艇ハ上下何レノ面ヲ上ニシテ浮ベタル場合ニ於テモ有效ニシテ定員一人ニ付七五キログラムノ割合ニ當ル重量ヲ積載シ得ルモノタルコトヲ要ス

第三十五條　救命艇ハ其ノ重心ガ艇ノ中央ニ於テ龍骨ニ於ケル外板ノ内面ヨリ舷端迄測リタル救命艇ノ深サノ%ノ高サニ在ル樣ニ積載シ且艤具ヲ搭載シタル場合相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノタルコトヲ要ス

第三十六條　救命艇ニハ其ノ定員ノ%以上ノ櫂ヲ備フルコトヲ要ス

第三十七條　救命艇ニハ其ノ兩舷ニ木材、帆布又ハ他適當ナル材料ニテ造リタル固定又ハ折疊ノ艇蓋ヲ備フルコトヲ要ス

第三十八條　救命艇ニハ之ニ木製ノ仕切板又ハ支肘ヲ取附ケタル等ノ爲ノ穿孔ヲ設ケルコトヲ要ス

第三十九條　救命艇ハ每平方センチメートル○・一キログラムノ空氣壓ヲ以テ試驗シ空氣ノ漏洩セザルモノタルコト

八　空氣箱ノ表面ニハ煮沸セル亞麻仁油又ハ良質ノ「ワニス」若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル塗料ヲ塗布スルコト

九　空氣箱ヲ取附ケルニハ之ヲ艤銅部ニ接觸セザルコト

第四十一條　浮体ハ包帶又ハ包枠ヲ以テ之ヲ防護シ動カザル樣取附クルコトヲ要ス

第四十二條　救命艇ノ主枠組ニ使用スル木材ハ堅材ナルコトヲ要ス

浮体ヲ防護スル爲ノ包箱、包枠又ハ甲板ニ使用スル木材ハ柔ナルモ妨ナシ

第四十三條　救命艇ハ其ノ兩面ニ木材、帆布又ハ他適當ナル材料ニテ造リタル固定又ハ疊込ノ艇蓋ヲ備フルコトヲ要ス

第四十四條　救命艇ニハ當該官吏ノ適當ト認ムル位置ニ五箇以上ノ提索孔ヲ設クルコトヲ要ス

第四十五條　救命艇ニハ其ノ周邊ニ沿ヒ周邊ノ長サ三〇・五センチメートル毎ニ一箇ノ把握部ヲ有スル二列ノ把索ヲ其ノ一ハ浮体ノ頂面ヨリ稍下部ニ他ハ浮体ノ底面ヨリ稍上部ニ取附クルコトヲ要ス

前項ノ把索ハ良質ノ「マニラ」索ニシテ徑一二ミリメートル以上ノモノナルコトヲ要シ把握部ニハ外徑四センチメートル長サ一〇センチメートルノ木製浮子ヲ附スルコトヲ要ス

第四十六條　救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第四十七條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノナルコトヲ要ス

第三十六條　救命艇ハ構造堅牢ニシテ船舶ノ甲板ヨリ之ヲ投下スルモノニ在リテハ救命筏搭載甲板ヨリ該船舶ノ最低航海吃水線迄ノ高サニ墜落スルモ異狀ヲ呈セザルモノタルコトヲ要シ機械的裝置ニ依リ進水セシムルモノニ在リテハ其ノ强力ハ當該官吏ノ適當ト認ムルモノタルコトヲ要ス

第三十七條　救命筏ノ重量ハ七五〇キログラムヲ超ユルコトヲ得ズ但シ機械的裝置ニ依リ進水セシムル救命筏ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

第三十八條　救命筏ノ浮體ハ水密ナル空氣箱又ハ當該官吏ニ於テ適當ト認ムル浮力材料ヨリ成ルコトヲ要シ浮體ノ浮力ガ空氣ニ依ルモノナルコト場合ニハ膨脹セシムル必要ナキモノナルコトヲ要ス

第三十九條　浮体ハ出來得ル限リ救命筏ノ側部ニ近ク之ヲ配置スルコトヲ要ス

第四十條　救命艇ノ艤装ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第四十一條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第四十二條　救命艇ニハ其ノ定員ノ%以上ノ櫂ヲ備フルコトヲ要ス

第四十三條　救命艇ニハ其ノ兩舷ニ木材、帆布又ハ他適當ナル材料ニテ造リタル固定又ハ疊込ノ艇蓋ヲ備フルコトヲ要ス

第四十四條　救命艇ニハ當該官吏ノ適當ト認ムル位置ニ五箇以上ノ提索孔ヲ設クルコトヲ要ス

第四十五條　救命艇ニハ其ノ周邊ニ沿ヒ周邊ノ長サ三〇・五センチメートル毎ニ一箇ノ把握部ヲ有スル二列ノ把索ヲ其ノ一ハ浮体ノ頂面ヨリ稍下部ニ他ハ浮体ノ底面ヨリ稍上部ニ取附クルコトヲ要ス

前項ノ把索ハ良質ノ「マニラ」索ニシテ徑一二ミリメートル以上ノモノナルコトヲ要シ把握部ニハ外徑四センチメートル長サ一〇センチメートルノ木製浮子ヲ附スルコトヲ要ス

第四十六條　救命艇ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第四十七條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第四十八條　救命浮器ノ定員ハ該救命浮器ノ全浮力ヲ數ヲ一四・五ニテ除シタル數及周邊ノ長サセンチメートル數ヲ三〇・五ニテ除シタル數ノ中何レカ小ナルモノヲ超ユルコトヲ得ズ

第四十九條　救命浮器ハ上下何レノ面ヲ上ニシテ浮ベタル場合ニ於テモ有效ニシテ定員一人ニ付七五キログラムノ割合ニ當ル重量ヲ積載シ得ルモノタルコトヲ要ス

第五十條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第五十一條　救命浮器ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第五十二條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第五十三條　救命浮器ノ重量ハ一八〇キログラムヲ超ユルコトヲ得ズ

重量一三五キログラムヲ超ユル救命浮器ニ在リテハ之ヲ取扱ヒ容易ナラシムル爲適當ナル把手又ハ棧木ヲ取附ケ置クコトヲ要ス

前項ノ把手又ハ棧木ハ船舶ノ手摺ヲ越エテ救命浮器ヲ上リ落サシムルニ支障ヲ來サザルモノナルコトヲ要ス

第五十四條　救命浮器ヲ淡水ニ浮ベタルトキ之ニ吊シ得ル鐵片ノ重量（キログラム未滿）ヲ以テ救命浮器ノ全浮力トス

第五十五條　救命浮器ノ浮体ノ水密ナル空氣箱又ハ當該官吏ニ於テ適當ト認ムル浮力材料ヨリ成ルコトヲ要シ浮体ノ浮力ガ空氣ニ依ルモノナル場合ニハ救命浮器ノ使用ニ先チ膨脹セシムル必要ナキモノナルコトヲ要ス

第五十六條　浮体ハ出來得ル限リ救命浮器ノ側部ニ近ク之ヲ配置スルコトヲ要ス

第五十七條　金屬製空氣箱ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第五十八條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第五十九條　救命浮器ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第六十條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第六十一條　救命浮器ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第六十二條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第六十三條　救命浮器ノ重量ハ一八〇キログラムヲ超ユルコトヲ得ズ

重量一三五キログラムヲ超ユル救命浮器ニ在リテハ之ヲ取扱ヒ容易ナラシムル爲適當ナル把手又ハ棧木ヲ取附ケ置クコトヲ要ス

前項ノ把手又ハ棧木ハ船舶ノ手摺ヲ越エテ救命浮器ヲ上リ落サシムルニ支障ヲ來サザルモノナルコトヲ要ス

第六十四條　救命浮器ヲ淡水ニ浮ベタルトキ之ニ吊シ得ル鐵片ノ重量（キログラム未滿）ヲ以テ救命浮器ノ全浮力トス

第六十五條　救命浮器ノ浮体ノ水密ナル空氣箱又ハ當該官吏ニ於テ適當ト認ムル浮力材料ヨリ成ルコトヲ要シ浮体ノ浮力ガ空氣ニ依ルモノナル場合ニハ救命浮器ノ使用ニ先チ膨脹セシムル必要ナキモノナルコトヲ要ス

第六十六條　浮体ハ出來得ル限リ救命浮器ノ側部ニ近ク之ヲ配置スルコトヲ要ス

第六十七條　金屬製空氣箱ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第六十八條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第六十九條　救命浮器ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第七十條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第七十一條　救命浮器ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第七十二條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第七十三條　救命浮器ノ重量ハ一八〇キログラムヲ超ユルコトヲ得ズ

重量一三五キログラムヲ超ユル救命浮器ニ在リテハ之ヲ取扱ヒ容易ナラシムル爲適當ナル把手又ハ棧木ヲ取附ケ置クコトヲ要ス

前項ノ把手又ハ棧木ハ船舶ノ手摺ヲ越エテ救命浮器ヲ上リ落サシムルニ支障ヲ來サザルモノナルコトヲ要ス

第七十四條　救命浮器ヲ淡水ニ浮ベタルトキ之ニ吊シ得ル鐵片ノ重量（キログラム未滿）ヲ以テ救命浮器ノ全浮力トス

第七十五條　救命浮器ノ浮体ノ水密ナル空氣箱又ハ當該官吏ニ於テ適當ト認ムル浮力材料ヨリ成ルコトヲ要シ浮体ノ浮力ガ空氣ニ依ルモノナル場合ニハ救命浮器ノ使用ニ先チ膨脹セシムル必要ナキモノナルコトヲ要ス

第七十六條　浮体ハ出來得ル限リ救命浮器ノ側部ニ近ク之ヲ配置スルコトヲ要ス

第七十七條　金屬製空氣箱ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第七十八條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第七十九條　救命浮器ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第八十條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第八十一條　救命浮器ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第八十二條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第八十三條　救命浮器ノ重量ハ一八〇キログラムヲ超ユルコトヲ得ズ

重量一三五キログラムヲ超ユル救命浮器ニ在リテハ之ヲ取扱ヒ容易ナラシムル爲適當ナル把手又ハ棧木ヲ取附ケ置クコトヲ要ス

前項ノ把手又ハ棧木ハ船舶ノ手摺ヲ越エテ救命浮器ヲ上リ落サシムルニ支障ヲ來サザルモノナルコトヲ要ス

第八十四條　救命浮器ヲ淡水ニ浮ベタルトキ之ニ吊シ得ル鐵片ノ重量（キログラム未滿）ヲ以テ救命浮器ノ全浮力トス

第八十五條　救命浮器ノ浮体ノ水密ナル空氣箱又ハ當該官吏ニ於テ適當ト認ムル浮力材料ヨリ成ルコトヲ要シ浮体ノ浮力ガ空氣ニ依ルモノナル場合ニハ救命浮器ノ使用ニ先チ膨脹セシムル必要ナキモノナルコトヲ要ス

第八十六條　浮体ハ出來得ル限リ救命浮器ノ側部ニ近ク之ヲ配置スルコトヲ要ス

第八十七條　金屬製空氣箱ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第八十八條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第八十九條　救命浮器ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第九十條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第九十一條　救命浮器ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第九十二條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第九十三條　救命浮器ノ重量ハ一八〇キログラムヲ超ユルコトヲ得ズ

重量一三五キログラムヲ超ユル救命浮器ニ在リテハ之ヲ取扱ヒ容易ナラシムル爲適當ナル把手又ハ棧木ヲ取附ケ置クコトヲ要ス

前項ノ把手又ハ棧木ハ船舶ノ手摺ヲ越エテ救命浮器ヲ上リ落サシムルニ支障ヲ來サザルモノナルコトヲ要ス

第九十四條　救命浮器ヲ淡水ニ浮ベタルトキ之ニ吊シ得ル鐵片ノ重量（キログラム未滿）ヲ以テ救命浮器ノ全浮力トス

第九十五條　救命浮器ノ浮体ノ水密ナル空氣箱又ハ當該官吏ニ於テ適當ト認ムル浮力材料ヨリ成ルコトヲ要シ浮体ノ浮力ガ空氣ニ依ルモノナル場合ニハ救命浮器ノ使用ニ先チ膨脹セシムル必要ナキモノナルコトヲ要ス

第九十六條　浮体ハ出來得ル限リ救命浮器ノ側部ニ近ク之ヲ配置スルコトヲ要ス

第九十七條　金屬製空氣箱ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第九十八條　救命浮器ハ之ヲ使用スルニ先チ特別ノ操作ヲ要セズ且容易迅速ニ取扱ヒ得ルモノニシテ容易ニ墜落スルコトヲ要ス

第九十九條　救命浮器ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　空氣箱ハ厚サ○・六〇ミリメートル以上ノ良質ノ銅板又ハ黃銅板若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル耐久材料ニテ構成スルコト（亞鉛板、亞鉛鍍鐵銅板又ハ銅鍍鐵銅板使用スルコトヲ得ズ）

二　空氣箱ノ長サハ一二〇センチメートルヲ超エザルコト

三　空氣箱ニハ波形ノ金屬板ニテ構成スルモノヲ除キ其ノ長サガ七五センチメートル毎ニ一箇ノ割合ノ鐵片ヲ把索ニ吊シタルトキ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第百條　救命浮器ハ之

六　窒氣箱ニハ之ニ木製ノ仕切板又ハ支肘ヲ取附クル等ノ爲穿孔セザルコト

七　窒氣箱ハ毎平方センチメートル〇・一〇キログラムノ窒氣壓ヲ以テ試驗シ窒氣ノ漏洩セザルモノナルコト

八　窒氣箱ノ表面ニハ煮沸セル亞麻仁油又ハ良質ノ「リニス」若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル塗料ヲ塗布スルコト

九　窒氣箱ヲ取附クルニハ之ヲ鐵鋼部ニ接觸セシメザルコト

第五十八條　浮体ハ包箱又ハ包枠ヲ以テ之ヲ防護シ動カザル樣取附クルコトヲ要ス

第五十九條　救命浮器ノ主枠組ニ使用スル木材ハ堅材ナルコトヲ要ス但シ當該官吏ニ於テ差支ナシト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

浮体ヲ防護スル爲ノ包箱又ハ包枠ニ使用スル木材ハ柔材ナルモ妨ナシ

第六十條　救命浮器ニハ其ノ周邊ニ沿ヒ該救命浮器ノ定員ト同數ノ把掘部ヲ有スル把索前項ノ各把掘部ニハ外徑四センチメートル長サ一〇センチメートルノ木製浮子ヲ附スルコトヲ要ス

把掘部ノ弛ミノ深サハ把索ガ滑レタルトキ一五センチメートル以上二〇センチメートル以下ナルコトヲ要ス

把索ハ深サ三〇センチメートル以下ノ救命浮器ニ在リテハ之ヲ深サノ中央線ニ沿ヒ一列ニ取附クルコトヲ要シ深サ三〇センチメートルヲ超ユル救命浮器ニ在リテハ之ヲ二列トシ其ノ一ハ浮体ノ頂面ヨリ稍下部ニ、他ハ浮体ノ底面ヨリ稍上部ニ取附クルコトヲ要ス

把索ハ良質ノ「マニラ」索ニシテ徑一二ミリメートル以上ノモノナルコトヲ要ス

把索ヲ救命浮器ニ取附クルニハ亞鉛鍍セル鍊鐵製又ハ鋼製ノ鐵附釘及母螺ヲ使用スルカ又ハ救命浮器ノ外周ヲ形成スル枠材ニ孔ヲ穿チ之ニ直接把索ヲ通ズベシ

第六十一條　救命浮器ニハ左ノ各號ノ條件ニ適ヒ製索ヲ備フルコトヲ要ス

一　製索ノ長サハ救命浮器ヲ搭載スル甲板ヨリ該船船ノ最低航淮吃水線迄ノ高サニ二メートルヲ加ヘタルモノ以上ナルコト但シ一八メートルヨリ長キコトヲ要セザルコト

二　製索ハ良質ノ「マニラ」索トシ其ノ大サハ救命浮器ノ重量一三五キログラム以下ノモノニ在リテハ徑一六ミリメートル以上、一三五キログラムヲ超ユルモノニ在リテハ徑二〇ミリメートル以上ナルコト

三　製索ヲ救命浮器ニ取附クルニハ救命浮器ニ堅牢ニ取附ケタル亞鉛鍍セル鍊鐵製又ハ鋼製ノ鐵附螺釘及母螺其ノ他適當ノ方法ニ依ルコト

四　前號ノ鐵附螺釘ノ鐵材ノ徑ハ一一ミリメートル以上ナルコト

第六十二條　救命浮器ノ側部ハ旅客ノ注意ヲ喚起スル爲紅白交互ノ條線ニ塗裝スベシ

第六十三條　救命浮器ニハ明瞭且耐久的ノ文字ヲ以テ左ノ各號ノ標示ヲ爲スベシ

一　型式承認番號（型式承認ヲ受ケタルモノニ限ル）

二　製造番號

三　定員

四　重量

五　膠落試驗ノ高サ

六　製造年月

七　製造者ノ氏名又ハ名稱

第五章　救命浮環

第六十四條　救命浮環ハ一四・五キログラム以上ノ鐵片ヲ附シ淡水ニ於テ二四時間以上浮ビ得ルモノナルコトヲ要ス

第六十五條　救命浮環ハ高サ一八メートルノ箇所ヨリ水面ニ墜落セシメ異狀ヲ呈セザルモノナルコトヲ要ス

第六十六條　救命浮環ノ內徑ハ四二〇ミリメートル以上、厚サハ一〇〇ミリメートル以上、橫截面ノ周ハ四五〇ミリメートル以上ト爲スベシ

第六十七條　救命浮環ノ浮力材料ハ一八箇以內ノ「コルク」塊又ハ「コルク」ニ類似セル固着シタルモノヲ以テ包被シ「コルク」ニハ黑肌共ノ他ノ瑕疵ヲ有セザル天然「コルク」ニシテ其ノ重量一〇〇立方センチメートルニ付二二・五グラム以下ノモノナルコトヲ要ス

「パルサ」ハ樹皮其ノ他ノ瑕疵ヲ有セズ且十分ニ蒸氣乾燥ヲ施シタル良質ノモノナルコトヲ要ス

第六十八條　救命浮環ハ帆布ヲ以テ外裝シ之ニ酸化亞鉛ヲ主成分トスル防水塗料ヲ三回以上塗布スベシ

帆布ハ一平方メートルニ付三四五グラム以上ノ重量ヲ有シ且幅三〇ミリメートルノ試驗片ニ付長サ一〇〇ミリメートルヲ試驗シ經緯共四〇キログラム以上ノ強力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第六十九條　救命浮環ニハ四箇ノ縛帶ヲ縫著シ其ノ一箇ニハ檢印押捺用ノ孔ヲ設ケ其ノ周緣ハ飾縫ト爲シ且孔蓋ヲ縫著スベシ

縛帶ハ幅六〇ミリメートル以上ト爲シ外裝布ト同一ノ帆布ヲ二重合縫ト爲シタルモノナルコトヲ要ス

第七十條　救命浮環ニハ其ノ周圍ニ把索ヲ附スベシ

把索ハ良質ノ「マニラ」索トシ徑一〇ミリメートル以上、總長三メートル以上ニシテ接合部ニ於テモ三〇〇キログラム以上ノ強力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第七十一條　「ミシン」縫ニハ長サ二〇〇ミリメートルニテ試驗シ二キログラム以上ノ強力ヲ有スル亞麻絲又ハ綿絲ヲ使用スベシ

第七十二條　「ミシン」縫部ハ二五ミリメートルニ付約八針ノ割合ニテ手縫部ハ二五ミリメートルニ付約三針ノ割合ニテ縫著スベシ

第六章　救命器具

第七十三條　救命胴衣ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　大人及小兒ノ僉用ニ適シ著用法簡易ニシテ前後裝裏轉用シ得ルコト

二　水中ニ於テ身体ヲ略垂直ノ位置ニ保チ頭部ヲ十分銜出セシメ得ルコト

第七十四條　救命胴衣ハ淡水ニ於テ七・五キログラム以上ノ鐵片ヲ附シ二四時間浮ビ且更ニ六・五キログラム以上ノ鐵片ヲ附加シテ浮ビ得ルモノナルコトヲ要ス

第七十五條　救命胴衣ノ浮力材料ニハ「カポック」、「コルク」又ハ「パルサ」ヲ使用スベシ

「カポック」ハ良質ノ乳白色「カポック」ニシテ種子其ノ他ノ夾雜物ヲ含有セズ且打綿ヲ施シタルモノナルコトヲ要ス

「コルク」ハ黑肌其ノ他ノ瑕疵ヲ有セザル天然「コルク」ニシテ其ノ重量一〇〇立方センチメートルニ付二二・五グラム以下ノモノナルコトヲ要ス

「パルサ」ハ樹皮其ノ他ノ瑕疵ヲ有セズ且十分ニ蒸氣乾燥ヲ施シタル良質ノモノナルコトヲ要ス

「コルク」塊及「パルサ」塊ハ特殊ノ箇所ニ使用スルモノヲ除クノ外七五〇立方センチメートル以上ノ容積ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第七十六條　救命胴衣ノ前部浮袋及後部浮袋ニハ等量ノ浮力材料ヲ使用スルコトヲ要シ「カポック」ヲ使用スルモノニ在リテハ各五〇〇グラム以上ナルコトヲ要ス

第七十七條　救命胴衣ノ仕上寸法ハ左表ニ依ル

浮力材料	前後各浮袋ノ寸法	浮力材料充塡後	浮力材料（耗）	首穴ノ寸法（耗）	肩樑ノ幅（耗）
	幅（中央ニテ）	高サ（中央ニテ）	厚サ（中央ニテ）	前後ノ徑（左右ノ徑）	
カポック	四〇〇	一九〇	一二〇	二〇〇	一六〇
コルク	四〇〇	一九〇	一二〇		
パルサ	四〇〇	一九〇	一二〇		

第七十八條　覆布、肩當等ノ材料ハ耐附、防水其ノ他ノ性能ヲ施サザル綿布又ハ亞麻布ニシテ一平方メートルニ付二四五グラム以上ノ重量ヲ有シ幅三〇ミリメートルノ試驗片ニ付長サ一〇〇ミリメートルニテ試驗シ經緯共四〇キログラム以上ノ強力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第七十九條　胴帶ハ亞麻綫、綿絲又ハ亞麻及綿混綫ノ平紐ニシテ幅三〇ミリメートル以上ヲ有シ且長サ一〇〇ミリメートルニテ試驗シ九〇キログラム以上ノ強力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第八十條　「ミシン」縫ニハ長サ二〇〇ミリメートルニテ試驗シ一・五キログラム以上ノ強力ヲ有スル亞麻絲又ハ綿絲ヲ使用スベシ

手縫ニハ前項ノ縫絲ヲ二重ト爲シタルモノ又ハ特ニ太キ縫絲ヲ使用スベシ

第八十一條　「ミシン」縫部ハ二五ミリメートルニ付約一〇針ノ割合ニテ手縫部ハ二五ミリメートルニ付約六針ノ割合ニテ縫著スベシ

浮袋兩面ノ覆布ノ縫著部ハ各布條ヲ內側ニ折合縫著スベシ

肩樑、布環等ハ浮袋ノ外部ニ五〇ミリメートル以上重ネテ縫著シ長方形及對角線縫留ヲ爲シ必要ニ應シ各隅ニ四留ヲ施スベシ

第七章　救命圈

第八十二條　救命圈ハ之ヲ開孔シテ水上ニ投ジタルトキ一分時以內ニ自然ニ發火シ風浪中ニ於テモ正シキ位置ヲ保チ一五〇燭光以上ノ焰ヲ三〇分時以上連續發焰シ得ルモノナルコトヲ要ス

第八十三條　纏ハ厚サ〇・四ミリメートル以上ノ亞鉛鍍鐵板ヲ以テ製造スベシ

薄ノ縱接合ハ折曲抱合ト爲シ且鑞附スベシ

一カポック	四〇〇	一九〇	一四〇
コルク	四〇〇	一九〇	一二〇
パルサ	四〇〇	一九〇	一二〇

外纏ハ楕形ト爲シ其ノ兩端ニ突出セル鳳形鍔板ヲ附スベシ

外纏ノ楕形部ト鍔板トハ巢接ノ上鑞附スベシ

外纏ニハ救命索ト救命浮鑽トノ連結ニ使用スル適當ナル通索鑽ヲ附シ從クベシ

外纏ニハ防腐塗料ヲ塗布スベシ

第八十四條　外纏ノ發焰孔及發焰用浸水孔ハ亞鉛板等ヲ以テ巢ヰ其ノ上部ニ引剝用鑞ヲ附スベシ

引剝用鑞ハ徑四ミリメートルノ眞鍮針金製ニシテ內徑二五ミリメートルナルコトヲ要ス

亞鉛板等ヲ引剝グニ要スル荷重ハ救命索ノ重量ヨリ小ナラズ且七キログラムヨリ大ナラザルコトヲ要ス

第八十五條　救命索ハ風化セザル發焰用炭化石灰七〇〇グラム以上及點火用燐化石灰七五グラム以上ヲ納メ從クベシ

第八章　救命索發射器

第八十六條　救命索發射器ヲ分チテ左ノ五種ト爲シ且硫酸紙ヲ以テ包裝シ「アラビア」護謨ニテ密封スルコト

一　第一號救命索發射器　標準到達距離三〇〇メートル以上ノモノ

二　第二號救命索發射器　標準到達距離三〇〇メートル未滿二五〇メートル以上ノモノ

三　第三號救命索發射器　標準到達距離二五〇メートル未滿二〇〇メートル以上ノモノ

四　第四號救命索發射器　標準到達距離二〇〇メートル未滿一五〇メートル以上ノモノ

五　第五號救命索發射器　標準到達距離一五〇メートル未滿一二〇メートル以上ノモノ

種類	救命索 徑（粍）	長サ（米）	抗張力（瓩）
第一號	六・〇〇	六〇〇	二五〇
第二號	五・〇〇	五〇〇	一八五
第三號	四・〇〇	四〇〇	一三〇
第四號	三・〇〇	三〇〇	八五
第五號	二・五〇	二四〇	六五

救命索ハ水分ヲ吸收スル虞ナキ樣水密ニ包裝シ使用ノ際容易ニ開封シ得ルモノナルコトヲ要ス

第九十一條　「ロケツト」ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　爆音ヲ發スル火藥ヲ含マズ且屋火ヲ發セザルモノナルコト

二　內筒ハ厚サ〇・四ミリメートル以上ノ亞鉛鍍鐵鋼板ヲ以テ製造シタルモノナルコト

三　「ロケツト」ハ一箇毎ニ防濕塗料ヲ塗布シ且硫酸紙ヲ以テ包裝シ「アラビア」護謨ニテ密封スルコト

第九十二條　普通型救命索發射器ニ使用スル「ロケツト」ニ在リテハ前條ノ規定ニ依ルノ外荒天ニ於テモ點火シ得ル適當ナル點火裝置ヲ備ヘ且該「ロケツト」ニ點火シタル後餘裕アルコトヲ要ス

第九十三條　短銃型救命索發射器ニ使用スル「ロケツト」ニ在リテハ第九十一條ノ規定ニ依ルノ外之ヲ短銃ニ依リ發射シタル際點火スル爲ノ點火裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第九十四條　筒竿ハ其ノ材料及寸法適當ニシテ使用ノ際「ロケツト」又ハ彈丸ニ取附クルコトヲ要スルモノニ在リテハ適當ナル取附裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第九十五條　銃砲ハ移動シ得ルモノニシテ且其ノ仰角ハ六〇度以上ナルコトヲ要ス

第九十六條　標準到達距離ハ救命索發射試驗ヲ四回以上行ヒ風其ノ他天候ノ影響ヲ除キタル平均到達距離ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年八月遞信省令第二十一號救命具試驗規程ハ之ヲ廢止ス

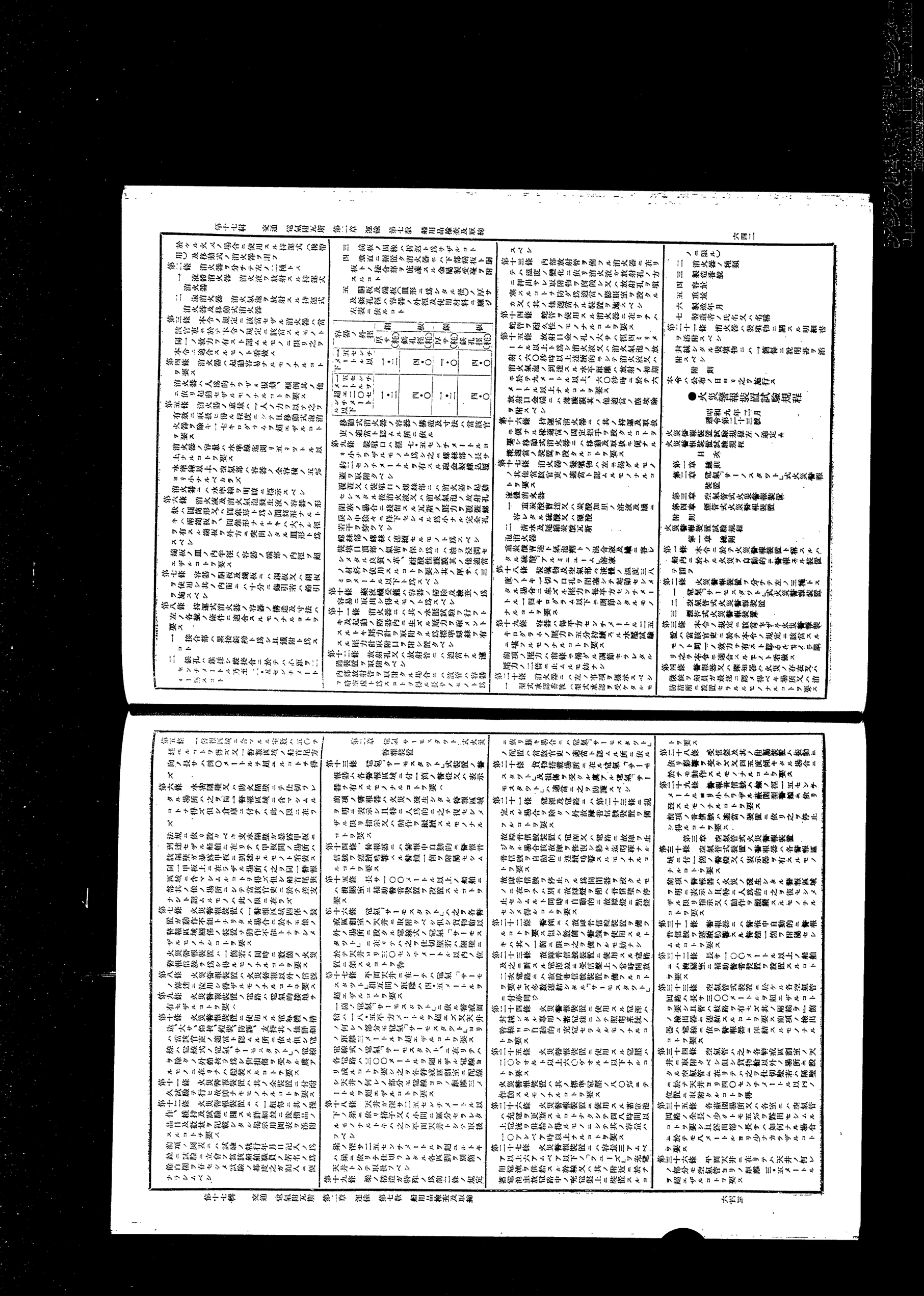
●消火器試驗規程

昭和九年二月
遞信省第二十二號

消火器試驗規程左ノ通定ム

消火器試驗規程

第一條　本令ニ於テ消火器ト稱スルハ船內ニ



火災警報裝置ハ其ノ標準電壓ノ八〇%ニテ動作スルモノナルコトヲ要ス

第百四十五條　火災警報裝置ニ使用スル蓄電池ハ充電ヲ更新スルコトヲクシテ四八時間以上電流ヲ供給シ得ルモノニシテ其ノ容量ハ一〇アムペア時以上ナルコトヲ要ス

第百四十六條　火災警報裝置ニハ容量三アムペア以上六アムペア以下ノ「フューズ」ヲ充電用電流ヲ供給スル幹線又ハ其ノ附近ニ於テ蓄電池主放電路中ノ充電器上ニ裝置スルコトヲ要ス

第百四十七條　受信盤及其ノ附屬裝置ハ振動ニ依リ影響ヲ受ケズ又四五度傾キタル場合ニ於テモ動作スルモノナルコトヲ要ス

第百四十八條　警報音信號ハ鐘ノ徑一五センチメートルヨリ小ナラザル藏園型警鐘ニ依リ發スルモノナルコトヲ要ス

前項ノ音信號ハ適當ノ裝置ニ依リ之ヲ停止シ得ルコトヲ要ス

第四章　煙管式火災警報裝置

第百四十九條　火災探知器ハ各夥戒區劃室ヨリ之ニ導キタル煙管ニ依リ火災ニ伴フ稍微稀薄ナル煙ヲ容易ニ判別シ得ルモノナルコトヲ要シ之ニ附屬スル照明裝置ハ夜間航海ニ支障ヲ來サザルモノナルコトヲ要ス

第百五十條　各警戒區劃室ニハ火災探知器ニ通ズル煙管一箇以上ヲ備フルコトヲ要ス但シ相隣接セル小區劃室ニシテ當該官吏ニ於テ火災探知器ニ導クモ妨ナシ

煙管ハ內徑二〇ミリメートルヨリ小ナラザルモノナルコトヲ要ス

第百五十一條　煙管ノ位置及大サハ裝置シタル場合相當ノ視界ヲ與ヘ又眼鏡ノ透明度ハ良好ニシテ映像ヲ歪曲セシメザルモノナルコトヲ要ス

眼鏡ノ溫度零度ニ於テ一五分時連續裝置スルモ曇ヲ生ゼザルモノナルコトヲ要ス

第百五十二條　覆面材料ハ剌戟性ヲ有セザルモノナルコトヲ要ス

第百五十三條　呼氣彈ハ內外部壓力平衡ノ場合閉鎖狀態ヲ保チ普通ノ呼氣及毎分一リットルノ割合ノ吸氣ニ對シ確實銳敏ニ開閉スルモノナルコトヲ要ス

呼氣彈ノ氣密度ハ內部壓力ヨリ水柱二〇〇ミリメートル低下シテ一五秒時ニ於テ其ノ他ノ有害物ヲ含ム空氣中ニ於テ呼吸ヲ安全ナラシメ得ルモノナルコトヲ要ス

第百五十四條　煙管ハ其ノ構造成ルベク簡易ニシテ裝着、吸收罐取換等取扱容易ナルモノナルコトヲ要ス

第百五十五條　防毒面ハ其ノ構造堅牢ニシテ普通ノ取扱ニ於テ容易ニ損傷セザルモノナルコトヲ要ス

第百五十六號　防毒面ハ寒熱濕乾ニ對シ十分ノ耐久性ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第百五十七條　防毒面ハ其ノ大サ及重量適大ナラズ且形狀適當ニシテ之ヲ裝着シタル場合作業ヲ妨ゲザルモノナルコトヲ要ス

第百五十八條　覆面、吸收罐、連結管及其ノ接續部ハ氣密ナルコトヲ要ス

吸收罐ノ氣密度ハ水柱一五〇ミリメートルノ壓力ニ對シ、覆面、連結管及其ノ接續部ノ氣密度ハ水柱一〇〇ミリメートルノ壓力ニ對シ堪フルコトヲ要ス

第百五十九條　防毒面ノ吸氣系ノ通氣抵抗ハ毎分三〇リットルノ吸氣ニ對シ水柱三〇ミリメートル以下ナルコトヲ要シ呼氣系ノ通氣抵抗ハ毎分三〇リットルノ呼氣ニ對シ水柱八ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第百六十條　防毒面ヲ裝着シタル場合覆面ハ顏面ニ適合シ接着良好ニシテ異狀ノ壓迫ヲ感ゼズ且作業ニ依リ其ノ接着ヲ害セラレザルモノナルコトヲ要ス

第百六十一條　接氣ハ凝凍ヲ防ギ且ツ內部ニ於ケル水蒸氣ノ凝結ヲ防止スル爲適當ノ方法ヲ講ズルモノナルコトヲ要ス

第百六十二條　吸收罐ノ通氣抵抗ハ毎分三〇リットルノ吸氣ニ對シ水柱五ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

吸收罐ノ通氣抵抗ハ毎分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱三ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第百六十三條　吸收罐ノ通氣抵抗ハ毎分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱五ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

振盪シタル場合ニ於テ減少セザルコトヲ要シ其ノ增加ハ毎分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱五ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第百六十四條　吸收罐ノ二年以上有效ナルモノナルコトヲ要ス

第百六十五條　吸收罐ノ外面ハ紅白二色ヲ以テ上下二層ニ塗裝スベシ

第百六十六條　防毒面ノ覆面及吸氣罐ニハ左ノ事項ヲ標示スベシ

一　型式承認番號（型式承認ヲ受ケタルモノニ限ル）

二　製造番號

三　製造年月

四　有效期間（吸收罐ニ限ル）

五　[下]ナル記號（吸收罐ニ限ル）

六　製造者ノ氏名又ハ名稱

第百六十七條　防毒面ニハ一組毎ニ使用方法ヲ詳記シタル說明書ヲ添附スベシ尙吸收罐ニハ其ノ取扱說明書ヲ貼附シ置クベシ

第百六十八條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●防毒面試驗規程

昭和九年二月
遞令第二十四號

防毒面試驗規程左ノ通定ム

第一條　本令ニ於テ防毒面ト稱スルハ呼氣囊及吸氣囊ヲ備フル覆面、連結管及吸收罐ヨリ成リ船內ニ於ケル火災ノ場合ニ使用スル防毒面ヲ謂フ

第二條　本令ノ規定ニ該當セザル防毒面ハ當該官吏ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第三條　防毒面ハ火災ニ伴フ煙、一酸化炭素ヲ除クノ外故障音信號裝置ヲ備フルコトヲ要ス

故障音信號裝置ハ電源又ハ電路ニ故障ヲ生ジタル場合該故障ヲ修復シ終ル迄明確ナル音信號ヲ自動的ニ連續鳴響スルモノナルコトヲ要ス

故障音信號ヲ停止スル爲開閉器ヲ設クルモノニ在リテハ別ニ故障燈ヲ備ヘ音信號ヲ停止セシメタル同時ニ自動的ニ故障燈ニ點燈セシメ得ルコトヲ要ス

第四十一條　幹鐵ニハ故障音信號裝置ヲ備フルコトヲ要ス但シ數箇ノ鐵ヲ使用スルモ妨ナシ

第四十二條　故障音信號裝置ニ使用スル電路及之ニ對スル電源並ニ受信盤上ノ常時開放二次電路ニハ故障音信號裝置ヲ備フルコトヲ要セズ

第四十三條　火災警報裝置ニ使用スル電源ハ封鎖シタル導用ノ蓄電池ニシテ照明系統ノ幹線ヨリ自動的ニ充電セラルルモノナルコトヲ要ス

第四十四條　火災警報裝置ニ使用スル電壓ハ前項ノ音信號ニ於テ本令ノ規定ニ該當セザル防毒面ハ當該官吏ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第四十五條　防毒面ハ前條ノ試驗ノ外左ノ試驗ヲ行フモノトス

一　濃度〇・五%ノ「クロルピクリン」瓦斯ヲ一〇分通過セシメタル後通洩瓦斯ノ濃度〇・〇〇一%ヲ超エザルコト

二　濃度一・〇%ノ一酸化炭素瓦斯ヲ二間時通過セシメタル後通洩瓦斯ノ濃度〇・〇五%ヲ超エザルコト

三　濃度一立方メートルニ付二〇〇ミリグラムノ煙草ノ煙ヲ通過セシメ煙ノ漏洩二五%ヲ超エザルコト

第四十六條　吸收罐ノ通氣抵抗ハ毎分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱二五ミリメートル以下ナルコトヲ要シ且前條ノ規定ニ依ル各吸收試驗後ニ於ケル抵抗ノ增加ハ毎分三〇リットル通氣ニ對シ水柱一〇ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第四十七條　吸收罐ハ振盪ニ依リ粉末ヲ生ジ又ハ其ノ性質ヲ變ズルモノナルコトヲ要ス

第四十八條　吸收罐ハ容易ニ破壞セラレザル構造ヲ有シ且容易ニ取換ヲ爲シ得ル構造ナルコトヲ要ス

第四十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第三十七條　天井ガ深サ二五センチメートル以下ノ梁ニ依リ格子又ハ小間ニ區分セラレタルモノナルトキハ之ヲ平面天井トシテ取扱フベシ

梁ノ深サ二五センチメートルヲ超ユルトキハ梁ニ依リテ仕切ラレタル各區劃ニ少クトモ一條ノ空氣管ヲ配置スルコトヲ要ス

第三十八條　梁ノ構造ガ特殊ノ爲前二條ノ規定ニ依リ難キ場合ニハ空氣管ノ配置ハ當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第三十九條　貨物搭載場所ニ在ル空氣管ハ適當ニ之ヲ防護スベシ

區劃室其ノ他ノ場所ニシテ其ノ用途ノ性質上相當高溫トナルコトアルベキ箇所ニ在ル空氣管ニハ必要ニ應ジ適當ニ防熱裝置ヲ施スベシ

第四十條　電源及電路ニハ第四十二條ニ規定スル場合ヲ除クノ外故障音信號裝置ヲ備フルコトヲ要ス

故障音信號裝置ハ電源又ハ電路ニ故障ヲ生ジタル場合該故障ヲ修復シ終ル迄明確ナル音信號ヲ自動的ニ連續鳴響スルモノナルコトヲ要ス

故障音信號ヲ停止スル爲開閉器ヲ設クルモノニ在リテハ別ニ故障燈ヲ備ヘ音信號ヲ停止セシメタル同時ニ自動的ニ故障燈ニ點燈セシメ得ルコトヲ要ス

第四十一條　幹鐵ニハ故障音信號裝置ヲ備フルコトヲ要ス但シ數箇ノ鐵ヲ使用スルモ妨ナシ

第四十二條　故障音信號裝置ニ使用スル電路及之ニ對スル電源並ニ受信盤上ノ常時開放二次電路ニハ故障音信號裝置ヲ備フルコトヲ要セズ

第四十三條　火災警報裝置ニ使用スル電源ハ封鎖シタル導用ノ蓄電池ニシテ照明系統ノ幹線ヨリ自動的ニ充電セラルルモノナルコトヲ要ス

第四十四條　火災警報裝置ニ使用スル電壓ハ前項ノ音信號ニ於テ本令ノ規定ニ該當セザル防毒面ハ當該官吏ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第四十五條　防毒面ハ前條ノ試驗ノ外左ノ試驗ヲ行フモノトス

一　濃度〇・五%ノ「クロルピクリン」瓦斯ヲ一〇分通過セシメタル後通洩瓦斯ノ濃度〇・〇〇一%ヲ超エザルコト

二　濃度一・〇%ノ一酸化炭素瓦斯ヲ二間時通過セシメタル後通洩瓦斯ノ濃度〇・〇五%ヲ超エザルコト

三　濃度一立方メートルニ付二〇〇ミリグラムノ煙草ノ煙ヲ通過セシメ煙ノ漏洩二五%ヲ超エザルコト

第四十六條　吸收罐ノ通氣抵抗ハ毎分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱二五ミリメートル以下ナルコトヲ要シ且前條ノ規定ニ依ル各吸收試驗後ニ於ケル抵抗ノ增加ハ毎分三〇リットル通氣ニ對シ水柱一〇ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第四十七條　吸收罐ハ振盪ニ依リ粉末ヲ生ジ又ハ其ノ性質ヲ變ズルモノナルコトヲ要ス

第四十八條　吸收罐ハ容易ニ破壞セラレザル構造ヲ有シ且容易ニ取換ヲ爲シ得ル構造ナルコトヲ要ス

第四十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第五十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第六十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第七十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第八十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第九十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百二十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十五條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十六條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十七條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十八條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百三十九條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十一條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十二條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十三條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十四條　吸收罐ノ容量ハ一時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十五條　天井ガ深サ二五センチメートル以下ノ梁ニ依リ格子又ハ小間ニ區分セラレタルモノナルトキハ之ヲ平面天井トシテ取扱フベシ

梁ノ深サ二五センチメートルヲ超ユルトキハ梁ニ依リテ仕切ラレタル各區劃ニ少クトモ一條ノ空氣管ヲ配置スルコトヲ要ス

第百四十六條　梁ノ構造ガ特殊ノ爲前二條ノ規定ニ依リ難キ場合ニハ空氣管ノ配置ハ當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第百四十七條　貨物搭載場所ニ在ル空氣管ハ適當ニ之ヲ防護スベシ

區劃室其ノ他ノ場所ニシテ其ノ用途ノ性質上相當高溫トナルコトアルベキ箇所ニ在ル空氣管ニハ必要ニ應ジ適當ニ防熱裝置ヲ施スベシ

第百四十八條　電源及電路ニハ第百四十九條ニ規定スル場合ヲ除クノ外故障音信號裝置ヲ備フルコトヲ要ス

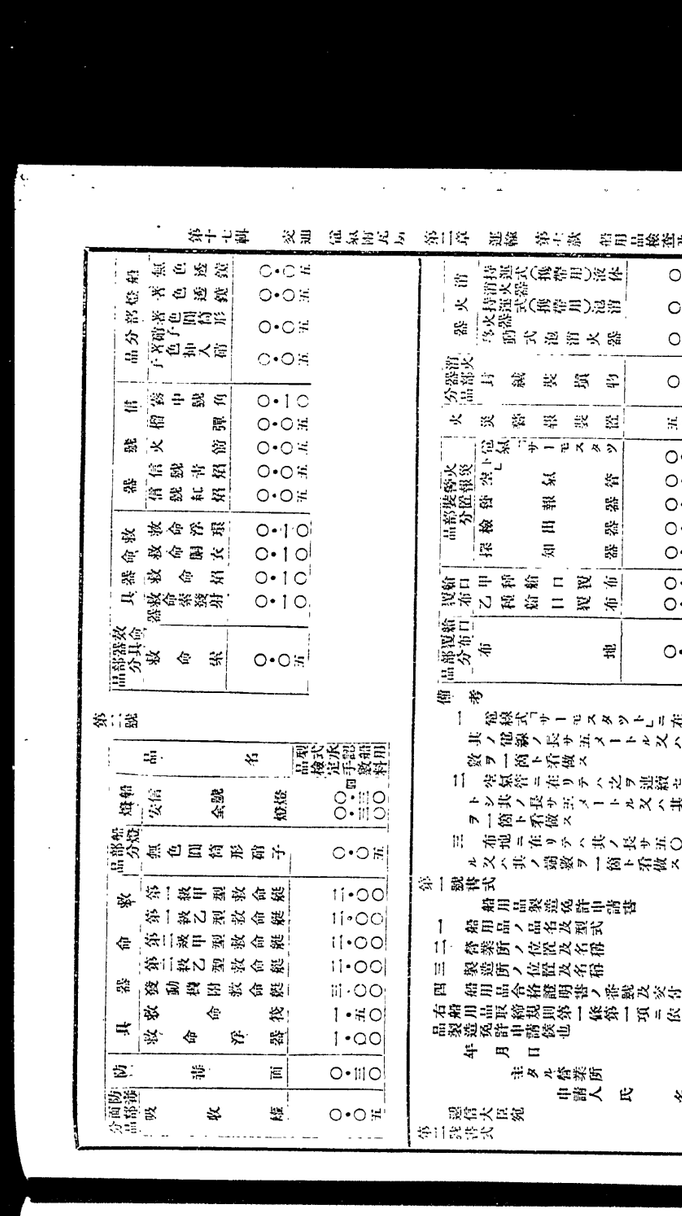
故障音信號裝置ハ電源又ハ電路ニ故障ヲ生ジタル場合該故障ヲ修復シ終ル迄明確ナル音信號ヲ自動的ニ連續鳴響スルモノナルコトヲ要ス

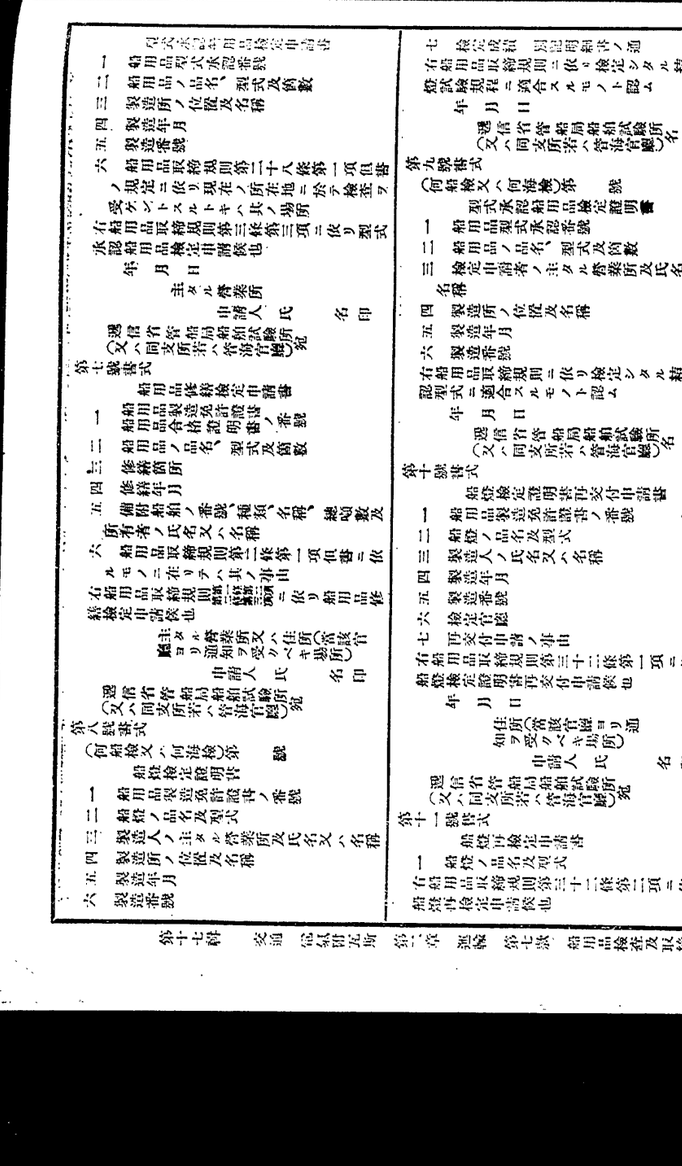
故障音信號ヲ停止スル爲開閉器ヲ設クルモノニ在リテハ別ニ故障燈ヲ備ヘ音信號ヲ停止セシメタル同時ニ自動的ニ故障燈ニ點燈セシメ得ルコトヲ要ス

第百四十九條　幹鐵ニハ故障音信號裝置ヲ備フルコトヲ要ス但シ數箇ノ鐵ヲ使用スルモ妨ナシ

第百五十條　故障音信號裝置ニ使用スル電路及之ニ對スル電源並ニ受信盤上ノ常時開放二次電路ニハ故障音信號裝置ヲ備フルコトヲ要セズ

第百





提出シ當該官廳ノ指定スル所ニ從ヒ手數料ヲ納付スベシ但シ官廳又ハ公共團體ノ申請ニ係ルモノニ付テハ手數料ヲ徵收セズ

手數料ハ當該官吏ノ臨檢一回毎ニ三十圓トス

手數料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ手數料納付書ニ貼附シテ之ヲ納付スベシ

手數料ハ申請者ノ都合ニ依リ其ノ申請ヲ取下ゲタルトキト雖モ當該官吏ガ船舶ニ臨檢シタル後ナルトキハ之ヲ徵收ス

第八條　管海官廳ハ前條ノ申請アリタルトキハ當該官吏ヲシテ船舶ニ臨檢セシメ申請ヲ適當ト認ムルトキハ申請書ノ副本ニ許可ノ奧書ヲ與シ許可ヲ爲シタル年月日及官廳名ヲ記載シ官廳印ヲ押捺シ之ヲ申請者ニ還付ス

第九條　積荷ノ檢定ヲ行フ公益法人第七條第一項ノ認定ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　積荷ノ檢定ニ關スル規則

二　手數料及旅費ニ關スル規則

三　積荷檢定員ノ氏名及履歷

朝鮮總督ノ認定ヲ受ケタル積荷ノ檢定ヲ行フ公益法人積荷檢定員ヲ選任セントスルトキ又ハ前項第一號若ハ第二號ニ揭グル規則ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

朝鮮總督ハ第七條第一項ノ認定ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ認定ヲ取消シタルトキハ之ヲ告示ス

第十條　甲板ヲ有セザル船舶旅客ヲ搭載スルトキハ火藥類ヲ船積スルコトヲ得ズ

甲板ヲ有スル船舶ト雖モ旅客ヲ搭載スルトキハ雷酸鹽(雷汞ノ類)其ノ他ノ起爆劑及爆藥ヲ裝塡シタル火工品ヲ船積スルコトヲ得ズ但シ陸海軍ノ託送ニ係ルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條　湖川港內ニ於テ火藥類ノ船積若ハ陸揚ヲ爲ス船舶又ハ火藥類ヲ積載シ湖川港內ニ於テ曳行、繫留セントスル船舶ハ警察官廳ノ許可ヲ受クベシ

第十二條　石油類ヲ積載スル船舶、船倉ノ他ノ船艙、機關室、石炭庫、船員室、旅客室、船長室又ハ料理室等ニ其ノ發生ガスヲ通ジセシメザル水密隔壁其ノ他ノ設備ヲ有シ且該船舶ノ換氣管ハ二重網目金網製覆ヲ施シタルモノナルコトヲ要ス

石油類ヲ積載シタル船舶內ノ電線ハ電流ヲ通ズルコトヲ得ズ但シ朝鮮船舶設備規程ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶設備規程第二百六條ノ規定ニ依ル電氣設備ヲ有スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　危險物ノ積載、船積又ハ陸揚中ノ船舶ニ於テハ危險ヲ及ボス虞アル修繕工事ヲ爲スコトヲ得ズ

第十四條　火藥類ハ旅客ノ乘船又ハ下船ト同時ニ船積又ハ陸揚ヲ爲スコトヲ得ズ

第十五條　火藥類ヲ船積、陸揚又ハ荷繰スルトキハ之ヲ投下シ又ハ激突セシムベカラズ

第十六條　鉉砲火藥類取締令施行規則第四十二條第一項各號ニ揭グル以外ノ火藥類ハ所轄警察署長ノ許可ヲ得タル場合ヲ除クノ外日沒ヨリ日出迄ノ間ニ於テ之ヲ船積、陸揚又ハ之ヲ積載シタル場所ニ於テハ裸火若ハ携帶シ、鐵釘ヲ附シタル靴類ヲ穿チ又ハ喫煙スルコトヲ得ズ

第十七條　危險物ノ船積若ハ陸揚ヲ爲ス場所又ハ之ヲ積載シタル場所ニ於テハ裸火若ハ携帶シ、鐵釘ヲ附シタル靴類ヲ穿チ又ハ喫煙スルコトヲ得ズ

第十八條　火藥類及石油類其ノ他可燃ガスヲ發スル危險物ヲ積載シタル船舶ニ於テハ安全燈ヲ除クノ外傳中電燈其ノ他ノ燈火ヲ使用スルコトヲ得ズ

前項ノ船艙ノ開閉ニ當リ金槌等ヲ使用スル場合ニ於テハ火花ヲ發セザル樣適當ナル措置ヲ爲スベシ

第十九條　危險物ノ船積又ハ陸揚作業ヲ中止又ハ完了シタルトキハ直ニ火藥庫又ハ船艙ヲ閉鎖スベシ

第二十條　鉉砲火藥類取締令施行規則第七十四條ノ規定ニ依リ倉庫ニ貯藏スルコトヲ得ベキ數量ヲ超過スル火藥類ヲ貯藏スルコトヲ得ズ

船ニ其ノ日時及場所ヲ周圍ヨリ見易キ處ニ揭ゲベシ

前項ノ規定ハ船舶ノ常用火藥類ニ付テハ之ヲ適用セズ

第十二條　石油類ヲ積載スル船艙ノ他ノ船艙、機關室、石炭庫、旅客室、船員

発許水先人ノ業務ニ関用スル水先汽船水先業務ノ区別ニ関スル件

第一條　水先人ノ業務ニ関用スル水先汽船ハ水先業務ノ区別ニ従ヒ左ノ通リ定ム

一　水先人ノ業務ニ関用スル水先汽船ハ水先業務ノ区別ニ従ヒ左ノ通リ定ム

甲　水先人ノ業務ニ関用スル水先汽船ハ水先業務ノ区別ニ従ヒ左ノ通リ定ム

第一項ノ水先汽船ハ水先業務ニ従事スル船舶ニシテ

短艇二隻　我船銭路ヲ左舷ニ取ル
短艇三隻　我船全速力ニテ後退ス
餘意ノ者

第二十九條　本法ハ點燈、信號又ハ見張ノ怠リ其ノ他海員ノ常務又ハ臨機ノ處置ニ必要ナル意注ノ怠リヨリ生シタル結果ニ付船、船主、船長海員ヲシテ其ノ責ヲ免レシメサルモノトス

特例

第三十條　本法ハ行政官廳ニ於テ規定シタル港、川其ノ他内海ノ運航ニ關スル特別規則ノ施行ヲ妨ケス

難船信號

第三十一條　危難ニ罹リテ他船又ハ陸地ヨリ救助ヲ要スル船舶ハ左ノ信號ヲ同時又ハ別別ニ使用スヘシ

晝間信號

一　大約一分時ノ間隔ヲ以テ砲又ハ其ノ他ノ爆裂發火信號ヲ一發ス
二　萬國船舶信號書ニ掲載スルNCノ難船信號ヲ表示ス
三　方形旗ノ上又ハ下ニ球若ハ之ニ類似ノモノヲ掲ケル遠隔信號ヲ表示ス
四　霧中信號器ヲ以テ間斷ナク音響ヲ發ス

夜間信號

一　大約一分時ノ間隔ヲ以テ砲又ハ其ノ他ノ爆裂發火信號ヲ一發ス
二　船上ノ焚烟（タール桶、油樽等ヲ燃スノ類）
三　星火ヲ發スル榴彈或ハ火箭ヲ一次一發ツツ高度打揚ク
四　霧中信號器ヲ以テ間斷ナク音響ヲ發ス

附則

第三十二條　本法中船舶積量噸數ニ關シ日本形船ハ十石ヲ以テ一噸ニ通算ス

第三十三條　本法ハ明治二十六年一月一日ヨリ施行ス

第三十四條　明治十三年第七號布告海上衝突豫防規則同十四年第五號布告同規則追加同十八年第二十七號布告同規則改正追加ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第九款　船舶信號及通報

●朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ信號ニ關スル件

昭和八年九月
總令第百四號

朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ信號ニ關スル件左ノ通定ム

朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ハ運信省ニ於テ編纂スル國際通信書（國際信號書　信號符字國際海事信號書　電信符字國際信號書）又ハ萬國信號書（萬國信號書　電信符字）ニ依リ普通信號ヲ爲スヘシ

附則

本令ハ昭和九年一月一日ヨリ施行ス

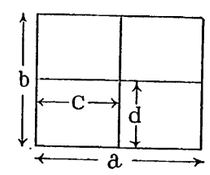
大正三年朝鮮總督府令第八十六號ハ之ヲ廢止ス

●朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ國際信號旗ノ寸法ニ關スル件

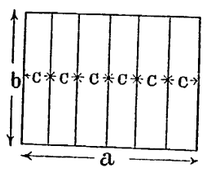
昭和九年一月
總令第八號

朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ國際信號旗ノ寸法ニ關スル件左ノ通定ム

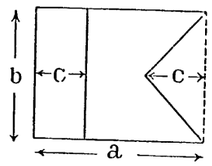
昭和八年朝鮮總督府令第百四號（朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ信號ニ關スル件）ニ依リ朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ガ信號ヲ爲ス場合ニ於テ使用スル國際通信書掲載ノ國際信號旗ハ左ノ寸法ノモノノ中ノ何レカニ依ルヘシ



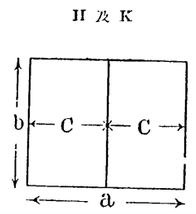
大サ	a 糎	b 糎	c 糎	d 糎
大	244.0	198.0	49.5	99.0
中	168.0	137.0	34.2	68.6
小	91.0	76.0	19.0	38.0



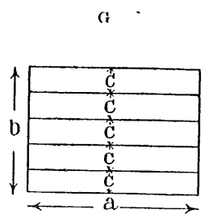
大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	244.0	198.0	39.6
中	168.0	137.0	27.4
小	91.0	76.0	15.2



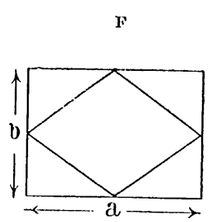
大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	244.0	198.0	81.3
中	168.0	137.0	56.0
小	91.0	76.0	30.3



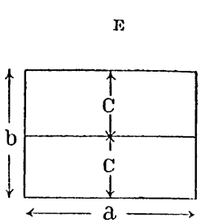
大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	244.0	198.0	122.0
中	168.0	137.0	94.0
小	91.0	76.0	45.5



大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	244.0	198.0	40.7
中	168.0	137.0	28.0
小	91.0	76.0	15.2

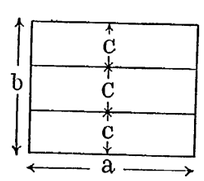


大サ	a 糎	b 糎
大	244.0	198.0
中	168.0	137.0
小	91.0	76.0

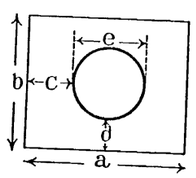


大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	244.0	198.0	99.0
中	168.0	137.0	68.5
小	91.0	76.0	38.0

大サ	a 糎	b 糎	c 糎	d 糎
大	244.0	198.0	122.0	99.0
中	168.0	137.0	84.0	68.5
小	91.0	76.0	45.5	38.0

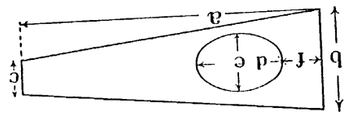


大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	244.0	198.0	66.0
中	168.0	137.0	45.7
小	91.0	76.0	25.3



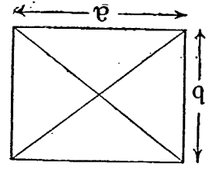
大サ	a 糎	d 糎	c 糎	d 糎	e 糎
大	244.0	198.0	66.1	43.1	111.8
中	168.0	137.0	45.9	30.4	76.2
小	91.0	.760	25.2	17.7	40.6

1 及 2



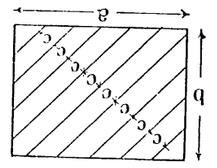
大サ	a 報	b 報	c 報	d 報	e 報	f 報
大	511.0	132.0	46.0	127.0	101.6	71.1
中	339.0	114.0	31.0	96.5	76.3	55.9
小	289.0	76.0	29.0	64.8	60.8	36.8

Z



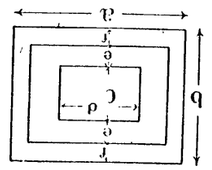
大サ	a 報	b 報
大	244.0	193.0
中	168.0	137.0
小	91.0	76.0

Y



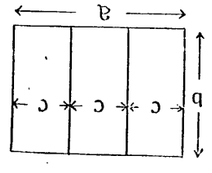
大サ	a 報	b 報	c 報
大	244.0	193.0	33.0
中	168.0	137.0	22.9
小	91.0	76.0	12.7

W



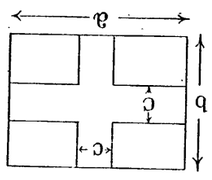
大サ	a 報	b 報	c 報	d 報	e 報	f 報
大	244.0	193.0	99.0	121.9	33.0	16.5
中	168.0	137.0	68.4	83.8	22.9	11.4
小	91.0	76.0	37.8	46.7	12.7	6.4

T



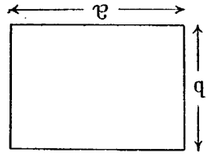
大サ	a 報	b 報	c 報
大	244.0	193.0	81.3
中	168.0	137.0	56.0
小	91.0	76.0	30.3

R及X



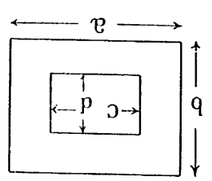
大サ	a 報	b 報	c 報
大	244.0	193.0	49.3
中	168.0	137.0	34.3
小	91.0	76.0	19.1

Q



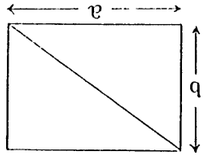
大サ	a 報	b 報
大	244.0	193.0
中	168.0	137.0
小	91.0	76.0

P及S



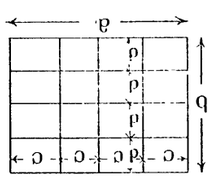
大サ	a 報	b 報	c 報	d 報
大	344.0	193.0	122.0	83.6
中	168.0	137.0	84.0	67.2
小	91.0	76.0	46.6	31.8

O



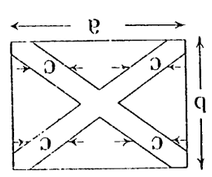
大サ	a 報	b 報
大	544.0	198.0
中	168.0	137.0
小	91.0	76.0

N



大サ	a 報	b 報	c 報	d 報
大	244.0	198.0	61.0	49.3
中	168.0	137.0	42.0	34.3
小	91.0	76.0	32.8	19.0

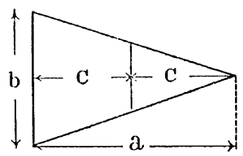
M及V



大サ	a 報	b 報	c 報
大	244.0	198.0	33.0
中	168.0	137.0	22.9
小	91.0	76.0	12.7

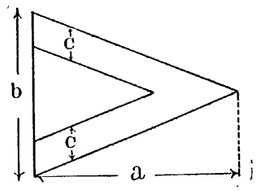
代表旗

第 2 代表旗



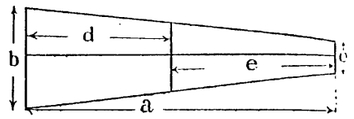
大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	305.0	244.0	152.5
中	229.0	183.0	114.5
小	152.0	122.0	75.0

第 1 代表旗



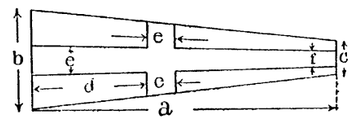
大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	305.0	244.0	48.0
中	229.0	183.0	37.0
小	152.0	122.0	24.0

9



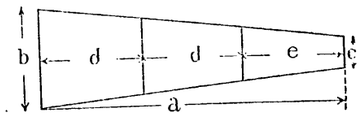
大サ	a 糎	b 糎	c 糎	d 糎	e 糎
大	511.0	152.0	46.0	274.3	236.7
中	389.0	114.0	31.0	205.7	183.3
小	259.0	76.0	20.0	137.2	121.8

4 及 8



大サ	a 糎	b 糎	c 糎	d 糎	e 糎	f 糎
大	511.0	152.0	46.0	170.2	36.8	15.3
中	389.0	114.0	31.0	129.5	27.9	10.3
小	259.0	76.0	20.0	86.4	19.1	6.7

3 及 0



大サ	a 糎	b 糎	c 糎	d 糎	e 糎
大	511.0	152.0	46.0	167.6	175.8
中	389.0	114.0	31.0	128.3	132.4
小	259.0	76.0	20.0	85.1	88.8

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ所持スル萬國船舶信號旗ハ其ノ寸法本令ニ適合セザルモノト雖モ當分ノ內之ヲ使用スルコトヲ得

●朝鮮船舶通報規則

大正四年三月
總令第二十三號

改正　大正九年第五七號、昭和六年六第七
次改、九年二第一〇八號

朝鮮船舶通報規則左ノ通定ム

朝鮮船舶通報規則

第一條　朝鮮內並朝鮮ト內地（小笠原島、臺灣及樺太間ニ發受スル船舶通報ノ取扱ニ關シテハ本令ニ依ル）

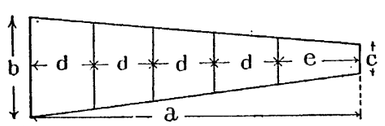
第二條　船舶通報ヲ分チテ左ノ三種トス

一　通過報
二　信號報
三　雜報

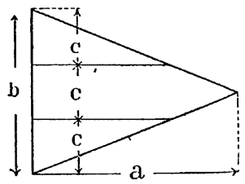
第三條　通過報トハ特ニ指定スル燈臺ノ附近ヲ通過スル船舶ニ關シ和文電報ヲ以テ請求者ニ左ノ事項ヲ通知スルモノヲ謂フ

回答旗

第 3 代表旗

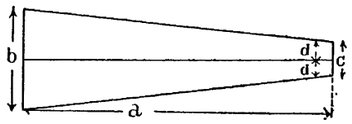


大サ	a 糎	b 糎	c 糎	d 糎	e 糎
大	511.0	152.0	46.0	99.1	114.6
中	389.0	114.0	31.0	76.2	84.2
小	259.0	76.0	20.0	50.8	55.8



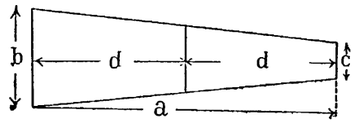
大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	305.0	244.0	81.3
中	229.0	183.0	61.0
小	152.0	122.0	40.7

6 及 7



大サ	a 糎	b 糎	c 糎	d 糎
大	511.0	152.0	46.0	23.0
中	389.0	114.0	31.0	15.5
小	359.0	76.0	20.0	10.0

5



大サ	a 糎	b 糎	c 糎	d 糎
大	511.0	152.0	46.0	255.5
中	89.0	114.0	31.0	194.5
小	259.0	76.0	20.0	129.5

一　船名
二　通過時分
三　通過方向
第四條　信號報トハ船舶ノ所有者又ハ貸借人ト船長トノ間ニ於ケル通信ニシテ特ニ指定スル燈臺ニ於テ其ノ附近ヲ通過スル船舶ト信號ニ依リ送受スルモノヲ謂フ
第四條ノ二　海難報トハ特ニ指定スル電信局所ニ於テ船舶ノ遭難又ハ無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信（特定人ニ宛ツルモノヲ除ク）ニ依リ知得シタル船舶ノ遭難、委棄又ハ漂流ノ事項ヲ報知又電報ヲ以テ請求者ニ通知スルモノヲ謂フ
一　船名（心要アルトキハ船舶ノ種類、國籍又ハ所有者名ヲ附記ス）
二　災厄ノ日時（遭難ノ日時又ハ遭難、委棄若ハ漂流ノ事實ヲ知得シタル日時）
三　船舶ノ位置
四　災厄ノ狀況（遭難、委棄又ハ漂流ノ別及其ノ狀況）
第五條　通過報ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ通過報ヲ配達スベキ電信局所ニ差出スベシ
一　船名及信號符字
二　國籍
三　船舶所有者名（船舶ガ貸借中ノモノナルトキハ船舶ノ貸借人名以下之ニ同ジ）
四　燈臺名
五　通過方向
六　請求者（請求者ガ受信者ニ非ザルトキハ併セテ受信者）ノ住所氏名
前項ノ場合ニ於テ請求者ガ船舶ノ所有者又ハ貸借人ニ非ザルトキハ當該船舶ニ於テ第二十條ノ規定ニ依リ國旗及信號符字ヲ揭グル旨ノ船舶ノ所有者又ハ貸借人ノ承諾書ヲ差出スベシ
臨時ニ通過報ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ第一項各號ノ事項ノ外船舶ノ豫定通過日時ヲ記載スベシ
第六條　通過報ハ第一號乃至第四號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ請求スベシ
第七條　通過報ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ左ノ手數料ヲ納付スベシ但シ初年度分ハ此ノ限ニ在ラズ
一　通報一回ニ付　金五拾錢
二　登記料ヲ納付セザル者ニ對シテハ
一　通報毎ニ
朝鮮内　二十錢
朝鮮内地、樺太相互間　二十五錢
朝鮮内地、臺灣　三十錢
朝鮮内地、臺灣及樺太相互間　四十錢
夜間（日沒ヨリ日出ニ至ル間ヲ謂フ）通過ノ船舶ニ對スル通過報ノ料金ハ前項料金ノ二倍トス
前二項ノ料金ハ通過報配達ノ際受信者ヨリ之ヲ徵收ス
第八條　第五條第三項ノ請求者豫定通過日時ヲ切迫ノ爲電信局所ヨリ燈臺ニ電報ヲ以テ通知ヲ要求スルトキハ其ノ電報ノ料金ヲ前納スベシ
第九條　第五條ノ請求書ニ記載シタル船舶ガ燈臺ノ附近ヲ通過スル場合ト雖該燈臺ニ於テハ通過報ヲ發セズ
第十條　信號報ノ取扱ヲ受ケムトスル船舶ノ所有者又ハ貸借人ハ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ信號報ヲ配達スベキ電信局所ニ差出スベシ
一　船名及信號符字
二　國籍
三　船舶所有者名
四　燈臺名
五　請求者ノ住所氏名
第十一條　信號報ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ給與及請求度數ニ拘ラズ登記料トシテ一會計年度毎ニ二圓ヲ前條ノ電信局所ニ納付スベシ但シ臨時ニ其ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ登記料ハ毎年度分ヲ其ノ前年度ノ末日十五日前迄ニ納付スベシ但シ初年度分ハ請求書提出ノ際之ヲ納付スベシ
第七條　通過報ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ左ノ手數料ヲ納付シタル者ニ對シテハ
一　通報毎ニ
朝鮮内　二十錢
朝鮮内地、臺灣　二十五錢
二　登記料ヲ納付セザル者ニ對シテハ
一　通報毎ニ
朝鮮内　三十錢
朝鮮内地、臺灣　四十錢
夜間（日沒ヨリ日出ニ至ル間ヲ謂フ）通過ノ船舶ニ對スル通過報ノ料金ハ前項料金ノ二倍トス
前二項ノ料金ハ通過報配達ノ際受信者ヨリ之ヲ徵收ス
第八條　第五條第三項ノ請求者豫定通過日時ヲ切迫ノ爲電信局所ヨリ燈臺ニ電報ヲ以テ通知ヲ要求スルトキハ其ノ電報ノ料金ヲ前納スベシ
第九條　第五條ノ請求書ニ記載シタル船舶ガ燈臺ノ附近ヲ通過スル場合ト雖該燈臺ニ於テハ通過報ヲ發セズ
第十條　信號報ノ取扱ヲ受ケムトスル船舶ノ所有者又ハ貸借人ハ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ信號報ヲ配達スベキ電信局所ニ差出スベシ
一　船名及信號符字
二　國籍
三　船舶所有者名
四　燈臺名
五　請求者ノ住所氏名
第十一條　信號報ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ給與及請求度數ニ拘ラズ登記料トシテ一會計年度毎ニ二圓ヲ前條ノ電信局所ニ納付スベシ但シ臨時ニ其ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ登記料ハ毎年度分ヲ其ノ前年度ノ末日十五日前迄ニ納付スベシ但シ初年度分ハ請求書提出ノ際之ヲ納付スベシ
第十二條　信號報ノ料金ハ一通毎ニ一圓
船舶ヨリ發スル信號ノ料金ハ之ヲ受信者ヨリ徵收ス
第十三條　船舶ノ所有者又ハ貸借人信號報ヲ發セムトスルトキハ和文電報書法ニ依リ相當事項ヲ報信紙ニ記載シ之ヲ第十條ノ電信局所ニ提出スベシ但シ之ニ關スル郵便切手ハ報信紙ニ貼付スベカラズ
信號報ヲ發セムトスル場合ニ於テ郵便ニ依リ燈臺ニ送達ヲ望ムトキハ同時ニ其ノ旨ヲ申出ヅベシ此ノ場合ニ於テハ適宜ノ用紙ニ記載スルコトヲ得
第十四條　電信局所ニ於テ前條ノ信號報ヲ受ケタルトキハ指定ノ方法ニ依リ之ヲ燈臺ニ傳送シ燈臺ニ於テ之ヲ船舶ニ通達ス
第十五條　船舶ニ於テ信號報ヲ發セムトスルトキハ其ノ旨ヲ燈臺ニ信號スベシ但シ信號報ノ受信者ハ第十一條ノ登記料ヲ納付シタル者ニ限ル
第十六條　燈臺ニ於テ前條ノ信號報ヲ受ケタルトキハ和文電報ヲ以テ之ヲ第十條ノ電信局所ニ傳送シ電信局所ハ之ヲ受信者ニ配達ス
第十七條　燈臺ニ於テ信號報ヲ船舶ニ通達スルハ其ノ到達ノ日ヨリ十日以内ニ限ル
第十八條　信號報ヲ船舶ニ通達シ能ハザルト前項ノ場合ニ於テ信號料ハ納付人ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス
第十九條　燈臺ト船舶トノ間ニ於ケル信號ハ豊間ニ限リ之ヲ行ヒ其ノ方法ハ國際通信書借人ノ請求ニ依リ通過報ニ限リ燈臺ニ於テ夜間信號ヲ受クルコトアルベシ
通過報ノ夜間信號ハ船舶ノ所有者又ハ貸借人ニ於テ特定信號ヲ定メ該メ朝鮮總督府遞

第二十三條　燈臺以外ノ場所ニ於ケル通過報又ハ信號報ノ取扱ヲ爲ストキハ本令ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
附　則（昭和六年六月總令第七十六號）
本令ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ燈臺

大正四年三月
總督第六十九號

改正　大正六年八月第一八三號、九年六月一八五號、昭和八年二月四號

左記燈臺ニ於テ大正四年四月一日ヨリ朝鮮船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ
但シ夜間通過ノ信號ハ之ヲ取扱ハス

燈臺名	位置
牧ノ島燈臺	慶尚南道牧ノ島
者只島燈臺	全羅南道所安群島
小青島燈臺	黃海道大靑群島

第十款　航路標識

●朝鮮航路標識規則

大正七年十月
總令第百號

改正　昭和七年第三〇〇號

朝鮮航路標識規則左ノ通改正ス

第一條　朝鮮ニ於ケル航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲朝鮮總督府ニ於テ之ヲ設置ス
第二條　土地ノ狀況ニ因リ公共團體又ハ私人ノ費用ヲ以テ航路標識ヲ設置スルコトヲ得
前項ニ依リ航路標識ヲ設置セムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ設置者ヲ變更シ又ハ航路標識ノ位置若ハ性質ヲ變更セムトスルトキ又同シ
第三條　航路標識ノ設置ノ許可申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スベシ
一　位置ヲ記載シタル附近ノ略圖
二　構造方法書
三　工事費概算書
四　工事設計圖
五　位置及附近ノ狀況ヲ示セル圖面
六　最近一年間ニ於ケル通過又ハ出入ノ船數調書
七　管理及維持方法書
航路標識ノ位置變更ノ許可申請書ニハ前項第一號及第五號ノ書類及圖面ヲ、性質變更ノ許可申請書ニハ第二號乃至第四號及第七號ノ書類及圖面ヲ添附スベシ
第四條　航路標識ノ設置者ハ變更ノ許可ヲ受ケタル者供用ヲ開始セムトスルトキハ其ノ期日十四日前ニ之ヲ朝鮮總督府遞信局長ニ届出ツベシ
第五條　第二條ノ航路標識ヲ停止又ハ廢止セムトスルトキハ其ノ期日ヲ定メ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ
第六條　第二條ノ航路標識ノ管守ニ從事セシムル爲設置者ハ其ノ費用ヲ以テ管守員ヲ置クベシ
前項ノ航路標識管守員ヲ採用シタルトキハ其ノ履歷書ヲ具シ朝鮮總督遞信局長ニ届出ツベシ
第七條　第二條ノ航路標識ニ於テ使用スル燈油其ノ他艸品ニ付テハ豫メ朝鮮總督府遞信局長ノ承認ヲ受クベシ
第八條　朝鮮總督ハ第二條ノ航路標識ニ於テ使用スル燈臺ニ付必要アリト認ムルトキハ檢査官ヲ派遣シテ檢查ヲ爲サシメ又ハ設置者ニ對シテ報告書ノ提出ヲ命スルコトヲ得
第九條　航路標識ヲ損壞シ若ハ移轉シ又ハ其ノ性質ヲ變更シ又ハ之ヲ藏匿スベキ所ニ於テ航路標識ノ燈光若ハ霧號ト誤認シ易キ所ニ燈ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
第十條　航路標識ニ船舶其ノ他ノ物ヲ繫留シ若ハ衝突セシメ又ハ架橋シ若ハ之ヲ汚穢シタル者ハ科料ニ處ス
附　則

本令ハ大正七年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●鴨綠江ニ出入スル船舶ノ注意事項

昭和八年一月
總督第二十二號

朝鮮西岸鴨綠江ニ出入スル船舶ハ航行上左ノ各號ニ付注意スルコトヲ要ス
大正六年朝鮮總督府告示第二百五十二號及昭和七年朝鮮總督府告示第三百十二號ハ之ヲ廢止ス
一　本江水路ハ大潮又ハ增水ノトキ殊ニ夏季低ヲ生ズルコトアルコト
二　本江水路ハ平時ニ在リテモ屢變化スルコトアリ且最低潮時ニ於ケル水深〇・六米以下ノ箇所アルヲ以テ干潮時以上ニ達スルニ非ザレバ航行困難ナルコト
三　本江水路ヲ航行セントスル船舶ハ左ニ掲ゲルヤウ超ユザルヲ可トスルコト
(一)　新義州港（又ハ安東縣）ニ至ル水路
高潮時ニ於テ吃水　二・七米
(二)　三道浪頭ニ至ル水路
同　三・三米
(三)　龍岩浦ニ至ル水路
同　四・〇米
(四)　大東溝ニ至ル水路
同　四・九米
(五)　大多沙島錨地ニ至ル水路
低潮時ニ於テ吃水　三・六米
四　本江龍岩浦錨地ハ近時水深ヲ減少シタル結果船舶ノ碇泊困難ナルニ付此ノ附近ニ於テ錨泊セントスル船舶ハ他船ノ航行ヲ妨ゲザルヤウ投錨スルコト
五　本江水路ニ於ケル浮標、立標及導標等ハ毎年結氷前（十一月中旬前後）一時之ヲ撤去シ解氷後（四月上旬前後）ニ至リ漸次之ヲ設置スルモノナルコト
六　本江水路ノ航路標識ハ風雨、潮流其ノ他ノ事由ニ因リ移動スルコトアリ此ノ場合ニ於テハ減水シ又ハ風浪ノ鳳ギタル後ニ至リ之ヲ復舊スルモノナルニ付復舊ニ多少ノ日時ヲ要スルモノナルコト
七　本江水路ニ變化ヲ生ジタルトキハ臨時浮標、立標若ハ導標ノ位置ヲ移動シ又ハ其ノ增減變更ヲ爲ス場合アルコト
八　本江水路ニ於ケル航路標識ハ著シク項ノ位置、構造等ノ變更又ハ增減シタル場合ニ限リ之ヲ告示スルモノナルコト
九　本江水路ノ變化又ハ浮標、立標若ハ導標等ノ流失若ハ毀損等ヲ發見シタル者ハ速ニ朝鮮總督府遞信局、朝鮮總督府遞信局海事出張所又ハ地方官廳ニ之ヲ通報スルコト
十　本江水路ノ獨導ヲ受ケントスル船舶ハ其ノ關係者又ハ船長ヨリ電報其ノ他ノ方法ヲ以テ水先人ノ乘込ヲ要スル場所、日時、水路艱難區域及出入別等ヲ其ノ二日前迄ニ安東縣六番通五丁目一番地鴨綠江水先人組合安東縣出張所ニ申込ミ水先人ヲ得ルノ便宜アルコト

●朝鮮西岸大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル航路ヲ航行スル船舶ノ注意事項

大正二年十二月
總督第四百十一號

改正　昭和七年六第三一三號

朝鮮西岸大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ヲ航行スル船舶ハ左記各項ニ注意スヘシ
一　大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ニ於テ航行スル船舶ハ左記各項ニ注意スヘシ
(一)　本江水路ハ大潮又ハ增水ノトキ殊ニ夏季低ヲ生ズルコトアルコト
(二)　本江水路ハ平時ニ在リテモ屢變化スルコトアリ且最低潮時ニ於ケル水深〇・六米以下ノ箇所アルヲ以テ干潮時以上ニ達スルニ非ザレバ航行困難ナルコト
(三)　本江水路ヲ航行セントスル船舶ハ左ニ掲ゲルヤウ超ユザルヲ可トスルコト
新義州港（又ハ安東縣）ニ至ル水路
高潮時ニ於テ吃水　二・七米
三道浪頭ニ至ル水路
同　三・三米
龍岩浦ニ至ル水路
同　四・〇米
大東溝ニ至ル水路
同　四・九米
大多沙島錨地ニ至ル水路
低潮時ニ於テ吃水　三・六米
本江龍岩浦錨地ハ近時水深ヲ減少シタル結果船舶ノ碇泊困難ナルニ付此ノ附近ニ於テ錨泊セントスル船舶ハ他船ノ航行ヲ妨ゲザルヤウ投錨スルコト
(四)　本江水路ニ於ケル浮標、立標及導標等ハ毎年結氷前（十一月中旬前後）一時之ヲ撤去シ解氷後（四月上旬前後）ニ至リ漸次之ヲ設置スルモノナルコト
(五)　本江水路ノ航路標識ハ風雨、潮流其ノ他ノ事由ニ因リ移動スルコトアリ此ノ場合ニ於テハ減水シ又ハ風浪ノ鳳ギタル後ニ至リ之ヲ復舊スルモノナルニ付復舊ニ多少ノ日時ヲ要スルモノナルコト
(六)　本江水路ニ變化ヲ生ジタルトキハ臨時浮標、立標若ハ導標ノ位置ヲ移動シ又ハ其ノ增減變更ヲ爲ス場合アルコト
(七)　本江水路ニ於ケル航路標識ハ著シク項ノ位置、構造等ノ變更又ハ增減シタル場合ニ限リ之ヲ告示スルモノナルコト
(八)　本江水路ノ變化又ハ浮標、立標若ハ導標等ノ流失若ハ毀損等ヲ發見シタル者ハ速ニ朝鮮總督府遞信局、朝鮮總督府遞信局海事出張所又ハ地方官廳ニ之ヲ通報スルコト
(九)　本江水路ノ獨導ヲ受ケントスル船舶ハ其ノ關係者又ハ船長ヨリ電報其ノ他ノ方法ヲ以テ水先人ノ乘込ヲ要スル場所、日時、水路艱難區域及出入別等ヲ其ノ二日前迄ニ安東縣六番通五丁目一番地鴨綠江水先人組合安東縣出張所ニ申込ミ水先人ヲ得ルノ便宜アルコト
二　本江水路ハ平時ニ在リテモ屢變化スルヲ以テ航行スル船舶ハ左ノ各項ニ注意スヘシ
(一)　新義州港（又ハ安東縣）ニ至ル水路
高潮時ニ於テ吃水　二・七米
(二)　三道浪頭ニ至ル水路
同　三・三米
(三)　龍岩浦ニ至ル水路
同　四・〇米
(四)　大東溝ニ至ル水路
同　四・九米
(五)　大多沙島錨地ニ至ル水路
低潮時ニ於テ吃水　三・六米
(六)　本江龍岩浦錨地ハ近時水深ヲ減少シタル結果船舶ノ碇泊困難ナルニ付此ノ附近ニ於テ錨泊セントスル船舶ハ他船ノ航行ヲ妨ゲザルヤウ投錨スルコト
三　本江水路ハ大潮又ハ增水ノトキ殊ニ夏季低ヲ生ズルコトアルコト
四　本江水路ハ平時ニ在リテモ屢變化スルコトアリ且最低潮時ニ於ケル水深〇・六米以下ノ箇所アルヲ以テ干潮時以上ニ達スルニ非ザレバ航行困難ナルコト
五　本江水路ニ於ケル浮標、立標及導標等ハ毎年結氷前（十一月中旬前後）一時之ヲ撤去シ解氷後（四月上旬前後）ニ至リ漸次之ヲ設置スルモノナルコト
六　本江水路ノ航路標識ハ風雨、潮流其ノ他ノ事由ニ因リ移動スルコトアリ此ノ場合ニ於テハ減水シ又ハ風浪ノ鳳ギタル後ニ至リ之ヲ復舊スルモノナルニ付復舊ニ多少ノ日時ヲ要スルモノナルコト
七　本江水路ニ變化ヲ生ジタルトキハ臨時浮標、立標若ハ導標ノ位置ヲ移動シ又ハ其ノ增減變更ヲ爲ス場合アルコト
八　本江水路ニ於ケル航路標識ハ著シク項ノ位置、構造等ノ變更又ハ增減シタル場合ニ限リ之ヲ告示スルモノナルコト
九　本江水路ノ變化又ハ浮標、立標若ハ導標等ノ流失若ハ毀損等ヲ發見シタル者ハ速ニ朝鮮總督府遞信局、朝鮮總督府遞信局海事出張所又ハ地方官廳ニ之ヲ通報スルコト
十　本江水路ノ獨導ヲ受ケントスル船舶ハ其ノ關係者又ハ船長ヨリ電報其ノ他ノ方法ヲ以テ水先人ノ乘込ヲ要スル場所、日時、水路艱難區域及出入別等ヲ其ノ二日前迄ニ安東縣六番通五丁目一番地鴨綠江水先人組合安東縣出張所ニ申込ミ水先人ヲ得ルノ便宜アルコト

●朝鮮西岸大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ヲ航行スル船舶ノ注意事項

大正二年十二月
總督第四百十一號

改正　昭和七年六第三一三號

朝鮮西岸大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ヲ航行スル船舶ハ左記各項ニ注意スヘシ
一　大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ニ於テ航行スル船舶ハ左記各項ニ注意スヘシ

第十一款　航行及港灣

●商法施行法第百二十二條ニ依リ湖川、港灣及沿岸小航海ノ範圍ニ關スル件

昭和十年二月
總令第三十五號

大正三年朝鮮總督府令第七十八號（商法施行

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

法第百二十二條ニ依リ湖川、港灣及沿岸小航海ノ特例ニ關スル件）左ノ通改正ス

湖川、港灣ノ範圍ニ關スル件）左ノ通改正ス

第二條ニ規定スル平水區域トス

沿岸小航海ノ範圍ハ全羅南道巨文郡佛甲川口北岸ヨリ同郡欲音島、同道務安郡在遠島、同郡飛禽島、同郡薪島、同道珍島郡加沙島、同郡珍島、同道莞島郡甫吉島、同郡古只島、同地青山島、同道麗水郡草島、同郡所里島、慶尙南道統營郡巨濟島及同道釜山府牧ノ島ヲ經テ同道東萊郡熊頭末ニ至ル線內トス

附　則

本令ハ明治十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年朝鮮總督府令第六十四號左ノ通改正ス

第一條　外國船舶ハ戎克船又ハ鵜舟其ノ他櫓櫂ノミヲ以テ運轉シ若ハ主トシテ櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟ニ限リ道知事ノ許可ヲ受ケ左ニ掲ケル場所ニ出入シ又ハ運送ヲ爲スコトヲ得

一　平安北道新義州府ヨリ上流鴨綠江沿岸但シ新義州府ト義州郡九龍浦トノ間ノ沿岸ヲ除ク

二　咸鏡北道慶興郡崇禮面土里ヨリ上流豆滿江沿岸

前項ノ許可ノ期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ス

第二條　前條ノ許可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　申請者及船舶所有者ノ國籍、住所、氏名及年齡

二　船舶ノ種類、船名、總噸數又ハ積石數

三　船籍地

四　寄港地

五　航行區域

六　航行期間

第三條　第一條ノ許可ヲ與ヘタルトキハ附錄雛形ノ許可證ヲ交付ス

許可證ハ船內見易キ箇所ニ之ヲ標示スヘシ

第四條　第二條第四號乃至第六號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二條ノ規定ハ前項ノ許可申請ニ付之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ申請書ニ許可證ヲ添附スルコトヲ要ス

第五條　第二條第一號乃至第三號ノ事項ヲ變更シタルトキハ十日內ニ道知事ニ屆出テ許可證ノ裏書ヲ受クヘシ

道知事許可ヲ受ケタル場合ニ準用ス

第六條　本令ニ違反シ又ハ公益上必要アリト認ムルトキハ許可ヲ取消シ又ハ取締上必要ナル指示命令ヲ爲スコトヲ得

第七條　本令ニ依リ道知事ニ提出スル申請書又ハ屆書ハ主タル寄港地ヲ管轄スル警察官署ヲ經由スヘシ

第八條　第三條第二項、第四條第一項、第五條ノ規定若ハ第六條ニ依リ指示命令ニ違反シ又ハ虧僞ノ申請ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年警務總監部令第二號ハ之ヲ廢止ス

●鴨綠江及豆滿江沿岸ニ於ケル外國船舶ノ出入及運送ニ關スル件

大正十二年一月
總令第十二號

大正三年朝鮮總督府令第六十四號左ノ通改正ス

第一條　外國船舶ハ戎克船又ハ鵜舟其ノ他櫓櫂ノミヲ以テ運轉シ若ハ主トシテ櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟ニ限リ道知事ノ許可ヲ受ケ左ニ掲ケル場所ニ出入シ又ハ運送ヲ爲スコトヲ得

一　平安北道新義州府ヨリ上流鴨綠江沿岸但シ新義州府ト義州郡九龍浦トノ間ノ沿岸ヲ除ク

二　咸鏡北道慶興郡崇禮面土里ヨリ上流豆滿江沿岸

前項ノ許可ノ期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ス

第二條　前條ノ許可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　申請者及船舶所有者ノ國籍、住所、氏名及年齡

二　船舶ノ種類、船名、總噸數又ハ積石數

三　船籍地

四　寄港地

五　航行區域

六　航行期間

第三條　第一條ノ許可ヲ與ヘタルトキハ附錄雛形ノ許可證ヲ交付ス

許可證ハ船內見易キ箇所ニ之ヲ標示スヘシ

第四條　第二條第四號乃至第六號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クヘシ

第七條　本令ニ依リ道知事ニ提出スル申請書又ハ屆書ハ主タル寄港地ヲ管轄スル警察官署ヲ經由スヘシ

第八條　第三條第二項、第四條第一項、第五條ノ規定若ハ第六條ニ依リ指示命令ニ違反シ又ハ虧僞ノ申請ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年朝鮮總督府令第二號ハ之ヲ廢止ス

●漢江ニ於ケル舟筏ノ航行禁止區域

昭和七年十月
總督第五百七十五號

朝鮮河川令施行規則第三十五條ノ規定ニ依リ漢江ノ左記ノ區域內ニ於ケル舟筏ノ航行ヲ禁止ス

記

一　京畿道金浦郡村面樓山里第一號水制標識ヨリ延長二百メートル幅十メートル同第二號水制標識ヨリ延長二百メートル幅十メートル區域

●船舶法第一條等ノ日本船舶ノ不開港出入ニ關スル件

大正十二年三月
總令第六十三號

船舶法第一條等ノ日本船舶ノ不開港出入ニ關スル件左ノ通定ム

船舶法第一條又ハ第三條ノ日本船舶ハ不開港ニ出入シ又ハ各港ノ間ニ於テ運送ヲ爲スコトヲ得但シ傳染病豫防上必要アリト認メ朝鮮總督ニ於テ其ノ最初ノ寄港地ヲ指定シタル場合ニ於テハ指定地以外ニ寄港スルコトヲ得

前項但書ノ規定ニ違反シタルトキハ船長又ハ船長ニ代リテ其ノ職ヲ行フ者ヲ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年朝鮮總督府令第六十三號ハ之ヲ廢止ス

●稅關棧橋、繫船壁及船渠使用規則

大正十一年四月
總令第四十七號

改正　大正一三年一一第二三號、一五年一三第八三號、昭和三年一一第七六號、七年一八第七號、七年九九第八二號、八年七一號、九年九九第八二號、九年一二第一〇號、一一年一二第一〇號、一二年六第一九號

稅關棧橋、繫船壁及船渠使用規則左ノ通定ム

稅關棧橋、繫船壁及船渠使用規則

第一條　本令ニ於テ棧橋トハ釜山稅關所屬ノ第一埠頭及第二埠頭ノ南北兩側棧橋竝ニ群山稅關支署及木浦稅關支署所屬ノ浮棧橋ヲ、繫船壁トハ元山稅關及鎭南浦稅關支署所屬ノ繫船壁ヲ、船渠トハ仁川稅關及鎭南浦稅關支署所屬ノ船渠ヲ謂ヒ、稅關又ハ稅關長トアルハ第六條ニ規定スル場合ヲ除クノ外稅關支署所屬ノ棧橋、繫船壁又ハ船渠ニ付テハ稅關支署又ハ稅關支署長ヲ、

第二條　棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用セムトスル者ハ大正何年何月何日迄第一號乃至第三號ノ申請書ヲ稅關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ但シ稅關ノ承認ヲ受ケタルトキハ使用開始前三時迄ニ申請書ヲ提出スルコトヲ得

定期航行船舶及常時棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用スル船舶ニ付テハ第二號樣式ノ申請書ヲ稅關ニ提出シ豫メ期間ヲ定メ使用ノ許可ヲ受クルコトヲ得

第三條　前條ノ許可ヲ受ケタル者其ノ使用時間ヲ變更セムトスルトキハ稅關ノ許可ヲ受クヘシ

第四條　使用時間經過後引續キ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用セムトスル者ハ時間終了前三時迄ニ第一號樣式ノ申請書ヲ稅關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

第五條　棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用ノ許可ヲ受ケタル者及本令施行ノ際現ニ船渠ヲ使用スル者ハ本令施行前棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用ニ付テハ從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和七年一月總令第七號）

本令ハ昭和七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年九月總令第八二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ許可書及申請書ノ用紙寸法ニ付テハ當分ノ內從前ノ例ニ依ルコトヲ得

船舶出入（運送）許可證

國籍、住所
氏名
年齡

船種
船名（總噸數又ハ積石數）
船籍地名
寄港地名

右鴨綠江（又ハ豆滿江）ノ沿岸前記ノ場所ニ出入（運送ニ從事）スルコトヲ許可ス

本許可證ノ有效期間ハ許可ノ日ヨリ　箇月トス

大正　年　月　日

官署名印

ヲ受ケタル者ハ始終ノ後續數一噸ニ付假前十二時迄每ニ一錢ノ割合ヲ以テ徵用料ヲ前納スヘシ但シ一噸未滿ノ端數ハ之ヲ計算セス

前條ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ納付スヘキ使用料ハ最初使用ノ時ヨリ通算シタル使用時間ニ相當スル使用料額ヨリ既納ノ分ヲ控除シタル金額トス

第五條ノ二　使用料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ使用料ヲ納付セムトスル者ハ納付書又ハ第一號樣式ノ申請書ニ收入印紙ヲ貼付シテ提出スヘシ

第六條　稅關長ハ定期航行船舶又ハ常時棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用ニ關シ使用料ヲ減額又ハ納付方法ヲ定メ使用料ヲ減額シ又ハ納付方法ヲ定ムルコトヲ得但シ使用料ノ減額ニ付テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

戰時軍用ノ船舶ニ付テハ稅關長ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ使用料ヲ免除スルコトヲ得

第七條　既納ノ使用料ハ之ヲ還付セス但シ使用ノ許可ヲ取消シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　稅關長ハ必要ト認ムルトキハ棧橋、繫船壁若ハ船渠ノ使用ヲ停止シ、使用ノ許可ヲ取消シ、繫留ノ場所ヲ變更シ又ハ一時棧橋、繫船壁若ハ船渠ヨリ隊退セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用中ノ左ニ掲ケル行爲ハ稅關長ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一　船舶ノ修繕ヲ爲スコト

二　操縱裝置若ハ引火質ノ物品、石炭、荷足又ハ他物ヲ汚損スヘキ貨物ノ積卸ヲ爲スコト、灰燼、塵芥、汚物等ヲ水中ニ投棄スルコト

三　荷足、灰燼、塵芥、汚物等ヲ水中ニ投棄スルコト

第十條　棧橋ノ使用ニ付テハ左ノ制限ニ依ルヘシ

一　荷重ハ面積一平方メートルニ付千二百キログラム超ユルコトヲ得ス但シ第一埠頭南側棧橋ニ在リテハ基部ヨリ延長百六十三メートルニ至ル海面沿幅九メートルヲ除ク外三百キログラム迄トシ浮棧橋ニ在リテハ八百キログラム迄トス

第一埠頭及第二埠頭北側棧橋ノ軌道上ニハ稅關長ノ許可ヲ受ケ手押ニ依ル貨車一輛自重共三十瓲以上ノモノ一回ニ付六輛迄ヲ限リ通スルコトヲ得

浮棧橋ニハ車輪ヲ通スルコトヲ得ス

第十一條　仁川稅關船渠閘門ノ開閉時ハ稅關長ノ定ムル所ニ依ル

第十二條　本令ニ規定スルモノノ外稅關長ニ於テ必要ト認ムルトキハ棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用ニ關シ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第十三條　故意又ハ過失ニ因リ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ毀損シタルトキハ稅關長ハ其ノ毀損者ヲシテ之ヲ修繕セシムルコトヲ得

第十四條　漂流物又ハ沈沒品ニシテ棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用ニ障害アリト認ムルトキハ稅關長ハ其ノ物件ノ所有者又ハ之ヲ發送若ハ脫着セシメタル者ヲシテ除去セシムルコトヲ得

第十五條　棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用スル者本令ノ規定又ハ稅關長ノ命令ニ違反シタルトキハ稅關長ハ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヨリ其ノ船舶ヲ隊退セシムルコトヲ得

第十六條　第二條第二項ノ許可ヲ受ケタル者臨時代船ヲ使用セムトスルトキハ豫メ稅關ノ許可ヲ受ケヘシ

前項ノ臨時代船ノ使用料ハ本船ノ使用料ト同額トス

第十七條　仁川稅關船渠內ニ於テ貨物積卸ノ爲船舶ヲ使用セムトスル者ハ第三號樣式ノ申請書ヲ稅關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

前項ノ船舶ニ對シテハ使用料ヲ徵收セス

第十八條　本令ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

大正十一年五月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ繫船壁ハ釜山稅關棧橋使用規則及仁川船渠使用規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前棧橋又ハ船渠ノ使用ノ許可ヲ受ケタル者ハ本令施行ノ際現ニ船渠ヲ使用スル者ト看做ス

附　則（昭和七年一月總令第七號）

本令ハ昭和七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年九月總令第八二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ許可書及申請書ノ用紙寸法ニ付テハ當分ノ內從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第一號樣式

橋壁船渠棧繫船　使用許可書　番號＿＿

船名	
船種	
船主又ハ船舶所有者	
總噸數	
登簿噸數	
長及吃水	朝 尺 水 尺
繫留場所	
使用時間	日 時 分ヨリ 日 時 分マテ
使用料	圓
申請年月日	
申請者住所氏名	印

年　月　日

稅關

橋壁船渠棧繫船　使用許可書申請　番號＿＿

船名		收入印紙貼附欄	
船種			
船主又ハ船舶所有者			
總噸數			
登簿噸數			
長及吃水	朝 尺 水 尺		
繫留場所			
使用時間	日 時 分ヨリ 日 時 分マテ		
使用料	圓	調定	稅務課
申請年月日		年月日	
申請者住所氏名	印	收入	課長
		年月日	

備考　用紙寸法　縱二十一センチメートル　橫三十三センチメートル　輪廓寸法　縱十五センチメートル　橫十五センチメートル

申請書縱十五センチメートル　橫十一センチメートル

船舶ノ使用時間經過後引續キ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用セムトスル者ハ時間終了前三時迄ニ第一號樣式ノ申請書ヲ稅關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

第四條　使用時間經過後引續キ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用セムトスル者ハ時間終了前三時迄ニ第一號樣式ノ申請書ヲ稅關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

第五條　棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用ノ許可

第一號様式

備考　用紙寸法　縦一尺一寸　横七寸　輪廓寸法　許可書　縦五寸　横三寸五分　申請書　縦五寸　横五寸

番號＿＿　曳船使用許可書

船種船名	
船主又ハ傭船者	
曳船使用隻数	
曳船使用時間	分 時 分ヨリ 分マテ 時 日 日
使用料	圓
申請者住所氏名	

年　月　日

稅關

番號＿＿　曳船使用許可申請書　告知番號＿＿

船種船名		欄外貼附紙印紙入收
船主又ハ傭船者		
曳船使用隻数		
曳船使用時間	分 時 分ヨリ 分マテ 時 日 日	圓
使用料		
申請年月日		課 稅務課
申請者住所氏名	捺印	定 年月日
		收入 年月日 監視課

使用時間ハ繼續シテ滿了後引續キ使用ノ申請ヲ爲ス場合ニ外欄ト朱書スヘシ

第四條　曳船カ船舶ノ曳船作業ニ從事中其ノ船舶ニ生セシメタル損害ニ付テハ稅關ハ其ノ責ニ任セス

第五條　稅關棧橋、繫船壁及船渠使用規則第三條、第四條、第六條、第七條及第十三條ノ規定ハ曳船ノ使用ニ付之ヲ準用ス

第六條　本令ニ於テ稅關又ハ稅關長トアルハ、稅關棧橋、繫船壁及船渠使用規則第六條ノ規定ヲ準用スル場合ヲ除クノ外稅關支署所在地ニ在リテハ稅關支署又ハ稅關支署長トス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十一年六月總令第九十三號）

本令ハ大正十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年一月總令第八號）

本令ハ昭和七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二號様式

備考　用紙寸法　縦七寸　横一尺一寸　輪廓寸法　許可書申請書共各　縦五寸　横四寸

番號＿＿　曳船使用許可書

船種船名	
船主又ハ傭船者	
曳船使用隻数	
使用料	圓
曳船使用時間	分 時 分ヨリ 分マテ 時 日 日

申請者住所氏名

年　月　日

稅關

番號＿＿　曳船使用許可申請書

船種船名	
船主又ハ傭船者	
曳船使用隻数	
使用料	圓
曳船使用時間	分 時 分ヨリ 分マテ 時 日 日
申請年月日	
申請者住所氏名	捺印

第二號様式

備考　用紙寸法　縦一尺一寸　横七寸　輪廓寸法　許可書申請書共各　縦五寸　横四寸

番號＿＿　使用許可書

船種船名	
船主又ハ傭船者	
登簿噸數	
繫留場所	
使用料	圓
使用時間	分 時 分ヨリ 分マテ 時 日 日
申請者住所氏名	

年　月　日

稅關

番號＿＿　使用許可申請書

船種船名	
船主又ハ傭船者	
總噸數	
登簿噸數	
船ノ長及幅	
吃水	
繫留場所	
使用料	圓
使用時間	分 時 分ヨリ 分マテ 時 日 日
申請年月日	
申請者住所氏名	捺印

第三號様式

備考　用紙寸法　縦三十一センチメートル　横三十三センチメートル　輪廓寸法　許可書申請書共各　縦十五センチメートル　横十二センチメートル

番號＿＿　船舶使用許可書

船種船名	
船主又ハ傭船者	
總噸數又ハ總積石數	
船ノ長及幅	
使用ノ目的	
使用期間	
申請者住所氏名	

年　月　日

仁川稅關

番號＿＿　船舶使用許可申請書

船種船名	
船主又ハ傭船者	
總噸數又ハ總積石數	
船ノ長及幅	
使用ノ目的	
使用期間	
申請年月日	
申請者住所氏名	印 捺

●稅關所屬曳船使用規則

大正七年五月總令第四十八號

改正　大正七年一〇第九號、一一年一四第四八號、一二年一四第四四號、昭和四年一第一號、七年一第八號

稅關所屬曳船使用規則左ノ通定ム

第一條　稅關所屬ノ曳船ヲ使用セントスル者ハ別記様式ノ申請書ヲ稅關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

第二條　曳船使用ノ許可ヲ受クタル者ハ曳船一隻ニ付一時迄毎ニ四圓ノ割合ヲ以テ使用料ヲ稅關ニ納付スヘシ

第二條ノ二　使用料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ使用料ヲ納付セムトスル者ハ納付書又ハ第一號様式ノ申請書ニ收入印紙ヲ貼付シテ提出スヘシ

第三條　稅關長ハ必要アリト認ムルトキハ曳船使用ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ使用ヲ停止スルコトヲ得

❹清津漁港管理規則

昭和十年十二月
總令第百四十三號

清津漁港管理規則左ノ通定ム

清津漁港管理規則

第一條　左ニ掲グル船舶以外ノ船舶ニシテ二十噸以上ノモノ清津漁港（第一號表ノ水面）ニ入港セントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受ケベシ但シ海難其ノ他已ムヲ得ザル事故アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　國又ハ公共團體ノ所有ニ屬スル船舶
二　漁船
三　水產製品又ハ漁獲物ノ運搬用船舶
四　水產製品ノ製造又ハ漁業ニ必要ナル物品ノ運搬用船舶
五　造船業ニ必要ナル物品ノ運搬用船舶
六　港內ノ工事ニ從事スル船舶
七　清津漁港ノ附帶地域（第二號表ノ土地）ニ於ケル工事ニ必要ナル物品ノ運搬用船舶
八　海難救護ニ從事スル船舶

第二條　道知事清津漁港ノ保全上、港內ノ工事上其ノ他必要アリト認ムルトキハ船舶ノ入港ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第三條　清津漁港ノ附帶地域ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限リ道知事ノ許可ヲ受ケ之ヲ占用スルコトヲ得

一　漁業ノ經營上必要アルトキ
二　造船業ノ經營上必要アルトキ
三　漁獲物又ハ水產製品ノ製造、取引、保管又ハ運搬ノ爲必要アルトキ
四　前各號ノ外道知事ニ於テ特ニ清津漁港ノ利用上必要アリト認ムルトキ

第四條　前條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル者ハ道知事ノ定ムル所ニ依リ料金ヲ納付スベシ

第五條　第三條ノ規定ニ依ル許可ノ期間ハ二十年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第六條　第三條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ提出スベシ

一　申請人ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所ノ所在地並ニ代表者ノ氏名及住所）
二　占用セントスル土地ノ位置及面積
三　占用ノ目的
四　占用ノ期間

前項ノ申請書ニハ事業計畫書及圖面（占用セントスル土地ノ一般圖、平面圖、求積圖及工作物ヲ設置スル場合ニ在リテハ其ノ構造圖）ヲ添附スベシ

第七條　相續又ハ法人ノ合併ニ因リ第三條ノ規定ニ依ル許可ニ因リテ生ズル權利義務ヲ承繼シタル者又ハ合併アリタルトキハ相續又ハ合併ヲ證スル書類ヲ添附シ道知事ニ之ヲ屆出ヅベシ

第八條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ道知事ハ占用ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ許可ヲ取消シ、其ノ效力ヲ制限シ、其ノ條件ヲ變更シ、施設ノ工作物其ノ他ノ物件ヲ變更若ハ除却セシメ、原狀回復ヲ爲サシメ又ハ損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲サシムルコトヲ得

一　引續キ一年以上占用ノ許可ヲ受ケタル土地ヲ其ノ目的ノ用ニ供セザルトキ
二　本令又ハ本令ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ條件ニ違反シタルトキ
三　清津漁港ノ附帶地域ノ保全上又ハ工事上必要アルトキ
四　法令ニ依リ土地ヲ軟用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ノ爲必要アルトキ
五　前各號ノ外道知事ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキ

第九條　第一條ノ規定又ハ第二條ノ禁止若ハ制限ニ違反シタルトキハ當該船舶ノ船長又ハ其ノ職務ヲ行フ者ヲ二百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

船長又ハ其ノ職務ヲ行フ者ハ其ノ船舶ノ乘組員ガ第一條ノ規定又ハ第二條ノ禁止若ハ制限ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

附　則

本令ハ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

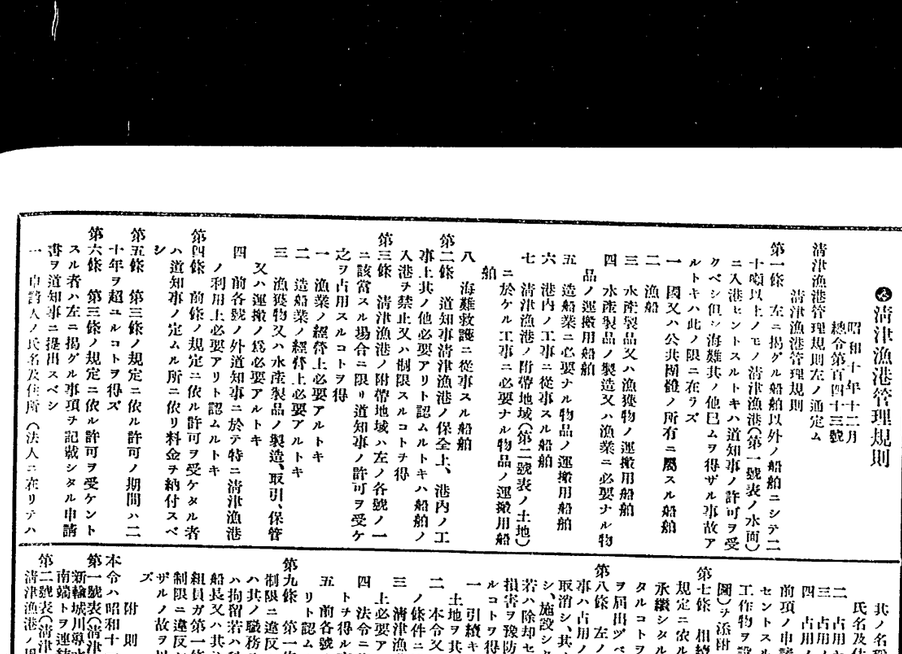
第一號表（清津漁港）

新輸城川導水堤（其ノ一）南端ト東側防波堤ノ南端トヲ連結スル線ノ水面（別圖ノ通）

第二號表（清津漁港附帶地域）

清津漁港ノ周圍ノ土地（別圖ノ通）

（別圖）



第十二款　航空

●航空法

大正十年四月
法律第五十四號

施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一章　總則

第一條　本法ニ於テ航空機トハ人ノ搭乘シ得ル氣球、凧、航空船及飛行機ヲ謂フ

本法ニ於テ航空トハ陸上又ハ水上ノ滑走ヲ、離陸又ハ着陸トハ離水又ハ着水ヲ包含ス

第二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ所有スル航空機ハ之ヲ日本航空機トス

一　日本國民
二　日本法令ニ依リ設立シタル會社ニシテ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員カ日本臣民タルモノ
四　前號ニ掲グル法人以外ノ法人ニシテ日本法令ニ依リ設立シ其ノ代表者ノ全員カ日本臣民タルモノ

本法ハ本章及第四十一條乃至第四十三條ノ規定ヲ除クノ外軍用航空機ニ之ヲ適用セス

第三條　國ノ使用ニ供スル航空機ニ付テハ第二十一條、第三十四條及第四十條乃至第四十三條、第三十四條及第四十條ノ規定ニ關シ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第四條　航空ニ關シ條約又ハ之ニ準ズヘキモノニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二章　航空機ノ檢查及登錄

第五條　航空機ヲ製造スル者ハ其ノ設計、材料、部分品、技功及製品ニ付行政官廳ノ檢查ヲ受クヘシ

堪航證明書ヲ有セザル航空機ハ航空ノ用ニ供スルコトヲ得ズ

第六條　航空機ノ所有者ハ其ノ航空機ニ付行政官廳ニ於テ登錄ヲ受クヘシ

登錄シタル航空機ニ變更ヲ生ジタルトキ又ハ其ノ所有者ノ變更アリタルトキハ其ノ變更ニ付亦同シ

第七條　航空機ニハ其ノ種別ニ從ヒ國籍記號及登錄記號ヲ附スヘシ

第八條　航空機ニハ其ノ種別ニ從ヒ堪航證明書、登錄證明書、無線電信電話ノ施設アル航空機ニハ無線電信電話ノ施設ニ關スル證書、航空日誌、搭載品目錄、旅客名簿、運送狀、郵便物ノ運送ヲ爲ス航空機ニハ郵便物ノ運送ニ關スル證書ヲ備フヘシ

第九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル乘組員ノ數ニ滿タサル者ヲ以テ乘組ムコトヲ得ズ

第十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル旅客ノ數ヲ超エテ之ヲ運送スルコトヲ得ズ

第十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ區域ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ種類ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ高度ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ速度ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ時間ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ場所ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ目的ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第三十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第三十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第三十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第三十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第三十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第三十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第三十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第三十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第三十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第三十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第四十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第四十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第四十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第四十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第四十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第四十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第四十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第四十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第四十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第四十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第五十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第五十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第五十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第五十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第五十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第五十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第五十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第五十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第五十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第五十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第六十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第六十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第六十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第六十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第六十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第六十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第六十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第六十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第六十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第六十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第七十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第七十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第七十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第七十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第七十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第七十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第七十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第七十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第七十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第七十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第八十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第八十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第八十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第八十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第八十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第八十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第八十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第八十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第八十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第八十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百二十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百二十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百二十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百二十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百二十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百二十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百二十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百二十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百二十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百二十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百三十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百三十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百三十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百三十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百三十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百三十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百三十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百三十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百三十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百三十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百四十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百四十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百四十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百四十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百四十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百四十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百四十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百四十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百四十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百四十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百五十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百五十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百五十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百五十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百五十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百五十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百五十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百五十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百五十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百五十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百六十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百六十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百六十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百六十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百六十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百六十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百六十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百六十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百六十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百六十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百七十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百七十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百七十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百七十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百七十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百七十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百七十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百七十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百七十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百七十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百八十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百八十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百八十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百八十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百八十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百八十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百八十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百八十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百八十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百八十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百九十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百九十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百九十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百九十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百九十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百九十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百九十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百九十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百九十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第百九十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百十五條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百十六條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百十七條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百十八條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百十九條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百二十條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百二十一條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百二十二條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百二十三條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百二十四條　航空機ハ其ノ堪航證明書ニ記載シタル航空ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第二百二十五條　航空機ハ其

物件ノ占有者ニ其ノ旨通知スヘシ

飛行場ノ經營者ハ第一項ノ航空標識ノ維持ヲ爲緊急ノ必要アルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス他人ノ土地ニ立入リ若ハ障礙ト爲シヘキ物件ヲ除去シ又ハ必要ナル土地若ハ物件ヲ使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ經營者ハ遲滯ナク其ノ旨行政官廳ニ届出テ且其ノ土地又ハ物件ノ占有者ニ通知スヘシ

第二十五條　前條ノ規定ニ依ル立入、除去又ハ使用ニ因リ生シタル損害ハ飛行場ノ經營者之ヲ補償スヘシ

前項ノ規定ニ依ル補償ノ金額ニ關シ協議調ハサルトキハ行政官廳ノ決定ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ決定ニ不服アル者ハ其ノ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十六條　第二十四條第二項第三項及前條ノ規定ハ許可又ハ届出ニ關スル認定ヲ除ク外軍用ニ供スル飛行場ノ境界ヨリ外方五百「メートル」ノ區域内ニ於テ航空ノ障礙ト爲ルヘキモノアルトキ必要ナル航空標識ヲ設ケ又ハ維持スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條　公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營者ハ他人ノ運航スル航空船又ハ飛行機其ノ他航空ノ用ニ供シ又ハ第十二條ノ檢査ニ合格セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

第三十二條ノ規定ニ違反シタル者

第十四條第一項ノ規定ニ依リ行政官廳ノ爲シタル命令ニ違反シタル者

第九條ノ規定ニ違反シテ國籍記號若ハ登錄記號ヲ表示セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ第四十五條ノ規定ニ依リ爲シタル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者

第五十六條　第十五條第一項ノ規定ニ違反シタル者又ハ第二十條第一項ノ規定ニ依リ爲シタル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者

第五十七條　第三十條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第三十條第二項ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止ニ違反シタル者、第三十一條ノ規定ニ依ル禁止ニ違反シタル者又ハ第三十三條ノ規定ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十八條　第二十九條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第四十五條ノ規定ニ依リ當該官吏ノ命令ニ違反シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二十四條第一項ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者

二　故ナク當該官吏ノ臨檢若ハ檢査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シ又ハ時間ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者

第六十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第九條ノ規定ニ違反シテ航空機所有者ノ氏名若稱若ハ住所ヲ表示セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ虚偽ノ氏名若稱若ハ住所ヲ表示シタル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

二　第十條ノ規定ニ違反シテ其航證明書又ハ登錄證明書ヲ備付ケサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

三　第十七條ノ規定ニ違反シタル者

第六十一條　第二十一條、第二十二條、第二十七等第一項、第二十八條、第三十四條乃至第三十六條又ハ第四十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二十三條ノ規定ニ違反シタル者

二　第二十七條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケスシテ使用料ノ請求ヲ爲シタル者

第六十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス

一　第五條第一項又ハ第二項ノ規定ニ違反シタル者

二　第七條第三項又ハ第八條第三項ノ規定ニ依ル登錄ノ申請ヲ怠リタル者

三　第八條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル其航證明書又ハ登錄證明書ノ返付ヲ怠リタル者

四　第二十條第三項ノ規定ニ依ル航空冤狀ノ返付ヲ怠リタル者

五　第四十條第一項ノ規定ニ依ル屆出ヲ怠リタル者

前項ニ規定スル過料ハ法人ニ在リテハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ之ヲ適用ス

第六十四條　非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ付之ヲ準用ス

附　則

本法ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（昭和二年五月勅令第百四號ヲ以テ同年六月一日ヨリ施行）

昭和十一年五月

法律第三十四號

改正　昭和八年一〇第四一時、一一年第一三號

航空法施行規則左ノ通定ム

航空法施行規則目次

第一條　本法ニ於テ航空機トハ人ノ搭乘シ得ル飛行機、航空船、氣球、滑空機其ノ他航空ノ用ニ供スル機器ヲ謂フ

本法ニ於テ航空ニハ陸上又ハ水上ノ滑走ヲ、離陸又ハ著陸ニハ離水又ハ著水ヲ包含ス

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

勅令ヲ以テ指定スル航空機ニ付テハ第二章乃至第四章ニ規定スル事項ニ關シ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第十七條中「技術證明書及」ヲ削ル

第二十三條ノ二　行政官廳ハ航空ノ安全保持ノ爲公共ノ用ニ供スル飛行場又ハ公示セラレタル飛行場豫定地ノ境界ヨリ外方千「メートル」ノ區域内ニ於テ特別地域ヲ指定スルコトヲ得

前項ノ特別地域内ニ於テ工作物、船舶、竹木其ノ他ノ物件ヲ設置、定繫又ハ植栽セムトスル又ハ該物件ヲ其ノ存スル地點ヨリ最短距離ニ在ル飛行場ノ境界地點ヲ基準トスル水平面上左ノ各號ノ高サヲ超ユル場合ニ於テハ行政官廳ノ許可ヲ受ケシ但シ「メートル」ヲ超エサル農作物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一　飛行場ノ境界ヨリ外方五百「メートル」ノ區域内ニ在リテハ物件ノ存スル地點ト其ノ地點ヨリ最短距離ニ在ル飛行場ノ境界地點トノ水平距離ノ三十分ノ一ノ高サ

二　前號ノ區域ノ外方ノ特別地域内ニ在リテハ物件ノ存スル地點ト其ノ地點ヨリ最短距離ニ在ル前號ノ區域ノ外方境界地點トノ水平距離ノ二十分ノ一ニ十七「メートル」ヲ加ヘタル高サ

第二十三條ノ三　行政官廳ハ前條ノ規定ニ違反シテ設置、定繫又ハ植栽シタル工作物、船舶竹木其ノ他ノ物件ニ付其ノ所有者又ハ之ニ代リ其ノ行爲ヲ爲シ若ハ有スル者ニ對シ期限ヲ定メ前條第二項ニ規定スル高サヲ超ユル部分ノ除去其ノ他必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得尚ニシテ前條第二項ニ規定スル高サヲ超ユルニ至リタルモノニ付亦同シ

前條第一項ノ規定ニ依ル特別地域指定ノ場合ニ於テ現ニ存スル物件カ前條第二項ニ規定スル高サヲ超ユルトキハ行政官廳ハ其ノ所有又ハ之ニ代リ其ノ行爲ヲ爲ス權利ヲ有スル者ニ對シ期限ヲ定メ其ノ他必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

第二十四條　第二十三條ノ三第二項ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ基ク措置又ハ前條ノ規定ニ依ル立入、除去若ハ使用ニ因リ生シタル損害ニ付亦同シ

第二十五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

第二十五條　第二十三條ノ三第二項ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ基ク措置又ハ前條ノ規定ニ依ル立入、除去若ハ使用ニ因リ生シタル損害ニ付亦同シ

第二十六條第三項ノ規定ニ依ル航空冤狀ノ返付ヲ怠リタル者

第二十七條第一項ヲ左ノ如ク改ム

第二十七條　航空標識ノ用地又ハ公共ノ用ニ供スル飛行場ノ用地トスル爲必要ナル土地及水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ハ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シテハ土地收容法ヲ適用ス

第三十八條　公共ノ用ニ供スル飛行場ノ用地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ因リ其ノ地租ノ免除ヲ爲シ一時ノ使用ニ供スルモノ又ハ

第三十九條　國稅法中船舶、船長、船用品及海路運送並之ニ關スル犯則事件ノ調査、處分及處罰ニ付テノ規定ハ航空機、航空機ノ長、航空機ノ搜用品及航空機ニ依ル外國貨物ノ運送並之ニ關スル犯則事件ノ調査、處分及處罰ニ付之ヲ準用ス但シ國稅法中開港トアルハ第三十四條ノ飛行場トス

第四十條　第三十三條ノ航空機カ故障又ハ避難ノ爲其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ第三十四條ニ規定スル著陸ノ場所以外ニ著陸シタルトキハ稅關官吏其ノ地ニ在ル場合ニ於テハ稅關官吏、稅關官吏其ノ地ニ在ラサル場合ニ於テハ警察官吏ニ遲滯ナク届出ツヘシ

第二十六條ノ規定ニ依ル航空機ノ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十四條第二項第三項及前條ノ規定ハ許可又ハ届出ニ關スル認定ヲ除ク外軍用ニ供スル飛行場ノ境界ヨリ外方五百「メートル」ノ區域内ニ於テ航空ノ障礙ト爲ルヘキモノアルトキ必要ナル航空標識ヲ設ケ又ハ維持スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條　公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營者ハ他人ノ運航スル航空船又ハ離陸スルコトヲ拒ムコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ經營者其ノ飛行場ノ使用ニ對シ使用料ヲ請求セムトスルトキハ豫メ其ノ額ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十八條　公共ノ用ニ供セサル飛行場ノ經營者ハ他人ノ運航スル航空船又ハ離陸スルコトヲ拒ムコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ經營者其ノ飛行場ノ使用ニ對シ使用料ヲ請求セムトスルトキハ豫メ其ノ額ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十九條　航空船及運送ハ飛行場ニ非サル場所、水上ニ在リテハ命令ヲ以テ禁止スル場所ニ於テ離陸又ハ著陸シ又ハ他人ノ運航スル他人ニ屬スル航空機ヲシテ其ノ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸セシムルコトヲ得ス

第五章　航空及運送

第三十條　航空船及飛行機ハ陸上ニ在リテハ命令ヲ以テ禁止スル國籍記號若ハ登錄記號ヲ表示セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ虚偽ノ國籍記號若ハ登錄記號ヲ表示シタル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

第三十一條　第十五條第一項ノ規定ニ違反シタル者又ハ第二十條第一項ノ規定ニ依リ爲シタル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條　第三十條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第三十三條ノ二　行政官廳ハ航空ノ安全保持ノ爲公共ノ用ニ供スル飛行場又ハ公示セラレタル飛行場豫定地ノ境界ヨリ外方千「メートル」ノ區域内ニ於テ特別地域ヲ指定スルコトヲ得

前項ノ特別地域内ニ於テ工作物、船舶、竹木其ノ他ノ物件ヲ設置、定繫又ハ植栽セムトスル又ハ該物件ヲ其ノ存スル地點ヨリ最短距離ニ在ル飛行場ノ境界地點ヲ基準トスル水平面上左ノ各號ノ高サヲ超ユル場合ニ於テハ行政官廳ノ許可ヲ受ケシ但シ「メートル」ヲ超エサル農作物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一　飛行場ノ境界ヨリ外方五百「メートル」ノ區域内ニ在リテハ物件ノ存スル地點ト其ノ地點ヨリ最短距離ニ在ル前號ノ區域ノ外方境界地點トノ水平距離ノ三十分ノ一ノ高サ

二　前號ノ區域ノ外方ノ特別地域内ニ在リテハ物件ノ存スル地點ト其ノ地點ヨリ最短距離ニ在ル前號ノ區域ノ外方境界地點トノ水平距離ノ二十分ノ一ニ十七「メートル」ヲ加ヘタル高サ

第三十四條　航空機ハ飛行場ニ非サル場所ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ故障若ハ避難ノ爲其ノ他已ムコトヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ著陸又ハ離陸シタル航空機ノ所有者又ハ運航ノ責ニ任スル者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ最寄ノ飛行場ノ管理者ニ通知スヘシ

第三十五條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十一條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十七條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十二條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十四條　航空機ハ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スル場合ノ外飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第五條又ハ第十一條ノ檢査ニ合格セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ第三十二條ノ規定ニ違反シタル者

二　第十四條第一項ノ規定ニ違反シタル者又ハ第十四條第一項ノ規定ニ依リ行政官廳ノ命令ヲ以テ之ヲ定ム

三　第九條ノ規定ニ違反シテ國籍記號若ハ登錄記號ヲ表示セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ虚偽ノ國籍記號若ハ登錄記號ヲ表示シタル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

第五十六條　第十五條第一項ノ規定ニ違反シタル者又ハ第二十條第一項ノ規定ニ依リ爲シタル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十七條　第三十條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第三十條第二項ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止ニ違反シタル者、第三十一條ノ規定ニ依ル禁止ニ違反シタル者又ハ第三十三條ノ規定ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十八條　第二十九條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第四十五條ノ規定ニ依リ當該官吏ノ命令ニ違反シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二十四條第一項ノ規定ニ依リ行政官廳ノ命令ニ違反シタル者

二　故ナク當該官吏ノ臨檢若ハ檢査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シ又ハ時間ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者

第六十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第九條ノ規定ニ違反シテ航空機所有者ノ氏名若稱若ハ住所ヲ表示セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ虚偽ノ氏名若稱若ハ住所ヲ表示シタル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

二　第十條ノ規定ニ違反シテ航空機所有者ノ氏名若稱若ハ住所ヲ表示セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ虚偽ノ氏名若稱若ハ住所ヲ表示シタル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

第六十一條　第二十一條、第二十二條、第二十七條第一項、第二十八條、第三十四條乃至第三十六條又ハ第四十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二十三條ノ規定ニ違反シタル者

二　第二十七條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケスシテ使用料ノ請求ヲ爲シタル者

第六十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス

一　第五條第一項又ハ第二項ノ規定ニ違反シタル者

二　第七條第三項又ハ第八條第三項ノ規定ニ依ル登錄ノ申請ヲ怠リタル者

三　第八條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ其航證明書又ハ登錄證明書ノ返付ヲ怠リタル者

四　第二十條第三項ノ規定ニ依ル航空冤狀ノ返付ヲ怠リタル者

五　第四十條第一項ノ規定ニ依ル屆出ヲ怠リタル者

前項ニ規定スル過料ハ法人ニ在リテハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ之ヲ適用ス

第六十四條　非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ付之ヲ準用ス

附　則

本法ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（昭和二年五月勅令第百四號ヲ以テ同年六月一日ヨリ施行）

昭和十一年五月

法律第三十四號

改正　昭和八年一〇第四一時、一一年第一三號

航空法施行規則左ノ通定ム

航空法施行規則目次

●航空法施行規則

昭和二年五月

逓信令第八號

改正　昭和八年一〇第四一時、一一年第一三號

航空法施行規則左ノ通定ム

第一章　總則
第二章　檢査
第三章　登錄
第四章　記號
第五章　乘員
第六章　飛行場
第七章　航空
第八章　運送
第九章　雜則
附　則

航空法施行規則

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ國際航空條約トハ大正八年十月巴里ニ於テ署名調印セラレタル航空ニ關スル條約及大正九年五月巴里ニ於テ署名セラレタル同條約議定書ヲ謂フ

第二條　日本國內ヨリ發航シテ國際航空條約ニ加盟セル外國ヨリ發航シテ日本國內ニ至ル日本航空機及其ノ乘員ノ受有シ若ハ備付クヘキ書類ニ付テハ國際航空條約ノ外本令ヲ適用ス

第三條　朝鮮、樺太、關東州ニ於テ當該規則ニ依リ交付セラレタル耐航證明書、航空機乘員技術證明書及航空免狀ハ遞信大臣ニ於テ各地域ニ於ケル當該規則カ本令其ノ他航空法施行ニ關スル命令ノ規定ト同一ノ內容ヲ有スト認ムル場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ交付シタルモノト看做ス

第四條　本令ハ第七章ノ規定ヲ除クノ外當分ノ內邦ニ之ヲ適用セス

第五條　當該航空機ヲ航空ノ用ニ供セムトスルトキハ遞信大臣ニ其ノ檢査ヲ申請スヘシ但シ試驗ノ爲航空ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル檢査ノ申請及執行ニ付テハ第二章ノ規定ヲ準用ス

第二章　檢査

第六條　航空機ノ檢査ハ左ノ四種トス

一　製造檢査
二　特別檢査
三　定期檢査
四　臨時檢査

第七條　製造檢査ハ航空法第五條第一項ノ規定ニ依リ航空機ノ設計、材料、部分品、技功及製品ニ付檢査ノ申請アリタルトキニ之ヲ行フ

第八條　特別檢査ハ航空法第五條第二項ノ規定ニ依リ耐航證明書ヲ有セサル航空機ニ付檢査ノ申請アリタルトキニ之ヲ行フ

第九條　定期檢査ハ耐航證明書ノ有效期間延長ノ爲檢査ノ申請アリタルトキニ之ヲ行フ

第十條　臨時檢査ハ左ノ各號ノ場合ニ檢査ノ申請アリタルトキニ之ヲ行フ

一　耐航證明書ヲ航空機ノ構造又ハ發動機ニ變更ヲ加ヘタルトキ

二　耐航證明書ヲ航空機ノ裝備ニ變更ヲ加ヘタルトキ

三　耐航證明書ヲ航空機ニ裝備セル發動機ヲ整備スルトキ

四　耐航證明書ヲ航空機ニ裝備セル發動機ヲ修理シタルトキ

五　耐航證明書ヲ航空機ニ裝備セル發動機ニ使用スル「プロペラ」ヲ換備「プロペラ」ヲ換備シタルトキ

前項各號ノ場合ノ外遞信大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキ臨時ニ航空機ノ檢査ヲ行フ

第十一條　航空機ノ檢査ハ製造檢査ニ付テハ航空機ヲ製造スル者ヨリ、其ノ他ノ檢査ニ付テハ航空機所有者ヨリ之ヲ申請スヘシ

第十二條　製造檢査ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ニ依ル製造檢査申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ製造事手前遞信大臣ニ之ヲ提出スヘシ

一　設計書
二　設計圖面
三　製造工程ヲ記載シタル書面

第十三條　特別檢査ヲ受ケムトスル者ハ第二號書式ニ依リ特別檢査申請書ニ左ノ書類又ハ之ニ準スヘキ書類アルトキハ之ヲ添附シ遞信大臣ニ提出スヘシ

一　耐航證明書

第十四條　定期檢査ヲ受ケムトスル者ハ堪航證明書ノ有效期間滿了一月前迄ニ第三號書式ニ依ル定期檢査申請書ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

第十五條　臨時檢査ヲ受ケムトスル者ハ第四號書式ニ依ル臨時檢査申請書ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

第十六條　航空機ノ檢査ハ航空機檢査規則ニ依リ之ヲ行フ

第十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ航空機ノ製造者又ハ所有者ハ其ノ事實ヲ證スルニ足ル書類ヲ具シ製造檢査又ハ特別檢査ノ免除ヲ遞信大臣ニ申請スルコトヲ得

一　日本ニ於テ航空ノ用ニ供セサル目的ヲ以テ航空機ヲ輸入シタルトキ

二　日本ニ於テ航空ノ用ニ供セサル目的ヲ以テ航空機ヲ製造シタルトキ

三　第十八條遞信大臣檢査ヲ行ハムトスルトキハ檢査ノ時、場所其ノ他必要ナル事項ヲ檢査申請者ニ通知ス

第十九條　前條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル者ハ檢査ヲ受クルニ必要ナル準備ヲ爲スヘシ

第二十條　當該官吏檢査ヲ行フ場合ニ於テハ檢査ヲ受クヘキ者又ハ其ノ代理人之ニ立會ヒ當該官吏ノ要求ニ應シ堪航證明書、登錄證明書、航空日誌其ノ他檢査ニ必要ナル書類ヲ檢閱ニ供スヘシ

第二十一條　航空機ノ檢査ハ定置場ニ於テ之ヲ行フ但シ定置場以外ノ場所ニ於テ檢査ヲ爲ス場合ニ於テ附スヘキ書面ノ內容前後同一ナルトキ又同シ前項ノ規定ニ依リ申請書ニ添附スヘキ書面ヲ省略シタルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第二十二條　所有者ノ變更ニ因ル變更登錄申請書ニハ其ノ事由ヲ證スルニ足ル書面ヲ添附スヘシ

第二十三條　抹消登錄申請書ニハ其ノ事由ヲ證スルニ足ル書面アルトキハ之ヲ添附スヘシ

第二十四條　遞信大臣ハ新規登錄又ハ變更登錄ノ申請アリタル場合ニ於テ當該事項航空機原簿ニ登錄シタルトキハ第十一號書式ニ依リ登錄證明書ヲ申請者ニ交付ス

第二十五條　行政區劃、其ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタルトキハ航空機原簿又ハ登錄證明書ニ記載シタル當該行政區劃、其ノ名稱又ハ地番號ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス字又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキ亦同シ

第二十六條　航空機所有者登錄ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ知リタルトキハ其ノ旨ヲ疏明シ登錄證明書ノ訂正ヲ申請スヘシ

遞信大臣登錄ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ知リタルトキハ之ヲ訂正シ其ノ旨ヲ航空機所有者ニ通知ス

第二十七條　新規登錄申請書ニハ所有者ノ戶籍抄本又ハ之ニ準スヘキ書面ヲ添附スヘシ但シ航空機ノ所有者カ會社其ノ他ノ法人ナルトキハ登錄申請書ニ會名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員、會社以外ノ法人ニ在リテハ其ノ代表者ノ全員ノ戶籍抄本又ハ之ニ準スヘキ書面及會社其ノ他ノ法人ノ設立登錄ノ謄本ヲ添附スヘシ

第二十八條　前條ノ規定ニ依リ申請書ニ添附スヘキ書面ハ同時ニ登錄ノ申請ヲ爲ス場合ニハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二十九條　國籍記號及登錄記號ハ遞信大臣ニ於テ之ヲ定ム

第三十條　國籍記號ハ航空機ノ定置場ニ於テ之ヲ表示スヘシ

第三十一條　登錄記號ハ航空機ノ定置場ニ於テ之ヲ表示スヘシ

第三十二條　國籍記號及登錄記號ハ羅馬字ノ大文字ヲ以テ之ヲ表示ス

第三十三條　登錄記號ハ羅馬字ノ大文字四個ヲ以テ之ヲ表示ス

第三十四條　國籍記號ハ羅馬字ノ大文字Jヲ以テ之ヲ表示ス

第三十五條　國籍記號及登錄記號ハ當該航空機ニ付何人ニモ容易ニ識別シ得ヘキ樣明瞭ニ且永久的ニ附スヘシ

第三十六條　國籍記號及登錄記號ハ當該航空機ノ主翼及尾翼ノ上面及下面ニ附スヘシ但シ飛行機及航空船ニ在リテハ主翼及尾翼ノ上面及下面ノ外胴體ノ兩側ニ附スヘシ

第三十七條　國籍記號及登錄記號ハ當該航空機ノ主翼及尾翼ノ上面及下面ニ在リテハ最下尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ上面及方向舵ノ兩面ニ在リテハ最上尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ上面及方向舵ノ兩面ニ附スヘシ

第三十八條　前條ノ規定ニ依リ申請書ニ添附スヘキ書面ノ內容前後同一ナルトキ又同シ

第三十九條　所有者ノ變更ニ因ル變更登錄申請書ニハ其ノ事由ヲ證スルニ足ル書面ヲ添附スヘシ

第四十條　抹消登錄申請書ニハ其ノ事由ヲ證スルニ足ル書面アルトキハ之ヲ添附スヘシ

第四十一條　遞信大臣ハ新規登錄又ハ變更登錄ノ申請アリタル場合ニ於テ當該事項航空機原簿ニ登錄シタルトキハ第十一號書式ニ依リ登錄證明書ヲ申請者ニ交付ス

第四十二條　行政區劃、其ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタルトキハ航空機原簿又ハ登錄證明書ニ記載シタル當該行政區劃、其ノ名稱又ハ地番號ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス字又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキ亦同シ

第四十三條　航空機所有者登錄ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ知リタルトキハ其ノ旨ヲ疏明シ登錄證明書ノ訂正ヲ申請スヘシ

遞信大臣登錄ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ知リタルトキハ之ヲ訂正シ其ノ旨ヲ航空機所有者ニ通知ス

第四十四條　登錄證明書ヲ亡失シタルトキハ航空機所有者ハ遅滯ナク事由ヲ具シ遞信大臣ニ申請スヘシ

第四十五條　第三十四條ニ規定スル場所ニ國籍記號及登錄記號ヲ連記スル方法左ノ如シ

一　飛行機及航空船ニ在リテハ最下尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ下面ノ左右兩部、最上尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ上面及方向舵ノ兩面ニ在リテハ方向舵ノ兩側ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ連記スヘシ

二　氣球ニ在リテハ吊籠

第五十六條　第三十四條ニ規定スル場所ニ國籍記號及登錄記號ヲ連記スル場合ニ於テハ左ノ方法ニ依ルヘシ

一　飛行機ノ主翼上尾翼トノ間ニ於ケル胴體ノ兩側ニ在リテハ上下ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ連記スヘシ

二　飛行機ノ主翼上尾翼トノ間ニ於ケル胴體ノ兩側ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ連記スヘシ

三　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ニ在リテハ側方及地上ヨリ認メ得ラルル如ク記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

四　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ヨリ等距離ノ上面ニ在リテハ船首ヲ左方トシ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

五　氣球ノ氣嚢ノ水平周圍ノ最大部附近ニ於ケル相反スル兩側ニ在リテハ側方及地上ヨリ認メ得ラルル如ク記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

第五十七條　第五十五條ニ規定スル場所ニ國籍記號ヲ連記スル方法左ノ如シ

一　飛行機及航空船ニ在リテハ最下尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ下面ノ左右兩部、最上尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ上面及方向舵ノ兩面ニ在リテハ方向舵ノ兩側ニ向ケ國籍記號ヲ連記スヘシ

二　氣球ニ在リテハ吊籠

第五十八條　第五十五條ニ規定スル場所ニ國籍記號及登錄記號ヲ連記スル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル外左ノ方法ニ依ルヘシ

一　飛行機及航空船ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ連記スヘシ

二　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

三　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ヨリ等距離ノ上面ニ在リテハ船首ヲ左方トシ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

四　氣球ノ氣嚢ノ水平周圍ノ最大部附近ニ於ケル相反スル兩側ニ在リテハ側方及地上ヨリ認メ得ラルル如ク記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

第五十九條　第五十五條ニ規定スル場所ニ國籍記號ヲ連記スル方法左ノ如シ

一　飛行機及航空船ニ在リテハ最下尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ下面ノ左右兩部、最上尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ上面及方向舵ノ兩面ニ在リテハ方向舵ノ兩側ニ向ケ國籍記號ヲ連記スヘシ

二　氣球ニ在リテハ吊籠

第六十條　第五十五條ニ規定スル場所ニ國籍記號及登錄記號ヲ連記スル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル外左ノ方法ニ依ルヘシ

一　飛行機及航空船ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ連記スヘシ

二　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

三　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ヨリ等距離ノ上面ニ在リテハ船首ヲ左方トシ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

四　氣球ノ氣嚢ノ水平周圍ノ最大部附近ニ於ケル相反スル兩側ニ在リテハ側方及地上ヨリ認メ得ラルル如ク記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

第六十一條　第五十五條ニ規定スル場所ニ國籍記號ヲ連記スル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル外左ノ方法ニ依ルヘシ

一　飛行機及航空船ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ連記スヘシ

二　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

三　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ヨリ等距離ノ上面ニ在リテハ船首ヲ左方トシ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

四　氣球ノ氣嚢ノ水平周圍ノ最大部附近ニ於ケル相反スル兩側ニ在リテハ側方及地上ヨリ認メ得ラルル如ク記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

第六十二條　第五十五條ニ規定スル場所ニ國籍記號ヲ連記スル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル外左ノ方法ニ依ルヘシ

一　飛行機及航空船ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ連記スヘシ

二　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

三　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ヨリ等距離ノ上面ニ在リテハ船首ヲ左方トシ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

四　氣球ノ氣嚢ノ水平周圍ノ最大部附近ニ於ケル相反スル兩側ニ在リテハ側方及地上ヨリ認メ得ラルル如ク記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

第六十三條　變更登錄ハ航空法第七條第三項ノ規定ニ依リ航空機ノ變更登錄ノ申請アリタルトキ之ヲ行フ

第六十四條　抹消登錄ハ航空法第八條第三項ノ規定ニ依リ航空機ノ抹消登錄ノ申請アリタルトキ之ヲ行フ

第六十五條　遞信大臣前條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ第十號書式ニ依ル航空機原簿ニ左ニ掲ケル事項ヲ登錄ス

一　航空機ノ種類
二　登錄番號
三　登錄年月日
四　國籍記號及登錄記號
五　堪航證明書番號
六　機體ノ製造者、製造番號及型式
七　發動機ヲ備フル航空機ニ在リテハ其ノ發動機ノ製造者、製造番號、型式、馬力及數
八　航空機ノ定置場
九　所有者ノ氏名又ハ名稱及住所

前項第一號ニ掲ケル航空機ノ種類ハ航空法第三十七條ノ定ムル所ニ依ル

第六十六條　新規登錄申請書ニハ所有者ノ戶籍抄本又ハ之ニ準スヘキ書面ヲ添附スヘシ但シ航空機ノ所有者カ會社其ノ他ノ法人ナルトキハ登錄申請書ニ會名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員、會社以外ノ法人ニ在リテハ其ノ代表者ノ全員ノ戶籍抄本又ハ之ニ準スヘキ書面及會社其ノ他ノ法人ノ設立登錄ノ謄本ヲ添附スヘシ

第六十七條　登錄證明書ヲ返付スヘキ場合ニ於テ之ヲ返付セサルトキハ遞信大臣ハ官報ニ公告シ登錄證明書ヲ無效トスルコトヲ得

第六十八條　航空機ノ國籍記號ハ羅馬字ノ大文字ヲ以テ之ヲ表示ス

第六十九條　航空機ノ登錄記號ハ羅馬字ノ大文字四個ヲ以テ之ヲ表示ス

第七十條　登錄シタル航空機ノ所有者ハ當該航空機ニ其ノ國籍記號及登錄記號ヲ附スヘシ

第七十一條　航空機ノ定置場ニ於テ之ヲ表示スヘキ國籍記號及登錄記號ハ當該航空機ニ付何人ニモ容易ニ識別シ得ヘキ樣明瞭ニ且永久的ニ附スヘシ

第七十二條　國籍記號及登錄記號ハ當該航空機ノ主翼及尾翼ノ上面及下面ニ附スヘシ但シ飛行機及航空船ニ在リテハ主翼及尾翼ノ上面及下面ノ外胴體ノ兩側ニ附スヘシ

第七十三條　國籍記號及登錄記號ハ當該航空機ノ主翼及尾翼ノ上面及下面ニ在リテハ最下尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ上面及方向舵ノ兩面ニ在リテハ最上尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ上面及方向舵ノ兩面ニ附スヘシ

第七十四條　登錄證明書ヲ亡失シタルトキハ航空機所有者ハ遅滯ナク事由ヲ具シ遞信大臣ニ申請スヘシ

第七十五條　第七十三條ニ規定スル場所ニ國籍記號及登錄記號ヲ連記スル方法左ノ如シ

一　飛行機及航空船ニ在リテハ最下尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ下面ノ左右兩部、最上尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ上面及方向舵ノ兩面ニ在リテハ方向舵ノ兩側ニ向ケ國籍記號ヲ連記スヘシ

二　氣球ニ在リテハ吊籠

第七十六條　第七十三條ニ規定スル場所ニ國籍記號及登錄記號ヲ連記スル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル外左ノ方法ニ依ルヘシ

一　飛行機及航空船ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ連記スヘシ

二　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

三　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ヨリ等距離ノ上面ニ在リテハ船首ヲ左方トシ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

四　氣球ノ氣嚢ノ水平周圍ノ最大部附近ニ於ケル相反スル兩側ニ在リテハ側方及地上ヨリ認メ得ラルル如ク記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

第七十七條　第七十三條ニ規定スル場所ニ國籍記號ヲ連記スル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル外左ノ方法ニ依ルヘシ

一　飛行機及航空船ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ連記スヘシ

二　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ニ在リテハ國籍記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

三　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ヨリ等距離ノ上面ニ在リテハ船首ヲ左方トシ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

四　氣球ノ氣嚢ノ水平周圍ノ最大部附近ニ於ケル相反スル兩側ニ在リテハ側方及地上ヨリ認メ得ラルル如ク記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號トヲ各一箇ヲ連記スヘシ

第七十八條　前條ノ規定ニ依リ申請書ニ添附スヘキ書面ノ內容前後同一ナルトキ又同シ

第七十九條　登錄證明書ヲ返付スヘキ場合ニ於テ之ヲ返付セサルトキハ遞信大臣ハ官報ニ公告シ登錄證明書ヲ無效トスルコトヲ得

第八十條　航空機ノ檢査ハ航空法第八條第三項ノ規定ニ依リ航空機ノ變更登錄ノ申請アリタルトキ之ヲ行フ

第八十一條　抹消登錄ハ航空法第八條第三項ノ規定ニ依リ航空機ノ抹消登錄ノ申請アリタルトキ之ヲ行フ

第八十二條　遞信大臣檢査ヲ行フ場合ニ於テハ檢査ヲ受クヘキ者又ハ其ノ代理人之ニ立會ヒ當該官吏ノ要求ニ應シ堪航證明書、登錄證明書、航空日誌其ノ他檢査ニ必要ナル書類ヲ檢閱ニ供スヘシ

第八十三條　航空機ノ檢査ハ左ノ四種トス

一　製造檢査
二　特別檢査
三　定期檢査
四　臨時檢査

第八十四條　製造檢査ハ航空法第五條第一項ノ規定ニ依リ航空機ノ設計、材料、部分品、技功及製品ニ付檢査ノ申請アリタルトキニ之ヲ行フ

第八十五條　特別檢査ハ航空法第五條第二項ノ規定ニ依リ耐航證明書ヲ有セサル航空機ニ付檢査ノ申請アリタルトキニ之ヲ行フ

第八十六條　定期檢査ハ耐航證明書ノ有效期間延長ノ爲檢査ノ申請アリタルトキニ之ヲ行フ

第八十七條　臨時檢査ハ左ノ各號ノ場合ニ檢査ノ申請アリタルトキニ之ヲ行フ

一　耐航證明書ヲ航空機ノ構造又ハ發動機ニ變更ヲ加ヘタルトキ

二　耐航證明書ヲ航空機ノ裝備ニ變更ヲ加ヘタルトキ

三　耐航證明書ヲ航空機ニ裝備セル發動機ヲ整備スルトキ

四　耐航證明書ヲ航空機ニ裝備セル發動機ニ使用スル「プロペラ」ヲ換備「プロペラ」ヲ整備スルトキ

五　耐航證明書ヲ航空機ニ裝備セル發動機ニ使用スル「プロペラ」ヲ換備「プロペラ」ヲ換備シタルトキ

前項各號ノ場合ノ外遞信大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキ臨時ニ航空機ノ檢査ヲ行フ

第八十八條　航空機ノ檢査ハ製造檢査ニ付テハ航空機ヲ製造スル者ヨリ、其ノ他ノ檢査ニ付テハ航空機所有者ヨリ之ヲ申請スヘシ

第八十九條　堪航證明書ノ更新ヲ申請スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ之ヲ申請スヘシ

第九十條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航證明書ヲ返付スヘシ

第九十一條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第九十二條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ第十二號書式ニ依リ堪航檢査申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ遞信大臣ニ提出スヘシ

一　耐航證明書

第九十三條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第九十四條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第九十五條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第九十六條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第九十七條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第九十八條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第九十九條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百一條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百二條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百三條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百四條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百五條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百六條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百七條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百八條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百九條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百十條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百十一條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百十二條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百十三條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百十四條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百十五條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百十六條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百十七條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百十八條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百十九條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百二十條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百二十一條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百二十二條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百二十三條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百二十四條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百二十五條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百二十六條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百二十七條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百二十八條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百二十九條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空機ノ檢査ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ堪航檢査ヲ受ケタル場合ニ於テハ第十一號書式ニ依リ堪航證明書ヲ交付ス

第百三十條　堪航證明書ヲ更新スル場合ニ於テハ航空

第六十一條　航空機ニ乘組マシムヘキ乘員ノ種類及定員ハ第一號表及第二號表ニ依ル

第六十二條　航空機乘員技倆證明書ハ左ノ九種トス

一　等飛行機操縱士技倆證明書
二　等飛行機操縱士技倆證明書
一　等航空船操縱士技倆證明書
二　等航空船操縱士技倆證明書
三　等航空船操縱士技倆證明書
自由氣球操縱士技倆證明書
一　等航空士技倆證明書
二　等航空士技倆證明書
航空機機關士技倆證明書

技倆證明書ハ第十二號書式ニ依ル

第六十三條　航空免狀ハ左ノ九種トス

一　等飛行機操縱士免狀
二　等飛行機操縱士免狀
一　等航空船操縱士免狀
二　等航空船操縱士免狀
三　等航空船操縱士免狀
自由氣球操縱士免狀
一　等航空士免狀
二　等航空士免狀
航空機機關士免狀

航空免狀ハ第十三號書式ニ依ル

第六十四條　技倆證明書ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第十四號書式ニ依ル申請書ニ戸籍抄本（戸籍謄本若ハ戸籍抄本ニ代フヘキ市町村長ノ證明書ヲ含ム以下同シ）及最近撮影シタル寫眞（サイエスト形）二葉ヲ添附シ運信大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第六十五條　運信大臣前條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ實地試驗及學科試驗ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ技倆證明書ヲ交付ス

第六十六條　技倆證明書ノ受有者ハ第三號表ニ依リ技倆證明書ニ對應スル航空免狀ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

第六十七條　前條ノ申請ヲ爲サムトスル者ハ及最近撮影シタル寫眞（サイエスト形）二葉ヲ添附シ運信大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第六十八條　運信大臣前條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ實地試驗若ハ學科試驗ノ實施ヲ定メ地方長官ニ通知シ且其ノ實施ノ日時場所ヲ官報ヲ以テ公告ス

第六十九條　技倆證明書ノ受有者ハ其ノ氏名又ハ名稱及住所ニ變更アリタルトキハ十日以内ニ運信大臣ニ其ノ旨ヲ申出ツヘシ

第七十條　技倆證明書ノ受有者ハ其ノ技倆證明書ヲ他人ニ譲渡シ又ハ貸與スルコトヲ得ス

第七十一條　技倆證明書ノ受有者ハ其ノ技倆證明書ヲ紛失シ又ハ滅失シタルトキハ運信大臣ニ其ノ旨ヲ申出テ再交付ヲ受クヘシ

第七十二條　技倆證明書ノ受有者ハ其ノ氏名又ハ名稱ニ變更アリタルトキハ十日以内ニ運信大臣ニ其ノ旨ヲ申出ツヘシ

第七十三條　航空免狀ノ受有者ハ其ノ氏名又ハ名稱ニ變更アリタルトキハ十日以内ニ運信大臣ニ其ノ旨ヲ申出ツヘシ

第七十四條　航空免狀ノ受有者ハ其ノ住所ニ變更アリタルトキハ十日以内ニ運信大臣ニ其ノ旨ヲ申出ツヘシ

第七十五條　航空機乘員ハ航空機乘員タル資格ヲ有スル航空機乘員（機關士及機關長ヲ除ク）ニ對シ航空免狀ヲ以テ定期ニ又ハ隨時ニ檢査ヲ行フ

第七十六條　運信大臣必要アリト認ムルトキハ航空機乘員ニ對シ臨時ニ體格檢査、實地試驗又ハ學科試驗ヲ行フコトアルヘシ

第七十七條　航空機乘員ハ實地試驗及學科試驗ヲ行フ爲航空機乘員ノ實地試驗若ハ學科試驗ヲ拒ミ、妨ケ又ハ怠避シタルトキ

航空中航空機ニ依リ人ヲ殺傷シ、物件ヲ損壞シ其ノ他重大ナル事故ヲ惹起シタルトキ

公安ヲ害シ又ハ害スルノ行爲ヲ爲シ又ハ爲サントシタルトキ

本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

前項ノ規定ニ依リ就業ヲ制限又ハ停止セラレタル者ハ運信大臣ニ提出スヘシ

第七十九條　技倆證明書ノ受有者ハ其ノ本籍又ハ氏名ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク技倆證明書ニ其ノ變更ヲ記載スヘキ旨ヲ運信大臣ニ申請スヘシ

第八十條　航空機乘員ハ左ノ場合ニ於テハ運信大臣ニ其ノ旨ヲ申出ツヘシ

一　航空機乘員タルノ業務ヲ廢シタルトキ

二　航空機乘員タルノ業務ヲ休止シ又ハ再ヒ之ヲ開始シタルトキ

第八十一條　航空機乘員ハ航空免狀ヲ亡失シ又ハ滅失シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ運信大臣ニ屆出ツヘシ

第八十二條　技倆證明書ヲ又ハ航空免狀ヲ亡失シ若ハ毀損シタル場合ニ於テ其ノ再交付ヲ受ケムトスルトキハ事由ヲ具シ運信大臣ニ之ヲ申請スヘシ

第八十三條　航空免狀ノ受有者廢業シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ具シ航空免狀ヲ運信大臣ニ返付スヘシ

第八十四條　航空免狀ノ受有者死亡シタルトキハ其ノ遺族又ハ當該免狀ノ保管者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ具シ運信大臣ニ屆出テ且航空免狀ヲ返付スヘシ

第八十五條　技倆證明書若ハ航空免狀亡失ノ屆出アリタルトキ又ハ航空免狀ヲ返付スヘキ場合ニ於テ返付セサルトキハ運信大臣ハ當該技倆證明書又ハ航空免狀ノ無效ナルコトヲ官報ニ公告ス

第六章　航空

第八十六條　飛行場ヲ設從セムトスル者ハ許可申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ添附シ運信大臣ニ之ヲ提出シ且當該飛行場豫定地ヲ管轄スル地方長官ニ其ノ副本ヲ提出スヘシ

一　設從ノ目的
二　經營者ノ氏名又ハ名稱及住所
三　飛行場竝豫定地所有者ノ氏名又ハ名稱及住所
四　飛行場名及所在地名
五　陸上、水上又ハ水陸兩用飛行場ノ別
六　面積及地形
七　實測圖（飛行場豫定地ノ境界ヨリ外方五百メートル以内ニ於テ建物、煙突、電柱、電線其ノ他航空ノ障碍ト認メラルヘキモノ及附近交通圖

八　恒風位
九　設從期間

第八十七條　飛行場ノ設從セムトスル者ハ許可ヲ受ケヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第八十八條　前項ノ使用料ハ飛行場ニ之ヲ掲示スヘシ

第八十九條　地方長官必要アリト認ムルトキハ飛行場ノ經營者ニ對シ前條ノ使用料ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第九十條　地方長官保安上必要アリト認ムルトキハ飛行場ノ經營者ニ對シ飛行場使用ノ制限ヲ命シ又ハ公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營者ニ對シ航空ニ必要ナル設備ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十一條　地方長官航空法第二十四條第二項ノ出願ヲ許可シタルトキハ出願者ニ許可證ヲ交付シ且其ノ旨土地又ハ物件ノ占有者ニ通知スヘシ其ノ通知ヲ爲シ難キトキハ其ノ旨公告スヘシ

第九十二條　前條ノ規定ニ依リ許可證ノ交付ヲ受ケタル者他人ノ土地ニ立入リ若ハ障礙ヲ爲ルヘキ物件ヲ除去シ又ハ必要ナル土地若ハ物件ヲ使用セムトスルトキハ當該許可證ヲ携帶スヘシ

第九十三條　航空法第二十五條第二項ノ規定ニ依リ補償金額ノ決定ヲ求メムトスル者ハ相手方トノ交渉顚末ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スヘシ

第九十四條　地方長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ寫ヲ相手方ニ交付シ期限ヲ定メ答辯書ヲ提出セシムヘシ

第九十五條　前條第二項ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定シタル期限内ニ答辯書ノ提出ナキトキ又ハ申請書寫ノ受取ヲ拒ミタルトキハ地方長官ハ申請書ノミニ依リ補償金額ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第九十六條　地方長官補償金額ノ決定ヲ爲シタルトキハ決定書ニ理由ヲ附シ之ヲ申請者及相手方ニ交付スヘシ

第九十七條　航空法第二十三條第二十四條第二十七條第一項及第二十八條ニ規定スル行政官廳ハ地方長官トス

第九十八條　公共ノ用ニ供セサル飛行場ヲ廢止セムトスルトキハ飛行場ノ經營者ハ豫メ其ノ旨ヲ運信大臣及當該飛行場所在地ヲ管轄スル地方長官ニ屆出ツヘシ

第九十九條　公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營者ハ飛行場ノ使用ニ對シ使用料ヲ請求セムトスルトキハ其ノ種別及金額ヲ定メ地方長官ニ屆出ツヘシ

第百條　飛行場ニハ別ニ定ムル所ニ依リ風向標示設備及信號設備ヲ爲スヘシ

第百一條　公共ノ用ニ供スル飛行場ニハ別ニ定ムル所ニ依リ航空標識ヲ設從スヘシ

第百二條　航空法第二十九條但書ニ規定スル行政官廳ハ地方長官トス

第百三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場所ニ於テ故ナク航空機ノ運航ヲ爲スコトヲ得ス

一　太皇太后、皇太后、皇后、皇太子、皇太子妃、皇太孫、皇太孫妃又ハ攝政ノ御所ノ上空

二　天皇、太皇太后、皇太后、皇后、皇太子、皇太子妃、皇太孫、皇太孫妃又ハ攝政ノ陵墓ノ上空

第百四條　皇居、禁苑、離宮、神宮又ハ皇陵ハ空中ヨリ之ヲ撮影スルコトヲ得ス

第百五條　航空機ハ市街地ノ上空ニ在リテハ故障、避難其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ著陸ノ必要アル場合ニ於テ市街地外ニ安全ニ著陸シ得ル地ノ上空ニ在リテハ保ツニ非サレハ航空ニ支障ヲ及ホサヽル方法ニ依リ降下スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

第百六條　航空機ハ市街地ノ上空ニ在リテハ第百五條ニ規定スル場合ヲ除ク外火藥類ヲ搭載シテ航空スルコトヲ得ス

第百七條　航空機ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外火藥類ヲ搭載シテ航空スルコトヲ得ス

第百八條　細砂及水以外ノ「バラスト」又ハ危險ヲ生スルノ虞アル物件ハ航空機ヨリ之ヲ投下スルコトヲ得ス

第百九條　曉技航空、興行航空又ハ觀覽航空ヲ爲サムトスルトキハ其ノ主催者ハ航空ノ日時場所其ノ他計畫ノ詳細ヲ具シ實施豫定

者ニ航空免狀ヲ交付ス

第百十一條　技倆證明書ノ受有者ハ第百四條ノ禁止ニ違反シタルトキハ其ノ技倆證明書ヲ取上ケ又ハ期間ヲ定メ其ノ技倆證明書ノ效力ヲ停止スルコトアルヘシ

第百十二條　航空免狀ノ受有者ハ第百四條ノ禁止ニ違反シタルトキハ其ノ航空免狀ヲ取上ケ又ハ期間ヲ定メ其ノ航空免狀ノ效力ヲ停止スルコトアルヘシ

第百十三條　航空機乘員ハ航空機乘員タル資格ヲ有スル航空機乘員（機關士及機關長ヲ除ク）ニ對シ航空免狀ヲ以テ定期ニ又ハ隨時ニ檢査ヲ行フ

第百十四條　運信大臣必要アリト認ムルトキハ航空機乘員ニ對シ臨時ニ體格檢査、實地試驗又ハ學科試驗ヲ行フコトアルヘシ

第百十五條　航空機乘員ハ實地試驗及學科試驗ヲ行フ爲航空機乘員タルノ資格若ハ學科試驗ヲ拒ミ、妨ケ又ハ怠避シタルトキ

航空中航空機ニ依リ人ヲ殺傷シ、物件ヲ損壞シ其ノ他重大ナル事故ヲ惹起シタルトキ

公安ヲ害シ又ハ害スルノ行爲ヲ爲シ又ハ爲サントシタルトキ

本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

前項ノ規定ニ依リ就業ヲ制限又ハ停止セラレタル者ハ運信大臣ニ提出スヘシ

第百十六條　技倆證明書ノ受有者ハ其ノ本籍又ハ氏名ニ變更アリタルトキハ十日以内ニ運信大臣ニ其ノ旨ヲ申出ツヘシ

第百十七條　技倆證明書ノ受有者ハ其ノ技倆證明書ヲ他人ニ譲渡シ又ハ貸與スルコトヲ得ス

第百十八條　技倆證明書ノ受有者ハ其ノ技倆證明書ヲ紛失シ又ハ滅失シタルトキハ運信大臣ニ其ノ旨ヲ申出テ再交付ヲ受クヘシ

第百十九條　技倆證明書ノ受有者ハ其ノ氏名又ハ名稱ニ變更アリタルトキハ十日以内ニ運信大臣ニ其ノ旨ヲ申出ツヘシ

第百二十條　技倆證明書ノ受有者ハ第百四條ノ禁止ニ違反シタルトキハ其ノ技倆證明書ヲ取上ケ又ハ期間ヲ定メ其ノ技倆證明書ノ效力ヲ停止スルコトアルヘシ

第百二十一條　航空免狀ノ受有者ハ航空免狀ヲ亡失シ又ハ滅失シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ運信大臣ニ屆出ツヘシ

第百二十二條　技倆證明書又ハ航空免狀ヲ亡失シ若ハ毀損シタル場合ニ於テ其ノ再交付ヲ受ケムトスルトキハ事由ヲ具シ運信大臣ニ之ヲ申請スヘシ

第百二十三條　航空免狀ノ受有者廢業シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ具シ航空免狀ヲ運信大臣ニ返付スヘシ

第百二十四條　航空免狀ノ受有者死亡シタルトキハ其ノ遺族又ハ當該免狀ノ保管者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ具シ運信大臣ニ屆出テ且航空免狀ヲ返付スヘシ

第百二十五條　技倆證明書若ハ航空免狀亡失ノ屆出アリタルトキ又ハ航空免狀ヲ返付スヘキ場合ニ於テ返付セサルトキハ運信大臣ハ當該技倆證明書又ハ航空免狀ノ無效ナルコトヲ官報ニ公告ス

第七章　航空

第百二十六條　航空法第二十九條但書ニ規定スル行政官廳ハ地方長官トス

第百二十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場所ニ於テ故ナク航空機ノ運航ヲ爲スコトヲ得ス

一　太皇太后、皇太后、皇后、皇太子、皇太子妃、皇太孫、皇太孫妃又ハ攝政ノ御所ノ上空

二　天皇、太皇太后、皇太后、皇后、皇太子、皇太子妃、皇太孫、皇太孫妃又ハ攝政ノ陵墓ノ上空

第百二十八條　皇居、禁苑、離宮、神宮又ハ皇陵ハ空中ヨリ之ヲ撮影スルコトヲ得ス

第百二十九條　航空機ハ市街地ノ上空ニ在リテハ故障、避難其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ著陸ノ必要アル場合ニ於テ市街地外ニ安全ニ著陸シ得ル地ノ上空ニ在リテハ保ツニ非サレハ航空ニ支障ヲ及ホサヽル方法ニ依リ降下スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

第百三十條　航空機ハ市街地ノ上空ニ在リテハ第百二十七條ニ規定スル場合ヲ除ク外火藥類ヲ搭載シテ航空スルコトヲ得ス

第百三十一條　航空機ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外火藥類ヲ搭載シテ航空スルコトヲ得ス

第百三十二條　細砂及水以外ノ「バラスト」又ハ危險ヲ生スルノ虞アル物件ハ航空機ヨリ之ヲ投下スルコトヲ得ス

第百三十三條　曉技航空、興行航空又ハ觀覽航空ヲ爲サムトスルトキハ其ノ主催者ハ航空ノ日時場所其ノ他計畫ノ詳細ヲ具シ實施豫定

期日ノ十日前迄ニ地方長官ニ其ノ許可ヲ申請スヘシ

第百十條　航空距離五百キロメートル以上ノ無着陸航空ヲ爲サムトスルトキハ其主催者又ハ當該航空機ノ操縦士ハ航空ノ目的、日時、區域、使用航空機其ノ他計畫ノ詳細ヲ具シ官施設定期日ノ五日前迄ニ届出ツヘシ

第百十一條　航空法第十二條ノ規定ニ依ル試験航空又ハ同法第十九條ノ規定ニ依ル運航練習ハ公共ノ用ニ供セサル飛行場、航空法第二十九條但書及本令第百二條ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場所並其ノ周圍十キロメートル以内ノ場所ノ上空ニ於テノミ之ヲ行フコトヲ得

航空法第十二條ノ規定ニ依ル試験航空又ハ同法第十九條ノ規定ニ依ル運航練習ハ特ニ遭信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限リ前項ノ規定ニ拘ラス前項ノ區域ヲ超エ又ハ公共ノ用ニ供スル飛行場及其ノ周圍ノ上空ニ於テモ之ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケムトスル者ハ航空ノ目的、日時、區域、使用航空機、操縦士ノ氏名又ハ航空機操縦ニ關スル經歴、離着陸場其ノ他計畫ノ詳細ヲ具シ實施豫定期日ノ十五日前迄ニ遭信大臣ニ申請書ヲ提出スヘシ

第百十二條　地方長官ハ保安上必要アルトキハ場所ヲ指定シテ航空ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

第百十三條　故障、避難其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ陸上ニ在リテハ飛行場ニ非サル場所、水上ニ在リテハ命令ヲ以テ禁止スル場所ニ著陸シタルトキハ操縦者又ハ同乗者ハ其ノ理由ヲ具シ遅滞ナク最寄警察官署又ハ最寄警察官吏ニ申告スヘシ

第百十四條　航空機ニ依リ人ヲ殺傷シ又ハ物件ヲ損壊シタルトキハ操縦者又ハ同乗者ハ其ノ狀況ヲ具シ遅滞ナク最寄警察官署又ハ最寄警察官吏ニ申告スヘシ

第百十五條　國際航空條約ニ加盟セサル外國ノ航空機ヲ航空ノ用ニ供セムトスル者ハ左ノ事項ノ具シ遅信大臣ニ許可申請書ヲ提出スヘシ

一　航空機ノ國籍及標識
二　航空ノ目的
三　出發地、到著地及經過地
四　航空機所屬國ノ下付シ若ハ有效ト認ムル堪航證明書又ハ之ニ代ルヘキ書類ノ寫
五　航空狀況又ハ之ニ代ルヘキ書類ノ寫

第八章　運送

第百十六條　航空機ニ依ル運送業ヲ營マムトスル者ハ許可申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類及航空線路圖ヲ添附シ遭信大臣ニ之ヲ提出スヘシ

一　航空線路（起點、中間點着陸地及終點）
二　旅客、貨物又ハ郵便物運送ノ別
三　發著日時表
四　使用航空機ノ種類、型式、數及貨客積載量
五　航空機乘員ノ種類及數
六　運賃率
七　本店、支店及出張所ノ所在地
八　航空運送業ニ充ツヘキ資金總額及其ノ出資方法
九　事業開始後三年度間ノ收支豫算
十　事業開始豫定期日
十一　運送ニ關スル規程
十二　事業開始後三年度間ノ收支豫算
十三　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

運送業ヲ營マムトスル者力會社其ノ他ノ法人ナルトキハ前項ノ書類ノ外定款又ハ之ニ準スヘキ規程ノ寫ヲ許可申請書ニ添附スヘシ

第百十七條　航空機ニ依ル運送業ノ許可ヲ受ケタル者事業ヲ開始セムトスルトキハ事業開始十五日前迄ニ其ノ日時ヲ遭信大臣ニ届出ツヘシ

第百十八條　航空運送業者ハ其ノ使用セムトスル航空機及乘員ヲ定メ豫メ遭信大臣ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第百十九條　航空運送業者ハ事業期ノ定ナキトキハ每年一回財產目錄、貸借對照表、損益計算書及事業報告書ヲ遭信大臣ニ提出スヘシ

第百二十條　航空運送業者ハ航空運送ニ關シ其ノ原因ノ如何ヲ問ハス人ノ死傷又ハ貨物ノ滅失若ハ毀損ニ付損害賠償ノ責ニ任スヘシ

第百二十一條　航空運送業者第百十六條第一號乃至第七號又ハ第十一號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ遭信大臣ノ許可ヲ受ケサルヘカラス

第百二十二條　航空運送業者其ノ事業ヲ休止又ハ廢止セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク遭信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十三條　航空運送業者ハ遭信大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ事業ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得ス

第百二十四條　航空運送業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遭信大臣ハ事業ノ停止ヲ命シ又ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一　事業ヲ繼續スルニ堪ヘスト認ムルトキ
二　公安ヲ害スル慮アリト認ムルトキ
三　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ
四　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

第百二十五條　乘員ヲ合セ十人以上ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機ニシテ飛行距離二百六十キロメートル又ハ飛行距離二十五キロメートル超ユル水上飛行機ニシテ飛行距離二十五キロメートル超ユルモノ及一切ノ航空機ニ無線電信ノ施設ナクシテ之ヲ航空ノ用ニ供スル者ハ遭信大臣ノ許可ヲ受ケタルトキヘ此ノ限ニ在ラス

第九章　雜則

第百二十六條　航空ノ用ニ供スル航空機ニハ航空日誌ヲ備附クヘシ

前項ノ航空日誌ノ書式ハ別ニ之ヲ定ム

第百二十七條　航空機乘員ハ別ニ之ヲ定ムル所持シ所定ノ事項ヲ之ニ記入スヘシ

前項ノ手帖ノ書式ハ別ニ之ヲ定ム

第百二十八條　本令ニ規定スル地方長官ノ職務ハ東京府ニ在リテハ警視總監之ヲ行フ

附則

第百二十九條　本令ハ航空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第百三十條　大正十年陸軍省令第十一號航空機檢查規則及航空機操縦士免許規則ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第百三十一條　從前ノ規定ニ依リ交付シタル堪航證明書ハ本令施行後ニ於テモ其ノ有效期間滿了スル迄仍效力ヲ有ス

第百三十二條　從前ノ規定ニ依リ標示シタル機體、發動機又ハ「プロペラ」檢查濟記號ハ本令施行後ニ於テモ仍其ノ效力ヲ有ス

第百三十三條　從前ノ規定ニ依リ發行シタル檢查願ヲ提出シ本令施行ノ際尙其ノ檢查ヲ了セサルモノニ付テハ初度檢查願及特別檢查願ハ之ヲ本令ニ依ル特別檢查申請ト看做シ定期檢查願又ハ臨時檢查願ハ夫ノ之ヲ本令ニ依ル定期檢查申請又ハ臨時檢查申請ト看做ス

第百三十四條　從前ノ規定ニ依リ交付シタル一等又ハ二等飛行機操縦士免狀ハ本令施行ノ日ヨリ三月間仍其ノ效力ヲ有ス

前項ノ期間ヲ經過シタルトキハ前項ノ免狀ヲ受有スル者ハ遭滯ナク當該免狀ヲ遭信大臣ニ返付スヘシ

第百三十五條　從前ノ規定ニ依リ交付シタル一等又ハ二等飛行機操縦士免狀ヲ受有スル者本令施行ノ日ヨリ二月以內ニ申請ヲ爲ストキハ考査ヲ行ハスシテ其ノ免狀ニ相當スル技倆證明書及航空免狀ヲ交付ス

前項ノ規定ニ依リ技倆證明書及航空免狀ノ交付ヲ受ケタル者ハ從前ノ規定ニ依リ受有スル一等又ハ二等飛行機操縦士免狀ヲ遭滯ナク遭信大臣ニ返付スヘシ

第百三十六條　從前ノ規定ニ依リ交付シタル一等飛行機操縦士免狀ハ本令施行ノ日ヨリ三月間仍其ノ效力ヲ有ス

前項ノ期間ヲ經過シタルトキハ前項ノ免狀ヲ受有スル者ハ遭滯ナク當該免狀ヲ遭信大臣ニ返付スヘシ

第百三十七條　本令施行前地方長官ノ許可ヲ受ケ設置シタル飛行機離着陸場ニシテ本令施行後存續スルモノニ付テハ其ノ許可期間內仍從前ノ例ニ依ル

第百三十八條　本令施行ノ際現ニ航空運送業ヲ營ム者ハ本令施行後六月以內ニ限リ仍從前ノ例ニ依リ運送業ヲ營ムコトヲ得

第百三十九條　本令施行ノ際現ニ航空運送業ヲ營ム者ハ本令施行ノ日ヨリ二月以內ニ遭信大臣ニ本令ニ依リ許可ヲ申請スヘシ

第百四十條　本令施行ノ際現ニ遭信大臣ノ命令ニ依リ航空運送業ヲ營ム者ハ前二條ノ規定ニ拘ラス其ノ命令期間內本令ニ依リ運送業ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第二號表　飛行機乘員表

飛行距離	飛行機ノ種類	乘員ノ種類	免狀ノ種類	定員
晝間陸	貨物運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
百六十キロメートル以下	乘員ヲ併セ十人未滿ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
上飛行	乘員ヲ併セ十人以上ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
晝間海	貨物運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
百六十キロメートル以下	乘員ヲ併セ十人未滿ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
上飛行	乘員ヲ併セ十人以上ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
夜間	貨物運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
飛行	乘員ヲ併セ十人未滿ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
百六十キロメートル以下	乘員ヲ併セ十人以上ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
晝間陸	貨物運送督業用飛行機	操縦士	二等航空機關士	一
百六十キロメートル超ユル	乘員ヲ併セ十人未滿ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	二等航空機關士	一
上飛行	乘員ヲ併セ十人以上ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	二等航空機關士	一
晝間海	貨物運送督業用飛行機	操縦士	二等航空機關士	一
百六十キロメートル超ユル	乘員ヲ併セ十人未滿ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	二等航空機關士	一
上飛行	乘員ヲ併セ十人以上ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	二等航空機關士	一
夜間	貨物運送督業用飛行機	操縦士	二等航空機關士	一
飛行	乘員ヲ併セ十人未滿ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	二等航空機關士	一
百六十キロメートル超ユル	乘員ヲ併セ十人以上ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	二等航空機關士	一
晝間陸	貨物運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
百六十キロメートル超ユル	乘員ヲ併セ十人未滿ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
上飛行	乘員ヲ併セ十人以上ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
夜間	貨物運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
飛行	乘員ヲ併セ十人未滿ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
百六十キロメートル超ユル	乘員ヲ併セ十人以上ノ人員ヲ搭載シ得ル運送督業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一

備考

一　飛行距離トハ無着陸ノ一飛行距離ヲ謂フ

二　夜間トハ日沒後一時間ヨリ日出前一時間迄ヲ謂フ

三　海上飛行トハ海岸ヨリ百キロメートルヲ超ユル海上ニ於ケル飛行ヲ謂フ

四　一飛行中ニ陸上及海上ノ飛行ヲ包含スルトキハ該飛行ハ兩者ノ飛行距離ノ長短ヲ比較シ其ノ長距離ナル飛行ト看做シ又兩者同一距離ナルトキハ之ヲ海上飛行ト看做ス

五　晝間及夜間ニ亙ルモノハ之ヲ夜間飛行ト看做ス

六　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ操縦士及航空士各一名ノ代リニ兩者ノ免狀ヲ併有スル者一名ヲ搭乘セシムルコトヲ得

（一）晝間陸上飛行

（二）飛行距離五百キロメートル以下ノ晝間海上飛行

（三）特ニ遭信大臣ノ指定シタル航空路ニ於ケル夜間飛行

操縦士及航空士ヲ併セ搭乘セシムルコトヲ得

七　航空士各一名ノ代リニ兩者ノ免狀ヲ併有スル者一名ヲ搭乘セシムルコトヲ得

飛行距離二十五キロメートル未滿ノ夜間飛行ニ在リテハ航空士ヲ搭乘セシムルコトヲ要セス

八　特ニ遭信大臣ノ指定シタル航空照明設備アル航空路ニ於テ飛行距離五百キロメートル以下ノ夜間飛行ニ從事スル貨物運送督業用飛行機ニハ機關士ヲ搭乘セシメサルコトヲ得

航空船乘員表

航空船ノ種類	乘員ノ種類	免狀ノ種類	定員
容積六千立方メートル未滿ノ航空船	操縱士	一等航空船操縱士 二等航空船操縱士 航空機關士	一 一 一
	裝備機關ノ數ニ同シ		
容積六千立方メートル以上ノ航空船	操縱士	一等航空船操縱士 二等航空船操縱士 航空機關士	一 一 一
	裝備機關ノ數ニ同シ		
容積二萬立方メートル以上ノ航空船	操縱士	一等航空船操縱士 二等又ハ三等航空船操縱士 航空機關士	一 一 一
	裝備機關ノ數ニ同シ		

第三號表

技倆證明書及航空免狀對應表

技倆證明書	航空免狀
一等飛行機操縱士技倆證明書	一等飛行機操縱士免狀 二等飛行機操縱士免狀
二等飛行機操縱士技倆證明書	二等飛行機操縱士免狀
一等航空船操縱士技倆證明書	一等航空船操縱士免狀 二等航空船操縱士免狀 三等航空船操縱士免狀 自由氣球操縱士免狀
二等航空船操縱士技倆證明書	二等航空船操縱士免狀 三等航空船操縱士免狀 自由氣球操縱士免狀
三等航空船操縱士技倆證明書	三等航空船操縱士免狀 自由氣球操縱士免狀
自由氣球操縱士技倆證明書	自由氣球操縱士免狀
一等航空技倆證明書	一等航空士免狀 二等航空士免狀
二等航空技倆證明書	二等航空士免狀
航空機關士技倆證明書	航空機關士免狀

第一號書式

航空機製造檢查申請書

航空機製造檢查相受度候ニ付關係書類相添ヘ此段申請候也

一　設計主任者氏名

二　製造擔當者氏名

三　製造場所

四　檢査ヲ受ケムトスル場所及時期

機　種

發　動　機

「プロペラ」

……

年　月　日　　住所　　氏　　名印

第二號書式

航空機特別檢查申請書

左記航空機ノ特別檢查相受度候ニ付關係書類相添ヘ此段申請候也

檢査ヲ受ケムトスル場所及時期

年　月　日　　住所　　氏　　名印

遞信大臣宛

記

一　航空機ノ種類及型式

備考　航空機ノ種類ニ付テハ飛行機、航空船、氣球及凧ノ區別ヲ記載スヘシ

第三號書式

航空機定期檢查申請書

左記航空機ノ定期檢查相受度候ニ付此段申請候也

檢査ヲ受ケムトスル場所及時期

年　月　日　　住所　　氏　　名印

遞信大臣宛

記

一　登錄證明書番號（未登錄ノ航空機ニ在リテハ其ノ旨ヲ記入スルコト）

二　登錄記號

三　航空機ノ種類及型式

四　前回檢查後ニ於ケル航空時間及主要航空記錄

五　臨時檢查ヲ受クルニ付修繕又ハ改造ヲ爲シタルトキハ其ノ仕樣概要

備考　航空機ノ種類ニ付テハ飛行機、航空船、氣球及凧ノ區別ヲ記載スヘシ

第四號書式ノ一

航空機臨時檢查申請書

左記航空機ノ臨時檢查相受度候ニ付此段申請候也

檢査ヲ受ケムトスル場所及時期

年　月　日　　住所　　氏　　名印

遞信大臣宛

記

一　登錄證明書番號（未登錄ノ航空機ニ在リテハ其ノ旨ヲ記入スルコト）

二　登錄記號

三　航空機ノ種類及型式

四　前回檢查後ニ於ケル航空時間及主要航空記錄

五　臨時檢查ヲ受クルニ付修繕又ハ改造ヲ爲シタルトキハ其ノ仕樣概要

備考　航空機ノ種類ニ付テハ飛行機、航空船、氣球及凧ノ區別ヲ記載スヘシ

第四號書式ノ二

發動機臨時檢查申請書

左記發動機ノ臨時檢查相受度候ニ付此段申請候也

檢査ヲ受ケムトスル場所及時期

年　月　日　　住所　　氏　　名印

遞信大臣宛

記

一　裝備航空機ノ種類及型式

二　發動機檢查濟記號（檢查濟ノ記號ヲ有セサル發動機ニ在リテハ其ノ旨ヲ記入スルコト）

三　發動機ノ製造者、製造番號、型式及馬力

四　前回檢查後ニ於ケル使用時間

五　臨時檢查ヲ受クルニ付修繕又ハ改造ヲ爲シタルトキハ其ノ仕樣概要

備考　裝備航空機ノ種類ニ付テハ飛行機、航空船、氣球及凧ノ區別ヲ記載スヘシ

第四號書式ノ三

航空機用「プロペラ」臨時檢查申請書

左記航空機用「プロペラ」ノ臨時檢查相受度候ニ付此段申請候也

檢査ヲ受ケムトスル場所及時期

年　月　日　　住所　　氏　　名印

遞信大臣宛

記

一　裝備航空機ノ種類及型式

二　裝備發動機ノ型式及馬力

三　裝備發動機ノ「プロペラ」軸ノ回轉數

四　「プロペラ」ノ型式

五　「プロペラ」ノ翅數

六　「プロペラ」ノ「ピッチ」

備考　裝備航空機ノ種類ニ付テハ飛行機、航空船、氣球及凧ノ區別ヲ記載スヘシ

第五號書式

150ミリメートル

航空機ノ種類及型式	
堪航證明書番號	第　號
國籍及登錄記號	
機體檢查濟記號	
發動機ノ型式及馬力數	
用途	
積載座席數	乘員　人／旅客　人
載貨物	瓩
載油類	瓩
有效期間	自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日
所有者氏名	
制限事項	

100ミリメートル

遞信省印

第六號書式ノ一（機體檢查濟記號）

1234

ミリメートル 7

ミリメートル 5

第六號書式ノ二（發動機檢查濟記號）

123

ミリメートル 3

ミリメートル 3

第七號書式

航空機製造（何國ヨリ輸入等）致候ニ付左記事項航空機原簿ニ新規登錄相成度戶籍抄本（及登記謄本）相添ヘ此段申請候也

年　月　日

住所
氏
名印

遞信大臣宛

記

一　航空機ノ種類
二　堪航證明書番號
三　機體
　製造者
　製造番號
　型式
四　發動機
　製造者
　製造番號
　型式
　馬力
　數

檢合

ミリメートル 5

ミリメートル 5

第六號書式ノ三（プロペラ）檢查濟記號

五　航空機ノ定員

六　所有者ノ氏名又ハ名稱及住所

備考　航空機ノ種類ニ付テハ飛行機、航空船、氣球及凧ノ區別ヲ記載スヘシ

第八號書式　航空機變更登錄申請書

一　登錄番號
二　登錄記號
三　航空機ノ種類
四　所有者ノ氏名又ハ名稱及住所

右航空機ニ付左記事項航空機原簿ニ變更登錄相成度（寶買證書相添ヘ等）此段申請候也

年　月　日

住所
氏
名印

遞信大臣宛

記

一　所有者　新
　　舊
二　所有者ノ住所　新
　　舊
三　……　新
　　舊

備考　航空機ノ種類ニ付テハ飛行機、航空船、氣球及凧ノ區別ヲ記載スヘシ

第九號書式　航空機抹消登錄申請書

一　登錄番號
二　登錄記號
三　航空機ノ種類
四　所有者ノ氏名又ハ名稱及住所

右航空機今般解撤（破壞等）致候ニ付左記事項航空機原簿ニ抹消登錄相成度此段申請候也

年　月　日

住所
氏
名印

遞信大臣宛

記

一　事由　解撤（破壞、何國人ヘ賣渡等）
二　事由發生年月日

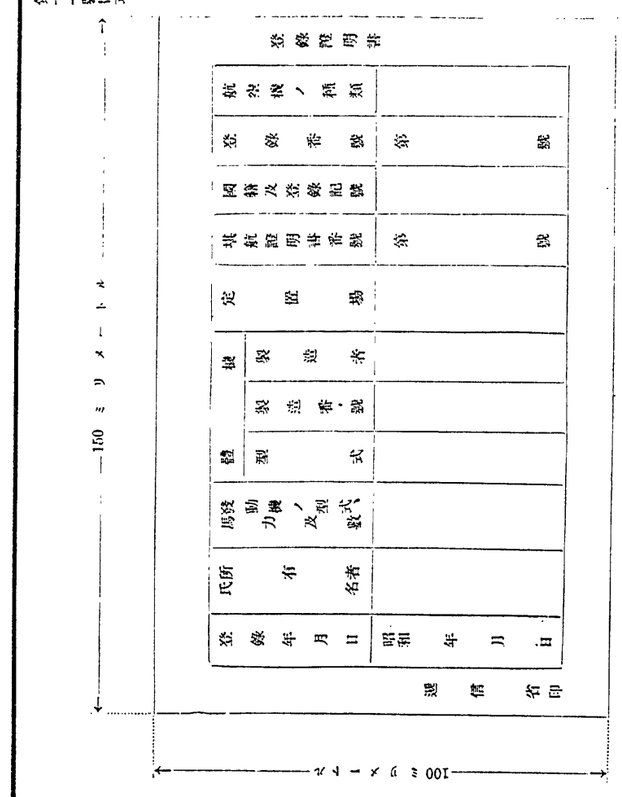
備考　航空機ノ種類ニ付テハ飛行機、航空船、氣球及凧ノ區別ヲ記載スヘシ

第十號書式

航空機原簿

航空機ノ種類			國籍及登錄記號 J--	登錄番號	第　號
機體	型式		製造者	製造番號	第　號
堪航證明書番號		第　號	第　號	第　號	第　號
堪航證明書有效期間		自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日	自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日	自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日	自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日
所有者氏名					
所有者住所					
定員場					
發動機	製造者				
	製造番號	第　號	第　號	第　號	第　號
	型式				
	馬力	馬力	馬力	馬力	馬力
	製造者				
	製造番號	第　號	第　號	第　號	第　號
	型式				
	馬力	馬力	馬力	馬力	馬力
	製造者				
	製造番號	第　號	第　號	第　號	第　號
	型式				
	馬力	馬力	馬力	馬力	馬力
數					
登錄年月日		昭和　年　月　日	昭和　年　月　日	昭和　年　月　日	昭和　年　月　日
記事					

第十一號様式


150ミリメートル
100ミリメートル
氏所有
名者
昭和　年　月　日
送達
郵便
局
送達
航空機ノ種類
非航空機
第十二號非式ノ一
第十二號非式ノ二
第十二號非式ノ三
第十三號非式ノ一
第十三號非式ノ二

第　號

等航空船操縱士免狀

本籍
住所

寫眞

氏名
年月日生

右者　等航空船操縱士技倆證明書ヲ受有シ且成規ノ體格檢査ニ合格シタリ依テ左記航空船ニ付　等航空船操縱士タルコトヲ免許ス

年　月　日

記

航空船　免許年月日

制限事項

事項　年　月　日

體格檢査成績

成績　檢査年月日

有效期間

遞信省印

第十三號書式ノ三

第　號

自由氣球操縱士免狀

本籍
住所

本籍、住所、氏名變更事項

種別　變更事項　變更年月日

印

寫眞

氏名
年月日生

右者　等航空士技倆證明書ヲ受有シ且成規ノ體格檢査ニ合格シタリ依テ　等航空士タルコトヲ免許ス

年　月　日

遞信省印

第十三號書式ノ四

第　號

等航空士免狀

本籍
住所

寫眞

氏名
年月日生

右者自由氣球操縱士技倆證明書ヲ受有シ且成規ノ體格檢査ニ合格シタリ依テ自由氣球操縱士タルコトヲ免許ス

年　月　日

制限事項

事項　年　月　日

遞信省印

體格檢査成績

成績　檢査年月日

有效期間

本籍、住所、氏名變更事項

種別　變更事項　變更年月日

印

第十三號書式ノ五

第　號

航空機關士免狀

本籍
住所

寫眞

氏名
年月日生

右者航空機機關士技倆證明書ヲ受有シ且成規ノ體格檢査ニ合格シタリ依テ航空機機關士タルコトヲ免許ス

年　月　日

制限事項

事項　年　月　日

遞信省印

體格檢査成績

成績　檢査年月日

有效期間

本籍、住所、氏名變更事項

種別　變更事項　變更年月日

印

第十四號書式

何々技倆證明書交付申請書

私儀何々技倆證明書相受度候ニ付關係書類及寫眞相添ヘ此段申請候也

一　試驗ヲ受ケムトスル場所及時期
二　受驗ノ爲使用セムトスル航空機ノ型式
三　試驗ヲ受ケムトスル曲技飛行ノ種類及使用飛行機ノ型式

年　月　日

本籍
住所

氏名印

遞信大臣宛

第十五號書式

履歷書

本籍
住所

氏名
年月日生

一　國籍
二　軍籍
三　學歷
……
四　操縱術機關術其ノ他技術修業ニ關スル履歷
……
五　職業
……

六　賞　……罰　……

有之通相違無之候也

年　月　日

氏　名印

備考

一　操縦術修業ニ關スル履歴ニハ操縦シタル航空機ノ型式、操縦回數、操縦時間其ノ他ノ事項ヲ詳細ニ記載シ尚技倆證明書又ハ航空免狀ノ受有者ニ在リテハ當該證明書又ハ免狀ノ寫ヲ添附スヘシ

二　機關術修業ニ關スル履歴ニハ取扱ヒタル機關其ノ他技術修業ニ關スル事項ヲ詳細ニ記載シ尚技倆證明書又ハ航空免狀ノ受有者ニ在リテハ當該證明書又ハ免狀ノ寫ヲ添附スヘシ

第十六號書式　何々免狀交付申請書

私儀何々免狀相受度候ニ付關係書類及寫眞相添ヘ此段申請候也

年　月　日　本籍　住所　氏　名印　年　月　日生

遞信大臣宛

第十七號書式　何々免狀效力擴張申請書

私儀現ニ受有スル何々免狀ノ效力擴張致度候ニ付此段申請候也

一　受有航空免狀ノ種類及番號

二　試驗ヲ受ケムトスル場所及時期

三　受驗ノ爲使用セムトスル航空機ノ型式

四　試驗ヲ受ケムトスル曲技飛行ノ種類及使用飛行機ノ型式

年　月　日　本籍　住所　氏　名印

遞信大臣宛

●航空法施行ニ關スル件

昭和二年六月　總令第五十六號

（官報　明治六年一月一四日號、九年三第二五號）

航空法施行ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　航空法ノ施行ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外左ノ規程ニ依ル但シ同規程中朝鮮トアルハ內地、遞信大臣トアルハ昭和二年遞信省令第八號航空法施行規則第三條、第八十六條、第八十七條、第八十八條、第八十九條、第九十條、第百十六條、第百十七條及第百十九條乃至第百二十四條ニ付テハ朝鮮總督、其ノ他ニ付テハ朝鮮總督府遞信局長、官報トアルハ朝鮮總督府官報、遞信省印トアルハ朝鮮總督府遞信局印、氏名トアルハ氏名又ハ姓名、市町村長トアルハ府尹面長、字トアルハ町洞里トシ

附　則

本令ハ昭和六年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

●航空法特例

昭和二年六月　總令第五十七號

航空法特例左ノ通定ム

航空法特例

朝鮮ニ於テハ航空法第三十七條第二項中土地收用法トアルハ土地收用令、同法第三十八條中地租トアルハ地稅又ハ市街地稅、同法第四十三條中水難救護法トアルハ朝鮮水難救護令トス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年十一月總令第百四十四號）

本令ハ昭和六年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

一　昭和二年遞信省令第八號航空法施行規則

二　昭和二年遞信省令第九號航空機檢査規則

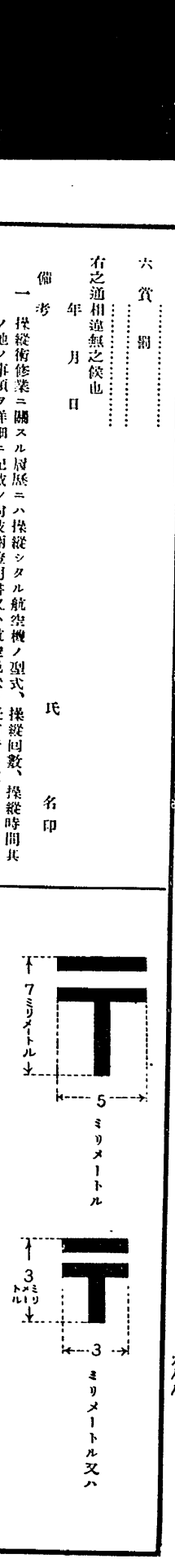
三　昭和二年遞信省令第十號航空機乘員試驗規則

四　昭和二年遞信省令第十一號航空機乘員體格檢査規則

五　昭和二年遞信省令第十二號三等飛行機操縦士免許規則

六　昭和四年遞信省令第一號航空機ノ燈火及信號竝ニ航空機ト航空機又ハ船舶トノ衝突豫防ニ關スル件

第二條　本令ニ依リ朝鮮總督ニ提出スル書類ハ總テ朝鮮總督府遞信局長ヲ經由スヘシ



航空機檢査規則左ノ通定ム

航空機檢査規則

目　次

第一編　總則
第二編　飛行機ノ製造檢査
第一章　機體ノ製造檢査
第一節　機體ノ設計ノ檢査
第二節　機體ノ材料ノ檢査
第三節　機體ノ部分品ノ檢査
第四節　機體ノ技功及製品ノ檢査
第五節　機體ノ標準品ノ檢査
第一款　通則
第二款　主翼
第三款　胴體、發動機架及尾翼
第四款　操縦裝置
第五款　降着裝置
第二章　發動機ノ製造檢査
第一節　發動機ノ設計、材料、部分品、技功及製品ノ檢査
第二節　發動機ノ標準品ノ檢査
第一款　通則
第二款　主要運轉檢査
第三款　分解檢査
第四款　補助運轉檢査
第三章　「プロペラ」ノ製造檢査
第一節　「プロペラ」ノ設計、材料、部分品、技功及製品ノ檢査
第二節　「プロペラ」ノ標準品ノ檢査
第四章　附屬品ノ製造檢査
第一節　附屬品ノ設計、材料、部分品及技功ノ檢査
第二節　附屬品ノ製品ノ檢査
第一款　高度計
第二款　速度計
第三款　羅針盤
第四款　壓力計
第五款　水温計
第六款　時計
第七款　回轉計
第八款　傾斜計
第九款　燃料裝置
第十款　氣化器
第十一款　潤滑油裝置
第十二款　冷却水裝置
第十三款　着火裝置
第十四款　始動裝置
第十五款　燈火裝置
第十六款　落下傘
第十七款　救命胴衣
第三編　飛行機ノ特別檢査、定期檢査及臨時檢査
第一章　飛行機ノ特別檢査
第二章　飛行機ノ定期檢査及臨時檢査
第四編　飛行機ノ堪航檢査
第一章　通則
第二章　地上檢査
第三章　航空檢査
附　則
航空機檢査規則
第一編　總則
第一條　航空機ノ製造檢査ニ於テハ機體、發動機、「プロペラ」及附屬品ノ構造及機能竝ニ適合セサルモ檢査官吏ニ於テ之ト同等以上ノ效力ヲ有スト認定セルモノニ付テハ之ヲ本令ノ規定ニ適合スルモノト看做ス
第七條　檢査官吏ニ於テ適當ト認ムル證明書ヲ有スル機體、發動機、「プロペラ」又ハ附屬品ニ付テハ本令ニ規定スル檢査ノ一部ヲ省略スルコトヲ得
第八條　檢査ニ要スル費用ハ官ニ於テ支出スルモノヲ除クノ外檢査申請者ノ負擔トス
第九條　本令ニ掲クル第一種飛行機、第二種飛行機及第三種飛行機ノ區別竝標準溫度及標準氣壓ハ國際航空條約ノ定ムル所ニ依ル
第十條　本令ニ於テ飛行機ノ全備重量トハ當該飛行機ノ設計書ニ掲クル燃料、潤滑油、冷却水、乘員、貨物及裝備品ヲ滿載シタル場合ニ於ケル飛行機ノ重量ヲ謂フ
第十一條　飛行機ニ非サル航空機ノ檢査ハ當分ノ內之ヲ行ハス
第二編　飛行機ノ製造檢査
第一章　機體ノ製造檢査
第一節　機體ノ設計ノ檢査
第一條　機體ノ設計ノ檢査ハ檢査申請者ノ提出シタル設計書及設計圖面ニ依リ之ヲ行フ
前項ノ場合ニ於テ檢査官吏必要アリト認ムルトキハ檢査申請者ヲシテ當該設計ニ依ル飛行機ノ模型ノ風洞試驗成績書ヲ提出セシムルコトアルヘシ
第十三條　機體ハ其ノ各部カ飛行中及地上操作中ニ作用セラルヘキ最大ノ力ニ堪ヘ得ル樣設計セラルルコトヲ要ス
第十四條　「プロペラ」ノ回轉ニ依リ機體ノ各部ニ作用スル力ハ飛行機ノ速力計算ニ付用フル「プロペラ」ノ回轉數ト同一ノ回轉數ニ依リ生スル力ヲ用フヘシ
第十五條　機體ノ設計ニ於テハ標準溫度及標準氣壓ヲ用フヘシ
第十六條　主翼ノ各部ノ强度ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ計算シ其ノ何レノ場合ニ於テモ充分ナル强度ヲ有スル樣設計セラルルコトヲ要ス
一　風壓ノ中心カ主翼ノ最前部ニ作用スル場合
此ノ場合ニ於テハ左表ニ掲クル荷重係數ヲ用ヒ主翼各部ノ强度ヲ計算スヘシ

飛行機ノ種別	荷重係數	
	飛行機ノ全備重量千キログラム未滿ノ場合	飛行機ノ全備重量千キログラム以上千キログラム未滿ノ場合
第一種飛行機	七	飛行機ノ全備重量千キログラム以上千キログラム以上ノ場合
第二種飛行機	五	五乃至四
第三種飛行機	七	九乃至七

二　風壓ノ中心カ主翼ノ中部ニ作用スル場合

此ノ場合ニ於テハ左表ニ掲クル荷重係數ヲ用ヒ主翼各部ノ强度ヲ計算スヘシ

飛行機ノ種別	荷重係數	
	飛行機ノ全備重量千キログラム未滿ノ場合	飛行機ノ全備重量千キログラム以上千キログラム未滿ノ場合
第一種飛行機	五、二五	五、二五乃至三、七五
第二種飛行機	三、七五	三、七五乃至三、〇〇
第三種飛行機	六、七五	六、七五乃至五、二五

三　風壓ノ中心カ主翼ノ最後部ニ作用スル場合

此ノ場合ニ於テハ左表ニ揭ケル荷重係數ヲ用ヒ主翼各部ノ強度ヲ計算スヘシ

飛行機ノ種別	荷重係數
第一種飛行機	一、五
第二種飛行機	一、二
第三種飛行機	二、五

四　不良ナル著陸ヲ爲ス場合（飛行機ノ水平飛行ノ速度ノ二分ノ一ノ速度ヲ以テ著陸スル場合ヲ謂フ以下之ニ同シ）

此ノ場合ニ於テハ主翼ノ各部及主翼ニ附屬スル各部ノ重量ニ左ノ荷重係數ヲ乘シ主翼各部ノ強度ヲ計算スヘシ

飛行機ノ種別	荷重係數
第一種飛行機	六、〇
第二種飛行機	四、五
第三種飛行機	六、〇

前項ノ規定ニ依リ主翼ノ各部ノ強度ヲ計算スル場合ニ於テハ「プロペラ」回轉ニ依リ生スル力ハ之ヲ加算セサルモノトス

第十七條　「プロペラ」ノ回轉ニ依リ主翼ノ各部ニ作用スル力ヲ計算スルニハ常該各部ニ對スル前條各號ニ規定スル荷重係數ヲ用フヘシ但シ其ノ荷重係數カ二、五以上ナルトキハ二、五ヲ用フヘシ

第十八條　主翼ノ各部ノ強度ハ第十六條各號ノ場合ニ於テ主翼ノ各部ニ作用スル力ト「プロペラ」ノ回轉ニ依リ主翼ノ各部ニ作用スル力トノ合計カ之ニ作用スルモノトシテ計算スヘシ

第十九條　主翼ハ前條ニ規定スル強度ヲ有スルノ外左ノ各號ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第十六條第一號及第二號ノ場合ニ於テ常該荷重係數ノ二分ノ一ヲ附加シ且張線又ハ緊付金具ノ一部ヲ切斷スルモ主翼ノ各部ノ破壞セサル樣設計セラルルコト

二　第二十八條　旅客室ノ高、旅客定員一人當リノ面積竝座席ノ幅及長ハ航空路ノ狀況、飛行繼續時間其ノ他ノ事由ニ因リ檢查官吏差支ナシト認ムルトキハ前四條ノ規定ニ拘ラス之ヲ減スルコトヲ得

第二十九條　乘員室ノ面積ノ測定ニ付テハ第二十二條及第二十三條ノ規定ヲ準用ス

乘員室ニ於ケル乘員定員一人當リノ面積ハ通路ヲ除キ座席及座席ノ幅及長ニ付テハ前四條ノ規定ヲ準用ス

第二十條　垂直尾翼ノ翼面ニ作用スル力Qトハ第一種飛行機及第二種飛行機ニ付テハ左ノ第一式ニ依リ、第三種飛行機ニ付テハ左ノ第二式ニ依リ之ヲ計算スヘシ

第一式　$V=\frac{4}{3}Q$

第二式　$V=\frac{4}{3}Q$

Vノ單位トスル最大速力

合又ハ飛行機ヲ地上ニ靜止セシメタル儘裝備發動機ノ一個、數個若ハ全部ヲ最大馬力ヲ以テ運轉セシメタル場合ニ於テ主翼ノ各部ニ作用スル力ニ、五ヲ乘シタル力ヲ主翼ノ各部ニ作用スルモノトシテ設計セラルルコト

第二十一條　降著裝置ニ作用スル力ハ著陸竝飛行機ノ全備重量ノ一方ノ降著裝置ニ掛ルモノトシ且左ノ各號ノ力ノ中第一號及第二號ニ揭ケル力カ同時ニ又ハ第一號及第三號ニ揭ケル力カ同時ニ降著裝置ニ作用スルモノトシテ之ヲ計算スヘシ

一　車輪軸承又ハ之ヲ支持スル部分ノ中心ニ下方ヨリ垂直ニ働ク力（荷重係數ハ二、七トス）

二　車輪軸承ノ中心又ハ之ニ相等スル部分ノ中心ニ前方ヨリ水平ニ働ク力（荷重係數ハ一、四トス）

三　車輪ノ中心又ハ之ニ相等スル部分ノ中心ト地面又ハ水面ト接觸スヘキ點ヲ連ヌル直線ノ中央部ト外側ヨリ働ク力（荷重係數ハ〇、八トス）

第二十二條　旅客室ノ面積ハ其ノ室ノ下面ノ前中後三箇所ノ幅ヲ測リ前後ノ幅ニ中央ノ幅ノ四倍ヲ加ヘ之ヲ六ニテ除シ平均ノ幅トシ之ニ長ヲ乘シタルモノトス

第二十三條　旅客室ノ容積ハ其ノ室ノ前中後三箇所ニ於テ上中下ノ幅ヲ測リ前後上下ノ幅ニ前後ノ中幅及中央上下ノ幅各四倍ト中央ノ中幅十六倍トヲ加ヘ之ヲ三十六ニテ除シ平均ノ幅トシ之ニ長ヲ乘シ總面積トシ之ヨリ其ノ室内ニ於ケル藏圍シタル場所ノ平均ノ幅ニ長ヲ乘シタルモノヲ減シ其ノ殘リノ面積ニ平均ノ高ヲ乘シタルモノトス

第二十四條　旅客室ノ高ハ一、六メートル以上ナルコトヲ要ス

第二十五條　旅客室ニ於ケル旅客定員一人當リ面積ハ〇、六七五平方メートル以上ナルコトヲ要ス

第二十六條　旅客室ニ於ケル旅客定員一人當リ容積ハ一、〇八立方メートル以上ナルコトヲ要ス

第二十七條　旅客室ニ於ケル座席ノ幅及長ハ一人當リ各五、〇〇ミリメートル以上ナルコトヲ要ス

第二十八條　旅客室ノ高、旅客定員一人當リノ面積竝座席ノ幅及長ハ航空路ノ狀況、飛行繼續時間其ノ他ノ事由ニ因リ檢查官吏差支ナシト認ムルトキハ前四條ノ規定ニ拘ラス之ヲ減スルコトヲ得

第二十九條　乘員室ノ面積ノ測定ニ付テハ第二十二條及第二十三條ノ規定ヲ準用ス

乘員室ニ於ケル乘員定員一人當リノ面積ハ通路ヲ除キ座席及座席ノ幅及長ニ付テハ前四條ノ規定ヲ準用ス

第三十條　旅客室及乘員室ニハ採光及通風ノ爲相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第三十一條　貨物室ニハ貨物ノ移動ヲ防ク爲相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第三十二條　機體ノ材料ノ檢查ハ左ノ時期ニ於テ之ヲ行フ

一　材料ニ加工シタル後結合、塗施等ヲ行ハサル前

二　材料規格ニ依リ之ヲ行フ但シ檢查官吏ノ適當ト認ムル材料試驗成績書アルトキハ之ニ依リ檢查ヲ行フコトヲ得

三　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第三十三條　機體ノ材料ノ檢查ハ別ニ定ムル材料規格ニ依リ之ヲ行フ但シ檢查官吏ノ適當ト認ムル材料試驗成績書アルトキハ之ニ依リ檢查ヲ行フコトヲ得

第三十四條　機體ノ木部材料ノ檢查ハ前條ノ規定ニ依ル外設計書及設計圖面ト對照シ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　形狀、寸度及斷面ノ良否（特ニ接合ノ形狀及寸度ニ注意スルコト）

二　膠著、釘著、螺著等ノ良否

三　變窒ノ有無

四　仕上及塗施ノ良否

五　重量

六　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第三十五條　機體ノ金屬部材料ノ檢查ハ第三十三條ノ規定ニ依ル外設計書及設計圖面ト對照シ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　形狀、寸度及斷面ノ良否（特ニ接合ノ形狀及寸度ニ注意スルコト）

二　鉚著、螺著等ノ良否

三　熱取扱ノ良否

四　仕上及塗施ノ良否

五　重量

六　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第三十六條　機體ノ布部材料ノ檢查ハ第三十三條ノ規定ニ依ル外設計書及設計圖面ト對照シ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　張線ノ緊張度ノ良否

二　各部組立ノ良否

三　金具類ノ取付、接著及防錆ノ良否

四　車輪及尾橇ノ取付ノ良否

五　緩衝裝置ノ良否

六　フロートノ構造ノ良否

七　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第三十七條　機體ノ檢查ハ第三十四條乃至第三十六條ノ規定ニ依リ各部ノ組立終了後竝ニ被覆等ヲ行ハサル前

一　各部ノ組立終了後竝被覆等ヲ行ハサル前

二　各部完成シタルトキ

三　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第三十八條　翼ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　形狀及寸度ノ良否

二　張線及張絲ノ緊張度ノ良否

三　各部組立ノ良否

四　金具類ノ取付及防錆ノ良否

五　操縱傳導裝置及其ノ機能ノ良否

六　操縱索ノ防錆及摩擦ニ對スル處置ノ良否

七　骨組ニ於ケル變歪ノ有無

八　布、合板及金屬板ノ骨組ニ對スル接著ノ良否

九　布ノ緊張度ノ良否

十　塗施ノ良否

十一　重量

十二　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第三十九條　胴體ノ檢查ハ前條各號ノ事項ノ外左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　操縱席ノ設備ノ良否

二　計器板ノ取付ノ良否

三　油槽、導管其ノ他各種管類取付ノ良否

四　操縱裝置及其ノ機能ノ良否

五　旅客室、乘員室及貨物室ノ設備ノ良否

六　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第四十條　降著裝置ノ檢查ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　構造及取付ノ良否

二　仕上及塗施ノ良否

三　重量

四　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第四十一條　機體ノ檢查ハ第三十四條乃至第三十六條ノ規定ニ依リ附屬品、機器等ヲ除去シタル機體ノ强度ニ影響及ホス場合ニ於テハ相當ノ補强ヲ爲スヘシ

第一項ノ檢查ニ於テ機體ノ各部中壓縮ヲ受クヘキモノアルトキハ其ノ屈撓ヲ妨害セサル樣注意スヘシ

第四十八條　機體ノ標準品檢查ヲ行フ場合ニ於テ機體ノ破壞カ强度ニ重大ナル影響ヲ及ホササル場合ニ在リテハ檢查中內部ノ構造ノ變化ヲ點檢シ得ル樣其ノ被覆ノ全部又ハ一部ヲ剝脫シ荷重ヲ加フル部分ニハ其ノ支柱トシテ厚約三ミリメートルノ合板ヲ載置スヘシ

第四十九條　破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テ用フル荷重ハ鉛彈帶ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第五十條　荷重用鉛彈帶ハ長六〇〇ミリメートル幅一五〇ミリメートル重二、五キログラムナルコトヲ要ス

前項ノ鉛彈帶ハ一箇二十グラム以下ノ鉛彈ヲ之ニ填充シタルモノナルコトヲ要ス

第五十一條　破壞試驗ノ爲加フヘキ荷重ハ每回荷重係數一ニ應スルモノヲ限度トシ試驗品ノ破壞スルニ至ル迄之ヲ加フヘシ但シ試驗品ノ破壞ニ近サキタル時期ニ於テハ適宜每回ノ荷重ヲ減スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ每回荷重ヲ加フル毎ニ試驗品ノ各部ノ變形ヲ測定シ且全荷重ヲ除去シタル後試驗品ノ各部ノ永久變形ヲ測定ス

第五十二條　標準品檢查ヲ受ケ之ニ合格シタル機體ト同一型式ノ機體ニ付製造檢查ノ申請アリタル場合ニ於テ檢查官吏差支ナシト認ムルトキハ本章第一節乃至第四節ニ規定スル製造檢查ノ一部ヲ省略スルコトアルヘシ

第二款　主翼

第五十四條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ヲ行フ場合ニ於テハ主翼ヲ胴體ニ取付ケタル儘機體ヲ支架上ニ固定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ尙左ノ各號ノ規定ニ依ル

一　仕上ノ良否

二　各部加工ノ良否

三　各部取付ノ良否

四　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第五十五條　機體ノ標準品ノ檢查

第一節　通則

第五十六條　同一型式ノ機體ヲ多數製造セムトスル場合ニ於テ製造檢查ノ申請アリタルトキハ本節ノ規定ニ依リ標準品檢查ヲ行フコトアルヘシ

前項ノ規定ニ依リ標準品檢查ヲ受ケムトスル者ハ製造檢查申請書ニ其ノ旨附記スヘシ

第五十七條　機體ノ標準品檢查ニ於テハ本章第四節ニ規定スル檢查ノ外主翼、胴體、發動機架、尾翼、操縱裝置及降著裝置ニ付破壞試驗又ハ彈性試驗ヲ行ヒ其ノ强度ヲ檢定ス

第二節　主翼

第五十八條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テハ主翼ヲ胴體ニ取付ケタル儘支架上ニ固定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ每回荷重ヲ加フル毎ニ試驗品ノ各部ノ變形ヲ測定シ且全荷重ヲ除去シタル後試驗品ノ各部ノ永久變形ヲ測定ス

第五十九條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テハ主翼ノ下面ヲ上方ニ向ヒ支持スル方法ニ注意スヘシ

發動機ノ裝備位置ニ依リ機體ノ負荷狀態ニ重大ナル影響アル場合ニ於テハ其ノ位置ニ約ル裝置ヲ施シ上方ニ向ヒ逐次相當ノ荷重ヲ加フヘシ

第六十條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テ之ニ加フヘキ荷重ノ計算ハ左式ニ依ルヘシ

$Q=\frac{1}{2}n(A-B)-C$

Q　ハ主翼ニ加フヘキ全荷重 kg

n　ハ荷重係數

A　ハ飛行機ノ全備重量 kg

B　ハ翼ノ重量 kg

C　ハ被覆ヲ剝脫セル翼ノ重量（發動機架ノ重量ヲ含ム）kg

一　形狀及寸度ノ良否

二　張線ノ緊張度ノ良否

三　各部組立ノ良否

四　金具類ノ取付、接著及防錆ノ良否

五　車輪及尾橇ノ取付ノ良否

六　緩衝裝置ノ良否

七　フロートノ構造ノ良否

八　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第四十一條　機體ノ檢查ハ第三十四條乃至第三十六條ノ規定ヲ準用ス

第四節　機體ノ技功及製品ノ檢查

第四十二條　機體ノ技功及製品ノ檢查ハ設計書及設計圖面ト對照シ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　仕上ノ良否

二　各部加工ノ良否

三　各部取付ノ良否

四　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第四十三條　機體ノ製品ノ檢查ハ設計書及設計圖面ト對照シ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　形狀及寸度ノ良否

二　寸度ノ良否

三　變歪ノ有無

四　各部ノ調整、平衡及機能ノ良否

五　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第五節　機體ノ標準品ノ檢查

第四十四條　同一款ノ通則

第四十五條　機體ノ標準品ノ檢查ハ第四十四條ノ規定ニ依リ標準品檢查ヲ受ケムトスル者ハ製造檢查申請書ニ其ノ旨附記スヘシ

第四十六條　機體ノ標準品檢查ニ於テハ本章第四節ニ規定スル檢查ノ外主翼、胴體、發動機架、尾翼、操縱裝置及降著裝置ニ付破壞試驗又ハ彈性試驗ヲ行ヒ其ノ强度ヲ檢定ス

第五十條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テハ主翼ヲ胴體ニ取付ケタル儘支架上ニ固定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ每回荷重ヲ加フル毎ニ試驗品ノ各部ノ變形ヲ測定シ且全荷重ヲ除去シタル後試驗品ノ各部ノ永久變形ヲ測定ス

第五十一條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テハ主翼ノ下面ヲ上方ニ向ヒ支持スル方法ニ注意スヘシ

發動機ノ裝備位置ニ依リ機體ノ負荷狀態ニ重大ナル影響アル場合ニ於テハ其ノ位置ニ約ル裝置ヲ施シ上方ニ向ヒ逐次相當ノ荷重ヲ加フヘシ

第五十二條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テ之ニ加フヘキ荷重ノ計算ハ左式ニ依ルヘシ

$Q=\frac{1}{2}n(A-B)-C$

Q　ハ主翼ニ加フヘキ全荷重 kg

n　ハ荷重係數

A　ハ飛行機ノ全備重量 kg

B　ハ翼ノ重量 kg

C　ハ被覆ヲ剝脫セル翼ノ重量（發動機架ノ重量ヲ含ム）kg

第五十三條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テハ主翼ヲ胴體ニ取付ケタル儘支架上ニ固定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ每回荷重ヲ加フル毎ニ試驗品ノ各部ノ變形ヲ測定シ且全荷重ヲ除去シタル後試驗品ノ各部ノ永久變形ヲ測定ス

第五十四條　標準品檢查ヲ受ケ之ニ合格シタル機體ト同一型式ノ機體ニ付製造檢查ノ申請アリタル場合ニ於テ檢查官吏差支ナシト認ムルトキハ本章第一節乃至第四節ニ規定スル製造檢查ノ一部ヲ省略スルコトアルヘシ

第二款　主翼

第五十四條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ヲ行フ場合ニ於テハ主翼ヲ胴體ニ取付ケタル儘機體ヲ支架上ニ固定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ每回荷重ヲ加フル毎ニ試驗品ノ各部ノ變形ヲ測定シ且全荷重ヲ除去シタル後試驗品ノ各部ノ永久變形ヲ測定ス

第五十五條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テハ主翼ヲ胴體ニ取付ケタル儘支架上ニ固定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ每回荷重ヲ加フル毎ニ試驗品ノ各部ノ變形ヲ測定シ且全荷重ヲ除去シタル後試驗品ノ各部ノ永久變形ヲ測定ス

第五十六條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テハ主翼ヲ胴體ニ取付ケタル儘支架上ニ固定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ每回荷重ヲ加フル毎ニ試驗品ノ各部ノ變形ヲ測定シ且全荷重ヲ除去シタル後試驗品ノ各部ノ永久變形ヲ測定ス

第五十七條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テハ主翼ヲ胴體ニ取付ケタル儘支架上ニ固定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ每回荷重ヲ加フル毎ニ試驗品ノ各部ノ變形ヲ測定シ且全荷重ヲ除去シタル後試驗品ノ各部ノ永久變形ヲ測定ス

第五十八條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テハ主翼ヲ胴體ニ取付ケタル儘支架上ニ固定スヘシ

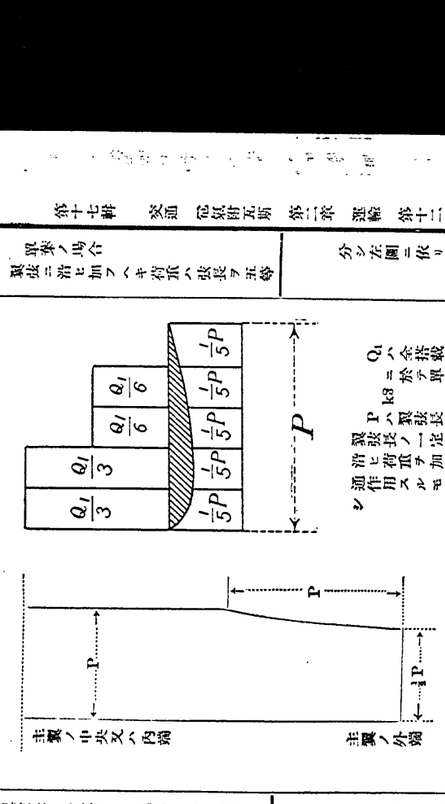
前項ノ場合ニ於テハ每回荷重ヲ加フル毎ニ試驗品ノ各部ノ變形ヲ測定シ且全荷重ヲ除去シタル後試驗品ノ各部ノ永久變形ヲ測定ス

第五十九條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テハ主翼ヲ胴體ニ取付ケタル儘支架上ニ固定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ每回荷重ヲ加フル毎ニ試驗品ノ各部ノ變形ヲ測定シ且全荷重ヲ除去シタル後試驗品ノ各部ノ永久變形ヲ測定ス

第六十條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テハ主翼ヲ胴體ニ取付ケタル儘支架上ニ固定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ每回荷重ヲ加フル毎ニ試驗品ノ各部ノ變形ヲ測定シ且全荷重ヲ除去シタル後試驗品ノ各部ノ永久變形ヲ測定ス


P
主翼ノ中央ヨリ内端
主翼ノ外端
$\frac{1}{2}P$

$\frac{Q_1}{3}$
$\frac{Q_1}{6}$
$\frac{1}{5}P$
P

(二)艇體
$Q_B = A - H$
Q_Bハ艇體ニ加フヘキ全荷重kg
Aハ飛行機ノ全備重量kg
Hハ艇體ノ重量kg
(三)前二號ニ掲クル「フロート」及艇體以外ノ型式ヲ有スルモノニ付テハ其ノ離水及著水ノ場合ニ於テ「フロート」又ハ艇體ノ受クル衝撃ヲ考慮シ之ニ加フヘキ荷重ヲ定ムヘシ

第七十六條　著水裝置ノ彊靭ニ關スル「フロート」及尾部「フロート」ノ動荷重試驗ハ傾斜著水ノ場合及尾部ヲ下ケ著水スル場合ヲ考慮シ前條ノ規定ニ準シ之ヲ行フ

第七十七條　著水裝置ノ取付支柱ノ靜荷重試驗ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ行フ

一　「フロート」ノ取付ノ狀況ハ成ルヘク實際ノ場合ト同樣ナラシムヘシ

二　「フロート」ノ前部三分ノ一ノ底面ニ均等荷重ヲ加ヘタルトキ其ノ合成力カ略飛行機ノ重心ニ向フ樣「フロート」ヲ支持スヘシ

三　等荷重ヲ加ヘタルトキ其ノ合成力カ略「フロート」ノ後部三分ノ一ノ底面ニ均等荷重ヲ加ヘタルトキ其ノ合成力カ略前項ノ對稱面ニ垂直ニ向フ樣「フロート」ヲ支持スヘシ但シ「フロート」ヲ除去シテ試驗ヲ行フ場合ニ於テハ加ヘタル荷重ノ合成力カ取付支柱ノ端末ヲ通過スルコトヲ要ス

前項各號ノ場合ニ於テ檢査官吏荷支ナシト認ムルトキハ相當ナル强度ヲ有スル物件ヲ以テ「フロート」ニ代用スルコトヲ得

第一項第二號乃至第四號ノ規定ハ檢査官吏荷支ナシト認ムルトキハ其ノ一又ハ二ヲ適用セサルコトヲ得

第二章　發動機ノ製造檢査

第一節　發動機ノ設計、材料、部分品、技功及製品ノ檢査

第七十八條　發動機ノ設計ノ檢査ハ檢査申請者ノ提出シタル設計書及設計圖面ニ依リ之ヲ行フ

第七十九條　發動機ノ材料ノ檢査ハ別ニ定ムル材料規格ニ依リ之ヲ行フ但シ檢査官吏ノ適當ト認ムル材料試驗成績書アルトキハ之ニ依リ檢査ヲ行フコトヲ得

第八十條　發動機ノ部分品ノ檢査ハ左ノ部分品ニ付製造中及仕上後ニ之ヲ行フ

一　氣筒
二　「ピストン」及「ピストンリング」
三　連接桿
四　曲軸
五　曲軸室
六　「ヴアルブ」及「ヴアルブギヤー」
七　「カム」及「カムシヤフト」
八　「ピン」及「ボルト」類
九　軸承類
十　各種傳導裝置
十一　其ノ他檢査官吏ニ於テ必要アリト認ムル部分品

第八十一條　發動機ノ部分品ノ檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　材質ノ良否
二　形狀及寸度ノ良否
三　加工及仕上ノ良否
四　抗力及機能ノ良否
五　其ノ他檢査官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第八十二條　發動機ノ部分品ノ檢査ハ前條ノ規定ニ依ルノ外特ニ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　「ピストンリング」ニ付テハ其ノ張力
「連接桿ニ付テハ其ノ中央部ニ於ケル「ブリネル」硬度法ニ依ル硬度ノ測定、連接桿ニ付テハ其ノ中央部ニ於ケル「ブリネル」硬度法ニ依ル硬度ノ測定及曲軸ヲ支持スル軸承ノ良否
「ヴアルブギヤー」ニ付テハ各摺動部ニ於ケル遊隙ノ良否

第八十三條　發動機ノ部分品ノ檢査ハ前條ノ規定ニ依ルノ外特ニ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　形狀及寸度ノ良否
二　加工及仕上ノ良否
三　抗力及機能ノ良否
四　其ノ他檢査官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第八十四條　發動機ノ製品ノ檢査ハ發動機ヲ運轉臺上ニ取付ケ之ヲ運轉シテ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　燃料及潤滑油ノ消費量
二　燃料ノ濕度、壓力及溫度
三　冷却水及潤滑油ノ溫度
四　冷却水ノ送水量
五　大氣ノ濕度、壓力及溫度
六　標準品檢査ヲ受ケムトスル發動機カ空氣冷却式發動機ナルトキハ檢査申請者ハ前項ノ規定ニ依ル外飛行中ノ狀態ニ近似セシムル爲適當ナル送風裝置ヲ設クヘシ

第八十五條　發動機ノ製品ノ檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　標準馬力及標準回轉數ニ依ル三十分間運轉
二　標準馬力ノ十分ノ九ノ出馬力及標準回轉數ニ依ル十時間ノ繼續運轉
前項ノ繼續運轉ハ前號ノ運轉終了後三十分間以内ニ之ヲ開始スルコトヲ要ス
三　前號ノ繼續運轉終了後ニ於ケル發動機ノ分解檢査
四　標準馬力及標準回轉數ニ依ル三十分間ノ運轉
前項第四號ノ運轉中ニ於テハ發動機ニ供給スル瓦斯壓ノミノ制限ニ依リ少クトモ標準回轉數ノ二分ノ一迄回轉數ヲ減少シ更ニ其ノ瓦斯壓ノミノ增加ニ依リ逐次回轉數ヲ增加シ特ニ左ノ各號ノ事項ニ付檢査ス
一　供給瓦斯壓ニ比例セサル回轉數ノ變化ノ有無
二　傾斜運轉檢査及加速度運轉檢査
三　牽引荷重又ハ推進荷重ヲ加ヘタル運轉檢査

第八十六條　檢査官吏ハ發動機ノ型式ニ依リ必要アリト認ムルトキハ前條第一項第二號ノ繼續運轉時間ヲ短縮スルコトヲ得

第八十七條　發動機ノ製造檢査申請者ハ發動機ノ運轉檢査中出馬力、回轉數、冷却水ノ溫度、潤滑油ノ溫度竝大氣ノ溫度、壓力及濕度ヲ測定シ得ル樣相當ノ準備ヲ爲スヘシ

製造檢査ヲ受ケムトスル發動機ナルトキハ檢査申請者ハ前項ノ規定ニ依ル外飛行中ノ狀態ニ近似セシムル爲適當ナル送風裝置ヲ設クヘシ

第三節　發動機ノ裝備

第八十八條　同一型式ノ發動機ヲ多數製造セムトスル場合ニ於テ製造檢査ノ申請アリタルトキハ本節ノ規定ニ依リ標準品檢査ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ標準品檢査ヲ受ケムトスル者ハ製造檢査申請書ニ其ノ旨附記スヘシ

第八十九條　發動機ノ標準品檢査ニ於テハ本章第七十八條乃至第八十三條ニ規定スル檢査ノ外主要運轉檢査、分解檢査及補助運轉檢査ヲ行ヒ其ノ機能、强度及耐久性ヲ檢定スル爲左ノ各號ノ試驗ヲ行フ

一　主要運轉檢査
二　分解檢査
三　補助運轉檢査
四　主要運轉檢査中ノ各檢査ノ間
五　補助運轉檢査中ノ耐久檢査ノ各期檢査ノ間

前項ノ修理又ハ取換ハ三時間以内ニ之ヲ終了スルコトヲ要シ內一時間ハ前ノ檢査終了直後ソ時間、他ノ二時間ハ次ノ檢査開始直前ノ時間トス

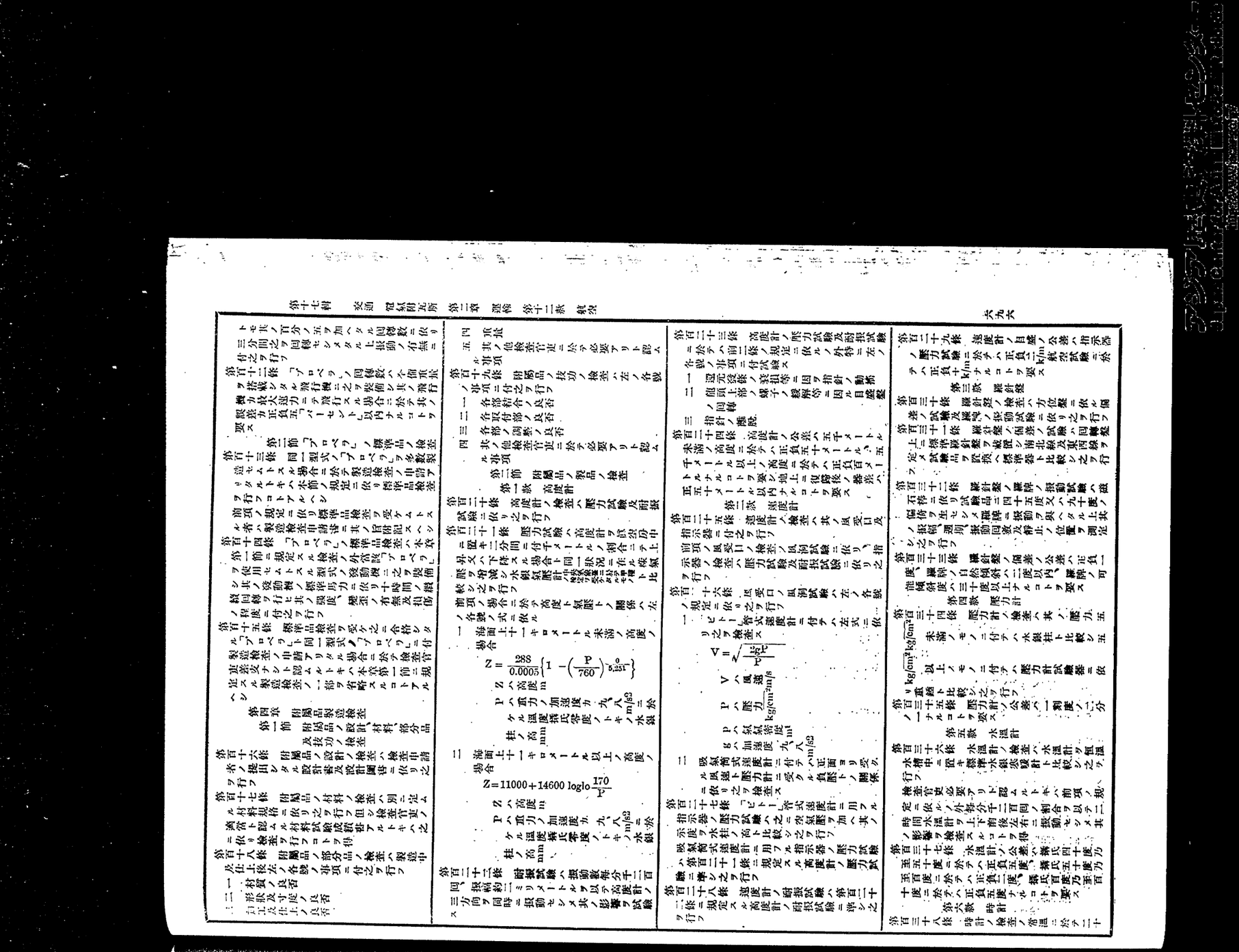
第一項及第二項ニ掲クル發動機ノ主要部分ニ無キ場合ニ於テハ其ノ部分ニ關スル試驗ヲ省略スルコトアルヘシ

第九十條　主要運轉檢査ハ左ノ各號ノ順序ニ依リ之ヲ行フ

一　第一次出馬力檢査
二　耐久檢査
三　第二次出馬力檢査

第九十一條　第一次及第二次ノ出馬力檢査ニ於テハ左ノ各號ノ規定ニ依リ發動機ノ標準出馬力數ヲ決定ス

一　第一次及第二次ノ出馬力數ノ平均出馬力數カ五十馬力未滿ナルトキハ一馬力ヲ以テ其ノ端數ヲ切捨テ五馬力ヨリ五馬力迄ノ端數ハ之ヲ五馬力トシ九馬力迄ノ端數ハ之ヲ九馬力トシ其ノ端數ハ之ヲ切捨テ



続シタル場合ニ於テ完全ニ點火シ得ルモノナルコトヲ要ス

第百六十四款　始動裝置

第百六十四條　飛行機ニ裝備スヘキ始動裝置ハ乘員ノミニ依リ安全且容易ニ連續六回以上始動シ得ルモノナルコトヲ要ス

第百六十五條　始動裝置ハ前條ノ規定ニ依ルノ外左ノ各號ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　手働始動裝置ハ操作圓滑ニシテ取扱容易ナルコト

二　空氣又ハ壓縮瓦斯ニ依ル始動裝置ハ氣密完全ニシテ損動等ニ因リ空氣又ハ瓦斯ヲ漏洩セサルコト

三　瓦氣ニ依ル始動裝置ハ接續配線等安全ニシテ短絡又ハ地絡ノ虞ナキコト

第十五款　燈火裝置

第百六十六條　燈火裝置ノ檢查ハ其ノ構造、光種、射光角度及光達距離ニ付之ヲ行フ

第百六十七條　燈火裝置ノ標準規格概ネ左ノ如シ

一　構造簡單ニシテ輕量ナルコト

二　振動ニ因リ容易ニ脫セサルコト

三　振動ニ因リ短絡又ハ斷線ヲ生セサルコト

第百六十八條　各燈火ノ光種及射光角度ハ左ノ各裝ノ規定ニ依ルヘシ

一　前燈ハ白色光ニシテ射光角度ハ軸線ヲ中央トシテ二二〇度ナルコト

二　尾燈ハ白色光ニシテ射光角度ハ軸線ヲ中央トシテ一四〇度ナルコト

三　右舷燈ハ綠色光ニシテ射光角度ハ軸線ノ右ニ一一〇度ナルコト

四　左舷燈ハ赤色光ニシテ射光角度ハ軸線ノ左ニ一一〇度ナルコト

第百六十九條　各燈火ノ光達距離ハ大氣清澄ナル晴夜ニ於テ前燈ハ五キロメートル以上、尾燈及左右舷燈五キロメートル以上ナルコトヲ要ス

第十六款　落下傘

第百七十條　落下傘ハ成ルヘク軽量且小容積ニシテ自働的ニ展開シ各部ノ作用確實ナルモノナルコトヲ要ス

第百七十一條　落下傘ノ標準規格概ネ左ノ如シ

一　落下距離四十メートル以内ニ於テ展開スルコト

二　絲目ニ捲ミ又ハ捲レヲ生セサルコト

三　落下速力均齊ニシテ且毎五メートル以内ナルコト

四　傘、絲目、中間索、金具及緩衝索ハ輕量且強靱ニシテ充分ナル安全係數ヲ有スルコト

五　落下傘ヲ身體ニ結着スル帶ノ構造ハ傘ノ開キタルトキ成ルヘク身體ニ衝動ヲ感セシメス且迅速ニ離脫シ得ルモノナルコト

第十七款　救命胴衣

第百七十二條　救命胴衣ノ標準規格概ネ左ノ如シ

一　材料ハ「コルク」、「カポック」又ハ檢查官吏ニ於テ之ト同等以上ノ救力ヲ有スト認ムルモノナルコト

二　大人及小兒ニ適用シ得ヘク且著用法簡易ニシテ前後表裏轉用シ得ルコト

三　救命胴衣ヲ著用シタルトキ水中ニ於テ身體ヲ略直立セシメ且頭部ヲ水面ニ露出セシメ得ルコト

四　六、五キログラムノ重量ヲ附シ淡水中ニ四十八時間放置シタル後十五キログラムノ重量ヲ附シ浮ヒ得ルコト

第三編　飛行機ノ特別檢查、定期檢查及臨時檢查

第一章　飛行機ノ特別檢查

第百七十三條　飛行機ノ機體ノ特別檢查ハ翼頭、胴體、降著裝置、操縱裝置及艇體ニ付前回檢查後ノ使用時間、經歷、保存ノ狀態等ヲ考慮シ特別檢查ニ準シ之ヲ行フ

第百七十四條　翼類ノ特別檢查ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　主翼、迎角、翼取付角及翼間隔ノ現狀

二　布其ノ他ノ被覆ノ現狀

三　桁、縦ノ通ノ現狀

四　張線、張索、綢線線帶、管帶、「ターンバックル」等ノ現狀

五　支柱及支柱取付金具ノ現狀

六　變動機ヲ主翼ニ裝備シタルモノニ在リテハ其ノ取付裝置ノ構造及現狀

七　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百七十五條　胴體ノ特別檢查ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　變動機架ノ構造及現狀

二　乘員室、旅客室及貨物室ノ構造及現狀

三　縦通材、横骨及其ノ取付金具ノ現狀

四　張線、張索、綢線線帶、管帶、「ターンバックル」等ノ現狀

五　布其ノ他ノ被覆ノ現狀

六　尾部架構ノ構造及現狀

七　「ボンネット」ノ現狀

八　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百七十六條　降著裝置ノ特別檢查ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　胴部ノ構造及現狀

二　車輪又ハ之ニ代ルヘキ裝置ノ構造及現狀

三　尾橇ノ構造及現狀

四　緩衝裝置ノ構造、機能及現狀

五　「フロート」ノ構造及現狀

六　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百七十七條　操縦裝置ノ特別檢查ハ左ノ各號ノ事項ニ付製造檢查ニ準シ之ヲ行フ

一　操縦索ノ現狀

二　操縦傳導裝置ノ構造、機能及現狀

三　補助翼、昇降舵並方向舵ノ取付及取付金具ノ現狀

四　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百七十八條　延體ノ特別檢查ニ付テハ第百七十五條及第百七十六條ノ規定ヲ準用ス

第百七十九條　目本又ハ外國ニ於テ未タ航空用ニ供セラレサル新型式ノ飛行機ノ機體ノ特別檢查ニ於テハ第百七十三條乃至前條ノ規定ニ依ルノ外二編第一章第五節ノ規定ニ準シ彈性試驗ヲ行ヒ其ノ強度ヲ檢定ス

檢查官吏ハ前項ノ規定ニ依リ簡キ事由アリト認ムルトキハ其ノ計算ノミニ依リ機體ノ強度ヲ檢定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ該計算ハ使用材料ノ彈性界又ハ破斷界ヲ其礎トシ之ヲ行フヘク且該計算ノ結果ハ如何ナル場合ニ於テモ彈性試驗ニ依リ得ラルヘキ安全度ト同等以上ノ安全度ヲ得ルコトヲ要ス

第百八十條　機體ノ特別檢查ヲ行フ場合ニ於テ檢查官吏必要アリト認ムルトキハ其ノ被覆ヲ剝脫セシムルコトヲ得

第百八十一條　發動機ノ特別檢查ハ左ノ各號ノ事項ニ付製造機ノ經過年月、保存ノ狀態等ヲ考慮シ特別檢查ニ準シ之ヲ行フ

一　氣筒、「ピストン」、連接桿、曲軸、曲軸室、「ヴァルブギヤー」等ノ構造、機能及現狀

二　潤動部ノ機能及現狀

三　樑合部ノ現狀

四　軸承類ノ樑合部ノ現狀

五　各部遊隙ノ現狀

六　運轉狀態

七　燃料ポンプ、氣化器、燃料噴射裝置、點火裝置、過給機、減速機、逆轉機、冷却裝置、潤滑裝置、始動裝置、排氣管及消音器ノ現狀

第百八十二條　「プロペラ」及附屬品ノ特別檢查ハ製造後ノ經過年月、保存ノ狀態等ヲ考慮シ製造檢查ニ準シ之ヲ行フ

第二章　飛行機ノ定期檢查及臨時檢查

第百八十三條　飛行機ノ機體ノ定期檢查ハ翼頭、胴體、降著裝置、操縦裝置及艇體ニ付前回檢查後ノ使用時間、經歷、保存ノ狀態等ヲ考慮シ特別檢查ニ準シ之ヲ行フ

第百八十四條　發動機、「プロペラ」及附屬品ノ定期檢查ハ前回檢查後ノ使用時間、經歷、保存ノ狀態等ヲ考慮シ特別檢查ニ準シ之ヲ行フ

第百八十五條　飛行機ノ臨時檢查ハ製造檢查及特別檢查ニ準シ之ヲ行フ

第百八十六條　飛行機ノ臨時檢查ハ第百七十三條乃至前條ノ規定ニ準シ彈性試驗ヲ行ヒ其ノ強度ヲ檢定スルノ外左ノ各號ノ事項ニ付檢查ヲ行フ

一　落下距離四十メートル以内ニ於テ展開スルコト

二　絲目ニ捲ミ又ハ捲レヲ生セサルコト

三　落下速力均齊ニシテ且毎五メートル以内ナルコト

四　傘、絲目、中間索、金具及緩衝索ハ輕量且強靱ニシテ充分ナル安全係數ヲ有スルコト

五　落下傘ヲ身體ニ結着スル帶ノ構造ハ傘ノ開キタルトキ成ルヘク身體ニ衝動ヲ感セシメス且迅速ニ離脫シ得ルモノナルコト

第十七款　救命胴衣

第百七十二條　救命胴衣ノ標準規格概ネ左ノ如シ

一　材料ハ「コルク」、「カポック」又ハ檢查官吏ニ於テ之ト同等以上ノ救力ヲ有スト認ムルモノナルコト

二　大人及小兒ニ適用シ得ヘク且著用法簡易ニシテ前後表裏轉用シ得ルコト

三　救命胴衣ヲ著用シタルトキ水中ニ於テ身體ヲ略直立セシメ且頭部ヲ水面ニ露出セシメ得ルコト

四　六、五キログラムノ重量ヲ附シ淡水中ニ四十八時間放置シタル後十五キログラムノ重量ヲ附シ浮ヒ得ルコト

第三編　飛行機ノ特別檢查、定期檢查及臨時檢查

第一章　飛行機ノ特別檢查

第百七十三條　飛行機ノ機體ノ特別檢查ハ翼頭、胴體、降著裝置、操縦裝置及艇體ニ付前回檢查後ノ使用時間、經歷、保存ノ狀態等ヲ考慮シ特別檢查ニ準シ之ヲ行フ

第百七十四條　翼類ノ特別檢查ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　主翼、迎角、翼取付角及翼間隔ノ現狀

二　布其ノ他ノ被覆ノ現狀

三　桁、縦ノ通ノ現狀

四　張線、張索、綢線線帶、管帶、「ターンバックル」等ノ現狀

五　支柱及支柱取付金具ノ現狀

六　變動機ヲ主翼ニ裝備シタルモノニ在リテハ其ノ取付裝置ノ構造及現狀

七　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百七十五條　胴體ノ特別檢查ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　變動機架ノ構造及現狀

二　乘員室、旅客室及貨物室ノ構造及現狀

三　縦通材、横骨及其ノ取付金具ノ現狀

四　張線、張索、綢線線帶、管帶、「ターンバックル」等ノ現狀

五　布其ノ他ノ被覆ノ現狀

六　尾部架構ノ構造及現狀

七　「ボンネット」ノ現狀

八　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百七十六條　降著裝置ノ特別檢查ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　胴部ノ構造及現狀

二　車輪又ハ之ニ代ルヘキ裝置ノ構造及現狀

三　尾橇ノ構造及現狀

四　緩衝裝置ノ構造、機能及現狀

五　「フロート」ノ構造及現狀

六　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百七十七條　操縦裝置ノ特別檢查ハ左ノ各號ノ事項ニ付製造檢查ニ準シ之ヲ行フ

一　操縦索ノ現狀

二　操縦傳導裝置ノ構造、機能及現狀

三　補助翼、昇降舵並方向舵ノ取付及取付金具ノ現狀

四　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百七十八條　延體ノ特別檢查ニ付テハ第百七十五條及第百七十六條ノ規定ヲ準用ス

第百七十九條　目本又ハ外國ニ於テ未タ航空用ニ供セラレサル新型式ノ飛行機ノ機體ノ特別檢查ニ於テハ第百七十三條乃至前條ノ規定ニ依ルノ外二編第一章第五節

補助翼、昇降舵及方向舵ハ最低速力ニ依リ飛行スル場合ニ於テモ確實ナル操縦性ヲ有スルコトヲ要ス

第二百七條　飛行機ハ容易ニ且大差ナク左右旋回ヲ行ヒ得ヘク旋回ニ際シ自然ニ旋回方向ニ傾斜シ且横辷ヲ生セサルモノナルコトヲ要ス

第二百八條　第三種飛行機ハ垂直旋回、宙返、横轉、錐揉、失速反轉等ノ各種ノ飛行ノ全部又ハ一部ヲ容易且確實ニ爲シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二百九條　飛行速力ノ檢査ハ左ノ二種トス

一　高速力試驗

二　經濟速力試驗

高速力試驗ハ飛行機ニ裝備セル發動機ノ標準馬力ノ十分ノ九及標準回轉數ニ依リ之ヲ行フ

經濟速力試驗ハ飛行機ニ裝備セル發動機ノ出馬力ヲ飛行機ノ經濟速力ニ應スル様制限シテ之ヲ行フ

第二百十條　飛行速力試驗ニ付テハ五百メートル以下ノ適宜ノ高度ニ於ケル飛行機ノ低空飛行速力ヲ測定ス

前項ノ場合ニ於テ檢査官吏必要アリト認ムルトキハ特ニ高度ヲ指定シ飛行速力ヲ測定スルコトヲ得

第二百十一條　飛行速力ノ測定法ハ第四號裝置ニ依ル

飛行速力ノ測定法ニ付前項ノ規定ニ依リ難キトキハ第五號裝置ニ依ルコトヲ得

飛行速力ノ測定法ニ付前二項ノ規定ニ依リ難キトキハ「ピトー」式速力計ニ依ル測定法ニ依ルコトヲ得

第二百十二條　上昇狀態ノ檢査ニ於テハ高度三千メートル、上昇時間十分間ヲ限度トシ高度千メートル毎ニ其ノ所要上昇時間ヲ測定ス

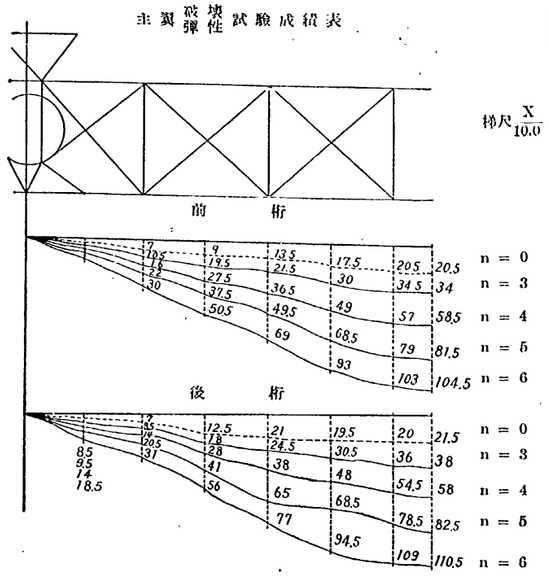
第二百十三條　尾翼攻撃角變更裝置、「フラップ」、「スロットル」、冷却水、燃料、滑油、冷却水循環裝置等ハ作用完全ニシテ其ノ操作容易且確實ナルモノナルコトヲ要ス

附　則

本令ハ航空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號表

主翼破壊性試驗成績表



全備重量　；1471 kg
搭載重量　；540 kg
翼體自重　；348 kg

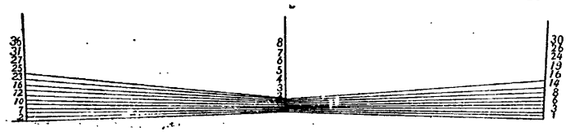
荷重係數　荷重

n 3　3×(1471+540−348)−348=4641 kg
n 4　4×(1471+540−348)−348=6304 kg
n 5　5×(1471+540−348)−348=7967 kg
n 6　6×(1471+540−348)−348=9630 kg

風壓量ノ單位ハ粍トス

後退ハ主翼ノ前緣ニ於ケル外端末支柱ノ節點力後退セル粍數トス

上翼後退量



備考　本表ハ成績表記入例ヲ示シタルモノトス

第二號表

翼體破壊彈性試驗成績表

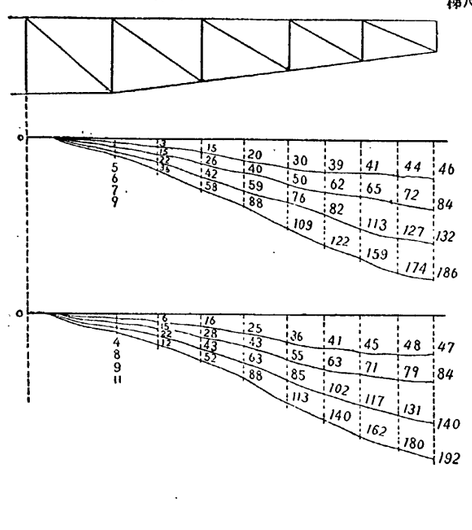
安定機面積　1.m²52
昇降舵面積　1.m²45

主翼ノ面積荷重　$\frac{P}{S}$=41.kg6

n=3　121.8×(1.52+1.45)=370.kg6
n=4　166.4×(1.52+1.45)=491.kg2
n=5　208.0×(1.52+1.45)=617.kg7
n=6　249.6×(1.52+1.45)=741.kg3

屈撓量ノ單位ハ粍トス

備考　本表ハ成績表記入例ヲ示シタルモノトス



第三號表

飛行機用發動機標準品檢查成績表

式號型馬力號發動機

一　試驗ノ目的
二　重要寸法表
三　弁開閉期調整表
四　試驗裝置（格闌ヲ添附スヘシ）
(1)　回轉數
(2)　軸馬力
(3)　修正馬力
(4)　潤滑油壓力（略圖ヲ添附スヘシ）
(5)　揮發油壓力
(6)　吸入管内壓力
(7)　大氣壓
(8)　潤滑油溫度
(9)　冷却水溫度
(10)　大氣溫度
(11)　大氣濕度
(12)　燃料油消費量
(13)　潤滑油消費量
(14)　冷却水循環量
(15)　試驗時中使用シタル燃料油及潤滑油
五　試驗成績
六　分解檢查
七　分解檢查後ノ運轉

試驗裝置圖
軸馬力計測裝置圖
冷却水管系統圖
潤滑油管系統圖
燃料油管系統圖

第四號表

三基線速力測定法

飛行機カA點ヨリB點、B點ヨリC點、C點ヨリA點ニ三角形飛行ヲ行ヒAB, BC, CA ノ各區間ノ距離、飛行所要時間及飛行速力ヲ次ノ通ト假定ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第五號表

(二)　(一)　風洞試驗ニ依ル飛行機ノ抵抗力測定法

ヴ、林ノ成ル地上ヨリ約二メートルノ高サニ於テ次ノ如キ三千メートル毎秒ノ速サヲ以テ A, B, C, D ノ順序ニ水平方向ニ飛行スル航空機ニ對シ其ノ相等シキ矩形ヲ作リ C, C, D, D ヲ成ス地上ヨリ約二メートル平方

七　内燃機關ニ關スル初等智識
八　國内航空法規ノ概要
九　國際航空法規ノ概要

第二十一條　二等航空操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ハ前條ノ科目ニ付三等航空船操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ニ比シ高キ程度ニ於テ之ヲ行フ

第二十二條　一等航空船操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ハ第二十條ノ科目ニ付二等航空船操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ニ比シ高キ程度ニ於テ之ヲ行フ

第二十三條　二等航空士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　地球ノ形狀　其ノ區劃及區劃ノ記號
二　地圖及海圖　見方、使用法及航空ニ使用セラルル諸投影法ノ實際的特質
三　地球磁氣　羅針盤ノ構造、用途及調整
四　速度ノ三角形ノ要素ヲ測定シ及算定スル機器ノ使用ニ依ル推測航法
五　方位測定用無線機ノ指示スル方位ニ依ル航空及必要ナル修正法ノ適用ニ依ル航空機ノ位置決定法
六　氣象學　各種氣象觀測ノ原理、航空用氣象報告竝表方法、豫報ノ原理竝天氣圖ノ構造及解釋
七　國内航空法規ノ概要
八　國際航空法規ノ概要

第二十四條　一等航空士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　地球ノ形狀　針路及距離ヲ算出スヘキ各種要素即チ航法ノ數學的算法
二　地圖及海圖　航空ニ使用セラルル投影法ノ普通形式ノ構造ノ原理
三　潮汐　初等理論及表ノ使用ニ依ル豫測
四　天測航法　航空機ノ位置ヲ決定スル各種ノ方法竝其ノ決定用ニ供セラルル表、「ダイアグラム」及機器ノ使用及保存
五　氣象學　前條第六號ノ科目ニ付二等航空士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ニ比シ高キ程度ニ於テ之ヲ行フ
六　無線電信及航空機用發動機ノ取扱ニ關スル一般智識
七　國内航空法規
八　國際航空法規

第二十五條　航空機關士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　内燃機關ニ關スル一般智識
二　航空機用發動機ノ構造、機能、組立、調整及特性ニ關スル一般智識
三　航空機用發動機ノ故障ノ原因探究及修正
四　航空機ニ對スル空氣抵抗ニ關スル一般智識
五　航空機ノ構造、機能、調整及取扱法
六　「プロペラ」ノ構造及機能
七　航空機用計器ノ構造、機能、調整及取扱法
八　航空機用材料及工作法ニ關スル一般智識
九　航空機用燃料ニ關スル一般智識
十　機燈及信號裝置ノ取扱法
十一　國内航空法規ノ概要
十二　國際航空法規ノ概要

第二十六條　航空発狀交付申請者ニ對シ行フコトアルヘキ學科試驗及航空機乘員臨時檢査ニ於テ行フコトアルヘキ學科試驗ニ付テハ第十七條乃至前第ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令ハ航空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別表）

試驗ノ種類	受驗履歷
二等飛行機操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル實地試驗	五十時間以上自ラ飛行機ヲ操縦シタルコト但シ内十時間ハ二等飛行機操縦士技倆證明書交付申請ノ日ヨリ遡リ一年以内ニ於テ行ヒタルモノナルコト
一等飛行機操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル實地試驗	二等飛行機操縦士免狀受有後百時間以上自ラ飛行機ヲ操縦シタルコト
自由氣球操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗	自由氣球ニ依リ登岡ニ於テ指導者ノ同乘指導ノ下ニ爲ス航空三回、指導者ノ同乘監督ノ下ニ自ラ操縦スル航空一回及單獨航空一回ヲ完了シタルコト尚各回ノ航空ハ二時間以上機續セルモノナルコト
三等航空船操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗	航空船ニ依リ一時間以上繼續スル航空二十回ヲ完了シタルコト但シ内三回ハ航空時間四時間以上ニシテ單獨航空一回ヲ完了シタルコト尚各回ノ航空ハ少クトモ四時間以上ニシテ單獨航空一回ハ航空時間四時間ヲ超ユルトキハ少クトモ四時間ヲ以テ足ル
二等航空船操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗	航空船ニ依リ一時間以上繼續スル航空二十回ヲ完了シタルコト但シ内三回ハ航空時間四時間以上ニシテ單獨航空一回ヲ完了シタルコト尚各回ノ航空ハ少クトモ四時間ヲ超ユルトキハ少クトモ四時間ヲ以テ足ル
一等航空船操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗	二等航空船操縦士免狀受有後二月以上二等航空船操縦士ノ職ヲ執リタルコト及容積二萬立方メートル以上ノ航空船ニ搭乘シ指導者ノ同乘監督ノ下ニ航空時間四時間以下ナルトキハ終始、航空時間四時間ヲ超ユルトキハ少クトモ四時間自ラ航空船ヲ操縦（離陸及着陸ヲ含ム）シ五回以上ノ航空ヲ完了シタルコト尚各回ノ航空ハ少クトモ一時間續航シ五回ノ航空ヲ合シ十五時間ニ達スルコト
二等航空士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗	航空機乘員トシテ五十時間以上ノ航空ヲ完了シタルコト
一等航空士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗	航空機乘員トシテ二百時間以上ノ航空ヲ完了シタルコト但シ内少クトモ百時間ハ二等航空士トシテ、十五時間ハ夜間ニ於テ航空ヲ完了シタルコト
航空機關士技倆證明書交付申請者ニ對スル實地試驗	二年以上航空機用發動機ノ運轉ニ從事シタルコト

備考

當該技倆證明書交付申請ノ日ヨリ遡リ五年ヲ超ユル以前ノ履歷ハ之ヲ本表ニ掲クル履歷トシテ認ムルコトヲ得ス

●航空機乘員體格檢查規則

昭和二年五月
遞令第十一號

航空機乘員體格檢查規則左ノ通定ム

第一條　航空機乘員體格檢查ハ航空法施行規則第十一條ノ規定ニ依リ航空發狀交付申請書ヲ受理シタル場合又ハ航空機乘員ニ對スル定期檢查若ハ臨時檢查ニ於テ體格檢查ヲ行ハムトスルトキハ其ノ日時、場所其ノ他受驗ニ必要ナル事項ヲ航空發狀交付申請者ニ通知ス

第二條　航空發狀交付申請者ハ第一號書式ニ依リ局部ノ作成シタル體格檢查證ヲ申請書ニ添附シ遞信大臣ニ提出スヘシ

第三條　遞信大臣航空機乘員ニ對スル定期檢查又ハ臨時檢查ニ於テハ當該檢查ヲ行ハムトスル場合ニ於テハ當該受檢者ヲシテ第一號書式ニ依リ醫師ノ作成シタル體格檢查證ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第四條　遞信大臣ハ體格檢查證ヲ調査シタル上特ニ體格檢查ヲ行フノ必要ナシト認ムルトキハ體格檢查證ニ依リ合格又ハ不合格ヲ決定スルコトアルヘシ

第五條　航空発狀交付申請者體格檢查ニ關シ不正ノ行爲アリタルトキハ其ノ者ニ對スル體格檢查ハ之ヲ停止ス

航空発狀交付申請者故ナク體格檢查ニ遲刻シ又ハ缺席シタルトキハ其ノ者ニ對スル體格檢查ハ之ヲ停止スルコトアルヘシ

體格檢查終了後第一項ニ該當スル事實ヲ發見シタルトキハ當該受檢者ニ對スル體格檢查ハ之ヲ無效トス

第六條　航空発狀交付申請者ニシテ體格檢查ニ合格セサリシ者又ハ前條ノ規定ニ依リ體格檢查ヲ停止セラレ若ハ無效トセラレタル者ニ付テハ遞信大臣ハ一年以下ノ期間ヲ定メ受驗ヲ禁止スルコトアルヘシ

第七條　體格檢查ニ要スル費用ハ官ニ於テ支出スルモノヲ除クノ外受檢者ノ負擔トス

第八條　二等飛行機操縦士、自由氣球操縦士、二等航空士又ハ航空機關士ノ発狀ノ交付申請者若ハ受有者ニ對スル體格檢查ノ結果左ノ各號ノ一ニ該當スル者ナルトキハ之ヲ不合格トス

一　身長五尺未滿ノ者
二　精神病、癲癇、「ヒステリー」又ハ閃輝暗點症ノ既往症ヲ有スル者
三　慢性酒精中毒者
四　梅毒性疾患又ハ官能性神經系疾患ヲ有スル者
五　航空機ノ取扱ニ支障ヲ及ホスコトアル六　精神病ノ遺傳的素因ヲ有スル者
七　身體各部ノ發育及能率著シク不均等ナル者
八　循環器若ハ呼吸器ニ異常アル者、循環機能若ハ呼吸機能充分ナラサル者又ハ是等臟器ノ機能ニ障害ヲ及ホスヘキ他ノ臟器ノ疾患ヲ有スル者
九　各眼ノ矯正視力〇、六未滿ノ者
十　光神、色神、視野、調節機、兩眼視機、眼球運動及眼筋平衡ニ障害ヲ有スル者
十一　一メートルノ距離ニ於テ靴音ヲ聽取シ得サル者
十二　聽能ノ左右不均等ナル者又ハ均衡機能ニ障害ヲ有スル者
十三　鼓膜ニ病的變化ヲ呈シ又ハ歐氏管狹窄ヲ有スル者
十四　咽腔又ハ鼻腔ニ疾患ヲ有スル者
十五　容易ニ眩暈ヲ起スヘキ異常ノ素質ヲ有スル者
十六　感情動搖著シキ者
十七　筋神ノ著シク不敏ナル者
十八　反應時間及認識選擇時間著シク遲延スル者又ハ錯差過大ナル者
十九　心理學的檢查ニ於テ著シキ異常アル者
二十　其ノ他精神上又ハ身體上ノ疾病若ハ缺陷ヲ有シ航空機乘員タルニ適セサル者

第九條　一等飛行機操縦士、航空船操縦士又ハ一等航空士ノ発狀ノ交付申請者若ハ受有者身體檢查ノ結果前條第一號乃至第八號第十號第十二號乃至第二十號及左ノ各號ノ一ニ該當スル者ナルトキハ之ヲ不合格トス

一　各眼ノ裸視力一、〇未滿ノ者
二　耳翼面ヨリ一ミリメートルノ距離ニテ地面ニ對シ垂直ニ保持セラルル音叉ノC（毎秒六十四振動）C（毎秒二百五十六振動）及C（毎秒四千九十六振動）ニ對シ正常ノ聽覺ヲ有セサル者
第十條　體格檢查執行中不合格ト爲ルヘキ事項ヲ發見シタルトキハ爾後ノ檢查ヲ中止シ不合格ノ決定ヲ爲スコトアルヘシ

備考

受檢者左記各號ノ一ニ該當スル者ナルトキハ其ノ旨參考事項欄ニ記載スヘシ

一　慢性酒精中毒者
二　身體各部ノ發育及能率著シク不均等ナル者
三　容易ニ眩暈ヲ起スヘキ異常ノ素質ヲ有スル者
四　感情動搖著シキ者
五　筋神ノ著シク不敏ナル者
六　反應時間及認識選擇時間著シク遲延スル者又ハ錯差過大ナル者
七　心理學的檢查ニ於テ著シキ異常アル者
八　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第一號書式

體格檢查證

被檢查者氏名		被檢查者住所		被檢查者生年月日	
遺傳的素因		既往症	創傷又ハ手術創		
先天的又ハ後天的畸形					
身長	メートル	體重	キログラム	胸圍	メートル
呼吸膨脹ノ差	メートル	握力	右	左	關節運動
循環器		呼吸器			其ノ他ノ內臟
視力	右	左	矯正視力	右	左
屈折機	右	左	辨色力	右	左
聽器	耳叩語	左 右	m m m m	音叉	W KL C F4
鼻腔咽腔	鼻腔		咽喉腔		歐氏管
均衡機	兩脚直立		單脚直立	右	左
參考事項					

檢查場所

檢查年月日

檢查醫師　住所　氏名　印

●三等飛行機操縦士免許規則

昭和二年五月
逓信省令第十二號

三等飛行機操縦士免許規則左ノ通定ム

第一條　三等飛行機操縦士免狀ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ニ依ル申請書ニ戸籍抄本（出願者ガ市町村長ノ證明ヲ受ケタルモノハ其ノ證明ヲ）最近撮影シタル寫眞（タテ四寸、ヨコ二寸）第二號書式ニ依ル履歴書及第三號書式ニ依リ醫師ノ作成シタル體格檢査證ヲ添附シ逓信大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第二條　逓信大臣前條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ試驗ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ三等飛行機操縦士免狀ヲ交付ス

前項ノ試驗ハ之ヲ分チテ體格檢査、實地試驗及學科試驗トス

三等飛行機操縦士免狀ハ第四號書式ニ依ル

第三條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ハ申請ノ日ヨリ遡リ一年以内ニ十時間以上單獨ニテ飛行機ノ操縦ヲ爲シタル者ナルコトヲ要ス但シ陸軍又ハ海軍ニ於テ三等飛行機操縦士免狀ノ交付ヲ受クルニ必要ナル學科及技術ヲ修得シタル者其ノ他逓信大臣ニ於テ相當ノ資格アリト認ムル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三等飛行機操縦士免狀交付ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス

一　年齢十七歳ニ達セサル者
二　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
三　精神病者、聾者、唖者又ハ盲者
四　其ノ他逓信大臣ニ於テ不適當ト認ムル者

第五條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニ對スル試驗ハ體格檢査、實地試驗、學科試驗ノ順序ニ依リ之ヲ行フ體格檢査ニ合格セサリシ者ニ對シテハ實地試驗ヲ、實地試驗ニ合格セサリシ者ニ對シテハ學科試驗ヲ行ハス

第六條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者カ陸軍又ハ海軍ニ於テ三等飛行機操縦士免狀ノ交付ヲ受クルニ必要ナル學科及技術ヲ修得シタル者其ノ他逓信大臣ニ於テ相當ノ資格アリト認ムル者ナルトキハ實地試驗及學科試驗ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

第七條　逓信大臣三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニ對スル試驗ヲ行ハムトスルトキハ其ノ日時、場所其ノ他受驗ニ必要ナル事項ヲ受驗者ニ通知ス

第八條　受驗者試驗ニ關シ不正ノ行爲アリタルトキハ其ノ者ニ對スル試驗ハ之ヲ停止ス受驗者故ナク試驗ニ遅刻シ、缺席シ又ハ實地試驗ノ際受驗用器材等ノ整備ヲ怠リタルトキハ其ノ者ニ對スル試驗ハ之ヲ停止スルコトアルヘシ

試驗終了後第一項ニ該當スル事實ヲ發見シタルトキハ當該受驗者ニ對スル試驗ハ之ヲ無效トス

第九條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニシテ試驗ニ合格セサリシ者又ハ前條ノ規定ニ依リ試驗ヲ停止セラレ若ハ無效トセラレタル者ニ付テハ逓信大臣ハ一年以下ノ期間ヲ定メ受驗ヲ禁止スルコトアルヘシ

第十條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニシテ實地試驗ニ合格シタルモ學科試驗ニ合格セサリシ者其ノ實地試驗終了ノ日ヨリ一年以内ニ同一ノ申請ヲ爲シタル場合ニ於テハ實地試驗ヲ免除スルコトアルヘシ

第十一條　試驗ニ要スル費用ハ官ニ於テ支出スルモノヲ除クノ外受驗者ノ負擔トス

第十二條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニ對スル體格檢査ハ航空機乘員體格檢査規則ニ依ル二等飛行機操縦士免狀交付申請者ニ對スル體格檢査ニ準シ之ヲ行フ

逓信大臣體格檢査證ヲ調査シタル上必要ナシト認ムルトキハ特ニ體格檢査ヲ行ハサルコトアルヘシ

第十三條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニ對スル實地試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　千メートルノ高度ニ上昇シタル後發動機ノ運轉ヲ停止シ滑陸又ハ著水シ試驗官ノ指定スル長百五十メートル幅百メートルノ圏内ニ飛行機ヲ停止スルコト

二　三百メートル以下ノ高度ニ於テ長徑約千メートルノS字形旋回飛行連續二回ノ後著陸又ハ著水スルコト

五百メートル以下ノ高度ニ上昇シタル後發動機ノ運轉ヲ停止シ之ヲ再動スルコトナク旋回下降シ滑陸又ハ著水スルコト

第十四條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニ對スル學科試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　飛行機體ニ關スル初等智識
二　航空機用發動機ニ關スル初等智識
三　航空及氣象ニ關スル初等智識
四　國内航空法規ノ概要

第十五條　三等飛行機操縦士免狀受有者ハ左ノ各號ノ場所ノ上空ニ限リ運送營業ノ爲ニスル場合ヲ除クノ外免狀ニ掲クル飛行機ノ操縦ニ從事スルコトヲ得但シ運航ノ爲飛行機操縦士又ハ航空機機關士ノ免狀受有者ヲ搭乘セシムル場合ヲ除クノ外他人ヲ同乘セシムルコトヲ得ス

一　飛行場及其ノ周圍五十キロメートル以内ノ場所

二　航空法第二十九條但書及航空法施行規則第百二條ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場所及其ノ周圍五十キロメートル以内ノ場所

前項第一號ノ飛行場カ公共ノ用ニ供スルモノナルトキハ其ノ上空ニ於ケル飛行ニ付テハ逓信大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第十六條　三等飛行機操縦士免狀受有者其ノ免狀ニ揭ケサル飛行機ノ操縦ニ從事セムトスルトキハ第五號書式ニ依ル三等飛行機操縦士免狀效力擴張申請書ヲ逓信大臣ニ提出スヘシ

逓信大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ實地試驗ヲ行ヒ申請者之ニ合格シタルトキハ其ノ受有スル免狀ニ當該飛行機ノ名稱及免許年月日ヲ記入ス

第十七條　前條第二項ノ實地試驗ニ付テハ第七條乃至第九條第十一條及第十三條ノ規定ヲ準用ス

第十八條　三等飛行機操縦士免狀受有者ハ曲技飛行又ハ興行飛行ヲ爲スコトヲ得ス

第十九條　三等飛行機操縦士ノ鏡技飛行ヲ行ハムトスルトキハ其ノ主催者ハ航空ノ日時、場所其ノ他計畫ノ詳細ヲ具シ實地檢定期日ノ十日前迄ニ地方長官ニ其ノ許可ヲ申請スヘシ

第二十條　逓信大臣必要アリト認ムルトキハ三等飛行機操縦士免狀受有者ニ對シ臨時ニ體格檢査、實地試驗又ハ學科試驗ヲ行フコトアルヘシ

前項ノ體格檢査、實地試驗又ハ學科試驗ニ付テハ第七條乃至第九條第十一條乃至第十四條ノ規定ヲ準用ス

第二十一條　航空法施行規則第三條第七十八條第八十條乃至第八十五條第百二十七條及第百二十八條ノ規定ハ三等飛行機操縦士免狀受有者ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ航空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

逓信大臣宛

第二號書式

履歷書

本籍
住所　　氏　　年月日生　　名印

一　國籍
二　軍籍
三　學歷
四　操縦術幾關術其ノ他技術修業ニ關スル履歷
……
五　職業
……
六　賞罰
……

右之通相違無之候也

年　月　日

氏　　名印

備考

一　操縦術修業ニ關スル履歷ニハ操縦シタル航空機ノ型式、操縦回數、操縦時間其ノ他ノ事項ヲ詳細ニ記載シ尚技術證明書又ハ航空免狀ノ寫ヲ添附スヘシ

二　機關術其ノ他ノ特殊技術修業ニ關スル履歷ニハ取扱ヒタル機關其ノ他技術修業ニ關スル事項ヲ詳細ニ記載シ尚技術證明書又ハ航空免狀ノ寫ヲ添附スヘシ

第三號書式

體格檢査證

被檢査者	氏名		被檢査者	住所	
					被檢査者生年月日
遺傳的素因			既往症		
先天的又ハ後天的畸形			創傷又ハ手術創		
一般健康狀態	身長		體重		キログラム
	呼吸ノ差	膨縮	胸圍		メートル
		メートル	握力	右	
				左	
	脈搏	隔日運動			
	循環器		呼吸器		
	塵				

視力	右		矯正視力	右		視野	右		色覺	右	
	左			左			左			左	
聽器	聽力	叩語	左		m		音叉	W/KL			
			右		m			C			
鼻咽喉	鼻腔							F4			
	副鼻腔										
	咽喉腔										
均衡機	扃折機		右			辨色力			眼筋平衡		
	兩脚直立										
	單脚直立		右			左			直線的歩行運動		

參考事項

檢查場所

檢查年月日

檢查醫師（住所　氏名）　印

備考

受檢者左記各號ノ一ニ該當スル者ナルトキハ其ノ旨參考事項欄ニ記載スヘシ

一　慢性酒精中毒者
二　身體各部ノ發育及能率著シク不均等ナル者
三　容易ニ皮膚ヲ起スヘキ異常ノ素質ヲ有スル者
四　感情動搖著シキ者
五　筋神ノ著シク不敏ナル者
六　反應時間及認識選擇時間著シク遲延スル者又ハ錯差過大ナル者
七　心理學的檢査ニ於テ著シキ異狀アル者
八　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第四號書式

第　號

三等飛行機操縦士免狀

本籍
住所　　氏　　年月日生　　名

寫眞

右者成規ノ試驗ニ合格シタルニ依リ三等飛行機操縦士タルノ技倆ヲ有スルモノト認定ス

依テ左記飛行機ニ付三等飛行機操縦士タルコトヲ免許ス

記

年　月　日　　逓信省印

（表　紙）

航　空　日　誌

（其　一）

本籍
住所　　氏名　　印

遞信大臣宛

●航空日誌ノ書式及航空機乘員手帖ノ書式

昭和二年六月
總督府令第百二號

朝鮮總督府令第五十六號ニ依ル昭和二年遞信省令第八號航空法施行規則第百二十六號ノ規定ニ依リ航空日誌ノ書式及同規則第百二十七條ノ規定ニ依リ航空機乘員手帖ノ書式左ノ通定ム

一　航空日誌ノ書式

記

飛行機　免許年月日　印

制限事項

事項　年月日　印

體格檢查成績

成績　檢查年月日　有效期間　印

本籍、住所、氏名變更事項

種別　變更事項　變更年月日　印

第五號書式

三等飛行機操縱士免狀效力擴張申請書

私儀現ニ受有スル三等飛行機操縱士免狀ノ效力擴張致度候ニ付此段申請候也

一　受有三等飛行機操縱士免狀ノ番號
二　試驗ヲ受ケムトスル場所及時期
三　受驗ノ爲使用セムトスル飛行機ノ型式

年　月　日

（第　一　頁）

1

シヘク附備ニ機航空ヲ之ニ常ハ誌日本

記入心得

一　第二頁及第三頁ニハ航空機ノ所有者又ハ管理者當該事項ヲ記入シ第四頁以下ニハ當該航空事ニ從シタル操縱士又ハ航空士航空終了ノ都度當該事項ヲ記入スヘシ

二　第四頁以下ノ航空ノ種類關ニハ定期航空、練習航空、夜間航空等ノ區別ヲ記入シ備考欄ニハ天候、航空事故其ノ他航空ニ關シ參考トナルヘキ事項ヲ記入スヘシ

三　記入ニハ「インク」ヲ使用スヘシ

（第　二　頁）

2

航空機要目表

航空機	種類	
	型式	
國籍及登錄記號		
積載量	乘員座席數	
	旅客座席數	
	貨物積載量	
	貨物積載容積	
油槽量	燃料	
	潤滑油	
全馬力飛行時數		
無線通信機	型式	
	波長	

正面圖

側面圖　　平面圖

（表　紙）

航　空　日　誌

（二　共）

（第　一　頁）

1

本日誌ハ常ニ之ヲ發動機ニ備附クヘシ

記　入　心　得

一　第二頁乃至第十五頁ニハ發動機ノ所有者又ハ管理者當該事項ヲ記入スヘシ

二　第十六頁以下ニハ當該運轉ニ從事シタル操縱士又ハ機關士運轉終了ノ都度當該事項ヲ記入スヘシ

（第　三　頁）

3

發動機要目表

型式				
重量				
標準馬力數				
標準回轉數				
減速比				
數				
裝備年月日				

「プロペラ」要目表

型式				
回轉數				
直徑				
ピッチ				
翅數				
材質				
數				
裝備年月日				

附屬品目表

品目	高度計	速度計	羅針儀	壓力計	水溫計	時計	回轉計	前後傾斜計	左右傾斜計	溫度計	檢油計	落下傘	救命胴衣	消火器	補修用具	航空圖道具箱							
數																							

（第　四　頁）

4

航　空　日　誌

年月日	航空ノ種類	乘員氏名	區域	距離	發著時刻	所要時間	製造又ハ特別檢查後ノ航空時間累計	備考

備考
一　本日誌ノ寸法ハ縱十九センチメートル橫二十四センチメートル
二　第五頁以下ハ第三頁ニ同シ

（第　六　頁）

6

發動機修理及部分品取換記錄

修理又ハ取換年月日	修理又ハ取換ヲ爲シタル部分	修理又ハ取換ノ模様

（第　十　六　頁）

16

發動機日誌

年月日	運轉時間 地上	空中	合計	修理後ノ運轉時間累計	分解手入後ノ運轉時間累計	運轉中ニ於ケル事故

備考　一　本日誌ノ寸法ハ縱十九センチメートル橫二十四センチメートルトス

二　第四頁及第五頁ハ第三頁ニ同シク第七頁乃至第十五頁ハ第六頁ニ同シク第十七頁以下ハ第十六頁ニ同シ

（第　二　頁）

2

發動機要目表

型式及馬力數		冷却水及潤滑油ヲ含マサル重量	
標準馬力數		分解及手入標準時間	
標準回轉數		製造番號	
回轉方向		檢查濟記號	
著火點	上死點前	製造所名	
最低及最高油壓	最低　最高	製造年月日	
燃料及潤滑油ノ種類	燃料　潤滑油	使用開始年月日	
燃料及潤滑油標準消費料	燃料　潤滑油		

			計畫	實測
調整	氣筒番號			
	著火順序			
	吸入瓣	開期 上死點		
		閉期 下死點後		
	排氣瓣	開期 下死點前		
		閉期 上死點		
	間隙	吸氣瓣		
		排氣瓣		

（第　三　頁）

3

變更記錄

所有者氏名	裝備航空機ノ型式	裝備航空機ノ國籍及登錄記號	裝備年月日	變更事由

二　航空機乘員手帖ノ書式

（表紙）

航空機乗員手帖

（裏紙）

本手帖ハ乗員トシテ航空機ニ搭乗スル場合常ニ之ヲ携帯スヘシ

記入心得

一　第二頁乃至第五頁ニハ本人ノ航空ニ關スル履歴ヲ記入スヘシ

二　第六頁以下ニハ航空終了ノ都度當該事項ヲ記入スヘシ

三　第六頁以下ノ下部三段（航空機ノ型式、航空回數累計、航空時間累計）ニハ航空機ノ型式別ニ從ヒ其ノ上部各段ニ記載セル航空回數及航空時間ノ累計ヲ記入スヘシ

四　第七頁第九頁等ノ備考欄ニハ航空ノ種類（定期航空、練習航空、夜間航空等）、航空路、天候、航空事故其ノ他航空ニ關シ參考トナルヘキ事項ヲ記入スヘシ

五　記入ニハ「インク」ヲ使用スヘシ

（第一頁）

1

氏名

年　月　日生

日月年付下	類種狀免空航有受

（第二頁）

2

航空履歴

（第三頁）

3

（第六頁）

6

航空記錄

月日	航空機型式	機號	飛行回數	同累計	飛行時間	同累計
航空機ノ型式別航空回數累計						
航空時間累計						

（第七頁）

7

（昭和　年）

備考			

五　航空ノ目的、航空路其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第三條　前條ノ規定ニ依リ飛行場使用ノ屆出ヲ爲シタル後其ノ使用ヲ必要トセザルニ至リタルトキ又ハ前條各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ遲滯ナク其ノ旨前條ノ屆出ヲ爲シタル飛行場長ニ屆出ヅルヲ利便トスル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ飛行場長ハ飛行場ノ使用ヲ制限、停止若ハ禁止シ又ハ必要ナル措置ヲ爲サシムルコトアルベシ

一　使用ノ爲危害ヲ生ジ又ハ生ゼムトスル虞アルトキ

二　本令ノ規定又ハ本令ニ基ク命令ニ違反シタルトキ

三　其ノ他飛行場長ニ於テ使用セシムルヲ不適當ト認ムルトキ

飛行場長ハ前項ノ處分ニ關シ必要アリト認ムルトキハ使用航空擬ノ檢査ヲ爲スコトアルベシ

第五條　使用者又ハ其ノ使用人故意又ハ過失ニ因リ飛行場ノ設備ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ遲滯ナク命ズル所ニ從ヒ使用者ニ於テ之ガ修繕ヲ爲シ又ハ其ノ損害ヲ賠償スベシ

第六條　朝鮮又ハ關東州ノ飛行場ト內地ノ飛行場トヲ併セ使用セムトスル場合ニ於テ朝鮮又ハ關東州ニ於ケル當該規則ニ依リ本令第二條又ハ第三條ニ該當スル屆出ヲ爲シタルトキハ本令ニ依リ屆出ヲ爲シタルモノト看做ス

第七條　飛行場ノ使用ニ關シテハ本令ニ定ムルモノノ外飛行場長ノ指示ニ從フベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮航空奬勵規則

昭和十年一月
總令第一號

朝鮮航空奬勵規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮總督ハ民間ニ於ケル航空ノ發達ヲ圖ル爲本令ニ依リ每年度豫算ノ範圍內ニ於テ金品ヲ授與スルコトアルベシ

第二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ賞狀又ハ賞金又ハ賞品ヲ授與スルコトアルベシ

一　航空事業ノ發達ニ功勞アリタル者

二　航空機操縱士其ノ他航空關係技術者ノ養成ニ從事シ其ノ成績顯著ナル者

三　航空機操縱士又ハ航空機ノ副節若ハ補修ニ從事スル技術者ニシテ特ニ其ノ技倆ノ優秀ナルモノ

四　優秀ナル航空用機器及所要材料ノ設計又ハ製作ヲ爲シタル者

第三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ特ニ奬勵ノ必要アルモノニハ奬勵金ヲ授與スルコトアルベシ

一　優秀ナル航空用機器及所要材料ノ考案又ハ研究ニ從事スル者

二　航空事業ニ關スル競技會、共通會又ハ之ニ準ズベキモノノ開設者其ノ他航空知識ノ普及ニ關スル施設ヲ爲ス者

四　航空路ノ開設ニ從事スル者

五　其ノ他航空事業ノ發達ニ必要ナル施設ヲ爲ス者

第四條　朝鮮ニ籍ヲ有スル航空距離ノ制限ナキ飛行機ニシテ其ノ所有者又ハ乘員ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因ラズシテ損傷シ其ノ修繕容易ニシテ朝鮮總督ノ適當ト認ムル工場ニ於テ其ノ相當ト認ムル修繕費ニテ之ヲ修繕シ且修繕後航空距離ノ制限ナキ飛行機トシテ有效期間六月ノ堪航證明書ヲ發給セラレ更ニ之ヲ航空ノ用ニ供セントスルモノニ付テハ所有者ノ申請ニ依リ維持奬勵金ヲ授與スルコトアルベシ

第五條　朝鮮ニ籍ヲ有スル航空機ノ乘員航空事務ニ從事中自己ノ重大ナル過失ニ因ラズシテ死亡シ又ハ傷痍ヲ受ケ其ノ爲ニ扶助ヲ必要トスル狀態ニ陷リタルトキハ之ニ慰助金ヲ交付スルコトアルベシ本人死亡ノ場合ニ於テハ慰助金ハ其ノ遺族ニ之ヲ交付ス

第六條　第二項ニ規定スル賞狀及賞金又ハ賞品ヲ受クベキ者其ノ授與前死亡シタルトキハ之ヲ本人ノ遺族ニ交付ス

第七條　前二條ニ於テ遺族ト稱スルハ本人ノ配偶者、子、父、母、祖父、祖母、兄弟姉妹ニシテ本人死亡ノ當時之ト同一戶籍內ニ在ル者ヲ謂フ但シ本人死亡後出生シタル嫡出ノ子ハ之ヲ死亡ノ當時其ノ戶籍內ニ在リタル者ト看做ス

第八條　賞狀及賞品若ハ賞金又ハ慰勵金ヲ遺族ハ交付スル場合ニ於テハ其ノ順位ハ前條ニ規定スル遺族ノ順序ニ依ル

同順位ノ子數人アルトキハ本人ヲ扶養相人トシタル家督相續又ハ戶主相續ノ順位ニ準ジ之ヲ定ム

父母ニ付テハ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニス

祖父母ニ付テハ養父母ノ父母ヲ先ニシ實父母ノ父母ヲ後ニシ父母ノ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十三款　開港

●開港取締規則

大正四年七月
總令第七十二號

改正　大正九年三第三三號、一〇年五第九二號
昭和二年三第八號、三年九第五六號、
昭和一〇年三第八一號、一〇年一〇第一二四號

開港取締規則左ノ通定ム

第一條　開港ノ港界左ノ如シ

仁川港

猫角ヨリ大月尾島ノ北端ニ向ケ引キタル延長線、勿淵島ノ東端ヲ基準トシテ南微西二分ノ一西ニ引キタル一線、納島ノ南端ヨリ西四分ノ三南ニ引キタル一線及市街ノ南東ニ在ル百二十八呎山頂ヨリ納島ノ東端ニ引キタル一線以內

群山港

所羅串ヨリ南四分ノ三東ニ引キタル一線、堂末ヨリ後望山山頂ニ引キタル一線及龍堂ヨリ前望山挂燈立標ニ向ケ引キタル一線以內

木浦港

南角ヨリ高下島二百六十四呎山頂ニ引キタル一線、高下島二百四十呎山頂ヨリ四十二呎島ノ山頂ヲ經テ對岸ニ引キタル一線及琴山山頂ヨリ三鷗島ノ東端ヲ經テ務安牛島ニ引キタル一線以內

釜山港

富民洞南端ヨリ絕影島大風浦ニ向ケ引キタル一線及廣鱉末ヨリ浮風末ニ引キタル一線以內

鎭南浦港

猪島百七十七呎山頂ヨリ北二分ノ一西ニ引キタル一線及望遠黑埼ヨリ北二分ノ一西ニ引キタル一線以內

新義州港

下端洞（西國ノ燈台）目標ヨリ北微西二分ノ一西ノ對岸小沙河川口右岸ニ引キタル一線及三橋川川口目標ヨリ西ニ引キタル一線以內

龍巖浦港

獅子島二百五十呎山頂ヨリ加次島頂上ニ引キタル一線、加次島頂上ヨリ「クルミ」島頂上ヨリ長島頂上ヲ經テ延長シタル一線及三橋川川口目標ヨリ西ニ引キタル一線以內

元山港

連島里百三十六呎山頂ヨリ陽日川川口右岸ニ引キタル一線以內

清津港

高秣山端ヨリ二百六十七度ニ引キタル一線以內

城津港

沙津端ヨリ對岸厚里津山山頂ニ引キタル一線以內

雄基港

琵琶島東端ヨリ雄基山千三百三十一呎山頂ニ引キタル一線以內

羅津港

城亭端ヨリ小草島南端ニ向ケ引キタル一線以內

第二條　船舶ハ開港ヲ出入スルニ當リ其ノ所屬國旗及信號符字ヲ揭揚スヘシ

入港ノ船舶ハ入港屆ヲ提出シタル後ニ非サレハ前項ノ國旗及信號符字又ハ船主旗ヲ引下スヘカラス

出港屆ヲ提出シタル船舶ハ出帆旗ヲ揭揚スヘシ

第三條　入港屆ハ第一號書式ニ依リ著港後二十四時間內ニ、出港屆ハ第二號書式ニ依リ出港前ニ之ヲ警察署長ニ提出スヘシ但シ一定ノ日時ニ著發スル船舶ニシテ特ニ警察署長ノ許可ヲ受ケタルモノハ第三號書式ニ依リ著發屆ヲ提出スルヲ以テ足ル

第四條　一定ノ港界間ニ往復スル滑海通航船ニ付テハ船主ハ豫メ警察署長ノ許可ヲ受ケ入港及出港ニ關スル屆出ノ手續ヲ省略スルコトヲ得

第五條　入港船舶ハ下船スル船客ノ住所、職業、氏名、年齡、船室等並ニ乘船地及行先地ヲ記載シタル下船客名簿ヲ入港屆又ハ著發屆ニ添附スヘシ

警察署長必要ト認ムルトキハ出港セムトスル船舶ニ對シ前項ニ準シタル事項ヲ記載シタル乘船客名簿ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第六條　出港シタル船舶カ避難修繕其ノ他ノ事故ノ爲出港後十二時間內ニ歸港シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル屆書ヲ警察署長ニ提出シ入港屆ニ代フルコトヲ得

第七條　入港シタル船舶ノ船長ハ警察署長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他船又ハ陸地トノ間ニ於テ交通ヲ爲シ又ハ爲サシムヘカラス

第八條　警察署長必要ト認ムルトキハ港界內ニ在ル船舶ノ碇泊所ヲ指定シ又ハ碇泊所ノ變更ヲ命スルコトヲ得

前項ニ依リ指定ヲ受ケ又ハ變更ヲ命セラレタル船舶ハ警察署長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ碇泊所ヲ變更スルコトヲ得ス但シ天使其ノ他已ムヲ得サル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ其ノ遲滯ナク警察署長ニ屆出ツヘシ

第九條　港界內若ハ其ノ附近ニ碇泊シ又ハ航行スル船舶ハ日沒ヨリ日出迄海上衝突豫防ニ關スル法令ニ規定シタル各種ノ船燈ヲ揭クヘシ

第十條　船舶ハ港界內又ハ其ノ附近ニ於テ他船ノ航行若ハ碇泊ヲ妨碍スヘカラス

警察署長ハ船舶ノ接岸出港ヲ「テンプーム又ハ」カ他船ノ航行ヲ妨碍スルノ虞アリト認ムルトキハ之ヲ取込マシムルコトヲ得

第十一條　船舶港界內ヲ航行スルトキハ其ノ速力ヲ減シ又ハ曳船ニ依リ徐行スヘシ但シ汽艇ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　港界內ニ於テ汽艇又ハ櫓櫂ヲ以テ航行スル舟ハ汽船、帆船ノ航路ヲ避クヘシ

第十二條ノ二　道知事必要アリト認ムルトキハ前二條ノ規定ニ拘ラス別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十三條　港界內ニ於テ曳船ヲ爲サムトスルトキハ警察署長ノ許可ヲ受ケ曳船又ハ曳船ノ外船又ハ端舟ハ五艘、水船又ハ倉船ハ二艘、航洋船ハ一艘ヲ超ユルコトヲ得ス

警察署長ハ取締上必要ト認ムルトキハ被曳船ノ船數ヲ制限シ又ハ被曳船ニ於テ放ツヘカラス

第十四條　港界內ニ於テ船舶ニ艘以上連航スルトキハ相當ノ距離ヲ保ツヘシ

船舶ハ遽ニ二艘以上竝列シテ航行シ又ハ航路內ニ於テ遽ニ他船ノ前路ヲ橫切リ若ハ追越スヘカラス

第十五條　港界內ニ於ケル岬角、埠頭、棧橋、防波堤ノ突端又ハ碇泊船ノ一端ヲ同航スル船舶ハ之ヲ右舷ニ見テ航行スルトキハ小廻ヲ爲シ左舷ニ見テ航行スルトキハ大廻ヲ爲スヘシ

第十五條ノ二　汽船防波堤入口ニ於テ出會ノ虞アルトキハ入港船ハ防波堤外ニ於テ出港船ヲ避クヘシ

第十六條　警察署長必要ト認ムルトキハ總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ警察署長ニ於テ特ニ標示ノ方法ヲ指示シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十八條ノ二　船舶ハ遽ニ左ニ揭クル場所ニ碇泊又ハ停船スヘカラス

埠頭、棧橋、船溜ノ入口又ハ船渠ノ附近

港界內ニ於テ道知事ノ定メタル水域

第十九條　港界內又ハ其ノ附近ニ於テ船舶ヲ繫纜、修繕又ハ作業セムトスル者ハ豫メ其ノ旨ヲ警察署長ニ屆出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ警察署長必要ト認ムルトキハ該船舶乘組員一部ノ殘留ヲ命スルコトヲ得

第十九條ノ二　港界內ニ於テ船舶營業ヲ爲サムトスルル者ハ警察署長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ警察署長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ營業ヲ爲スコトヲ得ス

一　港界內ニ於テ容易ニ燃燒スヘキ物件ヲ運搬セムトスルトキ

二　港界內又ハ其ノ附近ニ於テ雜破物又ハ汚穢品ノ引揚ヲ爲サムトスルトキ

三　港界內又ハ其ノ附近ニ於テ油會ノ規定ニ依ル非ラサレハ特設信號ヲ用ヰムトスルトキ

四　港界內又ハ其ノ附近ニ於テ五噸以上ノ船舶ヲ造氷セムトスルトキ

五　港界內又ハ其ノ附近ニ於テ繩梯ノ懸滑ヲ設ケ警察署長ニ屆出ツヘシ

第二十一條　火藥類又ハ容易ニ燃燒スヘキ物件ヲ常用ヲ超過シテ積載シ入港スル船舶ハ港界外ニ於テ檣頭其ノ他諸島ト場所ニ日出ヨリ日沒迄ハ國際信號ノB旗、日沒ヨリ日出迄ハ紅燈ヲ揭ケ警察署長ノ指揮ヲ待ツヘシ但シ信號旗及紅燈ヲ備ヘサル船舶ニ在リテハ赤旗ヲ國際信號Bノ旗ニ、赤色安全燈ヲ紅燈ニ代用スルコトヲ得

第二十二條　前條ニ於テ火藥類ト稱スルハ銃砲火藥類取締令施行規則第二十三條ニ規定スル火藥類ヲ謂ヒ船舶ニ艘備スル大砲一門每ニ火藥百發分、雷管百五十箇及信號用ノ榴彈、火箭、焰管、救命焰以外ノモノヲ常用外火藥類ト看做シ、容易ニ燃燒スヘキ物件ト稱スルハ「ガソリン」、「ベンゾール」、石油、「ベンヂン」、「アセトン」、酒精及硫化炭素ノ類其ノ他華氏九十五度以下ノ熱度ニ依リ發火スヘキ氣體ヲ發スルモノヲ謂ヒ船舶所用ノ目的ヲ證明シ得ルモノヲ除クノ外常用外ト看做ス

第二十三條　常用外ナル火藥類又ハ容易ニ燃燒スヘキ物件ヲ積卸セムトスル船舶ハ其ノ品名、數量ヲ警察署長ニ屆出テ其ノ指定シタル場所ニ於テスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二十四條　常用外ナル火藥類又ハ容易ニ燃燒スヘキ物件ニ付警察署長港界內ニ於テ積卸ノ場所ヲ指定シ難シト認ムルトキハ港界外ノ場合ニ於テ其ノ指定シタル場所ニ港界內ニ在ルモノト看做ス

第二十五條　港界內又ハ其ノ附近ニ於テ海難其ノ他變災發生シタル船舶ハ其ノ旨ヲ警察署長ニ屆出ツヘシ

第二十六條　前條ノ場合ニ於テハ警察署長港界內ニ於ケル船舶ニ對シ救助ニ從事スル船舶

三　遭難船舶ノ救助ニ從事スル船舶

四　運轉ノ自由ヲ有セサル船舶

前項ノ船舶ハ航路內ニ碇泊又ハ停船中ハ海上衝突豫防ニ關スル法令ニ依リ運轉自由ヲ得サル船舶ノ揭クヘキ船燈又ハ形象ヲ揭クヘシ但シ總噸數二十噸未滿ノ船舶ニシテ警察署長ニ於テ特ニ標示ノ方法ヲ指示シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條ノ二　港界內ニ於テ船舶ヲ繫留スル場合ニ於テハ其ノ船舶ノ船首ヲ基準トシテ南微西二分ノ一西ニ引キタル一線、納島ノ南端ヨリ西四分ノ三南ニ引キタル一線及市街ノ南東ニ在ル百二十八呎山頂ヨリ納島ノ東端ニ引キタル一線以內

群山港

所羅串ヨリ南四分ノ三東ニ引キタル一線、堂末ヨリ後望山山頂ニ引キタル一線及龍堂ヨリ前望山挂燈立標ニ向ケ引キタル一線以內

木浦港

南角ヨリ高下島二百六十四呎山頂ニ引キタル一線、高下島二百四十呎山頂ヨリ四十二呎島ノ山頂ヲ經テ對岸ニ引キタル一線及琴山山頂ヨリ三鷗島ノ東端ヲ經テ務安牛島ニ引キタル一線以內

釜山港

富民洞南端ヨリ絕影島大風浦ニ向ケ引キタル一線及廣鱉末ヨリ浮風末ニ引キタル一線以內

鎭南浦港

猪島百七十七呎山頂ヨリ北二分ノ一西ニ引キタル一線及望遠黑埼ヨリ北二分ノ一西ニ引キタル一線以內

新義州港

下端洞（西國ノ燈台）目標ヨリ北微西二分ノ一西ノ對岸小沙河川口右岸ニ引キタル一線及三橋川川口目標ヨリ西ニ引キタル一線以內

龍巖浦港

獅子島二百五十呎山頂ヨリ加次島頂上ニ引キタル一線、加次島頂上ヨリ「クルミ」島頂上ヨリ長島頂上ヲ經テ延長シタル一線及三橋川川口目標ヨリ西ニ引キタル一線以內

元山港

連島里百三十六呎山頂ヨリ陽日川川口右岸ニ引キタル一線以內

清津港

高秣山端ヨリ二百六十七度ニ引キタル一線以內

城津港

沙津端ヨリ對岸厚里津山山頂ニ引キタル一線以內

雄基港

琵琶島東端ヨリ雄基山千三百三十一呎山頂ニ引キタル一線以內

羅津港

城亭端ヨリ小草島南端ニ向ケ引キタル一線以內

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

ハ國際信號ノNMヲ掲ケ夜間ハ紅燈ヲ上下スヘシ

前項以外ノ場合ニ於テ檢疫官吏ノ救援ヲ要スルトキハ晝間ハ國際信號ノG旗ヲ掲ケ夜間ハ藍火又ハ閃光ヲ示スヘシ

第二十七條　船舶ハ前條ニ掲ケタル非常信號ニ用ウル場合ヲ除クノ外檢疫署長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ港界内又ハ其ノ附近ニ於テ濫ニ銃砲若ハ煙火ヲ發シ其ノ他爆發物ヲ使用スルコトヲ得ス

船舶ハ本令若ハ海上衛突豫防ニ關スル法令其ノ他特別ノ規定アル場合又ハ慣例ニ依リ用ウル場合ヲ除クノ外港界内又ハ其ノ附近ニ於テ濫ニ汽笛、汽角若ハ發砲信號ヲ吹鳴スルコトヲ得ス

港界内又ハ其ノ附近ニ於テ濫リニ船舶ノ航行ノ妨害ト爲ルヘキ擇照燈其ノ他之ニ類似ノ燈火ヲ用ウヘカラス

第二十八條　船舶ニ積載スル竹木ヲ港界内ノ水上ニ卸シ又ハ筏若ハ水面ニ浮ヒタル竹木ヲ港界内ニ繫留シ又ハ運搬セムトスルトキハ豫メ檢察署長ニ届出ツヘシ

第二十九條　港界内ニ於テ濫ニ動物ノ死體、荷足、灰燼「塵介、瓦礫等ヲ河海中ニ投棄スヘカラス

港界内ニ於テ濫ニ他ノ船舶ニ船舶其ノ他ノ物件ヲ繫留スヘカラス

港界内船舶ノ碇泊又ハ航行ノ妨害ト爲ルヘキ場所ニ於テ濫ニ漁撈ヲ爲スヘカラス

港界内ニ於テ石炭、荷足其ノ他之ニ類スル物件ヲ積卸スル船舶ハ其ノ河海中ニ脫落スルコトヲ豫防スル爲必要ナル措置ヲ爲スヘシ

第三十條　檢察署長ハ港界内又ハ其ノ附近ニ於テ他船ノ航行ヲ妨ケ若ハ航行ニ危險ノ虞アル漂流物、沈沒品其ノ他ノ物件ヲ其ノ所有者又ハ其ノ物件ヲ授與若ハ脫落セシメタル者ヲシテ除去セシムルコトヲ得

第三十一條　船舶カ燈船、浮標、立標、埠頭又ハ其ノ他ノ工作物ヲ毀損シタルトキハ其ノ修繕若ハ再設費用ヲ支辨スヘシ

本令ニ規定スルモノノ外開港内ニ於ケル船舶航行ノ取締ニ關シ必要ナル事項ハ道知事之ヲ定ム

道知事第十二條ノ二若ハ前項ノ規定ニ依リ必要ナル事項ヲ定メタルハ第十八條ノ二第二號ノ規定ニ依ル水域ヲ定メントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三十二條　本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

第三十三條　本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニシテ船舶ニ係ル規定ニ付テハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者其ノ責ニ任ス

船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ハ其ノ船舶ノ乘組員カ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル場合ニ於テ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三十四條　本令又ハ他ノ法令ニ依リ過金、科料又ハ使用料ノ納付若ハ費用ノ支辨ヲ命セラレタル船舶ハ之ヲ完納スルカ又ハ當該官廳ニ於テ相當ト認ムル擔保物ヲ提供スルニ非サレハ檢察署長ニ於テ其ノ出港ヲ差止ムルコトヲ得

前項ニ規定スル擔保物ハ金錢又ハ國債證券ニ限ル

第三十五條　廢船其ノ他船舶ニ等シキ形體ヲ有スル工作物ニハ本令中船舶ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十六條　第八條、第十條、第十五條ノ二又ハ第二十九條ノ規定ハ內外國軍艦ニ之ヲ準用ス

第三十七條　第二條ノ規定ハ沿海區域以下ヲ航行スル帆船及平水區域ノミヲ航行スル船舶ニ之ヲ適用セス

第二條乃至第六條、第十九條及第二十六條ノ規定ハ總噸數二十噸未滿ノ船舶及櫂艣ヲ以テ航行スル舟ニ之ヲ適用セス

附　則

本令ハ大正四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十年五月總令第九十二號）

本令ハ大正十年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十三年九月總令第五十六號）

本令ハ大正十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年六月總令第八十一號）

本令ハ昭和十年六月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年十月總令第百三十四號）

本令ハ昭和十年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（第一號樣式）

入港屆

船ノ種類

船名

船主

國籍

船籍港名

總噸數

登簿噸數

取扱店

原發航地及最後發航地名竝發航年月日

當港陸揚貨物噸數及噸數

最先到達地及最終到達地名

出港見込日時

有年　月　日時當港ニ入港候間此段及御屆候也

年　月　日　（船名）　船長　某

檢察署長殿

（第二號書式）

出港屆

船名

有年　月　日　時（何地）ヘ向ケ當港出港可致候間此段及御屆候也

年　月　日　（船名）　船長　某

檢察署長殿

（第三號書式）

著發屆

有年　月　日　時當港ニ入港致シ　年　月　日　時出港可致候間此段及御屆候也

（船名）　船長　某

檢察署長殿

●開港ニ於ケル港界表示ノ爲立標及浮標設置ノ件

大正五年二月

總督第十九號

（昭和十年十一月一日現在）

開港ニ於ケル港界表示ノ爲立標及浮標ヲ設置スル其ノ立標、浮標及設置ノ場所左ノ如シ

仁川港

立標二

勿淵島ノ東端ヲ基準トシテ南微西二分ノ一西ニ當ル三角點（勿淵島）ニ引キタル一線ト納島ノ南端ヨリ西四分ノ三南ニ引キタル一線トノ交叉點

群山港

立標四

所雉串、所雉串ヨリ南四分ノ三東ニ引キタル一線ノ對岸、龍堂堂末

浮標一

堂末ヨリ後望山山頂ニ引キタル一線ト龍堂ヨリ前望山掛燈立標ニ向ケ引キタル一線トノ交叉點

木浦港

立標三

高下島二百四十呎山頂ヨリ四十二呎島ノ山頂ヲ經テ引キタル一線ノ對岸、南角、牙山山頂ヨリ三鵲島ノ東端ヲ經テ引キタル一線ニ當ル務安半島

釜山港

立標四

宮民洞南端、大風浦、廣發末、浮鳳末

馬南浦港

立標三

猪島百七十七呎山頂ヨリ北二分ノ一西ニ引キタル一線ノ對岸、望達里埼、望達里埼ヨリ北二分ノ一西ニ引キタル一線ニ當ル無名島

新義州港

立標二

下端洞（旧第二區ノ一）ノ對岸ニ三橋川川口

龍岩浦港

立標三　力次島、クルミ島、紹島

元山港

立標一　陽日川川口右岸

清津港

立標一　高秣山鵲ヨリ眞方位二百六十七度ニ當タル一線ニ當ル對岸

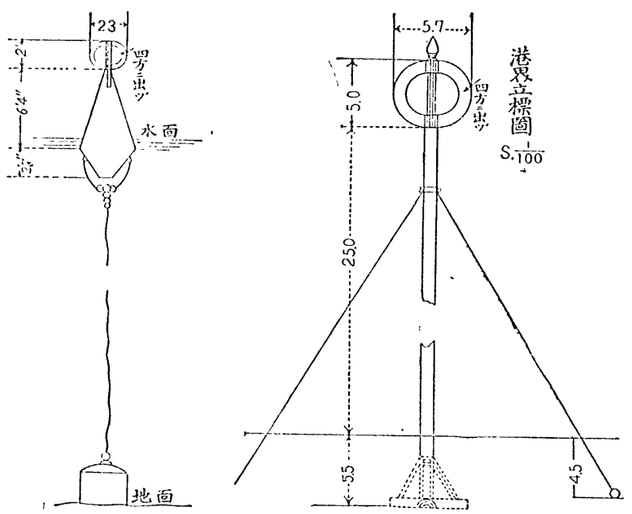
城津港

立標一　浮津鵲ヨリ厚黒津山頂ニ引キタル一線ニ當ル對岸

雄基港

立標二　琵琶頂島東端及同所ヨリ雄基山千三百三十一呎山頂ニ引キタル一線ニ當ル對岸

港界立標圖　S.1/100



●雄基ヲ開港トスルノ件

大正十年五月

總令第九十一號

從來ノ開港ノ外咸鏡北道雄基ヲ開港トス

附　則

本令ハ大正十年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●羅津ヲ開港トスルノ件

昭和十年十月

總令第百三十三號

從來ノ開港ノ外昭和十年十一月一日ヨリ咸鏡北道羅津ヲ開港トス

第三章　電氣　附瓦斯

●朝鮮電氣測定令

大正十二年四月

制令第十號

朝鮮電氣測定令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮總督　子爵　寺内正毅

第一條　電氣ノ測定ニ於テハ電氣抵抗ハ「オーム」、電流ハ「アムペア」、電壓ハ「ヴオルト」、電力ハ「ワット」、電氣ノ「クーロム」、電氣容量ハ「ファラッド」、電氣誘導ハ「ヘンリー」、電氣仕事ハ「ジュール」ヲ以テ單位トス

「オーム」ハ氷ノ融解溫度ニ於テ質量一四・四五二一「グラム」長サ一〇六・三〇〇センチメートル」ニシテ均一ナル切斷面積ヲ有スル水銀柱ノ不變電流ニ對スル電氣抵抗ヲ謂フ

「アムペア」ハ硝酸銀ノ水溶液ヲ通過シ毎秒〇・〇〇一一一八〇〇「グラム」ノ銀ヲ分離スル不變電流ヲ謂フ

「ヴオルト」ハ一「オーム」ノ電氣抵抗ヲ有スル導體ニ一「アムペア」ノ不變電流ヲ發生セシムル爲要スル不變電壓ヲ謂フ

「ワット」ハ「ヴオルト」ノ電壓ニ於テ一「アムペア」ノ不變電流ニ依リ毎秒發サルル電氣勢力ヲ以テ表示スル電力ヲ謂フ

「クーロム」ハ一「アムペア」ノ電流ニ依リ一秒間ニ輸送サルル電氣ヲ謂フ

「ファラッド」ハ一「クーロム」ノ電氣ニ依リ一「ヴオルト」ノ電位ニ充電サルル蓄電器ノ電氣容量ヲ謂フ

「ヘンリー」ハ毎秒一「アムペア」ノ割合ヲ以テ變化スル電流ニ依リ一「ヴオルト」ノ電壓ヲ發生スル電路ノ電氣誘導ヲ謂フ

「ジュール」ハ一「アムペア」ノ電流ノ一「オーム」ノ電氣抵抗ヲ有スル導體ヲ通過スルトキ一秒間ニ發スル電氣仕事ヲ謂フ

第二條　不變電流以外ノ場合ニ於ケル電流、電壓及電力ノ計算方法ハ左ノ如シ

一　不變電流以外ノ場合ニ於ケル實效電流ノ不變電流ニ對スル等價及實效電壓ノ不變電壓ニ對スル等價ハ共ノ瞬時値ノ自乘ノ平均ノ平方根ヲ以テ定ム

二　不變電流ヲ一「アムペア」ニ相當スル實效電流ヲ一「アムペア」ト稱シ不變電壓ヲ一「ヴオルト」ニ相當スル實效電壓ヲ一「ヴオルト」ト稱ス

三　電力ハ共ノ瞬時値ノ平均ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　電氣單位ノ倍數及分數ノ名稱左ノ如シ

「メグオーム」「オーム」ノ百萬倍

「マイクロオーム」「オーム」ノ百萬分ノ一

「キロアムペア」「アムペア」ノ千倍

「ミリアムペア」「アムペア」ノ千分ノ一

「マイクロアムペア」「アムペア」ノ百萬分ノ一

「キロヴオルト」「ヴオルト」ノ千倍

「ミリヴオルト」「ヴオルト」ノ千分ノ一

「マイクロヴオルト」「ヴオルト」ノ百萬分ノ一

「キロワット」「ワット」ノ千倍

●朝鮮電氣測定令施行規則

（大正十二年十月二十四日朝鮮總督令第一〇五號）

第一條　朝鮮電氣測定令第二條ノ規定ニ依リ電氣ノ測定ヲ受クヘキ電氣附屬品ハ左ノ如シ

一　法ニ依リ認可ヲ受ケタル電氣計器

二　前項ノ計器ニ封印又ハ檢定證印ヲ附スル爲ニ必要ナル附屬品

第二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ關スル左ノ事項ヲ記載シタル檢定願書ヲ提出スヘシ

一　計器ノ種類、構造及用途

二　計器ノ製造者ノ名稱又ハ商標

三　計器ノ製造番號

四　計器ノ定格

五　檢定ヲ受ケントスル年月

六　檢定ヲ受ケントスル場所

七　檢定ヲ受ケントスル計器ノ數

八　檢定ヲ受ケントスル計器ノ檢定ニ關スル從來ノ經歷

九　檢定ヲ受ケントスル計器ノ檢定ニ關スル特別ノ注意事項

第三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第二十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第二十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第二十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第二十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第二十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第二十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第二十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第二十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第二十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第二十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第三十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第三十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第三十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第三十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第三十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第三十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第三十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第三十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第三十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第三十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第四十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第四十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第四十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第四十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第四十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第四十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第四十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第四十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第四十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第四十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第五十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第五十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第五十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第五十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第五十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第五十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第五十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第五十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第五十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第五十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第六十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第六十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第六十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第六十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第六十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第六十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第六十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第六十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第六十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第六十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第七十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第七十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第七十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第七十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第七十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第七十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第七十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第七十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第七十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第七十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第八十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第八十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第八十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第八十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第八十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第八十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第八十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第八十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第八十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第八十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第九十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第九十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第九十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第九十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第九十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第九十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第九十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第九十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第九十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第九十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百二十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百二十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百二十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百二十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百二十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百二十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百二十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百二十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百二十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百二十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百三十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百三十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百三十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百三十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百三十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百三十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百三十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百三十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百三十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百三十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百四十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百四十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百四十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百四十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百四十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百四十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百四十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百四十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百四十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百四十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百五十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百五十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百五十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百五十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百五十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百五十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百五十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百五十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百五十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百五十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百六十條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百六十一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百六十二條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百六十三條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百六十四條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百六十五條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百六十六條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百六十七條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百六十八條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計器ニ檢定ニ必要ナル附屬品ヲ添ヘテ前條ノ願書ヲ提出スヘシ

第百六十九條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ檢定ヲ受ケントスル計

第弐號書式

●朝鮮電氣及附屬設備ノ檢定ニ關スル件施行細則第二項ノ檢定

大正　年　月　日

木計器ヘ朝鮮電氣及附屬設備ノ檢定ニ關スル件施行細則第二項ノ檢定ニ合格シタルコトヲ證ス

朝鮮總督府遞信局㊞

檢定有效期間	至大正　年　月　日
附屬器具	
負荷ノ作貿	
定格ノ周波數	
定格ノ電流	
定格ノ電壓	
計器ノ種類	
計器ノ製造番號	
計器ノ製造者名	
計器ノ型式番號	
計器ノ電氣方式	
計器ノ結線法	
檢定申請者	
檢定合格證書	電氣計器檢定合格證書

第参號書式

木計器檢定ノ際附屬變成器ノ二次回路ニ接続シタル測定器左ノ如シ

測定器番號	測定器ノ種類	製造者名	測定ノ種類
第　號	電壓計		
第　號	電流計		
第　號	電力計		
第　號	指示電力計		
第　號	指示電力計		

第四號書式

●朝鮮電氣及附屬設備ノ檢定ニ關スル件施行細則第二項ノ檢定

大正　年　月　日

木計器ヘ朝鮮電氣及附屬設備ノ檢定令第五條ノ檢定ニ合格シタルコトヲ證ス

朝鮮總督府遞信局㊞

檢定有效期間	至大正　年　月　日
附屬器具	
負荷ノ作貿	
定格ノ周波數	
定格ノ電流	
定格ノ電壓	
計器ノ種類	
計器ノ製造番號	
計器ノ製造者名	
計器ノ型式番號	
計器ノ電氣方式	
計器ノ結線法	
檢定申請者	
檢定合格證書	電氣計器檢定合格證書

第五號書式

計器ノ種類	
計器ノ製造者	

檢定年月日	檢定番號	計器番號	檢定者名	定格					使用場所	備考
				計器方式	電壓	電流	周波數	負荷ノ性質		

注意

一　計器ノ種類毎ニ一口座ヲ設クヘシ

一　檢定又ハ型式未承認ノモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スヘシ

一　格定變更竝使用場所異動ノ都度記載ヲ要スルモ以テ相當空欄ヲ存シ置クコト

第六號書式

計器ノ種類	電氣計器
計器ノ製造者名	
計器ノ型式番號	
計器ノ結線法	貼付シタル收入印紙ノ額
檢定申請者	住所
	氏名

電氣計器檢定合格證書

第　號

何ヘ第一號書式ニ依リ檢定ヲ受ケタル電氣計器ハ檢定令第五條ノ檢定ニ合格シタルコトヲ證ス

大正　年　月　日

朝鮮總督府遞信局㊞

第七號書式

計器ノ種類	
計器ノ製造者	

檢定年月日	檢定番號	計器番號	檢定者名	定格					使用場所	備考
				計器方式	電壓	電流	周波數	負荷ノ性質		

注意

一　計器ノ種類毎ニ一口座ヲ設クヘシ

一　檢定又ハ型式未承認ノモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スヘシ

一　格定變更竝使用場所異動ノ都度記載ヲ要スルモ以テ相當空欄ヲ存シ置クコト

第八號書式

電氣計器檢定合格證書

大正　年三月三十一日現在

電氣事業者名㊞

計器種類					
型式番號	第　號				
格定	電氣方式	法相檢式			
	電壓	「ヴォルト」			
	電流	「アムペア」			
	周波數	「サイクル」			
	負荷ノ性質				
附屬器具					
檢定番號	第　號	第　號			
筒數					
備考					

第十七條　電氣事業者ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ電氣ノ供給ヲ拒ムコトヲ得ズ

電燈ノ光度、供給點ニ於ケル保持スベキ電壓、電流其ノ他供給義務ニ關スル事項竝ニ周波數及電氣工作物ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十八條　電氣事業者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ供給事業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ズ

第十九條　第一條第一號又ハ第三號ノ電氣事業會社ノ解散ノ決議又ハ總社員ノ同意ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十條　電氣事業者電氣料金其ノ他供給條件ヲ設定シ又ハ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

朝鮮總督ハ公益上必要アリト認ムルトキハ電氣事業者ニ對シ電氣料金其ノ他供給條件ノ設定、變更其ノ他必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　第一條第一號又ハ第三號ノ電氣事業會社ノ事業擴張ノ場合ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル電氣工作物施設ノ費用ニ充ツル爲株金全額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ增加スルコトヲ得

第二十二條　第一條第一號又ハ第三號ノ電氣事業會社ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル電氣工作物施設ノ費用ニ充ツル爲朝鮮民事令ニ依ル定メタル商法ノ規定ニ依ル制限ヲ超エテ社債ヲ募集スルコトヲ得但シ社債ノ總額ハ拂込ミタル株金額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得ズ

最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財產カ拂込ミタル株金額ニ滿タザルトキハ前項ノ規定ヲ適用セズ

第二百條ノ規定ニ依リ募集スル社債ニ付テハ朝鮮財團抵當令ニ依リ會社ノ非業ニ屬スルモノヲ抵當ト爲スコトヲ要ス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テ朝鮮總督其ノ必要ナシト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條　電氣事業者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ主任技術者ヲ選任シ技術ニ關スル事項ヲ擔任セシムベシ

朝鮮總督ハ主任技術者カ其ノ職務ヲ怠リ又ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ不當ナル行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ解任ヲ命ズルコトヲ得

第二十四條　第一條第一號又ハ第三號ノ電氣事業會社ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

朝鮮總督ハ電氣事業者ニ對シ電氣工作物及其ノ工事、業務竝ニ財益ノ處分、銷却其ノ他會計ニ關シ改善、其ノ他監督上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

前二項ノ規定ハ電氣工作物及其ノ工事ニ關スルモノヲ除クノ外第一條第二號ノ電氣事業者ニ之ヲ適用セズ

第二十五條　朝鮮總督ハ電氣事業ノ統制上必要アリト認ムルトキハ電氣事業者ニ對シ電氣工作物ノ施設、變更若ハ共同、電氣ノ流用又ハ工事ニ關スル期間ノ伸縮ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ前項ノ事業ヲ營ム者ハ電氣事業者ト協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十六條　電氣事業者ハ電氣事業ノ經營ニ關シ公共團體ニ在リテハ電氣事業經營ニ關スル會議錄ノ謄本

四　水力ヲ原動力ニ使用セントスルモノニ在リテハ發電水力ノ使用ニ關シ當該官廳ニ提出シタル申請書類ノ謄本竝ニ其ノ許可アリタルモノニ付テハ許可書及命令書ノ謄本

五　他ヨリ受電スル電力ニ依リ電氣事業ヲ經營セントスルモノニ在リテハ其ノ供給者トノ契約書ノ謄本

六　朝鮮電氣事業令（以下單ニ事業令ト稱ス）第一條第二號ノ事業（以下單ニ電氣鐵道事業ト稱ス）ニ在リテハ私設鐵道讓渡ノ許可書及命令書ノ謄本、未タ其ノ免許又ハ許可ヲ受クルニ至ラザル場合ニ在リテハ當該官廳ニ提出シタル申請書類ノ謄本

七　第二條第五號又ハ第四條第三號ノ供給先ニ電氣ヲ供給セントスルモノニ在リテハ受電者トノ契約書ノ謄本、契約成立ニ至ラザル場合ニ於テハ受電者ト交渉シタル顚末ヲ記載シタル書面

第二條　事業令第一條第一號ノ事業ノ起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　商號又ハ名稱

二　主タル事務所ノ所在地及會社ニ在リテハ其ノ資本金

三　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町（道ノ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

四　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上）ノ平面圖ニ電氣鐵道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ電氣鐵道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

五　軌道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

六　主タル事務所ノ所在地

七　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

八　主タル事務所ノ所在地

九　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

十　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

十一　主タル事務所ノ所在地

十二　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

十三　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

十四　主タル事務所ノ所在地

十五　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

十六　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

十七　主タル事務所ノ所在地

十八　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

十九　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

二十　主タル事務所ノ所在地

二十一　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

二十二　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

二十三　主タル事務所ノ所在地

二十四　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

二十五　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

二十六　主タル事務所ノ所在地

二十七　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

二十八　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

二十九　主タル事務所ノ所在地

三十　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

三十一　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

三十二　主タル事務所ノ所在地

三十三　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

三十四　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

三十五　主タル事務所ノ所在地

三十六　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

三十七　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

三十八　主タル事務所ノ所在地

三十九　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

四十　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

四十一　主タル事務所ノ所在地

四十二　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

四十三　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

四十四　主タル事務所ノ所在地

四十五　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

四十六　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

四十七　主タル事務所ノ所在地

四十八　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

四十九　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

五十　主タル事務所ノ所在地

五十一　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

五十二　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

五十三　主タル事務所ノ所在地

五十四　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

五十五　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

五十六　主タル事務所ノ所在地

五十七　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

五十八　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

五十九　主タル事務所ノ所在地

六十　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

六十一　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

六十二　主タル事務所ノ所在地

六十三　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

六十四　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

六十五　主タル事務所ノ所在地

六十六　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

六十七　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

六十八　主タル事務所ノ所在地

六十九　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

七十　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

七十一　主タル事務所ノ所在地

七十二　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

七十三　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

七十四　主タル事務所ノ所在地

七十五　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

七十六　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

七十七　主タル事務所ノ所在地

七十八　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

七十九　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

八十　主タル事務所ノ所在地

八十一　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

八十二　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

八十三　主タル事務所ノ所在地

八十四　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

八十五　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

八十六　主タル事務所ノ所在地

八十七　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

八十八　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

八十九　主タル事務所ノ所在地

九十　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

九十一　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

九十二　主タル事務所ノ所在地

九十三　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

九十四　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

九十五　主タル事務所ノ所在地

九十六　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

九十七　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

九十八　主タル事務所ノ所在地

九十九　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

百　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

百一　主タル事務所ノ所在地

百二　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

百三　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

百四　主タル事務所ノ所在地

百五　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

百六　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

百七　主タル事務所ノ所在地

百八　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

百九　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

百十　主タル事務所ノ所在地

百十一　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

百十二　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

百十三　主タル事務所ノ所在地

百十四　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

百十五　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

百十六　主タル事務所ノ所在地

百十七　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

百十八　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

百十九　主タル事務所ノ所在地

百二十　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

百二十一　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

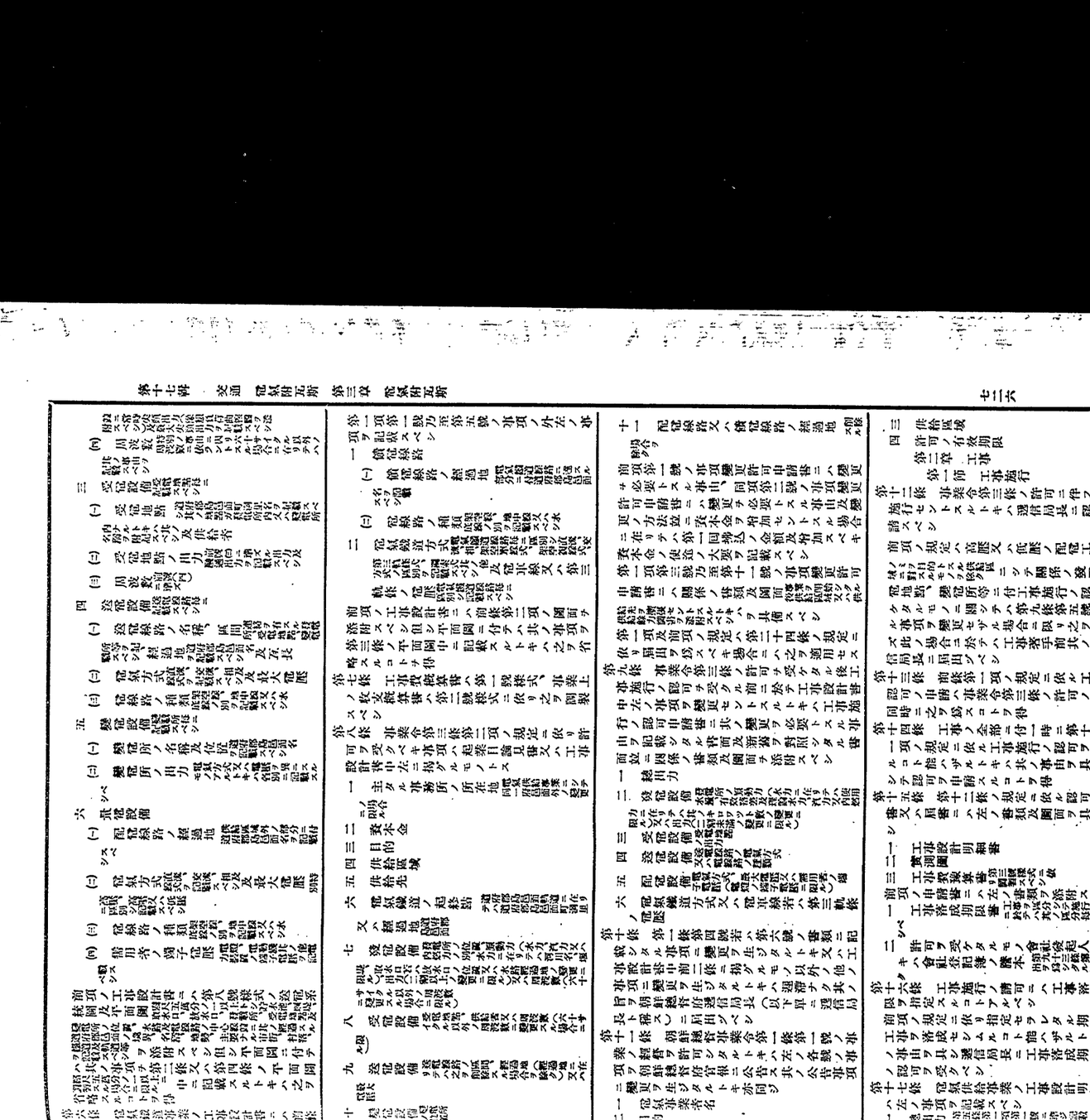
百二十二　主タル事務所ノ所在地

百二十三　電氣鐵道ノ種類、區間（私設鐵道讓渡ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ設定スベシ）、軌道ノ延長竝ニ起終點ニ在リテハ町洞里名ヲモ記載スベシ）

百二十四　電氣鐵道ノ起終點及經過地（道府郡島區面名ヲ記載スベシ）

平面圖（別ニ縮尺二萬五千分ノ一以上（市街地ノ部分ハ參照ノ縮尺ニ二千五百分ノ一以上ノ平面圖ニ軌道ノ位置及境界、道路等ノ關係ヲ明記シ、其ノ起終點、主要ナル市街及村落、停車場ノ位置及名稱竝ニ軌道ノ位置ヲ朱線ヲ以テ記入スベシ）

百二十五



第十九條ヲ準ス）提出セシムルコトヲ得

第二十二條　第二十六條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シタル電氣工作物ニシテ左ニ掲グルモノヽ取換ヲ爲サントスルトキハ關係ノ書類及圖面ヲ具シ其ノ旨ヲ遞信局長ニ届出ヅベシ

一　水車

二　汽機、汽罐、蒸汽貯藏器

三　內燃機、瓦斯發生裝置、消音裝置

四　發電機

五　變壓器　（發電所又ハ變壓所ニ設置スル三百キロヴオルト以上ノ特別高壓變壓器）

六　電動發電機、迴轉變流機、周波數變換機、整流機

七　調相機

八　地中電纜又ハ水底電纜（使用電壓一萬五千ヴニ超ユルモノニ限ル）

第二十三條　電氣工作物ノ滅失又ハ損壞ニ因ル復舊工事ニ關シテハ緊急ノ必要アル場合ニ限リ第二十條第一項又ハ第二十一條第一項ノ事項ヲ變更スルトキ雖モ直ニ工事ニ著手スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク同條同項ノ規定ニ依リ認可ヲ申請スベシ

第二十四條　左ノ場合ニ於テハ工事方法ヲ具シ遞信局長ニ届出ヅベシ此ノ場合ニ於テハ第二十條第一項及第二十一條第一項ノ規定ヲ適用セズ

一　電氣工作物ノ滅失若ハ損壞又ハ鴻水其ノ他事故ノ場合ニ於テ電力ノ不足ヲ補給スル爲一月內ヲ限リ他ヨリ受電セントスルトキ

二　前號又ハ朝鮮自家用電氣工作物施設規則第十九條若ハ第五十條ノ場合ニ於テ他ヨリ受電セントスル者ニ對シ供給セントスルトキ

第二十五條　第十二條第一項、第二十條第一項又ハ第二十一條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル工事ニ著手シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信局長ニ届出ヅベシ

第二十六條　第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ニ付テハ已ムコトヲ得ザル事由アリ第四號樣式ノ電氣工作物ニ關シ特別高壓電線路ニ關シテハ遞信局長ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ場合ニ於テハ使用前左ノ事項ヲ所轄遞信局長ニ届出ヅベシ

一　使用ノ期間及日時

二　使用方法

第二節　電氣工作物使用

第二十六條　第二十條第一項又ハ第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ヲ使用セントスルトキハ遞信局長ニ認可ヲ申請スベシ

第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ヲ使用セントスルトキ亦前項ニ同ジ但シ遞信局長ニ於テ別段ノ指示ヲ爲シタル場合ニ於テハ使用開始前其ノ旨ヲ遞信局長ニ届出ヅベシ

第二十七條　第十六條第一項ノ規定ニ依リ期限ヲ指定セラレタル工事落成シタルトキハ遲滯ナク前條ノ規定ニ依リ當該電氣工作物ノ使用ノ認可ヲ申請スベシ

第二十八條　火藥類其ノ他爆發性ノ物質ヲ製造シ又ハ貯藏スル場所ニ施設シタル電氣工作物ヲ其ノ所轄遞信局長ニ認可ヲ申請スベシ

第二十九條　第二十六條ノ規定ニ依ル申請ア リタル場合ニ於テ當該電氣工作物檢查ノ爲派遣セラレタル檢查吏員ニ於テ工事設計ニ適合シ且危險ナシト認メタルトキハ遞信局長ハ直ニ其ノ假使用ヲ認可スルコトヲ得前項ノ假使用ノ認可ノ有效期間ハ六十日トス

第三十條　第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ施設スル電氣工作物ニ付テハ已ムコトヲ得ザル事由アリ假使用ヲ認可スルコトアルベシ

第三十一條　第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ニ付テハ已ムコトヲ得ザル事由アリ假使用ヲ認可スルコトアルベシ

第三十二條　第二十六條ノ規定ニ依リ認可ヲ受クベキ電氣工作物ハ試驗ノ爲必要アル場合ニ限リ其ノ認可前之ヲ使用スルコトヲ得但シ特別高壓電線路ニ關シテハ遞信局長ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ場合ニ於テハ使用前左ノ事項ヲ所轄遞信局長ニ届出ヅベシ

一　使用ノ期間及日時

二　使用方法

第三十三條　第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ニ付テハ已ムコトヲ得ザル事由アリ假使用ヲ認可スルコトアルベシ

第三十四條　第二十六條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケ又ハ第三十條若ハ第三十一條ノ規定ニ依リ假使用ヲ認可セラレタル電氣工作物ニ付テハ已ムコトヲ得ザル事由アリ假使用ヲ認可スルコトアルベシ

第三十五條　第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ニ付テハ已ムコトヲ得ザル事由アリ假使用ヲ認可スルコトアルベシ

第三十六條　第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ニ付テハ已ムコトヲ得ザル事由アリ假使用ヲ認可スルコトアルベシ

第三十七條　第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ニ付テハ已ムコトヲ得ザル事由アリ假使用ヲ認可スルコトアルベシ

第三十八條　第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ニ付テハ已ムコトヲ得ザル事由アリ假使用ヲ認可スルコトアルベシ

第三十九條　第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ニ付テハ已ムコトヲ得ザル事由アリ假使用ヲ認可スルコトアルベシ

第四十條　保安方法

第二十六條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シタル電氣工作物ノ使用認可ヲ受クベキ場合ニ於テハ同時ニ第四號樣式ノ電氣工作物設計細書ヲ遞信局長ニ提出スベシ但シ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ前項但書ノ場合ニ於テ檢查ヲ受ケシテ使用ヲ認可セラレタルトキハ直ニ電氣工作物竣功明細書ヲ遞信局長ニ提出シ當該電氣工作物ノ檢查ヲ爲檢查吏員ヲ派遣セラレタルトキハ檢查吏員ヲ經テ之ヲ遞信局長ニ提出スベシ

前二項ノ規定ハ電氣工作物ノ施設又ハ變更ニ依リ電氣工作物竣功明細書中ノ事項ニ變更ヲ生ジタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十二條、第十二條、第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十三條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ニ付第二十六條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケ第五號樣式ノ工事費精算書ヲ遞信局長ニ提出スベシ

第三章　電氣工作物施設ニ關スル報利義務竝ニ裁定

第三十三條　事業令第六條第一項及第七條第二項、第三項ノ行政官廳ハ道知事トス

第三十四條　事業令第六條第一項ノ規定ニ依リ土地立入ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一　電氣事業及電氣工作物ノ種類

二　立入ルベキ土地ノ區域

三　立入ルベキ時期及期間

四　事業令第六條第一項ノ規定ニ依ル府尹邑面長ニ對スル電氣事業者ノ通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前項各號ノ事項

二　許可ヲ爲シタル道知事名及許可ノ年月日

第三十五條　事業令第六條第一項ノ規定ニ依ル府尹邑面長ノ告示スベキ事項ハ左ニ掲グルモノトス

一　電氣事業者名

二　前條第二項各號ノ事項

告示ハ府廳邑面事務所ノ掲示場ニ掲示シテ之ヲ爲スベシ

事業令第六條第一項ノ規定ニ依ル土地ノ占有者ニ對スル府尹邑面長ノ通知ハ第一項各號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十六條　事業令第七條第二項ノ規定ニ依リ植物ノ伐除又ハ移植ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一　電氣事業ノ種類

二　關係電線路ノ種類及電壓

三　障害ノ原因及程度、障害除却ノ方法及其ノ範圍竝ニ其ノ實行ノ時期

四　植物ノ所在地

五　植物ノ所有者ノ氏名及住所

六　損失補償ノ見積金額及內譯

七　所有者ト協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコトヲ能ハザル事由

前項ノ申請書ニハ植物ノ所在地及附近ノ概況ヲ記載シタル圖面ヲ添附スベシ

事業令第七條第二項ノ規定ニ依ル所有者ニ對スル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　許可ヲ爲シタル道知事名及許可ノ年月日

第三十七條　事業令第七條第三項ノ規定ニ依ル通知事名及許可ノ年月日

第三十八條　事業令第八條第一項ノ規定ニ依リ道路、橋梁、溝渠、河川、堤防其ノ他公共ノ用ニ供セラルル土地使用ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ

當該管理者ニ提出スベシ

一　電氣事業ノ種類

二　電線路ノ種類、構造ノ大要及電壓

三　使用ノ範圍及土地ノ地目、地番

四　電線路施設ノ爲當該地點ノ選定ヲ必要トスル事由

五　使用ノ期間

六　工事ノ著手及竣功ノ豫定時期

前項ノ申請書ニハ圖面（電線路ノ場所、變電所ノ位置及其ノ中心線、支持物ノ位置及隣地ノ境界ヲ記載スベシ）及求積圖ヲ添附スベシ

第三十九條　事業令第八條第三項ノ規定ニ依ル使用許可又ハ使用料決定ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ具シ處分アリタル日ヨリ六十日內ニ之ヲ提出スベシ

一　管理者ニ提出シタル申請書及其ノ指令書ノ謄本又ハ使用料告知書其ノ他處分書ノ謄本

二　管理者ノ拒否處分ヲ不當トスル理由書又ハ使用料ノ額ヲ不相當トスル理由書

三　電線路ノ種類及構造竝ニ使用ノ範圍及期間ヲ記載シタル書面

前項ノ申請書ニハ使用區域及附近ノ概況ヲ記載シタル圖面ヲ添附スベシ

第四十條　事業令第九條第二項ノ規定ニ依リ土地使用ニ關スル許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一　第三十八條第一項各號ノ事項

二　土地所有者及占有者ノ氏名及住所

三　土地ノ現在ノ使用方法

四　損失補償ノ見積金額及內譯

五　所有者若ハ占有者ト協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザル事由

前項ノ申請書ニハ使用面積竝ニ使用ノ中心線、支持物ノ位置及隣地ノ境界ヲ記載シタル圖面（電線路ノ場所、變電所ノ位置及隣地ノ境界ヲ記載スベシ）ヲ添附スベシ

第四十一條　事業令第九條第二項ノ規定ニ依ル土地所有者及占有者ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一　第三十八條第一項各號ノ事項

二　土地所有者及占有者ノ氏名及住所

三　損失補償ノ見積金額及內譯

四　所有者若ハ占有者ト協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザル事由

五　所有者ト協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザル事由

前項ノ申請書ニハ使用面積竝ニ使用ノ中心線、支持物ノ位置及隣地ノ境界ヲ記載シタル圖面ヲ添附スベシ

第四十二條　第三十八條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル工事ニ著手シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信局長ニ届出ヅベシ

第四十三條　事業令第十條第二項ノ規定ニ依ル通知事名及許可ノ年月日

第四十四條　事業令第十條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第六號ノ事項

二　許可ヲ爲シタル道知事名及許可ノ年月日

第四十五條　事業令第十條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　危險急迫ノ事實

第四十六條　事業令第十一條第一項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第四十七條　事業令第十一條第二項ノ規定ニ依リ道路、橋梁、溝渠、河川、堤防其ノ他公共ノ用ニ供セラルル土地ノ工事ニ著手シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信局長ニ届出ヅベシ

第四十八條　事業令第十一條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第四十九條　事業令第十二條第一項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第五十條　事業令第十二條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第五十一條　事業令第十三條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第五十二條　事業令第十三條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第五十三條　事業令第十四條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第五十四條　事業令第十五條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第五十五條　事業令第十六條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第五十六條　事業令第十七條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第五十七條　事業令第十八條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第五十八條　事業令第十九條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第五十九條　事業令第二十條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第六十條　事業令第二十一條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第六十一條　事業令第二十二條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第六十二條　事業令第二十三條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第六十三條　事業令第二十四條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第六十四條　事業令第二十五條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第六十五條　事業令第二十六條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第六十六條　事業令第二十七條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第六十七條　事業令第二十八條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第六十八條　事業令第二十九條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第六十九條　事業令第三十條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第七十條　事業令第三十一條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第七十一條　事業令第三十二條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第七十二條　事業令第三十三條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第七十三條　事業令第三十四條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第七十四條　事業令第三十五條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第七十五條　事業令第三十六條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第七十六條　事業令第三十七條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第七十七條　事業令第三十八條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第七十八條　事業令第三十九條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第七十九條　事業令第四十條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第八十條　事業令第四十一條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第八十一條　事業令第四十二條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第八十二條　事業令第四十三條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第八十三條　事業令第四十四條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第八十四條　事業令第四十五條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第八十五條　事業令第四十六條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第八十六條　事業令第四十七條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第八十七條　事業令第四十八條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第八十八條　事業令第四十九條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第八十九條　事業令第五十條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第九十條　事業令第五十一條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第九十一條　事業令第五十二條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第九十二條　事業令第五十三條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第九十三條　事業令第五十四條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第九十四條　事業令第五十五條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第九十五條　事業令第五十六條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第九十六條　事業令第五十七條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第九十七條　事業令第五十八條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第九十八條　事業令第五十九條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第九十九條　事業令第六十條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百條　事業令第六十一條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百一條　事業令第六十二條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百二條　事業令第六十三條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百三條　事業令第六十四條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百四條　事業令第六十五條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百五條　事業令第六十六條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百六條　事業令第六十七條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百七條　事業令第六十八條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百八條　事業令第六十九條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百九條　事業令第七十條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百十條　事業令第七十一條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百十一條　事業令第七十二條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百十二條　事業令第七十三條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百十三條　事業令第七十四條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百十四條　事業令第七十五條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百十五條　事業令第七十六條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百十六條　事業令第七十七條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百十七條　事業令第七十八條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百十八條　事業令第七十九條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百十九條　事業令第八十條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百二十條　事業令第八十一條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百二十一條　事業令第八十二條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百二十二條　事業令第八十三條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百二十三條　事業令第八十四條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百二十四條　事業令第八十五條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百二十五條　事業令第八十六條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百二十六條　事業令第八十七條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百二十七條　事業令第八十八條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百二十八條　事業令第八十九條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百二十九條　事業令第九十條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百三十條　事業令第九十一條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百三十一條　事業令第九十二條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百三十二條　事業令第九十三條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百三十三條　事業令第九十四條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百三十四條　事業令第九十五條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百三十五條　事業令第九十六條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百三十六條　事業令第九十七條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百三十七條　事業令第九十八條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百三十八條　事業令第九十九條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百三十九條　事業令第百條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

第百四十條　事業令第百一條第二項ノ規定ニ依ル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　險危急迫ノ事實

トキ亦同ジ

二人以上ノ主任技術者ヲ選任シタルトキハ其ノ擔任ヲ定メ遞信局長ニ届出ヅベシ其ノ擔任ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第五十六條　電氣事業者ハ已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ左ノ場合ニ限リ其ノ事業ノ主任技術者ヲシテ其ノ事業ノ主任技術者ヲ兼ネシムルコトヲ得

一　主トシテ他ヨリ受電スル電力ニ依リ經營スル百キロワット以下ノ電氣供給事業者又ハ電氣鐵道事業者ノ主タル電力ヲ供給スル電氣事業者ノ主任技術者ヲシテ兼ネシメントスルトキ

二　三百キロワット以下ノ電氣鐵道事業者ノ主任技術者ヲシテ兼ネシメントスルトキ

前項ノ場合ニ於ケル選任ノ届書ニハ當該主任技術者ノ選任ヲ必要トスル事由及其ノ執務ニ關スル說明書竝ニ他ノ電氣事業者ノ承諾書ヲ添附スベシ

第五十七條　電氣事業者ハ主任技術者疾病、旅行其ノ他ノ事由ニ因リ一月以上ニ亙リ其ノ職務ヲ執ルコト能ハザルトキハ其ノ代務者ヲ選任スベシ此ノ場合ニ於テハ第五十五條第一項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ主任技術者其ノ職務ヲ執ルニ至リタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信局長ニ届出ヅベシ

第五十八條　本令又ハ朝鮮電氣工作物規程ニ依リ行政官廳ニ提出スル書類及圖面中技術ニ關スルモノハ主任技術者之ニ記名捺印スベシ但シ主任技術者選任前ニ在リテハ其ノ設計ヲ擔當シタル技術者之ニ記名捺印スベシ

第五章　業務

第一節　供給業務

第五十九條　事業令第一條第一號ノ電氣事業者ハ營業開始ノ場所ニ電氣供給規程ヲ備ヘ置キ一般公衆ノ閱覽ニ供スベシ

電氣供給規程ヲ變更シタルトキハ電氣事業者ハ變更ノ理由ヲ具シ豫メ之ヲ遞信局長ニ届出ヅベシ

第六十條　電氣供給規程ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

一　變更ノ事項

二　變更ノ理由書

電氣供給規程中第七十六條第七號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ變更ノ理由ヲ具シ豫メ之ヲ遞信局長ニ届出ヅベシ

第六十一條　電燈ノ光度ヲ表示スルニハ燭ヲ以テ單位トス

一燭ハ氣壓七百六十ミリメートルノトキ一立方メートルニ付八リットルノ水蒸氣ヲ合有スル空氣中ニ於テ燃燒スル「ハーコート」燈ノ光度ノ十分ノ一トス

電燈ノ光東ヲ表示スルニハルーメンヲ以テ單位トス

一ルーメンハ一燭ノ均等點光源ノ單位立體角内ニ發スル光束トス

第六十二條　電燈供給ニ使用スル白熱電球ハ左ノ各號ニ依ルモノナルコトヲ要ス

一　電球ニハ電壓及大サノ外電球（真空電球ニ在リテハ瓦斯入電球ニ在リテハ平均水平圓光束及平均球面光束）ノ數値又ハ電壓及公稱光度（真空電球ニ在リテハ瓦斯入電球ニ在リテハ公稱平均水平圓光束及平均球面光束）ヲ表示スベシ

二　電球ノ初光度（真空電球ニ在リテハ平均水平圓光束又ハ初光束ハ標準光度又ハ標準光束ニ對シ眞空電球ニ在リテハ百分ノ十三、瓦斯入電球ニ在リテハ六十ワット以下ノモノハ百分ノ十五ヲ超ユル差異ナキコトヲ要ス

標準光度及標準光束ハ別ニ之ヲ告示ス

第六十三條　電氣事業者ハ供給點ニ於テ保持スベキ一定ノ電壓及電流ニ百分ノ四ヲ超ユル變動生ゼシメズ又ハ技術上已ムコトヲ得ザル場合ヲ除クノ外其ノ周波數ヲ一定ニ保持スルコトヲ要ス

第六十四條　電氣事業者ハ白熱電球ヲ提供シテ電燈ヲ供給スル場合ニ於テ取附後ノ使用ニ因リ其ノ光度又ハ光束ガ表示電壓ニ於テ標準光度又ハ標準光束ノ百分ノ八十以下ニ減少シ且需用者ノ請求アルトキハ新ナル電球ト取換フ爲スベシ

第六十五條　電氣事業者ハ白熱電球ヲ提供シテ電燈ヲ供給スル場合ニ於テハ技術上已ムコトヲ得ザル場合ヲ除クノ外其ノ周波數ヲ一定ニ保持スルコトヲ要ス

第六十六條　電氣事業者ハ供給區域内ニ於ケル電燈ノ光度ヲ測定スル爲適當ノ場所ニ光度計ヲ備ヘ置カザルベカラズ

前項ノ場合ニ於テハ電球ニ在リテハ百分ノ十三、瓦斯入電球ニ在リテハ百分ノ十五ヲ超ユル差異ナキコトヲ要ス

第六十七條　電氣事業者ハ供給區域内ニ於ケル電氣料金其ノ他供給條件ヲ設定セントスルトキハ遞信局長ノ認可ヲ受クベシ

第六十八條　電氣事業者ハ供給區域内ニ於ケル電氣料金其ノ他供給條件ヲ設定セントスルトキハ遞信局長ノ認可ヲ受クベシ

一　電球ニハ電壓及大サノ外電球（真空電球ニ在リテハ瓦斯入電球ニ在リテハ平均水平圓光束及平均球面光束）ノ數値又ハ電壓及公稱光度（真空電球ニ在リテハ瓦斯入電球ニ在リテハ公稱平均水平圓光束及平均球面光束）ヲ表示スベシ

二　電球ノ初光度（真空電球ニ在リテハ平均水平圓光束又ハ初光束ハ標準光度又ハ標準光束ニ對シ眞空電球ニ在リテハ百分ノ十三、瓦斯入電球ニ在リテハ百分ノ十五ヲ超ユル差異ナキコトヲ要ス

標準光度及標準光束ハ別ニ之ヲ告示ス

第六十三條　電氣事業者ハ供給點ニ於テ保持スベキ一定ノ電壓及電流ニ百分ノ四ヲ超ユル變動生ゼシメズ又ハ技術上已ムコトヲ得ザル場合ヲ除クノ外其ノ周波數ヲ一定ニ保持スルコトヲ要ス

第六十四條　電氣事業者ハ白熱電球ヲ提供シテ電燈ヲ供給スル場合ニ於テハ

リ其ノ使用ヲ廢サザルトキ

第九十九條　道知事ハ危險ノ虞アル場合ニ於テハ電氣事業者ニ對シ電氣工作物及其ノ工事ニ關シ保安上必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

第七章　電氣事業統制

第百條　電氣事業統制ノ趣旨ニ依リ電氣事業者他ノ電氣事業者ト共用スル目的ヲ以テ電氣工作物ノ施設又ハ變更ヲ爲サントスル場合又ハ他ノ電氣事業者ト電氣ノ流用ヲ爲サントスル場合ニ於テ關係電氣事業者ノ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ計畫ノ概要、關係電氣事業者名及關係電氣事業者ヲシテ爲シタル協議ノ顚末又ハ協議ヲ爲スコト能ハザル事由ヲ具シ共用ノ場合ニ在リテハ尚共用ノ範圍及共用電氣工作物ノ管理方法ヲ具シ朝鮮總督ニ電氣工作物ノ共用又ハ電氣ノ流用ニ付事業令第二十七條第一項ノ命ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第百一條　事業令第二十七條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタルトキハ指定ノ期間內ニ實施計畫書ヲ朝鮮總督ニ提出シ及受命事實ヲ實施スベシ

朝鮮總督ハ已ムコトヲ得ザルモノト認ムル場合ニ限リ受命者ノ申請ニ依リ前項ノ期間ノ伸長ヲ認可スルコトアルベシ

第百二條　前條ノ實施計畫書ハ左ノ書類及圖面ヲ具備スルコトヲ要ス

一　起業目論見書又ハ工事設計書中ノ事項ニ變更ヲ生ズルモノナルトキハ關係ノ書類及圖面

二　電氣流用ノ場合ニ於テハ電氣料金其ノ他供給條件ヲ記載シタル書面

三　工事費用ノ負擔其ノ他ノ事項ノ協議ニ關スル書面

實施計畫書ニハ受命者連署スベシ

受命事項ノ實施ノ工事施行ニ關シテハ第十二條ノ規定ニ依ル

第百三條　第百一條ノ規定ニ依リ實施計畫書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スベシ

一　設計書（第三條第三號及第四號、第六條第一項、第十八條ノ準用ヲ含ム）

二　圖面（第三條第四號及第四號ノ圖面ニ準ズル第十八條第二項ノ圖面ヲ含ム）

三　電氣工作物ノ變更ニ因ラズシテ工事設計書又ハ工事設計明細書中ノ事項變更ニ關スル許可又ハ認可ノ申請アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第九十七條　遞信局長ハ必要アリト認ムルトキハ電氣事業者ヲシテ現ニ使用シ又ハ使用セントスル器具、機械其ノ他物品ノ見本ヲ差出サシメ其ノ試驗ヲ爲スコトヲ得

見本ノ運搬ニ要スル費用及試驗ニ因リテ生ズル損害ハ電氣事業者ノ負擔トス

第九十八條　朝鮮總督ハ左ノ場合ニ於テハ電氣工作物ノ撤去若ハ使用ノ停止又ハ工事ノ中止ヲ命ズルコトアルベシ

一　電氣工作物又ハ其ノ工事ガ他ニ障害ヲ及ボシ又ハ危險ナリト認ムルトキ

二　電氣工作物ガ遞信局長ノ認可ヲ受ケタル設計書ニ違反シタルトキ又ハ受託者ガ會社ナルトキハ委託又ハ受託ニ關スル株主總會ノ決議錄若ハ總社員ノ同意書ノ謄本又ハ之ニ代リ得ベキ書面、公共團體ナルトキハ委託又ハ受託ニ關スル會議錄ノ謄本

三　委託又ハ受託ノ條件ニ關スル說明書

四　一部委託ノ場合ニ於テハ前各號ノ外管理スベキ事業ニ關スル起業目論見書及工事設計書（第百六條第七號ニ準ズ）

第百十一條　電氣事業者前條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル供給事業管理委託ノ範圍、期間又ハ條件ヲ變更セントスルトキハ變更スベキ事項及其ノ事由ヲ具シ變更ニ關スル契約書ノ謄本ヲ添ヘ當事者連署ノ上朝鮮總督ニ認可ヲ申請スベシ

電氣供給事業ノ管理ヲ委託シタルトキ又ハ其ノ管理ノ終了シタルトキハ當事者ハ其ノ旨ヲ遞滯ナク遞信局長ニ屆出ヅベシ

第百十二條　事業令第十八條ノ規定ニ依リ供給事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一　廢止スベキ事業ノ範圍

二　廢止ノ事由

三　廢止ノ時期

前項ノ申請書ニハ第百六條第二號ニ準ズル書類ヲ添附スベシ

事業令第十八條ノ規定ニ依リ供給事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第百十三條　事業令第十九條ノ規定ニ依リ解散ノ決議又ハ總社員ノ同意ノ認可ヲ受ケントスルトキハ解散ノ事由ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ解散ニ關スル株主總會ノ決議錄又ハ總社員ノ同意書ノ謄本ヲ添附スベシ

第九章　雜則

第百十四條　事業令又ハ本令ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類及圖面ハ總テ遞信局長ヲ經由スベシ

前項ノ書類及圖面又ハ遞信局長ニ提出スベキ書類及圖面ハ國ニ於テ營ム電氣事業ニ關スルモノヲ除クノ外總テ其ノ所轄道知事ヲ經由スベシ但シ二道以上ニ關スル事項ニ付テハ主トシテ關係ヲ有スル道知事ヲ經由シ別ニ其ノ副本ヲ關係道知事ニ提出スベシ

第百十五條　事業令又ハ本令ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可若ハ認可又ハ遞信局長ノ認可ヲ申請スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ遞信局長ニ提出スベシ

第百十六條　竝電氣工作物ノ原動力トシテ水力ヲ使用スル電氣事業者ニシテ朝鮮總督ノ指定スルモノハ河川流拭其ノ他ノ事項ニ關スル報告書ヲ調製シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十章　罰則

第百十七條　本令ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第百十八條　本令ノ規定ニ依ル届出、通知又ハ報告書ノ提出ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

第百十九條　第四十二條第一項ノ規定ニ違反シ證票及許可書ノ謄本ヲ携帶セズ又ハ管理者ヨリ請求ヲ受ケタルニ拘ラズ之ヲ呈示セザル者ハ科料ニ處ス

第十一章　附則

第百二十條　電氣供給事業經營ノ爲事業令第三十四條第一項ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケントスルトキハ當該官廳ハ左ノ書類及圖面ヲ提出スベシ

一　設計書（第二條第三號及第四號、第三條第三號及第四號、第五條第一項第三號及第四號、第六條第一項第二號及第三號、第十五條第一項第二號及第三號ノ規定ニ依リ添附スベキ書類ヲ含ム）

二　圖面（第二條第三號及第四號、第三條第三號及第四號、第五條第一項第二號及第三號、第六條第一項第二號及第三號ノ規定ニ依リ添附スベキ圖面ヲ含ム）

第百二十一條　電氣鐵道事業經營ノ爲事業令第三十四條第一項ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケントスルトキハ當該官廳ハ左ノ書類及圖面ヲ提出スベシ

一　設計書（第二條第三號及第四號、第三條第三號及第四號、第五條第一項第二號及第三號、第六條第一項第二號及第三號ノ規定ニ依リ添附スベキ書類ヲ含ム）

二　圖面（第二條第三號及第四號、第三條第三號及第四號、第五條第一項第二號及第三號、第六條第一項第二號及第三號ノ規定ニ依リ添附スベキ圖面ヲ含ム）

第百二十二條　第八條第一項第三號乃至第十一號ノ事項ヲ變更スル爲事業令第三十四條第一項ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケントスルトキハ當該官廳ハ電氣供給事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケタルトキニ準ジ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ通知スベシ

第百二十三條　第三十三條乃至第五十二條、第百條、第百一條、第百二條第一項、第二項及第百三條乃至第百五條ノ規定ハ國ニ於テ營ム電氣事業ニ關シ之ヲ準用ス但シ第百二條第一項引用ノ第百二十二條第一項ノ書類及圖面ハ第百二十二條ノ規定ニ依リ具備スベキ同條同項第一號ノ書類及圖面ハ第百二十二條第一項ノ書類及圖面トス

附則

第百二十六條　本令ハ昭和八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第百二十七條　電氣事業取締規則ハ之ヲ廢止ス

第百二十八條　本令ニ依リ新ニ認可ヲ受クベキモノト爲リタル事項ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ之ヲ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第百二十九條　本令施行前從前ノ規定ニ依リ爲シタル許可又ハ認可ノ申請其ノ他ノ手續ニシテ本令中之ニ相當スル規定アルモノハ之ヲ本令ノ規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス但シ本令ノ規定ニ依リ必要ナル書類及圖面ヲ補充セシムルコトアルベシ

第百三十條　本令施行ノ際現ニ存スル事業令第一條第三號ノ電氣事業者ハ本令施行ノ日ヨリ六月內ニ起業目論見書、工事設計書及第一條第七號ノ書面ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第百三十一條　高壓又ハ低壓ノ電氣供給事業者及鋼索式電氣鐵道事業者ニ關スル事由アルトキハ當分ノ內第五十三條第一項ノ規定ニ拘ラズ當該電氣事業ニ必要ナル電氣技術ニ關スル知識經驗ヲ有スル者ヲ選任スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該主任技術者ノ選任ニ必要トスル事由及其ノ履歷書ヲ具シ遞信局長ノ認可ヲ受クベシ

第百三十二條　本令施行前從前ノ規定ニ依リ選任シ屆出アリタル主任技術者ニシテ本令施行ノ際現ニ在ル者ハ第五十三條第一項ノ規定ニ該當スル者トシテ之ヲ選任シタルモノト看做ス

第百三十三條　電氣事業報告書中會計ニ關スルモノニ付テハ昭和九年十月三十一日ヲ含ム事業年度迄ハ仍從前ノ樣式ニ依リ之ヲ調製スルコトヲ得

第百三十四條　第百一條ノ規定ニ依リ事業ヲ承繼シタルトキハ競落許可決定ノ謄本ヲ添ヘ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

前項ノ場合ニ於テ競落シタル工場財團ガ電氣事業ニ屬スルモノノ一部ヲ以テ設定セラレタルモノナルトキハ前條第七號ニ準ジ記載シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第百八條　事業令第二十九條ノ規定ニ依リ合併ノ認可ヲ受ケントスルトキハ合併ノ方法及條件ヲ記載シタル申請書ヲ當事者連署ノ上提出スベシ

前項ノ申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スベシ

一　合併契約書ノ謄本

二　合併ニ關スル株主總會ノ決議錄又ハ總社員ノ同意書ノ謄本

三　合併ノ相手方ガ電氣事業者ニ非ザル會社ナルトキハ定款及會社登記簿ノ謄本竝ニ最終ノ財產目錄、貸借對照表及損益計算書

四　合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リ設立スル會社ノ定款

五　合併條件決定ノ基礎ニ關スル說明書及資料

六　合併後ニ於ケル事業上ノ收支概算書

第百九條　電氣事業ノ讓渡又ハ電氣事業會社ノ合併終了シタルトキハ當事者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信局長ニ屆出ヅベシ

前項ノ合併ノ屆書ニハ合併ニ關スル登記ノ謄本ヲ添附スベシ

第百十條　事業令第三十條ノ規定ニ依リ電氣供給事業管理ノ委託又ハ受託ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由、管理スベキ事業ノ範圍、期間及條件ヲ記載シタル申請書ヲ當事者連署ノ上提出スベシ

前項ノ申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スベシ

一　讓渡契約書ノ謄本

二　讓渡人又ハ讓受人ガ會社ナルトキハ讓渡ニ關スル株主總會ノ決議錄若ハ總社員ノ同意書ノ謄本又ハ之ニ代リ得ベキ書面、公共團體ナルトキハ讓渡ニ關スル會議錄ノ謄本

三　讓渡人ガ會社發起人ナルトキハ定款、電氣事業者ニ非ザル會社ナルトキハ定款及會社登記簿ノ謄本竝ニ最終ノ財產目錄、貸借對照表及損益計算書（調製樣式ニ準ジ調製スベシ）

四　讓渡價格算出ニ關スル說明書及資料

五　讓受ニ要スル資金調達ノ方法ヲ記載シタル書面

六　讓渡後ニ於ケル事業上ノ收支概算書（第二號樣式ニ準ジ調製スベシ）

七　一部讓渡ノ場合ニ於テハ前各號ノ外讓渡スベキ事業ニ關スル起業目論見書及工事設計書（第二條乃至第五條ノ規定ニ準ズル書類及圖面トシ配電設備ニ關シテハ第二條第四號ノ電壓子電壓ノ分圖ノ關係設備及需要者ノ關係ヲ生ズベキトキハ之ヲ明示スベシ）

第十一章　交通　電氣附瓦斯　第三章　電氣附瓦斯

第百四條　事業令第二十六條第一項ノ行政官廳ハ遞信局長トス

道知事ハ保安上必要アル場合ニ於テハ事業令第二十六條第一項ノ規定ニ依リ電氣工作物使用認可ヲ申請アリタル場合ニ於テハ當該官廳ハ檢查セシメ但シ其ノ必要ナシト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第百五條　電氣事業者ハ發電及送電豫定計畫ニ必要ナル資料ヲ毎年一回遞信局長ニ提出スベシ

第八章　事業ノ移轉、管理及廢止

第百六條　事業令第二十八條第一項ノ規定ニ依リ事業讓渡ノ認可ヲ受ケントスルトキハ讓渡ノ事由、讓渡スベキ事業ノ範圍及價格ヲ記載シタル申請書ヲ當事者連署ノ上提出スベシ

前項ノ申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スベシ

一　讓渡契約書ノ謄本

二　讓渡人又ハ讓受人ガ會社ナルトキハ讓渡ニ關スル株主總會ノ決議錄若ハ總社員ノ同意書ノ謄本又ハ之ニ代リ得ベキ書面、公共團體ナルトキハ讓渡ニ關スル會議錄ノ謄本

三　電氣工作物ノ變更ニ因ラズシテ工事設計書又ハ工事設計明細書中ノ事項變更ニ關スル許可又ハ認可ノ申請アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第九十七條　遞信局長ハ必要アリト認ムルトキハ電氣事業者ヲシテ現ニ使用シ又ハ使用セントスル器具、機械其ノ他物品ノ見本ヲ差出サシメ其ノ試驗ヲ爲スコトヲ得

見本ノ運搬ニ要スル費用及試驗ニ因リテ生ズル損害ハ電氣事業者ノ負擔トス

第九十八條　朝鮮總督ハ左ノ場合ニ於テハ電氣工作物ノ撤去若ハ使用ノ停止又ハ工事ノ中止ヲ命ズルコトアルベシ

一　電氣工作物又ハ其ノ工事ガ他ニ障害ヲ及ボシ又ハ危險ナリト認ムルトキ

二　電氣工作物ガ遞信局長ノ認可ヲ受ケタル設計書ニ違反シタルトキ又ハ受託者ガ會社ナルトキハ委託又ハ受託ニ關スル株主總會ノ決議錄若ハ總社員ノ同意書ノ謄本又ハ之ニ代リ得ベキ書面、公共團體ナルトキハ委託又ハ受託ニ關スル會議錄ノ謄本

三　委託又ハ受託ノ條件ニ關スル說明書

四　一部委託ノ場合ニ於テハ前各號ノ外管理スベキ事業ニ關スル起業目論見書及工事設計書（第百六條第七號ニ準ズ）

第百十一條　電氣事業者前條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル供給事業管理委託ノ範圍、期間又ハ條件ヲ變更セントスルトキハ變更スベキ事項及其ノ事由ヲ具シ變更ニ關スル契約書ノ謄本ヲ添ヘ當事者連署ノ上朝鮮總督ニ認可ヲ申請スベシ

電氣供給事業ノ管理ヲ委託シタルトキ又ハ其ノ管理ノ終了シタルトキハ當事者ハ其ノ旨ヲ遞滯ナク遞信局長ニ屆出ヅベシ

第百十二條　事業令第十八條ノ規定ニ依リ供給事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一　廢止スベキ事業ノ範圍

二　廢止ノ事由

三　廢止ノ時期

前項ノ申請書ニハ第百六條第二號ニ準ズル書類ヲ添附スベシ

事業令第十八條ノ規定ニ依リ供給事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ通知スベシ

第百十三條　事業令第十九條ノ規定ニ依リ解散ノ決議又ハ總社員ノ同意ノ認可ヲ受ケントスルトキハ解散ノ事由ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ解散ニ關スル株主總會ノ決議錄又ハ總社員ノ同意書ノ謄本ヲ添附スベシ

第九章　雜則

第百十四條　事業令又ハ本令ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類及圖面ハ總テ遞信局長ヲ經由スベシ

前項ノ書類及圖面又ハ遞信局長ニ提出スベキ書類及圖面ハ國ニ於テ營ム電氣事業ニ關スルモノヲ除クノ外總テ其ノ所轄道知事ヲ經由スベシ但シ二道以上ニ關スル事項ニ付テハ主トシテ關係ヲ有スル道知事ヲ經由シ別ニ其ノ副本ヲ關係道知事ニ提出スベシ

第百十五條　事業令又ハ本令ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可若ハ認可又ハ遞信局長ノ認可ヲ申請スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ遞信局長ニ提出スベシ

第百十六條　竝電氣工作物ノ原動力トシテ水力ヲ使用スル電氣事業者ニシテ朝鮮總督ノ指定スルモノハ河川流拭其ノ他ノ事項ニ關スル報告書ヲ調製シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十章　罰則

第百十七條　本令ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第百十八條　本令ノ規定ニ依ル届出、通知又ハ報告書ノ提出ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

第百十九條　第四十二條第一項ノ規定ニ違反シ證票及許可書ノ謄本ヲ携帶セズ又ハ管理者ヨリ請求ヲ受ケタルニ拘ラズ之ヲ呈示セザル者ハ科料ニ處ス

第十一章　附則

第百二十條　電氣供給事業經營ノ爲事業令第三十四條第一項ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケントスルトキハ當該官廳ハ左ノ書類及圖面ヲ提出スベシ

一　設計書（第二條第三號及第四號、第三條第三號及第四號、第五條第一項第二號及第三號、第六條第一項第二號及第三號ノ規定ニ依リ添附スベキ書類ヲ含ム）

二　圖面（第二條第三號及第四號、第三條第三號及第四號、第五條第一項第二號及第三號、第六條第一項第二號及第三號ノ規定ニ依リ添附スベキ圖面ヲ含ム）

第百二十一條　電氣鐵道事業經營ノ爲事業令第三十四條第一項ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケントスルトキハ當該官廳ハ左ノ書類及圖面ヲ提出スベシ

一　設計書（第二條第三號及第四號、第三條第三號及第四號、第五條第一項第二號及第三號、第六條第一項第二號及第三號ノ規定ニ依リ添附スベキ書類ヲ含ム）

二　圖面（第二條第三號及第四號、第三條第三號及第四號、第五條第一項第二號及第三號、第六條第一項第二號及第三號ノ規定ニ依リ添附スベキ圖面ヲ含ム）

第百二十二條　第八條第一項第三號乃至第十一號ノ事項ヲ變更スル爲事業令第三十四條第一項ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケントスルトキハ當該官廳ハ電氣供給事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケタルトキニ準ジ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ通知スベシ

第百二十三條　第三十三條乃至第五十二條、第百條、第百一條、第百二條第一項、第二項及第百三條乃至第百五條ノ規定ハ國ニ於テ營ム電氣事業ニ關シ之ヲ準用ス但シ第百二條第一項引用ノ第百二十二條第一項ノ書類及圖面ハ第百二十二條ノ規定ニ依リ具備スベキ同條同項第一號ノ書類及圖面ハ第百二十二條第一項ノ書類及圖面トス

附則

第百二十六條　本令ハ昭和八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第百二十七條　電氣事業取締規則ハ之ヲ廢止ス

第百二十八條　本令ニ依リ新ニ認可ヲ受クベキモノト爲リタル事項ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ之ヲ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第百二十九條　本令施行前從前ノ規定ニ依リ爲シタル許可又ハ認可ノ申請其ノ他ノ手續ニシテ本令中之ニ相當スル規定アルモノハ之ヲ本令ノ規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス但シ本令ノ規定ニ依リ必要ナル書類及圖面ヲ補充セシムルコトアルベシ

第百三十條　本令施行ノ際現ニ存スル事業令第一條第三號ノ電氣事業者ハ本令施行ノ日ヨリ六月內ニ起業目論見書、工事設計書及第一條第七號ノ書面ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第百三十一條　高壓又ハ低壓ノ電氣供給事業者及鋼索式電氣鐵道事業者ニシテ朝鮮總督ノ指定スルモノハ河川流拭其ノ他ノ事項ニ關スル報告書ヲ調製シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第百三十二條　本令施行前從前ノ規定ニ依リ選任シ屆出アリタル主任技術者ニシテ本令施行ノ際現ニ在ル者ハ第五十三條第一項ノ規定ニ該當スル者トシテ之ヲ選任シタルモノト看做ス

第百三十三條　電氣事業報告書中會計ニ關スルモノニ付テハ昭和九年十月三十一日ヲ含ム事業年度迄ハ仍從前ノ樣式ニ依リ之ヲ調製スルコトヲ得

第百三十四條　第百一條ノ規定ニ依リ事業ヲ承繼シタルトキハ競落許可決定ノ謄本ヲ添ヘ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

前項ノ場合ニ於テ競落シタル工場財團ガ電氣事業ニ屬スルモノノ一部ヲ以テ設定セラレタルモノナルトキハ前條第七號ニ準ジ記載シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第百八條　事業令第二十九條ノ規定ニ依リ合併ノ認可ヲ受ケントスルトキハ合併ノ方法及條件ヲ記載シタル申請書ヲ當事者連署ノ上提出スベシ

前項ノ申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スベシ

一　合併契約書ノ謄本

二　合併ニ關スル株主總會ノ決議錄又ハ總社員ノ同意書ノ謄本

三　合併ノ相手方ガ電氣事業者ニ非ザル會社ナルトキハ定款及會社登記簿ノ謄本竝ニ最終ノ財產目錄、貸借對照表及損益計算書

四　合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リ設立スル會社ノ定款

五　合併條件決定ノ基礎ニ關スル說明書及資料

六　合併後ニ於ケル事業上ノ收支概算書（第二號樣式ニ準ジ調製スベシ）

第百九條　電氣事業ノ讓渡又ハ電氣事業會社ノ合併終了シタルトキハ當事者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信局長ニ屆出ヅベシ

前項ノ合併ノ屆書ニハ合併ニ關スル登記ノ謄本ヲ添附スベシ

第百十條　事業令第三十條ノ規定ニ依リ電氣供給事業管理ノ委託又ハ受託ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由、管理スベキ事業ノ範圍、期間及條件ヲ記載シタル申請書ヲ當事者連署ノ上提出スベシ

前項ノ申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スベシ

一　讓渡契約書ノ謄本

二　讓渡人又ハ讓受人ガ會社ナルトキハ讓渡ニ關スル株主總會ノ決議錄若ハ總社員ノ同意書ノ謄本又ハ之ニ代リ得ベキ書面、公共團體ナルトキハ讓渡ニ關スル會議錄ノ謄本

三　讓渡人ガ會社發起人ナルトキハ定款、電氣事業者ニ非ザル會社ナルトキハ定款及會社登記簿ノ謄本竝ニ最終ノ財產目錄、貸借對照表及損益計算書（調製樣式ニ準ジ調製スベシ）

四　讓渡價格算出ニ關スル說明書及資料

五　讓受ニ要スル資金調達ノ方法ヲ記載シタル書面

六　讓渡後ニ於ケル事業上ノ收支概算書（第二號樣式ニ準ジ調製スベシ）

第百七條　事業令第二十八條第二項ノ規定ニ依リ事業ノ讓渡ヲ認可シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

前項ノ場合ニ於テ競落シタル工場財團ガ電氣事業ニ屬スルモノノ一部ヲ以テ設定セラレタルモノナルトキハ前條第七號ニ準ジ記載シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第百八條　事業令第二十九條ノ規定ニ依リ合併ノ認可ヲ受ケントスルトキハ合併ノ方法及條件ヲ記載シタル申請書ヲ當事者連署ノ上提出スベシ

前項ノ申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スベシ

一　合併契約書ノ謄本

二　合併ニ關スル株主總會ノ決議錄又ハ總社員ノ同意書ノ謄本

三　合併ノ相手方ガ電氣事業者ニ非ザル會社ナルトキハ定款及會社登記簿ノ謄本竝ニ最終ノ財產目錄、貸借對照表及損益計算書

四　合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リ設立スル會社ノ定款

五　合併條件決定ノ基礎ニ關スル說明書及資料

六　合併後ニ於ケル事業上ノ收支概算書（第二號樣式ニ準ジ調製スベシ）

第百九條　電氣事業ノ讓渡又ハ電氣事業會社ノ合併終了シタルトキハ當事者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信局長ニ屆出ヅベシ

前項ノ合併ノ屆書ニハ合併ニ關スル登記ノ謄本ヲ添附スベシ

第百十條　事業令第三十條ノ規定ニ依リ電氣供給事業管理ノ委託又ハ受託ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由、管理スベキ事業ノ範圍、期間及條件ヲ記載シタル申請書ヲ當事者連署ノ上提出スベシ

前項ノ申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スベシ

一　讓渡契約書ノ謄本

二　讓渡人又ハ讓受人ガ會社ナルトキハ讓渡ニ關スル株主總會ノ決議錄若ハ總社員ノ同意書ノ謄本又ハ之ニ代リ得ベキ書面、公共團體ナルトキハ讓渡ニ關スル會議錄ノ謄本

三　讓渡人ガ會社發起人ナルトキハ定款、電氣事業者ニ非ザル會社ナルトキハ定款及會社登記簿ノ謄本竝ニ最終ノ財產目錄、貸借對照表及損益計算書（調製樣式ニ準ジ調製スベシ）

四　讓渡價格算出ニ關スル說明書及資料

五　讓受ニ要スル資金調達ノ方法ヲ記載シタル書面

六　讓渡後ニ於ケル事業上ノ收支概算書（第二號樣式ニ準ジ調製スベシ）

第百七條　事業令第二十八條第二項ノ規定ニ依リ事業ノ讓渡ヲ認可シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

前項ノ場合ニ於テ競落シタル工場財團ガ電氣事業ニ屬スルモノノ一部ヲ以テ設定セラレタルモノナルトキハ前條第七號ニ準ジ記載シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

（第一號樣式）

工事費概算書

項目		單位	單價	數量	金額 計	金額 合計	備考
			円		円	円	
水力發電所工事費（發電所毎ニ記載スルコト）		一キロワット					
	用地						
	建物						
	水路及池						
	調整池						
	貯水具備						
	機械器具						
	雜設備他						
	共ノ他						
汽力發電所工事費（發電所毎ニ記載スルコト）		一キロワット					
	用地						
	建物						
	蒸汽發生設備						
	電氣發生設備						
	冷却及水道設備						
	雜設備他						
	共ノ他						
內燃力發電所工事費（發電所毎ニ記載スルコト）		一キロワット					
	用地						
	建物						
	機械器具						
	雜設備他						
	共ノ他						

項目		單位	單價	數量	金額 計	金額 合計	備考
			円		円	円	
送電線路工事費（送電線路毎ニ記載スルコト）		一キロメートル					
	用地						
	建物						
	架空電線路						
	地中電線路						
	開閉所						
	獨立電話線路						
	共ノ他						
變電所工事費（變電所毎ニ記載スルコト）		一キロヴオルトアムペア					
	用地						
	建物						
	機械器具						
	共ノ他						
配電線路工事費		一キロメートル					
	架空配電線路						
	地中配電線路						
	特約供給配電線路						
需用者屋內工事費		一燈					
	電燈用配線	一キロワット					
	電力用配線	〃					
	電熱用配線						
	器具						
電氣鐵道工事費		一キロメートル					發電所工事費、送電線路工事費及變電所工事費（直流變電所工事費ヲ除ク）ヲ含マズ
何々							
合計							

年　月　日　　主任（擔當）技術者　氏名　㊞

注意

1　本表ノ項目ハ朝鮮電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ內容ニ準ジ之ヲ記載スベシ
2　本表ハ電氣供給事業ト電氣鐵道事業ト各別ニ之ヲ調製スベシ
3　一發電所ニ附屬セザル貯水池工事費アルトキハ水力發電所工事費ニ準ジ記載スベシ
4　獨立セル受電所工事費アルトキハ發電所工事費ニ準ジ記載スベシ

（第二號樣式）

事業上ノ收支概算書

利益ノ部

項目		單位	單價	數量	金額 計	金額 合計	備考
			円		円	円	
電燈料							
	定額	二燈一時一キロワット					從量燈一燈一月平均使用キロワット時ヲ附記スルコト
	從量	一キロワット時					
	共ノ他						
	計器損料	二燈一月					
	設備損料	二燈一月					
電力料							
	定額	二キロワット一時					從量電力一キロワット一月平均使用キロワット時ヲ附記スルコト
	從量	一キロワット一時					
	特約	一キロワット一時					
	共ノ他						
	計器損料	二キロワット一月					
	器具損料	二キロワット一月					
供給雜益							
電燈共ノ他ノ電熱供給料金							
	電何々熱						
	計器損料	二月					
	器具損料						
	設備損料						
	諸工料						
	器具上資ノ他						
雜益							
電氣鐵道收益							
其ノ他							
合計							

損失ノ部

項目		單位	單價	數量	金額 計	金額 合計	備考
			円		円	円	
水力發電所費（發電所毎ニ記載スルコト）		一キロワット					
	給料手當	人					
	油脂類費						
	修繕費						
	特別費						
	諸費						
汽力發電所費（發電所毎ニ記載スルコト）		一キロワット					
	給料手當	人					
	燃料費	一キログラム					
	油脂類費及用水料						
	修繕費						
	特別費						
	諸費						
內燃力發電所費（發電所毎ニ記載スルコト）		一キロワット					
	給料手當	人					
	燃料費	一キログラム					
	油脂類費						
	修繕費						
	特別費						
	諸費						
購入電力料（受電地點毎ニ記載スルコト）		一キロワット又ハ一キロワット時					
送電線路費（送電線路毎ニ記載スルコト）							

第十七號　　發電所建設費豫算書

項目	單位	數量	單價	金額 小計	金額 計	金額 合計	摘要
第一發電所							
土木工事							
堰堤							
土砂掘取	立方メートル		圓	圓	圓	圓	
岩石掘取	〃						
混凝土	〃						
石積	〃						
護岸							
土砂掘取	立方メートル						
混凝土	〃						
石積	〃						
水路							
土砂掘取	立方メートル						
混凝土	〃						
石積	〃						
木造	〃						
水壓鐵管							
鐵管	噸						
鐵管支臺	個						
鐵管伸縮繼手	〃						
鐵管基礎	〃						
鐵管錨	〃						
鐵管人孔	〃						
鐵管空氣抜	〃						
鐵管排水	〃						
鐵管支柱	〃						
鐵管橋	〃						
鐵管其他							
發電所建物							
發電所建物	坪						
發電所建物	立方メートル						
發電所建物	〃						
發電所建物	〃						
發電所建物	〃

項目		単位	単価	数量	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
内燃力発電所工事費（発電所毎ニ記載スルコト）								
用地	地物							
建設機械器具	鋼	トン	円					
	木	石						
	瓦斯発生器	個						
	内燃機	〃						
	発電機	〃						
	主要変圧器	〃						
	配電盤及開閉装置							
	冷却用水設備							
	諸機械器具	基礎						
	雑	一式						
建物	瓦斯発生室及ヘ貯油槽	一立方メートル						
建物	用地	一平方メートル	坪					
	建物	〃	〃					
	煙突	〃	〃					
	雑	一式						
構築物	塔	基						
	柱	個						
	鉄筋「コンクリート」柱	〃						
	木柱	〃						
	電柱	本						
	鉄塔	基						
	地線	一キロメートル						
	添架電話線	〃						
	架線	〃						
	柵	一平方メートル						
	雑	一式						
地中電線路	管	一キロメートル						
	電話線	〃						
	雑	一式						
開閉所（各別ニ記載スルコト）	屋外鉄構	個						
	開閉装置	〃						
	諸機械器具	一式						
	雑	〃						
独立電話線路	支持物							
	架線							
備品								

項目		単位	単価	数量	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
汽力発電所工事費（発電所毎ニ記載スルコト）								
何々								
用地	地物							
建設機械器具	煉瓦	千個	円					
	木材	石						
	鋼	トン						
	鋳鉄	〃						
	雑	一式						
蒸汽発生設備	煙突	基						
	煙道	〃						
	汽罐	個						
	過熱器	〃						
	節炭器	〃						
	給水ポンプ	〃						
	通風装置	基						
	煤塵及灰捨装置	〃						
	機械器具	〃						
	基礎	〃						
	雑	一式						
電気発生設備	発電機	個						
	変圧器	〃						
	汽機発電機用内燃機関	〃						
	水車及復水装置	〃						
	主要弁	個						
	配電盤及開閉装置							
	諸機械器具	基						
	基礎	〃						
	据付	一式						
	雑	〃						
冷却及水道設備	冷却用水設備	〃						
	貯水池	〃						
	水道	〃						
	雑	〃						
雑設備	運搬設備	〃						
	修繕及試験装置	〃						
	何々							
品質								
価格係	費							
	事務							
	監督							
	雑							

項目			單位	單價	數量	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
				円		円	円	円	
發電所工事費（本店、支店等營業單位別ニ記載スルコト）	總係費								
	測量費								
	監督費								
	何々係								
	雜費								（材料費及工費ヲ附記スルコト）
	用地物件								（同上）
	建設具								（同上）
	機械器具	主要發電機	瓦斯機關	箇					
			蒸氣機關	〃					
			水車	〃					
			內燃機關	〃					
			蒸氣タービン	〃					
			水車タービン	〃					
			其他ノ原動機	〃					
		主要發電機	交流發電機	〃					
			直流發電機	〃					
			交直轉換機	〃					
			回轉變流機	〃					
			水銀整流器	〃					
		冷却用水設備		〃					
		配電盤及開閉器裝置		〃					
		諸機械器具		〃					
		基礎費		〃					
		運搬費		〃					
		據附費		〃					
		雜係		〃					
	備品			〃					
	總係費			〃					
配電線路工事費（本店、支店等營業單位別ニ記載スルコト）	架空配電線路	支持物		〃					（材料費及工費ヲ附記スルコト）
		電線		本					
		電力用電線		キログラム					
		變壓器		〃					
		電力用變壓器裝置		箇					
		保安及開閉器		〃					
		引込線		引込口					
		電力用引込線		〃					
		添架電話線		〃					
		架線費		一キロメートル					（材料費及布設費ヲ附記スルコト）
		雜係		〃					（同上）
	地中配電線路	電纜		一キロメートル					
		電力用電纜		〃					
		變壓器		箇					
		電力用變壓器裝置		〃					
		保安及開閉器		〃					
		引込線		引込口					
		電力用引込線		〃					
		雜係		一キロメートル					（材料費及工費ヲ附記スルコト）
	特約供給配電線路（各別ニ記載スルコト）								

項目			單位	單價	數量	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
				円		円	円	円	
發電所工事費（本店、支店等營業單位別ニ記載スルコト）	屋內工事								（材料費及工費ヲ附記スルコト）
	配線	電燈線	燈						（同上）
		電力用電線	キロワット						（同上）
		電熱用電線	〃						
	器具	電球	箇						
		計器	〃						
		電熱器	〃						
		煽風機	〃						
		電動機	〃						
		諸機械器具	一キロメートル						發電所工事費、送電線路工事費及變電所工事費（直流變電所工事費ヲ除ク）ニ含マズ
	電氣鐵道瓦斯工事費								
	何々								
	建設費	何々							
合計									

年　月　日　　主任技術者　氏名　㊞

注意

1　本表ノ項目ハ朝鮮電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ內容ニ準ジ之ヲ記載スベシ
2　本表ハ電氣供給事業ト電氣鐵道事業ト各別ニ之ヲ調製スベシ
3　一發電所ニ隸屬セザル貯水池工事費アルトキハ水力發電所工事費ニ準ジ記載スベシ
4　獨立セル受電所工事費アルトキハ變電所工事費ニ準ジ記載スベシ
5　水路、調整池又ハ貯水池ノ堰堤、取水口、開渠、蓋渠、隧道、沈砂池、水槽、水壓管路等ニ付テハ工事費內譯書ヲ添附シ更ニ「コンクリート」工、積石工、水路掘鑿工等ノ單價ノ內譯ヲ表示スベシ

所在地	川名	水系	川及	川	番地
所在地	道	府郡島	島面	町村里	番地
最寄駅	線	府郡島	島面	町村里	番地
最寄駅	川		川		

使用水量	常時	渇水時	特定処項	特殊
有効落差	最大	常時	渇水時	
発電所最大出力	kW	kW	kW	

水車	種類	台数	型式	製造者	製造年
発電機	種類	台数	型式	製造者	製造年
励磁機	種類	台数	型式	製造者	製造年

水圧鉄管	本数	内径	長	厚	材料	製造者	製造年
水圧鉄管	本数	内径	長	厚	材料	製造者	製造年

水路	種別	延長	幅	深	勾配	流量	流速	備考
水路	種別	延長	幅	深	勾配	流量	流速	備考

水槽	種別	容量	有効水深	備考
水槽	種別	容量	有効水深	備考

水路橋	種別	長	幅	備考
水路橋	種別	長	幅	備考

水圧管	種別	長	内径	厚	材料	製造者	製造年
水圧管	種別	長	内径	厚	材料	製造者	製造年

放水路	種別	長	幅	深	勾配	流量	流速	備考
放水路	種別	長	幅	深	勾配	流量	流速	備考

水車	種別	出力	台数	製造者	製造年	備考
水車	種別	出力	台数	製造者	製造年	備考

発電機	種別	容量	台数	製造者	製造年	備考
発電機	種別	容量	台数	製造者	製造年	備考

変圧器	種別	容量	台数	製造者	製造年	備考
変圧器	種別	容量	台数	製造者	製造年	備考

遮断器	種別	容量	台数	製造者	製造年	備考
遮断器	種別	容量	台数	製造者	製造年	備考

水車発電機	種別	出力	台数	製造者	製造年	備考
水車発電機	種別	出力	台数	製造者	製造年	備考

送電線路	電圧	亘長	回線数	電線種別	電線太さ	径間	支持物	種別	高さ	基礎	備考
送電線路	電圧	亘長	回線数	電線種別	電線太さ	径間	支持物	種別	高さ	基礎	備考

変電所	名称	種別	容量	台数	型式	備考
変電所	名称	種別	容量	台数	型式	備考

変電所	変圧器	遮断器	避雷器	計器用変成器	母線	備考
変電所	変圧器	遮断器	避雷器	計器用変成器	母線	備考

開閉所	名称	種別	容量	台数	型式	備考
開閉所	名称	種別	容量	台数	型式	備考

開閉所	遮断器	断路器	避雷器	計器用変成器	母線	備考
開閉所	遮断器	断路器	避雷器	計器用変成器	母線	備考

周波数変換所	名称	種別	容量	台数	型式	備考
周波数変換所	名称	種別	容量	台数	型式	備考

周波数変換所	変換器	遮断器	避雷器	計器用変成器	母線	備考
周波数変換所	変換器	遮断器	避雷器	計器用変成器	母線	備考

交直変換所	名称	種別	容量	台数	型式	備考
交直変換所	名称	種別	容量	台数	型式	備考

交直変換所	変換器	遮断器	避雷器	計器用変成器	母線	備考
交直変換所	変換器	遮断器	避雷器	計器用変成器	母線	備考

配電線路	電圧	亘長	回線数	電線種別	電線太さ	径間	支持物	種別	高さ	基礎	備考
配電線路	電圧	亘長	回線数	電線種別	電線太さ	径間	支持物	種別	高さ	基礎	備考

配電所	名称	種別	容量	台数	型式	備考
配電所	名称	種別	容量	台数	型式	備考

配電所	変圧器	遮断器	避雷器	計器用変成器	母線	備考
配電所	変圧器	遮断器	避雷器	計器用変成器	母線	備考

需要家	名称	種別	容量	台数	型式	備考
需要家	名称	種別	容量	台数	型式	備考

需要家	変圧器	遮断器	避雷器	計器用変成器	母線	備考
需要家	変圧器	遮断器	避雷器	計器用変成器	母線	備考

工事	工事種別	着手年月日	竣功年月日
工事	工事種別	着手年月日	竣功年月日

注意

水系名	工事種別	着手年月	竣功年月
水系名	工事種別	着手年月	竣功年月

第三節　電気事業

一　概説

電気事業ハ発電所、変電所、送電線路、配電線路及需要家ノ電気工作物ヲ一体トシテ運用スル事業ニシテ、電気ヲ供給スル事業ト自家用ノ事業トニ大別セラル。

電気事業ハ電気事業法ニ依リ規制セラレ、電気工作物ノ工事、維持及運用ニ関シ保安上必要ナル監督ヲ受ケ、又電気ノ供給ニ関シ料金其ノ他ノ供給条件ニ付認可ヲ受ケ又ハ届出ヲ為スヘキモノトセラレ、電気事業ノ健全ナル発達ヲ図リ公共ノ福祉ヲ増進スルヲ以テ目的トス。

二　水力発電

(一)　概説

水力発電ハ水ノ有スル位置エネルギーヲ利用シテ水車ヲ回転シ、之ニ依リ発電機ヲ運転シテ電気ヲ発生スルモノニシテ、水ノ流量ト有効落差トニ依リ発電所ノ出力ヲ定ム。

(二)　水力調査

水力発電ニ関スル調査ハ、水力発電ニ適スル地点ヲ選定シ、其ノ地点ニ於ケル流量ヲ測定シ、且ツ有効落差ヲ測量シテ、発電所ノ出力ヲ決定スルヲ目的トス。

(三)　水力発電所ノ種類

水力発電所ハ其ノ構造ニ依リ次ノ如ク分類セラル。

(イ)　水路式発電所　水路ニ依リ水ヲ導キ、水路ノ末端ニ於テ水圧管ニ依リ水車ニ水ヲ送リ発電スルモノヲ水路式発電所トス。

(ロ)　ダム式発電所　ダムヲ築キテ貯水池ヲ造リ、ダムノ下流ニ発電所ヲ設ケ、ダムノ水圧ニ依リ水車ヲ運転スルモノヲダム式発電所トス。

(ハ)　ダム水路式発電所　ダムヲ築キテ貯水池ヲ造リ、水路ニ依リ水ヲ導キ、水路ノ末端ニ於テ水圧管ニ依リ水車ニ水ヲ送リ発電スルモノヲダム水路式発電所トス。

(ニ)　揚水式発電所　下部貯水池ノ水ヲ揚水ポンプニ依リ上部貯水池ニ揚水シ、上部貯水池ノ水ヲ水圧管ニ依リ水車ニ送リ発電スルモノヲ揚水式発電所トス。

(四)　水力発電所ノ位置選定

水力発電所ノ位置ハ、水利ノ状況、地形、地質、交通、電力需要ノ状況、建設費及維持費等ヲ考慮シテ選定スルヲ要ス。

(五)　水力発電所ノ設備

(イ)　水路　水路ハ取水口ヨリ水圧管ニ至ル水ノ通路ニシテ、開渠、暗渠、隧道、水路橋等ヨリ成ル。

(ロ)　水槽　水槽ハ水路ノ末端ニ設ケ、水圧管ニ流入スル水ヲ一時貯留スルモノニシテ、水圧管ニ空気ノ入ルヲ防ギ、且ツ水圧ノ変動ヲ緩和スル作用ヲ有ス。

(ハ)　水圧管　水圧管ハ水槽ヨリ水車ニ水ヲ導ク管ニシテ、鋼管、鉄筋コンクリート管等ヲ用ヒ、水圧ニ耐エ且ツ漏水ノ少ナキ構造ヲ要ス。

(ニ)　水車　水車ハ水ノ有スル位置エネルギーヲ機械的エネルギーニ変換スル装置ニシテ、衝動水車ト反動水車トニ大別セラル。

(ホ)　発電機　発電機ハ水車ニ依リ運転セラレ、電気ヲ発生スル装置ニシテ、交流発電機ト直流発電機トアリ、普通交流発電機ヲ用ヒ、三相同期発電機ヲ最モ多ク用ヒラル。

(ヘ)　変圧器　変圧器ハ発電機ノ発生電圧ヲ送電ニ適スル電圧ニ昇圧スルモノニシテ、油入自冷式ヲ最モ多ク用ヒラル。

(ト)　開閉器　開閉器ハ電気回路ノ開閉ニ用ヒラルルモノニシテ、油入遮断器、空気遮断器、磁気吹消遮断器等アリ。

(チ)　避雷器　避雷器ハ雷撃ニ依リ生ズル異常電圧ヲ大地ニ放電シ、電気機械器具ヲ保護スルモノニシテ、ギャップ付避雷器ヲ最モ多ク用ヒラル。

(リ)　計器用変成器　計器用変成器ハ高電圧又ハ大電流ヲ計器ニ適スル値ニ変成スルモノニシテ、計器用変圧器ト計器用変流器トアリ。

(ヌ)　保護継電器　保護継電器ハ電気回路ニ故障ヲ生ジタル場合ニ、故障ヲ検出シテ遮断器ヲ動作セシメ、故障ヲ除去スルモノニシテ、過電流継電器、地絡継電器、方向継電器、距離継電器、差動継電器等アリ。

(ル)　母線　母線ハ発電機、変圧器等ヲ接続スル導体ニシテ、裸銅線ヲ用ヒ、碍子ニ依リ支持スルヲ普通トス。

(ヲ)　配線　配線ハ発電所ノ電気ヲ送電線ニ送リ、又ハ送電線ノ電気ヲ変電所ニ送ル為ノ電線ニシテ、発電所内ニ於ケル配線ヲ特ニ発電所配線ト称ス。

(ワ)　所内用電力　発電所ノ運転ニ要スル電力ヲ所内用電力ト称シ、発電所ノ出力ノ数%ヲ占ム。

(カ)　自動制御装置　水力発電所ノ運転ヲ自動的ニ制御スル装置ニシテ、水車ノ調速機、発電機ノ電圧調整装置、負荷ノ増減ニ応ジテ発電機ヲ並列又ハ解列スル装置等アリ。

(ヨ)　遠方制御装置　遠方ニ在ル変電所又ハ開閉所ノ遮断器ヲ発電所ヨリ遠方制御スル装置ニシテ、搬送継電方式ヲ最モ多ク用ヒラル。

(タ)　保護装置　保護装置ハ発電機、変圧器、母線、送電線等ニ故障ヲ生ジタル場合ニ、故障ヲ検出シテ遮断器ヲ動作セシメ、故障ヲ除去スルモノニシテ、保護継電器ヲ用ヒ、其ノ種類ハ発電機ノ容量ニ依リ異ナル。

(レ)　保安装置　保安装置ハ発電所ノ運転ヲ安全ニ行フ為ノ装置ニシテ、非常用照明装置、非常用動力装置、火災報知装置、消火装置等アリ。

(ソ)　通信装置　通信装置ハ発電所ト他ノ発電所又ハ変電所トノ間ニ連絡ヲ保ツ為ノ装置ニシテ、電話装置ヲ最モ多ク用ヒラル。

(ツ)　遠方監視装置　遠方監視装置ハ遠方ニ在ル発電所又ハ変電所ノ運転状況ヲ監視スル装置ニシテ、表示灯ニ依ル方式ヲ最モ多ク用ヒラル。

(ネ)　遠方測定装置　遠方測定装置ハ遠方ニ在ル発電所又ハ変電所ノ電圧、電流、電力等ヲ測定スル装置ニシテ、指針式ヲ最モ多ク用ヒラル。

(ナ)　遠方操作装置　遠方操作装置ハ遠方ニ在ル発電所又ハ変電所ノ遮断器ヲ操作スル装置ニシテ、操作スイッチ式ヲ最モ多ク用ヒラル。

(ラ)　遠方指令装置　遠方指令装置ハ遠方ニ在ル発電所又ハ変電所ニ対シ、運転ニ関スル指令ヲ与フル装置ニシテ、指令電話装置ヲ最モ多ク用ヒラル。

(ム)　遠方記録装置　遠方記録装置ハ遠方ニ在ル発電所又ハ変電所ノ運転状況ヲ記録スル装置ニシテ、自記計器ヲ最モ多ク用ヒラル。

(ウ)　配電線路

(イ)　概説　配電線路ハ変電所ヨリ需要家ニ至ル電気ノ通路ニシテ、架空線路ト地中線路トニ大別セラル。

(ロ)　架空線路　架空線路ハ電柱ニ依リ架空電線ヲ支持スルモノニシテ、電柱ニハ木柱、鉄筋コンクリート柱、鉄柱等アリ。

(ハ)　地中線路　地中線路ハ地中ニ埋設スルモノニシテ、ケーブル線路ト地中電線路トアリ。

(ニ)　ケーブル線路　ケーブル線路ハ地中ニ埋設シタル管路ニケーブルヲ引入スルモノニシテ、ケーブルニハ油入紙巻ケーブル、ゴムケーブル、ビニルケーブル等アリ。

(ホ)　地中電線路　地中電線路ハ地中ニ埋設シタル管路ニ電線ヲ引入スルモノニシテ、電線ニハ鉛被ケーブル、ビニル被ケーブル等アリ。

(ヘ)　配電方式　配電方式ニハ単相二線式、単相三線式、三相三線式、三相四線式等アリ。

(ト)　配電線路ノ電圧　配電線路ノ電圧ハ、電気事業法ニ依リ標準電圧ヲ定メラレ、交流ニ在リテハ六千六百ボルト、三千三百ボルト、百ボルト、二百ボルト等ヲ用ヒ、直流ニ在リテハ六百ボルト、三百ボルト、百ボルト等ヲ用ヒラル。

(チ)　配電線路ノ保護　配電線路ノ保護ニハ、過電流継電器、地絡継電器、方向継電器、距離継電器等ヲ用ヒ、故障ヲ検出シテ遮断器ヲ動作セシメ、故障ヲ除去スルモノトス。

(リ)　配電線路ノ保安　配電線路ノ保安ニハ、巡視、点検、測定、試験等ヲ行ヒ、線路ノ状況ヲ常ニ把握シテ、故障ノ発生ヲ未然ニ防止スルヲ要ス。

(ヌ)　配電線路ノ維持　配電線路ノ維持ニハ、電柱、電線、碍子、開閉器、変圧器等ノ保守ヲ行ヒ、且ツ樹木ノ伐採ヲ行フヲ要ス。

(ル)　配電線路ノ事故　配電線路ノ事故ニハ、短絡、地絡、断線、混触等アリ。

(ヲ)　配電線路ノ計画　配電線路ノ計画ニハ、将来ノ需要ヲ予測シテ、変電所ノ位置、配電線路ノ経路、電線ノ太サ等ヲ決定スルヲ要ス。

(ワ)　配電線路ノ建設費　配電線路ノ建設費ハ、電線、電柱、碍子、変圧器、開閉器、保護継電器等ノ費用ヨリ成リ、電線ノ費用ハ全体ノ約三分ノ一ヲ占ム。

(カ)　配電線路ノ維持費　配電線路ノ維持費ハ、保守、修繕、損失等ノ費用ヨリ成リ、損失ノ費用ハ全体ノ約三分ノ一ヲ占ム。

(ヨ)　配電線路ノ損失　配電線路ノ損失ニハ、電線ノ抵抗ニ依ル銅損、変圧器ノ鉄損及銅損等アリ。

(タ)　配電線路ノ電圧降下　配電線路ノ電圧降下ハ、電線ノ抵抗及リアクタンスニ依リ生ジ、需要家ノ端子電圧ヲ低下セシムルヲ以テ、之ヲ適当ノ値ニ保ツヲ要ス。

(レ)　配電線路ノ力率　配電線路ノ力率ハ、負荷ノ性質ニ依リ異ナリ、力率ノ改善ニハ、進相コンデンサヲ用ヒラル。

(ソ)　配電線路ノ電圧調整　配電線路ノ電圧調整ニハ、負荷時タップ切換変圧器、自動電圧調整器、誘導電圧調整器等ヲ用ヒラル。

(ツ)　配電線路ノ自動化　配電線路ノ自動化ニハ、自動開閉器ノ使用、遠方監視制御装置ノ使用等アリ。

(ネ)　配電線路ノ通信　配電線路ノ通信ニハ、搬送通信、電力線搬送通信、無線通信等アリ。

(ナ)　配電線路ノ標準化　配電線路ノ標準化ニハ、電線ノ太サ、電柱ノ種類、変圧器ノ容量等ノ標準化アリ。

(ラ)　配電線路ノ自動制御　配電線路ノ自動制御ニハ、自動電圧調整、自動開閉、自動力率調整等アリ。

(ム)　配電線路ノ保護　配電線路ノ保護ニハ、過電流継電器、地絡継電器、方向継電器、距離継電器、差動継電器等ヲ用ヒ、故障ヲ検出シテ遮断器ヲ動作セシメ、故障ヲ除去スルモノトス。

(ウ)　配電線路ノ保安　配電線路ノ保安ニハ、巡視、点検、測定、試験等ヲ行ヒ、線路ノ状況ヲ常ニ把握シテ、故障ノ発生ヲ未然ニ防止スルヲ要ス。

(ヰ)　配電線路ノ維持　配電線路ノ維持ニハ、電柱、電線、碍子、開閉器、変圧器等ノ保守ヲ行ヒ、且ツ樹木ノ伐採ヲ行フヲ要ス。

(ノ)　配電線路ノ事故　配電線路ノ事故ニハ、短絡、地絡、断線、混触等アリ。

(オ)　配電線路ノ計画　配電線路ノ計画ニハ、将来ノ需要ヲ予測シテ、変電所ノ位置、配電線路ノ経路、電線ノ太サ等ヲ決定スルヲ要ス。

(ク)　配電線路ノ建設費　配電線路ノ建設費ハ、電線、電柱、碍子、変圧器、開閉器、保護継電器等ノ費用ヨリ成リ、電線ノ費用ハ全体ノ約三分ノ一ヲ占ム。

(ヤ)　配電線路ノ維持費　配電線路ノ維持費ハ、保守、修繕、損失等ノ費用ヨリ成リ、損失ノ費用ハ全体ノ約三分ノ一ヲ占ム。

(マ)　配電線路ノ損失　配電線路ノ損失ニハ、電線ノ抵抗ニ依ル銅損、変圧器ノ鉄損及銅損等アリ。

(ケ)　配電線路ノ電圧降下　配電線路ノ電圧降下ハ、電線ノ抵抗及リアクタンスニ依リ生ジ、需要家ノ端子電圧ヲ低下セシムルヲ以テ、之ヲ適当ノ値ニ保ツヲ要ス。

(フ)　配電線路ノ力率　配電線路ノ力率ハ、負荷ノ性質ニ依リ異ナリ、力率ノ改善ニハ、進相コンデンサヲ用ヒラル。

(コ)　配電線路ノ電圧調整　配電線路ノ電圧調整ニハ、負荷時タップ切換変圧器、自動電圧調整器、誘導電圧調整器等ヲ用ヒラル。

(エ)　配電線路ノ自動化　配電線路ノ自動化ニハ、自動開閉器ノ使用、遠方監視制御装置ノ使用等アリ。

(テ)　配電線路ノ通信　配電線路ノ通信ニハ、搬送通信、電力線搬送通信、無線通信等アリ。

(ア)　配電線路ノ標準化　配電線路ノ標準化ニハ、電線ノ太サ、電柱ノ種類、変圧器ノ容量等ノ標準化アリ。

(サ)　配電線路ノ自動制御　配電線路ノ自動制御ニハ、自動電圧調整、自動開閉、自動力率調整等アリ。

(キ)　配電線路ノ保護　配電線路ノ保護ニハ、過電流継電器、地絡継電器、方向継電器、距離継電器、差動継電器等ヲ用ヒ、故障ヲ検出シテ遮断器ヲ動作セシメ、故障ヲ除去スルモノトス。

(ユ)　配電線路ノ保安　配電線路ノ保安ニハ、巡視、点検、測定、試験等ヲ行ヒ、線路ノ状況ヲ常ニ把握シテ、故障ノ発生ヲ未然ニ防止スルヲ要ス。

(メ)　配電線路ノ維持　配電線路ノ維持ニハ、電柱、電線、碍子、開閉器、変圧器等ノ保守ヲ行ヒ、且ツ樹木ノ伐採ヲ行フヲ要ス。

(ミ)　配電線路ノ事故　配電線路ノ事故ニハ、短絡、地絡、断線、混触等アリ。

(シ)　配電線路ノ計画　配電線路ノ計画ニハ、将来ノ需要ヲ予測シテ、変電所ノ位置、配電線路ノ経路、電線ノ太サ等ヲ決定スルヲ要ス。

(ヒ)　配電線路ノ建設費　配電線路ノ建設費ハ、電線、電柱、碍子、変圧器、開閉器、保護継電器等ノ費用ヨリ成リ、電線ノ費用ハ全体ノ約三分ノ一ヲ占ム。

(モ)　配電線路ノ維持費　配電線路ノ維持費ハ、保守、修繕、損失等ノ費用ヨリ成リ、損失ノ費用ハ全体ノ約三分ノ一ヲ占ム。

(セ)　配電線路ノ損失　配電線路ノ損失ニハ、電線ノ抵抗ニ依ル銅損、変圧器ノ鉄損及銅損等アリ。

(ス)　配電線路ノ電圧降下　配電線路ノ電圧降下ハ、電線ノ抵抗及リアクタンスニ依リ生ジ、需要家ノ端子電圧ヲ低下セシムルヲ以テ、之ヲ適当ノ値ニ保ツヲ要ス。

(ン)　配電線路ノ力率　配電線路ノ力率ハ、負荷ノ性質ニ依リ異ナリ、力率ノ改善ニハ、進相コンデンサヲ用ヒラル。

(ヘ)　配電線路ノ電圧調整　配電線路ノ電圧調整ニハ、負荷時タップ切換変圧器、自動電圧調整器、誘導電圧調整器等ヲ用ヒラル。

(ホ)　配電線路ノ自動化　配電線路ノ自動化ニハ、自動開閉器ノ使用、遠方監視制御装置ノ使用等アリ。

(ト)　配電線路ノ通信　配電線路ノ通信ニハ、搬送通信、電力線搬送通信、無線通信等アリ。

(チ)　配電線路ノ標準化　配電線路ノ標準化ニハ、電線ノ太サ、電柱ノ種類、変圧器ノ容量等ノ標準化アリ。

(リ)　配電線路ノ自動制御　配電線路ノ自動制御ニハ、自動電圧調整、自動開閉、自動力率調整等アリ。

(ヌ)　配電線路ノ保護　配電線路ノ保護ニハ、過電流継電器、地絡継電器、方向継電器、距離継電器、差動継電器等ヲ用ヒ、故障ヲ検出シテ遮断器ヲ動作セシメ、故障ヲ除去スルモノトス。

(ル)　配電線路ノ保安　配電線路ノ保安ニハ、巡視、点検、測定、試験等ヲ行ヒ、線路ノ状況ヲ常ニ把握シテ、故障ノ発生ヲ未然ニ防止スルヲ要ス。

(ヲ)　配電線路ノ維持　配電線路ノ維持ニハ、電柱、電線、碍子、開閉器、変圧器等ノ保守ヲ行ヒ、且ツ樹木ノ伐採ヲ行フヲ要ス。

(ワ)　配電線路ノ事故　配電線路ノ事故ニハ、短絡、地絡、断線、混触等アリ。

(カ)　配電線路ノ計画　配電線路ノ計画ニハ、将来ノ需要ヲ予測シテ、変電所ノ位置、配電線路ノ経路、電線ノ太サ等ヲ決定スルヲ要ス。

(ヨ)　配電線路ノ建設費　配電線路ノ建設費ハ、電線、電柱、碍子、変圧器、開閉器、保護継電器等ノ費用ヨリ成リ、電線ノ費用ハ全体ノ約三分ノ一ヲ占ム。

(タ)　配電線路ノ維持費　配電線路ノ維持費ハ、保守、修繕、損失等ノ費用ヨリ成リ、損失ノ費用ハ全体ノ約三分ノ一ヲ占ム。

(レ)　配電線路ノ損失　配電線路ノ損失ニハ、電線ノ抵抗ニ依ル銅損、変圧器ノ鉄損及銅損等アリ。

(ソ)　配電線路ノ電圧降下　配電線路ノ電圧降下ハ、電線ノ抵抗及リアクタンスニ依リ生ジ、需要家ノ端子電圧ヲ低下セシムルヲ以テ、之ヲ適当ノ値ニ保ツヲ要ス。

(ツ)　配電線路ノ力率　配電線路ノ力率ハ、負荷ノ性質ニ依リ異ナリ、力率ノ改善ニハ、進相コンデンサヲ用ヒラル。

(ネ)　配電線路ノ電圧調整　配電線路ノ電圧調整ニハ、負荷時タップ切換変圧器、自動電圧調整器、誘導電圧調整器等ヲ用ヒラル。

(ナ)　配電線路ノ自動化　配電線路ノ自動化ニハ、自動開閉器ノ使用、遠方監視制御装置ノ使用等アリ。

(ラ)　配電線路ノ通信　配電線路ノ通信ニハ、搬送通信、電力線搬送通信、無線通信等アリ。

(ム)　配電線路ノ標準化　配電線路ノ標準化ニハ、電線ノ太サ、電柱ノ種類、変圧器ノ容量等ノ標準化アリ。

(ウ)　配電線路ノ自動制御　配電線路ノ自動制御ニハ、自動電圧調整、自動開閉、自動力率調整等アリ。

(ヰ)　配電線路ノ保護　配電線路ノ保護ニハ、過電流継電器、地絡継電器、方向継電器、距離継電器、差動継電器等ヲ用ヒ、故障ヲ検出シテ遮断器ヲ動作セシメ、故障ヲ除去スルモノトス。

(ノ)　配電線路ノ保安　配電線路ノ保安ニハ、巡視、点検、測定、試験等ヲ行ヒ、線路ノ状況ヲ常ニ把握シテ、故障ノ発生ヲ未然ニ防止スルヲ要ス。

(オ)　配電線路ノ維持　配電線路ノ維持ニハ、電柱、電線、碍子、開閉器、変圧器等ノ保守ヲ行ヒ、且ツ樹木ノ伐採ヲ行フヲ要ス。

(ク)　配電線路ノ事故　配電線路ノ事故ニハ、短絡、地絡、断線、混触等アリ。

(ヤ)　配電線路ノ計画　配電線路ノ計画ニハ、将来ノ需要ヲ予測シテ、変電所ノ位置、配電線路ノ経路、電線ノ太サ等ヲ決定スルヲ要ス。

(マ)　配電線路ノ建設費　配電線路ノ建設費ハ、電線、電柱、碍子、変圧器、開閉器、保護継電器等ノ費用ヨリ成リ、電線ノ費用ハ全体ノ約三分ノ一ヲ占ム。

(ケ)　配電線路ノ維持費　配電線路ノ維持費ハ、保守、修繕、損失等ノ費用ヨリ成リ、損失ノ費用ハ全体ノ約三分ノ一ヲ占ム。

(フ)　配電線路ノ損失　配電線路ノ損失ニハ、電線ノ抵抗ニ依ル銅損、変圧器ノ鉄損及銅損等アリ。

(コ)　配電線路ノ電圧降下　配電線路ノ電圧降下ハ、電線ノ抵抗及リアクタンスニ依リ生ジ、需要家ノ端子電圧ヲ低下セシムルヲ以テ、之ヲ適当ノ値ニ保ツヲ要ス。

(エ)　配電線路ノ力率　配電線路ノ力率ハ、負荷ノ性質ニ依リ異ナリ、力率ノ改善ニハ、進相コンデンサヲ用ヒラル。

(テ)　配電線路ノ電圧調整　配電線路ノ電圧調整ニハ、負荷時タップ切換変圧器、自動電圧調整器、誘導電圧調整器等ヲ用ヒラル。

(ア)　配電線路ノ自動化　配電線路ノ自動化ニハ、自動開閉器ノ使用、遠方監視制御装置ノ使用等アリ。

(サ)　配電線路ノ通信　配電線路ノ通信ニハ、搬送通信、電力線搬送通信、無線通信等アリ。

(キ)　配電線路ノ標準化　配電線路ノ標準化ニハ、電線ノ太サ、電柱ノ種類、変圧器ノ容量等ノ標準化アリ。

(ユ)　配電線路ノ自動制御　配電線路ノ自動制御ニハ、自動電圧調整、自動開閉、自動力率調整等アリ。

(メ)　配電線路ノ保護　配電線路ノ保護ニハ、過電流継電器、地絡継電器、方向継電器、距離継電器、差動継電器等ヲ用ヒ、故障ヲ検出シテ遮断器ヲ動作セシメ、故障ヲ除去スルモノトス。

(ミ)　配電線路ノ保安　配電線路ノ保安ニハ、巡視、点検、測定、試験等ヲ行ヒ、線路ノ状況ヲ常ニ把握シテ、故障ノ発生ヲ未然ニ防止スルヲ要ス。

(シ)　配電線路ノ維持　配電線路ノ維持ニハ、電柱、電線、碍子、開閉器、変圧器等ノ保守ヲ行ヒ、且ツ樹木ノ伐採ヲ行フヲ要ス。

(ヒ)　配電線路ノ事故　配電線路ノ事故ニハ、短絡、地絡、断線、混触等アリ。

(モ)　配電線路ノ計画　配電線路ノ計画ニハ、将来ノ需要ヲ予測シテ、変電所ノ位置、配電線路ノ経路、電線ノ太サ等ヲ決定スルヲ要ス。

(セ)　配電線路ノ建設費　配電線路ノ建設費ハ、電線、電柱、碍子、変圧器、開閉器、保護継電器等ノ費用ヨリ成リ、電線ノ費用ハ全体ノ約三分ノ一ヲ占ム。

(ス)　配電線路ノ維持費　配電線路ノ維持費ハ、保守、修繕、損失等ノ費用ヨリ成リ、損失ノ費用ハ全体ノ約三分ノ一ヲ占ム。

(ン)　配電線路ノ損失　配電線路ノ損失ニハ、電線ノ抵抗ニ依ル銅損、変圧器ノ鉄損及銅損等アリ。

1 本様式ニ掲載セザル事項ト雖モ著シキモノアルトキハ適宜別欄ヲ設ケ記載スベシ
2 各欄中ニ表示シ難キ事項ニ關シテハ別ニ說明書ヲ添附スベシ
3 取水最ノ欄ニハ期間ヲ限ラレタルモノアルトキハ其ノ旨ヲ附記スベシ
4 吸出管型式ノ欄ニハ直立型及特曲型ノ別ヲ記載シ特殊ノ形狀ヲ有スルモノニ付テハナルベク其ノ型式ヲ附記スベシ
5 吸出管吸出高ノ欄ニハ水車中心點ト平均放水面トノ間ノ高低差ヲ記載スベシ
6 水車種類ノ欄ニハ衝動及反動ノ別ヲ記載スベシ
7 水車型式ノ欄ニハ竪軸、橫軸ノ別及單放渦卷水車、雙放渦卷水車、「プロペラー」水車等ノ別ヲ記載シ「プロペラー」水車ニ付テハ固定翼及可動翼ノ別ヲ附記スベシ
8 水車能率ノ欄ニハ定格キロワット數又ハ其ノ部分負荷ニ對スル保證能率ヲ記載スベシ實測シタル場合ニハ其ノ値ヲモ記載スベシ

第二表　汽力設備　何發電所

汽機

機械番號			
種類			
型式			
キロワット數			
汽壓			
汽溫			
眞空度又ハ背壓			
回轉數			
蒸氣消費量又ハ瓦斯消費量（定格キロワット時當リ）	負荷		
抽汽	段數		
	位置		
	汽壓(全負荷時)		
總膨脹段數			
材料	車室		
	噴口		
	隔板		
	靜翼及動翼		
箇數	常用		
	豫備		
製造者名			
製造年月			

汽罐

種類			
型式			
汽壓			
汽溫			
蒸發量			
加熱面積			
過熱面積			
有效火床面積			
火爐	容積		
	壁ノ構造		
給水溫度			
箇數	常用		
	豫備		
製造者名			
製造年月			

蒸汽貯藏器

種類			
貯藏容量			
使用壓力ノ範圍			
箇數			
製造者名			
製造年月			

燃料

給炭機

種類			
火床ノ幅及長(下方給炭機ニ在リテハ「レトルト」ノ數)			
設計燃燒率量			
一罐ニ對スル据附箇數			
製造者名			
製造年月			
原動機	種類		
	キロワット數及箇數		
	製造者名		

微粉炭機

種類			
乾燥容量及箇數			
製造者名			
原動機	種類		
	キロワット數及箇數		
	製造者名		

燃燒裝置

燃燒裝置

煤機	動機	キロワット數及箇數	
	動機製造者名		
石炭粉碎機	種類		
	粉碎容量及箇數		
	製造者名		
	原動機	種類	
		キロワット數及箇數	
		製造者名	
微粉炭輸送裝置	種類		
	輸送容量及箇數		
	製造者名		
	原動機	種類	
		キロワット數及箇數	
		製造者名	
火口	種類		
	燃燒容量		
	一罐ニ對スル取附箇數		
	製造者名		
	附屬機器		
消煙又ハ瓦斯保護用裝置	種類		
	取附罐數		
	製造者名		
火口	種類		
	燃燒容量		
	一罐ニ對スル取附箇數		
	製造者名		
	附屬機器		
自動調節裝置	種類		
	取附罐數		
	製造者名		

汽罐給水設備

標準燃料	種類		
	發熱量		
給水ポンプ	種類		
	容量		
	揚程		
	回轉數		
	箇數	常用	
		豫備	
	製造者名		
	原動機	種類	
		キロワット數及箇數	
		製造者名	
貯水設備	種類		
	容量及箇數		
	製造者名		
汽罐補給水	種類		
	可能取水量		

汽罐給水ノ加熱及淨水

節炭器	種類		
	加熱面積及箇數		
	加熱前後ノ給水溫度		
	製造者名		
溫水器	種類		
	加熱面積及箇數		
	加熱前後ノ給水溫度		
	製造者名		
淨水	種類		
	容量及箇數		
	製造者名		
	附屬		

清淨裝置

附屬器			
脫氣器	種類		
	箇數		
	製造者名		
	附屬器		

復水器

種類			
冷汽面積			
冷汽容積			
冷却水標準溫度			
箇數			
製造者名			

冷却水用「ポンプ」

空氣「ポンプ」	種類		
	容量及箇數		
	製造者名		
原動機	種類		
	キロワット數及箇數		
	製造者名		
空氣「ポンプ」	種類		
	容量及箇數		
	製造者名		
原動機	種類		
	キロワット數及箇數		
	製造者名		

冷却水用除芥機

種類			
箇數			
製造者名			
附屬器			

冷却池又ハ冷却塔

構造			
容量			
箇數			
製造者名			
附屬器			

煙道內設備

空氣豫熱器

種類			
加熱面積及箇數			
豫熱前後ノ空氣溫度			
製造者名			

煙道瓦斯集塵裝置

種類			
箇數			
製造者名			
附屬設備			

通風設備

押込通風機

種類			
通風量及箇數			
回轉數			
製造者名			

誘導通風機

種類			
通風量及箇數			
回轉數			
製造者名			

煙突

種類			
高サ	地表面上		
	汽罐火床面上		
基數			
製造者名			

貯炭場

面積			
貯炭容量			

石炭運搬設備

種類			
容量及箇數			
製造者名			
原動機	種類		
	キロワット數及箇數		
	製造者名		

灰燼濕搬設備

種類			
容量及箇數			
製造者名			
原動機	種類		
	キロワット數及箇數		
	製造者名		

其ノ他附屬設備

注意

1 汽筒ガ二箇以上ニ分割セラレタル汽機ノ總膨脹段數ハ各汽筒別ニ之ヲ記載スベシ
2 再熱器ヲ有スル汽罐ニ在リテハ汽溫欄ニ再熱前後ノ汽溫ヲ附記スベシ
3 汽罐ノ加熱及過熱面中火爐壁ニ配置セルモノノ面積ハ分割シテ之ヲ記載スベシ
4 微粉炭燃燒裝置、油又ハ瓦斯燃燒裝置、淨水器、脫氣器、冷却水用除芥機、冷却池又ハ冷却塔及煙道瓦斯集塵裝置ノ附屬機器ニ付テハ適宜別欄ヲ設ケテ其ノ種類、容量、キロワット數、箇數及製造者名ヲ記入スベシ

第三表

內燃力設備

何發電所

內燃機	機械番號		
	種類		
	キロワット數		
	「サイクル」數		
	氣筒數		
	氣筒ノ內徑及衝程		
	回轉數		
	筒數 常用		
	筒數 豫備		
	燃料消費量（一キロワット一時ニ付） 負荷		
	燃料消費量（一キロワット一時ニ付）	四分ノ三	
	燃料消費量（一キロワット一時ニ付）	二分ノ一	
	製造者名		
	製造年月		
瓦斯發生裝置	種類		
	發生容量		
	筒數		
	製造者名		
	製造年月		
消音裝置	構造		
	材料		
	大サ		
	筒數		
	製造者名		
瓦斯貯油槽	種類		
	容量		
	筒數		
	製造者名		
標準燃料	種類		
	發熱量		
內燃機冷却	冷却水「ポンプ」 種類		
	冷却水「ポンプ」 容量		
	冷却水「ポンプ」 揚程		
	冷却水「ポンプ」 筒數		
	冷却水「ポンプ」 製造者名		
	原動機 種類		
	原動機 容量		
	原動機 筒數		
	原動機 製造者名		
	冷却池 構造		
	冷却池 容積		
	冷却池 筒數		
	冷却塔又ハ冷却池ノ附屬機器 製造者名		
	煙突 種類		
	煙突 口徑		
	煙突 地表面上ノ高サ		
	煙突 基數		
	煙突 製造者名		
	附屬設備其ノ他		

注意

冷却池又ハ冷却塔ノ附屬機器ニ付テハ適宜別欄ヲ設ケテ其ノ種類、容量、キロワット數、筒數及製造者名ヲ記入スベシ

第四表

發電所電氣設備

			原動力
發電機	發電所名		
	番號		
	種類		
	型		
	キロワット數又ハキロヴォルトアムペア數及力率		
	電壓		
	相		
	周波數		
	回轉數		
	結線法		
	冷却方式		
	原動機トノ連結方法		
	筒數 常用		
	筒數 豫備		
	製造者名		
	製造年月		
	中性點接地 種類		
	中性點接地 オーム數		
	中性點接地 容量（電波及時間）		
	中性點接地 製造者名		
勵磁機	種類		
	キロワット數又ハキロヴォルトアムペア數		
	電壓		
	回轉數		
	勵磁法		
	筒數 常用		
	筒數 豫備		
	原動機トノ連結方法		
	製造者名		
	原動機 種類		
	原動機 容量		
	原動機 製造者名		
主要變壓器	型		
	キロヴォルトアムペア數		
	電壓 一次		
	電壓 二次		
	相		
	周波數		
	結線法		
	冷却法		
	「タップ」數 常用		
	「タップ」數 豫備		
	筒數 常用		
	筒數 豫備		
	製造者名		
	製造年月		
	中性點接地 種類		
	中性點接地 オーム數		
	中性點接地 容量（電流及時間）		
	中性點接地 製造者名		
避雷器	種類		
	筒數		
	製造者名		
電線	種類		
	太サ		
	條數		
	延長（粁）		
電線地表上ノ最低ノ高サ（米）			
電線ト支持物トノ最小距離（米）懸垂碍子ノ場合			
徑間	最大（米）		
	標準（米）		
	平均（米）		
支持物	鐵塔 標準鐵塔重量（瓲）		
	鐵塔 平均鐵塔重量（瓲）		
	鐵塔 基數		
	鐵塔 製造者名		
	鐵柱 標準重量（瓲）		
	鐵柱 平均重量（瓲）		
	鐵柱 基數		
	鐵柱 製造者名		
	鐵筋コンクリート柱ノ數		
	木柱 木材ノ種類及注入、不注入ノ別		
	木柱 標準柱 單柱、H柱等ノ別		
	木柱 標準柱 末口ノ太サ（糎）		
	木柱 基數		
碍子	懸垂型 大サ		
	懸垂型 試驗電壓及試驗時間		
	懸垂型 一連ノ筒數 懸垂		
	懸垂型 一連ノ筒數 耐張		
	懸垂型 總筒數		
	懸垂型 製造者名		
	「ピン」型 大サ		
	「ピン」型 試驗電壓及試驗時間		
	「ピン」型 總筒數		
	「ピン」型 製造者名		
招弧角（又ハ招弧環）ノ有無			
架地空線	材料		
	太サ		
	條數		
保安通信設備	電話機設置場所ノ數		
	獨立、添架ノ別及回線數		
	回線ノ方式		
	亙長（粁）		
	電話線 種類		
	電話線 太サ		
	發送式電話ノ區間		
開閉所數、散宿所數			
中性點接地 位置			
中性點接地 種類（抵抗又ハリアクトル）			
中性點接地 オーム數			

第五表

架空送電線路

送電線路ノ名稱	
區間	
亙長（粁）	
回線數	
電氣方式（直流、交流ノ別、相及線式）	
最大電壓	
周波數	
送電容量（キロワット	

標準支持物ニ於ケル電線及地線配置概略圖 （線間距離記入）		

注意

1　送電容量ハ電壓六萬ヴォルト以上ニシテ亙長五十キロメートル以上ノ送電線路ニ限リ之ヲ記載スベシ

2　電線及架空地線ノ太サハ單線ニ在リテハ其ノ徑、燃線ニ在リテハ其ノ公稱切斷面積及構造ヲ記載スベシ

3　電線延長ハ電線ノ太サ及種類ヲ異ニスル毎ニ之ヲ區別シ記載スベシ

第六表　地中水底送電線路

送電線路ノ名稱			
種類（地中、水底ノ別）			
區間			
亙長（粁）			
回線數			
電氣方式（直流、交流ノ別、相及線式）			
最大電壓			
周波數			
送電容量（キロワット）			
電纜	種類及型式		
	定格電壓		
	心線數		
	心線ノ太サ		
	絶縁物ノ種類		
	鎧裝ノ有無及種類		
	外徑		
	電纜ノ條數		
	製造者名		
布設方法（引入式、直接埋設式ノ別）			
地中函數、開閉所數			
中性點ノ接地	位置		
	種類（抵抗又ハリアクトル）		
	オーム數		
保安通信設備	電話機設置場所ノ數		
	架空、地中ノ別		
	回線ノ方式		
	回線數		
	亙長（粁）		
	電話線 種類		
	電話線 太サ（粍）		
	電話線 被覆絶縁物ノ種類		

第七表　變電所設備

變電所ノ名稱			
位置			
目的			
出力			
型			
變壓器	キロヴォルトアムペア數		
	電壓	一次	
		二次	
	相		
	周波數		
	結線法		
	冷却法		
	「バンク」數	常用	
		豫備	
	個數	常用	
		豫備	
	製造者名		
	製造年月		
	中性點ノ接地	種類	
		オーム數	
		容量（電流及時間）	
		製造者名	
電動發電機	種類		
	電動機側 電氣方式（直流、交流ノ別、相）		
	電壓		
	容量		
	回轉數		
	周波數		
	發電機側 電氣方式（直流、交流ノ別、相）		
	發電機側 電壓		
又ハ周波數變換機	機側 容量		
	回轉數		
	周波數		
	個數 常用		
	豫備		
	製造者名		
	製造年月		
	勵磁機 種類		
	勵磁機 電壓		
	勵磁機 キロワット數		
	起動電動機 種類		
	起動電動機 キロワット數		
	起動電動機 回轉數		
調和	種類		
	キロヴォルトアムペア數 進		
	遲		
	電壓		
	周波數		
	回轉數		
	結線法		
	冷却方式		
	個數 常用		
	豫備		
	製造者名		
	製造年月		
	動力 キロワット數		

機	磁機	電壓		
	起動裝置	起動電壓（自起動機）		
		電動機	種類	
			電壓	
			キロワット數	
			回轉數	
勉轉變流機		キロワット數		
		電壓（直流）		
		相		
		周波數		
		回轉數		
		勵磁法		
		起動電壓（交流）		
		個數	常用	
			豫備	
		製造者名		
		製造年月		
水銀整流		キロワット數		
		電壓（直流）		
		相		
		陽極數		
		周波數		
		個數	常用	
			豫備	
		製造者名		
		製造年月		

變壓器	變壓器二次結線法		
	相間「リアクトル」ノ有無		
	遮波裝置ノ有無		
蓄電池	種類		
	アムペア時數		
	放電時間		
	全電壓（放電）		
	個數及組數		
	製造者名		
避雷器	種類		
	電壓		
	個數		
	製造者名		

第八表　高壓低壓配電線路

配電區域				
電氣方式（直流、交流ノ別、相及線式）				
最大電壓		高壓		
		低壓		
需用者ノ端子電壓				
架空電線	電線	種類	高壓	
			低壓	
		太サ	高壓	
			低壓	

線路	支持物	種類	
		標準徑間	
		最大徑間	
地水中底電線路	電纜	種類	高壓
			低壓
		被覆絕緣物ノ種類	高壓
			低壓
	布設方法		
保安通信設備	電話機設置場所ノ數		
	架空、地中ノ別		
	回線ノ方式		
	回線數		
	亙長（粁）		
	電話線	種類	
		太サ（粍）	
		被覆絕緣物ノ種類	

注意

1　配電區域ノ欄ニハ配電工事ヲ施行シタル區域ヲ記載シ電線路ノ亙長（高壓、低壓、添架部分ヲ通算シタル總亙長　架空、地中、水底ノ別毎ニ記載スルコト）及配電用變壓器ノ個數（架空線用、地中線用、需用者構內用ノ別）並ニ其ノ總容量（キロヴォルトアムペア）ヲ附記スベシ

2　最大電壓ノ欄ニハ配電用變壓器ノ一次電壓二次電壓ヲ附記スベシ

3　架空電線路ノ欄ニハ電線ノ延長（高壓、低壓ノ別）及支持物ノ本數ヲ、地中、水底電線路ノ欄ニハ電纜ノ延長（高壓、低壓ノ別）ヲ附記スベシ

第九表　電氣鐵道設備

電氣鐵道ノ名稱					
起點					
終點					
複線單線ノ別					
亙長（粁）					
電氣鐵道方式					
電車線（又ハ第三軌條）ノ電壓					
饋電線	電氣方式				
	架空電線路	電線	種類		
			太サ		
			延長		
		支持物	種類		
			數		
			標準徑間		
			單獨添架ノ別		
	地中電線路	電纜	種類		
			心線數		
			心線ノ太サ		
			延長		
			製造者名		
	布設法				
歸線	絕緣	種類			
		太サ			
		線條數			
		亙長			

（第五號樣式）

工事費精算書

目	摘要	數量	單價	金額	比較増減	備考
水利費						
用地	買收					
	補償					
	發電所用地					
	附屬用地					
	水路用地					
	調整池及貯水池用地					
建物	發電所建物					
	附屬建物					
	外構					
水路	堰堤					
	取水口					
	沈砂池					
	水路					
	調壓水槽					
	水壓鐵管					
	發電所建物					
	建物附屬設備					
	放水路					
	尾水路					
	開閉所					
	變壓器					
	水車					
	發電機					
	起重機					
	配電盤					
	電線路					
	變電所					
	變壓器					
	遮斷器					
	避雷器					
	電線路					
	電柱					
	電線					
	引込線					
	碍子					
	開閉器					
	變壓器					
	計器用變成器					
	避雷器					
	電燈					
	電燈線					
	開閉器					
	保護裝置					
	電動機					
	電動機					
	開閉器					
	保護裝置					
	電線					
	碍子					
	電柱

項目		精算額 単位	単価	数量	金額 小計	金額 計	金額 合計	較比ノ豫算額トノ増減 数量	較比ノ豫算額トノ増減 金額 計	較比ノ豫算額トノ増減 金額 合計	備考
			円		円	円	円		円	円	
建物											
	發電所建物										
	附屬建物										
	屋外構築										
蒸汽發生設備	雜係										
	汽罐	箇									
	給炭機										
	微粉炭燃燒裝置										
	節炭器	箇									
	空氣豫熱器	〃									
	温水及淨水裝置										
	汽罐給水「ポンプ」	箇									
	汽管及水管										
	通風裝置										
	煙突及煙道	基									
	運炭及灰捨裝置										
	諸機械器具										
	基礎費										
	運搬費										
	据附費										
	雜係										
電氣發生設備	汽機	箇									
	發電機	〃									
	復水器	箇									
	内用汽機及發電機所要水壓變壓器										
	主要電氣開閉裝置及配電盤										
	諸機械器具										
	基礎費										
	運搬費										
	据附費										
	雜係										
冷却及水道設備	冷却用水設備										
	貯水池										
	水道係										
雜設備	運搬設備										
	修繕及試驗裝置										
	何々										
備品總係費	調査費										
	監督費										
	假設備費										
	雜係										

内燃力發電所（發電所毎ニ記載スルコト）

項目		精算額 単位	単価	数量	金額 小計	金額 計	金額 合計	較比ノ豫算額トノ増減 数量	較比ノ豫算額トノ増減 金額 計	較比ノ豫算額トノ増減 金額 合計	備考
			円		円	円	円		円	円	
土木	開渠	メートル									
	蓋渠	〃									
	隧道	〃									
	水路橋	〃									
	水路管	〃									
	沈砂池	箇所									
	給水路	メートル									
	水壓管路	〃									
	放水路	〃									
	土捨場工事										
	雜係										
堰堤	可動堰	箇所									
	魚道	〃									
	洗水路	〃									
	舟筏路	〃									
	側面及底面工事	〃									
	雜工事										
	雜係										
機械器具	水車	箇									
	發電機	〃									
	主要變壓器	〃									
	開閉裝置及配電盤										
	諸機械器具										
	基礎費										
	運搬費										
	据附費										
	雜係										
雜設備	電力及電燈通信設備										
	運搬設備										
	何々										
備品總係費	調査費										
	監督費										
	補償費										
	假設備費										
	雜係										
用地	發電所用地	一キロワット									
	發電所用地	平方メートル									
	附屬地	〃									
	雜係										

汽力發電所（發電所毎ニ記載スルコト）

項目			精算額 単位	精算額 数量	精算額 単価 円	精算額 金額 小計 円	精算額 金額 計 円	精算額 金額 合計 円	較トノ比較 増減 数量	較トノ比較 増減 金額 計 円	較トノ比較 増減 金額 合計 円	備考
變電所（變電所毎ニ記スルコト）	用地											
	建物											
	機械器具											
	雜設備品費											
	總係費											
架空配電線路（本店、支店等營業單位別ニ記載スルコト）	用地											
	建物											
	機械器具											
	雜設備品費											
	總係費											
地中配電線路（本店、支店等營業單位別ニ記載スルコト）	用地											
	建物											
	機械器具											
	雜設備品費											
	總係費											
送電線路（何間ニ何ヶ所ノ送電線路ヲ記載スルコト）	用地											
	建物											
	架空電線路	鐵塔鐵柱鐵筋「コンクリート」柱	基									
		木柱	本									
		電線	キログラム									
		地線	粁									
		裝置及開閉器	箇									
		電話線	粁									
		架空電線路添架（架線補償）	粁									
		管路	粁									
		地中電線路	粁									

項目			精算額 単位	精算額 数量	精算額 単価 円	精算額 金額 小計 円	精算額 金額 計 円	精算額 金額 合計 円	較トノ比較 増減 数量	較トノ比較 増減 金額 計 円	較トノ比較 増減 金額 合計 円	備考
變電所（變電所毎ニ記スルコト）	用地	用地係	方メートル									
	建物	變電所用建物	〃									
		變電所附屬建物	〃									
		屋外鐵構	瓲									
		雜係										
	機械器具	水銀整流器	〃									
		回轉變流機	〃									
		電動發電機	〃									
		變壓器	〃									
		開閉器及母線	〃									
		配電盤及制御器	〃									
		蓄電池	〃									
		冷却用水設備	〃									
		基礎	〃									
		運搬裝置	〃									
		雜係										
	雜設備品費											
	總係費											
送電線路（何間ニ何ヶ所ノ送電線路ヲ記載スルコト）	用地	線路用地	方メートル									
		開閉所用地	〃									
		變電所附屬用地	〃									
		雜係										
	建物	諸建物	基									
		雜係	〃									
	架空電線路	鐵塔鐵柱鐵筋「コンクリート」柱	本									
		木柱	〃									
		電線	粁									
		地線	〃									
		開閉器及變壓器裝置	箇									
		電話線	粁									
		架空電線路添架（架線補償）	〃									
		管路	〃									
		地中電線路	〃									

（第六號様式）

電氣事故届

第一表

(一) 事故發生工作物ノ種類	
(二) 事故發生ノ日時及天候	
(三) 事故發生ノ場所	
(四) 事故ノ狀況	
(五) 事故ノ原因	
(六) 事故發生ノ際ニ於ケル各部保安裝置ノ指示又ハ狀況	
(七) 事故發生前ニ於ケル關係工作物ノ狀態	
(八) 事故發生工作物ノ應急修理	
(九) 復舊ノ日時又ハ其ノ見込	
(十) 事故ノ結果	
(1) 他ニ及ボシタル災害又ハ障害	
イ 災害又ハ障害ノ種類	
ロ 災害又ハ障害ノ狀況	
ハ 應急ノ處置	
(2) 供給支障	
イ 供給支障ノ種類	
ロ 供給支障ヲ及ボシタル區域又ハ需用者	
ハ 供給支障電力ノキロワット數	
ニ 供給支障繼續時間	
ホ 應急ノ處置	
(十一) 備考	

注　意

1　事故發生工作物ノ種類欄ニハ故障又ハ運轉使用ニ關スル事故ヲ生ジタル電氣工作物ヲ發電所ノ原動力設備（水力、汽力、內燃力ノ別）若ハ電氣設備、受電設備、送電線路（架空、地中、水底ノ別、特別高壓、高壓、低壓ノ別）、變電設備、配電線路（架空、地中、水底ノ別、特別高壓、高壓、低壓ノ別）、饋電線路（架空、地中ノ別）、電車線路、需用者屋內電氣工作物又ハ電車（電氣機關車ヲ含ム）ニ區別シ記載スベシ

2　電氣工作物ノ損害甚大ナルトキハ損害概算高ヲ事故ノ狀況欄ニ附記スベシ

3　電線ノ切斷シタルトキハ其ノ電線ノ種類、太サ、支持物ノ徑間及切斷ノ直接原因等ヲ各相當欄ニ記載スベシ

4　電線ノ混觸又ハ他ノ工作物トノ接觸ヲ生ジタルトキハ電線ノ種類、太サ、支持物ノ徑間及兩電線間又ハ電線ト他ノ工作物トノ距離等ヲモ各相當欄ニ記載スベシ

5　特別高壓電線路ノ碍子損壞シタルトキハ其ノ種類及箇數等ヲ各相當欄ニ記載スベシ

6　事故ノ原因欄ニハ其ノ原因ガ機械、器具、電線、碍子其ノ他ノ不良又ハ施設方法ノ不完全ナルニ因ルヤ否、操業者又ハ其ノ他ノ者ノ過失若ハ故意、天災其ノ他不可抗力ニ因ルヤ否等ヲモ記載スベシ

7　死傷者ヲ生ジタルトキハ其ノ數、公衆又ハ操業者ノ別、致死又ハ負傷ノ原因ヲモ事故ノ結果欄ノ各相當欄ニ詳記シ且死傷者ニ對スル醫師ノ診斷書又ハ檢案書ノ寫ヲ添附スベシ

8　供給支障ノ種類ハ送電停止、電壓變動、周波數變動等ニ區別シ記載スベシ

9　說明上必要アル場合ハ圖面ヲモ添附スベシ

第二表　（　年　月分）

事故發生工作物ノ種類	事故ノ種類	事故發生日時及天候	事故發生場所	送電停止區域又ハ需用者	送電停止電力ノキロワット數	送電停止期間	備考

注　意

1　本表ハ送電線路又ハ配電線路（變壓器ヲ含ム）ノ事故ニシテ第一表以外ノモノニ限リ之ヲ記載スベシ

2　事故發生工作物ノ種類欄ニハ故障又ハ運轉使用ニ關スル事故ヲ生ジタル電線路ニ付架空、地中又ハ水底ノ別及電壓ヲ記載スベシ

3　事故ノ種類欄ニハ電線接地、電線切斷、支持物倒壞、電纜破損、變壓器燒損等ノ種類ヲ記載スベシ

4　電線ノ切斷シタルトキハ其ノ電線ノ種類、太サ及碍子ノ種類（特別高壓ノモノニ限ル）ヲ備考欄ニ記載スベシ

5　支持物ノ倒壞シタルトキハ支持物ノ種類ヲ備考欄ニ記載スベシ

項目			精算額 単位	精算額 単價	精算額 數量	精算額 金額 小計	精算額 金額 計	精算額 金額 合計	豫算額トノ比較 增減額 數量	豫算額トノ比較 增減額 金額 計	豫算額トノ比較 增減額 金額 合計	備考
				円		円	円	円		円	円	
需用家屋內設備（本店、支店等營業單位別ニ記載スルコト）	地中配電線路	電力用電線	キログラム									
		變壓器	箇									
		電力用變壓器	〃									
		保安及開閉裝置										
		引込線	引込口									
		電力用引込線	〃									
		添架電話線（架線費）										
		雜係										
	特約供給配電線路（各別ニ記載スルコト）	電纜	一キロメートル									
		電力用電纜	〃									
		變壓器	箇									
		電力用變壓器	〃									
		保安及開閉裝置										
		引込線	引込口									
		電力用引込線	〃									
		雜係										
	配線	電燈用配線	一キロメートル									
		電力用配線	燈									
		電熱用配線	キロワット									
	器具	電球	〃									
		計器	箇									
		電熱器	〃									
		扇風機	〃									
		電動機	〃									
		諸機械器具	〃									
電氣鐵道設備			一キロメートル									所屬變電所ヲ異ニスル發送電線ハ其ノ發送電線（單線ヲ以テ合
建設利息	何々間建設費											
	發電設備	何發電所										
		何發電所										
	送電設備	何送電線路										
		何送電線路										
	何々											
合計												

注　意

1　本表ノ項目ハ朝鮮電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ內容ニ準ジ之ヲ記載スベシ

2　一發電所ニ隸屬セザル貯水池アルトキハ水力發電所ニ準ジ記載スベシ

3　獨立セル受電所アルトキハ變電所ニ準ジ記載スベシ

4　豫算額ニ比シ著シキ增減アル項目ニ付テハ其ノ事由ヲ附記スベシ

5　豫算額トノ比較增減額ノ減ハ朱書スベシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

（第七號樣式）

收支實績書

利益ノ部

種別			自 年 月 日 至 年 月 日			自 年 月 日 至 年 月 日			自 年 月 日 至 年 月 日			備考
			金額	數量	單價	金額	數量	單價	金額	數量	單價	
			円		円	円		円	円		円	
電氣事業利益	電燈供給事業	何店區域	定額料金	取附數 燈	一燈一月							
			從量料金	消費量 キロワット時	一キロワット時當							
			臨時料金									
			不定時料金	取附數 燈	一燈一月							
			計器損料	個	一個一月							
			設備損料	個	一個一月							
			小計									
		計										
	電力供給事業	何店區域	定額料金	取附數 キロワット	一キロワット一月							
			從量料金	消費量 キロワット時	一キロワット時當							
			臨時料金									
			不定時料金	取附數 キロワット	一キロワット一月							
			特約料金	取附數 キロワット	一キロワット一月							
			休止中料金	キロワット	一キロワット一月							
			計器損料	個	一個一月							
			器具損料									
			小計									
		計										
	電熱其ノ他ノ供給料金	何店區域	電熱料	取附數 キロワット	一キロワット一月							
			電扇料	取附數 臺	一臺一月							
			何々									
			計器損料									
			器具損料									
			設備損料									
			小計									
		計										
	供給雜益	何店區域	諸工料									
			器具賃上益									
			雜收									
			送電線路使用料									
			屈電線路使用料									
			小計									
		計										
合計												

種別			自 年 月 日 至 年 月 日			自 年 月 日 至 年 月 日			自 年 月 日 至 年 月 日			備考
			金額	數量	單價	金額	數量	單價	金額	數量	單價	
			円		円	円		円	円		円	
他事業利益	電氣鐵道收益											
	兼業收益	何業收益										
		何業收益										
		合計										
事業外經常利益	有價證券利息及配當金											
	受入利息											
	其ノ他											
	合計											
臨時利益												
總計												

損失ノ部

種別			自 年 月 日 至 年 月 日			自 年 月 日 至 年 月 日			自 年 月 日 至 年 月 日			備考
			金額	數量	單價	金額	數量	單價	金額	數量	單價	
			円		円	円		円	円		円	
電氣發電費	水力發電所費	（何）給料手當		年延人員 人	一人一月							
		（何）油脂類費										
		（何）修繕費		出力 キロワット	一キロワット當							
		（何）特別費										
		（何）諸費										
		（何）小計										
		（何）（貯水池）										
	汽力發電所費	（何）給料手當		年延人員 人	一人一月							
		（何）燃料費		キログラム	一キログラム當							
		（何）油脂類費及用水料										
		（何）修繕費		出力 キロワット	一キロワット當							
		（何）特別費										
		（何）諸費										
		（何）小計										
	內燃力發電所費	（何）給料手當		年延人員 人	一人一月							
		（何）燃料費		キログラム	一キログラム當							
		（何）油脂類費										
		（何）修繕費		出力 キロワット	一キロワット當							
		（何）特別費										
		（何）諸費										
		（何）小計										
		計										
	（何）給料手當			年延人員 人	一人一月							

種別			自至 年月日 年月日 金額	数量	単価	自至 年月日 年月日 金額	数量	単価	自至 年月日 年月日 金額	数量	単価	備考
損失	購入電力料	(何)受電地点	円	購入高キロワット(又ハ)キロワット時	キロワット(又ハ)キロワット時	円			円			
		(何)受電地点										
		計										
	減価償却	替業設備										
		発電設備										
		送電設備										
		変電設備										
		配電設備										
		需用者屋内設備										
		建設利息										
		計										
合計												
電力費損替額(控除)												
差引												

種別			自至 年月日 年月日 金額	自至 年月日 年月日 金額	自至 年月日 年月日 金額	備考
他事業損失	電氣鐵道費		円	円	円	
	雑業費	何業費				
		何業費				
		合計				
事業外経常	総係費	役員費				
		給料手當 金額				
		給料手當 数量	年延人員 人			
		給料手當 単価	一人一月			
		修繕費				
		保健費				
		諸費				
		減価償却				
		合計				
	所得税及営業税	所得税				
		営業税				
		合計				
退職給与金引當						
支拂利子	社債利子					
	借入金利息					
	何々					

種別			自至 年月日 年月日 金額	数量	単価	自至 年月日 年月日 金額	数量	単価	自至 年月日 年月日 金額	数量	単価	備考
供給費	送電線路費	修繕費	円	亙長 キロメートル	一キロメートル當 円	円		円	円		円	
		特別費										
		諸費										
		何々										
		小計										
	計											
	変電所費	何 給料手當		年延人員 人	一人一月							
		油脂類費										
		修繕費		出力 キロヴオルトアムペア	一キロヴオルトアムペア當							
		特別費										
		諸費										
		小計										
	計											
	配電費	何 給料手當		年延人員 人	一人一月							
		修繕費		亙長 キロメートル	一キロメートル當							
		特別費										
		諸費										
		何々										
		小計										
	計											
事業	需用者屋内費	何 給料手當		年延人員 人	一人一月							
		電球取換費		取換数 箇	一箇當							
		修繕費										
		諸費										
		小計										
	計											
	業務費	何 給料手當										
		需用開拓費										
		集金費		需用者 戸	一戸一月							
		修繕費										
		諸費										
		小計										
	計											
以上合計												

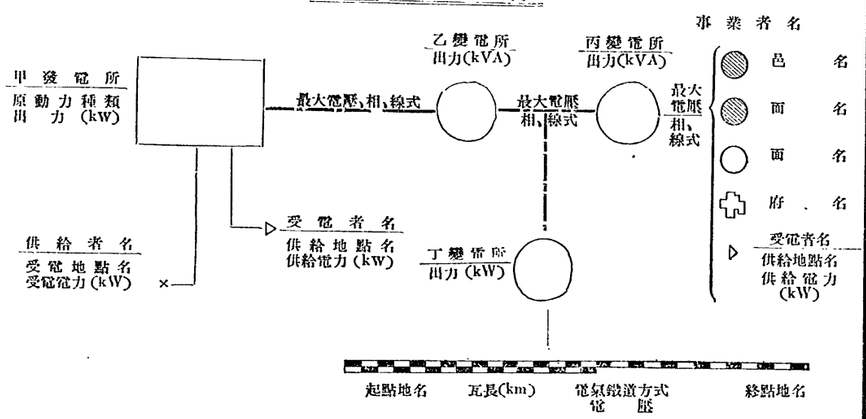
種別		自年月日至年月日 金額	自年月日至年月日 金額	自年月日至年月日 金額	備考
損失	利息 合計	円	円	円	
	社債券金及發行費償却				
	雜損失 電氣供給事業以外ノ事業ニ關スル損失				
	雜損失 其ノ他				
	雜損失 合計				
臨時損失	創業費償却				
	固定資產偶發損				內容ヲ附記スルコト
	何々				
	合計				
總計					
差引純利益					
處分	法定積立金				
	別途積立金				
	何積立金				
	役員賞與金				
	配當金				拂込資本金トノ割合ヲ附記スルコト
	後期繰越利益				

注意
1　本表ノ項目ハ朝鮮電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ內容ニ準ジ之ヲ記載スベシ
2　本表ノ「自年月日至年月日」トアルハ一事業年度ヲ示ス
3　金額、數量、單價ニシテ增減著シキモノハ其ノ事由ヲ附記スベシ

（第八號樣式）

送電系統圖

事業者名



年　月　日

主任(擔當)技術者　氏　名　㊞

注意　既設又ハ工事施行認可申請中ノ事業アルトキハ第九號樣式ニ依ル圖面及附表ヲ調製シ之ニ新ニ申請セル送電系統ヲ此ノ方式ニ依リ記載スベシ

（第八號樣式）
（第九號樣式）

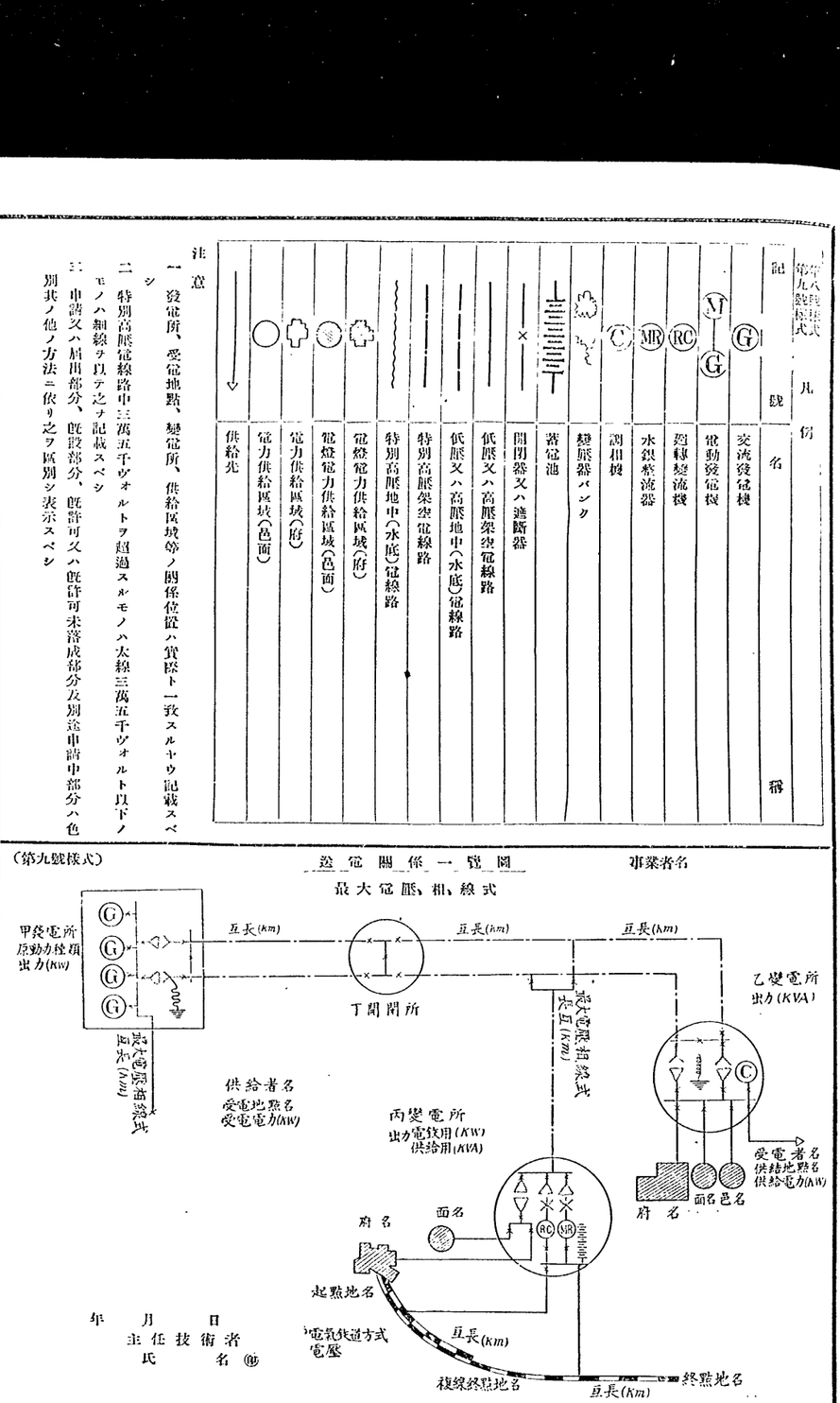
凡例

記號	名稱
G	交流發電機
M G	電動發電機
RC	迴轉變流機
MR	水銀整流器
C	調相機
	變壓器バンク
	蓄電池
×	開閉器又ハ遮斷器
	低壓又ハ高壓架空電線路
	低壓又ハ高壓地中（水底）電線路
	特別高壓架空電線路
	特別高壓地中（水底）電線路
	電燈電力供給區域（府）
	電燈電力供給區域（色面）
	電力供給區域（府）
	電力供給區域（色面）
	供給先

注意
一　發電所、受電地點、變電所、供給區域等ノ關係位置ハ實際ト一致スルヤウ記載スベシ
二　特別高壓電線路中三萬五千ヴォルトヲ超過スルモノハ太線三萬五千ヴォルト以下ノモノハ細線ヲ以テ之ヲ記載スベシ
三　申請又ハ屆出部分、既設部分、既許可又ハ既許可未落成部分及別途申請中部分ハ色別其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ區別シ表示スベシ

（第九號樣式）　送電關係一覽圖　事業者名

最大電壓、相、線式



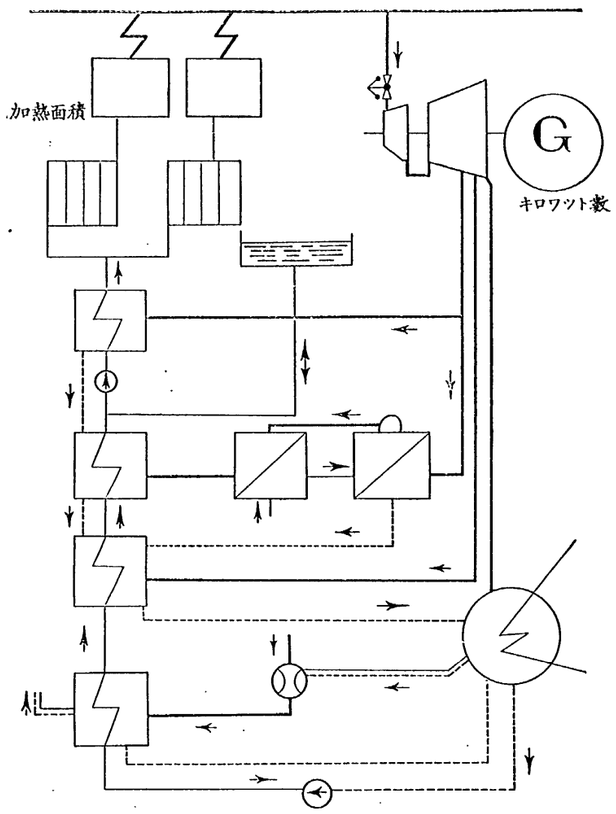
年　月　日

主任技術者　氏　名　㊞

注意　別記樣式ニ依ル附表ヲ添附スベシ但シ本圖面ノ餘白ニ記載シ又ハ本圖面中各設備ノ傍ニ其ノ事項ヲ分チ記載スルコトヲ妨ゲズ

（第十號樣式）

發電所熱精算圖



年　月　日　　主任技術者氏名　㊞

記號	名稱	記號	名稱
	節炭器		開放型汽繊給水槽
	過熱器附汽繊		給水「ポンプ」
	汽繊		蒸汽噴射空氣「ポンプ」
	連結セズ		表面復水器
	連結ス		蒸汽「タービン」
	空氣管		蒸化器
	水管		密閉型溫水器
	復水管		開放型溫水器（水中ニ噴汽）
	蒸汽管		汽繊給水加熱器

注意

一　蒸汽管ニハ蒸汽弁、汽壓、汽溫、蒸汽ノ保有熱量ノ明ナルモノヲ記載スベシ

二　復水管及水管ニハ水弁、水壓、水溫ノ明ナルモノヲ記載スベシ

三　增設又ハ變更等ノ場合ニ於テハ共ノ部分ト既設ノ部分ヲ適宜ノ色分ヲ以テ表示スベシ

送電關係一覽圖附表

發電所設備一覽

發電所名	原動力	水系及河川名	出力(kw) 最大尖頭	出力(kw) 常時尖頭	出力(kw) 常時	出力(kw) 特殊	出力(kw) 補給	出力(kw) 豫備	發電機 種類	發電機 容量(kVA又ハkW)	發電機 電壓(V)	發電機 周波數	發電機 箇數 常用	發電機 箇數 豫備	變壓器 容量(kVA)	變壓器 相	變壓器 周波數	變壓器 電壓(V) 一次	變壓器 電壓(V) 二次	變壓器 電壓(V) 三次	變壓器 箇數 常用	變壓器 箇數 豫備	備考

變電所設備一覽

變電所名	出力 供給用(kVA)	出力 電鐵用(kw)	變壓器 容量(kVA)	變壓器 相	變壓器 周波數	變壓器 電壓(V) 一次	變壓器 電壓(V) 二次	變壓器 電壓(V) 三次	變壓器 箇數 常用	變壓器 箇數 豫備	變流機又ハ電動發電機 種類	變流機又ハ電動發電機 容量(kW)	變流機又ハ電動發電機 電壓(V) 交流	變流機又ハ電動發電機 電壓(V) 直流	變流機又ハ電動發電機 箇數 常用	變流機又ハ電動發電機 箇數 豫備	調相機 種類	調相機 容量(kVA)	調相機 電壓(V)	調相機 箇數 常用	調相機 箇數 豫備	備考

送電線路一覽

送電線路名	區間	電壓(V)	亙長(km)	電線又ハ電纜 種類	電線又ハ電纜 太サ	支持物種類	備考

受電關係一覽

供給者名	受電地點名及位置	受電電力(kW) 最大尖頭	受電電力(kW) 常時尖頭	受電電力(kW) 常時	受電電力(kW) 特殊	受電電力(kW) 補給	受電電力(kW) 豫備	受電電力(kW) 融通	受電時間	備考

供給關係一覽

受電者名	供給地點名及位置	供給電力(kW) 最大尖頭	供給電力(kW) 常時尖頭	供給電力(kW) 常時	供給電力(kW) 特殊	供給電力(kW) 補給	供給電力(kW) 豫備	供給電力(kW) 融通	供給時間	備考

注意

發電所設備又ハ變電所設備ニシテ本樣式ニ記載ナキ事項及其ノ他ノ設備ニシテ必要ト認メラルル事項ハ適宜別關ヲ設ケ之ヲ記載スベシ

第四十一條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第四十二條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第四十三條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第四十四條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第四十五條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第四十六條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第四十七條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第四十八條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第四十九條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第五十條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第五十一條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第五十二條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第五十三條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第五十四條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第五十五條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第五十六條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第五十七條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第五十八條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第五十九條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第六十條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第六十一條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第六十二條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第六十三條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第六十四條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第六十五條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第六十六條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第六十七條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第六十八條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第六十九條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第七十條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第七十一條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第七十二條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第七十三條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第七十四條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第七十五條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第七十六條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第七十七條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第七十八條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第七十九條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第八十條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第八十一條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第八十二條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第八十三條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第八十四條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第八十五條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第八十六條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第八十七條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第八十八條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第八十九條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第九十條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第九十一條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第九十二條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第九十三條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第九十四條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第九十五條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第九十六條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第九十七條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第九十八條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第九十九條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百一條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百二條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百三條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百四條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百五條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百六條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百七條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百八條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百九條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百十條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百十一條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百十二條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百十三條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百十四條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百十五條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百十六條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百十七條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百十八條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百十九條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百二十條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百二十一條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百二十二條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百二十三條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百二十四條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百二十五條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百二十六條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百二十七條　軌條ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ使用ス

種類	一米ニ付キ概算重量	一米ニ付キ概算重量ニ對スル最大車輪荷重
一	三十瓩	二百瓩
二	二十五瓩	百七十瓩
三	二十瓩	百四十瓩
四	十五瓩	百瓩

第百二十八條　軌條ハ左ノ

第一號(イ)ニ準ズル支線ヲ設クルコト

(ロ) 徑間三百米ヲ超過シ五百米以下ナル場合ニ於テハ第一號(ロ)ノ不平均張力ニ耐フル設計ノモノヲ使用シ又ハ之ニ第一號(ロ)ニ準ズル支線ヲ設クルコト

三　徑間五百米ヲ超過スル場合ニ於テハ鐵塔(最大使用電壓六萬ヴオルト以上電線ノ切斷面積硬銅線ニ在リテハ百二十平方粍以上、銅心「アルミニウム」線ニ在リテハ百五十平方粍以上ノ場合ニ限ル」ニハ第二種耐張鐵塔ヲ使用スルコト但シ土地ノ狀況ニ依リ當該徑間ニ隣接スル箇所ニ第二種耐張鐵塔ヲ建設シ本鐵塔ハ標準型ニ準ジ計算シタルモノトス

前項第一號及第二號ノ支線ノ强度ハ安全係數ヲ三以上ト シ計算シタルモノナルコトヲ要ス(細第三十三條及第三十六條)

特別高壓架空電線路ノ徑間ガ第一項第一號又ハ第二號ノ制限ヲ超過スルトキハ其ノ支持物ハ選信局長ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ設計ニ依ルコトヲ要ス

第六十七條　特別高壓架空電線ト建造物、道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓ノ架空電線又ハ架空弱電流電線トガ水平距離ニ於テ其ノ特別高壓架空電線路トガ支持物地表上ノ高サニ相當スル部分ニ於テハ左ノ各號ニ依リ施設(細第五十七條)スルコトヲ要ス

一　特別高壓架空電線ニハ堅牢ナル金屬製ノ保護管ヲ有スル鐵條ヲ施設シ且之ニ電氣的ニ接續スルコト

二　木柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下ト シ且其ノ强度ハ甲種風壓荷重ニ對シ安全係數ヲ左ノ制限ニ依リ計算シタルモノナルコト

(イ) 一萬五千ヴオルト　六

(ロ) 一萬五千ヴオルト(六(注入柱)ヲ超過スルモノ　七・五(不注入柱)

三　鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下トスルコト

四　前項ノ場合ニ於テ徑間ガ百米ヲ超過スルトキハ選信局長ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ設計ニ依ルコトヲ要ス

第六十八條　二萬五千ヴオルト以下ノ特別高壓架空電線ト建造物、鐵道、軌道、低壓、高壓ノ架空電線若ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキ又ハ一萬五千ヴオルト以下ノ特別高壓架空電線ト道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓ノ架空電線若ハ架空弱電流電線トガ水平距離ト ノ差ガ三米以内ニ接近スルトキハ第六十七條第一項第二號ニ依ルコトヲ要ス

特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第六十九條　特別高壓架空電線ガ道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓ノ架空電線(電車線ヲ含ム)又ハ架空弱電流電線ト交叉スル箇所ニ於テハ左ノ各號ニ依リ施設シ且危險ヲ防止スル爲適當ニ施設(細第五十九條)スルコトヲ要ス

一　特別高壓架空電線ニハ堅牢ナル鐵筋「コンクリート」柱ヲ使用スルコト

二　木柱ハ其ノ徑間ヲ鐵道、軌道又ハ架空弱電流電線ト交叉スル箇所ニ於テハ百米以下、道路又ハ低壓若ハ高壓ノ架空電線ト交叉スル箇所ニ於テハ百五十米以下ト ス但シ土地ノ狀況ニ依リ已ムヲ得ザル場合ハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第二項ノ電壓ヲ超過スル特別高壓架空電線ト建造物、道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓ノ架空電線又ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキハ選信局長ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ設計ニ依ルコトヲ要ス

第七十條　特別高壓架空電線ガ道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓ノ架空電線(電車線ヲ含ム)又ハ架空弱電流電線ト交叉スル箇所ニ於テハ左ノ各號ニ依リ施設シ且危險ヲ防止スル爲適當ニ施設(細第五十九條)スルコトヲ要ス

一　特別高壓架空電線ニハ堅牢ナル鐵筋「コンクリート」柱ヲ使用スルコト

二　木柱ハ其ノ徑間ヲ鐵道、軌道又ハ架空弱電流電線ト交叉スル箇所ニ於テハ百米以下、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニ在リテハ百五十米以下、道路又ハ低壓若ハ高壓ノ架空電線ト交叉スル箇所ニ於テハ百米以下ト ス但シ土地ノ狀況ニ依リ已ムヲ得ザル場合ハ選信局長ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第二項ノ電壓ヲ超過スル特別高壓架空電線ト建造物、道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓ノ架空電線又ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキハ選信局長ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ設計ニ依ルコトヲ要ス

第七十一條　特別高壓架空電線ガ同一電氣事業者ニ屬スル左ニ掲グル架空電線若ハ架空弱電流電線ト交叉シ又ハ接近スル場合ハ第六十七條乃至第六十九條(第一項第四號ヲ除ク)ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

一　電路ノ一部ヲ接地シタル低壓架空電線

二　電車線式電氣鐵道ノ饋電線又ハ電車線

三　電車線路ニ添架シタル弱電流電線

四　特別高壓架空電線路ニ添架シタル電話線又ハ直接之ト接續スル電話線

特別高壓架空電線ガ同一事業者ニ屬スル鐵道若ハ軌道、鐵道、軌道、低壓、高壓ノ架空電線若ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキ又ハ一萬五千ヴオルト以下ノ特別高壓架空電線ト道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓ノ架空電線若ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキハ前項ノ場合ニ於テ其ノ電線路ノ支持物地表上ノ高サニ相當スル距離以内ニ接近スル部分及特別高壓架空電線ガ他ノ特別高壓架空電線ノ上部ニ於テ之ト交叉スル部分ニ於テハ燃線ヲ使用シ左ノ各號ニ依リ施設シ且危險ヲ防止スル爲適當ニ施設(細第七十九條)スルコトヲ要ス

一　木柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下ト シ且其ノ强度ハ第八十七條第一項第二號ニ依ルコト

二　鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下ト スコト

三　電線相互間ノ離隔距離ハ當ニ左ノ制限ニ依ルコト

(イ) 六萬ヴオルト以下ノモノハ二米以上

(ロ) 六萬ヴオルトヲ超過スルモノハ超過分一萬ヴオルト又ハ其ノ端數毎ニ二十糎ヲ加フ

四　下部ノ特別高壓架空電線路ニ架空地線アル場合ハ電線相互間ノ離隔距離ハ前號ニ依ルコト

特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第七十二條　特別高壓架空電線路ニ架空地線ヲ施設スル場合ニハ第百三十三條第一項第一號ニ準ジ地線ノ銅ノ斷面積ヲ定ムルコト

第七十三條　特別高壓架空電線ガ第二百三十三條第一項第一號ニ掲グル架空電線若ハ架空弱電流電線ト交叉シ又ハ接近スル場合ハ第六十七條乃至第六十九條(第一項第四號ヲ除ク)ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

一　電路ノ一部ヲ接地シタル低壓架空電線

二　電車線式電氣鐵道ノ饋電線又ハ電車線

三　電車線路ニ添架シタル弱電流電線

四　特別高壓架空電線路ニ添架シタル電話線又ハ直接之ト接續スル電話線

特別高壓架空電線ガ同一事業者ニ屬スル鐵道若ハ軌道、鐵道、軌道、低壓、高壓ノ架空電線若ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキハ前項ノ場合ニ於テ其ノ電線路ノ支持物地表上ノ高サニ相當スル部分ニ於テハ燃線ヲ使用シ左ノ各號ニ依リ施設シ且危險ヲ防止スル爲適當ニ施設(細第七十九條)スルコトヲ要ス

一　木柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下ト シ且其ノ强度ハ第八十七條第一項第二號ニ依ルコト

二　鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下ト スコト

三　電線相互間ノ離隔距離ハ當ニ左ノ制限ニ依ルコト

(イ) 六萬ヴオルト以下ノモノハ二米以上

(ロ) 六萬ヴオルトヲ超過スルモノハ超過分一萬ヴオルト又ハ其ノ端數毎ニ二十糎ヲ加フ

四　下部ノ特別高壓架空電線路ニ架空地線アル場合ハ電線相互間ノ離隔距離ハ前號ニ依ルコト

特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第七十四條　特別高壓架空電線ガ同一電氣事業者ニ屬スル左ニ掲グル架空電線若ハ架空弱電流電線ト交叉シ又ハ接近スル場合ハ第六十七條乃至第六十九條(第一項第四號ヲ除ク)ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

一　電路ノ一部ヲ接地シタル低壓架空電線

二　電車線式電氣鐵道ノ饋電線又ハ電車線

三　電車線路ニ添架シタル弱電流電線

四　特別高壓架空電線路ニ添架シタル電話線又ハ直接之ト接續スル電話線

特別高壓架空電線ガ同一事業者ニ屬スル鐵道若ハ軌道、鐵道、軌道、低壓、高壓ノ架空電線若ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキハ前項ノ場合ニ於テ其ノ電線路ノ支持物地表上ノ高サニ相當スル部分及特別高壓架空電線ガ他ノ特別高壓架空電線ノ上部ニ於テ之ト交叉スル部分ニ於テハ燃線ヲ使用シ左ノ各號ニ依リ施設シ且危險ヲ防止スル爲適當ニ施設(細第七十九條)スルコトヲ要ス

一　木柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下ト シ且其ノ强度ハ第八十七條第一項第二號ニ依ルコト

二　鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下ト スコト

三　電線相互間ノ離隔距離ハ當ニ左ノ制限ニ依ルコト

(イ) 六萬ヴオルト以下ノモノハ二米以上

(ロ) 六萬ヴオルトヲ超過スルモノハ超過分一萬ヴオルト又ハ其ノ端數毎ニ二十糎ヲ加フ

四　下部ノ特別高壓架空電線路ニ架空地線アル場合ハ電線相互間ノ離隔距離ハ前號ニ依ルコト

特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第七十五條　特別高壓架空電線ガ同一電氣事業者ニ屬スル鐵道若ハ軌道、鐵道、軌道、低壓、高壓ノ架空電線若ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキハ第六十七條乃至第六十九條(第一項第四號ヲ除ク)ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

一　電路ノ一部ヲ接地シタル低壓架空電線

二　電車線式電氣鐵道ノ饋電線又ハ電車線

三　電車線路ニ添架シタル弱電流電線

四　特別高壓架空電線路ニ添架シタル電話線又ハ直接之ト接續スル電話線

特別高壓架空電線ガ同一事業者ニ屬スル鐵道若ハ軌道、鐵道、軌道、低壓、高壓ノ架空電線若ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキハ前項ノ場合ニ於テ其ノ電線路ノ支持物地表上ノ高サニ相當スル部分及特別高壓架空電線ガ他ノ特別高壓架空電線ノ上部ニ於テ之ト交叉スル部分ニ於テハ燃線ヲ使用シ左ノ各號ニ依リ施設シ且危險ヲ防止スル爲適當ニ施設(細第七十九條)スルコトヲ要ス

一　木柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下ト シ且其ノ强度ハ第八十七條第一項第二號ニ依ルコト

二　鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下ト スコト

三　電線相互間ノ離隔距離ハ當ニ左ノ制限ニ依ルコト

(イ) 六萬ヴオルト以下ノモノハ二米以上

(ロ) 六萬ヴオルトヲ超過スルモノハ超過分一萬ヴオルト又ハ其ノ端數毎ニ二十糎ヲ加フ

四　下部ノ特別高壓架空電線路ニ架空地線アル場合ハ電線相互間ノ離隔距離ハ前號ニ依ルコト

特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第七十六條　特別高壓架空電線ガ道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓ノ架空電線(電車線ヲ含ム)又ハ架空弱電流電線ト交叉スル箇所ニ於テハ左ノ各號ニ依リ施設シ且危險ヲ防止スル爲適當ニ施設(細第五十九條)スルコトヲ要ス

一　特別高壓架空電線ニハ堅牢ナル鐵筋「コンクリート」柱ヲ使用スルコト

二　木柱ハ其ノ徑間ヲ鐵道、軌道又ハ架空弱電流電線ト交叉スル箇所ニ於テハ百米以下、道路又ハ低壓若ハ高壓ノ架空電線ト交叉スル箇所ニ於テハ百五十米以下ト ス但シ土地ノ狀況ニ依リ已ムヲ得ザル場合ハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第二項ノ電壓ヲ超過スル特別高壓架空電線ト建造物、道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓ノ架空電線又ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキハ選信局長ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ設計ニ依ルコトヲ要ス

第七十七條　特別高壓架空電線ガ道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓ノ架空電線(電車線ヲ含ム)又ハ架空弱電流電線ト交叉スル箇所ニ於テハ左ノ各號ニ依リ施設シ且危險ヲ防止スル爲適當ニ施設(細第五十九條)スルコトヲ要ス

一　特別高壓架空電線ニハ堅牢ナル鐵筋「コンクリート」柱ヲ使用スルコト

二　木柱ハ其ノ徑間ヲ鐵道、軌道又ハ架空弱電流電線ト交叉スル箇所ニ於テハ百米以下、道路又ハ低壓若ハ高壓ノ架空電線ト交叉スル箇所ニ於テハ百五十米以下ト ス但シ土地ノ狀況ニ依リ已ムヲ得ザル場合ハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第二項ノ電壓ヲ超過スル特別高壓架空電線ト建造物、道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓ノ架空電線又ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキハ選信局長ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ設計ニ依ルコトヲ要ス

第七十八條　地中電線ヲ蔵ムル暗渠、管又ハ管路ハ堅牢ニシテ車輛其ノ他重キ物體ノ壓力ニ耐ヘ且瓦斯又ハ水ノ成ルベク浸入セザル様築造スルコトヲ要ス

地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スルトキハ車輛其ノ他重キ物體ノ壓力ヲ受クル虞アル場所ニ於テハ土冠ヲ一・二米以上、其ノ他ノ場所ニ於テハ土冠ヲ六十糎以上ト ス但シ石又ハ樋ノ類ヲ以テ電纜ノ上部及側面ヲ掩ヒ他動的損傷ヲ防止スルコトヲ要ス但シ低壓電線ヲ車輛其ノ他重キ物體ノ壓力ヲ受クル虞アラキ場所ニ施設スル場合ハ幅二十糎以上堅牢ナル石又ハ木板ノ類ヲ以テ電線ノ上部ノ堅牢ナル防護物ヲ施設スルコトヲ得

第七十九條　地中電線ニハ引入式又ハ暗渠式ニ依ル場合ハ鉛被電纜又ハ鎧裝電纜ヲ使用シ直接埋設式ニ依ル場合ハ鉛被電纜又ハ鎧裝電纜ヲ使用スルコトヲ要ス但シ前條第二項但書ノ場合ハ左ノ電線ヲ車輛其ノ他重キ物體ノ壓力ヲ受クル虞アル場所ニ施設スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　切斷面積五平方粍以下ノモノ　鉛被電纜

二　切斷面積五平方粍ヲ超過シ十五平方粍以下ノモノ　鉛被電纜又ハ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第八十條　地中電線路ハ漏洩電流又ハ誘導作用ニ依リ既設地中弱電流電線ニ對シ通信上ノ障害ヲ及ボサザル様隔離シ又ハ他ノ適當ナル防止方法ヲ施スコトヲ要ス

第八十一條　地中電線ト地中弱電流電線トガ交叉シ又ハ接近スル場合ニ於テハ其ノ間隔ガ低壓又ハ高壓電線ニ在リテハ三十糎以下、特別高壓電線ニ在リテハ六十糎以下トナルトキハ成ルベク其ノ部分ヲ短縮シ且相互間ニ堅牢ナル耐火質ノ隔壁ヲ設クルコトヲ要ス

第八十二條　高壓地中電線ト地中弱電流電線トガ交叉シ又ハ接近スル場合ニ於テハ其ノ間隔ガ十糎以下トナルトキハ成ルベク其ノ部分ヲ短縮シ且相互間ニ堅牢ナル耐火質ノ隔壁ヲ設クルコトヲ要ス但シ地中弱電流電線ノ引入口ニ於テ其ノ間隔ガ十糎以下トナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八十三條　地中電線ニ施ス接續函及地中電線ノ被覆ニ用フル金屬體ハ電氣的接續ヲ爲シ且之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコトヲ要ス

第八十四條　地中函ハ氣中業務專用ノモノト シ且二以上ノ事業者之ヲ共用スルコトヲ得ズ但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十五條　地中函ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコト

一　地中函ハ堅牢ニシテ車輛其ノ他重キ物體ノ壓力ニ耐フル様築造スルコト

二　地中函ニハ水ノ侵入ヲ防止シ又ハ函内ノ溜水ヲ排除スル裝置ヲ施スコト

三　爆發性又ハ燃燒性瓦斯ノ侵入スル虞アル場所ニ設クル地中函ニシテ其ノ大サ一立方米以上ノモノニハ之ヲ放散セシムベキ通風其ノ他ノ裝置ヲ施スコト

四　地中函ノ蓋ニハ事業者ノ外容易ニ開披シ能ハザル設備ヲ施スコト

五　地中函ノ蓋ニハ事業者名又ハ其ノ記號ヲ表示スルコト

地中函ハ時時點檢シ瓦斯ノ存在ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ放散セシメ且其ノ旨ヲ瓦斯管ノ管理者ニ通知スルコトヲ要ス

第八十六條　地中電線路ハ左ノ絕縁耐力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

一　低壓電線路ニ在リテハ其ノ絕縁部分ト大地トノ間ノ絕縁抵抗ハ囘線ノ全電線ヲ一括セルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ最大供給電流ノ千分ノ一ヲ超過セシメザル様保持スルコト

二　高壓電線路ニ在リテハ其ノ心線相互間及心線ト大地トノ間ノ絕縁耐力ハ最大使用電壓ノ一・五倍ノ電壓ヲ以テ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコト

三　特別高壓電線路ニ在リテハ其ノ心線相互間及心線ト大地トノ間ノ絕縁耐力ハ最大使用電壓又ハ直流電壓ヲ以テ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコト

之ニ耐フルコト		
最大使用電壓	交流試驗電壓	直流試驗電壓
(イ) 二萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ一・五倍	最大使用電壓ノ三・五倍
(ロ) 二萬ヴオルト以上五萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ一・五倍	最大使用電壓ノ三倍
(ハ) 五萬ヴオルト以上	最大使用電壓ノ一・二五倍	最大使用電壓ノ三・五倍

第八十七條　地中電線ヲ超過シテ(ロ)ニ掲ゲザル電壓ノ場合ニ於テハ其ノ電線路ニ使用スル電線ハ鉛被電纜又ハ鎧裝電纜ニシテ其ノ鉛被又ハ鎧裝ニ第一種接地工事ヲ施シ且其ノ電線路ニ使用スル電線ノ心線ハ其ノ斷面積十平方粍以上ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ强さ及太さノ軌條面上二・五米以上ノ高サニ保持スルコト

第五節　隧道

第八十八條　鐵道又ハ軌道ノ專用隧道内ノ電線路ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　低壓電線ニハ二・六粍ノ裸硬銅線又ハ之ト同等以上ノ强さ、太さ及效力ヲ有スル電線ヲ使用シ之ヲ軌條面上二・五米以上ノ高サニ保持スルコト

二　高壓電線ニハ引張强さ二・六粍ノ第二種絕縁硬銅線若ハ五粍ノ裸硬銅線又ハ之ト同等以上ノ强さ、太さ及效力ヲ有スル電線ヲ使用シ之ヲ軌條面上二・五米以上ノ高サニ保持スルコト

三　特別高壓電線ニハ引張强さ二・六粍ノ第二種絕縁硬銅線又ハ之ト同等以上ノ强さ、太さ及效力ヲ有スル電線ヲ使用シ之ヲ軌條面上二・五米以上ノ高サニ保持スルコト

四　特別高壓架空電線路ニ添架シタル電話線又ハ直接之ト接續スル電話線ハ其ノ電線ト隧道内ノ他ノ電線トノ間ニ堅牢ナル耐火質ノ隔壁ヲ設クルコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十九條　隧道内ニ施設スル地中電線路ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　地中電線ハ堅牢ナル鉛被電纜又ハ鎧裝電纜ヲ使用シ且之ニ第一種接地工事ヲ施スコト

二　地中電線ハ堅牢ナル耐火質ノ隔壁ヲ設ケテ他ノ電線ト隔離スルコト

三　地中電線ハ堅牢ナル耐火質ノ隔壁ヲ設ケテ他ノ電線ト隔離スルコト

第九十條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ第七十八條第一項ノ規定ニ準ジ堅牢ナル石又ハ木板ノ類ヲ以テ電線ノ上部ヲ掩ヒ他動的損傷ヲ防止スルコトヲ要ス

第九十一條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ第七十九條第一項ノ規定ニ準ジ鉛被電纜又ハ鎧裝電纜ヲ使用スルコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十二條　地中電線ヲ引入式又ハ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十三條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十四條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十五條　地中電線ヲ引入式又ハ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十六條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十七條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十八條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十九條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百一條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百二條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百三條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百四條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百五條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百六條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百七條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百八條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百九條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百十條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百十一條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百十二條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百十三條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百十四條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百十五條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百十六條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百十七條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百十八條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百十九條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十一條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十二條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十三條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十四條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十五條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十六條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十七條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十八條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十九條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十一條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十二條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十三條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十四條　地中電線ヲ直接埋設式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第一種接地工事ヲ施スコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ選信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十五條　地中電線ヲ暗渠式ニヨリ敷設スル場合ニハ其ノ電線ニ第

損傷ヲ防止スル裝置ヲ施ストキハ鉛被電極ヲ使用スルコトヲ得

(ロ)　四耗ノ第三種絕緣硬銅線若ハ五耗ノ裸硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ、太サ及效力ヲ有スル電線ヲ使用シ之ヲ軌條面上三米以上ノ高サニ保持スルコト

三　特別高壓電線ニハ鎧裝電纜ヲ使用スルコト但シ他動的損傷ヲ防止スル裝置ヲ施ストキハ鉛被電纜ヲ使用スルコトヲ得

第八十八條　人ノ常ニ通行スル隧道內ノ電線路ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　低壓電線ハ第百三十二條第一號ノ規定ニ準ジ施設スルコト

二　高壓電線ニハ鎧裝電纜ヲ使用シ且人ノ觸ルル虞アル箇所ニ施設スルモノニハ他動的損傷ヲ防止スル裝置ヲ施スコト

第八十九條　前二條ノ電線路ノ絕緣抵抗又ハ絕緣耐力ニ關シテハ第五十八條又ハ第八十六條ノ規定ヲ準用ス

第六節　保安通信設備

第九十條　保安通信設備ヲ要スル電氣所及變電所相互間ニハ保安通信用電話ヲ施設スルコトヲ要ス

左ニ揭グル箇所相互間ニ於テモ保安上必要ト認ムルトキハ保安通信用電話ノ施設ヲ爲スベシ

一　發電所及其ノ水路

二　同一送電系統ニ屬スル發電所、變電所、蓄電所、開閉所及技術員駐在所特別高壓架空電線路ニ依リ送電スル場合ニ在リテ且電話線ヲ架空線路ニ添架スル場合ハ携帶電話機ニ依リ通話スル設備ヲ爲シ且電話線ヲ架空線路ニ添架スル場合ハ電線路ノ瓦長約四粁毎ニ携帶電話機接續箇所又ハ電話機設置箇所ヲ設クルコトヲ要ス

第九十一條　架空電線路ニ添架スル保安通信用電話線(以下單ニ電話線ト稱ス)ニハ特殊ノ鐵線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト

(イ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線ヲ使用シ且第百三條第一項第六號ニ準ジ施設スルコト

(ロ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線ヲ使用シ且第四種絕緣電線ヲ使用スルコト

七　使用電壓交流百五十ヴオルト、直流三百ヴオルト超過スル電線ガ架空弱電流電線ト交叉シ又ハ水平距離一米以內ニ於テ接近スル場合ニ於テハ左ノ電線ヲ使用スルコト

(イ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト

(ロ)　電線ガ弱電流電線又ハ架空弱電流電線路管理者ノ承諾ヲ得タルトキ又ハ工事上已ムヲ得ザルトキハ之ヲ次ノ十種迄ニ短縮スルコトヲ得

七　使用電壓交流百五十ヴオルト、直流三百ヴオルト超過スル電線ガ架空弱電流電線ト交叉シ又ハ水平距離一米以內ニ於テ接近スル場合(細第六十一條)ヲ除クノ外二・六耗ノ鐵線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト

第九十二條　架空電線ガ架空弱電流電線ト交叉シ又ハ水平距離一米以內ニ於テ接近スル場合ニ於テハ左ノ電線ヲ使用スルコト

(イ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト

(ロ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ハ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ニ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ホ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヘ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ト)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(チ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(リ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヌ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ル)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヲ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ワ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(カ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヨ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(タ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(レ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ソ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ツ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ネ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ナ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ラ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ム)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ウ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヰ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ノ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(オ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ク)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヤ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(マ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ケ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(フ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(コ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(エ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(テ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ア)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(キ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ユ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(メ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ミ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(シ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヒ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(モ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(セ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ス)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ン)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヴ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヰ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ノ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(オ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ク)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヤ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(マ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ケ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(フ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(コ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(エ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(テ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ア)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(キ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ユ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(メ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ミ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(シ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヒ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(モ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(セ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ス)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ン)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヴ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ヰ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(ノ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニテ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二耗ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

(オ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種絕緣電線又ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ガ金屬

各號ニ依リ分岐シ且分岐點ニ近キ箇所ニ於テ各分岐回路ニ開閉器及自動遮斷器ヲ裝置スルコトヲ要ス但シ特殊ノ事由アルモノハ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

一　自熱電燈用電線ハ一キロワット以下毎ニ分岐スルコト但シ一回路ノ總數十五箇ヲ超過セザル場合ニ限リ此ノ制限ヲ三キロワットトスコトヲ得

二　自熱電燈ト家庭用電氣器具トニ併セ供給スル電線ハ三キロワット以下毎ニ分岐スルコト但シ一回路ノ承口ノ總數十五箇ヲ超過スル場合ハ自熱電燈ノ總ワット數ヲ一キロワット以下トスコト

三　家庭用電氣器具其ノ他ノ屋内電氣機械器具用電線ハ各機械器具毎ニ分岐スルコト但シ一回路ノ承口ノ總數三箇ヲ超過セザル場合ニ限リ此ノ制限ヲ五キロワットトスコトヲ得

四　一箇ノ容量五キロワットヲ超過スル家用電氣器具其ノ他ノ屋内電氣機械器具ノ前項第一號乃至第三號ノ制限ヲ超過セザルトキハ此等各回路ニ共同ノ開閉器及自動遮斷器ヲ使用スルコトヲ得

前二項ノ開閉器及自動遮斷器ハ特殊ノ場合（細第七十四條）ヲ除クノ外各線ニ之ヲ裝置スルコトヲ要ス

第百十三條　屋内ニ施設スル低壓用ノ開閉器及自動遮斷器ハ前二條ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外一キロワット以下ノ低壓二線式屋内電路ニ使用スルモノニ限リ單極ニ之ヲ裝置スルコトヲ得

第百十四條　低壓屋内配線ハ其ノ施設場所ニ從ヒ左ニ掲グル工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　展開シタル場所

(イ)　碍子引錫出工事（以下單ニ錫出工事ト略ス）

(ロ)　木製線樋工事及金屬線樋工事（乾燥シタル場所ニ限ル）

(ハ)　金屬管工事及電纜工事

(ニ)　點檢シ得ル掩蔽場所（細第七十五條）

(イ)　碍子引錫出工事（以下單ニ錫出工事ト略ス）

(ロ)　木製線樋工事及金屬線樋工事（乾燥シタル場所ニ限ル）

(ハ)　金屬管工事及電纜工事

(ニ)　點檢シ能ハザル掩蔽場所（細第七十五條）

(イ)　碍蔽工事（乾燥シタル場所ニ限ル）

(ロ)　金屬管工事又ハ電纜工事ヲ施スベキ場合ニ於テ他動的損傷ヲ受ケ又ハ接近スルトキハ鉛被電線又ハ使用シテ施設スルコトヲ得

第百十五條　屋内ニ於テ低壓電線ヲ造營物ヲ貫通スル部分ニ於テハ金屬管工事ニ依ル場合ヲ除クノ外之ヲ碍管内ニ收ムルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ限リ工事上已ムヲ得ザルトキハ「ゴム」管又ハ「コンテープ」ヲ以テ碍管ニ代用スルコトヲ得（細第七十六條）

第百十六條　露出工事ニ依ル低壓屋内配線ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ニハ第二種絶緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ工事上已ムヲ得ザル場合ニ於テ人ノ觸ルル虞アル場所ニ施設スル電線ニハ第三種絶緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト

二　電線相互間ハ十二糎以上、電線ト造營材トノ間ハ六糎以上但シ低壓ニ線式屋内電路ニ使用スルモノニ限リ單極ニ之ヲ裝置スルコトヲ得

三　電線ト造營材トハ六糎以上但シ低壓ニ線式屋内電路ニ使用スルモノニ限リ單極ニ之ヲ裝置スルコトヲ得

第百十七條　隱蔽工事ニ依ル低壓屋内配線ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ニハ第二種絶緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ工事上已ムヲ得ザル場合ニ於テハ第一種可撓絶緣線、長サ床上二米以下ニ達セザルモノニ在リテハ一種可撓絶緣線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト

二　電線相互間ハ三糎以上ヲ離隔スルコト

三　電線ト造營材トハ六糎以上ヲ離隔スルコト

第百十七條　隱蔽工事ニ依ル低壓屋内配線ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ニハ第二種絶緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ長サ床面ニ達セザル電球線ニシテ移動セザルモノニ在リテハ第一種可撓絶緣線、長サ床上二米以下ニ達セザルモノニ在リテハ一種可撓絶緣線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト

(イ)　移動シテ使用スル低壓電線ハ之ヲ可撓金屬管ニ收メ又ハ之ヲ堪耐ナル外裝ヲ施シ場合ヲ除クノ外之ト同等以上ノ效力ヲ有スル特殊ノ電線ヲ使用スルコト

三　自動遮斷器、開閉器、點滅器、組線接續器、抵抗器其ノ他火花ヲ發シ又ハ温度過昇ノ虞アル器具ハ之ヲ場内ニ施設スルコト但シ堅牢ナル氣密函又ハ油中ニ藏ムル如キ方法ニ依リ氣密裝置ヲ施シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

四　電球ソケットハ無鍵承口ヲ使用スルコト但シ移動的ニ使用スル場合ニ於テハ鍵付ソケットヲ使用スルコトヲ得

第百十八條　電線ハ金屬線樋工事、金屬管工事又ハ鎧裝電纜ヲ用フル電纜工事ニ依リ施設スルコト

二　移動シテ使用スル電線ハ之ヲ可撓金屬管ニ藏メ又ハ之ヲ堪耐ナル外裝ヲ施ス場合ヲ除クノ外之ト同等以上ノ效力ヲ有スル特殊ノ電線ヲ使用スルコト

三　自動遮斷器、開閉器、點滅器、組線接續器、抵抗器其ノ他火花ヲ發シ又ハ温度過昇ノ虞アル器具ハ之ヲ場内ニ施設スルコト但シ堅牢ナル氣密函又ハ油中ニ藏ムル如キ方法ニ依リ氣密裝置ヲ施シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

四　電球ソケットハ無鍵承口ヲ使用スルコト但シ移動的ニ使用スル場合ニ於テハ鍵付ソケットヲ要ス

第百十九條　金屬管工事（細第七十八條）及金屬線樋工事（細第七十九條）ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ニハ第四種絶緣電線ヲ使用スルコト

二　電線相互間ハ十二糎以上、電線ト線樋トノ間ハ六糎以上但シ低壓ニ線式屋内電路ニ使用スルモノニ限リ單極ニ之ヲ裝置スルコトヲ得

三　線樋内ニ於テ電線ニ接續點ヲ設ケザルコト

第百二十條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ造營材ノ上面又ハ下面ニ取付クルトキハ第二種絶緣ノ取付クルトキニ限リ之ヲ施設スルコトヲ得

(イ)　碍子引錫出工事ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

(ロ)　木製線樋工事ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

(ハ)　金屬管工事及電纜工事ハ第四種絶緣電線ヲ使用スルコト

(ニ)　點檢シ得ル掩蔽場所（細第七十五條）

(イ)　碍子引錫出工事ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ニハ第二種絶緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ工事上已ムヲ得ザル場合ニ於テハ第一種可撓絶緣線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト

二　電線相互間ハ六糎以上ヲ離隔スルコト

三　電線ト造營材トハ六糎以上ヲ離隔スルコト

第百二十一條　露出工事ニ依ル低壓屋内配線ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ニハ第二種絶緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ長サ床面ニ達セザル電球線ニシテ移動セザルモノニ在リテハ第一種可撓絶緣線、長サ床上二米以下ニ達セザルモノニ在リテハ一種可撓絶緣線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト

(イ)　移動シテ使用スル低壓電線ハ之ヲ可撓金屬管ニ收メ又ハ之ヲ堪耐ナル外裝ヲ施ス場合ヲ除クノ外之ト同等以上ノ效力ヲ有スル特殊ノ電線ヲ使用スルコト

三　自動遮斷器、開閉器、點滅器、組線接續器、抵抗器其ノ他火花ヲ發シ又ハ温度過昇ノ虞アル器具ハ之ヲ場内ニ施設スルコト但シ堅牢ナル氣密函又ハ油中ニ藏ムル如キ方法ニ依リ氣密裝置ヲ施シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

四　電球ソケットハ無鍵承口ヲ使用スルコト但シ移動的ニ使用スル場合ニ於テハ鍵付ソケットヲ要ス

第百二十二條　電球線及移動シテ使用スル低壓電線ノ接續ハ危險ノ虞ナキ様適當ニ施設スルコトヲ要ス（細第八十條）

第百二十三條　溫泉アル場所（細第八十二條）（魚尾、八百屋等ノ水ヲ取扱フ土間又ハ洗場ノ如キ場所ヲ除ク）ニ施設スル低壓電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　碍子引工事ニ依ルコト

二　碍子引工事ニ依ルトキハ第三種絶緣電線ヲ使用スルコト但シ興行場ニ於テハ毎年一回以上試驗シ其ノ成績ヲ記錄スルコトヲ要ス但シ興行場、温泉又ハ濕氣若ハ腐蝕ノ充チ易キ箇所ヲ除クノ外絶緣間ノ試驗ヲ省略スルコトヲ得

第三節　隧道、抗道其ノ他之ニ類スル場所ニ於ケル工事

第百二十五條　腐蝕性瓦斯又ハ溶液ノ發散スル場所ニ於テ低壓電線ヲ使用スルトキハ長岡ヒル場所ニ於ケル操業者ノ外人ノ容易ニ觸ルル虞ナキ様施設スルコトヲ要ス

第百二十六條　爆發又ハ燃燒スル易キ危險ノ物質ヲ發生、製造又ハ貯藏スル場所（細第八十六條）ニ施設スル低壓電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ且危險ノ虞ナキ様適當ニ施設ノ（細第八十七條）スルコトヲ要ス

(イ)　移動シテ使用スル電線ニハ第三種乙可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

(ロ)　可撓絶緣線ヲ使用スルコト

第百二十七條　電球線及移動シテ使用スル低壓電線ノ接續ハ危險ノ虞ナキ様適當ニ施設スルコトヲ要ス（細第八十條）

第百二十八條　電線ハ金屬線樋工事、金屬管工事又ハ鎧裝電纜ヲ用フル電纜工事ニ依リ施設スルコト

特殊ノ事由アル場合ニ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百三十一條　電線ハ金屬線樋工事、金屬管工事又ハ鎧裝電纜ヲ用フル電纜工事ニ依リ施設スルコト

特殊ノ事由アル場合ニ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百三十二條　人ノ常ニ通行スル隧道内ノ低壓電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　金屬管工事又ハ電纜工事ニ依リ施設スル場合ヲ除クノ外電線ハ路面上二・五米以上ノ高サニ於テ一・六糎ノ第二種絶緣軟銅線又ハ之ト同等以上ノ强度及太サヲ有スル電線ヲ使用シ碍子引工事ニ依ルコト

二　電線ハ隧道引込口ニ於テ開閉器ヲ裝置スルコト

第百三十三條　鑛山其ノ他ノ坑道内ノ電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　低壓電線ニハ電纜ヲ使用スル場合ヲ除クノ外一・六糎ノ第四種絶緣軟銅線又ハ之ト同等以上ノ强度及太サヲ有スル電線ヲ使用シ碍子引工事ニ依ルコト

二　電線ハ坑道内ノ造營材トハ六糎以上但シ低壓ニ線式屋内電路ニ使用スルモノニ限リ單極ニ之ヲ裝置スルコトヲ得

三　電線相互間ハ十二糎以上、電線ト線樋トノ間ハ六糎以上但シ低壓ニ線式屋内電路ニ使用スルモノニ限リ單極ニ之ヲ裝置スルコトヲ得

第百三十四條　坑道内ニ施設スル電線ハ之ヲ可撓金屬管ニ收メ又ハ之ヲ堪耐ナル外裝ヲ施シ場合ヲ除クノ外之ト同等以上ノ效力ヲ有スル特殊ノ電線ヲ使用スルコト

第百三十五條　坑道内ニ施設スル電線ハ之ヲ可撓金屬管ニ收メ又ハ之ヲ堪耐ナル外裝ヲ施シ場合ヲ除クノ外之ト同等以上ノ效力ヲ有スル特殊ノ電線ヲ使用スルコト

第百三十六條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ碍子引錫出工事（以下單ニ錫出工事ト略ス）又ハ金屬管工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百三十七條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百三十八條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百三十九條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十一條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十二條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十三條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十四條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十五條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十六條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十七條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十八條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十九條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百五十條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

經緯絞銅撚線ヲ使用スルコトヲ得

(ロ)　移動シテ使用スル電線ニハ第三種乙可撓絶緣線ヲ使用スルコト

第百二十二條　電球線及移動シテ使用スル低壓電線ノ接續ハ危險ノ虞ナキ様適當ニ施設スルコトヲ要ス（細第八十條）

第百二十三條　溫泉アル場所（細第八十二條）（魚尾、八百屋等ノ水ヲ取扱フ土間又ハ洗場ノ如キ場所ヲ除ク）ニ施設スル低壓電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　碍子引工事ニ依ルコト

二　碍子引工事ニ依ルトキハ第三種絶緣電線ヲ使用スルコト但シ興行場ニ於テハ毎年一回以上試驗シ其ノ成績ヲ記錄スルコトヲ要ス但シ興行場、温泉又ハ濕氣若ハ腐蝕ノ充チ易キ箇所ヲ除クノ外絶緣間ノ試驗ヲ省略スルコトヲ得

第三節　隧道、抗道其ノ他之ニ類スル場所ニ於ケル工事

第百二十五條　腐蝕性瓦斯又ハ溶液ノ發散スル場所ニ於テ低壓電線ヲ使用スルトキハ長岡ヒル場所ニ於ケル操業者ノ外人ノ容易ニ觸ルル虞ナキ様施設スルコトヲ要ス

第百二十六條　爆發又ハ燃燒スル易キ危險ノ物質ヲ發生、製造又ハ貯藏スル場所（細第八十六條）ニ施設スル低壓電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ且危險ノ虞ナキ様適當ニ施設ノ（細第八十七條）スルコトヲ要ス

(イ)　移動シテ使用スル電線ニハ第三種乙可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

(ロ)　可撓絶緣線ヲ使用スルコト

第百二十七條　電球線及移動シテ使用スル低壓電線ノ接續ハ危險ノ虞ナキ様適當ニ施設スルコトヲ要ス（細第八十條）

第百二十八條　電線ハ金屬線樋工事、金屬管工事又ハ鎧裝電纜ヲ用フル電纜工事ニ依リ施設スルコト

特殊ノ事由アル場合ニ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百三十一條　電線ハ金屬線樋工事、金屬管工事又ハ鎧裝電纜ヲ用フル電纜工事ニ依リ施設スルコト

特殊ノ事由アル場合ニ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百三十二條　人ノ常ニ通行スル隧道内ノ低壓電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　金屬管工事又ハ電纜工事ニ依リ施設スル場合ヲ除クノ外電線ハ路面上二・五米以上ノ高サニ於テ一・六糎ノ第二種絶緣軟銅線又ハ之ト同等以上ノ强度及太サヲ有スル電線ヲ使用シ碍子引工事ニ依ルコト

二　電線ハ隧道引込口ニ於テ開閉器ヲ裝置スルコト

第百三十三條　鑛山其ノ他ノ坑道内ノ電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　低壓電線ニハ電纜ヲ使用スル場合ヲ除クノ外一・六糎ノ第四種絶緣軟銅線又ハ之ト同等以上ノ强度及太サヲ有スル電線ヲ使用シ碍子引工事ニ依ルコト

二　電線ハ坑道内ノ造營材トハ六糎以上但シ低壓ニ線式屋内電路ニ使用スルモノニ限リ單極ニ之ヲ裝置スルコトヲ得

三　電線相互間ハ十二糎以上、電線ト線樋トノ間ハ六糎以上但シ低壓ニ線式屋内電路ニ使用スルモノニ限リ單極ニ之ヲ裝置スルコトヲ得

第百三十四條　坑道内ニ施設スル電線ハ之ヲ可撓金屬管ニ收メ又ハ之ヲ堪耐ナル外裝ヲ施シ場合ヲ除クノ外之ト同等以上ノ效力ヲ有スル特殊ノ電線ヲ使用スルコト

第百三十五條　坑道内ニ施設スル電線ハ之ヲ可撓金屬管ニ收メ又ハ之ヲ堪耐ナル外裝ヲ施シ場合ヲ除クノ外之ト同等以上ノ效力ヲ有スル特殊ノ電線ヲ使用スルコト

第百三十六條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ碍子引錫出工事（以下單ニ錫出工事ト略ス）又ハ金屬管工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百三十七條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百三十八條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百三十九條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十一條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十二條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十三條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十四條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十五條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十六條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十七條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十八條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百四十九條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

第百五十條　屋内ニ施設スル低壓電線ハ金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ施設スル場合ニ於テハ第二種可撓絶緣線ヲ使用スルコトヲ得

電氣工作物ハ第百二十六條（第一號ヲ除ク）ノ規定ニ準ジ危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設スルコトヲ要ス

第百三十五條　金屬管工事ニ用フル金屬管及電線ノ接續ニ用フル金屬製ハ之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコトヲ要ス

第百三十六條　電球線又ハ移動シテ使用スル低壓電線ニハ左ニ揭ゲルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　電球線ニハ第三種乙可撓紐線ヲ使用スルコト但シ長サ路面ニ達セザル電球線ニシテ移動セザルモノニ在リテハ第三種甲可撓紐線、長サ路面上二米以上達セザルモノニ在リテハ一種以上ノ第四種絕緣軟銅撚線ヲ使用スルコトヲ得

二　移動シテ使用スル電線ニハ第三種乙可撓紐線ヲ使用スルコト但シ著シク外傷ヲ受クル虞アル場合ハ之ヲ可撓金屬管ニ藏メ又ハ之ニ强靱ナル外裝ヲ施スル場合ヲ除クノ外之ト同等以上ノ效力ヲ有スル特殊電線ヲ使用スルコト

第百三十七條　電線ト弱電流電線、水管其ノ他ノ金屬體トガ接近シ又ハ接行スル場合ハ左ノ距離ヲ保持シテ施設スルコトヲ要ス

一　低壓電線ニ在リテハ十五糎以上但シ電線ヲ充分ナル長サノ碍管內ニ藏ムル場合、電線ヲ厚サ一粍以上ノ金屬管ヲ用フル金屬管工事ニ依リ施設スル場合又ハ鎧裝電纜ヲ用フル電纜工事ニ依リ施設スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

二　高壓電線ニ在リテハ十五糎以上但シ電線ヲ厚サ一粍以上ノ金屬管ヲ用フル金屬管工事ニ依リ施設スル場合ハ六十糎以上

第百三十八條　電線路ハ左ノ絕緣抵抗又ハ絕緣耐力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

一　低壓電線路ノ絕緣部分ト大地トノ間ノ絕緣抵抗ハ囘線ノ全電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ最大供給電流ノ千分ノ一ヲ超過セシメザル樣保持スルコト

二　高壓電線路ト大地トノ間ノ絕緣耐力ハ最大使用電壓ノ一・五倍ノ電壓ヲ以ツ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコト但シ多心電纜ノ場合ニ在リテハ其ノ心線相互間ノ絕緣耐力ヲモ試驗スルモノトス

第四節　臨時工事

第百三十九條　第百四十條乃至第百四十二條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ハ施設後一月ヲ限リ使用スルコトヲ得但シ第百四十一條ニ依ル工事ニシテ第二種絕緣電線ヲ使用スベキ場合ニ第四種絕緣電線ヲ使用スルトキハ施設後四月ヲ限リ使用スルコトヲ得

第百四十條　屋內ノ乾燥シタル展開場所ニ臨時施設スル使用電壓二百五十ヴオルト以下ノ電線ハ電線相互間及電線ト造營材トノ間ノ離隔セズシテ之ヲ施設スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ施設スル電線ニ對シ碍子及ボス、ブッシング其ノ他之ニ類スル器具ハ其ノ使用電壓ニ適スルモノヲ使用シ且電線ヲ損傷スル虞ナキ樣施設スルコトヲ要ス

第百四十一條　使用電壓百五十ヴオルト以下ノ電線ヲ軒下其ノ他家屋ノ外面ニ沿ヒ臨時施設スル場合ニ於テハ左記各號ニ依ルコトヲ要ス

一　電線ニハ一・六粍ノ軟銅線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スルモノヲ使用シ得ヲ引工事ニ依リ施設スル場合ハ電線相互間及電線ト造營材トノ間ヲ左ノ區別ニ依リ離隔スルコト

電線相互間ノ距離	電線ト造營材トノ距離
(イ) 第二種絕緣電線 六糎以上	三糎以上
(ロ) 第三種絕緣電線 三糎以上	六粍以上
(ハ) 第四種絕緣電線ヲ兩端ニ曝露セズ且外物ノ爲ニ損傷スル虞ナキ樣適當ニ施設スル場合ハ	二糎以上

第百四十二條　電線ハ造營材ト間ヲ離隔セズシテ施設スルコトヲ得

二　工事上已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外電線ヲ造營材ノ側面又ハ下面ニ取付ケ且支持點間ノ距離ヲ一米以下ニ爲スコト但シ二粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スルモノヲ使用シ且電線ト造營材トガ接觸ノ虞ナキ樣充分隔離スル場合ニ限リ電線支持點間ノ距離ヲ一米以上ト爲スコトヲ得

三　開閉器、自動遮斷器其ノ他之ニ類スル器具ハ屋內ニ裝設シ又ハ適當ナル防濕裝置ヲ施スコト

四　家屋ノ外面ニ於ケル電氣使用ヲ目的トシテ施設スル電路ハ工事上已ムヲ得ザルモノヲ除クノ外一キロワット以下毎ニ分岐シ且分岐點ニ近キ箇所ニ於テ各分岐囘路毎ニ各極ニ開閉器及自動遮斷器ヲ裝設スルコト

五　前號ノ開閉器及自動遮斷器ハ專用ノモノトシ屋內電路用ノモノト兼用セザルコト

六　電球承口其ノ他ノ承口ニハ陶器又ハ絕緣性耐火質物ヲ以テ製作シタル防水型ノモノヲ使用スルコト

第百四十二條　樹木、裝飾塔、緑門其ノ他之ニ類スルモノニ使用電壓百五十ヴオルト以下ノ電線ヲ臨時施設スル場合ニ於テハ第四種絕緣電線ヲ使用シ電線相互間及電線ト之ヲ取付ケタルモノトノ間ヲ離隔セズシテ施設スルコトヲ得但シ樹木ノ如キ動搖ノ爲電線ヲ損傷スル虞アルモノニ取付ケル場合ニ於テハ其ノ損傷ヲ防止スル爲適當ノ施設ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ電線ノ絕緣抵抗ハ第百一條第二項ノ規定ニ適合セシムルコトヲ要ス

第百四十三條　臨時工事ヲ施設シタルトキハ其ノ使用開始前ニ電線ノ絕緣抵抗ヲ測定シ前項ノ記錄書類ト保存期間ハ第七條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ一年間トス

第四章　電氣鐵道

リ已ムヲ得ザル場合ニ於テハ此ノ制限ヲ六十米迄ニ延長スルコトヲ得

特殊ノ事由ア ル場合ハ遞信局長ノ認可ヲ受ケラ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百五十一條　高壓電車線ハ「カテナリー」式ニ依リテ架設シ其ノ垂吊子ノ間隔ヲ四・五橋梁ノ下部其ノ他之ニ類スル場所ニ施設スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百五十二條　電車線ノ軌條面上ノ高サハ五米以上ト雖凹線ノ全電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ最大供給電流ノ千分ノ一ヲ超過セシメザル樣保持スルコト

二　高壓電線ニ在リテハ十五糎以上但シ電線ヲ充分ナル長サノ碍管內ニ藏ムル場合、電線ヲ厚サ一粍以上ノ金屬管ヲ用フル金屬管工事ニ依リ施設スル場合又ハ鎧裝電纜ヲ用フル電纜工事ニ依リ施設スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十八條　電線路ハ左ノ絕緣抵抗又ハ絕緣耐力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

一　低壓電線路ノ絕緣部分ト大地トノ間ノ絕緣抵抗ハ囘線ノ全電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ最大供給電流ノ千分ノ一ヲ超過セシメザル樣保持スルコト

二　高壓電線路ト大地トノ間ノ絕緣耐力ハ最大使用電壓ノ一・五倍ノ電壓ヲ以ツ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコト但シ多心電纜ノ場合ニ在リテハ其ノ心線相互間ノ絕緣耐力ヲモ試驗スルモノトス

第四節　臨時工事

第百三十九條　第百四十條乃至第百四十二條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ハ施設後一月ヲ限リ使用スルコトヲ得但シ第百四十一條ニ依ル工事ニシテ第二種絕緣電線ヲ使用スベキ場合ニ第四種絕緣電線ヲ使用スルトキハ施設後四月ヲ限リ使用スルコトヲ得

第百四十條　屋內ノ乾燥シタル展開場所ニ臨時施設スル使用電壓二百五十ヴオルト以下ノ電線ハ電線相互間及電線ト造營材トノ間ノ離隔セズシテ之ヲ施設スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ施設スル電線ニ對シ碍子及ボス、ブッシング其ノ他之ニ類スル器具ハ其ノ使用電壓ニ適スルモノヲ使用シ且電線ヲ損傷スル虞ナキ樣施設スルコトヲ要ス

第百四十一條　使用電壓百五十ヴオルト以下ノ電線ヲ軒下其ノ他家屋ノ外面ニ沿ヒ臨時施設スル場合ニ於テハ左記各號ニ依ルコトヲ要ス

一　電線ニハ一・六粍ノ軟銅線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スルモノヲ使用シ得ヲ引工事ニ依リ施設スル場合ハ電線相互間及電線ト造營材トノ間ヲ左ノ區別ニ依リ離隔スルコト

電線相互間ノ距離	電線ト造營材トノ距離
(イ) 第二種絕緣電線 六糎以上	三糎以上
(ロ) 第三種絕緣電線 三糎以上	六粍以上
(ハ) 第四種絕緣電線ヲ兩端ニ曝露セズ且外物ノ爲ニ損傷スル虞ナキ樣適當ニ施設スル場合ハ	二糎以上

第百四十二條　電線ハ造營材ト間ヲ離隔セズシテ施設スルコトヲ得

二　工事上已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外電線ヲ造營材ノ側面又ハ下面ニ取付ケ且支持點間ノ距離ヲ一米以下ニ爲スコト但シ二粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スルモノヲ使用シ且電線ト造營材トガ接觸ノ虞ナキ樣充分隔離スル場合ニ限リ電線支持點間ノ距離ヲ一米以上ト爲スコトヲ得

三　開閉器、自動遮斷器其ノ他之ニ類スル器具ハ屋內ニ裝設シ又ハ適當ナル防濕裝置ヲ施スコト

四　家屋ノ外面ニ於ケル電氣使用ヲ目的トシテ施設スル電路ハ工事上已ムヲ得ザルモノヲ除クノ外一キロワット以下毎ニ分岐シ且分岐點ニ近キ箇所ニ於テ各分岐囘路毎ニ各極ニ開閉器及自動遮斷器ヲ裝設スルコト

五　前號ノ開閉器及自動遮斷器ハ專用ノモノトシ屋內電路用ノモノト兼用セザルコト

六　電球承口其ノ他ノ承口ニハ陶器又ハ絕緣性耐火質物ヲ以テ製作シタル防水型ノモノヲ使用スルコト

第百四十二條　樹木、裝飾塔、緑門其ノ他之ニ類スルモノニ使用電壓百五十ヴオルト以下ノ電線ヲ臨時施設スル場合ニ於テハ第四種絕緣電線ヲ使用シ電線相互間及電線ト之ヲ取付ケタルモノトノ間ヲ離隔セズシテ施設スルコトヲ得但シ樹木ノ如キ動搖ノ爲電線ヲ損傷スル虞アルモノニ取付ケル場合ニ於テハ其ノ損傷ヲ防止スル爲適當ノ施設ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ電線ノ絕緣抵抗ハ第百一條第二項ノ規定ニ適合セシムルコトヲ要ス

第百四十三條　臨時工事ヲ施設シタルトキハ其ノ使用開始前ニ電線ノ絕緣抵抗ヲ測定シ前項ノ記錄書類ト保存期間ハ第七條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ一年間トス

第四章　電氣鐵道

道其ノ他人ノ容易ニ立入ラザル專用敷地內ノ鐵道ニ限リ之ヲ施設スルコトヲ得

特殊ノ設計ニ依ル場合ニ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百五十六條　第三軌條ハ人ノ容易ニ接觸セザル樣之ヲ防護スルコトヲ要ス

第百五十七條　饋電線ト第三軌條トノ接續線及第三軌條相互ヲ接續スル電線（「ボンド」ヲ合マズ）ニハ鎧裝電纜又ハ鉛被電纜ヲ使用スルコトヲ要ス

第百五十八條　電車線路又ハ第三軌條ノ絕緣部分ノ絕緣抵抗ハ其ノ最大使用電壓ニ對シ漏洩電流ヲシテ軌道ノ延長一粁ニ付電車線ニ在リテハ十ミリアムペア、第三軌條ニ在リテハ百ミリアムペアヲ超過セザル樣保持スルコトヲ要ス

前項ノ絕緣抵抗ハ架空複線式電車線ニ在リテハ兩電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ニテ之ヲ測定スルモノトス

第一項ノ漏洩電流ガ軌道ノ延長一粁ニ付電車線ニ在リテハ二百五十ミリアムペア、第四時間ヲ過グルモノヲ除去スルコト能ハザルトキハ送電ヲ機續スルコトヲ得ザル場合ヲ除クノ外每日送電前之ヲ測定シ其ノ成績ヲ記錄スルコトヲ要ス

第三節　歸線

第百五十九條　歸線（架空單線式又ハ第三軌條式電氣鐵道ノ軌條又ハ其ノ軌條ニ接續スル電線ヲ總稱ス以下之ニ同ジ）ハ軌條間及軌條ノ外側三十糎以內ニ敷設スル部分ヲ除クノ外總テ之ヲ大地ヨリ絕緣スルコトヲ要ス但シ土地ノ狀況ニ依リ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ其ノ一部ヲ大地ヨリ絕緣セザルコトヲ得

第百六十條　架空絕緣歸線ハ架空複電線路ニ準ジ施設スルコトヲ要ス

第百六十一條　歸線タル軌條ハ熔接（縫目板ノ熔接ヲ含ム）又ハ特殊ノ方法（細第九十六條）ニ依リ之ヲ爲スコト但シ軌條ノ縫目五箇以下每ニ一箇ノ割合ヲ以テ之ニ銅線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スルモノヲ以テ接續スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二　歸線ノ不絕緣部分ニ其ノ一年間ノ平均電流ヲ通ズルトキ生ズル電位ノ差ハ常該區間內ノ軌レノ二點間ニ於テモ二ヴオルトヲ超過セシメザルコト（細第九十五條）

五　歸線ノ不絕緣部分ニ生ズル最大電位差ヲ自動的ニ記錄スル裝置ヲ施スコト

前項ノ當該區間ト一變電所ノ饋電區域內ニ於ケル當該地中管路ヨリ一粁以內ニ在ル一ノ連續シタル歸線ノ部分ヲ謂フ但シ歸線ト地中管路トガ百米以內ニ於テ二箇以上接近スルトキハ其ノ接近部分ノ中間ニ於テ離隔距離ガ一粁ヲ超過スルコトアルモ其ノ全部ヲ一區間トス

地中管路ノ種類ニ依リ遞信局長ノ認可ヲ受ケタルトキ又ハ地中管路管理者ノ承諾ヲ得タルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラズ之ヲ施設スルコトヲ得

第百六十二條　直流式電氣鐵道ノ歸線ノ不絕緣部分ト金屬製地中管路トガ接近シ又ハ交叉スル場合ニ於テハ相互間ノ距離ヲ二米以上ト爲スコトヲ要ス但シ工事上已ムヲ得ザル特殊ノ施設（細第九十四條）ニ依ル場合又ハ遞信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

歸線及金屬製管路ヲ同一鐵橋ニ敷設スル場合ハ歸線ト金屬製管路トノ間ニ絕緣材ヲ挿入スル場所ニ施設スルコトヲ要ス

第百六十三條　直流式電氣鐵道ノ歸線ノ不絕緣部分ト金屬製地中管路トガ一粁以內ニ接近スルトキハ第百六十四條ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外障害ヲ防止スル爲適當ナル方法ヲ講ズルコトヲ要ス

第百六十四條　專用敷地內ニ歸線ノ不絕緣部分ト土壤トノ間ヲ砂利（厚サ三十糎以上）、杭木等ヲ以テ充分ニ離隔シテ敷設スル直流式電氣鐵道ノ軌道ト金屬製地中管路トガ一粁以內ニ接近スルトキハ障害ヲ防止スル爲當該區間ノ歸線ハ前條第一項第一號、第二號、第五號及左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　軌條ノ接續ハ熔接（縫目板ノ熔接ヲ含ム）又ハ特殊ノ方法（細第九十六條）ニ依リ之ヲ爲スコト但シ軌條ノ縫目五箇以下每ニ一箇ノ割合ヲ以テ銅線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スル銅線又ハ之ト同等以上ノ導電力ヲ有スル接續スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二　歸線ノ不絕緣部分ニ其ノ一年間ノ平均電流ヲ通ズルトキ生ズル電位ノ差ハ軌道ノ互長一粁ニ付二・五ヴオルトヲ超過セシメザル且當該區間內何レノ二點間ニ於テモ十五ヴオルトヲ超過セシメザルコト（細第九十五條）

前項ニ於テ當該區間ト一變電所ノ饋電區域內ニ於テ當該地中管路ヨリ二粁以內ノ距離ニ在ル一ノ連續シタル歸線ノ部分ヲ謂フ

第一項ノ場合ニ於テハ前條第三項及第四項ノ規定ヲ準用ス

第一項ニ依リ施設スルモ猶障害ヲ及ボス虞アルトキハ更ニ適當ナル防止方法ヲ施スコトヲ要ス

第百六十五條　歸線ハ其ノ不絕緣部分及之ト

大地トノ間ニ生ズル最大電位ノ差ニ依リ路切其ノ他公衆ノ通行スル場所ニ於テ人畜ニ危險ヲ及ボサヾル樣ニ施設スルコトヲ要ス

第百六十六條　地中管路管理者ノ承諾アリタルトキハ逓信局長ノ認可ヲ受ケテ歩線ト地中管路トノ電氣的接續ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ電氣的接續ヲ爲シタルトキハ三月毎ニ一回以上其ノ接續點ヲ試驗シ其ノ成績ヲ記錄スルコトヲ要ス

第四節　電車

第百六十七條　電車內ノ電流ト大地トノ間ニ於ケル絕緣抵抗ハ漏洩電流ヲシテ低壓ノ場合ハ規定電流ノ五千分ノ一、高壓ノ場合ハ規定電流ノ一萬分ノ一ヲ超過セシメザル樣保持スルコトヲ要ス

前項ノ絕緣抵抗ハ每月一回以上最大使用電壓ヲ以テ試驗シ其ノ成績ヲ記錄スルコトヲ要ス

第百六十八條　車輛內ニ於テ電流ノ通ズル部分ハ操業者ノ外容易ニ人ノ觸ルル虞ナキ樣施設スルコトヲ要ス

第二編　鐵則

第一章　總則

第一節　適用範圍及器具

第一條　低壓又ハ高壓用ノ器具ヲ取付ケル盤ハ又可燃質物又ハ耐水性又易燃質ノ塗料ヲ施シタル絕緣ナル木材ヲ以テ製作シタルモノナルコトヲ要ス但シ低壓三十アムペア以下ノ需用者屋內配電盤ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　配電盤ニ取付ケル器具及接續電線（管內ニ裸メタル電線及纜裝電纜ヲ除ク）ハ容易ニ點檢シ得ル樣施設スルコトヲ要ス但低壓三十アムペア以下ノ需用者屋內配電盤ニシテ施設ノ場所乾燥シ且其ノ裏面ノ接續電線ニ第四種絕緣電線ヲ使用シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三條　配電盤ニ取付ケル器具及接續電線ハ又ハ之ト隔離シテ施設スルニ非ザレバ容易ニ觸レ得ル虞ナキ樣施設スルコトヲ要ス

第四條　開閉器、自動遮斷器、抵抗器其ノ他之ニ類スル器具ニハ其ノ使用電流及電壓ヲ表示スルコトヲ要ス但シ細則第十一條第一號ノ可燒片ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　本則第九條第一項ノ特殊ノモノトハ「オイルスイッチ」等燈用變壓器ノ如キモノヲ謂フ

第六條　本則第十一條第一項ノ適當ニ施設スルトハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　特別高壓側ニ開閉器及自動遮斷器ヲ設置スルコト

二　變壓器ノ二次電壓ガ高壓ノ場合ハ變壓器ヲ設置シタル場所ニ隣接シテ監視人ヲ常置スル詰所ヲ設置シ高壓側ノ檢溫器ヲ其ノ內ニ取リ付ケルコト

三　變壓器ノ二次電壓ガ高壓ノ場合ハ高壓側ニ地上ヨリ容易ニ開閉シ得ル油入開閉器ヲ設備スルコト

第七條　本則第十二條第三項ノ適當ニ施設シタル場合トハ左ノ如キ場合ヲ謂フ

一　需用者ノ構內ニ設置スル架空線用變壓器ニシテ人ノ接觸ヲ防止スルニ充分ナル離隔ヲ設ケル場合

二　地中線用變壓器ヲ變壓器塔上ニ施設スル場合ニシテ變壓器及其ノ高壓側ノ充電部分ヲ地表上三米以上ノ高サニ保持シ且變壓器ノ外廓並ニ電纜及附屬物ヲ被メタル金屬體ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スル場合

第八條　本則第十三條ノ特殊ノ場合トハ左ノ如キ場合ヲ謂フ

一　電氣爐又ハ之ニ類スルモノニ供給スル爲使用スル場合

二　變電所、變電所、開閉所等ニ於テ所內用本則第十三條但書ノ適當ニ施設ストハ使用電壓一萬ヴォルト以上ノ變壓器ニ在リテハ變壓器內部ノ故障ニ因リ自動的ニ變壓器ヲ電路ヨリ遮斷シ得ル保安裝置ヲ設備スル如キヲ謂フ

第九條　本則第十四條第一項但書ノ適當ノ施設ヲ謂フハ左ノ如キ場合ヲ謂フ

一　鐵塔又ハ外廓ノ周圍ニ作業者ノ絕緣靴ヲ使用セザル場合

二　高壓用柱上變壓器ヲ人ノ觸ルル虞ナキ樣施設シタル場合

三　低壓用ノ機械器具ヲ乾燥セル木製ノ床其ノ他之ニ類スル絕緣性ノ物ノ上ヨリ取扱フ樣施設シタル場合

第十條　本則第十七條第一項ノ非包裝可熔片ハ左ノ試驗（使用場所ニ取付前ノ試驗）ニ適合スルモノトス

一　低壓ニ使用スル定格電流二百アムペア以下ノ非包裝可熔片ハ板面ヲ水平ニ取付ケテ（板狀可熔片ハ板面ヲ水平ニ竪スコト）試驗シ五分間以上定格電流ノ一、四五倍ノ電流ニ耐ヘ一分間以內ニテ二倍ノ電流ニ依リ熔斷スルコト

二　高壓ニ使用スル非包裝可熔片ハ二分間以內ニ定格電流ノ二倍ノ電流ニ依リ熔斷スルコト

第十一條　本則第十七條第二項ノ特殊ノモノトハ左ノ如キモノヲ謂フ

一　絕線吊內ニ裝置スル定格電流五アムペア以下ノ非包裝可熔片

二　硬キ金屬性ニシテ其ノ兩端ヲ端片ニ代用シ得ル板狀可熔片

三　硬キ金屬性ニシテ左ノ長サ以上ノ非包裝可熔片

定格電流	長サ（端子間）
十アムペア未滿	十糎
二十アムペア未滿	十二糎
三十アムペア未滿	十五糎

第二節　電線、電路及附屬設備

第十二條　第一種絕緣電線ハ電線ヲ良質且强靱ナル燃綿絲其ノ他之ト同等以上ノ物質ヲ以テ一回緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノニシテ其ノ被覆物ノ厚サ〇・七五耗以上ノモノトス

第十三條　第二種絕緣電線ハ電線ヲ良質且强靱ナル燃綿絲其ノ他之ト同等以上ノ物質ヲ以テ二回緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノニシテ其ノ被覆物ノ厚サ一・五耗以上ノモノトス

第十四條　第一種及第二種絕緣電線ハ左ノ各號ノ試驗ニ適合スルモノトス

一　供試驗ヲ白色棉紙上ニ載セ攝氏六十度ノ空氣中ニ三十分間放置スルモ紙面上ニ油狀ノ浸潤ヲ印セザルコト

二　供試線ヲ攝氏零下十五度ノ生寒劑中ニ十分間浸漬スルモ混和物ハ其ノ表面ニ龜裂ヲ生ゼザルコト

三　至三十度ノ溫度ニ於テ之ヲ其ノ仕上リ外徑ノ三倍ノ直徑ナル有スル圓壔上ニ緊密ニ十回以上捲捺スルモ其ノ編組被覆物ニ異狀ヲ認メズ且離脫セザルコト

第十五條　第三種絕緣電線ハ電線ヲ軸「ゴム」ナルヘ「パーセント」以上ヲ含有スル品質均一ナル「ゴム」混合物ヲ以テ左表ノ厚サ以上ノ被覆ヲ施シ更ニ〇・五耗以上ノ厚サニ燃綿絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノトス但シ學螢カ撚線又ハ三・二耗以上ノ單線ナル場合ニ於テハ「ゴム」混合物ノ上ヲ左表ノ厚サ以上ノ「ゴム」引綿「テープ」ヲ以テ重複捲捺シタル後完全ニ硫化ヲ施シ其ノ上ニ編組ヲ施スモノトス

電線ノ斷面積（平方耗）	被覆ノ厚サ（耗）
1000	2.0
850	〃
725	〃
600	〃
500	1.8
400	〃
325	〃
250	〃
200	1.7
150	〃
125	〃
100	〃
80	1.6
60	〃
50	〃
38	〃
30	1.5
22	〃
14	〃
8	〃
5.5	1.4
3.5	〃
2.0	〃
1.4	〃
0.9	1.3

第三節　電線路

第十六條　第四種絕緣電線（六百ヴォルト以下ニ使用スルモノノ）ハ電線ヲ純「ゴム」三十「パーセント」以上ヲ含有スル品質均一ナル白黑二層ノ「ゴム」混合物ヲ以テ左表ノ厚サ以上ニ被覆シ更ニ左表ノ厚サ以上ノ「ゴム」引綿「テープ」ヲ重複捲捺シタル後完全ニ硫化ヲ施シ更ニ〇・五耗以上ノ厚サニ燃綿絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノトス

第四種絕緣電線ハ一卷ノ盤十二時間浸水シタル後左表ニ示ス交流電壓ヲ以テ絕緣耐力ヲ試驗シ一分間以上之ニ耐フルモノトス

第一項ノ「ゴム」混合物ハ左ノ各號ニ依ル化學的及物理的性質ヲ有スルモノトス

一　「アセトン」ニテ浸出シタルトキ其ノ浸出量六「パーセント」以下ナルコト

二　供試線ヨリ「ゴム」混合物ヲ約百耗抽出シ其ノ中央ニ五十耗ノ長サヲ印シ之ヲ二倍ノ長サニ伸長シ其ノ盤一分間支持シタル後放置シ十分間經過後ニ於テ永久伸長率二十「パーセント」以下ナルコト

電線ノ斷面積（平方耗）	被覆ノ厚サ（耗）
12.0	2.0
10.0	1.8
9.0	1.7
8.0	1.6
7.0	1.5
6.5	1.4
6.0	1.4
5.5	1.3
5.0	1.3
4.5	1.2
4.0	1.2
3.5	1.1
3.2	〃
2.9	〃
2.6	〃
2.3	〃
2.0	〃
1.8	〃
1.6	〃
1.4	〃
1.2	1.0
1.0	〃

第四節　電車

第十七條　本則第十四條第一項但書ノ適當ノ施設ヲ謂フハ左ノ如キ場合ヲ謂フ

一　鐵塔又ハ外廓ノ周圍ニ作業者ノ絕緣靴ヲ使用セザル場合

二　高壓用柱上變壓器ヲ人ノ觸ルル虞ナキ樣施設シタル場合

三　低壓用ノ機械器具ヲ乾燥セル木製ノ床其ノ他之ニ類スル絕緣性ノ物ノ上ヨリ取扱フ樣施設シタル場合

第十八條　本則第十七條第一項ノ非包裝可熔片ハ左ノ試驗（使用場所ニ取付前ノ試驗）ニ適合スルモノトス

一　低壓ニ使用スル定格電流二百アムペア以下ノ非包裝可熔片ハ板面ヲ水平ニ取付ケテ（板狀可熔片ハ板面ヲ水平ニ竪スコト）試驗シ五分間以上定格電流ノ一、四五倍ノ電流ニ耐ヘ一分間以內ニテ二倍ノ電流ニ依リ熔斷スルコト

二　高壓ニ使用スル非包裝可熔片ハ二分間以內ニ定格電流ノ二倍ノ電流ニ依リ熔斷スルコト

第十九條　本則第十七條第二項ノ特殊ノモノトハ左ノ如キモノヲ謂フ

一　絕線吊內ニ裝置スル定格電流五アムペア以下ノ非包裝可熔片

二　硬キ金屬性ニシテ其ノ兩端ヲ端片ニ代用シ得ル板狀可熔片

三　硬キ金屬性ニシテ左ノ長サ以上ノ非包裝可熔片

定格電流	長サ（端子間）
十アムペア未滿	十糎
二十アムペア未滿	十二糎
三十アムペア未滿	十五糎

第五節　電線路及附屬設備

第二十條　第一種絕緣電線ハ電線ヲ良質且强靱ナル燃綿絲其ノ他之ト同等以上ノ物質ヲ以テ一回緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノニシテ其ノ被覆物ノ厚サ〇・七五耗以上ノモノトス

第二十一條　第二種絕緣電線ハ電線ヲ良質且强靱ナル燃綿絲其ノ他之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノニシテ其ノ被覆物ノ厚サ一・五耗以上ノモノトス

第二十二條　第三種絕緣電線ハ電線ヲ軸「ゴム」ナルヘ「パーセント」以上ヲ含有スル品質均一ナル「ゴム」混合物ヲ以テ左表ノ厚サ以上ノ被覆ヲ施シ更ニ〇・五耗以上ノ厚サニ燃綿絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノトス但シ學螢カ撚線又ハ三・二耗以上ノ單線ナル場合ニ於テハ「ゴム」混合物ノ上ヲ左表ノ厚サ以上ノ「ゴム」引綿「テープ」ヲ以テ重複捲捺シタル後完全ニ硫化ヲ施シ其ノ上ニ編組ヲ施スモノトス

電線ノ斷面積（平方耗）	被覆ノ厚サ（耗）
1000	2.0
850	〃
725	〃
600	〃
500	1.8
400	〃
325	〃
250	〃
200	1.7
150	〃
125	〃
100	〃
80	1.6
60	〃
50	〃
38	〃
30	1.5
22	〃
14	〃
8	〃
5.5	1.4
3.5	〃
2.0	〃
1.4	〃
0.9	1.3

第六節　電線

第二十三條　第四種絕緣電線ハ一卷ノ盤十二時間浸水シタル後左表ニ示ス交流電壓ヲ以テ絕緣耐力ヲ試驗シ一分間以上之ニ耐フルモノトス

第一項ノ「ゴム」混合物ハ左ノ各號ニ依ル化學的及物理的性質ヲ有スルモノトス

一　「アセトン」ニテ浸出シタルトキ其ノ浸出量六「パーセント」以下ナルコト

二　供試線ヨリ「ゴム」混合物ヲ約百耗抽出シ其ノ中央ニ五十耗ノ長サヲ印シ之ヲ二倍ノ長サニ伸長シ其ノ盤一分間支持シタル後放置シ十分間經過後ニ於テ永久伸長率二十五「パーセント」以下ナルコト

電線ノ斷面積（平方耗）	被覆ノ厚サ（耗）
12.0	2.0
10.0	1.8
9.0	1.7
8.0	1.6
7.0	1.5
6.5	1.4
6.0	1.4
5.5	1.3
5.0	1.3
4.5	1.2
4.0	1.2
3.5	1.1
3.2	〃
2.9	〃
2.6	〃
2.3	〃
2.0	〃
1.8	〃
1.6	〃
1.4	〃
1.2	1.0
1.0	〃

第七節　電線路及附屬設備

第二十四條　第一種絕緣電線ハ電線ヲ良質且强靱ナル燃綿絲其ノ他之ト同等以上ノ物質ヲ以テ一回緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノニシテ其ノ被覆物ノ厚サ〇・七五耗以上ノモノトス

第二十五條　第二種絕緣電線ハ電線ヲ良質且强靱ナル燃綿絲其ノ他之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノニシテ其ノ被覆物ノ厚サ一・五耗以上ノモノトス

第二十六條　第三種絕緣電線ハ電線ヲ軸「ゴム」ナルヘ「パーセント」以上ヲ含有スル品質均一ナル「ゴム」混合物ヲ以テ左表ノ厚サ以上ノ被覆ヲ施シ更ニ〇・五耗以上ノ厚サニ燃綿絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノトス但シ學螢カ撚線又ハ三・二耗以上ノ單線ナル場合ニ於テハ「ゴム」混合物ノ上ヲ左表ノ厚サ以上ノ「ゴム」引綿「テープ」ヲ以テ重複捲捺シタル後完全ニ硫化ヲ施シ其ノ上ニ編組ヲ施スモノトス

電線ノ斷面積（平方耗）	被覆ノ厚サ（耗）
1000	2.0
850	〃
725	〃
600	〃
500	1.8
400	〃
325	〃
250	〃
200	1.7
150	〃
125	〃
100	〃
80	1.6
60	〃
50	〃
38	〃
30	1.5
22	〃
14	〃
8	〃
5.5	1.4
3.5	〃
2.0	〃
1.4	〃
0.9	1.3

第八節　電線

第二十七條　第四種絕緣電線ハ一卷ノ盤十二時間浸水シタル後左表ニ示ス交流電壓ヲ以テ絕緣耐力ヲ試驗シ一分間以上之ニ耐フルモノトス

第一項ノ「ゴム」混合物ハ左ノ各號ニ依ル化學的及物理的性質ヲ有スルモノトス

一　「アセトン」ニテ浸出シタルトキ其ノ浸出量六「パーセント」以下ナルコト

二　供試線ヨリ「ゴム」混合物ヲ約百耗抽出シ其ノ中央ニ五十耗ノ長サヲ印シ之ヲ二倍ノ長サニ伸長シ其ノ盤一分間支持シタル後放置シ十分間經過後ニ於テ永久伸長率二十五「パーセント」以下ナルコト

電線ノ斷面積（平方耗）	被覆ノ厚サ（耗）
12.0	2.0
10.0	1.8
9.0	1.7
8.0	1.6
7.0	1.5
6.5	1.4
6.0	1.4
5.5	1.3
5.0	1.3
4.5	1.2
4.0	1.2
3.5	1.1
3.2	〃
2.9	〃
2.6	〃
2.3	〃
2.0	〃
1.8	〃
1.6	〃
1.4	〃
1.2	1.0
1.0	〃

第九節　電線路及附屬設備

第二十八條　本則第十四條第一項但書ノ適當ノ施設ヲ謂フハ左ノ如キ場合ヲ謂フ

一　鐵塔又ハ外廓ノ周圍ニ作業者ノ絕緣靴ヲ使用セザル場合

二　高壓用柱上變壓器ヲ人ノ觸ルル虞ナキ樣施設シタル場合

三　低壓用ノ機械器具ヲ乾燥セル木製ノ床其ノ他之ニ類スル絕緣性ノ物ノ上ヨリ取扱フ樣施設シタル場合

第二十九條　本則第十七條第一項ノ非包裝可熔片ハ左ノ試驗（使用場所ニ取付前ノ試驗）ニ適合スルモノトス

一　低壓ニ使用スル定格電流二百アムペア以下ノ非包裝可熔片ハ板面ヲ水平ニ取付ケテ（板狀可熔片ハ板面ヲ水平ニ竪スコト）試驗シ五分間以上定格電流ノ一、四五倍ノ電流ニ耐ヘ一分間以內ニテ二倍ノ電流ニ依リ熔斷スルコト

二　高壓ニ使用スル非包裝可熔片ハ二分間以內ニ定格電流ノ二倍ノ電流ニ依リ熔斷スルコト

第三十條　本則第十七條第二項ノ特殊ノモノトハ左ノ如キモノヲ謂フ

一　絕線吊內ニ裝置スル定格電流五アムペア以下ノ非包裝可熔片

二　硬キ金屬性ニシテ其ノ兩端ヲ端片ニ代用シ得ル板狀可熔片

三　硬キ金屬性ニシテ左ノ長サ以上ノ非包裝可熔片

定格電流	長サ（端子間）
十アムペア未滿	十糎
二十アムペア未滿	十二糎
三十アムペア未滿	十五糎

第十節　電線路及附屬設備

第三十一條　第一種絕緣電線ハ電線ヲ良質且强靱ナル燃綿絲其ノ他之ト同等以上ノ物質ヲ以テ一回緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノニシテ其ノ被覆物ノ厚サ〇・七五耗以上ノモノトス

第三十二條　第二種絕緣電線ハ電線ヲ良質且强靱ナル燃綿絲其ノ他之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノニシテ其ノ被覆物ノ厚サ一・五耗以上ノモノトス

第三十三條　第三種絕緣電線ハ電線ヲ軸「ゴム」ナルヘ「パーセント」以上ヲ含有スル品質均一ナル「ゴム」混合物ヲ以テ左表ノ厚サ以上ノ被覆ヲ施シ更ニ〇・五耗以上ノ厚サニ燃綿絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノトス但シ學螢カ撚線又ハ三・二耗以上ノ單線ナル場合ニ於テハ「ゴム」混合物ノ上ヲ左表ノ厚サ以上ノ「ゴム」引綿「テープ」ヲ以テ重複捲捺シタル後完全ニ硫化ヲ施シ其ノ上ニ編組ヲ施スモノトス

電線ノ斷面積（平方耗）	被覆ノ厚サ（耗）
1000	2.0
850	〃
725	〃
600	〃
500	1.8
400	〃
325	〃
250	〃
200	1.7
150	〃
125	〃
100	〃
80	1.6
60	〃
50	〃
38	〃
30	1.5
22	〃
14	〃
8	〃
5.5	1.4
3.5	〃
2.0	〃
1.4	〃
0.9	1.3

第十一節　電線

第三十四條　第四種絕緣電線ハ一卷ノ盤十二時間浸水シタル後左表ニ示ス交流電壓ヲ以テ絕緣耐力ヲ試驗シ一分間以上之ニ耐フルモノトス

第一項ノ「ゴム」混合物ハ左ノ各號ニ依ル化學的及物理的性質ヲ有スルモノトス

一　「アセトン」ニテ浸出シタルトキ其ノ浸出量六「パーセント」以下ナルコト

二　供試線ヨリ「ゴム」混合物ヲ約百耗抽出シ其ノ中央ニ五十耗ノ長サヲ印シ之ヲ二倍ノ長サニ伸長シ其ノ盤一分間支持シタル後放置シ十分間經過後ニ於テ永久伸長率二十五「パーセント」以下ナルコト

電線ノ斷面積（平方耗）	被覆ノ厚サ（耗）
12.0	2.0
10.0	1.8
9.0	1.7
8.0	1.6
7.0	1.5
6.5	1.4
6.0	1.4
5.5	1.3
5.0	1.3
4.5	1.2
4.0	1.2
3.5	1.1
3.2	〃
2.9	〃
2.6	〃
2.3	〃
2.0	〃
1.8	〃
1.6	〃
1.4	〃
1.2	1.0
1.0	〃

第十二節　電線

第三十五條　第四種絕緣電線ハ一卷ノ盤十二時間浸水シタル後左表ニ示ス交流電壓ヲ以テ絕緣耐力ヲ試驗シ一分間以上之ニ耐フルモノトス

第一項ノ「ゴム」混合物ハ左ノ各號ニ依ル化學的及物理的性質ヲ有スルモノトス

一　「アセトン」ニテ浸出シタルトキ其ノ浸出量六「パーセント」以下ナルコト

二　供試線ヨリ「ゴム」混合物ヲ約百耗抽出シ其ノ中央ニ五十耗ノ長サヲ印シ之ヲ二倍ノ長サニ伸長シ其ノ盤一分間支持シタル後放置シ十分間經過後ニ於テ永久伸長率二十五「パーセント」以下ナルコト

電線ノ斷面積（平方耗）	被覆ノ厚サ（耗）
12.0	2.0
10.0	1.8
9.0	1.7
8.0	1.6
7.0	1.5
6.5	1.4
6.0	1.4
5.5	1.3
5.0	1.3
4.5	1.2
4.0	1.2
3.5	1.1
3.2	〃
2.9	〃
2.6	〃
2.3	〃
2.0	〃
1.8	〃
1.6	〃
1.4	〃
1.2	1.0
1.0	〃

（部ノ線單）　線電絲絕種三第

導體ノ斷面積（平方耗）	「ゴム」混合物ノ厚サ（耗）	「テープ」ノ厚サ（耗）	絕緣抵抗15°C（メグオーム／粁）	試驗電壓（ヴォルト）
12.0	2.0	0.35	250	2000
10.0	1.8	〃	〃	〃
9.0	1.7	〃	〃	〃
8.0	1.6	〃	〃	〃
7.0	1.5	0.25	〃	〃
6.5	1.4	〃	〃	〃
6.0	1.4	〃	300	2500
5.5	1.3	〃	〃	〃
5.0	1.3	〃	〃	〃
4.5	1.2	〃	〃	〃
4.0	1.2	〃	〃	〃
3.5	1.1	〃	400	1500
3.2	〃	〃	〃	〃
2.9	〃	〃	〃	〃
2.6	〃	〃	〃	〃
2.3	〃	〃	〃	〃
2.0	〃	〃	〃	〃
1.8	〃	〃	〃	〃
1.6	〃	〃	〃	〃
1.4	〃	〃	〃	〃
1.2	1.0	〃	〃	〃
1.0	〃	〃	〃	〃

＊「ゴム」混合物ノ厚サ＋導體ノ直徑（或ハ斷面ノ差公ノ厚サ）＋「ゴム」混合物ノ厚サ＋「テープ」ノ厚サ＋絕緣體ノ厚サ＝電線ノ外徑

（部ノ線燃）　線電絲絕種三第

導體ノ斷面積（平方耗）	「ゴム」混合物ノ厚サ（耗）	「テープ」ノ厚サ（耗）	絕緣抵抗15°C（メグオーム／粁）	試驗電壓（ヴォルト）
12.0	4.0	0.5	160	3500
10.0	3.8	〃	〃	〃
9.0	3.6	〃	〃	〃
8.0	3.5	〃	〃	〃
7.0	3.3	〃	〃	〃
6.5	3.2	〃	〃	〃
6.0	3.1	〃	〃	〃
5.5	2.8	〃	〃	3000
5.0	2.6	0.35	〃	〃
4.5	2.4	〃	〃	〃
4.0	2.2	〃	〃	〃
3.5	2.1	〃	〃	2500
3.2	1.9	〃	〃	〃
2.9	1.8	〃	〃	〃
2.6	1.7	〃	〃	〃
2.3	1.5	〃	300	2000
2.0	1.5	0.25	〃	〃
1.8	1.4	〃	〃	〃
1.6	1.2	〃	〃	〃
1.4	1.1	〃	400	1500
1.2	1.1	〃	〃	〃
1.0	1.1	〃	〃	〃
0.8	1.1	〃	〃	〃
0.6	1.1	〃	〃	〃
0.5	1.0	〃	〃	〃
0.4	1.0	〃	〃	〃

＊「ゴム」混合物ノ厚サ＋導體ノ直徑（或ハ斷面ノ差公ノ厚サ）＋「ゴム」混合物ノ厚サ＝電線ノ外徑

（部ノ線單）　線電絲絕種四第

電壓（ヴォルト）	試驗	絕緣抵抗15°C（メグオーム／粁）	「テープ」ノ厚サ（耗）	「ゴム」混合物ノ厚サ（耗）	導體ノ直徑（耗）
2500	〃	500	0.35	2.0	12.0
〃	〃	〃	〃	1.8	10.0
〃	〃	〃	〃	1.7	9.0
〃	〃	〃	〃	1.6	8.0
〃	〃	〃	0.25	1.5	7.0
〃	〃	〃	〃	1.4	6.5
2000	〃	600	〃	1.4	6.0
〃	〃	〃	〃	1.3	5.5
〃	〃	〃	〃	1.3	5.0
〃	〃	〃	〃	1.2	4.5
〃	〃	〃	〃	1.2	4.0
1500	〃	800	〃	1.1	3.5
〃	〃	〃	〃	〃	3.2
〃	〃	〃	〃	〃	2.9
〃	〃	〃	〃	〃	2.6
〃	〃	〃	〃	〃	2.3
〃	〃	〃	〃	〃	2.0
〃	〃	〃	〃	〃	1.8
〃	〃	〃	〃	〃	1.6
〃	〃	〃	〃	〃	1.4
〃	〃	〃	〃	1.0	1.2
〃	〃	〃	〃	〃	1.0

＊「ゴム」混合物ノ厚サ＋導體ノ直徑（或ハ斷面ノ差公ノ厚サ）＋「ゴム」混合物ノ厚サ＝電線ノ外徑

第十七條　第一種可撓絕線ハ錫鍍シタル〇・一八粍ノ軟銅線三十五本以上又ハ〇・二三粍ノ軟銅線八十四本以上ヨリ成ル導體ヲ綿絲又ハ紙帶ニテ總撚シ更ニ絕「ゴム」三十「パーセント」以上ヲ含有シ且一・五以上ノ比重ヲ有スル品質均一ナル「ゴム」混合物ヲ以テ導體ノ太サニ從ヒ左表ノ原サ以上ニ被覆シ更ニ紙帶ヲ重複總撚シ完全ニ硫化ヲ施シ其ノ上ヲ綿絲「カタン」絲、絹絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シタルモノトス

導體		「ゴム」混合物ノ最小厚サ	
構造	切斷面積（平方粍）		
1/0.23	0.13	5.5	1.00
1/0.31	0.24	3.5	1.00
7/0.18	0.18	2.0	0.80
7/0.13	0.13	1.4	0.80
7/0.13	0.13	0.9	0.65

第一種可撓絕線ハ左ノ各號ノ試驗ニ適合スルモノトス

一　一卷ノ値淺水セザル狀態ニ於テ兩導體間ノ絕緣耐力チ交流三千ヴォルトノ電壓ヲ以テ試驗シ一分間以上之ニ耐フルコト

二　長サ一米ノ供試線ヲ二十四時間淺水シタル後交流千ヴォルトノ電壓ヲ以テ試驗シ一分間以上之ニ耐フルコト

第十八條　第二種可撓絕線ハ前條ニ規定シタル構造ヲ有スル線心ニ更ニ「ゴム」引絞「テープ」ヲ總捲シ（此ノ場合ハ「ゴム」被覆上ノ紙帶ヲ省略スルコトチ得）又ハ綿絲ヲ以テ下打編組ヲ施シタルモノ二條チ綿絲其ノ他ノ軟性纖維質物ト共ニ撚合セ圓壔形ニ仕上ゲ之ニ綿絲「カタン」絲、絹絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ上打編組ヲ施シタルモノニシテ前條第二項ノ絕緣耐力試驗ニ適合スルモノトス

第十九條　第三種甲可撓絕線ハ第一種可撓絕線（綿絲ノ編組ヲ施シタルモノ）ノ編組被覆ニ絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面チ平滑ナラシメタルモノトス

第二十條　第三種乙可撓絕線ハ第二種可撓絕線（綿絲ノ編組ヲ施シタルモノ）ノ編組被覆ニ絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノトス

第二十一條　第四種可撓絕線ハ錫鍍シタル〇・一六粍ノ軟銅線二十本ヨリ成ル導體チ綿絲ニテ總撚シ更ニ純「ゴム」三十「パーセント」以上チ含有シ且一・五以上ノ比重ヲ有スル品質均一ナル「ゴム」混合物ヲ以テ被覆シ更ニ綿絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シタルモノトス

第二十二條　細則第十七條、第十八條及前條ノ「ゴム」混合物ハ供試線ヨリ「ゴム」混合物ヲ約百粍抽出シ其ノ中央ニ五十粍ノ長サヲ印シ之ヲ二倍ノ長サニ伸長シ其ノ儘一分間支持シタル後放置シ十分間經過後ニ於テ永久伸長率二十「パーセント」以下ノモノトス

第二十三條　本則第二十條ニ依ル絕緣絹線及可撓絕線ノ安全電流ハ左表ヲ以テ標準トス

表流電全安及線絕絕撓可及線銅線絕

導體 太サ（粍）	導體 構造（粍）	導體 斷面積（平方粍）	撚合 構成（粍）	安全電流（アムペア） 第一種及第二種絹絕銅線	安全電流（アムペア） 第三種及第四種絹絕銅線
12.0	300	210	1000	1540	960
1.00	230	165	850	1340	840
9.0	200	145			
8.0	170	120	725	1210	770
7.0	140	100	600	1050	670
6.5	130	90			
6.0	115	80	500	900	580
5.5	105	75	400	790	510
5.0	90	65	325	670	440
4.5	80	55	250	570	370
4.0	65	50			
3.5	55	40	200	470	320
3.2	50	35	150	400	270
2.9	45	32			
2.6	40	30	125	340	240
2.3	35	25	100	290	200
2.0	30	20	80	250	170
1.8	25	18	60	210	145
1.6	21	15	50	175	120
1.4	18	12			
1.2	15	10	38	145	100
1.0	12	8	30	120	85
			22	100	75
			14	75	55
			8	50	35
			5.5	40	30
			3.5	30	20
			2.0	22	15

可撓絕線

太サ（平方粍）	心線構成（粍）	安全電流（アムペア）
5.5	133/0.23	30
3.5	84/0.23	20
2.0	70/0.13	15
1.4	55/0.13	12
0.9	35/0.13	8

第十七條　電線ニ接續點チ設クルトキハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス

一　電線ノ電氣抵抗ヲ增加セシメザルコト

二　電線ノ强サヲ二割以上減少セシメザルコト

三　接續管又ハ特殊ノ方法ニテ接續スル場合ヲ除クノ外接續部分ヲ鹽著スルコト

第二十五條　本則第二十三條ノ檢溫器ハ溫電ノ程度チ常ニ自動的ニ表示スルモノナルコトヲ要ス但シヂヴォルト以下ノ電路ニ於テ一時間ニ六回以上溫電ヲ檢スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

本則第二十三條ノ必要ナル箇所トハ左ノ如キ箇所チ謂フ

一　發電所又ハ變電所ノ引出用母線

二　本則第十一條ノ特別高壓變壓器設置箇所ノ高壓側電路

三　他ヨリ供給チ受ケル受電點

前項第三號ノ受電點ガ之ニ供給スル發電所、變電所等ニ隣接スルトキ又ハ受電所ノ變壓器若ハ電動發電機ニ依リ變成スルトキ又ハ受電シタル電氣チ受電點ニ隣接スル場所ニ於テ使用スルトキハ該受電點ノ檢溫器ハ之チ省略スルコトヲ得

第二十六條　本則第二十四條第一項ノ必要ナル箇所トハ左ノ如キ箇所ヲ謂フ

一　發電所又ハ變電所ノ架空電線引込口若ハ引出口又ハ母線

二　本則第十一條ノ特別高壓變壓器ノ特別高壓側及高壓側但シ一萬ヴォルト未滿ノモノニ限リ特別高壓側ノ避雷器チ省略スルコトヲ得

三　架空電線ト電纜トノ接續箇所

四　高壓架空電線路ニ依リ供給スル百キロワット以上ノ需用場所ノ引込口又ハ母線

五　特別高壓架空電線路ニ依リ供給スル需用場所ノ引込口又ハ母線

六　雷災多キ地方ニ在リテハ前各號以外ノ場所ト雖モ避雷器ヲ必要トスル箇所

前項第一號乃至第五號ノ箇所ニ直接接續スル架空電線又ハ電纜短キ場合其ノ他特殊ノ事由アル場合ハ避雷器ノ設置ヲ省略スルコトチ得

第二十七條　本則第二十六條第一項ノ保安裝置ヲ二箇以上ノ變壓器ニ共通ニ使用スル爲架空共同地線チ設クルトキハ左ノ各號ニ準ジ施設スルコトヲ要ス

一　架空共同地線ニハ五粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スル金屬線ヲ使用スルコト但シ各變壓器ニ地線工事ヲ施ス場合ハ四粍ノ金屬線ヲ使用スルコト

二　地線工事ハ變壓器ヨリ二百米以內ノ地域ニ於テ二箇所以上ニ施設シ其ノ合成電氣抵抗ハ其ノオーム數ニ共ノ地線ニ接續スル變壓器ノ熱容量ノ四割ニ相當スル一次電流ノアムペア數ヲ乘ジタル積ガ百五十以下ナル樣保持スルコト但シ此ノアムペア數ハ地線ニ接續シタル變壓器中最大容量ノモノノ一次側ニ於ケル自動遮斷器ノ動作電流（非包裝可熔片ニ在リテハ其ノ定格電流ノ二倍）以上タルコト

三　低壓配電線ノ一線チ架空共同地線ニ兼用スルモノニ在リテハ該架空共同地線ニ第三種絕緣電線ヲ用ヒ竹又ハ木ノ如キ不導體ノ樞ヲ以テ之ヲ覆ヒ接地線ト樞ト間ニ絕緣性混合物チ塡充シ且人ノ接觸又ハ他動的損傷ヲ防止スル爲地上二・五米ノ高サ迄木樋ヲ以テ保護スルコトヲ要ス

前項ノ接地線ヲ人ノ觸ルル虞アル場所ニ於テ鐵柱ノ如キ金屬體ニ沿ヒテ施設スル場合ハ前項ノ規定ニ依ルノ外地板チ地中ニ於テ該金屬體ヨリ一米以上離隔シテ埋設シ且接地線全部ニ第四種絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力チ有スルモノヲ用ヒテ該金屬體ヨリ絕緣スルコトヲ要ス

第三種地線工事ニ依リ接地スペキ金屬體ト大地トノ接續良好ニシテ其ノ電氣抵抗ガ百オーム以下ナルトキハ接地線ヲ省略スルコトチ得

第二項ノ接地線ヲ施設シタル支持物ニハ避雷用地線ヲ取付クルコトヲ得ズ

第二章　送電線路、配電線路及饋線路

第一節　通則

第三十二條　本則第三十三條ノ第一區、第二區トハ左ニ揭グル地方ヲ謂フ

第一區　京畿道、忠淸北道、忠淸南道、全羅北道、全羅南道、慶尙北道、慶尙南道、平安北道、江原道、咸鏡南道、咸鏡北道

第二區　平安南道

第三十三條　電線ノ抗張力ハ左記ヲ以テ標準トス

電線ノ種類	抗張力（粍一平方粍ニ付）
硬銅線	三十五瓩
銅心「アルミニウム」線	別表ニ依ル
硅銅線	五十六瓩
「アルミニウム」線	十六瓩
鐵線	三十五瓩
鋼線（特殊ノモノヲ除ク）	五十六瓩

第三十四條　電線ニ接續點チ設クルトキハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス

一　「ゴム」絕緣銅線ヲ荷予引工事ニ用フルトキハ其ノ安全電流ハ前表ノ數値ノ二割以內ヲ限リ增加スルコトヲ得

二　第四種絕緣銅線チ同一線樋又ハ管內ニ四本以上施設スル場合ハ其ノ安全電流ハ前表ノ數値ヲ適當ニ減少スルコト

三　特ニ周圍溫度高キ場所ニ施設スル電線ニ在リテハ其ノ安全電流ハ前表ノ數値チ適當ニ減少スルコト

第二十四條　電線ニ接續點チ設クルトキハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス

一　電線ノ電氣抵抗ヲ增加セシメザルコト

二　電線ノ强サヲ二割以上減少セシメザルコト

三　接續管又ハ特殊ノ方法ニテ接續スル場合ヲ除クノ外接續部分ヲ鹽著スルコト

第二十五條　本則第二十三條ノ檢溫器ハ溫電ノ程度チ常ニ自動的ニ表示スルモノナルコトヲ要ス但シヂヴォルト以下ノ電路ニ於テ一時間ニ六回以上溫電ヲ檢スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

本則第二十三條ノ必要ナル箇所トハ左ノ如キ箇所チ謂フ

一　發電所又ハ變電所ノ引出用母線

二　本則第十一條ノ特別高壓變壓器設置箇所ノ高壓側電路

三　他ヨリ供給チ受ケル受電點

前項第三號ノ受電點ガ之ニ供給スル發電所、變電所等ニ隣接スルトキ又ハ受電所ノ變壓器若ハ電動發電機ニ依リ變成スルトキ又ハ受電シタル電氣チ受電點ニ隣接スル場所ニ於テ使用スルトキハ該受電點ノ檢溫器ハ之チ省略スルコトヲ得

第二十六條　本則第二十四條第一項ノ必要ナル箇所トハ左ノ如キ箇所ヲ謂フ

一　發電所又ハ變電所ノ架空電線引込口若ハ引出口又ハ母線

二　本則第十一條ノ特別高壓變壓器ノ特別高壓側及高壓側但シ一萬ヴォルト未滿ノモノニ限リ特別高壓側ノ避雷器チ省略スルコトヲ得

三　架空電線ト電纜トノ接續箇所

四　高壓架空電線路ニ依リ供給スル百キロワット以上ノ需用場所ノ引込口又ハ母線

五　特別高壓架空電線路ニ依リ供給スル需用場所ノ引込口又ハ母線

六　雷災多キ地方ニ在リテハ前各號以外ノ場所ト雖モ避雷器ヲ必要トスル箇所

前項第一號乃至第五號ノ箇所ニ直接接續スル架空電線又ハ電纜短キ場合其ノ他特殊ノ事由アル場合ハ避雷器ノ設置ヲ省略スルコトチ得

第二十七條　本則第二十六條第一項ノ保安裝置ヲ二箇以上ノ變壓器ニ共通ニ使用スル爲架空共同地線チ設クルトキハ左ノ各號ニ準ジ施設スルコトヲ要ス

一　架空共同地線ニハ五粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スル金屬線ヲ使用スルコト但シ各變壓器ニ地線工事ヲ施ス場合ハ四粍ノ金屬線ヲ使用スルコト

二　地線工事ハ變壓器ヨリ二百米以內ノ地域ニ於テ二箇所以上ニ施設シ其ノ合成電氣抵抗ハ其ノオーム數ニ共ノ地線ニ接續スル變壓器ノ熱容量ノ四割ニ相當スル一次電流ノアムペア數ヲ乘ジタル積ガ百五十以下ナル樣保持スルコト但シ此ノアムペア數ハ地線ニ接續シタル變壓器中最大容量ノモノノ一次側ニ於ケル自動遮斷器ノ動作電流（非包裝可熔片ニ在リテハ其ノ定格電流ノ二倍）以上タルコト

三　低壓配電線ノ一線チ架空共同地線ニ兼用スルモノニ在リテハ該架空共同地線ニ第三種絕緣電線ヲ用ヒ竹又ハ木ノ如キ不導體ノ樞ヲ以テ之ヲ覆ヒ接地線ト樞ト間ニ絕緣性混合物チ塡充シ且人ノ接觸又ハ他動的損傷ヲ防止スル爲地上二・五米ノ高サ迄木樋ヲ以テ保護スルコトヲ要ス

前項ノ接地線ヲ人ノ觸ルル虞アル場所ニ於テ鐵柱ノ如キ金屬體ニ沿ヒテ施設スル場合ハ前項ノ規定ニ依ルノ外地板チ地中ニ於テ該金屬體ヨリ一米以上離隔シテ埋設シ且接地線全部ニ第四種絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力チ有スルモノヲ用ヒテ該金屬體ヨリ絕緣スルコトヲ要ス

第三種地線工事ニ依リ接地スペキ金屬體ト大地トノ接續良好ニシテ其ノ電氣抵抗ガ百オーム以下ナルトキハ接地線ヲ省略スルコトチ得

第二項ノ接地線ヲ施設シタル支持物ニハ避雷用地線ヲ取付クルコトヲ得ズ

第二章　送電線路、配電線路及饋線路

第一節　通則

第三十二條　本則第三十三條ノ第一區、第二區トハ左ニ揭グル地方ヲ謂フ

第一區　京畿道、忠淸北道、忠淸南道、全羅北道、全羅南道、慶尙北道、慶尙南道、平安北道、江原道、咸鏡南道、咸鏡北道

第二區　平安南道

第三十三條　電線ノ抗張力ハ左記ヲ以テ標準トス

電線ノ種類	抗張力（粍一平方粍ニ付）
硬銅線	三十五瓩
銅心「アルミニウム」線	別表ニ依ル
硅銅線	五十六瓩
「アルミニウム」線	十六瓩
鐵線	三十五瓩
鋼線（特殊ノモノヲ除ク）	五十六瓩

第三十四條　電線ニ接續點チ設クルトキハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス

一　「ゴム」絕緣銅線ヲ荷予引工事ニ用フルトキハ其ノ安全電流ハ前表ノ數値ノ二割以內ヲ限リ增加スルコトヲ得

二　第四種絕緣銅線チ同一線樋又ハ管內ニ四本以上施設スル場合ハ其ノ安全電流ハ前表ノ數値ヲ適當ニ減少スルコト

三　特ニ周圍溫度高キ場所ニ施設スル電線ニ在リテハ其ノ安全電流ハ前表ノ數値チ適當ニ減少スルコト

第十七條　第一種可撓絕線ハ錫鍍シタル〇・一八粍ノ軟銅線三十五本以上又ハ〇・二三粍ノ軟銅線八十四本以上ヨリ成ル導體ヲ綿絲又ハ紙帶ニテ總撚シ更ニ純「ゴム」三十「パーセント」以上ヲ含有シ且一・五以上ノ比重ヲ有スル品質均一ナル「ゴム」混合物ヲ以テ導體ノ太サニ從ヒ左表ノ原サ以上ニ被覆シ更ニ紙帶ヲ重複總撚シ完全ニ硫化ヲ施シ其ノ上ヲ綿絲「カタン」絲、絹絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シタルモノトス

導體		「ゴム」混合物ノ最小厚サ	
構造	切斷面積（平方粍）		
1/0.23	0.13	5.5	1.00
1/0.31	0.24	3.5	1.00
7/0.18	0.18	2.0	0.80
7/0.13	0.13	1.4	0.80
7/0.13	0.13	0.9	0.65

第一種可撓絕線ハ左ノ各號ノ試驗ニ適合スルモノトス

一　一卷ノ値淺水セザル狀態ニ於テ兩導體間ノ絕緣耐力チ交流三千ヴォルトノ電壓ヲ以テ試驗シ一分間以上之ニ耐フルコト

二　長サ一米ノ供試線ヲ二十四時間淺水シタル後交流千ヴォルトノ電壓ヲ以テ試驗シ一分間以上之ニ耐フルコト

第十八條　第二種可撓絕線ハ前條ニ規定シタル構造ヲ有スル線心ニ更ニ「ゴム」引絞「テープ」ヲ總捲シ（此ノ場合ハ「ゴム」被覆上ノ紙帶ヲ省略スルコトチ得）又ハ綿絲ヲ以テ下打編組ヲ施シタルモノ二條チ綿絲其ノ他ノ軟性纖維質物ト共ニ撚合セ圓壔形ニ仕上ゲ之ニ綿絲「カタン」絲、絹絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ上打編組ヲ施シタルモノニシテ前條第二項ノ絕緣耐力試驗ニ適合スルモノトス

第十九條　第三種甲可撓絕線ハ第一種可撓絕線（綿絲ノ編組ヲ施シタルモノ）ノ編組被覆ニ絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面チ平滑ナラシメタルモノトス

第二十條　第三種乙可撓絕線ハ第二種可撓絕線（綿絲ノ編組ヲ施シタルモノ）ノ編組被覆ニ絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノトス

第二十一條　第四種可撓絕線ハ錫鍍シタル〇・一六粍ノ軟銅線二十本ヨリ成ル導體チ綿絲ニテ總撚シ更ニ純「ゴム」三十「パーセント」以上チ含有シ且一・五以上ノ比重ヲ有スル品質均一ナル「ゴム」混合物ヲ以テ被覆シ更ニ綿絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シタルモノトス

第二十二條　細則第十七條、第十八條及前條ノ「ゴム」混合物ハ供試線ヨリ「ゴム」混合物ヲ約百粍抽出シ其ノ中央ニ五十粍ノ長サヲ印シ之ヲ二倍ノ長サニ伸長シ其ノ儘一分間支持シタル後放置シ十分間經過後ニ於テ永久伸長率二十「パーセント」以下ノモノトス

第二十三條　本則第二十條ニ依ル絕緣絹線及可撓絕線ノ安全電流ハ左表ヲ以テ標準トス

表流電全安及線絕絕撓可及線銅線絕

導體 太サ（粍）	導體 構造（粍）	導體 斷面積（平方粍）	撚合 構成（粍）	安全電流（アムペア） 第一種及第二種絹絕銅線	安全電流（アムペア） 第三種及第四種絹絕銅線
12.0	300	210	1000	1540	960
1.00	230	165	850	1340	840
9.0	200	145			
8.0	170	120	725	1210	770
7.0	140	100	600	1050	670
6.5	130	90			
6.0	115	80	500	900	580
5.5	105	75	400	790	510
5.0	90	65	325	670	440
4.5	80	55	250	570	370
4.0	65	50			
3.5	55	40	200	470	320
3.2	50	35	150	400	270
2.9	45	32			
2.6	40	30	125	340	240
2.3	35	25	100	290	200
2.0	30	20	80	250	170
1.8	25	18	60	210	145
1.6	21	15	50	175	120
1.4	18	12			
1.2	15	10	38	145	100
1.0	12	8	30	120	85
			22	100	75
			14	75	55
			8	50	35
			5.5	40	30
			3.5	30	20
			2.0	22	15

可撓絕線

太サ（平方粍）	心線構成（粍）	安全電流（アムペア）
5.5	133/0.23	30
3.5	84/0.23	20
2.0	70/0.13	15
1.4	55/0.13	12
0.9	35/0.13	8

アジア経済文献センター
Japan Center for Asian Economic Literature
http://www.ioe.or.jp/

鋼心「アルミニウム」撚線抗張力表

抗張力(瓩)	構成 撚線直徑(粍) 鋼心	構成 撚線數/素線直徑(粍) 「アルミニウム」	公稱斷面積(サーキュラーミル) 「アルミニウム」斷面積(平方粍)
11200	7/3.08	54/3.08	402.3
10110	7/2.92	54/2.92	361.6
9430	7/2.82	54/2.82	337.3
9030	7/2.76	54/2.76	323.1
8580	7/2.69	54/2.69	306.9
8830	7/2.89	26/3.72	282.6
10810	7/3.46	30/3.46	282.1
9720	7/3.28	30/3.28	253.5
7570	7/2.68	36/3.44	241.7
9250	7/3.20	30/3.20	241.3
6230	7/2.44	26/3.14	201.3
7750	7/2.93	30/2.93	202.3
5340	7/2.25	26/2.89	170.6
6540	7/2.69	30/2.69	170.5
4750	7/2.12	26/2.73	152.2
5830	7/2.54	30/2.54	152.0
3780	7/1.79	6/5.35	134.9
4220	7/2.00	26/2.57	134.9
3410	1/4.78	6/4.78	107.7
2680	1/4.24	6/4.24	84.72
2140	1/3.79	6/3.79	67.69
1690	1/3.37	6/3.37	53.52

備考　抗張力ノ計算式次ノ如シ

$T=100A_s+15A_\alpha$

但シ T ハ抗張力(瓩ヲ單位トス)

A_s ハ鋼心ノ切斷面積(平方粍ヲ單位トス)

A_α ハ「アルミニウム」ノ切斷面積(平方粍ヲ單位トス)

第三十四條　鐵柱及鐵塔ノ部材ニ日本標準規格第二十號ニ依ル構造用壓延鋼材(大正十五年商工省告示第二十三號ニ依ルモノ)ヲ使用スル場合ハ其ノ許容應力ハ左記ヲ以テ標準トス

一　應張力及撓曲應力　有效切斷面積一平方粍ニ付千二百五十瓩

二　應壓力　左ノ公式ニ依ル

$$p=1{,}250-\frac{1}{4}\frac{l}{r}$$

p ハ全切斷面積ニ對スル應壓力(一平方粍ニ付瓩ヲ單位トス)

l ハ使用部材ノ長サ(粍ヲ單位トス)

r ハ使用斷面ノ最小廻動半徑(粍ヲ單位トス)

三　應剪力　「ボルト」及「リベット」ニ對シ一平方粍ニ付二千瓩

四　支壓力　「ボルト」及「リベット」ニ對シ一平方粍ニ付二千瓩

抗壓材ニ在リテハ其ノ長サト最小廻動半徑トノ比ハ左ノ制限ニ依ルモノトス

最大使用電壓六萬ヴオルト以上ニシテ電線ノ切斷面積硬銅線ニ在リテハ百二十平方粍以上、鋼心「アルミニウム」線ニ在リテハ百五十平方粍以上ノ場合

主脚材　百五十以下

其ノ他ノ抗壓材　二百以下

前號以外ノ場合

主脚材　二百以下

其ノ他ノ抗壓材　二百五十以下

第三十五條　鐵柱及鐵塔ニ用フル鐵材ハ亞鉛鍍セル鐵棒ヲ使用シ之ヲ容易ニ腐蝕シ難キ格物ニ堅牢ニ取付クルコトヲ要ス

第三十六條　鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニ用フル支線ニハ地中ノ部分及地表上三十糎ニ至ル部分ニ亞鉛鍍セル鐵棒ヲ使用シ之ヲ容易ニ腐蝕シ難キ格物ニ堅牢ニ取付クルコトヲ要ス

第三十七條　木柱ノ彎曲ニ對スル破壞强度ハ左記ヲ以テ標準トス

木材ノ種類　破壞强度(一平方糎ニ付瓩)

杉　四百瓩

檜　五百瓩

落葉松　五百瓩

木柱ノ强度計算ニ於テ直徑增加率ハ杉及檜ニ在リテハ百分ノ一、落葉松ニ在リテハ百四十分ノ一ヲ以テ標準トス

第三十八條　木柱强度ハ左ニ示ス表又ハ公式ニ依リ計算スルモノトス

S　ハ柱間距離(米ヲ單位トス)但シ兩側電柱間ノ距離相等シカラザル場合ニ於テハ兩柱間距離ノ各二分ノ一宛ヲ加ヘタルモノトス

e　電線又ハ地線等ノ直徑(粍ヲ單位トス)但シ第二區ノ場合ハ氷雪ノ附著シタルモノトス

h_1　ハ電線又ハ地線等ノ支持點ノ地表上ノ高サ(米ヲ單位トス)

H　ハ木柱地表上ノ高サ(米ヲ單位トス)

D_0　ハ木柱ノ末口(糎ヲ單位トス)

D　ハ木柱地表面ニ於ケル直徑(糎ヲ單位トス)

$D=D_0+RH$

R　ハ直徑增加率ノ百倍トス(杉及檜ニ在リテハ一、落葉松ニ在リテハ七分ノ五トス)

P　ハ木柱材料ノ破壞强度(一平方糎ニ付瓩ヲ單位トス)(細第三十七條)

F　ハ木柱ノ安全係數

K　ハ係數

甲種風壓荷重ノ場合(第一區)　$K=1.0$

乙種風壓荷重ノ場合(第二區)　$K=0.5$

一　支線ヲ有セザル單柱

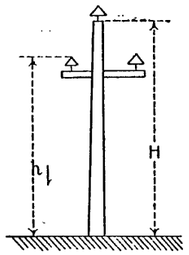
(イ)　表ニ依ル場合ハ第一表ヨリ得タル數値(杉及檜ニ在リテハ第一表(イ)、落葉松ニ在リテハ第一表(ロ)ノ數値ニ依ル)ト第二表ヨリ得タル數値ノ二分ノ一トノ和ガ第三表ヨリ得タル數値ヲ超過セザルコト

(ロ)　公式ニ依ル場合ハ左記ニ依ルコト

$$P/F\geqq K\{450D_0H^2-303RH^3+76.8S(2eh_1)\}+D_0^3$$

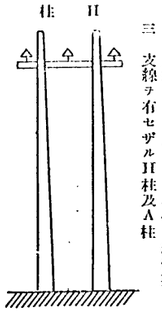
二　支線ヲ用ヒテ强度ノ一部ヲ分擔セシムル單柱

(イ)　表ニ依ル場合ハ第一表ヨリ得タル數値(杉及檜ニ在リテハ第一表(イ)、落葉松ニ在リテハ第一表(ロ)ノ數値ニ依ル)ノ二分ノ一ト第二表ヨリ得タル數値ノ四分ノ一トノ和ガ第三表ヨリ得タル數値ヲ超過セザルコト



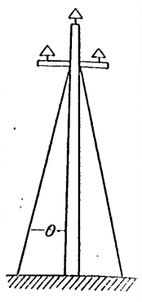
(ロ)　公式ニ依ル場合ハ左記ニ依ルコト

$$P/F\geqq K\{450D_0H^2-303RH^3+76.8S(2eh_1)\}+D_0^3$$



柱 A

柱 H



(ロ)　公式ニ依ル場合ハ左記ニ依ルコト

$$P/F\geqq K\{229.5D_0H^2-153RH^3+38.25S(2eh_1)\}+D_0^3$$

木號ノ支線ハ左ノ公式ニ依リ計算スルモノトス

$$A=0.01K\{0.645S(2e)+3.535D_0H-2.575RH^2\cos\theta\}$$

θ ハ十八度ニシテ四粍ノ鐵線ヲ支線トシテ用ヒタル場合ノ線條數

A ハ鐵線ヲ用ヒ其ノ安全係數ヲ三トシタル場合ノ支線ノ斷面積(平方粍ヲ單位トス)

N ハ支線ガ電柱ト爲ス角度

$$N=0.001K\{0.75S(2e)+4.35D_0H-3.6375RH^2\cos\theta\}$$

中號ノ支線ハ左ノ公式ニ依リ計算スルモノトス

$$A=0.01K\{0.645S(2e)+7.710D_0H-5.145RH^2\cos\theta\}$$

θ ハ十八度ニシテ四粍ノ鐵線ヲ支線トシテ用ヒタル場合ノ線條數

$$N=0.001K\{0.75S(2e)+10.965D_0H-7.275RH^2\cos\theta\}$$

小號ノ支線ハ左ノ公式ニ依リ計算スルモノトス

$$A=0.01K\{0.645S(2e)+7.710D_0H-5.145RH^2\cos\theta\}$$

θ ハ四十五度ニシテ四粍ノ鐵線ヲ支線トシテ用ヒタル場合ノ線條數

$$N=0.001K\{0.75S(2e)+8.1D_0H-5.775RH^2\cos\theta\}$$

(イ)　表ニ依ル場合ハ第一表ヨリ得タル數値(杉及檜ニ在リテハ第一表(イ)、落葉松ニ在リテハ第一表(ロ)ノ數値ニ依ル)ト第二表ヨリ得タル數値ノ二分ノ一トノ和ガ第三表ヨリ得タル數値ヲ超過セザルコト

(ロ)　公式ニ依ル場合ハ左記ニ依ルコト

$$P/F\geqq K\{229.5D_0H^2-153RH^3+38.25S(2eh_1)\}+D_0^3$$

四　支線ヲ用ヒテ强度ノ一部ヲ分擔セシムル H 柱及 A 柱

(イ)　表ニ依ル場合ハ第一表ヨリ得タル數値(杉及檜ニ在リテハ第一表(イ)、落葉松ニ在リテハ第一表(ロ)ノ數値ニ依ル)ノ二分ノ一ト第二表ヨリ得タル數値ノ四分ノ一トノ和ガ第三表ヨリ得タル數値ヲ超過セザルコト

(ロ)　公式ニ依ル場合ハ左記ニ依ルコト

$$P/F\geqq K\{229.5D_0H^2-153RH^3+19.125S(2eh_1)\}+D_0^3$$

第三十五條　鐵柱及鐵塔ノ部材ニ用フル鐵材ハ亞鉛鍍セルモノニシテ其ノ厚サハ左ノ制限ニ依ルコトヲ要ス

最大使用電壓六萬ヴオルト以上ニシテ電線ノ切斷面積硬銅線ニ在リテハ百二十平方粍以上、鋼心「アルミニウム」線ニ在リテハ百五十平方粍以上ノ場合

主脚材　六粍以上

其ノ他ノ部材　三粍以上

前號以外ノ場合

主脚材　五粍以上

其ノ他ノ部材　三粍以上

第三十六條　鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニ用フル支線ニハ地中ノ部分及地表上三十糎ニ至ル部分ニ亞鉛鍍セル鐵棒ヲ使用シ之ヲ容易ニ腐蝕シ難キ格物ニ堅牢ニ取付クルコトヲ要ス

第三十七條　木柱ノ彎曲ニ對スル破壞强度ハ左記ヲ以テ標準トス

木材ノ種類　破壞强度(一平方糎ニ付瓩)

杉　四百瓩

檜　五百瓩

落葉松　五百瓩

木柱ノ强度計算ニ於テ直徑增加率ハ杉及檜ニ在リテハ百分ノ一、落葉松ニ在リテハ百四十分ノ一ヲ以テ標準トス

第三十八條　木柱强度ハ左ニ示ス表又ハ公式ニ依リ計算スルモノトス

S　ハ柱間距離(米ヲ單位トス)但シ兩側電柱間ノ距離相等シカラザル場合ニ於テハ兩柱間距離ノ各二分ノ一宛ヲ加ヘタルモノトス

e　電線又ハ地線等ノ直徑(粍ヲ單位トス)但シ第二區ノ場合ハ氷雪ノ附著シタルモノトス

h_1　ハ電線又ハ地線等ノ支持點ノ地表上ノ高サ(米ヲ單位トス)

H　ハ木柱地表上ノ高サ(米ヲ單位トス)

D_0　ハ木柱ノ末口(糎ヲ單位トス)

D　ハ木柱地表面ニ於ケル直徑(糎ヲ單位トス)

第一表　(イ)

H / D_0	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.5	12.0	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5	15.0
20	33.1	38.0	43.1	48.4	53.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21	30.3	24.9	33.7	44.6	49.7	54.0	60.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	27.9	32.2	36.6	41.3	46.0	50.9	55.9	61.0	66.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	25.8	29.8	33.9	38.2	42.7	47.3	52.0	56.8	61.7	66.5	71.6	—	—	—	—	—	—	—	—
24	23.9	27.6	31 4	35.5	39.7	44.0	48.5	53.0	57.5	62.3	67.0	71.7	75.5	—	—	—	—	—	—
25	22.2	25.7	29.3	33.1	37.0	41.0	45.2	49.5	53.9	58.3	62.8	67.4	71.9	76.5	81.1	—	—	—	—
26	20.7	23.9	27.3	30.8	34.6	38.4	42.3	46.4	50.5	54.7	59.0	63.3	67.7	72.1	76.5	80.9	85.4	—	—
27	19.3	22.4	25.5	28.9	32 3	35.9	39.7	43.5	47.4	51.5	55.5	59.6	63.8	68.0	72.2	76.5	80.8	85.0	89.2
28	18.1	20.9	23.9	27.1	30.3	33.8	37.7	40.9	44.6	48.4	52.3	56.3	60.2	64.3	68.3	72.4	76.5	80.6	84.7
29	17.0	19.7	22.4	25.4	28.5	31.7	35.0	38.5	42.0	45.7	49.4	53.1	56.9	60.8	64.7	68.6	72.5	76.5	80.5
30	15.9	18.5	21.1	23.9	26.9	29.9	33.1	36.3	39.7	43.1	46.7	50.2	33.9	57.5	61.3	65.1	68.9	72.7	76.5
31	15.0	17.3	19.9	22.5	25 3	28.2	31.2	34.3	37.5	40.8	44.1	47.6	51.0	54.6	58.1	61.8	65.4	69.1	72.6
32	14.1	16.4	18.8	21.3	23.9	26.6	29.5	32.5	35.5	38.6	41.8	45.1	48.4	51.8	55.2	58.7	62.3	65.8	69.4
33	13.4	15.5	17.7	20.1	22.7	25.2	27.9	30.8	33.6	36.6	39.7	42.8	6.0	49.2	52.5	55.9	59.3	62.6	66.1
34	12.6	14.6	16.8	19.1	21.5	23.9	26.5	29.2	32.0	34.8	27.7	40.7	43.7	46.8	50.0	53.2	56.5	59.8	63.2
35	11.9	13.9	15.9	18.1	20.3	22.7	25.1	27.7	303.	33.1	35.9	38.7	41.6	41.6	47.6	50.7	53.9	57.0	60.2
36	11.3	13.1	15.1	17.2	19.3	21.5	23.9	26.3	28.9	31.4	34.1	36.9	39.7	42.5	45.5	48.4	51.5	54.5	57.6
37	10.8	12.5	14.3	16.3	18.4	20.3	22.7	25.1	27.5	30.0	32.6	35.2	37.9	49.6	43.4	46.4	49.1	52.3	55.1
38	10.3	11.9	13.7	15.5	17.5	19.6	21.7	23.9	26.3	28.7	31.1	33.6	36.2	38.8	41.5	44.3	46.9	49.8	52.7
39	9.8	11.3	13.1	14.8	16.7	18.6	20.7	22.8	25.1	27.3	29.6	32.1	34.6	37.1	39.7	42.3	45.0	47.7	50.5
40	9.3	10.8	12.5	14.1	15.9	17.8	16.7	21.8	23.9	26.1	28.4	30.7	33.1	5.5	38.0	40.5	43.1	45.8	48.4

(例)　$D_0=30$.　　$H=10.0$ = 對スル數ハ 33.7 トス

アジア技術資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第　一　表 (イ)

D_0 ＼ H	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.5	12.0	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5	15.0
20	35.4	41.0	46.8	53.1	59.5	66.2	73.1	80.3	87.6	95.0	102.7	110.4	—	—	—	—	—	—	—
21	33.4	37.5	42.9	48.6	54.6	60.8	67.2	73.8	80.6	87.6	94.7	101.9	109.3	116.8	124.3	—	—	—	—
22	29.7	34.5	39.5	44.7	50.2	55.0	61.9	68.1	74.4	80.9	87.6	94.4	101.2	108.3	115.4	122.6	129.8	137.1	—
23	27.4	31.7	36.4	41.3	46.4	51.7	57.2	63.0	68.9	75.0	81.2	87.6	94.1	100.7	107.4	114.2	121.0	127.9	134.9
24	25.3	29.3	33.6	38.2	42.9	47.9	53.1	58.4	64.0	69.6	75.5	81.5	87.6	93.8	100.1	106.5	113.0	119.6	126.2
25	23.4	27.2	31.2	35.4	39.9	44.5	49.3	54.7	59.5	64.9	70.3	76.0	81.7	87.6	93.5	99.6	105.7	112.0	118.3
26	21.8	25.3	29.0	33.0	37.1	41.5	46.0	50.7	55.5	60.5	65.7	71.0	76.4	81.9	87.6	93.3	99.1	105.0	111.0
27	20.3	23.6	27.1	30.8	34.6	38.7	42.9	47.4	51.9	56.6	61.5	66.5	71.6	76.8	82.1	87.6	93.1	98.7	104.4
28	18.9	22.0	25.3	28.8	32.4	36.2	40.2	44.3	48.6	53.1	57.7	62.4	67.2	72.1	77.2	82.3	87.6	92.9	98.3
29	17.7	20.1	23.7	26.9	30.4	34.0	37.7	41.6	45.7	49.9	54.2	58.6	63.2	67.9	62.6	77.5	82.5	87.6	92.7
30	16.6	19.3	22.2	25.3	28.5	31.9	35.4	39.1	42.9	46.9	51.0	55.2	59.5	64.0	68.5	73.1	77.9	82.7	87.6
31	15.6	18.2	20.9	23.8	26.8	30.0	33.4	36.8	40.5	44.2	48.1	52.1	56.2	60.4	64.7	69.1	73.6	78.2	82.7
32	14.7	17.1	19.7	22.4	25.3	28.3	31.5	34.8	38.2	41.7	45.4	49.2	53.1	57.1	61.2	65.4	69.6	74.0	48.5
33	13.9	16.1	18.6	21.2	23.9	26.7	29.7	32.9	36.1	39.5	42.9	46.5	50.2	54.0	57.9	61.9	66.0	70.2	74.4
34	13.1	15.3	17.6	20.0	22.6	25.3	28.1	31.1	34.2	37.4	40.7	44.1	47.6	51.2	54.9	58.7	62.0	66.6	70.7
35	12.4	14.4	16.6	18.9	21.4	24.0	26.7	29.5	32.4	35.4	38.6	41.8	45.2	48.6	52.2	55.8	59.5	63.3	67.2
36	11.7	13.7	15.8	18.0	20.3	22.7	25.3	28.0	30.8	33.6	36.7	39.8	42.9	46.2	49.6	53.1	56.6	60.2	64.0
37	11.1	13.0	15.0	17.0	19.3	21.6	24.0	26.6	29.2	32.0	34.9	37.8	40.9	44.0	47.2	50.5	53.9	57.4	60.9
38	10.6	12.3	14.2	16.2	18.3	20.5	22.9	25.3	27.8	30.5	33.2	36.0	38.9	41.9	45.0	48.2	51.4	54.8	58.1
39	10.1	11.7	13.5	15.4	17.4	19.6	21.8	24.1	26.5	29.0	31.6	34.3	37.1	40.0	42.9	46.0	49.1	52.3	55.5
40	9.6	11.2	12.9	14.7	16.6	18.6	20.8	23.0	25.3	27.7	30.2	32.8	35.4	38.2	41.0	43.9	46.9	50.0	53.1

(例)　$D_0=30$.　　$H=10.0$ニ對スル數ハ42.9トス。

第　二　表

D_0 ＼ $S(\Sigma eh_1)$	500	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	8000	9000	10000	20000	30000	40000	50000
20	4.8	9.6	19.1	28.7	38.3	47.8	57.4	67.0	76.5	86.1	95.6	191.3	286.9	382.5	478.1
21	4.1	8.3	16.5	24.8	33.1	41.3	49.6	47.8	66.1	74.3	82.6	165.2	247.8	330.5	413.0
22	3.6	7.2	14.4	21.6	28.7	35.9	43.1	50.3	57.5	64.7	71.9	143.7	215.6	287.4	359.3
23	3.1	6.3	12.6	18.9	25.2	31.4	37.7	44.0	50.3	56.6	62.9	125.8	198.6	251.5	314.1
24	2.8	5.5	11.1	16.6	28.1	27.7	33.2	33.7	44.3	49.8	55.4	110.7	166.1	221.3	276.7
25	2.5	4.9	9.8	14.7	19.6	24.5	29.4	34.3	39.2	44.1	49.0	68.0	146.9	195.8	244.8
26	2.2	4.4	8.7	13.1	17.4	21.8	26.1	30.5	34.8	39.2	43.5	87.0	130.6	174.1	217.7
27	1.9	3.9	7.8	11.7	15.6	19.4	23.3	27.2	31.1	35.0	38.9	77.7	116.6	155.5	194.3
28	1.7	3.5	7.0	10.5	13.9	17.4	20.9	24.4	27.9	31.4	34.9	69.7	104.6	139.4	174.2
29	1.6	3.1	6.3	6.4	12.6	15.7	18.8	22.0	25.1	28.2	31.4	62.7	94.1	12.55	156.8
30	1.4	2.8	5.7	8.5	11.3	14.2	17.0	19.8	22.7	25.5	28.4	56.7	85.0	113.3	141.7
31	1.3	2.6	5.1	7.7	10.3	12.8	15.4	18.0	20.6	23.1	25.7	51.4	77.0	102.8	128.4
32	1.2	2.3	4.7	7.0	9.3	11.7	14.0	16.4	18.7	21.0	23.3	46.7	70.1	93.1	116.7
33	1.1	2.1	4.3	6.4	8.5	10.6	12.8	14.9	17.0	18.8	21.3	42.6	63.8	85.1	106.4
34	1.0	2.0	3.9	5.8	7.5	9.7	11.7	13.7	15.6	17.6	19.5	38.9	58.4	77.9	97.4
35	0.9	1.8	3.6	5.4	7.1	8.9	10.7	12.5	14.3	16.1	17.9	35.7	53.6	71.4	89.3
36	0.8	1.6	3.3	4.9	6.6	8.2	9.8	11.5	13.1	14.8	16.4	32.8	49.2	65.6	82.0
37	0.8	1.5	3.0	4.5	6.0	7.6	9.1	10.6	12.1	13.6	15.1	0.2	45.3	60.4	75.5
38	0.7	1.4	2.8	4.2	5.6	7.0	8.4	9.8	11.2	12.5	4.0	27.9	41.9	55.8	69.7
39	0.7	1.3	2.6	3.9	5.2	6.5	7.7	9.0	10.4	11.6	12.9	25.8	38.7	51.6	64.5
40	0.6	1.2	2.4	3.6	4.8	6.0	7.2	8.4	9.6	10.7	11.9	23.9	35.9	47.9	59.8

(例)　$D^0=30.S(\Sigma eh_1)=18209$ニ對スル數ハ$S(\Sigma eh_1)$ノ10000ト8000ノ和ト2000ノ和ノ十分ノ一トノ和51.7トス

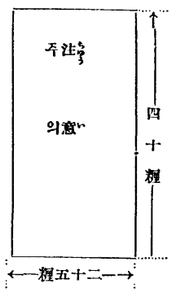
第　三　表

荷重 ＼ 安全係數	甲種風壓荷重 第一區	甲種風壓荷重 第二區	乙種風壓荷重
杉村 4	100	200	200
杉村 5	80	160	—
杉村 6	67	133	—
杉村 7.5	54	103	—
檜落葉松村 4	125	250	250
檜落葉松村 5	100	200	—
檜落葉松村 6	84	168	—
檜落葉松村 7.5	67	133	—

第三十九條　本則第二十六條第二項ノ適當ナル表示トハ左ノ如キモノヲ謂フ

一　高壓架空電線路ニ在リテハ碍子ノ表面ノ見易キ部分幅約二糎又ハ腕木ノ表面ヲ赤色ト爲スモノ

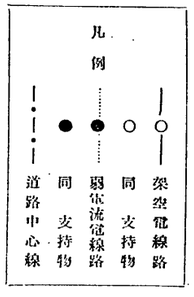
二　特別高壓架空電線路ニ在リテハ建造物、道路（交通頻繁ナラザル道路ヲモ含ム）又ハ架空弱電流電線路ヨリ約三百米以内ニ在ル支持物ノ外部ヲ地表上二・五米ノ高サニ於テ縱幅三十糎以上赤色ト爲シ且五十米以内ニ在ル支持物ニ左ノ注意札又ハ之ニ類スル標札ヲ掲グルモノ但シ鐵塔ニ在リテハ赤色表示ハ之ヲ省略スルコトヲ得

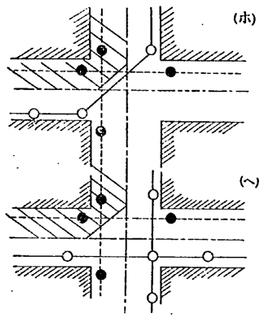


第四十條　架空電線路ニ用フル架空地線ハ高壓電線路ニ在リテハ四粍、特別高壓電線路ニ在リテハ五粍ノ硬銅線若ハ鐵線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スル裸線ヲ使用スルコトヲ要ス

第二節　低壓及高壓架空電線路

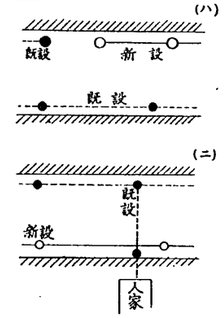
第四十一條　本則第四十條第一項但書ノ工事上若ハ土地ノ狀況ニ依リ已ムヲ得ザルトキハ左圖ノ如キ場合ヲ謂フ





本則第四十條第一項第二號ノ道路ノ兩側ニ跨ラズトハ道路ニ沿ヒ建設スル電線路ノ中心線ガ當該道路ノ中心線ト交叉セザル樣施設スルヲ謂フ

道路ノ交叉點ニ於ケル電線路ト弱電流電線路及道路中心線トノ關係ハ左圖ニ準ズルモノトス



第四十二條　本則第四十條第一項、第四十二條第一項但書及第四十三條第二項ノ架空引込線ニ隣接スル部分トハ左ノ如キモノヲ謂フ

一　一構內專用ノ低壓配電線路ノ電線ニシテ當該構內ノミニ施設シタルモノ

二　配電幹線ヨリ分岐シ架空引込線ニ接續スル電線ニシテ終端ノ引込柱ヨリ長サ六十米以內ノモノ

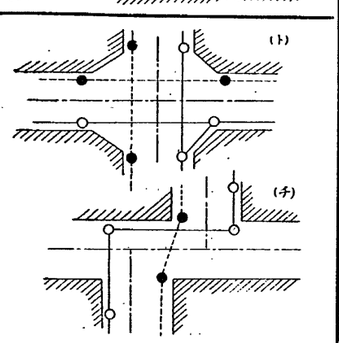
前項第二號ノ電線ハ之ヲ道路ニ沿ヒ道路上ニ施設スルコトヲ得ズ

第四十三條　本則第四十一條第三項ノ適當ニ施設スト認ムルモノハ左ノ如ク施設スルヲ謂フ

一　架空電線ト架空弱電流電線トノ相互間ノ離隔距離ヲ增加スルコト

二　交流式架空電線ノ場合ニ於テハ電線ヲ適當ノ距離ニ於テ撚架スルコト

三　電線ト弱電流電線ト交叉シ又ハ接近スル場合ニ在リテハ其ノ交叉又ハ接近部分ニ於テ電線相互間ニ四粍ノ硬銅線若ハ鐵線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スル金屬線二條以上ヲ施設シ之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト



第四十四條　本則第四十四條第一項但書ノ危險ノ虞ナキ様取上ゲタル電線トハ左ノ如キモノヲ謂フ

一　工事上已ムヲ得ザル場合ニ於テ低壓引込線又ハ之ニ隣接スル部分（前第四十二條ノ）ノ電線ヲ分岐スル爲之ヲ高壓用腕木ニ堅牢ニ取付ケタルモノ

二　配電變壓器ノ高壓側導線ニ二・六粍以上ノ第三種又ハ第四種絕緣銅線ヲ使用シ且低壓電線ト接觸ノ虞ナキ様之ヲ支持物又ハ腕木ニ堅牢ニ取付ケタルモノ

第四十五條　本則第四十六條第一項及第二項、第五十五條第一項第三號及第五十六條第一項第三號ノ堅牢ニ建設スト雖柱及鐵筋「コンクリート」柱ニ在リテハ其ノ基礎ヲ特ニ堅固ニシ木柱ニ在リテハ地盤ガ特ニ堅キ場合ヲ除クノ外其ノ根入ヲ左ノ如ク爲スヲ謂フ

木柱全長　根入
十五米未滿　木柱全長ノ六分ノ一以上
十五米以上　二・五米以上

水田其ノ他地盤軟弱ナル箇所ニ於テハ堅牢ナル根枷ヲ施スコトヲ要ス

第四十六條　本則第四十八條第一項ノ適當ニ施設スト雖左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　交叉箇所ニ在リテハ電車線ト交叉ノ場合ヲ除クノ外高壓電線ヤ低壓電線ノ上部ヲ爲スコト

二　工事上已ムヲ得ズ前號ニ依リ難キ場合又ハ低壓電線ガ高壓電線ノ上部ニ於テ並行シ又ハ接近シテ相互間ノ水平距離二・五米以下ナル場合ハ該低壓電線ニ五粍ノ硬銅撚線若ハ四粍ノ第三種絕緣硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ水平距離一・一米以上ニシテ垂直距離其ノ一・五倍以下ナル場合ハ此ノ限リニ在ラズ

三　前號ノ場合ニ於テ低壓電線路支持物ノ强度ハ本則第四十六條第一項ニ準ジ計算シタルモノナルコト但シ木柱ニ在リテハ末口十二糎以上ト爲スコト

第四十七條　本則第五十條但書、第五十四條第二號及第五十五條第一項第五號ノ適當ノ施設トハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　架空電線ガ架空弱電流電線ノ下部ニ於テ四十五度以下ノ角度ヲ以テ交叉シ又ハ相互間ノ水平距離二・五米以下ナルトキハ架空電線ノ上部ニ保護網ヲ施設スルコト但シ水平距離一・二米以上ニシテ垂直距離其ノ一・五倍以下ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

二　架空電線ガ架空弱電流電線ノ下部ニ於テ四十五度ヲ超ユル角度ヲ以テ交叉スルトキハ架空電線ノ上部ニ保護線ヲ施設スルコト

三　保護網又ハ保護線ト架空電線又ハ架空弱電流電線トノ垂直距離ハ六十糎以上ト爲スコト但シ保護網又ハ保護線ト架空電線トノ距離ハ工事上已ムヲ得ザル場合ニ於テハ三十糎迄ニ、保護網又ハ保護線ト架空弱電流電線トノ垂直距離ハ弱電流電線路管理者ノ承諾ヲ得テ三十糎迄ニ短縮スルコトヲ得

前項ノ裝置ハ弱電流電線ニ第四種絕緣電線若ハ五粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スル場合ハ之ヲ省略スルコトヲ得

D_1 ハ電線路ノ線間距離（米ヲ單位トス）

$b_1 b_2 b_3$ ハ電線ト電話線トノ間ノ距離（米ヲ單位トス）

l_1 ハ $b_1 b_2$ 間、l_2 ハ $b_2 b_3$ 間、l_3 ハ $b_3 b_4$ 間ノ電話線路ノ亙長（米ヲ單位トス）

i_T ハ受話器ニ通ズル誘導電流（マイクロアムペアヲ單位トス）

$$i_T = V_K D_1 \times 10^{-3} \left\{ \frac{l_1}{b_1 b_2} \right\} (0.33n + 29.7)$$

V_K ハ電線路ノ最大使用電壓（千ヴォルトヲ單位トス）

n ハ交叉點ノ數

前記公式ノ適用方法左ノ如シ

路上ニ架設スル場合ニ於テハ之ニ硬銅線其ノ他容易ニ腐蝕シ難キ金屬線ヲ使用スルコトヲ要ス

第三節　特別高壓架空電線路

第五十一條　特別高壓架空電線路ハ既設架空電話線路（ケーブル線路ヲ除ク）ニ對シ常時靜電誘導作用ニ因リ通信上ノ障害ヲ及ボサザル爲其ノ使用電壓ニ從ヒ左ノ各號ノ一ニ適合スル樣離隔スルコトヲ要ス

一　最大使用電壓六萬ヴォルト以下ノ場合ニ在リテハ電話線路ノ亙長毎十二粁ニ付左ノ公式ニ依リ計算シタル誘導電流ガ二マイクロアムペアヲ超過セザル範圍内ニ、最大使用電壓六萬ヴォルトヲ超過スル場合ニ在リテハ電話線路ノ亙長毎四十粁ニ付左ノ公式ニ依リ計算シタル誘導電流ガ三マイクロアムペアヲ超過セザル範圍内ニ電線路ト電話線路トノ間ノ距離及接近部分ノ亙長ヲ保持スルコト

$$i_T = V_K D_1 \times 10^{-3} \left\{ \frac{l_1}{b_1 b_2} \right\} (0.33n + 29.7)$$

i_T ハ受話器ニ通ズル誘導電流（マイクロアムペアヲ單位トス）

V_K ハ電線路ノ最大使用電壓（千ヴォルトヲ單位トス）

D_1 ハ電線路ノ線間距離（米ヲ單位トス）

$b_1 b_2 b_3$ ハ電線ト電話線トノ間ノ距離（米ヲ單位トス）

l_1 ハ $b_1 b_2$ 間、l_2 ハ $b_2 b_3$ 間、l_3 ハ $b_3 b_4$ 間ノ電話線路ノ亙長（米ヲ單位トス）電話線路ト交叉スルトキハ最大使用電壓六萬ヴォルト以下ノ場合ニ在リテハ交叉點ノ前後各百米ノ部分ハ此ノ計算ニ加ヘザルコト

n ハ交叉點ノ數

前記公式ノ適用方法左ノ如シ

三　保護網ガ架空電線ノ外部ニ張出スル幅員ハ保護網ト電線トノ垂直距離ノ二分ノ一以上但シ三十糎以上トス

前項ノ保護網ハ之ヲ運轉頻繁ナル蒸汽鐵道線路上ニ架設スル場合ニ於テハ硬銅線其ノ他容易ニ腐蝕シ難キ金屬線ヲ以テ構成スルコトヲ要ス

第四十九條　細則第四十七條第二號ノ保護線ハ第三種地線工事ニ依リ接地シタル二條以上ノ鐵線又ハ硬銅線トシ且左ノ各號ニ準ジ施設スルコトヲ要ス

一　保護線ノ太サ四粍以上

二　保護線相互ノ間隔七十五糎以下

三　保護線ガ架空電線ノ外部ニ張出スル幅員ハ保護線ト電線トノ垂直距離ノ二分ノ一以上但シ三十糎以上トス

前項ノ保護線ヲ運轉頻繁ナル蒸汽鐵道線路上ニ架設スル場合ニ於テハ之ニ硬銅線其ノ他容易ニ腐蝕シ難キ金屬線ヲ使用スルコトヲ要ス

第五十條　本則第五十五條第一項第五號及第五十六條第一項第六號ノ適當ノ施設トハ裸電線ト弱電流電線トノ間ニ第三種地線工事ニ依リ接地シタル五粍以上ノ鐵撚線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スル金屬線ヲ弱電流電線ト六十糎以上ノ距離ヲ保持シテ架設スルヲ謂フ

前項ノ金屬線ハ左ノ場合ニ於テハ之ヲ省略スルコトヲ得

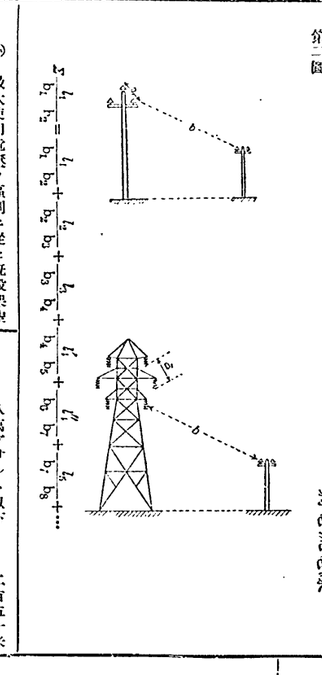
一　弱電流電線ニ第四種絕緣電線若ハ五粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スル金屬線ヲ弱電流電線ト六十糎以上ノ距離ヲ保持シテ架設スルトキ

二　裸電線ト弱電流電線トノ垂直距離十米以上ナル場合

三　弱電流電線ノ上部ニ於テ交叉スル二條以上ノ低壓又ハ高壓被覆電線（本則第四十二條ニ適合スルモノヲ裸電線ノ下部ニ添架シタル場合

第一項ノ金屬線ヲ運轉頻繁ナル蒸汽鐵道線

第一圖



第二圖

$$\Sigma \frac{h_1 h_2}{b_1 b_2} = \frac{l_1}{b_1 b_2} + \frac{l_2}{b_2 b_3} + \frac{l_3}{b_3 b_4} + \frac{l_4}{b_4 b_5} + \frac{l_5}{b_5 b_6} + \frac{l_6}{b_6 b_7} + \frac{l_7}{b_7 b_8} + \cdots$$

八萬ヴォルト以下　二百五十米
十二萬ヴォルト以下　三百五十米
十六萬ヴォルト以下　四百五十米

最大使用電壓一萬五千ヴォルト以下ノ場合

電話線路ノ亙長毎四粁ニ付左ノ公式ニ依リ計算シタル誘導電流ガ一・五マイクロアムペアヲ超過セザル範圍内ニ在ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

$$i_T = V_K \times 10^{-3} \left(0.5n + 2.75 \sum \frac{l_1 \log \frac{b_2}{b_1}}{b_2 - b_1} + 1.85 \sum \frac{l}{b} + 18 \sum \frac{l_1}{b_2} + 18 \frac{l}{b_2} \right)$$

又

$$\frac{\text{不並行部分}}{\text{十五米以下}} \quad \frac{\text{並行部分}}{\text{百米}} \quad \frac{\text{不並行部分}}{\text{十五米以上}} \quad \frac{\text{並行部分}}{\text{二百米}}$$

i_T ハ受話器ニ通ズル誘導電流（マイクロアムペアヲ單位トス）

V_K ハ電線路ノ最大使用電壓（千ヴォルトヲ單位トス）

$b_1 b_2 b_3$ ハ電線路ト電話線路トガ並行セザル部分ニ於ケル電線ト電話線トノ間ノ距離（米ヲ單位トス）

l_1 ハ $b_1 b_2$ 間、l_2 ハ $b_2 b_3$ 間ノ電話線路ノ亙長（米ヲ單位トス）電線路ト電話線路トガ交叉スルトキハ交叉點ノ前後各二十五米ノ部分ハ此ノ計算ニ加ヘザルコト

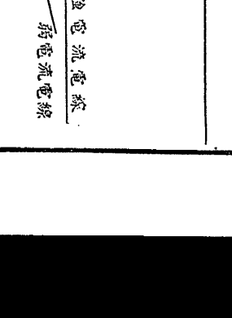
n ハ交叉點ノ數

b ハ電線路ト電話線路トガ並行スル部分ニ於ケル電線ト電話線トノ間ノ距離（米ヲ單位トス）

l ハ電線路ト電話線路トガ並行スル部分ニ於ケル電話線路ノ亙長（米ヲ單位トス）

n ハ交叉點ノ數

(ロ)　前記公式ノ適用方法ハ左圖ニ示ス如ク電話ヨリ十五米及六十米ノ箇所ニ電線ニ並行スル二線ヲ引キ左ノ如ク計算ス



(ハ)　最大使用電壓ノ區別ニ從ヒ既設架空電話線路ト左ノ距離以上離隔シタル電線路ノ部分ハ本計算ニ於テ之ヲ省略スルコトヲ得

	電線ト電話線トノ間ノ距離
最大使用電壓	
二萬五千ヴォルト以下	六十米
三萬五千ヴォルト以下	百米
五萬ヴォルト以下	百五十米
六萬ヴォルト以下	百八十米
七萬ヴォルト以下	二百米

第十七編　交通　電氣附瓦斯　第三章　電氣附瓦斯

(ニ)　既設架空電話線路ト六十米以上離隔スル特別高壓架空電線路ノ部分ハ本計算ニ於テ之ヲ省略スルコトヲ得

第五十二條　中性點ヲ接地シタル特別高壓架空電線路ノ故障ノ際ニ於ケル地絡電流ノ電磁誘導作用ニ因リ既設架空弱電流電線路ニ對シ通信上ノ障害ヲ及ボサザル樣從架空電線路ト平行又ハ交叉スル場合ニ於テハ之ニ硬銅線又ハ同等以上ノ強サ及效力ヲ有スル金屬線ヲ使用シ且電線ト弱電流電線トノ間ニ六十糎以上ノ距離ヲ保持シテ架設スルヲ謂フ

第五十三條　本則第五十六條第一項第五號及第五十七條第一項第三號ノ適當ノ施設トハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　交叉箇所ニ在リテハ電車線ト交叉ノ場合ヲ除クノ外高壓電線ヤ低壓電線ノ上部ヲ爲スコト

二　工事上已ムヲ得ズ前號ニ依リ難キ場合又ハ低壓電線ガ高壓電線ノ上部ニ於テ並行シ又ハ接近シテ相互間ノ水平距離二・五米以下ナル場合ハ該低壓電線ニ五粍ノ硬銅撚線若ハ四粍ノ第三種絕緣硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ水平距離一・一米以上ニシテ垂直距離其ノ一・五倍以下ナル場合ハ此ノ限リニ在ラズ

三　保護網ガ架空電線ノ外部ニ張出スル幅員ハ保護網ト電線トノ垂直距離ノ二分ノ一以上但シ三十糎以上トス

前項ノ保護網ハ之ヲ運轉頻繁ナル蒸汽鐵道線路上ニ架設スル場合ニ於テハ硬銅線其ノ他容易ニ腐蝕シ難キ金屬線ヲ以テ構成スルコトヲ要ス

第五十四條　細則第四十七條第二號ノ保護線ハ第三種地線工事ニ依リ接地シタル二條以上ノ鐵線又ハ硬銅線トシ且左ノ各號ニ準ジ施設スルコトヲ要ス

一　保護線ノ太サ四粍以上

二　保護線相互ノ間隔七十五糎以下

三　保護線ガ架空電線ノ外部ニ張出スル幅員ハ保護線ト電線トノ垂直距離ノ二分ノ一以上但シ三十糎以上トス

前項ノ保護線ヲ運轉頻繁ナル蒸汽鐵道線路上ニ架設スル場合ニ於テハ之ニ硬銅線其ノ他容易ニ腐蝕シ難キ金屬線ヲ使用スルコトヲ要ス

第五十五條　本則第五十八條第一項第五號及第五十九條第一項第六號ノ適當ノ施設トハ裸電線ト弱電流電線トノ間ニ第三種地線工事ニ依リ接地シタル五粍以上ノ鐵撚線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スル金屬線ヲ弱電流電線ト六十糎以上ノ距離ヲ保持シテ架設スルヲ謂フ

前項ノ金屬線ハ左ノ場合ニ於テハ之ヲ省略スルコトヲ得

一　弱電流電線ニ第四種絕緣電線若ハ五粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用シタル場合

二　裸電線ト弱電流電線トノ垂直距離十米以上ナル場合

三　弱電流電線ノ上部ニ於テ交叉スル二條以上ノ低壓又ハ高壓被覆電線（本則第四十二條ニ適合スルモノヲ裸電線ノ下部ニ添架シタル場合

第一項ノ金屬線ヲ運轉頻繁ナル蒸汽鐵道線路上ニ架設スル場合ニ於テハ之ニ硬銅線其ノ他容易ニ腐蝕シ難キ金屬線ヲ使用スルコトヲ要ス

第三節　特別高壓架空電線路

第五十六條　特別高壓架空電線路ハ既設架空電話線路（ケーブル線路ヲ除ク）ニ對シ常時靜電誘導作用ニ因リ通信上ノ障害ヲ及ボサザル爲其ノ使用電壓ニ從ヒ左ノ各號ノ一ニ適合スル樣離隔スルコトヲ要ス

一　最大使用電壓六萬ヴォルト以下ノ場合ニ在リテハ電話線路ノ亙長毎十二粁ニ付左ノ公式ニ依リ計算シタル誘導電流ガ二マイクロアムペアヲ超過セザル範圍内ニ、最大使用電壓六萬ヴォルトヲ超過スル場合ニ在リテハ電話線路ノ亙長毎四十粁ニ付左ノ公式ニ依リ計算シタル誘導電流ガ三マイクロアムペアヲ超過セザル範圍内ニ電線路ト電話線路トノ間ノ距離及接近部分ノ亙長ヲ保持スルコト

$$i_T = V_K D_1 \times 10^{-3} \left\{ \frac{l_1}{b_1 b_2} \right\} (0.33n + 29.7)$$

i_T ハ受話器ニ通ズル誘導電流（マイクロアムペアヲ單位トス）

V_K ハ電線路ノ最大使用電壓（千ヴォルトヲ單位トス）

D_1 ハ電線路ノ線間距離（米ヲ單位トス）

$b_1 b_2 b_3$ ハ電線ト電話線トノ間ノ距離（米ヲ單位トス）

l_1 ハ $b_1 b_2$ 間、l_2 ハ $b_2 b_3$ 間、l_3 ハ $b_3 b_4$ 間ノ電話線路ノ亙長（米ヲ單位トス）電話線路ト交叉スルトキハ最大使用電壓六萬ヴォルト以下ノ場合ニ在リテハ交叉點ノ前後各百米ノ部分ハ此ノ計算ニ加ヘザルコト

n ハ交叉點ノ數

前記公式ノ適用方法左ノ如シ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

表　硬銅線強度

（一）　第一區　（最低温度、無荷重）

安全係数	電線 稱呼	電線 撚成	徑間（米） 40	50	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300
2.2	5.0粍		0.11	0.17	0.26	0.50	0.86	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.5〃		0.11	0.17	0.25	0.48	0.81	1.28	1.89	—	—	—	—	—	—	—	—
	6.0〃		0.11	0.17	0.25	0.47	0.7	1.21	1.77	2.46	—	—	—	—	—	—	—
	6.5〃		0.11	0.17	0.24	0.46	0.7	1.16	1.67	2.32	3.03	—	—	—	—	—	—
	7.0〃		0.10	0.16	0.24	0.45	0.74	1.12	1.61	2.21	2.99	3.75	—	—	—	—	—
	8.0〃		0.10	0.16	0.24	0.44	0.71	1.07	1.52	2.03	2.71	3.45	4.29	5.21	—	—	—
	平方粍																
	22〃	7/2.0	0.11	0.18	0.27	0.52	0.92	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30〃	7/2.3	0.11	0.17	0.26	0.49	0.84	1.32	1.95	—	—	—	—	—	—	—	—
	38〃	7/2.6	0.11	0.17	0.25	0.47	0.79	1.22	1.78	2.47	3.29	—	—	—	—	—	—
	45〃	7/2.9	0.11	0.17	0.25	0.46	0.76	1.16	1.67	2.29	3.04	3.89	4.86	—	—	—	—
	55〃	7/3.2	0.11	0.17	0.25	0.45	0.74	1.11	1.59	2.17	2.86	3.65	4.54	5.54	6.63	7.82	9.09
2.0	70〃	7/3.5	0.10	0.16	0.24	0.45	0.72	1.08	1.53	2.08	2.72	3.46	4.30	5.26	6.26	7.37	8.58
	90〃	7/4.0	0.10	0.16	0.24	0.44	0.70	1.04	1.46	1.97	2.56	3.25	4.01	4.87	5.81	6.84	7.95
	110〃	7/4.5	0.10	0.16	0.24	0.43	0.69	1.02	1.42	1.90	2.40	3.10	3.82	4.63	5.51	6.47	7.51
	125〃	19/2.9	0.10	0.16	0.24	0.43	0.69	1.01	1.41	1.88	2.42	3.05	3.76	4.54	5.40	6.31	7.35
	150〃	19/3.2	0.10	0.16	0.24	0.43	0.68	1.00	1.38	1.84	2.36	2.97	3.64	4.39	5.22	6.11	7.08
	180〃	19/3.5	0.10	0.16	0.24	0.43	0.67	0.99	1.36	1.81	2.32	2.90	3.56	4.28	5.08	5.94	6.88
	240〃	19/4.0	0.10	0.16	0.24	0.42	0.67	0.97	1.34	1.77	2.26	2.83	3.45	4.15	4.91	5.74	6.63
	300〃	19/4.5	0.10	0.16	0.24	0.42	0.66	0.96	1.32	1.75	2.23	2.78	3.36	4.06	4.80	5.60	6.46
	125〃	19/2.9	0.13	0.21	0.30	0.56	0.90	1.33	1.86	2.49	3.22	4.04	4.97	5.97	7.08	8.28	9.56
	150〃	19/3.2	0.13	0.21	0.30	0.55	0.88	1.30	1.81	2.41	2.11	3.90	4.78	5.74	6.80	7.95	9.18
2.5	180〃	19/3.5	0.13	0.21	0.30	0.54	0.87	1.28	1.77	2.36	3.03	3.79	4.63	5.57	6.59	7.69	8.88
	20〃	19/4.0	0.13	0.21	0. 0	0.54	0.85	1.25	1.73	2.29	2.93	3.66	4.47	5.35	6.33	7.38	8.51
	300〃	19/4.5	0.13	0.20	0.30	0.53	0.84	1.23	1.70	2.24	2.87	3.57	4.35	5.21	6.15	7.17	8.26

（二）　第二區　（最低温度、無荷重）

安全係数	電線 稱呼	電線 撚成	徑間（米） 40	50	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300
3.0	5.0粍		0.12	0.22	0.32	0.37	0.91	1.82	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.5〃		0.12	0.20	0.32	0.73	1.45	2.43	3.63	—	—	—	—	—	—	—	—
	6.0〃		0.11	0.19	0.29	0.63	1.21	2.03	3.07	4.29	—	—	—	—	—	—	—
	6.5〃		0.11	0.18	0.28	0.57	1.05	1.84	2.68	3.74	4.98	—	—	—	—	—	—
	7.0〃		0.11	0.18	0.27	0.53	0.95	1.69	2.35	3.32	4.43	5.70	—	—	—	—	—
	8.0〃		0.11	0.17	0.25	0.49	0.83	1.32	1.96	2.75	3.68	4.74	5.93	7.24	—	—	—
	平方粍																
	22〃	7/2.0	0.12	0.22	0.35	0.86	1.70	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30〃	7/2.3	0.12	0.19	0.30	0.66	1.26	2.12	3.18	—	—	—	—	—	—	—	—
	38〃	7/2.6	0.11	0.18	0.28	0.57	1.03	1.71	2.58	3.62	4.83	—	—	—	—	—	—
	45〃	7/2.9	0.11	0.18	0.27	0.52	0.91	1.46	2.19	3.08	4.12	5.34	6.61	—	—	—	—
	55〃	7/3.2	0.11	0.17	0.26	0.49	0.84	1.32	1.93	2.72	3.64	4.68	5.85	7.14	8.55	10.08	11.72
2.0	70〃	7/3.5	0.11	0.17	0.25	0.47	0.79	1.23	1.79	2.48	3.30	4.24	5.30	6.47	7.76	9.15	10.64
	90〃	7/4.0	0.11	0.17	0.25	0.46	0.75	1.13	1.62	2.22	2.93	3.76	4.68	5.71	6.84	8.07	9.39
	110〃	7/4	0.11	0.17	0.24	0.45	0.72	1.08	1.53	2.08	2.72	3.46	4.30	5.23	6.26	7.37	8.58
	125〃	19/2.9	0.11	0.17	0.24	0.44	0.71	1.06	1.50	2.04	2.64	3.35	4.16	5.05	6.04	7.11	8.27
	150〃	19/3.2	0.11	0.17	0.24	0.43	0.70	1.04	1.45	1.93	2.53	3.20	3.95	4.79	5.72	6.72	7.83
	180〃	19/3.5	0.10	0.16	0.24	0.43	0.69	1.02	1.42	1.90	2.45	3.09	3.81	4.61	5.49	6.44	7.48
	240〃	19/4.0	0.10	0.16	0.24	0.43	0.68	1.00	1.38	1.84	2.37	2.97	3.64	4.40	5.22	6.12	7.09
	300〃	19/4.5	0.10	0.16	0.24	0.43	0.67	0.98	1.36	1.80	2.31	2.89	3.54	4.26	5.06	5.92	6.84
	125〃	19/2.9	0.13	0.21	0.31	0.58	0.95	1.44	2.04	2.76	3.59	4.53	5.58	6.73	7.99	9.36	10.82
	150〃	19/3.2	0.13	0.21	0.31	0.57	0.92	1.38	1.95	2.62	3.40	4.28	5.27	6.36	7.54	8.82	10.20
2.5	180〃	19/3.5	0.13	0.21	0.31	0.56	0.90	1.34	1.88	2.53	3.27	4.10	5.04	6.08	7.20	8.43	9.74
	240〃	19/4.0	0.13	0.21	0.30	0.55	0.88	1.30	1.81	2.42	3.11	3.90	4.78	5.75	6.81	7.95	9.19
	300〃	19/4.5	0.13	0.21	0.30	0.54	0.87	1.27	1.77	2.35	3.02	3.77	4.61	5.54	6.56	7.65	8.83

第五十四條　本則第六十四條ノ堅牢ニ建設ストハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　木柱根入ハ地盤ガ特ニ堅キ場合ヲ除クノ外左記ニ依ルコト

木柱全長	根入
十五米未滿	木柱全長ノ六分ノ一以上
十五米以上二十米以上	二・五米以上

水田其ノ他地盤軟弱ナル箇所ニ於テハ堅牢ナル根枷ヲ施スコト

二　電線路ノ直線部分（五度以内ノ角度ヲ有スル部分ヲ含ム）ニ於ケル木柱ニハ左ノ支線ヲ電線路ト直角ノ方向ニ於テ其ノ兩側ニ施設シ又ハ之ト同等以上ノ强サヲ有スル支柱ヲ施設シ、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ノ場合ニ在リテハ第一種耐張型ノモノヲ用ヒテ本號ノ支線ヲ省略スルコトヲ得

徑間	支線
五十米以下ナル場合	十二柱間以下毎ニ四粍以上ノ鐵線五條以上
五十米ヲ超過スル場合	九柱間以下毎ニ四粍以上ノ鐵線七條以上

第五十五條　特別高壓架空電線路ニ用フル鐵柱、鐵塔及鐵筋「コンクリート」柱ハ左ノ五種トス

一　標準型（標準鐵柱、標準鐵塔又ハ標準鐵筋「コンクリート」柱以下之ニ倣フ）　鐵線路ノ直線部分ニ於テ標準徑間ヲ超過セザル箇所ニ使用スルモノ

二　角度型　電線路中角度ヲ爲シ標準徑間ヲ超過セザル箇所ニ使用スルモノ

三　耐張型　電線路中ニ保安ノ爲耐張用シテ使用スルモノ

四　引留型　電線路ノ終端等ニ於テ完全ナル引留ヲ爲ス箇所ニ使用スルモノ

五　特殊型　電線路中川越、谷越等徑間大ナル箇所其ノ他特殊ノ箇所ニ使用スルモノ

第五十六條　鐵柱、鐵塔及鐵筋「コンクリート」柱ニ依ル特別高壓架空電線路中ニハ左記ニヨリ耐張型支持物ヲ建設スルコトヲ要ス

電線路ノ支持物	耐張型支持物ノ種別
一　鐵塔	第二種耐張鐵塔　三粍以下
二　可搖鐵塔	第三種耐張鐵塔　一・五粍以下
三　鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱	第一種耐張鐵塔、第一種耐張鐵柱又ハ第一種耐張鐵筋「コンクリート」柱　一粍以下
四　可搖鐵柱	第二種耐張鐵柱、第二種耐張鐵柱又ハ第二種耐張鐵筋「コンクリート」柱　七百米以下

第五十七條　本則第六十七條第一項ノ適當ニ建設スルトハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　二萬五十ヴォルトヲ超過スル電線路ノ木柱、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニハ四粍以上ノ鐵線五條以上ヨリ成ル支線ヲ電線路ト直角ノ方向ニ設クルコト但シ木柱ノ場合ニ在リテハ之ト同等以上ノ强サヲ有スル支柱ヲ施設シ、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ノ場合ニ在リテハ第一種耐張型ノモノヲ用ヒテ本號ノ支線ヲ省略スルコトヲ得

二　腕木ニハ堅牢ナル金屬製ノモノヲ使用シ且之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト

三　「ピン」碍子ヲ直接木柱ニ取付クル場合ニ於テハ碍子心棒ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト

第五十八條　本則第六十八條第一項ノ適當ニ施設スルトハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　建造物ト接近シ又ハ其ノ上部ヲ架渉スル場合

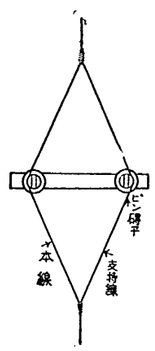
(イ)　木柱、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニハ四粍以上ノ鐵線五條以上ヨリ成ル支線ヲ支持物ト建造物トノ關係位置ニ從ヒ電線路ノ方向又ハ之ト直角ノ方向ニ設クルコト但シ木柱ノ場合ニ在リテハ之ト同等以上ノ强サヲ有スル支柱ヲ施設シ鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ノ場合ニ在リテハ第一種耐張型ノモノヲ用ヒテ本號ノ支線ヲ省略スルコトヲ得

(ロ)　腕木ニハ堅牢ナル金屬製ノモノヲ使用シ且之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト

(ハ)　「ピン」碍子ヲ直接木柱ニ取付クル場合ニ於テハ碍子心棒ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト

(ニ)　左圖ノ例ニ倣ヒ二箇以上又ハ二聯以上ノ碍子ヲ以テ電線ヲ支持スルコト

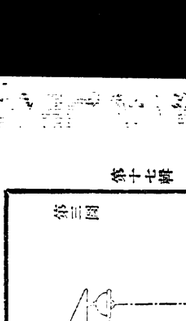
第一圖



第二圖

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

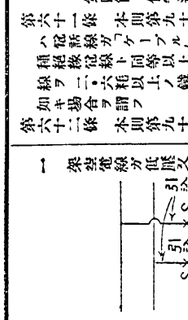
第四圖

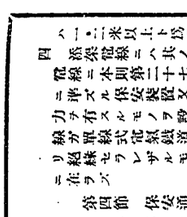


第三圖

第三節　電氣防護所

第十七章　交通電氣防護所





ヲ施設スルコト

四　電球ニハ氣密ナル外球ヲ裝備シ且堅固ナル外裝ヲ施スコト

五　電動機ハ火花ヲ發スル部分ヲ有セザルモノ又ハ火花ヲ發スル部分ニ特ニ適當ナル保安裝置ヲ施シタルモノヲ使用スルコト

六　發熱裝置ノ露出シタル電熱器ヲ使用セザルコト

第八十八條　本則第百二十八條ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　拂塵、奈落、音樂室、映寫室及道具類又ハ人ノ觸ルル虞アル場所ニ施設スル電線ニシテ導子引工事ニ依ルモノニハ第四種絕緣電線ヲ使用シ且外物ノ接觸ニ因ル損傷ヲ防止スル樣適當ノ裝置ヲ爲スコト

二　「ボーダーライト」ト屋內配線トノ接續線ニハ第二種可撓絕緣ヶ使用シ且之ノ皮革又ハ「ズック」ノ類ヲ以テ外裝スルコト但シ「ボーダーライト」ヲ移動セザル樣裝置シタル場合ニ在リテハ電線ニ一・六粍以上ノ第四種絕緣軟銅撚線ヲ使用スルコトヲ得

三　第一號ノ場所ニ使用スル電球線ニハ奈落ニ在リテハ第三種乙可撓絕緣線ヲ使用シ其ノ他ノ場所ニ在リテハ第二種可撓絕緣ヲ使用スルコト

四　第一號ノ場所ニ於テ移動シテ使用スル電線ニハ第三種乙可撓絕緣ヲ使用スルコト但シ床上ヲ引摺リ又ハ外傷ヲ受クル虞アル場合ハ之ヲ可撓金屬管、「ゴム」管ニ藏メ若ハ皮革、「ズック」ノ類ヲ以テ外裝シ又ハ麻絲其ノ他强靱ナル物質ヲ以テ更ニ絹絲シタルモノヲ使用スルコト

五　舞臺、奈落、音樂室及映寫室ノ電路ニハ他ノ屋內配線ト獨立之ヲ遮斷シ得ル樣開閉器及自動遮斷器ヲ適當ナル箇所ニ裝置スルコト

六　電球、抵抗器其ノ他溫度過昇ノ虞アル器具類ハ可燃質物ト容易ニ接觸セザル樣適當ニ施設スルコト

第八十九條　本則第百二十九條ノ適當ノ構造及施設トハ左記ノ如キヲ謂フ

一　電熱器ハ左記ニ依ルコト

(イ)　交流一キロヴォルト、直流五百ヴォルト超過スル電熱器又ハ之ニ接近シテ各極ニ適當ナル開閉器ヲ裝置スルコト但シ電熱器ニ接續スル電線又ハ可撓絕緣ニ挿込型接續器ヲ使用スル場合ハ此ノ限リニ在ラズ

(ロ)　電熱器ト電線又ハ可撓絕緣トノ接續部分ハ熱ノ爲電線又ハ可撓絕緣ヲ損傷セザル構造トシ且シ接續部分ニ於テ溫度過昇ノ虞アル場合ハ電熱器ニ接續スル電線又ハ可撓絕緣ニハ耐熱構造ノモノヲ使用スルコト

(ハ)　固定セル電熱器ハ周圍ノ可燃質物ト適當ニ離隔シ又ハ適當ナル耐熱裝置ヲ施スコト

(ニ)　百五十ヴォルト以上ノ電熱器ノ金屬製外面ハ之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト但シ使用電壓二百五十ヴォルト以下ニシテ中性點ヲ接地シタル電路ニ接續シテ使用スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

(ホ)　本號(ニ)ノ接地線ヲ可撓絕緣內ニ編込ム場合ニ於テハ其ノ部分ノ接地線ニハ一粍以上ノ軟銅撚線ヲ使用スルコトヲ得

(ヘ)　保溫電熱器(座蒲團、足溫器等、ニハ危險ナル程度ノ溫度上昇ヲ爲サザル樣自動的ニ溫度ヲ制限シ又ハ電流ヲ遮斷スル裝置ヲ施スコト

(ト)　電熱器ニハ其ノ使用電壓、ワット數(又ハ電流)及製造者名ヲ表示スルコト

二　電鈴、豆電球等ニ使用スル豆變壓器ハ左記ニ依ルコト

(イ)　單卷變壓器ヲ使用セザルコト

(ロ)　變壓器ハ一次電壓百五十ヴォルト以下、二次電壓百五十ヴォルト以下ニ二次短絡電流ニアムペア以下ノモノナルコト

(ハ)　變壓器ハ其ノ一次側端子ヶ充電部分ト人ノ容易ニ觸レザル樣施設スルコト

(ニ)　變壓器ニハ其ノ一次側及二次側端子ヲ容易ニ識別シ得ル樣適當ノ記號ヲ附スルコト

第九十條　本則第四十一條第三項及第百四十五條第二項ノ適當ニ施設シタル左ノ如ク施設スルヲ謂フ

一　架空電線ト架空弱電流電線トノ離隔距離ヲ增加スルコト

二　直流電源ノ電壓波形ヲ平滑ナラシムル裝置ヲ爲スコト

三　歸線ノ不絕緣部分及大地ニ通ズル電流ヲ減少セシムルコト

四　弱電流電線ノ地板ト電氣鐵道ノ歸線トノ距離ヲ增加スルコト

第二節　電車線路及第三軌條

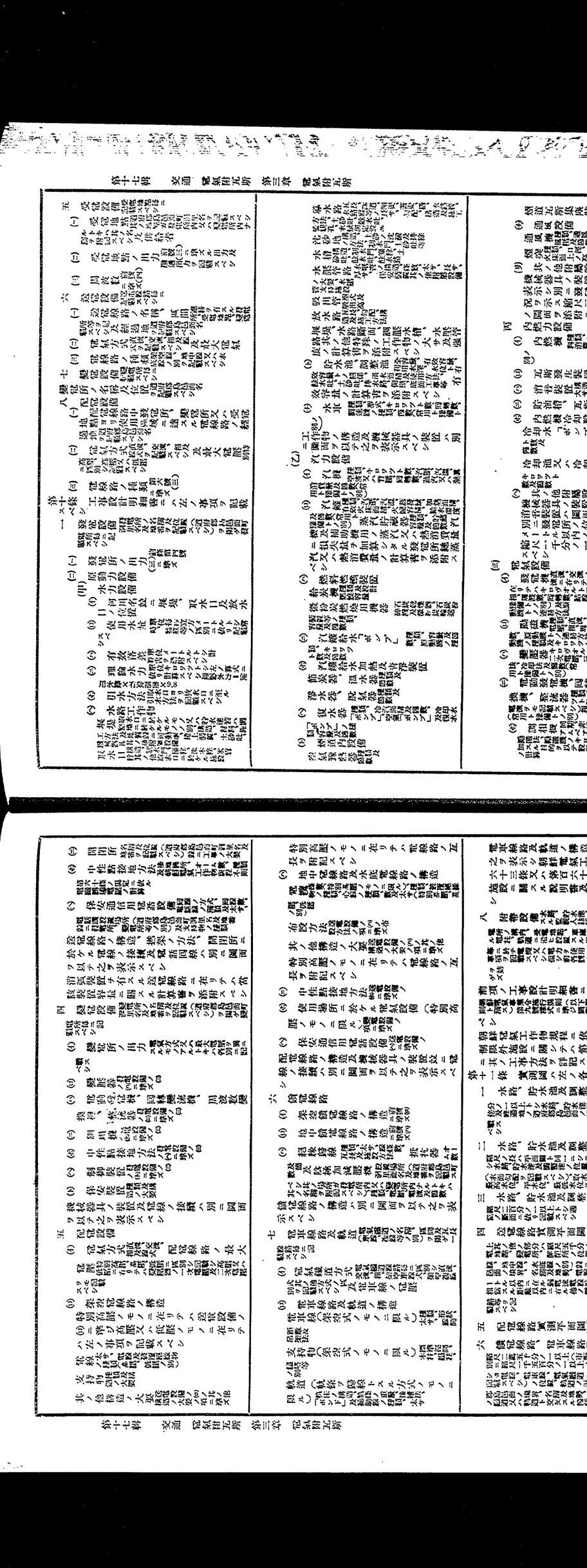
第九十一條　高壓電車線ガ道路ヲ橫斷スル箇所ニ於テハ公衆ヲシテ注意ヲ爲サシムル樣適當ナル施設ヲ爲スコトヲ要ス

第九十二條　本則第百五十三條ノ適當ノ施設トハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　電車線及之ニ接續スル吊架用絕緣ト弱電流電線トガ四十度以下ノ角度ヲ以テ交叉シ又ハ水平距離低壓ニ在リテハ二・五米以下、高壓ニ在リテハ四米以下ニ於テ竝行スルトキハ電車線又ハ吊架用絕緣ノ上部ニ細則第四十八條ニ規定スル保護網ヲ設クルコト但シ水平距離低壓ニ在リテハ一・二米以上、高壓ニ在リテハ二米以上ニシテ垂直距離各其ノ一・五倍以下ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

二　電車線及之ニ接續スル吊架用絕緣ト弱電流電線トガ四十五度ヲ超過スル角度ヲ以テ交叉スルトキハ電車線又ハ吊架用絕緣ノ上部ニ細則第四十九條ニ規定スル保護線ヲ設ケルコト

三　保護網又ハ保護線ト電車線若ハ之ニ接續スル吊架用絕緣又ハ弱電流電線トノ垂直距離ヲ低壓ニ在リテハ六十糎以上、高壓ニ在リテハ一・二米以上ト爲スコト但シ保護網ト電車線トノ垂直距離ヲ低



取水口ノ構造
導水路勾配、構造、中心
沈砂池ノ構造
水槽ノ構造
水壓管路ノ勾配、構造、接續、太サ、設置、水壓管支持構設置
吸出管ノ設置
放水路ノ勾配、中心
放水路線ノ位置

(ロ) 貯水池、調整池ノ有效容量、利用
(ハ) 水車ノ種類、キロワット數（二個以上ノ數ニ限ル）、個數

乙　汽力設備

(イ) 汽機ノ種類、キロワット數（二個以上ノ數ニ限ル）、個數
(ロ) 汽罐ノ種類、蒸發量又ハ傳熱面積（二個以上ノ數ニ限ル）、個數
蒸汽貯藏器ノ種類、貯藏容量（二個以上ノ數ニ限ル）、個數

(ハ) 燃料燃燒裝置ノ種類、燃燒機構ノ種類、發熱量
內燃力設備

(イ) 內燃機關ノ種類、キロワット數（二個以上ノ數ニ限ル）、個數
(ロ) 瓦斯發生裝置ノ種類、容量（二個以上ノ數ニ限ル）、個數
(ハ) 揩音裝置ノ種類、構造、個數

(ニ) 電氣設備

(イ) 發電機ノ種類、容量、回轉數、並列運轉ノ有無、勵磁方法、個數
(ロ) 變壓器ノ種類、容量、個數
(ハ) 變換機、整流器ノ種類、容量、個數
(ホ) 調相機ノ種類、容量、個數
(ヘ) 電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器ノ種類、容量、個數
(ト) 蓄電池ノ種類、容量、個數
(チ) 配電盤ノ種類、個數
(リ) 保安裝置ノ種類、個數

(ヌ) 送電線路ノ構造（特別高壓ノモノニ限ル）

(イ) 架空電線路ノ構造（特別高壓ノモノニ限ル）
(ロ) 地中電線路又ハ水底電線路ノ構造
（特別高壓ノモノニ限ル）

(ル) 使用場所ニ於ケル電氣設備ノ概要

(ヲ) 附帶設備

第七條第一項ノ計畫書中、名稱又ハ同條第二項第二號若ハ第三號ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ第六條ノ規定ニ準ジ遞信局長又ハ所轄遞信事務ニ之ヲ屆出ヅベシ

第八條第一項ノ規定ニ依リ工事落成ノ期限ヲ指定セラレタル場合ヲ除クノ外工事落成期限ヲ變更シタルトキ亦前項ニ同ジ

第十五條　準用事業ノ認可ヲ受ケタル者電氣工作物施設ノ認可ヲ受ケタル後第十三條ノ規定ニ依リ事業企畫書中ノ事項變更ノ認可ヲ受ケントスル場合ニ於テ其ノ事項ガ第九條ノ計畫書中ノ事項ニ相當スルモノナルトキハ認可申請書ニ其ノ旨ヲ明記シ別ニ前條ノ規定ニ依ル認可ヲ受クルコトヲ要セズ

第十六條　電氣工作物施設ノ認可ヲ受ケタル後鄰宅又ハ工場ノ構外ニ施設スル特別高壓電線路（架空、地中、水底ノ別ヲ問ハズ）、軌道（架空、地中、水底ノ別ヲ問ハズ）、運河又ハ水路ヲ橫斷シテ施設スル電線路（架空、地中、水底ノ別ヲ問ハズ）ノ位置ヲ變更セントスルトキハ第十四條ノ規定ニ準ジ遞信局長又ハ所轄遞信事務ニ之ヲ屆出ヅベシ

第十七條　電氣工作物ノ施設者第二十一條ノ規定ニ依リ使用ノ認可ヲ受ケ又ハ屆出ヲ爲シタル電氣工作物ニシテ在ニ掲グルモノノ取換ヲ爲サントスルトキハ關係ノ書類及圖面ヲ具シ其ノ旨ヲ第六條ノ規定ニ準ジ遞信局長又ハ所轄遞知事ニ屆出ヅベシ

一　水車
二　汽機、汽罐、蒸汽貯藏器
三　內燃機、瓦斯發生裝置、揩音裝置
四　發電機
五　變壓器（發電所又ハ變電所ニ設置スル三百キロヴオルトアムペア以上ノ特別高壓變壓器ヲ除ク）
六　電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器
七　調相器
八　地中電纜又ハ水底電纜（使用電壓一萬五千ヴオルト超エルモノニ限ル）

第十八條　電氣工作物ノ滅失又ハ損壞ニ因ル復舊工事ニ關シテハ緊急ノ必要アル場合ニ限リ第十四條第一項又ハ第十六條第一項ノ事項ヲ變更スルトキト雖モ直ニ工事ニ著手スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ事由並ニ關係ノ書類及圖面ヲ遞滯ナク其ノ旨ヲ第六條ノ規定ニ準ジ遞信局長又ハ所轄遞知事ニ之ヲ屆出ヅベシ

第十九條　左ノ場合ニ於テハ工事方法ヲ具シ第六條ノ規定ニ準ジ遞信局長又ハ所轄遞知事ニ屆出ヅベシ

一　汽機、汽罐、蒸汽貯藏器、消音裝置
二　內燃機、瓦斯發生裝置、揩音裝置
三　發電機
四　變壓器（發電所又ハ變電所ニ設置スル三百キロヴオルトアムペア以上ノ特別高壓變壓器ヲ除ク）
五　電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器
六　調相器
七　地中電纜又ハ水底電纜
八　電氣工作物ノ滅失又ハ損壞ニ因リ第十四條第一項又ハ第十六條第一項ノ事項ヲ變更シタルトキ

第二十條　第十四條第一項又ハ第十六條第一項ノ事項ヲ變更シタルトキハ遞滯ナク其ノ旨ヲ第六條ノ規定ニ準ジ遞信局長又ハ所轄遞知事ニ屆出ヅベシ

第二十一條　第十七條ノ規定ニ依リ使用ノ認可ヲ受ケ又ハ屆出ヲ爲シタル電氣工作物ニシテ在ニ掲グルモノノ取換ヲ爲サントスルトキハ關係ノ書類及圖面ヲ具シ其ノ旨ヲ第六條ノ規定ニ準ジ遞信局長又ハ所轄遞知事ニ屆出ヅベシ

一　水車
二　汽機、汽罐、蒸汽貯藏器
三　內燃機、瓦斯發生裝置、揩音裝置
四　發電機
五　變壓器（發電所又ハ變電所ニ設置スル三百キロヴオルトアムペア以上ノ特別高壓變壓器ヲ除ク）
六　電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器
七　調相器
八　地中電纜又ハ水底電纜（使用電壓一萬五千ヴオルト超エルモノニ限ル）

第二十二條　第十七條ノ規定ニ依リ使用ノ認可ヲ受ケ又ハ屆出ヲ爲シタル電氣工作物ニシテ在ニ掲グルモノノ取換ヲ爲サントスルトキハ關係ノ書類及圖面ヲ具シ其ノ旨ヲ第六條ノ規定ニ準ジ遞信局長又ハ所轄遞知事ニ屆出ヅベシ

一　水車
二　汽機、汽罐、蒸汽貯藏器
三　內燃機、瓦斯發生裝置、揩音裝置
四　發電機
五　變壓器（發電所又ハ變電所ニ設置スル三百キロヴオルトアムペア以上ノ特別高壓變壓器ヲ除ク）
六　電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器
七　調相器
八　地中電纜又ハ水底電纜（使用電壓一萬五千ヴオルト超エルモノニ限ル）

第二十三條　第十七條ノ規定ニ依リ使用ノ認可ヲ受ケ又ハ屆出ヲ爲シタル電氣工作物ニシテ在ニ掲グルモノノ取換ヲ爲サントスルトキハ關係ノ書類及圖面ヲ具シ其ノ旨ヲ第六條ノ規定ニ準ジ遞信局長又ハ所轄遞知事ニ屆出ヅベシ

一　水車
二　汽機、汽罐、蒸汽貯藏器
三　內燃機、瓦斯發生裝置、揩音裝置
四　發電機
五　變壓器（發電所又ハ變電所ニ設置スル三百キロヴオルトアムペア以上ノ特別高壓變壓器ヲ除ク）
六　電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器
七　調相器
八　地中電纜又ハ水底電纜（使用電壓一萬五千ヴオルト超エルモノニ限ル）

第二十四條　第十七條ノ規定ニ依リ使用ノ認可ヲ受ケ又ハ屆出ヲ爲シタル電氣工作物ニシテ在ニ掲グルモノノ取換ヲ爲サントスルトキハ關係ノ書類及圖面ヲ具シ其ノ旨ヲ第六條ノ規定ニ準ジ遞信局長又ハ所轄遞知事ニ屆出ヅベシ

一　水車
二　汽機、汽罐、蒸汽貯藏器
三　內燃機、瓦斯發生裝置、揩音裝置
四　發電機
五　變壓器（發電所又ハ變電所ニ設置スル三百キロヴオルトアムペア以上ノ特別高壓變壓器ヲ除ク）
六　電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器
七　調相器
八　地中電纜又ハ水底電纜（使用電壓一萬五千ヴオルト超エルモノニ限ル）

第二十五條　第二十一條第一項ノ規定ニ依リ電氣工作物ノ使用認可ヲ受クベキ場合ニ於テハ同時ニ電氣工作物竣功明細書（施行規則第四號樣式ニ準ジ調製ヲ當該官廳ニ提出スベシ但シ日ヲ得ザル事由アル場合ニ於テハ竣功ノ後遞滯ナク其ノ旨ヲ屆出ヅベシ）

前項但書ノ場合ニ於テハ檢查ヲ受ケズシテ使用ヲ認可セラレタルトキハ直ニ電氣工作物竣功明細書中ノ事項ニ變更ヲ生ジタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條　電氣工作物ノ施設者ハ工事著手前ニ主任技術者ヲ選任シ技術ニ關スル事項ヲ擔任セシムベシ

第二十七條　第二種電氣工作物ノ主任技術者ハ左ノ區別ニ依リ相當ノ資格ヲ有スル者又ハ電氣技術ニ關シ知識經驗ヲ有スル者ニ就キ之ヲ選任スルコトヲ要ス

一　電氣工作物ノ種類　主任技術者
(イ) 第一種　各種ノ電氣工作物
(ロ) 第二種　使用電壓三萬五千ヴオルト以下ノ電氣工作物及構內ニ施設スル各種ノ電氣工作物
(ハ) 第三種　低壓又ハ高壓ノ電氣工作物（構外ニ施設スル電氣鐵道ヲ除ク）及構內ニ施設スル使用電壓二萬五千ヴオルト以下ノ電氣工作物

低壓電氣工作物（構外ニ施設スル電氣鐵道ヲ除ク）及構內ニ施設スル使用電壓二萬五千ヴオルト以下ノ高壓電氣工作物

(ニ) 第四種　左ニ掲グル第二種電氣工作物ニ關シテハ前項ノ規定ニ拘ラズ當該使用場所ノ技術者ニシテ其ノ電氣施設ニ付相當知識經驗ヲ有スト認メラルル者ヲ選任スルコトヲ得

左ニ掲グル第二種電氣工作物ニ關シテハ前項ノ規定ニ拘ラズ當該使用場所ノ技術者ニシテ其ノ電氣施設ニ付相當知識經驗ヲ有スト認メラルル者又ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ不當ナル行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ解任ヲ命ズルコトヲ得

第三十一條　電氣工作物ノ施設者ハ主任技術者疾病、旅行其ノ他ノ事由ニ由リ一月以上工事ニ關シテハ朝鮮總督ハ左ノ場合ニ於テ電氣工作物ノ施設者ニ對シ必要ナル命令ヲ爲スコトアルベシ

(イ) 保安裝置ノ種類選定ヲ誤ルトキ
(ロ) 受電地點ノ位置及供給者
(ハ) 受電地點ノ出力二萬以上ノ電氣方式別、周波數、受電電壓
(ニ) 送電上ノ責任分界ト爲ルベキ開閉器又ハ受電能力ヲ遮斷シ得ベキ開閉器
(ホ) 保安裝置ノ種類選定ヲ誤ルトキ

五

(イ) 送電設備
(ロ) 送電線路ノ區間及經過地
(ハ) 電氣方式別（直流、交流ノ、相、線式）、最大電壓
(ニ) 架空電線路ノ構造
電線（種類、線條數、太サ）
支持物（種類、標準徑間、木柱、鐵柱、鐵筋「コンクリート」柱ノ種類、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ノ根入ノ深サ）
碍子（種類、連結ノ別）
(ホ) 地中電線路又ハ水底電線路ノ構造
電纜（線數、心數及太サ）
布設方法（引入式、堅坑式、直接埋設式等ノ別）
(ヘ) 開閉所ノ位置

(ト) 中性點接地方法（接地個所ノ數ヲ含ム）、種類
(チ) 變電設備
(リ) 變壓器（發電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）ノ位置
(ヌ) 電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器（發電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）
(ル) 調相機（發電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）
(ヲ) 中性點接地方法（接地個所ノ數ヲ含ム）、種類
(ワ) 制御裝置（發電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）
(カ) 保安裝置ノ種類（發電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）

七

(イ) 配電設備
(ロ) 配電線路ノ經過地
(ハ) 電氣方式別（直流、交流ノ、相、線式）、配電線路ノ最大電壓
(ニ) 架空電線路ノ構造（特別高壓ノモノニ限ル）（送電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）
(ホ) 地中電線路又ハ水底電線路ノ構造（特別高壓ノモノニ限ル）（送電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）

(ヘ) 使用場所ニ於ケル電氣設備（特別高壓ノモノニ限ル）（送電設備ノ(ル)ニ準ズ）

八　儲電線路

(イ) 架空電線路ノ構造（特別高壓ノモノニ限ル）（送電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）
(ロ) 地中電線路又ハ水底電線路ノ構造（特別高壓ノモノニ限ル）（送電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）
(ハ) 使用場所ニ於ケル電氣設備（特別高壓ノモノニ限ル）（送電設備ノ(ル)ニ準ズ）

第二種電氣工作物ノ主任技術者ハ第一種電氣工作物ノ主任技術者ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二種電氣工作物ノ主任技術者ハ第三種電氣工作物ノ主任技術者ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三種電氣工作物ノ主任技術者ハ第四種電氣工作物ノ主任技術者ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二種電氣工作物ノ主任技術者ハ第三種電氣工作物ノ主任技術者ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三種電氣工作物ノ主任技術者ハ第四種電氣工作物ノ主任技術者ノ職務ヲ行フコトヲ得

二　電氣工作物ノ種類　主任技術者ノ資格

(イ) 第一種　各種ノ電氣工作物
(ロ) 第二種　使用電壓三萬五千ヴオルト以下ノ電氣工作物及構內ニ施設スル各種ノ電氣工作物
(ハ) 第三種　使用電壓二萬五千ヴオルト以下ノ電氣工作物及構內ニ施設スル使用電壓二萬五千ヴオルト以下ノ高壓電氣工作物

(ニ) 第四種　左ニ掲グル第二種電氣工作物

左ニ掲グル第二種電氣工作物ニ關シテハ前項ノ規定ニ拘ラズ當該使用場所ノ技術者ニシテ其ノ電氣施設ニ付相當知識經驗ヲ有スト認メラルル者ヲ選任スルコトヲ得

第三十條　遞信局長又ハ遞知事ハ主任技術者ガ其ノ職務ヲ怠リ又ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ不當ナル行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ解任ヲ命ズルコトヲ得

第三十一條　電氣工作物ノ施設者ハ主任技術者疾病、旅行其ノ他ノ事由ニ由リ一月以上工事ニ關シテハ朝鮮總督ハ左ノ場合ニ於テ電氣工作物ノ施設者ニ對シ必要ナル命令ヲ爲スコトアルベシ

(イ) 保安裝置ノ種類選定ヲ誤ルトキ
(ロ) 受電地點ノ位置及供給者
(ハ) 受電地點ノ出力二萬以上ノ電氣方式別、周波數、受電電壓
(ニ) 送電上ノ責任分界ト爲ルベキ開閉器又ハ受電能力ヲ遮斷シ得ベキ開閉器
(ホ) 保安裝置ノ種類選定ヲ誤ルトキ

五

(イ) 送電設備
(ロ) 送電線路ノ區間及經過地
(ハ) 電氣方式別（直流、交流ノ、相、線式）、最大電壓
(ニ) 架空電線路ノ構造
電線（種類、線條數、太サ）
支持物（種類、標準徑間、木柱、鐵柱、鐵筋「コンクリート」柱ノ種類、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ノ根入ノ深サ）
碍子（種類、連結ノ別）
(ホ) 地中電線路又ハ水底電線路ノ構造
電纜（線數、心數及太サ）
布設方法（引入式、堅坑式、直接埋設式等ノ別）
(ヘ) 開閉所ノ位置

(ト) 中性點接地方法（接地個所ノ數ヲ含ム）、種類
(チ) 變電設備
(リ) 變壓器（發電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）ノ位置
(ヌ) 電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器（發電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）
(ル) 調相機（發電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）
(ヲ) 中性點接地方法（接地個所ノ數ヲ含ム）、種類
(ワ) 制御裝置（發電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）
(カ) 保安裝置ノ種類（發電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）

七

(イ) 配電設備
(ロ) 配電線路ノ經過地
(ハ) 電氣方式別（直流、交流ノ、相、線式）、配電線路ノ最大電壓
(ニ) 架空電線路ノ構造（特別高壓ノモノニ限ル）（送電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）
(ホ) 地中電線路又ハ水底電線路ノ構造（特別高壓ノモノニ限ル）（送電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）

(ヘ) 使用場所ニ於ケル電氣設備（特別高壓ノモノニ限ル）（送電設備ノ(ル)ニ準ズ）

八　儲電線路

(イ) 架空電線路ノ構造（特別高壓ノモノニ限ル）（送電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）
(ロ) 地中電線路又ハ水底電線路ノ構造（特別高壓ノモノニ限ル）（送電設備ノ(ヌ)ニ準ズ）
(ハ) 使用場所ニ於ケル電氣設備（特別高壓ノモノニ限ル）（送電設備ノ(ル)ニ準ズ）

第二種電氣工作物ノ主任技術者ハ第一種電氣工作物ノ主任技術者ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二種電氣工作物ノ主任技術者ハ第三種電氣工作物ノ主任技術者ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三種電氣工作物ノ主任技術者ハ第四種電氣工作物ノ主任技術者ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二種電氣工作物ノ主任技術者ハ第三

一　工事上電線路ノ共用ヲ已ムコトヲ得ズト認メタルトキ

二　天災其ノ他臨時事故ニ因ル電氣事業用電氣工作物ノ障害ヨリ生ズベキ電氣ノ供給又ハ使用ノ停止ヲ防セシムル爲公益上電氣ノ流用ヲ已ムコトヲ得ズト認メタルトキ

第三十七條　前條ノ命令ニ因リ必要ヲ生ジタル工事費用ノ負擔其ノ他ノ事項ハ當事者間ノ協議ニ依ル協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ朝鮮總督之ヲ裁定ス

前項ノ規定ニ依ル裁定ニ關シテハ朝鮮電氣事業令施行規則第四十三條及第四十四條ノ規定ヲ準用ス

第三十八條　電氣工作物ニ對スル檢査及命令ニ關シテハ施行規則第九十五條、第九十六條、第九十八條及第九十九條ノ規定ヲ準用ス但シ施行規則第九十六條中遞信局長及施行規則第九十八條中朝鮮總督トアルハ遞信局長又ハ道知事トス

第七章　雜則

第三十九條　電氣工作物ノ施設者ハ電氣工作物ノ施設者若ハ其ノ代表者ニ異動アリタルトキ又ハ電氣工作物ノ使用ヲ開始シ、休止若ハ廢止シタルトキハ遲滯ナク第六條ノ規定ニ準ジ遞信局長又ハ所轄道知事ニ之ヲ届出ヅベシ

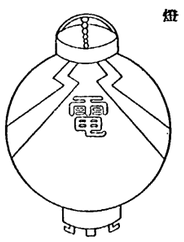
第四十條　第二種電氣工作物ノ施設者ハ毎年十二月末日現在ニ於テ別ニ告示スル所ニ依リ電氣工作物施設狀況報告書ヲ調製シ翌年二月末日迄ニ之ヲ遞信局長ニ提出スベシ

第四十一條　發電ノ原動力トシテ水力ヲ使用スル電氣工作物ノ施設者ニシテ朝鮮總督ノ指定スルモノハ河川流量其ノ他ノ事項ニ關スル報告書ヲ調製シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第四十二條　準用事業ノ認定ヲ受ケタル事業ニ關シテハ朝鮮電氣事業令施行規則第三十三條乃至第五十二條、第六十三條、第六十四條、第九十三條第三號及第四號、第百條乃至第百五條及第百十九條ノ規定ヲ準用ス

名稱ヲ墨書スベシ

標燈



注意

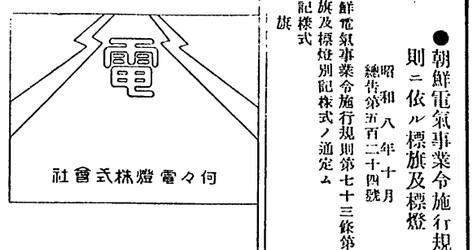
一　地色　白

二　形狀　丸形弓張提燈

三　標章色　赤

四　標章ノ下ニ電氣事業者ノ商號又ハ名稱ヲ墨書スベシ

標旗



注意

一　地色　白

二　縦　四十五センチメートル

三　横　六十センチメートル

四　標章色　赤

五　標章ノ下ニ電氣事業者ノ商號又ハ名稱ヲ墨書スベシ

●朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル標旗及標燈

昭和八年十月
總告第五百二十四號

朝鮮電氣事業令施行規則第七十三條第三項ノ標旗及標燈別記様式ノ通定ム

別記様式

●朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル電氣事業報告書様式及其ノ調製方法

昭和八年十月
總告第五百二十五號

朝鮮電氣事業令施行規則第九十條ノ規定ニ依ル電氣事業報告書様式及其ノ調製方法別記ノ通定ム

別記

電氣事業報告書調製方法

一　本報告書ノ用紙ハ縦二百九十七粍、横二百十粍ノモノヲ使用スルコト

二　本報告書ハ左綴帳簿ト爲スコト

三　本報告書ハ毎事業年度末現在及同年度中ノ事項ニ就キ之ヲ調製スルコト

四　本報告書ノ記載ハ横書トシアラビヤ數字ヲ使用スルコト

五　本報告書ニ記載スベキ計數中キロリットル、キロワット時、キロヴオルトアムペア、圓、厘ヲ單位トスルモノハ其ノ單位迄、粍、瓦ヲ單位トスルモノハ其ノ單位迄、粍、瓦ヲ單位トスルモノハ其ノ小數一位迄ヲ記載シ各其ノ未滿ハ四捨五入スルコト但シ其ノ單位ニ滿タザルモノアル場合ニハ實數ヲ記載スルコト

六　本報告書ノ記載事項ニシテ前年度ニ比シ著シキ增減アリタル場合ニハ當該表中ニ其ノ事由ヲ附記スルコト

七　本報告書ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スルコト但シ様式中該當事項ナキ表及各表中該當事項ナキ欄ハ之ヲ省略シ各欄中記載事項ナキ場合ニハ「——」印ヲ記載スルコト

様式

（表紙）

第何期　自　年　月　日
　　至　年　月　日

電氣事業報告書

所在地
事業者名

（注意　本報告書提出ヲ書留郵便ニテ爲ス場合ニハ封ニ「電氣事業報告書在中」ト記明スルコト）

（次）

順位	表名	頁
第1表	架空電線路	
第2表	地中電線路	
第3表	敷地別電線路	
第4表	地中電纜	
第5表	府郡島別配電線路	
第6表	府郡島別電燈取附數及需用家數	
第7表	府郡島別電力供給契約數及需用家數	
第8表	府郡島別電熱其ノ他ノ供給契約數及需用家數	
第9表	大口電力需用家	
第10表	內鮮人其ノ他別需用家數竝ニ供給區域內人口及戶數	
第11表	用途別電力	
第12表	積算電力計傚數	
第13表	鐵道延長及延長	
第14表	電氣鐵道用電力量	
第15表	電車運轉實績及車輛數	
第16表	發電及受電實績	
第17表	發電用燃料	
第18表	私設通信設備	
第19表	從業者	
第20表	固定資產	
第21表	有價證券、貯藏品及事業未收入金	
第22表	損益表	
第23表	送電系統圖	

注意

1　當該事項ナキ爲表ノ調製ヲ省略スル場合ニハ頁ノ欄ニ「無」ト附記スルコト

2　公共團體タル電氣事業者ニシテ第10表乃至第22表ヲ別ニ提出セントスル場合ニハ頁ノ欄ニ其ノ旨ヲ附記スルコト

一　協議ヲ爲シタル電氣工作物ニ關シ第九條ニ揭グル事項名稱（全出力又ハ受電地點出力ノ變更ヲ除ク）ニ關スル事項ノ變更セントスルトキハ協議ヲ爲スコト

二　協議ヲ爲シタル電氣工作物ニ關シ第十四條ニ揭グル事項中前號以外ノ事項若ハ第十六條第一項ニ規定スル事項ヲ變更シ又ハ第十七條若ハ第十八條ノ規定ニ該當スル場合ハ報告ヲ爲シタル電氣工作物ニ關シ第十四條ニ揭グル事項ヲ變更シタルトキハ報告ヲ爲スコト

第五十條　第十九條ニ揭グル場合ニ於テハ當該官廳ハ直ニ其ノ報告ヲ爲スコト

第五十一條　第四十八條又ハ第四十九條ノ規定ニ依リ協議ヲ爲シテ電氣工作物ノ施設又ハ變更ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ工事落成シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ遞信局長ニ報告スベシ

第五十二條　國ニ於テ施設スル電氣工作物ノ使用ヲ廢止シタルトキハ當該官廳ハ直ニ其ノ旨ヲ遞信局長ニ報告スベシ

第五十三條　第四十八條ノ規定ニ依リ協議ヲ爲シテ國ニ於テ施設シタル電氣工作物ニ關シテハ當該官廳ハ第四十條ノ規定ニ準ジ電氣工作物施設狀況報告書ヲ遞信局長ニ提出スベシ

第五十四條　國ニ於テ施設スル電氣工作物ニ關シテハ第九條乃至第十三條、第十五條、第二十條、第三十六條及第三十七條ノ規定ヲ準用ス

第五十五條　國ニ於テ施設スル電氣工作物ニ關シテハ準用事業ノ認定ヲ受ケタルモノニ關シテハ朝鮮電氣事業令施行規則第三十三條乃至第五十二條及第百條乃至第百五條ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ昭和八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依リ電氣工作物ノ施設者ニ適用スベキ個別ノ電氣工作物ノ施設者法人ナルトキハ取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ督業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六章　作物

第四十八條　因ニ於テ電氣工作物ヲ施設セントスルトキハ當該官廳ハ工事施行前第七條ニ揭グル書類及圖面ヲ具シ其ノ旨ヲ遞信局長ニ報告スベシ但シ電氣工作物ガ左ノ各號ノ一ニ當該スルモノナルトキハ遞信局長ニ協議スベシ

一　特別高壓電氣ヲ使用スルモノ

二　構外ニ亙リ施設スルモノ

第四十九條　前條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲シ又ハ協議ヲ爲シタル後ニ於テ電氣工作物ノ施設ノ變更ニ關シテハ左ノ區別ニ從ヒ遞信局長ニ報告ヲ爲スベシ又ハ協議ヲ爲スベシ

（別表）

電球ノ種類	眞空電球	瓦斯入電球
電球ノ大サ	六四三二一一一 〇〇〇五〇二〇七・五（ワット）	五三二一一 〇〇〇五〇六四 〇〇〇〇〇〇〇
公稱光度	五三二二一一 〇二四〇六〇八五（燭）	七四二一一 〇〇四七〇五三 〇〇〇〇〇〇〇
標準光度	六三二二一 〇五五〇六九六四・〇（燭） 二九五九〇二八六	七三三一一 一九四七〇五三・〇 六四三一三三・〇 五〇
標準光束	五三二二一 九五五〇五九六四・〇（ルーメン） 〇二一五七〇七五	九四三二一、 〇九〇一三六三・〇 〇五六五〇七七 〇〇〇〇二七

●朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル標準光度及標準光束

昭和八年十月
總告第五百二十三號

朝鮮電氣事業令施行規則第六十二條第二號ノ標準光度及標準光束別表ノ通定ム

第1表

架空電線路

年　月　日現在

種別			送電線路	配電線路	饋電線路	電車線路	合計	實數
電線路亙長(粁)	低壓及高壓	低壓						
		高壓						
		低壓及高壓併架						
		計						
	特別高壓	何ヴォルト						
		何ヴォルト						
		何ヴォルト内ヴォルト併架						
		計						
	合計							
回線延長(粁)	低壓							
	高壓							
	特別高壓	何ヴォルト						
		何ヴォルト						
		計						
	合計							
支持物數	木柱							
	鐵柱							
	鐵塔							
	鐵筋「コンクリート」柱							
	合計							

注意

1　同一ノ電線路ニ送電線、配電線、饋電線又ハ電車線併架ノ部分アル場合ニハ其ノ送電線、配電線、饋電線又ハ電車線ヲ各別ニ計算セル亙長ノ合計及支持物數ノ合計ハ實際ノ數量ト異ルニ付實數欄ニハ此等ヲ區別セザル實際ノ亙長及支持物數ヲ記載スルコト

2　電線路亙長及回線延長ニシテ特別高壓ノモノハ各其ノ電壓ノ異ル毎ニ電壓ノ低キモノヨリ順次記載スルコト

3　特別高壓電線路亙長中電壓(低壓及高壓ヲ含ム)ヲ異ニスルモノヲ併架スル部分ハ當該電壓ノ欄ニ含マシメズ別ニ電壓種別欄ニ其ノ電壓ヲ併記シテ記載スルコト

4　他人ノ支持物ニ自己ノ電線ヲ併架セル部分アルトキハ電線路亙長ノ當該欄ニ「他」ト冠シテ別記シ合計ニ算入セザルコト

5　第三軌條式ノモノニ在リテハ電車線路ノ欄ニ「第三軌條」ト冠シ記載スルコト

6　木柱ニ於ケル耳柱又ハ鐵柱ニ於ケル「カントリータワー」等ハ各一基トシテ記載スルコト

第2表

地中電線路

年　月　日現在

種別			送電線路	配電線路	饋電線路	合計	實數
電線路亙長(粁)	低壓及高壓	低壓					
		高壓					
		低壓及高壓併設					
		計					
	特別高壓	何ヴォルト					
		何ヴォルト					
		何ヴォルト何ヴォルト併設					
		計					
	合計						

第3表

敷地別電線路

年　月　日現在

種別			總數	內譯		
				道路	官公有地	民有地
何道	合計	架空	電線路亙長(粁)			
			支持物數			
		內譯	木柱			
			鐵柱			
			鐵塔			
			鐵筋「コンクリート」柱			
		地中	電線路亙長(粁)			

注意

自己ノ所有スル土地ニ施設セルモノアルトキハ「自」ト冠シテ別記スルコト

第4表

地中電纜

年　月　日現在

電壓	製造者名	種類	心線數	心線ノ太サ(平方粍)	回線延長(粁)

注意

1　本表ニハ特別高壓ノモノニ在リテハ電壓及製造者ノ異ル毎ニ、低壓及高壓ノモノニ在リテハ電壓ノ異ル毎ニ記載スルコト

2　水底電纜アル場合ニハ「水」ト冠シ記載スルコト

3　種類ノ欄ニハ鎧裝、非鎧裝ノ別及絶緣物ノ種類等ヲ記載スルコト

第5表　府郡島別配電線路

年　月　日現在

種別				電線路亙長（粁）			回線延長（粁）			配電用變壓器	
				高壓	低壓	實數	高壓	低壓	計	臺數	容量（キロヴオルトアムペア）
何府（又ハ何郡何島）	電燈用		架								
			地								
	電力用		架								
			地								
	電燈電力併用		架								
			地								
	計		架								
			地								
	實數		架								
			地								
合計	電燈用		架								
			地								
	電力用		架								
			地								
	電燈電力併用		架								
			地								
	計		架								
			地								
	實數		架								
			地								
總計	電燈用		架								
			地								
	電力用		架								
			地								
	電燈電力併用		架								
			地								
	計		架								
			地								
	實數		架								
			地								

注意

1 配電用變壓器ノ欄ニハ柱上變壓器其ノ他之ニ類スルモノヲ記載スルコト

2 水底電線路アル場合ニハ地中線ノ欄ニ「水」ト冠シテ記スルコト

3 特別高壓配電線路ヲ有スル場合ニハ高壓ノ欄ニ「特」ト冠シテ別記スルコト

4 電燈電力併用ノ欄ニハ同一回線ニ依リ電燈電力ヲ供給スルモノヲ記載スルコト

5 同一電線路ニ高壓及低壓電線路ヲ併架又ハ併設セル場合並ニ電燈及電力線ヲ併架又ハ併設セル場合ニハ此等ヲ各別ニ計算セル亙長ノ合計ハ實際ノ數量ト異ルニ付實數欄ニハ此等ヲ區別セザル實際ノ亙長ヲ記載スルコト

第6表　府郡島別電燈取附數及需用家數

年　月　日現在

種別				何道			總計
				何府	何郡（又ハ何島）	合計	
定額	一需用家當取附燈數別	何燈以下	需用家數				
			取附燈數				
			取附キロワット數				
	定額從量併用需用家ノ定額		需用家數				
			取附燈數				
			取附キロワット數				
	計		需用家數				
			取附燈數				
			取附キロワット數				
從量	一需用家當取附燈數別	何燈以下	需用家數				
			取附燈數				
			取附計器容量（キロヴオルトアムペア）				
			本期間供給キロワット時數				
	計		需用家數				
			取附燈數				
			取附計器容量（キロヴオルトアムペア）				
			本期間供給キロワット時數				
合計			需用家數				
			取附燈數				
不定時	取附燈數	需用家數					
		登録燈					
		何ワット又ハ何燭					
		計					
	取附キロワット數						
無料	需用家數						
	取附燈數	屋內燈					
		屋外燈					
	取附キロワット數						
總計	需用家數						
	取附燈數						
	內小型電氣器具承口數						
休止	需用家數						
	取附燈數						
	再掲	取附全部休止ノ需用家數					
		同上ニ對スル取附燈數					
臨時	本期間最大取附燈數						
	本期間一日平均取附燈數						
事業用	取附燈數						
	取附キロワット數						

注意

1 一需用家當取附燈數別ハ上記ノ區別ニ依ルコト

（定額）	（從量）
取附一燈	取附四燈以下
取附二燈	取附五燈以上
取附三燈以上	取附七燈以上
取附五燈以上	取附八燈以上
取附七燈以上	取附十燈以上
取附八燈以上	取附二十燈以上
取附十燈以上	取附三十燈以上
取附二十燈以上	取附五十燈以上
取附三十燈以上	取附百燈以上

2 定額燈ノワット又ハ燭光別ハ電氣供給規程ノ定ムル所ニ依ルコト但シ百ワット又ハ百燭ヲ超過スルモノニ付テハ下記ノ區別ニ依ルコト

三百ワット又ハ三百燭以下

五百ワット又ハ五百燭以下

一千ワット又ハ一千燭以下

一千ワット又ハ一千燭ヲ超過スルモノ

燭ニ依ルモノハ相當ワット數ヲ附記スルコト

3 電燈種類別ノ欄ニハ眞空タングステン纖條電球、瓦斯入タングステン纖條電球、炭素纖條電球、弧光燈、放電燈等種類別ニ再掲スルコト

4 定額ト從量トヲ併用スル需用家ニ在リテハ其ノ定額ニ付テハ總テ定額從量併用需用家ノ定額燈ノ欄ニ記載シ從量ニ付テハ從量ノ各相當欄ニ記載スルコト

5 不定時燈ニハ其ノ休止中ノモノヲモ含マシメ、取附燈數ハ藥量燈、漁季燈等其ノ種類別ニ記載スルコト

6 休止燈ニハ不定時燈ノ休止中ノモノヲ含マシメザルコト

7 無料燈ニハ事業用ヲ除キ寄附其ノ他無料ニテ供給スルモノヲ記載スルコト

8 臨時燈ノ本期間最大取附燈數ニハ其ノ期間ニ於ケル毎日ノ取附燈數中最大ナルモノヲ記載シ本期間一日平均取附燈數ニハ其ノ期間ニ於ケル毎日ノ取附燈數ノ合計ヲ其ノ期間ノ總日數ニテ除シタルモノヲ記載スルコト

9 電燈料金ニ依リ小型電氣器具等ニ電力ヲ供給スルモノハ其ノ承口數ヲ燈數ト看做シテ各相當欄ニ記載シ其ノ總承口數ヲ總計ノ內小型電氣器具承口數欄ニ再掲スルコト

10 事業用ノ欄ニハ自己ノ發電所、變電所、事務所等ニ使用スルモノヲ記載スルコト

第8表

府郡島別電熱其ノ他ノ電氣供給契約數及需用家數　　年　月　日現在

種別				何道 何府 晝間	何府 夜間	何府 晝夜間	何府 計	何郡(又ハ何島) 晝間	何郡(又ハ何島) 夜間	何郡(又ハ何島) 晝夜間	何郡(又ハ何島) 計	合計 晝間	合計 夜間	合計 晝夜間	合計 計	總計 晝間	總計 夜間	總計 晝夜間	總計 計
定時	定額	一契約當キロワット數別	何ワット未滿	契約口數															
				契約キロワット數															
		計		契約口數															
				契約キロワット數															
		需用家數																	
	從量	一契約當キロワット數別	何ワット未滿	契約口數															
				契約キロワット數															
				本期間供給キロワット時數															
		計		契約口數															
				契約キロワット數															
				本期間供給キロワット時數															
		需用家數																	
	合計	契約口數																	
		契約キロワット數																	
		需用家實數																	
不定時	一契約當キロワット數別	何ワット未滿	契約口數																
			契約キロワット數																
		計	契約口數																
			契約キロワット數																
	需用家數																		
總計	契約口數																		
	契約キロワット數																		
	需用家實數																		
	再掲 電熱以外 扇風機	契約口數																	
		契約キロワット數																	
	再掲 何々																		
休止	契約口數																		
	契約キロワット數																		
	需用家數																		

注意

1　本表ニハ契約電力百キロワット未滿ノ電燈及電力供給ニ依ラサル電熱、電氣扇等ノ供給ニ就キ記載スルコト

2　一契約當キロワット數別ハ下記ノ區別ニ依ルコト

(定額及不定時)	(從量)
百ワット未滿	一キロワット未滿
五百ワット未滿	三キロワット未滿
一キロワット未滿	五キロワット未滿
三キロワット未滿	十キロワット未滿
五キロワット未滿	二十キロワット未滿
十キロワット未滿	三十キロワット未滿
二十キロワット未滿	五十キロワット未滿
三十キロワット未滿	百キロワット未滿
五十キロワット未滿	
百キロワット未滿	

3　電熱以外再掲ノ欄ニハ扇風機、「ラヂオ」、單相電動機、放電燈等電氣供給規程ノ種類別ニ再掲スルコト

4　以上ノ外第7表(府郡島別電力供給契約數及需用家數)注意4,5ニ準ズルコト

第7表

府郡島別電力供給契約數及需用家數　　年　月　日現在

種別				何道 何府 晝間	何府 夜間	何府 晝夜間	何府 計	何郡(又ハ何島) 晝間	何郡(又ハ何島) 夜間	何郡(又ハ何島) 晝夜間	何郡(又ハ何島) 計	合計 晝間	合計 夜間	合計 晝夜間	合計 計	總計 晝間	總計 夜間	總計 晝夜間	總計 計
定時	定額	一契約當キロワット數別	何ワット未滿	契約口數															
				契約キロワット數															
		計		契約口數															
				契約キロワット數															
		需用家數																	
	從量	一契約當キロワット數別	何キロワット未滿	契約口數															
				契約キロワット數															
				本期間供給キロワット時數															
		計		契約口數															
				契約キロワット數															
				本期間供給キロワット時數															
		需用家數																	
	合計	契約口數																	
		契約キロワット數																	
		需用家實數																	
不定時	一契約當キロワット數別	何キロワット未滿	契約口數																
			契約キロワット數																
		計	契約口數																
			契約キロワット數																
	需用家數																		
總計	契約口數																		
	契約キロワット數																		
	需用家實數																		
	再掲 特約電力	定額	契約口數																
			契約キロワット數																
		從量	契約口數																
			契約キロワット數																
			本期間契約キロワット時數																
休止	契約口數																		
	契約キロワット數																		
	需用家數																		
	再掲	契約全部休止ノ口數																	
		同上ニ對スルキロワット數																	
臨時	本期間最大	契約口數																	
		契約キロワット數																	
	本期間一日平均	契約口數																	
		契約キロワット數																	
事業數	取附																		
	キロワット																		

注意

1　本表ニハ契約電力百キロワット未滿ノ電力供給ニ就キ記載スルコト但シ電氣事業者ニ對スル供給ハ之ヲ除クコト

2　一契約當キロワット數別ハ下記ノ區別ニ依ルコト

一キロワット未滿
三キロワット未滿
五キロワット未滿
十キロワット未滿
二十キロワット未滿
三十キロワット未滿
五十キロワット未滿
百キロワット未滿

馬力ニ依リ契約スルモノハ之ヲキロワット ニ換算スルコト

3　總計ノ內特約電力再掲ノ欄ニハ電氣供給規程ニ依ラザル電力供給ノミヲ再掲スルコ

4　不定時、休止、臨時及事業用ニ付テハ第6表(府郡島別電燈取附數及需用家數)注意5, 6, 8, 10ニ準ズルコト

5　深夜間、避尖頭時等ニ於テ供給スルモノアルトキハ適宜他ト區別シ記載スルコト

第9表

大口電力需用家

年　月　日現在

種別	供給線引込所	需用場所	名称	営業別	契約時間帯等ノ種別	契約キロワット数	常時最大需要キロワット数	備考
一 自家用電気工作物	何線何町何番地	何々	何々		昼間			
					夜間			
					昼夜間			
					計			
他ノ電気事業					昼間			
					夜間			
					昼夜間			
					計			
合計					昼間			
					夜間			
					昼夜間			
					計			

第10表

電力需用家

年　月　日現在

種別		何市何郡（又ハ何島）合計	他地域ニ亘ルモノ	総計
電灯	需用家数			
	定額灯数			
	従量灯数			
	本期間供給キロワット時数			
電力	需用家数			
	定額契約キロワット数			
	従量契約キロワット数			
	本期間供給キロワット時数			
電燈及電力	需用家数			
	定額契約キロワット数			
	従量契約キロワット数			
	本期間供給キロワット時数			
内訳	需用家数			
	契約キロワット数			
	本期間供給キロワット時数			
電燈及電力ノ他	需用家数			
	契約キロワット数			
	本期間供給キロワット時数			
計	需用家数			
	契約キロワット数			
	本期間供給キロワット時数			

注意

1 本表ニハ契約電力百キロワット以上ノ供給ヲ受ケル供給地点毎ニ記載スルコト
2 仙台電気工業株式会社ノ供給ヘ地ノ制限ニ拘ラズ其ノ総テヲ記載スルコト
3 供給区域内ニ数箇所ノ供給アル場合ニハ適宜其ノ一ヲ選ビ其ノ旨ヲ記載スルコト
4 定額灯ニハ小形電動機ヲ含ム
5 定額及従量ノ欄ニハ夫々契約キロワット数ヲ記載スルコト
6 合計及総計ノ欄ニハ他ノ電気事業ニ依リ供給ヲ受ケル地点ニ於ケル需用家ヲ含ム
7 自己ノ工場其ノ他ノ需用者ニ供給スル場合ハ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト

第11表

用途別電力

年　月　日現在

種別		何市何郡（又ハ何島）内 需用家数	何市何郡（又ハ何島）内 総契約キロワット数 定時 定額	何市何郡（又ハ何島）内 総契約キロワット数 定時 従量	何市何郡（又ハ何島）内 総契約キロワット数 不定時	何市何郡（又ハ何島）内 総契約キロワット数 計	何市何郡（又ハ何島）内 本期間供給キロワット時数	他地域ニ亘ルモノ 需用家数	他地域ニ亘ルモノ 総契約キロワット数 定時 定額	他地域ニ亘ルモノ 総契約キロワット数 定時 従量	他地域ニ亘ルモノ 総契約キロワット数 不定時	他地域ニ亘ルモノ 総契約キロワット数 計	他地域ニ亘ルモノ 本期間供給キロワット時数	総計 需用家数	総計 総契約キロワット数 定時 定額	総計 総契約キロワット数 定時 従量	総計 総契約キロワット数 不定時	総計 総契約キロワット数 計	総計 本期間供給キロワット時数
工業 紡織業	製糸業																		
	紡績業																		
	何々																		
	計																		
工業 金属業	製鉄業																		
	製銅業																		
	何々																		
	計																		
工業 機械器具	蒸汽及瓦斯機関製造業																		
	原動機製造業																		
	何々																		
	計																		
窯業	陶磁器製造業																		
	硝子及硝子製品製造業																		
	何々																		
	計																		
化工学業	製薬業																		
	染料製造業																		
	何々																		
	計																		
製品工業 製材及木	製材業																		
	何々																		
	計																		
印刷製本業	印刷業																		
	何々																		
	計																		

注意

1 本表ニハ契約電力百キロワット以上ノ需用家及電気工業株式会社ノ需用家ヲ除クコト
2 定額ト従量トヲ併用スル電燈需用家ヘハ之ヲ定額及従量併用ノ欄ニ記入スルコト
3 銀行、倉庫、官公署等ノ欄ニハ内地人、朝鮮人又ハ外人ノ何レニモ属セザル国際ノ需用家ヲ記載スルコト
4 朝鮮人及外人ハ銀行、倉庫、官公署等ノ内訳ヘ内地人ノ内訳ト同ジクスルコト
5 需用家数及総契約キロワット数ノ合計欄ニハ他ノ電気事業ニ依リ供給ヲ受ケル地点ニ於ケル需用家ノ数ヲ含ム
6 戸数ハ世帯戸数ヲ記載スルコト

| | | |

2　變電所ニシテ一般供給事業ト共用スルモノニ在リテハ電氣鐵道ニ使用セル電力量ノミヲ記載スルコト
3　電力量ハ直流側ニ於テ計量セルモノニ依ルコト但シ直流側ニ於テ計量スルコト不可能ノ場合ニハ交流側ニ於テ計量シ其ノ旨ヲ附記スルコト
4　本期間平均電力ノ欄中使用時間平均ハ電力量ノ合計ヲ使用時間數ニシ除シタルモノヲ、總時間平均ハ電力量ノ合計ヲ本期間ノ總時間數（總暦日數ニ二十四ヲ乘ジタルモノ）ニテ除シタルモノヲ記載スルコト
5　本期間最大電力ノ算出ニ付テハ第16表發電及受電實績）注意3ニ準ズルコト

第15表　電車運轉實績及車輛數

自　年　月　日
至　年　月　日

種別		本期間營業日數 日
		本期間運轉時間數 時間
本期間走行粁數	電氣機關車	
	客車	
	貨車	
	計	
本期間乘客數		
本期間載貨量（噸）		
本期間使用電力量（キロワット時）	總量	
	一車一粁平均	

車輛（期末現在）	種類		車輛數	車輛取附電動機 總箇數	車輛取附電動機 總キロワット數
	電氣機關車				
	客車	電動車			
		附隨車			
		計			
	貨車	電動車			
		附隨車			
		計			
	合計				

第16表　發電及受電實績

自　年　月　日
至　年　月　日

何發電所（注意1ノ別ニ依リ記入スルコト）	原動力ノ別	認可出力（キロワット） 最大	常時尖頭	常時	特殊	補給	豫備	融通

種別	（受）電日數	發（受）電時間數	發（受電力量（キロワット時）	最大發（受）電電力（キロワット）	平均最大發（受）電電力（キロワット）	平均發（受）電電力（キロワット）	負荷率平均（%）	利用率（%）	備考
月									
月									
月									
月									
月									
月									
本期間									

注意

1　本表ハ各發電所、各受電地點（供給者名ヲ附記スルコト）、水力發電力計、汽力發電合計、內燃力發電合計、水力汽力內燃力發電合計及受電地點合計並ニ發受電總計ニ就キ各別ニ之ヲ調製スルコト但シ受電地點異ルモ此等ノ地點ノ合成最大電力ニテ受電契約ヲ爲セル場合ニハ之ヲ一表ト爲スコト
2　火力發電所ノ發電電力量及發電電力ニ付テハ所內用電力ヲ除外セルモノヲ記載スルコト
3　最大發（受）電電力トハ積算電力計ニ依リ三十分毎ニ計量セル電力量ヲ二倍セルモノノ中其ノ月（又ハ其ノ期間）中ノ最大ナルモノヲ謂フ但シ三十分毎ニ計量スルコト困難ナル場合ニハ一時間毎ノ電力量ニ依ル此ノ場合ニハ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト
4　平均最大發（受）電電力トハ其ノ月（又ハ其ノ期間）ニ於ケル毎日ノ最大發（受）電電力ノ合計ヲ其ノ月（又ハ其ノ期間）ノ總暦日數ニテ除シタルモノヲ謂フ
5　平均發（受）電電力トハ其ノ月（又ハ其ノ期間）ノ總發（受）電電力量ヲ其ノ月又ハ其ノ期間ノ總時間數（總暦日數ニ二十四ヲ乘ジタルモノ）ニテ除シタルモノヲ謂フ
6　負荷率平均トハ毎日ノ平均發（受）電電力ヲ其ノ日ノ最大發（受）電電力ニテ除シタルモノヲ其ノ月（又ハ其ノ期間）ヲ通ジテ平均シタルモノヲ謂フ
7　利用率トハ平均發（受）電電力ヲ發電所又ハ受電地點ノ認可最大出力ニテ除シタルモノヲ謂フ
8　合計表及總計表ノ最大發（受）電電力ノ欄ニハ其ノ月（又ハ其ノ期間）ニ於ケル毎日ノ合成最大發（受）電電力ノ中最大ナルモノヲ、平均最大發（受）電電力ノ欄ニハ其ノ月（又ハ其ノ期間）ニ於ケル毎日ノ合成最大發（受）電電力ノ平均ヲ記載スルコト
合成最大發（受）電電力トハ水力發電合計ニ在リテハ各發電所ノ同時代ニ於ケル發電電力ノ和ノ中其ノ月（又ハ其ノ期間）ニ於ケル最大ナルモノヲ謂フ汽力發電合計、內燃力發電合計、水力汽力內燃力發電合計、受電合計、發受電總計ニ在リテモ亦之ニ準ズ
9　各合計表及總計表ニ於テハ發（受）電日數、發（受）電時間數及利用率ハ之ガ記載ヲ要セザルコト
10　積算電力計ヲ有セザル場合ニハ指示電力計ニ依リ指示電力計ヲモ有セザル場合ニハ電壓計及電流計ニ依リ下記ノ方法ヲ以テ發（受）電電力量及最大發（受）電電力ヲ算出シ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト
（イ）　指示電力計ニ依ル場合ニハ指示電力計ヲ三十分（若ハ一時間）毎ニ讀ミ算出スルコト
（ロ）　電壓計及電流計ニ依ル場合ニハ電壓計及電流計ヲ三十分（若ハ一時間）毎ニ讀ミ負荷ノ種別ニ依リ力率ヲ適當ニ考慮シ算定スルコト此ノ場合ニハ其ノ力率ヲモ備考欄ニ附記スルコト

第17表　發電用燃料

自　年　月　日
至　年　月　日

何發電所	原動力ノ別	認可出力（キロワット） 常時	補給	豫備	備考

本期間發電日數		本期間發電力量（キロワット時）	供給用
			所內用
本期間發電時間數			合計
本期間最大發電力（キロワット）		本期間燃料消費高	總消費量（噸）
本期間平均最大發電力（キロワット）			總價額（圓）
			平均價額（圓/噸）
本期間平均發電力（キロワット）		供給キロワット時當平均燃料消費量（瓩）	
發電時間中平均發電力（キロワット）			

燃料	種類	標準發熱量 キロカリー（瓦）	一噸當價額（圓） 平均	最高	最低	消費量（噸）	價額（圓）
	何々						

注意

1　本表ハ各汽力發電所及各內燃力發電所ニ就キ各別ニ之ヲ調製スルコト
2　所內用發電機ヲ有スルモノニ在リテハ其ノキロワット數ヲ「所內用」ト注シ備考欄ニ記載スルコト
3　本期間發電日數及本期間發電時間數ニハ所內用ノミニ使用スル爲發電セル場合ノ發電日數及發電時間數ヲ合マシメザルコト
4　本期間最大發電電力、本期間平均最大發電電力、本期間平均發電電力ノ算出ニ付テハ第16表（發電及受電實績）注意3.4.5ニ準ズルコト但シ所內用發電機ヲ有スルモノニ在リテハ其ノ發電電力ト主要發電機ノ發電電力トノ合成電力ニ依ルコト
5　發電時間中平均發電電力トハ本期間總發電電力量ヲ本期間總發電時間數ニテ除シタルモノヲ謂フ
6　本期間發電電力量ノ供給用トハ本期間總發電電力量ヨリ本期間ノ所內用電力量ヲ控除シタルモノヲ謂フ
7　燃料ノ種類ハ粉炭、切込炭、塊炭、無煙炭、瓦斯、「コークス」、木炭、重油等ニ區別シテ記載シ石炭及重油ニ在リテハ其ノ產地名ヲ附記スルコト

第18表　私設通信設備

年　月　日現在

種類		線路亙長（粁） 強電流電線路ニ添架ノモノ	獨立電線路	回線延長（粁）	電話機箇數
有線通信設備	朝鮮電氣工作物規程本則第九十條ノ規定ニ依ルモノ				
	私設電話電話規則第一條第一號ニ依ルモノ				
	其ノ他				
	合計				

搬送式電話設備	搬送線路亙長（粁）	電話機接續箇所	電話機箇數

注意

1　同一ノ強電流電線路又ハ獨立電線路ニ各種ノ電話線ヲ添架セル部分アルトキハ種別毎ニ計上セル線路亙長ノ合計ハ實際ノ數量ト異ルニ付合計欄ニハ此等ヲ區別セザル實數ヲ記載スルコト
2　從前私設電信電話規則第一條第一號又ハ同條第三號ニ依ルモノトシテ許可セラレタルモノト雖モ現ニ朝鮮電氣工作物規程本則第九十條ノ規定ニ該當スルモノハ當該欄ニ之ヲ設上スルコト

第19表

役　業　者

年　月　日　現　在

科目	電気供給										電気鉄道				瓦斯業				総計
	他人ヨリ購入シ又ハ分電シタル者	変電所	送電線路	配電線路	需用家屋内設備	工業ノ動力用ニ供シタル人口	改正	総数	電車		合計	何々		合計	何々		合計	総計ニ対スル人口ノ割合
									何々	計									
水力																			
汽力																			
内燃																			
計																			

注意

1　電気鉄道事業ノ運転ニ必要ナル発電所ハ電気供給ノ欄ニ記載スルコト

2　総数ニ対スル人口ノ割合ハ役員又ハ管理者ヲ含マシメザルコト

第20表

固　定　資　産

年　月　日　現　在

種別		帳価	減価額	減価償却累計 引当金又ハ積立金除額 (cm)	減価償却累計 引当金又ハ積立金率 (cm)	備考
発電所	水力					
	汽力					
電柱	内燃力					
	計					
送電線	三万ボルト超過五千ボルト以下					
	五千ボルト超過ノ地中					
	同上ノ架空					
	計					
変電所						
総合計						

注意

1　本表ノ項目ハ朝鮮電気事業会計規程第三条ノ規定ニ依ル勘定科目ノ内容ニ準ジ之ヲ記載スルコト

2　減価償却ノ累計額ハ現存資産ニ対スルモノヲ記載スルコト（朝鮮電気事業会計規程施行前ノ消却累計ハ之ヲ記載スルノ要ナキモ若之ヲ記載スルトキハ同規程施行後ノモノト区別シ表示スルコト）

3　三万五千ボルトヲ超過スル発電設備トハ三万五千ボルトヲ超過スル送電線路ニ接続スルモノヲ謂フ

4　常用者以内設備ノ備考欄ニハ蓄電池ニ属スル電槽別総数及電力取扱キロワット数ヲ何店或ハ地域毎ニ記載スルコト

5　電気鉄道設備中ニ蒸気ノ電力設備（変電設備）アル場合ニハ本表電気供給事業ノ内ニ準ジ記載スルコト

6　建設工事開始ノ備考欄ニハ発電所名、送電線路名等ヲ夫々附記スルコト

第21表

有価証券、貯蔵品及未収未払入金

年　月　日　現　在

種別			金額 (cm)	備考
所有有価証券	株券	関係会社		
		特定投資		
		流動資産		
	公債			
	計			

種別		金額	備考
供給品	関係会社		
	特定投資		
	流動資産		
	計		
貯蔵品	発電用燃料		
	電気鉄道業用		
	瓦斯業用		
	計		
未収入金	電気供給事業		
	電気鉄道事業		
	瓦斯事業		
	電熱其ノ他ノ供給事業		
	供給雑益		
	計		
	其ノ他		
	合計		

注意

本表ノ項目ハ朝鮮電気事業会計規程第三条ノ規定ニ依ル勘定科目ノ内容ニ準ジ之ヲ記載スルコト

損益表

自　年　月　日
至　年　月　日

損失

種別		金額 給料手當	修繕費	諸稅	公物使用料	借地及借家料	火災保險料	油煙費	燃料費	需用品費	集金費	電球取換費	其ノ他(四)	合計	備考
電氣供給事業	發電費	水力													
		汽力													
		內燃力													
		計													
	送電費	三萬五千ヴォルトヲ超過スルモノ													
		三萬五千ヴォルト以下													
		計													
	變電費	三萬五千ヴォルトヲ超過スルモノ													
		三萬五千ヴォルト以下													
		計													
	配電費	何店區域													
		計													
	需用者屋內費	何店區域													
		計													
	業務費	何店													
		計													
	合計														
購入電力料															
減價償却	營業設備														
	發電設備														
	送電設備														
	變電設備														
	配電設備														
	需用者屋內設備														
	建設利息														
	計														
以上合計															
電力費損耗額(控除)															
差引合計															

第22表

損益表

自　年　月　日
至　年　月　日

利益

種別			金額 定額料金	從量料金	臨時料金	不定時料金	特約料金	休止中料金	計器損料	設備損料	器具損料	合計(四)	備考
電氣供給事業利益	電燈料	何店區域											
		計											
	電力料	何店區域											
		計											
	供給熱料金其ノ他ノ	何店區域											
		計											
	供給雜益	何店區域	諸工料										
			器具資上益										
			其ノ他										
			小計										
		計											
	合計												
他事業利益	電氣鐵道收益												
	雜業收益	何業收益											
		合計											
事業外經常利益	有價證券利息及配當金												
	受入利息												
	其ノ他												
	合計												
臨時利益													
總計													

アジア歴史資料センター
http://www.jacar.go.jp

種別			金額(円)	備考
他事業損失	電氣鐵道費	電氣鐵道費		
		內電力費振替分控除		
		何々		
		計		
	兼業費	何々業費		
		合計		
		內電力費振替分控除		
事業外經常損失	總係費	役員給料手當		
		修繕費		
		保險料		
		諸稅		
		借地及借家料		
		火災保險費		
		其ノ他		
		減價償却計		
		合計		
	所得稅及割增稅	所得稅		
		割增稅		
		合計		
	退職給與金引當			
	支拂利息	社債利息		
		借入金利息		
		何々		
		合計		
	社債差金及發行費償却			
	雜損失	電氣供給事業休止固定資產除却損		
		其ノ他		
		合計		
臨時損失				
總計				

注意

1　本表ノ項目ハ朝鮮電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ內容ニ準ジ之ヲ記載スルコト
2　汽力發電所ニ於ケル汽罐用水料ハ油脂類費中ニ合マシメ之ガ金額ヲ備考欄ニ附記スルコト
3　電氣鐵道費中ノ電力費ニシテ專屬ノ購入電力料、送電費、變電費等アル場合ニハ本表電氣供給事業損失ノ內譯ニ準ジ記載スルコト
4　當該事業年度ニ於テ分割シタル關聯費ハ其ノ內譯ヲ附記說明スルコト
5　電力費振替額ノ內容ヲ附記說明スルコト

第23表

送・電　系　統　圖

在現日　月　年

注意

1　本表ハ朝鮮電氣事業令施行規則第八號樣式(送電系統圖)ニ依リ之ヲ調製スルコト
2　本表ニ使用スル用紙ハ規定ノ寸法ニ依ラザルコトヲ得

●朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル發電及送電豫定計畫資料樣式及其ノ調製方法

朝鮮電氣事業令施行規則第百五條ノ規定ニ依ル發電及送電豫定計畫資料樣式及其ノ調製方法別記ノ通定ム

昭和八年十月
總督第五百二十七號

別記

一　發電及送電豫定計畫資料調製方法

本資料ノ用紙ハ第一表發電及受電實績旬報ハ縱二百九十七粍、橫二百十粍、縱二百九十七粍、橫四百二十粍又ハ縱四百二十粍、橫五百九十四粍ノモノヲ、其ノ他ハ圖面ヲ除クノ外縱二百九十七粍、橫二百十粍又ハ縱二百九十七粍、橫四百二十粍ノモノヲ使用スルコト但シ縱及橫ノ寸法ヲ五ニ變更シテ使用スルコトヲ得

二　本資料ハ別記樣式ニ依リ之ヲ調製スルコト但シ提出スベキ表中該當事項ナキ場合ニハ「無」ト記載シ各表中該當事項ナキ欄ハ之ヲ省略シ各欄中記載事項ナキ場合ニハ「——」印ヲ記載スルコト

別表　第1表

非業務名　　發電及受電電力量旬報

年　月　旬分

種別	發電												受電												平均電力(キロワット)			合成最大電力(キロワット)			備考
	水力												火力												合計						
	何々發電所												何々發電所																		
	計器讀取時間												計器讀取時間																		
	1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12							

注意

1　本表ハ總出力(最大出力)一千キロワット以上ノ電氣事業者ニ限リ之ヲ調製スルコト

2　本表ハ次旬ノ末日迄ニ之ヲ提出スルコト

3　二以上ノ供給者ヨリ受電スル場合ニハ供給者別ニ記載シ受電地點（受電地點ト計量地點ト異ル場合ニハ兩者ヲ附記スルコト

4　受電電力中ニ融通電力アル場合ニハ當該欄ニ「融通」ト附記スルコト

5　平均電力トハ每日ノ電力量ヲ二十四時間ニテ除シタルモノヲ謂フ

6　最大發電電力又ハ最大受電電力トハ各發電所又ハ各受電地點ニ於テ積算電力計ニ依リ三十分每ニ計量セル發電電力量又ハ受電電力量ヲ二倍セルモノノ中一日中ニ於ケル最大ナルモノヲ謂フ但シ三十分每ニ計量スルコト困難ナル場合ニハ一時間每ノ電力量ニ依ル此ノ場合ニハ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト

7　合成最大電力ハ水力、火力、水火力(水火力合成)、受電及此等ノ總體(總合成)ノ各ニ就キ之ヲ求ムルコト

水力ノ合成最大電力トハ各水力發電所ノ同時刻ニ於ケル發電電力ノ和ノ中一日中ニ於ケル最大ナルモノヲ謂フ火力、水火力、受電及此等ノ總體ノ合成最大電力亦之ニ準ズ

8　積算電力計ノ設備ヲ有セザル場合ニハ指示電力計ニ依リ、指示電力計ノ設備ヲモ有セザル場合ニハ電壓計及電流計ニ依リ下記ノ方法ヲ以テ發電電力量又ハ受電電力量及最大發電電力又ハ最大受電電力ヲ算出シ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト

イ　指示電力計ニ依ル場合ニハ指示電力計ヲ三十分(若ハ一時間)每ニ讀ミ算出スルコト

ロ　電壓計及電流計ニ依ル場合ニハ電壓計及電流計ヲ三十分(若ハ一時間)每ニ讀ミ負荷ノ種別ニ依リ力率ヲ適當ニ考慮シテ算定スルコト

9　出力三千キロワット以上ノ火力發電所ニ在リテハ發電電力量ノ欄ニ每日ノ發電時間數ヲ附記スルコト

10　合成最大電力ノ發生時刻ハ其ノ合成最大電力ガ例ヘバ午後六時ヨリ同六時三十分ニ至ル三十分間ノ電力量ニ依リ決定セラレタルモノナルトキハ之ヲ六時三十分ト記入スルコト

11　發電電力量又ハ受電電力量及最大發電電力又ハ最大受電電力ノ一箇月ノ合計、平均及最大五日ノ平均並ニ一箇月ノ發電又ハ受電時間數ハ各月下旬ノ旬報ノミニ記載スルコト

最大五日ノ平均トハ各月ノ每日ノ最大電力ノ最大ナルモノヨリ順次五日分ヲ採リ之ヲ平均セルモノヲ謂フ

12　事故其ノ他ノ事由ニ因リ發電電力若ハ受電電力ノ低下又ハ運轉若ハ受電ヲ休止セル場合ニハ備考欄ニ其ノ事由、休止時間等ヲ附記スルコト

第2表

發電及受電實績月報

事業者名　　年　月分

種別		發(受)電日數	發(受)電時間數	發(受)電電力最少(キロワット時)	最大發(受)電電力(キロワット)	平均最大發(受)電電力(キロワット)	最大五日ノ平均發(受)電電力(キロワット)	平均發(受)電電力(キロワット)	負荷率平均(%)	利用率(%)	備考
水	何々發電所										
	何々發電所										
南	合計										
火	何々發電所										
	何々發電所										
力	合計										
受	何々會社										
	何々會社										
電	合計										
總計											

注意

1　本表ハ總出力(最大出力)一千キロワット未滿ノ電氣事業者ニ限リ每月調製シ翌月ノ二十日迄ニ之ヲ提出スルコト

2　最大發(受)電電力トハ積算電力計ニ依リ三十分每ニ計量セル電力量ヲ二倍セルモノノ中其ノ月中ノ最大ナルモノヲ謂フ但シ三十分每ニ計量スルコト困難ナル場合ニハ一時間每ノ電力量ニ依ル此ノ場合ニハ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト

3　平均最大發(受)電電力トハ其ノ月ニ於ケル每日ノ最大發(受)電電力ノ合計ヲ其ノ月ノ總曆日數ニテ除シタルモノヲ謂フ

4　最大五日ノ平均發(受)電電力トハ各月ニ於ケル每日ノ最大電力ノ中最大ナルモノヨリ順次五日分ヲ採リ之ヲ平均セルモノヲ謂フ

5　平均發(受)電電力トハ其ノ月ノ總發(受)電電力量ヲ其ノ月ノ總時間數（總曆日數ニ二十四ヲ乘ジタルモノ）ニテ除シタルモノヲ謂フ

6　負荷率平均トハ每日ノ平均發(受)電電力ヲ其ノ日ノ最大發(受)電電力ニテ除シタルモノヲ其ノ月ヲ通ジテ平均シタルモノヲ謂フ

7　利用率トハ平均發(受)電電力ヲ發電所又ハ受電地點ノ認可最大出力ニテ除シタルモノヲ謂フ

第3表

第三水曜日發電及受電實績表

事業者名　　年　月　日分

種別			發電 水力	發電 火力	受電 何々會社	受電 計	合計	備考
發電	午前	0.30						
		1. 0						
		1.30						
		2. 0						
		2.30						
		3. 0						
		3.30						
		4. 0						
		4.30						
		5. 0						
		5.30						
		6. 0						
		6.30						
		7. 0						
		7.30						
		8. 0						
		8.30						
		9. 0						
		9.30						
		10. 0						
		10.30						
		11. 0						
		11.30						
		12. 0						
	午後	0.30						
		1. 0						
		1.30						
		2. 0						
		2.30						
		3. 0						
		3.30						
		4. 0						
		4.30						
		5. 0						
		5.30						
		6. 0						
		6.30						
		7. 0						
		7.30						
		8. 0						
		8.30						
		9. 0						
		9.30						
		10. 0						
		10.30						
		11. 0						
		11.30						
		12. 0						
	合計							
平均電力（キロワット）								
最大電力（キロワット）								
負荷率(%)								

注意

1　本表ハ每月調製シ總出力（最大出力）一千キロワット以上ノ電氣事業者ニ在リテハ其ノ月中旬分ノ發電及受電實績旬報ト共ニ、一千キロワット未滿ノ電氣事業者ニ在リテハ其ノ月ノ發電及受電實績月報ト共ニ提出スルコト

2　0時30分トアル欄ニハ零時ヨリ零時三十分ニ至ル三十分間ノ電力量ヲ、1時30分トアル欄ニハ零時三十分ヨリ一時ニ至ル三十分間ノ電力量ヲ記載スルコト以下之ニ準ズ

3　受電電力ハ各供給者每ニ記載スルコト

4　第三水曜日ガ祝祭日等ニ該當シ負荷ノ著シク增減スル場合ニハ第三水曜日ノ外第三木曜日ノ實績ニ就キテモ調製スルコト

5　本表ニハ水力、火力、受電及總合成ニ對スル負荷曲線圖（階段式ニ依リ調製スルコト）ヲ添附スルコト

第4表

負荷實績旬報

事業者名　　年　月　旬

種別		何々方面 供給電力量（キロワット時） 電燈電力 何々變(發)電所	何々變(發)電所	計	電氣鐵道 何々變(發)電所	何々變(發)電所	計	合計	電氣事業者ニ對スル供給 何々會社	何々會社	合計	總計	何々方面 平均電力（キロワット） 電燈電力	電氣鐵道	計	電氣事業者ニ對スル供給	合計	總計 供給電力量（キロワット時） 電燈電力	電氣鐵道	計	電氣事業者ニ對スル供給	合計	總計 平均電力（キロワット） 電燈電力	電氣鐵道	計	電氣事業者ニ對スル供給	合計
計量點電壓																											
曜	1日																										
	2																										
	3																										
	4																										
	5																										
	6																										
	7																										
	8																										
	9																										
	0																										
合計																											
平均																											
一箇月	合計																										
	平均																										

種別		最大供給電力（キロワット） 電燈電力 何々變(發)電所	何々變(發)電所	合成	時刻	電氣鐵道 何々變(發)電所	何々變(發)電所	合成	時刻	電燈電力電氣鐵道合成	時刻	電氣事業者ニ對スル供給 何々會社	何々會社	合成	時刻	總合成	時刻	負荷率（%） 電燈電力	電氣鐵道	電燈電力電氣鐵道合成	電氣事業者ニ對スル供給	總合成	總計 合成最大供給電力（キロワット） 電燈電力	時刻	電氣鐵道	時刻	電燈電力電氣鐵道合成	時刻	電氣事業者ニ對スル供給	時刻	總合成	時刻	負荷率（%） 電燈電力	電氣鐵道	電燈電力電氣鐵道合成	電氣事業者ニ對スル供給	總合成
曜	1日																																				
	2																																				
	3																																				
	4																																				
	5																																				
	6																																				
	7																																				
	8																																				
	9																																				
	0																																				
合計																																				
平均																																				
一箇月	合計																																				
	平均																																				
	最大五日平均																																				
供給時間	本旬																																				
	一箇月																																				

備考

注意

1　本表ヲ調製スベキ電氣事業者及其ノ提出期間ハ第1表(發電及受電實績旬報)ト同樣ナルコト但シ發電及受電實績旬報ヲ以テ本表ヲ兼用シ得ル場合ニハ本表ノ調製ヲ省略スルコトヲ得此ノ場合ニハ發電及受電實績旬報ノ備考欄ニ其ノ旨ヲ附記スルコト

2　電氣事業者ニ對スル供給電力中ニ融通電力アル場合ニハ第1表注意4ニ依ルコト

3　供給電力最ト供給電力ハ電氣事業者ニ供給スルモノニ在リテハ供給地點、其ノ他ノモノニ在リテハ直接配電スル發電所、變電所又ハ之ニ準ズル箇所ニ於テ計量スルコト

4　最大供給電力トハ竪算電力計ニ依リ三十分毎ニ計量セル供給電力最ヲ二倍セルモノノ中一日中ニ於ケル最大ナルモノヲ謂フ但シ三十分毎ニ計量スルコト困難ナル場合ニハ一時間毎ノ電力最ニ依ル此ノ場合ニハ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト

5　電氣鐵道ノ供給電力最及最大供給電力ハ直流側ニテ計量セルモノヲ記載シ且供給電力最ノ毎旬ノ合計及一箇月合計ノ欄ニ交流側ニテ計量セル電力最ヲモ赤字ニテ併記スルコト但シ直流側ニテ計量シ難キトキハ交流側ニテ計量セルモノヲ記載シ且備考欄ニ其ノ旨ヲ附記スルコト

6　最大供給電力ノ合成ハ電燈電力、電氣鐵道、電燈電力及電氣鐵道、電氣事業者ニ對スル供給及此等ノ總號(總合成)ノ各ニ就キ之ヲ求ムルコト
最大供給電力ノ電燈電力ノ合成ノ欄ニハ電燈電力ニ供給セル各發電所、變電所ノ同時刻ニ於ケル供給電力ノ和ノ中一日中ニ於ケル最大ナルモノヲ記載スルコト電氣鐵道、電燈電力及電氣鐵道、電氣事業者ニ對スル供給及此等ノ總號ノ合成ノ欄亦之ニ準ジ記載スルコト
總計ノ欄ニ於ケル合成最大供給電力ハ各方面ヲ通ジタルモノニ就キ前項ニ準ジ記載スルコト

7　負荷率トハ平均電力ト之ニ對應スル合成最大電力トノ比ノ百分率ヲ謂フ
最大五日ノ平均ニ對スル負荷率ノ欄ニハ一箇月ノ平均電力ト最大五日ノ平均最大電力トノ比ノ百分率ヲ記載スルコト

8　以上ノ外第1表注意5. 8. 10. 11. 12.ニ依ルコト

第5表　事業者名　　第三水曜日負荷實績表　　年　月　日分

種別		時分	何々方面 電燈電力	電氣鐵道	電氣事業者ニ對スル供給 何々會社	何々會社	計	合計	備考
供給電力	午前	0.30							
		1.0							
		1.30							
		2.0							
		2.30							
		3.0							
		3.30							
		4.0							
		4.30							
		5.0							
		5.30							
		6.0							
		6.30							
		7.0							
		7.30							
		8.0							
		8.30							
		9.0							
		9.30							
		10.0							
		10.30							
		11.0							
		11.30							
		12.0							
	午後	0.30							
		1.0							
		1.30							
		2.0							
		2.30							
		3.0							
		3.30							
		4.0							
		4.30							
		5.0							
		5.30							
		6.0							
		6.30							
		7.0							
		7.30							
		8.0							
		8.30							
		9.0							
		9.30							
		10.0							
		10.30							
		11.0							
		11.30							
		12.0							
	合計								
平均電力（キロワット）									
最大電力（キロワット）									
負荷率（%）									

注意

1　本表ハ總出力(最大出力)一千キロワット以上ノ電氣事業者ニ限リ毎月調製シ其ノ月中何分ノ負荷實績旬報ト共ニ之ヲ提出スルコト但シ第3表（第三水曜日發電及受電實績表）ヲ以テ本表ヲ兼用シ得ル場合ニハ本表ノ調製ヲ省略スルコトヲ得此ノ場合ニハ第3表ノ備考欄ニ其ノ旨ヲ附記スルコト

2　本表ハ方面別及其合計ニ就キ記載スルコト

3　電氣事業者ニ對スル供給ハ各受電者別ニ記載スルコト

4　以上ノ外第3表注意2.4.ニ依ルコト

5　本表ニハ電燈電力、電氣鐵道及總合成ニ對スル負荷曲線圖（階段式ニ依リ調製スルコト）ヲ添附スルコト

第6表

水力發電力調書

事業者名　　年自至　月分

水系名及河川名		合計
發電所名		

認可出力（キロワット）	最大	
	常時尖頭	
	常時	
	特殊	
設計出力（キロワット）		

種別		可能發電力	實際發電力	餘剰發電力	貯水量				可能發電力	實際發電力	餘剰發電力	貯水量	
平均（キロワット）	1月												
	2												
	3												

種別		可能發電力	實際發電力	餘剰發電力	尖頭負荷繼續時間	尖頭負荷時ノ餘剰發電力量	可能發電力	實際發電力	餘剰發電力	尖頭負荷繼續時間	尖頭負荷時ノ餘剰發電力量
平均最大（キロワット）	1月										
	2										
	3										

本期間中	可能發電力量			
	實際發電力量			
	餘剰發電力量			
本期間中	最低十日ノ可能發電力平均		月	
	同上日ノ實際發電力平均		日	
備考				

注意

1　本表ハ最大出力一千キロワット以上ノ水力發電所ニ就キ下記ニ依リ之ヲ調製シ提出スルコト

調査期間	提出期間
一月乃至三月	四月二十日迄
四月乃至六月	七月二十日迄
七月乃至九月	十月二十日迄
十月乃至十二月	一月二十日迄

2　同一水系、同一河川ニ在ル發電所ハ上流ニ在ルモノヨリ順次記載スルコト

3　調査期間中ニ於テ認可出力又ハ設計出力ニ變更アリタル場合ニハ其ノ變更ノ期日及變更前後ニ於ケル出力ヲ當該欄ニ記載スルコト

4　可能發電力ノ平均ノ欄ニハ實際發電ノ有無ニ拘ラズ各發電所ニ於テ河川實際流量ヲ許可引用水量ノ範圍内ニ於テ引用シ之ヲ全部使用發電スルモノト假定セル場合ノ每日ノ發電電力量ノ一箇月間ノ累計ヲ其ノ月ノ總時間數（總曆日數ニ二十四ヲ乘ジタルモノ以下之ニ準ズ）ニテ除シタルモノヲ記載スルコト但シ貯水池其ノ他ニ依リ長期ニ亙リ水量ノ調節ヲ行フ發電所ニ在リテハ下記ニ依ルコト

餘剰放流水量アル日ニ在リテハ其ノ餘剰放流水量ト實際發電ニ使用セル水量トヲ併セテ許可使用水量ヲ限度トシテ發電スルモノト假定セル場合ノ每日ノ發電電力量ヲ、餘剰放流水量ナキ日ニ在リテハ實際發電電力量ヲ採リ其ノ一箇月間ノ累計ヲ其ノ月ノ總時間數ニテ除シタルモノヲ記載スルコト

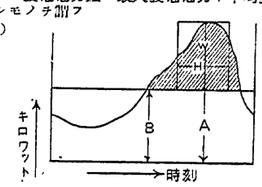
5　可能發電力ノ平均最大ノ欄ニハ各發電所ノ每日ノ尖頭負荷時ニ於ケル可能發電力ヲ下記各號ニ從ヒ算出シ其ノ一箇月間ノ平均ヲ記載スルコト

イ　貯水池、調整池等ヲ有セザル發電所ニ在リテハ尖頭負荷時ニ於ケル河川ノ實際流量ヲ許可引用水量ヲ限度トシテ引用シ之ヲ全部使用發電スルモノト假定セル場合ノ發電力但シ水路其ノ他ニ相當調整容量ヲ有スルモノニ在リテハ次號(ロ)ニ準ジ算出記載シ備考欄ニ其ノ旨ヲ附記スルコト

ロ　調整池ニ依リ引用水量ヲ調整スル發電所ニ在リテハ尖頭負荷時ニ於ケル河川ノ實際流量ヲ許可引用水量ヲ限度トシテ引用セル水量ト調整池ニ實際貯有セル有效水量トヲ尖頭負荷繼續時間（註參照）中平均シテ全部使用發電スルモノト假定セル場合ノ發電力但シ上記ニ依リ算出セル可能發電力ハ許可最大使用水量ニ相當スル發電力ヲ以テ限度トスルコト

註　尖頭負荷繼續時間トハ各發電所ノ每日負荷曲線ニ於テ平均發電電力ヲ超過スル部分（二箇以上ノ尖頭負荷部分ヲ有スル場合ニ在リテハ孰レカ大ナル方ヲ採ルモノトス）ノ發電電力量ヲ最大發電電力ト平均發電電力トノ差ニ相當スル電力ヲ以テ除シタルモノヲ謂フ

（下圖參照）



A＝最大發電電力（キロワット）
B＝平均發電電力（キロワット）
W＝負荷曲線ノ平均電力ヲ超過セル部分（斜線ヲ施セル部分）ノ電力量（キロワット時）
H＝尖頭負荷繼續時間（時）

$$H = \frac{W}{A - B}$$

ハ　貯水池其ノ他ニ依リ長期ニ亙リ水量ノ調節ヲ行フ發電所ニ在リテハ尖頭負荷時ニ於テ實際發電ノ量ニ使用セル最大水量（(2)ニ準ジ計算セルモノ）ト同時間ニ於ケル餘剰放流水量トヲ併セテ許可最大使用水量ヲ限度トシテ發電スルモノト假定セル場合ノ發電力但シ餘剰放流水量ナキ場合ニハ尖頭負荷時ニ於ケル實際最大發電電力ヲ以テ可能發電力トスルコト

6　水路、機械等ノ修理又ハ故障等ノ爲數日ニ亙リ發電休止又ハ發電力減退セル場合ニハ其ノ程度ニ應ジテ可能發電力ヲ減ジ且其ノ減退ノ程度ヲ備考欄ニ附記スルコト

7　舟運、灌漑、漁業等ノ爲放流セル水量ハ可能發電力及可能發電力量ニ加算セザルコト

8　實際發電電力ノ平均ノ欄ニハ各發電所ニ於ケル每日ノ實際發電電力量ノ一箇月間ノ累計ヲ其ノ月ノ總時間數ニテ除シタルモノヲ記載スルコト

9　實際發電電力ノ平均最大ノ欄ニハ各發電所ノ每日ノ最大發電電力（三十分若ハ一時間等ニ積算電力計ヲ讀ミ決定スルコト）ノ一箇月間ノ合計ヲ其ノ月ノ總曆日數ニテ除シタルモノヲ記載スルコト

10　餘剰發電電力ノ欄ニハ可能發電力ヨリ實際發電電力ヲ控除シタルモノヲ記載スルコト

11　貯水量ノ欄ニハ貯水池其ノ他ニ依リ長期ニ亙リ水量ノ調節ヲ行フ發電所ニ於ケル每月末ノ貯水池ノ有效貯水量ヲ發電電力量ニ換算シタルモノヲ記載スルコト

12　尖頭負荷繼續時間ノ欄ニハ調整、進貯水池等ヲ有スル發電所ニ就キ每日尖頭負荷繼續時間ノ一箇月間ノ平均値（發電日數ニ依ル平均）ヲ記載スルコト

13　尖頭負荷時ノ餘剰發電電力量ノ欄ニハ調整池ヲ有スル發電所又ハ之ニ準ズル發電所ニ於テ每日ノ尖頭負荷時ニ於ケル餘剰發電電力量ニ繼續時間ヲ乘ジタル每日ノ餘剰發電電力量ノ一箇月間ノ累計ヲ記載スルコト

14　上流ニ自己又ハ他ノ事業者ニ屬スル貯水池アリテ其ノ影響ヲ受クル發電所ニ在リテハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載シ且利用シ得ベキ貯水量判明セルトキハ每月末ニ於ケル其ノ貯水量ヲ發電電力ニ換算セルモノヲ貯水量ノ欄ニ記載スルコト

15　本期間中最低十日ノ可能發電力平均及同上日ノ實際發電電力平均ノ欄ニハ本調査期間中ニ於ケル每日ノ可能發電力ノ中最低ナルモノヨリ順次十日分ヲ採リ之ヲ平均セルモノ及其ノ十日ノ平均實際發電電力ヲ記載シ且月日ノ欄ニハ其ノ月日ヲ記載スルコト

第7表

火力發電所燃料準備報告

事業者名　　年　月末現在

何々發電所	原動力ノ別	認可出力（キロワット） 常時	補給	豫備	合計
六箇月間豫想消費量		（噸）			
購入契約	種類				合計
	到著豫定日				
	到著豫定量（噸）				
前月末現在量		（噸）			
本月中到著量		（噸）			
合計		（噸）			
本月中消費量		（噸）			
差引本月末現在量		（噸）			
翌月中豫想消費量		（噸）			

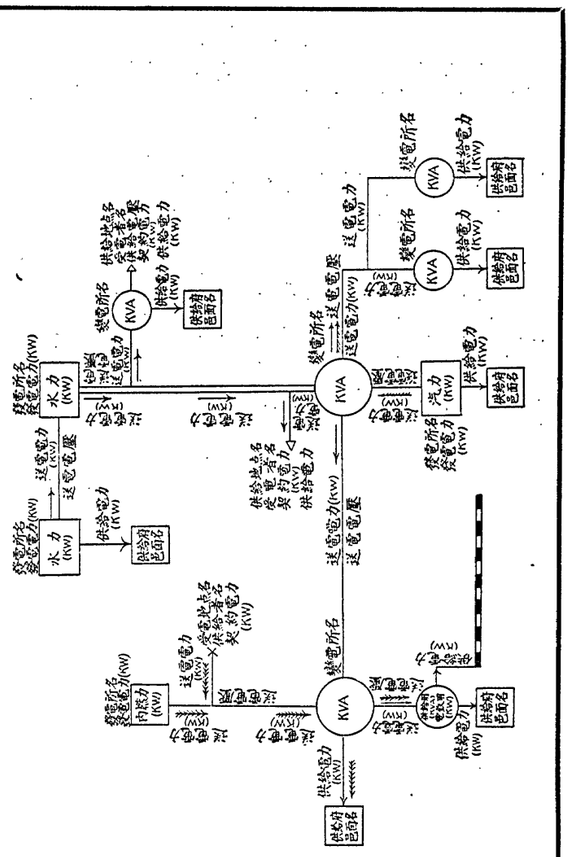
注意

1　本表ハ出力五千キロワット以上ノ發電所每ニ每月調製シ翌月十日迄ニ提出スルコト

2　燃料ノ種類ニハ其ノ產地名ヲ附記スルコト

第8表

電力潮流實績圖　　年　月　日現在



非常者名

| 發電所名稱及所在市町村 | 發電所種別（水力、汽力、內燃力、瓦斯力、原子力、風力、太陽光、地熱、潮汐、波浪、其ノ他ノ別） | 使用水ノ最大流量（毎秒立方米）及常時流量（毎秒立方米） | 有效落差（メートル） | 最大出力（キロワット）及常時出力（キロワット） | 發電所ノ位置 | 水路ノ種別及延長（メートル） | 調整池ノ種別及容量（立方米） | 水車ノ種別、台數及合計出力（キロワット） | 發電機ノ種別、台數及合計容量（キロボルトアンペア） | 發電機ノ回轉數（毎分） | 發電機ノ電壓（ボルト） | 送電線ノ電壓（ボルト）及回線數 | 送電線ノ亘長（キロメートル）及太サ（ミリメートル） | 變電所ノ位置及變壓器ノ容量（キロボルトアンペア）及台數

5　送電線路

事業者名

送電線路名称	区間	亙長（粁）	回線数	最大電圧（ヴォルト）	送電電容量（キロワット）	工事費（千円）	工事着手年月	工事落成年月	官庁ニ対スル手続進捗模様

注意

1　送電容量ニ関シテハ計算書ヲ提出シ得ルモノハ之ヲ添附シ其ノ他ノモノニ在リテハ将来ニ於ケル豫定送電電力ヲ記載スルコト尚将来送電電圧ヲ高メントスル計畫アルモノニ在リテハ電圧変更後ノ送電容量ニ就キテモ記載スルコト

2　既設送電線路ニ在リテハ区間、回線数、電圧又ハ送電容量ヲ変更セントスル場合及送電線路ヲ廃止セントスル場合ニ限リ記載スルコト

3　以上ノ外ニ（水力發電所）ノ注意2.4.5及ニ（火力發電所）ノ注意1ニ準ズルコト

6　變電設備

事業者名

名称（變電所又ハ蓄電所ノ名称）	位置	容量（キロヴォルトアムペア）	電圧（ヴォルト）一次	電圧（ヴォルト）二次	工事費（千円）	工事着手年月	工事落成年月	官庁ニ対スル手続進捗模様

注意

1　既設變電設備ニ在リテハ容量及電圧ヲ著シク変更セントスル場合及變電設備ヲ廃止セントスル場合ニ限リ記載スルコト

2　以上ノ外ニ（水力發電所）ノ注意2.4.5及ニ（火力發電所）ノ注意1.2ニ準ズルコト

7　平面圖

事業者名

注意

1　本表ハ朝鮮總督府縮尺二十萬分ノ一地圖ニ本設定計畫ニ記載セル發電所、變電所、送電地點及電氣事業者ニ對スル供給地點ノ位置竝ニ送電線路ノ中心線ヲ下記ニ依リ表示シ且既設設備トノ接續關係ヲ明ナラシムルコト

發電所 □　變電所 ○　受電地點 ×

供給地點 ▽　送電線路 ——　送電線路 ——

（五萬五千ヴォルトヲ超過スルモノ）（三萬五千ヴォルト以下ノモノ）

2　前項ノ場合ニ於テ未許可ノモノハ黄色、既許可未認可及既許可既認可ノモノハ赤色、既設ノモノハ白色又ハ黒色ニ區別スルコト

8　送電系統圖

事業者名

注意

本表ハ朝鮮電氣事業令施行規則第八號様式（送電系統圖）及7（平面圖）ニ準ジ調製スルコト

9　電力潮流狀態圖

事業者名

注意

1　本表ハ總出力（最大出力）一千キロワット以上ノ電氣事業者ニ限リ之ヲ調製スルコト

2　本表ハ豫定計畫ノ期間ニ於ケル各年ノ豐水期及渇水期ニ於テ三萬ヴォルト以上ノ送電線路及之ニ接續スル發電所、變電所及受電地點ニ於ケル電力潮流狀況ニ就キ第ノ表（電力潮流實績圖）ニ準ジ調製スルコト

●朝鮮自家用電氣工作物施設規則ノ施行ニ關スル件

朝鮮自家用電氣工作物施設規則ニ依リ提出スベキ設計書類ノ調製方法竝ニ書類様式及其ノ施行ニ關スル件

總督府令第百二十九號

朝鮮自家用電氣工作物施設規則第四十條ノ規定ニ依リ朝鮮自家用電氣工作物施設規則ノ施行ニ關スル件ヲ定ム

朝鮮自家用電氣工作物施設規則第四十條ノ規定ニ依リ朝鮮自家用電氣工作物施設規則ノ施行ニ關スル件ヲ定ム

第一條　朝鮮自家用電氣工作物施設規則（以下規則ト稱ス）ニ依リ提出スベキ設計書類ノ調製方法竝ニ書類様式及其ノ使用ニ關スル件ハ左ノ定ムル所ニ依ル

一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第一號ニ依ルコト

二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二號ニ依ルコト但シ各表ニ記載スベキ事項ナキ場合ハ其ノ部分ヲ省略スルコトヲ得

三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

三十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第三十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

三十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第三十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

三十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第三十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

三十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第三十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

三十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第三十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

三十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第三十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

三十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第三十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

三十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第三十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

三十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第三十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

三十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第三十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

四十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第四十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

四十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第四十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

四十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第四十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

四十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第四十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

四十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第四十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

四十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第四十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

四十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第四十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

四十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第四十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

四十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第四十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

四十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第四十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

五十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第五十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

五十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第五十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

五十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第五十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

五十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第五十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

五十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第五十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

五十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第五十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

五十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第五十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

五十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第五十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

五十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第五十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

五十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第五十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

六十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第六十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

六十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第六十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

六十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第六十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

六十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第六十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

六十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第六十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

六十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第六十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

六十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第六十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

六十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第六十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

六十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第六十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

六十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第六十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

七十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第七十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

七十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第七十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

七十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第七十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

七十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第七十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

七十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第七十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

七十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第七十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

七十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第七十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

七十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第七十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

七十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第七十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

七十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第七十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

八十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第八十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

八十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第八十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

八十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第八十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

八十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第八十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

八十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第八十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

八十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第八十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

八十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第八十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

八十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第八十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

八十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第八十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

八十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第八十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

九十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第九十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

九十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第九十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

九十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第九十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

九十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第九十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

九十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第九十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

九十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第九十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

九十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第九十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

九十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第九十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

九十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第九十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

九十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第九十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百二十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百二十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百二十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百二十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百二十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百二十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百二十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百二十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百二十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百二十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百二十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百二十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百二十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百二十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百二十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百二十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百二十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百二十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百二十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百二十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百三十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百三十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百三十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百三十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百三十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百三十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百三十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百三十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百三十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百三十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百三十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百三十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百三十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百三十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百三十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百三十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百三十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百三十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百三十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百三十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百四十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百四十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百四十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百四十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百四十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百四十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百四十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百四十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百四十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百四十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百四十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百四十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百四十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百四十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百四十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百四十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百四十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百四十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百四十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百四十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百五十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百五十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百五十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百五十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百五十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百五十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百五十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百五十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百五十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百五十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百五十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百五十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百五十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百五十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百五十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百五十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百五十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百五十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百五十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百五十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百六十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百六十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百六十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百六十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百六十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百六十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百六十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百六十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百六十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百六十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百六十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百六十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百六十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百六十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百六十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百六十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百六十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百六十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百六十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百六十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百七十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百七十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百七十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百七十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百七十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百七十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百七十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百七十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百七十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百七十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百七十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百七十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百七十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百七十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百七十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百七十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百七十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百七十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百七十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百七十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百八十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百八十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百八十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百八十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百八十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百八十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百八十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百八十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百八十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百八十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百八十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百八十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百八十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百八十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百八十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百八十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百八十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百八十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百八十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百八十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百九十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百九十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百九十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百九十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百九十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百九十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百九十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百九十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百九十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百九十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百九十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百九十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百九十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百九十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百九十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百九十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百九十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百九十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

百九十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第百九十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百二十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百二十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百二十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百二十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百二十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百二十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百二十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百二十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百二十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百二十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百二十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百二十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百二十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百二十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百二十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百二十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百二十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百二十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百二十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百二十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百三十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百三十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百三十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百三十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百三十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百三十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百三十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百三十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百三十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百三十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百三十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百三十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百三十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百三十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百三十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百三十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百三十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百三十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百三十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百三十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百四十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百四十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百四十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百四十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百四十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百四十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百四十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百四十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百四十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百四十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百四十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百四十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百四十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百四十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百四十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百四十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百四十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百四十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百四十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百四十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百五十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百五十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百五十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百五十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百五十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百五十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百五十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百五十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百五十四　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百五十四號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百五十五　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百五十五號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百五十六　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百五十六號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百五十七　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百五十七號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百五十八　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百五十八號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百五十九　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百五十九號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百六十　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百六十號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百六十一　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百六十一號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百六十二　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百六十二號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百六十三　本報告書ノ記載ハ様式ノ第二百六十三號ニ依リ之ニ關スル附圖ヲ添附スルコト

二百六十四　本

6　平均發(受)電電力トハ其ノ月(又ハ其ノ年)ノ總發(受)電電力量ヲ其ノ月(又ハ其ノ年)ノ總時間數(總屆日數ニ二十四ヲ乘ジタルモノ)ニテ除シタルモノヲ謂フ

7　負荷率平均トハ毎日ノ平均發電電力ヲ其ノ日ノ最大發電電力ニテ除シタルモノヲ其ノ月(又ハ其ノ年)ヲ通ジテ平均シタルモノヲ謂フ

8　發電合計ノ最大發電電力ノ欄ニハ其ノ月(又ハ其ノ年)ニ於ケル毎日ノ合成最大發電電力ノ中最大ナルモノヲ、平均最大發電電力ノ欄ニハ其ノ月(又ハ其ノ年)ニ於ケル毎日ノ合成最大發電電力ノ平均ヲ、最大五日ノ平均發電電力ノ欄ニハ毎日ノ合成最大發電電力ノ中最大ナルモノヨリ順次五日分ヲ採リ之ヲ平均セルモノヲ記載スルコト
合成最大發電電力トハ各發電所ノ同時刻ニ於ケル發電電力ノ和ノ中其ノ月(又ハ其ノ年)ニ於ケル最大ナルモノヲ謂フ

9　積算電力計ヲ有セザル場合ニハ指示電力計ニ依リ、指示電力計ヲモ有セザル場合ニハ電壓計及電流計ニ依リ下記ノ方法ヲ以テ發(受)電電力量及最大發電電力ヲ算出シ其ノ旨ヲ附記スルコト
イ　指示電力計ニ依ル場合ニハ指示電力計ヲ一時間毎ニ讀ミ算出スルコト
ロ　電壓計及電流計ニ依ル場合ニハ電壓計及電流計ヲ一時間毎ニ讀ミ負荷ノ種別ニ依リ力率ヲ適當ニ考慮シテ算定シ其ノ力率ヲ附記スルコト

10　發電用燃料ハ一箇年分ヲ取纏メ記載スルコト

11　燃料ノ種類ハ粉炭、切込炭、塊炭、無煙炭、瓦斯「コークス」、木炭、重油等ニ區別シテ記載シ石炭及重油ニ在リテハ其ノ產地名ヲ附記スルコト

第二表

電力使用狀況

自家用電氣工作物施設者名

電力ノ主タル用途

自　年　月　日
至　年　月　日

現在　年　月　日

使用電力表(毎月末日現在)	種別	電燈電力	電車	他人ニ對スル供給 何々	他人ニ對スル供給 何々	他人ニ對スル供給 計	合計
	1月						
	2月						
	3月						
	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	計						

電力使用設備	種別		取附箇數	取附キロワット數
電力	電燈			
電力	電動機			
電力	電熱			
電力	其ノ他			
電車		軌道互哇(粁)	車輛數	車輛取付電動機キロワット數

備考
1　本表ハ毎年一月ヨリ十二月ニ至ル一箇年分ニ就キ調製スルコト但シ電力使用設備ニ在リテハ十二月末日現在ノモノニ就キ記載スルコト
2　電力ノ主タル用途ニハ紡績業、製絲業、原動機製造業、製藥業、製材業、印刷業、採炭業等其ノ主タル用途ヲ記載スルコト

●朝鮮電氣工作物規定ニ依ル
及逓信事業用ノ管理物ニ關スル工作物ノ規程ニ依ル
立會請求ニ關スル件承諾
大正八年十二月二十六號
總督府令第五百三十八號

朝鮮電氣事業令第二十六條第二項、朝鮮電氣事業令施行規則第九十六條及第九十七條ニ依ル
檢查吏員ノ携帶スル證票

ヲ分掌スル郵便局長ニ之ヲ爲スベシ

●朝鮮電氣事業令等ノ規定ニ依ル檢查吏員ノ携帶スル證票
大正八年十二月二十六日
總督府令第五百三十八號

朝鮮電氣事業令第二十六條第二項、朝鮮電氣事業令施行規則第九十六條及第九十七條ニ依ル自家用電氣工作物ノ設置又ハ變更ノ工事ニ關スル檢查ニ必要ナル書類ノ提出ニ關スル件

別記樣式ノ通定ム

別記樣式

面	表	裏
年	官職氏名	電氣事業檢查吏員之證
月		號
日		

交遇朝
ハ宿鮮
道局督
印印府

二一注
種總意
六九
セセ
ンン
テメ
ノトト
ルル

第十七條　逓信　電氣保安規程　第三條　電氣保安規程

トス（三條ニ依ル示前六五四方式）

一可ヲ項ニ依リ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ總督ニ提出スベシ

一　工事ノ種類
二　工事ノ方法
三　電壓及電流ノ種類、總額
四　發電所、變電所、變換所又ハ需要場所ノ名稱及位置
五　發電所ニ在リテハ原動力ノ種類及發電機ノ定格容量
六　發電所ニ在リテハ水車又ハ蒸氣機關ノ出力
七　送電線路ニ在リテハ電線ノ太サ、種類及徑間
八　變電所、變換所又ハ需要場所ニ在リテハ主要變壓器ノ種類及定格容量
九　架空電線路ニ在リテハ支持物ノ種類及徑間
十　地中電線路ニ在リテハ電線ノ種類及敷設方法
十一　電氣使用場所ニ在リテハ受電ノ方法及主要ナル負荷ノ種類
十二　工事ノ着手及完成ノ豫定期日

第十條　逓信　電氣保安規程　第六條　前條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ總督ニ屆出ヅベシ

第十一條　逓信　電氣保安規程　第七條　前條ノ屆出ヲ爲シタル後ニ非ザレバ其ノ工事ヲ開始スルコトヲ得ズ但シ總督ニ於テ保安上支障ナシト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十二條　逓信　電氣保安規程　第八條　總督ハ保安上必要ト認ムルトキハ電氣工作物ノ工事ニ關シ設計ノ變更又ハ工事ノ方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十三條　逓信　電氣保安規程　第九條　電氣工作物ノ工事ニ關シ設計ノ變更又ハ工事ノ方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十四條　逓信　電氣保安規程　第十條　電氣工作物ノ工事ニ關シ設計ノ變更又ハ工事ノ方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十五條　逓信　電氣保安規程　第十一條　電氣工作物ノ工事ニ關シ設計ノ變更又ハ工事ノ方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十六條　逓信　電氣保安規程　第十二條　電氣工作物ノ工事ニ關シ設計ノ變更又ハ工事ノ方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十七條　逓信　電氣保安規程　第十三條　電氣工作物ノ工事ニ關シ設計ノ變更又ハ工事ノ方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十八條　逓信　電氣保安規程　第十四條　電氣工作物ノ工事ニ關シ設計ノ變更又ハ工事ノ方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十九條　逓信　電氣保安規程　第十五條　電氣工作物ノ工事ニ關シ設計ノ變更又ハ工事ノ方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十條　逓信　電氣保安規程　第十六條　電氣工作物ノ工事ニ關シ設計ノ變更又ハ工事ノ方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　逓信　電氣保安規程　第十七條　電氣工作物ノ工事ニ關シ設計ノ變更又ハ工事ノ方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　逓信　電氣保安規程　第十八條　電氣工作物ノ工事ニ關シ設計ノ變更又ハ工事ノ方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十三條　逓信　電氣保安規程　第十九條　電氣工作物ノ工事ニ關シ設計ノ變更又ハ工事ノ方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

ヲ爲スコトアルヘシ

第十九條　地方長官ハ公益上必要ト認ムルトキハ瓦斯事業ノ實況ヲ監査シ且危險急迫ノ場合ニ在リテハ瓦斯事業者ニ對シ保安上必要ナル措置ヲ命スルコトアルヘシ

第二十條　瓦斯事業者瓦斯事業ヲ讓渡セムトスルトキハ當事者連署ノ上朝鮮總督ニ許可ヲ申請スヘシ

前項ノ讓渡ヲ爲シタルトキハ當事者ヨリ直ニ朝鮮總督府遞信局長ニ屆出ツヘシ瓦斯事業ヲ相續シタルトキ亦同シ

第二十一條　瓦斯事業ヲ譲受又ハ相續シタル者ハ讓渡人又ハ被相續人カ本令ニ依リテ有スル權利義務ヲ承繼ス

第二十二條　瓦斯事業ヲ經營スル會社ノ合併ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第二十三條　瓦斯事業者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非サレハ事業ノ全部又ハ一部ノ休止ヲ爲スコトヲ得ス

第二十四條　瓦斯事業者ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ事業ノ全部又ハ一部ノ休止ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條　瓦斯事業者ハ學識經驗アル主任技術者ヲ選任シ技術ニ關スル事項ヲ擔任セシムヘシ

第二十六條　瓦斯事業者主任技術者ヲ選任又ハ改任シタルトキハ直ニ履歷書ヲ添ヘ朝鮮總督府遞信局長ニ屆出ツヘシ

朝鮮總督府遞信局長ハ不適任其ノ他ノ事由ニ因リ主任技術者ノ改任ヲ命スルコトアルヘシ

第二十七條　左ノ場合ニハ瓦斯事業ノ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

一　指定ノ期間内ニ第四條ノ認可ノ申請ヲ爲ササルトキ

二　指定ノ期間内ニ第四條ノ認可ヲ受ケタル工事ニ着手セサルトキ

第二十八條　左ノ場合ニハ朝鮮總督ハ瓦斯事業ノ許可ノ全部又ハ一部ヲ取消スコトアルヘシ

一　不實ノ申告ヲ爲シテ許可又ハ認可ヲ受ケタルトキ

二　六月以上瓦斯ノ供給ヲ休止シタルトキ

三　竣工期限内ニ第四條又ハ第五條ノ認可ヲ受ケタル工事竣工セサルトキ

第二十九條　前條ノ外瓦斯事業者本令又ハ本令ニ依リテ發スル命令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督ハ瓦斯事業ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第三十條　本令ニ依ル許可、認可又ハ届出ニ關スル書類及圖面中技術ニ關スルモノニハ主任技術者之ニ署名捺印スヘシ主任技術者ノ選任前ニ在リテハ擔當技術者之ニ署名捺印スヘシ

第三十一條　朝鮮總督、朝鮮總督府遞信局長又ハ地方長官ハ許可若ハ認可ニ條件ヲ附シ又ハ必要ト認ムル書類若ハ圖面ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第三十二條　本令ニ依リ朝鮮總督又ハ朝鮮總督府遞信局長ニ書類又ハ圖面ヲ提出スヘキ場合ハ同時ニ其ノ副本ヲ地方長官ニ提出スヘシ

第三十三條　地方長官ハ許可、認可若ハ命令シタル事項又ハ瓦斯事業者ヨリ届出タル事項ヲ其ノ郷度朝鮮總督府遞信局長ニ報告スヘシ

第三十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　本令ニ依リ許可若ハ認可ヲ受ケテ爲スヘキ事項ヲ許可若ハ認可ヲ受ケスシテ爲シ又ハ許可若ハ認可ノ條件ニ違反シタルトキ

二　不實ノ申告ヲ爲シテ許可又ハ認可ヲ受ケタルトキ

三　本令ノ規定ニ依ル監督官廳ノ命令ニ違反シタルトキ

四　第十三條ニ違反シタルトキ

第三十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　本令ノ規定ニ依ル監査ヲ拒ミ又ハ之ヲ妨ケタルトキ

二　本令ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ不實ノ届出ヲ爲シタルトキ

附則

本令ハ大正九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ瓦斯事業ヲ經營スル者ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス其ノ現ニ使用スル瓦斯工作物ハ本令ニ依リ使用ヲ認可セラレタルモノト看做ス

前項ノ瓦斯事業者ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ第二條第一項第一號乃至第五號及第四條第一項第一號乃至第十號ノ事項ヲ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

年別索引

年別索引

明治三年

太政官

布 一 忌濟ノ節除服出仕宣下ヲ止メ忌服届出及忌濟日出仕方……（二）　二四六

明治五年

太政官

布一七六 僧尼服忌ノ制……（二）　二四六

明治六年

太政官

布 五二 各省奏任官除服出仕違ノ方……（二）　二四六
布三四七 遠地出張在勤官吏忌服中出仕方……（二）　二四七
告 二 休暇日……（二）　二四〇
達三一八 官員父母祭日休暇……（二）　二四〇

明治七年

太政官

布一〇八 服忌令庶家ノ制及産穢混穢廢止……（二）　二四七

明治八年

太政官

達 一〇 地方官員除服出仕方……（二）　二四七
達一一四 各廳屬等日給ノ者休暇日ニモ給額支給……（二）　二三一
達一五二 不用品拂下ノトキ其ノ官廳所屬官吏ノ入札禁止……（二）　二四〇

明治九年

太政官

達 二七 日曜日休暇……（二）　二四〇

明治十年

太政官

達 九七一 大勲位菊花大綬章菊花章ノ圖式……（四）　三

明治十三年

太政官

布 三六一 舊刑法……（四）　一三
布 三六一 舊刑法……（四）　二三〇

明治十四年

太政官

布 六三一 褒章條例……（四）　二三七

明治十五年

太政官

布 三六一 戒嚴令……（四）　一三
布 四三 徵發令……（四）　二三〇
達 二六 徵發事務條例……（四）　二三〇

明治十七年

太政官

布 三二一 堰發物取締規則……（四）　二三七

明治十八年

太政官

布 三五一 外國勲章佩用願規則……（四）　一〇

明治十九年

勅令

勅 四四一 陸軍軍人軍屬逃奔罪處分例……（四）　四三
勅 五一 本初子午線經度計算方及標準時ノ件……（五）　一三一
賞告 一 勲章記章佩用心得……（四）　九
賞告 二 略章略綬佩用心得……（四）　九

明治二十年

勅令

勅 一六 黄綬褒章臨時制定……（四）　一三
勅 三九 官吏服務紀律……（二）　二三〇
勅 四二 逃亡犯罪人引渡條例……（四）　三一四

明治二十一年

勅令

勅 一 各種勲章等級褒式及大勲位菊花章頸飾褒式……（四）　二
勅 七六 勲章佩用式……（四）　九

内閣

令 二一一 各種勲章及大勲位菊花章頸飾圖樣……（四）　三

明治二十二年

法律

法 二五 海軍軍人軍屬逃奔罪處分例……（四）　四三
法 三四 決闘罪ニ關スル件……（四）　二九〇

勅令

勅 三八 勲章還納ノ件……（四）　一〇
勅 八四 物品會計規則……（二）　二四六

内閣 附賞勲局

勅令

令 九 勲章還納手續……（四）　一〇
令 一二 歳入歳出豫算概定順序……（二）　五三三
令 一九 豫定經費算出概則……（二）　五三三
訓 官吏職務外ニ公衆ニ對シ演說又ハ筆述スルヲ得……（二）　二九〇
賞告 一 勲章記章佩用心得……（四）　九
賞告 二 略章略綬佩用心得……（四）　九

大藏省

令 二一一 年額又ハ月額ノ手當金支給方……（二）　一三七
訓 二一一 歳入概算書樣式……（二）　五三三

明治二十三年

勅語
教育勅語……（一）

法律
保管金規則……（一）
軍港要港ニ關スル件……（二）
裁判所構成法……（三）
民事訴訟法……（四）
水路測量標條例……（五）
執達吏手數料規則……（六）
電信線電話線建設條例……（七）
民事訴訟費用法……（八）
民事訴訟用印紙法……（九）
商事非訟事件印紙法……（一〇）
軍港要港規則違犯者處分ノ件……（一一）
命令ノ條項違犯ニ關スル罰則ノ件……（一二）
訴願法……（一三）
商法ニ關スル法律施行期限……（一四）

勅令
金銀勳章ノ等級製式及佩用式……（一五）
稅關監吏官制規則……（一六）
判事檢事及裁判所書記制服……（一七）

明治二十四年

勅令
土木工事起業者保證金ノ件……（一八）
宿直又ハ徹夜勤務者食料及特別支具ニ關スル件……（一九）

大藏省

訓
戎人調定濟額ニシテ翌年六月末日マデニ收入整理ヲ了セサルモノ取扱方……（二〇）

明治二十五年

法律
海上衝突豫防法……（二一）

勅令
司法省
辯護士職服……（二二）

明治二十六年

勅令
官吏俸給及傭員其ノ他ニ給スル諸手當支給方……（二三）
官吏ノ勤續ニ關スル件……（二四）
政府ノ債務ニ對シ差押命令ヲ受クル場合會計上ノ規程……（二五）

大藏省

訓
文官俸給支給細則……（二六）
牧入金繰越手續……（二七）
出納官吏檢查規程……（二八）
檢查員休日又ハ退廳後臨檢スルモ檢查ニ應スヘキノ件……（二九）

明治二十七年

勅令
府縣郡市以下神社ノ神職ニ關スル件……（三〇）
金勘勳章年金令……（三一）

内閣

訓
褒章條例取扱手續……（三二）
勳章年金支給細則……（三三）

大藏省

訓
政府第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續……（三四）

明治二十八年

法律
古物商取締法……（三五）
質屋取締法……（三六）
通貨及證券模造取締法……（三七）

勅令
傳染病豫防救治ニ從事スル官吏准官吏及傭員月手當支給ノ件……（三八）
標準時ニ關スル件……（三九）

明治二十九年

法律
船舶職員法……（四〇）
民法（第一編第二編第三編）……（四一）

明治三十年

法律
保稅倉庫法……（四二）
貨幣法……（四三）
國稅徵收法……（四四）

勅令
特別會計ノ第一豫備金支出ニ關スル件……（四五）

明治三十一年

法律
民法（第四編第五編）……（四六）
法例……（四七）
民法施行法……（四八）
人事訴訟手續法……（四九）
非訟事件手續法……（五〇）
競賣法……（五一）

勅令
民法等施行期日……（五二）
憲兵令……（五三）

内閣

勅令
官吏懲治給與ノ件……（一）

大藏省

訓令
文官俸給支給細則……（二）
牧入金繰越手續……（三）
出納官吏檢查規程……（四）
檢查員休日又ハ退廳後臨檢スルモ檢查ニ應スヘキノ件……（五）

司法省

勅令
傭員俸給及傭員其ノ他ニ給スル諸手當支給方……（六）
官吏ノ勤續ニ關スル件……（七）
政府ノ債務ニ對シ差押命令ヲ受クル場合會計上ノ規程……（八）

大藏省

訓令
政府第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續……（九）

文部省

令
公立私立學校認定ニ關スル規則……（一〇）

内閣

勅令
褒章條例取扱手續……（一一）
勳章年金支給細則……（一二）

文部省

令
公立學校職員敘官其他敎育ニ從事スル文官相互間轉任ニ關スル件……（一三）

大藏省

勅令
土木工事起業者保證金ノ件……（一四）
宿直又ハ徹夜勤務者食料及特別支具ニ關スル件……（一五）

内閣

勅令
褒章條例取扱手續……（一六）
勳章年金支給細則……（一七）

文部省

令
公立學校職員敘官其他敎育ニ從事スル文官相互間轉任ニ關スル件……（一八）

大藏省

勅令
政府第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續……（一九）

司法省

勅令
辯護士職服……（二〇）

明治二十七年

勅令
府縣郡市以下神社ノ神職ニ關スル件……（二一）
金勘勳章年金令……（二二）

内閣

勅令
褒章條例取扱手續……（二三）
勳章年金支給細則……（二四）

大藏省

訓
政府第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續……（二五）

明治二十八年

法律
古物商取締法……（二六）
質屋取締法……（二七）
通貨及證券模造取締法……（二八）

勅令
傳染病豫防救治ニ從事スル官吏准官吏及傭員月手當支給ノ件……（二九）
標準時ニ關スル件……（三〇）

明治二十九年

法律
船舶職員法……（三一）
民法（第一編第二編第三編）……（三二）

明治三十年

法律
保稅倉庫法……（三三）
貨幣法……（三四）
國稅徵收法……（三五）

勅令
特別會計ノ第一豫備金支出ニ關スル件……（三六）

明治三十一年

法律
民法（第四編第五編）……（三七）
法例……（三八）
民法施行法……（三九）
人事訴訟手續法……（四〇）
非訟事件手續法……（四一）
競賣法……（四二）

勅令
民法等施行期日……（四三）
憲兵令……（四四

法　五〇　年金計算ニ關スル件……（四）　四六
勅　令
勅　二八一　官國幣社及神宮神部署神職任用令…（七）　一
内　閣
告　二　大勲位菊花章頸飾略綬章ノ佩用方及図式……（四）　二
明治三十六年
勅　令
勅　六一　專門學校令……（五）　六三
勅二八五　初叙官等ノ制限ヲ受ケサル高等文官他ノ高等文官ト爲ル場合ノ官等ニ關スル件……（二）　一三三
司法省
令　七一　監獄剣任待遇職員懲戒規程……（二）　三九
明治三十七年
法　律
法　一七　記名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル件……（四）　四六
勅　令
勅　一二　鐵道軍事供用令……（二）　一四
勅一九　軍事郵便物ニ關スル件……（七）　一五
勅三三　戰時事變ノ際巡査看守休職ニ關スル件……（二）　三三
勅二〇六　文官ニシテ陸海軍ニ召集セラレタル者ノ俸給ニ關スル件……（二）　二九
大藏省
訓　三　收入官吏ハ歲入歲出外現金出納ノ職務ヲ兼掌スルノ件……（二）　九
陸軍省
令　三　鐵道軍事輸送規程……（二）　一五
告　四　恤兵金品取扱規程……（八）　一三
明治三十八年
勅　令
勅　六一　陸海軍召集諸費支辨方ニ關スル件…（二）　三
勅一六三　刑法施行期日……（四）　二六
勅一六四　陸軍刑法施行期日……（四）　二六
勅一六五　海軍刑法施行期日……（四）　二六
勅二一七　刑法施行前ニ公布シタル命令ニ關スル件……（四）　二六
勅二八七　擔保トシテ政府ニ納ムヘキ國債等ノ價格算定ニ關スル件……（二）　二四
勅二九一　勳章褫奪令……（四）　七
勅二九二　勳章記章褒章ノ佩用取締ニ關スル件……（四）　六
内　閣
令　二　勳章褫奪令施行細則……（四）　七
海軍省
令　二一　海軍召集諸費支出規程……（二）　三五
文部省
告一四三　簽山公立商業專修學校ヲ徵兵令並文官任用令ニ依リ認定……（二）　一〇七
統監府
告一四四　新聞紙規則……（八）　一四
令　一二　第三種郵便物認可規則……（七）　一二
告一四八　郵便貯金ノ局得拂取扱開始……（七）　一四
舊韓國政府
勅　四一　葉銭ノ通用價格ニ關スル件……（二）　四二
勅　五〇　章祀叅正ニ關スル件（抄）……（七）　三
勅　五八　國有土石採取規則……（二）　三九
勅　六三　學會令……（二）　一四
度測　三号　鎭區及（鎭産稅、砂金採取稅及國有未墾地（直下）竈帳調製規程……（二）　一四
法　四六　陸軍刑法……（四）　二四
法　四七　陸軍刑法施行法……（四）　二六
法　四八　海軍刑法……（四）　二六
法　四九　海軍刑法施行法……（四）　二六
法　五一　肥料取締法……（四）　一六
法　五三　公證人法……（三）　一六
法　六三　東洋拓殖株式會社法……（六）　四〇一

内務省令
約款逃亡ノ約款ヲ以テ他人ニ使用セラレタル船員ノ逃亡ニ関スル件約束
船員ノ雇入ニ関スル件約束
船員ノ雇入ニ関スル件約束
船員ノ雇入

調二五　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
調二六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
調二七　朝鮮總督府通信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
調四二　收入印紙出納ノ件…（一）
調五一　朝鮮總督府通信官署郵便切手類及收入印紙出納ノ件…（一）
調五八　朝鮮總督府看守精勤證書授與規則…（二）
調六五　驛屯土小作料滯納者取扱方ノ件…（二）
調六九　經學院ニ關スル件…（二）
調　留置中ノ囚人及刑事被告人ニ給與スル食料額…（二）
調七三　森林令施行手續…（二）
調八一　驛屯土牧入收納規程…（二）
調八二　驛屯土堤堰工事規程…（二）
調八三　官立學校長職務規程…（二）
調八四　鮮滿鐵道聯絡關事務ニ從事シ又ハ其ノ事務監督ノ爲出張スル稅關官吏ノ旅費額…（二）
調八七　朝鮮總督府及所屬官署文官禮式…（二）
調八九　驛屯土森帳與勤整理手續…（二）
調九三　朝鮮總督府監獄官類保存規程…（二）
告　許可稟請方…（二）
告　七　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校…（二）
告二三六　一等道路及二等道路表…（二）
告二六六　韓紫旗章及韓祭門燈並提灯徽章ノ件…（三）
告二七二　森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式…（三）
告三三八　朝鮮ノ標準時…（三）
告三四六　痘生上有害飲食物及有害物品試驗方法…（九）
令　七　牛乳營業取締規則…（九）
令　八　牛乳ノ比重及脂肪量ノ檢定方法…（九）

明治四十五年

法律

法二一　臘虎膃肭獸獵獲禁止ニ關スル件…（六）

勅令

勅二　朝鮮總督府遞信官署事務章程…（五）
勅三〇　朝鮮總督府中央試驗所官制…（六）
勅三六　朝鮮總督府濟生院官制…（六）
勅四三　韓國併合紀念章制定ノ件…（六）
勅五六　朝鮮關稅事務官官制…（六）
勅八四　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（六）

宮内省

調一二一　宮内職員俸給支給細則…（二）
勅三八　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅三九　朝鮮總督府通信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅四二　牧入印紙出納規程…（一）
勅五四　朝鮮總督府通信官署郵便切手類及收入印紙出納ノ件…（一）
勅八四　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅一三五　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（六）

陸軍省

勅二一　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅三〇　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅三六　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅四三　韓國併合紀念章制定ノ件…（二）
勅五六　朝鮮關稅事務官官制…（二）
勅八四　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅一三五　朝鮮人ノ【試補及】見習ニ關スル件…（二）

文部省

勅一一　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅三六　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅四三　韓國併合紀念章制定ノ件…（二）
勅五六　朝鮮關稅事務官官制…（二）
勅一三五　朝鮮人ノ【試補及】見習ニ關スル件…（二）
令一二　他學校ヘ入學轉學ノ關係ニ就キ朝鮮公立小學校兒童及卒業者ノ取扱方…（三）

朝鮮總督府

制二　古物商ノ取締ニ關スル件…（九）
制一〇　質屋ノ取締ニ關スル件…（九）
制一一　朝鮮民事令…（九）
制一二　朝鮮不動產登記令…（九）
制一三　朝鮮刑事令…（九）
制一四　朝鮮監獄令…（九）
制一六　朝鮮登錄稅令…（九）
制二〇　朝鮮關稅定率令（抄）…（九）
制二一　【朝鮮關稅令】及明治四十四年制令第二號ニ基ク訴願ニ關スル件…（三）
制二二　藥品及藥品營業取締令…（九）
制二三　造尖物其ノ他ノ物件ニ關スル件…（九）
制二四　鐵道、【輕便鐵道】及軌道ノ營業ニ關スル件…（七）
制二五　朝鮮輕便鐵道令…（七）
制二六　司法警察事務竝令狀執行ニ關スル件…（三）
制　郵便、電信、電話ニ關スル澁納料金徵收規則…（七）
制　朝鮮貴族ニ關スル審查委員令規程…（七）
制　朝鮮總督府【書記官及】事務官ノ特別任用ニ關スル件…（三）
制二七　朝鮮總督府遞信官署ノ讓渡又ハ賃入…（一）
制二八　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校…（二）
制二九　一等道路及二等道路表…（二）
制三〇　韓紫旗章及韓祭門燈並提灯徽章ノ件…（三）
制三一　森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式…（三）
制三二　朝鮮ノ標準時…（三）
制三三　痘生上有害飲食物及有害物品試驗方法…（九）
制三四　牛乳營業取締規則…（九）
制三五　朝鮮總督府監獄官類保存規程…（三）
制三六　臨時恩賜公債證書ノ讓渡又ハ質入許可稟請方…（一）
制三七　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校…（二）
制三八　一等道路及二等道路表…（二）
制三九　韓紫旗章及韓祭門燈並提灯徽章ノ件…（三）
制四〇　森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式…（三）
制四一　朝鮮ノ標準時…（三）
制四二　痘生上有害飲食物及有害物品試驗方法…（九）
制四三　牛乳營業取締規則…（九）
制四四　朝鮮總督府監獄官類保存規程…（三）
制四五　臨時恩賜公債證書ノ讓渡又ハ質入許可稟請方…（一）
制四六　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校…（二）
制四七　一等道路及二等道路表…（二）
制四八　韓紫旗章及韓祭門燈並提灯徽章ノ件…（三）
制四九　森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式…（三）
制五〇　朝鮮ノ標準時…（三）
制五一　痘生上有害飲食物及有害物品試驗方法…（九）
制五二　牛乳營業取締規則…（九）
制五三　朝鮮總督府監獄官類保存規程…（三）
制五四　臨時恩賜公債證書ノ讓渡又ハ質入許可稟請方…（一）
制五五　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校…（二）
制五六　一等道路及二等道路表…（二）
制五七　韓紫旗章及韓祭門燈並提灯徽章ノ件…（三）
制五八　森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式…（三）
制五九　朝鮮ノ標準時…（三）
制六〇　痘生上有害飲食物及有害物品試驗方法…（九）
制六一　牛乳營業取締規則…（九）
制六二　朝鮮總督府監獄官類保存規程…（三）
制六三　臨時恩賜公債證書ノ讓渡又ハ質入許可稟請方…（一）
制六四　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校…（二）
制六五　一等道路及二等道路表…（二）
制六六　韓紫旗章及韓祭門燈並提灯徽章ノ件…（三）
制六七　森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式…（三）
制六八　朝鮮ノ標準時…（三）
制六九　痘生上有害飲食物及有害物品試驗方法…（九）
制七〇　牛乳營業取締規則…（九）
制七一　朝鮮總督府監獄官類保存規程…（三）
制七二　臨時恩賜公債證書ノ讓渡又ハ質入許可稟請方…（一）
制七三　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校…（二）
制七四　一等道路及二等道路表…（二）
制七五　韓紫旗章及韓祭門燈並提灯徽章ノ件…（三）
制七六　森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式…（三）
制七七　朝鮮ノ標準時…（三）
制七八　痘生上有害飲食物及有害物品試驗方法…（九）
制七九　牛乳營業取締規則…（九）
制八〇　朝鮮總督府監獄官類保存規程…（三）
制八一　臨時恩賜公債證書ノ讓渡又ハ質入許可稟請方…（一）
制八二　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校…（二）
制八三　一等道路及二等道路表…（二）
制八四　韓紫旗章及韓祭門燈並提灯徽章ノ件…（三）
制八五　森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式…（三）
制八六　朝鮮ノ標準時…（三）
制八七　痘生上有害飲食物及有害物品試驗方法…（九）
制八八　牛乳營業取締規則…（九）
制八九　朝鮮總督府監獄官類保存規程…（三）
制九〇　臨時恩賜公債證書ノ讓渡又ハ質入許可稟請方…（一）
制九一　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校…（二）
制九二　一等道路及二等道路表…（二）
制九三　韓紫旗章及韓祭門燈並提灯徽章ノ件…（三）
制九四　森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式…（三）
制九五　朝鮮ノ標準時…（三）
制九六　痘生上有害飲食物及有害物品試驗方法…（九）
制九七　牛乳營業取締規則…（九）
制九八　朝鮮總督府監獄官類保存規程…（三）
制九九　臨時恩賜公債證書ノ讓渡又ハ質入許可稟請方…（一）
制一〇〇　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校…（二）
制一〇一　一等道路及二等道路表…（二）
制一〇二　韓紫旗章及韓祭門燈並提灯徽章ノ件…（三）
制一〇三　森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式…（三）
制一〇四　朝鮮ノ標準時…（三）
制一〇五　痘生上有害飲食物及有害物品試驗方法…（九）
制一〇六　牛乳營業取締規則…（九）
制一〇七　朝鮮總督府監獄官類保存規程…（三）
制一〇八　臨時恩賜公債證書ノ讓渡又ハ質入許可稟請方…（一）
制一〇九　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校…（二）
制一一〇　一等道路及二等道路表…（二）
制一一一　韓紫旗章及韓祭門燈並提灯徽章ノ件…（三）
制一一二　森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式…（三）
制一一三　朝鮮ノ標準時…（三）
制一一四　痘生上有害飲食物及有害物品試驗方法…（九）
制一一五　牛乳營業取締規則…（九）
制一一六　朝鮮總督府監獄官類保存規程…（三）
制一一七　臨時恩賜公債證書ノ讓渡又ハ質入許可稟請方…（一）
制一一八　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校…（二）
制一一九　一等道路及二等道路表…（二）
制一二〇　韓紫旗章及韓祭門燈並提灯徽章ノ件…（三）
制一二一　森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式…（三）
制一二二　朝鮮ノ標準時…（三）
制一二三　痘生上有害飲食物及有害物品試驗方法…（九）
制一二四　牛乳營業取締規則…（九）

朝鮮總督府

令一　古物商ノ取締ニ關スル件…（九）
令六　質屋ノ取締ニ關スル件…（九）
令九　朝鮮民事令…（九）
令一〇　朝鮮不動產登記令…（九）
令一二　朝鮮刑事令…（九）
令一三　朝鮮監獄令…（九）
令一四　朝鮮登錄稅令…（九）
令一六　朝鮮關稅定率令（抄）…（九）
令一七　【朝鮮關稅令】及明治四十四年制令第二號ニ基ク訴願ニ關スル件…（三）
令二一　藥品及藥品營業取締令…（九）
令二二　造尖物其ノ他ノ物件ニ關スル件…（九）
令二三　鐵道、【輕便鐵道】及軌道ノ營業ニ關スル件…（七）
令二四　朝鮮輕便鐵道令…（七）
令二五　司法警察事務竝令狀執行ニ關スル件…（三）
令二六　郵便、電信、電話ニ關スル澁納料金徵收規則…（七）
令二七　朝鮮貴族ニ關スル審查委員令規程…（七）
令二八　朝鮮總督府【書記官及】事務官ノ特別任用ニ關スル件…（三）
令二九　法人及夫婦財產契約登記取扱規則…（二）
令三〇　商業登記取扱規則…（二）
令三一　小商人、公告、確定日附簿及日附アール印章ニ關スル件…（二）
令三三　假出獄取締規則…（二）
令三四　朝鮮監獄令施行規則…（二）
令三六　不動產其ノ他ノ登記簿ノ謄本、抄本ノ請求等ニ關スル手數料及私署證書確定日附ノ手數料ニ關スル件…（二）
令三八　警察犯處罰規則…（二）
令四〇　死亡ノ申告ヲ爲サシテ埋葬ヲ爲シタル者等ニ關スル罰則…（二）
令四一　藥品及藥品營業取締令施行規則…（九）
令五五　海事ニ關スル事務ヲ分掌スル朝鮮總督府遞信局海事出張所ノ設置竝其ノ名稱、位置及分掌區域…（二）
令六一　朝鮮總督府遞信官署ノ出納員ニ關スル件…（二）
令六四　藥品及藥品營業取締令第十三條ニ依ル毒藥、劇藥ノ品目…（九）
令六六　法人ノ設立及監督ニ關スル規程…（九）
令七一　健全證書交付手續…（九）
令七八　遺失物其ノ他ノ物件ニ關スル制令施行ニ關スル件…（九）
令九七　衛生上有害飲食物及有害物品取締規則第九條、清涼飲料水及氷雪營業取締規則第十條ニ依ル警務總長、警務部長ノ職權中警察署長、警察分署長及警察署ノ事務ヲ取扱フ憲兵分隊、憲兵分遣所ノ長ヲシテ行ハシムル事項…（九）
令一〇八　教科用圖書檢定規程…（二）
令一一二　朝鮮輕便鐵道令施行規則…（七）
令一一七　朝鮮鐵道運輸規程…（七）
令一一八　輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件…（七）
令一一九　メチールアルコホル（木精）取締規則…（九）
令一二一　墓地、火葬場、埋葬及火葬取締規則…（九）
令一二三　朝鮮總督府裁判所及檢事局事務章程…（二）
令二〇一　法人及夫婦財產契約登記取扱規則…（二）
令二〇四　商業登記取扱規則…（二）
令二〇五　假出獄取締規則…（二）
令二〇六　朝鮮監獄令施行規則…（二）
令二〇八　不動產其ノ他ノ登記簿ノ謄本、抄本ノ請求等ニ關スル手數料及私署證書確定日附ノ手數料ニ關スル件…（二）
令二一三　警察犯處罰規則…（二）
令二一四　死亡ノ申告ヲ爲サシテ埋葬ヲ爲シタル者等ニ關スル罰則…（二）
令二一五　藥品及藥品營業取締令施行規則…（九）
令二一六　海事ニ關スル事務ヲ分掌スル朝鮮總督府遞信局海事出張所ノ設置竝其ノ名稱、位置及分掌區域…（二）
令二一七　朝鮮總督府遞信官署ノ出納員ニ關スル件…（二）
令二二〇　藥品及藥品營業取締令第十三條ニ依ル毒藥、劇藥ノ品目…（九）
令二二二　法人ノ設立及監督ニ關スル規程…（九）
令二二三　健全證書交付手續…（九）
令二二四　遺失物其ノ他ノ物件ニ關スル制令施行ニ關スル件…（九）
令二二五　衛生上有害飲食物及有害物品取締規則第九條、清涼飲料水及氷雪營業取締規則第十條ニ依ル警務總長、警務部長ノ職權中警察署長、警察分署長及警察署ノ事務ヲ取扱フ憲兵分隊、憲兵分遣所ノ長ヲシテ行ハシムル事項…（九）
令二二六　教科用圖書檢定規程…（二）
令二二七　朝鮮輕便鐵道令施行規則…（七）
令二二八　朝鮮鐵道運輸規程…（七）
令二二九　輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件…（七）
令二三〇　メチールアルコホル（木精）取締規則…（九）
令二三一　墓地、火葬場、埋葬及火葬取締規則…（九）
令二三二　朝鮮總督府裁判所及檢事局事務章程…（二）
令二三三　法人及夫婦財產契約登記取扱規則…（二）
令二三四　商業登記取扱規則…（二）
令二三五　假出獄取締規則…（二）
令二三六　朝鮮監獄令施行規則…（二）
令二三八　不動產其ノ他ノ登記簿ノ謄本、抄本ノ請求等ニ關スル手數料及私署證書確定日附ノ手數料ニ關スル件…（二）
令二三九　警察犯處罰規則…（二）
令二四〇　死亡ノ申告ヲ爲サシテ埋葬ヲ爲シタル者等ニ關スル罰則…（二）
令二四一　藥品及藥品營業取締令施行規則…（九）
令二四二　海事ニ關スル事務ヲ分掌スル朝鮮總督府遞信局海事出張所ノ設置竝其ノ名稱、位置及分掌區域…（二）
令二四三　朝鮮總督府遞信官署ノ出納員ニ關スル件…（二）
令二四四　藥品及藥品營業取締令第十三條ニ依ル毒藥、劇藥ノ品目…（九）
令二四五　法人ノ設立及監督ニ關スル規程…（九）
令二四六　健全證書交付手續…（九）
令二四七　遺失物其ノ他ノ物件ニ關スル制令施行ニ關スル件…（九）
令二四八　衛生上有害飲食物及有害物品取締規則第九條、清涼飲料水及氷雪營業取締規則第十條ニ依ル警務總長、警務部長ノ職權中警察署長、警察分署長及警察署ノ事務ヲ取扱フ憲兵分隊、憲兵分遣所ノ長ヲシテ行ハシムル事項…（九）
令二四九　教科用圖書檢定規程…（二）
令二五〇　朝鮮輕便鐵道令施行規則…（七）
令二五一　朝鮮鐵道運輸規程…（七）
令二五二　輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件…（七）
令二五三　メチールアルコホル（木精）取締規則…（九）
令二五四　墓地、火葬場、埋葬及火葬取締規則…（九）

調一一五　船舶積量測度互認…（七）
調一一　勅語謄本頒布ノ件…（七）
調四　森林山野及未墾地國有私有區分標準…（一〇）
調五　電報規則第四條第二項ニ依リ局報ヲ發送シ得ル場合…（一九）
調七　極印使用規程…（一〇）
調八　陸地棉栽培奬勵ニ關スル件…（一〇）
調九　畜牛ノ改良竝殖ニ關スル件…（一〇）
調一〇　蠶業改良奬勵ニ關スル件…（一〇）
調一一　朝鮮總督府警視、警部ノ地方法院支廳檢事ノ驗務取扱ニ關スル件…（一四）
調一三　刑ノ執行猶豫ニ關スル取扱規程…（一四）
調一五　假出獄ニ關スル取扱手續…（一四）
調一六　朝鮮總督府遞信局事務分掌規程…（一三）
調二〇　朝鮮總督府會計事務分掌規程…（一三）
調二二　朝鮮總督府裁判所及檢事局庶務規程…（九）
調二八　郵便物通關手續…（一一）
調三一　朝鮮總督府公文書規程…（一五）
調三六　朝鮮總督府現金取扱規程…（一一）
調五六　朝鮮關稅認願審查委員會審查規程…（一二）
調五七　朝鮮、內地間ニ於テ明治四十四年勅令第二百六十八號ニ依リ受刑者及刑事被告人ヲ護送スルニ當リ相互ニ送致スヘキ地點…（一三）
調七二　水底電線路區域…（一九）
告一九〇　汽車中ニ在ル者ニ宛テタル電報ノ交付取扱ニ關スル件…（一九）
告二〇九　明治四十三年勅令第三百九十六號第五條ニ依ル認定學校…（一五）
告二四二　メチールアルコホル（木精）取締ノ則中酒類ニ於ケル「メチールアルコホル」試驗方法…（九）
告二六〇　船舶積量測度互認…（一五）
告二六九　牛乳中ニ移行スヘキ毒藥、劇藥鹿方ニ關スル件…（九）
勅令　六　朝鮮人ノ【試補及】見習ニ關スル件…（二）

大正元年

勅令

勅一　朝鮮總督府遞信官署事務章程…（一）
勅一一　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅一二　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅一三　韓國併合紀念章制定ノ件…（二）
勅一四　朝鮮關稅事務官官制…（二）
勅一五　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅一六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅一七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅一八　牧入印紙出納規程…（一）
勅一九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅二〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅二一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅二二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅二三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅二四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅二五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅二六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅二七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅二八　牧入印紙出納規程…（一）
勅二九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅三〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅三一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅三二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅三三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅三四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅三五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅三六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅三七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅三八　牧入印紙出納規程…（一）
勅三九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅四〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅四一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅四二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅四三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅四四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅四五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅四六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅四七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅四八　牧入印紙出納規程…（一）
勅四九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅五〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅五一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅五二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅五三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅五四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅五五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅五六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅五七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅五八　牧入印紙出納規程…（一）
勅五九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅六〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅六一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅六二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅六三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅六四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅六五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅六六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅六七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅六八　牧入印紙出納規程…（一）
勅六九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅七〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅七一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅七二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅七三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅七四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅七五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅七六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅七七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅七八　牧入印紙出納規程…（一）
勅七九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅八〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅八一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅八二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅八三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅八四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅八五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅八六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅八七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅八八　牧入印紙出納規程…（一）
勅八九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅九〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅九一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅九二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅九三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅九四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅九五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅九六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅九七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅九八　牧入印紙出納規程…（一）
勅九九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一〇〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅一〇一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅一〇二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅一〇三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅一〇四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅一〇五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一〇六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅一〇七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅一〇八　牧入印紙出納規程…（一）
勅一〇九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一一〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅一一一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅一一二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅一一三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅一一四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅一一五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一一六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅一一七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅一一八　牧入印紙出納規程…（一）
勅一一九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一二〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅一二一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅一二二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅一二三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅一二四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅一二五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一二六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅一二七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅一二八　牧入印紙出納規程…（一）
勅一二九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一三〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅一三一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅一三二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅一三三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅一三四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅一三五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一三六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅一三七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅一三八　牧入印紙出納規程…（一）
勅一三九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一四〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅一四一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅一四二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅一四三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅一四四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅一四五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一四六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅一四七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅一四八　牧入印紙出納規程…（一）
勅一四九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一五〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅一五一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅一五二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅一五三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅一五四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅一五五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一五六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅一五七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅一五八　牧入印紙出納規程…（一）
勅一五九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一六〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅一六一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅一六二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅一六三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅一六四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅一六五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一六六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅一六七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅一六八　牧入印紙出納規程…（一）
勅一六九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一七〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅一七一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅一七二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅一七三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅一七四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅一七五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一七六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅一七七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅一七八　牧入印紙出納規程…（一）
勅一七九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一八〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅一八一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅一八二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅一八三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅一八四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅一八五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一八六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅一八七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅一八八　牧入印紙出納規程…（一）
勅一八九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一九〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅一九一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅一九二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅一九三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅一九四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅一九五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅一九六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅一九七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅一九八　牧入印紙出納規程…（一）
勅一九九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅二〇〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅二〇一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅二〇二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅二〇三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅二〇四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅二〇五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅二〇六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅二〇七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅二〇八　牧入印紙出納規程…（一）
勅二〇九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅二一〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅二一一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅二一二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅二一三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅二一四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅二一五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅二一六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅二一七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅二一八　牧入印紙出納規程…（一）
勅二一九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅二二〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅二二一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅二二二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅二二三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅二二四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅二二五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅二二六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅二二七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅二二八　牧入印紙出納規程…（一）
勅二二九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅二三〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅二三一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅二三二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅二三三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅二三四　朝鮮總督府濟生院官制…（二）
勅二三五　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅二三六　朝鮮總督府遞信官署物品出納規程…（一）
勅二三七　朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程…（一）
勅二三八　牧入印紙出納規程…（一）
勅二三九　韓國併合紀念章制定ノ件…（一）
勅二四〇　朝鮮關稅事務官官制…（一）
勅二四一　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件…（二）
勅二四二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程…（一）
勅二四三　朝鮮總督府中央試驗所官制…（二）
勅二四四　朝鮮總督府濟生院官

令令　令令令令令令令令令令　令　七七六六　朝朝朝朝朝朝名商逓　逓朝朝朝朝朝朝

勅　一五　請願ニ依ル通信施設ニ關スル件……（八七）
勅二三〇　大正四年法律第十八號ヲ朝鮮等ニ施行ノ件……（二四）

文部省

令　一一　文官任用令上準校認定ニ關スル件……（一〇）
告　三三　善隣商業準校ヲ徴兵令並文官任用令ニ依リ認定……（一〇）
告一一八　仁川公立商業準修準校ヲ文官任用令ニ依リ認定……（一〇）

農商務省

告　二六　伯剌西爾合衆國カ工業所有權保護ニ關スル巴里同盟條約加入ノ效力……（六）

朝鮮總督府

制　二　傳染病豫防令……（九）
制　三一　朝鮮重要物産同業組合令……（一〇）
制　五　朝鮮水先令……（一〇）
制　八　朝鮮鑛業令……（一〇）
令　一　土地測量標規則……（一〇）
令　一五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（一〇）
令　二三　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
令　三八　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
令　四三　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
令　六五　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
令　七二　消防組規則……（九）
令　八〇　開港取締規則……（九）
令　八一　朝鮮重要物産同業組合令施行期日……（九）
令　八二　朝鮮重要物産同業組合令施行規則……（九）
令　八三　神社寺院規則……（九）
令　八四　布教規則……（九）
令　八五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（九）
令　八九　朝鮮水先令施行期日……（九）
令一〇〇　朝鮮水先令施行規則……（九）
令一〇二　朝鮮水先人試驗規則……（九）
令一〇三　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
令一一〇　道路規則……（九）
令一一一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（九）
令一一四　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
令一一六　官有財産ノ整理區分、臺帳其ノ他
調　一二　列車監獄ノ構造標準……（一一）
調　一五　監獄ニ於テ入監簿其ノ他備付ノ件……（一四）
調　二六　傳染病患者其ノ他救助料給與ノ件……（八）
調　四〇　朝鮮總督府事務分掌規程……（三）
調　四一　朝鮮總督府裁判所及檢事局徵收金取扱規程……（一一）
調　五〇　土地調査令ニ依ル地番號ノ設定ナキ地ノ統一番號、變更ニ關スル件……（一四）
調　六三　水道ニ關スル件……（一〇）
調　一〇二　宿舍料支給規程……（二）
調　一〇五　看護婦規則ニ依ル看護婦養成所指定……（一四）
調　一一五　水底電線路區域……（九）
調　一一八　朝鮮船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ營業……（一七）
調　一二〇　朝鮮總督府始政記念日……（一二）
調　一二二　公文書ニ用ヰル森林樹木ノ名稱……（一〇）
調　一二四　神社寺院規則ニ依ル神社寺院創立願、同財産扱ノ樣式……（七）
調　一二五　道路規則第六條第一項但書ノ府指定……（一七）
調　一二六　朝鮮水先令施行規則ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局……（一七）
調　一三一　朝鮮總督府博物館設置ノ件……（一四）
調　一三二　代書業取締規則……（九）
勅　一四　朝鮮臺灣關東州又ハ樺太ニ居住スル者ノ徵兵令ニ關スル件……（一一）
勅　五六　國庫出納金端數計算法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ノ件……（一一）
勅　五七　朝鮮總督府國債證券登記令施行ノ件……（一一）
勅一三四　朝鮮總督府裁判所及檢事局徵收金取扱規程……（一一）
勅二〇〇　土地調査令ニ依ル地番號ノ設定ナキ地ノ統一番號、變更ニ關スル件……（一四）
勅二〇九　水道ニ關スル件……（一〇）
勅二一一　宿舍料支給規程……（二）
勅二一三　看護婦規則ニ依ル看護婦養成所指定……（一四）
勅二一四　朝鮮船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ營業……（一七）
勅二二五　水底電線路區域……（九）
勅二五六　朝鮮總督府始政記念日……（一二）
勅二五七　公文書ニ用ヰル森林樹木ノ名稱……（一〇）
勅二五八　神社寺院規則ニ依ル神社寺院創立願、同財産扱ノ樣式……（七）
勅二五九　道路規則第六條第一項但書ノ府指定……（一七）
勅二六〇　朝鮮水先令施行規則ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局……（一七）
勅二六一　朝鮮總督府博物館設置ノ件……（一四）
勅二六二　代書業取締規則……（九）

大正五年

法律

法　二　國庫出納金端數計算法……（一一）
法二〇　證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル件……（一一）
法二二　海底電線保護ニ關スル件……（一一）
法四二　簡易生命保險法……（一一）
法四五　華族世襲財產法……（一一）

勅令

勅　一四　朝鮮臺灣關東州又ハ樺太ニ居住スル者ノ徵兵令ニ關スル件……（一一）
勅　五六　國庫出納金端數計算法ヲ朝鮮ニ施行ノ件……（一一）
勅　五七　國庫出納金端數計算法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ノ件……（一一）
勅一三四　朝鮮總督府國債證券登記令施行ノ件……（一一）
勅二〇〇　朝鮮總督府裁判所及檢事局徵收金取扱規程……（一一）
勅二〇九　郵便電信電話等ニ關スル料金ノ徵收ニ關スル件……（一七）
勅二一一　公共團體ノ收入及仕拂ニ關シ國庫出納金端數計算法準用ノ件……（一一）
勅二一三　立太子禮當日國幣社以下神社ニ於テ行フヘキ祭祀ニ關スル件……（七）
勅二一四　證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律施行期日……（一一）
勅二五四　證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律施行細則……（一一）
勅二五五　證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（一一）
勅二五六　歲入納付ニ使用スル證券ニ關スル件……（一一）

内閣

訓　一　統計事務ニ關スル件……（一）

大藏省

令　一八　印紙模造取締規則……（一一）
令三〇　證券ノ納付ニ關スル制限……（一一）
令三二　證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律施行細則……（一一）
訓　一三　證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律實施ニ付取扱方……（一一）

文部省

告　九五　京城高等普通學校附設臨時教員養成所ヲ文官任用令ニ依リ認定……（一）

遞信省

令　六五　造船規程……（七）

朝鮮總督府

制　二　酒稅令……（一一）
令　一一　思賜賑恤資金管理規程……（六）

令　四　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
令　八　朝鮮鑛業令施行期日……（一）
令　九　朝鮮鑛業令施行規則……（一）
令一〇　朝鮮鑛業登錄規則……（一）
令一一　大正三、四年臨時事件ニ關スル一時賜金保管ノ件……（一）
令一八　朝鮮登錄稅令施行規則……（一）
令一九　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一）
令二一　徵兵旅費繰替支辨ニ關スル件……（一）
令二二　明治三十八年法律第六十六號第十條又ハ印紙犯罪處罰法第五條ノ規定ニ依ル官沒ニ關スル件……（四）
令二三　藥劑師試驗規則……（九）
令二四　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一）
令二七　朝鮮水夫適任證書交付規則……（一）
令二八　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
令三一　神社ノ祭式恒例式及齋戒ニ關スル件……（七）
令三四　神職任用奉務及服裝規則……（七）
令三五　保護牛規則……（六）
令三七　巴拿馬及蘇士運河噸數證書交付規則……（七）
令三九　郵便法第五十五條ノ三ノ規定ニ依ル官沒ニ關スル件……（七）
令四一　國庫出納金端數計算法ニ依リ端數ヲ切捨ツヘキ國稅指定……（一）
令四三　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一）
令四七　地方土木費國庫補助規程……（八）
令四八　小學校及普通學校教員試驗規則……（二）
令四九　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
令五〇　氣象通知電報規則……（七）
令一〇二　明治三十三年法律第三十號第五條ノ件……（八）
令一〇四　思賜賑恤資金窮民救助規程……（八）
令一〇五　教員心得……（五）
令一一二　藥劑師試驗委員規程……（三）
調　一　稅關ノ徵收スル消費稅ニ關スル件……（一）
調　二二　朝鮮總督府建築標準……（一〇）
調　四〇　開港ニ於ケル港界表示ノ爲立標及浮標設置ノ件……（一七）
調　四三　鑛業ノ出願ヲ許否スル地域及鑛物
告　一九　支那ニ於ケル工業所有權相互保護ニ關スル日本瑞典條約……（六）
告　三七　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
告　三八　朝鮮鑛業令施行期日……（一）
告　三九　朝鮮鑛業令施行規則……（一）
告　四一　大正三、四年臨時事件ニ關スル一時賜金保管ノ件……（一）
告　四二　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一）
告　四三　徵兵旅費繰替支辨ニ關スル件……（一）
告　四四　明治三十八年法律第六十六號第十條又ハ印紙犯罪處罰法第五條ノ規定ニ依ル官沒ニ關スル件……（四）
告　四五　藥劑師試驗規則……（九）
告　四六　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一）
告　四七　朝鮮水夫適任證書交付規則……（一）
告　四八　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
告　四九　神社ノ祭式恒例式及齋戒ニ關スル件……（七）
告　五〇　神職任用奉務及服裝規則……（七）
告　五五　保護牛規則……（六）
告　五七　巴拿馬及蘇士運河噸數證書交付規則……（七）
告　五九　郵便法第五十五條ノ三ノ規定ニ依ル官沒ニ關スル件……（七）
告　六一　國庫出納金端數計算法ニ依リ端數ヲ切捨ツヘキ國稅指定……（一）
告　六六　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一）
告　六八　酒稅令施行規則……（一）
告　六九　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
告　七一　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
告　七二　地方土木費國庫補助規程……（八）
告　七三　小學校及普通學校教員試驗規則……（二）
告　七四　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
告　七五　氣象通知電報規則……（七）
告　七六　明治三十三年法律第三十號第五條ノ件……（八）
告　七七　思賜賑恤資金窮民救助規程……（八）
告　七八　藥劑師試驗委員規程……（三）
告　七九　稅關ノ徵收スル消費稅ニ關スル件……（一）
告　八〇　朝鮮總督府建築標準……（一〇）
告　八一　開港ニ於ケル港界表示ノ爲立標及浮標設置ノ件……（一七）
告　八二　鑛業ノ出願ヲ許否スル地域及鑛物

大正六年

法律

法　一　軍事救護法……（八）
法　二　工業所有權戰時法……（一二）

勅令

勅　七　請願令……（三）
勅　七〇　外國ニ駐在スル帝國ノ大使、公使、領事官又ハ貿易事務官ノ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ船籍ヲ有スル帝國船舶及其ノ船員ニ關スル職權ノ件……（七）
勅　七五　朝鮮總督府稅關監吏ノ資格ニ關スル件……（三）
勅　八〇　朝鮮國有鐵道建設及改良工事費樞算渡ノ件……（一）
勅　八三　工業所有權戰時法施行期日……（一）
勅　八四　工業所有權戰時法施行令……（一）
勅　八五　工業所有權戰時法登錄令……（一）
勅　八六　工業所有權戰時法ヲ朝鮮及臺灣ニ施行ノ件……（一）
勅　八七　小額紙幣發行ニ關スル件……（一）
勅　八八　小額紙幣ノ形式ノ件……（一）
勅　八九　軍事救護法施行期日……（八）
勅　九〇　軍事救護法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ノ件……（八）
勅　九二　外國ニ駐在スル帝國ノ大使、公使、領事官又ハ貿易事務官ノ朝鮮、臺灣又ハ關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル朝鮮銀行券ノ通用ニ關スル件……（一二）
勅　九四　朝鮮銀行券ノ通用ニ關スル件……（一二）
勅　九五　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅　九六　朝鮮鑛業令施行期日……（一）
勅　九七　朝鮮鑛業令施行規則……（一）
勅　九八　朝鮮鑛業登錄規則……（一）
勅　九九　朝鮮水先令……（一）
勅一〇〇　朝鮮鑛業令……（一）
勅一〇一　土地測量標規則……（一）
勅一〇二　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一）
勅一〇三　朝鮮船舶通報規程……（一）
勅一〇四　公證人懲戒委員會規則……（一）
勅一〇五　朝鮮總督府島令公文式……（一）
勅一〇六　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一）
勅一〇七　消防組規則……（九）
勅一〇八　開港取締規則……（九）
勅一〇九　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅一一〇　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅一一一　神社寺院規則……（九）
勅一一二　布教規則……（九）
勅一一三　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅一一四　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅一一五　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅一一六　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅一一七　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅一一八　道路規則……（九）
勅一一九　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅一二〇　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅一二一　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅一二二　傳染病豫防令……（九）
勅一二三　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅一二四　朝鮮水先令……（一〇）
勅一二五　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅一二六　土地測量標規則……（一〇）
勅一二七　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅一二八　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅一二九　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅一三〇　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅一三一　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅一三二　消防組規則……（九）
勅一三三　開港取締規則……（九）
勅一三四　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅一三五　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅一三六　神社寺院規則……（九）
勅一三七　布教規則……（九）
勅一三八　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅一三九　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅一四〇　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅一四一　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅一四二　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅一四三　道路規則……（九）
勅一四四　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅一四五　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅一四六　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅一四七　傳染病豫防令……（九）
勅一四八　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅一四九　朝鮮水先令……（一〇）
勅一五〇　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅一五一　土地測量標規則……（一〇）
勅一五二　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅一五三　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅一五四　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅一五五　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅一五六　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅一五七　消防組規則……（九）
勅一五八　開港取締規則……（九）
勅一五九　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅一六〇　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅一六一　神社寺院規則……（九）
勅一六二　布教規則……（九）
勅一六三　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅一六四　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅一六五　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅一六六　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅一六七　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅一六八　道路規則……（九）
勅一六九　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅一七〇　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅一七一　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅一七二　傳染病豫防令……（九）
勅一七三　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅一七四　朝鮮水先令……（一〇）
勅一七五　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅一七六　土地測量標規則……（一〇）
勅一七七　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅一七八　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅一七九　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅一八〇　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅一八一　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅一八二　消防組規則……（九）
勅一八三　開港取締規則……（九）
勅一八四　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅一八五　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅一八六　神社寺院規則……（九）
勅一八七　布教規則……（九）
勅一八八　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅一八九　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅一九〇　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅一九一　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅一九二　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅一九三　道路規則……（九）
勅一九四　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅一九五　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅一九六　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅一九七　傳染病豫防令……（九）
勅一九八　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅一九九　朝鮮水先令……（一〇）
勅二〇〇　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅二〇一　土地測量標規則……（一〇）
勅二〇二　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅二〇三　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅二〇四　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅二〇五　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅二〇六　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅二〇七　消防組規則……（九）
勅二〇八　開港取締規則……（九）
勅二〇九　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅二一〇　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅二一一　神社寺院規則……（九）
勅二一二　布教規則……（九）
勅二一三　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅二一四　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅二一五　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅二一六　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅二一七　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅二一八　道路規則……（九）
勅二一九　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅二二〇　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅二二一　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅二二二　傳染病豫防令……（九）
勅二二三　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅二二四　朝鮮水先令……（一〇）
勅二二五　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅二二六　土地測量標規則……（一〇）
勅二二七　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅二二八　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅二二九　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅二三〇　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅二三一　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅二三二　消防組規則……（九）
勅二三三　開港取締規則……（九）
勅二三四　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅二三五　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅二三六　神社寺院規則……（九）
勅二三七　布教規則……（九）
勅二三八　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅二三九　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅二四〇　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅二四一　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅二四二　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅二四三　道路規則……（九）
勅二四四　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅二四五　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅二四六　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅二四七　傳染病豫防令……（九）
勅二四八　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅二四九　朝鮮水先令……（一〇）
勅二五〇　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅二五一　土地測量標規則……（一〇）
勅二五二　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅二五三　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅二五四　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅二五五　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅二五六　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅二五七　消防組規則……（九）
勅二五八　開港取締規則……（九）
勅二五九　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅二六〇　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅二六一　神社寺院規則……（九）
勅二六二　布教規則……（九）
勅二六三　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅二六四　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅二六五　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅二六六　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅二六七　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅二六八　道路規則……（九）
勅二六九　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅二七〇　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅二七一　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅二七二　傳染病豫防令……（九）
勅二七三　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅二七四　朝鮮水先令……（一〇）
勅二七五　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅二七六　土地測量標規則……（一〇）
勅二七七　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅二七八　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅二七九　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅二八〇　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅二八一　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅二八二　消防組規則……（九）
勅二八三　開港取締規則……（九）
勅二八四　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅二八五　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅二八六　神社寺院規則……（九）
勅二八七　布教規則……（九）
勅二八八　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅二八九　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅二九〇　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅二九一　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅二九二　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅二九三　道路規則……（九）
勅二九四　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅二九五　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅二九六　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅二九七　傳染病豫防令……（九）
勅二九八　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅二九九　朝鮮水先令……（一〇）
勅三〇〇　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅三〇一　土地測量標規則……（一〇）
勅三〇二　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅三〇三　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅三〇四　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅三〇五　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅三〇六　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅三〇七　消防組規則……（九）
勅三〇八　開港取締規則……（九）
勅三〇九　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅三一〇　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅三一一　神社寺院規則……（九）
勅三一二　布教規則……（九）
勅三一三　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅三一四　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅三一五　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅三一六　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅三一七　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅三一八　道路規則……（九）
勅三一九　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅三二〇　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅三二一　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅三二二　傳染病豫防令……（九）
勅三二三　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅三二四　朝鮮水先令……（一〇）
勅三二五　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅三二六　土地測量標規則……（一〇）
勅三二七　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅三二八　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅三二九　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅三三〇　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅三三一　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅三三二　消防組規則……（九）
勅三三三　開港取締規則……（九）
勅三三四　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅三三五　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅三三六　神社寺院規則……（九）
勅三三七　布教規則……（九）
勅三三八　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅三三九　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅三四〇　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅三四一　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅三四二　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅三四三　道路規則……（九）
勅三四四　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅三四五　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅三四六　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅三四七　傳染病豫防令……（九）
勅三四八　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅三四九　朝鮮水先令……（一〇）
勅三五〇　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅三五一　土地測量標規則……（一〇）
勅三五二　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅三五三　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅三五四　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅三五五　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅三五六　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅三五七　消防組規則……（九）
勅三五八　開港取締規則……（九）
勅三五九　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅三六〇　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅三六一　神社寺院規則……（九）
勅三六二　布教規則……（九）
勅三六三　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅三六四　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅三六五　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅三六六　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅三六七　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅三六八　道路規則……（九）
勅三六九　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅三七〇　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅三七一　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅三七二　傳染病豫防令……（九）
勅三七三　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅三七四　朝鮮水先令……（一〇）
勅三七五　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅三七六　土地測量標規則……（一〇）
勅三七七　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅三七八　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅三七九　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅三八〇　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅三八一　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅三八二　消防組規則……（九）
勅三八三　開港取締規則……（九）
勅三八四　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅三八五　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅三八六　神社寺院規則……（九）
勅三八七　布教規則……（九）
勅三八八　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅三八九　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅三九〇　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅三九一　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅三九二　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅三九三　道路規則……（九）
勅三九四　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅三九五　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅三九六　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅三九七　傳染病豫防令……（九）
勅三九八　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅三九九　朝鮮水先令……（一〇）
勅四〇〇　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅四〇一　土地測量標規則……（一〇）
勅四〇二　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅四〇三　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅四〇四　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅四〇五　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅四〇六　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅四〇七　消防組規則……（九）
勅四〇八　開港取締規則……（九）
勅四〇九　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅四一〇　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅四一一　神社寺院規則……（九）
勅四一二　布教規則……（九）
勅四一三　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅四一四　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅四一五　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅四一六　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅四一七　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅四一八　道路規則……（九）
勅四一九　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅四二〇　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅四二一　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅四二二　傳染病豫防令……（九）
勅四二三　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅四二四　朝鮮水先令……（一〇）
勅四二五　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅四二六　土地測量標規則……（一〇）
勅四二七　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅四二八　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅四二九　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅四三〇　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅四三一　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅四三二　消防組規則……（九）
勅四三三　開港取締規則……（九）
勅四三四　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅四三五　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅四三六　神社寺院規則……（九）
勅四三七　布教規則……（九）
勅四三八　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅四三九　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅四四〇　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅四四一　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅四四二　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅四四三　道路規則……（九）
勅四四四　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅四四五　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅四四六　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅四四七　傳染病豫防令……（九）
勅四四八　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅四四九　朝鮮水先令……（一〇）
勅四五〇　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅四五一　土地測量標規則……（一〇）
勅四五二　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅四五三　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅四五四　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅四五五　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅四五六　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅四五七　消防組規則……（九）
勅四五八　開港取締規則……（九）
勅四五九　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅四六〇　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅四六一　神社寺院規則……（九）
勅四六二　布教規則……（九）
勅四六三　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅四六四　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅四六五　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅四六六　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅四六七　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅四六八　道路規則……（九）
勅四六九　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅四七〇　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅四七一　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅四七二　傳染病豫防令……（九）
勅四七三　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅四七四　朝鮮水先令……（一〇）
勅四七五　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅四七六　土地測量標規則……（一〇）
勅四七七　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅四七八　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅四七九　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅四八〇　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅四八一　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅四八二　消防組規則……（九）
勅四八三　開港取締規則……（九）
勅四八四　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅四八五　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅四八六　神社寺院規則……（九）
勅四八七　布教規則……（九）
勅四八八　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅四八九　朝鮮水先令施行期日……（九）
勅四九〇　朝鮮水先令施行規則……（九）
勅四九一　朝鮮水先人試驗規則……（九）
勅四九二　朝鮮船舶職員令準用ノ件……（九）
勅四九三　道路規則……（九）
勅四九四　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（四）
勅四九五　官廳用及私設ノ電信電話及無線電信電話ニ依ル公衆通信取扱規則……（一七）
勅四九六　官有財產ノ整理區分、臺帳其ノ他
勅四九七　傳染病豫防令……（九）
勅四九八　朝鮮重要物產同業組合令……（一〇）
勅四九九　朝鮮水先令……（一〇）
勅五〇〇　朝鮮鑛業令……（一〇）
勅五〇一　土地測量標規則……（一〇）
勅五〇二　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……（一〇）
勅五〇三　朝鮮船舶通報規程……（一〇）
勅五〇四　公證人懲戒委員會規則……（一〇）
勅五〇五　朝鮮總督府島令公文式……（一〇）
勅五〇六　島ノ名稱、位階、管轄區域……（一〇）
勅五〇七　消防組規則……（九）
勅五〇八　開港取締規則……（九）
勅五〇九　朝鮮重要物產同業組合令施行期日……（九）
勅五一〇　朝鮮重要物產同業組合令施行規則……（九）
勅五一一　神社寺院規則……（九）
勅五一二　布教規則

令　八五　刑事事件ニ付司法警察官ヲ呼出シタル證定人及通事ノ給與ニ關スル件……（二）　一六七
令　八九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（四）　一九七
令一〇〇　軍事救護法施行細則……（八）　一九九
訓　一四　神社制札ノ制式……（七）　二一
訓　五一　朝鮮總督府裁判所書記課處務規程……（八）　二
告　六二　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告　九〇　朝鮮總督府博物館陳列品寄託心得……（一七）　二三
告一一一　産婆規則ニ依ル産婆養成所指定……（八）　九
告一一四　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告二〇三　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告二一八　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告二一四　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告二八九　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七

大正七年

皇室典範

増補……（一）　四

法律

法二三　舊韓國貨幣ノ處分ニ關スル件……（一）　四七
法三八　軍需工業動員法……（二）　一八二
法三九　共通法……（二）　一六

勅令

勅八九　普通試驗令……（二）　二〇
勅九九　高等試驗令……（二）　二〇
勅三一　朝鮮總督府歐疫血清製造所官制……（二）　九五
勅六〇　貨幣法ヲ朝鮮ニ施行ノ件……（二）　四〇
勅一〇〇　朝鮮總督府林野調査委員會官制……（二）　六
勅二九九　朝鮮軍人及朝鮮軍人遺族扶助令……（四）　三
勅三四七　保健技師、保健技手、藥劑師、教諭、教師、作業技師及作業技手ノ官等等級配當ノ件……（二）　二三
勅三五〇　公共團體ニ對スル工事補助費繰越

令　一四　外國人渡來ニ關スル件……（九）　九三
令　一八　書堂規則……（二）　一〇六
令　一九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一九六
令　三八　朝鮮林野調査令施行規則……（一〇）　一九六
令　四八　稅關所屬曳船使用規則……（七）　六八
令　五三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一九六
令　五六　水產製品檢查規則……（二）　三三
令　五八　朝鮮官有財産管理規則ニ依ル重要物産及製造業者、造船業者ノ資格ニ關スル件……（二）　三九
令　六四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一九六
令　六五　地方法院出張所ノ名稱、位置及事務取扱區域表……（二）　六
令　六八　鴨綠江及豆滿江ノ漂流材木ニ關スル件……（八）　一〇
令　七〇　府公金受拂郵便振替貯金特別取扱規則……（七）　一六
令　七三　地稅令施行規則……（二）　二
令　七八　朝鮮軍人及朝鮮軍人遺族扶助令施行規則……（四）　三
令　八〇　工場法ノ適用ヲ受クル工場ノ職工徒弟等民籍無僞證明ノ件……（四）　二六
訓　一　朝鮮航路標識規則……（七）　六
訓　九　人事訴訟手續法第一條第三項及非訟事件手續法第二條第三項ニ依リ京城府指定……（四）　一
訓一五　朝鮮總督府裁判所及檢事局書類保存規程……（五）　三
訓二三　朝鮮總督府巡查及朝鮮總督府道巡查配置及勤務規程……（二）　二
訓二九　朝鮮總督府刑務官練習所規程……（二）　二
訓四二　朝鮮總督府地質調查所事務分掌規程……（二）　三
訓四七　外國貨物鐵道運送手續……（七）　四
訓五九　朝鮮總督府統計事務取扱方……（五）　二
訓　二六　朝鮮總督府會計事務取扱手續……（一〇）　七
告　二　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告　八八　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七

海軍省

告　三　海軍軍人軍屬減價乘船手續……（二）　一二
告　五　恤兵品取扱規程……（八）　二

文部省

令　三　高等試驗令第七條及第八條ニ關スル件……（二）　一二
訓　一　私立東洋協會京城專門學校ヲ發展シ併セテ文官任用令ニ依リ認定……（二）　一〇
訓　九　令旨文官任用令ニ依リ認定……（二）　一〇

朝鮮總督府

制　一　秩祿類似證券取締ニ關スル件……（二）　四
制　五　朝鮮林野調查令……（二）　一
制　七　朝鮮殖產銀行令……（二）　一
制一六　朝鮮電信電話線建設令……（二）　一
制二四　勞働者募集取締規則……（九）　九
制三四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
令　一　肺結核豫防ニ關スル件……（九）　九
令　六　戰役又ハ事變ニ際シ功勞アル者ニ一時賜金又ハ金銀木杯若ハ錦地ヲ賜與スルノ件……（四）　一
令　七　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
令一四　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
令一七　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
令二〇　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
令二七　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
令三二　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
令三八　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
令四四　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
令五三　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
令五九　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
令六〇　學校傳染病豫防及消毒方法……（九）　四三
令六一　傳染病豫防令第二十二條ニ依ル地方公共團體ノ義務ニ關スル件……（九）　四三
令七一　水利組合補助規程……（一〇）　三一
令七六　大正八年制令第十一號施行ニ關スル件……（一）　六
令七九　朝鮮鐵業令施行期日……（六）　三五
令八〇　朝鮮鐵業令施行規則……（六）　三五
令八三　道原鐵種製造所及鐵業取締所設置ニ關スル件……（六）　三五
令八四　朝鮮私設鐵道及軌道撫當取扱規則……（四）　一〇
令九七　大正八年制令第十四號施行期日……（三）　一
令九八　大正八年制令第十四號施行規則ニ依ル執達吏ノ職務ヲ行フ者ノ手數料及立替金增額ニ關スル件……（三）　一一
令九九　公證手數料增額ニ關スル件……（三）　一一
令一〇〇　財團抵當登記取扱規則……（四）　三
令一〇一　朝鮮阿片取締令施行期日……（九）　一六
令一一〇　朝鮮阿片取締令施行規則……（九）　一六
令一一一　電話規則……（七）　三九
令一一六　朝鮮總督府營林署森林主事及朝鮮總督府郡島森林主事特別任用規程……（三）　二〇四
令一一八　朝鮮總督府遞信局海員藥成所規程……（三）　八三
令一二二　朝鮮總督府營林署長ノ命令ヲ以テ定メタル事項ニ關スル件……（一）　七
令一三二　道森林主事ノ服制……（八）　二
令一三八　時間外電報ノ取扱ヲ爲サザル件……（七）　三九
令一四八　朝鮮總督府船舶乘組員、鐵道郵便係員、通信監視員及間接國稅ノ檢查ニ從事スル官吏ノ服制……（三）　二〇
令一七六　展覽規則……（九）　一四四
令一八四　國債募集、資出及元利金支拂郵便振替貯金特別取扱規則……（七）　六六
令一九三　朝鮮林野調查令第十二條ニ依リ召喚スル利害關係人、證人、鑑定人ノ旅費及鑑定人ノ手當支給方……（二）　一四四
令二〇三　行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者ノ救護又ハ取扱ニ關スル費用繰替支辨ニ關スル件……（八）　三一
訓一一　學校清潔方法……（九）　六
訓一四　朝鮮鐵業令施行事務取扱規程……（六）　二〇

告　九七　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告一〇五　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告一二六　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告一五六　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告一五九　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告一八一　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告一八三　道路規則第六條第一項但書ニ依リ府指定……（一七）　二六五
告一八八　朝鮮林野調查令第三條ニ依ル申告心得……（一〇）　八四
告一九一　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告二二三　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告二三〇　金融組合令第九條ニ依ル指定銀行……（一五）　二七
告二五三　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告二六六　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七
告三〇五　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　二七

大正八年

法律

法一五　公債金特別會計法……（一二）　二六五
法四八　司法書士法……（二三）　二四
法五二　地方鐵道法……（一七）　二五二

勅令

勅二二　朝鮮總督府保健技師、保健技手、教師、教師及作業技手ノ官等等級配當ノ件……（八）　二四
勅二三一　婦人ノ勤勞ヲ以テ著シキ者ニ賜與ノ件……（八）　一〇
勅三五四　養蠶官署ニ拘禁セラルル者ノ食料ニ關スル件……（一四）　三六七

令　六〇　朝鮮總督府養蠶官講習所官制……（二）　二六五
令　六一　朝鮮總督府道知事ノ發スル命令ノ罰則ニ關スル件……（一）　七
令　六六　陸海軍武官ニシテ朝鮮總督又ハ憲兵司令官ノ職ニ在ル者ノ分限ニ關スル件……（二）　三六
令　七四　朝鮮總督府及所屬官署職員服制廢止ノ件……（二）　一
令　七六　現役憲兵下士上等兵ノ服役ニ關スル件……（二）　一六
令　八四　朝鮮總督府道港務官等ノ服制ニ關スル件……（二）　九
令　八七　戰役又ハ事變ニ際シ功勞アル者ニ一時賜金又ハ金銀木杯若ハ錦地ヲ賜與スルノ件……（四）　一
令　八八　朝鮮神社創立竝其ノ社格……（七）　一
令　九一　寶冠章略綬付與ノ件……（四）　二

内閣

令　六〇　朝鮮總督府營林署官制……（二）　一〇
令　六一　朝鮮憲兵補習教育令……（二）　一〇
令　七一　朝鮮憲兵隊附憲兵下士又ハ上等兵ノ服務ニ關スル件……（二）　一〇

陸軍省

告　一二　憲兵補習教育令……（二）　一〇
告一一四　朝鮮憲兵隊附憲兵下士又ハ上等兵ノ服務ニ關スル件……（二）　一〇

朝鮮總督府

制　四　砂糖消費稅令……（二）　七
制　六　印紙稅令……（二）　七
制　七　政治ニ關スル犯罪處斷ノ件……（二）　三五九
制　八　朝鮮貴族令……（二）　三五九
制一〇　酒稅、煙草消費稅等ノ徵收ニ關スル件……（二）　六
制一一　執達吏手數料規則ニ依ル手數料及立替金增額ニ關スル件……（三）　一〇
制一五　朝鮮阿片取締令……（九）　一六
制二四　砂糖消費稅令施行規則……（二）　七
制三五　印紙稅令ニ依ル稅印押捺申請方……（二）　七
制四四　覺信電話維持依託規則……（七）　三五六
制五三　私立病院取締規則……（九）　九四
制五九　學校醫員規則……（九）　六

調三九　朝鮮總督府巡査部長ニ關スル件……（一三）
調四五　朝鮮總督府看守非番勤務手當及特別手當支給規則……（一三）
調四七　朝鮮總督府巡査精勤證書授與規則……（一三）
調四八　朝鮮總督府巡査非番勤務手當支給規則……（一三）
調五一　朝鮮總督府林野調査委員令事務章程……（一三）
告三三　朝鮮林野調査令附則第二項ノ地域……（一〇）
告二二　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一九）
告三二　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一九）
告八九　水底電線路區域……（一七）
告九八　朝鮮鹽業令施行心得……（一七）
告一四八　政府ニ於テ買下ノヘキ鑛藥用阿片ノ價格竝其ノ定價……（一九）
告一五〇　朝鮮阿片取締令附則第四項ニ依リ政府ニ納付スル阿片ノ賠償金ヲ交付スヘキコトヲ得ル金額ノ種類……（一九）
告一六五　鑛藥用阿片及製藥用ノ阿片ノ容器ニ貼附スヘキ封緘紙ノ雛形……（一九）
告一八四　朝鮮殖産銀行令第二十六條ノ銀行指定……（一九）
告一八五　朝鮮總督府遞信局海員養成所位置……（二）
告二〇一　朝鮮阿片取締令第三條ニ依ル製藥栽培區域……（一九）
告二三八　郵便局所ノ郵便、電信、電話及郵便爲替、郵便貯金ノ他各種ノ現金受拂取扱時間……（二）
告二五〇　郵便物ニ後號ヲ附記スルコトヲ得ル件……（一九）
告三五六　郵便貯金規則ニ依リ郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル證券ノ種類……（一九）
替令一　私立病院構造設備標準……（一九）

大正九年

法律

法一　平和條約ノ實施ニ伴フ流通證券及

勅三九　朝鮮總督府巡査部長ニ關スル件……（一三）
勅四五　朝鮮總督府看守非番勤務手當及特別手當支給規則……（一三）
勅四七　朝鮮總督府巡査精勤證書授與規則……（一三）
勅四八　朝鮮總督府巡査非番勤務手當支給規則……（一三）
勅五一　朝鮮總督府林野調査委員令事務章程……（一三）
勅五二　朝鮮林野調査令附則第二項ノ地域……（一〇）
勅五三　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一九）
勅五三四　朝鮮總督府遞信局海員養成所位置……（二）
勅五四五　朝鮮阿片取締令第三條ニ依ル製藥栽培區域……（一九）
勅五六九　郵便局所ノ郵便、電信、電話及郵便爲替、郵便貯金ノ他各種ノ現金受拂取扱時間……（二）
勅五七四　郵便物ニ後號ヲ附記スルコトヲ得ル件……（一九）
勅五八五　朝鮮總督府裁判所職員定員令……（二）
勅六一五　朝鮮總督府遞信官署現業員共濟組合ニ關スル件……（一八）

勅令

勅九　工業所有權戰時法ニ依ル專用權ニ關スル件……（一九）
勅四八　獨逸國等ニ關スル財產管理ノ件……（一九）
勅一〇七　混合仲裁裁判所ノ屬託ニ因リ司法裁判所ノ爲ス法律上ノ補助ニ關スル件……（一三）
勅一五〇　朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ノ內地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル件……（一一）
勅一五五　辯護士タル者ヲ判事檢事ニ任用スル場合ニ於ケル官等ニ關スル件……（二）
勅一六五　奏任文官特別任用令……（二）
勅一七〇　同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ依ル財產處理ニ關スル件……（一四）
勅一七一　印紙ヲ以テスル歲入金納付ニ關スル件……（二）
勅一九〇　學位令……（三五）
勅二〇〇　朝鮮總督府裁判所職員服制……（三）
勅二二二　地方待遇職員令……（三）
勅二三三　教官及技術官ノ俸給ニ關スル件……（二）
勅二四八　關稅法等ノ朝鮮ニ施行スルノ件……（二）
勅三〇六　內地、臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル法律施行ニ關スル件……（二）
勅三一一　辯護士タル者ヲ判事檢事ニ任用スル場合ニ於ケル官等ニ關スル件……（二）
勅三一二　奏任文官特別任用令……（二）
勅三五七　頒布令ノ施行ニ關スル件……（二）
勅三五八　聘用セラレタル官吏及官吏待遇者ニ關スル件……（二）
勅四〇五　交通玉蜀黍ノ場所ニ在勤スル職員ニ手當給與ノ件……（二）
勅四八三　三等郵便局長等ノ給與ニ關スル件……（二）
勅四九七　朝鮮總督府部內臨時職員設置制……（二）
勅五三二　朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出スル物品ノ內地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル件……（一）
勅五三三　擔保附社債信託法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（一）
勅五三四　同盟及聯合國ト奧地利國トノ平和條約ニ依ル財產處理ニ關スル件……（二）
勅五四一　勅奏手當給與令……（二）
勅五四五　朝鮮總督府裁判所職員定員令……（二）
勅五六九　司法官試補及朝鮮總督府司法官試補ニ關スル件……（二）
勅五七四　朝鮮總督府遞信官署現業員共濟組合ニ關スル件……（一）

宮內省

令四　【故李王妃】及公族ニ分屬スル李王職判任官ノ定員……（二）
令六　宮內省外國旅費臨時增賜等ノ件……（二）
令一五　宮內省朝鮮臺灣樺太及千島國旅費規則……（二）

內務省

令三八一　徵兵旅費規則……（二）

大藏省

令一一　大正九年勅令第四十八號ニ依ル管理財產タル國債ニ關スル取扱手續……（四）
令一六　內國旅費規則第二條ニ依ル鐵道賃及船賃……（二）

文部省

令一六一　學生生徒兒童身體檢查規程……（三）

遞信省

令七五　船用品檢查試驗規則……（一七）
令七六　錨鎖案試驗規程……（一七）

制七　會社令廢止ニ關スル件……（六）
制八　朝鮮私設鐵道令……（七）
制一一　朝鮮總督府判事ノ特別任用ニ關スル件……（二）
制一四　朝鮮學校費令……（八）
制一八　朝鮮學校令……（八）
制一九　朝鮮賄稅令……（二）
制二一　朝鮮移入移出物品ノ移入移出等ニ關スル件……（二）
制二四　朝鮮出港稅令……（二）
制二五　紅蔘專賣令……（二）
令二一　朝鮮總督府裁判所職員服制……（三）
令六三　私立學校規則……（三）
【徵兵事務條例附則第三項】ニ依リ學校長ノ交付スル在學證明書ニ關スル規程……（三）
同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ基ク損害申告ニ關スル件……（四）
令六八　辯護士職服規程……（三）
令八三　中等教員委託生規則……（三）
令八九　瓦斯事業取締規則……（三）
令九〇　鄉校財產管理規則……（三）
令九一　朝鮮學校費令施行規則……（八）
令一〇四　朝鮮私費留學生規則……（八）
令一〇七　郵便私書函使用規則……（八）
令一〇八　朝鮮總督府列事特別任用考試規則……（三）
令一一〇　驛屯土賣拂處分ニ關スル件……（三）
令一一三　林野臺帳規則……（三）
令一一五　朝鮮稅法及大正九年法律第五十三號施行規則……（三）
令一一八　朝鮮賄稅令施行規則……（三）
令一一九　朝鮮出港稅令施行規則……（三）
令一二〇　大正九年制令第十九號施行ニ關スル件……（三）
令一二一　陸接國境ニ於ケル貨物ノ輸出入ニ關スル件……（三）
令一二二　保稅地域間ノ運送通路ニ關スル件……（三）
令一二五　關稅定率法第八條第一號ニ依ルトナ得ヘキ物品ニ關スル件……（三）
令一二六　關稅定率法第八條第一號ニ依リ輸入稅ヲ免除スヘキ物品指定……（三）
朝鮮總督府郵便所長手當金年額……（三）
刑死者ノ墳墓祭祀骨像等ノ取締ニ關スル件……（九）
驛屯土ノ資拂代金、賃付料及沢ノ使用料收納ニ關スル件……（三）
紅蔘專賣令施行期日……（三）
紅蔘專賣令施行規則……（三）
朝鮮總督府看守長特別任用學術試驗及實務考查規程……（三）
朝鮮私設鐵道令及大正九年制令第九號施行期日……（三）
朝鮮私設鐵道施行規則……（三）
朝鮮專用鐵道規程……（三）
朝鮮私設鐵道建設規程……（三）
朝鮮私設鐵道運輸信號保安規程……（三）
朝鮮私設鐵道係員職制……（三）
輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件廢止……（三）
擔保附社債信託法施行規則……（三）
內地產燐寸ノ輸出取締規則……（三）
朝鮮總督府警察官旅費規則……（八）
關稅定率法第七條第四號ノ二ニ依ルコトヲ得ヘキ豌油ニ關スル件……（三）
朝鮮總督府道警部及道警部補特別任用ニ關スル考試規程……（三）
土地改良事業補助規則……（三）
朝鮮總督府遞信官署現業員共濟組合規則……（八）
警察巡閱規則……（八）
朝鮮總督府官報編纂規程……（三）
鄉校財產管理規程改正ニ關スル件……（八）
出港稅取扱手續……（三）
警察官署ノ標札……（九）
陸接國境地方ニ在勤スル朝鮮總督府及所屬官署職員臨時特別手當給與規程……（三）
朝鮮總督府警察官訓授規程……（三）
朝鮮總督府道巡查點檢規則……（三）
警察官駐在所ニ警部補配置ノ件……（三）
朝鮮總督府警察官教養規程……（三）
調一〇　朝鮮總督府警察官講習所規程……（三）
調一一　司法警察官力大正六年府令第八十五號ニ基キ公醫ニ死體又ハ傷害ノ鑑定ヲ命シタル場合ニ於ケル料金……（三）
布教規則ニ依ル布教屆等ノ樣式……（七）
看護婦規則ニ依ル看護婦養成所指定……（九）
大正元年制令第一號ニ依ル指定供託所……（三）
道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（七）
道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（七）
朝鮮私設鐵道令施行規則第四十八條ノ營業報告書及統計報告書竝第四十九條ノ鐵道臺帳ノ樣式……（七）

大正十年

皇室令

皇五　宮內奏任官及同列任官ノ優遇ニ關スル件……（二）
宮內官制……（二）
宮內官等俸給令……（二）
宮內官任用令……（二）

法律

法三三　憲兵補ノ恩給ニ關スル件……（四）
法三四　朝鮮私設鐵道補助法……（七）
法四二　會計法……（七）
法五四　航空法……（七）
法五七　公有水面埋立法……（一〇）
法六〇　水產會法……（六）
法六八　刑事訴訟費用法……（四）
法八五　陸軍軍法會議法……（四）
法八六　朝鮮軍法會議ニ關スル件……（四）
法九一　海軍軍法會議法……（四）
法九二　刑事交涉法……（六）
法九六　特許法……（六）
法九七　實用新案法……（六）
法九八　意匠法……（六）
法九九　商標法……（六）

令一二七　關稅定率法第八條第二號ノ二ニ依リ輸入稅ヲ免除スヘキ物品指定……（三）
令一五三　朝鮮總督府郵便所長手當金年額……（三）
令一六〇　刑死者ノ墳墓祭祀骨像等ノ取締ニ關スル件……（九）
令一六六　驛屯土ノ資拂代金、賃付料及沢ノ使用料收納ニ關スル件……（三）
令一七八　紅蔘專賣令施行期日……（三）
令一八七　紅蔘專賣令施行規則……（三）
令一九六　朝鮮總督府看守長特別任用學術試驗及實務考查規程……（三）
令二〇〇　朝鮮私設鐵道令及大正九年制令第九號施行期日……（三）
調一九　朝鮮私設鐵道施行規則……（三）
調二五　朝鮮專用鐵道規程……（三）
調四一　朝鮮私設鐵道建設規程……（三）
調五六　朝鮮私設鐵道運輸信號保安規程……（三）
調六〇　朝鮮私設鐵道係員職制……（三）
調六一　輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件廢止……（三）
調六二　擔保附社債信託法施行規則……（三）
調六九　內地產燐寸ノ輸出取締規則……（三）

辯理士法……（一六）　二四九
定年ニ因ル退職例事務官ノ恩給ニ關スル件……（一四）　二五九

勅令

勅　五一　朝鮮人ノ多數在留スル地方ヲ管轄スル領事官職員ノ特別任用ニ關スル件……（一二）　二〇五
勅　二六　朝鮮總督府事務官等ノ特別任用ニ關スル件……（一二）　二〇〇
勅　三四　朝鮮總督府及其ノ所屬官署職員ノ俸給ニ關スル件……（一二）　二〇八
勅　四〇　朝鮮總督府監獄職員ノ服制……（一三）　二一〇
勅　四三　隆熙三年勅令第六十八號ニ依ル恩給ノ給與ニ關スル件……（一四）　二一四
勅　五三　朝鮮總督府專賣局官制……（一二）　二一五
勅　六二　朝鮮陸接國境地方ニ在勤スル官吏、官吏ノ待遇ヲ受ケル者、憲兵補等ノ臨時特別手當給與ニ關スル件……（一二）　二一六
勅　七〇　憲兵補ノ等級ニ關スル件……（一四）　二一七
勅　八九　朝鮮稟濤國東州ニ於ケル官立學校教官ニシテ一年現役ニ服スル者ノ給與ニ關スル件……（一三）　二一八
勅　二〇〇　奏任文官及判任文官ノ優遇ニ關スル件……（一三）　二一九
勅二一二　朝鮮總督府水產試驗場官制……（一三）　二二〇
勅二一三　朝鮮總督府專賣局現業員共濟組合ニ關スル件……（一三）　二二一
勅二一三八　關稅定率法第九條ニ依ル命令ノ件……（一八）　二二八
勅二一三九　關稅定率法第十條ニ依ル命令ノ件……（一三）　二二二
勅二四三　朝鮮總督府稅關職員服制……（一三）　二二三
勅三七四　政府ヨリ貸拂ノ代金ノ延納ニ關スル件……（一三）　二二四
勅四〇一　外國旅費規則……（一三）　二二五
勅四〇二　南洋群島關東州南滿洲旅費規則……（一三）　二二六
勅四五九　特許法等改正法律施行期日……（一三）　二二七
勅四六〇　特許法施行令……（一三）　二二八
勅四六一　特許登錄令……（一三）　二二九
勅四六二　軍事上秘密ヲ要スル實用新案竝實用新案ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件……（一六）　二三二
勅四六三　意匠ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件……（一六）　二三二
勅四六四　商標ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件……（一六）　二三二
勅四六五　特許、意匠、商標及實用新案ニ關スル手數料ノ件……（一六）　二三三
勅四六六　辯理士法施行令……（一六）　二三四
勅四八六　會計法施行期日……（一二）　二一八

條約

條　五　機寸製造ニ於ケル實機使用ノ禁止ニ關スル國際條約……（一六）　一〇
條　六　常設國際司法裁判所規程……（一六）　一三

宮內省

令一〇一　勅任待遇奏任待遇宮內職員職制……（一二）　一〇四
令一一六　宮內判任待遇宮內職員職制……（一二）　一〇五
令　二四　宮內判任官等級令……（一二）　一三六

外務省

令一七　官吏ノ待遇ヲ受ケル者、憲兵補等ノ臨時特別手當給與ニ關スル件……（一二）　二一
令　四九　憲兵補ノ等級ニ關スル件……（一四）　二一七
令五一　專賣支局ノ管轄區域……（一二）　二一九
令五二　朝鮮煙草專賣令ニ依ル徵收物件ノ申告、鑑定人等ニ關スル件……（一二）　一五六
令　八六　學校生徒兒童身體檢查規程……（一三）　一五六
令九〇　朝鮮煙草專賣令第四十七條及同第四十八條ノ交付金交付ニ關スル件……（一二）　一七七
令一一三　雄基ヲ開港トスルノ件……（一三）　一七九
令一一三　自轉車取締規則……（一九）　八六
令一二一　專賣局官吏證票樣式……（一二）　八八
令一二三　官廳ノ所管ニ係ル不動產登記ノ囑託ニ關スル件……（一四）　二四一
令一二七　葉煙草ノ輸出ニ關スル件……（一二）　一〇〇
令一三五　大正十年勅令第二百三十九號第一條第四號ニ依ル物品認許ニ關スル件……（一二）　二三六
令一四四　痘苗販賣規則……（九）　四八
令一五三　朝鮮辯護士試驗規則……（一三）　一四
調　七　叙位條例施行細則又ハ勳章褒奬令施行細則ニ依ル申牒及勳章年金支給細則第十三條ニ依ル通知ニ關スル件……（一四）　三一四
調　八　齒科醫師試驗委員規程……（一二）　七

大藏省

令　三一　朝鮮總督府專賣局官制……（一二）　一五六
令　三二　外國旅費規則施行細則……（一三）　一五七
令　三三　南洋群島關東州南滿洲旅費規則施行細則……（一三）　一五八
令　四一　意匠登錄規則……（一六）　二四〇
令　四二　商標登錄規則……（一六）　二四八
告三一〇　特許出願ニ關スル明細書及圖面製標準……（一六）　二三四

遞信省

令　五三　特許審判及審查書類特別取扱郵便規則……（一七）　一三〇
令　五六　外國郵便規則……（一七）　一三〇

朝鮮總督府

制　五　朝鮮煙草專賣令……（一二）　一四〇
制　六　朝鮮取引所稅令……（一二）　一六四
令　一〇　朝鮮地方待遇職員令ニ依ル判任官待遇職員ノ待遇相當等級ニ關スル件……（一二）　一三一
令　二四　朝鮮醫師試驗規則……（九）　六
令　二七　齒科醫師試驗規則……（九）　四
令　三二　官廳用無線電信無線電話規則……（一七）　一九五
令　四九　朝鮮煙草專賣令施行規則……（一二）　一九二
令　五一　專賣支局ノ管轄區域……（一二）　一九九
令　五二　朝鮮煙草專賣令ニ依ル徵收物件ノ申告、鑑定人等ニ關スル件……（一二）　一九六
令　八六　學校生徒兒童身體檢查規程……（一三）　一五六
令　九〇　朝鮮煙草專賣令第四十七條及同第四十八條ノ交付金交付ニ關スル件……（一二）　一七七
令　九一　雄基ヲ開港トスルノ件……（一三）　一七九
令一一三　自轉車取締規則……（九）　八六
令一二一　專賣局官吏證票樣式……（一二）　八八
令一二三　官廳ノ所管ニ係ル不動產登記ノ囑託ニ關スル件……（一四）　二四一
令一二七　葉煙草ノ輸出ニ關スル件……（一二）　一〇〇
令一三五　大正十年勅令第二百三十九號第一條第四號ニ依ル物品認許ニ關スル件……（一二）　二三六
令一四四　痘苗販賣規則……（九）　四八
令一五三　朝鮮辯護士試驗規則……（一三）　一四
調　七　叙位條例施行細則又ハ勳章褒奬令施行細則ニ依ル申牒及勳章年金支給細則第十三條ニ依ル通知ニ關スル件……（一四）　三一四
調　八　齒科醫師試驗委員規程……（一二）　七

調一〇　十地調査規程……（一〇）　八
調一四　交通至難ノ場所ニ於ケル登臺ニ在勤スル朝鮮總督府遞信技手及航路標識看守月手當給與細則……（一二）　一九
調一七　朝鮮總督府專賣局事務分掌規程……（一二）　一二四
調二六　朝鮮總督府中樞院議事規則……（一二）　一〇
調二八　朝鮮總督府及所屬官署職員ト朝鮮語奬勵規程……（一二）　二八
調三一　朝鮮總督府水產試驗場事務分掌規程……（一二）　九三
調四二　朝鮮地方待遇職員ノ朝鮮語奬勵及臨時特別手當ニ關スル件……（一二）　二五二
調四三　朝鮮總督府道弊部補ニシテ通譯ヲ兼掌スル者ニ對スル特別手當支給ニ關スル件……（一二）　二五二
調五九　銃器彈藥取扱規程……（一二）　二五二
調六五　朝鮮總督府道事務分掌規程……（一二）　二五二
調七一　指紋取扱規程……（一四）　三七一
調一一四　關稅定率法第七條第二十三號ニ依リ檢入稅ノ免除ヲ受ケルコトヲ得ヘキ產業ニ關スル法人……（一二）　一三〇
告　二一　土地改良事業補助規則ニ依リ提出スヘキ書類ノ樣式……（一〇）　三五
告　三七　大正元年制令第一號ニ依ル指定供託所……（一三）　一四
告　八二　專賣支局出張所名稱及位置……（一三）　四八
告一〇五　專門學校入學者檢定規程ニ依リ指定シタル者……（一四）　一〇
告一三〇　大正元年制令第一號ニ依ル指定供託所……（一三）　四四
告一三四　府制施行規則第十一條ノ二第一項ノ規定ニ依ル府稅指定……（一八）　五二
告一四二　原蠶種配付規程……（一六）　六二
告一四三　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廢指定……（一七）　二〇八
告一五一　大正元年制令第一號ニ依ル指定供託所……（一三）　四四
告一五九　朝鮮總督府觀測所天氣圖ノ發行及發賣ニ關スル件……（一八）　四三
告一七二　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廢指定……（一四）　九四

大正十一年

法律

法　四〇　農會法……（一八）　一九
法　五〇　內地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入ニ關スル件……（一一）　一三〇
法六二　信託法……（一四）　四六
法七一　破產法……（一四）　三五
法七二　和議法……（一四）　三七
法七五　刑事訴訟法……（一四）　三二

勅令

勅　一　會計規則……（一一）　一四〇
勅　一五　國庫ヨリ俸給ヲ受ケル府縣ノ官吏ニ對シ府縣費ヨリ旅費支出ニ關スル件……（一二）　一九六
勅　一九三　朝鮮總督府道事務分掌規程……（一二）　一二四
勅二三五　朝鮮總督府專賣局事務分掌規程……（一二）　一二六
勅二四九　朝鮮、臺灣間公學校官制……（一二）　九五
勅三七四　公有水面埋立法施行期日……（一〇）　一四一
勅三八七　朝鮮總督府林業試驗場官制……（一二）　九三
勅四三一　陸軍准士官下士ヲ判任文官ニ任用ノ件……（一二）　三〇八
勅四三二　海軍准士官及下士官ヲ判任文官ニ任用ノ件……（一二）　三〇九
勅四三八　奏任及判任待遇監獄職員給與令……（一二）　二九九
勅四四〇　監獄官吏ノ功勞記章ニ關スル件……（一四）　一二
勅四五二　朝鮮公立學校官制……（一二）　九五
勅四六四　商標登錄規則……（一六）　二四八
勅四六五　特許出願ニ關スル明細書及圖面製標準……（一六）　二三四
勅四八六　辯理士法施行令……（一六）　二三三
勅四八六　會計法施行期日……（一二）　一八九

條約

條　五　機寸製造ニ於ケル實機使用ノ禁止ニ關スル國際條約……（一六）　一〇
條　六　常設國際司法裁判所規程……（一六）　一三

宮內省

令一〇一　勅任待遇奏任待遇宮內職員職制……（一二）　一〇四
令一一六　判任待遇宮內職員職制……（一二）　一〇五
令　二四　宮內判任官等級令……（一二）　一三六

外務省

令　一七　日墺混合仲裁裁判所手續準則……（一六）　一二
令　四九　憲兵補ノ等級ニ關スル件……（一四）　二一七
令五一　專賣支局ノ管轄區域……（一二）　一九九
令五二　朝鮮煙草專賣令ニ依ル徵收物件ノ申告、鑑定人等ニ關スル件……（一二）　一五六
令　八六　學校生徒兒童身體檢查規程……（一三）　一五六
令　九〇　朝鮮煙草專賣令第四十七條及同第四十八條ノ交付金交付ニ關スル件……（一二）　一七七
令　九一　雄基ヲ開港トスルノ件……（一三）　一七九
令一一三　自轉車取締規則……（九）　八六
令一二一　專賣局官吏證票樣式……（一二）　八八
令一二三　官廳ノ所管ニ係ル不動產登記ノ囑託ニ關スル件……（一四）　二四一
令一二七　葉煙草ノ輸出ニ關スル件……（一二）　一〇〇
令一三五　大正十年勅令第二百三十九號第一條第四號ニ依ル物品認許ニ關スル件……（一二）　二三六
令一四四　痘苗販賣規則……（九）　四八
令一五三　朝鮮辯護士試驗規則……（一三）　一四
調　七　叙位條例施行細則又ハ勳章褒奬令施行細則ニ依ル申牒及勳章年金支給細則第十三條ニ依ル通知ニ關スル件……（一四）　三一四
調　八　齒科醫師試驗委員規程……（一二）　七

宮內省

令　七　大正十一年皇室令第四號施行ノ際ニ於ケル皇族ニ分屬スル宮內屬及李王職屬ノ官等ニ關スル件……（一二）　二六

外務省

告一八一　日丁兩國間船舶積量測度證書互認……（六）　一五六

大藏省

令　一　支出官事務規程……（一二）　三五六
令　二　出納官吏事務規程……（一二）　三五六
令　五　保管金取扱規程……（一二）　四八三
令　六　預金部預金取扱規程……（一二）　四八〇
令　七　政府所有有價證券取扱規程……（一二）　四七五
令　八　政府保管有價證券取扱規程……（一二）　四七七
令　九　供託有價證券取扱規程……（一二）　四八一
令一〇　日本銀行國庫金取扱規程……（一二）　二九六
令一一　日本銀行政府有價證券取扱規程……（一二）　四八二
令一二　會計規則及各特別會計規則ノ規定ニ依リ調製スルコトヲ要スル帳簿、會計規則第九十六條ノ規定ニ依リ一般ノ簿冊ニ加フルトスル者ニ必要ナル資格ニ關スル件……（一二）　二二三
令一三　支出官吏事務規程……（一二）　三五六

令 令 令

令一一八　弘文學校教員資格認定ニ關スル件……（一五）
調一一五　朝鮮戸籍令施行手續……（一五）
調一一九　警察官署及憲兵隊監視署取扱ニ係ル……（一五）
調一二四　積荷目錄送付方……（一五）
調一二七　朝鮮總督府巡査及朝鮮總督府道巡查給與品及貸與品規則取扱手續……（一六）
調二七一　間島琿春、安東地方ヘ出張スル者ノ旅費ニ關スル件……（一六）
調四二　孤立學校教員資格認定委員會規程……（一七）
調四四　種痘法第八條ニ依ル將校起入方……（一八）
調五二　司法警察官執務規程……（一九）
調五五　朝鮮總督府裁判所及檢查局令狀取扱規程……（一九）
告二三　看護婦規則ニ依ル看護婦養成所指定……（九）
告三四　醫師規則第一條第一項第二號ニ依リ醫學校指定……（九）（一五）
告九三　朝鮮總督府官報ノ發賣並廣告ニ關スル件……（一五）
告九四　教科用圖書等ノ翻刻及發行ニ關スル件……（一五）
告九七　無線電信機ヲ裝備スル電信局所ノ呼出符號……（一七）
告一二一　官立師範學校生徒ノ學資及其ノ支給方法……（一五）
告一二二　朝鮮民團ノ製造並販賣ニ關スル件……（一五）
告一八四　道界ニ於ケル幣外道路ヲ接續スル渡船ノ管理區指定……（一七）
告一八五　朝船積荒測度互認……（一五）
告二三三　朝鮮總督府監査院ノ名稱……（一七）

大正十三年

法律

法二　海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル件……（一七）
法二四　貯藏品等ノ輸入稅ニ關スル件……（一七）

勅令

勅七　皇太子結婚禮當日官國幣社以下神社ニ於ケル行ノヘヽ祭祀ニ關スル件……（一七）
勅一六　稅務署長、收稅官吏等ノ朝鮮煙草專賣令犯則處分ニ關スル證據ノ件……（一一）
勅三〇三　朝鮮總督府觀測所ノ名稱及位置……（一八）
勅三〇四　京城帝國大學官制……（一三）
勅三〇五　京城帝國大學ニ關スル件……（一五）
勅一〇三　京城帝國大學學部……（一五）
勅一〇四　京城帝國大學ニ關スル件……（一五）
勅一〇五　大正十三年法律第二十四號ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（一一）
勅一六八　海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル件等ノ件……（一七）
勅一九一　土耳其國ノ生產ニ係ル物品ノ輸入稅率ニ關スル件……（一七）
勅一九三　朝鮮銀行法第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ職務ニ屬スル事項ヲ朝鮮總督ニシテ行ハシムル件……（一六）
勅二〇二　朝鮮總督府官制……（一九）
勅二〇三　朝鮮總督府地方官官制……（一九）
勅二〇四　朝鮮總督府參事官及屬ニ關スル件……（一九）
勅二〇五　朝鮮總督府技師及技手ニ關スル件……（一九）
勅二一六　朝鮮總督府及所屬官署ノ執務時間……（二一）
勅二二〇　朝鮮總督府及所屬官署ノ休日……（二一）
勅二二一　朝鮮人ノ戸籍ニ關スル件……（一九）
勅二二二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二二三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二二四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二二五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二二六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二二七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二二八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二二九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二三〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二三一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二三二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二三三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二三四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二三五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二三六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二三七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二三八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二三九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二四〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二四一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二四二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二四三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二四四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二四五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二四六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二四七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二四八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二四九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二五〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二五一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二五二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二五三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二五四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二五五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二五六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二五七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二五八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二五九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二六〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二六一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二六二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二六三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二六四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二六五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二六六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二六七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二六八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二六九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二七〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二七一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二七二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二七三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二七四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二七五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二七六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二七七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二七八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二七九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二八〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二八一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二八二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二八三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二八四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二八五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二八六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二八七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二八八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二八九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二九〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二九一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二九二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二九三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二九四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二九五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二九六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二九七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二九八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅二九九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三〇〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三〇一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三〇二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三〇三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三〇四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三〇五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三〇六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三〇七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三〇八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三〇九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三一〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三一一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三一二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三一三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三一四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三一五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三一六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三一七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三一八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三一九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三二〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三二一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三二二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三二三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三二四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三二五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三二六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三二七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三二八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三二九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三三〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三三一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三三二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三三三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三三四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三三五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三三六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三三七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三三八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三三九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三四〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三四一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三四二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三四三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三四四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三四五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三四六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三四七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三四八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三四九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三五〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三五一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三五二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三五三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三五四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三五五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三五六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三五七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三五八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三五九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三六〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三六一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三六二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三六三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三六四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三六五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三六六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三六七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三六八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三六九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三七〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三七一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三七二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三七三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三七四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三七五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三七六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三七七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三七八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三七九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三八〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三八一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三八二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三八三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三八四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三八五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三八六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三八七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三八八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三八九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三九〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三九一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三九二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三九三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三九四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三九五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三九六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三九七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三九八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅三九九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四〇〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四〇一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四〇二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四〇三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四〇四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四〇五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四〇六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四〇七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四〇八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四〇九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四一〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四一一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四一二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四一三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四一四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四一五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四一六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四一七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四一八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四一九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四二〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四二一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四二二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四二三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四二四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四二五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四二六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四二七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四二八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四二九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四三〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四三一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四三二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四三三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四三四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四三五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四三六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四三七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四三八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四三九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四四〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四四一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四四二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四四三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四四四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四四五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四四六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四四七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四四八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四四九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四五〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四五一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四五二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四五三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四五四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四五五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四五六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四五七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四五八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四五九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四六〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四六一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四六二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四六三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四六四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四六五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四六六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四六七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四六八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四六九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四七〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四七一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四七二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四七三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四七四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四七五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四七六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四七七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四七八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四七九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四八〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四八一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四八二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四八三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四八四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四八五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四八六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四八七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四八八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四八九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四九〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四九一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四九二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四九三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四九四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四九五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四九六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四九七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四九八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅四九九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五〇〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五〇一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五〇二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五〇三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五〇四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五〇五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五〇六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五〇七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五〇八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五〇九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五一〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五一一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五一二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五一三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五一四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五一五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五一六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五一七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五一八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五一九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五二〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五二一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五二二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五二三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五二四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五二五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五二六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五二七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五二八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五二九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五三〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五三一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五三二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五三三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五三四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五三五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五三六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五三七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五三八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五三九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五四〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五四一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五四二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五四三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五四四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五四五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五四六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五四七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五四八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五四九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五五〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五五一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五五二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五五三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五五四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五五五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五五六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五五七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五五八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五五九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五六〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五六一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五六二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五六三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五六四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五六五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五六六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五六七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五六八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五六九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五七〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五七一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五七二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五七三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五七四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五七五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五七六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五七七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五七八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五七九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五八〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五八一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五八二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五八三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五八四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五八五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五八六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五八七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五八八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五八九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五九〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五九一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五九二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五九三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五九四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五九五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五九六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五九七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五九八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅五九九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六〇〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六〇一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六〇二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六〇三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六〇四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六〇五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六〇六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六〇七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六〇八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六〇九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六一〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六一一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六一二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六一三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六一四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六一五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六一六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六一七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六一八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六一九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六二〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六二一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六二二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六二三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六二四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六二五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六二六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六二七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六二八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六二九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六三〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六三一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六三二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六三三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六三四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六三五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六三六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六三七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六三八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六三九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六四〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六四一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六四二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六四三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六四四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六四五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六四六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六四七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六四八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六四九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六五〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六五一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六五二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六五三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六五四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六五五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六五六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六五七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六五八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六五九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六六〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六六一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六六二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六六三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六六四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六六五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六六六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六六七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六六八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六六九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六七〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六七一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六七二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六七三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六七四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六七五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六七六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六七七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六七八　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六七九　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六八〇　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六八一　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六八二　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六八三　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六八四　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六八五　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六八六　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）
勅六八七　朝鮮人ノ氏名ニ關スル件……（一九）

朝鮮總督府鐵道局勤勉手當支給規則……（二三）　一四〇
朝鮮總督府鐵道局現業員共濟組合規則第三條第四項ノ規定ニ依ル現業員ノ範圍……（八）　二八
朝鮮阿片取締令取扱手續……（九）　二七
原動機取締規則取扱手續……（九）　二八
原動機檢查員規程……（九）　二八
朝鮮總督府巡查及朝鮮總督府巡查採用手續……（二）　二〇六
金屬組合理事及副理事服務及懲戒規程……（一六）　二一〇
京城醫科醫學校ヲ醫科醫師規則ニ依リ指定……（一五）　一〇八
藥品及藥品營業取締令施行規則ニ依リ學校指定……（一五）　一一三
朝鮮總督府鐵道局ノ業務ニ關シ南滿洲鐵道株式會社京城鐵道局諸規定準用ノ件……（一七）　三五〇
京城師範學校ニ女子演習科及講習科設置……（一五）　五九
鐵道官署ニ於テ取扱フ戲入ニシテ證券ヲ以テ納付シ得ル場所……（一）　三五二
氣象實況報及暴風警報放送方……（一五）　三八
專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗免除ノ學科目……（一五）　一一〇
道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　三五三
船舶職員試驗ヲ行フ官廳及期日……（一七）　三五六
朝鮮國有鐵道線路名稱……（一七）　三五〇
朝鮮總督府專賣局出張所ノ名稱及位階……（二）　四八
無線電報規則第八條ノ規定ニ依ル海軍電報取扱規約……（一七）　一八五
無線電報規則第二十九條ノ規定ニ依リ無線電報料ヲ課セシテ海軍用無線電信ヲ送受スル電信官署……（一七）　一八一
道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　三五三

大正十五年

法
皇室令
皇室儀制令……（一）　九
皇室裁判令……（一）　三
王公家軌範……（一）　三
祖秩ニ關スル法規ヲ王公族所有ノ土地ニ適用スルノ件……（一）　三
法律
製鐵業奬勵法……（一六）　四〇六
暴力行爲等處罰ニ關スル法律……（一四）　二九一
民事訴訟法中改正法律施行法……（一四）　三三
王公族ノ權義ニ關スル件……（一）　一八
勅令
陸軍現役將校同相當官ニシテ休職期間滿了ニ因リ現役ヲ退キタル者ノ扶助金給與ニ關スル件……（一四）　五
京城帝國大學各學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ニ關スル件……（一五）　九五
京城帝國大學高等官俸給令……（一）　三三
京城帝國大學官制……（一）　三
學司書官及京城帝國大學司書特別任用令……（一）　三
製鐵業奬勵法施行令……（一六）　四〇七
製鐵業奬勵法ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（一六）　四〇六
朝鮮總督府營林署官制……（一）　六
朝鮮總督府營林署森林主事服制……（一）　二四
朝鮮總督府鐵道局鐵道醫及鐵道藥劑師ニ關スル件……（一）　四五
大正十五年法律第六十號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（一四）　一
朝鮮總督府營林署官制……（一）　六
朝鮮總督府營林署森林主事服制……（一）　二四
朝鮮總督府鐵道局鐵道醫及鐵道藥劑師ニ關スル件……（一）　四五
陸軍現役將校ノ配屬ヲ受クタル學校ノ教練教授要目……（一五）　五
朝鮮總督府營林署官制……（一）　六
營林署森林主事ニ支給スル月額旅費ノ土地ノ等級……（一）　八
專門學校入學者試驗檢定委員規程……（一）　八
朝鮮總督府道廳休暇規程……（一）　四
佛關西國ニ航行スル日本船舶ニ關スル注意事項……（一七）　四九
郵便禁制品……（一七）　九
朝鮮神宮ニ於ケル行ハルル祈年祭期日……（一七）　一
青島鹽ノ日本向臨時輸出ニ關スル日支協定……（一）　八
關稅定率法第七條第十號及大正九年法律第五十三號第八條ノ規定ニ依ル申請書提出ノ件……（一）　一一〇
道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　三五
廢州博物館分館觀覽時間……（一七）　三五
朝鮮阿片取締令第十七條ノ規定ニ依リ同令第四條第二項但書ノ規定ニ依ル「モルヒネ」含量ノ度及同令同條同項ノ規定ニ依ル賠償金ノ額……（九）　二
朝鮮ニ於ケル麻取無線電話施設者カ聽取契約ヲ爲スベキ放送局……（一七）　三六一
勅令
朝鮮ニ於テ警察官吏ニ協力援助シ因リテ死傷シタル者ニ對スル給與ニ關スル件……（八）　一二六
休日ニ關スル件……（二）　二〇〇
朝鮮總督臨時代理ニ關スル件……（二）　一一
帝國領海內ニ在ル外國軍艦ノ無線電信無線電話ニ依ル通信ニ關スル件……（一四）　二〇八
朝鮮、關東州及滿洲警察官吏職務應援令……（三）　三六
保稅工場法施行期日……（一）　一四八
保稅工場法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（一）　一四七
兵役法施行令……（三）　八九
陸軍補充令……（三）　八三
陸軍武官服役令……（三）　一五八
海軍武官服役令……（三）　一六二
國產奬勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律施行ニ關スル件……（一）　二六〇
內閣
勅令
勳章年金增加更正手續……（四）　五
文官大禮服着用ノ場合ニ於ケル敍禮式ニ關スル件……（二）　二四三
年金加賜ノ旭日章更正年金證書請求方……（四）　六
兵役法施行令第百二十七條第一項但書ノ規定ニ依ル指定……（三）　三五
宮內省
宮內職員ノ休日ニ關スル件……（三）　二四一
王公族譜規程……（一）　二
王公族墓籍規程……（一）　二
王公族ノ喪服ニ關スル件……（一）　二
賀表奉呈方ノ件……（一）　二
大藏省
日本銀行特別融通及損失補償法第一條ニ依リ特別融通ニ關スル規程……（六）　一〇一

朝鮮產業組合令施行規則……（一六）　三五
佛關西國ニ航行スル日本船舶ノ檢查ニ關スル件……（七）　四九
佛關西國船舶ノ檢查ニ關スル件……（七）　四九
朝鮮產業組合登記取扱規則……（四）　三三
官幣大社朝鮮神宮會計規則……（七）　四二
青島鹽輸入手續……（一）　四五
朝鮮度量衡令施行規則……（一六）　四〇
官幣大社朝鮮神宮職員旅費規則……（七）　二
大學規程……（一五）　四〇
京城帝國大學法文學部ニ法學科、哲學科、史學科及文學科設置……（一五）　四〇
關稅定率法第七條第十號ニ依ルコドヲ得ヘキ私立學校……（一）　二〇
朝鮮度量衡令施行規則第三十四條ニ依リ道知事ヲシテ檢定ヲ行ハシムル度量衡器……（一五）　四〇
製鐵事業用品ノ輸入稅免除ニ關スル件……（一）　二九
關稅定率法第九條施行ニ關スル件……（一）　二四
關稅定率法第十條施行ニ關スル件……（一）　二六
官幣大社朝鮮神宮出仕ニ關スル件……（七）　二
製鐵業奬勵法施行規則……（一六）　四〇
大正十五年制令第八號附則第三項ノ規定ニ依リ採掘ヲ繼續スルコトヲ得ル土地ニ付同附則第四項ノ規定ニ依ル出願手續……（一六）　三九
刑事事件ノ證人、鑑定人、通事、譯人等ニ日當、旅費、止宿料等支給方……（二）　一八四
船舶ノ建造又ハ修繕用物品ノ承認……（七）　二三二
朝鮮總督府鐵道局鐵道醫及鐵道藥劑師ノ加俸及定員ニ關スル件……（二）　四五
活動寫眞「フイルム」檢閱規則……（九）　三
關稅定率法第七條第十八號ニ依リ輸入稅ヲ免除スヘキ輸出貨物ノ容器指定……（一）　二〇
朝鮮特別救護森林讓與令施行期日……（一〇）　三五
朝鮮特別森林故森林讓與令施行規則……（一〇）　三五
官幣大社朝鮮神宮ニ於テ恒例トシテ行フ式及其ノ式次第竝差詞、祓物及大祓詞ノ格例……（七）　一七
官幣大社朝鮮神宮處務規程……（九）　三
陸軍現役將校ノ配屬ヲ受クタル學校ノ教練教授要目……（一五）　五
朝鮮總督府營林署官制……（一）　六
營林署森林主事ニ支給スル月額旅費ノ土地ノ等級……（一）　八
專門學校入學者試驗檢定委員規程……（一）　八
朝鮮總督府道廳休暇規程……（一）　四
佛關西國ニ航行スル日本船舶ニ關スル注意事項……（一七）　四九
郵便禁制品……（一七）　九
朝鮮神宮ニ於ケル行ハルル祈年祭期日……（一七）　一
青島鹽ノ日本向臨時輸出ニ關スル日支協定……（一）　八
關稅定率法第七條第十號及大正九年法律第五十三號第八條ノ規定ニ依ル申請書提出ノ件……（一）　一一〇
道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　三五
廢州博物館分館觀覽時間……（一七）　三五
朝鮮阿片取締令第十七條ノ規定ニ依リ同令第四條第二項但書ノ規定ニ依ル「モルヒネ」含量ノ度及同令同條同項ノ規定ニ依ル賠償金ノ額……（九）　二
朝鮮ニ於ケル麻取無線電話施設者カ聽取契約ヲ爲スベキ放送局……（一七）　三六一
勅令
朝鮮ニ於テ警察官吏ニ協力援助シ因リテ死傷シタル者ニ對スル給與ニ關スル件……（八）　一二六
休日ニ關スル件……（二）　二〇〇
朝鮮總督臨時代理ニ關スル件……（二）　一一
帝國領海內ニ在ル外國軍艦ノ無線電信無線電話ニ依ル通信ニ關スル件……（一四）　二〇八
朝鮮、關東州及滿洲警察官吏職務應援令……（三）　三六
保稅工場法施行期日……（一）　一四八
保稅工場法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（一）　一四七
兵役法施行令……（三）　八九
陸軍補充令……（三）　八三
陸軍武官服役令……（三）　一五八
海軍武官服役令……（三）　一六二
國產奬勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律施行ニ關スル件……（一）　二六〇
內閣
勅令
勳章年金增加更正手續……（四）　五
文官大禮服着用ノ場合ニ於ケル敍禮式ニ關スル件……（二）　二四三
年金加賜ノ旭日章更正年金證書請求方……（四）　六
兵役法施行令第百二十七條第一項但書ノ規定ニ依ル指定……（三）　三五
宮內省
宮內職員ノ休日ニ關スル件……（三）　二四一
王公族譜規程……（一）　二
王公族墓籍規程……（一）　二
王公族ノ喪服ニ關スル件……（一）　二
賀表奉呈方ノ件……（一）　二
大藏省
日本銀行特別融通及損失補償法第一條ニ依リ特別融通ニ關スル規程……（六）　一〇一

陸軍省
令　陸軍召集諸費支出規程……（一一）　三六四
令　二四　兵役法施行規則……（一一）　三六四
令　二五　陸軍召集規則……（一一）　三六六
令　二六　在隊入營延期者暫行規程……（一一）　三六六
令　二七　陸軍補充令施行規程……（一一）　三六九
令　二八　陸軍武官服役令施行規程……（一一）　三七〇

陸軍省文部
告　一　鎮南浦公立商工學校ヲ徵兵令ニ依リ認定……（一一）　三七四
告　二六　開城公立商業學校ヲ徵兵令ニ依リ認定……（一一）　三七四
告　三一　大邱公立商業學校ヲ徵兵令ニ依リ認定……（一一）　三七五

海軍省
令　二〇一　海軍武官服役令施行規則……（一一）　三七四

遞信省
令　八　航空法施行規則……（一七）　三七五
令　九　航空機檢查規則……（一七）　三七九
令　一〇　航空機乘員試驗規則……（一七）　三八二
令　一一　航空機乘員體格檢查規則……（一七）　三八四
令　一二　三等飛行機操縱士免許規則……（一七）　三八六
令　一五　昭和二年勅令第百二十號ニ依ル增額年金更生規則……（一四）　六

朝鮮總督府
制　一二　朝鮮河川令……（一〇）　三八八
制　一三　朝鮮貴族世襲財產令……（一四）　三八八
制　六　朝鮮營業稅令……（一一）　五一
制　七　朝鮮資本利子稅令……（一一）　四九
制　一二　王公族ヨリ朝鮮ノ家ニ入リタル者及朝鮮ノ家ヨリ去リ王公家ニ入リタル者ニ關スル件……（一一）　三
制　一三　朝鮮私設鐵道買收ニ關スル件……（一一）　三
制　一四　朝鮮肥料取締令……（一六）　三
制　一六　朝鮮土地改良令……（一〇）　三六
令　四　煙火取締規則……（八）　六
令　八　外務省令第百二十號ニ依ル增俸……（一四）　六

朝鮮河川令　三八八
朝鮮貴族世襲財產令　三八八
朝鮮營業稅令　五一
朝鮮資本利子稅令　四九
王公族ヨリ朝鮮ノ家ニ入リタル者及朝鮮ノ家ヨリ去リ王公家ニ入リタル者ニ關スル件　三
朝鮮私設鐵道買收ニ關スル件　三
朝鮮肥料取締令　三六
朝鮮土地改良令　三六
煙火取締規則　六
外務省令第百二十號ニ依ル增俸　六

令　八　航空法施行規則　三七五
令　九　航空機檢查規則　三七九
令　一〇　航空機乘員試驗規則　三八二
令　一一　航空機乘員體格檢查規則　三八四
令　一二　三等飛行機操縱士免許規則　三八六
令　一五　昭和二年勅令第百二十號ニ依ル增額年金更生規則　六

朝鮮總督府
制　一二　朝鮮河川令　三八八
制　一三　朝鮮貴族世襲財產令　三八八
制　六　朝鮮營業稅令　五一
制　七　朝鮮資本利子稅令　四九
制　一二　王公族ヨリ朝鮮ノ家ニ入リタル者及朝鮮ノ家ヨリ去リ王公家ニ入リタル者ニ關スル件　三
制　一三　朝鮮私設鐵道買收ニ關スル件　三
制　一四　朝鮮肥料取締令　三六
制　一六　朝鮮土地改良令　三六
令　四　煙火取締規則　六
令　八　外務省令第百二十號ニ依ル增俸　六

遞信省
令　八　航空法施行規則　三七五
令　九　航空機檢查規則　三七九
令　一〇　航空機乘員試驗規則　三八二
令　一一　航空機乘員體格檢查規則　三八四
令　一二　三等飛行機操縱士免許規則　三八六
令　一五　昭和二年勅令第百二十號ニ依ル增額年金更生規則　六

海軍省
令　二〇一　海軍武官服役令施行規則　三七四

陸軍省文部
告　一　鎮南浦公立商工學校ヲ徵兵令ニ依リ認定　三七四
告　二六　開城公立商業學校ヲ徵兵令ニ依リ認定　三七四
告　三一　大邱公立商業學校ヲ徵兵令ニ依リ認定　三七五

陸軍省
令　六　陸軍召集諸費支出規程……（一一）　三六四
令　二四　兵役法施行規則……（一一）　三六四
令　二五　陸軍召集規則……（一一）　三六六
令　二六　在隊入營延期者暫行規程……（一一）　三六六
令　二七　陸軍補充令施行規則……（一一）　三六九
令　二八　陸軍武官服役令施行規則……（一一）　三七〇

陸軍省文部
告　一　鎮南浦公立商工學校ヲ徵兵令ニ依リ認定……（一一）　三七四
告　二六　開城公立商業學校ヲ徵兵令ニ依リ認定……（一一）　三七四
告　三一　大邱公立商業學校ヲ徵兵令ニ依リ認定……（一一）　三七五

海軍省
令　二〇一　海軍武官服役令施行規則……（一一）　三七四

遞信省
令　八　航空法施行規則……（一七）　三七五
令　九　航空機檢查規則……（一七）　三七九
令　一〇　航空機乘員試驗規則……（一七）　三八二
令　一一　航空機乘員體格檢查規則……（一七）　三八四
令　一二　三等飛行機操縱士免許規則……（一七）　三八六
令　一五　昭和二年勅令第百二十號ニ依ル增額年金更生規則……（一四）　六

朝鮮總督府
制　一二　朝鮮河川令……（一〇）　三八八
制　一三　朝鮮貴族世襲財產令……（一四）　三八八
制　六　朝鮮營業稅令……（一一）　五一
制　七　朝鮮資本利子稅令……（一一）　四九
制　一二　王公族ヨリ朝鮮ノ家ニ入リタル者及朝鮮ノ家ヨリ去リ王公家ニ入リタル者ニ關スル件……（一一）　三
制　一三　朝鮮私設鐵道買收ニ關スル件……（一一）　三
制　一四　朝鮮肥料取締令……（一六）　三
制　一六　朝鮮土地改良令……（一〇）　三六
令　四　煙火取締規則……（八）　六
令　八　外務省令第百二十號ニ依ル增俸……（一四）　六

宮內省
令　二一　王公族審議會規則……（一）　三三

外務省
令　八四　第一阿片會議最終議定書……（一六）　三七〇
令　八五　第二阿片會議最終議定書……（一六）　三七〇

大藏省
告　一一二　雇員扶助令第十條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮、臺灣、關東州、樺太又ハ南洋群島ニ在勤スル內地人タル雇員及外國ニ在勤スル雇員ニ付同條第一項ニ規定スル俸給中ヨリ控除スベキ金額……（四）　六

陸軍省
勅　一二　陸軍身體檢查規則……（一三）　三五五
勅　一七　簡閱點呼執行規則……（一三）　三五五

陸軍省文部
兵役法施行令第百條第三號ノ規定ニ依ル認定ニ關スル件……（一三）　三六一

朝鮮總督府
銀令　貯蓄銀行令……（一六）　三七七
銀令　銀行令……（一六）　三七七
銀令　市街地稅令及大正十二年制令第十七號廢止ニ關スル件……（一六）　三七七
銀令　銀行令施行規則……（一六）　三七七
銀令　銀行令施行令第三十七條ノ規定ニ依ル銀行ノ特例……（一六）　三七七
制　一一　朝鮮總督府農事試驗場肥料又ハ製造原料分析及鑑定規則……（一六）　三七七
制　六　傳染病豫防令施行規則……（九）　三七七
制　一六　專門學校入學者檢定規程第十一條ノ規定ニ依ル指定ニ關スル規程……（一五）　三七七
制　一九　朝鮮土地改良令施行期日……（一〇）　三七九
制　一九　朝鮮土地改良令施行規則……（一〇）　三七九
制　一九　關稅法、大正九年制令第十九號ノ造犯申告者賞與ニ關スル件……（一一）　三八一
銀令　銀行令施行規則……（一五）　三八一
銀令　銀行令施行令第三十七條ノ規定ニ依ル銀行ノ特例……（一五）　三八一
制　六　貯蓄銀行令……（一六）　三七七
制　七　市街地稅令……（一六）　三七七
制　九　朝鮮總督府農事試驗場肥料又ハ製造原料分析及鑑定規則……（一六）　三七七
制　一一　傳染病豫防令施行規則……（九）　三七七
制　一六　專門學校入學者檢定規程第十一條ノ規定ニ依ル指定ニ關スル規程……（一五）　三七七
制　一九　朝鮮土地改良令施行期日……（一〇）　三七九
制　一九　朝鮮土地改良令施行規則……（一〇）　三七九
制　一九　關稅法、大正九年制令第十九號ノ造犯申告者賞與ニ關スル件……（一一）　三八一
銀令　銀行令施行規則……（一五）　三八一
銀令　銀行令施行令第三十七條ノ規定ニ依ル銀行ノ特例……（一五）　三八一

大藏省
告　一一二　雇員扶助令第十條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮、臺灣、關東州、樺太又ハ南洋群島ニ在勤スル內地人タル雇員及外國ニ在勤スル雇員ニ付同條第一項ニ規定スル俸給中ヨリ控除スベキ金額……（四）　六

陸軍省
勅　一二　陸軍身體檢查規則……（一三）　三五五
勅　一七　簡閱點呼執行規則……（一三）　三五五

陸軍省文部
兵役法施行令第百條第三號ノ規定ニ依ル認定ニ關スル件……（一三）　三六一

朝鮮總督府
銀令　貯蓄銀行令……（一六）　三七七
銀令　銀行令……（一六）　三七七
銀令　市街地稅令及大正十二年制令第十七號廢止ニ關スル件……（一六）　三七七
銀令　銀行令施行規則……（一六）　三七七
銀令　銀行令施行令第三十七條ノ規定ニ依ル銀行ノ特例……（一六）　三七七
制　一一　朝鮮總督府農事試驗場肥料又ハ製造原料分析及鑑定規則……（一六）　三七七
制　六　傳染病豫防令施行規則……（九）　三七七
制　一六　專門學校入學者檢定規程第十一條ノ規定ニ依ル指定ニ關スル規程……（一五）　三七七
制　一九　朝鮮土地改良令施行期日……（一〇）　三七九
制　一九　朝鮮土地改良令施行規則……（一〇）　三七九
制　一九　關稅法、大正九年制令第十九號ノ造犯申告者賞與ニ關スル件……（一一）　三八一
銀令　銀行令施行規則……（一五）　三八一
銀令　銀行令施行令第三十七條ノ規定ニ依ル銀行ノ特例……（一五）　三八一

告　二六〇　渡船ノ管理廳指定……（一七）　三七三
告　二九二　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　三七三
告　二九三　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　三七三
告　三〇一　渡船ノ管理廳指定……（一七）　三七三
告　三一〇　血清、豫防液、豫防內服藥等販賣規程……（九）　三七三
告　三一一　郵便振替貯金事務ニ關スル郵便物宛名記載方……（一七）　三七三
告　四〇〇　郵便振替貯金ノ局待拂取扱方……（一七）　三七三
告　四〇一　郵便振替貯金事務ニ關スル郵便物宛名記載方……（一七）　三七三
告　四〇二　郵便振替貯金ノ局待拂取扱方……（一七）　三七三
告　四五〇　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　三七三
告　四九二　無線電報規則第二十九條ノ二ノ規定ニ依リ無線電報料ヲ課セシテ陸軍用無線電報ヲ送受スル電信官署……（一七）　三七三

令　二一　王公族審議會規則……（一）　三三

外務省
令　八四　第一阿片會議最終議定書……（一六）　三七〇
令　八五　第二阿片會議最終議定書……（一六）　三七〇

大藏省
告　一一二　雇員扶助令第十條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮、臺灣、關東州、樺太又ハ南洋群島ニ在勤スル內地人タル雇員及外國ニ在勤スル雇員ニ付同條第一項ニ規定スル俸給中ヨリ控除スベキ金額……（四）　六

陸軍省
勅　一七　簡閱點呼執行規則……（一三）　三五五

陸軍省文部
兵役法施行令第百條第三號ノ規定ニ依ル認定ニ關スル件……（一三）　三六一

朝鮮總督府
法　五三　查察調查法……（五）　三三
法　六五　朝鮮簡易生命保險特別會計法……（一一）　三六一
法　六六　朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル件……（七）　一七
勅　一五　高等試驗令……（三）　三〇九
勅　一〇六　朝鮮簡易生命保險特別會計規則……（一一）　三六二
勅　一一四　拓務省官制……（三）　三六二
勅　二七九　昭和四年法律第六十五號施行期日……（三）　三六二
　　朝鮮總督府農事試驗場官制……（三）　三六二

昭和四年制令第九號ノ施行ニ關スル件……（一一）　三〇
令　八四　昭和三年制令第十一號ノ施行ニ關スル件……（一一）　三〇
調　一八　朝鮮總督府觀測所事務分掌規程……（一二）　三四
調　二九　朝鮮總督府視學官及朝鮮總督府視學委員學事視察規程……（一五）　一
調　三四　河川事務取扱手續……（一〇）　三六
告　二五　漁業ノ取締及調查ヲ行フ朝鮮總督府所屬船舶ノ旅客……（一三）　三四
告　一一〇　朝鮮度量衡令施行規則第十三條ノ委託證樣式……（一六）　三七
告　一九八　郵便振替貯金ノ當座拂定日振替ヲ請求シ得ル銀行……（一七）　三七
告　二〇六　朝鮮總督府道立醫院收償規程……（一一）　三六
告　二一一　臨時恩賜金管理規則第三條ノ公共團體指定……（八）　三〇
告　二六五　特別準用河川……（一〇）　三六
告　三五五　水利組合規約準則、土地改良共同施行者ノ規約準則及朝鮮水利組合施行規則ニ規定スル帳簿、書類及圖面ノ樣式……（一〇）　九七
　　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　三七
　　朝鮮ニ輸入又ハ移入シタル度量衡器又ハ計量器ノ檢定ニ關スル件……（一六）　三七

昭和四年制令第九號ノ施行ニ關スル件……（一一）　三〇
令　八四　昭和三年制令第十一號ノ施行ニ關スル件……（一一）　三〇
調　一八　朝鮮總督府觀測所事務分掌規程……（一二）　三四
調　二九　朝鮮總督府視學官及朝鮮總督府視學委員學事視察規程……（一五）　一
調　三四　河川事務取扱手續……（一〇）　三六
告　二五　漁業ノ取締及調查ヲ行フ朝鮮總督府所屬船舶ノ旅客……（一三）　三四
告　一一〇　朝鮮度量衡令施行規則第十三條ノ委託證樣式……（一六）　三七
告　一九八　郵便振替貯金ノ當座拂定日振替ヲ請求シ得ル銀行……（一七）　三七
告　二〇六　朝鮮總督府道立醫院收償規程……（一一）　三六
告　二一一　臨時恩賜金管理規則第三條ノ公共團體指定……（八）　三〇
告　二六五　特別準用河川……（一〇）　三六
告　三五五　水利組合規約準則、土地改良共同施行者ノ規約準則及朝鮮水利組合施行規則ニ規定スル帳簿、書類及圖面ノ樣式……（一〇）　九七
　　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一七）　三七
　　朝鮮ニ輸入又ハ移入シタル度量衡器又ハ計量器ノ檢定ニ關スル件……（一六）　三七

昭和四年

法律
法　五三　查察調查法……（五）　三三
法　六五　朝鮮簡易生命保險特別會計法……（一一）　三六一
法　六六　朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル件……（七）　一七

勅令
勅　一五　高等試驗令……（三）　三〇九
勅　一〇六　朝鮮簡易生命保險特別會計規則……（一一）　三六二
勅　一一四　拓務省官制……（三）　三六二
勅　二七九　昭和四年法律第六十五號施行期日……（三）　三六二
　　朝鮮總督府農事試驗場官制……（三）　三六二

索引 令 令令令

朝鮮総督府官制　勅令　三四
朝鮮総督府官制中改正ノ件　勅令　三四
朝鮮総督府官制施行ニ関スル件　勅令　三四
朝鮮総督府官房文書課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房庶務課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房会計課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房人事課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房調査課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房統計課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房地方課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房殖産課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房土木課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房学務課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房社会課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房衛生課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房財務課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房監獄課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房鉄道課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房逓信課ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房専売局ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房税関ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房営林廠ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房印刷局ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房鉄道建設局ノ分掌ニ関スル件　訓令　三四
朝鮮総督府官房鉄道

症候等……（九）　五五
勅二八〇　来穀統制法施行令……（八）　一八
勅二八三　来穀統制法第九條ノ規定ニ依リ来穀其ノ他ノ輸入移出ノ件……（八）　二〇

條約

皇　二　國際電氣通信條約……（六）　一〇

法律

法　一　船舶安全法……（七）　四五八
法　一六　舊韓國起業公債證書ノ元利支拂ニ關スル法律……（一一）　四七五
法　二四　米穀統制法……（一二）　一八
法　二八　外國爲替管理法……（一二）　四九七
法　四二　身元保證ニ關スル法律……（一四）　五〇
法　五四　法律事務取扱ノ取締ニ關スル法律……（一四）　一三
法　五七　小切手法……（一四）　八九

勅令

勅　一三　巡査分限令……（二）　三一七
勅一五　巡査懲戒令……（二）　三一七
勅　一六　朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳部內ノ巡査竝ニ判任官ノ待遇ヲ受クル朝鮮總督府道及關東廳消防手ノ分限及懲戒ニ關スル件……（二）　三一八
勅　六六　外國爲替管理法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（二）　三一〇
勅　七六　現役將校ハ召集中ノ陸海軍兵又ハ其ノ家族危篤又ハ死亡ノ際出頭又ハ歸省スル者ニ旅費支給ノ件……（二）　四七四
勅一一三　昭和七年法律第四號ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（二）　一九五
勅一七九　朝鮮總督府郡島森林主事ノ服制……（三）　三三
勅二二四　朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會官制……（三）　八
勅二五八　朝鮮總督ノ管理ニ屬スル鐵道ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（七）　三四六
勅二七九　國際電氣通信條約附屬電信規則……（六）　一八

勅令

勅　一八　朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳部內ノ巡査竝ニ判任官ノ待遇ヲ受クル朝鮮總督府道及關東廳消防手ノ分限及懲戒ニ關スル件……（二）　三一八
勅　六六　外國爲替管理法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（二）　三一〇
勅　七六　現役將校ハ召集中ノ陸海軍兵又ハ其ノ家族危篤又ハ死亡ノ際出頭又ハ歸省スル者ニ旅費支給ノ件……（二）　四七四
勅一一三　昭和七年法律第四號ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（二）　一九五
勅一七九　朝鮮總督府郡島森林主事ノ服制……（三）　三三
勅二二四　朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會官制……（三）　八
勅二五八　朝鮮總督ノ管理ニ屬スル鐵道ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（七）　三四六
勅二七九　國際電氣通信條約附屬電信規則……（六）　一八

勅令

勅　一三　巡査分限令……（二）　三一七
勅一五　巡査懲戒令……（二）　三一七
勅　一六

勅一九六　臺灣及樺太ニ施行スル件……（一六）　二一〇
勅一九八　石油業法施行令……（一六）　二四二
勅二二五　昭和六年乃至九年事變從軍記章令……（一四）　二二
勅二四二　朝鮮總督府種羊場官制……（二）　九二
勅二六〇　朝鮮總督府獸疫所官制……（二）　七二
勅三一〇　軍用電氣通信法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル件……（一七）　三三一
勅三一二　軍用電氣通信ヲ公衆通信ノ用ニ供スル件……（一七）　三三二

條約

條六　萬國郵便條約及同條約ノ最終議定書竝ニ航空路ニ依ル通常郵便物ノ逓送ニ關スル規定及同規定ノ最終議定書……（六）　一六
條七　價格表記ノ書狀及箱物ニ關スル約定竝ニ同約定ノ最終議定書……（六）　三七
條八　小包郵便物ニ關スル約定及同約定ノ最終議定書竝ニ航空路ニ依ル小包郵便物ノ逓送ニ關スル規定及同規定ノ最終議定書……（六）　四三
條九　郵便爲替ニ關スル約定……（六）　四五
條一〇　郵便振替ニ關スル約定……（六）　四七

陸軍省

令一　軍用電氣通信ノ線路ノ建設等ニ關スル件……（一七）　三三

陸軍文部省

令九　兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依ル認定……（三五）　八〇

遞信省

令四　船舶安全法施行規則……（一七）　四二
令六　船舶設備規程……（一七）　四八
令七　船舶滿載吃水線規程……（一七）　五三
令八　船舶區畫規程……（一七）　五六
令一〇　船舶機關規程……（一七）　六二
令一七　船用品取締規程……（一七）　六五
令一九　船燈試驗規程……（一七）　六七
令二〇　信號器試驗規程……（一七）　六九
令二一　救命器具試驗規程……（一七）　七一
令二二　消火器試驗規程……（一七）　七三
令二三　火災警報裝置試驗規程……（一七）　七五
令二四　防毒面試驗規程……（一七）　七七
令五五　日滿電話通話規則……（一七）　二三二
令六一　萬國郵便條約ノ施行規則……（一七）　二三七
令六四　價格表記ノ書狀及箱物ニ關スル約定ノ施行規則……（一七）　二四一
令七八　小包郵便物ニ關スル約定ノ施行規則……（一七）　二四八
令八二　郵便爲替ニ關スル約定ノ施行規則……（一七）　二五二
令九三　萬國郵便條約ノ施行規則……（一七）　二五三
令九八　國際電話通話規則……（一七）　二五七
令一〇九　船舶機關規程……（一七）　二六二
令一一〇　船用品取締規程……（一七）　二六五
令一一一　救命器具試驗規程……（一七）　二六六
令一一二　消火器試驗規程……（一七）　二六八
令一一三　火災警報裝置試驗規程……（一七）　二六九
令一一四　防毒面試驗規程……（一七）　二七〇
令一一五　日滿電話通話規則……（一七）　二七一
令一一六　國際電話通話規則……（一七）　二七二
令一一七　船燈試驗規程……（一七）　二七三
令一一八　船舶設備規程……（一七）　二七四
令一一九　船舶滿載吃水線規程……（一七）　二七五
令一二〇　船舶區畫規程……（一七）　二七六
令一二一　船舶安全法施行規則……（一七）　二七七
令一二二　船舶檢査心得……（一七）　二七八
令一二三　船舶檢査證書規則……（一七）　二七九
令一二四　船舶檢査手數料規則……（一七）　二八〇
令一二五　船舶安全法施行ニ關スル件……（一七）　二八一
令一二六　船舶安全法施行ニ關スル件ニ依リ船舶ニ備フベキ書類ヲ定ムル件……（一七）　二八二
令一二七　船舶安全法施行ニ關スル件ニ依リ船舶ニ備フベキ書類ヲ定ムル件ニ關スル件……（一七）　二八三
令一二八　船舶安全法施行ニ關スル件ニ依リ船舶ニ備フベキ書類ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル書類ヲ定ムル件……（一七）　二八四

遞信省農林省

令二二　漁船特殊規程……（一七）　三一〇
令二三　漁船特殊規則……（一七）　三一九

朝鮮總督府

令一　朝鮮清涼飲料稅令……（一）　六八
令二　朝鮮農地令……（一）　三一
令三　朝鮮所得稅令……（一）　三二
令七　朝鮮市街地計畫令……（一）　七四
令一〇　朝鮮不正競爭防止令……（一）　四六
令一八　小切手法ノ適用ニ付銀行ト同視スベキ人又ハ施設ニ關スル件……（一）　九三
令一九　朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ國際信號旗ノ寸法ニ關スル件……（一七）　七六
令二〇　朝鮮砂防事業ニ施行規則……（一）　六六
令二一　衞生試驗依賴規程……（一）　六八
令二二　朝鮮船舶機關規程……（一）　四五
令二三　朝鮮清涼飲料稅令施行規則……（一）　六九
令二四　朝鮮所得稅令施行規則……（一）　三六
令二五　朝鮮相續稅令……（一）　四六
令二六　朝鮮不正競爭防止令……（一）　四八
令二七　朝鮮清涼飲料稅令……（一）　六八
令二八　朝鮮農地令……（一）　三一
令二九　朝鮮所得稅令……（一）　三二
令三〇　朝鮮市街地計畫令……（一）　七四
令三一　朝鮮相續稅令……（一）　四六
令三二　朝鮮不正競爭防止令……（一）　四八
令三三　小切手法ノ適用ニ付銀行ト同視スベキ人又ハ施設ニ關スル件……（一）　九三
令四七　國稅ト土地臺帳ト林野臺帳又ハ驛屯土ニ關スル府令中稅務官署ニ關スル規定ノ件……（一）　二〇四
令四八　石油業法施行規則……（一）　二一三
令四九　朝鮮相續稅令施行規則……（一）　二一四
令五一　朝鮮市街地計畫令施行規則……（一）　九
令五二　朝鮮農地令施行規則……（一）　二一五
令五三　朝鮮府群島小作委員會規程……（一）　二一
令五四　朝鮮總督府獸疫所ノ名稱及位置……（一）　九
令五五　醫師試驗規則中改正……（一）　四
令五六　齒科醫師試驗規則中改正……（一）　五
令五七　藥劑師試驗規則中改正……（一）　一三
令五八　年賀電報規則……（一）　一九
令六一　昭和九年水害復舊資金ノ融通ニ關スル件……（一）　二二
令六四　朝鮮自動車交通事業令施行規則……（一）　二六
令六五　朝鮮自動車交通事業令臨權委任規程……（一）　二七
令六八　朝鮮自動車運輸事業基準規程……（一）　二九一
令六九　朝鮮自動車運輸事業會計規程……（一）　二九二
令七八　朝鮮自動車運輸規程……（一）　二九二
令八二　朝鮮自動車運輸事業設備規程……（一）　二九八
令八三　朝鮮旅客自動車運輸事業自動車登錄規程……（一）　二九八
令八四　朝鮮自動車道構造規程……（一）　二九八
令八五　朝鮮自動車運送事業規則……（一）　三〇〇
令八六　朝鮮自動車取締規則……（一）　三〇一
令八七　朝鮮自動車交通事業財團抵當登記取扱規則……（一）　三〇四
令八八　國有林野境界標識管理規程……（一）　四九
令八九　朝鮮總督府營林署森林主事及森林主事補服裝式規程……（一）　二七
令九〇　朝鮮總督府稅務監督局事務分掌規程……（一）　三四
令九一　朝鮮總督府稅務署事務分掌規程……（一）　三四
令九二　國稅、土地臺帳、林野臺帳又ハ驛屯土ニ關スル府令中稅務官署ニ關スル規定ノ件……（一）　二
令九四　牧納シタル國稅、驛屯賭及管轄區域……（一）　三五
令九五　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用規程……（一）　三五
令九六　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用令……（一）　三五
令九七　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件……（一）　三五
令九八　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令九九　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件……（一）　三五
令一〇〇　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一〇一　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一〇二　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一〇三　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一〇四　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一〇五　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一〇六　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一〇七　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一〇八　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一〇九　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一一〇　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一一一　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一一二　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一一三　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一一四　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一一五　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一一六　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一一七　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一一八　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一一九　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一二〇　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一二一　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一二二　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一二三　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一二四　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一二五　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一二六　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一二七　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一二八　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一二九　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一三〇　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一三一　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一三二　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一三三　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一三四　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一三五　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一三六　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一三七　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一三八　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一三九　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一四〇　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一四一　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一四二　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一四三　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一四四　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一四五　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一四六　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一四七　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一四八　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一四九　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一五〇　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一五一　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一五二　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一五三　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一五四　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一五五　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五
令一五六　朝鮮總督府稅務署稅務吏特別任用ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件ニ關スル件ニ依リ指定スル官職ヲ定ムル件……（一）　三五

訓三一　關スル件……（八）　一〇三
訓三二　諸委員會等ノ委員旅費減額支給ニ關スル件……（一）　一八五
訓三六　臨時治水調査委員會規程……（一）　九
訓三八　朝鮮總督府遞信局ノ管掌事務ヲ分掌スル郵便局ノ事務ノ分掌ニ關スル件……（一）　三九
訓三九　朝鮮總督府郵便局、電信局及電話局事務分掌規程……（一）　三九
訓四一　朝鮮總督府癩療養所事務分掌規程……（一）　七三
告三五　大正元年制令第一號ニ依ル指定所……（一）　四二
告五二　昭和九年勅令第二十號復權令ニ依リ復權シタル者ノ證明申出方ノ件……（一四）　三九九
告五三　癩生試驗依賴規程ニ依リ依賴ニ應ズル事項ノ種別、供試品ノ量目竝ニ手數料及證紙料……（九）　三〇
告一四九　大學規程第五條第二號ノ規定ニ依ル指定……（三）　一一
告二二七　稅印ノ押捺ヲ申請スベキ稅務署……（三）　六六
告二九二　隣接道區劃ノ境界ニ在ル一等道路及二等道路ニ付常時ノ維持修繕ヲ施行スベキ道知事指定……（一七）　三三
告二九四　特別輸用河川……（一〇）　二六
告四三九　外國爲替管理法ニ基ク命令ノ件第二十七條ノ規定ニ依ル指定……（一）　五九
告四六七　朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員試驗規程……（一七）　五八
告四八三　第四條第二項ノ規定ニ依ル學校……（一七）　五九
告六六三　道路規則第八條ノ二ノ規定ニ依ル渡船場及渡船ノ管理廳指定……（一七）　二三
告六六四　朝鮮自動車運輸事業統計報告書樣式……（一七）　二五
告六六五　朝鮮自動車取締規則第五十一條第二項ノ規定ニ依ル特殊自動車ノ種類……（一七）　二四
告六六六　朝鮮自動車取締規則第五十五條第二項第四號ノ規定ニ依リ指定……（一七）　三二四

昭和十年

法律

法二七　南朝鮮鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律……（一）　四八

勅令

勅三〇五　昭和十年國勢調査施行令……（三五）　一四
勅三〇九　朝鮮總督府鐵道局官吏及待遇官吏服制……（三）　一
勅三一四　青年學校教練科等査閱令……（三五）　七
勅三一五　石油業法施行令第六條ノ特例ニ關スル件……（六）　二四五
勅三一六　朝鮮總督府郵便所長等ノ優遇ニ關スル件……（二）　三六
勅三一七　朝鮮總督府郵便所通信手等ニ關スル件……（二）　四一

條約

條三　國際萬國鐵路會議ニ關スル條約……（六）　三
條五　國際萬國海事衞生會議ニ關スル條約……（六）　三
條六　日滿國際通信協定ニ關スル件……（一〇）　二三
條七　日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約……（六）　三六

軍令

軍陸一五　陸軍常備團隊配備表……（三）　一六
軍陸一六　功四級勳四等以下ノ勳章及記章褒章佩用方……（四）　二

内閣

閣一　機械標準用語……（五）　三〇
閣四　朝鮮自動車運輸事業統計報告書樣式……（七）　二九五
閣五　朝鮮自動車取締規則第五十一條第二項ノ規定ニ依ル特殊自動車ノ種類……（七）　三四

大藏省

大一四　供託官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合及供託金ガ政府ノ所有ニ歸シタル場合ノ取扱方ニ關スル件……（三）　四三

陸軍省

令八　青年學校教練科等査閱規程……（三五）　八
令二二　學校教練檢定規程……（三五）　八
令二三　青年學校課程修得者檢定規程……（三五）　七九

陸軍文部省

令一　兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依ル認定ニ關スル件……（三五）　八〇

遞信省

令二二　海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件……（一七）　五二七
令四八　「クリスマス」及新年祝賀國際電話通話規則……（一七）　二三五
令五一　國際放送電報規則……（一七）　二三六

朝鮮總督府

制二　朝鮮船舶安全令……（一七）　四二七
制四　朝鮮漁獵豫防令……（九）　四八
制五　朝鮮臨時利得稅令……（一）　四六
制六　朝鮮麻藥取締令……（九）　二
制一一　朝鮮製絲業令……（六）　六二
制一二　殖產契令……（六）　三八
制一三　朝鮮航空奬勵規則……（一七）　七六
制一六　朝鮮私設鐵道補助法施行規則……（一七）　三四
令二　朝鮮簡易生命保險積立金ノ預入ニ依ル預金部資金融通規則……（一）　二四
令一一　朝鮮船舶安全令施行規則……（一七）　四二
令一二　朝鮮船舶外國船安全規則……（一七）　四三
令一三　朝鮮船舶設備規程……（一七）　四八
令一四　朝鮮船舶滿載吃水線規程……（一七）　五三
令一五　朝鮮船舶區畫規程……（一七）　五四
令一六　朝鮮木船構造規程……（一七）　五〇
令一七　朝鮮船用品取締規則……（一七）　六〇
令一八　朝鮮船用品檢査試驗規則……（一七）　六〇
令二九　朝鮮船用品試驗規程……（一七）　六一
令三〇　朝鮮漁船特殊規則……（一七）　五二
令三一　朝鮮漁船特殊規程……（一七）　五二
令三二　朝鮮危險物船運送及貯藏規則……（一七）　六四
令三三　朝鮮船舶氣象觀測報告規則……（一七）　二三

令 令 令 令 制 制 制 制 制 制 制 令 令 令

昭和十一年十二月二十日印刷
昭和十一年十二月二十五日發行

朝鮮法令輯覽

卷　下

朝鮮總督府

定價金參拾參圓
【送料壹圓貳拾錢】

朝鮮書籍印刷株式會社代表者
發行者　井上主計　京城府大島町三十八番地
印刷者　君島潔　東京市小石川區久堅町百八番地
印刷所　共同印刷株式會社　東京市小石川區久堅町百八番地

發行所
賣捌所　京城大阪屋號書店　合名會社
京城府本町一丁目二十八番地
京城府大島町三十八番地
朝鮮書籍印刷株式會社

昭和十一年十二月二十日印刷
昭和十一年十二月二十五日發行

朝鮮法令輯覽

卷　下

朝鮮總督府

定價金參拾參圓
【送料壹圓貳拾錢】

朝鮮書籍印刷株式會社代表者
發行者　井上主計
京城府大島町三十八番地

印刷者　君島潔
東京市小石川區久堅町百八番地

印刷所　共同印刷株式會社
東京市小石川區久堅町百八番地

發行所
京城府大島町三十八番地
合名會社 朝鮮書籍印刷株式會社

賣捌所
京城府本町一丁目二十八番地
京城大阪屋號書店